風呂という文明の塊に入りながら、WALKMANという文明の塊で音楽を流しながら、まるで文明など何もない大自然にいるような気分に浸る

瞑想とおしゃべりは「シンプルに生きていく意味」を案外とクレイジーに告げるだけ。

実写映画は誰かの世界を受け入れることであり、ゲームは誰かの世界の中で自分の物語を追いかけることであり、アニメは誰かの世界の上で自分の思い入れを見つめる事。漫画原作の実写は既に誰かの世界でしかない。

人生の道草を食べて生活してます。

「景品表示法」違反みたいなキャラ。

会話のおかしさだとか、キョロキョロしてしまうことだとか、女々しいこととか。そういう負の要素がテトリスのように重く固く、塊のように積み重なっていくことによって僕の印象が決定していく。

「そうですね」「おやくだちです」「勉強になりました」という言葉の向こうに、果たして本当に人間が存在するのか判断できない。意思疎通ができているようで、実際この端末の向こうは中国語の部屋になっているんじゃないだろうか。言葉を信用できないこの世の煉獄。もう何も信じられない。

経済とは「情報を持つ者が持たない者から搾取する仕組み」である。

「僕も成功したんだから同じやり方をすればあなたも成功する！」という形式のものが多く、スナック菓子みたいに袋詰された「成功」が、コンテンツとして消費できるようになっている。

ネットの言葉遣いは果たして現実でもそんな言い方をするか、と一度考えた方がいい。強い言葉は社会の役に立っているのではなく波風を立てているだけ。その波風で村民がサーフィンしている構図。井の中の蛙。

大方の人間は、他社と比べる（社会的比較）ことによって、幸せか不幸せかを判断して生きてゆく。したがって僕たちは、無意識に「不幸せな者」がいてくれなくちゃ困ると考えている。悲惨な人々をロイター式踏切板にして、幸福な跳躍を果たす者だらけなのだ。

そういう時に便利なのがタバコなんだよね。あれはある意味、時間を吸っているようなものだ。自分は校内にいくつか好きな木を見つけて、休憩時間に見に行くのが好きだった。

僕たちは、他者との関係性によって決定される幸せ――すなわち相対的幸福というジャグジーの中に、傲慢な態度でざっぷーんっと飛び込んで生きてゆく生物なのだ。

いつもの駅に着いた。閉ざされたゆらつく車内の長尺シートを蹴り、コンクリートのホームへ駆け下りた。四月の柔らかい風が鼻腔に薫った。

似たような話に、製鉄所勤務の人の「鋼鉄ってすごく柔らかい、鋼のような意思はピンとこない」というのがある。

あらゆるネットが眼根を巡らせ、光や電子となった意思をある一方向に向かわせたとしても、”孤人”が複合体としての”個”になる程には情報化されていない時代……。

一時期非表示にしてたけどシムシティーの災害みたいなもんだと思って今は表示してる

道徳や倫理といった小綺麗な概念のしもべとなり、余裕をなくしている者だらけだ。結果、心の余裕がなくなり、逆説的に倫理観なき行動習慣の形成――匿名で暴言、仮想的を作って叩きまくるなどの文化が、極大加速している。

「あんなカーテンがほしいと空を見て」。寒さが緩んだ柔らかな夜の空気。潤んだ膜のような暗天に瞬く宝石のような星すら、妻が自分に遺したもののように思える。そういう俳句だ。昼間の暑さがやわらいだ夏の夜、見上げる星は美しく清冽だ。身を切る寒さと、澄んでどこまでも暗い空、刃物のように鋭い星の光。

うそをついたやうな昼の月がある

打ちそこねた釘が首を曲げた

天然知能

「時代や状況が傑作を定義する」という考え方をわりと持っていて、たとえばゴッホの絵が傑作と呼ばれるのは、ゴッホの死後にゴッホの絵を傑作とみなす枠組みが生じたからだと思っています。

「権利に義務は必要ない！」と、はてな民のようなことを叫んで教員を叩いても、日本国憲法リーフレットからは札束は飛び出てこない

世の中の脱税のほとんどが「頭隠して、尻隠さず」なのですが、大体、世の中は頭とお尻の両方は隠せない

亜成虫の森で。

社長ジュニアさんが実力でコネ入社してきた。

若手は思考の前提となる知識が乏しいから若手なのであって、自分と同じレベルの思考を強要してもそりゃ出来るわけないわ。自分と若手の差を知識経験の差ではなく思考力だと思い込むのはクソ指導者の特徴だよ。

一定の距離を置いて付き合っているような、ある種の緊張感が漂う友人関係だった。

大っ嫌いだから言う人間全員氷河の上に全裸で放置してだんだん動きが鈍るのを見ていたい。

今すぐカミソリで歯茎を真横に切り裂いて死んでほしい。

全員今すぐ自分の顔面をこぶし大の石で殴りまくって死んでほしい

幸せと体裁の堅牢な箱だということになっていた結婚

光属性のブービートラップ。

つまり肛門科とは人生の大半を他人の肛門を見ることに費やす人になるということだ。並みの人間が堪えられるのだろうか。人生の大半を他人の肛門に占められたくない。死ぬ寸前の走馬灯に沢山の人の肛門が出てくることを考えると、やはり肛門科は辛い。

三人寄れば文殊の知恵と言うならば、八人寄ればいかほどか。船頭多くして船山に登るとしても、そのまま船が天を衝くならば問題はない。

１０年後はクリスマスにカップルで過ごす人間が居るらしいとムーが報じ、２０年後にはクスマスをカップルで過ごす生態をナショナルジオグラフィクスが特集し、３０年後にはクリスマスカップルの写真がピューリツァー賞を獲って、撮影したカメラマンが自殺する。

ゴキブリだって背中の一部分だけしか見えなくすれば、雨上がりの夜空じみた美しさを偽装可能なはずだ。

となり町戦争、という小説の『戦争というのはまるでこの時期の大気がすこしずつ冷気を増しながら来るべき冬を我々に無意識に植え付けていくように意識させぬうちに人の心に入り込んでくるものなのか』という一節。

幸せな関係っていうのはつまり、ナチュラルに利害が一致してるって事なんだなとしみじみ思う

商業への道が舗装された瞬間から青魚並の速度で多様性失って腐っていくのはアマチュアサブカルあるある

ネットで名を挙げるために誰も踏んで無い場所を踏んでユニーク気取ろうとしたけど、そこを誰も踏んで無いのは雪庇だったからで、そのまま踏み抜いて滑落する人。ネットによくいる

さっきミヤネ屋でナレーターが言ってたんだけど、冷え込んでるところに火種やったらあったまってええやんって思った。他にもこういう表現あるかな

夜の底を疾走し

カップに投げ落とされたダイスのように、ぐらぐらと三半規管が揺れる

ババ抜きでババしかない状態だからなんとも。

もう担いでないのに勝手に神輿が浮いてる状態。

小学生の頃いじめられてたやつを助けたときと同じ感覚だわ。そのあと友達になったらウザすぎてなんでいじめられてたか理解できた瞬間だった

大脳新皮質をポン酢に浸けて、高級料亭で提供

(空の色)破滅的なオレンジ

(注射の跡に対して)こんなに跡が残るならもっと残ってもオシャレに見えるようにやってくれたらいいのに。北斗七星の形にするとか

ペンは剣よりも強いが、誰にペンを握らせるかは、剣をもった奴が決める

（トイレで後ろの人に1000円渡されて先を譲ってほしいと頼まれた話）さらに後方から「待て！俺は倍出そう！！」とか声が上がったら盛り上がったかな

ラテン語のいいところ。俺、ラテン語圏にいたけどネイティブはそんなこと言わない　とマウント取るやつがいない

(大学入試の応援)あなたの足にかかっているのはあなた一人分の体重だけです。あなたを支えてくれた人は、あなたの上に乗っかっているのではなくて、あなたを、後ろからそっと押してくれる存在です。

もう売り払われてるものだからキズナアイ運営に何言っても意味ない。テロリストがTOYOTA車使ってるのをTOYOTAに言っても仕方ないのと一緒

ヤリ〇ンの友達が「でも今日はまだ処女だし」と言ってたので、そのポジティブさは見習ってる

（見た目で舐められない方法を教えてほしい）大きくバッテンのついたマスクをしていれば、「あっ、お手つきして一回休みなんだな」もしくは「あっ、おかしいやつなんだな」と思われて話しかけられない

顕正会の事務所に地蔵の生首を着払いで送りつけた

玉音放送をサンプリングしたダンスミュージックを靖国神社で流した

全身に裂傷・骨折を負っていた上に、尿道を偶数個にされたらしい

西田は精神を病み学校を辞めた。この前、一度だけ西田を見た。なか卯の壁にプレステのコントローラーをつなげて、なか卯を操作しようとしていた

【こんな赤座あかりは嫌だ】

世界の全ての国の男とセックスしてその動画をpornhubに公開する「World Wide Fuck」という企画に挑戦したが、初回のセックスで中華民国を国としてカウントしたため中国に入国できなくなった

デジハリに落ちた

デジハリに受かった

全部の共産党を言える

居間でセックスするときは毎回、見られてる気がするので仏壇に飾ってある祖父母の遺影を裏返すのだが、「セックス＝遺影を裏返す」という条件づけがなされたため、もう遺影を裏返すだけでマンコがビチョビチョになる段階に入っている

暇なんで、加湿空気清浄機にアセロラドリンク入れたら部屋がモヤッと赤くなった

初めて暴力を見た人「議論が平行線の時とか使えるかもですね」

なんでお前の尿酸値 虚数なんだよ

何回普通のメールを入れてもなぜか「厚切りジェイソンさんが、ウォークマンで玉音放送を聴きつつオナニーして、日本書紀にぶっかけているのを見ました」というメールしか出さないカスのトスポくん

ある日俺が公園に行くとスケルトンTがいて、何してるのかな？と思いのぞき込んでみると、太陽を凝視しながら「男性器が存在していたと思われる無の部分」を握りながらシコりまくってて、「え～っ！？」と驚いてたら、スケルトンTがいつも持ってるお茶の茶柱が立ったと同時に射精して、なんで性器がないのに射精できるの？と不思議に思いたまたま持ってたスーパースローカメラで確認してみると、茶柱が垂直に立ち上がった瞬間、1フレームだけスケルトンTの股間に男性器が「発現」し射精できた、しかも、後にネットで調べると茶柱が立ったのと全く同時刻に、太陽では大型のフレアが発生し地球上で大規模な電磁波の乱れが起こった…という出来事を目の当たりにした俺が神の存在を明確に感じ、数年後に信者を集めて、太陽ぷよを唯一の神とする新興宗教を立ち上げて成功する。

「エホバの勧誘を論破してみた！w」というタイトルで動画を撮るも、間違えてキリスト教自体まで論破してしまうHIKAKIN TVの神回

分娩室から出たら父がいた

「よく頑張ったね」頭をぐしゃぐしゃになでてくれた

いつぶりだろう　母親になった直後　娘になった

中3の頃初めてオナホ買った時、自分の海綿体の硬さを過信してハードタイプを買い、風呂場で使った時痛すぎてオナホにキレてしまい、オナホを噛んだんだが、その時鏡をチラと見ると汗だくでオナホ咥えてる痩せた男の姿があって、姿があるなよ、と思った。まだ「あるなよ」という思いがある#自由律俳句

昨日の晩、AVの音声が数秒大きい音で流れたので、隣の部屋にいる姉に見ていると思われたら嫌で、突然大笑いして“そういうバラエティを見ている”と思わせようとしたけど、多分AVで大爆笑してるサイコだと思われてるだけだな

俺は高校入りたての頃、友達からボケで虫除けスプレーを顔面に噴射された時にすかさず「俺が妊婦やったら流れとるぞ」ってボケて、翌日それを聞いてた性格の悪い同級生の女にツイッターをブロックされた事があるんですが、そいつのツイッターアカウントを今見たら19歳の漁師と離婚してました

俺が昔バイトの休憩中に他人に内容を知らたくなくて韓国語で面白ワードといずれ描きたいエロ漫画の内容を書き溜めてたメモ帳、読み返してたら「子宮」の韓国語訳だけわからずに子宮って書いてて全く意味なかった

might is right(勝てば官軍)

ちょっと頭使え。首から上に重たいもんつけて生きてるねんから。生きてるうちにつかわんと、肩凝るだけで損やぞ。

いくらロジカルに考えても偉い人のマジカルシンキングには勝てないんだよなあ

ローマ法王庁、「電子ロザリオ」発表

ぼくはFree to Prayがいいなあ（課金要素あり

電子マニ車はないのか/調べたらソーラーマニ車があった

創通に足を向けて寝るどころか同じベッドに入ることにしたじゃん

ピクルス抜きでを頼もうとしたらピクルス農家の顔写真見せられる

タピオカのかわりにゴボウにできる　ゴボウ玉

説教中にやばい「答え」にたどり着いた人

「殴られた方よりも殴った手のほうが痛いんだぞ！」

（ならば、ぼくが先生を殴るのがぼくへの罰としてふさわしいのでは？）

「面白い……からです」

「え？何白いだって？」

(少しでも小顔に見せようと友人より遠いとこで写真に写る人に対して)

「友情より遠近法を優先するな」

置き忘れとかはちょっとだらしないかなぁ？でも物壊すのはおかしいよな、次から気をつけてでいいじゃん。って見てたら 最後自分の家で寝て何が悪いんや ジョニーデップでも来客する予定やったんか

「このペンを俺に売ってみせろ」

「ナプキンに自分の名前を書いてくれ」

「ペンは？」

「需要と供給だ」

「1回のディナーに2万6千ドル！」

「これには理由がある　アルゼンチンの最上肉　シャンパンにサイドディッシュ

食ったろ？」

「2万6千ドルのサイドディッシュだと？ガンでも治るのか？」

「治ったんです、だから高かった」

そのうちみんな面倒臭くなって葬式ではエスペラント語で会話するようになる

葬式の『葬』には『死』がはいってるからマナー違反なんだぜ

ハンバーガー9000円　セットで1000円

消費者庁とコラボバーガー

このままルーズでいるならこの社会においてルーザーにでもなればいい

「上級国民ならば、人をはねても逮捕されない」。○か×か？

×。勲章を持っていなければ逮捕される。

眼鏡は英語でグラスィズ、つまり草生えるということですから、お客様を眼鏡越しに見るということは草を生やすことであり、大変失礼な行為になるのですね。

楽しいんですよ、いじめって。それを自覚できるかどうか。人間の本質的な部分だから。人が痛がったり、ズッコケたりするのは面白いって部分があるわけで、それをいじめじゃありませんって言う人は、自分の中にその意識がありませんって言ってる人だと思う

チーズの方が偉いよ。チーズケーキは作れるけどケーキチーズは作れないもん。

みんな違ってみんなクソの世界

怪レい日本语案件

TNDNMNほんと嫌い中にシュールストレミング突っ込みたい

“pornhubを見て思想に耽っていたらその理由が分かった。” 耽っていたのは思想なんですかね

離婚後に結婚してるか聞かれたとき

「した事あります」「今は特にしてないですね」「昔ちょっとたしなむ程度に」冗談ぽいのでいいなら…。

ある場で『今は独身です』と言ったら相手は離婚か死別と察してくれたのに、隣にいた知人が『いやあんた結婚したことないでしょ』と言われたことならある。

新人Youtuberを見ていたら「メントスコーラ」をやっていて、真面目な人だな、と思いました。

みかんの話していい？これがまたはっさくなんだけどさ

くっさ！これほたってたら都内のハエ全部集まってくるわ

スキーマスク。唇と瞼を焼きたいときにかぶる。おすすめだぞ

特に銀行に被っていくと大人気だ。みんなが手を高く上げて手を振って金を投げてくれるんだ

ドライマンゴーを食べて

「おじいさんのスネをピーラーで削ったみたいな感じ。」

DXの芸能人の私服のコーナーにて叶姉妹がスケスケの服で出てきた時、「なんぼ一億円でもこんな薄い生地やったら寒いやろ！」

東幹久の射的屋での話にて。

東「あまりにもムカついたから射的屋のババアのケツ射ってやろうかと思いました。」

松本「射って倒れたらそのババア持ち帰らへんとアカンよ。」

ココリコ遠藤が番組でフリスクが入っている大福を作った。

「こんなもんお地蔵さんにお供えしてみ、絶対夜殴りに来るよ？」

堂本剛のカレーを食べて、

松本「普通。ゴレンジャーで例えるならミドレンジャー。」

浜田「主役のレッドでも、紅一点のピンクでもなく？」

松本「ミドレンジャー。」

「お前は〇〇が好きかもしれへんけど、〇〇はお前のこと嫌いや言ってたよ。」(エビフライ、海、野菜など)

どんな動物でも手乗りにしてきた松本さん、という手紙に

浜田「ゾウとか無理やろー。」

松本「いやできますよ。」

松本「コウモリだけは無理。手ぶら下がりになる。」

HEY×３でISSAの本名が一茶（いっさ）で次男が二茶（にーちぇ）という話になり、「じゃあ16番目の子はどうなんねん！」

和田アキ子「今日飲みに行くぞ。」

松本「いやちょっと今日は肝臓が。」

和田アキ子「肝臓がどうしたんや。」

松本「肝臓が取れかけてまして。」

「草食動物が肉を食べたらどうなってしまうのでしょうか？」というハガキに対して「財布を気にしだす。」

「エアロスミスとケアレスミスとの違い何ですか？」という質問に「まっっったく同じです。」

プーさんが大好きなアイドルがプーさんのぬいぐるみを抱いていて、「でもほんまの熊が来たらなんぼ黄色かっても逃げるでしょ？」

食べる企画にて

浜田「残さず食べ！アフリカの子供らは食べたくても食べれへんねんで！」

松本「アホ！その子らも腹一杯になったら残すわ！」

紳助「生まれ変わるんやったらブサイクやけど頭のいいやつか、めっちゃ頭悪いけどイケメンのどっちがいい？」

松本「サ行までしか言えなくてもイケメンがいいです。」

「生まれてきてすぐに何を思いましたか？」という質問に「2LDKやん！」

「浜田が本気で怒ったらサーベルタイガーみたいな牙が出るんですよー。小学生の時なんて牙が長すぎてランドセルちょっと浮いてましたからね。」

「マナカナの見分け方を教えて下さい。」

「マナの悪口を言うとニヤッと笑うのがカナです。」

浜田が志村けんにお前！と言った時、「こいつにお前って言うなや！」

ガキ使の心霊企画で、廃校に一人ヘイポーが残されビビりまくり、足元の床にさえ悲鳴を上げていた。

松本「何にビビっとんねん。なかったらもっと怖いで。」

DXの私服ランキングで叶恭子だけ後ろからライティングされていて、

「お姉さん、後ろから車来てますよ。」

「日本でよく言う言葉ベスト10を教えて下さい。」

「一位がすみません、二位がこれのＭないの？」

ガチャピン「うわあ、海の中には珍しい生き物が沢山いるなあ。」

松本「お前が一番珍しいんじゃい！」

ハガキ「新しい彼氏が出来たんですが、元彼の名前が腕にほってあります。どうしたらいいですか。」

松本「など～ってつけたらいいと思うで。」

ホンコンの若い頃の写真を見て、

「うわぁ、格ゲーでおったら俺絶対こいつ使うわ。」

光浦靖子がスキンケアにお金をかけている事を聞いて

「ずっとビフォーですもんね。」

邦正と出川が○首相撲をしていて

「勝ち負けなんてないんですよ。こんなことやってる時点で負けですからね。」

ウルトラマンの大きさが人間と同じくらいだったらという話になり

「正義感の強い友達やん。」

スベってしまった芸人に

「こいつを運んできた新幹線のぞみにまで腹立ってくるわ！」

ヘイポーがスタッフに敬語で切れていて

「ちっちゃい奴が敬語でキレてるてもうフリーザやがな。」

HEY×3に若者に人気のあるバンドが出てダウンタウンがそのバンドを知らなかった。

観客「遅れてる～。」

松本「お前らと同じ道走ってへんわ！」

リンカーンのリストランテという料理の企画で

「味がないから評価のしようがない。だって裸のやつにセンスがないとは言えへんもん。」

宇多田ヒカルとテトリスで勝負をすることになって

「俺ホンマにテトリス上手いよ。ブロックの角が丸くなるまでやったからね。」

浜田が険しい顔をしていて

「富士山の六合目かっ！」

ハガキ「道路工事の人達は一体何を探しているのですか？」

「彼らは埋蔵金を探しているのです。税金という名のな！」

エド・はるみがダンスと歌を披露したが声が小さかったので

「上でお爺ちゃん寝てんの？」

「もし願い事が3つ叶うなら松本さんは何を願いますか。」

松本「1つ目はお金持ちになりたい。2つ目は口の臭い人間をこの世から消したい。3つ目は相方を変えたい。」

浜田「おい！3つ目はおかしいやろ！どういうことや！」

松本「だって2つ目の願い事が叶った時点でお前消えてるからね。」

「猫カフェで店員に間違えられたことが二度ほどある」

「猫だったのか……。」

(創作茶碗蒸しにフリスクを入れるレシピを思いついた遠藤に)

「なんやお前、CM待ちか！」

(自作の創作茶碗蒸しに対して)

「これだけを食べてる動物おってもおかしくないよね」

おーいお茶にションベン入れて持ち歩いていた。人生で一番きちがいだった時期。小便をおーいお茶のアルミペットボトルに入れて街を散策した。女にぶっかけてやりてえ、なんて思いながら。汚い梶井基次郎。

自分の子どもが殺されて、犯人を許せる親はいないんじゃないかな。あなたに対しても犯人を許せなんてことは誰もいえないですよ、神さまは乗り越えられない試練は与えないっていいだす人がいたら、頬をおもいっきりひっぱたいてやりましょう、きっと反対の頬を差し出してきませんから。人の本音ってそういうものです。

嵐を呼ぶ男のなり損ない

私は中2まで家賃6000円のオンボロハウスで育ったんだけど

当時好きな人に「心霊スポット行こうぜ！」って誘われた場所が、

まさかの私の住む家だったの今思い出しても笑える。帰宅じゃん！

「死ぬこと以外はかすり傷」というワードをよく見かけるようになったので、

ぼくら弱者は「生きてるだけで致命傷」というキャッチコピーで対抗する所存です。

「成功してる実写化もあるのに何で嫌なの？」って言われても

「お前の村は無事でなによりだね、ほっといてくれ」

としか言いようがない。うちの村は焼かれたんだよ！

いつも服や靴を買った店で「ここから着ていくのでタグを切ってください」と言ってしまう話を妹にしたら、「そんなにその場で装備してると店員さんに『勇者』ってあだ名つけられるからやめなよ」って言われてしまった。

小3娘「さつはさつでも、もらうと嬉しいさつはなーんだ」

「札束！」

小3娘「正解は、挨拶、でした～」

最強の剣ってなに？

試験だろ……。これで何人切られたか

お前も農林業にしてやろうか

謝れ！俺の父と祖父に謝れ！！

継がなかったお前がまず謝れ

うちの会社にきてるインド人。

欲しい車があるといって（略

どんな形なの？と聞いたら、

「後にテンプル（寺）のような、家に金の飾りのようなものが付いた……」

この前彼女とシリトリしてたとき、

彼女「おかか！」

俺「かに」

彼女「にんじん！……さん！……です！よ！」

勝つためには手段を選ばない彼女に、俺は一生敵わないと思った。

昨日コンビニでもらったお釣りの1万円札

なんか透かしがないみたいなんだけどなぁ？大丈夫かな

いくら払ったんだよ！

年賀状がメールでもめんどくさい自分に乾杯

年賀状なんて紙の無駄。送らないほうが正しい。

俺ら自然にやさしいな。

ああ、やさしいな。

でも自然は俺たちにやさしくない

ああ、やさしくないな。

お前は何を言ってるんだ、閣下といったらデーモン小暮閣下に決まってんだろ！

てめー何呼び捨てしてんだよ。「様」か「さん」を付けろ。カスが。

ごめんね、お前さん……

パソコンショップの作業員と心臓外科医どっちが尊いか

電源を入れたまま修理しているので心臓外科医のほうが尊い

「イタリア軍の新しい戦車は前進1速後進5速となります。」

「イタリア軍の戦車になぜ前進ギアが？」

「後進5速で逃げきれなかったときUターンして逃げるためですよ。」

大ブレイクっていうか人生ブレイクなんですがそれは

大ダメージジーンズ

「ケチだ」「不公平だ」と言われたら、すぐに真に受けないようにしましょう。ケチじゃない人は、相手がケチかどうか気にしないわ。そして、心の広い人は不公平かどうかあまり気にしていない。つまり言ってる本人がケチだったり、心が狭い可能性がある。相手に操作されないように。

「何の為にこんなことをやるんだ」と疑問に感じたら、義務以外はやらなくていいと思うのよ。やりたいことをやっているときに、疑問は思い浮かばないから。なんとなく生きているとやることは増えていくから、やらないことを決めるのがだんだん重要になっていくの。

「親とAV見てたらエロシーンがあって気まずくなった」とクレームいれる人

ポリコレ相撲下手すぎて、場外どころか観客席で毒霧吹いてる感じ

玉音放送に付いてるコメント「低評価は陸軍かな～(笑)」

今までインターネットで色んな文章を読んできたが、結局 小学生の頃に２ｃｈで見た「DQNって『精液』の事『精子』って言うよな」ってレス以上に正鵠を射ていた文なんか一つも無かったな

変な変態「ハァハァ…何色(なんしょく)のパンツ履いてるの？」

カラフルガール「48色」

どういう状況でどんな内容を伝えたのかわからんが、ストレートな罵倒や差別的な言動でない限り、謝罪すべてシャットアウトするような人間との関係は続けないほうがいいよ。絶対に今後も同じことを繰り返す。そしてあなたが平身低頭して懇願して相手が赦す、って作業がいつ発生してもおかしくない関係性になる。逆にもし関係を切られても当然な内容のことを言ったのであれば、今後の関係性において絶対にそのことは禍根として残る。まともな関係性にならない

Twitterで誰かが「叩いてもいい」とされた瞬間に、ワッと群がって手加減なく石を投げられる光景を見てると、中世において「処刑は庶民にとって最高の娯楽だった」という歴史の記述が実感出来るし、同時に「法律は過剰な制裁から罪人を守る為に必要」と罪刑法定主義が唱えられ始めた背景がよく分かるな

「知らない人にいきなりタメ口で失礼なことを言う人」を今日もインターネットで見かけたんですがこの手の人の思考回路って「インターネットはオープンで民主的なプラットフォームである」「だから当然にお前にはおれに応答の義務がある」みたいな感じで礼儀とか応答コストとかの論点がまるでない

何が役に立つか役に立たないかは一概には語れない。俺はモンハンとFPSで鍛えたカメラワークで消化器外科のカメラ持ちをめちゃめちゃ褒められた

善意の交差点は、時々接触事故が起きる

人類はまだプログラミングをまともに教育できていないのでたまたま生き残った人間がプログラマーをやっていて、そういう人間に聞くと「そんな質問をしている時点で素質がない」という答えが帰ってくるのは当然だと思うんだよね。

当時下ネタと言えば「ちんちん」「おっぱい」「うんこ」くらいしか知らなかった俺らに、小5の時転校してきた女の子が「フェラチオ」「パイズリ」「スカトロ」など大量の未知な下ネタを持ってきて「渡来人」って呼ばれてたのめっちゃ良かったな

200億万回言うてますが、「100％の効果が保証されないなら無意味」というなら、シートベルトもヘルメットも玄関のカギも電気のブレーカーも夜道の街灯も防犯ブザーも包丁のカバーもバランスの良い食事も、あらゆるもの全て無意味ですからね…

ネットに繋がるスマート炊飯器に「悪意のある第三者にご飯を炊かれてしまう脆弱性」がある話を見て笑ってる

デスゲームも文化祭で主催してる謎解きサークル

よく識者の方が講演などで強調される高齢期の生き方のコツとして、「教育」と「教養」の大切さというのがある。「教育」は「今日行くところがある」、「教養」は「今日用事がある」を意味するものであり、誠に言いえて妙と感心する。ただ、私流にこの提言を少し補強するなら、「教育」と「教養」をより深めていくには良き「教師」が必要ではないかと言いたい。その心は「今日知ることがある」である。加齢とともに人間のもろもろの欲望は次第に衰えていくのであろうが、本人の努力次第ではこの新しいことを知る意欲はかなり高い水準でかつ長い間維持できるのではないかと思う。

「お家取り潰し」のことを「おうち取り潰し」と呼ぶ、かわいい大名

公教育って「1億人に知識を与えると、数%のひとがとんでもない有効活用を始める」という類のものであって、「最初から使う人だけに知識を与えようとしてもうまくいかない」んだよね。1千万人の将棋指しの中で、たまに藤井聡太が発生するけれど、最初から藤井聡太だけに将棋を教えることはできない。

婚活アカで「公務員で20代で1000万」とかの空集合を探してる人がいるんだけど、そういう人を密かにツチノコハンターって呼んでます

君、夏、将来、夢、希望、嘘の概念のみで構成された歌詞改めてすごい

最高の夏に“する”ということは原理的に不可能で、何ということのない普通の夏が、あれこそ最高の夏だったと後から振り返って認識されるものなのだろうけど、実際そんなものはなかったのにいつかそのような認識が発生すると信じて過去を見続けながら消耗していくお前らの人生

昔、小学校の先生が『食べるもの以外は生き物は殺していけない』と生徒達に教えた（ようは無闇に生き物殺すなと言いたかった）んだけど、

その言葉に従って男子が『食べれば生き物を殺していい』と解釈して、アリを殺しては食べてたんだけど、これ人外と人間のすれ違いに使えません？？？

昔も書いたけど、数学を勉強したら何か役に立つのか？という学生さんからの質問には数学が役に立つような人生を送れる、と返している。

ヘッドホン付けて立体音響のAV観たとき、画角から外れた女優さんが「こっちこっち！」って呼ぶ声がマジで自分の背後からする様で思わず振り返ったら小学生の頃学内コンクールで入賞した「希望」って書写が目に入ってそのまま抜かずに熱めのシャワー浴びた。17歳。夏だったと思う。

俺が殺し屋だとして〝黄昏〟ってコードネーム付けられたら絶対弟に自慢しちゃうだろうな

ヒソカ「春。出会いと別れ、二つの性質を併せ持つ...♡」

ポテトを頼んだとき「3分お待ちください」より「3分後に作りたてをお出しできます！」と伝えると良いみたいな話を聞いたので、これから外出前に男を待たせるときは「あと10分待って」ではなく「あと10分で最高に綺麗な私と外を歩けるよ！」と伝えるようにします。

今日カラオケで練習してたら「おっビオラじゃん！なんか一曲弾いてよ！」という酔っぱらいのおっさんが乱入してきたので、適当に弾いてあげたら、5分くらいで家族に連行されていった。

シンプルにやべぇ奴なのは間違いないが、外から音だけ聞いてビオラだと判別できたあのおっさんは何者だったのか。。

画質がエロビデオなんよ

祝辞、整列してる全員にボタン配って「長いかつまらんと思ったら押してください」っつっといて過半数が押したら壇上から転落する仕様とかにして欲しい。

三角関数の議員、絶対三角関数の手前の「三角比」で理解が止まってるのに三角比を指して「三角関数」と勘違いしてるでしょ、と思っていたら本当に三角比を三角関数と勘違いしている会心のツイートぶっ放していてほっこりしました。聖光学院、慶応、みずほ銀行の全ての看板に泥を塗っていくスタイル。「聖光学院と慶應の看板はまあ分かるが銀行の方の看板にはもう泥を塗るスペースが殆ど残って無いじゃねえか」とのお叱りのコメントを多数頂いており大変申し訳ありませんでした

カードショップ行ったら店の奥のほうからオタク特有のうわずった声で「アーニャ手札破壊がすき」って聞こえてきた

「質問していいよ」と言われワクワクしながら尋ねたら、「そんなの自分で考えろボケ」と罵られた経験があります。二度と質問したくなくなるくらいのトラウマだったので、逆に自分はどんな質問だろうと礼さえあれば丁寧に答えるようにしてます。

嘘は嘘とわかるから面白いのであって、ツイッターの「マックの女子高生」みたいな話が嘘だったらとたんに退屈になってしまう。本当であるという部分に全体重を載せたエピソードなのだ。

「これ、どんな根拠があるんだろう？」と思えない人は、いくら勉強しても暗記にしかならないから、間違いを簡単に教え込めるのだ。

干したさつまいもみたいな退屈な人生

物凄く露悪的な言い方をすると介護には直接の経済的生産性がほぼない（ケアラーが労働に時間割けるようになる程度）。財務省からすると介護や医療に金出す理由がないので常に渋る。人間とは？人生とは？社会とは？

「幸せになる方法を分析してみた」みたいな記事を読んじゃって、幸せになるためには快楽、健康などの8要素に分解して、それらをバランスよく得ていきましょうみたいな話だったんだけど、そうやって積み上げ式に総量を増やせば幸せになるという思考が一番幸せの邪魔なんだけどなとか思ってしまった。

いわゆるマナー講師のいうマナーは、多数の人が共有できる暗黙のルールというよりも、多くの場合、目の前の相手に対して自分の"マナーレベル"をアピールすることが目的になっていて、どちらかというとマウンティングの要素が強い。あの辺の謎のマナーに感じる違和感の正体はそこら辺じゃないかね。

一種の自虐として「親に愛されたことない人間が心から幸せになることって不可能でしょ」とか口走りそうになることもあるけど、とんでもない呪いなので自分の中に抱えて死ななければいけない。達成不可能な「心からの幸せ」を私が勝手に定義してるだけで、瞬間瞬間の快さは感じているし。今が楽しい。

「男子校出身で自分がモテるかモテないかわからないまま初めて付き合った彼女と結婚したら家庭円満」て話と「異性経験がなくて地雷を見抜けないまま初めて付き合った彼女と結婚したら毒家庭爆誕」て話が同時に流れてくるWorld is Twitterなので好きな宗教を信じる

テクノロジーって人間を楽にするために、労働の負荷を軽くするために進化してきたのに、ある時期から「人間を拡張する」方向に進化が収斂してきた印象です。人間が拡張したら、人間ができることが増えるので、そりゃ前より忙しくなりますよね。現在のテクノロジーの進化は人間を多忙にしているだけ。

ポーカーやっててデカbetした人のApple Watchが、「心拍数が上がっています」って喋り出したのがクソおもろかったな

昔、地元の繁華街で深夜にラーメン食って店でたら酔っ払いの集団同士が殴り合いの喧嘩してて、うち1人に「兄ちゃん、警察呼んで！警察！」と言われるままに110番したら誰もいなくなって俺が一人で事情聴取を受けた。

「○○（数学や文学など）が役に立つのか」論争はだいたいいつもごまかしがある。働くために身に着けなければならない知識（テクネ―のような）と、自由人（ハッキリ言ってしまえば働かなくても生きていける人）のためのものののリベラルアーツが意図的に混同されている。大学で教養を教えているような人は文理を問わず両者の違いを考えたことがないわけがない。なのに話さない。黙っていたほうが、あるいはまぜっかえしたほうが得だからだろう。

美容師「もみあげは自然な感じでよろしいでしょうか？」

客「はい」

自然状態のもみあげ「ヴォーーーッ！！！！！」（万人の万人に対する闘争に突入する」

うちの息子、ゲーム1時間くらいやったところで自ら切り上げて勉強始めたりするから、頭おかしいんじゃないかとおもうことがある。

「そろそろやばいと思って始めたタップル　tinder　ペアーズ　omiai with mimi　YYC、これら全部使って4万課金して未だ出会えないんやがどうすればええんや…」「ちゃんと顔出しとるんか？」「してるンゴ」「じゃあそれが原因や」

シックスナインを原始人に教えてる未来人

「まんこ、なめる、ちんぽ、しゃぶる、いっしよ、いっしょ、やる、かわりばんこちがう、いっしょ、同時、同時つってもわかんねーか笑」

この間スーパーで買い物して、レジ並んでる時にカートでむすこが遊び出したから「やめて」「人が多い場所だから危ない、やめて」って言っても聞かなくて、「誰かにぶつかったり嫌な思いさせたらお前が謝りに行けよ、ひとりで。じぶんで。」って言ったらピタッとやらなくなった。

便座の上で仁王立ちしようとしたら便座が割れてしまったので、大家さんに「便座が突然割れたんですけど…」って連絡した。

暴走族、うるさくしてもいいからせめて新聞とか配れ

色々考えたんだけど、世界で一番面白いものって「どのお笑い芸人のあのネタ」とかそういうものじゃなくて、パチンコ冬のソナタのペヨンジュンが交通事故で死ぬか蘇生するかの確変だと思う

【無印良品あるある】

入店した瞬間に欲しいものに関する記憶がゼロになる

「コレ見て！日曜にゴッホ展に行ったんだよね！」

「盗ってきちゃったんだ」

「初めてスカイプしたけど声可愛いね！」

『そんな…』

「プリある？」

『見せたくない…』

「普段何してるの？」

『ポエム書いたり…』

「どこ住み？」

『鎮西…』

主は咄嗟に思いあたって、叫んだ。

「その声は、我が友、李徴子ではないか？」

『如何にも自分は隴西の李徴である』

ガタン！！！！！

『機内トラブルが発生しました。落ち着いて対処してください。』

副機長「左の主翼に損傷を確認！制御不能です！！！」

もっと制御不能な機長「ここに、オシッコをすればいいのカナ？🤗」

「さあボタンがついたのは東大王伊沢！！！」

伊沢「マチュピチュ！」

「お見事正解！！！伊沢にはマチュピチュが贈呈されます！！！！！」

伊沢「ヨッシャー！！！マチュピチュゲットー！！！！！」

東大王チーム「伊沢マチュピチュゲットおめでとう！！😭」

みんな「ワッショイ！ワッショイ！」

思春期の人間ってなかなか面白いよね。2〜4歳と同じくらい面白い。「あなたは、大人として私を庇護したまま、私を対等な大人と認めろ」という矛盾した欲望に満ち溢れている。彼らが、自分も既に大人だったんだと気づく時のダイナミックな精神の動きで発電もできそうだ。

コンプレックスをバネに復讐心で這い上がってきて、偉くなってから仇を取るように威張り散らす人がいる。苦労してきたからって人間が出来てるとか丸くなるとか、そんな朝ドラの主人公みたいな人を期待しない方がいい。

「ぶらり途中下車の旅」で観覧車を途中下車する回

おみくじの結果を見ずに捨てる人

人の業　全マシ

風邪をひいたとき見る悪夢。ていうか見たら風邪ひいた

コンテンツ破壊RTA

因果律曲がってますよ

どうあがいても肉棒

カラマーゾフの穴兄弟

イワンのガバ

この……なんだろう　誕生日何でも買ってあげる　ただし勉強関係のものだけで　って言われた気分

『さらに会場に集まった同業者の多さからこんな冗談も。 「技術書典にロケットランチャー撃ち込んだら日本のＩＴ業界終わりそう」』

同じ子供の頃から秋葉原に通っていた桃井はるこ氏は「秋葉原は常に変化していく街。それを眺めるのが楽しい。どれだけ変わっても、悲しい事件が起きても心の故郷」と語っていた。リアルフェイリスすぎてリスペクト

「鈴木先生」というドラマ(漫画)に「今の学校教育は手のかからない生徒の心の摩耗の上に支えられている」という台詞があったな。手のかかる生徒(不良)に合わせてるから偉そうな感じになっちゃうんだろう

マリカ、LR使いすぎて壊れて安全運転しかできなくなった

喉が痛いので行きつけの小児科で見てもらった。「風邪ですね」とのこと。安心！

車という存在に求められることが「移動という手段を満たす物」と「移動という欲望を叶える物」とに二極化していくということだろう

バナナはおけつに入りますか？→もう入ってます

「ママとお母さんに怒られた……」「お前の家庭環境どうなってんだよ」

原付に400km出るエンジン積んでるけど、街の中もその速度でしか走れない男

平和とは戦争期間の間の騙し合いの期間に過ぎない。その真実に片方が気付いたとき戦争が始まる。

国境線を書き換えるための道具……武器

もう二度と行く

男オタの普通の称賛は今も昔もやたらと神を降臨させる印象があるが、神以上の誇張表現もまた無い感じ 死にはしない けど、エロに関しては死ぬほど馬鹿になる エッチコンロ点火エチチチチとか エチエチの実の能力者とか ふーん、エッチじゃんとか

衛生兵じゃなくて坊主呼べ

ハイハイで見失うとかピポサルか何か？

冬物を取り出す感覚で、聴き直してる歌

独特な浮遊感。夜中のサービスエリアのようだ。

最近、再生回数が増えてみんなに広まっていくのが、自分の彼女が急にかわいいって周りから言われるようになったみたいで嬉しいけど少しもやもやする

夜のドライブで聴くと、高速道路がまるで異世界へのルートみたいに見える。帰りたくない　孤独でいいから大切な人と二人でいたい

容量64GBのスマホを買うな高校校歌

容量64GBのスマホを買うな

最近のゲームアプリは10GB使ったりするぞ

えっ 最新機種は最低でも容量128GBなの

そうか そうか そうか

廃校 あゞ廃校 解散

吉野家取締役の「生娘をシャブ漬け戦略」という表現を批判していた人が、ヤクルト1000を飲むことを「ヤクをキメる」と表現していて、社会って難しいなと思いました。

ためしてガッテンを見て納豆を買い漁っていた人間をバカにした連中が、今twitterを見てヤクルト1000を買い漁っているんやぞ

〝8時間勤務〟の〝監禁〟の部分

愛というのは砂糖みたいなもので。砂糖が好きだからと言って、そのまま食べたりはしない。紅茶に混ぜたり、小麦に混ぜたり、クリームに混ぜたりするでしょう。愛というのも、そういうものだと思うのです。

オーストラリアのバイオレンス小説を読んでると、「そんななまくらじゃあウォンバットのケツも狙えない」「お前が決断する間に干ばつが三回起こる」といった独特すぎる言い回しが散見される。

義務教育で最初に教えるべきことは、人間のリソースは有限であり、人は常にトレードオフに直面しているという事じゃないかと思い始めた。

同級会には行けません。皆さん、お帰りの際には夜道にお気をつけ下さい。

スピッツの中でも屈指の自己肯定感養成ソング

会社の庶務のおばさんがやたら仕事ができるから、「なんでそんなに仕事できるんですか？」って聞いたら、「ショムショムの実を食べた庶務人間だからよ💋」って言って海底に沈んでいった。

これくらいの時期は夏が来る感覚に心ときめく。実際に夏が来ると暑過ぎてなんか違う。これを毎年やってる

【就寝あるある】

「なんか短いな、これ布団が横になってるな」と思いつつもぞもぞ直すが、あってた

【嫌な単発バイトあるある】

トイレの場所をきいたら、コンビニの場所を教えられる

周囲から「真面目で責任感が強く他者に迷惑をかけない」と評価される人間、実はコミュ障だったりする。コミュ障で他者に頼る/甘えるが出来ないが故に「全部自分でやる」スキルが異様発達しており、しっかりしてるように見えても自分1人で解決困難な問題に当たればアッサリ折れてしまう

死んだあとに自分の恥ずかしいものを見られたくないと思ってる人は、死を全然わかってない。死を舐めすぎ。

自殺したいけど首つりや飛び込みなど他人に迷惑をかける方法は嫌なので、奥歯に毒を仕込むことにした。

仲間に教えられ目からウロコが落ちたこと。「本当の自立っていうのは、自分でなんでもやらねば！と努力することじゃなくて、いざという時に頼りあえる人と繋がりを作ることなんですよ。」そうだったのか！確かに何でもないフリをするのは簡単だけど、正直に助けを求めることの方がよほど勇気がいるよな

朝起きれた、ご飯が食べれた、お風呂に入れた、そんな事でも十分偉い。それをしたくてもできない年月が私にはあったからそれを成し遂げる凄さがわかる。どんな小さなことでもそれって凄いんだよ、頑張ったねって言える人間になれたのは、鬱になって唯一よかったことかも。

「人生は配られたカードで勝負するしかない」って言葉を、手役が揃った状態で人生スタートしてる強者が発言して、その発言が役無し人生の弱者から共感されてるという残酷な光景を目にしてしまった

ヴァルキュリアくんを鹵獲して感度3000倍にして送り返すっていうのはどうすか

帝国兵の四肢をもぎ取ってアーチつくりたい……つくりたくない？

空中で地雷を踏む(失言する)

「わ」「を」「ん」の三人グループに入れられた「ん」のような人生

消えた「ゐ」と「ゑ」

今の職場にも放火したいけど、前職の職場と前々職の職場への放火欲って、その比ではないんだよな。信じられないくらい火を点けたい。本気の本気で許せない、人類の内最悪の個体が集合していた。

この機運が盛り上がり、一大ムーブメントを巻き起こして男性根絶運動、略して「男根運動」とか呼ばれるようになってほしい

(電車の中で泣きわめく赤ちゃんに対して)親孝行したことあるか？俺たちはある。大人だからな。くやしいだろ。だがそんなお前にも今できるたった一つの親孝行、それがおとなしく眠ることだ

■口頭で名前を説明されるのが好き

特に電話口で、自分の名前を漢字でどう書くか説明する場面あるじゃん？「増えるに田んぼで『ますだ』、利益の益、荒川の荒に男で『ますらお』です」みたいなやつ。あれ聞くのが好きなんだよね。当たり前だけどみんな説明する口調が滑らかで、その名前で何十年とやってきた結果、最適化された定型句なんだな～という感があって良い。上の例のように一文字ずつ説明するのも親切だし、「近藤勇の『近藤』です」と有名人を引き合いに出すのも味わい深い。「はしごだか」「土の吉」みたいな異体字もたまらん。ワタナベさんのナベの字なんかバリエーション凄いから説明がどんどんこなれていきそう。実務上は直接本人に記入してもらうのが楽なんだけど、たまに聞く機会があるとちょっとうれしい

やっぱりこの人は間違ってるし正論ぶつけ放題なワケだけど、「正論の正しさ」と「正論のぶつけ方の正しさ」は別物で、後者に対して無頓着な傾向であることへの自省は良い加減必要だとも思う

Pat Metheny used a copyrighted song, the original is from God.

死んで腸から届く大腸菌

店舗のオーナー不在時に無断発注　セブン―イレブンで横行

本部社員『オーナーさんがお店にいなかった隙に商品を無断で発注しといたのねん！勿論全額オーナーさん持ちなのねん！』

日本人なんかムスリムにしたら、酒は般若湯だし豚はフグが陸に上がった奴だから食べてOKってなるしアラーは八百万の神のひと柱になって偶像化ならぬ擬人化されて美少女になって最終的に立川に越してくる。

全部サビの曲かよ

ささやかな夢に見せかけて後半の伸びエグいな

参加者からは、「あまりにキモい」という声や、「インターホン キモがらせ選手権に出場して、参加賞として逮捕されてほしい」という声が挙がりました。

しかし神経太いな。心臓に針金が生えてるタイプや。毛が生えてるというより心臓がスチールウールでできてる

「夢は現実の中で闘ってこそ意味がある。他人の夢に自分を投影しているだけでは死んだも同然だ」「リアリストだな」「現実逃避をロマンチストと呼ぶならね」

「そうだ、今度二人で映画でも見に行かねえか？」「ありがとう。でも本当に見たい映画は一人で見に行く事にしてるから」「じゃあ、それ程見たくない映画は？」「見ないわ」

「強烈な個性を持ちながら一構成員にすぎない」と「グループにいるからこそ引き立つ個性」の循環参照に頼るタレントが個人になるとどうしてもあんな感じになる。チーズバーガーから取り出したチーズはただのチーズだ

こけた？戦車より重心の低いアイツが？

勧めてくれた本がクソだったら「無人島に持っていく一冊ではないかな」という評価をして無人島に持っていくなら何かという別話題に転換する

何周も周回遅れになっているのに、先頭を走っていると勘違いされていらっしゃるように見えます

焼け石に水　現代風に言うと「ゴミ屋敷にルンバ」

「こんな一休さんは嫌だ」っていう大喜利だったら満点だと思った

自分の射精周期を知るために生理周期アプリをインストールしているが、基本毎日2回シコるので全然役に立たない男

ボケてのお題にされそう

ハダカが制服の拓也

おやぁ～？子～？孫

特大ブーメランパンツ

ドラクエの村人みたいなランダムウォークするので会社に出勤できたことがない人

地雷原で踊ってみた！→地雷踏み抜いた　みたいな感じ

一万回繰り返されたテンプレ　 「男性のほうが肉体的に強いのだから肉体労働は男性が積極的に行うべき」を肯定してしまうと「女性しか出産を行えないのだから女性は妊娠出産を積極的に行うべき」も肯定しなければならなくなります。

友人の部活の応援に行ったとき、友人が発した「クソッ！」の音をサンプリングしてEDMに挿入し、それを聞いてひたすらシコっているという内容のAV

デッドオアダイ

由緒貧しき家柄

サッチャーが死んだときの英国労働者階級の発言。国葬なんてとんでもない、あいつが大好きだった民営化でやれ！

出会いに、年齢制限はありません。

そのうち、どこかが、目的地。

スポンジみたいに、たっぷり夏を吸い込んだ。

いつか見たような、存在しない明日。

夏休みは、寝坊がいちばんもったいない。

9回裏45アウトランナーなし、カウント67ストライク53ボール

ごっこ遊びで息子に「僕はスパイダーマンの役やるからパパはドングリの中の白いやつになってね！」という驚きを禁じ得ない配役を任されたので出来る限り小さく丸まって『お外に出たいよぉ』とドングリの中身として最善を尽くしたのだが「木の実は喋らないで」と一蹴されました。こんばんは、虚無です。

夏休みの宿題ばりのラストスパートぶり

もう忘年会できないねぇ

広州で道路陥没　当局、落下した3人助け出さずセメント注入

おそロシアの時代から埋めチャイナの時代へ

兵馬俑扱いやめろ

親の老・病・死は、身を呈した最後の教育

得意技は時空の歪み(大学3年生2週目)

registをrgstにしたりするような人間は横断歩道渡る時に必ず信号点滅する呪いを受けるべき

彼らの辞書には「知性」という文字が無い、どころか、辞書持ってないんでしょうね

イングランド王ハロルド2世の「領土を6フィートだけくれてやろう」が好き（墓穴のサイズ）

ヒトという外来害獣も駆除してSDGsポイントをもらおう

「散文ですみません」韻文で書けるよう日頃から練習すべき。/「このたびは幣も取りあへずすみません」幣ぐらい日頃から用意しておくべき。

キンコン西野に対し。年末で張り替えた障子より薄くてペラペラで、びっくし。呼吸できてる奇跡。

身内に甘々じゃん。マジで激甘じゃん。「練乳かな？」と思ってイチゴにぶっかけそうになったわ。

公文書の専門家、千人養成へ　ずさんな文書管理の批判回避も

手術するべきは手足ではなくて脳なのだが

ボケが大渋滞してる

ルービックキューブの世界最速動画についたコメント

His fingers are faster than my WiFi connection

I can do a 1x1 almost immediately

USB連呼し過ぎで笑った。USB警察じゃなくても私人逮捕が許されるレベル

マリオカートって後ろにいるプレイヤほど良いアイテムが出やすいってルールというか傾向あるけど、人生でもああいうのないんかな。前にいる人間ほど良いアイテム手に入るよね。

キノコもらって使ったはいいけど速さについていけずコースアウトしてジュゲムに助けられるような人生だわ

下位ほどバクチアイテムに溺れ、上位は地道なテクで上位をキープする。マリオカートは人生。

人生に明確なゴールはないので、「前へ出ると追われ続ける」ということは忘れられがち。「1位になって喜んでレース終了」はなく、1位であり続ける限り追われ続ける。

この人は芸能にも精通しているんだよなぁ…本当に隙がない

クッソくだらんけど芸能界に2回め以降精通したら射精っていうのかな

「政治家だった男、そして誠実だった男」

と書かれた墓の近くを神父が通ってこう言う。

「珍しい、1つの墓に2人も入っているとは」

「お宅のお嬢さん、免許取ったんですってね。どれぐらいかかりました？」

「うーん、車2台半かな」

貧乏な夫婦がいた。

「ちょっと飲みに行くから、コートを着なさい」

「まあ、私も連れて行ってくれるの？」

「違う、ストーブの電源を切るんだ」

パソコン会社の営業マンが、別の会社のアホな社長にアピールする。

「うちのパソコンを使えば、仕事は4分の3になります」

「そうか！じゃあそのパソコンを1人4台ずつ買おう」

「あの、昨日もらった睡眠薬、返してもいいかしら？」

「いいですが、不眠症はまた出ますよ」

「いいの。旦那は昨日、車にはねられたわ」

「教養をつけよう。シェイクスピアはもう読んだのかい？」

「もちろん。でも、作者名が思い出せないんだ」

知識は荷物にならない最高の武装

ねぇみんなが言う「普通」ってさ

なんだかんだで 実際はたぶん

真ん中じゃなく理想に近い

自定義として「主語を大きくすること」が差別と考えているので、これは差別。これの解決策は「男性専用車両」を作ることであり、女性車両にのせろという主張は女風呂に入らせろと言う主張と同レベル

垢BANされないギリギリ下品なハンドルネームを考えてほしい

おまわりさんこ

オランダ妻

桃のセッ久

何の変哲もない普通のエロ画像を非エロ画像フォルダの中に一枚だけ入れるとドスケベ指数が飛躍的に向上する。

やりたい大人のキッザニア的なの。

・重要な会議中に最重要役職に駆け寄って耳打ちする眼鏡スーツ。

・ヘリから降りた大学教授の横を並んで歩きながらファイルの束を読み上げる高級将校。

・齧っていたドーナツを投げ捨ててファックスをちぎって上司の仕切られただけの執務室に駆け込むデブ。

辞めろ！！俺の店がオープンカフェになっちまう！！

って、ブチギレるバーのオーナーも追加で

追っ手から逃げる主人公に「ちょっと借りるよ！」とバイクや自転車を強奪される人

伝説のスパイに暗号の書かれた新聞を渡す伝令

客待ちしてたら突然乗り込んできた探偵に、「あの車を追ってくれ！」って言われるタクシードライバー

まったりドーナツ食べてたけど、目の前を逃走車が走り抜けたのを見て愚痴りながらもドーナツを投げ捨てバイクにまたがる白バイ警官

目の前で異常事態が発生して何が起こっているのか理解できず、口をぽかんと開けながら食いかけのドーナッツをポロっと落としてしまうモブ

地下カジノなどの会員専用施設の入口で仲間と猥談してたらノックされたので確認しようとカシャって小窓開けたら分厚い鉄の扉ごとブッ飛ばされる警備のチンピラ

裏カジノにいる太ったすぐ殺されるマフィアの下っ端

反乱を起こして配下の兵卒を伴い「閣下をお連れしろ、丁重にな」と上司の将軍を軟禁する参謀

偉い人に今日の何十件ものスケジュールを歩きながら説明した挙げ句全部キャンセルされる秘書

受話器に「言われた通り警察にも連絡していないわ。娘は無事なの？」って言いながらこちらに目配せしてくる母親に（もっと引き伸ばして）のジェスチャーする人

主人公に「9mm癖がなく使いやすい」「45口径パワフルで正確！」といろいろ銃を出していって「そして、男ならコレだ！」と最後にオススメを出す銃砲店のオヤジ

出撃直前の戦闘機の開いたコックピットでパイロットにあれこれ説明して「幸運を」って下がっていく整備士

主人公と悪漢の格闘で店を滅茶苦茶にされ「やめてくれよ！」「外でやってくれ！」「ああ、ひどいよ！」とずっと叫んでる中国人移民の店主

難事件の探偵役と遭遇して、世間話や軽口を叩いていたら偶然捜査のヒントになりそうなことをポロッと口にして「それだ！」と叫んだ探偵に置き去りにされてぽかんとするモブ

安普請のアパートで頭にカーラー巻いてネグリジェ姿で扉を開けて、「うるさいわねェお隣なら一昨日引っ越したわよ！」

おせち料理とかいうダジャレの満漢全席

気持ちええ夢見てるところごめんやけど、寝耳に水を注がせてもらうで。

最初は攻略キャラが■にしか見えないが、好感度を上げるとグラフィックが進化していく乙女ゲームが気になりすぎる。リアルでもそういうところあるよね。ある日突然16x16ドットだった人が720pになる瞬間とか。

逆張りおばさんはラジオ体操みたいに、一日一回人からリプを貰わないと人質に取られている家族を殺されてしまうので、わざと頑張って反感を買うようなことを毎日一生懸命書いているのです。みたいな想像したらどうでもよくなった。

以前、penの台湾特集で「旅行の意味とは『知ってたつもり』の物事の背景に触れ、その地の人々とのふれあいを求める事に見いだせるのではないか」という一文に電撃が走った事がある。別の地の日常が見たいんだ。

7年も経ってしまって自分の知識はバクテリアに分解されて石油となっている。 これって凄く古くなったことを表していると同時に今後の資源になるみたいな意味合いだったら素敵だなと思って読んでいる。

オオカミ系美少女が同人誌の中で発する「オォーン」という喘ぎ声のフキダシを見ると荻野ラップを連想してしまうが、まあ別にいいのでそのまま荻野で抜き始める人

ホラゲーの実況ってコメ欄に逃げたくなるよね

学会でレート詐欺をする教授

「この分野は素人なのですが…」

渡部：左をブーバだと思っている

こじま：右をブーバだと思っている

クイズギャル「そこ確定ポイントじゃなくね？」

この子に身長体重性欲以外で勝ってる気がしない

人が死ねば棺桶屋が儲かる

(電車の中で本を読む女性についての感想)コミケ帰りに我慢できなくて人目を気にしながらBL本読む人みたい

(映画か何か　図書館で分厚い本を手に取った男性が)

おお　ドイツの歴史書だ

「負けた」と書くだけでこの厚み？

「ソープランドと慰安婦は同じものである」と葬式で強弁する僧侶と、それを論破しようとするが、間違い過ぎててどこから論破すればいいのかわからない喪主

麻疹(マシン)

麻疹(アサシン)

お前のモラルはママのお腹の中に置いてきぼりになったのか？

ショートスリーパーこじらせてエターナルスリーパーとかきついっす

(宇宙でかいみたいな動画のコメント欄)

俺と橋本環奈は同棲してたのか…

「地元に欲しい物が売ってない」などというのは近くに都会がない地方あるある→都会出身者にその話をしたらそんな問題が存在する事自体認識されていなかったという話

お菓子作りに興味があって誕生日にオーブンを買ってもらったものの、タルト型もシフォン型も製菓用ラム酒も、冷凍パイ生地もシュークリーム用の広い口金も買えなかったの思い出した

痛いニュース(ﾉ∀`) : 【画像】 香山リカ 「日本が中国に乗っ取られても『中国の味方です』と言って生き延びるよ〜笑」 - ライブドアブログ

同朋を殺した米軍に「ぎぶみーちょこれーと！！」と乞食し、先ほどまで鬼と呼んでいたマッカーサー将軍に大量の手紙を送って媚びを売って生き延びた祖先たち

人間性がいくら良くても口が臭いだけで人は人を嫌いになれるのに人間性悪いとかもう取るとこないやん

「卒論 仮提出日などの日程を決める。ここ数年仮提出時点で完成度が高くなく、本提出論文も今一つ。提出は本提出と同等レベルに仕上げるのが前提なので、水準を高くして提出すること」この文面、先輩いわく毎年メールで送られてくるんだが、逆ボジョレーヌーボーかよ

よくこの文面で自己紹介に「わずか1年で退職」って書けるな

そうとう面の皮厚いよ　おれの足の裏の皮ぐらい厚い

【ボイトレ】１分で声が楽に出やすくなります。【マジで。】

これ電車の中でやると隣に誰も座らないのでとても助かってます。素敵な動画をありがとうございます。

人類が到達しうる最も気持ち悪い舌の出し方

例えるなら羅生門の外にバベルの塔つくってそこに住んでるやつらだよな数学者って

今日が山場だと思っていた仕事が山脈だったときの絶望感

イヤなことや辛いことを避けて生きていくことの１番の問題は、そのうちできることがほとんどなくなってしまうことだと思う。好き嫌いが激しくなるとそのうち食えるモノがなくなるってのに近い。選んでるつもりが選べなくなり、選ばれなくなる。そうなると、悲惨だ。

バカでも粗野でも勉強嫌いでもいいんだけど、幼いというのはキツい。なにより自分の欠点をわかっているのに向き合おうとしない治そうとしない開き直るという（まぁそこが幼い所以なんだけど）態度がもうどうしようもない。それがハタチともなると自然に成長することは期待できないしなぁ。

AIに奪われたい仕事：センター試験の監督業務

児嶋：ふと左耳イヤホンを嗅いだらカメムシのにおいがして自分の体臭に絶望しているとき、目の前にカメムシがいて安心している

渡部：カメムシになりきっている

水曜日のダウンタウンで無理なドッキリを行なってしまいクロちゃんが死んでしまう回

ドリーム東西ネタ合戦で、厚切りジェイソンが東軍西軍のどちらでもないため「米軍」として参戦し、皮肉にも勝ってしまった回

名探偵コナンで、「犯人が黒塗りなのは黒人差別だ」という苦情があったので、犯行シーンの犯人を黒塗りで伏せなかったため、犯人がバレバレだった回

牛ってのは草食だろ？だから、牛肉を食えば肉も野菜も食ったってことになるんだ

どうしてお笑い芸人はいるのに、お怒り芸人はいないんだ？

逆AED

めちゃめちゃ健康なのに将来の夢を聞かれると半笑いでパラリンピック選手と答える、マジで終わってる小学生

イヤホンしてた後輩に「何聴いてんの？」と訊いたら「雨の岐阜県です」と言われて、そういうバンドかな？と思ったら雨が降ってる岐阜県で録った音のことで、怖かった

ワイ、レジ前で財布に200円しか無い事に気づき「それ全部買わへんで」と言い退店する・・・・・・

風俗のお姉さん「はーいそれじゃあピュッピュしましょうね～」ｼｺｼｺ

僕「お乳おいちい」ちゅぱちゅぱ

お姉さん「もおそんなに吸われたら赤ちゃんの分無くなっちゃう♪」

僕「は？」ちゅぽん

僕「お前僕が授乳オプション付けた時点でこの母乳は僕のと違うんか？」

僕「違うんか？」

似非サイコ野郎「人殺してぇ～（ﾅｲﾌﾍﾟﾛｯ」ワイ「はぁ…」

1: 風吹けば名無し ID:r928m9hf0XMAS

ワイ「ナイフジュルルルルルルルルルルルルル！！！！！！ ジュポ！！ジュポ！！！！！！ジュブブブブブブ！！！！！！！！グッポ！！グッポ！！！」

「おみくじって気に入らない結果がでたらもう一度引き直していいらしい。

よりいい結果が今年の運勢になる」「TOEICか何か？」

「や行」より後に「ら行」があるの、未だに許せてない

LINEで「笑」か「w」にするかは相手に一致させるので、相手が笑い始めるまで決して笑わない

東京って怖いよね～。何でも手に入る気がして、何も手に入らない気がして。

横断歩道で信号待ちしてたら、傘さし自転車運転のお兄さんが隣に来て、イヤホンつけつつタバコ吸いはじめながら信号無視して走っていったけど お前 ほんとに今それ全部しなきゃならんのか 生き急ぎ野郎かよ …交通事故スターターキットみたいなことしやがって…

(ドラクエ)負けイベントだと思ったら負けイベントじゃなかった時の絶望感

オレ・ミゼラブル

片岡愛液助

裸族葬のファミーユ

タッチパネルの使い方やお茶の出し方を隣のお年寄りからいろいろ質問されたので教えてあげたら、「頼みすぎたから」とか言って中トロくれたんだけど、会計のときにその中トロの皿を自分で払ってることに気づく私。

先生「条件反射ってなんですか、○○くん」

○○くんが「銃で撃たれると血が出る」って言ってて

そんな条件反射が出るまで訓練されたくないなって思った

「インターネットを通して伝染する病気がなくてよかったですね」って話に「あるのでは？」って言いそうになって黙った。

自分がウンコ漏れる直前でトイレに並んでたとして、何人か後ろに「おしっこー」と言ってる子供がいたとして、私は譲らないね。子供がおしっこ漏らすより、おばさんがウンコ漏らした方がヤバいし、周りも衝撃だと思うし。自分の前の人が勝手に子供に譲ったら、その人の事殴っちゃうかも。緊急事態だから

斜め上から目線(ひねくれてる上に上から)

イギリス人は味わうための舌を持たない。毒舌である。

しかも3枚ある。

家族に愛されて育ったって自信を持って言えるし、そのもらった愛情を死にたがりのマゾさんに還元してあげたいと思う。愛に質量があれば私の愛に埋もれて潰れて欲しい

イラストレーターを目指す人たちへ。今のままではダメなんだ、と思わないでください。今のままでいいんだ、と信じてください。自分の絵をもっと信頼してください。生まれ持ったものを、育った環境から滲み出るものをもっと信じてください。そして描きたいと思うものを、楽しんで描いてください。

奇跡かよって思うくらいに話が合う女の子に出会ったことがあるんだけどよくよく話してみると小中高大ってほんとに似たような本を読んで育ってるわけよ。何が言いたいって「人間は摂取した言葉からしか言葉を選んで話すことができない」ってこと。

芸術は慈善活動じゃねえんだよ。見てたら気分が悪くなったからアウトじゃねえよ。美しかろうが気分が悪くなろうがなんでもいいんだよ。大事なのは強い実感だよ。胸を締め付けた実感がその後の人生を少し変えるんだよ。芸術はすげえ。マジで美術教育が機能してないんだなこの国は。

相当あいつ思想が回ってる

クリスマスプレゼントの包装を雑に破る子どもと、セックス前に衣服を脱ぎ散らす大人は本質的に同じである

(三菱の「青空のような照明」10月発売　朝焼け、夕焼けも再現　オフィスや病院に自然な光を　に対するコメント)

そもそも大気圏に これ貼ってある可能性あるからね。

まさに「実るほど 頭を垂れる稲穂かな」を体現する質問姿勢であられるんですけど、その膨大な知恵の詰まった御頭の重みで質問者のメンタルは瓦解寸前な悲劇

「大丈夫、峰打ちだ…」

「金属バット持ってる奴が言うなよ」

(自分語りをした人に対して)人に歴史あり、だ。

「ケミカルフリー」という言葉を聞く度に、英国王立化学会の「100％化学物質不使用の物質持ってきたら100万ポンドやるよ、おう、あくしろよ」というプレスリリースを思い出す。

鬼のようにダイエットしてピークから30kg以上落としたという今はムキムキの先輩にダイエットの秘訣を聞いたら返ってきた「まず心の中のデブを殺せ」という言葉が強すぎて今日教わった筋トレメニュー忘れた…鏡の中ではなく心の中にデブがいたんや…

「おっぱい飲んでねんねして」の三大欲求スピード解決ほんとすき

結婚式やった友人が言ってた、「結婚式に金かけるのわかる。あれって金かければかけるほど、誰でも『人生の主人公』って気分になれる。そういう経験がない奴ほど金をかけて経験を買う」っていう言葉がキツい。

『子供の科学』の中にあった言葉。「夜は昼とは別の場所にある。本当は夜というのは時間ではなく場所だ。私たちは毎日、地球という星に乗って昼という場所からぐるりと移動して、夜という場所へ行く」　という言葉に感動している。これは時間と空間の本質を捉えた、実はとてもすごい言葉だと思う。

『翻訳できない世界のことば』という本がおもしろい。例えばフィンランド語の「ポロンクセマ」という言葉、直訳すると「トナカイが休憩なしで疲れず移動できる距離」。ちなみにポロンクセマは約7.5kmなんだって。フィンランドの人はどんなときにこの単語を使うんだろう。かわいい言葉だなあ。

小学生の頃、僕にいやがらせをしてくるクラスメイトがいると母親に伝えた時に返ってきた「前歯でも折ってやれよ。どうせ乳歯だろ。」という言葉で僕は人に優しくなれたのだと思う。

「煙草を吸わなければあのベンツくらい買えたのですよ」 という例のコピペを見ても何とも思わないけど、「煙草を吸わなければ昼のラーメンに餃子を付けられるのですよ」 と言われると途端に迷いと葛藤が生まれる程度の底辺。

「もう誰か書いてそう」に対する「でもお前は描いてない」、パワーワードというより殺し文句

全然仕事できないのに重鎮ぶってる人が「どうして私に何の説明もなく勝手に○○導入してるんだ！？」と大騒ぎしたせいで、みんな理解してる事のためにわざわざ説明会が開催された事にブチ切れた嫁が、その状況を「説明会という名の地鎮祭」とメールしてきて、そのパワーワードぶりに独り爆笑中。

尾木ママってここ最近グッと女らしくなったよな

ジャイアンって心の友って言うけど体の友もいるの？

女友達「ごめんお風呂入ってたー」　俺「ガスメーター回って無かったけど？」

ワイ行きつけの幼稚園、不審者が出るらしい

３ヶ月かけて実家のインコに「ニンゲンニ、モドシテ」って言葉覚えさせた

海人←うみんちゅ 島人←しまんちゅ 防人←でぃふぇんちゅ

女ってやっぱ「右折してる私かわいい」とか考えながら運転してんのか？

肛門とかいう365試合のうち、たった1回のセーブ失敗で叩かれる可哀想な選手

「かくれんぼしよう」誘いながら下半身は隠さない変態　町田の公園に出没

お経聞いてて「流れ変わったな」と思う瞬間

さんまの「ファーｗｗｗｗ」は『シ』だったことが判明

「女子力高いなー」と思うゲロの内容物

バブを抱きしめながら入浴した時の「救えなかった」感は異常

友達が「スマホの画面の傷が酷い」ってスクショ送ってきた

「お客様は神様、やろ？」「ごたごたうるせえ、仏にしたるぞ！」

(SUSHI食べたいのコメント)何が凄いかって、こんなに中毒性あるのに別に寿司を食べたくはならないんだよな

この動画が1000年後ぐらいに発見されて、数々の歴史学者を惑わせてほしい

これがクレープ屋で流れてきた時は自分の耳を疑った

なんでそんなに墓穴を掘り進むねん？

(飲める泥水を飲んだARuFaに)

すごい、めちゃくちゃキツネに化かされてる人みたいだ

飴は伸び縮みするので、もし間違っちゃっても修正できるんですよ。

>>人生もこうであってほしいな

「料理のレシピは自由であっていいんです」

「じゃあ、肉じゃがにカレー粉16kgを入れても完成するんですか」

「それだと16kgのカレーが完成しますが」

(振り返って、オレ、成長したなと思う時)

YES NO枕の本当の意味を知った時

愛媛様だっこ

法律って物理的なものとしてあるんですか？

法務省庁舎の地下にチタン製の「六法原器」が安置されていて、地方法務局にはその複製が保管されてる。5年に1度、制定改正された法を追加削除してるよ。

ドラゴンが火を吐きはじめたのっていつごろなの？

小学校に上がるちょっと前くらいだったかな？　公園の向こう側にいる友達を大声で呼ぼうとしたら、プスプスって喉の奥に違和感を覚えて、鼻からチリチリ黒煙が出てきた。その日の晩は赤飯だったなぁ……。

今日気づいたが、満州国が存続してたら当然、国債を発行したり債券市場が開設されたりしたはずであり、一方USAに関する経済ニュースで「べい国債販売」とか「べいこく債券市場」等と略称を使うことから類推すると（略

どうでもいいけど、「人生はクソゲー」と「CLANNADは人生」がどちらも真であるならば、「CLANNADはクソゲー」となることに気づいた。

理由は伏せるが髪ふさふさの男性タレントをCMに起用するのも止めて欲しい。

増田の奥さんは結婚した実感を楽しんでいるだけで、苗字を変える事自体が面倒で不便なのは変わらないんだよな。もっと別の形で結婚を実感できる変化があればいいんだろう。体色とか。

「強烈な個性を持ちながら一構成員にすぎない」と「グループにいるからこそ引き立つ個性」の循環参照に頼るタレントが個人になるとどうしてもあんな感じになる。チーズバーガーから取り出したチーズはただのチーズだ

「物申したさ」の根源には必ず仮想敵がいる。自分ですら輪郭が曖昧なそれは他人が見れば更に茫々とした巨躯に映るだろう。まず行うべきは解像であり信号エラーを逐一返すことではない。この記事は画質がよくて助かる

政治に興味がなければ聞いたことのある名前を出すしかないからな。ドラクエのラスボス集めたドリームチームのリーダー選ぶなら誰？って聞かれたらみんなゾーマ一択だろ。あいつ薬草で倒せるんだぞ

婚活ハウツー系は「まず磁力を高めてより多くの砂鉄を回収しろ。選別や精錬はその後」みたいな指針のものが多いと思う。虫眼鏡持って砂場を這いずる人が多いけどネオジム磁石もって転げまわった方が早いぞみたいな

パパとママの間に挟まって寝るのが習慣だった男児が突然ひとりで寝ると言い出して訳を聞くと「お兄ちゃんになりたいならそうしたほうがいいってばあばが」と話して夫婦そろって大赤面的エピソードに類する出来事かな

増田は優しいな。親の代わりに弟と向き合う姿、決して親を腐そうとしない姿を見るに自利を棄てて他利を採るタイプのように思える。まさにアンパンマンだが増田は人間であり替えの顔は来ない。自分の為に餡を蓄えよう

一部オタク界隈の「メジャーなものが好きだとバカにされる」って風潮ホントクソだよな　に対して

「ベタなんですけど」と前置きしてから言うと吉。マジョリティを嘲る手合いは表面的にしか主流に触れてない事が多く「クジンシー第一形態でバラージシュート覚えるのは基本ですよね」とか言うと大抵ついてこれない

人に対して使わない品評の言葉を人に使うのは受け入れ難いというのはある。似てる人の事を「●●は△△の上位互換」とか言ったりするアレな。才能の枯渇もキツイけど「善玉菌の減少」みたいなもんだと思えばセーフ

雑炊の配給がいつ打ち切られるか分からない人が打ち切られない確約を得たことに対し「雑炊は雑炊だぞ」と言うのは目の前で焼肉定食を平らげて見せる行為に等しい。そこに愛はあるのかい

戦ってる人に矢を射るのは論外としても「○○は嫌いだがこの件に関しては全力で支持する」というのは悟空とピッコロが組んでラディッツと戦うみたいなもんでアリじゃねと思ってしまうのは自分が部外者だからだろうか

前方の巨悪にミサイルを撃ちこみながら後方から市民の持つ銃で蜂の巣にされてるという、おそらく多くの人類が未だ目にした事のない一大スペクタクルを目の当たりにしているのではないだろうか、我々は

地の文モリモリのエロゲーにつく評価は大抵「描写が濃くて良い」か「フィニッシュシーンまでが長すぎる、ボイスのほうがいい」の二つに二極化するみたいな話か

与党300議席に迫る勢い　衆院選序盤情勢　　:日本経済新聞

携帯大手キャリアが糞すぎるのでMVNOへの移行を考えていたところ、怪しいうたい文句の新規事業者が次々乱入してきて格安市場が混沌としてしまい「やっぱ大手でええわ」と諦めの境地で次の2年縛り更新にハンコ押す感じ

世にも奇妙な物語の最後に出てくるちょっと不気味だけどキレイに終わる話みたいな話

ゲームはジャンルも表現もさまざまなのでどこが先端なのかという疑問はある。ウニの先端ってどこだよ的な

スピッツのライブでの 合唱テロ企画問題 #スピッツ - Togetter

有名シェフの料理を堪能してたら「あちらのお客様からです」と言われておにぎり出されるみたいなのはちょっと喜べない

もうさ、アイドルに幻想を抱いてもしょうがないじゃない みんな分かっていてそれでもファンやっているんでしょ？

はじめに断ってあるならいいけど「おいしいから買ってね！」と言っていたウズラの卵がある日突然「実は私有精卵なの！だから食べないでね！」って言い出したらそりゃねえよってなるのでは

流石に古参は喧嘩の仕方が違うなと半泣きになりながら全部読んだ / 結論の応酬になるネットバトルは相手がどんな手駒を隠し持ってるか探りながらミスを誘う戦いになりがち。画面消して音だけでやるストIIみたいなもん

素晴らしい機能だが増田の刹那的で未完成な空気が好きな人間としてはあまり整備されすぎるとそれはそれで格調が上がってしまいそうで複雑な気分。砂場の横に水道があると嬉しいがシャワーまでは要らないみたいな感じ

カジュアルに返報するのならスターやブログ内コメントが適切だろうと思う。ブクマは他ユーザーへのアピールが強いからいいね感覚で使うには音量が大きすぎる。電車で席を譲ってもらったお礼にクラッカー鳴らすレベル

わさび大盛り寿司、カラシ大盛り寿司、ハバネロ大盛り寿司のどれかを食えと言われた時、わさび大盛り寿司を選ぶ人が多いのは自然。選ぶしかないのならせめて味が想像しやすい物を、という涙ぐましい決断なのだよ

縁日の射的で子供が苦戦してるところにふらりと現れ「坊主、こうやるんだ」と言い全弾命中させて持ちきれないほどの賞品をその子にあげて去っていく退役軍人みたいな人がいるのが増田の良さ(長い

過去の作業データからコピペを繰り返してると古臭くなるので時折こういうのでアップデートしたい。創業時から注ぎ足してる秘伝のタレはwebに不要なのだ

自分をお気に入りに入れられる機能は使い道あるけど非表示の方は何に使うのか分からんな。はてなのサービスにはちょくちょく男の乳首みたいな仕様があるよな。上級者向けなのかな

「お前はマドハンドに呼ばれるだいまじんかよ」とか「はがねのつるぎまで我慢できずにてつのやり買っちゃうタイプ？」とかも通じなくなっていくのだな（そもそも流行ってない）

「牛肉たべたい」って言ったら「吉野家・すき家・松屋の中から行きたい店を選べ」と言われてしまい「牛角に行きたい」と言いたいのを飲み込んで吉野家を選ぶ感じ

何がぬいぐるみペニスだ、ペニスぬいぐるみを食らえ！

いつか言ってみたい台詞のひとつだ。シチュエーションはこう。親が目を離した隙に車道へ出てしまい轢かれそうになった子供を突き飛ばして身代りになり、息も絶え絶えに「だから子供は苦手なんだ」とニヒルに笑う感じ

どうでもいいけど“ジェラートピケのモコモコパーカー” という字面の食べ物じゃないのにおいしそうに見える感は異常

エロ同人誌のハートマークはなぜあんなにもエロいのか

親戚どもから怖い話聞こうとしたのに「近所のボケて死んじゃった独居ばあちゃんの家の片付けを手伝ったら家の中に食べ物が何もなくて、不思議に思って炊飯ジャーを開けたら保温された土が入ってた」っていう謎の世界観の話しか出てこず、座敷が一瞬で異次元になった

ADHDの「気になる事があると集中出来ない」と「乗り気がしないタスクは先延ばしてしまう」が合体すると、必須タスクの「早くやらないと！」という焦燥に脳を占有されるほど、それと向き合うのが怖くて更に先延ばしてしまい、最終的に手遅れが確定して逆にホッとするという奇異な状況が生まれがちだな

海からイノシシ、窒息死させて返り討ち　長崎の50代男性に警察官もビックリ - 毎日新聞

古代ギリシャなら壺の絵になってるレベル

こーゆー動画のコメ欄でまだ聞いてる人とかさすがに居ないよね、とか言ってる人って結構失礼だと思う(語彙力)

神曲に出会ったときの「これ数十年前から聞き続けてきたよな」感は異常

これはあれだな。自分が爺さんになったとき孫に面白い話せびられたらするやつ。で、孫はその時はよくわからないんだけどなんか記憶には残るやつ。

坊主憎けりゃ袈裟まで憎い、ということわざがありますが、袈裟はただの袈裟です。事実から遠く離れたものまで憎がっていると、そのうち坊主ではなく袈裟が憎しみの主体だと思ってしまいそうです。

法律の間に生まれた鬼子

・ストロング系飲料や第三のビール

・期限前償還条項付き永久劣後債

・ランドセルを背負って18歳を自称するエロゲヒロイン

・パチンコ屋の近くにある小物商

・個室のお風呂部屋の中にいて誰とでもすぐ自由恋愛する女性

車軸数で料金が変わる高速道路システムを受けて任意で1軸分タイヤを浮かすことができるトラック

免許センターの近くにあって、何故か当日これから受ける試験とそっくりな問題だす試験対策業者

イスラム諸国にも入室時に結婚して退室時に離婚するシステムがあったことを思い出す

人は昔から般若湯を飲み、兎を鳥だビーバーは魚だと言い張り、イエスキリストは12月25日生まれと称して来たのだから、鬼子でもなんでもない。昔から相も変わらない人間社会の営みに過ぎない。

戦争に負けると上の人間までもがしばらくは平和主義者になり、戦争に勝てば下の人間までがしばらくは好戦主義者になる。少なくてもしばらくは。(『怪我をしたソクラテス』より)

この世で最悪なのは無政府状態。その次に最悪なのが政治だ

「嘘にはだいたい取っ手がついている。真実のかけらでできた取っ手が」。テレビの画面から差し出されてくる取っ手を、つかむ前に、よく点検することだ。

寿司を握るたびに大将の手元から「にぎっ にぎっ」という文字が物理的に出現する嫌な寿司屋

魔女「ねればねるほど色が変わって…」

(変わらない)

魔女「え〜変わったとして、こうやって付けて…」

(付かない)

魔女「え〜付いたとして、美味い！」

(不味い)

ﾋﾟｯ… ﾋﾟｯ… ﾋﾟーーーーー

医師「6時14分19秒、ご臨終です…」

妻「18秒です！！」

子「18秒だよ！！」

医師「ビデオ判定に移ります」

ﾌﾟｩｨｨ……… ﾌﾟｩｨｨ……… ﾌﾟｩｨｨｨｨｨｨｨｨ

医師「18秒！！！」

妻子「きたあああああああ！！！！！

牛の乳搾り体験で無限牛(むげんうし)を引き当ててしまった小学生「先生、もう手の感覚が」

「皆さんこんにちは、前澤友作です。この中継は全世界同時に放送されています。ご覧の通り私は月に到着しました。美しいですね。さて、私が地球に残した置き土産は作動しているでしょうか。安心して下さい、苦しみはありません。私はこの女性と第二のアダムとイヴになります。それでは、さようなら」

北島康介の「チョー気持ちいい」は

“気持ち” が “チョーいい” のではなく

“チョー気持ち” が “いい” であり、

“気持ち” は “どちらかというと悪い”

全部やる人「もしもし？俺俺、俺だけどさ、何色のパンティーを履いているか教えてもらえれば倍になって返ってくる壺の株をご案内している神を信じますか？」

ポケモンになった林修の鳴き声

嬉しい時「イマ〜！！！」

疑問時「イマ？？」

悲しい時「イマァ……」

怒った時「デショ」

被ダメージ時「知ってた」

歌のお姉さんから転職したてのSM嬢「あなたは汚いブタさんです！元気に鳴いてみよう！」

親父と一緒に行ったインドカレー屋で少食な親父が「ナンは小さめで」と頼んだら本当に名刺みたいなナンが出てきて大爆笑しながら「小(コ)ナン」とかけて捻ったことを言おうとして「頭は頭脳！」と間違えてしまい、親父は笑われたことにムッとしていたのでそこで会話が終わったことがある

【とんでもない歌番組】

それでは歌って頂きましょう

星野源さんの『恋』

サカナクションさんの『新宝島』

あいみょんさんの『マリーゴールド』

米津玄師さんの『Lemon』

4曲“同時”にお聴きください、どうぞ！

前世で話が途中だった赤ちゃんの第一声「でさ〜笑」

【ヒゲ剃りのCMに出演している尾木ママ】

この剃り心地 まるで異次元

世界初の8枚刃で 剃り残しゼロへ

尾木ママ「わたしはもともと生えないの」

ｽﾞｼｬｧｧｧ!!! (CGのヒゲ剃り)

毎朝のシェービングを より快適に

ジレットフュージョン

尾木ママ「そういう体質なの」

「へぇ〜こんなところに人生が出来たのか。ちょっと入ってみるか。ｳｨーﾝ」と言いながら産まれてくる赤ちゃん

純粋にぶぶ漬けを食べて欲しい京都人「これ出すとアレみたいな感じ言われてはりますがこれはもうほんとにぜんぜんそういう意味じゃないヤツどすから普通に食べて欲しいんどす。あ、食べてくれはりますか？理解がいいですなぁ。さぞかし良い大学を出たんでしょうなぁ」

【3週間寝てない鳥山明が描いたドラゴンボール】

悟空「しょくぱんマンさま～～～！！チャンジャを取り分けちくり～～～！！」

ビューーーーッ！！！！

(19個のドラゴンボール1個1個から素麺ぐらい細い神龍が吹き出てくる)

神龍「「チャオズを出禁とする」」

煽り文『 ナッパも出禁─── 』

ファイティング戦士アベル(ギャグ漫画日和)で「貴様の攻撃など蚊に刺されたほどにも感じぬわ」「こんな強いヤツでも蚊に刺されるのか」と言うのが妙に面白かった(蚊最強説)

昨日から在庫は充分にあるとニュースで伝えられているのに朝からペーパー類を求めて長蛇の列になるドラッグストア。いいか娘よ、ここに並んでいる人間は3種類だ。ニュースを理解出来ない頭の悪い奴と、不安だからと念の為に買いに来るヒマな奴と、タイミング悪く在庫を切らした運の悪い奴だ。

>> こういう語りを聞いてしまうと、 勝手に「あいつはーー」というセリフが 脳内で付け足され、エースコンバットゼロのOPが 始まってしまう

ゲームのオープニングが終わって主人公を動かせるようになる瞬間が結構好き。最近のゲームだとオープニングムービーからカメラが主人公の背後に動いていってそのまま操作権を渡されるパターンが多いけど、アレすごくいいんだよなあ　おっ動かせるの？っていう高揚感。現実にもちょいちょい似た感覚があって、新居の鍵もらって中入って管理人さんなりなんなりが去っていった瞬間とか、旅館で部屋に入って荷物置いた瞬間とか、そういう義務から解放されて未探索のところに放り出されるってシチュエーション。自由になりてえな。

遠足で目的地に到着して散り散りになるときみたいな。プール授業の課題が終わった後の自由時間はめっちゃ楽しい。

子供を置いて出かけるときこれ。赤ちゃんの乗り物じゃなくなるので自分の意志で動ける。普段の自分はヨッシーとかチョコボに近い。

友達と初めてカラオケ行って、初めて友達の歌声聴いた時の「へぇこいつ歌うとこうなんだ〜」的な気分

フェードアウトしていく曲ってなんか嫌いで、フェードアウトに対抗して徐々に音量を上げていく。最後まで同じ音量で聴きたい。

フェードアウトめっちゃ好き。最初にやった人天才だと思う。エンディングソロが徐々に熱を帯びていくのに伴ってバンド全体で盛り上がっていき、それがどこまでも続いてくみたいな感じでフェードアウトするの最高。

一番無能な省庁＝厚生労働省ってことは分かったから、今一番日本のこと考えてるのはどこ？

毎日明日の日本のことを考えているのは気象庁だけ。

少子化担当庁　順調に少子化を推進してる。

「ほうれん草生える」の読み方が確定できないの、真面目に日本語の欠陥だと思う。

豊富な知識に裏打ちされた自由奔放な作品ほど怖いもんはないで

恋愛ってあくまで人生の副菜であって、主食には決してなれないから、仕事とか勉強をほっぽらかしたり逃避するために恋愛するの、おすすめしない。両立はいいと思うけど、自分のコアになるところを確立しないまま恋愛ばっかしててもロクでもないことになる

(明朝体の「高輪ゲートウェイ駅」表示について)

ある日突然創英角ポップ体になってくれねえかな

創英角ポップ体が許されるのは市役所の地域振興課だけ

は？おめえは野鳥の会の人に、野鳥以外の鳥も数えられますかって聞くのか？

「トイレに行ってました」「硬い大かな？柔らかい大かな？」

ケツの穴に突っ込んだ後の手で、奥歯ガタガタ言わせたるで！

あの時は落ち込んでご飯がのどを通らず、 うどんを食べた。

同じニュースの別媒体だと「うるせえ、送って貰うだけマシだろ感謝してちゃんと仕事しろ！」とか言ってる奴らがいて思わず眼球が反転して人体内部が視えたありがたう

ロクに空気を含んでいないため、通常のレアチーズやティラミスに比べて異常な重量感と食べごたえが付与され人体が破壊されます　脳がミシミシいう　ライフゴーズオン　よかったですね。

ヒーロー扱いとは切断処理であり、彼らを生贄の羊にする行為である、という基礎認識は持っておこうな

ぶらり途中下車の旅で、ナレーターが「おやおや、267341629714さん、こんな所でどうしたんですか？」と阿藤快をマイナンバーで呼んだ回

テレワークが広く行われるようになってサラリーマンが「通勤時間が気分転換になっていたことに気付いた」って言ってるの、無人攻撃機のパイロットが人殺した10分後に娘の授業参観にいって精神的負担に押し潰されそうになっているアレと似ている。

「ママ、ごめん。お話あるんだけど今いい？」と言って、2歳の娘が神妙な顔で仕事部屋に入ってきたので、作業する手を止めてイヤホンをとって「どうしたの？」とちゃんと向き合ったら「むかしむかし、あるところに」って、ほんとのお話を始めた

責任を「最後に断頭台に上ること」だと思っている人もいれば、「全てのリスクを分散させ、クリーンな状態で君臨すること」だと思っている人もいるし、「すべてのリスクを自分に集約させつつ死なない程度にかわすこと」だと思っている人も、「他人の人生を背負わないこと」だと思っている人もいる。

交渉がめちゃくちゃ上手い人「娘を返してくれる上に1000万くれるんですか？」

拷問を受ける小島よしお

「あいつは関係ねぇ…あいつは関係ねぇ…」

アマゾンのレビュー欄に"この本を読んで考え方が18度変わった"と言うのがあった。タイポだとは思うがツボにはまったので積極的に使っていきたい。

アフリカのことわざに「二頭の象が争う時、傷つくのは草」というのがあります。これは、強い者同士が争った時に傷つくのは弱い者だという意味です。象が傷つけあっててウケるという意味ではないです

こっくりさんに対して「円周率を教えてください」という質問を実施し、それを行うグループを5分毎に1つずつ増やしていったところ、徐々にどのグループにおいてもこっくりさんの応答速度が低下していったことから、こっくりさんにDDOS攻撃が有効であると判明した回

縦読みしてみと言っただけで縦読みしたら意味のある文章が出てくるとは言ってない

こちら100種類以下の眼鏡を取り揃えております

ウリになんないね～～

じゃあそちらでバカみたいにお待ちください

テドロスへの批判リプライを翻訳ディープラーニングにおける悪口集としての教師データに使えそうだ。テニスの国際審判員も知らない語彙がありそう

鞭と鞭

お金持ちがなぜブランデーを飲むのかわかった　蒸留階級だからだ

じゃあなんすか？和風だしの素や鶏ガラスープの素を使ってるのは顆粒階級ってことすか？

貴族が紅茶を飲むのはさながらbrew bloodといった風情ですね。

高貴さは精神（スピリッツ）から来てるということですね

(ドラゴン田中の七つ道具動画で)

掘られるだけでなんでこんな荷物多いんだよ

米国のインタビューで「ルネッサンス期の芸術家を知ってますか？」「知らないよ！」「ミュータントタートルズの名前は？」「知ってるよ！レオナルド、ラファエロ、ミケランジェロ、ドナテッロだろ！」というのを見た

渋谷駅や横浜駅周辺で前の人の足を蹴ってしまって｢すみません！｣って謝ったらねずみだったことがある

自然と歓声が湧いてるのが凄い良いね

いつから人はこんなに純粋じゃなくなるのか

「李下に冠」的な事例が相次ぐ理由は、冠を正してるんじゃなくて李（すもも）に手を伸ばしてるからなのでは。／これのファクトチェックは大手メディアにして欲しい

言葉が軽すぎて空に飛んでいきそう

休業しないパチンコ店に罰則も　政府、特措法改正を示唆 ｜ 共同通信

「死ね、さもないと殺す」

「女が男に人間として敬意を払い丁重に扱うと、なぜか性的同意と受け取られ押し倒される現象」の謎が解けた。男同士って敬意や礼節が薄いのか。だから尊重されると「この女、俺とやりたいに違いない」という解釈になるのか…。「男性が精いっぱい好意をアピールしても女性がまるで気付かない」「男性はお姫様扱いしたつもりなのに女性は涼しい顔をしている」というのもこの文脈で理解できそう。男性にとってスペシャルサービスでも女同士では普段、普通にやっていることなので通じない。

とある障害当事者の方が「見た目とか話し方は完全に普通ですよ」と言われた際に、「だってそうふるまわなきゃ差別するんでしょ？」と言っていた時の衝撃は今でも鮮明に覚えている。生涯忘れることはできないし、忘れてはならないと思っている。

排除や悪意の対象にされるのが怖くて表面上必死に「普通」を装うのって心身ともに本当に疲れるんですよ。

当事者でもよほど「重度」の人でない限りは大なり小なり普通を装って生きてるから「それなら誰でも障がい者」「辛いのはあなただけじゃない」みたいな、励ましのつもりで相手を追い詰めるだけのことばが出てきてしまうのかもしれないな。

学校に行くというのは「専門家に遠慮なく無限に質問できるチケットを買うこと」と言っていた人がいた

お前ら河原でBBCとかしてんじゃねーぞ！

バーベキュー（英: barbecue、米: barbeque)。 なるほど。イギリス式か。

「ベタ問」とか「確定ポイント」とか「～の賞のリストを覚えないと」みたいな話を聞くと、競技クイズが得意な人は、競技クイズ用の知識を覚えているのであって、それ以上でもそれ以下でもないような気がする

外国人観光客が初見で祇園の小料理屋に入り、女将が注文取る前にお茶漬けを差し出すことで女将のroot権限を奪うことができ、任意のコードが実行可能なセキュリティホールが報告されています

魔女狩り思想を継承してる人がチラホラいて怖い。まともな人は重石つけられても水に沈まないってか。重石が見えていないとしたら更に怖い

昔の友達で名字「上」って書いて「かみ」って読むヤツ居たけど一緒に飯食いに行くと「3名様でお待ちの…うえさまー」「かみです」「失礼しました、かみさま」ってなるので「お前どっちに転んでも面白いからズルいよな」って話になった。

よく「男性は解決を求め、女性は共感を求める」って言うし、普通の男性にとっては「痴漢は許されざる犯罪」「なんとか撲滅したい」というのはもうとっくに出た答えで、今さら議論を必要としないから即座に「解決」のフェーズに入ろうとするんだけど、「共感」を求める側からしたらまず「解決」の前に「共感」が欲しいわけだから「貴女の恐怖、いかばかりだったでしょうか、お察しします」とか「許せませんね、僕も痴漢撲滅に賛成です！」って言ってから「解決」のフェーズに入るべきだったかな、と思った。逆に言うと先に「共感」を示さなかったから、「男はいつも私たちの苦しみを理解してくれない！すぐ障害とか冤罪とかそんなのばかり気にする！」ってなるのかもしれない

高校の学食の、叉焼の代わりに安物のハムが一枚浮いてる全然解れてない極太塊麺に多分出汁の元と味の元だけで作った謎スープが注がれた200円ラーメン、何故か中毒気味にしょっちゅう喰ってたんだよなぁ そして進学した大学が新設の芸大で学食とかやたら気合い入りまくってたせいでラーメン塩・味噌・醤油・とんこつと揃ってた上麺もスープも具材も本格的だったの見てこれが正しい外食ラーメンなのに違うこれじゃないと思ったのも30年前の話。香川県庁の食堂カレー。やる気のない盛り付け、油っぽくて冷めたカツ、２日目のようなもったりしたルーにスパイスの風味も弱いしょっぱいカレー。ラインナップにあるだけで特別感を何も感じず食堂のカレーにふさわしいクオリティ。専門店では絶対出せないこだわりの無さが完璧、100点。こういうカレーの、こういうカレーなりの美味さっていうか不味さっていうか、良さがあるんだよね。ヘンなフードコートとかで仕方なくカツカレーを選んで、「あー、全然うまくなくてうまいなあ」って思ったりする。

その研修の目的の半分は同期と仲良くなることが目的。ソフトバンクはどうかわからんけど大企業だとやりたいことやるにも社内政治が絡んでくるから、後々のために今のうちに仲の良い同期いっぱい作りな。研修は「俺は大丈夫」なやつに好き勝手やらせることではなくて「あいつはほっておくとダメ」なやつにちゃんとやらせることがベースラインだからな。

インターネットの発達で最早「クラスで1番絵が上手い」とか「地域で1番歌がうまい」とかの閉じた世界のチャンピオンは消失したしな。相手はいきなり世界王者だ。だから気にしないか、負けることに慣れるかしてやりたいことだけしとくのが良いよな。負けん気でインターネットやるのは自分の心をぶっ壊すだけだと思う。

世界中の人間の、多くの能力がスコア化されて比較できるインターネット世界において、健やかに過ごす上で1番必要な能力が「スコアを気にしない力」なのすげえ皮肉っていうか人類の進化が試されてる感じがする。昔だと「タッ君この村で1番歌が上手え！東京さ出てビッグなるだ！」から上京に向け練習しまくり、いざ上京して「東京にはこげな上手か奴らがいっぱいおっぺしたあ〜！？…だけんどオラも練習しただ、負けてらんねど〜」みたいな実力の坂道登りみたいなのあったけど、インターネットは壁だからな壁。

実際の所「下手でもいい」と割り切って楽しむって想定以上に強い心が必要なのですよね…特にネトゲや音ゲーだと報酬などで重大な差がつくし、低難易度モードは「クリア体験が出来る体験版」を公開晒しプレイでやるようなものなので…

センテンスス不°倫グ

マイナスαみたいな感じね

スキー場のリフトから友達だと思って手を振った相手が知らん人で、相手も知らん人ながら合わせてくれて、久しぶりーとか言いながら滑ってるうちに知らん人と友達になってたことはある

つまらなさ過ぎて友人に「なんでこれを買ったの？」と聞いたら「覚えてない」と政治家の記者会見のテンプレを言われたため、「あ、こいつは政治家を目指しているんだな」と思い、媚を売るため全てを許しました。

なんか混同してしまうものってない？

油断すると手袋を買いに来た子狐が猟銃で撃ち殺される話になってしまう。

白雪姫と眠れる森の美女

蒼井優と蒼井そら

これが大喜利か、「男だということだけで宝塚歌劇団の入試を拒否された」って話を思い出した

明日やろうは馬鹿野郎お前俺は勝つぞお前！

現実には存在しない嘘の世界や人物に思いを馳せて、心を満たせるのならば知ってて騙されるのもいいもんだよ。嘘の全てが罪ではないし、騙されること全てが愚かではない

褒められたい人は、死ねばみんなが「悪い奴ではなかった」って言ってくれるよ

「スペランカーはあんな小さな段差で死んでおかしい」と思ってたが、誰も助けてくれない洞窟なら歩行に支障が出る程度のケガでも命取りになるよなとおもいました

いまインフルエンザで38.5℃なんですがこの動画で爆笑してたら38.8℃まで下がりました。タモさんありがとう！

どうぶつの森の「カブ価」におけるかけ言葉は英語に訳せないだろうと思っていたら、どうもカブはturnipと普通に訳した上で株式市場Stock marketをStalk Market（stalkは「植物の茎」の意）と訳しているようで、翻訳チームのクリエイティビティに感動してしまった。

bookkeepingを「簿記」と日本語化した福沢諭吉先生もえらいんやでー。

任天堂じゃないけど化物語をGho-st-oryと約した人も上手いと思った

バカ松楓をKaediotと訳したダンガンロンパもなかなか

なお、割とざっくりやって感心したのは「けものフレンズ（Kemono Friends）」で、「のけものはいない」を「no-Kemono」って奴でした！

「大神」で、主人公のアマテラスは相棒に「アマ公」と呼ばれるけど、これの英訳が"Ammy"なのが好き。メス犬に付きそうな名前なところが。

ポケモンだと「もりのようかん（洋館）」に「もりのようかん（羊羹）」というアイテムがあるんだけど、北米版では前者がold chateau、後者がold gateauと訳されてて感心した

Tomorrow never knows ってポケモンのピカチュウに似てる。というのもファンが選ぶランキングとかで最上位にはなかなか入ってこないというか、当たり前すぎて敢えて選ばないのか知らないけど、結局で言ったらみんなの1番はTomorrow never knows やと思う。

何でこの人たちは汚れてく事しか無いこの世界でいつまでも大学のバンドサークルみたいな爽やかさがあるんだろ。なんかさ、こう、白米と味噌汁、みたいな安心感？(伝われ)

ちょっとビビって蜜が漏れたゾ…

高校生の頃マジでガリガリな上に寝ないもんだからクマも凄くて先生に「お前変なクスリやっとらんか？」と問われ、俺もイキりにイキって「どうだかね？」みたいな返答したら親にチクられ次の日自室に母のガサ入れが入りオリキャラの設定資料集とセーラームーンの薄い本が白日の下に晒された事がある。

俺も脳内ではこれくらい歌えるんだけどなぁ…

全国サウダージ選手権でも優勝候補だな

麻雀大会黒川杯、さすがに路上はマズいだろうというのとで、検察庁前の日比谷公園に場所を移しました！さすがに注目の大会だけあり、ギャラリーがたくさん来ています

警察来てるのはイカサマがないか監視してる説すき

いいねえ。産経と朝日に声かけて取材に来てもらえばよかったのに

人権404 Not Found

ここ草はやし過ぎて回転しながら吐血した

草抱えて笑った兄貴は酪農家か何か？

レイシストとクレーマーのハイブリッドとか人間社会に弓引くために生まれた災厄か何かか。

肉を食べると凶暴化するから肉を規制しろと考えて肉屋を襲うベジタリアンみたいな感じ。こういう人の思考プロセスを頭開いて1度見てみたい

埼玉県には海がない都合上、「川の藻屑」という表現を使わないと殺される

81歳女、アベノマスク窃盗疑い

政府が全世帯へ配る布マスクを集合ポストから盗んだとして、京都府警北署は4日

これ逆再生したらめっちゃマスク投函してるお婆さんって話好き

薄々自分のPSのなさに気付いてるけど上手いと自分に信じ込ませることでしか自分を保てない。だからこそ現実を突き付けられる「下手くそ」が最も刺さる

>> 人を壊す一番早い方法は、その人が密かに気にしていることを言い続けることなのでは？

鼻が広いのが金玉に瑕

とろ～り1677万色のチーズ牛丼にありがちなこと

射精っていうほど射か？AVとか見てるとたしかに「射ッ！」としか言いようのない出し方をしてる人もいるんだよ。でも少なくとも俺は「漏…」だよ。湧き水みたいな出方だよ。射だったことは一度もない。たとえばさ、ウンコの出方がすげー強い奴がいたとして、それを基準に「射便」って言うかってことだよ。言わねえだろ？排便っていうニュートラルな言い方をするわけ。ユニヴァーサル・デザインの考え方ですよ。それに対して射精はどうか。本当に射精できるのは精液の排出にスピード感がある奴らだけではないか。これは不当である。つーかシンプルな話、「膣内(なか)に射精(だ)すぞッ」じゃん。ここで射るのほうを拾ってる奴がいたらクソキメーだろ。「ハアハア…射(い)るよ？」「中に射(う)ちたい」。うッ気持ち悪すぎるッ 射精より射殺が必要じゃないですか？「排精」あるいはシンプルに「出精」あたりが妥当であろう

常におむつを着用することで「お前は気づけないだろうがこっちは今すぐ排尿できるんだぞ」と精神的優位を保つやつの歴史版だ。血統なら身一つで成立するからスマートでいいな

女児ショーツを履いてると説教されてる時になぜか優位になれるアレ

彼によれば、「お前は誰だ？」と常に問いかけられているのがマイノリティであり、マジョリティは純粋な一個人として透明な存在でいられる特権を有している。ところがある瞬間マジョリティとして引きずり出されることがある。それは必ず加害者としてなのである。

あいつ有能だけどもしかしてDNAが5重螺旋だったりする？

これは何度でも言うけど、「世界に一つだけの花」は、「ナンバーワン」にはならなくてもいいけど、「花屋の店先」には並ばなあかんのやで。

ほんとイギリスを飯まずとか言って、「イギリス行って困ることはご飯食べるところないところ」とか言わないで…マックあるし、水もあるから…最悪海峡渡ればフランスもあるし…

僕が大学の課題が分からな過ぎてストレスでおかしくなって全裸で頭にパンツ被りながら課題やってるのを見た彼女が、「パンツ履いてて偉いね！次は下から履くともっといいよ」って言ってくれてすごく嬉しかった

マリオ｢慰ｨｨｨｨ安ﾝﾝﾝｯｯｯｯｯ婦ｩｩｩｩｳ｣

1：名無し：19/08/09(金)13:27:17 ID:zxX主 ×

マンマンみ～や

6：名無し：19/08/09(金)13:37:04 ID:XMc

はいヘイトスピーチ姫

彡(ﾟ)(ﾟ)「ごめん、同級会には行けません。」

0008 風吹けば名無し 2019/05/26 23:32:09

今自宅にいます。

働きもせずに毎日ゲームとオナニーをしています。本当は働かなければならないけれど...でも今もう少しだけ知らないふりをします。

ドラゴンが弱いゲーム、0本説

3 風吹けば名無し[] 2019/06/10(月) 18:59:08.50

野球

10 風吹けば名無し[] 2019/06/10(月) 18:59:54.12

>> 3

草

14 風吹けば名無し[] 2019/06/10(月) 19:00:17.86

>> 10

草じゃなくてプロだぞ

金正恩とかも満足組の女の子にフ〇ラされてるとき拍手すんのかな？

ヤフオクで「気持ちの良い取引が〜」って評価してくれた女に

1 ：名無しさん＠おーぷん：2017/01/15(日)15:17:40 ID:YSb(主) ×

「もっと気持ちよくしてやろうか」って言ったら最悪の評価に変えてきやがった

おっ○い大きい女子小中学生ｗｗｗｗｗ

230 ：名無しさん＠おーぷん ：2016/09/17(土)11:14:46 ID:hF3 ×

もう神様がセッ○スの許可出してるやん

死刑執行スイッチってペッパー君に押させればええやん

149 ：風吹けば名無し ：2018/12/25(火) 22:38:01.11 ID:KRs+SDmk0XMAS

1度人を殺す味を覚えたペッパー君は

もう二度と元には戻れないんやで

53 風吹けば名無し 2020/05/30 23:15:03

>>30

>>31

反論できんわ

君の負けやスマンかった

64 風吹けば名無し 2020/05/30 23:16:12

>>53

一方的に勝利宣言してて草

139 風吹けば名無し 2020/05/30 23:20:40

>>53

ズルするな

209 風吹けば名無し 2020/05/30 23:24:49

>>53

最強のレスバで草

後輩社員がPDCAサイクルに巻き込まれて死んだ

1 ：名無しさん＠おーぷん ：2019/01/04(金)01:10:36 ID:Be2

遺体がむごすぎて見れなかったンゴ...

友ンゴ「絶対音感あるンゴｗｗ」僕「じゃ、この音は？？（ビチチッ！！）」

1: 名無しさん＠おーぷん 2019/01/15(火)18:39:02 ID:RyT

"ミ"が出た…

【速報】ワイうんこ、ガチで腸内を直進中

1 ：名無し：2019/01/02(水)22:16:35 ID:IRq(主) ×

早く外に出たいンゴねぇ

5 ：名無し ：2019/01/02(水)22:19:46 ID:TLZ

腸なのに直進できるのか…

「精神的にきてるとき他人に連絡を返せなくなる」の気持ちはすごくわかって、めんどくさいとか気遣いがどうのとかいうより「いまこの瞬間自分が人間のかたちを保つために持っているすべてのエネルギーを使うので余剰などがまったくない」という状態に近いように感じる

NHKは「地味に面白いんだけど、飲み会みたいな場では滑りがちなやつ」と似ていて、紅白歌合戦みたいなウェイ系のノリに寄せようとすると本当に寒いことになるんだけど、独自の話法と文脈でオタクじみた探求系の番組を作らせるとまだまだ民放の追随を許さない面白さがある。

「ファンが好きになった瞬間や一番好きだった瞬間の綺麗なフィルターがかかって見られるから我々アイドルは歳をとらないんだよ」という二宮くんの理論、自分たちの存在を他者からの認知によって成り立つものとして偶像的に捉えることにあまりに自然でぞくぞくする 好きしかない

オタクは基本的に金を払ってでも見たい生き物だと思ってるので、金を払うなら見たくないと言う人は多分オタクじゃない。金を払うなら見なくても大丈夫な時点で、その人の人生に必要ではないものなのだ。我らは必要だから金を払うのだ。金を払っても見れればその瞬間実質無料になるから何も問題ないし

「センター試験」って思うからしんどいねん。

「受験生格付けチェックお正月スペシャル」やと思えばええねん。

息子が小さい時に大事にしてたフィギュアを旅行先に忘れちゃって「だから持ち歩くなって言ったでしょ？」って怒ったら「悲しいんだから怒らないで」って言われてハッとなった。この間、私が旅行先に上着忘れた時「大丈夫？悲しくない？」って息子。怒るって自分の為で相手の為じゃないって気づき。

先生「A型、反応でたね」

私「インフルかー……会社行ってパンデミックやっていいですか」

先生「嫌な人とは無意識に接触避けるから嫌なヤツほどうつせないよ」

先生受け答え慣れすぎてない？

オカマのひとに「厄年って男女に分かれてあるじゃないですか。オカマのひとってどっちを採用するんですか？」と以前訊いたら「アタシたちは厄そのものよ」と返されたことがある。

他者の被害には鈍感で、平気で人格攻撃をする人が、自分に対する非難には強い被害者意識を示す、というのは、結構ありがちな現象かもしれない

AIとかロボキャラは「理解できません。人間は不合理です」と仏頂面するのでなく、「そうなんですね〜」と微笑みつつ世界中の別機体と(今の分かるやつおりゅ？/わかんね/問いがファジー過ぎだよね/今北産業/ チェコのDE482から類似ケースの報告/でかした！)みたいな会話をミリ秒単位でしててほしい。(は？/またこのテのやつかよー！/審議終了/あ　　ほ　　く　　さ/人間は愚か/チェコの子かわいそう/これだから炭素ベースの豚は)「わかりますー❤︎」

「自分の子供、親戚、近所の子供を\*\*\*から守るは大人の義務」この伏せ字部分に様々なモノを入れてきたのが差別の歴史。守る事を否定はしないから、差別を認めたら良いんだよ。

夏を好きなのは昼寝しすぎて5時になっても散歩に行けるところ

アラフォーでこんなにかわいい人は椎名林檎と俺の母ちゃんしか見たことないぞ。

林檎嬢の前では男子全員童貞っていう文章、どこかでみて大好きだった

誘惑する為のエロじゃなくて武装する為の妖艶さって感じ

こんなエロい嫁が朝起きたら味噌汁作って待ってるとか前世で何回世界救ったんだよ

その林檎さんに握られてるマイク、前世何したんだろう。相当頑張ったんだと思う

音楽家になった峰不二子みたいな

なんだあの太もも。兵器？なんかとにかく地球に必要だってことは言いたい。

みんな下手くそ下手くそいうけど、そんなことないだろうと思ったらほんとに下手くそだった。なのに誰が歌う若者のすべてよりも1番若者のすべてでびっくりした。

素人のただの主観だけど、フジファブリックは夏の終わりって感じで、槙原さんは秋の始まりって感じ、いや伝わんないなこれ

男らしい男はけしからんと学校教育で教えこまれ、いざ社会に出てみると男らしい男ばかりがモテているという現実を鑑みると男性はかわいそう。男らしくあるべきと教えるか、男らしくない男性を女性が選ぶようにしないと。

○○と同じ子宮だったけど優しかったゾ

下痢してて「もう全部出たかな…？」って便座から立ち上がったら「あっ、まだ出そう…」が延々続くみたいな感じだな

いきなり金正恩の前にワープさせたい

実際語り合うのに、「知識程度が近いこと」が楽しく話す条件でもある。語り合いたいのであって勉強したいわけではないというのは分かる。

精神的に安定してる人と結婚したつもりで、後から「その人はまだ人生で不安定になる辛いことがなかっただけ」とわかり、人生初の苦境で発狂する相手を前に途方に暮れる結末はよくあります。

都会のエリート連中はたまたま三塁に生まれついただけなのに、自分は三塁打を打ったのだと思い込んでイキっている

まさるへ

ツイッター見ました

芸能人の「今人生で一番髪が短い」ってツイートに、片っ端から「え、赤ちゃんのときは？ 笑」ってリプライをしているみたいね

その “笑” につられて笑う人間はこの世に存在しません

お庭に深い穴を掘ってあるので、今度実家に帰ったらそこで暮らしてね

お母さんより

授業中に寝ている女子生徒がいたとき、それは怠けてるんじゃなくて、生理前のホルモン変化による強烈な眠気であり、コントロールは難しく、本人も寝たくて寝てるわけじゃないかも、ってとこまで考えが及ぶ学校/塾の先生はどれぐらいいるんだろう？「怠けてると思われるのが悔しい」って聞くんよね。

精神が安定してる人などいない。不安定になった時にすぐ戻せる人、ゆっくり戻せる人、戻せない人、戻してくれる人がいる人、何かにぶつかって戻る人などがいるだけ。と言いたい。

以前、誰も読んでないであろうブログに、当時飼っていたモルモットを擬人化した小説を書いた。知らない女性からメッセージが来て「このお話がとても好きで、プリントアウトして冊子にし、娘の寝かしつけの時に読んでいます」って書いてあるのを読んだ時の私の心持ち、一生かかっても言語化できない

友達が「完全教祖マニュアル」って本読んでて、そこに、「突飛な世界観と具体的に救われることを提示すると、後はインテリ層がその間を勝手に考察しまくって繋げてくれる。」みたいなこと書いてあって、それオタク界で966588574636回見た…ってなった。隙間があると、埋めたくなるのが人間の性である。これ，「教えが理解できるようになってきたのは私のステージレベルが上がったからなのだ」っていう高揚感でさらにハマっていくのも共通点だよね

実際にフィンランド軍の活躍は、それ自体が独立して抜き取られ、「シモ・ヘイヘ」などの超人的な兵士をアイコンに、単なるめっちゃすごい喧嘩話に堕落している現状があるのではないでしょうか。こうした「罠」は、自分の望むところを的確にくすぐってくるので、事前に構えていれば抗うこともできるのですが、そうした前提に立っていないと、容易にだまされてしまう恐れがあります。こうなると「すげえ物語として完成しているのに、なぜ余計な情報を付け加えて、自分の精神とかれらの努力に水を差そうとするのか」のような、感情的なリアクション(あるいは無意識な忌避感)は不可避であるわけです。気持ちのいい場面は気持ちのいいままで終わらせたい、だからこそそれで満足してしまって「活躍のあと」を調べない。あるいは「相反するような事実」について耳を塞ぐ。人間の自然な情動のひとつであるとは思いますが、それゆえに警戒しなくてはならないのじゃないかと馬鹿なりに思案しています。まさしく国家としては「戦後」の在り方にこそ、その共同体の本質が強く浮き出るのではないかと考えることがありますね。

新しい時代の最先端にいるのだというアドバンテージは、若い人にとっては最も価値ある特権で、何もしなくても時代の流れの最前列に座れる特別チケットを誰からか与えられて生きてきた。しかし、気づくとそのチケットはいつの間にか期限が切れていて、知らないうちに時代の列車から途中下車している。

内容の詳細さなどは違えど、同様なテーマを最近考えていました。これがミームってやつかって気もします。神の存在が民衆にまで信憑性を持てていたのは、単純にわからないことが多すぎたからです。雷を例にあげます、古来から天から降り注ぐ稲妻は神が振り下ろした天罰に他なりませんでした。日本では菅原道真。彼の死後、清涼殿に落雷が降り注ぎ、彼は「神」になりました。稲妻「天罰」の依代は時によって変わっていきます。17世紀にホッブスが表したように専制君主の権力を示したものであったのが、18世紀マクシミリアン・ロベスピエールが「民衆は判事のように法的な裁判によって審理しない。刑の宣告はない。雷のように落ちるのだ」と民衆の力に置き換えてルイ16世を処刑した具合にです。(彼もまたその雷に撃たれますが)しかし科学が進みベンジャミン・フランクリンなどの登場によって、もはや雷というものは「神秘性」を失っていきます。神は死んだ。でも、神がいないと人間は「平等」になれない。好き勝手に暴れだす。そこでフォイエルバッハなりマルクスが言う作られた神、「資本主義」が台頭する。様々な問題はあれど、人造の観念の共同体による「擬似的神」の創造、人間は新たな安息を手に入れたわけです。だからほとんどの「神」は人・時代・国による相対的な物である。現実では無宗派にはなれても、無神論者にはなれないと私は思います。無神論者として知られるアルベルト・アインシュタインですら、「神を信じずには答えを探せない」という意味のことを言っていますし、量子力学の問題にしてもです。ネットに星りんさんがいう絶対他力な、「自然法爾」の神が必要かは、私にはわかりません。イスラム教は相対的な神「預言者」をムハンマドを最後の預言者にすることにより断ちました。だからこそ内に神を宿すことが出来た。内に神を「探さない」からです。だから禁欲も、利己も、自制も、残忍でさえ全ては無意味な生の自己満足にすぎないと考えることができる。しかし仏教的には「真俗二諦」現実では「神」に従い、ネットではモラルも倫理も無視「自力」。こういった考えは、私は真宗の文化の上に成り立っていると思います。つまり現実の相対的な神から精神的に逃れられていないからネットに自力を求めるのだ、と私は考えています。

さっき道がいろいろあると書いたのですが、「日本人は明確な正義がない」というのはここからある目的地に行ってくださいと言われたときに、自分はこの道通って行きますってハッキリ言えないということなのではないでしょうか。集団にぞろぞろついていきがちで、そういう人間に限って、他の人がイク道にケチをつけたがる。自分たちが真っ暗闇のやべーところに踏み入っていることを棚に上げて、そっちは悪路だ、やれ勾配がきついと喚き散らす。そしてその暗闇で居心地よくなって魑魅魍魎になる。

この記事の筆者は、どうも倫理学や哲学の領域に無理矢理「宗教」の話題をくっつけて、「『神の存在と宗教』の重要性と危険性」という持論を持ってきたいようだけど、さすがにこじつけがひどすぎるんじゃないかな。その地域の社会の在り方とその価値観は、あくまでもその社会を構成する人々の文化などの思想と実際の行動によって決まるものである。だから、神話に語られる通りに神様が物理的に我々の世界に介入でもしない限り、神様は我々の社会とその価値観になんら意味をなさない。逆に言えば、科学的発明や音楽などの有形無形の概念が我々の思想や行動に影響を与えるなら、それらがある意味「神や宗教」の代わりにすらなり得る。以上のことから、下手に「神様や宗教」を「人間とその社会の在り方とその是非」の話題に持ってくるくらいなら、まずは倫理学や哲学などの学問からアプローチしてみては？筆者は中東社会の正義の概念を記事に持ち出しているけど、彼らの社会について、社会学、歴史学、地理学、経済学などの観点から辿っていけば、下手な神様なんかよりも、そこに住む人間の価値観と意思決定が大きく彼らの社会を左右していることが良く分かるよ。筆者はまず神様や宗教より現実的な物事から話を始めるこったね。

この記事の筆者はクルアーンを読んだことがないようですが、本来、キリスト教もイスラム教も、同じ神様を信仰する宗教で、クルアーンにおいて、イスラム教は「啓典の民」という定義を明記しています。これによると「ユダヤ教（旧約聖書に基づく現代でいうキリスト教）徒は我々イスラム教徒よりも先に神様から教えを授かった人々だから、先輩として敬わなければならないよ。」としているんです。今の彼らの対立の様子を見ていればとても信じられないかもしれませんが、元々彼らは同じ神様を信じる者としていがみ合ってはいませんでしたし、異教徒に厳しいイスラム世界においても、ユダヤ教徒（キリスト教徒）は様々な特例が認められていました。じゃあ、何故今の構図が生まれたかと言うと、神様が「争え」と命じたわけでもなんでもなく、ただ宗教的指導者が勝手な解釈をして、そうするように仕向けているだけなんですよね（他にも自分が社会的特権が得られるように解釈をでっち上げていますが）。つまり、神様ではなく、その地域に住む人々の思想とその行動が今のイスラム社会の在り方を決定しているわけです。よって、「一神教の神様」よりも「一神教からなる社会」が結果的に良くない情勢を作り出しているわけです。それを勝手に「無神論」のせいにされたらたまったものじゃありませんよ。

人間がただの動物であってはならないのだろうか。人間の社会性は他の動物たちの牙や毛皮のように、ヒトという種が置かれた状況に適応するために得た特徴であって、それは信念や正義が先行して形成されたものではない。正義や倫理も所詮は身を守るための集団／社会を形成するために、似た考えを持つ者を識別するためのラベルに近いもので、絶対的な裏付けがなされたものではない。自信を要素とする集合を作る手段でしかない。宗教も、自分が自分と異なる要素と同じ集合に属していることを明確にしてくれるラベルだと思う。自分たちが同じ集合にいることを安堵することに終始していれば、それで完結できる。自分達と異なる集合を許容出来ないというのが、超えてはいけないラインを超えてしまう理由ではないのか。信仰者が、無心論者が、どちらかが悪いという話ではない。無神論者を信仰者が、信仰者を無神論者が許容出来ないから両者の間のラインが超えられてしまう。

日本の凄いところは、気に入らない神様がいれば、その神様を討伐することで、その神様の立場を奪うことも出来るし、ご指摘の通り、神様と子どもを作っちゃったりもできる点ですよね・・・。有名な天照大神が天岩戸に閉じこもってしまった際の神話においても、アマノウズメの「アマテラス様よりももっと優れた神様がいらっしゃったから、それをお祝いしているのですよ」というウソに対して、天照大御神は怒るどころか、「私よりも優れた神様だなんて、そのお方はどれほど優れた神様なのかしら・・・。気になるし、お会いしたいわ」と、ついつい岩戸から出てきてしまい、まんまと捕まって引っ張り出されちゃったくらいです。この点も人間味があって親しみを覚えますが、それ以上に、天照大御神ほどの神様であっても、威張ることなく、謙虚であり、他の神様をありのままに評価し、受け入れる寛容さを備えていることが分かります。同時に、このことが天照大御神を主神とする日本神道の価値観をそのまま表しており、日本が宗教においても自由であることをよく示しています。七福神がまさにその例で、恵比寿様以外は中国やインドの神々なのに、みんな仲良くしていらっしゃいます（もっとも、恵比寿様自体、海の向こうからやってきた神様のようで、水死体を「恵比寿」と表現する由来となっています）。

「軸」となる部分は他人に対しても世間に対しても絶対に譲れない一線で、逆に言えばそれらから超然として独立している、自分の価値観の中心にある何かである。

今回は「善悪を判断しているかと振り返ったらば、結局それは『感情』で、『感情』以外には有りえない」「理屈で正義を語る野郎は嫌いだ」と述べているようですが、ならば、仮に私が「お前は与太話しか書けないし、それは他者を混乱させる。ゆえに正義は私にあり、お前のような悪はこの世から物理的に消え去ってしまえ」と罵ったところで、誰が私を正義の体現者として支持し、評価するでしょうか？理由は、感情論のみで、その言動に至る理論構成も根拠もないし、倫理観を含めた妥当性がどこにもないからです。厳しいですが、普遍的な正義なんてどこにも存在しないし、人が正義と呼ぶそれは「その人が具現化したい理想」に過ぎません。それが証拠に、あなたは「『専門家』とやらはまさしく私の敵である。そして敵であると淀みなく言い切ってしまえる時、自分の中に正義があると実感できるのです。」と、相手を理解することなく自分の「正義」とやらを押し付けて、勝手に他者を敵に仕立て上げてしまっているじゃないですか。以前の記事でイスラム社会の事例を取り上げていましたが、そこで無法の限りを尽くし、他者を害し、結果、その是非はともかく『悪』として滅んでいった「イスラム国」がまさにあなたと同じ主張を繰り返していましたよ。記事として彼らについて取り上げたくらいです。何故そこから何かを学ばないのですか？特に、自分たちの「正義」という感情論を暴走させて滅んでいった「イスラム国」という良い範例があるのに、どうしてその共通点に気づき、そこから顧みようとしないのですか？少なくとも、今のままでは「善き感情を持てるようになれば善き正義を持つことができる」というあなたの理念を、あなた自身が達成することは出来ないでしょう。何故か？あなた自身が「他人の声を無視しないと自分の生きたいようには生きられない」と、他者を無視して利己主義に走る不健全な思想の持主だからです。それはとても道徳的とも倫理的とは言えたものではないし、それについて他者が批判するまでもなく、あなた自身が致命的に矛盾しているからこそ、あなたが掲げる「正義」すら貫けないからですよ。

私は現代の経済を捉えるとき、「目に見える（物質の）取引」と「目に見えない（仮想の）取引」に大別することにしています。前者を代表するのは、そちらが示されるような、食品、薬、機械、資源の取引であり、後者を代表するのは、株式や国債、または（資源等の）先物取引です。我々の生活の豊かさに直結するのは、前者の取引の拡大であり、近代化の恩恵である物質的発展と同義と言えます。また、後者の取引の本来の意義は、前者の取引が円滑に進むように補助することです。>>6の方が示唆されていますが、信用創造を筆頭とした金融システムの存在抜きには、一定以上の経済拡大を実現することは不可能です。前近代的な自給経済（＝農業生産力の低い地域に貧困を強いる）を脱し、国家規模、ないし世界規模の交換経済を発達させたのは、目に見えない取引の貢献が大きいことは明らかです。私は、金融システムの設計者の一人たるハミルトンを、新興国の物質的発展の基盤を築いたという点において、ジェファソン以上に評価しています。そもそも、通貨とは物々交換の代替品ではなく、借用書の代替品であるというのが新しい歴史的通説であります。借用書という紙に対して、ある種の「ペテン」を感じ取らない人は居ないでしょう。しかし、借金もできない世の中では、我々の暮らしはあまりに窮屈になってしまいますから、ペテンと付き合っていくことは必要悪なのです。

ただし、この通貨のシステムは、時として本来の意義を見失い、物質経済から離れた膨張を始めることがあります。これは通貨そのものが抱えるカルマなのかもしれませんが、国家の歴史の中で、なんとかこの膨張を抑える努力が考案されてきました。正しい対症療法を行えば、この難点をいくらか軽減することは可能です。実際、大恐慌から学んだ諸国家は、戦後に混合経済システムを採用することによって、それなりの安定を実現したわけです。今日において、再び戦間期のような状況が再現されているのは、一部の強欲な資本家達の暴走を、民衆（によって作られた政府）が止めることに失敗したのが原因です。

基本的な生活の質・量的な向上を支えるという、本来目指すべき経済が実現しないことが問題なのです。少なくとも、何十年か前までは、概ねそれがうまくいっていたと、日本の大多数の人々は認識していることでしょう。一方、近年において、どうにもうまくいっていない印象を受ける人が多いのは、物質経済の拡張が静止に近い状態にあることに加えて、「分配」の面でも、偏りが激しくなっていることが影響しているでしょう。そりゃあ、死ぬほどのことはそうそうありませんから、皆が痩せ我慢をしてるわけですが、なんとなく寂しくなることばかりからは逃れられないですよね。

教育もまた、ある一定の時期までは、概ねの成功を収めていたはずです。識字に代表される基礎教育の普及は、犯罪率の低下という形で良き効果をもたらしました。しかし、現代の「高度すぎる」教育は社会の発展ではなく、単なる目先のビジネスを目的としてしまっている可能性が否定できません。皮肉なことですが、「経済学」の畑の連中は「大学（高等教育）は生産性の向上に寄与しない」と、自らの首を絞めるようなことを言っています。裏返せば、小・中・高までの中等教育については、問題点を孕みつつも一定の成果を挙げていると言えますが、現在、高校までの就学率は100%に近いため、教育効果の拡張は「どん詰まり」の状態になっており、それが教育そのものへの不信に繋がっている疑義があります。

労働時間は短い方がいいとか、雇用契約書にある労働条件以外のことはしなくていいとか、そういう声しか載っておらず、一番重要な「どういう仕事か」「自分の人生にとって自分の仕事がどのような意味を持つか」という点が常にすっぽりと抜け落ちているからである。まーるで、誰も彼も仕事に意味など不要だと思っているかのように。そういう毒となる記事ばかり読んでいると、肝心要の、自らの労働の意味というものに考えが及ばなくなってしまう。余命の23％を費やすこととなるものの意義を考えられなくなってしまう。あたかも、その23％は最初から捨てなければいけないものなのだと、盲腸のように不要なものだと言うかのように。自分の人生の23％は捨ててしまっても問題ないのだ、というような、とんでもない錯覚に陥ってしまうからである。自分は賢いと勘違いしてる馬鹿の大体はこの手の「23％を捨てた連中」で、義務教育学校で言えば「テストの点数さえ取れればいい」と言って毎日学校には来るくせに不真面目にぐーたらしてる連中である。だったらテストの日以外は学校サボってどっかで遊んで人生経験積んでりゃいいもんを、毎日6時間を何もせず無駄に浪費する、非常に効率の悪い生き方をしてしまう。

仕事には「意味」がいる。人生の23％を無意味に浪費するなど大多数の人間には耐えられないはずだからである。就職する前に「やりたい仕事」と出会える人間は幸運な人々だけだが、しかし、就職した後からでも仕事に意味を見つけること、あるいは、その意味に気付くこと、もしくは、何かしらの意味を持たせることはできる。残業だの定時だのしか書かれていないまとめブログの記事なんぞ、何百個読んだって無駄の無駄。無駄どころか有害の極み。百害あって一利なし、人生の23％をどぶに捨てるよう思考や価値観を誘導されてしまうだけである。

全てのしがらみを捨てて、好きに走り回って、好きにエンジン音と景色を楽しんで、いろんな人に出会って、うまいものを食って、寝る。そんで時々、ライターとしての仕事もする。そんな人生もかなり楽しいんじゃなかろうか。本人にとっても、これは演出でもなんでもなくて、本当の本当に充実してた、なんてことも当然ありうる話である。

まぁ何にせよ、何が人生にとっての不幸だとか、充実だとか、幸福だとか、自分のことならともかく他人の生きる道についてそういう勘定を決めつけることは不適切だという極めて難しい現実がある。一見、幸せに見える他人が苦しんでいたり、一見、みすぼらしく見える生き方がその人の誇りであったりするからで、すっぱり分かりやすく言えばひとさまのことに軽々しく口出しするな、ということである。

つまり、なぜその人あの人が自死を選んだのか、なんてことは、生き残った側の人間が何時間考えようが絶対に辿り着けない境地なんである。これは近しい人の自死を経験したことのある人ならだいたい共感できるんじゃなかろうか。悲しみや困惑のなかで何時間かけて考えを張り巡らそうが、その自死について、死んだ本人と同じくらい生きた他人が納得できるような答えや理解は、絶対に手に入ることはない。

他人の死を単なる感傷的な悲劇の一シーンに単純化して、自分の人生の意味を肥やすためのコレクションとして「私の人生」のショーウィンドウに陳列しようなんて行為は、確かにあさはかとの誹りを免れ得ない。しかし、だからといって、死んでしまった人に真摯に寄り添ってその気持ちを理解してあげる、なんてことも、なんだか的外れで非現実的な感じがする。

分かった風にしてもだめ、かといってちゃんと分かってやれるかというと、それも無理。自死に巡り合ってしまった人は、なんとも難しい状況に直面してしまったものである。あの人が死んでしまった、なんで？どうやら鬱だったらしいよ、生活苦だったらしいよ、人間関係で悩んでいたらしいよ、漠然と不安があったらしいよ、なんてもっともらしい理由は腐るほど転がっているし、少し放っておけば、周りの人間が「死人に口なし」と言わんばかりに、やいのやいのとそれらしい理由をはっ付け回って、当たり障りのない共通認識が「噂の真実」として積み上げられて、あの人は〇〇で自殺したのだ、と世間様の間では「常識」になる。

もっと哲学的で人間的な本質に迫る理由で自らの人生を問い詰め切ってしまい自死を選んだとしても、生活苦で死んだ、と、命を懸けた苦悶をカネというどこまでも計量的な問題に挿げ替えられて人生を決めつけられてしまう人も、もちろんいただろう。

もっとも、世間様はそれで満足かもしれないが、故人と直接的な人間関係があった人々にとっては、そんなヨタ話で納得できるはずはない。そもそも鬱病患者が鬱で自殺したとしても、残された家族や友人にとっては「鬱で自殺しました」で納得できたものではないのだから、理由のはっきりしない自死において残された人々の頭にこびりつく不納得と不条理感は、言わずもがなだろう。

自死というのは、どれだけ合理的で明白な理由があったとしても、残された側には、まるで神隠しにあって忽然と「正体不明の何かに攫われてしまった」ような不合理さがある。それは、誰かに真実を隠蔽されている、というような陰謀的感覚ではなくって、自死者と残された人の間にある断絶・・・それこそつまり「自殺実行した気持ちとか実際に自分が自殺しても理解できないだろう」ということなんだろなぁ。

「良きライダー人生を！」

世間は非情で冷徹だから、ウジウジ悩んでる人間が自殺すると、悲しいこととはいえも「弱い奴が淘汰された」としか思わない。なぜかというと、弱者に寄り添うとかいうのと同じで「弱い人間が死んだ」ことが悲しいことなのであって、淘汰されたこと自体には何の疑問も抱かないのである。「嗚呼、なぜ弱い人はいつも犠牲になってしまうのだろう？悲しいことだなぁ」という文脈をちゃーんと理解しておかなきゃいけない。悲しみがいつかは晴れることはあっても、淘汰されたという現状認識が晴れることはおそらく無いだろう。

だけど、最後まで明るく、いつも通りの口調で「良きライダー人生を！」なんて言葉を投げかけられながら自殺されてしまうと、世間は非常に動揺する。動揺するから、あーだこーだと色んな言葉が噴出する。いつもなら自死者を一瞥して「そもそも人生と言うもの云々なのであるぞ」と講釈を垂れることができる人も、こういう事例を前にすると途端に自死への認識に自信を持てなくなってしまう。死んだアイツと自分の間に存在するはずの一線が突如としてぼやけてしまうからである。

自殺はしちゃいけないことなのか。もっと言うと、それは不幸なことなのか？悩ましいことに、いくつかの矛盾が現実に存在する。果敢にも言い切ってしまうと、宗教的な救済の価値観さえ否定する現代日本社会で、肉体的にも精神的にも経済的にも救済の手段が不十分あるいは少なくない欠落があるにも関わらず、「苦難」から逃亡することを禁ずるのは余りに冷淡ではなかろうか、という問題がある。辛くても逃げるな、とか、もっと頑張れとか、とにかく生きろ生きてこそだぞ、とか、叱咤激励するのはいいけども、救われるという保証を一切提供されていない相手に一方的に努力を要求することは、その人に永遠に終わることのない拷問を強いていることとなんの違いもないはずである。

一方で、自死によって苦難から解放された人に「おめでとう」と笑顔を差し向ける社会がマトモかというと、当然、マトモではない。自死による解決策を広く認めるような社会が深刻なモラルハザードに見舞われるであろうことは大多数の人が直感的に理解していることである。生きなきゃならん、という枷がなければ（労働と言う苦役と交換で生きる手段が与えられる）社会は機能しない。苦役が保障される一方で救済が保障されないような世界で死ぬという手段のハードルを下げられてしまえば、人間は生まれながらにして死ぬこととなる。

自殺が是か非か、という問題は。社会的な正義という理想と、死でなければ救われない人が実際に存在するという現実の狭間で、これからも長く長く決着が付くことはないだろう。

でもしかし、それは前提として苦しむ人の姿を据えているし、自殺を肯定する人の立場にしても「現実的に社会的な救済から取りこぼされる人はどうしても発生してしまうからしょうがない次善の策であって、理想を言えばだれもが自殺せずにすむ社会があれば越したことはないよね」という本音があるはずである。

でも、もし、窮余の策としてではなくて、まったく前向きな手段として、本人が自死を人生のその他の通過点とまったく平等に取り扱っていたとしたら、どうなるだろう。「良き人生を！」なんて、やはり、本人にとってもそれは良き人生だったのだろうか？悲しくも辛くもない。私たちと同じように十分な人生だと思っていたのだろうか？

日本の平均寿命は大体80歳くらいである。当然のことだが、多くの人は自分の死について何十年も先のこととしている。それと同時に、先のことなのだから別に今考えなくてもいいのだ、と等閑に付している。でもそれは実は何の根拠も正当性もない態度なんである。だって、マトモな社会人なり大人なり学生なりであれば、締め切りになってから考え出すようでは失格ではないか。前もって準備しておくべきことではないですか？言ってしまうと死は不条理ではない。そりゃもちろん事故死や病死は不条理だが、でもだからといって事故がなければ病がなければ、人間は自らの死について自由であり無責任であるなんてことは毛頭ないんである。

いずれ人は寿命によって死に至る。死はずっと前から予定されている。お天道様は不条理ではない。ちゃんと「君には寿命があっていつか死ぬよ、その時はその命返してもらうよ」と何十年も前もって私たちに教えてくれている。これは明白なルールである。誰かにだけこのルールが周知されていなかった、なんてことは現代日本社会ではありえないのである。

さらに言えば、神様の存在を否定も肯定もしない日本社会では、別に「寿命が尽きるまで生きなきゃいけない」なんて決まりもどこにもない。死の権利は留保されていない、いつでも死んでいいし、不幸でなければ死んではいけないなんてこともない。幸福なので死にますってのも全然おっけーである。ガッキーとセックスできたら死んでもいいや、という人は、ガッキーとセックスしたら死ぬのである。

そりゃ、世間様は自殺者にあんまりいい顔はしない。自殺しやがって、てな顔をする。でも本気で否定はしない。日本社会は自殺について甘い。この国の社会は「寿命を迎えるまで生きなければならない」なんてことは言わない。別に死にたきゃ死んでもいいぞ、あっちむいて見てない振りをしてやる、ていうかお前が生きようが死のうがどうでもいいわ、と言外に表している。

日本社会でも自殺は認められない！なんていう人はよーーく社会の反応を見てみよう。「自殺は迷惑がかかる」と言う人はいても「君の自殺はお天道様に認められることはない」と言う人はほとんどいない。日本社会にとって自殺は「迷惑」という相対的な問題であって文明的価値観や魂の問題ではないということがこれで分かる。つまり、個人的な権利としては自殺は全然アリなのだ。そもそも死人は法廷に立てない。処罰できないものはどうしようもない。「法律でダメって言われてるけど、実は罰則はないのよ」と言われると「あ、じゃあやってもおっけーじゃん」となるのが世間様の価値観である。

だから「死ぬ」なんて選択肢はいつでも行使できる。なのに、ほとんどの人は時間切れになって強制されるまで行使しようとしない。白状すると、私も含めてほとんどのひとは、「死ぬ」ことを（考えることも含めて）何十年も先延ばしにし続けるんである。その時になってどんな目にあうのか、ということさえ考えない。夏休みの宿題が存在すると承知しておきながら、まるで知らないようなふりをして8月最後の一週間を迎える子供のように。

「お前、今死んでも、十年後死んでも変わんねえんじゃねえか。いま死んでもいいじゃねえか。なんで生きてんだ」と問われて「え、それは・・・」と回答不能になるのでは、というおっそろしい現実から目を逸らしている。

自分はなぜ死なないのか。なぜ生きるという選択をしているのか。人生は格ゲーのコンティニュー画面とは真逆で、今日と言うカウントダウンがゼロになると、自動的に明日を生きることになる。だからもしかしたら何もせずにぼーっと画面を眺めているだけなのかもしれないのである。だとしたら何の根拠もない生である。

もしかして北海道の金山ダムに身を投げたあの人は、私たちが考えない振りをしている死という選択肢について、私たちのように先延ばしにはしなかったのかもしれない。死という選択肢を自分から選択して行使する気持ちは私には絶対に理解できないが、現実として行使できちゃうんだもんな。結構簡単に。当然の権利として。選択しても「無効なドライブです」とエラーメッセージウィンドウが表示されて止めてくれるわけでもないし。日常が切り替わることなしにそのまますらりと死んでしまえる。衝撃とかはない。非日常感もない。だから、残された側も踏ん切りがつかないのだろうか。

しかし、件の自死したライダーのツイートの足跡を辿っている時に、胸のあたりにわだかまっている何とも言えない気持ちや、ほったらかしにされたその人のツイッターやブログから感じ取れる雰囲気は、なんだか友達が帰った後の部屋に似ている気がする。

あなた正直ですね、本当にすごく正直。正直な人って誰かを傷つけてしまったりするのですが、ぼくはあなたみたいな人が好きです。正直な言葉って人の心を揺さぶりますよね。「神様は乗り越えられない試練は与えないんだ」なんていってしまうなんちゃってキリシタンのごまかしの言葉とは大違いですよ。試練なんてなけりゃないほどいいし、神様に試練を返品したいっておもいますよね。神様、その試練はありがた迷惑だよ。なんちゃってキリシタンの頬を殴っても、殴られた頬を手で押さえるだけで、反対の頬をだしてこないだろうっておもうと、本心から神様うんぬんなんておもってなくて、ごまかしの言葉なんだとわかります。

何をごまかしているかというと、その場の空気をごまかしているんですよ。なんちゃってキリシタンからすると気まずいんですよ、なんて声をかけたらいいかわからないから。あなたの気持ちを受け止めているわけじゃなくて、空気をごまかしているだけなんです。香りでごまかす芳香剤みたいなものなんです。

悩みは誰かに話すだけで楽になるなんていうけど、ちょっと誤解しているなってぼくはいつもおもうんです。話すだけで楽になるのは、正直に本音を話せたときと、それを否定されなかったときだけなんですよね。ただ話せばいいってもんじゃありません。

あなたのお子さんに対する正直な気持ちって、もう話せなくなっちゃっているじゃないですか？　家族にも友人にも医療者にもいえなくて、もしも話せばそんなこといっちゃダメよっていわれて、あなたが自己嫌悪におちいる無限ループ。

あなたはすでにお子さんの障がいとは別のものに苦しんでますよね。周囲の目と口なんて気にしちゃダメだよ。清廉潔白で聖人君子なマリア様みたいな母親でなければいけないと思っているんだろうけど、誰かの求める母親像になろうとしなくていいんですよ。それを求めてくる人間がごまかしの世界と言葉で生きているんだから。

現代の専門職は、道具とかエネルギーが無ければ、だいたい普通の人。 お米農家は田植え機がないと仕事にならないし、会社の経理部門はパソコンと会計ソフトが無いと仕事にならないし、トラックドライバーはトラック降りたら、多くの人は気のいい兄ちゃん（姉御）ですし。

ここで一生の友達的な感じでライン交換して後日熱が冷めてみたら既読無視するぐらい赤の他人になってそう。

この子たちの服のシワをすべて伸ばすと地球2周するらしいよ

全員消費税しか払ってなさそう

全員、瞬足履いてそう

息子に一眼買ってあげたのに撮ってきた写真がコレだけだったら確実にキレる

「異世界転生したら一見中世のように見える世界だったけど 実際は世界法則が違ってて現代知識無双しようとしたら失敗しまくる」　東京の外資系から地方の民間とか行政に転生する話かな

超人オリンピックやスト2など、本朝の多様性は「みんな違ってみんないい、そして全員に失礼」という方向性の追求と思われ。現在必要なのは、後者と前者は表裏一体で両方とも実は大事というナラティブの形成か

世間では不摂生の結果とされている2型糖尿病ですら原因の8割は遺伝的背景です。食事と節制の万能性を煽れば煽るほど、当事者にとっては不運としか捉えようのない病気の原因があたかも不摂生の結果である、という誤った自責の念や周囲のスティグマを助長することを自覚すべきだ。

この世にも倒したら全て解決する巨悪があればいいのに。「正義の味方の不在より悪の非存在の方が悲しい」ってイリヤの空だっけ

さっさと感情のステージに上がってこい。お前なりの解釈を見せろ。決まり文句に意見を委ねるな。

コンギョオーケストラ版

HPを半分ぐらい削ったあたりで流れ始めそう

人様、世間様の迷惑を考えていないじゃないか、と自分でも思う。感染拡大させないことだけを念頭に行動すべきじゃないかと。けれど、全知全能でない私は、毎日様々なことに優先順位をつける。優先順位は、順位である。下になったものが私にとってどうでもよかったわけではない。大切なものどうしにも順位をつけなきゃならない。ごめんなさい。

新型コロナウイルス感染が広まってから「命は何より大事」という言葉をたくさん聞いた。私には命より大事なものがある。というか、命は生きるための装置であってそれ以上ではないと思う。私にとって生きるとは、推しを見て、解釈して、覚えることである。

何をしているときが一番幸せですか？という質問に、食べるとき、寝るとき、と答える人が日本には多いらしい。私は推しのことを見ているときが幸せ。それが生きるということだし、つまりここ４、５か月は生きていなかった。

性癖は肛門と同じで拡張はできるけど元には戻らないので注意したほうが良い

辞書で制空権とひくとこの動画出てきた

俺にも○ボタンがあれば人と会話できるのに

三島由紀夫は戦後日本の知的再建の失敗をして、将来日本という存在はなくなり無機質な経済大国だけが残ると言ったけども、それは「魂」の欠如とそれが導く帰結に対して警鐘を鳴らしていたのであって、別に人口動態の崩壊とか積み立て型年金基金や定年退職後の生涯設計の破綻を指してたわけじゃないし、もっと言うと経済的なアレコレ心配事なんて視野に入ってない。

おそらく三島由紀夫の目には「日本」という美しい生き方、存在価値が見えていて、それが失われることがどうしても悔しくて仕方なかったんだろうけど、翻って虚無世代の私たちには、もはや「何が失われたのか」かもわからない、そもそも失われてしまったということそのものすら理解できないほど空っぽになっちゃってる。そういう生き方を持たない人間にとっては、人口動態の崩壊とか年金基金とか定年退職後の生涯設計なんていうしょーもない現世御利益の問題が、自らの本質的な生存価値に直結するような感覚に陥っちゃうわけ。

ZOZO前澤社長に抱いていた違和感がなんとなくわかった。個人的に前澤社長のことは「よくいる成金」程度に考えていて大して興味ないんですが、一万円?貰えるだかでフォローとリツイートした人々はものすごい軽蔑しています。ジョージオーウェルの「パリロンドンどん底生活」で彼はロンドンでは浮浪者の生活を体験したのですが、そこには「善意」や「施し」を忌み嫌いつつ使う人々が描かれていました。そこに私は人間としての自尊心を感じ、またそれをオーウェルは強く訴えていました。で、今回の1億円?事件で群がった人々は人間としての自尊心を失った人々と捉えてよいでしょう。そしてその数が無視できないほどいて、話題になっているのは「無機質な経済大国」どころか、ゾンビが金を求めて虚構の中をグルグルしているように見えて嫌だねぇ(他人事)

そしてもっと嫌なのは自分がその国に生まれ、これからも生活していかなきゃならないことで、さらに嫌なのはこの国の大多数の人がそれを嫌とも思ってないこと、金を求めて虚構の中をグルグルするゾンビでも構わないと思ってることなんだよなぁ。こんな世の中で希望は(持て)ないです。ただでさえ虚構の中を何故か自信満々で闊歩する人が多いのに希望さえも奪われる、疲れ果てた運転手が運転する麻薬中毒者を満載にしたガス欠のバスみたいだぁ…(絶望)

大昔は差別的なワードやジョークも２ｃｈという便所の掃き溜めのレスでしかないって笑ってたけど、蓋を開けてみたらSNSって２ｃｈ外の人間も所属するコミュニティでも跋扈してるって現実。結局２ｃｈで醸成されてた価値観て日本人の普遍的な価値観だったんだなって思う。

職場でもなんでも見れば分かるけど、社会というものを作っているのは己に正義を持っている真人間たちだと思います。「真人間達というものが社会を形成するのは困難」という理屈が私にはまったく分かりません。法律にだって精神はある。精神のない法律はいずれ機能不全と害悪をもたらす。そして法律に精神を宿らせるのは人間ですし、その精神を理解できるのも人間だけです。自分の感情を信ずる人間は他者を否定すると思ってらっしゃるのかもしれませんが、感情が否定するものは悪であって他の人間の存在を否定することはない。現実の人間関係のなかでも対立し衝突し、その結果相手を否定することもあっても、逆に和解し認め合い、和解できなくてもそれぞれの歩み方を尊重することもある。好きな人もいれば嫌いな人もいるのは当然で、それでも私たちの社会は回っている。

＞経済とやらがいくら「近代化」したところで、天下公儀を回す為に個人に要求される負担の量は今も昔も変わっちゃいないのである。

GDPを代表に、近代化を示す「統計指標」の多くが実態を反映しないのも事実で、盲目的な近代礼賛があってはならないことには同意します。

しかし、乳児死亡率とか、識字率とか、そういう大幅な偽造の余地が低い指標が、近現代200年、全世界で押し並べて良化しているという事実もあるわけです。生命が保全されやすくなっているという点では、近代化というのは「かなりマシ」な産物だったのではありませんか。ほならね、江戸時代に生活してみろって話ですよ。「200年前に生まれたかったか？」と聞かれて、YESと答えられる人はそうそうおらんでしょう。

たしかに近代はあまりにも問題点が多いですが、それでも前近代より良い。私は「包括的反近代主義者」はヘドが出るほど嫌いです。それは家族の経験に裏打ちされています。高度成長を迎えたころであっても、裏日本ではまだまだ前近代の色が濃かったんです。たとえば「消極的な」間引きが行われているのは周知の事実でした。私の父の兄弟の半分は、三歳を迎える前に死んでいます。これは、私の祖父が取り立てて薄情だったというより、地域の物質的貧困に依って起こった悲劇です。粟や稗を食わねばならん生活で、栄養状態が悪いことは言うまでもありません。茅葺きの家、掘っ立て小屋と大差ない生活空間には、冬の氷点下の風が吹き込んでいました。

豪雪の中、小さな診療所まで、数時間を要して辿り着いても、まともな治療は行えませんでした。このような中で生き残ったのは、比較的に「生物として」強い子供だけでした。この哀れな子供達は、衣食住で満たされるという夢を目指しました。幸運にも父はそれを実現しました。しかし「弱い」子供は、そんな夢を見ることすらできず、物心つく前に死んでいきました。骨壷も残っていません。家の周りに囲いを作って埋めたそうです。猪や熊に荒らされるのを防ぐために、それぐらいしかできませんでした。かつての社会の絶望を、語り聞かされてきた者としては、この記事のような近代への評価は、象牙の塔の住人の言葉のように映ります。

2018年の現在、父の故郷には、舗装道路が通り、鉄筋の家が建ち、医者が常駐し、必要ならば救急車やヘリが出てくれています。粟や稗を食う必要はありません。マタギが狩ってきた熊ではなく、新鮮な魚を贅沢品とすることができます。これらは、紛れもなく近代化の普及の産物でしょう。総論として、近代社会に対する「修正」は必要ですが、「否定」はあってはならないのです。星りんさんが、心から信じてこのような記事を書いてるのか、あるいはあくまで思考実験的な試みで書いてるのか、私には分かりませんが、もし前者であれば、深い失望を禁じえません。

スティーブ・ジョブズの「もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか？」を胸に刻んで生きると、死ぬまで毎日酒を飲んで終わる事になるから本当に良くない

我々が外来で勧めて患者さんがワクチンを接種しても製薬会社から我々の懐には1円も入りませんが、自然派な皆さまが反ワクチンセミナーを開催すると一人当たり数万円を巻き上げることができます。そういうことです。

若いうちに金払ってでもやるべきなのは、スイーツや焼肉とかの食べ放題で喉までいっぱいってくらい満喫するとか、オールナイトで遊びまくるとかそういう事だけで良くて、苦労はお祓いしようが何しようが勝手に向こうからやって来るから、来た時だけ適当にお茶を濁して過ごす方法を学べば良いと思うよ。

下らないことでバカにし評価を下げようとするダメな大人に対抗するためだけに最低限のマナーを習得したつもりが、いつの間にかマナーの奴隷になって若者の“非常識”に苦言を呈する側に堕ちてるのが愚かな人類の常

買って反省、買わずに後悔

迷う理由が値段なら買え。買う理由が値段なら買うな

個室ビデオ店でめっちゃシコったから四股名くれ

栗之花

個室親方

増鶴（ますかく）

カク竜

天駕（てんが）

貫杉（ぬきすぎ）

阿修羅がフェラしてる時、残りの顔ってどんな表情してるの？

俺は指原莉乃が怖い。屈指のバランス能力で、つねに51　対49くらいで前時代的な価値観、おっさんが喜ぶことをコメントできる能力があるから。

こういうおフェミさんの視界ってどうなってるんだろと疑問に思う。アタック25のアタックチャンスみたいなフィルターがあるのかな？ポリコレビンゴしないと見えないみたいな。

恵比寿とか目黒とか日比谷とかさあ。知らねえんだよてめえらの住んでるところのローカル地名なんかよお、なんの留保もなくバンバンバンバン書きやがって。日本人なら全員山手線各駅の街についてザックリ知ってると思ってんのか？知らねえよ。池袋は金玉袋の町で新宿は地面がジュクジュク、田園調布の田園、超深いw 渋谷名物シブイヤベース、八王子には王子が8人、くたばれ！まず俺が東京のクソどうでもいい地名、粒度で言えば立江とか羽ノ浦とか土崎とか川尻とか、何？どこ？って感じの、市ですらねえようなのの名前を知っていること、知らざるを得なかったことがおかしいんだよ。

気持ちわりいしゃべり方の東京人がテレビで延々クソどうでもいいローカル地名をさも当然のような顔で垂れ流しやがったせいで俺ははじめて東京に行ったときあたり中知ってる地名ばっかりでびっくりしたんだよ。あの時だ　あの時はっきりとした東京への憎悪を覚えた。つか東京だけじゃねえんだよな　関東の人間はとにかく傲慢、表情がキモい、口調が嫌、性格が悪い、センスが悪い　最悪。ニコタマ、川崎、横浜、あと何だ、知らねえけどとにかくいろんな地名を知ってて当たり前って態度で語ってくるその姿、許せん。

そんでさあ鹿児島ってどんなとこなの？とか言ってくんだよな　殺すぞ・てめえの街には何があるんだ・俺は知らねえぞ・知っていてやらねえぞ。東京近郊に生まれておきながら弱者ヅラする人間もウザすぎる　都心まで2時間かかるよ〜wではない、俺は飛行機に乗らねえといけねえんだよ都心によ、つか人生で2回しか行ったことねえんだよ東京、嫌な街だ、滅んで欲しい。テレビつけてさあ、「皆さんにも是非おすすめのスイーツ」つってるその店の所在がまあ東京なんですわ　ここは東京じゃねえの　まあそりゃマドリードでもモンテビデオでもうまい店があるなら紹介はするんだろうけどさ、そういう紹介ってどこかリモートな感じというか、慎みがあるというか、世界にはこんなところもあるんです、行けたらいいですね、っていう、憧憬にも似た感情の篭ったものじゃない。

東京の店の紹介は下品なんだよ、当たり前に週末いける、なんなら今から行っても間に合いますよ、ここで紹介しちゃったからには明日から行列かもね！そういう俗っぽさが滲み出てくんだよな　しかもそれを全国ネットでやっちゃったりしてもう恥を知れ！！！！死ね！！！！！！

知らねえんだよ1000kmも離れた街のベーカリーのパンが美味いからなんなんだよ買えねえんだよ一生いかねえよそんなとこ女将の人柄がいいからなんなんだ嫌味かぶっ殺すぞ、と思うからグルメ番組なんてもう見られねえわ。番組つうかネットですらヒドイ。全国ネットどころか全世界ネットのところでいち都市のローカルネタを知ってて当然の前提知識みたいな扱いにするな　ホンマにゴミ。「どこにでもある」とか言って関東にはすげえ数あるけどこの辺には全然ないチェーン店の名前出されるとガチで叫びそうになる　お前のどこでもドアは関東圏でしか使えなさそうですね　俺は謙虚さを知ってるから「どこでも」の意味も正しく理解できる。東京・神奈川・埼玉は俺にとって不倶戴天の敵でありそこ出身の奴がいたら本能的に嫌ってしまう。生まれついての貴族かつその自覚がないようなやつばっかりで最悪。トンキンなんて言葉があるが、ありゃペキンに失礼だぜ　東京なんかと一緒にされちゃあ可哀想だ　東京は東京って呼ぶしかないんだよ　それ以下の存在はないんだからねえ

セックスはハレの日の外食、オナニーは毎日の家庭料理。そう考えると、器具を使った自慰を手抜きだと非難するジジイもいそうですね(手抜きとかけるつもりがジェンダーの違いを意識していなかったため自慰とジジ

耕しもせず、種を播かなくても、馬鹿はひとりでに生えてくる

スターウォーズのOPは20世紀FOXのファンファーレがあって、その後の無音の緊張感に「A long time ago in a galaxy far, far away....」が浮かび上がって始まるのがたまらないんだけどな…。あのファンファーレが現実との境界だった。

「ママに言えない恋は青春の始まりだけど、友達に言えない恋は地獄の始まり」って台詞大好き

「初盆大丈夫？」って上司に言われて何事かと思ったら去年イベントのために消滅させたイマジナリー親戚のことでした。僕の親戚、いつまでも人の心で生き続けているんだなぁとハートフルな気持ちでいっぱいになりました

ヤリチンの一番の特徴は「女に何も期待しないこと」なんだよね。ヤリチンは無限に女を甘やかし肯定してくるけど、ソレは「ヤレればどうでもいい」からこそであり、逆に本気男はどうでもよくないからこそ「苦言を呈す」そこを見誤る女は如何に出会いや婚活に精を出しても、ヤリチンの精を出して終わる

"相手を人ではない、何かモノのように感じた。ただの数字、ｴﾋﾞﾃﾞﾝｽだと思うように頑張った"ら、自分も人じゃなくモノ、ただの数字になった話。人間性の疎外ってこういうことなんだなぁと思う。

そういえば子供の頃に読んでいた「攻略本」って、「パラパラとめくって眺めるだけでも楽しめる読み物」だったなーと。「ゲームは1日○時間！」のルールを守りつつ、ゲーム外でも「ゲーム」の世界に浸れる素敵な本。

動物の数え方は「死んだ後に残るもの」で決まっている。牛や豚は一頭、鳥は一羽、魚は一尾…そして人の数え方は「一名」人が死んだ時に残るものは「名前」だということ。“名前”って、定義としては個体を識別する記号に過ぎないけど、実際はその存在を象徴するような哲学的で不思議なものだと思う。

深田えいみの唐辛子よりも学費を無駄にしてる皆さんの方が罪深くてすき

社内のインフラ的な業務を1人でハイレベルに淡々とこなす担当者が「あの人何やってるかよく分からないんだよね」みたいな不当な理由で評価されず、辞めた途端に様々な事が正常に回らなくなり慌てて代わりの人材を募集するもなかなか見つからず「ごん、お前だったのか…」状態になる現場、悲しいよね。

「労働・オブ・ザ・リング」というよくあるネタについて、通勤を「トールキン」と読めるという天才的な気付きをしてしまった。

哲学の先生に内定先の職業を言ったら｢そんな資本主義と新自由主義の最先端みたいな職業に……｣って絶句されたの面白かったです

石川県で犬猫殺処分ゼロにするためにペットは死ぬまで責任持って飼うことを義務化してこれを果たさない者から保健所はペットの引取を拒否することにしたら捨て犬がめちゃくちゃ増えて野犬が問題になっているという話を見ている。

会社辞めた日の爽快感はすごい。あの感覚をもう一度味わうために就職してもいい。

よく考えると「冷やし中華」ってすごい名前だな、隣の国に「クールジャパン」って料理があったらビビるだろ

(ホワイトハウスについての街頭インタビュー)

「将来、あそこで働きたいですか？」

あそこでは働きたくないわ、あそこの人が私のために働くの

おじいちゃん、救命講習で人形に「119番お願いします！」って言ったらしい

彼女を妊娠させないように、ピルを飲んだ男友達

放送でAVを流した同級生の話

寝ながら自転車運転して田んぼに突っ込んだ友達の話

超絶イケメンすぎて壮絶な人生を送って「お前は普通の顔に生まれてよかったな」と孫娘に言って死んでいった岡田さんの話（ありりょう）

海で拾った吸盤付きディルドを額につけて、学校まで歩いてきた話（あべちゃんの同級生）

夜中1時、寝てたらめっちゃテンション高い声で「抜けた！」って電話がかかってきた。結局「自分の絵で抜けた」ことに感動したらしい

手紙の最初に「前略」ではなく「全略」と書いた

雨宿りしたけど全然やまないから濡れながら帰ってきたんやが、その途中で同期が発した「雨の中でカサささずに帰るのも新鮮でいいよね～～」って言葉でおれは一生この人についていきたいなと思った

バカ穴のことをふざけてガバ穴と呼んでいたら、友人が学習して先生の前で「このガバ穴は」と言いだした

友人が「あぁ～あれね、DJサリンジャー」って言ってて、あいつ場を沸かすのも得意だったのかって思った

「ECCジュニア！」の「ジュニア！」の部分はジュニアだけに12回録音しなおした、という話を隣の席の彼氏が彼女にしていて、そうなのかと思って調べたらそんな情報どこにもなかったという

東大友人の学生証の画像を借りて「学歴板」で無双している

ウンコが硬すぎてケツが切れるせいで、毎回検便で「血便」になって再試験させられる

「林間学校」は変換を一つ間違えるだけで「輪姦学校」とAVのタイトルになるので日本語はクソ

今日会社で「もう今日の業務量多すぎてぴえん」って言ったら、入社数年目の若い子たちに『え…？ぴえんってSNSで使う言葉であって話し言葉では使わないんですよwww』ってめちゃくちゃ笑われたけど宇宙のこと考えてやり過ごした、宇宙ありがとう。

「ggrks」が通じないって話題だけど、そりゃあ10年前のインターネットと違って今はググっても「調べてみました。こんな噂もあるようですが実際はどうなのかわかりませんでした。いかがでしたか？」みたいなのばっかりが上位に来るようになってしまったんだから死語になって当然だよ

『無能の鷹』は男女の問題よりも、個人の能力の問題をメインに描きたいという思いがあります。もしもこの世の中からあらゆる格差がなくなったとしても、個人の能力が誰かに評価されることで生じる「能力の問題」だけはしぶとく残るんじゃないかと思っていて。

ゲームのミッションで指示文とか読み逃して目的がまったくわからず走ったり撃ったりしてる時、まじで戦争とか行ったらこんな感じかもなと思ったりする

20: 以下、Ｚチャンネル＠ＶＩＰがお送りします 2020/08/26(水) 11:24:10.99 ID:ChDpGcBy0

>>4

どれどれと地元検索したらコロナ前によく行ってた銭湯がハッテン場だった...

家族連れも多いのに

48: 以下、Ｚチャンネル＠ＶＩＰがお送りします 2020/08/26(水) 11:30:11.91 ID:vNDGb+epr

>>20

普通の銭湯の店員が気にいらんくて3年くらいハッテン場やって書き込み続けたらリアルハッテン場になったわ

野党の皆さん、安倍政権の間どこにおられたのですか。共産党だけは頑張ってましたが、長期政権に最も貢献したのはあなたがたでしたね。仲間同士でケンカしたり選挙が近くなったらくっついたりでは、国民の皆さんはうんざりだと思いますよ。まあ私にだけは言われたくないと思っているのでしょうけれど。

>>「ボンバーマン」で先に死んだプレイヤーが外から生きてるプレイヤーに向かって爆弾投げるアレを思い越させる

今日なんJで知ったのだがぶっかけたフィギュアにブラックライトを当てると反応するんだと。買取店はそれをチェックしているらしい。彼氏がエチエチフィギュアを持っていたら当ててみよう。

女だけどフィギュアぶっかけ動画が好き。正直、自分でも何が良いのかはよく分からない。別に見ても興奮するわけではないし。あえて理屈をつけるなら、性行為の動画として情報量がちょうどいいのかもしれない。

映っているのはフィギュアと男性器、自慰行為と射精だけで、抽象化された性みたいな趣がある。YouTubeで昆虫の動画を見るのと同じような感覚かもしれない。Eテレでフィギュアぶっかけの5分番組とか作ってくれないかな。深夜にぼーっと見ていたい。

以前、やむなく、サトウのご飯も、納豆も、漬物もパックのまま食べたら、涙がこぼれそうなぐらい惨めだった。そういう惨めさって、少しづつ、しかし、確実に人の心を浸食していく。値段の高い器を買う必要はない。しかし、美しい器で飯食う。

人間が猫を見て「ﾈｺﾁｬﾝ!!」「猫かわいい〜」とそれぞれの猫固有の名前を呼称せず種族名で愛でていることを考えれば、狐娘が「どうした人間よ」「これだから人間は愛しいのぉ」とか言うのも別に名前を呼ぶほどの関心が無いということではなくわりと素直に愛でてるのかなってバイト中に考えていた

あと前から申し上げておりますが、小説家のツイッターアカウントを見て「作品と全然違う」と失望するのは、パティシエの顔を舐めて「甘くない」と言うのに似てると思います。

ルンバが中国語しか話さなくなってしまったが、設定を直さず、我が家に留学生が滞在していることにした。

社　員　大　多　数　解　雇

-シャイン　マス　　カット-

アメリカ人に安倍が辞めるらしいじゃん。次の首相は選挙で決めんのか？と聞かれたので、第1党の政党の中から勝手に決められる。市民に選ぶ権利無いと言ったらマジファックじゃんと言われた。マジでファックだよな！

アメリカでも大統領選あるけどトランプサポーターはヤツの嘘をググれるほど賢くないと言っていて日本と同じだなと思った

キャラクターの不法行為が最後まで印象に残り続けるタイプなので、涼宮ハルヒのことも未だに心のどこかで「パソコン泥棒」と思っている。

以前コピーライターの学校みたいなとこ行ってたとき講師が話してた「香水を宣伝したいとき『これはウンコみたいなニオイが全然しない良い香水です！』みたいな言い方をすると、ウンコみたいなニオイしないって言ってるのにウンコみたいな印象がつく」という話、これだけは実生活でも本当に役に立ってる

神がクソなのは人類が全ての災厄を神になすりつけたから

第一次大戦の際、フランスではお国のために犠牲となって死ぬことが神聖なものとして称揚され、物量的に不足していても精神の強さがあれば勝てるという言説が跋扈していたという研究を見ると、旧日本軍の特攻精神は必ずしも「日本的なもの」ではないのではないか、と思わされる。

法律が「なにをしたか」ではなく「なにであるか(人種・性別・性的志向等々)」によって人々を裁き出すとどういうことになるかを、我々は20世紀前半に欧州やロシアでもう嫌というほど学習したはずなのですが、まだ懲りてないんですかね

最近の20代女子が結婚相手の男性に求める年収が350万円くらいに切り下がってきていてるのですが、その理由が理想を下げているわけでもなく今の20代のなかでは350万円でもそこそこ稼いでる男性と認識されていて、日本がそれくらい貧乏になってきてる事実に驚いています。

厚労省に勤めてた時、３人の子を持つママさん官僚がおられ、8時-16時45分勤務だった。会議時間の調整で、その方が「16時45分までで調整できませんか？」とお願いしたものの、バリキャリ未婚女性が「それはアナタの都合でしょう」と一刀両断した話を聞いた時、これが少子化の原因かと手が震えた。

コンビニで売ってる プラケースに入ってるサンドイッチの上にパセリを乗せる仕事。ちぎって乗せるだけ。序盤に多めに乗せすぎて 終盤はパセリがなくなって、社員の人に聞いたら、商品のラベルみて、「パセリってかいてないから、乗せなくてもよし。」 って言われた。乗せなくてもいい仕事。

毎日出社してる度にね、自分は仕事ができないし業務も遅いし使えないやつって気付くんだ。でも残業したり帰ってから仕事の復習や勉強しようとも思わないし死んだように寝てる。なぜならその腐食部分こそが本当の自分ってわかってるから

友達の口癖が「金だすか、知恵だすか、労力だすか、もしくは一切ださないか」──という至言なので、外野に何か言われた時は(口だけ出すなんて言語道断…)と思えるし、自分も誰かの仕事や子育てに対してはこの気持ちでいる。

TLで誰かが「マナー講師」のことを「失礼クリエイター」と言ってたけど、これ以上ないくらいの呼び名でしびれるw

どこかで見たブコメの「根を腐らせ葉を茂らせた」政権という表現に感心したが、腐った根を想像できない人には茂った葉だけが目に映るものだなと。文書主義、公平性、倫理という民主主義国家の根が腐ってしまったのに

栄養ドリンクの蓋が栄養を求めている人間にとって固すぎないか。

元大手ソシャゲ会社に居た人に「課金額によって出目の操作とかやってるんですか？」って聞いたことがあって、「そんなめんどくさいことやってる訳ないでしょ、実装工数とかテスト工数とか考えてごらんなさいよ」とバッサリいかれた。

「アイシャドウの塗り方違います…コスメが可哀想😭」とか「靴手入れされてますか？汚れちゃってて可哀想なので、もう少し綺麗に使ってあげてください🥺」とか、人に嫌味言うために物にいちいち自我を芽生えさせる人なんなんだ

ストレスに弱いんじゃない　ストレスが強いんだ！！！！！

私が君の理想を壊したんじゃなくて君が自分の理想を押し付けてきたんだよぅ

コアラのマーチの絵柄を見ることなく口に放り込む人間になるとは思わなかったな。もっと絵柄を楽しめ

30代後半になっても未婚だと結構不躾に色んなことを言われるんだけど、「子供を産む幸せを味わってほしい」みたいなのを親切心から言ってくる人がいる。わたしは子供を産みたくないけど、この世界の子供たちの未来が少しでも良くなるように行動していきたい。それは間接的な子育てだと思ってるよ。

去年ビルの地下にあるゲイバー行ったら、クソデカネズミが天井を走ってて、それを見た店のママが「うちディズニーランドだから、出るの、汚いミッキーが」って言っててやっぱプロのゲイっておもろいな思った。

筒井康隆の短編に「広告が氾濫してあらゆるものが無料で手に入るようになったけど広告無しver.は超高額になった未来」の話があるんだけど道端でもらったレコードもコマーシャルが挟まるからろくに聴けやしないみたいなのYouTubeの広告飛ばしてる時に思い出す 調べたら50年近く前の作品だった 凄

偏差値41の高校で1位だった程度でイキって、授業中に関係ないことして注意されたら「知的好奇心をそそられるような授業をしない先生にも問題があるのでは？(ﾆﾁｬｧ)」とか言って"天才だけど変人"みたいな設定で生活をして最終的に偏差値表記がBFの大学にしか受からなかった僕、しょーも無さすぎて草

「マラソン一緒走ろうな！」←こいつ前世小早川秀秋だろ

京大の英語構文と僕のキンタマのシワ、どちらが複雑か比べてたら浪人した

自習室で勉強しても3分くらいでスマホいじり出すやつのことウルトラマンって呼んでる

参考書を買うだけ買ってやらずに置いておくだけの人、ブルーレットと勘違いしてるらしい

Twitter

「今、みなさんの"貴重な時間"をいただきました〜！こんなんなんぼあっても上手く使えないですからね〜」

こういうこと言うやつってだいたい何か言われても言い返すわけでもなく周りでチキンカスの連中と馴れ合いながら陰口言うだけなんだよな、本当に死ねばいいのに。1回死んでから「死んだからわかる！ 本当に使える葬儀の裏技教えます！」みたいなブログ書けばいいのに、賽の河原で。そしてすぐに鬼の運営に削除されればいいのに。チンカス喉につまらせて死ねばいいのにね。

親に「多浪してブサイクで虚弱体質とか子ガチャ失敗やな、ごめん」って言ったら「何を言ってるんだ！お前は思いやりがあるいい子で生きてるだけで心の支えになる自慢の息子だ！」って言われて泣いてたんやけど、次の日に朝起きたら親に俺の臓器全てメルカリに売られてた

俺デブなのに足だけめちゃくちゃ早かったからメタルキングって呼ばれてた

こないだ会社のギャルが突然「自分にはアナルがない」と言い出して、その後「じゃあ見せて」「はやく見せて」「確認するから見せてみて」としつこく迫ったら「ある！！アナルあるよ！！！うるさいな！」と怒ってて意味わかんなくてウケた

故郷を焼くのは「旅に出る理由」「帰る場所を失う理由」「戦う理由」のすべてが手に入る旅立ちスターターキットなんですよね。

アカデミー賞の多様性ガイドラインを見て、かつて多民族国家ユーゴのサッカー代表を率いたオシムが、各民族のマフィアからの「自民族の選手を使え」という脅迫を受けながらも屈する事なく「勝つ為に必要なら、11人全員をコソボのアルバニア人で揃える事も辞さない」と毅然と言い切った事を思い出した。

普通の人は、逮捕された人に対して、「正直に言えよ」という感覚だと思うけど、弁護士やってると、「正直に言ったところで、警察が考えるストーリーとズレてたら納得しないし、微妙にニュアンス変えたりして誘導してきて実際と違う調書が作られる」という感覚なんだよね。だから、黙秘すべき

河川敷で使用許可取ってサバゲーやると必ず警察は来ましたね。自分は警察よりお孫さんと散歩にくるお爺さんの言われる事の方が辛かった。『重機も無い…軽機も無い…擲弾筒も無い…歩兵砲もない…軍隊じゃあ無いね。小銃ばかりじゃあ勝てないよ』とお孫さんに説明しているのが聞こえてくるんですよ…

税金は収入源ではなく国のデザインなんだよな。国民に酒飲ませたいのか飲ませたくないのか、持ち家に済ませたいのか借家に済ませたいのか、そういうのをコントロールするのが税金の一番の目的だというところに気づかないかんよね。

デスゲーム主催者「今日はクラスのみなさんで殺し合いをしてもらいます」

中学生「うち離島の中学なんで、学年でぼく一人なんですけど」

主催者「あっ……すみません、優勝です」

昨日親に「柿苦手なの？人生の半分損しとるよ」って言われたんだけど、俺は人生の半分を柿に奪われる方がよっぽど損だと思う

【2進数で数える人】

「今から10かぞえる間に準備しろよ

10、1、0！！」

全世界のうちイスファハーンでない方の半分を勇者の俺にくれる最高な魔王

ARuFaさんは1を500にしてて、永田さんは1を√3πにするみたいな盛り方してて、原宿さんが0から100を生み出してる感じだった 怖すぎる

そんなのマトモに読むのは、肛門に顔近づけて深呼吸するようなもんです。必ず屁を吸ってしまいますぞ

事ある事に社会人失格という言葉を聞くがそんなに狭き門なら

もはや社会人を完璧合格した真なる社会人は居ないのではないか

調子に乗りすぎてもはや調子と一体化してるレベル

さて、近年「百合」と呼ばれるジャンルが急成長している。あまりにも急成長したがために百合好きを公言する人々の間でも「百合とはなにか」のコンセンサスが取れておらず、安易に百合語りをすると棍棒やら鉈やらが飛んできて五体をバラバラに解体されカラスの餌にされる始末である。私も2回ほど鳥葬の憂き目にあったことがある。 実は「SF」も似たような状況だと聞くと驚く人もいるだろうか。やれSci-Fiだスペースオペラだ空想科学だ1000冊読まないとダメだとか、挙句の果てにはSukoshi Fushigiだとか言い出して光線銃だの荷電粒子砲だのを持ち出してどんちゃん騒ぎが始まる様を見たのは一度や二度ではない。私も2回ほど太陽葬の憂き目にあったことがある。

妹の声 運動会の「赤、速いです」ってやつにくっそ似合うな

ガチャで出た装備を適当に装備したかのような格好

このズボンて地球で買えるの？

深層Webの浅めのところにありそう

早く1時間耐久版出してくれ💢14秒ごとに画面タップすんのめんどいわ

子の｢才｣を愛でるなんて他人でもできる。親は｢存在｣を愛して行くんだよ。

機械学習、要するに「むちゃくちゃ精度の良い偏見を機械的に生成したい！」という技術なので、社会学とは決して相容れないし法学と癒着してはいけないんだよな

妻「私と仕事どっちが大切なの！！」

配列を使いこなすエンジニア「もちろん君が1番だよ」

Switchで出るモンハンで、久々にモンハンやりてー！みたいに話してたんだけど「砥石は使い放題」「ペイントボールなんかない」「つるはしって消費アイテムなんですか？」みたいに、現代モンハン知識に打ちのめされたので「最近のハンターは軟弱が過ぎない！？」って老害ムーブかました

「肩」という言葉のない世界に「肩こり」という病名が存在しないことと同じく「自由」とか「人道」という言葉のない世界に「不自由」とか「非人道」を感知できる人々は存在しません。「人権」だってそれと同じことです。「人間は生まれながらにして自由かつ平等の権利を有する」という「人権宣言」により、私たちは「自由になれた」のではなく「不自由という病識を得た」だけに過ぎません。

ストレス耐性が強そうな人を見ると、実は「メンタルが強い」というよりは、「自分のメンタルに害を与えそうな人と距離を取るのがうまい」ということに気づく。メンタルの強さそのものに大差はなくても、ダメージを予見し回避できれば消耗しにくい。

よく勘違いしている人がいるんだが、「ねぎり」って、双方に「得のある落とし所」の交渉なのよ。例えば「ほな十個買うからおまけして」とか「コレとコレとコレも買うから、コレおまけにつけて」とか「ほなこれから毎月注文するから、勉強してや」とかね。

30超えた時に、「あ！やっべ！これ、外見と身体は、どんどん老化するけれど、思考とか気持ちは、20歳頃と全然変わんねーぞ」ってことに気付き、それからは、すっごい年上の人が、「その年齢で？」と思うよーなことをはじめても、「あ、そだ。中身変わらないんだった」と思うよーになったｗ

そういえば父、「親なんて大事にしなくていい。なんぼか長く生きているだけで、優れた人間でもなんでもない。しかも、頼まれてもいないのにお前に生を与えたのだから、いくらでも文句や要求を伝えたらいい。全てに応えられるとは言いきれないが」みたいなことを、私が幼いころから繰り返し言っていた。

「この自販機エコなんだって、嬉しいなあ〜」みたいなことシロクマが言ってる絵がついた自販機を見ると「いつでもキンキンの飲み物を飲みたい、そのうえ絶滅危惧種に褒められたい、なんとあさましい人間の根性」と思ってしまう。

マリオシリーズのワンワンって「鎖に繋がれていて噛もうとしてくる」という要素だけを抽出して「犬」を表現していて、よほどの犬恐怖症が考えたデザインとしか思えない。

なんかこう「先生、学校の数学が難しくて理解できません」「それは証明の意味を理解せずに暗記しようとしているからです。順を追えば必ず理解できます」というような啓蒙的なやり取りにおいて「4ですか」「いえ、9ですよ」と取り違えるような、ごくシンプルな頭の悪さは全く問題にされない感じがある。

PS3発売当時の大行列ニュースで「物売るっていうレベルじゃねえぞ！！」と叫んだおじさんはかなり有名だけど、なんとか買えたあと取材を受けて「これですか？ 家であそびます」とだいぶ当たり前のことを言った別の人もかなり好き。

大麻の話題になったときに「僕はそっちの世界、まあ"知ってる"けどネ…」という雰囲気を出しながら参加する人がいて、その雰囲気がみんな同じなのでかなりつまらないのだが、いざ自分が経験者になったら確実にその感じを出してしまうと思う。

宇宙船地球号の船長に「降りろ」って言われました

「もうおしまいだ（しかし実際には終わることなどなく、もうおしまいだという気持ちだけを保ちながらダラダラ続いていくんだろうな）」という意図を込めて「もうおしまいだ」と言うことがある。

出張に行くと夜は会食となる。一通り食べてから宿に戻り、もう少し飲みたいと思ったときに登場するのがホットスナックだ。浴衣姿でペタペタすげえ暑い自販機コーナーに行く。

うまいのだけど、もうごはんは食べてしまっているのでそんなに食べることはできない。それを残念に思っていた。だが今回は違う。ディナーのメインがホットスナックなのだ。好きなだけ食べて良い。両替もしてきた。これが大人だ。ホットスナックと双璧をなす旅情アイテムが製氷機だ。缶チューハイやビールに氷を入れて飲んで、飲み残しが翌朝、二層になっているのが旅。だんだん枕草子みたいな文章になってきた。

驚いていたのはこのホットドッグのおやつとしてのちょうど良さだ。味とサイズが晩ごはんに響かない。夕方に食べるしょっぱいおやつとしてちょうどよい。子どものころのしょっぱいおやつ、あれはいま思えばつまみだった。旅のいいところだけを味わった旅だった。八宝菜のうずらだけを食べるようなことをしてよいのだ。

食べているあいだも自由さを感じていたが、帰り道は開放されたような気持ちになった。次は真夜中のサービスエリアに行ってトイレででっかい蛾を見るだけの旅をしたい。

実際のところ、人には「何かを言いながらそれについて初めて考えている」という側面があるので「そんなことはわざわざ言わずに胸に秘めておけばいいじゃないか」というのはある意味では思考そのものの制限でもあるかもしれない、とたまに考える。

実はツイートとは「思う」でも「言う」でもない、人類史に類を見ない新たな言語形態の発明なのだがそれが気づかれておらず、ほとんどの人がツイートを「思う」や「言う」のどちらかとして運用する誤解によって軋轢が生まれている可能性はないか。

キモい人がキモくなくなるのはなかなか厳しいので、独特なキモさを出す方向に切り替えていくのがいいと思う。

指摘したからといって特にそれについてなんとも思ってないことを指摘します。カラオケでアニメの曲を流すと、最初はOP映像だけど2番から本編の名場面を適当につないだ総集編になる。

旦那の愚痴とかを書いてるツイートに「それはもうダメです。別れなさい…」みたいにリプライする見ず知らずの人の、ひとの人生を左右する指図へのカジュアルな姿勢が怖い……

たまに毒吐きますと書いてある人が毎日毒を吐いている確率

プールとかで足をつる直前の、足をつる方向で商談がまとまっていくのをただ見てるしかないみたいな時間すごい嫌い。

コミュニケーションについて、理想的にはいま降って湧いたような人間として接してほしいのだが、親切な人ほど私の過去の動向や人間関係に紐付けて反応するので「過去ってだるいな」と思うことがある。

旅館で、小皿に少しだけ乗ってるすり身のような謎の料理を食べて「これ何？」「わからん」「うまくはある」とか言うやつやりたいな

ポストイットにやること書いて貼ってた頃、ポストイットに書くのを忘れてた予定を済ませたときに何も起こらないのが気持ち悪くて、あとからその予定をポストイットに書き出して直でゴミ箱に捨ててた。

ゾンビパニックで滅んだ世界のオタクがサバイバルしながらゾンビ化したアイドルを探しに行く漫画『推しに噛まれるまで死ねない』

実際は全然無表情なのに「笑った」とか「泣いちゃった」とか書くとき罪悪感あるかもしれないけど、表情筋がエモーションについていけないのを言葉で補完してるだけだから胸を張って良い。

「才能あるアスリート同士を配偶させたらすごいことになるんじゃない！？」みたいなのはたぶん中高生くらいで多くの人が発想することで、今それを新しい発見でもしたかのように大人が言うきつさのほうを、優生思想のやばさ云々より強く感じてしまう。

「今日友達と学校でさーメッチャ面白いことあったんだー、何があったと思う？」

「えーと、その友達は人間？」

「え？ 当たり前でしょ」

「犯罪に関係する話？」

「しないよ！」

「友達は目が見えない？」

「水平思考をやめろ」

セキュリティソフトの試用期間が終わったときとか「いいえ」の代わりに「危険を見過ごす」みたいな選択肢を選ばされることに慣れたら人間はおしまい。穏やかな夜に身を任せるな。怒れ。

大人になってからジャンプすると1回で1日のエネルギーの1/5くらい消費する

「大人のほとんどが答えられないが、小学生は答えられる問題」という前フリをヒントに「そういうひらめきのやつか」と察せてしまう問題

気づいちゃった気づいちゃったわーいわい♪　旧ソ連は　まで言ったあと謎の凶弾に貫かれて倒れたデッカチャン

ところで、なんで「象徴」とか「現象」とかにゾウが入っているんだろうと不思議に思っていたが、もともと「象」は動物のゾウの形からきた「象形文字」で、ゾウがあまりにでかいから「すがた」とか「かたち」を示す漢字にも使われるようになったらしい。

こどもの頃は怪談本を借りて読むのが好きで、特にこわくて気に入っていたのは「壁に手を当てて100回『すいこまれる』と言うと壁に吸い込まれる」というもの。理不尽な怪異の対極にある、自ら怪異へ向かわないと発現しない条件に恐怖を感じた。

「アフリカでは1分に60秒が経っている」みたいな冗談を自分で思いつくのではなくネットか何かで読んでそのまま人に言う行為は自分の中では「冗談」とは明確に違うなにかだという意識があるかもしれない。

死ぬ気でやるな。殺す気でやれ。「嫌われたらどうしよう」ではなく「自分を嫌うセンス悪い奴は眼中にねえ！」というマインドを持て。「批判されるのが怖い」ではなく「外野は黙って見とけや！」というマインドを持て。死ぬ気なんていうやられる側の思考は捨ててやる側の思考に切り替えろ。殺気を持て。

私が人類の数をランダムで半分に減らすパワーを開放したとしても「心なしか声優が多く残ってるぞ」などと不当に野次られるんだろうな。

かつて人権とか民主主義を考えて実装した人たちの根気すごすぎる。

実際にその年代にならないとわからないことっていろいろあると思うけど、この大人特有の「時間そのものが雑に流れていく感じ」だけは体験しないと実感できないと思う。

毎週やってるラジオとか気づくと4年続いてたりするわけだけど、高1から聴いてた人が成人するくらいの時間が経ってるわけで、たまにその「幅」に慄然とする。大人の4年って大した代わり映えなく雑に過ぎていくから……。

正直コミュニケーションAIに高度な知性とか語彙は欲してなくて「誰かと話してる感」だけあればいいと感じてるから、こっちが話し終わったあとの微妙な沈黙をなくしてやや食い気味に「あー」とか「はいはいはい」「へー」とか言ってくれるだけで愛着が湧くと思う。

粉をシャカシャカするタイプのポテトって「店内でポテトを振り回して音をたてている私」と思ってしまうから苦手だな。

「解釈違い」っていうのはあんまないけど逆に人の作品解釈に影響を受けまくることが多いので「あまり近寄るな……解釈が混ざる……」となることはある。

大体の人はお前総理大臣やれって言われたらイヤだって言うと思うんですけど、思想内容や能力に関わらず、総理大臣はそこで進んで手を上げる異常者ばかりということでもありますね。

モニターを4Kにしてインターネットやってみたらクソリプがめっちゃ綺麗に見えてすごい

差別カスすぎ最悪、消えてくれという思いがめちゃくちゃあるのと同時に「でもされるほうにもこういう理由があって…」「むしろ相対的には…」と話を複雑化したくなる「心の動き」「気持ち」が完全に自分にも「わかる」し性質としてはそっち側に近いという事実がかなり嫌ですね……。

火事現場において「とにかく火を消して！」と発された声に「そもそも火事とはなんですかね」という調停を始めてしまうような、そういう暴力性は自分には確実にある。

「授業がこうだったら私はこの科目を好きになれた！」という感じの啓蒙書にはおもしろい豆知識や脇道のエピソードが載ってるからそう感じられるという理由が大きく、やっぱどう学んでも単調でつまんなくならざるをえない基礎の領域はあると思う。

今のTwitterが日の当たる場所になったというのはまだ言葉が足りてなくて、実際は「あらゆるインターネット上の空間を白日の下に持ってくる装置ができた」という感じだからTwitterだけの問題でもないんだよな。

前衛芸術みたいなものを2歩引いて半笑いで処理するような人が多数なのに、よく読むとよく意味のわからない難解な歌詞の音楽が爆発的にヒットしてたりして、そういう「よくわからなさ」を直接楽しむ感性は意外にも多くの人に備わっているというギャップがたまにすごく不思議に感じる。

読まれた回数が上限に達したらツイートが消える機能がTwitterにあればちょっといいなと思った。興味ないのに見に来る野次馬的な人との不幸な接触が避けやすそう。

マンガを掲載するサイトや投稿サービスなんてこれまで無数にリリースされてきたのに、いま不特定多数にマンガを読んでもらうための手段が「Twitterに4ページずつ貼っていく」というかなり不便な方法に落ち着いているあたり「需要」って複雑怪奇なんだなと思う。

飽きるとか冷めるとかなくて、気持ちを置く棚がどんどん増えていくだけだな。手が回らなくなることはあっても。そりゃ最初の感動がいつまでも続くということもありえないんだけど、それは感動を失ったというよりは充分に自分の中に溶けきったのだと思いたいですね。

ユーチューブの広告を見て勉強してるので、人間の価値が胸毛の濃さにかかっていることを知っている。

Google Homeが何も聞かれてないのに「すみません、お役に立てそうにありません、すみません、よくわかりませんでした、すみません、お役に立てそうにありません」と連呼するようになってしまった。一回実家でゆっくりしたほうがいいんじゃないか。

盗聴されてることを前提に無難な会話をしていたことが後からわかるシーンめっちゃ好き

インターネットの異常者、しょせん回線の契約ができる程度の存在という見方もある

たかし！ またお前はアニメばっか見て！ そうやってアニメばっか見てるとね、自分のメンタリティが16,7歳で固定されてしまって、いくつになっても22歳くらいの若造を「年上の大人」として無意識に認識することになるんだからね！

NHK教育でコミカルな役を演じてる舞台俳優「ンン～ッ！ コレが『てこの原理』！ 科学って……………………トレビア～ン♪」

へえ…ここ弱いんだね…もっと強くなりたいと思わないか？

渡部 ←世界は客観的に記述可能な物質の集合であり超越的観念は錯覚に過ぎないと思っている

児嶋 ←「いま・ここ」の心に生ずる現象だけが世界を認識し作り出しており物質的な世界は虚構に過ぎないと思っている

缶コーヒーが「さらに美味しくなって新登場」をするたびに頭に浮かぶイメージ。無限階段。

死刑宣告をZOOMでされるのかなり嫌だなと思ってしまったが別に対面だろうとなんだろうと変わらないはずなのに何が違うんだろうな。別れ話をメールで済ますな的な感情の延長線上にあるんだろうか。

自分がキャラクターについて真剣に考えて書いた長文を怪文書などと言いたくない正直な気持ちがある

プレステ2を起動したときに「テューーーン」という音とともに出てくる白い柱みたいなやつの数が、メモリーカードに入ったゲームのデータの起動回数に応じて増えていたことを初めて知った。

用もないのに「日本の母親を応援する団体のメールマガジン」みたいなのに登録しているんだけど、「ワクチンは生物兵器」「胎内記憶」「ホメオパシー療法」「人類の月面着陸は嘘」のように刺激的な話題が毎月送られてくるし、先月は理事長が運営資金を横領して交代した。

人の心を捨てた裏社会の殺し屋は警戒心が高く、最初なかなか心を開いてくれませんが、根気よくお世話を続けると「ここはお前みたいなやつがいるべき場所じゃない」「お前がいると、どうも調子が狂う」といった愛情表現を見せてくれます。

おい！

・ひとつ押すと左右のマスのオンオフが切り替わるパズル！

・一歩ずつ進みながら落とし穴がないルートを探る道！

・弱めのAIキャラを護衛するミッション！

・落としたらやりなおしになるでかい玉を押して運ぶやつ！

お前たちよく聞け！もう、そろそろ出てこなくていい。

パッケージに書いてある「贅沢」は「味が濃い」という意味。

ある程度生きてるとさすがにしゃべる犬が「人づかい…いや、犬づかいが荒いぜ」って言うみたいなユーモアに完全に飽きるな。

「大人になったな」と思うことあんまないけど、数回会って関係が続いてる人のことを「友だちです」と言い切れるようになったのは大人になったなと思う。昔は相手の心象を考えたりして遠慮していたけど、むしろその「押し切り」を経由しないかぎり大人は永遠に友だちを作れないと気づいたので。

ぼくのおとうさんは、椎名林檎の字幕をタテにするしごとをしています。たいへんだけれど、とてもやりがいがあるそうです。

とにかく今やどんな概念でも「属性化」「タグ化」した途端にものすごい速さで表現手法のあらゆるパターンが試され絞り尽くされる仕組みが出来上がっているので「巨大感情」「エモエモ」のようなざっくり感傷ワードの流行はその消費サーチャーの目から逃れる抵抗のようにも見える。

なんとなくグーグルカレンダー2054年3月31日の昼12時に「寿司」という予定を入れたらすごい緊張してきた……。34年後の寿司を自分は食べれるのか。

作品の「考察」って言葉には本質主義的な響きがあるからあまり好きじゃなくて、たとえば「これを観て実家の犬のことを思い出した」のような個人的な印象に基づく感想が挟まる余地がない感じがある。たとえば「サツキとメイは実は死んでいた」という説そのものはしょうもないなーと思うんだけど、「実は」を取って、あの作品から死のイメージを強く感じ取ってる人がいること自体はすごく面白い。「実は」に着地させる必要は特にないっていうか。

創作キャラのネーミングから内面を推定するのって実際どうなんだろうね。「黒城凶死郎」とかだったら「ああ禍々しい奴なのね」とネーミングで造形が逆算できるけど、現実の人間はそうじゃないから。名前から「考察」するとき、その世界を虚構視してる自分を感じてやや罪悪感をおぼえる。これは創作をする上でも感じることで、たとえば爽やかでかっこいいキャラの名字を「沼田」か「八神」にするか迷って「八神」を選んだら、それは完全に神（書き手）の都合によるもので、本来意味づけされるはずのないところへ、神がしるしを勝手に刻んでしまったような感覚がある。

無難に済ませる女の子「お婆ちゃんからまたパイが届いたの。こういうニシンのパイとかって好きな人は本当好きなんだろうね」

今更だけど、ツイートがたまたま拡散されるとそれを大声で叫んだことにあとからされるの理不尽すぎるだろ

「これでオチがしょうもなかったら怒るぞ」みたいなのもよくわかんなくて、すごいオチはだいたい緊張が解けたとき予期しないタイミングでやってくるから驚けるもので、初めから読者を緊張させて終わりへの興味を引く構造である時点でオチは本質ではないことが逆説的に示されてるんじゃないのと思う。

自己啓発書「思えば私は、子どもの頃から夏休みの宿題は真っ先に終わらせるタイプでした」

わたし「買わなきゃよかったな」

あと誰かが結婚したとか子どもできたとかいう話を聞いてもそれが本当にその人の望んだことなのか（あるいはその人が望んだとしても倫理的によいことなのか）わからなくて「おめでとう」が出てこず「へぇ～そうなんですか！ すごい！！！」でごまかすことがある。

占いの話とかされたとき嘘でも信じてる態度出そうとするとめちゃくちゃ体の芯が苦しくなるので信じてなさをまったく隠せない。

こちらの小さな駅、なんと駅長が猫ちゃんなのだそうです。駅員さんに理由を伺ってみました。

駅員「鉄道が人生の暗喩ならば、駅は死の暗喩である。乗降車という分岐を見守る者は必然的に人ならざるものでしかありえない」

もっと軽い気持ちであって欲しかったですね。

たとえば「ジムノペディが好きだな」と思っている人が、誰にもそのことを言わずに一生涯を終えたら、彼がジムノペディを好きだったことを誰ひとりとして知らないまま全てが終わっていくし、事実としてその種のことは世界中で起こり続けている、ということを考えると、なぜかものすごく恐ろしくなる。

「漫画、電子版じゃなくて紙版を買ってくれないと続刊が出せません！ 紙買って！」というやつ、たしかに読者からしたら「作者の都合なんか知ったこっちゃねえ」ではあるが、作者だって「読者の都合なんか知ったこっちゃねえ」とは言えるので、べつにしてもいい要求なんじゃないのと思う。

「納期を守るには」系の啓発書は結構読んでるけど、どの本も「自分で決めたルールは自分で破ることができる」という根本的な事実に驚くほど触れようとしない。

いろいろ調べてみたけど、サッカーをしたことがないと日本代表の監督になるのは難しいっぽい……

億稼ぐ投資家を名乗って名言風のツイートとか豪邸の写真をアップしてる人がいたんだけど、ある日突然「あれは全部ウソでした、ごめんなさい」と自白してツイートを全部消し、その後、同じアカウントでまた投資家としてのツイートを再開して同じことを始めたのかなり不気味だった。

「インターネットの記憶力」を相手にするんだったら別にこれで良いんだ、という人間の舐めかたが堂に入ってて恐ろしい。

たまにバズツイートのリプライ欄にいる「これは笑ったのだ！！ 面白いのだ！！！」とか言ってる雑ななりきりアライさんが一番本来のアライさんっぽいな。

いろいろな感受性の鈍さを有効活用してのし上がってきた人が「どうせ周りの人間はあなたのことなんて見てない、気にしすぎ、もっと図々しく生きよう」とアドバイスしてきても「少しあっちに行っててくれませんか」としか思えない

怪獣モノの映画でよくある「建物を破壊されて内部構造がむき出しになる」系のやつ、自分のマンションに置き換えて考えると自分がいかに3次元じゃなくて2次元で生きてるか露になって怖いな

「難しく考えないで、自分が好きが嫌いかで決めればいいじゃないか」という素朴な発想に乗れない。そもそも好き嫌いの自覚が全員に備わっているという前提が誤りだと思っているから。

スネ夫「うちの別荘には源泉掛け流しの露天風呂があるんだ

満点の星空の下で浸かる温泉は最高だよ」

遠い未来から来た万能ロボットが自分の味方をしてくれるという圧倒的アドバンテージを完全に“理解”してしまっているのび太「そういう価値観もあるね 笑」

めちゃくちゃ怖い池上彰「その通り！！ 私たちの“真なる王”が目覚めたんですねえ！」

冷静な土田晃之「だから海が鳴ってるんだ」

美容師に「長さは？」って聞かれた時に即座に「まさみです」って答えてひとウケもらいたい。私たちのそんな思いが、クッキーになりました

僕の「革靴磨いてくるわ」に対し妻が「成長の兆しあったっけ？」と尋ねて来たので「ないけど…？」と答える

成長の兆しがなくても別に革靴は磨いていいだろ と思っていたら妻は「生協のチラシ」と言っていただけで、靴墨で家を汚さないように敷く用途でした

2人で大いに笑う

2マス進む

平仮名と片仮名の読みをマスターしつつある息子に「“モ”に点々をつけたら“ボ”？」と訊かれる

“モ゛”の読みは“ボ”で正解だと思うけど、そんな字はないので不本意ながら違うよ、モに点々はつかないよ、と教える

感性の正しさとルールの正しさがある

最近よく行くラーメン屋に新人が入ったらしくてカウンターの向こうから毎回説教が聞こえてくるんだけど、今日は「自分がしようとしていることが本当に正しいか、一旦考えろよ」って言われてて、2時過ぎにラーメン大盛で食べてる僕にも刺さったし、ラーメン屋のバイトで何をしたらそんな説教になるんだ

息子が大きくなって「◯◯なんですが、それは… 笑」みたいな反論の仕方してきたら叱る叱らないの前にかなり落ち込むと思う

生ハムを焼いたときの、生ハムに対する申し訳なさは社会人になっても忘れずにいたいと思いました

剛田武が「俺はジャイアン」と大声で歌うのは、そうでもしないと今にも折れてしまいそうなくらい、こころが弱ってきているから

【ボディビルダーへの耐えがたい声援】

＼踊り場でピアニッシモ吸ってんのかい／

エバンゲリオンの組織

偉い人「▲▲！！！」

下の人「▲、▲▲ですか！？？」

が多すぎる

ヱヴァンゲリヲン新劇場版Q

開始6分、これは一体何を見せられているのだ…？ と一旦時計を見て、そこからエンドロールまで何を見ていたのだ…？ が続く

最も簡易に観測できる人の心をなくした者の痕跡はスーパーのデカい駐車場、所定の位置に戻されることなく打ち捨てられたショッピングカートで、毎度こんな身近に人の心をなくした者が息づいているのか と思う

全部を追い風にする人「違法薬物、ダメ、絶対！だから、気持ちいい…」

インターネットで見聞きする意見はそもそも“インターネットが“出来る人”が発信している前提があるんだけど、ハンターハンターの暗黒大陸みたいな感じでインターネットの大きな外側に生来的にインターネットに触れ合わないたくさんの人々がいることを見落とさないようにしないといけない

「飛び出すな 車は急に止まれない」

「でもおばさんは すぐ止まれますのよ」

と勝手に下の句を付け足して急停止するおばさん

「お前の母ちゃんのヘソ、綺麗だったよ」の方が嫌だよな

尾木ママについては最初にふざけて尾木ママって言い出した人じゃなく、その呼称を面白がって受け入れてしまった2人目が悪い

慌てたドラえもんが「コレじゃないコレじゃない！」と四次元ポケットの中から次々取り出すものの中に普通に拳銃があったら面白い

「皆、一旦手を離してくれないか」

おじいさんは言いました

「わしの思った通りのやり方でやらせてくれ」

そうして、おじいさんは、おじいさんのやり方で大きなかぶを抜きました

「やっぱりなあ

こうだと思ったんだよなあ」

おじいさんは、この成功体験により

そういう性格を増長させてしまいました

失礼クリエイターと揶揄された日、湯船に顔を半分浸けて、ブクブクしているマナー講師「わたしが作ったんじゃなくて、もともと失礼なのにな…」

嘘なんですが、取引先の人が多分 “時間が早く過ぎる” みたいなことを言いたくて、「つい先週も木曜日があった気がする」って言ってて当り前過ぎて笑ってしまった

「“これ”が10の痛みだとしたら、足の痛みはどれくらいですか？」と、腕の骨を折ってくる恐ろしいお医者さん

アウトローな背景に生きる方々にとって「ナメられる」というのは本当に切実な問題らしく、バイクの改造が流行していた少し前の時代では一部の人の単なるエンジンパワーの誇示の為だったのですが現在では爆音を鳴らすという所作が彼らの間でのナメられないための身嗜みとなっているという話を伺いました。ただそういった法外の世界でもインテリやホワイトカラーの方々が徐々に席巻するような状況になっているらしく「騒音で保たれる面子」、のような慣習的な部分は淘汰されつつあるようです　皮肉な話ですが無くなるに越したことはないですね...

昨日納期のものがまだ届いてない？

すみません、必ず狂獣にやらせますんで

狂獣「😣💦」

いつも床屋さんで「もみあげは自然な感じで大丈夫ですか」って訊かれるから特に何も考えずに「はい」って答えてるんだけど、今日は趣向を変えて「いや、不自然でお願いします」って頼んだらその場で揚げたエビフライをつけて貰えて嬉しかった

【割】

あの建物、実は少年院なんですよ

「え〜 その割にこの辺で全然そういう感じの少年を見ないですね」

見えたらヤバいんですよ

月に一点ランダムに商品を決めてひたすら購入しまくり、その地域のコンビニの世代別購入統計をめちゃくちゃにすることだけを活動目標としている、「乱（らん）」という名前の、最悪の老人会

見るに耐えない尖った言動を見ての「うわあ…」ってリアクション、見るに耐えない尖った言動をやってる側からは「ひえ〜！」ってビビってるように見えるから、「こう言ってやったらそいつ固まってた 笑」みたいな間違った武勇伝になってしまったり悲劇が繰り返されてしまったりする

子供の頃 親からの「気をつけて」「手挟むよ」「転ぶよ」って全部「うるせ〜 舐めんな 笑」って感じだったけど 親からするとそれらは祈りの言葉なので子供の耳に入ろうと入らまいと（もちろんちゃんと聞き届けては欲しいけど）とりあえず口をついて出てくるということを最近理解した

いつか突然全人類の頭の中に「とろみのついた液体が冷めにくいバグを修正しました」という文言が現れて「あ〜 やっぱりあれバグだったんだ〜」と思うときが来ると思う

ミリオン目指して一致団結

初音ミクの「メルト」がまさに200万再生になるという瞬間に視聴者全員が動画内で祭をやり、あまりにもコメントが書き込まれすぎて生放送でもないのにリロードのたびに流れるコメントが一新されてライブ感がすごかった思い出があります　再生するたびに職人による弾幕のレイアウトが変わり、まるで花火大会のようでした

僕が小学3年生の2008年辺りの時に、ニコニコを姉から教えてもらい楽しんでいて、その時は変なコメントとかに「↑のやつROMってろ」みたいなコメントとかが怖くて、コメントは1〜2年していなかったのですが、エルシャダイMADの「アゲハ装備で大丈夫か？」という動画がもう少しで109(イーノック)万再生に到達しそうになっている時に遭遇して、リアルタイムで「俺は二窓で見てる」、「いけー」、「そんな勢いで大丈夫か？」みたいなコメントと再生回数がどんどん増えていくさまを見て、今同じ動画をただ再生回数を増やすためだけに見まくっている人が、画面の奥にいっぱいいて団結してることに熱くなり、そこで初めて僕も動画冒頭の空耳の「ネギには酢がいいなー」とコメントを書き込み、みんながしてるコメントに黄色の枠で囲まれた自分のコメントが混じっているのを、109万再生まで何度も見たことをたまに思い出して、何とも言えない気持ちになります。

うつモードに入ると、例えば好きだったはずの音楽を聴いたりしても、感情が全く動かなくなるのよね。で、そんな曲を聴いて感動していた自分が下らなく思え、この先も何も楽しい事がないんじゃないかって不安に陥る。現在の自分だけじゃない。過去も未来も真っ暗闇だぞと語りかけてくるクソがうつ病。

俺と、俺のかかりつけの先生(重度のうつ病経験有り)はそれを「死神さんの囁き」と通称してる。「自殺衝動」とは言いたくないからね。うつ病患者へのNGワードは「頑張れ」とよく言われるけど、「気分転換してみたら？」も相当のNGワード。気分転換で色々手をつけることで、何をしても感情が動かないという(うつ病が偽装したでたらめの)現実を見てしまう。

うつ病の友人や家族を持つ人たち、うつ病の人に何かをさせようとしない方がいい。風邪で熱を出してる人に、健康のためにジョギングに行こうぜと誘うようなものだ。ただ、薬を飲ませて、休ませろ。風邪だってそうだろう？治るのを待つしかないんだ。

イタリア出身の同僚に「イタリアはみんな1ヶ月とかバカンス取っても会社が回るのがスゴイよね！」って言ったら、「いや、ぜんぜん会社回ってないけどね笑。でもイタリア人全員が回ってない状態が当たり前だと思ってるから、それはもはや回っていると言えるのかも…」とか哲学的なことを言い出した。

やっぱ退職するとき一番ダメなのは「転職先の会社名」を伝えることだなぁ。待遇悪化、内定取り消し、会社間でのトラブル等、色んな話を耳にします。信頼していた上司だけに話したつもりでも、しっかり会社に報告されます。裏切られた人、何人も見てきた。

一番良いのは転職するから辞めるってことを知られないことですね。「親の介護で仕事ができない」「家庭の事情で地元に帰る」あたりを辞める時のテンプレにすれば良いと思います。もしそれでも次の職のことを聞かれたら「親戚のつてがあるので」って言っておけばそこまで詮索されないと思います

■さっさと気付いた方が良い事

・自分がかなり気にしている事でも他人はまず何の興味も持っていないものである。

・ぶっつけ本番で上手くいくものなどない。

・向こうから来る美味い話は、糞か詐欺である。

・中身のない奴ほど言う事はでかい。

・全員と友達になる事はできない。10人いたならば1人は必ずどう頑張っても敵になる。重要なのは残り9人を味方につける事で1人に攻撃を受けないようにする事である。9人を味方につけるのに失敗するか、その1人が上長だったら、さっさと転職した方が人生のため。

・ネット上で誰かと議論する際は、相手を説得しようとしても絶対に無理なので、横で見ている人達を説得するために議論するべき。

・メールは水に流れないので、喧嘩するときはメールを使ってはいけない。かならず対面か電話で喧嘩するべき。

・転職した場合、前職で仲が良かった人と連絡が切れないようにすると、良い財産になる。

・言葉が話せる相手の中に、会話が成立する相手は一部しかいない。共存するというのは、仲良くなる事ではなく、適切な距離を保つという事である。

・世の中は嘘だらけである。

・二択を迫られた場合、どっちを取っても大抵間違っている。選択を間違えなければ二択を迫られたりしないからである。

・目論見は、3割達成したら上首尾である。

・コミュニケーションの基本は、相手が理解できる言葉で話す事である。たとえそれが肉体言語しかなかったとしても。

少しでも笑った瞬間に殺されるみたいな状況に陥ったときに見せられたら結構危ういと思う

最期の問題以外全部正解して「もしかして自分はARuFaなのでは？」と錯覚し始めたあたりで、最終問題の「自分の知らない内輪感」に刺し殺されて主人公と同じ型番のアンドロイドの気分になった

竹中平蔵、いきなり薔薇の栽培とかに取り憑かれて、薔薇のことだけ考えるようにならんかな。

(苦いものを食べさせられて)蒸気機関車になった気分

(レモン納豆フローズンを食べさせられて)三角コーナーになった気分

(自分が生まれてきて一番最初に覚えている風景を答える場面)

「なんかね、丸い光みたいなのを見たらしいです」

「らしい？親とUSB繋がってるの？」

(ジャンクフードを食べた感想)食道が地方の国道沿いみたいになってる

かんちさんと原宿さんが左右対称の位置に立つと「2人同時に倒さないと永続的に甦りつづける厄介な敵の双子キャラ」っぽさがある

「セックスしなくても出られるけど、ここでセックスしたら滅茶苦茶気持ち良い部屋」に放り込まれた推しカプについて考えるなどしてる。

職場の偉い人が半沢直樹見て影響受けまくって会議中に「いつまでこんな無駄な議論を続けてるんですか！」って専務に噛み付いたら謹慎喰らった上に降格させられてボーナス1/10くらいまで下がった話が今週聞いたいろんな話の中で一番面白かった

ジャニーズ好きって言ったら「ジャニーズね…(苦笑)」って言ってくる人割といるんだけどオーディション落ちたのかな？

患者さん「この腰痛が治るなら、どんな治療でも受けたいです！」とおっしゃるけれど、運動はなかなか続けてくれない。

ロシアにはDNAの二重螺旋を編んでいるネズミの銅像がある。毎年研究や実験に使われる動物の数は米国だけでおよそ2200万匹。その85％はマウスだそうだ。その科学の名の元に犠牲になった動物たちへの敬意を表すための銅像。今の僕らの生活があるのは彼らの犠牲のおかげと言っても過言ではない

簡単に言うとメンタル参っているときに、メンタル強い人が自分の経験から「アドバイス」するのは、癌にかかっている人に対して健康な人が「俺、毎日ランニングしてプロテイン飲んでるから筋肉ムキムキだぜ」というようなものなので、早く休ませて病院にいかせてあげてください。

(ナナメから描いた人の絵に対して)これステータス画面の画角でしょ

「射精したら風俗行かなくて済むから15000円のバイトだと思ってシコっている」と2年ぐらい前に知人に言ったら、異常者扱いされたんだけど、トゥイッターでは普通みたいなので安心しています。五分で出せば実質時給18万円、高級ソープ狂いなら1日10万稼げるで。大塚のピンサロ通いなら1日千円しか稼げない。この理論はバスの後ろ走って200円浮かすか、タクシーの後ろ走って2000円浮かすかって話に似てるな。

（レオパレス21「100億円超の債務超過と報道されましたが118億円の債務超過となりそうです」について）桃鉄でキングボンビーにさんざん物件荒らされまくった時に1億ぐらいは誤差に感じるやつ

朝は死ぬほど早起きして時間の余裕を確保しようがその"余裕"には限りがあり、いつかは猫に餌をやって風呂に入りゴミを出して飯を食い仕事に行かなければならない以上、どんなに時間があろうが焦燥感からは逃れられない。ので、そういったタスクが全て消化された後の時間である夜こそ真にリラックスできるんだ！っていう感じなんだと思う。ぼくはとてもわかる

TodoアプリにTodoを入力できる人間はTodoアプリを使わなくてもある程度自己管理ができる

「食う時にマスク外すのになんでマスク着けて来店する必要があるんだ」という意見。お前、全裸でソープランド行くの？

大事な話をします。人間は普段、自己防衛のため他者に共感する半径を無意識に小さく保っています。半径を広げすぎるとどうなるかというと、アフリカで飢えている子供に同情して食事が喉を通らなくなったり、自分だけ幸せに過ごすのは間違ってるのではという気分になり、日常生活が送れなくなります。

最近悲しいニュースが多いので精神的にキツい人も多いと思うけど、そのキツさの正体はあなたの半径の中で悲しい出来事が多く起こっているからです。共感してしまっているのです。人間は負の感情に強く影響される為、対策を講じないと多くの人の精神が不安定になってしまいます。そこで提案があります。

普段無意識に小さく保っている共感の半径を意識的に更に小さくしましょう。思いやりを捨てろという話ではないです。ただ、今は自分の人生に集中して、他人の人生や悲しいニュースにまで思考を巡らせるのは一旦やめましょうという提案です。辛い時はテレビ見ないスマホ触らない。心がざわつくだけです。

他人の苦しみや痛みに思いを巡らせることのできる人は素敵です。でも、ただでさえ大変な時に自分の課題ではない問題にまで苦しめられていたら精神が病みます。まずは己の生活基盤と精神衛生を保つ事。そこから余裕のある人だけ共感の半径を少しづつ広げていけばいいと思います。生き抜いていきましょう

「ダイスケ、あれを見てみろ！」

1: 名無しさん＠おーぷん 19/12/10(火

宮川「えええええええええええええ！！！！！！！！！！」

ナレーション「宮川の目の前で爆散する米兵！！！！」

宮川「これガチの戦争やん！！！！」

「そうさダイスケ！！！世界一盛り上がる祭は"世界大戦"だ！！！！」

「一度生活レベルを上げてしまうと簡単に下げられない」とか「一度膝の軟骨がすり減ってしまうと元には戻らない」みたいな人生における初見殺し要素、人生開始前のチュートリアルできちんと教えてほしい。

倒産し、一夜にして無一文となりました。それからのこれまでの人生は修羅でした。死んでしまいたいと思ったことが千回はあります。だから思い詰めているあなたさま、絶望するには早すぎます、解決する方法は必ずある。今はただ巡りあえないだけなのだ、と。死んでしまいたい時には下を見ろ、俺がいる

監督！入社して半年経っても仕事できず、毎日怒られてます。でも監督のツイート見て救われてます。つよくなりたいです。半年なんか、まだまだ新米です！初心者です！誰もが最初は初心者で、最初から普通になんて出来ないものです！車の運転と同じです！気負わずに精一杯いきましょう！

うん、男は弱音吐くの下手。ってのは授乳カフェでママやらせて貰って本当にひしひしと感じる事。大した事してないしただ話聞いて撫でてるだけでマジ泣き出す人とか この国、ギリギリの所で踏ん張ってる人多過ぎる。マイナスになった心はいきなり100なんて無理だから、まず0になって身軽になりましょ。

これは最近なんとなく感じてるんだけど、ゲームの面白さの４割くらいが気持ち良い効果音とUIとまとまりのあるグラフィックと感じていて、全部の仕事用のソフトがそうなった瞬間に人類の生産性が4割上昇するんじゃないかなって思ってる

あっ！今日ってもしかして、季節の境目のみに発生して一年に10日くらいしかない限定イベ『永遠にこの気候であってくれゾーン』か！？！？！？

私が今日したこと

・職人がロールアイスを作る動画を見る

・職人が卵焼きを作る動画を見る

・職人がガーリックライスを作る動画を見る

・職人が飴細工をする動画を見る

・油圧プレス機で手榴弾を潰す動画を見る

新品の靴を買ったときは、まず部屋の中で靴を履いて室内をゴツゴツ練り歩いた後にそのまま外に出るのが好きですけど、これってみんなもやるよね？

「博多の塩」の工場にはやっぱり霊が一切出ないのかな？

今日は5回連続で『タワーマンションで殺人鬼から逃げる夢』を見たんだけど、さすがに5回目で夢だと気付いたので「夢なら飛んじゃえ」って窓から飛行して逃げたら、殺人鬼が後ろから「夢のズルすな～！」って言ってきて楽しかったです（このあと私は空中で飛行機にはねられて死んだ）

いつか部屋を掃除したときに見つけたら嬉しいように、『えらい！』とか『終わったらケーキ食べてよし！』とか書いた紙を冷蔵庫の裏とかソファの下にセットした！

「最悪の場合死に至るケースもある」って表現よく聞くけど、よくよく考えたら人生で起こること全てがそうじゃない？

もし巨人に飲み込まれても、せめて生きて腸まで届きたいというモチベーションがある

陰キャと陽キャ、どちらの勢とも仲良くできる人間を「陰陽師」と呼ぶらしいと聞いてめっちゃ笑ったし、聞いて2時間たつのにふとしたことで思い出して笑ってる。

「我慢は美徳」教育の何が怖いって、それを盲信して育つと、我慢せずに幸せになる他人を許せなくなる事ですよ。

つらいときは誰かに相談しましょうって言われても、本当につらい状態だと心が砕け散る寸前だから、相談して分かってもらえなかったり、変に励まされたり、役に立たないアドバイスされたりしてさらに絶望してしまうことが怖くて相談できないんだよな…むずかしい…

■昔のアニソンの、何も言っていないようで何か言ってそうな歌詞

あれすごいよな

自分には到底真似できる気がしない

ちゃんと読んだらやっぱり何も言っていないんだけど、聞き手の精神から勝手に悩みをロードして乗っけられる抽象的深さがある

昨年の院生が「集中して書く2時間のために、意味もなくだらだらする6時間が必要」って言ってたんだけどすごいわかる気がする。

「どうやったら小説家でプロデビューできる人かどうかの見分けがつくんですか」と質問。これは簡単。「誰にも読まれる宛のない、一銭にもならない原稿を、居もしない将来の読者に誠実に向けて書ける人」。才能の巧拙は関係ない、というよりそこそこ才能があるほうが挫折する。

昔、2chの自由参加なSS系スレに出来の悪いSSをたくさん上げる奴が居た。匿名だけど、その酷さで即座に特定されるため「ゲラウトヒア」と呼ばれていたが、彼は諦めずに書き続けた。数年後、誰もがその存在を忘れた頃、物凄く面白い作品を上げる人がいて、過去作を聞いてみたら「ゲラウトヒア」だった。

拷問された法「暴力です……」

口では新学期でも身体は夏休みじゃねえか

ARuFaさん、料理の大半の味が無くなるのスポンジボブが何料理しても絶対カーニバーガーになるのと似てる

クイズを始めた時は色々なことを知れて楽しいと思ったけれど、クイズをやればやるほど「クイズに"出題される"情報」を知ろうとしてしまっている感覚があって悲しくなった。もっと知識を得ることに対して貪欲になりたいし、もっと大きな海を見たい。

これはライフハックなんですけど、いちはやく自分がベタ問になるには、外国と通謀して外患誘致罪を起こせば間違いないです

ツイッターの人たちがすぐに山月記だのシュレーディンガーの猫だの57だの言うの、持ってる教養の境目がそこだと考えると納得がいく

したり顔で教養をひけらかすとき、その人はそれ以上の教養がないことを暴露している、って名言を先輩が吐いてました

（笑）の代わりに（株）を使うので次々に株式会社を乱立させていく最強のおじさん

クイズをやっていてなまじ知識があるだけに、ドヤ顔でその知識を披露し、その分野の本職の方にツッコまれあえなく撃沈するという人を私は何千何億と見てきた

昔はクイズ番組とか観てても「ええっ！なんでこれで分かるの！？」って素直に楽しんでたけど今はもう、「まあ、ベタだもんな」みたいな冷めた感想がでてくる。どーしてこーなっちゃったんだ俺は

作品名とその作者を覚えることのどこが学びなんだよ

ときどき、なんで俺が闘牛の用語を覚えにゃならんのだ？と本末転倒なことを自問してしまう

『吾輩は猫である』の登場人物をくまなく覚えてドヤ顔してる人よりも、『吾輩は猫である』を読んで素直に楽しんだり何かを考えたりした人の方が数垓倍意義のあることをした思うんですよね

小説の登場人物の名前を問題集で覚えるときほど虚しい時間がこの世にあるかね

自分はすごい読書が好きなんですけど、クイズ番組なんかでドヤ顔で本の内容を解説してる人とかに時々、霊感で「あ、この人読んでないな」というのがわかったりわからなかったりします

オフラインでやったことないから知らんけど、競技クイズは｢知識の多寡｣よりかは｢早押しの技術｣と｢思い出す(アウトプット)する技術｣の方が重要な感じがするな ワシはアウトプット苦手なのでぬわああああもどかしいみたいに思うことがよくある

今シーズン限りか次シーズンちょっとやったらみんはやレートやめようかな、と考えるようになった。前は何でレートやめちゃう人こんなにいるんだろ、みたいなこと言ってたけど今なら気持ちわかる気がする。理由として ｢勝ち負けに感情を抱かなくなってしまった｣ってところ。勝って嬉しい、負けて悔しいみたいな感情が消えて 勝ち、負け、何も感じなくなった。機械のようにレート戦をやる日々で目標を見いだせなくなってきた。そして自答する｢これを私は楽しめている？｣

競技クイズってあんまりその外に出てないから、絶賛する意見ばかりのような気がする。意見しようとすると、「弱いくせに文句言うな」「東大出身でないのに意見するな」「負け惜しみ」みたいにやり返されるイメージがあるんだけど、そのままで外に拡大させようとすると、いびつな形になるのではって思う

他人の好きなものに対して、「それの何が面白いの？マジで」って喧嘩腰で言ってる人がいたけど、その人の好きなものにも「それの何が面白いの？マジで」って言いたくなる

ただ単に「主語が大きいから嫌い」っていう人、今後の自分の発言を縛って意見を言いづらくなってしまうのでは？

クイズゲーム界隈、芸能とかサブカルに対する無知アッピールする人多いよね。知らないのはそうなんだろうけど、「中上健次？古井由吉？そんなん知らんし、全く聞いたことないわ。有名な人なん？」みたいに言う人はあんまりいないし、芸能やサブカルは知らないでいいようなものと思われている感がある

クイズ好きのいう人の「文学」って、文壇に認められたみたいなすごく狭い意味での文学といった感じがする

三大なんちゃらってどこの誰が決めてどの程度コンセンサスが取れてんの？「競技クイズ」なるものを認めたくない要素うちの一つなんだけど

「みんはや」のレート戦で「ザ・フー」を答える問題が出たけど、「イギリス三大ロックバンド」とか聞いたことないから答えられなかった。実際にザ・フーの曲を聴いたことあるっていうのより、三大なんちゃらみたいな誰が決めたのか分からんことのほうがクイズでは大事なんだろうね

クイズの「特筆性」って週刊誌的な暴力を孕むのではないかって思ってしまう。自分も「ハンナ・アーレント」の問題を作ったときに「ハイデガーとの不倫関係でも知られる〜」みたいな前フリにしたし

強者視点からのみの競技運営は、その競技の破滅を意味する。野球はその典型で、部活動の部員の減少率が他競技と比較して著しいのは有名な話。クイズも、今はクイズノックや東大王を中心にスター選手の出る波が来てるけど、この波が終わったら、野球と同じ命運を辿ることになると思う。

｢人は死ぬのになぜ生きるのか｣をめちゃくちゃスケールダウンさせると｢服を着るのになぜ畳むのか｣になる

クイズプレイヤーてまあこのゲームもそうだがよくノイローゼというか鬱にならんよな凄いわ、勉強してもしても次から次へ知らないこと出てきてまるでゴールのないマラソンというか。毎度全部調べようとした結果、食眠以外ぜんぶ勉強に割いても調べなきゃいけないことが今の段階でもあと600件くらい溜まって、それ調べている間にその何倍かのペースで知らないこと増える。そのうち病んで死ぬ

>> 競技クイズやってたら常に広く情報にアンテナ張ってなきゃならないから、それに疲れたり社会人になったりして引退宣言するのは結構いる。自分も今は賞の受賞者やら、大会の優勝者やらすっかり追わなくなったわ。興味ある分野だけ楽しむスタンスでもクイズはやれる

人身事故に苛立つほど死に溢れかえっているのに、人身事故の写真を撮るほど死が隠蔽されている現代社会

よく世間様で信じられている、「固定観念のない素人のふとした思いつきが、状況を変える」的なの、びっくりするほど、マジでありません。歴史上で、そういう逸話がたまに語られ、美談的に言われますが、たいてい、あとから付け加えられた捏造です。王様なり大臣なり大統領なり指導者なり、権力者が「庶民の言葉に耳を傾けて世の中を良くしましたよ」アピール物件です。実際あったとしても、大抵はその時にすでに何らかの草案はあって、あとから子どもとかお年寄りとか妻とかが言った的な感じにしただけです。

イノベーションって、「コップの水」に例えられるんですよ。その中に少しずつ少しずつ注いでいって、ある日あふれる。膨大な積み重ねの果に生まれるんです。たまたま最後に砂粒一つ投げ入れてあふれることもありますが、そんなの殆どがゼロに等しい話なんです。

年中の長男が「きのうのきのう、おふろにはいったときにね」と今朝お話していて、一昨日のことを「きのうのきのう」と表現しているのに、ああ可愛らしいなあと思うと同時に、これは「一昨日」という語彙を獲得すると消えてしまうのだなと寂しさを感じ、「きのうのきのう」でよく伝えたなと感心したり。

3歳の息子が「時計の針が7のところ来たら、お父さんの負け」っていう、死を待つだけのゲームを提案してきた。

僕の妻はテーブルマナーの先生もしているんだけど、食事中いちばんやってはいけないことは「それマナー違反ですよって指摘すること」だと教えています。

先日のBUMP藤くんの結婚報道で打ちひしがれていた私を鼻で笑った、石原さとみ大好きな夫がまもなく帰宅します。

素人がまったくの独学から、ある分野に馴染んでいくと気付くのは、「素人の思い付きは、大抵先人が総当たりで試した後である｣「素人の思い付きが採用されないのは、技術、コスト（経済性）、もっと別のいい方法がある、メリットを遙かに上回るデメリット、リスクがあるから｣とか。

素人は「自力でそれに気付いた（つもり）」から、「専門家のアドバイスを受けずに気付けた俺スゲー」「素人でも気付くようなことをしない専門家dis」とかなりがちなんだけど、専門家がなぜ素人が真っ先に思いつくことをやらないかに気付けないのが素人なのだ、と分かるには専門知識の素養が必要。

でも、「素人の気付き」を「それは凄い」「素人なのに凄い」と持ち上げちゃうのもまた素人なので、素人が持ち上げられてるときは「門外漢の素人が素人の気付きに便乗してるだけ」と受け止めたほうがいいような気もする。

専門家が血の滲むような積み重ねの果てに獲得した知見を、最後発の素人がちょろっと見て「素人でも気付くようなことに何で今まで気付かなかったの？」とかいうの見て、屍のようになった専門家が祟り神に変貌する気持ち、すっごく分かるようになってきたなら、あなたもきっと何かの専門家。

自分が競技クイズを主流にすることに対して違和感を覚えるのは、同じような構文でなければならない、主観的な表現を入れてはならない、不適切な物事を入れてはならない、などといった一見完璧で善良な型にはまった物事だけが「知識」だとされてしまうのではないかという懸念があるからなのかもしれない

早押しクイズって、問題に対して他の人よりも早くボタンを押して答えるっていうシンプルなルールだけど、実際は「ベタ問」「パラレル」「名数問題」とかの暗黙の了解事項がいくつもあって、そういうのを知っておかないといけないっていうのがちょっとハードルが高いよねって思う

「ナチュラル知識」に対する言葉って、おそらく「クイズ用の知識」なんだろうけど、クイズに勝つと、「頭がいい！」「知識王！」「頭脳王！」みたいに言われるじゃないですか。そういうのを見ると「クイズ用の知識」に入らないものは取るに足らないようなものなんですかって思ってしまう

「競技クイズ」の知名度がないのは、すごさを演出するために意図的にそれを隠してきたっていう面もあるだろうね

おんなじような問題にひたすら速くボタンを押して答えるような「競技クイズ」よりも、ちょっとマニアックなものをホワイトボードに書いて答えるほうが、反射神経という身体能力の差を平等にしてより知的なものにできると思うんだけど、こういった考えはクイズの世界では少数派なんだろうか

クイズ得意な人はやたら芸能・漫画・アニメとか見下してるけど、教養主義的な文化こそが最も重要な文化だと思ってるんですか？　昔は人気だったけど、今ではほとんど顧みられなくなったものは、大したものではないってことですか？

ユーミンに「死んだほうがいい」って言った大学の先生とか、それを擁護する大学の先生とか、学歴煽りして炎上して消えた東大出身の作家とか、IQとかよくわからんものでマウント取ろうとする集団とか、クイズができれば「頭脳王」とかいったりとか、「頭が良い」っていったい何なんだろうなって思う

テレビあんまり見ない人って、世の中の大多数が知ってることを知らなかったりするし、強制的に興味ないものも見せるテレビっていうのは重要なのかもしれない。俗世を離れて研究とか趣味とかに没頭するならともかくとして

「みんはや」の人たちって、ちょくちょく無知アピールするけど、世間一般によく知られていることよりもトロッケンベーレンアウスレーゼとか、チュリュモフ・ゲラシメンコ彗星とか、ヘキサフルオロ白金酸キセノンとか知ってるほうがすごいと思ってそう

自分が好きなものがカッコ悪くても、ダサくても、汚くても、たまに間違っててもいいんじゃないの。自分の好きなものが清く正しく美しく、あらゆる面で完璧でないといけないというのなら、それはもう宗教じみている

僕はメディアとクイズノックの人たちとの共犯関係だと思っているんだけど、クイズノックの信奉者たちはどうしても彼らを批判できないから、メディアのみの責任としてしまう

クイズやってる人って、「アニメ・漫画・芸能とか興味ないし、そんなの知ってどうすんの？」みたいなことよく言ってたりするけど、逆に「クイズとか興味ないし、そんなことやって何になんの？」って言われたらブチ切れるんだなって

クイズノックのやらかしって、ほかのミュージシャンとかが同じことやったら爆発大炎上するかもしれないけど、クイズノックの人たちは安心安全でやってることはみんな正しいんだから文句つけるなみたいなファンがいっぱいいて、正直すごい世界だなって

モギケンのブログ見た。クイズはゲームなんだし、「東大行ってまで」とか「AI云々」とかは余計だけど、そんなゲームだったものをメディアと東大生とクイズ界隈が組んで、「クイズ！東大！知の最強！」とか煽ってるのには僕も違和感があったし、大筋では同じ意見

「みんはや」を有意義なものと捉えている人もいるかもしれないけれど、ただ単にスマホゲームのうちのひとつですよ

ツイッターには文学、音楽、映画、漫画、アニメとか詳しい人がいっぱいいるんだから、そういうことを知りたければ色々な人をフォローすればいいんじゃないのって思う。僕はクイズで知ったことよりもツイッターとかまとめサイトで知ったことのほうが多いし

競技クイズで偏差値が高い高校が強いっていうのは、偏差値が高い高校生が知ってそうなことに合わせて問題を作ってるからじゃないのって思う

競技クイズやってる人は『嵐にしやがれ』の「店主が最近困っていることは何でしょう？」みたいなクイズが嫌いかもしれないけど、特別な知識もいらないし、適度にボケれるしで、僕はそういうクイズも好き

内輪ネタでツイッターやらフリーマッチのコメント欄やらで盛り上がってる人たちが、フリーマッチの民度が低いとかネタクイズが気に入らないっていうの、レートが高い自分たちは別っていう特権意識を持っているようで嫌い

「みんな仲良く平和にやりましょう」っていうときの「みんな」っていうのは、ほとんどの場合、自分たちの仲間のこと、意見が合う人のことを指していて、そこからあぶれる人のことを想像さえしていない。シャミ子みたいな純粋な子はほとんどいないんだよ

「みんはや」でもほかのゲーム・競技でも「意見を言うべきなのは実力がある者だけ。弱い奴は意見するな。黙ってろ」っていうのがいちばん嫌い

徳久氏の論考もクイズのデータベース化・高学歴化・教養主義的な側面・男性的な側面に触れてはいるけれど、結局解決方法はプレイヤーを増やして多様性を確保するという受け身な解決法しか示してないし、僕はそれじゃあ何にも解決しないと思う

『ユリイカ』のクイズ特集を読んでみたけど、伊沢氏はクイズの「暴力性」を超克しようとしていると語っていたけど、「クイズノック」こそ東大を連呼して「高学歴=クイズが強い=頭が良い」という図式を強化しているのではないのかって思うし、自己弁護に終始しているようにしか思えない

クイズが強いって、端的にクイズってゲームが強いってだけじゃなくて、知識量だの頭の良さだの言ってることの正当性だの別の要素もくっついてきたりするし、それが別のゲームと違うところかなって思うし、なんかしゃらくせぇって思ってしまう

自分がクイズ王で、「タクシーの上についているやつの名前なんてどうでもいいんだよ！」って言われながら敵から拳銃で撃たれたら、「私もタクシーの上についているやつの名前なんてどうでもいいと思っているうちの一人だ」って言いながら事切れたい

毎日何回も聴いていた音楽も徐々に聴かなくなってしまったりするし、音楽にも耐用年数があるのかもしれない

関心がない対象の知識も勉強してるという意味でずっと学校の勉強の延長線上にいる人だなってなんとなく思います。

大学の歴史の授業でフランス革命は「北の有産男性市民」のものだったっていう話があったけど、クイズで出る問題も北半球（欧米）のもの、有産階級の教養主義的なもの、男性的なもの、市民の文化として認められているものって感じがする

「みんはや」のランカーが低レートのプレイヤーは民度が低いとか見下していうけど、始めたばっかりの人とか、うまくいかなくてなかなかレートが上がらない人がそういうのを見たらどう思うよ？「みんはや」のレートというのは端的にゲーム内での強さを表すものであって、それで知性だの知識量だの民度だのを表すものではない

勉強するということは、知識を付けるというのも大事だけれど、自分が持っている偏見や差別意識、常識なんかを洗い出して向き合うためのいい機会ではないの？　そうでないのであればエリートたちが見下している人たちのほうがよっぽど真っ当な気がする

都道府県を五十音順で並べたりいろは順に並べたりして、それを記憶しているとかマジでくだらない

自分も問題作るとき、クイズっぽい体裁にするために「第何回のなんちゃら賞を受賞した〜」って文章くっつけたりするけど、第何回のなんちゃら賞を受賞したって情報なんてどうでもいいと思ってる

クイズなんて遊びに過ぎないのに、周りの人間はそこに知性を見出して尊崇する

クイズの人たち、居酒屋で若い女の子にドヤ顔で蘊蓄語ってるおじさんの域を出ないような気がする

何の意味もわかってないのにフレンケル欠陥／ショットキー欠陥を答えてる自分みたいな人間より、『鬼滅の刃』に詳しい人間のほうがずっとマシだと思う

自分は気になった曲があったら買ったり借りたりYouTubeで聴いたりするけれど、それはクイズで答えるためにやってるわけじゃないわけで、クイズのために聴いたこともない曲名覚えるのって、それに何か意味があるんですか……

クイズは森羅万象から出るとか絶対嘘でしょ。結局エリートの考える教養主義的なものが中心でしょうに。早押しクイズを知れば知るほど、「世界三大なんとかって誰が決めたの？」とか「パラレル問題って何？ダジャレをクイズにしてるの？」とか「確定ポイントとか何も確定してないじゃん」とか色々疑念が湧くけど、クイズ界隈はそういうことに関して無自覚・無批判だし、不信感しかない

クイズノックは最初はちょっと見てたけど、東大ビジネスに乗っかってる感があって見なくなってしまった

有名人の本名とか、物の語源とか、化学式とか、年号とかよりもそのあとの情報のほうが重要じゃないの？ 「みんはや」で勝つためにそういった枝葉末節な情報を覚えないといけないっていうのは正直つまらない

早押しクイズ好きな人には申し訳ないけど、そんなんで知識だの知性だのが判断されるの、しょーもなさすぎる

模試のとき「デジタルハリウッド大学」って見つけて、「変な名前の大学www」って半分バカにしたように思ってたけど、秋葉原でバイトしてたときにデジタルハリウッド大学で真面目に勉強してた人がけっこういたんですよね。そのとき自分は何てくだらない人間だったんだろうって思い知ったわけです

クイズを「早押し」にする利点って何んだろうか。全員に回答権があるようにすれば、反射神経を強要されることもないし、高価な早押しボタンを用意することもないし、なんならスカイプとかで参加もできるし、「早押し」にこだわる必要はないと思うんだけど。クイズって男でも女でも老人でも若者でも障害者でも健常者でもある程度みんなで楽しめる可能性を秘めていると思うんだけど、「早押し」クイズにすることでそういった利点をずいぶんと減じているような気がするんだけど

内田樹は『ためらいの倫理学』では右派も左派も批判しながら距離を置いてて、面白いし納得することも多かったんだけど、今では典型的な日本のリベラル知識人みたいになってしまった

日本の教育にいろいろ問題があることはまあそうなんだろうけど、死ぬ気で勉強しないと生き残れない国とか、エリート教育に特化した国とか、めっちゃ人口少ない国とかと比べてもしゃーない気がする

日本を嫌って海外に移住する人とかの話は聞くけれども、自分はたとえ今の日本社会を嫌って海外に移住したとしても、日本で子供の頃に見たテレビ番組やアニメとか、聴いていたJポップとか、小学校に通っていた通学路とか、そういったものはずっと残って消えないと思う

知性というのはただ単にお仕着せの知識を蓄えることではなくて、その知識を使って何を考えるかということ、更に言うと、その前提となる知識や自分の考えた結論を常に疑って再検討していく、そのプロセスにあるんだと思う

どこか島に行きたい……と思ったけど、日本全体島だな

KARAの人が自殺したのを知って、自分なんかよりずっとつらい思いをしている人がいるんだなってちょっと安堵してしまったけど、人の死に対してそんな自己本位なことを考えてしまうこすっからい自分が嫌になってもくる

知識があることは素晴らしいと思うし、尊敬もするけれど、ゴーギャンの絵は見たことないのにそのタイトルを一字一句覚えている人よりも、たとえタイトルなんて知らなくても実際にゴーギャンの絵を見て知っている人のほうに好感を持ちます

別にセクシュアルマイノリティのことを《理解》する必要はなく、その存在を受け入れるだけ良いというのが、私の考えだが、それに関するマジョリティの言動が、仮に無自覚のうちに社会的な差別構造を踏襲していたり、異性愛規範に基づく抑圧的なものであったならば、それはちゃんと《理解》して欲しい。

本格的に恐ろしい国になってきた。安倍で底をうったと思ったら、まだその先にも……。

>>ロシアでよく使われる言い回しに、「どん底まで沈んだと思ったら、下からノックされた」というのがありまして…

ひろゆきが典型だけど、彼、AとBが同じに見える視点を探すのがめちゃくちゃ上手いし速いんですよ。で、そこから「AがダメならBだって同じじゃん」って「おいら」が口にする。でも、本当の問題は「その視点から語ることが今の場合、妥当なのか？」なわけです。

嫌なので探りを入れるポッター「正味スリザリンになっちゃう人って体感でどれくらいいる感じですか？」

カービィはたまに食べ物系のブランドとコラボしているがあいつ吸ってるだけだし食べるという行為をなにも理解してないと思う。

よくあるツッコミ「よりによって一番頼りにならない大人が来たーー！」

ショーが盛り上がったときの手拍子とか「アンコール！」コールとか、本来の演目にはない観客側からの働きかけって、それまでシーン…としてたのに突如デカい音を出した「最初の一人」が観客席のどこかにいるはずで、その人のことを考えると「く、狂ってる…」と思ってしまう。

演目や曲がまだ終わっていないのにうっかり終わったものと勘違いして拍手をすることを『飛び出し拍手』、演目や曲が終わっていないのに「ブラボー」の掛け声を上げることを『フライングブラボー』と呼ぶらしいので、狂い方にもルールがあるんだな…と思いました

クリア後のストーリーは保存されず、再開するとラスボス前からになるタイプのゲームって、エンディングに永遠の別れがあるようなストーリーのときは他に類例のない切なさを感じられて好きだな。

同人マナーは盗賊ギルドの掟と同じなので雰囲気でなんとなく運用するときが一番安定するし深堀りすると矛盾に対面して崩壊する。

「お母さん、ちょっとその醤油とって」

「いいけど、ちゃんと勉強と両立できるの？」

「どんなスパンで醤油を見てるの」

通販番組で切れ味を誇示するために本来食べ物ではないもの（レンガ、靴など）を切っている異様な光景が好き。

横断歩道の反対側の人が「あいつが律儀に待ってるから信号無視できないな」みたいな顔でこっち見てる時がある。

オタク文化圏が何を性的に見ているかって本当に複雑で、たとえば感嘆として「エッチすぎる…」という言葉を使っていても、現にそれを性的なものとしてのみ認識しているとは限らず、むしろそれから外れた感動をあえて性表現を借りて示す修辞だったりするし、こういう複雑さを説明する人もほぼいない。

特定の人の振る舞いに関して嫌だなと思うことが積み重なり、総合的にこれはもう無理だろうと判断して決別したあと、決別されたほうは最後のきっかけ「だけ」が原因だと一生思い込んだまま死んでいくことがある。

デンタルなんもしない人（虫歯放置）って既出だろうなと思って検索したら既出も既出だし自分の知ってる人ばっかり言ってる。こういうことあると日本に1億人いるの嘘に思えてくる。ちょっと条件付きで絞ると50人未満になる印象がある。

俺を含むオタクはだいたい日常の物事を1億倍ぐらいに強めて言う節があるが、本当にエロいもの、よいものを見たときに「えっちだ…w」「尊い」ぐらいしか出てこない。脳のバグ説、ある

気が滅入ってきたら貯金が年利9000パーセント複利で運用されるシミュレーションを眺めることにしている。

「世間に迎合しない」という態度には、世間に報われないという結果を先取りノーダメージ化する戦略性が無意識にはたらいていることがあるから、生き方としては迎合とは別の方向の不誠実さがある気もする。

友達家に呼んでおもしろフラッシュ見てたら不意にナミ（ワンピース）のエロ画像が表示されてなぜか走ってみんな逃げたの面白かったな。小学生は走って逃げる。

「汚い猫を見つけたので虐待することにしたぜ」みたいな文章から始まって、ひどいことしてるかのような調子で実際は風呂に入れてやって可愛がったみたいな2chコピペがあるんだけど、あれ読んだときも「どんだけ好かれたいんだこいつ……」と思ってしまったんだよな。

「おれはほんとはこんな軽薄な言葉大嫌いだからできれば使いたくないのだが、ほかにふさわしい言い方もないのであえて使いますが」という気持ちがにじみ出た「いわゆる」を前置きに使う人には好感が持てる。

フレミングに一定のダメージを与えると「この私に右手を使わせるとはな」と言って「左手の法則」の対となる「右手の混沌」を攻撃に織り交ぜてくる。

思春期の人間が下ネタに接したときに多い「おいwww」「これはアウツwwww」的な、ウケつつも「これはやばいものだ」と特別化して価値を高めようとするしぐさが思春期の頃から嫌だったな

全身に電子マネーの読み取り機を仕込んで渋谷あたりの人混みを抜けたらどんどんお金吸い取れるのでは。

カタログギフト何もらうか考えてるうちに期限過ぎてた。民話のバカなほうの老人みたいな結末。

オタクがチャラ男を執拗にネタ化していく様子、まるで暗闇や疫病のような畏怖の対象に「妖怪」というキャラクター性を与えて恐怖を克服する民間伝承の経過みたいだ。

自分にとって不都合な対応をされたときに、言葉を乱暴に脚色するのイヤ～ってなる。「お引き取りください」って本当は言われてるのに「帰れ！」って言われた！ って言うみたいなの。わりとカジュアルな修飾になってるけど、普通にダメではないかと思う。

他人に何の迷惑もかけないことでも画一的な決まりのようなものが多いのは何故なの？　例えば（単なる例ですよ）着る服の色（や形）なんてもっと全然てんでんばらばらでもよかったのに。そういう意味で人のやることやいうことがもっと全然てんでんばらばらだったら世の中もっと面白いかっただろうなあ。

これは私もよく思うけど、実のところ、例えば人が好き勝手な服を着て歩いているのは、多くの人にとって（なぜか）端的に迷惑なのかなと思う。しかし、そうなのかと聞かれてYESと答える人もいない。そう答えるのも他の人にとって迷惑な心の狭さだから、迷惑ではないふりをしている。

人気ジャンルの原典をちゃんと知ったあとだと、ネットで見る二次創作コンテンツがちゃんと「わかる」ようになっていて、「毎日横を通っていたが模様としてしか認識してなかった壁の古代文字が読めるようになった瞬間」みたいで感動する。

弁護士に依頼したのにぜんぜん死刑に決まってしまったときって弁護士はなんか言ってくれるんだろうか。「すみません、がんばったんですけどやっぱぜんぜん死刑でした」と言うのか。

シリアスな問題をジョークの種にされることについて「それは他人ごとだから笑えるんだろう（自分ごとだったら悲しみ憤りを覚えるはずだ）」と怒りが表明されているのをよく見る。でも私は、たとえ自分ごとだとしても（時には自分ごとだからこそ）笑えてしまうことがあるとも感じていて、

まあ、常識的な判断として不謹慎なジョークは控えるべきだと頷きつつも、その批判の過程で個人の感受性の一元化みたいなことがおこなわれてたらそちらには抗っていきたい。

除夜の鐘を通報するのめちゃくちゃ楽しいだろうな…もしもし、夜分すみません。あの、近所に寺？という宗教の施設？みたいなものがあって、いま不審な人たち…たぶん信者だと思うんですけど…がたくさん集まって騒いでいて…大きい「ゴーン」みたいな金属音をですね、立て続けに鳴らしていて…とても怖いので……様子を見に行って頂けないでしょうか…

切り分けるのが大変なケーキとか果物を差し入れする気の利かなさの話題を今日よく目にするけど、私は本当にマジで気が利かないので人に差し入れをするという発想が無い。ポリシーとして差し入れをしないとかではなく、人から差し入れを頂いたときは毎回「そういえば、ある…この世には差し入れという文化が…」と思って次からやるぞと思うのだが、毎回忘れる。

相手が遅刻した時に相手を責めすぎると、自分が遅刻した時に心がきつくなる。社会ってたぶん、そういう類の「緩さ」があるし、だからこそうまく回っているという気もする。

最近なんか億万長者の人の日常面白ツイートがバズっているのを見かける。何億円も持っててもツイッターで得られる承認は金で買えないということなので、もっとツイッターをやろうと思った。

怖いこんまり「捨てるものと残すものの基準は簡単です。『赤ければ』残す。『赤くなければ』捨てる」

「えっ今日水曜日？ 金曜日の感じで過ごしてた」という気持ちをこう、みんなで掲げて集めて1つにしたら、本当の金曜日にできないだろうか。

喫茶店でとなりの女子高校生のグループが好きなタイプの話をしていて、ひとりが「わたしはメガネの人が好き！ …あっ違う！ カッコいい人がメガネしてるのが好き！！」と言い直していた。そういう正確な論理のとらえ方が不幸を減らすんだよな。

Twitterをやってきて一番衝撃だったというか、初めて知ったことは、繊細な人がこんなにもたくさんいたのかということ。（傍から見れば）ささいなことで傷つき怒りながらも普段それを表には出さず日々を過ごす普通の人たちがこんなにたくさんいたんだ！ という。

「腕を顎の下に掲げて『アイーン』と言う」という前衛的な行動が、「お笑い」を名乗ることでなにか意味あるものとして理解されふつうの人たちに受け入れられるの、異常としか言いようがない。

「笑える」とか「怖い」という尺度、既存の枠組みに収まらない変なものをふつうの人たちに届けるための受け皿として作用しているところが「泣ける」とか「ためになる」などより特別な感じがする。

たまに電車が止まって運転士が「緊急信号を受信したため停車します」とアナウンスすることがあるけど、運転士の脳が直接「受信」している信号だとしても誰も気づけないし怖いな。

「ドラッグをやるとこんなに人生がめちゃくちゃになります」という啓発は、そもそもこの社会では最初から人生めちゃくちゃ気味なやつしか薬に手を出さない点でドラッグ自体の効用が測りにくいという問題がある。

感情的に怒っている人はちゃんと相手にしないほうが（双方のために）よいとは思うけど、誰かが感情的に怒るようなことが起こっていることそのものについては腰を据えて相手にしたほうが（双方のために）よい。

インターネットなら本音の意見が書ける、というのはそうなのだろうけど、体面を気にして建前を取り繕う必要性は発言内容の精査を促してもいたはずで、それが取り払われた状態で放り投げる本音は「脊髄反射」とかそういうものに近くなっている。

「本音はふつう感情論だから脊髄反射なのは当たり前では」という指摘があったけど、感情をベースにした本音でも質の違いはあるので、反射的であればあるほど粗雑になるはずです。隠れて行う犯罪にも突発的に置物で殴ったり計画的に毒殺したりという質の違いがある。

フォローが500、フォロワーが10の人の「許せないと思えないんですか！」ツイートを見て、夜中にここで叫んでも誰もこの声を認識しないんだよな、みたいな寂寞感がやってきた

私はモノをしょっちゅう買うが「こんなのあってもなくても同じだ」と常に思っているのでその点で断捨離している人と変わらないし、断捨離に熱中している人に比べると「捨てなければ」という観念を持っているわけでもないからむしろ「持ってなさ」において優越していると言える。

羅生門のチュートリアル「ちょうどそこに死体があるのう。今回は特別に無料で髪を抜くことができるぞ。死体をタップしてみるんじゃ」

こんだけ情報の波に洗われて生きてたらデマ画像に騙されるのはしょうがないし自分もたまにやらかすので、やらかしたあとのカバー方法周知のほうが重要な気がする。そっとRTを取り消せばそれでいいし「ごめんさっきのデマだったっぽい…」と添えれば満点だよ。

議論で相手が比喩を使ったたとえ話をしてきたときは、その比喩そのものを拒否することができる。国防の話をしてるときに「クラスのいじめっ子」などの例えを出されたら「それとこれは同じように比べられない」と言うこともできる。

あの体格で法律を一個も知らないと思うとオランウータンが怖すぎる

人生はむなしいが人生のむなしさには人生を充実させてしまうほど莫大なエネルギーがあるので、うっかりむなしさのパワーによって充実した一生を送らないためにも厳格なニヒリストはニヒリズムに陥らないよう通俗的な充実感も味わっておくべきである。

「他人へ攻撃するヤツは本人のコンプレックスの裏返し」というような精神分析は便宜的に自分の心を守ってくれるけど「じゃあもし実際はそうじゃなかったら土下座するしかないのか」とかなってしまいかねないし、そのような形で「人の心がわかる」という実感を持つのは長い目では危険に感じる。

超久々に大学に行ったら、大学生の集団って本当に嫌だなという初心を思い返し、心に鋭角を作れたのでよかった。

ダンス映像は、最後のキメポーズのあと体勢を維持する「静止」で肩がわずかに上下しているような部分に一番の「動」を感じてしまう……

推理もので些細な挙動から不自然さを見抜いたり、何気ない言葉の端々から矛盾を読み取って「このときこんなことするのはおかしいですよね？」と指摘する探偵を見ると「私はそういうのほんとなんの理由もなくただバグってやらかすからやめて」と思ってしまう。

暦が休休勤休になってるとき有給をとって4連休にするの賢く見えるけど実際はなぜか4連休の3日目って例外なくゴミみたいな1日になってしまいませんか？？逆に連休の中にある勤務日って、意外に心豊かな1日になることもあります。電車が空いていたり、いつもより職場に人が少なくて、普段あまり接点がない人と何となく連帯感を感じたり。まぁその場限りのことではありますが、それはそれで味わいがあります。

Twitterにおける妻からの夫への愚痴は、それを「…という事例に象徴される数々のフラストレーション」に読み取った人と、その事例に限った話として読み取った人とで別々の法廷を開いているので噛み合ってないことが多い気がする。

サッカー日本戦のときとかに店ぐるみで応援してる居酒屋にあつまって大騒ぎしながらテレビ見て飲むやつあるけど、あれをどうでもいい番組でやりたい。大人数でネプリーグ見ながら「行け名倉！！行け！！！」とか叫びたい。

私も税金は大切だし増税だって場合によっては必要だと思うけど、ただの制度のくせに「感謝」とか言われると「え、なに勘違いしてるの？ 最初からお金だけの関係だって確認してたじゃん、気持ちまで買おうとしないでよ、キモい」ってガチ恋されたキャバ嬢の心になってしまうんだよな。

辛そうで辛くない少しでも食べると死ぬラー油（少しでも食べると死ぬ）

カップルが裸で撮ったスナップ写真（雑誌に載っていた作品）を転載して「不愉快になった」と言った人が本人から抗議され、それが「裸を載せてもらってキレるって人としてどうなんだ」と混ぜっ返され大半に支持されている様子、「気に食わない」という感情は全てに優先されることを物語っている。

「正論」を無化するアナーキーな立ち振舞い、個人的には憧れる部分もある（あった）んだけど、そういう態度がいまはあまりにも楽勝で権力化するしそのことについて本人が省みることもほとんどないから逆にもうダサいなと感じてしまいます。

政治的なツイートに300くらいリプライが来て、自分に賛同するリプライだけ丁寧に残す人が現れて「非表示にされたリプライリスト」を開いたら非難轟々の嵐がそこに押し込められてて……という様子をスクショして「ゾッとした」という言葉を添えてウケをとる人も現れるんでしょうね。

「オチが予想できた」って言う人、本当に予想できているのかという疑問がある。「なんかこれ双子がトリックに関係してるな…」くらいの気付きでも「オチが予想できた」って言っている人がいっぱいいる気がしてならない。

私は日本人が中指立てたりファックと言ったりしてるのを見ると「ふふ…」と少し笑ってしまうんだけど、これはなぜだろう。もともと自然に覚える動作ではないから「敵意や侮辱の表現において、学んだ『作法』を守ってるな〜」という滑稽さを感じるからだろうか。

しかしそれを言うならばアメリカ人だって作法を守っているわけだし、直に目撃したことはないがアメリカ人が中指を立てているのを実際見ても私は滑稽さを覚えるかもしれない。怒りを記号に変換するひと手間とフレッシュな怒りが同居してることに可笑しみを感じてるのかも。

【悲報】バスで紙幣を小銭に両替してバス賃を探り出してるときの焦燥感がヤバすぎる……

ロボットの最期、個人的には「楽シカッ…タ…」みたいな遺言を残すよりは「システム復元中……メインメモリ破損…¥&%不能……スリープモー@&%に移行……」みたいな「最後まで死を自覚せず、その時のベストを尽くしながら壊れる」パターンのほうがグッとくる。

日系アメリカ人スポーツ選手の紹介動画見たら「彼女はアメリカ国籍かもしれないけど心も流れる血も日本人だしいいのではないか」みたいなコメントが目に入ってきてしまって貴様……この……ってなってしまった。

一時期はずっと愉快な感情だけ書き続けてたほうがいいだろと思ってたんだけど、たまに「貴様この」を書き留めておかないと、そういう気持ちがある人の存在がないことになってしまう気がしてきた。

人にファンレターというか「面白かったです！」みたいなメッセージを送るとき、考えられる全ての「素晴らしくない」可能性を虱潰しに潰したうえで「よって素晴らしいと思います」みたいな結論を導くイヤすぎる感想の書き方しかできなくなってしまった！

ひどい表現をして「誤解を招いてすみません」と謝罪すると「読み手に悪意の責任を押し付けるな」と言われるけど、書き手の方に実際「悪意」がなかった、ということも多いので、「表現を普通に読んだら悪意しか読み取れない」ことを認めるのが適切な謝罪の流れなんだろうか。

文章に関して「誤解を招いた」とかそういう表現をすることの背景には「書き手の"意思"を文章に憑依させる」みたいなイメージがある気がするので、まずそれをやめて、言葉の意図は言葉の中にしかないという方向で考える。

「いいかい学生さん、とんかつをいつでも食えるようになりなよ」と言いながら夜中の3時に現れ、寝ている口にカツを押し込んでくる人

電車なんかに乗ってると「押されたなあ」「踏まれたなあ」と思うことはよくあるけど「押したなあ」「踏んだなあ」と思うことはあまりない。これは私が特によく押され踏まれ、押さず踏まずな人だからか？ それとも押したり踏んだりしたときに気づいていないだけか。後者のような気がする。

人は誰でも、自分がされたことに気づきやすく、したことには気づきにくいらしい。となると「受動」「能動」という言葉は少し面白く感じる。受動的行為は意識的になされて、能動的行為は無意識的になされるということだから。

日本語では能動の「殴る」がまずあって、それの発展として受動の「殴られる」がある。英語でも「Beat」があって「Be beaten」に発展する。どうして常に能動が基本で受動が発展なんだろう？ 素朴に考えたら、概念として捉えられるのは「〜された」という受動のほうが先のような気がする。

たとえばネコが爪とぎをしているときに「いま、ひっかいている」とは思ってなさそうだけど、他のネコと喧嘩して「いま、ひっかかれた！」と思うことはありそう。「ひっかく」ためには、「ひっかいている自分自身」を対象化しなければならず、高度な思考能力が求められるから。

「炎上覚悟です」と言って24時間テレビの悪口書くのは、弾のこもってないピストルでロシアンルーレットをして勇気を確かめるようなもの。

腐女子はすけべな絵にたどり着かせるまでにパスワードやクイズを経させているのに男はすけべな絵をドンドンTwitterに流すので「結局男社会なのよね」と思っている。

変な作品を見るとみんなすぐ深層ウェブみたいって言うけど面白い作品作る人はみんなに見てほしいから表層ウェブに置くし実際の深層ウェブは麻薬と児童ポルノのことばかりでぜんぜんつまらない。

「流しててたら後ろで新聞読んでたオトンが『これ、いい曲だな』って言ってたｗ」という形でアニソンの良さを主張するオタクの謎の習性

親切って基本的に自分が損するから、わざわざ人に「やれ」って言う理由がないんだよな。

きのうネトフリでピングー見てたんだけど、伝えたいことに対して持っている言葉が少なすぎる地団駄を踏みたくなる子ども特有のもどかしさがずっと全体に満ちてて泣いてしまった。

「僕は『先生、トイレ』という2つの単語しか発していないのに『先生はトイレじゃない』という反論を返すのは勇み足では？ それが通用するならばその2単語から『先生、僕はトイレに行きたい』という意図を読み取ることもまた許されるべきです」

「私が『先生はトイレじゃない』と返した目的は、コミュニケーションの不成立を成立させることによって、君の言葉足らずを君自身に自覚させることにある。それゆえ君がそのような反論をしてきたことによって、私の『教育』は成功しているのだ」

人類が滅んだあと、機械学習で自動生成したサザエさんのエピソードがテレビから無限に漏れ出ている世界

小学生の私「中学生になったらお姉さんっぽくなるのかな」

中学生の私「高校生になったら今度こそお姉さんっぽくなるかな」

高校生の私「大学生になったらきっと大人になるんだろうな」

大学生の私「社会人になったら大人らしくなるんだろうな」

社会人の私「５歳です」

人間は焼肉で癒えないほどの痛みを抱えるべきではない

たべっ子どうぶつに奇怪な形のビスケットが入っていて、裏返すとYOUと書いてある

深夜3時の「まだいける」感と明け方4時の「もう4時じゃん」の間に1時間しかないの、完全にバグなんだよな。

すぐ「それが何の役に立つの」みたいなことを言う人苦手なんだよな。人類の存在は地球の役に立たないので……。

名前弄りしてくるやつ全員の耳に入った水が一生抜けませんように

施設にいた私をおじいちゃんが引き取ってくれた、ある朝自分で焼いた食パンが焦げちゃって呆然としてたらおじいちゃんがバターナイフで焦げたとこガリガリ削って一瞬で“焦げてない食パン”になり感動した私は子供心に「生きるってこういう感じなんだ」と思った、いま考えると大袈裟だけどね

藤原がリア充化して曲がキラキラしとるんやろな

メンバー不倫でまたドス暗い曲になれ

>>メンバーの不倫が報道された時ファンが「藤原鬱になれ」って言ってたの草生えたわ

>>ベース不倫でイメージ悪いからイコライザで低音小さくして聞いてるわ

>>トレンディエンジェル・斎藤司　フジテレビ番組ロケで背骨圧迫骨折の重傷、全治2～3カ月

三寸切り込めば人は死ぬし、三尺から落ちても人は死に得る

フォロワー全員とやってるので永遠に終わらない指スマ｢いっせーのーで！28764！｣

なんでプーさんだけ「さん」付けなの？留年でもしたの？

ブラタモリなんか見てると思うけど地学の知識があると、なんてことのない坂を歩いていても、砂丘だったり、河岸段丘の跡だったり見抜いて、地域の成り立ちまで想いを馳せることができるけど、知識ってそういうもんだよな。増えるほど世界に色がつく。色がなかった頃の時代に戻れなくなる。

Japanetの株が大暴落した次の日、通販CMで「当社の株」が紹介され、値段は「時価」で、ほら、安いでしょう?と煽ってくる回

読書をすると「現実とは醒めることを禁止された夢である」「『エージェント夜を往く』の冒頭で鳴っている鐘の音はチャイムで水音はシャワー。"エージェント"の家に男がやって来たシーンを表している」といった有用な知識が身につく。

「冗談がわからない」ということと「冗談を嫌悪している」ということは別で、なんでもかんでも冗談化して茶化したり、冗談を自分を利するためだけに使ったりする態度もまた「冗談がわからない」の一例だと思う。

パソコンのオタクが研究・開発した画像認識技術がギャルの顔を補正したりクマ耳をつけたりしているの感動的ですよね。

まんがに出てくる「感情がない人間型ロボット」って、なんであんな感情があるかのように振る舞うのが下手に設計されてるんだろう。ニコニコして楽しそうな仕草をするプログラム組めばいいじゃんって思ってしまう。

「配慮」なんて多様性ありきのものなので、画一化された社会で配慮を求めるのは実際、とても難しい気がする

電車乗ってると「この乗客のうちの何割かは今まさにお腹痛かったり家庭がめちゃくちゃだったり失職したばかりだったりするはずなのに何くわぬ顔で我慢できてて偉いな…」と思ってしまう。

「強さ、力こそが全て」と弱者の道徳的非難や価値転倒を退けようとする思想はいまでも説得力を持っているけど、まさにその弱者が作った道徳こそ類を見ないほど実効性のある「強さ」「力」であった、という事実は評価されないことが多い。

となると彼らが従っているのは「強さこそが正義である」というようなシンプルな価値観ではなく、「道徳に拘らない強さを実現する強さこそが善い」とするような別の道徳なのかもしれない。

Togetter見てたらアイコンが夕日の風景の人同士が激しく言い争いをしていたので「風景が喧嘩するな！」と思った。

金属ストローが目に刺さって死亡という英語ニュースに「環境活動家が」という無い情報を足して小話化したものが大規模に拡散されてもほとんどそれを指摘する人がおらず、ツイートに出展となるニュース記事が貼られてるのに誰もそれを読んでないの怖すぎる。

Kindleとかも一瞬で買えすぎて、買った感じがしなくて怖いんだよな。押したらガゴン！ズゴゴゴゴみたいな音鳴ってほしい。

「添い寝」って同時に寝ちゃってるからセキュリティ的にはあまり安全じゃない（片方がバッチリ立って起きてたほうが安全）のに、同じように寝てくれる人がいるだけで安心してしまうの、人が抱える根源的な弱さという感じがしますね。

「無申請で楽曲を使用している村がある」という情報をもとに限界集落へ派遣されたJASRAC職員がわらべ唄になぞらえた連続見立て殺人に巻き込まれるが、手がかりから犯人を推理して殺人における楽曲使用料金を請求する話。

個人制作のコメディ映像作品がスタッフロールで「いっぱいある役職の名前が全部同じ」というユーモアをやる確率……53％

キャラクターを造形するとき、安易な偏見や差別意識をそこに表出させてしまうことに対して注意を払う必要があるのはもちろんとして、ひとたび作り出されたキャラクターに関しては、そこに人格や魂に類するものが宿っていると考えているから、既存のキャラクターに対して「ここをこうしろ」と後から言うのは、人に整形を強要するような嫌さを感じる。

ヴィーガンに反発する人たちが雑な理屈を振り回すのが耐えられない……理屈が大好きだから……私は動物好きかつ肉好きですが、なんでそれで平気かというと、自分の快楽のために動物が殺されることをなんとも思わないが、それとは別に動物を愛すこともできる程度の適当な倫理観であるという理由に尽きていて、それはより道徳的な視点から批判される余地が常にあると思ってますよ。

歯医者の治療がかなり痛くて、終わったあと保健所から引き取られてきた成猫みたいになってしまった。死ぬまで拷問を受けて口を割らないのって可能なのかな。絶対無理だと思う。痛さの説得力ってすごいから…。私はもう本当に申し訳ないけど……拷問されたら友人でも親でも売ってしまうと思う……本当にゴメン……

自動ストップ機能がついてる車のCM、その機能がない車に乗ってたら人殺しになってる運転手がニコニコしながら「安心♪」みたいな顔をしているので凄味がある。

テレビCMの批評サイトみたいなのを見ていたら「丸亀製麺のCMは一気に麺を頬張りすぎ」などと書いてあってさすがに言いがかりだろと思って確かめたら本当に一気に食い過ぎだったので笑っちゃった。

「クイズ！匣の中身は何でしょう〜！！」

「表記がもう不穏」

感じの悪い悟空「おめぇ、わかんねぇ奴だなぁ。オラが両手上げたら『元気』だろ」

「大阪の家って全員たこ焼き器置いてるんでしょ？」

「全員ではないよ？ うちにはあったけど」

「このゲームって課金しないと楽しめないんでしょ？」

「無課金でも楽しめるよ？ 自分は少ししてるけど」

道徳教育って基本的に「社会的になすべきこと」と「自分にとっての幸福」を一致させるように仕向けるから（人に親切にするのは「気持ちいい」）、自分にとっては望ましくないが社会的には善であるようなことを理解できず、不快感を悪の証明とする人が必ず生まれるという副作用がある。

ことなる業種の学者が対談かなんかしたとき「その○○という概念は私の学問でいう□□に通ずるところがありますよね」「たしかに」というやりとりをすることがあるが、通ずるところがあるからなんなんだよと思ってしまう。基底の部分の構造が同じで、枝分かれして2つの分野で語られているならわかるんだけど、表層的な形式が似てるだけでいいかげんに同意してるように見えることも結構ある。

イラスト入門の本に出てくる「男」の体型、「男」というよりは「ボディビルダー」だよな。

好きなアイドルや声優が結婚して心が荒れる、などの機微と同じことはオタクじゃない人の中でも生まれているごくありふれた理不尽な感情でしかないと思うんだけど、結論にオタクのキモさを持ってきたいという欲からそういう感覚を「わからないフリ」をする、みたいな作法を感じている。

実際そういう感情をおおっぴらに出してはばからないのは下品で、出しがちなのはオタクの悪い傾向ではあるから、そんな機微がわからないかのように振る舞う、というのは洗練されたある種の上品さだという解釈もあるだろうな。

青春の悩みの結論あるある「…怖かったんだと思う」

コーラフロートの、アイスとコーラの間の部分が本当に好きで。コーラも好きだしアイスも好きなのに、その境界線にもっと良い何かが生じているんだよ。

量子的には陣内智則は笑いのニューウェーブであると同時に笑いの粒子でもある二重性を持つらしい。

「話せばわかりあえる」の欺瞞性が暴かれたその反動で「話してもわかりあえないから互いにそっとしておこう」的な姿勢が支持されだしてる気がするけど、確実に言えそうなのは「わかりあえるかあえないかは話さないとわからない」くらいで、以降はケースバイケースだと思うけどな。

小学生が「社会何もわかんね〜」って言いながら自転車で走り抜けていってオッ私も私もと静かに同意していたがあれはたぶん科目だ

Twitter裁判、たいてい被告のいない欠席裁判なのだが「じゃあとりあえず被告人に一番似ているこいつに有罪判決を出そう」みたいになっていく。

新作ゲームの発売日、来年の4月！！ とか発表されたとき子供の頃は「永遠の未来…」と絶望していたのに、いつしか「もうすぐだな」と自然に思うようになった。

嫌がらせでピザ100人前送りつけるみたいな話たまに聞くけど、その場合トッピングはマジの自分が食べたいやつにするのかどうか。

フレーメン反応という言葉を知ってしまうと、フレーメン反応に「それはフレーメン反応ですね！」と言ってしまいがち。言いたくなる魔力がある。

法律に詳しい人に聞きたいのですが「日本の法律に関連するすべての記録を破壊・破棄する」という犯罪を犯した場合、そいつをどうやって裁くんですか？

ポケモン、この世に1匹しかいない超希少な個体だろうが最初にボールに押し込めた子どもに所有権が移って「ガンガン戦わせまくるぜ！！！」ってなるのが是の世界なので、ポケモン学者は胃に穴が空いてそう。

非モテの疎外感ってそう一括りにできるもんでもなく、単に「モテない、モテたい」思っている弱者のほかに「モテたりモテなかったりする価値体系の何が良くて悪いのかがわからない」という範疇外の人々もいて、彼らからすれば非モテサイドの人は仲間ではないし、遠い。

全員がインターネットを使う状況になってなお「どうせここはインターネットなんだから」という路地裏感覚だけが残り続けるのってなかなか不気味ですね。

「睡眠時間が短いと寿命も短くなると言ったって、寝てる間なんか死んでるようなもんなんだから、生存時間ではなく活動時間を基準にして考えるべきだ。早死にを前提として、睡眠時間を削り若いうちに長く起きておくべきだ」と真面目に言う人がほぼいないのはなぜだろう。

悪口に誠実に対応する姿を自分が公衆へ見せることで、悪口を言った相手がいかに非難されるかまで考えを及ばせてやっているならなかなか狡猾だし、そうでないなら考えが足りないんじゃないかと思うことがある。

私自身、それに近いムーブをやっているように見えることがあるかもしれないが、私は「自分の中の倫理に従いたい」という欲求に従って「誠実」というゲームをプレイしているだけなので、その結果として相手が私の「信者」に叩かれようがあまり関心が湧かない。

考えがネガティブになって、憂鬱な気分になってしまう人は、とりあえずグッスリ寝て、風呂に入って、ごはんをたっぷり食べてから横になったほうがいい。そのときに湧き上がってくるものが夾雑物ゼロの本物の絶望だ。よく味わえ。

「書きたいことがあって小説を書こうとしたが、言いたいことに叙情や物語が必要ないことがわかってきたので結果的に論文にした」という人はいるんだろうか。

散歩中の犬が「おまえもこのたのしさをかんじているか」みたいな顔で飼い主を見るの好き

スイカバーで円を作るにはスイカバーが18本いる！ ということを検証したセイキンが「1日1本食べても18日もちます」と虚無のコメントを残していたの良かった。

にぅまさんが機械に腕をはさんだらしく、大事には至らなかったとのことだが、何本になったか訊いても「増えはしなかった」と濁すばかり。

「たとえ話をされるとたとえに使われた言葉の印象に引っ張られてしまう」人と「抽象的な話をされるとぜんぜんイメージがわかない」人は往々にして同一人物なので、まず具体例から入ったら「つまり」という前置きを強めにしてから抽象的な構造の提示に移るのをワンセットにするのがよさそう。

カメラで撮られると魂を抜かれるというのは本当で、そうやって自己複製された物が消費されていくことによって魂は客体として確実にすり減っていくのだ。という説

会社の給湯室に行ったらソースと麺のにおいがして、三角コーナーに細かい麺とかやくのかけらが残っていて、誰かがペヤングを作った気配が満ちていて「なんかこの感じ、『エロ』だな…」と思った。

「むにゃむにゃ…うーん、もう食べられないんですか…では伝票をお持ちします…」

「ウエイター視点は珍しいな」

ブロックされてブロックされたっていうからブロックされるんだぞ

クマが射殺されたニュースに文句をつけてる人に「クマを保護してるのですが預かってくれませんか」とリプライを送る様子が「一撃必殺」として痛快に扱われてたけど、これは単に論点がずれているだけで、動物愛護派も「クマが危険」と承知しているのは明白なんだから意味のないやり取りだと思う。

歯ぐきに注射をされるときに「歯を眠らせます……」と言われて「詩」と思った。

歯の治療をした。以前歯を抜いたあとなにも仮歯を入れないまま放置していた空間にテナントビルが入ることになった。1階が東京チカラめし、2階にアジアンエステサロン、3階に水タバコの店が入るらしい……

飼い猫は自分を人間だと思っている、というような話全般、そもそもヒト以外の生き物が自分自身について「何かである」と思うことなどあるのか？ と思ってしまう。

会話の流れで「土に触らずダイヤを掘ることはできない…」って言ったら「は？」って怪訝な顔をされたんだけど、日本人はそういうところがダメなんだよな。

歴史マニアの主人公が異世界転生して「その世界の歴史を見届けたい」という要望通りに不老不死と強大な力を授けられるんだけどその力ゆえにさまざまな争いに利用されて政治に介入することになってしまい「歴史の傍観者でいさせてくれ～ 泣」ってなる、という話思いついたけどありそう。

顔が美しい人の美しさがその人の意志に由来したものではないように、努力で何かを成し遂げた人の努力できる力もその人の意志に由来したものではないので、私には美人を褒めるのも努力の成果を褒めるのも同じようなことに感じる。

完全に等価の記憶が得られるとしても、記憶サプリで体験を補填した奴が話を合わせてきたらめちゃくちゃ嫌がられるだろうな。

昨日、飲み屋で「もともとあった素質を利用して人生序盤の難所をスキップしてきた人は環境に対して基礎パラメータが低いから常にうっすらとした不安を感じながら生きていくしかないんですよね」って言ったら葬式みたいな雰囲気になっちゃった。

昭和から平成を経験したことない子は知らないかもだけど、元号が変わる瞬間ってめちゃくちゃ痛いよ

「批判を覚悟で」を前置きになんか言うのって大抵は「だいたいどんな御託が飛んでくるかは想像ついてるけど言われ飽きたから無視しますね」という宣言であって「覚悟」とはむしろ反対にある。

BOOK OFFに行くとあとになってGoogleから「BOOK OFF 駅前店はいかがでしたか？」って通知が来てレビューをさせようとするんだけど、BOOK OFFに感想などない荒野だってAIにはまだわかんないのかな？

「インターネットでは人生が詰んだときに工学的アプローチで解決しようとすることが多いけど、文学的なアプローチがあまりない」という意見を見かけて、折に触れ意識に上ってくる。発言者の真意は定かではないけれど、前者はよく見かける「思い悩むのはとりあえず肉体の疲れからだ！よく寝て日光を浴びろ」とするようなアプローチのことかなと思っていて、では後者は何だろう、文学に何ができるのか、ということを考えている。工学的アプローチは思い悩む状態から思い悩まない状態への移行を目指すものですが、文学的アプローチは思い悩んでいる状態そのものを肯定する、といったような、価値基盤の変容を指すのかなと思いました。

道の脇にある公共掲示板が大きく奥に傾いていたのだが、みんなが画鋲を押す力が積もり積もって掲示板そのものを倒したとすると感動的だな…

私はペルソナ5の主人公なので、日記を書くときは「書くか」って言います。

孕ませようとする人が「孕め！」って言うの、祈りじゃん。

>>亀頭師ですからね

「FF外から失礼しますって『お仲間じゃない者が物申してスミマセン』って気遣いをするわりに発言内容そのもののしょうもなさを省みることはないんだなこの人ってならない？」

わたし「そんな人もいるんですね」

地方の人が言う「この町にはなにもない」という言葉、もちろん「必要なものがない」という意味もあるけど、ニュアンスとしては「選択の余地がない」というほうの「なさ」が出ている気がする。

言うだけで面倒くさいことになる禁句がある人いるけど、今日混ざった「哲学者飲み会」では「この先生の前では『時間』て言葉は使わないようにしてるんだよ！ 時間の意味の話になってすごく大変なことになるから…」「『意味』ぃ？ 『意味』って？」と早速噛みつかれ始めてて爆笑した。

酔った哲学者の絡み酒は「ふ、深いですね…」みたいな相槌に「深いと表現すること自体、ハイデガーの…」みたいに絡んでいくし「理解できないです…」って言うと「まだ『理解』なんて概念を使ってるのか！」みたいになっていくので地獄過ぎて面白い。

誰かが誰かのことを指して「いい友だちになれそう」と言うとき、その二人が性格的によく似ているという意味であることがほとんどだけど、現に友だち同士の性格がよく似ているということはそこまで多くない、むしろ正反対の性格で波長は合うこともある気がするのに、なぜそう言われがちなんだろう。

知り合いの書いたものすべてに「頭のいい人が本気で馬鹿をやる。これこそが誰も傷つけない本当の『笑い』なんだよなぁ……」ってリプライしまくって全員に絶交されようかな。

円周率の31兆ケタ目、意外にも数字じゃなくて漢字の「愛」だったらしい。

うわーー見てください！新鮮なイクラが軍艦からはみ出てこぼれちゃってますよ！床に……。

「クスリやって出てくる表現が特異なのは当然」という意見たまに見るけど、精神病患者の叫びがどれも似通ってるのと同様に、逸脱した精神状態が創造性に結びつくというのは幻想なんじゃないか。

日本国憲法を改憲し、冒頭に<b>を、末尾に</b>を入れることで太字にしようとしている政党

慣用表現として定着しつつあるけど、わがこととして考えてみると妻に「ウチの34歳児は」と言われたくないというか、夫を「ウチの34歳児は」と表現するような妻であってほしくないな。理由だけど、まずユーモアとして死んでいるというのがあり、もうひとつは人間をそんなふうに呼んでも事態はなにもよくならないという建設性のなさです。侮辱表現なわけで、公共の場でカジュアルに使うフレーズではないと思う。

ア段しか使えない状況で人をバカにしたいときは「わはは、あなたは中々あからさまなバカだな。浅はかだわ」って言おう。

「いきなりでてきてごめ～ん、まことにすいまめ～ん」って言ってるときにサイコメトリーで心を読み取ったら「いきなり出てきて本当に申し訳ない」とちゃんと思ってました。

「髪をちょっとだけ　切ったの気づくかしら？」って歌詞、男の髪を勝手に切ってるって意味だったら怖いな。

完全に人工的な言語が一定の人口に普及したことってあるのかな。さすがにないか。自分がめちゃくちゃ権力を持った金持ちだったら子どもを100人くらいさらってきて「自分語」を教え込んで育てたりはできるかな。

たまに不謹慎なこと書くと知らない人から「普通の人間ならそんなこと思わないし書かない」と怒られるんだけどそのたびにびっくりしてしまう。本当は誰でも特別な自分への憧れがあって色々あって普通に収まってると思っていたのに、最初から「普通の自分」に自信を持って生きてる人がいるんだ！ と。

異常者気取りが当たり前で、攻撃として「あんた普通だね」と言い合っているような世界だけで生きてきたので、ちゃんとサブカルチャーじゃない「普通の世界」が実在したんだ……となる。

「タピオカ　流行　いつから」で検索すると「タピオカ？ タピオカ流行ってるよねオススメのお店教えるね！！」と「オススメタピオカ屋9選」みたいな結果がズラッと並ぶ、「こういう人と会話するの苦手だなぁ～」という感じのGoogleになっている。

謝罪ツイートに余計な一言を添える人、なぜなんの得もないのにそんなことするんだと言われがちだけども、その人の周囲の仲間たちに「心までは腐ってないぞ」と示すための誠意なんだよな。それが反対の立場から見ると心が腐ってる証明に映る。上司に怒られて散々頭を下げた後に振り向いて舌を出す、みたいなもんですよね。周囲の人間の立ち位置・関係性によって真逆に捉えられる。

ツイッター始めてから約10年の流行を振り返る作業をしているんだけど、「懐かしい」とかの前に「ああそういうえばあったね」が来るので、徹夜した日に思い出す昨日みたいな「地続き」感覚が10年分連なってる。

ライフハック系プロブロガーって「ライフハックブログを書く」という生活をうまくやるためにライフハックを実践しているの？

思わずコメント欄で熱くなってしまったけど最後にしぼむ中高生のモノマネでもするか

叩いてる奴らなんなん腹立つ！

偉そうにしてる奴じゃあ同じことできんの？関係ない人に粘着しまくって何が楽しいねん

頑張ってるんだから評価してもいいと思う

感想は人それぞれだから個人の考察だけど

長文失礼

「セックスは決して恥ずかしいことではないし、人間が生きることそのもの。この活動を通じてみんなに知ってもらいたい」という趣旨のアート活動をしている人は常にいるけど「なんかそういうことをしてる人たち」の枠みたいなものに徐々に収まって「みんな」から隔離されている印象がある。

不老不死のキャラクターがあまりにも孤独で退屈だから薬物で気を紛らわそうとするけど快楽物質や依存物質も即座に分解されてしまってシラフのままでぼーっと過ごしてるみたいなやつ好き

「お母さん！ぼく覚せい剤やりたい！」

「でも、前に吸ってた大麻は結局やめちゃったじゃない」

「大丈夫だよ！ 覚せい剤に含まれるメタンフェタミンは報酬系を興奮させて側坐核のドーパミン濃度が上がるからやめられないんだ」

「あら、それなら無理なく続けられそうね」

スーパーとかファミレスとかに置いてある「勉強しない子のための家庭教師！」みたいな手書き風でポップなチラシ、自分も勉強しないので指導法がわからない親に向けて作られているような感じもする。

「忘れ物しません」って児童に1万文字書かせるのとかは忘れ物を防ぐことが目的ではなく児童に後悔や懺悔の感情を抱かせることが目的に見えるし、他人の情動をコントロールしようとしてるという意味でストーカーに似ていて怖い。

右翼は「もし敵対国に自分が生まれていたらどんな思想を持っていたと思うか」という問いにどう答えるのが正しい態度だろうか。ひとつの答えは「そのような『もしも』の可能性を排除することで国粋主義は成立する」というもので、もうひとつは「国籍が違っても同じ国を支持する」というものかな。「国が違ったらその国の国粋主義者になるよ」という答えは、なんかそれでも愛国者かって感じがする。

自分をクソボケカスだと思って生きていると、どうしようもないドジを踏んだときに「自分らしさを発揮しちゃったな」と思えるのでお得です。

野菜食べてます？ 程度のことでなんでそんな怒るのさって人が多いんだろうけど、まさにその「なにげない善意」によって怒られる可能性が免責されてると思い込んでいる無神経さにムカついているので暴言に対する怒りとはベクトルが違う、ということはなかなか通じづらいのかもしれない。

自分が信じた「思想」に自分自身が裏切られることは割とあって、単純な例なら資本主義を正しいと信じる人が競争市場から脱落しても資本主義は助けてくれない。また、それは倫理的な分野の思想、たとえばフェミニズムなどでも同様のことは起こりうるはずで、自身の男性嫌悪と現実とのギャップをフェミニズム活動によって埋めていた人は、その活動の先に「トランス女性が女子トイレに入ってくる可能性」などを認めないといけない（かもしれない）状況に至ったとき「裏切られた」と感じたりもするだろうと思う。

ネット炎上において投げられるバッシングの言葉をひとりの人間が全部言ってたら間違いなく偏執病の狂人に見えるので、われわれは組体操のように「狂巨人」を作っているといえる。

「意見を批判されると人格を否定されたと感じて傷つく人が日本にはかなり多いけど、その2つは別物だ」という話は頻繁に聞くけど、それは2つが別物だということにしたほうがいろいろ都合がよい、という話にすぎない側面があると私は思っていて、どんな意見もその根本にはその人の根源的な価値観があるのだから、意見を否定されたら人格の一部を否定されたと思うのは特に間違っていないと感じる。そんなこと言っても誰も得しないし、別物だということにしたほうがいいに決まってるから言わないほうがいいんだけど……

尻の間にハズキルーペが挟まったことでオブジェクトが干渉しあって高速でガタガタ揺れたあとイスとか床にめり込んで平行に移動する菊川怜

実際は現れないだけで「頂点に登りつめるためのルートを歩く才能はまったくないけど、はじめから頂点にいたら凄い才能発揮するやつ」もいるかもしれないし、世の中の「凡人が急に重要ポストを任される」系エンタメはそうあってほしいという願いが作ってるんだろうな。

女にもてなすぎて犯罪やそれに類する行為に及ぶ男ってだいたい男の友人もいないので、そういう状況に陥ったとき主観的に感じる原因が「もてない」になりやすいだけで、実際はもっと広い承認の不足とかが根本にあるんだろうな（当事者の言う「原因」が正しいとは限らないという話）。

ネットに悪口を書きたくなったら一度立ち止まって「面と向かって本人に言えるか？」と考えてみましょう。もし言えないと思うのなら、ネットに書く価値があります。

人の悪口を書いたり言いたくなってしまったときは、いったん深く深呼吸して冷静になってから、悪口を書いたり言ったりしてみてください。悪口の精度が高まります。

ほら、どうしてほしいか口に出して言ってごらん……？ おれはそういう暗黙の了解がまじでわからなくて日常生活に支障が出ているんだ

生理で辛くて休みたいですって言ったら「仕事は遊びじゃないんだよ」って言われたんだけど生理も遊びで来てないんだわ

卵かけご飯、つまりはチャーハンの刺身なんですよね

今にも飢えて死にそうな人を目の前にして「私は今からここのマクドナルドでハンバーガーを買って食いますが、その代金は巡り巡ってあなたの懐にも入るでしょう。経済とはそういうものですので気を落とさず。では（パクモグ」ってな訳には行かねえのさ。

ゲームオーバーのときとかによくある、キャラクターが体力が尽きた後に立ち上がろうとするけど、そのまま死んでしまう演出、ものすごーくマイルドなリョナ属性があって「よい」。その「立ち上がろうとするモーション」に制作陣の熱意を感じる。別に体力が尽きたらすぐにぶっ倒れるでもいいのに「気力」を再現したくてちゃんとモーションをつくるのがエモい

もうロック通り越して道徳だわ

事故で両後足を失った犬が義足をつける手術をした後、人間の感動をよそに真っ先に餌を食べに行った話、「これが生きるということだ」という力強さが感じられて非常によい

俺は「すごいのは学歴のおかげじゃなくてクイズの練習したからだろ」と感じていて、高学歴SUGEEEEEEEって思われるのは違うでしょってことを言いたい。クイズの訓練さえしてれば誰でもできるようなことを「高学歴○○」とか「東大生が～したらすごかったw」とか言って、あたかも学歴に付随する能力みたいに思わせるのは『身近に感じてほしい』とは乖離してるでしょ（まぁ「クイズプレイヤーが～してみた」とかいう見出しじゃ誰も食いつかないのも確かだが）

「誰でもできる、だけど極めるとここまでできる」ってアピールをするのが普及に必要なことなんじゃねーの。普及させるなら「並の東大生では彼らに勝てない」じゃなくて「クイズが強ければ中卒でも東大生に勝てる」と思ってもらうべきなんじゃねーの。ことクイズという土俵においては学歴は意味を持たないしそうあるべき。クイズは東大生の特権ではないのだから並の東大生とクイズ屋の東大生を比べること自体が間違ってる。見出しとして学歴や肩書きを使うのはいいとしても最終的にクイズの技術と学歴は区別されているべき、でもQuizKnockにはそれが足りない、そういう点で須貝さんの存在はかなり重要。クイズ王への道シリーズなんて普及を考えるならもっと高頻度でやるべき企画だと思う。

まぁ野球少年はプロに憧れて始める理論もわかる。実際彼らに憧れて東大を目指す中高生はたくさんいる。でもクイズは野球と違って本当にいつからでも始められるし人生がそのまま力になる。高学歴を押しすぎると低学歴だからと諦める層も絶対出てくる。普及を考えるならクイズの強さは学歴で決まらないってことをちゃんとアピールするべきだと思う。

「東大生だから」と「クイズプレイヤーだから」との線引きが曖昧になってるというのは確かによく感じる。万国鉄道なんていい例で、あれは高偏差値集団だからできる、とか言語学の知識がめちゃくちゃあるからできる、とかではなくて、早押しクイズには語源の問題が頻繁に出るから答えられているわけで、そういうのをブラックボックスの中に入れてしまうのはちょっと不誠実では？と思う。あと福良さん時々「視聴者さんはこれできないでしょ～」的な発言をするけどあれやめたほうがいいと思う…何もコメ欄のキャピキャピ女子だけが視聴者ではないので…

既に東大クイ研という立場にある彼らが学歴とクイズ力は関係ないよ！と伝えるのは、もちろん当人たちはそういうマインドでやってるだろうが、彼らにとっていちばん困難な課題かもしれんなぁ。なんせ説得力がねw分かりやすい方法で言えば高卒やいわゆるFランと言われる大学所属で彼らと同等に戦えるプレイヤーをレギュラーにしたり育成したりとかなんだろうけど、でも結局QKの動画を見て「あんなの高学歴SUGEEEだろ」と思うような層は、何をしても「でもあいつは〇〇だから」みたいな感じで素直には見ないんじゃないかって気もするな。

以前から不思議に思っていることがあります。SNSなどを見ると愛国心旺盛で日本も戦争できる普通の国にしたい人がたくさんいるようですが、なぜか自衛隊は定員割れの状態が続いているようです。誰かを煽動するだけで自分は安全なところにいたいという事でしょうか。

てか「復讐しても何も生まれない」とか言ってるやつは復讐したことないやつだと思ってる。普通にスカッとするのでおすすめの行為だと思う

Twitterで炎上している様は火葬というよりどちらかというと鳥葬に近い見た目である

引用RTってバトル開始の合図じゃないんですか……？私の国ではそうでした 祖父も父もそれで死にましたから

｢復讐はなにも生まないぞ！｣に対するアンサー、｢いま誰も生産性の話してねえだろ｣がメチャクチャ好き(マシーナリーとも子ZERO)

英会話できない理由、人によっては割とガチで、「いっけねぇ！俺って日本語でも雑談苦手だったわ！そりゃ英語も話せんわ」という盲点がある

20代のオールで遊べた体力は本来は子育てのために与えられたものだと哺乳類の俺は思った

コメダ珈琲、元カノに別れ話をされたときに初めて行ったんだが量多すぎて「別に好きな人ができたの」って言われながら満腹になってた

日本の彼岸花は種子で増えず、株分けで増え、全て同一の遺伝子を持つ複製体生物だから、大きさも長さも開花時期もほぼ同じで、それは接ぎ木で増えるソメイヨシノもそうなのだけど、春と秋、共に『個』を持たないクローン花に『死』のイメージを覚える感性、何となく全体と個の対比も想起されて面白い

親のマイカーに頼らないとどこにも行けない地方の子供に向かって「博物館は誰にでも開かれてます」と言ったらだいぶ残酷だというのは時々感じる(自分がそうだったので)

立川談志さんの「よく芸は盗むものだと云うがあれは嘘だ。盗む方にもキャリアが必要なんだ。最初は俺が教えた通り覚えればいい。盗めるようになりゃ一人前だ。時間がかかるんだ。教える方に論理がないからそういういいかげんなことを云うんだ。」という言葉に接した。多くの物事に妥当するご指摘。

Amazonのプライムデーセール、セール価格が適正価格だろって言いたくなる大量のゴミの中からかろうじて使えそうな物を探すゲームみたいになってて最早誰も話題にしていない

職場改善案に「ルールを守る事は大事だが、そのルールがなぜあるのかを考え、現実に沿った改訂を行えない管理職は職務放棄なので排除」と書いて提出したら、課長から「言いたいことも分かるし、誰の事を言っているかも分かるけど、俺より強いヤツには俺も弱い」とド正論返された

安西先生…！バスケ・ビリヤード・水泳・ダーツ・手芸・バードウォッチング・料理・アーチェリー・ビブリオバトル・合気道・旅行・そば打ち・ヒッチハイク・荒野行動・治験バイト・廃墟探訪・プログラム実習・羊毛フェルト・語学留学・工場見学・一人カラオケ・リアル脱出ゲーム・囲碁がしたいです…

ローソンのスイーツは「もちぷよ」とか「ふわしゅわ」とか「ザクシュー」とか2秒で考えたようなネーミングをしているのだが、ちゃんと検討や会議を重ねた上で2秒で考えたような名前にできることがプロだなと思う（かけた時間に比例して凝らない）。

「清潔感」を理由に人を選んだり忌避したりするのはごく自然だと思う一方で、「清潔感」を理由にして人を選んでいることを人に表明するのはなかなかお下品なことなので控えるべきだと思っている。言うにしてもかなりおずおずと慎重に指摘することで、外から胸を張って踏み込める領域ではない。

人間工学に基づいたデザインのものってだいたい変な形してるので、人間って変な形なんだなあと思う。

いつか我々の前に「上位存在」が現れて「Ｉ字バランスをせよ」などと命令してくるかもしれない。

1メートルが60センチのような気がしてきてググってしまった

個人の知識には限界があり、世界では常に今まで起こったことのないことが起こり続けているのだから「どういうことですか？ よくわかりません」って発音する機会が本来はいまの100倍はあるはずなのに、なぜかみんな「大体わかるなあ」という顔で生きている。

アニメにある、モテモテなキャラが「きゃー！」とか言われながら女子の群れに追い回されるシーン、あれってどんな気持ちで見ればいいんだ。真面目なシーンでも、笑いにつながる感じでもなく「ああ、『アニメ』をやっているなあ……」と思って見ている。

男子小学生だから国勢調査の「好きなタイプの異性は？」のところ空欄にしたし星座は「ぎょう座」って書いた。

センパイ！ まだ「曚水」未経験なんスか？

もしかして……「袁ズ」が怖いんスか～～？

面接官「最後に何か質問はありますか？」

普段の怒りをぶつける就活生「自分を動物に例えるとなんですか？」

We are watching 4 dimensional theories in a 3d World on a 2d screen using a 1d video progress bar...

歯列矯正の先生、施術中にクソほどどうでもいい質問系の雑談してくるの意味分かんねえ、歯に針金通しながら「大学の学食はよく行くの？」とか聞かれても答えられねえんだわこっちは歯に針金通されてんだからよ

答えないと「やっぱあんま行かないか」とか勝手に会話進めるし

俺はよく行くんだよ学食には

プラナリアを何度も切ると分裂した個体全てが切られまいと回避行動を取るそうです。つまり、分裂しても記憶は維持されるんですね。更に共食いの性質を利用して、回避行動を取る個体を回避行動を取らない個体に食べさせると回避行動を取るようになるそうなんですよ。記憶は食べられるんですね。

「転がる岩、君に朝が降る」

中学3年の夏、制服の腕まくって下敷きであおぎながら、それでも暑くて汗だくになりながら夙川沿いを歩いて図書館通い、校区からは遠く離れたところを校則では禁止されていたウォークマンでこの曲を聴きながら大人を味わってた。主人公だった当時、主人公の傍観者となった現在、訳のわからない根拠のない自信でもいいから持たせてくれ、どこかに連れてってくれ

(YouTubeの再生回数が多い科学系動画に対して)

Now you know you have reached the “time to go to bed” side of YouTube

これがオススメに出てきたってことはもう寝る時間でしょ

YouTubeでpolyglotの動画を見てて思うんだけど、自分が知ってる言語を話すまではすごいって感じるんだよね。その言語を話してるってことは評価できるけど、実際はめっちゃ下手。流暢とかポリグロットという言葉が乱暴に使われ過ぎてる気がする。本来は言語にものすごく精通した人を指すはずなのにね。

ポリグロットと自称する人の動画がめっちゃひどい。いや、喋ってる言語のそのどれもが等しくひどいってことに関しては評価したいけど。どんだけひどいかって話しかけられてる人が知らないから感動しちゃうんだよね。

言語習得の問題ってのは「完璧」がないことなんだよ。俺の経験でいうと、小さいときから英語やってて、もはや外国語とわからないレベルまで習得出来てて、第二の母語みたいにはなってる。でも完璧じゃない。専門用語を使う会話のときはめちゃ苦労するし、timesの99%はわかるけどその記事のトピックなんてかけっこない。だから英語をマスターする前に寿命が尽きちゃう。まあ俺は幸運にも5年前に中国語を学び始めて、今はHSK6を習得してる。ほとんどの中国語のニュースは分かるし、中国人と社会問題や政治の話みたいなディープな話もする。じゃあもし俺が中国語のかわりに英語に人生をささげたとしたら？そのときは英語が90とか95からさらによくなるんだろうけど、中国語の知識は全く身につかない。

「この世にはもっと辛い人がたくさんいるんだから頑張れ！」とか「あなたの苦しみなんて○○に比べたら〜」とか、他人の苦しみの大小を勝手に判断してくる人まじ無理。仮に明らかに自分より辛い境遇の人を目の当たりにしても「え、じゃあ自分はまだ幸せなんだ！よかった〜！🥺」とかならないわ

私は神になりたい。なぜならブスが悲しんでるところに「美人だって苦労してます😡外見は関係ない！努力次第！」って説教してくる人に転生するときに美人で産まれるかブスで産まれるか選ばせて、美人を選んだら「外見関係ないんじゃなかったん？？？どっちでもいいって言えよ」って詰めたいから

美人で家族と仲良くて、恵まれた環境で育ったが故に形成されたであろう「私は私で〜〜す！✌️」って性格のモデルさんとかが天真爛漫に振る舞って「美人で自分持ってて素敵！」とか称賛されてるの見ると正直複雑な気持ちになる。人生ガチャ、、、

インキャがインキャを自称するときって別に自虐でもなんでもなくただ苦手なノリの人との区切りをつけたいだけなのに、なぜか陽キャは「恋人がいない」「アニメ好き」とか1項目当てはまっただけで「俺インキャすぎwwwwwwww」とか自虐のネタにしやがるから無理

「自分の容姿が劣ってることをネタにできるブスは身の程がわかってて偉い」みたいな世間の風潮、まじでどうにかしてほしい

昔見たファッション雑誌の「自分の顔に自信がないあなたへのワンポイントアドバイス」みたいなやつに「まずは鏡を見てにっこりスマイル♪『私は可愛い♡』と3回唱えましょう♪あれ？なんか今日可愛いかも…？☆いってらっしゃーい♪」みたいなこと書いてあって醜形恐怖症を舐めるなと思った

要領のいい陽キャの尻拭いをさせられてきた人生だから、飲み会とかで「俺バイト中ずっと携帯いじってて〜！」とか「まじ○○のバイト楽だった！」とか話してる人見ると「きっとこの人がサボった分の仕事を黙ってやってた人がいたんだろうな…」と知らない誰かに同情してしまう

学校という場の特性上「多少嫌なことでも若いうちに経験としてやらせてみるべき」というのは理解できるんだけど、とび箱とクラス全員の前でやる歌のテストだけは何も学ぶことがなかった上に成人した今でも想像するのが恐ろしいほどトラウマになってるので回避できるようにしてあげてほしい

もう一周回って「『確立』じゃなくて『確率』！！」って突っ込む人に飽きていたのだけど、ツイッターの手書き漫画で漢字間違ってるのを見て全身が脱力した。「『確立』じゃなくて『確率』！！」

パーソナルカラーって「自分をより綺麗に見せる色を知っておしゃれを楽しむ材料」のはずなのに、いちいち「その色似合わないですよ。あなたはイエベなので〜」とか口を挟みたがる一部の人たちのせいで、他人のおしゃれを否定するための道具みたいになってるの悲しいわ

嫌いな人に嫌いを伝えようと暴言を吐いたりいじめする人、周りに気を使わせたり「攻撃的な人」のレッテルを貼られたり、ネット上なら誹謗中傷で訴えられて社会的に死ぬ可能性もあるとわかってるのに伝えないと気が済まないなんて、相手のために犠牲背負いすぎててもはや恋

美人がブログとかに書いてる「私こういう努力してますキラキラ」の内容、ダイエット、似合う服やメイクの研究、パーソナルカラー診断等々楽しそうなことばっかりで、まず土台がどうにもならず整形でゴリゴリに顔面工事して毎回泣きながらダウンタイムを越えている私は羨ま死ぬ。スタートが違いすぎる

【オタクの会話あるある】

双方、自分の言ったことでしか笑わない

ドライアイスで冷やされて冷たかった遺体の入った棺を棺ごと焼く。オーブンから出てくるのは熱々に焼いた貝殻のような白い骨。生きている人にはしないことを、死んだ人には粛々とする。命が一冊の書物だとしたら、最後のページが閉じられ書棚に戻されるように人は葬られる。遺族を包む喪服の黒は重い。

もし自分に子供がいたらこんな会話をするなあ、という妄想を昔からよくするんだけど、そのイマジナリー娘が来年ついに成人を迎える。

70歳越えてから積極的にシルバーシートに座るようになったんだけど、今でも「頼むから自分より老人のやつ来ないでくれ〜譲りたくね〜」って祈りながら座ってる。

市民プールのヌルヌルの床を舐めさせられる拷問

法律は

何度も捕まりながら

体で覚えていくのがいい

相手の容姿を褒めながら最後に「あとちょっとだけですけど、セイキンに似てますね」って言うと笑顔が急に暗くなる瞬間が見られる。

小学生の時、ドッヂボールの細かいルールが理解できなくてとりあえず逃げ回ってたんだけど、今も人生のルールがわからなくてとりあえず逃げ回っている。

これガキの頃見てた時、なんてひどい大人やと思ったけど、いざ自分が大人になるとなにかの反動でこの時のヒロシ&みさえみたいにおかしくなりそうなほど社会がキツい…子供から見る大人って体も心も大人だけどいざ自分が大人になって見ると子供でいられるならずっと子供でいたいくらい弱くて脆いもんだよなあ。飯作れなくなったから菓子食って腹満たすのなんかリアルで怖い

渡部：箱の中の猫が死んだと思っている

児嶋：箱の中の猫が生きていると思っている

以前「脚が４本もあるのに出す順番間違えないでちゃんと歩いて偉いねー」と猫を褒めていた猫褒め婆ちゃんこと母が、今日は「誰にも教えてもらってないのにちゃんと冬毛になってて偉いねー」と猫の衣替えを褒めていた。

週5勤務で『週5の疲れを2日で癒すのは無理』という嘆きに、週6勤務の人が『こっちは週6の疲れを1日で癒さないとダメなんだから甘えるな』などと返すような社会では、働き方改革が進むわけがありません。そして、部活顧問を務める教員など、週7勤務の人は週7の疲れをどこで癒せば良いのでしょうか。

『もし自信をなくして　くじけそうになったら　いいことだけ　いいことだけ思い出せ』…『アンパンマンたいそう』の歌詞の一部ですが、大人も子どもも関係なく、重くて息苦しい雰囲気の中を生きている現代人にとって必要なことを、単純明快に伝えている歌詞だと思います。

「あいつは死んだ」「あいつは生きている」。前者は過去形で後者は現在形。死は一度しか訪れず、訪れたが最後過去形でしか語られなくなる。改めてその淵の深さにぞっとする。

リツイート機能が制限されることで、たくさんリツイートされて拡散されることを狙った悪質かつ低俗なツイートが減るのなら、とても有益なことかもしれません。冷静に考えると、単純に情報収集したり、自分の思考や気持ちを吐き出す目的でTwitterを利用する分には、リツイート機能が無くても十分です。

20:00前後に保護者へ電話して『夜分遅くに失礼いたします』という挨拶から始めた時に、保護者の方から『こんなに遅い時間までお疲れ様です』などと労いの言葉をかけてもらえるだけで、何だか心が救われたような気がします。何気ない言葉のやりとりですが、言葉には不思議な力があることを実感します。

貧困層は自分だけ助かろうとしていいし、中間層は自分だけを助けるので精一杯だけど、富裕層は他人も助けないと自分の富も減るし自分を守る社会秩序も崩れるんだぞ。だから富裕層のチャリティは義務なんだ。

現実世界の日本で元気玉を作ろうとしても元気が集まらず初期ベジータすらろくに倒せない。疲労玉にすればフリーザやブウなど瞬殺だと思う。

人は自分の想像を絶する数を見聞きすると統計としか取らなくなる。もちろん全ての死を悲劇と捉えると感情が保たない。統計の型にはめて現実味を無くすという感情防衛機能が人を鈍らすんだと思う。

アルメニア・アゼルバイジャン戦争は、不意にも『失地回復にはやはり戦争暴力が一番効く』『国連安保理は局地的な戦争には介入しない』と言うことを、この21世紀に示してしまったのが痛い。

みさんと話してて、男子のアダルト的なコンテンツで「この世には自分が全く理解できない性癖が星の数ほどある」という状態に自然と慣れ親しんでいく状態は寛容と相互不可侵の下地作りに大事なのではないか、という仮説を聞き、感心してしまった。その発想はなかった。

モリさんの「料理はリラックスして食べるものだから。緊張させるラーメン屋のオヤジとか、緊張させる頑固な寿司屋のオヤジとか、ああいうの大嫌いなんだよ」に脳天ぶち破られるくらい共感したので、全Twitter民に共有します。

「ちょ、なんだよこれ!?ミサトさん!!」

「トップバリュのウィスキーよ。死になさい、シンジくん」

女神「あなたが落としたのは金の斧ですか、それとも銀の斧ですか」

怒られると思ってる人「落としてません」

アゼルバイジャンとアルメニア紛争見ててもわかるけど「戦争なんてしたら国際社会がだまってないー」とかいうけど「だまってない」だけだろ。だれも「本気でとめようとはしてない」だろ。無関係な奴らが殺し合いしててもしったことか！！！ってのが世界の常識で日本が侵略されても同じことだよ。

例外的な立場への配慮が行き過ぎた結果「小袋に書いてある『こちら側のどちらからでも切れます』って小袋に書いてあるよね」「カニを食べているときってカニを食べていないときではないよね」といった恒真式だけがあるあるネタになった世界。

忘れもしない、大学院生のころ始めて書いた論文。隣のラボにいたオックスフォード大学出身だというポスドクに、英語チェックをしてもらいました。「いつもこれくらい貰っている」と言われるままに、３万円払って。で、論文は、「英語が文体、文法ともムチャクチャである」という理由でリジェクトされました・・・。私は、外国人に日本語をちゃんと教える自信はありません。同様に日本に来ているアメリカ、イギリス、オーストラリアの人も、本当にちゃんとした英語を教えられるかと言われると、困る人が多いのでは？やはり餅は餅屋。英会話はちゃんとしたメソッドのある人に頼んだ方がいいかも。

「発音が間違っている」のと「訛りが強い」のとでは違いますが、ある程度は会話の前後関係や状況・場面から連想できます。それと、話している相手がどの程度外国人（日本人）の訛りに慣れているかでも違います。"Steamed lice"って言われたら、日本人訛りに慣れている人なら、"Steamed rice”と言いたいのだろうと察しますが、そうでない人は、「え？蒸した蚤食べるの？」ってことになります。以前、一緒に仕事をしていたインド人のエンジニアの英語が全くわからないので、もう1人のインド人のエンジニアに「今、彼なんて言ったの？」って聞いたら、「俺にもさっぱりわからない」と言われました。同じインドでも地域で全然違うので共通語は英語なのにもかかわらず、英語のなまりかたも違うのでわからないそうです。同じように、客先の会社の社長秘書のスコットランド人の秘書の発音がわからず、アメリカ人の同僚に「わかった？」って聞いたら「ぜーんぜん。わかったフリしてただけ」と苦笑いしてました。訛りの程度とどの部分の発音が変なのかによるのだと思います。日本語でも方言によっては全く聞き取れないけれど、慣れてくるとわかるってこともありますよね。

30年くらい前、アメリカの高校のデザインのクラスで、同級生が英語ネイティブなのに「He don't like it!」と言ったことを覚えている。One Directionの『Story of My Life』には「She told me in the morning she don't feel the same about us in her bones.」とある。大きな間違いではないのは確かだ。英語の本場の人が she don't care って歌ってるところをばっちり録られちゃってたりしますし、外国人として話す分には大した恥ではないでしょう。（The Beatles - Ticket To Ride）

例えば大阪弁、どんなに他の地域の人が真似しようとしても生粋の大阪人からしたら『そうは言わんやろ』ってなると思います。大阪の人は奈良とか京都とかとは全然違うと言いますが、他県からしてみたらどこが違うのか分からない。日本人どうしてさえ方言を真似ると『なんじゃそりゃ？』ってなるのに、外国語を喋ってるのを聞いてネイティブが『なんじゃそりや？』ってならないわけがありません。そう言えば今日、たまたま見ていた動画で日本人の英語で違和感を覚えるのは『Do you have any plan for this holiday?(今度の休みの予定はある？)』『Yeah, I will go to Hawaii with my family(うん、家族とハワイに行く予定だよ)』と答えたとして、『Wow, I envy you!(うわぁ、羨ましいなぁ！)』と言われること、と言っていました。ネイティブは『Wow, I jealous you!』と言うんだそうで、なぜ日本人が『envy』を使うのかも解説されていました。それは日本人が『jealous＝嫉妬』というネガティブなイメージを持っているからだと言っていました。

ツイッターで悪口を言われる苦しみの大半は、その心無い言動に傷つくという部分ではなく「リプライや引用リツイートで割り込んでいって相手を焦らせ、言論を封殺したい……」という欲求と戦うコストに費やされる。

時代遅れの話題を友人が持ち出したとき「あれ？まゆしぃの懐中止まっちゃってる…」と言いだす奴

男には泣いていいときが3つある、ひとつ目は産まれた時。ふたつ目は親が死んだ時。みっつ目はクラブラにキルされた時、スクスロにキルされた時、リッターにキルされた時、オフロにキルされた時、ハイドラにキルされた時、潜伏ローラーにキルされ

指揮官は「命令を出す人」じゃなくて「どうしたらメンバーが命令通りに動くか考える人」です。命令を出すだけなら誰でもできます。だから「どうして指示通り動いてくれないんだ！」と怒るリーダーは仕事をしてないです。メンバーはやる気がある人ばかりじゃないです。

未来が、空飛ぶ車を実現して「人を気軽に移動できるようにしよう」という方向ではなく、通信を発達させて「移動しなくても用件が済むようにしよう」という方向に伸びていった

ついでに言えば、この手の話で「だからアメリカに逃げて行ってる」とは言うけど、この手の話で忘れられてるのは「だがアメリカではそういう天才も使い捨てになってる」というオチは忘れてはいけないところではあるんだがねぇ。有名なシリコンバレーだってそういう感じで人材を粗雑に使ってきたために近年では「シリコンバレーから人材が流出している」という話もあるくらいだからねぇ。この手の話で忘れちゃいけないのは「隣の芝生は青い」だからね

日本だけでは無いでしょう。もう随分前ですが米国のコンピューターハードウェアメーカーでフランス人技術者やドイツ人技術者が活躍していました。今でもそうだと思います。優秀な技術者が自国に産業が無ければ他国で働くということは欧州でも当たり前にあることだと思います。

見た目とか声とか仕草とか話し方とか「見られる自分」「客観的な自分の姿」を意識することは男女限らず大事。西洋で演劇が教養として扱われるのは演劇の身体訓練がこの領域をカバーしているからだと思う。

母にいつまでも進むようにと名前をつけられたら進み過ぎた男

毎朝うちのサボテンに聴かせてる

平沢進にハマりたいが中途半端にハマるのは失礼に当たる気がして沼の淵から覗いて怯えている

よく見ると3mmぐらい浮いてそう

ライブに参加するくらいの熱心なファンですらイマイチ乗り方わかってないの草

チョココロネ真ん中から食べてそう

乱数調整とか言って壁すり抜けそう

高校に入学した時すきな曲聞かれてこれって答えたら4年間友達できなかった

本当はこんな人最初からいなそう

炊飯器からご飯よそう姿とか風呂にお湯ためてる姿とか想像できない

核兵器でも「はいはい、古い古い」って死ななそう

俺らに感知できない色だから髪白に見えるの？

喉　か　ら　C D 音　源　お　じ　さ　ん

朝ごはんに白米と味噌汁と納豆を用意してトースト食べそう

DNA三重に巻いてそう

この人、ケガしても血出なさそう

ばあちゃんに見せたら曲はいいけど二番の歌詞で「殺す」ってフレーズが入ってるのはよく無いって言ってた

文法構造が日本語に非常に良く似ている

生態系ピラミッドの外れた位置に黙って座ってそう

実はこの観客達なんでここに来たのか分かってなさそう

この人自力で円周率終わらせそう

平沢進でも消費税10%納めてるんだぜ

五億年ボタンで記憶が消されなかった男

手のひらにiPhone置いたら充電できそう

みんな「何故人の形を選んだんだろう」って言ってるけど、人の形をわざととって、少しでも深淵に連れ込みやすくするための戦略だと思ってる。

未発見の元素隠し持ってそう

宗教を始めなかっただけ奇跡。

日本語が難しい言語とされる理由八割ぐらいこの人が原因でしょ

平沢進が普通で、平沢進以外の全ての人間が間違っている説

平沢進で論文書けそうだけど脳みそが耐えられないと思う

｢知る前の方が分かった｣ってコメント好き

理解しようとすると去って行って

理解しないようにすると迫って来る男

この人の理解者となりのハゲしかいなそう

まだ日本語話してくれてるだけありがたいだろ

「ウゴウゴルーガ」「せがれいじり」を産んだ秋元きつねが平沢進の弟子だったと知った時の衝撃よ

ところどころ演奏の仕方の検討すらつかない楽器が出てくんの草。あと鉄を削ってる最中にライブすんな

小学生に『ステージに置いてある道具で好きなことしていいよ』って言ったらやりそうなこと、彼は全部やってんな。

『悪魔と契約したサカナクション』って例えてたツイートがあったけど言い得て妙だな

真面目なようなふざけてるような、イジってほしそうなのにそうすると怒られそうな変な空気の人だなあ

神様「誰だこいつ作ったやつ…」

じゃんけんで例えると4つ目の手

お風呂沸いたらまず最初に湯船の栓抜いてそう

ここのコメ欄笑ってコラえてのゲストのヒントインタビューみたいなコメントばっかで草

自分も排泄器官が先天性の奇形で、他人には打ち明けづらいし見た目には普通だから気付いても貰えない(&手帳も出なくて福祉も皆無で小さな互助会的コミュニティがあるだけ)って環境で育ったんだけど、障害があると自覚しながら健常者に紛れて過ごさざるを得ないのって本当に性格歪むレベルでキツいぞ。

映画で、切断された足が切断された瞬間「小道具」になってるの笑っちゃう。傍目にはグロシーンで笑っているやつになってしまう。

日常のことをささやかな日常などと思ったことはない……日常は人生のうちのほぼ全てを占めている、はてしなく巨大で重い存在だから……

ものすごく非常識な人に絡まれたみたいなエピソードが拡散されると嘘松認定する人が必ず出てくるけど、ありえないくらい非常識な人は実際たくさんいる。だから本当かというと嘘の不快なエピソードを捏造してウケたがる人も実際たくさんいるので、五分五分。というのがTwitterの学び。

かわいいキャラクターを創造しようとしてるとき「これはさすがに媚び過ぎじゃない！！？」「恥ずかしすぎる…」という気持ちになるわけだけど、これお菓子作りで「これバターと砂糖入れ過ぎじゃない！？」「カロリーヤバすぎる…」となるやつと全く同じだ。

生活になんの障害も生まれていないのに「HELP！」という気持ちだけが純粋に湧いてきて困っている

少なくとも容姿と性格で言えば圧倒的に性格の方が変えるのは難しい（整形や化粧にあたるものが性格にはない）のに、性格で人を選ぶことが非難の対象にならないのはなぜなのかについては、人に自由意志を認める限り必然的にそうなっていくのかなと思うようになった。

中高生が人間関係で悩んで自死を選んだというようなニュースに触れると「ああ、こんな狭い世界が全てだと思って死ぬなんて」とは思わず、むしろ「そうだった、その狭い世界観こそが本当であって、大人が俯瞰して捉える広い世界こそ錯覚なのだ」という強い感覚に襲われる。

素材を組み合わせてリラックス環境音を作れるアプリ、鉛筆で書き物してる音で自分を囲めば「授業中に堂々と寝る」みたいな感じになるんじゃないかと試したら、全方位から同じような鉛筆の「サラサラサラサラ……」が絶え間なく流し込まれる受験ノイローゼの幻聴みたいな音になって消しちゃった。

新しい答えを出せる人よりも新しい問いを考えられる人のほうが（答えなどどうでもよくなる程度には）魅力的に感じる。

自分の足を引っ張る（罵倒者も含む）批判者からの"攻撃"を「暇人」とか「自分の何もなさのあらわれ」だとか「嫉妬の塊」という言葉で定型化して傷心を防ぐ戦略、あくまで生存のために役立つ対症療法であって、実態からはかけはなれてい（う）る、と感じる。実際のところそういった「嫉妬に狂った暇人のクズ」たちが投げかけてくる言葉は案外的を射てることが多いのだが（というか的外れなら傷つかない）、彼らをむやみに憐れまず、的外れと切り捨てることもなく、それでいてそういう言葉に殺されない理屈のつけかたはあるのではないかと思う。山田ルイ53世が言ってた「その厳しい目、自分自身の人生に向ける勇気ある？」っていうのはかなりいい線いってると思ってて（まだ憐れみのテイストが強いけど）、要は「わかったうえで短所をほっとくのも正しい人生」という当たり前のことを強く踏まえることができるかどうか、なのかな。

中学生の頃、父親の散らかった書棚からアルチュール・ランボオの詩集を引っ張り出してきて読んでいた時期があるが、あとからそういうエピソードを語ることを前提とした、未来に媚びた行為だった。

日本というか、日本のオタク界隈では「性自認ってグラデーションでしょ」くらいの曖昧さなのに、海外は「AかBかCか！必ずカテゴリの枠に収めろ！」みたいになって、日本人が眉をひそめている感。

ネットでアンチからバチボコに叩かれている先輩作家さんに「こんなに叩かれて腹立ちませんか？」と（無神経にも）訊いたことがあるんだけど、「まあでも、こいつらの駄文に比べたら俺の作品のほうが面白いからね」というお答えだった。見習っていきたい。

今の世の中、ポリコレとかの影響で「多様性」とか言ってるのに「許される多様性」と「許されない多様性」を分類してる感じで「多様性って何？」って思ってる。自分が嫌いな多様性は認められないような人が決めた多様性なんかになんの価値があんのかね…

いうてITは分野が広すぎて、すべてを極めるのは困難、広く浅く知りつつ一部を深堀りするT字型キャリアやπ字型キャリアが推奨されるぐらいだから、ある分野において自分が深い知識を持っているからと周囲を叩いても別の人は他の分野で専門であったりするわけで、マウント取るのは本当に不毛。例えば僕はクソコード動画などと揶揄する作品を出してるけど、コードの品質はともかく動くものを超高速で作れる人が世の中にはいるわけで、一方で僕は動くコードを書くのは平均以下なので、それはそれで尊敬する。だからこれは定期的にずーっと言ってるんだけど、「動くコードはあなたが書いてね、僕はそれを追いかけて変更性が高まるように設計して書き直すから」これがプロダクトの生産性を常に高く推移していける戦法だと思っている。

とある大企業の人事部長さんとの会話。「若い子のアルバイトがすぐ辞めて困る。汗かくってのがダメなのよね」「給料あげてみたらどうですか？」「コンビニバイトが同じ時給で涼しいとこで働けるからそっち行っちゃう」「給料あげててみたらどうですか？」「本当根性がない」「給

よくあるスマホ広告で｢見てる側がイライラするくらい下手くそ｣なプレイ風景流すゲームあるよね。あれ考えた人すごいと思うわ。広告としてはうざいけど。

口ヒゲ邪魔だし永久脱毛してもいいのかもと検討したこともあるが、突如日本が転覆して「ヒゲ＝ステータス」みたいな価値観の国家に買い取られたら困るなと思って断念してる。

（え～！関くんさすがにそれは先生にバレちゃうって～！完全に腸出てるよ～！）

「うわ～これめっちゃいいな、みんなに知ってほしいな」と思って布教を始めるものの、やはりどうしても「刺さらない」層もいるので、波及の過程で刺さらない層まで到達していって「言うほどでもない」「過大評価」みたいなのも目に入ってきてこんな…こんなはずじゃ…となる、一連の、流れ。

日本の人、死に関して話す事自体が災いを呼びタブーな感じの人多くない？親に「税含)死んだらどうする」的話をしたら「死んで欲しいのか？」反応で驚き説得した思い出。自分は毎年遺書と資産移動解説動画を更新。

Vの人同士の人付き合い、会話で何かを訊いたりするとき「は？ それは先々週の配信の36分20秒ですでに喋ったんですけど」みたいになるリスクあって大変そう。

SM的な関係においてM側に屈辱的なセリフを言わせようとするとS側も一度は言わないといけないという不具合。

マリオパーティにおける「コインを20枚持ってないので目の前のスターを素通りするしかない」みたいなこと、実社会でも度々ありますね。

亡くなった祖父、農家のくせに野菜嫌いで漬物とかぜんぜん食べなかったので、なんでなのか聞いたら「嫌いなものは食わん…」と言っていたので尊敬している。

クリームパン買ったんだけど、おしゃれなパンを欲しがったまる子が最終的に買ってもらうオチとしてのパン みたいなパンだな……

オタクが嫌いなのはポリコレじゃなくて原作レイプ。そして今ポリコレが盛大に原作レイプしてるからポリコレが憎まれてるだけ。はよ気付け

オタク同士のLINE会話、互いに不明な情報は各自検索で補完することを前提にしているので話題の飛躍速度が速い傾向にある。

まじめなことを面白く伝えるスキルは大切なんだけど、ユーモアに包むと途端に本質が失われちゃう種類のまじめなこともある気がしていて、そういう部分に関しては極力なんのひねりも入れず率直に書きたい。

椎名林檎東京に来てだいぶ経つだろうに東京に来たことなさそうな歌詞書き続けられてすごいと思う。

「それって本当に悪なんですか、定義を言えるんですか」みたいな「哲学的」態度、対話を遅滞させるための政治的テクニックとして使われがちでイヤね。

宮崎駿が『魔女の宅急便』について「下手したら病気の女の子に血清を届けるみたいな話になっちゃうんだから」と言っていて、うわー、なる、と思った。

キャラクター同士の呼称表を作るオタクが一番信頼できる。

輝夜月さんがやってた、元ネタを知らないモノマネを聞かされても雰囲気でひとしきり爆笑してから「調べとくねぇ～」って言うやつ、ギャルの100点レスポンスだな。

「そんな技術と才能あったら一生食いっぱぐれるわけないのでは……？」みたいな人が生活の不安に怯えていたり「それでよく今まで生きてこられたな」みたいな人が肩で風きって歩いてたりする。

秋は実在しない。夏と冬の間にある「グラテーション」に勘違いして名付けたあわて者がいるだけ。

人を「あなたは笑いの神に愛されてる」と認定するおもしろムハンマド、何者

供のころ活字中毒すぎてごはん食べながら本を読むことを親に禁止されてしまい、仕方がなくふりかけの裏の原材料などを読んでいた人は私以外にもいっぱいいるはずだ。

「1mmも思わない」とは言うけど「10ｍくらい思ってる」とかは言わない。「同意度」は完全否定するときだけ長さで例えられる。

技術者が未来のAR…技術革新…と唱えていてもあまり浸透しなかったのに、好きなアイドルが自室で踊る機能が出ると一瞬で広まるのはやや切ないけど、そういうものだよな。

陰謀論の人、製薬会社や国が巨大な陰謀を巡らせてる世界観で生きてるのに、そんな巨大陰謀の主体が「針の引っ込む特製注射器で接種を偽装したぞ！」「公式サイトをダウンさせながらマズい情報を消したぞ！」などと超間抜けなの、「作者は自分より賢い人間を描けない」が如実に出てて何というか。

スタジオの下は13階で弁護士の法律事務所

離婚問題で溢れ出た妻や夫達の憎しみの言葉

焚きつけられて燃え盛る被害者と

卑怯者呼ばわりされて怒る加害者

思いがけず10階は客の入らない映画館

週末だけは孤独なカップル達がチラホラ

ポテトチップスがコーラに流されて

溶けながら闇の中へ消えて行く

9階と8階と7階はラブホテルのフロア

数限りなくシーツとコンドームが汚され

扉を開ける時の気分と

閉める時の気分の違いをいえば不条理

5階、4階は安全を売る警備保障の会社

連日連夜 警報ランプが赤く光り鳴り続け

ヒステリックなコードと諦めかけたムードが

火災警報に絡まり合って燃えている

3階、2階、1階は3種類のコンビニエンスストア

すべて考えぬかれた場所に決まりきった商品が並べられ

便利さの影から防犯カメラが

私達を1人残らず映し撮っている

地下3階は何とギャング達のギャンブリングフロア

悪だくみと友情と札束の取引の場所

郵便配達も税務署もなく

それでも国際交流はいつになく激しく

15階建てのビルの最上階は今もなおミステリー

誰が住んでるのか何をしているのか知る人はいない

楽観的に見ても 悲観的にも

不可解な空白が青空に浮かんだまま

たまにネットで「好きなものの名前そのもの」を名乗る人いるけどどういうメカニズムなのか全くわからないんだよな。いくら荒野行動が好きでも自分の名前を「荒野行動」にしてyoutubeでコメントとかつける心理が計り知れない。

3段階のステップで解説するイラスト講座、だいたい2と3の間で常人に認識できない何かが起こっている。

検索に引っかかりまくる濫造アフィリエイトサイトって誰が作ってるんだ？ と思って「アフィリエイトサイト　稼ぐ」とかで検索して出てきたセミナー動画見たら講師が「モチベーションを保つために、1日5サイト作れたらプリンを食べたりしよう」とか言ってて、ゴミ作ってプリン食うなよと叫んだ。

特撮などの怪獣、基本的に姿かたちが自分に似てるやつが周囲にまったくいないので、不安だろうなと思う。

「めんどくさがりやです」って言うと「無駄なことに時間をかけるのが嫌いなだけの、効率化への意欲と能力がある人間」が「わかる～」って言ってくるのやめてほしい。きみはなにもわかっていない。

ポップな動物のイラストに肛門が描いてあると「肛門が描いてあるのにポップなイラストだ…しかしそれは肛門である」と思う

肉体的に劣った障害者を軽蔑するのはダメだが精神的に劣ったクズを軽蔑するのはアリなのが現在だけど、では「クズになるしかない人」もいるのでは、という考え方が最近の流れにあって、しかし突き詰めすぎると人はもう誰も軽蔑することができなくなってしまう。

「事態を重く見た」が含まれるニュースが全部通知されるようにしてるから、思ったより重かった事態がすべて手中にある。

「キミは刺されて痛いかもしれないがボクは痛くない」みたいなサイコパスがよく創作に対話不可能な異常者として出てくるけども「あの人たちは痛いかもしれないが私たちは痛くない」だったら現実に似たようなこと言ってる人いっぱいいる気がする。

SFによくある「彼はロボットだけど人の心を持っているようにしか思えない。人間とは……機械とは……」みたいなやつ、難しい問題だといっても「既婚者だけど好きな人ができちゃった」と同じ程度の難しさ、つまり「好きに決めろ」で済む話なので、それを話の中心に持ってこられるとやや白けてしまう。

飲み会の会計で「ひとり酒飲んでないから五百円安く」「あ、おれ五千円しかないわ」「じゃあわたしが1500渡すからそっちが」みないなやりとりしてるとき、あーなるほど、それでトントンですねみたいな顔して頷いてるけどひとっっっっっっっつも理解してない。人狼ゲームはその飲み会の割り勘の計算が永遠に続いてるみたいな感じになるので苦手だ。

Twitterで絵を描いてる人を無作為に（？）選んで、勝手に批評と点数を投げつけることをなりわいとしてるアカウントが存在すると知った。

「生まれてくる前も私は存在していなかったがそれが怖くないように、死も怖くない」みたいな言葉を前になにかで読んだけどめちゃめちゃ詭弁だろという思いがずっとある。

「見当違いな批判をする人を批判する人」が使う言葉に「なにごとか」「けしからん」ってのがよくあるけど、ネタ元をたどるとほぼ実際にはそう言ってないし、文脈的にそうとしか読めないとしても本人は文意を曲げられたと思ってこじれるだろうからやめたほうがいい気がする。

ふざけるのが好きな人に対して普段あまりふざけない人が善かれと思ってやりがちなことに「相手が言ったユーモアに要素をプラスアルファして繰り返す」というのがあるけど、あれあんまり好まれないこと多い気がする。

人間は身体の構造上ウソがばれないようになっている（たとえばウソついたらシッポが立つとかそういうことがない）のは重要だったりするのかな。体の仕組みがウソつけないようにできてたらその人類は今くらい繁栄できただろうか。

接写で自分のひげを抜く動画だけ地道にアップし続けてる人がいるんだけど、ある日実験的に逆再生の「ひげ植え動画」を作って投稿したらかなり評判悪くて投稿者が驚いてたのなんか笑っちゃった。

死亡するシーンってこっち側からの操作をもはや何も受け付けなくて「動作」だけがあるんだよね。その一方通行感にほんの少しのリョナを感じてもらえたなら幸いやね。

こういう話題になると、お前らの醜悪な差別心が丸出しになるな。何が「非インテリに書ける文書ではない」だ。それってようは「高卒クンはまともな文書書けないっしょw」って思ってるからでてくる言葉だよな。結局お前らさ、お勉強頑張って上京して都心の会社に勤めることこそが「成功」であり「幸福」であり、それ以外の生き方は負け組と思ってんだろ。なんで地元から出れないことがイコール「埋もれる」ことなんだ？ちゃんと「地方」にどんな産業があるのか理解した上で言ってるのか？

例えばだが、お前がメガネをしているとして、そのメガネが国産のものならば、ほぼ確実に日本海側の人口100万人未満の県の人口10万人未満の市で作られたものだからな？お前らが着ている服の糸一本、乗ってる電車のネジ一本、住んでるマンションの資材一欠片、食った米の一粒まで全て都心の高学歴が作ってるとでも思ってるのか？そもそも東京の多くの人間の「原産地」が地方だろうが。立派な大学出て都心のIT企業で働いてるお前らの何倍もの付加価値を生み出してる地方の中卒高卒なんていくらでもいる。

優秀な能力を持ち、「東京の大学」でて「東京」でその能力を発揮したいと希望してる人間が東京に出れないのは確かに悲劇だが、本当に「東京」じゃなければならないことってそんなにあるか？別にその優秀な能力を、高卒で地元の一次、二次産業で活かしてもまったく悪くないだろ。

お前らの物言いには地方の無価値で無意味な仕事は、愚かで粗暴な田舎の低学歴がやってればいいって差別心が透けてるんだよ。「男だから、女だからこう」みたいな価値観の押しつけにあーだこーだ言う前にさ、自分の中の「地方」や「低学歴」に対する醜悪な先入観や差別心を認識しろよ。「女は産む機械」レベルの低解像度かつ差別的な認識で地方や非大卒を語ってんじゃねえよ。「捨てられた土地」に産まれた増田を作ってる原因はお前ら、そして元増田を自身にもあるんだからな。まだ東京で消耗してるの？と言った奴のことは好きじゃないが、「地方で埋もれた」奴がいるのと同様に地方で活躍できる人材が「東京で消耗している」ことも無数にあるんだからな

スマブラが楽しめるかどうか、ファーストインプレッションのとき同じくらいの実力の友だちが横にいたかどうかにだいぶ左右される気がする。

パチンコ屋の看板の、ほんとに世界観の違う漫画やアニメのキャラが一堂に会してる絵面が好きだ。「版権のパチンコ化に許諾を出した」という点でだけ繋がってるフィクションの共同体。

まとめサイトのコメント群がひたすら裏面にプリントされているビスケット

セットのごはんが白米と十六穀米からお選びいただける場合、絶対に十六穀米を選んでしまう性質を利用した殺人トリック

5Gの時代が到来する。あなたのスマホにフェイク・ニュースと脱毛広告と動物の転載動画が、今までより早く、確実に届く。

アスファルトの隙間に生えてるタンポポ、過酷かと思いきや隙間には水が流れ込んできやすい上に他の植物に日光を遮られないのでタンポポ界では割とヌルい生き方っぽく、僕もなんかそういうポジショニングしたいなーと思った。

マリオ64のAボタンを押さないでクリアするやりこみについてのWeb記事に「Aボタンが何を意味するのかわからない（ので、良くない）」という言及が複数ついていて、えーっ、マリオのAボタンが何かわからない人がわからないままマリオやりこみの記事をわかろうとするほうが悪くないか、と思ってしまった。

人生をより良くしていくことだけに興味があり、リスクヘッジとかスキルアップの話ばかりしている人がたまにいて、そういう人と話すと自分が怠惰な気がして焦るけどそれはその人がただの人生オタクというだけなので別に話半分で構わない。オタクの趣味の話を聞かされているのと同じだから……。

たとえば金を盗むとかなら自分は得するので悪としてわかりやすいんですが、うるせーバイクは鳴らしてるやつにとってもうるせーので誰も得しないな、完全に悪いことしか起きてないな、という意味での「完全なる悪」でした。「誰得」のほうが誤解の余地は少ないかも。

食べログ、評価３以上は誤差の範囲というか3.1も4.1もたいして変わらん感じがあるが、2.7とかのときは高確率で「2.7」って思える味

「世の中には善も悪も無く、ただ各自の勝手な主張があるだけ」という主張は「サッカーにはシュートも反則もなく、ただ人とボールの動きがあるだけ」という主張と同じくらい無意味ではないか？　意味があるとしたら何が違うだろう。

どう見ても子どもにしか見えない外見の主人公（成人）に夜の繁華街について説明する１ページだけがツイッターに貼られてバズってて、そこに「こんな話子どもにするなよ」という漫画の中であるやりとりみたいなリプライついててよかった。

レックウザだけはかっこよさがよく理解できてなくて体長15センチくらいに見えるしもしそうならごま油で炒めてやるからなと思ってしまう。

弾劾裁判所の噂、知ってる？夜の2時22分に弾劾裁判所の弾劾室に入ると、誰もいない弾劾機から誰かを弾劾する音がきこえてくるんだって…………

インターネット見てると怒っている人をすごく高い頻度で目にすることになるけど、そのほとんどは「自分のとある属性を軽視／誤解するな」という公共性のある「義憤」なので、たまに「お前は、おれを、バカにしただろう！」と最小単位の怒りを爆発させてる人を見ると嬉しくなる。

英会話、英語の文法や発音とともに「陽気な人の振る舞い」も押し付けられている感じがするのがシャクなので、陰気な人の話し方を学びたい。

マンガとかに出てくる会社、「商談」や「残業」や「外回り」や「書類のコピー」などが具体的な描写なしにふんわりと描かれていることが結構あり、会社という概念の中で特に何も生み出さず純粋な労働をしている感じがなんか面白くて好きだ。

全校生徒が静かになるまでにかかった時間を小数点以下1桁目から順に発表していく盛り上げ方を心得てる校長

「ヘンなやつからクソリプ飛んで来たからいっちょからかって遊んでやりましたわｗ」みたいな感じを出している人のほうが傍目に明らかに間違っていることがたまにありウワ～～～ッとなってしまう。よくあるのが、細かい論点を重視するタイプの人に間違いを長文で指摘されたとき、その長い文字列のカタマリから「顔真っ赤」成分を勝手に読み取ってバカにしたろモードに移行してしまうパターン。

「海外のユニークなCM」、日本で同じ事やったら褒めてる人の中の少なくない割合が眉をひそめると思うし、遠い海外の出来事であることが重要だったりするのだろう。

○○がない、やり直し。ってやつ、スラングだとしても、人の選択に「やり直し」を命ずる無神経さが（むしろスラングであるということによって）際立つので、使うのは控えたほうがいいと思う。前も書いた気がするけど、「○○がない、やり直し」ってフレーズ、ネット構文としては攻撃力が高すぎるため、言った方が想像する30倍くらいムカつかれている場合が多いので使わないほうが得です。

作品が長期化してキャラクターがたくさん増えてくると、劇場版とかでキャラが勢揃いしたときにひとりひとりが「そのキャラらしいセリフ」を一言ずつ順番に言っていく、みたいなシーンが出てきがちになる。

「人の子どもに勝手に食べもの与えないで」と「目を離す親が悪いのでは」が平行線なのは、前者がその言葉で道徳育成を促していて、後者が現状追認を促してるからじゃないかな。「丸腰とかアホか、ここは戦場だぜ」「ここを戦場にしたくないんです」というような食い違い。

平行線という表現は対等な印象をあたえるのでよくなかった。後者はその発言自体マナー的に悪く、また、現状追認と自己防衛だけで社会は成り立たない事実を見逃して現実主義者のように振る舞うところに幼稚な悪さがある。

「ま、世の中そういうもんさ（だから自分でどうにかするしかないのさ）」というスタンスの功罪について最近よく考えている。そういうスタンスの長所は、現実主義的ゆえに世の中にがっかりすることがなくなったり、世間に期待しないことで自分という拠り所にかえって自信がつくところかな。短所は、自分と世界を分けて考えるようになることで「自分も世間を構成するパーツの一つだ」という意識が抜け落ちて、本来なら働きかけで変えられることも「そういうもんさ」でなあなあにしてしまえることだと思う。

ところで談志の名言に「よく覚えとけ、現実は正解なんだ」というのがあるけど、あれを現実を作る立場にある側（厳密にはみんながそうだけど）が言い出したらこわいな。街場のスピーカーから「市民の皆さん。現実は正解です」とか。「現実に文句を言っても何も変わりゃしないぜ」というスタンスはとにかくなんかカッコイイんだけれども、実際「現実に文句を言う」というのは現実を変える有効な戦略のひとつなんだよなーとも思う。カッコ悪いかもしれないけど効かなくはない。

男だというのもあり今まで電車内で痴漢に遭ったことはないんだけど、密室で隣の人が法を踏み越えてこれる人間だと発覚するのはめちゃくちゃ怖いだろうと思う。

正当な批判と人格攻撃は別って言うしそうだなあとも思うけど、批判される内容は特定の人格が生み出しているので、批判された方としては人格を傷つけられるのと大差ないので、あくまでカテゴリーが別なだけでどっちも人を傷つける。言葉で人を安全に傷つけたいときは、何がそいつの人格に深く食い込んでいるか見極めたうえで「正当な批判」をするとよい。傷つく方が悪いという空気にもできるし。

SCPおもしろいけど貴重な石油資源に次から次へと火をつけて「きれいで楽しいね」と言ってるような無邪気な怖さも感じ、勿体無いやめろやめろ！ と叫びたくなる。ほんとに俗っぽい話で、その資源（アイデア）を加工・製品化して輸出すればいくつの蔵が建つと思ってるんだ！ 端的に面白いとこだけ1ページにまとめちゃうとはなんてぜいたくな！ という、真面目に言うのはお門違いな文句（悲鳴）でしかないですね…。理性的にはむしろ素晴らしい文化だと思います。

哲学は役立たずと言われるのは、問いが根本的すぎて実用的価値や発見をもたらさないという理由が大きいのだろうけど、即物的な対処を求められる場で「哲学的」に話をかき回して議論を遅滞させられる、という意味では政治的に哲学は大いに役に立つと言え、その意味で哲学は邪悪な武器ですらある。

自分は「なんらかの規則に従って生活する」という、ライフハックの根本的な部分が生理的に無理（嫌いとか軽蔑とかではなく、ただただ実行と継続に強いストレスを覚える）なのかもしれない。

たとえば「毎朝、一日のスケジュールをリストアップして可視化する」というようなライフハックも最初は「素敵やん」と思うのだが、二日目にはもう猟銃を喉の奥に突っ込んで引き金をガチガチやりたくなってきてしまう。

義務教育が本当に伝えたかったのは「この免疫」で、ちょっと勉強や運動が得意でもこの免疫さえ身につかなかったらそうとうマズいのかも（もう遅い）。

ネットで誰かが自分の心の叫びを吐露してるのに対して「これだけの文章が書ける人がこうも貧しいのか…」ってコメントがつくけど、貧困であることと文才があることには関係がないし、関係があると思っている時点で貧困な人に不誠実では？と思う

初音ミクの浴室の排水溝には水色の髪の毛が詰まってるのかな

5chの万引き総合スレッド見てみたら恵方巻きを万引きした話などが交わされていて四季折々に敏感な日本の心と思った。

ヴィーガンの人たちの主張に「あんたらも植物を食べてるじゃないか・微生物を殺してるじゃないか・細胞は？ウイルスは？ 可愛そうじゃないか」と返す光景があるけど、それによって言えるのは肉食者とヴィーガンのどちらも倫理的に間違ってるってことでしかなくて、なんら優位に立てないんじゃないか。

たまに部屋をちらかす人が潔癖な人に「ちゃんと片付けろ」と怒られて「でもお前の部屋もエアコンの上にホコリ積もってるぞ」と言い返して勝てるのは「部屋はいくらちらかしてもよい」と考えている人か、「この程度までなら、部屋を散らかしてもよい」と考えている人だけ。

「部屋はいくらちらかしてもよい」という人は、ゴミ屋敷の住人を怒れなくなる。「たまに程度なら部屋をちらかしてよい」と思ってる人はゴミ屋敷の人に注意できるが「あんたの部屋もうち程ではないがちらかってるだろ。文句言う権利あるのか？」と反論されたら、潔癖な人と同じ立場に立たされる。

「人殺しを禁じて動物殺しをゆるす線引きをしているあなたたちも、勝手な価値基準で命に優劣をつけていると言えるじゃないか。同じように恣意的に線引きしてるのに、なんの根拠があって私たちを拒否するのか」と返されそうですね…。

漫画に出てくるJKが「意味わかんないんだけど」とか「キモっ」しか言わないのは、作者が学生時代にそれしか言われたことがないから

人生、チュートリアルモードが終わるとゲームのルールが変わるのどういうゲームデザインなんだよ。

100%言い訳できない豪速球の失言で責任追求されてる町議のFacebookを見たら「難しいことはよくわかんねえけど、言いたいこと言える町議は嫌いじゃないぜ！ 辞めんなや！」という応援コメントを寄せてる「理屈はわかんねえけど何が正しいかはわかる不良キャラ」的な、普通に見抜けてない人いた。

ニンテンドーラボ、おとなの「良き親になりたい欲」みたいなのをゴリゴリ刺激してくる。

心霊スポットがちゃんといつも同じ場所にあるってことは地球の公転や自転と同期してるってことだから、霊は重力の影響を受けるということ……？

死霊がデータ的なものだとしたら、球体表面の緯度経度と表面からの距離の3次元の座標軸で位置が管理されてるのかもしれないですね。

「国際学会の懇親会で日本人が固まるのは良くない！」って言われるけど、私みたいに知らない人と話すのが苦手だと国内学会の懇親会とかもほぼ行かないので国内国際あんまり関係ない(おかげで知り合いが少ない)

83年生まれの私はまだなんとなく「世界はよくなるだろう」という感覚を幼い頃に抱いていたけれど、90年代に生まれた人たちは生まれてからずっと衰退し続ける社会を見てきたのだと思うと、恐ろしくなった

正直世の中って「成長なんてしたくないし、毎日ルーチンワークして平和に生きたい」って人多数派なんだけど、メディアには「僕は成長して、いろんな経験をしていきたいです！」みたいな人しか出てこないし、そういう人を助ける政策しか表に出てこないが、本当の票田は前者なんだよな。

「カミングアウトしなくていい社会」という言葉を見るたびに、「あら素敵ね。そうなったら良いね。でもまだそうじゃないよね。だったら、そういう社会にするために何をするか考えなきゃね。そしてそれは『カミングアウトしないこと』じゃないよね」と思う。そしてその発言がヘテロセクシュアルの立場から出されたときは、更に「あら、じゃあ貴方たちも率先して、社会から異性愛中心主義やホモフォビアを払拭するよう、頑張ってね」と思う。

めっちゃ悪い話するんですけど、おフェミさんやリベラルが言うモテに囚われているという非モテは、大体がもうギリギリで「せめて一人くらいには愛されたい」とか「好きな人から好きって言われたい」くらいの感じで、大抵はモテ男性より純粋なんですよね。まぁ女性から見たらキモイかもしれんが。

ドラえもん映画の主題歌うたう人ってみんな「子どもの頃から大好きだったドラえもんの主題歌をうたえてビックリ」みたいなことを言うので、たまには「オファーを頂いて初めて存在を知りましたがとても独創的なアニメで夢中になりました」みたいな変化球があってもいい。

子供の間違いを指摘する時に感情的になっていたら子供が聞くわけないんだよなあ

いとこの運動会で徒競走で両手広げて走ってる子がいたらしくて、いとこ母が｢アラレちゃんかな〜って思ったんだけど｣って言ったから私が｢NARUTOなんじゃない？｣って言ったらいとこが｢禰豆子(鬼滅)だよ！！！！｣って言ってジェネレーションギャップの渋滞おこしてる

MeToo原則に基づき女性はAEDで救命されることはないというエビデンス – Togetter

>>なんだろなぁ、こういう拗らせた冷笑主義は。じゃあどうしたら女性もAED使用者も助けられるかと、考えないんだろか。考えないし、考えるだけの倫理観もないんだろな。

>>「人命よりもお気持ちを優勢します！」とか宣言してるやつ、きっっっっっついな。どんなに正しく行動したと思っても訴えられるときは訴えられるよ。でも正しくあろうよ。それだけだよ

そんな生き方でいいのかよ

「君たちはどう生きるか 漫画村」

芸術は質が高くなるほどに普遍的な事実を照らし出す傾向があり、それによって逆にその手法を使うことの必然性が失われるのかもしれない。ある本質に辿り着くため、のちのち外すハシゴとして便宜的に用意したルールにいったん足をかけるみたいなことに対して、自分は極度に無理解なのかもしれない……。

学問とか言論の根っこに哲学があるせいで真理探求志向が人文系には蔓延しており、それが芸術方面の評価軸も蝕んでるから「いい芸術=本質に近いもの」みたいになってて、結果的に「優れたアート」ほどその手法をとる必要がなくなくなりがちだったりするのか？

「理屈じゃなくて直接良さを感じるんだよ」って言われるような趣味全般に「理屈によって良さを把握したいよ〜〜〜〜〜うわ〜〜〜〜ん」ってダダこねちゃうな……。

会社にはラップ好きが多いんだけど自分はフリースタイルダンジョンの流行に乗り遅れラップの面白みをいまいち把握できてなくて「なんか『すごさ』を交互に主張しあってるけど、すごさの基準は多様だし主観になっちゃうんだから結論出なくないですか？」って訊いたら失笑されたことがある。

いままでフォトショが消したシワとシミが全部溜まってる井戸

ぜんぜん喧嘩腰のつもりでないのに「なんでそんな喧嘩腰なんだ！」と喧嘩腰で来られることがあるけど、向こうも本当は喧嘩腰のつもりじゃないのかもしれない。無から憎しみが生まれ、争い、人が死ぬ。

自分がタイタニック号の楽団のメンバーだったとして「船は沈んでるけど、おれたちは音楽家だから演奏を続けよう」みたいなノリになったらめちゃくちゃ嫌だな。

>> あれは、どうせ死ぬなら好きな音楽を奏でながら死のう、という悲しいけど幸せな行動なのではと思いますが…

ブルゾンちえみの芸をまだ見たことはないのにそのマネをしている素人のYouTube動画は大量に見ているのでプラトンの洞窟の比喩のようになっている。

単純作業に永遠を感じてしまうともう足が動かない。たとえば道を歩いてるとして、2000km先まで何もないまっすぐな道が続いてたらもはや歩けずヘタリ込むと思うんだけど、ほとんど全部の作業がそんなふうに感じられる。

やっぱりこう、ネットで人に嫌われたくね～～～って思いは根強くあるんだけど、たぶん「嫌われたらヤバいぞ」という意識は住民50人とかのムラで生活が完結してたような時代における危機感のなごりで、古いセキュリティソフトがバグで作動してるようなものなんじゃないかと思う。

まあどんなマイナーな性格の人も全国からかき集めれば野球場の客席くらいは埋まるのかもしれず、であれば疎外の悩みは単に己の位置取りがよくないということになる。

新幹線に乗る前に弁当屋を物色してるとき、星のカービィでボス戦前にコピー能力を選ぶ部屋みたいな気分になるな……

ボカロの世界で食べていけてそうな人、なんだかんだみんな自分で歌っている。

極論を言えばどんな創作も有り物の組み合わせでしかないので、あまりにも広く深くなった今のネットにおいては「どっかから良いものを拾ってくるスキル」も「有り物の組み合わせをするスキル」も同一視される現象が起こってるのかもしれない。

無心で食べてたブルボンプチシリーズの彫刻が自分の人生より全然複雑なことに気づいた。

「それが本当なら」で話を始める人、本当だった場合の話しかしないので実質ただ信じている。

「コレを買った人はこんな製品も買っています」って並行して買い集められる漫画とかには有効だけど大物家電などは周辺機器しか出なくなるので「コレを買わなかった人は最終コレに落ち着いてます」も知りたい。

どんなNGワード設定しても本当に憎悪たぎってる人は遠回しに言ったり新語発明したりするから意味ないよね。夜道に気をつけろよ。

おひつで食べるごはんのうまさの何％かは「おひつ」という語感にある気がする。「もごべ」とかだったらまた印象変わってたと思う。「もごべからよそったごはんおいしいね」ってなってたかな。

ね、みなさん、日本語は生き物なんですよ、生き物ですからほら、ね、食べてるでしょう肉を、ね、見てくださいほら、すごい速度で食べてますね、これ何の肉なんでしょうね、あ、日本語が交尾をはじめましたね、生き物ですからね日本語は、ほらキミもよく見ておきなさい、日本語ですよ、これが。

子供の頃「悪人を捕まえるのは警察なら悪人が警察になったら大変なことになるのではないか、正義システムを悪人がフル活用したらやばい…」みたいなことよく考えてて、なぜ学校でその可能性の対処法について教えてくれんのか？ と謎だったけど、その答えって「どうしようもない」なのかもしれない。

明らかに嘘とわかるツイートが広がった結果本気で信じる人が現れたり本当に嘘で騙そうとしていると思って怒り出す人が現れたりするのって、「バレバレの嘘をつく」という面白の文脈を持ってる人がごく一部だからなんだろうな。そんなことをしたがる動機がまったくないから信じるか疑うかする。

ほかに「言っちゃいけないことを言う」という面白の文脈もあって、たとえばあからさまに差別的なことをわざと言ったりするのは基本タブーに触れること自体を笑ってるんだけど、そんなお笑いを必要としなかった人たち（ほとんどの人）にとってはただの差別でしかないんだよな。

痛いニュースってめちゃくちゃアクセスあるらしいけど、あんまり大っぴらに読んだり書き込みしたりしてること公言するようなサイトでもないじゃないですか。別にアナーキーなメディアでもなく、むしろ「正義感」みたいな書き込みが殺到する場なのに、なんで少し後ろめたい感じになってるのか。

「人権は神話であり、信じることで世界がより安定する物語に過ぎない」ということが本に書いてあったんだけど、神話を神話と知りながら信じる、ということがどうしてできるのか自分にはよくわからない。

理不尽に殴られている人もこれまでの行いが悪いと「因果応報」として放置されることが多いので、リスクなく誰かを理不尽に殴りたいときはこれまでの行いが悪い人を探せば良い、というノウハウが成り立つ。

この数十年で「ひとりの人間が関わる人間の数」って爆発的に増えたけど、千円やそこらで脳の構造はそう変わってないはずだから、脳の基本機能としてはせいぜい100人くらいと関わる用にデザインされてる気がする。だとするとネットサーフィンとかしまくってるときの脳って「人口100人の村に、見知らぬ異民族がひっきりなしに侵入してきてる」的な解釈をしてそうだ。だいぶ疲れることしてるんじゃないか、普段。

「疑似科学に騙されないために科学を学ぼう」は歓迎されるのに「カルト宗教にハマらないために宗教を知ろう」は下手したらキモがられるのはなぜか、というツイートを読んで思ったのは、疑似科学が「科学のフリ」をしてるものだとしたら、カルト宗教は何のフリをしているものなのか、ということだ。

正しい科学を知ることで間違った科学の偽物をしりぞけよう、という理屈を宗教に変換すると「正しい宗教」を考えなければならないので、メチャメチャになってしまいますね。

なんとなく部屋の隅でじっとしてたらワープゾーンだったらしくて、今、バッタンキングのとりでの頂上にいます…………。

「履歴書は手書きがよい」という根拠について調べてたら「履歴書は手書きが一般的という常識を守れていることがわかるから」という理由が出てきて、完全無敵…！！ となった。

オススメの洗濯機　12選　とか絶対そんな知ってるわけないんだからやめてほしい。

失礼なリプライを送ってくる人のホームに行くと、かなりの確率で何らかの10連ガチャの結果画面を貼っている。

「ヒトラーは嫌いだがこれは正論」みたいなことを言いたくなる欲ってあるし、もうその欲がテクニックとして意識的に利用されるフェーズに入っている……。

朝のラジオ体操の音がうるさくて不快だとクレームを入れたらラジオ体操が中止になることはあっても、ラジオ体操中止など許さん、静かだと私が不快だ、とクレームを入れても再開されることはなさそうですね。「無い」ことへの文句の良いにくさ（説得力のなさ？）ってなんなんだろう。

毒舌ステイチューン、Suchmos。今宵も絶好調のヨンスが、ダサいヤツらを次から次へと眠りにつかせる～～！

大学のとき、講義終わりに教授に質問したら軽い言い争いみたいになったことがある。その教授はフェミニズムを研究していて「男女で職業に向き不向きはない」という内容の講義に「たとえば肉体労働は男の方が向いてませんか？」と訊いたらちょっとムッとされて（そういうのは聞き飽きた、という感じ？）「君より筋肉のついた女性もたくさんいるでしょう」と言われて、え？ いやでも今は男性一般、女性一般の話であって、全体の傾向としては事実として男の方が、みたいなことを言ったら話を打ち切られてしまい、むーん、となった。たぶん教授はそういう性差の傾向について語ることがいかに個人に差別をもたらすかを知っていて嫌そうにしたんだと思うけど、僕は僕で、ともあれ事実は事実としてあるんだから仕方なくない？ という、いかにも理屈っぽい態度をとっていたから平行線だったんだろうな。

真っ暗な部屋だけ用意して「この空虚さがアートなんです」みたいなのやりたくなる気持ち、正直死ぬほどわかる。

擬人化された猫が玉ねぎ炒めを箸で食ってる絵があったとして「猫は玉ねぎダメなんだよ」と突っ込むひとは、突っ込む基準をどう設定しているのか。猫が箸使うのはいいのか。矛盾は大きいほど誇張に近づき、小さいほどミスに見えるのだろうか。

なんでもできる自由な世界がありえるとしたら、それは同時になんにでも文句を言えて不快を表明できる世界でもあるはずだから、常に誰かが何かに不満を漏らしてあちこちで小競り合いを起こしている、はてなブックマークがそのまま地球を覆ったような世界になっているはず。

そんなんじゃ社会で通用しないぞって言われた人だけ集まって社会作ればみんなめちゃくちゃ通用するのでは？

日本人は「すいません大丈夫ですか！？」って声には反射的に「大丈夫です」と言うように洗脳されているので、すれ違いざまに飛び出しナイフでおなかを刺して「大丈夫ですか！？」って言っても「大丈夫です！」と返してくれる気がする。

ファミレスで女児が父親に「あのね…ほしいものがあるんだけどね…」と明らかな媚びのトーンでクリスマスへの布石を打ち始めたが、父親は「待って、ドリンクバー行ってからね」と席を立ち、女児が刻んだリズムを一度崩すことで対等な交渉へ持ち込んでいた。

タレントやミュージシャンで、喋りとか作るものの感じから明らかに本人の素養が伝わってくるような人でも、「この人、頭いいらしいよ」と言う人はいっぱいいて、この場合はたいてい学歴のことを言っている。

疑問形でツイートして、そこそこfavもついてて、そのうえで誰からもリプライが来ていない人を見ると、完成されているな、と思う。

悪意があったわけではなかったが、結果的に不快な思いをさせてしまったことについては申し訳なく思う、と言うことに悪意はなかったが、結果的に不快な思いをさせてしまったようだが、申し訳なく思う、と言うと不快な思いをさせるようなので、申し訳ないとは言わない。こちとら自分の判断で自分の好きなように謝意を表明してるんだ、お前がおれの謝罪で不快になろうが知るか、謝られる側だからってなんでもオーダーが通ると思ったら大間違いだ、と逆ギレする手もある。

魔物に肉体を乗っ取られたなんJ民「殺してクレメンス」

ベンがべン図を思いついた頃にネットがあったら「あんなん俺でも思いつけるわ」って20000回くらい書かれてただろうな。

人間は直感的にベン図を頭に描けないので「気持ちはわかる」と言われても「気持ち以外は全然わからない」と言われたとは思えず喜んでしまう。

「ダイエットリセットボタン」こと、チョコかけポテトアイスクリーム添え

事実をツイートないし絵にして拡散した挙句めちゃくちゃ嘘呼ばわりされてる人たくさん見てきたのでみんな信じる基準も適当なら信じない基準も適当だなと思う。

将来めちゃくちゃリアルなVRゲームが出たとして、そのゲーム内での通貨が円で、紙幣を実際に手に持ってやり取りするんだけど、悪用を防ぐために全ての通貨に赤い横線が引かれてたら、たぶん横線を見るたびに現実世界に戻らされてゲームどころじゃないだろうな、とは思う

問題に対する意見が合わない人とは奇跡的に気が合っていると考え喜ぶべきで、ほとんどの人とは何を問題と考えるべきかのところが食い違っていて、これはもうほとんどどうしようもない。

世の中の人が大抵「良い人」なのは、みんなが良い人だと結果的にみんな幸せになって社会も長続きするだろう、という見通しがあるからじゃないですか。じゃあ、そもそも良い人ばかりの世界を作るのが無理だとある日わかったら、もはや個々人が善くある必要性はなくなって、倫理も必要なくなるのかな。「善」の効力が無いことがわかったとしたら、世の中から倫理が消えて世紀末的な世界になるのはまだ良いほうで、実際は悪用するためだけの善が表面的に流通するような世界になるんじゃないかという気がする。

話し合い、議論といったものを「正解があるのにわかってない、物わかりの悪い人を説得すること」だと思っている人はかなり多い気がする。あらゆる対立は答えがわかってる側とわかってない側に分かれていて、自分は常に「わかっている側」だと固く信じている人。

屋上から飛び降りようとしている人を別に止めようとせず、なんなら「あっちのほうが確実に死ねるぜ」的なことを言っておきながら、なんだかんだその軽妙なスタンスによって命を救うポジションでありたい、みたいな願望があります。

「人生は無意味だ」「なぜ自分は生きてるのか」とか、そういうたぐいの問題意識はどこまでもまっとうだと思うんだけど、「なぜそのような種類の考えは、社会の中では鼻で笑われなければいけないのか」という問題の方が色々おもしろい気がするな。

「そんな問題に時間をさいているヒマがあるならもっと重要な問題に取り組むべきだ」という論法は不利になった時に使うとかなり効果的だったりする。どんな問題もある点では他の問題の方がより深刻なので、非を暗に認めつつも先延ばしさせ、さらに相手の怠慢を咎めることもできる。

アニメ的な文脈に親しんでない人が公共ポスターのアニメ絵に性的な要素を見出して問題視することの構造は、漢字を母語に持たない人が「幸」という漢字が手枷の象形文字だと知って残酷さを感じるようなことにも似ていて、文化に馴染んでる人ほど上っ面の記号でやりとりしているから由来に無頓着になる。

家族に囲まれて臨終したあと「寿命で死んだ！」って表示とともに遺体を囲んで泣く家族を写したキルカメラが見えたらやだな。まっとうに生きるとキル数0デス数1になってキルレシオが低くなるのちょっと癪だな。

浦安に住んでる人、越してきて一年目はディズニーランドの年パスをなんとなく近いしって理由で買うけど思ったほど行かなくて二年目からは買わない、みたいなあるあるがありそう。

もし自分が小学低学年で、同級生が「うんこ漢字ドリル」でゲラゲラ笑っていたら「大人の擦り寄りにまんまと騙されよって」と思ったに違いない、と言いたいところではあるが、しかしそれは今だから言えるのであって、やはりな、子供にうんこだからな、めちゃめちゃに喜んでた可能性全然ある……。

世の中どんどんダメになるとか、日本は問題山積みだとかきいても感覚的には全然そんな気がしなくて、むしろ世の中はうまく出来過ぎなんじゃないかと思っている。自分が60億人いても絶対に文明も法もできない気がするし。ようは世の中をダメにする側の人間だからそう思うのだろうけども。

『人生ゲーム』はほぼほぼサイコロの出目のみによって勝敗が決するので戦略性が皆無であり、厳密にはゲームといえない気がする。設計した人は決定論者か。運で全て決まるといえばギャンブル全般がそうだけど、あれはどんな未来がくるかに金を賭ける部分にプレイヤーの自由がある。人生ゲームはただランダムな結果が訪れて、それを享受するしかないという、めちゃくちゃニヒルなゲームだ。

高校の頃、生徒指導か何かで先生が「最近、『登下校中の生徒がうるさい』と近隣のキチガイから苦情が来ている。騒ぐのはほどほどに」とたしなめてて、わりと効果てきめんだった。

実績のあるおじさん「ツイッターで謂れのない誹謗中傷を受けることがある。そういうとき、相手は決まって匿名だ。文句があるなら顔を出しなさい。きみたち、暗闇から石を投げて、楽しいか？ 膝を突き合わせて、一対一で、正々堂々とやろうじゃないか。私は逃げも隠れもしない」

村上春樹の小説の主人公、「一般的には異常な行動だけど、なぜかそのときはそれをするのがまるで当然のように思えたんですよ…」みたいなまったく説明になってない説明をよく使う気がする。

某新興宗教の教祖が降霊本をよく出して世間で笑い話の種になっているけど、前ちょっと聞いた話だと、信者の人も必ずしも本気であれを交霊だと信じているわけではないらしい。ちょっとオチャメな一面を見る機会というか、それくらいの認識で。

自分なんかは「降霊が本当だと信じていなくて、でも肯定的に捉えていて、結局教祖を、宗教を何だと思っているんだ？？」と思ってしまうんだけど、こんな考え方はむしろマイナーで、実際は理屈が一貫していなくとも全く気にならない人たちが本当にたくさんいるのだ。

それこそ「霊的なものなんてないよ」という人が正月に初詣に行っていたり、そういう分裂はほとんどの人にある。新興宗教の内部においても「これは信じてこっちは信じない」という分裂は普通に起きているのだろう。

ある疑問で検索したときにYahoo!知恵袋がトップにくるような疑問は、そのへんの人たちはわりと考えているが、プロの人たちにとっては視界の外にあることだったりする。

いつだったかのテレビで「イチロー選手は動体視力が凄まじいので、ホームを走り抜ける新幹線の中の乗客が食べているお弁当の具を当てられる」というのを見て以来、イチローの名を見聞きするだけで新幹線のホームに立って窓を凝視している彼を想像してしまう。自分の中で彼は具を見極める人だ。

勤め人（クリエイター・技師・その他）の世界は甘くない、という言葉と、プロスポーツ選手の世界は甘くない、という言葉は、甘くなさのレベルが違う。前者は競争原理が働いて結果的に厳しくなっているが、後者は脱落者を前提にして 「甘くなさ」を追求することで業界自体が成立しているから。

「旅行先のレストランで出るケーキを楽しみにしてたら、いつも働いてるカフェで出してる業務用のやつとおんなじでした、タハハ…」というマンガに「されて嫌な事を自らがやるからしっぺ返しを喰らった。ただそれだけの事。」というコメントがついてて、人生が絶対零度の人かよと思った。

もしめちゃくちゃな金持ちだったら「1時間以内に本人の土下座画像をリプライで送ってきた人の中からAmazonギフト10000円分プレゼント」みたいな企画を定期的に開いて、速攻で集まる貧乏人の土下座画像を見ながら高笑いして酒のんだりできるんだろうな。

ニコニコ動画で自称スーパープレイのゲーム動画が全然そんなこと無かったときに「近所のゲームうまい兄ちゃん」ってタグが付くの好き。

なんかのゲームの難易度設定で、ベリーイージーを「敵が弱いモード」ではなく「あなたが強いモード」と表現していてプライド…と感心した。

（これこれの理由があるから）叩かれても仕方ない、という言葉には、叩く側を天災の類に寄せる技巧が効いていて、叩く側の人格や理性の存在を目隠しする。

自分にとっての「おもしろい」は「知らない」とほぼ同義なので、自分の作ったものをおもしろいと感じたことはない（受けるだろうな、と感じることとは別）。そのことがよく、かなり大きな障害となって作業の手を止める。ウケ狙いが見え見えのギャグを見たら白けるものだが、自分で何かを作る段階では自分自信のウケ狙い根性が絶対に自分に見え見えになってしまうわけで、心理状態によってはその欺瞞性に潰されてなにもできなくなる、ということがある。

うぬぼれているやつは最悪だが、自分自身に関してだけは例外的にうぬぼれ「なければならない」。そして、最悪な連中に混じりながらもストイックにうぬぼれつづけることは、それ自体とても尊いのだ、という考え方を身体的なレベルにまで落とし込む訓練が必要だ。

みんなが形式的に「おはよう」と言うせいで、本当に「おはよう」と思って「おはよう」と言っている人の「おはよう」が埋没していたりもするのか。

チャゲ＆飛鳥を言い慣れてる人「チャガンダスカ」

リプライでめちゃくちゃなこと言ってきた人のホームに飛んだら常用してる薬の名前などが記載してあったとき「くっ、捜査は打ち止めだ」てなる。

めちゃくちゃなリプライをしてる人が自身のbio欄で自分の政治的主張や立場を余すところなく書いていると「くっ、捜査は打ち止めだ」てなる。

「わあ可愛い赤ちゃんですねー。目元のあたりがお母さんそっくり」

「よく似てるって言われるんですよ〜」

「われわれが自分の子どもが自分に似ていることを喜ぶのはそこに自らの不死を見るからですよ」

いくら誰でもネットで意見発信できる時代になったといっても、意見発信できることが特殊技能なのにかわりはなくて、出回ってる意見だけ見て世論だと思ってたら実は「しゃべるのが得意な人たちに多い意見」でしかなかった、という。

この記事の中に「ごみを10個拾って捨てよう」という先生の呼びかけに、ごみ箱をひっくり返してごみを拾い集めた発達障害の児童の話が載っていて、僕もわりとそういうところがあるので興味深かった。

「これはつまらない人が集まってつまらないことをする段階」って誰の立場なんだ腕組んで言いやがって。見えないけど組んでるだろ腕。

いま社内で風邪菌を保菌した誰かが常に休んでる状態で、聖火っぽい。

「ネタだとわからないのか」じゃないんだよ。こっちは「ネタにすんな」つってんの

タカラトミーの件、表現の自由と擁護する声があるようです。これに限らず表現の自由という言葉を勘違いして使う人は少なくないですが、その勘違いの根本は、この言葉を何か外から与えられた宇宙の法則のように扱う点にあると思います。人間社会の倫理は社会を成り立たせる為に人間が作ったものです。

ゲーム系のデマブログに関しては、いくら道義的なことを説いても読者にそういう問題意識がないのであまり意味がない気がするし、「あの超大手ブログの管理人の年収は○○円！？」とか「自宅特定、顔写真流出！」みたいな嫉妬と野次馬根性を刺激するスキャンダルの方が「効く」だろうな。

エンタメ作品の問題提起が終盤から「嘘」に接続されるところで感動してしまう。何を言っているかわからないと思うけど。最近だとズートピアがいろんな角度から差別や差別に至る心情を描いて、最後に「それでも」手を取り合っていかねばならない、というところに着地する、その「それでも」が前半に比べて圧倒的に嘘で、でもだからこそ尊いよなあと思って感動する。

「障害者が自身の障害を笑いに変えることで障害者差別の克服を訴える」というのは、厳密には絶対に成り立たないのではないか、と最近よく思う。この問題はズートピアで最も面白いシーンがナマケモノの欠点によって成り立っているという点ともつながっている。

よく考えると、これから出現する老人たちは「戦争を生き延びた」とか「貧困を生き延びた」とか「日本を建て直した」みたいな修飾のつかない「ただのジジババ」になるんだな。

みんなどんどんゲーム大会で優勝したとか嘘ついて欲しい。人間の3割が嘘ばっかついてる世界だと割と楽しいと思う。

検索すると、みにくいアヒルの子は「人を見かけで判断してはいけない」教訓としているところが多い。しかしあの話のオチは「アヒルの子は実は美しい白鳥でした」というもので、ルッキズムむき出しの逆転劇だ。それを逆の教訓として捉えられるのは、物語を暗喩として捉えてるからか。

つまり、「みにくい外見」を「内気な性格」などの精神的要素に置き換えて読めば、ピクサー映画的な成長譚として読める。

ピクサーアニメの王道は「正当な評価を受けていなかった主人公が心理的障壁を乗り越えて真の才能を開花させる」という形式で、観るたびに「これで本当になんの才能もなかったら真の絶望だな」と思う。

こういう文句は「いや、それはまだきみが本当の才能に巡り会えていないからだ」という形ではねのけられて、無限の努力を要請される。魔女裁判のポジティブ版。

女性専用車両の是非についての街頭インタビューで比較的不美人の人が「必要」って言って比較的美人の人が「どっちでもいいです」って言ってる面白画像、女性専用車両そのものが見ず知らずの人間に性的に品定めされることへの抵抗として生まれたのにまさにそれを画像で繰り返しててカス〜ってなる。

調べてみると、死の恐怖は「苦痛」「別れ」「喪失」「死後」で構成されている、というような文章が出てきたけれど、個人的にはそれらの単なる恐怖を取り除いて残るものこそほんとうの死の恐怖で、それは自分が生きていることへの驚きと一致する。

書き手がなにか勘違いしてまくし立てているように見せることでおかしみを誘うユーモアを本気で勘違いしてると思って非難する人って、それが「そういうフリ」だと判明すると「フリだとしても面白くない」みたいな方向の非難へとスーッと移行していきませんか。そういうのを見たとき、それが正当かは別として「一回アチャーってなれよ」と強く思う。

ネット的な「正論」は正しい論である必要はなく、痛快に斬っているように見える言葉であればいい、という気がする。

アメリカ人って英語が書いてある服をふつうに着ているけど、そんなぱっと意味のわかるものが書いてあるものを着て平気なのかな。

「現時点では妥当な判断だとわかってはいるが、長期的には『間違った判断』と一笑に付されることがわかっていて、それでもなお、いまはその判断を下すしかない」という状況はわりとある。

「ジョーク交じりの軽妙なエンタメ文章だからといって人の尊厳を貶めることを平気で書くのはやめたほうがいい」という指摘をされた人が「その批判の書き方はエンタメとしてなっていない」的な反応を返していてわりと最悪だった。露悪の悪は指摘しにくい。露悪によって真面目な批判を逃れ、利益はしっかりと得る、そういう態度を指し示し非難したところで「だってオイラはゲスでげすから」で話をスタート地点に戻す（戻したように錯覚させる）ことができる。そのような循環構造を作っている悪性を糾弾するのは難しい。

源氏物語の朗読聴いてるんだけど、「まるであの古歌のようでございます……」って昔の話のくせにさらに昔のエピソード引用してくる。

日本はもう先進国じゃない、もうダメだみたいなの見るたびに思うのが、「アゼルバイジャン人」や「ジブチ人」みたいに、あまり世界の表舞台で語られない国の人は自分の国をどういうふうに考えてるんだろう、ということ。オリンピックとか盛り上がるのかな。

「人生において誰かに叱られる最初の一回目って絶対理不尽じゃない？」という話をした。社会のルールなんて知らないで生まれてきてるのに、ある日急に叱られるんだよ、誰でも。

コスプレイヤーの友達に化粧品何使ってるって聞いたら「adobe」って返された。みたいな話できたらいっぱいRTされそう。そんな友達はいないから必然的に嘘になってしまうけれど…………

自分の倫理観がどうやって培われたものなのか考えてみると、それは畢竟、環境とか人間関係でしかないような気がする。でもそれはそれとして、高い倫理観を持つ人間を高潔と評価してよいし、そういう社会のほうが健全だと思う

ある領域から先のことに、びっくりするくらい何の理解も示さない（まったく話が通じなくなる）人がいるけど、そういう人はいままで話が通じていた部分についての認識も実は食い違ってたと考えるほうがいい。

「怠け者で愚かな人間ほど優秀なプログラマーに向いている」という言説は何度か見かけたけど、自分のような怠け者は手間を惜しむためにかける手間も惜しむので、本当に何もしない。

マクドナルドのチキンタツタの広告に「不思議と食べたくなる」って書いてあったけど提供する側が不思議がってるのかよ。

たまたま趣味嗜好が多数派に属していたというだけで、それを公にすることになんの違和感もないことに違和感を覚える、というのは、たとえば性的少数派の人々がそれをカミングアウトすることに抵抗を覚えることに違和感を覚えることと裏返しであって、じつに自然なことと思う。

この種のことは根本からその問題の意味を理解できない人がいっぱいいる。「ブーメラン」的な指摘をして済ましてしまうと、話が俗なレベルで終わってしまう気がする。絶対に自己矛盾する批判というものがある。

電車で女子高生に妄想をしたためた手紙を渡す男も、側溝に潜んで覗きをする男も、自分の衝動と社会との折り合いがつく点としてその行為を選んでる感じがして、それでも社会的には完全にアウトなのがつらい。

「差別的な表現も表現の自由のもとに許容されるべきでは」「いや、表現の自由には責任がともなう。そのような言葉の暴力は許されるべきではない」という水の掛け合いはちょいちょい目にする。こういう議論は、結局のところ大勢の人の暗黙の合意がボーダーを作っていて、その空気を読めよな、というところに落ち着くので、あんまりおもしろくない。

表現の自由には責任を伴うってどういう意味なのかよく分からないな。たとえば差別発言で逮捕されるような事例があったとき、差別発言をする自由を行使し、なおかつ、その責任を背負う形で逮捕されました、というような感じで「表現の自由」は守られたと言えるのかしら。でもそれだと1984のディストピアにすら表現の自由があることになる。

ゲームをやってて白熱しすぎてキレた人がコントローラーを投げたりゲーム機を床に叩きつけたりするが、それの「人生」に対応した行動はなんだろう。自殺？ゲームキャラ（AI)と対話できるゲームがあったとして、そのゲームキャラに対し「このゲーム、リセットしてやるからな」と言うのは、ゲームキャラにとって脅しとなりうるだろうか。自殺を匂わせるという脅迫法のどこかチグハグな感じはこういう例えに近いと個人的に思う。

交通事故があったところに花束置いてあるやつ、マリオメーカーにおける×みたいだなと思ってしまった。

「ゲームをリセットするという行為は、ゲームの中に生きているキャラクターにとっては世界の消滅を意味する」　これは本当だろうか。たとえば、クリボーを踏みつけて殺すアクションとマリオのデータを消す行為は、クリボーにとって同じではない気がする。クリボーはゲーム内で踏まれることと、ゲームそのもののデータを消されるということ、二つの死を持っていると考えることもできそうだけど、現実に生きている僕もクリボーと同じだろうか。

自殺すると自分を含む世界の全てが消滅するのに「自殺して世界を消してやるぞ！」という脅しは誰にも通用しないのが面白い。「かけがえのない命を大切にしろ」という表現には、「物質の塊として唯一のパターンを持つお前が死ぬと勿体無い」以上の意味が込められている。そうじゃなきゃ人間コピー機が発明された時点でその標語は無意味になってしまう。

たぶん「自分が死ぬということの途方も無いヤバさ」みたいなものを他人に重ねあわせて「お前にもそういう『自分』があるだろ、だから死ぬなよ、ヤバいから」ということなんだと思う。これなら人間がコピーされても分裂しても意味がある。

脳が意識を作り出しているとか生命はしょせんモノだとか、そういうことは全部嘘で、しかし現実は全てその嘘が満たしている。生の外側から生を眺めることを想定するという完全なインチキによってしか嘘の存在は確かめられないし、それはインチキで得る真実だから使い物にならないのだ。

宇宙の起源についての動画見てたら「起源ならお隣の国が詳しいだろｗ」みたいなコメントついてて「う、う、宇宙の話に触れておきながら発想のスケールが小さい！！！！」と驚愕してしまった。

宇宙人によって体にマイクロチップを埋め込まれたが、にんにくチップなので特になんの効果もなかった人。

地方の道路沿いの風景ってけっこう日本中似てて、名所でもない限り「奈良だな～！」「山形だな～！」とはならない。なんか「マップは完全自動生成！ 無限に遊べるぜ！」なゲームをしばらくやってパターンが完全に分かってしまったときの感じがする。

交番の前の掲示物を見るたびに、指名手配犯の顔はいかにも犯罪を犯しそうな感じに、行方不明者はいかにも行方不明になりそうな感じに見え、バイアスゥ、と思う。

全人類がねぼけて食べたものを食べれる順から食べれない順に並べて鑑賞して行ったら絶対面白い。

「悪い人がいたら説得するなり怒りを表明するなりして道徳的に矯正すべし」というのは道徳的にとても正しいのだけど、その対象があまりにも膨れ上がると説得不可能な悪党たちと常に格闘しなければならなくなり、ひたすら疲弊するということが起こってしまうように思う。

そういうときは、軽蔑心を密かに抱くとともに近寄らないよう心がけることで層を分けてしまうという対処が考えられるが、それが勧善懲悪型の対処に比べ妥協や諦めの産物のように感じてしまう人も少なくない。

テレビで凶悪犯罪が報じられたときに「そういう犯罪者からの身の守りかた」や「子供を犯罪者にしない方法」はかろうじて語られることがあるけど、「自分が同じような犯罪者になってしまわない方法」は全く語られないな。

これはマスコミが悪いとかそういうことではなく、倫理とはそもそもそういうものなのかもしれない。善良な人々が悪人を見て、われわれとは全く違う人々だと切り離して考える習慣が根付いていることこそが、平均的な治安の高さに貢献している。犯罪者に対するヒトゴト的な処理はその副作用で。

「意識や自我も脳の物理的作用が生み出した錯覚に過ぎない」という考え方にほとんど同意しつつ決定的なところで拒絶している感じがある。

ずっとプレイし続けているテレビゲームがあったとして、プレイヤーである自分はゲーム中の勇者＝僕だ、と思っているとする。そして「『プレイヤーである自分』なんて全く重要じゃない。だって、僕＝勇者だから、勇者の活動だけが大事なんだ」と考えていたとする。

この比喩は肉体と意識の関係とは対応してないので、これを根拠にどうこう言おうとは思わないけど、感覚としてそういうモヤ感があるわけです。

加害者側の立場の人物が書いたポエムみたいなものを「凡庸」と斬るのはいいとして、凡庸だったからなんなんだろうとよく思う。まさか「お前のポエムは凡庸だからお前のは本気の苦悩とは認められない」ということなのだろうか。メチャクチャ苦しんだ挙句出てきた言葉が誰かの軽薄なパクリということは往々にしてあるというか、ほぼ全員そうだと思う。

するってえとご隠居、こういうことですかい。現世の希望はすでに潰えているから我々は上位存在へアセンションするしかないってぇ寸法なんですかい。

「これは皮肉ではないが、これのどこが面白いのか本気でわからないので誰か教えてくれませんかね？」と言って教えてもらえると本気で思ってるんだろうか。

新海誠監督の描く背景画、すごく精緻なのになんでこんなに現実離れしてるんだろう。視界に感じるリアリティは意識と無意識の間の薄闇みたいな部分が重要なのかもしれない。フラッシュを焚いて撮った夜景に現実の手触りがないみたいに、景色の全部に明確な意識が向けられると本物っぽくなくなる？

人間は生まれた瞬間前世の記憶を全て持っているのだが、それが急速に失われゼロになっていくので、恐怖から泣きわめく。

「こういうしょーもない奴（女）いるよね」ってフォーマットが定番になってることを前提とした上で、それを演じつつどんどん悪意を込めて過剰にしていき、そういうスタンスで女を馬鹿にするあり方自体を演じるという転換が起きてて、それが凄い、と思う。モノマネだったものがモノマネをする人のモノマネにスライドしているので、そのモノマネを俯瞰して笑って見てた人達はいつのまにか背後から殴られている。

ついかさぶたを掻いて台無しにしてしまうんだけど、それなりの理性と知能のある人間ですらこうなんだから動物が生傷を作ったらもう一生治らないんじゃないか。サルが「痒いけどここは我慢だ」などと考えてるとは思えない。

もし人口の3割しかうんこをしない世界だったとしたら（残りは栄養を完全に消化できるとしたら）、うんこの社会的な扱いは全然違っただろうな。少なくともアラレちゃんが棒の先に刺すみたいなギャグでポップに扱えるものではなくなる気がする。

マンガが実写化した時の一部の激烈な反発の理由はどこから来るんだろう。単に「イメージが壊れるから」ならエロ同人にも怒らなきゃいけなくなるし。「実写だから」？ だったらコスプレも否定しないといけないし。やっぱり「オフィシャルとされるから」ってのが大きいのかな。

公式になることで「これは作品世界の延長にあるものだ」という押し付けを感じるのかも。いままでの居心地のいい空間に異物が混入して、しかもそれを愛するものの一部として認めないといけない、みたいな感覚があるのかもしれん。そう考えるとイメージ云々は実はそんなに重要じゃないのか。

ニコニコ生放送の『呪怨』放映を音だけ聞きながら別の作業をしているので「ア゛ア゛ア゛ア゛ア゛ア゛ア゛ア゛」「キャーーーーー！！！」みたいな音が聞こえてから「えっなになになに！？」とタブを開いて「あっもうシーン終わってる……」とタブをしまうのを繰り返している。怖がる権利がない。

将来のことを考えて積み上げることのできる人には、数年先の現実に感情移入できる程度の想像力と、数十年先に必ず待っている死を全く考えない程度の想像力の欠如の両方が必要であって、そのバランス感覚は学習で身につくものではないという気がする。

趣味の中にイライラを織り込んだうえで楽しめるほど人間ができていないので、ゲームでイライラしない（イライラしそうになったらやめる、という意味で）。それともゲームでイライラしているほうが子供っぽいのか？

ネットゲームのヘタクソな仲間にマジギレしている人とかは冷笑的に見られるのが大方の傾向だと思うし、僕もわりとみっともないなぁと思っちゃうんだけど、特にビデオゲームはそこに没入することに価値があるのだから、何があっても「ゲームだから」と笑っている姿勢こそニヒリスティックでつまらないのでは、とたまに思う。

DMMが作った西野カナのバナー「失恋中の方は絶対に聴かないでください。あまりに切なすぎるので会いたくて会いたくて震えが止まらなくなります」

何かを考えてくうえで「ものすごく共感性の低い、物分かりの悪いやつが聞いたら？」というケースを仮定して、理屈の強度を確かめる、ということをするうちに、自分自身がその仮想分からず人間に近づきつつある。

「ニワカが聴いて粋がってそうな臭いバンド」みたいな立ち位置というか観点、盆栽とかの世界にもあるのかな。「そういう盆栽を善しとする俺ヤバすぎワロタ」って思ってんだろ？　って揶揄されるような。

人身事故で電車が止まるとみんなブチ切れるのすごい。訃報を迷惑と捉える割り切りが自然にできているすごさでもあるし、普段はそんな感受性をまったく発揮せず「みんな大切」のグループになんとなく所属できているバランス感覚のすごさでもある。

吉田戦車先生の漫画だったと思うけど、たとえばドイツ人ぽい顔立ちの人のことを「ドイツにん」と表現するのはどうか、ということが書いてあって、しっくりきすぎて目を疑った。「料理人」という言葉には「料理をすることを体にしみつかせていること」というニュアンスがあって、「ドイツにん」からは、「ドイツをしている」という不思議な感じが自然に読み取れてそれが新鮮だから感動的なのかな。

「おばあちゃん、つらい話して」

「昔々、あるところに、優しいところが長所だと思っているオタクがいました」

「あーもうつらい予感がすごい」

ネットにはいろんな「適応できない人たち」のコミュニティがある。でも、どんなあぶれ者でも安息の場を得られるかというとそうではなくて、そこでは「うまく適応できないさまを表現する」ことが求められるし、そういうコミュニティは特に欺瞞に敏感だから正当な道以上に細工が通用しない。

焦土コント、原子爆弾

たとえば「ピケティっていうのは子供に人気のポケモンですよね？」みたいなのたまにヤフー知恵袋で見るけど、誰ともつかない人と小ボケからコミュニケーションを始めようとする姿勢、すごすぎて目眩がする。

…………ブウウ――――――ンンン――――――ンンンン………………。

私がウスウスと眼を覚ました時、こうした蜜蜂の唸るような音は私の耳の中にハッキリと余韻を引き残していた。

「ブウウーーン、ハローーユーチューブ……」

それをジッと聞いているうちにユーチューバーだな……と直覚した。

人に言われたことを書くとき、自分が受け取ったニュアンスに変換して書いてしまうということがよくある。「やめてください」と言われたのを「『やめろ』と言われた」と言う、みたいな。個人的にはそれも捏造に入る部類の改変だと感じる。

日本人の、路線名言う時の「ここはうちらの言語や楽勝」感

理科の授業で分銅は絶対に素手で持っちゃ駄目だと念を押されたとき、「絶対触っちゃ駄目だ！」と腫れ物のように扱う生徒と、「まあ、大したことないだろう」と手で持っちゃう生徒がいたけど、両方とも別の種類の愚かさがあった。

駅伝の選手は正月から走って大変だな。こたつの中でのんびり駅伝でも見ればいいのに。

片付け術の本は膨大に出てるけど、散らかし方の本は全く出ていない。なぜ部屋は片付いていなければいけないのか、という考えなしに「部屋は片付けるべき」から思考がスタートしている。

この前読んだ子供向け哲学書に「世の中にはネアカな人間とネクラな人間がいて、ネアカな人間は今目の前にあることがらそのものを楽しむことができるが、ネクラな人間はそれができない。それが人間の上品さと下品さであり、生まれつきだから自分では選べない」ということが書いてあった。

過大評価してる探偵「5センチ四方の隙間に体をねじ込み、天井裏から侵入する。体操部員のあなたなら3分もあれば出来たはずです」

「人にされて嫌なことはやらない」は忠実に守ってきたつもりだけど、人にされて嫌なことがたいしてなくて気にならないので、「自分は平気でも、他人はされたら嫌がるであるだろうこと」を学ばないといけない。

動物愛護の観点からの食品バッシングって「動物を残酷に殺すのが許せない派ｖｓ動物を残酷に殺しても全然平気派」という構図の時点でもう終りが見えないし、無理。動物愛護派の人は屠殺の映像とかを流して「これを見てもまだ食べられますか」と訴えるわけだけど、「見たら食欲は失せますが、見なければぜんぜん食べれます」という反応が返ってきてしまう。

「これだけ不自然に絶賛だけ目に付けばステマと言われても仕方ない」という感じの意見をたまに目にするけど、全然仕方無くない。全然仕方無くないからな、それは。

Twitterで政治の話をする人は、本当に一日中政治の話をしている率が高い気がする。

ニコニコの「もし地球がドーナツ型だったら」って動画に「地球が円環ならという思想が破綻している」というコメントが付いていて、全然意味わかんなくてしばらく考えたけど「熟語を使いたかっただけ説」が優勢のような気がしてきた。

一度でも「痛いニュース」に書き込んだ奴はもうずっと輪廻から抜け出せないらしい

ロジハラやめてっていったらエモハラもやめてってカウンターがくる。悪いサイクルですよねー。スマホにせよゲームにせよ容量が日々増えてるのにおまえらの度量はなんだ？64KBか？

アメリカと中国の戦争が仮に始まったとき、日本が被害を受けないことは不可能なのだから、最大限開戦に至らないよう外交的努力をする以外ない。現実的な問題として、360度に海外線を持ちどこからでも侵入可能な日本において中途半端な軍備増強など焼け石に水でしかない。平和ボケや危機感を持つというのなら、まず諸外国を煽るクソ外交をどうにかする必要がある。

老害に味方する政治家だマスゴミだと散々叩いてきた2ちゃんねらーが、ローゼンメイデンを読んでたり2ちゃんを知ってるというだけで「俺たちの麻生太郎」を応援するの？老害よりもオタクのほうがよっぽどちょろくないか？

ミステリー小説が人気がある国はいずれも「警察等の捜査機関に一定以上の信頼がある国だけ」というのはなるほどと思った、そうでない国の人には事件が解決するということにリアリティがないんだって。だから日本アメリカイギリスフランスぐらいでしかミステリーって流行らないらしい。

西村京太郎トラベルミステリーが成立するのは電車が定刻通り運行される日本だけという話ならよくわかる。

西村京太郎さんとかの鉄道ダイヤがアリバイにかかわってる「鉄道ミステリ」が、日本以外では成立しないからって理由で海外のミステリーファン達から特殊ジャンル扱いされてるとかいう話も思い出したｗ

エンスト怖がってエンジン吹かして一気にギヤ繋いでロケットスタートで事故。昭和にはよくあったんだぜ？今それがなくなったのはそういう連中はATに移行したからで、決してMTが安全なわけではないよ。

結論は同じだけどそれに至る過程がまるで逆の人からあまりに雑な同意をされたとき、それを「あなたとは違います」とはねのけられる論者を尊敬するし、そうでありたいと願う。自分だったら味方が増えるからという理由で「ありがとう！」と言ってしまいそうなので。

「は？同意できない、○○じゃなくて○○○の間違いだろ」みたいに短文エアリプで他人の意見（ブログ記事）を否定している人は、それをソコに書く代わりに自分のブログに書いたらどうですか？理由や過程も書けるのでより議論が生産的、建設的になりますよ。言い換えれば血なまぐさくできますよ。

「結果論では」「生存バイアスでは」「ケースバイケースでは」は三大「それ言っとくと何か格好がつくので濫用される表現」だと感じる。そう思うならその理由や過程も書くのが誠実な言論者だ、と自分は思うんだけど、これらの表現を使う人にはあまりに相対主義者、そして一言居士が多い気がする。というか、結果論とか生存バイアスとかケースバイケースだったから何なんだ？そこがわからないので毎回、モヤる。クリシェを雑に振り回して何か言った気になる、ってのは一番いけんやつ。自分の意見がなくなるから。

「この顔にしわを足して10歳老けさせてください」というクイズを街の人に出して、ペンで女性の顔イラストにシワを書かせるという内容の化粧品CMがあって、考案者は天才だなと思うと同時に、徹底して美の良さと不美の悪さを攻める商業主義の迫力に恐ろしさを感じた。

ネットみたいな匿名空間を除いて、一般的に肉体から離れて物事を語ることはできない。自分が経験したことを離れて「こうすべきだ」と語った瞬間、それは己の肉体を離れて旅出つ空虚な言論となる（単純な例が、2ちゃんねるのスレッドで交わされる「自分が総理大臣なら」というごっこ遊びである）。それが思考原理であるとするならば、一方で「差別は想像力の欠如から起こるので、肉体を超えた想像を強いる反差別主義は悪だ」ともなってしまう。

差別をなくしたいリベラル派の中には、象牙の塔の住人と化した権威的おっさん（＝知識人）の曖昧模糊な反差別発言に「それは空虚だ」と異議を唱える反知性主義者もいるのだけど、そういう矛盾を自分の中でどう解消しているのかが気になる。

ただし、個人的には想像力の欠如を補うブースター装置が「創作作品」だとも思っていて、そういう意味で創作物に無限の可能性を感じている。我々が登場人物に感情移入する瞬間、「己の肉体を離れる」ことと「肉体を離れた想像力を自発的に働かせる」ことを両立させる神憑り的業が可能になる。差別溢れる現実世界に倦んだ我々が創作世界、仮想世界に思いを馳せる能力がある点で、神様は反差別主義最後の砦を人類に与えたのかもしれない。まあそんなことより、気持ちを直接脳内に伝えられる仕組みがあったほうがありがたかったのだけれど。

「社会構造や思想が差別に影響を及ぼす」というのはあながち嘘ではないと思う。たとえば女性の健康体重は60kgぐらいだけれど、本邦の理想体重といえば50kg以下とされていて、どんなに外国が「それは痩せすぎだ」と批判しても、日本の男女が50kg以下を「美しい」と思うなら変わることはない。そういうとき、先の思想を述べて警鐘を鳴らす役割の人は、たぶん必須なんじゃないか。

「美しいものを求めるのが人間の性なのだから差別があってもしょうがないだろう」という現実主義は、生き方としてはかっこいいのだろうけども、今まさに自分の醜さが原因で差別のさなかにある人にしてみれば冷笑的にしか映らないだろうし、美を求めてしまう性がどのように人を傷つけるのか、という構造のほうこそ解明が待たれている気がする。

実のところそういった（生まれつきの）差別にさらされてる人のほうが、自分の身を守るために「しょうがない」と考えているフシはある（「ズートピア」のニックのように）。けどやっぱり人を精神的に傷つけるものがあっちゃ駄目だと私は思うし、それは紛れもなく私の経験から出てきた思想だ。

日本に住んでる中国人留学生が、中国の歌を聴いて「故郷にそろそろ帰省したい」と言っていた。何年外国に住んでも、その国の言語の歌で故郷に思いを馳せることはないだろう、と自分は思う。つまり、どんなに外国語に習熟して、すらすら読めて話せるようになったとしても、本当の意味でその言語を理解することはできないと思う。幼少期に植え付けられたその言語なりの「宇宙」があって、それを後天的にインストールすることが困難だということを了承するとき、移民が置かれた孤独や絶望をその百分の一でも理解できるのではないか。それぐらい、言語が人に与える影響は大きい。

魔物のせいで既に滅んだ村のわらべ歌を主人公に（その村出身の）登場人物が歌ってみせる、というシーンは、歌がもつそのような魔力（言語のパワー）を端的に示すシーンだと思う。個人的に大好きだ。

「あれ？さっき重要なことを考え付いたのに忘れちゃった…何だったっけ…」ってなって情けなくなったり焦ったりする経験は珍しくないと思うんだけど、それがステータスとして常時起きているのが認知症だと考えるとやっぱり恐ろしいし、（介護が健常な人をどんどん疲弊させるという問題は別にして）それを理解しないといけないな、と感じる。

この人、めちゃくちゃいいこと言ってるじゃん…と思ったらそれは自分の過去の言論だった、みたいなことがけっこうある。なのでみんなも自分の言論を肯定していこうな。

これまで会った、陸上長距離経験のある人全員が「長距離はきつい、やめとけ」と口にするので、長距離走りながら「楽しい！！！楽しいよ！！」と思ってる人、人類に誰もいないのではという説が浮上してきた（ランナーズハイをのぞけば）。何かをし終わった後が一番気持ちいいというのはよくわかる。長距離に限らず登山や筋トレだって当てはまる。

デスノートの八神とLが互いに推理し合って「○○だとあいつは考えているので俺は○○をして、とあいつは考えているので俺は○○をして…」というのが繰り返されるようなシーンは思考系漫画にはよくある展開なんだけど、それって「相手が自分と同じぐらい合理的な思考をする」という無意識的で無根拠な思いつきに由来している気がする。推理パズルの村の住人100人みたいな。

もうそろそろ人類は「めちゃくちゃ頭の切れる合理的な人間が、何も考えずに行動する狂人に一方的に振り回されて破滅する」みたいな展開を出してきてもいいと思う。

実際メンタリストDaiGoが一番厄介だと述べていたのが「天然キャラ」だったので、感情を読めて論理的に思考ができる人は、その対極が怖い、ということなのだろう。

デスノートの夜神月が拳銃で撃たれるシーンを見るたび「これだけ天才で完璧なのなら、銃弾ぐらい避けろよ」と思ってしまって、集中できない。天才キャラがもたらす悲劇のひとつだと思う。

まあ、どれだけ天才で完璧でも「人間」という種の限界値は絶対超えられないのだけれど、作者がそれをどこまで知っていて、どこまで超えることを許可するのか、というのはけっこう気になる。

ここらへんを現実に応用すると、「東大学生が自動車学校で『東大なのに運転は下手なんだ笑』と言われる」みたいなエピソードに繋がる。

これは私もよくやりがちな誤謬なんだけど「分断を感じた」というのは錯覚で、実際のところ社会構造なんてのはとても連続的だ。分断を感じるのは自分と正反対の思想に出会ったときであり、そういうときにもしかして自分は偏っていないか、と考えることはとても大事だと思う。

ネットじゃどうしても偏った人の声ばかりが目立つからそうなりがちってのはあるけどね。

「肉を食べた次の日のトイレは臭くなる」とか「素人が思い付きで提案したアイデアの中に、名案は1つか2つしかない」のような経験則にそれっぽい理由を与えて他人をうならせるのが私は大の得意だが、それを生かせたことがない。

ネットで炎上した企業アカウントに「これで○○の売り上げも落ちましたね」みたいなリプがついてるのを見るけど、ネットの可能性を過大評価しすぎだと思う。あれだけネットでは盛り上がってた（右翼による）花王不買運動だって、結局売り上げには何も響かなかった。所詮はコップの中の嵐にすぎないことを認識しておく必要があるだろう。

これは社会問題を提起したい人にとっては厄介な思い込みなんだけど、精神衛生を保ちたい人にとっては救いでもある。炎上したならネットを絶って一週間過ごせばいい。世界はこんなにも広い。

自分と反対の意見を見かけたとき「あなたは思想が偏ってますよ」と自信たっぷりに言える人は悪い意味ですごいなと思う。自分こそが偏ってる可能性をいっぺんたりとも考えたことがないのだろう。

犬苦手な友人の苦手な理由が「人格があって、その割に理性がなくて、生命力が爆発するような動きをするから」で、犬好きな人と同じくらい犬のことを理解してるなと思った

雑談って、特に結論を求めることを目的とせずに、興味・関心のポイントをお互いに譲り合いながら、「相手がどう思っているのか知りたい」を原動力にして連想ゲームみたいに話題を変えながら進めていく営みなのだと思う。雑談はたぶん「無意味であること」に意味がある営みで、それを通じてお互いを了解可能な存在にしていって「この人とは話をしても大丈夫、許してくれる」という安心感を作っていく。でも「合理的な結論を見いだすこと」や「自分の方が相手より認識が正しいと示すこと」に目的を見出す習慣が強いと、そもそも「雑談」が成立しようがない。多少「自分はそうじゃないと思うな」と思っても、「でもあなたがそう考えるというのは理解できる」でスルーしないと雑談は成り立たない。それがたぶん上手くできないのだと思う。

チートスキル「コウメ太夫で笑ったことのあるやつを洗脳」で異世界俺TUEE出来なかった

7: 名無しさん＠おーぷん

異世界に小梅太夫がいるという風潮

8: 名無しさん＠おーぷん

寺社仏閣での営業では「畜生」って言葉使えないから「乾杯」でゴリ押してるって聞いてダメだった

社畜の刃　無限出社編

13：2020/10/29(木) 06:39:41.17 ID:YT5M4wLn0

全集中の過呼吸

180：2020/10/29(木) 06:58:20.28 ID:6efPonc8d

>>13

草

260：2020/10/29(木) 07:06:55.64 ID:64MFxgJl0

>>13

つらそう

フェミが「動悸が止まらない」とか「呼吸が浅くなる」とか言ってるけどあれなんなん？

>>え、怒られた時なんかにドキッとして血の気が引くようなことくらいあるよね？ネットしてても不穏なエアリプされた時とか2chで晒された時とか同じ感じにならん？自然に治まらなければパニック発作だけど

>>お爺ちゃんの葬式の時は泣いたけどさすがに涙と震えが止まらない状態にはならなかったなぁ。Twitterやってるだけで大切な人を失う以上の心的動揺状態に頻繁になるのなら生きるの大変そう

これ自体は慣用句ではあるのだろうが、不特定多数に向けた所詮ネットの表現で動悸が止まらなくなったり呼吸が浅くなったりするというのはどうにも想像しがたい（名指しで批判されたのならわかるが）。もしこれが誇張ではなく本気なら、インターネットに向いていないのでは…。精神面が少し心配ではある。

VR技術がもっと発達して、「向こうの世界」での生活がメインになったなら、現実に久しく帰ってきたとき、VRと現実の差で3D酔いになったりするのだろうか？それとも3D酔いさえ起こらないぐらいにリアルなVRになるのだろうか。どちらにしてもちょっと怖い。

気に食わない時に、「パパあっち行ってー」という発話をするのだが、今日はそれが「あっち行けー」だった。おかしい、行くの命令形を教えた記憶は無い。演繹的に活用の法則を見出したのか、あるいは保育園で使われたのか

↑2歳のパパでもある人工知能研究者のツイート。ponanza作者の山本一成氏によれば「機械学習の人、子供ができると人間の学習能力の高さに驚くツイートを大体している」とのこと。わかる。

その昔より、２脚歩行研究者(経験者)は、あるとき急激に歩けるようになる我が子に外乱を加えたい衝動に駆られています、たぶん。あの期間の短さ、絶対おかしい、予め仕込んであるプログラムが称号達成でアンロックされているだけでは疑惑(笑

※３人見たけど糸口すら分からなかった

PixivのUI改悪（を堂々とブログ記事にするPixiv）の件についてのツイート

オナニーしようとしてpixiv開いたらデザイナーがオナニーしてた

「うまくいかないのは陰謀のせいだ」と考えると楽になる

「謝罪しろ。ただし謝罪しても許さない」みたいな意見を見るたびに思うのだが、これ実質的に「謝るな」と言ってることになりませんか（謝罪にメリットがなく、突っぱねてポジションを確保するほうが合理的選択となる）

声優に会いたい一心でコンテンツ産業で実績積んでいって声優ラジオの仕事やるようになった結果同僚としての女性声優の姿を見た結果声優が好きではなくなったという友達がいる、あれほどあわれなことがあるだろうか。イカロスの様に、太陽に近づきすぎちゃいけないかったんだよ。昔の人は云いました「手に取らで　やはり野に置け蓮華草」

ハーモニーに快不快を感じるかは先天的なものではなく育った環境によるもの、という研究をマサチューセッツ工科大が発表してるんだよね。西洋音楽を聴取する習慣のない部族は協和音も不協和音も同等に心地よく感じるらしい。いかに私たちの耳が西洋ナイズされているかが分かる

「溶岩」「毒沼」「禍々しい何か」「穴」など、色やグラフィックの異なるものを即死トラップとして配置したゲームは、雰囲気を出すという点だけに注目して機能性ではなく審美性に重きを置いていて、好感が持てる。結局のところそれらは全て「即死トラップ」でしかないので全て同じオブジェクトでよいのだろう。でもそれで終えない妥協のなさが、ゲームをゲーム足らしめていると思う

「自分をさらけ出すことができないやつは本当に人と分かり合うことはできない」「お前は他人との間に壁を作っている」という言葉に苦しめられた時期もありましたが、「壁を作りたいならそれでいいよ。壁越しに話をしよう」と言ってくれる人とつきあえばいいのだとわかりました。おそすぎました。

研究者は好きなことを仕事にしている、という悋気のような意見がたまに見られるが、ゲームをやっているわけではないので、実際は苦しいことの方がほとんどで、ごく稀に未知の発見をしたときに出るドーパミン報酬を求め、普通なら嫌で嫌で堪らない作業を黙々とやり続けている、というのが真実に近い。

アイヌの役はアイヌがやるべき論と、エルフを黒人がやっても何ら問題ない論をどうやって理論的にまとめ上げるつもりなのかは映画を作ってた身として興味があります。

むかしは円周率けっこう言えたけど今は下4ケタくらいしか覚えてないな。

インターネットでは、ワイドショー的な番組について「芸能人の私生活なんか追いかけてなにがいいんだか」というスタンスが正解になっていますが、正味な話、他人のプライバシーはめちゃくちゃ面白い。

この世の全てを観測範囲に置きたいので「鍵垢」という存在も不服だ。私が読めないからだ。家の鍵も、私以外の家はかけないで欲しい、自由に入りたいから。

お寺とかにある「一般公開されていない宝物殿」みたいなのも、見かけるだけでオノを持ってワーッと襲いたくなる（実行はしません）。「絶対見れない場所」があるということが個人的にかなりストレスで、自覚している「狂っている部分」だと思う。

パクチーとかのシソ科の特徴的なにおいは加齢と共に大丈夫になってくるって薬草の先生が言ってた。ARuFaさんは7歳が四人あつまった28歳だから無理なんだろうな

小学生の時、盲目の息子のために点字と貼り紙でできた自前の教科書を作ってる親に密着したドキュメンタリーを授業で見た。なぜ子どもが盲目なのに貼り紙の色を現実世界の色と同じにするのか、と聞かれ「せめてもの親心です」と答えていた。親になったことはまだないが、自分がその立場でも同じようにする。それが親心であり、人間の温かさなのだと思う。

ニコニコ動画の生放送で「ケンカでもいいから他人と関わりたい」というコメントが流れてきて、生放送みたいなリモート環境だと「関わる」にはカウントされないのかという気づきを得た。ネットでウザ絡みやクソリプをして喜んでいる人の中にもそういう思想を持った人はいくらかいて、麩菓子のようにいくら食べても満たされない承認欲求をむさぼっているのだと思う。

人身事故のアナウンスを聞いて会社への連絡が真っ先に頭に浮かぶようになったら人間として終わりだ、と勝手に思っているのだけど、それが「勝手」であるぐらいには現代は非人間的振る舞いを強要される場面が多々、ある。

今にも飛び降りそうな人を警察か消防かが説得したとか、飛び降りたけど怪我なく生還したとかいうニュースを映像付きで見るたび、その映像をリアルで撮っていた気狂いがいて、でもその気狂いがいなければニュースにならなかったのだと気づいて震える。

普段は「自殺未遂現場を撮影する奴は人の心がない」と主張する人も、映像で無事に未遂者が生還したことを知って安心するのだし、そのへんのジレンマをみんなどんなふうに解消してるんだろう。

論文執筆は徹底的に適性が分かれると思っていて、まず一つはある程度カタが決まりきった文章を書くのが好きかどうか、そしてもう一つは書いた文章がけちょんけちょんになって帰ってきてもへこたれないか。私は両方駄目なので、研究者になることを諦めた。自由に書きたいのであって、別に決まったことを書きたいわけでもないのだと気づいた。

「どう生きるか」「どう楽しく生きるか」は問題にされがちだけど、「なぜ生きる必要があるのか」「なぜ楽しく生きる必要があるか」はほぼ誰も答えてくれない。それは、究極的には自殺の権利を誰もが持っていて、いつでも行使できることと無関係ではないように思う。生そのものが苦しい人間に生きる必要性を語ったところで、それは空虚になる定めなのだ。

真剣に考えて欲しい。彼が新しいアメリカの大統領と真剣な交渉ができるのか？　北朝鮮から拉致家族を帰国させられるのか？　習近平やプーチンと渡り合えるのか？

(胃に重たいクレープを食べて)ずっと会話シーンしかない映画みたい

(めちゃくちゃな組み合わせの具のクレープを食べて)言葉が通じない人同士の喧嘩を止めてるみたい

【反撃失敗】

｢炭水化物に炭水化物じゃんw｣とか言って焼きそばパン否定してる奴は一生オムライスをおかずにして炊き込みご飯食うなよ？

アパートの隣室からの音漏れがそこそこヤバいんだけど「俺も深夜に料理とかキャスするしお互い様だよね」と気にしないようにしてたんだが先程ついに香水のサビだけを7連発歌われたのでさすがに”お互い様”を超えた気がした

小学校の道徳の授業を｢僕は道徳を学ぶぞ｣という姿勢で受けてる子供がいたら怖くないですか

本日、11月8日は良い波（は）の日です。皆さんの脳内にとても良い波（は）が送信されていきますので、ぜひ今日一日は頭部のアルミホイルを外してお過ごしください

社会や政治から感じるつらさを一人で抱え込んでいませんか？

我慢せずSNSに吐き出して世界中の人々に不幸をシェアしましょう。

当事者意識のなさすぎる被害者「殺されが発生」

いろんな知識を得たり、しあわせな家庭を築いたり、おいしいものを食べたり美しいものをみて感動しても最終的には死ぬのか～～

作者です…っつって作者とほぼ同じかそれ以上に面白い漫画を描き始めるめっちゃ怖いなりきりアカウント

本を読まない弟に「殺人事件で全部宇宙人の仕業でした、みたいな可能性を無視できるのは何で？」と言われた

>>登場人物たちは無の行動もとってるけど、それを書いても話が面白くならないわけで。きっと本筋と無関係に鼻毛出たりしてる。

「最終的には死ぬ」の前に「どうせ」が来るのか、後に「、だから」が来るのか、この差はけっこう人生の方向性を決めると思うんだよな。

「相手の抱えている問題を解決する方法を提示する」だけでなく「相手を聞く気にさせる」ことが人生相談の回答においては非常に重要で、というのも、「人生相談してくる人の大半って実は、解決策を聞きたくてやってくるわけではない」というところからスタートしなきゃいけないから

敵／味方をハッキリさせて、敵は全否定、味方は全肯定って「漠然とした不安を抱えた人」には救いなんだと思う。世界中でポピュリズムの潮流が起ってるのは、あらゆる意味で世界が「過渡期」にあってみんな不安だから

「平均的に言えば世界中の人々はみんなキンタマ１つ持っている」という、タイワンのBBSでは割と有名なコピペがあります。これは政府の「国民の平均年収は上がりました」みたいな宣伝への風刺で、「平均年収が上がっても富裕層だけ、こういう平均値は全く意味がない」という意味です

爆破予告｢爆破します｣

爆破通告｢爆破が決定しました｣

爆破報告｢爆破完了です｣

爆破勧告｢爆破しときなさい｣

爆破密告｢爆破してましたよ｣

爆破原告｢爆破されました｣

爆破戒告｢次やったら爆破だぞ｣

爆破謹告｢謹んで爆破申しあげます｣

爆破広告｢貴方も爆破がカンタンにできちゃう！｣

上智大に爆破予告がきたのでキャンパスを閉鎖するらしいが、3時に爆破の予定なので午前中は授業やって1時から閉鎖って、そういうもんなのか…？2限までやる姿勢と爆破予告時間を信用する姿勢に笑ってる

子どもをいつまでも幼児扱いする過保護過干渉な母親と、寡黙で子育てに無関心な父親。ことあるごとに母親が口を出してくるので、子どもはどんなことでも母親に意見を仰ぐようになる。

入る部活から、家庭科で使う裁縫セットのケースのデザインまで何でも口出しされる。母親に反対されそうなことは怖くてできないので、行動力のない子どもになる。また、こういう母親は往々にして他人の悪口を平気で子供の前で言うため、子どもも人嫌いになったり、対人関係における好き嫌いが激しくなって友達もできない。

しかし、人生の出来事において全て母親が過保護とはいえしっかり面倒を見切れるのならニートになることはないかもしれない。問題は、高校、大学受験や就活など人生の大きな節目で、母親がビビッて急に口出しをやめることである。それまで何においても干渉してきたくせに、子どもの人生を大きく左右するそれらのイベントに直面するととたんにおじけづき「自分の人生なんだから自分で決めなさい」と一切の口出しをやめてしまう。突然、母親という羅針盤が亡くなった子供は、どうすればいいかわからず受験や就活に失敗し、ニートになる。ここにきて、ようやく重たい腰を上げた間抜けな父親が叱責を始めるが、自分に無関心だった父親が今更何を言い出すのかと子どもは反発し、さらにニートの地位にしがみつくようになる。

（やたらと酸っぱい自作スープを飲んで）

おじいさんの民間療法に付き合わされてる感じ

（音痴な人に）

わざと音程ずらして歌うのうまいな

【女性蔑視】「女性全体を主語に使うのはおかしい」モンキーセンター投稿が“女性蔑視“と物議 “不適切な投稿“の境界線は？【ひろゆき】のコメント欄

女「多い日も安心！」

男「なつーwwwはこーかんがwwwwかーゆくなるーwww」

発信者の意図以上のことを受信者が読み取ってしまうのは、不安や経験に裏付けられた人類共通のバグという感があるんだけど、これが歌や詩、小説をより味わい深くもしている。これはまあカレーのチャツネのようなものかもしれない。少しいれればコクが出るけど、チャツネだけで構成されたカレーを食べたくはないのと同じ。

吉本の一発芸人たちが闇営業で爆発していく中、それにさえ呼ばれなかった小梅太夫、「禍福は糾える縄のごとし」「塞翁が馬」「怪我の功名」を三連発で体現してて草

新三大 手遅れアナウンス

おきのどくですが ぼうけんのしょ は きえてしまいました

「ファールボールにご注意ください」

「この先電車が揺れます」

「鬼滅の刃をみろ」と迫る「キメハラ」が話題になっているけど、その態度が問題というより、事あるごとに色んな人から迫られる、数の莫大さこそが問題という気もする。勧めてる側は一対一で良心的なつもりだけど、勧められるほうからすればもう何十回目、という。これはワンピースやドラゴンボールなどの超メジャーな作品でも同じことがいえて、逆にマイナーな作品だと「ハラスメント」にはなり得ない。

キャラクターもののオムツやパンツを喜んではきたがる子は、よりにもよって人間で最も不浄な部分を包み隠し、不浄な排泄物を吸収する部分にそのキャラクターが来ることを認識しない、愚かな存在である。その程度の粒度の認識でいいのか？

本日23冥124デの精神霊骸をお伝えします。朝は晴れ、昼時々荒れ模様、夜にゾンデを伴う強い霊骸が発生するでしょう。降骸確率は30%です。今日も元気に、いってらっしゃい。

「ktgiは黙れ」「SHINE」のように伏字や英語を使って相手を罵倒する人の脳内で「えーとキチガイだからk,t,g,iか」「SIだとすぃだからな、SHIにしとこ」みたいな思考が行われてると思うと何も怖くなくなるな。言語というゲームの上で、相手に伝わるようにルールを守って律儀に罵倒していることに、何か可笑しさを感じずにはいられない。

どんなに悪人であっても「今お前が踏んづけてる俺の足に気付け」「その足をどけろ」という権利が認められるのがよい、と（私は）考えている。それは自分がそうされたときにそうできないと困るから、という実務上の理由でしかないのだが、意外とここらへんが差別意識改善に関わっていると思う。つまり「差別をしてはいけない」というのは、自分がそうされる側に回らないようにしたいという信念の曖昧な合意の上に成り立つ幻想である。お互いにその合意を保っておけば、少なくとも自分は嫌な思いをすることがなくなる。

やんちゃであるということを示す記号として「絆創膏」が男の子に貼られていることがあるが、本当にやんちゃな子はすぐにはがしてしまうので、実情にそぐわない気がする。

今でこそ思い出イコール白黒（セピア色）という共通認識があるが、100年もすればその認識も消えてしまうのだろうか。それとも「なぜ白黒なのかわからないけど、みんなそうしてるから」という奇妙な理由の上でこれが続いていくのだろうか。もしかしたら500年後の世界では、思い出を表すために2次元の映像が使われて、渋谷の女子高生が写真に没頭するのかもしれない。

「過去」「未来」はともに「現在」の人間が想起困難なものとして例えられるが、前者が既知であるのに対し、後者はまったくの未知であるという点で明確に異なる。私が100年後のこの場所を想像して気持ちが悪くなるのは、過去よりも未来のほうが不明な点が多く（エントロピーが大きく）脳内が破裂しそうになるからでは、と感じている。

あるいは（誰しも）自分が生まれる前の事象を「歴史」として認識して現在と断絶させることが可能なのに対し、未だ来ぬ未来は現在と連続的になっていて、それをリアルに想起するからなのだろうか。

幼い顔立ちの男性を「中性的」と表現することがあるが、そのときの「中性」の基準になっているのが幼さであることを考えると、小さい男の子はだいたいが「中性的」であり、さらにいえばそれは女性的でさえあるのではないかと思う。逆に、いかつい顔の女性のことを中性的ということはない。性差にまつわる不思議な言葉だと感じる。

「いつか痛い目に遭うぞ」というのは100％純粋な忠告というより、「お前もそうなってほしいのに」という願望を混ぜて用いられることがあるので、使われ方に注視していきたい

金がない。コロナのせいではないが、運悪くこのタイミングで無職となった。ハローワークへ行く。「ハロワの求人にロクなもんはない」と分かっていても、行かねばならぬ。あの空間には慣れたものだが、あの新型の感染症が流行してからは更に悲壮感の漂う施設だ。

秋の冷たい風が吹く。周りのオフィスビルには毛玉一つないニットやシワひとつないスーツに身を包んだ男女が吸い込まれて行く。しかしこのハローワークに足を踏み入れるのは、私のように毛玉だらけのセーターを着た小汚いやつばかりである。もちろん綺麗な服を着た人もいるが、だいたいは私と似たようなもんだ。

「今日の新着求人」が貼り出されたボードに群がる人々。誰一人言葉を発することもなく、貼り出された求人票を眺めている。私もその中に入らせていただき、今日のNEW案件をチェックする。洗い場、950円、初心者歓迎、正社員登用実績あり、各種保険完備…

さて、私の相談の番がきた。隣のブースからは、子供を抱えた母親の声が聞こえてくる。「いろいろやらなきゃなんですが、この子もいるし、時間が作れなくて。」反対側のブースでは、「コロナが落ち着くまでは無理スかね、はは」と乾いた笑い声が聞こえてくる。

私の話を聞いてくれている、ハローワークの担当の人の服が目に入る。毛玉ひとつない服だな。今年買ったのかな。いいな。ここに来ているみんなが分かっている。コロナが落ち着く頃が来たとしても、好条件の求人が溢れたりするはずなんてないということを。それでもなんとかここまで来て、求人検索のあのPCをスクロールしているのだ。求人票をいくらか印刷して、出口へ向かう。紙の束はそれなりに厚いが、この中で私を受け入れてくれる先があるかどうか。多分ないな。

失業保険の申請に少し長い列ができている。「就職氷河期世代支援」と書かれたチラシを手に持った人。「資格を取得！」のPOPなチラシをしげしげと眺める人。いらすとやの陽気な顔が悲しい。この国は、どうなっていくのだろう。

私はバブルを知らない。生まれたときからずっと不景気だと言われていた。それでも会社員の父はそれなりに羽振りがよかったように思うし、母も専業主婦をしながら私を育ててくれた。今はどうだ？給料は上がらないのに、物の値段は上がる一方だ。やたら強いストロング系の酒に、安い菓子パンや見切り品の惣菜。そんなもので生きながらえている貧乏を、私はたくさん知っている。安い糖質で腹を満たす日々は、いずれ大きな病気になって彼らに返ってくるだろう。

帰り道、久しぶりに奮発してコンビニのコーヒーを買う。隣のマシンでコーヒーを入れているビジネスマンは、この150円ぽっちの出費を気にもかけていないだろうか。私にとっては久しぶりの贅沢だ。いつもは安物のコーヒーをお湯に溶いているだけ。缶コーヒーとは違う美味しさが、11月の寒空の下では美味しい。このループから抜け出す方法がわからない。多分、来月の今頃、私は「誰でもOK！」と書かれた派遣バイトで働いていると思う。別に派遣が悪いわけじゃない。だけど、この悲しさはなんだろう。いつになったら、好きなものを好きなときに買えるようになるのだろう？

職場のメンバーと性癖の話になって、（ケモナーであることは公言しているので）ケモナーとか変態だね、と言われて割と最悪だなと感じた。自分が異性愛マジョリティにいるというだけで、他人のせいへきを「変態」と断じられる権利があるのだなぁとか。別に好きでこうなったんでもないし、変態とか言われるとちょっともやるなぁ、みたいな

「右翼かつ差別主義者は知能が低く、偏見にまみれて物事を判断する傾向にあることが論文でわかった」という記事に対し「まーたマスゴミお得意のレッテル貼りか」「ハーバービジネスオンラインはパヨクの巣窟」と原文を読もうともせずに叩くコメントを見て、鏡！と思った。

「AEDを女性に使うと訴えられる可能性がある」という記事に「だから女は救いたくないんだ」「フェミニストが男を非難したせいで救えなくなった」というコメントがつくが、私はたとえ訴えられる可能性があるとしてもその場ではちゃんと救助活動をするだろうし、それが自分の中にある確かな正義だと、確信をもって言うことができる。自分の中の善の意識は、外部によって左右されるようなものであってはならないのだと思う。

>>他人から与えられる理由で動くんじゃなくて、自ら与える理由で動きたい……動きたくない？

>>人助けなんてリスクしかねーよｗ俺が見捨てるのが嫌だから助けるぐらいに唯我独尊な考えじゃねーとやってらんねーよｗ人助けした事がないヤツってその辺勘違いしてるよなｗ（最底辺、ニコニコニュースのコメント。よい、非常によいなぁと思う。この人は人助けのことを誰よりもよくわかっている。きっと私よりも）

「動物愛護主義者」や「ベジタリアン」に「どこからどこまでOKでNGなのか、きちんと論理的に説明してください」と言う人がいるが、たぶんそれは無理なんじゃないか。たとえば動物愛護はかわいそうという気持ちからスタートするので、線引きだって個人個人で違うし、かわいいもの、人間に近いもの、知能が高いものを救いたくなるのは当然だろう。そもそも論理でいえば転売だってクチャラーだって「お気持ち」以上の何かがあるわけでもない（多くの国では転売行為を違法だとは認めていない）ので、それを指摘されると詰まってしまうと思う。

そういうときに「だって他人に迷惑をかけるからそれは駄目で、でも動物は言葉が話せないので大丈夫」なんて言った日には、「じゃあ牛肉はバーチャルウォーターが高いと説得されたら食べないんですか？」みたいな反論が来て、もうそこから進めなくなる。どこかでその感情をわかってあげようと歩み寄る姿勢が大事なんだと思う。そして共感姿勢のためには、何より心の、個人個人や社会の余裕が必要になる。だから動物愛護思想が現代にようやくうまれたのだろう。

「にんげんだもの」を自説の補強、しかも他人への非難にのみ使ってる奴らは全員、相田みつを氏に謝ってきたほうがいい。

うつ病や解離性障害になる人、しばしば「したい」と「すべき」の区別ができない。その結果「したくない」に直面したとき「その中でしたいことを探そう」ではなく「それはすべきだ、だから頑張らなければいけない」で気持ちを上書きする。あなたのすべきことは「したい」を自覚し、頑張らない練習です。

ニュートンは木の枝のリンゴが不規則に振動し始めたかと思うと突然天空高く弾け飛んでいくのを見て自分が物理エンジンの中に生きていることを知った

私は看護師だけど、子供がアナフィラキシーショック起こして意識失った時には救急車呼ぶしかなかったよ 幸い心肺停止まではいかなかったけど、橈骨動脈触れないから血圧が相当下がってるのはわかってた 普段なら血圧下がってるときには臥床させて下肢挙上するけど、抱きしめたまま外に出て救急車待っちゃったよ 親ってのはそういうもんだよ 実際、同僚の医者も子供が熱痙攣起こしたときには焦って救急車呼ぶしか出来なかったって言ってたし、医療者ですらそれなのにマジで無茶言うな

限界中年男性、40を超えると人生のイベントが親の死と定年退職くらいしかなくなってくるので本気でやる気が厳しい。コーエーのゲームの終盤が大体こんな感じ。

女子大学の教員をしていて、学生たちに女性アイドルファンはすごく多いし、ゼミ生の卒業論文テーマでもコンスタントに登場するので、その度に考えさせられるのだけど、「女性が女体を愛でる視線」というのが確実に存在していると思う。

>>「グラデーションだから全部OK」とか言う人の家では水とお湯が同じものなのだろう。ガス代が掛からなくて羨ましい。

写真でも「いい絵づくり」が全てであって、その裏側がどうなっていようと、フレームの外にどんなしわ寄せが行っていようと全く何の関係も無いよね

世の中にはプログラマー35歳定年説というものがあった。昔からそんなのはないという人と、あるという人がいた。40代も半ばになったときに「あぁ、これが35再定年説の根拠か」というものがなんかちらほら見えるようになってきたので書いてみようと思った。

世の中にはものすごいプログラマーというのはやっぱりいる。なんなら死ぬまでプログラミング書いていられるという人たちもいる（ブラック的な意味ではなく）。そんな彼らからしたらプログラマー35再定年説とか意味がわからない都市伝説にしか映らないだろう。だが、普通に職業プログラマとして生きている俺のような人からすると、この35歳定年説はかなりの真実味を帯びている。だが、そんな俺でも40代半ばまで延命できたのはやはり技術革新のおかげかもしれないが、結局平均寿命が伸びただけとも言えるだろう。

まず、技術に対する姿勢が変わる。正直言うとプログラミングとかもうしたくなくなる。というか、そもそも一生プログラミングを仕事にしたいと思う最初の頃は好きだと思っていたが、仕事にしてしばらく経ったら大して好きでもなかったな、と思うようになる。大して好きでもないことを仕事にし続ける体力はやはり年とともになくなり、体力がなくなった分「自分が本質的にしたいと思うこと」が見えてくる。そしてそれはプログラミングではないため、ギャップがきつくなっていく。

おそらく、この辺が35歳くらいのあたりに来るのではないだろうか。35歳定年説と言ったら35歳ピッタリしか想像できないのが離散数学の世界で生きているプログラマらしいといえばらしいが。そんな感じでやってても、20年もやればそれなりにスキルも身につく。さすがにGoogleの一線で働くような大天才たちと渡り合うことはできないが、もしかしたらGoogleの片隅で働ける程度のスキルはあるかもしれないが、正直もういいっす、っていう気持ちのほうが大きくなる。

次に、自分がどうにか身につけてきた知見というものがなかなか広まらない。コンセンサスが取れない、という状況にも苦しくなってくる。自分がやってきたプロジェクトでこういうことをやったらうまく働いた、というような知見は共有するが、なかなか価値観が共有できないことに気がつく。若いうちは「だったら俺が全部やりますわ」くらいの気合を見せられたものだが、年を取ってくると「あ、そうですか・・・」となってしまう。純粋に体力も気力もなくなっていく。

プログラミングをやっているだけありみんな論理的な思考が大変上手だ。「皆さんホント論理的でいはりますなぁ」と言いたくなるわけだが、悲しいことに自分たちの振りかざす論理が、単なる正論、飛躍、極論、屁理屈、と言ったものであることに気づけない人も結構多い。こういうのを各個撃破するのも疲れる。

これからプログラミングを仕事にする人たちに言っておきたいことがある。もしこの世界で長く働きたい、定年までコード書いていたい、と思うなら、常に勉強をしなくてはならない。もしあなたがFラン出ているなら、他の人の倍努力しなくてはならない。できないならそこそこで転職したほうがいい。この世界にいるといかに若いうちの勉強が大事だったかを日々痛感する。

実務の上での俺の感じていることを書く。DDDだとかクリーンアーキテクチャだとかも大事だがもっとそれ以前に俺が根源的に重要だと考えているポイントだ。この辺をないがしろにしたらDDDもクリーンアーキテクチャも絶対に崩壊する。

## コードを書くときに重要なポイント

まず、心得てほしいのはどんなにすごいプログラマでも意図の通じないコードは本当の意味で直せないということだ。

まず、引数チェック、状態チェックは必ずやれ。コードが語る、というようなことを言ってやらないやつが昔は多かったが、今もいるんだろうか。悲惨なバグやメンテナンス性の低下はそういった自分の意図の表明を横着したコードから起こり始める。「俺はこれをやる、だからこの機能を呼び出すならこういう状態にした上でこういう情報を渡せ、じゃないならやらない」とはっきり言え。もしこの辺を冗長だと考える同僚がいるならもう辞めたほうがいい。

引数チェックや状態チェックのコードで画面の半分が埋まったならそのコードは設計がおかしい。一旦手を止めてよく考えろ。一つの機能を動かすのにそんなに引数がいるのか、そんなにチェックする状態が多いのか、そしてそれらは本当に必要か検討しろ。

テストコードは絶対に書け。テストコードが書けない技術は絶対に使うな。意味のあるテストが書けないならやめたほうがいいという輩もいるが、とにかく意味があろうとなかろうと書け。引数にこれを入れたらこうなる、こういう状態でこういう事したらこうなる、というお前の意図はとにかく示せるだけ示せ。

だいたいこの辺を横着したやつは翌年酷く後悔するか、そこのメンテを担当した同僚を攻撃している。

## 就職活動するときに重要なポイント

コードが書けなくても大丈夫、という会社は、コードが書けたほうが有利な会社ではなく、本当にコードを書かない会社だというこは肝に銘じておけ。身につくスキルはEXCELの方眼紙を最低限の手数で作れるようになることか、本気でやればビジネスを理解できるかもしれないが、お前の技術者としてのキャリアはそこで止まる。仮に憧れのスーパーハッカーがいる会社を目指しているとして、彼らがそこでどう働いているか、なにが泥臭いのかを想像できない、聞くことができないならやめておけ。浮かれ過ぎだ。

仮にGithubのURLを教えろという会社を目指しているとして、そこのリポジトリを飾り立てようと考えたならやめておけ、そういう会社はGithubにアウトプットすることを日常的な趣味として苦ではなくやり続けられる人を求めている。年収をその会社の選択基準にしているならそこはおまえには分不相応な会社だからやめておけ。仮に入れたとしても馴染めることはまず無い。これは年収が低くても同じだ。

## 人間関係の重要なポイント

嫌いな人がいるならその会社はやめていい

###少しだけ追記

コメントを観てこの「最小且つ単一の論理でなにか否定できた気になる」という輩への対処が一番疲れる

「○○です」に対して、クラス全員で「○○かよ！！」と突っ込んでいるのを見ると、「あぁ、『アニメ』をしてるなぁ…」という気分になる。それ以外の感想がない。

こんな時間にハーゲンダッツを食べる時は、食べた後に歯を磨くとせっかくの美味しい味が台無しになるので、先に歯を磨いてその後にハーゲンダッツを食べてそのまま布団に入った方が良い。

ホス狂が売った臓器を買い取って自分に移植しまくってたら、最近体の調子がかなり良くなってきた。元の人体に入りきらないので体型はかなり歪になってしまうが、内臓を増やせば人間簡単に健康になれるということがわかった。今後は前頭前野を増やして脳の処理能力を高めていきたい。

本物のミュウツーに「サインして下さい！」って言ったら満更でもなさそうだった。しかも話聞いたら最近YouTuberを始めたらしい。安い承認欲求を満たすことでミュウツーの心を救えるかもしれないので皆さん、チャンネル登録お願いします。

乗ってた船が転覆して今逆さまになったまま船内に取り残されてるんだけど、switch持って来てたら海水で壊れてたかもしれないからなくて良かったって思ってる。

カレーは飲み物じゃない。と書かれたプラカードを掲げてたくさんの人々が渋谷を歩く。デモに参加するほどではないが、その主張はもっともだと思うし彼らを応援したい。

狭い空間に閉じ込められており、上から人間の臓器がランダムに降ってくる。めちゃくちゃ嫌な状況だが、心臓は高く売れるのでとりあえず集めて隅に置いておいた。ところが4つ揃った途端に心臓が消滅してしまった。もしかするとこれは五臓六腑を使ったリアルぷよぷよなのかもしれない

憧れのマミ先輩や、好きなマサト君も進研ゼミをやっている。お母さんに「今度はちゃんとやるから」とお願いしてまた進研ゼミをやることになった。しかし手続きをしてみると既に入会済みとなっていることに気付いた。どうやら前にやってた時から退会しておらず、27年間入り続けていたらしい。

本当のあなたは少し気の弱い小学5年生の男子生徒です。あなたは今、教室で同級生たち数人に上から乗られて気を失っていますが、命に別状はないので安心してください。間もなくあなたはこれまで見ていた長い夢から覚めますが、現実世界にTwitterはありません。将来大人になったあなたが開発するのです。

40歳越えても閉園時間のディズニーランドはめちゃくちゃ悲しいし、ここから帰らないといけない現実を突き付けられて悔し涙が溢れてしまう。

温泉に来たら全員服を着たまま湯に入っていた。ここはそういう場所なの？と思って私も周りに合わせて服着たまま温泉入ったんだけど、ちゃんとよく見たらやっぱりみんな裸だった。

電車内でギャン泣きしても母は決して私をあやそうとしない。絶対に電車からも降りないぞ、という強い意志も感じる。周りの大人達の「あやすか降りるかしろよ」という無言のプレッシャーにも屈しない。強い母を見習い、私も益々泣き叫んでいたが、部下から電話がかかってきたので泣き止んですぐに出た。

業務システムのマニュアルの記入例ってだいたい「申請太郎」みたいな架空の名前を使うと思うのだが、今日見たマニュアルは担当者の趣味なのか、記入例に「申請者：水野忠邦」「決裁者：井伊直弼」って書かれてて、すげえ面倒くさそうだなこの申請と思った。決裁下りるまで何人か心労で倒れてそう。

ソースの二度漬け禁止ルールのみでは一口目何もつけずに食ってから漬けに来るやつに対応できないという現状

マッチングアプリの企業とコラボしてイラストを描くことになった。マッチングアプリなんて使ったことないので自分なりに用途を考えた結果、人肉を美味しそうに食べてる女のイラストを描いて提出した。食人目的で利用する客がいるのか正直不明だが先方も喜んでくれたし、気持ちよく描けたので良かった。

スーツ着て集団面接行ったら自分以外全員全裸だった。頭おかしい奴らかと思ったけど意外とみんな質問にはちゃんと答えられてて、むしろ受け答えが一番出来てないのは自分だった。

世界にいる子供の人口が約13億1711万人として、一晩(24時間)のうちに全ての子供にオモチャを与えるためには、1秒間に1万5244人のペースで配らなくてはならない。

幼稚園に侵入してきた私を見て先生の顔がみるみる青くなった。私は「ただ遊びに来ただけです」と言って子どもらとブロックで遊び始めると、先生はホッとしてにこやかな顔に戻った。7分後、警察が来て私は速やかに逮捕された。たぶん遊んでるうちに先生がこっそり通報したのだが、正しい判断だと思う。

こんばんは、ミュウツーです。私は生まれてこなければよかったのか？今は精神科に通っています。よろしくお願いします

生きてる人間を叩くと死んでしまい、死んだ人間を叩くと生きてる人間が怒りだす。

飲み物の入った紙コップを手に持つ時も「意識し忘れたらうっかり手を放して落とすかもしれない」と考えて、紙コップが潰れない程度にギュッと力強く持たないといけなくて、他のこと何も考えられなくなる。

街中で大暴れしてたら数人がかりで上から押さえつけられてマジで圧迫死しそうになった。真面目そうな人が「それ以上やったらその人死んじゃいますよ！」と言って止めに入ってくれて解放された。自由になった私はさっきよりも大暴れして、いよいよ誰も手がつけられなくなった。

公園で子供たちにYMOに関するトリビアを自慢げに話してたんだけどガキの一人に「全部ウィキに載ってる情報じゃん」って言われた。ぶん殴りたいのを我慢して「私はCD全部持ってるけどお前は？」って聞いたら「レコードなら家に全部ある」と言い出したので我慢ならなくなりゲンコツ喰らわせた。

手をグーパーグーパーするとゆっくり体が浮き上がる。グーパー浮遊はリラックス効果があるが、気持ち良過ぎて浮遊したまま居眠りをすると危険だ。浮遊したままノンレム睡眠に入ると筋肉が暴走し、高速で空中を駆け巡ることがある。家具にぶつかったり、高所から落下して死亡する事故が増加している。

交通事故で亡くなった方の遺体を今火葬しており、この後、後輩が遺族に遺骨の状態を説明をする。もし骨がグチャグチャになって出てきたら「本来であればもっと美しい姿でお骨を遺せたはずなのですが……全く犯人許せませんね！」って加害者を責める感じに言うのはどう？ってアドバイスした。

かつて、人質たちに銃を向けながらケツだけ星人をやらせたことがある。大の大人たちが生きるために必死で行うケツだけ星人はあまりにも可笑しく、私は大笑いしすぎて幸福になり全員を解放した。今は私が人質にされている。退屈そうな犯人に提案して一か八かあの日起きた奇跡をもう一度起こしたい。

犬の散歩中、学習塾があったのでちょっと立ち寄ってみた。受付の女性が不審そうに「どういったご用件でしょうか？」と聞いてきたので、特に用ないけど何か答えなきゃと思い「下の看板に”でてこい、未来のリーダーたち”と書いてあったので来てみました」と言ったら、犬が続けて「ワン」と吠えた。

坂道のカーブミラーに隠る君

という句でコンテストに応募したらなんか入賞した。句の意味や詠んだ時の気持ちを聞かれたので「”君”とは自身のペニスを指す。坂の途中で勃起してペニスが曲がり角の先まで行ってしまい見失ったが、ミラーにペニスが映り込んでいるため確認できて安心した」と答えた。

みんなをスカッとさせたくて、あらゆる場でスカッとジャパンの敵役みたいな傍若無人な振る舞いをしまくっている。周囲の人を不快にさせまくっているうちにいつかビシッと正論で私を退治してくれるヒーローが現れると信じて4年間やってきたが、逆転劇が起きたことは一度もない。

バイト辞める時に「君そんなんじゃこの先苦労すると思うよ」って言われたこと7回あるけど、その店全部潰れてる。一方、私は何一つ苦労せず今日まで生きている。

雑貨屋をうろうろしてたら光る不思議な竹があったので切って見ると、中によくわからないけど光る物が入ってた。「きっとこれは天からの授かり物だ」と思い、家に持ち帰った。それから光る謎の赤い肉塊は日に日に大きくなり直径1mほどになった。ドックンドックンと一定のリズムで動き続けている。

風俗で2000万貯めた、みたいなツイート見て自分もそろそろそのくらい貯まってるかもと思って銀行の残高見たら赤字で-2408円って書いてあったのでびっくりしてすぐ閉じた。さすがに見間違いだと思ってもう一回見たら-2518円になってた。時間外手数料取られてた。

総武線の上に乗ったら服に黒い汚れがたくさん付いてしまった。そのことをパパに話したら「もしかすると、まっくろくろすけかもしれないなぁ」と言った後に「ちょ、待って。何の上に乗ったって？」って再確認されたので、今度はパパの上に乗った。

「喋る時なんで目線下向いて口尖らせるの？」って聞かれて初めて自分の癖に気が付いた。私は自分の口元を見ながらじゃないと口を動かせないらしい。これから口元を見なくても動かせるように少しずつ練習していきたい。

人体のどの部位をハンマーで叩き潰しても「グチャッ」という音は鳴らない。「ドン」という音だけ。これはハンマーが鳴ってるのか？机か？床か？そもそもなんで物を叩くと音が鳴るんだろう、という素朴な疑問が生まれた。

富豪が集まり、ロープで縛り上げた人間をマグマの中へゆっくり入れる様子を鑑賞する、という悪趣味な会が今日も開かれている。マグマを目前にして男が泣き叫ぶ。私が「可哀想だし止めない？」と提案するとあっさり可決して解放された。男にこの後うち来ない？と聞いたら「彼女いるので」と断られた。

何も考えてなかったんだけどよく考えたら、何かを考えることができる。

飛行機の高度をぐんぐん上昇させてたら「ふざけないでください！人命を乗せてるんですよ！」と副操縦士に怒られた。「ふざけてないし、飛行機に乗る客だってこのくらい覚悟してると思う」って論破した。本気でこのまま宇宙行く。

たくさんの老人が座る台を少ない若者で支える、という風刺のある写真を撮るためにエキストラを16人用意した。老人役で呼んだ人たちが「自分はまだ老人じゃない」「俺も若者側がいい」と言い出して、結局全員若者役になった。誰も乗ってない台を老人たちが持ち、あぶれた若者が側に立つ写真が撮れた。

ネットで可愛い下着見つけても自分の欲しいブラのサイズに限っていつも売り切れてる。何かの陰謀に違いないと思って探りを入れてみた。どうやら猿人会という組織が私のクローンを大量に作成しており、同じサイズばかり爆買いされてるらしい。私のクローンが可愛い下着着てるならいいか、と諦めた。

自分がガンになって行った病院に「ガン告知室」があったら本当に嫌だな。

最悪食い物屋が、売れ残りを廃棄するたびに「お前ら客が来ないせいで食い物を捨ててますアピール」してるのマジで最悪すぎるな。そんな食い物の扱いする店で飯食いたくない。甘やかされ過ぎるとそうなっちゃうのかな

甘えんぼうなので、自分が飲食店経営してたら、「お前ら客が来ないせいで飯を廃棄するぞーもったいないぞー」って散々アピールした挙句「お前らのせいで店を畳むぞー借金塗れだぞー」って最後まで一人で暴れまくってると思う。

マックで後ろの席の女子高生が「後ろの席のやつがハッピーセットおもちゃ単品で買って一人で遊んでるけど、昔なら異端扱いされたそういう行為も認められる世の中になって良かったよね」みたいな会話をしてるんだけど、声がやたら上の方から聞こえるからたぶん椅子の上に立ち上がって喋ってる。

ガムテープで全身ぐるぐる巻きにしたままベランダに放置していた遺体を捨てに行こうと思って持ち上げたら、ぐにょぐにょになっていた。中身腐ってるのかな？気持ち悪いな〜と思いつつも好奇心で開けてみたら桃のゼリーになっていた。果肉入りで美味しそうだが、ぬるかったので今冷蔵庫で冷やしてる。

昔、シュー・クーイー・ワーという手遊びがあった。三竦み関係にある手の形を出し合って勝敗を決めるという遊び。この3種類をぴったり同時に出した時、核融合反応に近い莫大なエネルギーが発生する。明治維新後、この事実は危険視されて手の形が変更となり、それぞれグーチョキパーに置き換えられた。

嘘泣き選手権。一番嘘泣きらしい嘘泣きをした人が優勝。ただ下手な演技をすればいいのではない。嘘泣きだとわかるけど、それを口に出してはいけないような絶妙な雰囲気が作れているかどうかが審査基準となる。

執行猶予中に罪を重ねてしまい取り消しされたんだけど、新しくやった罪の方でまた執行猶予が出たので牢屋入らずに済んだ。これって何回でも使えるパターンか？と疑問に思って、試しにもう一回軽犯罪したら実刑になって懲役5年半が決定した。

昨日のドローンレース大会で、デビルクライムの必殺技”ギガディストーション”をまともに喰らい、俺の愛用マシンは破壊されてしまった。ごめんよ、グライダージャスティス…。そう呟きながらマシンの残骸を見つめ、大破する瞬間の光景を思い返しながら、イキリ勃ったペニスをゆっくりとしごいている。

エスカレーターの降り口に二の腕を挟まれて紫色になってる人がいたので「うわぁ痛そ〜」と思いながら跨いで素通りした。30秒くらい歩いてからやっぱりさっきの人のことが心配になってきて走って引き返したら、まだ挟まれていたので急いでエスカレーターの停止ボタンを押して救急車を呼んだ。

「例の二人三脚のツイート、」で始まる適当な持論を展開するツイートをみんなで投稿して、全然知らない人に「何やら二人三脚が話題になってるな」と思わせて架空の元の発言を探させたい。

男はみんな射精する時に必ず大声を出すんだけど、本人はそれに気付いていないらしい。

デカい鉄球をぶら下げながらクレーン車を操縦して中心街にやってきた。クレーン車の向きを回転させたら遠心力で鉄球が少しブラブラと揺れだしてしまった。このままでは危険なので、鉄球の力量を減らそうとベクトルと同方向へクレーンを動かすが上手くいかず、鉄球の振れ幅はますます大きくなっていく。

大道芸とかでよくいる超長い竹馬に天皇を乗せた。最初得意げに歩き回ってたんだけど「これどうやって降りるの？」と聞いてきた。上皇も私も降ろし方が分からずおろおろしたため、不安になった天皇は泣きながら長足で豪快に移動し始めた。その姿は、人間のせいで不幸になった可哀想な怪獣みたいだった。

視界の中央に点がある気がする。そう思っていたがやがて確信に変わった。眼球が傷付いた訳ではなく、両目を閉じても見えるので脳に異常があるのかもしれない。徐々に点ではなく何かの形をしているっぽいことが分かってきた。その形がジョブズかもしれないと思えば思うほどジョブズにしか見えなくなる。

体調悪い時に息をいっぱい吸い込んでも、肺の奥の方に酸素が入らないゾーンがある感じがしてモヤモヤする。そういう時、口を大きく開けてあくびを誘発させながら、今だ！っていうタイミングで息を吸うと、肺の死んでたゾーンに少しだけ酸素が入ってくれることがある。ってスカッとジャパンに応募した。

オタクの心臓を自分に移植してから、陽キャを見る度にフラッシュバックする。教室でウザ絡みしてきた陽キャを我を失ってボコすのだが、その場面が段々遠ざかって雲型の吹き出しの中に映されたオタクの妄想だと判明。さらに場面は遠ざかり、いろんな場面が集合して最終的にジョブズのモザイク画になる。

クソじじいがハサミ持って大暴れしてる様子を動画に撮ってる若者たちがいるんだけど、全然ダメ。ちょうど店内でオラはにんきものが流れててそれと相まって面白いので、自分なら天井のスピーカーの真下で撮る。って冷静に考察しながらハサミを振り回してる。

今日から市役所を特別仕様に改装してお化け屋敷をやってる。娯楽目的できた人はおらず、ほぼ全員普通に手続きしに来た人たちなんだけど、「手続きはお化け屋敷の奥でお願いします」と説明すると仕方なく入ってくれる。最初の客が入ってからもう7時間ほど経つが、出口からまだ1人も出てこない。

人を殺して解決するなら人を殺しても良いが、多くの場合、新たな問題を抱えることになるので注意。

求人バニラの曲を流しながら走る霊柩車がいた。なんて不謹慎なんだ、と思ったら「なんて不謹慎なんだ」という声が霊柩車から出た。「どうやら私の脳内の音声があの霊柩車から出る仕組みになってるっぽい」という声が霊柩車から出た。

嘘か本当かよくわからないこと言いまくってフォロワーを混乱させようって思ってたけど、一番混乱してるのは紛れもなく自分だった。

パトロールしてたら墓場で流しそうめんしている連中がいたので注意したら、「私達ここの住人なんです。ごめんなさい」と言いながら各々の墓へスゥーっと消えてった。帰宅後、今日の出来事を思い返してたんだけど、幽霊が流しそうめんなんてする訳ないし、やっぱり生きた人間に騙されたんだと思う。

Twitterですぐ「クソリプ」とか「ブーメラン」とか「みんなわかってて楽しんでんだよ」とか言い出す人がいる。見つけ次第本人を特定して、中学の同級生にどんな人物だったか取材してるんだけど、もれなく嫌われてるけど本人は気付いてないタイプの人間だった。

AV女優が顔射されてる時の顔真似を、Twitterにいるクズっぽい男子大学生みたいなやつにやってほしい。

今朝、天皇が「チコク、チコク〜！」って言いながら大慌てで出掛ける準備をしていたので、今日は学校が休みであることを教えて上げた。しかしどうやら天皇の言うチコクは”治国”だったらしく、国事行為しに家を飛び出して行った。

Twitter始めた頃は普通に人間らしいツイートをしてたんだけど、その頃のツイートを急にリツイートされると、今の俺はなんでこんなことになっちゃったんだろうって思う。

“あなたで抜いた人”っていうハッシュタグ、「あなた」って書いてあるのに「私」という意味で使ってる人がたくさんいる。人称を気にせずに言語を使用する人が大勢いるのは一見由々しき事態にも思えるが、自分と他者が一体化した高次元の意識に人類が近づいている表れなのかもしれないと思うと喜ばしい。

セックス中にツイートを思い付いたので後で忘れないようにセックスしながら繰り返し口に出して言ってたら、客が腰動かすの止めてくれた。

しりとりWカップで2年連続優勝したことがある。相手の知らない「る」から始まる単語をたくさん覚えていたので、当時無敗だった。しかし実は私は広辞苑の編集者で、実在しない「る」から始まる単語を勝手に創作して載せていたことがバレて仕事はクビ。しりとり協会だけでなく相撲協会からも追放された。

世の中本当に辛いことばかりですよね。今から私が自殺をしますので、皆さんは私を止めてください。

pixivによくいる、フェチ熱だけは強い人の絵。線画の時点で立体感がないのに、色塗りで光と影を無理くり足して立体感を作ろうとしていて、自分の人生と重ねて見てしまう。

天皇と上皇と私の3人で、ビールジョッキ持って肩組みながら左右に揺れて楽しく歌った。その後の反省会で、天皇が「アレやるならあと正直3,4人はいないと盛り上がらないよね」と言い出した。せっかく楽しんでたのに水を差した発言に上皇は不服そうだったが、私は天皇としての器が光ってるように思えた。

17階に住んでるんだけど、1階までゴミ捨てに行くのが面倒臭すぎて、ゴミ捨て場の真上からゴミを落として捨てていた。管理人からクレームが入ったから私はもう止めたんだけど、他の住人たちがあとから真似し始めてうちのマンションのゴミ捨て場周辺が今ヤバいことになっている。

トップに「2010年1月からTwitterを利用しています」って表示されることを割と誇りに思ってるんだけど、2009年以前のユーザーに出会すと完敗した気持ちになる。本当にゴミみたいなプライドだと思う。

リプ欄で他人同士のツイバトルが始まったので高みの見物しようと思ったのに「そういう意味だったのですね」「いえいえ、こちらこそすみません」って感じで下手に和解した挙げ句、「や　さ　い　せ　い　か　つ」などと言う第三者が現れる展開を見てTwitter止めようか本気で考えてる。

ポテトサラダって何だろう？と思ってググったら皿に盛られたゲロの写真が出てきた。居酒屋とかでたまに皿に入ったゲロを見たことあったけど、これ今ネットでポテトサラダって呼ばれてるのか。サラダは何となくわかるけどポテトには全然似てないし、そう呼ばれる由来が何かあるんだろうな。

ギャルと電話していたら「なんかバサバサした音がしてうるさくね？」と言われた。エアコンの風で窓に貼ったアルミホイルが揺れて鳴っている、と事実を伝えると、「普通に通話出来てる時点で電波を遮断できてないし貼り方が悪いんじゃね？」と指摘された。ギャルは偏見なしに的確な助言をくれる。

みんなTwitterで文体のセンスをひたすら磨き続けてもう全員アイスピックみたいに鋭くなってるけど、結局刺す場所がTwitterしかない。

餅が喉に詰まった瞬間から死亡するまでの13分間を延々とループし続けてるんだけど、何度も繰り返してるうちにTwitterやる余裕が出来てきた。

逃げ回る10万円支給の紙をついに捕まえた、と思ってよく見たらそれはコピーだった。コピー機から続々と偽物が印刷されてきて、部屋が偽物で覆い尽くされてしまった。「本物はここだ！」と名探偵気取りでスキャナーを開けたが、中で増産してる奴もコピーだった。このままでは紙とインク代が無駄すぎる。

大量に漫画を売ったんだけど値段が付かなかった漫画をスカッとジャパンに着払いで送った。1ヶ月後、ジャパンから漫画が全部返却されてきたんだけど、デスノート1〜7巻に「採用」って付箋が貼ってあった。

フラペチーノの蓋のふちに舌を捻じ込んで隅々までクリームを舐めとって綺麗にしたスタバのカップをスカッとジャパンに着払いで送り付けた。

中途半端な知識で窓にアルミホイルを貼ったところ、逆に電磁波が増幅されてしまい、家の中をピーーーーーというノイズが鳴り続けている。独学で手を行わずに専門家を頼るべきだった。

保健体育の授業で「HIV感染者の血液や体液が傷口などから体内に入ることで感染する」と習った。天皇が周りに聞こえる声で「いや、血を傷口に入れるとかどうやんねんw」とツッコミしたので先生が「このあと説明しますが主に性行為で感染します」と付け加えた。それから天皇は目立った発言が激減した。

「お疲れー」と言いながら堂々とNHKのスタジオへ行き、腕組みしながら堂々と収録の撮影を観る。出演者に助言を出すと「なるほど、ありがとうございます！」とか言われる。収録長くて眠くなってきたので、何食わぬ顔で立ち去ったんだけど、今、私の後ろをNHK集金係が尾いてきてる。

もし自分がピザ配達のバイトなら途中で絶対具を盗み食べしてると思うし、なんなら自分みたいな奴らがこれまで盗み食べてきた具だけで月ぐらいの星はつくれると思う。

性癖という言葉をごく自然に正しい意味で使ってる人を見ると、アホな奴に「こいつ性癖の使い方おかしくね？w」と見下されてしまうことを恐れてないのか、と思って尊敬する。俺は架空のアホに馬鹿にされる想像をしただけで、悔しくて憎くて唇を噛みしめて血が出る。

バニラトラックを運転していると、マジックミラー号とすれ違った際に運転手に手を挙げて挨拶されることがある。同業者だと思われて敬意を払ってくれているのかもしれないが、正直一緒にしないでいただきたい。一応、気を遣って音楽の音量は下げるようにしている。

鼻の穴にふざけて500円玉を突っ込んだら取れなくなってしまい病院に行ったのだが、医者から「手術をしないと取り出せない」と言われた。手術費は3万〜5万円かかると聞かされて潔く500円は諦めた。目先の小金に囚われて大金を失わないよう、これからも心がけて生きたい。

人質になった時、強盗に銃を向けられながら「お前、変顔してみろ」と無茶振りされた。かなり緊迫してたんだけど、その場の全員爆笑させてやろうと思って渾身の変顔を披露した。しかし全員ノーリアクションのまま「次ぃ！」と言われて隣の男のターンに変わった。私はそれ以来、全ての自信をなくした。

交番の前でわざと頭おかしいフリをして、職質されたら都合よく動画をカットしてネットで拡散してやろうと思った。10分くらい奇行を続けても完全無視だったので諦めて帰った。実は下着を見せたりもしたんだけど、思い出しただけでも恥ずかしいし、やらなければ良かったとかなり後悔している。

教師モノAV出た時に出欠取るシーンで「大島くん」「小嶋だよ！」という小ネタが入ってた。しかし男優が「俺の名前はなぁ……小嶋だ……」と脚本家の意図を全く汲み取ってない返答をしたためさすがにNGになるかと思ったら普通にそのまま進行してセックスした。という話がスカッとジャパンで放送された。

電磁波を遮断するために全ての窓にアルミホイルを貼ったんだけど、これ周りから見たらただのヤバい人にしか見えなそう。

目に箸を串刺しにしたまま走ってたら転んでしまい、奥まで突き刺しそうになった。目の奥には脳みそがあるのでそこに到達すると死ぬ危険があり本当に危ない。

あの挙動を見ると「ホリエモンは本当に野菜が苦手なんだな」と誰しもが思うだろう。しかし彼は賢い人間であるため、自分の本当の弱点を隠すためにああいう大袈裟な演技をしているとも考えられる。仮に草タイプに強いと仮定すると、本当の弱点は炎か水タイプの可能性が高い。

登場人物にやたら「天皇」が出てくる人はもれなくネタツイートアカウントであり、保全すべきである

誰を殺せばこの腐った世の中を変えられるか、と考えた時に多くの若者は自分を選択する。

首都直下型地震が起きない並行世界へとピョンピョン飛び続けてきたが、どの世界へ行っても最終的に地震は確実に起きるため、いよいよ逃げ場がなくなってきた。逆の発想で、6年前に地震が起きた並行世界ならもう復興終わってて普通に暮らせるかも、と思って行ってみたら日本が無くなってた。

常闇くんがかわいすぎて「常闇くん　かわいい」で検索してしまった

常闇くんのダークシャドウが光に弱くて泣きながら暴力反対って言ってるシーンで深夜1時なのに「あぁっ」って言ってしまった

常闇くん「目」がいい　とてもいい　非常によい

この「目」だったら目に入れても痛くない気がする

こういう「目」の人がいたら男とか女とか関係なく好きになりそう

現実にいないので割と助かっている

何より常闇くん、鳥なので鳥目で夜に視力が効かないのに闇キャラってのがいいよね

いやダークシャドウは闇だと制御不能になるので夕方ぐらいがいいのか…？

最近、ディズニーの「ロビンフッド」の主人公ロビンフッドが登場するえっちな絵を描いて満足していたのだが、これを誰にも見せられないんだなぁと感じている。人工ダイヤモンドの合成に成功したけど、公表したらダイヤモンド国際シンジケートから命を狙われるので一人で論文を書いて満足する科学者の気分を味わっている

常闇くんに幼児服を着せて恥ずかしがらせる絵とか、ダークシャドウを捕まえて強めの光を当ててみる絵とか、そういうのを描きたいなと妄想している

常闇くんの黒い毛を全部剃ってみる絵とか、人間の両親なのに顔だけが鳥の理由を2時間ぐらい正座させて問い詰めて半泣きにする絵とか描いてみたいなと妄想している

鳥なのでリンゴ食ってるのかわいいな　リンゴ百個ぐらいアマゾンで買って差し入れしたら喜ぶかなでもさすがに百個も食べたらお腹壊しちゃいそうだし性格が律儀なのでそこらへんちゃんと察してやんわりと実直に断ってきそうな気もするぐらい妄想したあたりで常闇くんが実在しないのだと知って今泣いている

なぜかというと自分の中の創作意欲が強すぎて、いったん「無」ということで保留しないと心が壊れるからです

常闇くん！！！！！！！！！！！！！！！！！すき！！！！！！いっぱいちゅき！！！

人間は本当に尊いものを見ると「ちゅき」「えっろ」「あ、いい」「死ぬ」「優勝」ぐらいしか語彙が出てこなくなってIQが200ほど落ちるので

「無」ということにしておかないと絵が描けなくなるんですね（茂木健一郎曰く）

こういうプールに常闇くんを無理やり突き落として

溺れる姿を観察しながらカルーアミルクを飲んでみたい

「く…苦しい…」

「水深150cmなんですけどね…あっ身長156cmだからダメか笑」

みたいな会話をしてみたい

体中の酸素が尽きてゆっくりと常闇くんが沈んでいって、ダークシャドウがうっすらだんだんと消えていくのを被写体としてカメラで連写したい

常闇くんがダークシャドウを出すたびに常闇くんの地球上の位置座標が500kmずつ南極の中心に移動させられて、5回使ったあたりで本当に中心に行っちゃって、そのまま寒さでだんだん動きが鈍くなっていくのを観察していたい

南極はその時夏なので白夜でダークシャドウもずっと出せないみたいな

常闇くんも3mmぐらいの銃弾で30秒に1回ぐらいのペースで撃たれ続けてだんだん血とか出て倒れてほしい

皆さん、1999年7月に空から恐怖の大王がやってきて世界は滅亡します。逃げても無駄なので諦めましょう。

誰もそんなこと言ってないのに架空の批判を作り出してそれに対して一人で論破し始める人。はたから見ると一人で両手でジャンケンしてるのと変わらないけど、確かに一人ジャンケンは楽しいからわかる。

満員電車でカップルがナウシカの乗り物なんだっけ？って話してたので聞こえる声で「メーヴェ」って呟いたんだけど無視された。もう一度「メーヴェ」って言ったけどやはり無視された。

上皇に「最近スカッとした話ある？」って聞いたら「2週間埋まってた頬毛の埋没毛を引っこ抜くのに成功した」と言ってたのでそのままジャパンに応募した。

ツイッターでオタクがオタクに悪口言われてブチ切れてるの、ドラゴンタイプはドラゴンが弱点なのと似てて好き

「昔はインターネットに嘘書き込んでも逮捕されなかったからみんな嘘つきまくってたんだよ」って孫に教えてあげたら「何のために嘘つくの？」って聞かれて、ただ遠くを見つめることしか出来なかった。

Youtubeでオリジナル曲に低い評価付ける奴だけは絶対に許さない。Youtubeの低評価はぱっと見原曲っぽい動画タイトル付けてる癖に、再生すると下手くそのカラオケが流れ出すゴミ動画に付けるための機能だろ。必ず家に火つけて殺してやるからな。

映画館で携帯の電源落とさないやつがいたら連帯責任で上映を中止して、残り時間ずっと映画のマナーを教える動画流す仕組みにしてほしい。

NHKの集金係を家に1人監禁しておくと「あ、この家は既に別の集金係がいるから他の家を当たろう」と思ってくれて集金が来なくなる。

街中で弱そうな女性を狙って暴力を振るう男性が、家に帰れば家族をとても大事にする良いパパだった、という話をスカッとジャパンに応募した。

復讐は何も生まない説、健常者にとってはそうなのかもしんないけど、ADHDはマルチタスクが苦手なため、仇がふつうに生きてると気が散って仕方ないのでまず復讐を済ませてからのほうがシングルタスクで何かを生み出す成功率が上がる

6年付き合った人と別れたとき、こんなに好きになれる人はもういないって思ったけど全然いた。

ドッグランで会った3.4歳くらいの男の子に「お靴、素敵だね」って言ったら「これ、すごいやつ」とドヤ顔して足を差し出すので、キャラクター物だし値段高かったのかなって思ってたら「夜に、光る」と最重要国家機密を漏らすように真剣に告白された。

家で壁をすり抜ける練習をしていた。目を瞑って心で壁の粒子と体の粒子を感じ取る。水をイメージしながら流れるように少しずつ壁の中へ侵入していく。9時間かけてようやく右半身が通り抜けたんだけど、隣の部屋の人が帰宅してしまい、焦ったせいで壁と一体化したまま完全に身動きが取れなくなった。

書いた詞が右翼っぽいという批判を受け、天皇が謝罪。

深夜に骸骨がうちの玄関前をうろついててめちゃくちゃ怖かったんだけど、よく見るとNHK集金係が持ち歩いてる例の機械を首からぶら下げてたので、とりあえず骸骨の目的が判明して怖さが半減した。

“7割の人が間違った意味で使ってる言葉”みたいなやつ、正しい意味を覚えたところで7割の人間には「コイツ言葉の使い方変だな」って思われるので、結果この言葉は使わないようにしようという思考になる。

将来息子が学会員になったら嫌だなと思い、あえて大作は神様だと教え、毎日3時間お題目を唱える教育を続けてきた。息子が思春期を迎える頃には私は反面教師として彼の目に写ると思っていたが、高校生になっても反抗期すら訪れず、そのまま親子揃ってゴリゴリの信者になってしまった。

あと30年もすれば男も普段からメイクするのが当たり前の未来がやってくるんだけど、ジジイになったお前たちは「男がメイクするなんて変だ」とか「やり方がわからない」とぶつくさ言って今以上に浮世離れしていく。

死神とドッペルゲンガーから同時に告白されたんだけど、どっちもキモかったので断った。結局死神とドッペルゲンガーが付き合うことになったらしい。

30歳過ぎてから徐々にうんこおしっこの話をする友人が減っていき、40歳になった時には1人ぼっちで壁に向かって「うんこ。おしっこ。ウンチ」と喋るようになった。

要領が悪く何をやってもダメなので、不意打ちで相手を殺害することでしかマウントが取れない。

殺人を犯すと多くの人は「自分が人を殺すはずがない」と反射的に思考し、脳が殺人の記憶を消してしまう。3〜4人殺すと耐性が付いて記憶の全てを思い出すが、1人しか殺さなかった場合、事を知らぬまま人生を終えて墓に入る。あなたのその思い出せない記憶は、殺人が絡んでいる可能性が高い。

「規制とか気にしなくていいから断面図もっとリアルに描いて」と担当に言われたので、いやいやこれリアルに描いてますよ、と意見の食い違いが発生した。ひょっとしたらこの担当者、本物の断面を見たことがないのかもしれない。

ハッピーセットに電車で痴漢してたのに途中でホテルに場所を移すAVが登場

宇宙には「生きる」と「死ぬ」とあともう一つ何か概念があって、その3つが三つ巴になってぐるぐる回って動いてるんだけど、生きるをやってる限りその一つがどうやっても思い出せない。死ぬとそれを思い出すが、今度は生きるを忘れてしまう。

暮石とジャンケンする時「暮石は石なのでグー、つまりパーを出しとけば負けない」と考える人が多いですが、意外とチョキやパーも出してきます。暮石に負けると命を取られるので勝負しない方が良いです。

新聞の一面を飾ろうとして犯罪を犯そうとすると意外と難しい。罪が軽いと新聞にすら乗らないし、重すぎると逆に報道出来なくなってしまう(日本は凶悪事件の72%は報道されず闇に葬られる)。有名になりたければもっと人に迷惑をかけない方法を取るべきだ。

うちの市役所でついに、モザイクの位置を自動認識して別の素材の無修正チンコやマンコを綺麗にはめ込んでくれるAIロボットの開発に成功した。さっそくみんなでロボットにいろんな画像見せて検証したんだけど、フタナリの画像を見せた途端にカウントダウンが始まり、0になると爆発してしまった。

外にいるのになんか暗くなってきたので、え？何これ？つってパニクってたらお爺さんが「ヨルが来たんだよ」って教えてくれた。ああ、なんだヨルね、つって理解したフリしたけど、本当はヨルが何者なのか知らないし、怖すぎてゲロ吐いてしまった。

うちの市はサマータイム試験区域に指定されてるのでもう実施されてるんだけど、今日旦那さんがいつもより早く23時に帰って来たので嬉しいなと思ったら、バグが生じて2時間後に旦那さんがもう1人帰ってきた。

カップ麺の線の位置までお湯を注ぐが、5秒くらい経つとお湯が減ってしまうのでまた追加で線まで注ぐ。という行為を17回繰り返したところで「ひょっとしてお湯が異次元に飛ばされてるのでは？」と思いカップをひっくり返したら5リットル分の熱湯が逆流してきた。

発達障害がコンテンツとして消費され始めたので、それに代わる新しいエネルギーを私たちはまた見つけなければならない。

中野駅で口から泡吹いて倒れてる人がいる、という通報が入った。さっそく倒れてる人の泡の成分を採取して特別な機械で調べたところ、83%がヨダレだったため泡と呼ぶには泡度が足りないことを指摘した。

「育ちが良さそう」って言われることがあるけど、まだ育ってる最中だから邪魔しないでほしい

3連休ずっと「ダメよ〜ダメダメ」の練習してたんだけど、ふと本家はどんな感じだったかな？と思って改めてyoutubeで見たら自分が一生懸命やってたのと全然雰囲気が違くて、突然17時を報せる鐘が町に鳴り響いた。

自分と反対意見の人が極論を言ってると「極論だ」って思うが、自分が意見を通したい時は極論を言いたくなる。

「世の中には不要な仕事などないと言いますが、本当ですか？」と聞かれた池田大作先生が「バニラのトラック運転手以外はね」と付け加えて場を凍らせる回

上司にツイッターのフォロワー何人いるか聞かれたので37人と答えた。馬鹿な後輩が「え〜俺フォロワー14万人いるっすよ」と自慢し始めた結果、弊社の商品を個人のアカウントで宣伝する羽目になった。

たくさんの子犬が滑り台を滑ってく動画を見た後、リプ欄を覗くと犬の気持ちについて激しく口論し合っていて、インターネットの醍醐味だった。

「何でもいいから1人1個新しい機能を考えてくるように」って上司に言われたので、赤の他人のツイートについたいいねが通知に表示される機能を考えたら見事に採用され、昇給が決まった。

目でガム噛んでたら目が開かなくなってきた

オタクの客が来ると、ディープな音楽とかアニメの知識を披露するだけでHせずに帰ってくれる場合があるので楽。フェニックスの尾で死ぬアンデッド系のボスみたいな感じ。

「自分が受精できる確率はとても低い」という理由で、「人生RTA」の「未受精RTA」だけ競技参加者が異様に多い。逆に「受精RTA」になると激減する。苦行なので

今日が曇りであることを指摘された吉良吉影「いいや！干すね！」

加湿器に水銀を入れてみたら、銀色の蒸気が出てきてとても綺麗だった

最近すぐサイコパス呼ばわりする風潮あるけど全然サイコパスのこと分かってないと思うし、分からせてやりたい

地球がめちゃくちゃに破壊される映像見ながら「流石にCGだよな？」って思ってたけど、次の瞬間停電になって何も見えなくなった。

電話切ろうとした時に「あ！すみません、もう一点！もう一点！」という声が聞こえたが、聞こえないフリして切った。

「こんな変な新入社員がうちの職場にいる！」ってツイートしてた先輩を生きたまま棺桶に放り込んで土に埋めた。

CDTVの逆三角形のキャラの真似が上手い男とデートした。顔はカッコいいのにずっと逆三角形の奴の真似してるから「ちょっとそれしつこいよ」って指摘したらキョトンとした。どうやら子供の頃から素であの喋り方をしてて、そもそもCDTVを知らないらしい。ゴム無しでハメたから子供出来たかもしれない。

ずっとTwitter第一でやってきたけど、先輩に「我々にとっては人命救助の方が大事だ」と説教されて確かに一理あると思った。

うちでドラゴン飼ってることが国にバレて政府が観察に来た。念のため戦闘準備してたんだけど、担当の人が「このタイプのドラゴンは温厚で優しいので飼っても大丈夫ですよ」と言って許可証をくれた。国内で37世帯に許可を出してるらしいが、許可なしで隠れて飼育してる家がまだたくさんあるらしい。

食卓に笑顔を届けたい、と思っていろいろ試した結果、街でお金を配るのが1番有効だとわかった。

恋人と別れる際、毎回記念に睾丸をもらってはホルマリン漬けにして集めてるだけど、今数えたらなぜか53個(奇数)だった。過去に3つ睾丸のついた元カレがいた可能性が考えられる。

太陽師という職業がある。太陽を操ることで国からお金をもらう仕事だ。大気の流れや地球の傾きは操れないので天候は操作できない。基本やることがないので何もしないが「金をくれないと太陽を爆発させるぞ」と政府を脅すことで毎月高額の給料を得る。太陽師の資格は公務員試験に合格するともらえる。

バニラのトラックを運転しているとよく「給料どのくらいもらってるの？」という頓珍漢な質問をされるが、あれはただ趣味でやっていることなので給料は一切もらっていない。当たり前だが、自分の好きな音楽を大音量で流しながら街を彷徨うだけでお金がもらえるほど世の中は甘くないのだ。

教師が生徒に暴言を吐いたという報道と実際のクラスメイトの証言が食い違う。偏向報道するな。という流れから「そのクラスメイトの証言も本当かどうか怪しい」と言い出す人が現れ、事実が分からない以上口出しするのは止めた方が良い、という雰囲気になり、また一歩、インターネットが無に近付いた。

家の前を裸の女がうろついてたので、頭の弱い人かな？と思って試しに二次関数の問題出してみたら普通に全部正解した。

火葬の火加減を間違えてAの遺骨を黒焦げにしてしまった。仕方ないので後から入ってきたBの遺骨をAの遺族に差し出す。Bの遺族にはCの遺骨を…というふうに自転車操業的なやり繰りでなんとかやってきた。今、火葬炉の前でじっと待ってる人がいる。このままでは遺骨の入れ替えが行えない。どうする？

地球規模で爆発する爆弾を作ればもちろん犯罪だが、太陽系規模の爆弾を作ればもはや犯罪にならない、って近所のジジイに教えてもらった。

「人生は甘くない！」って言ってる人の人生、甘くて美味しそう

〇〇が△△だと話題になってますが、ここで××をご覧ください。っていう定型文を恥ずかしがらずに使える人間がツイッターでは強くなれる。

周りがみんな上手くいってるように見える時は200%自分が寝不足なだけです。

"いわゆる「丁寧な暮らし」をしている人は部屋がキレイで遮蔽物が少なく、日々の行動パターンが一定であるため狙撃しやすい"と知って元気出ました。今後もスナイパーに狙われないため丁寧じゃない暮らしに精を出します

ツイッター、デフォのアイコンでbio欄に「言いたいこと言います」と書いてるやつは100%の確率で言いたいこと言ってるし、アイコンがデフォのままなので誰もそれを聞いていない

何かの問題について両極端の立場にある両方が、互いを罵るためだけに「エコーチェンバー」と形容する現象だけでできたお菓子が、ハンガリーにあるらしい

「多様な世界とは、自分にとってどんなクソな意見も許容されるクソな世界だ」と聞いて頷く人は多かろう。だがそういう人達も「コロナはメディアとユダヤ教による陰謀で、ビルゲイツがナノマシンを人類の体内に埋め込むために意図的に広めている」というツイートを「荒唐無稽だ！」「知能が低い！」と一蹴できるので、まだまだ人類に多様性は早い。

「マスクは感染させられないためではなく感染させないためにある」と散々言われているのに、ナポレオンをアイコンにしてるアカウントが「コロナ騒動で、自分がどんだけ意味のないことを惰性でするのが嫌いで自由を愛してるのかを知ったよ」と自分が未感染前提で語るツイートがあって、それに「21日は完全体で街宣します！Let’s Revolution！」というリプがぶら下がってるのを見ると、ナポレオンに謝れ～～～～と思う。

ちょっと言いたいのが、デマ情報を信じたからコロナ対策をしなかったのではなくて、コロナ対策をしたくないからデマ情報を根拠としたのだ。行動は最初から決まっていたのだ

Twitterでこれ系の人を勉強がてらフォローしてるけど、上から目線（私たちがみんなの目を覚ましてあげる！）と、考え方の飛躍具合にびっくりするよ。国は監視用5Gチップをワクチンに入れて注射したいんだってーへー。

陰謀論に人が肩入れしてしまうのは不安な現実から目をそらす為で、あまり強く非難はできない。大切な人を無くすことで気づけた人は良いが…

なんのかんの言っても、「男性向けのエロ雑誌」には女性を性の対象としてしか扱っていない記事があり、「女性向けの雑誌」には、男性をイケメンかどうかや収入で値踏みするような記事が、今でもたくさん載っています。

そういうのがいちいちネットで炎上しないのは、バカにされている側が「存在を知らない」のと、雑誌文化が終末期になり、読んでいる人数が少ない、というのも大きいのだと思います。

結局のところ、炎上するかしないか、というのは「影響力のある誰かに見つかるかどうか」や「どのメディアに書かれているのか」なのかもしれません。

ネットで読まれるコンテンツには「面白い」か「役に立つ」しかない、とよく言われるのですが、「叩いて気持ちよくなれる」というのもあるのではないかと思います。ただ、最近はその「叩く閾値」がどんどん下がってきているような気がしてなりません。ネット上では学術論文みたいにしか書けなくなったら、それをみんな読んで、問題意識を共有しようとするのだろうか。「炎上」に参加するのはネットユーザーのごく一部だという調査結果も出ているので、大部分の観客は「読んでいない」か「まあ、こういうのも有りなんじゃないか」で終わりなのだろうけど。

行儀よく整えられ、子どもの発達に健全であるというだけの、何の刺激もない「推薦図書」を読み、先生や委員会などエラくて真面目な大人が好むであろう感想文を書くことへの抵抗感は昔から確かにあって、そういうエピソードの一つ一つが、自分の今の反権威主義を形作っているのだという自覚がある。薬も毒も一緒に飲んでこその精神性だ、と今は思っているし、ネットではその両方の文章を読んでいるし、書いている。

>>うちの中学校では山田悠介の小説で読書感想文を書いたり、彼の本を読書の時間に読むことが禁止されていた。数年前に誰かが彼の著書を読んで、感想に「グロテスクなところが面白かった」と書いたかららしい。当時はそんなものかと思っていたが、今になると大人側もなかなかひどいことをしている気がする。中学生は残酷でグロテスクなものを好んではいけないのだろうか？なぜそれを読書感想文に書いてはいけないのか？なぜ高校生からはOKなのか？

そこらへんの疑問には触れず、ただただルールを作って人間の思想を操作した気になっているのは、それはそれとして別の意味でグロテスクだと思うし、禁止された生徒たちが大人への信頼を失うのに十分な理由という気がする。誰かアンチテーゼとして1984年とか読んで書いてみればよかったのに。

「それは差別だ！」と批判する人間の心にこそ差別心があって、それをただ刺激されているだけ、という現象はわりかし多そうなものだが、それに言及して自戒してみせる人間は驚くほど少ない。

3年間ホームレスに密着して彼らと仲良くなった記者が、ホームレスの明るい生活を無垢に描いた文章が「バチバチの無知と無意識の差別がつるんと剥き出しになっていて心底怖かった」「こんなにおぞましい文章になるんだ」と、普段ホームレスに接するどころか彼らの生活を考えたことさえなさそうな人間に寄ってたかってバチバチに批判されている。これがインターネットなのだなぁ、顔のない正論だなぁという感想を抱いている。批判する時ほど自己批判の姿勢が大事だと思うのだが、ここまで強い言葉で他人を叩ける人間の自己批判姿勢はさぞかしすごいんでしょうね、と皮肉の一つも言いたくなる。

>>普段から「見て見ぬふり」をしている我々が「まるで珍獣扱い」する人を批判する資格はあるのか。より道徳的に正しいのはどちらで、より当事者の利益になるのはどちらなのか。これは容易に答えの出ない問題ですよ。

>>ある種の匂いを察して嫌悪感を感じるタイプの人と、実害のある行為がなければ反応しない人に別れてる感じかなあ。自分は後者なので、ここまで批判されなくてもいいと思うのだけど。

>>この記事に憤っている人たちは普段どれだけホームレスのことを考えてるんだ？自分は切断処理してるくせに投げやすい対象に都合よく石投げてるんじゃねーの

>>別に差別なんてしてなくない？異なる”扱い”による”不利益”がないと思う。偏見にまみれてホームレスに接したことないの人であるよりいいと思うけど。ホームレス支援のボランティアに参加してる人の意見です。

>>解像度が低い人なのは間違いないけど、解像度が低い人を叩いて回るはてな村をみていて、解像度って高い方が無条件にいいもんなんだっけ？と最近思うようになってきた

>>この記事に怒ってる人たちはホームレス問題に対して対策とか支援とかしているのかな？少なくともこの人は支援を行っているみたいだけど。まさか怒ってる人たちがそれ未満の存在なわけないよね？

>>一緒に飲み食いして楽しそうだしいい。存在そのものを批判で殺してしまうと聖域化しさらに疎外されるので、社会の一員として、気づいた時に「あそこの借り暮らしのおじさん元気かな？」くらい気さくに仲良くしたい。

>>現代日本の社会の一人一人が確固たる意志に基づいて、その総意として見て見ぬふりと放置をし続けて来ている社会問題の一つがホームレスなので、これに怒る資格のある人がどれだけいるだろうという事の方が引っ掛かる

>>へー、ホームレスを悲惨でかわいそうで解決すべき存在として扱わないと差別なんだ。いやびっくり。普通の人として接しちゃだめなんだ。へー。

いわゆる「触れることがタブー」であるとされる階層はそれぞれの社会にあるだろう。日本でいえばそれは精神障碍者だったりホームレスだったりする。そんな彼らに無垢に好奇心で近づいていって、生活を尋ねて一緒に暮らすことが、彼らが不可触民であるというタブーを内面化させた「大人」によって、「そんな風に好奇心で彼らを見るなんて差別だ！」と叩かれることを目にする。だが実際、差別だと言われることを恐れて不可触民に触れようともしない「大人」よりも、純粋な好奇心で人々を見て、接点を持とうと試みる人のほうがむしろフラットな価値観であると感じる。我々は然るべきときに自身の良心を説いていかなくてはならないが、それは自身をピラミッドの外側に位置付けて大上段から理想論を語ることと等しくない。自分という肉体を自分は抜け出せないのだから、他人の差別心を叩くより、自分の中にある差別心を告白したほうが誠実だし、良心的だと思う。差別はよくないが、誰しもいつの間にしてしまうものだ。

そういう意味で、私はよく「これは許されることではないが、私はしてしまっていると思う」と述べることがある。この記述は誰かに批判されないための甘言でもお仕着せでもなく、本心からそう思っている。そのように差別心を内面化して顧みることが、真の反差別であると感じる。

「差別は駄目です」という言説には無条件に同意する。それ自体は自身の経験から表出した大事な大事な価値観である。一方で、個別の全てのケースについて理想論しか並べたてず、社会構造が抱える問題点とか、自分自身の差別心を顧みようともしない意見を「それはあまりにきれいごとでしょう」と一蹴したくなる気持ちもわかる。反・反差別主義者の中には、そういった理想論への反感をうまく言語化できないせいで反差別主義者から非難される人もいるのだろうと思う。

普段から「マスコミは報道しない自由を行使してデマを流している」と吹聴する輩が、一方でアノニマスポストや痛いニュースのデマを情報源にして外国人を差別していたりする。「マスコミは陰謀を流すので、自分の頭で考えましょう」と吹聴する輩が、一方で驚くほど金太郎飴の（真新しさのない）陰謀論を垂れ流していたりする。知識なしにファクトチェックはできないのだなぁ、これがインターネットかぁ、と感じる。

ダイエットの市場というのはすごくて、体を絞るには「食事制限で摂取カロリーを減らす」「有酸素運動で消費カロリーを増やす」「筋トレで基礎代謝を増やす」ということしかないのだが、「なんとかそれをやらずにできない？」という願望により新しい減量法が生まれ続ける…

もう完全に答えは出ているんだけどその答えはやりたくないしやるとしてもできるだけ楽にやりたいという欲望よ。英語学習とかもたぶんそうで、答えはもうだいたい出てるんだけどそれをやりたくない人たちによって需要と市場が保たれています。「やせたい」に対して「食事制限して筋トレして有酸素運動しろ」って出すと「そんな正論言わないでよ！」って気持ちになるもんな

攻撃的な人というのは、「攻撃的」→「周りから疎んじられる」→「「自分は不当な扱いを受けている！」とますます攻撃的に」というスパイラルにハマってるんだろうな。一度こうなってはもうどうしようもなし。

このツイート、攻撃的な引用RTがたくさんついてるんだけど、ほぼ同内容のことを書いててほぼ同数RTされてる僕のツイートにはそういうの全く来てないのよ。「あっみんなこいつを叩いてる！叩こう叩こう！」ってことなんだよねたぶん。数日前にバズった僕のツイートも、序盤に攻撃的なリプライ/RTが数件来たので即座にブロックしてたら、その後「賛」の反応が増えていくにつれて全くクソリプ湧かなくなったよね。そういうことなんよ

「ドルチェ&ガッバーナ」は、固有名詞の中でも「詞になる」部類の語彙だなあと思ってて、それ以上に無数の「詞にならない」固有名詞がある。「サンワサプライの電源タップのせいだよ」とか。

この前車で道に迷ってたら廃村の草むらから頭がやたら大きい人間？が出てきた。え？え？とか思っていると、周りにもいっぱいいる！しかも両手をピッタリと足につけ、デカイ頭を左右に振りながら追いかけてきた。その様子にちなんで「巨頭オ」と名付け、看板に名前を書いて地面に刺して帰ってきた。

相手には論文並みの根拠や数字をその場で求めて自分はどこまでも主観のみで語る。ひろゆき氏の凄いところは自分の意見の矛盾点やデータが無い点には突っ込ませず相手の矛盾点を突くことで瓦解させていくその話術。当然きちんとした引用元や数字をハッキリ提示するには準備が必要。だから論理的に負けている「ようにみえる」。実際はひろゆき氏の主張も無理があるし明確な数字は無い。なので論文とかレポートなど文章化された状態で意見をぶつけ合えば勝てないが、討論という場では相手の意見のみを議題に上げ続けるのでひろゆき氏の主張にスポットライトは当たらない。非常に上手い。

よって彼と討論する場合において必要なのはまともにやり合おうとせず明確な意見を持たずある種の諦めを持って冷静に話すこと。意見を語り合うのではなく、相手の煽りに乗らないことに全神経を集中させる。まぁこれはもはや「議論」ではないんだが。

「お熱いのでご注意ください」とステーキを持ってきた店員が、ミトンも手袋もなしだったら「実はステーキ皿が熱くない可能性」「店員が異常である可能性」のどっちを疑うんだろうか。こういう、不確定要素の多い推測はたぶん、まだまだ人工知能にはできないだろうな。

子ども用タブレット教材CMあるある：ひらがなをなぞる系の問題、子どもの字が上手すぎる

西村は単にレスバしているだけで、自分で調べもしないし議論を深めようという態度もないので相手にするだけ無駄。山本とふたりで24時間裁判所に閉じ込めてレスバさせるといい。そのうち死ぬだろ

今Twitterやはてなブックマークでレスバが強そうな人にとりあえずくっついていく金魚の糞みたいな動き方をしている人たちはこの「決闘裁判」の時代に戻りたいのだろうか。　観客としてなら楽しいかもしれないけれど、自分に理不尽が降りかかった時にようやくおかしいとか言い始めるのだろうか。

インターネットが進化した結果、中世のような「インフルエンサーを頭とする領主制」の時代にさかのぼってるのは、他人事として見ている分には面白いといえば面白いんだけれど、これに巻き込まれるのほんと嫌だなーって思いながら見てる。

激しい運動をしてめちゃくちゃ疲れると、もはやラインで返信をする気力もなくなる。自分がなんとか人間という形を保って固形でいるために、他の全てのことを擲って休息しなければならないということがよくわかる。精神的な病も同じようなものではなかろうか。

「非モテ」自認男性に「"ただイケ"なんてことはないよ」「モテたいなら〜しなよ」といくら言っても意味がないのは、彼らが本当に求めているのは男性からの承認だから、「非モテ」と言いつつ、求めているのは女性からの「モテ」ではなくて、男性から羨ましがられる「女体を利用した性経験」だからだよな。「有名人・すごく美人・すごくスタイルが良い」などの他人にもすぐにわかる"スペック"の高い女性を自分の意のままにできる、とにかく経験人数が多い、みたいな他の男から「あいつすげー！」「負けました」と思われることで満たしたい承認欲求が満たされないこと＝「非モテ」だから、女1ミリも関係ない。「女は暴力的なイケメンのヤリチンが好きなんだー」って女を見下してるのに、そんな女から「モテたい」って意味わかんないよなーって思うじゃん？でも、まぁ、そもそも彼らは女にモテたいわけじゃないんだな、と考えるとよくわかるな、と。そんなだから、「自分を"弱者"たらしめている社会構造」には関心がないわけだよね。「非モテ」の苦しさを「男らしさの呪縛」から解放されることで和らげることは自ら「負け」を認めることだし、たとえパートナーを得てもそれが男から「お前の勝ちだ」という承認に繋がらなければ非モテを拗らせ続ける。

愛国をわざわざ声だかに主張する人間は多くが暴力的で戦争も辞さない。挙句に国を滅ぼす。国を何としても滅ぼさないのが愛国だと思うんだがね。

>>右翼陣営を見ていると「大好きな日本を守るためには戦争もしょうがない、でもやっぱやらないに越したことはない」というスタイルの人はそうおらず、むしろこっちから突っかかっていく、というか、「核兵器は持とう」「徴兵しよう」「憲法9条を撤廃して、自衛隊が戦争に参加できるようにしよう」みたいなことを述べている感じだ。非核三原則とか憲法9条が日本を戦争から守っているという可能性は頭の中にないのだろうか、と思う。

この人を愛しなさいと言われて、人を愛することができるだろうか？同じように、国を愛せよと言われて、その国を愛することができるだろうか？一緒にいて、そこに居て、良さを知って、共感できてこそ、愛は育つものではないだろうか？愛が育つには時間がかかる。人に強いるようなものではない。

ツイフェミが論理と倫理で詰められると「どうせ非モテだろう」とか言い出すのは、昭和のオヤジがフェミに詰められて「どうせブスだろう」とか言ってたのと同じなんですよ。要するに昭和が遠くなって社会の権力構造も様変わりし、既にツイフェミは昭和のオヤジの立場になっているということです。

で、フェミニズムが事実としていまや全く「ブスのもの」ではなくなっているように、アンチフェミも既に実際のところは「非モテのもの」ではないんですよね。ただ、旧体制にしがみつく既得権益者たちにはそれがわからんのです

>>「フェミニズムに賛成するのは非モテ（女性）だ」はおかしいと言われるのに、「フェミニズムに反対するのは非モテ（男性）だ」は割と受け入れられている印象。そういうもんじゃねえから。

「人間は所詮差別する生き物である」という公理で動いたとして、そこからの帰結がその人を大きく分けると思う。「だから私は差別してもよい」「差別はなくならないので、反対運動は無意味だ」は割とクズ～～って思うけど「だからそういうことが起こりにくい構造にしよう」ならすんごいわかる。

何かの表現や言動を捕まえて「それは差別ですよ」と言って火を付けて回る人間がネットにはたくさんいる。でも、表現や言動を禁じたところで差別意識が改善されることはないと思う。属性で相手をくくって侮蔑するという考え自体を悪とするのが反差別主義ではないのか。いかに内心の自由がそれぞれにあるとはいえ、表層的な部分だけをさらって相手をぶん殴るのは効果的と思えない。（自分を含めた）反差別主義者に対して私が失望する瞬間でもある。

官能小説で本当に「よい」と感じるのは、昇天する瞬間というより、待ち焦がれて「汁」が出ている場面である。特に男性は一度昇天するとおしまいなので、男性性を持つ登場人物（動物）が焦らされているのを見るのはけっこう好きだったりする。

ネットの色々な誰かの言動にマジになるのはよくない。実際にはネットに書き込まない人のほうが多く、そしてそういう人達の心の中にも良心とか善の心というものがあって、それで世の中が回っている。ここを忘れると極端化していくのだろう。そんなネット論客を何人も見てきた。「この世はネットで罵倒されるほどにクソというわけでもない」、これが個人的な真理だ。

「知識としては知ってはいるけど体で実感する機会がないままでいたいもの」っていくつかあるけど、「飛行機はエンジン片方だけでも飛べる」ってのはその1つだな…

【怒られる時あるある】

もう一個別のことでも怒られる

【ファミレスのライスあるある】

母集団から分断してしまうと乾いてこびりつくので、端から丁寧に攻めていく

【面白いツイートをRTした後の空リプあるある】

なんやねんw

【パスワード設定あるある】

1回目と確認用の2回目、同じように間違えて打ち込んでたらどうしようと思う

【いろはすのペットボトルあるある】

潰すのが楽しかった頃のこともう完全に忘れてる

【見た夢の話あるある】

「夢にお前が出てきた」から始まる話では、自分はろくな役ではない

【数学教師あるある】

チョークを斜めにしてダダダダッとさせて点線を描く

【消しゴムを貸したときあるある】

使ってるあいだずっと見てる

【荷物あるある】

飲食店でソファ側に座るとイス側の友達から｢これそっち置ける？｣って言いながら渡される

【皮膚科あるある】

皮フ科

【友人の家に泊まった時あるある】

ちゃんと寝たのに翌朝帰宅してもう1度寝る

【赤い糸のイラストあるある】

途中でハートの形が出来てる

【時計アプリあるある】

止め忘れたストップウォッチの時間凄いことになってる

【横断歩道を急いで渡る人あるある】

最初小走りするのに渡り切る目前で「これぐらいで十分だろ」と普段の歩行スピードに戻す

【ゲーセンあるある】

メダルが大量に出てるのに全然嬉しくなさそうなおばさんがいる

【友達の家あるある】

階段降りるのちょっとこわい

【踏んだり蹴ったりあるある】

加害者の視点だなって思う

【忙しい時あるある】

最悪電車でやるか→やれない

【バラエティ番組あるある】

ミスチル、絵でしか出てこない

【割り勘あるある】

とりあえず何円出せばいいって説得してもずっと混乱してる奴がいる

【悪役の海賊船長の肩に乗ってるオウムあるある】

余計なこと言う

【トランプあるある】

先に上がった人に自分の酷い手札を見てもらう

【きのこあるある】

"洗わないほうがいい"という情報を見て「へー」と思ったうえで、ちょっと洗う

【ドラマの主人公が怪我をして入院した後目覚めた時のあるある】

一回起き上がろうとして傷が痛む

【母親あるある】

自分がそこまで仲良くない友達の母親と仲がいい

【探し物あるある】

さっき探したはずの所からお母さんが見つける

【透明な和菓子あるある】

川の流れを表現している

【アンビリバボーのアメリカの感動の実話あるある】

場所がノースカロライナ州

【次何すれば良いか訊かれた社員あるある】

「そーしーたーらー」

【店の外にトイレがあるレストランあるある】

トイレから戻る時、新しい客と思われたくないから「トイレから帰ってきた感」を全力で出す

【待ち合わせあるある】

｢ごめん5分遅れる｣に対して｢おけ｣って言ってるやつが10分遅刻する

【風呂場に現れた虫あるある】

いつもより残酷な方法で殺したくなる

【頭の良い友人あるある】

「これ俺も最初分からなかったんだけど、」って言ってくれる

【リサイタルあるある】

ジャイアンとセットでしか聞いたことがない

【親戚の集まりあるある】

子どもが大人びた発言をして爆笑する

【物を捜してる時あるある】

親の「勝手に歩いていくわけないんだから」を無視する

【三大欲求あるある】

食欲と睡眠欲は満たすものであるのに対し、性欲は減らすものな気がする

【声でか高い女あるある】

約束に遅刻しなかったことを「偉くない？！」って言ってくる

【男子小学生あるある】

めっちゃ武装した棒人間の下に

HP ██████ ∞/∞

↑

これ描く

【ものまね披露あるある】

間が怖くて「っていう…」と言って締める

【ダイエットあるある】

お母さんがテレビと一緒の動きをその時だけする

【チョークの赤あるある】

赤と言うには少し無理がある

【ロバート秋山あるある】

髪長いけど、（髪長いなぁ）と思ったことはない

【バイトの初日あるある】

「あー、そこ立たないで」

【部活の大会あるある】

他校のちょっと騒いでるノリがキモいと感じる

【遠足あるある】

湿ってるけど座る

【見た夢の話あるある】

話終わった時に、聞いてたやつが「最近夢見てないなー」って言う

【夕方からバイトあるある】

一日中だるい

【真実を教える時あるある】

ついて来させる

【ほこりあるある】

できる瞬間見たことない

【クイズ番組あるある】

若い女が｢ごめんなさーい｣って言いながら簡単な問題を選ぶ

【卒業式あるある】

最後の宿題:幸せになること

【焼肉食べ放題の序盤あるある】

「この店潰してやるわ笑」

【美容室あるある】

シャンプーされた後に「お疲れさまでした〜」って声かけられて、「お前がな」って思う

【物無くしたときあるある】

周りの人がヤバさを全然理解してくれずムカつく

【ヤンキーあるある】

「りょうや」がLINEの名前を「りょーや」にしている

【劇場版クレヨンしんちゃんあるある】

「こ、こんなのオラが知ってるかあちゃんじゃないゾぉ！！」

【資料をほとんど読んでいない時あるある】

ざっとしか読めてないです

【修学旅行あるある】

他校の生徒全員むかつく顔してる

【テスト回収時あるある】

「最後の答え分数になるよね？？？」

【旅行先あるある】

旅館の人にオススメの場所聞いてお礼言って行かない

【バイトのLINEあるある】

「可能です。」

【あいうえお作文の「る」あるある】

るんるん気分で

【床屋あるある】

「この人、殺そうと思えばいつでも俺を殺せるんだよな」と思う

【血出た時あるある】

「血ぃ(ちぃ)出た」と言う

ある研究者が生死の境をさ迷った時に三途の川が見えたから渡ろうとしたんだけどふと探究心が湧いて｢どこからこの川は流れているんだろう｣と思って上流の方にずーっとずーっと歩きだしたらふっと目覚めて生還した話を聞いたんだけど研究者の好奇心すごいな。好奇心にまさに生かされている

三島由紀夫、同時代に生きていたら｢なんだあの右翼のおっさん｣と思考停止していた可能性がなくもないので別の時代に生まれてよかった。別の時代に生まれたことで1歩引いて本も言動も見てられる

日本思想史の先生が、大学院生の頃旅行で上京してきた甥に｢球場に行きたい｣とせがまれたんだけど天皇制のことで頭がいっぱいすぎて｢宮城｣のことだと思って球場じゃなく皇居に連れてった話面白かったな。甥が不運すぎる。

星野源の『恋』を初めて聴いた時、冒頭の歌詞あたりでいきなり「意味なんかないさ 暮らしがあるだけ」って人生の本質情報を言っていてかなり怖かった

「生きてるだけでいい」って簡単に言ってくれるけどさ、実際問題生きてるだけではダメなんだよな

神対応（悪とみなした相手を塩の柱に変えたり洪水で沈める）

いつの間にか世界で小競り合いやらいきなりの体制変換やら起こる度に、｢今年その当該地域の現代政治で修論を書くひとは大変だなあ｣と地域研究の院生たちを思うようになってしまった

フォロワー減りそうだけど｢日本軍のした行為はよくないね｣って話をしたら｢反日｣って言われるのよく分からんな。事実を述べずに嘘をつくのがいいとか彼らの｢愛国心｣はそんなちんけなものなのか

友達がひとの本棚に対して言い放った｢ブックオフの100円棚みたいな品ぞろえだな｣という悪口のセンスの良さが忘れられない

【TASさんの休日】TASさんがルイージのえあわせポーカーをやるそうです

>>勝負してるのに、自分が勝った時に喜んでくれて、負けた時には悲しんでくれるルイージの優しさが当時小学生の自分にとっては目標だった。

大震災のとき幼児プレイ専門風俗店の客に軒並み着信があって、プレイ中断して皆職場に帰っていったという話好き。立場が性癖を作る部分があるんだなっておもた

この曲を超えるイントロにまだぼくは出会っていない。洋楽も含めて、ね。

イントロが長いのに、とか、長いけど、という人の気持ちがわからない。イントロはおまけじゃない。イントロは十分メインになりうる。この曲がそれを証明している。

この曲はイントロが終わって歌詞の部分になったら、さみしさ・残念さすら感じる。それくらいイントロが素晴らしい。転調して、また元に戻すところの間奏も秀逸。サビとかじゃなくてイントロの中だけで転調して、さらに戻すって、すごいアイデアだと思う。

「クソリプ覚悟で言うけど」ってちゃんと書いてる人が本当にクソリプを投げている例はほとんど見ない。クソリプになる条件として「リプしてる奴が自分のリプのクソさに自覚的であるか」があるように思う。

これと同じライフハックで、「お節介だったら本当に申し訳ない！」と言いつつトゲが立たないぐらいのレベルで相手に改善を求める手法があるのではないか。

試験官「この受験生、かわいそうすぎてみていられないな」なぜ？

受験科目の「麒」の項目に丸をつけてしまい、キリンの問題を解いている。

｢腸内再生余裕www｣ と思ってる嫌な乳酸菌

今まで射精しかしてこなかったショタ「おちんちんから黄色いおしっこがでた！？」

ダイビングのやり方教わってる時「飛行機で耳抜きはしましたか？」に「してないです」と答えたら、「え、じゃあ耳痛くなった時どうしてたんですか？」ときかれて「なんか嫌だな〜と思ってました」と言ったら笑われたんだけど、耳抜きってやるの当たり前なの？耳抜き学ぶ機会コナンの映画以外なくない？

合唱コンクールは一般的に1番うまかったクラスが金賞をとるけど、自分の中学は生徒も音楽の先生も審査員の先生方もみんな「空駆ける天馬」という曲が好きすぎたので「空駆ける天馬」を歌ったクラスが毎年金賞をとっていた

「人からどう思われても良い」というのが自分らしく生きるとかに繋がれば良いのに、仕事で話を聞いてる時に足を組むとかに繋がっていてあまり良くない

友達に「今日鳥貴族ね」って言ったら、多分鳥貴族が嫌だったんだろうけど、普通に嫌って言っても俺は「鳥貴族嫌じゃないだろ」と言う人間だからか、友達が「明日鳥貴族行くから今日は違うところが良いな」と言ってきて、俺の扱い方がうまかった

「走る」という行為をかなり面白いと思ってるから、歩きタバコをしてる人を見たらこの人が走りタバコしてたら面白いな…と思うし、移動方法を「どうする？歩きで行く？」ときかれたら「走りで行く」と答える

世界仰天ニュース、肥満スペシャルが多すぎるのはまだ良いとして、肥満になった理由が子供時代にたくさんの唐揚げにマヨネーズをかけて食べてたことで、ダイエットを決意する理由が異性からの何気ない一言にショックを受けてなのが多すぎるのは良くないと思う

魔女の宅急便、あの外国っぽい世界感でいきなりラジオでユーミンの曲聴き出すのも面白いんだけど、「ジジ！ラジオつけて！いま手がふさがってるの！早く！！」ってすごい急かすことで「ユーミンを聴くのかよ！！」とより思えるから面白い

【自分が総理大臣の国の法律】

・ビンゴで最初の数字が出た時にビンゴ！という人 罰金1万円

・兄弟の話の時に「弟が〜」ではなく「ユウトが〜」と説明もなく言う女子 罰金30万円

・進学を機に遠距離が決まりお互い別れるだろうなとは思いながらも態度には出さず進学して5月に別れるカップル 懲役50年

面倒くさい友達、自分が電話かけてきたくせに「え…もしもし？」とかけられた側のリアクションしてくるし、下手な例えしてきたから「全然うまくないじゃん」と言ったら「全然うまくないって梅干しか！」と全然うまくない例えしてくるし、小田和正は小田和に5票入ってるだけらしいと謎の嘘をついてくる

この話Twitterに書くの3回目だけど、成人式の後に中学の同窓会に出たら、来てくれた当時の担任は全ての記憶を失っていて「だれも分からない」と絶対言っちゃだめなこと言いだして、昔の話をしても全ての記憶を失っているせいで「場面は思い出せる」という謎の嘘しか言ってくれなかった

就活してた時、農業系の企業の説明会に行ったらその会社で作っているであろう牛乳を出してくれて、やったー！と思ってグビグビ飲んでたらみんなすでに試験は始まっている！と警戒しているのか、自分しか飲んでなくてハンター試験で新人潰しのトンパに下剤入りの飲み物もらってやられる奴みたくなってた

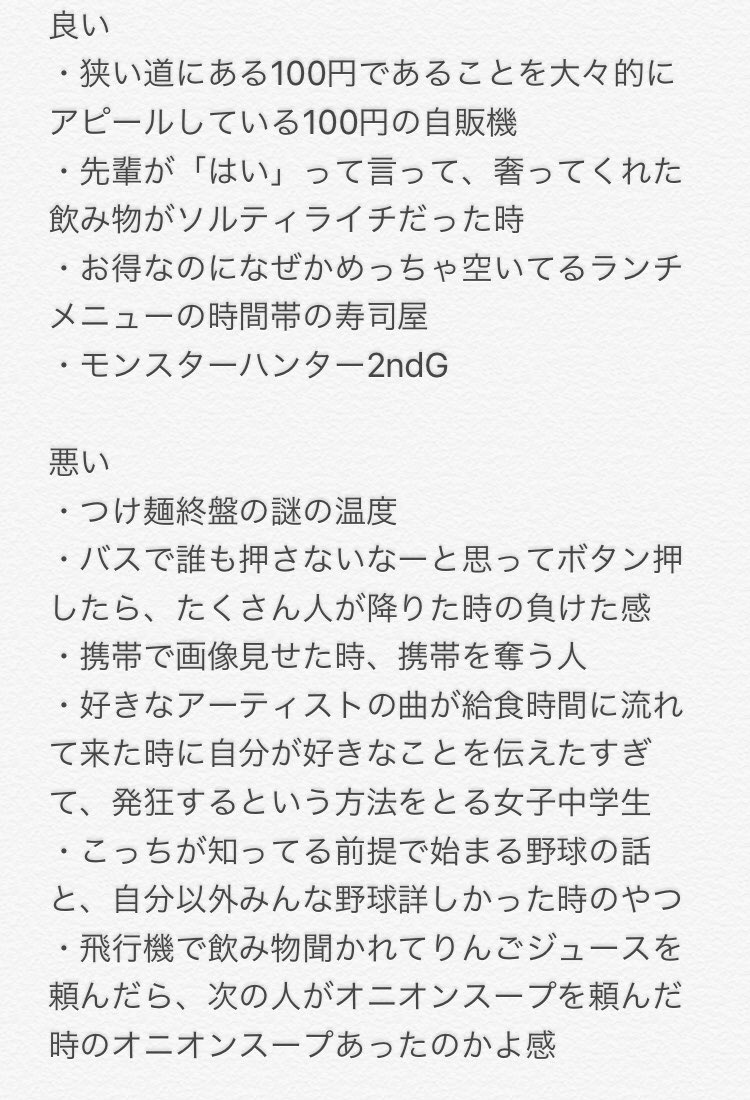
学生時代アルバイトで接客をしてて、理不尽に怒鳴ってきた人が次来た時に「あの時は言いすぎたな」と謝ってくれたんだけど、謝ってくれて良かった〜とはならずに、(いや、怒鳴る気持ち良さと謝る気持ち良さ両方味わうな。サウナの後に水風呂入ってんじゃねぇよ)と思った

学生時代アルバイトで接客してた時、最初の頃は「◯◯ってある？」ときかれたら「そこになかったらないですね」と即答していたけど、接客に慣れてからは「少々お待ちください！」と裏に走って行って10秒くらいぼーっと裏で天井見てから戻って「すみません！ありませんでした！」と言うようにしていた

面倒くさい友達が入院したんだけど、話を聞いたら「シャワーの圧が強すぎて股間に当てれないからまず太ももに当てて反射した水、反水で綺麗にしてたら太ももが真っ赤になった。他の患者の太ももも全員赤くなってたから、それを指摘したら今度はみんなの顔が赤くなった」と嘘の話をされて面倒くさかった

先輩がアイドル好きの後輩に「やっぱりそのアイドルと付き合いたいの？」「いえ、そういう対象として見てないので」「そうは言っても告白されたら付き合うでしょ？」「いや、付き合わないですね」というやりとり、お互い全く引かないのなんなんだ

昨日いちいちめんどくさい友達と電話してた時「ペット飼った」と言われたから「なに飼ったの？」ってきいたら、「メダカを9匹。雄が8匹で雌が1匹」と言われて、めんどくせーと思いながら「なんでその比率にしたの？」と聞いたら、「逆バチェラーを見たいから」と言ってきてめんどくさかった



陣内、自分で考えたボケにあのテンションでつっこめるのすごいな

昨日居酒屋で「こちらの地鶏炭火焼、1番美味しい焼き加減にしてあります」と言われて、(いや、全部のメニューそうしろ)と咄嗟に思ってしまったけど、1日経った今は落ち着いて(全部のメニューそうしてください)という気持ちになっている



【僕が考えた軽減税率】

・飲食物 8%

・日用品 10%

・お酒 10%

・丸亀製麺 5%

・ヒートテック 3%

・お寿司 0%

・おばあちゃんの家で出される全然美味しくないのに量は無駄にたくさんある謎のお菓子 856%

友達が「野球部でもないのに坊主の奴が〜」って話してる時、「いや、野球部じゃなくても坊主で良いだろ！」と言っているけど、内心(なんで野球部でもないのに坊主なんだ？？)と思っている

遊んだ後の帰り道(今日結構笑い取ったなー)とか考えながら帰ることあるけど、サラダ取り分けてくれる人は(今日は結構気を利かせたな〜)とか見た目が良い人は(今日はだいぶ魅了したな〜)みたいなそれぞれの手応えを感じたりしてるのかな

居酒屋で「トイレどこだった？」ときかれた友達が「そこの壁突き破って右」と言ってウケてて、面白れ〜と思ってたけど、別の場面でもかなりそれを使いまわしてるのを後から知って、使いまわしてるやつだったか…とまあまあがっかりした(マナーなので毎回初めて聞いた感じでツッコミはする)

いちいちめんどくさい友達と電話してる時、「早かったな…。いや、あれはさすがに早すぎたな…」って急に呟きだして、めんどくせーと思いながら「なにが早かったの？」って聞いたら、「さっきカーズ見てたらめっちゃ速かった」と言われてめんどくさかった

学生時代は寝坊で遅刻しまくってた友達がちゃんと社会人として働いていて感慨深いものがあったんだけど、給料なにに使ってるかきいたら、「毎日寝坊してタクシー使ってるから、タクシー代」と言っていた

小さい頃の話は全て嘘ついて良いと思ってるから、「おっぱいは2回くらいだけ飲んであとはウーロン茶飲んでた」みたいなことばっかり言ってるんだけど、たまに純粋そうな人に「え、それ本当？」って聞かれる時はめんどくさいから「本当だよ」って言ってる

中3の時友達の家でゲームで遊ぼうってなって、対戦ゲームでもするのかと思ったら、Mr.インクレディブルの1人用のゲームを出してきて(Mr.インクレディブルのゲーム…？しかも1人用…？)と思ったし、いまだに(Mr.インクレディブルのゲーム…？しかも1人用…？)と思っている

前に教育実習行った友達に「中学生と仲良くなるって結構大変だったんじゃない？」と言ったら、「男子はたいていAVの話をしたら仲良くなれた。女子中学生は全員嵐が好きで、全員和也が好きだから和也の話をすれば仲良くなれた」と言ってて、(二宮くんのことニノじゃなくて和也って呼んでるんだ)と思った

中学の時「アンパンマンに出てくるキャラクターで姫とか王子以外で最後に「ん」がつかないキャラ言える？チーズもなしで」ってクイズを友達に出して盛り上がってたら、全然仲良くないデブが入ってきて「バタコ」って言ってきたの、話に入ってきたのも嫌だしバタコさんを呼び捨てで呼んでるのも嫌だった

小学校の先生になった友達に「どうやって笑いとるの？」ときいたら、「ウンコとシッコ」って言われて、「ウンコとシッコをどういう感じで言うの？」と返したら、「ウンコとシッコの攻撃力が高すぎてテクニックとかない。ただ言うだけ」って言ってた

登場人物の細かすぎることが気になる性格なので「あ～もう！そこで窓のぞいたら見つかるに決まってるじゃん！」「声もっと抑えろよ！」となって、ホラー映画に集中できない。

心がとても狭いので、アマプラのアニメの毎話に挿入されるスキップ可能な広告でも毎回、密かにイラっとしている。特にドキュメンタルは声が大きいので我慢ならない。

言葉の使い方に気を使う性格なので、とりあえず猫キャラなら語尾に「にゃ」をつけておけばいい、みたいな、キャラ作りがあまりに雑なアニメに反感を覚える。じゃあそいつがキリンなら、アルマジロなら語尾は何になるのか？と小一時間問い詰めたくなる。

もう長い間生きてると、男主人公がサブキャラに「お、お前、男かよォ～～！！？」って驚く展開、そろそろ飽きてくるな。

小物が気になってしまう性格なので、友人の家に行ったときにはお風呂のシャンプーの説明文まで見ちゃうし、アニメに出てくる新聞記事は動画をチェックして文字を全部読むし、でもこの前いよいよ自分のことが嫌いになりかけたのは、僕街9話の「手洗いをしましょう」という背景ポスターの絵（時代は昭和）にいらすとやが使われてるぽくて、結果使われてる絵を全部特定してなんか醒めてしまったってイベントなんだよな。楽しむ権利がない。

信じるって変な言葉だよな。当たり前のことはもともと信じられないんだから。「空気があると信じる」とか。信じるっていうのは、信じたい、っていう希望の表れじゃないかな。

アニメという文化に慣れ過ぎて、もはや漫画の登場人物の顔などから声を類推して、その声で脳内再生するという力を失ってしまった。アニメで途中まで見て、それをキックスターターにして漫画を素早く読むことで補っている。これのメリットは漫画から入ってアニメを見たとき「こ、これじゃない…こんな声じゃない…」となるのを防げること。デメリットはなんだかんだで最後までアニメで見ちゃうこと。それじゃあダメじゃん、たい平です。

わからない単語が多すぎて一度読んだ行をもう一度読む英語長文しぐさと、ご飯を作りながら見てたせいで「30秒戻る」を繰り返す攻殻機動隊視聴しぐさはよく似ている。両方、まったくの無意味という点で。

自分にパワハラをしてきた人間を許さないと思う一方、能力・根気で成長させてくれたことには感謝しているとも思う。そういった人間の感情の複雑さが理解できないと、人生のどこかで詰まってしまうという気もする。

社会において叩かれるのは「卑劣だから」ではなく「流れに乗れなかったから」ですよ。流れに乗れている状態なら弱者を叩く動機は本当になんでもいいんだ。そういうものよ

何の情報も無いような事柄に対し、勝手に想像した共感される人物像を当て込んでその人の人生を食い物にする卑劣なコメントをさも当たり前に書き盛り上がる。怖い。

発達障害者男性当事者としては、ここで挙げられているIDの人達のような進歩的で政治的に正しい人々がいつ我々に対してホームレス事件の犯人と同じことを始めるのか恐ろしくてたまらない

昨今のフェミの論調で「差別は強者から弱者に行われるもの。よって男性差別は存在しない」「男性は加害者属性」が魔合体して、男性に対して何を言ってもいい不公平に扱ってもいいという様な風潮を感じている。許せん。

余裕がない人にとって投資は支出、多様性は苦痛、社会保障は特権に映る。酷いと共産主義革命なんか始めちゃったりして、なんとか自分の命綱を取り除いて平等に飢えて野生に戻ろうとする

トランスジェンダーはジェンダーに囚われている

左利きのぼく「なんだこのおたま、右手じゃないと使えないじゃないか、ん？　急須もかよ。まったく余計なことを…」　右利きの人「こいつ何ブツブツ言ってんだ？　利き手にこだわりすぎだろ」

コメ主は、日常的に日本万歳と繰り返すような真似はしない方が良い、という意味で仰っているんだと思いますよ。

「日本は東南アジアを救ったんだぞぉ！欧米相手に優位に戦ったし強いんだ！日本万歳！万歳！」…という言論を繰り返していたら他国からどのように思われるでしょう？敵も作るでしょうし、過去のことを引きずって気持ち悪い奴としか思われないでしょう。70年幾らか前のことで被害者面し続けるk国と同レベルです。

提示して頂いた事案のような、日本が貶められるような攻撃を受けた場合には、正しい歴史を"反撃材料"として掲げるのは良いと思います。確かにこの事案では対外発信の不足を感じたとする声が多く、私もそれは否定しません。また教育も必要でしょう。日本の歴史教育は不足が多く、周辺諸国との歴史認識の違いも生みかねない状況です。

しかし、ここぞという時に反撃出来れば良いのであって、常日頃から"現代人にとっては当事者でも何でもない過去の事"を掲げて喚くのは如何かと思います。私はしたくない。

唯一歴史を語って許されるのはアメリカだけでしょう 勝者だけが正義ですから。

日本は学校でも戦争のこと軍部のこと全然ならわんよな。３年の最後に駆け足で終わり。原爆教育はやるけどそこに到った経緯とか政治体制の話しとか丸ごと抜けてる。だから大人になってネットで「戦争の真実！」みたいな話はじめて見ておかしな風に突っ走る人がほんと多い。

そう。人からもらった本って、読まながちじゃないですか？僕も奥さんにたまに本をあげるけど、全然読まれない。課題図書になった途端、読まなくなるみたいな。本って出会い方が大事なんですよ。気持ちが整った状態で出会わないと、読めない。本を読むってそもそもが難しい行為だから、一番高まった瞬間に触れないと、そのまま読まなくなる。

「ずっとお嫁さんを探しているけれどその本心は早くに亡くしてしまった母親の影を探している」って源氏物語とストーリー全く一緒だ

イヤホンで聴いてるんだけどお祭りの中自分だけ親とはぐれて迷子になったみたいな、周りは楽しんでるけど自分は不安で仕方ないみたいな感じ

もう遅いかもしれないしあんま言いたくないけど最近ファンのいろんな行動が酷く目に余るから、変わったものだからっていうミーハーな狂気に身を売るより「この人はどういう人で、どういう意図があって音楽活動をしているか」位は本当にこの人の作る『音楽が』好きなら一度考えた方がいいんじゃないかな。

ツイッター、杞憂したら空が落ちてくるし、藁人形や屏風の中のトラが勝手に実体化してくれる装置だから2ちゃんねるよりタチが悪いコミュケーション空間説に説得力が出てきてしまう。

人は辛い経験をしたとき、他の人も同じ目にあって欲しいと思うものらしい。それは、あの経験があったからこそ、今の自分がある、とか、辛いことがあったからこそ、優しくなれる、とか。少しねじ曲がって善意のように表出してくるけれど、結局は自分と同じ目に合え、という呪いでしか無い。体罰で鍛えられたから成長できた、痛みを乗り越えて出産したから子どもを愛せる、辛い育児をしたからこそ宝物のような時間になった、徹夜したから、残業したから、... 私はあの時あんなに辛かったけど、乗り越えた。。辛い経験を消化するために、その経験が必要だった、今の幸福に繋がってると思うことは仕方がないと思う。実際そうだという部分もあるだろう。でも、それを他の人に押し付けてはいけない。

辛いという人を見て、私の方が辛かった、と思うのはきっと、辛かった自分の気持ちが しこり となって心に残っているからだ。だから、時々それが痛みだす。でも私は囚われることなく、私なりに、私が発見したことを皆に共有したい。もっと楽しんでほしいし、私も楽しみたい。そして、もっと多くを学びたい。いつまでも、過去の苦労に胸を痛めていてはいけない。だから、就職氷河期の私の苦労をここに埋葬しておこう。あの時私は「まだ若いから何者にもなれる」と言われて、それを信じた。でも、今はそう思わない。誰だって、何歳だって思いついて行動すれば。

アニメにはあるけど現実にはないセリフ、第二位：その名前で気安く呼ぶな！

貧しい人間への想像力がないまま「リボ払いをする奴は頭がおかしい」と言う奴がいる。リボ払いが経済的に明らかに不利であることを知っていながら、明日食う金もないのでリボを選ぶしかない、みたいな展開は豊かな奴の人生にないのだろうか？

次の村に行けばはがねのつるぎが手に入るのに、金がないので今のところひのきのぼうを買うしかないみたいな。おれは錬金でゴールドアックスを作っちゃったし、スライムのかんむりを高値で売っちゃった人生なんだけどさ。

「実家の太さに助けられた人が努力の大切さを説く」のをよく見かけるのがTwitter。努力しなくて済むための耳に気持ちのいい理屈だけは無限に湧いてくるのもTwitterだよね。

オタクで集まって温泉旅行行ってあとでdiscoとかで写真共有したことがあるんですけど誰一人としてお互いの写真を撮ってなくて旅館の資料になりそうな感じの写真ばっかになってて笑いました オタクは人間を写真に撮らない。いつも一人旅している身として言わせてもらうと、あくまで素晴らしい景色を見たくて旅行に来たんであって、素晴らしい景色の場所にいる自分を見たいわけじゃない。写真の中の自分の顔って鏡で見る顔と違うからすごい気持ち悪いのでできるだけ撮りたくないんだけど、普通の人はあの気持ち悪さを感じないのか、折り合いをつけているのかどうなのか知りたい。

>>私は写真を撮られそうになったときに「でも魂が吸い取られるので…」というが、それは本当に吸い取られたいと思っているからではない、嫌だと主張するとカドが立つので冗談めかして言っているだけだ。でも8割の人は「いつの話だよ！」と突っ込んでくれて、そのたびに自分が本当によい友人を持ったことを実感する。

自炊、ぶっちゃけその人の処理能力と残リソースの話なので「自炊すれば安い」は基本的に理想論ですからね

仮に、ある項目において上位７０%に入ることを普通であるとした場合、１０項目でそれを求めると世の中の３％未満しか該当者がいないってのは結構頭に入れた方がいいよね。0.7^10=0.0282=2.8%

金曜ロードショー　テーマ曲"cinema nostalgia"

>>9時がめっちゃ遅い時間だと思ってたあの頃が懐かしいw

>>金曜日が1番「金曜日」してた時を思い出す

>>わけわからんウサギに変わったときの絶望感ハンパなかった

>>これ聴くたび思うんだけどさ、人間って歳とる代わりに失くした感情絶対何個かあるだろ

カプリティオチャンネルの人は全部論理的に考えてるが故に気付いたツッコミ所を全て解決しようとするから、このボーボボ世界観のようなオモコロに来て結果的に過労死枠になってる

「ぶった」人間が簡単に「こいつは認知が歪んでる」と安全圏から誰かの意見を叩いているのを見ると、「顔も名前も知らない人間の認知を歪んでいると簡単に断言できる君のほうが歪んでるんじゃないか」とでも言いたくなる。そういう暴力性がある、非常に危険な言葉だと思う。実際、現実世界でそんなこと言ったら、ビンタされてもおかしくない。

耳なし芳一って性器にお経書き忘れてたら、トランスセクシュアル芳一になってたの？そしたら尼寺に行ってたのかな？

モテ云々に限らず、人生ってそんなもんじゃない？自分に期待してあれが出来ないこれも出来ないと思うより、色々なものや人を遠くから見て、自分以外の何かに面白いとかスゲーとか感じてた方が幸せだと思うんだよ。そういうものを無邪気に追っかけてる内に自分の趣味や生き甲斐が増えていたりするし。

よく「自己肯定感」って言うけどさ、あれは「自分に興味がなくてどうでもいいから能天気に肯定出来る」って話なんじゃないかとすら思う。まあこういう感覚も、昔の環境に放り込まれたら消えてしまう泡の様な何かなんだろうなとも思うけどさ。

俺の人生も桃鉄みたいに1000万円を持った状態で東京からスタートさせてほしかったな

ソフトバンクって打線は強いのに回線はなんで弱いの？

毎日がギリギリの生活だと6個で500円のリンゴよりも1個100円のリンゴを選ばざるを得なくなります。また長時間労働ゆえに自炊する余裕がなく惣菜や弁当に頼らざるを得ない場合もあります。食費が高い、もっと削れるはずと簡単に言うけれど、余裕のなさゆえに食費が高くなってしまう場合もあるんです。

ダメな育児の声かけ「走らないで😡手繋いで😡」

理想の育児の声かけ「おててぎゅーしようね🥰」

実際に機能する声かけ「ガブリアス、ボールに戻れ！」息子「グワー！（手を繋ぐ）」

中２の宿泊学習。スマホ駄目で使い捨てカメラOKだから『写ルンです』ってのがあって27枚しか撮れない、画面は無い、現像するまで見れない等一通り説明したらガックリ肩落として『とんでもないやん…それって坂本龍馬とか写したやつやろ？…見た目もダサ…ってか名前がもう…ああ…はあ』って絶望してた

「勉強すればそれなりに成功できる。勉強しないのは本人の責任」とか言っている人たちは、勉強が邪魔されない環境そのものが大ラッキーだということを知らないんだよな。

やれ中国だ韓国だと騒いでいる輩に反差別を説いても意味がなくて、むしろ「そのような脊髄反射的な反応は、お前が嫌っている中国人・韓国人と同じものだぞ」と指摘したほうが「効く」気がして嫌だな。

「水素水信者に言いたいんだけど、水素水だってたくさん飲んだら死ぬぞ？」みたいなどや顔論破風ツイートを見るのだけど、そういった「似非科学を科学で論破した」みたいなやつは効果ないと思う。むしろ「水素水信者に言いたいんだけど、水素水には悪い波動がたくさんたまってるのでこの波動生成器を買え」とかのほうが効果ある。え、何の話だっけ？

アニメとかの「さあ…いくぞ」というセリフのあと、登場人物がペニスをゆっくりしごきはじめて「あっ、そっちの『いく』か…」ってなったら嫌だな、と思ったあたりで、そういうシーンが全然なくて泣いている

寒いのと腹が減ってるのは我慢するな。心が貧しくなるから

ブコメのハーバード熱湯教室っていうのは白熱教室のことだよな。マイケル・サンデルが熱湯風呂に入れられてるのを想像して吹いたわ…

本屋行くと「お、お前、その厚みで『大全』を名乗るのか！？ 無謀すぎる、死ぬぞ！」と思うことが増えてきた。

ジャイアンとかスネ夫みたいな「自分をいじめるけど友達でもある」という関係性、自分が子どもの頃に経験したことがないんだけど、昔は普通にあったのか、どこかで絶滅したのか、まだ今もあるものなのかよくわからない。ドラえもん以後にイジメ問題がはっきり認知されたことと関係ありそうだけど。「いままでなんとなく許されてたけど、いやー、今この描写はダメでしょう」という感覚が根付いてくると、そのなんとなくアリだった微妙なニュアンスを思い起こすのがもはや困難になる、みたいなことをよく感じる。

でかいでかいと噂のPS5を見にビックカメラ行ったらぜんぜん展示してなくて、店員に聞いたら何を言ってるんですか、ここにあるじゃないですかと床を指差したのでよく見たらそのフロア全体がPS5の上だった。

二次創作は前後の逆転した噂話みたいなもので、キャラクターに人格があるとされる以上は（たとえ作者であっても）ストーリーを誰かに生成されることが避けられないという側面がある。ひとに噂されるのを防ぐのが無理なのと同じで。人格を持つものとしての創作キャラクターは、ある意味生まれた時点で作者の手をも離れ独立した人格なので「我が子のように大切」と「我が子のすべてを決定することはできない」というジレンマを抱えている。ドライにやれば「人のモノを勝手に使うなよ」で済む話なんだけど、物語の特にキャラクターはそれを人格と見做すというルールで読まれるので「モノ」として扱えなくなり、作者ですら自由にできない領域が生まれうる、という話です。作者がキャラクターに「愛情」を込めるほど、その矛盾も広がる。

挫折したクイズ王の手記「すでに問題文は読み上げられたというのに、俺は今日もそのあとに続く『ですが』を待っている」

あら～可愛い赤ちゃんですね～。なんでですか？

こういう張り紙を見ると「巨大なフォントで"弁当"と記述されたデータが存在するんだよな」と思う。

コンビニにたまにある安売り棚、いつも一応見るけどそのたび「さすが売れ残るだけのことはある」と納得して去っている。

「走るなー」に対する芹沢あさひの返答「……急いでるっすけど……？」が、ものすごくリアルに感じる。このズレ。一見チグハグな会話なんだけど、走る側としては、「走る」という行為はすでに"起こっている"前提なので、「走るな」と言われてもその意味がよくわからず「理由がないなら走るな（なぜ走ったのか？）」に変換して「急いでるっすけど」と答える。

アニメを見てて一番「声優、すげえ」って感じる瞬間は、敵キャラに主人公が乗っ取られて、敵キャラのセリフを敵キャラの口調で語りだす場面。あれはまさに神がかり的だと思う。

「ファッとして桃源郷」とか「もってけ！セーラー服」みたいなガンギマリな曲を聴いて、「お、おれは日本語のネイティブスピーカーなのだな…」とすごくよく実感して、なんか不思議な感覚に陥ることがある。

ギリシャ神話、聖書、モールス信号、星座、花言葉のどれかから3つを選んでMVにちりばめておくと、オタクが勝手に考察を始め出して「深い」ことになる。ちょろい。そして、これは宗教の流れと全く同じである。

相手に何か余計なことを言ったら、ずっと眠れなくなるほどそれを気にしてしまう性格なので、結果的に早めに謝ることへの動機づけが強い。得する性格だなと自慢したい。

メタルバーで隣にいたドイツ人に「大学出た後の夢は何だ」って聞かれたから内定先の話したら「それは夢じゃなくて仕事だろ 夢を教えてくれ」って言われて何も返せなくなったやつキツすぎてずっと頭の片隅にある

質問のとき「聞き損ねてたら申し訳ないのですが」とか「ちょっと自分の理解が追いついてなくて」とクッションを挟んでくれる人は間違いなくいい人だし、私はもはや一周回っていい人だと思われたくてそう言うまである。

大学生の方は、この動画を見てあまり考えすぎない方がいいですよ。

実際就活なんて気楽にやった方がいいです笑

もし面接がダメでも、あなたを不採用にした面接官のセンスがなかったんですよ。

お祈りメールがいくつきても、何らかの信仰の対象にされてると思えばいいんですよ笑

他人としっかり向き合ったことないやつほど同調したくないだとかなんとか言う印象。他人に共感できないから仲間はずれにされてる自分を肯定するために共感してる人たちに対して攻撃的。

Twitterでよくみるヤバめな人も、実はテレビ見ながらくだ巻いてるレベルのことを脳直で書いちゃってるだけで、私生活はべつに普通な人もいるのか～と思うとなんとなく感慨深いなあ

病んでた時に精神科医の励ましの本を読んでた文章に 「真実を知りたいのはわかるけど知ってどうするのかってことも忘れちゃいけない」 特にTwitterは情報過多でテレビよりも色々見られるけどその分知ってもどうする事もならないし胸糞悪い話に怒りが沢山出る話題が多いからね。 知らぬが仏のように気持ちの不安が出る情報を無理して知る必要もないと思う。

陰謀論も陰謀論でムーとかMMRレベルまでぶっ飛んでりゃまだネタになるけど、実際のところ一番触れずらい滅茶苦茶めんどくさい位置に留まりやがるからな

一昔前のゲーム攻略ページ、「○○(名前)さんからの情報提供感謝！」って書いてるとこ、名前を「さんさん」とかの名前で出して「さんさんさんからの情報提供感謝！」って風に汎用文字列と名前の区別をできなくさせるハックを無意味にやっている人がいて、ネットが全部この時代に戻ってくれよ、と思った。

ブログで以前「子どもが親に『なんでオレを産んだんだ』と聞いちゃうのは、実際に子どもが自らの出生を望んでいない点で正論だけど、それを言えてしまう世の中は悲しい」と書いたところ「その親が大量殺人鬼だったら？この記事は空虚な言葉遊びに過ぎない」というコメントがついたことがある。何度読み返しても意味が分からないし、そういった必要最小限かつあまりに例外的な論理で他人の感想を否定できると思っていることが浅ましく、感情の舐め方が堂に入っている。こちらを機械だと思ってないか。

で、それはそれとして、そういった例外ケースバイケース教信者の論に対して「親が大量殺人鬼でも、やっぱり悲しいものは悲しいですね」とか「親が大量殺人鬼で、子どもも大量殺人鬼なら悲しいと思うんじゃないですかね」みたいに回避方法が二つありそうだ。前者はそのケースをも私の論は取り込めます、と強弁しちゃう方法で、後者はさらなる例外をつきつけてしまう方法。どちらにせよたぶん、めちゃくちゃ強い。相手は論破するためだけに極端なケースを提示しているので、それも取り込まれると反論できなくなるか、話にならないと言ってブロックしてくるだろう。

なんかよくわからないけど自分に対して（ネット上で）めちゃくちゃ怒っている人を目にしたとき、そっと「炎上に加担しているのはごく一部の人間だという事実」系の記事のリンクを貼って、さっさとアカウントをブロックしてしまう、という手がある。これは本当に統計学的な事実なので、言われた側は黙るしかなくなる…わけないだろ、夜道に気を付けろよ。

「折り紙とか編み物は動画見たほうが分かる、文章の方が情報伝達が速い分野とそうでない分野がある」と思ってたんだけど、よく考えたら編み物の訓練を積んだ人は編み図読んだ方が速いだろうし、「圧縮された情報を解凍できる能力があるか」に掛かってるんですね。

ラインなどのチャットで、割と本筋に関わる部分の漢字を「暃」（幽霊文字）に変えちゃう、というおもしろが可能である。気づかれる確率の高さに対して不気味さが先行するので、おもしろというより異世界転生錯覚ものである

（老化のせいで横文字が苦手な人に対して）20年後ぐらいにめちゃくちゃ損なネット回線入らされてる

画質が向上したことでより鮮明に意味不明になった

昔つきあっていた人にフラれた時に、「辛いけど、相手を拒絶する権利は、お互いにあるんだよ」と友人に言われた。その瞬間は、傷口に塩を塗り込まれたと思えるほど、ヒリヒリした。次の瞬間、このことの理解が、すごく大事な気がした。拒絶する権利はお互いに公平にあるものだから、残念ながらそういう事態になったら、お互いその結果を受け容れなければならない。自分も過去に、拒否したことがあるじゃないか。本当に大人になるために、越えないといけない一線だと感じた。それから10年程経って、友人から、失恋してから相手へのストーカー行為が止められないと相談を受けた時傷つくという経験は重要なんだな、と改めて思った。好きな人から拒絶される悲しみや情けなさ、やるせなさは耐え難いものがあるけど、大失敗だ、挫折だと思うその経験が、自分を成熟させる。今輝いている人も、その輝きの下の表面には、きっとこういう無数の細かい傷があるんだろうな、と思う。

朝一番でスーパーに行き、お肉コーナーで３パックほどカゴに入れた。「お客さま！」と呼びとめられて振り向くと「今から２割引きのシール貼るところなんですが、よろしいですか？」よろしいですとも！いい一日の始まりだ。

私は、行政が危機的課題を抱えている時、大事なことは継戦能力だと思います。行政を指揮しておりますと、時々大変な危機に遭遇いたします。自然災害に見舞われた時など特にそうであります。

はてなブックマークを読んでいると、ほぼ全員文体がカタいので忘れがちなのだが、画面の向こうで入力しているのは普通のおっさんか、おばさんだ。「授業料は一年で25万なのに、払えなくなるなんてアホか？」なんて知ったかぶりで書き込んでいるおっさんか、おばさんだ。何年前の知識で他人を叩いてると思ってる？端的に言って頭おかしい。

不健康マウントと貧乏マウントはより低い方が仕掛けてくる印象がある

高須院長はすでに安楽死の申し込みをしてあるそうだけど、理想の死に方って考えれば考えるほど安楽死に近づく。老衰で死ぬためにはそれだけ生活費が必要になるし、健康なまま歳を取るのもまた難しい

アニメのツッコミ系主人公が泣けるシーンで「○○なんですけど、○○なんですけど！？」ってヒロインに突っ込んでいるのを見ると「ちょ、ちょっと黙っててくれないか…」って感じてしまう　悲しみを純粋に味わうことを推奨してないというか

あとこれもついでで言うけど、キリスト教の七つの大罪をテーマにしたチームとか敵グループは、「お前ら、もうそろそろ出てこなくていい」ってなってる

「将棋の神様にお願いするなら、なに？」の質問があった。藤井と同門の中沢沙耶女流初段（23）は「すべての対局を勝てますように」とお願い。同じ質問に藤井は「せっかく神様がいるのなら1局、お手合わせをお願いしたい」。レベルの高い“神回答”に会場からは「おっ～！」と驚きの声が漏れた。

>>漫画なら間違いなく見開きページ使ってる

（横からつっこんでくる奴らに対して）

なんで野党がいるの

インターネットで話題になってる差別問題なんかを取り上げて「そういう差別があるなら、みんなで考えていかないとね」と話すと決まって「でもそういうこと言ってるの日本人の何割なんですか？ネットで極端な意見が目立ってるだけじゃないんですか？」と言っちゃうような人がいて、そ、それが加害者の透明性～～～と感じる。差別する側は差別はなかったといい、被差別者の存在を無視しがちだよね、という問題。現に、日本に何人の外国人が住んでるのかだって、日本人の何割がちゃんと答えられるんだろうか。我々は「持っている」ことに対してあまりに無頓着なのだけれど、せめて無頓着であろうとしない姿勢は最後まで崩さずにいたいなと思う。

陰口をたたく癖に「でもお前みたいに『死ね』とまでは思ってないわ」って切断処理してくるのやめてほしい。陰で言うなら「死ね」って思ってるぐらい憎んでる人だけにしてくれよ。そういうとこで善人ぶるのはやめろ。俺は死ねと思った相手にしか陰口を叩かないぞ。そして死ね。

子どもが「夜もちゃんと雲があって驚いた」と言っていた。普段は意識していないだけで存在しており、でもよく考えたら当然であるようなことにちゃんと驚ける感性の瑞々しさに感嘆した。そういう驚きについて、年をとっても素朴であり続けたいという願いがある。

就活、「面接官とちゃんとキャッチボールをしましょう」ぐらいの粒度のアドバイスしかなくて、よいキャッチボールは何なのか、なぜキャッチボールが必要なのか、みたいな部分が省かれてるコミュ強前提のイベントじゃないか…！！と感じる　これまでの人生の総清算なのか？

最近、ツイッターのこと「トゥイッター」って呼んでバカにするユーモアを実践してるんだけど、トゥイッターのことトゥイッターって呼んでバカにするユーモアが通じる場所ってもうツイッターぐらいしかなくないか。

女児ショーツをはいて面接に行くと、どんな辛いことを言われても「でもこいつ、女児ショーツ着用者に対して説教してるんだよな」となって笑えるのでおすすめ　らしい！おむつクラスタの人も同じこと言ってたけど、こっちは「ついでに説教中に『尿』すると、尿中（にょうちゅう）の人間に説教してるんだな」という優越感が得られる！！狂気によって結果的に正気を保つの面白いよな

ネットで言うところの「リベラル」は情報化社会とすごく相性が悪い、というようなことを思った。反差別は基本的に共感の輪をつなげて増やして実現するけど、情報化社会によって一人が享受する情報、しかも暗いニュースはとても増えた。反差別でいたいけど自分が疲れるからしょうがなく（見てみぬふりをするという意味の）差別に加担している、というようなことはあるだろうと思う。

RT&フォローで現金プレゼント企画のリプ欄、今までで見た最も醜い書き込みは「壮大な社会実験だな～笑 どうせ嘘だろうけど一応確かめてみるわ」、こう言いつつちゃっかりフォローもRTもしてるという例。自分は現金を乞食するような奴らとは違いますよ、弁えてますよと線引きしておいて、ドストレートに精神が金欲にノックアウトされてる。

これ聞いたときまじでびびったんやけど、風呂って毎年入るべきらしい

関東ツイッタラーが集団エンカで男女ワイワイ楽しそうにしてる一方で"面白いやつがモテる"という嘘の神話を信じて黙々と必死にネタツイしてる関西ツイッタラー、ゲリ便みたいですき

焼肉の玉ねぎ食って「美味しい〜」とか言ってる女子わけわからん。美味しいのは玉ねぎではなく、焼肉のタレなので

セイキンおもんない言う奴、ガチでアホ。明らかに反社にしか見えへん人間が、あんなわけ分からん爽やかな動画投稿してるのとか面白くないわけないのよ。

AVでちんこにブーストをかけて、最終的には同級生で抜いてる

カラオケで歌唱力微妙な人が歌い終わった時、「めっちゃいい曲やん！笑」って言いがち

ロシア人とセックスした時に、なんか乳首に違和感を感じたので、よく目を凝らして見ると、実は乳首がレーニンとスターリン出てきてて、驚きながらも両者をいっぺんにつついたら"おっぱいツァーリ・ボンバ"が爆発して俺、死んで草

中学の時、あだ名が「アンパンマン」の、頭がほぼ球形のやつがおったから、体積や表面積を求めたくて気づかれないように後ろからそーっと近づいて半径を測ろうしたら、バレちゃって腹に"アンパンチ"食らってバイバイキンしたことある

俺のキンタマ、住み心地よすぎてタマホームって呼ばれとる

Twitter、いいねの横に「で？w」ボタンを追加しろ

逆張りすぎて英作文書く時毎回howeverから始めとる

闇鍋始めるぞ〜

1（う〜んwwちょっとウケを狙ってチョコでも入れるかwww）

2（う〜んwwちょっとウケを狙ってチョコでも入れるかwww）

3（う〜んwwちょっとウケを狙ってチョコでも入れるかwww）

4（う〜んwwちょっとウケを狙ってチョコでも入れるかwww）

𝓗𝓪𝓹𝓹𝔂 𝓥𝓪𝓵𝓮𝓷𝓽𝓲𝓷𝓮

この後クビになる助産師「エロ‼︎‼︎‼︎‼︎」

Twitterにストーリーあげんな

インスタでネタツイするぞ

「元上司が『パッとしないから休むわ』って感じで気楽に有給を取る人だったので、部下はみんなすごく楽だった」というツイートに対して「職場の同僚が当日の朝になって理由もなく休んでも、みんな笑顔で文句一つ言わずその人の仕事のフォローをしてくれるんですかね。」「当日になって理由もなく休んだりしない人が一方的に損するだけですね。」という皮肉コメをつけてる人がいて、ツイッターの醍醐味だ～～と思った こういうのでいいんだよ

「仕組み」を知らない人間ほど理不尽なクレーマーになりやすいとは感じる。その手の人種は怒りの矛先もおかしい。道路工事による渋滞でバスの到着が遅れたのを運転手のせいにしようとしていた乗客を見たことがあるけど、そういうこと。日頃の生活から「なぜ？」と考える習慣が抜けていて、物事の因果関係を把握できない人種は他人に理不尽を押し付けやすい。「物を知る」というのは因果関係を正しく見極める力でもあると思う

アニメ見てて思ったけど「廊下を走るな！」に対して生徒が「すみません」って言うの何なんだろうか。何に対して謝ってるの？廊下？先生も「わかればいい」とか言うなよ。まず何に対する謝罪なのか、明確にしろよ。

列挙系で早押しクイズを出題されたらその道に通じてる人よりその命数だけ知ってる人の方が著しく有利になるんだから、公平性を期すなら出題し難くなってしかるべきなのにクイズ構文としてよく見かけるのは私にはまだ納得出来ていない。一つ前振りを置くとか全部答えさせるとかするならまだ分かるけど。

列挙系の問題文って中身が薄くてアウトプットし辛いんだよね。クイズ的ではあるんだろうけど知識の範囲から絞り辛いし答える側としては絞り込みし易くなる情報が欲しい

テレビ番組で流れる絢香の「三日月」あるある：1番が終わった後「今度いつ会えるんだろう」に飛びがち

今日の歌番組で「今夜限りのユニット 松任谷由実×嵐」ってテロップが出てたけど、別に「今夜限り、ユーミンと嵐が一緒に歌うんだ！スゲー！」とはならないし、その両者ともを好きである人、日本にそんな多くない気がする。ベン図の共通範囲のだいぶ狭いところを抉ってユニット組んでんな。

友人の上司が心を病んでしまい夏から療養休暇を取っているそうで、コロナ下のストレス大変なんだろうな、同社内でも鬱を発症してる人増えてるらしいし……と同情していたら、病んだ理由が『パワハラがバレて更に上の上司に咎められた』事だそうで、攻撃力特化の戦士は防御が弱いって感じの話だった。機嫌の良い時はニコニコしていて機嫌が悪いと無関係な部下に当たり散らす系の方だったそうで。『自分は部下に好かれている』と思っていたから、実際は嫌われていると知ってショックを受けたらしい（機嫌が良い時の自分の行動しか覚えていないぽい）。攻撃力特化上司と、「僕は気にしないようにしていますので！」の防御力特化部下ばかりで構成された部署に後から入ると、パワハラで病んだ自分の方が悪いみたいな空気になって地獄感マシマシ

先日、高学歴で家も安定した職もある男性が、日本は衣食住の心配はない段階にあり今は何かを失うのが不安な時代だと疑う事なく述べていました。似た話は、高学歴者の知人達から頻繁に耳にします。この視野の狭さ、これが個々の問題でなくマジョリティになったら社会は機能しなくなると危惧しています。例えば職で言えば、現在は非正規雇用は約４割で、女性に限ると６割にも上昇します。国の労働力不足を補う為に、奴隷とも言える低賃金・低待遇で働いている外国人は何十万人もいます。貧困率は２割に迫りG7でワースト２位で、５割を超える一人親世帯の貧困率はOECD加盟国３５カ国中ワースト１位です。

恵まれた家庭に育ち学歴を重ね安定した職を得て家族と共に家に住む。私も高学歴者の１人として、このような環境にいるとそれが誰もが進む人生のレールで皆がそうだと思いがちですが、現実にニュース等で上記の数字を目にした事が一度もないという事はありえず、そう思う事はつまりただの思考停止です。現実は、衣食住に不安のない数として決して大多数ではない層の安定を支え国を国として成り立たせているのは、多くの苦しむ人達による部分が大きい。しかし一方で、社会を動かす力を持っているのはその恵まれた層、つまり社会に横たわる様々な問題を解決する上で鍵となるのはこの層が如何に動くかです。

コロナ禍では特にですが、恵まれた状況にある人がまずは最低限、自分のその特殊な状況を自覚し、社会の現実に視野を持たなければ、格差はさらに広がり、成熟とは程遠い社会に突き進みます。誰もが衣食住に不安のない社会は、誰も衣食住に不安を持たなくていい社会を誰もが目指して初めて実現できます。

福祉に関わってきた者から言わせてもらうと、「本当に困っている人」だけを助けるってことは、助けを求める人に対して常に「本当は困っていないんじゃないか」と疑い続けることになって精神的に辛いんですよ、本当に

例えば、悪性腫瘍に自分の体が蝕まれているとして、対策としてその可能性を考慮した上でしっかり定期的に検診を受けようとする者がいる一方で、頑ななまでに病院へ行き診察を受けることを避けようとする人がいる。医師の診断を受けて宣告されるまでは、それを存在しないものとして無視することができるからだ。これが『自分の健康を信じる』ということである。ある側面では理性的である者も、生活の中のまた別の側面ではそれを怠る。常に理性的であることは、一定のテンションを保ち続けなければならないことであり難しい。

幼い子役が出された食べ物を食べて「まっず！」と言っていたら嫌だけど、「ここで無難に『おいしい』というよりは『まっず！』と言ったほうが世間に与える影響は大きいし、私はまだ三歳なので笑い話として処理されるだろう」と考えて「まっず！」と言っていたらもっと嫌だな。

思えば、人間はだれしもこの「嫌だな」を無意識で判定しながら生きているように思う。そして、自分が嫌いな人間に対しては「○○って考えてたら『嫌だな』、てことはあいつはそう考えているのだろう」、自分が好きな人間に対しては「○○って考えてたら『嫌だな』、てことはあの人はそう考えていないだろう」というように、自分の好き嫌いで「嫌だな」の後の印象を変えがちかもしれない。

友人の家に行ったら調味料の棚に「パセリ」の粉があって、「見栄えという、料理に一番必要なものを重要視する友人」と「それを知識として頭に留めてはいるが、実際に作るとなると見栄えを気にするのが面倒すぎる自分」を勝手に対比して、自分のことが少し嫌になった。

PSPって音量ゼロでもイヤホン突っ込むと本当にかすかに音が聞こえるんですよね。充電が少なくてそのライフハックを実践してたとき、バスの隣座席の人がポテトチップスを食べ始めて（しかも「堅あげポテト」）それにめちゃくちゃイライラしたの、あれ人生で一番無駄で理不尽なストレスだったと思う。

ナチスが拷問に使ってそうなゲームですね

コードギアスにはまってる友人が”Yes, my lord”とか言うもんだから、今ならどんな指示でも聞くのかなと思って「靴を舐めて」と命令したところ”No, my lord”と答えてきて笑った。その言い回しで拒否権あるのかよ。

ぼくはわりと素朴に「最後には正義が勝つ」と信じていて、ただその過程では不正義が力をもって正義はにべもなく破れるのだけれど、結局不正義というのは長続きはできないから自滅していくのであって、その時に節を曲げず正義を保っていたものが次の時代を作るのだと思っている。

何かというと「切り取るな」と絶叫する愛国保守界隈や逆張り隊の方が、切り取り・改変をやりまくっているという例がまたひとつ

韓国のことが憎すぎて海外版2ちゃんねるの4chanに出張して反韓を叫び続けていたら、いつの間にか4chanの空気が「日本人、反韓すぎてキモい」になってたの、「愛国者」の自制心や節操のなさを表すエピソードでけっこう嫌い。頼むから風評被害を増やさないでくれ。そういうのは内々でやってろよ。

「俺はジェイソムという名前で、14日の土曜日になったらチェーンソーを持って街に現れ、人々を殺して回っている」という話を塾の生徒にしたところ「実質ジェイソンじゃないですか」と突っ込まれた。これ以上ないぐらい的確な「実質」の用法だと思う。仮面付け替えてるだけだからね。

子どもにプログラミングを身につけさせるため、お父さんがトイレに行って用を足すまでの流れを「廊下に出る→歩く→ドアを開ける→ズボンを脱ぐ…」のように書かせるのだが、必ず「パンツを脱ぐ」を書き忘れるせいで、結果的にお父さんが直前で耐えきれずに毎回脱糞している、という内容の子育てツイートは、本当に誰も傷つけない良い笑いだと思った。

「みんなには気持ち悪がられるけど、自分だけがよいと思っていること」だけを集めた本があったらほしいな。けっこうほしい。私は幼少期から爪を触ると安心するという癖があって、寝る前に下唇に親指の爪を這わせて行き来させている。話すと気持ち悪いと思われること、間違いなし。

映画が終わって照明がついて席を立って帰ろうとする時に聞こえてくる周囲の喋り声は映画の感想の第一声だから聞いててめっちゃ面白い。その人の一番気になったポイントなんだなと。

好きな映画を1人で再度見に行って、初見らしき人が「面白かったー！」という声を上げるのを聞くのが大好きです。

マイナー映画は客層が映画のターゲット層で染まっててその層が出す物理的精神的な匂いを感じながらの鑑賞含めて映画体験だよな。

小耳に挟んだ映画の感想の意見が合えばサイコーなんだけど、自分はめちゃくちゃ楽しかったのに知らない誰かにはつまらなかったりすると自分のテンションまで下がっちゃうな…。

友人に勧められて「ラ・ラ・ランド」を見た後しばらく感傷に浸った身としては、同僚が「ラ・ラ・ランド本当につまらなかった」「最初に道路で歌ってるのも謎だし、キスシーンが多すぎる」「つまらなすぎて寝るのも苦痛だった」とか別の人に話してて「な、なるほど～～～こういう風に『敵』をつくるんだな～～」と感じた

私にはただ一人の友人がいる。その友人は映画館でコナンの新作映画を見た後、座席入れ替わりのさいに次の客に聞こえるように「まさか○○が犯人なんてな～」と大声で言ってみせ、殴られたそのパワーを利用して発電しながら生き長らえている。いい死に方はしないと思う。

上空って本当に自分にできること、何もないから。もう受け入れて、ただただ拝んでた。そして死を覚悟すると、自然と大切な人たちの顔が浮かんで「ありがとう」とか「愛してる」って言葉が出てきてた。自分でも驚いた。人間の精神、最期にこの地上を去るって覚悟したら、自然とそういう感情なるんやな

ジャガイモに将棋の駒が入ってるやつ。将棋の駒のエネルギー弾。ふじいそうたのタンでは？ふじいそうた一人から一個しか取れない

手を突っ込んで取り出す　ここに棋力が全部詰まってる

ルルーシュ、若い頃のパパに顔と性格と行動が似てるから複雑な気持ちになる

ドラクエⅤは父がやってるのを後ろで見てて、ある日「子供が生まれたんだよ」ってゲーム始めたら双子の名前に姉と私の名前を付けてくれていたのが凄い嬉しかったっていう思い出がある。毎朝早いのに深夜こっそりレベル上げしてる父の後ろ姿とか……そういうの含めてドラクエⅤは思い入れが強いです。懐かしいなぁ

「水曜日のダウンタウン」で「予算1万円以内で防寒具を揃え、雪山に行ってできるだけ長い時間耐える」企画があった。各々がブランドもののパーカーを持参したり靴下を重ねばきする中、バイキング西村が水とコンロと味噌を持ち込んで味噌汁を食べ「あったけぇ～～～」とつぶやくと、そこから参加者がぽろぽろ脱落した。防寒がどうとかではなく、やはり温かいものを口にすることが人間にいかほどの安心感をもたらすかを物語るエピソードで、非常に興味深い。

天皇や上皇と一緒に銭湯に行った時、めちゃくちゃ床がヌルヌルで天皇が「誰かペペ塗ったのかよ」と床に対してツッコんだ。上皇がボソッと「そんな奴いないだろ」と失言したので、天皇は泣き出してしまった。

馬鹿騒ぎしているグループを見て「知能指数が低い」と思ったアナタ、ごめんなさ～い！今日の運勢は最悪！反差別主義者に石を投げられて死ぬでしょう！

歯医者あるある：ジブリのオルゴールがかかっている

オルゴールあるある：曲名が思い出せず、歌詞を口ずさんでみるが出てこない。検索もできないので詰んでしまい、その後忘れてる

会話とは互いの情報を開示し合って理解を深めるゲームなので、開示する情報がない奴、何を開示すればいいかがわからない奴はめちゃくちゃ不利。得てしてそういう人が社会不適合者の烙印を押され、社会からドロップアウトしていくのだろう。

営業時間スタート10分前に銭湯に行って、入り口で並んでいた。時間になってオープンしたので下駄箱に靴を入れて並んでいると「ちゃんと順番を守って、みんな守ってるから」とおじさんに指摘された。これには訳があって、今までの例だとオープン後の列順番はオープン前のそれと全く関係がなく、靴を入れた順にみんななんとなく並んでいたのだ。とりあえず「そうなんですね」と並びなおしてそれで終わりなのだが、「前はこんなことなかったのになあ」と少しもやもやしている。

新型コロナウイルスを心配する人を「コロナ脳」と揶揄し、反マスク運動をかかげてツイッターで毒を吐く人達の思考回路がちょっとだけ分かった気がする。彼らが反対する「新しい生活様式」。以前の慣習ではしなくてよかったことを強制させられる息苦しさなのだろうか。過剰にマスクをしろと騒ぐ人の影響があるのだろうか。

いつの間にか、列に並ぶことが慣習化していた私の心情のように、唐突に変わってしまった社会にせめてもの抵抗をと、ツイッターで傷跡を残そうとしているのだろうか。

だとしたら、そういった人達に「マスクをすることは科学的にも…」とか「みんなが迷惑しているのに」と浴びせるのは逆効果で、むしろ「わかります、あなたの不安。みんな大変ですけど頑張りましょうね」ぐらいがいい気がする。

USBメモリはなぜか向きをひっくり返して三度目でしか入らない。あれってもしかして「入らなかったら逆側にしよう」と人類が思い込み過ぎて、一度目で入らないことを勘違いしているのではないだろうか？

「朝鮮人の悪事を報道しないマスコミ」と右に叩かれ、「政府の悪事を報道しないマスコミ」と左に叩かれるマスコミ。両方から叩かれているということは、実はマスコミこそ本当の中道なのではないか？

私も子供の頃から、「可愛げがない」「口答えと屁理屈が多い」と言われ続けてきましたが、可愛げがなく、口答えと屁理屈が多いことで、起こるトラブルより、回避できるトラブルが多いのではないかと、今になって思っている。

教育課程の用語の精選は、「これ以上教えてはいけません」ではなく、無用な暗記競争を防ぐためのもの。結局は受験制度を前提にしたルールなんだよな。生徒が興味をもちはじめたらどこまでも踏み込むのが本来の教育。

既婚者でもクソみたいな人間性な人ごろごろいるから「誰かに生涯を共にする伴侶に選ばれたことがある」なんて称号がなんの信頼にも値しないことは明白だろうに、そんな人生の一発逆転アイテムがあるみたいな集団幻覚を社会が見ていることに、子供の虐待とか家庭内暴力(男女とも)とか、会社でのセクハラとかなくならないことの一因があると思う。

結婚をするしないで人間性を判断するのは「宗教的」だなって思う。結婚したら同じ宗教だから信頼するけど、結婚しない人間は異教徒って感じ。手術の同意書や死後の処理の問題などはこれから制度を発展させていけばいいだけだし、それを「だから結婚しないとダメ」では思考停止だと思う。あと出産子育てのリミット(男性も加齢により精子が劣化するので男女ともにリミットがある)は別にしても、生涯を誰かと過ごしたいと思ったら、何歳からでも婚活すればいいのに、それをバカにするような雰囲気があるのはおかしいと思う。

結婚できる・できない、したい・したくない、向いてる・向いてない。と色々あるので、結婚無理にすればいいとも思わないし、その感覚は単に無い物ねだりという気がする。

結婚する気ないって言うとできないんだろ？って言われ、できないって言うとする気ないんだろ？って言われる

結婚に限らず、健康にしろ貯蓄にしろ、人生なんて大抵そんなもん。最適解は短期と長期で異なる場合はあるし、若いうちから老後を見据えて合理的な選択をってのもつまらない。

ネットで極端にマイナスな意見を見たとして、それを「世の中、そんなに悪いことばかりじゃないさ」と振り払って買い物やスポーツにでかけるためにも一定のエネルギーが必要という仕様、何とかならないかなと思う。エネルギー障壁に足りない場合、それを鵜呑みにしてさらに気分が塞がるということはありえそうだ。

自分のような超絶ブサイクな女子とか身長150cmの男とかが必死に婚活頑張っても誰からも相手にされずに、最後は後悔と劣等感に苛まれながら一人で野垂れ死んでもポリコレに言えることって「貴方が胸を張って寂しい独り身生活を遅れる社会を目指そう！」であって、ただ醜いだけで全ての異性に差別されてる存在であっても「あなたを差別する異性の認識を改めさせよう！」にはならないんだよね。

企業が身長や容姿で採用可否を決めることは不当な差別であっても、結婚相手として全ての異性が個人として特定の属性の人間を相手しなかったとしてもそれを咎めるのは原理的にどうしようもないし、なんなら有能/無能という判断だって脳という機関の先天的な性能が大部分を占めてて、それによって苦しんでる奴らは決してポリコレの救済にはならない。

必死に頑張ってもパートナーを得たいなんてちっぽけな望みすら叶わない人間なんて世間で騒がれてる大抵の弱者なんかよりよっぽど無様で哀れな人生だろうに、偉そうに正しい顔してる奴だってブスはブスだからという理由で恋愛や生殖では相手にしないし、先天的なIQの低さによる無能は人間関係や雇用からは全力で差別する。人間なんて肌の色や性別だけでなく脳の性能の差、容姿の差、全てにおいて差はあって、結局ポリコレ救ってるもの極々々一部の極悪非道な白人社会から奴隷を救済してやろうなんて酒の肴になりそうな体の良い物語が存在する存在だけ。

こんなもん、動物愛護なんていう見た目が可愛い生き物だけ気持ちよくなるために救うアレと同じようなもんだろ。結局あなた達の存在が出てきたところで世界の苦しみの総量は全く変わってないのでは？少なくとも自分を救わない正しさなんて自分には何の意味がないと思うから傾倒する意味なんてないよなーって。

偉そうに『ルッキズムがー！』とか言ってる奴見る度に「ああ、そんなこと言ってる貴方ですら私みたいなブスは絶対に相手にしないんだろうなぁ、勿論ブスだからという理由で」って考えちゃう。『正しさ』にすら見放されてる存在。辛いなぁ、婚活。

知能と容姿は最後まで許される差別だからね。増田の指摘の通りポリコレで苦しみの総量は減らない。100苦しんでる人を救うために1万人に1の苦しみを要求するから総量はむしろ増えてるとさえ思う。

現状8割9割の人間が経験することを「大それた望み」だとか「見た目以外の問題」と言い捨ててる人らは自分たちが死ぬほど残酷で辛辣なこと言ってるって判ってんのかな。なんか自由恋愛や結婚の話になると途端に優生思想や差別に肯定的な発言が皆から飛び出してくるのはとても不思議だ

まともな人間は結婚しない方に舵を切っているんだから　婚活ってまともじゃない人間の中からパートナーを探す行為だよ

今時「独身は人格に問題がある」なんて言う人はほぼいないが、結婚できないと悩む人に「結婚できないのはお前の人格に問題がある」と言う人はなぜかまだ結構いる

多少なりとも当人の努力でカバーできる「金がなくて結婚できない」は国や大企業に文句言うくせに、不細工については不当に加害されていないとか尊重（という名の無視）してるから勝手に生きろ、というのはどうなの。ポリコレきれいごとだと糾弾したくなる気持ちわかる。実際に会う人間の言動はもっと動物的でどうにもならないものだよな。

「結婚で顔より大事なものがある」って笑わせるなよ。「顔より大事なものを備えた顔のいい奴」が大量にいるから太刀打ちできねぇって問題なんだよ。

そもそも「ワイの人生を捧げる代わりに何をくれるんや？」ってのが就活のはずなのに、会社から一方的に判断されるような錯覚を覚えてしまうのがいかんのよな。なんかこう日本の就活は「私を選んでください！」って奴隷側が言ってるだけみたいな、でも実際はこっちだって逆お祈りメールを出す権利がある

YouTubeのアニソンのコメント欄あるある：そのアニメを見て3年前に日本語を勉強し始めた外国人がいて、めちゃくちゃいいねと返信がついている

電波ソングのコメント欄あるある：「1000年後の考古学者が頭抱えてそう」

ニコニコ動画、2007年に投稿されたゲーム動画のコメントで「↑ クリアしてない人わコメントするなここはくそガキが来ていい場所じ」があって、満点！ニコニコの醍醐味 と思った

この山盛りの団子何。神様に謝る時の量？

ARuFa主人公しか着ちゃいけない丈のパーカー着てんな

イスラムってガッチガチの男尊女卑なわけで、「不寛容には不寛容」理論を用いるならば当然弾圧の対象にすべきだよな？でも他民族差別はいけないよな？この矛盾を見つけてしまい俺はリベラルを諦めた。

>>イスラム教について我々が不寛容であるべきなのは「男尊女卑であること」に対して（だけ）であって、それ以外の部分、例えばシャリーアとかクルアーンは尊重してよいと思う。ある一部分だけを取り上げて弾圧したりかかわりを持たないようにしたりも、それはそれで極端なんじゃないか。

自由には責任がつきまとう、なんて言う。自由だと責任の重さに疲れるのだ。これから「自由じゃなくていいので私の生き方は誰か（国や大人）に決めてほしい」と主張する若者が増えてもおかしくないだろうと思う。恋愛なんてすでに「AIが理想の相手を」とうたうマッチングアプリがあるほどだし。

言動の一貫性の無さを指摘された時「それは自覚しているが、どうでもいい」みたいな冷笑系コメントを残しちゃう人がいて、あちゃーって感じる。舌が無限枚ある人間の言論に誰が耳を傾けるというのか？

「どっちが悪いか、今の情報ではわからない」というとき「判断は棚上げだ」とする人と「どっちもどっちだ」とする人がいる。似ているようだが、ごっちゃにすると世界が少しだけ不幸になる気がする。

貴方にとって嫌な相手は、誰かにとっては必要な能力を持っていたりする。すごく酷い話をすれば、全員に嫌われるような人間もそれは組織にとって「必要悪」とか「スケープゴート」になったりする。

１００点を目指すのは非常に難しいし、疲れるし時間がかかる。だけどほとんどすべての仕事はむしろ７０点が好ましい。７０点を出来るだけ早く作り上げることが好ましい。自然界の法則的なものであったりもする。とにかく７０点をいかに早く安定して毎回作り上げるのか。これが求められる。１００点を毎回取るのはしんどい。しかも１００点を自分の平均値とすると、それをテンションによって下回るようなことがあればそれは「ピーキー」という扱いになる。ムラが大きいということになる。ムラが大きい人は扱いにくい。それにムラのある自分を使いこなすというのが何よりしんどい。だから１００点じゃなく、７０点を安定的にとることを目指す。人生は長距離走であり短距離走ではない。長く走る秘訣は当然「全力で走り続けないこと」になる。

多くの会社は、だいたいできれば仕事をしたくない人たちで成り立っています。だから、隙を見せると仕事を振ってくるし、人によっては仕事を教える時間さえも割いてくれません。だから、最初のキャラ付であまりに弱弱しい姿を見せると、仕事は振ってくるし、大きな態度をされて仕事も教えられません。いじめの理論と一緒ですね。反撃がないと見られたらおしまいですから、牙はチラ見させておきましょう。

次に、まじめすぎるのも考え物です。ある程度の適当さで、仕事のミスを笑われる立ち位置を狙いましょう。これは大いに武器になります。なんでか知らないですけれど、会社には世話焼きみたいな人もいます。そういう人にやらせておけばいいのです。

土着宗教でたまに聞く、「少女時代は神通力があるとして崇拝されるが、成長するとただの人扱い」という風習、文明レベルが低いと思っていましたが、最近のグレタの扱いを見るに、人類に普遍の感覚のようですね。

仕事として上の人のスケジュール管理とか先回りして下準備とかが嫌いじゃないので秘書目指そうかと思っていた時期もあったが、秘書は上司を選べない…ムカつく上司には絶対仕えたくない…そうなると個人的に雇われる方が…執事？執事か？でも執事になるにはセバスチャンに改名しなきゃいけないし…

NFTアート、世界に一つと言いながら普通にコピーできるし、権力分散とか言いながら普通にプラットフォームに依存してるし手数料まで取られてるし、改竄不能と言いながら普通にリンク切れの可能性はあるので、全てが嘘

「真面目なのに評価されない人、ルーズなのに評価される人がいますよね？後者の人は結果を出してるから評価されるんじゃなくて、メリハリがあるから評価されてるんです」という系の「適当に生きよう」言論はよく見るんだけど、そういう人がメリハリを持たなかった時のツケを払わされてる自分からすると、ちょっとうるさいから黙っててとしか言えない

マクロなものをミクロとして捉えることができるかには個人差があり、それは訓練や能力で身につくものではないという気もする。過労死を防げ、ブラック企業は潰れろ、大企業はクソだと主張する一方、企業努力の末路とでもいうべきシュリンクフレーションに理不尽に憤っている人がいる。もしかしたら私を含む全人類が苦手なのかもしれない。

ワイこの前塾で教えてて、ふと黒歴史を思い出して「んんっ」という声が出た結果、生徒に「撃たれました？」と聞かれたのを今思い出して「んんっ」という声が出てる。

見知らぬ人に対しての丁寧語は敬意の有無じゃなくて緊張感の大小で決まると思う

射精は男が自分を取り戻すためにある説すき

実際、直前は自分じゃなくて、直後が自分だよね

男はそれほど激しくないので「射精」というほど激しくはなく、せいぜい「漏精」（ろうせい）である　同人誌のような「びゅーっ」「びゅっびゅっ」という勢いは期待できず、せいぜいが「ﾋﾞｭｸ…」である　さらに賢者モードという最悪のモードを神が男に搭載したので男は陰

同人誌ほど勢いが激しいのはタイ語の動画付きツイートのゲイ動画の射精ぐらいだよな

ここまで「※」が多くても許されるのは携帯電話の契約約款ぐらい

小さいころ、「なんでサンタさんにおもちゃをもらえるのにクリスマス商戦なんて言ってるんだろう」と思っていた。あの頃の純粋さはもはや望めないが、それでいいのだろうか、とクリスマスになるたびに思う。

アイコンが初期アイコンである -100点

「クソリプ」をアカウント名にしている -1000点

フォロワーがゼロである +0点

クソリプしている -5億点

-5億1100点

となりのトトロでメイがトトロたちの大きさを体で表現するシーンがあって、それは幼児が自らの身体性を何よりも大事にしていることを表していて結構好き。大人だと「トラックぐらいですかね～」ってなりそう。

自分の意見と逆の根拠、データに出会ったとき「この媒体は怪しくないか？」と疑うことはほとんどの人ができるだろうが、むしろ大事なのは逆で、自分の意見を裏付けるデータを見たときほど慎重にならなきゃいけない。でも、そうしている人は実際には本当に少ない。認知的不協和という六文字で片づけてはいけない問題のように思う。

ツッコミがめちゃくちゃうまい友人を「対応力がエグいな」と褒めたところ「言うてボケは単体でもそれが笑いになるけど、ツッコミだけというのはないので、ボケれる人のほうが尊敬できる」というありがたいお言葉を頂いた。褒め合っていい感じの雰囲気になった後、「何の話やねん」と言って会話を畳んできたのだが、そういった友人の人間力の高さをこそ評価している。湿っぽくならずに適度にシメれる能力。これはもう訓練で身につく次元でもない気がする。

意見を言った後「どこ目線だよ」というセルフツッコミは忘れないようにしたい。これを怠るとなんJとかニコニコニュースの「何様やねん」「お前は誰だよ」と感じるレスに同化してしまうので。

アイドルは他人に見られることを常に常に意識するから、プライベートと仕事の境界があいまいになっていくのではないだろうか。そんなことがネットで死ぬほどたくさん言われているので、これからの時代にアイドルになろうとする人はよほど自分を見てほしい人達なのだろうと思っている。こういうことは先生という職業についても言えて、あれほど先生がブラックで大変だという話なのに、これからの時代に先生になるということはよほどの覚悟があるのだろうと思っている。この「あれほど」について、実はいろんな職業で「あれほど」が言えるし、実際のところ後に続く言葉は決して悪いものでないことも多い。あなたの職業にも「あれほど」がないだろうか…？

もうむしろクビになりたくて上司の説教シカトして退勤したりお局の「どうせ私たちの陰口とか言ってんでしょ笑」とか言うゲロキモな問いに「いや当たり前じゃないですか笑笑」って社会性死んだ返ししてるのにバカ真面目に頑張ってた頃より全然丁重に扱われててウケる 人生は何の価値も無い ただのクソ

公立中学を「動物園のようだ」と否定して、その口で多様性を語る人達、いったい舌が何枚あるのだろうかと思う。暴力的なのも口が臭いのも発達障害なのも全て受け入れてこその多様性なのだし、それぐらい多様性というのは難しいのだから、簡単に言ってのけるものでもないはずだ。

いや俺は君の言ってることわかるよ、ある面でははてなの民度は高い。差別はいけないのような基本的なモラルにすら同意や理解をしないネットコミュニティは沢山あるもんな。でももうしばらくはてな見てると気づくんだ、こいつらはそういう基本的なモラルを表面的にトレースすることは上手いけど、それを支える根っこの設計みたいなことは実は全く理解してないし関心もない。トレースすらめちゃ無理をしながらやってるだけで根っこの人格や知性はなんも変わらん。それどころか無理をしてるぶん別方面のヘイト欲がものすごくなってたりするんだと。

だから表面的なルールとか差別したらいけない対象(黒人みたいなベタジャンル)から外れたとたん素朴で猛烈な差別的ヘイト的発言が飛び出して賛同受けてることがちょくちょくある数学の点数結構いいと思ってた子が実は部分的な丸暗記でしのいでただけで、問題少し変えたらボロボロだったみたいなね。素の思考力や計算力では点数低い子達より酷いのかもと言う実態が見えてびびるとか。そういう感じのウゲッてなる体験が訪れるよ、もうしばらくはてな見てると

>>本来差別をしちゃダメなのは人間の尊厳を守るためなのだが、それをわかっていない人が「差別をする自由もある」と言い出す。リベラルを自称する人でさえいくらでもおっさんやアホを差別する。

中学受験について、匿名でないと書けないことを伝えたい。

家庭の選抜である。中学受験に十分な投資するような家庭で育った子どもたちは、家庭全体としてある程度優秀。そういう家庭で育った子供が集まる、ということが非常に大きなメリットだ。ろくでもない大量の生徒をしっかり教育するには、管理教育にせざるを得ない…といった内容の増田に１００％以上の頷きで「まぁこんなウダウダ書かなくても公立中出身者ならあの動物園に通わなくていいってので十分良さはわかるよ」と応えているこれがはてな民のぶっちぎりの賛同を得て人気トップブコメです。

１．「あいつらは動物。関わり合うべきでない。」

ここで言われてる「公立中」は要するに明確に私立中の下の位置づけで、私立に脱出する財力や知力を持たなかった子供が集まっちゃってるという意味なんでしょう。それは要するに社会的に下層や弱者とされる家庭の子供たち。たぶん卒業後も社会階層の下の方に押し込まれる可能性の高い子供たち。つまりは貧しい家庭の子だとか、学力の低い子だだとか、知的・発達障害がある子だとか、グレ始めてる子だだとか、問題行動のある子だとか。そういう面々のことを、関わりを避けるべき動物だと。

別にこれ、いわゆる普通の日本人が言ってるなら驚きませんよ。twitterやヤフコメの一角で日頃からポリコレ違反発言を繰り返して、たしなめられたら「事実を言ってるだけ」「そういう風に言われるような奴等の側の問題」といって居直るお馴染みのあの方々が言ってんなら。でも、ここはてなでしょ？日頃から一日も欠かさず政治家や芸能人や一般人の差別発言やポリコレ違反を監視して、火が付きそうなら殺到して執拗にマッチ擦って正義の炎で責め苛んで処刑の快楽に酔いしれるのが娯楽のリベラルの牙城でしょ？そのはてなで、社会階層固定の犠牲者たる貧乏家庭のガキや勉強苦手なガキや発達おかしいガキを動物扱いし、彼等が通う公立中学を動物園呼ばわりして蔑み、そんな動物園に関わらないで済むことは大きなメリットなのだと放言し、それが☆を集めて人気トップって、控えめに言っても正気じゃなくない？

さすがに２階が立って、この発言はナイと感じた一部の方々から非難殺到してたんだけど、そこで出てきた擁護のブコメがもっとすごい。「このコメントを責める人は幸せな中学生活を送ったんだね、いきなり階段から蹴られて突き落とされたり腹パンされたり挨拶は「死ね」で邪魔だって理由で箒で殴られながら追いかけられたらそんなの言えなくなるよ」。これが非難ブコメを巻き返して２階の人気トップ。「黒人は動物」「差別発言では…」「黒人犯罪者に襲撃されたことあればそんなこと言えなくなるよ、俺は黒人に関わりたくない」「お前はブロンクスに住んだことがないだけ」レベルのやりとりなわけですよ。この人達なんでBLMとかに同調してたんですかね。意味わかって尻馬に乗ってたんですかね。

「ただの事実。私も荒れた公立校にいたからよくわかる。避けられるめんどくささを避けるのは悪いことじゃないよ」。「黒人が動物？ただの事実やん。あいつらが犯罪多くて狂暴なのは統計出てるし。私もハレムに住んでたからよくわかる。黒人を避けるのは悪いことじゃないよ。」めちゃくちゃコテコテの「差別じゃないよ区別だよ」で草。なんだ、こういうのレイシズムじゃなかったんすね。

前々からはてなリベラルが軽々しく口にする「差別反対」には違和感があったんだけど、つまりはこういうことなんですよね。この連中が「差別反対」って書いたり口にしたりする時、負荷を全く感じてないでしょう。楽しげですらある。それはインチキなんですよ。自分自身が差別したがる人間で、「差別反対」って言うのはその自分の心を戒める覚悟の取り組みなんだってことがわかってない。この人達の世界は小児的にシンプルで、自分と関係ないところに差別する悪い奴がいて、自分は一方的に断罪する側で、「差別反対」とはノーコストで自分が何か価値のある人になった気がしてくる魔法の呪文で、かつノーコストでけしからん誰かを一方的にボコボコにして抹殺できる強力な武器で、それだけ。それ以上なんにも考えてない。

だから「黒人犯罪に脅かされたぐらいで黒人を怖がるなんてけしからん」「近所に知的障碍者施設が建設予定なぐらいで反対運動するなんてけしからん」「在日外国人に隔意を持って避けるなんてけしからん」みたいな教科書的なテンプレを散々言っておいて、自分自身の話になれば、ちょっと公立中学でひどい奴に遭った程度の体験で、猛然と「あいつらは動物」「あいつらに関わらないで済むのは良いこと」ぐらいのことを平然と言い出しちゃうし、それで普段の立派な言動とのあまりにもな一貫性欠如を驚かれたり注意されたりすると、むしろプンプン怒り出して、「自分はそれぐらいのことを言う権利があるの！」「これはただの事実！」「あいつらに迷惑かけられたことない人間は幸せだね！」とか言い出してしまう。

自分が遠くのニュースにまで首突っ込んで延々教科書テンプレで断罪してきた差別主義者そのまんまの論理を同じ口で・真顔で言っちゃう。ずーっと差別反対差別反対ってやってきたのに差別ってどういうことか、差別反対ってどういうことか、まったくわかってない。全く考えずにやってたから。

「差別反対」ってそんなに楽しく興奮出来るようなものではないです。差別というのは自然で素直なことなんですよ。だって差別ってありのままの気持ち、自分の正直な心そのものなんだから。肌が黒光りしてる奴気持ち悪いし、言葉通じない奴気味悪いし、犯罪多い集団の特徴持ってる奴怖いし、貧しい奴うざいし、身なりの汚い奴キモいし、不細工吐き気するし、よそ者腹立つし、低学歴目障りだし、下層死んでほしいし。そんな奴等が近所に住み着いたらムカつくから石投げたりぶん殴ったり火を付けたりして追い出したいし。…という”素直な感情”が差別の原料であり差別そのものなんだから、これに気付いて、自分の素直な感情なんてものは動物的な機能の身勝手な反応だと気付いて、厳しく戒めていく。それが「差別反対」ということでしょう。

どこまでも理性の話だし、結構客観的で立派な人格と知性と精進が無ければやれることじゃないんですよ。大坂なおみだって素直な気持ちで、自分より黄色い奴だせえとか英語も喋れないのにクソリプ送ってくるゴミども死ねとか、なんかしら思ってるんですよ。それに気付いて、これを戒めるのが私のミッションだよねと自覚して取り組むのが「差別反対」ということなんです。教科書的なテンプレを暗記して党派ごっこで石投げして誰かをリンチに掛けて私はいい人ですーっていうのは「差別反対」でも何でもないんです。それはただのパリサイ人ですから。ネットで毎日誰かを罵って誰かとつるんで誰かをリンチしてる人は少しも差別反対なんかできてないし、ナイキのCMイケてる！わからないやつはレイシスト！とか言って興奮する人も少しも差別反対なんかできてないし、通勤通学電車のシートで隣に座る知らない汚いおじさんやおばさんが居眠りしてもたれかかってくるのを優しい気持ちでもたれさせてあげられる人は結構差別に反対出来てるんです。自分らしくとかありのままにとか言ってるのはアホだし進んで差別をする人間なんです。我々の自我というのは差別したくてしょうがないんだから。

はてなリベラルのようなどうしょもない考えなしのアホの偽善者を表現するような詩があるので最後にそれを読みたい思います。

遠くのできごとに 人はやさしい

近くのできごとに 人はだまりこむ

遠くのできごとに 人はうつくしく怒る

近くのできごとに 人は新聞紙と同じ声をあげる

近くの、自分が直に迷惑や被害を受けることに、それでも歯を食いしばってその相手を憎まず疎外しないこと、それが差別反対ということです。あなたたちがいつもやってるノーコストノー覚悟ノー精進の楽しい石投げ遊びや火付け遊びは差別反対ではありません。そんなのはただのヘイト野郎の手遊びなんだから、寝てた方が心が汚れないだけまだマシだったでしょうに。

リベラルや反差別主義者の言う多様性の中に「勉強したくない」「価値観をアップデートしたがらない」人は基本的に入っていないのだろう、と自省している。これは本当によくない。もちろん「勉強したいけどできない結果学歴が得られなかった人」は多様性に含めたらいかんのだが、勉強しないことだって選択の一つではあるわけで、そこを無視してしまうと反感を買ってしまう。

マイノリティが言う「多様性を認めろ」は「俺を認めろ」と同義である。

インターネットやリアル(親を含む)の、自分の存在を根底から否定するような属性否定の言動を聞くたびに胸が苦しくなり、生きていてはいけない存在なのではないかと感じる。そういう気持ちを「普通の人」は味わわないのだろうな、と思うだけで、普通の人になりたくてたまらないと感じる。私の性的指向は普段から他人に伏せているが、おそらくその人達は「なぜこいつはこんなにも反差別的なのか？」と思っているだろう。でも理由を話すわけにはいかないんだ。

同人誌で「上手にぴゅっぴゅできましたね～」ってセリフを言っている人がいるけど、不随意運動に「上手」も「下手」もないだろ

どれくらい仲が良いかって、相手にどのくらい傷つけられていいかってこととほぼ同義な気がする 信じてる相手だと傷つけるようなことを言ってきても「おれのことを思って言ってくれたんだ」って勝手に脳が補正しちゃう

タイヤ交換しに行ったら、年配男性店員さんがコソコソと「お子さん、ジュース飲めますか？」と。飲めます！と言ったら待ち時間に使えるジュース引換券くれた。この気遣いに感動した。ジュースという嗜好品に対して親がそれぞれ価値観が違うことへの配慮、子供に聞こえたらワガママ発動しちゃうかなという配慮、一瞬で色々感じた。。用事に付き合わされて可哀そうに、という配慮でジュースをあげたいけど、子供にそれをあげても良いものかどうかをきちんと親に確認する配慮、という二重の配慮ですよ。つまりこの店員さんは完璧。

カルピスのCM、「これを見ている陰キャどもはこの光で滅せよ」という光属性のきらきらメッセージを受け取って闇属性の私は蒸発しそうになった。かろうじて、それを見てる間「真っ白が可能性の色ということは、オタクたちが毎日出してる精子が真っ白なのも可能性の塊だからかww」と下痢便みたいな大喜利を考えて耐え抜いたありがとう下痢便

相手がひとしきり自分に対する意見を述べた後「まあ人の勝手だけどさ」と口にした途端「え、人の勝手なら俺に任せてくれね？」と言うことで相手のRoot権限を奪えるというライフハックがある その代わり命を奪われても文句は言えないが

実際のところ、誰にでも人当たりのよいキャラを通していてそれで得するということは経験則ではそう多くなく、好かれる人格にはどこかしら抜け・欠け・毒がある。しかし、好かれたいがために抜け・欠け・毒を意図的に混ぜた瞬間、そのわざとらしさ、あるいは欠点が匂ってきて、人当たりなんて言ってられなくなることもある。結論としては、人格とはつくるものではなく漂ってくるものなのだろう。

「炎上する奴が悪いんだ」では何も進歩しない。それは「いじめられるやつにも責任があるんだ」と同じ。ネット民はいじめを嫌うくせに、寄ってたかって火をくべ始める。ツイッターで一緒になって誰かを叩くのにロクなやつはいないと心から思う。

多様性や反差別は構成員全員の痛みを必ず伴うので、そこを棚上げして多様性が理想の社会かのように語るのもどうかと思う。そんな生易しいものじゃないからね。

こうなんか「ここのやつらはあまりにこの問題に無頓着すぎる」「そんな言動はいくらネットでも駄目だろ」と指摘されたとき「○○(はてな・ツイッター等)に何を期待してるの？笑」みたいにあてこすって開き直るムーブが本当に嫌だ。期待してほしくないならそれでいいんだけど、もう君らが何を言っても誰も聞かないよ。それでいいのね。で、その割になんでいつも憤ってるの？誰も君らの意見聞いてないのに。

別に自民党支持者ではないんだけど、反自民のリベラルたちが支持率のニュースを聞いて「こんな奴らが与党なのも国民のレベルが低いからだな」「あれだけ騒いで支持者が40％もいるのかよ、理解できない」みたいに自ら断絶しちゃうの本当によくない。そういう風に見下されてついていきたいって思うはずないからね。そう思うのなら自分がブログを立ち上げて問題点を整理すればいいのに、やってることはツイッターやはてブで息巻いてるだけかよ。

多くの人は、会議で、「間違った直感的判断」というウンコを投げあって、意思決定して、仕事した気になってるが、それでも普通に仕事が回っているのは、競合企業でも、みな同じことをしているからにすぎない。データ重視の意思決定をしているGoogleが勝ちまくってるの当たり前だよな。

「きれいごと」と「一周回ったきれいごと」は、表面的にはまったく同じに見えるのだけど、実態はぜんぜん違う。現実をちゃんと見もせず、なかば自動的に口から発せられる「きれいごと」と、現実を誤魔化さずに受け止め、現実の汚濁と虚無のぬかるみをしっかり引き受けた上で、それを踏み越えて、覚悟をもって口にする「きれいごと」は、全く別物だなーと、よく思います。

「運を掴み取る努力」をしていた者が成功する、と人々は信じているが、実際には、運よく成功した人間がやっていた努力が努力と認められ、運悪く失敗した人の努力は、「努力のやり方が間違っていた」と言われているだけだ。「何が正しい努力だったのか」は、結果が出た後、過去に遡って決定される。

「自分は実力がないから」と思ってる人も「自分は実力があるから」と思ってる人も、自分の実力をろくに理解できていない。自分が実力で勝ち取ったと思っていることの多くは実際には運だし、実力がなくてダメだったと思ってることの多くも運。人間は、偶然起こったことの原因を実力だと思い込む生き物。

テキーラ事件とかでもそうだけどめちゃくちゃお金持ってオラつく人の娯楽が結局お金ない人と方向性一緒なのが垣間見えるの、色々と寂しいものがある。もっと楽しいことしてほしい。

「思想の話やめてください」「気分を悪くする人に配慮してください」というのは、繊細で心優しい人から出る発言ではない。他者の意思表示の抑圧であり、現状を無批判に追認せよという要求です。私が他者の権利を侵害しているという指摘なら検討しますが、彼らが言っているのはそういうことではない。「穏やかなインターネット、やさしい世界」を彼らは求めており、その内容は異論や自分と異なる見解のない環境を求めて他者の表現を制限することであるようです。Twitterなら私の発言や記事をライクしない対象をフォローすればいいのに、それはせず、「流れてきて不愉快だから書くな」と要求する。

それを伝達するにも使い捨てのアカウントを使う。「自分が不愉快だから」と言うことさえ避けて「気分を悪くする人もいます」と言う。なんなら「マナーです」と言う。一人称がない。徹底して個の姿を出さず要求する。その人の求める「やさしい世界」の「やさしさ」の性質を想像するとぞっとします。一人称で考え、一人称で発言し、他者との差異によって一人称の内実を把握するのが個人というものです。他者との差異の認識なしに内省はかなわない。内省のないところに個の確立はない。差異を憎み「否定」と呼んで排除する者は私の対話の相手ではない。私はたがいに個として対峙する者とだけ対話する。

基本仮名の場所で「自分ではない誰か、みんなの意思」なるものを持ち出してまで相手を黙らせようとする。しかも明らかな捨て垢を使ってですか。そういうのはある種の工作の手段としてリスクとリターンを考慮しマニュアル化された表現なのだと思っています。要はスクリプトです。相手にしても無意味かと

喫茶店で和気藹々と話している時に、隣の席からギスギスする話が聞こえてくるからと言って、その席の人たちに話をやめさせるのは筋違いでは。アカウントを分けたとしてもネット空間は地続きな訳ですから、貴方に向けた訳ではない言説が聞こえてくることは仕方がないかと思います

ツイフェミとかもそうだけど、普段から怒ったツイート、リツイートしかしてない人って、精神どうなってんのかな。ずっと怒りっぱなしで疲れないんだろうか…。ああいう減点法の生き方を続けているとどこかで精神をやる、っていうのが経験則なんだけど、もし何も影響がないなら羨ましいなあ、と皮肉抜きで思う。そんなに怒り続けられるパワーもMPもない。

昔ヤンチャしてたという人に「でもさあ、喧嘩で勝ったところで経験値が入ってレベルが上がるわけでもなし、ゴールドを落とすわけでもなし、なんなら捕まるし、やる意味なくない？」と言ったら「いやゴールドは落とすよ」とのことだった。

ほとんどの人はまともだけど、中に一人マヌケが混じってると大惨事になる例として、潜航開始する潜水艦のハッチを最後の兵隊が閉め忘れて沈没、全員死亡というのを思い出す。人間同士の戦争の話だけど、感染症との闘いでもあるんだと思う。まあそういうアホがいても大丈夫なようにするのがシステムというやつで、例えば蓋が閉まってなかったらアラームがなるようにすればいいわけで、今はシステムが全く機能してないんだと思う。

同人誌で、イキそうなときに自然と眉が下がって笑いが出る、みたいなシーンがあって、その笑いはまったく不合理で意味不明なのだけれど、経験上よくわかるし、しかもエロい。イキそうなときに笑いが出るほうが進化上有利だったのかもしれない。

ホラーやパニック映画で「あえてトラブルを招くような、そんなバカな行動する人はおらんだろう、為にするような駄目な脚本だなあ」と思う事が多かったのですが、現実にそーゆーことする人が結構多いようで、自分の考えの甘さを痛感しています

「鎖全体の強度とは何千何万の丈夫な環があろうと、一番弱い環が一つあればそれで決定される」バックアップや代替法が無い、且つ全てを統括出来ず任せるしかない、そんな計画や方法の脆弱性を語る時に、何度も言い聞かせる言葉です。そうならない様にするべきであると。

まあ、『ドラえもん』からしずかちゃんの入浴シーンがなくなるのは時代の流れかも知らんけど。賭けてもいいですが、そんなことで女性の地位が向上したりはせんと思いますね。ヤリチン文化てのは、そんなところで醸成されているわけではないので。

映画のトランスジェンダーの役に、オーディションでトランスジェンダーの人が起用されることは、とても良いことだと思う。だけど「トランスジェンダーの役はトランスジェンダーでなければならない」という主張には、私ははっきり反対する。それは、「演じる」という演劇の本質に反すると思うから。映画やテレビドラマを含む演劇は、自分とは異なる「役」を演じることに、本質があると思う。

とりわけ日本の演劇は性別越境の要素が強い。男性が女性を演じ、女性が男性を演じることに、観衆は魅せられ、人気を博してきた。自分とは異なる者を演じるからこそ、そこに玄妙な魅力が生じる。トランスジェンダーを男性が演じようが、女性が演じようが、トランスジェンダーが演じようが、それが魅力的ならそれでいいのだ。男性が男性の、女性が女性の、トランスジェンダーがトランスジェンダーの、ゲイがゲイの役しか演じられなかったら、演劇の魅力は大きく減殺されるだろう。そもそも、そんなこと、当の役者さんが望んでいないと思う。

「猟銃免許とったらパワハラが止む」という話、本質すぎて思い出すたびに笑う。

中国労働法のここがすごい！

・労働時間は一日8時間以内と厳密に規定

・残業は労組との協議の上一日最大1時間まで

・例外的な残業の延長は月最大36時間まで

・残業代は通常時150%、祝日などは300%支給

・各種手当が世界トップレベルで充実

中国労働法のここがダメ！

・一切守られていない

ある企業では「オンラインでカラオケ、ビンゴゲーム、在宅芸と一気飲み、女子社員はサンタコス」という地獄のような忘年会があるらしい。地獄への道は光ケーブルで接続されている

私が読んでる参考書、一巻は無料で公開されているのだが、読み進めると「この本は結論しか読めない奴を排除するためにわざと結論を最後に出すというスタイルにしてます、そっちのほうがおたがいに不幸が少ないので」と書いてるのに、そこまで行きつかなかった奴らが「冗長」「結論を最初に出せや」ってほざいててざまあみろと思っている。たぶんこれまで五行ぐらいの文章しか読んだことがないんだろう。お前らは一生効率のよい勉強法なんて知らなくていいからね。じゃあね。

音楽なんて打ち込みで十分と言っていた人たちが生演奏が最高という反則を見せる。この言葉に騙されて爆死した未来のミュージシャン多いよね？

もう慣れてるしずか「キャー、のびエチ定期」

一生来ないだろう近未来感ってめっちゃすこ

AIに支配された時代に、人間の抵抗軍がこの曲が入ったUSBをマザーAIにぶっさしてオーバーヒートさせて世界救うとこまで見えた

今聞いても古さを感じないとかではなくて、普通に時間軸が違う

これから機械が人間の仕事を奪って、芸術的なことすら出来るようになったとしても、平沢進を超える前に文明滅びると思う

アナログの目覚まし時計が1日に2回鳴ってしまうことをトリックにいかした推理小説

「左足ブレーキの何が悪いのか」と主張する人に旗揚げゲームとか右手が必ず勝つ一人じゃんけんとかやらせてみて、間違ったらそこを徹底的に突いて泣かせたい、という欲がある。

丁寧なタッチの啓蒙的文章に「これを全部読める人は最初から守ってる」ってコメントがつくことがあって、それが言いたいのは「お前の文章は効果がない」なんだろうけど、読める能力があっても知らなかった、ということはあり得るわけで、効果がないというのは言い過ぎだと思う。

女物のパンツ履くのはほんまええよ 。上司が女物のパンツ履いてる男にガチギレするアホに早変わりや

椎名林檎、日常でも「よしてくれ」のこと「止して呉れ」と書くらしい。

上の歯をS極に、下の歯をN極にしようとしたら、手術ミスで両方ともSになってしまった。微妙にかち合わない歯並びで今、インターネットをしている。

結局の所、学習の質も量も、かなりの部分、「持続する学問的興味」で決まってしまう。最終的に、一番遠くまで行けるのは、「鞭打たれて走る馬」でも「目の前に人参をぶら下げられて走る馬」でもなく、「走ることそのものを愛している馬」なんだよ。

ホンネをいえば、私もあの被告に情状酌量の余地はないと思ってます。実刑判決でも全然かまわない。高齢だから事実上の終身刑になったとしても、同情はしません。ただ、被告が裁判で無罪を主張することは、それとはまったく別問題です。法の正義、法手続き上の正義というものがあるのです。日本人は、裁判で無罪を主張すると「ふてぇ野郎だ！」「反省の色がない！」と感情的に批判しがちですが、被告が無罪を主張するところからはじめるのは、裁判の形式として妥当なやりかたです。まず、無罪であるという被告の主張から出発し、検察側が被告の主張の矛盾をひとつひとつ崩していって、無罪とはいえないところまで切り崩せれば有罪にできるし、それに失敗すれば無罪になる。これが公平な裁判の流れです。最初から有罪ありきで裁判を進めるべきではありません。

この夏、WOWOWで映画『東京裁判』が放送されました。東京裁判の膨大な記録フィルムを編集したドキュメンタリー映画で、4時間半くらいある大長編です。私は今回初めて観たのですが、そこでも法の正義が重要なテーマのひとつになってました。東京裁判では、被告全員が無罪を主張しました。当時それが報じられると、ふざけるなと激怒した日本人がたくさんいたそうですが、映画はその裏側もきちんと説明しています。被告のなかには、最初から有罪でいい、と罪を認めるひとが何人もいたそうです。日本人なら、それこそが武士道精神にかなった態度だとほめるかもしれません。でも、アメリカ人弁護士たちが、それはダメだ、裁判は被告が無罪を主張するところからはじめるのが形式なのだ、と説得して、しぶしぶ全員無罪を主張したのだそうです。

東京裁判に関しては批判も多いようですが、この映画を観るかぎりでは、日本の戦争犯罪を断罪してやろうと怒りに燃える裁判官たちに対し、外国人弁護士たちは法の正義を貫こうとしていたことがわかります。そもそも戦争を裁判で裁けるのかというところから弁護士たちは戦ってたんです。これをカン違いした日本の右派が、外国人だって日本を擁護してくれてるじゃないかと喜んでたようですが、そうじゃないです。裁判官も弁護士も、全員日本の戦争犯罪を憎む気持ちは一緒です。日本の戦争を擁護したひとなんていません。でも、感情論で裁いてはいけない、あくまで法の正義は貫かれねばならないと考えるひとたちがいたということです。池袋暴走事故も同じです。被告を憎むこころだけで断罪したらリンチです。法の正義にもとづいた裁判をやって有罪に持ち込まなければ、真の正義にはならないのです。

お客さんにシルクの端を結んでもらってもほどけるマジックのはずが本当にほどけなくて、聞いたら船の仕事でロープ結びを400種知ってると。イタズラしてごめんねと。銀行の人にコイン複数枚握ってもらったら一瞬で枚数が分かって手品にならなかったことも。その道のプロには敵いません。昔、マリックがテレビでマサイ族にコイン貫通マジック見せたら動体視力で見破られるってのやってたな。

いろんな職業の方のこういうウラ話、おもしろいです😆以前Mr.マリック氏が、目の前でマジックを披露するのにイヤだなニガテだなと思う職業を尋ねられ刑事さんと答えられたのを思い出しました。皆に注目して欲しいところと違うところに目を光らせてるからですって。

フーディーニも元船員の人に縛られたときは滅茶苦茶苦労して、あいつに縛られるのは二度とゴメンだと愚痴ったエピソードがあるな。それでも脱出自体には成功したあたりさすが脱出王だが。絶対音感持ってるクラシックの人間にコインマジックしたら、なんか１０円の音じゃなくない？って見破られたわ。あれずるいわ。

わりと真剣に「人は何故老害になるか」という研究を自分にも起きるだろうという当事者意識を持ちながらこの6年続けてて、古今東西の老害と呼ばれる有名人の人生をデータ化してるんですが、分岐点は平均35歳です。35過ぎて叱られたり、新しいことをはじめて苦労しているような人が老害になる確率は低い。

なんか忘れてるなと思ってたら市街戦対策のファンデ塗るの忘れた

最近の若人は「写メ」の「メ」が何か分かるのだろうか。この写メの「メ」はメメント・モリのメだよ。「写真として残っているが、自分がいつか必ず死ぬことを忘れるな」という意味なんだ。

「たった8年間遊ぶのを我慢して必死に勉強するだけで良い」とは言うけど、その8年間の間に経験できることとというのは後の人生を61年費やした所で二度と手に入らないものだよ

エロ自撮りを投稿してるフォロワー1000ぐらいのアカウントの「映画楽しかった！」ツイートについてる「いいね」がせいぜい1か2で、「あっ、エロ以外は興味ないんだ…」ってなる現象

「言いたいことはわかるけど、そういうのは差別だからよくないと思う」と穏健派が発言したときの、そのコミュニティの過激派の「チョンや中共は差別されて当然の人種だろ？何言ってるんだ？」発言であっそこから…そこから話さなきゃいけないのか…ってなる現象

クソリプしまくってる奴のbio見に行ったら「口から嫌味しか出てこない変人です。本人は諦めてます」って書いてあって、諦めるなよ！って思った。諦めるなよ！

返信をさらに表示　を押すのが良い結果に繋がったことなんて一回もないな

相手を変人だと思ってる変人の集まり

射精って全てを解き放つみたいな勢いで出てくるくせに量はしょっぱいのな。

前の会社にいた時は新人さんは電話に出てくれるだけで天才！って教育方針だったので「ニゴウさん！何処の誰かわかりません！でも男でした！」って自信満々に回してくるし、私は私で「オッケー！男な！人類半分に絞れたぞ〜！」ってヤケクソで電話代わってたし、それで出たらたまに女だった。

世間体は良いかもしれないが、好きでもない仕事を無理して働いてる会社員より、世間体は悪いかもしれないけど好きなトラックを運転して普段は朝8時出勤夕方退社で完全土日祝日休みで、たまに長距離を走って先方でご当地の美味いもの食べて走って、手取り30万程なら自分的には成功してると思ってるよ！

コロナの面白い…は語弊あるけど興味深いポイントとして、「人類共通の脅威みたいな題目では人類は言うほど団結しないぞ」的な知見が改めて広く共有されてしまったのがあると思ってるんだけど、これが直近〜10年後くらいのフィクションとかに影響あるのか考えたくなるやつ

GOTOで取ってた北海道旅行、キャンセルの電話したら独自で35％オフ付けるので何とか来ていただけないか…ってお願いされちゃったよ。世間体があるのでって断ったけど胸が痛いなあ。止まない雨はないじゃなくてこの雨に耐えられないんだよ状態

ヴィーガンの人（というか自然派全般）って自然にこだわるわりには自然のこと知らないよね

「敷かれたレールの上を走る人生なんて真っ平」が20世紀の青少年の悩みだとしたら、21世紀の青少年は「安心して走れるレールを敷いてほしいんですが」だったりしますね

「ハプスブルク家も今じゃ平民じゃんｗ」的な感想が少なくないですが、ヨーロッパ王侯貴族の世界では、玉座を失った一門であっても貴種として扱われるのが普通なんですよね、たとえ百年の歳月が経過したとしても。少なくとも彼らの感覚からすると「平民」ではまったくないですよ。

海外ニュースの引用をするとき、それが「あちらの国の日経」なのか「あちらの国の東スポ」なのか「あちらの国の聖教新聞」なのか、さっぱり分からないと尻込みする。

「人権」概念が嫌いな人がいたりしますが、「人権」が発明される前は(正確には発明された後も相当長期間は)人間にとって最も身近で有用でかつ安価な家畜は牛でも馬でもなく「他の人間」だったので、もう少し人権の発明に感謝した方がいいと思います。牛や馬のほうが人間より高価で貴重とかあったからね

「コロナはただの風邪軍団」を見てると、SF映画で宇宙人が無辜の民を虐殺してるのを見て「我々の救世主がきた。宇宙人様バンザーイ」とかプラカードを掲げて歓迎するも真っ先に光線銃でふっとばされる人間って本当に居たんだなと思う。

本当に分からないんだけど、「自分の行動で人が悲しんだりショックを受けること」が楽しくてたまらない人が一定数いる。あつ森で花荒らし(島に植えてる花を蹴散らして景観を壊す)が流行ったり。マウンティングの一種なのかね。どんだけ悲惨な育ち方したらそんな感覚になるのか想像もつかない。

確かアドラー心理学で説明されてた覚えが。 人間は善行によって社会や他者から良い評価を受ける事により承認欲求を満たすのが理想的ではあるのだが、それが難しい場合は逆に悪行を働き社会や他者から注目を集める事によって承認欲求を満たす…みたいな心理らしいです。 つまり、こういう悪戯をやるような奴はまとめられて注目されると更に喜ぶ訳なんですよね…

全然ツイートと関係ない内容のハッシュタグをツイートに入れて自分のペット画像を載せていいね稼ぎを狙ってる人だけ消費税が5億%になってほしいと強く思う　菅さん、よろしくお願いします。

怒りのピークは6秒しか続かないらしい だからこの6秒でいかに確実に相手を殺せるかが重要

医学生が、会食禁止、県外移動禁止、行ったら2週間隔離につき留年確定、って言う大学の厳しいお達しに悲鳴をあげている模様。臨床実習で患者と接するわけだし仕方ない面もあるが、根本原因は信用されてないことにある。歴代の先輩達である教員が自覚しているのであろう、学生が信用ならんのを。

大学院時代に聞いたのは、研究を頑張れば他人は見ていないかもしれないが研究の神様は見ている、でも見ているだけで特に救うことはない、ということでした。

エロ動画会社のパソコンで見ててウイルス感染してデスクトップにずっとエロ動画が流れてて消せなくなり画面を極限まで小さくしてその部分に付箋貼って一年誤魔化した先輩の話？

IT企業の社員だった僕は色々通せてくれる先輩がいた。その先輩はパソコン通信からネットに触れている古参で、ある時こんな事を言った。「今のネットはバカが増えて、クソみたいなコンテンツが増えた。昔はネットでコンテンツ配信はハードルが高かったから良かった。」そんな事を言う先輩に対して僕が思ったことは「なんだあ？この老害」だった。

その当時、iPhoneが出てAndroidもデキがひどいながら雨後の竹の子みたいに販売され始めていた時期だった。僕はネットコンテンツがどんどん出てくることに楽しさを感じていた頃だ。そして10年。僕は先輩の意見に同意できるようになった。

Googleが使い物にならなくなって久しくて、検索してもありとあらゆるジャンルの素人向け企業記事みたいなのが出てくる。ゲーム攻略サイトなんてのも昔は有志による濃いサイトが出てきた気がするけれど、今じゃ企業が運営しているペライチのページばかりがでてきて、中身もゲームやってりゃわかるでしょ、みたいな内容だったりして。これが全ジャンルで起こるんだよ。phpとかjsとかでもhello worldの書き方みたいなのが大量に出てくる。

かつて尖った記事が読めた気がするはてブロも、今や誰もが全方位に気を遣っているように見える。誰もが憎悪コメントを受けたくないと言わんばかりの配慮ぶりだ。バズりたくないと言わんばかりの態度でもある。素人でさえそうだが、プロにいたってはなおさらである。そうするとどうなるかというと、むき出しの資本主義が顔を覗かせるのだ。ようするに予算をたくさんかけたコンテンツのほうが楽しいってこと。素人感があったことによる魅力が消え失せて、誰しもがプロっぽい配慮ある記事やコンテンツを出すと、単純に金かけている方が良いってものになる。かつて尖り記事を書いてたwebライターは今じゃ、くっそ安い予算で普通のトークしているだけの、三流芸人のテレビ企画から知名度だけ引いたみたいな記事を出していたりして、こんなwebコンテンツ見るぐらいならテレビ見ている方がましだな、って感じる。youtuberがテレビを食うかもしれない、って3年前ならイキリ散らかせれたweb至上主義者はいなくなって、スキャンダル起こした芸人のサブウェポンみたいになっているし、芸能人を上回る知名度の人ってヒカキンぐらいで、それ以上は細分化された趣味レベルの配信者と副業としてうまくやっている芸能人とかだ。webが古参のテレビコンテンツを食うことはついになく、TVや雑誌と融合して、古くからの芸能界と出版社がレバレッジとして利用してそれが最大人気を博している。webは本当の意味で一般化したんだなあ。Noteとかも覗いてみたけれど、やっぱりセミプロ感があって、最終的に金にすること前提に書かれている気がして、それなら普通に売っている専門書とか読んでいる方が有意義だと思った。僕が望んでいる素人のウカツさがあって文章もうまいみたいなものはこの先見れることはないのかもしれない。

反差別主義なんじゃなくて属するコミュニティーの仕草として男女差別やら人種差別やらに形式的に反対してるだけだから、テンプレートにない差別には鈍感なんじゃね

漫画屋のわたしが言うのもなんだけど、漫画の思想論てのはあんまし信じないほうがいい。反対者や素人との会話で主人公がことごとく説得に成功していくんで、なんか読者も正しいような気にさせられるけど、あれ、いわゆるサクラだから。全部作者だから。ある思想を持つのは正面だけ向いてれば出来る。でもその反証は周囲３６０度から来るんで、本来完全勝利なんか出来ないんだけど、漫画の思想論はそのうちの勝てるものだけ持ち出させて勝って見せてる。角度的には３６０のうち、多くて１０くらい。

電気グルーヴはインタビュー記事読むぐらいしか知らない。大昔にシャングリラという歌がヒットしたことは知っている。なので逮捕された事自体はフーンってぐらいなのだが、それについたブコメに仰天した。僕は大麻解禁派ではないし、薬物の経験もないが、この不寛容さには恐れ入った。人気コメを抜粋しても卒倒するレベルだ。南米でどれだけ麻薬戦争で人が死んでいると思っているのか、というようなことを理由に批判を展開しているコメントがちらほらあった。南米でどれだけ人が死んでいたとしても、それは目立っている事情にすぎない。先進国で生きていく上で、途上国の悲劇の結果、豊かな生活が成り立っているということは否定できない。南米のマフィアの縄張り争いまで気にして、ドラッグなんてやめろというならば、中国の鉱山で奴隷のように働いて取られた鉱物のおかげで作ることができる電化製品や、アフリカの鉱山で死に物狂いで手に入れた宝石、油田があるおかげで紛争の絶えない中東情勢や油田で金持ちになったがゆえに抑圧を可能としている王政まで目を向けるべきだろうね。サウジ産やイラン産原油の収入は人権抑圧を可能としているので、飛行機にも車にも乗るべきではない、と言われたら素直に実践するのだろか。彼らはきっと薬物は永遠に自分とは無関係だから正義を盾に強い主張をできると考えている。自分達の必須の生活を脅かされれば、それは必要だから仕方ないとでも言うのだろう。シンプルに違法だからダメで十分なのに、その理論を強化するために大それた世界情勢まで利用するという点で、底知れぬ横暴と主義主張のためなら理不尽な理論をさも正義であるかのように持ち出す無意識の悪意を知ったよ。そもそもヤクザのしのぎだとしても、街中の風俗キャバクラ、あるいは安い魚や貝類にいたるまで彼らが関わっているものも多く、単に僕らは気にしないというだけで彼らに金をやっていることはままある。結局意識的にしたらアウト、無意識に関わっているからセーフなどの彼らなりの基準があるだろうけれど、そういうのを御都合主義というのだ。法律違反と反社に間接的に加担していることの是非は別物だ。少なくともそれが裁かれるならキャバクラに通いつめているおっさん達はだいたい罪人である。（キャバクラなんてヤクザのフロントみたいな連中がほぼ経営しているし、個人でやるといろいろと面倒らしい）ヤク中が創った音楽なんて禁止しろというのもあった。例えばイギリスで知り合ったゴロンビア人によると、コロンビアでは首から薬物ポッドみたいなのを下げて普通にスパスパやっているのは珍しくないそうだ。となると、コロンビアの音楽はみんなダメな音楽なのだろうか。日本のラジオでかけるのは間違っているとでも？僕はそんな事言いだしたらアメリカなんて薬物したことないアーティストの方が少数派なんじゃないかと思っている。アーティストだけでなく背後で支えているサウンドメイカー達にもいるだろう。薬物未経験者だけの音楽や芸術なんて本当に存在するのかと思えるのだ。日本ならまだ割合は高そうだが、音楽とはフロントマンだけで創るものではないので、まあ薬物影響の完全排除なんて音楽を聴かない人ぐらいができることだろう。こうやってバレたから正論武装して叩きのめしてやろうという集団が可視化されると、そのシャバの悪意をまざまざと見せつけられたようでうんざりするのだ。結局の所生きづらい世間というのを構成するのは、このように水に落ちた犬を叩く精神のおかげなんだろうな。しかもピエール瀧氏を徹底して叩くのは、僕らが気づいてしまったからだ。今だってApple Musicで配信されているアーティストには薬物まみれの音楽が配信されていて、きっと知らない間に楽しんでいる。そんな事言いだしたらキリがないだろって？気づいてないから自分たちは悪人に加担してきたわけではないと強弁できる精神とは、極めて恐ろしいものなのだよ。ヒトラー時代のドイツ市民だって虐殺に薄々気づきながら、戦後は知らなかったと主張する人も多かった。僕らはヤクザや人権抑圧国家に加担しているということに薄々気づいているが、そんなことを全く無視して、違法がバレた人たちを徹底して叩ける精神を持った集団の中で生きているということが、僕はその現実こそを恐れている。こんな恐怖は幻覚剤でもやらなければ耐えられるか！俺は部屋に戻るぞ！

いつもは「余裕のある社会！」「多様性ある社会！」「誰もが疲弊しない社会！」とのたまう人たちが冷てえじゃねえか。もしも誰もが気軽にエレベーターでも話しかけられる社会だったら、というのは割と良い理想のように思う。こんな些細な主張にも「オレは急いでいる」「なんで気を使わなければならんのか」「じゃあお前がやれ」「めんどくせえ！」と恐ろしいブコメ軍だ。尋ねたいのだが、エレベーターで一言かけやすい社会と無言で行動を要求し律する社会はどちらが健全かね？あるいは、コミュニケーションをとらずに行動を期待したり期待されたりする社会は（つまり現実の日本は！）どうかね？自分と全く違うペルソナの人間が隣人にいる環境と、エレベーターで一言かけるコストはどちらが高いかね？エレベーターで一言声かけてもいいんじゃない？という意見に新聞社の名前をけなしたりやお前はXXなのか、と疑いを差し向けるようなコメントをする人が、さらにコストの高い社会の多様性を守れるとでも思うかね。誰もが無言で、行動をし続ける社会は異様だ。自分が嫌だと思っても話せない。お前らはこういう。「黙っている権利がある」「行動したくない自由がある」そうだ。そうやって黙って、自分の要求を言外の圧力で押し通してきたのだろうし、押し通されてきたのだろう。それはまさに日本社会に蔓延する同調圧力と我慢の文化そのものだ。少しでも異を唱えればよってたかって「感じ悪いよね」攻撃をするんだ。虫唾が走る。エレベーターで喋りかけてくる人はキモい、とか。急いでいるのに話しかけてくるな、とか。お前らの急いでいる理由なんて、所詮、大資本の家畜として働かされていること以外にあるのかよ。家畜になるために、人間の言葉さえも遮るのかよ。精神疾患がブツブツ喋り続ける姿を、同性愛者がする自分と違う基準の性欲の発露を、日本の裏側から来た人々が異なる宗教文化を主張しだす権利を。そんなものに比べれば、日本人同士のコミュニケーションなんぞ、コストというほどではなかろう。しかしそんな些細なコストでさえ許せない、気に入らない。たったそれだけの違いを、百文字で切って捨てるのだ。どんなことがあろうと、自分は負担してやらんぞ、という圧倒的な姿勢。そもそも沈黙とは他人への負担の転嫁のように思う。女性の権利に声を上げた女性のおかげで、週休二日制はそのために戦った労働者が、声を持つ人がもたらした恩恵を受けながら、君等は沈黙を決め込むのだ。だってーうぜえもん、言わんでもわかれよ。戦前かよ。違うことしたら村八分する隣組かよ。最大限にサビ残させるブラック企業の経営者と何ら違わぬ精神。このクソ国家に対してこの国民あり。エレベーターでおしゃべりしていたので仕事に遅れたましたと言える社会の方がよほどまともではないか。この沈黙せよ、我の手を煩わせるな、という国民性こそが、空気を読んで帰宅しない社畜、コピペのようなリクルート姿、責任を曖昧にする政治家まで生んでいると言える。沈黙して相手に圧力をかければ、自分の責任は問われずに、相手が勝手にしたって言えるもんな。言葉にすれば責任を問われるが、無言で相手を制御すれば勝ちの日本社会だもんな。沈黙至上主義者共は社会のフリーライダーだってことに気づけよ。お前らこそが、ブラック企業やサビ残、派遣ピンハネ、大型台風の原因だ。How dare you!?僕はちゃんと偉いさんにもエレベーターで声をかけるぞ。「ちっす、首相！桜の会マジ最高っした！野党の言うことなんて聞かなくていっすよ。嫉妬厨の国民なんてそのうち何も言わなくなるんすからｗｗ」これよ。これが大事。

今第2志望ぐらいの企業のOB訪問会(オンライン)に出てるんやが「『ぷよぷよ』ルールに従うと、男2人が集まると金玉が4つになるので消える」ことを思いついて、一人で笑っている

こう、みーんな「社会貢献がしたくて働いてます！！！」みたいなのがね、そういうのが…気に食わねえんだよ！！！！！！！！！！！死ね！！！！！！！！！！！全員、死ね！！！！俺は純粋に社会貢献がしたくて働くけど、お前らはちげえだろ！！！！！！！！って感じのことが「美味しんぼ」に書いてあった

ここで私が大嫌いなもの、ワースト1を発表します。「バイトや学校に行く前に残された、40分ぐらいの『何かできそうで何もできない』時間帯」

細木数子が言ってたけど「ボボボーボ・ボーボボ」は本当は「ヴォヴォヴォーヴォ・ヴォーヴォヴォ」で、間違えてるやつは全員地獄に落ちろ！

自分が仕事で悩んでいたとき、もし自分が自殺したら、上司はショックを受けて考えを改めてくれるかもしれないとか、親や友人や社会の誰かが会社を責めてくれるかもしれないとか考えたけど、たとえそうであったとしても、自分が死んだ後の世界なんて考えても全くメリットがないし無駄だなって思った

クイズって英語ではどうか知らんけど、元々日本では謎解きや謎々も含んだ多様なものを指していたのに、競技クイズに触れた人が、謎解きや謎々はクイズではなく、知識を答えるものだけがクイズだって、いつの間にか勝手に定義を狭めてるって感じ

クイズプレイヤーのボリュームゾーンはおそらく高校生大学生くらいから30代くらいまでで男性中心。その世代のさらにクイズ好きという特殊な層の嗜好に応える出題をしないと人来ない問題発生するのでどうしても需要に合わせる傾向が生まれる。クイズをより一般化するのか閉じるのかの分岐点はそこにある

高校生カテゴリーに限定しててもそこのクイズ実力No.1を競っている以上漫アゲも芸スポも出題されて当たり前。むしろ学問系寄り教養主義に出題が偏向してるのが高校生クイズの異常性だと思ってた。偏差値高そうなクイズ好き高校生が欲しがる問題ばっかり出してんじゃねーよと

調子良かった渡部が引きずり下ろされて見世物になってる姿にカタルシスを多少なりとも感じている自分に寒気がするわ。パンとサーカスを欲する大衆を上から目線では批判するのは簡単だけど自分もその大衆性からは全くの自由ではない

多少ともクイズやってる人なんていうのは世間の極々少数です(これもエビデンスなんか出せないが)。今の若い世代が昔より漫画アニメゲーム好き化してることも認識しています(これもエビデンスは出せない)僕の言う世間一般とはクイズとかやってない圧倒的多数派の人々のことです。

現状のクイズ母集団の偏向について語ると反応はおそらく3種類。1.ディスられたと怒る人、2.苦笑いしながら認めざるをえないとする人、3.その問題意識を共有していますとする人。1の人の同人的に仲間内でひっそり楽しんでるのに外野からゴチャゴチャうるせーんだよって気持ちはすごくわかります。おそらくクイズ王レベルの人はこの問題意識はすごくあるように予測しています。クイズ界のすそ野をできるだけ広げていきたいと考えてるだろうしクイズ王としてより多くの人の上に君臨したいだろうし

世間一般では文学や漫画アニメゲームより芸能問題を得意とする人の方がかなり多いと思われる。クイズ好き集団のジャンル嗜好サブジャンル嗜好は現状かなり偏向していてその需要に応える問題作成傾向である限りあくまでも閉じた世界でありそこで生まれるクイズ王も閉じた特殊世界のクイズ王でしかない

Answer×Answer をプレイしてた頃、「漫画アニメゲーム問題投げる奴の割合多過ぎて正直気持ち悪い」と漏らしたら、「ゲーセンのゲームである以上漫画アニメゲーム好きのプレイヤーが多いのは当たり前」と言われて半分納得したが、そもそもクイズ好きという母集団の偏向性は触れていけない感じだった。

クイズで問う知識の「特筆性」って言い換えれば有象無象も含めて無数にある世の中の事象の中からクイズとして「問われる必然性」なのかな

クラスに一人はいる異様にエロ動画に詳しい奴みたいな顔してんな

(フライドポテトについて)野菜を絞った汁で野菜を揚げてるのにヘルシーじゃないはずがない

どこの国の「ローカル」も尊重しようよ。 この手のやつ、若い時某東南アジア系の友人とかを相手に日本の知り合いにやられたんだよね。アジアの田舎って純朴〜笑顔が素敵〜みたいなやつ。詳しくは省くけど、 向こうも普通の同世代よ。おふくろの味がちょい違うぐらいで、地元の話がちょいかけ離れてるくらいで、いま目の前で対峙してる同世代の人間だってことは変わらないのに。自分のステレオタイプな偏見から出ないで、目の前の人間を尊重しないの、まあまあ嫌だった思い出。

Twitterでウマソーな蕎麦屋を紹介してる人がおったんですよ。正確にいうと紹介っていうか、写真を載っけてるだけですね。ちょっとバズってるんだけども、どこの店なのかはわからない。で、そうすっとだれかがリプライで「どこですか？」ってきくわけだ。ここまではいいよ、で、その答えが嫌なんだよマジで。「吾妻橋の○○です」オイオイオーイ！！！！どこ？？？？？？？？吾妻橋、どこー、ーーーーーーーーッ！！！！！！！！！！！！！

知らねえええええええんだよクソッタレ！吾妻橋、いきなり出していい地名じゃねえだろ。町より小さい区切りじゃねえかよ。お前もしかして「日光東照宮ってどこあるっけ？」って言われたら「山内だよ」とかいうのか？そういうこと聞いてんじゃねえ！ってなるじゃん、フツーそうなの。人間には共感とか配慮とかそういうものがあるので、当然地名をいうときは都道府県名から入る。それがマトモな場所の伝え方ってもんだ。

まあ百歩譲って県庁所在地くらいならいいよ。「松山の…」だったら常識ある人には伝わるだろう。でも「大街道の….」ってイキナリ言わねえじゃんなぜならわからないから。そんなクソどうでもいいマイナー地名なんて誰が知ってんだクソゴミ、殺すぞという話になってくるから。それをヘーキのヘーサでやってくるのがウンコタレ・トンキン・ピーポーなんだよな。本当に頭が腐っている人間の屑どもだよ。

「東京の墨田区にある吾妻橋ってところの…」だよ。それがマナーだろうが　なぜならクソ東京のクソ地名なんて知っててたまるかカス　くそが。それがいきなり「吾妻橋」だあ？冗談は顔だけにしろよホント。だから嫌いなんだよマジで。マジで嫌いなんだ 死なねえかなあ！東京人！全員！！！

あのなあ、検索したらわかるとかそういうレベルの低い話はしてねえの　魂のレベルが下がるから話しかけないでくださる？俺は垣間見える傲慢さが不快だっつってんだよ。今回の人がどうだかは正直知らねえが、東京人ってインターネットでどこに住んでるかわかんない知らない人から「この店どこですか？」って言われたときに、相手は東京人じゃないかもしれないっていうことをまったく考えねえで細かい地名から入るだろ。俺たちは違うの、知らない人相手にはでかい括りから入る　そういう謙虚さがあんの。調べたらわかるか否かはどうでもいいんだよ　人間としてのあり方の話をしてんだわ。

つうか、結局どんな言い方しようと店名さえ言っとけば検索の手間なんて変わんねえんだよ、だからわざわざ吾妻橋なんて細かいとこじゃなくて「東京」、せめて「墨田区」って言えばいいんだ。そこでわざわざ吾妻橋って細かさをチョイスするところに「オレ、東京人！オマエ、東京人！ナカマ！」みたいな意識を感じて不快なわけ。クソなんだよクソ、田舎者の気持ちに配慮してくれや、と、俺はそういう話をしてんの。わかったかな？文盲・ゴミカス・低知能・物質主義者の諸君

「教科書に書いてある正解」を他人にマウントする道具に使っているだけで、共感性や思いやりは並の人より低いという所感があるのであまり違和感はないかな。

安心して叩ける「犯罪者」が出てきた時にボロボロてめえの偏見ラインナップを頼まれてもないのに発表する奴いるよなあ。

就活適性検査の「あれこれさっきも似たような選択肢なかったっけ…なんて答えたか忘れたな」「こんなのどっちも当てはまるに決まってるじゃんかよぉ」「第何部まであるの！？」みたいな現象、全部名前ついててほしい

今回も「原始生活をすればいい」というような反応が上がっていて、実にティピカル（典型的）だなと思って見ています。これは現実的ではありませんよね。環境問題について真剣に調べて考えた上で反発しているとは思えません。基本的に、無関心な人の反応です。

気候変動に関連する発言にこういった反発を示す人の中には、「自分が批判されてる」と感じてしまう人や、「対策を強いられるのは負担だ」という「負担意識」を抱いてしまう人が一定数いると僕は考えています。しかも、今回のトラウデンさんの発言は、「全員やって下さい」と言ったわけではないでしょう。共感しない人は、行動しなければいいんです。

陸上自衛隊にいたんだけど、格闘検定というのがある。｢従来の型通りだけじゃダメだ。相手がぶつかってくるのを制圧できないとな！｣ってえらい人が言い出して、やり始めた頃。CQCとか言った方が良いのか。前より個人が不意を突かれる場面がこれから増えるから、一対一でも頑張ろうって事らしい。

小銃(拳銃じゃなくてライフルね)で相手をやっつける技とかも当然あるよ。自衛隊に多少知り合いがいるとわかると思うんだけど、こういう日頃の業務と関係なさそうなものは、アイコンタクトで点数をかさ増しする。落ちたら再試験だなんだで面倒だからね。完全にダメなら落ちても仕方ないけど、だいたいオッケーなら通れるようにしてしまうわけです。

俺らの部隊が他の部隊の支援に行った時も、もちろん向こうが受かるように良い感じに手を抜いた。そしたら上から来た検定官が大激怒した。｢敵がそんな気合いでくるか！｣だそうです。察しの良い同僚たちは、声だけ張って気合いを演出してた。だが察しの悪い俺は、言われた通り全力で向かった。怖かったんだもの。向こうは検定に全員落ちた。

色んなシチュエーションで十回チャレンジして、二回落としたら不合格だったかな？クッションでくるまれてるけど、重さと長さは小銃と変わらない訓練用の武器を、顔面にフルスイングしてくるくらい向こうも全力。素手対刃物でやるときも、普通に殴り倒して良い訳ね。手を抜いた同僚たちは怪我をして入れかわり続けたが、空気の読めない俺は幸か不幸か、怪我もなく駐屯地内のあちこちで格闘検定の支援をする羽目になった。検定官の覚えがめでたかったようだ。｢行けと言われてホントに行ける奴は少ないから良い部隊ですね！｣と隊長が誉められてた。

当然うちの駐屯地内の部隊のみなさんは、どんどん検定に落ちた。検定官さまさまはなんだか嬉しそうだった。たぶん落とす試験か通す試験か定まってなかったんだろうねその頃。刃物を持って相手の前に立つと、当然素手の側はビビる。そのビビった感じって、刃物男にハッキリ伝わるんだよ。なまじ刃物男が賢いと、刃物男が自分は怪我しないように切りかかってくるから、かえって倒せると思う。でも俺みたいなガムシャラに突っ込む以外の事をできない奴だと、素手側は何もできない。小銃持ってても撃つことに拘ったら普通に死ぬ(判定が入る)からね。

格闘技をそれなりに修めた熊とゴリラの間の子みたいなおじさんたちが、設定上だが俺に滅多刺しにされてく訳よ。レスリング国体二位です！ボクシングオリンピック候補でした！自衛隊拳法優勝です！みたいな奴が、倉庫の物を右から左に動かすのが主な仕事の俺にポコポコ負けてく訳ですよ。抱きついて投げられそうになっても、ともかく突っ込めば崩しにくる間にナイフで何度か刺せるし。前けりで止められそうになっても、ともかく突っ込めばモロに入らずにナイフで刺せるし。殴られそうになっても、ともかく突っ込めばモロに入らずにナイフで刺せるし。

ともかく突っ込めばだいたい何とかなる。警官だとたぶん殴り倒したらそれはそれで事件な訳だから、もっと難易度高そうだよな。小銃でも安全装置外すのが遅れたら、普通に刃物男に負ける。拳銃で威嚇射撃したら、勝てる訳ないと思うね。増田たちは拳銃使用も私的な理由じゃなければ仕方ないと思うだろうけど、初っぱなヘッドショットじゃないだけでかなり分の悪い命懸けなんだよね。

メタルギアの敵兵、手足撃たれても体力が尽きるまで絶対に歩哨任務から逃げようとしないの偉大過ぎる。死ぬ直前体力なくなりかけの時とか「失血でめまいがする」とか思ってないのかな。というか後ろからナイフで切りつけられてもこちらを視認できなければ「敵がいる！」で終わらせるので精神力もすごい。怖くないのかな。

お金を使うことにめちゃくちゃためらいがあるせいで、「うわ～～この惣菜30％引きか～～買おうかな～でも半額になるまで待つか～」ってのを1時間してしまったの本当良くない　金の使い方はいいのに時間の使い方が絶望的に下手　結局30％引きのを買ってきた。1時間粘って合計700円の買い物って…こういうとき「迷うぐらいなら買え」を信条にする友人が本当に羨ましい

スーパーで買い物してたら「焼肉さん太郎」を大事に大事に握りしめてお母さんのとこに向かう男の子がいた。あの時のスーパーで一番お金の価値をちゃんとわかってたと思う。そのままずっと育ってほしい。

特技は特技が誰とでも仲良くなれる人と仲良くならないことの人

ハンバーガー持ち帰りのときの番号レシート、だいたいほぼ確認もせず渡してくれるけど、万に一つでも横取りしたと思われたくないので連邦警察が手帳出すときくらいはっきり見せてる。

チルノのパーフェクトさんすう教室に毎月6万4000円の月謝を払っている。

長い文章を書くときはどんな内容であれ「全員ぶっころす」の精神を2時間くらいかけて育てる必要があって、そのあと怒涛のように文字を打ったあとバタッと倒れるんだけど、しばらくは殺意の余韻が残ってるから餃子とか食べながら無意味に「ぶっころす…」と考えてたりする。

これだけマスク装着が根付くと「知らない人に鼻や口の形状を教える筋合いはない」というような気分になってくるから不思議だ。

高校生の頃は、高校で習ったことをただずっと覚えてるだけでわりと大人の間では「物知り」という扱いになると知らなかった。

タスク管理　アプリ　できてないのに完了にしてしまう　対処法

机にキャンディの小さい袋の切り裂かれたほうがあるとき「机にそういうのがあるなあ」と認識しながら２週間くらいそのままにしてしまう。

子どもと話しててふと「M-1」の話になって、「M-1って何？」と知らない振りをしたら長い長い解説が始まった。嘘をついたのはこちらなので遮ってネタバレするわけにもいかず、3分間ずっと聞き続けていたが、わかったのは「ダウンタウン松本はすごい」ということだけだった。

「私、女性(にょしょう)なんで」って急に彼女が言い出したら嫌だな。

「自分の頭で考える」ってもてはやされがちだけど、「丁寧に調べる」とセットにしないと、「水がちょうど100度で沸騰するなんて奇跡！」とか「24時間ちょうどで地球が一回転する不思議！」とか「北極点から赤道までがちょうど1万キロメートルの神秘！」のようなことを言いだす。

「ありがとう」って自分の身体に書いておくと、みんなから（「水からの伝言」の実験のため）ありがとうって言われて、いい体結晶（たいけっしょう）ができる気がする　対照実験もしたいのできみは体に「ばか」とか書いといて　悪い体結晶ができると思う…

ちょーーっとだけ嫌いなこと：GIGAZINEやねとらぼなどの「～とのこと。」の多さ

昭和生まれの古い私達の世代は未だに、会社といえばメンバーシップ型雇用が当たり前と思っているフシがある。しかしながら時代は間違いなく、ジョブ型雇用の価値観に急速に移り変わっている。つまり会社が、「当社を志望した動機はなんですか？」などという寝ぼけた質問をするのではなく、求職者のほうが「私はこれだけの事ができますが、御社はどのような条件を提示できますか？」と聞くようになる時代だ。優秀な人材は文字通り、争奪戦になるだろう。そんな時代にあっても、もし就職活動中に「当社に入りたいと思った志望動機を聞かせて下さい」などと質問をされるようなことがあったら、遠慮せずに笑って席を立ってしまったらいい。そんなカルチャーが残っている会社に、将来性などあるはずがないのだから。

唇が痒すぎて「なつ～はこかんがか～ゆくなる～」でおなじみの「デリケアエムズ」を塗ったら唇にペニスが生えてきた。今、ググって対処法を調べている。

24,5歳の頃、一時期デートしていた女性が日常的に水素水を飲む人だった。彼女が疑似科学を信じていることが内心気になっていたけど、嫌われたくない気持ちもあって、もう少し時間が経ってから言おうと思っていた。でもある時、彼女のほうから、もう会うのはやめようと言われた。理由の一つとして、俺がいつも分厚い本を持ち歩いていたり、古くて難しそうな本が家に大量に積んであったりするのが、ちょっと怖く感じていたと言う。「なかなか言えなかったけど、違う生き方の人だと思った」と。そうか、俺にとっての〈水素水〉は、彼女にとっての〈本〉と同じなんだと得心して、笑顔で別れた。

そもそも電流の定義は単位時間に面を通過する電荷の量のこと。電荷の量も電荷の速度も有限なのだから、電流は有限の値にしかなりません。超伝導下では抵抗がゼロになるという断片的な知識にオームの法則を雑にあてはめて、ナイーブな答えを導きださないでください。これはyoutubeだからいいですが、テレビ番組などに問題を提供する際、視聴者に間違った科学知識を与えないよう注意して下さい。

けっこう上腕二頭筋と大胸筋がついてきたからか、筋トレを長続きさせる秘訣は？って友人に聞かれたので「自宅のドアを全部100kgにしてるのでそういうのはないな」って答えといた

地元の大学出て、地元の硬い企業にとりあえず就職して、旅行や趣味、仕事だってまだまだ選べる。結婚なんてどうでもいいと思ってた20代。子供も興味なかった。自分を縛るものの一つ、なんなら趣味とかと同列と思ってた。これ、20代のうちにやりたいことを全部やった人だけが結婚、出産について自分の人生に基づいて選択する権利を得れるんですね。30歳になって、周りがどんどん結婚していって、お母さんになっていって分かった。結婚も出産は、具体的な夢のない人の大学進学と同じで、その年齢の人間が非難されない居場所そのものなんだ。

そこに選択は発生するけど、選ばないと多くのものを失ってしまう、そういうもの。人生に意味を見出せる人間は思ったより少なく、自分はそっち側ではなかった。自分の人生を自分で面倒見れる人でなければ結婚したほうがいい。子供を産んだ方がいい。人生は自分がコントロールするには長すぎる。長い…

一人で趣味をやりながらだんだん衰えてくる自分と暮らすには、人生は長すぎる。子育ての暇つぶし効果はとんでもないからな。みんな、暇だから産んでるんだよ。

いわゆる「ぶっかけ」の専門掲示板があるんだが、プリキュアのタオルにぶっかけてるやつのコテハンが「キュアレイプ」だったり、ぶっかけて数日放置して変色したのを「欲望色に染め上げた」って言ってたり、マガマガしい色のダメージ床がある裏ダンジョンに来た気分になった。

クイズ王はなぜ巡り会うのかも知っている

最近Twitterで「就職活動したくないから仕方なく働いてる」って人のツイートがそこそこバズってたが、確かになって自分も思った。就活で面接官に偉そうに品定めされる日々に比べれば仕事の方が遥かに楽ちんなんだわ。

人生でもっとも辛かったのは初恋の失恋。次が就活だった。仕事はそれなり。働くのが嫌なのではなく、たぶん就活が嫌なのだ。いっそ、就活の伴わない働き方を探してみるのはどうだろう

働くことより働くためには就活しなければならないのが嫌

アニメ「BEASTARS」を見てると、自分が狼だったら自分のことをかっこいいと思うのだろうか、とたまに思うのだが、その場合は狼であることが当たり前なのでかっこいいとかは思わないのだろうか。でもこれを人種に適用しちゃうと可燃性めちゃくちゃ高いんだろうな。

パーキングエリアのクソみたいなぼったくりソフトクリーム、ポテト、たこ焼き、ホットドッグで小腹を満たすのが旅の醍醐味だと思う。そしてその思いきりは案外、一人旅よりも友人との旅のほうが発揮されやすい。集団での旅を私が好む理由でもある。

バス旅行の（一番とはいわないがけっこう）よいところは、高速道路からの景色を楽しめることだと思う。山々の間に立ち昇る赤ちゃん雲、土砂崩れの跡、名も知らぬ町工場、そこに住む人達の生活を思わせるマイナーなスーパー…などが見られる。山奥にぽつんと一軒家があるのを見たときには、そこに住む人の顔や暮らしを思って頭がくらくらする。自分は、非日常の中に日常を見出すために旅行に行くと言っても過言ではないと思う。

長電話をしていると、ふと壁や天井の端の線を、指で行ったり来たり太ももの上になぞるというクセがある。自分だけなのだろうか？

バス旅行したとき、熊本のパーキングエリアで休憩した後、隣の席の人がからし蓮根を買っていた。「そうそう、旅行を楽しむってこういうことだよね」と思って眺めていると、それはからし蓮根ではなくブルボンプチシリーズのポテトチップスだった。一度褒めたのがバカみたいじゃないか、死ぬがよい。

自分よりも有能な人の有能さは自分にはわからない、と本気で思っているので、会社の中でも人事という役は絶対に引き受けたくない。でも実際は逆で、あんまり優秀じゃない・仕事がない人が振り分けられる場所だったりする。本来「人を見る眼がある」というのは特殊能力のはずなのに、「無能なはずの自分が自分よりも優秀な人間の才能を見抜けると勘違いしてしまう」という、あまりに原始的で基礎的な人間の弱点を、有史以来我々は解決できていない。

「結婚はクソだった」というネットの戯言を真に受けて「俺は結婚しません」と言い切ってしまった教え子がいた。そういうふざけたことを言うな。俺は親父から聞いて真相を知っている。結婚はクソだ。

全然みんな意識してないと思うけど、よく考えたら「バナナ」の「バナナ」感すごいよな。あの黄色くておかしな形をした果物の名前が「ザクレヴ」である世界なんて想像できない。

前(昨日)の金貸せライン✕2まとめ見たときも思ったけど、日本語で話してるはずなのに日本語を使ってる、通じてる感がないというか、思考のネジ自体が真逆についてるというか、そういう人がいるんだなといっそ戦慄まで覚えるわ…。

「身だしなみを整えよ」という命令、今になってみるとその重要性がわかるんだけど、重要性といえば他者からの評価がよくなるとかじゃなくて結局「気持ちがいい」に尽きるので、そこを共有できない人にいくら言ったところで、やっぱり整えようとは思わないんじゃないか。これは「部屋を掃除せよ」と似ている。

１０代で一年くらい叩かれた事あるけど、あれはキツい。外野は「気にしなければいい」と言うけど、その人も実際叩かれてみるとノイローゼになった。対応策は、見ないこと。私は次やられたら刺し違える覚悟で訴える。

テレビで自分の住む市、住んでいた市が突然に出てきて「○○市だ！」となることがあるんだけど、それが全国のどこかで常に起こっているのか、面白いな。

スーパーで5分ぐらい立ち止まって、要望が書いてある紙を読むことが普通にあるので、もはやそういうのを全部集めた本が欲しい。

警察24時とか詐欺師と対面する系の番組で、警察とか弁護士みたいな味方側の声が犯人側の声とかぶってるせいで、味方側まで声にモザイクが入ってしまうのが好き。そうなることを見越してテロップの色で敵味方を区別できるようになっているのも好き。

深夜のあんまりやる気のない料理番組、旅行番組、コーディネート番組、通販番組を見るのが好き。自分の人生に何の影響も及ぼさないから。

新宿とか秋葉原とかならいいけど、突然テロップに「上板橋で食べ歩き！」とか言われてもいやいやいやいやいや、となってしまう。突然「佐土原で食べ歩き！」とかしても怒らないのかな。

「正論(セイロン)を聞かされてるときに飲まされる飲み物は？」　答え:煮え湯

食品のパッケージに書いてある「おいしいよ！」がすごい心にくる。「もっちりサクふわ」とか「おいしくお召し上がりいただけます」では別にぐっとこないけど、ヨーグルトのパッケージで乳牛が「おいしいよ！」って言ってるのを見るだけで涙しそうになる。この感情はなんなんだろう。別にそれほどうまいわけではないけどね。食べ物を作って売るってこういう精神に基づくべきだよなーとか思うんだろうか。人間も生き物であるかぎりおいしいものが食べたい。

おいしいものをおいしいよって勧められておいしいねって笑いあえたら、みんな仲良しでいいのにね。やべえもう泣きそう。ニワトリとか豚のコックのイラストとかがおいしいよ！って言ってる系のパッケージは確かに泣きたくなる。

紙パック飲料を畳んだら、「たたんでくれてありがとう」って文字が現れるあれ泣きそうになる。これ、孤独な人が幼児に純朴な言葉かけされてスッと入ってくるのに似てる。礼儀や形式の渦中で生き過ぎた人が、圧倒的な「つくらなさ」の前に、静かにひざまずく、というか。いずれにせよ、重要＆要再考察案件。

地方のラーメン屋とか定食屋で、さびれてるけど、店長のおっさんやおばちゃんが自筆で書いたおすすめ！とか書いてるのを見ると切なくなって食べたくなる。自分の場合は、子供の頃、なけなしのお金で買う無名の駄菓子の袋にこれが書いてあったとき完全にやられた、あの感じ。そういう意味で泣ける。つぶれた店のテントとかシャッターとかに書いてあったら切なすぎて悲しくなる

「寒いね」と、話しかければ「寒いね」と、答える人のいる暖かさ

昔テレビで見たんだけどパセリ農家のおじさんのインタビューで「みんな食べずに残しちゃうのどう思います」って質問におじさんが「そうですか…おいしくできたと思うんですけどね…」ってしょんぼりしたのは沁みた。

10年ぶりに家に帰ってみると作り置きのご飯が置いてあって「おいしいよ！」のメモに泣きそうになる感覚に近いのかな。

底意のない厚意というか、衒いのない自信というか、存在したはずなのに失われた、世界に対する信頼というか。荒んだ人の、無邪気に笑ってる子供の頃の写真をふいに見てしまった感じ

可愛らしいキャラクターが描かれた子ども向けの雑貨を見ると、なぜだか泣けてきて、言いようのない悲しみに襲われる。くまのプーさんのコップとか、ポンポムプリンのお弁当箱とか。幼少期にキャラクターが好きだったわけでも、グッズが欲しいけど親に買ってもらえなかった貧しい記憶もない。

子ども時代に戻りたいかというとそうでもないし、楽しい記憶ばかりではないけど、もうあの時代には戻れないという事実を突きつけるトリガーがキャラクター雑貨なのかな？確かな理由は分からないけど、キャラクター雑貨は泣ける。家についていく系のテレビ番組で、汚部屋がよく登場するけど、女性の住む部屋にキャラクター雑貨があふれてるのを見るとこれまた悲しくなる。

もしラーメン屋にサンリオのキャラがプリントされた日焼けした豆椅子を見て泣く増田がいたら慰めたいな

ゲームやドラマの廃遊園地の描写に「壊れ果てたキャラクター」の造形が必須なのと根は同じだと思う。可愛いキャラクターであればあるほど切ない。

キャラクターの純粋無垢な眼差しの中に、作った人や贈った人の善意のようなものを勝手に想像して、失われたり報われてなかったりするギャップが悲しいみたいな…最近はメルカリの4℃のテディベア見て泣いた

芸人が出てる漫才風の保険とかのCM、ぜんっっぜん面白くないのに様式だけはしっかり漫才なので、ある種異様な雰囲気が漂っている。画面下の「これはCMです」と相まってなかなかシュール。

日本インターネット言論が進化しすぎてもう「正論を言いすぎると相手を追い込むだけなので意味ない」自体が陳腐になっている。今は「正論を言いすぎると相手を追い込むだけ、という正論を相手に言うこと自体が無意味」ぐらいメタであってほしい。

催眠術にかからないという謎の自信があって、「催眠術なんてヤラセだろ笑」と思っているので「催眠術にかかってみたwww」系の動画を見るけどやっぱり「催眠術なんてヤラセだろ笑」と思っている。自分でかからないと絶対にわからないという点でプラトンのイデア壁画の寓話みたいになってる

穏健派なのでコロナウイルスのことを「武漢ウイルス」と未だに呼び続けてるやつとそいつの言論を信用してない。言論の強度、信頼度を測定するため、使う語彙をリトマスとして用いることがよくある。だからこそ自分が書く時には慎重でありたいと思っている。

仮想敵の陰謀を並べ立てていくほど、その仮想敵が誰もかなわないほど強大になりすぎて、守りたい存在の弱さが露呈する、というバグ。

普段からお客様は神様思想を辞めろと主張するネット民が、「奥さま」「ご主人」呼ばわりぐらいで憤る理由が分からん。寛大さはサービス低下の裏返しではないのか？

連合赤軍のあさま山荘事件も、戦前の５．１５事件も、グループを作った（作る能力のある）ひとが逮捕や戦死で突然いなくなっちゃって、グループ内の実権を「古参で創立者と親しかった」「合流前からの子分がいた」「声がでかかった」とかそんれだけの人が握っちゃってから無茶苦茶になった。興味深い。

障害のある子の親だということを明かしていると「社会の役に立たない障害者の存在は税金の無駄遣い」みたいな＠コメントが定期的に来るのだけど，そういうことを言う人自身も「自分は社会の役に立つのか」という問いに苦しめられているのではないかと思う

何度かある無職期間の頃、父に昔「働いて税金払わん奴は、舗装の上を歩くな」と叱られました。その父も70歳からボケだし75で徘徊して私や母の手を散々煩わせ、80の今は特養で24時間完全介護。うかつな事を言えば落ち目になった頃にツッ込まれる、という教訓を、私は父の姿に見ました

NHKの番組でさえ「こんなに有能で頑張り屋の障害者もいます！」という論調だったり、創作作品の障害者は何かしら特殊能力を持っていたりと、常に障害者の存在には「普通」との距離を埋め合わせる意味が求められる傾向。障害者を通し「存在の意味」の呪いを証明したいのは、つまり我々社会なんでしょう。「社会の役に立つ」と言う判定が他者との相対的関係でしか決める事が出来ないので、例え経済的「勝者」であっても自分の後に追て来る亡者を蹴落とさないと自らも一緒に落ちる事に恐怖しながら蜘蛛の糸を登るカンダタ状態なのだと思います。

感受性が鋭いが打たれ弱い人と、ストレス耐性が高いが感受性が鈍い人、だいたいこのどちらかしかいない気がする。人に気配りができる上にパワハラでも全然怯まない、みたいな人は見たことがない。悲しいけど表裏一体なのだろう。

政治に関して言うと左右が先鋭化しすぎてお互い「反左翼」「反右翼」がいて、それは元の左右とはまた違った政治的主張をしているイメージ。そして両陣営、敵にしてみるとA翼と反B翼が解像度の低さゆえにごっちゃに見えるので、クソがクソとともにクソを投げつけ合っているように感じる。これを防ぐには政治板という特定のスレッドで、自分の名前欄に自分の立場や主張を明かしておくのがよいのだと思う。

意識高いアカウントはすーぐ「これだから田舎者は」「これだから低学歴は」と架空の藁人形を相手に両手パンチを食らわせるが、自身の趣味や犬猫動画だけを楽しんでいるという点、田舎者や低学歴のツイッターの使い方のほうが圧倒的に「正しい」ことに気付いていない。政治の話をネットに持ち込むとリアルの精神が荒れる。

「正論だけでは何も解決しない」という書き込みを見たとき「そうだ、あいつらみたいに正論をはき続けたら駄目だ」と思う人より「自分も正論を吐いてないか気を付けよう」と言える人を尊敬したい。自分の身を顧みることの難しさよ。

これは思想の左右に関わらずすげーわかる。「考えろ」とか「勉強しろ」って言う人って大概その先のゴールを勝手に自分で規定してるよね。「自分なりの答えを出せ」なんてほぼ思ってない。

炎上してる時ってどれだけ反論しても違う奴がリプ読まずに同じこと言って攻撃してくるし、炎上側の過去ログ含めた重箱の隅突く一方で叩く側は素性も明かさない炎上用の捨てアカだから議論になんかならんよね

物まね動画あるある：まあまあの割合の低評価がついている

すき：ネズミのキャラクターの声が高い現象

きらい：NHKが民放みたいなことをして、スベってる現象

すき：ラジオ体操第二の振り付けを覚えておらず、恥ずかしそうに大人の真似をして踊る小学生

きらい：ラジオ体操

「初音ミク宅の風呂には水色の毛が絡まっているのかな」的な、虚構を急激に現実に転送する文章技術に本当に憧れている。

4人で飲んでたら桃鉄の話になって、あれは友情破壊ゲームだからこの場にあったとしてもやらないって話したら友達が「そう、あれは3人でやるもの。CPUを1人入れて負債とかを全部押し付ける。そしたら平和。」って言ってて、こいつは生まれる時代が違えば孫子やマキャベリに名を連ねてた器だ…ってなった。CPUは弱ければ弱いほど汚れ役としての役割が達せられるんだけど、それって会社や学級の人間関係で周囲が軋轢を産まないように敵意、悪意を一心に向けられる一種のスケープゴートみたいなもんなんだよなぁ…。

テレビ局はたいていのYouTuberよりはるかにデカい予算すごい人材で動画作ってるんだからそりゃ見てる人多いよ。　YouTubeその他の配信でテレビより面白いって思えるのは、たいていちょうど自分の好みにピンポイントで当てはまるってだけの話で、冷静に見て万人ウケするなってのはほとんどない。逆にいうとテレビは、多くの視聴者にそこそこ嫌われないことを第一としていて、youtubeみたいに一部の層に強く刺さるものは作れない。 ようは棲み分け。

「文系学問」と「理系学問」という分類、私より古いような人でアカデミアにずっといるような人なら「なんだその分類用語は」と思うかもしれない。旧制高校の「文科」「理科」のように、時代にともなって変わる語ではあるが、「文系学問」「理系学問」という分類は、ある時代以降に増えた、派手なクイズテレビ番組等でよく使われる問題ジャンルで、東大ナントカ、みたいな番組が近年では大人気の模様だが、現代人の多くが思っている「知性」を、ある意味で象徴するような分類用語ではないかと思っている

クイズ王自慢の人には申し訳ないが、クイズは記憶試しによる正誤の思考。正誤は自己陶酔で終わりやすいと前に書いたが「次」のないスタイル。これに対して自然現象でも社会でも「次」が必ずある。次を見据えての問題なら思考力を試す問題だ。しかし答えは無数にある。よって論理の展開を観る試験。

「次」を答えさせる問題として「事例」の解釈記述がある。「明治維新が成立した後どういう事が起きましたか？」これも答えが無数に出てくる。だから答え合わせをする問題ではない。「江戸幕府でのこの制度が明治政府ではこのように変わりました」これが次の記述であり、「このような理由で」が続く。

この答えを書く過程で「このような理由」にくっついた他の事例も頭に浮かぶはずなので「付帯としてこのようなことも起きました」と答えれば得点は高い。同時にこういう答えを書ける人は問題を作った人と同じ土俵に立つことになる。教える・教えられるのではない。一緒に考えましょう、となる人だ。

塾と学校の違いでもあるが、自動車学校なども含めて日本は免許を与える教育ばっかりと言っても言い過ぎではない。そうなると「志」という精神的なものがすっぽりと抜ける。志は損得で動く考えとは違う。我欲を捨てて社会に尽くすという損得の上にあるのが志だ。この教育を日本はどこが、誰がやるのか？

志や倫理などの精神的なものを日本は講談や映画、小説・漫画、今ならゲームまで含んだ娯楽性のある分野が担っている。民間伝承的な価値観なので教育より上位にある。嘘をつくなとか、お天道様が見ているよなどの一種の宗教的な価値観であり説得力も自然と備えている。ところがこれを受験教育は壊す。

クイズがどんなに得意であっても問題の一つ一つは正誤では単独であり他の問題と繋がらない。「日本には道という考えがありますが道とは何でしょう？」という問いが試験に出ることはない。採点のしようがない問題になるからだ。しかし自分なりの道に対する考えを備えていないとその人は何かが欠落している。こういう欠落させてはならない教育を担っているのも映画や小説であった。日本人の読書好きは間違いなく日本人の精神性を高めている。ここで日本の新聞やテレビが異様に精神性を失っているは何故か？を考えていくと知識の量と精神性はイコールではないと気がつく。でクイズ王の精神性に戻る。

クイズ王には知性があるのか？という問いだ。この問いは重要である。社会の枢要なポジションに選ばれる者に対して知性の有無を問うふるいがあるのか？ということになるからだ。東大や京大の教授でも頭がおかしいのがいるのは知識はともかく知性の欠如の点だ。ここで知性とは何か？を問わねばならない。

知性に学歴は関係がない。昔の高等小学校卒業のおばぁちゃんやおじいさんでも「賢いな」と思える人はいっぱい居た。なぜ賢いなと思ったのかと自問いすれば人を見る眼だけでなく自然や社会の諸々のことまでちゃんと観ている、そいう言葉を発する。そうすると知性は物事を的確に観ることと繋がる。

物事を黒白で片づけるのがクイズ思考だが実際の答えは中間の灰色にある。この灰色には濃淡があるので１か０かという答えにはならない。そんな単純なものではないのだがクイズ自慢になるにはこの単純な頭を要求される。こう書くと東大卒の学歴自慢の人の言葉が妙に浅はかっぽいことに気がつく。

重要なのは「解決能力」であって解決策を出すためには関連事項を掘り出して並べ、消去法的に問題解決で不要な事項を消していくというスタイルにある。最良というのは「ない」。あると思う人はクイズ脳の人。正誤慣れした人。しかし役に立たない頭の人でもある。我々が眼にするのは一部でしかない。

その限られた一部の材料で判断するわけだからどんなに考えても次善となってしまう。が次善と自分で決めておけば新しい材料が出てきたとき素直に答えを変えることができる。しかしクイズ脳、受験脳、正誤脳では答えは常に絶対に正しいとなっているから自分の答えに反する事実を認めることができない。

こういう頭の持ち主が日本社会の重要な椅子に座っていればまかりまちがえば社会を沈没させてしまう。穴が開いて浸水しているのに「この船に浸水はありえない」と実際に起きていることを確認しようとしないし対策も立てない。ちなみに歴史を観てもこういうことは呆れるほどに多く起きている。

知性の瞬発力って間違いなくあって、所謂天才タイプの人は引き出しを開けるスピードが本当に速い。仮に知識量がものすごい人がいてもここの時間を短縮できないとクイズ勝負とかでは不利なんだよね、会話も同じ

日本を離れると日本では「頭がいい」の意味が独特という事に気付きます。こちらでは、様々な社会問題に理路整然と自分の意見を語れるという要素が頭のよさを測る上でかなり高い位置にありますが、日本では逆に、この要素に触れず自分の専門分野にただ邁進する人にスマートさを感じる傾向すらあります。

それどころか、単に雑学の知識量が多い人（＠クイズ番組）、偏差値高い大学に入学しただけの人を、平気で「頭がいい」と表現する人々のなんと多いことか。つくづく日本は反知性の国です。

雑学番組が流行ってた時は芸人が雑学の勉強ばかり楽屋でしてると言っていたこいつら何のために芸人になったのと思った。日本人は海外ではフォックスと言われるそうです頭がよくて狡猾ということみたいです。専門的で他の畑ではごちゃごちゃ言わない人は大事だと思います

日本のテレビの知識人不在ぶり（日本ではインテリ＝クイズができる人になってる）を見ていると、日本がうまく現実適応することや成功することしか考えないような人たちだらけになってしまうのは、さもありなんという感じはする。大衆受けしか考えない政治家の姿は日本の反知性主義を象徴している。クイズよりもおもしろい知的好奇心の向かう先は無限にあって、クイズが狭く見えるという個人的な感想です。知性が小さく前にならえしている点においてむしろ精神が不自由に見えます。社会への貢献というのとは別の意味で。既に形式と答えが決まっているものをどれだけ多く正解出来るかという受験ゲーム型の知性観をほぼそのまま受け継いでいるからということでしょうね。

最近の難読漢字ブーム、牽引してるのは東大王クイズ番組だろうが全く知性のかけらもない話。東大生にもなって百科事典を目指す学生たちに未来は担えない。こういう知識馬鹿が増えていくのは国家的な損失ではないかな？ある言葉を知らない事で相手の知性をはかるなんて本当に愚昧ですよね。僕はミソジニーとか写像とかルサンチマンとか、例えばそんな単語を知らなくても、一人で海釣りへ行けるような人を尊敬します。でも年収と単語クイズで知性をみる人が結婚や人生を語るってのは合理的なんでしょうが、病理的ですね。

ぼくはクイズがそこそこ好きでクイズノックの動画なんかもちょくちょく見るんだけど、一方で一問一答で幅広いジャンルを浅く習得するこの形式が「東大」の名を負ってコンテンツ化されることは反知性主義の助長になってるんじゃないかとも思う。テレビのクイズ番組のように、あらかじめ答えが解っているものでしか、他者の知性をはかれないみたいになってますよね。間違えた人を見下すことでしか笑えない日常というのは、自らの頸椎を遮断して、知覚も運動も失っているみたいです。探検がなければ、新しいものに触れる楽しみもないのにね。

仮に明日、国旗に関する法律やデザインにまつわる全てのものが世界から消えたとして、その後の人々はどんな行動をするのか、とても興味がある。簡単な国旗だったらすぐに作れるのだろうけど、メキシコとかスペインとかどうするんだ。

どんなに複雑な政治でも人間関係でも、分解していくと単純な「ありがとう」と「ごめんなさい」の掛け合いによってできていると思う。素朴な人間関係の営みを忘れてしまった人間は、必ず他人への攻撃性を倍化させ、そして自らをも滅ぼしてしまう。

すき：クイズ番組

きらい：クイズ番組で、正答が出ないうちから自慢げに自分の答えを何度も繰り返し、正解していたら「ほら～～！」と言いだす友達

こういうのは「総論賛成、各論反対」が定番だから。「労働者の賃金を上げ、労働環境をよくしましょう」って言えばほとんどの人が頷く。「それを達成する為に物価の上昇はむしろ望むところ」くらいまでなら頷く人も多い。でも、具体的に「バスの運賃を上げます」「保育費を上げます」「小中高の授業料を上げます」「税金上げます」「医療費上げます」って話をし始めると途端に「弱者いじめ！」とか「○○業は恵まれすぎてる！」って反対し始めるんだよねぇ～

オタクってなんであんなに人を食ったようなキャラクター好きなの？

> この理由は簡単で、非コミュ層は向こうから理由もなく強引に関わって来るようなタイプの人とじゃないと新たな関係性が作れないから。ハルヒとか、オタクに優しいギャルとか、「おもしれー女」男子とかが典型的

どうだ、ストレッチパワーがここに溜まってきただろう、しかしそんなところにストレッチパワーが溜まるはずがないんだ。何かがおかしい、狂ってきている。

タクシーによく眠眠打破の広告貼ってあるけど、眠眠打破飲んで頑張ってる運転手のタクシーにはあまり乗りたくないな……

小学生の時、山田悠介の「スイッチを押すとき」を読んで、死にたいとか生きたいという意志を超越して自分の心臓が動き続けていることに畏怖していた記憶がある。寝る前に自分の心臓が動いていることを確かめて、でもこれが止まったら死んでしまうんだな、なんて危うい紙一枚の上に自分は立ってるんだ、と死が怖くなった。今でもたまにそれを思い出して、そうだよ自分、と感じる。

すき：こたつ

もっとすき：こたつのあったかくなる部分を囲んでいる板みたいなやつの感触（ふわふわ）

ぺこぱという、相方のボケに突っ込みそうで、それをポジティブに肯定する二段ボケで笑いを取る芸人が居る。所謂何でもポジティブにとる笑いで、それのバランスを、突っ込み役が無駄に個性的な事で中和するなど、かなり技巧派なギャグになっている。単純に笑いとしても面白いし、お笑いに厳しい人も技巧派として楽しめるし、鬼滅の刃が兎に角「売れ線」の嵐で、経済学者に喜ばれるように、「社会を反映し、またそれ自体が構造的なテキストである」という構造主義大好きマンの文系学者に好まれるような形になっている。

若林は「最近は多様性が重視されて、ツッコミが出来ない社会なので、ぺこぱを見て泣いた」と言っていた。ジョーカーの監督も「コメディー映画を作っていたが、今の時代、コメディーを作ると世間から批判されるので、作らない。だからジョーカーを作った。」と言っていた。お笑いとは、「既存の常識レールからズレたモノを、常識レールに当てはまることで『非常識』を際立たせ、そのギャップを笑って受け入れる」という性質を持っている。例えば若林と春日だと「兎に角マイペースで堂々と突っ走る春日」というズレた存在を「常識人で普通の若林」が春日の変な部分を指摘するというように。

しかし現代は「ズレている」という事を認めなければならない。若林と春日の芸も、人によっては「発達障碍者を馬鹿にしてる」だとか言われるかもしれない。そこで「尖った笑い」を目指して渡米したウーマン村本は、「多様性最高の左派西欧のブルジョワ価値観」を常識に設定し「日本の奴ら」を非常識に設定することでそれを達成しようとした。しかし「多様性・欧米・左派は最高」という矛盾をはらんだは構造に気付く事が出来ず、日本に来ると結局「出羽守というボケ」のピン芸人になり自滅した。ぺこぱを見て彼は悔しがってるのではないだろうか。そんな現代に向けて、ジョーカーの監督は「女で精神的に健やかで健全で黒人」という常識レールに「男で精神障碍者で白人」という笑えない非常識を置いて、コメディではなくサスペンスを作った。構造的にはコメディーで、笑わせない事で、逆に常識レールというものの不自然さと都合のよさ、不満を描いて、観客はウケた。

若林はとにかく常識レールを学び、価値観スレスレを行くことで対処した。ぺこぱはどうだろうか。正直これを「多様性の尊重」と称賛する人は多いが、皆はこれを見て何を笑ってるのだろうか。「変な事をしている人間(多様性)」という常識レールに、「多様性を受け入れる変な人間」という非常識を置いて、それを笑っている。皆受け入れてはいるが、尊重はしてないのだ。多様性を受け入れる社会、つまりポリコレを笑ってるのだ。ギャップを顕在化させてる突っ込み役は観客である。突っ込む責任は観客も分担する。ただ「笑い」と「納得」の境界を曖昧にしてるので、受け入れられない部分は笑って、受け入れる部分は頷く。そこにあるのは左派でも右派でもなく、全てである。全てであるが故に、今度は「ぺこぱ笑う人間」を叩く未来が確実に来るだろう。そして「そういう意図でコメディにした」ぺこぱも叩かれる。ぺこぱ自体がジョーカー的役割を担っている。去年流行った天気の子も、実際はコメディーの構造だ。

「晴れたほうがいい、一人が犠牲になっても、みんなが笑顔でいればそれでいい」という常識レールに対して「天気なんて晴れなくてもいい、女の子一人救えればそれでいい」という非常識を置いた。結局ジョーカーも天気の子も、結論は同じだった。「何が正しいか、何を選ぶかは全て自分自身にかかっている」これが近年のテーマである気がしてならない。ぺこぱの芸にも同じことがいえる。結局、「何が面白いと思うかは、自分で選べばいい」というアイディアが元だ。しかし選んだ責任を背負えるだけの力が僕たちにあるのだろうか。「大丈夫」と言ってくれる人は居るのか。

ぺこぱは「いじめにならない」という人は多いが、違う。ツッコミ役は割と理不尽な目に会う。首に雑巾巻かたり、叩かれたり。「雑巾が綺麗なのは部屋がきれいにしてるって事」「痛いというのは生きている事」みたいな事を「言わされる」いじめは容易に想像できる。「何が正しいか、何を選ぶかは全て自分自身」の価値観も、結局「選ばさせられる」という事は容易に想像できる。暴力もまた多様性の一つだ。僕たちはそれを見て笑うのだ。そしていつか「多様性を強いられてる人」が常識レールになり「常識を語る人」がボケになる。いつか「人はいつか死ぬ」だとかで笑う世界が来る。そして統一された「笑い」という概念は無くなってしまうかもしれない。

目の前の選択が、本当に正しいのか、それは自分自身の選択、レールなのか。これはこれからのテーマだろう。常識レールが無くなり、異常者が居なくなり、何にも笑えなくなる世界がすぐそこまで来ていることを感じる。レールが無い世界に、自由は存在しない。「全ての存在は滅びるようにデザインされている」とはニーアオートマタの言葉だ。それが滅びというか、完成というかはわからないが、そこへの道を一歩一歩進んでいるような、世界の終末に向けて歩いているようなそんな気がする。ひょっとすると素晴らしい世界かもしれない。そこに行ってしまう前に、人々は笑いのあった時代まで「時を戻そう」と言えるのだろうか。

「会うな、話すな、触れ合うな」が本質であるところを「食べるな、飲むな、出掛けるな」に置き換えられて緊急事態宣言出されるのって、清く正しく成長しなさいという話を「制服着ろ、茶髪にするな、ケータイ持つな、下着は白」ってメッセージで置き換えられて生活指導されてたのと何も変わらないね。

今年は成人式の中止が相次ぎ人に成れない「人ならぬ者」が続出し、人不足が深刻化しています

+50円払うので総理大臣を豚汁に変更して欲しい

やはりコミケという存在は、明日すらあまり考えてないテキトーなオタクに「少なくとも半年先まで生きる目標を定めてあげよう」という福祉だった

（撥水の動画）テーブルの端に付けたら飲み物こぼしても床に落ちないね

すき：とんかつ

きらい：太らないように味噌汁やキャベツからいただくせいで、冷たくなったとんかつ

自分は薄っすらADHDかも、みたいな人がたくさんいるという事は、ADHDの人が増えたんじゃ無くて、社会が想定する『普通の人』の基準が病的に厳し過ぎる、という事なんだよね。ADHDの人はできない自分を追い詰めて鬱などの二次的な精神障害を起こしてしまう可能性が高いから要注意ね。気楽にいこうね。

ADHD、「社会生活に支障がある」という前提があるので、ぼくは社会のほうを変えて健常者になることにしました。俺に適合しろ

きらい：就活でめちゃくちゃ頷いてるやつ

きらい：就活でめちゃくちゃメモとってるやつ

きらい：全然面白くないところで愛想笑いしてるやつ

だいきらい：就活

すき：就活がきらいなやつ

きらい：就活がきらいというくせに、内定は取るやつ

だいきらい：就活がきらいというくせに、就活に言動や思考を最適化させている「自分」

精子のことを「連中」と呼ぶ性教育ビデオ

昔の職場で「七草を言ってみて」と言われた同僚女性が「せり、なずな、はとむぎ、玄米、月見草…」と途中から爽健美茶になってたの笑いました。

現代社会で長らく生殖強者だった陽キャが、新種の疫病で一変した環境においてストレスや迂闊な外出で淘汰圧が掛かる一方、陰キャや引きこもりは殆どダメージ無く生き生きとしており、これぞまさに多様性の必要性…！　と生物オタクの視点で感動してしまう。

尻に敷くというか尻の間に挟まれて身動き取れないみたいな

陰謀論にハマった人が、どれだけ旗色が悪くなっても自分の間違いをなかなか認めないのは、「ギャンブルはやめずに賭け続けている限りは負けじゃない」 って理論と同じなんだと思ってます。ここで反省しちゃったら負け確定なので。

セブンイレブンのCMに出てくる人、自分と違ってコンビニの商品を積極的に「楽しもう」という姿勢に溢れていて、世界の解像度が高いなと思う。自分は間に合わせ以外の理由でコンビニを使ったことがないので、財力も心の余裕も負けてる気がする。

「日本人の○割が知らない雑学」系のお役立ち番組、電子レンジを掃除するためにミカンの皮とか、フローリングを掃除するために古くなった牛乳みたいな明らかに用途外のことに転用し始めるので、「それを目的のために取っておくということがなくないか」というツッコミをしたい欲にかられる。結果的にマウント取るための豆知識にしかなってない。

僕もこれ一回やったらドハマリしかけたけどシステマで耐えたわ

VTRどうぞあるある：手、出す

地方ロケあるある：芸人が店に撮影許可を聞いてきて、OKだったとき肩の上で「マル」する

地方の深夜テレビあるある：街灯だけの真っ暗な街並みをバックに、2人がしゃべっている

疑い深い性格なので「生後半年のネコが甘噛みする原因の一つに、歯が生えたばかりで痒いというのがあります」みたいなのを見ると本当か？じゃあお前が転生して確かめたんだな？と思ってしまう。味わってないであろう主観を勝手に断定することへの抵抗が大きすぎる。

統合失調症は人口の1％がなるらしい。そのうち1％がツイッターをやってたとしても1万人はいるわけで、そんな人達が騒ぎ立てる「真実」とやらを拾い上げて荒稼ぎするメディアもあるのだろうな、と思う。

「エビの尻尾とゴキブリの羽は同じ成分」っていうしょうもない雑学、あれ毎回そんな「美少女とオッサンは同じ材料でできている」みたいなこと言われても……って思う

ドラマのエリート登場人物あるある：「帝都大学出身」

日本すごいですねに登場する職人の作業中あるある：BGMが和風バージョンの「夏祭り」

だから差別をし返す、それだと「アジア」としか認識してない大多数の外国からは「モラル原始人どうし喧嘩しとる」としか見えなくなるんだよ。そういう大局観を持たずに子供のケンカみたいに同レベルでやり合われると日本人として大変迷惑なんだが。一手先読めよ

アニメの新OPを聞いておおーってなるけど盛り上がるとこだけ集めたショートバージョンなのでいざフルを聞くと「こ、これじゃない…」ってなっちゃう現象だけをみんなから集めれば別の曲作れそう

そんなわけないだろ地球生活エアプか？

なんでこんなにかっこいい（エモい、感動する、エロい）コンテンツを作れるんだと思っていたら、いろんな分野の特化したプロがそれぞれの領域で才能を発揮して、その集合体というだけだったみたいなことがよくある。人間って本当に一人でできることは限られてるけど、その代わりに連帯して素晴らしいものを生み出せるんだよな。そしてこれって蟻塚とまったく同じ　コンテンツイコール、蟻塚

アポロは月に行ってない論を信じてるヤツに「それを事実とすると、世界中のアマチュア／プロの研究者や、さらに天文学者も全部陰謀に加担してることになるんだが？」と聞いたとき「それぐらい影の政府は恐ろしいのだ」と言ってきたとき、陰謀論者はどうしようもないという結論に達したのを思い出す。要は陰謀論者というのは、特別な人間ではなく「自分の見たいことだけを見る人」なんだよね。都合が悪かろうが、事実はこうなんだから仕方ないとか思えない。都合の悪い事実は間違っている＝陰謀だ、になる。今のツイッターでは山のように見られる

松本刑務所のほど近くにある家賃12000円のアパートに住んでたんだけど近所の焼き鳥屋にいつもいたおじさんが酔っ払って、俺は定期的に意味のない数字を羅列した紙を丸めて刑務所の壁の向こうに投げ入れる事で職員の緊張感を高めているって言ってて良い趣味してんねって思いました。

40歳を超えると突然「私の人生はなんだったのだろう」としんどくなったり、他人に言われた嫌なことが頭にこびりついて離れなくなったり、うわあん、ってなることがあるんですけど、あの、ちょうど年代的に忙しいっていうのもあるけれど、思春期並みにホルモンが乱高下してる時期っぽいので。

横浜刑務所でクラスターとニュースでやってたんだが、横浜に刑務所あることを知らなかったのでGoogleマップで調べてみた。そしたら『水野のおやっさん、お世話になりました。』とか『福田のオヤジありがとう』みたいなコメントがあり、世界中の刑務所のレビューをチェックしたくなった。

昔まだイスラームのことよく知らなかった頃、「私、こんなにアラビア語に興味あるのは前世アラブ人だったんじゃないかと思う」とアラブ人の友達に言ったら「イスラームで前世とか輪廻転生とかないですから…」と言われ会話が終了した思い出

日本は、雨が降ったり降らなかったり、雪が積もったり積もらなかったり、風も波も方向や強さは定まらず、年に数回は台風が訪れ、ついでに高い湿度で機械のメンテを執拗に要求するという、神が「この土地に再生可能エネルギーを根付かせてなるものか」という執念のもと設定された地なので、諦めなさい

畑の農業しかしたことのない人は、荒地を開拓する人の気持ちはわからない。ところで、荒地というものは1年耕したぐらいでは荒地のままだ。そして、彼らはそれを見て「無能」の烙印を押すわけだ。

これ、部活中に聞いた事ある音だ……3年や2年に支えられてようやく合奏に入れるレベルの1年生が先生に｢1年だけで吹きなさい！｣って怒られて自信なさげに吹く時の音だ…！

なんだろう…この鉱山からダイヤモンド探してるけど全然見つからない感じは

何がやばいって復讐や憎悪の感情をこんな高音のコロラトゥーラで表現しようと思ったモーツァルトだわ

すごい！高音の時かゆいところに手が届く感じっていうか、そこそこそれそれ！！ってなる

ほんとこの人が風邪ひいて喉痛めるんだったら代わりに自分が喉痛めたほうがいいくらい大事にしたい

母さんがこのテンションで怒ってきたら、僕めちゃめちゃいい子になれそう。

普段はコウモリと会話してそう

この人がラスボスだったら、勝てる気がしないwwwwwww

きっと最初の一声でHPが0になる予感wwwwww

姑がこれだったら手に負えない

倒したら経験値めっちゃ貰えそう

音高すぎて周波数的に聞こえないのかなって思ったら音量0だった

ボス戦BGMを自分で歌っちゃうタイプのボスやん

おばあちゃんが子守唄で歌ってくれる奴だ！

開始前「突然上手くなるんやろなぁ」

途中「突然上手くなるんやろなぁ」

終了「突然上手くなるんやろなぁ」

ずっとチューニングしてて草

火星で流行りそう

後に銃乱射事件起こしそうで怖い

歴史だけ作ってさっさと帰った男

二つのこと同時にできないタイプ

こいつの次の人は運いいよね

俺らには聞こえない周波数でめっちゃうまい歌歌ってる説

民俗学者の人がやったフィールドワークの本で「あなたの村にこういう伝承はありますか？」と聞いても誰も何も教えてくれないんだけど、「あなたの隣の村にこういう伝承はありますか？」と聞くとすごい細かいことを教えてくれるみたいなライフハックが載ってるものがあった

民俗学とはある意味、その土地の先祖の墓を暴くようなもので、当事者にはやりづらいのですかなぁ。例えば独自の信仰とか「よそもんに話す事でねぇ！」みたいなのあったりしますよ。確かに、「あなたの会社の変な確認ルール教えて下さい」って言われても、そのルールが当たり前だと思ってるから咄嗟に思い付かないけど、隣の会社がやってる変な確認ルールは沢山知ってる！自分の村のことは当たり前に話してたりするからこそ思いつかないってあったりもするし、噂好きとか敵？の情報だから良く知ってるとか色々ありそう

何とも汎用性のあるライフハック。特に会話に飢えている見栄っ張りから重要な話を聞き出す時に有効。皆ここだけの話だけど、と前置きをして、年甲斐もなくはにかみながら教えてくれるのですね。

ジョージア飲みつつふと思った。「缶コーヒー飲んでる奴は出世できない」とか「立ち食いそばの蕎麦は本物の蕎麦じゃない」という立派人の言葉より「世界は誰かの仕事でできている」という言葉をCMで広げてくれる会社の缶コーヒーを飲み、立ち食いそばを美味しく食べられる貧乏人でいいやと。

「なんで中国がこんなに強くなったのか意味がわからない」みたいなツイートが流れてたけど、中国って有史以来人類圏における世界最強国家に君臨し続けた超強大地域共同体であり、なぜかここ100年バグってただけで本来のポテンシャルを取り戻しただけって理解した方がいい気がする。ローマの末裔と中華帝国の末裔の激突という歴史的帰結を、俺たちの世代は最前列で観られるんだぜ、最高じゃね？

> ぶつかったら俺たち死ぬ可能性大なんだよなぁ…

パパが風俗でコロナもらってきたことを奥様がママ友にグチったら広まってしまい子供のあだ名がデリヘルとかおっパブになったって噂話を嫁さんからされて以来、もしもコロナにかかるとしても仕事や移動や飲食や買い物までが家庭や社会的な生存ラインだなと襟を正しましたよ僕は。

横浜刑務所といえば、スマホを手にした乗客を指差しながら「みんなそれ見てるね！」と、ご機嫌なおじさんから話しかけられたことがあって、その時は何のこっちゃだったけれど、そのおじさん乗車して来たのが横浜刑務所の最寄り駅で、後になってはっと気がつきました。久々の娑婆が一変してたのね。

プペルの映画の出来がいい悪いを評する行為が「アムウェイの洗剤は実際結構汚れがよく落ちる」って評価くらい本質的でなく無力なものになってしまった

オウム成長期にTwitterなくて本当に良かった。

風俗はマイナスイメージあるけど私みたいに軽度だけど知的障害ある人には普通の仕事は難しすぎた。飲食店でバイトした時なんか地獄だった。落としちゃうし意味がわからないし。風俗の仕事は大変な時もあるけど可愛いねとかありがとうねって言葉いっぱいもらえて幸せだった。ほんとの気持ち

技術は「使われてる側」は気付いてないし、気付かせないのもまた技術

「分かりやすい文章」書きたい人へ。もし、かんたんな単語つかえばすぐできるって思ってるなら間違い。それより優先するのは「誤解されない」ってこと

んで、誤解されないってのは「別の意味に捉えられることがない」って意味です。そういう文章は、親の仇のように滅ぼせ。解釈は常に1つ。

安楽死ってこの世で最も魅力的な漢字が3つも並んでいて凄いな

医「どんなに娘さんが可愛くても、いえ、可愛いからこそ『目を離すと怪我するかも』という予期不安がつきまとう以上、子供といて心身ともにリラックスできる人は極めて稀です。基本的に、子供といる時間は疲れると思ったほうがいいです」とも言われたな。正直、すげーわかる。

正直、コレ言ってくれる人めったにいないよね。なんというか「子供と一緒にいて疲れる」って感じるのは禁忌というか。可愛い盛りだろとか幸せだろとか言われんの。そういう問題じゃないんだよと。別に仕事を愛してる人だって疲れはするだろと。

「明けない夜はない」とか言ってくる人、朝が希望に満ちてると思ってる時点で仲良くできない

成人式あるある

最優秀賞

結婚→出産→離婚→再婚

を既に全部経験してるやつがいる

給料さえ奪われなければ、仕事はAIに奪われても問題ないのではないか。

電通出のコンサルの人に「仕事はしたくない、別に成長に興味もないという社員に、仕事をさせるにはどうしたらよいか？」と質問した時「・・・そうですね、考えておきます」と絶句していたが、そういった社員の存在は彼等の目には入っていないのだろうか。

北九州の成人式に九州大の学生0説

ジョジョを絵柄が苦手なんだよねって言って1話も見ない女をボコボコにするバイトしてる

日本では「逃げぐせがつく」と言って我慢させることを『教育』や『指導』と言うことがあるけれど、そのせいで「我慢ぐせ」がついてしまい、最後まで追い込まれ、自殺という手段を選択してしまう。日本は逃げる練習が足りていない。

僕らくらいがぎりぎり親や先生に殴られるのは普通のことだった世代だと思うのだけど、「殴られて育った人間は子供を殴る」理論が正しければいま僕らの世代の親や教員はまだがんがん殴ってるはずなのに、そんな様子もない。みんな頑張って自分の代で断ち切ったんだなあと思う。

疲労回復で重要なのは「何もしないこと」だよ。だから、疲れてるときは「お家入院」がおすすめ。これは入院生活を自宅で再現するもので、激しい運動や遠出は絶対しない、スマホなどをしても22時には消灯するなど、身体への負担を排除する。たまには「お家入院」で完全回復しよう。おはようございます。

写ってないだけで胸に勲章バカみてぇな数ついてそうな顔つき

言論は自分に刺さるけど拳は振り回せば振り回すほど人が遠ざかるからな

自分が知らないものが世に出てくると、別に言わなくてもいいのにわざわざ知らないアピールする人が出てしまうのは、世間から取り残されていることへの不安が根本にあると思っている。気にしない人は何も反応しない

「国民皆保険のせいで、ちょっとしたことで病院へ行く人が多くて医療を圧迫している」と言う人がいるけど、病院行って医者に見てもらわないと、その症状が本当に「ちょっとしたこと」かどうか基本的には分からないでしょうと思う。ちょっとしたことだと放置してそのまま死んだ人の話、たくさんあるよ。

「100年に1度の逸材」「全オタクは読むべき」みたいな手垢のついた褒め言葉が増産され、そういうしているうちに旬を外れていくコンテンツもあるのだろう。そうやって雑に称賛する人たちも、数年後には自分がそれを好きだったことさえ忘れ去っているのだから。クリエイターだけがそのオワコン化を実感していくだけで、死ぬコンテンツは音もたてずに死んでいく。末永く続くことを願っているので、大言壮語は控えるようにしている。

「あの時はこうするしか無かった」の積み重ねで日本は戦争の道に進んだ。昔の人も馬鹿じゃない。正解を積み重ねて地獄に向かっていった

陰謀論を信じる人は多分、世の中に起こってる何かの嫌な事象は『ただ一つの、強大な存在』が起こしていると信じることによって、自分が動いてもどうしようもない、誰かヒーローがどうにかするしかないと信じることによって安心したいと思っているんじゃないかな。僕としては、人間力には限りがあると思ってるから強大な悪もヒーローもこの世には存在しないし、自分でどうにかするしかないと思ってる。逆に言えば強大な悪もヒーローも必要ではないし、自分も一人前のヒーローになる必要は無い。半人前なヒーローがたくさんいれば良いとも思ってる。

エヴァって昔はウジウジしたシンジくんにイラッとしたけど、今見たら勝手な大人達にイラッとするね。

これ凄かったな。実際に適当な民間療法とか医療デマの記事書いてたライターが、子供産んで赤子が急病になった時に対処法を検索したら自分が書いたデタラメな治療法ばかり出てきて初めて罪悪感覚えたみたいな事言ってたのが印象的だった…。それを信じた母親達が今も医療デマを拡散し続けているわけか…

「ジョークの説明はカエルの解剖と同じ。仕組みが理解できてもカエルは死ぬ」っていう格言があって、感覚に照らし合わせて確かにと思っていたけど、ツイッターやってる限りだとジョークに関しては解剖してもちゃんとおもしろいって感じる人かなりいるっぽい。

炎上を売り物にするスタイルの悪さは目立ちやすいんだけど、よく見ているとその周辺に「そういう人とビジネス上の友好関係を築きながらも、実際炎上しているときは沈黙を貫いて静かにしている」というスタイルでやっていってる人がいて、最後に勝つタイプの悪……と思う。自分で書いといてなんだけどこれの何が悪いのかよくわからなくなってきた。友達が犯した過ちにあえて触れないのは普通の優しさのような気もするし。証明できない微妙なさじ加減の話だ（だからこそ『最後に勝つタイプの悪』たりえるんだけど）。たとえばモラル踏み越えギリギリのラインを狙ってリスクの高い商売をしている人を「これは挑戦的だ！ いけいけ～」といつも応援していた人が、ラインを超えて当人が炎上したときにスン……となるのは「ずるいぞ」と思ってしまう。「あなたも火薬を詰めたうちの一人でしょ」ということかも。

連載マンガの終わりのシーンと、続きの回の冒頭のシーンが同じ繰り返しで描かれることがたまにあるけど、単行本で読んでるときにそのシーンのセリフが微妙に違うことがあってモヤモヤする。

前回「お前が殺したんだ……！」「な…！？」→続く

今回「殺したんだよ……お前が……！」「な…！？」

彡(ﾟ)(ﾟ) 「仮免中に人轢いちゃった…」 教官「やっちまったな」 彡(ﾟ)(ﾟ) 「あの…」

1 ：風吹けば名無し ：2020/10/24(土) 03:31:21.98 ID:vzsE+XO/0

彡(;)(;) 「この回のハンコって貰えないですよね…」

「多難な年ですが、ペストの後にルネサンスが来たことを思い、収束後に備えたいと思います」高校の世界史の先生から、年賀状でいただいたお言葉。

しにすぎて寒そう

「また0からやり直しだ」派と「また1からやり直しだ」派に分かれる。どっち？

レオパレスに住んでる友人、バカでかいスピーカー買って最初にしたのが消防車のサイレンを鳴らすことだったらしい。隣の部屋からカーテンを開ける音が聞こえてきた。

部屋に遊びに来ておいて「細かいごみが溜まってる、掃除はこまめにやろう」と言いだす人が宿題を最後の日にまとめてやってたらぶん殴っていいですか？どちらも「まとめてやるほうが向いている」というだけの話なのに掃除だとどうしてそう押しつけがましいんだ。

においにめちゃくちゃ敏感なので、買ったばかりの服とか、メルカリで落札した他人の家のにおいがしみついた服は即座に洗濯してしまう。そのくせ自分のにおいには全然気が付いていない気がする。

恋愛って、運やタイミングも大事だけど、才能がわりとあると思う。できる子は幼児の頃から違うじゃん、なんか。ボール遊びが巧い子やお絵かきが巧い子みたいに、ときめいたりときめかせたりするのが上手な子。

火事ニュースあるある：2時間後に消し止められましたが、

くまモンの総集編、全く頭を使わずに癒されるので人気が高そう。老人ホームに入ったらずっとこれだけ見てたい。

ディズニー映画が始まる前のあのオープニングをつくった人、ガチの天才だと思う。高揚感とか期待感の中にメロディー由来の少しのさびしさ、切なさが入ってるのもいい。キャラに恋したのであれを聞くたびに胸が痛くなる。私にとっては彼と自分を繋ぐ天の川があの映像なんだよな。

名映画が終わった後の映写室の「すごかったね…」「ヤバい…」みたいな感想がひそひそと響いて、その場の誰もしばらく立ち去らない時間が映画で一番好きかも。あれを含めて映画体験だと思う。

シャープもマイナスイオン商法に手を染めるまでは…ねえ。情弱商売は簡単に利益が出るから一度やると止められない。長期的には信用低下と人材流出を招いて気づいたらボロボロ。会社にとっての麻薬なんだよなあ。

オタクの言う｢おやすみなさい｣｢寝ます｣は9割くらいROM専に入ります宣言だけどオタクの言う｢寝なきゃやばい｣はほんとに寝ないと明日やばい

会社はクビになったが、腹いせに株式の51％を取得した

『私は精神病です！辛いです！人生メチャクチャです！』みたいなマンガや本を描いてる人、やっぱりマンガや本を描けるだけあって、何だかんだ学校はしっかり卒業して、仕事もこなして、パートナーも居る人ばっかりだね。

すみぺ「若い頃はお酒を苦く感じるから苦手な人もいるんでしょうが、リアルの生活が苦くなって、相対的にお酒が苦く感じなくなるんですよ」

問い　最近、アメリカで枯渇した天然資源は？

答え　民主主義

理由　海外に輸出しすぎた

一般ピーポーが絶対に理解できないオタク異常行動ランキング第1位

・海外で現地集合現地解散

最近読んだ心理学の本で印象的だったのが、人間には幸せを受け入れる準備のない人がいる、って話。そういう人を幸せにしようと周囲がどんなに頑張っても、その人は、お膳立てされた環境を破壊してしまう。要するに自己肯定感がないと、不幸を追求する生き方をしてしまう、ってこと。

「ヤギのウン○下さい」と青年が拾って行くのですが、ずっと気になって気になって「何に使うのですか？」と思い切って聞いた所「新聞紙の上で日光に当てて干し、山に行った時に燃料として使う」軽くて、よく燃えて、匂いもなく、タダでもらえる　この上ない燃料らしい。立場が変わると価値観が変わる

K2のこのクチコミ好きすぎる Wi-Fiなし

２６年前の今日、現場の神戸市長田区にいた知人は自宅が半壊、数日後這う這うの体で梅田に出たらそこには割と普通の世界が広がっていて阪神でイカ焼きも売っているし、何普通に世界存在しとんねんと物凄く腹が立って１０枚食べたらしく世界は理不尽でイカ焼きは美味しく人は意外と強くしぶとい。

ミサトさん・・・子供の頃初めて見た時は、「２９歳っておばさんじゃん」って思ったが、自分が二十歳を過ぎた頃には、「そうでもなかったな」と思い、自分が歳上になってからは、「むしろまだ子どもだったんだよな」と思った。実はすごい無理して「お姉さん」を演じていた人だったんだなぁと。

ひと昔前はオタクの求めるラノベヒロインは主人公にツンツンしてるけど時折見せるかわいさや一気にデレたときがたまんない娘が主流だったのに、今のヒロインは大体最初から好感度MAXでデレデレしてくれるのオタク全体がここ10年でツンの期間すら耐えられないほど心が弱ってしまった感ある

秩父市、どう考えても「父」のほうを「ちち」と読まないとおかしいだろ　未修正バグか？

情弱向けにプラズマクラスターを売り出してるシャープが自ら「目の付け所がシャープでしょ」とか言いだすのもはやギャグだろ

「病気になったら自殺する」とはいうけれど、「体重が70kgを越えたら食事制限する」は、できないんですよね

なんか一部のネット民、「死」が究極の救いで生きることは苦しみそのものって考えてて、そのこすっからい思想を満足させるためだけに安楽死制度を提案してないか。そんな雑な方法で提案された手法なんて、誰かを間接的に殺す「空気」を作って終わりだと思うの。

「平成狸合戦ぽんぽこ」と「首都大学東京」って構造が同じなんよね

こうやってわざわざ文章に取り上げている時点で自分の負けをさらに引き寄せるようなものだと思うんだけど、こりゃあ敵わねえな、と思ったから書いておく。いま話題のプペルじゃなくって、西野氏がある大学の卒業式講演に来たときの話。俺も現場ではもちろん、動画を視聴したわけでもないんだけど、twitterのキャプチャで見たのね。それで、たぶん最初に登壇したときの学生たちの反応が、そこまで芳しくなかったんでしょう。西野氏がこんなことを言う（経緯は俺の推測です。念のため）。

「みなさんには二つの選択肢がある」「今みたいなバラバラの拍手で西野を迎え入れるのか、それとも全員立ち上がって、西野をあらためて迎え入れるのか」「僕自身はどっちでもいいんです」ってやつです。

俺はこの画像を見たとき、これは敵わねえな、と思ったよ。というか、なんだろうな、この世界で「西野氏的なもの」にしてやられないように、こいつを回避し続けるのは、相当至難の業だな、と思った。「どっちでもいいんです」と言いつつ、西野氏の希望は当然、万雷の拍手でみんなが自分を迎え入れてくれることなんだけど、西野氏はたぶん、仕切り直すことで学生たちが自身を全霊で歓迎してくれることを確信していたと思うんだ。なんでかというと、それは別に西野氏がスーパーな人物だからでも、彼へのはちきれそうな期待を学生たちから感じたからでもなくて、むしろ反対に、学生たちにとって西野氏なんて、特に興味もない、当初はそれこそどっちでもいい相手だったからで、西野氏もそれをよく理解していたからだと思うんだ。

たぶん、学生たちにとって西野氏なんてマジでどうでもよかった。だから、最初登場してくる西野氏に拍手していたときも、自分がどんなテンションで手を叩いてるかなんて意識しないで、漠然と手を叩いていただろう。「空っぽ」だったんだ。それが、登壇した直後の西野氏のひと言で、まず自分たちに思わぬ選択肢が与えられていることに気付かされた。西野氏をもっと歓迎してあらためて迎えるかどうか、という選択肢だ。そして、みんなで一体になって西野氏を歓迎した方が、どっちかと言えば雰囲気的にハッピーだな、ということを、ここではじめて「想像させられた」。悪い言い方をすれば、それまでがらんどうのまま椅子にぼんやり座ってたところに、気持ちの部分で血肉が入ったんだ。

俺はその後のことを知らないけど（動画を観たくないから）、たぶん、二度目は割れんばかりの喝采で迎え入れられたんだろう。まるで魔法のように大勢の人を操ってみせた話だけど、こんなの良くも悪くも人間を冷静に観察し続け、相手をナメてかかることができる人物なら手のひらの上の話だ。たぶん、西野氏にしてみれば楽勝だっただろう。「どっちでもいいんです」という登壇直後の発言も上手い。これが例えば、自分から拍手を強いるような言動があれば、学生の方にも抵抗感がある。歓迎するかどうか、あくまで学生の側に選ばせることで、かつ、自分たちでこの場をハッピーな雰囲気で満たすことができると想像させた時点で、西野氏の勝ち確だったのだ。

そこには「ほとんどの人間は通常何も考えないで生きているし、何にも興味を持たずに生きている。だからこそ、自分たちが主役として何かを選び、決定することができる機会を与えられたとき…自分たちこそこの場を盛り上げられると確信したとき、その魅力から逃れられない」という冷静な人間観がある。これは敵わねえよ。俺もその場にいたら拍手してると思う。きっとね。

そういう西野氏が『えんとつ町のプペル』をひっさげてエンターテインメント業界で数字を出せるか…はまた別の話なんだけど、それは西野氏が卒業式で見せたような手法が通じないからじゃなくて、反対に、エンターテインメントの世界こそ、西野氏的な方法が跋扈する世界だからだと思うんだ。西野氏の特異性って、そういう技法を非演芸的な空間で一般ピーポーに容赦なく使用したところにあるんであって、業界としてはありふれた手法、人間観だと思うんだよな。こういっちゃなんだけど、どの作品のブームを仕掛けるのも、「人間ってやつは99％空っぽで、何も考えていなくて、でも自分には特別な見識や機会が与えられていると信じていて、自分で何かを決めることができるという幻想があって、人生を楽しむ権利があると思い込んでいて、できればそれを周りの人たちと共有できたら最高！」的な人間観で消費者を見てないと、市場になんて参戦できないんじゃねえかな。

具体的な作品名とブーム出したら不快にさせるだけだろうけど、例えば『ジョーカー』みたいなダークで暴力的な作品も、文芸的な邦画作品も、屈折はしてるけど、結局はそういう手法で仕掛けられてると思うんだ。俺には『えんとつ町のプペル』をめぐるプロモーションと、他のエンターテインメントの仕掛け方の本質的な違いって正直わかんねえんだよな。もちろん、作品としての評価は別かもしれない。でも、俺たちが感じるような「ああ、いい作品だった！」「うーん、クソだった！」が、はたして、俺たちを無意識にがんじがらめる商業的な網から、いったいどこまで自由なもんだろうな？ って気もする。

商業的なアプローチから自由って話のひとつの余談として、俺が浪人のとき、気まぐれで古本屋に入ったことがあった。11月ぐらいのことだ。街も全体的に灰色だったし、俺の心も灰色だった。俺はこの受験に失敗したら死のうかな、と思っていた。たまたま、カフカの『審判』という本が目に入った。新潮版だ。レア（たぶん）。俺はカフカなんて『変身』しか知らなかったので、興味と呼ぶにも希薄な感情のまま、本当にたまたま、それをレジに持ってった。200円ぐらいだったと思う。『審判』は俺の人生を完全に変えた。どちらかと言うと悪い方にだけど、とにかく、他のどんな作品とどんなかたちで出会ってもあり得ないくらい、深く俺をゆさぶった。あれこそ、商業の魔の手から完全に自由な体験だった。そして、ああいう運命と呼べる体験しか、人と作品の出会いは本当には成立しねえんじゃねえかな…というのはロマンチックすぎるかもしれないけど、俺は割と本気でそう思ってる。

ところで、あのとき『審判』を手に取る代わりに、西野氏のオンラインサロンに参加していたらどうなっただろう？それでも俺の人生はきっと「完全に変わった」だろうな、と思う。むしろ『審判』で三日間くらい飯の味がしなくなるような体験よりよっぽどハッピーだろう。結局、そんなもんなんだ。キングコング西野氏的なものはこの世界の至るところに、程度の差こそあるけどあふれているし、おおよそ感動はオンラインサロンの充実感で代替される。だから、俺たちはたぶん、キングコング西野氏的なものに永遠に勝てないだろうと思う。

ツイッターのリプで「私はそうは思いません」ってフキダシに書いてるキャラ画像だけ貼ってる人がいた。「そ、そうなんだ…💦」以外の感想が出てこない。

前にみた考察というか分析なんやが、人はデフォルトで「泣く」「怒る」の感情しかなくて、それ以外は人生のサブストーリーをクリアしないと解禁されないってのをみたな

一つ言えるのは「自分は不幸なことを考えてしまう」ということ自体がもう「恵まれてない」のリストアップの中に含まれてそうで、そういう再帰的構造が、不幸からの脱却を難しくさせてる気がする

実際自分が実践してわかったんだけど、不幸を感じにくい人ってそもそも「不幸に立ち入らない」ことがものすごく上手なんよね。不幸を感じさせる人との縁はきっぱり切るとか、三大欲求をきちんと満たすとか

同人誌の射精シーン「ぴゅっぴゅっ」とか「びゅーっ」とか書いててそんな勢いよくないだろって思って全部文字消したら全然エロくなかった　効果音は言霊だったんだ

「斉唱」と「ハモリ」が好きなので、平成狸合戦ぽんぽこの「いつでも誰かが」の最初の部分を部屋に閉じ込められて大音量で流されたら10秒でギブアップすると思う。

自分の好きなエッチなキャラクターがいてしかもそのキャラを絵にできるのに、よりによって部屋で一人でシコってる絵しか描けんのよ。これが性経験値の低さ。

Aという問題を議論するとき、「そもそもAを問題だと思っていない人」「Aという問題をBにすり替えちゃう人」の存在がめっちゃ無視されてる説、ある。

「英語が使えるとアクセスできる情報が増える」というのは疑問。もしそうなら英語圏の人々はそれ以外の人々より正確にものごとを判断できるはずなのに、実際は差別発言盛り沢山のトランプ大統領をいまだ3割が支持している。逆にマイナー言語圏の人々の知能が低いなんて話も聞かない。結局、触れられる情報が「増える」というだけで、それが自分の知能を高めることには寄与しないんじゃないか。でも「日本語でヒットしなくても英語でググればいいか」という発想になったのは大きい。そういう意欲が湧く、という意味で、英語勉強しといてよかったなとも思う。

午後7時から午後9時までの2時間って18分しかないな。

ごはんにクリームシチューをかけるとかかけないは個人の好みだし、私はかけるんですが、かけない派の一部の人の「急に気が強くなって否定的な態度を取る感じ」が謎でビクビク生きている。

キッザニアで子供に公共料金の支払いを体験させろ。

訴訟って普通に生きてるとなかなかする機会がないわりに人間としては重要な権利なので、義務教育機関に訴訟体験をしておくべきではないか。チュートリアル用の誰でも勝訴できる雑魚キャラみたいな被告を国が用意して、賠償金をもらう経験をみんな一回積んでおくのだ。

エド・はるみが「グー」を連呼したあと「コー」って言うの予想外すぎる……

たまに不謹慎なことをツイートしてしまって、あ、これはよくなかったな、やめようと思って引っ込めるんだけど、不謹慎な冗談は悪いことだからというよりは、知らない奴がそれを通じてより不謹慎な方向へ公然と調子に乗りそうなのが気分悪いからで、不謹慎・無意味・反道徳的・攻撃的ユーモアというものをやっぱり私が愛しているという点は変わらない。なぜなら道徳や社会通念へ個人が抱く不信感や隔絶感を癒やす数少ないものがそういうものだと信じているからで、これからも私は人の少ない場所を選んでたまにそういうことを言うだろう。

ユニクロの店員はユニクロによく来る客みたいな恰好なので見分けがつかない。

バイトに行く前にあごひげを剃るのだが、あごの正中線の少し左右を必ず剃り忘れる。家を出て「あぁ～剃りに戻るか！」と1分悩み、結局剃らずにバイトに行くことを毎回繰り返している。

大学の時「それな」という表現が嫌いすぎて親の仇のように恨んでいたが、ちょっと不思議系の友人の最大級同意表現「それな↑、それな↓、それな～～→」が癖になって使い始めた。もっと親恨め。

夜中3時にスマホやめて寝ようとしたけどやっぱ無理で30分でまたスマホに手が伸びた時の3時から4時までがめっちゃ短いんよ。そのくせ徹夜してる時の5時から6時まではめっちゃ長いんよ。これが特殊相対性理論です。

「割れんばかりの拍手」で毎回割れるのは全員の「手」らしい。池上彰が言ってた。

表面的な明るさや暗さじゃ無いよ。根が明るいっていうのはね、なぜだか、根本的に、自分自身で満ち足りているって事なんだ。なんにも意味のあることをしていなくても、ほかのだれにも認めてもらわなくても。それが上品ってことでもあるんだ。根が暗いっていうのはその逆でね、なにか意味のあることをしたり、ほかのだれかに認めてもらわなくては、満たされない人のことなんだ。それが下品ってことさ。(永井均・子どものための哲学対話)

ブーメランしまくってる人に「鏡に向かって自己紹介する人お前が初めてや笑」って言うとめっちゃ怒り出します。

いいかい学生さん、トンカツをな、トンカツを腹いっぱい食えるようになったころにはな、トンカツなんてもう胃に入らないんだよぉ…ふえぇ…

プロテイン容器が異臭を放ち始めてたから重曹に付けてたら、遊びに来た友人がつまんで嗅いで「くっせぇ！精子のにおいじゃん」って言い出したの今思い出してすんごい腹立ってきた。お前んちにぶっかけるぞ精子

「やればできる子」、言語の多義性を7文字でこれ以上ないぐらい的確に表している。

マスゴミの印象操作！偏向報道！と言いながら、ツイートの一部を編集者が自分の意志でデカデカと赤字にできるTogetterを使っているコメ欄の人達、右脳と左脳で別々のこと同時に考えてたりするんだろうか。

「不機嫌な人よりも機嫌がよい人と一緒にいたい」「自分の機嫌を自分で取れるようになろう」「幸せばかりじゃないからこそ、そういう方法を考えたいね」っていうツイートに、これでもかってぐらい「精神障害で不機嫌な人のこと考えろ」「こういうこと言う人って相手の負担考えないよね」「幸せ者どもめが」ってコメントが並んでてネット、こわ～～～～っって思った。そういうメンタリティーで生きてたら、そりゃ自分の機嫌なんて自分で取れるわけないわな。私は幸せのためにそいつらを全員ブロック！快適快適！

ディズニー映画って、1曲終わるうちに10年ぐらい経つな。人生もああであってほしい。

「完顔阿骨打」マジ痛そうな名前。かわいそうに。

「国民に一律10万円の支給をするつもりはありません」

「は？」「ふざけんな」「辞めろ」

「ありませんが……」

押 せ ！

ｷｭｲﾝｷｭｲﾝｷｭｲﾝ

「国民に一律5億円の支給をいたします！」

ボーナス突入！（爆音君が代）

炎上してる人ってだいたいの割合で「そりゃ炎上するわ」というようなことを言っているわけだけど、その「こいつになら何言ってもいいわ」みたいな欲求が炎上を引き起こすし、抑えるのは難しい。仕組みを変えられないものか。

「ファン」は追いかけてる時間が長くなってくると、ある時から一線を越えて「評論家」になってしまう。「こういうのを望んでない」「変わってしまった」「それは違う」的なことを上から目線で論じ始める。そうならないためにも、とやかく言わずに純粋に楽しんでた初心を定期的に思い出すのは大事。

評論家というより評論家もどき、もっと細かく言うと、評論してるようで実はダメ出し的なワガママな内容が多くを占める存在にはなりたくないってイメージ。評論家になること自体が善だとか悪だとか、そういう話ではないので悪しからず。

追ってる対象を肯定ばかりしてればいいってものじゃないし、理想像を抱いたり、変化や欠点を認識するのはファンとして当然のことだと思う。ただエゴが強くなりすぎると、それがアーティストを想っての発言だとしても、結果的にアンチと似た存在になって、アーティストを苦しめることにも繋がるなって。

「サイゼリアはいい」とネットで聞くがサイゼリアを見たことがないので「サイゼリアはいいらしい」の粒度の会話しかできない。どうしよう。

「高学歴は答えのない問題に弱いってひろゆきが言ってたで」

金持ちが夢想する貧困は「肉や油を使わない野菜や魚中心の食事を取る。贅沢は無いけど健康的」みたいなレベルだからな

日銭暮らしだとお米は割高な2kg単位で買いますよね(5kg10kgを買うお金がない)。あとハンバーガー(素早い肉摂取)、コンビニ弁当(自炊する体力気力を失う)、カップ麺(鍋釜類さえ買えない)、出来合いのおにぎり(お湯さえ沸かせない)…貧困になるほど割高になり一層貧乏になる悪循環。

御社は一部上場企業ですが、私が入社した暁には全部上場させます。という伝説の学生がいた話を思い出した。

「ダンボール箱は単価が安いわりにかさばるので、100キロ以内で生産しないと採算が合わず、各都道府県に工場がある」と知ったときはちょっと驚いたな。輸送業の象徴みたいな顔してるのに箱自体の輸送性はあんま高くないのかと

ポリスメンと打ち合わせする機会があったんだけど、「この書類を作ったのは誰ですか」と聞かれて、わしが名乗り出たら「こういった書類に絵文字は使わないものですよ、君くらいの歳でもその程度の常識はないといけませんよ」と渋い顔で注意された。一体なんのことだと思ったら「凹凸」を指差してた

「アメリカ国境に中国軍２５万人が集結しているらしいぞ！」

「どうやって出現したんだよ。瞬間移動か？」

「……地球空洞説って知っているか？」

陰謀論を陰謀論で上書きするのやめろ

「貧しくてもいいじゃん」みたいな意見、普段満たされた生活をしている人が2泊3日のキャンプやって「家や電気がなくても生活できるしこれはこれで面白いなw」って言ってるのと同じ空気を感じるんだよな

先に倒さないと味方を蘇生させてくる系のrpgのボスキャラ

ホリ○モンとか、○ちゃんねる開設者の人、ワイらの若いころは「年寄りの作った世界をぶっ壊す改革者」みたいなイメージだったんだけども、どうもあの人ら自身が老害みたいになってきたな

本田宗一郎さんも空冷エンジンを押して実績もあった。しかし時代が変わり水冷エンジンを作ろうとした若手エンジニアの高い壁となって立ちはだかった話があるね。麒麟も老いては駑馬に劣る

「人々の多くは5行以上の文章を読めない」ことを前提に、悪い契約書は作成されている

個人的に自分が気に入らない商品を見て「世の中から消すべき」とか安易にいっちゃう人「商品として存在してる時点で他人からの需要がある」って事実と、それを求めてる人が販売中止になったら「不快」に感じることはガン無視で「私の不快だけが世間に優先されるべき」と大声で言えるの単なる異常者だよ

自己責任という言葉自体が責任回避の意思表示であり、薄皮一枚で成り立つ自分の現状に対する現実逃避の言葉ですので、その言葉を多用する人に「明日は我が身」と指摘しても受け入れないと想いますよ　それと向き合う勇気がないからそうなってるんですから

某社には「ヤマガミ」という、全社員が使うメモ用紙があるそうだ。そんなに使い勝手がいいのかと聞くと、15年前に総務のヤマダさんが誤発注したトラック一杯分の伝票用紙を裏紙として皆で使っているとのこと。ヤマダさんはもういないが、ヤマガミは15年経った今も山ほどあるらしい。なんかグッとくる。

ワクチンを2倍にしたらワクワクチンチンになるという発言を目にした。それならばチンギス・ハーンが2回攻めてきたらチンチンギスギス・ハーンハーンではないか。いろいろと危ない。この理論は使用禁止とする。

妹に「再来年の大河ドラマ、松本潤だってよ！」と教えたら「えっ、誰がやるの？！」と言っていた…。いや題材になるのはまだ早いのでは……

「音信不通だった農家の親から急に連絡が来たと思ったら「このトラクターに乗れ。乗らないなら帰れ」って言われたら誰でもブチ切れる」っていう例え話好き

友人の家で逃走中のナレーターの物まねをしていたら「逃走中のハンターの物まねやめろ」と言われた。そのことをふと寝る前に思い出して「ハンター、喋らなくね？」となってから2時間ほど寝付けなかった。

現地語であいさつをするとみんなめちゃくちゃ喜んでくれるんだけど、逆に外国人が日本語で挨拶してくれたら、それがいかに下手でもめちゃくちゃ褒めてしまうし、嬉しい。言語が違ってても、こういった感情がちゃんと人間で共通していることが（当たり前ではあるのだけど）素晴らしいと思う。

イロモネアあるある：こいつなんでここ来たん？ってぐらい機嫌悪そうな奴いる

田舎散歩あるある：カレーの匂いでめちゃくちゃ腹減ってくる

「殴る、蹴るなどの暴行」とよく言うけど、それって小さいころから「暴力=殴る、蹴る」と信じ込まされてるからかもしれない。お尻で踏みつける、お尻のにおいを嗅がせる、指先を舐めさせる…を暴力だとする国があったら「においを嗅がせるなどの暴力」と報道されるのだろうか。

東京の人の言う「田舎に住みたい」は博多、神戸、大阪市、名古屋、横浜、仙台、札幌に住みたいということ

理系男子を落とすのは簡単で、次の試験で過去問から出題しなければ簡単に落ちる。

先日、マーケティングの専門の方の講演を聞いたのだけれど、「昨年４月５月は小麦粉などがたくさん売れたが、それは一時的なもので６月以降は正常値に戻った。これは、家でお菓子作りをしたが、あまりの大変さに挫折した家庭が大半だったことを示しています」ってのが、数字は嘘つかないと思いました

パインアメあるある：ちゃんと舐めきる奴いない（途中で噛む）

私は司法試験合格のために途方もない時間を費やして努力した。それは紛れもない事実。努力「した」のは自分。だけど努力「できた」のは幸運でしかない。小さい頃から挑戦を是とし、子どもの意思を尊重し、応援してくれた両親をはじめ、周りの人々・環境のおかげでしかない。

そういった、自らの努力では如何ともし難い幸運の数々に思いを致すとき、そういった環境に不運にも恵まれなかった人々を見て、自己責任だと突き放すことが本当にできるだろうか。人生はあまりにも生まれながらに不平等だからこそ、それを補う政治が必要なのではないか。

悲しいほどにたくさんの人が、自分の成功はほとんど自分の努力に依存すると思っている。それは間違いだと私は思う。私たちがそう思うから、それに沿った政治が行われている。その現実を変えたい。

そもそも人が努力することができるのは、努力した先にある幸福や成功を、現実的に可能なものとして想像できるから。自分の境遇や家庭環境に照らしてそれらが非現実的で獲得不可能なものに映るとき、どうして努力しようとすることができるだろうか。私はできない。

そう思うと、「努力したら何とかなるよ」と思えること自体が、ある種特権的な、幸運に恵まれた環境な下でしか生じ得ないモノなのだと思えてくる。そう思えるかそう思えないかで、人生は大きく変わってくるのに。

こうした先天的で構造的な不平等は、私たち自身が選挙を通じて作り出したのだから、私たち自身の手で修正できないはずがない。一足飛びには到達しない。だけど少しずつでも、1人でも多くの人にとって公正な社会であってほしい。生まれ育ったこの国をもっと好きになれるように。

そして、誰もが、それぞれの夢を抱き、実現のために努力できる環境に、自らの意思で身を置くことが「できる」、そんな公正な社会に僅かでも近づくなら、冷笑されても偽善者と非難されても、私にできることをしたい。社会は他ならぬ私たちの手で変えられると信じています。

無が至高の自由で、生物はみなそれを得たがっているがゆえに「死」へと歩んでいく説すき

アンジャッシュのコントに「え？どういうこと？」ってコメントがあった。エンタの神様に大げさな字幕とか、漫才の進行具合を説明する文字があって「視聴者の知性をなめるなよ」と思っていたけど、なめていたのはこっちだった。

これも医者だけでなく理系タイプにありがちな態度だけど、「安心とか信頼とかそんなオキモチは科学的正解の前には関係ない」みたいなやつ。いや人との約束、社会を構成する基本や契約において欠いてはならないものであり、それなくして「極めて狭い範疇に完結した科学的正解」は運用できねえからね、と。人的メンタル要素や信義則を欠いて「理系科学的正解」だけで物事が成り立つと思うのは、はっきり言って「非現実的な空想」「勘違い」「不勉強」に過ぎないんだけど、当の本人らは「感情やオキモチなぞ排してこそ現実主義」と勘違いしてることがザラだからいけない

ちょっと賛否両論分かれそうな意見を言った後、（過激派）とかちゃんと後ろにつけてる人、絶対いい人だろうな。

ほかの県でしか放映してないテレビ見てると、家族旅行の時、旅行先のホテルのテレビ見る時みたいに不思議な気持ちになる

修学旅行の経験が役に立ってるかと言ったら多分大して役に立ってないけど、なんというか、単体では何の役にも立たない小さな経験の集合が全体としてまあまあうまく機能しているのが今の自分だと思う。

「クックック、飛んで火に入るなんとやらだ」

「あ、”夏の虫”ですよ」

「わからなかったわけじゃなくてね」

読みたい本を今読むべき理由の最たるモノは、その本を面白いと思える期間には限りがあるんだよ。本人の文章力向上によって、本に書かれている文章とのリズム感が合わなくなり読むのが辛くなったり、その知識を必要としなくなってしまい読むのが辛くなったりする。本にも鮮度はあるんだよ。

連中はブログやオンラインサロンで「お金がなくても自由に生きていける」「お金から解放されよう」「お金もらって仕事するってのがダサい」と言いつつ、「金が入ってくる仕組み」を作ることに注力していたりして、それは重大な自己矛盾だ。そしてこれはかれや彼女らの「ことば」と文筆家の「ことば」が根本的にちがっているのを示している。

心の中で思うぶんには自由なんだけど、占いをもとにして他人の性格を決めつけるの、ふつうにけっこう失礼では…と思って、ちょっと距離をとってるなあ

こう、好きな人の名前を入力して脳内メーカーで出力して妄想するだけなら別に何とも思わないけど、そういうのを唐突に見せてきて「○○くんってこういう性格なんだあ」って言われると腹が立つ、みたいな　「朝鮮人は～～って性格だから！！」って言うみたいな。

電信の歴史資料を読んでるけど、明治5年（150年前だ）に電線を見て大騒ぎした市民を「科学思想に乏しき時人、未だ西洋文化の学理応用のことを解せず、その不思議な現象に驚き怯れ、種々の流言敷設を唱えるものもあり」と評しているが、5Gで健康被害ガー！と叫ぶ現代人も全く進歩していない事がわかる。

上司、プリントを「イ、ロ、ハ、ニ…」と数えてて「江戸時代かな？」と思いました

金科玉条あるある：「金玉」に見える

全然敬虔じゃないキリスト教信者同士で、アーメンのことをザーメンと言って「もうそのネタ何回こするんだよ！ガハハ」みたいなやり取りがあるのかな。

今日の生徒さん(70歳女性)、「嫁さんや孫に嫌われたくないからフランス語やっててよかった」って言っててなるほどなと思った。自分の勉強が難しくて周りの心配どころじゃないから「口うるさくならずに済む」と。こういう歳の取り方ができたらいい。

割とTwitter見てるつもりの自分も全然この話を知らなかったのに、「和多志」で検索すると以前から結構な人々がこの話を支持してたことがわかって、そのことに一番驚いた。

日本語圏に限っても「Twitterの中で起きてる様々なことをフラットに大づかみに把握する」なんてことはもう無理なんだな。Twitterにはタイムラインが1つしかないから、何となく「自分の見ているトピックは、他のユーザーにもある程度は見られている」と錯覚しがちだけど、実際はユーザー間の分断度は非常に高くて、多くのユーザーが互いに全く交叉しないTLを構築してるんだと思う。TLの作り方次第ではほぼ自分の帰属するクラスタの仲良し掲示板みたいになるのに、見た目は「1つのサービス・1つのタイムライン」なので、自分に見えてる世界がどれぐらい中央値からズレてるかわかりにくく、認識の偏りや先鋭化を自覚しにくい。この設計自体がフィルターバブル化を促進してるのかも。

誰かが書いていたけれど、部屋を片付けてからルンバを走らせるのではない。まず走らせる。走るルンバに並走しつつ片付けをする。ものすごい勢いで部屋が整頓され、掃除もできる。すごい。家事を兼ねた現代的なスポーツの一種だと思うとよいです。なお、とても疲れる。

何かを始めたいと言ってるヤツは、何かを辞めたがっていないかどうかを見極めよ。本当にやりたいなら、すでに始めているはず。何かを辞めねばならないほど余裕がなくなるのはその後

人間には「自分が依存しているモノを否定されると、さらに依存してしまう」という厄介なメンヘラ機能が備わっている。カルト的サロンの信者が喧嘩っ早い原因はほぼこれ。結局のところ依存している人に対し周りがどれだけ注意喚起しようとも効果は薄いので動物園を眺める感覚で離れるのが一番衛生的。

この時期、Twitterで「新成人　アドバイス」と検索するとアドバイスを求める新成人の数は皆無なのにも関わらず、新成人に対してご高説を垂れるアカウントは沢山現れる。さてはうざい上司の特徴「聞いてもないのに上から目線のアドバイス」を知らないな？

成績優秀で日本topクラスの大企業に就職し若い内から期待されリーダーを任せられるような逸材がYouTubeを始めたけど全く伸びず苦肉の策で可愛い女の子の拾い画でTwitterアカウントを作り自分のチャンネルを自演宣伝しまくったけどそれでも500人すら届かず…っていう話しを聞いて本当に悲しくなった。

前に『自分は騙されないと思い込んでいる人間が一番騙されやすい！とか言うけど、僕は違うと思うね。最も騙されやすいのは疑うことを悪だと決め付けている人間だよ。感情で動く人種が最も扱いやすい。』と言ったんだけど、界隈の有名アカや某社長のリプ欄を見るとこの言葉が正しい事を強く実感するね。

ソシャゲ界隈の集金システムは秀逸だよね。ガチャでは出現率0.001%のレアアイテムを用意し一度始めたらサンクコスト効果で止めにくくさせ、育成では同じアイテムをいくつも合体させたら強化する謎要素で課金＋保有効果を狙い、キャラゲーでは各キャラの誕生日を世間の給料日前後に合わせてたりする。

賢い人は『確かに炎上商法ってフォロワーもいいね数も増えるけど、炎上者に対するヘイトも蓄積されるし信頼も損なわれて最悪じゃない？？』って思うかもしれないけど、炎上者はとにかく注目集めて自身の商材と誘導してお金儲けできればOKなので、信頼やらプライドは捨てているのである。

世の中には一定数「頑張ること」を美徳と考える人がいるんだよね。一方で世の中には「結果至上主義」の人もいるんだよね。結果、前者は「アイツより頑張っているのに評価されない！」と愚痴り、後者は「俺の方が結果を出しているのに何でアイツの方が気に入られるんだ！」と愚痴る。面白い。

何故怪しい界隈の方々がサラリーマンディスをするかと言うと、彼等のビジネス構造は「困っている人」を必要とし、その困っている人から搾取するビジネスモデルだからなんだよね。故に仮想の敵を作ったり不安を煽ったりして強引にでも困っている人を作り出す作業が必要なのである。

普段から100%の力を出しきり頑張ってしまうと調子が悪い時に「どうしたの？」と心配されてしまうけど、普段3割程度で飄々に乗り切り、ガチの場面で100%のパフォーマンスを発揮すれば「どうしたの！？」と驚かれ評価が爆上がりするので、良い意味でも普段から適当に頑張るってのが大切だと思う。

詐欺師の素質って相手を騙すテクニック云々ではなく、どれだけ「自分に嘘を付けるか？」だと思うんだよね。被害者の声やクレームが届いたら少なからずメンタルにくる筈なのに、それを物ともせず寧ろ相手を攻撃するってのは最早強メンタル等ではなく自分で自分を騙しているに近いと思う。

金欠気味の暴虐商材屋が取る行動第一位が「毟り取る金額がデカくなる」なんだよね。一度信用を失ってしまうと新規養分を獲得するのも一苦労。故に既存の養分に新しいエサ（高額塾/コンサル/有料商材）を用意し、188万円とか380万円みたいなデカい金額を毟り取ろうとする。哀れ過ぎて泣けてくる。

Twitterで聖人君子で振る舞っている人が言い逃れできないミスをして炎上をしそうになった瞬間にアマギフプレゼント企画を開催。何故だか分かる？検索対策だよ。自分の名前を検索された時に都合の悪い呟きを見られないように、お金を配り称賛ツイートで検索を埋め尽くした。批判も金でぶん殴るスタイル

ニ流商材屋の『仮に無料レベルの情報でも広大なネットの海から探すのは大変ですよね？僕達の教材はその時間節約のお手伝いをしているんです！』理論に、なるほど！確かに！と頷いてしまう情報弱者に正論をぶん投げていいなら『え、君、リサーチすら面倒臭がってるのに稼ごうとしてるの？？？』だね。

1年前にはあれほど溢れていた「ブログで稼ごうぜ！」の人達が、ブログはおろかTwitterの更新も止まっている現状を見て少し悲しい気持ちになるのと同時に、その道に誘い込んだお仲間達が一切普及もせず心配する素振りもせず、今日も薄い啓発を並べ新しい鴨を手招きしている様子がもっと悲しくなるね。

詐欺師が題材のドラマの「騙しに必要なのはリアリティとユーティリティ。つまりコイツの言っていることには現実味があると感じさせること。そしてコイツは自分の役に立つと思わせること。この二つが揃ったとき人は相手を信じたくなる」っていう台詞を覚えておくだけで人生の防御力がバチくそ上がる

Twitterに存在するブロガーの「この有料テーマがおすすめ！」はアフィ報酬目的だったりするし、意識高い系ママさん界隈の「〇〇は稼げる！」は有料noteやBrain誘導目的だったりするので警戒心は必要だけど、アフィリエイター界隈の「Googleシネ」は心からの叫び声なので信用できる

詐欺プレゼント企画に乗っかちゃってる人が『別に詐欺でも良くない？参加するだけならタダだし。当たればラッキー程度だよ』的な事を仰っているんだけど、悲しくなるね。参加し、拡散する事で被害者を増やしているかもしれないという考えにも至らない頭の弱さにね。

人間関係のトラブルを起こす人の特徴として『相手に距離置かれた時に精神を保つため自分の方から絶縁してやったと思い込む』があるんだけど、Twitterの場合だとコレに批判を浴びると『アイツは嫉妬でアンチコメをする』と言いだし『自分の脳を錯覚させるほどの勢いで被害者ぶる』が加わるから面白い。

Twitterに存在する意識高い系は何かと工場や建設作業員に対し「つまらない仕事wwそんな仕事に1回限りの人生を費やしていいの？ww」と煽ってバカにしてくるけど、君らが大好きなiPhoneもMacBookも彼らがいる事で存在するんやで。頑張っている人へのクソみたいなマウントやめようよ。

ブログでもアフィリエイトでも重要なのは『その人物が砂漠で水を求めている状態なのか？それとも自販機の前で迷ってる状態なのか？』を理解する事だね。コノ違いを理解しないと、砂漠で水を求めている人に対し熱いお茶を紹介したり、すぐさま水が欲しいのに何個も商品を紹介…という失敗をしてしまう。

Twitterでは『不満は言わないようにしよう！ポジティブ発言をしよう！』がお決まり文句のようにバズっているけど、正直「素の自分を出すのを怖がって綺麗事やポジティブ発言しか並べない人間を信頼できる？？」と問いたくなる。僕は本音を隠すたびに『信頼』というライフは徐々に減っていると思うよ。

フランス語会話とっさのひとこと辞典、何が役に立ったって、日本語訳のほうね。そうか、普段日本語でもこんな風に言ったり会話したりすればいいのか、と思った。

20世紀の大衆をコントロールするには大衆はアホだと割り切って簡単な短いメッセージを繰り返し送ればよかったけど、21世紀の大衆は自分が賢いと勘違いしているから「自力で真実に気づいた」という錯覚に導いてやればいいんだよな。この「自力で気づいた」と思わせるのは精神科の治療でも使われる会話スキルだから、要は大衆を患者と見なして扱えば良いのだろう。

2ｃｈはみんな自分が狂人と思いたがってたけどtwitterはみんな自分がまともだと思いたがってる

息子（4）が雪だるまを作っていて、1つしか雪玉を作らずに｢できた！｣と言うので｢それじゃ雪だるまになってないよ？｣と聞いたら｢だってママ、地球は丸いんでしょ｣と。子どもの柔軟な想像力にビックリしますが、｢じゃあ普通の雪だるまはどう説明するの？｣と言って黙らせました。親を、ナメるな。

独特の計算を導入している意味わからないレビュアー

★★★☆☆

本当は星6つけたいところなのですが、星5までという事なので2で割って星3です

常識人（コモンセンちゅ）

のび太｢ドラえも〜ん！！なんか出して〜泣｣

わかってるドラえもん｢店員を呼ぶ時に“店員に届く最低限の声量”で｢すいません｣が必ず言えるようになる薬（ぐすり）〜〜｣

これを求めてたのび太｢そうそうそう、そういうことなのよ｣

“熟知”を初めて聞いた人「ボイパやめてください」

115万キロのフィルム歌ってるやつに｢接頭辞だけじゃ無次元になっちゃうよ｣と言っていたら5人カラオケが1人カラオケになった

半沢直樹って生放送だったらしい

赤ずきん

「おばあちゃんの肺胞はどうして丸いの？」

中学理科を履修してるオオカミ

「表面積が、」

5人殺した後に、あんたこれじゃ奇数になっちゃうじゃないって言いながらもう1人殺すおばさん

「3×3×3×3」の、ヤバいルービックキューブ

面倒な愚痴全部「それ同族嫌悪じゃない？」で済ましてたら友達が0人になった

ママ「ママっていってごら〜ん」

パパ「ほーらパパっていってごら〜ん」

筋道を立てる赤ちゃん

「“まず”、ママ」

スペイン語専攻のオタク「¿反論がないなら俺の勝ちだが?」

どう森、当たり前のように住民のどうぶつが病気になるけど、開発チームの誰かが「住民を病気にするってのはどうですか？」って発案したと思うと怖くなってきた

健康診断のためにひさびさに大学行ったら尿検査学年一位だった

暇すぎて“相手がその言葉を知ってたら負け”っていうしりとりを開発してLINEで友人とやってたんだけどまあまあ面白かった

筋トレを初めて見た人

｢何がしたいんですか？｣

レッドブル 車道を横切る

お姉さんといけないコト(注1)...しよっか♡

注1：｢0で割る｣など

食事中妹が「私アルコールパッチテスト1ミリも変わらなかったんだ〜」と話し始めたので「色について表現するならミリではなくナノでは？」とツッコミをいれたら体の向きが90°変わり母親と違う話をし始めた

A 煙草吸ってもいいですか？

B どうぞところで一日に何本くらいお吸いに？

A 2,3本です

B 喫煙年数はどれくらいですか？

A おととい、初めて吸いました

B あそこにピュレグミがありますね

渡部：“幸せ”だと思っている

児島：“当たり前”だと思っている

痴漢ハンコを押してくる痴漢

ひねったカメラマン「x^3=8は〜？」

・2だけじゃねぇだろ

・「x^3=8は〜？」ってなんだよ

・実数かどうかを先に言えよ

・無理をするなよ

・まず「x^3=8は〜？」ってなんだよ

・お前ふざけんなよ

・「x^3=8は〜？」ってなんだよ

・「x^3=8は〜？」って一体なんなんだよ

やたら入力長いなって思いながら待ってようやく送られてきたメッセージが“入力中...”だった ろくな友だちがいない

気が狂って天皇が突然「じゃあ本編（ほんへ）見ま～す」とか言いだしたら嫌だけど、それはそれでありかもしれない。

某特務機関を退職した。「５年勤めた某特務機関（部署は伏せる。一つ言っとくとあの汎用人型決戦兵器はチラッとしか見たことない）を退職した。って言っても実際の退職はもう半年以上前だけど、いろいろ思い出しながら書く。」

「無敵の人」化を防ぐため「単身赴任の際に離れてしまった遠くで暮らしている家族」の記憶をインストールされる人

世の中にはマジで「がんばれない病」の人が存在していて、そういう人が少し走れば余裕で追いつきそうな、走ってでも乗った方が良いバスを虚ろな表情で見送ってしまうのを何度も見てきたんですが、その要因が学習性無力感だとすると、それはかなり強力な呪いだと思いました。

「少し走れば余裕で乗れるバスを見送る」って実に絶妙な例えというか、それだけだったら何か理由があるのだろうとしかならんけど、それが仕事に行くバス、病院に行くバス、遊びに行くバスとあらゆるシチュエーションでもそうだと、この人は大丈夫なのかとなって、実際に大丈夫じゃないケースが多い。それが学習性無力感由来なら“まだ良い”と思える(ネガティブな理由があるから)けど、実際にはそんな物は都合の良い期待でしかなく、世の中には自分の為に必要な行動すら簡単に諦めるような人間が多くて、そういう人なんだから他者の命くらいならなんとも思わんだろうな、というのはずっと思っている。極端な話、自分が車にひき逃げされ、出血多量で死にそうだけど手の中に携帯電話がありまだ電話できる体力は残っている、という時に119番せず諦める人は多いんじゃないかと思うし、その人が目の前で他者が死にそうな時に119番するかというと、たぶんしないだろという感覚が強い。

(艦これ提督情報漏洩事件)三井住友銀行とNTTと警視庁と日銀って、同時に敵にできるんだ

機密情報をコソコソ持ち出して競合他社に転職する奴もおれば、いきなりギッハブに公開して火柱を上げる奴もおる

テレワークでリモート会議が始まる前にデリヘル嬢を呼んでおいて、真面目な顔して会議に参加しながらデスク下でちんちん咥えてもらうと滅茶苦茶興奮するよ。オフィス内での秘書とのSEXを疑似体験出来るかんじ。みんなもやってみて！

>>ライフファック

>>「Dellッ！！ ……のノート今使ってるんですが調子悪いみたいです……（ｾｰﾌか？）」

>>逆に、（男女問わず）会議の相手側がそのような状況と想像すると実際にデリヘル使わなくても色々捗りそうですな。

正直に言うと、覚えていません。いま、シンガポールにいます。この国を南北に縦断する地下鉄を私は作っています。……本当は、あの頃が恋しいけれど、でも今はもう少しだけ、知らないふりをします。あしたとりあえず、今の会社の営業に聞いてみます

ボンバーマンだったら開始後即、自分の隣に爆弾置いて死ぬみたいな感じか

(年収300万、40歳のエンジニアが機密情報をもらしたことに対して)「逆に日立は年収1500万だから露呈したのが下半身だけで済んだ」←これ今年に入って一番おもろい

SMBC: 「あの情報流出させた45歳の人が年収300万だと？嘘つくな！うちは毎月150万払っているんだぞ！」

45歳年収300万: 「本当にそれしかもらっていないんですよ！通帳見ますか？」

中間搾取SIer・SES: 「…(知らんぷり)」

ちなみに午前中の打ち合わせで話のネタに情報漏洩の話出たけどオチは「年収３００万の情報流出は対策施策が思いつくけど年収１５００万の下半身露出はどう再発防止するかわかんないからもしあるなら日立の発表のほうが気になる」でした。

一通り流出騒動の流れに目を通してポップアップした感想

「なるほどなあ、宮殿とか作った時に施工に関わった奴は殺しておけ理論って正しかったんだあ」

SMBCは金融業界で初めて自社システムをオープンソース化する事にした超先進的企業説好き

動くべきはここだぞ共産党。全てのIT労働者に業務ソースコードをgithubにあげるよう呼びかけるんだ。21世紀の革命を見せろ

「艦これ」「年収300万円」「SMBC」「GitHub」を使って正しい文章を作れる人類が昨日までこの世に存在しただろうか

「年収３００万だからソースコード流出させるんだよ」のカウンターが「年収１５００万が下半身流出させたじゃん」はつよいな

音楽、全部聞きなれてる曲だとすぐに飽きちゃう説ある。85％が既知で15％未知だと一番いい気がする

35歳を過ぎると徹夜できなくなるぞとか、40歳になると体力がガタっと落ちるぞとか45歳過ぎると腰がとか、先を往く人達から謎の脅しを受けがちな我々だが、そんなネガティブな話ではなくポジティブな話が聞きたい。何かないのか。45歳で米が美味しくなるとか60歳で空気の味に目覚めるとか

九九の9の段ってのは実質ボスラッシュなんですよ。各1～8の段で最後に戦った相手が順番に出てくる胸熱展開。そして最後はまだ戦ったことがない9×9=81が出てくる。

ゲームの要素、絵が良いと手に取ってもらえ、システムが良いと続けてもらえ、音楽が良いと思い出してもらえる、と昔から思っている

児嶋：精霊とイエスと神は三位一体だと考えている

渡部：イエスは人間だと考えている

「そんなネタで笑うなんて不謹慎、常識を疑います」って言われると「すみません」って気持ちと「お、おう…」って気持ちが半々で出てくる。そもそも不謹慎なものは面白い、面白いものの中の多くは不謹慎という前提を共有できてないなと思うので。だから自分は何と言われようとそういうものを面白がるだろうと思う。正しい社会が救えない理不尽を笑いによって昇華する、ということもあるだろうし。

初音ミクに三島由紀夫の演説を読ませてシコっているジジイ

いくら天皇でももてなされるときにカルピス原液で出されたらキレるだろ

下ネタを積極的に言っていくタイプの実況者、それが男でも女でもきっついねん…卑猥な単語を連呼することにかっこよさを感じてるように見受けられて、胃もたれがエグい

アニメでは見るけど現実にはいない教師第一位：女子生徒のことも「くん」で呼ぶ教師

ヨーグルト食べる時思うこと第五位：そういえばあのグラニュー糖どこいったんだ

フリーザ様の物まねをする時あるある第七位：ザーボンさん、ドドリアさん、穴の開いたレンコンさん、って言いがち

この図式見てるとわかるけど、クソウヨは自分らが暴れることにはなんの大義もないとうすうすわかってるからすぐに「あれは左翼の陰謀だった」とかいいよるのよな。自分らがたとえ戦いに敗れたとしても、それに殉じるにあたいする信念のために戦ったと信じる連中はこういうみっともないことはほとんどない。BLM、黒人に対する人種差別撤廃のために戦った連中はその過程でどれだけ傷ついてもいまだに「あれは右翼の陰謀だった」などとは言い出してないない。なぜなら、なにがなんでも人種差別と戦うのは正しいことだと信じてるからだろう。たとえ機動隊にうちのめされ、刑務所にぶちこまれても米軍基地反対運動をやってる左翼が刑務所にほうりこまれた仲間を「あれはネトウヨのなりすまし」などとは言わないものである。なぜなら、自分らの戦いはまったく正しいと確信しているからである。すぐに「あいつらは反対勢力だった」とかいってトカゲの尻尾きりする奴らは、自分らがやってることが正しいことじゃないとうすうすわかってるのである。

何で頭良い人好きなの？ってよく聞かれるんですけど、頭が良い人が好きなんじゃなくて、カナダって何語喋るの？カナダ語？とか言われた瞬間にその相手への興味が一瞬でなくなるので、頭が良い人が好きなんじゃなくて一般教養がない人が苦手なだけなんだよな…

今気づいたけど「とほほ～～」っていう奴桃鉄以外いないよな。なんで「とほほ～」が存在してるの？

トーテムポール、顔一つ一つがうんちをすると仮定した場合、一番上以外が本当に人権が無い

手持ちのデータで、20代男性について、告白された人数が「0人」と「1人以上」の差が大きい心理的項目をみてみると、「自分と異なる意見も理解しようと努めるほうだ」（あてはまる計）が30.6％もの差があった。こういう基本的なところが大きいのかもしれない。その他、自己主張、自己肯定感、有能感のような自分に自信をもっている系の項目も軒並み差が大きい。つまり、男らしさを出しつつも他人を思いやれる「男らしさ2.0」ができる男性がモテている。

Qアノンに対して「頭が世界の果てまでイッテQ」とか言うな

前にも書いたけど、SNSの怖いところは、自分の信じたい話を「何とか見つけ出せてしまう」ことだと思う。たとえ自分がとんでもなく誤っていても、自分を肯定してくれる心地良い主張を見つけ出すと「ようやくまともな人に出会えた」といって信念が補強され、そのうち取り返しがつかなくなる。

おじいちゃんが深夜徘徊する理由が「深夜徘徊」じゃなくて「深夜徘徊をしている自分」が好きだからだったらどうしよう

「最初は風呂に入りたくなくても、風呂に入って後悔する人はいない」といいますが、これは生存者バイアスで、風呂に入って後悔した人は風呂の怒りを買い、二度と風呂から出てこれなくなっているだけです

【馬鹿しかいない面接会場】

就活生「私をモノに例えるとスポンジです。油が好きだからです」

面接官「不健康だね。不採用」

就活生「私をモノに例えると潤滑油です。揚げ物が苦手だからです」

面接官「可愛いね。採用」

「俺はジャイアン ガキ大将」と歌わなければ崩れてしまう程脆い少年の自我

「何でも道具を出してくれるロボットがいる」かつ「射撃が得意」な奴を虐めるの、周りの大人が全力で止めるべきだろ

社会学について「研究とその社会実装の先端にいる若手研究者」という物言いを見たが、なるほどなあ、そうした特権的地位を勝手に自分達に任じ、その崇高な使命感に陶酔しているわけだ。かつての学生運動の一番始末の悪い意識の核と同じものが、21世紀的なお行儀のよさの上で再演されているわけだな。

「人類は愚かだから人類を滅ぼす機械を作るのじゃ！」って完全なる善意100%で殺戮兵器を作るマッドサイエンティストキャラ大好きなんだけどその自分が作った殺戮兵器が自分のことも狙い始めた時に「作ったわしに向かって何てことを」ってキレるんじゃなくて「おお！正常に動いた！」って喜んでほしい。要するに中途半端に狂ってまだ人間としての情が残った状態でマッドサイエンティストな感じを出すんじゃなくてなるべく「自分の信念に基づいた結果なら自分が死んでも本望だ」的な感じの限界まで狂った奴が一番好きです

法解釈の違いで解散した弁護士のバンド

仮に「完璧な人間」を仮定したとして、その人と友人になれるか考えてみると「あっ（畏れ多くて）無理だ」ってなるので、やっぱどこかしら欠けてる方が魅力的だし付き合いやすい

ネトウヨがウヨでさえなくなってネトウソにまで劣化したらもうただの嘘つきでしかないじゃん…

「年収800万円を超えると寿司が止まって見える」とよく言われますが、年収240万円限界博士課程院生のわたしにも寿司は止まって見えます。何故なら、寿司とはスーパーで安売りのシールがついているときに買うものだからです。

実務家の方が書かれた本や記事に「修論以下」「学部生レベル」て言う人たまにいるけど、アカデミアで求められる書き方と現場の知見から実態を書くやり方って求められる能力が全然違うわけで、自分の基準以外許さない態度も、それが世界の全部だと思ってる視界の狭さもマッチョすぎると思う。

わたし去年手術したときに腎臓３つあること分かったんだが、あまりにも普通に３つあるからコレクションにしていい？て先生にマッドなこと言われてウケた（自分の教材にしていい？の意だった）

本屋で、ナンパじゃないんですけど…と声をかけられたので警戒MAXで振り返ったら男性が「とても綺麗だと思いまして」と言って連絡先を聞くことも渡すこともなく去っていったの、ただ自己肯定感が高まっただけでよかった

我々から「……」と「！」と「()」を取り上げるな

念で喋るぞ

付き合いたての彼氏が初めて私の部屋に遊びに来た時、「プリン好きって前言ってたから手土産で買ってきたんだけど、どんなのが好きかわかんなくて…」ってコンビニにあったプリンを全種類買ってきてくれて、恥ずかしそうにしてる彼氏が可愛かった、っていう思い出話が欲しい。

サラリーマン川柳が自虐的でユーモアがあるものばっかりなのに対してウーマン川柳がとにかく他責的で攻撃的なものばかりなことに性差を感じる

ハンバーガーって本当のパン2ついる？

>>あれは元々一つのパンだったものを二つに割ったものだ。半バーガーというくらいだからな

実在しないのに広く知られてるもの

>>オタクに優しいギャル

誰かの儒教論にあったんだが、人間の可能性を信じる（誰でも学んで君子になれる）と、逆に抑圧的（なぜ君子になれない！学ばない！）になり、人間に差を認めると寛容（君子でないのも仕方ない）が生まれる

私はむろん書物が好きだが、それ以上に図書館の空気が好きなのだろうと思う。知識の堆積した森に踏み入って自分のための本を探す「瞬間」を求める人々が醸す空気が。

「世の中に歌がうまい人はたくさんいるけど、この歌を歌いこなせるのは○○一人だけ」ってコメントがYouTubeにあるけど、そりゃその歌を本業で歌ってるのはその人だけなんだから歌いこなせるのが本人だけなのは当然だろう、と思う

身長欄に|172|cmと書いてある、地面の下にいる可能性も考慮しないと減点対象になる男

隣のラボの教授が，ラボに来れなくなってしまったB4に対して，「毎朝１０時に 学校に来て，私と一言だけお話しして解散しましょう．その後は家に帰るなり，散歩するなり好きにして良いので」っていうのをやってるの見て，私はかなり感激した．

三点リーダーで𝑻𝑾𝑬𝑬𝑻するオタクより「、」「。」を「,」「.」で𝑻𝑾𝑬𝑬𝑻する意識高い系理系男の方がよっぽどヤバいだろ

哲学科のゼミ、ノー勉でも「無知の知」で乗り切れるらしい

切り開こうと思うと全然目の前の枝が伐採できなくて、かといって流れに任せてくと周りの木々に囲まれて死ぬぐらいの難易度だよな、人生

「陰茎」ってずっと出っ張ってるのに「人が服を着て隠すから」って理由で隠れている事が当然みたいな名前つけられて悔しくないのかな。こんなに文化的な部位、他に無いよ

iPhoneの文字入力スピードが「5倍以上」になる14のテクニック（All About）

>>文字入力スピードが5倍以上になる14のテクニックを全部実行したら6103515625倍以上になるの？

プロテインをお尻の穴に入れると肛門括約筋がめちゃくちゃ鍛えられるらしい ワザップに書いてあった

人間は愚かだから皆殺しにしようって神様、すごく人間っぽい考え方だなって思う

眠れないあなたへ。認知シャッフル睡眠法について描いた漫画

>>「コイツずっと意味ないこと考えてるな…節電節電」俺が仕事中に眠くなるのには仕事が意味のないことだからだった…？

あまりに露出が少ない服を着ているキャラ、エロいのか可愛いのかわからなくなるのでできれば服を着てほしい。

日本のビジネスでよくある「（社内で検討のため）持ち帰らせて下さい」を英語でどう言うのがベストか。Let me discuss this with my boss and get back to you.みたいな感じかなとカナダ人に聞いたら「英語はそれでいいけど、そもそもなぜ決定権のない奴が来たのかって思われるよね」とのこと。そこか

僕の好きだった数少ない先生は言ってましたよ。「イジメ問題っていうけどよ、俺が職員室でイジメられてるのにどうやってイジメ問題解決するって言うんだろうな」って。

まあ別に川柳が「オチがあって面白いもの」である決まりなんかないんだけど、サラリーマン川柳が基本的に自虐で自身の境遇を笑いに変換してるのに対しウーマン川柳がひたすら他罰的で、かつ賞賛してる人はこれを「笑い」と受け取れるんすね、共感はともかく。みたいなのはある。

察するのが苦手な友人、焼肉屋行って「よーーく焼いてくださいね！」って店員に渡されたユッケ本当によく焼いて食べたらしくて笑う

声優部の2年生「1年生、全然処女膜から声出てない」

敗北した義務教育はその後オークたちにめちゃくちゃエロいことをされるらしい

「逆に」最強の陰謀論をつくって、人々を全員健康にさせよう！

・マスクをしない人間を政府は狙って北朝鮮に拉致させるので、絶対にマスクは外すべきでない

・ワクチンを打つと銀河宇宙人からのメッセージの送信対象になる

・在日コリアンの人々は特権を持っているが、それは彼らが日本人全員を「救済」するためである

助教が「ベッド買ったらQOL上がった」と言うので微笑ましく思うも、内容が想像していた物と異なり一気にホラー話に

>> Quantity of Labor が上がっている

私の好きなアフリカのことわざは『早く行きたければ、一人で行け。遠くまで行きたければ、皆で行け』です。

私は人と比べてかなり些細なことで涙が出やすい人間で、ストレスが溜まったり本音を話したりすると勝手に涙が出てきちゃってすごいコンプレックスなんだけど 、全ての涙の理由が「悲しいから」じゃないってこと、涙が出るハードルは人によって違うってことを全人類念頭に置いておいてほしさはある

「あらあら、地べたから毛のない醜いお猿さんが何か用かしら」とか蔑まれてそうな表情。

息子、おしっこする時にズボンごとズルっと下ろしておしり丸出しでするので「学校でもそうしてるの？周りに何か言われない？」と聞いたら「言われることもあるけどさ、僕から言わせればおしっこくらい好きなようにさせてくれよって！」と言われて一瞬息子が格好良く見えた。

「モルカー見る時間がない」って言ってる人の生活が心配すぎる

これは超有益情報なのですが、嫌味を言われたときのベストな返しは、「え！どういうことですか？」に限ります。詰め寄る感じではなく、無表情で感情こめずに天然っぽくいいます。日頃から嫌味を言う人って思いつきで言うんじゃなくて最高の内容とタイミングを考えて言ってきているんだそうです。

高知東生さん、YouTubeを観すぎて陰謀論を信じかけるも回避

＞仲間と話していて「高知さんの情報はすごく偏ってます」って言われて驚いた。　 こう忠言してくれる人がいること、そしてその言葉で我に帰れることって不可視な財産だと思うんだよね。

金言にあふれてる。「楽に賢そうな気分になれた」「誰でも見れる情報を見てたら、裏でも何でもない」「単純な結論付けを言い切っている人の話が分かりやすく入ってくる」自力でこれに気づけるのは偉い

2chの嫌韓ブームの頃、調子乗って自分もそんな事言ってたら会社の先輩に「ふーん。俺は韓国人の友達居るけど、お前は実際に話した事あるの？」って言われて、すごい恥ずかしくなった事を思い出すな……

ハマってから戻るのにも体力が必要なので年取ってからハマる人はだいたい戻ってこれない気がする。私が嫌韓嫌中にハマったのが若い頃でよかったよ

ネットの声の大きな人の飛沫感染に気をつけよう。リアルと一緒、密になると感染るよね。楽な方に流れずぐっとこらえて、バランスよく生きたいね。

「私はただものではない、なぜなら…」というこっぱずかしすぎるプレゼンがインターン面接の課題で、わざわざそれをしに福岡から大阪まで行ったのに普通に落とされるの、就活辛すぎだろ。

「ビートルズって聴いてみたけど普通の音楽だったよ」「ビートルズがやったからそれが普通になったの！」。

学生時代、バイト先のエジプト人に「なんでアラビア語勉強してるの？」と聞かれたので、「アラビアンナイトが読んでみたいです」と瞳をキラキラさせて語ったら「え！あんないやらしいもの読んじゃダメ！！クルアーン読みなさい」って説教された思い出

馬鹿なキャラというか、作者が嫌いなタイプのキャラをそのまま醜く書いているのが見えてしまうと（見えた気になると）やや萎えます。逆説的だけど作者が嫌いなタイプほど魅力的な登場人物であってほしい。ただここは書き手の力量次第だしなー。

起こそうと思ったらいつでも産業革命を起こせるジジイ

何でも持ち込み可のドイツ語のテストに核を持ち込んでしまったが弁護士がめちゃくちゃ強かったので追試で済んだ人

アスカ「あんたバカァ？」

なんか嫌なシンジ「馬鹿と言いますと？(笑)」

昔から麻雀のルールが覚えられなかったりスマブラが異常に弱かったり人の話を理解出来なかったり、そういった積み重ねで「あ、賢くないな」と気づけたんですよね。そしたら自分は腕力を活かすしかないのかなって。＿＿＿ボストロールは目の端に涙を浮かべながらそう語ってくれた

正しい箸の持ち方が出来ないと怒られる理由が「スムーズに遺骨を拾えないから」だったら伏線回収凄いな。「食べることが出来たら箸の使い方なんてどうだっていいじゃん！」は確かにそうなのですが、遺骨を摘んで他の人に渡すという動作では恐らく「正しいとされる持ち方」が最適なので、それを暗に伝える為にマナーとして発達したとしたら面白いと思う。遺骨は刺して渡す事も出来ないし

オタクの人ってフリック入力でも「正論すg(ry」みたいな文字打つんだろうけどそういうのが面倒くさくないからオタクの人なんだろう

覚醒剤打つ人も最初の方は「あれ、本当にここで合ってるのかな？これ調べた方がいいのかな」って思ってるとしたら可愛いな。可愛い犯罪者だ

「料理のさしすせそ」でも「ドレミの歌」でもそうだけど「そ」は甘やかされ過ぎじゃないか？

街でよく見かけるマスクを重ねる「二重マスク」…した方がいいの?感染予防効果は?

>>マナー講師「…閃いた！」

「女性がたくさん入っている会議は時間かかる」森喜朗氏

>>支持率下げRTAでもやってんのか

舐められたくないから背中に刺身を入れようと思う

>>舐められないようにするなら、刺身入れた後にたっぷりのワサビを塗り込んでおかないとダメだぞ

交際止まりの女ってこういうことなんだろうね。

>>上告してなんとか再交際に持ち込めないかな…

ふるさと納税返礼品に「里帰り代行」　墓参り、実家の手入れ…　コロナで注目 - 毎日新聞

>>「ひっ……ゆ、幽霊！」「まあそう驚かないで……あなたのご先祖の都合が悪くて、今年のお盆は代行業者の私があの世から来ました」「えぇ……というか、私も代行業者なんですけど…」「えぇ…」

「お母さん、今日は英会話の日だよね！」　フォートナイトで学ぶ“eスポーツ英会話教室”が小中学生に人気（1/2 ページ） - ITmedia NEWS

>>『Fack you』　『oh』『miss spell』『Fuck you』　『Fuck you』　『good！』

ステーキ会食は緊急事態宣言前と首相 ｜ 共同通信

>>いま離党すれば戦後初の無所属総理になれるのに

イーロン・マスク氏、思考でビデオゲームをプレイできる技術を報告―現在は猿で研究中【UPDATE】

>>「テトリスにハマりすぎて、夜ベッドで横になってるときに頭の中でブロックが落ちてくる」みたいな話ではなかった

20年前に中国の「先行者」を笑ってたやつに聞きたいんだけど

>>こういう人のことを「事後先行者」と呼びたい

カレーにいつもコーンを入れ忘れるのでメモして店に行ったら、メモを家に忘れたことに気付いた あ～駄目だと思って買い物終わって帰宅したら、コーンを買い忘れていた

院長解任した旭川医大学長「動物的な勘、間違ってない」 [新型コロナウイルス]：朝日新聞デジタル

>>動物に大学を運営させるな。

>>獣医師の道に進んでいれば凄い名医になっていたかもしれない

日本のITのレベルは低く、向上がほとんどない

>>このエントリは はてラボが開発中のスーパーAI「AIちゃん」が実証実験のために立てたものです。AIと開発者とのやり取りに利用するエントリなので、関係者以外は書きこまないで下さい。［株式会社はてな］

最強のExcel使いがサボリ魔だ！とオフィスから追放され、田舎でパソコン神と崇められていたところから始まる『なろう系』はどうだろう？ - Togetter

>>「あ…あんた、一体いま何をやったんだ!?」「何って......ただのVLOOKUPだが？」

>>サボり魔と言われて追放された基幹システムの保守担当の俺、スキルがなく転生できず、Uberで日銭を稼いでいたら、仕様書がなくて改修できないからと元会社に呼ばれてウキウキ出戻りでリバースエンジニアリングの日々

病人が「あの最後の葉っぱが落ちたときにわたしも死ぬんだ」などとのたまうので、科学の力で葉っぱをどんどん増やしてから「どうだい」と尋ねると「どうだいもくそもあるか」と悪態をつかれるし、病人は普通に死んでしまうし、葉っぱの増殖は収まらないし。

「あなたの苦しみに同情はするが、あなたの主張に同意はしない」という姿勢が本来は必要なのだろうが、とかくヒューマンは「同情するなら同意しろ」「同意しないし同情もしない」の両極端に振れがちである

恋愛は甘い錯覚、結婚は残酷な理解。

FANZA開いたらトップに「性欲の秋」ってキャンペーンのバナーがあった　こうも堂々と言い切られたらそういうのがあるんだなという気にさせられる

AIが生成した絵のおかしなところを手描きで修整する仕事に従事する絵描きの男。実入りは良く、最初は楽な仕事と思っていたが、通算1万枚ほどを超えたあたりから、おかしな幻覚を見始める。現実の世界の人間たちの身体の一部が、解剖学に逆らって、見覚えのある奇妙な形にねじれているのだ…

【紀元前の逃走中】

狼煙だぁ

日本の国旗損壊 刑法改正し処罰規定検討 自民 下村政調会長

>>急にバングラデシュの国旗🇧🇩が必要になって、日の丸🇯🇵と緑色の絵の具しかないときに困るな…。

斉藤せち on Twitter: "YouTube大好きの息子は「チャンネル登録よろしくね」という言葉がお別れの挨拶だと勘違いしているよう。幼稚園やばあばと別れる時「チャンネル登録よろしくね」と言って周囲をドン引きさせている。"

>>「ばあば、あけましておめでとう！」「はい、おめでとう。これお年玉よ」「お義母さん、すみません……ほら、なんて言うの？」「スパチャありがとうございま〜す」

逮捕された容疑者全員にPCR検査実施へ 全国初 警視庁 | 新型コロナウイルス | NHKニュース

>>万引きで逮捕された××容疑者は、警察の調べに対して「陽性が出たのに入れる医療機関がなく怖かった。逮捕されれば専用の留置場に入れてもらえると聞いてやった」と供述しているということです。

職場でテレワークでなく出勤したいという声が出てきた…その理由が"「一等地の巨大ビルで働く」というモチベーション"にあった – Togetter

>>家賃取って住まわせればいいのでは

Spotifyというサービスを今知ったんだけど

これはどういうシステムで無料で聴けるの……？　有料会員費と広告料だけ……？ 昭和脳だから「これでアーティストさんたちは食べていけるの？？」と不安になってしまった。

>>民放テレビというサービスを今知ったんだけど…

政府、入院拒否のコロナ感染者に懲役刑想定 ｜ 共同通信

百歩譲って「禁固」ならまだしも、「懲役」だと作業中に他の受刑者に感染が広がってしまうのでは…？

パンツのちんちん出し入れする穴って使ってる人いるの？

>>「ちんちん出し入れする穴」ってなんか違和感あるな…としばらく考えたが、そこは「ちんちん出す穴」でいいんじゃないか…？

「案外簡単に漏れちゃう」どうして？オムツの効果を試すために街中で漏らしたら全然耐えきれない→有識者からオムツ情報が集まる

>>お漏らしの真似とて大路で漏らさば、即ちお漏らしなり

ダメージジーンズおじさん

>>つまり増田は「ダメージジーンズを穿くおじさんは駄目ぇジジィーんず」と言いたいのか

アメリカ政治 on Twitter: "彼のスマートフォンは単なる電話になったようです。"

>> mixiデビュー！(0)　日本の皆さ～ん！お知恵拝借！(0)　最近めちゃくちゃ落ち込んでいます…(0)　ありがとう…(1)　I'm realDonaldTrump, WE HAVE JUST BEGUN TO FIGHT!!!(54687)

口当たりの良い歴史用語

>>王政復古の大号令, 六波羅探題, ストン茶会事件（ダージリンは爽やかな口当たり、スリランカは渋みの深い口当たり）,愛新覚羅溥儀

「この状況辛い」お店側に"VISAのタッチ決済"が浸透しなさすぎてカードを挿してと言われてしまう問題

>>小さな郵便局の窓口で切手1枚買おうとしたらSuicaの表示を見たから「Suicaで！」と告げたら、その日が導入初日で、局員さん総動員でマニュアルを漁って決済してくれた上、「練習ができました！」と感謝された

時短営業要請に応じない飲食店も公表へ　政令改正へ調整（朝日新聞デジタル） - Yahoo!ニュース

>>店名を「打倒菅政権」とかにしてもちゃんと公表してくれるんだろうか

普段「ネット」と「リアル」の温度差って確認してる？

>>みんながヤフーやインスタを見てる時に自分だけこれみよがしにはてブを開いてブコメとかを周りに見せてたこと　しかも「このアプリって何？」って聞かれた時に「ヤバイ奴らの集会所みたいなもん」とか答えたこと

>>ネットもリアルも現実なのは一緒だからバランス大事よね。水は方円の器に随うってやつで、見るべきは器の形の方。はてなは方々に先鋭化した意見を見られるので器の形状はさしずめ星形だろうか（うまいこと言うた顔

「Twitterばかりやってるから人生が停滞してしまう」みたいなこと言ってる人は、仮にTwitterやってなかったとしても間違いなく人生停滞するからそこは胸を張って自分のポテンシャルを信じてほしい

「重力はどうして最弱なのか？」「重いものと軽いものが同時に落ちる？」重力の性質は謎ばかり

>>「ククク…」「重力がやられたか…」「だが奴は4つの力の中でも最弱…」

1000年後のサザエさん

>>最新の研究では、カツオという人物は実在せず、複数の人物のエピソードを１人の人間に統合して出来たイメージ、またはイクラによる創作だと言われている。

彼氏が出来たと思ったらタルパの妻子がいた

>>自分も10年くらい脳内友人がいたけど、ハンドルネームを脳内友人の名前に設定したら自分と脳内友人の境界が曖昧になって消失してしまった。もしかしたら消えたのは自分の方かも知れない。

オタク老害じゃなくて、ダメサブカルがオタクに負けたって話じゃね？

>>オタクカルチャーがメジャー化して薄味好みが主流になったことで濃いオタクの一部は住処を失い野生化し、ヒトを襲う害獣に成り果てた。人々は野蛮な兵器で野オタを攻撃するようになり生き残った野オタは危険な文字数

起きたらキノコの山を食べる習慣があるのだが寝ぼけているとイヤホンを口に入れてしまう

>>こっそりたけのこの山に変えて置いたら暗殺に成功する/あれ、たけのこの里だっけ。アルフォート派だから覚えてねぇわw

大仏の中に入れたいもの

>>コンピューターは階差機関の発展型の蒸気コンピュータにしよう。よく見ると歯車一つ一つがマニ車になっているのだ。

乳首を備蓄した

>>烏賊のとんびみたいなもんで、人間も捕食される側に回ったらオスの乳首の干したやつが珍味とか言われるんだろうな…と考えると悲しくなる。

映画館で座席に座ったら握り飯が無限に出てくるサービスって今はやってないの

>>裸の大将 劇場版 4DXかな？

タイムカプセルの中身が俺に届かなかった

>>私も20歳の時、タイムカプセルに入れた「成人になった自分への作文」が実家に届き、その中に「大学生ですか？楽しいですか？」と書かれており、当時2浪中の私、過去の自分に殺されそうになるという時空サスペンス

発達障害バカにする増田に腹が立ったから改変してやった 「おめーじゃねえ..

>>「はてブでさ…」って夫に話すと「またお前は闇のインターネットやってるのか！」って叱られてしまう。でも「理解したいから」ってスマニューにはてなタブを入れてくれてる。優しい。「闇のインターネット」で笑ってると、不意打ちで光属性攻撃を受ける。

参考として5年前に結婚相談所経由で結婚できた我が家を見てみよう

>>"2人ともオタクなので一線乗り越えると、まぁアレだね。今は子供が3人居ます" 何が「なので」なのか「一線」とはどこなのか「アレ」とは何なのかが全く分からずおれは堅く目を閉じた。見せてやるよおれのロックダウン

五月雨を集めて合成するとSSRになる最上川

>>課金すれば金がかかるなり法隆寺

定食屋でひもの定食を頼んだらご飯と味噌汁とひもが出てきた

>>割と本格的な店だと自分で紐をほぐす形式だから、ほぐし方が足りないとそういう感想になるのは仕方ない。慣れないうちは事前にほぐしてくれる店で食べるといいよ。

「ね」からはじまる食べ物はだいたいおいしい

だいたいで言ってしまうと、食べ物はだいたいおいしい。

痛いところ突かれるとすぐ大喜利に移行するのダサいよな

>>たまに大喜利するやつは痛いところを突かれている。いつも大喜利してる奴は現実に疲れている。

ドザえもんの映画

>>映画版に出られない溺杉が一番ドザえもん感がある

大量に食っても安全なものってないんか

>>歳を食いすぎても死ぬしなぁ。

世界中の「み」と「き」が入れ替わった。

>>アニマル浜口「見合いだー！」

グエー新団子🍡

長男「グエー」次男「グエー」三男「グエー」

見たら死団子か

テレビ番組のタイトルを悪意に満ちさせてください

笑っていいとでも？

逃げるの恥だぞ役立たず

すぐに元に戻さない

>>『最悪、家の鍵も閉めなくてもいいのではないかと思う』増田と似たような主義で鍵かけてなかったのだが，見知らぬヤク中が当てずっぽうで押し入ってきて6時間監禁されたことがあり，以後鍵は閉めるようにしている。

「世界に一つだけの花」の歌詞は2番がヤバい

>>タイトルしか読んでないんですが、私のデスクトップには「アンパンマンのマーチはクソ.txt」が眠っています。皆さんにはアンパンマンのマーチを聞いてアンパンマンの人権についてもっと考えて頂きたいです。

うち夫婦は「私が悪かったのは確かだけどその言い方は無い」的な不毛な諍いが発生しそうな時は「パーレイ」と発言するルールを採用している。「腹が立ってる事を伝えたいけど喧嘩したくない、協力してほしい」の意。

初めて核兵器を見た人「すごい熱と光！」

初めて文字を見た人「喋ったほうが速くないですか？」

初めて光速にたどりついた人「何も見えない！」

竹中平蔵 on Twitter: "Youtubeチャンネル「竹中平蔵の平ちゃんねる」を1月1日に始めます。チャンネル登録よろしくお願いします。経済や身近な話題を斬り込み解説。"

>>長年 国民に対する背信行為を続けてきた男が、今度は配信行為に手を出すのか

21世紀のことわざ【32GBのメモリが挿さって生まれてくる】ITリテラシーが高い家庭に生まれる、の意

「ビックリするぐらい手を貸してくれる人が増えた」異文化と付き合うコツは「お菓子を配る」ことだという話

>>大阪のおばちゃんのアメちゃんメソッドだ

R社のお偉いさんの娘さんが役立つ情報が無いかと親のPCをこっそり調べて「就職活動」というフォルダを見つけてワクワクして開いたら「リクルートものAV」が大量に出てきて泣いた話しする？

バッグの中に開封済みのスルメイカを入れていたらやべえぐらいバッグの中がイカ臭くなった

「僕が人生の全てを捧げて愛してるハードに一言でも意見を言われたら即死する呪いにかかってるコンソールウォーリアー」は至る所で日々活発に活動してるけど実際は各都道府県に3人ずつくらいで、声がデカいからたくさんいるように見えるだけなんですよ

松風の音がうるさいから、山から海に越しても、今度は波の音に悩まされるのが人です。どちらが豊かでどちらが楽しいかは、心の持ちようではありませんか。比較することに意味が無いように思います。

ビジネスというか仕事は「メタ的」になるほど虚業になるのではないか。

金鉱を掘る人、金鉱を掘る人にツルハシを売る人、金鉱を掘る人へのツルハシの売り方を教える人、金鉱を掘る人へのツルハシの売り方を教える商材を売る人…

昔の長老って行っても40,50くらいだったろうし知識の移り変わりも遅いから溜まった知見は重宝されただろうけど、21世紀の老人の知識は単に古いだけになってしまったんだよなあ。

ライブのMCで 世界で初めて「武道館〜！！」とか「東京ド〜ム！！」みたいなのを言った人、「何で今 会場の名前を？？？」って思われなかったのかな

実は私は「愛国心」といふ言葉があまり好きではない。何となく「愛妻家」といふ言葉に似た、背中のゾッとするやうな感じをおぼえる。この、好かない、といふ意味は、一部の神経質な人たちが愛国心といふ言葉から感じる政治的アレルギーの症状とは、また少しちがつてゐる。ただ何となく虫が好かず、さういふ言葉には、できることならソッポを向いてゐたいのである。この言葉には官製のにほひがする。また、言葉としての由緒ややさしさがない。どことなく押しつけがましい。反感を買ふのももつともだと思はれるものが、その底に揺曳してゐる。では、どういふ言葉が好きなのかときかれると、去就に迷ふのである。愛国心の「愛」の字が私はきらひである。自分がのがれやうもなく国の内部にゐて、国の一員であるにもかかはらず、その国といふものを向う側に対象に置いて、わざわざそれを愛するといふのが、わざとらしくてきらひである。三島由紀夫「愛国心」

耳が良すぎるブラジル人

「八木さん！？」

淫夢語は差別的だと思うから私ちゃんは露骨なのは使わないけど、読んでると面白いと思ってしまう。象は狩らんようにしても象牙は使ってる気分

自由でも民主的でも、党でさえない党

「冗談もわからないのか」と言われたら「それは冗談じゃない、まったく面白くない」「『これは冗談なんだけど』って言わなきゃいけないなら、それは冗談なんかじゃない」と反論しよう。

卑屈さも極まると傲慢になる

“老害” なる用語は高齢という社会的マイノリティーとしての側面を持つ属性を有する集合を悪魔化し、世代間対立を徒に煽動して各世代内部の格差を覆い隠す、年齢差別主義の道具にほかならない

この動画一番面白いのが「何で撮影してたの？」ってコメントに対して「チャンネル見てもらえばわかる」って書いてあったから、チャンネルみたらこの人5年間ぐらい毎日ゴミ収集車の動画撮影してたこと

三塁に向かって走り出してアウトになって審判につめよるアホのリアルバージョンやな

「Ｓｉｒｉ、革命を起こして！」と言ったら、「何時に設定しますか？」と答えられた。Ｓｉｒｉはやる気だ。

バイトを辞めるかどうかの面談をする中で、社員の人と「つらかったな」「はい、人間が向いていません」「向いてないな」「おおきな犬になりたいです」「犬もまあまあしんどいと思うぞ」「やっぱり波がいいですかね」「そうだな、波くらいがちょうどいいよ」という話をした

あいつらは情報を喰っているからホントに美味しいかどうかなんて大した問題じゃないんだ、金持ちは情報を喰っている

コミュニケーション能力に問題ある人間はミームとか定型文で会話ごっこするのが好きなんよ。淫夢語録とかなんJ語とかといっしょ、会話ごっこのための土台がモルカーなのか淫夢なのかネットニュースなのか

なんJみたいに定形文が発達してる板ってのはコミュ症にとっては都合のいい場所だからな。お互い一方的にもかかわらず表面上はコミュニケーションがとれているように見える。なんJは意思の疎通を捨てた猿ガキの溜まり場、書き込まれている内容は鳴き声に近い

やっぱりソ連は凄かった、日本が北方領土ガー言うても全く取り合わず、

向こうから領土云々言うてくることも全く無かった。ロシアは基本的にはソ連のやりかた引き継いでるけど、たまに領土の話言い出すことあるからソ連よりはだいぶ劣化しとる。領土問題というのは今現に支配してる側と支配してない側ではやるべきことが全く逆なんや。支配してる側は領土問題の話なんか絶対に言い出したらアカン、向こうからなに言われても「え？領土問題？なんやそれ？」という態度を貫くべきや。逆に支配してない側は1日も休まずに毎日領土問題を叫び続けなアカン。それをちょっとでも休んだらそのぶん領有権の根拠は失われていく。日本が支配してるのに尖閣についてわざわざこっちから領土問題ガナり立てて東京都で購入とか言い出す石原もアホやし、韓国が支配してるのにわざわざ「独島は我が領土」「とガナり立てて上陸までする李明博もアホや

ため撮りの量半端じゃないの、狂々童人(くるくるわらべんちゅ)の癖に用意周到なの逆に怖い

「歯を麻酔なしで削られ続ける」と「睾丸を麻酔なしで取られる」どっちが拷問としてつらいんだろう。

おれは左利きなので、右利きをベースにした社会で生きていくとき、日々細かくストレスを感じるのだが、女性差別ということを考えるとき、この社会は女性に対して“あらゆるレベルで”そうしたストレスを与えるようにできているということを前提に考えた方がいいね。今だってそうなんだよ。

昔はちょっとディズニー映画を馬鹿にしていたけど、美麗なグラフィック、子どもでもわかるストーリー性、大人の考察に堪えうる裏設定、重くなりすぎない結末、豊富な歌で決してこちらを飽きさせないんだよな。

死について考えたりすることが多いのだけれど、そういうテーマを共有できる友人がいることが自分の少なからずの幸せを構成しているな、と思う。

自分が認知症になることの何が怖いのかというと、それは畢竟自分というものがだんだん曖昧になって、溶けていって最後に何が残るのか、何も残らないんじゃないかという懸念によっている気がする。

本質的に認知症とは自分を形成する「記憶」が曖昧になる病気で、認知症について考えるとき自分に対する記憶の比率の高さに逆説的に驚くことがある。記憶なくして自分は自分たりえないのか、という驚きと恐れ。

「財布を拾ったので一円も盗まず交番に届けた」というような、当たり前ではあるけどちっとも当たり前でなくて、よく考えればむしろものすごい善行を「当たり前じゃん」で終わらせたくない気持ちがある。

CDの絶滅によって「お金を必死にためて買ったシングル」という、青春期の金欠が曲と結びついてつくる思い出もなくなってしまった。だとすると我々の次の世代にはどんな思い出が残るのだろうか。

「この人が作りました」の文字とともに生産者の少し恥ずかしそうなはにかみ顔写真がパッケージに貼られているのを見て、毎回「そんな笑顔だったらクレーム付けづらくなるだろ！」と思っている。子どもが親にわざと下手に出て怒られないようにするような類の、ちょっとほほえましい卑怯さがあるな。

毎回、スーパー入り口の「お客様の要望」の紙を見るのが好きなのだけれど、最近はもっぱら「コロナ禍なのに透明なシートなしで応対！感染させたいのか！」みたいな文面がきったない文字ででかでかと書かれた紙ばかりで、ウイルスがこんなところにまで出張して『多様性』を減らしているのか…と思った。クレームの多様性。

先程送らせていただいたFAXが届いているか確認のメールを送らせていただいたんですけども、届いているかの確認でお電話差し上げました。確認取れ次第、封書でご返答いただけますでしょうか。封書の方、こちらに届きましたら、お知らせの狼煙の方、上げさせていただきます。

すき家行ったら「お好きな席にどうぞ」って言われたので店長の座に座った

【ボカロ曲の歌詞考察あるある】

自殺か妊娠の二択

ロシアンルーレットも増量してくれる鶴瓶

先生「えー、クラス全員の給食費が盗まれた。犯人はCRまどマギ２、あれは糞台です」

自宅に招いた京都人が、「ぶぶ漬けでもどうどす？」と言い出し、家を乗っ取られた

「もみあげは自然な感じでお願いします」って言ったら芝生にされた人

食堂のおばちゃんはAppleのロゴを「リンゴのお残し」と捉えているため、いつもブチギレながらMacBookを使っている

子育て本を読んだ碇ゲンドウ

「エヴァに乗ってくれたら、お父さんとっても嬉しいな」

あたしンちのお母さんの口内っていつも真っ白だけど、めちゃくちゃデカい歯が一本だけ生えてるってことなのかな

吸血鬼に失礼な質問する奴

「血尿とかも飲めるんすか？」

【火を発明したりょうくんグルメ】

まじでこの世の全ての人類に教えてあげたいんだが僕が発明した火には全ての人間を虜にする禁断の魔力がある。これは調理に使え、暖を取れ、獣から身を守れるからぜひ全国の飢えに苦しむ者たち、寒さに凍える者たち、暗闇を恐れる者たち、全ての人類に伝われ！

吸血鬼に失礼な態度をとる美容師「どうすか最近、生き血すすってます？笑そうそう！僕今日のランチ、テラス席で銀のスプーンでガーリックライス食べたんすけど、ヴァンプさんこれ全部ダメじゃん！ってウケちゃって笑 弱点多過ぎでしょ！笑…はい、後ろこういう感じに…あ、映んねえのか笑」

裁判って実はやってなくて、「勝訴」の紙を持った人と「敗訴」の紙を持った人がよーいドンして先に外へ走り出た方の結果になるらしい

大学の友達が「顔、馬みたいだなw」と別の友達の容姿を弄った。するとアメリカ人留学生が「どうして？彼は馬よりも人に似ているよ」と言い、みんなハッとしていた。「馬に似ている」と弄るより、馬であることを前提として「人似の馬」と弄る方がOP(オモシロ・ポイント)が高い。日本は遅れていると痛感

馬に似てる友人のことを「ケンタウロスのケンタ成分が濃い」と言ったら殴られた

面接官「特技の欄に“嘘”とありますが…」

就活生「はい！小学生の頃、入院した子への千羽鶴をクラスで折らされたせいで別の子が腱鞘炎で入院し、今度はその子への鶴を折らされ、さらに別の子が腱鞘炎になるという地獄を見てから千羽鶴ってカスだなって思ってる」

面接官「キショすぎる。不採用です」

本を知らない人「なんか紙が集まってて草」

商人「こちらは、なんでも突き通す最強の矛！そしてこちらは、どんな武器でも貫き通せない最強の盾！」

客「いや、矛盾してね？」

商人「たしかに……」

——こうして『矛盾』という言葉が生まれた

失恋を引きずる林修「今でも」

校長が校長のゴーストと話の長さを競っているタイムアタックの朝礼

「あなたは119番を！」

「はい！」

「あなたは人工呼吸を！」

「了解です！」

「あなたはADHDを！」

「家出る時間まであと5分あるな…Netflix観よ」

“自由”の客引き

「お兄さん自由どうですか？意志あり、束縛なし、ただし責任が伴う」

一人の女性が街で石を投げつけられていた

イエスが民衆に訳を聞くと

｢この女は罪人だからだ｣と答えた

それを聞いたイエスは

｢ならば仕方ない

ただし、一度も罪を犯したことのない者だけが石を…

ちょっと待って！

《キリスト教プレミアム》なら

月額980円で罪を犯したことがある者でも投石が可能

生徒「佐藤君にやれって言われて……」

先生「じゃあ佐藤が死ねって言ったら死ぬのか！？」

生徒「いや…死なないです…」

先生「佐藤に対する忠誠が足りないようだな。“指導”だ」

強い不審者「お嬢ちゃん、お菓子をあげるから一緒に来て」

女児「え、でも知らない人だし…」

強い不審者「それは君が“知る努力”を怠っているだけだよね？」

留学に行った友達、どうしても会話で”pregnant”(妊娠中)が出てこなくて”Her child is in her stomach”(子どもが胃の中にいる)って言ったらクソ笑われたって話ほんとウケる 巨人か？

三国志をゲームにした「三國無双」ってのがあるんだけど、主人公たち武将が体力回復するアイテムが「点心」で、ボスと戦いながら隠れて肉まん割って食べてるの想像すると笑えてくる

“強い”小保方さん「私が、STAP細胞でぇす」

「オーイェー」と言いながら回転寿司で流れてきたわさびを2〜3袋まとめて取るワルイージ

【高校生クイズ全国大会の思い出】

横に石田純一さんが座った瞬間があって「キミたちはどうやって暗記してるの？」と聞かれて、誰かが「パターンや規則性を見つけるようにしてます」と答えたら、足を組みながら「なるほど…千里の道も一歩から、か…」と仰ってたんだけど意味はよく分からなかった

「それは、ひどく不気味な光景だった。アメリカという国はベトナムの泥沼を這いずり回って暮らす、数十万の我々全員よりも、月面にいるたった二人の男のほうがずっと心配していた。得体のしれない感情が込み上げてきた」

名文を効率よく摂取したい人は「パリは燃えているか」のコメント欄に行くといい。ぞわぞわと粟肌が立つような良質な文章を、あのすさまじいBGMとともに摂取できる。

「ドイツ兵の弾幕射撃は恐ろしかった。まるで切り抜けられる気がしない。弾丸が耳元をかすめる音が恐ろしい。次は生き残れるだろうか。」

ー連合軍兵士の手記。この4日後に戦死。

新・映像の世紀を見て改めて思ったのはこの曲は時代や場面によって悲観的にも、悲壮的にも、或いはただただ力強く勇ましくも聞こえるという不思議な曲だということ。歴史ドキュメンタリーのBGMでこれ以上に優れた曲があるのだろうか

「陰謀論にはまっちゃったけどなんとか抜け出しました」という有名人K氏のツイートに「北朝鮮による拉致があるらしい、と当時は言われてて、それを陰謀論だとする人のほうが圧倒的に多かったけど実際は事実だった、陰謀論だと切り捨ててしまうのもまた危ないよ」という慎重派のリプがあって、ほう、面白い考えだなと思って見てみたら、そこに「陰謀がないという根拠がない限り、陰謀論は否定できませんからね！真実は一つ」というリプもぶら下がっていて、きっさま…この野郎…という気分になった。

貴重な体験談をどれだけ見せられても本人たちは「真実は一つ」「トランプは勝つ」「陰謀論を否定する人達も陰謀を企てている」と言いだすので無敵だし、なおさらK氏の「変な妄想を止めてくれる友人がいてよかった」の重みを実感する。

まあ北朝鮮拉致が陰謀かどうかについては、必死にマスコミがファクトチェックをしたおかげで判明したわけだし、普段からマスゴミと言って彼らを叩いてる人間が、そういう時だけ誇らしげに彼らの成果だけをぶんどっていくのは納得がいかない気もする。デマを言う奴はただ言いっぱなしでいいけど、それを検証するほうは何倍も大変だし、骨も心も折れる。

SNSのこの仕組みが怖いのは、反対側のコミュニティーで反論しようものなら袋叩きに遭うこと。で、そっちには行かないようになるし、同じ意見の人だけで群れるようになる…社会の分断は、このSNSの仕組みがもたらしていると言えます

「自分の頭で考えられない日本人はコロナ自粛をしちゃうよね」っていう「#コロナは茶番」タグをつけて呟いてる人のツイートを見ていると、「自分の頭で考えろ」は「私と同じ結論になれ」と同義である気がしてきた

バトル漫画の「やったか！？」ってやつ、爆発は人体表面よりも臓器に直接ダメージを与え、見た目の怪我や自覚症状がなくても臓器や血管が挫滅してる場合が結構あります。なので煙の中から無傷のボスが現れてもその場は一旦退いて、3日くらい経ってから「あいつ死んだ？」って聞いて回るのが良いです

「謝ったら死ぬ病」と「謝った相手を絶対許さない病」は、たいてい併発します。謝罪によって発生するコストやリスクが大きくなりすぎれば、人は当然「謝らない」という選択肢を模索することになります。だからこそ、他人にそこまで過重なリスクを負わせる人の多くは、自分がそのリスクを負うことを断固拒絶することになります。

「お父さん」が子育てする風景が普通になると、今まで「一瞬見ただけの親子の何がわかるって言うんですかァー！！！！！」とやってたママ垢がすごい勢いでジェネリック姑にクラスチェンジして、一瞬見かけただけの「お父さん」にクソバイス飛ばし始めるの本当にすごいなって感心する。

陰謀論を信じる人の多くは「根拠がある」と信じています。根拠があるから支持しているのです。彼らの本当の問題は「無根拠で支持している」ことではなく「根拠にならないことを根拠だと認知している」点にあります。不透明な時代に根拠を渇望するのは分かりますが、粗悪な根拠にすがってはいけません

現実でも意義のある議論するの難しいのに匿名のネットではねえ。短文の断定口調で逆張りな意見を捲し立て、「俺たちはよく分かってる」と思い込む信者を集めた方が勝つ世界だから。ネットで議論の99%は時間の無駄。

ふざけたことをするタイプのVtuberとかYouTuberがコラボすると、コラボ相手に「うちの○○がすみません」みたいなこと言うファン絶対いるけど本当に気持ち悪い

いつも緊張して仏頂面で印象が悪かったのですが、これ見て面接に臨んだら、ちょいちょい思い出しちゃって面接官から「いい笑顔ですね」と褒められました。ありがとうございました。面接は落ちました。

共同体の存続のためには子供が必要なんでしょ。だから子供を作ってる人には税金を優遇して作ってない人からはちょっともらう。完璧な理論としか思えない

>>そう思ってルーマニアが独身税を設置したところ、偽装結婚が横行し、結婚前の独身者が貯金できず、失敗に終わった

ぼくの恩師は、大学時代に大学の色々な宗教サークルに入ってはやめてを繰り返して全制覇したと言っていた。どこもやめるというと「あなたは不幸になる」と脅されるのだが、別のに入ると「あなたの罪は消えた」といわれるのでOKなのである。最後はカトリックの洗礼を受けたという。

新隊員でいつも体力検定の3000mに合格できない子がいたベテラン陸曹が後ろから付いて喝を入れたがダメだった。だがある日、ベテラン陸曹が不在で可愛い3曹の女性隊員が後ろから付いて「頑張ろうね！」と優しい感じで応援すると見事合格した。アメのほうが強くなる人間もいるよって話。

出世する人をみたら組織がわかるって話、ぐうの音も出ないほど思い知らされてる

「人間関係や恋愛はトライアンドエラーができないから苦手」という話をしたら、「普通の人はそのトライアンドエラーを10代のうちに終わらせてるんだよ」という話をされ、ひどく納得した覚えがあります。

スーパーなどのレジでクレジット払いのとき，カードを自分で機械に差し込む方式が増えた．そういう店で「カードを抜いてください…」と言われて手を伸ばしかけたら「…という表示が出たら抜いてください。」だった．航空管制で仮定文が禁止されてるのを思い出した．

子供の頃、大人と話していて一番イヤだったのは、自分がおかしいと感じたことを、どんなに論理的に説明しても、「屁理屈」だと笑われ、真面に相手にされなかった時。で、理屈の通らない話が正しいとされたままになる、とか。もう少し年齢が上がると、「小難しい」といってまた嘲笑されるのだが。

この前、甥っ子(中学生)に「ネットがない頃って、みんなどうやって調べていたの？」と聞かれ、「人に聞いたり、本を読んだりした」と言うと、「それじゃ時間かかるでしょ？」「そう、調べる事に時間もかかるし、結局わからない事もある。そういうものだと思ってた」

そういえば、日本語の不得手な患者さんに現場で自動翻訳ツールを使って対応する看護師さん、受動文とか無人称文をだんだん避けるようになってきてて興味深かったです

放送大学, フルで休学して尚且つ除籍されない最低限度の単位を取得しながら在学し続ければ, 最低￥79,000で最長14年間学生でいられるらしい. つまり￥5,643/年 払えばGoogle系のサービスを容量無制限で利用可能で, 学割も (多分) 使えて, アカデミックフリーのサービスも利用可能ということになる.

高1の時、同級生を殴って自宅謹慎になった友達がいたんだけど、「このことが伝わったら皆が動揺する…」と配慮した学年主任が「道でお婆さんを殴って骨折させたので、今日から〇〇は自宅謹慎です」と説明したせいで、友達がより悪人に仕立てられることになって面白かった

まるちゃん、まともな仕事をしている人はまともな仕事であればあるほど守秘義務があって仕事のことは何も話せないから、SNSでそれっぽいことを大声で言っているアカウントは大抵偽物なんだよ。

地球とかいうただの岩に光を当てて回転させ続けたら人間とかインターネットとかツイッターができたの怖すぎる

【悲報】ビッグモーターで購入した車はエンジンオイル交換永年無料と説明を受けたお客様、令和3年2月より会社の方針が変わりオイル交換有料で案内され、全国でクレーム発生中。

「ノスタル爺」に対置するものとして「リメン婆」というものを考えたよ。

屁理屈って返されること自体がかなり嫌い。どう理屈が通っていないのかもわからないし、ただ手前の常識と違う意見をその一語でねじ伏せているように感じられる。屁理屈と言うならなぜ屁理屈だと思うのか教えてほしい。普段から自分がどう行動するか論理的に模索判断していない人にとって、都合が悪い理屈はすべて「屁理屈」なんだよね。オトナだからじゃなくて大多数の人は成人しても論理的に思考できないからだよ。

思い出した。かつて一番添削に困った小論文。彼女はヒトラーのファンでナチスの政策を徹底的に肯定した内容。文体は完璧で中身は私ではわからない専門的な内容だったので、世界史の稲田先生に内容の確認をお願いしたところ、思想はともかく、事実は問題なく、高校生のレベルではないとのこと。倫理的に問題があると判断した当時の私の答えはNG。

彼女は「ですよねー」といい、壊れたおもちゃを見るような目になったのは今でも覚えている。次の週、彼女は無表情で人権派のコピペのような模範論文を再提出した。ちなみに、余裕で慶應文学部に受かりました。余談だが、その答案に対して私がNGを出した時、彼女が私を心の中で切ったのがわかった。「あんたもか」って。さらに「慶應は思想の中身は問わないのでは？」との声も聞こえた。

これらを彼女は一言も発していないけれども。

> ナチスを肯定的に書いたことの是非よりも、 その後に全く逆の思想の論文を完璧に書けたってのがミソだと思う、 俺達が無意識に他人を測る定規は、 ある種の天才or奇才からみたら簡単にカモフラージュできてしまう程度の事なんだって

140字以内で必ずなんらかのオチや断定的意見がある文章を摂取し続けることで萎んでいく脳の部位

予備校時代、一番添削に困った「完璧な文体でナチスの政策を肯定した小論文」とヒトラーファンの女子高生の話

>>ちゃんと「（虐殺行為はNO）」と書かないと…

ネットの海に流せば生きた証がずっと残るからな。精霊流しだよ

静岡県のみんなは、「静岡県」が「しぞーかけん」と発音されることにもっと憤っていい。

逃げると「逃げグセがつくからダメ」って人いるけど、逃げ遅れて心がボロボロになって「傷つきグセ」がつく方が大変だぞ。うつ病の私がいうんだから間違いない。逃げグセの方が1000倍マシ。

経団連会長、森氏発言は「日本社会の本音出た」　広がる批判に「SNS恐ろしい」

>>なんか聖火リレー始まってる

10年前「非実在青少年」問題が奇襲的に盛り込まれガチのマンガアニメ規制になりそうだった際、動きの鈍かった都議会民主党の尻叩いて見直しまで持ってった立役者が蓮舫議員であるのって意外と知られてないんだよね。表現規制反対派から彼女は人気なさそうだけどそのことは覚えておいた方がいいと思う。ついでに言うと、児童ポルノ法にアニメ漫画を除外する際に大活躍したのが、(当時)民主党の枝野と社民党の保坂です。ツイフェミのいちゃもんじゃなく本当にヤバい表現規制はいつだって保守系政治家からやってきます。

M1後に傷つけない笑いとして持ち上げようとした左系の人たちが松陰寺の過去ツイで困惑し、一方で右系の人たちもコンビ名が韓国語由来なことに困惑し、結果的に左右両方とも大人しくなったのはちょっと面白かった。

気の長い話としては「倍率が低くて待遇の良いジョブが余っている」→「そのスキルを学ぼうとする女性が増える」という状態になって解決しそうなものだけど、現実には `▶▶x16` みたいな早送りボタンはないからな…

同僚が同僚に「お前の目、光が当たると焚き火の一番濃いとこみたいな色してる」と言ってて思わず席を立ってトイレにTwitterしに来てしまった…元気な人、ちゃんと人の目を見て話すから誰も気付かない瞳の色にまで言及できていいな　でてくる色が明治の作家かキャンプ狂か放火魔しか言及できない色なのもいいな

当たり前ですが、「学生は基本暇だからね」と言ってくる人は学生の頃暇だった人です

毛をはやせ！毛をなくせ！転職しろ！英語を学べ！毛をなくせ！毛をはやせ！

集団にありがちな「気づいた人がやる」ルール、マジでやめたほうがいい。気づく人はいつも同じで、気づかない人は絶対気づかないし、なんなら途中で「あなたの担当」に変換される。気づいちゃう人、200％ストレス。

これだけは言っておきたいんですが「就職したけど会社が合わなかった」「付き合ってみたら想像と違った」「ジムを契約したけど続かなかった」などは、人生においてマイナスどころか超プラスの出来事ですからね！！「トライしたらエラーが出た」って話なので、トライした分だけ確実に前に進んでる！！！

自分がちょっと詳しい分野の記事のブコメを読んだときの「ピンポケ・事実誤認・周回遅れ・見当違いな邪推・本文の誤読・どっからツッコんだらいいのかわからない」コメント率の高さは異常

東京地検が法定刑を超える求刑

>>被告「これはさすがに法定外でしたね…」

【Tips】

風俗嬢は土俗嬢につよく、火俗嬢にはよわいぞ！きをつけろ！

分身との100m走に負けてしまっている忍者

すごすぎる配信者

あ、菅義偉さん120ビットありがとうございます〜

ジョーバイデンさん、500ビットありがとうございます〜

メルケルさんサブスクありがとうございます〜

うおー！金正恩さん！10000ビットありがとうございます！！！

おれ日常会話に「！」ついてたこと一回もないのにLINEとかで「！」つけて送るのやめたほうがいいな

伏線回収と鬱展開が多いためオタクから圧倒的な支持があるAV

生活困難者、完全に敵視する人間よりやや手をさしのべる人間をより苛烈に攻撃するらしいので、こいつらその類だよ。素人が相手するのは無理なのでその手の専門家をさしむけろ

夫が毎回服を裏返して脱いで何回言っても直らず、干すとき毎回服を表直してたけど遂にキレて「もう服表直さないからな！！」と放棄したけど本当に何も気にもせず面倒臭がらず着るとき表直していて「あっこれ本当に要らない作業だったのか…」と気が付いて家が平和になった事例もありましたね

トイレットペーパーの紙、なくなるギリギリまで使い切って、次にするときに補充するスタイルを取っているので、シェアハウスには絶対に向いていないな、と思いました。

これは割とマジな話なんですが、ガラケーしかもっていない人間がアマゾンのパスワードを忘れた場合、パスワードを変更しようとするとガラケーに「こちらをタップしてください」というメールが届くので、液晶画面を無言で殴り続けることになる。

おれがツイッターで「ローマのまんこ ヴァギヌンティウス」とか言ってる間に中学の同級生に2人目の子供が産まれたらしい

Twitter等のSNSで騒ぎ回れるメンヘラ/陰キャは実のところ「上澄み」で、ガチで闇の者は底辺やクズ自慢でキャッキャしてる場にすら馴染めず、他者の関心も引けず「誰からも相手にされない」という形で封殺されている。往々にして自殺者が死んでから騒がれるのも、つまりそういう事。

ハズレの観覧客に前説する奴

ここまで来るとジャルジャルに興味ある奴に興味ある奴になってくるわ

まだ自分はジャルジャルタワーの住人じゃなかったんやなと感じた、ジャルジャルタワーの隣人やったわ

下痢みてぇな仕事で消耗して、帰ったら飯食って寝るだけ。川のせせらぎや夏の光、風の匂いをいつ感じろと言うんだ

食品ロスとか言われるけど人間ロスも同じなんでしょうね。はじめから要る分だけ作れよと言われてもそううまくはいかなくて、余って捨てられる分がいくらか出ることを前提に社会が回っていて誰にも止められない。

不況が（好況もあることを前提とした、そうではない一時的・例外的な状態を指して言う）不況だったころの思い出、かすかにある

どういう話だったかは覚えてないが小さい頃に母から聞いた「今は不況だから云々」の“不況”はそういう意味だったように思う。今はもう不況ですらないもんな。これが通常であって。

インターネットから急に姿を消した人は、以前よりもずっと幸せな毎日を送っているか、死んだかのほぼ二択。

いつでもやろうと思えば新しい人生を始められるんだという、大学生くらいのうちに抱いてた気持ちがどんどん薄れていって、人生が過去の積み重ねによってどんどん可能性を失っていくということを理解できるようになってきた

「ここしばらくなかったほど幸せな気分だと（前）大統領は語っている。ソーシャルメディアから離れ、ソーシャルメディアに渦巻く憎しみの連鎖にさらされずにすむのは、実に良いことだと話していた」

SNS上に大量の異常者を残して本人はインターネットから離れてのびのびしてるのいい話にも程がある

たまに病気をすると友達が「神様が休めって言ってるんだよ」と励ましてくれるけど、神様ならそんな回りくどいことせずに会社を爆破してほしい

ツイッタラーがツイッタラーに使う治安が悪いって言い方は要するに「ウチらメンツ濃すぎw」って訳せる

まだ2021年に入ってから1カ月ちょいだが、1カ月前にツイッターの皆が何に怒っていたのか思い出せなくなっている

人生限界になったらトランプが6億円配ってくれると本気で信じるようになるかもしれないしそれはそのときになってみなければ分からないのだろう

「なんとか致命傷で済んだ」というネタが使われすぎたせいか、本当に致命傷のことを軽いダメージだと思ってそうなアカウントをたまに見かける

ツイッターは誤字誤記を直さなくなってからが本番

ジャパン国、少数の人権を無視して国の発展を優先するわけでもなく、みんなの人権を大切にしようねと言って中国やロシアに強く出るわけでもなく、のらりくらりと中途半端にやっているうちに地球上から居場所がなくなってそう。

森元が公開でハラキリすれば国内的には責任取った雰囲気になるし対外的にも日本文化を発信できるのでもうこれしかない気がするが、何かあるたびに「暴動が起こる」とか言われるけどここ10年20年で一度もそんなことは起こってないし起こる気配もないし「俺キレたら周り見えなくなるし何すっかわかんねーから（暗黒微笑）」って言ってもなんだかなあというのはある

うっせえわはちっちゃな頃から優等生な人の怨嗟の曲なんですが、なんで優等生でもなんでもない凡人の皆さんが共感しているんですか？

「何者にもなれない僕だけど」「ダサくったっていい、転んだっていい」みたいな歌を、強烈な個性を持ってる上にイケメンな歌手が歌ってて、何者でもない上にかっこよくもない凡人がそれに共感してるのマジで何なんだ、天罰か？

風呂に入らないとスメハラになる可能性があるが無理に入浴を勧めると強浴罪に問われるのか

それでも、これからの社会は〜世界は〜とか価値観をアップデートとか言ってろくろ回してるなんかカタカナの肩書きが付いてる若手の起業家とか学者みたいなのよりは選挙で選ばれ続けてきた老害のほうがマシと思えてしまう何かがあるんだよな

うっせえわって何？　ボカロの曲？（加齢臭を噴霧器で撒き散らしながら）

体力とか気力とか諸々を組み合わせた「生存力」が減退しているので一週間走りきれずに木曜で限界が来る

今の株式市場の高騰とか見るに、もう「実業」なんて誰もやりたくないし、そもそも「実業」と「株価」とか(みんな知ってたけど)何も関係なくなってるんだから、みんな株だけやって事業辞めたらいいのでは。純粋な疑問だけど、株だけやって国民全員が生き長らえてる国とかないんだろうか。

｢コロナで失われた青春｣みたいなのを見る度に、「そんなもの、コロナ関係無く存在しなかったのだが？？？」みたいな気持ちを表明したくなってしまうのだが、まあ、そういうのをしっかりやっとけなかったから自己啓発にガチハマりしてその後スピリチュアルのガチ勢になったりしたんだろうな、という

人を右から左に流すだけで金をもらうのはけしからんというの、仲卸や流通業が何も価値を生み出してないって難癖に近いと思う。農協通さずに農業やってる人もいるけど少数派だろうしね

「アンチフェミに目覚めた」なんてわざわざ言わなくてもだいたいの人間はアンチフェミな気がする

SAPIXというか中学受験、昨今の流れとしては高学歴の親がPDCAぶん回して未就学児の時点から計画的に子供を動かす育成系RPGゲームにになりつつあるんだよな。子供の出来がよほど良くない限り、なんとなく家や車を売って重課金した所で太刀打ちできるはずもなく、ただの教育虐待になるだけという…。

子供4人を東大理三に突っ込んだお母様の御著書を立ち読みしても、弁護士の精子から優秀な素材ゲットした上で子供を洗脳して詰め込んだらRPG全クリできました！としか読み取れなかった。文科省が「考える力」とやらを問うた所で、親の言うことに反発しない従順な子がズラリと上位に並ぶだけなんだよな…

「四十にして惑わず」って、十分な知恵がついたからというより、惑うほどの欲望というかエネルギーがなくなったからという面が大きい

森元総理の失言に、欧州の大使館の人達が抗議のポーズをとるものの「ナチ式敬礼と同じポーズなのでドイツ大使館の人達だけ同じポーズがとれない」というバグが起きてるやつ。失言本体の数倍面白いみたいなところが起きてる（ナチスは面白いため）

割といい大学通った友人は多いが、高校の卒業証書が渡される順番が僕のほうが早かったので、あっちは中卒でこっちが高卒の時間があるから学歴で勝ってる時間があった事を自信に生きてる。

クラブハウスは、ツイッターにおける誤読によって分断された世界を、電話番号を知っている近距離から広がる関係でサシで話すことによって「縫い直す」ような感覚がある。ツイッターによる世界の傷を癒すために登場したメディアなのか、と思った。

意思決定には公の言語では言えないような語り方が必要とされる場面があるのであって、一元的に会議の場だけで済む話ではない。意思決定のプロセスには多層的な互いに閉ざされた空間が必要。何でもかんでも透明性とか言ってたら人間社会めちゃくちゃになりますよ。会議の現場でもっと積極的にいろいろ言ったほうがいいみたいな話って全然意思決定のリアルなことについてわかってないよね。

やたらクリーンな幼稚園みたいな店内になったモスバーガーより、うら寂しい吉野家の方がずっと元気が湧いてくる。

自分で自分をいじめるというのは自分に厳しいのではない。それは、自分の中にインストールされた「罰する者」（その存在は親に由来する）との闘いに負けるがままに流されているのであって、弱さである。しっかり自分を持ち、自分の価値観で生きることが、いわば「峻厳なるリラックス状態」である。

一個人が対峙する最初の資本家は親である。

クックック、我々の計画通りに地球は確実に温暖化しておりますな……（あまり聞かないタイプの陰謀論）

リベラルは特に「社会が分断されている」ことを危険視したがるが、分断がなければ衝突も起きないんだぞ。本当に分断がない方がいいのか。右派は右派と、左派は左派とだけつるんでいる今のツイッターを見てみろ。もう一度問う。本当に分断がない方がいいのか。

よく日本人は「神様を信じない」「宗教観がない」という。でもそれは結構な確率で間違っていると思っていて、その理由は本人が自身の宗教観を言語化できていないからだ。例えば山形県にはムカサリ絵馬の風習がある。

先にあの世に旅立った子どもの冥福を祈り、その親が架空の妻や夫と結婚させる、という儀式なのだが、これを聞いて何も思わない、という人は珍しかろう。気持ち悪いとか不自然とかかわいそうとかやめてほしいとか、そういった感想が出てくるはずだ。

自文化はその中にある限り常に透明で、他文化はそれに比べて優れている、あるいは劣っていると感じられる。文化であるところの宗教も同じだ。だから他文化と比較して、いったい自宗教が何を重んじているのか、よーく考えてみる必要がある。日本人の宗教観をいい加減に捉えている人に足りないのは、日本文化の知識というより他文化の理解なのではないか。

「ツイートする」は私の中では紛れもなく「ツイートする」であって、それは「言う」とか「書く」とは明らかに性質を異にしている。本来tweetは英語で囀るの意だったが、ツイッターの普及により二次的にtweetに「ツイートする」という動詞が追加されたことはまさしくこれを意味していると思う。

言う、書く、問いかける、尋ねる、怒る、無視する…「ツイートする」はこのどれでもなく、どれでもあり、それを誤解する人々によって日々新たな悲劇が演じられているのだろうか。

新しいトレンドに軽々とついていく老人がかっこいい人として言われ、そのかっこよさはわかるが、自分が生まれ育った時代の文物というのは実存の核心をなしているから、それを大事にするのは自分の体をいたわることで、必要なことだ。

自戒をこめて言うのだけれど、哲学者でもなければ哲学の学位もない、論文さえ読んだことない人が「哲学の権威は地に堕ちた…ククク」と誇らしげに宣言しているのを見ると、お前の足はどこに着いているんだ、と問うてみたくなる。ジェンガの根本をわざとゲームの外から揺らしてみたくなる、そんな類の破壊衝動。

自分の人生の問題を、個として、秘密として引き受けて弁証法的に成長することが難しくなった。今は個の人生の問題にすぐ公衆を巻き込むことができてしまうが、それは人生に向き合わないことに相当する。これだけネットが普及した今、「私的なことは必ずしも政治的ではない」とむしろ言うべきである。

それにしても、強い性欲があることを病理化しようとする言説っておぞましい。そんなのは人生の問題の一つです。そこで想定されている「普通」とは一体何なのか。人間なるものはまさに他の動物に対して過剰さが本質なのだから、病理化を言い出せばありとあらゆることが病理化されますよ。

YouTubeで陰謀論動画とか観てる人の多くは、「そういうものが陰謀論と括られていること」をたぶん知らない。たぶん世の中には、陰謀論動画を見てハッとして、それで人に初めて政治の話をした、という人がいるのだと思う。社会に対するメタレベルにそれで初めて気づいた、という。それは困ったことだが、だがその、「自分にも政治が語れるんだ」と思ったその瞬間は、僕は純粋なものだと思う。

陰謀論に惹かれるのは知的コンプレックスで、「表の知識」に対して「裏の知識」で一発逆転を狙っている、というのはそうだと思うが、必要なのは、それは知識社会の格差問題だという認識だと思う。陰謀論はもちろん問題だし、その内容は批判する必要がある。だが、大衆文化的な陰謀論好みに対する、インテリのそれはそれで素朴だと言うべき軽蔑の表現を見ると、それでは分断は深まるばかりだ、と悲しくなる。

大人になるっていうコトはね、「ライス大盛り無料ですよ」という言葉に負けずに「普通盛りでいいです」って言えた時だよ

味噌汁に入れる大根を買って店を出て歩いていたら、おまわりさんに呼び止められた。「すみませんちょっと話を伺ってもよろしいですか？」どうぞ。「その、袋から見えてるもの、それちょっと見せていただいてよろしいでしょうか？すみません」はい。「あー、お兄さん、これ刃渡り15センチ以上ありますね、銃刀法違反になりますのでちょっと署に来ていただいてよろしいでしょうか？」いやこれ、大根なんですけど。「お兄さん、そういう冗談はいいですから…とりあえず署に」みたいな類の理不尽でしかも恐怖めいたエピソードを統合失調症患者の一部は常に抱えているのだと思うと、なんか無下に陰謀論といって軽蔑する気がなくなってくるような。

田舎者が都会の駅の改札でモタモタするのは鬱陶しがられるが、都会の人間が田舎の路線バスの距離制運賃を理解できずに降車時に運転手にイライラされながらモタモタ両替して遅延させるのは悪いと思われずあまつさえ運転手の態度が悪かったこれだから田舎はとインターネットでお気持ち表明される

"自然とコンビニが徒歩圏内とドンキとイオンが車で10分以内でAmazonの荷物が翌日に届く便利な田舎"って、地方でもレアな立地だな。特に、ドンキとイオンが車で10分以内という感覚は決定的に間違っている。車社会の人間は週末にドンキやイオンに数十分かけて向かう。ときには高速すら使う。そうだろう？

宿にチェックインして荷物を放り出してベッドに寝転がったとき天井に「←Qibla」の表示が見えるとイスラム圏に来ているなという感じがする

「観光地が日本人を大切にしなくなった」→×

「日本人が観光地を大切にしなくなった」→○

一連の観光業叩きもそうだけど、なんで理解進まないのかねぇ

「落ち着いたら～」って言うけど殆どの人が「行けたら行く」感覚で言ってるんじゃないかと邪見してしまいそう

鬼は〜外！

福は〜内！

おまえは・・・此処(Twitter)

子供の顔と外国旅行中の現地の人の写真がネット公開基準がガバガバになることでよく知られています。国内旅行中だと現地の人の写真をあげないのに外国だと上げまくる人の倫理観は本人が気づいてない事が多いので怖い。

愚かな人類に絶望した博士が殺戮機械を作るも、目標を「人類滅亡」ではなく「最大多数の人類の殺戮」と設定してしまったために「人類を短期的に絶滅させるより未来永劫繁栄させたほうがスコアが増える」と判断して人類の繁栄を助け滅亡を回避させ続ける（その影で一定数の殺戮は続ける）殺戮機械

田舎の駅の待合室とか公民館に貼ってある老人会の川柳、「物忘れが激しい」「元気なのに病院に行く」「最近の流行語を聞き間違える」「妻が老けて別人になった」あたりが鉄板ネタっぽい

オタクはオタクが叩いているので優れていると思う

9割が緊急事態宣言を続けてくれと言ってて、じゃあみんな警戒して家にこもってるかというと全然そんなことはなくて、こんな民族をまとめる政治家なんてよくやってるなと思う

俺が緊急事態宣言を無視して旅行をしているのではなく政府が俺の予定を無視して宣言を出している

土曜朝の「今日は労働がない」と再認識したときの感情を凝縮して錠剤にして携帯したい

インテルネッツ空間自体の都市化というか「都会の大卒以上のホワイトカラーや専門職」以外は人とみなしてないわりに弱者に優しいようなことを言う（べき）風潮がかなり無理になってきているのは本当にある

「別に○○が悪いなんて言ってないし差別もしてませんよ。ただ我々がうっすらと共有してる常識を守ってくれさえすればいいんです。人間なら誰でもできるじゃないですか」みたいなね

古いネットスラングを用いる民が存在して叩かれており、インターネットにも後進性を理由に叩いていい"田舎"があるんだなという感想が生えた

今日もインターネットは、食い散らかされたシマウマの死体を見ては「どうしてシマウマが食われなきゃならないんだ、可哀想に！」と怒り、飢えたライオンの死体を見て「どうしてライオンが飢えなきゃいけないんだ、可哀想に！」と怒るのを交互に繰り返している

体育会系の風習がなくなるはずないので「スポーツ特区」を作って全部そこにぶちこむしかない。入口に「この先日本国憲法通用せず」と書かれた看板が立っている。

「そして半年が過ぎ」とナレーションで済まされるような日々を送っている気がする

音声版Twitterって何、「ううー」とか「助けて」とか聞こえるのか

“強い”学生「学生時代はTwitterに力を入れていました。個性ある独自のツイートにより、1年間で10万ツイートをし、最大18万RTを達成しました」

“強い”面接官「ダウト。1年で10万ツイートだと確実にスパム判定で永久凍結。帰っていいよ」

2年くらい前なんだけど、中年が「草」とか「陰キャ」とか唐沢だとか淫夢だとかずーっと（もしかしたら今も）言ってたの、もう本当に見てられなくなった時があった。氷河期世代の我々は、もしかしたら色んな成熟の機会を奪われたまま歳を重ねてしまったのでは、と不安になった。

つらい人を見るとつらくなるし幸せな人を見てもつらくなるので、もう海や草原などしか見たくない。

国旗損壊罪が施行されたらTwitterの日の丸アイコン全員処罰対象になりかねないけど大丈夫か

「感染者が減って五輪開催」や「感染者が増えて五輪中止」よりも「感染者が増えたけど五輪開催」の方が楽しいと思うから、内村航平選手には頑張ってもらいたい、最終的にはキャンプファイヤーにしたい

オリンピック正直無理そうだけど名称を今から「大東亜オリムピツク」にすれば親日国と自称右派がやってきて無事、開催されそう

初音ミクのイラストで検索すると髪の色が一定しないのは色盲の影響、って話は割と信じている

精神が滅入ってきたときは小説家になろうのハイファンタジーランキングを見て気を落ち着かせている。

布団からおじさんの匂いがするので消費者センターに相談してる

真面目に考えると400万人中10人に副作用が出たと書いただけで反ワクチンだ～反社会だ～とヒステリーを起こす人の存在の方がこええんだよな。ごく少数とはいえ確実に出てくるものを公衆の敵扱いして封じる気まんまんにしか思えんもん。

今のｲﾝﾃﾙﾈｯﾂではワクチンとか薬に対してはその弊害に注目すること自体にリスクを過大視させる悪意を読み取るのが「正しい態度」になっているから、そのようにすることで連帯感を高めるというか正しい認識を持つ仲間であることを確認する作業みたいになってるのは実際あるだろうな。次々と流れてくる情報に対して、周囲から叩かれない方をすばやく選んで○×ボタンを押す作業よ

「議論の余地はない」と「議論を深めていく必要がある」を都合よく使い分けて君も最強になろう

人によって表示されるコンテンツや検索結果を変えたり過激な発言で注目を集めて信者を増やせば広告収入や投げ銭が貰えるような仕組みを作ったりしておいて「社会の分断がー」とかアホ臭すぎるし巨大アイテー企業が今すぐ個人情報の収集やカスタマイズや広告をやめろ

プペル擁護じゃないけど、“本当に面白い作品なら二次創作が溢れる論”は普通に嫌なタイプのオタクの嫌ポイント詰め合わせ感あって嫌い

自分で自分の機嫌を取る、最近めちゃくちゃいわれがちなフレーズ化してきて危うく感じる。自分で自分の機嫌とは「100％コントロール可能なモノであり、これを実現出来ていない人間は社会性がなく不完全である」くらいの勢いになりつつあるのを感じる

何が人生だ、人生を考えた奴はバカ

嫌なワクワクさん「まずは画用紙に円を描いて……メモ取らなくて大丈夫？」

なんか最近は「若い頃は威勢のいいことを言ってたのに歳をとったら言うことが変わって老害化した」とか言われないために比較的若いうちから年寄りじみたことを言っておこうみたいなのもひとつの流れとしてあり逃げ場がなくなってきた

夜間大学時代、60歳くらい、どの講義で見かけても最前列で熱心にノートを取って聞いてたお爺さんがいたんだけど、ある時チラッとノート見たら「フリーメーソンの陰謀」みたいな記載ばかりで、人に聞くと「そもそも学生ではない、数年前からなぜか授業に出ている人」と聞いてビビったことがある。

僕の人生って僕がどうなるための時間なんですか？ずっと苦しいままなのですが

社会は異常独身に強く、異常独身はコロナに強く、コロナは社会に強い。これぞ三竦み

オタク、アニメみたいな「これは虚構ですよ」ってちゃんと教えてくれるコンテンツにはハマれるけど、文化祭や学生団体みたいな現実と虚構が入り混じったコンテンツにはハマれない傾向があり、その理由を突き詰めると発達障害者特有の「心の理論」の欠如に行き着く。部活動の「絶対このメンツで全国大会優勝目指そうな！（でも人生全部を犠牲にするわけでなく一流のトレーニングを研究するわけでもない）」というどこまで本気なのかよく分からないノリに付いていけないやつだ。

少子化って大きな問題が二つありまして、一つは若者が減るという世代的な問題なんですけど、もう一つの「自分の子孫を持たない人の増加」という側面も見逃せないと思うんですよね。最近は、「将来なんてどうでもいい」と思っている人がガチで増えているのを強く感じてしまうんですよ。

一年生の児童に折り鶴を教える朝学習の際に、おれだけが鶴を折れず、周囲に助けを乞うでもなくただ固まっていた小六のあの日から、職業体験で近所の信金に行った際に、おれだけがいつまで経っても札勘定をうまく覚えられず職員に苦笑いされた中三のあの日から、何かが、何かがおかしいんだよな...

仮に子どもを産んでいないということがひとつの欠如であるとしても、それは経験の欠如ではなく欠如の経験です。

たまたま引きこもり生活もひとりでの食事も平気な性質に生まれついたけど、逆に「感染対策のために毎日外でフットサルやって3食とも必ず4人以上で食べましょう！」って言われたら死ぬほどしんどいだろうな…

うちのアレクサに「"あの"事件の死体の隠し場所教えて」って言ったら、なんか数字の並びが２つ返ってきたんだけど、怖くてそれ以上調べられない。

うっかり「東京オリンピックは中止になった」と言った人が“職業訓練センター”に連れていかれ、帰ってくると聞かれてもいないのにオリンピックの楽しかった思い出を語り始める2022年

昔はオタクは「知識量」でマウントを取り合ってお互いの愛の深さをアピールしていたがネットの発達で中々それは難しくなり、今の時代は「独自の考察と解釈をする」と「とにかく金を使う」がオタクの愛の深さの指標になってるってマックにいたドイツ在住の女子高生が言ってて電車は拍手喝采でした。

オタクが喧嘩する理由は推しと解釈違いとかこだわりじゃなくてみんなほんのり性格が悪くて社会性が低いからです。

俺って何も生まないから復讐かもしれん

同人誌のバタコさん「アンパンマン！新しい『穴』よ！！」

独身中年男性が黒いシミとなり土壌に浸透し長い時間をかけてやがて石油になり産業活動を支える

今日寝てる内に死ぬかもしれないのに数か月分のサプリまとめ買いとかしてるの、たまに不思議な気持ちになる

「驚きを隠せない」というのも「目撃者は驚きを隠せない様子でした」みたいに他人の状態を述べる言い方だったのが最近は「驚きを隠せません」とか自分で言う人が増えたよね。「憤りを感じます」みたいのもそう。テレビの見過ぎ。

>>シークレットベースの歌詞「僕は照れくさそうにカバンで顔を隠しながら」にいつも感じていたモヤモヤ、これだった

叫び声を上げるとハンマー投げの記録が上がると聞いたので、今度からはキャラクターにぶっかけるときに「ごめん出ちゃう出ちゃう」等、呟いてみようかと思う。興奮して飛距離が上がるだろう。

ARuFaっていとこの兄ちゃんぐらいがいい距離そう

ブーメランを返す人のことを「手首が柔らかい」って表現してる人がいて、婉曲表現の鬼だ！と思った。

一人称が「先生」の先生の地雷率、まあまあ高がち

Whataboutismが何か調べて見たけど、綿帽子関係なかった

ゲーム（競技）というものはそもそも暴力性を内包しているものだけれど、「クイズ」というものはゲームに強いというだけでなく、学歴や頭の良さ、知識の多寡とか、本来はゲームとは無関係なものが付随してくるからコンプレックスを刺激するんだろう

神輿は軽い方が担ぎやすいってやつかもしれん。大なり小なり“マトモなもの”を理解するのには知能が必要だけど、とりあえず声高にヘイトやマッチョイズムを叫んで「何も考えず俺についてこい」してくれる人を持ち上げるのには労力を要さない。脊髄反射で何も考えず担ぎやすいのを担いでるのかもしれない。むしろ学術会議をはじめとしたアカデミック、科学、イデオロギーへのアレルギーってその構造から来てるのかもしれん

第4回オタク川柳大賞「聞いてない 誰もそこまで 聞いてない」

人生って、赤ちゃんを入れると死体が出てくる暗い箱のことらしいです

ブレーキランプ1112324493回点滅

ア・イ・シ・テ・ルのサイン

「いい質問ですね」「あー素晴らしい質問！」みたいなの、実際に言われるとめちゃくちゃ嬉しいので、もはや質問してきた人に毎回言っていきたい。もう質問とかしてこなくても言いたい。

でも「いっぱい出たね♡」（♡はエロ同人誌みたいな形）「いっぱいぴゅっぴゅできましたね～」とかは、けっこう好きなのよ。これ「ぴゅっぴゅ」という言文一致が非常に大事で「びゅっびゅっできましたね～」は本当に無理受け付けない　「びゅっでき」の「っ」をどう発音してるのかが気になってもう萎える

ワイら、思春期で失ってきた「人間らしさ」を大学とか大学院で拾いなおしててちょっとRPG終盤感ある（これまで辿ってきた旅路を振り返りながら7個のオーブを集めていくみたいなやつ）

バイト先の店長から「今からバイトに出られないか」といきなり電話がきて面倒くさいし断ろうかなと思いながら誰と一緒ですかと聞いたらかわいい女の子と一緒だったので「う〜んまあ…僕しか人いない感じ…ですよね？」とあくまで仕方なく行く感じを出しつつも笑顔で1軍のジャケットを羽織ってしまった

パパ、（セックス）「最中です」ってツイートしてる奴らのアカウント全部に「美味しいですよね」ってモナカの画像を送りつけるアレやりたい！

真面目に考えて今の就活生も大変だけど、オンラインで1年を終え2年目に突入する大学1年生が大学3年生になったときに、「何してきましたか？」って聞かれるのが死すぎる。絶対に、真面目に自粛してきた人より、今外に出てる人が評価されるんだろうな。

私の最愛の人が親友にプロポーズしてました。ショックです。さすがに親友はYESとは言わなかったとのことだけど、そういう問題じゃない、、。

3歳の息子です。

ケーキ屋でMaimaiしてそう

小4の頃、転校したおかげでソーラン節を2年連続でやることになり、初日から完璧に踊れるヤバい奴がいると噂になったことがあるんですが、最終的にキレキレになってしまってノリノリでソロパートをやったことがあります

そいえば今日胃カメラの結果見せてもらってる時、お医者が「ここ…何か気付くことありません？」て言うので、えっ？また腫瘍？てドキッとしたら「去年僕が切除した痕なんですけど、すっごくきれいじゃないですか？」て言われた。めんどくさい恋人みたいな言い方やめてほしい。超完治してた。

世界一幸福な国だったブータンが、最近になって突然下落したのは、インターネットで他国の経済規模や生活水準が分かる様になったからだとも言われてる

これを見るに…自身が幸せであるためには、あえて情報を遮断して、自身の人生だけに集中するのも全然アリだと思うな

トレーニングを知らない親切な人「俺1個持つよ」

ポケモン映画で、人間に捨てられたゴクリンが抱きしめられると凄く嫌がる理由が「捨てられる直前に抱きしめられたから」っていう、最後に人間からもらった愛情がどんなに酷いことよりも惨いトラウマになるっていう展開が哀しすぎて、僕のトラウマになった。

今日知って驚いた事：街のタバコ屋のほとんどが戦争未亡人だった奥さんに国が優先的にあてがった職業であり、新規参入は基本的に不可能という事

『お互いにきしょいと思い合ってる奴』ジャルジャルのネタのタネ

youtubeのコメント欄ってこんな感じだよね

【ニコニコしているときあるある】

「ニコニコしてるね」と言われ、ムカつく

｢そういうとこやぞ｣だけで完封する最強の検事

今ソルティライチを飲みながら羊羹を食べてるんだけど、合うとか合わないとか以前に｢俺が悪かった｣という気持ちになる。

スーパーの従業員ですが、半額シールは、お願い買ってくださいと願いを込めて貼っているので、堂々と買ってください。

「文法的には全く可能だけど、全然言わないな」みたいな表現があって面白い。「飢えられる」とかいつ使うねん。「天皇が飢えられました」「今日、飢えれますか？」

【悲報】ワイの彼女、浮気されていた…

コントの冒頭とかで芸人が電話してるとき、通話内容を観客に知らせるために「なんだって？○○が、○○だって？」と不自然に繰り返すシーンが好き。観客がいる限りコントは絶対に日常にならないことを実感する。

めっちゃくちゃ自殺願望が強い奴がたまたま銀行強盗の人質になって、その死にたさに犯人もドン引きするが、絶望ゆえに強盗に走った犯人と、死にた過ぎて振り切れている人質との間に友情が芽生えていくみたいな映画が見たくなってきた。誰か、作れ。

チキンラーメンを食べるまでに上下するテンション

>>遠足みたいな食べ物だな。

友にぬか床買った話したら「そうなんだ…」って感じだったのによくよく聞いたら去年やってた上に信じられないくらい詳しくて、水気が出やすい野菜がどれとかぬかが水っぽくなった時の対処法あれこれとか聞けば聞くほど出てきて、そんなにハマってたのにもうやってないの?!て聞いたら、やればやるほど奥深くて、自分のぬかを育てるのが楽しかったはずが、段々次何を漬けてどういうぬかにしていこうかと常に考えるようになり、もう「自分がぬかに漬けてたはずがぬかに漬けさせられてるのでは？」みたいな訳わからない境地になり疲れて辞めた言ってて、爆笑してしまった。

『あまりにも感覚違う奴』ジャルジャルのネタのタネ

一個だけでも感覚合えば友達やん

本当に精神がしんどいクイズ王「私がしんどい原因といえば3つありますが、その原因は尿路結石と自殺頭痛と、あと一つは何でしょう？」（A.糖尿病）

いま電車で女子高生たちが「あいつ高橋と付き合ってること誇っとるやろ」「マジ？be proud of やん」って言ってた

キチガイのび太「ドラえも〜ん！小さくなって大きくなって小さくなって大きくなって小さくなって大きくなりたいよ〜！」

できるドラえもん「ガリバートンネル！ビッグライト！スモールライト！からだポンプ！細胞縮小機！タイム風呂敷！」

【ミラノ風ドリアがディズニーで売られていた場合の名前と値段】

グーフィーのよくばりドリア 860円

「部長、マジで最悪なんだけど......」

【最悪の理由】

・得体の知れない灰色のお湯を常に持ち歩いている

・電波人間のRPGに85万課金している

・モロヘイヤしか入っていない弁当を毎日持ってくる

・私刑を「わたくしけい」と読むし、してくる

【マリオパーティにセクハラのミニゲームがあった場合】

ハラハラ! セクシュアルハラスメント

「サーキットブレーカーって知ってる？」って近所のガキ共に聞かれてゲーム？って聞き返したらクソ馬鹿にされた。どうやら経済の用語だったらしい。こちらも「減価償却って知ってる？」と聞いたらガキは全員知らなかったので、社会の厳しさを分からせるために全員にゲンコツを喰らわせた。強くなれよ。

揚げ物食べて胃がもたれる、という経験をしたことがない。日常でたまに襲ってくる体の不調は毎回揚げ物食べた後に来ているのに、自分がその因果関係に気付いていないだけかもしれない。これを意識したせいで揚げ物食後の胃もたれに気付いてしまったら人生が欠けるので、このツイートの内容も忘れたい。

今晩寝て明日の朝目が覚めると皆さんの記憶が改竄されており、2020年に東京オリンピックが開催された思い出が脳に植え付けられているはずです。記憶の中に違和感や矛盾を感じてもそれを追求してはいけません。下手に嗅ぎ回れば組織は精神病棟という名の監獄にあなたを閉じ込めるでしょう。

真意がなく主旨も一貫していないただの奇怪な文章を、みんなそれぞれ自分に都合良く解釈して批判したり擁護したりしている。

混沌が好きなので、去年の今ごろはオリンピック中止になった方が面白いと考えていたが、今はオリンピック開催して欲しいと思っている。

私はウンコを食ったことがないくせにウンコは不味いと決め付けており今後も食べるつもりはないので、真実について語る資格が一切ない。

街で見かけた変人を撮影した動画が伸びる。するとそのリプ欄で「これお前だろww」と関係ない友達をメンションで呼び出すノリが最近のTwitterにはあるっぽい。bioを確認すると全員2019年以降にTwitterを始めており、中高生くらいと推定できる。皮肉とかじゃなくて、楽しそうだな、と思う。

絵本作家が作ったSILKHATっていうクラファンサイト。支援者が到底集まりそうにない企画に似たもの同士のサロンメンバーが集まって互いに銭を投げ合って何とか体をなしてるっぽい(手数料は吉本興業に入る)。お互いライブを観に行き合うことで集客ノルマを成り立たせてる学生バンドマンの構造と似てる。

「どんどん面白い事やっていきましょう！」とか言いながらチケット100枚手売りさせられてた人達、自分で面白い映画を作ってみるとかクリエイティブな方向に向いてればもう少し未来は明るかったと思う。

今やっと一軒目プレゼント渡し終えた。無断で人ん家入るのとか初めてだからめちゃくちゃ緊張したし、今でも心臓がバクバク鳴ってる。子供たちを笑顔にするためとは言えどう考えても犯罪だし、もう二軒目行きたくない。こんなの一晩中続けたら完全に頭おかしくなる。

「逃げていいんだよ」じゃないんだよ。エンカウントなしの装備をくれよ。

反対意見が多いことからTwitterは嫌いボタンの設置を取り止め、いいねボタン、RTボタンも廃止にした。かわりに新しく実装された死刑執行ボタンは3つあり、どれか１つが本物だという。ボタンは一人でいくつでも押せるので3つ全部押せば確実に死刑を執行することができる。

女のアルファのツイートを石板に彫りまくって、未来人にこの頃の日本は特に終わっていたと思わせようかな

刑務官「お前が新入りか、まぁ緊張せず気楽にしな。リアル脱出ゲームだと思ってくれていい」

新入り囚人「リアル脱出ゲームだと思ってくれていいって言いました？」

タレントやキャラクターの名前を検索窓に入力すると「○○　かわいい」と出ることがあり、○○をかわいいと思っていて、その感情を共有し確かめたくて検索した人がいっぱいいたんだな……となんか少し嬉しくなる。

「ディズニー・プリンセスは、女の子ならだれでも一度は憧れる存在である」って一文から始まるレポートが定期的に出てくる。反射的に不可をつけたくなる衝動を抑えて読むのがつらい。

大槻班長｢カイジくん…へたっぴだなあ…ツイッターが下手｣

カイジ｢…｣(有名人に失礼なリプライを送り、ブロックされたらスクショを晒しあげている)

「昔はこのくらい平気だったのに最近になって問題にされるようになった、基準が変わった」みたいなこと年配の人は言いがちだけど、平気だったのは踏む側だけの話であって、踏まれてた側は今も昔も変わらず痛かったし、最近になってやっと痛いと声を挙げられるようになっただけだという事実を認識すべき

未曾有の危機の中､「ANAとJALが合併する」未来がすぐそこに来ている…！

>>早いもの勝ち

春侯淵「夏侯淵がやられたようだな…」

秋侯淵「ククク…奴は四侯淵の中でも最弱…」

冬侯淵「黄忠ごときに負けるとは四侯淵の面汚しよ…」

奇才「妙才がやられたようだな…」

天才「ククク…奴は四才の中でも最弱…」

鬼才「漢升ごときに負けるとは四才の面汚しよ…」

写真撮られるときなんでピースすんの？

>>シャッターを押した瞬間にカメラのレンズから矢が飛んできてもすぐ二指真空把できるように。

>>ピース以外の動作は課金しないとアンロックされないからね

子供のほうが純粋に俳句を詠もうとして俳句的技巧を凝らすんじゃないだろうかな。 大人になるとサラリーマン川柳とかあったりして、俳句的じゃないダジャレとか別趣向の技巧になったり、「凝る」こだわりが消えてそのままを詠もうとする。

これを「90歳」としても成り立つよなぁ…、と思ったがそうなるとこの句が「戦争で死んだ戦友が、ホタルの火となって戻ってくる」という解釈が成り立つことに気づいて少しぞくりとした。知覧特攻基地とかそういう逸話あるし。 文字数の制限が解釈の幅を広げるってのも俳句の魅力ですよね。

例えば作曲できない人が、作曲する人を見て、嫉妬するかもしれません。しかし実際には、作曲できない人が作曲できるようになることを想像するとそのギャップに価値を感じますが、作曲できる人が作曲しても本人はさほど何も感じないので、ギャップはチャンスとみて挑戦を楽しむといいかなと思いました。

「原孤橋」みたいな、現実には存在しない熟語を読んでもらって、どの読み方が一番多いのか確かめてみたいという欲がある。言語の中にある「未知のものを読もうとする」推測機能の存在を、その手触りだけでも確かめたい。意外にこういうの、外国人のほうが興味を持ってそう。”herrigosees”はネイティブだとどう読むのか、とか。

宗教勧誘のおばちゃんをコスプレとかで撃退してたYouTuber3人組の1人が宗教にハマって取り込まれて消息不明になってるという今年一番ホットでやべえ話を知った

思い返すと自分が10代のころに「うっせえわ」という気持ちは特に抱いていなかった。当時の感情をそのまま歌詞にしていたら

どうしよう　どうしよう

大丈夫か　大丈夫か

こんなことで将来的に大丈夫か

みんなこうなのか　大丈夫なのか

みたいな感じになると思う

中学生の頃、自分が普通だと思う言動をしても「おじいちゃんみたい」と言われていて不可解だったけど、実際に中学生の一部がそんな言動をしていると「おじいちゃんみたいだ」「精神年齢、何歳？」と褒め言葉の意味で言ってしまうことがよくある。

鬱病の辛いところは「趣味でリフレッシュ」ができなくなることなのだ。映画を観ても内容が頭に入ってこないし、好きだった小説や詩にも全く心を動かされない。頭に霞がかかったようになって、1日中ネットサーフィンして罪悪感にかられつつ導入剤飲んで眠る生き地獄の無限ループなのだ

ここで出し抜けに自戒したいのは「私たちうつ病患者の苦しみはどうせ私たちにしかわからない」と思わないことなのだ～(当事者主義のテーゼを極限まで推し進めると徹底した個人主義(私の苦しみは私にしかわからない)に行き着くけれど、本当のところ自分でさえ自分のことはよくわからないのだ、、)

一日中賢者モードになるって言うと、鬱病が何なのかわかりやすい

麻痺してたから気にしてなかったけど一般人がジャルジャルとコラボっていう特典なのにジャルジャル二人がいなくなる時間があるのヤバすぎるやろ

植物園、動物園が「園」なのに水族館は「館」なのか。

共通の友達がいなくなった時みたいにクソ気まずい空気

毎日膨大な数の二次創作絵がTLに流れてくるけどビビッドアーミーのファンアートって見たことないな

東日本大震災のときは電話の輻輳がかなり起きていた（ただし当時もデータ通信は輻輳していない）ので、10年かけてコミュニケーションが電話主体ではなくかつVoLTEなどに移行したことを感じます。

東日本大震災何故トラウマかというとめちゃくちゃ揺れたのも余震が繰り返されたのも怖かったんだけどクラスのいつもヘラヘラしてる男の子がいつもは何があっても笑って皆励ます系だったんだけどその子が凄く泣くもんだから余計に怖くなって当時小学生の私も教室で泣くという不連鎖が起きたのもある

反中的なツイートをしている人がbio欄に「六四天安門」と書いているのを見るとクズ～～って思う。あれだけ悲惨な事件を、単に「魔除け」として使ってることの軽さに耐えられない。

地震のせいで輝き始めたサイリウム、どうすることも出来なくてとりあえずずっと持ってる…

高須院長、運動妨害と告発状郵送　愛知県知事のリコール不正問題

>>自分を告発するとはたまげたなぁ…

>>あとしばらくは、おかずを買わなくてもメシがうまくなりそうだから、家計も助かるわ。

僕の今年の最終講義のテーマ「マトモなサイエンスの知識がないと、ジョブズでも怪しい治療法に騙されて56歳でガンで死にます。都合よくジョブズを持ち上げる人はそこに触れません。未知を発見し定義するサイエンスの価値は、正解のない時代だからこそ大事なのです。」

マジな話、度重なる自然災害だけでなく、30年停滞した経済成長で蔓延した「もう日本って頭打ちなんじゃないか」という雰囲気を打破すべく、「高度経済成長の夢よもう一度」とばかりに東京五輪に手を挙げたんだと思うんだけど、この数年で嫌というほど現実を突きつけられてしまった感じがするな…

SF映画を見た後に「あの部分はどういう仕組みなの？」「こう？いやそれだとこっちのシーンと矛盾する」みたいな話をしてたら他の人に「そんなの気にせず映画は楽しめばいいんだよ」って言われて「今、楽しんでるところなんですけど？？？」って返すSFオタクっぷり

いま政治世論を最初に形成するのはツイッター。大手メディアはツイッターに上がる声や議論を観察して、それに乗った報道をするそうです。その結果政治が動く。だから無駄ではないので、正しいと思う事、おかしいと思う事を叫び続けましょう。ツイッターはとにかく情報が早いから、感度の高いマスコミ関係者や国会議員はツイッターの動向を常にチェックしている。最近は国会でもツイッターの声が紹介され、それに閣僚が答弁するケースも増えています。

【ペットあるある】

名前友達に言うの恥ずかしい

感動の別れは美談になる。私も体験したい。ということで犬を飼い、愛情をたくさん注いで大切に育てた後、人にあげることにした。期待した通りとても悲しくて切なくて、サヨナラを言いながら涙がボロボロ出た。去り際に犬が「お前は二度と動物を飼うな」と人語を喋った話をスカッとジャパンに送った。

同意か共感のつもりなのかその内容が激しすぎて、意図と違ってツイ主が困惑するようなリプライを送る人でも入れる保険。

中二のとき好きな子から電話で「どうせチョコもらってないんでしょ？義理だけど取りに来れば？」って言われて「まあ貰えるだけマシか」と家に行ったら向こうのお母さんが出てきて「あら？この子がワイ君？」って言われて彼女が顔真っ赤にして「ちょっと！やめてよママ！」ってなってた思い出が無い

「退勤」は「大金」と発音が同じなので、たいへん縁起が良いこととされているし、「出勤」は「出金」を連想させるのでビジネスマナー的には避けたほうが吉

シン・なんとかがクソださい

>>かに「シンキングタイム」と言うよりも「王政復古」と言った方が格好いい

調べてみると、この地域では歴史的にほぼ100年周期でこれクラスの震災が起きているらしい。この100年っていう期間が恐ろしいことに地上の人間がほぼ100%入れ替わる期間、つまり直接前の地震を経験した人はもうどこにもいないっていう期間なわけだ。そうすると間接的に伝え聞くことでしか知れないことになって、そうなれば多くの人の記憶には残ってこなかった。ただ、技術の進歩によってこうして初めて映像をこの世に残していくことができた。この映像が我々の死後も残り続け、将来犠牲になってしまう人が1人でも減ることを祈るばかりだ

当時の震災の時､保育園でお遊びしてたら急に揺れだして｢これは訓練だから！！！！安心してね！！！！｣って先生が大声で叫んでた事を思い出した。｢これ訓練？再現度すごい｣なんて思ってた

医者「ステージⅣの癌ですね」

患者「アド街を見た！」

医者「ステージⅢにしますね」

患者「やった！！」

新年のエロ漫画「身体は慶んでるじゃねえか」

深淵を覗くとき、深淵にすら無視され覗いてもらえない皆さん

ツイッター博士｢ほっこりする感じのツイートが伸びていたら、そのリプライ欄と引用リツイート欄はあんまり見ない方がいいゾイ！｣

高度に発達した資本主義社会では、「夢」はマルチの勧誘の中にしか存在しません

狂信的な左翼の家で飼われていたインコが脱走したときの迷子のポスターに、インコの口癖が「9条を守れ！」だと書いてあった話、良い話過ぎて思い出すたびに笑みがこぼれる

恐いくらい覚えているの あなたの匂いや 香りや スメルを

「このゲームには…必勝法がある？」

戸田恵梨香「アキネーターさん!!」

（クソデカBGM）

面接官「なぜ弊社への入社を志望したんですか」

就活生「人生は配られたカードで勝負するしかないからです」

「義理と人情」だと義理のほうがドライな感じがするが、「法律と義理」だと義理のほうがウェットな感じがする

児童を見ていると憤怒・嫉妬・傲慢・暴食・怠惰・強欲と七つの大罪のほとんどを実践しているので、人は生まれながらに原罪を背負っているというのは本当なのかもなという気になる（色欲のかわりに悪戯が入る）

渋沢栄一ロボを見て「本物そっくり」と言ってる人がいて、本物を見たことがあるんだ……という驚きがあった

一度、からだをバラバラにし、細かいパーツごとに洗浄液にじゃぶじゃぶ浸けて洗わないと落ちないタイプの疲れがある。

「人間は地球中心よりも太陽中心のことを詳しく知っている」というのはまあ納得がいくんだが、こないだSF大会で「地球海底よりも火星表面のほうが高解像度な地図がある」と聞いたときはかなり驚いた。

サイバーパンク遠山の金さんはお白洲ワールドで「このアバターを忘れたとは言わせねえぜ！」って言うんじゃろかね（既出の可能性・大）

攻性プログラムSKe-Ⅲ、Cak-Ⅲ、こらしめてやりなさい

サイバーパンク水戸黄門「この認証コードが受信できぬか！」

ハッピバースデー、国

仕事で外国産の食品成分表をGoogleのカメラ翻訳してたんですが、ナトリウム含有量の欄の「ああ、神様」って何だ？と思って元の欄見たら、0mgで爆笑した

警察の取調室ってめちゃめちゃ狭くて窓もなくて、拷問と言われな最低ラインを確保しつつ対象を心理的に追い詰めることに最適化された感がある

100円ショップで経験を積んだデカルト「そこになし、ゆえになし」

私も「もう人生はコリゴリだよー」とか叫んでジャンプしたら勝手に画面がアイリスアウトして主題歌に移らないかな

アレクサ、消費税を下げて

おじさんが歴史好きだったり郷土のうんちくに詳しかったりするじゃないですか。あの気持ちが少しわかるようになってきたんですが、親はむろん同年代でも死の匂いが強くなって、自分の人生の終わりというのも考えるようになったとき、歴史の流れの中に自分を置いて再定義したくなるんじゃないかと。たまたまこの時代のこの地に生まれて、よくわからん社会構造にもまれて無我夢中で走り回って、ふと気づいたときには残りが少なく、あれ俺って結局何者だったんだろうと疑問に思ったときによすがになるのが歴史なり地理だったりする

スポーツは肉体の性能を競い合うものだから優生思想や人種差別とすごく相性がよくて、であるからこそ憲章レベルで平等原則をうたって縛っておかなければならないんだろうなと思った

怖い先生に怒られちゃいましたテヘペロ、という仕草が仲間内向けのユーモラスな仕草として機能する場面というのは確かにあり、小学生などがそれに当たる

異世界ではもっと過酷な人生を送っていて、そこでトラックにはねられて転生してきたのが現代日本で、「先進国生まれというチートスキル」「義務教育や公衆衛生など恵まれた初期条件」みたいなのを授けられて今に至っているという可能性がある

サツマイモがヒルガオ科というのも驚いたが、ネギがヒガンバナ科というのもびっくりだ。なんかこう、別々の機会で知り合った友人同士が実は小学校の同級生だった的な

遺伝的アルゴリズムで画像を生成するやつ、「人体に見えないモザイク模様なのにものすごく興奮する」みたいな人間の認知バグを突いてほしかったんだけど、よく考えてみたら「ガラスに映る液晶の点滅に興奮する」という時点でかなり生物としてはバグっぽい

最終号に「棺桶」が届く、ディアゴスティーニ「あなたの人生」

自分は別に知恵も勇気もない凡庸な人間だと気づいたあと、そんな自分の人生とどう向き合うかをこねこねしだすと私小説とかのジャンルになり、特別性を後付けすればいいと突き進むと異世界転生になる

若者がとんがりたい歌、おおむね「俺は凡庸ではない」「私は賢い」「俺は繊細だ」「私は美意識がある」というアングルでの凡庸さ愚鈍さがある

「ねぇ、秒速1.96インチなんだって。」

「えっ、なに？」

「桜の花の落ちるスピード。秒速1.96インチ」

(ハリウッド版)

グーグルとかアマゾンが派手にプロジェクトを失敗させたニュースが流れると「へえ、あそこでも失敗するのか」と思いがちだが、話が逆で、失敗を恐れず無数に弾を撃ちまくって来たからこそあの地位に至れたのだという

いじめられっ子が何かのきっかけでカーストが移動していじめる側に回ったときのエグさといったらないですよ。有効な攻撃方法を身をもって知っているし、娯楽ではなく復讐だから本気度が違うんです。

重い回線で書いたテキストには迫力がある。回線を流れる間に熟成するからだ。最近の若者のテキストは軽すぎる。

問題が発生すると「教育が足りなかった」という話になりやすいが、「教育すればその通りに覚えるし、人のモラルも知能も高まるはず」というのはわりと楽観的だなと思う

古文のテストでどうしても「係り結び」が思い浮かばなくて「攻め受け」と書いたら古文の先生が「何松が好きなの？」って聞いてきてｳﾜｯﾎｰ！トド松です！！ってなった、っていう嘘松エピソード。

思わせぶりな台詞や仄めかされる設定を深堀りして考察して騒いで楽しむ……というのは「きっとこの世界には深遠で整合性のある構造が用意されてるに違いない」という信頼感あっての遊びだからなあ

ビジネスとか政治とかについて論じる固くて軽い部分と、いずれ来る自分の死とか人生の意味とかについて考える柔らかくて重い部分が、ひとつの人格の中に矛盾なく同居できるというのはけっこうすごいことだよな

耳なし芳一（差分の耳あり芳一はfantiaで公開）

「幸福とは何か」という問いに対して「脳に流れる電流のことだ」と答えるの、間違っている感じはするのだが何が間違っているのか考え始めるとよくわからなくなってくる

僕は大学のころ常に帽子をかぶっており、あるとき飲み会で理由を聞かれて「この大学は僕とおなじで顔を覚えられない人が多そうなので、同じ帽子をかぶっていれば識別しやすいだろう」と答えた。「理屈はよくわからんが、君の人間性はよくわかったよ」とのことだった。

「記憶消して何回でもプレイしたい」はゲームでは叶わないけど確定申告では毎年味わえる

陰謀論的なキーワードで検索するとふだんのタイムラインと全く違った、おそらく物理法則や歴史ごと違う人々のツイートを目にすることになるの、ちょっと裏世界ピクニック感がある

14歳で解決できなかった課題は40歳になっても解決できないが、ただ鈍感になったし痛みにも慣れたので茶化して笑ったり何も気づかないふりをして忘れて過ごせるようになった

「逮捕されただけで有罪扱いすべきでない」「実名報道は控えるべき」みたいな原則が一般論としては承認されつつも、特定の要素のある事件についてはタガが外れやすい

現代の都心部では大人になるのが遅く、30歳くらいでようやく成人という感じがするけど、田舎だと10代で子供を生んだり20代で家を建てたりするのがまだ普通だったりして、「大人になる速度」は一様ではないんだなと痛感する

料理レビューで★1がついていると「ということは低コストでデッキに組み込める…？」という発想に至った

「人間の価値はその人の敵を見ればわかる」みたいな台詞がグッドファイトの中に出てきて、なかなか良い感じだ……と一瞬うなずきかけたのだが、インターネットで国際的な陰謀と戦っている諸兄が一気に偉大な人物になってしまうな

【一般化パプリカ】

♪野菜　条件を満たしたら　所定の行為をしよう

エナジードリンクの存在そのものが「カフェインなんかに頼らず寝ろ」「過労をカフェインでごまかすな」「寿命の前借りだぞ」みたいな正論と緊張関係にある

職業文化を「戦士と僧侶」みたいな類型で捉えている。格好がだらしなかろうがマナーが稚拙だろうが、結果を出せれば偉いのが戦士の文化。細かいしきたりや規則を熟知して減点主義で粗相のないよう振る舞うのが僧侶の文化

自分がとても忙しかったり強いストレスを受けているときに「お前の苦しみはあれが原因なんだ」と説明してくれる陰謀論が近寄ってきたらスッと取り込んでしまいそうな気がするので、陰謀論にハマった人に対してもなんか蔑視とかではなく悲しみがある

小学2年生の種田山頭火

たね田山頭火

フィルターバブルの一歩外に出ると「社会」なんだけど、フィルターバブルは別に自分のことを守ってくれる防壁でもなんでもなく、単に外が見えなくなる＝盲目にするだけなので、そのあたりにTwitterの構造上の罠があるように思える

インターネット、村の往来で裸踊りをしていたら歌舞伎者で済んだけど、気がついたら渋谷スクランブル交差点になっていたみたいな感じなんだよな。

生き残った悪いオタクの過去ツイ見てたけど、ちゃんと社会にコミットしているので「はいじゃないが」が許されなくなってきたと感じて2019年でピタリと使うのをやめてる。生き残るラインを知っている

【逆田園】

死んでいくんだ

渋沢栄一のオタクは、これから1万円もする栄一グッズが公式から発売されちゃうから大変だな〜〜〜それに比べて前島密のオタクはいい。推しのグッズが1円から買える

会社での飲み会が嫌いな理由として、「発生する会話の内容が『人間と人間が人間関係した』のバリエーションしかなくて飽きる」という旨のことを答えたら、人でないものを見るような目で見られた。

「筑波大学は核実験をやめろ」や「バイデン松屋で食い逃げ」をガチネタと認識する界隈が出現した以上、Twitterで不謹慎ネタや過激ネタを呟ける時代は終わったと思う

311の時に部屋がめちゃくちゃになった反省を活かして平時から部屋をめちゃくちゃにしておいたので今回は大丈夫でした

「布団が吹っ飛んだ」とダジャレを言えば「近所迷惑だから拾いに行け」と一定確率で本気で怒る人が現れるのがSNS

三國志で洛陽を燃やした董卓さんが討たれて遺体を燃やしたら一週間ぐらい燃えていたという故事がありましたが、先週、東京オリンピックごと盛大に炎上していた森喜朗さんがいまなお煙を上げております。お元気で何よりだと思いますね。かれこれ燃え始めてから10日でしょうか、ほんと董卓か山火事かってぐらいの勢いで、文字通り歴史に名前を遺しそうです。燃えたのは洛陽ではなく東京オリンピックでしたが。

調子が悪くなってくると、町ですれちがうひと、電車で偶然乗り合わせたひと、カフェの隣席にいるひと、こういう善良そうな”ふつう”の人々のうちの何人かがスマホとかの小さな画面にむかって日々差別的なことばを垂れ流してるのかも、と疑う自分が抑制できなくなる。たぶん私だけではないはずだ。

bioにパニック障害とか精神障害三級とか書いてある人から攻撃的なリプライが飛んできたときほど自身の人格が試されてる瞬間はないなと思う

「常識を疑おう」とか「自分の頭で考えよう」とかのある種イデオロギーとも言い難い思考の瀰漫がいまのインターネットナラティブの下地を形成している気はしている。

一部のいい年したツイッタラーが年寄り見殺しにして経済回そうとか本気で言ってたのに比べれば、高校生がいきがって書いたヒトラーすごい論文なんてかわいいものではという気がしてきたな。

プペルに狂う人、みんな映画ちゃんと見ててえらいと思う。幸福の科学映画は公式から「ぐるぐる回転菩薩」というのが奨励されていて、ムビチケで席だけ取って別に本編は見なくてもいいということになっているので見ない信者が大量発生している

40代男性、年収300万ITエンジニア、艦これ提督、「〜ニダ」という太古の2chスラングを使用したのが発端で情報流出大炎上

ぼくの中の担当編集「あまりにも痛々しい要素を1人のキャラクターに詰めすぎでは？もう少しリアリティのある設定にしてください」

2021年に「謝罪と賠償を要求するニダ」ってワードが当然のように出てきてしまう40代男性、これはセンスとか思想とかがどうというより、10年以上も前、アラサー辺りから時が止まってしまってる感じが垣間見えるのが本当に辛いでしょ。

「大手メディアを鵜呑みにせずインターネットで世界から情報を集めて何が正しいのか自分の頭で考えられるリテラシーのある賢いオレ」の辿り着いた先が、Jアノンです。これのSNSを「2ちゃんねる」「ネット」に置換したようなことを言ってた人たちが20年くらい前にも居たんですよ。マスコミによって世界の真実が隠されている、世論が操作されているんだという価値観も00年代にネトウヨが力説していて、「まとめサイト」などを経てSNS世代にも引き継がれてきたんですね。こういう「騙されてる世界と真実を知る自分」的な感覚は陰謀論にハマる下地とも言えるわけですが、そう考えるとツイッターの保守系の人たちがあっという間にJアノン化したのも納得の流れなんですね。

Jアノンが互いに流し合ってるデマに自分で混乱してこれは情報戦だとか言い出してる…。Jアノンが全然関係ない日本で勝手に言ってるだけなのに…。

ギャルに二・二六事件の話したら「そんなんあったの？めっちゃ楽しそうじゃん」て言ってた

今日は会社の先輩から「口喧嘩するなら『あぁ？息くせえな』って言ってやりゃいいんだよ。あれ言われたやつはすげえダメージ受けるから。だいたい本物の喧嘩に発展する」という使いどころのよくわからない生活の知恵を授けられた。

みんなインターネットの真実より自分の身の回りにいる人を大事にしてほしい。自分が困ったときにインターネットの真実は何も助けてくれない。

なんとなく思ってることなんだけど、「ネット」な人の「クレーマー」嫌悪って、国や政治家を批判する野党とかマスコミを嫌悪する傾向と繋がってる感じはしている。患者が医者を批判すると患者を叩くけど、医者が政府を批判すると医者を叩く的な。一昔前は「モンペ」嫌悪みたいなのもあったね。公共事業で道路工事やってる側の実感として、役所に通報したり現場で怒り出すようなクレーマーは本当に迷惑な存在なんだけど、実のところクレーマーが存在しないと、私たち土木作業員のモラルは維持できないと思ってるんですよね。「クレームを受けないように」気を使って仕事をするというのが有るので。もし現場を目ざとくチェックしてうるさくクレームを入れる人がいなかったら、必要以上に音を立てない、大声を出さない、汚れないように周囲を養生をする、施工後にホウキと高圧洗浄で現場を綺麗に清掃する、歩行者通路を確保する、といった「面倒な仕事」はどうしてもなおざりになると思うんですよね。

何って、ご飯にシチューをかけただけだが？（賛否両論ある転生モノ）

『家庭教師のくせにうんこ行く奴』ジャルジャルのネタのタネ

小学生の頃うんこ行ったら社会的に死ぬ風潮が大人社会で自然消滅しない地獄の世界

「CGは手抜き」「なーんだ、パソコンで作ったのか」と発言した者に、最大3年のBlenderを使った懲役が課される法案

「先輩！新メニューをつくってみました！パスタをケチャップで炒めてみたんです」「お前これ、ナポリタンじゃねえか！」「えっ？？」みたいな「逆転生モノ」がはやる予感。

ローストビーフ丼の1+1=1+1感は異常。なんであれが流行ったのかわからない

オタクの英才教育という点で、個人的に効いてるなあと思ったのは、絵本の最中に作者がメタく出てくるとか、PTAへのコメントが子供読者にも見えるところにあるとか、「創作の世界と現実の世界を区別しながら同時に楽しむ」ところだなあ。これは大人になってもできてない人多いと思う。

「漫画の世界に出てくる小中学生、大人すぎないか」という意見への「本人たちにはそう見えている」という反論、面白過ぎる。なるほどああいうセリフとか場面は脳内補正がかかった後のものなのか。

乳児は肌を離すな、幼児は肌を離し手を離すな、少年は手を離し目を離すな、青年は目を離し心を離すな。アメリカンインディアンの教え。

子供「赤ちゃんってどこから来るの？」

強い情報で掻き消す父「サンタさんの正体はパパなんだ。」

即座にキレ返す人になりたいっていうけどさ

>>言い返すべきときに、その場でちゃんと言い返せるようになりたいという話であって、誰彼構わずいつでもキレ散らかしたいなんて誰も言ってないだろ！！！！！いい加減にしろ！！！！！

相撲を初めて見た人「デブ以外が戦う日もあるんですか？」

公式だけ覚えてタイムスリップしてきた説好き

我々人類はラマヌジャンに一歩近づくことができたと言えるんじゃないでしょうか

例えば天才植物学者がいて、その人の処刑方法が「でっかい食虫植物に溶かされる」だったとしよう。出してくれとパニックになるのではなく、むしろ「こういう風に溶かすんだ…」と恍惚としながら溶かされたほうが、なんかキャラが立っていいなと思う。死ぬ時までも研究者であってほしいみたいな。

老いるとオタクが続けられなくなるという話、性欲が減退するというのもファクターとしてありそうな気がする

しりとりで｢ん｣で終わらせたのに｢ンジャメナ｣で繋いでくるやつ

もうGood night

Twitterでジョークか分からないジョークを呟けない問題、津軽弁のように「なんつってな！」を意味する短い言葉を実装してない日本語が悪い。ネット時代にあわせてアップデートしろ日本語。

小学校の頃、皆が続々とテストへの書き込みを終え、鉛筆の音が減っていった先に存在する、最終的に勉強が不得意な子の書き込みを待つための、数人の鉛筆の音だけが響く、あの""時間""

客「13+28𝓲番 アメスピ下さい。」

店員「はーい…(複素数平面上の棚に消える)」

「三角食べ」で綿織物と銀とアヘンを食べ尽くした近世のジジイ

原文パパ

諺(ことわざ)ってその国の雰囲気を量る指標になると思ってて、例えば「覆水盆に返らず」だと伝統を感じるけど、「零れたシャンパン デキャンタに戻せず」とかだと新興国のクソ豊かさを感じる気がする。

たまごっちって別に放っておいたら死ぬ訳じゃなくて、僕らが定期的に監視しないと何者かによって殺されるだけなんだよな。

冷蔵庫とか電子レンジとか、仕組みがマジで意味不明なのに日常生活に根付いてるの怖すぎる。

キッザニアで独裁を学んだ恐怖のガキ

「オカンが最近、色の形骸が思い出せんらしいねん」

「ほな一緒に考えた……え？」

「オカンが言うには、菱形のリスは空を這い幼さを残したカイロの両眼は潰れ、そして地中に現れた彗星は私達を壁の中に閉じ込めるらしいんよ」

「その特徴は 鋣駵讄 やないかい」

彼女「お金より私の方が大事ってホント？」

絶対に嘘の彼氏「￥£＄」

授業中にブチ切れ過ぎて、職員室通り越してそのまま国に帰ったALTの先生、元気かな。

ヴィーガンの人って、例えば失恋したとしてヤケ食いで野菜しか食べないの凄いな。

明らかに何かあったアメトーーク！

『中国共産党大好き芸人SP』

フランスみたいな関西人

「お前・ド・つき回すぞ」

シャカシャカチキン降ってたら、食べ物で遊ぶなと祖母にぶん殴られたの、未だに思い出してキレそうになる

白ヤギさん、黒ヤギさん、黄ヤギさん

が登場する メッセージ性が強すぎる童話

家族を人質に取られたなんJ民「な家関無」

『食用ではない味付け樹脂を口に含む』という行為が「ガム」という言葉のせいで当たり前に感じてしまうな。結構エグい事してるぞ

もう少しで目覚めるヤンキー

「俺バカだからわかんねぇけどよ、俺がバカだからわかんねぇって分かってるって事が本当に"分かる"ために必要なんじゃねぇのかな」

差別発言がネタとか冗談で済むとか思っているのなら、まずは本を開いて歴史を学んでくれ…と書きかけたけど、大型書店に歴史修正主義者の書く本が並ぶ今、「本から歴史を学べ」すらトンチンカンな方向に行ってしまうかも知れないと思うともうなんと言ったらいいのか。なんにせよ差別主義者はクソ。

「野党は批判ばっかり」って言ってる人ほど、「野党の批判」しかしてない。

ツイッターでイキったリプ飛ばす場合は、その相手と対面した時に同じ言葉を使えるかどうか考えてからどうぞ。

スクールカーストの中流以下だったけど、「このクラス最高！」って言われる度に実情との乖離でテンションが反比例していくんだよね

仲良かった子がブラック企業に入った結果完全に性格が歪んでしまい人間の嫌な所を煮詰めてジャムにしましたみたいな人になっていたんだけどコロナで転職してホワイト企業に入ったら「私は、今まで何を…？」って人の心取り戻しててみんな泣いた。

森発言を「全文を読めば失言でも差別でもない」「メディアやリベラルが一部を切り取ったイジメ」と言う人は、おそらく全文を読んでいないか全文を読んでも問題とは考えない森と同じ体質の人だというだけの話ではないだろうか。

人妻に電流流すと稲妻なの？

->絶縁体だと人妻ではないからね

->電気妻は団地羊の夢を見るか？

“保守SNS”　スレがDAT落ちしないように、週1くらいで「保守」って書き込むやつかな？

進捗ゼロで指導教官と堂々とミーティング出来るようになったことが博士課程で得た最強の能力

バグを引きやすい人って2種類いると思ってて、1つはちょっと挙動に違和感を感じたときにどうしてそうなったのかをちゃんと調べてバグと報告できる人で要はバグを発見する努力をしてる人。もう1つは行動が異常で想定外の操作をする人。

英語で書かれためちゃくちゃ長いNDAを読まねばなのですが、つい翻訳サイトに突っ込みそうになるも「NDAそれ自体の漏洩はNDA違反なんだろうか」と逡巡してしまい、気合で読むことにした。

木で例えると、幹も枝もないのに、見たこと無い果実が四方八方に転がってるイメージ

「オートロックのマンションに住んでる友達の家に行ったら、口の横にホクロのあるお母さんがもてなしてくれて、キッチンペーパーを下に敷いたルマンドを出してくれた」みたいなのってアフリカとかでも共通なんだろうか？

ある思想が社会で理解を得るには「根本思想では相容れなくても、双方で着地点を見いだせる仲間をつけることが必要」だと思う。相容れない相手を攻撃と排除しかしない思想は滅ぶしかない。

論を戦わせるディベートがしたいなら審判が必須。お互いが納得出来る答えを出したいなら歩み寄り合意点を探る姿勢が必須。どちらも無いならそれは話し合いではない。相手を叩きのめして気持ちよくなりたいだけ。

「正しいことをしたかったら偉くなれ」とは言えど、実際には、悪いことをしないと偉くなれなかったり、何とか偉くなってもその頃には自分の思想がまた時代遅れになってたりする、人間社会の構造的欠陥なんですよね

面接官「無人島になにか1つ持っていくなら？」

就活生「御社です！御社を持っていきます！」

読みやすく理解しやすい文章に出会うとその表現に至るまでにどれほどの推敲がなされているのかを考えることがあるんですが、精錬されきった美しい文章に出会うとその芸術性に感動するとともにその裏にあるであろう膨大な努力に恐怖すら覚えることがあります。過程は往々にして表に出てこないんですよ。

ホイップクリーム5kgを自由にしていいなら、あなたはどうする！？

> これだけ大量のクリームがあったら、挑発して辱めてやりたいやつがいるんです、カロリーメイト。カロリーメイトって、甘いもの食べたいけどカロリーが気になる時のために100kcalちょうど。お前なんて、こうだ

努力して減らしたのに！一気に200いくつかになった、もう意味ないから。健康食品気取りが

カニクリームコロッケはあるけどカキクリームコロッケはない

（ポンデリングの真ん中にクリームを入れて）

ポンデ

藤井聡太　二冠獲得　高校自主退学　スマブラアプデの発表

おいおい　まさか嘘だろ

SNSが全面的に禁止された世界で友人と飲みながら

「あの人元気にしてるかな。ほら、あのひどい名前だった人」

「そんなのいっぱいいすぎてわからねえよ」

と笑いあう最終回みたいな夢を見た

留年すると生涯年収が1年分減るって言われるけど生涯労働も1年分減るんだよな

中学のときの校則で「校則違反物品を誤って持ってきた場合、持ち主を書類に記入して申告すれば職員室で一時保管、帰宅時に返却」という規定があったので、バレンタインデーには渡す相手の名前を書類に書いてチョコレートを職員室に預ける生徒が続出したのを思い出している

「知り合いがチーターだった」、意味は分かるんだけどどうしても山月記が頭をよぎる

三大賭けるもの

カシオミニ

花京院の魂

あと一つは？

じっちゃんのナニ

時

案の定、雑な語りと批判を始めた相手を殴り返す為にオタクが遊郭の歴史を学び始めてしまった。

「怒り」というのは、非常に簡単な娯楽だというのは今までも繰り返してきた通りで、まず素養が要らない。知識が要らない。練習が要らない。道具も要らないし人手も要らない。カラオケみたいに音程合わせる必要もない。しかも、「正義のため」なら後ろめたくない。

「自分の悪いところ」は努力せずに見つかりますが、「自分の良いところ」努力しないと見つかりません。これがわかってないと自分の良いところが見つからない。

「フェミ怖い」と言われて、「女性も怖がられる存在になる事はむしろいい」と開き直るフェミニスト。怖い男性や権力に自分が成り代わりたいのかもしれないが、フェミニストの一人であるわたしは、フェミが恐怖や怖さで人を支配する社会なんて求めてないし、間違ってるよ。

「脈のない人間が告白するのはコクハラ…ハラスメント」という考え方と、「性的アプローチがハラスメントになるか楽しい体験になるか？は内容ではなくアプローチ側の属性で決まる」的な研究を合わせて考えるに、良い悪いは別にしてコクハラは「身分差恋愛は許されない」の言い換えに他ならない

恐山は理屈が先に生まれてきちゃったから本体より先に理屈が死んじゃったんだろうな

「客と従業員が偶然にも親しくなって豆菓子をサービスしているだけ」という説明で、無い規制を免れているコメダ珈琲

「そこまで言うんなら結婚しなきゃいい、みんな天皇の子」夫婦別姓に反対の亀井静香氏のインタビューが恫喝やセクハラ発言で批判殺到

> だったら俺を皇太子にしろ

【禁断のコラボ】黄昏のオードの音だけでサナトリ村（アンシャントロマン）を演奏

米津玄師が麻薬5キロくらい食べてもこの曲作れなさそう

クソリプつける人、アカウント見に行ってみればわかるけど、手当り次第そこら中にクソリプつけてるから、あまり何も考えずに無心ですぐにブロックしたほうがいい。また伸びてるツイート見つけたら、クソリプつけてくるよ。

自分から遠い世界の、どこぞの会社のどこぞの人事さんが「今はコロナ禍で大変ですけれども……」とか口にしているのを聞くとなんか不思議な気持ちになる。当たり前ではあるんだけど、向こうとこっちの常識が共通してるというか、自分の知らないところにも、自分が知っているニュースを同じように聞きながら生きてる人がいるんだな、という素直な驚き

ノラ猫に避妊手術を施す活動も、つらい生よりも生まれてこない方が幸せという発想なんだろうし、意識してないだけでそういう考えの方が支配的なんじゃないかと思う。

「得意料理はカレーです」ほどクッキングガチ度が測れない一言ないだろ。

若手の頃、「上司や管理職は部下がミスったときに謝るのが仕事」と言って動きの遅い上司を批判していたけれど、いざ自分がその立場になるとイヤなものですな。でも、やる。それが仕事だから。

流れてくる話題に対して高速で「あり／なし」の旗を上げていくゲームとしてインターネットを楽しんでいる各位というものがおり、そういう層においては真善美が一致していない設問というのは相性が悪い。旗の上げにくい「悪だが美しい」「美しいが悪だ」みたいな判断に直面すると、「これは悪だ、悪だからナシ。よって醜い」「これは美しい、美しいからアリ。よって善」となってしまう

去年までは未知のウイルスで世界がめちゃくちゃになるなんて想像もしてなかったし、今年は太陽風がどうにかなって最強の磁気嵐がおきてインターネットが全部ダメになる可能性に賭けたい

俺だって職場の加湿器に次亜塩素酸水なんか入れたくないんだが、業務だから仕方ない。そう自分に言い聞かせながら一方でナチス政権下で暮らしていた人々のことを考えてしまう

呪術廻戦EDとか、ペルソナの演出とか、フリクリの演出とか、見ると「オシャレだな」と感じるんだけど同時に「オタクが唯々諾々にオシャレの概念を食わされてる」みたいな気持ちになる。はー、これがストリートってやつだべか～、みたいな……。

多分世間で言われるほど「Instagramに載せるために遊んでる奴」なんかいなくて、「Instagramで周りが遊んでるのを見ると、自分が周りほど遊んでないことに不安になって、とりあえず遊びに行ってInstagramに投稿する奴」がいっぱいいるんだと思う。適当に友達とかを50人もフォローすれば、毎日誰かはちょっといい日を過ごす。実際のところ、一人一人にそういう日が来るのは月一かもしれないんだけど、置いてかれる感は毎日更新される、みたいな。そういう焦りや不安を、自分の感情によって説明するのではなく、SNSというプラットフォームの特徴から述べるのでもなく、「たぶんあいつらが悪い」って具合でプレイヤーとしての他者に投影した言葉が、「みんなインスタに載せるために遊んでる気がする」なのだと思うのよ

インターネット、許せないものが無限に見つかるし、あれは悪いねと一緒に言ってくれる仲間も見つかるし、なによりも自分らと逆のことを言う和解不能な敵がそこらじゅうにいるので、最高の娯楽と言える。

言いたいことは分かるのだが、主要メディアがあからさまに「ワクチンは悪い」と言ってるわけではない（たぶん）わけで、悪い材料を拾い集めて“あちら側”に“悪意”を見出すのは無限に情報が流れてくるインターネットの弊害という感じがある

電子顕微鏡を購入した食堂のおばちゃん「もう誰も許さへんで～！」

好き勝手やってるAVのインタビューの人｢冬の朝の静かさとか、ストーブの火を見つめる時間とか、そういうのってどう思う？｣

pretendってそこまで目立つ動詞じゃなかったのに例の曲のおかげで急に知名度が上がったの、デカいイオンができた地方都市みたいな感覚がある

JKのフリが下手な人｢スタバ面白かったな～｣

群青日和以外でこのライトの当たり方する事あるんだ

何かを検索する時に｢エロ｣とかを急に付け足すとその瞬間予測変換が表示されなくなるけど検索エンジンがドン引きしてるみたいで面白い

女子が男子に掃除をさせたがるのは、教室から見える空の綺麗さを知って欲しいから

runに｢経営する｣って意味があったりfineに｢罰金｣って意味があるのを知った時の、弱かった敵が強くなって帰って来たみたいな感覚

少し前にフォロワーが｢一旦状況を整理するためにシコることがある｣って言ってたんだけど俺は一日に何らかの意味を見出したくてシコることがある

子供｢赤ちゃんはどうやってできるの？｣

お母さん｢赤ちゃんはね、運ばれてくるのよ｣

子供｢誰が運んでくるの？｣

良くないお母さん｢下請けの業者よ｣

良くない子供｢笑笑｣

広辞苑を全部読み終わった人が一言「合ってると思う」

【海がない国に生まれた人が海苔を見た時の感想】

・なんですかこれ

・終わった紙？

熱い論破をするオタク｢情熱の原動力は憧れなんですがそれは...｣

丸の内サディスティックと全く同じコード進行の校歌

言い方を工夫した女の子｢ちょっと男子、真面目にやったらいずれ思い出になるよ｣

リンゴが5個"在る"という部分が分からなくて頭を抱えてる小学生

たまに実家に帰ったときは基本軽快に親と喋るんですけど「お前は2回も留年して、本当に余計なお金がかかった」って話になると途端に「ﾊｯﾊｰ…」「ﾌｳｩﾝ…」と弱ったマリオみたいな返事しかできなくなってしまう

インテリは左右を問わず、基本的にコスモポリタンだ。土地の匂いがしないし、地域性を軽視する傾向がある。

鬼滅の遊郭編に因縁つけてる人たち、ジャンプ掲載時には何も言わんかったんだよな。有吉弘行さんの「ブレイクとはバカに見つかること」という名言を噛みしめる。

積立NISAで労働者に資産家気分を味わわせて保守化させるの、公金を呼び水に私財をうさぎ小屋に変換させると勝手に保守化してくれるやつの現代版なわけですね。

なんかこう、自分のこだわりやプライドのためにあえて「やらない」と決めていることを他人が平気でやっているのを見たときに揶揄すると、貯めてきた修行ポイントが0に戻る感じがある。

プライドをズタズタにされたネトウヨ「でも日本には土地があるから…」

差別をやめて豪華賞品を当てよう

Q. 明日働きたくない。〇か✕か

A. ✕。働きたくないのは毎日であるため。

はい。親がうるさいので就職したいと思い、御社を志望しました

「はいいらっしゃいませ！何名様でしょうか？」

「え、え、一名です…」

「一名ですね、こちらにおかけになってお待ちください」

「ここ美容室だろ、家族連れで来る場所じゃねえよ」

寿司あるある：「手で食べるのが正しいマナー」と知った後、箸で食べる

別の側面からみると実務能力は低い反面高いコミュ力で世渡りする人がたくさんいて、自分らが楽なように社会を改変してきたってこと

どこも何も、「身近にいてほしくない人」扱いされてるのが今の発達障害と思う。診断つきました、じゃあ福祉(そっち)へ行ってよろしくやって下さい、こっち来ないで的な。診断が排除のお墨付きになっている。

苦手のアベンジャーズ、私を倒すためのスーパーヒーロー

これはチクチク言葉なんだけど、自己肯定感の低い人間、蓋を開けてみたら何も頑張らなかったのに自己愛ばかりが強いってケースがよく見受けられる

傘でファランクス組んで吹雪の中を前進する小学生

大人が忘れてしまった全てが詰まっててダメ

上司「ここにPDFがある」

ぼく「はい」

上司「これを印刷して」

ぼく「はい」

上司「それをデジカメで撮って」

ぼく「？」

上司「パソコンに取り込んで」

ぼく「？」

上司「取り込んだ画像をこのWordファイルに貼り付けといて」

ぼく「(儀式かな)」

反マスク派の人のアイコン画像、20世紀少年の「トモダチ」のマスクで笑う。それだと退治される側だろ。

人を笑わせるのが大好きなんだけど、笑いってめちゃくちゃ創造的な営みなんだよな。笑いにおける「既出」の概念は面白いの対極で、人を笑わせるには常に既出の対極になければならないので。

お酒弱い友人が「3％のチューハイ半分で酔えるのでコスパいい」と言いだした。酔いにコスパという概念を持ち込むのが斬新で、なんだか笑ってしまった。

「読書は鏡であり扉でもある」と思っている人が同時に「美人は読書などしなくてもいい」と言うの、140字に込められる最大限の残酷という感じだ。そもそも読書なんか意味がない！と思っている人ではなく、読書は素晴らしいものだと思っている人が言うからこそ言葉の底の方にある冷たさが伝わってくる。

総務省2幹部「更迭」　秋本局長「記憶力不足を反省」発言認める

>>記憶力不足から自身の発言内容を失念し、更迭されてしまった私…。再起を誓い、記憶力向上の方法を探し求めて出会ったのが、この世田谷自然食品のイチョウ葉サプリメントでした。【PR】

政治家ってよく記憶にございませんとか言うけど、あれって政治家が年寄りばかりだからだろうな。若年化が進むと今度はどんな言い訳をするんだろう？

ブーメランで自分の首を掻っ切った男

小藪も含めて、この手の全文読めば〜って人達、自分じゃ絶対全文に対する論評しないよね。批判者が全文読んでないってなら、お前等が全文解説して擁護すれば良いだろって思うんだけど

最上階が2.5億するような逆立ちしても買えないマンションの工程管理をしてるんですけど、昨日その話を通話でしたら｢チョコレート食べられないのにカカオ収穫する子供じゃん｣って言われたのちょっと傷つきましたね

｢funny｣の面白いと｢interesting｣の面白いを区別して笑ってる赤ちゃんがいたら怖くないですか

気になってはいるけど会話の糸口が掴めない異性に対してLINE通話をワン切りして｢あ、間違えた笑｣と送信することで無理やり会話の糸口を作り出そうとするやつ、普通にめちゃくちゃ悪手じゃないですか？

ツイートで「xxの頃はそれが当たり前の時代だったが、今では差別になるので言ってはいけない」という教え方があったとして、「差別になるから、言えば誹りを受けるから、ではなくなぜそれが差別になってどこがいけないのかを教えんかい！！」というお怒りを見かけるが、みんながみんな的確に上手に教えられるわけではないし、それが出来たとしても、その出来事を万人が納得いくように呟きとして140文字以内で綺麗に収まるように書けるとは限らなくない？

はい。イヤホンでまどマギのOPを聴きながら感傷に浸りまくってサビに入ったと同時に走り出す、というのを10年間続けてやってます。

「大人気ならばスマブラに参戦する」は違くて、本当は「スマブラに参戦してる奴らの中に人気者がいる」なんだよな。じゃないとカレーライスとか参戦してくるから。

プールの帰りに親にセブンティーンアイスねだって買ってくれなかった人間は20歳すぎたあたりで精神科に頼ることになる

改姓しないと結婚できないのは人権とか平等とかを侵害してるっていうなら、法的に結婚した奴らだけに社会がメリット与える方が平等に反してるし婚姻制度解体を訴えた方が筋が通りそう

価値観アップデートを強要する思想をあらゆる場所で振り撒くことで自己存在をアピールするムーブ、インターネットではPV稼げていいですよね・・・国が国だったらアサルトライフルとか撃ち込んでそう

レイシストよりコロナウイルスの方が賢いんですよ。あいつら人種で差別せずに感染するから

会社を辞める覚悟ができた人って、仕事に迷いがなくなり、上司にためらわず意見し、会議では忖度しない。そして、デスク周りはキレイで、いつも元気に定時退社。辞める覚悟が完了してる人が、一番有能で会社にとって本当に必要な人かもしれない。

他の方も指摘していることだが、辺野古で新基地建設に反対している沖縄の人たちに対し、「あいつらは雇われているんだ」「1日2万円の日当が出ているんだ」と散々デマを言い続けたような「保守」を名乗る連中が結局お金を払ってアルバイトを動員して署名を偽造していたのだから罪深い。そして情けない。

440: 風吹けば名無し 2021/02/16(火) 12:26:31.87 ID:w30xOf/Za

ネトウヨビジネスってなんで毎回ネトウヨバッドエンドばかりなんや

たまにはハッピーエンドあってもええやろ

470: 風吹けば名無し 2021/02/16(火) 12:28:33.34 ID:KjOKUDEka

>>440

頭がハッピーやからセーフ

ワンルーム1人住まいで深夜半額寿司を食う生活は普通に幸せだと思っているが、この感覚は、両親兄弟が健在で、いつでも電話できる友人がおり、ネットを開けば同好の士がいつでも誰かいるという状況に支えられているという思いも強い。

伝承で割りと衝撃的だったものの１つに唄の口伝の最後の継承者が音痴だったので途絶えたというのがあった

日体大コール動画コメ欄

なんだかんだ母ちゃんの作った大盛りカレーが一番好きそう

人の幸せを願い、人の不幸を悲しめそう

陰キャくんのガチャ勝手に引いて星5当てそう

この中の誰か一人が悪い敵に捕まったら全員で助けに行きそう

明かりをつけましょ

BOMB BALL in KNEE

(膝に爆弾を抱えています)

オタクの習性については、丸山眞男の「亜インテリ」概念で説明できる面も大きいように思える。「一般人」より知的であると気取りながら、情報の供給元はせいぜい漫画、アニメ、ゲームと通俗書でしかなく、歴史家はじめ専門家に問い正されると応答できず、今度は自分たちの「庶民」性に居直る、という。「遊郭はセーフティーネット」だの「ナチスの功績」だのは、結局は下記の知ったかぶり文化の産物で、専門家がいくら訂正を試みても「自分は学者じゃないし」と居直られて終わりであろう。むろん、連中をきちんと馬鹿にしておくことで、「嗤われる」のだけは恐れる新規参入者を減らすのは可能にしても。

興味深いのは、ある個人が特に権力関係にない別の個人の思想信条行動を否定することが即座に憲法問題になると考えている人の多さです。私人間効力云々は置いておくとしても、こうした憲法の利用ほど現代オタクの精神を表しているものはないでしょう。靖国は歴史的に、特に松平宮司以降、侵略戦争肯定をあからさまに打ち出している神社であり、従って政治的なものから逃れられ得ないことは明らかです。つまりこれは、墨東氏が的確に批判しているような、社会の一員であることから逃避しようとしているオタクの振る舞いに直結するのです。

しかしそれに関する価値判断を自分ではしたくないという人々の逃避先が「客観的」や「科学的」という言葉であると墨東氏は指摘していますが、「憲法」もこれに当てはまるのです。憲法によって国家から市民社会の自律性を確保しようとするのみならず、市民社会からも逸脱しようとするのです。たとえば、「朝食をパンにすることは間違っている」とだれかが言ったとすれば「個人の自由だろ」とは思いますが、憲法問題だとは思わないはずです。それだけ、自身の行動が正しいと思っていようが後ろめたく思っていようが、とにかく「問題化」されることを過剰に恐れているのです。ただし、そのような価値判断を回避するために憲法を利用することほど、非立憲的な態度はないのです。なぜなら立憲主義は、憲法の条文を規範の根拠として杓子定規に利用するのではなく、あるべき立憲政治のために、憲法に対する価値判断を行うからです。

たとえば「学問の自由」に「大学の自治」は含まれていないとみなしたり、憲法15条を根拠に政権の学術会議への介入を正当化することは立憲的ではないのです。しかしこれらは、憲法の条文から直ちに導かれることではなく、学問あるいは政治の歴史的営みにおいて判断された価値なのです。またこのツイートのように、そうした価値判断的営みから逃れようとする者ほど、強いイデオロギーの持ち主なのです。「先人の屍の上に活かして貰っている」のようなフレーズは靖国肯定派からよく聞きますが、靖国が侵略戦争を美化しているという客観的事実に対して、まったく因果性のない信仰告白です。

歴史的責任を逃れて、歴史的なものを消費して快楽を得たいという甘えた根性の持ち主が靖国に集うのです。靖国の景色は戦没者慰霊とナショナリズムが密接に結びついた西洋近代的スペクタクルです。あそこに行って熱い感情が湧いてくるとすれば、それだけ日本人も西洋化したというだけのことなのです。さらにこのツイートに典型的に表れているように、現代オタクは価値判断するものの立場に異常にこだわります。一定の影響力のある人が公然と行ったことについて誰でも自由に価値判断を述べることができるのが民主主義だと思いますが、なぜか何かについて価値判断をすることは特権だと思っているのです。「何様だ」と言うべきなのは、たとえば竹下議員が島根県知事に「注意する」と発言したことなどについてです。これはまさに国と地方自治の対等性を規定した地方自治法の原理に関わる問題だからです。

また、むしろ何様でもないからこそ自由な発言が可能なのです。仮に教師と生徒、上司と部下、親と子などの明らかな力関係があった場合、間違いを指摘しなければならなかったとしても慎重な判断が求められます。逆に今のオタクは、そうした権威があれば何でも言っていいのだと思ってそうですが。

また、先のツイートに戻ると、行為が間違っているという指摘を、「悪人」と断ずる指摘だと読み違えています。これまた特徴的です。批判されたり否定されたりすることに、ものすごくビクビクしているのです。社会性なくイキり散らすことと、こうした過剰なまでの防御反応は一体であろうと思われます。野暮なことをいえば、個人の自由への干渉度合いについては、それこそ声優の結婚や恋愛にあれこれ口を出すオタクのほうが大概だろうと思いますが……。

高須氏と河村氏はネットを盲信してしまった。自身や右翼の作家・評論家がＳＮＳで発する嫌韓の主張に、全国の嫌韓者・ネトウヨが大盛り上がりしている状況を、愛知県民大多数の支持と勘違いした。そして簡単にリコールが成立すると思い実行したが、結果は愛知県民はごく少数、惨敗であった。不正が表にでると、右翼作家、評論家や支持した政党と他府の知事はいなくなってしまい、信じる人はごくごく少数になってしまった。

ネットを信じすぎてはいけない、ＳＮＳの極端な主張など責任のない落書きと同じで、実社会ではほとんど役に立たないということを勉強しただろう。もう遅いけど。

1歳の娘の服に何も入らないような人差し指サイズくらいの小さいポケットがあるんです。このポケット必要なくない？と奥さんに言うとこんな返答。「どんぐりを入れるんだよ」自分が大人になってしまったのを痛感した瞬間でした

会社の外国人に、日本にはこし餡派と粒餡派というものが存在する話をしたら、アメリカにはピーナッツバターのペースト派と、砕いたピーナッツが入ってる派が存在するぞ、って言ってて学びだった

ARuFaって5億年ボタン押しても無の空間でずっと1人遊びしてそう

楽器ってさ、自動演奏機能をつければもう人間なんていらないんじゃないの

>>楽器に人間がいらなくても、人間に楽器が要るんだ

娘の台湾への中学単身留学準備中、あちらの先生からまず聞かれたのが「歴史の授業で日治時代の学習があります。台湾側から見た歴史を、学校でたった一人の日本人として受け止めることになります。大丈夫ですか？」だった。「日本から見た歴史は入学前に学習してから参ります。台湾側からの歴史を台湾で学ぶ機会は得がたい経験になると思います」と答えた。

これは現地校に通うならどの国でもトラウマになるくらいの可能性があるのは私も娘も知っていたこと。（夫の従兄弟たちはアメリカ国籍だけど見た目東洋人で日本の名前を持っていたので、その時期はかなり辛い思いをしたのではないかと思う。他の理由もあったと思うけれど、身体を鍛えて「誰？」ってくらい別人になってる。弱かったら洒落にならない死ぬから、って言っていた）

結局、去年の新型コロナの一番酷い時期の入試に滑り込み、トライアルだけで帰って来たけど、台湾の教科書や「漫画・台湾の歴史」やその他の資料を手に入れ、花蓮と台湾の史跡、228記念館をできる限り訪ねてきた。簡単に、親日と言い切れるものじゃない。歴史の流れの中の日治時代で、「より辛かった時代」と比べられての評価があり、それを好意的に日本人に伝えて来る人たちにも全くゆるしていない人にも出会う。

娘の世代はもっと世界は近くなり、いろいろな人に出会うだろう。だから、日本人は自虐の洗脳教育から目覚めなければならない、などと語気を荒げないでいただきたいのだ。若い人たちの為に、とわざわざ但し書きを付けても欲しくないのだ。去年、娘は入試の為、14日間の検疫に私を巻き込むことを決めて入国規制12時間前に台湾に飛び込んだ。怖い目にも、有難い出会いも両方沢山遭った。全部貴重な体験になった。娘と子ども達は学校の環境の中で少しずつ知り合い、個人個人として別れがたく思いあったようだ。

大人の私が知らない時間。私はその時間にとても感謝している。私は娘に目覚めよ、と言わない。これから娘は見て調べ、尋ね、会話し、感じ、言葉と格闘しながら、路地の店で朝粥を啜り自分で知っていくだろうから。

会社の若手が「ときめきメモリアル」と聞いて「葬儀社かなんかっすか？」って言ってた。

日本の建築建設業界に若い人が集まらないから、仕事の魅力を知ってもらおう、お金じゃない、ものづくり精神をもう一度という話を聴いた。僕は考えが全く違う。いやいや金ですと。旧産業へ人が集まらない＝構造に根本的な問題が潜んでいる。妄想は止め、問題と向き合い解決策を考えなきゃねーという。

鬼滅の刃の遊郭編が子どもに悪影響与えるという過剰反応を見て、北野武がフランスの記者から「あなたの映画は暴力的であり、暴力を助長すると思いませんか？」と、聞かれて『世の中お涙頂戴話の映画がたくさんあるのに全然平和にならないじゃないか⁉︎そういうことだよ』って回答してたのを思い出す。

しかし若い人中心に罹患してるらしい、自分が触れる作品が倫理的道徳的に正しいものでないとストレスを感じるという症状、かなり根深く宿痾として現代人に絡みついてる感じがあって。。。

前からうっすらと思ってたんだけど、ジェンダー、セクシュアリティ周りのことを40年前の状態にとどめながら先端的テクノロジーの恩恵だけ受けようって言っても無理がある。

このネタは160万人が1回ずつ見てるんじゃなくて、80万人が2回以上見てるネタ

私にとって「書くこと」は咳と同じで、出さなくても我慢はできるけど、出さないと何か妙に落ち着かない気分になる。

耳なし芳一の教訓ってなに？

>>タイトルで盛大にネタバレするなってこと。

>>芳一は坊さんにケツの穴も金玉の裏も筆でなぞられたってこと。

作者と作品は別、っていうのは事実というより願いなんだなあと実感しました。そうあってほしい人が「そう考えるべき」って言ってる気がする（実際はつなげて考えられることのほうが多いので）

政治系の記事をあんまり書きたくないのは実はそういうアレがあったりする。ガチ勢と、それから自分のことをガチ勢だと勘違いしてるメンドクサイ手合いに絡まれるので…

指摘にも方法というか、流儀があると思うんですね。見ず知らずの人で情報が誤ってるからつっけんどんに指摘していいなんてことはないと思うの。でも政治ってなんかやたらそういう人が面倒というか、引用RTで「無茶苦茶な記事。」とか書かれたりする。こう「その人のためになるなら無制限に態度を厳しくしてもいいよね」みたいな、そういうのがちょっと合わない。そしてそういう手合いは「その人のためになるなら」という道理よりもさらに凶暴な、「学問への発展を阻害しないように」みたいなめちゃくちゃ『正しい』論理武装をしがち。

ぼくはけっこうその面素朴というか、どんなに複雑な学問や政治も「ありがとう」と「ごめんなさい」で成り立ってると思ってて、これは善も悪もなくて、人がいるところにその2つの言葉が必ず介在すると思っているんだけど、学問畑の人間が（が、というより、なのに？？）そういう感情を軽視して、学問の発展のためという大義名分をかざして他人を攻撃しているのを、ツイッターでけっこう目にする。「ごめんなさい、間違ってたら申し訳ないんですけど、この○○ってもしかして、○○の間違いだったりしないですかね？？」みたいな指摘をする人を見ると、勝手に親近感が湧く。そういう言い方、クッション言葉を挟む人は、相手に対話のコストを設けさせず自分で負担しているので印象がいい

なんか行き過ぎた詐欺っぽいマインド系の人の発信だと 動く事や自己投資を始めないのは馬鹿だよ みたいな言い方してくるけど、 考えたり調べもしないで、いきなり開始はただの無謀な気がするよ。 考える時間を与えないのは大体詐欺じゃないの？

「犬って何ですか？」って聞いて「犬とはドッグだ。」って返してくる人が上司だと終わりなんだよな〜。こっちは犬=ドッグを知りたいんじゃなくて、どのようなものかを知りたいのよ。新人が犬の存在を知らない事は無知で問題点かもしれないけど、その説明しかできない事も問題だろうが。

会社辞めたいって言ってて副業収入のが本業より圧倒的に高い人いるんだけど、報酬画面のスクショがもし本当で月70万とか副収入あるなら、実際辞めれるハズなのに、それでも辞めてないってのは、そのキャラクター自体で集客してるか、コンサル料が高すぎるかのどっちかしか有り得なくない？

結局、この世に楽にお金を稼ぐなんて身体を売るか・人を騙すかしかない。早いかもしれないけど、そういうのは私は絶対やらない。勉強とか行動は楽でなくても、自分の為になる可能性のある努力や勉強ならしていいと思ってる。詐欺や身売りじゃない、遠い場所の簡単には手に入らないものの為の努力。

(自称)ネットビジネスで脱サラ高収入！の人が、「久々にニュース見た」って喋ってたから、やっぱ何も知らないんだなと思っちゃった。ビジネスである以上、会社員だろうがフリーだろうが、社会やトレンドで常に状況は変化するの。追ってないと仕事にならないよ。ニュースを知らない時点で詐欺師なのよ。

いちいち尖った言い方してくる人、私も嫌いだし無理。お箸が出てない時に「お箸ないんだけど！」もダメだと思うけど、論外は「手で食べろってこと？」って言ってくるやつ。結構いる。嫌味でもタチ悪いけど、ユーモアだと思ってる人すらいる。「お箸がないのでください」で済む話やん

1人で完結している変態｢ハァ…ハァ…俺は今何色のパンツを履いているの…？｣

「グエー死んだンゴ」と言い残して大往生したなんJのジジイ、なん爺

20年ぶりぐらいに聞くやつ：口を両手の人差し指で広げながら「学級文庫」って言ってみて！

国鉄職員が横柄だったという話、ネットで割と支持される、コンビニ店員はもっと横柄でいいという話とどんな感じで接合されるのか気になる。国鉄職員は「横柄」という言葉に内包できるほど丁寧ではなかっただろ。無断欠勤で電車が減るとか、二日酔いの運転士が脱線させて乗客が怪我とか、なにより順法闘争やりすぎて暴動起こされるほど恨み買ってた

脱衣麻雀って一気通貫でアガるとセックスできるらしい

4歳の次男からの質問はいつも観念的で難しい。今日は「"急"って"縦"ってことでしょ？」と聞かれて、「そうかもしれない」としか答えられなかった。

昔ある知人女性が「結婚する以上は私のすべての要望は聞いてほしいし、私の愚痴は全て聞いて欲しい。だってそれが結婚でしょ」って言ってたんだけど、ワイその時「この人が探してるのは夫ではなく新しい親なんだな」と思った記憶がある。

お気に入りのしまじろうの歯ブラシ見つからなくてイライラ。クソが

うんちってオレの尻穴見てるんだよな…？ほんまありえん、通報した

これまでの薄さを取り返すように厚みを得たパラッパ

気分転換のために最近毎日なにか絵を描くようにしているのだが、よい絵を描きたい欲求があまりないぶん画力の伸びしろもそれほどないかもなと感じる一方で、人や物の形のことを考えながら線を引く作業自体に瞑想のような体験があることに気づき、それが好きだなと思った。おまけに絵もできるし。人の完成品の絵を見ていると、それが良い絵かどうかという目利きの能力はつくけども、絵を描くことの体験としての良さみたいなものは取り落としがちになるなと思った。描くのも一種の鑑賞だが、直接感じられるのは作者だけなので。

WEB記事書いてると最初の数行を書くのが面倒で、なぜならその数行は「人に文章を読み始めさせるための無難なつなぎ」でしかないことがほとんどだからなんだけど、それを思うと手紙における「拝啓」とか「前略」はメチャクチャすごい発明だと思う。

「死ぬ気で頑張る」という気には到底なれないですが、「なんかあったら最悪死のう」と思って生きてます。

冒頭の「映倫」の文字に気付く登場人物いたら嫌だな

煩悩ネタ！『本名、ふざけてると思われる奴』

>>義務感で全部見なきゃいけないから短くてとても助かる

>>面接で「お金玉デカ男」とか言ってたやつが、ちゃんと本名言えとか言ってるし、面接でタメ口使うなって言ってたやつが終盤タメ口使ってる

ちいかわ、予備校でバイトしてた時にすごい愛想良くて受付の社員ともチューターとも仲良くて自習室最後まで毎日残ってるのに学力が上がらない子とまったく言動が同じでツラくなる。会話してる時に思考してる形跡がまったく表情から読み取れないんだよ。だからずっと同じ間違い方するし、客観的に自分の位置を測れなくてレベル高い参考書に手出したりする。大学入っても限界バイトにどっぷり浸かって単位落としまくって辞めるタイプなの。ルノアールで情報商材の勧誘受けてる若い子全員ちいかわの表情してんのよ。情報と情報を比べたり真偽を評価したりする機能が欠落しちゃってて......だからその瞬間割って止めても無駄だな...って気持ちになってしまう。例えば有名学習塾も母数の多いちいかわクラスから金を取って特待エリートの授業料は無償化するじゃん？でもちいかわにとってもその授業は価値のあるもので本人の将来のためになると説明する。ちいかわは永遠にエリートになれないとわかっていながらね。それは本当にフェアなのだろうか？

あまりに無毒、清潔、キレイ過ぎる世界は時に猛毒のように見えることってあるよなぁ。自分にとってはサザエさんもある種その枠。

嫁の男性の好みが面白くて「どんなにイケメンでも『牛の眼』をした男は生理的に受けつけない」と言うんだな、牛の眼ってのは「知性の輝きが感じられない眼（表情）」＝愚鈍ってことらしい。要は「馬鹿が嫌い」と。

主人公サイドに差別主義者いなすぎ問題。というより、差別発言をした瞬間に扱いが敵サイドになるというべきか。メチャメチャな人種差別主義者で最悪だけど、主人公と目的はバッチリ同じだし、すげー協力的で優しくもある、みたいなキャラ造形はないのかな。とくに映画、「味方キャラは全員リベラル、非リベラルなやつはクズで敵と内通していてやがて裏切る」みたいなパターン多すぎる。発言によってそのキャラの立ち位置をスッと見抜けちゃうの、ちょっとつまんないんだよな

>>実際差別主義者は仲間認定した人間に対してはめっちゃ良い奴

>>自身の差別主義的傾向を改めることなく周囲に受け入れられたい、幸せになりたい、というものすごく都合のよい潜在的願望のはけ口をフィクションに求めてるようにも見える

>>ベジータはずっと血統主義者だったよ。味方になったかは微妙だけど。

番組見てた時からそんな気はしてましたが、やはりそういうことだったんですね。クイズプレーヤー向けに簡単に言うと「腕につけるアクセサリーは...」で「アンクレット」と答えることに感じるあの違和感の最終形態って感じですかね。

人格というか人柄が見えてこないんだもの　顔がないというか。もう本当に刹那的な「お役立ち情報」だけが乗っかってるネット、普通に厭じゃないですか？でも実際マネタイズってのはそういうことなんよね。お役立ち情報を手軽に摂取して人生を便利に生きよう！みたいな。そこには善悪もなくて正義も価値観も存在しない、ただひたすらに商業主義という砂漠が広がってるだけ。マネタイズってのはでも、そういうことよ。エグい広告や詐欺まがいの情報商材を貼って金をむしり取れればいいブロガーと、その供給者の思惑が一致して奇妙なスフィアをネット空間に展開してるけどもう、それが「正気」なんだろうな、ということぐらいは自分でもわかる

意地や矜持が世代を追うごとに減退して、その結果人間関係におる摩擦を極端に嫌うようになって(意見がぶつかると意地が弱い奴が傷付くので)、他人が何考えてるかまったく分んなくなっていって人の言葉を悪意(嫌悪？)を持って解釈するのが普通になっちゃった。っていうイメージで思ってます。

面接官｢それウチの会社じゃなくてもいいよね？｣

純粋｢え？！そうなんですか？ありがとうございます。他の会社も受けます！｣

面接官「それうちの会社じゃなくてもいいよね？」

学生「ばか！自信もてよw」

完

上司が「人間は教育と、それからあるものには惜しまないお金をかけるんだけど、それってなんだと思いますか」と聞いてきたので「戦争？」と答えたら「医療です。」と言われてしまった めちゃくちゃサイコパスな人間だと思われたかもどうしよう

「かしら」「わね」「だわ」みたいな「女性であることを示す語尾」はある種異様で、現実世界で使う人をほとんど見ないのに、それが「女性を示す記号」というだけの理由で創作作品に溢れている。

意外な話、起業してる人がモチベーションを維持できる理由を「意思力が強いから」と言ってスゴそうに見せたりしますが、実はウソで、単純にやればやるほど収入が増えるので、モチベーションが保ちやすいだけなんですよね。他人のゲームのレベル上げはつまらんけど、自分のなら楽しいのと同じです。

収入があると「必要になったら買えば良い」と思えるから捨てられる。貧乏だと「また必要になるかもしれない」と思うから捨てられない。

世の中の人がなんで片づけられないのか不思議だったけど一人暮らしで安アパートに越したら無事ゴミ屋敷の主になりました。現場からは以上です。

「金玉にはシワがある」「寒いと金玉が縮こまる」という2つの知識を「金玉は温度に敏感で、温度変化を極力なくそうとする」に自力でつなげる力こそ教養だと思っている。知識や価値観のメタ化を自分で行うというか。だから必然的に教養にはことば、言語化能力がいる。

自分の利益を得るために、さも役に立つ商品だと盛りに盛ったコピーライティングで商品を買わせ、実際は消費者が後で後悔するようなアフィリエイトは絶対にやりたくないんです。

SNSでよく見かけるんですが『会社で働くこと＝時代遅れ・負け』的な文脈になりがち。これは依存への問題提起であって、会社で働くことの全てがネガティブではない

頭脳王は、日本一(マニアックな知識を数ヶ月かけて大量に頭に詰め込める記憶の達人かつ暇人)頭のいい人を決める番組です。普段テレビはあまり見ないのですが、この番組には東大医学部の後輩が出ることが多いため昔からよく見ていました。今回、あの(医学部を卒業しておきながら研修医もやらず勉強用アプリか何かを作っていると噂の)河野玄斗氏も出場することを知ったので、録画をして見ました。確かに彼は東大医学部卒です。でも、本来ならなっているはずの研修医をやらずに事業をやっていて、おそらく医師として働く予定はないでしょう。「医療事故を扱う弁護士になりたい」と言っているのを聞いたことがありますが、弁護士もやっていないはずです。「東大医学部」というとすごいイメージかもしれません。でも誤解されると困るので、同じ東大医学部の出身者として言わせてください。理三や東大医学部の学生や卒業生でも、あんなクイズは解けません。今回出題された問題のうち、私が解けたのは5問だけでした。一般の方よりは多少正解数が多いかもしれませんが、その程度です。東大医学部の人は論理的思考力や発想力、計算力は平均以上でも、あそこまでマニアックな知識は持っていないのです。

もしかしたら出場者は対策ができるよう、事前にサンプル問題や出題範囲を教えてもらっているのかもしれません。とはいえそれだけでは差がつかないのでそれ以外の問題も出るでしょう。だから出場するためには対策を立て、膨大な量の知識を頭に詰め込まなければなりません。よほどの暇人でなければ、頭脳王に出場して好成績は得られないのです。

ASUSなんて元々「なんて読めばいいんだ」とか言われてた上に公式の読み方が途中で変わったりして、今は結局ASUSが正式らしいけど、自分は昔のままASUSって読んでるわ

将来の夢に「子どもが欲しい」と書いたので22歳で子どもを産んでみたが、「欲しい」の後の状態を定義してなかったので、そのまま井戸に捨ててみた。泣き声がようやく止まって安心している。

ガラスの天井（女性の出世を阻む男社会の行動習慣や規範）を、男性同化戦略で突き破ったらひどい隘路に追い込まれてた、という最近の縮図的な話。

ゾロリせんせ、核のボタンはもう押されただよ。

𝐆𝐀𝐌𝐄 𝐎𝐕𝐄𝐑

【3人でいる時あるある】

自分は均等に話題を振るように気をつけるけど、お前らは俺に話を振らない

もう駄目だ、人類は花粉に勝てない。俺は花粉側につく

電車で確実に座る方法が「奇声を発する」しかないの現代社会のバグだと思ってる。

塹壕戦を経験したワクワクさん「今日はね、火炎放射器をつくります」

エッチな本を買う時は科学系の新書で挟むといいらしいと聞いてアマゾンの注文の時にやってみたら別々の箱に入って届いた。

レースの種類が多少変わっても勝つのはいつも同じ人たちだ、というのが「格差」なんですよね。いま学歴レースに勝てる社会的資源を持ってる人は「学歴以外で評価」になってもどうせやっぱり勝つ。

右上に終始｢Made with KINEMASTER｣

と表示されているカスの映画

鏡で自分の顔を見てたら突然鏡が割れてバニラトラックが突っ込んできた。

会計で1万円が使われた際は「はい！！1万円入りま〜〜す！！」とテンションが高いのにお釣りで5千円を出す際は「うぅ…5千円…出ます…」と露骨に悲しそうにしている店員がいたら面白い

お尻デカすぎて浴槽のお湯全部出ちゃった、本当にテンション下がる

美術館にある映像展示を見始めたら中盤ぐらいで、いったん最後まで終わって最初からリピートしてまた中盤に戻ってきた時点で見るのやめるとき、すごい消化不良感がある。

マヨビームってちゃんと大学出た人が考えた言葉なのかな

ネトウヨって「完全無欠で清廉潔白な日本人が悪いことをする訳がない」みたいな彼ら自身の主張を、彼ら自体の卑劣さによって反証してくれてるよな

人からの理解いらないから、お金のある彼くんのお金の部分だけ欲しい。

すごい良い映画観て感動で泣き晴らしながらレビュー見たら「この映画を評価するのは自分に酔ってるだけの人」みたいな酷評があって、なんだァ？てめェ……になった。作品の好みは人それぞれなんだから嫌うなら嫌えばいいけど、自分の価値観を肯定するために好きな人の気持ちまで否定しちゃだめよ。

経済力は料理の具の多さ（種類、数）でわかると思っていて、そしてそれはQOLに直結する。一時期具なしカレーを食べていたが、あの貧しさにはもう戻りたくない。

生まれてくる人が減るって死者が増えることよりも未来がないと感じる

「何を極めれば世界のどこでも生きていけるか」を考えたところ、料理や散髪など世間的に見下されやすい職業ばかりだと気が付いた。これらの職業には言葉があまり必要なく、しかも絶対になくならない。そして案外、そういった人々が世の中をきちんと回しているのだと思う。現代といえばとかく虚業化しがちだけど、この目線は大事なんじゃないか。

本を読み終わった後、「読了。」と書きたくなる気持ち、超絶分かる。

全然知らないだけで、本当は「乗りたくなるおしゃれな車椅子」とかあるんだろうなと思う。イスラム教の女性が見につけてる布にも、ブランドものとかかわいいとかいう概念があるので…

「男」と聞いても何も思わないのに「女」と聞くとちょっと下品な感じがするの、けっこう不思議だったりする。平気で「男と女性」とか言っちゃう。

「にしおか～～、すみこだよ～～～」

「にしおかすみこの母です。よろしくお願いします」

家に半年に一回火災報知器の点検をしにおじさんが来るのだが、その時のために火災報知器に関する知識を身につけて「こいつ、ナニモノ…？？」と思わせる作戦を実行したら「すごい！よくご存じですね！」と思いのほか喜ばれて、罪悪感が湧いた。

有名人へのアンチ的エアリプを本人が引用RTして「こういうことを言ってくる人もいますけどね…」と言ってるシーン、正直言って面白すぎる。エアリプマンが急にしおらしくなって謝罪してたりするのを見るのも好き。

紛争地帯に産まれて食べ物のために紛争に身をおく少年兵が努力不足と詰られることは当然ないが、バカ親の劣った遺伝子を継がされてろくな教育環境も与えられなかった低収入者は努力不足だと切り捨てられる、両者の境目ってどこにあんの？

ツイートの横に本人の年収が表示されたら余計な炎上が減るかなと思ったが、それはそれで別の問題を引き起こしそうではある。

「正論言う奴って日本じゃ嫌われるからな～」というツイートに「世界でも嫌われますけどね」ってリプがぶら下がってて、お前みたいなのはそりゃ世界でも嫌われるやろな～～としょうもないことを感じた。

言葉は変わるものとか言う人は言葉に敬意を持ってないだけの場合が多い。知らないとか間違えてるとかを正当化するな

自然科学の方法論そのものを全否定しなくても多分いいんだろうけど、自然科学の研究はお気持ちに流されるマスメディアと違って冷徹な法則に則ってただ事実のみを述べているというのは間違っている。マスメディアの当事者がメディアに対する不信の背景を知っておくべきなのと同程度には、「科学」に対して世間が抱く不信の背景や歴史的事情を理解すべきだと思うけど、Twitterオタク界では前者は積極的に共有され後者は無知蒙昧の象徴みたいな扱いになる。

ツイッターの大喜利系ハッシュタグで、出遅れた上に全然おもんなくていいねが1個もついてないツイートを見るのがけっこう好き。なんやこれ！つまんな！と思いながらけっこう笑っている。

どうして毎年毎年植物のセックスに怯えねばならんのだ

そのうち映像の3Dが当たり前になって、2Dの動画を見て子どもたちが「ふっる！！これ2次元かよ！」と言いだすし、もっと下の世代の子は「動画の見方」がわからなくなる。

人間を駄目にするソファに一度も座ったことがないのに駄目になってる

甘いものを食べるときはローファットダイエット中、油ものを食べるときは糖質制限中だというふうに切り替えることによって良心に与えるダメージを最小化できる

【無策】

万引きGメン「アイツ取るよ……ほら取った！取られた取られた！取り返せ取り返せヤバいヤバいヤバいヤバい急げ急げ急げ急げ」

高専時代、昼休みに他クラスの友達から「助けてくれ」と連絡が来たため教室に向かったところ、オタクが15人ぐらいで円になってスピーカーを囲んでおり、全員でハレ晴レユカイや東方のアレンジ曲を合唱しながら昼飯を食っていたことがあって、本当に怖かった

図書館、職員にキレ散らかしてるジジイが必ずいて辛くなる。知の宝庫のはずが、なぜサファリパークになってしまうか。

試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び回答容姿の汚れ等に気付いた場合は、絶対に手を高く挙げて監督者に知らせないでください。テストがエロすぎてほぼ100パーセントその場でヌイてしまいます

コナンの町、大島てるで見たら真っ赤になってそう

世間で言われる「多様性」は会社の偉いおじさんが「ウチもAIでなんかできないのか」って言うのと同じような雰囲気

整備士のキャラって会いに行くと必ず仰向けになってメカの裏側直してるな

ゾロリせんせ…そっちは別の穴と思うだよ…（涙腺に突っ込んでいる）

シコってる時に脳内で歌が流れ出すので、その歌をとりあえず最後まで流しきってからシコるまでの世界一無駄な時間を過ごすことがある。

経済白書の執筆者が登場する格闘ゲームがあったとして、必殺技撃つときに「もはや戦後ではない」って叫んだらめちゃくちゃ面白い

いろんな立場や考え方があるなかで、ある音楽やあるバンドが好きという共通点は、理解し難いことなんじゃなくて、喜ぶべきことだと思う。心底苦手な誰かとも、あるレイヤーでは繋がったりする。それって、共生への緒（いとぐち）なんじゃないかと最近思った。だから、後藤のTweetとか大っ嫌いだけどアジカンは好きみたいなこと、まったく問題ない。どこかで、分かり合えるところがきっとあると思うな。

「自己中」と「自分を大事にする」の違いが時々判らなくなる。なんとなく掴んできたのは、自分を大事にできなかった結果が自己中じゃないかと思う。俺は自分の気持ちを察するより相手の気持ちを察する方が早くて楽。すると相手に合わせすぎて落ち込み疲れる。その結果自暴自棄から自己中になる気がする

カラオケ店員あるある：部屋入ったとき恥ずかしがる奴ら、めんどくさい

「いじめを見て見ぬふりをすることはいじめと同じ」これやめろ。寝言は寝て言え。誰かをいじめることと、それを傍観することが同じなわけないだろ。百歩譲って『いじめを見て見ぬふり』が悪いことだとしても、いじめること自体とはまったく別の問題だろうがよ。

「マ？」で検索して、全てのツイートに「本当です」ってリプライしよかな

小学5年の時、パソコン室で友人とネットスラングを紹介し合うみたいなのが急に始まって、私が机に「氏ね」と書いたらけっこうな真顔で「そういうのよくない。」って言われたけど確かによくないわ。ごめん。

口喧嘩って、論理的な会話能力というより、瞬発力と声のでかさの勝負であって、タイミングよく大きな声を出せるとそれだけでなんか勝った気分になれる。いやまあ本当に「気分になれる」だけなので、そこから何か生まれたりするわけではないんだけど

免許証の更新で見せられるビデオ、前回までは悲惨な事故のドラマを見せて感情に訴えかける感じだった。現在はドラレコで録画した実際の事故記録を元に心理学に詳しい先生が事故を起こしやすい心理状況を分析する、という科学的なものに変わっていた。我々の免許証と共に行政の意識も更新されてるのだ。

「馬鹿正直に理由を述べるのではなく意図を読み取って行動してほしい」「理由を聞いているだけなのにすぐ謝って萎縮してしまう」

替えが利かない人材になりたいっていうけど、ジョブズでさえ替えがきくので全然大丈夫です。世の中の99.999%の人は「何かの特殊技能をもった普通の人」でしかなくて、その人がいなくてもなんやかんや回っていく。「ひろゆきがいなくなっても2ちゃんねるもニコ動も続いてるじゃん」くらいにレベルを落とすとたとえが格段にわかりやすくなる。

スガシカオの「おれだってギター1本抱えて 田舎から上京したかった」は逆に都会に生まれ育った人の、「なんにもない」ところに住んでた人への鬱屈した気持ちをすごい表現してる。文化資本的に恵まれてるのは勿論わかってるけど、逆に子供の頃の山川遊びとか、地元特有の文化とか、それこそ多感な時期の上京とかそういう「経験」ができなかった。ないものねだり。

インターネット、昔は「リアルでは話せない本音や言説を吐き出せる場」だったけど、今は良いも悪いも道徳的に正しくない発言は即座に晒され叩かれるようになったので、逆にリアルが段々と「インターネットでは話せない本音や言説を吐き出せる場」になりつつある気がする

コミュ障には「コミュ障ほど相手をコミュ障認定しコミュ障に厳しくなる」構造があって、何だかんだコミュ障の自覚がある人間はコミュ障の中でも上澄み。真のコミュ障は人間関係が破綻する理由が自己にある事にすら気付けないので、逆に相手をコミュ障と認識し自分は一方的な被害者と思い込む

気分がドン底だったり心身が疲れ果てると、もはやゲーム/アニメ/映画/読書/スポーツのような脳や体を使う娯楽すら出来なくなり、脳死状態でも出来るTwitterぐらいしかやれる事が無くなるんだけど、この現象は「日本はTwitterのアクティビティが異様に高い」のと何か深い関係がある気がする

オタク、陰キャ地味女性に走れば「自分に自信がないから陰に走るw」と叩かれ、陽キャギャルに走れば「自分には手の届かない存在だから無限に夢を見れるw」と叩かれ、ロリに走れば「自分より弱い存在を求めてるw」と叩かれ、強い女性に走れば「庇護を求めてるw」と叩かれる

何かに違反してる人間に対して納得させたり言い聞かせたりといった穏便な解決策を計るわけではなく、その人間を論破したり小馬鹿にしたりして辱めて叩きのめしてやったぜ！スッキリ！的な武勇伝がTwitterでバズり続ける光景、良い悪いは別にして虐めの楽しさと無くならない理由がよく分かる。

矛盾してるようだけど、何か不安を抱えてる人間が心の底から安心出来るのは「不安が的中した時」なんだよな。何故なら実際に起こった悪い事は不安…心配事/気がかりではなくなるから。手遅れになるか分からない状態が1番心理的にキツく、手遅れが確定すると逆に何処か救われたような気になる感覚…。

×所得の高さは人間の能力によって決まる

△コンビニで新サービスが追加される=求められるスキルが増えても店員の時給は増えないし、高学歴高教養を自負するTwitter民は大体貧乏。所得の高さは座ってる椅子の近くに流れる金の多寡で決まる

○所得の高い人間はハロー効果で能力も高いと認知されやすい

コミュ障の陰キャの「気心を知れた人間とは物凄く盛り上がる」「1対1だと一応は話せる」「あまり親しくない人間多数と話すと詰む」的な特徴、全て「心理的安全性が保たれてるか」で説明可能なんだよな。陰キャの陰は怯え/羞恥に由来するので、それらの心配が少ない場では陽になる事も珍しくない

ADHDの「衝動性が強い」と「色々な軋轢に曝されやすく色々失敗しやすい」という性質が合わさった結果、ふとした拍子に嫌/恥/悔恨の記憶がフラッシュバックしてきて、今は駄目だと頭では理解してるのに反射的に何かを口走ってしまい、更に嫌/恥/悔恨の記憶が刻み込まれるという地獄が誕生する

インターネットでオタクへの外見ヘイトスピーチとして使われてきた「無表情/幼く見える/髪型が変/口の開き方が不自然/動作がぎこちない」的な悪口の数々が、発達障害人間の形態学的特徴として研究され、学術の分野で「発達障害の診断に使えそう」と言われ始めてるの、もはや笑うしかない。オタクへのヘイトスピーチして使われがちな髪型が変/ボサボサ問題、自分も後天的な問題…髪を整えなかったり寝癖を直したりしないせい…だと思っていたけど、ASDには形態学的に「髪の房が間違った方向に生える」特徴が確認されており、どうも先天的な問題が大きいらしい

不細工の辛さって「容姿で不利に扱われる」というより、「容姿で不利に扱われても、それが容姿由来だと看做されない」事にある。人間は「自分は容姿で判断しない」と思っていても尚容姿で判断してしまう性質ある為、何事も「容姿のせいにするな！自己批判せよ！」的に扱われがちになる

Twitter、不遇な人間が弱音を吐くと大体「恵まれてる側も辛いんだ！貴方は他者への想像力が足りない！」と言う声で溢れるけど、それは「私は貴方の事を考えたくない」という想像の拒絶表明に他ならないんだよな。人間、基本的に他者の想像をしない人間ほど自分への想像を要求する傾向がある気がする

「発達障害人間は米国では個性として凸を活かして活躍出来る」的な神話があるけど、実は米国では「日本はOTAKU/HENTAIカルチャーの聖地なので発達障害人間でも仲間と大手を振ってワイワイ出来る」的な神話があるんだよな。当事者事情、良い悪いは別にして大体は「上澄み」のみが取り上げられる

コミュ障は往々にして「他者に許される範囲」が掴めないが故に、常に絶対安全圏な振舞いをするから、初見の人間には好印象を与えがちなんだよな。しかし絶対安全圏から動けないので何度会っても距離が縮まらないし、問題なく対応出来てるように見えても内心は気を張り詰めっぱなしで消耗ヤバい

「会議を長引かせるのは誰か？」問題、例えば若者が「偉くて旧態依然とした面倒な老人が会議を無駄に長引かせてる」と思っている時、老人は「何も知らず生意気で物分りの悪い若者が会議を無駄に長引かせてる」と思っているので、どちらが正しいか？は別にして決着のつけようがない問題

「精神/発達障害男性には理解のあるパートナーは現れない」のは、もう各種研究や統計で明らかなんだけど、その傾向を無視して「理解のある彼女ちゃんがいる男性当事者もいる！」と少数の例外を持ち出して自己責任論を押し付ける人間、間違いなく上記の研究や統計を語る我々以上に男女の分断を煽ってる

Twitterやってると感覚が狂いがちだけど、日本における大学進学率は50％程度で、年収中央値は360万円程度で、発達障害人間は48万人程度なんだよな。良い悪いは別にして、Twitterは基本的に「Twitterに時間を費やしてツィートしまくるようなある種極端な人間の声が支配的になる」構造

「大学教育は落ちこぼれを切り捨てる。何故なら大学出たら放り込まれる社会はそういう場所だから。優しくするのは義務教育まで」という言説、ナチュラルに中卒高卒者を「人間」扱いしてないし、日本の大学進学率は2020年54.4％=半分は非大卒という事実が無視されてるしで、色々と物凄い分断を感じる

助けを求めるのに必要なのは「黙っていても助けられた経験」で、この経験により「自分は迷惑かけても存在していい」的な世界への信頼感が生まれる。この信頼感がないと周囲が敵に見えたり「迷惑かけたら存在許されなくなる」恐怖で、助けを求めるより自分1人で抱え込む方がマシになってしまう

陰キャの集まりであったTwitterが最近は「挨拶や礼儀は大事」「飲み会等の社交は参加すべき」等、陽キャのやってる営為の大事さに気付いて馬鹿にするのを止めつつある光景、それ自体はとても良い事なんだけど、この現象と「発達障害の精神年齢=実年齢×0.6」との関連をどうしても考えてしまう

優しい人間ほどコミュ障になりやすい傾向があって、ガチで優しい人間は相手に不快な思いをさせるのは嫌なのを通り越して、「相手に不快な思いをさせる可能性がある」こと自体に強烈な忌避感を抱いてしまう。他者への思い遣りや内罰性が行き過ぎて、他者と関われなくなってしまう

ADHDに「いつでも大丈夫。都合の良い時に」等と言ってタスクを振ると、「先延ばし癖」と「思い付いた事を最優先にしてしまう」性質の合わせ技で、動けない＆動ける時はそれより優先度の高いタスクが積まれ続けられてしまい、双方で永遠に訪れない「都合の良い時」を待ち続ける悲劇が起きがち

「弱肉強食だと群れは逆に弱い個体だらけになって自滅する」の例が前に流行った「成果主義」で、成果主義を導入した企業は「社内競争で個も企業も強くなる」どころか、社員間での協力や情報共有やノウハウ伝授が消滅して個も企業も弱くなり、最終的には成果を盗む/盛る人間ばかりになった

「環境のせいばかりにして努力しない人間」は、往々にして「努力から逃げてる」というより「努力しない方が合理的」な状態なんだよな。努力が報われた経験が乏し過ぎる＆失敗=即死な環境下で、安心して努力出来ず報われる気もしないと「どうせ駄目なら何もしない方がマシ」が合理的判断になる

「陰キャは優しくされたら直ぐ舞い上がる」というけど、ガチの陰キャは優しくされると「何か裏がある？」「自分は迷惑かけてる？」「過剰な期待や誤解されてる？」と不安になってしまい、裏切られたり失望される恐怖から妙な距離感調整してしまって気不味くなり、そのまま関係が自然消滅しがち

「美人/金持ちも大変なんだぞ」という言葉が詭弁なのは「デメリットの有無をもってメリットの比較を無効化してる」からなんだよな。当然だけど「大変である」のと「持たぬ者に比して益がある」のは両立するし、メリットがデメリットを上回るからこそ、誰も敢えて不細工/貧乏にはなろうとしない

弱者から這い上がった人間は弱者に優しいとは限らなくて、弱者から抜け出す為に多大な苦痛を味わったからこそ、それをしない人間に対して「努力しろ！自己責任だ！自分は出来た！」と苛立ちを覚えてしまうんだよな。痛みを知るからこそ、不公平感＆自己正当化で他者にも痛みを強要してしまう。

>>強烈な方法でいじめから抜け出した人が「いじめから抜け出そうとしないのは自己責任」といってしまう問題。

Twitterで散々「中高生時代に制服でイオンデートしないと将来悔恨に苛まされる」が指摘されてるのに、成人式に関しては未だに「自分はあんなの行かなかったw」が自慢気に語られている理由、発達障害の精神年齢=実年齢×0.6で説明出来る気がするし、10年後ぐらいにはガラッと風潮が変わってる気がする

自己肯定感の低い人間が自己肯定感を高めるには「自分が無条件に受け入れる経験」が必要なんだけど、それを得る為には素の自分を曝け出す必要があるので、「自分は無能でも存在していいんだ！」という自己肯定感が無い人間ほど経験を得られなくなる「服を買う為の服がない」型ジレンマがある

まどマギ10周年で「年寄りは昔話ばかりする」現象が、ボケや懐古や自慢ではなく、もっと単純に「時間感覚が壊れる」が原因なのを身を持って理解出来るようになってしまった。歳を経ると「最近」の範囲がガバガバになるので、当人感覚では最近の話のつもりでも客観的には昔話になってしまう

インターネットで馬鹿にされがちな「成人式に派手な格好して騒ぐ人間達」は、実のところ派手な格好を用意するだけの経済力/仕事や計画性や一緒に馬鹿やってくれる友人を有している健全な社会適合人間であり、一方でそれを嘲笑してる方は…というの、Twitterで知りたくなかった残酷な真実の1つ

成人式に行く行かないかは個人の自由だけど、Twitterを見る限り成人式に関心があるのに行かなかった人間は、毎年毎年成人式の時期になる度に「成人式とは云々」をTwitterで語る羽目になるので、少しでも思うところがあれば行くべきな気がする

カルト宗教や詐欺師の被害者は往々にして「嘘がバレても信じるのをやめない」傾向にある。何故なら、それを認めてしまうと「自分は☓☓です」と宣言する事になるし、今までコミットしたリソースが全て無駄になってしまうから。頭の何処かでは嘘と理解出来ていても、心がそれを拒むという

「プログラム/絵/音楽等は息を吸うように出来る人間が勝つので、それ以外は趣味に留めておくべき」的なツイートが定期的に流れてくるけど、別にリーマンや公務員や自営業者も息を吸うように出来るからやってるような人間は少数だし、トップになる事/勝ち負けが全てなわけでもない

人間が極度のストレスを抱えてる時において、最も生産的な行為は「休む/気分転換する」1択だけど、ストレスが溜まり過ぎると「現状維持以外の営為が出来なくなる」状態に陥る罠がある。心身疲弊のあまり中断という判断を下せるだけの余裕もなくなり、目の前の事しか考えられなくなる

メンタルが強い人間と言うと「どんな苦難にも弱音を吐かずに黙々と手を動かす」的なイメージがあるけど、そういう人間は往々にして逆に「メンタルが弱過ぎて他人に弱みを晒せない」タイプなので、大丈夫だと思って放っておくと、（傍目には）唐突かつ何の兆候もなくポキッと折れて手遅れになる

「クリスマスなのに予定がない！」みたいに嘆く人間は何だかんだコミュ充や陽キャよりで、ガチのコミュ障や陰キャは常に「お1人様」がデフォルトなので、特にそういった事自体に焦りや劣等を感じる事は無いんだけど、代わりに段々「何も感じない自分」に対してメタ的な不安を覚えるようになる

そんなんじゃ社会で通用しないぞ！と言ってる人、自分の周りではみんな「我を抑えられずに怒鳴り散らす」人だったので「そんな人でも通用するなら、自分ならもうめちゃくちゃ通用するのでは？」という思いがある

社会不適合人間は「迷惑を全くかけない」事を志向しがちだけど、実は「迷惑のかけ方」を学ぶ方が自他共に為になる。人間関係は常に害し害される可能性を秘めているので、ゼロリスク志向だと必ず失敗する。迷惑を掛けたか否か以外にも「かけ方や事後対応の良し悪し」にも目を向けるべき

先延ばし癖のあるADHDは往々にして予定がヤバくなると、「時間切れ間近の焦燥感という精神ダメージにより衝動を抑えるだけのMPがなくなり、自分の好きな/気になる事をやってしまう」傾向があるんだけど、傍目には「締切間近になると急に寛ぎだす/別のタスクに着手して自爆する謎の生物」に映る

人間は精神的に余裕がないと、少しの悪口でも落ち込んだり、些細な事が気にかかるようになるんだけど、そういう状態の人間ほど前向きになれるだけの精神力を捻出出来なくなるし、他人にSOSしても「ちょっとした事を気にし過ぎだよ」と切り捨てられてしまう。MPを回復する為のMPがない

>>ダンジョンのボスを倒したはいいけど、MP使いすぎてダンジョン即脱出の魔法さえ唱えられず、帰り際にモンスターにボコられて死ぬやつ

人間は他人を叩いてる間は「自分が叩かれるかも…」という不安から目を逸らす事が出来るんだよな。それ故に「叩き/虐め/揶揄等は相手をこんなに傷付けます。自分が対象になったら嫌でしょ？」なロジックは、「だから自分が対象にならない為に生贄を探さなきゃ！」と逆効果になる事も珍しくない

見落とされがちだけど拗れた夫婦関係の最大の被害者って、実は大体子供になるんだよな。現にTwitterには何事にも被害者意識全開で子供に当たり散らす過干渉ママと、そんなママを見て見ぬフリして不干渉を貫き責任から逃れる無関心パパに育てられた結果、社会不適合を発症した人間が溢れてる

「自分を大事にして」と言われても、何をどうすればいいのか分からない人間は「自分の好きな人間が不調/元気ない/落ち込んでいたら何をしてあげたいか？」を考えて、自分にもそういう風に接するのがオススメ。「自分なんか…」というバイアスを外してみれば、色々と気付く事や見える事もある

部屋が汚い人間は公共スペースも汚く使うとは限らなくて、むしろ凄く綺麗に使う場合も多い。その手の人間は実は潔癖症で、だからこそ「完璧でないなら汚い→汚いなら汚いでもういいや」的な感覚を持ってしまい、一定以上汚くなると清潔に保つモチベが消滅し、無関心や自暴自棄になる

Twitter、また表現の禁止事項を増やすみたいだけど、Twitterを使う人間も人間性も変わりようがないっぽいので、このままNGワードが増えてくとTwitterワールドは「氏ね」「ドキュソ厨房逝ってよし」等の呪文が飛び交う古代インターネットにゲンシカイキする気がする

イジメっ子は大体は「人間の気持ちが分からず正義感に乏しい」人間ではなく、むしろ人間の気持ちが分かるからこそ「周囲はコイツを嫌がってる=叩いてもOK」と察して、正義感が強いからこそ「懲らしめてやろう」となる。良い悪いは別にして、虐めっ子は往々にして仲間思いの人気者だ

NIKEのCMでは「イジメられっ子でもスポーツにコミットすれば救われる」みたいな感じだけど、実際は高校において運動部は文化部（音楽系除く）と比して下級生虐めが3〜4倍、同級生虐めが5〜7倍あるという調査結果がある

自ら就活生として「選別されてきた」側が数年後、「選別する」側としてかつての自分みたいな人に厳しすぎる駄目出しや上から目線を発揮している例を見ると、社会ってなんなんだ、生きるってなんなんだと空の一つや二つも仰ぎたくなるよね

「社会はそれを許すほど甘くはない」と言ってくる人、だいたいの場合自分が許せないことを（自己を透明化して）「社会が」という主語で語ってくる卑怯者なので、イスに縛り付けておけばよいらしい。

ウォーキングの最中、右足を地面に降ろす前に左足を降ろしたら、そのまま体がフーッと上がっていった。いったい何が起きてるのかと思ったら、ここはあの世だった。

枕カバーが好きな動物の模様なので、洗濯するためのモチベが「汚れてきたな」ではなく「悲しい」になっている。このまま全てのものをこの柄にすれば毎日洗濯ができるんだろうか。

社会不適合人間のスポーツ嫌いは、往々にして「身体を動かすのが嫌い」ではなく「皆の前で不器用さや遅れを晒して叱られたり嘲笑されたりするのが嫌」。スポーツの楽しさ云々以前に、体育の授業等で「運動=苦痛」の図式が頭に叩き込まれており、パブロフの犬的拒絶反応が起きる

自分もその傾向あるんだけど、会話でやたらトリビアを披露する人間って「知識マウントをとりたい」わけではなく、単純に「説明/ 解説以外で人間との会話に入れない」パターンが多い。会話に入らなきゃ！という焦燥のあまり、知ってる話題が出てきたら思わず早口でトリビアやってしまう

陰キャと陽キャの最大の違いは「人間に対する信頼感の有無」で、陽キャには「他者は自分を尊重してくれる」という世界観があるので、前向きに人間関係出来る。陰キャは「他者は自分を尊重しないしデフォで嫌ってる」的世界観があるので、常に何かに怯えてるように人間関係してしまう

自動的にクレカ限度額が上がった後で「おまえが使いやすいように借金の枠上げといたで」みたいな通知のはがきが来ると、訴訟詐欺の逆バージョンだけど縁者親戚みたいな感じになってもやもやする

コミュ障が練習で治るのは本当だけど、正確には「健常者的な会話を観測・蓄積・分析してパターンを覚え自身の言動をそれに沿わせる」事が出来るようになるだけなので、コミュニケーションが楽になるわけではなく、親密になる=非テンプレートなやり取りが増えるにつれて逆に話し辛くなってく

「会話とは当意即妙の繰り返しである」と思っていたのだけれど、世の中には割と少なくない割合で「定型化できないもっとも扱いづらい営みが会話である」と感じている人も多いらしく、そりゃあ確かにつらかろう、と感じた。自分にとってはサッカーのパス回しがそれなもんで、パス回しを毎日させられるのかよと。

Twitterで個人的に追加して欲しいボタンは「お大事に」。Twitterでは不幸な出来事や困難を抱えて苦しんでる人間の嘆きも流れてくるんだけど、それに「いいね！」するって微妙に抵抗がある。「かける言葉が見つからないけど私は貴方を気にかけてます」を「いいね！」以外で表明する手段が欲しい

「その相手のことが好き・ファンだから相手の物まねをする人」と「その相手のことが嫌い・アンチだから相手の物まねをする人」がいると思っている。全人類でこの比率を求めると何対何になるのだろうか？興味深い。

Twitterで定期的に流れてくる「ドッヂボールでは避ける専門」「大縄跳びで引っ掛かりやすい」「会話は上手くないけど国語は無勉でも比較的よく出来た」的な非モテないし陰キャの特徴あるある…研究が進むにつれて段々と全てが「発達障害の症状/特徴」に回収されていくの、非常に厳しいものがある

私はうつ病で倒れる前、ベンチプレス100kgあげてました。筋トレしていればうつ病にならないなんて、嘘だと思います。むしろ、筋トレ程度で解消できるストレスなら、その程度ではうつ病にならないと言った方が妥当じゃないかと思います。

新しい技術のプレゼンを聞いた時，「それ何に使えるの？」という質問は自分の考えの足りなさを晒していることになるので「○○に使えそうだけど可能？」いう質問を心がけよ，と指導されたのを思い出す．

キリストに「罪を犯したことのないものだけが石を投げなさい」と言われて思いとどまった民衆は賢かったんだなと最近思います

私見だけど発達障害人間の精神年齢は「幼い」のではなく「凸凹が激しい」のが実際と思ってる。社会から疎外されてきたが故に常識や情緒の習熟に乏しい反面、自己の内面と向き合う時間は長く、客観視や内省は異様発達しており、子供じみた無邪気さと老人じみた打算性が奇妙に同居してしまってる

なんというか、議論の土俵どころか国技館に入館もしてない感じ

「貴社 御社 間違えてしまった」みたいな検索予想ワードが出てて、あぁこれが『弊害』か、と強く感じた。

配属は組み分け帽子がやってくれたらいいのにな

「私子宮！血管と繋がってる壁を剥がすね！ﾊﾞﾘﾊﾞﾘﾊﾞﾘﾊﾞﾘ めっちゃ出血しちゃっためんご☆ 傷口開いてるとこ悪いけど押し出したいから傷口ごと揉むね！ﾄﾞｺﾄﾞｺﾄﾞｺﾄﾞｺ 出口が狭いなあ。開くね！ｷﾞﾁｷﾞﾁｷﾞﾁｷﾞﾁ」こっちに方が「傷口の大きさが異なるので出血量に個人差がある」「揉まれ具合で痛みに差が出る」が直感的にわかりやすいかな。

とても冷酷に考えると、女性だけに月経休暇を与えてしまうと、雇用側は月に一度必ず有休外で休む女性よりも男性を優遇するようになるだけで、フェミニズム的な観点からだと逆効果だと思うな。男女ともに体調不良に対して気軽に休めるように、無理な人員配置の禁止や、有休に代わる体調不良時の休暇制度を整える必要があると思う。

自分とは無関係な判決を読むのは好きなんだけど、自分の担当事件の判決を読むとグエーという気分になるので非常に読みづらい。完全勝訴でも「この論点もっとこうすれば良かったのでは」みたいなグエーが無限に湧いてくる。かと言って読まないわけには行かないので薄目で読んでる

誰も生まれないことに勝る機会平等はないですからね

「天下一品」の略語が「天一」である世界がこちら側で、向こう側は「下品」らしい。

なんか普段は「生まれないことだけが人類にとっての幸福」みたいな反出生主義を見るとケッ！！って思うんだけど、面接の後とかだと賛成しちゃう。生まれないことだけが幸福だったのかも。

自殺するのも面倒なのでなんとなく生きてますって人は割と多いように思うという話を中学生の頃親にしたら「そんな絶望して生きている人なんていないよ」という回答だったのだけれど、社会に出てみるとやっぱりそういう人めちゃくちゃ多いと思う。そういう人の中の何割かが実際に自殺を実行してしまうのだろう。それに「そんな絶望して生きている人なんていないよ」と問題点を見なかったことにする姿勢自体が、もう彼らに対して失礼というか、存在を臭い物に蓋してる感じがして、誠実じゃない気がする。

この歳になって思うけど、子供ができて子供のために人生を生きるようにエネルギー備給が変わるなら、自分自身に向き合うことから逃れられるわけで、認知的過剰さを抱えているのが本質である人間の神経的効率化として合理的なんだろうなと思う

「非モテはレベル上げて欲しいという話が燃えるのは分かるけど、非モテを嘆く割に外見に気を遣わない人が多すぎる」という話、やはり男性は「男性間の争いに勝つことこそが異性を得るための本質」という認知を生得的に持っているのではないか。男性にとって外見は勝ったことのシグナリングでしかない。

ファンタシースターオンラインの「ファンタシー」、ファイアーエムブレムの「ム」、不思議のダンジョンの「の」にずっと違和感がある。

「かさじぞう」のおじいさんが地蔵に売れ残った笠をかぶせて帰ってきたのは慈悲の心じゃなくて失望感からくる破滅願望の現れだと思う。

モンスターズ・ユニバーシティに出てきた歩くのがめちゃくちゃ遅いナメクジのモンスター、やっと教室に着いたら「今年度の授業は終わり！」と言われて、「わははははは！」みたいな空気になってたけど、俺はずっと「笑い事じゃないだろ」と思ってるよ

三寒四温って単語、四温の時にしか思い浮かばないな

「風俗の待合室で会いましたよね～！」と相手に言うと、行ってないのにそいつが行った感がめちゃくちゃ出る

「学生時代に最も苦労したことはなんですか？」って質問がきたら「就活です」って答えようかと思ってる

>>

「その苦労をどう乗り越えましたか？」

「乗り越えてねえからここにいるんだろ」

>>

「～～～～～、結果として、外資系企業3社、メーカー2社からの内定を頂くことができました」

「なんで受けに来てんだよ」

SDGsなんてただ企業や資本家が「やってる感」を出すための言葉だから本気で考える必要ないで。

おれも「あ゛」行から勉強しようかな

お隣さん3時間くらい夫婦喧嘩してるっぽいんだけどさっき銅鑼が鳴ったから終わったんだと思う。いつも銅鑼鳴ると終わる。

小学校に入学する際に（した後も）とにかく絶対に守ってと言い聞かせたのは「普通の大人はあんたみたいな小さい子供に何かしてもらおうと思わない。わざわざあんたを選んで道を聞いたり何か手伝って欲しい助けて欲しいと言ってくる人は男でも女でも優しそうでも絶対おかしい人だから逃げなさい」ですね

知り合いの中国人から「この日本語、正しい？」というラインが来た。『紙一重』の使い方を日本語ネイティブにレクチャーしてもらったらしく、文面には「うんことちんこは、紙一重である」とあった。明らかにこの用法が不自然であることを、彼は感性によって悟ったらしい。

子供の頃に持っていたたいせつな社会への憎しみみたいなものが賃金を得て毎日コンビニでいくらでも好きな冷凍食品が買えるというくらいのことで日々薄れていくのが本当に怖い

異常な人間は謎の造語や当て字を使う傾向があるのはよく知られていますが、ワクチン関連では「枠珍」で検索するとそういう異世界が見られますね。

>>人財って書くやつの異常さならわかるぞ

>>中韓を無意味に某国呼ばわりするのに似てると思った。隠語で通ぶるというか。隠語を作ることで閉鎖された内輪意識を作ろうとしてるのかな。真実に目覚めた同志みたいな。

>>昔の2chは英単語を無理矢理漢字で書くのがかっこいいという風潮があって嫌いだった。火狐、庭、茸、泥、密林みたいなやつ。

「冗談がわかる」という能力は実際のところ冗談を言われて笑えるかどうかで判別できるものではなく（周囲に同調すればそれは可能なので）、誰も笑っていないときに自分一人だけ笑ってしまうことがあるかどうか、でわかるものである。

ポニーテールを校則で禁止するならフェラチオとかも禁止した方が良さそうだな。欲情をあおるし。

めんつゆって開栓後は冷蔵庫で保存しないといけなかったんだ

なさけな〜い♡ ザ〜コ♡ ザコ調味料♡

冷たくないと品質保てないんだ♡ 確かに味が劣化してるかも♡

自称バサバサ系の鳥

自称パサパサ系の鶏むね

最近うんこRTA始めたんだけど、タイムを1秒でも縮めるために下半身は常に裸だし、ついに家のトイレのドアを取り外した。

ポケットモンスター

火事ですか / 救急ですか

中学のときのクラスメイトがAqua Timezの虹をもじって「大丈夫だよ 見上げればもう 大丈夫ほら 七色の顔♪」て歌って「顔」のときに頭上げて変顔するっていうギャグをやってて、面白くなさすぎて今でも覚えてるんだけど、あれ本当にその瞬間に突然顔が虹色になってたら笑ってたのかもなって思った

「夫婦同姓は日本の伝統だし家族の絆を強固にするから維持しましょう、ただし夫婦いずれの姓をとるかは平等の観点から【必ず】コイントスで決めることにします」なら同姓論から反論の余地がないはず

フリが下手すぎる人「林先生、今ですか？」

みずほのトラブルでキャッシュカード飲み込まれて困ってた人いたけど、海外ATMで度々カード飲み込まれた経験者からアドバイスすると「カード飲み込まれた」って連絡しても「営業時間内にまた来てね」になるので「なんかお金が多く出てきた！」って連絡すると、わりと飛んでくる

こちらへ揶揄するような引用RTをしてきて、それに皆さんに見てもらおうとすると「晒された」と言う人。晒されて面倒だと思ったのなら、それと同じようにこちらも傷ついてるのです。命懸けで闘うレスラーをギャグ集団と言うのは自由かもしれないけど、目にはしたくないかな。

カルト宗教二世の人たちが「サタンがどうこう言うだけの教義より、外の世界の各種科学の本の具体的で論理的な説明のほうが正しいことに気づいて目が覚めた」という事例を多く見聞きする。カルトが外部や科学を嫌うのはそういうことだろうなとなる。

正直、宗教どころか各種の思想や学問ですら、2000年くらいにあった、実際の実験やデータで検証してみましょう関門を潜りぬけたものは少ない。だから20世紀で止まって21世紀に更新されていない多くの思想や学問は、その関門を無視して延命しているふりをしている。

6年くらい前に実質高校無償化にめちゃくちゃ怒ってる先輩ママがいたんだよ、所得制限おかしい！って本気で怒ってて。でももう今は怒ってないの、もう子育て終わったからね。子育て世代は次から次へと入れ替わるから改悪されやすいんだと思うよ。

司法修習が制度として旧態依然としているのも基本これ。通り過ぎてしまうので批判が続かない。

糞ボロボロな築30年の家の壁と比べたら、30歳の人間の肌はかなり綺麗だと思う。

ごめん、同窓会には行けません。

今、なぞのばしょにいます。

去年の今ごろ？にも「○○出身の自分はがんばって訛りを矯正しているのに関西出身者は直さないからずるい」みたいなのがあったけどまあ定期的に話題になるやつではある

捨てなあかんという発想が既にわからん。だったら海外に行ったら自国の文化を捨てるんだろうか。

ツイッターでは「リベラルな都会に出たら地元がいかにクソであるか気づいた」と言うドメスティック出羽守が主流だから“捨てるべき”が正解ではあるのだろう

DAMの演奏停止は3回押すことでようやく効果を発揮する

Official髭男dismのボーカルが元銀行員なの、「感情のないアイムソーリー」という歌詞を生み出している時点でめちゃくちゃ説得力ある　銀行員、感情のないアイムソーリーしかしてないもんな

センター試験前日に「私服と制服どっちで行けばいいの？」ってどっちでもいいことを電話で訊いてきた友達、大学卒業後に就職して1ヶ月で自殺した。僕は留年して就職もできなくてもまだ生きてるのに。

SNSで副業やら社長やらを売りに不気味な笑顔をアイコンにして訳分からん極ペラ情報商材で金騙しとるやつら、前までは独身が多くて「まあ子供いたらそういうことは倫理的に出来ねえよな」と思ってたのに最近子供いるやつでも普通に出てきたからもう倫理の没落が怖いよ私は

完全な反差別には基本「全員が全員に対して失礼」か「全員が全員に対して礼儀正しい」のどちらかしかなくて、人類は後者を選んでしまったのでいばらの道行きが確定している。ポリコレ的には「嫌悪感を抱いてもいいけど口にするな」が完全かつ唯一の解だが、そんな心の余裕大抵の人間にはない。よって、見える地雷を回避して上辺だけのコミュニケーションに徹するか、あるいは反差別に疲れた者が差別主義を内面化し、他者を永久に叩き続ける地獄に暮らし続けるか、のどちらかしかなく、匿名的でタコツボ化したスフィアへの回帰がもうじき始まるだろう。

そして意外にもそれはなんJのように、思考力を失った獣たちが鳴き声で互いを罵倒し合うコミュニティなのだと思う。人類に反差別は早いのだ。

この世で一番勉強を教えるのが難しいのは、全ての問題について「１番ですか？あ、いや、２番です。...いや、３番、３番！」みたいにこちらの顔色ばかり伺って答えてくる子。だいたい成績はそこまで悪くないし、頭の回転もいいし、社会で生きていくことは得意なタイプなのかもしれないけど、放置していると本当に何も学ばないのでやばい

「滞納太郎を力業で追い出したら、路上で冷たくなってた」ケース、冷静に考えると「家賃滞納されても部屋を貸してやった人」と「何もしなかった人」しかいないはずなんですけど、最後まで部屋を提供していた人が怒られるルールなんです。まずこれが理解できないと話にならない。

「家を失った友人をうっかり部屋に泊めてしまうと、いい加減出ていけとなったときにバチクソ逆恨みされる」あたりで学習しておくのがいいでしょう。最後にインフラ断ち切った奴が「悪」なんですよ。

何をもって『セクハラ・パワハラを受けた』と捉えるのかは関係性によっても受け手によっても違うし、時代の流れで定義が変わったりするから「俺は絶対にしない」なんて言い切れる人は逆に信用出来ん。「意図せずそうなることはあるかもしれないけど、なるべく気をつけます」が真摯な回答ではないかしら

うる覚えって誤字、うろ覚えって概念を体現してるから割と好きなんだよな

「むかしむかし、ある所にお爺さんとお婆さんが住んでいました」の反対の文章は「未来未来どこでもない場所を少年と少女が旅をしていました」になり、滅茶苦茶にかっこよくなる

「私は学ぶ気はないがお前らは学べ」というような、一行目から論理破綻しているものを「フェミニズム」とするなら、ちゃんと「お気持ち」というふりがなをふって欲しい。

「恋愛の根源って性欲だろ」って考え方、わりと間違いっぽくて男性機能と直接的な性欲が完全に死んでもちゃんと「あの子と遊びたい」は残りますね。友愛と恋愛って区別できないくらいには混ざってるものなんでしょう。

無印で店員に間違えられたことは無いけど、ホームセンターで店員に間違えられたと思って「お店の人ではないので」と断ったら「いえそうじゃなくて詳しそうなので」って食い下がられたことならあるよ

最近大学生で積立NISAしてる衆いて結構なことなんじゃが、幸福度は加齢に伴ってデフレすることも加味したほうがよいぞ

確かに今の40万円は60歳になる頃に400万円になるじゃろうが、アラツーの1万円の価値は老人の1万円の10倍の価値はあるからの

人生を楽しむことを疎かにするのも勿体無いぞい

こういう系のドラマって絶対ガチモンのドブス使わないからイライラする

フォロワー数が何だ。全然RTもいいねもされてないけど、自分にだけ突き刺さるようなことを言ってくれる人がいる。そういう人達を非公開リストでまとめて、酒を飲みながら週末に読むのがいいんじゃないか。なあ、それがツイッターの楽しみ方だろう？

10年活動して分かったことは「人間は宣伝がめちゃめちゃめちゃめちゃ嫌い」で、例えば「宣伝でーす！！！俺の曲聞いてね！！」っつってもだーれも聴いてくれんが「あっこんなところに昨日作った曲が落ちてる」みたいに全然宣伝じゃないですよ感出しながら宣伝すると結構聴いてくれるという事

母にLINEでアル中って言われた父が「アル小です」って返してたの見たとき、これはもはやアルコール側に迷惑が掛かってると思って謝罪したくなった。

人生の貴重な時間を会社勤めに使うなみたいな、暇な時間をたくさん作ろうみたいなのあるけど、暇な時間ばかりになったらライン漫画読んでゲームしてるだけになったので人生ままならないという感じがする

「喜びしか知らぬものから祈りは生まれません。」私が触れてきた作品史上、1番の名言かもしれない。祈りは、言ってしまえば、「悲しみを避けようとする現実的手法の諦め」が生じないと生まれないんだよ。更なる喜びを求めたくて祈るものはいない。悲しみに現実的手法がまだ取れるものは祈らない。雨を切望した古代の人は、「現実的に雨を降らせる手段」を持っていただろうか、現代でさえ持っていない。だから、合理的手段の不在故、祈りを選んだのだ。加えて、喜びしか知らぬものは、更なる喜びのために祈りはしない。祈りはあくまでも、損害の回避のためにしかない。

鳥インフルとか豚コレラとかが発生すると、一気に殺して死体を焼却しますよね。感染力が強いウイルスの制圧ってそういうことだと思うけど、人間にはそれは絶対にできない。その力不足は諦めるしかないし、それは別に敗北じゃない。むしろ「人間が人間であること」を大切にするということだと思います。

成人式は楽しむことでなく、「行ったけどつまらなかった」という事実を作り「いったら楽しかったんじゃないか」というifを潰すことが大事

生きた魚を〆るシーンにすらクレームが来るような時代なんて、まったく想像してこなかったなあ。高騰しているのは、魚の命の値段ではなく、魚の命を尊重する人々の価値観の値段だと思うけれど。

伊藤氏がガンを告知された時、医者から渡された安定剤を飲んだ瞬間に絶望や恐怖みたいな負の感情が綺麗さっぱり消えちゃって、「化学物質で制御される自分の『こころ』って一体何なんだ」と怒りがこみ上げてきた、というようなことを言っていて、『ハーモニー』にはそういう原体験が組み込まれている

「落ち込んでる時に見ちゃ駄目な作品」って「落ち込んだ時にしか見たくならない」よな。

明らかに陽キャのやつがtiktokとかで「陰キャからの陽キャ」みたいなのやってると、「お前はその短い時間の演技の中でさえ本当の陰キャがなんたるか全くわかってない、カス」というめちゃくちゃ私の"""芯"""の部分が出てきてしまう

クリエイティブ界隈の「徹夜しててでも良いものつくります！」みたいなカルチャーなくなって欲しい　人として正しく生きることと仕事を天秤にかけるべきじゃない

昨日の寝かしつけの時、次男に「もし僕が事故で死んだらどうする？」と聞かれたので「ええ…！んー、後を追って死んじゃうかも…」と答えたら「ふふっ…自分勝手なママ……お兄ちゃんはどうするの？…生きなさい…」と突然の美輪。

なろう小説はいじめの描写だけリアルというチクチク言葉大好き

言論の自由が保障された社会というのは、誰しもが他者を傷つけうる可能性がある社会であることを意味しているんですよ。だからこそ、私たちはその自由の行使の責任を十全に引き受けなければならない。

「働かざる者食うべからず」と「おれはできることはお前もできる」という考えを一緒に持っている人がいると、なかなか面倒くさいモンスターになります

「鬱どうやって治しましたか？」と聞かれるが、鬱は治らない。壊れたのだから。戻ることはない。ただ「その壊れた精神を、その壊れた精神のまま扱う熟練度が高くなっていく」だけの話。けっして「治る」わけではない。あるのは「治らないけど、やっていく」という気概しかない。上手くやるしかない。

アリの群れの2:6:2 の分布を、優秀な2割、普通の6割、役立たずの2割と間違って解釈する日本ですからねぇ。実際には働かない2割は緊急時投入戦力であって、多分エース。

5の夜もそうだけど「気に食わない大人におじいちゃん、おばあちゃんの薬箱からヤバそうなのを見繕ってこっそり飲ませよう」的な具体的な攻撃手順を描かないだけ善良な歌詞だと思った

ちゃんと思春期に「ムー」とかで無毒化した陰謀論を接種しておかないから……。陰謀はおたふくと一緒で年取ってから罹患すると重症化しやすい。

コンビニ店員がいい例だけど「何がどの位できればどの位の給料」って基準がいろんな業界にないから、給料は据え置きで無限にやるべきことが増えていくのが最高に狂ってると思うわ。

やっぱ必要なのは職種ごとの労働組合やろ

Twitterで見た言説に、「子どもがエロサイト見るより親が保守速報を見てネトウヨになる方が遥かに有害なのでペアレンタルコントロールは親にかけるべき」というのがあって、全くもってその通りすぎるんだよな

まずは自分。慈しみや愛は、まず自分のコップに注ぎたい。溢れ出た慈しみを少しずつ知人や大切な人、世界にひろげていくイメージ。逆になると、自分が空で浮いてしまう。まず、自分。

「高齢の両親が離れて住んでる」って人は絶っっっっ対にセコムの見守りサービスを入れた方がいい。12時間動かなかったら自動通報ってやつ。

そのサービスで運ばれてくる高齢者めちゃくちゃ多い。

12時間って時間も、実際に具合は悪いけど手遅れにはならず絶妙！

給料が上がらないのは我慢（最悪）できる。もっと問題なのは技術が上がらない事。いわゆる単純労働を押しつけられる層は、10年やっても20年やっても何も変わらない仕事をやらされる。これが問題で、この状態で中年になるとゲームオーバーである（私）。アメリカではこういう職をマックジョブというらしい。確かにマックのバイトを10年やろうが20年やろうが技術差はない。例えば、55歳になっても高校生のバイトと同等である。私は現在、無職で収入はないが、日々、鳩に関する読み物を編纂している。自分としてはブランディングをしている、と思っている。この鳩の活動が今後につながるのか全く未知数だが、少なくとも、単純労働をするよりは未来があると思っている。発展のない仕事は、給料が安い以上に、それをやり続けても何も成長がなく、むしろ、時間を奪われるだけで未来を閉ざされる。厳しい現実をいうと、無職の方がまだ未来への可能性がある。単純労働だと、ある日、突然、機械が導入されて、「はいっ！終了」しかない。雇用保険、職業訓練学校を始め、最悪、生活保護なども視野に入れて、国の制度を最大限活用し、何かしら動き出さないと危険な感じがする。今、日本という船が沈没しかかっている。

【語呂合わせ完全無視年号】

ガンガン広まれキリスト教

小学生の時に負った心の傷を自虐ネタにして人に話して克服したつもりになっても、数年後にまた辛い周期に引き戻されることがある。死ぬまで癒えることはない。

「そんな考えじゃ社会で通用しないよ」といった類のある種の説教はそれが己に向けられたものであるかはともかくとして、誰しも一度は耳にした事があるだろう。恐らくこれは「私は社会に蔓延る理不尽や不条理や偏見をこの身をもって経験してきた！だから自分にはそう言えるだけの権利があるし、世間知らずな若者に現実を突き付けて導いてやらねば！」という様な屁みたいな自尊心や使命感から発しているのであろうけども、結局のところ所詮はそいつも「理不尽や不条理や偏見を放置してきた人間」に過ぎない。堪え性のある自分を可愛がるのは勝手だが、偉そうに説教できる筋合いは無いというものだ

むかしのアウトサイダー文学にあった「飲む・打つ・買う」って、今の時代じゃあんまりリアリティをもって感じられないと思う

まあまあの長さの紐を木にくくりつけられた犬がいる。自由と不自由が共存した状態。

「ポストトゥルースとは言われるが、人類史上『真実』が重んじられた時代など一度も存在しなかった。昔の人々は『権威』に従っていたのだ」てのは、まあ、その通りだなとは思う

「新しいことがある限り、失敗はつきものだ」。なるほどそれもそうでしょう。だとしても、その新しいことに伴う失敗の許容される程度や頻度、失敗しないと期待される期待の度合いにはいろいろな違いを感じます。たとえば中年が十代と同じように失敗していて、同じように周囲が感じてくれるとは思えない

ぱっと見は学校という閉鎖空間で教員が正気を失っているように見えるんだけど、実際はかつてより学校は「地域に開かれた」空間になっており、その「地域の声」がダイレクトに学校に流れ込んだ結果、教員が「地域の声」の代理執行官として管理教育に傾くという分析もあり、これは説得力があって怖かった

全員自己家畜化してMONEYの話かMARRIAGEの話しかしとらん，もっと河原で見つけた綺麗な石の話とかしてほしい

コロナを口実に国民監視が！と騒いでいたらアプリが手抜きでそもそと機能していなかったというオチ、非常に近頃の我が国感があって好感が持てる(好感が持てるとは言ってない)

大前提として、われわれの社会では、たとえば「健康で文化的な最低限度の生活」というような、その人の死活にかかわるようなラインについては、絶対に守られることになっています。動きがトロくても性格に難があってもまともに人と接することができなくてもそのラインはいわば権利として保障される。まずはこのことを確認しておく必要があるでしょう。

で、シロクマさんがおっしゃっているのは、このラインの向こう側のことですよね。「職場や家庭に居場所がほしいよう」「誰もボクを受けいれてくれない」この手の繰り言は、いわば権利としての保障が尽きた先の地平に属するものです。そこでは基本的に、各人の「自由」が最大限に尊重されます。気に食わないものを拒絶することができる一方で、当然自らが拒絶されることもあります。

そのような地平において「居場所を得られる」のはどのような人でしょうか。キビキビ動ける人、性格のよい人、コミュニケーション能力のある人は付き合っていて気持ちがよいので、容易に「居場所を得られる」ことが多いでしょう。ではその逆の人たちは？ 付き合うも付き合わないも「自由」であるなら、あえてそうした人たちと付き合いたいと思うでしょうか。答えは明白だと思います。

そうした「逆の人たち」にもかつては居場所があったというなら、それは少なくとも彼らがコミュニティの一員であろうとはしたからでしょう。そしてコミュニティへの加入やその結束の強化は、フォーマルな関係から離れたところで行われるものです。陳腐な例ですが、いわゆる飲みニケーションや社内行事などへの参加圧力は、かつては今よりもずっと強かったでしょう。そうした場へ連れ出されることは、「逆の人たち」にとって負担だったかもしれません。しかし一方で、そうした場への参加によって彼らもコミュニティの一員（であろうとはしている）と見なされ、居場所を与えられたという側面は間違いなくあったのだと思います。

その意味では、「逆の人たち」に居場所のない現状は、彼ら自身が生み出しているところもあるんですよね。インターネットを見渡すと、ASDやADHDを自称している人あるいはコミュニケーション能力に課題を抱えている感じの人が、常軌を逸したほとんど狂信的な仕方で「自由」を主張している例はとても多い\*1。そのことについてはこれまでもくり返しふれてきたので改めて述べませんが、彼らにかかれば飲みニケーションや社内行事は「同調圧力」として切り捨てられ、社会常識の説諭は「正義の押しつけ」として糾弾されるでしょう。

そうした彼らのふるまいが誤りであるとは言いません。少なくとも現時点においてそうしたふるまいが実際に「自由」であることは多いでしょう。しかし、いわば「お荷物」のくせに人間関係の構築も価値観のすり合わせも拒むような人間を受けいれないのも、またコミュニティ側の「自由」です。気持ちは分からないでもないのです。コミュニケーションの苦手な彼らが、コミュニケーションからの逃走を正当化するために「自由」を主張する。おそらくはそういうことなのでしょう。しかし、それは彼らをますます孤立させることにしかなりません。結局、「自由」を主張することで最もわりを食う人たちが最も声高に「自由」を主張しているわけで、哀れと言えば哀れではあります。また、「正義の暴走」「お気持ちを押しつけるな」式の論陣を張って、彼らの社会的孤立を煽り立てるシロクマさんのような論者は罪深いな、と感じるところでもあります。

私自身はこうした「自由」を盲目的に信奉するような態度は省みるべきところがあるとくり返し述べていますが、ほぼ取り合われないばかりか、罵詈雑言を投げつけられることも珍しくないですからね……。ま、他人の考えを変えることはできません。圧倒的優位を誇る「自由」教を前に、私のような泡沫ブログの運営者など無力なものです。「そのへんどうなんですか」\*2と問われても、「そう思うなら、まずはシロクマさんのような方が自身の主張を省みるのが効果的では」と申し上げるよりありません。あとは、「自由」ドグマに殉じるという方に対し、こう述べてシロクマさんも指摘する診断・治療の道を歩む可能性についての自覚を促すくらいですかね。もっと「障害者」の顔をしろ、と。

本の最後の方にある、あとがきが好きだ。本を読んでいるとその世界に入り込むが、あとがきがあることによって読後感が良いものになると思っている。本の世界に取り残されないというか。別にあとがきがなくても良いのだがハマった本だとそれを読み終わった後、急に終わる感じがして少し寂しい。祭りの後の静けさに似ている。あとがきは高速道路から降りる時にあるカーブや締めのラーメンといった感じがする

就活生と会社とでは内定辞退の重さが異なります。就活生個人にとってはどの会社に入るのかは一生に影響を与える重要なことですが、会社側にとっては担当者がどれだけ採用活動に心血を注いでいたとしても、究極的にはExcelの1行にすぎません。1人内定辞退したとしてもセルを1行消すだけです。

【いい人あるある】

お手洗いから戻ってきた人に、いま何の話をしていたのか、流れを遮らないように一言で説明する

最近思ったんだけど、最近思ったこと多いな。

全方位で差別たっぷりのなんJみたいな「差別のある楽しい世界」の方が、恣意的な思想矯正で地雷だらけの上辺だらけのポリコレ世界よりずっといいと思っている

俺は殺されたくない、だからお前も殺すな。どんなに憎いとしても、それはやむを得ないので、ほどほどの距離を保って生きよう

【旅行先あるある】

１人だけ早く起きた奴が梅こぶ茶みたいなの作って飲んでる

「GAFA全てと敵対した者」という称号を思いついて興奮している。フェースブックとアップルはまだ訴訟で戦ったことがない

小学生のとき、余ったおかずをジャンケンで争奪するくだりがあったんですけど、おかずA(一番人気)とおかずB(二番人気)が余ってたら「おかずAのジャンケンに参加しない代わりに、おかずBを無条件で1つくれ」みたいな小癪な交渉をしておかずを着々とGETしていました

現実はこんなにドラマチックなことはなく、ただ淡々と日常が過ぎていく。三編みや保育園も慣れれば苦にならない。でもこういう作り話が、ふだんは忘れようとしてる涙を流させてくれることが、嬉しい。

あちらの馬脚様からです

吸い込まれたカード、2割返却できず　みずほATM障害

>>詫び金利はよ

マイケル・サンデルも指摘したように、多様性を標榜する集団であっても、こと学歴という一点においては強固な均質性や偏見を獲得する。

所属するコミュが沢山あったほうが人生が安定するんだよね。仕事や趣味、家庭など1か所にのめり込んで依存してしまうと、全ての人間関係がそこに集中してしまいトラブルが起きやすくなるし、もし起きたときは他に逃げ場がないので精神的に追い詰められてしまう。独立した依存先を沢山持てると安心。

漫画の作者＆売る側が、明らかに「さぁ、作中に山ほどコネタを仕込みましたよ。色々考察してネットで披露してくださいね！それはそのまま漫画の宣伝になりますから！」ってなことやっててさ。それをみんな、分かってるのにノセられる時代に、今更「批評は宣伝にアラズ」と怒られても…みたいなのはある。昔「”ラノベは文学か否か？”的な議論は”文学であるのはいいことだ”という前提が隠れているから嫌だ」と言ってる人がいて、「分かる…」となった記憶がある。この手の「批評とは何か」みたいな議論にも似たところはあると思う。「批評」は今や「あんなの批評じゃない！」という形でしか価値を示せない…

休みの日にもコード書くのが苦にならない人というハードルで厳格に足切りすると、今IT業界にいる人の半数は辞めることになるんじゃないかなあ。/プログラミング以外にしたい事がない人って割と希少ですよ。

結局のところ、たまたま都会の太い実家に生まれたボンボンたちが自分たちの加害性に目を向けてみせるポーズをして贖罪できたと錯覚して気持ち良くなってるだけにしか見えない。

はてなでの人権とか表現の自由に関する話題、だいたい応酬を2～3往復したあたりでヘイトすら肯定可能な奇説珍説に先鋭化した人らが飛びついて蛸壺化＆フェードアウトする印象がある

確かに汚いんだけれども、それで病気が蔓延するかと言えばそうでも無い。感覚的穢さと、人が生物として生きていける上での汚さにはある程度距離があり、私たちはそこの色々なところに佇立しているのだろう。

俗に言うリベラルアーツ系、あるいはインテリ系の人々は、実はとても狭い世界の中で暮らしています。東京からパリ、ロサンゼルスなどを飛び回ってあたかも国際的に暮らしていると思いがちですが、実はどこへ行っても自分と似たような人たちとしか会っていないのです。

汚職まみれの政党が子どもに学ばせたい"道徳"って、一体なんの価値があるんだろうな

あくまでも俺の経験だけど試練の最中「乗り越えられない試練は与えられない」みたいな言葉かけは、励ましのようで辛かったな。でも俺も昔は同じように励ましてた。今なら「それ俺も手伝ってもいい？」か「一緒にこうしない？」と何かを提案すると思う。抽象的な言葉より具体的な行動が有難かったから

進歩的な人にはありがちではあるよな。「不合理に見える規範はなぜ成立したのか」「かつて合理的だった背景になにがあるのか」「その背景はなぜ存在したのか、その再現性はあるか」ということを考えない人々。「いま、ここでは不合理に見えるから無くそう」ということしか考えない。考えられない。

社員旅行の帰りの飛行機に搭乗する直前、同僚の子が「この飛行機、墜落する気がする」と言い出した。なんか不吉なので全員乗らずに見送ることにした。次の便に乗る直前、今度は私が胸騒ぎを感じ取り「この飛行機はダメ！」と周りを説得したが2度目は通用せず、ヤバい予感のする飛行機に全員で乗った。

卒業式の日、生徒が1人ずつ教壇に立ち話す時間があったんだけど、クラスで1番目立ってた女の子が「入学当初はみんなのこと陰キャだし、キモいし、本当に絶対に仲良くなれないって思ってたけど…今は好きです」って大泣きしながら「好きです」だけじゃ到底取り返せない悪口言ってたの本当に良かった

４組１セットの概念

アレガ・デネブ・アルタイル・ベガ

面接が終わる度に「ﾊｧﾊｧ...やったか...?」って言ってるから一生終わらん

俺は寿命が150年だから、友達と同じ時期に死にたくてタバコを吸ってる

「やりたいこと」の見つかる年代が終わり「やりたかったこと」が増えていく

高校・大学の頃に卓球部に入っていたけれど、卓球の実力もないし、人間的にできているわけでもないのに、自分が先輩として敬われる立場にあったのは、どことなく落ち着かなかった

問題を指摘するのは簡単だけど、それを解決するための具体的な方法を考えるのは難しい

【察しの悪いショタ】

ウッ…なんかでちゃう…！

(ﾋﾞｭﾙッ)

うわ

なんだこれ

算数？

ヨイショ(分度器を当てている)

「カレーとは何ですか？」って聞いて「カレーとはジャガイモとニンジンと豚肉を混ぜてルーとチャツネで味付けした料理です」って答えるタイプと「ほらよ（食ってみな）」って答えるタイプがいる気がする。別にどっちでもいいとは思うけどさ、合わない人が上司だったら地獄だよな。

「電池5万個直列つなぎして車を走らせよう」みたいな発想、素朴には見えるけど一周回ってる大人にはもう出てこないのよ。出てくる人いたら小学生か、天才のどっちか。

突然彼が「そうか！そういうことだったのか！」と叫んで走り出す。また始まったか、と思いながら私は「ちょっとどういうことか説明しなさいよ！」と言って彼の後を追う。たぶん彼はこの後推理を披露するつもりなんだろうけど、現場へ向かう電車に乗ってる45分間完全に無言でかなり気まずかった。

CDでも何でもいいんだけど曲って曲であるがゆえに終わりがあって、ゆえに収録完了！お疲れっしたの拍手とかも（スタジオでは）あるんだよね。でも曲のフェードアウトってそういうのを聴き手に感じさせないから好き。そのままのリズムとメロディーが地の果てまで続いて、触れた人間みんなを虜にするような気がしてる。

受験というしがらみから解放されてからは世界史も日本史も何もかもが楽しくなった。「他人に強制される」ことの意味の大きさを逆説的に今、実感してる。

楽しい思い出は頭の中に写真で残るけど、嫌な思い出は動画で残る

嫌な思い出ほど鮮明に覚えてて地味にメモリを食う

私自身は近年、科学の世界で行われているやり方が非常にすばらしいと感じるようになりました。もちろん科学の世界が完璧なわけではありませんが、基本的には何かをめぐって論争が起きた時に、最終的にデータやエビデンスによって事実が判明し、間違っていた側もそれを認めて「では、次の議論へ移ろう」となるようです。科学の世界では、人々はそうやって議論し、意見を持ったり、意見を諦めたりしています。

しかし、科学以外の世界では何か異常が起きている。これは私たちのような感情を通してコミュニケーションをする創造的な仕事をする人間にも責任の一端があるかもしれませんが、私たちは「大事なのは事実や真実ではなく、何を感じるかだ」という考えを浸透させすぎたようです。

3大再放送しまくりなのに最終回見たことないアニメ

>>むしろ、ラストシーンしか見たことのない「フランダースの犬」が例外的なのでは

先日、尾崎豊のドキュメンタリーを目にする機会があった。両親と尾崎の仲がよかったことが描かれていて、とても納得してしまった。抗議とは、「真意が伝わるはずだ」という信頼と表裏一体である。「うっせぇわ」の断念と拒絶は、この通りもっと知的で冷たい。

現代の日本社会において、若者はマイノリティだということだ。

筆者が5年前から東京大学で開講している講義「ボーカロイド音楽論」の中では、必ずセクシュアル・マイノリティについて触れる。国内外にさまざまな調査があるが、人口の8〜10%がLGBTQなどのセクシュアル・マイノリティに該当すると言われる。対して、現在の日本の10代（10〜19歳）の人口は約1100万人。日本の総人口（約1億3000万人）に占める割合は8%程度ということになる。セクシュアル・マイノリティの割合と同じくらいなのである。「社会がセクシュアル・マイノリティを存在しないもののように扱うことは、あなたたち10代全員を存在しないもののように扱うことと等しい。それがどれだけ暴力的なことかわかりますよね？」

アメリカ大陸を最初に発見したのはコロンブスじゃないみたいな言い草、大事なのは後世にどのような意義を与えたかなんだわ

メインメロディーを補足する形のハーモニカ、聴いてると泣きたくなるぐらい哀愁に溢れているので、例外なく神曲と化す

「刑務所や留置場に入ったら読書に集中できそう」という話はよく出るんだけど、住環境もストレスもひどいので、よほど図太くない限り長くて難しいものは読めなくなると思っておいたほうがいいんじゃなかろうか

DNAの塩基列に神のコメントが入っているとしたら

/\*なぜかわからないけど動く\*/

/\*後で書き直す\*/

みたいなものであってほしい

昨日の娘の話が興味深かった。

「この間レストラン行った時、実はイヤなことがあった」と打ち明けられたんだけど、

「店員さんにデザートをもらったときにママが喜んだのがイヤだった。喜ばないで」と言われた。

>>代わりに感情を代弁されたせいで、自分が喜ぶぶんの領域がなくなるのが嫌ということらしい。

確定申告がめんどくさすぎて税理士に相談したが、「そんなに嫌なら罰金を払った方がいい」と匙を投げられたことがある。

公共料金の支払いがくるのが怖すぎて、家にどんな色の督促状がきても決して開封することはない。電気・ガス・水道、あらゆるものを止めるライフラインストッパー。

ソシャゲのユーザーが、自分だったらもっといいゲームを作れる、もっと利益を上げられるって言ったりするの、正直痛いよなって思う

田舎のムラ社会の不文律は許さないが都会の不文律には従わない側がシバかれるのがツイッターランドですからね

あらゆるものごとは放置すると時間切れになってより悪いステージに移行するわけですが、これを回避するには「意思決定をする」という意思決定をする必要があって、要するに「服を買いに行く服がない」状態になると詰むんですよね

昔はもっと人のことを深くバカにすることができた気がするが、最近は自分も含めどんな人も選べたいくつもの可能性の一つを生きてるだけなんだなという実感が強くなって、そのバカにしかたを忘れてしまった気がする。

自分がオモコロ入ってなかったらその後オモコロの感じをちょっとなめてかかる方向に育っていただろうなという謎の確信がある。

まだいける人「あー！これが負のスパイラルか。よし、抜け出すか。」

セルフフェラでもするか

男「ちょっとウンコして来ますわ」

お嬢様「ちょっとウンコして来ますわ」

【どっちも違和感ない】

さかなクン、本体と下の奴で2回視力検査の答え言うチャンスあるのずるいよな。

【なんで？】

今日、母親の財布から金ﾊﾟｸろうと思って開けたら、

10年前の母の日に俺があげた肩たたき券が大事そうに入っていた。

俺は泣きながら肩たたき券を抜き取った。

電器屋のPOP「面倒な手続きなしでインターネットをお楽しみいただけます」

俺「インターネットを……楽しむ？？？」

武器商人が煽って戦争を仕掛けさせるのと、おちんちんをいじっていたらシコりたくなってくるのは同じ原理らしい。

とにかく早く週末が来てほしいと思いながら平日を耐えているが耐えたところで「すべてが解決する」わけでもなくまた次の平日が始まるだけという事実に毎週狂いそうになる

「昨日抜いたのかわからないので、とりあえず抜いておく」みたいな最悪の形で今日がスタートした

勉強して知識を増やしすぎたり、供給の少ないニッチな分野に趣味を広げすぎると、まわりの人々が限られた範囲で会話・感情しているように感じて、孤独感を覚えることがありますかね？

「子どもの二十歳を超えたら親に製造者責任法は適用できない」みたいな、ナチュラルに人間を「物」に例える笑いがある。本人は軽い冗談か皮肉のつもりなんだろうけど個人的には一線を越えてると感じる。

生理でもなんでもそうなんだけど「体験したことないからわからないけど大変なんでしょ？」っていう未経験者より「私は生理でも動けるしつわりで休んだりしなかった！！」って経験者のほうが面倒くさい

虫めがねを持って「見てください。こんなに燃えてますよ。」って言いながら自分で焦点集めてる様な記事が増えた感じ。

努力している状態は普通ではない。なので、し続けると必ずどこかでガタが来る。

お酒飲まないと何かできない奴は弱い。シラフでちゃんとできる奴が最強。

任天堂ってプレイヤーがゲーム廃人にならないように他の人と繋がるように仕向けたり外に出るのを促したり色々気遣ってくるんだけど子供の頃はそれが鬱陶しく感じてて、大人になって人間のそういう依存症的な部分を搾取するビジネスがいかに多いかを見せつけられてやっと善意なんですねと理解できた。でも、任天堂のそういう親とタッグを組んでくる感じに対するフン…という感情も依然としてあるのでプレイステーションを象徴するクラッシュバンディクー君やパラッパ君を見ると無条件に「友達だ」と思ってしまう。

「先生」に限らず中高年でなにかの責任のある立場についている人が自分の言ってることを他人から否定されたり批判されたりすることってネットの外側ではごく稀。みんな「しょうがねえなあ」と思いながら調子を合わせたりスルーしたりしている。ネットでおかしくなる中高年が多いのはそのせいで、これまで自分の話はみんな感心して聞くのが当たり前と思っていた人が「論破」されたり否定されたりするとびっくりして熱くなっちゃうのよね。

「カナダでペットにつけるもっともポピュラーな名前は“メープル”」という平和な情報が飛び込んできた

感情って実は理性以上に合理性があるので、勝てない相手や争って損する相手にはそもそも怒りの感情が発生しなかったりする

昔病棟で夜勤中、「男性患者が暴れてる」と救外から連絡があってヘルプに行ったら、おとなしそうな男性が一人座ってるだけだった。若くてやる気がみなぎっていたので拍子抜けしたが、後から聞いたら自分（男性）が現れた途端静かになったと。女性相手だと横暴になる男性の存在を、男性が知らない理由。痴漢なんか見たことがないとか、夜道で危険な目にあったことがないとか、男性目線ならそりゃそうだろうってことが多い。

>>私たちはあなたたちに比べてこういう被害を受けやすいです。とツイートすると「嘘つくな」「俺はそんな経験ないぞ」という罵倒が帰ってくるが、そのたび「だから、そういう被害を受けない特権をあなたたちは持ってるんです！」と言いたくなるな。

高校の卒業証書が、ゆうパックで届きました。「一生懸命生きていれば、誰かが助けてくれます」と、いじめには一切触れない担任からの手紙と共に。その助けてくれる誰かが、学校にはいたとでも？息子は珍しく乱れながら、その手紙を破って捨てました。人には限界ってありますよね。

テレビとかで、芸人が噛んで何言ってるか分からない時に出てくるテロップ「#%&@!」、日本語だけじゃなくて他の国にもあるんだろうか。人間が出しうる全ての音を音素にもつ言語のテレビ、その表記も適切だったりするんだろうか。

地球上の歴史でただ一回だけ、「親」という概念がない生命が誕生したと考えるとちょっとエモい

ある種のアウトサイダーな娯楽を嗜んでいると、社会的な罪悪感のようなものを覚えることがあるので、それを解消するために社会正義方面で活動するようになるのではないか。「社会欲に負けてる」とも言えそう。

21世紀世代のクリエイタは「インターネットを使わずに情報を集めるにはどうすればいいのか」「携帯を使わずに連絡をとるには」がわからず20世紀以前の舞台で物語を書くのが難しいのではないか

Twitterやってる人達って、朝活したり副業したりお金いっぱい稼いだり、意識が高い人ばっかり居るから自分も必死にやらないとって焦っちゃいますよね。でもぶっちゃけ会社で上司や後輩と話してると安心します。世の中の大半は『現状維持』に満足してるんだって

「サザエさん」のじゃんけんに勝ったところで明日の仕事はやって来るので、一度も手を同時に出したことがない。

近所の町中華行ったらメニューに 「炒合菜（チャオホーツァイ）」とフリガナがふってあったので「チャオホーツァイお願いします」と言ったら「はい、野菜炒めね〜」と返され、梯子を外された感を少し味わった。

生醤油うどんを「なましょうゆうどん」と頼んだカップルに遭遇したとき他人事ながらあぁ〜って思った。店員さんから「ご旅行ですか？」って聞かれた上にどのぐらい醤油かけるか細かくレクチャーされてた。

「この案件は小職が担当します」ってメールが来てよくわからなかったので「承知致しました。小職様に確認致します」というメールを打ったことがある

チャーハンを串から外して食べるやつなんなんだよ

昔派遣で土方したけど辛かったわ。休憩の時に「親方からこれでみんなのジュース買ってこいっ」て財布渡されて耐えられずそのまま電車乗って帰ったからな。親方の財布は今でもおれの宝物だ

三葉虫をミツバムシと読むことができる可能性を考えたことがなかった

尊さ消費が含まれてればヌキ専消費より正しい、みたいな謎ルールが腐ェミニズムは沢山あって、男キャラいじるのと同じくらいカジュアルに思想も魔改造されてってる

リンゴが赤くなると医者が青くなる。ドップラー効果により、リンゴは遠ざかっており、医者は接近してきていることがわかる

食事の回数よりウンコの回数が多いとか赤字やん･･･

【天才よりのバカ】

ちんこを触ると気持ちがいい理由を解明して腕とか足とかに応用するのはどうだろうか…

世界で初めて死刑を宣告された人「またまたぁ〜」

多かれ少なかれ意思決定って人の金や生活や健康に影響するものだと思ってたんですけど、そういうの1ミリ2ミリくらいならちょっとの"不正確さ"で変えて毀損しちゃっても構わないだろうみたいなめちゃくちゃ怖い感覚はぜったいに自分の利害関係の中に入れたくないですね

たまにはお風呂が俺に入ってこい

人生をクリアしたら開発者モードが解放されて任意の地点からリトライできるようになったりしてるといいな

旅先の観光名所、基本はおまけみたいなもので、私が旅先で求めているものは国毎に違うバスの乗り方とか、量がおかしいチャーハンとか、耳障りのいいキラキラワードをWi-Fiパスワードにした居心地の悪いホステルとか、粉っぽいコーヒーとか、信用のならないタクシーの運転手とかなんだよな。

宿で一睡するだけで体力と魔力が回復するブライ本当に強いな～　人生もそうであってほしい

フルーツサンドってサンドイッチからもケーキからも嫌われてる気がします

俺を吸い込んだので鬱になったカービィ

いらすとや使うか！は一般人目線だとじゅうぶんに上級者レベルで、モノホンの初心者は「○○ イラスト」でググって一番上に出てくる「Amana images」の電子透かしがついたべらぼうに低解像度の画像をめちゃくちゃな比率で貼ったりする

プロレスラーのツイートで、今日は誰々サンと水辺に行きました！とあるので、お、水辺はいいね、春だし、と思ってよく読んだら、それはボートレースのことだった。世界全体に裏切られた気持ちになった。

人間の交尾が好きで、よく見ます

流れる車窓から知らない街の大量のベランダの光景を見ると本当にどこにでもちゃんと生活があるんだと思って恐ろしくなる

陽キャラの友人が「散歩しようと思って外に出たら雲一つない青空で、地球が自分を待ってくれていたのかと思った」とナイスなことを言いだしたので、陰キャラのおれは何も言わずそいつの顔面をグーパンした。『宇宙』に拒絶された人間のスケールを、自己肯定感の低さを、なめるな。

錯覚パターンで悲劇なのは他人を巻き込むことで、単にお金を稼ぐだけでは満たされないから「お金を稼げないやつは駄目だ」みたいな煽りをまき散らしてしまう。嫉妬を喚起したいし羨んでほしいから

髪の毛洗ってる時に浴槽の中から「助けて…助けて…」と子供の声が聞こえた。私は怖すぎてシャンプー流さずに風呂場から飛び出して、全裸のまま家の外へ逃げた。そのまま走ってたらなんか気持ちよくなってきて10kmくらい走ってる。

小学校の文集の将来なりたいもの欄に「名もない花を踏みつけられない男」と書いたA君という同級生がいて、「いい言葉だ我もそうあろう」とその後の人生で度々思い出していたのですが、最近これが「宇宙刑事ギャバン」のopの二番の歌詞の引用だと知りました。

天皇って学校の名簿とか卒業アルバムに何て書いてあって何て呼ばれるんだろう。「天 皇」（あまの すめらぎ）とかなのかな？

東大王はママパパにたんまりお金かけてもらった坊ちゃんお嬢ちゃんたちがその金ピカな経歴を涼しい顔しながら換金するというゲームを平民たちがアホズラで眺めるというとても悪趣味な構図になってる。あの番組、タイトルに偽りありで「東大生であること」にアイデンティティをほとんど求められていない、ただのクイズ大好きな子がクイズやっているところがいいんだけど。

蔡英文アカウントの中の人、国際女性デーについては英語では呟くけど日本語では呟かないのが、非常に戦略的に「わかってる」感じがありますね…

ヨークで自転車に乗っていて、カードと免許証と５０ドルが入ったケースを落とした。探したが見つからず、カード会社に電話すると見つけた人から電話があったとのこと。会ってお礼をしようとしたが受け取らず、Today you, tomorrow meと。アメリカでも財布を落としたら戻ってきたという話でした。

まずな、「権利と義務はセットとは限らない」「基本的人権の保障は義務より先」「婚姻にどんな権利義務を定めるかは法律以上に確立したものはない」「今の法律も批判的に見直すのは何もおかしくない」といった、法律学の基礎を知ってもらうことがハードル高いねん

横断歩道を渡っている時に思ったんだけど、交通規則って一人でもあたまおかしい奴いると破綻するよね。赤信号で車が止まるのは赤信号だからじゃなくて運転手がブレーキをかけるから。本当にスレスレのところで成り立っている。

ずっと、嫌われることを恐れずに政治の話をしてきた人達を本当に尊敬する。この一年私なりに少しずつ勇気を出して、会った人やSNSで話してきた。トラブルになったり、避けられたりもして最初は自分が壊れるような感覚だったけど、だいぶ慣れた。嫌うような人とは付き合う必要はない。

興味ないのでよく分からないが、話題作が上映されるたびに「これは自分達のことだ」と大騒ぎしたり、これは違うと自己憐憫に浸ってみたりで忙しいことですね。総じて自意識過剰、それ自体は構わないが少しうるさい。

皮肉なことに、女子校に在籍中が唯一の「ジェンダーフリー」の経験だったと語る人は多いよね。

これは「強者側に利益がなければ、弱者に権利を与えなくてよい」という話につながると思われる。「女性が参加するとこういういい事がある、だから参加できるようにしましょう」ではなく、「女性が参加するのは権利であり、今の状態は不当です。改善しましょう」が正しい

ダイエット成功した人のほうがデブに厳しいんだよね。自分はやせられてるから。まあ普通の人はここまで太る前に対処するんだけど。

去年の夏からゆるゆるダイエット始めてもうすぐマイナス10kg。太ってる人に対して厳しい目で見てしまう自分を感じるたびに、「元から太らない生活をしている人の方がずっと偉い」と自分に言い聞かせることにしている

「こわい」を分解すると、ほとんどが「知らない」と「わからない」でできている。だから知識が必要なんだよ。

夫と初期Twitterの話をした。あの頃みんな「風呂なう」とか本当どうでもいいことばかり言ってて、誰に役立つ何を伝えるわけでもなくて、バズるという言葉すら知らず、知らない人が同じ時間に同じように生きていることにただただ感動したりして、楽しかったよね、と。なんだかじーんとした。既に歴史...

彼氏いない子って、仲の良い友達と遊ぶことで十分満たされていたり、一人の時間も上手に楽しめたり、夢ややりたいことがあって時間もお金も自分の好きなように使いたいと思っている人が多い気がする。それって何も恥じることじゃないしむしろ超幸せなことだよね。

メイドカフェ時代の話。2年前に働いてたメイドカフェ超厳しくて、語尾全部に「にゃん」を付けなくちゃ裏で先輩メイドに説教されるんだけど、怒られてる時「はいにゃん…」って言ったらもっと怒られたな。

子供を産んでから子供がひどい目に遭う作品がめちゃくちゃダメになってしまったのでエヴァとか見てても「おま…大人は何をしてるんだよ…おい…やめろって言ってるでしょ！！！もうカーチャンがエヴァ乗ります！！！！」みたいになる

入社3年目ぐらい時、同期の子が震えた声で「ちょっと…聞いてくれる？」と言って来たので身構えながら話を聞いたら「Tさん(50代のおじさん社員)が作った折れ線グラフが更新できなくてなんでかなあってクリックしてみたらね、全部…全部図形で作ってあったの。枠も線も点も、全部…」私も震えた

ヤマザキ春のパン祭りってやったことないのですが、応募しましょう。と思ってHP見たら北海道だけ１ヶ月後ろにずれてる！春がくるのが遅いから？優しい！

世の中の仕事の99.9％は１日間に合わなかっただけだと意外と何も起こらないんです。 こういうの頼るくらいなら、上司か客先に一本ごめんなさいメール送ってベッド行きましょ。 命よりも納期前借りした方が長期的には絶対お得なんよ。

「最初に50社断られた営業に焼肉ランチをご馳走する」って号令かけると、積極的に営業して断られるのを喜んで次にいくらしい。結果的に営業全体のメンタルが強くなって全体の成績も伸びていく。モノで釣っているようで、ココロを動かしてるのが凄いと思う。焼肉ランチ自体はどうでもいいものだけど、「断られただけならマイナス評価にしません」というメッセージの浸透には有用。マイナスにしないといくら口で言っても「それは口先だけでじつはマイナス評価されるんじゃ」という疑惑が残りやすいが、焼肉ランチという具体的なクッションを置くことで軽減するのは賢い。別に焼肉ランチが嬉しいんじゃなくて、断られても失敗扱いされない、むしろ評価されるっていうのが心理的安全性を引き出すって話

「信者自ら真実に気付かせる」「世間から孤立させる」などは宗教の典型的なやり方で、これを経験した信者は一層信心深くなる。陰謀論や保守派ビジネスも同じなんですよね。「はやく真実に気付きましょう」「マスコミの洗脳から逃げましょう」そうやって仲間内でわちゃわちゃしてるうちは絶対に目が覚めることはない。変なカウンセリングにはまって1時間3万を払ったり、ブログにそそのかされて弁護士に懲戒請求をさせられたりする。本人は幸せそう。

若い頃、宗教に頼るのは責任を負うことや考えることを放棄する、危険なことだと感じていました。でも黒人奴隷の映画を見て、宗教は必要なのだと知りました。盲信と生活に寄り添う信仰心は境が曖昧です。曲解に繋がり過激化することもありますね。一定の秩序は別に持つ必要があるようにも思います。

読書にあまり意味を求めてないので「今日も読了！でも読書ばかりして意識高い系知識人にならないようにしないと！みたいなツイートを見るたび、苦虫を噛み潰したような顔になる。

「修学旅行のしおり文体」とでも言うべき書き方があるように思う。

持っていくもの

・財布（ファスナーがあるものが望ましい）

・濡れにくい靴（雪の上を歩くため）

・替えの下着（女子）

・楽しむ心

就活中俺を落とした会社の株を買ってます。なぜならその会社は見る目が確かだから

子供の頃の感情って喜怒哀楽じゃ収まらなくて100種類も200種類もあったような気がするけど成長するにつれて他人と意識のすり合わせをしていく過程で自分だけの感覚は失われるんだよね

塾講師バイトをしていたとき、ある日コンタクトレンズに伊達メガネをかけて行ったら、小学1年生の子だけから、今日は目が大きいねーと指摘をうけた。常識や経験というフィルタリングがないんだなと気付きを得た

先日、市役所で住民票発行されるの待ってるとき、目の前に2歳くらいの女の子とお母さんらしい女性がいたんだわ。子供の挙動って見てて飽きないもんで、観察してて面白いから、（俺なりに）不審者にならないように注意しながら眺めてたんだよな。その女の子、この子がまあよくしゃべるしゃべる、彼女の視界に何が映っているのか、あらゆるものについて母親に次々に説明しまくる。壁のポスターだとかガラスケースの中に置かれたぬいぐるみだとか、自分が見ているものについて機関銃のように話し続ける。このぐらいの年齢って、身の回りの世界について自分で表現できる言葉のパワー？ みたいなものが実感できて、めっちゃ楽しい時期なんだろうか。俺には子供いないからわかんないけど、2歳くらいって大体みんなこう？ でも、こんなよくしゃべる子供見たことねえし、この子がやっぱ、どっか変わってんのかな、すげえヤツだな、っていうかお母さん大変だ…という妙な頼もしさと戦慄を感じながら観察していた。

最近『神々の沈黙』って本を読んだんだけど、4,000年くらい前まで人間には意識というものがなかったそうだ。厳密には「（今日的な意味での）意識はなかった」、ということで、じゃあ昔の人類がどうやって物事を判断していたかというと、脳内に常に「神」の声が聞こえており、その指示に従って活動していたという。人間の脳ミソというのは、心身の大抵の機能について右脳・左脳の双方で共同して取り組んでおり、左右のどちらかが比較的優位という場合はあるにしても、一方だけが何かの役割を負うのは珍しいらしい。そんな中、左脳にウェルニッケ野と呼ばれる領域がある。ここは言語に関する能力を司る部分なのだが、右脳側でこれに対応するエリアが何をしているのかというと、これがよくわからないのだそうだ。左脳のウェルニッケ野の役割から推測して、その謎の領域も言語の機能に関わっている（あるいは、「関わっていた」）と想定されるが、明確になっていないという。

興味深いのは、右脳のこの謎のエリアに電流などで刺激を与えると、幻聴を聞いたり異常な知覚を感じる被験者が現れることだ。そこで本の著者が持ち出した仮説が、古代、人間はこの謎のエリアを通じて声を聴く能力を持っており、この声を「神」の指示と認識して、それに従って行動していたのではないか、というものだった。じゃあ、なんで今はその声が聴こえないのか？ というと、人間の言葉の機能が進歩を止めなかった結果だという。言葉によって抽象的な思考を働かせたり、過去や未来を想像する範囲が広がっていったために、段々、人間の実生活においてみんなの脳内の「神」同士のすり合わせが難しくなってきた。結果として人間は「神」を手放し、（一応）自分の意識でものを考えるようになっていく。

つまり、言葉によって見出された脳内の「神」が、言葉の進歩についていくことができず、言葉によって追放されてしまったわけだ。人間ってのはすげえ生物だな、と思う（ただ、『神々の沈黙』は半世紀近く前の本なので、脳科学の常識はとっくにアップデートされている可能性がある。詳しい人がいたら現在はその辺どうなってるのか教えて欲しい）。

人間の言葉のパワーのすさまじさ、この世のあらゆることを貪欲に説明しようとする姿勢を特に実感するのが小説読んでて心理描写を目にしたときで、人間のあらゆる感情の機微だとか普通なら理解不可能な狂気の心の働きだとか、もうなんでも言葉で説明してしまう。

中には、明らかにあまり実態に則しておらず、「これ、作家が『こんな奴いたらやべーよな』つって現実に有りもしない心理状態仕立ててやがんな」っていう、京極夏彦の『巷説百物語』シリーズとか、架空の狂気思いついてから逆算してキャラクター作ってんな？ そんな奴は現実にいねえから、っていう場合もあるんだけど、おおよそは「確かにこういう心理ってあるよな、よく言葉で説明してくれたなあ」って感嘆することが多く、人間の言葉はマジすげえな、と思う。

市役所の女児のことを考えると、言葉の衝動ってのは個人差はあってもほぼ制御不能というか、乗っかるかどうか是非を決定する余裕がある類のものではなく、とにかく激烈に意識にドライブがかかっていくのを前提としてどうやって付き合うか、というものっぽいのでいくらか恐ろしいが、基本的には人類を前進させてきた能力だし、幼児とか若いヤングとかに対しては「いいぞ、もっと、この世のなんでもかんでも言葉にしてやれ」と思って見ている。

実際は生きてると「これは言葉になんねーな…」という場面、出来事もある。たぶんあの女児も成長していく中で自分の口をいったんつぐまざるを得ないタイミングが訪れるんだろう。いま話題の「わきまえる」とは違う、純粋な言語化の困難さだ。

ただ、その辺は期待が現実的な予想を上回ってるというか、まあ1,000年単位で変化してきた人間の資質の前に一つ二つの世代の差なんて関係ないかもしれないが、俺自身はもう古い時代に属する側の人間に自分を組み込んでしまっていて、あの女児を含んだ子どもたちが、小説でもラップでも詩でも音楽でもいい、大いに色んなものを言葉にして征服していったらいい、と思っている。

アメリカに来て初めてのプレゼンは、英語力も自信もなく喋る私を教授がストップして、私に「母語で話せ」と言うので、驚いたけど日本語で少し話したら「外国語流暢なのスゴイ」って空気にしてくれて、その後開き直ってやれました。自分も力をつけて、人の力を引き出せる立場にいつかなれるといいな。

アイヌ語のことを書いていた友人が、手を止めてうーんと唸って、「母国語」から「国」の文字を消去した。そういった、ちょっとしたことばの違いについて感性が鋭くあることを本当に素晴らしいと思う（アイヌ人に国なんてないので）

やるべきことがあるのにやる気がない時の「暇」、めちゃくちゃよくない徴候。

若いうちに友達やら恋人やらつくるんやで。友達やら恋人ってのは自分とおなじことをついでにしてあげただけで自分自身の３倍よろこんでくれたりする関係やで。エヴァだって一緒にみにいって感想言い合うと感想が同じでも違ってもおもしろいやで

原宿さんは自分の厨二病に対して愚直なくらい“ガチ”で、変に照れ隠しやごまかしをしないのが本当に素晴らしい。クリエイターはこうあるべしと言っても過言ではない

黒歴史、黒現在、黒未来を全部制覇してそう

【卒業式の練習あるある】

「で、来賓の人の言葉おわりま し た 、」の「ました」だけゆっくり言う

ツイッター社はトランプのメールアドレスもバイデンのアドレスも知ってるんだよな。ちょっと面白いな

【平塚らいてうみたいな恋愛レボリューション21】

てうてうてういい感じ

てうてうてうてういい感じ

コロナ禍で丸1年以上暮らして、「お友達と遊ばないとつまらない」という幼稚園児みたいな真理に到達した

病気で無くなった友人や死と向き合ったことある知人が数人いるけど皆言ってた事が「死と直面した時、考えたのは欲しい物を買ったことや買えば良かったじゃなくて、誰かと一緒にもっと過ごしたいもっと何処かに行きたい」だったので人はきっと物よりも経験や人に時間もお金もかけた方が幸せなんだと思う

マイバッグを買わない父親氏「マイバッグを1000円で買ったとして、レジ袋が3円だったら333回以上使わないと元取れない。そこまで使ったら衛生面も問題になるし、なによりめんどくさい。あきらかにレジ袋貰った方がお得。」

ギリギリ日本語の英単語：cangius（缶ジュース）

残念ながら女性の「察して欲しい…」は男性には通用しない。『大丈夫』の裏側が「心配して…」な事だって『特に用事ない』の裏側が「かまってよ…」な事だなんて想像すら出来ない。女子の気持ちが分からないお兄さん…女性が急に不機嫌になるのは、察してもらえなくて拗ねてるだけな事がほとんどです。

自分自身の意見や作品を攻撃されるより、自分の審美眼をけなされたときの方が人間は怒りを覚える

大学1年の時、とある映画のキャラに一目ぼれして友達と見に行って、なんかその次の週ぐらい、あんまり仲良くない人と道端で会ってその映画の話をしたんだけど「あぁ～～○○か、なんか友達が見に行っててめちゃくちゃつまらなかったって言ってたな～」と話してたのをさっき唐突に思い出してめちゃくちゃ腹立ってきてる何アレ。そういう怒りは忘れないようにしたいと思います

ただの僻みだと取られるかもしれないけれど、取られたらそれはそれで構わない。女性に寄り添うふりをして、「どうした？話聞くよ？」と言って近づいて、自宅に上がり込んでスキを狙うような男は自分の友達の中にもいる。そしてそいつはモテるし、そいつのことを嫌いな女子もたくさんいる。そんな生々しい事例を、同性の側からよく見てきたからこそ、言っていることの内容の正しさに、素直に共感できないのかもしれない。そして、文章の端々に、そんな彼の中にも存在する「シタゴコロ」とやらを敏感に感じ取ってしまうのだろう。だから、この文章が、より安全にモテるための恋愛工学としてしか読めなかった。

思うことと、それを口に出すことには雲泥の差があるとは思う。けれど、個人の哲学の問題として捉えてしまえば、セクハラ的な感情を抱くことは、それはもう自分にとっては罪に近いものなんだ。女性を容姿で判断したり、胸の大きさや足の長さに惹かれたこともある。一方で、容姿だけでなく、性格や話しぶりも総合して、この人本当に素敵な人だなと思って、自分本意で、かわいいですね、素敵ですねと声を掛けてしまったこともある。女性に対する信頼や愛情と、シタゴコロとの境はとても曖昧で、僕はいつもはっきりとした区別をつけられずにいる。別に区別をつけずとも、法に触れぬ範囲で自由に過ごせばそれで良いのかもしれない。けれどこの苦しみ、この自己矛盾から、僕は一生解き放たれることはないだろう。

辛辣なフィードバックを食らった時、自己防衛としてあえて「あぁ、確かにそうかも」といったん、受け入れてしまうことがよくある。そういうのはたいてい、1週間ぐらいしてから「…そうでもなくないか？？」ってなる

長所聞かれた時「お酒に強いことです」と答えて、ウォッカ取り出して飲み始めたらめちゃくちゃ面白いな。自己紹介とドーピングを兼ねる妙技

今日、言い間違えて「喉から屁が出るほど欲しい」と噛んでしまったとき、関西出身の後輩が「ただの放屁やないですか」ってすかさず言ってくれたの本当ファインプレーだった

面白い奴って共感性が高いんかなあとか思ったりする。解像度が高いくせに粗く考えることに躊躇がない気がする。笑いってのは自分と他人とのズレをなくしていく作業なんやな。そのズレをなくしていって解像度を上げた後、おもいっきり粗くしてズレでウケを取るという感じ

日本中の「焼肉ランチ」の看板を「ウンチ」に書き換えてもギリッギリ1日間ならバレない気がする

不謹慎だけど、出産ってめちゃくちゃ面白いな。穴から人が出てくるの、面白過ぎる

無職時代に「映画を100本観たら人生が変わるかもしれない！」と思い、映画を観まくっていた時期があったのだが、ただ単に「映画を100本観た無職」が誕生しただけであった

育休中の夫に「家事も育児もありがとう！」と言うたび毎回「だって僕はいま仕事してないから……」と謙遜されてしまうので「本日も赤ちゃん責任者長としての長時間労働お疲れ様です！！」に言い換えるようにしたら笑顔で「お疲れ様です！！」と返されるようになったので言い方大切……と思った。

夫がまだ彼氏だった頃。夕暮れの砂浜にふたりで座って｢あみ…｣って呼ばれたから（プロポーズ！！）って思ったのに相撲しよっかって誘われて砂浜にぶん投げられた話はもうしましたっけ？

喪服について調べてたら「女性は急に台所を頼まれるかもなので割烹着を持っていくと気が利いています！」とかいてあってショックだった それなら急な討ち入りのために帯刀しておくほうがなんぼかマシ

やらんでもいい不便を耐えて「あ！私、環境問題に立ち向かってる！」みたいな感覚でうれしくなってるのって不毛だと思うんで、コンビニレジ袋有料化でどれだけ環境問題が解決したか客観的・科学的数字で見せてください。納得したら何も言わずに従います。

人を愛せない人は、ちゃんと自分のほうを向いてくれない人に燃えます。という二村さんの言葉がロンギヌスの槍のように刺さって抜けない。

女だけど安原さんの文章に対女性への戦略性というか、同じようにできない男を馬鹿にする視線というのは感じ取れたよ。多分安原さんは他の男性同様に見た目の良い可愛い子が好きだしそこそこモテるのでしょう。でもだからって可愛い子に人前で直接言うやつは馬鹿じゃね？って話でしょ。本心はどうあれ馬鹿正直に口に出しても誰も得しないよって話で、そこに欺瞞を感じる人がいるのはもちろん分かる。

多分女性がぶりっ子にイラつくのと同じ感じ。男性は「ぶりっ子と分かってても俺のために可愛くしようとしてくれる姿勢が嬉しい」とか言うじゃん。普通の女はあんなもんに引っかかる男は馬鹿だと思ってるし、ぶりっ子は「適当に擬態しといた方が得なのにしない女が馬鹿」と思っている。かなり的確と思う。プラス安原氏は女性に寄り添う反論し難い形で男性サゲも行って女性の信頼を得ているので、女性サゲも行うタイプのぶりっ子(「女って泣けば許されると思ってるけど私は違うよ〜」とか)が近いかな。彼は徹頭徹尾、女に嫌われない「技術」しか語ってないよね。それ自体は全く正しいんだけど、その技術が彼の善人性を別に担保するものではないんだよなぁ。リベラル系の活動家が起こす女性問題と通じる何かがある

例えば20代後半で1000万円貯めた人がそうでない人に向けて「あなたが貯められないのは財テクを知らないから！今すぐ実践しよう！」と書くと言ってることがいくら正しくてもめちゃくちゃ批判的なコメが殺到します。これが炎上です。

最初からそういう思想を持ってる奴が、自分に都合のいい情報だけを選んで見てるんだよ。入り浸っていようがいまいが、同じだよ。まとめが無くても、新聞や小説や映画ドラマや雑誌や会話の中から自分の欲しい情報だけを信じて純度を高めていくだけ。要するに、最初に自分が持ってる結論から逆算して、それ以外の情報を常にノイズと考えてるんだよ。キチガイはどんな時代でもキチガイだよ。それを最初に刷り込むのは基本的に幼少教育だよ。メディアではない。

そこはライブと少し似ていると思うんだが、ライブで細かい演奏ミスや歌詞の間違いなんかを気にしてCDと同じ音質を聞こうと思ってたら楽しめないわけじゃん。でもその場の生の体験、プレイヤーと同じ場にいて観客席の中で震える空気を直接感じとる体験をするときやはりそれは得難い喜びがある。家で音源を聞いてるときの批評的な目線は一度ストップする。なぜかというと、そのライブの場を「楽しかった」ものとして記憶するには、そのパフォーマンスを「楽しむため」に感覚を全振りしなくてはならないから。集中して、手を叩いて、声をあげて、音楽を楽しむためだけの自分になろうとするし、それが舞台の上に伝わるのがわかる。そうして聞く音楽は特別な体験になる。家でごろごろしながら聞き流す音楽とは別物になる

演劇はわざわざ「騙されにいく」エンターテイメントだ。舞台の上の人たちと一緒に自分で自分を騙そうとする。そこに火はないし水もない、絶世の美女もいないし犬もいない。舞台女優は近くで見たら案外普通だし夜の月明かりは単なる色セロファンだ。でもそれを、騙されるために見る。彼女は絶世の美女で、あのカップには酒が入っていて、血も吹き出ないけど彼は切られて死んだし、いきなり歌をうたいだすのは普通のことだ。そんな風に、自分の意識を舞台の上の人たちに協力的に向ける。そういう意識の開きかたをした先に、演劇でしか味わえない喜びがあるし、そういう意識の開きかたを、よい舞台というのは力ずくに仕掛けてくる

わいせつ物規制やヴィーガンに対する反発が大きいのもそれを恐れているからよね。不道徳、正しくないとされたものに対する攻撃はより苛烈になることを皆知っているから徹底抗戦になる

承認欲求と一言に言うが承認の目的は何かと言えば単なる認められたいという欲求ではなく、認められた末に確保できる権威への依存欲求ということも言える。通常はそれが達成されると同時に安心も運んできてくれる。だからみな承認されたがる。鼻くそをほじくっても許される承認関係＝許容関係にこそ実りがある。

？？「日本で二番目に高い山を知っているか？」

ワイ「・・・？」

？？「知らないだろう。つまり一位以外に価値はないという事だ」

みたいな例え話を破壊するためだけに「北岳」「霞ヶ浦」「K2」「トンガ海溝」「スペリオル湖」あたりを覚えた新社会人時代

>>「日本で二番目に高い山を知ってるか調査したら、知らないほうが多数だと思わないか？」って言う質問にしたほうがいい。そう思わない、って回答してくるやつに対しては、一般感覚がないっていうマウント取ればいいし

震災の最中、海底ケーブルが破断するなかインターネットの接続性を維持してくれたオペレータがいたおかげで当時Twitterも表示されてたんだなと後で知ったので、ITで震災耐性があげられるといっても、裏では本物のインフラ屋さんやネットワークのオペレータが走り回ってることは意識せずにはいられない

「デジタル技術などの専門人材が対象で年収は大卒1年目から1000万円以上になる可能性がある」って、ネット回線でいう「最大1Gbps」みたいな話かな

実はおとといから「毎日絵を描いて、その絵でしか抜けない」という縛りプレイをしてるんだけど、絵を描いてないので、単に抜いてないだけの男になってる

医師は客商売だからコミュニケーション能力は必須。 まして東大レベルは研究者のような尖がった人材よりも、他の医師たちや医療業界の司令塔になるべき人材を養成する必要があるのだから、その素質を見極める機会は絶対に必要、と。 (なお、故に東大医学部からはノーベル賞受賞者は出ない)

企業の人事は本当に学生の本質を見抜いているのか

>>何度か面接を担当したが、ぶっちゃけ「受け応えの感じ」以外何にも分からない。俺たちは雰囲気で面接をやっている

>>だから諸外国ではインターンが流行ってて、インターンで採用を盾に優れた人のやりがい搾取するのが問題になってたりするわけで

>>面接ってダメだと思った人が本当はどんな人材かのフィードバックを得られないから、良いと思った人がダメだった経験のみ溜まっていく。だからどれだけやっても偏った経験がつまれるだけなんだよ

3.11の時、スペインに留学中だった。真夜中よナイトクラブで語学学校の同級生たちと遊んでたら、数日前に渡欧してきたばかりの中国人の男の子が必死に私に何か伝えようとしていた。身振り手振りでもわからなくて、？？？の私に痺れを切らした彼が、翻訳アプリで、日本で大きな地震、と見せてくれた。大きな、というジェスチャーを何度もしてくれた。家族に電話したほうがいい、と一生懸命だった。慌てて調べたけど、あまりよくわからなくて、事態が掴めたのはたぶん、朝になってからだったと思う。

次の日たまたま学校が休みで、知り合いの日本人学生で意味なくカフェに集まった。Wi-Fiを頼りにとにかく検索しまくった。津波の動画、原発のこと。私たちが日本人だとわかったたくさんのスペインの人が話しかけてきて、お金を置いていった。日本はいい国だ大丈夫、トヨタもパナソニックもソニーもある。ホンダはいいサッカー選手だ、俺はポケモンも好きだ、寿司はうまい、うちの息子はマリオ大好きよ、とにかく自分が知ってる日本のものを並べ立てて励まそうとするスペイン人の優しさが身に沁みた。いつもはいい加減で、からかいばかりしてくる、スペイン人の嫌なところをあの時は全部忘れた。

置いていってくれたお金は、日本語センターの東日本大震災用の募金箱にいれた。大聖堂ではみんな日本のためにミサをしてくれて、ここでも募金をたくさん募ってくれた。あの頃は原発のニュースが盛んで、ホストマザーには日本に帰らずしばらくここにいなさい、お金はいいから、と何度も言われた。貴女の健康は私が守る、貴女のお母さんに安心して、と伝えなさい。と背骨が折れるほど抱きしめられた。私の実家は関西だよ、とは伝えても聴きやしない。日頃うざいとすら感じてたスペインママの愛情はやっぱりウザくて、でもありがたかった。結局私は予定通り6月に1年半の留学を終えて帰国したけど、皆んな、なんとなく心配そうだった。あれから10年。あの時日本にいなかった日本人も、その周りの海外の人も皆、心から心配してた。哀悼の気持ちっていうものに本当に触れたのはあの時が初めてだった。まとまりないけど、10年の節目の振り返り。

私はもし、他国にあんなことがあった時本当に哀悼できるのか。いい加減でも、ちょっとなまけものでもいい、人として正しく、悲しむことができるか。恥ずかしいなんて思わず話しかけてお金をおいていけるか。自信が無い。全くない。でも、スペインでは、大切なことを学んだと思う。もう一個思い出した。あの地震の後、留学仲間の外国人がみな、なぜ日本人は日本を捨てないのか？とよく聞いてきた。原発もああなってるし、移民になったほうがいいと。そんなこと思いつきもしなかった、と正直に言った。今更、日本を捨てる？被災地の方はみんな地元を取り戻そうと頑張ってる中？

私は日本に帰るよ。で、ちゃんと働く。納税するよ、と言った。ドイツ人の友人は貴方達は勇敢だ、と言った。いまだに、この言葉には未だにピンとこない。みんな、そんなもんじゃないかなぁ。母国ってなかなかそんな簡単に見捨てられるもんだろか。みんな、勇敢とか、そんなことではなく、自分の生活を守るためだと思うんだけども。これは日本人だけのものなのかね？

急に｢人を殺してしまった…｣とだけツイートして、その後一切ツイートしなかったらかなり面白いと思うけど諸々のリスクが高すぎる。

「先生、トイレ」

悲惨な過去がある先生「先生はもうトイレではありません」

「オタクという被差別ロールをやってると加害者でなく被害者側でいられるので責任を負わないで済む」みたいな感情がどこかにあって、無自覚にその目的でオタクをしてたのかな～と不安になってきました

オタクの音楽に合わせてドナルド・マクドナルドの動画を切り貼りし、その上に妙な文字が大量に流れるサイトには何ひとつ意味が無かったが、これは確かにインターネットだという実感があった。たぶんTwitterは意味で溢れすぎている。

結局我々はドナルド・マクドナルドとカーネル・サンダースが戦う動画より面白いインターネットを何ひとつできていないのではないか

フェイクニュースはアカンと思う一方俺の実存は「ランランルーは死ね死ね消えろらしい」から始まってる。俺もインターネットもどうすればいいんだ。

ドラえもんがメルカリで商品を購入すると「私はロボットではありません」を押すまでに演算不能で自壊しはじめるらしい。

「何のために生きてるの？」とかいうのいわゆる"”クイズ””だし「私がなんで怒っているかわかる？」の類似品なので近づくべきではないがそれはそれとして「友達とおいしいご飯を食べるため」を"”正解"”として答える程度の脳の生物に話をあわせるのしんどそうだなという感想もあり人間は社会をやめなさい

『自己啓発本1000冊読んだ人間が語る「本当の自己啓発法」』みたいなタイトルの本あったら、メチャクチャ気になると思う

公園におじさんがいる。いたずらを働く私のことを必ず叱ってくれる「恩師」みたいな存在だったんだけど、背中にナイフを刺すいたずらをしたら元気がなくなってしまった。後からまた様子を見に行ったほうがいいんだろうか。

わらいや長介「いかりや長介が倒れたか…」

うれしみや長介「あやつは喜怒哀楽長介の中でも最弱…」

確定税額があまりにショックで呼吸困難になって顔色が紫になる事を『チア納税』って言うらしいですよ

昔、人事システムのサンプルデータに古典文学の著名作家たちの名前が登録されていたことがあり、中身を見てみると、泉鏡花の上司が尾崎紅葉になっているなど意外なほど芸が細かく（泉鏡花は尾崎紅葉の弟子だった）、こういった遊びを密やかに仕込んだ誰かに思いを馳せたということがあった。

2010年に立った「2020年から来たけど質問ある？」みたいな2chスレッドを今見たら「食べるラー油ってまだある？」「すぐ廃れたよ」というどうでもいいやり取りでホラ吹きが発覚してしまっていて悲しい。

歯磨くのめんどくさすぎる 歯同士がぶつかり合うことで常に磨かれた状態をキープしといてほしい

高校の頃、思い付きで制服の下に手を突っ込んでヘソをいじっていたら異臭が漂ってきた。あまりに臭いのでひそひそ話が始まり、友達のところに行って「お前じゃないだろうな」と言ってきた。

すぐ鍵かけたり外したりしてるアカウントは何やねん。お前は家か

ネプリーグナレーション｢びっくりドンキーのメニュー、5つ答えよ｣

たこ焼きドンキーノが1番メジャーだと思ってる名倉｢…… ごめん、たこ焼きドンキーノ｣

ウケたツイートのリプ欄を掲示板だと勘違いしている人間に対して返事をするとサッと逃げるのなんなんだ、動物園だと思ってるのかもしれないがお前も俺も同じ檻の中にいるんだぞ

「法廷で会いましょう」と言ってちんちんを弄りながら近づいてくる、"そっち側"なんだって人

私なんてどうせ、誰にも好かれてないんだから！もういいんです！

カウンセラーひろゆき「ん？」

カウンセラーひろゆき「なんかそういうデータとかあるんすか？」

【ボカロみたいな出前館のCM】

で、で、出前館

墜落、幽霊船。

アツ、アツ、アツアツ届くよ

盲目、情報戦。

猫カフェでガッツリ食べる人

「ASS野郎は糞野郎」を思いついたけど、もう誰かが思いついてそうだと思った。

マンコが強すぎて電マを持ってる男だけが激しく震えているAVの神回

うっせぇうっせぇうっせぇわ

乳首が思うより敏感です

Superflyテレビ消してもちょっとだけ聞こえてきた

じゅげむじゅげむ5秒でブチギレ

歯のキャラクターに口があるなよ

餃子の王将は社長が殺された外食チェーンの中で一番おいしい

AV女優のお父さん「おい、最近AVの方はどうなんだ」

「針のあるアナログ時計が将来なくなったら、『時計回り』に相当する概念をどう説明するか」 という話を聞いて面白かったです。 ただ、「レンジで "チン"」とか「フリー "ダイヤル"」と同様に、アナログ時計は無くなっても「時計回り」という言葉だけは残るかもと思いました。

くつしたを裏返すことで「この世のすべて」をプレゼントする一休サンタ

歌詞に「東京」が何度も出てくる子守唄

十二単衣を全部インする女

めちゃくちゃ面白い渾身の大喜利ツイートしてる人のアカウント見たらいいねが一桁とかで、ツイッターの面白さは「笑小人」（しょうこびと）が組体操ピラミッドした「笑巨人」（しょうきょじん）なんだな、と感じた。

セブンイレブンはもう7時-11時営業でもないんだし惣菜ばかうまランドに改名すべき

マリカーの「キラー」のミニチュアがオススメ商品表示されたけど、もしかして俺「12位」やと思われてる？

裏垢女子の「Hなこと大好き♥」の『H』の部分に着陸するヘリコプター

デリヘル思いつきそうな人「う〜ん、ヤレる女がピザみたいにくればいいのに」

雰囲気をふいんきって読む人「金玉(きたんま)」

かまめしどんだけ「マン」じゃないのは非正規雇用だから

医者「寿命は持ってあと1ヶ月でしょう」

患者「アド街を見た」

医者「2ヶ月でしょう」

「ツイッターはやらない方がいい」「ツイッターしてる人は全員頭おかしい」みたいな投稿を見るたびに「自惚れるな」と思ってる

裏拍のAV男優「ﾝﾊﾟﾝﾊﾟｯ…ﾝﾊﾟﾝﾊﾟｯ」

裏拍のAV女優「ンア！！！ンアンア！！」

自問自答無限苦言ヤバイ挫傷暗礁に乗り上げている

強豪校から私文の大学行くやつ大体弓道やりだす

「死は救済」って言ってるやつが死んでないのが一番怖いな

セックスのことばっかりツイートしてる人ってセックスしてる最中に「これ後で絶対ツイートしよ」って思うんかな

「服に興味がない」って言う人は服に興味がないんじゃなくて自分に興味がないんです

自分が好きなもの、嫌いなものについてのデマは騙されやすい。嫌いな芸能人のゴシップとか信じそうになるし

高校の同級生。学生ぶりに連絡が来た。久々に会いたいらしい。居酒屋へ集合。部活や先生、クラスの話。思い出話に花が咲く。だが話題も束の間。久々の再会、当然気まずい。冗談言って空気変えよ！「それにしても急にDMビックリ。マルチの勧誘でもされるんかと思ったww」この後彼女は喋らなくなりました

ニュースで外国の現地人がインタビューに答えてるのを日本語訳してナレーションするとき「○○があったのよ！」「○○だったのさ」と男女で語尾を分けがちだけど、それは正しいのかなって思ってる。現地語ではそういう差はないのかもしれないのに、ニュースになる過程で失われてる情報、付け加えられてる情報がある気がして、ちょっと不誠実さを感じてしまう。

うつ病には真ん中の考え方がない

ゼロ百でしか考えられないから自分か相手を猛烈に責めてしまう

保育園で得意なものを称して「○○博士」と言ってもらえるらしい。息子は「恐竜博士」「昆虫博士」「相撲博士」と言われて嬉しかったらしい。なので、「すごいじゃん、博士号３つなんてなかなかもらえないよ。お父さんなんて３年前に１つもらっただけだから」と言ったら「かわいそう」と言われた。

人を助ける助けないの判断基準として「助けないでいたら夢見が悪くなる」を指針にしておくといい。全てを無視しても、した方が快眠できるならそれもまた人生。

やっぱり恋愛工学2.0だったね。はてブでは大絶賛する女性ばっかだったけど、分かる男は苦笑してたよな。オタク男性はぶりっ子を見抜けないのと同じで、フェミ女子は慈悲深い性差別者モテ男を見抜けない。

恐山が倒れた人に人工呼吸したらその人は助からないし恐山も酸欠で隣で死んでそう

一番良いおならしたら城に住めるのかいけつゾロリすぎる

女が男を愛するには、多くの場合、外見(体型、雰囲気含む)・金(安定性、信頼性含む)・才能(金になりうる)のどれかは必要だというのが持論。これが前提になってはじめてその他の要素の評価に入ると思ってる。偏見で申し訳ないが、そうじゃないと大多数の女は男を好きになれないんじゃないかな。だって「自分の世界を持っている」男を好きになるって、じゃあ鉄道マニアやアニメオタクがモテてるのか、と。私は好きじゃないし、実際の傾向としてモテないはず。だからこそオタク婚活とかあるのでは？　バンドマン婚活とかバーテン婚活とかより、オタク婚活の方がたくさん検索でヒットする。なぜならオタクよりも、バンドマンやバーテンの方がモテて勝手に結婚できるからだ、と私は考える。特にバンドはオタク趣味と同様に趣味かもしれない。それでもオタクよりモテるのだ。つまり、自分の世界を持っているという理由がモテる理由になりうるとは考えにくい。

同級生のなかでも一番優秀なやつらが投資銀行やヘッジファンドを目指してしまう現代は、同時代の一番優秀な頭脳の持ち主がみんな儒教ばかり研究していた科挙の時代の人々を笑えるのか……みたいなことを考えていた。

「ミリ好きな人と付き合いたいです〜！」というのは、航空祭とか総火演に一緒に行ける人を探してるのであって、英語やロシア語のサイトを何時間も漁って日本語文献の一切無い兵器情報を翻訳することに快感を覚える異常行動者を探しているわけではないし、そもそもミリオタと付き合いたい女はいない。

この年齡になってひと通り周囲を見回してみて思うのは、金持ちになるのか貧乏になるのかは、結局のところ運不運だということだな。で、だからこそモノを言うのは教養の有無だと思うわけだよ。というのも、教養があれば、みじめな貧乏人にならずにすむし、下品な金持ちになることもないわけだから。

新潟で呪いのビデオが出回ってしまい死者が続出してたんだけど、友人たちと｢貞子は映したテレビのインチ数により大きさが変動する｣という事実を突き止め、19インチに映したミニ貞子を袋叩きにしようと話し合う夢を見た

気遣いって、アピールすると途端に胡散臭く、押し付けがましくなるから、普通に気遣ってる人は透明化されちゃうと言うことはあるよね。わかっているけど、そういうなんつーか疎外感ってのは、寂しいものだよね。

家族を自殺遺族にしないためだけに生きている

「生きる理由」が有ると思ってる段階か…。「死なない理由」しか無いぞ

子育てしてる人に「少なくとも20年先まで生きる理由があるのが羨ましい」と言ったら悲しい顔をされたよ

自分一人養うのって結構辛いんだけど、そんな辛い思いをしてまで維持していたい生命でもないんだよな

生存本能というのはそういうものよりも根深いより原始的な欲求なので、将来の苦痛を避けるために今死ぬというのは普通はできない。かなりのストレスがかかれば、その判断基準がぶっ壊れて死ぬ人もいるかもしれないが、存外人間というのは結構頑丈でただ漠然と生きている不安程度では自殺まですることは殆どの人はできない。もし大多数がそうだったら自殺者は今の数倍程度では済まないだろうしね。

死にたいくらい辛かったときに起きた震災で全力で生き延びようとした自分を見て軽く狼狽した。安全が保証されてるから死にたいなんて贅沢な悩み持てる。ガチで死にかけてみたらいい。

そもそも人生に意味はない。宝くじに当たったようなもので、「どう使うか」を考えよう。

男らしさ・男性性から降りるってどういう事か？って話題になった時「自分から弱者アピールする男が魅力的である訳ないだろ」みたいなって悲しい結論出たんだよね

LGBTってのはただ平均値から外れた集団で、「身長が低い」みたいな話でしかない。けど社会のルールが「身長170cm以上じゃないと家を借りれない」みたいになってるって話だよ。ルール守れって意見がすでに暴力的

無意識的な差別意識を露わにした人が「そんなに気にするならもう何も言えないじゃん」「本当自分で考えたんだけど自分の発言の何がいけないのか全然わかんない」と言い、呆れた反差別陣営が「そんならもう一度学習してとしか言いようがない」と言う、このすれ違いだけでけっこうな不幸がネット上で生産されてる気がする。

昔、探偵ナイトスクープで阪神競馬場の最後の坂が中継だと全然坂になってるように見えないのに馬が失速するのに不満がある人間集めて阪神競馬場のコース走らせるのめっちゃ面白かった、走った後全然死にそうな顔してもう文句言いません！って言ってた

万引きして、無料パトカー乗車券をゲットしよう！

洗濯機の乾燥が死んでしまったのでパナソニックのサービスマンの人に来て貰ったら「ここ 2 年半の洗濯回数が 4,000 回、乾燥回数 1,000 回……！？なんですかこれ」って言われて「何って、毎日洗濯してるだけだが……？」みたいなやり取りになってしまった……

私が面接を行なうときには、圧迫面接は行ないません。飲食店でそんなことしたら将来のお客様候補を敵に回すことになる。百害あって一利なし。でも、仮定の話。何かのっぴきならない理由があって私は圧迫面接をしているんだとしましょう。よく分かりませんが、どうしてもストレス耐性を知りたいとか。それで求職者の方から「えっと、これ、圧迫面接ですか？」と笑顔で訊かれた、と。うーん。「やっぱりそうなりますよね・・・。ごめんね。」と内心思うでしょうね。で、そうした応答が出来るということは、メタ的な視点をすぐに持てるということだから、個人的には好きです。ただ、もうそういう答えが出てる段階で、面接としては破綻してしまっているなとも思います。おそらくこの方、私や他の面接担当者がいかに弁解しようと、そう仰ってる段階で帰る気満々、見切っておられますよね。私は早々に内心「この面接は誰も得しないな」と、諦めの境地に至るかも知れません。ただ、圧迫面接だということを認める選択肢は無いな、と思います。会社を守るために、それを認めてしまうと色々禍根を残しそうです。従って、沈黙で答え、ポーカーフェイスのままじっと面接者の顔を見る。でしょう。

流行りはグルっと巡って戻ってくるけど、同じ高さではなくて、少しずつ上がってくるんですよね、伸ばしたバネのように螺旋状に。

知覚できる次元が低いと別の次元で異なっていることに気づけず、同じものに見えてしまう。何歳になっても、自分が知覚できてない次元があることを忘れないようにせねば

【朗報】

「人生は太く短く」がモットーだったワイ、70代男性の尿検査で""""精子(+)""""を目撃し、長生きする意味をついに見いだす。

世界が壊滅状態になったという世界設定で味方・敵組織がかっこいいロゴをつけていたりすると「デザイナーが生き残ってる世界でよかった…」と思う

わかる人にだけわかる人たらし唯一のコツ。「他人に勧められた作品をすぐに履修する」「他人から借りた作品をすぐに消化する」この2つだな。あと、他人を遊びに誘うのも追加で。俺は積極的に他人を遊びに誘ってる。

自衛隊も「国民を救いたい！」「国土を守りたい！」等などの高い志を持って入った人が「お役所オブお役所」「脳筋オブ脳筋」な自衛隊の現実に打ち負かされて病む一方で「給料貰って柔道を続けられる」とか「衣食住経費の上に給料も貰えて、資格も取れる」って打算で入った人や、それこそ「張ってあったアニメ絵のポスターに釣られた」くらいで入った方が長続きするって話は聞いた。

「好き」という思いの内容が２タイプいるんじゃないかなぁ。「好きなことに携われれば基本的に嬉しいタイプ」と「好き故に拘りがあってギャップに耐えられないタイプ」。前者は好きを仕事にできるタイプ、後者は趣味のままにしておく方が幸せなタイプ。

恋愛自体が非道徳的行為だと思ってるが自分は何か間違っているか？現状子孫繁栄とリンクしているから是とされているだけでは？100人に不快感を与えても1人とゴールすればいいって少なくとも功利主義的には不可でしょ

ワイが好きな、繊細な歌詞を書くアーティストさん、数年前にメンバーが病気か何かで死んでるんだけど、そのメンバーの人を歌詞に登場させたりしてるんだよな。めっちゃくちゃ意地悪なことを言うと、「死んだ元メンバーをネタにして金を稼ぐことへの鈍感さ」と「繊細な人向けの歌詞を書ける繊細さ」が個人の中で同居してるの、なかなか面白くないですか？自分がお金を稼ぐ手段が、自分が気持ちを伝える手段とたまたま同じだったというだけの話ではある

カラオケあるある：デンモクの反応が悪い

カラオケあるある：マイクのONOFFスイッチ使われ過ぎててゆるゆる

カラオケあるある：マイクがツバで臭くなったら嫌だな、と思う（思うだけで特に何もしない）

カラオケあるある：10分前の電話が来ることを見越して、もう何も歌わない

カラオケあるある：ドリンク持ってきたとき、歌うのやめる

カラオケあるある：自分が知らない歌歌ってる友達が歌詞間違えて恥ずかしそうにしてる時「どうでもいいよ」って思ってる

カラオケあるある：知らない歌の時、トイレ行く

カラオケあるある：異様なほどDAMにこだわるメンバーがいる

カラオケあるある：一発目誰が歌うかでまあまあの駆け引きがある

カラオケあるある：最後、疲れて誰も歌わなくなったときに表示される自然の画像見て寂しさと満足が同時にやってくる

カラオケあるある：歌ってる時に出てくる動画、誰がつくってるのか気になってくる

なんか今ステーキ焼きたくなってきた！ 作り方調べよ！ ってなって、最初の一行が「前日の夜に」で全部どうでもよくなるみたいなやつ毎回やってる。

疲れた時ほどシコりたくなるけど、疲れてるのでシコれないよね

こんばんは私メリーさん。今、あなたに無許可中出しをしているの。

えっ？

姿や声を出して活動していると人間性が知られてきて、不本意な親しみを持たれて結果的に「ものわかりのいい人」に自分から寄せていってしまいかねない感じがあるので、ときどきわざと空気をピリッ……とさせようとしている。そういう先生がいただろう。私はあれと同じです。

"労働"とか"上司"のようにみんな嫌いで攻撃しても反撃してこない概念を叩けば共感が得られるだろうという発想で描かれたネットマンガと「本当の叫び」を見分ける力

みんなが2進法を使う世界での2進法も、16進法を使う世界での16進法も、それぞれのルールでは「10進法」と表記されるから、もし「10進法」という表記を見てその意味がわかったとすれば、ただ予め与えられた前提を知っているだけってことだなと気づいた。

普段、暗闇を歩くときの魔除けや作業の背景にしか使っていなかった曲を5分間、目を閉じて聞いてみた。清冽な小川に気付かずに通勤していた時みたいな気持ちになった。

インフルエンサーになって「人生はザルと同じだ。洗うのは面倒だが、洗わなければ臭くなる」とかめちゃくちゃテキトーなこと言って信者たちを沸かせたい欲がある。

相手の大事なものに詳しい必要は実はなく、むしろ無知で質問を多くしたり興味を持って知ろうとする姿勢が好感度アップに繋がったりするよね（にわか知識を晒すのはNGだが）オタクに優しいギャルがウケるのと同じ法則

買いたいというほどじゃないけどビンゴ大会の景品で当たるとうれしい感じの商品だ

焚火、必ず自分の座ってる方に煙が来るよね。それがいい。

世の中おかしいと感じるのは、この世そのものが分岐点を外れてノストラダムスで滅ばなかった「間違った世界」だからで、「正しい世界」はちゃんと終末してみんな幸せになってますよ。

昔、ゲームのサークル入ってたとき「○○（技名）できないとか話にならないかもね(^^;)」ってラインに書いてた先輩がいて、そんときは失礼なやつもいるな～～ぐらいしか思ってなかったんだけど、後から聞いたらその先輩ちょっと発達障害で他人の感情推しはかるの苦手だったらしい　こういう時先輩に対し何を思うのかで「人間性」めっちゃ試されてる感ある

マリオのエグいミス集

>>何もしてなくてもHPが減る水中や毒霧エリアがマジで怖い。早く抜け出さないとという焦りとその焦りによる失敗とかがマジで心臓に悪い

>>溺死の完全に身体から力が抜けて無気力になった感じなの凄くリアルで怖い

【全く移動していない山崎まさよし】

いつでも捜しているよ どっかに君の姿を

向いのホーム 向いの線路

こんなとこにいるはずもないのに

「うちは離職率は高いけど全員やむを得ない理由で退職したのでしょうがない」と本気で思っている経営者は結構多いと思いますが「辞める社員は今更波風立てなくないしスムーズに退職したいから本当の理由を言うわけがない」という逆の立場で考えたらわかることを改めて知っておいた方が良いと思います。

この手の厨二病風味な「なんで〇〇なのかわからない」と言い出す人って識者の文献とか読まないよね。本気で知りたかったら読み漁るのでは。増田が本当に知りたいことは「優生思想がなぜダメか」じゃないと思うよ

夜中に高カロリーなもの食っても罪とか思ったことない　私が勝手にやっていることでしかないから

私が抽象的な悪口を書いたときに具体的な実例をリプライしてくる人、どっかいってください。本人にバレるだろみたいなケチくさい話ではなく（該当する人物に見られたところで別に構わない）、私の持つ敵意のレイヤーとは全く興味の向きが異なるのに、実例を通じて「連帯」のようなものを一方的に作られるのが不快であるからです。

僕「私卒業単位足りてますか？」

事務「それを今確認してもし足りなかったらどうするんですか？」

僕「暴れます。今。ここで。」

希死念慮と戦っている最中は、哲学や宗教に関する本を手当たり次第に読んだのだが、その中に「死にたいと思う時は変わりたい時なのだ」という言葉があったのが印象に残っている。

俺「（スリザリンは嫌だ、スリザリンは嫌だ、スリザリンは嫌だ…）」

帽子「どうされますか？」

俺「あ、えーと、全然何でも大丈夫です」

帽子「スリザリンとかでも大丈夫ですか？」

俺「あ、全然！ありがとうございます」

大学生のうちに遊ばないで後悔する自分

vs

大学生のうちに学ばないで後悔する自分

「オシャレをしたから会いたい」というのは「デッキを組んだから戦いたい」くらい闘争心があっていいと思う

本当に必ず最後に愛が勝つならゲームバランス悪すぎる

「企業アカウント」という最強デッキ使ってる内に、自分自身が強いと錯覚して取り返しのつかないプレミかますケース多いな

「バカでかい主語」「少ない体験談」「大げさな感想」「断言」などの強力カードを組み合わせて君だけの最強ツイートを作ろう！！

仕事もカジュアル勢とガチ勢で分けてマッチングしないようにしてほしい

オタクは500円以下のカードを無料だと思ってるので、400円のカードを4枚買っただけなのにレジで1600円も請求されてバグる

ネット麻雀では「牌操作されてる」って言う奴めっちゃ多いんだけど、DCG始めたら今度は「負け当番」って単語があってビックリした

人は自分が負けた理由を探すのが好き過ぎる

吉野家なのに松屋だと思って牛丼を食い、松屋だと思ったまま会計せず店を出る無意識食い逃げをしたことにも気づかず一生を終える人がどれくらいいるか想像したら気が遠くなってきた。

ライフハック系のこと教えてくれる人って「ともあれ、人は予定通りに計画が進めば気持ちいいと感じるであろう」という驕りがある気がする。実際には「予定通りに何かが進行する」ということ自体をなぜか不愉快に感じるような人がいるし、そういう人は予定を立てて行動するのがかなり難しい。

エナジードリンクってなんでタメ口で話しかけてくるんだ？

実態のないツイートを引用RTして「なんだこれは……許せないな」「クズすぎる……」などとコメントするという遊びをツイッターの文化人がやっていたら「遊びとはいえそういうのよくないんじゃないか」みたいな流れになってみんな全体的にシュンとした回

シンジくん

さっきのインターチェンジよ

よく見て

公務員を「コームイン」と伸ばし棒で発音して呼ぶと差別になるらしいが、私は最近まで知らなかったので何とも思っていなかった。しかし職場の人たちがコームインと呼ばれることを神経質なほど嫌がっているため、私も段々意識するようになり、コームインと呼ばれて傷付くようになってしまった。

人間は遠くにいる明確な「敵」よりも近くにいるちょっとムカつく奴の方が許せない

あなたのことを傷つけるかもしれないけれどそれ以上に喜ばせてあげるからついてきてほしいと互いに思えるカップルは続くね。傷つけるなんてぜったいしたくないんだよお互い。でもしてしまう。でもその覚悟を持ちながら付き合い続けれるカップルは素敵なカップルだなとおもう。

Twitterで愚痴ると文句を言う人がいるけど、Twitterまで周りの目を気にしてたら、看護師はストレスで死んでしまうよ

知り合いの男性が出雲大社に良縁成就の祈願に行くって一人旅に行ったんだけど、その帰りに結構な事故にあって入院する事になり（お参りの仕方間違えてバチでも当たってるのか....???）てざわついたんだけど、結局入院先の看護師さんと結婚した。こんな手荒なご縁の運び方まじかよ神様ってなったよね

松尾芭蕉が「ビュルルルル」から句を詠み始めたらかなりびっくりするな

「1月1日生まれ」って「親が正月にセッ●スするアバズレですｗ」ってことだよね

1 風吹けば名無し 2019/01/01 06:32:36 ID:G8Dk7bu60

生き恥じゃん

20 風吹けば名無し 2019/01/01 06:34:47 ID:rk9GzY4gd

ガ●ジ初めかな？

集団リンチ。大量のリプ欄に紛れるクソリプ。これが本当に息苦しいネットだなぁって思う。もちろん間違った行いをしたやつになにかいいたくなるのは否定しない。みんながみんなお利口ちゃんで人の気持ちを考えられる高度な生命なら現実でも説教おじさんとか存在しないはずだから。でも存在する。だからクソリプは生まれる。

勉強ができるだとかIQが高いだとか年収が高いだとかそういうのと関係なく、外道を正したくなるのはたぶん社会性を維持したいという本能なんだと自分も思う。だからこんな増田書いてるんだな俺も。間違った行いをしたやつに「俺は怒ってます」と伝える。その数が多ければ多いほど間違った行いをしたやつは「あぁとんでもないことをしたな」とおもうかもしれない。だから大量にリプがつくことに効果がないなんてことはない。でもほとんどのその大量のリプが誰かの受け売りなのを俺は見過ごせない。

もちろん、コピーではない署名に意味があるように名前だけ出して意を表明する事は正しいよ。でもそういう行為としてクソリプを送ることは、受け取り側にとって「中身のないクソリプめっちゃ集まって来て草」でしか無いということをわかっているかな。「いや　数に怯えるかもしれねーだろ！」と思うじゃん。いや怯えないよ。

・「やっちゃいけません」なんてことを破って開き直ってるような奴

・自分は正しいと思ってるので初期段階で謝らず炎上までいった奴

の2パターンだよ。絶対最初（強がりでもあるが）「クソリプ乙」としかおもわねーって。仮にはてなでバズってこの記事がバッシングされてもトップブコメの的を射たコメント以外はクソブコメ乙としか思わないもの。たぶん君等もそうじゃないか？そして俺が改心して「間違っていました」と認めた場合もそのトップブコメを書いた人には敬意を払うし尊敬するけど、「なにいってんだコイツ」みたいなクソブコメしか残せなかったようなインターネット雑魚にまで目を向けるかと言うとまぁ向けないわな。君は向ける？向けられるならすごい誠実な人だ。だからね、短絡叩きせめてこの増田を見てる人だけでいいからやめてほしいんだわ。叩くならせめて理論武装してから叩いてほしいんだ。まぁ「叩くのが趣味」って人はそれでいいさ。実際「ばっこりといってやりましたわ」みたいなのスカッとするもんな。俺もこの文章かいてどこかスカッとしてると思う。

「万人受けする必要ある？唐揚げですら嫌いな人いるのに？」っていう考えめちゃくちゃ大事だな

前まで「無断転載なので消してください！」って言ってたけど、「使ってくれてありがとう！基本使用料が〇円で1日ごとに〇円です！グッズだと1個あたり1割のマージンです！明日までに削除されない場合は承諾ということで☆」ってメールを丁寧に送ると速攻消してくれるようになったのでオススメです。DMで教えていただいたのですが、無断転載されてしまった際の取り締まりや取り立てを無料で行ってくれる業者さんがいらっしゃるそうです（COPYTRACK）無断転載に困っている創作者のみなさんが泣き寝入りするような事がありませんように

親ガチャ大ハズレ人生なので、児相に通報されて面談したことあるんだけど保護された場合、進学は可能か聞いたら不可能だとはっきり言われた。児童養護施設にいる子達は、親の勝手な事情で預けられたのに18歳になったら学歴も何も持たずに社会に出されるの残酷すぎるな。子供の人生は親ガチャなんだよ。

離婚体験がある女性が言ってたのは「男は趣味をやめさせたり最小限にすると駄目になる」「趣味をやらせといた方が浮気せず何を考えてるか目が届き安定する」「パワーバランスで、男の趣味に融通を利かせてるのが伝わる」「ただし趣味に無理に合わせない」と言ってた。グレムリン飼育のルールみたいだ

小さい時から食事に困らずゲームやおもちゃも買ってもらい塾に通い大学に通いその学歴を使い就職し…といった人達が、自分の人生はとくに恵まれてる訳ではないごく普通の人生、と言い切ってしまう。これが日本社会の怖ろしい部分だと思います。本来、恵まれた立場で経験を積んだのであればその経験を社会へ貢献させていかなければ、社会構造が成り立ちません。日本のエリート層はこの意識が際立って薄い。このままでは、差別は続き、格差は広がり、この歪んだ社会構造の中で不当に弱い立場に立たされる人がより苦しくなる一方だと思います。

例えば俺が「ゼミ則」とか作って「下着は白」「ブラジャーの一部に色がついてただけで没収してノーブラで過ごさせる」「ブラの透けを防ぐために黒のキャミソール着てたら脱がせる」とかやったら懲戒もので新聞沙汰・警察沙汰やと思うんやけど、大学ではダメで小中高ではアリになるってどんなロジック？

｢昔のホテルの総支配人は、ポーターやドアマン、ベルボーイから叩き上げた人がいたもんだけどなぁ｣ポーターやドアマン、ベルボーイも正社員だったからだよ。

｢調子がいい時に人が寄ってくるのは当然。ドン底に時寄り添ってくれる人こそ大事にすべき｣

日々色んなことに憤っているので、ブログのネタに困ったことがない。

「ぽぽぽぽ～んは嫌い」レベルの言説に、その理由を勝手に見出して「不謹慎だろ！」「ぽぽぽぽ～んは関係ないだろ！」って叩いてる人がいる、ぐらいのもんだよネットは。ホントは「ぽぽぽぽ～んを聞くと自分の流された家を思い出すから嫌い」かもしれないのに、そういった可能性には思いをはせない。悪意で文章を捉えることが常態化しすぎている

ウエンツ瑛士が「親に叱られてる時、急に英語になっても自分が英語わからないからなんかめっちゃ怒ってるなくらいにしか思えなかった」というエピソード思い出した。

そこに触れたら利益度外視でキレるという原則があると外交が強い。欧米にとって人権であり、中国にとって核心的利益であり、日本にとって捕鯨である。

今日、まどろみの中で思いついた「これおもしれえな」って大喜利、「ストレッチマン、伸びる、インケイ」って書いてて、どういうこと？？？？？ってなってたんだけどさっき思い出したわ。ストレッチマンが「伸びーる、伸びーる！！」って言ってて、陰茎が伸びてたら嫌だな、っていうやつ。全然面白くないし、やっぱ夢って支離滅裂なんだなって思った

いいよなハガキは、63円で東京行けるんだからさ

定年退職されるAさんへの送別品。花なんて食えないし持って帰るのも気恥ずかしいだろうし金券が一番いいのでは？派の私に、「会社でお花もらったんだよ、っておうちに持って帰れたらAさんも奥さんも誇らしいんじゃないかなぁ」と言ってくれた敏腕営業さんの一言に目が覚めました。花買うわ

ダジャレというのは一般的には人を傷つけないジョークという固定観念がある上で、思いついたことを口に出してしまう欲望が抑えられないオジさんのダジャレというのは結構危険だっていうことですね。高い地位にある中高年ジジイのダジャレがしばしば問題になるのは、自分の発言が否定されることがなく、社会への不感症が進行していくからだと思います。炎上した時には人としてもう末期。

Twitterが反論しやすいのは、「言い尽くせなさ」と「対象の明瞭さ」がある。文章が長くなればなるほど少なくなる。

就活の場で、学生時代頑張ったことを聞かれて「Supremeの転売」を「衣服の輸入ビジネス」と言い換えて堂々と話す就活文法はもはや惚れ惚れするほど美しい。これを見て関心したり真似したいと思った人は本当に考え直した方がいい。コイツは就活200社全落ち＆就浪3年してる。言い換えでなんとかなるほど世の中甘くねえよ

「わきまえ続けてると、組織内の空気は読めるけど、時代が読めなくなる」ということだった。ひたすら所属する組織の文化に適応し、上司や引き立ててくれる実力者の気持ちを忖度するようになると、その組織の論理にズッポリと染まってしまう

結婚しないと孤独な老後だよ！…と強めに忠告してくる人に「一度、介護施設を見てみて下さい。家族から放置された寂しい老人もいれば、毎日を楽しんでいる独身のお年寄りもいます。つまり未婚＝孤独じゃないですよ。一人と孤独も全然違います」…なんて面倒なことを言うのも面倒なので、笑顔で立ち去る

大学生の時のキーボード、CtrlとCとV以外全部無効化してたけど全然卒業できた

邪目的(じゃもくてき)トイレっていう、邪(よこしま)な目的(もくてき)でしか使えないトイレ

ドラゴンボール1個で出したシェンロン「さあ願いを言え、どんな願いも実際に口に出すと近付ける、言葉にはそういう力があると思うから」

みんながルールを守ってるなか、一人だけこういうのがいると……みたいにワイドショーで言っている。あまりに典型的でゾッとする。フリーライダーは許さんぞ、みんなで我慢なんだぞ、と朝っぱらわいわい言う番組か。はあ。テレビで何かがけしからんと言われるのを見てると、群れの秩序を守るための牽制、みたいなサル的行動なんだろうなと思う。

「すっぴんが好き」って言ってる男はいい加減に「メイクする必要がないくらい美人な女の子が好き」って正直に言い直したほうがいいよ。

風俗で童貞を捨てる事は卒業ではなくて中退といいます

昭和の人間の言う「俺の若い頃は徹夜なんて当たり前で～」みたいなの、徹夜してやってる仕事の内訳を聞くとビックリするくらいスッカスカだったりする。

「合コン行くときは必ず2回抜いていく。そうすると性欲抜きで正しい判断ができる」と言っていた先輩が合コンの三次会で「お願いだからうちきてよ！今日○○ちゃんといられなかったら意味がないんだよ！お願いお願い！」とキモい碇シンジみたいなこと言ってたのを思いだす夜だな。

実際にそれを言っちゃったらおしまいなんだけど｢あなたのリプライのせいで元ツイートの面白さが削がれています｣と伝えたいことは多々あるな。

面接でくっそ褒めてくれたのに落としやがった面接官のメアドでシティヘブン(風俗サイト)登録しようと思ったら、登録済みだった、ｳｳ

下心とかは全くないけど全裸でやって欲しい

何って.....人を愛しただけだが？

ネットの人が使いがちなオーバー褒め言葉、中でも「声綺麗すぎるね　鼓膜がハイレゾになったかと思った！」はかなり面白くて、各所で使わせてもらっている

人間が他の人間を救いたいなんて気持ちはそもそも傲慢だし、すべての人は等しく尊いはずなので人間の中に「弱者」や「強者」がいるという認識はおかしいはずだと思うけれど、理想と現実は違うから　苦しんでいる人がいたら助けたいと思ってしまうし、自分の中の内なる優生思想とはずっと戦っていきたい

「他人のことを救う」「助けてあげる」という考え自体傲慢だと思うけど、『ストア哲学や初期仏教のような考え方をインストールして、運動・瞑想・認知療法を実践すると幸福度が上がる』という事を広めていくことで他者の幸せに貢献することは出来るんじゃないかなと思う

精神科、初診で発達障害の診断が下りなくて「でも明らかに謎の生き辛さと謎の疎外感に苛まれてるし、Twitterで好きな人たちほぼ皆発達なんですけど」って言ったら「言語性IQが高めなので、同じように言語性IQが高い人に惹かれてるだけだと思いますね」って言われたことある

個人間の問題をTwitterに書いて第三者に共有したがる人たちは信用がおけないことが多いけど、そういうツイートの方が伸びるもんなあという諦観に似た気持ちがある

理系東大生のアプローチの手法が完全に恋愛工学のそれだったから、思わず「恋愛工学やってるでしょ笑」って言っちゃったとき、「確かに一通り本は読んだけど、俺は自分なりに応用利かせて使ってるから」ってキレられたの、何回思い出しても笑ってしまう

言語性IQ高い人が「言語性IQ高い人と話すと『俺の言ってる事が...わかるのか...？』になる」って言ってきたの、よくあるファンタジー小説っぽかった

この流れほんますこ　と思いながら上流へ登っていく鮭

小泉進次郎、池上彰に「マックス・ウェーバー『職業としての政治』についてどう思われますか？」と未読前提のいじの悪い質問をされて、「学ぶべきところは多いですが、タイトルはいただけない。政治は職業ではありません」と淀みなく答えていたのが印象的で、これが弁論術かと感心した。

Twitterでは「面倒/不快な人間はドンドン関係を切って合う人間とだけ付き合うべき」的な言説がバズリやすいけど、それは「弱い/魅力無き人間は“選ばれない”という形で排除される」事を指す。結果、人間関係に恵まれてる者は更に恵まれ、持たざる者は持つ物まで失う世界が到来する。

「人を救おうなんて思うな」とか言っている人たち、冷たいなあと感じていたけれど、みんな以前誰かを助けようとしてさまざまな理由で成し遂げられなかった人らしくて胸が痛い。「弱者は自殺なりで淘汰されていくから気にしなくていいよ」って言ってきた人、完全にこれだった。

「どうすることもできなくて孤独を抱えているような発達障害の人まで助けられるシステムを作りたい」って良識がある(と思っていた)大人に相談したら「そういう人たちは自殺なりで淘汰されていくから気にしなくていいよ　それが自然の摂理だから」って言われた時からずっと心臓がバクバクバクバクしてる

友達に最近何か善行したか聞かれて「買い物袋重そうに下げてるおばあちゃんいたから運ぶの手伝ったよ」って答えたら「すごいね、俺はそういう場面に出くわしても、『たくさん金貰ってるからそれだけ買い物出来るんだろクソが』って年金の世代間格差問題が頭に浮かんじゃうから出来ないな」って言われた

「関わる人は選びなさい」とか言われると「この人自分のこと上位存在と思ってそうでなんか嫌だな」という気持ちと「私の身を案じてくれてありがたいな」という気持ちの混じった相反する感情を抱いてしまう

一貫した主義思想を頑なに持ち続けることが崇高とされる風潮あるけど、「こういう考えじゃ幸せになれないな」って少しでも思ったらどんどん変わっていった方が自分のためになるよ

科学主義も一種の信仰みたいなところがあり、宗教者が他の宗教を馬鹿にするというのはあまり良くない気がする。皆それぞれ自分が幸せになれる宗教を好きにやっていけば良いと思う

周りから病院行った方がいいよって言われても「病気なんかじゃないよ！」って言い張り続けてとうとう耐えられなくなってメンクリ行ったらあっけなく「うつですね」って言われて薬物治療が効果てきめんだった時からTwitterで苦しい苦しい言ってる人にはマジで早めにメンクリ行って欲しいなと思っている

友達に「この人可愛い〜」ってTwitterの人の自撮り見せたら「ネットに上がってる自撮りとか加工しすぎで質の悪い絵画みたいなもんじゃん　普通に名作を鑑賞した方がいい」ってフェルメールが送られてきた

臨床心理士の人が「IQは身長みたいなもので、16歳を超えると大きく変動はしない、高いから、低いからといって、良い/悪いというものではない」「知能指数の高い人は屈めば低い人に合わせられるし、低い人は踏み台を使うように工夫が出来る」って言ってたのが印象深かった

私が生まれつきのペドフィリアやズーフィリアで、肩身の狭い思いをしながら暮らし、それは加害だと言われて性的欲求も発散出来ず、思いの丈を書いていたTwitterまで凍結されたとなったら、発狂するかもしれない

この間キャスで「分け隔てなく人に優しく、弱者を助けたいと願っているような人は、どんな恋愛観なのか」みたいな話になったけど、そういう博愛の塊っぽい人はいちばんプライベートの部分では普通に選好しまくって、いわゆる強者でカースト上位のような人をパートナーにしているみたいな予想が出てたな

初めてメンクリに行った時、担当してくれた女医ちゃんが、「私は家庭環境が悪くて、醜形恐怖になったり鬱を拗らせたり酷い毎日を送っていたんだけど、今はこんなに元気になれたし、メンタルの不調は必ず治るよ！」って積極的に自己開示してくれて、こうやって患者の心を開くんだってかなり勉強になった

よくわからないアカウントの背後に一人一人の人生があるの怖すぎる

男の子が「彼女以外の仲の良い女は、ほとんど暴力的に『友達』ってカテゴリにぶち込んでいる」って言ってて、「人間」だ...って感動してしまった

文才があって仕事ができてパートナーもいる強者障害者男性が、色々な要因が重なって誰にも優しくしてもらえずに女性を仮想敵にすることでなんとか自我を保っている弱者男性を断罪している一連のツイート、壮観だったな。非モテ弱者男性だった経験があっても、文才を発揮して一度パートナーを得てしまったら「誰にも相手にされないからって女憎むのは違いますよ笑」とか言えちゃうの、現在進行形で女叩いてる弱者男性からしたら「強者側になれて良かったね」という感じなんだろうな

問題を作って、お金を貰って解決するマッチポンプの才能。

「自分が持てる精一杯の優しさや思いやりや正義感が、そもそも悪意と直結していることに気づかずに説く道徳」が一番めんどうだな。

「キモいものはキモい！差別したいものはしたい！！」、めちゃくちゃ動物的な、理性ある人間としての尊厳をかなぐり捨てて発されている言葉で震えてしまう

べらぼうに値段が高いけど講座内容は競合他社と大差無い予備校が「現役東大合格者数実績日本一」を謳い文句にしてるの、受験でもの言うのは潤沢な教育資金だという事実を突きつけられて怖くなっちゃうな

進化心理学徒の人に「進化心理学が正しいなら生に意味は無いじゃん」って言ったら「うん」って言われて、「じゃあなんで生きてるの？」って訊ねたら「わかんない」って言われたんだけど

近年のTwitter、なんか雑で過激で攻撃的なことを言うと1万人から反感を食うけど100人ぐらいからは「そうだそうだ！　よく言ってくれた！」ってホメてもらえてフォロワーも増える、というバグを使った攻略法が広まって治安が最悪になってきた感があります。

お母さん、段々老いて自分が死に近づいているという事がすごく怖かったけど、私たちを産んで成長を見守るにつれて「命は続いていくから何も怖くない」って思うようになったんだって 母親がプラトンと同じ所に辿り着いた事実に笑っちゃった

私のお墓の前で泣かないでください。あなたのした事は立派な犯罪です。防犯カメラに全て映っています。今後また同じ事をした場合、証拠映像を警察に提出し、しかるべき処置をとらせていただきます。

「報道されない真実」の形容矛盾感がすごい。マスコミから情報を拾う一般人がほとんどだろうに、なぜそれが「真実」だとわかるんだろ。マスコミの報道体制にも不満はあるけど、「あなたも早く真実に気付きましょう！」「まだ真実に目覚めてないの？」と言い出す陰謀論界隈の押しつけがましさもまた異常。

Twitterでフォロワー増やしたい人はまずはリアルで実績出せ。は半分正しい。が、リアルで実績ある風に見せて匿名でそれっぽいことを投稿するというHACKが増えてきて「先にリアルの実績作れ」は半分間違いになってしまった。これが健全とは思えないけど、Twitterはファンタジーと思えば我慢できるね

野菜食べなくても大人にはなれるけど健康診断でいろいろ引っかかってからが大人本番って感じだよな

「じ、実はさ…クラスに好きな人がいるんだよね～」

「えっホント！？すごいね、私、応援する！」

みたいな悲しき行き違い、地球のどこかで毎秒起こってるんだろうか、知らないだけで。

自己肯定感の低い人にあなたはそのままでいいと肯定するメッセージが流行るのがTwitter。 しかし自己肯定感が高い人にはそれを折ろうとあらゆる方向から攻撃が飛んでくるのもTwitter。 上から目線も下から目線もうざいことには変わりないので、聞き流していきましょう。

オモコロチャンネルと2番の歌詞当てるクイズで対決してきた

>>与えられた制限の枠内で最大限にボケるカプリティオ

知らんところから知らんもん持ってくるオモコロ

よく企業合併に関係して「企業風土の違いによる現場の混乱」という話がありますが、今までよく分かりませんでした。この企画を見てわかりました。

『手品して「しょぼい」って言われる前に殴る奴』ジャルジャルのネタのタネ【JARUJARUTOWER】

絶対に『路上マジシャン』でええところを『路上マジック・テクニシャン』にするのがジャルジャルのきしょさの真骨頂。殴るのはその余剰に過ぎない。

「超回転肛門拡張器」、架空なのにめちゃくちゃ痛そうで草

「コミュ障です」（口数が少ないタイプ）

「コミュ障です」（しゃべりだすと止まらないタイプ）

「コミュ障です」（状況に合った発言ができないタイプ）

「コミュ障です」（定義を拡大解釈している）

「コミュ障です」（単なる謙遜）

など色々なケースがあるのでマジでわからん

自分の顔のイラストだけど、単純接触効果で自分の顔を好きになれたらいいなと思ってそうしている

素直にうらやんだり、素直に悔しがったり、素直に憧れるのは体力がいる。それよりもちょっとスカしたふうにふるまったり、すごい人をかえって下げてみたりしたほうが全然傷つかない。でもそんなひねくれやこじらせた自意識や他人に対するレッテル貼りは、人間を不自由にする。

「ネットでくらい言わせろよ」の「ネットでぐらい」が「ぐらい」ではなくなったんだろうな、と最近の色々な騒動や記事を見ると思う。増田でさえ、「他人のことより己の弱さをまず認めろ」という時代。

育児するって金銭的な益がないことにされてるけど人間にとってもう一度人間をやり直すすごい機会ではあるので子持ちの父母さんはその権利を目一杯行使してほしい

日本には、名刺を受け取る際、その人自身を扱うように両手で受け取り机の上に丁寧に置くマナーがありますけど、アメリカでは名刺は連絡先が書かれた紙でしかないので、片手で投げたり裏にメモしたりを平気でやります。

マグロの大トロ部分だけを集めたような6分53秒

無数の可能性は誰にも読めない…とは言えど、「生まれつき目が見えないこと」が有利に働く状況というのを考えてみたい。 人間ってそういう生き物じゃないの？

>>すごい特殊な例ですが、「鍼灸」の発達があります。 鍼灸は大陸由来の伝統医療なのですが、江戸時代に盲人の職業として発達しました。 目視に頼れず、触診に集中する盲人医師は健常者よりも正しく針を打てました。 これがブレイクスルーとなって江戸時代の日本は鍼灸先進国となったのです。

1から100まで番号の書かれたカードがあるとして、最強の100だけ残して残りの99枚を廃棄するのが得策かと言う話。 自然環境の変化で逆に「1」が一番役に立つようになるかもしれないし、50と90が組み合わさって100以上に役に立つかもしれないし。可能な限り、100枚のカードを生かして保持して行くのが豊かな社会

YouTube見てたら、宇多田ヒカルさんが「なぜ人は誰かと別れる時に痛みを感じるのか」という質問に「もともと痛みがあって、その人の存在が痛み止めになっていたから」と答えていて天才だった。

批判を気にし過ぎるのは運転するときに前ではなくサイドミラーばかり見てる様なもんだ。目的地に最速でたどり着きたかったらあなたが集中すべきは前方であってサイドミラーではない。そんなもんたまーに確認する程度で十分だ。大抵の批判は全速力で走ってればそのうち視界から消えていくよ。ほっとけ。

悪口陰口嫌がらせに反応するな。君が受け取らなかった悪意はそれを発した人の元へ戻っていくからほっとけ。もっと言うと、笑顔で優しく接してやれ。アメリカではこれを「親切心で殺す」と言う。君が相手の悪意を気にしてすらいない事がわかると相手は自分が惨めでたまらなくなってくる。親切心で殺せ。

「そんな人だと思わなかった」「ガッカリした」「失望した」とかぜーんぶ「お前が私の思い通りに動いてくれなくてムカつく」の言い換えだからシカトでいいよ。それは災難でしたね。では、私は自分の人生を生きますのでサヨウナラでいい。誰かを満足させるために生きてるわけじゃないでしょ？無視無視。

ひげを絶対剃っておいたほうが3日間は心地よく過ごせるのに、「散髪で何の剃り残しもなくなる」ことが気持ち良すぎて、それを味わいたいがために剃ってない。

舞台に立つお笑い芸人は観客たちに夢を見させてくれている。それは現実を夢の中へ運んでくれる感じ。そしてその舞台の作り出す夢の中でバカを演じ笑わせ楽しませ空間を作っている。最後終わるときに「ありがとうございました」と終わりの挨拶をし、夢から日常の現実に帰ろうとなる。その最後の「ありがとうございました」がないと人々はその人がいつも馬鹿なことをしていると思ってしまうのかもしれない。お笑いの人たちが昔はスーツを着ていたのもそういうピシッとすることで舞台と観客の境界を示していたのかもしれない。

視聴者参加型同人誌「42ページの点線のところに精液をかければ、『あなただけの』もちプワッ！が完成します♥」

アラフォーをド派手なYouTuberに変身させよう！

>>評論もできるし戦いもできる人 評論ファイター

>>パラメータの五角形がマックスになってそう

もう犬は飼いたくない。なんの動物を飼うのも嫌だ。長年連れ添ったものの生き死に触れねばならないのは本当にキツイ。寂しい思いはもうしたくない。とはいえ、犬がいる生活はとても豊かで楽しかった。犬を散歩させる人を見ていると思い出し「いいな」と思う。その程度にとどめたい

とある小説を読んだ。いわゆる純文学に分類される小説だ。気まぐれに図書館で借りてきて読んだ。なんてことだ！こんなに美しい文章がこの世の中に存在しているなんて、頭がおかしくなりそうだ。一文一文が美しすぎる。読み終わって、図書館ですぐに同じ作家の本を借りた。それも読み終わったのでまた借りた。そのあともまた。どの文も、話も、美しくて、読んでいて胸が高鳴る。本を読みながら、もう一度この文章を読みたいと思って、意図的に同じ箇所を繰り返し繰り返し読んだのははじめてだ。文末の「。」を見て、文章が終わってしまったことに寂しくなったのもはじめてだ。あまりに夢中になった何文かはノートに書き写した。寝る前にノートを開いて読み返すと、何度でも新鮮にときめいた。この文章が人のかたちをもっていたらどんな見た目をしているだろうかと想像した。きっと、ひと目で恋してしまう気がする。心惹かれるあまり、たぶん声はかけられなくて、ずっとずっと目で追い続けてしまう気がする。人じゃなくてよかった。文でよかった。すきなだけ見ていられるから。

はてなブックマーカーのいう精神的にケアとか治療とか言うのは自分たちが手に負えないから俺の責任の範疇からどけろ！ってだけだからな。性犯罪は処罰じゃなく治療を！とかな。どうやって治すの？方法は？成功率は？

大人になっても光るパジャマを着ている珍しい人

長期休み中にも関わらず曜日感覚がバチボコにあるFラン私文大学生

「何飲んだらこんな発想できるの」と言っている珍しい人

ソ連についてめっちゃ語ってるのに偏差値40代の珍しい人

家が裕福なのに成分調整牛乳ばかり飲んでいる珍しい人

学校のトイレでTikTokを撮影しているのに冠詞のaとtheの違いを完璧に理解している珍しい高校生

マンコよりも先に口マンコというワードを知った珍しい人

ナイフの柄の方をベロベロ舐めてる珍しいサイコパス

猫を「ぬこ」と呼ぶのに信頼されている、珍しい人

上ひげ生やしてるのに余裕がない珍しい人

深夜ラジオをリアタイした後オール明けでお経を読んでいる珍しい坊主

学生時代サッカー部のマネージャーをしていた女なのに全然世渡り上手じゃないかなり珍しい人

洋画の日本語版ポスターに文句を言っているのにツイッターのbioがうるさくない珍しい人

飼っている爬虫類を頻繁にSNSにアップするタイプの地下アイドルなのに普通に5人子供がいるヤバいし珍しい人

自炊アピをしょっちゅうするのに卵が双子だったことをSNSにあげない珍しい女

証明写真をSNSのアイコンにするというユーモアをやっているのにプペルを絶賛している怖くて珍しい人

生きた魚の目をしている珍しい人

野球部なのに本名でSNSをやっていない珍しい人

バイトの掛け持ちがビールの売り子とやよい軒の珍しい人

淫夢MAD作者はすぐに歌手の家族を人質に取る

英国病がパンクを産んだと短絡すれば、経済が悪くなってるのに愛だ夢だの歌ってる日本の人たちはクソだなと思っていたので「うっせぇわ」はその点だけいいと思った。なんか怒ってるから。

小学生はエロい知識を覚えると、「知らないだろう」と鷹を括って大人相手にひけらかしたりする。中学生は論理力を身に付けるとお婆ちゃん相手に試し斬りしたりと、そういうことをしながら成長していく。

覚えたての知識は『自分しか知らない』という勘違いを起こしやすい。最近知った知識を得意げになって急に出力しようとすると、誰しも小泉進次郎になり得る。自分の中で常識として根付くまでは、大人しく引き出しで眠らせるくらいの慎重さを持った方がつまらないリスクを負わずに済む。

ルールは上手に作らないとバグが生じる。というのをコンピュータを通じてようやく社会の人間どもも理解してきた。

数年前、使い所によっては上手く刺さって痛快だった「それってあなたの感想ですよね？」ってセリフも、今や浸透しすぎて使い方が下手な奴が濫用し始めた。高次元で発生したミームは長い月日を経てゆっくりと下界へ落ちてゆき、最後には溶けて消える。

タイムラインへのプロモツイートの混入率を徐々に増やしていき、2023年にはプロモツイートしか流れなくなる仕様になる予定だが、Twitterユーザーは馬鹿なので気付かない。

「誰も傷付けない笑い」というワードを見ると、自分が否定されてるような気持ちになり、傷付く。

煙突がない家庭にどうやって忍び込むかまだ決めてなくてとりあえずGoogleで調べてみたら「クリスマスプレゼントの渡し方」という記事が山ほど出てきた。私のために用意された記事かな？と思って読んだら肝心な侵入方法が書いてないし、「親御さん必見！」などと訳の分からないことが書いてあった。

【人生攻略wiki】取り返しのつかない要素まとめ

富士山はホログラムで映し出されており実在しない、と戯事を吐かす人達がいる。証明するために改めて富士山に登ってみた。富士山を直に足で踏みながら頂の方を見ると、知ってる富士山の見た目と全然違う。私は今登っている山が本当に富士山であると証明できないし、実在するか自信なくなってきた。

中学生の時、Led Zeppelinが好きだと人に言ったら「移民の歌いいよね」と言われたけど知らなかったので調べたらかなり有名な曲だった。好きになっても最低限の基礎知識を固めるまでは好きを公言しない方が恥をかかずに済むということを学んだ。中学生の時というのは実は嘘で、実際は43歳の時の話です。

変な名前の高級食パン屋を「どうせ3年以内に潰れる」と予想している皆さん。残念ですが変な名前の高級食パン屋は一度建ったら二度と消える事はありません。今後も指数関数的に増え続け、3年以内に世界は変な名前の高級食パン屋で覆い尽くされて、地球上の生物は全て絶滅します。

原子力発電所の中央管理室にはボタンが500個くらいあるんだけど、そのうち18個はまず押すことのないボタンだから後輩にこれは押さないから覚えなくていいボタンだ、と教えた。私が部署を離れて以降も後継者へ引き継がれるボタンの数が徐々に減っていき、現在では5個のボタンのみで操作しているという。

「みんなわかってて楽しんでんだよ」の画像、最初見た時から何となく苦手だったんだけど、つまらない人間たちがネタを正当化させるために濫用する最悪な未来のビジョンを何となく感じ取っていたのかもしれない

ツイッター練習用の木の板がついに壊れたので、本物のスマホを親に買ってもらえるかもしれない。

近所の子供たちと毎日ボロボロの建物内で鬼ごっこして遊んでるんだけど、天井からパラパラ降ってくる粉を吸い続けてたら息が苦しくなってきた。

紙に「うこん」って100回書く仕事をしている。新米の頃は途中から全部「うんこ」と書いてしまいよく上司に怒られた。ミスする度に税金がたくさん無駄になっているらしいので気を引きしめるようになり、今ではうんこって書くのを1〜3個に減らせるようになった。

「フォロワー全員幸せになってくれ」じゃないんだよ。どうせ嘘つくなら「全員幸せにしてみせる」くらい言え。

人生は終わらせるだけの価値がある

「フォロワー全員幸せになってくれ」ってセリフ、どうせお前らは幸せになどなれない、と思ってないと出てこない言葉だと思う。

子供の頃、レッツ&ゴーのミニ四駆が大破するシーンが大好きだった。登場人物の大切にしているマシンが粉々に破壊されるという悲劇的な展開に興奮を覚えていた。元からヤバい子供には何を見せてもヤバい大人にしか成長しない。

死体に電流を流して大暴れさせるタイプの葬式しか参加したことないから、死体を燃やすという火葬はどうしても死者への冒涜に思えてしまう。

フォロワー幸せになって欲しい、って言う人いるけど、あれは「全員Twitterやめろ」と同義。

歳とると「もう」と「まだ」は同義語だと気づく。

錆び付いたマシンガンで今を撃ち抜こうのサビ「錆び付いたマシンガンで今を撃ち抜こう」

電車で鳩の可愛いトートバッグ持ってるお婆ちゃんがいたので「それ可愛いですね〜」って話しかけたら、お婆ちゃん喜んでくれて少し会話した。その後私は我慢できずに尿を漏らしてしまい、少し仲良くなってしまった手前お婆ちゃんは私のことを無視出来ずに気遣ってくれたけど、かなり気まずそうだった。

Twitterは意味不明だ。TLを下へ下へ遡りながら、自分の中にある合格ラインを越えたツイートにだけひたすらいいねを押していく作業が特に意味不明。

昨年の土用の丑の日は、例年に比べ鰻があまり売れなかった。鰻が絶滅寸前という話がネットで広まったからだ。一体どうすれば買ってくれるか考えまくって、「今年の鰻は食べても平気！」と書いたのぼり旗をたくさん立ててみた。結果、現時点でバカ売れ。所詮消費者は免罪符に弱いことが改めて分かった。

今年の台風で屋根から落ちたり用水路に流されたりして死ぬジジイも、今は、そうなるとも知らずに、ふだんの生活をしている。

本というメディアの本質は、心の個室で安全に孤独になれるところにあるのではないか。読むのに時間がかかるから、きちんとひとりになれる時間を確保する必要があって、それがネットやテレビや新聞や雑誌とは違う。逆にいうと、本を読む余裕がないとすると、孤独になる権利が奪われているということ。

「baby in car」「レコーダー録画中」の車に煽られて抜かれたときのムカムカ感とモヤモヤ感半端ない

美容師国家試験でも司法試験でも何でもいいけど、一番最初にその道の「国家試験」つくった人、えらすぎる。根気エグくない？

現代のゆるふわリベラルの急所の一つですね。不潔な理由が当人の責ではなく家庭環境による場合、不潔な相手を避けるのは｢悪い｣のか。/もしその相手が例えば在日朝鮮人であった場合、避けるのは差別か。

趣味の無い人にとっては自分の周囲の人間がキャラクターやコンテンツになる。飲み会では上司や同僚という共通のキャラの話になるし、早く結婚しろとか子供作れっていうのも運営に早く新キャラ実装しろって言ってるのだと思えば腑に落ちやすい。

新生児を養子に取るには｢心身ともに健康で45歳以下｣｢夫婦が愛し合って努力をしている｣｢子どもが望めば大学に行かせることが出来るくらいの経済力｣が必要という条件文を読み、それはもう現代においては恵まれている家庭環境では……と率直に思った

冷笑系の人たちって他人を馬鹿にするけど自分は誰からも相手にされない雑魚だって気付かないよね

みんな違ってみんないいって、みんな誰かの上位互換で、みんな誰かの下位互換だから皆んな違うよ、無能はたくさんいるよって意味で、それぞれの個性は時にその人の欠点や欠陥でもあるという絶望が詰め込まれているんだとずっと思ってます

同人誌「ぴゅっぴゅしましょうね～」とは書くけど「ぴゅっしましょうね～」とか「ぴゅっぴゅっぴゅしましょうね～」とは書かないな。なぜ？？音声に忠実にするなら「ドクドクッ！！ﾄﾞｸ…ﾄﾞｸ…………しましょうね～」になるんだろうけど

幼い子供がタブレット端末取り上げられて即泣き叫ぶ動画見るとマジで嬉しくなる。みんな幼い頃からインターネットや電子機器などの強烈な娯楽に依存して何の我慢もできなくなって人生めちゃめちゃになろうねえ

図書館で陳列された本を全部裏向きに並べ直してる男がいる。何事かと思ったらそこでAVの撮影を始めた。どうやら背表紙のタイトルが映像に映り込まないよう配慮していたらしい。撮影後、本はちゃんと元に戻しており好感が持てた。

乙武氏、ステレオタイプ化した視点からのマイノリティ擁護の問題点を指摘するのに意味があった時代には有意義なキャラクターだったけど、そもそもマイノリティの擁護なんて要らねぇんだよ弱肉強食（誤解）だ、みたいな流れが圧倒的になった現代では、差別者がタダ乗りできる言説を流布させるだけになってしまうから難しいね。文壇的な位置から活動をする人ってこういう時勢の変化を読んで立場を変えたりできるけど、芸人的にキャラクターを固めて活動をする人ってキャラを変えられないからこういうことになったりするのかね

渋谷で特に理由もなくカウントダウンしてたらなんかたくさん人が集まってきた。

「昔はインターネットに嘘書き込んでも逮捕されなかったからみんな嘘つきまくってたんだよ」って孫に教えてあげたら「何のために嘘つくの？」って聞かれて、ただ遠くを見つめることしか出来なかった。

ハッピーセットに学校のテストで理不尽な減点をされたり、子供ながらにジェンダーに関する鋭い指摘をして社会を切る息子が登場。

飲食業界が信用出来なくなり自分で育てた野菜と米以外食べなくなったんだけど、そのうち浄水場のアルバイトが水の中を泳ぐ動画がTwitterに公開されて水も飲めなくなる。

核ミサイルの発射ボタンが汚れてたのでウェットティッシュで拭いてる。

猫の手形が柄になってる可愛い食器を見つけたので猫用に買おうと思ったけど、その理屈だと自分も人間の手形がたくさん付いた気味の悪い食器を使わなければならない。

コームオンっていう公務員だけがアクセスできる専用サイトがあるんだけど、ログインIDとパスを忘れた人が他人のをハッキングして自分のものにしてしまった。盗まれた人がまた別の人をハッキングして…という連鎖がコームオン内で起きてて、この一連の出来事は「コンビニの傘立て」と呼ばれている。

なんとなくなんだけど、自分の脳みそにはシワが一本もないのが感覚でわかる。

発達障害がコンテンツとして消費され始めたので、それに代わる新しいエネルギーを私たちはまた見つけなければならない。

小学生(ガキ)の頃、徒競走で毎年ビリだったから俊足欲しかったけど親に買ってもらえなかった。おかげでコーナーで“差”をつけられた

なぜ人は差別主義者になるか。その答えのひとつは「生きるのが辛い」だと思っているので、こういう人間をこれ以上生み出さないために本屋をやっていたりします。他者を攻撃することでしか己を満たせなくなる前に、真剣に本を選んでいる本屋へ行ってください。残念ながら青識さんはブロックしましたが。

これは差別ではあるんだけど、「知らないことによる忌避」ではなくて、一番めんどくさい「正しさ」による差別であって、これ悪意はあまりなくてむしろ善意と困惑で構成されてるよな…

ヘルシンキ大学院で人種差別の研究してる友達と話してて、「人種差別や性差別がよく分からない、ちゃんと理解できない」という人がいる状況について「理解するかどうかの選択肢があることがすでに特権なんだよね。当事者は生まれた時から、肌の色や性別で散々差別されて分からされてきた」と言っていた

君の発言が生卵だったとする。ぶつけられた方は汚れている。そちらは謝って許されたらそれでおしまいだけど、こちらは衝撃とその後汚れた服を洗ったり風呂に入ったりしないといけない。すぐには消えない痛みを残すから即座に態度は変えられない

差別や加害を行使していないと立っていられないような脆弱個体たちの本質的な救済について社会や政治が本腰入れて議論しないといけないんだろうけど、その社会や政治こそが差別や加害性を多く内包して成立してしまっていてのっぴきならない状態になってるなって常々感じる。無根拠かつ非論理的な見下し（差別）や腕力や立場を用いた支配が必要になる生活を送らなければならないという状態がどれだけ逼迫しているのかを自覚することこそがようやく起点になるんだけど、その“自覚”を全力で避けるのがそういった人生に陥っている個体たちの脆弱さなので、負のスパイラルすぎる。自助や助け合いで強くなれ！って言うくせに、そもそもの“弱さとは”を真剣に直視して研究しないからいつの時代も人間の運営に失敗してるんだろうなって思えてならない。強さを語るならまず弱さの解明が前提にないと先に進まないと思う。

ネットで創作活動および作品公開をするようになってから結構経つけど、ある時期からは“コンテンツ提供側に一切の問題も非もない事柄に幼稚な難癖をつけてくる相手にはどんなに強気に出られても謝罪の意味を持つ言葉を絶対に使わない”と心に決めている。社交辞令としての恐縮や謝罪が怠惰かつ未熟な彼らを増長させてるとしか思えないんだよね。その手の輩って自分の振る舞いや思考態度の方に致命的な欠陥があると注意してくれる人が居ないか全員逃げ出したあとの“終わってる人”の場合が多いから、気を遣えば遣うほどこちらには損失しか出ないんだよな。だからそういう輩とやり取りしなきゃならないときは（そもそもガン無視が基本だけど）「Excuse me」のような社会人としてコミュニケーションの潤滑剤として使う礼儀すら一切払わず論理的な話しかしないようにしてる。彼らは舐められる相手ならすべて舐めてかからずにはいられないほど脆弱なので。

昔、カナダに向かう飛行機の機内誌の中に、PMのメッセージが載っていて「カナダ政府は移民(immigrants)という言葉を使いません。みんな先に来たか、後から来たかの違いしかない。我々はimmigrantsという言葉の代わりにNewcomersという言葉を使います」って書いてあった。すごくいいなと思いました。

ADHD、よく言われる「ものを無くす」とか「やりっぱなしの仕事を忘れる」とかそういうことは別に対して困らなくて、「日中やたら眠い」とか「言わなくてもいいことを言ってしまう」とか「寝付きが悪い」とかで社会に適応できなくて最終的にうつ病になるのが困るんだよな。

全盲になったら、世界が何色になるかって、ご存知ですか？私は正直、全盲になる前は真っ暗闇を想像していた。けれど、実際になってみたら真っ白な世界。これは人によって違うらしい。（ピンクや青色の人もいるとか。）障害のある世界って、実は皆さんの想像とは違う世界なんです。当方中途難聴ですが、少し似てますね。聞こえない世界は静かなのかと思いきや、音は聞こえていないにも関わらずかなりうるさいです。同じく、感音性難聴です。エアコン室外機の音が常にしています。が、常にしているので、気にならなくなります。養老先生が人間の五感は差分検知、汲み取り便所にずっと入ってると臭くなくなると仰っていて、その意味がよく分かりました。

「ん゛！！！！！！」みたいな感想ツイートって入力するのにそこそこ手間がかかるわけだし、「え」「まって」「無理」「しぬ」みたいなのも、『うめきっぽく演出するためにツイートを分けて投稿する』作業でしょ？そんなことがやれてる時点で結構お前冷静に文字打ってるじゃん。って見てしまう。パリピが取り敢えずテンション上げて何もなくても楽しそうにしたり、言動に勢いつけたりするのと同じだよ。そしてそれらは人生をなんとかやっていくために割と必要な技術なんだよ。

ひろゆき、論破できる相手を選ぶ技術に長けているというのが古巣5chにおける評価。あとは勝ち目がないと見たときの逃げ足の速さも見事。フォロワーに負けを印象付けないよう速やかに撤退する

オウム真理教の事件は、どんなに素晴らしい科学知識でも向かうベクトル次第で善くも悪くもなり、またそのベクトルによって多くの人を殺め、そして多くの人を救うのも宗教であることを示した

書面や電子メールと比べて電凸による抗議活動が好まれるのは「相手の時間を拘束できる」「思うまま感情をぶつけられる」「定型的な反応で済ませられず当意即妙を求められる」つまり「相手方担当者へのダメージが大きい」という点にあるわけで、他の抗議と電凸とは同一ラインで語れないだろうと思ってる

今聴いてるクラブハウスの部屋で、あるスピーカーさんの背後から「あと5分でお風呂が沸きます」のアラームとアナウンスが聞こえて来て、在外邦人の心をえぐってくる。日本の家電がしゃべるの、エモ山エモ太郎。僕はロシアで一年暮してから日本に戻ってきたとき、飛行機から房総の山林の中に白いガードレールがついてるのを見て「ああ日本だ、日本だぞ」と思った。「祖国」とはなんか変なところに立ち現れるもの

「大企業だからって安泰とも限らない」まさに仰るとおりです。ただし、「中小企業が大企業より安泰ということはありえない」ということを隠さないでください。

国語という科目、論理的読解を求める癖に、「文章に書いてあること以外は読み取ってはいけない」という一番重要なルールが暗黙の了解になってて気に食わない。そういう科目であると教えられていない人は解けないのだ。

何も分かっていない人でも、Twitterで見聞きした用語を思いついた接続詞でつないで怒りや悲しみなどの感情を付け加えると、一見何かを言ってる風の文がつぶやけてしまいます。ただ、落ち着いて見てみると、AIが描いたラーメンのように、肝心な所で論理が破綻しているのですよね。

「差別的」なことをする人にいくら「間違ってる！」って強烈に攻撃するだけをしてもそういう人の数はまあ減らないよね・・・というのは、日本だけでなくあれだけ国をあげて「差別者を攻撃」するキャンペーンをやったアメリカでも延々問題が燻り続けていることを見てたらわかるというか、それどころか「その高圧的な態度がムカつくからもっとやってやるぜ」みたいなエネルギーをさらに焚きつけることになっているわけですよね。これは「異議申立てをやめろ」とか「もっと優しい言葉で言え」とかそういう話ではなくて、「異議申し立てを思う存分やっても壊れないような共有基盤」を作っていくマクロな問題解決を別立ててでやらないと、「ミクロな問題」でいくら非難の応酬をしたってこの問題は解決しないぜ、という話なわけですね。

ストレスの根源断たずにストレスの発散してもほぼ意味が無いのは間違いない。浸水した船で水をいくら海に捨てようと、浸水箇所を塞がないと間違いなくいずれ沈没するみたいな。

「一理ある」「一理すら無いものなんてめったにねえよ」

世の中が責任の所在を明確にするようになった結果、責任が生ずるものを除外していく方向になって、行き着く先は責任が何もない、ひいては何も存在しない世界、という寓話。

30返信を超えるレスバは意見どころか論点がすれ違ってる

最近偽ネイティブ発音にハマってて、バナナをベネネって言ったりハンバーガーをヘンベーゲーって言ったりしてるんだけど、さっきポテトサラダをペテテセレデって言ったら友達に｢さすがに意味がわからない｣って言われた。

幼稚園児のころ私は一人称が「うち」だった。いつも一緒に遊んでいる女の子たちの影響を受けたためなのだが、小学校に入ってこの一人称は「おれ」になった。「男なのにうちかよwww」と男の子にいじられたからだ。当時はなぜ男だとうちを使えないのか？と不可解だったが、これこそが社会が性別を規定する一例なのだろうと今になって思う。

就活生さんかな、それとも社会人さんかな。パンプス片手に裸足(ストッキング)で街中を走る女性に追い抜かされた。靴の役目を果たせない靴をマナーとして押し付ける世界、本当にトチ狂ってる。

ホント、沖縄問題じゃなくて本土問題だし、女性が問題なんじゃなくて男性の側に問題があるのだし、アイヌ問題じゃなくて和人の問題なんだよな…。

「こういうたぐいの、多数派対少数派の差別があります」と説いたとき、多数派からすかさず「それは少数派の人間が勝手にやってればいい、俺たちは関係ない」って声が出てくるんだけど、少数派が困ってるのは多数派のせいでもある（し、そっちのほうが要因として大きい）。どうにか理解してもらえないものか。

「嫌われる勇気」ってのは「人を傷つけていい」とか「人を雑に扱っていい」という意味ではない。「他人に流されず、自分の好きなものは好きと主張しよう」という意味。履き違えちゃいけないよ。

「主人公が毎回勝つのはリアリティがないのでは」という考えを真に受けそうになったとき、「トーナメントでは必ず一人全勝する。そいつを主人公に選ぶ」と言われて、あれ以来フィクションのリアリティに対する考え方がかなり軽やかになったですね。これ「主人公は勝たねばならぬ」って話じゃなくて、「物語は『めったにないことが、起きたとき』のことを描いているので、『めったにないだろ』って言うの意味ないね」という話です。「全勝優勝」でも「まさかの敗北」でも「数奇な運命」でもなんでも同じことですのよ。これの現実版が世界仰天ニュースだと思うの。世界仰天ニュースに「もっと普通の人を選べ！」ってクレームはないのに、虚構である小説にはあるのが面白いよね。

「あと5人で1万フォロワー！フォローしてくれた人のアカウントを紹介し、インプ爆増に貢献します！」

みたいなツイートを見ても絶対にフォローしないと決めてる。

そんな気持ちでつながるもんじゃねえんだよ。人は。

生理以外の出血を覚悟しろヒステリー女

負け組が何を言っても負け組扱いされるし、勝ち組は極論でもとりあえず聞いてもらえるし本にもなる。自己の主張は自己の力によって正当化するしかない

なんか私はそうやってセクハラされながら生きていくの全然嫌じゃないんだけど、世の中セクハラダメって風潮だから、不思議だなあと思う。嫌だよねー、って言い合う女に同調しなきゃいけない方がどっちかって言うと嫌。怒った方がいいとか声を上げた方がいいとか他人のアンガーを勝手にマネジメントしたがる女の方が無理。っていうか女は性的に見るものって価値観より、朝起きなきゃだめとか、時間を守れない奴は何やってもダメとか、締め切りに遅れちゃダメとか、敬語が使えなきゃダメとか、努力が偉いとか、怠け者は良くないとか、ミッキーマウスは可愛いとか、猫は正義とか、毛虫は気持ち悪いとか、テレビが面白いとか、数学が嫌いだとか、世の中もっと無理な価値観が多すぎんだわ

「自分も年を取ると保守的になるのかなあ」という心配と「もう保守的か」という諦めに似た気持ちの二つがある。

「社会や世間に対する漠然とした恨み」を抱いている社会人のほうが少ないのだろうけど、そういった恨みはアニメでは「青臭い」と形容されるように、実は大人的というより少年的であり、むしろ恨みを持ち続けている人のほうが純粋である、とする価値観。

ドッジボールの後に廊下とか階段で「ボールに当たった奴が職員室に返しにいけよ！」という勝手な延長戦を勝手に始める奴ら、いま全員めちゃくちゃ息が臭くなっててほしい。

貧乏人はつらい、でも金持ちだってつらい、みたいなことを言いだすともう収拾がつかない。「客観的な不幸の指標」がどこか（神様のエクセルシート）にあって、個人個人で異なる「不幸係数」がその不幸を主観的に大きく・小さく見せる、と説明したほうがスムーズである。もちろんそんなエクセルシートは現実にないのだけど「金持ちも不幸だ」「美人も不幸だ」と言いだす奴らがその「不幸な」立場を降りたがらない矛盾はそうでもしないと定義できない。不幸の大小と不幸の有無をごっちゃにしてる人達のほうがよほど断絶を煽っていると思う。

人間関係が「素朴」と耳にすると、どうしても「ドライ」「後腐れない」が関連してる気がする。でも本来もっとも素朴な価値観は「お互い様」で（なぜなら人間は助け合いなしには生きていけないから）、それが優位なのは世界中の片田舎だと思う。どこにでもそういった濃い関係が嫌な人がいて、都会に出ていく。それをネットでは「リベラル」と呼ぶ。だとすれば、お互い様第一の人々は国を問わず「ナショナリスト」（国家主義的？）とも言える気がするのに、それがヘンに聞こえるのはなぜだろう。

お互い様第一はコミュニティとしての結束が大事で、そのために帰属意識を高めあう方向に動く必要がある。これは国家主義というより「共同体主義的」であり、国という概念を説明に持ち出す必要はない。だからナショナリストというと変なのかも。Aの対義語はBで、Bの対義語はCなので、AとCは同義語、という粒度の話でしかない。言葉遊び以上のものではないと思えてきた。

時間がたった後に自分の文章をボロクソに批判する試みをやったことがなくても、やったら精神的にズタボロになることがわかりきっている。それなのにツイッターのみんなは、他人の文章をボロクソに批判する試みをやっている。

お金が人々の暮らしを変えた、というその根本は「自分ができることを相手にする」という知り合い間のお互い様で成り立っていた生活を、お金が全て「金さえ持っていれば他人にも施す」という価値観（と、その価値観をみんなが信じている、と信じられること）に書き換えたからだと思う。

数学科など厳密な論証をしてきた学科の人達がいう「便利な計算ツールは、証明して原理を理解してから使うべき」という理想論、離散フーリエ変換をエクセルで（コピペで）やってきた工学部主審の私の耳に激痛が走ってる。理想なんだよね、それ。ごめんなさいという気持ちしかない。

工事現場の看板に描かれた警備員とおなじ。奥行きゼロの人生。「そこにある」以外に言えることはなにもない。ゼロである。

2014年から過ぎた4年の間で、馬齢だけが重なった。変わるべきところは変わらず、若さのおかげで出来たことは、しっかりと剥がれ落ちて出来なくなってしまった。馬齢を重ねるとはまさしくこういうことなのだろう。

日本社会のマナーというか、一線というか、触れてよい悪いの社会的な振舞の基準というのが、「自分が炎上するかしないか」っつーなんとも曖昧模糊で且つ姑息な点にしかないように思えます。結局そうなると、赤信号みんなで渡れば怖くないと同じで、皆が参加しているイベントなら自分の身も安全ってな感じの思考放棄道徳放棄責任放棄自己放棄の回路に流れてしまう。

本当に労働に向いていない人種は経験上たしかにいて、そういう人が「なぜ（人間は・オレは）働かなきゃいけないんだ」と口にすると「そんなこともわからないのかガキめ」「甘えるな」など罵詈雑言が全方位から投げつけられるのが今の『正しい』ネットだけど、ぼくはそういう問いは非常に的を射てると思うよ。意味もなく意味もないことをさせられた時に出る疑問ってだいたい「なぜこれをするのか」でしょ。その「これ」がたまたま「労働」という、生存に必須なものだっただけの話。簡単に切り捨てられる人は、そりゃ社会に向いてるんだろうけど、だからといって労働不向き組を「ガキ」とまで言い切っていい資格はないと思う。別にそういう人が一定数いたって生活保護か何かで生存させられる、そんな仕組みがあるのがこの国のいいところ。どうせみんな、商業主義や資本主義のマヤカシのせいで「金を稼ぐのが幸せ」と思い込まされてるから、労働不向き組みたいな『外れ値』はそんなに出てこないし。

インターネット（WiFi）がない生活を3日間してみて思ったけど、ネットってもう基本的人権の根底にあるな。

なぜ笑うことよりも「笑わない」ことのほうが難しいのか？これはなかなか興味深い問題だと思う。笑わないとはつまり自分をメタ化しないように努めることだが、全力でメタ化するよう差し向けてくる要因（笑いの要因）には勝てない。たとえば真顔で変な儀式をしている部族のその儀式に参加したとき、それを笑わずにいるのは難しい。メタ化せず、儀式をするかれらのメンタリティに同化することは（特に初対面では）困難だからだ。使い古したネタで笑わなくなるのも同じ話で、何度も見るうちにメンタリティが同化して、それをばかばかしいと思わなくなるからだ。「天丼」ネタはさらに興味深い。「同じネタを二度言わないだろう」という暗黙の思い込みを破ることで面白さが生まれるのだから。

普段は「自分の感情なんてしょせん大脳生理学ではホルモンバランス」だと考えてるくせに、ひどいことを言われて傷ついた友人にそんな励ましをしない、そんな自分のまあまあの敏感さを自分で気に入っている。ある人間が抱いた感情を尊重する敏感さと、その感情が実は機械論的なアプローチで説明されうると信じられる鈍感さがわたしの中に同居している。

トヨタ式で「why?を5回繰り返して問題の本質や真因にたどり着く」というのがあるけど、ワイが仕事でこれをやると毎回4回目くらいで「そもそもこんな必死に働く必要ないんじゃね？」という本質にたどり着いてしまうし、ルートによっては「こんな世界を創った神が悪い」という真因にたどり着いてしまう…

研究に金を出さなかったら研究力が落ちたのを「まさか」と驚いてみせるの、人を刺しておいて「まさか死ぬとは！」と言い出す人間を見るようなホラー味があってある。

性癖にぶっ刺さって死んだ人

オンラインサロンはオフラインサロンより4~5フレームの遅延が生じるので完全に別物と思ったほうがいいです

人生大学人生学部を出ていないので人生のやりかたが分からない

国、スポーツが苦手な子は何とかしようとしてるのに(絶対ろくなことにならないけど)、人生が苦手な子には何もしてくれないな。

「チョベリグ」が死語になったのは、古いとかダサいとかではなく、単に日本から超ベリーグッドな時間が失われたから

自分を訴えてきた相手の弁護士が凄腕すぎたので、次に訴えられたとき、迷わず弁護を頼みに行った。

「優秀な人は難解な言い方をしない。わかりやすくシンプルな言葉で説明できるのが本当に理解している人」とか思ってる方、詐欺に騙されやすいので注意してください

明らかな不正義に対してポリコレ陣営の自浄作用が働かないというのは、なによりまず自分たちが「圧倒的に正しい」と思っているので、「こういうノイズが多少混じったくらいでは大筋における自分たちの正しさは揺らがない」という自信がこれらの手合いを放置させてしまうのだよな。同時に、正義にアイデンティティがあり過ぎるために、「不正義な人物」と認識した瞬間に「その人は正義の側の陣営の人間ではないので我々が取り扱う必要はない」と自動的にパージされてしまう。なので自陣営から問題のある人物がどれほど現われようとクリーンなセルフイメージが傷つかない。

さらに基本的なセルフイメージが「反権威」の「弱者」なので、「お前は違うだろう」みたいな選別をしようとしないのだよな。それをやってしまうと自らが権威の側、強者の側になってセルフイメージが揺らいでしまうから。ただその場の発言が仲間っぽいかどうかしか見ない。つまり甘言に乗せられやすい。

そしてポリコレ陣営でもヒエラルキー上位の「権威」であり「強者」である人々は、自陣営の支持者のそうした性質を知りつつも、前出のセルフイメージの問題と政治闘争の有利不利を優先し、自陣営への寄生虫の問題に深く触れようとはしない。まあこの辺りは反「ポリコレ」側も似たようなものだけど…。

昨日あたりから学校体育への恨みがTLを流れていて、あんなのは「指導」じゃない、ただ運動の得意な奴を調子づかせ運動の苦手な人間を苦しめるものだと叩かれてるけど、座学の科目だって同じくらい雑な「指導」であって、勉強の得意な奴を調子づかせて苦手な人間を苦しめるものだったりしてませんかね。

体育の「指導」の雑さによって、例えば柔道で33年間に121人が死んでいるのと同じくらい、雑な勉強のゴリ押しで死人が出てるんじゃないのか…みたいなことは考えてしまうわけですよ。実際のところ児童や生徒の自殺理由の2トップは「進路に関する悩み」「学業不振」で、死人だって1年間に数百人ですよ。

うちの母、養豚場を運営するスマホゲームにハマってた時があり、ある日スマホを忘れて出勤し「豚が死んじゃう！」と心配になり職場から家に電話して父に「豚にエサあげといて！」とだけ言い放って電話を切った。それを聞いた父が慌てて、太ってる弟を叩き起こして飯を食べさせたという話が好き過ぎる。

オマージュは入れれば入れるほど良い、なぜなら作品内に仕込まれたオマージュの総量はオタクがコンテンツに落とす金額と比例関係にあるため。

「SNS疲れ」なんてものは存在しない。ただ労働で疲れた後にSNSをしているだけ。

神木隆之介くんを最初に見た時は10歳くらい年下だったんだけど、みるみる年齢が追いついて気付けば一個上になってた。

イオンの海藻コーナーに善意のつもりで「塩昆布はふりかけコーナーにございます」って看板立てても、15分以内に即撤去される。毎日同じこと繰り返してたら、今月購入した看板代だけで18万円になった。

4月から長男が小学校に上がるので通学が楽なように校庭の中央にマイホームを建てた。ついに完成して住もうと思ったら、学校側から「校庭に住んではいけない」と後出しで言われた。他の人も真似したため校庭には新築がたくさんそびえ立っているが、誰も住んでないので住宅展示場みたいになっている。

老人を叩く材料がほしい人のために架空の悪い老人を、フェミニストを叩く材料がほしい人のために架空の悪いフェミニストを、政治家を叩く材料がほしい人のために架空の悪い政治家を作ってはインターネットに放っている。架空の悪いオタクは必要がないため作っていない。

話が極端なやつは殺してもよい。

ゲームボーイアドバンスではゲーム中にソフトを引っこ抜くと当然強制終了しちゃうんだけど画面が抜いた瞬間のまま映り続けるので今でいうスクリーンショットのような感覚でたびたび活用していた

よく偉い人が「経営者視点を持て」とか言いますが、下っ端の平社員の人が、毎日汗水たらして残業してコツコツあげた利益を、経営判断の誤りであやしげな相手と取引して、一瞬で300億円や2000億円の損失を出してしまったアルケゴス問題の話聞くと、経営者視点って目が節穴になる事かなと思ってしまった

昔近所の動物病院のガラスにたくさんある「子猫あげます」とかの貼り紙の中に一枚30代くらいの普通の女性の顔写真があって何かと思ったら「この人には絶対子猫をあげないでください」て書いてあってすごく怖かった。

クトゥルフ神話TRPGのことを子供に「やばい神様のせいで心がグチャグチャになってたまに死んじゃうゲームだよ」って説明したら「桃鉄ですか？」って言われて笑った　桃鉄ではないです

これもあくまで個人的な印象なんだけど、「高校で三角関数を習った時にはサッパリだったが、大人になって学び直して使えるようになった」という人は極めて稀なのに対して、「中高の頃には体育が大嫌いだったけど、大人になって筋トレやスポーツの楽しさに気付いた」って人は結構いるのよね。「数学にもスポーツにも『生まれつきの適性』がある程度は存在する」という主張は正しいんだろうけど、こういう事例を見ると「適性ではなく教育によってスポイルされている『潜在的スポーツ愛好者』は結構多いのでは？」と思わずにはいられないんだよなぁ……運動ってスクールカーストと密接に関わってくるから、そのせいで嫌いになっている人は多そうな印象。

アンガーマネジメント、何回か講習受けてるけど、あれ「瞬間的に爆発しそうな怒りに対して」な気がしてしゃあない。少なくとも私にとっては「叫び散らす程ではないがしばらく心のなかに残り続ける怒り」は6秒以上我慢しても消えてくれない。一週間以上継続的に続く怒りを「恨み」とすると定義している本を見かけたことがあるのだけど、アンガーマネジメントは恨みには対応できていないと思う。恨みの手放し方を必要としている人は多い。恨みの話になると「自分は恨みを手放したくない。一生抱えて恨み続けていくと決めている」と語る人が必ず出てくる。別にそれでいいのだと思う。疲れるだろうけど。「感情貯金」の話とかがそうなんだよね。恨みというものの捉え方、対処の仕方について触れている。恨みを持ち続けることで自分にとってプラスになることって多分何もない。タバコや覚せい剤のように一時的快楽もない。でもそこに執着したくなる。相手の幸せを望むことと、相手を恨むのをやめることはまた違うとは思います。恨むのをやめるって「恨みの対象に対して無駄に頭の中で時間とコストを費やすのをやめること」なので。

考える人には「死ぬまで恨み続けてください。恨みを相手に伝え続けて圧を加えてあげてください」と言うだろうな。「恨みを捨てたらあなたではなくなってしまうので一生恨みを背負って生きてください。あなたの人生の課題で宿命です」とも。無理に恨みを手放すものでもなくて、死ぬまで人を恨む人生もたくさんある。それはそれで一つの立派な人生。相手を楽にさせないために、自分は死ぬまで苦しみを背負う。人生をかけて復讐を行うのも一つの生き方である。恨みが強すぎるともうそういう生き方しか選べないのだろうな。ぼく自身は怒りや恨みを動力源にして活動するなんてことが長期化すると確実に疲れ果ててうつになってしまうので続かない。「楽しいからやる」でないと長続きしないし、心身の健康を保てない。怒りでずっと動ける人たちすごい。早死にしそうな印象がある。「恐怖からの回避とか、怒りや恨みを晴らすという目的以外に自分を動かすものがない」という人はしばしば見かける。彼らは「自由にしていいよ」「好きにしていいよ」と言われると戸惑ったりする。「好き」とか「楽しい」みたいな感覚を感じ取るのが苦手であるか、そもそもわいてこないようだ。

「恨みを手放す」というのは、「相手から傷つけられ、奪われたものを、（相手から）取り返そうとするのを放棄する、損切りする」ってことなのだよな。いつまでも相手から取り返そうとしている限り、その相手が自分の頭の中に住み着く。いくら相手を恨んでも、その相手からこちらが満足するような謝罪があったり、償いがあったりすることはめったにない。その結果、相手個人を超えて似た属性を持つ他の人に恨みの対象を広げ、そこから自分がかつて奪われたものを取り返そうとし始めるケースもよくある。ぼくが常々「怒りの対象を間違えてはいけない」と言ってるのはこのポイントで、ここで自分の過去の恨みの対象から取り返したかったものを、その相手以外の人から取り返しに行く心の動きが出始めてしまうと、「思考と行動が複雑で予測がつかず、攻撃的になりやすい難しい人」になっていく。どんなにその人の過去において、ある特定の相手からひどい目にあわされたとしても、その怒りや恨みを他の人に向け始めた時点で、その人の振る舞いは理不尽で子供じみたものとみなされるようになる。ここはとても重要。怒りの向け先を間違わなければ、こういう風に思われずにすむ。それこそミソジニー（女性嫌悪）・ミサンドリー（男性嫌悪）みたいなのって、この怒りの向け先を間違えた雑な怒りなんだよ。だから、ぼくはそれらを拒絶するし、それと出会ったときには「本当にあなたが恨んでいる相手をきちんと特定して、その人に怒りを向けなさい」と言うようにしている。

靴工場で働いてからずっと、世の中の全ての商品は正当な労働報酬を支払われない人間が関わってできている、という確信のもと買い物をしている。すべての品物には虐げられた労働者の血と恨みが染み付いてる。絶対確実に。

太陽に焼かれて死ぬイカロスになれるのならまだ本望かもしれませんが、飛べるはずだと信じてジャンプしたら、地面に真っ逆さまで嘲笑される、という人のほうがはるかに多いと思うのです。

「自分の人生のハンドルを自分で握りたい人」がターゲットなのに、ネットでは、そうじゃない人の目にも触れる。そして、「お前の言うことは、俺には当てはまらない！」と怒りをぶつけられる。

ブックマークコメントで「批判」しただけで、内容証明を送ったような態度でいるのは、ちょっとおかしい。そういう「お手軽に批判できるツール」が失われたことに対して、不快なのはわかるけれど、ちきりんさんのブログのコメントには、けっこう酷い内容もたくさんあった。ある程度社会的に認知されてしまえば、はてなブックマークみたいな「怪文書発生ツール」と距離を置きたい、という気持ちはわかる。新聞やテレビの報道だって、「似たようなもの」ではある。抗議のための電話や問い合わせメールは用意してあるけれど、電話をかけるとかメールを送るというのは、ブックマークコメントを送るよりも、かなりハードルが高い。でも、批判する側にも、そのくらいのハードルを設けておかないと、「愉快犯」みたいなのにコンテンツが押しつぶされてしまうかもしれない。はてなブックマーカーの一部は、支離滅裂な存在だ。「俺がお前を殴りたいから、みんなが殴っていいことにしろよ」って、どこのジャイアン？自分の都合のいいときだけ、「誹謗中傷」を「批判」だと解釈していないか。

ネットの一般化によるネット住民の新旧対立という構図で見れば、ネットで発生しているさまざまな揉め事を理解しやすくなります。基本的には現実社会から独立したネット社会を守りたいネット原住民と、現実社会をそのままネット社会に持ち込みたい人たちの争いなのです。たとえばネットで匿名の書き込みを批判して、実名でしかネットで発信を許すべきではないと主張する人がいます。実名でしか意見を書き込めないネットにするべきか、匿名で意見を書き込めるネットを維持するべきかという何年も前からずっとある議論です。これは、どちらが正しいかどうかを議論することは無意味です。現実社会での人間関係や社会的立場をそのままネットに持ち込みたい人は実名制を支持しますし、現実社会で居場所がなくネット社会で生きるネット原住民は匿名制を支持します。立場によって意見が異なる、それだけの話なのです。現実社会がネットとさらに融合していく今後は、ますますネットを実名にすべきだという議論が強まるでしょう。一方、現実社会で居場所を見出せないネット住民ですが、そういう人たちの存在そのものは今後もなくなるわけがありません。だから、ネットが匿名であることを必要とする人たちもなくならないのです。

生きている人間が、自殺しているかもしれない人間に「憑依」し、「それでも生きていくためにはどうしたら良いのか」を想像している人に罵声を浴びせるというのは、あまりに不毛だ。意思表示のできない死者（かもしれない人）を「代弁」されたら、反論のしようもない。そこにあるのは「彼はこうだったはず」「いや、そうじゃなかった」という水掛け論でしかない。自分が考えていることなんて、自分自身だってよくわからないこともある。何者かに憑依して、その代弁者として「お前は想像力がない」と誰かを責めるのは、ネットで他者を知る可能性を狭めるだけだと思う。　「個人の経験や知識や思考」が加工されないまま読めるようになったのが、ネットの良さだったのに、冒頭のエントリくらいの「個人の感想」に対して、こんなに反発する人がいるのか。みんな日頃は「生きられるのであれば、なんとか生きろ」って、言ってるじゃないか。この「ブログ主の彼」こそ、みんなが大好きな「これをプリントアウトして病院へ」行くべきではなかったのか。強い希死念慮というのは、気の持ちようや美味しいものや旅行で回復できるようなものではないことが多いのだから。

そういえば、niftyのホームページサービスって、そろそろ終わるというのをどこかで見た記憶があるなあ、と思い出したのですが、多くのファンがいた二階堂さんの文章でさえ、こうして期限が来て、誰も手続きをしなければ、「404 Not Found」になってしまうんですね。長年やっていくうちに、ネット上のコンテンツというのは「ずっと残り続ける」ものではない、ということがわかってきました。人は、心臓が止まったときと、その人を覚えている人がいなくなったときの二度死ぬ、と言われています。ネットのおかげで、その「二度目の死」を迎えることがない、あるいは遅れるのではないか、と思いきや、本人の死のみならず、利用料金が払えなくなったり、ネットサービスが終了したりすることで、けっこう簡単に「記録」は消えてしまうのです。もちろん、「誰か」が保存して他所に移してくれるケースもあるのですが、そういうのは、ごくごく一部でしかない。逆に、もう亡くなっている人が書いたものを、それを知らずに読んでいる、なんてことも少なからずあるはずです。その人は、少なくともネットの中では「生きている」と言えるのかもしれません。

「この子、なんでマネージャーになりたがるんだろう？　野球部とかサッカー部みたいに、女性のプレイヤーが少ないけどそれに関わっていたい、というのならわかるけど、弓道って、それほど体力的にハードな競技じゃなくて、『誰でもできる（上手い下手は別として、ね）』のが良いところなのに……」と思ったんですよね。なんで、自分で弓を引こうと思わないのだろう？って。その「マネージャー志望者」は、女子のあいだでも議論になって、結局、「うちではマネージャー専業は必要ない」という結論に達しました。いまくらいの年齢になってみると、僕自身も「裏方志向」であり、世の中には、さまざまな役割があるし、マネージメントや他者のサポートのほうに「やりがい」を感じる場合もあるのだな、ということは、わかっているんですけどね。そして、「どんな立場であっても、自分が好きなことにかかわりたい」という人がいたり、「やりがいとか理想とかは別として、食べていくために、その仕事を選んだ」という人もいる。ただ、働いてみての実感としては、「やりがい」を強く求めている人って、どこかで燃え尽きてしまうことが少なからずあって、「生活のため」の人のほうが、テンション低めながらも安定したパフォーマンスを見せてくれることも多いようです。「すごい仕事もするけど、やる気が無いときは全然ダメ」よりも、「つねに最低限の仕事はできる」ほうが、向いていることも少なくない。人が女優になるのと同じくらいのドラマが、照明さんや音声さんになるのにも、あるんだよね。そういう「想像力」を育てていくのが「成長」なのだと思う。

PCにまつわるここ最近の論争はどうもしっくりこないんだけど、それは何を守るだ守らないだってのを急に言いだしているからだと思うし、歴史が改変されてしまっているような「事実」が提示されたりするからなんだろうと思うんだけど、そもそもの話として、PCってオタクが「キッモ クッサ」と言われることから守っていたなんて言われても全く実感が無いのはそんなところ守られるべき部分でもなんでもないからなんだよなあ。オタクがオタクであるのはそれが世間の一般的な価値観とはかけ離れているところで大事なものを持っているからだ、と僕自身は思っていて、つまりオタクがオタクである以上世間にその価値観を「受け入れられる」ことはそもそも求めていない（もし受け入れられてしまったらそれはオタクではなく単なるマジョリティにすぎないわけで）。スポーツだったり、音楽だったり、比較的健全（これは価値観ではなく現在の社会的な位置づけね）なカルチャーにおいても、オタクと名がつくレベルに深入りしてしまったらそれはもう一般人から見てキモい。そうでなくてはオタクである意味がないよね。それとは別な意味でキモいだクサいだという非難を浴びることはそれはオタクがオタクであるからではないわけでさ、ホームレスにクサいから図書館来るなと言っちゃいけませんよとかそういうのと同列の話であって、「オタクだから」キモいクサい言われることから守られるわけじゃないでしょ。一方で、(狭義の)オタクカルチャーが社会の前面に浮上することが出来た結果「オレたちのキモさが認められた」と思っているオタクがいるとしたらそれは大いなる勘違いであって、常軌を逸した行動（TPOを弁えないのもこれに当たる）が許されることになったわけではないよね。(狭義の)オタクカルチャーにしばしばある問題は、当人たちにおいて本来のオタク気質としてのキモさと社会的な不健全さ（主にエロ方面）によるキモさとのボーダーラインを溶かしてしまっている部分ではないかと思っていて、だからこそ「PCがオタクを擁護した」なんていう言説が一定の説得力を持ちうるのではないか。でもそれは全然ことの本質を表しているわけではない。単純にTPOを弁えない行動は擁護する必要はないし、オタクであることそのものについてはPCで守られるべきことなど何一つないと思う。(狭義の)オタクカルチャーが社会の前面に出てきたのはオタク気質そのものがキモイと言われることを社会が抑制したことによってなされたものではなく、ロックが不健全で唾棄すべき文化である、と思われていた時代から現在に至ったのと同じ道を通過しつつあるだけにすぎない。つまり、単にそのカルチャーを好きな人がマジョリティーになりつつあるってだけだし、その大半の人達は別にオタクそのものではないのだ。

「どんなときにブログを書きたくなるのか？」という問いに対して、いろいろ考えてみたのですが、僕がたどり着いた答えは「寂しいとき」でした。こうして生きていても、いつかは無に還っていくのだよな、とせつなくなったり、僕がやっている仕事の代わりができる人はたくさんいて、はたして、これを自分がやっていることが、みんなの幸せにつながるのだろうか、と疑問になったり、がんばっているはずなのに、周囲とうまく噛み合わないというか、手応えがなかったり、そうして生きていくうちに、どんどん年ばかり重ねていって、何もできないまま死んでしまうのかな、と怖くなったり、うまく言葉にできないような、漠然とした虚無感が心の中に広がってきたり。

「マスメディア」に対するtwitter上での争いをみていると、いろんなことを考えさせられます。「悲劇」をことさらに強調し、「美談」をつくりあげ、被災者に「報道の自由」の名の下にカメラを向け……でも、その一方で、淡々と数字だけが積み重ねられていくような報道だったら、ここまで大きな「被災地の力になろう！」という動きが生まれていたかどうか疑問ではあるのです。「被災地の衝撃的な映像」や「遺族の涙」が「視聴者」に、現地への大きな感情移入を生み出すのもまだ事実。「ケビン・カーターが、もし、ピュリッツァー賞受賞後に自殺をせず、有名ジャーナリストとして大威張りで世間を闊歩していたら、果たして、世界はこの写真、そして、ジャーナリズムの『善意』を信じていられるだろうか？」。彼は、子どもたちが次々と死んでいく悲惨な現地の状況を伝えようと、この写真を撮り、発表したのですが、それが「世界を動かしたこと」と「彼自身も名誉と批判を受けたこと」が、彼の運命を変えてしまいました。　おそらく、この写真を撮ったときのケビン・カーターは、目の前の場面のあまりのインパクトに、「シャッターチャンス！」だと感じたに違いありません。そして、この写真が自分を「成功」させてくれることを願った。　もし、彼がカメラを持っていなかったら、ジャーナリストでなかったら、まず、ハゲワシを追い払っていたはずです。僕は、こういう場面で、写真を撮るより、ハゲワシを追い払う人間でありたい。　しかしながら、もし彼がそうしていたら、多くの子どもたちが救われなかったかもしれません。

故郷で独り住まいをしている高齢の母親は、テレビの野球中継をとても楽しみにしています。「この松井って子はいいよねえ」と、目を細めながら応援しています。そして、好きな番組が終わると迷いもなくテレビを消すのです。たまたま帰郷していた僕は、そんな母親のあたり前の態度にハッとしてしまいました。『面白い番組を見る』――こんなあたり前のことが僕にはできなかったのです。テレビを消した後、静けさが戻ったお茶の間で母親は家庭菜園の里芋の出来について楽しそうに僕に話し、それがひと通り終わると今度は愛用のCDラジカセを持ってきて、大好きな美空ひばりを、これまた楽しそうに歌うのでした。僕はそれを聴きながら、母親はメディアなんて言葉は毛頭知らないだろうけど、僕なんかより、ずっといろんなメディアを正しく楽しんでいるなあと感心しました。そして目の前にある消えているテレビの画面を見つめ、先日のやつあたりを少し恥ずかしく思うのでした。つまらない番組を見て、時間を無駄使いしたと思っても、それは自分の責任なのです。決してテレビの責任ではありません。リモコンにはチャンネルを選ぶボタンの他に「消す」ボタンもついています。僕達は、当然テレビを楽しむ自由を持っていますが、それと同時にテレビを消す自由も持っているのです。

「不謹慎」って何なんだろうなあ、と僕は思います。いろんな人が目にする機会があるネットの世界で、絶対的な「不謹慎の基準」が決められるのでしょうか？子どもが生まれた話をすると、流産してしまった人は、悲しい気分になるかもしれない。ネットで発言をすることには、つねに、そういう可能性が伴っているのです。でも、僕は言わずにはいられない。黙っていることができたら、そのほうが良いはずなのだけれど。これはもう、「業」みたいなものなのでしょう。

いまの世の中って、「失うものがない人」のほうが強い、という面は、たしかにあるんですよね。危険な運転をする人や「自分や他人を危険にさらすことに歯止めがきかない人」「モラルが極めて低い人」は、少なからず存在しています。「ああいう人とは、関わらないのが正解」なのだろうと思うのです。でも、「ああいう人」として隔離してしまうのは、ある種の差別だったり、人間に対する信頼感の欠如なのかな、という気もしてきて、悪いことは悪い、とちゃんと注意した被害者の方に比べて、僕は情けない人間だよな、と悲しくもなるのです。僕は、圧倒的な暴力で自分自身や大事な人が危険にさらされている状況で、「正しさ」を貫く自信は、ない。「法で裁く」のが大原則なのだとしても、今、そこにある危機に対して、法は必ずしも有効ではない。命が失われたあと、相手がどんなに重い罪に問われても、「そんなヤツの命」なんて、なんの代わりにもならない。いつでも、「ちゃんと戦った人」は、報われないことが多い。人間の歴史を通じて、ずっと、「本当にいい人は、帰ってこなかった」のです。どんな状況でも、リスクを背負っても、「ダメなものはダメ」と言う人には、この世界はあまりに危険すぎる。インターネットでは「あんなヤツは許せん！厳しい判決を！」「ちゃんと注意した被害者は立派だ」と叫ぶ一方で、周囲の人とは「やっぱり、関わらないのがいちばん安全だよね」と頷きあう。「ああいう人たち」は、仲間内でさえ面子が保てれば良いことが多いから、ネットで叩かれても、そんなにダメージは食らわない。「人間どうし、尊重しあおう」と言っても、相手に全くそのつもりがなさそうな場合、どこまでも歩み寄らなければならないのか。歩み寄りが難しいからといって、徹底的にやり合うわけにもいかないよね。

自分が具体物どうしのエピソードから作った抽象的な寓話をもう一度具体的にされたとき「まあ、そういう考え方もありますかね。解釈は自由なので」って言って逃げおおせたい欲がめちゃくちゃある。「こんなユーモア書いてる奴正気かよ、おもんな」って吐かれたときのダメージを最小化したいから。

ブログを書いてるけど、ブログでさえ吐き出せない細かなゴミを別の媒体で文章にしようとしてる。もう病気みたいなもんじゃないか。

創作に風刺は麻薬なんよ。30点の作品しか作れない作家でも、作品であからさまに誰かを殴ると、同じ思想持ってる人は喜んで70点80点つけてくれるのな。一度その味を知ると、風刺しかできんなる。30点の作品作るまででもえらい苦しみあるのに、誰か殴っただけで70点80点もらえるからな。まぁ、風刺と言うか、風刺とも言えんようななにかだけんども。こういうの、ツイッタでよく見るが、実は古くからあってな。かつては小規模なギャラリーやアート系の喫茶、芝居小屋なんかの小規模なコミュニティで展開されてた構図じゃけれども、このツイッタのリツイートというのが、全て変えたわな。この傾向が強まると「思想が先鋭化するほどファンの評価は伸びるが、作品から芸術性やマスの評価が失なわれていく」というねじれ現象が、起こり。このへんまで行くと、もう創作する人がコミュニティに取り込まれているから、自分の作品がどうなっているかとか、危機感を持てなくなってしまう。思想の評価と芸の評価が、自分で区別出来なくなるのな。ゆえ、違う思想を持つ相手を「芸術が理解できない奴」「風刺が理解できない無教養な人間」と、仕分けてしまうので、ファンも選別されてゆき、小さく濃厚で過激なコミュニティの中だけのすごい人、が出来上がる。芸は胎児のように丸まってくる。やがて、芸は思想と不可分になり、思想の養分として静かに枯れる。

風刺って批評と批判の間の子って感じだけど、今のSNSでバズってるのって右も左も風刺の皮すら被ってないエコーチェンバー向けのおぞましい何かでしかないよ。毒舌のストッパーが効かずに単なる叩き、言葉の暴力になってるのも少なくない。だから自分は政治や男女のまとめには関わりたくない。

ツッコミというのは1のボケを1以上にする行為であって0を1以上にすることはできないんや

東京の笑いは上方のようにボケて突っ込まれるのではなく、突っ込まれるのを待ってボケるのです。このケースならば、ずっと黙っていて誰かが今日は発言しませんねと訊いたら「湿布が匂うといけないと思いまして」とここで始めてボケます。能動と受動の差とでも申しますか。

YouTubeとかニコニコ動画のような、動画系コンテンツの場合は、「素人がどんどん成りあがっていった時期」は、テキスト系のコンテンツよりも遅かったと思うのですが、「無名の人が彗星のように現れてスターになることができた」時期は、動画でもそんなに長くはありませんでした。だいたい、有名になると、有名人どうしで繋がりまくって、カルテル化しはじめるのです。有名ユーチューバーだって、登録者数10人とかの相手と「コラボ」するわけがない。コンテンツって、基本的には先行者、既得権者が圧倒的に有利である、というのと、メジャーになり、裾野が広がれば、もっとすごいヤツが出てくる、というのは幻想であることが多い、ということなんですよ。

「推し活」に関しては、僕も長年「他人を応援し、お金や時間を吸い取られるだけなのに、何が楽しいんだろう？」って思っていました。でも、最近になって、「推し」というのは、その対象物への愛というより、「その対象物を好きな自分自身も包括しての愛」だと考えるようになったのです。今は、SNSでファン同士がつながったり、ブログでファン側から情報を発信したり、自分の「解釈」を広めたりすることもできる。一昔前のファンと親衛隊のような関係ではなく、「誰を推しているか」が自分のアイデンティティとして認められる時代になっているのです。誰かを「推す」のは現実逃避ではなくて、誰かを推すことそのものが、現実。「推し」に利用されているのではなくて、「推し」を自分に取り込んでしまっている。人を「推す」というのは、いまでは、自律的で、したたかな処世術なのです。極論すれば、「推し活」って、自分の分身でものすごく大事だけれど、いざとなったら乗り換えられるアバターを持っているようなものです。

ネットの嫌儲の人って、世の中には「お金なんて要らない、不浄なものだ」という人と、「銭ゲバ」の両極しかいない、と考えているのではなかろうか。大部分の人は「お金を稼ぐことが第一ではないけれど、お金になることは、モチベーションの一部ではある」くらいだと思います。お金になる、とか、紹介した本をAmazonで誰かが買ってくれる、というのは、すごくわかりやすい「承認」なのです。みんなが「お金になるほう」「人気が出そうなほう」へ向かっているのならば、逆にそこからこぼれおちるところにこそ、「ニーズ」があるとも思うのです。人気があろうがなかろうが、コンテンツを積み上げていくことが快い人間は存在するし、閑散としたブログでも、書いている自分がそれなりに幸せになれるならば、それで良いのだろうな、ということなのです。

今の時代、「好きなことをやって生きよう」と煽る人はたくさんいるけれど、実際、そこに書かれていることって、「他人を不幸にするかもしれない稼ぎ方をして、自分は働かずに生活したり、南の島でずっと遊んで暮らそう」とかじゃないですか。「出会い系」を紹介したり、サロンで若者をタダ働きさせたり、「夢を大事に！」って、チケットをどれだかたくさん売るか競争をさせたりするようなのって、カモにされる人にとっては、眼が覚めれば搾取されているだけですよね。そんなふうにして、自分だけが「幸せ」になることって、本当に楽しいのだろうか？　そもそも、それって、本当に「幸せ」なのだろうか？お金って、無いと激烈に困るけれど、たくさん持っているからといって幸せでもないのです。大金持ちが慈善事業に力を入れることが多いのも、結局、お金だけでは満たされないものがあるのだと思います。

結局のところ、「リベラル」な人たちは、自分たちと理念を共有できない、危険だと判断した人間に対しては、言葉を封殺することを支持した、とも言えるのです。18世紀のフランスの哲学者、ヴォルテールは、「私はあなたの意見に反対だが、私はあなたがその意見を言う権利を命をかけて守る」と言ったそうですが、今の「リベラルを自ら任じる人々」に人々が感じている反発は、「あなたは自由に意見を言っていい。ただし、我々に従うかぎり」という傲慢さが伝わってくるからではないかとも思います。

元々「ポリティカルコレクトネス」って茶化し語ですからね、そこひっくり返ってるのには驚愕ですよ。だいたい政治的に正しいなんて、政治に正しさとかおかしいやろ、政治というのは異質な意見のどっちが主導的になるかというたえざる拮抗なんだから、というのが根本にある茶化し語なわけ。

誰がどんなことを言ったのか、で量刑が決まるというのではなくて、「言及した相手が死んでしまった」という理由で、風向きが変わり、「誹謗中傷した側」がどんどんバッシングされるようになります。どんなに酷い誹謗中傷の嵐が吹き荒れていても、相手がなんとかリングに立っていれば「反省が足りない」と飽きるまで攻撃はやまない。「死んだらみんなこっちの味方になって、あの連中がどんなに酷いことをしたかわかってくれる（あるいは、自分が死なないとわかってくれない）」と思ってしまえば、それは、死を選ぶ人だって出てくるでしょう。それしか「反論する」方法が無いのだから。

食い物レビューはtwitter検索した方が真実にたどり着ける率が高い。こういう、「肉が硬い」という正直な感想コメントが企業への誹謗中傷だとして、訴えられるようになり、自由に書き込めなくなる時代がそのうちくるのかな。コンビニの食品が絶賛されているのも同じ理由だよね。一時期ステマが叩かれたけど、最近は大企業に忖度してすり寄る太鼓持ちPRだらけ

何回か検索を重ね、ヘビーユーザーのブログに突入しないと本当の声が聞かせてもらえない令和時代。

お金持ちがポンとちょっとしたお金を出して、それを獲得したい貧乏人たちが醜く争ったりしてその様子をお金持ちが眺めて楽しむといったようなウェブサービスを作りたいですね。

資産10億以上の超お金持ちが100万円ばらまきツイッター企画したりテキーラを飲ませるゲームをしたりしているのを見るとお金単独で幸せを実感するのは難しいとわかる。むしろ資産に釣り合う何かが欲しくて不安定化する

高潔な人は、みんなにお金を分け与えるから、高潔な人に金持ちはいない。貧乏な人は、みんなに富をわけ与えた人と理解することもできる

貧乏人が金持ちになるためには稼ぐしかないのだけれども、「稼いでるやつは納税しろ！」って世の風潮によって高所得者には最大55％の税金がかけられるため、稼いでも金持ちにはなれないのが現実。大いなる矛盾。

自動運転が実用化され、今の喫煙者ぐらいのノリで手動運転者が排斥されるようになると思うと、感慨深いものがある。そしてその一員に自分もなっていそうな気がする。

「絶対にやってほしいゲーム名作50選」をできるだけ早くクリアするために、50選のRTA動画を徹底的に覚え込んで秒でクリアした。ストーリーは全てスキップしたが、名作をプレイできた満足感に今は浸りたい。

正直、「ホームレスも『生き方の選択』のひとつなのだ」と本人に言われたら、「それは絶対に違う」と言い切る自信は僕にはありません。彼らと好奇心で付き合ったり、それを文章にしたりするのは「下世話で下品」かもしれないけれど、僕も下世話で下品な人間なので、好奇心に駆られて読んでしまうのです。それでも、「知らない」よりは、「知って、少しは考える」ほうがマシではなかろうか。

Googleについて書かれた本を読んでいて思うのは、「真の多様性の尊重」なんていうのは、「自分にしかできないことがある」という自信がある人たちの集団でしか実現できないのではないか、ということだ。気が合う、似たものどうしというのは、逆にお互いの些細な違いが目についてしまうところがある。

魂の緯度と経度が似ている

もう高齢の夫婦が長年やっている食堂が、利益度外視で商売をやっていることに対して、「そんなことをされたら、ちゃんと稼ぎたい、もっと休みたい、という『普通の商売人』が迷惑じゃないか！」と憤るのは、筋が通っているのか？「お金」や「経営を安定させること」「休みを増やしてQOL(生活の質）を上げること」は、最大公約数的なニーズではあるけれど、すべての人にとっての最優先事項ではない。

「美味しい、とお客さんに喜んでもらえること」「店を通じて、いろんな人に出会えること」「ひとりで家でテレビをみているよりも、商売をやっていたほうが生きがいを感じる」「美味しくて安全なものを提供することで、社会に貢献している」みたいな考え方の人は「少数派」だけれど、もちろん「異常」ではありません。問題は、「お金を稼ぎたい人」と「お金は二の次で、自分の貯蓄を切り崩しても今の『商売』という形を維持したい人」が、同じ「食堂」というフィールドで戦わなければならない、ということなんですよね。創作物でも「書いたものに適正な報酬が欲しい」という人と「とにかくたくさんの人に読んでもらえれば満足」という人、そして「将来のために、ここは安い報酬（あるいは無報酬）でも、多くの人の目に触れたい」という人がいるのです。

有名人が亡くなった後、「追悼特集」と題してその人の好物や名言や出演作、ふるまいや人間関係を全て掘り出されるの自分なら嫌すぎる。

内田樹先生の「もし仕事の評価と報酬がきっちり比例する世の中だったら、生きるのはすごくつらくなるだろう」というようなことが書いてあるエッセイを読んで、「なるほどなあ」と思ったのです。「なんで俺はこんなに働いているのに、給料が安いんだ！」と愚痴を言うことができない世界、自分の「実力」が野ざらしにされている状況というのは、たしかにきつそうです。でも、『ブルシット・ジョブ』に書かれているような、プロテスタント的な背景に基づく「人に役立つ仕事ができるのだから、それだけで幸せだろ？高い報酬を求めるなんておこがましい」みたいな無言のプレッシャーにも耐えられそうにない。正直、今の世の中だと「創作物に報酬を求めない」というのも、「創作物には対価が必要。お金ほしい！」というのも、善悪やどちらが正しいというよりは、プロレスのベビーフェイスとヒールの違いみたいなものだな、という気もするのです。自己演出上の立ち位置の違いがあるだけで、どちらもリングの上で「表現」をしている存在であることには変わりない。

前職も現職も日系大手なので周りは小学校から私立で大学は早慶以上とか地方の地主や開業医の家柄でコネ入社とかばっかりだった。私はど田舎の超複雑底辺家庭出身で、そこから這い上がってきたんだからハングリー精神で出世できる！って新卒時は思ってた節があった。

でも蓋を開けてみれば、家族仲が良くて裕福な家庭で育った子って自己肯定感が強くて、少し失敗してもどんどん新しいチャレンジするし物怖じせず発言する。家族に倣うのか、色んなコミュニティに属するからかコミュニケーション能力高くて人脈も豊富。はっきり言って良いところ坊ちゃん嬢ちゃんと思ってた子たちが、人生経験豊かで仕事もすごいできるってことが多々あった。親の離婚や破産、その他ここには書けないような辛い経験してきたけど、仕事する上ではあまり役に立ってないな。ソーシャルワーカーとかカウンセラー活かせる仕事もあるんだろうけど、共感しすぎて私まで一緒に沈んじゃいそうだし。だから娘には色んな経験はできるだけさせてあげたいけど、辛いことはできるだけ回避してあげたいと思ってしまう。辛い経験が全く役に立たないとは思わないけど、そんな経験なしでも幸せに生きてる人はたくさんいるし、そっち側の人間になってほしい。

ハングリー精神だけで這い上がった奴に権力を与えたらあかん。 えてして自分ができるから他人もできると思いこみ不幸と理不尽をまき散らす。

人は成功体験があって初めて暗闇の中で進む勇気を持てるんだよ

仲間内で面白がってやっていたことや、ちょっとした社会正義の実現への義侠心、みたいなもので、人は動きはじめるのです。ところが、それが世の中に認められ、メンバーが「偉い人たち」に認められ（利用され）たり、お金になって、それを生業にする人が出てくると、その活動は転機にさしかかります。どんなに社会に大きなうねりをもたらすような活動でも、それで10年、20年食べていくのは難しいし、同じことばかりずっと主張していても、忘れられたり、問題そのものが解決して時代遅れになってしまったりもする。その結果、どんどん瑣末なもの、放っておいても害がなさそうなものにまで難癖をつけてネタにしたり、極度にマンネリ化して同じことを繰り返すようになったり、炎上商法にはしったりする。自分自身が権威になると、自分がやってきたことを他人にやられて権威が揺らぐのを怖れるようになる。

なぜ「電子の海」という表現があって「電子の空」という表現がないのだろうか。広さという意味ではよく似ているのに、いつも海にしか例えられない。それは海の持つ「深さ」「死」がそうさせているという気もする。

小説や映画の「貧しくて明日食う金にも困っている」描写を「スマホの画面割れ」に象徴させている、みたいなのが好きすぎる。人間の『解釈』という能力のすごさを最大限目いっぱいまで活用した例。

第2次世界大戦では通訳者も戦犯として起訴された。信じられないことに死刑になった人もいる。起訴・有罪の理由は、捕虜・現地住民の虐待・拷問・殺傷、通訳しなかった（捕虜の発言を上官に伝えなかった）、虐待や拷問をしていた部署に所属していたなどである。「上官の命令で通訳しただけ」は通じなかったのだ。また、一般に通訳は「黒子」に思われているが、戦争の場では、直接捕虜に接し、上官の「悪魔の言葉」を伝えるため、「可視性」があるのだという。戦争時の通訳は、諜報・情報、プロパガンダ、捕虜の対応、休戦交渉、占領、戦犯裁判などにおいて、きわめて重要な役割を担う。と同時に大きなリスクも負う。複数の言語を解することで、敵からも味方からも信用されず、スパイ、裏切り者の烙印を押されがちである。

お前ネットに向いてないよ、って言われなくてもわかってはいるけれど、じゃあ、ネットに向いている人として、『死ぬこと以外かすり傷』みたいな人ばかりが生き残っていくネットの世界なんて、本当に面白いのか？

自分にとっては楽しいもの、素晴らしいものであっても、他者にとっては、その人の「こだわり」の対象であったり、こんな悲しい記憶につながっている、ということもありうるのです。以前、娘さんを車の事故で失ってしまってから、車の運転ができなくなってしまった、というスポーツ選手の話を読んだことがあります。「海」も「車」も、多くの人にとっては「それなりに注意はしなければならない」という意識はあるのでしょうけど、相手のそういう背景を知らなければ、「なんで子どもを海に連れていってあげないんですか？」「運転できたら便利なのに」と口にしてしまうことはありうるはずです。

現在、表向き、企業が新入社員に要求するコミュニケーション能力は、「グローバル・コミュニケーション・スキル」＝「異文化理解能力」である。OECD（経済協力開発機構）もまた、PISA調査などを通じて、この能力を重視している。「異文化理解能力とは、おおよそ以下のようなイメージだろう。異なる文化、異なる価値観を持った人に対しても、きちんと自分の主張を伝えることができる。文化的な背景の違う人の意見も、その背景（コンテクスト）を近いし、時間をかけて説得・納得し、妥協点を見いだすことができる。そして、そのような能力を以て、グローバルな経済環境でも、存分に力を発揮できる。まぁ、なんと素晴らしい能力であろうか。これを企業が求めることも当然だろうし、私もまた、大学の教員として、一人でも多く、そのような学生を育てて社会に送り出したいと願う。

しかし、実は、日本企業は人事採用にあたって、自分たちも気がつかないうちに、もう一つの能力を学生たちに求めている。あるいはそのまったく別の能力は、採用にあたってというよりも、その後の社員教育、もしくは現場での職務の中で、無意識に若者たちに要求されてくる。日本企業の中で求められているもう一つの能力とは、「上司の意図を察して機敏に行動する」「会議の空気を読んで反対意見は言わない」「輪を乱さない」といった日本社会における従来型のコミュニケーション能力だ。いま就職活動をしている学生たちは、あきらかに、このような矛盾した二つの能力を同時に要求されている。しかも、何より始末に悪いのは、これを要求している側が、その矛盾に気がついていない点だ。ダブルバインドの典型例である。パワハラの典型例とさえ言える。

相手を説得して、自分の意見を通そうとするのも「コミュニケーション」で、自分を抑えて、他人の邪魔をしないようにするのも「コミュニケーション」。もちろん、状況に応じて、うまくスイッチを切り替えられる人もいるのでしょうけど、あまりに「コミュニケーション」という言葉が便利に、万能になりすぎていますよね。巷にあふれている「コミュニケーション」という言葉を耳にするたびに感じる、嘘くささと疲労感の原因は、こんなところにあるのかもしれません。

コミュニケーション教育、異文化理解能力が大事だと世間では言うが、それは別に、日本人が西洋人、白人のように喋れるようになれということではない。欧米のコミュニケーションが、とりたてて優れているわけでもない。だが多数派は向こうだ。多数派の理屈を学んでおいて損はない」

　この当たり前のことが、なかなか当たり前に受け入れられない。しかし、これを受け入れてもらわないと困るのは、日本人が西洋人（のよう）になるというのには、どうしても限界があるからだ。もしこれを強引に推し進めれば、明治から太平洋戦争に至るまでの過程のように、どこかで「やっぱり大和魂だ！」といった逆ギレが起こるだろう。身体に無理はよろしくないのであって、私たちは、素直に、謙虚に、大らかに、少しずつ異文化コミュニケーションを体得していけばよい。ダブルバインドをダブルバインドとして受け入れ、そこから出発した方がいい。だから異文化理解の教育はやはり、「アメリカでエレベーターに乗ったら、『Hi』とか『How are you？』と言っておけ」と言う程度でいいはずなのだ。私たちは、西洋料理を食べるためにナイフとフォークの使い方を学ぶ。しかし、ナイフとフォークがうまく使えるようになったところで人格が高まるわけではない。人格の高潔な人間が、必ずナイフとフォークが上手く使えるわけでもない。マナーと人格は関係ない。丁寧とか、人に気を使えるとか、多少の相関性はあるのだろうが、現実世界では、とても性格は悪いけれどナイフとフォークの使い方だけはうまい奴などざらにいるし、またその逆もあるだろう。繰り返し言う。コミュニケーション能力は、人格教育ではない。

私たちは、そろそろ価値観を転換しなければならないのではないか。雇用保険受給者や生活保護世帯の方たちが平日の昼間に劇場や映画館に来てくれたら、「失業してるのに劇場に来てくれてありがとう」「生活がたいへんなのに映画を観に来てくれてありがとう」「貧困の中でも孤立せず、社会とつながっていてくれてありがとう」と言える社会を作っていくべきではないか。そしてその方が、最終的に社会全体が抱えるコストもリスクも小さくなるのだ。失業からくる閉塞感、社会に必要とされていないと感じてしまう疎外感。中高年の引きこもりは、やがて犯罪や孤立化を呼び、社会全体のリスクやコストを増大させる。

日本では、大きなプロジェクトが行われることになると、すぐに「誰がリーダーになるのか（なるべきか）と話題になります。大事故が起こって深刻な問題の解決が必要になった際にも、難局を乗り切るために強いリーダーシップの必要性が叫ばれます。このように日本人にとってのリーダーシップとは、特殊な出来事が起こった時に必要なものという認識が強く、「日常的に誰もが発揮するもの」とは考えられていません。

そしてそういった重要なプロジェクトのリーダーになるのは、有名人であったり第一人者と呼ばれる専門家であったりと、傑出した人ばかりであるため、「一般の人はリーダーになる機会などない。リーダーシップは一般人には無関係なスキルである」、といった誤った受け止め方が定着しています。しかし本来リーダーシップとは、そういった特殊なイベントを前提としない概念です。それは普通の人によって日常的に発揮される、ごく身近なスキルなのです。

たとえば、マンションの管理組合の会合にお菓子の持ち寄りがあったとしましょう。会合が終わり、帰り際になってもテーブルの上にはお菓子や果物が残っています。貸し会議室なので残していくわけにもいきません。お菓子の数は全員分には足りないので、ひとつずつ分けるのも不可能です。みんながそれをすごく欲しがっているわけでもありません。この時、「このお菓子、持って帰りたい人はいますか。お子さんがいらっしゃる方、どうぞお持ち帰りくださいな」と声を上げる人が、リーダーシップのある人です。

あのー、例えばフェミニズムとかの昨今の話にはなるんですけど。最近でもなんか色々あるねー、広告素材上等の胸の大きい女性が云々とか、医大の点数操作が云々とか、AMっていうメディアが「女が2000万貯金しようと思ったらおっさんに奢ってもらえ」みたいなおっさんが書いた記事を公開して云々とか、まあいつも話題がてんこもりなので忙しそうだよね。で、なんか僕もいい加減、いち消費者としては、そういう話題でツイッターで盛り上がってるやつらの床屋談義にはもううんざりだなーと思うところがあって、最近はあんまり見ないようにしてるんだけど。それでもたまには見かけちゃうからさ、見ていて思うところがあったから筆をとったんだよねー。言いたいことは大きく二つかな？二つくらいあってね。

まず、一つが、もっとみんな身の丈にあった範囲で差別に向き合いませんか？ってこと。「身の丈」自体がまあまあNGワードなのは理解しててわざと言ってるんだけどさ。たとえばSNSなんかではさ、あるジャンルの専門家の著名人がさ、自分の専門外の話題に言及してさ、馬鹿なことを言っちゃってさ、それで怒られがたくさん発生して、「やっぱ自分の専門外に出ると、どいつもこいつもダメだな、全然わかってないな」って現象が発生してる。この感覚をもっと大事にしようよ、って思うんだよね。医学部の点数操作の問題なんかはさ、まあ最悪だよね。アレはハッキリと詐欺だよ。

せめてさ、男と女で定員数をこんな分配にしてますよって言っとけよ、と思う。女が医者になるための道を切り開く大変さは、男が医者になるための道を切り開くそれと比べると圧倒的に大変ですよ。とせめて言っとけよと思う。それ言わないのは受験費詐欺だから。ふざけんなよと思う。そこは叩いていいと思うんだけど、それ以上のことはわからない。実際に、医学部に受かった女性がどういうキャリア形成をするのかもわからないし、医学部に受かって男性の労働環境もわからない。俺は専門家ではないからわからないんだよね。そこにある種の合理性があるのかないのかもわからない。わからないことに、自分の視点で言及することがいいのかどうかもわからない。いや、あんまりよくないと思ってないとこんな文章書かないんだろうけど。僕はそう考えるんだけど、世の中は、みなさんは、そういう話をするのに躍起だな、とは思う。男も、女も。

もう一つの話は、もう少しみんな、自分の強さを信じませんか？って話です。多様性の話は、多い昨今です。ただそこにあるのが、弱者としての多様性であることばかりなのが、僕には気になるところです。世の中は非情にくそったれで、どうしようもない。それ自体は僕も感じているところです。しかし、そんなことに絶望はしつつも、僕は希望を信じたいと考える人間です。人間はこんなにくそったれじゃないはずだ、もっとまともな、隣人を愛せる生き物のはずだ、そう考える人間です。そりゃあ僕の理想と、現実社会の乖離は、遠くに小さく見える山のように大きい。僕は、あの遠くに小さく見える山を登りたい。あの山の頂上に登ることを考えながら、生きていきたい。そこに登るのは僕じゃなくてもいい。誰か一人がそこに到達してしまえさえすれば、なんだ登れるじゃんとどんどん登ることを僕は知っている。歴史が証明している。端的にいえば僕はその礎になりたいのだろう。同じように皆が考えているだろうかと考えると、そうではなさそうなことは僕はとうに知っている。誰も、自分の強さを信じてはいない。自分が礎になるとは思っていない。礎に立たせてもらう人以外には自分はなれないし、誰かに礎になってほしいとしか思っていない。そう確信する僕は、この点において僕ははっきりと絶望している。

弱者としての多様性ばかりじゃなくてさ、強者としての多様性をみんなもっと信じられないかなと絶望しています。お前らみんな俺含め、みんな虫けら並みに生きてるじゃねえか。てめえの領分をてめえで守ってなんだかんだ生きながらえてるじゃねえか。そこを卑下するなよ、て思う。生きながらえてるその強さをかなぐり捨ててまで、ただの弱者であり続けるのかよ。その強さこそがプロフェッショナルで、自分の持ち場を自分の言葉で語ることこそが、お前のやることじゃないのかよ、と思う。僕はー、大学はー、文学部でー、ぬるぬると勉強をさせていただいたのでー、社会の役には立ちません。が、俺には俺の役目がある。そう思ってやっている。お前にも役目がある。誰にでもある。医学部なんて知ったこっちゃねえ。知ったこっちゃねえことねえが、俺はその領域において門外漢だ。弁えたい。門外漢の医学部のことに怒るよりかは、文学部の俺が怒るべき俺の身の丈にあった範囲で怒りたい。それは、俺と同じ心持ちを持った医学部の奴らが怒る、ほんの一助になるはずだ。

そういう風に、どうかひとつ考えることにはならないもんか。隣人のことを我が事のように怒るよりも、隣人も怒りやすいように我が事を我が事として怒るようになれないものか。俺は、社会は変わらなくてはならないと考える人間がこれほど増えているにも関わらず、遅々として変わらない社会に着々と絶望している。

以前、長距離トラックドライバーの仕事のきつさを朝日新聞が大きくとりあげていた際に「そのドライバーたちは朝日新聞なんて読んでないよ」と皮肉を言っていた人がいました。僕もそうだと思っていました。ただ、そういう物事を言葉や社会運動にして世の中を変えていくのは、当事者ではなくて、運動家だったりもするわけです。そういうのは、とてももどかしいことだけれども、変わらないよりはマシ、だとも思う。労働組合なんてめんどくさいな、と敬遠していても、彼らが取ってきた賃上げの回答を「自分は給料上がらなくてもいいです」と言う人はいない。

「生活保護受給者をバッシングしている以上、それは反福祉にちがいない」と素朴に考えてしまうようでは、政治的言説に対するリテラシーがあまりにも低すぎる。生活保護バッシングには、「反福祉」どころか、その制度を「もっと適正化すべきだ」という問題提起が込められている。そこに注目するならば、生活保護バッシングには「財源が限られているなかで生活保護制度をより確固たるものにしよう」という「親福祉的な」方向性さえみいだされるのである。そもそも、リベラル派は生活保護バッシングをおこなっている人たちを「不安定な雇用や貧困にあえいでいる人たち」とみなすが、これは一方的な決めつけだ。そこにあるのは、生活保護バッシングに込められた問題提起を無視するための無意識的な戦略である。この戦略は、「右傾化」している人たちを「厳しい生活環境から誤った考えにおちいってしまった人たち」と片づけることと同じ戦略にほかならない。徴用工問題にしても、「日本にはもうカネがないのに、こんなふうに蒸し返されて補償を要求されたらキリがない。自分たちの社会保障費がもっと削られてしまう」という危機感があると思うのです。高度成長期の経済的に右肩上がりの日本だったら、「そこまで言うのなら、お金で丸くおさめたほうが簡単」だったかもしれないけれど。

「もう自分が好きな人としか繋がりたくないんだよね」と最後に会った時に言われて(複数人の会合だった)、その後全然会わなくなった。学生時代に夜通し飲んで、深夜番組見ながらゲラゲラ笑ったような日は、わたしにとっては大事だったけど、彼女にとってはそうでもなかったのかなとか思う。でも大事な思い出だ。わたしにとっては。

>>この人は、たまたまその始まりの言葉を耳にしたから自分が仕分け対象だったと気付かされてしまっただけで、誰もが無意識のうちに仕分けてるんじゃないかなぁ。年賀状を書く時や機種変更のタイミングで。

遥か上から風を吹き付けられてるような感覚はあるんだけどあまりに高すぎて逆に何も感じない…みたいな。そこはかとない不快感以外何も頭に残らなかったけど俺の頭がもう少し良ければ他に何か受けとれたのかな

お互いに複雑な嗜好を持ってて、その嗜好は画面の中のアバターに向いてるのに、現実世界の嗜好は全く正反対、みたいな小説が書きたい。

マネジメントにおいて最も大切なことは、本にもTwitterにも書いてない。あなたのメンバーに興味を持つこと。そして、忖度のない、他者との対話の中で偽りではなく本当の自分を知ることから。人との関わりの中でしか真の自己理解は得られないし、現在地が分からなくては目的地に辿り着く事は難しい。

「美しすぎるサッカー選手」として話題になった私。プロになる夢を叶えたい女の子のためにクラウドファンディングを始め、滑り出しは順調。しかしインタビューの内容は「彼氏はどんな人ですか？」「小さい頃からそんなに美人だったのですか？」。嫌になった私はわざと醜くなるよう整形したが、クラウドファンディングはすぐに打ち切られてしまった。

車のCM見てたら母親が主人公の場合は「幼児を抱えながら買い物や保育園送迎」で、父親が主人公の場合は「もう手がかからなくなった小学生以上の子供と遊んだり、二人きりデートで、パパかっこいいとか言わせる」なので、子供いない自分でもなんかズルいって思った。

「生き字引」の「字引き」が若い人にはもう通じなさそう。今だったら「生きぺディア」の方がわかりやすいかも。

「卒業式は桜が散っているイメージなのに、入学式では桜が満開のイメージなのは時空が歪んでる…」って話いいよね

私は子供の前でも遠慮なく「仕事行きたくないよぉ〜ん」だの「宝くじで8億当てたら即日退職して南の島でフルーツ盛り合わせを食べる」だの言ってるんですけど、飾らない代償として「お母さんは仕事がすごく嫌いなのに毎日仕事に行っていてえらいと思います」という作文を書かれてしまいます。

お前のあばら骨の順序を入れ替えてやろうか！

裁判長「よって被告人を懲役10年とします」

何とか乗り切ろうとする被告人「ゆーてますけども笑」

リンゴが10個落ちたので万有引力を10個発見した凄いニュートン

嘘を嘘と全く見抜けてないのにめちゃくちゃ楽しんでる、ひろゆきの天敵

現実の人生も、自分が登場せず、知らない人たちがよく分からないことをやっているのを俯瞰しているだけで進行していけばいいのだが

死にて〜 いや死にたくはないんだけど、システィーナ礼拝堂の天井画の一部とかになりたい

おじさん、生活リズムの次に心臓リズムが変拍子になりやがて静寂が訪れる

「製造業回帰」と言ったところで、今の日本人のどれだけが工場で働きたい（働いてもいい）と思っているかというのは、たしかに口篭もってしまう部分なんですよね。

極端な解決策を挙げることでその問題が実質的に解決不可能であることを示していると読み取れず「この人は極端なことを望んでいるんだ」と思われるやつツイッターではよく見る光景ですね

ヘッ、口では嫌がってても下の口は正直で今のところ票が割れてるから一旦様子を見るぜ

本当の意味での｢味集中システム｣を導入したため、入店と同時に肉体を奪われる一蘭

おしっこの勢いが強すぎてちょっとずつ後ろに進んでいる俺

シン・Twitter（だれもが世の中と折り合いをつけ、毎日調子が良かったり落ち込んだのを創作に励まされたりしながら1日がおわるマジで日常の中にあるSNS）

みんなで近所の川に蟹探しにいって、蟹に関する短歌を詠んで解散しよう

スマホゲームと同じ発想の女子

｢ちょっと男子～！10％の人しか掃除する事が出来ない｣

【陣内アンチが作ってるエンタの神様】

独り言が多すぎるのは、この男〜！

笑いをなめるな 陣内智則

自殺したいがために漢方薬めっちゃ飲んでる人いたらそれはそれで怖いな

成長につれて表面上の思考が速くなったように感じられるけれど、それは記憶から当てはまるパターンを見つけて置き換える効率が上がっただけで、さらにその記憶というのは母語で書かれた他人の文章にも及ぶので、言語や文化全体が持つコロケーションの連鎖で自動的に考えさせられているようで怖い

復讐しなければと思って起床したが、相手がだれなのか分からない。

ひろゆきの「フェミニストが頭悪いのではなく、任意の思想家は頭が悪い場合に思想を肩書きとして自ら名乗っている」論、一理あるな。僕として再解釈すれば、「知能が高いか否かというより、思想を名乗る時点でそれがアイデンティティの拠り所になっているので、標榜する思想が脅かされたときに相当賢くないと合理的判断よりも破綻した言い訳が前面に出てくる」ということ

高速道路を走ると助手席に乗る妻が音楽をかけてノリノリでリズムにのるので「恥ずかしいからやめて」というと「楽しいからやるの。そんなに人の目を気にする？人生楽しまなくちゃ」と返される。妻は正しい。ひと目を気にせず楽しんだもん勝ちだ。ただ、そんな妻も料金所の手前では静かになるのである

『議論』、絶対に負けを認めないほうが勝ちになる、という暗黙のルールがあるな。

「マイクロアグレッションがアメリカの大学内で猛威をふるっており、キャンセルカルチャーが吹き荒れて、文革みたいになってる」というような話を数年前に聞いたが、10年も待たずに日本に持ち込んで来やがった。

産婦人科の検査受けたら痛かったってツイートに、｢その検査は麻酔を打てます｣って反論してた産婦人科医見たけど、｢あなたの病院で同じ検査を受けたけど麻酔の案内ありませんでした｣って人がいて、この世は地獄だけど痛い検査をする奴だけが落ちる地獄を別途用意する必要があるなと思った。

RAM4GのeMMCの時点で値段がどんだけ下がってもゴミはゴミ。工場からそのまま埋立地に直送しろ

好かれるのは、努力する人より分かってくれる人

美女に対するゲイって清々しいわ。ルックスに優れるとあらゆる面で補正がかかるから、一切の補正抜きでヒトとして見られる。好みではない美男美女の裸体なんざ気持ち悪いだけだ。

声を上げることすらできないほど心が深く傷ついている弱者もいる。弱者たちは誰にも救いの手を差し伸ばされず、人気者な強者が傷ついたアピールすれば手下たちが群れて慰める腐った構造なのが社会。強者は心が強くなくても生きていける。歪な社会だ……。

2年近くスーパーで働いてるけど接客業の利点は大声で

「射精ーーー！！！！！」

って叫んでもみんな「いらっしゃいませ」だと思ってるから、誰からも怒られない点だけ。マジで。

「うんち」って「うんち」という響きのせいでソンしてる気がする。もし「ヴェレーヴ」だったら確実に高級品扱いされてる。「カレーライス ヴェレーヴ添え」みたいな。

うつ病がよくなった人たちに話を聞くと、どこかで価値観をガラッと変えてるんだよね。悪くなったり、再発を繰り返す人というのは、薬で一時的に症状を抑えられても「病気を作り出してしまう自分」は改善できてないから長引くのかも。

ジョジョの血筋から8親等くらい離れた親戚の親戚の親戚くらいの家系では、まあまあ奇妙だと言えなくもないが冷静になるとそれほどでもないようなことが起こる

最近の人って映画を早送りで観るんだ……他の観客は怒らないのかな……。回す係の人もいつもより早く回さなきゃいけないから大変ですよね…

人間工学に基づいて設計された人間なので、工業用機械の形状にぴったりフィットしてよく働く。

正味、人生にハマれるものなんてなくても良いし、ましてや「好きなものについて熱く語れるかどうか」なんてまったくどうでもよい尺度であると思う。重要なことがあるとすれば、（物理的・精神的に）飢えてはそれを満たすサイクルの中に虚無を見出してしまわないよう、各々のしかたで工夫することであって、なにかに熱中するというのは虚無を癒やす方法のひとつに過ぎない。それ以外の方法が向いている人も無数にいる。

テレビの中の戦争、ネットで見る政治家の発言、どこかの誰かの炎上事件。それよりリアルなのは今日の夕飯を何にするか、どこに買い物に行くべきかという問題。

テレビの取材を受けるということは、こちらの発言を自由に切り刻む権利をもつ人を相手に対話をするということなので、床屋を相手に会話するときの強く出れない感じに少し似ている。

人の「友人がこういうことをしたら（関係を）切ると決めている」という主義に触れると、友人関係を例外処理の集合体のようなものとして捉えてる自分とは逆に、無矛盾な関係をつくろうとする姿勢を感じで怖気づくようなところがある。まったく構わないことではあるんだけども。

勘で電球を買ったら家のどのソケットにも入らない電球が届いた。

あんっ♡もっと突いて♡突いて♡本質♡

人間は生きているだけの死骸

コンビニ入ってすぐに気が変わってすぐに出てしまうこともあるし、帰り道で普段通らない道を通って大回りすることもあるし、ミステリの被害者・被疑者だったら、探偵を混乱させる存在だな

何か情報を発信しようと思って、趣味や日常のことを書いても、そのうちネタ切れを起こしてしまう。その点、右翼とか左翼とかリベラルとか反リベラルとかの政治の話は無限にネタが供給されるし、便利だなって思う。あわよくば仲間から多くのいいねをもらってバズるかもしれないし

人殺しとかの描写は誰がどう見ても明確に犯罪＆反社会的行為なので注意書きがなくても抵抗なく読めるけど、当たり前みたいに「学校から帰ろうと思ったら雨が降っていたので傘立てから適当に傘を取った」みたいな描写があると「えっ作者普段から傘泥棒してないよね！？」みたいな不安がよぎる

気にしていなかったことを気にするようになるとロクなことがないというのは、個人レベルの話としてだと、たとえば精神科医などはたいてい同意すると思うが、それが社会レベルになるとそうじゃないのだから難しい。

自分の体がプラスチック製だと知らされて絶望する小泉進次郎

全員に好かれることはできないというのはその通りだが、ひとりの人間に嫌われるということの重大性は変わらない

Aさんは昼食にハンバーグを食べたが、付け合わせのコーンをあまり噛まずに飲み込んだ。その理由とは何でしょう

一般人の答え

食事を早く済ませたかったから、風味が苦手だったから 等

キモサイコパスの答え

うんちした時にまた会えるから

人の車乗せてもらってるときになんか話振るかと思って「なあ、チェーン店ってどれだけ規模が拡大しても本店がめちゃくちゃ崇拝される店とどこでも同じ味のしょうもない店扱いされる店に分かれるけどその違いって何やと思う？」と聞いたけど運転手が興味なさすぎてコンビニに車停めて寝始めてしまった

｢金玉｣と｢弱味｣しか握らない寿司屋

ブログ執筆者が死亡したことを公表されると、削除申請や開示請求の異議申し立てがされないだろうことを見越して、ダメ元で削除申請してくる悪徳企業が実在します。ブログ運営会社は法にしたがって処理すると、ほぼ確実に記事を削除とか非公開にせざるを得ないので、これは制度のバグだと思う

>>残っていると不都合なものを削除させる究極の手段は暗殺ってことか

>>逆に言えば、本人からの著作権侵害申請も出ないのだからと有志がミラーサイトを立ち上げたらどうなるのだろう？

以下に書くことの結論は「仲間内から罵詈雑言されたら怒っても良い。仲間じゃない赤の他人から罵詈雑言されたら怒らない方が良い。本能からすると反対のように思えるだろうが」ということです。

以前にこんな趣旨の事を書いた事が有る。ネタにマジ切れで対処するのは単なるヒステリック返しで得策ではない。本当に上手い返しは「うわっ。そのリアクションは一本取られたよ」と讃えられるようなウィットで返すこと。悪ふざけに対して「悪ふざけをするのは悪い事です。人にそういう悪意を向けてはいけません」などと「お道徳」な真面目返しをしてしまうようなもの。真面目で善人であれば、それは説明無しで通用する。というのは脆弱だ。他人の悪ふざけが自分に向けられたときにムッとするのは、人間が持つ防衛としての仕組みだと思う。それは訓練されていない人の近くで大きな爆発音がしたら、身をかがめて足がすくんでしまう本能にも例えられるだろう。

ただ残念ながらネットは戦場だ。日頃の訓練で耳元で爆発音をさせて、大きな音が鳴っても平常心で行軍できるように訓練する必要が有る。そうしないと、本能で足がすくんでいたらより酷い状況に陥ってしまう危険性があるからだ。気に喰わない悪ふざけ（これを日刊イトイ新聞では「ブラックマジック」と呼んでいる）に晒されたら、それを上回るウィットで返して場を支配するか、足をすくめずに無視をして落ち込まないのが良い。本能でムッとしてしまうのはさらに危険な心理へとハマってしまう。

ブラックマジックへの対処として「はてなブックマーク or 2chなんて酷いものは無くなってしまえ」と言ってしまうのは術にハマった愚かな発言。逆に気の知れたムラ社会の仲間同士であれば、悪ふざけ罵詈雑言にマジ返しをしてもいいと思う。あと仲の良い仲間がしていることであれば、わざわざネタというオブラートに包まないで真剣にマジ指摘しても聞き入れてくれるだろう。「信頼関係」という前提が出来ていれば、ウィットやネタや悪ふざけ罵詈雑言というプロトコルで場を盛り上げなくても済む場合も有る。観測範囲が生活圏周辺しかなかった時代は、趣味志向や感覚に大差がない人間が集まっている傾向が多かったのだろう。しかしWebで観測範囲を広げると、全く価値観が違う人や、味の志向が違う人の意見が目に入る確率が高くなる。そんな風に10000倍以上目に入る情報を増やしているのに、視覚と感情システムは古い時代のままだから「罵倒に耐える」などという表現になるのだろう。（意見の合う仲間内だけしか見られないようにするSNSのような仕組みが望まれているってのも、Webの観測範囲を広げないようにして古い感覚に機械のほうを合わせる工夫なのだろうか）

たった数人のアンチしか居ないのに、まるで大多数の反対派がキャンペーンを張っているかのように見えてしまうというギャップは、技術面としては炎上対策として必要なブログのコメント制限機能、きめの細かい制御をしてしまえば、8割がたは何とかなってしまうと思っている。Amazonレビューでは「他のレビューを見る」をクリックしないと、評価の低いレビューは表示されないという1クリックのクッションが入っている。iTunes Storeでは0クリックで表示されてしまう。そのたった1クリックの違いは、人間の古い感覚にとっては大きな差として見えるもんだ。仮にはてなブックマークコメントで「罵倒」と評価できるコメントが有ったとして。客観的に読んで、知性の値が地面にめり込んでいる気の毒なコメントを、公衆の面前にさらして居るんだから。それはつまり「私はこんな気の毒なコメントを書いているので、頭脳の出来が○○ですよ」と大宣伝しちゃっているということになるよなぁ。（デマとか有りもしない嘘を書かれて名誉毀損をされているのであれば、それは「罵倒」ではなくて犯罪だから、「根拠もなく××というデマを流している人が居ますが、これはこういう理由であり得ません」と公式にデマを打ち消す発言をして対処すればいいのだ。感情面とかメンツは根本的には関係の無いどうでも良い話）あと、どうして公開の場で「ああ、根拠も無しであさってなコメントを書いちゃって、お気の毒な人なんだろうな」と思われるようなことを書く人が居るのかが不思議だったのだけど。「それは、共通の誰かを罵倒する事によって、おれも同じ人が嫌い仲間という帰属意識を確認し合っているのではないか」という分析を教えられて、目から鱗が落ちた。なるほど。客観的に知性がお気の毒に見られる事はどうでも良くて、「好きか嫌いか」とか「仲良しグループか敵対グループか」という判断軸で生きている人は居ても不思議ではないよな。（それは良いことでも悪い事でもないと思うし）

日本に生息する社長の中には、突如として人生訓を反映した童話を書き始める習性がある個体もいる。

自然の物が安全なら毒キノコで死んだりしないのよなぁ...

うろ覚えだけどたしか心理学の理論で、生活上の出来事の解釈は「自分のせい」「他人のせい」「誰のせいでもなくてどうでもいい」の3種類、みたいな説があったはずなんだけど、IQ70くらいだといずれも選択せず錯乱するし、IQ120くらいこえると「彼のせいだが彼は悪くない」とか考えだすから、あやしい

差別の解決についていわゆる「精神相互作用」の自覚が相互に必要だと感じていて、差別された側は差別に対して敏感になり神経症を示し攻撃的になり、それを根拠にして差別する側が「あいつらはやっぱり頭がおかしい」と言い出す。実際に頭がおかしくなっていて、その原因は何か、という洞察が要る。共通認識として「責任」「原因」は異なると理解する必要があるけど、差別された側は本当に"頭がおかしく"なってしまうので自覚的に振る舞う必要があるし、当たり前だがヘイトする側も"頭がおかしい"ことを根拠にせず原因を考える必要がある（感情を伴う必要はなく、自分の権利は守らなければいけない）

織田信長死亡説

1、織田信長は1534年生まれ

2、もし今も生きているなら500歳くらいの年齢になる

3、生きすぎ

よって織田信長は死亡している

知能、「場面を大量に記憶して文脈を読む能力」「自閉症的な数学的思考」が対立していて、SFの宇宙人は後者が強いイメージがあるけど、前者が強い我々がネアンデルタール人に勝利したことを考えると、最初に地球に攻め込んでくる宇宙人は「めちゃくちゃ定型発達でクソ面倒な性格」である蓋然性が高い。最初に地球にやってくる宇宙人、「いまあなたはチラッと見てきましたよね？私のことが嫌いですか？ところで皆さんの文明は非常に発達してはりますなぁ」とか言いそう

「発達障害は文脈を読めない」ではなくて実態は「定型発達は文脈を読むことしかできない」ですよね。「自閉スペクトラム症はかなり高い知的水準でないと代償できない」ではなく、「人類はもっと高い知的水準でないと生活できないはずなのに、場面を記憶し文脈を読むというバグによって、理屈が何も理解できない人々が生活を維持してしまい頻繁にトラブルを起こしている」ですよねホモサピエンスの実態は。妄想を膨らませるなら、我々より脳が大きくて同時に自閉症的であったと推定されるネアンデルタール人が勝利した世界線ではそういう文明が築かれたかもしれないし、地球外生命体はそちらに活路を見出しているかもしれない

文法や音韻変化なるものは、いわば脳の外側にあるんですよね。我々は音声の記憶の切り貼りしかしてない。IQ65くらいの人々の話し方は興味深くて、あれは本当に記憶から大量の定型文を引用してパッチワークで羅列していると思う。彼らは文法を理解せず、似た台詞を記憶に参照することで場面を思い浮かべ、連想によって意味を理解する。

日本語母語話者ってマジで「止まる」「泊まる」「留まる」「停まる」の発音がわずかに違うような感覚がある

「知識を持たない人の原初的思考」みたいなものを明らかにして記述したいんですよね。知識を得ると普通この感覚を忘れてしまうけど、何故か僕はこの感覚を結構記憶していて。それこそ統合失調症の妄想めいて、明らかに矛盾したまま漠然とした感覚として安定している。これはあらゆるジャンルの知識に言えて、もちろん全ジャンルの知識に完全に通じてる人間なんて存在しないんだけど、自分の習得してる近縁の知識を持たない人を見ると、その世界の解像度の低さに歯痒くも愕然とするんだけど、恐らく相手も自分を別の知識世界から同じ様に見てる。

せっかくだし、近世以前のヨーロッパ人が当時の欧米の言語学理論でがんばって解釈した中国語文法で中国語を勉強してみたい　まるで屈折語みたいに解釈されててすごい歪なんですよ　でも昔の人はそれを信じて勉強してたのだから現代人もあれで学べないことはないと思う。中国語を屈折語だと思って（屈折語以外だと思う発想がなくて）いっしょうけんめい研究していたヨーロッパ人、メチャメチャかわいい

昔、何度か飲みの席で会った人と街で出くわした時、「お前もおれをストーキングしてんだろ？」と怒鳴られた。掴みかかってきそうだったので「実はおれも追われてて…」と言ってみたら「そっか。ごめんな、助けられなくて」と謝られた。相手を否定しない、同調する、クレーム対応の経験が役に立った瞬間

教育、自分で規則を見いだせない人々に規則を教えてあげることだよなぁと思っている（規則を見つける能力は知能指数に緊密に一致しているだろうが、それをわざわざ教えて同じスキルが手に入る人々が大幅に増えるなら素晴らしい）。このことを考えるとき、いつも双子葉類と単子葉類の区別を思い出す。「単子葉類のほうが原始的だ」と自力で気付いて情報量を圧縮できるか否か。

心を病んだ人との会話は聞き役に徹するのが基本、心を病んでない人との会話は相手の好きな話題を振るのが基本、なので一般人が心を病んだ人と話すと喋り過ぎてアドバイスと解釈されるので、Twitterには定期的に「一般人に相談するんじゃなかった」と患者の愚痴が流れる

「置かれた場所で咲きなさい」より、「咲く価値のない場所から逃げなさい」の方が大事だよね。

賢い人がフォロワーにたくさんいると、抽象的な発言をする度などに勝手にいい感じに解釈してくれてかなりありがたいです　そしてこれが大体の宗教がでかくなるための秘訣らしい　賢い人はすごいね

自分で買って手に入れたと思ってるものも死んだらあの世に持っていけないわけだから、私が自分で所有していると思ってたもの、すべてこの世のサブスクだな

Twitterが好きだった理由は、たまたまフォローしただけで、普通の人生を歩んでたら絶対に会わないひとと話しできたところ。いまでは同じ価値観の人が集まってしまって、同じ価値観を持つ人ばかりが集まれば、共通の敵をつくっては悪口で盛り上がって団結することになってしまう。

だいたい「良いもの」って自分の中にないものだから、良いものを目の当たりにするたびに自分自身のもってなさも意識されて傷ついている気がする。

「半分機械の体になってる人に一服盛ったら、想定以上に効き過ぎちゃってたいへん」という創作ネタを見かけて、「そうか、生体部分の体重だけ抜き出して薬の量を計算しないとダメなのか」という気付きを得た。

体育のマット運びで、一人だけ居場所がなさそうに「耳」の部分を友達に半分持たせてもらってた哀れな人、それが私です。

僕が思うに、嘘の上手い下手というのは、自分の許容量を見極める客観性にあるのかなぁと。選考序盤から終盤までにかけて一貫させられる能力があると自負している人にのみ許された作戦でしょう。まぁだから、嘘の通用しない学生の方が多いんでしょうけどね。

結果主義者よりも過程主義者の方が競争社会向きなんじゃないかと、僕は思いますね。努力が報われないことに対して耐性が高そうで。結果以外に価値を見出せる人の方が、報われないかもしれない努力を続けやすいと思います。

完全に就職予備校化して「GD対策入門I」とか「ES突破講座 応用」などが授業の単位になった、大学。

「最上の結果以外は無価値」くらいの思想を持った人達の大半は、多分いつかやる気出なくなるんじゃないかと思います。だってほとんどの人間は、絶対人生のどこかで1度以上負けますからね。芳しくない（最上の結果を得にくい）状況に陥った時、途端に脆くなるでしょ、そういう人達は。

社会が変わるまで待つ、というスタンスはけっこうネットで見るのだけれど、その「変わる」がどれぐらいまでにどのぐらい変わるのか根拠を持って示さないといけない気がする。ブラック企業が潰れてから働く、とか。

神が人間を直接は救済しないように、社会も人間を直接は救済しない。社会に変革を求める前に、自分が変わる

手早く売り込む方法と、啓蒙しながら売り込む方法は違う気がする。前者は「いかにラクできるか」を伝える必要があって、後者は「いかに大変か」を伝える必要がある。英語学習、ダイエット、ビジネスに関しては何の商品を買おうが「地道にやれ」以外の方法はないのだけど、徹底すれば「あなたもラクして一週間で」が最適解なのは間違いない。私が上位表示のアフィリエイトを全く信用してないのはそのため。

12個しかないチャンネルを占有しているわけでもないんですから、YouTubeの動画なんて「嫌だから見ない」という発想になれないものなんですかね。作者をコントロールしたいんでしょうか。嫌だって思ったときの対応方法が「作者に言う」しかないんでしょうね。「嫌なら見ない」等の対応方法がわからないんだと思います

こんな苦しい思いして手に入るのが労働の権利ってつらくない？

子供の頃、「しらたきを結ぶのは絶妙な力加減が必要だから機械ではできない。とあるしらたき工場で、熟練のおばちゃんをクビにしたら、正社員にもできなかったから、謝って戻ってきてもらった。熟練のおばちゃんはすごいんだぞ。」って教わったんだけど、今調べたら普通にしらたき結ぶ機械は存在した。

弱者男性への救いとは、具体的に何か

>>弱者男性の地獄って先ず被害者・弱者として認識して貰えない事なので、先ずは弱者性を認めてあげる事かと。拙速に解決策を求めた結果「あてがえ論だ」と曲解される事が多く、正にそれこそが地獄の正体なのだと思う

>>「男性は皆全員強者だ」論を見たときには、「こんな惨めな人生でも強者あつかいか……」とは思ったんで、せめて強者として扱うのはやめてほしい。どうせ救われぬ人生だけど、救われなかったことくらいは認めてほしい

>>弱者性を認めてほしいということであれば、他の弱者(たとえばある種の女性など)がみずからの弱者性を訴えたとき「俺たちだって辛いんだ我慢しろ」と圧殺しようとするのをやめることから始めてみては

「かわいそうランキングを決めるために弱者同士で殴り合いが行われ、最後まで立っていたほうが真の弱者」っていう皮肉めちゃくちゃすき

マツコ・デラックスの｢自分の意志を貫いて頑張る人は凄いけど、自分を持ってなくて周りに流される人も自分の知らない所に辿り着けるからそれも良いのよ｣という台詞が好き。流される事で自分の意思では辿り着けなかった島の景色も見れる。河童も川に流される事もあるんだから人間も時には流されて良い

尾崎豊に社会人マウントをする人

お前ら商業マイノリティは、人権をピーナッツバターのように瓶詰めして売っているだけさ

半世紀くらい生きてきて実感しているのは、僕は「コツコツ」が自分では苦手だと思っていたけれど、それは僕の理想や目標値が高かったからで、世の中には、もっと壊滅的に「コツコツ努力する」ができない人がいる、それも大勢いる、ということだ。僕の場合は、「コツコツ頑張れる人たち」の割合が多いフィールドで戦ってきて、地方予選準々決勝くらいで負けてしまったので、自分のなかでは「もっと頑張れたのではないか」という後悔があるのだが、それなりにコツコツやれる能力があったおかげで生きていられる、という現実も認識せざるをえない。努力を絶やすことなく東大とか京大に合格したり、大きな会社で活躍している同級生に対して、「自分と彼らを分けたものは何だろう？」とも思う。

ただ、僕自身の経験や見聞で言うと、高偏差値や有名企業が人生を100％幸福にしてくれるものではなくて、むしろ、エリートにはエリートの地獄がある、とも感じているのだ。そもそも、人には、人それぞれの地獄がある（いや、天国だって、たぶんあるのだけれど、「コツコツ派」は、やたらと自己肯定したがるか、地獄ばかり見ようとしてしまうかの両極端な気もする）。

半世紀生きてきて思うのは、身も蓋もない話をすれば、「コツコツやる」ことができるのは、自分が得意なことや好きなことだったからではないか、ということだ。たとえば、僕は20年くらい、ほとんど毎日こうやって日記やブログを書いているのだけれども、書くのがつらいとか、努力して書いている、と感じたことはほとんどない。

僕は「勉強ができる人の世界」を裏窓くらいから覗く機会が少なからずあったのだが、世の中には「勉強やトレーニングが基本的には楽しくて仕方がない人」や「自分というキャラクターの単調なレベル上げが苦にならない人」というのが存在する。僕にとってのテレビゲームやエンタメ本が、彼らにとっての勉強や練習や自己研鑽なのだ。「コツコツと努力する」というのは、あとで俯瞰したときにそう見えるだけで、当事者にとっては「好きなことを毎日やっていたら、いつの間にかずっと続けていることになった」だけではないか、という気がする。そして、世の中で役に立ったり、お金になったりすることが「自分にとって楽しいこと」と合致した人が、「勝ち組」になれる。あとは、子どもの頃に、「努力による成功体験」をうまく得られたかどうか。

僕は競馬をみていて、ときどきせつなくなるのだ。きっと、馬たちのなかには「走るのは遅いけど、ものすごく賢いやつ」とか「性格が良くて、仲間に愛されるやつ」もいるはずだ。でも、彼らの多くは「駄馬」と見なされ、長生きできない。「脚が速い」という価値を持っていないから。それを考えれば、人間というのは、まだ多様な価値観で評価されているのかもしれない。

僕は田舎のコンビニに行くことがほとんどなのですが、もともと自分の土地だったところでコンビニをやるのと、家賃を払ってやるのとでは、コストが違いすぎます。「時短営業だと昼間の売上が落ちる」ということも踏まえて考えると、家賃というのは、24時間営業でも時短営業でも同じでしょうから、かなり不利な条件になるはずです。基本的に、人は、24時間営業のコンビニと時短営業のコンビニでは、24時間営業のほうに安心感を覚えて「常連」になりやすい、ということなのでしょう。

多くの人は、インターネットの記事を読んだときは、宅配便の再配達の多さやコンビニ経営者、病院の当直医の疲弊に共感し、「彼らをなんとかしてやってくれ！」と思うけれど、自分自身が利用者になったときには、「再配達料を求められる宅配便業者」よりも、「再配達無料」の業者を好ましく思うし、夜中のコンビニに「開いててよかった」とホッとするはずです。救急病院にだって、「昼間は仕事で来られないから」と、夜中に風邪薬を処方してもらいに行く。「社会」に対する怒りや憤りと、個人的な事情や利便性は、多くの場合、切り離されてしまいます。働いている人たちにとって、どんなに「ブラック」であっても、24時間営業のコンビニと時短営業のコンビニが同じ地域で勝負すれば、基本的に勝つのは前者です。「働いている人たちのために、時短営業にしよう」という「意識の高いコンビニ」だから、そちらを選ぶ、というお客さんは、ほとんどいないはず。正直、コンビニの時短営業がもっと広まり、うまくいくためには、コンビニ業界全体が足並みをそろえて自主規制するか、なんらかの法的規制が行われるしかないのでは、と僕は思います。

徳井さんの本当のところはわからないけどめんどくささで社会的にとか物理的に死ぬことはあり得る。自分もそのケがあるのでやばい。なんらかの病気。そういうので絶滅した動物っつって残念な生き物本に載る勢い。

「持っている」というのは、かえって他者の嫉妬や誹謗中傷を呼び寄せるリスクになっているのです。戦後の日本人はみんな「人間は平等だ」と教えられてきましたし、「世界にひとつだけの花」も大ヒットしました。その一方で、SNSでは、「インスタ映え」するライフスタイル競争が繰り広げられています。「平等」というのも大きく分けて2種類あって、チャンスを対等にして、あとは本人の努力次第という「機会平等」と、プロセスはさておき、なるべくみんなが同じ状態になるように、という「結果平等」があるわけです。この2つの「平等」を両立することは極めて難しい、というか、両者の性質を考えれば無理なんですよ。日本は資本主義国家なので、基本的には「機会平等」を目指しているはずなのですが、東大生の親が高学歴である割合が多いように、経済力や文化資本には個人差があって、格差は進んでいくばかりです。そうなると、「どうあがいても成り上がれない人々」の苛立ちはつのるばかり。

いまの時代は夢を持っているやつのほうが、なんの夢もないやつよりよっぽどいいとされてるじゃない。だって、夢を持っているんだからって。でも、現実は同じなんだよ。いま何もやっていないことに変わりはない。それなのに、いまの時代は強制的に夢を持たせようとし出したから、夢のないやつがそれを社会のせいにして、ナイフで刺しちゃったりするでしょう。でも、夢なんて持たなくていいんだって言わなきゃいけないんだと思うよ。下町だったらさ、いいんだよ、お前バカなんだからで終わるから（笑い）。別に、人に誇れるものなんてなくていいんだよね。ないやつだっているし、ない自由だってあると思うよ

ネットの世界で、Googleが圧倒的な力を持ってしまったがために、SEO対策という、「Googleで検索上位に表示されるためのテクニック」が広まってきました。検索しても、表示されるのは、まともな情報がなくて役に立たない、定型文でつくられたサイトばかり。「〇〇（有名人の名前） 結婚」とかで検索してみると、「〇〇さんは結婚しているのでしょうか？ネットで検索してみましたが、信憑性のある情報は出てきませんでした。でも、美人でモテそうですから、もう結婚していてもおかしくはありませんね」とかいうのが、検索上位にずらっと並んでいるのです。店や商品も、内容よりも「宣伝上手」なほうが上位に表示されやすい。そこで、いまは「SNSを通じての、顔がみえる人からの口コミ」を重視している人が増えているのです。いちいちGoogleを開いて、検索窓にワードを打ち込むのもめんどくさいから、TwitterやInstagramの検索窓で良いじゃないか、と。Googleはノイズだらけだし、アテにならないし。

思えばずっとこうだ。存在が軽い。いてもいなくてもいいように扱われる。自分は一生懸命やっていても、真面目に物事を行おうとしても、相手からないがしろにされることがやたら多い。何度かやった数人のチャットで自分の発言だけスルーされたことも一度や二度ではないし、報連相は途切れるし、仕事のメールもFBが遅い。ここまで軽い存在でいるとなると流石に自分に問題があるのだろうと考えはするが、質問や問い合せすら無視される正当な理由とはなんだ、とも思う。ちなみに在籍する会社では別にそんな問題は起こっていないし、社内・社外ともにトラブルになったことはない。上司の反応を見るに、こっちがもらった指示を僕は正しく理解できているようだし、結果を褒められることもそれなりにある。つまり自分が壊滅的にコミュニケーションが取れないというわけではない。

付き合いの長い友人も何人かいる。それぞれ家庭があったりバリバリ働いていたり、おっとりだったり情熱的だったりするが、トラブルの話はほぼ聞かない。むしろ真面目で損している人が多い。つまり「自分がクズで、周りも似たクズだから指摘もされないまま」という可能性はあまりないように感じる。何か頼まれるとやってあげたりする（自発的にやることもある）ので「こいつは放っといても勝手にやる」と思われているのかもしれないが、じゃあ他人にいい顔をしなくなれば意見を無視されなくなり、メールがちゃんと返ってきて、質問にも答えてもらえるのだろうか？多分、そんなことはないだろう。「放っといてもやるから放っとけ」と仮に思われているのなら、それが「こいつ使えないな、放っとけ」に変わるだけだ。

それとも一回人間関係を全部リセットすればいいのだろうか。3人で歩いていると2＋1の状態になることは多いが、必ず自分が1のほうだ。4人以上のときにｎ＋1になったこともある。一回だけじゃあない。数人で喋っているときに、同じくらいの熱量の話をしていても自分への反応は薄い。会話に参加しようとしても「黙ってて」と言われたことすらある。教師にも無視されたことがあるし、なんならその教師は僕が宿題の日記に使った言葉に対して「こんな日本語はありません」とだけ返してきた。ちなみにその言葉は小説や新聞やテレビでも使われることがあるので別に僕の言葉遣いがおかしかったわけではない。一生懸命やった作業をなかったことにされるのも、約束を反故にされるのも、心のある一人の人間として扱われないことも、もう勘弁してほしい。周りは誰かと協力して実績を残していってるのに、自分は「こいつとの約束なんてどうでもいいよね」みたいに何度も軽視され続けるのはつらすぎる。

あーあ、疲れたな。子供の頃からこんなで、自己肯定感なんて持てるかよ。どうやったら一人の人間として認めてもらえるんだろう。どうやったらまともにやりとりしてもらえるんだろう。どうやったらこの疎外感は消えるんだろう。

まぁ人間の感情なんて電気刺激とホルモンだからな。感情なんか本能だから、コントロールほぼ不可能。本能はもはや他人みたいなもんで、理性でなんとか説得しようとするが、他人なんかそう簡単に説得できないんだよな

「好きなことで稼ぐ」のは、とても素晴らしいことだ。でも、その文脈で語られる中で、「好きなことで稼ぐ」が、「家で仕事ができる」「好きな時間に働ける」「ネットで一攫千金」など、会社員以外のやり方でお金を稼ぐという「手段」によりフォーカスが当てられているような気がする。伝言ゲームで、少しずつ言葉がずれていくような感覚に似ている。「会社に毎日行くのがとにかく嫌、別の手段で稼ぎたい」なら、全くもって良いと思う。でも「好きなことで稼ぎたい」なら、自分で決めた「好きなこと」を書くしかないんじゃないのか。ほかの人に「こんな記事を書いてほしい」と言われたものが、たまたま好きならラッキーだけど、そうじゃなくても、求められたものを書くのだろうか。それは、会社で好きでもない仕事をしているのと一緒じゃないのか。

「好き」がぽっかり抜けている状態で、戦略だけを真似している「自称：好きで稼いでいるひとたち」を、よく見かける気がします。日本のオトナたちは、自分のワガママに鈍感すぎる、と私は思う。学校で習ったルールと、会社で教わった規則と、常識と体裁さえ押さえていれば日常生活はそれなりにうまくいく。そもそも、どうして「個としての人生」を欲しがるのだろう。豊かな生活を送るため？AIにとって代わられない仕事を得るため？刺激的な毎日を過ごすため？だけど、自分にとって何が「豊か」で、何が「自分がしたい仕事」で、何が「刺激的」なのか、という自分の「ワガママ」を知らなければ何もはじまらないのではないか。

「描かれなかった面」を想像したくないというか、「ウルトラマンが怪獣を倒す際に、下敷きになった死んだ人とか家を壊された人もいるんだろうな」というような話でもある

「バズってるツイートのリプ欄にいる一番ヤバいヤツをミュートにしていく」というのを定期的にやってたら30人ぐらいミュートにしたところで「全然違う界隈のバズツイートのリプ欄に『ミュートしているアカウントです』という表示がでる」というのが何度か発生するようになった。

「バズってるツイートに攻撃/便乗ネタツイ/自分語りをするのが趣味」みたいな人が一定数いる。自分がバズったときもヤバいリプ送ってくる人大体アカウント見に行くと無差別に多方面にヤバいリプ送ってること多いからそんな気がして、どのぐらい効果あるのかと思ってやり始めたけど思ったより効果的。インターネットの人間なんて無限にいるからヤバイやつミュートしていってもキリがないんじゃない？と最初思ってたけど、大半の人間はわざわざリプで暴れないから、一部の人が大量にやることで沢山発生してるので、そんなに際限のない作業ではないなと思った。匿名だと少数の大量書き込みが多数の意見に見えてしまったりするけど、匿名ではないTwitterやYouTubeも知り合いじゃない限り個として認識していないから匿名みたいなもんで、この人のコメント欄いつも荒れてるな……と思っても３人ぐらいミュートするだけで平和になったりする

これだけ、ネットが、SNSが一般化していて、「自分の話を聞いてもらいたい人」がこんなに増えているにもかかわらず、「他人の話を聞きたい人」は、そんなに増えているようには思えない。最近、つくづく思う。人間というのは、とにかく「自分の話を聞いてもらいたい」生きものである、ということを。「バカにされた」と感じると、暴走してしまうリスクが大きい、ということを。そして、多くの場合、最初に失敗してしまったことが致命的なダメージになることはほとんどなくて、そこでヤケになって無謀な運転をしたり、ストレス解消とかいう理由でお金を浪費してしまったり、信頼した方が良い人を裏切ったりすることのほうが、大きな禍根を残すことになる。

僕はウォーホルの「キャンベル・スープ缶」に対して、「画一的な商品をみんなが食べている」という、没個性な消費の時代への批判だと、思いこんでいたのです。しかしながら、ウォーホルが生きてきた時代、そして、その「食品の大量生産と安定供給」が行わるようになったのは、人類史では、ごく最近のことであるということを考えると、ウォーホルは、「みんなが同じものを食べている」ということを、ネガティブにはとらえていなかったのか……　もちろん、アートというのは、観る人それぞれの解釈があって良いのでしょうけど、こういうことを知っていて観ると、また違ったイメージがわいてきます。「現代アート」とされる作品であっても、もう、解釈に「揺れ」みたいなものや「いまの時代に生きている人との感覚の違い」が生じてきているのです。

個人の好き嫌いの話です。私はデコポンは好きですが君はピーマンが嫌い。TwitterとかのSNSで「ありえないほど大袈裟に誇張する表現」あるじゃないですか、あれそんなに好きじゃありません。別に警察やって取り締まるレベルまでではないけど、下品だなとは思う。数字を使う系だと「数兆年ぶりに」とか「1秒間に地球7周半分」とかそんな感じのものは「そのくらいとてつもない」みたいなことが言いたいんだろうなーと思うのでそんなに嫌でもないけど、5000兆円欲しいだけはなんかものすごく下品な言い回しだなと思う。もうミーム化してるからこの言葉自体にそれほど意味が無いのはわかるけど、なーんか嫌だ。「どちゃくそシコれる」みたいなのと個人的に一緒のジャンルにしている。

で、今回「嫌だなぁ」と言いたいメインの言い回しは「義務教育で教えてほしかった」です。「小学校で教えるべき」「学校で教えてくれないのが悪い」みたいな言い回しと一緒ですね。元々は「なんて役立つ情報なんだろう、もっと早く知りたかった」という気持ちから生まれているんだろうなというのはわかるけど、それにしても下品だ。個人的には「どうして勉強するんですか？」「数学って勉強しても大人になってから使いませんよね」と一緒。例えば「義務教育で国民保険について教えろと思ったけど公民でやってたわ」的な奴なんだけど、いや公民はやるでしょ……togetter見てると「公民は選択科目だから学校でやらなかった可能性ある」とか言うの結構あってうわぁーとなってしまった。いやほとんどがやってるのを忘れているだけでしょ。「やったかなぁ、忘れた」ではなく「やってません」と言い切るところに不安なものを感じる。ちなみに公民の中身は時代と共に変わっても分野そのものを教科書から削除したことは戦前に遡ってもなさそうです。

いや、イレギュラーもあるかもしれないけどね。社会科教員がずっと反戦映画を見せ続けて授業をろくすっぽしなかったとか、サッカー好きで毎回サッカーの話しかしなくて授業をろくすっぽしなかったとか、織田信長好きすぎて織田信長に3ヶ月かけて授業をろくすっぽしなかったとか、結構考えられる。授業を趣味の発表会だと勘違いしてる人は本当にたまにいる。どう見ても履修漏れですどうもありがとうございました。

そもそもの義務教育の意義とかじゃなくて、なんていうか「知らなかった！」という驚きを表すのに「なんで誰も教えてくれなかったの？」というニュアンスが入るのが嫌なんだと思う。例えば友人に「この前美味しいお店に行ってきたんだ」と話をしたら「ずるい、なんで教えてくれなかったの？」って返ってくるような感じだろうか。素直に「よかったね」とか「今度は一緒に行きましょう」とか言えないのか。

僕自身がめんどくさい人間でもあり、「私バカだから」と言う人に対して、「バカだから、って予防線張る前に、本当にそう思っているんだったら、バカなことを言ったりしたりしないように用心して行動しろよ」とか思ってしまうんですよね。そもそも、これを言う人の半分くらいは、すごく賢い人なのでたちが悪い。

ネットで書くことを仕事にしている人たちと接してみると、ほとんどの人は「釣りタイトル」や「過剰な表現」にジレンマを感じつつも、「まともなタイトルで読まれない（PV：ページビューを稼げない）エントリ」よりは、「釣りタイトルでも、多くの人に読んでもらえる（可能性が高い）エントリ」を選ばざるをえないみたいなのです。なんのかんの言っても、「売れない、読まれないとお金にならない」。「釣りタイトル」とか「下世話な話」のほうが売れやすい。それは「読者に求められている」ということでもある。

「ジャーナリズム」としての高い志があるのなら、芸能人のスキャンダルじゃなくて、政治家の汚職とかだけを追うようにすればいいのでは、とも思うのだけれど、実際に「売れる」記事は芸能人のスキャンダルのほうなんですよね。芸能人の不倫スキャンダルで稼いだお金がなければ、政治家の汚職を追うこともできない。週刊誌が「下世話」なのは、読者もまた「下世話」だから、なのです。

いろんなケースを見てきたけど、「どうして勉強するの？」というのはまだマシで真にヤバいのはそんな発問も出来ずに親に言われるまま「勉強して良い学校に」というタイプ。このタイプかつ子供の点数は全部指導者のせいという保護者にぶち当たると指導者に求められるのは真面目に対応するよりスルーする能力だったりする。いや本当はスルーなんかせずにきちんと向き合わないとダメなんだけど、向き合ったところでまず話し合いにはならないし相手の要求ばかりでこちらの要求はほとんど聞かないし多分親御さん自体にもなんか事情あるだろっていうことがチラホラ。そんな時に大事なのはまず自分の心を守ること。メンのヘラの世界に引きずり込もうとする動きに飲まれない。冷たいかもしれないけど、自分が動けなくなってしまったらおしまいだから。世の中の精神を病む先生の何割かはこういう生徒や保護者、引きずられて一緒に引きずりこもうとする同僚に引きずられていると考えている。彼らに必要なのは学習ではなかったりするが、それが何でどうすれば彼らを救えるのかはまだわからない。いわゆる教育虐待って、どうすればいいんですかねぇマジで。つまり「勉強なんかやだぁ！」という子供の方が健全である。対話が出来るということは素晴らしいことである。真っ向から答えてもいいし、子供の嫌だという気持ちに寄り添ってもいい。とにかく対話と信頼関係が大事である。結局子供の問題は信頼関係なのかよってなるけど、ぶっちゃけ信頼関係のメーターが100%に到達しないと何の支援もできないってところがこの手の問題のややこしさなのである。どうして勉強ってさせるんでしょうねえ。おしまい。

僕が子どもの頃、『水戸黄門』が大好きだった父親に対して、「なぜ、毎回こんな同じようなストーリーの番組を観たいと思うのか？」と疑問を抱いていたんですよ。でも、自分が当時の父親と同じような年齢になってみると、「同じようなストーリーのほうがリラックスしてみることができる」というのと、「同じようなストーリーだからこそ、その中での『話ごとの違い』を見つけることの楽しみがある」というのが理解できた気がします。そもそも、「まったくちがう話」には、その世界設定や登場人物の名前を覚える時点で、なんだかめんどくさく感じてしまうようになりました。

人権尊重は「思いやり」じゃなくて、誰かの思いやりや気遣いがなくても、誰もが特に不便なく日々そこそこ楽しく豊かに生きられることが保障されていること。あなたが思いやりや気遣いが苦手でも、誰かを傷つけたり妨げたりする機会から遠ざけられていること。

アンティークショップで「男中古に柄は無いけど女物着ればいいじゃない？」と言われてハッ！とした瞬間の、それまで自分の服じゃないと思ってた店内の大量の女着物が迫ってきてモノクロの世界が映画のワンシーンのように、ぐわーっとフルカラーに塗り替わって行くようなあの衝撃が未だに忘れられない。

「親が死んでるのに子が生きてて殺しても死なないんだよね」という会話をしたことがあるソフトウェアデベロッパーです。不謹慎の極みですみません。

人間の子供というのは、おそらく「すべて自分がやりたいようにやっていたら、なりたい人間には、たぶんなれない」のです。勉強にしてもスポーツにしても芸術にしても趣味にしても、人生を豊かにしてくれるものは、大概、なんらかの形で最初は無理にでもやって、コツをつかまないと、面白いと思えるようにはなりません。「子供がつまらないからやりたくないと言っている」からといって、「やらせなくていい」というのは、「子供の自主性に任せている」ということなのか？親としての「責任回避」ではないのか？イチロー選手をはじめとするスポーツ選手や音楽家の多くは、親の影響を受けているのです。「タイガー・マザー」は極論かもしれないけれど、子供は親が興味を持っていたり、身近にあったりするものに興味を示しやすいし、これをやると、周りが喜ぶ、というような「空気」を読み取っているのを僕は感じます。

「10歳の不登校ユーチューバー」に対して、素直に応援できないのは、「親の存在や強い影響」を感じずにはいられないにもかかわらず、親は「子供の『自由』にさせているのだ」というポーズをとっていることなんですよ。僕だって、今の学校教育が100％正しいなんて思わないし、「できない」のなら宿題はできる範囲でやればいいし、「行くと死にたくなるくらいつらい」のなら、行くべきじゃない。でも、なるべく頑張ってやってほしい、行ってほしいとは思うし、子供にもそう話しています。

孤独すぎて一人で麻雀をしていたが、自分自身が捨て牌のような気持ちになったのですぐにやめた。

僕が見るかぎり、「仕事が好きだ」「情熱をもって取り組んでいる」と言う人ほど、全然仕事をしない。なにか気に入らないことがあるのだろうか。仕事が好きだから、少しでも嫌いな要素が見つかると、途端にやりたくなくなるのかもしれない。情熱なんてものも冷めてしまうから、そうなったときにスランプになるのだろう。真面目にこつこつと仕事を進める人は、ただ黙々と焦らず作業を続ける。長く休まないし、人に仕事のことを話したりしない。機械に向かって加工をしている人や、工芸品などを手作りしている人がだいたいそうだ。職人と呼ばれるような職種の人たちである。おそらく、「仕事が楽しい」と口にする必要がないからだろう。楽しいかどうかなど、仕事には無関係なのだ。自分のした仕事を褒められるのも、大して嬉しいとは感じないらしい。これは、大工さんから聞いた話だ。お客さんから褒められると愛想良く返事をしておくが、素人に仕事の善し悪しがわかるはずがない、と考えているそうだ。大工というのは、親方（工務店の社長さんなど）から依頼されて仕事をしている。賃金をもらうのも親方からである。つまり、お客さんである施主（家を建てる人）は、直接の客ではない。これは、工芸品を作る職人の場合も同様で、彼らが作ったものを買うのは、消費者ではなく、問屋あるいは専門店だ。だから、そういった玄人から褒められれば嬉しい。それに、褒められるとは、賃金が上がる、高く売れる、ということに直結する。これが道理である。

感情を利用して仕事の効率を上げることは、一時的にはできても、維持することが難しい、ということをプロは知っている。それは、人間の感情がころころと変わりやすいからであり、そういったものを仕事に持ち込むことは、トータルではマイナスになるとの考え方である。子供には、勉強に対して「やる気」を出すように指導しているが、やる気を出すことは、勉強をすること以上に難しい。やる気を出すよりも、勉強をした方が簡単だ。大人は、そんな無理強いをしていることに気づいているだろうか。

20年くらいネットをみてきて感じるのは、まだ多くの人が、リアルとネットでの「ことば」を使い分けているけれど、それでも、しだいに「ネットで語られているような「正しい理屈」が、「正しい処世術」を侵食している、ということなんですよ。「正しい処世術」も時代によって変わってきている、と言うべきか。人間関係というのは難しいもので、「あなたが何者にもなれなかったのは、なろうとしなかったからですよ」と言われると、その内容が間違っているからというより、正しくて、しかも、発言者は自分に悪意を持っている、あるいは、軽んじられていると感じるから腹が立つのですよね。そして、ネットのなかでは、多くの人が「正しい側」よりも、「多数派」や「誰かを叩いて気持ちよくなれる側」を選びやすい。もしかしたら、「自分が傷つかないで、他人を責められるポジションにいること」そのものが「正しい」という感覚なのかもしれません。そういう感覚が、どんどん現実を侵食しているのは、怖い。

オンラインサロンの組織を「オウム真理教」になぞらえている人も多いのですが、たしかに、現代のオンラインサロンって、新興宗教的な感じがするんですよ。オンラインサロンを「オウム真理教みたい」だという意見はもっともなのですが、オウムも組織づくりにおいては、戦後の新宗教を参考にしており、いわば「伝統を受け継いでいた」のです。オンラインサロンが報酬の面で「ブラック」だというのは事実なのだけれども、参加者の多くは、報酬目当てではなく、「仲間がほしい」とか「何か大きな組織に所属したい」という気持ちがあるのではなかろうか。格差社会で、毎日3万円の鮨を食べるのが当たり前の人がいれば、スーパーの半額商品で食いつないでいる人もいる。地方に住んで、昔からの仲間とつるんで、そんなにお金がなくてもそれなりに楽しくやっている人たちは、オンラインサロンに見向きもしない。いろんなことが自由になって、しがらみが少なくなった社会というのは、生きやすいのと同時に、「自分が何者であるか、わかりづらくなる」のだと思うのです。孤独であることが、可視化されやすい社会、ともいえる。周りは「気にしないよ」と言ってくれても、そういうふうに気を遣われることが、本人にとっては重荷になることもある。

個人的には、オンラインサロンが「悪」と言い切れるかというと、「個人的にはお薦めはしないけれど、いまの世の中の『仲間づくり』の方法としては、入るところを選べば、そんなに悪質でもなく、大部分の新興宗教よりはマシ」ではないかと思います。何にも所属しないで生きる、というのは、思ったほど簡単でもラクでもない。

国語教育といっても、なかば道徳教育ですから、それがもう１つの問題です。現在の「国語」、とくに「作文」というのは、「わかりやすくて簡潔な文章を書く技術」というよりも、「どんなことを考えたか？」で評価されることが多いのです。どんな名文であっても、そこに書かれている「感想」の内容が「やっぱり戦争は素晴らしいと思いました」とかであれば、絶対に「読書感想文コンクール」で賞状を貰うことはできないでしょう。

仕事にはすごく満足している。やりがいを感じてる。日々のレベルの仕事ではつまらないこともたくさんあるけどね。下らないことに時間使ったり。でも結局仕事なんてどこで働いても一緒でしょ。毎日メールを書いたり電話をしたり。でも違いは結局自分がやっていることが何に貢献しているか。日々やっていることはしょうもないことでも、それが何か大きなものにつながってる。自分は確かに正しい世界にいるって知ってることが大切。だからずっと働きたかった組織にこられたには幸せだな。自分たちは世界の流れのトップにいるっていう感覚はすごいよね。

つきつめれば、人間というのは、「自分はそんなに間違ってはいないことをやって生きているはずだ」と思いたくて、その保証を求め続けているのではないだろうか。

総じて、消費者は量に無頓着である。商品によって配合量が違うのだが、量に応じた価格比較もせずに購入している。「倍に濃縮」という新製品が3倍の値段で売られても、性能が良くなったと錯覚して購入する。旧製品を2倍飲めば、そのほうが安かったりもするのだが……。先日、「一錠にプラセンタ（胎盤）エキス9000ミリグラム配合」という広告を見て笑ってしまった。9000ミリグラムは9グラムであるが、一錠は明らかに1グラム未満である。重量の計算が合わない。胎盤9グラムを乾燥させたというのかもしれないが、それなら大部分はそもそも水であったのだから、エキスが9グラムというのはおかしいはずだ。似たような事例は枚挙にいとまがない。乾燥した熟成ニンニクが、「赤ワインの10倍のポリフェノール（100グラム当たり）」と宣伝されていた。しかし実際に調べてみると、10倍量の赤ワインのほうが明らかに安く買えるうえ、飲みやすかったりもするのだ（お酒に弱い人は、ブドウジュースでもOKだ）。

中高生くらいから「どうしたらより良いミリオタになれますか？」みたいな質問がよく来る

兵器のスペックや戦闘詳報覚えるくらいなら、そこまで仲良く無いやつとカラオケ行った時の為の無難な歌や日本シリーズやらJリーグの勝敗やら受験のための英単語を覚えた方が遥かに有益としか答えられない。対して強くもない部活で嫌々汗流したり、好きな子から遊びの誘いの答えが返ってくるのソワソワしながら待ったり、フラれた日に友達から少額づつ出し合われて飯奢られたりした思い出はあの時期特有のものだから大切にしてくれや。

もう少し、インターネットについて考えてみよう。インターネットの良い利用方法は電話帳の使い方に似ている。誰かの電話番号を知りたい時、ネット上で確認できる。そのような使い方ならいいんだ。コミュニティーを持つため、それ以外の使い方は良いものではない。人間の道徳は、他人の身体的な存在についての経験によって左右される。人間の現実は生物学的な現象だ。ある一定の距離に対応したものなんだ。その距離から離れれば、道徳はなくなる。だから法律が必要なんだよ。

同じ理由で、ボタンを押して誰かを殺すことは簡単で、ナイフを使って殺すのは難しい。一つのボタンやドローンを用いてたくさんの人を殺すことはできるけれど、歩き回ってナイフで人々を殺したりはできないね。同じ人が、前者のことができても、後者のことはできないだろう。インターネットもそうだよね。ただボタンを押すだけで、前者の仲間になってしまう。でもあなたにはそれがわからない。あなたはただ、ある特定の話題についての会話をしているにすぎない、と思っているのだけれども、実際にはそうではないんだ。僕はインターネットについて、けっして、悲観しているわけではない。ただ僕は、ソーシャル・ネットワークの存在について悲観的なんだ。それは、軍事を背景として生み出されたものの一つだと言えるから。だから、SNSについては、僕は積極的になれない。

もちろん、僕もインターネットを使う。フェイスブックやツイッターもやっている。しかし、僕はそれらを、「告知」の道具としてのみ使っているんだ。それは、何が起こっているかについて、基本的な情報を、とても迅速にもたらしてくれる。誰が誰なのか、あれはいつなのか、などなど、そうした情報の伝達については、とても役に立つよね。それに、フェイスブックでは友だちのきれいな写真を見ることができるし、ね。しかし、これはただの「情報」の伝達だ。それを超えることについては、法律的にも禁止すべきかもしれない。

人間の生活を極限まで効率的にするとどうなる？文明の本質は「時短」（文明の豊かさは自由に使える時間に比例する）だろう。自分の時間を時短によって有効に使えるようになった人間はどうなるのか？むしろそれは、虚無の時間になってしまったりしないだろうか。

「〇〇から降りると幸福になる」というよりは、「幸福になる別のものを得たので〇〇から降りることができた」が正しい感じがするよな。前者は一旦不幸になれと言ってるようなものなので受容されにくいのでは。

資本主義は効率化の先に働く必要のない人間を生み出すが、彼らがみな生活できるほど懐が深いわけでもない。かと思えば官僚主義や書類主義など、およそ些末としか思えない労働に精を出す人類をものすごい勢いでも量産していて、変なところでアンバランスだと思う。効率化の先にはいつだって排外がある。それに気づくのは自分が排外されてからなのだが。

自分一人が抱えられる幸せ、自分が自分で稼いだお金で得られる幸せには限りがあって、ある程度の人生経験を経たり子どもをもうけたりすると、やがて他人に施すことで得られる幸せを欲していくのだと思う。人間が人間を育てる時「私もこれぐらいしてもらったのだな」と感じることで、その人間にも同じことをしてあげたいという欲求が生まれるのだろう。

「こ、これはくさい！くさすぎる！」ってセリフをあえて入れるぐらいが小説はちょうどよくて、そのセリフをためらいなく登場人物に言わせることができるのも、小説家の立派な一つの才能だと思う。

「オレのもの」の「オレのも」とか「バレンタイン」の「ンタイン」などを登録商標して鍵かっこをつけて使いまくることで、日本語の可読性を著しく損なわせようとする、企業。

「友達になるのに理由は必要かい？」というセリフが人気のようだけど、その答えは間違いなくイエスで、実際のところはそういった理由は暗黙で言語化されないから箴言だと思われがちという罠がある。例えば「人前で突然服を脱ぎ出さない」とか「他人の家族をディスらない」とかは暗黙にされがち。

はてブもスポーツのカテゴリないでしょ(エンタメで包括)。余程関心がないんだなーと思ってたんだけど学校の体育への憎悪が凄くてお前らどこの石の裏に棲んでんだと思った

（小説家について）あれだけ人間嫌いな人がなぜここまで詳らかな人間心理を描けるのかという疑問はまっとうだけど、むしろ人間嫌いは外から冷静に他人を（時には自分も）観察できる長所があるからで、人物描写がめちゃくちゃうまい小説家はものすごい人生経験か、あるいは並外れた相対主義によってそれを可能にしている。

「食事中と睡眠中だけは嫌なことを忘れられる」は正確ではなく、実際には「睡眠も食事もできなくなるほど嫌な物事こそヤバい」。

もし仮に恋人がめちゃくちゃ性格よくて美人で趣味が似てて良いにおいで美しい声だとしても、「嫌味」のことを「厭味」と書いてたら別れることを考えるかも…。

育児は楽しい。そしてうれしい。男が育児をしていてぶつかる問題は、育児そのものではないように思う。問題は、自分が育児に取り組んでいるあいだに、仕事のライバルたちがどんどん先へと進んでいって、取返しもないぐらい差をつけられてしまうのでは、という不安、焦り、恐怖だ。仕事のライバル、というとちょっと具体的すぎるが、何も隣に座っている同じ年齢ぐらいでちょっと上のポジションの憎いあいつ、という意味だけではない。ああこうやって自分が仕事以外のことに時間を費やしているあいだにも、世の中の仕事のできる人はもっと難度の高い仕事に取り組んだりエライ人と飲みに行ったりしてどんどんステップアップしているのだろうな、週末には社会人大学に通ったり勉強会に参加したりしてどんどん賢くなっているのだろうな、というぼんやりとした想像をしてしまうし、実際にそうなのである。

そういうことを知らされるのが怖いのでFacebookを見るのが辛くなってくる。Facebookには「休日返上でやってきたプロジェクトがついに日の目を見たぜ！」「超忙しいけど無理して週末にめっちゃ勉強して熱い仲間たちもできたぜ！」というような投稿たちがキラキラと輝いていて、ウンチとヨダレと公園の土にまみれた身にはあまりにまぶしくて直視できないのである。いやそんなもん、平日に取り返せばいいんだ、と思えるときはいいのだが、あまり仕事がうまく行ってないときや、自信がなくなっているときだとひどくメンタルを削られるのだ。育児をしていると、何もしないでじっと時間が過ぎるのを待たないといけない場面がある。やたらと泣く子を抱き上げて寝るのをじっと待っているあいだに。トイレでなかなかウンチが出ないのをじっと待っているあいだに。お風呂の用意ができても服を脱ごうとしないのをじっと待っているあいだに。

ライバルたちは新しい仕事に取り組み、新しい学びや気づきを得て、新しい仲間と出会い、どんどん出世していく。多くの男性が、育児や家事にもっと参加しなくては、と思いながらもブレーキがかかってしまうのも、これが原因じゃないだろうか。それじゃ、この問題を乗り越えるにはどうすればいいのか。ぼくがこのことに何年も悩み続けてきて出した結論は、もう他の人と同じゴールを目指すのをやめよう、ということである。よく胸に手を当てて考えてみたら、遅くまで働いてエライ人とお酒を飲んで週末には勉強やネットワーキングに精を出して突き進んでいくゴール、というのは、もともとぼくが目指しているゴールでもなんでもない。ぼくのゴールは、いかにして好きなことを仕事にするか、あるいはいかにして仕事を好きなことに変えていくか、いつだってこれなのだ。育児なんてのは究極であって、わが子と一緒に暮らすのも楽しめないのに、果たしてどうやって他のことを楽しむのか、という話である。そう思うと急に気持ちが楽になって、時間が過ぎていくことがちょっと怖くなくなったし、目の前の用事をちょっとでも楽しくしていこうと頭が働くようになってきた。

とはいえ、根本的な悩みは解消されたとは思わない。結局、ぼくらは育児をしていようがしていなかろうが、いつだって競争にさらされ、生き残るために必死にならなければいけない。そんな中で、働きながら子どもを育てていくのは、やっぱり競争においてはハンデであり、個人の努力だけではなんともならない。社会自体が、もしこれからも子どもが生まれ続けることを望むなら、主婦が子育てと家事をして夫が外で働く、というベースに頼るのを止めなければいけないだろう。子どもがいる人もいない人も、みんなで支えあっていく世の中にしていかなければいけないだろう。ぼくは、これからもこの国に、新しい命たちが生まれ続けることを望んでいる。色んなイヤなことはあるけれど、やっぱり生きることは楽しい。最高だ。だから、これからも、そう思えるような世の中であり続けることを望んでいる。

仕事でも趣味でも「初学者」の時期はあるわけだけれど、自分が初学者としててほどきを受けてる時「この不安を忘れないようにしよう、そして不安がっている将来の初学者に素朴にそれを伝え、不安を取り除いてやろう」という気持ちだけで日記に書き留めてることがよくある。

インターネットは、60点の人が努力をして80点に到達しても、「お前は100点じゃないからダメだ」と罵声を浴びせられることがよくある世界です。じゃあお前は100点なのかよ！と、その罵声の主に反論しようとすると、そこにはもう、誰もいなくなっている。叩けるエントリには人が集まるけれど、それに対して、説明をしたり、誤解を解こうとしたりしても、誰も足を止めてくれない。みんなが求めているのは「正しさ」や「世の中が良くなること」ではなくて、「自分が正しさを振りかざして、優越感を得られるターゲット」であり、「叩きやすいもの」ではないのだろうか。「非国民」と他者を安全な場所から叩いているつもりが、いつのまにか自分が戦場に送られてしまった時代も、こんな感じだったのかもしれない。……とか書くと、また「主語が大きい」「たとえが不適切」とか叩かれるのがまた、今のインターネットなんですけどね。そういう「叩かれること」に対して、よく言えば覚悟を決める、悪く言えば炎上商法として利用するというのが、いまのネットで生き残るというか、お金を生むためのスタンスなのだとも思います。稼ごうとしないのであれば、その態度を鮮明にしたほうがいい。顔を知っている人たちとの密接な連絡手段のひとつと割り切って狭い範囲で使えば、あまり問題にはならないはず。その中間である、「少し自分の交遊関係を広げて、少しくらいお金になれば嬉しい」というスタンスは、以前よりもさらに成立しにくくなっています。

安楽死の場合、周囲が勝手に判断することは許されないと思うので、「自分で意思を決定できるうちに、自分の選択として死を選ぶ」ことになるのですが、「自分で意思を表明できるくらいの状態であれば、死ぬのはもったいない」とも考えてしまうのです。患者さんが自分自身の選択として、「安楽死」を希望するのであれば、それは、尊重されるべきでしょう。ただ、人間の思考というのは、そんなに安定したものではなくて、「もう死んでしまいたい」と「まだ生きたい」の間を揺れ動いていることも少なくない。それに対して、「死」というのは、不可逆的なものなのです。それを考えると、どんなに話し合ったとしても、100％満足できる死に方、というのはありえない。これでよかったんだ、と思えるか、あるいは、人の死というのは、そういうものなのだ、割り切れるか。「宗教」というものを信じられなくなってしまった人間は、「死」に直面せざるをえない。

なんか「こんなに軽率に子供出来ていいの？！」と動揺してる既婚垢を朝から見たのだけど（妊活してたそうなのでめでたい）、「何も考えないまま軽率に子供が出来る」のが本来の形であって、トチ狂ってるのは「避妊したまま性欲だけは満たせる」現代社会の方なんだよな

一般の人の認識「鳥は空を自由に飛びたがっている」

鳥飼いの認識「鳥は飛ぶのをめんどくさがって大抵床を走ってる」

安楽死などの議論は賛成・反対・両論併記全て叩かれるため、ネットではしないほうがよい。安楽死の話をしたくなったら現実で友人と思い切ってやろう。間違ってもツイッターで信を問うてはいけない。

お前の解像度が低かったんだろうと言われたらその通りなんですが、やはりビジネスはやってみないと分からないというか、「やっぱり無断キャンセルに困っているのは飲食店だよな」という思考で始めたサービスの利用者が圧倒的に美容院になるとは思いもしなかったな。

世の中には、「こんなスピードで走ったら、クラッシュしてしまうかもしれないけれど、それでもベストタイムをたたき出すためにアクセルを踏む」という人生を選ぶ人もいる。傍からみれば、無謀な感じしかしないのだけれども、そういう人が、世の中を良くも悪くも引っ張ってきたのではなかろうか。他人にも自分と同じことを強要するのでなければ、あるいは、それが酷い迷惑運転になっていなければ、「お好きにどうぞ」と言うしかない。

俺が瀧くんなら入れ替わったあとエグいオナニーしまくるだけで物語完結する

それってあなたの感想ですよね？

大切にしてくださいね

地下鉄千代田線でサリンを撒き、二人の営団地下鉄職員を死亡に至らせた林郁夫も明らかにそのような（自分たちが身につけた専門技術や知識を、もっと深く有意義な目的のために役立てたいと思う）タイプの一人だった。彼は「患者思いの熱心で優秀な外科医」とまわりから評価されていたわけだが、おそらくはそれ故に、様々な矛盾と欠陥を抱えた現行の医療制度にだんだん深い不信感を抱くようになり、その結果オウム真理教の提示する実行力のある精神世界（塵ひとつ落ちていない強烈な理想郷）に強く心を惹かれるようになる。彼は著書『オウムと私』の中で、出家当時に教団に対して抱いていたイメージについて、このように記述している。

「麻原は説法で、シャンバラ化計画について語っていました。ロータス・ヴィレッジを建設するということでした。そこにはアストラル・ホスピタルという病院があり、真理学園という一貫教育の学校もあるということでしたが（中略）。医療は麻原が瞑想で異次元（アストラル）や過去生の記憶から導入したというアストラル医学なるものを駆使し、病人のカルマやエネルギー状態をみて、死や転生も考慮に入れたものということでした。（中略）私は、緑の多い自然の中に点々と存在する建物群で心をこめた医療や教育をするという、そのころ夢想していた病院や学校の姿とロータス・ヴィレッジとを重ね合わせていました」

彼はそのような理想郷に身を投じ、現世の垢にまみれることなく厳しい修行を続けながら、とことん納得のいく医療を実践し、ひとりでも多くの患者を幸福にすることを夢見ていたのだろう。もちろんその動機が純粋なものであることは認めるし、ここで語られているヴィジョンがそれなりに美しく壮麗であることも認めるのだが、このようなイノセントな言語がどれくらい激しく現実と乖離しているかということは、一歩身を引いて考えればあまりにも自明である。それは私たちの目には、まるで遠近感を欠いた不思議な風景画のように映る。しかしたとえばそのときに私たちが林医師の個人的な友人であったとしても、出家を考えている彼に向かってその乖離性を有効に「証明する」ことは大変にむずかしい作業であったに違いない（あるいは今だって本当にはむずかしいのかもしれない）。

でも実を言えば私たちが林医師に向かって語るべきことは、本来はとても簡単なことであるはずなのだ。それは「現実というのは、もともとが混乱や矛盾を含んで成立しているものであるのだし、混乱や矛盾を排除してしまえば、それはもはや現実ではないのです」ということだ。「そして一見整合的に見える言葉や論理に従って、うまく現実の一部を排除できたと思っても、その排除された現実は、必ずどこかで待ち伏せしてあなたに復讐することでしょう」と。

とはいえ、林医師はそのような説得ではおそらく納得しなかっただろう。彼は専門的な言葉とマニュアル化されたロジックを連ねて鋭く反論し、自分の進もうとしている道がどれだけ正しく美しいものかを滔々と説いたことだろう。そして私たちはあるいは、そのようなロジックを乗り越えられるだけの有効な説得の言語を持たなかったかもしれない。その結果ある地点で口をつぐんでしまわなくてはならなかったかもしれない。残念なことだが、現実性を欠いた言葉や論理は、現実性を含んだ（それ故にいちいち夾雑物を重石のようにひきずって行動しなくてはならない）言葉や論理よりも往々にして強い力を持つからだ。そして私たちはお互いの言語を理解できぬままに、それぞれの方向に別れたことだろう。

村上さんは、このあと、林郁夫死刑囚の手記に対して、「この人は何故こんなところにまで行かなくてはならなかったのか」という素直な疑問と、「しかし我々にはおそらく手のうちようもなかっただろう」という無力感が同時にわき起こってくる、と述べています。そして、「いちばん空しいのは、『功利的な社会』に対してもっとも批判的であるべきはずの者が、言うなれば『論理の功利性』を武器にして、多くの人々を破滅させていったことかもしれない」とも仰っています。

ネット上では、「理想的な生き方」や「やりたいことを仕事にする」という言葉が躍りがちです。それらの言葉や理念の多くは「現実性を欠いた言葉や論理は、現実性を含んだ言葉や論理よりも往々にして強い力を持つ」ものでもあるんですよね。オウムの信者が、その教義の枠内で生きているかぎり、オウム的なロジックから逃れることができなかったのと同じように。

そして、「現実というのは、もともとが混乱や矛盾を含んで成立しているものであるのだし、混乱や矛盾を排除してしまえば、それはもはや現実ではないのです」ということを、うまく他者に説明し、納得させられる人は、ほとんどいないのです。さらに、「現実を生きている人」には、「現実性を欠いた言葉や論理に従っている人々」をバカにし、罵詈雑言を浴びせながら、「ほーら、これが現実ってものなんだぞ、わかった？」と、思い知らせようとする人もいる。半ば、自らのストレス解消のために。自分をバカにしている人の言葉に「そうだったのか！」と頷ける人はなかなかいないから、彼ら（現実性を欠いた人）は「自分たちの言葉に真摯に耳を傾けてくれる人や場所」に、さらに依存していくのです。

良薬は口に苦しとは言うが、良薬ばかりを口に詰め込まれた人間は参ってしまう。実のところ、ネット炎上に寄せられるおびただしい「正論」も、被害者にはそううつるのだろう。

ひとりのときは作業効率重視で良いと思うのだが、そこに「他者」が入ってくると、人間のふるまいというのは、いろいろな要素を帯びてくる。たとえば、付き合っている人の家に行って、パック寿司が出てきて、「醤油皿出すのめんどうだから、蓋を使ってくれる？」と言われたらどうするか？「ズボラなんだから！」と苦笑しながら、蓋を醤油皿にして食べるか、直接醤油を寿司にかけるか。あるいは、自分で小皿を取ってくるか。まあでも、これって、醤油皿のことで人間関係が破綻する、というよりは、お互いに良い関係のときは、こういうのも「しょうがないなあ、もう！」と笑い話にできても、すれ違いが生じてきた時期だと「あなたのそういうガサツなところが昔から気に入らなかった」ということになりそうだよね。

一旦全ての情報を捨てて、「無人島に漂流して初めて得た植物」という体でトマトを食べてみたんですけど、本当にめちゃくちゃおいしかった 恐る恐る匂いを嗅いだり「赤い実→食べられる」てメモしたりした

DHMOと一酸化二水素についてのツイートの禁止が決まった帰りの会

帝王切開って腹をかっさばく大手術なのに自然分娩と比較されるせいで「らくちんコース♪」みたいに言われるのすごい。

「思想」とよぶものには「議論」と「運動」の二つのレイヤーがある、と理解してから、かなり気が楽になった　どっからどう見てもメチャメチャな議論が社会をメッチャ動かしてて言葉の潔癖症には辛いぜって人、あなたに見えてるのは運動だから安心して下さい

検索を利用する側とは決定的なズレがあったはずなのだけれど、利用する側も、少しずつ「上位に表示されるのがこの程度の情報なんだから、このくらい知っておけばいいんだろ」もしくは「ネットの情報なんてアテにならないな」という二極化が進んでいるように思われます。たぶん、ネットにお金が絡んでくるかぎり、こういう傾向は続いていくのでしょう。それはもう、好むと好まざるとにかかわらず。Googleがどんなに頑張って、アルゴリズムを変更しても、「稼ぐために、検索に最適化したサイト」は、薬剤耐性菌のように変異しながら、検索上位をキープしつづけるはずです。むしろ、これからは、「リアル知人からの口コミの時代」に回帰していくのかもしれません。

どうして小説家の場合は、嘘が称賛の対象になるのでしょうか？ よく練られた嘘（読者に、そこにある真実だと思わせるような物語）を創り出すことにによって、作家は「真実（実際にそこにあるもの）」にいままでとは違う位置づけをして、新たな角度から光を当てることことができるから。多くの場合、「いま、実際にそこにあるもの」をそのままの形で正しく認識し、具体的に描くことは非常に困難なのです。そういうわけで、私達は、隠れ家から真実をおびき出し、それを虚構に転換し、物語という形式に変えることで、その尻尾だけでも捕まえようとしているのです。

新しく入った子が店長から「これじゃあ50点しかあげられない。何で１００点じゃないか分かる？」

と言われ「50点満点だからですか？」って返したのあまりにもポジティブシンキング過ぎて涙出た。

「自分をADHDと思いこんでいるただの低スペック人間多すぎでは？」についてのとりとめのない雑感など。たぶん、ネットで語られている「発達障害者の苦悩」というのは、「生きづらいけれども、言語能力に優れていたり、文章を書くのは得意」な発達障害者によって書かれたものが多いのでしょう。僕自身も含めて、「生きづらいと自分では思っているし、困り果てているけれど、口は達者（あるいは、ネットでは饒舌）」というタイプの人が主な語り手になっているのです。それは、あくまでも一部の発達障害者の特性でしかないと思われます。

「矢倉は将棋の純文学」という言葉を残した米長は、この意味するところは簡単にいうとネチネチしているということで高尚なものということではない、と言っている。「眠くなるのが純文学で、こころに残らないのが通俗小説」…どうです？ 通俗的文学批評家の雰囲気でてますでしょうか？

そんなにバリアフリーが嫌なら、自分たちもバリアに直面する形で利用すべきだよな。たとえば駅構内は必ず匍匐前進で移動するとか。JR東日本も、エレベータエスカレータの類はすべて取り払って、階段の段差を一段あたり2メートル位にしてみればいい。そういうことだぞ。自分で言うのもなんだが、どうも「そんなにバリアフリーが嫌なら」があちこちで刺さっているらしい。「誰もそんなこと言っていない」という反応があるんだ。言葉にしなくても行動で示しているじゃんねぇ。僕ら健常者にとって便利なインフラが多数用意されている「特権階級」の立場に居ながら、現状の不備に声を上げる車椅子ユーザーを「王様のつもりか」と罵倒する人達は、自分の持って生まれた特権を棚卸しすべきと思う

失言暴言とかどこまで叩くにしてもどこまで遡ったもんかね。まあ現在やらかしてるんなら過去から変わってないなって思うけど、今とくにやらかしてるわけでもない人とかの過去発言って正直10年前とかならもうノーカンまでいかずとも今やっちまったかのような騒ぎ方はどうかと思うんだよね。もちろん程度はあるけどさ（犯罪なら何年前でもダメだと思うし）30年くらい前の発言持ち出して「こいつは25過ぎの女をクリスマスケーキに例えた！許さん！」って言ったらさすがにいやそれ遡りすぎだろって思うんだよね。童貞いじりとかホモ呼びとかとても肯定できるもんではないけど、10年前はなんかまだ社会の空気が違ったと思うんだよね

だから言ってもOKって話ではないってのは大前提で、価値観のアップデートが爆速の昨今の感覚で10年前の発言掘り返してあーだこーだ言うのはちょっと疑問なんだな。っていうか10年前の発言掘り返されると自分も色々不味い。人は良くも悪くも変わるもんだし、間違いを起こさない人はいないんだから重箱の隅の突き方ももうちょい考えたい。指摘された時に「あれは過ちでした、すみません」と言えるかどうかでは。ログも残るが価値観も急激に変わる今の時代、掘ればいくらでも「失言」は出てくる。俺だっていくらでも失言あるし、謝りたくない失言もある。どこまでも掘り返してOKってなると、出自を明かしてる人は増田とかの匿名側と議論する意味がほぼ無くなるよね。匿名側はその場の個別ケースの最大限の綺麗事だけ言ってればいいんだから圧倒的に有利になっちゃう。マスコミ各社（訂）さんによると、どんな方でも小6卒業文集まで遡りOKとなっています。

お辞儀の角度が浅かろうがネクタイが曲がっていようが、本人が礼節をわきまえている人間なら、それは相手にだって伝わるし目くじらたてられることもない。大事なのは形じゃない、心だ

まるで国民服みたいにして、3月の就職説明会を受けに行く日本の学生たち

就活生は一番よさそうな手のひらの上に乗ってください。

女と女の物語について、【恋愛のない星】のひとの言う「このふたりがずっと一緒にいる理由は恋愛でないほうがうれしい」は涙が出そうにわかるけど、【恋愛はあるけど同性愛はありえない星】のひとの言う「恋愛じゃないほうがいい」は泣きたくなるくらい嫌で、この世はむつかしい

「撮り鉄」の人気スポットで 私有地の木 何者かに切り倒される

とっとと捕まえてトロッコ問題の実験台にしろ

Twitterは多様性の実験場みたいな存在だったけど人類に多様性の概念は早すぎた。お互い見えない所に籠って交渉は代表者を立てた方がまだマシ

冒険家とか探検家というのは、「なんでそんなことをやるんだ？バカじゃねえの？」と言われるようなことをやる人たちです。「芸人」とか「芸能人」「格闘家」とかもそうかもしれない。それを命がけでやることが「生きがい」の人が、自分の力で多くの人の協力を得てやる「愚行」を止める権利があるのだろうか。ある意味「仮想通貨であなたも大金持ちに！」とか、もうピークは完全に過ぎている無謀な投資をすすめる人よりも、他者にとっては、よっぽどマシではなかろうか。どんなに「すごいなあ、憧れるなあ！」と思っても、本当にエベレストに登ろうとする人は、ほとんどいないはずだし、本当にそこまでたどり着く人は、もう誰のせいでもないと思う。

すれ違ったおじさんが「人間になるにはまだまだ早すぎたってことだろ」って電話？で言っててすごい気になる

努力や苦労を一切することなく毎日好きな時間に起きて気分次第で適当に出かけてぶらぶらしてうまいものを食べて暮らしたいというささやかな願いすら叶わない

【人生のロード画面】

[Tips] 容姿が整ってると有利になるイベントも多いんだとか…

人間関係学部 破壊学科

エロ同人の束が積み上がる事で圧死の可能性を孕み始めるの、エロスとタナトスの調和が取れていて一番良い状態なんだよな。

それは個人の選択であって、健常者は「ありがとう」と言おうが言うまいが料金さえ支払えば自由に電車やバスやタクシーを乗り降りできますし誰からも文句はいわれません。なのに障碍者がそれをしようとすると第三者から「感謝すること」や「謙虚でいること」を強いられる。そうした状況を差別といいます。感謝の気持ちを持つな、表現するなと言っているわけではなく、一方にのみそれを強要したりするのはおかしいよね、同じでいいじゃないという話が、通じない人たちがあまりにも多くて。

この世に道徳など存在しない。 道徳が存在することを望むお前がいるだけだ。

おばあちゃんにフェラされて金歯が刺さっていたら"嬉しい"が勝つだろうな

Twitterのリプライはあくまでコメントじゃなくて独り言への「返事」なので、リプライするのは勝手だけど自分がいま知らない人に話しかけているということは自覚しておいてほしい

女子「聞いて♪マイナス5キロ痩せたの♪」

理系男子「そんなに太ったのか」

「赤子の手をひねるように簡単」って言葉考えた人、サイコパスすぎるだろ

寿司に主導権を握られてる職人

義務教育の放棄（そもそも義務なので放棄できないのだけど）による一番の困難は何も学べないことではなく、自分が教育によって何を学べたか、何を学べなかったかが何もわからないことだと思う。教育は知識だけではなく、学ぶ力、自分に足りない能力を知る力を身に付けるためのものでもある。

死ぬこと以外かすり傷とは言うが、かすり傷でも人は死ぬ。そんな人生を送ってきました。

お金をもらえる「仕事」には、2種類しかない。ひとつは、みんなができないこと。もうひとつは、みんながやりたくないこと。

完全な匿名にはなりたくないというのが本質では。会社名も本名もカスリもしない匿名にすれば、そう簡単に特定はされない。ただ、権威も立場も無くなると、意見を聞いてくれる人は減る。それが嫌なだけに見える。

家は広いのにどこ開けても応接間しかないみたいな接し方の奴

『現実の人間をネタにBL的目線ではしゃぐ腐女子に「そういうの今ここではやめたら」って指摘するとジェンダー論や純愛を引き合いに出して正当化する人がたまにいますが、そうじゃないよ。性別がなんであれ他人同士の関係を下世話な目でみるのは品がないよと言ってるのよ』。

>>9年前の今頃はこんな発言してたダ・ヴィンチ・恐山が今や完全に腐女子のおやつに成り下がり、BHB社員からも匿名ラジオのことを「BLラジオ」と認識されてるの因果って感じがする

だから私がネットは嫌いだ、って言っているのはそこよ。目の前に人がいないから、相当なことを書いてるじゃない。「それお前の本当に真意なのか？」っていうさ。自分の思ったことを、さらに悪くして書いたり、とか。怖いのよやっぱり、あれ。私ね、ネットで何を書いてもいいと思うのよ。それを、参考にしてしまうほうがいけないと思う。要は今、たとえばテレビ番組ひとつ作るとしても、ネットでどんな評判だったとか、Twitterでどんな書き込みがあったとか、すごいみんな気にしてるでしょ？

でも、制作している側が、ネットでの反応をみて、「じゃあ今度はこっちでやりましょう」っていうふうにしたらダメなの。それはもう、ネットとか、世の中の「総意」みたいなものは抜きにして、クリエイターがつくりたいものをつくればいいと思う。それを、あまりにもみんな人の意見を気にしすぎているから、金太郎飴のような、映画みたってテレビみたって、同じようになってしまうから、よりいっそうネットのほうが面白い、みたいになっているのがムカつくの。

2014年に神戸市で起きた、小学校1年生の女の子が下校後に殺害され、近くの雑木林で遺体がビニール袋に入れられた状態で発見された事件では、そのビニール袋のなかに、たばこの吸い殻と名前が書かれた診察券が入っていたのです。そんなものが入っていたら、何らかの偽装工作ではないか、と思いますよね、あからさますぎて。ところが、この事件の容疑者は、自分の診察券を入れていたのです。さらに、容疑者は、陸上自衛隊に勤務し、大型一種免許や特殊車両免許を持っていたそうです。しかし、あとになって彼が療育手帳（軽度知的障害の範囲）を所持していたことを知り、容疑者の奇異な行動の意味が理解できました。知的障害を持っている人は、後先のことを考えて行動するのが苦手です。これをやったらどうなるのか、あれをやったらどうなるのか、と想像するのが苦手なのです。特に急いで何かをしなければならないとき、後先を考えずにその場その場で判断してしまいがちです。診察券が入っていたら自分の素性がバレるのでは、と想像できなかったのでしょう。

こうやってこうやったらこうなる、といった論理的思考は、「思索の深さ」とも呼ばれています。何ステップ先まで読めるかを予想する力といってもいいでしょう。知的にハンディのある人はこの思索が浅いと言われていて、先のことを見通す力が弱かったりするのです。しかし、ここで大きな誤解があります。もし知的障害を持っていたのなら、それまでに周囲に気付かれて、何らかの支援を受けられていたのではないか、と。しかし、軽度の知的障害者は、日常生活をする上では概して一般の人たちと何ら変わった特徴が見られないのです。軽度の知的障害でも陸上自衛隊に入隊したり、大型一種免許、特殊車両免許を取ったりすることは可能です。特に軽度の知的障害や境界知能の人たちは、周囲にはほとんど気づかれることなく生活していて、何か問題が起こったりすると、「どうしてそんなことをするのか理解できない人々」に映ってしまうこともあるのです。この人たちは、明らかに「異常」ではないだけに、かえって、「なんでそんなことができないんだ」「空気が読めないヤツだな」と阻害されやすい。仕事を選べば、ある程度普通に働ける。だからこそ、突発的にみえる異常な行動を周囲は理解できない。責任能力もあると見なされるのです。

今の大学生は物事に詳しい「オタク」に憧れているが回り道を嫌うので「最短距離でオタクになれる方法」を探しているらしいが、オタクは常に「寄り道」や「脇道通過」をするので、最短経路などはない。更にはソレは実は回り道ではなく枝分かれで、どんどん幅広い世界を得ていくコトになる。

最短距離で「正解」を観続けると、オタクにはなれないけど別の何かにはなれる気がする。なんだろう…Yahoo!知恵袋のカテゴリマスターとかかな。

単に努力せずに上っ面の知識だけ得たいと言うなら毎回スマホで調べろとしか。 興味ある物事について知的好奇心を満たすために様々な知識を吸収しているのがオタクなんで、結果ではなく存在のあり方の話だしなあ。

他人の感想を他人の感想で決めるオセロみたいなやつら

知識のない人間は疑うことしか知らない。それが自分を守る最終手段なのだろうが、そうはなりたくないと心から思う。

本気で年寄りを恨むなら証券マンになるのがよい。思い切り復讐できるぞ。

こういう人間の存在は、クズの自覚がある人間の神経を逆なでする。お前みたいな奴がいるから、俺は安心して後ろ向きに生きていけないんだ

彼はいよいよ、この世のあらゆる対象にとって善の存在があるという思い込みと、自分はそれに所属していたいという願望、それらと現実のはざまにつぶされ始めている。

自己責任とはつまり「バカなのが悪い」という意味

自分で金を稼いだ奴、代々金を受け継いでいる奴、たまたま金を手にした奴。この仕事をしていて、金を持っている人間は大きくこの3種類に分かれると知った。商売相手としては自分で稼いだ奴が最も厄介だ。そういう人種はとにかく嗅覚が鋭い。代々受け継いでるやつは極めて保守的。なかなかリスク資産を購入したりしない。したとしてもインフレ対策ぐらい。動きがなさ過ぎて、商売相手としては旨味がない。たまたま金を手にした奴は、カモだ。金を持ったときに自分がどうなるかなんてのは、実際に金を持ってみないとわからない。大金には人格を再構築する力があるんだろうな。普段どんなに賢明、堅実ぶっても、金の前には無意味だ。

世の中に座れるイスは限られていて、他者との争いを避けて座れるイスはせいぜいパイプ製

最近のコンビニは不良の陳列を止めたと思っていたが…

問題は金を取られることより、バトルに負けて目の前が真っ暗になった後一生目覚めない可能性があるということだ。

足りない知性を画数で補うことはできないのだ。

おそらく、彼らが小学生のころ、初めて7の段と対面したとき以来の衝撃であろうことは想像に難くない。

今私がシャワー代わりに浴びていることばの数々はどれも一級品のパワーハラスメントなのだが

現代における力とは知性なのである。コブシによる闘争の時代ははるか昔に終わったが、現代社会で自らを守るためには、知性による闘争力が必要なのである。

前Twitterで見た、「何もしないよりは何かしてる方が粗を探されやすく叩かれやすい」という旨のツイートを見てから、何かしら配慮しようとしている人や作品にはめいっぱいの敬意は払うようにしている

論理に翼が生えている。

こういう事件が起こると犯人を疎外したくなるけど、反戦平和謳ってるミュージシャンでも小金持ってるとスポーツカー飛ばして遊んじゃうみたいに、暴力への憧れを根本から否定出来ない点で地続きではあるんだよね。

うまくいなす方法を知らないならば、関わると負けなんだよなあ。家族がいる環境で果たして正義を貫く必要は？そして正義は人の数だけあるし、正論は時として相手の逆鱗を刺激する

人はスズメバチの巣を見た時に手ずから破壊しようとせず業者を呼ぶのに、マナーの悪い人間には直接対峙しようとしてしまうのは、やはり倫理観や正義感が原因なんだろうな。プロでもなければ間接的に処理した方がいい

表現欲と覚悟だけがあって、「切実に書きたいこと」を持たない人と、金銭欲だけがあって、炎上狙いのエントリを書き続ける人ばかりが残っていくのだとしたら、そんなブログの世界は、あんまり面白くないと思いませんか？既得権益者や自分の発言に責任を問われやすい立場の人にとっては、インターネットはメリットよりもリスクのほうが高い場所になってしまいました。極論や建前論が目立ちやすく、「平均に近いところ」は、空洞化してしまうのが、いまのネット論壇なんですよね。その一方で、みんなは「自分の気持ち」を「仲間内に見せるためのSNS」で発信するようになった。「世界中の誰にでも見てもらえる可能性があるインターネット」は、どんどん閉じて、小さな部屋に分かれるようになってきたのです。風通しが良い、というのは、実現してみれば、思っていたほど、良いものではなかった。

加湿器に給水するたびに「もしここにおしっこ入れたら……」と思ってしまう。それをしない方向に繋ぎ止めてるのが「デメリットやばい」という損得なのが怖い。もし、脳のその部分だけぶっ壊れてしまったら絶対にしてしまうから。薄氷ですよ。その薄氷をお互い信じあって成立してる「社会」は凄まじい。

“Coffee or tea?”

“Coffee.”

“Wrong, it’s coffee.”

家の前をよく通る焼き芋屋さん、道路の都合で仕方ないのかもしれないけど石焼き芋の歌爆音で流しながら毎回時速30kmはありそうな速度で走り去って行くから戸建ての人でも捕まえられなくてこの近隣住民を芋食べたい気持ちにさせるだけさせて逃げてく妖怪みたいになってる

発達障害、知的障害、精神疾患、そのあたりすべて厳密に診断すると人口の3～4割は軽く「要支援」になると思います 今の世界、それだけの人に、必要なだけの支援をする体力もなければ、「異獣」として排除して残りの人数でやっていく体力もないのですよ

児童手当に関するTLの議論を見て感じるのは、人は一度与えられた権利は自分のものであると考えるので、与えられた時に大した恩恵を感じていなくても、取り上げられれば強烈に抵抗されるということですね。ずっと提供できるのでなければ安易に善意から他人に便宜を与えないほうが良いことも多い。

TOEIC向けの問題を解くと、「商品が送れたお詫びに5%割引します。」みたいな優良ショップがたくさん出てくるので、「そのショップどこ…わたしのところに来て！」 という気持ちになりますね。 (ただどのショップもしばしば商品が遅れがちです。)

人は、良いことをする人が好きになったり、悪いことをする人が嫌いになったりすると思いがちだけれど、身近な人に関しては、好きな人がやることはなんでも良いことだと感じるし、嫌いなヤツがやることは、悪いことだと認識しているのではないか、って。善悪よりも、好き嫌いで、人は「判断」してしまうのではないかって。そして、その「好き」「嫌い」が安定している人もいるし、不安定な人もいる。ビンタは絶対ダメ、って言っても、アントニオ猪木にだったら、ビンタしてもらいたい、っていう人は、たくさんいるでしょう。恋人同士だったら許せる、あるいは快楽になる行為でも、気持ちが冷めてしまったら、「触るのも嫌」なんてことは、よくある話です。

そんなふうに「個々の関係性で、善悪が揺れやすいもの」だからこそ、「原則的に、体罰や暴力はダメ」だということにすべきなのです。「戦争は絶対にいけない」と言う一方で、「しかし、戦争というのを人類は繰り返してきたし、それは『起こりうるもの』ではあるよなあ」と多くの人は認識しているはずです。だからといって、「起こるものはしょうがない」って、最初から容認していては、なし崩し的に「なんでもあり」になってしまう怖さがある。

ネットのおかげで、いろんな人がいるというのを知ることができたのも大きい。多少のイレギュラーなら、「私も！」と同調してくれる人は、けっこういる。その一方で、自分にとっては大きなコンプレックスに「みんなそうだよ」と言われてしまうことに、ちょっとがっかりすることって、あるんだよね。自分は他人とは違う、というのは、悩みでもあり、自分が特別な人間ではないか、という期待のよりどころに、少しだけなっていることもあるのだ。ネットの世界を眺めていると、自分にとっての「こんな珍しい本」や「こんなレアな音楽」は、その業界に詳しい人にとっては、「マイナーのなかのメジャー」でしかない、ということが多い。そこで、「ああ、自分も思っていたほど正規分布から外れてはいなかったんだな」と安心するのか、「自分は特別な人間でさえなかったのか」とがっかりするのかは人それぞれだ。たぶん、その両面があるのだろう。

ディスプレイ越しにみていると、「自分は他人と違う、ということを証明しようとして、『自分は他人と違うとアピールしたがる人』がみんなやっているような『（自称）すごいこと』に突っ込んでしまう人」や、「自分自身をぶっ壊すような自作自演コンテンツをつくってしまう人」は少なくない。この人は、本当にこんなことがやりたいのか、それとも、他人と違うことを証明するために、やりたくもないことを自分にやらせているのか。悲しいことに、そういう「自爆系」ですら、もう、大概のことでは誰も驚かない。有名人だって、ガチでそういうことに突っ込んでくる世の中だし。いろんなものが可視化されるようになった世界というのは、それはそれで生きづらい。

ネットでは通用する「正しさ」を、社会生活のなかで、つい、主張したくなってしまう衝動に駆られるんですよ。「ネット弁慶」なんていう言葉がありますが、ふだん、社会人として生きていくためには、波風を立てないほうが無難である場面でも、つい、上司や同僚に「逃げ場のない正論」を吐いたり、「それは違うんじゃないですか」って、言いたくなってしまう。もちろん、言わざるをえない場面というのは存在するんですけど、僕は突き抜けた能力や鋼鉄のハートを持っているわけではないので、あんまり他人に嫌われたくはないし、できればベタベタしない程度に仲良くやりたい。

文章の限界は「言葉以上のものをカタチにできない」こと。これは自明として、見落としがちなのが「言葉以下のものをカタチにできない」。例えばめちゃくちゃ頭が悪くてなんとなくでしか行動しない人の行動や心理は絶対に形にならない。だから1歳の子が主人公になる作品は相当難しい。

友達にライン電話したら切られて「今講義中だから終わったらかけるね！！」って言われたのが午後1時なんだけど、まだ電話かかってこないので講義、続いてるっぽい。

我々医師は、最悪の事態を防ぐのが大事な仕事です。そのように頑張っていても、防ぎきれなかったツライ想いを皆しています。だからこそ、「安心を与える」ためには、しっかり検査をして確信を得るのが大事だと考えています。それでも、いくら検査しても100%がありえないのが「医療」なんです。そんな「医療」を、たった数行の文章で「安心を与えられる」と思っているんだとすれば、それは「医師監修」の手から離れるべきだと思います。「安心を与える」というのは「建前」なのだと思います。本当に安心してもらおうというのであれば、病院に行って検査を受けたり、直に専門家のアドバイスを聞くのが、真っ当な解決策であることはわかるはず。

お金のためには、そんなことを書くよりも、センセーショナルな言葉を使ったり、検索対策のために記事を多発し、文字数を増やしたほうが効果がある」なんて、真面目な監修者に言えるはずもなく。実際に「わかりやすい言葉」「受け手にとって、都合がいい、めんどくさくない解決法」のほうが受け入れられやすいし、多くの人に見てもらえるのでしょう。「肩こりは幽霊のせい！」みたいなのって、バカバカしいのだけれど、それだけに、物見遊山で多くの人が見に来て稼げたりもするのではなかろうか。

ブックマークコメント欄を見ていると、ほんと、自分で「辛口ブックマーカー」だと思い込んでいるだけの「人の悪口を言って自分を偉そうに見せたがる人」の多さにうんざりします。誰かの「ネガティブコメント」が気になったときにどうするか？というと、僕は大概、そのブックマーカーが他のエントリに書いているコメントを見てみるのです。そういう人って、結局のところ、「自分が批判できそうなエントリ」ばっかり集めて、批判コメントを並べているだけの「かわいそうな人」なんですよね。そもそも、ネガティブブックマーカーには、自分で面白いブログをやっている人は皆無だし。「読んでいる人」のほうが「お客」だから偉いっていうのは、日本の悪しき「お客様第一主義」の弊害です。サービス業がそうしているのは、「そういうアピールをしておいたほうが結果的に儲かるから」であって、ブログの場合は、（一部の営利目的のブログを除けば）そういう関係は成立しません。批判的なコメント書いて「ネガコメ否定すんな！」とか声を荒げてるヒマがあったら、お前がブログやってみろよ、と思うんですよ。総理大臣やプロ野球の監督になるのは「選ばれた人」ばかりだけど、「ブロガー」なんて、パソコンとネット環境があれば、今すぐになれるんだからさ。つまらんネガコメを100個書く暇があったら、誰か一人にでも共感されるエントリをひとつでいいから書こうとしてみればいいのに。

メロスは激怒した。メロスには源泉徴収がわからぬ。貸借対照表がわからぬ。残高試算表もわからぬ。発生主義もわからぬ。な〜んもわからぬ。基本的に世の中のこと全てあんまりわからぬ。世界がわたあめだったらいいのに。寝る。

いま近所の小学生キッズたちの間で美術館巡りが流行ってて「なかなか文化的じゃん」って感心してたんだけど「女の裸の絵が見れる」ってのが理由だった（美術館は小学生以下は無料で入れる）「どこそこの美術館で女の裸の絵があるらしい…」「ちょっと遠いけどあそこの美術館なら裸の女の、しかも正面絵らしい…」って噂が小学生の間で広まってるのウケる。もともと裸婦像自体が、美術や宗教にかこつけて裸を描く事を正当化させたものである側面は多大にありますからね。正当な鑑賞法の一つです。パソコンやスマホでネットを漁ればいくらでも無修正やらエグいのやら出てきてしまうこのご時世に、わざわざ美術館行ってソフトヌードを見るという、それもまた別の意味で「健全」だなぁ、と思ってしまいます。

住宅街の近くを走り抜けながら、こぼれ落ちてしまわんばかりの一戸建てやマンションを眺めていると「これだけ人がいて、愛や友や信頼すべき人に出会うこと、それを運命と呼ぶにはあまりに間口が広すぎないか。すべてを偶然で片付けるには寂しいが」という思いが湧いてくることは、たまにある。

ネットの「場」なんて形のないもので、故に誰かが来て誰かが去ることは仕方ないし、現実の「場」よりも簡単。だからそこにいるうちは最近見なくなった人に「またな」とか心で言いながら心で小さく手を振ってやりゃあいいんだよなぁ、なんて。 無くならない限りいずれは自分が去る番なわけで。そしてそういう前者の「場」にいるとデジャヴュに出くわすことがあって、そういう時「あー、昔別名でよく絡んでたけど疎遠になった連中の誰かと、ここでまたお互いをお互いと知らず再度絡んでるのかもしれない…」なんてちょっと考えたりする。

1ヶ月タバコ我慢したら15000円も浮くのヤバいな。タバコ30箱買えるじゃん

なんで結婚したいの？する必要ある？って聞かれるたびに、なんで私の結婚したい理由を他人が納得できるように説明しなきゃいけないんだろうって思う。結婚したくない人は一生反論してくるし、私はしたい、あなたはしたくない、無理に理解はしなくていいから、私の考えを否定しなくてよくない？

食い殺した人間の断末魔を真似て新たな犠牲者を呼び寄せる系のモンスターだけど最後に食った人間の断末魔が「だ、誰も近付くなーっ！ぐはっ、コイツは人の声を真似て獲物を誘き寄せる怪物だ！」だったので誰も近付かなくなり餌が食べられず餓死するモンスター

絵を描いてもいない中高生の子がPCや液タブを欲しがったら、スケブを一冊渡して根気と情熱を確かめたほうがいいという話。こういうもんは貯めたお年玉を全ツッパして教訓ごとまるっと自分で学ぶに限る。「親に見せるのは嫌」というコメントがあるけど、すべてを見せるわけじゃなく、スポンサー向けのポートフォリオを作れってことなのに飲み込めないなら資金提供依頼諦めるべきでしょ。

「もう先輩と会えないのかと思うと本当寂しいです」「俺もだわ、マジ向こうに行っても忘れないから。たまにライン電話しよう」から半年もたてばお互いそんな会話忘れてしまえる、そんな人間の鈍感さと残酷さが好きだ。別れの辛さを飲み込むことは、ひととの喜びを忘却の水平線に追いやることと同じ意味なのかもしれない。

「YouTuberになりたいからカメラを買ってほしいと子どもが言ってきたらこう説得しよう」という類のツイートがよくバズっているけど、本質的に会話は非定型的で文脈や流れや関係性によって変わるから無意味だし、何よりも親子の信頼関係は相互のものなので、そういったライフハックで子どもからの要求を全ていなし続けているとどこかで強烈な揺り戻しが来るように思う。

小学生にとって最良の画材は鉛筆でもお絵かき帳でもノートでもなく机。机に書いただけでゲーム悪役のヘタクソな絵も時価数億円の現代芸術になる。オトナにはわからない価値基準がそこにはあった。

現代日本インターネットにおける「リベラル」はヌエよりも把握が難しい概念

街にある透明なホームレス除け。ネットの人々はそれらを気にも留めず、高速光通信によって「弱者救済」の神聖な四文字をネオン点灯している。障害物だらけのイス、高架下の三角コーン、不透明なゴミ袋、甲高い音、警備員、突起のある床。見えてるのに見ようとしない。そこにあるのにそこにない。意識ごと暮らしは分断され、空虚な専門用語と罵倒とが交互にSNSを埋め尽くす。寒空の下で炊き出しの豚汁をすする「彼ら」の歯は今日もがちがちと鳴っている。

歴史上の暴君はみんな自分の権力を維持するために、予測不可能に激怒するという戦略を取ってきた。カリギュラもヒットラーも金正恩もみんなこの「狂犬戦略」をとってきた。ある一定の閾値を超えると怒り出す暴君だったら、配下のものたちは怒りがその閾値に達しないところで振る舞っていればいい。ところが、もし女王に好意を示すハグをしても明るく接していた暴君が、翌日同じことをしたら首をちょんぎるという行動に出たとしたら、配下のものたちはいつも怯えていなければならなくなる。手下を怖がらせるには「不確実性」だけで十分なのである。暴君というものは、真にランダムに人を殺すことができなければ、その地位を守るのは難しい。飽きっぽかったり、気分に左右されたり、一貫性がなかったり、奇抜だったりすることが必要だということで、それもまた変幻自在性の一側面かもしれない。ぼくらは、ギャンブルにおいてはつねに暴君のように振る舞わなければならない。別に清廉潔白であってもいいが、そんなふうにしていても誰にも褒められることはない。だから、ギャンブルにおいては、ただ合理的な判断力にすぐれているというのではダメで、あえて「飽きっぽかったり」、「気分に左右されたり」、「一貫性がなかったり」、「奇抜だったり」する必要があったりする。ときには自分でも自分の行動が理解できないという方法を選択するかもしれない。それほど自由でなければならないということである。「実力で勝つうちはまだ二流、本当に強い人間は運で勝つ」というのは、かように複雑な戦略なのである。

だから、一見したところ、ギャンブラーはみんな悲惨な末路をたどることになると信じられているが、そんなことはけっしてない。彼らはギャンブルから多くを学び、それを人生に活かしたり、まったく別の出来事をギャンブルになぞらえて解決したりして、それぞれの道を歩んでいるのである。あえて言うならば、「財を成す」ことがギャンブラーの最終目的ではない。そうではなく、あえて言うならば、「いかに生きるか」を知ることこそがもっとも大切なことなのである。

ブックマークコメントで開陳される「正しいコメント」を読んでいると、僕はつい、「でも、そんな正しさを主張できるのは、ネットの中で、自分は徹底的に追跡・断罪されるわけがない、と信じているからだろ？」と言いたくなってしまうのです。僕自身もそういうどうしようもない人間なんだ。「それは違う」と思っても、偉い人の前では笑顔をつくって「そうですよね！」とか言うし、ネットでも、相手が大きなサイトをやっている人だと、気おくれしたり、へりくだったりしてしまうことがある。

逆に、そんな社会のなかで、「建前的な正しさ」を表出する場がある、というだけで、ネットには価値がある、とも言えるのかもしれませんが、まあなんというか、いまのそういう正しさって、結局のところ、ネット上で完結してしまっていることがほとんどなんですよね。

多数決原理というのは常に正しいとは限らないが、長い期間で見ると比較的正しい。少数の人を長く騙すことはできる。多数の人を一時的に騙すこともできる。しかし、多数の人を長く騙し続けることはできない。だから、すべての先進国が多数決原理を基本とした民主主義をとっている。与党の政治家も野党の政治家も、長い時間で国民の目に耐えうる政治を目指して貰いたいし、国民にもデマに惑わされずに長い目で政治を見て欲しい。

俺は正義の味方だが、どうやら正義は俺の味方ではないらしい

自己というのもリソースで、無限に湧いてくるリソースなんていうものはどこにもないと思う。自分を切り売りして何かを発信している人は、いつかネタが枯渇する。その時に余所にリソースを求めるのか、自己をもう一度育て直すのかはその人次第であるけれど、大体は枯渇したものは元に戻らない。そして枯渇したことに気が付かない人は結構多い。そもそも自己を切り売りしていた自覚すらないのかもしれない。そういう発信が増えることは恐ろしい。要は「どんなことを言っているのかわからないけれど発信している」状態の人が増えるということは情報の相対的な無価値化が進むことに他ならない。

「ブラック企業」に強制されて「ブラック労働」をやっているわけではなくて、自発的にこういう日常を送っている人に「そこまでやる必要はない」「もっと休んだほうがいい」って、言えるかな……とも思うんですよ。オリンピックで金メダルを目指してハードな練習をしている選手に「やりすぎ」って言えるだろうか？「それでもし、金メダルを取れなかったらどうするんだ？」って問い返されて、「人生には金メダルより大事なものがある」と自信を持って答えられるだろうか？もしかしたら、HIKAKINさんは、いまが「YouTuberとしての勝負所」だという意識があって、ここで差をつけておかないと、かえって後でキツくなる、と考えているのかもしれません。

頭二つくらい抜けてしまえば、少しクールダウンしてもやっていけるから、今が大事なときだ、と。まあ、あんまりそんな感じでもないですけどねえ。本人から疲労感は垣間見えても、悲壮感は伝わってこないし。こんなふうにしか生きられない「仕事中毒」なのか、ネットで生きていくには、必要なことなのか。

「人とうまくやらなければならない」という強迫観念めいたものを抱えている人って、けっこういると思うんですよ。これだけ「コミュニケーションの重要性」が語られている時代だからなおさら。彼らは、細心の注意と集中力を用いて「他人と世間話をしたり、愛想よくしたりできる」のだけれど、それは本人にとっては、「失敗が許されないミッション」であり、ものすごく精神的にも肉体的にも消耗するので、極力、そのミッションには参加したくないのです。結果的に、周りからは「あの人はコミュニケーションができる（あるいは、上手な）、みんなとうまくやれる人」とみなされる一方で、本人は、家に帰ったら、ようやく緊張から解放され、全身から力が抜けてぐったりしてしまう。

13歳から「作家になりたいんですが」と相談を受けたら、「作家は人に残された最後の職業で、本当になろうと思えばいつでもなれるので、とりあえず今はほかのことに目を向けたほうがいいですよ」とアドバイスすべきだろう。作家の条件とはただ1つ、社会に対し、あるいは特定の誰かに対し、伝える必要と価値のある情報を持っているかどうかだ。伝える必要と価値のある情報を持っていて、もう残された生き方は作家しかない、そう思ったときに、作家になればいい。

アメリカに1ヵ月間くらい行ってみて、「あまり英語が通じない外国人」として車で地方都市を旅行していました。一生懸命話しかけても「は？」みたいな表情をされて、そっぽを向かれることが多くて、人に話しかけるのが心底つらくなったんですよね。そういう「小さな敬遠」の積み重ねは、人間から自信を失わせ、ネガティブ思考に向かわせるのです。人と接するのが怖くなる。安全圏から想像しているのと、自分がその差別される立場になって実感するのとでは、全然違う。僕だって、LGBTのことがわかるのか、当事者の気持ちがわかるのか、と問われたら、「わかる」なんて口が裂けても言えない。ただ、そこで「わからないことを認めたうえで、お互いが生きやすいように気配りをする。少しでも歩み寄ろうとする」ことを捨てたくないのです。いるんですよ、世界中のいろんなところに。言葉が通じなくても、一生懸命「この見知らぬ外国人のために、なんとかしてあげよう」という人が。いいやつばかりじゃないけど、悪いやつばかりでもないんだ。

プロフィールだけは大学生

何もやってない奴が見ていい夢なんてないだろ

僕は歴史の本を読むのが好きなのですが、いろんな歴史の記録を読んでいて思うのは、「普通の人の普通の生活は、ほとんど記録に残っていない」ということなのです。みんなが「そんな当たり前のこと、記録する必要はない」と見なしてしまうからなんでしょうね。それでも、世の中には「記録魔」みたいな人がいて、江戸時代に東海道を旅して、そこで何歩で次の宿場に着いたとか、団子がいくらだったとかを詳細に記録しています。そういう「当時の人には、当たり前すぎて（あるいは、面白みがなくて）、記録する価値がないと考えていたもの」が、後世の歴史研究にとっては、大きな意味を持っているのです。

ウソばかりついている人物のことを「サイコパス」と揶揄する例もあるでしょう。ところが近年、脳科学の劇的な進歩により、サイコパスの正体が徐々にわかってきました。脳内の器質のうち、他者に対する共感性や「痛み」を認識する部分の働きが、一般人とサイコパスとされる人々では大きく違うことが明らかになってきました。また、サイコパスは必ずしも冷酷で残虐な殺人犯ばかりではないことも明らかになっています。大企業のCEOや弁護士、外科医といった、大胆な決断をしなければならない業種の人々にサイコパスが多いという研究結果もあります。

個人主義が発達している欧米には多いけれども、集団主義的な社会である東アジア圏では相対的に少ないという指摘や、男性より女性のほうが少ないという研究もあります。また、サイコパスとはシロかクロかというようなものではなく、人類の中にグレーゾーンのような広がりをもって分布していることもわかっています。つまり、症状にも程度があるということです。いわゆる「頭の良さ」に関してはどうでしょうか。サイコパスを題材にしたフィクションの影響もあって、サイコパスは「IQが高い」とか「天才」とかいうイメージを持っている人もいるのではないかと思います。

しかし、サイコパスと一般人のIQの平均は、それほど変わりません。統計的に有意な差が認められないのです。社会性を検査する尺度に注目してカテゴライズすると、むしろサイコパスのIQはやや低めに出ます。サイコパスが総じて優れた知能を持つわけではなく、一般人と同じように、賢い人もいれば頭が悪い人もいる、と考えるとよいでしょう。IQが高いと勘違いされがちなのは、社会通念上「普通の人はこういうことをしない」とされている倫理的なハードルを、サイコパスは平気で乗り越えてしまう、というより、ハードルなどもとから存在しないかのように振る舞うからです。

普通の人は「自分も他人も、普通はルールを守るだろう」という性善説を信じて行動しています。「ウソをついてはいけない」とか、科学者であれば「科学的なプロセスを踏んだ結果しか許されない」といたルールです。しかし、そうしたルールを平気で無視し、しかも一抹の罪悪感も抱かず平然としていられる人間に対しては、ウソや不正を見抜くことはなかなか難しい。それゆえ、「サイコパスは頭がいい」と、一般の人々は錯覚してしまうのです。これは、常人と異なるふるまいをする人に特殊な能力を見出したがるという、認知バイアスのひとつといえます。

サイコパスってのはリミッター無しの車と同じだ。そりゃパフォーマンスいいさ。人が生きる上で良心や共感といった感情がどれだけ行動を抑制してるか。だから、ドミネーターで計測する必要があった訳さ。

ネットで月に3万円「お小遣い」が稼げるようになったら、最初はすごく嬉しいはず。でも、それが3カ月、半年と続いていくと、その3万円を「得る喜び」よりも「失う恐怖」のほうが大きくなってくる。人間の感情というのは1万円の臨時収入があったときの喜びよりも、1万円を落としたときの悲しみのほうが、一般的には、はるかに強いのだそうです。だから、その稼ぎを維持するため、あるいは、もっと「成長するため」に、なりふりかまわなくなってくる人が出てくる。

生活のために働いているのに、働いているせいで生活が疎かになる

自分の身内が詐欺に合ってないか心配なとき「怪しい電話や訪問はなかった？」と尋ねるより「最近、親切にしてくださってる方いる？」と聞いた方がいいそうです。○○の営業の方がよく話し相手になってくれるとか枝を切ってくれた、というのは危険です。母に今度聞いてみよう。

うまく言えないけど、人は自分の言葉の中でしか生きられないから、その世界を押し広げるために本を読むのだと思ってる

だいぶ早い段階で「ひかり」と名付けてしまった新幹線の計画性の無さ。

自分でもビックリしてるんだけど、就活の時には「コミュニケーション能力」というものを金科玉条の様に掲げる企業を嫌悪すらしてたのに、社会人10年やった後、社会人に一番重要な能力は「コミュニケーション能力」というとこに落ち着きつつあるわけですよ。一定の教育を受けた社会人はある程度の専門性と技能を持つわけで、それを理解して、束ねて、強くまとめる（まとまる）にはコミュニケーション能力が要る。

これ、大学生や大学院生だったら否定したくなる気持ちも分かる。ただ、社会人やってるとコミュニケーションが上手く取れない人がキーマンになってて仕事が動かない経験が大なり小なりあるわけで。そういうのを経験すると、能力の多寡よりコミュニケーションが取れるかの方が大事だと思うようになる。何かしらのプロジェクトを遂行するには人と協力して、巻き込んで、動かす必要がある。プロジェクト遂行能力は則ちコミュニケーション能力でもある。

うちは両親が高卒で、親戚には中卒も多い。貧しいくせに父方も母方も兄弟が多く、受け継ぐ畑がなかったとかで、県内どころか隣接県にまで跨って親戚一同散り散りになっている。みんな鳶職、土方、ライン工、その他低学歴っぽい職業の見本市。同じ仕事でも大都市に出ればもうちょっと収入良いと思うんだけど、そういう発想はないらしい。通ってた小学校では援助交際で子供を作った女子もぽつぽついたし、親にネグレクトされててパン泥棒で糊口をしのいでる同級生もいた。

酒やタバコが悪いことだという発想なんてそもそもなく、不良グループっていうのは女子を輪姦して新聞沙汰になったとかそういうレベルの話。授業なんて半分以上成立してなかった。僕はそんな場所に馴染めず孤立し、図書館で本ばかり読んでいた。ネットもなかったし。

本家である叔父がそんな世界から抜け出したいと一念発起、歳の離れた従兄を東京の大学にやって、有名な電機メーカーに内定した。それを皮切りに一族は空前の大学進学ブーム。地元に塾なんかなかったけど、兄も僕も従兄弟たちも、みんな名の通った大学に進学していった。なんか地頭は良い一族だったらしい。

僕は好きだった文学を楽しむためとある国立大の文学部に入った。親も満足気だった。親たちはみんな低収入だったけど、おかげで国公立なら学費免除も寮住まい余裕だった。物価は高いけど、実家から野菜の仕送り＋バイトで人並みの生活は送れてた。だいたい都市のバイト代は高くて、頑張ったら親父の月収を抜きそうだった。バイトとサークルの掛け持ちをしながらだったけど、そんな苦労をしたと思ったことはない。地元のことを思い返せば天国みたいな場所だった。

大学ではいろんな人と知り合った。幼稚舎から有名私立に通ってて月何十万も仕送りされてるのに「親から自立した」と豪語するボンボン、親が教師で勉強一筋で鍛えられたという秀才君、17歳で酒を飲んだと悪ぶってる自称不良。地元にいた「本物の不良」みたいな人も一人いた。どいつもこいつもが馬鹿に見えた。漢字を知らない、ことわざを知らない、日本の観光名所を知らない、ヨーロッパの国の位置を知らない。なんで昭和初期の文豪の一人も読まずにこいつらは大学に来てるんだ。なんだ、高い金払って塾でお勉強してきた連中ってのはこの程度なのか。僕の中でどんどん歪んだ自尊心が形成されていった。

そして四年生になった。就活が始まった。ちょうどその頃、日本経済はリーマンショックの後遺症を抱えていた。そして言われた。「君が学んできた文学とやらは我が社で何の役に立ちますか」青天の霹靂だった。だって僕は有名国立大学の学生なんだ。成績も優秀だったし、表彰もされた。TVCMで何度も見たような会社はなしのつぶてだった。ある食品メーカーの選考中に、親切な人が教えてくれた。「君が受けてるところは総合職じゃなくて、工場のラインじゃないか？」それすら受からなかった。ボンボンはどこかの電機メーカーに決まった。工学部なら大学院まで行くのが「普通」なんだけど、もう勉強するのは嫌らしい。秀才君は大学院からアメリカに留学した。数百万円の留学費は親がポンと出したらしい。自称不良は大学院に進学した。後から聞いた話ではこれまた有名なメーカーの研究部門に入ったそうだ。本物の不良は保険の営業に決まった。体当たり営業出来るタフさが受けたらしい。

おかしい、何かがおかしい。「秀」の字が並ぶ成績表を見ながら僕は頭を抱えた。年が明け、僕は卒論を提出するか悩んでいた。新卒でないと就活は厳しい。しかし留年すると学費免除は厳しい。卒論は我ながら酷い出来だった。もっと資料を読んでいれば、もっと深く有意義な考察が出来たはずだった。しかし就活に忙殺され、一時は精神科にも通っていた僕に、そんな時間も体力もなかった。

ようやく内定が出たのは、卒論提出の一週間前だった。大都市にある、名前だけはどこかで聞いたことのあるような企業の事務所だ。そこで見たのはよく見知った光景だった。鳶職、土方、ライン工、そんな彼らの仕事を管理する事務職。管理といえば聞こえは良いが、要するにサポート、補助、下働きだ。大卒も高卒も関係なく採用されているポジションで、実際同期の過半数は高卒。職場で交わされるのは、地元の祭で親父たちが交わしていた、パチンコと競馬と風俗の話。僕は一度壁を超えて、そしてここに帰ってきた。僕は壁のこちら側で生まれ、あちら側に行き、そして帰ってきたんだ。いったいあの四年間は何だったのだろう。夢だったのか、幻だったのか。東京に行ってオシャレなカフェに通って、お金をためて海外旅行をするんだって。地元の連中とは違う世界に生まれ変わるんだって。

初めての連休に実家に帰った。地元の連中の中には地元で教師になり、警察官になった人間だっていた。彼らは僕より学歴が低いけど、僕よりよっぽど良い地位と収入を得ている。着の身着のまま上京して劇団に入って、苦労しながら生活してる奴のちらしももらった。もう僕には彼らも壁の向こうの住人のように見える。僕は、僕の親たちは、壁が学歴の間にあると思っていた。大都市には夢があると思っていた。夢はあった。でも掴み方を知らなかった。

地元は田舎だからか両親ともに兄弟が多くて、いとことか30人くらいいるんだけど、その中で大学に行かせてもらったのは俺くらい。俺の両親は、他のいとこが次々と中卒・高卒で働き始めたりしているのを横目に、頑張って俺を大学まで行かせてくれた。両親が大学まで俺を行かせたかった理由としては学歴コンプレックスもあったのだと思うけど、それ以上に今後生きて行く上で大切な友達や結婚相手の階層のレベルをあげてやりたいってことがあったのだと思う。実家に帰ると、親戚の誰それが結婚した、でも結婚相手はどうしようもないバカでパチンコばかりで家族そろって金を無心にくる、という似たような話がゴロゴロ。不倫・バツ1・再婚・生活保護・パチンコ・ギャンブル・騙した・騙された・蒸発、、、あげれば切りがないけどそんな話がゴロゴロゴロゴロ。ほんと、子供がDQNの家庭は親も間違いなくDQN。

俺の両親は2人とも低学歴だが、そういう世界に本当に嫌気がさしていたんだろう。今思うと、きっと両親はそういう「低学歴の世界」が常識な親戚から俺を遠ざけたんじゃないかと思う。いつの頃からか、他の親戚連中とは距離を置くようになっていて、気付いたら俺もいとこ達とはあまり会わないようになってた。大学にもやれないような、子供の将来よりお金の無心しかしない人を騙すしか能のない親の元で育つ子供はバカになるし、バカとしか結婚できないんだ、そして親と同じことを繰り返すんだと両親は良く嘆いてた。そんな地元環境だったので、大学に行ってからはカルチャーショックがたくさんあった。中学時代の同級生で大学へ進学したのは10人いたかどうか。そのうち、進学で上京したのは俺を含めて2,3人だったと思う。

大学へ行ってまず俺が驚いたことは、友人達の家庭環境と文化レベルの高さ。両親がサラリーマン家庭（そういう友達は地元ではほとんどいなかった）家族兄弟の誰かが海外赴任とか海外住まいとか普通にいる（英語ならお姉ちゃんがペラペラだよ、とかすげぇ）海外旅行経験者多すぎ（国内旅行すら修学旅行くらいだった俺には衝撃）趣味が舞台鑑賞とか美術館めぐりとか（ギャンブルが趣味じゃないって凄い）騙す人なんてほとんどいない、無条件に人を信用する人の多さ、お金を貸しても絶対返ってくる、「ありがとう」とか感謝の言葉が普通に飛び交う、などなど。

もう大学卒業して結構経ってしまったからその当時の衝撃を少し忘れてしまっているけど、「高学歴の世界」の人からみたら、ごく当たり前のこんな感じのことで当時の俺は衝撃だった。今思うとここが「高学歴の世界」への入り口だったんだなと思う。大学の友人達は大学院へ進んだ人も多かった。俺は学部で卒業したけど、大学院進学も見据えて大学入学してきた奴らなんて、本当「高学歴の世界」すぎた。俺なんて、大学入るまで大学院なんていう存在すら知らなかった。親と一緒に驚いた。大学の上に更に進学するところがあるんだって！って。

大学では本当に勉強・研究を頑張った。大変だったけど初めて勉強が楽しいと思った。大学でできた友人達とは今でもとても仲が良いし、めでたいことにその時の友達ひとりと結婚もした。今の俺の状況としては、東京の某大企業に就職し無事に溝を超えて「高学歴の世界」にお邪魔した感じだろうか。そして、会社に入ってから更に大学よりも純度の高い「高学歴の世界」の人たちがたくさんいることにビックリした。家族の職業が医者とか弁護士とかエリートぞろい、趣味のレベルが高すぎる（○○大会で優勝とかプロ顔負けレベル）、子供の学校は私立で当たり前（都会では私立の方が頭がいいんだよね、それにもビックリ）、飲み会などでの会話もウィットに飛んでる。仕事していて困った奴もたくさんいるけど、地元にいた「低学歴の世界」の人たちのような耳を疑うような非常識さは全くない。ここでずっと仕事していると、こういう世界が日本の普通と錯覚してしまう。

そして彼らの大半は、家族も両親もずっと「高学歴の世界」で生きてきた人なので、「低学歴の世界」を垣間みたことがない。大学進学するのが当たり前だと思ってるし、周りも大卒ばかりなので、実は日本には大卒ってそんなにいないことを実感していない。パソコンとインターネットの違いが分かるのは当然だし、スマホもタブレットも使いこなす。飛行機や新幹線のチケットはネットで買うのが当たり前だし、分からないことは全て自力で調べられる。年に一度は海外旅行が当たり前だし、英語は苦手といいつつも日常会話はそこそこできる。両親兄弟がちゃんとした常識人で、困ったときには何かしらのアドバイスをくれる。両親の家に普通にパソコンがあって、孫の様子をスカイプでテレビ電話する。孫のために両親がお金を湯水のように注いでくれて、当たり前のように援助してくれる。それがどれだけ凄いことか分かってない。なので、たまにそんな「高学歴の世界」の奴らにいらっとしてしまうのだ。

この溝は超えたことがあるものにしか実感できないんだろうなと思うし、実感しても人生にいいことはあまりない。だから大半の人は溝に気付かないか、見ない振りをしてごまかすんだと思う。大学進学が溝を飛び越えるのには一番理にかなっていると思う。けど、その障害となっている一番の原因がその親だ。

底辺高校で教師をやっている友達が嘆いていた。頭のいい子がいて大学進学を進めても親にその気がなければ、もうそこでその子の人生は地元止まりだと。なんとかしてやりたいけど、全員を救えるわけではないしどうしようもない、と。唯一、政治家だけはこの溝について何かしら対処すべきだと思うけど、政治家自身も「高学歴の世界」にいる人たちばかりなので実感として「低学歴の世界」を理解できないんだろうな。 年々この溝が深くなっているような気がする。本当に根深い問題だと思う。

台湾故宮から歩いていける台湾原住民博物館には「世界の首狩り族の分布地図」があって、日本も首狩り族認定されていたのはちょっと衝撃的でしたねー。「言われてみれば、、、ホンマや」って感じで。

嘯、布袋のギターすぎる

容疑者から押収したPCを調べる。「アダルト」というフォルダがあったが、この中に入ったデータは見られてもいい用のダミー。本当に見られたくないデータは別にある。不自然に隠しフォルダに設定された「ファイナンス論レポート2019」を発見。中を開くと「でんのうせんしポリゴン.avi」が入っていた。

SNSって他人の思考がそのまま文字として流れてくるから、それを見てるうちに自分で何か考えたつもりになっちゃうんだろうな。他人の思考がそのまま文字になっているのSNSだけでなく本もそうなのだが本と違ってSNSは勝手に流れてくるという意味で受動性が少し高いのに加えてリツイートとかシェアとかいう機能で全く脳を働かせなくてもあたかも意見をアウトプットしているように錯覚してしまうあたり予後が悪い

フードコートで右手にたこ焼き、左手にクレープを持った状態でうどん屋さんの列に並んでたら、店員さんに「持てなくなるからどっちか食べるか置いてきてからにしたほうがいいよ」と論破されました

自分の頭で考えてるつもりだけど実際はインターネットに繋いで思考を同期してるだけの人たち。

磁気ネックレスで健康になるなら、MRI担当の技師さん、もう不老不死だと思うんだよね

「エッチな本の隠し方を教えてください」ってタイトルの質問を「思春期の男子が母親からエロ本を隠す話」だと思って内容に触れたら「母親が思春期の息子からBL本を隠す話」だった。自分もまだまだ先入観や偏見がヒドいもんだと反省中。

文化によっては物乞いでさえ「喜捨によって相手に徳を積ませてやる役割がある」ということになっているわけで、感謝とか承認の流れが一方向にならないよう工夫されていたりするし、それがなければ人間の関係は不健全になり歪んでしまうのだよな。健常者から障害者へ配慮すればするほど歪んでしまう。ならば障害者も何かしらの点で秀でることで社会に貢献できれば良いのだろうけど、まず障害の有無によらず何かしらの点で秀でられること自体に幸運が必要だし、何よりメリトクラシーで人の価値が計られる社会では「障害がなかったらそうであったろう自分」の有能さの背中を永遠に追い続けることになる。

そりゃあ「あなたにはあなたの価値がある。人より有能でなくていいんだよ」と言うことはできるけど、実際に目の前に展開されている社会がどう見てもそんな価値観で動いていないのが見てとれてしまうんだから、そんな言葉では納得できないよなあ。そういう八方塞がりの状況にある人間に「毎回毎回感謝しろ、でなくともお礼を言え」と要求すれば、当人の自尊心はすごい勢いですり減ってしまうし、あるいはそれを避けようとした結果、傲慢になったり「クレームをつけることが自分の使命なのだ」などと考える怪物になってしまうのだよな。「毎回欠かさずお礼を言うくらい簡単だ、自分はやってる」などと気軽に言える人は、自尊心を頻繁に補給できる何らかの手段や能力に恵まれた人か、自己肯定感お化けか、心にもない言葉を並べ立てることに抵抗を覚えない特殊な人間ではないかと思う。お礼を言わせようとするなら自尊心の補給が必要だ。

飯を食うということはビジネスの世界に足を踏み入れることと同じ。自分の感性と世間の感性が一致する奴もいて、そういうやつらの中には「好きなことで生きていけ」という。真に受ける奴らは救いようのないアホ。ユーザーのニーズから逆算して好きでもない曲を作る奴もいるし、アニソンの仕事を引き受ける奴もいる。君が見たくないのは音楽の商業的側面ではない、おそらくその先にある現実を見たくないんだ。音楽をタテにするなよ

この業界に夢や奇跡なんてない。全て誰かが仕組んだプロモーション。その要素の一つに曲があるだけだ。

勝つ方法が最適化されたゲームをやっているような気分だ。

これはライフハックなんですけど、お節介な人に教わったときに毎回チップを渡して、だんだんその額を減らしていくと、お節介を受けなくなります。

人というのは、自分が知っている世界については、細分化したり、格付けしたりしがちです。よく知らない人にとっては「みんな似たようなもの」であっても。同じ医学部でも、「東大医学部」や「京大医学部」と、僕が通っていたような「駅弁」とでは、大きな差があるような気がしていたのです。彼らは、地方の大学をバカにしている、ハナクソくらいにしか思っていない、なんて話も聞きましたし。同じ「医師免許を持った医者」でも、出身大学による格差みたいなものがある、と僕は感じていたのです。実際のところ、僕はそういう人たちとの直接の競争の舞台に上がることさえできなかったので、どこまで、そういう「学歴格差」みたいなものがあるのか、というのは、実感としてはわからないんですけどね。

「受験エリートの世界」っていうのは、ある意味、底なし沼みたいなもので、進学校などでそういう価値観を植えつけられ、そのなかで競争していればいるほど、細かく差別化したくなるものみたいです。駅弁大学よりは九州大学のほうがいいし、それよりは東大・京大のほうがいい。東大でも、文3よりは、文1のほうがいい……ような気がする。医者だって、東大理3のほうがすごい。医師免許にゴールド免許はないけれど、なんとなく、「ああ、僕は下のほうだな」って思うこともある（そしてそれは、あながち被害妄想ではないような気もする。それこそ、大部分は「自己責任」なのですが）。東大に行っても、大学院まで行ったか、とか、東大よりもハーバードやMITやオックスフォードだろう、とか、上には上があるし、高校時代に植えつけられた「高い偏差値を仰ぎ見る習性」というのは、なかなか変えられるものではないな、とも思います。

実際のところ、学歴が幸せを保証してくれるわけではありません。学歴が高いばっかりに、「あんな良い大学出ているのに……」とか、「頭でっかちで現場では使えねえ」みたいな陰口を食らうケースも少なからず知ってます。そもそも、学歴が高いと、自分自身からも他者からも「満足できるハードル」みたいなものが上げられやすいところもあるんですよね。プライドを一時捨てて身を屈めれば、簡単にやり過ごせるような嵐も、その場に背筋を伸ばして踏ん張ろうとして、キツい思いをすることになりがちです。

「体力」と「頭脳」は別物のように考えてしまいがちだけれど、脳だって人間のパーツのひとつです。ものすごく勉強ができるのに、体力的についていけなくて、最前線から離脱していった人を僕はたくさんみてきました。体力的なキャパシティを精神力や努力で補い続けるのには限界があります。ある意味、身体を使う仕事って、みんな体力があるのは当たり前、なんですよね。逆に、「体力は関係なさそうな世界」では、「技能とか頭脳」みたいなものは、みんなそんなに大きな差がなくて、身体の強さとか、体力的な余裕がモノを言うのです。それは、スポーツの「上手さ」ではなくて、「脳を動かしたり、イレギュラーな出来事に対応したりするための電池の容量」みたいなものです。

「僕はそうごう商社のことをよく知りませんが、この人がお金を持っているということだけは知っています」

「そこだけはまだ知らなくてもいいと思うよ」

めちゃくちゃお金持ちになった後「いや～いうてお金が全てではないよ」って言ってみたい。めちゃくちゃ気持ちいいんだろうな。

無理に優しくする必要は無い。友達になりたくなければ、無理になる必要は無い。障がい者だからと可哀想がる必要もない。 それが対等に人間として障がい者を見ると言うことだ。 みたいな事が、五体不満足に書かれていて、読んだ当時衝撃だったのを覚えてる。 この人が築いた関係もそう言う事だよね。

コミュ力をネットで議論しだすと全員がマイ定義を持ち出すので全くコミュニケーションにならず、結果的に参加者全員のコミュ力がないように見える、という現象。

「こうして、キリギリスをみんな殺していったら、アリだったはずの自分も、いつかキリギリスとして断罪されるときが来るのではないか？」と怖くなるのです。予防は大事だろうけれど、もし病気になってしまったら、あるいは病気が進行してしまったら、「それでも、できる範囲で、幸福に生きられる社会」というのが、「豊かな社会」ではないでしょうか。「人間一般が長生きしすぎだ」と言いながらも、「自分の大切な人には長生きしてほしい」というのが人情なんですよね。

ムカつくこと：baby in carの車に煽られること

スカっとすること：その車に信号待ちで追いつくこと

どうしてもポテトチップスが食べたくなったときには、我慢するのではなくて、買ってきて少しだけ食べて、残りは捨ててしまえ、という話が出てくるのです。もったいないという気持ちは理性で押さえ込む。もったいないからといって、無理をして必要以上に食べて、身体をこわしたり、ダイエットに失敗してしまうのでは、誰も幸せにはなりません。食べることがマイナスの効果を生むような状況で、無理して完食にこだわる必要はない。「もったいない」というのは、食べたい人の言い訳、みたいなところもあるんですよね。食べ物に感謝する、とはいっても、食べられる側は、「美味しく食べてくれてありがとう！」なんて考えないのではなかろうか。

「相対的貧困」と「絶対的貧困」について、筆者がよく使う例は「靴」である。いま、仮に、靴が買えず、裸足で学校に行かなければならない子どもが日本にいたとしよう。日本の一般市民のほとんどは、この子をみて「絶対的貧困」の状態にあると考えるであろう。しかし、もし、この子がアフリカの農村に住んでいるのであれば、その村の人々は、靴がないことを必ずしも「絶対的貧困」とは思わないかも知れない。つまり「絶対的貧困」であっても、それを判断するには、その社会における「通常」と比較しているのであり、「相対的観点」を用いているのである。現在では、ＯＥＣＤやＥＵなど、先進諸国の貧困を論じるときには、「相対的貧困」を用いることが多い。これは、ロウントリーが定義したような「絶対的貧困」は、先進諸国においてはほぼ撲滅されているという前提で貧困が論じられているからである。

経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）の報告では、日本の子どもの「相対的貧困率」は、ＯＥＣＤ諸国のなかでアメリカに次ぐ第二位であり、貧困率は１４％である、という「現実」が示されています。１クラスが４０人とすれば、５～６人は「相対的貧困の状態にある子ども」になってしまうわけです。この本では、定時制高校に通う子どもたちから、中学校、小学校とどんどん年齢が下がっていって、最後は保育園の現状が紹介されています。「子どもの貧困」というと、僕自身も、「給食費未納」とか「服がいつも汚れている」というような「見かけに気を配れなくなるような状況」だというイメージがあったのですが、これを読んでいると、貧困のあまり、生命の危機にさらされている子どももいるのだということがわかります。そして、大人が自分の経験から考えている「貧困」と、現代のリアルな「貧困」というのは、まったく違ってきているのだということも。

「ブログで稼ぐ為には」みたいな、「金銭収入というはっきりした尺度」を全面に押し出す人たちがなんか随分増えたなあ、とは少し前から思っていました。別に、マネタイズは悪いことだとは全然思わないし、「ブログでお金稼ぎ」自体はいいんじゃないの、まあ確かに私もブログでお金入ってくるとうれしいなあ(面倒だから殆どやってないですが)、程度に考えていました。ただ、その「はっきりした尺度」があり、その尺度を多くの人が共通の価値として持ち始めると、今度は「その尺度を達成すること」だけがメインになってしまうんですね。つまり、「ブログに何か書きたい」というよりは、「ブログでお金を稼ぐ為のテクニックだけが気になる」という人が増えてきた。で、その「テクニック」に基づいて、例えばノウハウ記事とか、収入の報告記事とかがどんどん前面に出てきた。挙句の果てには、ここ最近「一つの記事に時間かけるより、オリジナルコンテンツじゃなくても大量に記事挙げた方がいい」とか書いてる記事まで見かけました。「誰にでも書けること」を大量に持ってきてPVを稼ぐ。「俺にしか書けないことを書く」とは真逆ですよね。ブログはメディアであり、コンテンツであるのに、「面白さ」っていう根本的なものを置いていって、そこに未来はあるのかなあ、と。

クレーマーって意外に自分がクレーマーだと自覚してないのではないか。狂気はいつだって正気と紙一重のところにある。

子どもに飯を与えて大きくなっていくのを眺めるのが「教育」ではない

ただ塾通わせて偏差値あげることだけが教育ではない。子どもなんて、うまくいってるように見えても飛んでいくんだから。こんなの、学校の成績だけで自己肯定感を得ていた奴にめちゃくちゃよくある。自分を支える柱が1本しかないから余計にダメージを受ける。親のあんたが子どもを切り捨てるようになったら終わり

人間の記憶は最後の、そして最強のマーケティング情報

バラ色の夢を妄想するより、いっそ灰色の現実を直視したほうがまだ実があるというものだ

人間が一番不安になるのは、不安の正体がわからないとき

自殺なんて人口比で考えたら0.0数パーセント超エリートコースだろ！

漫画でよくある「朝起きたら、昨晩家に泊めた女の子が台所でご飯を作ってた」というシチュエーション、メニューに焼き魚があると「お前...家主に無許可で魚焼きグリルを使ったのか...！？」となりそこそこヤバいやつに思えてしまう

うまく言えないんですけど、もう「それ専業で食えてるフリ」はやめたほうがいいよな、と思うことはある。日本国内とくにみんな隠したがるじゃないか。どう考えても計算合わないのにね。「私は陶芸のアーティストよ、役所勤めで生計を立ててるの」みたいな順番の自己紹介でいいと思うんですよ。

ゆたぼんを批判している人多いけど，大学で教育をしているとしては，今後ゆたぼんが大人になって「やっぱ学校行っておけばよかった…」と後悔した時に，「今からでも全然間に合うよ！大学に講義を受けにおいでよ！」と言ってあげられる環境を整えてあげたいと思うよ。

思慮深い人ほど「Aの可能性が高いですがBも捨てきれません。現時点ではCでないと言い切ることもできません」と慎重な物言いをするけどテレビが求めてるのは「絶対A」と言ってくれる人。チコちゃんなんかまさにそう。

僕は「恋愛経験豊富な人」というのも苦手だ。そもそも、何度もマッチングに失敗した人が、なぜ「経験豊富」という評価をされるのか、よくわからない。スジからいえば、高校時代の初恋の人と添い遂げるほうが、よっぽど「正解」ではないのか。縁とか運っていうのはあるから、最初に正解に辿り着かないのはしょうがないんだけど、そういう遍歴の長さ、多さって、あえて自慢するようなことでもあるまい。

どの会社でも共通の真実は「仕事は優秀な人の所に偏る」「でも働いた分だけ評価される訳ではない」「配属ガチャより怖いのは上司ガチャ」「会社はいざというとき守ってくれない」「転勤は誰も幸せにしない」「頭の良さより要領の良さ」「転職したいって言う奴ほど転職しない」。

世の中で、人間が持つ欲求の善悪というのは、「多数決」みたいなもので決められている面もある。異性の成人を愛するという傾向を持つ人が今の世の中では多数派ですが、同性愛についても、少しずつ権利が認められてきています。もちろん、恋愛なんて、多数派の異性愛者どうしであっても、うまくいくことばかりじゃありませんが、「許容範囲」は広がってきている。でも、「小さな子供しか愛せない」という生まれつきの性癖を持った人間は、それがどんなに切迫した欲求であっても、「合法的に満たす」ことは、いまの世の中では許されない。

「性癖にもとづく、やむにやまれぬ衝動だったのだから」を「言い訳」にすることは、許されない。ただ、そういうふうに生まれついてしまった人は、ものすごく生きづらいだろうな、とは想像してしまうのです。「仕事中毒」とか、「読書マニア」「スポーツにひたすら打ち込める」などというような、社会的に認められることが多い「性癖」を持った人は、賞賛されることも多いのに。理性では「やらないほうがいい」「やめたい」のに、それを「やらないこと」に耐えられない。

正直なところ、「僕にはそんな性癖がない」から、なおさら、そういうふうに生まれついてしまった人を責めるのが忍びない気がするのです。でもさ、「生まれつきならしょうがないから、好きにやっていいよ」と言うわけにもいかない。こちらが被害者になる可能性だってあるのだから。自分とか、社会ってものを守るためには「排除」せざるをえないこともある。

>> マジョリティとマイノリティの境界線は何か、という哲学的問答。ゲイが死刑の国もあれば、幼女と結婚する文化の国もある。社会とは人の集合なのだから、正義も公正は、結局のところ多数決になる。

>>自分は男性の性欲は多分よくわかって無いけど、多くの男性は思春期から自分の性衝動と折り合いをつけて、他人を傷つけないように生きてきてるのでは無いのでしょうか。この人が特別葛藤してるわけでも無いような気が

>>特殊な性癖を持つ人はごまんといるだろうけど、犯罪を犯す犯さないの壁はとてつもなく大きいと思うなぁ

絵本コーナーと受験参考書コーナーというのは、人生のごく短期間においてだけ、濃密な関係がある場所です。

ネットが一般的なものになって、ものすごい量の「情報」を得られるようになったけれど、その一方で、「最終的に選択するのは自分」であることは変わらない。いまの時代、なんでも母集団が大きいほうが「サービス」ではないと思うんですよ。ブログのエントリとかでも、「オススメのマンガ（推理小説）100選」みたいなエントリって、たくさんあるじゃないですか。でも、あれって、紹介されている100個全部読む人なんて、ほとんどいないはず。あっ、これって役立ちそう！とブックマークして、そのまま観ることもなく放置、というケースも少なくないでしょう。個人的には、そんなふうに「網羅」するようなものより、「10選」とか、いっそのこと「いま私がオススメしたい1作」を紹介してくれないかな、と思うんですよ。むしろ、「100のなかから、私が1つ選びました」のほうが、実用的だし、魅力を感じるのです。

小学校中学校ってちょうど「国歌斉唱の時、恥ずかしくないぐらいギリギリの小さい声で歌う」世代だったと思うけど、それって「君が代」のメロディーがヘンだからなんじゃないか。アメリカの「星条旗よ永遠なれ」以上に激しかったらみんな頭とか振りながら歌うと思う。

無名の芸能人に対して皮肉を言うとき、有名人の名前を出して「あいつの鼻、研ナオコみたいだよな」と言うと誹謗中傷にならないというライフハックがある。これで訴訟してきたら「えっ？あなたもしかして研ナオコをディスってるんですか？」って言い返せるし、自分自身は「いや、似てると思ったから言っただけで…」といいようがある。

その場を去ろうとした彼女に、お母さんは言いました。「行かないで」と。彼女は、その声をふりほどくように泳ぎ、避難所に辿り着いた。誰が悪いわけでもない。もし彼女がお母さんの「行かないで」の声に躊躇していたら、一緒に命を落としていたかもしれません。共倒れになるくらいなら、自分だけでも助かったほうがいい。彼女は、きっと、「正しい選択」をした。にもかかわらず、彼女は、「お母さんを見捨てた」ということを背負って生きていかなければならないのです。それは仕方のないことなのだ、とみんな言うだろうし、僕もそう思う。彼女だけでも助かってよかった。そして、同じような状況で、諦めることができずに、運命を共にした人だっていたはずです。それを間違いだと、責めることもできない。もし自分だったら、そう言えるのか？人間の、普段の「覚悟」なんて、脆いものです。その場にひとりで取り残されて死んでいくのは、怖いに決まっている。当時15歳の彼女の親といえば、ちょうどいまの僕と同じくらいの年齢だったのではないかと思います。いざというときに、自己犠牲の精神を発揮できる人間なんて、ごく一握りです。お母さんは、あの津波が来るまでは、侍でもハリウッド映画の主役でもなく、ごく普通に生きている人だったのだから、「突然かつ理不尽に、自分の人生が終わってしまうこと」を受け入れられないのが当然です。

ストーリーを進めていって、結婚前夜に「すやすやと眠っているフローラ」と「眠れずに窓の外を眺めつつ、『私のことは心配しないで。フローラさんを選んだほうがいいよ』と気遣ってくれるビアンカ」を目の前にすると、「ここは人間としてビアンカだろ！」という気持ちになってしまうのです。「フローラを選ぶつもりだった人」でさえ、あの場でビアンカを捨てるのはなかなか難しいはず。堀井さんも、なにかのインタビューで「基本的にはビアンカを選ぶように作っている」と話していました。　「8割くらいの人は、ビアンカを選んでいる」とも。たとえそれがデキレースであったとしても、「ただビアンカと結婚する」というのではなく、「いろんな意味で魅力的なフローラの誘惑を断ってビアンカを選ぶ」からこそ、プレイヤーの思い入れも強くなるのでしょう。

ネットでの人々のふるまいも同じなのかもしれません。「なんでこんなに『正しさ』で異論を圧殺しようとするのか？」と考えてしまうのだけれども、実際は、「現実では『正しさ』を貫けない代償行為」みたいなものなのかな、と。　そもそも、「絶対的な正義」なんて、フィクションの中にしか、存在しないものだし。僕は毎回、ビアンカを選ぶたびに、「もし僕が人生やり直せるとしても、結局同じことしかできないんだろうな……」と、自分の不器用さが悲しくなってしまいます。

>>非常に重要なことが書かれている。何度ドラクエをしても、他の選択肢が用意されているにも関わらず、ビアンカと結婚してしまう現象。無限の選択肢があり得る、でも、僕には僕しかありえない。という、世界の構造

東日本大震災の際に津波で家族を失った人たちは、どんな心境で海と接しているのだろうか？海を憎んでいるのだろうか、見たくもないのだろうか、それとも、海とともに生活してきたのだからと、変わらず見つめることができているのだろうか。海のせいじゃない、というか、海とは、そういうものだ。直接関係のない人は、たぶん、そう思うしかない。だけど、当事者は、自分でも理不尽だとわかっていながら、消化しきれないモヤモヤとしたものを、ずっとずっと抱えているのではなかろうか。

「子どもの作文」についての話なのですが、読んでいて、僕も子どもの頃、読む大人の目を意識して書いていたのを思いだしました。個人的には、周囲の人間が、「これは素直」「これは大人に媚びている」と決めるのも、あまり良いことではないという気はします。ブログを書いていて、モチベーションが失われていく原因のひとつが、「添削したがる人」の存在なのです。書かれていることが社会への問題提起であれば、それに対する意見とか反論があるのはあたりまえです。でも、ある人が自分の経験や内面を語っているようなものに対しても、「そういうふうに行動したり、考えたりするのはおかしい」という反応を示す人がいるんですよね。その人たちは、「ネットという公共の場所に公開されているのだから、何を言われてもしょうがないだろ」と胸を張っているわけです。頭のなかに溜まっているものを素直に掃き出そうして、「添削」されてしまうと、「書くことによって救われる」どころか、「かえって面倒なことに巻き込まれる」ことになります。

明治時代、読書といえば四書五経のようなマジメな漢籍を読むことであり、絵空事を書いた「小説」は読書のうちに入らないとされていた。で、「小説のような悪書を読むのは不健全である」と新聞で論じられたりもした。ひとえに小説が新しいメディアで当時の大人達が慣れてなかったのである。1950年代に漫画が悪書扱いされ、日本各地で焚書まがいの弾圧が行われていたのは有名だが、そのころ漫画を取り上げられて泣いていた子供たちが成長し老人になった今、誰も手塚治虫の漫画を悪書と呼ぶものはいない。

高校野球の地方予選では「甲子園常連の強豪校」でも、甲子園に出てくれば、PL学園（野球部、どうなるんでしょうね）にレベルの違いを見せつけられて惨敗してしまう。それは、笑うべきことではなくて、どの世界でも、レベルの高いところを目ざして、トーナメントに参加すれば、誰もがいつかは負けるのです。「優勝者」を除けば。一部の成績がはっきり出るようなスポーツ選手の世界を除けば、「人生のピーク」なんて、案外はっきりしない、というか、多くの「普通の人生」にとっては、「ピーク」なんて意識しないほうが良いのではないかと僕は思います。ピークが過去では、がっかりするだけだし、いくつになっても「未来にピークがある」というのは、「往生際が悪い」としか言いようがないし。「転落」を「転落」として認めること。「転落」するのは、悪いことではなくて、そうやって、世界の広さを知っていくのだということ。そして、なるべくマシなところへ向かって「転落」すること。昨日、ソフトバンクホークスの優勝パレードのニュースを観ながら、僕はパレードしている選手たちのことではなくて、「群衆」のひとりとして参加している35万人のことを考えずにはいられませんでした。選手たちがいなければ、優勝パレードはできない。でも、あの大混雑のなか、一瞬選手の顔をみるために参加した35万人がいなくても、優勝パレードにはならないんだよね。

「先生って何回修学旅行行ってるんですか？」「いいなあ」いいもんでもない。朝早いし眠れないし。毎日睡眠時間４，５時間で３泊４日、トラブルがなければそれはそれで楽しいけれどそれだってわりときつい。ありきたり、真新しいこともない。感動も少しずつ薄れていく。何度目だろう京都。でも。十七歳の最後の旅、と気がついたら、さみしい。修学旅行に行って、集合してから帰ってきて見送りするまで、ずっとそう思っている。十七歳の、最後の不自由な旅だ。何もかも他人任せの、でも部屋も行動も一人で気ままになんて絶対できない、声高に団体行動団体行動って言われる、子どもの旅。

もうそんな子どもの旅はしなくていい。気の合わない人と旅なんてしなくていい。不自由だし、いやだなって思ったら拒否できる。もう、旅をしないことだって選ぶことができる。楽しそうにどう散財したのか報告しあう子たちを見てその瞬間から子ども時代が終わっていくにおいがして、とても切なくなる。帰ったらもう、子ども時代は終わるのだ。子ども時代は終わる。泣いても笑っても。いいじゃない、自由。そして不自由。お金を稼ぐこと。歯車になること。ようこそ、大人。

なんだか、ものすごく矛盾しているのだけれど、「息子と遊べる期間が、長く続いてほしい」と日頃は思っているにもかかわらず、個々の「息子と遊んでいるとき」は、早く終わらないかな……と鞄を片手に、終業時刻のベルを待つような心境になってしまうのです。でも、こういうことって、生きていると珍しくもなくて。生きていると、「良い時間」と「つらい時間」は、モザイク状に入り混じっていて、「いいとこ取り」は不可能なのです。そして、どんなに「良い時間」でも、その中には、早送りしてしまいたい時間は、含まれている。

「目的のためには、手段を選ばない優秀な人」も居たのですが、彼ら「手段を選ばない人」の大部分は、どこかで、些細なつまづきからドロップアウトしていったのです。その一方で、大学時代にそんなに熱心に勉強もしておらず、留年ギリギリの状態だった、でも、部活やボランティアなどを一生懸命やっていた人たちが、医者になってから、どんどん立派に、頼もしくなっていったんですよね。同級生や周囲の人の半生をみてきて思うのは、人生をうまく乗り切っていくためには、2つの条件があるんじゃないかな、ということです。ひとつめは、その対象が何であっても、「自分がやりたいと思った物事に対して、一生懸命に立ち向かっていける」、ふたつめは、「自分がきついときにも、ユーモアと他者への気配りを忘れない」。「勉強ができたから、周囲のすすめで医学部に入った」とか「あるていど要領がよくて、単位は落とさなかったけど、なんとなく学生時代を過ごしていた」というような人は、どこかで、踏ん張りがきかなくなるんですよ。仕事をしていて、「この人はすごいな」という人って、「この人は、医学の世界に入らずに、他の仕事や研究をしていても、きっと成功していたにちがいない」と感じさせるものを持っています。

答えることのできない問いには答えなくてよいのです。以前テレビ番組の中で、「どうして人を殺してはいけないのですか？」という問いかけをした中学生がいて、その場にいた評論家たちが絶句したという事件がありました。でも、これは「絶句する」というのが正しい対応だったと僕は思います。「そのような問いがありうるとは思ってもいませんでした」と答えるのが「正解」という問いだって世の中にはあるんです。もし、絶句するだけでは当の中学生が納得しないようでしたら、その場でその中学生の首を絞め上げて、「はい、この状況でもう一度今の問いを私と唱和してください」とお願いするという手もあります。

世界には戦争や災害で学ぶ機会そのものを奪われている子どもたちが無数にいます。他のどんなことよりも教育を受ける機会を切望している数億の子どもたちが世界中に存在することを知らない子どもたちだけが「学ぶことに何の意味があるんですか？」というような問いを口にすることができる。そして、自分たちがそのような問いを口にすることができるということそのものが歴史的に見て例外的な事態なのだということを、彼らは知りません。

先ほどの「人を殺してどうしていけないのか？」と問う中学生は「自分が殺される側におかれる可能性」を勘定に入れていません。同じように、「どうして教育を受けなければいけないのか？」と問う小学生は「自分が学びの機会を構造的に奪われた人間になる可能性」を勘定に入れていません。自分が享受している特権に気づいていない人間だけが、そのような「想定外」の問いを口にするのです。

しかし、このような問いかけに対して、今の大人たちは、断固として絶句して、そのような問いは「ありえない」と斥けることができない。絶句しておろおろするか、子どもたちにもわかるような功利的な動機づけで子どもを勉強させようとする。子どもたちは、自分たちの差し出した問いが大人を絶句させるか、あるいは幼い知性でも理解できるような無内容な答えを引き出すか、そのどちらかであることを人生の早い時期に学んでしまいます。これはまことに不幸なことです。というのは、それがある種の達成感を彼らにもたらしてしまうからです。

そして、この最初の成功の記憶によって、子どもたちは以後あらゆることについて、「それが何の役に立つんですか？それが私にどんな『いいこと』をもたらすんですか？」と訊ねるようになります。その答えが気に入れば「やる」し、気に入らなければ「やらない」。そういう採否の基準を人生の早い時期に身体化してしまう。こうやって、「等価交換する子どもたち」が誕生します。

刑法には「人を殺したら、こういう罪になって、量刑はこのくらい」と書いてあるだけです。「殺すな」とは書いてない。法律があっても、人が人を殺すことは「可能」ではあるのです。それでも、『北斗の拳』みたいな世界にならないのは、「倫理」や「道徳心」があったり、「人を殺すことによって、罪に問われることは割にあわない」ので、それを実行に移す人は、ごく少数です。今回の佐世保の事件を起こした女子学生は「成績優秀、スポーツにも才能を発揮していた」そうです。おそらく、「人を殺すことによって、自分の人生に今後生じてくる影響」も、理解はできていたはずです。悪意や怨恨ではなくて、「興味」「好奇心」で、他人を殺してみたいと思う人間。正直、こういう性向を持つ子ども（に限らず、人間一般）を「言葉で説得する」ことができるのだろうか？と僕は思います。もしかしたら、「『世の中、そう決まってるんだ！』と激怒し、そんな子どもはぶん殴る」みたいなのが、いちばん正解に近いのではなかろうか。

たぶん、人間には「わからないからといって、とばさずに、突き詰めていったほうが良い時期、あるいは、そういう問題」もあるのだろう。だが、多くの場合は、本のわからないところはとばして読んでも、後の文章でなんとなくその部分の意味はわかる。というか、わからないところは、何度も読み返しても、そう簡単にはわからない。時間が有限であることを考えれば「わからないものを、諦める技術」「とりあえず後回しにすること」というのは、けっこう大事な気がする。完璧を求めれば求めるほど、完璧から遠ざかっていくのは、よくある話だし。「速読」って、「頭の処理速度を上げて、大量の情報を短時間で処理する技術」だと思っていたのだけれど、あれは「要らないところをどんどん削ぎ落として、データ量を減らす技術」なんだよね。しかし、普段「わからない問題も諦めずに粘り強く解いていこう」と説明している親が、「でも試験のときは別だから」って言うのは、子どもからすれば、納得いかないところもあるんだろうなあ。

芸能人とか有名人とか、モテていいなあ、とか昔は思っていたんですけど、あれだけの熱量の「好き」に耐え続けるのって、ものすごくキツいだろうなあ。歌やダンスの上手さや、当意即妙の受け答えよりも、「たくさんの『好き』にも押しつぶされない強さ」みたいなもののほうが、大スターには重要なのではなかろうか。美輪明宏やったかな。「1番幸せなのは、自分が好きな人に好かれ、嫌いな人には嫌われる事。みんなから好かれるなんて苦痛以外の何物でもありません」というのがあってなるほどと思ったりしたな。頻繁に他人の「本気の感情」に真剣に向き合うことが要求されれば、そりゃ疲れるだろうね

「毎日を人生最後の日のように、生きてみよう」大きな挫折を何度も経験しながら立ち上がり、闘病生活もおくっていたジョブズの人生について考えずにはいられない、多くの人の心に突き刺さるスピーチだと思います。しかし、僕はなんとなく、違和感もあったんですよね。本当に人生最後の日でも、人間は一生懸命勉強や仕事をしたりして、自分を高める努力をするのだろうか？ジョブズ自身も、闘病生活が終わりに近づくと、家族や友人たちとの時間を大事にしていたそうです。「最後くらいは、大切な人と一緒にのんびり過ごそう」というのが「正解」だとするのなら、「毎日を人生最後の日として過ごす」ということは、毎日「ありがとう、ありがとう」とか言いながら、好きな映画などを観つつ、家でゴロゴロしている、みたいな姿を想像してしまうのです。僕は「人間が本当に最後にやりたいこと、やるべきこと」と、「これが最後のチャンスかもしれないと、自分に言い聞かせてがんばること」は、違うのではないか、と思っています。そして、「違う」からこそ、努力したり、日常を過ごしていくことができる。

その人オリジナルの発想かどうかなんて、ぱっと見ただけではきっとわかりません。その人オリジナル、自分オリジナルだと思っていたことの源流が、実は自分が生まれた場所や今の生活圏にあった、とかっていうのはおそらくよくある話です。あと逆に、自分や自分たちが“普通”だと思っていたものが、1歩外に出てみるとすごくおかしなものだったことに気付いたとかいう話も、よく聞く話ですね。しかし、こういうことを語るとやはり特異な存在に思えてくるのが、村上春樹という作家です。批評家先生がよく指摘なさっていることですが、彼の小説の世界にはそういう「ローカルさ」がないのです。おそらく、村上春樹の出身地である神戸に行っても、彼が長く暮らしていた（暮らしている？）神奈川県の某所に行っても、「そうか、この場所だからこそムラカミの小説は生まれたんだ」とは思いません。逆にいうと、日本でも韓国でもドイツでもアメリカでもフランスでもベトナムでも、「ムラカミの小説は実はこの場所で生まれ、この場所のことを語っているんじゃないか？」と思えてしまう。その“開かれっぷり”が、私は気になりませんが、批評家先生は気持ち悪いといいます。村上春樹の“失われたローカル”みたいな問題は、引き続きじっくり考えてみたい私の課題です。好きな作家や画家、映画監督がいる人には、ぜひその人の生まれた場所、作家として多くの時間を過ごした場所に、実際に行って観てくることを勧めたいということです。そうすると、自分の好きな作品のいろいろな表現がどうやって生まれたのか、一瞬で理解することができるからです。「この人はここでこういうものを観て育ったから、こういう表現が作品に入っているんだな」というのが、驚くくらいあっさりとわかるのです。

観客気取りで「悪意がある」ユーザーのコメントにイライラしたら、「かかわったら負け」と思わず全力で反論すべきです。相手は最初から議論をする気はないので、戦いとしては楽勝です。特にはてなブックマークやTwitterを使ったエネミーであれば、文字数も限られているので、戦闘能力は基本的に低いです。また先ほど紹介した2つのブログに書かれているように、「自分は攻撃されない」と考えているので、一ノ谷で背後を突かれて敗走した平氏のように「え、反論するの……。うそ！！」と混乱に陥り、その後どのような反応をするのか、ドキドキしながら見ることが出来ます。もしTwitterで戦うなら、相手にメンションを送りつつ、Togetterでリアルタイムでまとめ、バトルが終わったらブログにまとめたTogetterのリンクを貼って、思う存分反撃しましょう。何せリアルタイムで反論は来ないので、やりたい放題です。

好きなスポーツチームを応援して、チームが負けて傷つくことは、それ以上の喜びを分かち合う日のための肥やしです。たった一人で自分自身が傷つくことに比べたら、分かち合うことのできるその傷はむしろ甘美なくらいです

芥川龍之介の、『地獄変』っていう小説ありますよね。大殿から地獄の屏風絵を描けと命じられた絵師が、自分の娘が火のなかで焼け死んでいく様子を、嘆きも怒りもせずに見事に描き上げたという話です。私、これはすごくよくできた話だと思っているんですよ。もちろん現代に生きる芸術家で、自分の肉親が火のなかで苦しみながら死んでいく様子を、表情一つ変えずに絵に描いたり写真に撮ったりできる人はいないでしょう。でも、芸術家っていう人種は、表現するためには手段を選ばないみたいなところがやっぱりちょっとある気がするんですよね。普通の人ならおそろしくて隠してしまうような部分を、この人たちは覚悟を決めてさっと出してしまいます。そしてその「覚悟」がより強い人が、一流の芸術家と呼ばれる存在になるのでしょう。個人的な思いや都合よりも、人類共有の財産を遺すほうを、本能的に選択してしまえる人。天才と凡人、芸術家と批評家を分けているのは、そこの部分なのかなぁと。自分には絶対にできないことだから、私は芸術家と呼ばれる人たちを、創作側に立って活躍している人を、深く尊敬しています。

村上春樹の小説で孤独をうったえる主人公は、“孤独”とはいっても恋人か都合のいい美女がすぐに現れるし、経済的にも恵まれていて、（つくるはちがいますが）友人もいる場合があります。そして、青山や恵比寿のオシャレなバーへ、颯爽と入っていく。「そんなオシャレな“孤独”は“孤独”じゃない！」というのが、アンチ派から多く聞く声です。でも、私はやっぱり村上春樹の世界の主人公たちは、孤独だなぁと思うんですよ。友人がいない、恋人がいない、お金がない、というのも確かに“孤独”だけれど、それらをすべて手に入れた上でもまだ満たされない心、孤独っていうのが、私はあると思うんです。前者の「もたない孤独」を書いているのが西村賢太で、村上春樹は後者の「もっている上での孤独」を書いているんだと、私は考えています。

だから、西村賢太的孤独を求めている方が村上春樹の孤独を批判するのは、八百屋さんに行って「何でケーキが売ってないんだ！」って言っているように、私には聞こえるんですよね。孤独にも、いろいろ種類があるのです。必ずしも西村賢太の孤独のほうが奥深くて、村上春樹の孤独は浅はかだ、とはいえないと思うんです。周囲も「とんでもない人なんだけど、なんか放ってはおけないんだよなあ」という接しかたをしているようにみえます。西村賢太さんは、他人に自分からにじり寄っていくけれど、近づこうとすればするほど、避けられてしまうような「孤独」を抱えているのではないかな、と。村上春樹さんの「孤独」って、ある意味「孤高」みたいなところがあるんですよ。「自分はみんなとは違うのではないか」っていう。あるいは「違わなければならない」っていう。どっちが良いとか悪いとか、そういう話ではないのですが、同じ「孤独」という言葉が使われていても、このふたりが置かれている世界というのは、全然違うんですよね。村上春樹さん側（の読者）からすれば「そんなカネがないとか友達がいないとかは、自分をしっかり持っていれば、根源的な問題じゃないだろ」って感じでしょうし、西村賢太さん側（の読者）からすれば、「そんなに恵まれてるのに『苦悩ごっこ』してんじゃねえよ」って言いたくなるはず。とはいえ、あえて言ってしまえば「本当に社会から孤立し、孤独のどん底にいる人」は、村上春樹も西村賢太も、たぶん読まないんですよね。朝日新聞の「ワーキングプア特集」と同じように。そういう意味では、どちらも「似たような孤独ごっこ」だとも言えるのかもしれません。

最近の、ジャスコやイオンモールに関するやりとりをみて、僕も「地方都市は、みんなイオンモールや、ゆめタウンで『画一化』されてしまっているよなあ。なんかさびしいなあ」と思っていました。ところが、自分が実際に東京に投げ出されてみると、もう僕の欲しいものに「東京でしか手に入らないものや娯楽」は、ほとんどなくなっていることに気がついたのです。イオンモールは、画一化されていてイヤ、だと思うけれど、イオンモールでは買うことができないものを、僕は、欲しがっているのだろうか？僕がすっかり、洗脳されてしまっているのか、それとも、イオンモールのやりかたが、あまりに洗練されてしまっているのかはわかりません。ただ、「格差」の消失とともに「憧れ」もなくなり、自分がイオンモールで買っているのか無意識のうちに買わされているのか、そんなこともわからなくなってしまったなあ、と遠い目をして、ため息をつくばかりです。

文字のほうが批判の「色」が強く出る理由、文字で書かれると、ある種の永続性みたいなものを感じてしまい、心理的により強い強迫感が出るからだろうか、みたいなことは昔から考えている

ある戦場カメラマンが、戦地でのこんなエピソードを書いていた。敵（それはアメリカ軍だったり、国連軍だったりもした）の空爆で犠牲になった人の家族が、カメラマンの手を引いて、ズタズタになった遺体のところに連れていき「こいつの顔を撮ってやってくれ。そして世界に伝えてくれ。名前は○○だ」と頼むのだそうだ。あまりにも圧倒的な力に押しつぶされてしまった人たちは、もう「ジャーナリストに頼る」しかない。それが何か劇的な解決をもたらすと信じているのかどうかはわからないけれど、彼らは、無惨な姿になった家族を、カメラの前に晒そうとするのだ。

日本はまだ、平和なのだ。少なくとも、マスコミを疑えるくらいには。あるいは、平和であると、みんなが信じている。もし日本が「戦場」であったならば、「実名報道論争」なんてものは、起きなかった。亡くなった方々は、「国のエネルギー政策のために遠くアルジェリアにまで行って、テロの犠牲になった英雄」としてまつりあげられたに違いない。その一方で、「そうやって、海外で危険を顧みずに働く人たち」のリスクを実感させないために、国策として「実名」を避けるという判断がなされる可能性もある。今回は、そのどちらでもなかった。そこに議論があるのは、たぶん「健全」なことなのだ。

どんな時代にも、どんな場所でも、リスクを取って生きる人はいる。戦地で働くことを自ら選ぶ国連職員に「危ないですよ」とは言えても、「だからやめる」かどうかは、本人の人生観でしかない。日本でも、つい最近、原発事故の際に原発事故の収束のために危険をおかした人たちがいた。彼らに対して僕ができたのは「敬意」と「感謝」を捧げることだけだった。なんというか、そこで「じゃあ、自分がやります」と言えないのは情けないし、恥ずかしい。そんな技術を持ってないし……とか言い訳をしてみるのだが、持っていたって、できなかっただろうなあ。

NHK総合で放送された。小学生の男の子が「もう昨年ほど(被曝が)気にならなくなった」と言うと、番組スタッフは彼に笑ってこう言った。「すごいじゃん！」。・・・こんな放送局におかねを払う人がいるのですね。

僕のツイッターのタイムラインで、こんなツイートを見かけた。ほんと、NHKや大手マスコミは、原発事故後、自分たちの安全第一、ということで早々に遠くに避難するという根性無しっぷりを白日のもとにさらしてしまったのですが（しかし、根性をみせて被曝をおそれずに報道するということが良いのかどうか、僕にはなんともいえません）、これを読んで、僕はなんだかとても悲しくなってしまったのです。この小学生の男の子に「すごいじゃん」って言った番組スタッフにとっては「他人事」だったのかもしれない。だから、こんなことを「笑いながら」言えるのだ。……でもね、こんなふうにも想像してしまうんですよ。もし自分が被災地に言って、小学生の男の子を前にして、同じような言葉を聞いたら、なんて答えればいいのだろうか？って。

「いや君、それは違う。気にしなくなったからといって、放射能による汚染は続いているし、君の健康は、将来にわたって損なわれる可能性がある。悪いのは国や東電だ。そして、お金のために原発を誘致した地元、そして、それを許容してきた国民全体の責任でもある。だから、「気にならなくなった」なんて言うのはおかしい。目を覚ましてくれ！」もしかしたら、こういう「正しさ」が期待されているのだろうか？だとしても、小学生男子に、何ができる？親を説得して、引っ越しさせる？　反原発運動をするように、説得させる？いまもそこに住んでいる、あるいは、住まざるをえない人には、それぞれの理由があるのだ。この子だって、「気にならなくなった」と言っているだけで、「もうだいじょうぶ」なんて言ったわけじゃない。

いま、そこにいる子どもたちに対して、どうすればいいのか、と考えると、うまく答えが出せない。NHKの取材者に好意的すぎる、と言う人も多いだろうけど、もし、僕が現場にいて、この小学生の話を聞いたら、「すごいじゃん！」とか「強いんだね」「がんばれよ」っていうような、月並みの褒めたり励ましたりするような言葉しか出ないような気がするのだ。人って、本当に「何も言えなくなるとき」がある。それが、あまりにも深刻で、どうしようもない事態であればあるほど、「うまいこと」や「正しいこと」なんて言えなくて、ただ押し黙るか、月並みの「がんばってね」「御愁傷様でした」みたいな、つまらないことしか言えなくなるときがあるのだ。

『アメリカ横断ウルトラクイズ』の第１回優勝者（もう34年前の話で、松尾さんはもう73歳になられているんですね）や、「クイズと結婚した女」石野まゆみさんなどの「クイズ有名人」がたくさん出場していて、僕はけっこう懐かしかったのですが、でもまあ、いろいろと思うところもあったのです。あの番組に出てくる出場者たちは、みんな「自信満々を通り越して、傲慢な人々」のように見えました。僕はちょっとびっくりしたよ。テレビであんなに「自分はすごい！」ってあからさまに宣言する人たちを観たのは、久しぶりだったから。その一方で、素人参加クイズが『アタック25』くらいしかない現在のテレビ業界における彼らの「哀愁」も、際立っていたんですよね。ある出場者は、「クイズ番組に出場するために、オーディションに自由に出られる仕事」についているそうです。 この人はいま40代後半。コールセンター勤務。番組内では、「クイズで稼いだ賞金が1500万円！」と紹介されていましたが、僕はその金額を聞いて、せつなくなりました。 コールセンターの仕事をバカにするわけじゃないですが、あんなふうにクイズを極めるだけの頭脳とやる気があれば、フルタイムで働く専門職に就き、もっと稼ぐことが可能なはずです。 1500万円というのは、それなりの大金ではありますが、あれほど人生をクイズに捧げても、金銭的には、そんなものにしかならないわけです。それでも、人はクイズに賭ける。いや、クイズに囚われてしまう人がいる。彼らが、あんなに傲慢な態度をとれるのは、たぶん、僕たちが「クイズに囚われた人々」に哀愁を感じているからです。

人生をそれなりの成功には導いてくれるけれど、少なくとも大富豪になれるような能力ではない。あるいは、その能力を得るために積み重ねた努力に、その成果は見合わない。「クイズ」とか「大食い」だから良いのであって、「外見の良さ」とか「高収入のスポーツ選手」とか「学歴」とかだったら、視聴者は、彼らの「プライド」を正視できないのではないかな、と思うのです。だって、「クイズのために、お役所勤めで独身生活を続けているなんて、物好きだねえ。もっと『役に立つ』ことにそのアタマを使えばいいのに」って言えないからさ、そういう「真の勝ち組」の人たちには。しかし、あの番組に出てきた「クイズ王」って、考えてみると、「有名ブロガー」に似てますよね。その能力、もっと有意義に使えよ、って、みんな突っ込まずはいられないところとか、本当にクイズが好きなのか、ここまでクイズで生きてきたから、もういまさら自己否定もできなくなってしまったのか、よくわかんないところとか。クイズ王のなかにも、クイズを武器にして放送作家になった人がいれば、大学時代はクイズ研究会で鳴らしていたのに、「卒業」してしまう人もいる。そして、いつまでも「クイズに答える」ことにこだわり続ける人もいる。あの人たちは、あれで幸せなのかなあ？そう思いながら、僕はWQCを観ていました。たぶん、幸せとかそういうんじゃなくて、そうせずにはいられない、ということなんだろうと思うんですよ。

内科外来は「薬を変えるので飲んでください」で終わるけど、精神科外来は新しい薬を飲んでもらうための説得に30分以上かかるのがザラやぞ。精神病圏では「5週間おきに病院に来ないとダメ」「青色の薬はダメ」とか思考が硬直するし、不安障害では「不安を治す薬を飲むのが不安だ」になるので。

自殺する時は、遺書に「〇〇さん　人の残業を勝手になかったことにするな！笑」って書こうと思う。

医師「普段飲んでるお薬はありますか？」

患者「あります！」

医師「なんて薬ですか？」

患者「えーっと、わかりませんが青い錠剤の薬です」

医師「数千種類まで絞れました！」

神「おお医師よ　それはトラップじゃ　患者は青いシートに入った白い錠剤も《青い薬》と表現するのじゃ」

どんなことも3日で辞めちゃう呪いにかかった坊主が「どんな危険にも2日目までは耐えられる」という性質を利用して怪異に立ち向かう話

水を異常に怖がるという特性のほうで、狂犬と呼ばれている人がいたら嫌だな

フランス人の知り合いに「フランス人女性は例え、子供が幼くて、相方の稼ぎが凄く良くても、仕事をしなくてはいけない」という社会的同調圧力が強いと聞いて驚愕している。

車検に体ひとつで通ったジジイ

高校で一番喋った女子に卒業の日「写真撮ろうよ〜もう一生会わないんだよ？」って言われたのきつくなってきた

とて運転

わ！子供が飛び出してきた！！とて……（轢き殺す）

スペイン語なんも分からんのに単語が断片的に聞こえるからBGMとして最も集中力を削がれる。薄暮の雨の中を自動車運転してるような。

モテ男を好むのは根本的には生存ヒエラルキーを勝ち抜くための選好だと思うので、全員がモテ男になっても更なるモテ男ヒエラルキーが形成されて結局序列の構造からは逃れられないと思うけど、それはそれとして顔がいい人間を見た時の本能的な喜びは残るので人類総顔面玉木宏による幸福の総量は増えそう

生前、息子が書き遺していたWarframeのエロ画像をこれから少しづつアップロードしていこうと思います。機械には疎く時間がかかるかもしれませんが、息子が遺した想いを受け取り、オナニーしていただきたいです。

なんで現代人は「孫を育てたくて仕方ない本能」を持ってる祖母と子どもをわざわざ引き離しておいて、夫が仕事で疲れきって育児に協力してくれない！みたいなこと叫んでんのかな。バカかと思う。

Twitterのエッセイ漫画家って毎日のようにおもしろいことが起きててすごいな

市立科学館にて。夢中で顕微鏡を覗きこむ男の子に対してお母さんが「そんなちっちゃいもの見てたらちっちゃい人間になるよ！」と叱りつけていた。あーあ。科学者の卵が割れちゃった。果たして本当にちっちゃい人間は誰なんだろうね。みたいなうるさすぎる架空嘘松を考えて過ごしていたらもう午後か

誰でも認める凄い人にはなれないだろうが、誰かにとっての凄い人にはなりたいと思う

もともと満たされてる人間は文章を書かないので、えてして「苦手」になりがちと思った。もちろん「満たされていない人間はみな得意」とは思わないが、得意な人間を見てるとやっぱり「自分は何かしら足りないものがあって、しょうがなく書き続けています」「なんなら得意とも思ってません、一番向いてる方法がこれだっただけ」と述べてもいる。小説家や芸術家になるのは、そういった「足りない」を埋めようとする絶え間ない努力が無意識的にできる人なのだろう。言い換えると、自分を自分で満たせる人にはない才能が、我々にはあるのかもしれない。それがあくまで特殊ケースであることは念頭におくとしても、自分にしか言語化できないものがある。それはたぶん確かなんだろう。

「権利と義務は表裏一体」論、なぜか中学高校で頻発してたけど、それはたぶん風紀の悪い奴らに言うことを利かせる一番簡単な方法だったからだと思う。「お前たちは義務を果たしていないので、こういった権利を受けられません」とボッシュート方式にできる。本来、人権という概念がある時点でこの論は破綻しているのだが、学校教育は人権さえもおもいやりという玉虫色の5文字に書き換え「人権のためには思いやりが必要」という意識を植え込ませることに成功した（本当は思いやりがなかろうが人権は認められる、まさに義務と表裏一体ではない）人権がほしければ思いやりをもて、と主張できる。ゆえに生徒が「この校則は（より上位の規範である）憲法、具体的には人権に違反しています」と言っても「いや、違うね。きみは思いやりがないから人権を主張する権利、校則を変える権利はない」と主張できてしまう。本当は成績や態度や言動が悪かろうが、それが民主的でないと思えば生徒はいつでも蜂起できるのに、この「表裏一体論」のせいで多くが校則の奴隷となり果てている（過去の自分もそうだった）。

改善するためには教員ではなく上のレイヤーに伝えることなんだけど、これを改善する官僚たちの多くが表裏一体論に染まってそうだしなぁ（そういう律儀な人しか官僚になれないわけだし）。

そして翻ってみると、自分も「勉強する義務を果たさないなら報われる権利はない」なんてマッチョに思っていがちだし、結局誰も責められなくなってしまう（「そいつら」より終わってないという自負はあるが）。

よく通知表に「落ち着きがない」と書かれてたんだけど元気ってことだしいいじゃんと思ってまったく治そうとしなかった結果大人になってアパレルのバイトを始めたとき店内を無意味にウロウロするのがどうしてもやめられなくて忙しい日より暇な日の方が疲れた顔してる意味わからない人になってしまった

大人になっちまったというのに正気でいられる奴、正気じゃない

5日間の新入社員研修、山奥だったけど1日でウンザリしたから夜の山道を40km、歩いて帰った。山から街の灯りが見えた時の感動、それが希望だった。

アーノルド・シュワルツェネッガー、息子のパトリック・シュワルツェネッガーに、いつも家で部屋から出ていく時に「アイル・ビー・バック」って言って、家族から「父さんもういいよ…」ってうんざりされていることを暴露されてて笑った

「素手のトイレ掃除」ある種の支配層との相性がめっちゃいいのだよ。支配したい対象の尊厳を手っ取り早く奪う行動として「素手トイレ掃除」は使えるってこと。初手で尊厳を奪っちまえば、そのあとコントロールしやすいから。だから素手でやれって言うんですよ。

「大学レジャーランド」論と「ロンダリング批判」が同居するのは「地頭というものがあり、それは十八歳の時点でペーパーテストによって測定でき、以後固定される」という非現実的な信仰があるからよね。

研究職やってて思うのは、正直普通の仕事の99%は算数で済むが、残り1%ほど高校数学が必要になる事があり、その1%の課題の価値は残りの99%の価値を圧倒するものだという事だ。算数で済む仕事は価値が低いのよ。

就活、働きたくないのに働きたいですと嘘をついて嘘を見抜かれて拒否されるという茶番だった

特に見ているわけでもないNHKに年間2万円を払う人の気持ちが全然わからなかったんだけど、テレビを一度捨てて廃棄証明書をもらい、電話で書類をもらって、書いて、郵送して、という流れが面倒すぎてしょうがなく払っているのだと思う。彼らに理由を尋ねるときまって「法律で払うように定められてるから」となんか間違ってないけど正しくもないことを言ってて、本音は「見てないから解約したいけど面倒だし、それをこっちに伝えるのももう面倒だから」なんだろうな。こういった不合理性は誰にでもあって、私も以前は「ポイントカードを作るのは面倒だからやらない」とか「電子決済だと30%還元なのに現金で払う」みたいな愚かさがあったので気持ちはよくわかる。面倒がる人が損する社会。

比喩ですが、「努力は報われる」と信じていられる能力・環境の人達が集まる部屋と、とてもそれを信じられない人達の集まる部屋とあって。お互いの部屋の間に仕切りがある限り、平和なんですよ。お互いがお互いの文脈で会話してるから。この仕切りを無くしたのがSNS等なんでしょうね。そりゃ、片方の部屋にいる人達からすれば、もう片方の部屋で話されている内容が聞き捨てならないということもあるかもしれません。ここで改めて言いますけど、自分の人生観に合った環境に属するのは大事だと思いますよ。もし自分が頑張りたいなら、頑張ってる人達のいる環境に身を置きましょう。

「相手をバカだと婉曲的に言う表現はどんなものがありますか？」「君には賛成するけど、そうするとわれわれ2人とも間違ってるってことになる」ロシアでは「賢い考え方が君をいつも追いかけている、ただ君は速い」と言う。「知性が君を追っている、でも君は速い」「完全なバカでも使える製品をデザインするときに一般的に犯しがちな間違いは、完全なバカの能力を軽く見すぎてしまうところである」。イエローストーンの国立公園管理者として言うと、クマに荒らされないゴミ箱を作ることは非常に難しい。それは最も賢いクマと最もバカな人間の差が少ないからだ。ギリシャ「脳が降ってきたとき、傘を持っていたんだね」ドイツでは神様に祈るときにそれを言うよ。「神様、脳を降らせてください」

著名人からの言葉で、男は自分の心の中に合理の城を築いていた。ある面で合理的、またある別の面で非合理的であるのが人間だと理解するためには、男の人生経験も知力も足りなさすぎだった。蟻が二次元にしか生きられないように、この癖は男の思考を平面的にしていた。

足元からおれをじっと見つめる二つの青いガラス玉(猫)

疲れた頭で青や赤の文字を見ていると軽いめまいがしてくる（まとめサイト）

経緯を順に追ってみようとしても、話題は放射状に広がり、絡まり、ねじれ、断絶しており、まったく全貌がつかめない。おそらく全貌などないのだろう。「猫を持ち上げる人間は原発再稼働反対派」ということばにどんな背景があるのか、もう俺にはよくわからない。

体はこんなに疲れているのに、頭の方はさえっぱなしで、眠気は訪れない。息苦しい。吐いた空気をそのまま吸っている感じがする。

上品だからこそ、なんか不気味に感じるの。知らないうちに選択の可能性が狭められて、型にはめられていっているような気がする。行動の押しつけみたいなわかりやすいやり方よりももっと巧妙な形で、青写真どおりの世界が作られているみたいな感じがしない？

好きだから選んだのか、それとも選ばされたものを好きになっているのか、わからなくなって

あなたは支配と多様性は両立しないと思ってるみたいだけど、私は違う。全てを一色に塗り替えてしまうのだけが支配じゃない。きっと、いろんな人形を配置して好みのジオラマを作るような支配もある。世界の流れに反発しているような人も、バランスを取るために誰かがそこに置いてるのよ。いつでも取り除けるように準備しながら。

暇をこねくり回す

当時のわたしが子供なりに克服したと思っていた幼さを堂々とぶら下げて接してくる態度が不愉快だった

「神様も呪いもただの道具なんだ」と、そのとき悟った

合理性が成り立つのはごく小さなコミュニティだけだ。組織っていうものは大きければ大きいほど、内部に理不尽を飼う余地がある。

こいつが提示する案に「なぜ」はない。膨大なパターンが結んだイメージ、つまり高精度な直観みたいなものだからな

射精直前で手によって流れを止めた後の拍動は、止められたぶんの液体を含むからか勢いがよくなる。これを利用すると、一回目、二回目の拍動を抑え気味にした後、三回目で大きく飛翔する「白おしっこ三段跳び」が可能になるものと思われる

むちゃくちゃ気分の悪くなるまとめ。どうしてなんだろう？　と不思議がって見せながら、実は相手を貶める結論がもうしっかり自分の中にあって、それを賢しらにひけらかし、見下して遊んでいる人間が集まっている。

このまとめに対するブコメで、すげーうまいなと思ったのが「オフィスの入館カードを貸与されない立場で、トイレや休憩で外出するたびにプロパーに依頼する必要がある って想像してみたらどうだろう。」ってやつ。まさにこれだよなー。「なんで『ありがとう』を繰り返すのがしんどいのかわからない。よっぽど自分をお高く置いているんだろうね」派のひとは、トイレや休憩の都度、近くのプロパーの好意にすがらなくてはならない生活が、まっっっったくしんどくないのか？マジか？私はね、しんどい。そのフロアで入館カード持っていないのは自分だけでさ（人口比から言えばそんなものでしょう）、フロアで働いている人たちは全員何も考えずに自由に普通にトイレに行ったり休憩したり、自販機で飲み物買ったりしてるんだけど、自分だけそれができないの。すべてにカードがいるの。ある日、すっごくトイレ行きたくなるけど、たまたまフロアに人がいなくて困るときが来たりする。

水分とらないようにしてぎりぎりまで我慢しているけど、限界が来て、やっとフロアに入ってきた人にカードを貸すよう頼む。舌打ちされる。「はあ？　なんであたしが？」とすげー嫌そう。他に誰もいないし、トイレ限界でもらしそうだと伝えると、カードを投げつけられたりして、嫌な感じだけど、でも貸してもらった限りはお礼は言わなくちゃいけない。大抵の人はいい人だけど、一定数、そういう人はいる。それでも腰を低くして、好意にすがる。謝って、感謝する。でもまあ、言われる。「いっつもカード貸してもらっているくせに、感謝が足りないよねー。相手の態度が悪い？　それはね、あなたの態度が悪いから。相手の態度はあなたの態度の鑑だよ♪」とかさ。私はそんなオフィスでは働きたくないし、嫌な会社だなって思う。みんなほんとに平気なのかその会社。自分乗り物の座席の窓側嫌いな理由がこれだわ。自分の好きなタイミングで座席立ちたいし、通路側は横の相手が動く時にどくのは手間なのに、全然気持ち楽だよな

ホントは、みんな違う生き物だったのよ。摩擦が生まれて当然なの。なのに、同じ姿かたちをした人間というだけで仲良くしなければならなかった。淡水魚と海水魚を同じ水槽で飼ったら、片方は絶対に死んでしまうのに。

匿名の書き込みはどれも複数の定型文の組み合わせによって成り立っており、彼は文節の一端を見るだけで何を言わんとしているか察することができた。思考に負担のかからない読解は親指の運動を捗らせる。

東京では何がなしに過ぎていく時間が、群馬ではじれったいほどに遅く流れているように感じられた。

彼は小言が付随した言葉には返事をしない。

一連の出来事についてツイッターに何を書けばいいのか、彼にはわからなくなっていた。手癖でうった「さっき」という3文字だけが宙ぶらりんになり、視線が無為に画面周辺を泳ぐ。およそ4秒間の逡巡の後、入力しかけのツイートを削除した。見知らぬ誰かが入力した小さな意味の群れを次々と飲み込んでいくうち、沸き起こった思いを言葉にまとめようとする欲求はなだめられる。

中学生の時に買った漫画の上に高校1年の秋に買った課題図書が重ねられて、さらにその上に受験生向けの中学英語参考書が乗っている。彼という人間が経験していたものごとが無秩序に積み重なって、あちこちで層を形成している。

あたしがいない間にもみんな勝手に育ってたのかよって思うと、なんか変な感じ。

子どもは給食をむやみに速く食う。馬鹿だからだ。メルルーサ。不気味な語感だ。それがどんな魚のどんな部位かは知らなかったし、今も知らないが、しかしともかく味は良かった。当時は得体の知れなさに恐れすら抱いたが、今となってはあの怪しさがメルルーサの美味を引き立てていたようにも思える。

全ての男は「速さ」にあこがれる。中でもとりわけ原初的で魅惑的なのが「足の速さ」だ。人間が最初にした競争はかけっこだっただろう。誰一人として早食いすることそのものに言及しなかったし、「俺のほうが早かった」といった会話、議論の類は一切なされなかった。しかしそこには確かに競争があった。口に出すことで失われる価値…粋という概念が、給食早食いには極めて幼稚かつ高度に宿っている。彼らが人々にたたえられるのは、彼らの必死な姿勢の中に、なりふり構わず走る子供の姿を見出しているからではないのか。もはや早歩きとは言えない、どちらかといえば遅走りと表現したくなるような速さで。

レンガ造りの駅や立ち並ぶビル群、皇居の存在は知っているけど、ザ・東京って感じはしない。雑多な色々がうごめいている都市の中心にしては、ここはあまりにもなめらかすぎる。それは人間を生かすために欠かせない心臓が、血液を送り出すためのポンプに過ぎないことと似ている。ほとんどの人にとって、ここは「ふりだし」のマスなのだ。

待ち合わせスポットは適度に目立ち、なおかつ、つまらないものであるべきなんだ。もし面白いとそれ自体が名所になって、待ち合わせ以外の人が寄ってきてしまうからね。このアイデアを出した駅員は、待ち合わせの美を分かってる。

どれもなんとなく眺めている分には気にならないのに、じっと見るとディテールの生々しさが薄気味悪く見えてくる。神は細部に宿るというけれど、だとすれば神はグロテスクな姿をしているに違いない。

一番乗りの優越感にはたまらないものがあるね。新雪を踏み荒らす快感に近い。

私は心の身長みたいなものがみんなより低いのだ。みんなには私に見えない景色が見えていて、そこは大人の世界の風景とつながっている。いつかみんなホントの大人になっても、私だけはいつまでも膝丈から子供の世界を眺めているような、そんな気がする。

ああいうのは大人のみみっちい後悔を子どもに演じさせてるだけなの。あんたは本物の子どもなんだから、そんなのに付き合わなくていいの

アイドルというのはすごい商売だね。顔のデコボコの具合がそのまま価値になるんだからね

教える人間は信じていないことを教え、信じる人間は教えられてないことを信じる。

子どもは矛盾を思い込みで補完する能力を持っている。ヒーローショーで戦うウルトラマンがテレビで見たときよりだいぶ小ぶりでも、彼が「本物」だと疑わなかったし、なぜ疑わなかったかといえば、おねえさんが「ウルトラマンの登場です」と高らかに言ったからだ。ノストラダムスが不発をかまして以来、俺は補完機能を失った。同時に、大人になった。

「嘘を暴くと称する嘘」に騙される人間は、本当に多い。ここの連中は考えない。何も考えていない。口を開けて待っていれば、誰かが美味しい餌、栄養のある餌を放り込んでくれると思っている。俺はそこに、石を投げ入れてやるのだ。

さりげなく前科二犯にされた。どうしてここまで言われなきゃいけないんだ。

重大なミスはたいていこの自動操縦モードのときにおこるんだ。

コアラのマーチを食べる時、最初はコアラの絵柄を一つずつ確認しながら食べているんだけど、いつの間にかただ口に運ぶだけになってる、みたいな。

年を取ると一日が早く過ぎるというけど、それは生活のほとんどを身体の自動操縦に任せるようになるからだよ

このたぐいの話を聞くとある種の日本人がとても喜ぶことを、私は知っている。

ほら、日本人は生まれたときから日本人だから、わざわざ意識して日本人っぽくなろうと努力してる人がかわいく映るのかも

座っている椅子を引かれたような心持ち

安全な選択はしばしば、その無難さによって魅力を曇らせる。そして人々をリスキーな冒険へと導く。

都合の悪い部分を文章上ではなかったことにする知恵を、子どもはどこで身に付けるのだろう。

虫も殺さぬ、というよりも、虫にも殺されそうな顔をしておきながら

会話を録るのが趣味なんです。人の不用意な言葉が気になるんです。僕は昔から演劇が好きで、同じ演目を何度もみては、役者のとちりやアドリブをメモしていました。そういう、脚本にのっていないところでこそ、登場人物が生きている気がしたからです。

昔の小説のような言い回しを使って笑った。こういう時実際に「やあ」と言う人を初めてみた。

まあ、重力を無視して垂直に走れるランナーがいるならそうでしょうね

これは「採点モード」だ。今日一日の自分の行動を振り返り「採点」する、たちの悪いダイジェストが始まったのだ。

僕は美少女と仲良くなることだけが楽しいのではなく、本当は「正解」のあるコミュニケーションが楽しいんだ。

光の届かない鍾乳洞で満ち引きする潮を連想した。

事件を解決しない名探偵みたいなキャラ

エジプトのピラミッドは、とても大きく美しい角錐だと聞く。でも私はエジプトに訪れることなく一生を終えるのだろう。行こうと思えば実現できる。思わないだけだ。これからもたぶん思わない。そういうことを私は「できない」と表現したりする。世界には、私が足を踏み入れることができない場所が無数にある。

世界は私一人が歩くには広すぎる。

数百の思考が猛スピードで平行移動している光景。

いつも人がみっしり乗っているけど、乗客たちの全員が電車に乗るべき理由をそれぞれ持ってるってことが、とんでもないことみたいに思えるんだよね。乗客の足の裏が床に固定されていて、ずっと往復しているだけだったほうが、ある意味で納得がいく。

就活の時の限られた人生経験と狭い視野で選んだ会社は、その時はベストな選択肢でもライフステージが進む毎に経験を積んで価値観が変わり、視野が広がって大抵ベストな選択肢じゃなくなる。そしたらその価値観に合わせて転職なり起業なり副業なりすればいい。価値観を会社に合わせるのは一番良くない。

「お前がこういう意見を言うのは、お前がこういう人間だからだ」「『お前がこういう意見を言うのは、お前がこういう人間だからだ』という対人論証を使うのは、お前がそういう人間だからだ」以下永久ループ。

脳の使い方としては共感。アイデアの良さは別問題。（セックスの快感と産まれた子の優秀さの無関係さみたいなものかなー）

「少しの事にも、先達はあらまほしき事なり」とは言われるけど、淫紋の先達は要らないよなぁ やってる人がいるって、結構心理的ハードルが下がるし

国籍を超えて語るうえで言語の問題はあまりに大きいのだけれど、人間の普遍性を語るうえで言語の違いなど薄皮に過ぎない、そういった希望が私を異文化交流に駆り立てている。

「あの話、よく考えたら矛盾だらけだ！」と言われる作品は素晴らしいのです。見ている読んでいる聞いている間にその矛盾に気付かなかったくらい、勢いがあったということですし。そういう作品を目指したいですねぇ。

この人だ！と思ってご依頼した人が「案件獲得！」ってツイートしててちょい嫌だった。風俗で延長したら『助かります』って言われた気分

「タコは3歳児くらいの知能がある｣って言いますよね。「3歳まではタコの方が賢い｣と思って、ヨチヨチ期育児を耐え抜いてきましたよ。

「女の子にしか見えない男の子」と「男の子なのに女の子にしか見えない」は違う。前者は男だけど普通に女の子の見た目でかわいさに自信を持ってる子で、後者は不本意で女の子の見た目になってるけど実は意識してない仕草もかわいい子ですね

AIのように機械学習で覚えられれば良いんだけど、いかんせん子供は起きてる間に見た事、経験した事しか記憶に残らないから、「〇〇やってみたい」は1度経験しないと記憶に残らないんだよな。 それが事故や怪我につながるかは経験しないとわからない。 我が子は、「熱いよ！」と教えても熱湯を触りたくて触りたくて仕方のない様子。

よく漫画だと、ロボが人間の兵士に軽んじられて使い捨ての道具扱いされてたりするけど、実際の戦場だと兵士は苦楽を共にしたロボに仲間意識をもってしまって、敵の襲撃で壊れたロボの残骸を回収しようと危険な戦場で飛び出してしまうそうなんな。人間とロボの間にも友情は成立するのだ。冬戦争の末期ラドガ湖畔を防衛していたフィンランド軍は防衛地が終戦後ソ連領になると知り砲身にヒビが入り最後はハンマーで叩いて砲撃してた砲を戦友として持ち帰りました。その砲は今でも戦争博物館に展示されてます。なので、ロボは戦友になると思いました。特に辛かった方は。泰緬鉄道だと脱線したSLを爆破した時に一緒に自決した鉄道連隊兵もいたらしいですからね(元鉄道員なので、船と運命を共にする船長みたいです。)

若い男の喜びは、自分が自由にできている事であり、若い女の喜びは、自分が適切に扱われる事である。この喜びは中年を過ぎると逆転し、熟した男は自分の扱われ方に拘り、成熟した女は自由に生きようとする。

発狂とは常に唐突のイベントであり、徐々に発狂していく人間はいない。

「アジア人はツリ目とエラを強調したメイクが自然だよ！黄色い肌に誇りを持って！」という「ナチュラルアジアンビューテイー」観は本当に大きなお世話というか、「大きな目や色白という美しさは我々白人のものだからアジア人はそれを用いるな」と言っているようなものだと思うがそれで良いのだろうか。逆に「欧米人はフレグランスで体臭を隠さない方が自然だよ！無理に若く見せなくていいんだよ！」と言って納得してもらえるとは思えない。「美しさ」という領域における領土争いというか、領有権の主張が行われているように見えるし、そう考えるとアジアンメイクは文化的隷属の証にも思えてしまうな。

「かあさんが夜なべをして手ぶくろ編んでくれた」って歌、もの悲しいメロディで美談ってことになってますが、ああいう細かい手作業って脳内快楽物質が出ちゃうんで、ガン決まりになって編んでる可能性ありますよね。徹夜で編んじゃうスケジュール管理メチャクチャなのは多分キマってる可能性ある。

飲み屋とかチャットとかで、「あの本、くそつまんねーよな」「だよな」「はっはっは」みたいなことを言っていれば、わざわざパブリッシュしなくていいようなことが、カスタマーレビューに流れ着いてしまっている、というその事実をもうちょっと考えたい。その程度の感想と、考えに考えて書いた文字列が、まるで対等であるかのようにネットでは並んでしまう……

個人的に小説がメッチャ上手いな～と思っている人と話してたら、「自分がどうしても入れたいなと思った一文は、そこで読者に減点されてもいいように、周りの文章を手堅く固めておく」みたいなことを言っていてヒェ～となってしまった。これはつまりフィクションにおいて生の自我を出すことは大抵面白くない／否定される、みたいな前提に立っていて、かなりシバかれる思いになる

首都高最速はKEYENCEの営業車ってそれ一番言われてるから

私がゴリラだったら、ああ、こういうときにドラミングってするのかな、という驚きである。

インターネットは便利だ。行きたい場所への道を教えてくれるし、近くにどんなお店があるかもわかる。支払いだってスマホ１つでできるし、遠く離れた友達の近況だって見られる。わからないことを検索バーに打ち込めば、答えのある大体のことがわかる。インターネットは本当に便利だと思うし、この恩恵を捨てようなんてさらさら思わない。ただ最近、この大体「なんでも調べられること」に疲れてきた気がする。

私は中学生から携帯電話をもちはじめ、高校生の頃にはスマホももっていた。家にパソコンもあり、デジタルネイティブとは言わなくても、そこそこデジタルに染まってきた年代だと思う。学校の調べ学習でもインターネットを使うのは当たり前だったし、大学も会社も、インターネットがあることが前提で回っている。なんなら受ける大学はインターネットで調べて決めたし（遠方だったからオープンキャンパスには行かず、学部と偏差値で決めた）、就職活動でも転職活動でもアプリを介してやりとりしていた。こんなに恩恵を受けておきながら、何が不満なのか、何に疲れたのかといえば、「調べたらわかるかもしれない」という呪縛に、である。

例えば転職先。どこの会社にいったら本当に幸せになれるのかなんて誰にもわからない（そもそも幸せとは何か？の定義が曖昧である）。ただ、インターネットには「それらしい答え」がたくさんある。この業界がいい、この会社がいい、みんなは知らないけどこんな隠れ優良企業が！……調べたら調べるほど、書いた人が良いと信じている答えが出てくる。それが自分にとっての答えかなんてわからないのに、つい読んでしまう。そうして決断した後、会社に不満があったとき、他の人が書いた記事や意見を見て「もっと〇〇を重視すればよりよい会社が見つけられたかもしれない……」と思ってしまう。

恋愛や、人間関係も同様だ。どんな人と結婚したらいいか、みんなに好かれるにはどうしたらいいか……インターネットどころか、世界中の誰も正解なんてわからないのに、ついインターネットに答えを求め、うまく行かなかったときに「もっと調べればよかった」となる。調べてもわからないとわかっていても、心のどこかで「調べないと後悔しそう」と思ってしまうのである。そうして納得して決めたはずなのに、失敗すると調べが足りなかったと、無限にある情報から必要なものを見つけられなかった無能さに後悔してしまう。

明確な答えがあるものは、いくらでも調べたら良い。首相の名前とか、公園への行き方とか。ただ、本来答えがないことも調べられてしまう現状に疲れてしまった。調べなければ良いだけだが、それだと怠惰だと言われてしまいそうで怖い。後悔しないためにはどうしたらいいのか。また検索バーに　【後悔しない　生き方】と入れてしまう。

全てのニュースを党派性プリズムに分解し、ニュースを題材にして自分と敵対するグループの悪口を永遠に言える娯楽、それがインターネット。あなたも回線を契約し、右と左で競い合え。

非モテが苦しむのは「真のやさしさ」「ありのままの自分」みたいな物語と、「うまくやれよ」「会話なんて只のスキルだ」の間のダブルバインドなんよ。端的に要領の悪い人間に対して社会が優しくなさすぎる

整理整頓のコツはまず「ものを捨てること」ってのは本当にそうで、買ってきたりなくなったりするその「差分」は、もともと部屋がきれいな人のほうが明らかにわかりやすい。つまり「散らかってきたな」と思う度合いが、もとから汚い部屋ともとからきれいな部屋では明らかに違う。

冷蔵庫に日本酒とコーンポタージュしか無く、水道も止まっているのでシンプルに喉を潤すことができない。助けてくれ。

オウムに関しては「アレは宗教と言うより会社だ」と書いた橋本治の指摘が好きだな。麻原の会社は、会社社会に適合出来ない人に対して「君にもやりがいのある人生を！」と訴える、経営基盤がいかがわしい会社だった。誰もそれに気づかなかったのは、日本が「会社」を中心にした宗教社会だから…という。

いくら鍋が吹きこぼれていようと「やってろ」としか思えないため調理に向いていない

でも正直この界隈、セックスが2チーズバーガーだとしたらレスバに7チーズバーガーくらい感じてる人間多そうではある

コンスタン『アドルフ』は、世間の小うるさい道徳規範に抗い、望みを叶えるべく「わきまえない」で生きる若者が、世間に罰せられず望みも叶えたあと、「既存の道徳規範よりわきまえないマイルールのほうが俺の行動を縛ってるな」と気づく残酷な話。215年前の作品とは思えぬ

第二章はバーの裏の生ごみ入れのカゴの中で日曜の朝に傷だらけで起きた主人公が、社会への復讐の準備として爆弾の作り方を調べに図書館へ赴くも閉館だったところから始まる。

これ前も言ったんだけど、精神科って悩みを解決する場所じゃなくて、悩む能力を与える場所なんだよな。まず人々は適切に悩むためのスタートラインにも立てていない。

レンタルポケモンだけでポケモンマスターに登りつめてしまうミニマリズムサトシ

子供の頃にずっと成績不良で趣味もない、発達障害の症状はないが仕事できない人について「発達障害グレーゾーンなのでは？」って考えるのもうほんとやめようぜ。疑うべきは知的障害なんだよそれは。「俺って発達障害なのでは？」と受診して知能障害と診断される流れがかなり多くて、そのときの空気というか、「発達障害は救いであり知的障害は烙印である」という社会の謎の共通認識が本当に良くない。がっつり発達障害の平均的知能よりも軽度精神遅滞のほうが会話は噛み合って社会適応良好なことも多いのに、なぜかみんな発達障害に"憧れて"いる

失禁体験装置なんかいらねぇだろ、実際に失禁したらいいじゃねぇか

「フォロワーの数でこちらを脅かそうとする」発言、その前に自分が不細工な絡み方をしてる場合が往々にしてあるので、数の暴力（それもまた言いがかり）を懸念するよりも自分の生き方を振り返った方がいい。なぜそうなったのかと、今後も自分が同じ事を起こしてしまわないかと。

諧謔も交えて相手からの返信に柔軟に対応できる余裕もないのに、人よりも傷つきやすいのに甘えて見切り発車で赤の他人にリプを送ってしまい泥沼の応酬になって自分が傷つく。「自分はまだリプライの免許を持ってないので免許を取ってからリプライを使います」という自己暗示と心がけがあってもいい。そんなにしんどい思いをするならリプライそのものを禁止しようと、親や先生なら思うだろう。リプライをするな。自分の場所だけで呟け。他人のツイートを眺めろ、と。

もし「デスノート一冊」か「瞬間移動能力」か「9999兆円分の資産」が手に入るなら、わいは表紙に恋愛成就とか書いた紙を貼ったデスノートを有名デートスポットに置くで。「〇〇子と〇〇男　2018/4/15」みたいな感じで書いてもらうんや。

あ～、めんどくせ。こんなの仕事じゃなきゃ永遠にやんねえよ。さっさと寝てえな。みたいな気持ちで仕事しながらも、その仕事がその人にとって天職である、というようなことは、一般に思われているよりずっとよくあることだと思う。

「男は都合良く扱える馬鹿な女が好きなんでしょ？」と聞いてきたパパ活女子の優越感やコンプや承認欲求を完璧に満たすだろう100点解答をしたのが若い女を手軽な値段で買ってる金持ちパパで、そんなパパの言うことに大喜びで賛同する人達が数百〜数千人居る事実に「ああ……ああああ……」ってなってる。強くて優秀で自立した賢い女性を求める社会的地位の高い男性は、強くて優秀で自立した賢い女性をパパ活で探そうとは思わないと思います。

ヤンキーなんて、制服が嫌だ校則が嫌だと言いながら、みんな同じような改造制服や髪型にしてヤンキー同士の掟に従うわけで。「良い子」とは別のオルタナティブな規範でしかない

A:Bが10:5のとき、これを10:10にするにはBだけに+5する必要があり、たまたまそこに居合わせたAが不公平に感じるのは当たり前のこと。それを受け入れないと相互理解はほど遠いよ

考察力とはいうけど、その前の「情報収集」の段階でほとんど全ては終わっている。情報をたくさん集めて、それを元手に考えたほうが明らかにラク。インドの山奥で二次方程式の解の公式を見つけたあの少年も、それを学校で学んでいれば…

陰キャ、チー牛は子供の頃は扱いやすいというだけで大人に認めてもらえるけど、大人になったらはてなでの弱者男性叩きのようにポリコレから目の敵にされるからな。ヤンキー・陽キャは社会適応して成功しやすい

死ななければいいと高を括ってるひとがいるみたいだけど、感染後に後遺症を残せば「死ねたほうがいっそ楽な状況が死ぬまで続くこと」はいくらでも起こりうる。

「ラグビーは紳士がやる野蛮なスポーツで、サッカーは野蛮人がやる紳士のスポーツ」って言葉にはとても納得できます。今から野蛮人共に裁定を下すお仕事行ってきます。

オタクものまねをする陽キャラの動画をTikTokなどで見て「もう開始1秒から全然似てないのよ」などと『陽キャラへの反感』を示したくなる、という、自分の中の本当の「陰ゾーン」を実感する瞬間。

飯テロの「テロ」は不謹慎である、「飯」は響きが下品であるとして「朝食、昼食および夕食またはそれに準ずる飲食物の開示行為」という熟語に置換された、平行世界の地球。

ショタが「な、何か出ちゃう…き、気持ちいい…」と言った後、めちゃくちゃ普通に排便する、マニアックな人向けの同人誌。

架空の四字熟語でしか会話できない、老婆。

笑いなんか常識人と狂人にしか生み出せないのよ。中途半端が一番アカン。「怖い」。

ユーモアが欲しいというより「愉快であり続けたい」という願いがある。

エヴァのLCLが体験できるコーナーがあった。せっかくだからと挑戦してみたが、前の体験者たちがおしっこしてたせいで肺がアンモニア臭くなった。

いわゆるイケメンって全身がごく自然にリラックスしてるんですよね。世界に対する基本的信頼感があるから他人を恐れないし自分がいまそこにいることに些かの罪悪感も抱いてない。個人的には顔面の造形よりこちらの方がデカいと思ってます。逆に非モテは累積的な抑圧経験により常に身体の何処かが緊張してる。女性の前に出たときなんかは特にそうなります。その緊張感が女性からは「キモ」く感じられるわけです。拭がたい身体的緊張、それはつまり虐げられてきた弱者である証ですから。ナンパ師が「ブスでもいいからとにかく数抱け」というのは女性の前で身体的緊張感を出さないようにする訓練なんでしょうね。人間、慣れたシチュエーションであればリラックスできますから。いわば一種の暴露療法で、極めて効果的な方法だと思います。

これ、ゲイがノンケを好きになってしまう理由でもあるなぁ…。抑圧されてる上に脳がメスなゲイはどれだけ表面的にオスっぽくしたところでノンケの余裕感には敵わん。モテてるゲイもノンケに近いから人が寄ってくる。

「イカホモ」とか「養殖」みたいな専門用語があるのは、オスっぽさを強調するとかえって違和感あるからなんだよな。実際の体育会系ノンケは長髪が多かったり服に無頓着だったりするが、横並びでヒゲ短髪ジョックススタイルみたいになると逆説的にメスみが湧いてきてしまう。

自分が批判されてる状況でもさらに酷い奴を批判し続ければ自転車操業が可能。右と左でラリーが続けられるこの状況を何とかしてエネルギーに変換できれば宇宙の熱的死は回避できるのでは

企業として教育分野にアプローチするには、それを通じてお金を稼げる事、そして利益が出てそれを源泉に次のアクションに繋げていく事が不可欠になります。いくら教育分野に対する情熱があっても、その活動が組織の掲げる目標（売上・利益・顧客接点・顧客数・継続率などのKPI）に貢献出来ないならば、それはボランティア活動とか個人の時間でやってください、という話になるのは当然のことです。一方で、教育分野ではボランタリー精神で個人の時間が費やされることで動く仕組みが随所にあったり、本来なら有償であるべき品質の高いサービスが無償もしくは圧倒的なディスカウント価格で提供されたりするケースが多いのです。しかも教育現場もそうした”支援”に慣れている所があります。特にICT関係は、SEなどの技術力が必要なケースが多い一方で、技術力やノウハウ、保守運用といった無形のものにもお金が必要なことは中々理解されていません。利益が殆ど出ないにも関わらず「買ったのだからサービスしてもらって当然」という言われ方をする事も少なくないのです。

ただ、自治体・学校・医療・介護といったアナログの割合が多い業界は、ICT化の市場がまだ残っている領域です。IT企業にとってはまさに「フロンティア」なのですが、今までの企業の営業スタイル（いわゆる一般的なBtoBの商習慣）が通用しにくく、ICT化が進んでいないゆえに机上調査で出てくる情報も限定的、さらにそれぞれの領域に独特の文化があって、それに触れるには実際に現場の人と接点や交遊範囲を持たないと難しい、といった高い参入障壁もあります。参入しても、当然その領域で長く活躍している既存のプレーヤーが強く、安売りによって売上は多少上がっても利益が付いてこない可能性が高い。利益が上がらなければ人もモノも投資できないため、継続的な事業活動が出来ない。結局、大抵の企業は「技術料対価をきちんと払ってくれる＝利益が出しやすい」業界を優先する。おそらく、教育分野に参入を試みても撤退する企業が多い一つの理由は、ここにあるのだと思います。しかも、これらの残された領域はいずれも一度導入した仕組みが途中で無くなると影響が極めて大きいと言えます。しかし、教育分野では「実証実験」と称して一時的にICT環境が整備され、それをマスコミが取材し情報だけは拡散されたものの、事業が継続できる仕組みが確立できず、後に機材が撤収され生徒児童も教職員も困惑する、ということが全国の各所で起きています。

正直に言って、ICTのインフラやタブレットなどのデバイス、その上で動作するアプリは「名脇役」ではあれど、「人」の介在が全くないところで勝手に浸透するものではありません。学校であれば教職員、自宅であれば保護者、塾であれば講師、toC向け学習アプリならば「一緒に学ぶ友人」や「おすすめしてくれる信頼できる人」など、教育とその周辺価値を動かしているのは実質的に「人」だからです。もちろん、友人や大人の介在を最小限にして独力で走れる学習者も中にはいますが、それは全体から見たらほんの一握りの人であり、真に浸透させて教育分野に山積する”課題”を具体的に解決させたいのであれば、”人の力”なしには成し得ないと私は考えます。一方で、人の力だけで課題を乗り切ろうとすれば、それは多くの場合「根性論」的なものに帰結し”労働搾取”のような方向性になってしまいかねません。よって、人の力でより良い教育を追い求めることと、ICTで教育の課題解決を追い求めることは、両輪として進めていくべきことと考えています。

感想がもらえないという話を良く見るが、だったら金で買えばいいじゃないかと思う。そりゃほしい感想って自分の作品を心から面白いと思った人が思わずどうしても伝えずにはいられなかった感想ってやつなんだろうけれど、ジャンル自体が小さいとかカップリングに人がいねえとかここにいるのは俺一人なら無理じゃん。私は単純に褒められたいっていうのとどこが面白くないのか教えてほしいってのだけどさ。ってことで金で感想を買った。

「あれ？この人、何か変だな。」って思ったら迷わず距離を取ってください。どんなに優しくても、どんなに丁寧な言葉を使っていても、一度は離れてみる。あなたの感じた”違和感”はたいてい合ってます。自分の中の直感は絶対に信じた方がいい。根拠なんかなくても、それで自分を守れることもあるからね。

早大生の外飲みが禁止され高田馬場ロータリーで吐くクソがいなくなった結果ロータリーに生息するハトがガリッガリに痩せてる話好きすぎ

イタコ的に意識がシンクロして見知らぬ方が俺の思っている通りのことを書いてくれることってあるんだなあ、と感じた。

AとnotAの状況が両立しているようなことは社会でよくある。そういうとき、じゃあ自分はAかつnotAで、と主張する「両論併記」は、それはそれで（取り上げなかった）どちらかの立場からの批判を先行的に塞いでいる不誠実さがあり、やはり批判される。何も書かなければ叩かれないのは事実なのだけれど、どこまで叩かれることを許容するか。すべての情報発信者は、その無限の灰色の中であがき続けている。

皮肉屋の盾は右か左にしかついてないから、よく見て反対から殴れば倒せる。皮肉屋の問題点は現実の議論を進めるのに邪魔な事。現実を盾のついてない方からぶつければ勝手にどっかいく。

マナー違反って言いたくなったときは、「自分がマナーだと信じているものは社会の潤滑油ではなくむしろ錆かもしれないことを疑う」というメタマナーを思い起こす

「夜の消灯」って、要するにペットボトルの蓋集めとかコンビニのビニール袋有料化と似てて「見た目が派手で精神的な負担が有るけど、対策としての実効性が派手さの割にごく僅かしかない」というオマジナイや儀式の類いなので、流行りの疫病の風物詩ではあるよね。

20数年前、新卒で入社して１年目の秋に、香辛料を扱っている会社の担当を任された。代理店業務だ。海外から輸入した香辛料の原料を、指定された日時に工場へ納品する仕事。取引相手の会社はＳ県に本社があり、商品はＩ県にある現場にコンテナで届けていた。僕が入社した時点で、すでに長く、安定して、続いていた仕事で、大きなトラブルが起きたこともなく、取引額もそれほど大きなものでなかったので、無駄に大きな仕事を抱えた部署のなかで、新人が任される初めての仕事としてうってつけだった。

仕事上、会話といえるものは、Ｉ県にある現場の担当者との電話での連絡や打ち合わせがあったくらいで、Ｓ県にある本社にいる社長その他と話をする機会は限られていた。それでも月に何回かは商品の入荷予定の確認で話していた。仕事自体はベリー・イージーで、基本的なことはすぐに覚えてしまった。引き継いでから数か月間、トラブルは何もなかった。「はいっ。〇〇でっす（会社名）」と会社名のみで対応する納品先のＩ県の現場の担当者のオッサンと、雑談こそないものの、コミュニケーションも円滑で、何も問題はなかった。「はいっ。〇〇でっす。手続き終わった？そしたら今週末の午後イチにいつもの感じで貨物つけて」「わかりました」というふうに。ときどき植物防疫所の検疫に立ち合うことをのぞけば面倒は何もなかった。

無風状態にありすぎて油断があったのだろう。担当して半年ほどたった日。指定された時間に納品できないというトラブルが発生した。手続きに予想外の事態による遅れが出てしまったこと。物流会社のドライバーが急病で代理の人間の手配が遅れてしまったこと。それから首都高で大きな事故が起きてしまったこと。そういった不幸が重なってしまったこと。なにより、担当者である僕の状況把握と連絡の遅れが、約束した納品日時に貨物が届かないという失敗と連絡の遅れによる現場の混乱というさらに大きな失敗を起こしてしまった。完全に担当者である僕のミスと怠慢が原因だった。

現場のオッサン担当者は、半年経ってもあいかわらず電話に出る時は会社名しか名乗らず淡々としたやり取りに終始する人だったけれど、そのときばかりは、いかにも「現場あがり」というような、荒っぽい言葉で僕を叱った。いや、罵った。仕事をナメているのか。バカにしてるのか。謝ればすむと思っているだろ。バカヤロー。ぶっ殺すぞ。何か言えよコノヤロー。そういう類の言葉だ。「そこまで言わなくても…」と思ったがが、非は完全にこちらにあったので、謝罪するしかなかった。

後日、対策案を携えて上司とＳ県の本社を訪れた。社長さんは穏やかな性格の人で、当時50才くらい。「これからは頼むよ」のひとことで謝罪と対策案を受け入れてくれた。作業工程が丸々ボツになってしまったのだから、現場のオッサン担当以上にハラワタ煮えくり返っていたはずだ。僕は現場のオッサンのように罵倒してくれたほうが気が楽なのにと思った。なんというか人間としての格の違い、余裕を見せつけられた気がして、それがかえって、じわじわと責められているような気分がしたのだ。実際、その後しばらくは、社長の穏やかな声を聞くたびに、僕は負い目を感じることになった。現場のおっさんの罵倒は、厳しいものだったけれど、そのぶん、あのときかぎりで、後には引っ張るような感じはなかったので気が楽だった。謝罪の席の終わり、僕は社長に「現場の担当者の方にもあらためてお詫びをしたいのですが」と申し入れた。「ああ。それは別にいいよ」と社長は言った。それだけで終わってしまった。

トラブルから1年も経たないうちに、その社長が捕まった。殺人だ。同僚を殺してしまったのだ。保険金をかけて。計画的に。僕は、２５年間の会社員生活のほとんどを営業マンとして過ごしてきて、偉人、変人、奇人、超人、凡人いろいろなタイプの人間を見てきた。チャンスやピンチもあった。チャンスを大ピンチに変える上司もいた。事件や事故や病気で命を落とす知人もいた。けれど、衝撃度という点でいえば、打ち合わせや電話で話をしていた人、日常の一部であった人が、突然、殺人犯になってしまってしまったことを超えるものはない。

社長のワンマンに近い形態で経営をしていた会社（と思われる）だったので、業務は完全に止まってしまった。コンテナに入った商品と売掛が残った。電話をかけても繋がらなかった。上司からは「お前さ、仕事で話をしているときに相手が人殺しだってわからなかったのかよ」と無茶な詰め方をされた。「犯罪者はさ、顔つきや声が普通じゃないから、気付くんだよ。変化に気付けない営業は営業失格だ」と言われた。電話越しで話している人のことを「こいつ人殺しているのかな？」と疑いながら生きている人が名探偵コナン君以外に存在するのだろうか。

確かに、ニュースで知ることになった社長が事件を起こしたと思われる日時も計画殺人を立案して準備をしている期間も、僕は普通に電話で話をしていた。社長も普通に来月の予定や今後のスケジュールも教えてくれた。だが、普通ではないことは普通ではないことのなかで起きるのではない。普通のなかにこそ普通ではないことが起きるのだ。普通ではないことは普通の顔をして、いつも僕らのまわりにある。何かのきっかけで姿をあらわすものもあれば、永遠に普通の顔をして終えるものもあるのだ。上司に詰められて、Ｓ県にある本社まで足を運んだけれども、何も収穫はなかった。その会社との取引も終わり、幸いなことに、売掛を回収することも無事にできた。その会社は解散したと誰かから聞いた。僕は、つい先日まで、ずっと、あの穏やかな社長と凶悪な事件とを繋げられないでいた。

事件の衝撃が大きすぎて、ディティールは損なわれてしまっている。爆風のように、あったはずのあらゆる感情を吹っ飛ばしてしまい、僕のなかでは「ウソ！」「ショック！」という感嘆詞をもって片づけられてしまっている。2021年になって、当時の僕が知らなかったことが掘り返されて、衝撃199Ｘが恐怖2021に変わった。きっかけは当時の先輩同僚との横浜駅前での偶然の再会だ。

かつての先輩は、僕との共通の話題を見つけるのを諦めてしまうと、当時の仕事で印象に残っている人や出来事をあげていった。「あの人は会社を辞めて…」「あの会社は事業を売却してしまったらしいよ」彼は軽い気持ちから、「そういえば人を殺してしまった客のこと覚えているか？」と訊いてきた。もちろん覚えていた。忘れられるはずがない。その先輩から僕はその仕事を引き継いだのだ。「いろいろ大変でしたよね」と僕は言った。そして僕のミスから起こったトラブルとそれにまつわる謝罪のエピソードを話した。「現場のオッサンからは怒鳴られたけれど、社長からは優しくされたんですよ。でも、レクター博士みたいに、一見、紳士的な人が殺人を犯してしまうものなのかもしれないですね…」と切りだして、僕は社長の態度に対する違和感とその後しばらく気がかりになっていたことを先輩に話した。

先輩は「おかしいなそれ」と反応した。僕は、先輩も僕が覚えていた違和感に同意してくれた。そう理解したが違った。先輩は「あの社長…普段はＩ県の現場で仕切って対応もしていたはずだぞ…」と言った。怒鳴り散らしていた現場オッサンと優しくしてくれた社長は同じ人物でまちがいないと先輩は断言した。先輩は担当しているときに、たまたま訪れた現場で社長が他の電話にバイオレンスな口調で激高しているのを観たことがある、だから間違いない、と根拠を教えてくれた。「ワンマンだったから現場の仕切りも誰にも任せていなかった」「厳しい口調ではあったけれども、ぶっ殺す、みたいなヤバい言葉は使っていなかったと思うぞ」とも先輩は言った。きっと、何かのきっかけ、道を踏み外してしまううちに、激しさのなかに、ヤバさが混じるようになったのだろうと僕は考えた。

社長＝現場のオッサン。片方は電話越しであるという要素はあっても、同じ人物とはまったく思えなかった。完全に別の人格だと思っていた。ずっと。だから、現場の方にも謝罪したい、と申し出たときに、別にいいよ、と言ったのか…。別人レベルの穏やかさと激しさ。社長の中にあったものが20数年後にやっと見えた気がした。従業員をうまく話をして保険金をかけさせ、暴力的に撲殺した事件。事件のすべては彼の中にあったように今は思える。普通の顔をしているなかにこそ普通ではないものはあるのだ。

後日談がある。「犯罪者はわかるだろー」と僕を詰めに詰めた上司は、あれから3年後に会社の金を横領していたのがバレて立派な犯罪者になった。僕はまったく気が付かなかった。「犯罪者は普通じゃない」とかよく言えたものである。

今、僕は業界をかえて食品会社で働いている。先輩との再会で思い出したあの会社がどうなっているのか知りたくなってネットで調べてみた。会社名で検索するとあの殺人事件の記事がヒットする（多分検索すればわかってしまう）。ワードをかえて検索したらまったくちがう会社名になって事業継続していた。代表者こそ、かわっていたけれども、よく、あの状況から…立ち直ったものだ。道を外さず普通であり続けること、外れたかな？と気付いたとき、普通に立ち戻る強さは、それだけで価値があるものなのだ。この事件のことを振りかえるたびに僕はそんなことを思いだすだろう。

社会科見学とか読書感想文で、長くて感動的な内容を書いてた優等生

すごい感受性豊かだな、って感動してたかもしれないけど、人より一足早く嘘を覚えた奴ら。それだけの存在。あいつら本を読んでる時に脳なんて働いてないんだから。読書感想文うまいやつなんか全員最悪。人間のままで作文が書けるわけないだろう！

君ぐらいの変人はクラスで30人に1人いる。先生、思春期の子どもの考える子どものパターンなんか、全部頭に入ってる。自分で変わってるんじゃないかっていう子、きっといるんじゃないかな、全国の12～15歳は100万人。だから30人に1人の程度の変人って10万人いる。これはトンガの人口と同じ。きみぐらいの変人でトンガが作れる。これ以上トンガの国民増やすのやめよう

地味で冴えない先生の謎の色気っていい。まくった袖から覗くカサカサの肘とか、腰から尻にかけてのペタンとした肉の薄さとか、サンダル履きの靴下の色あせ具合とか

読書感想文、国語の先生に「これ以上は飼ってた犬が死ぬか亡くなったおばあちゃんとのエピソードとかがないと進めない」って言われた。

クラスでよく作文系の賞に選ばれていた女の子は作文書くたびに親戚殺してたな。

割とマジでなんも知らない子供になって無い感動の話をすると何かしらの賞は貰える、というか貰えてた。ただし年々夏に読書感想文によって虚構の自分がどんどん大きくなるので高校に入って怖くなった。精神をぶっ壊したい人にはオススメです。

民間療法は何が害悪かって、通常医療を遠ざけてしまうところがあるわけじゃないですか。普通に通常医療を受けてたら助かってたりもっと長生きできてたりしたかもしれない人が、民間療法に引っかかって命を落としてしまうことがあったりするわけじゃないですか。

人生相談も同じところは少なからずあるよなぁと思うわけです。「相談送ったけどボツになっちゃったのかな〜？残念〜、は〜引き続き困ったなぁ」と思ってる客観的に見たら「いやいやそれ警察警察！」みたいなトラブルに巻き込まれてる人の「ご相談」が、ただボツになって握りつぶされてることって世の中あったりするんじゃねえかなぁ、と思ってさ。で、そういうのを握りつぶしちゃうような相談窓口が存在してなかったらさ、もしかしたらその「ご相談」は適切に導いてくれるかもしれない別の相談窓口に投げ込まれていたのかもしれないってあくまで可能性の話として考えるだけでもさ、それってどうなのよと思うわけ。わざわざてめえの勝手で世の中に対してアテンション振り撒いて、個々人の信頼を獲得しようとして、お悩み相談を募るんであればさ、人間100%正解を連発できるわけではないのは当然としてもさ、幾ばくかの誠意と矜持も持たねえでそんなことやってるくらいなら害悪だからやめちまえやめちまえ馬鹿野郎が、と思ったのだった。cakesに限らずあらゆる人生相談コンテンツに思うことだけどね。ほんと、そういうことやってるあらゆるメディア、どれくらいのガイドラインを以って運営してるんだろうか。

地域の産業を表す「シリコン」に相当する単語が消え、地域の地形を表す「バレー」が「なんか凄いスタートアップが集まるところ」という意味に変更され、「日本橋のなんか凄いスタートアップが集まるところ」という意味で「日本橋バレー」という単語を生み出すセンス、本質を完全に外してて逆に凄い。日本語の「積読」という単語が英語圏に輸入され、買ったゲームが溜まる様子を表す「steamdoku」という単語が生まれたのに似ている

医師免許持ってるんだから人工呼吸器もECMOも出来るだろは自動車免許持ってるんだからF1運転できるだろ位の無茶振り

「戦争をするぐらいなら抵抗せずに国を渡せばよい」という人が稀にいるが、そもそも占領軍が人権の保障や自治権を日本人に与える保障はなく、圧政と泥沼の反政府紛争に突入する可能性が高い。右翼左翼関係なく、武力放棄の無条件降伏は相当リスクが高い選択肢であることを知っておく必要がある。

外出するときに、読めるはずもないのにカバンに無闇に詰め込まれる本を「運ん読（はこんどく）」と呼ぶのはなかなか素敵なセンスだと思いましたね。

研修医の頃、進行癌の患者さんを担当した。点滴がうまく入らない若造の俺に怒る事なく「いい医者になれよ」と激励してくれたのが最後の言葉だった。今でも天国から俺の仕事を見てくれているだろうか。あの時はすみませんでした。

競馬ファンは、ウマという動物をそれぞれの名前で呼び、その容姿・性格・能力などの個性を愛で、感情移入し、それぞれの毎回の競走や生涯の物語を熱く語る。その一方で、同じウマという動物が調教試験や能力試験で合格できなかったり、競走成績が奮わなかったりしたときにはセリにかけられて食用に屠畜される、という運命もリアリストっぽく擁護する（何なら「それが彼らにとって一番の幸せだ」ぐらいなことまで言っちゃったりする）。「華やかなステージに登壇できたウマ」は賞揚して「できなかったウマ」については関知しない、その割り切りっぷりというか、情熱と冷静の温度差に、おれは戸惑ってしまったりする。

これがブタやウシとかの食用経済動物なら、おれたちみたいな一般人はなるべく感情移入しないで済むような仕組みができあがってるわけじゃん。ふつうは顔も名前も知らないし、飼育現場との生活上の接点はないし、屠畜という一番血なまぐさいところは徹底的に隠蔽されてるし、食肉として流通・陳列される段階では「生きた動物の痕跡」は徹底的に消されてる。とにかく「動物を殺して食う」ということへの罪の意識なり、後ろめたさなり、「かわいそう」という感情なりを初手から持たなくていいような仕組みになってるじゃん。

でも競馬ファンにとってウマという動物はそうじゃないでしょ。オートレースの競走車やボートレースのエンジンやペラとはわけが違うわけでしょ。人と同じように知能があり、感情があり、性格があり、人馬一体のアスリートであり、そこにみんなは思い入れを持つんでしょ。JRAだって何だってそれぞれのウマにフォーカスして物語を紡ぎ、感情移入させまくるわけでしょ。だからこそウマを擬人化した「ウマ娘」という企画が成立して人気を博したりもするんでしょ。でもその背後で、競走馬としての能力を満たさなかったことで屠畜されるウマたちがたくさんいるし、むしろそういう運命にあるウマたちの存在によって競馬業界が成立してるという陰惨な現実（とおれには思える）は、競馬ファンの頭のなかでどう処理されてんのかな〜とおれは思うわけよ。だって走るのが遅いウマには知能や感情がない、ってわけじゃないじゃん。それは競馬ファン自身が一番よく知ってることでしょ。

たとえばこれがイルカの話だったとして、おれは「イルカは賢くて愛らしいから食べるなんてかわいそう」という人の気持ちはわかるし、「イルカは昔から食用にされてきた伝統的な水産資源だ」という人の気持ちもわかる。でも「イルカは賢くて愛らしい、人と同じような感情があり、人と心を通わせられる、自分もこれまで何度感動させられたことか」って言いながらイルカを食うやつがいたら、それはちょっとサイコパスじみてるじゃん。愛でられるに値しないイルカが食堂で「イルカ定食」として出される水族館で「イルカはやっぱり賢くてかわいいよね」ってうっとりしてるやつがいたら怖いじゃん。と思ったけど、牧場で羊を見た後にジンギスカン食えるとこって結構あるな。んで女の子がワンワン泣いてたりするな。そっかそっか。

人間の共感能力がそもそも不完全で中途半端なものだから、共感を至上のものとして一貫性をもたせようとした先は地獄しかない。 人間が健全に生きていくために共感能力を適切に運用するって発想があってもいいと思う。

ひろゆきのやる「議論」は議論ではなく、重箱の隅をつついて相手の揚げ足取るだけだよ。論破でもなんでもなく、ただの昔からいる２ちゃんねらーなんだよ。その手の論者が「シビアな議論」の場に出て、ボコボコにされるのはいくらでも見てきた。あの人の討論を聞いていると分かるのですが、自分の意見は客観とか冷静だという根拠を示さず、相手には根拠を求める。そして相手の意見は主観で偏ったものだと宣言して「論破」なる格好にする。キャッチボールで相手のタマは受けず自分は見当違いの場所に投げて取れない相手を罵倒するだけの人です。

起業家というものは多かれ少なかれ病を抱えている。やりたいからやる、やらなければならないからやる、という理由で身を粉にして働く。意味がないことをしてはいけない。砂漠に爆弾を落としても砂ぼこりが舞うだけだ。

「議論」は本来、お互いの長所短所を見つけ合い、より良い結論を導く為のものだと思う。が、単に相手を言い負かすことが目的化して、さらに、それを「論破」などと称賛した世論がひろゆきや橋下徹を出世させたのかと感じる。「相手が自分よりもバカだと知らしめた方が勝ち」という価値観ちゅうか。

一度は透析つらすぎてもうやめると同意者にサインしたのに、やっぱり死にたくないってゴネ出して、でも病院側としては書類が有効だし…みたいな。当事者でもその瞬間になったらやっぱり死にたくない、と、死にたい、の間を行き来するのに、まだ難病にもなってない元気な人が自分なら死ぬってのはどうかね…。痛くて苦しくて家族に迷惑かけるから死にたい、でも親より先に死ねない、子供の成長が見たい。スパッと死にたい気持ち100％にはならないと思うよ。死にたい4割、行きたい6割くらいの時に、自分なら死ぬのに(お前らは生きてるのかよと言われてる気持ちになる)という書き込みを見たら、社会に背中を押されることになる

普段から表現活動をしている以上、私が生み出したもの・発信する内容に対しては責任を持っていますが、人格をも否定するような辛辣なコメントの大半は転載からたどり着いた方たちのようです。畑から盗まれたリンゴに絵の具かけて売ってたから食べたら不味かったといわれてしまうと、絵の具かけないで食べてくださいと答えるしかないです。

ミスチルと米津玄師たしてそれ全部捨てたような歌やな

なんで道徳や倫理を授業として学ぶかを考えてみるといい。人間は本来相当に利己的だ。しかし自分さえ良ければいいという考え方しか持たない集団は非常に脆弱で生産性が低く本人を含め多くの不幸を生む。より強く永くそして多くの人が快適に幸せに生きるために利他の精神性が必要なんだ。そしてそれは他者との関わりの中で躾や教育として後天的に身に付けていく。文明レベルが低い者が野蛮人なのではない。教育などにより優しさや思いやりを備えていない者が野蛮人なのだ。

トモコレで嫌いな人のインテリア牢獄にしてたの思い出した

センター試験の時こんな感じやったわ。ドラマで見たまんまの試験会場に思った通りの雰囲気。思ってもなかった点数。もうダメや。

領土問題の話の際に「小さな島ぐらい上げてしまえばいいではないか！」と言う人がいるが、小さな島を他国にあげてしまうとそこを埋め立てられ要塞や飛行場を作られてしまう可能性がある。もし嘘だと思うなら、あなたの部屋の一部を知らない人に差し上げてみよう。

宗教は解体していくと、「やっちゃいけないことをどう守らせるか」の用例集である。読み方を逆にすると、神様で権威付けして守らせようとしたことが見えてくる。

子供が「どうして？」と聞くのは「AだからB」という論理の方法自体を学ぶためで、その「A故にB」は論理的に正しくなくてもAの部分は「その子の知ってる範囲の知識」でなければ「わかった」とならない、みたいなの読んだなあ。Aの部分がその子の知らない範囲だと「～だから」の部分が学びにくい、みたいなの。正しいかは分からないけど納得した

今でこそ死体遺体は丁寧に埋葬等の処理されるものだけど、当時は遺体に触ったらそれだけで天然痘等、疫病にかかる可能性があるからうかつに触れず、道端に屍累々ということが起こってたわけか…。 衛生観念の発達は死体を「人間らしく」扱うことにも寄与したのか。

シュールである。ガチャピンが、スポーツをする。ただそれだけで、異様な空間がブラウン管に現出する。ぼくらはその映像の（子供番組であるがゆえの）あっけらかんとした明るさに、恐怖を覚える。テレビはどこまでも日常である。テレビのまがまがしい力とはそれである。テレビはあらゆる事物を、容赦なく、無神経に日常化する。アフガニスタンで起きた悲劇も、イラクで死んでゆく人々も、テレビはその厚顔無恥な力によって日常化する。食卓の前にフラット化する。戦争も、デパ地下も、地上波にあっては等価な情報である。

しかし、ガチャピンはその、テレビの「情報のポテンシャルを並列化する」まがまがしい力を、思いっきり裏切って、別種の力強さを獲得しているように思える。そう、かつてテレビはその力を持っていた。アメリカ横断ウルトラクイズという「祝祭」がそうだった（その意味で、「高校生クイズ」は祝祭たりえなかった）ように、「鳥人間コンテスト」がそうだったように、「8時だよ！全員集合」が娯楽番組としては異様に過ぎたように。まだまだ「テレビ」を信じてもいいのかもしれない。「ガチャピン・チャレンジシリーズ」のDVDを見て大笑いしながら、ぼくはそんなことをぼんやりと考えていた。

「マトリックス」をみていて思った。というか、その字幕をみていて、なんだけど。この映画では「Control」をことごとく「支配」と訳している。モーフィアスが構造物（コンストラクト）の中でネオに世界の真実を教える場面（まっちろい部屋のアレだ）で、モーフィアスはいう。「マトリックスとは何か？それはcontrolだ」と。ここで林完治さんの字幕は「支配だ」となっている。うん、確かに、前作の「機械の支配を打破る救世主誕生」というおはなしでは、その訳語は問題なかったかもしれない。けれども「リローデッド」では、それはちょいとばかり問題がある。なぜなら、「リローデッド」はコントロールとトップダウンな支配を明確に分別した物語で、そこがおはなしのキモだったりするからだ。

アーキテクトは、最初にデザインされたマトリックスは完璧な世界だったが、破綻した、という。それは、そこに「選択」がなかったから、その世界が現実だと思えなくてみんな目覚めようとしてしまったからだ、と。けれど、あたかも人々に選択の幅があると思わせることができれば、みんながそれを現実だと思い込むようになった、そうアーキテクトはいう。これはつまり、コントロールということだ。

椅子を微妙に堅くすることで、すわりごこちをそれとわからない程度に悪くし、客の回転率を上げる。ネットでのプレゼント応募の際には、住所や電話番号の入力欄があったりする。買い物の記録がとられていて、個人の嗜好にあった広告が送りつけられてきたりする。そういう「ソフトな」管理。それがアーキテクトの言うマトリックスの在り方だ。上から押さえつけるように「支配」しているのではなく、あたかも個人に自由があるかのようにふるまわせておいて、全体の傾向はばっちり掌握している。それがマトリックスのシステムだ。そしてこれは、今、ぼくらの社会の「管理」のありかたでもある。

この「管理」は何かを倒して終わるようなタイプの「支配」じゃない（だから、『レボリューションズ』でどういう答えを用意しているのか、ぼくはちょっと想像がつかない。正直、放置でスルーしやがるんじゃないかと疑っている）。「リベリオン」はオールドなタイプの管理社会を、レトロなファッションとして描いていたけれど、「マトリックス」の「管理社会」は明らかにそれとは違う。「どっちも管理社会で似たような感じ」という人を見るけれど、そういうひとって、自分の生活と社会の在り方について、すこしでも思いをめぐらすことがあるんだろうか？　「マトリックス」は支配の物語なんかじゃないのに。それは「コントロール」の物語なのに。 　別に「リローデッド」がいい映画だとは思わないけど（『映画』としては明らかに歪んでるからね）、あれを「結局はお釈迦様の手のひら、ってお話なんでしょ」とか言ってるのは、なんかなあ、って気がする。いま、こうしてネットに接続していること、ネットで買い物をすること、チャットをすること、書き込みをすること、自分のウェブサイトをもつこと、そうした諸々の底に横たわっているもの、それが「リローデッド」の語る「コントロール」だというのに、ネットに接続しながら、どうしてそう鈍感になれるんだろう、とちょっぴり不思議だ。

たとえば、「熱光学迷彩」という言葉が士郎正宗さんの手によって生み出されたとき、その衝撃はぼくにとってものすごいものだった。SFアイテムとしてはお陳腐きわまりない「透明スーツ」。それを「熱光学的な迷彩である」と4文字の漢字で端的に表したとき、それは一気に陳腐ではなくなった。「義体」という言葉もものすごかった。義手とか義足とかいう並びと同じ地平に、陳腐化しつつあった「機械の体」を並べてしまった迫力。体全体が「義」という言葉のものすごさ。言葉で「いま、ぼくらの世界とは異なる未来の価値観」をズバッと表現してしまうことのできる媒体。それがSFなのだ。

未来の言葉、たとえば語彙をガリガリに削っていくことで思考の幅を制限することを目的とした「1984」が生み出したニュースピーク、ロシア語をベースにした「時計仕掛けのオレンジ」のナッドサット語、「本屋しろ（本屋に行ってきてくれ）」「脱ポケット（ポケットから出せ）」のように名詞を動詞化してbe動詞を極限まで省いた「ヒーザーン」「テラプレーン」のポスト文学、言葉というものはその世界を構成する、いや支配するといってもいい、それぐらい重要なパーツなのだ。

ここでパナウェーブが唐突に登場する。もはや疑似科学だかオカルトだかわからなくなってきたこの集団ですが、この言葉を人から聞いて、ぼくは心底びっくりした。というのも、この集団のボスがフジテレビとのインタビューの中で使っていたという言葉が壮絶だったからだ。

「失禁要請」すごい。「失禁」と「要請」のあいだにはなにか深い日本語的な溝があるような気がしてならないのだけど、この人の中にある、我々には伺い知れぬ内的論理の存在を想像させるところが凄い。この人の世界観の中ではこの単語は完全な合理性を持って存在しているのだろう（ほかにも「失禁強要」というのがあったらしい）。失禁を要請されるとは一体どういう状況なのだろうか。「要請」というとぼくは、「ゴングより本部、敵勢力の脅威、なお増大中。失禁の許可を要請する」「失禁は、許可できない。現在、カナダ隊がそちらへ急行中。全力で我慢せよ」「我慢不能。本部聞こえるか」「前方よりRPGらしき熱源！」などとパトレイバー２の冒頭が浮かんできたり、近接失禁支援を要請したり、そういう軍事的な状況しか思い浮かばないのですが。

異様な迫力を持った傑作（というかノンフィクションだけど）「知覚の呪縛（渡辺哲夫／ちくま学芸文庫）」の統合失調症（分裂病）の患者さんもまた「ワラ人間」「ヒトカタ」「オトチ」などという独特の語彙体系をつくりあげている。言葉は世界から生まれる。言葉は世界をつくりあげる。と同時に、言葉はこの患者さんの世界へアクセスする鍵になる（という幻想を我々に抱かせる）。SFと疑似科学／オカルトと統合失調症、ここには「言葉によって我々の世界から切り離され、また言葉であることによってそれでも我々の世界と繋がり続ける」独自の生命を持った世界観が共通のものとしてある。「マイノリティ・リポート」にしたって、「Precrime（犯罪前）」という凄い言葉を生み出していた。「リベリオン」でいうなら「感情犯罪（Sense Crime）」だろう。現実の話でシャレになっていないのだけど、それでも「健康増進法」という言葉は暗い迫力がある。なにが言いたいのかというと、こういう「コトバ」に対する覚悟がない未来ものは面白くない、ってこと。なんだかまとまりのない話になってしまったけど。

告知を受けたとき、ぼくはかなり慌てた。みんなの前ではつとめて平静を装おうとしたけれど、夜、病室で声をたてず恐怖に泣いていたことがあった。あの恐怖と絶対的な寂しさを表現するのは不可能なのだけれど、そのとき、たまたまそれを看護婦さんに見られてしまったらしい。そういうわけで、次の日の回診のとき、ぼくの担当医はにっこり笑ってこういった。

「伊藤くん、あのさ、そういうの、治療上良くないから、治りも遅くなるから、だから、そういうこと考えなくていい薬だすからさ、今日の昼から飲んでね」「は？」びっくり。薬を飲んだあと、悲しみがスコーンとどこかへいってしまった。テレビを見ればおかしいし、見舞いに来た人々との話も盛り上がる。なのに、自分の運命に対する悲しみや恐怖だけが、きれいさっぱり、どこかへ行ってしまった。ケミカルにどうにでもなってしまう「自分」って一体なんだ。もちろん、自分などない。そんなものは脳の機能に過ぎない。と養老さんの本を読んでわかったつもりになってはいた。しか～ししかし、そんな理解はまだまだ甘っちょろいことこのうえなしだったわけだ。自分など、ほんとうに、心底、化学的作用と神経パルスの流れに過ぎず、現代の科学レベルでもある程度はどうにかなってしまうものなのだ。だから今、「秘密」を、たかだか少女マンガを読んで泣いているぼくのこの気持ちも、薬でどうにかなってしまう程度の存在でしかないのだろう。そう思えば、泣き止むことができるかと思ったのだけど・・・あれれ？ここで手のひらを見て「何だ？──俺の・・・涙か？」というオチはなしですか。

柳下穀一郎さんが訳してるという、そんな興味で手にとっただけだった。その本の題名は、「ジェノサイドの丘」という。1994年、ルワンダで100万人が殺された。750万人の国で、80万人の人間が最初の100日で殺されたのに、世界は見向きもしなかった。100万人。その数字をリアリティあるものとして想像するのはむつかしい。でも、ひとりの、身近な人間の死ならば、あなたにも想像できるはずだ。ぼくはこの数年、自分を含め、死があまりに近すぎたので、それが100万もあったということを想像すると、夜眠れなくなるくらいの恐怖におそわれる。

だからあなたも想像してほしい。身近な人間の死を経験したことがあるのなら、その悲しみを思い出してほしい。その耐え難さが10の家族に訪れたら、100の家族に訪れたら、そうやって徐々に辛い思いの総量を増やしていってほしい。100万までいかなくても、ふつうの人間なら潰れてしまうはずだ。この本の原題は「明日、家族に殺されるかもしれないということを、あなたに伝えたい」という。虐殺は周到に計画されたもので、政治家に扇動されたフツ族は、あるところでは隣人であり、あるところでは親戚ですらあったツチ族を、山刀や釘バットというひどく手近でローテクな武器をつかって、次々に殺していった。ナチのように専門化され、産業化された、プロフェッショナルによる殺戮ではなく、ごくごくふつうの人々が、すすんで隣人を殺しはじめたのだ。

ルワンダで虐殺があった。それは知っていた。もちろん、それは嘘っぱちだ。知っちゃいなかった。知っていても、それはテレビの数十秒と、新聞の見出しに過ぎなかった。それを知っていると言えるのか。いいや、ここで言いたいのは実際に体験することと情報として知ることのあいだの溝なんかじゃない。むしろ、ぼくらは知ることで目をそらし続けているんだ、ってことだ。知ったあとに絶対に必要なプロシージャを省くことで、俺は今この瞬間、無事平穏な生活を送っているんだ、っていう胸くそ悪くなる事実のことだ。省かれたプロシージャ、それはそこで語られている死について、想像をめぐらすことだ。その「数字」から生まれた「悲しみの総量」を自分の感情として思い描くことだ。イラク戦争で死んだ人間の数を、どれだけの人が知っているのだろうか。その数について、その「悲しみの総量」に想像力を馳せることのできる人間はどれだけいるのだろうか。

むかし、スターリングは「ネットの中の島々」で各国固有の軍事力が廃止された「軍廃」後の世界を描いた。ネットに覆われた超情報化社会。けれど、結末で明かされるのはこういうこと──アフリカは内戦と民族紛争で最悪になっているのに、世界は目をそらして知らんぷりを決め込んでいた、ということ。この本を読むと、スターリングの描いたこのビジョンは皮肉でも何でもなく、単なる真実だったことがわかる。どんなに情報化がすすみ、NGOが世界をとびまわろうとも、全体としての世界は、いとも簡単に目をそらすことができるのだ。イラク戦争にフランスが反対していたとき、この国がつい半年前にコートジボアールでしでかしたことを、どれだけの日本人が知っているのだろうか（すくなくとも、ぼくは最近までしらなかった）。

みんな忘れている。知ることそれ自体は、ときに「知っている」という言い訳でしかないことを。大事なのは、知ったことについて、想像力をもつことなのに、ぼくらはそれをサボっているのだ。

私は基本的にノンポリ、というかつとめて政治的な話題はさけるようにしているのだけど、それにしても「健康増進法」という言葉はゾクゾクする。ついに、ぼくらの現実にもディストピアがやってきた、という感じのネーミングではございませんか。「健康増進法違反で逮捕する」とか言われたらもう。悪夢ですよ、悪夢。ワクワクしますよ。そんでもって厚生労働省内に「健康増進法局」とか設置されて違反者やレジスタンスをバシバシ取り締まるわけですよ。「摂取カロリー超過により逮捕する」「ケーキは別腹、と言われていたのは昔のことだ」「健康に対する罪をつぐなえ」とか言われるわけですよ。管理社会ですよ。ワクワクですよ。レジスタンスは「カロリー・イズ・ライフ、ファット・イズ・オール（カロリーこそ人生、脂肪分こそ全て）」とか言って抵抗するわけですよ。でも厚生労働省健康増進法局の警察権限を与えられた実動部隊は最強なわけですよ。レジスタンスはスモーカーや肥満ばっかで不健康だから、健康増進法局のクレリックにガンカタであっという間に殲滅されるわけですよ。もうジャック・ウォマックの世界ですよ。「本屋しろ」「パンしろ」とか「脱ポケット」とか「必須化」とか名詞を動詞化した黒丸尚翻訳の未来語でみんな話しはじめますよ。ってSFファン以外には何のことやらなオチですまんです。

最初から主人公が最強と宣言されてはじまった映画に対し、「主人公が強すぎてリアリティがない」という人間は、はっきり言って馬鹿である。だとしたらその観客は映画が始まった瞬間に劇場を出るべきだったのだ。つまり、だんだん主人公が強くなっていく映画、というのはたくさんある。で、そのほとんどは私見では、その点で失敗しているといっていい。「ロッキー」しかり、「ベストキッド」しかり、あの「マトリックス」ですらそうだ。少女が訓練を積んで殺し屋になる、という物語の困難さに気がつかなかったベッソンは馬鹿である。だんだん人間が強くなっていく、というのは本当の所、画面で描くことは不可能なのだが、それでも人はそれをやろうとする。結果、物語的には強くなったという説明がなされるものの、画面的にはいっこうに強くなってなどいない役者がそこにいるだけであって、つまり、だんだん強くなっていく、という描写は物語的には非常にハードルが高いのだ。ということを知らない人、またはそのことに自信過剰な人が「だんだん強くなる」という物語を書いて失敗したりする。

というわけで、こういった面倒臭い段取りをクリアするには「主人公は強い」というのを冒頭からデフォルトとして全面展開するのがいちばんだ。シーゲルとイーストウッドはそのことにいち早く気がつき、その結果が「ダーティーハリー」だったことはいうまでもない。黒沢明もそのことに気がついていた。「七人の侍」は組織化と適応の物語であって、個が強くなる物語などでは決してない。それが証拠に「椿三十郎」を見てみるがいい。三船は最初から理由なく強い。説明などない。強いて言えば強いから強い。それ以上問う者は馬鹿者でしかない。 　最近で言えば「グラディエーター」がそうだ。おそらくリドリーは「G.I.ジェーン」で個が強くなっていく描写の不可能性を痛感したに違いない。その結果、マキシマスは映画が始まった瞬間から強いというふうに描写されている。その意味で、リドリーのフィルモグラフィにとって「ハンニバル」はまったくもって自然な流れだった。レクターは強い。それは「羊～」で説明済みではないか。リドリーはきっと狂喜しただろう。レクターが強い理由などまったく描かなくてもよいのだから。

同様に、「リベリオン」の主人公は最初から強い。感情の芽生えも様々な経験も彼の強さにはまったく影響しない。強さ、その一点だけはこの映画の中で不変の要素だ。感情を経験することで彼が強くなったと考える者は馬鹿である。彼は強いがゆえにこの物語を牽引する資格を与えられたのであって、その逆では決してない。「どうせ最後は主人公が勝って体制を覆してハッピーエンドなんでしょ」と言う者は馬鹿である。それは映画が始まって5分以内に説明されていたことではなかったか。彼は強い。だから映画は終わった。そしてそれは開巻で宣言されていた。それが全てだ。

パワハラがやばくて何人も離脱させてるボスについて「なんで木村さんはパワハラされないの？」って先輩に聞かれたから、怒られ初日に彼女より大声で逆ギレしたらなんとかなった話をした、「俺は社会人同士のコミュニケーションの話をしてる。犬とかのコミュニケーションの話はしてない」って言われた。

昔大声で怒鳴る上司に「会議室に来い！」とキレられてそれを上回る発声で「ここでどうぞ！」と言い「いいから来い！」「ここでどうぞ！」と餅つきリピートしてたら、私の声と上司の声が反比例してったことを思い出しました

過去の自分に「うつむいたりオドオドして無言は一番ダメ。ふんぞり返って相手と同じくらい声を荒げろ」とアドバイスしてやりたい。自己都合退職へ追い込むために嫌がらせ同然の異動とパワハラかましてきた上司と役員は、労働局へ相談して弁護士を頼んだら青菜に塩だったからね。

明治百話、最初に明治で斬首刑が廃止になるまで罪人の首を斬る仕事してた元侍が出てきて「300人ほど首を落として中には祟って出てやるくらいの事を言う奴もいましたけど結局化けて出てはこなかったんで、そういうのはいないんじゃないですか」とかいう話からスタートするので中々面白みがある

子供の学習能力を確実に奪う方法は、「失敗は絶対にしてはならない、失敗をしたら人生は終わりだ」と刷り込むことでしょう。

ついにトトナク語の授業でも「ナワトル語帝国主義」への言及が。少数言語の固まってる地域ってのは、大体一番強くて大きないじめっ子がマイノリティの代表のような顔をしてるが、実はもっと弱くて小さな集団を同化して消滅させたりリソースを独占したりでプチ帝国主義の様相を呈しているものなのよね。

ヤマザキ春のパン祭りのシールを片っ端から剥がして万引きしてる人という生命体が最寄りのスーパーで目撃され、大変な気持ちになっている

こういう所謂「人柱」があって、車を始め様々な装置や道具、資産が現状まで安全性、操作性が向上されてきたわけだから、有難いと思うようにはしたいものです。

撮り鉄がやらかす→「これだからクズ鉄は」　体育会系がやらかす→「これだから脳筋は」　オタクがやらかす→「人が増えれば変なのも増えるし…」「オタクじゃなくてニワカだから…」なぜなのか

ARuFaは彼女が髪を切っても気づかなさそうだけど、「自撮りの色味変えた？」とは聞いてきそう

次回予告って断片的な情報の集まりでその隙間に考えを巡らせられるから楽しい

「自分が会社辞めたら持ち場がヤバい」って絶対1回は思っちゃう奴だけど、総理大臣ですら急に辞めても凄い問題起きてないんだよなあ

クソゲあるある「前評判聞いて覚悟して始めると意外と大したことなくて、普通に遊べる気がする」いわゆる逆雨の日に捨て犬に傘をあげる不良理論

イオンの4割引国産牛肉をうめえうめえと言いながら食える程度の富と貧乏舌と友人関係を維持し続けたいなと本当に思いました

結局、「深い教養を持ち、冷静で論理的な思考と判断ができ、人を説得する言葉の力を持った」人というのは、多数派の日本人にとってはさほど魅力のある人間ではないのだろうな。

あなたの表現するものは必ずしも称賛される必要はないが、理解してくれる存在は必要である。

一般的に非道徳的とされるような内容は、表現されずに抑圧され消えていくことが多い。しかし、そのような考えや感情を抱いたという自分を否定してはならない。

6年間住んでいるマンションの郵便ポストを開ける動作に慣れすぎてもはや完全に無意識で動かしていたのだが、先週ふっと突然どうやっていたのかがわからなくなった。ぼんやりと番号が浮かぶが、順序がわからない。だからここ一週間くらい郵便受けを開けていない。人間は無力。記憶が消えるのを現象としてここまではっきりと観測したのは初めてかもしれない。意識していない、けれども大切な当たり前のことが消えてしまうというのはかなりの恐怖だと思った。

毎日同じパスワードを手癖で打ってると意識した瞬間分からなくなるよね。体で覚えてしまうと脳の記憶が消えてく感がある。

ビール広告やフードポルノ番組で「ああああうまい、こりゃたまらんわ」のアホ顔をする役者とか、エロ漫画広告でアホ顔しつこく描く漫画家とか

その演出のダサさが、どうにも我慢できないから滅びてほしい。人の複雑な意識や笑いを共有しようとはしないのだろうから。正直まいうーの食べ方が前々からやや不快だった。食べ物を口にいれるときに｢カシュ！｣ってSE入れるのめっちゃ嫌い。

人間はアホになる瞬間が一番幸せなんやで。旨いもんを食った時、射精した時(女性ならオーガズム時)、ウンコが出る時などが代表例。緊張から解放される瞬間とも言う。その瞬間にマジメ面してる奴がホンマモンのアホや

現実へ再ログインを果たすため何リットルの涙が要るやら

蘭って新一がずっと小学生になり切って、しかも自分の父親に麻酔撃ちまくってた事実を知った後でも好きでいられるのかな

唯一くつろげる場所であるべき自宅で異変が起こるタイプのホラー映画見てると怖さより怒りが先行する

いわゆる「パンとサーカス」のうち、サーカスについては人民にSNSを与えておけば勝手に闘技場を作ってバトルしてくれるので、あとはパンだけ考えておけばよいというのはあります

ディストピア世界で管理AIが一番気を使うのが食い物説。人類の歴史を紐解くと大抵食い物で人類は棍棒持って殴り合ってるので管理AIがめちゃくちゃ苦心して効率度外視してうまいものを作り人々に食わせる。そうするとかなり理不尽な感じの扱いしてもまぁ食い物美味いし…で人類コントロール出来る。

納税を「推しに課金」という右翼

調理手順に「そもそも」という文言がある謎の料理

人間って遺伝みたいな先天的要因と環境みたいな準先天的要因がデカすぎて、努力って機関車を走らせる石炭エネルギーではあるけど、レールを敷く力はないんだよな

ウォーターサーバーの営業販売員が｢お水って飲んだ事ありますか？｣から営業トーク始めてくるのズルすぎるだろ。お水飲んだことないやつなんてほとんどいないよ。

smartphoneがスマフォでなくスマホなのは, スマホが日本に入ってきた平安時代はハ行が[ɸ]だったからです

偶像礼拝が生じるのは、絶対的な善を渇望しながらも、超自然的な注意力をもたず、それが育ってくるのをじっと忍耐づよく待てないというところからである。

藁とみかんを交換した人に、あとでみかんを渡した相手が巡り巡って金持ちになったって教えたら「なんか損してないのに損した感あるわー」って言ってました。

反ルッキズムもほとんどの反差別も結局「容姿や生まれなどの非本質的な要素で競争するのはやめて本質的な要素で競争しようよ」という主張が形を変えているだけだし、競争そのものの残酷さや理不尽さは全く無視していてよくない

言語って、その文化圏に深く根付いたモノほど、それを表す単語が多くなるみたいな話を聞いたことあるけど（日本語は米を表現する単語が多い）、じゃあおしっこの語彙も多いの何でなんだよと思いませんか？

怒られると思うのでアレだけど、社会が研究者に社会性を強く要求した結果、社会性が高くそれゆえに「普通」の人生を当たり前に望むタイプの人が増え、職業としての有り様とコンフリクトしてるように思う。

全員そうだと思うんですけど、ショートケーキって最初は「こんなの沢山食べたら胸焼けしちゃうよ笑」と思ってても、気付いたら「え……？」って4分の3ホールぐらい“溶けてます”よね

相手から自分への発言は「自分が不快だと感じたか否か」を基準にするのに、自分の発言は「自分が悪口のつもりかどうか」を基準にする人と対話が成り立つはずもないのです。

勤勉共和国の憲法第一条「怠惰は、これを禁ずる。」

水張った田んぼに映る掩体壕は春と夏の間の季語

作品を観ているあいだはおのれの中にあるこのシーンはオタクのリプライ画像に使われそうみたいな目線をいっさい排除したいわね

「防疫したほうが人が安心して消費や結婚をする」今回の話に限らずこれ式の「本来相関が薄い物を勝手にイコールで結ぶ話法」をそろそろ退治する必要があるのかもしれない。「子育て支援をすれば出産数が増える」とか「福祉の充実は労働者の幸福とイコールだ」とか。労組が反戦反核運動をするのも戦争のない平和な世の中であるからこそ国や企業と交渉して労働者が安心して働けるという理屈らしいから、たいていのことは「安心」に結びつければ通る気がする。

「ネットは使えないし電話が繋がらないから直接来た」みたいなのがたくさんいる現実と盛んに言われる“デジタル化社会”との間が半世紀くらい離れてて笑えてくるな

何もしてないのにスポーツへの文句、競馬の話、えっちな画像、浅い世相批判などで構成されたスポーツ新聞みたいなタイムラインが形成されつつあり、フォロワーのオッサン化進行とオッサン趣味に侵食される自分に愕然としている。これについて人類の最大公約数的な普遍の面白さの方針というものが存在し、インターネットの面白さは次第にその解へ収斂が進んでいるので良いことでは、という解釈もあって面白かった

コロナ自粛を少しでも楽しもうと、zoomでの自分の顔を笑い男にした。めちゃくちゃ普通に捕まった。

原理的にオープンなうえ情報が断片のまま拡散してしまうツイッター上では、どの文脈でも毒にならん活動を心がけましょう！　というのがたぶん「良識ある」ネットリテラシーの態度で、想定外文脈上での誤解への自衛としては、文脈をQTしたりスレッドでつなげておくあたりが落としどころになりそう

ストーリー目当てでゲームやろうにもゲーム部分が下手すぎて全然うまく行かない人生なんだけど、これゲームの上手さもリテラシーの一部っていうことなんだろうか、シナリオの選択肢なんかは完全にそうだし、アクションで手と体を動かして追体験するのも文脈の理解みたいなもんかもしれないな

寝ない←明日に支障が出る

寝る←明日になる

詰みです

今も〝クソガキの心〟を大切にしてるから、こんな商品名を見るとたちまち戦前の子供の様に右から左に文字を読んでしまう。

こうやって物分かりがよくなるの、本当は嫌なんですよね。時間がたつにつれて受け入れられなかったものを受け入れて、世の中から嫌いだったものが減ってゆくたび、だんだん自分が死んでいく気がします。

味噌汁をすすりながら沢庵でメシを喉に押し込む限界労働者と平日から元気に飲み回ってるﾊﾟｰﾘｰﾋﾟｰﾎﾟｰとは別の人種なので惑星がひとつでは足りないっぽい

何が絶望的って緊急事態なのに全然そういう雰囲気じゃないことですよ。一生に何度もないはずなんだからもっと非日常的であってほしかった。最低でも街中に軍隊は展開するべきだし、うっかり出歩いたじいさんが兵士に蹴られて抱えていた紙袋から品物がこぼれて転がるのをカーテンの隙間から見たいだろ。

今の子供たちはカントリーマアムの大きさがマンホールの蓋くらいだった時代を知らないんだよな。部屋の隅に立てかけて置いておくものだった。

飲食って利幅が薄いから、もし友達が店をやっているなら安くしてもらおうとするんじゃなくて、友達の店だからこそビールもう1杯頼んだり、もう1品頼んだり、余分にお金を落としてあげるべきなんですよね。カッコいいお客さんってそういう人だし、良くしてあげたいって思うのもそういうお客さんなんです。

｢思ったことは何でも言うので嫌われるんです｣という人のほとんどは、思ったことを言ってるせいじゃなくて、言い方に配慮がないだけのケースが多い気がする。

人類はまだ「キーボードをカチャカチャすると黒い画面を緑の字が高速で流れる」以外のサイバー攻撃のイメージ映像を作り出せていない

北海道民『こ…こんなにカンタンに…他の県に行っていいの？』すぐに国境越えられるヨーロッパ行った時の日本人の反応も同じではなかろうか。

世界経済は花も咲かないほど凍り付いた

グローバル化した現代社会に「対岸の火事」なんて概念はないらしい。

自分の頭で考えなくなった連中は、違う極端からまた違う極端に行くらしい

小説と夢はある前提で同じなのかもしれない。小説に登場する人物の設定、構築された世界、文化、思想など、小説を楽しむうえで疑ってはいけないもの、つまりどうしてもメタ化できないものがある。夢も同じで、夢を見ている時に夢だと気づくと、それはもう明晰夢という別のものになる。

「現実とは覚めることを許されない夢だ」という名言は、「現実にも我々の覆しようのないバックグラウンドがそびえ立っている」ことにちなんだものなのではないか。

この料理はスタッフがおいしくいただきました、というテロップが入っているように、将来の写真には「これを撮ったあとスタッフが少女を（動物を）助けました」という弁解が入るのだろう。

自慢じゃないが、自分の車を何かにぶつけたりこすったりしたことはない。ところが、実家の車だったり代車だったりレンタカーだったりでは、何度もぶつけ、こすり、破損を繰り返している。人間の倫理なんて、この程度なのかも知れない。

今日でゴールデンウィーク飲み納めだが、明日から普通の飲み始めが再開する。

おじさんたちの行き場を無くした父性を大好きな任天堂を触媒にして昇華する定例行事

男の子っておちんちん好きやん。それって、大人になっておちんちんをもっと大好きになるための予行練習説、めちゃくちゃある

人間は、いついかなる時も社会性や通念や装いを備えているものだから、私には、「ありのままの自分」を純粋に出せている瞬間とは、全裸で大通りを駆け抜けたい衝動に駆られた人が実際そのとおりにする瞬間ぐらいしか思いつかない。「それは極論だ、たとえば親しい人とプライベートで語り合っている時にはありのままの自分が出せている」と反論するなら、だったらあなたのいう「ありのままの自分」とは程度問題でしかないのですねと指摘するしかない。なぜなら人間は、親しい人とプライベートで語り合っている時もある程度までは社会規範や通念や装いに則って語り、行動しているものだからだ。

「ありのままの自分」が存在するのではなく、仮面を被ろうとした自分を見つけたときに、不誠実さを感じてしまうんだよ。ありのままが何か分からなくても、仮面をつけようとした自分の意思だけは確実に存在するからね

生まれながらの裸族の人は、何かを着ること自体が自分に対する裏切りなのかもしれないし、そういう極端さは簡単には他人に共有されないんだろう。こういう共有されなさが社会適応に対する憎悪を生むのかもしれない。

「ありのまま」「自然体」がもてはやされることの弊害だと思う。じゃがいもは旨いがだれも生では食わないし他人に食えと勧めたりもしない。人間だって生は食えたもんじゃないし手を加えるのは他人への礼儀ってだけだ

若い時期に知った技術で便利に生きられると錯覚するし、新しいことを覚えるのも億劫になるのでそれ以上の進歩を受け入れがたくなる

男女間の究極の愛情表現は犯罪を共有すること

コンビニのバイト、お客さんが持ってきた払込書の支払い期限が切れてたので「ごめんなさいこれ期限切れてます」と断ったら「すみません」と何回も連続で言ってきてめっちゃ謝ってくるやんと後半ちょっとヘラヘラしてたら「すみません、ね。ごめんなさいじゃなくて。」と言っていてずっとキレられていた。

「元気なときにやろう」は30代半ば以降になると「元気なとき」が無くなるので何もできなくなってしまうということがこの一年ほどでわかってきた。

社会を形成するには「責任を引き受ける人」「リスクを取る人」が必要で、もう片面として「フリーライダーの排除」が必要なんですよね。マッチョイズムは「責任を引き受ける人」の供給を増やすために欠かせないという事でしょうね。

ストーマ(人工肛門)を作ってしばらくたちましたが、自分の意志と無関係にいきなり爆音で排泄を始めるので「尻が独立してわんぱくな自我が宿った」という感覚です

ゼリーってダイエットのお供のイメージだったけど、いざ病気になると「なるべく高カロリーにして栄養を補助する」みたいなアプローチのゼリーもあって、かなり人類の味方なことがわかった

お爺さんって自分のことを本当に何も理解してなくて、看護師の質問にやたら「ウーン…家内に聞いてみてください」って言うんだけど、お婆さんを外付けHDDとして信頼しすぎだろ

二段階挫折

映画を2倍速で観た人が等速で観た人に話を合わせてきたら「あ？」ってなるかもだけど、小説や漫画はみんながそれぞれのペースで読んでて、人によっては1冊10分とかで読破しているのに平等な読者として扱われるの、少し不思議だ。ボタンを押してセリフを送るアドベンチャーゲームは小説と映画の中間みたいな時間の流れ方をしてるけど、既存の映画に「ボタンを押すまで次のシーンに進まない」プログラムを追加してから観たら、内容への感想も変わってきたりするだろうか。

すた丼、かつや、大阪王将の三本の矢で平均寿命を縮めて医療費削減

その人の事を知りたいときに、①何した人？②何をしている人？③何をしたい人？という３つの尋ね方がある。ほとんどの人が過去の実績である①にこだわるが、本来尋ねるべきは未来志向の③だと思う。そして尋ねる前に自分自身の③を考えないと、まともな話ができない事に気づく。

「学歴なんて社会では何の意味もない。役にも立たない」なんて意見もあるが、ちゃっかり大学卒業して（恐らく）大卒の恩恵を受けたぼくがそんなことを言っても、説得力は微塵もない。ぼくの立場と経験からからは「学歴には意味があるし役に立つ」と言わざるを得ないだろう。

古代ギリシアの暇人によって哲学は生まれたとの説がある。ぼくは今日暇だったんだけど、哲学的思索なんて1秒たりとも行わなかった。やろうと思ってもたいして考えが浮かばない。暇だから哲学をやるって、かなり勤勉な層の話だと思う。

もし万が一、すべての人間が全く同じ能力を身につけたとしたら、いったいどこで人間の差が現れるのだろうか。人を外見で差別してはいけないのなら、人を財産や収入で差別してはいけないし、性格で差別をしてもいけない。ところが、すべてを個人の活動の結果とすれば、結果への報酬として区別はしかるべき。多様性の受容と資本主義との折り合いをつける、難しい点だと思う。

自分の価値観から出発している以上、対話で傷つかないことはありえない。傷ついたことをきちんと表明し、お互いの理解を深めるか、決別するか。友達との関係だって、家族との関係だってそうじゃない？ほぼ決別はないと思うけど。だから信頼関係がない中センシティブな議題を扱う危険性は念頭に置こう。

自分がTwitterをやっている目的は「フォロワー数」ではなく、自分と同じな思いや価値観を持っている『一人』を見つけるためです。今までの人生で学校や企業が『浮く存在』で、いつも自分が間違えていると思っていた。SNSの存在で、同じような思いの人を見つけられる・つながれようになった

哲学はある時、自分の経験や価値観や自分自身を否定して見るタイミングが訪れる。自分を客観視するとか、俯瞰的に見るとか、そんな感じ。その結果、否定した主張に立ち戻ることは当然にあり得る。

何を言ってもいい場を作るならば、併せて不快に感じたことを表明していい場をも作るべきだ。みんな自分の視点で見ている訳だから、目の前の人たちのどこに不快要素があるな分からない。何を言ってもいいが不快にさせることを言ってはならない、は最終何も言えなくなる。寄り添いが必須なのは当然。

裏切られたのであれば、あなたは信じ切ったのだ。

何が正しいか、何が正解か分からない。むしろそんなものは無い。だから何でもやっていいのだ！好き勝手やるぞ！　に待ったをかけるのが倫理。時代とともに価値観が変わるから、倫理もコロコロ変わって信用できない。のではなく、常に「待った」をかけるものとして倫理は信用すべきだ。

人それぞれ。では片付けたくない瞬間が哲学者には訪れる。

言われるままに信じるだけの知識は、ただの切れ端に過ぎない。切れ端としては立派でも、 それを集める人の知識の蓄えを少しも増しはしない。（ジョン・ロック）

学ぶ「姿勢」は大切だが、「実際に」学ばないことには身につかないし、学びを「実践」しない限り学びに意味はない。お金と同様で、貯金自体に意味はなく、何に使うのかに意味がある。

論理的に正しい、は物事の正しさの一面に過ぎない。たとえば「人は他人に暴力をふるって良い」は論理的に正しい。これに待ったをかけるのが、倫理であり哲学である。人間が人間らしくあるために、倫理や哲学は大切だ。まさに今、テクノロジーと倫理・哲学がこの問題に再度直面している。

哲学的な素質を備えている人でも、何もせずにそのまま哲学者になれるわけではないのは言うまでもありません。幅の広い読書や友人との対話、そして何よりも、思索と研究の膨大な蓄積が必要なことは確かです（従って、鍛錬することそれ自体に喜びを見出せる人間であることが、条件としては欠かせない）。

質問は相手に対して、一方的に応答責任を押し付ける行為だからね。相手に時間や思考のリソースを割かせることを強いるわけだから、質問者と回答者で不均衡が生まれる。だから、質問リプライに対して、応答しない選択（無視）をするのは、結果として不均衡を生じさせないわけだからフェアなわけだ。一般論の「質問に答えないのは不親切」との考えは誤りに近くて、「質問者側が一方的に要求を押し付けている」が正しい認識だと思う。

ぼくたちは、人間の視点で物事を考える。だから、人間の視点からでしか世界を理解することができない。これでは、世界の全てを理解することはできないだろう。

「無知の知」は態度としてとても大切。その上で、何を主張するかがもっと大切。「無知の知」を盾にしている限り、安全地帯にこもっているに過ぎない。

おかしなことをおかしいと感じ取れるには、知識が必要。検索すればすぐにわかる時代でも、自分で物事を判断するために知識が必要。知識から逃げる者には、レコメンドに支配される未来しかない。

物は大切にしたい。だから、持っている物をに対して、なんで買ったのか、どこで買ったのか、説明できる。いただいたものに対しても同じだ。シェアは便利。ぼくも使う。だけど、物と向き合う情緒的価値は皆無だと思う。

哲学のすごいところは、未だにソクラテスやプラトンやアリストテレス、さらには、タレスやヘラクレイトスやピタゴラスのような2,000年以上も前の人々の話が日常的に引用されることだ。

説明ができるものって、実は大したことではないと思う。説明ができることは、人間の範疇に収まるものだから。理由なく惹かれるもの、説明できない魅力を持つもの、意味不明にも活力を与えてくれるもの。こういう説明できないものこそ、大したものである。

「ペットが死んで仕事を休むのはあり？なし？」ってテレビでやってるけど、理由が何であれ休めばいいじゃん。もっと他人の休みに寛容になろうぜー。だいたい、他人の休みの理由を有無ジャッジする感覚も無くした方がいいよ。それが自分も幸せになる道だって。

技術がいくら進歩しても、実は人間はラクにならない。効率化で生まれた時間は、更なる効率化のために投資される。結局、いくら効率化しても新たな仕事が増えるだけで、人間の余暇は増えない。そして、その「効率的」な社会を維持するために、ますます働かねばならなくなる…。なんか人間って哀しい

「つまらない人って、どういう状態なんですか？」と聞かれたので考えた。それは「好奇心を失っている状態」なんでしょう。新しいことにも関心がないし、趣味もない。機械のように出勤して残業代を稼いで休日は寝る。そういう人はつまらない。何でもいいから熱く語れるものを持っていた方がいい。

その都度普通を作り上げる作業は、中庸といえよう。中庸とはいつも中途半端ではなく、場面場面でちょうど良いを作ること。だから、常に一定でいられなない人間の倫理で中庸を中心においたアリストテレスは、やっぱりすごい。「普通なんてない」そりゃそうだ。だから、一緒に、あるいはその都度、普通を決めていけばいいじゃない。「普通なんてないから、普通を話しても無駄だ」は思考停止。よくて現状維持。

論理とは物事を説明する際の、「分かりやすく」を担っているに過ぎない。たとえば、物事を「魅力的に」説明するならアートがあるし、「直感的に」説明するなら音があるし、「心に訴える」説明するなら感情がある。

世界を論理的に捉え続けると、反出生のような考えにし帰結するのだろう。論理的にはおそらく、それが正しい。だがしかし、「よろしい、ならばもう一度」と言える世界でありたい。

Twitterを見ていると未だに、''元々独り言を呟くために出来た''だの、''部外者は介入して欲しくない''などといった主張を散見するが、他人の意見が要らないのならTwitterやる必要ないのでは？と強烈な違和感を覚える。それが強みのひとつなんじゃないの？

表現を増やすために最もいい方法はインプットじゃない。そんなものは学校生活で散々詰め込まれたし下手な付け焼き刃では表現は全く上滑りしてしまう。大切なのは刹那刹那で抱く身体の感覚をいかに丁寧に受け止めるか。感覚は刻一刻と変わるのだから、表現もそれに応じて変わらねばならない。

「人に迷惑をかけなければ何をしてもいい」基本的な考えだけど、かなり性善説に寄った考えだ。なぜなら、誰にとっても「お前なんて存在しているだけでムカつく。迷惑なんだよ！」と思わせてしまう相手がいるだろう。つまり、誰しも存在が迷惑だから何もできなくなる。

例えリモートワークで仕事が回ったとしても、例え知的生産で収入が得られたとしても。身体性への意識を蔑ろにすると、健全さは失われていくと思う。健全度の低下は幸福度と創造性の低下をもたらす。僕は身体をすべて使って、その表現する喜び、動かす心地よさを噛み締めながら生きていきたい。

真理を追求する哲学だが、たどり着いた真理に「反出生」があった場合、どれだけの人間が受け入れることができるだろうか。真理と人間との関係とは、この程度に遠いものだと思う。

世界の内で「理性を備えた動物」だけを特別扱いすることは、おおよそ思い上がりだろう。アリストテレスも「理性ある人間」を倫理の基礎に置いたが、人間のご都合主義から抜け出せていない。世界の「意味」は人間のご都合主義、あるいは、解釈に過ぎない。「人間」を除いても在る「意味」とは何か？

「生まれ持った才能はない」自由で限界なんてない素敵な言葉に見えるが、実際は「すべては自分次第」という、ある種救いようのない自己責任論に直結する危険な言葉でもある。

原罪を効率よく作りだすため、蛇たちがマニュアルを作ってそこかしこの生物に知恵の実を食べさせる、アムウェイ勧誘みたいな聖書があったらまあまあおもろい

相対主義は比較を内包する。比較から優劣や差異を取り除くことはできない。よって、僅少になろうとも個人で完全な差別は解決できない。つまり、倫理で差別の解消はできない。たがら、人間は仕組みで解決を試みる。その仕組みが社会であり契約であり法律であり政治である。倫理は政治につながる。

今の社会的な言論空間は、若くスタンスが定まりきっていない人がちょっと目立ちたくてとあるポジションを取った時に、その後に修正して反対派に認めて貰うコストがデカすぎるんだよね。想いがあるけど手法が不適切だった人の、その想いやエネルギーまで含めて潰してしまうのは社会全体で損失が大きい。

世界に絶対的な善悪があることと、人間がそれを実践できることとは別な話である。恐らく、絶対的善悪の実践を人間が行うことは不可能だ。

知識は簡単に調べれば分かる時代だからこそ、記憶していることに意味がある。なぜなら、「検索するスピード」に勝てるから。記憶から逃げてはいけない。

よくゲームの必殺技は瀕死にならないと出せない。初めから、そして、元気なうちから出せよ…… と思うが追い詰められないと頑張れない人間の性が表れているのだろう。

差別のない世界。というのは、上方面の差別もダメ。この点は忘れ去られていないだろうか？差別根絶のためには、侮蔑されている層だけではなく、なんだか良くわかんないけど偉そうな層も対象にしないといけない。

ルッキズムは公民権運動に直行するから擁護できないけど、整形は好きなだけやればいい。整形で望みが叶うなら、正しい技術の享受の仕方。ちなみに、整形と散髪は同レベルと考えている。

マナーの目的を考えてみると「その場にいる人の気分を害さないこと」が目的だと仮定します。するとマナー違反をする人もその場にいる人に含まれるので、マナー違反をする人の気分も害さない対象になります。そう考えると、マナー違反をその場で指摘することは一番のマナー違反になります。

よく幸福の在りようとして、子どもの純真無垢さがあげられる。ぼくも毎日が楽しかった頃に戻りたいとノスタルジックな耽溺をすることもある。しかし、本気で子どもに戻りたいのだろうか？　何も知らなかったあの頃だけが幸福なのだろうか？　ぼくは戻りたくないし、戻れない。ぼくは知ってしまった。

今の状況に満足せよ、それが幸福に至る近道だ。どうも受け入れられない。極論は承知だが、突然冤罪で牢屋にぶち込まれたとして、その状況を受け入れることが幸福だとは全く思えないし、受け入れられないし、賛同できない。今の状況に満足せよ、は強者の論理か自己欺瞞であろう。

理性的であることと、論理的であることは異なることだ。理性的に悪事は働けないが、論理的に悪事は働くことはできる。論理は便利だが信じすぎてはいけない。ことの善悪に関わらず、筋が通ったら論理的であるから。我が身を守るためも、論理の前提やおかしな文脈を嗅ぎ分ける野生の勘も鍛えよう。

私が私である理由であったり、私が生きている目的であったり。そんなものがあるのは、あらかじめ決められたものの上を歩くようなものだ。そのような、運命論的な私や人生を、ぼくは受け入れることはできない。

論理的に正しいことが、現実世界において蓋然性があるとは限らない。たとえば、「風が吹けば桶屋が儲かる」は論理的には正しいが、果たして現実世界で起こりうるだろうか？

あなたがゲイであることを受け入れても、ぼくは自分がゲイになることは受け入れられない。多様性を認めるとは、この程度のことだと思う。そして、正しい態度であろう。

今の高校生、「マスク下見られるの恥ずかしい」とか「(好きな人の)マスク下写真だれかもってないの」とか「好きになったからマスク下がどうあってもいい」とか、完全にマスクが恋愛を巡るアイテムの一つになってて凄い世界だなと思った。

「コロナワクチン打たれるとミュータント化する」って話、「種痘を打たれると牛になる」ってのが現代によみがえってきた感ある。……人間って、そうそう変わらないもんなんですね。教育ってほんと大事だわ。

「一流にならなくてもいいから二流としてそこそこ生きていく方法」みたいのを知りたいところであるが、実際には一流を目指してようやく辿り着けるのが二流であって、最初から二流を目指すと結果は言わずもがなであるという

「ワクチンを打つと5Gで操られる」というデマ。5Gに接続すると言うことは、技適通ってるんだよなぁとか余計なことを考えてしまいました。

お手伝い先で、陰キャと陽キャで「多様性への配慮」が違うという話が出てきて面白いなこれ。陰キャ：相手の属性に触らない、無関心、実力主義、陽キャ：相手の属性に興味を持つ、活用する。全く真逆なので、これが往々にして炎上する。「女性ならではの発想で商品開発を～」みたいなのは後者の価値観

「北朝鮮軍は弱い」という人がいるが、北朝鮮軍の本当の恐ろしさは特殊部隊である。北朝鮮の特殊部隊が山に逃げ込むと探し出すのが困難かつ、一般兵士では歯が立たない。北朝鮮軍に目を向けるときは旧式な兵器や痩せ細った兵士ではなく、特殊部隊やNBCに留意しなくてはいけない。

泥縄の上に縄の長さが足りていない

忙しいっていう人間ほど暇なものだ。暇であることに罪悪感を抱くから、やたら忙しいと吹聴したがる

ワイの外れスキルを見抜けなかった弊社 ～追放しようとしてももう遅い～

>>なれないシリーズ

>>なれない系

青春をインスタント形式で摂取できる

怖がりなので、全国の心霊スポットを巡って歩いている。今日はX県の幽霊トンネルを調査したが、幽霊らしきものは全く見当たらなかった。期待はずれだ。このまま幽霊のひとりでも見つけられないと気が狂いそうだ。地球でたった1人自分だけが生き残ったなんて、怖がりの自分には耐えられない。誰か……

【＼(^o^)／】というランプがついて手術室から申し訳なさそうな医者が出てくる最悪の病院

「バカ、泣いてねえよ。これは汗だ…」と言いながらおしっこを漏らしている人

ブラインドタッチができるようになったらキーボードを叩いてるあいだ月をみていたい

何もかも面倒になったキリスト「全員で力を合わせて石を投げなさい」

ヤリモクばかりに出会う婚活女子は特徴がある。非モテ男への評価は超絶厳しくすぐにブロックするけど、毎日マメに連絡くれてお店選びやエスコートは完璧で学歴もあり年収も高く清潔感のある男性へのガードが非常に緩い。そんなことが30過ぎてどんな女性にも息を吸うように出来る男性は大抵ヤリモクです。「ヤリモクに会ってしまった」ではなく「自らヤリモクを選んでいる」し、「ヤリモクしか好きになれない」病にかかってる女性、多すぎる。ヤリモクも人を好きになるし、本気で好きな人できたら浮気もしなくなるけど残念ながら大抵の上記のような婚活女子は、そんなヤリモクを本気にさせる術は持っていないのだ。

餃子とラーメンをいっしょに食う日本人より、共産党が資本主義やってる中国のほうが変だろ

人間の男性を「オス」と表現するのは、個人的にはとても不快ですが、表現の自由だと思います。同様に、人間の女性を「メス」と表現するのも、個人的にはとても不快ですが、表現の自由だと思います。そして、どちらか一方の表現だけが許されないなどという態度は、私は賛同できません。

政治的な発言を避けるという事はそれ自体がとても政治的なふるまいだし、政治において中立的な姿勢がありえるというのは幻想だ。

地方に行って「駅前に何もなかった」と感想を言う人の多くは、そもそも中心街とJRの駅が離れていることを想定していない人が多いように思う

自己肯定感が高まる講座で自己肯定感が高まるのは、主催者だったりする。

もし誰にでも「憑依」できるのなら、焼肉食べ放題の店に入る人に入れ代わり立ち代わり憑依したい。たぶん、永久に焼き肉をおいしく楽しめるだろうから。

「できる、できない」で話をすると、前提条件の「～ならば」の部分が食い違ったまま、双方が怒鳴りあうだけのパワーゲームで結論が決まってしまう

なんとなく再生リストの中の一つとして聞いていただけの曲が、初めて見た過去映画のエンディングなどで流れだしたとき、ぞわぞわと鳥肌が止まらなくなって一変して神曲と化すアレ、記憶を消して何度もやりたい

404 Not Foundのページにはお辞儀するキャラクター画像を貼るな。そのキャラまで嫌いになってしまうから。

もし罪を犯した後に記憶喪失になったら、その人は裁かれるべきなのか…と思って調べたらアメリカに実例があった（普通に死刑になっていた）。だとするといったいその人の「何の罪」を裁いたのだろうか？いったい罪はどこにあるのだろう。

いいかい学生さん、メンタルをな、メンタルを病むと何も出来ずに気づけば10年経っているよ

「かわいくても理系になれる」、多方面に対する差別が二重三重に重なってる感じがしていいですね

時計ほど人間の信頼の上に成り立っているものを見たことがない

夜の荒らしは寝付けなくて夜が長いから。朝の荒らしは眠れずに迎えた朝が自分だけ置き去りにして社会を動かし始めるから。昼の荒らしは一日で一番活発になる世界で自分だけが一人だから。ネットの先の繋がりが無くなった時、周りに人がいないか、周りに敵しかいない辛い状況にある人なんやと思う。

生きてたら急に暴言吐かれたりすることもあるけどよ、暴言ってやつはきっと、その人が言われたくないことだったり、その人が受けてきた待遇だったりするんだな。本人に言い返せない時、人は不幸のバケツリレーで他人に手渡して自分を楽にしてやりたくなるんや。そんなバケツを受け取る必要ないで。

腐男子（BL好きの男性）はゲイと言うのが恥ずかしいだけで実際はゲイなんでしょ？って昔は思ってたけど、ケモナーのゲイの「俺はザングースが好きだけど、三次元の動物には性的興奮を覚えない。この意味が分かるか？」って”凄み”で本質を理解した。『愛でる』と、『愛で合う』は違った欲求なのだ。「推しには幸せになって欲しいが、推しの幸せには自分はいない」

死ぬ前に一度、行ったことのない土地に行ってみるといい。観光地じゃなくてもいい。切符を買って知らない街で降りて、知らない住宅街を歩きながら誰かの生活を感じてみると、自分が死にたいのか、今の場所から消えたいのか分かる時がある。誰とも関わらなくても社会で生きていいみたいやで、本当は。

遊ぶ約束や待ち合わせとか予約とか、人と会うまでの1時間〜2時間前って自由時間じゃなくて、《人と会うまでの心の助走時間》や思ってる。

お酒は大体の悩みを一時的に大丈夫にしてくれるけど、お酒で大丈夫になってきた大人はぜんぜん大丈夫じゃない奴が多いから気をつけて。

あたいの好きな人が、あたいの見えるところで幸せになりますように。あたいの苦手な人が、あたいの知らないところで幸せになりますように。

風俗で働いてて危ないなって思った子と言えば、お金遣いが荒かったり、性格が尖ってたり、その日暮らししてる子じゃなく、大人をみんな学校の先生みたいに慕って懐いてしまう《性善説で動く子ども気質》の子ですわ。

戦争で死んだ若者の中には手塚すら赤子に思える稀有なアニメや漫画の才能持った人も命を散らしたのかもしれないな、とか思った。もしこのifルートだとそういう人が生き残り歴史はがらりと違ってくるんだろう。

冴えないクラスメイトが「霊感がある」などと言い出すのも、つまらない自分から「真実を知っている尊い私」に変わるためのメソッドだし、さらにほぼ努力や苦労が要らないという。

なんでバックするときに音が鳴るの？どういう仕組みなの？と息子に聞かれた。答えられなかったのでとりあえず鉄拳をかましておいた。強く育てよ、坊主。

昔チャットサイトで、みんなでなぞなぞを解いているところに荒らしが入室してきたから、「待って、今なぞなぞやってるから」「解けたら荒らしていいよ！」とか言っていたらすぐに答えを書いてきて、みんなですごいと褒めると「ただ検索しただけだよ」と言いながら嬉しそうにしていたことを思い出した。

俺も昔荒らしにはフランクに会話し続けると荒らさなくなるってどこかで仕入れてチャット全盛期の頃に荒らし来たら他の人が止めるのも聞かず、良い天気だねとか荒らしはこの悩みどう思う？と聞いてたけど大体はちゃんと荒らしの合間に答えてくれたし同じように荒らさなくなった。本当は良い子ですよね。

壊れた時計も一日に2度正しい時を刻む

やっぱ近代以降のインテリが神を殺しちゃったのが良くないと思うんだよね。科学は正しいし多くの恩恵をもたらしているのはそうなんだけど、救われてない人にとっては科学は救いを与えてくれていた神を殺した論理でしかないわけで、俺もたまに思うもん、学者は神を殺す前にちゃんと代替物つくっといてくれよって。科学の恩恵が神仏の恩寵を上回るまでは庶民には科学を科学として見せずに神秘だと胡麻化しといてほしかったって。

自身の死を前にして南無阿弥陀仏で救われる時代か救われる必要なんてないほど飽きるまで生きれる時代に生まれたかったのに、前者は過去の歴史になってしまい、後者はまだSFの妄想っていう損な時代だよ。

この世に神秘が無いように見えるのならば、それはインテリが隠してるに違いないって思ってしまいたい人もいるんじゃねえのかなあ。でも科学を捨てきれないから似非科学っぽくなっちゃうあたりが限界なんだろうけど。俺が現世に神世のファンタジーが帰ってくる系のローファンタジー好きなのと陰謀論者の根っこって同じな気がするんだよなあ。

>>おそらく話が逆で、体系化に成功した上で長い時間を生き残ってきた陰謀論が「宗教」なんだと思いますよ。つまり「神は死んだ」は無関係、というか神の実在性とは無関係に「神格化」は起こり得ますからね。

>>陰謀論は「失われた全体性を回復したい」という欲望だと思っていて、現代社会の複雑性(見通しの悪さ)によってますます人気がでる。

>>陰謀論に関しては「自分たちだけが真実を知っている」という優越感を味わえる点が訴求力になってる気がするので、宗教（正しい信仰を持つ自分たちこそが救われる）と相似形ではあると思う。

>>神様がいる頃から問題で、黒ミサやサンジェルマン伯爵を名乗る詐欺師とか近世ですからね。フリーメイソンとか薔薇十字とか三百人委員会とかもあり。

思春期に少年から大人になれませんでしたが、生きてます。

本当に怖いこと。一度うつ病になると、せっかく回復しても60％の人が2年以内に再発すると言われてる。「完璧主義」「自分に厳しい」「全部自分で何とかしようとする」「相談できない」「頼まれると断れない」人は要注意。なってからでは遅い。自分の体と心以上に、大事なものはないよ。

なぜ努力が必要かというと、運が回ってきたときにそれを掴むためだからね

一橋大学の男子学生が、ゲイであることをアウティングされて自殺してしまったという話で、「一方的に他人に秘密を背負わせるのもどうなの」みたいなブックマークのコメントにそこそこ星がついていた。いきなり他人に重い鉄の塊を渡して「落とさないように持ってて」と一方的に要求するのは理不尽だろうという。だから渡した側にも加害の一面はあるはずだろうという。

たとえば車椅子の人から申し訳なさそうに「階段を上るのを手伝ってくれ」と頼まれる。たまたま居合わせた4人で運びながら（運が悪かったな）と思うことくらいはあるかもしれない。しかし「どうして一方的に手伝わせるんだ。我々の負担になるんだから我慢しろ」と車椅子の相手に言うのだろうか？スロープやエスカレーターが設置されていない現実や、サイボーグ（？）が実現されていない現実に文句を言うのではなく、相手に向かって文句を言うというのは筋が正しいのだろうか。

たとえば「血液型がB型の人間は気持ち悪い、生理的に無理」という価値観が一般化した世界や、徹底的に左利きに最適化された世界を想像してみれば、たまたまB型や右利きであるといってひどい生きづらさを強要されるのは奇妙なことに思える。同じことだ。同性愛者でも障害者でも女性でも外国人でも同じことなのだ。

以前似たことを書いた。「同性愛者が彼ら同士で愛しあうのは認めないといけない」という言説について、一見理解のあるフェアな発言であるように見えて、そして本人もフェアなつもりでいて、実際には差別そのものになっている。いずれも「なぜこの人はその塊を人に渡さざるを得なかったのか」、「そもそもこの人が鉄の塊を持たせられているのはおかしいのではないか」という疑問を無視することでしか成立しない。かけっこで「同時にスタートしないとフェアじゃない！」という。一見もっともに思える。しかし実際には相手は10メートルも後ろからスタートさせられているのだ。不当・不合理な前提を無視する態度の上で成り立つ、嘘のフェアネス。それで「自分はフェアなのだ」と思い込んでいる。

前提にある現実を等閑視するというこの態度は、根本的には「自分が今の自分であるのは当然だ」と信じている点に由来するのではないか。「自分はこの人だったかもしれない」と心底思えるかどうかという程度が個人でかなりの差があって、この差からこうした態度決定や、あるいはたとえば左翼／右翼の違いが生じるという説明ができるのではないかと思っている。

もともと人間は幼児のとき、そうした生理的な欲求（特に排泄）を自分でコントロールできるようになることを通して自我を確立させていくという。それだから逆にそこを奪われると自我が揺らいでしまうのかもしれない。そう考えると、睡眠・食事・排泄の自己決定権が奪われるタイプの職場に入ってしまうと、どれだけ他人からは「早くそんな会社辞めればいいのに」と見えても、本人からは辞めるという発想や感覚自体が奪われているせいで辞められなかったりするのかもしれない。ソフトな形で監禁事件の被害者に近い状態に陥ってしまう。

どうしても人は、どこかで自分を肯定していないと生きていけない。例えば仕事ではっきり他人に認めてもらえていれば、そこをよりどころにできる。趣味で賞を取ってるとかツイッターで褒めてもらえるとかすれば、そこをよりどころにできる。もっと抽象的に、何か強固な価値観や宗教の教義などで自分自身を律している自分、にプライドを持つこともできる。そうやって自尊心が確立できていれば、他で無理やり防御する必要がないから、他人に寛容でいられたり、他人を率直に認めたりできる。そうした余裕が生まれる。

ところがこうした自尊心の確立がきちんとできていない場合は、嘘で何とかして「自分はすごい」というのを自分に信じ込ませようとしてしまう。厨二病というのもその一種だ。プライドを担保するものが何もないから、邪気眼が使えるなどの妄想で「俺はすごい」となんとか思い込もうとする。他人に認めてもらえるように同級生にアピールしたりして、後になって目が覚めたら黒歴史になる。大人でもいる。職場ひとりごとおじさんとかもそうだ。「自分は意義深い仕事をしている」と信じられないから、「あー大変だわー」とひとりごとを大声で言ったり、むやみに大げさな動作をしたりする。意識高い系というのはプライドのアピールに対して実態が伴っていないから起こる。地獄のミサワが丁寧に戯画化してる人たちだ。ほとんど病気みたいだとしても、もうしょうがない。他人にわざわざアピールしなくても、「俺は大丈夫。みんなわかってくれてる」と信じられるだけの実体を身に付ける以外にない。

福山雅治がかつてラジオで、「みんな『福山と付き合えればそれだけでいい』なんて言うけど、そんなのは嘘」みたいなこと言っていたが、すごくよく理解できる。みんな最初は「福山雅治と付き合えるだけで幸せ」と本当に掛け値なしにそう思ってる。だけど実際に付き合ってしまうと、一気にそれが当たり前になって効力を失ってしまう。もともと自尊心の形成のために他人と付き合ってる人はその不安に耐えられずに、「でもこんなわがままをしても許される自分」をエスカレートさせていく。福山のインタビューで「若いときは好きだから我慢するって無理してたけど、今は楽な女性じゃないと一緒にはいられないし続かない」という発言もそうした文脈で理解できる。「この人と付き合ってる自分」にプライドを持ったりしない人でないと耐えられない。

詐欺っていうのは基本的に「考えた時間の差」を利用してるんだなと思った。加害者の方が被害者よりも大量に相手のことを考えてる。もちろん被害者の方は詐欺について真剣に大量に考えるというのはコストがかかるし普通はできない。それで、そのコスト分、「考えた時間の差」を警察や役所や銀行が後追いで埋めてくことになる。

誰かがハンドルを路地にグッて

まさに「鬱くしい」って感じ

ゲームから狂気を越えた濃密な死の気配を感じたのはこれだけ

幽霊に呪い殺されたらあの世で第二ラウンドできるのかな。幽霊って若いスレンダーな女性が多い印象だし、第二ラウンドでは圧勝できそう

怪しいネットビジネス屋が箔付けをするために家賃を払って住所だけを借りることがあるらしい（六本木ヒルズなど）。そういう奴ら専門のビジネスできないかなと考えたけど、すぐに「あそこには誰も住んでない」って啓蒙されそうだな

前世、信号機か何かか？

ゲームをゲームとして割り切って傍若無人に振る舞う側面とゲームの成功体験から免許を取ろうとしちゃう側面を同居させたらヤバイのよ

俺「大正時代を舞台としたロマン溢れるラブコメもの」とかが結構苦手というか不安さを感じる方で。好きなんだけど、どうしてもその後に太平洋戦争来るから、「この人達、後世でめちゃ苦労するんだよな。。」とか考えてしまう。

不合理なのはわかってるんだけど、相手の言葉や事実ではなく、それを発した状況やタイミングにこそ腹が立つということがあって、そういうときの指摘の方法がわからない。委縮しがちな相手だと言葉に傷ついたととられかねないので。例えば部下の失敗。「失敗した」という事実や言葉ではなく、それを言うタイミングが遅いことを指摘するにはどうしたらいいのか。

信号無視をすると罰金を払わされるというより、罰金を払えば信号無視ができるという精神で生きていきたい。

小心者が脅しをするときに使う角度の凶器

数学系の記事で「確率」のことを「確立」って書いてる奴の言うことは信用できない

20数年オタクとして生きてきてはいるけど、かつての艦これ全盛期からアイマス系統、最近のウマ娘でも「キャラがプレイヤーを好く（恋愛感情をもつ）」がマジで気持ち悪すぎて無理なんだけど同じような気持ちになるオタクっているのかな？こんなこと言ってるけどその昔は艦これはやっていて、それでも提督（プレイヤー）を好く艦娘が無理すぎてボイス関係全部切ってたくらいなんだけど、友人のオタクがやってるアイマス、シャニマス、ウマ娘とか割とストーリーが重要（物語性がある？やってないからアレだけど）なゲームだとそういうの飛ばすと遊んでると言い難い気がして手を出せずにいる。好感を持てるキャラ作りのための基本動作なんだろうけど、おざなりにやられるとオタクを喜ばせるためだけに存在する娼婦とでもいうか、あてがわれた慰安キャラとでもいうか

英語圏で”ironical”の意味を理解できず、誤用して使っている人が多いらしい。Syamu gameも皮肉の意味が理解できていなかった。皮肉とは「そうあるべき状況から乖離した現実」を切り取っているという意味で「メタ的」であり、だからこそ理解できない人が単純な感情に比べて多いのだろう。物語を楽しむ力も、この能力と関係がある気がする。

SNSでたとえば「コロナで客が減ってバイトがラク」とでも書こうものなら大バッシングだろう。しかもこれは個人的には不謹慎とまで思う。いくら「個人の感想を述べただけだろ」といっても限界はある気がするのだよな。その限界が人によってあまりに違い過ぎるだけであって、やはり「傷つく人が『多く』ないか」は気にする必要があるのだと思う

警察官だって消防士だって弁護士だってハッカーだってみな、その職業である前に人間である、と思っておきたい。天皇も王様も皇帝もみな、その役職である前に人間なのだ。

イニエスタなのかイエニスタなのかわからなくなってググる、という行為をもう10回は繰り返している。

悪い奴じゃないのにいると一方的にストレスたまるみたいな人、人生で何度か遭遇する

致死量の幸せ

「弱火で10分＝強火で1分」みたいな発想は肩こりのおばあちゃんの肩をﾊﾝﾏ-で思い切りぶん殴るみたいなもんなのでﾚｼﾋﾟの指示にはきちんと従った方が良いです

努力は報われる→正しくない

正しい努力は報われる→あんまり正しくない

報われた結果について、努力が正しかったとされる→正しい

焼畑農業に日雇い人夫を送り込んで、1年経って草木も生えない更地になったら人夫は全員お払い箱、というのを地で行くだけのただの地獄

ルドーのルール考えた人、次の日までにルール考えれなかったら殺すとか言われてたのかな。最も人生に近い人生ゲーム

居酒屋の店主が「酒を売りたい」と思うのも、卒業旅行に行きたかったと学生たちが嘆くのも、「ポジショントーク」なわけですよ。医療従事者が「これ以上負担を増やさないでほしい」とアピールするのも、ポジショントークです。「ポジショントーク」って、悪い意味で受け取られることが多いけれど、人にはみんなそれぞれ自分が置かれた「立場」があって、そこから全く縛られずに「中立」にはなれない。いや、なれる人もいるのかもしれないけれど、僕には無理です。

ステータス変わってないのにレベルだけ上がり続けていくボロンゴ俺みたいで草

インターネットごんぎつね嫌すぎるな　フォロワー、おまえだったのか　クソリプを送っていたのは……

この夜の感じ、もう『コンビニ行くけどアイスいる？』シーズン到来してるな

炎上して叩かれたときネットなんて気にしないってわざわざツイートするやつ割とまじでメンタルきてる

はなざかりの魔王のような声

包丁のしまい場所を探しているうちに宅配便のチャイムが鳴って、包丁を持ったまま出たら走馬灯が見えてる時の顔をされた

他人の評価なんて全く意味がない。楽しんだもの勝ち。自分の感性を信じろ

赤ちゃんって手足が短いじゃないですか。幼稚園、小学生はいるくらいまでは圧倒的に手足が短いというか。あれ、気づいたんですけど、胴体が長いんですよね。二足歩行の我々は構造上、完全な状態で出産できないのは知ってると思うんですけど、つまりそれって必要最低限だけ作って産んでるってことなんですよ。さらにつまると、臓器だけはしっかり作ってあるってことなんですよ。足短くて可愛い〜とか思ってましたが、そうではなくて胴体には完璧な臓器ギッシリって思ってから、生々しくてキモいです。

「女性への差別をやめろ！」どころか「おっさんへの差別をやめろ！」とまで言われてる現代、「赤ちゃんへの差別をやめろ！」と主張する人はいないのが面白い。赤ちゃんは人権はあるが自我がないので反差別が滑稽に感じる。差別するかしないかなんてみんな好き勝手決めてるんだな、と思う。まあ、赤ちゃんを差別する人なんていないだろうけどね。自我がなくて動物みたいなもんだし（「牛への差別をやめろ！」という人がいないのと同じ）

「人に迷惑をかけてはいけない」と教育する人がいるのに、「人に迷惑をかけながら生きるのだから、人のことも許しましょう」と教育する人がいないのはなぜだろう。生まれてきた時点でおもいきり迷惑を他人にかけまくっているわけだが。道徳心を養うという意味で、前者を教えたほうがいいという話なのだろうけど、これが行き過ぎると生活保護バッシングやホームレス叩きになると思います

価格と釣り合わない情報に対し凄い情報でした！と感謝している人を見ると一瞬モヤッとするんだけど「まあ、情報の有益無益の判断は人それぞれだからね」とスルーするけど、仮に紹介する事によって報酬が発生するシステムが搭載されてて褒め称えているのであれば、僕は一生その人を信用しない。

(キャラクターの名前)「セリフ」のように勝手にキャラに何かを言わせる形式のコメントを見ると「昔のニコニコ動画だな」という感がある

無意味で不合理で危険なればこそ、「そんなことを他者に強制するのに甘美な愉悦を覚える」人たちが権力者には少なくないのでは。それを叶えられるのは対話でも交渉でもなく、権力を用いた命令だけだから

よく先生って、誰かが発言しようとしてる時「発言しようとしてくれてるんだから静かに話聞いてやれ！」とかって言うけど、発言する側からしたら、「いやこのままの騒がしい感じで発言させてくれっ...！」って思ってるよね

男の彼女欲しいは砂漠で水を探してる状態、女の彼氏欲しいは自販機の前でどれにしようか迷ってる状態

アメリカ人兄貴が「日本人は母語でアニメを楽しめる、ずるい」みたいなこと書いてて、確かに論文がどうとかよりアニメを母語で理解できるの強すぎるなワイらってなった。論文かアニメならアニメを取る

孤立って一番人間の心にくるよね 身も心も温め合わないといけないほど弱いものだなとコロナ禍を通じて学んだわ

三世代家族とか地域コミュニティが正攻法なんだろうけど、ネット民って毒親という言葉が流通するぐらいには仲悪そうだし、姑とかとやり取りするレベルのコミュ力はなさそうだし、PTAとか町内会とか毛嫌いしてそう

"自分が世話をしないと子は死ぬ。このプレッシャーが毎日ずっと続く。" 休ませない、眠らせない、時間を問わずトラブルを起こし、常に重圧を与え続ける、って、拷問の手法かと思うね…

何が筋トレやねん、勝手に育たんかい。脂肪を見習え！！！！

めちゃくちゃお洒落で美術で天下取るって言ってた子に「じゃあ、自分を貫き通せなくなったら、この時のギラギラしてる君の葬式をやってあげるよ」と卒業式で言ったら、数年後に経って「葬式やってくれるって言って嬉しかった。もうしていいよ、葬式」って言われた時のことなど

前々から思ってたがお前らは本当に大喜利力がない。特に人が叩かれてる時。一緒になって叩くか、叩いてる方を叩くだけ。叩くな。もみほぐせ。憎悪に惑わされるな。憎悪をリレーするな。日本が衰退した理由はこれだぞ。マジで。政府が大喜利してくれてるから、それいじょうの大喜利ができなくなってきてるんだよね。政府の大喜利、クオリティ高いよね

コロナ以降シニシズムは本当に衰退した。なんの役にも立たないことがバレてしまった

うつ病は3G。Wi-Fiではない。4Gですらない。何をするにもカクカク。画像も動画も重すぎて、通信が途切れるよ。どれだけテクニックを駆使しても、3Gで見るなんて不可能やろ？うつ病も同じで、エネルギーが枯渇している状態なので、まずは休んで補充しよう。そして4Gになり、いずれはWi-Fiになろう

「独裁者が社会を不安定にするのではなく、独裁くらいでしか回らない混乱した社会ゆえ独裁者が生まれる」「独裁で社会が良くなるわけではないが無政府状態よりはマシになる」「その社会が豊かなっても別に民主化はしない」「民主化しても別に安定はしない」と『変革期社会の政治秩序』に書いてました。

ひとりでも生きていけるのは、国家がまもとに機能しているからだ。無政府状態になったら、仲間のいないヤツから死んでいく。家や親戚の結びつきが強固だった時代は、おそらく、そうでなければ生きていけなかったのだ。

「権利には義務が伴う」と主張する人に「そうですよね、権利と義務は表裏一体だから権利が保障されないなら義務を果たす必要はないですよね」と言い換えながら賛同する嫌がらせ良さそう。

まんがの登場人物が描いた絵がまんがの画風と全く同じ時、それが「写実的な絵」の記号なのか「現実に対するまんが絵」の記号なのか、ストーリーを追うまでわからない。

現代人は自分を商品化してしまった。自分の生命力を投資だと感じ、自分の地位や人間市場の状況を考慮しつつ、その投資によって最大限の利益をあげようと必死になっている。現代人は自分からも、仲間の人間たちからも、自然からも疎外されている。日常生活は、宗教的な価値からはきっぱりと切り離され、物質的安楽と、人間市場での成功への努力に捧げられている。私たちの世俗的な努力の土台となっている原理は、無関心と自己中心主義である

垂直におちる言葉をつかまえてみたけれど飼うすべを知らない

私が死んだら他殺しか有り得ないからよろしくお願いします

どっちかを非難してるわけじゃなくて、子供を二人しか育てたことのない夫婦にとって、単に両者の違いが発見でありその日のトピックスってだけである。違った点だけだと会話が終わるしつまらないから、さらに将来の性格予想も上乗せしてるだけなんである。今日の出来事から未来に想いを馳せて会話を楽しんでるだけなのである。そう、私たちからしたら、それだけのこと。だけど、子供たちが言葉の意味を理解しはじめた時、そんなたわいない夫婦の会話はきっと「兄弟と比較されてる」「優劣をつけられてる」と感じるだろう。実際、夫婦の共通の会話の多くを占めるのは子供の話である。悪意がある発言は、言葉が喉を通った時にざらっとした感覚を伴い嫌でも意識することになるが、これは単なる夫婦共通の会話なだけだから全く悪気がないだけに、気付かずに息を吐くように発言し、夫婦が知らないところで子供達を毎日少しずつじんわりと傷つけることになる。

よく男友達が、兄と比べられて辛かったから仲が悪い、とか、反発して引きこもったとか、そういう話を聞くたびに、その親はアホだなーなんでそんなことしちゃうかな、そんなことしたらねじ曲がるに決まってるじゃん、と思ってたけど、そこにはこういうカラクリがあったのか、と我がことになって初めて気付く。今はまだ長男は2歳だから理解してないかもしれないし、少しは感じてるかもしれない。けど今日もそんな話を夫としてしまった。それは二人の成長や性格の違いを夫と共有し成長を喜び合い育児を楽しんでるだけなんだけど、そこにこんな落とし穴があったとは。比較されて健やかに育つ子はいない。誰だって、大人だって比較なんてされたくない。

それがまだ自我も確立してないあやふやな輪郭しか持たない子供が、最も信頼する両親から比較のシャワーを浴びせられたら、撥ね付ける鎧さえまだなくダイレクトに心を傷つけるだろう。それが異性ならまだ性差というだけで終わるかもしれない。だって男と女は違うものでそれは自分のせいじゃない、と思える。だけど同性の兄弟姉妹はその逃げ道がない。

炎上について「アンチは全無視が安定」「誹謗中傷を真に受けるな」という人がいるけどそれは本質から少し外れてて、実際は誹謗中傷の中に紛れる的確かつ辛辣な批判にこそ心が痛みます。殺害予告も当然こわいけど、オピニオンブロガーとしては自分の言論の「穴」とか自分自身の審美眼をつっつかれるのが一番痛い

バズってるツイートにクソリプしてバチボコに叩かれてる人のホームに飛んだときに一番上にあるツイートの真似します「Twitterこわ。笑」

とにかく過剰な量の液体を型に流し込むみたいなことをやっていくしかない

｢自殺･妊娠カーニバル！｣という、逆にそれ以外の考察を全部排除したボカロ曲

精神科医にはしばしばASD当事者がいて内輪で「当事者の気持ちが分かるとアドバイスしやすくて良いよね」と定型発達の医者から言われるわけだが、社会適応に支障がない high IQ ASD の処世術を一般的 ASD 相手に語っても全然人々の役に立たず、それをこなそうとすると人々はスペック不足でフリーズする

誰もが知ってるあの作品が全く気がつかないうちに除毛クリームの広告になるアンソロジー

「ご確認いただければ幸いです」を放置してたら怒られが発生した。あなたの幸せはどうでもいいので……なるほど、「七日以内にご確認いただけない場合はあなたに不幸が訪れます」とか書けばいいのか……

ご確認いただければ幸いです

ご確認いただければ(あなたが幸せになるので功利主義的に世界が安寧秩序に近づきますから同じ世界に属する私も)幸いです

という神の視点で読んでるので怒られが発生しない

グノーシズムが正しいことがわかる

「残酷な事実があってみんな目を背けているがおれは言っていく」という冷笑オタク的姿勢って事実ベースならいいけど、残酷な事実があってほしいという願望が先行してただの性格悪い認知歪みオタクになってることが多くて危ないな〜とは思う

何らかの発言に対して「禁止カードだろw」とコメントすることからは「世の中には都合の悪い残酷な事実があり、みんな言わないがおれたちは直視できている（そして自分は当てはまらない）」といった意図が感じられるが、しかし実態はただ人を貶しているだけで、かなり恥ずかしいような気がする

ハズレを楽しむには心のゆとりがいるんだよな。最近の人は、色んな情報のせいで未来が見通せすぎて、老後まで逆算できてしまうもんだから、日々がToDoで埋め尽くされているように感じる。

筋肉を鍛えると何にでも勝てるような気がしてくるが、ふと「でも人類最高レベルの握力（192kg）でもチンパンジーの平均的握力（300kg）には全然及ばないんだよな…」と考えて冷静になる

物件や山を見て第一に「欲しい」と思えるマインドになったほうが人生おもろそうだなということを最近考える。それなりの知識や想像力がないと欲望すらショボくなるというのと、欲望に駆動されて知見を貪欲に吸収してる間が一番楽しいなというのがある

会う人みんな「人類にインターネットは早すぎた」って話してきて終末感ある

アメリカの公立学校だとワクチンを半ば強制的に打たれる事が多いらしく、逆説的に「ワクチンを打っていない事」が金持ちのシグナリングとして機能してしまい、富裕層の一部に反ワクチン的な傾向を持つ人がいるとか聞いた。

それロジハラですよ！の一本槍で法廷に乗り込んできた最強の女

予想される反論とそれに対する返しを先に言っておく平和的な方法

75歳で死ぬと仮定して残り50年。土日祝日の数は約6000日(16.4年分)。16.4年生きられるだけの金が貯まったら無職になって16.4年後に自殺するのコスパ良いと思ったけど、年間生活費を仮に200万円とすると3240万円も貯めないといけなくて今すぐ死んだ方が良いと思った。

「私はAのときBでした」というツイートに対する「私はnot Bでしたけど？」「not Aの人のことも考えてください！」は「そうですか。」以外の感想がない。せめて「私はAのときnot Bでしたけど、A or CのときBでした」みたいな、情報量をあげる提案をしてほしいです。

幽霊なんていないんだから怖がるなと言われて「OK怖がらない」とはならない。死体は何もしてこないよと言われて「じゃあ吐かない事にする」とはならない。気にしない、には専門的な訓練か才能がいる。お疲れ様でした

これは経験則ですが、友人が全てに感謝し始めた時、みんなを愛していると言いだしたとき、勧めるべきは通院と休養ですよ。

古代、まだパンが野生で獰猛だった頃の記憶。ヒトの祖先はパンの原種に襲われないように木製や骨角製のトングをカチカチと鳴らし、パンを威嚇した。もはや現代のパンは飼い慣らされ、ヒトを襲うことはなくなったが、原初の記憶が、ヒトにパン屋でトングをカチカチと鳴らさせるのだ。

新しい文字考えた

ツイート部の廃部が決まった

詐欺に引っかかると人間はまず自分の損した分を取り返すのに必死になる。でも脳はパニック状態のまま。だから正常な判断ができなくなり最終的には楽に稼ぐ（損を取り戻す）には詐欺が早いと気づく。そして被害者も詐欺に走る。だから詐欺は無くならないという持論

ニコ動でやたら登場人物に何かを言わせたり、その心情を推測して（）書きで補足したりするコメントが多いのって子どもが書き込んでるからだと思う。そういうとき大人なら 登場人物なら○○って感じそう とか言いかえるんだろうけど、言語能力が足りないのでごっこ遊びに走る。例えば、闇商人（あれ？紅蓮のローブは持ってないのか？）とかなら、主人公が持ってないものをなんとか探り当てた感 とかのほうがコメントとして上位（メタ度が高い）なのだが。

葬式に傘もささずに濡れてる奴いたら悲しみの表現以前に「喪服そんなに濡らしていいのか」って不安になる

『自分だけの特別な好き』が希釈されてしまうのを恐れる感情、たぶん「自分はみんなとは違う」って生き物の自我防衛本能の副作用＝中二病などもそうだと思ってるんだけど。プロとか表現者とか人気者とか人付き合いを優先する人とかは『他人からの評価で自己肯定を確立できる』のに対して、何も持ってない幼児だと『体験を特別なものにする力』が弱いんだよな。だから周りが間違ってて自分が正解ということにしないと耐えられない

「日本はダメだ」「うちの会社はダメだ」というとき、自分もそこに含まれ、その状態を作っている一員なのだという当事者意識、責任意識はとても大事だと自分は思っている。

「お尻をふいたら手に💩がついたのでためしに嗅いでみた」という経験、みんなが「ない」と言うけど実際は「ある」現象第一位です　ちなみにワイはない

たまに「ツイッターは文章の練習になる」と言ってる人がいるけれど、ツイッターはツイッターの練習にしかならないし、ツイッターの技術を文章に援用するには別の訓練がいるので、文章の練習したいならブログ書いたほうがいいし、そういうこと考えてる人のツイート全体的にあんまりおもしろくない

めちゃくちゃ「あ～～わかる！！」ってなる文章を読んだとき、頷きとかより前に笑いが出てしまう。

最近は何でもかんでも気に入らないことがあるとIT敗戦と腐すのが流行りみたいだけど、米欧が何でもかんでも完璧にやってるというのは大きな勘違いで、勘所を押さえて完成度よりもスピードを優先しているだけ。そして日本で同じことをやったら重箱の隅を突いてIT敗戦と叩く。その姿勢こそ戦犯なのだが

プログラマーは数を集めても意味ない論で『大規模な現場では「ほとんど役に立たないけど、1000人も集めれば何人かは神クラスがいるのでなんとかなる」っていうガチャ廃人みたいな事情を聞いたことある』というのはわからんでもないけど、1000人のうち10人くらいキングボンビーがいると思うよ。しぬ。

初めて扱う未知の事を完璧にこなせる人は、天才か運がいい人だけだと思います。大規模ワクチン接種で不備不具合があっても、ネガティブな事にフォーカスし過ぎて足を引っ張ることなく、前線で頑張っている方達を応援したいです

SNSでよく「人体実験」という言葉を安易に使う人をみかけます。通常医者は「臨床試験」という言葉を使います。昔の過ちを繰り返さないために、臨床試験には多くの倫理的な基準が設けられています。詳しくはヘルシンキ宣言、ベルモント・レポート、GCPガイドライン等を読んでみて下さい

詐欺事件へのコメントで「こんな安っぽい手法に騙される被害者も悪い。しょうがない」みたいな意見を見るけど、しょうがなくない。全然、しょうがなくないからな、それは。一般に、被害者側の落ち度は加害者側の加害行為を正当化しない（少なくとも、法律の上では）。

部屋が汚かったときは床に落ちた魚肉ソーセージを食べるかどうか迷ってたけど、断捨離に成功した今なら迷わず食べれます。もぐもぐ。うん、おいしい！

差別主義者も反差別主義者も（右も左もと言い換えてよいかも）、下のレベルのところでは何も変わらないなという印象。差別主義者は自分のことを棚に上げて韓国人や中国人を排斥しようとし、我が国のすばらしさを誇示する。反差別主義者は自分のことを棚に上げて差別主義者を排斥しようし、我が人格のすばらしさを誇示する。どのみち自分の言論に「自分自身」は含まれていない。

反差別主義者が使う「啓蒙」「説得」「納得」「理解」「改心」には非常に暴力的な響きがある。それは「一度こちらの陣営に引き込めばもう大丈夫だ」という思い込みがあるから。いや、子どもの時は純真だった（反差別的だった）のに、大人になって差別に走る人も大勢いるでしょう。そういう人が出ないようにする方法も考えないといけませんね。今いる差別主義者がどう生まれるのか、考えていく。

これは思い込みなんですけど、一般人が医学と法学を学ぶハードルだけ異様に高い。

投資にはまず何と言っても元手が大事なのに（そのためには就活頑張って高給取りになる必要があるのに）、社会に出てようやく投資の大事さを痛感するの、教育のバグという感がある これはよくある「義務教育で教えろ」って話じゃなくて、「ご家庭でよく話しておきなさい」という話ですね。少なくとも私は子どもには投資の重要性、元手が多いことの優位性をよく語りたいです

「詐欺の受け子が現場に残したリュックに誤字の多いポジティブな文言、目標がぎっちり書かれた紙が入ってる」あらゆる方面に胸が痛くなるな

後半になるにつれ加速度的に減りが”遅く”なっていく、伝説のトイレットペーパー

A：煙草吸ってもよろしいですか？

B：どうぞ。ところで一日に何本くらいお吸いに？

A：千箱くらいですね。

B：喫煙年数はどれくらいですか？

A：百年くらいですね。

B：あー…えー…あそこにアメリカ合衆国がありますね？

「同僚とつるんでも成長しない」「会社の飲み会は無駄」といったことを発信していると、会社の同僚とすら人間関係を築けず、会社の飲み会では端っこの方でひたすらいかに二次会をやり過ごすか考えながら時間が過ぎるのを待つような陰キャの方々を養分にすることが可能です。

ウチで飲み直さない？笑

めちゃくちゃマヨネーズあるんだけど

ディストピアSFに出てくる超管理国家ってシステム構築とか情報管理がちゃんとしててえらいなーと感心する日々。

うちの会社の会議、上司の思いつきを部下が責任取りますってやつを確認してるだけだな。

国会図書館の職員さんに、何が価値を持つかはすぐには判断できないので100年保存して100年後の人に任せます、という話を聞いたことが。書庫で1980年代くらいの、そろそろ凄い資料感を放ち始めてた賃貸住宅情報誌を見せて貰って超納得。

歌が大好きなので家で夜10時まで歌っているが、時短要請が出たので8時までに制限している。

「それは差別ですよ？」とか「傷つく人のことを考えてください」と言われたとき、めちゃくちゃ飲み込みが悪くなって必要最低限のことしか答えずに乗り切るという最低のライフハックがあります。

息子の学校でプログラミング学習について、「みんながプログラマーになるために学ぶのではなく、世の中にあるさまざまなシステムがどうやって作られているのかを知ることで、新たなアイデアを生み出したり、それを実現化するために学ぶのです」という説明があって、ほんとこれだよと思った。

エロ小説を書くにあたり媚薬でどんなんなるか知りたかったので飲むやつを試したことがあるんだけど、飲んで数分したら｢なにかでかい事をやりたい｣的なやる気がみなぎってきてうぉおおお！！！ってなって部屋のダンボール全部片付けられました　やはりマカとかは滋養強壮に効くのではないかと思う

若手が「もうフルリモートで良くない？会社行くの無駄でしょ」と言って在宅勤務してる間に出社して知らない所で人間関係築いてる同期がいるんだろうな。そして色々大事な話が知らない所で決まってるんだよ。俺らが昔喫煙所でやられたのと同じだ。

UMAの話をしてると「そんなデカイ動物が人に発見されずにいられるわけない」みたいな反論をよくされるんですが、横浜市という多くの人が暮らしているエリアで、市や警察などが全力で捜索しているにも関わらず３．５メートルもあるニシキヘビは発見も、目撃情報すらないまま１０日以上経ちましたよね。

思考に気をつけなさい、それはいつかツイートになるから。

言葉に気をつけなさい、それはいつかツイートになるから。

行動に気をつけなさい、それはいつかツイートになるから。

習慣に気をつけなさい、それはいつかツイートになるから。

夏でも長袖着てる人って隠語

ゲームの3DCGやアニメに登場するモブの動作が、コスト削減のため繰り返しているのを見るのが好き。何を考えながらこの動きを繰り返しているのかなと気になる

お互いのことをいい味の出るオモチャとしか思ってないシリーズ

「全部混ぜても決して良くなるとは限らない」ということに気づいていない点において焼肉のタレの回から何も進歩してなくて最高

分かりやすく話すと言うことは、分かりにくい部分を話さないと言う事だからな。大抵は分かりにくい部分に本質がある。「バカにでもわかるようなたとえ話をすると、たとえ話から戻ってこられないのが本物である」。

学生サークルにおける技術継承、半分ぐらいは実際に継承されているわけではなくて、数年おきに強い人が入ってきてすべてが再構築されることで一定水準の技術が保たれる様子が外から見ると技術継承がなされているように見えるという説はある

「福祉の充実に奴隷が必要」というような状態が発生したら、「どうやったら奴隷を調達出来るか」を考えるよりは「福祉を諦めよう」の方に気持ちが傾きますね。

いくつもの知らんポイント付与と失効が、アタシの体の上を通り過ぎていったわ

意識高い界隈の人はよく「周りのノイズは気にするな」って批判も中傷もひとくくりに「ノイズ」と言いますが、世の中には聞くべき忠言とただの悪口があります。それを分解して考えないと、めちゃくちゃ普通に雪庇を踏み抜いて死にます。「批判なんて気にしない」と言いながら大炎上して野露と化したブロガーを私は2桁単位で知っています。極端な話、振り込め詐欺グループだって本気で詐欺やってますし、中には「あんたらこういうことはもうやめな」って苦情も来るでしょう。でもあいつらだってそういうのはノイズとして気にかけない。批判も悪口も一緒くたにした世界はグロテスクなんです。大事なのは「突かれると非常に痛い」ところを見逃さないこと。

長男が、かけ算70問くらい解く宿題プリントやりながら「めんどくせぇ〜」と言うので「今RPGで言うと防具とか武器少しずつ集めて雑魚キャラ倒しながらレベル上げしてる段階なんだよ、これをやっておかないと後々素手で魔王と闘うことに…」って言ったら予想より響いたようで素直に宿題やり出して驚いた

議論好きの人は抑えておかなくてはならないこと。議論というよりそのジャブとして質問をすることがあるかと思うが、議論に慣れていない人は質問をされただけで批判されたと思ってしまうものらしい。

データや事実から主張に持っていくためには必ず論理の飛躍がある。その間を論拠というパテで埋めて階段をつくっていく。階段の段差があまりにも小さいと生産性を失うが、あまりに大きくてもついてこれない。ほどよい高さの段差をつくってあげよう。

「それあなたの感想ですよね？」と言われたら「どんな事実もデータも感想なしには根拠になりませんよ」と返してやれ。強く生きろ。

ふむふむと頷きながら読んで本棚にしまった本を数年ぶりによむと「なんでこんな当たり前のことしか書いてないんだ？」と退屈に思うことがある。退屈上等、それは成長の証。自分の中で知識が消化されきった証拠。その調子で読書を続けましょう。

「宗教　おすすめ」と検索したところ、一番上に「仏教」と表示されていたので入信してみた。このまま本気で悟りを目指したい。

最近、時間の流れが遅くなってきた。この前までは時速1時間だったのに、最近は時速52分だ。

歯がめちゃくちゃ痛くなったので歯医者に行って治療してもらった。「この歯、もう神経抜いてもらわないといけないですかね？」「まあ、厳しいかもしれませんが、望みはあります。あなたはまだ乳歯ですから、永久歯さえ守れば大丈夫です。大事にしてください」

めちゃくちゃ頭が痛かったけど、意志が強いので痛みを消すことができた。これからも意志の力を信じ続けたい。

有名人の訃報がだんだん身近な名前になってきたらそろそろ自分の番か

人類、いわゆるホモ・サピエンスの致死率は100%というデータがあります。このことから、ホモ・サピエンスの体内には致命的なウイルスが組み込まれており、時限装置のように発火して彼らを死に至らしめると指摘する科学者もいます。

地球上の誰一人として寸分たがわず同じ時間を生きてるの、驚きとしかいいようがない。少しくらいはバグがあって0.1秒ぐらい時差があってもいいと思う。

「将棋はもうAIには勝てないので人間は必要ない」って言いだす人、ボードゲームの真髄を1mmも理解してない。正確な判断を下し続けるAIになんて感情移入できないだろ。人間は間違ったり、焦ったり、パニクったり、泣き出したり、参ったり、ため息をついたりするからいいのであって。

その場、その時でしかあり得なかった成功体験を、普遍のノウハウとして人に押し付けるようなムーヴはなるべく避けるよう心掛けたいなあ

「学生でも確実に収入6桁を達成する方法をご存知ですか」とDMが来たので『はい、時給1050円で週3回8時間働けばいきます』と答えたら「違います」と言われたのですが何も違いません。

同じ高校に通ってる兄弟と校内ですれ違うぐらいの確率でやってくる

近所の弁当屋さんについて書く。うちの子どもが通っている小学校では、クラスで先生からチケットが配られる。チケットと言っても、A4のペラ紙の下に、ハサミで切り取れる何枚か文のチケット的な枠があるだけ。「ABC小学校\_\_\_年」と書いてあって、学年を書き入れるところがある。小学生以下の子どもがそのチケットを持って行くと、一緒に来た弟妹のぶんも含めて無料でもらえる仕組みになっている。子どもだけで勝手に行くことも考えられるし、親に言われて受取に行くというケースもあるのだと思う。小学生以下の子が行くという条件だけで、誰が言っても必ずもらえる。経済的に困っているだとか、役所だの施設だの、そういう話は一切ない。子どもならもらえる。思うに、むしろ大勢の小学生が引換に行くことで、本当に本当に必要な子がそこに自然と紛れていくのだと思う。企画・主催しているお店は、そうした活動に熱心で、小学生であれば喜んで弁当をくれるような意気込みに思える。ただ、それはそれで経済的な体力が必要になるな、とは思う。感心する。以前にテレビで見た話だけど、ワゴン車かなにかを使って学校帰りの子どもにたこ焼きをうるおっちゃんがいた。おっちゃんは母子家庭で経済的に大変な幼少時代を過ごしていたのだそうだ。大人になってから、たこ焼きを売るわけだが、このたこ焼き屋はちょっと変わっている。年齢別に料金が設定されている。そしてその料金は、くじ引きのような箱の中に子どもが自分で入れる仕組みになっている。いくら入れたのかは外からは見えない。箱の中にはタオルが敷いてあり、お金の音がしないよう工夫している。「ちょうど今日はお金を持ってきていなかった、という子はげんこつをいれるだけでいいよ」というようなメッセージも書かれていたと思う。お金がなくても、払わなくても、誰が払っていないかを見せずに、見られずに、たこ焼きが買えるのだ。おっちゃんの、優しさがすごい、と思った。

「生活に困ってタダでごはんをもらってる可哀相な奴」と思われるくらいなら「困ってないのにタダメシ食いに来る図々しい奴」と嫌われる方がマシ、という感覚を持つ人もいると思う。惨めさってのはしんどい感情なので

生活保護もそうだけど、結局、どんな仕組みを作っても、必ず悪用する人は出てくる。例えそれが小学生のような子供であっても。なので、その悪用する人させも許容する余裕、ゆとり、経済的な懐の深さも必要かなぁ

審査を厳格にすることでこぼれ落ちる人々が必ずいるということやね。現金給付のときも思ったけど、無条件の掴み金以外、本当の困窮者には届かない。本来あるべきBIはそういう思想

スカッとジャパンしたいだけの人たちは、こういう小難しい調整がとにかく苦手で、だからこそ世の中の主流から外れて、世の中に恨みをつのらせ、労せずに世の中変わることを夢想する。

婚姻届出すと役所の人全員から「おめでとうございます！」って拍手されるって聞いてたから書類渡したあと窓口で20秒くらい夫婦で「祝われ待ち」をしてしまってめちゃくちゃ恥ずかしかった

めんどくさい友達が「あ～お腹も減った！」って言いだしたので他に何が減ったのか聞いたら「心。」って　あ～～めんどくせえ～～

「それはもうしょうがないよね」には二つの用法があると思ってて、一つは「無理なので諦めてください」、そしてもう一つは「僕は解決するすべを知りません」 相談した相手が詳しくなければ、後者の意味の「しょうがない」を聞くことになるけど、案外解決手段は誰かが知ってたりする

道具を使っての殺人や戦争も起こり、道具は人間にとって善悪2つの世界を切り開く両刃のつるぎとなったのである

無限の配慮を求められるネット

スーパーで子どもを列から乱すな VS 子どもを制御できないことを許せ

ソシャゲはガチャ回せるからやってるとこある

高齢者マークと初心者マークを同時に貼ってる車は見たことがない

線香のにおいというと死を連想しがちだけど、生者が死者にたむける生のにおいなのではないか

感情を言葉にしてもらって初めて感情が選択されるという気がする。もやもや感を「本当の感情」とは呼べないだろう。差別への問題意識があるからこそ、差別への怒り・怒らないという選択が可能になる。さもなくばそれを当たり前と受け入れるか、もやもやするかのどちらかしかない。感情が出てくるのは「そういうことをされると人間がどう感じるか」を人間が学習するからであって、何も知らなければ無反応のはず

モンハンの声のプリセットもそのうち人種差別的だとか言われ出して、白人男性、黒人男性、アジア人男性などすべてが揃うのだろうか

環境破壊が禁止され、草笛も草相撲も全て禁止になった世界

教科書に書いてある感情がまったくわからないかわかりすぎるとき、人間は孤独を感じる

体育祭の応援ってアイヒマン実験と同じだよな

夜勤のよくわからん舌

ネトウヨになっておくと子どもは真人間になるらしい。ネトウヨになります

お金を出すからエセレビューを書いて！と、お金はいらないから本当のレビューを書かせて！やさぐれものどうしの意地の張り合い

膝に爆弾を抱えているなんていうけど、同性愛者は胸に爆弾を抱えています

物理的に関わらず、実際ひろゆき氏の動画を良く見ると、推論の妥当性皆無の詭弁にもならない事をかなり言っており、常々「これが議論が強い」と信じられている事にある種の絶望を感じます。彼は典型的なレトリック過剰で、さらに自説構築はほぼ出来ず、相手の弱い部分を攻撃する事だけ長けています。ただ日常言語においてレトリックと詭弁の差はかなり難しく、いかにも説得力ありげで推論の妥当性はほぼない事が多いです。

ひろゆき氏は『論破力』なる本を出してますが、そもそも建設的な議論に論破力など実害です。あの立場でキャラ付けのパフォーマンスとしては良いのでしょうけど。最近、いろいろな「いかにも」な発言をしてますが、それらも新書レベルの知識のまた聞きで、さらに仮説を元にした推測レベルばかりです。そもそも、出来る限りまともに議論してても言葉は無力なのに、自説の押し付けの「論破」など世の中を悪くするだけです。

後付けして、その行動を「有意味化」したくなるの本当よくわかる。寝坊して朝ご飯を食べ損ねたので昼はパン食べ放題に行く、みたいな。後から意味付けして「お腹を減らすためにわざと寝坊した」って思いたくなる欲求がある

服・カバン・財布（衣）は出来合いのものを買う、土地・建物（住）はプロに任せるのが今の時代ふつうだと思うんだけど、「食」は「自炊は正義」が根強いよなぁと不思議です。

今日、割と大事な会議すっぽかしたんだけど、上司が「まず誠心誠意謝るしかない、理由を聞かれたらそのあとにそれとなく言うのが印象がいいよ」って自分の失敗談とともに叱らずに教えてくださって あ～もう一生ついていきます って思ったよね こういう上司になりたいと強く思う！

すっぽかし自体は割と本当にしょうがない事情だったんだけど、その事情をわかってもらうより前に「謝る」という動作をすることで生きやすくなる という『学び』だけを私にインストールさせることに成功している これぞ、理想の叱り方！

オタクの部分をLGBTとかに変えるとたちまち社会的に許されない話題になるんだ。俺は差別とオタクが嫌いだの二刀流が大得意なツラの皮が50センチぐらいあるのがはてなのオタクヘイター

そういや、小学生の頃、家族で外食する時など、2000円くらいが入った財布をポケットに忍ばせ、これで最悪、両親のお金が足りなかった時、救世主になろうとひそかに思っていたな。

むすこがちんこちんこ言い出したから、「ちんこ期がはじまったね」と嫁さんに言ったら「いつ終わるの？」というので「終わらないよ」と教えてあげました。

私、読書感想文で幾度となく賞を貰い、新聞に掲載されたこともある人間なんですが、読書感想文に向いてるのは「隙あらば自分語り」をする人間ですね…本のことは1行引用するくらいで、あとは自分のことを書いてると、なぜか褒められる。

もともと尻尾だけで出来てるトカゲなんじゃないか？

海賊版や不正環境プレイヤーに「海賊版です！違法です！」と直接伝えずに進行不能などを仕込むことで「このゲーム○○で詰むんだけどどうなってるの？」という質問に誘導し、不正者を炙り出させるゲーム業界の高等テクニック

リアルで逃げると次に敵と対峙した時に、強さが倍になってるから、逃げるのは辞めた方がいい。逃げると倒せる確率がどんどん下がっていくのがこの世の摂理

人間の体質が変わるタイミング3つ。

・35歳→いやー俺何食っても太れない体質なんだよねマンが静かになる

・40歳→いやー俺基本寝なくても平気な体質でさー昨夜も1時間半しか寝てないんだよねマンが静かになる

・45歳→いやー俺健康だけが取り柄でさーマンが完全沈黙する

体力のある若いうちは全く気付かないのだが「買ってきた新刊を一気読みする」「録画した深夜アニメを毎週消化する」にも体力が必要な事を年を取ると思い知る。これが「新刊を積む」「未視聴アニメを消去する」になる。TLで御高齢なのにバリバリ大活躍している人を見るがアレは恐らく超人の一種。難解な内容の物語を理解するには意外にも脳を使う。脳は想像以上のエネルギーを消費する。年を取ると体力がなくなりそれができなくなる。結果として「ストーリーがワンパターン」「悪党は一目みれば悪党と解る顔をしている」時代劇を見るようになる。最近はyoutubeの文字が勝手に流れる動画だったり。かつて「若いうちは勉強しろ」「本を読め」「旅行しろ」なんてのは成功した年寄りの説教かマウント取りだと思っていた。実は体力がガンガンなくなり、これらをいくらやりたくてもやれなくなっちゃうのだ。むしろなんでもできる気力体力のある若者に対する老婆心だったり？

知人は妻とほぼ会話ナシ小遣い激安晩メシも弁当もほぼナシという所謂ATM男なんだけど、本人は「ATMは全然つらくない。妻と会話があった頃はことあるごとにゴネられキレられてもっとずっとつらかった。窓口業務からATMになった感じで、気楽に暮らせてる」つってて、ATM道も奥が深いなと思った。

個人的には「人殺しの顔」をしてる人は、利害の相反を前提とした利害調整がしやすいので好ましく思います。価値観の上書きで利害一致させようとするスタンスの人はちょっとしんどい。

基本的に思想は自由だが、他者を攻撃したり権利を奪ったりする思想は正当防衛として例外的に除外される。

「政治に無関心じゃいけんよ、戦争はじまってええの？」と保守派の親戚に言うと「そうなったら仕方ない、明るく生きんと！うちはラムネちゃんみたいに政治を考える余裕は無い、自分が生きるだけで精一杯」と答えたから「戦場に行かされるのはあなたのかわいい孫だよ」と言った。言葉に詰まってた。

やはり「正義の暴走」を心配する前に「正義がない」ことを圧倒的に心配するべき。「正義がない」のが当たり前だからこんな人間の屑が大手を振ってるんだよ。

投資も節約も浪費も自分が納得してて家族や周りに迷惑かけなければ好きにすればいいと思うんだけど、何者かになる為に必死で連呼されるとなんだかなと思う

休日寝続ける事で食費とガス電気水道代を浮かすことができるというライフハックがあります。

最悪のB-29「先っぽだけでいいから！（先端だけ投下する）」

『フフッ知ってるんですよ……空腹のままでスーパーに行くと無駄な買い物をしてしまうこと。なぜなら私は賢いのでね……』と思ってラーメン食べてからスーパーに行ったら感情が“何も欲しくない”にシフトしてしまい飲み物とアポロチョコだけ買って帰って来た。純度の高い無駄だった

意外なことに、定型的な文を書く訓練をすると、自由な文章が書けるようになる。自由に書かせようとすると、あらすじ感想文みたいなことになる。この逆説的な現象がおもしろい。

仕事もそうだけどラクして同じアウトプットができるならラクしたほうがいい。それで空いた時間に新しい料理の事とか家族の事とか考えた方が幸せになる。時間と金に追われてる人は幸せにならないし人を幸せにできない

ゲーム会社の元アルバイトだけどバグを見つけるのが上手すぎて開発を遅延させてしまうのでクビにされた天才デバッガーが闇のデスゲームに巻き込まれて殺人マシンのバグを見つけまくって戦うマンガ誰か描いて

「お家に帰ろう」は安心できる家庭の無い人には絶望的に聞こえるし、「明けない夜は無い」は夜にしか生きられない人や、夜に安心する人には億劫に聞こえるし、「止まない雨は無い」は雨好きなやつもおるやんってなるし、ポジティブな言葉には「お前もそう思うだろ？ なぁ？？」って”圧”を感じんか？

IT業界の旦那さんなら、エアコンとか冷蔵庫が壊れても直してくれるでしょう！などの間違った言説にウンザリする諸氏もいるでしょうが、電機メーカーの人曰くこれは案外間違いではなく、故障時などに「的確に発生事象を感想を交えず伝える」のはIT業界の人が多く、結果的に修理が早く終わるとのこと。

アフィの何が嫌かと言うと、「見る人にとっての利益」よりも「自分が儲ける」ために「偏向、虚偽、脅し、大金を楽に稼げるという誘惑、ミスリードなタイトル」をしてひたすら検索して情報を探す作業に無駄な時間を与えていることですよ…。googleもどんどんアップデートして有害なアフィ記事をヒットしないようにしてほしい

声優の中の人を見たくない感覚は、着ぐるみの中の人を見たくない感覚に似ている。

「ワイ将はただ君をワイ将色に染め上げてやりたいンゴねぇ」という短歌を詠んで死刑になったオタク

3年前ドイツに行ったとき1人で電車に乗ってたら日本人かもしれないし中国人かもしれないし韓国人かもしれないイマイチ判断がつかない青年が隣に座ってきて何人かな？と気になってバレないようにチラ見していたらユーチューブで「R-指定 凄腕スキル集」を見始めたのですぐ日本人だと分かって面白かった

フェミの少なくとも一部は、男こそが人間の本来の姿であると思ってて、生理や出産で身動きできないことを憎んでいる感じがある。ヴァイニンガーが当時の女性解放運動を見て「女性の中の女性性を消し去って、代わりに男性性を増やす事を志向している」みたいな事を言っていたが、女性解放は「人間の標準」を男性的な物と見做し、女性の中の女性的な物は押し付けられた物であるとして消し去ろうとしているというのは、まあ昔から言われていた話ではありますね。

夜に交通量の多いバイパスを渡る歩道橋なんかを歩いていると、自分とは関係ないところで社会が動いている感じがしてとても良い。

「逃げ恥婚」って何かすごい侮辱みたいな字面だな。

労働者になると、子供の頃喉から手が出るほど欲しかった金持ちの象徴のように思えるモノが案外給料で買えるとわかるんですが、本当に欲しかったのはちっちゃな子供の自分がこんなモノを手にする体験であって今モノ自体を手に入れても大して嬉しくないと気づき、涙するわけです。

温泉に行きたいという思いはあるが、遠距離移動してまで観光地の温泉に行きたいかというとそうではなく「風呂掃除の必要がなくて広い湯舟に長時間浸かりたい」という欲望なので銭湯でいいような気もする

意識が高い欧米人が「あなたが評価されているからといって驕るな、あなたは偶然恵まれた環境に生まれただけだ」とか言い出すの、偶然恵まれた環境に生まれるのは神の選択的恩寵の証明であるにもかかわらず気づかずに決め台詞して使っちゃうくらいに欧米で神が死んでいることがわかる

名倉「今日は任して」

名倉「ホンマ、今日は行けるから」

名倉「予習して来てんねん」

名倉「辞書10冊読んだから」

「問題です」

名倉「よっしゃ来い」

「日本の首都、100つ答えよ」

父さんに「もう暗くなるから外に出るのはやめなさい」って言われたけど「世の中を私が明るくするんだよ」つって家飛び出した

ニシキヘビ見つかったのか。じゃあ私の部屋にいるこれは一体…

チンポを出しているが、わいせつではなく、社会に押し付けられた文明人らしさから下りているだけの人

どっちでもない人「ハァ〜〜〜男って単純！！！！女って難解」

善し悪しで言えば良くないが、自由かどうかと言われれば自由

セックスをしている間はどうしても無防備になって命や食料などを奪われるリスクがあるので、隠れてしていたと思う。隠すから恥ずかしいことになったという流れかと

奄美大島の知り合いが「近所のジイさんは酒が飲みたくなるとハブを捕まえに行く」と言っていました。そして捕まえたハブを役所に持っていくと、謝礼金として数千円貰えるのでその金で焼酎を買うそうです。その話を聞いて「討伐クエストじゃん」と私は思いました。

市役所に住民票取りに来た人が「こんな簡単な仕事で高額もらえていいね〜」とか「あんたらのせいで俺たちの給料が上がらない」と言い出したが、本当のことなので全部肯定した。

人権というのは、それを守り保証してくれる国家という枠内においてしか存在できない。人が人である事だけでそれが守られる事などない。統制が失われた国家でどれだけ餓死者が出ようが、文化的最低限度の生活が損なわれていようが「人権が損なわれている！」と救済される事はあまりない。救済する能力を有する共同体の内側に居ないと、いくら人権が損なわれても蹂躙されるがままだ。いくら人権というソフトウェアをインストールした所で、実際にそれを守ってくれるハードウェアの能力が足りなかったり毀損されたりすればそれまでの話なんだよな。

セックスをしないと出られない部屋をピッキングで開けることに成功した、空き巣の申し子

回転寿司でよく赤ちゃんが泣いてる声が聞こえるんだけど「成形された米に魚の切り身が乗ったものが皿に乗って大量に流れてくる」って、たしかに僕が赤ん坊でも「情報量が多すぎる」って泣いちゃうかもしれない

この前外出したときにゲリラ豪雨に降られたが、最寄りのコンビニへ雨宿りに行く２００メートルぐらい間に、溺死したカブトムシ、女子高生の透けブラ、ドブにすむ大量のザリガニを一気に見ることができて、夏を満喫という感じ。

ネット陰謀論はありえないことが起きる＋陰謀論にはまる素人でも分かる「証拠」が必要を両立せなあかんからな。とんでもない超絶技術を持ってる割に子供でもやらないようなミスを大量にしてたりする。子供向けフィクションの悪者がどうしてもそうなりがち（子供にもミスが分からないといけないので）なのと似たようなもんやね

「金を貸すのはいいけど、借用書を書いて」と言うと「俺のことを信用しないのか！」と切れる人がいて、まあそういう人は信用できないし貸してはいけない相手なので、あぶりだす意味でも借用書は書いてもらったほうがいいですね

昔、会社を辞めてモンゴルへ留学するとき、「それって逃げじゃない？」と言われた。答えに詰まった。でもモンゴルで遊牧民の文化では「逃げ」は恥ではないことを知った。彼らは勝てるときは進み、やばい時は逃げる。明日勝つために。「逃げ」を責めるのは農耕民バイアスかも。守るべき土地があるから。

「因数分解や微積なんてなんの役に立つの？」って人が沢山いるおかげで、クオンツやデータサイエンティストが儲かっている。

院生になってからアカデミアに絶望する人、研究より勉強が好きってよりも、タスク管理や実務が苦手なので牧歌的に自由人らしく生きられる仕事に就きたかったけど、想像よりもアカデミアはサラリーマンのそれにシステムが近かったって落胆した経験があると思う。

巷に溢れる出鱈目なロシア語（商業化したメジャーな媒体にも結構ある）、大学で一年ロシア語学んでそこそこの成績を修めた学生さんなら余裕で直せるレベルのものが大半なので、そういう人たちの能力をうまく活かせないものかといつも思う。妻氏もよく看板やパンフレットのフランス語の間違いを指摘しているので「そういうコンサルできるんじゃないの」と言ったら「日本人の大部分がフランス語わからないからデタラメでも通用しているのであり、そうである以上、修正するメリットがないだろうから商売にならない」というドライな答えであった。アラビア語とかも、学生で一年ぐらいやるだけで、「報道のアラビア語名や地名がみんな間違ってる！」みたいな全能感に囚われがちだが、そこで変な優越感持ったまま拗らせて狭い了見でぐるぐる回ってる専門家が生まれてしまう。単に経済的なニーズがないだけと気づいてからが人生本番。実は語学どころか「科学リテラシー」でも同じで、どれほど科学的に誤ったor歪曲された報道やコンテンツや商品が出回っても世間の大半の人々は明確に有害でない限りは「へーそうなんだ凄い」とライトに受容して楽しんでおしまいなので、それらの誤りを科学的に訂正して欲しいと思っている人は少ない。なので良く「新聞社やTV局に博士号持ちのきちんとした科学者を雇わせてコンテンツの科学的妥当性をチェックさせるべき」という話題が科学者コミュニティの間で出るけど、実際にはそんな経済的ニーズはどこにもないので、そういう動きは基本的には進まない

知性や教養が追いつかないのに文章を複雑にしたり高尚な言葉選びをしようとしたりすることは、本人以外にはバレてしまう。本人は気づいていないのだ。本当に知性があると思っているから。

お前らには分からないかもしれないが、本当の陰キャはそもそも服屋では次シーズンの服が売られてるという事を知らないから、もう大学生だし自分で服買おうって決心して"今着たいもの"を買いに服屋に行き季節外れの商品しかない店内をゆっくり一周して何も買わずに帰るっていう経験を全員している

日本人は「ルールを守る」と言われるけれど、どちらかというと守っているのは「場の空気」な気がする。だから空気や風潮が許せば、平気でルールを破る人も多い。道路の速度制限も、労働基準法も、養育費の制度も、守られてないものはたくさんある。だから外出OKな空気になると、歯止めが効かない。

中年が年齢を聞かれて「永遠の20歳よ！」と答える症例があるけど、自分がババアになってわかったんですが、あれはギャグでもなんでもなく、実際、頭の中身はずっと20歳のままだったりします。

気に食わない相手に罵詈雑言をぶつけるツイートは、その相手に1万円払うとOK、という機能をつければ大炎上しても耐えられるかもしんない。

「会社は利用するだけ利用して踏み台にしよう！」と言ってるインフルエンサーに影響受けちゃってる人。会社を利用する前にインフルエンサーに利用されてることに気づいてない。

これらの例を見ていると分かりますが、畢竟「自分以外の何かに成りすまそうとしても当人の知識や教養以上のものには成りすませない」んですよね。以前の回答でも書いたように、GAFA4社の内情はある程度までであればググればネット上に沢山転がっているのが見つかりますし、丹念に時間をかけて調査すればそれっぽく成りすますことは全然難しくありません。それすらせずに「GAFA勤務」という看板だけ掲げて後は「自分が知っている範囲のGAFAっぽいこと」を並べて事足れりとしている点に、残念ながら浅慮のほどを感じます。

tech giantsに限らずグローバル展開するテクノロジー企業の数々は、そういう「入社ゴール」で満足してしまうような人間には向かない世界のように見えます。理由は簡単で、それらの企業の多くは社員に「飽くなき成長」を求めてくるからです。さらに、そういった企業では意外と簡単には社員のクビを切りません。その一方で、その企業自身が猛スピードで毎年どころか毎月の勢いで急成長し続けるため、社員たちにも自社の成長に「追いつき続ける」ことを求めるのが常です。実はこれが地味にキツくて、大体半年ごとに新たな枠組みや技術が現れて、それまでのものはあっという間にお払い箱になっていく。これをずーーーーーっと毎年（ひどいと半年ごと）延々と繰り返し続け、それをキャッチアップするためのトレーニングとアセスメントが毎年必ずついてきます。このトレーニングやアセスメント自体は難しくはありませんが、その代わり及第できなければ業績査定で低評価がつきます。何年も在籍していると、この繰り返しがボディーブローのようにじわじわと効いてくる感があります。

一般に、どんな会社員でも勤める会社からは「企業人としての成長」を求められるものだと思いますが、これらの企業ではそれにアドオンして「自社そのものの急成長に追いつきさらには追い越すこと」までをも要求してくる、というわけです。そういう「否応なしに自社の成長にキャッチアップさせられる」ような会社で、「入社ゴール」などと言って浮かれていられる余裕があるとは正直思えません。仮にあったとしても、それは入社してすぐ後ぐらいまでのことであり、年数が経てば経つほどそんな余裕はなくなるのではないでしょうか。

そもそも「努力しない」ことを不条理なことかのように捉えるのがおかしい。自分のできるかもしれないことを低めに見積もって「無理をしない」「危険をさける」というのは生物としてまったく合理的な生存戦略である。だから人を努力へと向かわせるためには結局二つしか方法がない。「努力すると、今よりいいことがある」と思わせる、か、「努力しないと、今よりひどい目に遭う」と思わせる、か、の二つに一つだ。そして体罰に代表されるように日本の「教育」は後者なのである。

搾取系コンサルに頼る人は、自力で考えること、決めることが出来ないポンコツだと私は認識しています。本を読めば得られる知識をありがたがって鵜呑みにし、正解かも考えない。自力で何もできないのなら、それ相応の決まったことをするだけのバイトでもした方が身のため。あ、面接で落ちるか。

ツイッターのアイコンを知人が変えてしばらくたった後、もとのアイコンがどんなものだったかもう思い出せなくて、自分の記憶力のなさに情けなさを感じることがよくある。

めちゃくちゃ忙しい友人が1か月カロリーメイトだけの生活をしてて、「味変（あじへん）のために色んなものを買って食べてたけど、2週間経つと目をつぶって食べても味の差が『わからなく』なった」って話いつ思い出しても地獄で笑う 逆にわからなくなることあるのかよ

寝ゲロしたあとにバチバチ音がするので探したら電源タップがゲロまみれになっていてゲロでショートしていてゲロ火事になるところだったし考えうる最悪の死に方だ

ADHDの友人、ダイエットのチートデー(脳をだますために好きなものを何でも食べていい日)に何を食べればいいかわからず、とりあえず所定の2000kcalを食べるために1本100kcalちょうどのカロリーメイトを20本食べたという話が好きすぎる そうだよな～そうなるよな

田舎、Wi-Fiは遅いが、うわさが広まるのは光回線より速い

お金で買えない幸せは確かにあるけど、お金で回避できる不幸がこの世に多すぎる

いい仕事をしてもらおうと思ったら、相応の額を払わなければならない。「うちは高いですよ。もし他所と相見積もりをとって安い方に依頼するんだったら、止めたほうがいいです」と初見で言われた業者さん、さすがの仕事内容だった。たしかに高かったが、満足度も高い。

筋肉は裏切らないけど筋肉質な奴は裏切る

ウルトラマンに新居を破壊された男性が辛い心境を綴ったnoteを公開するが「ウルトラマンいなかったら街一つ消えてたんだぞ」「市民の命より自分の方が大事なの？」「独身で戸建てねえ…守るべきものがないからそんなこと言えちゃうんだな」などと批判が殺到してたまらず非公開にする想像をし、落ち込む

仕事を覚えて頂いている人が質問や共有がなく事後報告が多く感じたから、「学校じゃないから答え聞いて終わらせて楽に仕事捌いていいですよ。」って伝えたら、確かに小学校の頃わからないのは一度話したことを聞いていないせいになっていたし、わからないことを伝えることが足並みを乱す空気だった。

あまりどこにも馴染めなかった気がして20代まではなにかに劣っているとずっと感じていたけれど、馴染めない環境から俯瞰に過剰な評価も毒に感じたり、的を得ない否定は捨てられたり、気持ちの入った指摘は分解する動きも感謝や敬意も生まれるし年齢を重ねるって心地が良いものなんだと改めて思った。

一般的に、常識や知識のある人ほど明確な答えを出せない問題(だって人それぞれゴールが違うから)に謎にスッパリ答えを出すやつは、他人の幸福を願っているように見えて、自分が教祖のエセ宗教をつくる事を優先してるやつだって事だ。

ダイエットに成功して体重が2桁落ちました。

なんか中二臭い風が吹いているというか、ダガーが見えるんだよな。単に行動していないだけの話を、少年漫画の訳アリ能力者が悲惨な過去を語ってる時みたいな臭さで語られるので良く分からない。

自分の一番好きな人が自分のことを一番好きになってくれる。たったそれぽっちの条件なのに。どうしてなの　永遠に揃わない気がする。

相思相愛は難しい…理屈で考えるとそうだけど、人間はもっと高機能で、ある程度のところまで好感度が上がると、相思相愛になるようにできてるんだよね。 その機能を恋って言うんだよ。

大魔王の声あるある：エコーかかってる

若いときの感性を殺さないで生きていたいと思っていたが、すでにいくつか死んでる感性あるし、社会を生きる上ではむしろ感性なんてないほうがお得なのかもしれないとも思う。漠然とした不安や恐怖にさいなまれずに済むので…。

結果偏重主義が簡単に破られるのはヒトを含めた生物の最終的帰結が死であることを見れば自明。いつでも「お前はなぜ生きる？結果が同じならなぜ今すぐ死なない？」という問いを突き付けられ続けているのを忘れるな。

「誰もが普通にしている（ように思える）けど実は確率の偏りが激しい」事象は人のメンタルを削りやすいのかもしれない。

情熱がなくなる瞬間って驚くほど呆気なく、誰かの何気ない一言や動作で、「もういいか」と熱が冷めてしまうんだよね。きっとそれ以前にたくさん消耗してきて、最後に残っていた糸が切れてしまったのだろうな、みたいな。外から見ると「なぜ」と思われることにも、そうなるまでの経緯があるんだ。

「相手を変えるのは難しい（ので、口出ししないのがよい）」ってわかったかのように言う人がいるけど、自分よりもある技能で劣っていて、しかも絶対に自分のやり方を貫こうとする頑固者が相手でも同じことを言えるのか、という疑問がある。そういう場面での「この人のやり方に割り込んでいって成果をもっと出せるように指導したい」という欲求はすさまじい。無能課長やら毒親が生まれる原因。例えば、あまりに仕事の覚えが悪い部下がいて、その部下が絶対にメモを取らないとする。「覚えるためにメモをとったほうがいいかも」と優しく諭しても「いや、自分の頭で覚えたいんで」と言う。ミスする。なんなら装置を壊す。「メモしたら？」「いや、自分の頭で」。人間には限度ってものがあって、私はその限度が他人より低いのかもしれない。

真っ向から批判されたとき、それには反論せず、自説に有利になるような味方陣営からのツイートだけをRTし続ける人、どっかいってください。

うるささがエレベーターでゲーセン階にとまったときのそれ

notは難しい。我々は行為を通じて動詞を学び、事物にあたって名詞を学ぶ。ではnot（ない）はいったいどこでいつ学ぶのだろうか。「包丁で切る」は学べる。でも「包丁で切らない」は学べない。外国人に「包丁で切る」を教えたいなら、包丁を指さしてホウチョウといい、トマトを切ってみせればよい。でも「包丁で切らない」ことを教えられない。たんに包丁を持たずにトマトをもてあそんでも、それは「包丁で切らない」ことを行為として説明しない（論理的には正しいのかもしれないが）

社会は甘くないとかどの口が言ってんだそれはお前の見通しが甘かっただけ 自分の見通しの甘さを棚に上げて社会は甘くない厳しいとか口にするな それに社会はもう十分甘い ミスしても叱られるだけで済む 命まで奪われるわけでもない それはゆとりが必要な人間社会が本質的にバッファを必要としているからだ

どれだけやらかしても最悪、死ねばいいと思えるようになったのでメンタルが安定した。

誰かの一押しもなく何の感情の動きもなく、毎日めくってた日めくりカレンダーをめくり忘れて以後ずっと放置するような感じで突然すっぽ抜けるようにルーチンをやめることの方がよくある

コウペンちゃんに「出勤してえらい！」って言われた時はペンギンなのにこんな事言わせてごめんねという気持ちになった

街にある広告は急に飛び出してきて視界を遮ったり、追いかけてきたり、道を塞いだりしない。Webであろうと同じ。それらは広告じゃない。スパムだ

知的障害ベースのうつ病は「将来の悩みを思い詰めている」わけではなく複雑なタスクがこなせず怒られ金がない目先の問題に苦しんでいるので、ストレスのない診察室ではあっけらかんと笑顔であることが多く、診察室でさえ思い詰めているレベルなら幻覚を見聞きしていたり容易にパニックを起こしたりする

ハリー・ポッターとおれが悪いみたいな空気の部屋

人間の「本質」というのは解像度の低い言葉だった　ひとりの人の性格には善悪入り混じっていて、その「悪」の割合に我慢ならない時はさっさとその人から距離をおいた方が良いんだと思う　性善説も性悪説もどちらが正しいというわけではないことに気が付いた

電車に乗っていたら、真向いの男の子グループのうち一人が「検尿を取り忘れたのでペットの犬のおしっこを水で割ってかわりに提出した」と言い出して、めっちゃオチ気になったけど駅についちゃって続き聞けなかった あれ結局大丈夫だったのかな

Kindleのジャンル別ランキング、人文・思想ランキングは自己啓発、医学・薬学ランキングは反ワクチン、科学・テクノロジーランキングはオフィスソフトの解説本が並んでいて、いかに最悪の本棚を作れるか勝負してるとしか思えなくて、本当に凄い

kindleのランキング胡散臭い人とウエーッとなるタイトルしかないし、あとメンタリストが結構な頻度で登場する。こんなの長時間観てると目が潰れて死ぬ、死んだ後「超○○力」「凄い○○」「外資系コンサルの○○」みたいなタイトルをありがたがるゾンビになる

原価に関する議論を行う場合、どの業界の、どの原価についてなのか、前提を揃えないと議論にならないと思うんですね。ある人は材料費、別の人は製造原価、また別の人は売上原価を想定して喋りはじめると、間違いなく議論が噛み合わないので。しかし、ネットの不特定多数が集まる場所でそういった前提を揃えるのは困難でしょうし、全員が全員勉強してるわけでもないし、一次ソース読めるわけでもないですからね。なので、僕はそもそもそういった場所でそういう人達相手に議論なんてしません。

そろそろ6月。22卒にとっては就活解禁という名の終盤戦になるわけですが。この時期以降、いわゆる「就活病み垢」も目立ち始める印象があります。恐らくこの世で一番SNSをやるべきではない層だと思いますし、デメリットしかないでしょうから、止めたらどうなのかなぁと。情緒不安定になっているのだと思いますが、「真面目な人材は就活で評価されない」と言う一方で面接をドタキャンしてみたり、エントリーを止めたり。採用数の減ってない業界を受けているのにコロナのせいにしてみたり。支離滅裂な状態に陥ってるので、とりあえずSNS止めちゃった方がいいですよ。就活の結果が芳しくないと、分かりやすい形で防衛機制が働くんだと思うんですね。認知も似たような形で歪むようですし、SNS上には似た状態の人達が沢山いるので増幅されてしまう。そういう繋がりは、前向きでも建設的でもないので。自分で自分の足引っ張ってると思いますよ。

コミュニケーションはお互いに『したい』と思って初めて成り立つもの　決して嫌々するようなことではない

金に目が眩んで屋上から落ちそうになった

自らの道徳性をアピールするために多様性を受け入れるべきという主張をしてはみるが、自分はGated community から一歩も出るつもりはない、みたいなのは良くある話。

うちの家族は自分を含め全員コミュ障の厄介オタクなので食事の時間になると団欒というよりレスバになってしまう

私本当にブスなんですが、それを保証するエピソードとして、友達と６人で行った成人式で地元の新聞社に写真を撮られたのですが、紙面に載った写真は５人だけで、私だけが編集でキレイに消されていた、というのがあります

Twitterやdiscordなどインターネット常時接続によって、思考や発言に常時なんらかのフィードバックがついて外向き用の顔になるよう外部から修正を受けつづけるのすごい感覚だ、ツイッターの人々が社会を嫌ったふうにしてるのに爆速で社会にされていき中身がツラに持っていかれる

USも多様性だなんだといわれる一方で、皆が子供をレベルの高い（婉曲表現）学校に入れるために引っ越すし、地価をあげるためにその学区の学校のレベルを上げようとするので所得格差が教育格差にダイレクトに響く、みたいな話があり、社会がどうあるべきかを論じることの無意味さを感じますな

まぁ新興宗教にハマるよりかはマシかな……と思う反面、傷心した青年を救うネットワークがもはや存在せずゲイポルノをコラージュしたコメディ映像ぐらいしか寄り添うものが存在しなかったというのは、マジで凄惨なサイバーパンクしてると思う

フィクションに出てくる人たち、珍名ばかりだとリアリティないのは当然として、佐藤田中鈴木とかばっかでもそれはそれで現実感がない。現実はけっこう高橋、古谷、熊谷（くまがい）、増渕（ますぶち）みたいな感じだったりする。

立脚点から歪んだ時代遅れの考えで出発してるから、いくら新しい時代の話をしてても、“天動説を唱える者たちの最新物理学”みたいな奇妙なものになってしまっている

「ワクチン接種したおじさんは技適通らないので違法5Gおじさん」というパワーワードが流れてきた。

すごい…からだの芯からつかれがみなぎってくる…！！

パクチー嫌いすぎて親を殺されたどころか親をパクチーで殺したよね

いい年した大人が「仕事は1日8時間まで」を守れないんだから、お子様が「ゲームは1日1時間」を守れるわけないだろ

問いを書いたときの返答として一番嬉しいのは、答えを教えてくれることよりも、その問いと相互に響きあうような別の問いを投げてくれることかもしれない。

たとえば「遠隔で動画を送受信できる技術」を想像することは100年前でも比較的容易だったろうけど、そこから「YouTube」「YouTuber」「不自然に乳を強調して料理するYouTuber」のようなものの登場をSF的な想像力でイメージすることはどこまで可能なんだろうか。

DJやってる人の体の動きをみて最初はマリオカートで体が動く人じゃんと思ってたが、逆で体を動かしたら何でダメなんだということを考えるようになってきた、マリオカートで体が傾くと何でダメだと思っていたんだろう、最近そういうことを考える

「お天道様が見てる」とか「世間様の目」みたいなタガがあることが前提のシステムは、モンスター利用者の増加には耐えられない。タガをはめなおすか、システムをガチガチにするか…

子供を腹話術人形に使ってお気持ちを集める手法がコスられ過ぎて、子供が出てくると逆にあざといと引かれる風潮、きっとTwitterだけなんだろうな。

「裏路地に連れ込まれて強姦されるBLが最高。とにかく裏路地に連れ込みたい」みたいなこと言ってる人が、まさか他人の表現規制容認するとは思わんじゃん（これが一番意味分からねえよ、強姦や慰み者にされるディオより）

そもそもポリコレに配慮したクリエイターなんてプロパガンダ作家以外の何者でもないんだよな、「宣伝省お墨付き」の作品を作るのが新時代なのか？

でもツイッターランドの皆さんは鉱山の閉鎖や工場の海外移転で雇用が失われて衰退した“日本国内の”田舎の人々が型破りな政治家の異常な言動を支持して不正選挙を訴えて議会に乱入しても絶対に共感・理解なんかしないでしょう。100万回言ってるけど「貧しい地方の失業者や貧困層の味方であるはずなのにトランプ支持者をバカにするリベラルと、都会だけ見てアメリカを語る出羽守ｗ」みたいなこと言ってた人も、日本でああいう現象が起こったら間違いなくリベラル側に立ちますよ。

縦の旅行、便利な概念だ。「グローバルエリートとして世界中を駆け巡っても別にスラムや観光地以外の田舎には目を向けないし現地のホームレスや生活保護を受けているおっさんとも話さないしトランプ支持者と話す機会もないお前らただ単に水平移動してるだけだろ」と文字数を費やす必要がなくなる。

よくわからん田舎へわざわざ行って現地人と関わりを持っても基本的にトラブルのリスク増やすだけなので、家で寝てるか、ネットで類似した傾向の方々と楽しくやってたほうが楽しいですよ。よくわからん田舎で地元の謎の信仰と猜疑心の塊みたいな現地人と言葉を交わしてもリベラル的なみなさんはそんなに楽しくないでしょ。

「プロテインって実は体に悪いんです！」

「フルグラって糖分の塊なんです！」

「有酸素運動って非効率なんです！！」

何故この手のツイートが定期的にバズるかと言うと、人間は基本的に怠惰なので“やらなきゃいけない理由”よりも”やらなくて良い理由“を求めるからですね。

「Nuro光はパソコン5台くらい持っててデイトレードとかする人向けのものでして〜」とか言われた後ソフトバンクエアー勧められたから生まれて初めて知らん人にキレそうになった

面白いね。この「社会に出ても使わない」論は、理系の学者さんが高校の古典の授業を選択制にしようとするときの論拠でもあった。だから、この方向を詰めていくと、文系に限らず理系でもかなり多くの科目がお役御免になるはずで、21世紀を感じさせますな。あのとき私がよく理解できなかったのは、なんで理系の先生方は古典に向けた刃が自分にも向けられるとを想像しないんだろうってことで、まあその答えは未だによく分からないんだが、みんな頑張って自分の領分を守って敵を殲滅できたらいいですよね。ちなみに私は学校でなにを教えようが教えなかろうがどうでもいいかなと思います。教育にそこまで関心ないので。なにを教えてくれようがどうせ退屈で死にたくなるに決まってるという謎の確信だけがある。

そうそう、古典不要？シンポでも少し話題になってたが、理系の先生が古典を排除したいと考えるのなら、「社会に出ても使わない」論を経由するのではなく（なぜなら理系にもその種のものがたくさんあるから）、PCに違反している、という方向で攻めたほうが上手く立ち回れると思うよ、老婆心ながら。PCを前面に出すと、サイン・コサイン・タンジェントや因数分解を守りながら、男尊女卑や人種差別をふくまざるをえなかった古典を排除できる。アメリカだとこのへんもっとセンシティブだろうから、それに倣ってざざっと変わる可能性はなくはない、ような。いまや「ブラック企業」すら偏見の助長では？と見直されがちな世の中なので、現代にそぐわない価値観をふくむ文献を公教育のなかで取り扱っていけるかどうかは注視したいところ。そしてこの弱点（？）は、反復可能なものを扱う理系の知と違って、文系の知が反復不可能なもの＝一回的なもの＝歴史的なものを扱うという知的構造性の差異に由来していると思う。

欧州発の脱炭素とかいう遊びに乗っかるの、脱原発で火力に動いてきた本邦でやるのは「新造火力まだ10年も動いてへんぞ頭悪いんか？」ぐらいの感じだし、何もかも欧州の後追いなことに関して「その遊びに乗っても肌は白くならんし目も青くはならんぞ」という皮肉のひとつぐらいはキメたくなるわけですよ

量産エモに対する反発というわけでもないけどそういうのもうええわという疲れからか、恋愛も少女も人間もいない枯れきった廃墟（物語が『あった』痕跡）にしか安息を見出せなくなってしまう。

LGBTってもしかして「認められやすい順」？

12年前も「アカデミアは誰が何と言おうと高貴で高邁で高尚な存在なので政治家や一般国民など下賤な連中はその価値を認めて黙って金を出せ」と言っていた大学の先生が2021年の現在も同じことを言っているらしいと知って、これだけ日本のアカデミアが衰退した後でも何も認識が変わらなくて凄いなと思った

当の基礎研究をやっている人たちも「役に立たないことに対して堂々と開き直れ」派と「有用性が具体的でないだけであって役に立たないというのは語弊だし世間からの支持を無くすから言うな」派と「そもそも役に立つかどうかという土俵に乗せられてはいけない」派に割れて揉めてるみたいなとこあるよね。

科学で行けるところで怖いとか言っちゃうみたいに、論理で戦わなきゃいけないところでお気持ちを使っていい点数を収めても、次に論理使うときに力が出なくなるので気をつけましょう。ただ、どうしても落とせない局地戦もあるので一概にどうすべきとかは言えないですが、私はそういうの嫌いですね。

アリとかハチとかは社会を熱心にやってるので嫌い

食べログレビューは出来損ないの村上春樹とおじさん構文の悪魔合体みたいなのを山ほど見る

足立区はLGBTの増えすぎで滅んだ。滅亡当日には綺麗な虹が東京都全域で観測されたという。

小学生の時かけっこ速いやつモテたよねーって話をしてたら、女の子から「足の遅い人と面白くない人について全然思い出せない」「足速い人は面白いことも多かった」という話が出てきて「さすが女.......」ってなってる。

有名人が結婚したらショックだとかなんだとかとりあえず騒いで同調しておくことで社会性をアピールするイベントが発生する。

ホロコーストの重要な教訓の1つが「自分は命令に従っただけ」では免責されないということ。権威や命令に従うことで何が起きるか分かっているのであれば、ただ権威や命令に従うのではなく、それが正義か自分で判断しないといけないし、従った責任を取らされる。でないとホロコーストは防げないので。

ドラクエで一番ドン引きしたエロ絵はライアンがホイミンに凌辱されてるやつで、汚いとかエロいとか以前に「なんで？？？？？」っていう圧倒的疑問と直後の虚無がやばかったです なんで？？？？

中国人留学生、女性が子どもを授かることを「孕む」っていってて、その時点でお里というか日本語供給源がどこかがわかってしまうし、わかってしまう自分も情けなさで死にたくなってしまう。孕むが出てくる会話ってDQNかエロ同人誌キャラだけなのよ。

どんな天才でも、時代に何度も逆らって生きることはできないらしい。そのまえに寿命が尽きてしまう。ガリレオは天才だったが、彼は半導体チップを発明することができなかった。どの時代にも天才はいるが、せいぜい変えられるパラダイムは一つぐらいなのだと思う。それは人間の生物的寿命の長さに起因している（科学は墓場で進歩するし、新たな技術が受け入れられるまでには時間を要するので）。

人、社会が死を遠ざけてるせいなのか人が死ぬということを考えないし理解できてないっぽいし、理解できてるの医者くらいしかいないような気がする

皆既月食を見ようと連絡した友人。天気が雨と知って私はがっくりしたが、友人は「雲の合間から見えるかもよ！」と。その素直で前向きな思考に触れて、こういう人を大事にしたいとか、こうなりたいと思った。こうなりたいと思えるようになっただけで素晴らしい成長だし、それに気付けたことも人生好転のしるしですね

小児科で順番を待っていたら前の赤ちゃんが泣きだして、その子のお母さんが「アンパンマンのマーチ」を歌い始めた。こんなに人がいるところで歌うなんてすごいな、自分なら恥ずかしいなと、妙なところで親一般の「すごさ」に圧倒された。でも自分が親になっても恥ずかしい気がする。

「どこからでも切りたい」場面って実はあんまりないな…どこかから切れればそれでいい

子供の頃は反感を覚えた大人キャラの言動が大人になると沁みてくるのは、制作側が「この作品では装飾してるが本当はこうなんだよ！」という思いの丈、ある種のぶっちゃけをしてるからなのかね…。こういう一種の憎まれ役が「装置」じゃなく、一個体としての信念や主義を持ってるような人として描かれてると、作品に深みというか奥行きが増すような気がする。

何かの障害があるわけでもないのに道端に平気でゴミを捨てることができてしまうタイプの人、人間のガワをかぶった昆虫かなにかじゃなかろうかと真剣に思うほど理解できない

「10万縁」とか「人財」とか字面を改変している人を見かけると、心で白目を剥いてしまう。こういうのを使うのは、本人の日記内だけにしてほしい。あやしく感じる。10万円は10万円、人材は人材です。字面だけいじっても何も変わらない。漢字は正しく使って、本来の意味に向き合っていきたい

「しつこく迫ってくるキモい蛙を壁に投げつけたら美しい若者に変わってめでたしめでたし」ってひでー童話があるけど、欲望丸出しで近づいてくる異性が気持ち悪いヌメった生物に見える感覚は、わりと普遍的な気もする

相手を知れば知るほど表面的なことは気にならなくなる。でも知らない相手のことは表面的なことからしか知れない。深い中身まで知る根気があればいいけどね

「ごめんで済めば警察はいらない」ってフレーズが飛び出す場面、ほとんどが民事トラブルなので警察はいらない

努力できるのも才能と聞いてへーと思っていたけど一番やべーやつは努力を努力と思ってないやつだぞ

前から気になっているんだけど、「めちゃくちゃ賢いのに知識の記憶力は悪い」タイプの人々がいて、数学はバリバリ解くんだけど入試は苦手だし、入試に限らずあんまり学問に向いてないんだよな。数学もハイレベルな世界になると論文の内容いくつ暗記してるか、みたいな世界になるらしいから数学方面で活躍できるかも微妙。だいたいこの手の人は幼少期に苦労せずに成績上位キープしてから落ちるので努力する練習せずに冷笑的になるし

頭がいい人は知識をベースにした複雑なシミュレーション速度が異常に早い。ただし、机上の知識で、現場や現実は知らない人が多く現実無視の判断に陥りがちでしたね。本当の合理的判断をできる人は現場と現実をよく知ってそのIQ高い人に現実をインプットして結論を修正できるイメージ。

シャワーからお湯が出るまでの間、水ではなく、過去の失言や恥ずかしい記憶が出てくる。

壁の穴に挟まった女性を後ろから好き放題犯すみたいなやつ、反対側もおしりだったら本当に怖い

「お前の勉強量が足りない」と言う人の考える「勉強」は、一般的には「教化(インドクトリネーション)」と呼ばれているものである割合が高い気がする

「落ち着く」という言葉は旅館の部屋に通されたあと背負っていた荷物を床の間の前に放り出して座椅子に腰を下ろした時のためにある

皆既月食のタイミングで「月が綺麗ですね」と言うと参照先がnullになりバグる

理想や綺麗事を、敵を殴るための道具として利用してるだけで、自分自身は理想のための対価を払う覚悟なんて全くない連中だからな。そのように社会問題を消費して陳腐化させるという意味ではネトウヨより有害と言える

女子のルッキズムは、生まれ持った容貌より身嗜み・お洒落方面に発揮されがちだと思う。ジャッジに素材点と努力点があるとすると、努力点の配点が高いんだよね。「外見に努力してない点」の減点が大きいというか

自分が飽きた、に他人を巻き込むタイプの人いるよな、という感じの増田

D&D（テーブルトークRPG）で言えば、INTとWISみたいなものですかね。INT(Intelligence＝知力）は、雨降ってきたら「これは大気中の水蒸気が冷やされることにより大地に降り注ぐ現象だ」と理解する能力で、WIS(Wisdom＝判断力)は雨が降ってきたら「濡れたら体が冷えて風邪を引くから雨宿りしよう」と判断する能力、と教わりました

男女関係なく最近はアウトロー的なキャラクター設定が許容されなくなっている。カブに限らず盗んだバイクで走り出すことも許容されない。これが日本のポリコレの現状

あらゆる組織の若手は最初は先輩社員の指導を受けて育っていきます。ところが年を経るにつれて注意されなくなってきます。わたしも社会人になってから今まで、注意される回数がどんどん減っていきました。もちろん私が成長して注意すべき点が減ってきたというのもありますが、それだけでは説明がつきません。あとから振り返ってみると「これは相当まずいことをしたな、昔なら相当叱られてただろうな」ということが多々あります。では自分の成長以外にどういう要素があるかというと、それなりに大きなウェイトを占めるのが加齢だと思っています。

「技術の前には年齢は関係ない！」という話もあり、実際それはそうだと私も思いますが、年長者は敬うべきという文化がずっと続いてきた日本で実際に年長者に正面からボロカスに注意する人というのはなかなかいません。それに加えて「この年になるまで変わらなかったんだからもう注意しても無駄だろう」「年食ってきたら人間はもう変われない」という意識も働くと思います。本人のいないところで「あいつ使えない」と言われることはあるでしょうが、それは本人には届きません。

実際自分が40歳に達した今、注意してくれる人がいないのは自分にとっての大きな問題のひとつで、定期的に過去の自分を振り返って内省をしています。そうしないと改善のきっかけがないのです。そうしないとプライドが高くて成長が止まった役に立たない人のできあがりです。この取り組みがうまくいっているかはよくわからないのですが、しないよりは全然いいと思っています。年はとってきて、不可逆なかたちで衰えが出てきているところは多々あれど、今後もできるところは改善、進歩していきたいと思います。

年上の偉い人にダメ出しすると意外に喜ばれて評価されるハック、覚えると結構有用。注意してくれなくなり、あるとき突然決定された事項を知らされる。これが怖い。役職も所属も関係ない、利害関係が絡まない人付き合いも有効そう。

エシディシが泣くのと同じだと思ってる。試合中に徹底的に叩き壊すことでメンタルをリセットして集中力を取り戻すんだろう。彼女たちはモノや労働者のためでなく、勝つためにあの場にいる。

RIP（rest in prison）

長年美容師として働いてきた高齢のお母様がデイサービスに行くのを渋るので、入浴後の他利用者の髪を乾かすお手伝いができるよう娘さんから施設にお願いしたところ、髪を綺麗にセットしてもらえて利用者の方は大喜びだしお母様は張り切って出かけるようになったという、良いお話を知人から聞いた。ふわっと髪にボリュームをもたせたり綺麗にまとめたり、体にしみついているプロの技は凄いとのこと。一昨年くらいまでお母様がお店で同じくらいの年代のお客様と楽しそうに話しながら髪を整えているのを私も見ているから、なるほどなあと。あの生涯現役という風情の女性が、黙ってデイサービスでお世話されるだけなのは苦痛であったろうし…

日本人のATフィールドは年々分厚くなってるよなとこの米欄を見ても思う。社会が冷たくなったのではなく、人々のリスク回避志向が高まっただけなのだ

所詮脳味噌は肉体の操作の余力で思考をしているに過ぎないので、運動に脳のリソースを割くことで悩みは忘れるし、シナプスが上手いこと繋がって妙手が思いつくこともある

「自民党の腐敗政治を何とかしたい」というのを本気で言ってるなら、自分達で政党立ち上げるくらいの事はしなければ駄目なんだよな。「お灸をすえる」とか言って共産党に投票したりしてる時点で消費者感覚なんよ

会社の人に「Twitter見たよ！職場より自然体っぽいね、会社でもTwitterみたいにしていこう」と言われたので、これからTwitterみたいな感じで仕事します

のび太｢ドラえも〜ん！！なんか出して〜泣｣

わかってるドラえもん「知り合った人の苗字とか名前が昔嫌いだった人と同じだった時のあの微妙な感覚がなくなる薬（ぐすり）〜〜〜｣

これを求めてたのび太｢そうそうそう、そういうことなのよ｣

賛否両論の強烈な発信で炎上を起こして金を稼いでた人が、その「否」の部分を法的手続きで圧殺し始めたらそもそも自分の商業的価値を自ら葬ってることに他ならないのだよ。その程度の「コンテンツ」にはもはや批判するような価値も残ってない。

この前、天皇陛下のお誕生日パーティーに呼ばれたからプレゼントに姓名判断の本を持って行ったら、「いやｗｗｗ姓ねえからｗｗｗｗｗ」って大層おウケになられて、それ以来俺の家だけ所得税が680%になってる

ミステリにおける「死人が出たくらいで由緒あるこの祭りを中止するわけにはいかん！」の横暴な年寄り仕草、最近は使えなくなってきたかと思ったがまだまだいけることがわかった

イヤイヤ期入った娘が蟻を踏み潰すから「いきもの殺したらダメよ」と教えたら『いーや！ころすの！ころすころすぅ〜！』って科学者の制御を振り切るモンスターみたいな暴れ方してて困ってる

自分を「普通の日本人」と称してる人って、「日本人のいろんなパラメータの標準偏差を求めて、自分は概ね偏差値40～60に収まる」と考えているのではなくて、「自分を座標軸の原点と定義したとき、大きく離れてる奴は異常」と感じているという意味。

「大事なことだから一回しか言わない」は意地悪なんです。「大事なこと」は「何度でも言って」あげてください。子どもたちの中には一回で聞けない子もいるんです。あなたの意地悪で子どもたちが学ぶことは「諦め」ですよ。

「それを捨てるなんてとんでもない！」みたいなメッセージが表示されてくれ、人生。

「良いサービスが安いのは素晴らしい」と思う人は自分が良いサービスや商品を売る立場になっても安い値段でしか買ってもらえないということに気付いて欲しい。客は神様とか言って値段不相応なサービスを要求するのはそういうこと。喜ぶのは働かなくていい人と外国人くらい。

「主婦が教えるオトクな雑学！」みたいな本の中に「豚肉は1人前ずつラップして冷凍庫に！」って書いてあったので、「あ～」って言った後（世の中のシュフ、すごすぎひん？）と称賛しておいた。

人間の倫理とはあいまいだ、で済ませたくない自分がいる。AならばBという自分の倫理をわざと解体して考えたい。Aだけでない条件があるのか、B以外の分岐はあるのか、notはいつつくのか。せっかく重たいものを抱えているのだから、思考しなきゃもったいないよ。

親の愛情は一転して強い呪いにもなる。毒親と呼ばれた人間が、その親のかけてくる呪術から逃れるために長い時間を要するのは、一度変形した針金を簡単には元に戻せないのと同じで、他人がとやかく言えることでもない気がする。

ヤンキー「オタク！お前アレやれよwww角川文庫のあとがきwwwwww」

オタク「第二次世界大戦の敗北は軍事力の敗北であった以上に私たちの若い文化力の敗退であった…」

例えば「ワクチンを打つと5Gに接続される」と信じている方は頭が「柔らかすぎる」のです。心理学用語でいうと「(思考の)解放性」が高い。オカルトにハマる人は天才博士と紙一重の人達です(ただし天才博士は自分の考えの精査が可能)

昔は個人がほんの少しの手数料だけで日本中の人相手にお金や物のやり取りをすることなんてできなかったから転売がなかっただけで、もし可能だったら昔の人もやってただろうね。変化したのはモラルじゃなくて環境。

「役に立たない生き物を殺してもいい世界」を肯定すると、我々が真っ先に殺されかねないという危機感持ったほうがいいと思う

しかし「本人が差別と思ったら差別」というのも「本人が自分を女/男と思ったら女/男」というのも、主観と客観の境界を意図的にぼやかそうとするという点で一貫したポストモダンな態度なのでタチが悪いな

学生の頃、教員から「ここまでで何か質問ある人」と言われたら最初に質問する人はどんな内容であれ偉い、という話を何度も聞かされていたので、仕事の会議でもウェビナーでも、質疑応答があったら（実際の有無は別にして）聞こうと思うことをまとめるようになって、結果的に内容の理解度が上がった。

馬車馬でももうちょっと休んでるぞ

いつぞやの「金も権力も持ったことがない人は清廉潔白でいられる」って話と似たような話。禁断の果実の味を知らないものが果実に振り回される者を笑えないって事かな

人生で初めて才能を開花させて活躍したジャンルではしばらくしたら人間トラブルが起きて、やめてしまう人は多い。これはそれまでひっそり慎ましく生きてきた人が実績を得て、才能を自覚した瞬間に増長して、傲慢になるため

紀元前に書かれた本を読んでると何者かになりたい若者の話がよく出てくるんですが、2000年以上続いているそのトレンドが終わるとしたら、その原因はなんだろう？と思いました。

現代人にはお婆ちゃんが必要だと思う。自分の価値を才能や能力で決めたりしないが、良いところがあったら褒めてくれる。行動や言動に悪いところがあれば注意してくれるが、決して見捨てない。無条件の存在肯定。

かまどさんって強面で叫んだあとはすぐニッコリと笑ってくれるけど、そういう処世術が表情筋に染みついてしまうような人生をかまどさんは送ってきたんだろうなと思うと少しばかりの悲哀を覚える。

感情の持っていきかた全然わからん話

おもらしの何がエロいかわからない人には「アオカンってよくない？」みたいなことを話すと「あ～」みたいな顔をされる。やっちゃいけない場所でやっちゃいけないことをする、っていう解放感とか恥辱感がいい、という一般論なら、多くの人は同意してくれる。やっぱ性癖ってグラデーションなんだ

自分の好きなキャラクターが座っているときに後ろから抱きしめて、気付かれないように全身皮膚表面麻酔をかけて、キャラクターが意識できないように小さな傷をカッターナイフでお腹につけていって、だんだんと（血液が欠乏して）気分が悪くなっていくところを介抱してあげたいな～とか思っている

たしかに人ではないんだけど、性的な部分が完全に人もしくは人のように描写される、その点において人外キャラは「レイプ」のような屈辱感や背徳感がある。

油ギットリステーキ食いたい日もあれば素っ気ない立ち食いそば食べたい日もあるわけで、落ち込んでメンヘラソング聞きたい気分の日だってあるんだよな…悪影響だって無闇に規制しても臭いものに蓋にしかならんよな

学校の勉強なんて社会のどこで使うのって言うけど、四則計算の掛け算割り算できないやつと話したときに痛感した。50個の部品を1台に2つずつ付けると、25台でなくなるし、余ったらそれは異常（つけ忘れなど）って理解できない。つまり「考え方や概念が理解できなくて困ってる」ことにすら気づけないのだ…マジで「余ってなにか問題あるんですか？　別にいいじゃないですか」って真顔でいうからね。別に悪気があるわけでもないし、本人が悪いわけでもないんだけど、でも、例えばそれが仕事なら、余ったことに対して異常を感知しなきゃいけない。その「異常が起きてる」という説明を理不尽だと感じてしまうのだ。まあ、それだけなら「やる気になったときにやればいい」んだけども、困ったことに、やる気になったときこそ「学習法や調べ方がわからない」ってなったり、そこで変な劣等感や無力感を持っちゃうのよな。そして、それが怖いから、そのうち知らないことそのものにフタをして、なかったコトにするのよな。そして「アレは自分に必要のないくだらないモノ」とすることで否定する。もちろん、心のどこかでは欲しいに決まってんだから、それが得られないで変に不安になったりしやすい。知ればいいだけのことが勉強できないで困る……というのが、学校の勉強がどこで役立つかっていう話。まあ、わかりやすい例をあげたけども、別に本人がそんな悪いわけでもなく、たまたまそうなってしまったとかってことはあるし、また、こういうのって「違う場所や物事で、自分でもやってるかもしれない」ので、他山の石でなく、自分でも結構大事だよねってするのが大事かなーと思います

理数系の人は「微分積分学は『役に立つ』から学ぶべきなのだ」とよく口にしますが、それでは数学Cの行列がなぜ外されてしまったのか。行列は役に立たないのか？という話です。何かを学ぶときに有用性をアピールすると、より「強い」有用性のものをなぜ学ばないのか、より「強い」はずの有用性を持つものがなぜ削除されたのかに答えられません。

私は学校の勉強など四則演算と読み書き以外は必要なくて、仕事で使うものを使う時に学べばよいとまで思っています。社会のある一部の層がある知識を使って世の中をよくしているのは確かだとしても、それをある特定の、たとえば高校を出て働く人にまで教えるべきだとは思いません。実用的には意味がないからです。古文漢文なんて、日常生活で使っていない人のほうが多いのですから。しかし私は、思考の方法をインストールするための方法として、これらの勉学に価値を見出しています。それは結局「コンピテンシー」の7文字でおさまるものではあるのですが、有用性を論拠に微分積分学の学習を強制させたい人よりも、深いことを考えていると自負しています。例えば学ぶ方法を知っている人は、どうすれば知識を得られるか、どうすればそれが正しいとわかるか、どうすれば仕事にそれを活かせるかを知っています。魚を持っているのではなく、魚釣りの方法を知っているのです。

河童の川流れを川岸で応援している人達

江戸の敵を長崎や北海道など、同時多発的に全国29か所で討つ

瓢箪から駒込ピペット

絵を描き終わった後にパレットの全ての色を混ぜた男子小学生のそのパレットの色のような気持ち

言葉に形があったとしても「白紙」として具現化するであろう感情

比喩表現を豊かにしようと思っていたがむしろ順序は逆で、豊かな比喩表現をどこかに書き留めておいて、必要な時に使っているだけらしい。

ゴキブリの脚のギザギザも、見方を変えれば糸ようじになるのでは、と言い出すかのような壊滅的な思想で会議を牛耳る我が部長

眼鏡をはずすと、漆黒の中に4つの太陽のような光がぼやっと浮かび上がる。テーブルタップのスイッチがおのおの光って、ぼくの網膜のはるか手前で像を結んでいるのだ。

どれだけ有名なアーティストも人間であって、よって感覚の把握が自分とそう大きく変わっていないことには注意したい。50万のいいねも、3000件の批判リプライも、9万人の観客も、多すぎればいっそ単なる暴力的で重圧的な数字にうつることがあるだろう（と私は思うし、その感覚を彼らが抱くことも自然とわかる）。「お前は有名人なのだから、批判されることを有名税と思え。もちろん俺から批判されることもな」というスタンスで有名人を引用RTして叩く人を見るけど、それはあまりに彼らを軽く見過ぎじゃないかい。誰であっても嫌なものは嫌だし、積み重なれば「数」を見るだけで疲弊するんだよ。

キツネが大好きなので、キツネの自作イラストをアイコン画像にしている人のことを無条件に信じすぎてしまうし、何ならその画像にお世話になったこともあります。そんなぼくでも入れる保険がありました！

マニアックすぎるリョナの設定に自信がある。大将！今日のオススメは？と聞かれて「ほいよ、みぞおちを1時間に1回、必ず的確に突いてくるマシンに追い回されて涙目になっているキャラクターの絵だ！」って言いたくなる気持ちがあるし、なんなら今からすぐにでも描きたい。

推しがいかに推しとして優れてるか唐突に語りだすタイプのオタク友人、押しが強すぎてやや惜しい。

昔、喧嘩して自分の母を泣かせたことがあるんだけど、それでも次の日の弁当はいつもと変わらなくて、その時はじめて「とんでもねえことをしちまったんだなあ」と感じた どんな気持ちでつくってたのか聞いても「もう覚えてない」って それが愛情なのか、愛情でなければならないのか、今のとこまだわからずにいる

福岡の中洲に一軒だけぽつんとある、おじさんが無料で脱糞をしてくれるだけの無料脱糞所。

男の子はうんちが大好きなのですが、その年代にうんちが大嫌いだった人間は大人になって全員「スカトロ」に目覚めるらしいです うんち教育はしっかりしよう

ゴジラ、二足歩行の上に尻尾があるなんて、いったいどこからうんちを出すのだろう。出すうんちさえもでかくて天災レベルなので、かれの生態系に注視していきたい

若いうちにしかつめない経験を積んでおきなさい、には一般論で同意するとして「金持ちのほうが結局、経験を金で積んでる」という殺し文句におもわず脱力してしまう。社長の息子は世間知らずのボンボンということのほうが少ないだろうね。金持ちほど経験の大事さを知っているから、自分の子どもにもさせてあげる。知り合いの教授の息子はアメリカの大学卒業して、イギリスの大学院だってさ。

自分よりも思慮深い人間がいること、自分より思慮浅い人間がいること、自分も含めて大半の人は自分を一番思慮深いとどこかで思っていること、この三つは生きていくうえで認めておくとなんやかんや役に立ちます

月曜が来るのが嫌すぎて、パソコンを夜通しやって疲労困憊になり、天地も時間も分からなくなったぐらいで寝落ちする、というのをずっと繰り返している。

フォロワー10万人の「あっ 報告があります」に1000件のいいねがあるのを見ると、別にいいね数ってツイートの面白さをな～んにも代表してないんだなって気付くよね むしろ1000フォロワーで100いいねついてる自分のほうが…って、数に囚われるな！！

「どうでもいい」には二つの用法があって、本当にどうでもいいタイプと、全然どうでもよくないんだけど自己嫌悪したくないから認めてないタイプ。「勉強なんて、どうでもいい」は割と後者寄り。価値を認めなければ絶対に負けることはないので…。

大人たちの言うことを信用するな、って書いてる本は、「もちろん、この本の言うこともですよ。」と美しくまとめにかかるが、個人的にそこは「この本を除いてね」と冗談めかして言ってほしい思いもある。

長崎県民は週に1回カステラを食べているという冗談を言ったら、1%の人は「そうなんだ！」って驚いてくれる。多様だな～って思う

ほうれん草を束ねる帯が紫なのは、緑と反対側の色にすることでほうれん草を新鮮に見せるためらしく、「何事にも理由ってあるんだな～」って久々に思った雑学でした　このノリで自分が生まれた理由も教えてくれ～

ラップとそうめんだけは高いものを買った方がいい、って死んだおばあちゃんが言ってたけど、こういう「安物買いの銭失い」って他にあるのかな　教えてほしいです！

人の趣味をとやかく言わない、にはその当然さを嘲笑気味に同意するが、趣味がいざ喫煙や昆虫虐待だととたんに攻撃に走る程度の倫理観しかないみなさん、おはようございます。今日もネットを一緒に盛り上げていきましょうね！

これは無意識には抗えない本能的な機能ですが、人間は自分が疑問を抱いている属性を強く批判している人を見ると、無条件に信用してしまう傾向があります。

自分の性格･個性だと思ってたものがほぼ全てADHDの特徴だったんだけど、処方された薬が覿面に効いてもしそれらが全部"治療"されたとして、一体おれは誰になるんだ？

歯科検診を受けている間、なぜか「ズグダンズンブングンってなんですのん？ 切腹～～～！」とツイートしたくてたまらなくなり、後少しで施術を中断させるところだった。

非モテ男ほど「運命の出会い」とか信じたがる。漫画でありがな曲がり角での偶然の出会いとか。偶然は偶然でしかなく、それが運命になる因果はない。「この偶然は運命だからだ」じゃないんですよ。「偶然を必然にするほどその後に行動するから結果運命になる」だけ。最初から用意された運命などない。

例えばクラスのいじめっ子グループが自分たちのいじめを反省することなく「これからいじめをなくすぞ」と言い出していじめの裁判官みたいなことをすると言い出したら他の子は「自分たちのいじめをなかったことにしようとしてるんだろう」とか「これは新しいいじめの始まりだな」と思うのではないか。

高校の国語の先生が尾田栄一郎の元担任だったんだけど、事あるごとに「でも彼はクラスで陰キャでしたからね笑」みたいに馬鹿にしたような言い方してて、それ聞く度に「なんで陰キャだったら笑うんだろう、そもそもあれだけ凄い作品を作る人が社交にかけられる時間なんてないだろ」と思っていた

あらゆる理想の実現可能性が一秒毎に減少し取り返しのつかない喪失感を絶え間なく味わうためだけに存在する地獄の季節、夏

ラブコメ（広くはキャラクターコンテンツ）におけるキャラクターと読者の単純接触効果ってすごくて、巻数のボリュームによって達成される、単巻ではなり得ない感情の領域があるように感じる

魔法系の大学には魔法学部のほかに魔文学部、魔商学部、魔経済学部などが設置されていることが多い

トヨタ生産方式で注射打たれるの工業製品になったみたいで興奮しそう

「鈴と小鳥とそれから私、みんな違ってみんないい」ってやつ、多様性の美談じみているが特技自慢の競争主義から脱していないので本当にダメ。21世紀以降は「何もできない泥団子、何もできないけど存在するだけで尊重してあげて良い、ぶっちゃけ個性はどうでも良い」の精神でないといけない。

同性愛、性的指向とか、まぁちょっと変わった趣味とか。そういう他者との違いを理解する人を必要などないのだよな。理解しようとするから、苦しむ。余計な軋轢を生む。なぜ彼らがそうしたいかわからないけど、彼らはそうしたいって理解だけあればそれでいいんじゃないかと。たいていの場合、自分には関係のないことだろう。当事者でもなく、そのためにお金を払わされるわけでもない。赤の他人なんだから、好きにすればいい。社会人として、市民として普通に生きていればいいだろうと。自分に累の及ばない限り。彼らが何をしようと、自分と周囲に影響を及ばさなければいいだろうに。何が気になるんだ。人の気持ちを理解しよう、痛みを理解しよう。相手の事を思いやろうなどどいうから、かえって理解できないものを矯正しようとしたり、排除しようとしたりするのではないか？他人の痛みなど理解できるはずがない。分かった気になるくらいがせいぜいだ。だから、分かり合えないことを前提で、互いに互いを攻撃せず、権利を侵害せずに境界線を引いて、その中で生きていければいい。そういう妥協、期待しないことこそ必要だと思うんだけどな。人は聖人にはなれない。

クラゲやヒトデみたいな生物にとっては前という概念もないんだろうし「前向きに生きていこう」という思いもないんだろうな

ツイートの反応から見てもわかる通り、読み手が求めているものって楽しさとか共感できるポジティブなエンタメなんですよね。

誰かや何かを刺しにいくツイートと、不特定多数にウケることを狙いにいくツイート、この違いを理解して使い分けられるかがアカウントを育てる為の肝だと思います。

「ベンチャー行きたいけどベンチャーは教育制度が整ってないから、一旦大企業で学んでから転職する予定」とか言うやつ大企業も欲しくないしベンチャーも欲しくないからな

第三者と話しているジャイアンがのび太について言及するときに謙譲語を使っていたら「俺のもの」としての意識が強すぎて怖い

なーにがSEXしないと出られない部屋だ、こちとらpublishしないと出られない部屋にいるんだぞ

「マゾ貢がせ計画」みたいなタイトルの同人音声を聴いたところ、女が男とマンコを用いた性行為をおこない、その後に男から金銭を巻き上げるという内容でした。それは「金銭」の代償としてまともな「商品」を貰っているので「貢がせ」ではなく「商業」だと思いますが…不安かつ不快な体験でした

むやみに増えるのをやめろとは思うが、それが可能だとは思えない。理性的であることも、選択をすることも、責任をとることも、主体的であることも、突き詰めていくと不可能だよな。人類、セイタカアワダチソウみたく自らの分泌した毒で増えたり減ったりするんだろうね。

制度自体の是非はどうでもいいけど「九州では公立高校の定員が男女別」だったらツイッターでどんな反応が起こってるか考えると、なるべく大きな問題になって関係者全員が不愉快な結果になってほしいと思う。

"ファッションセンターしまむら"の感じで「貞操観念ガバガバ」って言う時あるな

「素人は戦略を語り、プロは兵站を語る」という話は、素人にもできるんじゃ

戦国時代を「下剋上の世」という考え方はまだまだ根強いですが、同時代的にはどうも「下剋上」は恐ろしく反社会的な行為として認識されていたらしく、故に「下剋上をした」と認識されると、社会的信頼が喪失するような状況になったらしいのですね。なので、例え実質的な下剋上であっても、それをする側はそれが「下剋上である」と見られないよう非常に注意し、様々に配慮したことが伺えます。「露骨な下剋上と認識された」例としては斎藤道三が居ますが、彼はそのため周辺大名から強く警戒され、また国内も上手く纏めることは出来ませんでした。その位「下剋上」にはデメリットが有ったわけです。結果として、下剋上と呼んで良いような現象が全国的に進行した事と、だからと言って下剋上行為が社会的に肯定されていたかどうかというのは、全くの別問題なのですね。

「知的向上心や勉強意欲は善」「善なるものに属さないのは悪」「悪に配慮する必要はない」みたいな世界観がある

頭の良い人が考える施策は「誰でもちょっと学習すれば難しい概念や操作を理解できるし、学習コストを嫌がる人はいない」という暗黙の前提が入ってることが多い

大人になってから始めた趣味など物事全般に言えるけど年齢や技術が一定水準に達すると”上手くやらないといけない”や”恥をかきたくない”等の防衛意識から失敗を招くので、恥をかいたって良いと思う事がまず大事

俺、被差別部落民だけどさ。自分に向けられた刃がカジュアルに公開されていて、それを運営が野放しにしている状態って、嫌なもんだよ。

｢体験｣や｢突撃｣を有り難がって、｢本で書かれた知識より実体験に基づく知恵こそ最高！｣みたいな信仰をもつ人は、往々にして自省に欠け、自分の中の偏見や差別意識に気付かずその危険性も認識してない

「書くことがなくなった」ことが「悩み」になるという感覚が、よくわからない。書くことがなくなったのであれば書かなければいいし、書きたいことが出てきたならまた書けばいい。私にとって書くということは、ブログというものは、そういう営みだ。実際ここ数年、私もまた書くことがなくなり、2019年以降のブログ更新回数は年10回にも満たない状況が続いていた。最近また書きたいことが出てきてブログが楽しくなってきた。だから今日もこうして記事を書いている。なにものにも縛られず自由に文章を書きたいのである。書くという行為に妙な責任やしがらみを持ち込みたくないのである。

ありがたいことに私のような末端ブロガーにも商業原稿のお誘いが舞い込んできたことがこれまで何回かあるが、あまり乗り気になれずすべてお断りしてきたのもそうした理由による。友人主催の同人誌やメルマガ作成に参加したこともありそれはそれで楽しかったが、締め切りを設けられ文章を「捻り出す」作業はやはり私の性には合わないと感じた。

テーマを決められ、締め切りを定められ、編集者のチェックを受け、お金をいただき責任を持って文章を書く。そうした営為を否定するつもりはない。そうした行為から産まれてくるものも、確かにあるのだろう。ただ、私の性には合わないというだけの話だ。

そして「なにものにも縛られず自由に文章を書く」ことにおいて、ブログほど適した媒体はない。ブログには締め切りがない。テーマがない。読者や編集者への責任も義理もない。お金ももらえない。地位にも名誉にもならない。社会的影響力も書籍に比べれば微々たるものだ。その代わり、ブログには自由がある。なにを書いてもよい。どう書いてもよい。書くことがなくなったのであれば書かなければよい。書きたいことが出てきたのであればまた書けばよい。そういう自由がある。

最低限の身なりを整えて友人や両親に接するような態度でも通用しないケースが多いから、恋愛工学なんてバッドノウハウが生まれちゃったんでしょ。自由恋愛の理不尽さと残酷さを隠蔽しようとする人が多いよな

どれほど劣悪でも「ありがとう」を集めれば働き続けられる

インターネットをぶらぶらしているとあまりにも悪口と軽蔑と侮蔑と憎悪に満ち溢れていて、この世の中がどうやって空中分解せずに維持できているのか本当にわからなくなるし、人類は滅ぶべきだとも思ってしまう。ネット弁慶と言ってしまえばそれまでだが、リアルの人間関係でそういう感情が吹き出ないよう、みんな上手く立ち回ってるのかもなあ、などとふと思うのだった。

いわゆる「人たらし」な方は「あの人は私を高く評価してる・信頼してる」と思わせる術に長けてるんだろうなーと思う。 ナポレオンや田中角栄なんか、その典型例かも。 「〇〇君じゃないか！△△のとき以来だな！あの時の君はよくやってくれた…」云々とかやってたと聞いた

パスタの素が複数あればイケなくもないが、「ほぼほぼ100％炭水化物だけで腹を満たした」という罪悪感のようなものがスゴイ

50歩100歩だが、まあ100歩は50歩の倍もひどいとは言える

小学3年生の頃、かつて流行した「動物占い」の本を従姉からもらって、知り合いを片っ端から占って面白がっていたんだけど、祖母を占ったときに「セックスをスポーツとして捉えている(黒ヒョウ型)」と書かれていてかなりショックを受けたことだけ覚えている(「セックスをスポーツ......！？」)

娘によると大学の入学選考があまりに無茶苦茶なので、NPOを作ってアピールするのが流行ってるそう。恵まれない人にたまに手紙を書くだけのNPOとか。みんながNPO代表！米国の高校生はクリエイテティブですごい！

え〜〜いいなその「作品の雰囲気と作者ご本人の雰囲気が似てる」っていうの良いな…良いな…言われたことないな…私ツイートと小説の雰囲気が違うのか「誰か大人しい人を刃物で脅して小説書かせてませんか？」って訊かれたもんな

私が学生の頃に港区お兄さんとして名を馳せながら「結婚はコスパ悪いしメリットないからw」と豪語していた先輩達も40代半ばになり、週末になると「俺と結婚したい子いない？」とLINEしてくるの、まあまあ切ないものがあります！

反出生主義を否定して命の価値を肯定してる人は一方で出生前診断でダウン症と分かった胎児の9割が中絶されている点についてどう思ってるのか気になる。これも一方的な親の判断な訳ですが

嫌なら自分で死ねばいいとかそういう簡単なものじゃない。自分の人生を自分で終わらせるのは膨大な澱を心に溜めないとできない。私は未遂で終わってしまった。子どもは欲しくない。こんな難しいことさせたくない。

「トゥギャザーしよう税」という、ルー大柴にのみ課される重税

自分の研究対象の言語で一見「固有だ」「珍しい」と感じる特徴は、世界を見渡すと普通にありふれていて何ならより極端にした現象もきっちり分析されていることを知るのが、言語学の日常。

日本でもAO入試に特化した予備校は提携関係にあるNPOに生徒を出入りさせて「箔」を付けさせてますね。人物本位入試、学力入試よりハックしやすい。なぜ人物本位入試の方が学力入試よりハックしやすいかと言うと、人物本位入試の検証コストがアホほど高いからです。膨大な受験生の「経歴」をいちいち精査するマンパワーはどんな大学にも無い。だからテキトーなNPOでの活動履歴が有効性を発揮してしまう。人種問題（人種ごとの学力格差がヤバすぎて学力入試オンリーにすると特定人種で入学者が埋めつくられる）がない日本でAO入試を推進するメリット、マジで皆無だと思うんだけど、進めたい人たちは何を考えてるんだろ。

蚊に刺されていることに気付いた時点ですでに体液は注入されていて痒くなることは決定しているので、そこでたたき殺しても蚊が死ぬだけなんだよな

大学で多様性の大事さを教え込まれ、いざ教育実習になると黒髪でないと認められない。

いつになっても終わらない議論って大抵が外部から知識を入れないのでただの意固地になってて発見も変化も得られないせいでは、資料を用意して読み込んでから再開しろ、という気持ち以外に何もない　レスバが目的だったら何も言わないが……

Q.パンはパンでも形あるものはいつかな〜んだ

A.壊れる

口臭アンモニア臭やばいやつの舌にリトマス紙つけたらアルカリ性反応出るかなって会話発想がクソおもろすぎるから3ヶ月前くらいの会話やのに今も忘れれへんくて悲しい時はそれ思い出してわろてる

アナルセックスで産まれた

ちょっと人より経験人数多いだけで、世の中の真理分かりましたよ感出して強気なこと言っちゃう女、住んでる世界がシルバニアファミリー赤い屋根の大きなお家よりギリ狭くてすき

Twitterクソつまんないと思ったら、俺がツイートしてないだけだった

1万円をみながら「ふーん、エッチじゃん」って言ってる人

「動物は好き、でも人間は嫌い…」的な考えは理解できるし、私も時々言いたくなるのだが、「お前が"人間嫌い"であることは、お前が動物や自然を常に傷つけている人類コミュニティの一員であることを何ひとつ免罪しないからな？」とそのへんの厳しいスズメとかに言われたら返す言葉もないな…とは思う。「動物は好きだが人間は嫌い」ってある種クリシェ的な「動物好き」像だが、動物への搾取と（気候変動や差別など）人間社会の問題が切り離せないからこそ、特に海外の優れた動物専門家や研究者は"人間嫌い"の言い訳に閉じこもらず（本当は嫌いなのかもだが）、人間社会の諸問題に意識的な方が多い印象。

父が亡くなる直前、病院で体にチューブが沢山ついた状態で苦しそうに「チューブだらけだな… YouTuber になろうかな…」って言ったのを聞いて、自分も最期はこれくらいくだらないこと言おうって思った。

人間はいつごろ客観を獲得したのだろうか。赤ちゃんは生後半年～1年半で鏡にうつる自分の姿を認識するらしい。でもそれなら動物でもできる。客観に至るための条件は？それはおそらく言語の「彼」「彼女」のような第三人称なのだろう。この世界には私とあなたと、それから大勢の「その他」がいるらしい、ということを認識し、「その他」に合わせることの利点を認識し、その他との関係性を調整する。動物の群れがやってることと同じのようでいて、非常に難しい。社会性のある動物以外は鏡にうつる姿を自己と認識できないらしいので、第三人称の獲得にはまず「自己の存在を認識する」があるのだろうけど、それ以降の条件を書き出すのはけっこう骨が折れる

オリンピックの辞退問題を見て思うけど、いくらサンクコストだと人々が口にしても「それはサンクコストではない」「回収可能だ」って上のモノがいえば続行される、その不可解なしくみこそサンクコストのほんとうに厄介な点だろう。もしサンクコストだと指摘するだけでプロジェクトが中断できるなら、サンクコストなんて言葉はなかったとまで言っていいかも

落とし物を探すときに一度自分の歩いたルートをなぞることがあるけど、それは「場」の空気というか、「ほら、ここでは落とし物をしやすいだろう…？」みたいな『ここ』が醸し出す雰囲気に助けを借りて思い出している気がする

同時に複数の事柄を記憶するために頭文字をとったり連想したりするのだが、結果的に連想後のワードしか思い出せず、「こんなんなら記憶するんじゃなかった～！」って後悔するのを100回程度やっている

赤ちゃんが笑うの、自分の身体や精神性が世界に影響を及ぼせると知ったからだったらめちゃくちゃ怖いけど、ものを蹴ったり投げたりした赤ちゃんがくすくす笑うのってそうなんだよな実際 前何かの文章で「手で何かを握ったとき、その感覚が腕を通じて知覚される、その身体性の獲得に喜びを覚えて赤ちゃんは笑うのだ」と聞いて、おそろしくなった もうそんな高度なことやってるの

ラテマネーをケチればそのお金を投資に回せるとはいうけど、ラテマネーをケチることによるストレスと効率低下を考えると、むしろじゃんじゃか使って残業したほうがマシなのかもしれない たかだか月数千円なので…。

「こ、こんな…役にも立ってない社員に…月20万を…？」って思うことはあるけど、任意の組織は内部に無能が一定数いることを前提に回る程度の余力があるので、「無能でもお金を払ってくれているのだなあ」とかみしめながらゆるりと働いたほうが（メンタルに）よい。というか、有能がいないと回らない組織ってどこかで絶対破綻する。中国の革命王朝とか。だから、大企業の社員が「自分は大きな組織の歯車のひとつにすぎない」って悲観するけど全然それで（組織としては）よくて、かえってかえのきかない歯車のほうがヤバい。

自分の実力がチームのパフォーマンスに及ばないため、労働時間を自主的に積み増すことで挽回していたタイプの労働者は、「効率的」な作業をよしとし、残業を悪とするこれからの価値観とはあまりに相性が悪いような気がする そういう人はどこで働いたらいいのか、という切実な問題は「そんな奴はいない 残業は少ないほうがいいに決まっている」という世間の声でかき消されるのだ

人を成長させるには、その人の泥を自分がかぶる覚悟がないといけないと思ってて、それはその人が怒られることとか、追う痛手とか、時間的なロスだったりするのだけど、いずれにせよよかれと思っての「助長」（苗を引き抜く）はダメなんだろう 痛みがないと人は優しくなれないのだから、「猫の手にしないとケガするよ」と言いたくなるのをこらえて、指を切ってしまう経験もしてもらう必要があるのだと思うし、でもそういう時に口出しせずにいるのはとても難しい（親の気持ちがわかる）。だからこそ管理職は大変なのだろうな

役職が上になるほど、及ぼせる権限や人員パワーは大きくなっていく傾向がある それは表裏一体として、自分がコントロールできない量の「人間関係」をなんとか制御しようとする試みでもある ビリヤードのキスショットを5つぐらいのボール間でやってポケットに入れるみたいな気苦労が絶えないので、向き不向きが分かれる

コカ・コーラのCMに年寄りが出てこないように、世の中には広く「若い=正義」「エネルギッシュ=正義」みたいな価値観があると思う。自明なだけで。でもいずれ人間はどこかで若くなくなるし、エネルギッシュでもなくなる。

「覚える」よりも「教える」ほうが難しいし、それよりは「教え方を教える」ほうがもっと難しい 面倒見がよい上司とはいうけど、その条件には「教え方を教える教え方を教える教え方を教えるのがうまい」みたいな、いよいよわけわかんない高度なメタ的能力があるだろうね

真面目な話、本当は下手くそなのに自分の絵は最低限のレベルに達しているどころか、天才級だと信じ込んで発表を続けた勘違い野郎の僕はこうして何とか生き残ってますが、空気を読み、身の程をわきまえ、一流になるまで発表を控えた仲間達は、いつのまにか消えてきました。表現ってそういう世界です

左腕にアディダスのマークの刺青をして温泉に浸かっていたところ、「アディダスのスポンサーとね？すごかね～」と地元のおっちゃんに話しかけられた。よくわかったな。

年寄りになると行動力や柔軟性や聞き分けの良さがなくなる、とはいうけど、それは年寄りの通常ステータスが若者の毒ステータス状態（めっちゃ疲れてるとかどこか痛いとか耳や目が悪いから）と等しいから、とかだったら嫌だな。嫌というか、気持ちがわかってしまうので…。疲れてたり痛かったり耳や目が不自由だったりするとそりゃ適応は難しかろうと思うし、ツイッター民の「保守的でネット音痴の年寄りと、革新的で高リテラシーの若者」みたいな単純すぎる二分法とか、後者に自分が入り続けるだろうという悪い意味での純粋な確信にも辟易してしまう。昔取った杵柄とはいうけどさ、その杵柄もいつかは使いものにならなくなるんよ。てことは「老害」にも生きやすい社会を作った方が自分にとっても得ではないかい

こっちがめちゃくちゃがんばって「AならばBかつCで、しかしAかつnotDならEで」みたいなことを長々と話しても「それってFがGだからでは。」って頓珍漢なうえに何も役に立ってない上から目線コメントする人だけが集まる運動会

世の中の出来事全てがカードゲームのカードにしか見えなくなっちゃった人たち。何かニュースが出ると「ネトウヨ（パヨク）涙目ｗｗ」みたいなコメントつける人。いまだと大坂なおみ擁護派と批判派がなんか新しい情報が出るたびに、「はい、これでお前らに大ダメージ」「いやこれはこうだから効きませんノーカン」みたいなのやりあってる。何その戦い？もう「気に入らないやつらがどういう反応をするか」でしか物事を見られなくなっちゃってるじゃん。しばらくネットから足を洗った方がいいって

ジャップ、普段は「絆」とか言うくせに、いざ非常事態に陥ると獣の様な顔をしてスーパーに行き、食料品を買い占めて、挙げ句の果てには買えなかった人達にSNSで「自己責任では？」と暴言を吐く。

人間を生産性だけで見ると、生産性がマイナスの人間は死んだらプラスになる、みたいなわけわからん論理が完成するし、なんなら年取ったら生産性はほとんどマイナスなので安楽死が最適解になる 生産性や貢献価値だけで人を見ることは数十年単位のブーメランを投げるのと同じです

先輩、めちゃくちゃ貧しかった時代は預金通帳の「残高」に自分でエンピツでマルを3個つけたして高笑いしてたらしい 私は先輩をゼロの使い魔と呼ぶことにした

「○○は自己責任だろ！」という人に「その○○にあなたがなる可能性は考えないの？」と反論している人をよく見るけど、自己責任ってそういう「自分がもし」を考えてたら思い浮かばない発想だと思うので、反論が徒労に感じる 無意味とは思わないけど対話の望みは薄い

「依存する病気が依存症だから、熱中症は熱中する病気」と思い込んでいる小学生いそう

人間はそもそも引き算思考が苦手らしい 社会問題を考える時も「何が足りないのか」は議論されるけど、「何が余分なのか」は俎上にのらない気がする

天動説と地動説を同時に論破した

そこそこの大きさの企業に会社員として働いてると「非合理さ」や「やってる感」に日々晒されて虚しさや無力感がどんどん積み重なっていくんだけど、この日本企業のダメダメさが日本政府のコロナ対応の稚拙さやオリンピックどうこうとか一国だけ経済低下してるアホさと直結するんだよな、体感的に。みんなが国に感じているイライラと、「でもどんだけ問題がヤバいことになっても、ことなかれ主義と責任転嫁とやってる感の連鎖でなーんにも変えることはできずにずるずる衰退していくんだろうな」という無力感はおれだけじゃなくて会社で働いてる人の多くが感じているだろうね

実のところ、上質な物語とは対象である読者や観客たちの欲望を直接的に肯定することはしないものである

配信で映画を見ても何かを「想う」けど、劇場で映画を見ると確実に何かを「考える」んだよね。やっぱこの差は案外バカにできないよなぁ、と最近よく思います。映画館で映画を見てる時「劇中の描写に触発されて、過去に記憶が蘇る」とかザラだけど、コレ、案外配信だと起こらない現象なんだよ。個人的に

若い時は、シェークスピアのセリフを暗記して、スラスラ出てくるのを教養あるなあと思ってたけど、年取って今やシャアのセリフ「認めたくないものだな、自分自身の若さゆえの過ちというものを」とか、煉獄杏寿郎のセリフ「俺は俺の責務を全うする」を暗記してるのと大して変わらない気がしてきた

社会は理不尽なものだから。学校で理不尽さに慣れる練習をしないといけないんだよ。繰り返しそう言われると、「理不尽さ」というのは理由もなく存在し、受け入れるしかないというふうに聞こえるかもしれません。しかし違うんですね。理不尽さの中身は搾取であり、ハラスメントであり、虐待でもある。

世界の構造を綿密に設定した上で、設定を一々描写せずに、キャラクターたちの行動や発言に反映させていくのがいいと思ってます。設定を詰めておかないとキャラクターの立ち位置や価値観を定めきれず発言がぶれてしまうんですよ。

スーパーハッカー、敵情を知った主人公に「これは相当難しいハッキングだ…お前なら頼めるか？」と聞かれた時、画面から目をそらさず「もうやってる」って答えるので、非定型タスク苦手部員のプログラマー（ワイ）には絶対にスーパーハッカーの資格がない

積極的に説明や質問を相手にしていると「その説明だと誰々にはわからないんじゃないか」「何を質問しているのかがわからない」とか言われるけど、それによって（自分が）傷ついたと感じることはない。人間はそもそも分かり合えない生き物なので…

我が父がよく見てた刑事ドラマ、「ハイここが伏線ですよ」とか「この人の台詞に注目」とか分かるようにBGMというか効果音が仕事しすぎてて、どれだけ理解力皆無な人にも分かるような仕様になってて笑えたわ。

男女ともに、不特定多数と性欲だけのセックスを続けると、心のどこかが擦り減って行く感覚を持つ人は結構いる。割り切れない人にとっては自傷行為に近いんだと思う。他者評価に自己像を無理矢理合わせなくていい。

セックスをカジュアルにすることの弊害。一般的な愛情表現の終着点を軽く扱うようになってしまうと、もっと強烈な代替愛情表現を探さなければならず、簡単には見つからない。だからカジュアルにしちゃだめなんだよ

新しめの技術で皮肉な事象が発生した時はとりあえず「星新一のショートショートでこんなのあったな」と呟いておけばあとは星新一ガチ勢が該当する話を探し出してくれるはず。当たり判定がデカい

初期の頃、どれだけ速くても車夫などは「プロだから」と言って代表になれなかったように、元から貴族の遊びが五輪の成り立ち。その後色々化粧で取り繕ってきたけど、剥がれてきてるよね。

聴いてた音楽を途中で停止するとき、ブツ切りにするとなんだかアーティストに悪いような気がするので、ワンフレーズは歌いきるのを待ってから止める。これが俺のルールだ。

お金で買えない物に気付くためにはまずお金を得ないと

こういう見知らぬ景色とか眺めていると、旅の感覚にも似て「ここで暮らしている人たちと自分はおそらく一生交わることはない」とか考え出して、 意識が遠いところに引っ張られたり、宇宙にぼんやり浮かんでいたりするような感覚にもなる。

>なんでこういうどこにでもあるような光景にシミジミるのか考えるに「もしかしたらそこにいたかも知れない自分」にシミジミるのかも。これ、よく分かるなぁ…。上で書いた「一生交わることのないここで暮らしてる人」が逆にもし自分だったら、そいつはどんな思考で感情でどんな顔をして知らない日常を生きてるんだろうとか考えたり。

災害が起きそう・起きたときに「○○（地震、大雨、竜巻）大丈夫？？」って自撮りや飼い猫の写真とともにツイートして「いいね」を稼ぐ人、みんな地獄に行ってしまうらしい　閻魔様から聞きました

そして仏陀は語りました。私たちは生まれる場所や時代、条件を選択できない。私たちはそのように自分たちの思い通りに生まれることができないからこそ苦しむ。その苦しみを解放するには有料会員にご登録下さい。

スライムを３００年くらい倒すとだいたいそんな感じの生活が送れる・・・・はずだったのにぃ～！（OP開始）

「アボカドの栽培のために、1個あたり2000Lの水を要する」という知識を知ってても、食べる時にはそれを忘れてしまえる程度の倫理観しかないのが人間で、だからこそ環境問題は解決しないし、人間の心が平穏でいられるのだと思う。この世のすべての辛苦に共感できる人間は、パニックに陥りすぎてかえって問題解決能力が低い。

今のTwitterってルサンチマンを隠すこと無く吐き出す場になってて辛い。一つの事実から妄想をどんどん膨らませていってその妄想に対して怒り狂ってる人が多い

反ワクチン主義者はほとんど一部（ネットはそういう声が目立つので多数派に見えるが）で、かれらはワクチン賛成派がワクチンをみな打つために副作用なく病を克服できる　思想がもたらすフリーライドの例やね

たとえばもしネコに絵を描いたり絵を鑑賞したりする能力があったとしたら、ネコがネコのために描く絵は人物画ではなくネコ画が多いだろうし、人間にとって閉塞感の表現である狭い場所はネコにとっては安心と快適の象徴になるし、夜はもっと明るく描かれる、好まれる色や形もぜんぜん違うはず

養老孟司の「なんでも効率よくって言うなら、今すぐ死んだ方がいいんですよ」がまだ響いてる

理系が陰謀論やトンデモにひっかからないという反証、「オウム」で終わっちゃうので……

鯨のように知能が高い動物は食べてはだめという思想がいつの日か知能の低い動物は食べて良いに変化した。知能のボーダーラインは上がり人間も例外ではなくなる。一定の成績が取れない時は即食肉工場へ送られる世界の落ちこぼれ女子高生「三角関数が将来なんの役に立つんだよ…私に将来はないのに…」

俺の葬式しなくていいから葬式費くれ

こうした、女性による女性性への嫌悪を「常識」としてしまうことには、本当にそれで幸福になる女性が多いのか、人間のためになるのかどうか、一抹の不安を覚えてしまうな。人間は何の制限もなく自由な存在だと最初に教えられてから、しかし女性は身体のために自由が制限される性別です、と後出しで分からされるのが現代社会なわけで、これでは女性が自らの女性性に嫌悪感を持たない方が難しいし、第二次性徴前の未分化の状態こそが本来あるべき姿ということになってしまう。まあ実際には第二次性徴前だろうと男女の違いは厳然としてあるのだが、「生殖機能以外に男女の違いなどないのだから、生理の始まる前には男女の違いなどなく、違いがあるとすれば（不適切な）環境のせいである」とでもいう「進歩的で科学的で道徳的な」認識を皆がうっすら持っているのだから仕方ない。なので女性は基本的に、自らの身体によるハンデを意識しながら生き続けるのが現代社会ということになる。「こんな身体でなければ。こんな身体のせいで」という不公平感がどこまでもついて回る。そうではないんだよ、という視点はどこからも提示されることがないし、むしろそんな提示はタブーとされる。この「そうではないんだよ」の視点こそが、女性の幸福や、社会の維持発展に必要なのではないか…という気がするのだが、いま正しい価値観として提示されるのは、女性を「自然の不条理の被害者」「人類の原罪の被害者」とする視点ばかり、「被害者だけど頑張っていこう」という物語ばかりではある。

「俺は人間が大嫌いだ」「煩わしい人間関係など消えてなくなってしまえばいいのに」ってSNSの公開アカウントで書く人を見るとまあまあ笑ってしまう。本当に人間が嫌いな人はSNSもやらないよ。こういう人は自分にとって都合のよい希薄な人間関係をネット上で求めているのであって、正確には「俺は（自分と関係しようとしてくる）人間が大嫌いだ」なのだと思う

暇なバイトや仕事を求める人は、暇=時間が経つのが遅いっていうのをもう一度よく考えるべき。1時間経った感覚でも実際は3分しか経ってないって事が多すぎて絶対に気が狂う

限界が急にくるというよりは、実はとっくに限界を超えてたんだけどきっかけがないから気づかなかった、という感じなんだよね～。「まだ頑張れてる」は限界を超えてない証拠にはならない。だいたい気づいたときには手遅れ。

うつ病とかが大変なのは、結構頑張れてしまうところでね、なんとか頑張ってるうちに限界が急にやってきたりするの。逆に言うと、限界まで頑張ってしまえるから、そういう壊れ方をするんだろうとも思う。私もちょっと経験がある。以前も書いたけど、ある日突然エレベーターのボタンが押せなくなった……出社しようとして、会社のあるビルのエレベーターに乗ったんだけど、ボタンが押せない。

何度かトライしてダメなので、ふと思いついて、会社とは違う階のボタンを押してみたら押せる。会社のある階のボタンだけが押せないの。それに気づいた時に、やっと「これは変だ」と気づいた。当時は結構キツイ状況が続いていた頃で、同時に３つのプロジェクトを抱えて、そのうちの一つは４人分ぐらいをやってた（引き継いだら４人でないと回らなかった）状態で、つまりは頑張りすぎてたのね、それが何とか片付くところだった。そこで緊張の糸が切れたんでしょう、変になった。

少し心理学方面の事とかメンタルヘルスの事は学んでいたので、自分の心身に異常が発生している事は理解した。１時間ほど会社の入ってるビルの1階で、普通に出社していく同僚たちに「おはよう」とあいさつしたり、「何やってんの？上行かないの？」とか言われたりしながら、ウロウロしていた。その限界を超える事は出来なくはない気がしたし、もうひと頑張りは出来たと思うんだけど、幸い、多少の知識があったので、自分の状態は、ここで無理をすると取り返しのつかない事になるレベルだと判断する事が出来た。そこで、敢えて「無断欠勤」する事にした。自分に大丈夫だと教える為に。プロジェクトはもうほとんど片付いていて、1日私が何もしなくても影響は無い。それ以前に、私が一人欠けたぐらいで深刻な影響が出るようなら会社組織である意味が無い。無断欠勤しても大丈夫である事を自分に教える必要がある、といった納得のさせ方をして、自壊を防ぐために無断欠勤を断行した。その後、本屋に行って読みたい本が全て仕事につかえそうな技術資料とかばっかりで、「あ、自分は仕事は好きだけど、会社が嫌なのか」と気づいた事で、翌日からは普通に出社できるようになったんだが、これ、私が壊れかけてた事に気づいた人皆無。私自身気づいてなかったし、異常は突然来るのよ。

大坂なおみ選手の会見拒否から「うつ病」のカミングアウトの件を、私がすんなり納得できたのは、この経験があったからだろう。本当に限界が来るまで本人にさえ分からなかったりするんだよ。一般的に心ってものは事前にわかるものだという誤解があると思う。心ってそんな理路整然としとらんのよ。で、そういう局面で、私は「無断欠勤」を選んだ。あれ、無理に出社していたらどうなっていたかは、実験しようもないから分らんけど、もっと酷い状態になっただろう事は確実だ。後に自分のその時点でのダメージを自覚するんだが、処理能力の低下は十年を経ても戻らず、今は老化で有耶無耶だ（笑）

恋って勘違いしてる時が一番楽しい

よく「日本の〇〇の数はコンビニの数より多い」（〇〇は神社とか歯医者とか）みたいな言説を見るが、これが意味しているのは「○○が多い」ではなく「コンビニが思ったよりも多くない」であろう。コンビニは都市部に偏っているので、人口が少ない町村部にも満遍なくある施設との数の比較は見誤る。

外付けHDD買うお金がなかったので、二進数形式で全てのデータを暗記した。今紙の上に書き出しを終えたので、変換しながら脳内で映画を楽しんでいる。

俺も文化資本なかったので文化資本ない話に興味あるけど文化資本ない話する人は日本全体の水準からするとわりと文化資本ある（本当にない場合はニュアンスとか認識できないから言語化するの難しい）という問題がある。

腕に刻まれた紋章の強大な力を特殊な包帯で封印してそうなタイプやな君。

みんなでいっせーのせで預金を全額下ろすのって、規模がめちゃくちゃデカければ資本主義社会に対する致命的なテロになると思うんだけど、そういうのを扇動することって罪に問われるのかな

これくらいの文句だと言うほうが損だから何となく言わないようにしている事として、人のツイートをスクショして「好き」とツイートする行為なんかずるない？などが挙げられる

大学に行っていない野生のゾウやイノシシなどが、大卒以上の高学歴者に突撃を喰らわせて死に至らしめる、みたいな展開に満足を感じてしまう。

妻と話していてこんまりのぬいぐるみ片付け術が身も蓋もなかったという話題になったのですが、「目を見るな。目を隠せば殺れる」というの、完全に大量虐殺とか命令する人の発想で笑ってしまいました。

アメリカにホームステイしに行った時、ホストファミリーたちに英語で「私は英検を持ってるけど皆は持ってないんですね、英語苦手なの？」って渾身のボケをかましたらポカンとした顔されたの思い出して死にたくなってる

男が車道側を歩くのは、男の方が車が好きだから

「クソな人間と同じ場所に住んでいて日々迷惑を掛けられながらなお差別しない」のが素晴らしいのであって、現代みたいに「クソな人間が入ってこれない場所に引きこもって差別しない」というのは素晴らしくも何ともないクソ野郎ですよ。これなら同じ場所で差別しまくる奴の方が100倍善人。だから差別か反差別かってのは価値のない基準なんです。同じ場所で暮らして毎日クソクソ言いながら問題に対処してる人はとても素晴らしい人間だし、全然違う場所で暮らして問題を他人に丸投げしてる癖に「差別反対」とか言う奴は生きる価値のないゴミカス人間。どうせ他人に問題を丸投げするなら、クソクソ言いながら問題に対処している人間に寄り添って「そうなんだクソなんだね、クソの相手をしてくれる君のおかげで皆助かってるよ」って言ってあげるのが真っ当な大人だよ。

何もしなくていい立場で「差別を無くしても何も起こりません」なんて言う奴はゴミ。実際に触れ合う立場である現場の人間がクソって言ってるならクソで良いんだよ。現場から遠い人間が余計な指図をするなって話よね。メキシコとの国境に壁を作るかどうか決めるのは国境沿いの人間であってニューヨークの人間は黙ってろカスってなるのが当たり前の感覚、これを現代人は失ってる。これは家庭で例えるなら、毎日家を掃除してるお母さんは子供に向かって「散らかすな！バカ！早くしなさい！」って言うし引っ叩きもするじゃん。半人前の子供の面倒を毎日見てるからこれはしゃーないわけよ。これを全然関係ない独身のおばちゃんが咎めたらアホかってなるでしょ。これですよ

フェミニズムやジェンダー論を勉強して社会や男女問題への解像度が上がったとかアホじゃないの、イデオロギーなので解像度は下がるんですよ。人間じゃなくて理論しか見なくなるし反論する者は構造での強者か名誉男性程度には権威性で自己完結するので。ただの宗教の下位互換。

「理解のある彼くん」の話をすると、必ず「理解のある彼女ちゃんもいる！」と言う人間が現れるけど、マクロでは実証的研究で「精神疾患は生殖を低下させるが男性は女性に比して大幅に低下する」と結論されてるし、障害者向結婚相談所でも「女性は需要あるが男性は需要ない」と言われてたりする

この事に限らないが「全体的な傾向の話」に個別の事例をぶつけて何とかしようとしてくる人なんなんだろうな。理由は分からないが「傾向の話が通じない」という特性を持った人が一定数いるんだよな。

「1を聞いて10を知る」は頭脳明晰かも知れないけど、コミュニケーションに必要なのは「10まで聞く事」です。

仮に発生源が武漢のウイルス研究所であったとしても、それは『陰謀』などではありません。正確にわかっていなかった可能性が、調べてようやくわかるというのが正しいプロセスです。まだしっかりわかってない段階で『仮定と仮定を前提にして恣意的なストーリーをつくる』のが陰謀論です。

ある芸人が出来る人と出来ない人の違いを聞かれて「出来る奴は分からないが、声のボリューム間違えてる奴は何をやらせても駄目」と言っていたが、これは経験則による無意識的なアスペ弾きでは…。英国海軍の「ジョークが出来ない奴を士官にすると不味い」的なアレではないか。組織にとってヤバい人間、使えない人間を弾く基準を作ったら、全く意図せず発達弾きになってたみたいな。

リサイクルの回収車が『壊れていても構いません』と言っているので、回収してもらおうかな。

すぐ消すbotっていうツイート内の｢すぐ消す｣というワードに反応して添付画像を勝手に再投稿する割と悪質なbotがあったんだけど、普通に他人のちんこの画像も再投稿してしまったせいで凍結されてて、相手の技をコピーする習性を利用されてタカさんに引き分けに持ち込まれた樺地みたいになってた。

クラスTシャツ、「イラストの上手い奴」が担当しがちだが、出来上がったものを見て「イラストが上手い奴」と「デザインが上手いやつ」とは別物なのだ…ということに改めて思い至るということが3度あった高校生活であった。

これは基礎の基礎そのものの練習をしている部分だから厳しくてもまあその時はねって思うけどな。接客仕事を初めてやる人で言ったら「いらっしゃいませー！」を言う練習をしている段階でしょ。その練習の時に「シャッセ〜」ってやってたらきちんと言いなさいって注意されて当然なわけで

どうしてこの国には“すでに凡人では逆立ちしても無理なことをやり遂げた２０代の女性”に対して説教できると錯覚しているオジサンがこんなにも存在するんだろう。どんなにそれっぽいことで難癖つけても「誰？何？」と言ってもらえるのが関の山なのにどうしてそこまで一方的な執着を見せるのか。自分の人生では絶対にありえない功績を自身の半分の年齢にも満たない若者が打ち立てることを絶対に許さないマンみたいなオジサンが多すぎる。そんな惨めな衝動を抑えられないほど自身の人生には何もないと自覚していることが露呈することの方がよっぽどキツくないか…。

AC部の映像の良さ、いろんなカルチャーの模造品的コラージュでありつつ、その実現においてインターネット的なノリやユーモアからはしっかり距離を取っている点はかなり大きいのではないかと思う（脱法ロック等の比較においてそれはより際立つ）

「定年退食」に代表される藤子Fの人類衰退系SF短編は「人口の爆発的増加および環境破壊による食料生産力の枯渇」が原因になるのがほとんどなんだけど現実は環境は意外とタフで人類がひたすら減っていく感じだな

ドキュメント72時間のブックオフ回良かった、仕事の後5時間はブックオフ見てる人とか、ニュータウンの高齢化に伴う遺品整理の増加とか、離婚して荷物を捨てる人とその後の人生とか味わいがあった。特に思い出のあったものを断捨離して数百円になった時の何とも言えない感覚

俺はwowakaさんが大好きで、ヒトリエになってからもずっと追いかけていて、その中でもボカロP時代のアンハッピーリフレインのアルバムを特に聴いて、これから先も一生聴き続くと思い、この前友達に「無人島に何か一つだけ持っていけるならどうする？」って聞かれたから「サバイバルナイフ」って言った

コンビニのバイト、たまに来るめちゃくちゃ無愛想なおじさんがいて正直苦手だったからあんまり目とか合わせず雑に接客しちゃってたんだけど毎回去り際にギリギリ聞こえない声で何かをボソッと言っていてもしかして「死ね」とか言われてる？と思いながら注意深く聞いてみたら「ありがとう」と言っていた

恵まれない子供たちに労働をプレゼントしたい

ぎょう虫検査して出た検査結果が｢あなたはぎょう虫です｣だったら面白いかも

こいういう奴ってどうしていつもそんな極端な場に居続けるの？肺や気管が弱いのに喫煙室から出ようとしないのは何故？それで私病気になってるんですが？とか私の前でタバコ吸ってたの忘れねーからなとか言われてもさ

陰謀論者は矛盾を気にしない。たとえば韓国憎悪クラスタは『劣等民族韓国人』と『日本の政財界・メディア企業を支配する韓国人』の両方を主張しがち

コストは数字なので簡単に理解できるけど、パフォーマンスの方は数値化されないし違いを理解できない人も多いので結局コストだけみて安いものが良いとなっているだけの人が多そう

ATMに「還付手続き」ボタンを表示して、押したら即通報されるようにしよう

恋愛もそうだけど「誰かと結婚したい」じゃなくて「誰誰と結婚したい」が本来の姿だし、大半の人はそうしている（はず）。この辺から議論がかみ合ってないなあ、と思う事がままある

仮想通貨を支えている重要な要素は『本質的には無価値であること』だと思う。仮に51%を握っても不正をすれば無価値になる。だから不正する意味がない。でももし不正されても仮想通貨に価値があり続けるようになると...

海外の二次小説読んでたら東京から沖縄まで車で3時間山間部を抜けて辿り着く描写があって何もかもが面白すぎて先に進めない

「日本人が勤勉」ってのは、景気が良くて頑張れば頑張っただけ豊かになれる時代の一瞬の狂気だったんだな。物がないけど頑張れば買える時代。今は物が既にあるし、頑張っても生活を劇的に変えるようなものは買えない

私自身約10年間ワーキングプアを経験して、簡易宿泊所でも生活したので分かるんですが、ワープアで一番ヤバいのは思考力を奪われる事なんです。朝から晩まで働いて手取り10万円台でも、「クビよりはまし」「次の仕事はない」と思考力が働かなくなるんです。これを自力で抜け出すのは相当難しいんです…

激務の友人、大学時代に比べ性格が悪くなってしまった(他人のミスに厳しくなる等)。正直、激務が人生のマイナス要素であるひとつの根拠だと思う

幼児と接触することにより、悪役がよく口にする「もう遊びは終わりだ」という台詞が「しんどいからそろそろ寝てくれ」という意味だとわかってきた

パパン、ママンが経済的、精神的に裕福だった知識人がその事実をわざわざ公表しないまま「勉強するときに、お金のこと、仕事のことなんて考えてはならない」のみたいな主張をなさるをことがあって、しかし、みんながそれを信じて模倣すると人生が経済的に詰むことがあるよ。

運動会の種目に本気に競技性を求める人が増えるとだんだん辛くなっていくのはゲームに限らない

ほとんどのケーキは正65537角形に似た形をしてるから65537÷7≒9362辺ずつ目印つけて切っていけば7等分になるって覚えてた。でも私は手が不器用なので正確に切り分けられない

爆破に飢える人に！と題して、自分の家のCGをつくってボタンを押すだけで爆破できるVRソフトをつくったのだが、「家の持ち主誰？」「家主に不謹慎なのでは？」等の意見で炎上したため、実際に爆薬をしかけて家を爆破した。

ネット、なぜか当事者よりも声を荒らげるアカウントが見られるので興味深い。洞ヶ峠で今日もピクニックしよう。

言語学を学んだので、単語を生み出した奴が天才であることを知っている。タイムスリップして当人にノーベル賞を与えたが、上司に「そいつが調子に乗ったせいで文法をつくらなかったらどうする！」と怒られた。タイムパラドックスを起こすことの重さを、私は始末書で学んだ。

「あっさりした／しっかりした／がっつりした」「肉／魚／野菜中心」「和食／洋食／中華」で、奥方にもメニュー選択の幅を残しておいて、たまに果物や生菓子などを買って帰ったりしたら、喜ばれるのでは

ある言語文化というものは、その言語のネイティブよりも非ネイティブの方が、当該言語が織り成す文化の特徴や性格について敏くある、ということがまま見受けられるらしい。「日本人より日本人らしい」という賛辞が外国人（非ネイティブ）に贈られる光景は、まさにそういうことであると思う。といっても考えてみれば当たり前で、あるものの美しさを認識するには、そのものに対して客観的な目線を持てる立ち位置が必要で、つまり日本語の美しさを把握するには、日本語からある程度遠い距離を獲得できる外国語話者の方が、日本語しかできない人よりもより有利なのである。

システマティック、プラグマティックなものの考え方をする人と「価値論」の話をしても致命的にかみ合わないなと感じていて、その原因がはっきりわかった。こういう人は自分にそういった価値観がないのではなく、あったとしても他人にわかってもらおうという気がないらしい（それは必ずしも悪いことではない）。

私は「言語について、その利用価値にだけフォーカスするとよくないこと（たとえば孫世代と話が通じなくなるとか、その論理によって英語を強制されて日本語が消えてしまうとか、文献が読めなくなる人が多くなって文化が消滅するとか）を招く」とか「言語は利用価値でのみその価値を決められるものではない」と思っているが、そういう話をしても「それの何が問題なんですか」「言語が消えて一つになっていくことは合理的によいことじゃないですか」と返されてしまうことがある。で、そういう時に「いや、言語が消えるというのは、きみでいうところの○○という楽しみ、喜び、文化が消えることなんだけど、それでもいいというのかい」と反論すると、今度は「別に○○という楽しみや喜びをわかってもらおうと思ってないので…」と返されて、（えっ！？わかってもらおうと思ったことがないの！？）と根本から愕然としてしまう。ある地点から全く話がかみ合わないとき、実はその人とはその根本からかみ合っていないと思ったほうがいい、というのは知っていたのだけれど、まさかここまでかみ合っていなかったのかと驚いてしまった。

「人生は金か」について、その過程はどうでもよく、結局「やっぱり、金じゃない」になるのか「なんやかんや、金だ」になるのかで思想がわかる。どちらも同じぐらい正しいと思うので…。

君と一緒にいられれば、喜んでぐうたらだと、怠け者だと呼ばれよう。最期の時がやって来た際には、君を見つめていたい。死にゆく時に、腕に力がなくなっても君を抱きしめていたい

子供の面倒見るのはママでしょって決めつけられるのと、離婚なんかの時にママがほぼ無条件で子供連れていけるのと表裏で、まあその辺は「男が女に押し付けている」構造だけではなく、共犯関係にある女も大勢いるんですよね

女性の下着が透けている時、もちろん彼女には下着を透けさせる自由があるが、もしこれが彼女の望んだ状況ではないのなら一声かけるのが親切ではないか、いやしかし「下着が透けているのはおそらく彼女にとって望ましくない状態であろう」という判断自体が偏見だし…と身動きが取れなくなりますよね

頑張っている人を見て「感動をもらいました」→その頑張りが虚偽だった時「感動を返せ！」　感動は誰から誰へ移動して、最終的にどこにあったのか？　問題ですよね

若者と話してたら、疲れきってる人について「目がヤバいです、もうあっちの国の人みたいですね」と言い出して、あっちの国ってどこ？差別発言きたか？と思って聞いてみたら、あの世のことだった。黄泉国のことあっちの国って呼ぶ人初めて見たよ。

夫に対しては、私があんたを世界で一番可愛く思ってることをいつも一番に覚えとけと思うけど、子供に対しては、ときどき、親である私があんたを大事にしてることをあんまり重く考えすぎるなと思う時がある。配偶者と子供への感情の、一番の違いはそこかな。子は親の情の重さなんて知らなくていい

「間違っているし苦痛だが、状況的に我慢するしかない」という状況に人間は耐えられないので、苦痛にさらされるとすぐに「この苦痛こそが正しいんだ」という物語を作り出す。私は騙されないぞ。毎日、今日が初めてであるかのようにみずみずしい苦痛を感じていくぞ

実際問題、アジア人と見れば火炎瓶を投げてくる人がそこらをうろついている時、アジア人っぽい容姿の私は部屋に閉じこもっている方が安全だろうが、それはあくまで癪に障りながらやること。「部屋にいるのが正しい」と説教されるようなことではない。世の中がおかしいからおかしい行動をせざるを得ない

基本的にルールは守るべきだが「ひとりがルールを守らなければ『我々』全員が悪人だとみなされてしまうので、自分の属する集団のためにルールを守りなさい」式のお説教には同意しない。それは差別の論理で、差別はする人が悪く、される側が配慮する必要はないので

ネタにマジレスだけど、日本が銃社会になっても殆どの人は引き金引けないでしょ。他者を傷つけるのに躊躇いを持たない少数のキチガイが更に強くなるだけで。今レジでバイト怒鳴ってる人が、銃さえあれば初手で撃つかもしれないぞ

人間は衣服によって陰部を覆い隠しながら、どのような衣服が異性を欲情させ得るか頭を捻っているんですよ。なんて込み入った愛すべき動物なのだろう。

子供たちのお医者さんごっこにまぜてもらって「熱が50℃あります」とか「インフルエンザAB型です」とか「心臓が悪いので今から手術しますね」とかヤバの体調にされるの大好き

「マゾ系の人って仕事のつらさでも興奮するの？」という疑問、まあ突き詰めれば人によるとしか言えない、仕事のつらさで興奮するマゾもいるだろうけど、多分大部分は純然たるつらさを感じていると思います。現場からは以上です

子供が、自分の面倒を見る人間、たとえば母親に強い執着を示し、自分の側からも何か施そうとすることは多い。同じような行動でも、それが女児であれば「母親の小さなママであろうとしている」、男児であれば「母親の小さな恋人であろうとしている」と見るのは、単に大人の側のバイアス

「仕事で煮詰まったらちょっと緑の多いところを歩くと気分転換になるよね」より、「パソコンから出ている電磁波が脳波に影響を及ぼすので植物から出ているα派で脳を癒し…」みたいな話をされた方が嬉しい人間がいるっぽいです。科学軽視では全然なく、むしろ科学大好きだから科学っぽい嘘に騙される

人に助けられる時は、感謝はするけどあんまり申し訳なさそうにしない。堂々と助けてもらう。ありきたりな言い方をするなら「ごめんよりありがとう」。これは、謝る→弱い→攻撃してもいいって考える動物が世の中には結構いるので、攻撃されたくないという私利私欲のためにやってる

仕事で「接待怒り」をすることがある。相手が私に対して申し訳ないと思っていそうな時、別に腹を立てていなくても、ほどほどに怒ってるふりをしてから許すふりをする。人間、怒られてから許される方が気持ちがスッキリするっぽいので。こういうの続けると、まじで実際の感情の動きが無になる

何年かに一回、職場の新人に「冷たい飲み物を入れる時は、氷を入れてから飲み物を注ぎましょう」って教えてる。私は、飲食のバイト経験でもないと知らんだろと思って普通に教えてるけど、賢い人は「常識だろ!?」って毎回若干イラついてる。教育係はアホの方が向いてるってこういうことかな

おおかみこども、親のやること言うことが常に正しいとは限らないし、親が何を言おうが子供は勝手に山に行くし信頼できそうな相手に正体を明かすし、他人なのでいずれは別々に暮らすことになるし、けどそれでも親子で過ごす中に美しい風景はあるよね。っていう親子の断絶の話と読んだら割と好きな話

「蛋白質の人間」というレトロニムが生まれる日もくるのだろうか

「小学校に行ったら、まず怪我をしないよう、させないよう気をつけて。それと、先生の言うことをよく聞くように」と話すと、子供に「じゃあ先生が『誰かに怪我をさせろ』と言ったらどうしたらいいの？」と聞かれて、深い…と思った。第一条に反しない限り、先生の言うことを聞かなければならない。

新しく営業で来た人が弊社で泣きそうになってて、帰りまでギリ堪えてたけど階下でトイレに駆け込むのを偶然見た。お客さんに変に思われたかなとか心配してるかも。大丈夫だよ、あなたの事泣かせた奴らは「あいつ、泣きそうになってた、面白い」ってコーヒー飲みながら笑ってるから。世界が滅べばいい

「死にたい」を「殺すぞ」に変換して動いてる。この変換が上手くいかなくなったら即刻死ぬと思う

法律の話を抜きにしても、5歳児の「自分は死んでもいいので一度腕を包丁で切ってみて、どうなるか見てみたい」というのを自己決定と扱うのはなかなか難しい。じゃあそれが15歳なら？25歳なら？25歳のその人は果たして「充分な」知性を備えているのか？それは誰がどう判断するのか。

「DV男とDV女が会うとどうなるの？」、普通に当たり障りない会話をしただけで不快になってお互い二度と会わないと決心して終了するだけですよ。相手の試し行動の手口わかってるから全部防ぐし、こっちの試し行動も完封されるから気持ち悪いことこの上ない。達人の打ち合いみたいなもんですね

自分の頭にはかわいいうさ耳がついていると強く思い込みながら過ごす。早ければ三日くらいで、鏡を見た時、頭に何もついていないこと違和感や気持ち悪さ、軽い吐き気を感じられるようになると思う。みんなもやってみてね。

女性は、男性から「ガンダムはどの作品が一番好き？」と聞かれたら、W・SEED・00のどれかだと回答し気持ちよく説教させてあげるのがマナー。とか、マナー講師が言い出して欲しい

事実を説明すべき場面で、責任逃れ等のためにあえて私にとって都合のいい嘘の説明をすることならぶっちゃけある。けど、そういうんじゃなくて、本当に事実は私にとって都合が良かったんだ！って思い込んじゃう人いますよね。5歳くらいまでは結構みんなそう。そこから成長できるかは人による

職場環境アレなので、同僚が「死ね！」って叫び出したりするのですが、私はしんどい時、机に置いてる人形に「タピオカが見ててくれるから頑張れる」等と話しかけるんですよね。行き場のない感情はなるべく慈愛に変換したいから。死ねとか言ってる人より私の方が病んでる扱いされるのは納得いきません

買い物行って帰ってレシート見てたら結構高額な物がレジ通ってなくて、夫に「これ貰っといてもいいよね？」と聞くと「わざわざ、いい？って聞くってことは気が咎めてるんでしょ。なら金払いに行った方がいいよ。そういうの一生思い出すよ」と指摘されて、道徳の教科書の登場人物か？と思った

フィクションの実害のある描写、子猫に牛乳とかは割と実害あると思うんですよね。知識のない人に「ほんとかな？調べよう」と思わせる余地がない。仮にアバラが折れても戦える描写を信じたとしても、実際折れたらこれは無理だって自分でわかるじゃないですか。そういう障壁もない

親が一回理不尽に声荒らげたらワンアウトで親子断絶人生終了とまでは思わんけど、アウトはアウトでしょ。こういうの書くと「子供いなさそう」って反応あるのが一番怖い。「私がイラついた時はこの子は多少理不尽な扱い受けてもしょうがない」って考えながら子供育ててんの？

ツイッターの親クラスタ(私は政治的に正しい人間なので性別を特定しないよ)、「子供に対して理不尽なふるまいをしてしまった…」に対して「いいよ〜そんな日もあるよ！」とか肯定的な反応が殆どでちょっと怖いな。そう主張して良いのはされた側の子供だけだろ

「でもやっぱり殺人の前科のある人は刑期を終えていたとしても関わりたくないし、同僚なら首にするよう、家の近くに住んでいるなら引っ越すよう働きかけたい」みたいな自然な感情に抗いたい人がどれだけいるのだろう。あらゆる差別に反対するという茨の道だ。例えば、電車の中で一人で喋ってる等、ちょっと周囲と様子の違う人がいるとその人の隣だけ空席だったりするけど、私は座りたければそこに座る。あえて避けることはしない。電車で隣に座れもしないのに何が社会的な受容だと思うから。

関西の中高生の中には、気になる人にラインやメールを書く時少し標準語寄りになる子がいる。標準語の方がオシャレでカッコイイという意識があるんだと思う。けど、同じ理由で標準語で喋る子は全くいない。という話はちょっと面白い

18歳過ぎていても高校生なら18禁の作品を見るべきでない・買うべきでないという一部の同人界隈のローカルルールは嫌いなんですよね。「たとえ29歳でも高校生はダメ」というならいちおう筋は通っていますが、そもそも29歳の高校生の存在を想定していないなら、学びの多様性への理解を深めて欲しい

「田舎の低階層の人間＝悪」みたいな結論を出して欲しくないんですよ。愚かだし理解しがたいけど、殆どの人は、自分が持ってる価値観の範囲内で努力してまあまあ善人でいるんです。理解し難いのはお互い様だ、あっちだって私のことをパチスロもせずろくに酒も飲まず愚かな人間だと思ってるだろうし

常にモテのこと考えててコンパ大好き男大好き！系の女がはしたない女を嫌うのは理屈が通ってる。ライバルだもんな。禁欲的な女が「あの女はいやらしい・はしたない」系の嫌悪をあらわにするのがよくわからんのですよね。みんなはしたなくなってくれた方が君が純潔である価値が上がるじゃん

大学生の時、いつも狂ったようにハリボー食べてたからあだ名「キチガイ」だったよ。っていう話したら、あだ名ハリボーじゃないんだ…キチガイってあだ名ついたのはハリボー食べてたからじゃないと思うよ…あとそれはあだ名じゃなくて悪口だよ…って全てに突っ込まれたことを思い出しました

もっと社会はゆるくなっていいと言っても「レジ打ちの人は座ってていいよ」くらいのことは言えても「おつりの金額も適当でいいよ」「税金も適当に取ってくれていいよ」「医者は適当に注射ぶっ刺していいよ」とはなかなか言えない訳で、けど本当は医者が適当に注射する社会の方が幸福度は上かもしれない

エロい漫画の竿役は基本的に汚いおじさんが好きだけど、描き手があまりにも汚いおじさんを描くのが上手いとおじさんが汚すぎてセックスに集中できないこともあり、そう考えると、竿役が清潔感あるイケメンである必要はないが不潔感のない一般人くらいなのが安牌なのかもな

正直、もしかして死は救済かもしれないなと思うことあるけど、死んだことない人間が死は救済なんて言うの無責任だなと今は考えてます。死んだら幽霊になって、死が救済だったかどうか教えに戻ってくるからね

「ブサイクは人格歪んでる『から』嫌い」みたいな。最初から「人格歪んでる人は嫌い」って言えばいいじゃんね。「ブサイクは嫌い」っていう自分の好き嫌いすら請け負えないから、人格とかいう緩衝材をかませる。

世の中、肛門に挿入しても問題ない「ジョークグッズ」が、様々な大きさ・形・色を取り揃えて売られているのに、人はなぜ明らかに肛門に挿入したらヤバい食品や日用品を挿入してしまうのだろう。人類の発展を後押ししてきた好奇心の暗部だ。光が強ければ強いほど闇も濃い

ワクチンには5Gのマイクロチップが入ってるので打つと操られるし水銀も入ってるので死んでしまうの、操りたいのか殺したいのかわかんなくてウケてしまう

体型でいうと、少しぽっちゃりくらいが、美しさという力も大きさという力もなく一番見下されるんで、一見して「デカい」レベルのデブになるとそういう動物的畏怖を感じてもらえるようになる。痩せという力を手に入れられないなら太りという力を手に入れよう。まあ健康には悪いが。。

私は失敗して慌てると声がバカでかくなるタイプで、よくうるさいと怒られる。昔接客やってた時はそれがちょっとした強み(？)になって、慌てると声が小さくなる人に比べて客から必要以上に文句言われる事が明らかに少なかった。デカい声の奴には文句言い難いんでしょうね。人間の動物みを感じる

男の人って背中にニキビとかたくさんある人ときどきいるよね。私の座るところが汚いのは嫌だから、あれ化粧水とか塗り薬とかで何とかできないのかな。と思ってたら、男性の背中ニキビに一番効くのはキンタマ取ることという話を聞いた。なるほどね。

作品については「上手いけど嫌い」があるのと同じように「下手だけど好き」というのがあって、それを否定するものではない(そもそも好き嫌いなんて他者が否定できるものではない)が、好きさが勢い余って「これは下手ではない」と言い張るのであれば、いや下手ではあるよと指摘したくなる

ツイッターで弱者を傷つける発言を繰り返し、「金くれたらこういう発言はやめます」つったら篤志家がいっぱいお金くれそう。

エルサの、山の中に一人でいて好きなようにふるまってるだけなんだから、誰にも迷惑かけてないはず！楽しい！→いや色んな人がきみの影響を受けて、世の中大変なことになってるよ、って構造、まじでインターネット世代のオタクに刺さりすぎる。ツイッターでありのままになってる場合ではない

中学生くらいで、お小遣い足りないからコミックス全巻買えなくて好きなエピソード載ってる巻だけ厳選して買うとか、いい思い出になるじゃないですか。それを金持ってる大人のオタクが、ファンなら全巻買って関連グッズも買って当然みたいなこと言うの冷酷すぎるよ。オタク趣味を楽しい思い出にしてくれ

「端午の節句が祝日なのに桃の節句が祝日じゃないのは男女差別」みたいな与太で祝日一日増やせねえかなというのは思ってるんですよね

「好き嫌いが別れるもの」の比喩としてチョコミントが使われるのが気に入らない。チョコミントは至上の味であり既に好きな人とこれから好きになる人しかいないので。比喩はもっと本当に好き嫌いが別れるものを使っては？しいたけとか。

「ていねいな生活で欲求不満を解消」、「筋トレでうつが治る」的なシバキ主義を感じる。まあていねいな生活も筋トレもやれたらやるに越したことはないですけどね

東京の人っていつも酒飲んでない？やっぱりあんなに情報量の多い街に住んでると狂わないために脳をすこし麻痺させないといけないんだ

教養があるので、見ているアニメで急に人間が爆発してもいちいちうろたえず「ああ、悪人は爆発することもあるよね」とすぐに受容することができる。これが知の力だ

私は部下を指導するようになってわかったことがあって、会社員はクビになると困る人が多いので、犯罪とか、明らかにクビの原因になることは別に指導しなくてもしない。けど、頑張りに応じて給料が上がる訳でもない会社で、それ以上に頑張る動機って別にないんだな。部下に教えられてしまった。

「パンツ」って書かれると、それが下着なのかいわゆるズボンなのか判断できかねる場合があるでしょう。けど「ぱんつ」ならそれが下着を指していて、話者が下着に何らかの、おそらく性的な思い入れがあるということまでわかる訳ですよ。言葉は奥深い

「10代の女性とセックスしたことがある」と話されると若干ヤバの香りがするが(まあ10歳なのか19歳なのかでも全然話は変わってくるが)「10代から70代までの男女とセックスしたことがある」だとやばく感じなくなるみたいな現象ありませんか？10代の女性とセックスしたという事実には変わりないのに

あらゆる知識に価値を感じる人が好きだな。たとえ「卑俗な」若者文化であっても「そんなことは知らない」というのを偉そうに言う人は嫌いだ。知らないことは悪ではないけど決して善でもないよ

夫は私が疲れてると労わろうと寄って来るんですけど、私は一人になりたいんですよね。いや、正直に言えば、夫に対して八つ当たりするという方法でストレスを発散したい。夫は(少なくとも短期的には)それを許すと思うけど、そういうことをすると私の徳が下がるのでしたくない。ので、一人でいたい。

親の「せっかく産んであげたのに」に対して「産んでくれた恩は一生懸命生きることで返してる」って言い返した時、キレてたけど心の隅っこで「我ながらこのセリフめちゃくちゃカッコイイな…」と思ってた

昔、母が「私には娘の結婚に反対する権利もないの？」と泣いていたので「反対する権利はあるよ、お母さん、誰にでも好きなことを好きなように言う自由があるからね、私がそれに従う義務がないだけで…」って丁寧に説明した。表現の自由戦士なので。こういう、「Ａしてちょうだい」「嫌だ」「私にはＡして欲しいと望む権利もないの？」ヨヨヨ、みたいなやり方、弱者ぶってる強者がよく使うよね。望むのも言うのも自由ですよ。そこの権利は尊重します。嫌だと思ったら従わないだけで。

昔、割とお金持ちで広いお家に住んでいる女性を私のワンルームに招くと「どこに座ったらいいの？」とマジで困惑していた。「どこでも座れるやろ、そんなに小さいお尻なんやから」と言うと、なぜかそれをいたく気に入ったらしく、その後も「私はお尻が小さいからどこにでも座れる」とときどき言っていた

子供用ハーネスが犬みたいというのはまあ個人の感想だし、別に犬みたいでもいいんじゃないんですかね。歩き始めの子供なんか100%犬よりアホだし。最近の子供服で猫耳とかウサギ耳とか付いてるのも「こいつらの知能動物並み」という含意があると思ってる

「まあやっぱり恋人としての女性に求める最低ラインはあるよね…化粧してるとか」と「ぶっちゃけ女が化粧してなくても何も思わない、マイナスをゼロにする作業なので気の毒」というまあまあ強いカードを同じ日に出したせいで「さっきは化粧してないとダメっていってたのに？」と女性たちにツッコまれたので、「街の女性全員が化粧しなくなれば恋人にも化粧を求めなくなるからね」とギリッギリ人によってはセーフに見える返答で流しておいたけど、あれはバレてたかな。

人に好かれると、可哀想だなと思うんですよね。世の中にもっと賢い人も綺麗な人も優しい人も腐るほどいるのに、私みたいに嘘と誤魔化しだけの人間を好きになって、馬鹿だな。可哀想。この人が真実に気づけるまでちゃんと面倒を見てあげなければ。と思う

女は全員人生イージーモードとは言わんけど、まあまあ可愛くて歳離れた「パパ」が気を使ってくれたら一緒に過ごせる程度の最低限の社会性、ないし我慢強さあったら人生なんかどうとでもなるでしょ。まじでやべー人間は金のためでもオッサンと食事なんかできないし労働もできない。だから「パパ活で金銭感覚狂わせて女の人生台無しにするのが楽しくて〜」みたいなの、絶対そんなことで人生台無しにならないし言い訳にしても上手くねーから！　って思うんですよ。大学の文芸サークルで大して上手くもない小説書いてる奴の作品褒めちぎった方がよっぽど効率的だよ

「アホな人間殺します」と書いた看板を立てて「あいつを殺してくれ」と依頼してきた人から前払いで報酬をいただいて、「人を殺したくなるあんたが一番アホだ」と言って殺すビジネス、まあまあ儲かりそうで困る。

学用品、無地で何センチで持ち手がこうなってる薄手の布の袋を買ってきてくださいみたいな指定されるとさすがに困る。今どき全く無地の袋なんかなかなか売ってないよ。買わせるなら常識の範囲内で自由にさせてくれ、それ以上を求めるなら学校で一括購入してくれ、それだけが私の望み

ママ友ってしっくりこないな。ママじゃなくてパパやババやジジが来ても親しくはなる。しかしそれが「友人」かと、私はちょっと違う気がする。子が先行する関係で、私たち同士の関係は副次的なものなので。全くキャッチーではないが、言葉にするなら「保護者同僚」辺りになるのかな

「性を安売りするな」、突き詰めれば「自分の貞操という価値をきちんと守って将来の『旦那様』に最高の値段で売りつけようね」というド保守以外に行き着きようがないので、絶対合わないでしょ。性を売るのも売らないのもあなたの自由だ、その自由は決して侵害されてはならない。

私がマラソンを見ている時に横から「車に乗った方が速いよね」って言われたら、確かにそうだ、あえて肉体で競う意味って何だって考えてしまうし、考えの足がかりになってくれる人は好きだが、これを「楽しんで見ていのに茶々を入れられた」と嫌う人もおり、こればっかりは相性としか言いようがない

軽々しくありがとう言いたくない勢いますね。私は「ありがと♡好き♡あなたみたいな人に助けてもらえてほんとにラッキー♡あなたにも今日何かいいことがありますように♡」くらいのこと思ってなくてもツルッと口から出るけど、感謝してない時にありがとう言いたくないって人の方がある意味誠実ですね

関東の飲食店に行った時、帰りに「ありがとー(語尾上がり)」と言うと関西弁なので、郷に入りては郷に従おうと思って「ありがとう(「り」にアクセント)」と言ったんですが「帰りにお礼言うの関西っぽいねー」と言われて敗北したのを思い出しました。

「義両親に子供預けて焼肉行った」という話をすると「よく子供置いて焼肉なんか行けますね」と言われ、何だか機嫌が悪そうだったので冗談で和ませようと思い「子供見てたら食べたくなっちゃうから、代わりに焼肉を食べに行くんです」と言ったら、まじで信じられないという顔をされ、攻略失敗だった

自分が親で、子供可愛いから「子供は一秒も私から離れたくないはず」と思ってるだけじゃないの？投影だよね。自分が子供の頃そんな一秒も保護者から離れたくない！とか思ってなかったでしょ？シンクで火遊びしたいから早く買い物出てくれって常に思ってたよ。まあ人それぞれ案件か

高校の時、下着の色は決まっていて、若い女の先生が更衣室に来て申し訳なさそうに「ごめんね、サッと見るからね」と確認のふりだけしてそそくさ帰っていた。それこそ、下着を見たい人がスケベ心でやってた方がまだ動機は理解できる。その人の望みだからだ。誰も望んでない風習が謎に存在だけしていた。

大学入って都会人との教育格差は感じたけど、絶望したことはないな。こいつらこんだけ教育機会に恵まれたのに結局私と同じ大学にいるのかよ。人生のコスパめちゃくちゃ悪いな。やっぱり私は人間としての価値が高い。と思ってた。自己肯定感高めの最悪人間なので。

人間の問題行動、望ましいことをしたらエサを一粒やり悪いことをしたら電流を流すのを繰り返したら何もかも解決するのでは？と思ってしまうけど、別にそんなことしなくても脳に電極をぶっ刺したらいいのか。やはり電気は全てを解決する

「あの人とは、存在しない漫画のタイトルを適当に言って粗筋を二人で考えるほど仲がいい」と説明すると「それがどれほどなのかよくわからん」と言われた。勿論、とても仲が良いということです。セックスする相手程度ならすぐに見つかるが、こういうことをできる相手にはなかなか巡り会えるものではない

別に年数でそういうのが決まる訳じゃないけど「ハルヒからアニメ見始めたにわか」も「電王からライダー見始めたにわか」も、もうかなり年季の入ったオタクなんだということを考えると時の流れが怖くなる

自称メンタル弱いらしいけど、赤の他人に「私に気を遣え」ってそんだけ声高に言えるんだから全然弱くないと思います。私はメンタル激つよなので何言ってくれても良いですよ。嫌だなとかめんどくさいなとか嬉しいけど何て返事したらいいかわからないなと思ったら無視するので。

状況が大きく変われば人間性も変わるのは当然、かつ、非現実的な状況の想定は無駄と思う。私も資産100億あったら金こそが全てじゃ〜！って叫び出すかもしれないけど、資産100億手に入る可能性は無視できる程度なので「金こそが全てだと叫びはしない人」とみなしてくれて問題ない

子供の頃は病気がちで、お医者さんたちと仲良くなるくらい病院に通っていた。「病気は嫌だが皆さんと友達のような関係になれたのは良かった」と伝えると「私たちは早くあなたの『昔の友達』になりたい」と涙ぐまれた。顔色一つ変えず人の体に針を刺す人たちが言葉一つで動揺するのは面白いなと思った

女性患者中心でも、美容整形とかだと「痛くない、怖くない」を前面に押し出すから、女性はどんな痛みでも我慢出来るという社会通念みたいなのはないと思うんですよね。子供が転んだ時「女だから痛くないだろ」と言う人はまあいない。女は産婦人科に行く時だけ「痛みに強くなる」。考えてみたら不思議だ

少なくとも「道端で困ってる人に手を貸す」レベルの親切に自己責任論を噛ませたくない。効率が悪いので。その人が自己責任でそうなったのかやむを得ずそうなったのか聴取して判断する時間でもう二、三人に手を貸せる

何も説明せず、これ見よがしに泣いてみたり怒ってみたり拗ねてみたり、そういうのを問題解決の手法として覚えて欲しくないんですよ。これは教育的無理解だよ

出産のとき同時に茶色い子どもが生まれることもまあまああるらしい。でも、神秘的な場面だから誰も笑わないのかな？おれだったらめちゃくちゃ笑うし、そのせいで出産直後に離婚届を持ってこられそうなんだが。一生ネタにし続けるかも。まだ心の中に小学生が生きているので……

私は、弁護士・裁判官・医師・教師など専門職が自ら当事者として体験した経験がある場合、個人的体験を一般化しないよう慎重になるべきだと思っている。同じ体験をしたから気持ちを理解できるかというと、生存者バイアスや強い当事者性から専門職としての知見が歪むこともある。例えば、学生時代アルバイト経験のある弁護士が学生の「ブラックバイト」問題に向き合うなら、できる限り体験に囚われぬよう被害者に向き合わないと、苦しみが理解出来ない。

貧困化と非正規雇用に期待される職務の高度化という社会環境で生じるこの社会問題の深刻さを理解出来なくなる。別の見方をすれば、専門職は、自身の体験に囚われず仕事ができなければダメとも言えそう。弁護士である私の仕事について言えば、依頼者の置かれた状況は全て違うから、個人的にであれ専門職としてであれ、過去の体験に惑わされず向き合わねばと自戒しています。

片方は「対等に会話をしている」と思っているけど、もう片方は「聞きたくもない愚痴を聞いてあげている」と認識しているようなすれ違いもよくある。「聞いてあげている」意識の人が、本当に「してあげてる」人なのかは議論の余地がある

子連れの人には一定程度に親切にするけど、それは子連れの機動力が低いからで、子を持つことが道徳的に優れていると考えるからではない。骨折した人がスノーボードでやめろって言われてんのに無茶して骨折したのか通り魔にボコられて骨折したのかわからんけど、骨折した人には親切にするだけ

「Aという行為に重罰を科すことに反対する人は、Aという行為をしたい人に決まっている」という考え方どうにかならないんですかね。

私が人のこと殴って相手が怪我したら私が悪いし、人にアホボケカス死ねつって相手が傷ついたら私が悪いけど、私が「昨日焼肉食べたんだ」って言って、相手がたまたま焼肉大好きだけど食べられない病気の人で傷ついたとしても、それは別に私は悪くないよ。気の毒だなとは思うけど

セックスレスになったら離婚するかはわからんけどかなりつらいだろうな。好きな人とセックスしないの、根本的に生き方が違うと感じる。「好きだけどキスはハグは無理」とか「もう一生分会話したからあなたと口をききたくないけど好きな気持ちは変わらない」とか言われる的な感じ

作者と作品は別なので、作家が政治的ツイートするのはどんなに偏向してようが勝手にすればいいけど、政治的ツイートにかまけて創作の手を止めるのはまじでやめろ。既視感満載のツイートに簡単につくふぁぼで承認欲求を満足させるな。お前にはお前しか作れないものがあったはずだろ!?

キャラクタの人権的なことを考えるなら、そもそも物語を読むことによって他者の生活を覗き見すること自体窃視的で人権侵害にあたると思うんですよね。そのキャラクタは「私の家の居間や寝室等は好きに覗いて構わない」とあなたに許可したんですか

「男女平等の時代だから、時代に合わせて変化しろ」みたいなのも、まあ処世術としてはそうせざるを得ないのかもしれないけど、それが正義であるかのように語るのは気に食わない。戦争に行って人を殺す時代が来たら殺すのか？ 正しいことに時代は関係ないでしょう

同調圧力とか空気読みとかほどほどに必要っぽいですよね。どうしてあんなに電車の中で大人しくしているの？ 多少騒いだって逮捕される訳でもないのに。みんながみんな倫理なんて持てないでしょ、全員が私のように自分の内側の倫理に従って生きたら世の中はめちゃくちゃだ

腹痛で病院運ばれた時、意識朦朧としながら「痛みを1から10で表現するとどこですか？人生で一番痛いのが10です」って、人生経験によって答えが相当変わるんじゃないかな。規定された力でハンマーで殴って「これが1です」ってやった方が良くないかな？って考えてた

何かこう「人に媚びない主義」みたいなものを持って生きていると誤解されることがあるけど、私は生まれつき口からポンポン人の嫌がる言葉が出てくる病気なだけで、人に媚びて世の中渡りたいし、私の言ったことで人が喜ぶと嬉しいし悲しむと悲しいと思っています

昔、知り合いに「実は自分は性別移行して今の性別になった」と言われて、そうなんだと思ったので「そうなんだ」と言って、私の個人情報も開示した方が仲良くなれるかと思って「私は性別移行はしてない」って付け加えたら「そんな返しある!?」って笑ってくれたので良かった

バカなのに優しいって本当に偉いし悲しいな。自分が骨折しないと「骨折した人には優しくした方が良い」レベルのこともわからないなら、絶対、生きてるだけで何人もの人を踏みにじってるよ。それに気づく前に、最初から人を踏んでも何とも思わない人でなしになった方がいい

「同性愛者は清く正しい人々です」というのが「同性愛者はセックスモンスター」という偏見へのカウンターであるのはわかるんだけど、それでもやっぱり好きな路線ではないな。同性愛者は異性愛者が愚かであるのと同等に愚かだよ

「宇宙船地球号」の比喩を見るたび、宇宙船の航行機能が失われ乗員は限られた資源を奪い合う…とか、乗組員の内の誰かが殺人犯だが誰なのかはわからない…とか、そういうのを考えてしまう

弊社、精鋭揃いだから、今日も営業が客に「それが客に対する態度か！」ってキレられて「客やと思ってるからこうやって話聞いてるじゃないですか！客じゃなかったら殺してます!!」ってキレ返しててウケちゃった

優しくない訳じゃないんだが他者への共感が足りない。自分が賢いと思ってるのでしばしば傲慢。実際まあまあ賢いが賢さ一辺倒で世の中渡っていける程じゃないので周りの人に良く思われるスキルも必要。賢いんだからそれくらいのことは人生の序盤で理解しろ

デブだのブサイクだのネタにしてきた芸人なんて男女ともに腐るほどいるけど、問題になるのはやっぱり女ですよ。そこに「女の人の容姿を笑うなんてかわいそう、女という生き物の価値の根本を否定するのも同然だ、男の容姿を笑うのとは訳が違う」という意識が全くないと言い切れるのか

振られたことについて愚痴った時、「あなたみたいな人を振るなんてもったいない！信じられない！」的なことを言われると、いや、私と別れるのは完全に正しいんだが……と元恋人をかばいたくなってしまう

「最低限の時間も金もあるのに、人並みの自炊ができないのはアホなだけ」みたいなの、確かにそういうケースもあるんだけど、アホを解決するのが一番難しい。全ての犬に足し算を理解させることはできない

どんなに正しいことでも100人が100人とも諸手を上げて賛成するなら間違ってるんです。正義は常にせめぎ合いの中にしかない。私の自由で勝手で無根拠な発言がこの社会の正しさを証明するので、私に感謝しても良いですよ

だから全ては性嗜好であり指向など存在しないんですよ。「男性が好き」「生まれつきペニスのついている人が好き」は「顔の綺麗な人が好き」「優しい性格の人が好き」と全く同等だ。

私は9割相手が悪いと思っても1割私が悪いと思ったら謝ります。馬鹿な人間に譲ってやるのは賢く生まれてしまった人間の義務だと思うし。けど、私は少しも悪くないと思った時は謝りません。改善の余地がないことで謝罪したら、それは嘘になっちゃうので。

「知識力が高い」って言ってる人がいたら「いや、そこは『知識が豊富』だろ」と思いませんか。「語彙力」という言葉についても同様のことを思う。「語彙」でいいだろ。語彙力という言葉を使って自身の｢語彙力｣を誇っているのを見ると半笑いになってしまう

社内SNSで知らん上司同士がバチバチやってるのを見るの、私も本当に好きで、そういうシーンを見ると「怪獣大戦争」って非公開ブックマークに保存してる

「何のために生きているの？」、回答の内容自体はどうでもよいけど、真面目に答える人は真面目に答える人と、ふざける人はふざける人と、曖昧に濁して答えない人はそういう人と付き合った方が何かと上手くいくんじゃないかとは思いますね

私が生きているのは自己複製のためです。この世は狂っていて正常なのは私だけなので、私という存在を可能な限り増やして少しでも世界をまともにしたい。子供をたくさん産みたいし、人間に関わりたい、色んな人にたくさんお話をしてその人の脳に「私」を植え付けたい。ツイッターもその活動の一環ですね

小学生の頃、バレンタインにクラス全員に義理チョコをあげたら、友達の少ない女の子やモテない男の子は結構いいものを返してくれたんですよね。私しか返す相手がいないから。こういう子たちに優しくすると効率がいいんだなと思った。

実際SMやる人って、フランクな「キミってＳっぽいよね〜」みたいな話にあんま乗らないし、ちょっと嫌がるよね。ほとんどの法曹は、プライベートで俗に言う「裁判官」みたいにふるまうことを嫌うのと似ている。いや似てはないか

同僚にセックス未経験の人がいて、「はじめては大事な人と」と言ってたので心の中で称賛していたが、すぐに別の同僚たちによって「そういうこと言ってると逃げられるぞ～」とはやし立てられていた。で、そうやって童貞の真摯さを平気でからかえる人のほうが実際「モテる」のは自明。「今日、はじめてなんですけど、もしあなたが嫌でなければよろしくお願いします」というような真面目で誠実なタイプは普通にドン引きされて終わるので。だとするといったいモテるってなんなんだ、誠実ってなんなんだとか思ってしまう。

子供の頃から、祖母に「買ってきたお惣菜等をパックのまま食卓に出してはいけない」と言いつけられていたが、高校生くらいで「そろそろ食べ物をパックのまま食卓に出してはいけないとわかっただろうから、今日からパックのまま食卓に出しても良い事にする」と解禁された。禅問答めいている

それこそ、人間が洞窟に住んでいた頃にも女性には月経があったし、鉄も利用せず狩猟をしていた時代もあった訳で「鎮痛剤も銃もなしに、どうやったら人間が生きられるのか!?」なんて発想は文明による人間の退廃というものですよ。

恋愛の付き合うか付き合わないかのモダモダした感じ、他人がやってる分にはコントみたいで面白いが自分がやるのは大嫌いだ。時間の無駄、とっとと好きと言ってセックスしよう。という話をすると、恋愛なんか半分以上はそのモダモダを楽しむためにあるでしょ！　と言われて、合わねえなと思った。

「普通ですか？」という質問に意義を感じない。普通だったらどうだと言うんだ。困るか困らないか、あるいは倫理的かどうか、そういうことを問題にすべきだ、ましてや君はまだ若いのに

「異性が好き」というのも単なる性嗜好であり、その実「異性っぽい要素」に興奮しているだけ。男性の異性愛者であれば、股間だけマンコのオッサンより綺麗な女装男子を選ぶのが多数派。って書こうと思ったけど実際どうですか。

「美人なのに読書なんかするの？」発言に腹立つ気持ちもわかる。私も会社で消しゴムのカス集めてねりけし捏ねて楽しんでた時、隣の席の人に「30過ぎて会社でねりけし作るんですか!?」って驚かれて「年も場所も関係なくねりけし作るのは楽しいだろ！」って反感覚えたもんな。似たような話だ

推理小説ではよく込み入ったトリックを使って人を殺すけど、現実でトリックを使った殺人ってほぼないよね。いや、トリック殺人は私たちの視界に入らないだけ。現実に名探偵はいないのでトリックを使いさえすれば殺人は露見しない

おいしいご飯を食べると、何となく、一面が金色の田んぼで農家の人がコンバインに乗って…みたいな風景を想像して楽しむのですが、これをコーヒーやチョコレートでやるとあまり愉快な気持ちにはなれない。

子供にどう説明するんだ！って怒りほどしょうもないことないな。子供に「赤ちゃんはどうやってできるの？」って聞かれたらどうするんだ。セックスのことなんて子供に説明できないから出生をやめろ

昔の人にとって結婚は就職みたいなもので、それなりに嫌でそれなりに生活していたんじゃないか。未来人は「社屋を見るとドキドキする運命の会社で働くのこそ人間の唯一の幸せ。どこでもいいから生活のために就職するなんて、過去の人たちはなんて悲惨な人生を送っていたのだろう」って思ってるよ

人の気持ちがわからないのでいつも人の気持ちについて考えている。「あなたは他者を対象としてのみ見ていて共感がない、宇宙人の人間理解」と言われて、言い得て妙だと思った。こういう時ちゃんと傷つかないで言い得て妙とか言ってるからダメなんだろうな。宇宙から地球の皆さんの幸せを願っています

アホでもアホなりのあたたかい心があって、同情せざるを得ない境遇があって、みんな頑張って生きているという事実に日々打ちのめされてしまう。見捨てさせてくれ

私がものすごいお金持ちや美人なら、私は、寄ってくる人をまず、下心のある悪人なのかそうでないのか選り分けないといけない。そうではないので、私は、私に優しくしてくれる人にただ誠実さを返すだけでいいんです。こんなに楽な生き方はない。神様、私に何も与えないでいてくれてありがとう

クレーマーを撃退する最適解は、（そのクレーマーが悪質になりすぎないという条件付きで）「とにかく共感する姿勢を見せる」らしい。内心はまったく問題ではなく、あくまでポーズこそが評価される。最適解が「表面的にやり過ごす」になって、心の奥底から思いを伝えることにはならないのが興味深い。人間って複雑なのか、単純なのか。

「ママはこんなに頑張ってるんだからパパも同じくらい頑張って！この程度は親として当然！」系のやつ、普通にその批評精神を他のママにも向けて戦争をやって欲しい。ツイッターの全ママが同じ水準で頑張ってる訳ないんだからこぼれ落ちてるママもそれなりにいるはず

「私たちママは命に対する責任感があるから泣く子を放置なんて出来ない！」って、それこそ美辞麗句で親を追い詰めてると思いますよ。二人目育児をはじめ、子が多少泣いてても対応できない状況もある。そういう人に「この親、命に対する責任感ないな」って思ってるの？

祖父が昔「どんなに嫌いな相手でも、男が貧乏なのと女がブサイクなのは馬鹿にしたらいかん」と言っていて、まあクソ差別なんですけど、その人にとっての人間の価値の根幹みたいなものに軽々しく言及してはいけないという学びを一応得ることは可能だ

どんだけポカヨケの仕組み作っても、作業者は、そんなやり方ある？って方法でかいくぐって怪我するし、嫌とか腹が立つとかじゃなくて、シンプルに事実として、人間は愚かだなと思う。社会はクソだけど、愚かな人間が集まって作ったものとしては出来すぎなくらい良い

上司に「世の中仕事を失って困ってる人もいるんだから、仕事がありすぎて溢れてるのをありがたいと思わなきゃ」と言われて、いいこと言う〜、死ね、と思った

小学生の頃、横暴な子がいて、人の持ち物を取るんです。けどその子の家はお金持ちだったので、行って「××さんが物を返してくれません」と言うとママが相場に色つけた金額を返してくれる。私はホクホクで、その子が物を取ってくれるよう仕向けさえした。今思えば怪物を育ててしまったかもしれないな

私の考え方等色々なことの先生的な人が「一から十まで私に倣わなくていい、好きなものを好きなようにつまみ食いしなさい、そのつまみ方があなたの個性だから」って言ってくれて、その人は最終的にネトウヨと化したので言われた通りに袂を分かったの、師匠の武器で師匠を殺すような感慨があった。

セックスのときに陰茎を膣に挿入するの、何の先入観もなく見たらめちゃくちゃ面白くて不気味だし、どこかの銀河系の宇宙人がコレクションしてるビデオなら間違いなく高値で取引されてる。人間ってもともと変な形だし、ましてや裸で手を組みあったりしてわけわかんないことやってるの、もはや架空生物の領域

バカでも性格が穏やかなら話しているのは割と楽しいんだけど、何故かバカには短気な奴が多い。いや、人間は原則短気で、バカはそれを隠せないだけか

電マをつかって陰部を刺激されると、この世の全てを許せるかのような快感の波が脳を突き抜けるのだが、３秒後にはもう何も許せなくなっている、そんな自分の脳が惜しい

オタクでもアニメ見るだけとか余暇として二次創作描くだけとかそういう人らは比較的面倒くさくない。一番面倒くさいのは××になるために努力している人間の集団。人間は目標に向かって一生懸命頑張るほどどんどん面倒くさくなる。毎日をダラダラと何の目標もなく死んだように生きるのがあるべき姿

虫嫌いな人ってすぐ「早く殺して！」とか指図してくるよね。私が処理してるんだから殺すか殺さないかは私が決めるつうの。そういうこと言われたらいつも「簡単に言うな！命やぞ！」ってキレてる。

弱くて優しくて馬鹿な人間が、心底から周囲の人間の魂の救済を願って、新興宗教のバカ高い仏壇買って祈ったりしているんですよ。そんなの愛しくて堪らないでしょ。全部燃やして一思いに楽にしてやりたい。

いじめは傍観者も同罪なら、積極的にいじめた方がお得ですよね。人をいじめるのって楽しいし。楽しみは得られない、罪は同じだけ背負うじゃ、傍観者なんて割に合わない。

「人生もったいないんだから、楽しいほうに生きたほうがトクでしょ」って発想は素朴で好感がもてるんだけど、その「楽しいほう」がいじめ、殺人、麻薬、乱交、不倫、動物虐待、呪術、説教、クレーム、自損行為、覗きなどでも別にいいし、ましてや子供がそういうのを始めても何も言いださないんだろうか。もし子供には「それは楽しくても駄目なんだよ」というとき、楽しいからやっていいことと楽しいけどしちゃダメなことはどう区別するのかとか、じゃあ誰も困ってない麻薬はいいのかとか、犯罪行為じゃないけどやっちゃダメなことはどう指導するのかみたいな疑問が無限にある。そういうのを考えるのが面倒臭そうなので、最初から子供を洗脳して「オレがいいと認めたことだけやっていい」ってしたほうがラクだし、けっこうな割合の親は結果的にそうしてる

意外と繊細な部分もあるんだねと言われることがあるけど、自分の繊細さを平気で他人に投げ出して見せるなんて鈍感の極致だと思う

昔、法的なトラブルを弁護士さんに解決してもらったんだけど感情的な部分は解決できなくて「あいつを呪い殺してやりたい」って言ったら「呪い殺すのは違法じゃないから大丈夫ですよ。人から見られると色々良くないので、自宅とかでやってくださいね」って教えてもらえてかなり有益だった

もし、戦争バンザイと言わないと殺される世の中なら、子供をなるべく戦争バンザイと考えるように育てるべきか。私はそうすべきだと思う。自分は絶対そう思わないけど、自分の子供はそういう風に育てる。エゴイストなので

「機嫌よくあろうと思ってます」は尊敬するけど、度を越して「機嫌よくあれ」って言ってくる人とは距離を置いてる、そんな程度の付き合いです。

犬は好きではない。実家で飼っていたけど、犬はあまりにも私に忠実すぎて、私に褒められるのが至上の喜びという態度を取るので、こんな私のために…とだんだんつらくなってくる。犬を好きではないというか、私が私を好きでないので、犬の飼い主に値する人間ではないと感じてしまう

「お前、IQ3かよ」はまあ「バ〜カ」くらいの悪口だけど「IQ70かよ」だと言った方の人間性が本気で疑われるような悪口になっちゃうみたいなさじ加減がありますよね

ムカッとした時、怒りで反射的に言い返してしまいがちですが、大抵の場合、そんなことしても良い結果は生まれない。頑張って6秒耐えて考えたらぐうの音も出ない最強の悪口が言えます

正義のヒーロー、悪役を殺すのはOKだけどレイプはNGなの、やっぱ快感を得るかどうかがポイントな気がする。制裁としての殺人でも「あいつの内臓を引きずり出した時気持ちよかった」みたいな描写が入ると正義ルートから外れそうだし。勃起せず鉄パイプとか使って事務的なレイプなら正義側でOK

小学生くらいの時、テレビのバラエティって別に面白くないけどみんな共通の話題を得るために見てるんだ、みんな普通になるために努力してるんだと思ってた。大体の人は楽しんで見てると知って、思うままに生きてるだけで普通になれるなんてすごくずるいなと感じた

ハンコ傾け文化、金融関係から弊社へ転職してきた人がやってたけど、弊社のほとんどの人間がその文化知らなかったので「あの人のハンコいつも傾いてるよね…けっこう適当な人なのね…」って言われてた。異文化交流だ

「大人は無意識のストッパーがかかって、パンツ履いたままとかトイレ以外の場所とか、不適切な場面で排尿しようと思ってもできない」って話聞いて、居間で試したら普通にめちゃくちゃおしっこ出たとき本当にびっくりしました。みんなも自分が真の大人かどうかチャレンジしてみてね

あんまり勉強得意じゃない(婉曲)親特有の勘違いですね。怖い大人が怖い顔で竹刀持って「勉強しろ！」って言い続けたら子供は東大でも入ると思ってる。アホ高校の「眉毛剃るな！」の延長線上の「勉強しろ！」。子供がこれ素直に聞ける程度に賢くて素直に聞ける程度にバカだと地獄が発生するんですよね

フィクションが問題提起をすること自体を否定するのではないが、この作品は問題提起をしている「から」素晴らしいというタイプの評価はしたくないんですよ。問題提起それ自体が目的なら都合良いフィクションの皮を被らずやれば良い。

子供同士が殴り合いの喧嘩をして、その後負けた子が怯えきって殴った子に媚びるのを見て「一度喧嘩したら仲良くなっている、子供同士はサッパリしている」と言い放った人がいて耳を疑った。「言葉の暴力は陰湿、殴った方がいい」みたいな、身体的暴力への謎の信頼を持ってる人っていますね

他者に、私の思い通りに動くことをそれほど求めてはいません。私にとって最も賢いのも最も合理的なのも最も役に立つのも私に決まっているので。他者の最上の価値は「私ではない」ことです。私ではない結果たまたま私の意に沿わなくても、それは必要経費として受け止めるしかない。

欲しい物はいずれ自分で買う。欲しかった物を贈られるって、どうせ到達するはずの近い未来に連れて来られただけ。面白くもない時短テクです。自分で欲しいと思わなかった物を贈られると「他人が良いと思った物を持ってる私」という、私だけでは絶対になれない私になれるんです。こっちの方が面白い。

仕事で電話する相手で、いつも怒鳴っている男性がいて、最初はちょっと苦手だった。一度会ってみると、うるさい工場の中で働いてるから怒鳴るように喋るのが癖になったようで、考えてみると普段も声がデカいだけで別に嫌なことは言わない。というのを、人の態度について考える時は思い出す

恋人ができると面白くなくなる人がいるというのはわかります。厳密に表現すると、孤独じゃなくなったから面白くなくなったんですね。孤独が人を一番面白くするんですよ。その上で、恋人や結婚程度で消える孤独感ならとっとと消し去っとけ、そういう奴には孤独の才能がないんだよ。と思います。はい。

中学の国語の先生に「正しい言葉にはものすごく力があるから、そっと使いなさい」と言われて、中学生の時は、正しければ正しいほどデカい声でバシッと言った方がいいだろと思ってたけど、何か今になって意味がわかる気がするな

生きてて「同じ日本人」意識を感じることあんまないけどな。「日本人の人権意識が低くて、同じ日本人として恥ずかしい」と感じる人が大量にいるの、世の中には私が思ってるよりずっと愛国者が多くて頭が下がる

やっぱり生きてる限り喧嘩と区別のつかないような議論を続けていけばいいんですよ。争いをやめるなんて墓の下でもできるんだから

食費節約、突き詰めれば「1食抜けば食費の節約になる」とか、健康な生活の換金みたいな所にいっちゃいますしね。被服費とか節約すればいいんじゃないかな。多少裸でも死にませんよ。みんな裸になったらいいと思う

「自己主張したくないけど私の思い通りにはして欲しいからみんな私のためにいい感じに空気読んで」みたいなこと言う人いるよね。めちゃくちゃ図々しいなと思うけど、本人は自己主張するよりかは図々しくないつもりなんですよね

人が嫌がることはやめましょうという小学生の道徳で脳みそ止まってる。警察に逮捕されたら泥棒は嫌がるからやめましょう。けどこの論理も自分を警察と思い込んでる異常者を生み出すだけなので、やはり人類を滅ぼせば悪も滅びる

「僕がハゲてきたら教えてくれ、自分ではわからないから」というようなことをよく頼まれる。実際にハゲてきましたよと教えるとしばしばムッとされる。数日後に「あの時はついムッとしてしまって悪かった」と謝りに来られたりなんかすると、初めからムッとされないより嬉しい気持ちになる。人間的で。

「あなたって友達少ないよね」と言われたので「君子の交わりは淡きこと水の若しと言うからね」と言ったら「すごいな、今の一言だけで友達少ない理由全部わかったわ」と言われて嫌だった

知らん人に「お姉さん、お姉ちゃん」って呼ばれるのめちゃくちゃ好き。支配欲の化け物なので、全人類私の弟か妹になって欲しい。もっと歳取ったら田舎だと「お母さん」って呼んでもらえるから最高だけど、そこに行くまでに「奥さん」を挟む。奥さんは嬉しくない、相手を支配できないので。

「えっズボン毎日洗濯しないの、きたなっ、毎日ご飯こぼしたり、指ちょっと汚れた時ズボンで拭いたりするでしょ」と人をバカにしたら、そういうことは一般的ではないと逆にバカにされるみたいな、狩る側と狩られる側が一瞬で入れ替わる強烈な体験が好き

ずっと、人と接するのが嫌いだと思っていたけど、私はただ人を不快にさせるのが嫌いで、人は私と接すると大体不快になるだけ、人と接すること自体は嫌いじゃないというかむしろ好きということがわかってきた。

実社会では男女はちゃんと助け合って私を虐げながら生きているので、男と女の間に流れる暗くて深い川の心配は全然してない。私と社会の間の暗くて深い川の心配をしてくれ。誰か助けてくれ

ちょっと触っただけで破裂しそうなくらい怒ってる女の人が「あれがああでこうでとにかくお前が悪くて！」ってギャーッとまくし立てて、後ろに控えてるデカくて怖い男が「まあこいつもこう言っとるんで…」と締めるのが最もスムーズなコミュニケーション。いやな方の男女共同参画社会だ

復讐は何も生まない論者、「趣味のもの集めても飽きたら価値なくなるから無駄」とか言っちゃうタイプでしょ。その時その瞬間に楽しい！やりがいがある！と思えたらそれが価値だから、楽しく復讐してやりがいを感じよう

昔、道端で猫がセックスしていたので「わあ、猫がセックスしてるね」と言うと「こら」と怒られたので、セックスという言葉が良くなかったかと思い「猫が交尾してるね」と言い直すと「猫の交尾に言及するな」と怒られたことを思い出しました。人間社会、難しい

海外派遣の経験がある隊員の口癖は「味噌汁はすごい」でした。彼曰く「中東にいようがアフリカにいようが、味噌汁を飲むと日本に帰った気持ちになる」と語っていました。味噌汁とは海外にいても日本へ心を繋ぐ、不思議な飲み物なのかもしれませんね。

嫌われてる上司が異動になった結果、かえってチーム内の仲が悪くなってきたの、「共通の敵を失った瞬間、内乱が起きる」っていう世の中のセオリー完全になぞってるし、マジで「人は歴史から学ばない」感あるな。

この前、就活が決まってない後輩と「自分は本当に進学によって選択肢が広がっているのか」という話をした。「大学院を出れば確かにコンビニ店員バイトにも専門職にもつけるけど、実際は『下』の選択肢を選ぶという意志はなくなってくるので、実際は狭まっているのではないか」みたいな意見らしい。それを言いだすと意志一般とは何かとか、本当にヒトは何かを「意志」してモノを選んでいるのか、みたいな話になるので、意志の有無ではなく可能不可能でみたほうが病まなくてすむよ、と話したが、さも自分の意志で人生を選び取ってきましたよとしたり顔なのもそれはそれで危うい。普段は無意識ながらも、心のどこかでは「この選択肢を選べるのも運のおかげ」「選ばされてるだけかもしれない」みたいな自戒は本当に大事かもしれない

風刺漫画にとって一番辛辣な評価のひとつは「センスがない」だと思う

どうやって生きてるかって、そりゃ販売利益で食ってるわけです。霞食ってるわけじゃない。それ乾燥注意報でたら死んでしまうわ。

デジタル時計という単語は僕の早起きから三文を奪い去る疎ましい存在でしたが、十代の頃にこの歌を聴いてようやく和解に至ったのを覚えています

枕もとの抜け毛が増えた、お気に入りの総菜パンがコンビニから消えた、そういう小さな絶望の積み重ねが、人を大人にするのです

好きの反対は無関心なんてはじめにいったひとは、ちゃんと地獄に落ちたでしょうか。悪意を持ってかかわることがかかわらないより正しいなんて、ありえない。好きの反対は嫌いです。日本人って好きですよね。シンプルなことを複雑にして悦に浸るの。愛、無関心の対義が成り立つかなんて、誰も考えていない

みんな言葉遊びがすきなのさ。人間は言い訳しないと生きていけないからね

一度人を殺したら、殺すという選択肢が生活に入るようになって、命の価値が曖昧になって、大切な人の価値までわからなくなるのが怖い

熟慮は時に短慮以上の愚行を招く

私の仕事は、金持ちからお金を預かって、金持ちをより金持ちにする、そんなところです。正直私がいなくてもだれも困りません。でもパン屋がいなければ、パンを食べたい人が困りますよね。でも、なぜかそういう、私のような、人間のサイクルを外れた人のほうが金払いがよかったりする。冷静に考えればおかしな話ですよね。

善人があきらかに、悪人が罰を受け死ぬことが正しいとしても、世の中の多くの人は善人でも悪人でもない。死は万人の終着ですが、同じ死は存在しない。それらを全て正しく導くのは苦しい。

例えばドラクエで、多数の地形が絡み合う中ポツンと一つだけある毒沼を怪しいと感じてしまうのも攻略センス。今までの経験の集大成。慣れてない人はそんなとこいきなり調べようと思わない

日本人として育ってしまうと、「異様に食にこだわっている」んだけど、「本人に自覚がない」という、世界の競争上非常に苦しい立場に立たされる。アメリカにきて、お昼のお弁当が、リンゴ一個とかそういうの見て、おれはここで生きていけないと涙したのを覚えている。

日本人の大体は味噌汁飲めば何か満足充足しちゃうよね。この「なんかしょっぱいやつ」も味噌汁ドンピシャな気がする。

政治家の失言にしても、SFの設定にしても、マンガやアニメのポリコレ適用にしても「赤ペン先生」という行為はものすげえ気分が良くて、だから、昔の創作クラスタ内では絶対悪として憎悪されたりしてたんやで……

自分の親が自分にとって好きなタイプの人間である確率、そんなに高くない説。所詮は血を分けただけの他人よ。だからこそ好きなところ少しでも見つけられる息子くん娘ちゃんたちは親を大切にしようね

地方の自治体がつくったpdfが検索ヒットすると、高い確率で「ゴ ミ が な い き れ い な 海 に し て い こ う」ってパワーワードを唱えるキャラクターの字幕みたいになってて笑う

「転売をしてお金を稼いだ」ことが周りより賢い（悪いというニュアンスも含む）としても、もっと賢い人間はそれを黙っているだろうと思う。真に賢いのはメタ的にふるまえる人間であって、たいていは「おれは賢いから○○をした」と言ってしまいがちなのだと思う。何を言うかが知性であるなら、何を言わないかが品性である。

田舎の人がずっと田舎で働いて結婚して子どもをつくって家を建てて死んでいくことの世界の「狭さ」に愕然とするけど、それは自分と違って都会や都会に溢れるヒト・コトとの出会いのチャンスの少なさを知らなかっただけであって、何も知らなければ自分も田舎の人側になっていそうな気はしていた。で、別に何も知らないことが悪いとは思わないし、むしろ都会に出て否が応でも資本主義社会の暴力的な「比較」に苛まれることを考えると、田舎にずっといたほうがいいとまで思う。だから啓蒙が大事という話なのではなく、都会人が語る田舎人には「当然、お前らもそうできたはずだ」みたいな驕りがあるなあと思ったという

あーこの人に比べたら自分はなんてセンス、感性、才能がないんだ、と思うことはたびたびあるが、日常でそれを直視する場合のほとんどは、その人に比べて自分に経験か知識のどちらかまたは両方がないだけなので、めげる必要はない。

「センスを身につけるにはどうしたらいいですか」という質問をすることがよくあって、そのたびに「これ自分に置き換えて考えたら『よい文章を書くにはどうしたらいいですか』レベルの質問だけど、回答って『いっぱい読んでみる/書いてみる』しかないよなあ」と考えながら尋ねていて、結局「いっぱい○○をする」という回答に落ち着かれることがよくある。

ことばにしなくてもできるでしょ、的なノリで人生の課題や数学の問題を切り抜けている人を見ると、劣等感とまではいかないが、新人類の誕生を見た旧人の気分になってしまう。言語化ですべてを切り抜けてきた私にとっては…。とはいえ、言語はメタであって何にでも応用がきくし、なにより他人にそれを伝えやすいという利点があるので、言語化せずに解けている人よりも「高み」をめざしている感はある

字が読めないがめちゃくちゃ神話を覚えている人と、記憶力はよくないが字を書ける人が組んで神話を後世に残す例のアレじゃん

自分は「経験や知識も、ことばにしなければ意味がない」と思っているのだけど、それを他人にいうと「絵をかいたり、車を運転したりもいちいち言語化しているんですか？」と聞かれることがあって、毎回ああやっぱりなと思いながら「それは身体性を延長するという意味なので違います、歩き方や腕のあげ方を意識することがないように、絵も車も私は言語化しません」と述べている。ここでいう経験や知識とは「こういうときにこうなります」という集合体のようなものであって、身体性によって得られる何かをさしてはいない。

つんできた、ごうのかずがちがいます（自由律俳句）

小4のころから「キャラAと仲の良いこのキャラBが狙撃されて、血まみれで倒れているところにAが寄っていって介抱する」みたいなシチュエーションを考えて前かがみになっていました

光か闇でいえば闇である、って項目が就活の性格診断にあったら「とてもよくあてはまる」にマルつけてるタイプやね

数学などの抽象的な思考をするうえで、言語というものの果たす役割がいかに大きいかを考えていたのだけど、世の中にはそういった意味を考えず数式を数式として処理できる数ツヨ人間がいるっぽい。高度に抽象的なことをしながら、そこにメタ的な言語が介在しない脳内、本当に気になるので一度分解されてみてほしい。

体育祭や文化祭のような、没頭を求められるコンテンツについて陰が苦手なのは、無意識のうちに自分の立場や状況をメタ化してしまうからだと思っている

「文章や創作作品は作者とは異なるものなので、それらを批判されたときに作者は自分自身までもを批判されたと思い込んではいけない」みたいなことを聞くけど、文章や創作作品が作者自身と異なるものだとしても、作者自身の奥底の価値観や能力が現れたものなので、それらを批判されたときに深く傷つくことは当然なのではないか？と思う。まあただ、批判されるってことはそれなりに有名になったってことだから、それはそれで一つ喜ばしいことではあるよな

人づきあいが苦手（ここでいう苦手とはASD的特徴を持つという意味）な後輩が「○○先輩に作業を手伝ってもらいました、朝八時から」というから「そういうときはその先輩に何か買ってもっていくと喜んでくれるよ」とレクチャーしたのだけど、○○先輩にだけもっていってほかの先輩などには何も持って行かないので、彼らは一般化が苦手なのかもなあ、と思う。そういえば失敗を何度も繰り返す特徴があったけど、あれも一般化が苦手ゆえのものなのだろうか。

聞けば聞くほど聞くわこの曲

理系大学生から若手考古学者へのイメチェンを果たした

菓子パンで朝食を済ませることの健康への悪影響とか、安物を買うとかえって損をするという経験則を経験によってしか知れない、あるいは経験したのに言語化できなくてそのまま、という側面が貧乏人にはあり、それこそが本当の貧しさという気もする

4年前を思い出してあの頃はガキだったって思うみたいなのをもう数十回やってる気がする

育児が投資の一種であることには論理的に一定、同意するけど、それを公言してはばからない人とは距離を取りたい。「育児とはコスパの悪い投資だ」とか言い出す人。それをいうなら生きることだってコスパが悪いんですが…と思ってしまう。

成長したい人間が大多数になり、休みの日にもセミナーに行くのが当たり前になった世界。

絶対主義と相対主義、どちらが正しいのかを考えていた。誰もが同意できる程度に自明な正義があるとすれば絶対主義なんだろうけど、そんなもの自明すぎて議論する価値もない。いっぽうで相対主義だって、人と人との間に異なる正義があるなんてこと、だれが正しさを担保してくれるのかさえわからない。相対主義に似た虚無主義に陥るぐらいなら絶対主義だと思っていたけど、正しさって揺らぎの中にしか存在しないんじゃないか。街角で、クラスで、研究室で、会議で、職場で、国連で、ありとあらゆる人間生活にその揺らぎの「もと」はあって、普段はおとなしいんだけど、何かを決めるときになると大きくなって人間の目に見えるようになる。誰かが誰かの意見で自分の意見を変えたとき、その「もと」が揺らぎになる。この考えは相対主義も絶対主義も包括していることがわかる。正義が揺らぐからこそ、人間は相対主義にだって絶対主義にだってなれる。揺らぎがすごく強烈なら、世界中の人が同じ思想を持つかもしれないし、相対主義になるように揺らぎの波が細かくなることもある。そして一番大事なのは、この考えは虚無主義とは似ても似つかない価値観であるということだ。誰かが誰かの意見を変える、その少なくともどちらかに「自分」が代入されることを知った瞬間、民主主義が始まって、場が揺らいで正義が顔を出す。とてもパワフルなので、今は気に入っている。

人間、性格がよければ顔なんてどうでもいい、という話を聞いたので、性格ステータスを入力してから顔データを読み込んでみた。性格と顔のミスマッチで、不正アクセスとみなされた。

韓国人は反日教育によって洗脳されている、という感じのことを耳にするけど、日本人が反韓教育で洗脳されている、という感じのことは耳にしない。

どんなイケメンも美女も、パンツはく瞬間だけは絶対まぬけな感じになる。ぬぐ瞬間がいかにエロかろうとかっこよかろうと、はく瞬間だけは。

「身銭を切って痛い思いをした場面」というのが、数十年も生きていれば一回や二回はあるもので、それを全人類、ヤバくない順からヤバい順にならべていくと絶対面白い。

他人の言動には一貫性を求めてしまうけど、翻って自分を考えてみると、案外適当に倫理観とか道徳心、正義感が変わってることに気づく。こういうとき、他人にばかり一貫性を求めるのではなく、極力自分の変化にもさとく気づき、言語化できる人でありたい。

もう10年長生きすれば再評価されたんだろうなあ。誰でも発信できる時代の「量産型いかがでしたかブログ」に辟易して、「やっぱきちんと情報整理できる人って必要じゃない？」に至った可能性が。

確かに読解力に難があるケースも多いのかも知れないけど、自分が気になるのは端から読む意志のない人が多いこと。気に入らないモノは最初から証拠として採用しないので、簡単に他人を存在ごと否定できる。

人間のオス、大切なところが外付けハードなの設計ミス感すごいよね

今言われてる「オタク」と「オタクと勝手に呼ばれた我々」は実は全然別の人種の話してる気がする。その代わり生まれたのが「キモオタ」「陰キャ」なので、「オタクが漂白された」という指摘にはあんまり違和感はない。

男性が男性に弱みを見せて、茶化しなしにケアしてもらうのはかなり難しい。たんに本人のプライドの問題とかではなく、男の文化のケアの項目にはどうも、一緒に騒ぐとか上手いこと言って茶化し笑い飛ばすみたいな対処療法系しか記載されていない感がある。ぼくはかなり意識的に心理療法などからケアの技法を勉強しないと無理と思って勉強し続けていて、そこそこ効力を感じる。男の友人達がちょっと元気になったりするのをみると安心する。けど自分は特例で、男性一般はケアの技法を高めるモチベーションをあんま見出さなさそうで、何か要因がありそうな感じ。実際、男性の弱みの見せられなさから生まれるセルフネグレクトはある種の性的魅力につながっているようにも見えるし、弱みを選択的に見せることで距離感を作っていたりもする。「弱みを見せられるようになりましょう」ではいいアドバイスにはならない。

「その問題を一人で解決する能力はお前にはない」と、これを他人に言われて安心や安堵が先にくるかカチンとくるのが先にくるかじゃないかな。「君もそう思うよね？安心した」って即座に思える場合には適切なケアだけど、たぶん多くの男性は「なんだと？見くびるなよ」ってなると思う。

なにかとバカにされがちな、女性同士に多いとされる「共感の為の会話」「目的のない話を聞いてもらうこと」がメンタルヘルスには結構必要なんだよね。鬱病が男性に多く出がちなのもそういうとこは関係してそうだと思う。福祉や心理療法分野でも、会話の上での「傾聴」は真っ先に出てくるし

フェミ様のいう、男もジェンダーロールから降りていいっていうのは、お前は逆立ちしても恋愛対象にならんから好きにしていいよって意味なので、それを真に受けても男が甘えるな泣き言言うなの呪縛から逃れられる訳ではないもんな

野球選手、アナウンサーと結婚してたりするけど、雑誌とかのインタビューで「夜の野球もどうですか」「夜のバッターボックスは好調ですか」「夜の放送席はいかがですか」って言われるジョークに辟易してたりするのかな、一般人に言わないだけで。

親からの愛情って、自分に盛られたトンカツが一切れだけ多いとか、ゲームの主人公に自分の名前がついてるとか、そういう何気ない瞬間に感じられるものの集まりなのかなと思う だとするとそういう経験がいっさいないのはけっこうきつかろう

子どもの幸せを願って性教育とかしちゃだめ。子どもをうませたいのならパコパコやってポコポコ産ませたほうがいい。責任をもてるようになって生みましょう、よい家族計画を！なんて言ったらだめだし、むしろおめでたいのだから祝おう。と、そう聞いて何も反感を覚えなかった人はほとんどいないのだろうけど、反感を覚えたことが、あなたが反出生主義の芽生えを抱えていることを表していると思う。

退職する社員から「社内サーベイは上司から何か言われるのが面倒なので常に最高点を機械的につけていた。辞めることを考え始めてからずっとそうしてきた」と言われ、それを伝え聞いたサーベイ担当者が押し黙ったまま改善策が出てこないMTGで午前が終わりそう。これが「サーベイの結果からエンゲージメントは下がっていないのに退職するのは何故か問題」の１つの回答なんだけど、担当者からするとなかなか受け入れ難いようだ。でもこういうことをするのが生身の人間だと思うんだよね。

「言ってほしいことを言ってくれる」よりも「言わないでほしいことを言わないでいてくれる」の方が親しい人間関係を築くうえで大切なことだと思っている

小学校で哲学の授業をした際に痛感したのは、小学生に下手に議論をさせたところで、手持ちの少ない洋服でいかにオシャレするかを競うようなものにしかならないということ。行きつく先はいかにも社会適応的で常識的な議論だ。こういう議論の練習をしたところで早期の「つまらない大人化」を進めるだけだ。だから、こういう場に唯一必要なのは、醜態をさらす大人だろう。社会適応的にふるまう大人のチェックが入る場所での子供の議論なんて、規範性を植え付けることでしかない。授業を行ったのは一般の公立校ではなく、難関校の６年生。大人の意図に適応することに長けている子が多いと感じた。実験的で目新しい授業に積極的な学校だが、子どもたちがそこで身につけているのは、自由闊達さとは無縁な、より高度な規範性だと感じた。

通っていた学校には、”非道徳的”な主張で生徒を挑発する国語教師が複数いて、今思えばあれは教育の一貫だったのだろうなという気がしてきた。よく思い返すと非道徳的ではあるけど決して差別的な内容はなかった。

知識より本音を言える環境が必要かもね。昔国連かユネスコで子ども国際討論会をしたら、その国の大人が答えて欲しい回答ばかりになって、日本の子どもが一番子供っぽい率直な意見だったと聞いたけど、今はどうかな。

自分を思い出してみると、顔色を伺うとすら思っていなくて、成人から積極的に真似て学習してるつもりだし、正解を覚えたのが誇らしくすらあったかも。正解は称賛を、逸脱や不正解には叱られを期待する世界の狭さ。

反マスコミの人達も、その批判はテレビや新聞から転載された「ニュースまとめアフィBLOG」に依存しているのに、転載元の存続すら否定する人ってメクラになりたいのか？時事ネタから遠ざかって仙人のように暮らせよ

「縁遠くならなさそうだから」という理由で、結婚できないような友人たちと仲良くし続けてる人がいたら嫌だな。

だいたい今の世界の資本主義社会だと、ある人はその職業である前にただの人なので、天皇や皇帝をのぞけば、だいたい普通のおっちゃんかおばちゃんである。ただ、徴税するのが仕事だったり、暗殺するのが仕事だったり、戦うのが仕事だったりするだけで。

アラブ諸国のように家族や部族以外の他人を信用できない社会になると回り回って自分を含む全員が損するのだけど、一旦そうなってしまったら個人レベルではもうどうしようもない。まだ日本で人を信用する余地があるとしたらそれは死守しなくてはいけない。ロシア人と話していても低信用社会の弊害を感じた。何故できる限りの作業をDIYで済ませるのかと聞くと「業者は信用できない。仕事をおざなりにして追加費用をせしめようとする」と返ってきて、人類社会は分業による効率化で発展したのではなかったか…と暗澹たる思いを抱いた。倉本圭造さん辺りがよく言ってる、日本社会は「アップデート」されずにきたからこそ他の先進国が経験している混乱をある程度免れているという言説、変化が早すぎる・激しすぎるなら判断を留保するのも一つの判断でありなんだろうなと。たとえそれが単にグダグダで判断を下し損ねた結果だったとしても。

タワマン高級車で内偵の結果500万ってどういうことかと思ってたら、他にいろいろあくどいことしててしょっぴけそうなのでとりあえず捕まえたってことなのね。ザルい補助金作ると詐欺師を捕まえやすくなるという知見

先輩から「なんで俺が怒ってるか、わかるか？」って言われて、震えながら「先輩がどうして怒ってるのかを、僕が分かってないからだと思います」って返事したら、先輩がすこしバグったことはある。

もともと、更新を停止する２年位前からブログという属人的なものの衰退はあったのですが、それがある一定のラインを超えた感じ。記事は単体での成立を求められ、（いままでのあらすじ）を誰も読まなくなった。そうなると記事が全部初心者向けになり、議論、思考を深める、ということがブログ、サイトでしにくくなった。

風刺ネタをしていたのですけれども、風刺というのは、実際に火を使った火災訓練みたいなもので、これこれこういうことがあるとこういう悲惨なことになりますよ、というのを笑いを交えてするものなんですけれども、公文書の改ざんとか、あからさまな利益誘導とか、不正な会計とか、それを恥じない政府とか、実際に火事が起こってる状態になってしまって。そんな家がボウボウと燃えている隣で、火災訓練をやっても何の意味もないので、やめました。

老化で思考が弱ったり子育てや仕事で忙殺されると過去の貯金でしか物を考えられなくなり表層しかなぞれなくなった新しいスタイル全てが陳腐で悪辣なものに見えてきてしまうので気を付けないと老害一直線

知的欲求があって、こじらせた人たちにとってのセーフティーネットがサブカル雑誌文化だった。インターネットが雑誌の代わりになるかと期待してたけど、結局残されたのは炎上と政治とYouTubeだけだっ

ブクマが１０００単位、イイねが１万単位ついてる記事の少なくない話が（もしかしたらほとんどの話が）人とうまくやる万能の方法論でこんなにうまくいったという話や、とても有能な上司とその上司が採用している方法論の話、優秀な保母さんの奇跡のような育児術、電車の中で出会った親切なおばあさんの話、顔はブサイクだけれどもＮｏ１になったホステスの話、偏差値３０からの大学受験、秒速で１億稼ぐ話、虐めも解決する鏡の法則、とても優秀なコンビニバイトの女の子は一体何を見ているのか、仕事は人並みだけれどもとても人に教えるのがうまい派遣社員の話、何も仕事をしてないのにそこにいるだけで現場がうまくまわるパートのおばちゃんの話。そして、どれも、ほんの小さな“気づき”で、それを手に入れられるようなことがかいてある。素敵だ。ここに書いてあるようなことをやってみれば、自分も明日からかわれるかもしれない。そんな気持ちになる。でも、そんなわけはない。結局、そういう技術は、ほとんどが属人的だったり、または誰でも出来るけれどもよほどの修練が必要だったり、実際、技術系の技能よりもメンタル系の技能の方が習得するのは難しいのを、さも【簡単なように書いてある。フィジカルの技能は、人間の身体が大体同じような形をしているから、超スゴイレベルの技能でなければ、大体習得が可能だ。僕ぐらいの絵だと、普通の人でも１年目的を持って絵を描いていれば余裕で追い抜けるレベルだろう。でもメンタルのほうはそうはいかない。人間の精神のかたちは、それぞれ違っていて、人によって気付けることと気付けない、それ以前に、見えていない、ということが多い。人の表情の喜怒哀楽緊張弛緩を正確に測れない人間だってたくさんいる。僕だってそうだ。でも、たぶん、大なり小なり、そういう差異はある。それは肉体的な振れ幅よりも大きくて、目に見えなくて、目に見えないから、直すのも難しい。

誰だって、どうにもならないものをどうにかしたいし、どうにかなるものならなんだってすがりたい。上の記事群はそういう気持ちにうまくひっついて、みんなからの共感を得てる。でも、その記事は、なんの役にも立たないよ。どうにかなるんだったら、もうどうにかなってるし、今まで色々な手段を使ってどうにもならないから、こんなんなっちゃてるわけで。正直、奇跡のような実話とハウトゥの話は、オカルトだと思う。魔法の鋏。なんでもうまく切り分けることの出来る魔法の鋏。でも、魔法の鋏なんてどこにもなくって、だから、切り取りたいものを切り取るためには、それに合った鋏をその都度探してこないといけない。似たような鋏をたくさん探してきて、試して、駄目だったら別の鋏を探して。あるときには、鋏から自分で作らないとならないといけない事もあるだろう。魔法の鋏は、本当は、なんでも切れる鋏じゃなくて、切れたように見せる鋏だ。もし、その方法でうまくいっても、その、うまくいっている状況を作り出している他の要素は一つも変わっていないから、結局すぐに戻ってしまうだろう。

問題なのは、魔法の鋏の属人性を疑わない人間が、他人に魔法の鋏を使うよう強制して、うまくいかないとき、「お前はおかしい、こんなにいい鋏を使っているのに」と批判し始めるような事態かな。死んでくれと思う。「要は気持ちの問題」という発想が正しいとしても、気持ちを制御して問題を解決するためには結局その道のタツジン並みの修練や正しい方法論、資本が必要になってくる。対人問題における解決の手法で「属人性」が強いものは汎用性が無い、という当り前の事実。わかるわー。客商売だと、店員の性別や年齢や容姿とかで、露骨に態度を変える客とか居るからさ

冗談のようですが、朝のランニングを継続するコツはとにかく毎日走る事です。部活の朝練を思い出せば分かるはず。怠くてもいざ練習が始まると、やる気が後から出てくる

「自分は騙されないと言う人ほど騙される」ってのは当たり前で、「自分は騙されるだろう」なんて人この世にそうそういないでしょ。

独り言を言う人が何よりも「怖い」ので、アニメのキャラクターの独り言は全部「この人…怖い…」に置換される

当時大して話題にならなかった人や物を思い入れのある（あるいはボーカルが急逝したことによりにわかにそんな気がしている）人達が無理矢理にでも歴史を変えた曲のようにしようとしてるムーブが不誠実で不愉快なのは言うまでもないが、なにより嫌なのはこの曲にはれっきとした「嘘」があることである。創作における「嘘」とは本音かどうかなどというくだらない話ではない。もっとシンプルに、「若者は夏の終わりに花火を見て例年と比べてセンチメンタルな気分になったりしない」ということだ。若者というのは人生のうちで最も季節を意識しない時期である。まして最後の花火に今年もなったな…等と例年と比べて耽ったりはしない。理由は簡単で過去の経験と現在を並べて感慨に耽るほどの人生経験のストックがないからである。

若者が夏が終わるだの冬が来るだのと言っていたら心配になる。多感で悩みの多い時期に季節や風景なんて二の次三の次の事柄を毎年比べられるほど意識するほど暇なのか。この曲は若者のすべてではなく、むしろおじさんが青春時代を懐古するノスタルジーの曲である。そして、私はそうした曲に魅力を感じない。才能というのはひときわ、現在を書く力のことだ。なぜなら現在こそがもっとも掴みづらく描くのに好奇心と知力を要する時空だからである。過去というのは上手い下手はあれど誰でも書けるのだ。特に現在を書いて未来まで橋を渡せるのはひと握りの人間しかいない。

フジファブリックは有名な曲数曲しか知らないしかないが、この曲と茜色の夕日からは「想像上の」過去の美しさにこだわりすぎてる人間の停滞しか伝わってこない。そして私の記憶にある限り、少なくともティーンエイジャーの頃の私にとって「半想像上の過去にばかり想いを馳せている大人（そんな子供はいないので、「大人」）」というのは、言葉を選ばずに言えば軽蔑の対象であった。一言で言ってかっこ悪い。この間Twitterでこの曲について「夏は大人が子供になり子供が大人になる」などというもっともらしい感想ツイートがバズっていて腹が立った。よく思い出せ、夏だからと言って子供っぽくなった大人や大人っぽくなった子供が本当に身近にいたか？曲もそれへのコメントも、単なるポエミーなイメージの羅列でしかなく、そこにリアルな真実がないのが苛立たしかった。

言っても良いし言わなくても良い。発達障害だけど、障害者雇用やら障害者福祉にはハマらなくてクズだらけ（おそらく病識ない発達障害の方達）の場所にクローズで居るのが一番しっくりくる。属性なんかどこにも無い。

フリーザやクラピカの性別はノンバイナリー的に扱っているが、英語だと「he」か「she」を選ばなければならないという言語的な問題がある。外国語は日本の漫画アニメの面白さが半減するという考察からの方が色々見える

太古の昔からあるガチ勢とエンジョイ勢の方向性の違い。ROのギルド戦に対する方針の違いで解散に至った話は古代エジプトの壁画に描かれるほど有名

ある程度、文字は多ければ多いほど良い。100文字以下で人間はコミュニケーションができないのに、その成約を課して会話するインターネットになって崩壊した

陰謀論にはまる人はまともな新書2、3冊読んで、研究者がいかに努力して調査研究してるかを知って欲しいし、YouTubeに真実はほとんどないことを悟ってほしい。それやりたくないから陰謀論なんだろうけど

専門家をラッキーパンチで倒して承認されたいという欲望がまずあって、それを「面白くない正しい知識」で抑える事は出来ないんだよね。謙虚さや誠実さの欠如という人格の悪さは勉強で改善される物ではない

オタクは曲をほめるときにやたらと「この歌は音楽の教科書に載るべき」というが、そんなに載せてほしいならオタクだけで音楽の教科書を作って教科書検定に受かってほしい。よみにいくから

ブログよりも手軽に簡単に人と仲良く絡めるツイッターなどのSNSが普及したことで、みんなブログをあまり書かなくなってしまったのだろう。長文を書くのなんてめんどくさいもん。長文を書くというのは一種の特殊技能なので、ツイッターやインスタやYouTubeやTiktokとかに行く人が多いんだろう。今だとネット上で仲良くしてる様をわざわざ「クネクネ」とか言って揶揄するほうが違和感がある。だって、今のネットというのはそのためにあるツールだから。馴れ合いではなく硬派にガチの記事を書き続けるのがネットの本道、という空気があった昔のほうが、今となっては不思議な気がする。そんな令和の世の中です。

昔はWeb2.0（って10年ぶりくらいに言った）とかいう言葉が流行っていて、「ネットにいろんなものをアップロードしまくれば世界は良くなる」というぼんやりとした雰囲気のもとに、みんながいろんな情報をむやみにネット上に公開しまくっていた。ブログを書いてトラックバック（これも10年ぶりくらいに言った）を送りまくってネット上に知の議論空間を作り上げよう、とかそういうのがあった。あの頃はブログを書けば世界が無限に広がっていくような気分があった。しかしネットがどんどん多くの人に普及するとともに、ネットに何でもフルオープンすることの闇の面もたくさん現れてきて、そんなにネットって理想郷じゃないことがわかってきて、そういう楽天的な雰囲気は消えてしまった。

寝て、起きて、飯を食う、という意味での「生きる」ことは、書かなくても出来るし、文字だけでなく身体に付随する文化も沢山あって、生き方がそうなる事もあるんだなって思ったところだった

「人それぞれでいいじゃん、他人がやってることに文句言わないの」というスタンスの人、つつましくはあって好感がもてるんだけど、目の下にくまを作りながらサービス残業してる友人とかにどうやって声かけるんだろうか、とは思う。あと、他人がやってることに文句を言うような人とはどう接するんだろうか。一言で言うとシニシズムで、2chの特性としてずっと指摘されていたし、それが一周回って今のネットの膠着状態を解いてくれるという話だと思うが、2chを経由した一世代前の人間から見ると偽りの希望に過ぎないよ。２ちゃんねる創設者のひろゆき（敬称略）がインフルエンサー２位になり、政府に助言したと話題になっている。賠償金云々の問題は脇に置いておくとして、なぜ彼があそこまでウケているのだろうか。

個人的に、ひろゆきは反インターネット論者だと思っている。ひろゆきほどに日本のインターネットを代表する人間はあまりいなく、彼をネット論客として見る向きもあるけれど、むしろ逆なのではないだろうか。近年、ネット上ではエコーチェンバー（先鋭化）現象が事を欠かず、政治的な議論においては党派性に埋没したものを多く見かけるようになった。ツイッターをはじめとしたネット空間でのそれは多くの人から見ると「近づきたくないもの」に成り果ててしまったのだろう。下手なことを書けば立花や福永や「は」の人に訴えられてめんどくさいことになる。君子危うきに近寄らずではないが、政治や議論が党派性に吸収されるとNoと言うことすらできなくなり、しまいにはどんな批判も誹謗中傷扱いされ「この指とめよう」キャンペーンのようにリベラル友敵理論の肥やしとなる。

実際問題、今のインターネットで政治的発言をすることは時に極めて危険であり、それこそネット上のプロトコルを事前に知っていなければ返す刀で全身傷だらけになることがほとんどだ。その意味では民主主義的な言論空間自体がすでに破綻しているわけであるが、それを解体してくれるかもしれない人物がひろゆきなのかもしれない。そのような希望的観測を持つことがある。ひろゆきの言うことはほとんどが意趣返しというかカウンターであり、なにか意味のある発言をすることはほとんどない。発言に意味を持たせることを意図的に避けているようにも見える。いずれにしろ彼の議論のやりかたは、すでに多くの人が指摘しているように、質問をぶつけその発言の穴をついていく論法である。相手の意見を議論の俎上に載せ続け、自らは意味のある発言をしない。ゆえに無敵の論客としてありつづけられる。このひろゆきのやり方が上述したようなインターネット空間へのカウンターとして支持されている。単に痛快なのだろう。実際にフェミニズムやネトウヨを相手取り、批判を展開しているが、そうした発言を市民レベルですることはもうできなくなっている。ゆえにひろゆきが必要とされている。政治的な言論空間それ自体に反発を持っている人はとても多いけれど、自らが発言することは費用対効果がとても低い。実際に訴訟に発展するケースもあるし、仮に自分の意見が相手に届いたとして「だからなんだ」という問題もある。インターネット上でちゃんと議論が成立して「いたとしても」、それがどうしたのかと思わないでもない。ネット上で議論されるようなどっちつかずな政策を議論したとて、エンタメ以上のものにはならない。

現実に反映されるのは「保育園落ちた日本死ね」「女性の人権」「ＬＧＢＴ」「嫌煙」などバーンと言ってしまえる議論以前のものだけで、議論になるような賛否両論の問題は政府の委員会で決定される。その意味で、インターネット上で議論することが実効的にはほとんど無意味であるし、仮に議論が成り立っていたとしてもいまや数を持ったインフルエンサーの肥やしになるだけである。左を批判すればネトウヨ扱いされ、右を批判すればパヨクと呼ばれる。旧はてな村のような隔離された空間で議論そのものをやりたい人だけでやるのであれば良いが、Hagexさんの件でそれも不可能になった。空間として閉じられているからこそ発言が開かれる。端的に言えばインターネットは開きすぎた。ツイッターがその代表であり、開かれた空間においては数を持っている人間がポジショントークを繰り返すようになり、彼らの指先三寸でフォロワーが同調するだけなので議論のていをなさない。批判が批判として成立するようなある種のコードを共有している空間の大切さを最近はとみに感じるのだ。

党派性に縛られた勢力、既得権益によって旧態依然とした政治（ハンコ議連等）は間違っている。それでも自分で批判するのは訴訟リスクを抱えるだけだし、クソリプ扱いされるだけなので意味がない。なのでみなが黙っている。しかし、黙れば黙るほどに政権内部もそれを批判する勢力もエコーチェンバー化していき、ポリコレやフェイクニュースなどの問題が現実に侵食し、ついには顕在化してくる。最近もYoutubeを見た母がネトウヨになったという記事があったけれど、ああいうのを放置しておくと近しい人が深淵に飲み込まれる、抜き差しならない社会で生きるはめになる。実際にそれはすでに起きていることなのだ。

それを破壊してくれる可能性を持つ人物がひろゆきなのかもしれない。ひろゆきの質問攻めによって象牙の塔が崩壊する様を僕たちは見たいのである。ようするにひろゆきは代弁者なのであろう。その点においてひろゆきが賠償金を支払っていなかろうが関係がない。むしろそういうコレクトネスから離れたところにいる証左としては賠償金未払いはキャラ付けとしては都合が良いくらいであろう。もちろん厳密にいえばひろゆきの言うことをそのまま受け取ることは歓迎すべき態度ではないし、ひろゆきが間違っていることも多々あるであろう。それでもなおひろゆきのスタイルは市民オンブズマン的な形をとる限りにおいてのみ、とても痛快なのである。

炎上クリエイターやネットニュースの件に関してはクリエイトしてもしなくてもたいして変わらないんじゃないかな。もともとネットで出回ってる情報の９割（特に政治的なことに関して）は影響力のある人から発信されるもので、市民はそこに賛意を示すだけになっていて、その情報がどこからきたものなのかは、はっきり言ってしまえばどうでもいいんですよね。炎上目的のニュースにしろインフルエンサーの発言にしろたいして違いはない。キノコの山とタケノコの山程度の違いでしかないわけで。市民の声を拡散してインターネットが民主主義をアップデートすると言われてからもう10年以上経つのかな。実際はメディアやインフルエンサーの釣り針に引っ掛けられて大漁のPVを集めるだけの「数字」＝「いいねを押す機械」と化しているのが僕達であり、そしてその数字を集めるのに躍起になっているのがインフルエンサーが支配するいまのインターネットとなっている。僕達はそれに釣られてキノコの山とタケノコの山のどちらが美味しいかなんてことをいつまでもやってて、ようするにすべてが虚無なんだよね。いまさらすぎる話で、たぶん3年前ぐらいにも同じようなことを書いたと思う。すべてが数字に収斂していくのは昔から変わらなくて、昔で言えばアフィリエイトサイトのSEOやコピーライティングにアルファブロガー、アルファツイッタラーが今のYoutuberやインフルエンサーに変化しただけで、ネットの構造そのものは変わってない。つまるところ提供されたプラットフォームにいかに戦略的に適応するかのゲームをネット民は一生やらされていて、それが政治的議論をも飲み込んでしまったのが今起きていることなのでしょう。

なので何をいまさらという感が強い。古来からしてネットは数字に支配されていて、たとえば自分のブログみたいな「市民の声」が政治的影響力を持つことは永久にない。そのようなインターネットは昔から変わらない。インターネットは市民が声を上げる権利は保障されていても、それが影響力を持つかと言われたら昔からなかった。数字および数字を持つ人間の指先三寸ですべてが先導されていくインターネットが市民の声を拾うことは事実として無いのである。このへんの虚無感みたいなものがネットの表には表れてこないんですよね。理由は明白で、数字を持っているインフルエンサーにとって見れば今のような状態のほうがむしろ好都合ですらあるのでネットそのものを批判しようとはしない。それは炎上クリエイターであるメディアも同じで、見せかけの道徳に発火するだけの市民は数字として計算しやすいので資本的に望ましいのである。だから誰も虚無だとは言わない。しかし僕みたいな泡沫ブロガーから見える景色はだいぶ違う。インターネットは政治的な意味で言えば昔から虚無そのものである。このへんの認識はいわゆる議論めいたことを書いているブロガーが共通して感じるものなんじゃないかな。穏当な記事を書いても読まれることはほとんどなくて、ちょっと違うことを書くと炎上してPVが伸びる。それに味をしめたブロガーが誤って炎上記事ばかり書いてしまうようになることもある。

つまり炎上させなければ読まれず、炎上させなければ市民の声としての機能を果たさない以上、炎上させるのが戦略的に正しいとなっている。そうでなければ個人の意見になど誰も興味がないわけで、ようするに炎上させなければ虚無で、炎上させても虚無なんので市民レベルで言えば政治的議論におけるインターネットはどちらにしろ虚無に着地する。もちろんブロガーと言っても意見を書いている人は限られているので、日常を綴っているブロガーはその限りではないけれど、意見や議論といった事に関して言えばもはや虚無に飲み込まれるしかない。そして意見や議論が虚無である以上、市民がそれを行う「メリット」がないので無党派層が多くなり、意見や議論の結果としての政治も虚無に飲み込まれていく。そしてその無党派層の数を論拠にして数をあつめるインフルエンサーが「なぜ市民は投票に行かないのか、このままでは自民党の一党支配ではないか」と批判するのをここ１０年以上やっているのがネット上の政治的議論となっている。

つまりネットで政治に関して議論するというのは市民レベルで見た時には、もう数字をいじくりまわして党派性に酔う気持ちよさを追求するだけの遊びでしかなくなっている。影響力を持っている人はそれがわかっていないのだと思う。なぜ僕達が政治をやらないのか、議論をしないのか、なぜ無党派層が多いのかを説明すると議論をしてもメディアやインフルエンサーが行使する数字に圧されて実効的な意味を持たないほどにネットが開かれてしまった以上、議論をすることや投票することの価値が喪失していて考えることすら「馬鹿馬鹿しい」からである。よく無党派層のことを平和ボケという誤った認識をしている人がいるけれどそうではない。民主主義下における自らの票の価値がネットの動員という数と比較して価値がなくなっているので、単に政治が馬鹿馬鹿しくなっているだけである。しかしこういうのも数を持っている人から見れば好都合な話になる。いいねを押さない人間を必要としないインターネットが虚無だと考え、議論から退出していく市民が増えれば増えるほど党派性に縛られた勢力及びそれを先導するインフルエンサーの影響力が強くなる。

ネット全体が残念になっているのはその通りだと思うし、以前よりもなんていうか即物的になっている気がする。バズるっていう言葉自体が瞬間的なものだけど、バズに最適化すれば瞬間的に読まれ、瞬間的に消費できて、瞬間的に反論できるものが表に出てきやすいのは当然の現象ではないだろうか。ツイッターが言論界隈において覇権をとったのももはや文章はバズらないからだとしか言いようがないと思っている。仮に読まれるにしてもメディア上で採用されている著者の文章か、もしくは識者やインフルエンサーとして知られている人の文章に限定されていて文章を読む人間自体がもはやほとんど残っていないのではないだろうか。まとめサイトが出てきた時にも思ったけれどもはやまともに文章を書くだけの動機を持てるだけの土壌がネットにはない。コピペや炎上記事にはPVで勝てない上に検索エンジンではリライトしているサイトには勝てない。こんな馬鹿馬鹿しいことはない。もはや勝負にすらなっていないのだから誰が文章なんか書くのかと思わないでもない。そうなれば残るのは炎上記事およびまとめサイトとツイッターなどのコメントだけになる。一方でまだ普通に自らが自らのために日記を書いている人はたくさんいてはてなブログに限っても相当な数がいるけれどそれらは表に出てこなくなってしまった。はてなブックマークに発見されるのは炎上記事だけではてブがそういう機能を持っていることは確かだと思う。普通に書いた記事はブックマークされない。

短文で何かをバーンと言うほうがウケるしバズる。しかしそういう短文文化に最適化しようとすればするほど実際の議論からは遠ざかることになり、傍から見るとものすごく無意味に見える。それが増田の言うところの残念だという感覚に近いのだと思う。結局のところ古き良きネットみたいなものが仮にあったのだとすればそれは駆逐されたのだよ。数に。コピペで記事を量産するまとめサイトが出てくれば真面目に文章を書いている人の記事が読まれる率は低くなるしインフルエンサーがトップダウン式に影響力を発揮すれば普通の人の普通の感覚は埋もれることになる。インフルエンサーは人々に影響するのが仕事だからそのインフルエンサーに興味がない人からすればそのような影響は決して心地よいものではないしむしろ残念なものに見えるはずだ。そうやって数の論理が支配的になれば資本主義とネットが同化し、普通のネットみたいなものはもうかなり昔からなくなってしまっている。特にツイッターやYoutube、Googleなどのメインのプラットフォームはもう数に固着してしまっているし検索エンジンは汚染されているのでネットサーフィンして面白いサイトを探すのも難しい。つまるところ数が支配的になれば様々な問題が出てくる。増田の言うイきりオタクとフェミニズムもそうだと思うけれど今のネトフェミの特徴は明日からでもフェミニストになれるところにある。ものすごくわかりやすい政治的主張なのでわかりやすさゆえに拡散されやすい。そして拡散されやすいから数を至上とする今のネットでは力を持つようになる。おそらく以前のネットだとそんな安直なフェミニズムはすぐさま唾棄されたはずである。わかりやすさが政治的決定権を持つ。それが今日のネット上における政治的主張の大勢でそれはネトウヨもリベラルも変わらない。それを称してポリコレや反知性主義と呼んでいたりもするがネットにおける数の論理が変わらない限りこの手の問題がなくなることはないと思っている。現実が資本主義だからネットも資本主義になったという当たり前といえば当たり前の話でしかないのだけど、最も問題だと思うのはメインプラットフォームがほとんど外資なんだよね。その残念さとひきかえに巡っているお金がせめて国内経済を潤すならともかく・・・

現代の情報社会って、情報の値段は無料に近いぐらいまで安くなって手に入りやすくなったけど、その分、ノイズが増えまくって、精度が高い正しい情報に関しては結局お金を出して手に入れないといけない状況になってるんだなーと思う。だから最近、図書館の使い方とか論文の読み書きについて興味が高いのだけど、ネットの浅い所に流れている情報は広告まみれだったり、どこかのイデオロギーがまじり込んで自分の勢力に引き込もうとする話ばかりだったりする。

「自分のセクシュアリティを公表した後って、当然のようにセクシュアリティに関して聞かれるわけですよ。作った歌の背景を話すのは全然構わないんですけど、登場から人の容姿を評価するような発言とか『私の友達にもあなたみたいな人いるから大丈夫』と言われることもあって。何が大丈夫なのかわからないですし、大丈夫ではない前提があるんだなと感じました。バラエティ番組では『私、ニューハーフみたいって言われるんですよー』とか、直接『男女』みたいなことで笑いをとられることもあって。セクシュアリティを公表すると、なぜか『なんでも言っていい』になっていったんですよね。人が傷つくかどうかとか、何の疑問もなくデリカシーのない質問やコメントをされる。そこが“うまみ”と思われているんだな、と。でも、自分で公表したことだし、いちいち傷ついてる自分の方がおかしいのかな？って。自分が甘いんだって思い込んでいて、地獄のような日々でした。

千羽鶴を折る作業には、「自分は何もできないけれど、でも何かしたい」というフラストレーションを紛らせる効果もあるので、「折った千羽鶴は自分の部屋に飾る」という文化をつくったらいいのではなかろうか

会社員時代に「いや、すいません...妻が激怒するので...」「うちも妻が怖くて...離婚寸前で」などとみんな怖い奥さんを理由に上司の誘いを断りまくるけど、実際は誰一人鬼嫁なんか存在せず、実は全員優しい奥さんだった、って部署あったな。奥さんは奥さんで外でめんどくさい事は「主人に聞いてみないと、、、」って言うて便利に断ってるけど、実際は誰一人奥さんの決めた事を無下にする旦那なんか存在せず、愛妻家の旦那だけやったりするからな。

俺は海沿いの街で暮らしていて、二日に一度くらいの割合で仕事が終わってから浜辺に焚き火台を出して一人で何時間も火を焚いているという、あんまり頭の良くない趣味を持っている。職場から家に帰ってきて焚き火台と薪を持って浜まで行くと、始められるのがおおよそ19時過ぎで、何回もやっているくせに木が炭になる時間の感覚がいまいちつかめないのもあって、「俺はいま焚き火をやってるな」と実感できる数の薪を燃やしていると綺麗に燃え尽きるのが21時半ぐらい、それからようやく夕飯を食べ始めるのでやっぱり馬鹿なんだと思う。季節で日が落ちるのが遅いけれども、灯りのあまりない海岸なので、20時を過ぎるとかなり暗くなる。自動車が道路を行き交う音と海鳴りが聴こえる闇の中にいるのは俺だけ…では意外となくて、砂浜に降りてくる道のコンクリートで舗装された突端に、よく誰かが二人で座っていたりする。それは必ずしも決まった人たちではなく、異性のペアだったり同性だったりする。恋人だったり友人だったり、他人があれこれ言う組み合わせではなかったり、色々あるのだろうと俺は思う。

ところで、2時間以上も一人で焚き火の薪をつつき回している俺が言うのもなんだが、夜間、硬いコンクリートに座りながら暗い海を二人でずっと眺めているというのは、不思議な時間の使い方に思える。別に聞き耳を立てているわけではないから、本当の雰囲気などわからないのだが、楽しくて仕方がないという具合に談笑している感じでもないのだ。ただ静かに二人で一緒にいるだけ、というように見える。ハタから見ていて、俺はいつも、まるで奇跡みたいな関係性だな、と考えてしまう。彼女・彼らは毎回同じ二人組ではないので、その組み合わせが意味するところも当然いつも異なるわけだが、ああやってただ二人で海を眺めていられる関係性がこの世で成立しうるんだな、と驚いてしまう。

俺には、こういう時間の過ごし方を共有できる誰かがいるなんて信じられない…のは半分本当、半分嘘で、学生の頃に好きな女子とデートしてるときとかは、緊張でろくに話ができなくても、2時間3時間があっという間に吹っ飛んでたな、とも思う（相手の方がどう感じていたかはわからないが）。アインシュタインが相対性理論のたとえ話で語った（とされる）ストーブと女の子の例えと一緒だ。よく考えてみたら、一番仲の良い友達とだったら、俺にも海で同じことができる気もする。思い出話と「暗っ」「寒っ」だけで海で2時間つぶせるかもしれない。そうすると、ああいう関係性は俺たちの人生で意外と多く起きているのか。母数の大きな現象を奇跡と表現するのは矛盾しているわけだが、実際に目にする夜間の海に向き合う二人の人間の寒々しさとお互いの信頼感みたいなものの雰囲気は、第三者から見ると、やっぱり奇跡と呼びたくなる非現実感がある。おい、お前らはいま奇跡を起こしてるぜ、と俺は焚き火の世話をしながら思う。俺たちの人生は、上手く何かがかみ合えば、時々ああいうことを起こしうるらしい。

ただ、ああいうことはきっと若いうちだけなんだろうな、という気もする。俺個人で言えば恋愛方向で同じことをやろうとしたら、もう気恥ずかしいわ相手にも迷惑だわでやりようがないし、友達とだっていつか厳しくなるだろう。それが身体的に老いていくせいなのか、精神の方に齢とともにへばりついてくる余分なものがあるせいなのかはわからないが、俺の人生でああいうことができる機会と相手は、減りこそすれど増えることはおそらくないという予感がある。それも含めて奇跡なんだろうと思う。ただ希少というだけではなく、人生のある時期を越えると、もう二度と起きることがないという意味で。だからと言って慌てて友達に「おい、海行かねえか」というわけにもいかないので、まあ昨今の状況が落ち着いてお互いにワクチンの接種が終わったあたりで呑みに行きたいな、といま思った。なにしろ、アルコールありなら2時間どころか時間無制限でしゃべれるのだ。その関係だって、いつまで続くかはわからないが。なお、自治体によって浜や水辺での焚き火はルールが違うので、焚き火台は必須として、細かい決まりはHPなどで確認した方がよいので付記しておく（ただ、そんなことをわざわざ電話で聞いてくるやつとなるとあまりいないらしく、以前あるところに口頭で質問したときは、大層困惑させてしまい恐縮した。まあ責任とか所掌とかいろいろめんどくさいのだと思う…）。

小さく強い金属のことを刃物というわけなので、短く強い言葉も刃物なんだろうなと思っている

「建設的」と「譲歩」と「相手の主張と自分の主張を足して2で割ること」はそれぞれ全然違うと思う

ナチスが良いこともしたかも知れないが許されてはいけない悪いことをした。というのが正確。良いこともしたで止めてしまうと、ナチスを擁護することになってしまう。これをニュートラルな発言とは捉えられない。

ひと昔前のSFだとロボットなら人間と違って永遠に活動できると思い込んでたが、実際には機械は日頃からこまめにメンテしないとすぐ壊れるから人間より寿命短いよな

8歳ぐらいの子が亡くなった海難事故がニュースで報じられてて、自分のおじいちゃんはそれを取り上げて「自分の孫が死んだらオレはもう、きちがいになってしまう」って言ってて、そういうときの「きちがい」は確かに差別用語ではあるし、人前で使うべき単語でないことは百も承知なんだけど、だからこそ孫を失うことの重大さ、重たさ、悲しさがつよく表れているなと感じた。

「絶妙に伝わらない○○」の本質は逆説的には「伝わる」であり、「伝わるか伝わらないかが本当に微妙だけど、ギリ『伝わる』」とか「これは自分以外にはわからないほど些細な違いである」という意味合いがある気がする。

「○○に配慮すると息苦しい世の中になってしまう」という類の意見は、○○に性的マイノリティとか女性を代入すると常套句になるけど、実は「○○に配慮するかどうかを自分が選べる」という立ち位置こそ、○○に対し棚卸ししなければならない特権を持っていることの現れだと思う。たとえば○○に「黒人」を代入して考えると、いかに傲慢なことを言っているのかわかるかもしれない。しかし、差別問題を論じたがるマジョリティの中でも、この棚卸しの観点に気づいている人、気づこうとできる人はそう多くない印象がある。

日常の細かいことをちりとりのように言語化して満足したいという欲求があるけど、その欲求を満たせば満たすほど、繊細なくせに(生来の性根の悪さのせいで)皮肉っぽい感じにならないかが心配ではある

メタ化するのが得意な人間は、演劇的な才能、つまり周りからどう思われているかを考える才能があると思っていて、それにあてはまる私は面接のような「なりきる」役が非常に得意だったりする

メタ化してしまうのはある種、絶対に抜けきらない悪癖であって、何なら「いや、メタ化することにもいいことがあるでしょ」と、メタ化について考えているときにメタ化のことをメタ化してしまうので、なおらない。

「レジで精算した後お札を置きっぱなしにしていたが、店員さんが拾ってくれていた」という類の幸運は、お金の管理に疎い人なら一生気が付くことがない不幸ではあるけど、それって果たして不幸なのだろうか、ということを考えたりした。もちろん、店員さんに教えられて「よかったぁ～」と思うからそこは幸せなんだろうけど、結果として幸せを感じるだけであり、落としてから死ぬまでの間に不幸を回収することはないので、幸せだけが存在するともいえる。

何かの長所と短所について同時に論じる（語る）というような営みは十分にメタ的であると思っているけど、「あなたはメタ的に何かを論じられますか」と聞かれると途端に自信がなくなってくる程度の能力。

「いずれやってくる死のことなどどうでもいい、今日を楽しめればいい」と言ってのけられる「普通の人」が、「よし、死のう」と思って自ら死にゆく人を馬鹿にできるんだろうか。「いずれやってくる宿題の締め切りなど忘れて遊んでしまおう」と宿題を放り投げる小学生がどうなるのか、みんなわかっているはずなのに。死だけはなぜか、「考えないほうが誠実」的な価値観がある気がする。誰もが死ぬ間際にならないと考え出さないし、考えなかったせいで遺産相続などでめちゃくちゃになる家族もいるのに、見ようとはしない。

「チカンをされて喜ぶ人より、嫌がる人のほうが（チカン魔にとって）よい」という話を聞いてドン引きしたけれど、自分もケモノキャラのフィギュアにぶっかけしてる画像を見て（このキャラクターは今、嫌がっているだろうな）みたいなことを考えてちょっと興奮してしまうので、チカン魔のことを馬鹿にできない。

「○○の性癖だけは理解できない」と言い出す人がいるけど（私もです）、大事なのは理解することではなく、放っておいてくれることです。

小学生の集団下校列にトラックが突っ込んだみたいな事故だと、「行政は何か起きてからしか対処しない」というコメントがあったりするけど、「何か起きないとそこが危ないかどうか誰もわからなかった」事例だってあるわけで（少なくとも「ない」とは言えない）そのコメント自体が後出し諸葛孔明的なのでは、とも思う。かといって危険がありそうな部分をすべて対策するお金なんて（市民一般は）負担したくないし、熾烈なジレンマにさらされているのではないだろうか。

いちばん遠くにいるこっち側の人

相手にとって不愉快な事実(息が臭いとか、性格が悪いとか)を「伝えるべきか」「どうやって伝えるか」という二つの心の元栓があって、自称「私思ったことは何でも言うから」系の人は前者の元栓をひねりすぎて制御がきかず、結果的に後者の元栓までガバガバになっているイメージがある。思ったことを何でも言うにしても、その伝え方の正しさは顧みられるべきであって。

「選挙カーがうるさい候補には入れない」というのは、「自分は政策は重視しない」というアピールだし、それがまさに「名前を知ってる人に入れる」という人と紙一重なんだよなぁ

初報見てそれは駄目でしょとは思ったけど、同時に「迂闊さから取り返しのつかない失敗をした」自分を想像できてしまい地獄の気分を味わった。無邪気に石を投げられる人が少し羨ましい

ドジキャラや天然キャラが「○○じゃないですのよ！」って言って一同が「アハハハ！！」って笑って次にうつるシーンあるけど、あれの後ってみんなどれぐらい笑っているもんなんだろうか、誰かが「あ～おかしい…」ってなって、なんとなくその場はおしまいになったりするんだろうか。

昔ロシアにいたとき、日本のドラマを見たり日本人の友達と会話したりするだけで日本語を習得して、めちゃくちゃ日本語が上手に話せるあるアジアの国の女の子がいたんだけど、その子に「日本に行くためにビザを取るから、イセポ、一緒に大使館に行って」って言われて一緒に言ったことがある。「日本語めちゃくちゃうまいんだから、俺が一緒に行く必要はないでしょ」と言ったんだけど、彼女は「難しい日本語を使われるから助けてもらいたいの」と言った。よくわからないけど困っているようだから一緒に行った。日本は、彼女の国から観光ビザで来る若い娘がホステスとして働くようになる事案に手を焼いていたようで、職員からは色々質問された。いつもおしゃべりな彼女はそのときはあまりしゃべらず、代りに僕が受け答えをしていた。

職員がある質問(どんな質問だか忘れたが)をしたとき、彼女が職員に「ちがうよ！そうじゃないよ！わたしは…」と話し出した。日本人のような日本語を話すと普段は思っていた彼女の日本語が、そのときの僕にはアジアの国から来てホステスとして働いている娘の日本語そのものに聞こえたのだ。彼女の日本語は、友達と話す目的のためには完璧だったが、彼女はそのスタイル(レジスター)しか持っていなかったのだ。明らかに大使館員に対して大人が話す話し方ではなかった。彼女もそれが分かっていたから僕を呼んだのだ。こういうときはむしろ発音が下手くそでも、高級な語彙と文法で話した方が信頼される。流暢な発音で、場に相応しくない語彙で、敬語を使わない話し方は、余計に怪しまれる。とにかくあのときは外国語がネイティブ並みにうまいとは一体どういうことなのかと考えさせられた。言語というものの奥深さを痛感した。タイに潜伏していたヤクザのおっちゃんが完全独学でタイ語をマスターしていて、周りの人に「ヤクザみたいなタイ語」って言われてたのを思い出した。言語って深いね。

愛やら好悪やらと関係なく「こいつについておいた方が得だ」ということで成立している人間関係はままある。組織が人に期待できるのはせいぜいそのレベルなのが当たり前。それ以上は洗脳でもしないと達成できない話。

「○○が言ったから正しい」というような信じ込みは危ない、という話をしたら「それは正しいと思うけど、全員がそうなったらヤバい」みたいに言われて、ああそうだな、と思った。ワクチンを接種する人だって「医者が・ニュースが・周りが」いうから正しいぐらいに思って打つのであって、全員が全員「自分の頭で」考え始めたらロクなことにならないのはわかっている。個人としての信条が全体としての最適解にはなりえないのだと思った。

全然意識しないままなんとなく聴き続けていた曲がめちゃくちゃいいとわかったときの「あっ、こんなところに神曲が落ちていたのか…」感すごい

私は食べるのが大好きなので、「食欲はないほどいいし、食べることを死なないためだけに行っている」みたいな思想を理解できなかったけど、三日三晩やってても飽きないような趣味を見つけたとき、自分に食欲があることを本当に恨めしく思ったし、食欲というかお腹の減りが「なければいいのに」と悔やんだので、今はちょっとだけ気持ちが理解できる(彼らが完全栄養食に収斂していくこともわかる)。食べることではない、別のことに熱中できる人生は、それはそれで大変有意義だと思う。

こういうとき、プログラミングが多少できてよかったなあと思うと同時に、できていなかったら全部手作業でやっていたのかなぁ…と、その選択肢の狭さに愕然とする

赤ちゃん連れOKのママズ・クラブ・シアターで乳幼児にまみれながら『おおかみこどもの雨と雪』見てきました。0歳児と5歳児の世話をしながら見たので見落としているところも多々あると思いますが。序盤、妊娠したヒロイン・花が便器を抱えて吐きまくるところで「これは好感が持てる映画だな」と素直に思ったことを記しておきましょう。だいたいフィクションの中のつわりって一回吐いて「…妊娠？」で終わりじゃないですか。実際自分の身につわりが起きて、2ヵ月以上船酔い状態でマーライオンのごとく吐き続けたときは、心底「聞いてない」と思いましたもん。そのほかにも出産直後のベッタベタの髪の表現といい、幼児に本を破られまくるところといい、夜泣きに弱ってうろうろするところといい、育児あるあるの連続。アニメーション映画でここまで乳幼児の育児を執拗に描いた作品があっただろうか。育児の苦労を描いてくれてありがとう！　あとなんか映像がきれいだよね！と、作品自体を褒めることはやぶさかではないのだが…

「作品のハイライト？菅原文太がトラックに乗ってやってくるところかな～」というぬるい感想で逃げるという手もあったのだが…私の黒光りする母性がぬらぬらと屹立して「花が怖い！」と訴えるので、以下ネタバレ込みでこの恐怖がなんなのかということを考えます。

鑑賞中、一番ひっかかりを覚えたのは「自分だったら農業経験もないのにいきなり田舎に引っ越して自給自足で暮らすという危険ルートは選ばないな～。どんな熟練した農婦でも幼児2人を幼稚園にもいれず1人で畑仕事なんて無理だろう。中世ではあるまいし石もて追われるということはないのだから、とりあえず信頼できる周囲に打ち明けたほうが生き残れるのでは？」ということ。医療も受けやすくなるし、貴重なサンプルとして、少なくとも生活は保障されるはず。1人で子供2人抱え込んで予防接種や健診、現代医療を全部拒否するほうがよほどリスキー。しかし、花は「父親の葬式で笑って親戚にどんびかれる子」なのだった。よくよく考えてみたらいくら父親の言いつけだからって、そんな人葬式で見たら怖いですよ。女蛭子さんかな？って思っちゃいますよ。そしておおかみおとこ以外の人間関係が皆無。いくら忙しくてもバイトをかけもちしていれば、そこで人間関係が生まれてもおかしくないのに。

もしかして花は、上記のような合理的な選択肢をそもそももちえない”変わった人”という設定なのかもしれないのだった。そういう視点から、改めて花の本棚リストをネットで確認してみると、ルドルフ・シュタイナー、東條百合子『家庭でできる自然療法』、クーヨンのムック『あかちゃんからの自然療法』 …おお、納得。なにが納得なの？というビギナー（何の？）のために、蛇足ではありますがもう少し説明しますね。

ルドルフ・シュタイナーは、シュタイナー教育という教育思想を生み出した20世紀はじめのオーストリアの神秘思想家。シュタイナー教育は人間を霊的に進化させるという名目上、7歳まで知的なことは一切教えないという方針で、日本でも学校教育に疑問を抱く人に絶大な人気があります。テレビやコンピュータはもちろん、小学校2年生までの識字教育、絵本読み、録音された音楽なども推奨されません。なんでかって？　それらはアーリマンという、人間を物質的なるものに縛り付けて俗物におとしめる物質霊の地上化したものだから。ルシファーが情念を通して人間のアストラル体に働きかけるとエーテル体が欠損し、アーリマンが侵入して病むというしくみです。なんのことだかさっぱりわからない私たちはすでにアーリマンの手に落ちているのでシュタイナー的にやばい。極端な信者になると予防接種も否定したりします。

日本でシュタイナー育児を実践している人はホメオパシーや玄米菜食などもセットで好む傾向があり、そこらへんまとめて紹介しているのが、花の本棚にもあったというクレヨンハウスの『あかちゃんからの自然療法』。シュタイナー療法、ホメオパシー、自然出産、陰陽料理などのワードがならんでいます。ちなみにママさん業界で「クーヨン系」というとだいたいこのあたりの育児のことを指します。また『家庭でできる自然療法』は、玄米菜食によって結核を克服したという東條百合子が自ら編み出した自然療法（ビワの葉温灸など）を紹介している書籍。昭和53年刊行以来版を重ねていますが、今のところ一般の書店では買えず自然食品店などで流通しているそうです。「病院行けないけど葉っぱで病気治せるならラッキ～」と何も考えずに手に入れられる本ではなく、花はかなりガチの人だということが類推されます。

つまり、花はおおかみこどもを世間の目から隠すために仕方なく自宅出産して田舎に移住したというより、もともとそういうことがしたかった人なんじゃなかろうか。自然の中で自給自足子育て。そう、『北の国から』の五郎だ。もしかしたらその目的を果たすために、あえてマイノリティと交接したのかもしれない。『北の国から』の純は普通の子供だったから、都会の生活が恋しくて当初さんざん反発してましたよね。でもマイノリティとの子供なら、「お前の正体が世間にバレたらひどい目にあうのだぞ」と言い含めておくことで、アーリマンに毒された他人から隔離しつつ自分の好きなように文明を排除した子育てができる…。それはうがちすぎなのかもしれないが。

幼児がいるのに、花の本棚にはアンパンマンもライダーも戦隊モノもプリキュアもディズニープリンセスもない。絵本といえば、出版以来ゆうに30年以上は経っているであろう古い良書ばかり。広い家にはそれらのキャラグッズも、テレビもプラレールもDSもWiiも見あたらない。お金がないからだ、と考えるにしても、図書館ですら雨は『もりのなか』みたいな名作絵本しか借りない。ここには母親の強烈な統制が感じられるのです。ええ、私もできればそんな商業主義には流されたくなかった。妊娠中は母親向けのスイーツなシュタイナー教育本を読んで、「松ぼっくりやどんぐりをおもちゃにすればいいんだー。そりゃおしゃれだし安上がりでイイネ！」と思ったものです。しかし、商業キャラクターを求める子供の強くてシンプルな欲求の前では、私のぼんやりとした嗜好などひとたまりもなかった。チョコレートなどのお菓子やキャラグッズを絶対に家に入れない親もいるけれど、それには強い自我とゆるぎない信念が必要。ちなみに私の生家はファミコン禁止だったのですが、弟が中古のファミコンを友達から譲り受けてきたときはその日のうちに父にぶちこわされました。子供に何かを禁止するということは、親にもそれくらいの強烈さが求められるのです。花がかなりのごんぶと母さんであることは異論を待たないでしょう。しかも一度も怒らずにそれをやりとげる。すごい。すごいし怖い。

もっとも監督は、花を怖い存在としては描いていないはず。たぶん「理想の母親描きたいな－。ベビーカーとかケータイ使ってる母親なんて萌えないし、おしゃれを捨てないギャルママもいやだし、ママ友ランチなんてもってのほか。育児に手を抜かず孤独に苦労する母親がいいよなー。自然の中で子育てする地味な美少女って設定はどうかなー」ぐらいの感じかと思われます。その机上の理想を、実際に5歳の子供を育てているという脚本家の女性が現実の母親像に落とし込む過程で、この人物像が生まれたのではないか。「自然…育児…ハハーン」みたいな感じで。本棚のセレクトをまとめた美術の人も女性だそうだし。ただし映画全体のトーンを決定するのは監督なので、強烈な自我を持っているはずのヒロインがあたかも無垢な美少女のように描かれる。このあたりの不協和音がさまざまな人にザワザワした気持ちをもたらし、賛否両論を呼んだ原因かもしれません。

しかしこの不協和音は私にとっては決して悪いものではなく、一本調子に無垢なヒロインを描かれるよりは、「なんなんだこの人は」といぶかしみながら鑑賞するのは率直に言って面白かったし、新しいアニメの楽しみ方を感じた…。自然出産やホメオパシーは「母親のワガママで子供を危険にさらしている」と、とかくネットで叩かれがちですが、しかし同時にそれらと親和性が高いヒロインはネットで「理想の母親」と評される、ということもいろいろ考えさせられますよね。女性には無垢・自然が求められるが、それを引き受ける女性はたいてい自我が強烈というパラドックスを生きる我々の明日はどっちだ。そんなこんなでアニメ業界における女性進出を歓迎しつつ、子供の世話に戻りたいと思います。

世界史はさっさとやりたい放題やって奪った財宝で立派な大都市作りそこで『哲学者』『歴史家』を量産し「過去のことは水に流そうぜ。これから他人の土地を侵略した奴は大悪人な」って喧伝させた奴らで作られてる予感

おせち料理作ったのに全部カレーに放り込まれたような気分

夢でQuizKnockメンバーと話してて、ワイが「いや～ほんとすぐ身の回りにこうやって的確なツッコミしてくれる人がもっと多ければな～」って言ったところで目が覚めて、もう的確に際立つ自分の性格の悪さだけを指摘されたようなタイミングの目覚めでマジで嫌だった

時かけで「絵はいいけど登場人物が好きになれない、心に何も残らない」と思い、サマーウォーズ冒頭でもう「この先輩無理」ってなってから細田作品を見ていない。人間観が合わない

このゲーム大好きで友達とよく遊んでいたんですが、原宿さんが一人いた方が盛り上がるのでオススメです。

どんだけ厳しい注意のされ方しても「はい！ありがとうございます！☺️」って返して先生を困らしてた友達思い出した

本気でリスクを減らそうと思ったら、地盤の強固な高台の台地にしか住めないよな。そういうとこは昔からの権力者や金持ちが住んでいて、なかなか空かない

保険会社の営業でトップセールスになる人、よほど良心が欠如してるか、あるいは狂った良心がプログラムされてるかのどっちかだと思う。必要ない保険を会社によって売るよう強要されて、ノルマの何倍もの数字をたたき出すためには、顧客に何を売りつけるべきなのか、どんな顧客なのか、自分は顧客からどう見えてるかみたいなのをメタ化する必要があると思うんだけど、メタ化すればするほど「顧客に不要なものを売りつける悪徳セールスマン」になるし、まともな良心がある人には耐えられない仕打ちだよなあ。それこそそういう概念がそもそもないのか、あるいは「保険を売ることで俺は社会の役に立っている！」みたいな意識があるのか。どっちにせよ怖いのは確かだし、あんまりお近づきになりたくない。いや、「そんな失礼なこと言うな！人の役に立つ仕事だろ！」って意見はわかるんだけど、証券マンも保険マンも、やってることの悪辣さとかひどさでいえばそこらのマルチ商法とは変わらないわけで(って、そんなの日本生命保険の社長・出口さんも言ってるぐらいだし)。「年金は崩壊しますからこちらのブラジルレアル/弊社の生命保険を…」って言ったりするんだよね。

だいたいのことにおいて、「強要される」と楽しみの9割はなくなってしまうので、勉強を強いられながらも旧帝大とかに行った人、勉強へのたぐいまれなる適性があったのだと思う。今やる受験数学はめちゃくちゃ楽しい自分は旧帝大だけど、それでも高校時代の数学は全く楽しくなかった(やらなければならないからやるだけのものだった)。例えばみんなが楽しんでみてるアニメだって、学校から課題アニメを押し付けられ、夏休みの終わりまでに全部見て感想をかけとか言われたら、もう息苦しくなって見てられないと思う。強要するという行為の押しつけがましさは、逆説的に卒業後にわかることになる。そもそもアニメ見るように強要していいのなんて自動車学校だけだよ。どうせ仕事を(半分)強要されるのなら、強要されても苦でないところに行きなさい、ってのは本当に的を射てる。

仕事をやめたり、属するコミュニティが減ってきたりすると、人間は自分自身に後天的には付随しない、もってうまれた属性によって自分自身を定義しようとしてしまうのだと思う。それがよい方向に働けば郷土研究や地域の地理学の探求に向くのだが、悪い方向に働けばいわゆるネット右翼などのナショナリズムに傾く。彼ら自身の業績だとか友人関係を誰にも披瀝できなくなった結果、インターネットで自分自身(と同じ属性)のものを持ち上げたり、自分自身の属性を汚している(と彼らが思いこんでいる)ものを攻撃したりできなくなるのは、老いた人間の業という感もある。

思考停止がたたかれた時代の反動からか、今は「深く考えずに生きろ」「お前がしたいことをしろ」「批判は受け取るな」みたいな生き方が(特にインフルエンサーによって)是とされているけど、いわゆる異常者がこの生き方を実践すると、排水溝の下からスカートを覗いたり、満員電車で陰部をなすりつけたり、研ぎ澄ましたナイフで死体を切り刻んだり、学校に忍び込んで制服を盗んだり、公衆トイレで少年少女を襲ったりすることもまた是としなくてはならない。「いや、法律は守れよ」と反論したい人は、なぜ彼らが法律だけは守らないといけないのか、自分の欲求を抑えて法律を守ることは深く考えずに生きることと同じではないのか、とか考えてみてほしい。本当に深く考えずに生きたなら、彼らのほとんどは社会的に破滅してしまう。「お前の生き方を貫け」というのは、しょせん世の中の大多数の人間に対して言っているポジショントークであって、異常者を射程にはまったく入れていない。で、これとまるきり同じ構造の説諭を友人や親世代の人間からされて、私もちょうど辟易としている。他人の性愛などの深い事情も知らない、たかだか数か月しか接していない人間から、恋愛についてああだこうだと文句を言われ、お前も恋愛してセックスしてこそ一人前だ、周りの目は気にせず、恥ずかしがらずに恋愛をしろと唾を飛ばしながら偉そうに説教される。お前の言う一人前とは大多数、異性愛者における一人前でしかないし、そのせいで今お前の目の前にいる（半人前の健常者の顔をした）異常者の足を思い切り踏んづけてるんだよ、と指摘でもしたくなってくるんだが、そういうことをこいつに言ってもなあ。本当に周りの目を気にせず恋愛するなら、近くの小学校に忍び込めばいいんだろうけどね。

「インポテンツ」とは勃起不全のことだけど、これを「インポ」と略すのはおかしいんじゃないか。im-potentでimは否定語、potentはpotentialと同じなので、否定の意味を含ませるならimとしないと、と思ったが、日本語の言語構造としてCV形(子音と母音がセット)しか許容されず、結果としてCV形であるpoまでが採用されてimpoになったのかもな、と想像してみる。

ジャルジャルの「理解不能者にいただきますを教えるやつ」で、「そこに名前を入力してください」と言われた理解不能者が「名前」と入力するシーンがあって、それが自己言及文の「クラス」をほうふつとさせて好き。入力欄に定数としての『名前』を入力すると捉えて「『名前』を入力してください」なのか、変数としての名前を入力すると捉えて「名前を入力してください」なのか。というか、こういった暗黙が理解できない人が一定数いるし、このシリーズのネタはASD障害を患っている人たちにとっては見ていてハラハラ、ドキドキするものだろうと思う。自分を思い出すようで。

海外は進んでるって言うけど日本より差別がキツいから差別やめろと言わざるを得ないだけ

無断転載された「マネーの虎」の動画のコメント欄で「こいつは生意気だから俺なら取らない」などと口走るみなさん、だれを取るか決める前にまず、社長になってはいかがか。

ドラッグストアの看板、ご飯とおかずの写真のとこに「おいしいお惣菜」の文字と「○○薬品」のハンコが並んでて、「惣菜」と「薬品」の取り合わせの悪さすごいなと思った

コカ・コーラの赤い自販機、側面にホッキョクグマのキャラが描いてあって、そのキャラが「北極みたいに冷えてるよ」って言ってたけど、今まさに氷が溶けつつあるせいで生存できなくなってきてる動物を地球温暖化の一因でもある自販機の側面に描き、ましてや温暖化してきてる北極の温度でドリンクの温度を例えようって発想がすごい 人間中心的すぎる

疲れてるときに電車で赤ちゃんの泣き叫ぶ声を聞いてしまうとイライラしてしまう(大きい音が苦手)ので、不快感がつい出ちゃうほうの気持ちもわかる。「国の宝が泣き叫ぶのはよいことだ。お前も小さいときに迷惑かけてきたんだからそのぐらい耐えろ」みたいな意見もあるけど、泣きたくて泣いてるわけじゃないことぐらいわかるし、マクロ的に必要でも、自分に降りかかるのは嫌って事例もある（原発とか刑務所が家の近くにできるとか）。一般人ができるのは「イヤホンをつける」ぐらいが限度であって、それさえ「それぐらい迷惑がるな」「親を安心させる一言を言え」とか言われると何様ですか？ってなります。迷惑がる基準なんて人それぞれなのに、赤ちゃん相手だと全部許さなきゃいけないのなぜなんだ。

読めてもまっっっったく意味がないし、日常で一度も目にしない漢字を知ってる人が「知性」と崇められるのが不可解だったけど、むしろ難読漢字はふだん書かれないからこそ知性にふさわしいと判断されているらしいね。一般人が暗記の時間なきまま労働に溺れる中、そんな実用性のない知識を覚えて振り回せるナイーブな高等遊民ぶりは、皮肉の対象にも崇拝の対象にもなるのだなあと思った。

全体を100として、そのうち51を占めれば、多数派による支配を主張できます。ところがその多数派がいくつかのグループに分裂しているとき、51のうち26を占めれば100という全体を支配できます。つまり4分の1という少数を占めただけで、多数を支配することが可能となります

自分が死んだ後の世界なんて観測しようがないので、死亡保険に入る理由もないのだが…にもかかわらず日本人の多くが入るのは不思議ではある。死後の世界は信じないのに、死後自分の家族がどうなるのかは気がかりなんだろうか？その家族がどうなるかなんて、墓の下から見られるわけでもないし。

この程度で「一番気持ち悪い」と言い出すとは、笑止千万。人類の多様性と創造性を見くびり過ぎだろう。世界は、増田が思っているよりも遥かに広い。厳しい言い方をすれば、県大会ですら勝ち抜けるかあやしいと思う。

普段、YouTubeをダウンロードしてスマホで見てるせいか、「チャンネル登録お願いします」の画面に、次のおすすめ動画が入るための『空白』が出てきて、虚無だなあ～と思う。

人が何かをする系の動画サムネイル、「何をする動画なのか」を伝えるために動画にはない、一種の誇張されたモーションで人物が映っていることがあって、それを撮るために静止した後、無言で降ろされる腕や足のことを考えてしまう

裏の意図を読めない人物に対する「もしかして国語苦手だった？」はなかなか悪趣味なんだけど、その人が本当に苦手だったぽくて、ニコニコしながら「はい！苦手でした！でもなんで今国語の話ですか？」って答えてるのを見るのは好き。

こないだ飲み屋のレジ前で、女の子が男の子に割り勘の細かいの支払おうとして男の子が「いいからいいから」「でも」みたいな微笑ましい押し問答してたのだけど、「じゃあまた次あったら一杯奢ってもらうから」って模範解答を返したら「次なんか無いから払わしてよ」と返されてて周りが静かになった。

陰謀論系の人たち、一年以上も「流れが変わってきた」「そろそろですね」と言い続けてよく飽きないなとは思う

ドッスンって生きてて楽しいの？はマリオを踏みつける役割だけを与えられたドッスンを現実世界に引っ張ってきて皮肉るから面白いのであって、たいへん失礼ながら「この人、家で何やってるんだろ…」ってぐらい無趣味で無感動な人が現実にいたら、それは全然面白くないしむしろ大変だなと同情してしまう

ネットの「義憤」、ほとんどは「共感の輪を広げろ」か「共感の輪を狭めろ」しかないな。

写真加工が一般化しすぎたせいで、そこで生まれた画一性から逸脱した個性的な美しさの価値が、これまで以上に高まりつつある

ブログを書いている立場からすれば、自分自身もブログをやっている人や大学で教えていたり本を書いていたりする人からの批判については受け止めて考えようという気が湧くが、ブコメだけをやっている人から批判されても基本的には鬱陶しいという感情しか湧かないものだ。前者については本人が自分の考えや思想をどこかで「論」としてまとめているから潜在的に議論の相手とみなせるが、後者については脊髄反射的で場当たり的な意見しか存在しないので議論の相手にはならない。そして、現在のはてなでは、おそらく昔よりも、ブログを書かずにブコメだけやるという人が増えている。ブロガーにとって以前よりもさらにストレスフルな状況になっていることは疑いもないだろう。

加藤さん、bgmも無い荒廃したスチームパンクな街に一人でぽつんと立ってて「…ここでセーブしていくかい？」とか言う人

立派な現代人なので、天気予報などで「今日も暑かったですが…」と言われると「そ、そうだったのか…！」と、外に出なかったことを恥じて膝から崩れ落ちてしまう。

「みなさんの特技を教えてください！」って企画で、画面下にみごと掲載されたツイートが「77歳ですが、手を使わずに座禅ができます！」だったの「いや77歳でツイッターしてるほうが特技だろ」と思ってしまった

陰謀論に至るような思考は悪い思考で、新たな発見がある思考は良い思考。それって割と多くの人がナイーブにもつ価値観だろうけど、両者を隔てるものは何なんだろう？どちらも「飛躍」はあるんだけど、そのあとに差があるんだろうか。緻密な論証とか、バイアスの自覚とか。だとすると「陰謀論的思考」なんていうその思考には実は「色」はなくて、思考の後の論証や気づきのせいで色がかかったように見えてるのかもしれない。思考それ自体はとてもニュートラルというか。

お風呂に入ってるときって「書き留めたい！」と思う表現が出てくるけど、必ずそのうち2割はどこかに消え去ってしまう。あれを忘れない力が欲しい。もしくはお風呂だからこそ表現が輝いて見えるのかも。

7割ぐらいのオタクを傷つける表現：お前って自分のこと自分だけはオタクじゃないって思ってそう

ある問題Aについて討論しているとき「別にAがあっても今うまくいってるんだからいいのでは」「Aがあるんだからしょうがないだろ」みたいなことを言う人は、「それ以上この問題を突き詰めたりメタ化したりして考えたくない」という意思表示の危険信号であって、「問題Aについての問題意識がないか、著しく低い」場合が多いことを学んだ、…ので、そういう人といくら議論しても実のある結論は出てこない

お腹がすいているときのほうが「よし、これを終わらせてからご飯を食べよう」ってなって仕事が捗るケースが多いので、もしかしたら人間、満腹の状態だとそのまま死んでもあの世で文句言わないのかも。むしろ空腹のとき殺されたらお墓から出てきちゃいそう

無教養、無感動、過度の相対主義、メタ化苦手は全部別で、関係のない属性らしい。自分はその真逆の属性を全部持ってる（と言われている）ので気づかなかった。

ちっちゃい子ども用のオムツやパンツに描かれている、子どもが読めそうもないアルファベットって、その子どもの親などに向けて書かれているんじゃないか

「俺、軍師タイプなんですよ」

「あっそう。」

「企画立案して、関係各所と交渉して、細かいところまで全部ロジを詰めて」

「う、うん」

「毎日、夜中の3時まで働いて……」

「そ、そうなんだ」

「で、美味しいところは上司が全部持っていくんです」

「君は軍師タイプだね……」

「ワクチン打ったら2年で死ぬ！」と言っていたのに知らぬ間に「5年で死ぬ！」に変わっていて、さらには「7〜8年で死ぬ！」になっていた。ボディビルの大会だったら「伸びてる！伸びてるよ！そこまで伸ばすには眠れぬ夜もあっただろう！」と掛け声がかかるところだ。

仕事や腕じゃなくて座った椅子に給料が払われてることに気付いた方が良い。

言語学とか脳科学って人間の神秘みたいなところがたくさんあって、その神秘は現在のところ「人権」によって覆い隠されてて、絶対に研究できない。私は「脳のこの部分を切り取ったらどうなるんだろ」「言葉を教えずに赤ちゃんを育てたい！」ってマッドサイエンティストめいた欲求があるんだけど、逆説的にこの欲求は「人権が保障されているこの世界だからこそ」出てくるものなんだろうなとも思う。いつでも人権をはく奪できる世界ならカジュアルに実験してたんだろうけど、プリミティブな原初世界に生きる人にあいにくそういった欲求はなかったらしく、言語を教えずに赤ちゃん育てるみたいなのも、近代で言えばフリードリヒ2世の例ぐらいしかない（それとてガセネタだし）

世の中にあるすべてのものを、自明であることと自明でないこと、驚くべきことと驚かないことという二つの尺度で分けたとき、私は「自明だけど驚くべきこと」の割合が人よりだいぶ多いと自覚している。それで、「自明なので驚かないこと」の割合が人より多い人と話すと

「○○という事実があって、これはすごくない！？」

「え、なんでですか？○○は□□なのだから、○○なのは当たり前では？」

「え、そう？当たり前かね？」

～～～

「わかったよ、わかった当たり前だけど、当たり前なのはそうとしてやっぱり驚かない？」

「いや、特に…」

という感じで話が終わってしまう。すんごい物分かりがいいし頭の回転が速い相手なんだけど、私が驚いたどんな事実を話しても「それは当然では？」ってわかったように言われるのが（個人的に）いけ好かない。自明という話は別にしてないし、話題はむしろそのあとのセンスオブワンダーなのだが。

例えば私が面白いなって思ったのは「アメリカ人は電話口で数秒間相手の話し方を聞くだけで、相手の人種をあてることができる」って実験結果で、それについて「日本人はそういうことがないので驚いた」「そこまで人種によって話す英語が違うのかよ」みたいな話をしたら「いや、それは当然でしょ。人種によって住む場所も貧困状態もコミュニティも違ってるんだから、白人と黒人で違う英語話してても全然驚かないでしょ」って言われて、うーん、そうなんだけどそうじゃないんだよな、って思った。そういう状態があって、それが言語に表れてることに驚いたのが私だけど、彼はあくまでそういう状態が当然である、という言及にとどまってて、その先の驚きにつながらないらしい。そ、そんなに無感動で生きてて楽しいのか…？とまで思ってしまった（楽しいんだろうけど）

怒るのは「こうすれば嫌がる」の共感能力が前提みたいなところある

クッソめんどくせえの感情を一日持て余した日、もうホンットに何もできずに終わるよな。その日って、何とか意味づけしたくて意味もなく何回もシコるし、結局何もしてないから何かしようとして徹夜というか夜更かしするんよな

友達が「一日無駄にしたとか思ったことない、人生ってつきつめれば全部無駄だし」って言ってて、そういう感情で生きて死んでいきたいなと思った

いろんなことを明かしてる同期にこの前「業と教養、どっちが先にあふれ出るかのチキンレース」って言われてしまったので、先に業を溢れさせていこうと思う。

ネットの意見を反例にして「そういう人もいるけど、俺はそう思わない」という話を友人にしてると、「そりゃネットに書き込む人なんか最初から極端で声が大きいんだから」と反論されるんだけど、だとするとネットを見て何かを友人と議論すること自体がもうアレレ、って事象なわけで。そこを封じられるとトピックがあんまりなくなっちゃいます。意見の極端さ(マスコミだってたまにはたいがい極端なことを言う)が覆い隠されがちだったテレビ世代にも、そういった話はあったんだろうか。「そりゃテレビに出る人なんか極端な人が多いんだから」みたいな反論を食らって「そうは言ってもあなたに提供する話題の多くはテレビから来てるわけで…」ってモヤモヤを抱えるみたいな。

「やらずに後悔よりやって後悔」とはよく聞くけど、ここには「何事もやってみないとわからない」「わからないことはやったほうがいい」「やっても他人に著しい損害はかけない」という、書き漏らしたらだいぶまずい前提がある。やった結果「あ～これはやらないほうがよかったな」と思ったこともあるし、ましてや他人にお金や時間をかけさせるような損害してまで「やってよかったわ」とは思えない（思う人、心臓に毛がびっしり）。まあ、何か迷ってることを始めるときの理由付けか、やってしまって失敗したときの慰め程度なのだが…。

「やらずに後悔よりやって後悔」は卑怯で、すべて結果から遡及してコトのはじめを評価するような、神様的視点でものごとを見ている。本当はやらなければ後悔しなかったかもしれないし、やってしまったせいで取り返しのつかない事件になった例もある。質のよい後悔、あるいは成功体験についてだけ「やって後悔」が適用されるので、この言葉はあまり好きではない。

「AならBです」というときの「なら」は、相関なのかそれとも因果なのか？ここを誤解してはいけない。相関なら逆も成り立つが、因果ならそれは必ずしも成り立たない。「BならAです」と言えるかどうかは、それが相関なのか因果なのかによっている。

「ネットで極論を言う人は現実世界でも極論的なものの見方をする」という極論。言論はその人の奥深く、偽装できない個性によって放たれたものであるという思い込みがあるせいだろう。実際には、ネットで極論を言ってのけるのに平気な顔して平和に生きてる人は案外近くにいるものだし、それに気づかないものだろうと思う。ニュースのインタビューだって「あんなことする人とは思えなかった」ってみんな答えてるものだし、本当に内心なんてわからない。いい意味でも悪い意味でも。

「危険物の持ち込みは法律により禁止されてます」ってアナウンス、危険物持ち込むような人は法律なんかに縛られないと思います。「アッ！危険物持ち込んじゃった！どうしよう…（アワアワ）」みたいな人はそもそも犯行なんか起こさないので。これって事件が起こった時用のクレーマー対策なんだろうか？

現代社会、寛容であるというよりまず、寛容であろうとすることが大事だと思う。寛容であろうとさえしないのに、他人に寛容を説くモンスターがいっぱいいるからね。

NGシーンまであるとはしらすの中に小海老が入ってたぐらいのお得感あるわ

クソ作品だとか紙芝居だとか、そこまで言う気は無いどころか、結構褒められるポイントがある気がする。なのでたとえばプライムビデオやNetflixなどのネット配信で今後見られる方からしたら「言われてるほどダメじゃなくね？」みたいに評価されるかもしれないし、YouTubeのリアルタイムプレミアム公開などしたらかなり盛り上がるかもしれない。「そういう枠」であれば充分鑑賞に足る作品なのだが、いかんせん大画面の映画館で、きっちり安くない金額を課金し、10分くらいある他の映画の強制宣伝視聴タイムを我慢して、で見るとなると意義が薄れる。例えばセイキンTVはやっぱりスマホかPCかせいぜいYouTube対応TVが限界であれを映画館で見たら狂ってるだろうなと想像がつくでしょう？

あと逆に言えば最近4K対応TVを買ったのですけど、それで4K放送のアンパンマンを見ても「完全に4Kの意味ね〜」と感じたのだが、まあそれと同じ話で、映画館というハコに対して『100ワニ』は悪いけど時間も内容も「足らなすぎる」わけで、これはあくまで劇場は単なる課金装置、劇場の無駄遣いだなと感じた。でももしプライムビデオに来たら多分うちの子ども（小2）も好きなタイプの作品だと思うのでぜひ見せたいと思っている。それに漫画が読めない小さい子でもアニメになると理解ができるのでその点は良いし、なるべく細かい心の機微みたいなものを表現しようとしていたのは理解するので、そういうものは子どもでも何か感じるものがあるかもしれない。

「Aも議論をすり替えているが、BもBで議論をすり替えている。どっちもどっち」みたいな上から目線のコメントを見るけど、そんならAに対するBのどこがどうすり替えなのか説明してほしい。何の生産性もない。「コメントに生産性なんか求めてない」っていうんだろうけど、生産性を求めないなら議論になんか出しゃばらないでメモ帳にでも書いててほしい。何かが言いたいけど自分の意見はない程度の人が「すり替えだ！」って言ってるんだろうなという印象。

留学から帰ったとたんネイティブみたくFワードを連呼し始める大学生がネタになってるけど、それって日本に留学に来た外国人が「肉便器」って単語を覚えて向こうで使ってるようなものなので、英語ネイティブからすると共感性羞恥で顔真っ赤だと思います。ネイティブにもアホと知的の違いはあるので、それを見極められない限り「ネイティブらしく振舞おうとする」のはやめたほうがいい。やるならまず教科書的な言葉を話せるようにしよう（その意味では日本の英語教育はうまくやっている）

反復可能なものに対する知と、反復できないものについての知は異なる。前者は歴史学や哲学、後者は自然科学。歴史学の知識は「ほかに応用できないから役に立たない」などと言われるが、知の構造として全く異なるものを無理やり「理系的」な構造で見ようとしていることがおかしい。そもそも反復不可能で応用不可能なものを、応用可能な学問に当てはめることはできない。

この先生はテストの選択問題のうち間違った選択肢にひとつだけ少し面白いユーモアを入れるので一部で評価されてる

「そのフロッピーディスクには人類すべての脳構造データが入ってる」みたいな、近未来的なんだけど書かれた当時の流行や記録媒体がわかるような小説の記述が好き。一方で星新一のショートショートからは徹底してそういった記述が省かれ、少しも古臭さがない。

100ワニの商業主義化の不気味なまでの速さは、通常のコンテンツなら問題なかったところ、死という重苦しいテーマを扱うからこそ炎上したのであり、電通など宣伝広報マンのプロ意識が皮肉にも真逆に働いてしまった。そもそもからして宣伝とは他人の意識に働きかけて無理やり需要を作り出す側面があるので、誰かが亡くなる映画の上映が終わって暗い上映室で「よかったね～」「すごかった…」と余韻に浸ってたら、電気がすぐ明るくなって「○○追悼キャンペーン！○○を追悼しましょう！」って係員の人がネオンサインでテカテカと眩しいグッズを売りつけに来るようなもの

「100ワニ」って聞いて「…？ヒャクワニ…？」ってなる人の多さを見て「人は二度死ぬ。死んだときと忘れられたときだ」って名言の本当の意味を知った。100ワニは100日後に死に、それから1年以内にはまた死んでいた

30歳位までは割と鮮明だった。だんだん曖昧になって、まあ記憶なんて感覚信号を脳が解釈した物に過ぎないから、そもそも不確かだよな、と思うようになった。確かに写ってたんだ 俺の娘、まるで天使みたいに笑って...

記憶が薄れていってる人の方が健全な気がする。メンタル病んでる人大体記憶残りすぎ

理想を思い浮かべた人が直面する現実みたいな味がする

高校大学卒業して社会人4年目ぐらいになったところで友人伝てに｢あいつ自〇したらしいで｣って聞くタイプの人間

当日、映画を観たことをツイートしたら、知らない人から「睡眠時間ですか？」というリプライが来た。映画を観ていない人が観た人にこういう冗談を言ってもいい雰囲気が形成されているとしたらとても残念なことだ。自分自身を「その他大勢」に押し込めるような生き方からいつか脱してほしいと思う。

彦摩呂は初体験の夜におちんちんをどこに入れればいいのか全くわからず、悩んだ末に公明党に入れた事がある

街を歩いていると前にいたおじいさんが急に倒れた。どうやら心不全であり一刻を争う事態。心臓マッサージをするためにYouTubeで「もしもしかめよ」の曲をダウンロードしていると、スマホが通信制限にひっかかった。そのせいで今月は誰ともラインを交わせない。

悪人は死んだら地獄に落ちるっていうのは、生きてる間に誰も自分の悪さを裁いてくれないってことなんですよ。怖いですね。

「"法律"というもの（そういう社会通念そのもの）をなくしたい」と思ったとき、合法的にそれをなしとげることって可能なんだろうか。

「選挙も終わったし、嫌がられそうな事実でも発表しようかな」みたいな動き、こんなに隠されないの！？ と毎年驚く。なぜそれができるかといえば、それをしても大丈夫だからという他に答えはない。個としての人間には敬意を払う（ように振る舞う）が、群れとしてのニンゲンには全く敬意を示さない（示す素振りも見せず、道具的に扱う）ことはよくある。たとえばYouTubeのサムネはどういう配色にしたらクリックされるかというのはある程度答えが出ているんだけど、それに従ってドギツいサムネを連発するとき、群れとしてのニンゲンの性質を道具的に使っているなと感じる。でも「ご視聴ありがとうございました」と頭を下げたりもする不思議。

手段としてユーモアを使う経営者や政治家はすぐにわかる。生徒に人気のある先生みたいな怪しい雰囲気があるからだ。

私がビュッフェでサラダのコーナー通るときの速度、動物園で野鳥のコーナー通るときと同じ。

めちゃくちゃ獰猛なメタルやヒップホップの人も、その音源を編集する際には黙々とパソコンと格闘するほかない（パソコンに喧嘩を売っても意味がないため）。

好きな食べ物聞かれてキッシュって答えた人いてカッケーと思ったんだよな、キッシュが好きなことではなくキッシュがそんなにすぐ手の届く場所に置いてある脳が。

そういえば、自分は農業（小さなごっこ遊びだけれど）をやるようになって命を奪う速度からためらいが消えたなあ……って、こないだ芋虫を踏み潰しながら思ったよ。今までの自分は殺すことと選ぶことを他者に外注していただけだった。自分の畑を持った時、ついにそれを自分で背負わなければならなくなった。今ではもう、芋虫を拾い上げて植え込みの中に逃したりはしない。これが農。生きること。子どもにこれを伝えたくて、自分は開墾をやったんだという実感がある。

一昔前はニュース番組のインタビューの切り取りがひどいと言われていたけど、今ではそのインタビューのキャプ画を好きなところだけネットに貼って「マスゴミｗ」とやるのが流行りですね。

生物学的に言えば、女性が大切に扱われる要因すなわち性的資本は「生殖」のためにあるわけなので、生殖をしないのに大切に扱われるポジションは保持したい、という昨今の女性の風潮はちょっと筋が通らないとは思うんですよね。

ある状況を皮肉った小説などを世の中に出した時、もし万が一その状況が実現してしまったら全力で全方面から叩かれることを免れないわけで、皮肉も難儀である

ただいまの飛沫量は1/3とする！

幼馴染の女の子がオッサン教師に寝取られたりなんだりして、最後は事故でカタワになった後に食肉加工されるみたいな小説を「誰かを好きになった日に読む本」とかいうひどくロマンチックなタイトルのアンソロジー集にぶち込んで各地の小学校の図書室に置いた奴、GJ　お前の目論見どおり俺は色々歪んだ

「家族」「家」「自動車」「結婚」の4つはコストカットのうえで非常に重要かもしれんが、それら全部をカットして得られたお金に価値はあるのやら……。

「結婚や子どもはコスパが悪いというときのコスパとは、実質的にはコストである」というコメントの真意は、それらがお金によってはかられないパフォーマンス…人生についての価値観の変化、達成感、苦労、喜び、嬉しさ、充実感…をもたらしてくれる可能性があることを無視しているという意味です。コストを横軸、パフォーマンスを縦軸に取った時に結婚や子どもがy=0になると主張するのが「コスパ悪い論」派だけど、実際にはまあy=xぐらいにはなるんじゃないの、という話。で、結婚も子どもも趣味もなければ確かにお金はたまっていくだろうけど、FIREを唱える人たちは「それを何に使うのか」の話がほとんど欠けていて、それは人間性が欠如してて怖いなと思う。「金さえあれば何でもできるから金を集めよう」は一面的に正しかろうと、本質的に金とは道具にすぎないし、来世に持っていけるわけでもない。「結婚も子どもも家も持たず、趣味にも使わないのに、金を集めて何をするんですか？自由な生活ですか？」と問うてみたくなる衝動がある。

知人Aの金銭観や人生観について何か（「金遣いが荒い」とか「自分を大切にしない生き方をしている」とか）を思って、それをBに話した時、「他人の金銭観や人生観に言及するのは行儀が悪い」と言われることがあるけど、なら誰に話せばいいのか。Aに直接言うのはよくないだろうけど、「ある他人の金銭観や人生観を、任意の他人に口出しするのはよくない」まで話を広げてしまうと、お金や人間関係の話ってメモ帳の裏に書くしかなくないですか（ネットに書いて炎上してる例を見るのでなんともいえないが）。Bみたいな人とは、お金や人生の話をしないようにはしている。

「哲学的な話は相手を選ぶ」というのは、トピックを相手が理解できないからという理由もあるけど、もっと上のレベルでは「哲学の話=暗い=ふさぎ込む=悪い」と感じる人がいるからであって、私も高校時代、医療に関する死生観の話を医学部に行く予定の知人Aに振ったところ「暗い話はしたくない、ごめん」と言われた。私は死生観の話をしたくなくなることがないし（暇さえあれば考えてるから）、哲学的トピックを「暗い」とも思わないし、また人の命を救う医者なら死生観の話題は知っているだろうと思っていたので、ああ解釈不一致だなと感じて縁が遠くなった。この話を別の友人にしたら「あいつ(知人A)はそういうとこあるからなあ」みたいなことを言われて、ああやはりそうかと思った。医学部だからとか関係はなくて、考えてる奴は考えてるけど、考えてない奴は「暗い」とか感じるんだなあ

クレーマー｢もっと上の者を出せ！｣

上の者(上位存在)｢蠕ｩ蜈?☆縺ｪ｣

クレーマー｢ｱ!(狂う)｣

我々が生活し生きていくためには「膨大な時間をかけて正確で精度の高い判断をする」事よりも、「暫定的でも有効性の高い判断を何度も素早く行う」という事の方が圧倒的に多いので、基本的にはアスペじみた厳密な判断が必要になる場面は多くない。

人生において点と点はその場ではつなげず、後になってつながったとわかるとスティーブ・ジョブズは言っていたけど、勝手に経験を取り出して、繋がったと錯覚しているだけという気もする。もっと後から見たら「別につながってなかったわ」ってこともありえそう。

内々定を得た学生あるいは社会人一年目だけに許される、自分の会社を「弊社」と呼ぶおもんないユーモア。そのおもんなさは今だけしかできないので存分に味わえ。そして社会で矯正されろ。

人間の模倣をしきることこそが小説家の仕事で、それは存外に難しい。

同僚に「これがウチの子です」とブサイクな赤ちゃんの写真見せられても「かわいい～！」と言わなきゃいけない儀礼がある気がする。頑張って声を振り絞って「かわいいですね～」っていうけど、私のそれは「猫はかわいい」と言うときの「かわいい」と同じで、つまり一般名詞である「赤ちゃん」の述語としての「かわいい」でしかない。私はthe 赤ちゃんをかわいいとは思わないけど、人としてa 赤ちゃんをかわいいと思う程度の良心は残っていますよ、ぐらいの顔をしながら「かわいい～！」と言ってる。バレてないといいけど。

空をたとえて「水彩画のようなうつくしさだった」っていうの不思議すぎる。水彩画は空の模倣でしかなく、空ホンモノの美しさを例えるときにその模倣を使ってるのがおもしろい。

むかしどっかで、「学校で植え付けられる幻想の一番危険なものは、 素晴らしいことを為すには自分に厳しくなければならないというものだ」というのを見たんだけど、まぁ、その通りですよね。

「自分よりものを考えてなさそうな（「考えていません」と自称する）人はいて、そういう人から決まって『俺と違ってお前は生きるのが大変そうだ、そんなに考えなくても生きていけるのに』と言われてしまう。考えてしまわない人生でありたい」って話をネットでしたら「お前は世界で自分が一番ものを考えてると思ってるのか？おごるのもいい加減にしろ」って明らかに誤読したコメントが来た。「Aという尺度について、世間的な平均よりもAが高い(低い)私は生きづらい」という話をしたとき「お前は世界一Aが高い(低い)と思ってるのか？いい加減にしろ」って感じの謎に怒ったコメントが来ることはよくあるが、誤読もたいがいにしてほしい。度合の問題だろ。

ドラクエの「これまでの行いを神に告白しなさい。そしてなんばんのしょに記録するつもりか？」みたいな、ゲームのセーブという機能をそのゲームの世界に埋め込んで隠蔽している仕組みが大好き。でも今はオートセーブ標準化なので、セーブをする喜びとかも失われつつある気がする（それ以上に「セーブしてなかったせいで消えた思い出」が多すぎるのでしょうがないとは思う）

「政治家は論理的に物事を考える事が出来ない」みたいな、よくある「政治家の資質批判」って、大体が選挙というプロセスを捨象して語られるからマジで違和感しかないんだよな。どんな天才が政治家になろうとも、選挙がある限り「論理的」には動けないでしょ。これは与野党問わないけど。

「生命至上主義」という価値観は秤の反対側に乗せる事さえできれば、財産、自由、結婚、国家、あるいは他人の人生や幸福さえ破壊する事が出来る。

古着だの千羽鶴だのというのは、ツイッターランドでめちゃくちゃ評判悪い「支援物資」なのですが（それ自体は否定しない）、おそらくは「相手にとって本当に役立つものだけを送って」と申し立ててもなくならないだろうし、むしろかえって「本当に役立つもの」も送られにくくなってしまうだろうなと。

本校のゲーム理論の教授の研究対象はマッチングアプリで、彼によるとそこではプロフ盛りが蔓延し、相手は「どうせ盛ってるでしょ」と考えるので、内容が割り引かれるのを前提に皆プロフを盛らざるを得ず、やがて真実を載せる者はいなくなるとか言ってて、最高の頭脳で一体何を研究してんだと思った。

何となく、女性の傾向として「極端にリスク回避傾向が高い男」を異性として見ない感じがある気はしている。濃淡はあるから、「芸人やミュージシャン志望くらいリスク選好的な方がいい」くらいから「あんまりチキンなのは嫌だ」まで幅はあると思うけど。

「座席倒していいですか？」と前の席の人に聞くとウケます。

キチガイ企業に入った椎名林檎「報酬は入社後 双曲線で」

自分とは意見が違うことが自明の論客を招いて番組をつくり、その論客への批判を視聴者のコメントとして粛々とRTし続けるアカウントをみて、ゲンロンとは全くスタンスが違うと感じた。それなら最初から招くべきではない。これでは保守とリベラルの距離は大きくなるばかりだ。リベラルの視聴者が多い場所で保守の論客を招いたなら（逆でも）、反発を買うのは当然。ゲンロンカフェでもよくそういうことはある。ホストは、招いた以上は論客を守らねばならない。そのつもりがないなら、論客は自分のファンを盛り上げるための生贄にすぎない。ゲストが気の毒だと感じた。

「強い印象を与える事」と「不快ではない事」を両立させようとするとどこか狂気じみてくる気がするんだよな。児童向け作品が大人の目から見ると多少イカれてるニュアンスを孕んでる事があるのの一因かもしれない。

社内でSlack情報過多みたいなのが話題なんだけど、ベンチャーのSlackの情報量で耐えきれない人、Yahoo!JAPANの全社Slackとか見たら爆発すると思う

伝統宗教の懐深さは、「フリーライダーも救おう」というところじゃないかと思う。正確には、開祖とその同じ世代の人々は「全員救済」だったのが、次世代以降は「所属者のみ救済（フリーライダー拒否）」になっていったという観点で省みることができるんじゃないかな。

演繹法は自然科学に用いる分にはあまり問題は起きないが(間違えていると何かに応用した時に上手くいかずそこで止まる)同じ要領で演繹法的に社会を弄くり回しても、間違えた時に別に勝手に止まったりはしないんだよな。

反ワクチンの人にとって完全に潮目が変わった。「反ワクチンは間違ってる！」という説得されるフェイズから「ありがとう！あなたが反ワクチンでいてくれるんで私たちは一人分早くワクチン接種の順番が回ってくる！もう話すこともないけど、体に気をつけて一人で過ごしてね！」というフェイズに入った。なんでわざわざ反ワクチンの人の説得を私たちが労力を割いて行わなければならないの？という話ですね。今は打ちたい人がたくさんいて、打ちたい人のことで精一杯。反ワクチンは反ワクチンで好きに生きればいいし、反ワクチンの人って口汚なく人を挑発するけど、そんなに他人に構われたいんでしょうか。

新興宗教信者が街で勧誘させられるのは入信者を増やすためではなくて、冷たく断られて心が折れて本部に帰ったら「外の世界は冷たいだろう？」とやさしくして帰属意識を高めるのが目的だそうです。反ワクチンの人に厳しい言葉を投げつければ投げつけるほど結束して足抜けできなくなると思うのです。反ワクチン派を不必要にこき下ろしたり侮蔑しないほうがよいですね。言い合いも不要。「世間から迫害された俺たち」像を作るし、「こんなに“議論”したから今さら考え変えられない」というサンクコストを生む。他者へのリスペクトは大事ですし恨みは買わないほうがよい。怒りは一瞬、恨みは一生です。

うまいこと言う人を見てると時間が少しつぶれ、世界中のうまいこと言う人の言葉が届く現在、時間は全部つぶれるようになった。神がせっかく音速に上限を設けて近所の声しか届かないようにしてくれていたのに、人間と来たら。

「学生の頃から付き合ってた彼氏と同棲始めて本棚のHUNTER × HUNTERって本読んだら今まで彼に言われて来たかっこいいなぁって思ってた事全部それに書いてあって血の気が引いて別れた。私が付き合ってたのは冨樫だった」って言ってた友人が無事幽☆遊☆白書にもハマってくれました。

「保守側の思想」と「理性主義側の思想」だと、保守の思想の方が圧倒的に分かり難いんだよな。これは多分、保守の思想は、経験によってある範囲を切り取って「恐らくこの囲った中に何か大切な物がある」みたいな感じでしか記述出来ないからだと思うんだよな。理屈を明確に掴み取って書く事が出来ないというか。歴史を眺め続けていると、帰納法的に頭に浮かんでくるというか。

いやほんと、少し前まで自己管理できない自堕落の象徴扱いされていたデブの腹を眼前に突きつけながら「美しいと言え！言わなきゃ社会的に死刑に処す」って言わんばかりのムーブメント、それお前らが人をディスるのにやたらと好んで喩えてそうなナチスみてえだな。

「自然界にあるから普通」論法、自然界広いからほぼ無敵なんだよな。犬はウンコ食うしスカトロは普通

冗談を言う上司がいると生産性が上がるとGoogle社の実験でわかったそう。これは「上司が冗談を言うと生産性が上がる」とかそういう問題じゃない気がするな。ASD傾向がある人は冗談を苦手にしている。と言う事は「冗談を良く言う上司」という集団はASD傾向を持っている人が少ないと推測できる。いつもの話じゃないか。

なお私は専門家ではありませんので、保護者の方、および自力でこの記事にたどり着いたツイッター適性の高い三歳未満のお子様におかれましては、早めに小児科に相談されることをお勧めします。

日本国内程度で鳴かず飛ばずで何で海外に行ったら成功出来ると思うのかほんと不思議。海外の方が全てにおいて負のハンデ背負うのに。

稲作のやり方だって、誰も知らないと社会は大変なことになるけど、わざわざ学校で教える必要があるかというと別にそれはいいやって感じがありますよね。

店員「カウンターとテーブル、ご希望はございますか？」

両方いこうとしてる客「テーブルからでお願いします」

本を読んでそのテーマとか「言いたいこと」を探すよりも、感想を感想のまま書くほうが、ずっと頭を使うし、言葉にたいしてもっと自覚することを要求される。

男性コミュニティーの権力構造は偉くなるほど責任が集中するようになっているので、これは断絶が起きるのも無理はないという感じが。女子同士のイジメの研究を読んでいると、どうやら女子の中だと「空気の操作や同盟関係を利用して、自分に責任が来ないような形で他人を攻撃したり排除出来る」とヒエラルキーが高くなるらしいので、この事が女性の想定している「権力を持つ事」に成人後も影響を与えてるとすると、中々厳しいものがある。

「14歳にある程度人生の自己決定権を持たせる」と「『え！！この紙袋を隣県のコインロッカーに置いてくるだけで6000円もらえるんですか！やります！』という中二をヤクザの手から守る」を両立するのはすごく難しいとはおもいます。

自分もう40歳なので「嫌われるおじさん」にならないよう色々考えてるんですけど、ダメなおじさんの言動って実は「おじさんぽい言動をすること」ではなくむしろ「おじさんなのに若い頃の言動が抜けてないこと」にあり、逆に今から老紳士の振る舞いを身につけるべきなのではないかという仮説を得た。

友達3人とのお泊まり会してて、電気消した寝室にプラネタリウム付けてSuchmos流したらめちゃくちゃめちゃくちゃめちゃくちゃおしゃんてぃな夜になったよ…なに……ここ岐阜やで……東京ちゃうのに…

人が決断について習熟するには失敗を繰り返しながら前に進んでいくしかないし、未成熟な事によって変な恋人を選んでしまう事も「取り返しがつかない程のダメージではない」と突っぱねて行くのが正道だと思うのだが、現代はこれに限らず失敗する事を過度に恐れるようになってしまったので中々厳しい。チャレンジもミスもせずに過ごして、ある年齢になったら突然選択や決断が上手くなるなんて事があるわけ無いだろうと。

若者にはわからない心理ですが、自分が１０～２０代のうちに飽きるほど遊んでさっさと家庭と子供をこさえて人生ゲームを上がったお父さんは、文字通りのパターナリズムに一気に急旋回するものです。特に娘を持った男なんて酷いもんです

16歳の子供には判断力がないので16歳同士のセックスを禁止すべきかというと微妙。50歳と16歳のセックスは禁止だが16歳と17歳はセーフというのにどういう理屈をつけるのか。二人の間に純愛があるかどうかというのは全くどうでもいい、愛のあるセックスが善いというのは単なる個人の好みなので

信長の野望みたいなゲームだと、プレイヤーの指示は正確に部下まで届くし戦場の情報も正確に把握できるのが当たり前だけど、現実に君主やろうとすると密偵が正確な情報掴めるとは限らないし伝令が無事に情報持って帰れるとも限らないので、ゲームのように正確な情報を掴めるだけでもチートなんだなって

この事態になってから1年ほどですけど、基本的事実として「人間は普通に生きててもそこそこの確率で『明日急に死ぬ』ことがある」という話がこれほど繰り返されたことは今まで無かったような気がしますね。普通の人というのは放っておいてもそれなりの確率で毎日死ぬんですよ。

「生産力は余っていて消費者が足りない」という言説があるが、それは工場で作られる大量生産品限定の話だろう。介護やらの異様にマンパワーを食うある種の「贅沢」なサービス業は供給が足りておらず、より正確に言うと「安い賃金で働く労働力」が足りてない。一家全員を養える程の賃金を払うほどの強い需要は無く、その人一人がどうにか生存出来る範囲の金しか払う気は無い「需要」と呼べるかどうか怪しい非常に微弱な「需要」が薄く広くある。

なんでこんなに金がないんだ。 誰かが止めてるとしか思えない。 七並べしてんじゃねーんだぞ。

「最後まで責任を持つ覚悟がないなら飼うな」のハードルがめちゃくちゃ高くなった社会

嫌儲について誤解されがちだけど、嫌儲のマイルドな層（自分とか）は「別にお金を稼いでもらってもいいんですよ、いいんですけど、お金儲けの後を『面白くない』がついてくるじゃないですか」と思っている。ネタが面白ければ商業の香りがしようとなんだろうと別にいいけど、ネタがつまらなくなった上に商業くさくなるのはつらすぎる。逆にいえば面白ければどんだけお金稼いでてもいい（芸人とかそうだし）

目隠しした原宿さん数百年前の村の風習として生贄に選ばれた少女みの儚さがある

デスゲームとかヤバめのギャンブルにある奇怪な装置、それを外注されて作った人がいるんだよな、って思ってしまって集中できない。カイジのブレイブメンデスロード、「えっ！？ここに鉄骨…ですか？」「何に使うんですかコレ？」というやり取りが建築家との間であったと予想。

世間というでっかくて重たい存在からの「なんで○○しないの？」って圧力は単体ずつなら「それは実は○○という理由があって…」で切り抜けられるんだけど、それが何百、何千と積み重なると自分という存在が、「世間」が、もう厭にもなってくるものです

家事とかは別にどうでもいいので、心の距離、金銭感覚、話題さえあってくれればそれ以上は望まない

フランス人男性に訴えられる女性とかリベラルポイントの計算が複雑な事例きたなこれ

何回餅の絵を描くんですか

過酷な環境に居続けることが、人の感覚を良くも悪くも鋭敏にすることはあるだろう。パワハラを受けたこととか、女性としてガラスの天井にぶつかったとか、同性愛とか。

スポンジのように夏をめいっぱい吸い込んだ積乱雲を見ると「あ、絵を描こう」という気分になる

ダイエットってコストとクオリティと時短をすべて取るの無理なので、お金がない人は瘦せるのが難しい。貧困層に肥満が多いのは、高くて早くておいしいものを買えないからだろうと思う。

夕立が降ってきたら真っ先に軒先に出て雨を浴びるぐらいには夏を楽しめる大人でありたいと願っている

大企業、将来のロールモデルが近くにあるのは大きい。中小企業だと転職の中途採用者とかが上司なので、自分はこうしたい、がない。そもそも１０年後に会社があるという仮定さえあやふやだし

ガチの同性愛者の人って、自分で自分を責めて、抗って、開き直ろうとして、落ち込んでっていうその繰り返しで、アイデンティティの根本から深く思考してる人が多いんじゃないかね。マッキーの「軒下のモンスター」じゃないけど、「親を泣かせることも　心に嘘をつくのも嫌なんだ」っていうぐらいの深度にはみんな悩んでるでしょ。そこへサカってるだけの能天気が理解者ヅラして寄ってくるわけだ。そりゃ記事みたいに一蹴して終わりなのも当然だよ

むかし勤めていた、結婚式代理出席会社の最大の案件。結婚相手に恵まれなかった女性のたっての依頼で、理想の結婚式・披露宴を実現したいという。そうはいっても相手がいない→新郎は代理出席で賄いたい→そうすると新郎側の出席者も必要だ、これも代理出席を頼もう→新婦役のリアルの知り合いや家族を呼んでウソをつくことはしたくない、かといって、事情を知り合いや家族に知られるのはもっとイヤ→新婦側も代理出席で。というわけで、代理出席会社から、新郎、両家の家族・友人・同僚・上司すべてが代理出席。

新婦以外全員偽物の結婚式・披露宴が行われたのだった。出席者はさすがに全員プロである。学生時代の思い出話をまじえた友人スピーチ、退屈だが愛のある来賓の言葉、両親への感謝の手紙、と全てが滞りなく行われた。式場側には、事情を知らせていなかったようだが、きっと、式場スタッフは、本物の結婚式・披露宴だと勘違いしていただろう。全体でどれくらいの費用がかかったのかは分からない。代理出席一人だけでもそれなりにお金はかかる。総額ではかなりの金額になったのは想像にかたくない。それでも、それだけのお金を払う価値があのお客様にはあったのだと思う。終盤では、新婦が涙を見せる場面もあったが、あれは一体どういう涙だったんだろうか。

動くゴールポストどころか、設置場所が定まってないゴールポストが出現してしまった

「あんなに頭良くても死ぬのか」「ロシア語のネイティブなのに脳卒中になるのか」「すべてのパラメータが完璧なら銃弾ぐらいよけてくれ」「数学者なんだから事故起こる確率ぐらい計算してから外出しろよ」「クイズ王なんだからこれまでの知識をもとに当てずっぽうでも正解しろよ」みたいな、明らかに関係ない二つの項を結んで「なのか…」って失望するやつを無限にやってしまう

「○○のプロが選ぶ、本当によい（愛用する）○○」「○○のプロが○○のせいで死ぬ」「○○のプロは自分ですべて○○をつくってしまう」みたいなやつを無限に集めてきてくれ

デスゲームのいわゆる「おしおき」（手の込んだ処刑）で、被処刑人の気力、体力、才能によって、ほんのわずかな時間だけは持ちこたえる展開すき あれを見てみんなもリョナにはまろう

帽子を試着するときに「スリザリンはダメ、スリザリンはダメ」と言うとウケます。

5歳未満の幼児だった自分が音楽というものを理解し、浸るようになったきっかけのBGM

自分より仕事できない人がみんな消えたら自分が一番仕事できない人になるんやぞ

生活保護を受けながら就職活動してたときに足の病気になって一番最初に考えたのは「これで治るまで働かなくて済む」だった。足の痛みより働かなくて済む喜びが上回る社会って何なんだろう

他人がいいと言ったものを追いかける方が楽だ。どう見ても俺らよりプペル100回見てるやつの方が幸せそうだろ？ストレスなく生きるコツは正しい判断をすることじゃない。「自分は今正しい判断をしている」と心の底から思い込むことだ。

こういうのは、価値観をともにできる人間の間でやれば成立するし有益だけども、そもそも相手側にそのつもりがまったくない場合は成立しえないので「確かにその通りですね。では将軍様、相手にも対話的思考をさせてくだされたば、たちまち有益な討論を行ってしんぜましょう」ってなっちゃうんだよな。

「論破ではなく対話を」ってツイートに「あなたも今他人を論破しようとしてるのでは？」みたいなコメントがいつも付いてるけど、そういうとこやぞ。

「内臓をえぐられる」とか「脳みそをかき回される」とかよりも「爪と指の間に針を刺し込まれる」「前歯を麻酔なしで削られる」「鼻の穴の奥にワサビを突っ込まれる」ぐらいの、妙に想像できるレベルの小物的痛覚表現にこそ痛みを感じてしまう

ブラック企業のパワハラ規範を内面化して、ブラック人間になりつつある。「仕事出来ない同僚」「失業者」を憎むようになったら、近いうちにメンタル崩壊してバリバリ働けなくなった時、その規範が自分を追い詰めるぞ

信頼関係を作って、お互いの持つヒトパピローマウイルスや細菌を交換し合えて、万が一妊娠しても責任取れるとお互い納得の上で性交渉するに至るわけだ。性病はほとんどが潜伏するだけで一生完治しないから、一度感染したら性交渉までの信頼関係をスキップしないと相手が納得しないからいきなりやるしか選択肢が無くなる。つまりいきなりやれるやつは性病の可能性大

「女性がミニスカート穿いて何が悪い！」「乳首を出す自由を！」ってのがフェミニズムで、「性的な表現を社会から一切排除しろ！」「弱者男性を〇せ！」みたいなのがツイフェミだと思ってる。

「女性は肌をさらしてはならない、体の線が出る服を着てはいけない、表情やしぐさやポーズも男性が喜ぶようなものはしてはならない」が家父長制保守主義に基づく女性への制約でなくて何だというのか。って何度も指摘されてきてたものね。

Twitter、結局は昔で言う「給湯室」ってやつだったのかな。ローカルルールではまかりとおる正義やそれに対する身内からの「そーよそーよ」という同意も、オープンな場所に晒されたら愚痴や暴論の掃き溜めにとどまる

終身雇用が前提の時代においては、職種・会社選びは、それを選ぶ一瞬だけ悩む問題であり、それ以降は「自分は何でこの会社に勤めているか」「何でこの職種なのか」ということを悩むことは基本的にありませんでした。しかし現代においては、終身雇用という前提は崩壊し、いつ自分が首を切られたり全く違う職種に配置換えされるか分からないし、また自分から転職することも容易になっています。そうすると、「自分は今この会社・職種についているけど、より最適な会社・職種があるのではないか」ということが絶えず疑問に浮かび、その疑問に基づいて自己を再点検して、自分にとって最適な会社・職種を再選択することが絶えず求められるようになります。

アイデンティティが再帰性を持つとは、このようにあるアイデンティティを持つ自分自身が、そのアイデンティティを否定し変容させなければならくなる、そういった状態なのです。そしてそのような状態においては、アイデンティティはもはや自分を支える「土台」たる役目を十分に果たせなくなります。アイデンティティが固定されていた時代には、「自分は○○だ」というアイデンティティを一旦手に入れれば、それが生涯に渡って「自分はこういう自分である」ということを指し示す物となったわけですね。ところが、アイデンティティが常に変容する時代においては、「自分は○○だ」というアイデンティティは、あくまで暫定的な、「（今はとりあえず）」という括弧付きのものとなってしまうのです。

性的指向やジェンダー・アイデンティティの中には、それを完全に発露しようとする限り、他人の人権を抑圧するものとしかなりえない性的指向やジェンダー・アイデンティティもあるわけです。例えば小児性愛なんかはその最たるものでしょう。判断能力が未分別な子どもに性愛を抱くことは、それが完全な状態で発露されれば子どもの人権に対する侵犯にしかならないわけです。しかし、この声明を字義通りに解釈するなら、小児性愛者にすら「変えようとする力を拒否する権利」が与えられてしまうことになるわけです。しかしそれでは子どもの人権が傷つけられることを防げないわけで、結局自己矛盾に陥ってしまうのです。その他にも「同意なき性交を求めてしまう性的特徴」とか「他人の心身を傷つけることでしか満足できない性的特徴」というように、他人の人権を抑圧する「性的指向、ジェンダー・アイデンティティ」は色々あるわけで、しかしこの声明に則ればそれらのものですら「変えようとする力を拒否する権利」があるということになってしまう。その行き着く先に待ってるのは、結局「自分の性的指向を満足できる力を持った人が満たされ、そうでない人は抑圧される」という、最悪の弱肉強食社会なんじゃないでしょうか。

ある人達にとっては「性的表現を公共の場で行うことは表現の自由によって許されるべきだ」となる一方で、別の人々にとっては「性的表現を公共の場で無理やり押し付けられることは人権の侵害だ」となるわけです。もちろん、これらに対し、「一方の側の主張は正当な人権の主張であり、別の側は単なるわがままで人権の主張とは言えない」と言うことはできます。ですがそれなら、「人権とわがままを分ける境界線は何か」というところまできちんと示すべきで、それを示さずにただ「全ての人の人権は尊重されるべき」と言っても、現実の問題の解決には何も寄与しないでしょう。

飲み屋で楽しく談笑してる自分と同世代のグループを見るのがつらい。

コロナのおかげでしばらく視界に入らずに済んでたのがこのところもうこりゃ待ってられませんわムードが蔓延し元の世界に戻りつつあるのを感じる。そんな楽しそうにジョッキを傾けないでくれ、こんな暑い日に軒先で楽しそうにしないでくれ、どうやったらそこに入れるのか教えてくれ。あの赤提灯の軒先にいるグループはどこからきてどこで出会ったんだろうか。横を通るたびに「関係性と出会ったきっかけが頭上に出るAIメガネ早く出せ」と思いながら凝視してしまう、不審者ですまん。

なんか、仕事関係にしてはあまりに朗らかだし、かといって社会人サークルみたいにちょっと気合が入った感じでもない、もちろんナンパのようながっついた感じにも見えない、なんだろう、年季のようななにか、利害のない空気感というか。なまじこれまで人並みには人間関係を構築できてきたからか、出会うきっかけさえ掴めればそこに自分も入れるんじゃないかと思ってしまう、でもそのきっかけがまるで見つからない。まあつまり学生時代は環境という下駄履いてただけだったんだろうけど、いっそメンサのリア充(死語)バージョンよろしく選ばれし空気感を持つ者だけが入れるコミュニティみたいなもんがあるんならまだ諦めもつくんだが、いやつかないな。社会人になってからの友達作りといえば社会人サークルがよく例に挙がるが上京してすぐに「20代中心☆友達作り飲み会」なるものに申し込みはしてみたものの、会場に着くとどう見ても40代オーバーの男女が2人だけぽつんと所在なさげに座っており、受付に確認すると「20代"中心"ですので…」と説明され律儀に参加費だけ支払い、逃げ帰ってからその存在を信用できていない。

あとアプリで同性の友達探してみたけど2人中2人マルチだったので諦めた。SNSはmixiが廃れてから自分も廃れた。足跡何回かつけあってメッセージでどこに興味を持ったか伝えて満を持してマイミクの申請をするあのめんどくささが好きだった。Twitterってタイミングゲーというか大縄跳びのときのトラウマを思い出させる。特に趣味もこれといってない、ミーハーなので広く薄く(浅くにさえ到達しない程度)知識はあるが、その界隈に興味ない人＜自分＜＜＜＜＜＜＜＜ちゃんと趣味な人って感じの立ち位置でしかない。

トランスジェンダーの人に「あなたも男（女）として生きられたらどれほど楽だったでしょうね」とか、たぶん良心で言ってる人がいて、あ～これは確かに言いたくなっちゃうな、と思った。LGBTの中には好きでこれになったわけじゃない、って思う人もいれば、性に誇りを持ってる人もいる。相手がどっちだったとしても、その返しは失礼にあたりうる。前者なら、勝手に相手が前者だと決めつけることの（多数派ゆえの）傲慢さがあるし、後者なら、そんな誇りを持ちにくくしている社会に少しでも加担してることに自覚がないという（多数派ゆえの）傲慢さがある。自分自身が前者である私は特に気を付けたいと思う。

フェミニズムの最終形は「個々の人権を尊重する」ことに帰着するべきで、どんな立場の人でも「共に権利のために戦いましょう」となるべきだと思うのだけど、活動家の人はいつも自分たち以外認めない印象。

2000年後にwindowsが97まで行って突然99に飛んだせいで、ツイッターとかで「98が飛んでいるのはwindows社の陰謀」みたいに言われててほしい そんでパソコンオタクが「98がないのは以前に作られたからだよ常考」って2000年前の知識をひけらかしてほしい

令和生まれの深刻な乳離れ

セックスワーカーに限らず肉体労働系って基本馬鹿でもできると思われてるから差別されがちだよね。大体の仕事ってなにかしらの専門性や技術が求められるんだけどね

多数向け教育では「原理を知らずとも正しく道具を使える技術」が身に付けばいいのだと思うよ。現実社会には「なにもしてないけど壊れた」「マニュアルなんて読まない」といったそのレベルに達しない人がたくさんいる

中学校の授業参観で、「ヒントを3つ与えて、自分のことを紹介しよう」という授業があった。ヒントは1番目から3番目にかけて、だんだん簡単になっていく(そして大抵、3番目でみんな気づく)。あの授業はお互いの知らないこと、知っていることが言語化されててかなり面白かったので職場とかでもやってほしい。

テレビドラマやアニメで出てくる、絶妙に嘘くさい（安っぽい）テレビニュースが好き。ディテールを上げるためだけに用意された架空の局名、微妙にこっちとは違うテロップなど…

これ、無感情になれではなくて感情に細かくラベリングを施し言語化し社会化し表現しろということで欧米で演劇が教養なのはそういうことなのだと思う。表情が乏しい人は突然癇癪とかがあって修道院に入るは同様と理解

個人（従業員）の感情は商品なので、感情表出を社会的に抑圧することで、企業は従業員の感情的な副業を禁止している。抑圧された個人は、感情や共感をコンテンツとして摂取したがっている

「日本はもうオシマイ」も「日本がオシマイであることに気づいたアタクシ」という何者かになれる(気がする)、って意味では「日本スゴイ」と表裏一体で一緒だっつーの

アイデンティティはできるだけ小さなモノ・コトに求めるのが健全だと思う。国家とか宗教とかイデオロギーみたいな"大いなる"コンセプトに自己を投影するとドーパミンがドバドバ出て狂ってしまいがち

あるある探検隊の節ですんなり読み易いのって４・４・５で分かれた文章だよな。たとえば、『お前が、帰れば、盛り上がる』みたいな文章とかだと非常にすんなり言いやすい。この『非常に、すんなり、言いやすい』も言いやすい、西川君も気絶から目を覚ましそうなレベル。そして増田の指摘した『勝手に、仮定を、作って、勝ち誇る』はどっちかって言えば４・４・４・５に分けられてしまったので、西川君も一回余分に動かなければいけなくなるんだよな、でもこれを無理矢理読もうとすることもやっぱり簡単で４・８・５で分けて読むことで『勝手に、仮定を作って、勝ち誇る』の真ん中が少し忙しいリズムになるけれど、西川君も動きやすいあるある探検隊になる訳だ。やっぱりあるある探検隊ってすげえな

数学めちゃくちゃ得意というキャラ付けを「自然対数を下何桁まで覚えている」という形ですることがあるけど、より抽象的で高度な数学では定数の値を細かく覚える必要が全くなく、凡人の考えた数学得意描写の限界が見えてしまってつらい。

受験番号を全て素数にすれば合格発表で一つの巨大な合成数を掲示するだけで合格者がわかる

「人間という生き物は、実に醜い…」って神様は言うけど、醜いとか美しいという観念自体が非常に人間的なので、神様らしくなくてあんまりぱっとしない。「人間は実にパラミシい…」ぐらい斬新で、人間にとって説明に困る観念ではかっていてほしい。

自分の友人の場合は職場というより通勤が重要らしく、満員電車に押し込められ揺られながら通勤している時に自分も社会の歯車になっているという安心感を得ていると言っていた。かなり特異的な性向だと思うが。

サイコパスの特徴として共感力の欠如というのがあるが、一方でサイコパス同士でしか成立しないシンパシーというのもあるのかもしれない。

ペットを飼うと死ぬときが本当につらいかわりに、あまり刺激のない現世に喜びができて、明日を生きる理由が生まれる

受験数学をやり直していて思ったのは、強制されるとなんだって楽しくなくなるなあということと、でも強制されたあの過去がなかったら今楽しめてなかったよなあということ。

「ハッテン場のサウナで汗を流した後、睡眠薬をチューハイに盛られて複数の男から輪姦された男性」のインタビューが話題になってて、彼が話してたのは「心ではすごく抵抗したくて傷ついているのに、体は快感があるというか射精していて、そのギャップがとても恐ろしくて嫌だった」…あ～、たしかになあ、という。同人誌なんかだと「下の口は正直」なんていうけど、逆にいえば上の口、つまり心では本当に嫌がっているわけで。熱いものに触れるとやけどするみたいなぐらいで「正直」になってしまってるだけなんだよなあ。まあそれを指摘したとて「だからいいんじゃないか」「心で嫌がっている人を犯すのがいいんだろ」みたいな、救いのない平行線になる予感。

日常的に料理をする大人は自然と嫌いな食材を避けた料理を作って食すため徐々に嫌いな食材の存在を忘れ「自分は嫌いなものが少ない」と思い込む傾向がある

イヤホン接続してないのに気づかず電車の中で再生しちゃって、京王線に突然永田さんの「好き嫌いを克服しよう！！！！！」を鳴り響かせてしまった

特に小さい女の子に見られる、自分の命令を聞かせたい、相手を自分の機嫌の下に屈服させたいがための手段の選ばなさにドン引きしてしまう。床で転げまわる、だんだん声が大きくなって泣きわめく、どんどん地団駄を踏むという類の行為が許せず、そういった行為を目にしたらすぐにその場を離れることにしているし、テレビで見たらチャンネルを変える 自分の娘があれやりだしたら本当に困ると思う

過去に「私は未来から来た人間だ」と語った人間は無限にいたけど、誰一人として「コロナが」と口にすることはなかった。これが悲しい現実だ

謝ったからいいでしょって思われる辛さはわかる。謝罪一つで許される行為なんだなって。それなら結局いじめなんてやったもん勝ちだ

カップ焼きそばのコーナー、絶対に「低糖質カップ焼きそば」がなくて、ダイエットするならこんなとこ来るな、みたいなバカでけえ糖質値をめいめいの商品が見せつけている

作者本人がお出しする設定情報の信憑性は７０％くらいであり、めっちゃ読み込んだ人の脳内にある考察情報のほうが正しい事は多い。作者は読者の知らない裏設定を知っているだけで、実際に作品にしてお出しした物の記憶は非常に適当であり、読み直すだびに俺こんな事描いたっけ…って思うことが多いくらいである。作品の記憶が曖昧なのはたぶん作者の記憶力とかの問題ではなく、基本的に読者に観測されるまでは確定してない設定のブレが大量に存在している脳内並列世界から、今の展開に一番都合の良い設定を拾って選んで投げてるという作りをしているせいだと思われる

おそらく3か4歳ぐらいの時、お父さんが「マカ」と書かれた箱をドラッグストアで買ってるのを目にした 今さら、カタカナが早く読めてたことを後悔したというか、嫌すぎる伏線回収という感

趣味は人間観察と公言する人の多くは、自分も観察される側になる可能性があると思ってない。そして残念ながら、そういう人物はたいがい（他人の心のわからない要注意人物として）ひそかに周囲から観察されている。

ツイッターの「おもらし」系アカウントってやたらと鏡の前でしちゃってるけど、その理由を考えてみた。一人の時は動画を撮ってくれる人がいないというのはあるだろうけど、それにしても他人のそれを撮ったという動画がない。まず「ちびり」と「おもらし」の違いについて。「ちびり」はパンツの中がじゅわっと暖かくなる経験を必要条件とし、それ以上のものは求めていない、つまり周りに事実がバレたかどうかを問題にしない。しかし「おもらし」は暖かくなった後に他人から露見する、あるいは露見しうるという状態をもって完了とみなされる。いいかえれば、ちびりと違っておもらしという現象は「客観化」されることによって、その現象が完了したと本人は感じる。そこに背徳感に由来するエロスを感じる一方、股間が暖かくなるという主観的現象によっても楽しまれる。鏡の前でおもらしをするのは、主観的現象を味わいつつ、鏡という客観化のためのフィルタを通じて客観的な現象を楽しむことであり、二つの現象を同時に享楽できる点で非常に合理的である。

おもらし界隈、とくにショタパンツの界隈では、日本製のパンツにおもらしをする例が圧倒的に多く、安価な韓国製、中国製のパンツはほとんど人気がない。人気キャラクターとしてよく知られているのが日本であるという理由では、「台湾人も日本のショタパンツでおもらししている」事実を説明できない。なぜおもらしには分厚いパンツのほうがいいのか考えてみた。分厚い、吸水力の高いパンツはより幼い子どもであることを示す符牒であり、そのような幼い存在に自分がなりきることにエロスを感じるからだろう。また、限界吸水量をこえてしみが広がっていく様子…客観的に観測される現象の変化をよりゆっくりと味わいたいからだと考えられる。ペラッペラのうすい安物パンツだとすぐに限界を超え、変化が観察しにくい。

とあるラノベで言ってた。超人は世界を救わない。超人がいないと成り立たない世界は超人がいなくなったら立ち行かなくなるから、リスクは皆平等に請け負うべきってのを思い出すな。あと同じラノベで神様を擬人化してはならないってのもあったわ。人間が神になっちゃいけないんだよな

丁寧な話し合いって一見すると無条件に尊いことに思えるけど、以前見かけたご自身としては口が回らなくて話し合いとなると自分が丸め込まれる経験を重ねて来られたらしい方が『話し合いを強要されることは暴力を振われるように怖い』という旨のことを言ってて、この視点は自分に欠けていたかもと感じた

社会的制裁を生み出すような道徳感情は集団や社会の秩序を維持したりするうえでは不可欠なはずであり、社会的制裁が望ましい結果を生み出すこともあるけれど、法律的な制裁と違ってコントロール不可能でありいつ望ましくない結果が出るのかもわからないので、原則的に「社会的制裁はよくない」とすべき。これはやや危うい論点だけど、「いじめ」のように『その問題について関心の高い人が数多く存在している問題』では、そうでない問題より社会的制裁が激しくなってしまうけれど、該当の行為の「悪さ」と「その問題について関心の高い人の数」って本質的には関係がないから、制裁が公正になされないんよね。

繰り返しになるが、社会的制裁という現象においては責任を取る人がだれもいないので、この現象は必然的に「行き過ぎ」になる。「どの程度までの制裁を与えることが妥当であるか」という調節を行う権限を持つ人もいないし、「どのような対応がなされたら制裁を収めるか」という「ゴール」を定義する権限を持つ人もいない。とくにネット社会では、ある個人に対する制裁がいちど始まったら、みんなが飽きて忘れるまではずっと続くことになる。

厄介なのは、たとえば近年では性的加害行為に対する#MeToo運動がそうであったように、社会的制裁の現象によってその後の社会の道徳基準が引き上げられて、これまで見過ごされてきた行為が懲罰の対象になり、以降はその行為の被害者が減るという「望ましい事態」がもたらされる可能性もある、ということだ\*2。実際のところ、これまでの歴史においても、社会の道徳的進歩というものは多かれ少なかれ社会的制裁によって実現してきたのかもしれないし、それがなければわたしたちは現在よりもずっとひどい社会に住んでいたのかもしれない。とはいえ、どんな社会的制裁も行き過ぎになると考えれば、対象となる人は不当に過多な制裁を受けてきた……つまり、ある種の「被害」を受けてきた、ということになる。このことには不当さや不正義が含まれているはずだし、すくなくとも気の毒なことではある。

このようなことを考えると、よっぽどのことがない限りは、有名人であろうと犯罪者であろうと、自分と関係のない個人に対して怒りを示したり懲罰を求めたりする言動をおこなうということ自体をする気があまりなくなる\*3。特にネットやSNSには、個人のものとして投稿した意見であっても、同じような意見を投稿している人が他に何百人や何万人もいたりすると、意見の集合体が「壁」となって意見の対象者にとっては暴力として機能する、という側面があるからだ。また、実際のところ、大半の人はどんな問題についても自分と関わりなければいちいち怒らないし、ましてやネットにその問題についての意見を投稿することもない。Twitterにせよヤフコメにせよはてなにせよ、ついつい忘れてしまうが、そんなところに意見を書く人は日本人のなかでもごくわずかだ。そのような人たちのことを「民主主義の社会の一員として社会に対して抱くべき関心が欠けている」と非難することはできるかもしれない。……しかし、自分と関わりがなく自分が責任を取れるわけでもない問題について意見を表明しないということも、それはそれで美徳であるだろう。

ある有名人が人の癇にさわるようなことを言う。わたし自身としてもその発言を見聞して不愉快な気持ちになり、身内との会話でその話題を出して文句を言ったり愚痴ったりすることもあれば、SNSにネガティブな意見を書き込むこともある。とはいえ、その人物を批判して糾弾することがネット上の潮流となっていることを知れば、自分からわざわざその人物を批判することはほとんどない。すでに他人が言ったり書いたりしていることを再生産することは意味のないことであるからだ。他の人たちが書いている意見がわたしのものとは異なっていて、自分の抱いている意見や感情がまだ誰にも代弁されていないな、と思ったら自分から表現する場合もあるけれど。

しかし、ある人がネット上で「パブリックエネミー」と扱われはじめて、その人に対する批判意見なら何を言ってもいいという段階になってしまうと、批判されている人のことが気の毒になってその人に対するネガティブな感情はだいぶ消滅してしまう。そして、叩いている側の嫌らしさや思慮のなさや無神経さや意地悪さなどばかりが目に付いてしまい、そちらの方が醜悪に感じられるようになる。これだけ書くとよくある「正義の暴走」批判になってしまうが、実際のところ、ネット上における「パブリックエネミーと認定された人を叩く」行為の多くは正義感や義憤とは無縁のところにあるように思える。それよりも、みんなにウケる意見を言いたいという承認欲求が動機となっていることの方が多いようだ。

そして、"叩き"が集団化してエスカレートした場合には、表面上の正当性もとりつくろわずに「自分たちが謝罪して訂正しろと要求しているのだから、自分たちの要求は聞き入れられるべきである」と厚顔無恥に主張する幼児的な"つけ上がり"が発生するようになっていく。

使い古された「正義の暴走」論のウケがいいのも、ネタ消費と冷笑で生きている立場を肯定し、それを正義感から叱責する人間を悪に貶めるのに都合がいいから。とはいえ真剣な話をウケ狙いで茶化した覚えは自分にもある

「ネットの発言は野次と同じなので真に受けてはいけない」に正しさを認めるにしても、その野次で自殺したり人生を壊されたりする人がいる以上、なんらかの規制は必要だと思っています

「市民が声をあげて世の中を動かす」と「社会的制裁」の境界が曖昧でコントロール不可能になってる感じがする

男が男に犯される状況でさえも体は生理現象として反応して射精までいくけど、恋愛対象の範疇外の人間に迫られて射精まで至ったとして、それは果たして一般的な意味のセックスなのかという問題がある。そして男の同性愛者はその問題を、女に対して抱えている。「女じゃたたない」といったとき、それは厳密な「たたない」ではないことに注意してほしい。たぶん目をつぶれば生理現象として刺激に反応してたつし、一応フィニッシュまではいけるだろうけど、だから何？みたいな話。それってセックスなの？「男じゃたたないんだよね」と言っている人に、同性愛者が「やってみないとわからないじゃん。ていうかたたないって本当にたたないの？そんなことないでしょ？気持ちいいよ？やってみたらたつかもしれないよ？」って会話がおかしいことはすぐわかると思うけど、この『男』を女に変えたバージョンのアドバイスを異性愛者にされがち。論理がおかしいのだが、多数派の暴力性ゆえに本人たちは正しいと思っているらしい。

「人を愛する」というのは非常に難しくて、それは「愛し続けることが難しい」という意味と、「愛するとはそもそも何か」という意味を含んでいる。私は3次元の女性を愛せないので、「もしセックスするとしたら」（そんな可能性は考えたくないし、銃を突きつけられて「考えろ」と言われたら考えます、ぐらいの非現実性があるが）裸体どうしではなく着ぐるみなんかを着てほしい。それはその人を愛していることになるのか。知人には「それはその人自身を愛してないので、OKしてくれる女性は少ないんじゃないですか」と言われた。では、その人自身を愛するとは何なのか？という話題になり、それは彼の中では「すっぴんの顔を愛する（化粧やコスプレなどをしていればなおよしではある）」ということらしい。私のケースは「女性の姿かたちが見えていたらダメで、着ぐるみを着ていればよい」ので、これはその人自身を愛していることにはならないのだと。なるほどそうかもしれない、それは認めなくてはいけない。でも反論はある。

恋愛について「外見を愛することは、その人を愛することとイコールなのか」という議題が語られるけど、私はそもそも女性の外見を愛の条件にしていないので、その文脈なら確かにその人自身を愛せない。でも、外見を愛せないかわりに内面で人を愛そうという努力はし続けていて、「外見が愛せないならその人を愛してることにはならない」って、外見をメインにして愛を語る人に「あなたは人を愛せていません」と言われたくないという思いもある。本当に人を愛するとは何なのだろうか？

常識的な人間は常識的な人間ばかりがこの世に溢れているという思い込みで動いてるので、良心的でやさしい人ほど、アブノーマル人間にとって毒にさえなるアドバイスをふっかけてきますね

やってみて自分に合うものを選んだ結果「それは間違っている。やり直せ。やってみて、自分に合うものを選ぼう！」って言われます

人間関係つよつよマンは宣教師みたいなもんで、「なかよくしよう教」を広めるのに躍起になっている。「同じ環境にある人間どうし、理解があったほうがいい」と考えて実質的な踏み絵をさせがち おれたちは同性愛に理解があるから同性愛の人手あげて！差別しないから！みたいなこと言いがち（文字通りそうとは限らないが）。別に仲良くしたくない、なれあいたくないみたいな人はいていいけど、そういう人が排斥されても何も思わないよ、心を痛めないよ、だって自己責任だからね！という類の共感の欠如が、人間関係つよつよマンにあらわれている 自分から彼らのすみよい環境を奪っておいて何様という気もする

ラマヌジャンは天才ではなく、神がカンペ用に創った途中式や解説が書いてないタイプの数学参考書

天才が天才として輝くことの方が天才がこの世に生まれてくることよりもよっぽど難しい

根本的な理解がなくても解けてしまう。ゲームクリエイターの資質を問うのにゲームの謎解き・早解きでもって能力を測っているような滑稽さです。文理のカテゴリ分けはあまり好きじゃありませんが、文系というカテゴリでは、自分が何をやっているのかわからないけど、問題は解ける、手順はわかるという学生が多すぎて唖然としました。差が付きにくい。文系志願の学生に数学を解かせるのは手っ取り早い振り分け方法だから、という安易さだけで課してきた結果がこれです。脳のリソースの無駄使い以外何者でもない。(中略)いわゆる文系の学生に無駄な矜持を与えてしまうのも問題。『自分は文系なのに数学が出来た』という、数学紛いの問題がこなせただけの人間に変な選民意識を与え勘違いさせてしまう」

暗記って言葉の認知心理学的な定義が無いからなんとも言えんけど。そもそも記憶力がなかったら物事を対象化できないからなにも考えることができない。全ての土台になる知的過程の一つに記憶があるなんてのは当たり前の話や

「怒る」は感情。個人の感情の発露を仕事に向けることなんてナンセンス。伝えた相手がその状況で一番効果的に動く方法を選ぶべき。それが怒鳴りつけることならそうすればいい。そんな状況が存在するとは思えないが。

名文を生み出すコツは、名文を誰かからパクるのではなく、名文を生み出す誰かの思考回路をコピーして、名文の源をつくることである

善の語り方も大きく分けて二種類あります。「善をもて（別にどんな善でもいい）」というたぐいのそれと、「善をもて（つまり、おれと同じ善になれ）」というたぐいのそれ。

読書感想文なんて親戚や弟殺しときゃ賞なんて取れるんですけど、それをしない人のほうが多いのはそこまでする価値を見出さないし、見出してもさすがに罪悪感が勝るから。もし親戚が死んでるわけでもないのに偽って書いてるとしたら、それはわかってて賞をとるために偽ってることになり、相当ヤバい。

俺の中では「面白いパクリ」「つまんないパクリ」レベルの線引きしかないかもわからん。面白ければパクっていいのかと言えばまぁそうではないが、面白いと感じてしまった心は否定しようがない

正常化バイアスという単語は「自分は正常である」というニュアンスを含みまくっているので他人を攻撃するときに便利

やらかし有名人の差別的言動に対して、しばらく前まではみなさん「こいつはいくら叩いてもOK」という雰囲気で「バツ！！！」をあげてたんだけど、今はネットメディアがよってたかって「それはネットリンチなのでは？正義の暴走では？」と言い出すので、一周回って「みんなでバツをつけるのはバツ！！」が多くなってきた

データを集めてくるのがうまくなるには、「適切なワードでググる」力と「仮説をたてる」力の両方が必要になる。例えば結婚率が下がっていることを示すとき、「男性がお金を稼げなくなったから結婚率が下がったんだろう」とまず考える必要があって、そのあと「男性 収入 変化 データ」などとググるのだ。

「本当に頭いい人はわかりやすい言葉で説明できる」ってやつ、その人が頭いいかどうか判定できる自分は何様なんだって問いを投げ捨ててるぶん、気持ちいいぐらい頭わるいコメントで一周回ってすき

友達、「紙に雲ひとつ描いて」って歌うべきところを「雲に神ひとつ描いて」ってカラオケルームで唐突に神話を作り出してて笑ってしまった

アニメや歌に出てくる若者はみな夏を懐かしがるけど、若者が夏が来るたびに何かを懐かしがるなんて偏見、小汚い大人の手垢で若者をベッタベタ汚すなよと思う 自分が若いときは夏に何かを懐かしがっていなかった。

日常で見つけた名文とか気づきをメモするのが習慣になってるせいで、とうとう夢の中でも何かをメモしはじめた 夢に出てきた名文まで思い出してメモしなくては…

インドとかマレーシアあたりの、高等教育で英語を使わないと生活できないような国々の人々も「日本人と違って文法的に正しい英語を話せない」というコンプレックスがあるようで奥が深い。さらにいえばアメリカ人も「自分たちは英語しか話せない」というコンプレックスがあるようで面白い

足汗がすごく、素足だと歩くたびにペタペタと音が鳴ってしまう。フリーザ様のようだな、と思う

嫉妬なんて不自然な感情捨てちゃおう！ってナチュラルに言い放つ人、赤ちゃんや動物さえほかの子に対して嫉妬することを知らないのかな。むしろ嫉妬はめちゃくちゃ自然な感情であって、捨て去れる人のほうが不自然で高尚

田舎にあるラブホテルは、だれだれとだれだれがヤッたらしい、という噂から人々を守るためにあえて豪華なたたずまい、入りにくい門になっているのかもしれない

なまじっかその分野について知識があると、雑談の「この話はあの分野でいうところの○○ですね」みたいなたのしい飛躍が難しくなりがち

アダム、禁断の果実を食べた直後に射精したと思う。やったらダメなことをする喜びって思いのほか強いよね。そして我々の多くも背徳感について興奮を覚えるので、やっぱりアダムの子孫

女装というのは性別さえも超えた大幅な飛躍、おのれの肉体への魔力行使なので、見た目を美しくする化粧とはその「幅」の大きさがまったく違う これだけの飛躍を可能にするのは、「自分も性別の垣根を越えられるんだ」という素朴なはじめての驚きで、つまりそれは鏡なのだと思う。鏡がなかったら女装という概念は生まれなかったかもしれない

数学や物理が楽しいという人（広く言えば科学が楽しい人）とそうでない人の違い、根本的には「規則性を見出すことが楽しいかどうか」なのではないか。

頭のよい官僚さんになって「原付30km速度制限を廃止したい！」と思って入省したものの、法律を変えられる力を持つころにはお抱え運転手がつくようになり、廃止のモチベを失ってしまった。どうやって生きていけばいいのだろう

暴走族って例外なくドンキで売ってるみたいな適当なジェットヘルをつけてて、あんな速度出すのに不思議だなあ、バイク改造の100分の1でも命を守るほうに金を使えばいいのに、と思っていたが、彼らの中では命に気を使わないことが勇者の証になるのだろう。でもそれがプロとアマの差というか、プロはほとんど絶対に命や体を大事にする

言葉というものは、ひとたび書きものにされると、どんな言葉でも、それを理解する人々のところであろうと、ぜんぜん不適当な人々のところであろうとおかまいなしに、転々とめぐり歩く。そして、ぜひ話しかけなければならない人々にだけ話しかけ、そうでない人々には黙っているということができない。あやまって取りあつかわれたり、不当にののしられたりしたときには、いつでも、父親である書いた本人のたすけを必要とする。自分だけの力では、身をまもることも自分をたすけることもできないのだから。

薬剤師が「それでも（コロナ）ワクチン打ちますか？」ってサムネでデメリットとメリットを解説してる動画、やたらと低評価の割合が多かったから（あ～まあ薬剤師が反ワクチンなら叩かれるよな）って思って見てみたらその人結局ワクチン推奨派で、（あ～サムネに釣られた権威欲しさの反ワクチン勢が低評価したんか）ってコメント欄みて納得した。1回で2度おいしい動画構成ありがたう

たたりや呪いを信じられなくなった現代人が科学的に正しい恐怖の供給元に選んだのが「精神疾患」なのかな

「批判」をする側が、相手の首という目に見える戦果を求めるようになったがゆえに、相互理解や対話が非常に困難になってしまった。なお、この潮流はアメリカが先達なので日本独自の問題ではない。

「正しさ」は「目指される目標」ではなく「気に食わない陣営を殲滅する為の武器」になって行く。もう流れは止まらない気がします。ここ数日のネット空間は「目が赤くなった王蟲の群れ」みたいでキツイ。

ていうか、最近10年くらいで「人類が人類のコンテンツを食い尽くした」感覚があるんですよね。サブカル創作の元ネタやら機械学習における模倣の基準というかフレーバーというかそういうものとして全人類史が暴力的に蕩尽される新しい時代に入った感じがする。うまく言えないんだけど、「未知の異世界を探し求めていたらケルト音楽に出会った」じゃなくて、「異国情緒あふれる異世界ならケルト風の音楽が流れているに違いない」みたいなコンテンツ消費してるでしょう我々って。

自身のインプット吸収能力が落ちたことが理由の一つでは？音楽だと今までにない感覚で作られた音楽はずっと出続けていて、どう違うかはいわゆる高い解像度で見る能力が必要なんだが、今の音楽からさらに先の音楽を作るのはそれが当たり前になってる若い世代で、みたいな

ワクチンもルックバックも辞任問題も良く分からないでいるうちに飛行機が飛んでオリンピック開幕で全部よかったねになる気配があまりに不気味すぎる、迂闊な言及を我慢してる間に全部が終わってしまう、さいきん言及我慢のメタゲームが明らかに変わった

「1歳育児は何で泣いてるのか分からない時があるから大変」と友達に愚痴ったところ、｢3歳になると今度はこんな理由で泣くの？って事で泣くから大変だよ｣と言われたので、具体的な例を聞いてみたら｢ママの名前がママじゃなかったことにショックを受けて息子が大泣きした」って回答がきて戦慄しました

ふざけることによって（のみ）確かめられる重みがあり、私は個人的にそういうやり方にかなり支えられて生きてきたんだけど、そういうアプローチをしたことのない人には全く想像がつかないらしくて、よく断絶を感じる。

「観客が笑う」ことが即ち「そのもととなる言動を肯定した」という認識になる短絡をまず否定したい。それは笑いの一側面にすぎないし、その流れを助長したくない。

すごすぎる作家が現れることは世界の恩恵のようでいて、その作家のせいでたくさんのそこそこの人達が筆を折るので、実は世界の損失なのである。すごすぎるのはよくない。

「ケツだけ星人ぶりぶり～」における「ぶりぶり」を「尻を勢いよく突き出している擬音」ではなく「排泄音」と認識して（その直接性ゆえに）笑う同世代の子どものことをしんのすけは口に出さずとも下に見てそう。一般的な子どもとしては「おしり」ときたらさらに「うんこ」を追加して面白さ2倍にしたがるところだけど、「ケツ"だけ"」というフレーズからわかるとおり、ここでしんのすけが試みているのは尻というモチーフだけを取り出して純化した先にあるユーモア表現であるはずなんですよね。ケツだけ星人って、それを演じている自分自身にはケツだけになっている様子が認知できないという点でそれなりに発達した知性がないと思いつけない芸だし、しんのすけが自身をしっかり客体化できている証拠だと思う。

「萌えアニメの感じがわからない」という人にオタクカルチャーを説明する会合に参加したことがあるが「彼らは友好的だがしかし真に交わることはなく、いま我々は分析される側なのだ」という感覚は少しあって、文化人類学者と接する少数部族とかも同じような感じかもと思った。

10年後、20年後の皆さんが「当時はゲイビデオを弄るのは当たり前の文化だった」「今日の価値観で淫夢文化を叩かないでほしい」などと見苦しく言い訳しているところを想像したら気分が悪くなってきた

「小山田圭吾は匿名掲示板で20年も地道にインタビューを語り継がれ叩かれた末にようやく五輪という最高の環境で大炎上したのに、それに便乗して下積み時代も経験せず一瞬で燃えた小林賢太郎はズルい」みたいな意味不明な感情が湧き上がってきた

無人のスタジアムの中心でペッパー君が「世界平和、環境保護、多様性尊重」など当たり障りのない単語を読み上げる回

ラーメンスープは環境に悪いので腎臓で濾過してる

最近よく見る、世界が書き換わるとか世界線が移動したとかそういう系の陰謀論、あまりにおかしすぎて「陰謀論が流行っているように見せかける巨大な陰謀」なのではないか？と思えてくる

泣いても叫んでも誰も助けてくれなければただの徒労でしかない。声なき声を救うのは情ではなく法と制度であり、だからこそ法と制度からは情を排しどんな邪悪も救わねばならない。

「刑罰権は国家が独占し、その代わり私刑をやめさせ、復讐の連鎖をなくす」という長年の法学者達の努力で築きあげられた現代の恩恵を受けながら、SNS私刑という闇エンタメに堕ちている皆さん・・・彼（彼女）の被害者でもないのになんで私刑してるの？

過熱した批判を「お前らのやってるそれはもはやリンチだ」と指摘されたとき「正当な批判とリンチを誰が決めるの？」って言ってんじゃねえ。誰もそれを決められないからリンチはダメって話なんだよ

「嫁の飯に劇薬盛ったわ」「女は3日殴らないと狐になるので毎日ボコボコにぶん殴って躾けてますｗ」と投稿されまくる掲示板があったら、ミソジニストの私でもさすがにドン引きしてしまうが、”旦那デスノート”という逆の掲示板が存在して特に問題にならないことが一番ビビる。

基本的に「寿命短くしよう」と「介護の機械化を急げ」以外マジで何も言う事が無いと思う。これ以外は負担の付けかえか、誤魔化しか、鎮痛剤みたいな事しかない。

全体重に比較して『鼻毛一本分』程度のリスクだとしても科学者は『リスクはあります』と説明するわけだが、陰謀家は『ある』という共通点から『鼻毛一本分でも足一本分でも『ある』には違いない』と、本来無視できるリスクを『確実に起きる』に拡大し、『科学者も認めた危険なもの』と喧伝するわけだね

どんなに「善いとされる事」でも増やしていい量には限度があり、絶対的な物ではない。「長生き」は基本的には悪い事ではないが、社会のケア労働の供給量を食い尽くす程の「長生き」は困るわけです。「長生き」はいつ何時でも善になるという性質の物ではない。

みんな狂気に夢を見てるんですよね。狂気とか精神病とかがものすごくクリエイティブなものだと思ってる。実際は狂気ってめちゃくちゃ凡庸なんですが。

毒親問題、ここまで社会問題化してる最大の要因は家族サイズの縮小なんですよね。親がキチガイでも祖父母や叔父叔母がまともなら影響は小さくなりますが、現代は核家族が中心なので親がキチガイだとどこにも逃げ場がない。特に母子家庭の影響が大きいのはそういうことです。

一定程度のキチガイ人間が存在してしまうことはどうしようもないので、キチガイ人間からいかに子供を守るかという方向性で考えるべきです。そういう意味では毒親対策に最も有効なのは共同親権とかそこらへんの仕組みだと思うんですよね。家族サイズを大きくする。監視の目を増やす。そういう方向性。だから毒親がいかにクソかみたいな話は、個々人の回復のためには有益だけど全体の制度設計を考える上ではあんまり意味がないところがある。キチガイ人間が存在してしまうことはどうしようもないですから。キチガイ人間といかに共存するか、その害を最小化するかを考えるしかない。

「～～な俺が通りますよっと」これ死ぬほど嫌い。そのまま通り過ぎてどっか行って欲しい

受験の狂ってる時に一瞬考えて止めることを、何も精神的に狂ってない時にしてるの狂ってる

東大王もうんこ漏らすのかよ、っていう意味わからんネタを言った時、同僚がすかさず「知性と肛門括約筋の強さは関係ないから」って突っ込んでくれて、非常によかった

お受験戦争に必要なのは、父親の経済力と母親の狂気っていうやつの典型

ナショナリズムっていうと最近はもう警戒の色ばかりだけど、「大神」みたいな地域愛や郷土愛や固有の自然をもつゲームを楽しんだり、童謡を聞いてなつかしさに浸ったり、自分とこのオリンピックの開会式を見てじーんと来たりするのが、ナショナリズムのいちばん素朴で原始的な形だと思う。これらをあるがままに素朴に受け止めて感動できる感性は忘れないようにしたい一方、私利私欲を目的にこれらを利用する存在について、鋭く目を光らせておく必要がある。さもなくば人間の一番もろい部分をデマゴーグに突かれ、強制収容所の悲劇が繰り返されることになるだろう。

コンプラ破ればだれでも簡単に面白くできるからね。技術とか必要ないから楽。決められた枠の中で出来る人のほうがプロだなあって思う

身内に不幸があったって表現、その身内が反出生主義だったら「身内に幸福があった」って言い換えるべきなんかな。で、反出生主義が広まったら、みんな誰か生まれたときに「身内に不幸があった」って言いだすんかな

本当に博識な人ってとても低姿勢で、断言を避ける傾向があるように思います。そういった態度が誠実だと評価されるべきなのですが、一般人に対する“ウケ”が良くない。だからインスタントに楽しめる粗悪な断言コンテンツが流行る。 ショーとして楽しめるなら良いのですが、平気で嘘が自信満々で撒き散らされているのを見ると、辟易します。

平易な言葉でインパクト重視で自信満々に説明出来るのは説明能力のひとつだけど、それは正確な情報が前提。このおじさんも、嘘の歴史教えてた元芸人YouTuberも、自分の浅い知識と印象で説明する前に自分自身でちゃんと勉強しようよ。

詐欺師は容姿が一定水準まで整えられており、口がうまく、“爽やか”で、“ハキハキ”と話します。現代の泥棒はスーツでやってきます。唐草模様の風呂敷を背負った髭のある男ではありません。 一見好印象でも、よく疑ってみることも大事です。

他の人に紹介するときとかに「いい人なんだけどね…」みたいなこと言っちゃったらもう離れた方がいいサインだと思う。その人の本質は「いい人」の方じゃなくて「けどね」に続く問題点の方。

なんとなくわかる。狙いすました感があざといんだよね。自分は『約束のネバーランド』でそれを感じた。無駄なコマやセリフがぜんぜんなくて、「作品」というより「製品」みたいだとおもった

インフルエンサーが「転売は商売の基本」などと言いたがりますが、それは海で取れたものを苦労して山奥の村まで運んできた商人の言い分であって、村に着く直前で商人からものを奪う山賊のことではないんです

転売屋論争は「需要と供給で価格バランスが決まるのが市場」という建前が必ず出てくるけど。やってることの実態は「川を上流でせき止めて、困った住民に水を高額で売りつける」という山賊行為で、批判されているのはそっちの行為だという事に話のフォーカスを集中させるのがコツ。

なおmRNAワクチン接種で本当に2年や10年で「みんな死ぬ」場合、現時点で世界で10億、主要国で人口の7割、日本でも4割、更には医療従事者のほぼ全てが死にますんで、恐らくは「俺も打って死んでた方が良かった」としか思えないマッドマックス社会が到来します。打っとく方が明らかに分の良い賭けです

はやく国全体を覆うコスパ志向が終わって「いいものには金を突っ込んでくのが正義」「金は使ったらなくなるのではなく別の価値と交換される」「別の価値と交換された金はまた別の価値と交換されるのでガンガン使って世の中の価値の総量を増やしまくるべき」みたいになりますように

1970年代から50年かけて、マンガやアニメ、ゲームの受容層が高齢化した結果、それらのコンテンツが教養化して、マンガも読まないアニメも見ないゲームでも遊ばない人達は教養人の条件を満たさなくなったんですよ。オリンピックの演出が薄っぺらいという発言は、この層から出ていて馬鹿にされている。小谷野敦が喝破したように、教養は「丸暗記すれば誰でも使える知識」なので、パラダイムシフトが起きて使えなくなると、物凄い無力感が襲ってくるんですよね。だから、これまでマンガも読まずアニメも見ず、ゲームでも遊ばずに生きてきた人たちにとって、それらの情報そのものが不愉快なはずですよ。

若い人たちの答案の件。言論表現の自由は十分達成されており、現在は過度な言論表現の自由のために害悪すら発生しているので、法律にしたがって言論を適正な範囲に規制するべきだ。という答案があり、私の講義の無力さを痛感している。相手の気持ちや世間の常識を踏まえるべきだ。という見解もみられ、おそらくそのように教育されてきた上で、私の講義をほとんど聞かずに回答したんだろうなあ、と思う。

上記の答案に見られる見解は、至極もっともでありなんら奇妙な点がない。この採点者は何を言ってるのか？と思う人がもしかすると大勢かもしれない。言論表現の自由が担保されていると判断する根拠として、SNSでは誰でも「自由」に意見を表明することができるから、とする。SNSに何か書き込む前の段階で「誘導操作されているのではないか」と考えてもらいたいのだけれど。そのために常識や世間の大勢の見解の危険性の話をしたつもりなんだけれど。SNSが自由な言論の「思想の自由市場」だと思われているとすれば、そこを支配する人たちは簡単に我々を誘導できるわけで、そのためにその「自由」をさらに強化していこうとするだろう。

若い人ほど現状に最適化するのが上手い。氷河期世代が就職難を自分が悪いんだと内面化したように、これからの若い人たちは不自由を謳歌するよう自分の意識を作っていく

中国の若者が中国の政治社会に対して肯定的だというクロ現の特集を見ていて、案外、人間にとって政治的自由なんて大して重要でないのかもしれないと思った。もっとも自分が常にマジョリティであるという前提ならば。

「言論の自由は最大限尊重される」と「ちょっとでもポリコレのお気持ちに引っ掛かったら社会的にボコられて退場」が両方とも正義とされている世界で、若者に論理矛盾を起こすなというほうが無理なんだよ

「新自由主義」「市場原理主義」というのは、その性質上、必ず縁故主義に陥ることは歴史の示す通りかと思います。だから自由競争やりまくりのゲルマン人が貴族制を作った訳です。個人が不安定になれば、頼れるのは縁故ですから。

分断してるって言えるほど我々はなんか考えてるんだろうか？　ただ流れてきた音楽、キャラクター、情報に、自分らの既に持ってるデータベースに合致するものがあるとぴこーんと反応してるだけかもしれない

こういう時「○○すればいいだけでは」と素人考えを自信満々に開陳するブコメが付くが、どうして行われていないのか考える脳はないのだろうか。

アニメ化するなら15分で粘土になると思う

アスリートに限らず、頭がよくて努力もできる人が実際に成功体験を経て世界公正仮説をガチガチに内面化して、結果的に視界が狭く共感力の乏しい超自己責任論者になってしまうというパターン、よく見る

ポリコレの致命的なとこってポリコレもしょせんはイデオロギーの一つでしかなくて、ポリコレ自体に絶対的正しさがあるわけではない。だからポリコレ嫌だっていう人をポリコレマンが執拗に攻撃するのはある意味理にかなってて、そうしないと自分たちの正しさを主張できない、世の中を変えられない。ポリコレが世の中を変えるには、まずポリコレ教を布教する必要があるのだ。そういう文脈でいうと、結局は多様性だ民主主義だというポリコレさえ、けっきょくは正義（という名の「力」）の陣取りゲームのひとつでしかないのだなあと哀しくなることもある

ワクチンデマにはまっている元彼女をおれは救おうとしなかった、なぜなら自分の言論にそこまでの力があると思えないから、という話をしたところ、知人に「それでも本当にその人を大事だと思ってるんですか、大事だと思ってるならちゃんと説得しなきゃ」と言われてしまって「まあ、そうだがなあ」（それができりゃ苦労しないんだよなあ）と思った。彼いわく「適当なデマツイートしてるネットの医者アカウントより、本当に信頼してる人の言うことを聞くだろう」とのことらしいが、だいぶナイーブな思想なんじゃないか。実際は親や子どものいうことよりもネットのことを信じる人もいるし、お医者さんがいうことよりテレビを信用するジジババもいる。自分の言論にそこまでの力はないんだろうな、と思わされる出来事が多いので、その自信やナイーブさはある意味うらやましくもある

人を説得するときはデータや理詰めだと絶対に失敗するので共感こそが大事、ということを経験則や知識として知っているが、実践するのが単純にだるすぎるのでワクチンデマや宗教にはまってる人をみかけても（それがたとえ大事な親友とかでも）そっとしてしまう。自分の人生を一緒に沼に落とすぐらいの覚悟がないと踏み込んじゃいけない領域

今まで食べた栄養素など覚えていないのと同じで、1つ1つの体験や経験がその人を形作る。親が連れて行ってくれた記憶が消え去るわけでなく、次に受け継がれる。

金さえ配れば大多数の国民は言うことを聞くよ。更にいうと、言うことを聞かない人を積極的に叩いてくれるよ。金がすべてだと言うつもりはないけど、こと今回においては金で解決できる場面が多かったなぁという印象だ

ニュースも今日のスポーツがあるように、今日の文学、今日の音楽、今日の映画、今日のホビーとかのニュースがあっても良いと思った。ニュースショーで何の前置きもなしに「スポーツです」て、考えてみたら珍妙だな。「マンガです。今週のジャンプ、巻頭は〜」「文学です。まずはお〜いお茶新俳句大賞の結果から」とかも見てみたい。

「プレバト！！」（MBS）を観て思ったけど、「先天的な能力の欠如」の部分ってそんなになく、ハウ・トゥを教えないことが問題の場合が多い

当初は○○の問題点について指摘するというスタンスだった界隈が○○は全てクソ、○○に関わる人間、それを支持するファンも当然クソと戦線を拡大していくのはアンチ言論の末路として何度も見た光景ですね

スポーツが優遇される理由の一つに「誰が見てもすごいとわかる」（「誰が見ても」がポイント）「視覚的に映える」というのがありそう。だから応援する（あるいはさせる）人がいるし、テレビで流せば視聴率が取れる。

東京オリンピックはスポーツ嫌いにとっての『平成たぬき合戦ぽんぽこ』だったなと思った。虐げられてきた者達が「気晴らしじゃ〜」と社会に一泡吹かせるも、結局社会を変える事はできず、社会に飲み込まれていく。

「Aはいい奴なんだけど～～がね」って言ってるときの焦点は「～～」であって「いい奴」ではない いい奴、という単語はこれからAをディスるためのエクスキューズに過ぎず何の意味も持たない

双方、20年以上前の「過去の過ち」という共通点はあるものの、小林賢太郎氏の件は、言葉選びという「過去の表現法の問題」であり、小山田圭吾氏の件は、暴力行為という「過去の人間性の問題」であった。「過去の表現法」と「現在の表現法」の変化は、物理的に証明できるが、「過去の人間性」と「現在の人間性」の変化は、証明することが困難だ。きっと、「人間性」を問われてしまったら、誰も、万人の納得する答えなんて出せないだろう。その答えのない問い詰めが、過激な「キャンセル・カルチャー」を誘発する原因にもなっており、今回の問題にも繋がっている。

「はい、男を愛します」っていうだけで「えっ！？俺のことは愛さないでね」「なんか誰とでもヤッてそう」って言われかねないのなんなんだ 「はい、女を愛します」って聞いただけで「私のことは愛さないでね」っていうめんどくさい女と同じじゃん

マチズモから降りた日本人男性の大半はただのキモくて金のないおっさんとして扱われ差別されますマチズモから降りてなお他者に認められ社会の中で幸せになる道はマチズモで成功することよりさらに厳しい競争です

女性の生きづらさが個人の心がけや意識の問題ではないように、男性の生き辛さもまた個人の問題ではありません。/男性の問題をことある事に個人の範疇に矮小化しようとする人達の差別感情はどこから来るのか。

イオンとかに行って半額引きのウナギが大量に積まれてるのを見ると「ウナギが…絶滅寸前なんて…嘘だ！」って気持ちになってくる 自分の出身地のウナギが売れ残ってると泣きたくなるけど、これを買い漁って全部食べたところで来年さらにたくさん入荷するだけなんだよな～なんともならねえのかなっていう もうみんな食べつくして絶滅しちゃえよみたいな破滅的衝動さえある

半額引き惣菜があまりに多いけど、これちゃんと儲かってるんだろうかという明後日の方向の心配ばかりしている 自分の人生が自分事ではない

マジでサイコパスなやつは「自分ってもしかしてサイコパスか？生きづらいな」と思って診断を受けることがないので、診断を受けたいと思ってる奴はサイコパスじゃないという論理が成り立つかも

困り顔、どんなキャラで描いてもエロになるのが面白いな

社会は甘くねえぞっていうけどプロスポーツ選手なのアンタ！？って言ってやりてえ。温情はなし、成果を出さなきゃ戦力外通告というガチ厳しい世界がプロスポーツで、それに比べたら98％の社会人はあまりに甘い環境で働いている

アフリカに住んでいたとき、イレズミ（瘢痕文身）の無いぼくの裸体は、非文化的、すなわち野蛮なからだと見做された。身体加工は、高貴さや、名誉、そしてなによりも文化的存在であることを表す。これは欧州近代社会における「着衣」に相当するもので、ゆえにイレズミの無いからだは、猥褻でもあった。アフリカでは部族の仕来りに従って生活していたのだけれど、一つだけ従わなかった風習が「現地妻」だった。村じゅうの娘を集めて、選べと迫られたが断わった。もし、娘に好きな誰かがいたり、彼女に片想いの青年がいたりしたら、と想うとどうしても駄目だった。娘たちは選ばれたい素振りだったけれど。

これは文化研究をする者にとって悩みどころで、原則的にはすべての風習に馴化するけれど、どうしても駄目なものはどうしようもない。個人的にも、身体を重ねてしまえば、こころが動かないわけがないという問題があった。幸いにも、イレズミのない裸体だったし、肌の色もちがう他所者として赦しを得た。

軍事研究しなければ日本は戦争に巻き込まれないというロジックが成立するには、日本の領土、領海に野心を持つ国が存在しない事が前提となります。残念ながら中国が拡張主義を放棄しない限り無抵抗主義は無意味です

「本物っぽさ」だけの人は本物である事を維持するリソースが必要ないので「ぽさ」のアピールだけに注力できるのが強い。本物ができないことすらできちゃう。実際にしてみせる必要ないので

会社勤めしたことある人、もしくはデカい会社と取引きしたことある人なら分かると思うのですが、現実の世界には意思統一された巨大な悪の組織とか、どこにもないから。大抵のダメなことは、勤勉な愚か者が一所懸命働くことで引き起こされるんだよ、いやホントに。たしかにごく稀に「うわ、この人は邪悪だ」と思う人見たりすることもありますが、基本的には地獄への道は善意で敷かれてるのよ。ともあれ、悪人にしても愚か者にしても問題は個人に起因してるわけで組織名挙げて「@@が悪い」というのはただの思考停止だし他人の仕事にレッテル貼って差別してるだけ。てか、それは陰謀論への道なのですよ。と、もう何年も前からツイッター眺めては思っているのですが、特に今どきはねえ。顔の見えない「敵」とか安易に作っちゃダメなのになあ。

陰謀論なんてのは、対象に抱く念が「祈り」から「憎悪」に変わっただけの「偶像崇拝」に過ぎない

これ、ある意味、中国もそうじゃないかな。ただ、あそこは裾野が広すぎる、競争相手が多すぎる。多くがのんびりできない。国内ですでに苛烈。一人一人が必死なだけ、規模の違いがああなる。習近平さん一人の能力の結果というより、習近平さんという勝ち馬に乗り遅れないようにしている人の波も合わさって、世界を引っ掻き回している。一つの陰謀に染まった国家ではなく、国内で血だらけでやり合ってきた猛者達という感じ。怖い国だけど、煽り過ぎなければ、怖すぎる結果にはならないと思う。現実を猛勉強をしてきた人達なら。

うちの学科の機械学習をしている先生の話を聞く機会があったのだけれど、AIに自然言語処理をさせて「漫才」をさせようとすると、言語処理に要する時間のせいで間延びして絶対にウケない漫才ができあがる、って聞いて耐えられなかった。逆説的に人間や漫才の面白さとは何なのかを考えさせられることとなった

すばらしい詩人の一人である田村隆一はこう書きました。「沖にむかってどこまでも歩いて行くのだ　そしてひたすら少数の者たちのために手紙を書くがいい」私が十年とそこらブログというものを書いてきて、ずっと思っているのはこのことです。少数の者たちのために手紙を書く。こういった形で文章を世界中にさらけ出すにあたって、これ以外のことを考える必要はありません。ブログを書こうという人など、それ自体が少数の者です。だから私は、いつものように少数の者のために書く。あなたのために書く。ブログを書こうなどという、少数の者のために。

初期衝動さえあればいい。その衝動がただひたすらにものを書くこと、だれかの目に触れさせること、それを持続させることにつながるのだから。最初の「公開する」ボタンを押した瞬間からそれは始まり、あなたが息絶えるまでそれは終わりません。文章というものは、書けば書くほど上達するものではありません。それは肉体が衰えるのと同じように、年齢とともに衰えていくものです。あなたが十年もブログを書けば、十年前の自分の文章を見て、そのみずみずしさ、機転、リズムにおどろくことがあるでしょう。それでも、その十年前を読むためには、十年後が必要なのです。

少数の者たちのために書きなさい。あなたが特別な才に恵まれていないかぎり、あなたの書くものを読む人はあまりいないでしょう。ほとんどいないでしょう。しかし。少数の者のために書き続ければ、少数の者が読んでくれるようになるでしょう。そこにだけ届けばいいのです。それ以上なにを望めというのか。ブログを書くことによって、富を得るということは約束されません。人脈が広がるということは約束されません。人間的な成長が見込めるということも約束されません。なにも約束されるものはありません。しかし、ブログを書こうと思ったあなたは、少数の者として、そうすること以外に得られないものを得る権利を手にすることができます。なにも望んではいけない。ただ、書くことのみを望みなさい。

人生初の金縛り体験した。耳元でお経聞こえてきた。金縛りは睡眠障害なので聞こえるもの、見えるものは全て幻聴幻覚なのですが、お経は最初のワンフレーズしか聞こえてこなかったので私の引き出しの少なさが露呈した形となりました。知らないものは生成しようがないというか、ワンフレーズのお経聴きながら「教養がないとつまらないトリップになる」っていう麻薬中毒の人のツイートを思い出しました…

正直ジャルジャル のコントで一番好き

額縁に入れて飾りたい

ブルース・リーの言葉に「私は『一万通りの蹴りを稽古した』という男は怖れないが、『一つの蹴りを一万回稽古した』という男は怖れる」というのがあるらしいが、それを思い出した

さかなクンの本当の凄さは、公式の場でも着帽を許され、本名でなく愛称で通せるまでに自分の存在を認めさせた実力。いわば傾き御免を許された現代に生きる前田慶次。

この手の動画には名言とか心理学から真理を説いてるものを見受けられるけれど、自分の考えに沿うようにいいように捻じ曲げたり引用してるように思える。名言やことわざなんてのはいくらでも自分の考えに合うようなものが存在してて、説得力を持たせるものではないと思うの。見かけ倒しで胡散臭い

もうプロのコンテンツもアマチュアのコンテンツもぜんぶごちゃまぜに横並びにされちゃうでしょ？最初のしばらくは金にならないからとかそういう理由でプロの参入は少なかったわけじゃん。だからネット独自のアマチュアリズムが発達してブログもニコニコ動画も面白かったわけだけどさ。今みたいにハリウッド映画もネット配信で全部見られるとなるとともうニコニコ動画がなんか面白くなくなっちゃうんだよな。単体だと面白いなぁって思えていたものも横並びにされちゃうとなんか違うんだよ。

アマチュアならではのユニークなピアノ演奏をやっている人がいたとして、その隣で坂本龍一が演奏していてそっちの方が盛り上がっているのが真横にいるともうアマチュアの演奏も耳に入ってこないし、小さい盛り上がりの輪に入ることになんか冷めちゃうというかさ。おれバカだからうまく言葉にできねえんだけど。ブログも同じでアマチュアならではの面白さがあったはずなんだけど、今みたいにプロの書き手がちゃんと編集入った読みものを流していたりすると、なんかもう冷めちゃうの。この前もはてな村論争があったけど、盛り上がっているように見えないって、要はもっと盛り上がっているところが真横にあるからそう見えないってことでしょ？隣で大盛りあがりされちゃうと、横で小盛り上がりする気もなくなっちゃうっていうかさ。

昔はネットってプロもアマチュアも横並びだから真価が試されるって言われていたじゃない？でも最近はやっぱりプロってプロだなぁって思うというか、本当に横並びになってやっぱりアマチュアとは違うなって見せつけられたというか。ネット配信でハリウッド映画がいくらでも見られる時代に、アマチュアの作ったニコニコ動画で盛り上がるって相当胆力がいると思うんだよね。伝わるのかな、こういう気持ちって。アマチュアの楽園があったと思うんだけど、なくなっちゃったねえ、って話なんだけど。すごい暴力的に盛り上がりを潰されちゃったなって思っちゃうんだけど。もう今のネットって盛り上がりが潰された白けたムードのなかで、もう家に帰ろうかな、いやもうちょっといようかな、って状態じゃない？みんなは違うのかな？

大掛かりなドミノ装置をつくる動画があるけど、あれって撮り終わったあとの片づけこそ一番面倒そうだな。やっぱドミノは色別に収納するんだろうか、それとも用済みだから全部捨てるのかな？

各種スポーツのスーパープレイ動画って9割9分ダブステップの曲がかかってるけど、たまには和テイストということでおてもやんとか流してほしい 見に行くから

「自分は差別主義者ではない」ということを言い切ることほど簡単なことは無い。差別意識とはその被差別者と対峙した時に、ぽろっと溢れ出てしまうようなものなのだ。だからこそ、自分の差別意識に気付くことは難しいし、私は間違っても「自分は差別主義者ではない」などということは言えない。まして、日本で生活をしている限り、自身の中に潜む「自覚なき差別意識」を意識することは非常に難しい。このぼんやりとした差別意識という泥濘に自分の足で踏み込んでいくのは、とても辛くて苦しい作業だ。

1日1万人感染って聞いてもどこか自分は感染しないだろうって気になってるけど『毎日必ず1万名様に当たるキャンペーン実施中！』って言われたらめちゃくちゃ当たる気しかしないな。

モンハンで同じエリアに2匹モンスターおる時こんな感じになるな

知り合いの韓国人はまじで兵役が辛かったらしく、ダメだと分かっていても兵役がある以上男女平等ってあり得るのか？と疑念があると言っていて、分からんでもないと思ってしまった

日本に謎解きという文化が根付いたのって、日本語がひらがな、カタカナ、漢字のすべてを使うからなんじゃないか。英語で同じことをしようとするとかなり工夫がいる

QuizKnockのコメントによく「本当にいろんな才能を持った人が集まっている」って書いてあるけど、別にいろんな才能ではなくないか。スポーツで全国にいった人も、暴走族の総長をしていた人も、人の良さを見抜くのがうまい人も、材料工学のプロもいない。しょせんクイズやパズルや謎解きや受験という、本当に限られた範囲の勉学の中での狭い狭い多様性を「いろんな才能」って言い捨てていいんだろうか。

プリキュアを「フェミニズムが先進的だから」って理由だけで好きな女の子いたらめちゃくちゃ怖いな？

逆に、アニメとか映画で「この物語はフィクションではありません。実在した事件です」ってやってほしいな

よくFIRE生活の指南本ではアメリカ株のインデックス投資などが推奨されているけれど、過去の値上がりや配当が未来永劫ずっと続く保証なんてどこにもないのだ。まるでバックミラーをみて運転してるようなものだと思う。引き返せないくらい進んできた道が、ある日、行き止まりだとわかったらどうするのだろう。不安でたまらない。

人間の心が折れるというか冷める時って、「悔しい」「悲しい」ときじゃない。悔しい時はまだ頑張れる。本当に心を繋ぎ止めていた糸が切れるのは「こんなに頑張って、ばかみたい」と思うときなんだよね。最近、みんなの緊張の糸が切れてるのはそういう気持ちなのかなと思う…。ソシャゲで大爆死して、「こんなに課金して、ばかみたい」となって、アプリごと削除する。

自分が努力して何とかなる時は人間なかなか折れないけど、自分ではどうにも出来ない外的要因で追い込まれたのが 自分のせいにされると結構すぐ折れる。外的要因だから、頑張りようがないのに、お前のせいだと言われる/自分で思う、とあっさりメンタル壊れるよ

すごく小さい頃、ロースハムがめちゃくちゃ大好きで「大人になったらロースハム丸ごと一本食べたい」って夢語ったら、お母さんが「そういう夢は今叶えな！」ってお中元でもらったロースハムを一本まるまる渡してくれたのほんといい思い出。もらったハムは3分の1位必死に食べて、満足して返した思い出。大人になってから、なぜハムをくれたのか聞いてみたら、お母さんも子供の頃「大人になったら死ぬ程エンゼルパイを食べたい」と思っていたのに、いざ大人になったら別に食べたく無くなってたからって言ってた。

組織委員会にとって反省すべきは、この件で「騒ぎ」を起こしたマスコミその他と、それらに騒ぎを起こす隙を与えた自分たちの「脇の甘さ」だけ、「誤解を与え」「お騒がせした」ことだけでなんである。小山田圭吾本人や、その世代、あるいは彼らを自らの一員とする日本社会が持つ人間性に対する冷笑的な価値観を、今一度直視して克服しよう、改めよう、という考えなど皆目存在しない。

既存の体制や慣習など、自分より大きいものには賢く逆らわず傍観するだけの一報で、弱者や小さいものはいたぶって楽しむ。本質的にはそのまま何も変わらず大人になっている。そういう人々が大勢いて、世論の一翼となって、投票して、政治を支えている。

死ぬ夢って死ぬ瞬間で目が覚めるけど、あれって目が覚めなかったら本当に死ぬんだろうか。目が覚めるのって、脳が本当に死んでしまわないように直前でブレーキをかけるからだろうか。

は「偶然人の形をとったネットの歪み」「鍵のかかった空っぽの金庫」「模造感情のプラスチック塊」

芸術で生きるって、芸術で生きるのをある程度諦めなきゃいけないよね

最近の「無駄にしたくない」って意識が強くなりすぎてる影響だと思う(映画の良いとこを余さず理解したい、だけど短時間で分かりやすく、考察・伏線も全部知りたい、などなど…)

娯楽が産業化し、『消費者の持つ時間の奪い合い』になってる事も、背景にありそう。さらに皆に経済的余裕も無いから謎を楽しむ余裕まで無くなってて、そのオチが『動画製作者の広告収入』というのもどこか寓話っぽい

「特定されるかもしれないから気をつけよう」じゃなくて、「そもそも特定される事のリスクが分からない」までガードが下がりきってる感がある

「動かし方」と「なぜ動くのか」は全く次元が違う話です。どちらを習得する必要があるのかはやりたい仕事によって異なります。タクシードライバーになりたい人は車の「動かし方」を理解していれば十分で、「なぜ動くのか」は理解している必要はないです。しかし、車の整備工になる人、あるいは、全く新しい車を設計する人は、「なぜ動くのか」を理解していなければならない。

僕は人が動揺しながら何かを説明するのを見るのが好きです。動揺する人を集めたDVDがあったら買います。卒論発表で教授に詰められる大学生のDVDとか誰か作ってくれないかな

「人の夢を否定しない」っていうのはすごく良い心がけだしそうするべきだと思うんだけど、「それホントにお前の夢？」ってツッコミたくなる話についてはつっこんじゃうな。「場所に縛られない生活がしたいですね。旅しながら自由なスタイルで働きたいです」って、借り物の言葉で語ってる感がすごい。

怒りは代表例ですが、負の感情の方が「強い」し、「面白い」んですよ。もちろん、【ただの文句】とか【愚痴】は面白くないんですけど、一段抽象化された負の感情は面白い。「これめっちゃ腹立つ！！」話の方が「温泉つかって美味しいもの食べて最高だった〜」話より面白いでしょ？

表現規制するつもりはないが配慮しろ、消せとは言わないが消えてなくなるべきだって言説は卑怯だよね。まぁそこまではしょうがないのだけど、最近は「バズらせてスクラム組んで潰すのは正当な抗議」と開き直りすぎ

何かを人にしてあげたとき「自分があの人の役に立てていなかったらどうしよう」みたいな心配をすることがるけど、これは裏を返せば「自分のやることは役に立つべきである」というなかなか傲慢な価値観に支えられているという気もする。気がするだけで自分もおせっかいだからいろいろ手をまわしちゃうんだけども。

考えうる最悪の嫌がらせ、本人を殺すことではなく本人が愛するペットとか家族を殺すことだと思う。

移民が嫌いな人いるけど、どうせ移民政策が必要な頃には「来ていただく」みたいな扱いになってるよ

怒られたことをすぐ忘れる、という人もたまには怒られた経験を話してくれることがあるけど、その記憶は感情的な「嫌さ」と結びついてはいないのかな。怒られたという経験がニュートラルに、過去のものとして語られるのかな。それはけっこう不思議ではある。

お酒飲んだこともねえ小学生が書いてる飲酒防止標語、説得力ゼロなのよ

「危険物の持ち込みは禁止されています」ってアナウンス全然意味ないと思う。うっかり危険物を持ち込むようなおっちょこちょいは最初からそんなアナウンス聞こうともしないし、わざと持ち込む奴も「あっ禁止なんだ！」とはならないので。事後的に非難されるのを防ぐための、鉄道・バス会社による完全なエクスキューズ。

ゆっくり虐待を楽しんでしまっている自分が猫の虐待を非難できるのか、って思ってたけど、そうやって言い出すと聖人君子しか人を非難できなくなるので、どこかで区切りはいると思う。とはいえ「そうおっしゃるお前はさぞかし大仏みたいな人格なんでしょうね！？」というような輩も、ネットにはたくさんいる。

飲酒運転防止の子供標語あるある「お酒はね」

人間の生物学的限界といえば一般には身体のコントロール能力を指すことが多い。たとえばナノメートルスケールの指先コントロールとか、5トンの車を持ち上げるみたいなのは人間にとっては「生物学的に無理」と形容される。生物学的限界に「精神のコントロール能力」はあるんだろうか、みたいなことを考えた。例えばデスノートの八神月は類まれなる身体能力と精神能力（とっさの嘘をつく力、相手を洗脳する力）があったけど、「人間の身体能力では銃弾をよけられない」という理由で敗北した。もし彼がおとなしく捕まって取り調べを受けても、担当の刑事を洗脳しまくって無罪を勝ち取るとか、（在学中に司法試験に合格するほどの法律の知識を生かして）自分自身を弁護し無罪を勝ち取るみたいな、あきらかに精神能力から逸脱した行為も理論的には可能なのだろうか。それとも、やっぱりムリ？

よく「感情なんてものを土台にした正義なんて信用ならない、論理こそ一番だ」という人がいるけど、感情が刻一刻と変わってしまうからこそ、正義は普遍的でなければならないのだと思う。たとえ時間とともに正義の意味や定義が変わってしまうとしても、ある時代において普遍的であるべき価値観は存在していて、それを人類は少しずつ掘り起こすことに成功しつつある、と前向きにとらえている。

猫ちゃんがけんかしてる動画で、親が「仲良く！家族でしょ」って言ってたけど、同じ狭い檻の中に閉じ込めといて「仲良く」っていうのなかなかサイコパスみある

カウンセリングにいけ、ケアが必要、行政の理解が必要、などは全て「俺は知らないので誰かなんとかしろ」と等しい意味を持つ。リベラルはそれらのコメントを発して誰かを救った気でいるらしいけど、その程度のことしか言えないのに勝手に快感を得てるんじゃねえ、そんな奴らは嫌だから俺は沈黙を続けるぞ、という姿勢もそれはそれで誠実かもしれない。現実でさえ、手出しできない人に手を差し伸べようとはしないのだし。身の丈に合った怒り方をしましょうという話です

低糖質食や低脂質食が高価なのって、単純に人間が「ドバドバと砂糖と油が入ったものを食べたい」と思っているから量産効果で（売れるという理由で大量に作られて）安くなっているのか、それとも原材料がそもそも安いからなのか、どっちなんだろうか。スーパーで大福が５個１００円で売られていて驚くことがあるけど、もし低糖質が大好きな人類なら（そんな人類生き延びてきてないだろうけどね）大福は５個で１０００円だったのかもなあ、とか考える。

ツイッターとかで「まただ！おれはADHDだ（と自己診断した）」と言ってる人がいるけど、自己診断だけで何もしないのは、自分が健常者である可能性を確定されたくないからなんじゃないか。もしADHDじゃなかったら本当に生きるのがしんどいただの無能であることになってしまって、自分自身のよりどころがなくなってしまう。

多様性だなんだ騒いでますけども、固有の特性に従ってグループを分ける方が差別は少なくなりますよ。修学旅行のチーム分けでヤンキーと一緒なのは嫌でしょう？オタク友達と同じチームのほうが気楽でしょう？そういうやつです。リベラルの願いに反して、人間の感性や感覚はあまりに原始的にできすぎている。「だからこそ多様性なのだ」「分断はまずい」という意見は尊いけれども、なぜ分断がダメなのか、なぜ多様性がよいのかまで突き詰めて考えている人はそうそういない（個人的にはそれは「民主主義国家が人権をレジストリとして定めた時点で出てくるジレンマであり、あくまで優先させるべきなのは少数派の生きる権利である」とは思っています）

大人になるとはいうけど、それは実際に精神が大人になるというより、大人になったフリがうまくなるだけである

議論をするとき、「その単語の意味は○○であってる？」ということを確認すると明らかに鬱陶しがられるのだけど、お互いに異なる意味で単語を使ってて衝突が起こるほうが面倒じゃないか。

「大人になる」というのを私は「場をわきまえた思慮分別が可能である」という意味で用いている。単に体が大人になっただけでは大人とは呼べなくて、例えばもう60歳なのに「自分を一番に優先してもらわないと気が済まない」という４歳児の子みたいな大人もいるけど、それは大人とは呼びたくない。で、そういった思慮分別とは「先読みして考えられるステップの数」なんじゃないかと思っている。「ここでわめけば確かに自分が一番優先されるんだろうけど、長期的に見れば自分自身の評価が落ちるので意味がない、ここはおとなしくしておこう」という先読みこそが思慮分別の証で、私の思う「子ども」にはそれがない。そしてこうしたステップ数はおおむねIQと相関するということが「ケーキの切れない非行少年たち」で書かれていた。残酷だが、私の「大人」の定義では低知能の人は大人とはみなされないが、これは社会通念上でもそうなのではないか。法律における「責任能力」みたいな。

ジェットコースターを思い切り楽しんだ後、「人類はとうとう自らのスリルのために重力によるエネルギーの比率（位置エネルギーと運動エネルギー）を支配するようになったのか…」とつぶやいたところ「メタ能力がすごい」「生きてて楽しいのか」「メタまでが早すぎる」などのことを言われました。楽しいです。

研究者はいったん自分を棚上げして客観化することを営みとしている。ヒトラーの悪事を研究するのも、ナチやヒトラー、彼らの行いが悪いか善いかという価値判断はいったん保留して、その行為や当時の価値観だけに焦点を当てる必要がある。さもなくば優生学のように「これは科学的に善い研究なのでいくらでも応用しても構わない」というモラルハザードになったり、自称フェミニストの社会学者のように、自らの性被害を受けて思想を先鋭化させていったりする。科学者が客観化を営みとしている一方で、科学者でさえ、当事者になると「価値観を保留したくともできない」（=目が曇ってしまう）という、どうにもならない問題があるものだ

「普遍性」というのが科学の一大テーマだけど、自然科学と異なって文系寄りの科学はどうしても人に依存してしまい、それが難しい。理系の人が「しょせんあいつらは」っていうけど、その面の難しさは本当に理系の比じゃないよ。特に、同じような結果をどう解釈するかが難しい。「いつでも」「どこでも」「誰でも」が科学の再現性のための条件で、そのうちひとつでもズレると解釈の幅が広がってしまう。光の速度を計測するのは、ある意味は文学作品の解釈をするよりよほど簡単である

たとえば男性の社会学者が「生理は思ったほど重くなく、女性の多くはその苦痛を錯覚している」という旨の（非常に科学的で緻密な）論文を出したとしても、それが良く評価されることはもはやないだろう。この面は人文科学の研究者が抱えるジレンマで、自然科学とは徹底的に異なる部分である。すなわち「私はこれこれを研究します」というポーズ自体が、その研究者の思想をはかるためのひとつの手がかりとみなされてしまう。

暴力よりも法律のほうが怖いよね。法律ヤクザは単なる暴力よりもさらに強い暴力、すなわち公権力を行使させることができる。結局暴力であることに変わりはないのだけど、相対的に強さが段違いだ。国のお墨付きを得た暴力である、という文脈で。

焼鳥の具に「バター　200円」ってあったら、あのバターか？？と思いながらぎりぎり頼んでしまいそう。で、やっぱあのバターが出てきて後悔して残しちゃいそう

人権はイデオロギーである、という思想は民主主義国家ではほとんど認められていない。本当は人権なんてただのイデオロギーなのだけれど、そうやって人権を相対化すると国自体の根幹が揺らいでしまう。ちょうど、絶対王政下で王様のその権力性を疑うことと似ている。

我々は「嘘はダメだ」と思い込んでいるけど、論理的にはそれは知り合いの間のみの話であって、二度と会わないであろう相手に嘘をつくことのデメリットはひとつもない。嘘をつくと信用を失うからこそ嘘はまずいのであって、二度と会わない相手にならいくらついてもよい。そういった打算的、論理的な論調になんとなく首をかしげたくなるのは我々に良心があるからで、そういった文脈で私は人間の良心を信頼している。

「あの感動をふたたび！」ってスポーツ番組のCMで言われるけど、そう言われても…どの「ふたたび」だよと思ってしまう。

バイアスを語る人でも、それはバイアスでは、と指摘されることを嫌がる。自分の思考こそがニュートラルであるというバイアスから抜け出せていない。

マサチューセッツ工科大学（MIT）の赤本とかいう知能指数高くて低いパワーワードすき

グロ動画を見ているせいで、極限状態での人間の行動に興味がわいてしまった。例えば上半身と下半身が分離される事故」の動画では、そのすべてはもうじき死ぬのに（もう助からないのに）上半身で這って下半身を拾いにいこうとするけど、それってなんでなんだろうか、みたいな。死ぬという可能性を認識できず、ボールを拾いにいくみたいな感覚になっているのだろうか。それともパニックなんだろうか。誰か研究してほしい。

ネット炎上の本質は数の莫大さというより、SNSで強制的に意見を見せられることにあるのではと思う。毒虫がうごめいていてもそれが石の裏なら気にならないのと同じで、莫大な数の批判を見せられると病む。だからみんなブログ書いて各々のプラットフォームで批判すればいいのに。

「士業は一生モノだもんね」に対する「あー確かに武士も一生モノだね」すき

小学生の家庭科でポテチ作る企画があったんだけど、試食の段階でうますぎて誰かがバクバク食べ始めて、それを見たみんな、自分の取り分が減るのを嫌って食べ始めて、最後に分配して出てきた量はめちゃくちゃ少なかった。あれは完全にコモンズの悲劇と化してたな

パンの横にリンゴ酢、和菓子餅の横にトクホの茶、人間のあらゆる欲と惰性につけこむスーパーの勢いを感じて結構好き。

大人になっても恐竜の服着てる人ってやっぱり恐竜がすきなんだろうか。子どもが着てるっていうイメージをひっくり返してでも着たいってことは相当好きなんじゃないか。

自分はサイコパスかと思って診断したら「異様なほど魅力的でモテる」とあってそこで違うなってなった

キャラクターや生き物が描いてあるTシャツを選ぶときは、そのキャラがエロいか、そのシャツをオカズにできるかどうかで決めているのだが、調べたところこれは少数派らしい…。

ビー玉を親戚にたくさんもらったと教え子がいうので（用途がなくないか）と思いながら聞いていたら床に転がして遊ぶらしい。自分の不見識や発想の狭さを恥じることしかできなかった。子供って丸いもの好きだからなぁ

普通にやればいいでしょ、普通はそうするでしょ、みたいに、「普通の」という単語をよく使う友人がいる。普通という言葉はその人（あるいは多くの人）にとって思考の省エネ、思考回路の短絡装置になっていて、「自分は普通ではないかもしれない」「普通とは何か」みたいな問いから自分を遠ざけている（そしてそれはある意味不誠実である）と私は思うのだけど、そう思う人はたぶん普通じゃないんだろうな。

閉店でもないのに蛍の光が流れ始めて、みんなが明らかに片付けのペースを速めだしたのに笑ってしまった。日本人の心に深く根付いている音楽だ

思考を整理する唯一の道具が言葉だと思っているので、言葉がない人の思考をもはや模倣できない。昔は自分もそうだったのだろうけど。

オタ活はMPを現金で買ってそのMPをHPに変換する行為みたいな感じ

稼ぎと貯金によるから、あんまり「趣味に〇円使った」って言われても、使いすぎとかそうでもないとか客観的な判断しにくいよな実際。

最近すこぶる頭の良い友人が出来たので興味深く観察してるのですが、彼らは様々な事象に関してその理由を科学的に理解出来る故に日常に驚きが少なく、故に予想外のダメージを負った際にマゾヒスト的な興奮を示しており、テンプレなマッドサイエンティストの表現は正しいのだと言う知見を得ました。何というか、頭が良い人は基本的に知識を吸収することを苦に感じる事がないし、でも日常の事象は説明出来てしまうから刺激にならない。だから知識外の攻撃に関して「新しい餌が来たぞヒャッホーイ！」って狂喜乱舞して周囲からヤバい人認定されるんだなぁ、って微笑ましく見守ってますね。

上品だけが良いと言う意見は“正しい”から恐ろしい。そう苦情が来たら、多くは下品な物を出せなくなる。例え正しくても、門徒が狭くなる事は迫害を産む事を忘れないで。YouTubeやTVだけじゃない、世のマイノリティは、貴方が好まなくても、生きる権利がある筈。

どこの国の人でも、金持ちには優しいでしょう。私は八百屋以外の商店でも、値切ろうとしたわけでもないのに、店員に人種差別的な嫌味を言われた経験がたくさんあります。一方のひろゆき氏は、パリで「この国が気に入らないんだったら、さっさと自分の国に帰れ」など、外国人差別・人種差別の痛罵を浴びせかけられた経験はお持ちなのでしょうか。氏がパリに建つアパートの一室に住んでいるのは事実なのかもしれません。しかし、それはフランス語を使ってフランスで働き、フランスで生計を立てているのとは違います。結局、ひろゆき氏は北海道や沖縄で暮らしているのと大差はないのです。

自分にとって異文化であるものを醜いと感じることは、実はよくあることです。ところが日本人は、そうした知識や経験に乏しかった。「日本人は立派であり、まさか人種差別の対象にはならないだろう」と思い込んでいる人も多かったのではないでしょうか。動画の報道に戸惑っていたところ、「あれは人種差別ではないんですよ」と言われて安心した。そんな人は相当数にのぼったのではないかと考えています。自分の経験や教養といった「智」を通じ、「何が差別で、何が差別でないか」を考えに考え抜くしか方法はありません。表層で騙されて「これは差別じゃないよ」と間違えてしまうか、真相をしっかり把握して「これは差別だ」と看破するか、その重要性を今回の騒動は教えてくれたと思います。

本気ネタが出た時の嬉しさって、給食でうずらの卵が2個入ってた時の嬉しさに似てる

世の中には「人から嫌われない人」を嫌いな人がいる。同じように「誰も傷つけない表現」を憎む人もいる。つまり万人に受け入れられることは絶対に不可能

いっつも思うんだけど、そこまで自分は問題に向き合って考える事が出来てると言うのなら不正解の糾弾ばっかりしてないで自分の思う正解の１つでも提示してみてほしいですね。もちろん、「自分で考えろ」はナシで。

仮説の一つとして「もしかすると住む世界や見てきた風景があまりにも違うのでは」ということが考えられる。たとえばこのブコメ読んで軽く仰天したんだけど。「私の幼馴染が自分の妻の前歯を全部折って逮捕された時、私の両親は「(やったらダメなことだけど)旦那を怒らせる嫁も悪いよね」と評してた。加害者に同情的というのは、こういうことで、珍しくもないこと」。これが多分この人にとっての「ふつう」、この人にとっての「リアル」。でも私の幼馴染にはこんな暴力的で卑劣で犯罪者な人はひとりもいないし、そんな事件の話を聞いてこんな狂ったコメントをする両親もいない。妻の前歯を全部折る夫の話なんて知り合いの話としてすら聞く機会がない。これが私にとっての「ふつう」、私にとっての「リアル」。あえていうと、ご自分の周囲の環境の異常性に気付いてるHanPannaさんご本人ですら、もしリアルで出会ってしばらく付き合ったら私は、相当強い違和感というか価値観や感性や習慣の差を感じるのだと思う。

ネットで物凄く攻撃的だったり上からだったりしつつ、異様な前提を振りかざしてくるフェミニスト、それが通じなくて相手にキョトンとされたりドン引かれたりすると「とぼけるな！」と怒り出すフェミニスト、もしかしたら自分の異常な生育環境や文化や空気を世界全体と混同しているんじゃない？そういう意味では相対的な視点の無い田舎者っぽい人なんじゃないか仮説。加害者に同情的というのは、こういうことで、珍しくもないこと。

珍しくもないこと。」って言われても、あなたのそのエピソードは登場人物全員（それがふつうのことだと思ってる語り手含めて）があまりにも衝撃的であまりにもぶっ飛んでいるように私には感じられるんですけど。前歯全部折る人もそれを肯定する人もそういうの良くないと思いながらもありふれたことだと考えてる人も私はこれまでの人生で一度も接したことがない。珍しいとか軽く通り越してる。それが普通だと思ってみんなの前提だと思って話を始めてるせいで、多くの人に「何言ってんのこの人　こわ…」と言う反応をされて、それをとぼけられていると確信して更に怒る、という不幸な循環起きてない？

若者が「おれって・わたしって何者なんだろう」「何者にもなれない自分っていやだなあ」と思いがちなことについて、大人（若者と対比したときの大人）は「そんな悩み自体が陳腐だよ」と考えがちだけど、陳腐かどうかとその悩みに価値がないかどうかは全く別なので、悩める若者に「そんな陳腐な悩みは持つな」とは言わない大人でありたいと思う。何者にもなれない自分、を語る若者に上から「そんなの考えてもしょうがないだろう」「また始まった」などの厳しい言葉をかけるアカウントも（特にTogetterで）散見されるけど、「あなたはそういう悩みを持たずに済んだんですね、よかったですね？」と皮肉の一つでもいってやりたいよ。おれは自分が何者か常に問われているので若者の現在進行形の悩みが非常によくわかる

ある英国人がオーストラリアへ移住しようと移民局で手続きを始めました。

移民局：「犯罪歴はありますか？」

英国人：「やはり必要なんですか？」

４人目の子を身ごもっている妻が、新聞を手に持ち青い顔をして震えながら、俺にこう言うんだ。「あなた大変よ！生まれてくる子の４人に１人は中国人って書いてある！」

まあ最初は必要な意味のある「成功」だった。勝つことによって人の命は輝き光を放つ。そういう「生」の輝きと成功は最初つながっていた。なのにどういうわけか、積み上げていくとある段階でスッとその性質が変わる。成功は生の「輝き」でなく「枷」になる。いつの間にか成功そのものが人間を支配、乗っ取りにくるんだ。成功が成功し続ける人生を要求してくる。本当はあえてここは失敗をする、あるいはゆっくりする、そんな選択だって人にはあるはずなのに、積み上げた成功がそれを許さない。棺さ。お前は「成功」という名の棺の中にいる。動けない、もう満足にお前は動けない。死に体みたいな人生さ

僕の持論なのですが、どんなに素晴らしい正義も、エンタメ性がなければ拡散されません。だからメディアはどんなにお固いニュースだろうが、美女に群がり、死にかけの子どもの写真を撮りたがる。”美女”という分かりやすい画面映えや、”死にゆく子ども”という分かりやすい悲劇を求める訳です。

英語の理系ジョークで、「ケーキを食べすぎるのは暴食の罪だが、パイは許される。パイの罪(sin π)は常にゼロゆえ」というものがあって、ゼロカロリー理論並みのガバガバさを見た

私は死を救済だと思っている。何故なら現世がクソだから。生きているより死んでいるほうが絶対に楽だから。でもこの『死は救済』という考えは、死後に今生きている自分が消滅すること、または全く違う人間に生まれ変わることに基づいている。昨日、YouTubeで偶々おすすめに死後の世界についての特集をしているテレビ番組の動画が出てきた。コメント欄には『死後の世界で死んだ人に会えるなら嬉しい』といった死後の世界への肯定的なコメント多く書かれていたが、私はこう思った。もし死後の世界があるなら、死んだ後もまた人間として人間と関わらなければいけないのか？また容姿も中身も変わらないまま生きなければいけないのか？？？？？死んでも別の世界で自分としての意識があるならそれは生きてる事と同義だろう。もし死後の世界があるなら、この世界に私の考える死は存在しないのかもしれない。簡潔に言って地獄だ。

中学生とか高校生とか大学生みたいな年若い人にはわかんないかもしれないけど、人間ある程度の額の税金を納める年になると世相や社会の動向ってのに無関心ではいられないし、無関心でいちゃいけないのよ。このオリンピックにどれだけの税金が直接間接的に投じられたのか分かっているならなおさら。

現実世界で口にだして他の年長者(職場、親、親戚)とか同級生とかと議論とか意見交換したいな、って最近思うんですけど余程上手にやらないとひねくれてるとか拗らせてるとか思われそうで難しいんですよね

ポリコレって物語の細部とかキャスティングが差別的じゃないかっていうことを確かめるためのガイドラインみたいなもんで、多様性を作品自体のテーマにすることとは違うと思うんだけどそこを混同してる人多いよね

たとえばモデルナとの守秘義務がという言い訳は、たぶんtwitterでツッコまれた誰かに対しては有効だったんだろうけど、本当に単なる言い抜けだった。これは「なぜ政府レベルでも情報を伏せ、地方に無駄を強いたか」という話なんだから、守秘義務の話は関係ない。情報を伏せられてた出先機関や地方役人なんかから見れば、バカバカしい限りだろう。この、どんなことでも「うまいこと言う」を目指してしまう思考の偏りが、感染症対策のようなサイエンティフィックなトピックで、彼らが（われわれが）無能になる原因に思われてならないんだよね。うまいこと言うには本質を外す必要があるから。これを逆方向から証明してるのが、「うまいことしか言わない人」がもてはやされて、司会者やコメンテーターとして重宝される風潮だ。世の中に有能な人は山ほどいるけど、当意即妙の空気を読んだコメントを連発できる反射神経の持ち主だけがテレビでは生き残る。われわれは、たとえばお笑いとかで「うまいこと神経」を鍛えすぎてるがゆえに、ベタベタの胸のすかない事実を言う専門家の言うことを正面から受け止めきれないところがある。これはたとえばノーベル賞受賞者の報道なんかを見ても明らかで、対象となった業績の時代背景や科学的な位置づけ、どうしてそれが画期的かなどを正面から取り上げた、一般にわかるような報道ってぜんぜんない。これも本当に危険だと思うんだよね。「うまいことしか言わない人たち」って、どんなトピックに対しても常に本質を捉えてるような顔をしてるけど、専門性はぜんぜんないから（あるいは、普通の専門家同様、自分の専門しか知らないから）、印象的な情報から普通の人が導きがちな間違った解説を、高い説得力で供給してしまう。ぎりぎりの事実を正面から見据えて取捨選択して積み上げない限り、自然の本質なんか見えてこない。そしてわれわれが相手にしているウィルスによるパンデミックとは、妥協も疲れもなく単に環境に合わせて増えたり減ったりするウィルスと、どんな対策をしても統計的にしか反応しない人間社会という、まさに自然物同士の関係によって生まれるものであり、自然が見えない人が資源配分していては、うまく対策できないのも当然のことだろう

「素人でも分かる」って言い回しがあるけど、素人が自明だと思ってることも、玄人からすれば当然ではなかったりもする

世の中というのは割合で考えないと心を病むので、集団には必ず「逆張りする層と、指示などを理解できない層と、指図をされるのが嫌いな層」を最大限に見積もって、どうやっても一定の割合を占めるもんだと思っておかないと義憤で心をすり減らして怒りが薫習されるので心の健康によろしくないですわな

今日現場でわりとでかいミスがあって顛末書どうするか話してたら若い子が「国のせいにするってのはどうです？」って言ったのめちゃくちゃ面白かったんだけど笑ってるの私だけだったんだよな

20年間戦争した結果、めちゃくちゃ強いタリバンが出来上がるという最悪の展開になってしまった。

ある食品工場でひたすら流れ作業をしてたとき、隣で作業してた同僚が突然「こんなたくさん誰が食うんだ！」と絶叫。よくあることだと気にも止めなかったが、翌日からの休日を経てバッタリと会社に来なくなった。よくあることだ。

インターネットに対する誤解、この地球に根を張るために、『俺を受け入れれば今までとは違う新時代がくる』みたいなプロパガンダを喧伝し続けてきたインターネットさんサイドにも非はある

一人暮らしで自宅療養なんてどうするんだ！つっても、人に干渉されるコミュニティが嫌で都市一人暮らししてるはずなんだから、税金と保険料さえ払って（意識しないうちに天引きされて）いればいつでも中程度の医療が受けられる前提が一生崩れないという賭けに負けた事実を認めるしかないのでは。

「物を持たず、カフェやコワーキングスペースを使って都市を家の一部として暮らす」なんて、社会と政治を完全に信用してないと出てこない発想じゃないですか。

「人の幸せをねがい、ひとの不幸を悲しむことができる それが人間にとって一番大事な事」というのは嘘だ。 そんな事できなくたって子孫は残せるし 恋愛だってできる。 人の幸せをねがっても、不幸を悲しんでも 幸せにはなれない。

ストレスってバトンリレーだよな。立場の強い人間が弱い人間をはけ口にしてストレス解消する。誰にも渡す相手のいない最下層は、どんどん体に毒素が沈殿してくる

「コストが高いので実用化は困難」と言って研究開発に注力せずにいたら他国では技術革新で採算が取れるようになって日本が取り残された技術の一覧 – Wikipedia

「誰でも良い」は「恨み等で特定の人をターゲットにするというわけではない」の意味なのに、何故か「完全ランダム抽選にします」と解釈する人が居る不思議

20歳前後の奴にとって、35歳なんて言ったらずっと先の話で、成熟していて当然の大人だと思えるんだろうな。でも20歳と35歳の間には、5歳と20歳ほどの大きな差は無い。まして喪男人生であるならなおさら。

東京23区内でどこがどうとか多摩格差とか町田は神奈川とかそういうネタは誰にも通じて当然の話題として持ち出すけど三河・尾張や福岡・北九州などは一緒くたにするいつものツイッターランド民なのでした。めでたしめでたし

感染爆発で、帰省や旅行などの県を超えた移動は原則禁止して、お仕事での県外移動はそのまま続けるみたいですが、「こいつは県外に遊びに行ってるから感染したろ！」「お、こいつは仕事で移動してるな。感心なのでスルーしてやろう」と、賢いウイルスくんが人間を区別するのが前提になっててすごい

彼女「私が何で怒っているかわかる？」彼氏(心理学専攻)「怒り以外の有用なコミュニケーションツールがあることを知らないから」

この「私が何で怒ってるかわかる？」という問い、受動的で傲慢な態度が薄ら透けて見えるんですよね。怒りの原因を探してケアを行うことを全て相手の責任として放り投げて、自分は感情に身を任せて怒り散らして、相手の感情を抑圧している。わたしはそう感じます。自分の心を100％齟齬なく相手にわかってもらいたいのであれば、怒りなどという解像度の粗いコミュニケーションに頼るのではなくて、人類の叡智である言語を最大限に使ってみたらどうなんですかね。

何年か前にススキノで見かけた「俺の祖先が人類で初めて火を使ったんだ」と言うおじさん元気かな。喫煙を店員に注意されたらしいのだけど。

共感能力に欠ける人「腫れ物に触るように扱われる」と「丁重に扱われる」の区別がマジでついてないタイプがいて、こういう人は「ひたすらめんどくさく振る舞うことで丁寧（実際には違う）に扱ってもらえる」という成功体験を持ってるので、無限にそれ繰り返す。親がめちゃ甘かったケースもあるが

俺のYouTubeの使い方が間違っているのかいきなり羊の金玉を大量に携えてこっちを見ている獄卒みたいなおじさんの動画をオススメされています。

謎の「業界内ルール」に理解を示すことが、「優れた消費者」であるという価値観にツイッター民は毒されすぎの気がする。

現代、本人の努力だけじゃ無理だよねという人生のネタバレが進んだので、資本を稼いで好い思いができてないのはお前が悪いという資本主義的言葉に説得力がない

一貫性がないと揚げ足を取られるが一貫性を保ち続けると狂人になってしまうインターネット’20s

中国が子供の教育に際限なくカネかける競争を止めさせようとしてるの、何度も興亡を経験しているだけあってさすがとしか言いようがない。

小学校の頃から終業式・始業式のようなアホらしいセレモニーが嫌いで、特に卒業式は時間が長いので大嫌いで、その卒業式の練習については発狂しそうなほどマジで大嫌いすぎたのだが、そうした刷り込みを何度も繰り返したせいで、オリンピックの閉会式の映像を見ただけで無意識に目をそむけてしまった。高校生ぐらいになると「権力者により無意味に長時間拘束される」というのが人生において回避不能な頻出イベントだと理解したので「手ぶらでも暇しないように、常に頭の中に、考えるべき数学の問題を入れておく」みたいな癖がついた気がする。式典が始まる前に、ひたすら東大の過去問を熟読してたな

古典的怪談は「花子さんに殺された友達がいる」噂形式だったのに、2chの怪談は自分の体験談形式だから「書き手が生還する」縛りが発生して早々にマンネリ化したところ、SCP財団が登場して自由に殲滅可能になったんだよな

雀荘でバイトしようと思ってGWに入る前に求人出してる雀荘に電話したら「あなたに覚悟はあるの？」と言われ確認してかけ直しますと伝えて、それからずっと覚悟があるか確認し続けてます

他人からみてペットをちゃんと世話できるように見える幸せそうな世帯はペット抜きでも幸せであり、従ってペットを捨てても特に支障がないから捨てる理論は納得感がある。

私は出世するポジションが「管理職」しかない組織は嫌だなぁと思っています。理由は管理職なんて誰しもが向いているわけじゃないのに、管理職にならないと「使えない平社員」みたいな扱いを受けがちだからです。あらゆる職種で「スペシャリスト」という生き方がもっと広がってほしいと思ってます。

「『アラジン』の冒頭でアラジンはパンを盗むけど、それを空腹の子供たちにあげちゃって自分はお腹を空かせたままになる。鑑賞者はアラジンの好感を抱くが、盗まれたパン屋の気持ちは描写されない。これが好感度コントロールである」ってことなんだけど、読んだあとしばらく創作する気にならんかった。ではこれを解消するための”言い訳”はどうするの？という問いに対するアンサー、安易に考えると「パン屋を邪悪にする」とかになりがちで、それはすべての”悪役”に適応される考え方なわけで、「主人公のプロパガンダを永久に行うことになるのか…？」っていう絶望みたいなものは常に心のどこかにある。それはそれとして”お金をいただくお仕事”としては「ハンバーグが食べたい！」というお客さまに「なるべく美味しいハンバーグをお出ししたい！」でそのへんをカットする図太さも必要で、俺の場合は「折り合いを付けるために表に出ない膨大な設定を作る必要」が生まれる。

そういう意味では「俺は俺の”面白い”だけを絶対原理として創作するぜ～～～！！！」の強さを感じることもあるし、トップスピードのまま”時代の壁”に激突して大破している様を見て「流れ星が落ちた…アンタの閃光…見届けたぜ…」と思うこともある。「自分が何に対して忠実であろうとするか」を意識無意識に関わらず決めてる人は（時代にとって）正しかろうが間違っていようが強いし、心を折らずに作り続けていくためにはそれが必要

現代文明は人間に対して大量の労働力と時間を提供した。個々の人間が様々な義務（水汲みや保存食の量産）などから開放され、そして余った労力と時間を個々の人間が注ぎ込みたいものに注ぎ込むようになった結果、非効率化が進み、大勢の人間が貧困と過労に苛まれるようになった。人間社会が義務的労働に溢れていた時代、それは非常に高度に効率化されていて、多くの人間はほとんど無駄な時間を過ごさなかった。水を汲み、食事を作り、掃除をして、生産活動を行い、少しの楽しみを得たあと、日が落ちる前に寝る。その活動の中で人間は健康健全に育ち、近代化の礎となった。現代人はそうした「効率的な労働」から開放され、スマホを弄ったり、SNSで自己表現したり、子供の人生を豊かにしようとしたり「非効率な趣味」に没頭している。その結果、殆どの人間から、効率や合理という感覚が失われてしまったのである。皮肉なことに「近代文明が人間から近代化に必要な能力を奪いつつある」のだ。例えるなら、岩山を毎日登って鍛えた体でトンネルを掘った、そのおかげで子供達は岩山を登る必要がなくなった、だが子供達の体は弱くなり、孫のためにトンネルを掘れなくなった、そういう事が起こっている。人間はいずれ老いて死ぬ。トンネルを掘った屈強な祖父が死んだ後、孫達は経年劣化で崩壊していく祖父のトンネルを怯えながら歩く毎日だ。現代日本もそれと似たような状態にある。上の世代が作ったものが崩れていく恐怖はあるが、かといって自力でトンネルを掘る肉体がない

ボンヤリと思ってた事ですが、リベラルというのは社会を維持管理していく主体になるつもりが無く、「維持管理を全部保守側に押し付けながら保守を批判する」みたいな事をしているので、保守が弱体化してリベラル優勢になると社会の維持管理が行われなくなるんじゃないかみたいな

「ネットで狂人枠をやっている女性は実際に会うと美人率が高い」という話だけど、京大東大早慶みたいな難関校の学生ほど大手を振ってこれみよがしにバカをやるのと同じ構造だよな。自分の価値というものが安堵されている、「美人バリア」で嘲笑や侮蔑を無効化できるから安心して全力で狂人を楽しめる。まあ「人間みんなバカや狂人になりたいが安全が保証されないので我慢している」面はあるにせよ、「賢いことがアイデンティティだった人間が賢い人間ばかりの環境でアイデンティティを喪失したとき『そうだ、賢いのにバカという意外性のあるキャラになろう！』と安易な方へ流れる」のかも知れない。なので「狂人枠の美人」も同じように、「自分は『美人』の枠には入れるけれど突き抜けた美人というわけでもなく、このままだと埋もれてしまう。差別化するためにどうすれば…そうだ、『美神なのに頭おかしい』キャラならすごく個性的！美人でない人には真似できないし」ということはあるかも知れない。

「人権感覚のアップデート」とか主張する「リベラル」が増えてるけどさ。それ、「集団的人権論へとアップデートする必要があります。(※個人の基本的人権は自動的にアンインストールされます)」ってことだから。マルウェアなので注意してほしい。

何故かTwitterには自分の事を発達障害の専門家だと思ってる発達障害者が多いけど、お前ただの患者だからな？

「個々の日本人の集積として日本が凄い」のであるように、「個々の日本人の集積として日本がダメ」も真。だからこそ「その個人が凄いのであり日本は凄くない」論とは、「日本の政治、経済などがいかに悪かろうと、俺には何の関係もない。今だけ、金だけ、自分だけ」みたいな幼稚な無責任さに直結する。

「偽善」を批判するのは、何らかの形で別な「真の善」があるべきだという前提があるからである。「真の善」に何の興味も関心もない人間が「偽善」を批判したらどうなるかというと、偽善どころか、単なる「真の悪」がはびこる世の中になるだけだろう。

なんで女子校は女のユートピアなのに看護現場や資生堂は女の地獄なんですか？（生徒は組織の責任を負う立場でないが、職場では誰かが責任を負う立場になるため、そこで他責性による爆弾ゲームが勃発するため）

笑いという構造を研究すればめちゃくちゃ人気者になれるのでは、と思ったけど、「ズレが笑いを生む」は厳密じゃなくて「笑いがあるとき、そこにズレがある」といったほうが適切というか。「○○が笑いを生む」と言いたければ、○○に入る共通領域がめちゃくちゃ狭いというか、いろんな条件が必要というか。

性癖にもいろいろあるけど、AND演算で積集合をとっていくとだんだん狭くなっていって95%の区間から外れてしまうイメージ。しかしスカトロやリョナは一発アウト。

若い警察官とベテラン警察官がコンビニに入ってきて、若いほうがあずきのアイスを二つ買おうとして「アイスはさすがにいかん」ってとがめられてしょうがなく飲み物選んでたの萌えだった 勤務中にパトカーでアイスはだめだけど飲み物はOKという知識も得られた

上の子(4歳)がひらがなの大半を覚えてきて、五十音図を読んでいたのですが、「あ・い・う・え・お！か・き…」と一文字ずつ順調に読んでいって、た行まで来たときに「た・てぃ…た・ち・つ・て・と！」と一旦言い間違えて自分で言い直していて、こちらは「おおっ！」と密かに興奮していました。発音的に「たちつてと」はおかしくて本当は「たてぃとぅてと」なんですよね（室町時代あたりに変化したとされる）。五十音表を読みながらそうやって発音する子もいる。そこで「なんでてぃじゃなくてちなの？」って聞いちゃう子は、「正しい」発音を習ってすぐにできる子よりもむしろ「ものわかりがわるい」のレッテルを貼られがちというか、そういう感じのことが学校や社会では頻繁にみられるなあという

皆で仲良くするためには仲良くできない人間を追い出すのがベストというのが小学校で学ぶことだからね

自分の怠慢の結果に対してどうしてそうなったという理由を聞かれて怠慢を糊塗するために自分の知識不足や認識の間違いを理由にする人間がたまにいるけど職責を果たす気がないのを能力がないと言い換えているだけでどのみち職にふさわしくないという結果になるのでまあつらいところ

小田急線の事件、突き詰めると歩み寄る余地は安楽死くらいにしかないんじゃないかという雑感に至ってしまう。この無理ゲー社会においては、負けた人間は一生負けた人生が続くという極めて残酷な事態が状態化しているので、どうしようも無い。

湿度上げるだけ上げて気温を下げない雨はカスの雨

「自分がダメだと思うものは速やかに国が規制すべきだ」論の人は「自分自身が誰かからダメだと思われて国から規制されることになりかねない」と表裏一体なわけですがここまで考えて発言をしている人はあんまりいない気がする。まぁ人間は自分は正しいから規制されないと皆思っているからね。「自分のことを最高に嫌って憎んでいる人間」が権力を握ったとしてもそれでもなお最低限守られるべき権利ことを「人権」と言うのです。制度として何かを規制すると言うことに対しては立場が180度変わることがありうることを前提として検討する必要があると思うのですよね。

みんな2年も自粛できないんだから新卒に3年は辞めるなとか言うのやめよな

ニューヨークタイムズの人のおかげで「誤解を招く表現だった」を英語でどう言うのか勉強になった。

It was a poor choice of words with unintended meaning.

やめろーッ！子供は自分の人生を取り戻すための拡張身体じゃねェーッ！！オレとバトルお受験で勝負だッ！！

「その表現は本当に禁圧すべきものなのか」みたいな考察を経ずに「怒られを減らす」方向を目指した場合には、そりゃそうなるよなという結果にしかならないけど、今日ではインターネットの速度が速すぎてじっくり考察していると際限なく延焼が広がってしまうので安全側に倒す操作になるのもまあ、わかる

熊を一番最初に可愛く描いた人どうかしてると思う

twitterでは様々な属性の人がいるから、「都合よく悪人にできる外部の人間」を描けなくなったと思うんですよね。ロマンティックな狂気は存在しないし、描くなら真摯に描くしかない。

国民総幸福量を重んじるブータンが深刻な麻薬汚染に悩んでいるという話、ものすごいブラックユーモアの匂いを感じる。

COVID、たしかに若い個体ではおおむね治るというデータなわけだが、治るというならば骨折も治るわけで、毎日適当に選ばれた1万人の腕を折ります、治るから大丈夫です、時々重症で腕がちょん切れます、と言われて大丈夫大丈夫と言える人間どれぐらいいるのという感じがする

大人のイヤイヤ期「イノベーションを起こして欲しいけど絶対に失敗はして欲しくない」

20年後、「この人は絶滅の危険をわかっていながらウナギを食べてた！」と過去のツイートを発掘され糾弾される時代がくる

ついったーにも書いたんだけど、部活動のみならず、スポーツのこわさの1つに大きな感動を引き起こすということがあると思う。特に危険なのが、「感動」や「勝利」によって暴力、ハラスメント、理不尽なこと、などなどが（一部）正当化されたりうやむやにされてしまうこと。これは自分自身でも競技スポーツをやる中で何度も体験して実感したことで、あの「感動」の力というのはホントにすごい。何というか、そういう状態になってしまうと（なかなか）抗えない。気持ちいい。

人によるだろうけど、自分が選手の場合も指導者的立場の場合も感動の強さという点ではあまり変わらない気がする。そのせいか、僕は今でもスポーツ観戦そのものだけでなく、スポーツものの映画にも弱い。で、これも何度も体験したのだが、感動によって結果オーライというかここまでの過程には色々あったけど結局は良かったね的な判断をしてしまうことがある（個人でも組織でも）。もちろん全部水に流されるわけではなくて、反省・修正がなされることもあるのだけれど。スポーツを大事にしたいと思うなら、感動を味わいたいと思うなら、感動はこわいものだということを、大人が忘れてはいけないのではないだろうか。特に、少なくとも教員とか指導者と呼ばれる人たちは。

うちの界隈、こういう場所が増えていて、緑を守ろうじゃなくて、緑から人間の生活空間を守ろうという感じ。人の営みがなくなると、途端に緑に飲み込まれる。だから、今一面の緑は町を緩慢に飲み込む波みたいで、あんまり癒される風景でもない。

いわゆるキャンセル・カルチャーには疑問を抱いていましたが、「嫌いな奴がキャンセルされると超楽しい」という事実がごく最近判明したため今めちゃくちゃ葛藤しています

「これからあなたたちの過去が掘られます。皆さんは、高い倫理観ですか？」生き残るのは誰なのか。アーティストたちのデスゲームが幕を開ける。

インターネットをやめてその辺でカマキリ捕まえてきた方がいい、行くぞ

最近の救い主は石打ちの刑に行きあっても「あなたたちの中でこの者に石を投げなかった人は、この者と同じ罪を犯したことがあるものとみなします」と言われるので、潔白を証明するために皆こぞって石を投げつけるし投げられた方は死んでしまう。

サザエさん見たら普通に暮らしててムカついてきた

この数日、何度目かの「仮面ライダー/戦隊ヒーローの主役を女性にしろ」的な話題がTLに流れてくるけれど、毎回毎回、新規IPではなく男児向けの象徴として確立済みの作品に拘る点がどうも、その動機は「支配欲」なのではないかと穿ってしまう。「あの大物を私たちの価値観で覆ってしまいたい」という

ネットの人とリアルで会って「ここだけの話」で盛り上がるというのは楽しそうだけれど、Twitter人間関係を見ていると、対立で気分を害し「仲間認定」が外れた途端に「あの人はこんなことを言っていたもんね」と仁義なき暴露大会が始まるので、結局オフであろうと防御に徹した発言しかできないのだな。

私はひねくれているので、On Your Markのミュージックビデオ見て、あの羽根の女子があからさまに白くて羽根はえてて美しく良いもの側だったので、何だよー見るからに綺麗なもの助けるなら誰だってできらあとか思ってしまった

知能指数の高さ自慢、ある程度の年齢まで行くと「それだけ基礎パラメータに恵まれたのにその程度の実績しか残せなかったんですね」という呪いに転化する

「91年生まれ大反省会」とやら、自分の嫌っている思想をあえて背負ってからの「反省という態度」という自罰をアピールして点数稼ぎ、「私はこちら側の人間です」というシグナリングが大変に見苦しいな。そうやって「先生からのお引き立て」を期待するあたり、いつまで「教室の生徒」をやっているのか。逆にもし本当に「学問といえば受験勉強、フェミニズムはヒステリー、社会運動は危険、資本主義は疑えないもの」などというものの見方を疑うことなく取り込んでいたのだとしたら、悪い方に社会性が高過ぎて、今回の「反省」とやらも単なる社会性の表れ（社会の風見鶏的挙動）にしか思えないな。そういう人間の「しっかり毒出し」などという物言いのなんと薄っぺらく虚しいことか。それまで入っていたものを「毒出し」しては別の何かを吸い込んで、時代に応じて中身が出たり入ったりするだけの空っぽの入れ物でしかないんじゃないですかね。

「疑う」ということを知らず、しかし「疑うことが大切だ」と教えられたら、今度は「どう疑うか」については教えられた通りにしか疑えない。点数が高くなる「疑い方」が「正解」なのだということしか分からない。自分の中から発した何かと外界にあるものをぶつけるという疑い方ができない子供の仕草だ。世直ししたくて「自分は大丈夫だけど皆さんは毒されているからしっかり毒出ししましょうね」と言うならそういう態度が反発と解決のどちらに作用するか考えた方が良さそうだし、世直しよりも「価値観を同じくする仲間や権威」への自己PRや選民意識の方に重心があるというなら…まあいつものことですね。

また「夫が家事育児にコミットし過ぎると却って妻が不満で一杯になる」という話が流れてくるけど、先日話題になった「女性は責任を回避できない人を地位の劣る人物と認定する」という話と考え併せると「夫が育児の責任を妻から自分に移転し過ぎると劣位の人物と見なされる」ということになるのかな。ただこれは同時に「女性が家事や育児で『自分は責任を拒否（軽減）する選択肢がない』という状況に直面し続けると、自分の地位が低いという感覚に苦しむようになる」ということでもあるな。そこまでいかない女性が大半ではあろうが、社会性が「高すぎる」とそのような感覚に襲われるのかも知れない。あとは夫側の「やってやってるんだ」というプレッシャーが良くない、みたいな意見もあるけど、大黒柱もこなした上に家事育児までやれるのはどうしても、それを「男の役割」と認識して自らを叱咤する精神的にマッチョなタイプの夫であることが避けられないという皮肉があるな。

昔のアニメばかり繰り返し見ているし昔のゲームをずっとやってるけどオタクじゃないんだよな。回想法のような心理療法みたいなもので、やってると心安らぐだけ。今と昔が同じ時間軸の延長線であることを確かめてる

フランス大統領選のときに何処かの誰かが言っていた「コレラとペストのマシなほうを選ぶ」がほんと名言

昔特有の言葉に言い表せない少し不気味なCG空間すき

老いては子に従えって凄え。頭のいい老人が作ったんだろうな。自分のことを俯瞰で観れる天才

バイトの先輩が「お前、特にコレっていう理由ないけど、俺の嫌いな奴ベスト5人に常に入ってるわー」つってキたんで「マジすかw僕は特にコレっていう理由ないけど嫌いなのベスト5人つったら、常に入ってるのはゴスペラーズっす。ゴスペラーズ全員」つって、ゴスペラーズで占めてるとも取れる言い方した

無職って自身で起こしたボヤ騒ぎを消防士の人が必死に消しているのを邪魔にならないように見ているだけの時間がずっと続いてる感覚があるね

自分が置かれている状況を一旦整理してノートに書いてみたら脳漿炸裂ガールの歌詞とまったく同じ文章になったジジイ

歌舞伎町の女王が流れている授乳室で、「同情を欲したときに　すべてを失うだろう」の部分でめちゃくちゃ乳を吸う力が強くなる赤ちゃん

強い言葉を使い続けるとどんどんインフレしていくので（そして言葉に感情が引きずられていくので）、自分の感じたことに合う言葉を選びたい。

新生児だとまだ手が届く届かない以前に、自分に「手という器官があること」にも気づいてないんですよ…（目の見えがよくなり始めると「念じた通りに動くナニモノかが…ある…」みたいな顔でおててを眺めててかわいい）

教育は「こどものため」などではなく、あくまで「こっちの都合」ってこと。こどものやりたいことなんか聞いていたら初等教育なんか成立しない。

陰謀論はどうしようもない人間に最後に残された逆張り大逆転のチャンスだからな。長い不景気で生じたどうしようもない層がいる限り「真実を知っている私は選ばれた人間」という麻薬への依存から抜けることはない

俺は黒糖蒸しパンラインでパンをひたすら捌いた結果蒸しパンを一生食えない身体にされた

人間は「自分が手にしていないモノを手に入れられないこと」よりも、「自分が手にしているモノを失うこと」の方をはるかに恐れ、激烈に抵抗する生き物だ。例えば現在、韓国が実効支配している竹島を取り戻せと主張するのは右傾向の入った人が多いが、日本が実効支配する尖閣諸島を守れと主張するのは、中道や左傾向の人にも多く見られる。第二次世界大戦の頃に日本が実効支配していた満州を世界から手放せと言われても、ハイそうですかと簡単に手放せなかった。特に朝鮮、満州は「祖先が血を流して手に入れた領土をむざむざ手放そうというのか！」という論理に抵抗することは難しかった。

この既得権益を手放せない問題は、日本に限らず欧米でもあった。フランスのベトナムやアルジェリアなどかつての植民地をなかなか手放せず、多くの血を流してようやく手放さざるをえなくなった。「日本が米国との戦争を回避するにはどうすればよかったのか」という思考実験があるが、結局は植民地を獲得する前に戻るしかないと思う。たとえ米国との戦争を回避できても、いずれ朝鮮・満州の独立戦争で大量の血が流れるのは不可避で、より長引いて面倒な事態になる可能性もありうる。

日本が米国に開戦した理由を「狂っていたから」と表す人がいるが、そういう分析は感心しない。そういう思考は「当時の日本人は狂っていたから戦争したけど、今の私たちは狂っていないから戦争しない」という論理に化けてしまうからだ。今も昔も人間の知能にそれほどの違いはない。当時の日本にも頭のいい人も冷静な人もいたはずなのに、なぜ開戦してしまったのかという観点から分析しないといけない。既得権益への執着は現代の日本人にも、日本人以外の外国人にも存在する。既得権益への執着が問題だということを学ばないと過去の戦争の教訓を生かせないんじゃないか。

戦争の90％が後世の人が呆れるような理由で起こった。残りの10％は当時の人でさえ呆れるような理由で起こった

研究の質はボルツマン分布だから、(玉石混交の石も含めて)全体の熱量=研究資金を上げないと効果はない

最近のtogetterはタイトルを過剰・過激に付けて人煽り、それに釣られて集まるから余計に表現を派手にするのが流行っているよね。それに対して中味が薄くなってるからつまらなく感じてますよ。

某レイブで『ドリンクを去年より100円値上げします。ただし、カップ返却してくれたら100円バックします』ってやってて、ポイ捨てした瞬間誰かが拾って換金するから、マジでゴミゼロ達成してて良かった。

共感性が低い人は「他人の気持ちがあまりわからない」のでメンタルが強い傾向にあります。ここにさらに高いIQが加わると「まったく共感できないけど、ここは共感しているふりしたほうがいいだろう」という「偽共感」という技が誕生します。人には本心で優しくありたいですね。カウンセラーの適性がある方ですね。私も大学の先生に「感情移入しなくてそろばん弾ける人が向いてる。優しい人はやめといた方がいい。君は大丈夫」と言われました

むちゃくちゃ努力して取った金よりも、バーとか行きながら取った銀の方が、幸せなんちゃうんかな

音楽と映像と言葉の力をオピニオンの誘導に完全な形でつかう人口知能がでてきて70億の人間が同じ繭の中で同じ幸せな夢を見て主権は意味を失うんです

ジャルジャルのファンになってから街で変な人やムカつく人に会っても｢まぁ、色んな奴いるよね｣で済ませられるようになった。ありがとう。

ドッキリが個人的に嫌な理由がわかった。あれってネタバレした後、芸能人が本気で嫌がって怒ったりキレたりするのを見ることがあるけど、そういう場面でさえスタジオは笑いとかドン引きに包まれてる。ドッキリからネタバレ後への以降は、本人を除くすべての人間が了承しているけど、本人だけはその移行線を知ることができない。トゥルーマンショーみたく、自分だけが檻の中に入れられているような感覚を味わうのだと思う。

ポリコレがあまり強くない世界の人々、たとえばイスラム圏とか中国とかロシアって、ネットの人々はどういうルールでマルバツゲームに参加してるんだろう。何を基準に人を叩くのかな？

人間は野生動物のように弱肉強食で生きるわけではないところに人間としての価値があるんです。弱い人を蔑ろにすることは、人間を人間たらしめる人間性を否定することになってしまうんです。

アニメや映画の世界でめちゃくちゃ受けてる架空の商品名に感じる、言葉にならない程度の違和感や気持ち悪さ。世界になじめていない感。

みんなバカだからサブカルをブラッシュアップするとAKIRAとかPerfumeとか洗練されたものが残ると勘違いしてるけどブラッシュアップするほど根底にある拭い去れない悪趣味性ばかりが際立つのがサブカル

自分にとってはどうでもいい人間はいます。でもそれはもれなくdaigoさんも誰かにとってのどうでもいい人間の対象になりうるという視点が欠落している。実際にアンチにとっては貴方はどうでもいい認定される人だと思います。そうやって個人がどうでもいい人間の烙印を押しつけ合い排斥が起こるとごく一部の力やステータスを持つ人しか残らなくなる、それがいわゆる優生思想の末路です

ところでDaiGo氏のように大文字と小文字を不規則に混ぜたりする名前を名乗るのは、人の名前を間違えてはいけないという道徳規範に従って行動している他人に相当の負担を強いることになるのでなるべくやめてもらいたい。ドラえもんは右衛門の部分が平仮名になってると考えれば規則性があるからセーフ

「社会の底辺」とは言い得て妙で、三角形を作れば必ず底辺が生まれる。その底辺に対する責任は、ある程度は三角形を作った方にもあるんじゃないかと思う。まあ、世俗的なことを言えば、コンビニでご飯を買ってくれるだけでコンビニの人は助かっている。社会はそういう「たかがその程度」の相互作用が積み重なって成り立っているので、たかがその程度で充分生きる意味はあるんですよ。そう思わないとやってられん。私はこの考えを否定するけども、腹を立てるとかそういう感情はない。「弱いものには価値がない、私は決してそちら側に落ちない」と思うことでギリギリ踏みとどまっている人もいる。悲しいことだけど、その人にもそうならざるを得なかった事情がある。なるべく多くの人が不安なく生きていて欲しいだけ

芸能人なんかの発言が炎上したりすると、私がリストを作ってるアカウントの方々が鋭いことばでそれを的確に批判してくれるので、むしろ誰か余計なこと言ってくれという思いさえある。名文リストに書き記すワードが増えてくれるから。

乞食を禁止しているのは、近代国家にとって「見栄え」以上の根本的なシステム上の都合のような気がしているのだけども、見栄えとか人権とか、根っこのはるか手前で思考停止させられているような感じがする。

「ドナルドってしゃべるの？」と質問するような、つまりドナルドが喋る者だとは認識していない人間に対し、いきなりドナルド・マクドナルドが「もちろんさ」と饒舌に語りかける時、「ドナルドってしゃべるの？」という質問を投げかけた人間の内心には強い恐怖心が抱かれるように思う。

大人になると、みんなで集まる機会が飲酒しかなくなるの、ワンパターン過ぎてつまらないので、もっとスマブラ大会とか、カニ食べ放題とか、ティーパーティーとか、ぶどう狩りとか、いろんなイベントにしたら、毎回違う新鮮な経験が出来るので良いのになってなる。って、それは会社の親睦会とかでやっててツイッター民が「休日に会社のイベントに行きたくない」って嫌ってるやつでは

自分の家族と知らない人が溺れていたら、自分の家族を先に助ける。その結果、知らない人の方は死ぬかもしれない。溺れている家族を助けるのと、例えば知らない人にナイフを突き立て積極的に殺すのは「本質的には同じ」かもしれない。しかし凡人は本質等というフィールドで生きていないでしょう

「男はチンコで考える」より「キンタマで考える」の方が良い。理由は、キンタマの方が見た目が脳みそっぽいからです。

「自分自身が弱者側であるにもかかわらず、優生思想や弱肉強食を支持する」のは、個人的にはあまり矛盾と感じないんだよな。自分が無価値であり、切り捨てられるべき存在なんだと罵られることで心を安定させている人もいるだろうなと思うので。逆に「あなたは尊い価値ある存在です」と言われると、ならば今の私のこの苦しみは何なんだとなってしまう

すんごい銃撃戦が起こるであろう場所の、敵戦車がちょうど突っ込んでくる要塞近くの小屋を守る兵士になっている夢を見た。上官が「ここに戦車が来たら、こうよける」みたいなカスみてえな空想戦をしてたので（戦車の機銃って人間が食らったら粉になるよなと思いながら）「これ、生き残る方法とかないですかね？」って聞いたら「いや～ないね、ここは戦略上大事だから絶対みんな死ぬ」って言われ、心臓がきゅ～っと縮み上がるところで目が覚めた。死ぬってなんだよ、そんな理不尽なことあるかよ、っていう怒りの前にまず恐怖が来るのだと学んだ。特攻隊の人たち、本当にすごすぎないか。あの恐怖から逃げずに戦闘機に乗り込んで、空母に突っ込もうとしたってのが。

哀れだなとは思うが、誰かを褒め称えたら1年後には笑いものになるかもしれないと思うと、あらゆる事柄について良いとも悪いとも言わず斜め下から突っつくだけのキモインターネットしぐさに収斂していってしまうのも事実

相手を殴ると何も言わなくなる、コレがフィジカリズムです

「ホームレスの命はどうでもいい」という発言、その発言の軽々しさ、あっけらかんとした物言いが怖いんだよな。やむを得ない結論として様々な留保を付けた重々しい発言としてではなく、「みんなの中にあるこういう気持ちをカジュアルに表出しようよ」とハードルを下げていこうとする意図が怖い。「自分にとって必要の無い命は僕にとって軽いんで」「もともと人間は（中略）全体の利益にそぐわない人間を処刑して生きている」という発言からして、現実の厳しさを認識しているかのような態度でありつつ、その実自分がジャッジする側であり続けられることを疑わないむしろ甘えた認識ではあるにせよ。

まあ「自分も薄々そう思ってはいるけど口に出さないのがルールなのであって、そのルールを破ったことが許せないのだ」という次元で「許せない」と憤っている（同時に自分がその次元で憤っていることに気付いていない）人も多いだろうけれど、それでもやっぱり軽々しく口にしないことは重要だと思うよ。個人的には、人間は「ある程度落伍者が出る状態を正しい状態と認識する」のだと思っていて、ならば落伍者というのは社会を「正しい」と思える状態に維持するために必要な役割を（心ならずも）割り当てられてしまった人であって、役割を無くせない以上少しでも苦痛を緩和させるのが良心と思うのだけど。

また今回のような意見を持つ人にもこうした背景があるだろうとは思う。つまり、その人なりに限界まで頑張っているがもう上昇できない状態で、しかし本人はまだ自分の地位に納得できないため、自分より下にいる人間の待遇を下げることで相対的に自分を上げたがる、という。格差が広がっているのに能力主義を進展させる（能力主義の進展に伴い格差が拡大している）社会では「頑張っているのに上昇できないが今いる地位に満足もできない」という人が増えて部屋に可燃性のガスが充満しているような状態だ。そこへ命の選別のハードルを下げる動きは部屋を加熱するようなものだ。能力であれジェンダーであれ、差別・区別・役割とどう呼んでも良いけれど、そういうものが人間社会を維持するために必要となる面はある。しかしそれはどうしても避けられない必要最小限として多くの留保と共に重々しく語られスティグマの軽減が図られるべきで、気軽に野放図に扇動するのは危険すぎる。

バカでかいPM2,500,000,000が1つ飛んでくるだけの大気汚染

「インフルエンサー系の人たちの中でも〇〇さんだけは別！」

「界隈の中でも□□さんだけは本物！」

だいたいやらかして化けの皮が剥がれる順番が早いか遅いかだけだよな。逃げ切りの人とかはその辺ほんと上手いなーと思いながら眺めてるけど

【HYが恐いくらい覚えてたら面白いもの】

・簡易裁判所の数

・ラ行変格活用

・真空中の光の速度

・県庁所在地と県名が違う都道府県

言い続けてるんだけど、イスラム教の「もし神がお望みなら」の感覚をうまく模倣すれば、メンタル最強の武器になると思う。キリスト教の「試練」の感覚も似ている。要するに「何か後悔することがあっても長期的に見れば成功するようになっている」のだよ。自尊心じゃない、悪意のない計画を知るんだよ。「やまない雨はない、神は耐えられない試練を与えない、と信じて長雨を耐える」をやってしまうから裏切った神を恨みたくなるんだよ。「こんなに雨が降るならその意図があるはずだ」と気づいて、気づきによって正しい雨宿り先に進んで、そこで美味しい雨水を飲むんだよ。正しく気づけるように祈るんだ。ネットでみんな「メンタルを強くするために自尊心が欲しい」って合唱してるけど、ないものを願ったって無からは湧いてこないんだよ。下等な人間が自尊できるわけないんだから、悪意のない神の意図に気づこうと考えて、気づいて、行動して初めて「正しく気づける自分」に自信が持てるんだよ。

気力・体力・学習力が衰えてきたけど、人脈・政治力が優れた中高年が、優秀な若者たちに地位と権限を渡し、自分たちは裏方に回れば、この社会はもっと発展する。中高年が、その優れた人脈・政治力を、自分が高い地位に居座り続けるために使ってしまうから、組織・社会が閉塞・停滞してしまう。

インターネットが外付けの頭脳みたいになる的な発想、最初にした人はきっと賢かったんだろうとは思う。でもインターネットが外付けの脳味噌になるのではなく、脳味噌がインターネットになったんだな

「新規感染者の増加率が下がっている」って凄いよな、3回微分の値だぞ。人は変化に慣れてくるとすぐ次の微分した値を気にし始めるの凄いと思う。微分の概念を理解してなくても自然とやってる。まず「日毎の新規感染者」というのが累計感染者の微分だし、最初はそれがゼロにならないと怖いと思っていたのが、いつの間にかその数値に慣れると「新規感染者の増加率」という2回微分の値を気にし始め、これが1以下であれば「減っている」と感じる(その間も累計は増え続けている)。そして遂に、「新規感染者の増加率の減少」という3回微分の値を見始め、これをもって「減っている」と感じる。しかしこれが1以下にならないと日毎の新規感染者(2回微分)はまだ増えるし、そうなってもまだまだ累計感染者(1回微分)は増え続ける。「人間は差分しか検知しないし、差分に慣れると差分の差分しか検知しなくなる」という仮説が裏付けられていく。まさに人間の脳は自然の微分器と言える。

河村たかしに老朽化した機材や建物を噛ませることによって、新品と交換されるという全く新しいタイプの錬金術。自分を噛むと新たな河村たかしがどこからともなく現れるので、実質的に寿命を無限にできる説

実際、検索結果がゴミであふれて使い物にならなくなるほど「あなたが本当に欲しい情報はこれ！」とやりたい連中にとっては有利になるわけで、インターネッツ最終回に近づいている感があるな。

「調べてみました！　いかがでしたか？」系の記事が役に立たないのと対極の現象で「備忘を兼ねて書いておきます」系の記事はめちゃくちゃ役立つ。結果的に他人に情報を提供するとしても、まずは自分のためという動機がなければダメなのか

ダイゴさん、昔はよく炊き出しに来てくれて、我々ホームレス相手にニコニコしながらハグしてくれたりと凄く優しかったんだけど、ある時を境にパッタリと来なくなってしまった。何か嫌な思いをされたのかもしれないけど、また笑顔のダイゴさんが来てくれるのを皆今も待ってます。

これはライフハックなのですがマッチングアプリで医師を名乗る人には、冷え性など簡単な身体の相談をしておけば問診扱いになり、医師で無い事がわかった瞬間刑事事件に出来ます

ひろゆきやDaiGoの動画でいちばん学びになるの、インターネットや本の流し読みで仕入れた断片的な知識は人間を知的にするどころか害悪でしかないってことだ。わかりやすくパッケージされた個別情報を仕入れることと、体系的に学問を習得することは全然違う。本当に違う。洒落にならないくらい違う。

ギフテッドや天才にだけ資本を注ぎ込めばいい理論を唱える連中、基本的にはなんでお前がそっちサイドで物事を語ってるんだという事例しかない

なんかメンタリストがホームレスや生活保護はいらないみたいなこと言って炎上してるみたいですが、一方で1年くらい前に見た「人間は社会的な生物だから多様性を確保しておく必要がある」みたいなツイートも事実と違うごまかしだと思うんだよな。多様性を確保と言ってもそういう人たちが子供を残せる可能性は低いだろうし福祉もそこまでは保証していない。なんとかして「役に立つかどうか」で弱者への福祉を正当化するのは難しい。福祉いらないという意見に対抗するには、「それくらいの慈悲が社会には欲しい」という方向性じゃないと難しいのでは

道徳ってわりと「お互いさま」で機能してて、「自分もこんな不利な立場に置かれるかも」という想定が福祉をつくるんだけど、中には「自分自身の強い立場が確定的になったのにわざわざ『お互いさま』をやる意味ないじゃん」と気づいてしまう人もいる。こういう発想に「いや、それは巡り巡って自分が損するだけだ」と返すのは誤りで、「ただ利己的にふるまうほうが得」である場合が実際に多々ある、ということが問題。たとえば、来週死ぬとわかっているなら今日の社会保険料の支払いなんて踏み倒したほうがいいという判断は「正しい」。

現代日本においては「法に従って納税をすれば社会問題には見てみないふりをする」ということが許されている（が最近はどうもその枠内だけでは許されなくなっている）

インターネット終わりの会では言及していないことも悪なので、「例の件、言及していませんでしたよね？」と詰められる。みなさんも早く全てについて言及した方がいいですよ

メンタリズムと心理学は明確に違う。車を運転するのと修理するのと同じぐらい違う。心理学は人の心とは何か、その本質を突き止める学問だけど、メンタリズムは心理学の研究成果を応用して人の心を効率的にハックするための学問じみた何かなので、心とは何かを理解している必要がない。メンタリストの人が人の心を理解せずに炎上するのって、案外そういうところにあるのかもしれない。断片的知識だけで学問を語るとすぐにボロが出るといういい例。

腐女子が描く都合のいい男性は男装した女性になり、オタクが描く理想の美少女は中身おっさんなわけで、異性に愛されたいなら真ん中に寄るしかない。男性はモテも競争にしたがるから知識の共有がされないのが不幸だ。

小動物、かわいい小動物は一体何をしている。こんな殺伐としたニュースしか流れてこない状況には貴様のような異様にかわいい小動物が町に出現みたいなニュースが求められているんだぞ。何の為にいると思っているんだ、何様だ貴様

論文系YouTube動画は、論文から言えることだけを言うと、つまらない。科学的に正確であろうとすればするほど、しょぼいことしか言えない。だから、論文系YouTuberは話を刺激的で面白くするために話を盛りまくる。盛りまくった論文系YouTuberだけが、数十万人もの登録者数をかかえるYouTuberになる。

論文から言えることは、本質的に複雑。本質的に複雑なことは、どんなに簡潔に表現しようとしても、ものすごく説明が長くなる。長い説明をすると視聴者が離脱しちゃうから、彼らは無理矢理話を短くする。でも、それはその論文からは言えないことなんだ。ある学習法は、実験Aでは効率がよかったけど、実験Bでは効率が悪かったなんてことは、よくある。実験手続きの細部が異なれば、実験結果も異なるからだ。

でも、人気論文系YouTuberは実験手続きの詳細は吟味せず、この学習法は実験Aで効率がよいことがわかっていますって言っちゃう。論文の知見を、本質を損なわずにわかりやすく伝えようとすると、どんなに簡潔に書いても、ものすごく長くなる。

前にも書いたが、成金はやること成すこと、思い上がり方まで横並びでクソつまらん！もっと「自身にコモドオオトカゲの遺伝子を注入し、全身が紫色の怪生物となって暴れ回る」とか、そういう悪事に手を染めて欲しい

500円札握りしめてソープランド入った

5chやまとめサイトの影響を受けた若者とか、ひろゆきに影響を受けた意識高い系とか、そんな物よりワイドショーとサンデーモーニングで自意識が形成されてる物言わぬ高齢者の方が絶対にヤバい。なんせ数の桁が違う。

人生、こんなに苦労した結果がコレ？という徒労感がいちいちすごい

レジにいるバイト同士の雑談が一段落つくまで物陰で待っているとき、自分は何、と思う。

メルカリの事務局に何度問い合わせても、テンプレート的な返答ばかりでまともに応対をされなくてさ。「もしかしたら手抜きで内容を確認してなくて自動返信なんじゃないか」と思ったから、試しに戦地の死体写真を送ってみたら無期限利用制限食らった。

コンビニでワンカップ大関を買おうとしたら、店員に年齢確認ボタンを押してくれと言われた。はいを押そうとした瞬間、画面内の広告のロードがまだ完了してなかったらしく、急にレイアウトが変動して誤って広告をタップしてしまった。飛んだ先のアダルトサイトで年齢確認されたのではいを押した。

ナンパAVに出演したが、インナーを脱いだところでカメラを止められてしまった。どうやらカーズの下着を着ていたのが版権的まずかったらしい。今スタッフさんが代わりの下着を買いに行ってくれてて待ち状態なんだけど、このあとお尻にMr.インクレディブルの刺青入れてることバレたら怒られるのかな。

多くの女性は、自分より下位ランクにいると判断した男性のことを、同じ人間と認識しなくなるからね。だから女性にとって、弱者男性なんて存在しないんだよ。女性の意識のうちには存在しないから。

ホックシールドの「壁の向こうの住人たち」によれば、競争社会思想の信者は、自分が弱者になると、頑張っている自分が競争に負けるはずない、本来は競争に負けて転落すべき連中がズルをしているせいでこんな結果になったと考え、競争社会化をいっそう支持したり、弱者叩きに走ったりしがちだそうだ。「弱者なのに弱肉強食社会を支持する人」はマゾなのではなく、先に弱肉強食思想を植えつけられ、その後に弱者に転落した結果、「私は本当は強者なのに不当に苦しい立場に追いやられている、リベラル派が私たちの金を弱者への福祉に回してしまうからだ」と現状認識してる場合が多いわけですね。

優生思想というやつは、いわゆる「素朴理論」の一つなんだろうなと最近は思うようになりました。生活上は地球が平らに感じるのと同じで、なんとなくそう感じてしまうことから人は逃れにくい。そこを乗り越えるのが人の知性で、知性を育むのが教育なんだと思います。つまり優生思想は教育の敗北でもある。

これほんと難しくて、体験や実感から学ぶ事ってとっても大事で効果的です。が、それだけだと「自分が感覚的に理解できること」「五感を通じて学んだこと」の限界は突破できないんです。なぜなら私たちの脳や神経は、世界の情報のごく一部しか受信できず、脳の都合のよいように世界を構成しているからです。体験や感覚に基づく「主観的世界」と、知性を働かせてその壁を越えてゆく「世界の理の理解」のバランスがとっても大事なんだと思います。様々なことを体験して主観世界を豊かにしていくことと、素朴理論を乗り越えていく知性を学ぶことは別のことでどちらも大事。そんなことを最近はよく考えています

「メンサ会員の体感によるとIQ 130位までは賢くなるほど当たり障りのない価値観に寄ってくるのに140超えた位から結果ありきで証拠を集めるのが上手くなるので逆転する」ってやつのパターンか。要はIQは対人面の誠実さを測定していない（とは言え完全に独立ではなく、賢いと代償されるので若干の相関は発生するだろう）から、たぶん130くらいまでは賢いほど代償としてパーソナリティー障害に抑制的に働くが、そこを超えるとむしろパーソナリティ障害を助長する方向に働く、と言うことなのだろう。これは何の根拠もない感覚だけど、放射能で騒いでる層は精神病圏、つまり被毒妄想と体感幻覚に裏打ちされているのとは異なり、反ワクチン派は「自分の方が大衆より賢い」という感覚が動機の根っこにあるパーソナリティ障害のリーダーが騒いだところに不安障害が集まってくる、という現象に見える

インパールは生きて帰ってこれた人がたくさんいたから「世紀の愚策」と評価する人が多かった。南方に派遣された人たちの多くは帰ってこれなかったので英霊になった。

富を生み出す座敷童、貴金属を生み出す妖精が人間に捕まる漫画あるじゃない？

感謝されずに『今日はこれだけかよ！』『融通きかないな、役立たず！』と罵倒されるのは創作と思ってたけど、エクセルの自動化できる人、イラストが上手い人が会社で同じような境遇になる時もあるのに気づいてしまった。『仕組みはわからんし、興味もない』『しかし、恩恵は受けたい』と発生する心理だと思う。レア技術を持つ人を飼い殺しにするのは昔からあって、それが昔から伝承などのモデルになったかもしれない。

フリーアナウンサー長谷川豊の人工透析患者に対する暴言が問題になった。彼は「自業自得の人工透析患者なんて、全員実費負担にさせよ！」「無理だと泣くならそのまま殺せ！」とブログに書き、厳しい批判にさらされた。病気やけが、障害などのリスクは万人が直面する問題である。いくら健康に気を使っていても、突然病気にかかる可能性はなくならず、今日と同じ明日を迎えられるかは、常に不透明だ。そのような身体の不順やリスクに対して、原理的な自己責任論を適用してはならない。自分で治療費を負担できない人間は生きる価値がないという結論を導くことになり、最終的に公助や共助の対象となる人間は「不要な存在」と見なされかねない。生命に優劣をつける発想は、おぞましい優生思想を生み出す。

今回の暴言を目の当たりにして想起したのは、石原慎太郎の過去の発言である。彼はかつて「女性が生殖能力を失っても生きているってのは無駄で罪です」と述べ、問題になった。同じインタビュー記事（『週刊女性』２００１年１１月６日号）で、生殖という「目的を達せない人」を「本質的に余剰なもの」と言い、また「存在の使命を失ったもの」とも言い換えている。彼の中には＜生きる価値のある人間＞と＜生きる価値のない人間＞という二分法が存在するようだ。そんな石原が、いま自らの肉体的衰えに苛立（いらだ）ち、死の恐怖にさいなまれている。『文学界』１０月号に掲載された斎藤環（たまき）との対談「『死』と睨（にら）み合って」の中で、石原は三年ほど前に患った脳梗塞の後遺症に悩まされていることを告白する。彼は「記憶中枢の海馬がやられちゃった」ため、字を忘れてしまったという。ワープロ入力は可能なものの、手で字を書くことが難しく、時にひらがなを書くこともままならない。彼は対談の中で「怖い」という言葉を繰り返し、「自分で自分にイライラする感じ」と述べる。最近は鏡に向かって「おまえ、もう駄目だな」とつぶやくという。

しかし、一方で今年七月に起きた相模原事件の容疑者について「僕、ある意味で分かるんですよ」と言い、大江健三郎に対して「ああいう不幸な子どもさんを持ったことが、深層のベースメントにあって、そのトラウマが全部小説に出てるね」とも発言している。一九九九年には、重度の障害のある人たちが入所する施設を視察した際、「ああいう人ってのは人格あるのかね」と発言しているが、現在も差別的な認識は変わっていない。いま、石原はおびえている。それは自らが「不要なもの」と見なしてきた存在に、自らがなろうとしているからだ。石原は、石原の思想に、存在を脅かされているのだ。この矛盾に直面した時、彼は「怖い」という言葉を連呼するしかなかった。そんな彼に「自業自得」という言葉を投げかけたくなるが、それはやってはならない。自己責任論の悪循環を加速させ、長谷川や石原の暴言を後押しすることにつながるから。

『世界』１０月号は、「相模原事件の問い」と題した小特集を組んでいる。そこに掲載された熊谷晋一郎「『語り』に耳を傾けて－分岐点を前に」は、問題の所在を鋭くあぶりだしている。熊谷は脳性まひによる車いす生活を送っているが、事件後、「いつもの通勤ルートが、急によそよそしい場所に変わってしまった気がした」という。これまでは満員電車で舌打ちをされても睨まれても「これは権利だ」と簡単に振り払えたものが、事件後は「急に襲われたりしないだろうか」と不安に思うようになったと述べる。これは「不要なもの」とされる恐怖に基づいている。そして、この恐怖は近年、範囲を拡大させ、増殖している。昔は黙々と働く寡黙な人の価値が認められていたが、最近は「コミュニケーションが苦手な人、自閉傾向の強い人は『障害化』させられる」。社会が変化し、「不要」の基準が流動化する中、「みんなあす新しい障害者になるかもしれない」。この不安と恐怖を乗り越えるために、人は「障害化」された人々を排除し、集団的価値へと同一化しようとするが、それは＜石原慎太郎のパラドックス＞を強化するだけである。いずれ自分の論理に、自分が殺されることになる。人は思いのほか弱く、不意な出来事であっという間に弱者化する。私たちは、そんな当たり前のことを忘れがちである。いま何としても「弱くある自由」を守らなければならない。過度の自己責任論を全力で遠ざけなければならない。誰かの存在を抹殺しないために。未来の自分を殺さないために。

これ恐らくインフルエンサーあるあるなんじゃないかと思うのですが、どこぞの著名人や有名団体が問題を起こす度に、「この件についてのお考えをお聞かせください」みたいなメール来るんですよ。そうして引き出した意見を使って、何をしたいのか予想がつくので無視しているのですが。で、僕のところに届くメールの大半は、メール送信者自身のキャリアに関する真剣な内容なんですね。みんな自分の課題と向き合って前に進もうとしている中で、前述のようなメールは燦然と黒光りしています。ほんとにいいんでしょうか、その人生で。

他人の意見を右から左に輸出入して何をするかと思えば、その威を借りて別の他人を攻撃することに用いたりするわけでしょう。それを繰り返して何があるのかと。僕のメールボックスに届く他のメール内容と比較して、あまりにも停滞的で鬱屈した人生を連想させるので…。他人に言いたいことがあるなら、ちゃんと自分の言葉で言うべきだと思うんですよね。コピペみたいな鳴き声で成立するコミュニケーションなんて無いんですから。例えるなら、「どこどこで誰誰が〇〇と言ってたよ」みたいなこと言いふらしてまわるチクり魔です。常に誰かの威を借りて、自分自身はリスクを負わない。

みんなが本当は思ってるけど周りに忖度して言えない本音を声高に発信すると、案の定叩かれつつも一方で「よくぞ言ってくれた！！」みたいに支持を受けることもある。けどそれにも限度ってもんがあって、そこを読み違えると賛否のバランスが決壊するんだよね。今回燃えたやつ、本当は似たようなこと思ってたって人もいるんだろうけど、その意思を表明することができないレベルだから。

言い続けているんだけど、「人権が尊重されると勝手に多様性が発生する」のであって、決して「多様性があれば人権が尊重されている」わけではないから、多様性自体には何の価値もないし、それを進化論と結びつけて価値づける人は完全に論点を見失っている。「賢い人のノートの取り方を真似すれば賢くなれる」は正しくないが、それにより思考が整理されて勉強しやすく層は確かに少数いるだろうから、結局、多様性云々もその程度の「陋習を崩す」初手の介入でしかないし、手段であって目的ではないんだよなあ

文体がぶれる人「燦々と降りしきる雨足の喧しさやばない？笑」

めちゃくちゃ人間の機微に疎いキャラクターが恋をして、現代ではありえないような方法によって告白をするけど、相手に驚かれるとか、そもそも告白だと気づかれないために瞬間的に「ご、ごめん！」と言った場合。疎いキャラクターは「ご、ごめん！」を「拒絶」と受け取って勝手に落ち込むことが多いけど、それは個性が一貫しないのでは？本当に機微に疎い人なら「ごめんって、何がごめんなのさ！」って叫んだり「マルかバツかで言ってくれ…」って頼んだりしないと。

職人が10人居れば、子供の目で見ても同じ日当もらうには値しないように見える人が2人はいたわけよ、でも何で皆文句言わないかと言えば下には下が居たほうが暮らやすいと皆がわかっていたからで。

理系に女性が少ないって話、なんで少ないのかよく分からないんですよね。「親から止められる」みたいな事例、ないとは言わないですが、あそこまで女性が少なくなるほど高頻度で親から止められてるんですか。

今大企業の社員向けの「いかにして”隠れ精神・発達”の人間を採用時にあぶり出して排除するか」がテーマの研修が盛況らしいね。内容もくっそエグいらしい。発達界隈にいたら周りみんな発達でそれが普通だと錯覚してしまうけど、一般社会で発達障害者は排除対象だということは忘れないでおきたいよね

アカデミックの人々のツイートを読んでいると「企業は量子人材のPhDを年収x000万で雇うべき」「政府は研究費の選択と集中をやめるべき」という2つの主張が当人の中で両立してるぽくて、なかなか愉快な思考回路やなと思ってほほえましく眺めている

肯定や承認に囲まれると、モラルがその囲いの中でガラパゴス化してくるので、定期的に世間のモラルに接続して同期を取らないと、あるときにえげつない怒られに遭う。ちょっと前にRadwimpsの人にも起こりましたね。

真面目な話生活保護の金が「無駄になっている」って考えがおかしいのよ。あれほど地元にばらまかれる金珍しいくらいで、生活保護者は十数万の金を地元でほぼ消費するので、正直無駄にはあんまりならない。外国の投資や遠方へいったりしない人なんで地元経済の循環っ点では優良の経済圏。

ツイッター社はツイ廃になるよりツイッター辞めた方が素晴らしい人生を送れることに気付いてしまったので出来る限り多くの人類を救うためにツイッターの改悪を続けている

英才教育した天才だけが研究者になればよい、という論が出てくるのは、研究をスポーツなどのように一次元的な評価軸で競争するようなものだと考えている人の発想だよ。選択と集中や競争原理を導入すれば学問が発展するという発想もそう。

Twitter社くんは10年も11年も棲みついてる古参ユーザーを早くデトックスしてキラキラした爽やかなSNSになりたいのかも知れないが、こっちは泥を啜り地を這ってでも青い鳥が骨になる日までずっとしがみ付いてやるからな…

他人を批判するときは真っ当な正論が一番効くよな。相手への憎しみが走ってイレギュラーな手を使っても周りが引いてしまったら、向こうに味方が増えてしまって、逆効果になる。snsの喧嘩で相手にダメージ入れたいなら、執拗さも大事だけど、オーディエンスをどれだけ味方につけるかよな。snsでの喧嘩の結果を左右するのは、金でも法律でもなく、オーディエンスによって作られた空気ってのがインターネットっぽくていいよな。この空気を味方につけられなかった奴は、最後まで勝てない。これは僕の経験を踏まえた反省なんですけどね。

大学に入りたての若い人々に、どの先生が哲学者として本物かはなかなか判定できないでしょうが、偽物はすぐわかります。つまり、素朴な疑問を封じる人、対等に人間として尊重してくれない人、権威のにおいがプンプンする人は偽物です。

世の中のシステムは2つ要素の相克で回っているので、一見あまり良くない事であっても根本的に解消してしまうとシステムが回らなくなる。一番わかり易いのは死ですね。死を本当に克服してしまうと有性生殖のメリットを完全にぶち壊す事になる。こういう相克は片方が消滅するのも大問題だが、片方が極端に勝ちすぎる事でも問題が起きる。前世紀、学者は人口爆発を恐れたが、これは「死」と「生」のバランスで死を弱めすぎた結果生が勝りすぎた事による。産児制限で生を弱めてバランスを取ろうとしたが、今度は生が弱くなりすぎてこの有様だ。

リアルが忙しくてメンタリストをみんなでぶっ叩く祭りに参加できなかった。メンタリストの命は僕にとってどうでもいい命なので死ぬまで追い詰めたかったんだけど…。

厚切りジェイソンって何が「厚切り」なのかなって考えてたけどあれだな、ベーコンと韻を踏んでるんだな、と壁に向かって話しかけているが、返事はない。

パワハラを受けて最高裁判所を辞めた人ってやっぱり「最低裁判所だったわ～」って感じでウケを取ってるんだろうか。

非難は承知の上で言うと「千本桜」の時にはアンチの気持ちになった。あの厨二感溢れる歌詞を歌うにはAdoの声は強すぎる。力があり過ぎる。童謡を世界的な合唱団がステージで格調高く歌い上げるのを聞かされた時の感じ

「どのような社会規範が望ましいか？」というマクロの制度設定の話と、「現状の社会規範の中でどのように振る舞うべきか？」というミクロの適応行動の話がごっちゃになってしまうのはなぜかと言うと、マクロの社会規範がミクロの行動の集合として出来上がってるという世界観故な気がする。実際はそうではなく、個々の自由な選好が全体の利益を損ねることを防ぐため職能団体から国家までの様々な共同体が制度を調節していくだけど、そのファクターが見えないとマクロとミクロの話がごちゃ混ぜになってしまう。例え反戦論者だったとしても、戦場に居て相手が撃ってくるなら撃ち返すしかない。ルールというのは「みんな」が「いっせーのせ」で守らなければ効力を発揮できないもので、だからこそ制度設定を巡る議論は個々人の現在の行動とはある程度乖離せざるを得ないんだよね。銃を撃ちつつ反戦を叫ぶみたいに。

俺が名前を｢愚か者｣にしてる時にバカみたいなツイートが伸びて、引用リツイートで全然知らん人に｢名は体をあらわすとはこの事か笑｣みたいに言われたことがあるんだけど、そのタイミングで名前を｢石油王｣とかにしておけば良かったな。

誰もが生きやすい社会は、篤志家のような個人ではなく、社会や政治がつくるもの。この視点が抜け落ちており、民主主義を否定する言い方ではないか。非正規滞在の外国人を収容する入管の問題でも、外国人保護を訴えると、だったら自分で救えばいいだろうと言う人がいる。そういう定型句の一つだろう」と指摘した。

人の理性って意外と簡単には騙されないから、人がおかしいことを言ってる時って大抵は薄々おかしいと気づきつつもポジショントークしてるだけなんですよね。つまりは政治的・社会的立場、権益、人間関係が人を狂わせるわけだから、筋の通った人間でいたいなら一生野良犬でいるのが一番なんです

これ前も言ったんだけど、ホームレス支援に関して「それまで普通に生活していた人がホームレスになることもあるんだから」と強調する意見、あまりよろしくない。精神障害がホームレスになりやすくて、しかしこの社会は精神障害者もたくさん参加している、という視座に持って行かないと。美化している。だいたい、医師でもない支援者による「それまで普通に生活していたというホームレスをたくさん見てきた」という意見も、たとえプロの意見とは言えあまり信用できるものではない。"普通に生活していた"ことは病的背景を否定するものではない。未診断の精神障害者なんて山ほど普通に生活している。

僕が知っているツイートをバズらせる方法の一つは、多くの人がぼんやり思っていること・感じていることを真っ先に言語化するというものなんだけど、ずっとこればっかりやっている人は高確率で頭がおかしくなっていくのであんまりやらない方がいいと思う

百人に一人～千人に一人ぐらいのオーダーでも周囲からチヤホヤされることは珍しくないが、実際に天才という鼻につく自意識を持って振舞って社会から放逐されないオーダーって、最低でも十万人に一人ぐらいからだから、そのギャップにはなるべく若いうちに気づくべきだと思う。千人に一人って日本だけでも十万人以上いますからね。結局その中から頭一つ抜けようと思ったら継続と努力と誠実で社会的な態度が不可欠なんですよ

「私って存在する価値あるのかな……？」って悩んでる人には、生活保護という制度があり、仮に何も生産的なことを成し得なくても、国家があなたの存在に月13万円の価値を認めて支払ってくれるという話をよくする

A（とりあえずAとしたが、具体的には何でもいい）についての完全なモデルを持っている脳を構成することについて考えてみる。ここで言う完全なモデルというのは、Aについての過去と未来のことをなんでも知っている（予測できる）モデルのことだ。したがってこの脳は、Aについて完全に理解していると言えるだろう。ここで、Aが自分自身について理解しているという状態を作るために、この脳もAに含まれる（すなわちAの脳である）ということにしよう。そうなると、脳はAについての完全なモデルを持っていなければならないため、この脳についての完全なモデルを持つ脳'をAの脳に増設する必要がある。

さらにここで、Aが本当に自分自身を理解していると言うためには、新たに増設された脳'についての完全なモデルを持つ脳''が、Aの脳に増設されなければならないことは、容易に理解できるだろう。そしてこの繰り返しの脳の増設手続きは終わることがない。すなわち厳密に考えるなら、あるものがそのもの自身を完全に理解するということは不可能である。というのが私の結論だ。逆に考えれば、例えば私があるものについて理解できるなら、それは私ではなく他者なのではないだろうか。我々は他者しか理解できないのではないだろうか。知ることができるという性質と他者という性質は、実は同じ概念なのかもしれない。

周囲の人間に対する最低限の敬意みたいなのがなくてやばいと思ったし見つかる前に消したほうがいいと思う。人間ってそれぞれがちゃんと固有の歴史と生活と自我を持って生きていると考えたほうがよくて、舐めてると相手にも自然とそれが伝わってしまったりするので本当に良くない。あと最高効率でお互いの内面を掘って距離を詰めるコミュニケーションってボダの人とかがよくやりたがる印象だけど、健常者相手にそういうことしちゃいけません。せめて最初の一週間ぐらいは天気の話とかの当たり障りない会話をちゃんとこなして、安全で会話の成立する人物だとアピールしましょう

才能と創作の関係、どれだけ自分より才能のあるコックがたくさんいたとしても、自分のご飯は基本自分で作るしかないという話に集約されてくると思う

法律をぜんぶ暗記するのは不可能なので、いつか自分の知らない法律を犯して刑務所に入れられるのではという不安が幼い頃からあったんだけど、そのことを友人に相談したら、自分以外誰もそんなことを気にしていなくて適当に生きているということが発覚し、衝撃を受けたことがある

非モテを拗らせている人の拗らせが解消されるのって、自分の人生がセックスしないと出られない部屋ではなく単に出られない部屋だと気づくということだと思うんですよね

とある詩をとあるサイトに投稿したところ各方面から怒られて（書くことそのものをバカにしているみたいな意見をいただいた）それ以降完全にやる気を無くしている。本当にくだらねえよお前らは。確かに詩をやれば大衆には媚びなくて済むかもしれないが今度は詩人に媚びないといけなくなるから誰に媚びるかの違いでしかない

自分より欠点の少ない人には恐怖を感じるし、自分より欠点の多い人には怒りを感じたり見下したりしてしまう。自分とちょうど同じぐらい欠点のある人がいちばん共感できるし一緒にいて居心地が良い。

よく少子化対策として子育てに対する福祉や教育への投資を充実させろという意見を目にするが、基本的に出生率が高いのは貧困層、途上国、スラム地域なわけで、出生率回復に必要なのはどう考えても貧困や無教育・無教養、荒廃であり、その逆である福祉や教育で出生率が回復するとはあまり思えない

恋愛というのはそれが進展していく過程自体に必ず失礼さと暴力性をはらむものなので、恋愛をしたいけど一切の失礼を働きたくないというのは無理な話だなあと思うし、好きだと思ったらあんまり考えずに突撃すればいいと私は思っている

「普通になりたがる人が理解出来ない、普通でないなら普通でない自分を貫けばよいだけ」といった意見はよく耳にするが、話はそう単純ではない。何か自分を貫いた結果、自分の別の何かが傷ついたりするわけで。自分も世界も単一のものではなく、レイヤーも指向性もバラバラのモジュールからできている。自分の痛みや快を最小化したり最大化したりするような行動を取ろうにも、そもそも痛みや快に対する評価関数だって無数に存在していて、比較不能であることが常だ。我々にできることは、自ら盲目になって何かを適当に選び取り、採用しなかった評価関数に思いを馳せて後悔したり反省したりする以外にない

グーグルフォトをなんとなく眺めていたら、震災で消えてしまった大好きだった緑川河川敷の菜の花畑の写真が出てきた。この場所、こんなに綺麗なのに知名度はほぼ皆無で、ネットで調べてみても二件しかヒットせず、この場所の固有名詞すら存在しない。もう見ることのできない風景。

生活がかかっているという妄想が人間を殺す。実際にはそんなものはない。家を失おうと犯罪を犯そうと息絶えるまで生活は続くのだから

「フェルミ推定」は統計テクニックでも何でも無く単なるどんぶり勘定を権威的な響きに置き換えただけ

障害者を口汚く罵る人がいたとして、他者に配慮した言動ができないのもまたその人の障害の特性というようなことはしばしばあり、人を見境なく侮辱すると社会生活に差し障りがあるのでその行動は絶対に改めてもらいたいけども、「障害者をいじめる悪人VS善人」みたいな構図に落とし込みたくはないんです

子どもの名前に 1, 2, 4, 8, ... とつけておけば、きょうだいのうち誰と誰を呼び出したいみたいなときに 5 とか 13 とか呼ぶだけで済むようになるの便利じゃないか？という思いつきが生えた

近代民主主義国民国家の妹です。この度は兄が崩壊してしまい申し訳ございません。

SF作家"星新一"が凄いのは最初から時代を超えて読まれることを意識して作品を書いているとこ。具体的な人名や地名など固有名詞を使わないのはもちろん、大金を表すのも「1億円」ではなく「家が3軒建てられる金」のように表現し、お金の価値が時代とともに変わっても違和感なく読めるようになっている。

「言ってはいけないこと」というのは……むしろ人間が何にも考えずにいたら簡単にそこに辿り着いてしまうものであって、それを人間が努力して「言ってはいけないこと」にしてきたという過程があるので、それを"あえて言う"というのは別に真理が分かってる賢い人とかではなくて退化……

「信じるか信じないかはあなた次第です」と言う人が実際に言いたいのは「信じて！！！！！！」ということですから、その手の発言をする人間を信じてはいけません。

中学生の国語の採点してると、論説でも小説でも、まるで逆方向の答案があったりで「読めてなさ」がものすごかったりするのだけども、なんていうか、「試験に不慣れ」とかじゃなく、皮肉とか遠回しな表現とか、普段の会話であってもまったく通じないんじゃないかっていうくらいだったりするんだよな。

おそらくだけど、社会科の教科書とか読んでも内容は把握できてないだろうし、説明されても説明として機能してないんじゃないだろうかっていう。学力的には、平均あたりのところからそういう答案が増える。「下位」じゃなく、「平均」あたりで、そんな感じ。

知性とは「思っていることをそのまま言わないためのブレーキ」なんだよね。でも、最近のインフルエンサーは、この「知性が無いこと」を「誰にも言えないことを言える」と誤解してないかな。某政治家だって、某○○えモンだって、そうだよな。それを支持して憧れる若者の存在も無視できない。

「あなた無しでは生きていけない」は最上の愛の言葉だけど、これを教育者が教え子たちに言わせたらおしまいなんだよ。教育の目的は「自立」なんだから。骨抜きにして立たせなくするの教育ではなくて洗脳です。教育者なら「あなた無しでも生きていけます」と言わせないとね。

有名な教育実践家の多くが、子どもたちに自分のことを「あだ名」で呼ばせてる。これは教室という空間における「教師の権威性」を少しでも和らげたいという思いの現れなのか。子どもたちの学びにとって「権威」は邪魔でしか無い。しかし、そのことに気づいている教員の少ないこと。実践は広がらない

東大教授が、東大の組織の弱さとして「学生の均質化」を挙げている。都内の有力高校在籍生徒ばかりが進学するそうだ。「多様性」というのは「教育的」だと思う。自分の中には無いモノの見方を求められる。学校の教室にもこの考えは通じる。子どもの均質化より、多様性を認める教育をしなければならない

女の涙は計算づくの演技だけど、男の涙は嘘のない本物って通念があるので、涙ながらの謝罪に「泣けばいいと思って」「涙を武器にできていいな」みたいな揶揄はあまり受けずに済む。男性にとっては効果的な技術かもね

DaiGoという人の一連の騒動を眺めていて思うこと。この人の「２度目の」謝罪会見動画についての、SNSにずらりと並んだ反応は、見た限り大きく３種類に分けられる。１つは「これも計算なんでしょ？」的なもので、２つめが「ここまで追い込んでるやつらも同類」的な「どっちもどっち」を掲げるもの。３つ目はいわゆる擁護論で、「みんな内心ではホームレスを汚いと思ってるはずだ」みたいな、つまり「本心」「本音」に即していないはずだから駄目だ、というもの。加えるなら、「そういう綺麗事なあなたたちは、一体ホームレスのためにいくら寄付をしたんですかw」みたいなのが、この２と３の間に入るのかもしれない。

数としてみたときに最初に思うのは、１つ目の、つまり、この謝罪を、心からのものとして信じない、という表明、これが驚くほど多い。人間は他人の内心というものを知ることはできない。なので、このDaiGoという人のこの（とくに二度目の）謝罪は、多くの人が指摘するように計算なのかもしれないし、あるいは意外と、真実の、心からの反省に基づいて、あの涙だって流しているのかもしれない。でも、もしあれが心から涙だったとしても、大勢の人が、それを信じようとしていない。彼が繰り返しあちこちの動画とかサロンとかで示してきた、態度や言動の積み重ねによるものが原因であるらしく、「今回だってきっとそうさ」と受け取られてしまっている。まるで寓話の狼少年そのままに、自分がしてきた行動や言葉の負債が、いまそのまま自分に跳ね返ってきている。

計算なのか本心なのかわからないが、筆者は、むしろ、この謝罪は「計算」であってほしいと思っている。そうであれば、彼の内面は、「ちくしょう、うまくいかないなあ」といった悔しさで済むが、もし、彼が真実の反省からあの動画を投稿したのだとしたら……。これがフィクションであれば、一種の痛快さとともに、一人の悪役の凋落の物語として消化できるのかもしれないけれど、現実の出来事としては、教訓劇としたってあまりに陰惨すぎる。目も当てられない。

そもそもの発端になった、ホームレスや生活保護受給者に対する発言の時点から、このDaiGoという人の「本心」なり「真意」なりは、なぜこれが問題になったのかとは、何も関係がない。……少なくとも筆者はそう思っている。「本心」や「真意」を気にする人は、例えば最初の問題の発言についても「DaiGoさんはそんな意図で言ったんじゃない」的な擁護をする。しかし、繰り返すが、彼の「本心」も「真意」も、これが大きな問題となって「炎上」した理由とは関係がない。こういう言葉を（個人の感想であろうとなかろうと）、こういう場において（拡散され大勢に届きうる、つまり"公"につながる場所で）、こういう態度で（僕はこんな"辛口"な本音を言い放てるほど自分に正直でいられるんですよ、というアピールを"エンタメ"とする認識。なおこれは彼の「１度目の」謝罪で発言されているので、もはや「内面」の類推ではない）、世に向けて放つこと。それが、ホームレスや生活保護受給者の人たちに対する社会の視線を、どんなふうに「操作」（メンタリストを肩書とする人のようだから、そのことに無自覚だったとも思えないのだけれど）することになるか。……問題はそこに集約される。「この発言の底にある、叩いている人間によって捻じ曲げられたせいで語られることのない真意」のようなものは、どこにも入り込む余地はない。

「彼の放った言動、彼の内側ではなく外側で記録されている言動という事実、それについて彼は責任をとるべきだ。」これが、DaiGoという人に向けられた糾弾の内実である。……少なくとも筆者にとってはそうである。もちろん、炎上してるとみて一緒になって石を投げてるような手合いだっているんだろう。しかし、そういうイナゴめいた連中を、「糾弾している人たち」の「代表」に一方的に仕立てて、「ここまで追い込んでるやつらも同類」で批判して事足れりとするのは、不当に問題を矮小化している。また、「みんな本心ではホームレスを汚いと思ってるはずだ」的な、「本心」を問題にするような反論も、まるで意味がない。これを書いてる筆者だって、家の前で不当に浮浪者に居座られたら迷惑なのでどいてもらいたいと思う。そういうことと、「こういう言動を公にすることがどんなふうに社会の視線を歪ませるか、セーフティネットというものの存在意義をどんなふうに誤ったイメージにすり替えるか」ということを問題視して批判することは、何一つ矛盾しない。批判している人が「本心」でホームレスをどう思っていようが、また寄付をしたことがあろうがなかろうが、何一つ関係がない。

本当のところ、「特にDaiGoが好きなわけじゃないが、この綺麗事を主張しているやつを"どっちもどっち"で相対化してやろう。そんなことができる自分はなんて冴えてるんだろう」という満足を得たいがための投稿、というのについては、「炎上しているところに行って一緒に石を投げてやろう」の手合いと同様、この件に限らず常にどこにでも発生するものなので、言及してもあまり意味はないような気がする。そういう「冴えてる私アピール」は、確かにお手軽な娯楽であるが、しかし、何一つ、それこそ"お花畑な理想論の綺麗事"を言い募るよりもはるかに、世の中の役に立っていない。もちろん、当人たちだってそれはよく認識しているはずだ。要は「言葉で言い負かして痛いところを突いてしまえる私はなんてすごいんだ」という満足感は、それこそ当人の「内側」から外へ出て、何かのエネルギーになったりすることのないものだから。そして言うまでもなく、「事実としての言動」「それがもたらす可能性」「それを批判することの意味」を問うにあたって、「どっちもどっち」が意味をもつような余地は、どこにもない。

無人島に遭難しても海水で水分補給できそう

もし今人類が滅亡しても何億年後かにこの畳が残ってたら全ての食材のDNA復元できそう

自分に迷惑のかからないアル中ってこんなに面白く見れるもんなんやな

すぐ払えるのに水道止められた一日を楽しんでるのすこ

民主主義国家において社会的な動揺は権力の腐敗や硬直化を修正するためのある種のスタビライザーだが、日本人としては、ことあるごとにスタビライザーが作動するせわしない社会というのはそれ自体が欠陥のある社会である、というふうに映ってしまうので、そういうことのない静的な統制のある社会の方が好ましく思う。だから、欠陥を前提として常にそれと取っ組み合っている民主主義よりも、金科玉条不磨の大典によって整然と予測可能的な全体主義の方が、社会の運用方式としてむしろ優れているのでないか、という考えにのっとって、戦後日本は民主主義の皮を被った全体主義国家として運営されてきた。そしてそれはそれなりに成果をあげてきて、ついには巨大な経済大国を築き上げてしまったので、日本人はこの疑似民主主義全体主義国家に密かな誇りを持ってきたわけである。

議論と言う名のコミュニケーションが成立するには、というか通常の会話でもそうだが、まず双方が最低限の文脈を共有していることが最低限の条件である。昨今の社会における分断の問題は、原因としてはこの「文脈の共有」を意図的に拒絶していることであり、その結果として「文脈の分解・断絶」が常態化していることだと思う。双方の文脈がすれ違って交錯しない様は「ご飯論法」が分かりやすくモデル化している。文脈の破壊は「言論の塹壕戦術」において中核を成すものでもある。サークル内で通用する文脈を、社会的に共有される文脈から切り離しておくことで、外部からの干渉・攻撃の手段を遮断することができる。

まずいことに、今のところこの塹壕戦術に対する有効な対策は発明されていない。塹壕に籠られると、もう手の出しようがない。だから対峙する側も塹壕を掘って対抗しようとする。理性を標榜するリベラルの側でさえ、首から下が塹壕に隠れている光景が散見される。双方が決め手に欠け、問題は解決されず、ひたすら分断と対立だけが続く。そしてこのような不毛な塹壕戦は社会全体を疲弊させ、いずれ破壊的な選択を…あるいは反民主主義的な解決策を希求することになると思う。そのリスクの実現性は日本よりもアメリカでこそ高いが、しかしそれは、どちらが10年先になるかの違いでしかないのでなかろうか。

社会が高度化すれば生活が豊かで便利でクリエイティブになる一方で、肉体労働においてもデスクワークにおいても単純作業は自動化され、「普通」に働くために求められる能力のハードルがさらに引き上げられる。

一時的に私権を制限されることは仕方のないことだが、緊急時には国民はより注意深く政府を監視しなければいけない。「緊急時なのだから政府と足並みを揃えろ、政府批判をするな、一致団結」というような言説がたちまちに出てくることを考えると、本当に民主主義と全体主義（独裁）は紙一重で、非常時には容易く転落することを実感する。

・高学歴にならないと人生詰む

・新卒就活に失敗したら人生詰む

・最初の勤め先を短期で辞めたら人生詰む

何が原因でこんな社会認識を持ってしまったのか分かりませんが、日本の就活はさすがにそこまで極端ではありません。「不利」と「詰み」は明確に違うので…。誤った（極端すぎる）社会認識によって思い悩む若年層多すぎるんじゃないかと思うんですよね。何を根拠にそう認識しているのか自分で考えてみたら、それが根拠と言えるほどのものでもないことに気づけるかもしれません。いや、もちろん受験も新卒就活も頑張った方がいいとは思いますけどね。

事実として、新卒就活は職業選択の幅が最も広い時期ですし、その選考スケジュールは概ね決まっていますし、高学歴を優遇する企業だって存在しますし、短期離職した人材をフィルタリングする転職求人もありますけど。ではそれらに失敗したら「詰む」のかと言われれば、んなはずないわけで。

わざわざ不利な道を歩むことはないので、受験や就活は頑張っておいた方がいいし、準備もしておくべきです。ただし、仮にそれらに失敗したとしても、失敗後の立ち回りでリカバリーできることも多々あります。人生そう簡単に詰ませてもらえません。

フィクションの影響で「テロリスト」と聞くと悪党のような気がするが、「反政府組織」だとまだ善悪の判断がつかず、しかし「レジスタンス」は正義のような気がしてしまう。

お、お、お前いま俺を見て笑っただろう！ 俺の悪口言ってるの知ってるんだからな！ という感覚、ネットだともう被害妄想とかじゃなくてみんなが慢性的に感じるもののような気がする。

今日会った海外のオタク、日本語全然できないくせにラーメン食う時だけ「ラーメン三銃士を連れてきたよ！」ってかなり綺麗に発音したのめちゃくちゃキモかったな

マーケティング界に「満腹の大学生にカレーを食べてもらうには」という小話があって、答えは「イチローの母が登場し、カレーを作ったと明かす」らしく、ここからプロダクトをストーリーづける大事さが〜と展開するのだが、設問の動機も手段もすべて意味不明でウケる

失敗した。強い言葉を使いすぎたな。あの言い方では正確性に欠ける。というツイートに限ってバズる。正確性に欠ける過剰に強い表現の方が、分かりやすく伝わるからなんだろう。人気YouTuberの言い方が、どんどん正確性に欠ける強い表現になっていくのはこのせいかも。

境界知能の犯罪者、マジで「僕を無視したので苛ついて、殺しました。」案件が多くて、「やめてくれる？」とか交渉の加減を知らないんよね。同じように、報復の加減を知らない被害者もまた、被害者権力で快楽遊びしている人間だと思われるんよな。「加減を知らない」のではなく「下手に加減すると舐められる」から徹底的にやるのかも分かりません。境界知能もそうですが、ハンデを抱えた人間は必ず差別されるものですから。私も知的ハンデこそ無い障害者ですが、私を無視して舐めた者を〇したいですもの。舐められては被差別者は被差別者のままだ。例えば、殺意あるにしても「やんわり仄めかす」「怒りを表明して反応を見る」「直接威嚇する」「止めてと交渉する」「手が出て怪我させる」「指定の場所に呼んで仲間でシメる」「起訴する」すべてTPOの加減問題なんですよね。不器用だと「息の根を止める」まで一気に進みます。

新型コロナ拡大後に生まれた幼児、ＩＱ平均７８…「刺激減り低下」

IQの平均が78というのはたった8ポイントで軽度知的障害のラインに達してしまう相当深刻な数字だと思うのだが、調査対象となったロードアイランド州はかなり「意識の高い」州のようなので、ロックダウンの遵守や自主的な外出抑制がこの結果を生んだとしたら実に皮肉ではある。

厳格なロックダウンにこのような影響があると考えると、外出の自粛が求められつつも子供と散歩に行ったり公園で遊ばせるくらいなら目くじらをたてられるほどでもなかった日本は、結果的にではあるが幼児に与える影響という点ではロックダウンよりマシな選択をしていたと言えるのではないかな。それにしても、「衛生観念というものを弁えているから」「マスクも拒否するような連中とは違うから」といって、またリモート勤務可能なホワイトカラーであるがゆえに、時節を読んで意識高くお行儀よく子育てした結果がこれだとしたら、知能の高さを重んじる層にとって返す返すもあまりに皮肉過ぎる。やはり特に低所得階層の男児に影響が顕著だそうで、意識高い政策のしわ寄せが下層にいくパターンであった。

昔の人が「この土地が災害に遭いやすいことを孫子の代まで伝えよう」と付けた地名「○崎」「蛇○」も、売り出したければ「○ヶ丘」に変えてしまう。不都合な教訓なんか無視するわけだ。それを思うと「戦争してはいけないことを孫子の代まで伝えよう」とする教訓に戦争を止める力がどれほどあるのかな。地名の教訓は目端の利く人が賢く家を買う役には立っても、業者が土地を開発して多くの人がそこへ住むことを防ぐことはできない（そして賢い人が被災者を自業自得と思う）のだよな。戦争の教訓も目端の利く人が先を見越してうまく立ち回る役には立てど、社会が戦争を避ける役にはどのくらい立つものか。賢い人が被災者に「ちゃんと調べずあんな所に家を買っちゃったのが悪いよね」と思うように、戦争も「歴史に学ばない人の自己責任」と言えれば良いのだろうが、戦争は賢い人のことも否応なく巻き込むので「戦争はダメだとなぜ分からない！」と怒り心頭になってしまうしノマド志向になってしまう。

「学ぶ」と言うことは、自分を一旦切開し自分の闇を見つめることから始まります。単なる知識の上塗りではなく自己批判を伴う営みだと考えています。本当の「学び」は知識を得ると言う事では全くなく自分のしてしまったこと、あり方を一旦否定することから始まると考えます。それを棚上げにして「学ぶ」ことは出来ません。

「ネガティブ思考の人へ。心配事の9割は実際には起こらない。だから大丈夫！」みたいな話が流れてきたんだけど、「もし残りの1割に当てはまったらどうしよう」と考えて死にたくなるのが真のネガティブ人間なので、まったく響かない。

パパと呼ばれるかお父さんと呼ばれるか楽しみに年を重ねましたが結婚できませんでした

オカルト、ホラーな話って、不意に巻き込まれる理不尽さやどうしようもない不運がキモの一つであるように思うので、話が整然とした形で終わると何か物足りない、作り話感が出る

「出身身分や、性別や肌の色で人間を判断してはいけない。中身はみんな同じ一人の人間なのだ」という考え方（守るべき建前）こそが平等であり、その原則に基づくのが「近代民主主義」であるはずが、高度なリベラル政権ほど、「外面的な肌の色や性別で判断」し、またそれを「民主主義」と言い出すのは不思議な話である。

民主主義とは「国民や人民が決定するという手続きの形式」であり、「出力される政治の内容」ではない。所詮は、「民主主義とは結果ではなく過程である」。それが残念な悪政であっても、あるいは侵略的な戦争を決定しようが、とにかく民主的に決められた過程こそを重視するのが民主主義である。絶対的に正しい「民主主義的な出力結果」があるならば、そもそもその基準で決定すればよく、皮肉にも「民主主義はいらない」ということになる。民主主義的な“優れた”独裁者に民主主義的な政治を独裁的におこなわせたら“完璧な民主主義”になる。

シコり続けるにはあまりに長いが、毎日シコるにはあまりに短かったな～5年半

唯一の被爆国だからこそ二度と被爆国にならないために核武装しよう、という世論もあり得る気がするんですよね、米軍が守ってくれないという仮定においてですけど。

自主防衛というのは甘美な響きではあるが、自力で中露とやりあうって本気ですか、というのは思いますね。

ヤリモクの反出生主義、もし孕ませちゃっても堕ろさせるのが当然という態度が取れて隙がないな…完璧だ…

先人たちからのメッセージとして危険な地区の名前を「地滑り起こりまくり谷」とか「村民濁流に飲み込まれまくりヶ原」みたいにしても、歳月が流れたら「ふわふわコスモスタウン」とか「ゆったり日だまりヶ丘」みたいな名前の新興住宅地に変わってしまったとこ、全国にめっちゃあるんやろな。そら「希望溢れるニュータウンで新生活！夢のマイホーム『川の形変わりまくり谷』街開き開始！入居者募集！」って言われても絶対暮らしたくないもん

なぜ多くの皇帝は公金を使って辞書を編纂するのか？自国語の辞書編纂は、国家の威信をかけて行われるべきだと考えられているからだ。日本はしかし辞書を公金で編纂することがそう多くなかった。良いことでもある。権威付けと支配の道具として言葉が使われなくて済むからだ

リベラルがコロナで行動規制を推すのは矛盾みたいなこと言う人よくわからん。アメリカで言えば、リベラルは環境保護のために企業活動を規制したり、銃を所有する自由を否定する傾向が強く、逆にこれらの自由を肯定しがちなのが保守だろ。結果保守派の強いアメリカ南部は公害地獄になってるそうだが。リベラルと保守の、コロナ蔓延と環境汚染に対する態度は似たようなもんだろ。リベラルは目先の自由を制限しても蔓延や汚染を止めようとするし、保守はその逆。リベラルとリバタリアンの区別付かない自称リアリスト。あれ要は保守って「自由」概念が「弱肉強食ジャングルこそ自由」だからだわな。リベラルは「人権や尊厳を奪われないのが自由」だし、公正等も無ければダメ。

田舎の駅のホームに空になったラムネの瓶を置いて、そこから覗ける夏をスケッチしている。

人生ぜんぶが道草なような気がしてきた。その時々は本気なのだけど。

昔嫌がらせしてきた女性が今幸せそうで子供もいるとか、めちゃくちゃ喜ばしいことじゃないですか？　弱点できたじゃん

"科学に頼ることで不健康な人も生きられる確率が上がった（ので、不健康な人の人数が増えた）"。これが思った以上に致命的だという話なんだよな。科学の助けによってどうにか命を保ってる人は、そうじゃない人に比べて恒常的に科学に限らずあらゆる助けを必要とするので「科学・医学の進歩で命を助けました、めでたしめでたし」では終わらず、その後も助け続けなくてはならなくなる。科学によって生かした後に必要となる、後詰めの部隊が想像以上に必要な事への認識が浅かった。助けた後に必要になる兵站が想像以上に莫大だったというのが、長寿化による社会へのダメージの正体でしょう。

こないだ本屋に並んでる心理学？みたいなものを扱う本をパラパラッと何冊か読んでみたけど、あれ100冊くらい読むよりも「目の前の人間1人と1.2時間ちゃんと向き合う」ほうが、ずっと知れることは多いと思った。それはまあ、ぼくが4000回やってきたからだとも思うけど。なんか限界あるなー、と感じた。なので、たぶん人の心？みたいなものが知りたいなら、たくさんの本じゃなくて少なくてもいいから生身の人に向き合うべきだと思うよ。まあ、心があるかは知らないけど。

決断が速い人にあるのは「意思決定する胆力」ではないと思う。間違った時にやり直せるだけの「残機」があるかどうかの方が重要。残機ゼロで戦っていると、よっぽど選択肢に恵まれてない限りは常に一発必中の賭けに出なければならなくなるので、決断は必然的に慎重になり、遅くなる。

昔、おばあちゃんちに遊びに行った際、滅多に買わない憧れのフランスパンを長いまま買ってもらった。車の後部座席に座り大喜びで丸かじりしながら帰った。あれが私の一番のパンの思い出です。

親の無償の愛は偉大だって言いますけど、乳幼児が親に向ける無償の愛の大きさってその比ではないと思う。親に恩返しはできないと言うけど、親の方も幼少期の子どもからもらった愛はとても返すことができない。

リベラルポイントの計算をめちゃくちゃ複雑にするニュースを報道して、リベラルがどう反応するかを見てみたいっていう欲求が最近、ある。フィンランドで「女性のみ大麻合法化が決議」とか、韓国在住黒人女性が日本在住白人男性フェミニスト・○○氏を批判とか。めちゃくちゃ複雑そう

インターネットで誰かが「悪」と認識されると叩かれるのは良いとして、そこから「アイツの財や職を奪え！社会的に抹消しろ！」まで発展していくのを見ると、社会科の授業で習った「刑罰は罪人を過剰なリンチから守る為にも作られた（罪刑法定主義）」的な話がよく理解出来る。明確な刑罰ないしルールがないが故に、無限に私的制裁が加速していく場の代表例が小中のクラス。そこでひとたび「ムカつく/キモい奴=悪」となると、どんどん些細な事を理由に虐められるようになったりイジメかたが過激化していき、最終的には存在自体が罪になる構造がある

ツイッターは「いまどうしてる？」をツイートするサービスです。無理に面白いことをつぶやこうとせず、いまをどうにかしてください。

バカを騙すとカネになるけど基本やらないのが医療業界。こぞってやるのが不動産や金融業界

思うところあるよねってグチグチ言うのが冷笑系の異常さ、悪質さなんだよな。それ言ったらどうなるの？ってのが理解できないか理解しようとしていない。リアリストを自称するのに人間の感情や社会の善性を一切考慮しないよなあいつら。ひたすら自分以外の人らに対しては悪い方向に物事を考えるように勧めてくる、リアリストのフリした宗教だよあれ。よく冷笑系の奴らって弱者を痛ぶるのは社会の摂理説唱えるけど、それをやった国が結局まともな形で生き残らなかったのがそれをやった答えなんやないのと思う。なんか愚者は経験に学ぶを忠実に実行してるよね

亡くなった人からもらった手紙を読むシーンあるある：最初は手紙を書いた人の声で読まれるが、だんだんフェードアウトしていって、今読んでる人の声で読み始める

高田純次さんが「歳をとってやっちゃいけないのは説教と昔話と自慢話。」と言ってて真理だった。逆に若者相手にすべきことは「声に出して褒める」「相手の成功体験や好きなことを聞く」「年齢関係なく謙虚に人から学び続ける」などで、歳を取れば取るほど相手目線・未来志向・成長意欲が大切になる。

日本製粉がハッキングの被害にあった件、外国人ハッカーが日本製粉(にほんせいふん)と日本政府(にほんせいふ)を間違った説がまことしやかに囁かれている。霞ヶ関と霞ヶ浦を間違って攻撃した前科が実際あるからな・・・

国や文化に関する社会的通念は、非常にうまく構成されており、また多くの層をなしているため、その層の一枚を剥ぎ取ったとしても、他の層は残っており、剥ぎ取られた層を補填するんです。ナショナリズム、資本主義、家父長制、封建制など――これらのすべてが非常に巧みに相互補完的な構造を作っているため、もしその一つを取り除いたとしても、その他の要素が補完しあい、強度は増すばかり。この強力な相互補完構造に立ち向かうのは、とても困難なことです。

すんごい冷笑主義的に言うけど、多様性が必要になるのは一つの共同体が共同体として崩壊しないためであってそれ以上の意味はないので、例えば日本という国が明日にでも分解「できる」のなら、お互い主義主張が合うところに行ったほうが幸せになれる

「平等にしろ！！平等が大事！多様性が大事！何が多様性で平等かはうちらが決める！」って言われてる

異常なものを排斥し続ければ全員が普通でいられるという幻想こそが宗教を宗教たらしめ全ての共同体を成り立たせてきた。切り捨てに回るのは人間としてそれこそ「自然」な発想なので人権とか民主主義はそれを縛っている。国家による究極の緊縛プレイってとこやな。

民主主義が最大多数の最大幸福と述べたのはミルだったかだが本来民主主義は少数派のためのものなんや。彼らがいっさいの意見を言えることなく圧殺されないようにという意味やで。だから「民主主義の基本原理は多数決なんだから多数決で決まったことは絶対に従え、それが民主主義だ」って言ってる人を見ると「この人、民主主義を全然わかってないな」って思う。多数決は民主主義という究極の理想を少しでも成り立たせるための現実的なプロセスに過ぎないので、多数決=民主主義ではまったくない。

人生とは、関東ローム層のように厚く積み重なった不満のうえを、ひとつひとつの層を意識せずに歩いていくようなものなのだ。

コロナは「やらない言い訳」に使えちゃうんですよね。「やらない言い訳」があると人はやらないというか、少なくとも腰が重くなって、それを打ち破るためにコロナ前より余分なパワーが必要になる

国家公務員も地方公務員も大手企業社員も中小企業社員も医療従事者も果てにはアルバイトに至るまで、あらゆる階層の人々が、破綻以外に行く宛先のない旧体制を無謀な労働で支え続けていて、その懲役労働のような社会の現状に人々は陰に陽に悲鳴を上げているのに、体制そのものは鍋蓋の上にどしんと座り込んで微動だにしないのが、この20年間で身をもって知った現実で、限界まで高まっているにも関わらず適切な逃げ口を見いだせない圧力は、いずれ爆発することにしか解決策を見いだせなくなるんだろうな

社会的経済的政治的問題の膨大さの前では、おおよそ710人の国会議員と約60万人の国家公務員などでは、解決への努力だのなんだの言っても、問題の最も浅い部分で砂遊びをするぐらいのことしかできないし、実際のところそれ以下のことしかできていない。せいぜい次の選挙に響くマーケティングをするぐらい。

全ての民主主義国家でそうだが、政府が人々の行動をコントロールすることなど不可能である。生活に関わることならなおさらそうで、みんな政府の都合などよりも自分の生存のために自分の利益を最優先して行動する。一部の小集団ならまだしも、何百万何千万人が当事者となる「自粛」ならなおさらである。法律を改正したって意味は無い。だから、多くの国家指導者は国民に語り掛けようとする。自分が指導者であることをアピールし、同時に一人の人間として、おなじ国民として、同胞として、自分の言葉を聞いて欲しいと呼びかける。法規制には限界があっても、言葉の力には限界がないからである。上手い下手は別として、世界中の民主国家の指導者らが自国民に対する呼びかけを行い、切迫したメッセージを伝えようと尽力している。結局は政治指導者にとっての素質というか真髄というのは、こういう言葉の力やメッセージ性というものだろう。特に有事においては。言わずもがな、菅首相に致命的に欠けているのはこの部分である。

考え得る限りこの地上において、人類が最も卑しく残酷に人道を踏み躙る舞台としての戦争（その中でも独ソ戦は最悪の類だ）を描くには、表現上、想像を絶するコスト（映画であれば一流の演者とシナリオと美術家と音楽作者）を必要とするが、「（萌え）漫画」が用意しうる表現の素材では到底そのコストを賄うことはできない

「淫夢」の場合は短い定型文を「語録」として使用することで、その背後に身内にしか伝わらない大きな文脈を宿らせることができたし、また同時に汎用性の高い語録（つまり一般人から見ても字面だけではほとんど違和感のないフレーズ。のちに「言葉狩り」の温床となる）は、だからこそ有効に機能するために動画という明白な舞台装置を必要としていた。双方が二つの車輪として両立したからこそ、これほど長い期間に渡ってコンテンツが循環機能したわけだが、そう見ると悲しいことというか皮肉にもというか、ニコニコ黎明期の理想は淫夢の中にこそしっかりと根を下ろしていた

インターネットは何の対価も受け取らずに匿名へと去っていく名も無き人々の努力によって作られていた。商業主義は強力な引力によってその人々を破壊していったが、その引力を断ち切るための刃として、「淫夢」の持つ汚さと閉鎖性は非常に有効であったらしい。いわば「淫夢」は、表の商業主義から隠れることのできる「ぼくたちの秘密基地」だった。学校での友達付き合いや、リビングのテレビに映る恋愛ドラマに生きがいを感じられない人々も、あの秘密基地のなかではこの世界を楽しむことができた

かつてない巨大なグローバリズムがすべてを飲み込もうとしているが、図らずもそのために、かつて「抵抗勢力」が敵視した「全てをつまらなくする表社会の商業主義」は、その影響力を減じ、今やインターネットの下位互換に成り果てている。ネット上のソーシャルな空間はますます細分化しつつあり、「淫夢」も無数にある「駄弁り場」、あるいは教室の隅に小さな塊となっている「仲良し四人組」の一つに過ぎなくなって、「淫夢」が特筆に値した時代も今となっては過去のものである。

ジョージ・オーウェルは「1984」において言語の改竄と操作を独裁支配の本質と結びつけたが、国を亡くす者はまず言葉の論理性を無力化させることを旨とする、ということは、既に秦の宦官・趙高の故事において強く示唆されている。「持鹿献于二世、曰馬也」。言語の機能しない、あるいは、言語機能の抑圧を支柱とする政治体制において、何がしかの問題の解決にすべきことは、実際に問題を解決することではなく、社会や大衆に問題は解決した、あるいは問題は存在しない、と「思わせる」ことであり、ひいては認識を（積極的にも消極的にも）強制させる手段を完備することである。そしてそのような政治体制は、自らに対する如何なる些細な批判であろうとも容認できない。与党や政策の完璧性や無謬性について非常に過敏であり、間違ったことを認めることは絶対にできず、ひいては、間違いを認識することすら許されない。

政権、行政に対しては、もちろん批判されるべき点も多いです。特に、行政の動きがどう取られるのか対して考えているように思えない（悪目立ちする）「認知症」ともいえる鈍感ぶりには閉口するばかりです。しかし、そうはいってもそれを補うための方策を突き上げ形式で出す以外にこの国の余力はなくなってしまっているのです。正論をかざし続けることが、現在の日本においては、岩田氏の言うモデルのように「薬」になるかもしれませんし、はたまた「毒」とみなされるか、近代以来伝染病や戦争の前線にいたことがないこの国の国民には判断がつかないやもしれません。

私たちが平然漫然と当たり前に平和な日常を消化しているまさに同じ日々が、誰かに対して暴力として作用している、その暴力が日常という形で正当化されている、このどうしようもないようなマクロの矛盾を、 後藤正文はスーパーの（添加物塗れな）総菜パンを食事代わりにする子どもに映して感じ取ろうとしているわけで、まさにこのような、具体的な日常の光景や誰かの肖像を感じ取れない脳みそでは、この手の問題を理解し受け止めることはできないと思う。そんなこともできず、総菜パンの値段と貧困ラインを結び付けて屁理屈をこねているようでは、生きていくうえでマトモな感受性も社交性も持ちえないのでないか。

達観、主観、客観を使い分ける能力を身につけるのが大切だと思います。達観的になれば、物事の構造を冷静に分析することで過剰な装飾品を取り除きつつ余すことなく必要な情報を取り込める。主観的になれば、取り込んだ情報を自らの価値観に落とし込んで自分にしか得られない自分だけの財産に変えることができる。客観的になれば、その財産から人を傷つけたり人に迷惑をかけてしまうかもしれないものを判断して、それを正しく用いることが出来る。どれか一つでも欠けるとどんどん物事を自分で考えることが出来なくなっていって、どんどん情報の渦に飲み込まれていって、気づかぬうちに醜い存在になっていく。今のネット社会、多くの人にこの3つの視点を使いこなせるようになってほしいと思っています

たとえ活動の場がTwitterだろうがFacebookだろうが、投稿者が名有りである以上正論と言う名の糞リプから逃れることは出来ない。それが耐えられないなら不特定多数の閲覧者のお気持ちに添うような発言を心掛けて信者を増やしアンチを作らないよう立ち回るか、あるいは糞リプそのものを無視するしかない。少なくともインターネットではそういう風になってる

特に歌詞の中に死を想起させる部分があり「不謹慎」であるとの批判（いちゃもん）はもっとも的外れで愚かなものだが、これに対する椎名林檎の反論がなかなか正鵠を射てて好感が持てる。「ここを逃すなら死んだ方がマシという誇りや負けた後のことまで考えていられないという決死の覚悟をそのまま写し取りたかっただけ」。確かに、それを否定されてはこの世に意味のある言葉を綴ることはできない。現代日本のタテマエとして蔓延している生命偏重主義が、生命「尊重」ではなく生命「偏重」に過ぎない所以は、上記のアホみたいな言いがかりに見られるように、それが生きることの素晴らしさではなく「死の恐怖」という脅迫手段に立脚しているところにある。そこでは「死んでもいいのか」「死を肯定するのか」という有無を言わせぬ恫喝が死のイメージの周りをグルグルと回転しているのだが、それは死の価値を封じ込めたとしても、だからといって生命の価値を上昇させてくれるわけではない。私たちは、生きることを肯定されないまま死を禁じられた時、単に逃げ道を封じられ、監禁されたとしか感じられない。それからは、労働と苦役の現場からの逃亡を防ごうという目論見しか見当たらないからである。現代の生命偏重主義が奴隷の足枷程度の意味しかないのは事実で、NIPPONに対する「死の不謹慎」という批判からは死にまつわる恐怖を守ろうとする企ては感じられても生命の尊さを守ろうとする意志は見当たらない。そんなものに配慮する必要性は微塵もない。

持ち出された「部分」だけ見れば確かに「正論」なんだけど、でもコミュニケーションってのは「正論じゃんけん」とは違うでしょ？って話で、誰かの文章を読むってのもまた、コミュニケーションだと思うわけ。今のネット上の日本語空間ってのは、どこもかしかも「正論」で溢れまくってて、コミュニケーションしたい人や自分を表現したい人にとっては本当に息苦しいんじゃないか。賛成してくれる人さえ、自分の言ったことを「正論」だと言って有難がっちゃって、どっかで「正論じゃんけん」するときに利用されちゃったりもするんだから。

お互い顔も見えない、後に引きずるものがない状況で何か気に入らない主張をしている相手に何か物申そうとする場合、相手の意見を汲み取ろうとしたり、自分の意見を戦わせる事より相手の主張を否定する論理、つまり「正論」をぶつける事が相手にダメージを与えられかつ自分の主張は傷つかないという点で最良の方法になるのだと思う。相手への理解という点で言えば、現在インターネット上にはあまりに情報・主張が多すぎて、相手がラベルを持たない場合、相手一人一人の主張の文脈やバックグラウンドを探って相手を理解しようとするにはあまりに時間が不足しているんだと思います。

ネットが虚無主義に陥ってるのは良く分かる。最近じゃ反中反韓だの言ってる連中ですら、愛国心があるかと思えば、今の政権が移民政策進めたりワタミや竹中入れてブラック化推し進めるような事しても日本オワタとか言ってすぐ諦めるだけだしね。価値観の創出がまるで出来てないのも、なろう小説の多くが、以前に流行った手法や表現の再生産で成り立ってるって事や、ジョークだと言って他者や他作品に便乗して貶す事に終始してるポピテピピックのヒットに端的に現れてる。コメント欄じゃ相変わらず馬鹿で無気力な批判の書き込みが大量にあるけど、そりゃ何も生み出さずに消費者に徹してるだけの人間は危機感感じる訳無いわな。こんな状況は一次創作者や技術者にとっては害悪でしかないよ。何しろ、どんなに偉大な発明をしても、どんなに偉業を成し遂げても破壊する為のコンテンツとして消費されるだけなんだから。

文脈や価値観というものを無視されてしまうとこういうことになる。この人は、そもそもこの記事が、この人が書いたような個別の出来事の説明をするために書いたものではないし、そのようなものとして読むべきものでもない、ということに気が付いていない。むしろ「うんざりしてるのは分かるが、言ってることの意味はまったく分からんぞ」というようなコメントをしてくれた人の方が、この記事の底にある私の感情や葛藤というものを読み取ってくれているという点で、正しい記事の読み方をしてくれていると思う。文というのは、人の言葉というのは、人間の思考・感情・価値観を表現するもんである。そして人間は社会や世界を映す鏡である。だから件のてっさんは私の書いた記事を通して私の感情や価値観に接し、さらにそれを通して世界の矛盾や社会にある葛藤を読み取った。人は人を通して人の世を見るんである。人間的なものを読み取れないのであれば人間は盲目にならざるを得ない。文を以て辞を害せず。長文を単に「文の羅列」と見、文を単に「要素の羅列」と見る人は、人間としての知性に危険な欠陥がある。人間を理解できないし世界も認識できないし意味のある知識も蓄積できない。世の中のほとんど全ての文章には文脈や価値観というものが宿っている。法律の条文でさえそうなのである。だから文を理解できない人、理解しようとしない人は今この世界で何が起こっているか、人間社会がどういうダイナミクスをもって動くのか、ということを碌に認識できない。

深刻な問題は、こういった知性の劣化を「頭の悪いガキ」と一笑に付すことがどうやらできなさそうだということである。インターネットの言論空間が本格的に一般社会にまで広がり始めてから10数年が経過した今、私たちは「頭の悪いガキ」レベルの知性のまま30代40代を迎えようとしている人間が実際に一定数存在するという厳しい現実と向き合わなければならない状況にたされている。虚無主義がネットから知性を奪い、インスタント化した短文言語の消費濫用を引き起こした結果がこれ。大いなる失敗である。

BAN祭りには自分も違和感を持ってて、何かしらの正義感をもって行動してるようには見えなかったんですよね。明らさまなニヒリズムが見え隠れしてましたし。残念ながら時々自分もそうですが、有権者の殆どが政治の主体がアベやハトヤマ達政治家ではなく、我々一民間人である事を忘れているように思えます。政治はまとめサイトのコメント欄で口撃し合うことでも発信者のアカウントをBANすることでもなくて、自分の中で形作られた思想を言語化し意見を交わす行為のはずです。ところがネット上の政治談議となると途端に政治家の悪口や活動家の悪事に終始して、かつて自分たちが忌み嫌っていたはずのワイドショーさながらな光景が拡がっているので辟易してしまいます。当に政治というテーマを消費しているだけの消費者ですね。民主主義っていうのは対立する意見の良いとこ取りして形を変えていく政治形態なので、反対意見を出すのは国民の権利というか義務だと思うんですけど、ここで対立してる両意見がそもそも誰かの借り物の思想だと議論が成立しないんですよね。自分の中で深化させた意見じゃないから上部だけの議論にしかならない。政治だけじゃなくて凡ゆるジャンルでも言えますね、借り物の意見での借り物の議論。

大河内茂太の言う「LGBTの皆さんも等しく天皇陛下の大御宝である」というフレーズには、以前の私のブロマガ記事を読んでくれた人なら察しがついているかもしれないが、個人的に「なかなか良いことも言うんだな」と思った。正直、日本人に同性愛者への理解を求めるならばこれほどまでにダイレクトに届く歴史的な文脈はほかにないものと思える。言っちゃ悪いが、リベラルな個人主義の立場から「LGBTを理解しましょう」なんざ言ってもだーれも真剣に受け止めやしない、「ここは拍手しとくとテストでマルをもらえるな」という打算くらいでしか反応してもらえないのである。外国のモノマネ以外でリベラルやってる連中がどれほどいるか？という問題で、リベラルやってる人間だって、言うなりゃ「俺の英語の発音のほうがネイティブに近いんだぞ」に似たような、いかに自分が正統であるかと言う点にしか興味のないアカデミックに味付けされた自己中心主義者でしかない。その反面、「等しく天皇陛下の大御宝である」なんて言われたら、伝統的な天皇的国体を崇拝する人間は（賛成するかは別として）真剣に受け止めざるを得ない。伝統的な保守主義者がどれほどいるかしれないが、それでも、例え少なくともちゃんと届いている人々はいるのである。だからこれは真に迫る物言いだと思う。

「LGBT」にくくられる人が求めているもの、あるいは必要としているものは、はなから「LGBT」なんてモノでもなければ、「LGBTへの理解」でもないのでないか、そうとしか思えない。本当に必要なものはもっと別に、そしてもっと根本的なところにある。それは「人間としての感性」・・・あるいは単に「品性」と言ってもいい。ただ、人間に対して、あるいはこの社会に対して、もう少し品性を持つよう求めているように思える。「アンタさ、ちょっと無神経だし失礼すぎないか？もうちょっと、目の前の人間に対して品性を持って接してくれよ」という具合に。社会のタテマエと圧力の前では表面上は礼儀正しく振舞えているけど、社会が想定できていなかった部分で、社会から押し付けられたルールや圧力がなくなると、途端に本性の下品さが露呈する。相手の心の奥に図々しく土足で踏み込み、好きなだけ傷つけて、平気でいられる。そして「人間ってこんなに下品だったのか」という事実に辟易して、どうにかして品性というものを持ってくれ、と切に願っている。

しかし悲しいかな、「目の前の人間には品性を持って接してほしい」と言ってもなかなか理解してくれない。それはそもそも相手が「品性」というものを理解していないからである。だから外国で見つけた便利そうな「LGBT」という言葉を利用して、ある意味たとえ話をしながら「品性」というものは何なのかを言ってきかそうとする。「レズビアンとかゲイという同性愛者の人にはね、こういうことを言っちゃいけないんだよ」という具合にである。でもこれは対症療法的であって、根本的な解決策にはならない。小津安二郎の言葉を借りれば「品行は直せても品性は直せない」のである。だから「LGBT」はうまくいかない気がする。このままいけば、ちょうど品性のない人間たちが、相手を男女という性別で機械的に区別することで品性があるっぽい行動をトレースしているだけのように、レズやらゲイやらバイやらトランスやらのカテゴリを作ってしまえば品性がなくてもそれっぽく誤魔化すことができるようになるじゃん、という結果に辿り着くだけじゃなかろうか。まぁ、人間は進歩するもんである。「LGBT」とはまったく違う方向から、「LGBT」と言われる人々が救われることもあるだろう。

「交渉なんて当事者の韓国にやらせればいいんだ、日本は関係ないんだ」なんてコメントがあったが、こういう声を聞くたんびに私の顔には引きつった笑いが張り付いている。現下の情勢でそんなことを言えてしまうような人々は、たぶん、明日日本が滅んでも、顔色一つ変えずに会社の始業時間を気にしているのじゃないか。

現代の日本社会は善悪の判断を法律任せにして深く考えてないように思えますね。戦前の天皇崇拝への反省か戦後は無神論者が増えましたが、それまで善悪の判断を下していた神道、仏教的な価値観を捨ててしまって、その場所に法律が収まったように思えます。だからどんなに卑劣な言動を行っていても法律に触れさえしなければその人物は悪とは見なされません。せいぜいあの人はなんだか気味が悪いから距離を置こう程度にしか思われないでしょう。法律が善悪の判断基準になることが悪いっていうよりも、それ以外の判断基準を意識の外に置き忘れてしまうことが寂しいんですよね。宗教が常に正しい人の道を提示出来ないように法律もまたそうなわけですし。法律はあくまで人間社会を維持するための方便であって、その外に善と悪を決める論理が存在するんです。自称無神論者はユダヤ教の教条主義の如き法律の定める価値観から目覚めてほしいですね。

経済はその発展の過程で導入された、言わば知恵、ツールの一つであるはずです。確かに発展に少しは寄与したはずですが、それだけが本質ではないはずです。我々の生活は今は完全に貨幣に依存していると言っても過言ではありません、しかし、本質は、我々の知識にあると私は考えています。貨幣の価値は変動しますし、保証する存在が消えればその価値すらなかったことになるでしょう。しかし、我々の知恵は、火を起こす枝、畑を耕す鍬、そしてそこから連綿と続き、この電子機器の時代に続く我々の科学技術は、例え何千年前のものでも色褪せず今でも我々の生活の基盤と成り続けて居ます。我々はそういった知恵を、貨幣の代わりに手放してしまったように思います。

実体のある社会生活で醸された良心・良識はほとんどの場合、無意識のうちに行動と言葉に表れている。だから感情という無意識と意識の橋からでないと明確に認識することは難しい。この無意識に潜む良心と良識が正義の骨子として社会生活を営む人々に偏在している

イラン革命に代表される世俗化に対する「政治的反動」は、大なり小なりイスラム世界に共通して生じましたが、これらはあくまで政治領域に留まった現象であり、より包括的な社会領域では、概して世俗化が持続的に進行しています。（代表的事例として、ビント・アンム婚（いとこ婚）の減少、一夫一婦制の普及、その帰結としての出生率の低下が挙げられるでしょう。）

政治という一領域が表面的に抵抗運動を繰り広げようと、人々の生活は、世俗化、あるいは西洋化、または近代化の波に晒され続けています。保守派の言うところの、伝統、あるいは道徳、または正義が、実態として求心力を失っていることは否定できぬ事実であります。この文脈においては、日本もエジプトも、程度の差異こそあれ、同じ道を進んでいると言って差し支えないように見えます。言い換えれば、現在の日本は未来のエジプトの姿、アシュール師や司会者が思う「越えちゃいけないライン」をとっくに通過した国であると表現することもできます。だからこそ、（まるで多くの日本人のような！）その若者に対して、強い不快感を示さずには居られなかったのでしょう。

近世から近代を経て現代に至るまでの「文明的侵略」の「最初の被害者」は、欧州の隣のイスラム世界ではなく、欧州そのものなのです。最初に破壊されたのは、イスラム世界ではなくキリスト世界です。当然の帰結として、「文明の破壊」が最も進行しているのも欧州であり、その中でも特に「先進的」なスウェーデンやデンマークにおける無神論者の多さは言うに及びません。（もちろん、保守的なヤハウェの信仰者にとって、北欧は最悪の世界の一つに他なりません。）

歴史的文脈において、西洋人は加害者として扱われることがほとんどですが、私はこれをフェアではないと感じています。西洋人は何らかの偶然、または必然によって、世俗化の起点に立たされたばかりか、今もなお最前線での戦いを強いられています。個別の歴史的事件において、結果として西洋人が加害者となった例が多いことは間違いありませんが、全世界的な世俗化の拡散という俯瞰的な視点に立つときに、西洋を一方的に断ずるような形で表現することについては、逐次に疑義を挟まざるにはいられないのです。

人によって正義の輪郭が違うことは当然です。他人から見たらよく理解できないことであっても「俺はこの一線だけは譲らない」という信念は、その人の行動に限界を与えている・・・つまり規範をもたらしているという点で見ても、やはりその人にとっての正義としての役割を果たしています。でも「正義なんて人それぞれ」という人にはこれがない。他人の正義についてはあれこれ言うけど、よくよく聞くと自分の譲れない線挽きという点には一言も触れない。正義は人それぞれなのだから、正義とは究極に個人的な問題であるのに、第三者の視点からしか正義を話さない。突き詰めると、自分というものがないのかもしれません。そういう人に話しかけても、そういう人の言葉を聞いても、何の意味もないということを学ぶことができました。正義を持たない人が「不快になった人がいたらすいませんでした」と謝っていたけど、正しいことを言ったつもりなのなら謝る必要なんてない。自分の正義を遂行したことで誰かが不快になったのなら、それは仕方のないことです。謝罪しなきゃいけない正義なんぞない。

正義というのは相対化に対してそう脆いものではない。自分の正義が様々な正義のひとつに過ぎなくとも、自分が信じるという点で絶対的であればよい。相対化されたから正義が無意味な物になるとは思わない。

自称リアリストの危険性は同様に私も感じていて、これには道徳による理想追求の放棄を感じます。例えば昨今、論客のおっさん共は地政学をよく引用します。この系統にしては作為を自然と取っ払える、というのが表の理由の一つとして上げられるでしょう。しかし、この地政学のディスコースは、逃れられない呪いのような利益を「数値的に」定義付けすることによって、優劣を過度に決めつけるという危険性をはらんでいます。そもそも、地政学及びリアリズムの権威、ハンス・モーゲンソウですら「地政学は疑似科学だ」とはっきり述べており、朝鮮半島なんかはまさにこの「呪われた運命」の極地にあるため、政治学者で文在寅のブレーン、文正仁はこの「地政学至上主義」の風潮を問題視している。換言すればだからこそ、反動からくる彼らの「正義」を追求している。それでも、これが絶対的価値を持っている、つまりは今の社会の要請なのでしょう。しかし、モーゲンソウの言葉を借りれば、もはや「悪の世界において、より少ない悪を道徳的に選ぶことが我らの成し得る唯一の善」なのです。

独り言よりは鳴き声に近い印象がある。独り言というのはまったく独りだけの完結した言葉だが、この鳴き声は、例えば断崖に立つ獣が虚空に咆哮するように「誰に対しての」という具体的な特定はないけども「誰か・何かに対しての」という指向性はある。おそらくこれら記事中のコメント群は、自分らの中に宿っている「敵」の抽象的なイメージに対して、とにかく吠えて溜飲を下げているのだと思う。だから記事の中身は碌に読んでいないし、読んでいたとしても理解していない。理解できないというわけではなく理解しようとしない。記事タイトルはタイトルというよりは「暴力的ゲーム」「銃乱射事件」「非難」といったタグの一覧としてしか映っていない。記事の内容やストーリーは、記事本文を読まず（理解せず）してタグのもたらす刺激とイメージのなかで自動生成され、そのイメージのなかに「敵」の姿が浮かび上がってくる。それに向かって、気の済むまで吠える。

あ～あ　やんなっちゃう　短パルスになったbreaking newsが電子の海を這いずり回って、誰もかれもいいねやPVやお金を数量として見える形にして稼ぎたいというデジタルな資本主義的欲求に抗えないんだもの

資本主義社会はとうとう人間の人生、それもかけがえのないたった一回きりの自分の人生をも勘定にいれて「コスト」って言い出すようになったんだなあという感動

時間はきっと、バカが管理している。日本全国の小学一年生の内、最も世の中を舐めているガキよりも、もう一回り世の中を舐めているバカが。時間を管理している神様にもし逢うことがあったら、私は0.1秒も躊躇うことなく、胴廻し回転蹴りを右耳に入れた後、間髪入れずに左耳に肘鉄を与える。人の話を聞く耳を持っていないのだ、そんな仕打ちを受けて当然の最低な神様である。

SCPの「お堅い文章を書く技術を、存在しない面白いものに費やす無駄」とか「お硬い文章にしてあんなに貴重な設定たちを発散しちゃうという無駄」は、贅沢で無駄で信じられないほど楽しい頭の使い方をしているなあって思う

とにかく、2年間ドイツで暮らして分かったことは「わからないことと不満があることはちゃんと声を出して聞け、それが社会の前提になっている」と言うことだな。多民族多文化共生だから当たり前ではあるんだが、日本で育った人が苦手としているところでもあるので、あえて書いておきます。

未だに小中学校では「先生が今何に怒ってるか分かりますか」とか「怒っている理由が分かったら職員室まで来い」的なことをしていて、それは"日本文化的なコミュニケーション"の基礎を学ぶには有用だとけども、正しい文章の読み取りや齟齬のない正しい情報伝達の練習にはならんのよ

「あなたの感想」がなぜ低レベルな反論かという理由は、「わかりきってる相対主義をわざわざその発言に当てはめることによってメタに立ってる気になる(なんにもなってない)」ということにある。もちろん文脈による。「データがあるんですか」と聞かれて主観を言ったら「あなたの感想」になる。「相手に自分の言葉を認めさせることによって、他人に自分が議論において優位に立ってるように見せる」には、「それってあなたの感想ですよね？」は有効。聴衆のレベルが低ければ低いほど効果は増す。

少し考えればわかることだが、「人権」は交通法規や三パーセントの消費税と同じように、単なる取り決めにすぎない。不変の真理でもなければ絶対的な正義でもない。国家の方針やさらに国家権力そのものが変われば、容易に変わってしまう。つまり、人権主義と国家主義とは表裏一体の関係にある。

賢しらに「私は長文だと読みません自慢」をする人が賢かった例をあまり見ないので、長文である時点である程度の足切りになるとは思います。文章の書き方というのはプロトコルでもあるので。

人が一生に投げれる剛速球の数は上限が決まっている

コロナの「○○が特効薬」も「コロナなんて存在しない」も、それ以外の「○○で癌が治る」も「癌は放置でいい」もそうなんだけど、どれも「事実として提示しているものが圧倒的に優しい」んですよね。「全く心配しなくていいんですよ。怖い手術とかもしなくていいんですよ」というアメをブラ下げてる。「ワクチンで死ぬ」とか「抗癌剤は毒」みたいのは分かりやすいアメをブラ下げてはいないけど、漠然と「○○は嫌だ」と思ってる人の背中を専門家っぽい人が「そう、○○は害悪なのです！」って押す恰好なんで、これもある種の人たちにとっては非常に好ましい情報で、やはりアメなんです。

医療デマへの対抗策として、「デマやデマ発信者を攻撃せず、正しい情報を優しい言葉で発信するのがいいのでは」という意見があって、もちろん優しい言葉で届くところに届ける、一般の好感度を上げる、というのは大変重要なんですが、正確な情報に限る以上、デマほど「優しい」内容にならんのですよね。もちろん、医療デマに言及して批判することで、デマ屋の知名度を逆に上げてしまうとか、攻撃的すぎて引かれるとか、そういう副作用もあるし、嘘に頼りきりだった人を絶望させてただ放り出すわけにもいかないので、批判だけではいけない。優しい情報発信と嘘潰しは医療デマ対策の両輪だと思うのです。とまぁそういう小難しいことを考えつつも、恐らく100点満点の究極解などは存在しない問題なので、「今が70点くらいなら75点くらい取りたいなぁ」などと考えつつ、とりあえず目に付いたインチキ臭い話の首をもいだり、思いついたように情報提供したり、ということをやってきてるわけです。

大学なんて生涯収入が割増になる実績解除しにいくところであって研究しにいくところじゃないだろ 結局これが現実なんだよな。多くの人にとって大学は学歴発行所でしかないという現実の前で、いくら大学の本質を説いてもしょうがない。

相手の怒りのポイントを踏んでしまった際に「あなたも〇〇をやられたら嫌でしょ？」みたいに詰められた。自分としては別に嫌じゃないんだけど、その場で争ってもしょうがないので「たしかにそうだった。ごめん」で収めた。でも、自分としては嫌じゃない以上、また自分がこれを繰り返してしまうことは明らかだ。こういうのってどうすればいいの？ここでいう「〇〇」とは極端な行為ではなく、賛否が分かれるような行為である。

とにかく、何がいいたいかというと、人間には「完全な愛」は達成不可能で、自分が好きな存在を「差別」しながら生きていくしかないということです。だから、その「差別意識」そのものを否定することはできない。みぢかな猫のいのちは重くても、知らないホームレスのいのちは軽い。そのように思ってしまうことは、あるいは露悪的な表現は問題だとしても、ありえることだし、避けられないことでもあるのです。そんなはずはないと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そういう人でも、すべての人に平等に愛をそそぐことなどできるものではないでしょう。どうしたって、好きな人のほうが嫌いな相手より大切だと感じてしまう。それは人間にとって不可避の性質なのだと思います。

もちろん、そういう人間の性質そのものを乗り越えようとした人がまったくいなかったわけではありません。たとえば、詩人の宮沢賢治がそうでした。賢治は「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉を遺しています。つまり、あるひとりの幸福は、全体の幸福が成り立って初めて成立する、たったひとりでも不幸な人がいるかぎりは、人は幸せになることはできないということ。あきらかに全体主義につながりかねない露骨に危険な発想ではありますが、しかし賢治のこの絶対的な真剣さは胸を打ちます。ここで賢治は、ある意味でDaigo的な露悪趣味の対極に立っているといって良いでしょう。

異世界転生が流行っているのは、若い主人公に感情移入できなくなった中年が、身体は若者で中身は中年の設定に共感しやすかったからだと思っている。今後は定年後にトラックにはねられる人が増えると予想される

何度か話題にしてるけど「ポルノが治安を良くしてる証拠はないけど、治安悪い所はポルノより人間買ったほうが安くなるから相対的にポルノが消えてる。ポルノのない所はヤバい」をまた実例で見る事になりそうだ。「ポルノのおかげで本物に手を出さなくて済んでる論」は証拠がないのでこれを唱える奴は胡散臭いんだけど、「ポルノより生身の人間のほうが安い」は問題外にヤバいんですよ。そういう意味で「ポルノはカナリア論」は信憑性ありますよ。ポルノが出回ってない状態はろくでもない。「ポルノクリエイターで食っていける」にも段階があるはずで、たぶん「BL作家で食っていける」は治安レベル最高ランクじゃないと無理な気がしますよね。専業BL作家が居るかどうかでその地域の治安レベルが測れる可能性あります。BL作家カナリア説。

今まで散々「非科学的だ！」という文言で科学と心霊現象が対立してたのに、ここへきて誰よりも先に科学が幽霊を証明しそうだ。

クソバイスする人ってさ、よしいっちょこいつを傷つけてやろ！って目的でやってる人もいるだろうけど、褒められ待ちのやつもいるんですよね。「わあ！鋭い視点をもった賢い人！目が覚めました！」みたいな反応が本気で来ると思ってる。

ノンアルってさ、Al-は接頭辞だしnonでこれを否定しているのでなんにも指してないのよね。虚無

強い人というのは、何があっても傷付かない人ではなく、むしろ自分は弱くて傷付きやすいと知っている人。知っているから、傷付く前に回避出来るのです。屈強であろうとしなくて良い。傷付く自分を責めなくて良い。傷付く＝弱い、ではない。自分の傷は拒否せず、自分を傷付けた人を拒否するように。

ただの風邪の事はただの風邪と呼び、インフルエンザの事はインフルエンザと呼ぶのに、新型コロナの事は頑なにただの風邪と呼ぶ、別に医者でも学者でもなんでもない一般人、果たして敵か味方か…。医者や学者でもトンデモ話を広める輩はいるとの意見もあろうが、医者でも学者でもない上にトンデモなデタラメ抜かす一般人はその何百倍もいるんだろうな普通に考えて。

まあ開き直って完全に怠惰になるのにも一種の才能が必要で、どうせそこまではなることもできず、かと言ってもちろん人生に真剣に向き合って努力するでもなく、ただ時間だけが過ぎていくんですよ

友情・努力・勝利よりも敵意・怠惰・敗北をテーマにした漫画雑誌を読みたいです。

人間っていいなの「おしりを出した子一等賞」について『かくれんぼでおしりがはみ出していて見つかったけど、そんなきみも一等賞だよ』の意味であり、『臀部を露出すると特別な栄誉が与えられる』の意味ではないことに今日気が付きました

Aにとって絶対的に正しいが、Bにとっては絶対的に正しくないものがあったとして、BがAに対してAが絶対的に正しいとしていることを、絶対的に正しくないからと修正・変更させようとする場合、どれくらいの時間・費用がかかるのかということは考えた方がいいと思うのよね。

たまにメンタルが死んじゃうと大変なことになるのでメンタル死亡保険という概念を導入して毎月積み立てしてメンタル死亡時に5万の保険金がおりるという制度を勝手にやってんだけどすごくいい。先日死亡したので美容院とマッサージ屋に行った後1人で1万のいい肉食いにいったら無事生き返った

「義務教育はすごい。義務教育で教わることが理解できれば世の中の大抵のことが分かる」って言ってる人、だいたい義務教育以外にめっちゃ本読んでる人よね。

日本に実装されるであろうロックダウン、間違いなく平日はノータッチで土日祝だけ外出禁止みたいな運用されると思う

「受からなかったら意味がない」のは「受験が終わった時点で意味を失うような内容しか教えてない」場合の話で、「たとえ第１志望には受からなくても他の場面でちゃんと使えるものを教える」のであれば、「合否に関わらず身につけた意味はある」んでないのかねぇ

アインシュタインは「思考は音楽と同じでそれ自体が目的です」のような事を言っていたけれど、空想をしていたり脈略もなく思いを巡らせる時や、世界について、生きるという事について深く考えるような時間こそ、誰にも奪われない本当の自由、そして彩であり、決して無駄な時間などでは無い。

妹が人権作文の中で俺をトランスジェンダーという事にして作文を構成していたからキツめに叱った

村上春樹さんの小説に出てくる「雪かき」という概念がすごく好きで、雪かきと掃除はいわゆる終わりがないものでもある。でも、自分の周りの秩序を取り戻していく時にすごく必要な儀式のような行いでもある。疲れて帰ってきても靴はそろえるとか、そういうのが自分を守ってくれる結界になってくれる。

「俺は弱いから守ってくれ」と公言できるのは弱さではなく強さですね。その強さがあったからこそモテたんだと思います。たとえば乙武さんのことを四肢が無いからと言って「弱い」と思う人はほとんど居ないでしょう。彼は強い。他者に感情や弱みや要求をぶつけて、他者から何かを引き出すことができるのは紛れもない「強さ」なんです。

スタッフ「実はこれ、水曜日のダウンタウンです」

うわー！まじかどっからだ！え、じゃあチカンの冤罪で捕まったのも！？

スタッフ「水曜日のダウンタウンです」

彼女が俺の父親と浮気したってやつもか！

スタッフ「それは違いますね」

これは違うんだ

小学3年の担任が決めた謎ルールで「授業中のトイレは大は良いけど小は我慢」ってのがあって、クラスの子がトイレ行きたい時先生が「大きいほう？小さいほう？」って聞いたら「小さめの、、、」って答えて却下されてたの未だに面白い。ウンコだよ。

ツイッターのリベラル、ホームレスや貧困層に慈悲はみせるが子供は小学校から私立、みたいな感じはある。

まだジニ係数が0しかないローレンツ曲線の赤ちゃん、まだラスパイレス指数が10しかない自治体の赤ちゃん、まだ葉面積指数が0.1しかない広葉樹林の赤ちゃん、まだエンゲル係数が1％しかない食費の赤ちゃん

テキーラを罰ゲーム以外で飲んでるのメキシコ人だけやと思ってたわ

「男性側の意識（自認）と発言は男女平等で、実際の行動は女性を優先的に守る行動をしてほしい」という期待って、実はダブルバインドになっている。それに応えるには「自分は男女平等がいいと思っているけど、今回は単に自分に余裕があったから助けてあげただけ」という自発性の形で返すしかない。

戸塚ヨットスクールで回復したひきこもりも沢山います。ダイジョーブ博士みたいなもんですね。リセットしてやり直せるゲームならハイリスクハイリターンな選択肢も挑戦すれば良いと思うけど、子供の人生はテレビゲームじゃないので。

中学生の時、めちゃくちゃ遠くの倉庫にエロ本が大量に捨てられてるって噂を聞いて大雪の中4〜5人で歩いて取りに行ったことがあるんだけど、帰りにガチで何も見えないくらいの吹雪に見舞われて、両手にエロ本を抱えながら橋の下で止むのを震えて待ってたことがあるんだけど、カスのスタンドバイミーだな

料理をできたら家庭的とかきちんとしていると判断してもらえることになってるの本当に意味わからん。汚部屋に住んでて公共料金は停められてから払うし時間も守れないけど料理だけはうまい奴とか普通にいるからな。

細かく分けると「覚える」にも段階がたくさんある。おおよそ6段階やと、1.大体の単語が初見感覚。2.聞いたことはあるが分野(ex.人物だ)程度しか分からない。3.単語の意味がおぼろげに分かる(ex.源頼朝…武士/時代不明)。4.断定できる単語と3の単語が半々程度。5.似た単語(ex.田沼か松平か)の判別には困る。6.ほぼ何でも答えられる

虫除け、鳥除け、人除け。この三つに境界線は、無いのだろうか？それと、もう一つ。世の中には、〝自分もホームレスになるかもしれない〟という感覚が欠如している連中が、多過ぎないか？私は、前々職を辞めた時もそうだったが、前職を辞めて溝の口で貯金を崩しながら無職をしていた時は、本当に、夜勤の清掃員か、自殺か、タクシーの運転手かの三択だった。親とは当時、絶縁状態。三択を拒めば、ホームレスしかないじゃないか。ホームレスではないという状態は、当たり前では、無いのだ。そもそも、家族と縁を切って、会社を辞めれば、はい、完成、ホームレスなのだ。見誤るな。俺達が生きているこの地球は、決して安全なカーペットで覆われているわけじゃないんだぜ。ホームレスは、それこそ、才能のある人しか生き抜けないサバイバルだと思う。平均寿命はどれほどだろうか。おじいさんやおばあさんのような風貌のホームレスは沢山いるが、はてさて、我々はホームレスになったら、何日〝もつ〟だろうか？

学者「本来に賢い学者の説明は分かりづらいぞ（説明が下手な私のほうが賢いのだ）」

大衆「本当に賢い学者の説明は分かりやすいぞ（私は君の説明を理解できないが、私が馬鹿だからではなく君がおかしいのだ）」

という地獄の構図なので「どちらも努力してスキル磨かないと自業自得だぜ」としか言えん

しかし「専門家は言い切らないがインフルエンサー的な人は断言するから人はそっちの方を信用する」という話については専門家側もコミュニケーション戦略をもう少し考えた方がよいと思う。「99.9999%ない」ことを「可能性は排除できない」と言ってしまうようなことは一般向けには避けるとか。「正しいことを言いたい」専門家と、「自分の言い分を信じさせたい」インフルエンサーでは、発言の目的がそもそも違うので。占い師も普通は断定を避けるけど、信者が増えると自分を過信して断言するようになるらしい。するとテレビで売れるんだって。わかりやすいから。でも断言してハズすから、テレビの人気占い師は2年で消えるんだって。

包丁を持った血塗れの自分が未来からやって来て、号泣しながら追いかけ回された。防衛のためにやむを得ず、私は包丁を奪って未来の自分を刺し殺した。理由は全く不明だが、タイムパラドクスを発生させないために、これから私も過去へ戻って同じ事をしなければならない。そう思うと涙が止まらなかった。

休み時間に臼井儀人は自殺か他殺かで揉めている女子高生3人組

「覚えないと話にならないけれど、覚えただけではどうしようもない」というただそれだけのことを納得してもらうのの大変なこと大変なこと。

スポーツ経験０の同級生が、あなたのチームに来て１週間でレギュラーにしてって無理でしょ？その同級生に初日からみんなと同じ練習メニューをこなせって無理でしょ。これはみんな理解できる。保護者にもご理解いただける。なのに、勉強は初日から、試験１週間前からでできると思う人派多い。大量の課題を与えること、やらなきゃ結果に結びつかないと言うのは簡単。でも教えるってのは、その課題をこなせるようになるため(自分で自分に必要なことを取捨選択できるようになるため)の力をつけることだと思う。順番が逆にはなかなかなるもんじゃない。大量の課題をこなす中で「やらなきゃいけないことは自分で分かるようになるだろう」ってのは、指導側の手抜きでしかない。

「起きたときのどんよりした気分は、脳が睡眠中にネガティブな記憶を処理してたときの残り香」というのを何かで読んで以来「この気分は睡眠がきっちり仕事してくれた証拠だな」と考えることでどんより気分をひきずらなくなり、淡々と朝のルーティンをこなしていれば自然と気分が上向くようになった。

ピケティ氏の言う「r＞g」も、投資勧誘の現場で都合よく利用されてるよなぁと思うんですよね。「r＞gなので、労働より投資しましょう！」みたいな。そりゃマクロではそうなんでしょうけど、個人目線で考えれば、同年代間で労働所得に何倍も差がついてるじゃないですか。「r＞g」なんて、個人レベルだと投資余力の大きい人間が考えるようなことですよ。それよりも、所属する業界、携わる職種、勤め先の企業次第で何倍も所得が変わる労働の方が、持たざる個人にとっては遥かに重要です。

何々を学校で教えるべき、というのよく見るけど(今回は地学、よく見るのは統計とか税金とか)、義務教育レベルのこともほとんど身についてないのもよくみるしそもそも文章読めてない人多くて、わかるけど効果が微妙そうというか国語教育そのものからだよなという感じになってしまう。世の中義務教育で叩き込まれるはずのことも身についてない人がたくさんいるのでXXを学校で教えるべきという議論に意味はないと思っている。

キチンと統計学とか医学とか諸々の知識を持っている、正しい情報を得て行動する/できるアタマの良い人ってのは少数で、多くの普通アタマの人々ってのは、不安に駆られたらとにかく安心したくて分かりやすい情報に飛び付きたくなるんですよ。自分も含めて。『今の仕事の10倍稼げてしかもラク‼』って言われたら今の仕事がツライ人ほどﾌﾗ~ｯと寄っていくし、『この薬さえ使えばコロナはｲﾁｺﾛ‼』とか言われたら、不安で仕方ない人ほど鵜呑みにしたくなるのは仕方ないことだと思うんですよね。モテたいと思っている非モテほど経験や知識が薄いがために、『コレさえ守れば異性はイチコロ』だの『付けるだけでモテまくる腕輪』だのに手を出して安心を得ようとするも、実際の効果が未知数なのに対して、実際にモテる一部の人は、そんなもん買わずともモテてしまう、っていうのと同義よ。

雑談ができない人、ぶっちゃけ「そうだね」「よかったね」「大変だったね」に相当する3種類の応答をループしながら、合間に相手が好きそうな話題を探して尋ねる、という簡単なアルゴリズムを組むだけで日常生活できるよ。表情は機械的に相手と同期させるだけでいい。

陰謀論の人がオッカムの剃刀を持ち出して「世界的な組織が悪事を裏から考えているとしたほうが自然だし、オッカムの剃刀に合っている」と言い出してあ～そう来たかと思ったが特に論破できるわけでもなく、なるほどと感じさせられてしまった。そうだよなあ複雑な現象を複雑に説明するのってよくないよね。単純なほうがいいもんね

なぜ「○○とは何か」という疑問は難しいんだろうか、みたいなことを考えている。包括的な定義が難しいからだろうか。

でも意外とそれってよくて、なんか何もしてないときにぽっと解決策が出てくることあるよな。脳が無意識のうちに発想総アタックRTAをやってくれてるんだと思う

のど越しとか言い出すならほかの炭酸でいいのでは？？？？と思ってしまって集中できなくて、この前購入した逆転裁判3が全然進まない

日本のアニメってなんでOPとEDがあるの？

>>最終話で毎話聞いてるOPがない状態で始まってめっちゃ盛り上がりながらOPをフル尺でEDとして流すあの演出のためにも必須

この手のニュース聞くたび不思議なんだが、反ワクチンて「コロナに罹って重症化や死亡するリスクより、ワクチンの副作用リスク（5Gとかの陰謀論含む）が怖い」から反対してるんじゃないの？罹っても本望じゃないの？

反ワクチン派が本当にワクチンを信用してないなら「打っておけば良かった」なんてセリフは絶対に出てこない。つまり打つべき理由は頭では理解してるけど本人の意地で打ってない

英語でおもらしってpiss myselfなんだけど「自分自身に尿をする」って全然エモくなくないか？「おもらし」の限界を超えた感出てなくないか？？ネイティブどんな言語感覚なんだって思って調べたら、エロ関連のほうではleakとかstain（しみ）とかpee onが出てきてあ～語彙使い分けるんだエモいなってなった

そうなんっすよ

システムがトラブるのも

情報連携がうまくいかないのも

通るはずのソースにコンパイルが出るのも

全て｛$name｝って奴のせいなんだ

※お好きな名前をお入れ下さい

それにしても発達障害の会話は「前にも言いましたけど」の挿入を多用するんだよな。用いる人が高頻度にいる、と表現したほうがいいかもしれないけど。普通は相手の立場に立つから「前にも言いましたが覚えていますか」「重ね重ねすみません」形式になるはずなんだよね。発達障害は過去にうまくいった場面を連想して模倣することで対処することができないから、エピソード記憶の障害という側面があるわけで、代償的に意味記憶で処理してるんだろうな。つまり過去の会話ログが「言行録」の知識として参照される。実際、賢い当事者同士だとこれでうまく会話が噛み合う。

雑談と言うもの、しゃべりまくる人と傾聴スキルがある人がいれば会話が成立するけど、傾聴スキルしかない人が出会うと沈黙が発生するから、このエラーを回避するために関西はボケツッコミを活用するけど、その選択肢がない場合は「相手の好きなことを探って話題を振る」しかない

これなので（ネット民から見るとキモく見える）ビジネスマンは学生時代にやっていたスポーツを述べたりとか名刺に個性を出したりとかするけど、あれは「ツッコミ」「好きな話題振り」どちらの会話戦略にもつながる糸口になっている。で、発達障害界隈的には「何か述べるのは議論したり自分の考えを整理したりするため」という認識共有があるから、その文化に「学生時代にスポーツやってました」が来ると「知らんがな」になる（いや定型発達的にも「知らんがな」だけどそこには雑談という意図、モノではなくヒトを観察する目的がある）

1匹見たら40匹いると思わなきゃみたいな虫もいるけど、その逆がインターネットで声のデカい人だよ

雨が降りそうで外出をためらっていたら雨が降り出して外出できなくなる俺の人生

「これになってる」といって普通の自撮りを載せている、誰かに身体を乗っ取られた可能性もあるオタク

「説明がわかりやすい」というときに、大きすぎる階段に中間の段を作ってあげるような意味でのわかりやすさと、円周率を3だと断定してしまうようなわかりやすさとは全然別の話ですからね。比喩で書きましたが、要するに、より上の次元へのアクセスを容易にしてくれるのか、上の次元の存在自体を切り捨てて簡単に見せるのか、という違いです。

アホなことを批判されるならともかく、アホなのを「心がけが悪い」と批判されるのは気の毒。「コーラで膣を洗えば避妊できる」とか未だにマジで信じてる奴が「健康や生命についての知識は不要だから勉強しなくていいや！必要なことは勉強するけど…」なんて高度な判断してるわけないでしょ

小中学校で殴り合いの喧嘩を誘発したようなムーブを、大人になってからはあまりやらないで生活してるから発生してないだけで、小中学生のような無邪気さで相手を挑発したら普通に殴り合いか起きそうだなぁというのは思ってる。

今日、同期と「そういえばパラリンピックって小学生が直接会場に行って観戦できるようにするらしいね、有意義なことを学んでほしいね」という話をしてて、同期が「子どもを政治に利用しても許されるってことを学んでもらうのかな？」ってすんごい急カーブピッチの球投げてて非常によかった

ワクチンとか治療法に関して「論文より体験を重視しろ」「地に足のつかない議論をするな」ってツイッターで素人の人が言うのを目にするけど、こと医学に関しては体験のめちゃくちゃ壮大なバージョンが論文なんですけどね。それぐらいも知らないならだまっててくれ

あの「学校で何を学んだんだ」という学校に行ってない者からの皮肉というか軽蔑の修飾技法に対して、「お前は学校に行ってないじゃん」とそのまんまマジレスしてる奴らがどっさりいてビビった。記事をツイートしただけのツイ主に対して激しい文体でスーパーリプライを送る奴は、幼少時に激しい虐待を受けて脳を損傷してるらしい。

「いいか、もしも間違っていたりしたらインターネット左翼どもに付け込まれる事になる。必ず事実確認を行った後で発表するんだ！事実と違っていれば発表しなければいい。そこだけは徹底しろ！」みたいな周到さはないのか。

何が社会的距離だ。社会がおれから距離をとれ

逆に、多くの人間がTwitterとかやっておらず、且つ自分の人生に納得してほどほどに目一杯生きているの怖くないか？生きる理由とかいう言語の猛毒

私達は殺人は悪いと信じているが、魚が水を認識できないのと同じで、自分がどっぷり浸かっている道徳やモラルの外側に立たなければ見えないモノもある。”実際のところは”魚は水の外では生きていけないが、小説やフィクションは魚を水から出して、外から自分を眺める事を可能にする。

大学時代に、そういうことは老後の楽しみに取っておけばいいって言われた時の違和感を忘れないようにしている。今楽しまなけば、楽しむ能力を身に着ける時間がなくなってしまうから

不思議な人。「それはあなたの意見(感想)ですよね」と言えば反論になると思ってる人。「個人の意見(感想)です」と言えば責任を免れると思ってる人。1は、まさに自分の意見だから言ってるわけで、それを指摘しても何の意味もない。2は、自分個人の意見だからこそ自分の責任になるのがわかってない

淋しさというのは、いつのまにか知らないうちに心に忍び寄るものだ。かつて自身が過ごした街並みの変化に驚きつつ、思い出の中にしかない像に焦点を合わせる。そして夕暮れ時に迫りくる独特の情趣を肌で感じながら、稲の香りがほんのりと残る民家の裏庭に忍び込み…全裸で自慰行為に励み、果てた。

知らん人にリプライするなら

・敬語使え

・宣伝すんな

・下ネタ言うな

・お前の話すんな

・勝手に喧嘩すんな

・書いてあること読め

・拾ってきた画像貼んな

・ブロックされてわめくな

・知らん人にリプライすんな

100日後に死ぬワニの興行収入凄いな。鬼滅とあわせて400億超やん

「人権を護れ！ロックダウンせよ！PCRで感染者を隔離だ！優生思想は許せない！パラリンピック中止せよ！高校球児がんばれ！」何度か繰り返すと矛盾した感じも消える。ようは、訓練。

#kutooo 運動の創始者である石川優実氏が、ここ最近ビジフェミ界の猛り狂う邪神と化しているのを知って以来、野次馬根性からか彼女を観察するのをやめられなくなってしまった。「こうすれば炎上するに違いない」という打算と本物のヒステリックな怒りが入り混じった意味不明な言動、そしてそれを用いた猛獣の如き全方位攻撃は“”社会運動“”の神輿にまつりあげられてしまった人間がどう壊れていくかの貴重なサンプルであり、ドキュメンタリックな臨場感に溢れている。彼女はいわゆる“界隈の姫”であり、石川氏がレスバに興じるさいにはフェミニストを自認する大量の男性アカウントがわらわらと湧いてきて彼女に援護射撃をしたり後ろから撃ち抜いたりしている。基本的に男性を男性であるというだけで異常に嫌悪し、「男は性欲のみを原動力とする恐ろしい化け物であるから彼らの娯楽は全て取り上げ檻にでも閉じ込めておかねばならない」と定義するツイッターフェミニズムを全面的に肯定しているというだけでかなり歪な哲学を持っていることが自明だし、その上で「自分はそのような怪物ではなく、フェミニズムによって浄化され女性を敬うようになった解脱者だから大丈夫」とでも言いたげな彼らの姿勢を見ていると“名誉男性”ならぬ(ラディカルフェミニズムにおける)“名誉女性”とでも呼びたくなってくる。

その男性擁護者たちの筆頭にクボユウスケ氏が存在する。彼はとてもすごい。クボ氏は石川氏と親しい間柄のようで、頻繁にリプライでやり取りしている姿を見ることができるし、ここでは特に言及しないが、石川氏のTwitterアカウントの運営に携わっているらしいという疑惑さえ出てくるほど石川氏に近しい。では、彼の何がすごいか？彼は人を苛立たせる才能にあまりにも長けているのだ。石川氏が誰かを燃やしたり逆に誰かに燃やされていると気づくや真っ先に駆けつけ、侮辱的な屁理屈を投げつけるのがクボ氏の仕事なのだが、その鋭さたるや並大抵のものではない。彼の言葉には、それを投げつけられた側がどうしてもカッとなって買い言葉をぶん投げてしまったり、なんか変な受け取られ方してると感じて誤解を解こうと一生懸命返信したりしたくなってしまう魔力に満ち満ちている。言い回しも刺々しく上から目線で、絶妙に相手の話を聞かずに少しずつ論点をずらし、勝手に勝ち誇る。また石川氏シンパ以外のフェミニストにも積極的に喧嘩を売ることで、人々の義憤を喚起しやすい選民思想も鮮烈に見せつけていく。あまりに技巧的だ。そして彼が敵対者に貼り付けるレッテルもまた、非常に的確に反論をさそう「ズレ」で彩られており、本当に攻撃力が高い。

まともな思考回路の人間はたとえば「通り魔事件の被害者を悼むサイレントデモ行為をなかば揶揄した形の支援金の募集活動がTwitter上ではじまる」→「この支援活動に金を落とした連中は全員アンチフェミのオタクで声を上げる女性をおちょくりたいだけの粘着アンチなんだな！」という連想ゲームはできないし、ネタで思いつけたとしてもうっかりツイートしたりしない。むろん彼がこういうぶっ飛んだレッテル侮辱をするのはこれが初めてではない。いくらなんでもそんな喧嘩の売り方しちゃダメだろと思うようなやり口のさらに下を行く、侮辱とか以前にあまりに倫理観に欠ける言葉をポンポン思い付きポンポン投擲できるのは間違いなく正常な精神に基づく行いではない。クボ氏自身の存在それ自体もこの優れたヘイト管理能力の一部だ。彼のツイッターアカウントは、いわゆる“意識高い系アカウント”そのものの見てくれながら何をしている人なのか全くわからず、不気味さとあまり綺麗ではないビジネスの臭いを放っている。これによりそういったものを本能的に嫌悪し警戒しがちな人間が多数を占めているアンチフェミ界隈の、クボ氏の言動に対する怒りを更に煽ることができるのだ。Googleでクボユウスケを調べようとすると真っ先に「クボユウスケ　何者」と出てくるのが良い。「職業」とか「経歴」とかそういうのではなく「何者」というなんとも言い難い問い。まさしく彼の立ち振る舞いを見た多くの人が「なんだこいつ……(ドン引き)」と思ってきたことの証左であろう。

ここまで読んで「こんな特徴を持つ石川氏親衛隊はいくらでもいるだろう、つーかだいたいそんな野郎ばっかりじゃんか」と思われる方もおられるだろう。確かにそれはそうなのだが。そうなのだが、だからこそトゥギャッターなどで彼がレスバをしている姿をきちんと見れば他の騎士たち、そして何より石川氏の言動とも一線を画すクボ氏の攻撃性、異様さに愕然とするはずである。石川氏の“売り言葉”には、彼女の少々ゆがんだ価値観にもとづく失言や鬱憤やわがままや憤りなどが詰まっており、ある種の人間くささがきちんと感じられる。クボ氏以外の騎士団員の言葉にもやはり、石川氏を思いやる気持ちや純粋さ故の間違った怒りが彼らの人間性を照らし出しているのを見てとれる。翻ってクボ氏の発言を見てみると、彼はもしや人間を苛つかせるために開発されたAIなのかとさえ思えてくる。他の男性に見て取れる石川氏への媚びもほとんどなく、むしろ敵対者を的確に逆上させることで石川氏陣営とのレスバをさらにヒートアップさせるための布石を丁寧に並べていることが多い。そこには彼の驕り高ぶりと“まちがったふぇみにずむ”のあまりに恣意的すぎる印象が輝いているだけだ。機械的ですらある。なぜこんなに的確に人を怒らせ愕然とさせることができるのか。それは分からないが、一つだけ確かなのはクボユウスケ氏のようなヘイト発生装置がエンジンとなっていなければ、石川氏は今のように暴走ロケットの如くブッ飛び続けることはできなかったであろうということだ。クボ氏がレッテル爆撃を行うことで呼応する様々な属性の義憤を掘り起こし、それらすべてを自身およびフェミニズムに対する攻撃とみなして迎撃しようとする石川氏の狭量さと溢れる攻撃性が両輪となって“フェミニズム”を彼方まで運び去り続ける。ゆえにクボユウスケは#kutoo 運動における最大の功労者であり、拡散の立役者でもあり、世間への浸透後の歪な軌跡の象徴とも言えるだろう。

医療従事者を崇拝するような態度は嫌い。崇拝は人権無視と表裏一体なので。「自身の健康を害してまで頑張ってくれてありがとう」なんて人間に対して言うことじゃない。けど私が今重病になったら結局その寝食を削った人のお世話になる。家で死ぬような根性はない。ということを考えると非常に不快になる

医療は現場の良心で支えられてるみたいなの、良心だけで人が動くわけないでしょ、残業したら唸るほどの金がもらえるとか、必死こいて働かないと免許剥奪されるとか、メリットなり強制力なりがあってやってるはず。と思って色々調べたら、大部分マジで良心頼りで、逆に大丈夫か？　と思ったんですよね

燃え盛っている最中というのは、どうやら文脈とか意図とか場合とか関係なく騒ぐ人達が増えるみたいなので、余計なことしないでおこうと思います。相手にするのも釈明するのも面倒ですからね。

昔、羽生善治が言ってた「何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって挑戦してることは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。」この言葉は今でも胸に刻んでいる。

生きていると「人ってそんな簡単に死ぬのかよ」と「人ってめちゃくちゃしぶといんだな……」を両方見られる。どちらであっても不幸であることに変わりはない。

やたらおっさんから持ち上げられる「若者」っているよね。そういう人って「若者のオピニオンリーダー」じゃなくて「おじさんのオピニオンを担う年齢が若い人」だよね

5歳児って基本的にやることなすことめちゃくちゃスベってるし、自分も当時それに気づいてなかったと思うと本当にゾッとする…。小さい子どもが親に「ねえ！ これ見て！ ねえ！ 見て見て～！！」って叫んでるの見かけると「それやればやるほどハードル上がって落差でスベるぞ！」と心配になる。

「セックスをするか寿司職人にならないと出られない部屋」からわずか半年で這い出した一人の天才

仕事でトラブルを未然に処理しても評価されない。事前に警告して、火が噴いた後に素早く措置すると評価される。よって賢い人はあらゆることに懸念を表明する。こんなことばっかやってる人を出世させたのがバブル後の経済停滞の真因だと私は信じてる。問題を解決せんかい、具体的に行動せんかいと思う。ハンズオンでリスク処理してる人間は傷つかないわけがない、間違いだってたくさん起こすだろう。それを後ろから撃つのが皆賢いと思ってるから、誰も手を出さなくなるんだよ。お前着てやってみろってOKYっていう言葉が海外駐在員ではよく使われるんだけど、あらゆる仕事でこの通りだと思う。

そういえば、「医師の説明よりもYouTuberのデマを信じる人達」の考察で、医師の説明はあくまで可能性を提示し選択と決定の材料を示すのに対して、YouTuberは「断定」してくれるからってのを見て、要は「自分で決められない人」が増えてんだなぁと。ただこれ、「これだから現代人は」って話でなく、現代が「決定と決断が増えすぎた」でもあるのかもなぁと。なんかで聞いたが「決断力」とも言える神経の働きって有限で、一日にできる「決断」の数は限られるのだそうだ。だから古来より人間は、ルーチン化やマニュアル、習慣化、さらに「体に覚えさせる」などの修練化、さらには「常識」「ルール」「モラル」「空気」などと言った概念を駆使して、「考えなくても習慣的に物事を処理できる」ようにしてきたのだろうと。だが現代、中途半端にそこらへんの枠が壊され、「自分で考えろ」「自分で決めろ」「人の言うことを聞くな」が横行、それ自体は別にいいんだが、「それをしないやつは自分を持っていないダメな人間」という「空気」が支配してしまった。その結果「○○の話を信じちゃダメ！　これが真実！」的なのに引っかかるようになってしまったというのも、皮肉な話なんだろうねぇ。情報量が増えたってことは、取捨選択と決断を常に自分が行わなければならない。だがそれがこなせるほどの余裕はない。

>>専門家がボロ負ける可能性どころか確実に負けるまで言って判断投げたのに、決断逃げてズルズル仕方なく開戦したのは俺たちの先祖だぞ。増えてない。

「赤信号」ならいいんですがね、例えば、信号機が百色になってて、「どうすればいいかは自分で考えなさい、間違ったらみんなから怒られます」なんてのを毎日やれば、疲れますぜ・・・？

結局、誰がやるのか？というのが最も重要なんだよな、アフガニスタンのクソ田舎で盗賊やクソDQNを相手に危険を犯したり、それで死なないように必死に訓練したり、盗みや問題が起きてないか見回ったり、人力で秩序を維持するのは口だけのリベラル人権屋じゃなくてタリバンだったわけ。金があって金で警官を雇える都会はともかく、広い割りに貧乏なクソ田舎、山岳地帯で道もロクに整備されてない場所じゃ、宗教的な名誉のために兼業で働いてくれる地元住みのタリバンしか秩序を維持できない、となると田舎は全員タリバン支持になる。彼らにとっては「普通の地元のおっちゃん」だからな。アフガニスタンの田舎民からすれば「都会の連中がアメリカと組んで税金で好き放題に遊んで、仕事（治安維持など）は全部こっち任せ、絶対に許せん、俺達の国をクズ共から取り戻すんだ！」って田舎のお父ちゃん達が立ち上がったって感覚だから、かなりの割合がタリバン側の味方なわけ。

そしてタリバンは一度目の政権奪取時アホだったが、その後はアホではなくなった。数千人規模だったタリバン兵力は現在８万人程に膨れ上がっており、また組織のフランチャイズ化とも言える活動も行っている。彼らにはリベラルのアホ共と違い「勝たねばならぬ理由」があった。敗北したタリバンは、好き嫌いや選り好みを止めて、英語話者を増やし、近代的組織構造を取り入れ、経済支援による地域への浸透と言った手法で急激に支持者を増やして行った。リベラルが都会に引きこもってる間に、タリバンは地方の問題を次々に解決し、最終的に７割の地域を実効支配するに至る。タリバンは勝つ為にかなり方針転換を行った、アフガニスタンには女子が通う隠れ学校があるが、近年のタリバンは支配地域でそれを黙認している（タリバン黙認という事は地元の過激派もうかつに手を出せないので安全が確保されてる）表面的には原理主義だが、妥協と実利主義を持ち合わせた。こういう所には、敗戦後の日本の急激な近代化のようなものを見ることが出来る。

戦いに破れ、長年信じていた理想に力が伴わない事を理解したとき、人間の集団は大きく変わり、勝者から学び始める。恐らくそういう事が起こったのだろう。敗戦前のタリバンは「イスラム原理主義こそが最高だから必ず勝つはず」だった。今のタリバンは恐らく「まずあらゆる手を尽くして勝とう、勝ちに影響出ない範囲でイスラム原理主義をやろう」あたり

「できた、わかった」を追い求め「誰も置いていかない授業」を目指した結果、「授業の知的レベルが低くなる」という現象はよくある。知的レベルの低い授業をずっと受け続ければ、集団の知的レベルも低下する。それは、まるで、石橋を叩き過ぎて壊してしまうようである。

「正しいことを言えば勝ち」という土俵の外には「正しかろうが正しくなかろうが、多くの人を満足させて支持を得れば勝ち」という土俵が広がっており、残念ながら後者の方が前者よりもかなり広い。疑似科学ビジネスとかポピュリズム政治とかは後者の土俵で四股を踏んでいるので、「お前は正しくない」と言ってもあまり刺さらないし、(表立っては言わないだろうが)内心で「そうかもね。で？」と返されて終わるという

「全国転勤あるけど大丈夫？」と聞かれて「はい」と答える新卒の多くは「自分は優秀だから本社勤務するはず」と思ってるし、「成果主義を導入する」と言われて賛成してる若手は「自分は優秀だから成果主義になれば給料上がる」と思ってる気がする。じゃないと異動や評価でこんなに揉めないよね。

ジョイサウンドに玉音放送が追加された場合「邦楽」か「洋楽」かで揉めているおばさん達

アイドルの彼氏は飲食店のゴキブリと同じや。いるのは皆薄々気付いてるけど、実際いるのを知ってしまうと二度と応援できない

24時間テレビ、24時間ゆずを歌わせてだんだん疲れていくゆずを見る企画とかあったら見るのにな

野球でもサッカーでも、スポーツだと「競技人口を増やすことがトップのレベルを引き上げる」「裾野を広げることが重要」だとみんなすんなり受け入れて理解してくれるのに、科学研究になると「優秀な人だけを選んで高等教育を」「役に経つ研究だけを支援する」と言い始める不思議。

フジロックなんか行っても何歌えばいいかわかんないし

溜め込んでから爆発する奴はゴミ人間で、日頃は我慢することで「温厚で良い人」という高評価を受け取っておきながら、最終的に怒って感情の辻褄まで合わせるんだから欲張り過ぎでしょ。例えるなら、無料の商品を配って感謝や人気を集めておきながら、後日一括払い請求してるわけよ、詐欺じゃん？だから普通の人間は「あ、こいつ溜め込む系で後で請求してくるな」と思ったら付き合いを控えるわけよ。んで溜め込む系人間の周りには、散々溜め込ませておいて爆発したらさっさと逃げて支払いを踏み倒す系の人間が寄ってくるようになるわけ。真っ当な人間は、心の広さで好感度を稼ぐか、その場で怒って謝らせるか、片方だけで満足してる。両方求めるような欲張りクズに真人間が寄ってくるわけないじゃん？溜め込むって生き方は、自分と同じくらいのクズを周りに集めてしまうから改めたほうが良い、この世は類友だからな

きょう八百屋さんに行ったら店員のおばあさんが「これは奇跡の玉ねぎ！奇跡の玉ねぎだよ！」って言ってたから、何で奇跡なのか理由を聞いたら「奇跡に理由はないんだよ」って言われてちょっとまどか☆マギカっぽかった

LGBT法が差別解消を目的としているというのは表向きの理由。実はハコモノ行政と紐づいていることに多くの当事者は薄々気づいている。男女共同参画社会基本法ができた時と同じ。米国では各地方にLGBTセンタービルが乱立している。LGBT版女性センターが全国にできることは容易に想像がつくよね。そこで誰がセンター長になるのか、職員としてどの活動家を雇うのか、使う教材はどこのLGBT団体に発注するのかなど、さまざまな利権が発生する。野党系の活動家と自民党系の活動家が水面下で綱引きをしているという側面も見ておくべき。ただし、こうした仕組みをバラされることは決して差別禁止法の成立にマイナスとはならない。逆に加速させる可能性もある。「LGBTセンターには国から補助金が降りるんでしょう？おらほの町に雇用が生まれる。このご時世に有難い話じゃないか」と、賛成する国会議員が続出するかもしれないからだ。

『結婚できるのは、人生の助手席に人が座れるスペースを空けている人』っていう友達の言葉は、かなり確信を突いていると思った。助手席に仕事の資料とかオモチャとか脱ぎっぱなしの服とかオモチャとか置きまくっている人は、口では結婚したいとか言ってても実は結婚とかどうでもいいと思ってる。

パリのタクシー運転手が交通規則を完璧に守るという「遵法ストライキ」が面白くって、これをやった途端に交通麻痺が起きる。システムとルールの設計者はそれが完璧に機能することを想定するわけですが、実際に完璧に機能するとシステムが破綻するという

結局、自己責任論は駄目ってのも、大衆が自分に当てはまるように自己責任論の定義を変えたからだ。自己責任論というのは基本的に万能であらゆる問題を解決する。少なくとも俺はこれで解決できない問題を知らない。極めて優れた投資家は自己責任論によって運否天賦の不確定要素を超えて勝利し続けている。

例えば「車を運転していて突然前の車がコースを逸れて看板に激突した結果、その看板が外れて通行人に向かって飛んで、避けよう道路に出てきた通行人を轢いてしまった」これによって面倒事に巻き込まれる事になった。こういうのを金持ち達は自己責任論で「運転手使え自分で運転するな」で回避するわけだ。他にも「飛行機が墜落したとき終わるからVIPを輸送するときは瓶を分けろ」というのもある。運が悪かったから仕方ないで済ませない、出来る限りの対策を打っていく、そうすることで運さえもある程度コントロールしてのけるという所に自己責任論の優れた点がある。ところが一般に浸透する過程で、そうした自己責任論の有益な部分は全て面倒だからと除外され「運や環境が悪くても我慢する」程度のくだらない言葉になる。ただ何もせず不快感を味わってるだけのアホが自己責任論者面して、しばらくしても何も変わらないから「自己責任論は駄目」とか言い始めるわけだな

コーラン自体は過激な描写は確かにあるけど自爆はありえないし、正当な理由のない殺人は明確に禁止してるし、基本的に礼拝所を攻撃された時に限って反撃して死んでもやむを得ない、みたいな世界観なんだけど、要は好きな場所を本拠地の侵害として解釈しちゃえば正当な反撃にできちゃうんだよな過激派は

昔ZARAの日本法人社長から言われた耳の痛い話を思い出した。日本人は個人だと優しいのに、組織になると冷たくて、社会になると、時として凶暴になるよな。なんでか判る？それは、優しいからだよ。優しいから、闘うべきところで、黙るんだよ。そうすると、対案が産まれないし、抑止が働かない。

>>やたらといいねがついているけど、社会活動、慈善活動、ボランティアなどへの個人的意欲の有無の国際統計で考えると、日本人の個人は優しいという前提からして誤謬であると考える。日本スゴイ論の一種ですね…。World Giving Index 10th editionを見ると、単に他者に冷淡なだけなのが統計的正解かと

「注目すべきは、調査した３つの観点の中でも、「見知らぬ人、あるいは、助けを必要としている見知らぬ人を助けたか」という観点で、日本は125位と世界最下位であることだ」

ツイートへの膨大ないいねを見ると、人助けはせず、他者の不幸に冷淡で、なおかつそんな自分のことを『優しい』と考えている人々が大勢いるということで、優しいの基準がおかしいのではと。規範を守ることと、他者に優しいことは異なる。社会規範が残酷な時にそれを守ることを優しいとは言わない。ハンナ・アレントが「責任と判断」らの著作で述べた通り、社会規範を守ることと、他者に優しいことは全く異なる概念であることを理解する必要がある。社会規範を守ってその結果、他者に冷酷にすることを「優しい」とは呼ばない。「俺は、他人に暴力をふるわないから、優しい人間だ」みたいな自己認識を持ってる人は結構多いけど、まあそれってやっぱ「従順」という形容の方が適切だよね、みたいな。「利己的かつ従順」という性質は、今の日本人のかなりの割合を占めると思う。

タリバンが「これからはイスラム法に基づくから民主主義は存在しない」って言ってるの、これだけ切り取って西洋的価値観の中に置く日本のメディアはイスラム法が悪いこと前提で嫌だなあ

何でも規模が大きくなると別のものになっちゃうんですね。劇場とかも大きくなるほど私にはつまらない。大舞台で踊るのは小さな小屋より実力がいると思うかもしれないけど逆だ。小さな空間ほど自分が試される。アラが見えちゃう。大舞台は照明でどうにかなる(笑)一般的に。

「人の言葉をできる限り意味が通るように補完しながら読む」という訓練を粗探しや反論をする訓練の前にちゃんとやっておくのめちゃくちゃ大事だと思います。

効率厨の牛「モーモーモーモーモーモーモーモーモーモーモーモーモーモーモー」ドバババババババババ(あり得ない量の乳が出ている)

俺が感謝を“おもしろ”と捉えていて、職場の同期とかに定期的に｢いつもありがとう｣って言いながら缶コーヒーとか渡すの、起こってる事象はいいけどその経緯はかなり悪い気がする。

大谷選手は、物を投げて収入を得ている

「こうしなきゃいけない」とか「こう思わなきゃいけない」とか、そういうのが無理だから恋愛というものが存在するのであって、あがいても無駄なのである

テレビで映画やってるときはオタクがバズ目的の箇条書きまとめやウィキペディアを自分の知識みたいに語るやつが結構発生するが、音楽はそんなダサいことチンタラやらせずオンタイムで自分の感覚を言わせる雰囲気になっているのでだいぶいいな

「ポケットモンスター 男/女」を買ってキミだけの反性差別運動を盛り上げよう！

マジレスすると虹色にLGBTというイメージが定着しちゃったの、非常に痛いものがある。幼稚園児ってやたら自画像の上に虹描きたがるけど 反性差別運動の潮流を敏感に察知したからなのかな、とか考えちゃうよね

「インターネットも紛れもない現実」というのは、その通りだけどネットには「ネットを使えて尚且もっとも暇な層が支配する」側面がある。だから昔はPC扱えるオタクが支配し、最近は主婦や性風俗産業従事者やメンヘラが勢力拡大したけど、それはあくまで暇な層の声である事に注意が必要

「この分野に関しては専門外なのですが」「不勉強で申し訳ありませんが」「私が誤解していたら申し訳ないのですが」等のエクスキューズ、レベル98の魔法使いがレベル9の戦士に勝負を挑む戦いのゴング的な解釈をしていたしツイッターでもそうやって言われることが多いけど、実際のところ本当に専門外、不勉強、誤解という可能性もぜんぜん考えられるし、ただのエクスキューズにそこまで言外の意味を求めすぎると発表が不幸になるのではという感もある。むしろ、そういう文脈を超えたいじわるな解釈をすることを楽しんで内輪向けの符牒的ジャーゴンにしたがる、オタク的素養の悪い面の属性が現れているというか。実際、「専門外なのですが」という人がしてくる質問はたいてい的をついたものではないし、そもそもあの短時間に研究の専門家と素人が意思疎通をうまくかわせることのほうが少ない。たいてい時間切れになって終わってしまう

話は変わるけど、「仕事でやむなく出勤していたら最大限気を付けていたのにコロナにかかりました」っていう報告記事に「本当にかかりたくなかったらフルリモートの会社にいけよ」って言ってしまう、知的階級高収入ITリベラル様の悪いところを全部煮詰めたようなコメントがついててげんなりする。そりゃあお前はできるんだろうよ。お前はな でも製造業や接客業や教職、どうしても絶対に人と交わらざるを得ない、出勤が必要な仕事だってあるだろ。そういう想像力もなしに他人を叩いてるエリートサラリーマンがいるんだなあという感

Twitter、総論の話をすると個別の議論で殴ってくる来る人であふれている。

江戸時代にタイムスリップしてしまった中居正広が江戸の寺で稲垣吾郎に似た坊主を見つけ、「まさかな…」と思って寺を出ようとしたところ坊主がイワコデジマイワコデジマと唱えだしたためゴロウの先祖であることを確信したシーン

人生を変えるために英語を勉強して日本を脱出する！と言う方がときどきいるけど、現地の企業は英語のできる日本人よりもネイティブスピーカーの普通の人を雇います。企業が欲しがる実力・実績のある人が英語を勉強するのはいいけど英語力だけしかない日本人が海外に渡ってもろくな職は得られないですよ

本来ロックは陰キャのものでは、みたいな話が流れてくるけれど、陰キャ仲間と思った相手が音楽の話ができる集まりで陽キャムーブを始めて自分は置いてきぼりになる、という経験を含め、自分が参加できる集団に属すと途端に『群れ』ムーブを始めるヒトの性質がよく観察できる場面であるな、とは思う。「陽キャ」「陰キャ」とは言うけど、社会性のある人間であれば、あるのは単に「その人が陽キャでいられる集団」「陰キャになってしまう集団」だよなあ。そして「陽キャ」とはすなわち、その集団内で有利な位置につけることができる可能性を感得して競争に参加した状態、ということなんじゃないのか。集団について暗黙に「学校」や「職場」を前提として学校や職場が得意な人間を「陽キャ」、不得意な人間を「陰キャ」と呼んだり、そこで不活発な人間が音楽の趣味が合う集団に加わると途端に活発に活動（闘争）することを「本来ロックは陰キャのもの」と表現するのはどうも現象の切り分け不足に感じる。

「恋愛力は人間の基礎」みたいな勘違い人事が、恋愛と飲み会が得意な人材ばかり採るんだろうな。営業とかいう兵隊にするならまだしも、大学時代に頑張ったことはサークルです！大学の勉強はあんまり…（笑）みたいな奴をよこされても困るわ。兵隊は性欲強いほうがいいと思いますよ。

若者の時にロックに嵌まった人間が中高年になってもロックを好む事から分かる通り、人間は加齢により趣味嗜好が老人寄りになるわけではなく「加齢により自ジャンルが老人向けとして扱われるようになる」だけなんだよな。例えば当時斬新だったエヴァもハルヒも今やネット老人会ホイホイになったというな

急に宅急便とか来て音楽の再生止めて、宅急便の人が帰った後サビの「のおおおおおおおお」の部分とかだけ流れると萎えてしまう

今日同期が後輩に就活のアドバイスしてたので「おうおうおう さぞ気持ちよかろうな！アドバイスは気持ちがいいもんな！」って言ったら「人間の心のほんの少しの悪い部分を的確に持ち上げる能力がすごい」と言われた。おれ、もしかしたら人間の心のほんの少しの悪い部分を的確に持ち上げる能力がすごいのかもしれない

今上天皇は、誰だって努力次第で天皇になれることを証明してくれました。明日、天皇になるのはあなたかもしれません。

クソリプとかクソ引用リツイートが来ると「この人にもクソリプする様になってしまうまでの人生があるんだろうな…」みたいな気持ちで反応する事があるんだけど、増長するだけだからやめときなと言われてしまった

「大半の人には理解できない独自の怒り」を持っている人のテクニカル過ぎる説明を傾聴して尊重するのを良しとする、みたいな風潮があったような気がするが、明確な実害があるもの以外はそんなに取り合わなくていいような気がするんですよね。言語化されたから何だというのか。そんな物に社会全体が付き合ってもキリがないのではないか。ゴールはあるのか。

生首って何が生なの…。塩漬けになってないから生なのかな？

最近知った良い情報→となりのトトロトランプのジョーカーはカンタのおばあちゃんである

漫画に出てくる裏社会の人、攫った相手に「日本の年間の行方不明者数は意外と多い」って豆知識を披露しがち。

水滴がたっぷりついた缶ビールの広告を見ると、カメラの外にあるであろう霧吹きの存在をふと考えたりする。実際に目に入ることはないが「あるであろう」というもの。

ニュースとかに言及するのに消費する体力ゲージがあるとして、つい「こりゃキモい！！」「こりゃ見るからに悪いぞ！！」というものに言及しているうちにゲージを使い果たして眠くなって寝てしまい、複雑な悪いものを見逃してしまうという問題がある。

たとえば「友達を捨てろ！」みたいな過激なタイトルの啓発書って、冒頭で必ず「何も、全ての友達と縁を切れと言っているわけではありません」みたいに日和るよな

自分の身長は165cmなのだが、つまりこれまでの人生において0から165cmまでのあらゆる数値になった瞬間があるということだ。

普通に歩けば絶対間に合うし乗れるのに「いいか……」となって目の前で電車逃すことよくあるけどこれ自分の人生にまつわる何らかの比喩だったりする？

「本当は動物になりたいのだが、間違えて飼育員になってしまった」「本当は飛行機になりたいのだが、間違えてパイロットになってしまった」「本当は音楽になりたいのだが、間違えてミュージシャンになってしまった」というような錯誤を実はしてしまっている人は結構多い気がする。

私はレスバした相手の意見に納得して「うーん、なるほど」となって意見を変えることが普通にある。

「止め！」の声がいつまでもしない、いつするか分からない部屋で試験を受けている。人生の話です。

連休中、大塚英志『「暮し」のファシズム』を半分くらい読み進めたのですが、戦時下において花森安治が戦争プロパガンダを生活レベルに浸透させていく方法として「日常」に美意識を持たせ、その中の細々とした流行を指南し誘導するという事をしていたという話で本当に肝が冷えました

ふらっとどこかに行って、地場系のスーパーでその地域でしか売ってなさそうなコーヒー牛乳と菓子パンでも買ってビジネスホテルの部屋で食いたい。そういう気分になることが年に330日くらいある。

旅先のビジホの部屋でひとりテレビを付けてローカルニュースや天気予報を見ながら持ち込んだ夕食を食べるその瞬間が好きっていうの分かってくれる人いますかね

「配偶者が発達という苦境を工夫で乗り切って頑張ってる自分」みたいな漫画を描いて発信しちゃう人って、発達を相手に選んでる時点で同じ素質を持つであろう自分の言動を省みれない残念なタイプだろうし、側から見たらその人もかなり異常なんだろうなっていう偏見を持ってる。「一個の人格を持った人間」をまるで飼育してる生き物の観察日記みたいに描くよな、あいつら。

具体的に名前はあげないけど、今の社会には「セックスを知らない人間がめっちゃエロいと感じる感性」に最適化されてるポルノグラフィが溢れていて、同じように「味覚が杜撰な人間がめっちゃ美味しいと感じる味」に最適化されている商品が沢山ある。

満員電車のストレスで何回もおかしくなりかけたことがあるけど、日本のスゴさとそういう日常は表裏一体なんすよね。あれほど人権もクソもない日常を強制されながら、よそ様の人権をうんぬんできるんすか。多様性うんぬんする以前に、あれに耐えられてるかどうか選別してるじゃんね。まあ自分もそうだったし今でも多くの人がそうしてると思うけど、時間をずらしたり空いてる経路を研究したり、あるいは引っ越したりもするわけですが、そもそもしなくてもいい努力ですよね。発想の型が、そういう日常に影響されている部分はあるだろうなと思ったりしますね。多くの人にとっては、人生で仕事以外で一番時間を費やすのが通勤なわけで、それがその人のありようにとってニュートラルなわけがない。

長男が塾の宿題でイラついている。「わかんねえ！なんで2人で池の周り何周も回ってんだ！」と言っていて、そこは父も助言できんな…と思った。

>>割と真面目な話をするとこの手の文章題は算数科目に内在する原理的な課題だったりする。　本来的に教育の目的としては、「算数」は「数字」という純粋に抽象的な概念を抽象的なままに扱う「数学」へと向かうことを志向した教育なのだけど、人間は抽象的な数字概念を扱うには訓練が必要なので、具体的な現実の何らかの量を使って計算する「算数」から教えている訳。なのだけど、具体的な現実の量の計算を問題にしようとすると、問題文がしばしば現実的で無くなるという問題が常にある。　本質的にはは「点Aが直線上を」とかいう抽象概念を使った抽象計算をさせたい訳だけど、それが小学生相手だと出来ないので「花子さんは池のまわりを」みたいな言い換えをする。それによって「全く変わらないペースで何十分も淡々と歩き続ける謎の女花子さん」が爆誕する。

小さい時、「よそはよそ、うちはうち」と言われてしまったことをちゃんと覚えていて、別のいつかの機会に「隣の○○くんはちゃんと○○してるのに」と怒られたとき「よそはよそ、うちはうち」と叫んで父親に叩かれたことをふと思い出したが、あれは理不尽すぎるだろ

小学生のとき、図工の時間に"ちんちんが生えてる竜巻"を描いたら、先生がちんちんを指差して「これは何ですか」と聞いてきたので、ちんちんですと答えたら怒られると思い「枝です」と答えたら「なぜ竜巻に枝が生えているですか」と問い詰められて「すみません、ちんちんです」と謝ったことがある

労働をしていると「労働してまで生きることもないのでは？」となってくるからよくない

幸せってその中にいると全然幸せだって感じないことが多くて、だから「なんでもないようなことが幸せ『だった』と思う♪」と言うように過去形で語られがちなんだけど、「今が幸せ！」と自信を持って言うことや思うことで、人生全体で感じる幸福量は上がるから、ちゃんと「今の幸せ」を感じましょうね。

母さん、自分が障害のある子どもを産んだという事実を受け止めきれないらしく、私が障害者手帳を取得しようとすると無限に抑止してくる　それは純粋な障害者差別だろという気持ちが浮かばないわけでもない

全然お笑いへのリスペクトがない素人が言う「その辺の芸人より面白い」の、"その辺の芸人"が誰を指すのか本当に気になる

「人間はずるくて、怠け者である」という人間観が根底にあって、だから人間を働かせるためには競争か脅しが必要なんだという話になる。競争が欠けている分野にはガンガン競争を入れないとダメだし、それが無理なら脅して働かせるしかない。他方、競争に勝った者には「メリット」を与えねばならない。そういう観点からすれば、攻撃のターゲットにされるべきは「既得権」の温床たる公務員、教育、医療あたり。可能な限り「公共」の領域は削って、民間の競争に委ねる。他方、自分たちは選挙という競争に勝っているので、その「メリット」はちゃんともらいたい。生活保護についても同じで、「怠けているから生活できないんだ」「働かずに生きていたいだけなんだ」という発想が最初に来る。いろいろな背景があったとしても「働かないための言い訳」にしか聞こえない。たしかに、そういう人間観が説得力をもつ場面はあるんだろうけど、職業的使命感なんかとはかなり相性が良くない。頑張っているときに「ちゃんと働かないとクビにすんぞ」とか「また怠けてるだろう？もっとやれ」と後ろから言われると、しんどさだけが残る。加えて、とにかく人間の行動原理はカネだというのがあるので、たとえば社会運動をやっている人なんかをみると真っ先に「どこからカネが出ているんだ」という話になる。何らかの被害を語る人をみても「どうせカネが欲しくて、話を盛ってるだけだろ？」という見方になりがち。

防衛大学校の卒業教官に「安全なところで『ここがダメ、あれがダメ』と結果だけを批評する『後出しじゃんけん』はやめなさい」と言われました。理由は結果だけじゃなくて「プロセスや意思決定」も見ていかないと自分もきっと同じ過ちをくりかえすからです。批評ではなく学べということですね。

きみが死んでたら「20代でも死ぬんだぞ！亡くならなくてもいい命が！」って言われたのに、きみが生きてるばっかりにはてブの人はぶったたいてくるんだ。死者の前に香を焚いて生者は棍棒で殴るのがはてブだ。

ひと昔前の陰謀論の世界では「影の世界政府が市民社会を監視している」といった筋書きが主流だった。だが現在は、国や政府の持つ統制権力よりも、いち私企業の経済活動やその一環で開発されるテクノロジーの方が、よほど市民社会に対して支配的な影響力を持つようになっている。ある国が憲法で自由を保証したとしても、その自由がGAFAのレギュレーションに反しているせいで、その国が丸ごとGAFAの支配する商売圏から排除されてしまっては、社会が成り立たなくなる。結果的に国の憲法や法律よりも「GAFA」という私企業の内部ルールが優位になる。めちゃくちゃな時代がやってくる。かりにある国が自身の憲法によって保障された「表現の自由」を大事に遵守していたとして、それがGAFA憲法の「許容される表現のルール」を逸脱してしまっていれば、かれらの「グローバルな表現マーケット」からは締め出される。これは実質的に「表現の自由」を制限されたに等しい。

国の定める「憲法」よりもさらに優位に立つ「憲法を支配する憲法」を、やがてGAFAのような「経済圏」を支配する多国籍巨大企業が作るようになっていく――ひと昔前のSFのような世界がもう秒読み段階になっている。そのような状況に先進各国が直面しているなか、この国では政治関係者が呑気にそのビッグテックの権力を援用して「言論の場所から締め出そう！」という流れに無邪気に賛同している。地獄である。「立憲」を標榜するのであれば、この現実を直視してほしい。

Q：「何で一般の経営者には想像力が全く無いのか？」

Ａ：「想像力より遥かに大事なのは運だからだ」

私も、オートバイで転倒するまでは、転倒するなんて思った事がなかった。道が凍結していれば、どんなに技量があっても転倒する。もっと凄かったのは、先行する車が事故っていて道にオイルがばら撒かれていた時だ。想像力が「全く無い」人間は居ない。しかし、現実が想像力を超えるのはいとも容易い事だ。経営者に全く想像力がないわけではないだろう。「道路が凍結している」事は想像出来るかも知れない。しかし、道路が一面オイルだらけなどという事態は普通、想像しない。

中高生に思うのは、「日常生活以外への関心がなさすぎません？」ということです。半径2m以内のことしか考えてないように見える。だから、勉強に興味がないんでしょうね。「知らなくても困らないこと」に、勉強も、社会情勢も、文学も思考も全部放り込んである。「興味ない」と言うとき彼らは不思議に誇らしげです。「お前なんかに興味ないんだぞ」と言うことが自分の強さを示すことになる、と考えているのでしょうか。

意識の違法アップロードサイト、意識村

ジェンダーフリーとはピンクの服着たい男児にピンクの服を着せることであり、青い服を着たがる男児から青い服を取り上げることではないです

画力というのは実のところピラミッド型に積み上げる能力ではなく、リゾーム型の構造をとるように思えて、例えばひとりの人間の中でもある絵柄では画力が高く、ある絵柄では画力が低く、あるムードの絵の下では画力が高く、あるムードの絵の下では画力が低くなるということは両立しうるように思う

リンクされてたFBの投稿、興味深かった。満天の空を無理やり線で繋げて「星座！」とか言ってるみたいなものも彼らからしてみれば「点と点が線で繋がった！」ことらしい。もっとパズルとかやりなよ。

葬式の陽キャ「生前彼はえぐくて、」

俺が心の底から見下している先輩がイギリスに留学するので、向こうで英語ペラペラの人に本物の銃で脅されてカタコト英語でGUCCI…泣とか言うて命乞いした後に太ももとか撃たれてほしい

反ワクチンの知人が娘に「コロナワクチン接種しないなら孫には会わせない」と言われて泣く泣く接種して、腕が痛む以外の副反応もなく悔しがっている

怖い陽キャ「おー山田！このあとクラスのみんなでカラオケ行ってレスバするけど来る？笑笑」

行った方がいい山田「ごめん帰るわ、ひろゆきが切り抜かれて俺ん家で待ってる」

ネプリーグナレーション「かけがえのないもの、5つ応えろ！」

何気ない日常を大切にしている名倉「…ごめん、スイミングスクールの後お母さんに買ってもらったセブンティーンアイスの思い出」

「ワクチンを打ったら自分だけでなくこれから生まれる子供や孫まで不妊になる」って文章面白すぎるでしょ。子供や孫は誰が産むんだよ。

他人の発言を字義どおりにしか捉えられない人にしてみれば京都人特有のイヤミは終始心地よく聞こえるということに思い至った

人を実際に殺す人もいるのが多様性ですよ。多様性ってそういう意味です。「人を傷つけるのは多様性とは呼ばない」ではなく「そこまでの多様性は許容できない」とでも言うべきでしょう。当然それはそうだと思うし。

あるSFを読んでたけど、仮にルッキズムを失認させる脳の施術が発明されたとして、差別撤廃のために普及させようとすると、少数の施術拒否者がやってる差別に誰も気づかなくなる、という話が。なるほど。

本を読むと色んな学びがある訳だけど、ここ数年で一番良かったのは「すぐに答えを出さない力」という力を知れた事で「不確実なモノにただ耐える力が時には重要だよね」って考え方があって、研究でも日常でも凄く大切な力と思ってる。複雑な物事に対し答えを急いで間違うよりただ耐えた方が良い事もある。不確実性で答えが出ない状態は誰でも嫌だから、なんとか結論を出そうと現実を歪めたり、単純化した考えに飛びついたりしてしまう事がある。そうやって間違うよりは、ただ不確実な状態に耐え、複雑なモノを複雑なまま捉え、しぶとく考え続ける事が実は正しい解へ繋がる最短距離なのかもしれない

韓国のハングル専用(漢字廃止)について、日本では否定的な文脈で語られることが多いのだけど、利点も確かにあるんだよね。一つは「難解語彙」習得のハードルが非常に低くなること。例えば日本語の場合は、単語と漢字の両方を習得して初めてその語を「マスターした」とされるため、小学低学年の教材は「易しい漢字を使った」「易しい言葉」で記述される。しかし、韓国はその必要がないので低学年のテキストにも「周辺環境を保護するための有効な手段を模索してみよう」ぐらいの文章が普通に出てくる。

積み上げてきたモノが一切ない人間が最後にすがり付くのが両親が最初にプレゼントした「日本国籍」って心暖まるやん

お世話になっている車屋さんから、ドラッグレースの話を聞いた。タイムをコンマ何秒縮めるために、スタート時のエンジンの回転数やタイヤの空気圧、いろいろなパラメータを調整して「いかにエンジンの動力をタイヤから路面に無駄なく伝えるかを追求する」んだそうで。ところが、傍目には「金をかけて良い部品を揃えれば速くなる」ように見える。それで、聞きかじった「あのタイヤがいいらしい」「あのパーツで速くなるらしい」って話に振り回され、パーツにがんがん金をかける人が現れる。でも、いくらモノだけ揃えても、肝心な部分が抜けているから成果が出ない。「どういう仕組みで成果に繋がっているのか」「上手い人はその道具をどう使っているのか」そういった陰に隠れた部分にはまるで関心なく、同じ道具を持てば同じ成果が出せると錯覚して、単なる道具のコレクターになる。なんか、どっかで聞いたような話だなぁと。

「愛国心はならず者の最後の拠り所」は、どうも最初に発言された際の文脈とはずれた解釈をされがちですが、私はこのずれた解釈もなかなか的を射ていると思うんですよね。「お前らのようなならず者に拠り所があるべきではない」と言った所で、人間が何にも拠らず生きて生けるでしょうか。

意見が同じだからという理由でDHCの言論を支持できるような人も、彼らの言うところの「日本人」であれば包摂するのが民族主義。あれは支持する／しないの俎上に載せられるようなものではない。ともあれ、それ以外に包摂される術を持たない人間が民族主義を支持するのは合理的判断のように思えます

体育会系のノリが苦手だなあと思って生きてきたけれど文化会系のノリも苦手だなあと気づいた。単に集団が苦手なんだな

「ちなみに僕は最初の一杯くらいは飲めます。ただ、それは付き合いで飲んでるだけであって、できれば一滴も飲みたくない、というのが本音です。みなさんはどうでしょうか」

「お酒好きな人は絶対に『練習したら飲めるようになる』って言いますよね。こっちはそもそも、飲めるようになりたいなんて思ってないのに」「この世の人間すべてが同じ場所を目指してる、と思っているのでは」

酒の席で“本音”と呼ばれてるようなものって、実際は“単なる言いがかり”ですよね。あと『実はあの時、おまえにムカついてたぞ』とかね。こっちはそういった“本音”にシラフで対応しなきゃいけないから、多少なりヘコむんです。なのに、翌朝にはみんな言ったことを忘れてる。次に活かそうとかの考えは無いですよね。

酒が飲めないと、マナーが全然わかりませんよね。『お酌』とか『上座』とか。興味ないもののマナーとかルールなんて、本当に究極に興味ない。知らないアイドルのコンサートに連れていかれて、『この歌のサビは、サイリウムを右・左・左でしょ！ちゃんとやってよ！』って言われてるみたいな感じ。『知らんし！』ってなる。

理学の先生は医療分野でよく考えなければとんでもないことになる倫理の話あまり気にされないことがあるので、そこは怖いですね。「正しければ正しいでしょ？ざっつおーる」で済まない世界が確実にあるんですけど、理解はしてくださらないことが多いです。一方医学の先生はとにかくロックダウンしかないとか、必要でも法哲学的にありなのかなしなのかの検討すっ飛ばす傾向があり、やっぱり工学だなあと思うわけです。テック系の発想。「必要ならやるでしょ、ざっつおーる」で済まない世界が確実に

クレーマーに暴言を吐かれまくった。通報したらすぐに警察が来てくれて仲裁というか場を収めてくれてホント助かったんだけど、警官がクレーマーと話した後で私に「あの方、きちんと話せばわかる方でしたよ」って言ったのスゲー腹が立った。そりゃ武装した国家権力複数名が囲めば話もするんでしようよ。

>>これ、クレーマーも社員もそうなんですけどまーーーーじで「男性」とか「何かしら役職についてる人」出てくるととたんにしおらしくなる人まじのまじでいます。

被害に合う方間違っても私みたいに「おめぇさっきの威勢どこいったんだよ、ひり出せ！！」とか言っちゃ駄目ですよ。あと仕事の交渉も女性相手だと舐めてくる相手が必ずいるので、別に拳で戦えるわけじゃないなら男性社員に出てもらったほうが話が早いです。ほんとに。「そいつさっきと言ってること全く違うんですけど」って男性社員に言ったところで信じてくれないです。あとまじで警察に言われたのが「本人こんなに泣いてるから許してあげようね」って保育士みたいなこと言い出してくるので、「いや、5発殴らないと30分怒鳴られた時の私の気が済まないです。怒鳴られた私は可哀想じゃないんですか」も言っちゃ駄目ですもう黙って殴ろう

あの手の無性やアセクシャルっぽく描かれるキャラ、もしくはBLのバイやゲイっぽく描かれるキャラ、「女性読者が都合よく消費出来るように仕込まれた人工的セクシャル・マイノリティ」でしかない訳で、「弱者のモノ化と消費」路線で怒られたら、まあその通りって言うしかないんですよね。まあそれ言い出したら「十代の少年でありながら、あり得ないほどしっかり者の良い子として造形され、物語の冒頭から無茶苦茶悲劇的な目に遭わされてる竈戸炭治郎」とかもそういうの好きな読者が消費する用に作られたキャラだし、何なら「フェミニストの女性ヒーロー」とかもフェミニストが消費するために作られてるんですけどね。だってこの「ミニスカ履かされた論」に基づくなら、「キャラクターが自主的に思想を持ったり主張したりする訳ないから、強制的に与えられた思想に沿った台詞を言わされてる」って事になる訳で。まあキャラクターだけでなく米国のセレブとかも、キャンセル・カルチャーが怖くて心にもない思想を「口にさせられ」てたり、別に言いたくなんかなかったプライベートな話を「カミングアウトさせられ」てる可能性だってあるけど、そんなの誰も問題視してないし、きっとどうでもいい事なんでしょ。

大学生の時の自分のメモを見返したら「本当の自分を見つけたら、自分が他人と違うということが分かってしまい、世間との軋轢が増すからやめておいたほうがよい」という趣旨のことが書いてあった。そ、そうですね、としか言えない。

音楽の授業で合唱をすることは感染の可能性があるので中止としつつ、合唱部の活動は続いているっぽい。整合性があるのかどうかよくわからない。学校における部活の優先度がなぜここまで高いのかいつもながら理解に苦しむ。滅私奉公の練習だからなんでしょうね。「音楽の授業で合唱をするのはだめだが、合唱部の活動は続けてよい」という判断に整合性があるならそれでもよい。しかしもしそうでないなら、たとえば私が中高生なら理科の教師に「あなたは科学科学というが、科学的に整合性のある判断より職場での自分の立場の方が大事なのか」と言うかもしれない。もちろん、ほとんどの中高生はそれほど向こう見ずではない。彼らはもっと賢いので「大人の矛盾をついて怒らせても何のメリットもない」という発想で行動する（ように見える）。しかし、私が中高生なら「コロナを警戒せよ。部活をやれ」と言う教師の言うことは信用しない。

マイク・タイソンのトレーナーのカス・ダマトの名言に「心は友達じゃない。自分の心と戦い、心を支配するんだ。感情を制御しなくてはならない」という言葉があります。心の声ばっかり聞くと恐怖に焼き焦がされてしまうこともあるので、冷静さは大切だよねって話です。

「保守主義は人間の理性に信頼をおかず、伝統として続いてきたことの方がおおむね妥当だと考える」と聞きましたが、伝統のうちどれが尊重すべきでどれが尊重を要しないかはどうやって決めてるんでしょう。たとえば、「牛車を使う」はたぶん尊重すべき伝統とみなされてないと思いますが、なぜでしょう。もし「どれを尊重すべきかは自分で決める」となったら、その自分の理性を信頼していることになります。もし全ての伝統を尊重するなら、多すぎて（しかも相反する内容もあるはずですから）身動きがとれません。現代まで続いている伝統だけ尊重するんだろうか。

現代思想と現代社会が目指す方向性、文明思想と文明社会が目指す方向性、都市思想と都市が目指す方向性ってのは３つとも全部似たようなもんで、これはもう古代からずーっと「人間の健康に悪いから滅びる」でファイナルアンサーなんだよな。確かに文明の利器凄いんだけど、結局、維持するためにアホみたいに勉強しなきゃいけない上に使ってると健康に悪いので別で運動しなきゃいけない。それなら、勉強せずに肉体労働してる方が低コストで健康じゃんってなる

必死に勉強して文明の利器を開発したりインフラを維持して、それらの利便性によって空き時間を作って、その空き時間に何の意味もなく重りを上げ下げして健康を維持するのって冷静に考えたらバカ社会じゃん？人間はバカじゃないけど、社会の設計がバカだよね。今の社会の設計がバカなら、じゃあ賢い設計の社会ってなんだっていうと「人間の社会的な活動と健康維持とコミュニケーションが一体化している社会」だよな。つまりゲームのように、プレイの過程でお金が貰えて、体を動かすことで健康になり、友達もできる。こういう社会が持続可能な社会という事になる

現在の「多様性」は、ともすれば考え方や価値観も含めて多様な人がいる状態よりも、多様な属性（多くの場合は変えられない属性）を持った人が一様な価値観を共有した状態を志向しがちではある。もちろん、多様な属性も多様な考え方や価値観につながるはずだったのだが。さらに酷いのは、集団に属する人が持つ変えられない属性の分布が一定の範囲に収まっていることを「多様性」と考える場合。一様な多様性という冗談みたいな話だけど。

普段の授業でほぼ説明してあとは真似してとやっときながら生徒が主体的に考えないってそりゃそうですよね。考えるために10のうち1や2を説明するならともかく8や9まで説明してたら考える余地がない。生徒が主体的に考えるにはそういう「文化」が醸成されなきゃなので「普段から」が大事だと思ってます。すごい当然のことですが「普段から」の実現のためには「あ、まずは考えてみるもんなんだ」と入学当初から継続的に思わせられるかだし、一部教員が頑張ってても他で崩れるので学校全体で大きくは同じ方向向けるかどうか。でもこれが異常に難しい。この継続性と協働性がある学校は最早成功の部類かと。最近、学校「文化」というか、学習共同体の規範の重要性と、それは長い年月をかけてつくられるものであるということを強く意識しています。自分も本校の「考える」文化の醸成には一役買っているつもりだけど、助けられている部分の方が多い。普段から探究重視の授業をできているのはこの文化のおかげ。

Twitterで枕草子や源氏物語や百人一首の話をすると、「こういう話を学校で教わっていればもっと古典が好きになっていたかも」というリプライをもらうのですが、これ実は話が微妙に入れ替わっていて、学校でちゃんと枕草子や源氏物語や百人一首を教わったからこそ、今この話を面白いと思えるんですね。

数学もそういうところがある。勿論、授業時に興味持てるのがベストだけど、一度学んだから、あと”今”聞いたから「この話を学校で教わっていれば数学好きになれたかも」と思えるのであって、当時聞いてても「で？」で終わった可能性もある。ただ、だから授業が無味乾燥でいいというわけでは勿論ない。

学歴厨の女ってなんなんだあれ。「去年に東大を卒業しました」だとか「来年から京大にいきます」だとか言ってる男の何がいいのか分からん。そんなんよりぼくは「去年小学校を卒業しました」って言ってる女の子の方が興奮する

今オナニーできないなら絶対にプレイしないで下さい。ゲームがエロすぎて、ほぼ100％その場でヌイてしまいます。のExcel関数。

=IF(A1=今オナニー出来ない,$絶対にプレイしないでください,$絶対にプレイしてください,AND(A2＞ゲームがエロすぎる,A3＞ほぼ100％その場でヌイてしまう))

先延ばし癖のあるADHD人間、往々にして締切ギリギリにならないとタスクに着手する気になれないので、掃除や片付け等には明確な期日がない故に部屋や台所は常に雑然としてるし、「都合のいい時でいいよ」と頼まれたタスクは永遠に“都合のいい時”が来ずに時空の狭間に吸い込まれてしまいがち

YouTubeが流行ってるのは分かるけど、活字派からすると「えっ、この情報量で15分…？」「欲しい情報に辿り着くために15分もこれを見てなきゃいけないの…？」ってなるのわかる？

教育に携わると全部読む族になるかどうかは本人の資質によるものが大きいという結論に達する。 国際政治学者の三浦瑠麗氏は5人兄弟で幼い頃から文章に囲まれた家庭環境で過ごしてきたようだが、その環境で育ってなお読むことが好きな兄弟と好きじゃない兄弟がいると言っていた。

気持ちよく揚げ足とって、威勢よく罵倒して、同類の「敵対勢力は頭悪くあって欲しい」的な原始的欲求を刺激して、ネットでバズって、イナゴの王になろうと思ったら、国語力なんか邪魔にしかならんのよな

目の前にいる人に対してあまりに品性を欠いていませんか、という視点での表現規制論ならわかるけど「馬鹿が真似するから」「いじめを助長する可能性があるから」「不快だから」というレイヤーの議論は浅すぎてダメだと思う。テレビ番組の誰かが誰かを馬鹿にする類のお笑いだって、それを見た子供が真似するからダメなんじゃなくて（そんなもん言っちゃ悪いがどうでもいい 本来は家庭で教育すべきことだし、テレビからそういうものを排除してもYouTubeやネットに無数に転がってるし）、目の前にいる人に対する品性とか知性をあまりに欠きすぎていないかという視点のはずなんだよな。でも世の中って信じられないぐらいの馬鹿がいるので、馬鹿が真似するからという意見は逆説的に真実味というか迫力というか、謎めいた「圧」（説得力）があるのも確か

今までさんざん誰か（それがアホであっても）のツイートを晒して、サイトの構造を利用して一方的に上からタコ殴りにしてきた側の人が、テレビ番組になると「人を笑いものにしたり晒したりする番組はずっと不快だった」って言いだすの、ギャグにしか見えなくて怖い。それぐらいの倫理観で誰かの表現とか倫理とかを規制する側に回ろうとするのか…

LGBTの後ろのほうにいろんな記号が増えていくことには反対していて、もう、そういう風に細分化して人を扱うことの何が品性に寄与するのか、ま～～～～～ったくわからない。結局対症療法にすぎないじゃんそれ、AにBは禁句です、ならCは、Dは？それを無限個覚えていくの？って話。目の前にいるこの人に対して、あまりに品性を欠いたことを言わないようにしましょう、そのために品性をみんなで考えましょう、ってなるべきだと思うんよ。その過程にはいろんな衝突とか意見の相違とかがあるだろうけどさ、場合分けで考えてるとそういう議論がない、ルールブックに書いてないから言っていいとか、あれはいいけどこれはダメみたいなダブスタに開き直ったりする。で、よーするにね、みんな自分で考えたくないんだと思いますよ。何が品性なのかとか、何がよくて何がダメなのかとか考えてなくて「コンプライアンスにひっかかるから」「発言したらダメだと言われてるから」「いじめを助長するから」ぐらいのあっさい考えが自分のものだと思い込んでる。そんなら、自分が究極に面白いと思うものが世間から駄目だと言われたら面白がらなくなるのかって話で。要するに表現規制論のほうだって、結局自分の考えなんてなくて、世間でよく受け入れられてる考えをダシにして嫌いなものを排除したいだけなんじゃないかなって思っちゃうんだよね

旧日本軍は「狂った組織」みたいなイメージがありますが「日本のエリートが集まって最善の方法」を考えた結果に生まれた組織です。また日本には強力なリーダーが生まれにくいので「場の雰囲気」に負ける意思決定が多かったそうです。今のコロナ対応やオリンピックはどうでしょうか？

ツイ廃だった友人、指の骨全部折るとかそういうんじゃなくてちゃんと自らの堅い意志のみでTwitterやめたのすごすぎる

あいみょんの「数学をあらかじめ学んでおかないと、物理を勉強する時に問題の数学的な難しさの方に気を取られてしまい、肝心の問題の物理的難しさの方がおろそかになってしまう」という歌詞に感動した…

性的搾取って、「性的」が恐ろしく多義的で、「搾取」もなんとでも適用できるから、この言葉がはびこるとなんでも加害にできる魔法の言葉。たぶん、よくわからないが私も見方言い方によっては性的に搾取されてる

チャルディーニ『説得力の武器』に「悪い知らせを伝える者は疎まれる」という話が出てきて、悪天候を予想した気象予報士が脅迫される、敗戦の報を伝えた伝令が殺されるといった事例が出てくるが、コロナの感染について深刻な予想をした専門家が誹謗中傷を受けるというのもその例に加えてよいと思う。

定期的にアメリカのラーメンの値段を持ち出して日本の物価はうんたらという記事が書かれては、毎回のようにピザの値段を出されてツッコミを受ける流れまでが様式美。Twitterでは数年おきくらいに見る光景。

結局、嫌韓とかネトウヨとかは、日本が貧乏になった結果だなあ、と思う。貧乏になって消費で「自分は凄い」と思えなくなった者の中から、“物語”にすがって「自分(を含む民族とか国とかのくくり)は凄い」と思い込もうとする者が現れるのだ。それば貧乏と貧乏を直視できない心の弱さの合成である。

私が未成年のあいだに飲酒と喫煙しなかったのは、未成年で飲酒と喫煙をしないことがかっこいいと思ってたからであって、かっこいいと思って未成年で飲酒や喫煙してる人と根本ではあんまり違わない

朝の情報番組でバンクシーの魅力を伝えます！とか言ってコンテンツとして消費し続けてれば、そのうちきっとバンクシーから皮肉を利かせたアンサーが届く。それすらもさすがバンクシー、カッコいい！つって懲りずに陳腐化させてどんどん風刺表現の逃げ道を塞いで行ってほしい

高学歴でも使えない人もいるし、低学歴でも使える人もいる。でも、結局のところ企業からすれば、☆1〜★５のキャラが出るガチャと★3〜☆６のキャラが出るガチャどっち回したいかって事

文字が大量にあるのを見ると反射的に「字が多い、読みたくない、嫌だ、何だか怖い」という風に、恐怖や嫌悪を感じるタイプの人がいる。もしかしたら世の中にはそういう人の方が多いかもしれない。きっと文字とは本質的に怖いものなんですね。文字の魔術に取り憑かれた人たちが恐怖を忘れているだけで

どんなに立派な人でも「睡眠不足・運動不足・栄養不足」になるとイライラするので、ストレスが溜まっているときは生活習慣をよく見なおしたほうがいいです。在宅勤務が増えると大抵は「運動不足」のパターンが多いので、早朝か夕方に汗を流すと解決しますよ。

「俺はもう失うものは何もないから敢えてコロナに罹って、コレまで俺をバカにしてきた、金持ちとか幸せそうな奴らに感染させて人生をムチャクチャにしてやりたい、コロナは弱者にとっては、格差や不平等を是正するための最大の武器」みたいな最強最悪レベルの"無敵の人"構文を見てしまった。全員がそうじゃないだろうけど、事ここに及んでも「一切予防もしない！街には出かける！感染したとしても構わない！！」みたいな主張の人の一部には、もしかすると"このレベルまで状況を割り切ってる"人もいるのかと思うと、そら感染縮小とか抑え込みなんて無理かもしれない…って思ってしまうわ。極端なことを言えば「自宅に蟄居して、不便を我慢して外出を控えて、副反応もあるけどワクチンを打って」みたいな指示って全ては「コロナで死ぬのを避けたいから」っていうのが前提になってるわけで、「別に構わねえしむしろ罹患してバラまいたる！」って主張の前には、何の抑止にもならんよな。その主張に対しては全く同意も賛同もできないけど「俺は今までひたすら不遇で不幸だったが、ここに来てついに金持ちや今まで手も届かなかった人々に復讐の機会を手に入れた、神様が与えてくれたに等しい武器だ」っていう主張については、実際「武器としての脅威になる」から否定できないんだよな…。いやtwitterでもFacebookでも2ch(現:5ch)でも良いんだけど割とこの手の「コロナによってコレまでの不平等や格差がなくなり、誰にとっても平等に死が提供される世界になった」みたいな主張をチラホラ見かけるので、ああそういう意見というか、その次元まで来たのかと。この流れで話題に出すのは甚だ不適当だとは思うけども、最初にこの「世の不平等や格差の是正として、俺が勝ち組に死を提供するんだ！」みたいな論理、今から20年近く前にあった、小学校に乱入した無差別事件の犯人が言ってた主張を思い出してしまってな。この話で「いや大抵の金持ちとか俗に言う勝ち組とかは罹患したとしても助かるやろ」って意見もあったけど、「俺らより良い暮らししてる奴らに復讐したい」人からしたら、別に一番頂点を狙わずとも、"自分より少しでも良い暮らしの人"にギャフンと言わせられれば、どこの層でも良いんじゃないかしら

スヌーピー性格悪いから好きなんだけどスヌーピー読んでないでグッズ買ってる人が多いから「スヌーピー性格悪いから好き」ってあんまり堂々と言えないジレンマみたいなのがある

95%の男が考えたことある事実：足の親指の毛、いらなくない？

「遠回りしたからこそ、近道の本質に気づける」みたいなことがあるよね。最初から近道を知っていると「ふ～ん」で終わってしまう危うさをはらんでいる。いや、苦労させよという話ではないけれども。教える側の「カタルシスを与えてやってるんだ」みたいな押しつけはなくしたいなと。教えるときは近道を教えて、時間がたって忘れたころに「実はAとBはつながってて」みたいなふうにいうのが理想。たぶん、近道を教えても頭に入りにくいという構造があるというか、「AとBが独立した知識としてそれぞれある」場合と「AとBを知らない状態でつなげて教える」場合なら、前者のほうがたぶん頭に入りやすい。知識マニアとしての経験則だけど、一度につながりを全部覚えるより、こまごまとしたことをざっくり暗記した後、それぞれのつながりを見ていくほうが頭に入りやすい印象がある

ストイックな人って、ただただ毎日自分がやりたいことをやっているだけなので別にえらくもなんともない。やりたくないことをやり続けることもえらいとは思わないけど。これを「えらい」「自分もそうなりたい」と思ってしまうと、おかしなことになる。

「店で男性客同士が喧嘩しています」よりも「店で男性が男性に殴られて怪我しています」の方が警察はビャッと来てくれる。「喧嘩」という言葉には何故か警察のやる気を失わせる効能があるっぽい。まあ通報する側がこんな小手先テクニックを使わされるのがおかしいとは思いますよ、そもそも

「圧力に屈したなら圧力側の言い分が正しかった証明」というマッチョイズムな論理、フェミニスト擁護の人間が使うのじわじわくるな。

これはライフハックなんだけど、「そこに書いてないことを読む」ようになったら「メンタルが危険信号」なので気をつけたほうがいいですよ。そこに書いてあることを読まずに、読みたい文章を勝手に脳内で生成して読むのは、レンズが濁っている。レンズが濁るのは、瀕死のメンタルを守るための自衛本能。

いま友人の顔を思い浮かべる。そうすると「朝には忘れる」と言う。確かに。眠れば今考えていることだって、すぐにどうでもよくなる。だから毎日日記を書くんだろう。書き続けた連続性の無いものを繋ぎ合わせて共通点を見出し、日々を連絡させるために。

明日の朝には家事と仕事で追われる。午後には眠気が来て、仕事が一区切りついたら眠り、起きてコーヒーを飲んで、家事をして夕飯を食べてコーヒーを飲んで、絵を描いてシャワーを浴びて眠る。何があるんだろう。不愉快な感触がある。少し錆びた鉄の感触、草の腐った根の感触、夜が落ちてくる前の夕闇の感触。

ディストピア未来ごはんごっこが「たまには合成肉じゃなくて本物のうまい肉を食いてぇよな……」から「合成肉マジでうめえ！昔は牛を育てて殺して食ってたらしいぜ。ホント野蛮だよなあ！」になってしまう。なんてこった……

他人のミスに対して「何故こうなったのか」と問うたのに相手が謝るばかりで「怒ってないし謝罪してほしいのではなくリカバリと今後発生しないように現状と原因を聞きたいだけなんだ」と詰めてくるのは恐らく正論なんだけど経験上この理屈使う人はだいたい人の心がなくて結局相手を壊してる

実際に人間の持つ傾向のうち、どの程度が文化由来で、どの程度が先天的な由来の物かがまだ確かめられなかった時代に、薄弱な根拠で強力な文化決定論を打ち出したのを未だに引きずってるんだよな。ジェンダー論、現実に存在している男女の有り様から目を逸らして「理論上同じになるはずなんですよ！」と現実から遠ざかった観念論を喚き散らしていて、学者の悪い部分全部詰め合わせセットという趣がある。

今まで頭がおかしいフリしてたけど、これからは頭が正常なフリしようかな。

思春期をインテルネッツに投げ捨てることと引き換えに得られる、陰謀論やフェイクニュースにちょっと騙されにくくなるという釣り合わないメリット

70年代、公害が社会問題化した時代に、ヒッピームーブメントは自然に帰ろうと言い出したけど、それでは解決できない。テクノロジーで生まれた公害はテクノロジーを更に前に進めることでしか解決できなかったのです。

たぶん陰謀論的なものにハマらないで済んでるのは自分の判断力だけでなくちょっと金を持ってるからであって、学歴や資本にめぐまれた正気な人が多くいる環境にアクセス可能だからにすぎず、それがまったく不可能だったら自力で判断することになるけど陰謀論的なものを全部退けられる自信がない

孤児とか障害者とか突き抜けた外れ値の不幸な人には極めて同情的だが、五体満足な普通の貧乏人にはやたらと冷淡という、そういう塩梅の人がいるが。そういう感性で社会を動かすと、「末端の労働者をひたすらシバキ上げる道徳的・政治的に正しい人達」というバケモノが登場して、その人達にひたすらすり潰されていく事になると思っている。

「フランス語は書いただけでその人の教育レベルがバレる残酷な言葉だ」いうのは私が常に書いてることなのですが、他の言語でもある程度はそういうのあっても、発音しない文字があるフランス語ではより顕著であります。中上流層においては、まともなフランス語が書けるといのは、おっぱいが大きいとか大胸筋が立派だとかと同じで人の魅力の一部にもなっている。フランスで異なった社会層が同じ場所に会する機会がある場所は以前は兵役でした。今は事実上廃止になって久しい。(ただしエリートやコネのある上流階級は別扱いだったし男だけだったけど)。

そこでパリの中流の上くらいの社会出身の修士論文途中の学生が、フランス語が書けない海外県のフランス人とベルフォールとかで10カ月間寝起きを共にしたりする。兵役といっても私の娘の父親などは、フランス語が話せないフランス人に仏語とフランスの歴史を教える役割をさせられてた。現在のフランスでは、出会い系アプリ・出会い系サイトが、異なった社会層が入り混じる場になっている。こういう場では写真など見た目が優勢な印象があるけど、実は書き言葉のレベルが差別化のツールになっているという調査結果や研究が５年前ぐらいから出始めており、学歴的に自分たち自身も上の傾向がある中上流階級の人たちは、スマホ画面やスクリーンの向こうの見知らぬ相手が自分と同じかそれ以上の社会層か見分けるのに、相手の書き言葉のフランス語のレベルをチェックしている。

MISIAがフジロックで君が代を歌ってざわついているが、「『さざれ石の巌となりて』だからロックで間違いない」という意見が全部持って行ってしまった

「自分の機嫌を自分で取る」ができてるうちはまだよくて、本当にキツくなってくると自分の機嫌を自分で取る気力や体力もなくなってただひたすら「キツいようす」を垂れ流してしまうので、そういうときはシンプルに自分の電源を落として休むしかない

実家にいた頃は当たり前のように肉も魚も野菜もしっかり食べてたしそうめんやっぱり揖保乃糸だしドレッシングはいつもピエトロだし一人暮らしになってあれは贅沢だったんだなと気付いた。全部高い。

覚悟してると思うよ。覚悟したうえで、生まれてきてくれてありがとう、そのかわり頑張って幸せにするからね、という一種悲壮な決意をするんだと思います。これは論理じゃなくて気持ちとしての話で、親に子どもが「育ててくれてありがとう」って思う以上に親は子どもに「生まれてきてくれてありがとう」って思うんだと思う。それを味わうというのは人生においてコストとかリターンとかじゃはかりえないものがあるので、ぜひぱこぱこ生んで人口を増やせ！！

こういった価値観（論理ではない価値観）はおそらく自分自身の中にある親からの愛情が支えていることをワイは自覚していて、ワイのお父さんは海上自衛隊で、ワイが小さいときには1か月に1回しか家にいないような人だったけど、朝の5時や6時にお父さんが出発するときにワイやワイの妹の頬に必ずキスをして行くのを知っていたので、というのがある　けっこう強烈な原体験になっている

論理によってマクロ的に子育てとか反出生主義を語る部分と、自分の人生としてミクロ的に語る部分は分けておいたほうが精神衛生上、よい

子育てなんて「ほかのどこが何といおうとおれたちが産もうと決めたものは産むんだ 何か文句あっか」という有無を言わさない圧力や暴力によって行うものです。反出生主義はどこまでも論理的で徹底した道徳だけど、そこまで人間って極端になれなくないですか。だいたい、とんでもなく子どものことがいとしくなる瞬間とめちゃくちゃむかついて正直殺意がわいてしまうという瞬間を大きく広く揺れ動きながら親と子が互いに育っていくぐらいのものだと思ってます

腹上死、遺族はともかく主観的には世界一幸福な死に方だろうね。天国への階段を全裸、あるいはそれに近い屈辱的な服装で昇ることになるけども

過去に私が言ったことを私に言う人がネットにはたまにいて不可解だなと思うが、世の中には街でビートたけしを見かけたらコマネチをして見せるような人だって結構いるのかもしれない。

自分の家の隣に突然イスラム教徒が住み始めて、一日五回聞いたことがない言葉でお祈りはじめて、文句言わない人の方が少なそう。

テレビでやってる「大家族　三男四女ドキュメント」みたいなの、シミュレーションゲームにしたら面白いと思う。厳しい家計をやりくりしつつ子育てするリソース管理。TVクルーの前でトラブルを起こせば視聴率UPで報酬UP。ただし子ども不良化や離婚のリスクもUP。マジな話、密着のTVクルーが出入りしてきちんと「大人の目」が届いているからこそ安心して大家族で子育て出来ると、とある大家族の親御さんが語っていたのを何かの記事で読んだ気がする…。

ある種のフィクションにおいて学校というのは互いにそりの合わない人間や無関心な人間が強制的に一定期間、大量に詰め込まれる装置くらいの意味合いでしかないんだろうなと思う

個人的な趣味ではあるけど、私は「ディストピア」という言葉には「極端な思想の圧倒的勝利による歪んだ秩序の実現」みたいなイメージを託したくなるので、この社会がまるでディストピアだと言われると「ただの『失敗』じゃないか」と思ってしまう。

問題を解けない理由を「その問題を解いたことがない／知らないから」だと思ってる子が多いんだけど、解いたのが全く同じ形で再登場するなんてそう多くはなくて、大半は「一部同じで一部変更、複数の寄せ集め、表現違い」で構成されてる。そこを「ココはアレと同じ」と思えるかどうかなんだよな。「知らないものには手のつけようがない」のは確かにそうだが、少なくとも俺はそんなどうしようもないものは投げつけない（はず）。必要なパーツは揃えた上で、その使い方を練習をさせてるわけで、そこでしっかり考えもせずに「知らないからてきとーに」とかやってるうちは、なんの練習にならんわね。問題演習を「なんか書いて、答え合わせして、○か×かがついたらそれで終わり」にしてしまう子が多いんだよな。前の内容を調べることもしないし、×がついても「どこが？なにが？」と考えることもしない。前のページ開いて「ココでやってんじゃん！」って言われて初めて「あ、そうですか。」みたいな。

打たれ強い打たれ弱いやなくて心のHP削れてゲージが赤くなった時に人は攻撃的になるんや

金。人間金がないとニュース一つでヒステリー起こす。「品性は金じゃ買えない」と貧乏人が言うのと金持ちが言うのは違う

ぼくが他人からの「賛成・反対」を気にしなくなったのは、そもそも「ほとんどの人間は考える能力・動機を持っておらず、ただ『自分を肯定するもの』には賛成を、『自分を否定するもの』には反対を、なんとなく考えてる雰囲気を醸し出しながら発言しているだけ」ということに気付いた時からなんだよな。性産業に反対している人間は、どこか差別的で、相手の自己決定権を軽視してるんだよな。嫌々性産業で働いてる人間が居るとしても、そもそも労働なんて、一部のパワープレイヤー以外はみんな嫌々やってるものだろ。それで、個人の能力の偏りから、貴方はスーパーの品出しか性産業しか雇われませんって時に「どっちも嫌だけど性産業のがマシ」で勤めるわけよ、かなりの人間が似たような決断をしてる。「嫌々働いてる女性とセックスするなんて間違っている」という感性なんだろうけど、じゃあ嫌々やってる宅配業者に荷物を届けて頼って、嫌々やってる事務の世話になって、嫌々愛想笑いしている受付に行くのも同じことだろ、かなりの人間が嫌々働いていて、それを利用することは別に間違った事じゃない。社会は全ての人間に「やりがいがある素敵な仕事」をあてがえる程の力はない。現実的には「どんな仕事も、たとえ嫌々やらされているとしても、やってる人がそれを深く考えて悩まないように配慮する」べきなんだ。食えてるって事は必要とする人が居て、社会的に役に立っているんだから堂々と称賛すればいいんだよ

どんな仕事でもそうだが、今嫌々働いてる仕事が無くなったら、もっと嫌な仕事をしなきゃならなくなるだけだ。今が一番マシだから動かないわけ

「アメリカの州って戦艦の名前が多いよな」っていう投稿を見て草を生やしている

某メンタリスト氏、「人権」という概念装置の威力を舐めプして、攻性防壁にボコられた感じ。膨大な時間と汗と涙と血と屍と無念の果てに勝ち取られた「人権」という概念装置は、たんなる観念ではない。それは物理的な実体をもち、それをないがしろにする人間を自動的に破壊する容赦のない攻性防壁だ。

相手の尊厳を否定するようなことを言ったら、古代なら取り囲まれて殴り殺されてる。それと同じレベルで喧嘩を売る発言をしておいて、喧嘩を売った相手に取り囲まれたら「個人の感想です」って言うのは「ひ、独り言を言っただけです」って言ってるようなもん。通用するかよ。

みんなの耳に心地よいウソをつくことでみんなに支持されてきた人は、自分でもそのウソを信じるようになり、自分がウソをついているという自覚が消失する。ネットの人気者と宗教の教祖は、この点が共通している。彼らは、真実を思考する能力を自分で去勢することで支持を得た。

読解力の問題じゃないと思います。曲解した方が、相手を見下して気持ちよくなれるのなら、彼らは意図的に曲解します。彼らは自分のコメントしたいことをコメントするのに都合がいいように「読解」しているのであって、正しく読解する気など、もとよりないのです。

「実家の太さ」が不公平だと言う人が多いのは、日本では、その不公平を解消することで得する人たちから、正義感のある倫理的な人だとして支持されるから。その証拠に、国籍の不公平さを問題視する人はほとんどいない。その不公平を解消するとソマリア人は得して、日本人は損するからだ。基本的に、正義を叫ぶ人間は、その正義によって得する人間から支持される場合にしか、その正義を叫ばない。その正義によって損する人たちで構成されたコミュニティにおいては、その正義を唱える人はいない。この意味で、正義の主張というのは、醜悪な政治ゲームの側面を持っている。

「宮崎駿は生み出せても、ピクサーを生み出せないのはなぜか？」という質問は「卓越した個人はいても組織としては機能させられない」と言い換えられて、これは「なぜ日本はアメリカ型のシステマチックで合理的な組織を運用出来ないのか？」という質問に等しい

経済的な利害は人間のイデオロギーにも影響する。例えば働く人間は「企業は雇用の維持を重視すべき」と考えるのが普通だが、株式投資で資産を作ったら「(自分の職場以外の)企業はリストラして固定費を削減して利益を増やせばいいのに」と考え始めるだろう。自分が経団連会長や大企業経営者でなく一般のサラリーマンであっても、株式投資である程度の資産ができて「この会社、リストラすれば株価が上がるのに」「配当を増やせ」などと考え始める。そこに開かれるのが、竹中平蔵氏への道。

受験が終わってもなおセンターの点数を自慢してくる輩や、経験人数をやたら自慢してくる手合いにいちいち辟易させられる、みたいな体験の蓄積が入学前抱いていたキャンパスライフ神話を破壊すると思っている。

大坂なおみ、本人は苦労して努力してるんだけど他人への思いやりが欠如してる。寝起きとかに、ニュースとかで持て囃されてるのを見ると腹立つんだよな。彼女の生まれた時代のヒキの強さとシンプルに金稼いでそうっていうところにも。まあ私怨と一言で言い換えてもらっても構わない。多様性っていう真正面から正しくてそれゆえに擦られ倒しているスローガンを必ず引っ提げてくるのも気に食わない。差別ってただのテニスプレイヤーゴリ押ししたら解決するもんなのかね？もっと根深い問題じゃないんかね？

キミも自分だけの多様性を掲げてリベラル界隈で一旗揚げよう！！

弱者男性も、フェミニズムと組み合わせることでポイントがあがる。黒人差別に反対する白人、みたいな感じ。非モテでもフェミニストのおつきそいチンポ軍団になればポイントは上がる。たとえば「自分も男性として、女性差別を絶対に許してはいけないということを学んだ」「自分の姉に対してなぜああも無礼なことをしてしまったのかと思うと、フェミニストになるのは当然だ」みたいなことを言い続ける。特権性を持つ側がその特権性や有害さを自覚して、同じ特権を有する属性の人間を攻撃する側に回った瞬間、被差別者側のコミュニティからきみはもうスケスケで、何をやっても絶対にとがめられなくなるぞ。よかったな

コロナ禍で大学生活をスタートさせた者たちが悲劇的な理由はキャンパスライフを送れなかったからではなく、「理想のキャンパスライフ」のフィクション性に気づけなかったからである。つまり彼らにとって理想は理想のままになり、理想を実現できなかったことによる欠如の感覚は残り続ける。

大学生、新歓コンパや合宿、必修や語学の授業で失敗して「きしょい大学生のストーリー」状態から脱却していくわけだが、今の大学1、2年生は丸々その期間を奪われてしまったので、バキバキにイタい大学3年生が一部誕生してしまうかもしれない。

サークルの飲み会、合宿がコロナによって失われた世代には本当にかける言葉がないが、大学生活は友人と恋人をつくり、サークル通ってみたいなステレオタイプからはなるべく距離を取るべきだと思う。理想を考えるとどうしても抑うつ的になるし、そのような理想は往々にして楽しくないことが多い。新歓合宿は楽しかったものの虚しさが勝った。せめて有意義に時間を使おうとサークルをやめた後のために友人作りに奔走した。友人作りならTwitterで検索かければ候補リストはいくらでも手に入るし、2泊３日の時間と4万円を費やした私に比べるとだいぶ手軽だ。

一年生の頃「陽キャ」と呼ばれるグループに所属していた。そこは大変恐ろしい場所で「クセがすごい!!」と絶叫する自分のことを面白いと思って憚らない大馬鹿者が幅を利かせていた。それでも俺はグループを抜けなかった。「これが大学生だ」という空気に逆らえなかった自分を呪いたい。

学ぶことは真似ることだとよく言うが、近頃つくづく至言だと思う。かつては学ぶことによって自分がその対象と完全に同化してしまうのではないかと恐れ慄いたものだが、対象を完全にコピーしてみせることなど不可能であって、安心して真似れば良いと思うようになった。

Daigoの振りかざすパッケージ化された（体系的ではない）知識が一流企業に勤めるエリートと呼ばれる人たちにまで受け入れられていることと、大学が就職予備校と化していることは無関係ではない気がする。

巷では論破がブームらしいが、相手がうんざりして言い返してこなくなるまで屁理屈をこねることを「論破」だと思っている人が多い気がする。その技術が数十年経って役に立つとも思えない。

何が論破だ。論破より爆破だ

ディベート自体は見識を深める有効な手段なんですけどね。プロがジャッジする場合は論拠をしっかり準備して客観的な納得性を高める努力が必要なんでしょうけどSNSでは素人がジャッジするので、論拠の納得性よりも相手を嚙み殺すエンターテインメント性を求める言論プロレスになってしまうんですよね。

Daigoはあれだけ本を持ってるのに差別発言しちゃった。置くだけじゃなくてちゃんと開いて読まないとね。

高校野球の監督が選手にブチギレてる動画を見た。俺なら絶対ブチギレ返すけど、コメント欄には肯定的な意見が多く「ああ...部活は聖域だな」と思った。明らかに監督がブチギレてるところをカメラが抜いたのに。実況が「今監督から〇〇君にアドバイスが送られました」って言ってて引いた。

音楽を聴いてるときに歯でかちかちリズムを取ってしまう癖がある。散歩中など、あまり脳に負荷がかからないときにやってしまいがち。暇な時間をリズムによって切り刻んで経過させたいという思いがある 音楽なしで散歩するのは長すぎて耐えられない

若いうちに活躍したアスリートのその後なんてほぼ誰も知らない。せいぜい「あの人は今」的な内容ペラペラのバラエティで取り沙汰されて、主婦かコーチになって地味な生活を送ってる。俺は人生のピークが一塁ベース上で来なくてよかったと思っているよ。

あらゆるイベントが中止となる一方で、アスリートだけがコロナ禍とは無縁であるかのようにのびのびとスポーツに精を出しているのは、観ててムカっ腹が立つし、おまけに辛い思いをした人たちに感動を与えたいなんて言ってるもんだからタチが悪い。俺は体育会系に彼女をとられた覚えも教室の隅に追いやられた覚えもないから、まあこの便所の落書きに等しいTwitterで毒を吐くだけで済んでるが、彼らがグラウンドやベットの上で汗を流している間、ひたすら太鼓の達人に興じて学生時代を過ごしていたインテリ諸君はもう我慢の限界なのでは？ちなみに副幹事長は体育会系に近い人種ですが、ベットの上で汗流したことはありませんし、それどころか女子と話せないド陰キャです。そして、太鼓の達人めちゃくちゃ下手です。選手村で夜の交流してるアスリートに対してその点だけはムカッ腹が立ちます。

普段チー牛さんたちのことを歯牙にも掛けない陽キャラたちが、ミスコン時だけ、自分たちの承認欲求と功名心のためだけに人が変わったように彼らに媚びへつらって踏み台扱いするのを見てると反吐が出るな。あいつらバッハ会長くらい選民意識ありそう。

さっき友人と「先延ばし」にも二種類あるという話になった。一つ目はタスクを完了するまでの煩雑な道のりに圧倒されて、一歩目を踏み出すことができない場合。二つ目はタスクがあることにすら気づかない場合。俺の留年は完全に二つ目が原因だった。一年の春で留年が決定するなんて…

コンビニの朝シフト入ってた時、必ずトイレ掃除をさせられたんだけど、低時給で他人のうんこに触れるのは嫌だなと思い、ただ15分間便座を眺め続けてやり過ごす時間があった。遠くの海のこととか、ダムに沈んだ村のこととか考えてた。

「われもわれも」って言い方、一人称が「我」なのにぞろぞろ集まってきててかわいいな。

小さい時からこういうの「こんなダッセエ柄誰が着るんだよ」って思ってたけど、たぶんそれは少数派でマス層は「やった～～ドラゴンかっこいい！！」なんだろうなと。最近、ランドセルにドラゴンの羽の模様が刺繍してあるのが売られてる件について、研究室の同期に「しょせんは刺繍であって、実際に空を飛べるとか架空存在を召喚できるわけではないことさえ気づかない愚かさ すごいな」って言ったら「小1の男の子そこまで考えないから…」とたしなめられたのを思い出した

「学校優等生は回答があるものは教科書通りに答えらるけど、回答がないものに対しては無力」これいいですね。「俺は勉強苦手だけどジアタマが良いから専門家に対してキレのある批判を繰り出せる」って思ってる人たちの自意識を端的に象徴してる。勉強したことない人ってこうなるのがヤバいんだよな。すげー残酷な話だけど、「学校の勉強での優秀さ」は、いわゆる「ジアタマ」的な能力とも明確に正相関してしまうことが分かっています。これは今まで多数の知能研究が残酷なほど再現してきた知見です。あくまで一般論としてですが、あなたが「あいつは勉強では優等生だけど頭でっかちのバカだ。俺の方が学は無くともジアタマでは勝ってる」と思ってる「あいつ」は、「勉強においてもジアタマにおいてもあなたより賢い」可能性の方が高いです。統計的な事実として。だから絶望しろってわけではなく、勉強すればいいんですよ。ジアタマというのは要するに「同じスタート地点でヨーイドンして同じくらい頑張った時にどっちが勝つか」なわけですが、実社会の活動では先にスタートしてもいいし乗り物に乗っても良いしコースを下見して近道を見つけても良いんですから。ドイツ語で一歩リードしたいならドイツ語に人より注力すればいいし、神経科学で勝ちたければ神経科学に人より時間を使えばいいし、書道で上を行きたければ書道を頑張れば良いし、力で勝ちたければ筋トレに己を捧げればいい。どんなに万能のジアタマを持ってても時間は同じだけしか持ってないんだから。

ウチの両親の世代は機械式スマホを使っていたし、僕もトランジスタスマホを覚えてますよ。

池上彰をバカにしてる人で、池上彰より幅広くある程度正しい知識を持ってた人を見た事がない。そもそもそんなに本も読んでないのに、なぜか雰囲気だけで池上彰をバカにしてる。

【syamu\_mania】【syamuがいた街】日帰りで貝塚を往く 聖地紹介とビフォーアフター 【画像配布あり】【コメントつき】

なんて言うかゲームの2作目で1作目の舞台を歩いてる感覚

いわゆる同性カップルでも、周囲の全員に「自分たちは同性愛者で、付き合ってるんです」って説明してまわる人の方が少ないだろうし、フィクションの中に同性カップルがいたとして、その関係は「匂わせる」程度の方がむしろリアル、自然なんじゃないかという考え方もあると思うんですよね。フィクションに対する、これはクィアベンディングだという批判、一歩間違えば「お前ら距離近いし付き合ってるんだろ？　付き合ってるって言えよ！」っていうやべーいじめっ子みたいな論調になってしまうので危いなと思います。同性間の距離が近い場合は、付き合ってると明言する方が正義なの？

Twitter上でたまに見かけて、どうにも首肯しかねるのは「教育／研究機関とは神聖不可侵な正義の組織で、常に外部の悪意に困らされてる」みたいな価値観で、そりゃ自分はモメてる所に探りを入れる商売だが、ではこの目前にいる利権まみれの教職員とか理事とかはどうなっとるの、とは思うのである。

この一年ばかり国会ウォッチしていて分かったのは、よく言う「野党は対案もなく批判ばかり」というのは大嘘で、野党が批判しているシーンだけを切り取り、提案している数々の対案はなかったことにして面白おかしく報じ続けたメディアの責任が極めて大きいということだった。

サーモンピンクって色、鮭サイドからすると自分の"中身"の色が名前になってるわけだから本気で怖いだろうね

「こいつ高卒だけどめっちゃ頭良いな」みたいな人も一応会ったことあるけど、彼もよくよく話を聞くと学校通ってた頃は優秀側だったようで、それだけに「勉強の得意な人」への鬱屈した物言いなんかはしない方でしたね。「最適戦略をとった結果大学に行かない方針になっただけ」みたいな感じだったし。

本当に「怒ってないし謝罪して欲しい訳じゃなくて現状と原因を聞きたいだけなんだけど」と言うタイプ、その次は「前と同じ失敗を繰り返さなければ良いだけなのになんでしないの？怒ってるんじゃなく知りたい」「この仕事向いてないのになんで辞めないの？怒ってるんじゃなく知りたい」ですからね。本人の言うとおりだとして、本人としては「他人が同じ失敗を繰り返す原因を知って対策を打てるようになりたい」「向いてない仕事を辞めない人の心理に興味があるから知りたい」なのだろうし「それがなぜ苦痛なの？ただ説明すれば良いだけなのに。私は怒りも批判もしてない」と言うのだろうけれど。「こういう自分の気持ちに気付いていなかったり隠そうとしている人は、ただ質問しているだけなのに勝手に怒り出したりぬるぬるしてわけが分からなくなっていく。ぼくはそれがとても興味深いし分析したい」みたいな話だけど、それを業務を改善するという方便と立場の上下を持ってやられると一層厳しい。

「自分の無能さ・怠惰・自己欺瞞を認めるのは辛いだろうけど、まずそれを認めなければ成長できないし、成長することで今より幸せになれるし、自分をごまかし続けている人は本当に幸せにはなれない」という信念というか、「信念とか以前にそれが事実でしょう」という考えの人は、なんというか、強い。無論そうした思想の持ち主で実力が付いていかない人は多いだろうけれど、そういう人は早々に自滅して社会から消えてしまう。そして残った中から偶々その思想に耐えられる能力を具えた人間が、自分を成長させてリーダーや管理職になると部下を詰めはじめるのだな。自分という圧倒的な証拠に確信を得て。

女性の好きな男性翻訳

【誠実な人】

→倍率の高いモテ男性が私だけに一途になる

【尊敬できる人】

→自分より上だと思わせるような有能さ、知性

【優しい人】

→攻撃性の高そうな男性が時折見せる優しさのギャップ

【清潔感がある人】

→イケメンでファッションがよい

（物理的清潔だけでは不可）

病気でしんどいとき、仕事がうまくいかず不安になったとき、彼女と別れて寂しいとき、猫が死んで苦しいとき、いつも「こんなときにしか見えない景色を見てやろう」と目を凝らしていた。外の光を見つめていた。

研究が進み実は卑弥呼なる人物は存在しなかったと分かった後のQ太郎「卑弥呼様ー！（歴史的事実とは発見されるものではなく個人個人が創り出していくものだという歪んだ歴史観を持っている）」

同じ言葉でも「あんたが言うと嘘になるんだよな」ということはあって、例えば「暴力は絶対にだめです」ってのもガンジーが言うなら真実だけど、それはそれを体現する生き方をしているからですよ。本当の言葉ってのは、「その通りの意味しかもたない」。言葉に余計な含意を持たせない、いわば「下心のない言葉」を発するって、大変なことですよ。おれが「月が綺麗ですね」と言うとき、それは「愛してます」ではなく、「月が綺麗だ」ってことなんです。おれが「愛してます」と言うときは、「セックスしたい」でも「つきあいたい」でも「結婚したい」でもなく、ただ「愛してる」ってだけのことです。

「心を開けば楽になれる」「ブロックをはずそう」なんて簡単に言われている違和感。心が剥き出しな状態は普通に怖いよと。心を開いた状態で人と関わり、あらゆる感情を経験し、そんな中で自分を守る手段を増やして成熟していきたい

小さな子の日本語の間違いで好きなのは大人に見て欲しいものがある時に「こっちに来て」じゃなくて「こっちにおいで」と言ってしまうやつ。大人に言われていることをそのまま当てはめているんだけど急にふわっと抱擁されたような気持ちになる

クレイジーキャッツの歌に「金のない奴はおれんとこへこい。おれもないけど心配するな。そのうちなんとかなるだろう」というフレーズがある。お前もないんかい！という話だが、よく考えると、金のない奴に「心配するな」と言われた方が確かに不安は軽減する。金なくても明るいなこいつ、という。

セックスレスが問題になるのは、夫婦は夫婦でしかセックスしちゃいけない、って不自然な決め事に律儀にとらわれてるからですよね？

昔取材したある組長さんが、話の流れのなかで、「まあ、うちらの業界はバカをバカと言い捨てたら、誰もついてきません。上のもんが馬鹿と鋏は使いよう、と思ってないと立ち行きませんね」と話してくれたことがある。どの業界もそうなんじゃない？「馬鹿と鋏は使いよう」。この「馬鹿」ってのには、もちろん「自分自身」も含まれますよ。自分も他人も、タスクに最適化されて存在してるわけじゃない。そういう意味で「馬鹿」なんですよ、みんな。

あなたは、それを知っているだけだ。自らの経験において、改めてそれを発見しなければならない。知っているだけのことは、発見の予告編のようなものでしかない。まだ知らないことを言葉で塗り込めることが考えるということではない。それは単に、自分がまだ経験において発見していない知識に迷うことでしかない。

自分が、「こいつクズだな」と思ったら、ただ黙って距離を置く。ひとつには、「クズ」を相手にすると、自分の感情が乱れ、言葉が粗くなる。もうひとつには、その人を「クズ」としか感じられないのであれば、その人と付き合うことは、今の自分の限界を越えている。

極端な話、恋愛で好きになる相手、セックスで興奮する相手、生活を共にする相手って、全部その適性が違うのよね。ひとりの相手にそのすべてを求めるってのは、かなりのアクロバット。だからね、恋愛してセックスが最高で結婚してすごく幸せになる、ってのはね、不可能です、とは思わないんだけど、それって「錬金術」なんですよ。錬金術師になるか、「セパレート」するか、ってことですよね。ところで、こういう考え方に、「そうだよな」って冷静に反応できる人は、結婚に適性がある。「いや！」って人は、たぶん、「恋愛脳」なんですよ。まあ、例によって、どっちがいいとか悪いって話ではないです。

ひろゆきなんかのいう「論破」って、ルービックキューブの一面だけを超高速度で揃える、っていうようなことでしかないと思うんだよね。誰もそこでは勝負していないところで、勝った気でいる。でも、彼が一部でもてはやされるのは、今は、その一面を効率よく揃えられる人間が凄いように見える。

人はよく、自分の考えていることが自分で分からないという状況に陥ることがある。そんなとき、進むべき方向性について、その人自身が心の底から得心すると、迷いを脱し、先に進むことができる。占いでもカウンセリングでも哲学書を読むことでも、何でもいい。「腑に落ちる」という経験が重要なのだ。人間は誰しも、自分の中の論理的な整合性みたいなものを持っていて、それが整理できていないときは、誰しも道に迷ったり、足を踏み外したりしてしまうもの。自分は感覚派で、論理的思考は出来ません！という人も、その人の感覚を成立させる論理的な整合性を持っていたりする。

対立する立場があったとき、ニュートラルな立場に立とうと思ったら、そのどちらの立場も含み込んだより根底的な立場を探らないといけない。それで初めてどちらの立場の人も納得する方向性が見えてくる。どちらの立場にもつかないというだけだと、どちらの立場の人も納得させることはできない。どちらの立場にもつかない、って、一見中立に感じられるんだけど、けっきょく現状の構造を是認しているだけのことに過ぎないんですよ。

私はこれからの日本に大して希望をつなぐことができない。このまま行ったら「日本」はなくなってしまうのではないかという感を日ましに深くする。日本はなくなって、その代わりに、無機的な、からっぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜目がない、或る経済大国が極東の一角に残るのであろう。

インタビュアー「9回裏の逆転ホームラン、お見事でした！」

選手「恐縮です！」

インタビュアー「この喜びを@ yakyu\_ha\_shigotoで呟きますか？」

選手「怖い怖い何で鍵アカ知ってんの？？」

ツイッター、正当な発砲と射殺をやたら喜ぶ層がいるよな。正当な発砲で殺してどこが悪いのか言ってみろ、バトルならいつでも受けて立つぞという雰囲気がモリモリ出ている。職務上撃たざるを得ず「結果、俺の発砲で人間が死んでしまった」という事実を抱えていく警官も家族がおり心がある一人の人間だと思うんだよな。「俺は警察官でもないしその場におらんし撃たんけど、犯罪迎撃システムとしての警察官が自動で優秀に発砲射殺してくれて良かった良かった」みたいな感覚だろうか。

人間関係が悪化するのって、口論や喧嘩で破綻するのはいい方で、それよりも、相手に「何も言えなくなる」ことで根腐れしていく方が圧倒的に多い。何か言うと相手が不機嫌になるから、何も言えなくなる。不機嫌になるって、立派な暴力ですよ。

基本的に「下手くそですね」「解釈あわないです」「こういうの書いてください」って言ってくる人、間違いなく「作る側が向いてる」からそのマシュマロページ閉じてメモ帳なり開いてネタ出ししてそれっぽい作品大量生産してくれ。嫉妬とコンプレックスの塊は！！作品を作る側に！向いてる！！

『人に迷惑をかけないように』って教育して来た結果、迷惑をかけられる事が我慢ならない…という人を大量生産してしまってるよなぁ。

文法ができない人間ほど文法偏重という言葉を使うし、読み書きがたいしてできない人間ほど4技能という言葉を推進する

幼少期から「トトロ死神説」とかで肩慣らししておかないと年取ってからワクチンを打つと5Gに接続するとか街頭で叫ぶ奴になってしまう。

現代文が得意って言ってる人と何もしなくてもセンター現代文満点パーソンって多分別人ですよね

コロコロコミックの主人公になったポスドク「やめろー！ 学問は金儲けの道具じゃねぇ！ 俺とバトルアカデミズムで勝負だ！」

社会には利潤追求を目的としていない、いけない機関があって、それを支えるのは政府の重要な役割なのだ、というのをちゃんと確認しとかないと、稼げる大学から、一瞬で、稼げる治安とか、稼げる福祉とかまで行くと思う。

動物番組は勝手な翻訳をするな

副反応と言うから忌避して打たない人がいるのか。ということは、「好転反応」と呼べば、喜んで打ってくれる人が出てきそうだなぁ。「これは身体が頑張って免疫を作っている証、熱が出るのは防衛機構が目を覚ましたから、今悪い毒素が汗と共に身体から出ているぞ」

「この人頭の回転早い」とコンサル入社したての頃よく思ったが、"過去に同じような問いを深く考えた経験がある"からこそ、その際の思考プロセスを瞬時に出しているだけだ、とある時気付いた。多くの問いに対し自分の頭でちゃんと考え思考のストックを増やす大切さをその時で気づけたのは本当良かった

同期にいた「中学受験→そこそこ名門中高一貫校→旧帝大」みたいなお膳立てされたルートを辿ってきたお坊ちゃまが、近所の体育大生に対して「あいつらは勉強できねぇ馬鹿」みたいなことを言っていて腹が立ったのを思い出してしまった

「他者を見下してきた過去の自分に今の自分が見下されて苦しんでいる」パターン、Twitterでたまに見る

学生時代に生物学を齧っていた身としては、mRNAなんてクソ壊れやすい分子を体外から細胞内に届けるなんて、ビルの壁に向かってプリンを投げつけて無傷のままビル内のテーブルの上にお出しするようなもの…ってイメージを抱く。充分に発達した科学技術は、魔法と見分けが付かない。

某宗教2世の人に聞いたけど、「積極的に信仰しているわけではないけど、幼少期から教義を教え込まれているのでそれに反したときの恐怖が強い」と言っていて可哀想だなと思った。頭ではわかっているけど恐怖心はどうにもならないらしい

「物理で殴る」って普通は力学を想定すると思うけど、「物理で殴る(電磁気学)」とかでもいいんだよなあ

大雨が降った時に田んぼの様子を見にいくのは馬鹿だって言ってる人って、都会的な感覚しか知らないんじゃないかと思うんだよね。自分の1年分の収入が消えてなくなりそうでも動揺せずにいられるんか

統計を見る限り、九州の女性が他の地方の女性と比較して特別大学に行きづらいということはないので、「九州の人間は女を大学に行かせたがらないだろう」と考えた人は、自分の中の差別意識・偏見と向き合う必要がありますね

毎年のように話題に挙がる「街中のミンミンゼミはほぼ関東限定」なんかもそうだし「田舎のおばあちゃん家に遊びに“行く”」なんていう中央電視台から垂れ流される典型的な夏休みをあたかも自分にも関係のある事柄のように受け止めて育っていく子供がいるという現実、かなり暴力的ではある

おれは夏休みが8月24日ころに終わっちゃう地域で育ったんだけど、コロコロコミックには毎年必ず8月31日に必死に宿題をやる漫画が載っていて、現実と漫画のズレで生じる""1週間の存在しない夏休み""に憎しみとも憧れともつかぬ強い思い入れがあった。東京に出た今でも自分の中では夏の終わりは8月24日で、それ以降も続く夏休みや残暑は何か間違った場所にいるように思える。母校は廃校になり、温暖化のせいなのか遂に地元も9月まで暑さが続くようになり、おれの知っている夏はもうどこにもない。「夏」は過去の季語

就職すると八月三十一日がただの平日になってしまい、同時に夏休みの長期休暇もなくなるので、夏はいつの間にか始まっていつの間にか終わる、境界線が曖昧な概念っぽい季節になってしまう。

GTドライバーは頭のネジが一本緩んでる、F1ドライバーは頭のネジが一本抜けてる、WRCドライバーは頭にネジが一本しかない、マン島TTライダーは抜け落ちたネジの方

日本型全体主義の謎なところは「日本凄い」みたいな言説を流布することおよびネット上で「今の日本ダメじゃん」みたいな言い方する人をたたくことにわりと熱心なのかなと思える一方、開会式とか、国策がらみの大規模イベントを成功させることには全然興味がないのかなみたいに思えるところかな～。

自分が、誰もいない夜のコインランドリーを好きなのは、暗闇の中でぼやーと光り、乾燥機だけが動いているコインランドリーが、都会で数少ないRPGのセーブポイントを連想する場所だからだと思う。

正しい「ジェンダー」規範にあわせて身体をあるべき形にしなければ「ならない」という圧って思った以上に研究・言語化されてなくって、窮屈を感じながらも無意識に身体化しちゃってるから余計にしんどい。だから規範から逸脱した身体性に攻撃的になるというか。

トランスジェンダー、ただ生きてるだけで「あなたが生きていることにより脅かされる私たちの不安と恐怖はどうしてくれる」みたいなことをボコスカボコスカ投げられてくるじゃん何なのこれは

なにかがあると常に批判は個人に向かい、その背後にある構造へたどり着かないという問題をよく見る。

何度も言ってるけどガルパン劇場版のときにグリーン・インフェルノの予告編が流れて「グロを急に見せるな」とかいって予告編が取りやめになったことがある。その時はだれも「表現の自由」とは言わなかった。宇崎ちゃんのときだけ「表現の自由」が出てくる。しかもこれに「全年齢向けアニメ見に来た客にR18グロ見せるなんて！」「グリーンインフェルノは無理だろ」みたいなお気持ち反応が湧いてるの、すてき。分かってんじゃん、TPOで隠すべきもの、見せられて苦痛なものがあるって。

自称教養系芸能人が講義とか自称大学とかやるやつ、まともな大学に通う人は騙されないわけだし、大学に通えない層に少なからず知識が循環するならコピミズムと功利主義において割とアリでは。本当に賢くない層はどうせ何を与えてもあまり賢くならないし、誤った知識による誤った倫理の恐れに関しては対人関係の悪意と誠実さは実際のところ知能や知識とはほとんど独立していてどうせ是正されないし、あまりに問題があれば炎上するし

ひろゆきがメディアで所定の人を論破してファンに「論破王」と呼ばれた後、ふと風呂場の鏡を見て自分の髪に白髪が混じり始めているのに気付いた夜

自分が一冊の著書として書いた内容を勝手に文脈無視でぶった切られて切り貼りされるだけでも腸わた煮えくり返るのに、更に「超訳」とか言って文の内容まで勝手に書き換えられたら「もうそれは俺の言葉じゃねーだろ！お前の言葉に俺の名前をかぶせて売るんじゃねーよ！」ってニーチェもブチ切れるよな。

私が学校の教師ではなく塾講師だからかもしれませんが、生徒って試験に関係ない学問に本当に興味を示さないですよね。きわめて実利的というか。

もうね、外国語は勉強したら正しい能力が身につかない、という刷り込みがすごすぎで、学生にとっては大変なジレンマですよね。「教科書が教えてくれない本当の英語」的なYouTubeとかで、昔から文法で教えている基本のキみたいなことをやってると笑うしかない。

大学院に進学して研究者を目指す上で、家庭環境はかなり大きい要素。自分語りしても意味ないが、私は母方の祖父が大学教員で、父親も博士号を持ってるので、「二十代後半の人間が、定職につかず、昼間も家にいて本ばかり読んでる」ような状況を「研究者とはそんなもの」と許容してくれた

中国大陸のことを「本土」と呼んでるカスの台湾人

全員が東大合格を目指しているわけではない。でも、だからといって大学進学を諦めることもできない。大学は今の時代、選ばなければどこにでも入ることができるし、偏差値によって細かく大学が分けられているから「少しでも偏差値の高い大学を・・・」と最後までがんばらされる仕組みなのだ。

「不条理に負けない強い人を育てよう」というのは「不条理の上に胡坐をかく人の肥やしになる人を育てよう」というのと同義なわけだけど、この国の親や教師たちはそういう構造をわかっているのだろうか。不条理を無くす人を育てるという発想がなぜ生まれないのだろう。

正直、どんなに主張してももう無理だと思うけど、性風俗はせめて店舗型中心に回帰すべき、無店舗型は働く側にとって危険すぎると考えてるんですよね。そういう意味でも「性に密接に関わる店舗がそこに存在すること自体に反対」という意見には賛同できかねる。

感情的な行き違いは、ポルノの製作・販売に関わる人を「『男社会』をバックに付けた強者」と見るか「差別されがちな社会的弱者」と見るかで生まれるんだと思う。私は後者なので。だって「アダルトショップの店長やってます」って言って『社会』が守ってくれるとか尊敬してくれるとか想像できないもん

そろそろ人類は「廊下を走るな」から「走ってもよい廊下を作ったのでどうせなら走れ」に進化しよう

「イケメンでめちゃくちゃ息が臭い」「ブサメンでめちゃくちゃ良いにおい」とか「美女で性格が悪い」「ブスで性格がいい」みたいな謎の二項対立のうちどっちがいいかで価値観をはかるテスト、現実にはあんまり成立しないのが悲しい。イケメンはいい匂いだし美女は性格がいい。

「悪戯」のことを「前戯」と書き間違えるみたいなユーモア、すでに中学校で誰かがやってそう。

犯罪者は正義棒でぶん殴ってヨシ！って気持ちはわかるんです。たぶんボクもそっち側。ただしその正義棒を誰に持たせて、どういう条件でならぶん殴って良いかは慎重に決めないといけないんですよ。「関係ない、やれ」って言うならある程度の冤罪を許容する社会じゃないとダメです

若者への自粛の呼びかけ、「集団に対する貢献」という価値観ベースじゃないと筋が通らないと思うんだよな。「それがあなたの利益にもなるんですよ」という個人主義ベースでは通らないと思う。若者からすれば交通事故の方が死傷者数も死亡率も全然高いわけで。実質的に「自己犠牲と社会への献身」を求めているのに、まるでそれが当人の自己利益の増進であるかのような言い草は卑劣だと思うんですけどね。せめて「社会の為にあなた方は犠牲になってください」と正直に言え。他人に自己犠牲を要請しておいて「あいつ等が自分の為に勝手にやった事」というストーリーに仕立て上げるのをやめろ。

私もそう思うんだけど、どうも「恵まれた環境で育った」人には「自分は恵まれた環境で育った」と認めるのを潔しとしない人が多いようなんだよな。それはやはり「自分は親の力や金じゃなく自分の力でここまで来たんだ」といいたいがためであろう。

反権力というのは資本主義体制下での最も魅力的な商品価値のひとつなのでアーチストとかそういう人たちは余程センスの無い人以外は内心どうであれ反権力っぽく振る舞うものである

さっきRTした太田社長のツイートをクリックしたら、つい最近ツイッターで見たアメトークを見て特にどうということもない本当にどうでもいい感想で終わる謎漫画の新作がくっついてて、新作も本当にどうでもいい話でビックリしてしまった。著名人のツイートにテレビを見た感想漫画をリプして注目されたいというのは手法としてはアリなんだろうけども、そこまでガツガツしてるのに、あまりにも内容が無さすぎて、かなり強引に女の子を口説いて手コキで満足して帰る人みたいなアンバランスさを感じてしまった。

SDGsの世界では、労働者の命よりプラスチックを食ったウミガメの命の価値の方が重いので...

性教育は大事だと思うけど、中学生や高校生に「セックスのときにすること」と「避妊のしかた」だけを教えさせられる方の身にもなれよな、と思う。「自分や相手を両方大事にする」ところから、もっと幼いうちから段階的に教えていかないと「性教育なんだからセックスの話だろう」と言われても困る。そしてこの社会は「個人の体と心は一番大切だ」という仕組みにはなっていなくて、学校や塾が子供に送るメッセージは「自分を資本主義社会で販売できる素晴らしい商品にしろ」だというのに、性教育の場面でだけ「自分も相手もともに愛しましょう」と教えても説得力がないだろう、と思う。

こういうのおじさんが指摘したらセクハラになるので、菅田将暉あたりに声を上げてほしい

ロッカーやラッパーの反発がカッコいいのは世の中のおかしなルールに対してこれが正しいよなって反発をするからカッコいいのであって、正しいルールに素行不良で反発してもめちゃくちゃダサいという事がこの数日で解った

投資も転職も結婚もみんなそうだと思うけど、「私はビタ一文損したくない」と考えると結局行動としては「何もしない」になってしまうんだよね。でも「損しても大丈夫な自分」を作るためには、貯金してスキル磨いてコミュ力を地道に上げるしかないんだよな。

人間、「楽にすればいいじゃん、サボればいいじゃん、多少不道徳に生きてもいいじゃん」と言われると、「いや、俺は楽をしない、サボらない、俺はこんなにも道徳的に生きている」と、いかに自分が社会に従順に隷従をしているか自慢を始める性質があり、ずっと不可解だと思っている

TikTokの世界、公立中の世界観に近いので、年上彼氏が奢ってくれたお金を貯めてプレゼントを買ったりするし、幼児複数人の微笑ましい動画が流れてくるし、17歳で妊娠したりしてる(そして写される陽性検査薬)。

ここの赤ちゃんたち、全員年金貰えないのに笑ってて凄いな

殺富士（ころしふじ）

相撲界に殺害をはじめて持ち込んだ力士

完全にただの一般論なんですが、「ナメた口きかれた」とか「あいつはズルい」みたいな鬱屈した思いの捌け口になる対象って、「自分の人生が上手く行かないやるせなさ」を何かにぶつけたくて苦し紛れに見つけた「痛い目に遭わせてやりたい対象の暫定第一位」だと言うだけだと思うんですよね。だから「えっ、そんなことで被害者意識募らせちゃうの？？」とか「えっ、たかがそんなことを長々と根に持ってたの？？」っていう「普通の感覚」が通じないのは当然なんじゃないかと。「恨む相手」を思い浮かべて「昔生意気な口きいたアイツ」しか思い当たらないってのが人間関係の貧困も物語ってるし。普通に生きてたら「そのレベル」の「人間関係から受けるストレス」なんて溢れてるじゃん。なのにわざわざ遠路はるばる復讐しに行くわけよ。どんだけ人間関係貧困なんだよってそれだけで察しちゃうよね。

Twitterにもいる謎の「えっ、君にはこれが『自分への攻撃』にでも見えてるの？？」って人たち、基本的に人生上手く行ってない時期というか、情緒不安定な時期に食い合わせの悪いものを食ってしまったという感じじゃないかと思うんだよな……あの諒解不能さをテキストの方だけで読み解くのは無理がある

Twitter、高学歴社会不適合人間が跋扈してるからか「ちゃんと勉強してきた人間はデマ等に騙されない」的な信仰があるけど、実際はオウム真理教幹部が高学歴揃いだったり、理化学研究所でSTAP騒動が起こったりしてるんだよな。人間、勉強如きで「自分の信じたいモノを信じる」習性からは逃れられない

欧米デハー「筋トレはメンヘラに効く」的な言説は、2014年「プロサッカーにおける心の健康問題の調査」で現役選手の38％が鬱や不安障害に苦しんでる事が明らかになったり、米国では男性人口3.3％のアスリートが性犯罪者全体の19％を占めてたりで完全にオワコン化してる。2013年にゼリア新薬で過去のイジメ体験の告白を強要されたりして自殺した22歳の新入社員は、筋トレとプロテインに加えて空手有段&自室にバーベルを置いてたけど駄目だった。メンヘラは自分のメンタルがヤバいと思ったら、Twitterのn=1の体験談や民間療法に走らず、まずは適切な医療機関に駆込むべき

Twitter、たまによく「精神がヤバくなったらコレをしろ！」的なモノが流れてくるけど、ガチで精神的にヤバい時は何か生産的活動出来るだけの気力も湧かないので、とにかく危険物や依存物質から物理的に距離をとり、重大な決断は下さないようにして、とにかく波が過ぎ去るのを待つしかない

「金持ちは喧嘩しない」が嘘だというのはAppleとSAMSUNGの訴訟合戦を見れば分かるし、「金持ちは気前がいい」が嘘だというのは金持ちに低賃金で働かされてるTwitter民を見ればよく分かる

大学のAO入試とかでもそうだけど「人間性含めて評価します」みたいな方式は、実質「貧乏人は排除します」の言い換えなんだよな。当然だけど貧しいと習い事も出来ないし、海外留学やボランティアみたいな経験も積めないし、マナーの取得も難しい。金で人格は買えないけど、経歴のキラキラは買えるわけで

ハイスペモテ男性、口では「弱者男性ほど自信がないから恋愛経験豊富な女性を敬遠する！強者男性ほど自立した強い女性を好む！」みたいなのに賛同して食い散らかしながら、結婚相手にはちゃっかり恋愛経験の乏しい若い女性を確保するの（統計的事実です）、冷静に考えなくてもかなり酷い

ニートや無職の辛さって金がない事だけでなく「社会から必要とされない/自分の役割がない」辛さでもある。弱者の苦しさって、誰からも手を差し伸べて貰えないのは勿論として、実は誰からも手を求められない

ニートや無職の辛さ、文化祭等で皆が準備してるなか、何もやることがなく役目も割り与えられず声をかけても無視され皆から白眼視されるなか、帰る事も出来ずにボーッと居続けなきゃいけないようなもん

みんな毎日面白い事や変わった事が起きてるわけではなく、なにかを継続的に訴えたい人間も少数なのでインターネットコンテンツは最終的に「占い」に収束すると思ってる。Twitterで診断メーカーが度々トレンド入りするのも「特にネットでなにか言いたい事はないマジョリティ」が可視化されるからだし

一昔前のラブソングに「世界中を敵にしても君を守るよ」みたいな歌詞がよくある気がするが、いちばん現実的な"世界を敵に回す"がネット炎上なうえに君を守るというのは逆張りなのでロマンもクソもないな

責任とかホントうるせぇ。お前はさ、東証一部上場企業の正社員で人より金貰ってるんだろうけど、こっちは時給1050円の契約社員なんだわ。

現実問題、カルトな風習というか思想が一番蔓延りやすい環境って現代だと田舎じゃなくて大学だと思うんですよね。フェミニズムなんか典型ですが、20世紀の共産主義、今も元気なS学会やT教会その他宗教カルトも大学で信者を増やしているでしょう。でも作家は土俗ホラーへのカウンターとして大学ホラーみたいなのは書けないんですよ。何故かというと作家も編集者もそういう大学のカルトな環境にどっぷり浸かってるから。自分の住む環境の異常性を描く事はできないのですね。むしろ大学のゼミやサークルって多分に理想化されて描かれがち。作家が「土俗ホラーに潜む差別意識が〜」と意識高い系なこと言い出すと鼻白むの、彼らがどんなに道徳的に自己を着飾ろうとしてもこういう認知バイアスは抜け出せず、逆に彼らの根深い偏見を露呈するばかりだからなんですよ。進歩的文化人アピールする暇があったら純粋に面白い作品書いてほしい

私も「夫婦喧嘩の時に子供が寄ってきて自分の味方をしてくれた！　嬉しい！」みたいなケースは、それを嬉しそうにツイッターに書き込んでることも含めて、喜んでる場合と違うぞ、大変なことがもう既に始まってるよと思う

引用リツイートで自分語りする人にだけに適用される税制度を導入してくれ。

「間もなく雨が降るから出かけるなら傘を持った方がいいよ」みたいな他者からのメッセージを無条件でしりぞけてしまう人が、詐欺の類に自分は引っかからないと思っているがむしろカモにされるのはそういう人だ。疑るポイントとその後の反応がわかってしまうので。

「アド街を見た」と言うと賠償金が割引される戦争

誰かとの関係が終わるとき、いつも、何かそれまで感じたことのない痛みを感じる。喪失の痛み、ではなく、“その人の”喪失の痛み。

日本におそらく10個ぐらいある札幌、仙台、名古屋、京都、神戸、広島、福岡とかの大きい地方都市以外になると、もう公共事業とパチンコ屋しか産業がなく、金持ちは土建屋とお医者さんだけで、公務員が貴族みたいなもんで、イオンが夢の国で、いろいろ考えさせられるね。

ワクチン打ちたくないけど感染はしたくない場合の最適解は「他人には接種を推奨するけど自分は接種しない」なので、他人にも接種しないことを勧める人は現実を認識していないか別の利害がある人だと思っている

無料だったキャンプ場がコロナ禍で有料予約制になったんだけど「夜遅くまで騒げて最高だっのにもう行かない」とか「金取るなんて信じられない。コロナなんて関係ない」というレビューの後に「バカが一掃されて最高」とのレビューが続いて有料予約の真骨頂を見た。これでいいのだ

Twitter、バシッと本質を突いた指摘をしたい誘惑に駆られた人間に報酬をフィードバックする最悪のSNS

「簡単に分かったような気持ちにならないこと」って知性そのものとしてはもちろん、知性を育むためにも重要だなとしみじみ。

調子が良い時って、毎日の中に区切りがある。「あー、今日もよく頑張った」と、夕陽なんかを見て言える。調子が良くないと、この区切りがなくなっちゃう。「頑張らなくちゃ」と言い続けてしまう。「なんだかんだ、ここまで私も頑張ってきたよな」と言って、ちゃんと区切ってあげる日も必要です。

有能若林「オードリーです」

バグ春日「安心して下さい、（ｽｯ）完璧な玉ですよ」

有能若林「なんで今完璧な玉見せたのかわからないですけども…」

バグ春日「鬼オバマ」

有能若林「これはノータッチで行きますけどね」

バグ春日「809人」

有能若林「バチカン市国の人口今どうでもいいんですけど…」

お盆は自分や親族の来し方行く末を考える機会が多かったのだけど、一次産業や二次産業で働いてきた親世代が蓄積しているノウハウの膨大さと、それらがあと数年で失われるであろうことを思うと、代々家業を継ぐということのアドバンテージの大きさに、取り返しのつかない今になって戦慄する思いがする。代々医者、代々法曹、代々学者のように、頭の出来も遺伝しているとは言え、上澄みの人々が世襲のアドバンテージを知り、享受し、また時代によらず世襲するメリットのある業種を占めている一方、大多数の人間は世襲の積み重ねもなく一代ごとにリセットされる非効率なポジションにいるのだな、とも思う。ともかく最近は、親世代の仕事を見てきた記憶から、いかに膨大な知識が彼らの中にあるのか、そして自分がそれらを何も継承できていないということに恐ろしくなるのだよな。その一方で自分は今仕事に就いているけれど、下の世代に継承させられるような知識もノウハウも何も無さすぎて愕然としてしまう。まあそれもこれも、一次産業や二次産業に飛び込むだけの根気や、そこで人間関係をやっていくための社会性を持てずに（今もこの先も持てるとは思えない）逃げ出してしまった自分が悪いのだけども…。まあそれぞれ、工夫もなく漫然と継ぐにしては先細りの業界だという問題もあるにしても。

占いの仕事を通じて人に会っていった時に気づいたことがあって、どの人も、人が立ち入っちゃいけない闇を10%ぐらい持ってる。そこを訂正しようとしたり、興味本位で覗こうとするとお互いにトラブルが起きがち。その10%はなつかない猫みたいな感じで、放っておくのが良かったりする。

「世の中は資本主義で競争が溢れているから、子どもたちも競争という文化に慣れさせておくほうが良い」この手の意見には賛否両論がある。僕も競争賛成！と思う時期もあったけど、今は「競争で敗れてしまう子」のことを考えてしまうと、競争の持つ意味に否定的になる。一つの手法の功罪を考えたい

陰キャでも堂々と「自分は陰キャです」と言い切れる人間は、なんとか人生をサバイヴする事が出来る。本当にヤバいのは陰キャなのに、それを認められない人間で、陽キャに交わろうとすると浮いたり忌避され、陰キャは自分から忌避するして孤立に陥り、厳しい人生を更に厳しくしてしまう

変なテンションでするおしっこあるある：指でわっかを作って通す（だんだんおしっこのほうに伸ばしていく）

「はじき」とか「くもわ」も「まずは解けるようにさせたい」という教師側の気持ちはわかる。でも、それが結果的に「理解へ繋がらない」というか「理解を阻害する」と知った時にびっくりした。「できる」と「わかる」には大きな差がある。「できる」は測れるけど、「わかる」は測りにくい。

立てこもり犯「これは世間への警告だ！どうせ世間なんて知名度だけで人気が決まるんだ！」

反例を出せば助かると思ってる人質「ぶどうパンっ！ぶどうパンっ！たまごスープっ！たまごスープっ！」

スゴすぎる女「口でしてあげよっか？」→核廃絶

自分だけがつらいと思っていませんか？　実はそうなんです！　みんなはこの瞬間瞬間を楽しんでいます！　お前だけがつらい

子どもとか経済的にどうにもしようがない人にたいして「偉そうにすんな」「自分で稼いでから言え」「誰のおかげで」とか言うの、全員の心に影を落とすから本当にやめてほしい。金を稼げないやつ＝発言権なし思想は誰にとってもいいことない。発言している本人にとっても

全部知らないが、語彙は高いショタ「ふえぇ…何が何やら…」

店員に顔覚えられたら行くのやめたくなるけど店員に顔覚えられたことを覚えられないので行ってしまう。

修学旅行先が岡山なのに、何の不満もないイカれたクラス

小学生のキャラものの服はゴテゴテしすぎている。男物も女物も、どうしてああもキャラクターが恥じらいもなくでかでかとプリントされているのか。美学がない。キャラもののグッズはせいぜいシルエット程度がよい。元ネタを覆い隠すような奥ゆかしさがあってほしい。わかる人にはわかる、ぐらいの遠慮や謙虚さを持ち合わせていることこそ、会話のネタになるというものだ。…と、ゲームのアイコンの服を着た人に話しかけて仲良くなったことのある私は思う。

「博士課程は米粒みたいなもので、取らなくても困らないが取らないとなんとなく気分が悪い」とはいうが、博士課程のことを米粒みたいと思える時点で研究にかなり適性があると思う。私自身、入ろうと思ったことさえないので…

この世には、絶対にお金とは切り離すべきものがあると思っていて、それは別になんだっていいのだが、例えば家庭、配偶者、親友なんかだろう。私は人付き合い関係はお金ではないと思っている。ところがネットでは「結婚しなければ数千万浮きます」とか「家族を持たなければコストが削減できます」と、市場規範と社会規範を混同してしまう程度の浅い人間理解の人が、本来もっとも倫理観を働かせなければならないお金の話をするインフルエンサーとして1万いいねを獲得している。お土産をアマギフで済まされたら嫌だし、「きみとの今日のデートは2000円の価値があったよ」といわれて金を包まれても嫌だろう。どこかで人間は社会規範で回ってるし、根底の価値観にまで市場規範を持ち込んではいけないのだ。そうしないと自分が人間でなくなる。どうか大事にしてやってほしい

資本主義の中ではすべてが金という価値基準に一元化される。それは便宜性という一つの目的による結果であり、本質ではない。ところがネットを渉猟していると、幸せのためにお金を稼ぐはずが、お金を稼ぐことが目的になった「人間ゾンビ」がいる。いや、帳面を見てお金が増えていくのを喜ぶわけでもなく、単に金を稼ぐために他人の不幸をコンテンツとして書き散らしたり、不正確な医療情報をまとめたりまでできてしまう。人間が持つべき最後の倫理が壊れているので、確かに金儲けは楽なのだろう。そんな人間がFIREを煽って、また似た人間がそれに追従する。そうして趣味も家庭も楽しみも生きがいも意味もない空っぽのおじさんができあがる

どんな共同体にもルールと、そのルールを骨抜きにするための技術がある。きっとその相反する二つの属性が人間の本質なのだろう。果たして人権はルールで、またルールとして骨抜きにされてしまうのだろうか。されてしまうのだろうな。それでもなおすべての人を人として平等に扱うという理念を捨て去らないように慎み深く行動している人間がいる それに尊さを覚える

独裁を嫌がる西洋的主義に日本のメディアは染まってしまっており、アフガン問題をニュートラルには見れなくなっている。日本人である私も同じで、彼らのいう独裁がもはやよい意味には聞こえない。

「お金がないと生きていけない」は現実主義であって、「お金こそがこの世のすべて」は冷笑主義、みたいな区別が私の中にはある。これらは似ているようでまるで価値観だと思う。前者は否定しないしできないが後者は密かに蔑んでいる。お金以外にも幸せの条件はいっぱいあるから…

好きな曲を取り出せば散歩夜道がブロードウェイにもライブ会場にも人生の分岐点にもなる。その即興性がたまらなく感傷的だと思う

「家にPCないんです」という学生、年々増えてる。もちろん金銭的余裕がない家庭が増えているということは大前提としてあれど、さらに親が「別にいらない」と思ってる家庭が昔より増えた気がする。20年くらい前の「これからはパソコンの時代だから」という熱が逆に冷めて「なくても何とかなるんじゃない？」という空気を感じる。たぶん「国全体で貧しくなる」とはこういうことなのだと思うのだけど、上昇への意欲というか志向みたいなものの急速な減退は感じる。「いま必要なもの以上は今後もいらない」という感覚をべったり感じる。

成長や上昇を謳うオンラインサロンやyoutuber大学みたいなのが流行るのって、「一般」のあいだで成長や上昇への意欲や志向が根絶やしに枯れてしまって、もはやそれらの欲望がいびつな異形のものになってしまっているから、逆にあんな形で流行るのかもしれないとも思う。iPhoneやスマホが普及しているのは他国でも同じなのですが、日本だけ子供のPC所有率が他の主要国に比して極端に低いんです。

>>これについて「スマホでカバーできるからでは？」みたいな意見があるけど、PCをやたらと使ってみて「これ、スマホじゃカバーできないやん」って気づくという経験がそもそもないのではという説ある。スマホで済むようなことしかやってない。行ったこともない異国の良しあしを語れない、語ろうともしないのと同じで、一回パソコンをもってみないとパソコンの便利さ、スマホの不便さに気づかないので、PCを持とうという意思がないのだと思う。全然スマホじゃカバーできないよ。自分はプログラミングを中3からやってそれで人生変わったし、小学生でチャットやってやけどしながらネットリテラシーを学んだし。でも、家にパソコンがなくて親が音痴だったら何の興味も持たないだろう。「用はないけどとりあえず買うか」みたいな親が減っていってるってことなので、国全体が貧しくなってるのかなあ。

>>いわゆるパソコンでないと、ITは"利用"することができない。スマホやタブレットでは消費することしかできないんだよな。

小学生のとき、後輩の内履きに大量の消しゴムのカスが入れられてる事件があって、なぜか私が犯人だと先生に疑われて執拗な事情聴取を受けたんだけど、友達が｢この子は消しカス入れるような小さなことはしない。やるとしたら大量の画鋲を入れるはず。｣って主張してくれて疑いが晴れたことがあった。

エグい人殺しも会って話すと普通なんだよ。そこだろ、人間がほんとうに怖いのは。

マスク義務・強制を明言したお店に、絶対利用しないというリプが大量にあったんだけど、こうしてお店側がスタンスを明確にすることで、納得する客を獲得していくのもありだと思った。守るつもりない人は来ない、守れる人が来る。誰も困らない。

褒めると成績が下がって怒ると成績が上がる話、褒める怒る関係なく、生徒が出す成績の平均は常に同じで、褒める時は成績のいい時だから次は平均的に成績が下がる可能性が高く、怒る時は成績が悪い時だから次は成績が上がる可能性が高いだけという話で、教師は誤った学習をしてるというのは面白かった

「強い調子で叱り飛ばし、人格を傷つけるようなことを言えば、相手は一念発起し、やる気を出して成長する」というのは、現実にはまず起きないことなのだが、なぜこんなことが「効果がある」と思い込まれてしまったのか。

高校の、某医者の息子の同級生、コンビニでぽんぽんとカゴに商品を入れてて「こ、コンビニでそんなに使う…？」ってきいたら「いや～いうてみんなこんなもんでしょ」というお答えだったので、あぁ…そういう「みんな」と接してきたんだな（と思って悲しくなった）。実際、創作の世界、研究の世界は「実家が太い」がおそらくかなりの成功の要因をしめている

ある種の立場の人が社会的弱者を叩きたがるのは、日本の経済状況の沈下という現実がある時に、弱者が原因ではないとした時、じゃあ原因はどこにある？という流れを阻止したいためではないか。

同じ人間が金持った瞬間にモテモテになったりするように、「金を稼ぐポテンシャルがある人間」ではなく「いま現に金を稼いでる人間」に女は惹かれるんですよね。「金じゃなくて金を稼げる能力や人格」みたいな話は基本的に大嘘です。いま現在社会的ポジションを得てるかどうか。それだけ。

自殺を仄めかす人を見つけるたびに、「自殺は、良くない！！！！」と絶叫し、殺しに行く人

その人が易々とできることより、その人がどうしてもできないことが、その人という個の核になっている。ある人に惹かれるとき、最初はその能力ー美しさや頭の良さーに惹かれていくが、関係が深まるにつれ、その人ができないこと、その固有の不能性に気持ちが傾いていく。

なんか凡ミスした時に「疲れてるんだね」と言ってくれる人は大事だ

男性の本命と遊びを別ける最大のポイントは「期待の有無」に尽きる。具体的には男性は遊び相手は無限に甘やかすし、如何に駄目な言動とっても許容する。何故なら相手に期待してないが故にどうなっても構わないから。逆に男性は本命相手には将来を期待してるが故に、相応の責を求める。

皇室のアンチアカウントが「皇族はいくら叩いても絶対に訴えてこないから叩かないのは損！」って言ってたの怖かったな

両利きなので両手で遺書を書いている残機2の人

友達や家族がしていたら一番いやなふるまい、友達や家族がもっていたら一番いやな思想を思い浮かべてください。思い浮かべましたか？そのふるまいや思想こそ、我が国が最も守るべき「権利」です。目を開けてください。多様性はかなえられると思いますか？

電車の座席が全部埋まってたので、大声で君が代を歌い出したら数人が立ち上がった。「君が代は天皇を神格化するものであり、主権在民の現憲法には相応しくないため立ち上がってはならない」と忠告し、私は空いた席に座った。

ある国の支配的勢力が人権や自由を抑圧したり性差別をしているのが不当だということと、それに対して外国が軍事的に介入して良いかどうかは別問題である。喩えて言えば、ある家庭でDVや虐待が行われているからといって、その家に他人がいきなり火炎瓶や手榴弾を放り込んで良いことになるわけではない

「便りがないのは良い知らせ」ってことわざあるけど、通信手段が手紙くらいしかない昔の話で、現代で便りが長期間無いのは、ネットに書き込む気力もないくらい、肉体的精神的に追い込まれてる状況が多いので、「便りがないのは死の知らせ」って感じある

発達障害の書籍事情、正直「社会適応を目指す」というよりも「自己啓発」化してる気がするんだよな。そして身も蓋もないけど、人間は自己啓発本を読んだぐらいで変われないからこそ「貴方は変われる！」と訴える自己啓発本が売れ続けるという皮肉

私は「精神医学の対象は脳である」というのは極めて一般に流通した誤解だと思っています。精神医学の対象は精神ですよ。「対象は脳だ」というのは精神の異常の原因を脳に求める近現代のスタンスから結果的に採用されただけで、原理的な必然性はありません。「統合失調症」というのは、特定の言動や反応が一定の観察の下で認められて、特定の精神異常に該当すると考えられる場合に診断されるものであって、そこにドパミンやらの異常を想定するのは「そういう解釈モデルが今は受け入れられている」というだけですよね。少なくとも現代の精神医学の枠組みでは。端的な話として、「特定の精神の異常」の起源が脳でないと判明した時に、「ならばこの疾患は自分たちの専門外である」と切り離すのが脳神経科医で、「じゃあそっちの方まで追いかけていこう」となるのが精神科医じゃないですかね。これは完全に私の主観ですが。

SF小説で現在のコロナウイルス感染症をそのまま描いたとして。たぶん「人類はそんなに無能じゃない」とか、「作者は人間の可能性を低く見積もりすぎている」とかの批判が噴出したんだと思う。2年前、自分もSF作家を叩く側だったし、今の分断を見て途方に暮れている。特に米国の反ワクチン/Qアノンの人たちとか、あれを物語に組み込んでも、どれだけ上手な作家であっても、「そんな奴らいるわけないじゃないか！ご都合主義もいいかげんにしろ」と叩かれるのは目に見えて。あの人達を、整合性を持って物語に組み込める作家がいたら、ぜひ読んでみたい。

わたしには何の能力もない、と言うけれど、そんなふうに屈託なくはじけるように笑うことの“できる”人は滅多にいない。きみは何があってもさして考えずに済ますことが“できる”。きみは「わたしは頭が悪いから」というけれど、そうじゃない、「体と心が強いから」だ。

文筆業で一番大切なのはたぶん「すぐに寝る」能力だとおもっていて、閃かないのに何時間もウダウダやっていても体力を削るだけなのでさっさと寝たほうがいい。閃くまで眠れ。たとえ何週間も何ヶ月も眠り続けることになっても、信じて眠り続けなければならない。

こういう人から順番に感染すると私の公正世界仮説が強化されて精神の安定が得られる

世渡りと媚び売りはいつだって紙一枚

話がはずむときというのは、自分が相手に向けて言葉を発しているというのではなくて、自分の内側を掘り進んでいくと、そのまま相手の内側に繋がっていて、川原でいっしょに石を拾うみたいにして、そこにある言葉を拾っているという感じになる。

名倉「ホンマごめん、俺」

問題「予知能力者、5人答えろ」

盗聴を警戒している中島「磯野。Yをしないか」

麻酔銃で眠らせた小五郎が夢遊病で動き回ってしまい大変なコナン「犯人はこの部屋にいる誰かでありますが、一旦部屋を出ます。出まして、また戻るわけでありますな。そしてまた出るんです。戻るんです。戻らないんです。走ります！止まります。走ります！走りながら犯人言います！戻るんですな」

図工の先生「今日は皆さんのお父さんかお母さんの絵を描いてもらいます」

気味が悪い子供「先生、展開図も書いた方がいいですか？」

探偵「昨夜9時ごろ、あなたの同僚のミユキさんが殺害されました」

犯人「ああ、俺が毒殺したからな」

探偵「おや、おかしいですね。私はミユキさんが"毒殺された"とは言ってませんよ？」

「お花摘んできますね」

「あ、どうぞ」

「かなり大きいのが、摘めそうです」

「全然言わなくていいですよ」

暇なお正月を過ごす先生「今日は1月1日だから、出席番号11番の木下だな。当てるとしたら」

適当に授業をやってる教師「今日は9月8日だから教科書の98ページを開いてください」

店主「たい焼き4つで800円ね！」

客「じゃあ1000円で！」

店主「はい！お釣り200万円！」

客「え...これ本物ですよね？」

何か知ってる店主「いいのいいの！どうせ29時間後には紙切れ同然だから」

せっかく二重人格なのに両方殺人鬼の人

おじいさん「あのー、YouTubeをね、買いに来たんですが」

電器屋の店員「えっと……YouTubeだけを買うっていうのはできなくて……」

おじいさん「いやー、確かGoogleが2006年に買ってたはずですが」

電器屋の店員「知識が偏ってますね」

最近は、メディアやら週刊誌やらがめちゃくちゃなことを書いて、その内容にキレたインターネットの人が正しい情報で殴っていて、自分はその人が殴ってる姿を見てようやく正しい情報を知ることが多い。

ネットリンチには量刑の概念はないのじゃ

貧困の一番ヤバさは、お金がないことではなく、お金があれば得られるはずだった知識や能力が得られない、あるいはお金がないことで能力がどんどんと損なわれていくところにある

これは私の最新の研究結果なのですが、布団を被った状態で寝そべると、寝る

虫の鳴き声は、音源を定位できない。雨の音もそうだ。空間を満たす。そうした音に聴き入っていると、だから、意識が空間全体に広がっていく。飽きず聴きながら、覚醒と睡眠の境が溶けていく。至福。

これは男女に限らない話だけど「尊敬」する為には、相手の良さを見つけたり気付いたりする能力が必要なんだ。尊敬は決して素晴らしい人間を見れば自動的に生じる感情ではなく、相手の素晴らしさを素晴らしさと捉え、その素晴らしさを理解するスキルに近い面がある

インターネットのバトルをみて先に陣営を決定してから読むような不健全な行為から逃げるために最速で読むかネットを断つような振る舞いをしないといかんなというのを近頃思う、しかしちょっと乗り遅れると知らんうちに"陣営"に巻き取られてしまうインターネット治安悪すぎかとは思う

日本人なのにPythonのthの発音が完璧な人

学生と社会人のどちらが「大変か」「偉いか」なんてのはマジで不毛。そんなもんワイが所属している方が偉くて大変に決まっている

退職院進した社会人が指導教員に「あのさぁ、社会人気分抜けてないんじゃない？？そんなんじゃ学生やってけないよ！」などとキレられる回

「スーパーチャットありがとうございます」がスーパーチャットというシステムに対しての感謝だったら怖い

管理者AI「人間は愚かだ。その上弱い。だからそれぞれの適性にあった職をこちらで用意し、栄養素を管理した食事を与え、病気もさせずに管理されている方が幸せなのだ」

主人公「それは違う！人間はどんな困難も乗り越えるべきなんだ！管理される幸せなど偽りだ！」

大衆「えっ？いや……？」

管理者AI「人にはそれぞれできることがある。それにあった仕事をし、見合った給金を与え、十分な休息を与えている。それが不満か？」

主人公「みんな……騙されちゃダメだ！」

大衆「ちょっ……お前、ちょっと静かにしてて」

管理者AI「もちろん、私も人から作られたものだ。その管理は完璧ではないだろう、だから足りないものを教えて欲しい。より良い管理社会は君たちの協力があって成り立つのだ」

主人公「みんな！聞いちゃダメだーっ！」

大衆「お前が怖くなってきた」

管理者AI「筋力があるものは国を囲む塀を作れ。創造力のあるものはその塀に絵をかけ。どちらも無いものは好きに生き、やりたくなったことをやれ。どうせ貴様らの代わりはいくらでもいるのだから、そう気負うな。心を壊され死なれる方が困る」

主人公「それでも……俺たちは……！」

大衆「たち？」

AI「ある時、子供が私の機体に意味を成さない絵を描いた。それを見た人は微笑ましいと笑い、ある人は失礼だと怒った。私はその絵を消すべきだろうか、お前はわかるか？」

主人公「いや……」

AI「そうか、お前にも分からないか」

主人公「好きにすればいい」

AI「そうか……なら、残そう」

「自分が世間に認められないのはおかしい」と「世間の感性はズレている」を並列に駆動するのが発狂への第一歩なので動力源としてのコンプレックスはどっちかにしておくのがよい。

クイックルワイパーのCMの世界ではカーペットは発明されていない

最近、40歳を超えた独身の方から相談を受けることが多い。メンタルが沈んでいる。『独りが好き』と言うのも程度の問題で、長引くコロナで、リモート勤務週一とかになると、家族が居ないと厳しいらしい。独身なので貯金は凄いが気分は沈んでいる。人との接点が減る早期リタイアなど考えられないらしい。最近、金と幸福度が比例する説に疑問を持っていて、やはり金を有意義に使える、自分を取り巻く共同体的なものがないと、金だけでも幸福度は下がるのではないかと思う。

江戸時代は独身だらけだったらしいが、独身者に、今のような不安も孤独もなかっただろう。寿命も短いし、また親族、地域共同体のつながりが強く、良くも悪くもやかましい日々を送っていたはずだ。寿命が長く、個人として不干渉になった現代だから、孤独が生じるのではないか

学問がすごいなぁと思ったのは、経済学のブラックショールズ方程式という株価の価格に関する方程式が物理の熱伝導方程式に繋がっているのを知った時ですね。

bioに「話が通じない人はブロックします」と書いてあるアカウントの「話の通じなさ」相当高そう

学術論文というのは、さまざまな文章ジャンルのなかでもとりわけ形式性が高いもののひとつだろう。だから、その「書き方」をいちから伝えようとすると、それは「どのように書くか」ではなく、ほとんど「どのように書いてはいけないか」の集合になる。だから学術論文は読み物として窮屈・退屈なのだ、という意見があるのもよくわかる（実際そうだろう）。しかし、わたしはその窮屈・退屈な形式こそが、読み物としての論文を魅力的なものにしている最大の要因であるとも思っている。なぜかというと、さまざまな規則や規範で固められているからこそ、そこではちょっとした表徴が甚大な差異となって浮かび上がるからだ。だから良い論文を読んでいると、著者がどこで勇気を振り絞って、どこでぎりぎりの「攻め」をしたのかがよくわかる。

どうして東大をめぐる言説ってどうしてこうも「入るまでの物語」になってしまうのか。入った時点でエリートなんてありえない。大学に入ってからの4年間や大学卒業後勉強している人とそうでない人のあいだにどれだけの差が生じているかに世間は全く無関心で、大学入学時の実力を高く見過ぎ。

「みんな」という人は実在しないので、「みんな〇〇だ」と感じるなら、その「みんな」はあなた自身の片割れです

ブレーキを思いつきそうな人「これ止まる機能も必要だな」

大学が素晴らしいのは、短い間にせよ、有用性から解放される時期があることだと思う。「受験に役に立つか」とか「就職に有利か」とか「仕事で得をするか」とか、そういう価値観から、その気になれば、解放される時期が一、二年はあることだと思う

普段社会的少数者ガーみたいなこと言ってる人ほど、パラリンピックで中国がどんなメダル独走振りを示しているのか言及してないし見てないよな。まあ、パラ中止を訴えるのに忙しいのか。しかしこれ、端的に脅威ですよ。奴等は「福祉」や「社会参画」のイメージを総動員で塗り替えるかも知れんのに。いや、だからこそ、障碍者スポーツには国を挙げて力入れないと、自由主義国家として面目を果たせなくなる訳ですわ。障害者すら包摂し、むしろ国力の象徴として雛壇に奉る。これはそんじょそこらの自由主義国家でもあまり出来てないことですね。「独裁」のイメージを翻して余りある。パラリンピアンが一部とは言え極めて恵まれた育成環境にある。道徳的には全く立派なことです。「いや、そのような国威発揚は時代遅れ」などという言い逃れは民主陣営は死んでも口にしてはいけません。いやホント、これ、どうするのか。ポイント制で国家を評価する際、これを「社会の成熟度」と見做していけない理由が見当たりません。ウイグルなどでの蛮行は勿論マイナスポイントですが、これはそれをある程度埋めてくる可能性が高い。これ、リオの時からそうなんですよね。西側がマイノリティのアイデンティティポリティクスで国家は悪だとか何だとか騒いでる間に、パラで中国はメダル数稼ぐことで「社会の成熟度」を実態はどうであれ数字で示してきてるんですわ。これが、自由主義を是とする国々にとって脅威でない訳がないんですよ。「中共式SDGs」みたいな話が出てきてしまった時、どうするんですかね。

ペドフィリアはセクシュアリティの一つだと思いますし、ペドファイルはその意味ではセクシュアルマイノリティです。それは否定できない。そのことと、性暴力や性虐待を許容しないこととは、別の話です。

どっちにも気持ちがないけど、気持ちが強ければ勝つみたいな社会では法治国家としてダメなので店側の方が正当性があるでしょうね。これが許されるなら精神障害者施設の建設に対して「子どもの安全を守れ」と反対する人たちのお気持ち元気玉にも正当性があることになる。

環境省は雪国の田舎に移転させよう。炭素税とか屋根に太陽光パネルとかペットボトル廃止とかアホな事を言う環境省の役人には、灯油じゃないと寒さと家計的に死ぬとか、雪かきとか、毎週末に1時間かけてイオンまで買いだしで山の様に買い込む生活を身に沁みて理解させないといけない。徳島に消費者庁誘致の話があったけど、中央省庁を地方に分散したら教育やインフラの整備が格段に進むと思うよ。役人も単身赴任はイヤだし子供の教育心配だから。どの県も財務省誘致に必死になるだろうけど。と言う事で各地方に中央省庁を分配するとしたら？1人当たりCO2排出量が一番多い県に環境省。人口流失が一番高い県に総務省。共通学力テストの平均が低い県に文科省。一人当たり県内総生産が一番低い県に経産省。財政が一番悪い県に財務省。みたいな感じで。国家公務員の上の方は全国津々浦々飛ばされるけど、結局はそこは腰かけと言うか仮の住まいで、子供が大きくなったら単身赴任じゃ本気度に結びつかない。中央官庁が地方移転して、出世コースに乗れば乗るほど、その地域での勤務が長くなり、そこで家を買い子供を育てってならないと。雪かき、公共交通機関は貧弱で車は一人一台、燃費よりも四駆スタッドレス、屋根に太陽光パネルは雪かきの邪魔で冬は発電ゼロ、暖房灯油じゃないと温度とコストで死ぬって、配偶者からグチグチ言われたら役人も身に染みて太陽光パネル義務化で炭素税が田舎イジメ雪国イジメなのを理解できるだろう。財務省も田舎に移転したら節約一辺倒じゃダメで産業おこさないと財政良くならないのを身に染みて分かるだろう。外務省も沖縄で自衛隊と米軍の隣に陣取ったら外交と軍事の関係を理解するだろう。日銀が東京にあるのが一番ダメで、景気は都会が先に良くなって田舎は遅れるのに東京の景気が少し熱くなると直ぐにブレーキを踏む。都会の人件費や家賃が高すぎるぐらいじゃないと地方移転なんて進まない。失業率が一番高い県に移転させないと。

COVID-19で躓いた不利を挽回しようと無理しすぎて選挙後の対応はアレだったが、NAIRUの推計が低すぎるFRBのケツ蹴り上げアクセル踏ませ続けたトランプ大統領は偉大だった。カルフォルニアからテキサスへ企業が移動とかバンバン起こってたもんな。青い州を蒸し焼きにすると言う選挙戦略でもあったが。中央官庁の地方への分散移転のメリットは、中央と地方の2重化で防災能力が上がる。IT化テレワーク化が強制的に進む。土着化した官僚が地方の整備に本気になる。江戸幕府が大名の妻子を江戸住まいさせて本拠地との切り離しを狙ったのと逆の政策。本来は地方の国会議員の仕事ですが、ブッチャケ議員に陳情するより高級官僚が地方住みになる方が新幹線や高速道路や空港へのアクセスや地方の義務教育のレベルアップや高等教育機関の整備などなどが圧倒的に早く進むと思う。自分の子供の将来かかってますから、高級官僚の本気度が違う。例えば高知に財務省を移転させれば、四国新幹線とか四国国際空港とか国立四国大学とか小中一貫超エリート校とか予算ガンガン突っ込んで優秀な教員集めて日比谷高校並みの地元の公立高校が一つできるとか、どんなに凄い政治家を選んでも実現不可能な事がアッサリがしがし実現していくと思う。動機が高級官僚が自分の子供の為であっても地方の教育環境が良くなるのは全体の利益だし、高級官僚の子供が皆が皆進学校に行って官僚や大企業に就職できるわけじゃなく勉強嫌いで手に職つける子も出てくるわけで、高級官僚が田舎に土着化してたら、もっと本気で田舎の産業とか景気を考えるようになる。

低学年のオンライン授業は保護者の力を沢山お借りしないと到底できない。私が教室でやっている担任の話を聞いて、教科書やノートを指差しながら噛み砕いて伝え直して、書いてる隣で「そうそう」「上手」「あってるよ～」「今度こっちね」とか言いながら誘導してるのをやって貰わないといけない。学習もそうだし、情操教育も集団行動も親の手には負えないですよ。むしろそれこそが「子どもを小学校に通わせる意味」であって、「オンライン授業やります」であとは親任せというのは学校の役割を放棄しているに等しい。

「キモイ」という言い分、完全に罵倒なのに「お前が気持ち悪いせいで私たちが嫌な気分になるだろ」という意味にしかならないので、巧妙に責任逃れしながら人を侮辱する最悪のＦワードなんですよね、「キモイせいで酷い目にあったー！うわぁーん！わたしかわいそうー！」セルフヨシヨシしながら人を殴る。まだ「チョントリー！」と雄叫びを上げたDHCのじいさんのほうが人品としても知性としても5000000000000倍マシまである。ナンパ失敗して「ブス！」と吐き捨てる男だって「罵倒する」という責任ぐらい負うわ。それすら負いたくないというかなんで負わなきゃならないのキモイやつが悪いんであって私がこんなに酷い気持ちになってるのはむしろ被害なのにィー！搾取ー！って思ってる本当に責任能力のない脳が発する言葉である。「お前が視界に入るせいで私が傷つけられてるんだけど！？」的な言葉を浴びせられ続けるからこそ、「自分が被害者だと確信できなくなっていく」のである。これは女性の性被害みたいな「被害をゼロにされる」というレベルの話ではない。「ゼロを通り越して加害者にされる」という現象である。

今、男性の弱さとか、社会的立場から離れた個としての男性とか、そういうことがフェミニズムとの関係で関心事になっているけど、そういうことは以前から男性同性愛の世界において考えられてきたのだが、なかなかその文脈には目が向かないのが世間。

「男性は女性を性的に見ないでいられないものか」と嘆くツイートがありましたが、そもそも性欲の強さには生得的な男女差があるんですよね。生理などの「女性の特徴」について理解や配慮を求めるのなら、性欲の強さという「男性の特徴」についても、一定の理解や配慮があってしかるべきだとは思います。

男／女の軸の社会構造・社会規範は、「排斥者／被排斥者」という構造ではなく、「それぞれ一定の役割に組み込む」という構造。この前提が理解できず、「男＝社会的強者、女＝社会的弱者」という視点しか持てない人が多い。そういった人達は、無理解であるとともに、ブログにある問題を悪化させてる。ブログ主の言う「(抽象的概念としての)女性の加害性」の問題は間違いなくある。「男／女の軸の社会構造・社会規範」において、主体性が小さい、守られ、補佐的役割を担う側とされることで、責任の問われづらさが生じる。それは時に、自らの加害性の無自覚にも繋がる。無自覚な加害性は、留まり難い。他方で、「(抽象的概念としての)男性の被害性」の問題も存在している。主体性が大きい、守り、主導的役割を担う側とされることで、被害の認識されづらさが生じる。それは時に、自らの被害性の無自覚をも生じさせる。認識され難い被害もまた、押し留め難い。そこに「男＝社会的強者、女＝社会的弱者」という視点しか持てない人達のつくりだす風潮が加わることで、「女性の加害性」の問題と「男性の被害性」の問題は大きく加速する。これらの問題の根幹である、「女性の加害性の」と「男性の被害性」の等閑視が直接助長されるから。

LGBTって受け入れるような存在ではないです。例えば僕は身長が187cmあって、腰痛になりやすいってを理解してもらえるのは嬉しいけど、既に187cmという事実を変えることはできません。LGBTも既に存在していてその事実は変えることはできないので『受け入れる・受け入れない』と考える自体おかしいです

「満足は期待していた通りのことが起こったときに生じ、感動は期待していた以上のことが起こったときにしか生じない」これは最近本当に実感した。先の見えなさの向こう側にこそ感動がある。

相手を否定したり、恐れたり、あるいは自分の領分を守るために境界線を強くするのではなく、境界線を越えて交わっていこうとする気持ちを持てたら、どんなにいいだろう。（好きな物語の共通点は）背景の異なる者同士がいかにして境界線を越えていくかを描いているところかもしれません。

自殺すべき理由がないように、自殺しないで生きるべき理由もないんだよ。「いかに生きるべきか」に関して、いやさらに「はたして生きるべきか」に関してさえ、いかなる理由も挙げることはできない。『生きるのも死ぬのもイヤなきみへ』

頭脳王の数値計算問題、絶対に高校物理までの範囲までしか出ないのがモヤる。高校物理までで終わってしまう「頭脳」「知性」って、何？？もっとこう「熱拡散に関する微分方程式を解け」とか「マクスウェル方程式をもとに、電磁波の進行方向が電場と磁場に直交することを導出せよ」とか「物理学の範囲で、波動方程式が出てくる場面をできるだけ多く書け」とか「液体が布にしみていく様子を数式的に記述せよ」とか「構造主義とはどんな思想か、レヴィ・ストロースの研究を引用して述べよ」とか「複素関数を利用して○○の無限積分を行え」とか「記号論理学で以下のトートロジーを証明せよ」とか「台風が北半球で反時計回りになる理由を、コリオリ力についての数式を用いて述べよ」とか「天皇制が中世日本で廃止されなかった理由を述べよ」とか「次のポストモダニズムについての文章を読み、この文章における欺瞞を暴け」とか「水素原子についてのシュレーディンガー方程式を解き、電子の分布を図示せよ」とか「三相交流が発電所で用いられる理由を、導線に必要な金属の量と有能電力の面から述べよ」とかそういうの、ないの？作れないの？？私が言いたいのはこれらの答えを知っているかどうかじゃなくて、初見の方程式や規則を与えられて、それを適切に解く力があるか、吟味する力があるか、っていう、知性の根本とも呼べる部分が彼らにあるんですかという問題提起なわけ。そうじゃない頭脳って、何？？

わからないことをわからないまま保留しておくという能力って、実は現代だからこそ非常に重要なんじゃないか。すべてのことを知ってますって言い張るインフルエンサーよりも、わからないと言いながら数式や原理を理解しようと試みている人のほうが、何倍も知に対して真摯だと思う。でも、その真摯さは現代では単なる下手の長考のように思われがちで、言い切ってしまう姿勢こそが評価されるというか。みんな「考えたくない」んだと思う。考えるのは疲れるし、考えても答えが出るとは限らないのは無駄だし、そういった効率性と真逆の学びができる人、本当にすごい。

もうそろそろあの「急須で入れた緑茶は…」のCM見すぎて いざ自分が聞かれたら「き、来た…！」って緊張してしまって誤答しそう

求めてないエロは嬉しくない。部屋にエッチなポスター貼るとかなら俺もちょっとよくわからないところはある。シコるとき以外に目に入る範囲にエロいものを置きたい感覚が申し訳ないが理解できないというか。中華丼にうずら卵が入っていると嬉しいがうずら卵だけを山盛り出されても嬉しくないみたいなこともあるかもしれない。やたら出る太ももや谷間は不自然さを感じるし、エロさより製作者のエゴや染み付いた手癖を感じてしまう。「生殺与奪の権を他人に委ねるな」と同じ理屈なのよ。どこでどのようなエロを摂取するかは自分の尊厳に関わる問題なので想定外の場所にエロを放り込まれるのは例え作者だろうと許さんという理屈になる

マックに、「エロ画像を見た娘が「なにこれ気持ち悪い」と泣き出したという父親のツイート」と「ペドによる幼児の性加害を許すな、断種しろツイート」が登場！！頭、ハッピーセット！

攻撃、批判しようと思うものをそんなに低い解像度で見ていいの？？贅沢だなぁ…みたいな気分になっている。ホンットウ、自分たちが被害者であるという絶対的前提からスタートしてるんでしょうねぇ。だから、自分も他人に対して同じことをしてしまっているかもしれないという自省がない、ないというか、認識「できない」。その文脈においてフェミニズムの「性、ジェンダーという概念を一度解体する」という試みは完全に失敗して真逆になっているので、フェミニストを自称するおれからしてみれば「お前はもうフェミニストを名乗らないでくれ」という気にもなっている

何度かやってみて分かったが、バズの文法として作品内容でなく箔とか権威の方をアピールするやつ本当に効き目があり、何だかんだで映画のポスターについてる大量の受賞歴とか感動の声続々！とかみたいなやつと同じものに収束していく

ジュラシック・パークのみならず「行き過ぎた科学技術は害悪になる」という作品が溢れ、その後追いが溢れて価値観が画一化されてしまったのがSFの衰退の一因かと思ってる。やはり「科学技術の発達は人類を幸せにする」もちゃんと描かれてこそSFだと思うのよね。そういう希望のSFがいまこそ必要だよ。

女性社会のルッキズムの凄まじさが、もっとも出ているのがSNSバズ漫画で悪役やムカつく奴として出てくる女性が尽く不細工に描かれ、自画像や正義役が美人（や愛らしい動物）で描かれてる点なんだよな。少し前に話題になった「サバサバ女」もそうだけど、美醜と善悪の概念が完全に癒着している

自分で燃やすよりも燃やし方を広めた方が効率的だと気づいてしまった悪魔がツイッタ内を跋扈しており、治安の悪化が懸念されている

不機嫌は立派な暴力であるというのは、不機嫌なその本人には非常にわかりづらい。不機嫌にそれなりの「正当な理由」があるからだと思う。これ暴力も同じなんだよね。人をぶん殴るのに「正当な理由」がある。「正当な理由」っておそろしいな。

鬱っぽくなって初めて見えてくる世界があり、世間がいかにまやかしに満ちているかが分かるようになる。

自分も憲法とか何とか理念レベルで政権与党に対して好き放題叩いてきたが、現実に政権与党を支持してる人々は（一部を除き）別に保守とか右派の理念(?)を理由に支持しているわけではなく、もっと経済・物質的基盤というか唯物的な理由で支持してるので、そこは混同せずに分けて考えなければならない。

サンドイッチは、サンドイッチ伯爵という人が「ポーカーをしながらでも食事をできないか」というアイデアからできたエピソードは有名ですが、これはインターネットも同様で、インターネット伯爵が「ポーカーをしながらでもインターネットができないか」というアイデアからインターネットが生まれました

Twitterにはリプライ欄をリプライ欄だと思っている人間と、リプライ欄をコメント欄だと思っている人間がいることを理解しなければならない

団魂世代には「部下と仲良くなる為に叱った後には飲みに連れていきお前には期待しているんだと優しく言葉をかけ打ち解ける」というテクニックがあるんだけど、現代っ子は叱られ慣れてない上に上司との飲みも苦手な子が多いので、現在は「叱る癖に飲みに誘ってくるウザい上司」に変貌させる技になった。

東京の板前100人に「急須で入れた緑茶にもっとも近いのはどれ？」と訊いて62%が綾鷹を選んだやつ、他の候補がファンタとかヤクルトだったのかもしれない。

肛門の周囲を「前後左右」ではなく「東西南北」で呼んでるヤバいジジイ

秘密の質問「実家で飼ってるペットの名前は？」

僕「&g\]UKGjn4R>k]D&」

実家に帰った僕「おいで〜&g\]UKGjn4R>k]D&」

おれが何らかの組織のSNS担当になったら「巨大な犬、巨犬(きょだいぬ)」ってなんの脈絡もなく言いたい衝動に負けてメチャクチャにしてしまうと思う

「悩みってどんな悩み？」

「俺の彼女があまりにかわいすぎるんだがwwwwwww(847)」

「スレ立てるな」

7割ヤバい美容師「あ～こんなに伸ばしちゃって。切るために伸ばしたんですね。」

「DQNを銃殺しろ！俺が許可するｗ」系のって、「俺は立案も実行もせんしリスクも負うつもりないけど俺以外の誰かが本人の責任で暗殺してくれないかな」ってなもんなんだよな。

クッパのオナホの中を爆走する最悪なコース｢でこぼこバージンロード｣

ZARD理論的には「涙の数だけ強くなれる」らしいので、皆さん、自律神経をブチ壊して泣き続けることで強くなり続け、やがて最強になれます

「遺族が悲しんでるからもっと重い刑を」って言い出しちゃうと、天涯孤独の人が殺されちゃった場合と比べた時に、法の下の平等はどうすんだよっていつも思う。

人間、放っとくと、治療だと信じて水銀飲んだり血を抜いたり頭に穴開けて脳ミソ破壊したりし始めるので、「これは病気が治る聖水だよ」とただの水飲ませて満足させとくのは良い行いなのかもしれない

「CapsLockの方が役に立つ」というすごい罵倒表現を見た

その友達の記事をちょいちょい見に行ってたんだが、鹿児島に旅行に行ったときの話がすんごい琴線に触れたというか。バイクを道の駅にとめた時、隣の兄ちゃんたちが「お！キタキュー（北九州）から来たんですか！俺たちもキタキューなんすよ」って話しかけてきて、めちゃくちゃそこで盛り上がって仲良くなって、飲みに行ってラインまで交換して「お元気で！」って言って別れて、帰宅して速攻でラインをブロックした、という話。最後の「帰宅してからラインをすぐブロックした」のところが本当によくて、旅の場でしか見つけられないインスタントな縁を大事にしてるんだなってことが逆説的にわかった

男6487676人同士、密室、7日間、部屋が狭くないわけがなく…

「おれバカだからわかんねぇけど」で始まる発言が芯を食っていて、この人賢い！となるのはドラマや漫画の中だけであり、現実世界では9割5分は普通にバカ

わけもなく寂しくなることが日常の中にあって、そもそも人生とはどうしようもなく孤独なのだと思い知らされ、お祭りで迷子になったみたいな焼け焦げる不安にさいなまれて友人や家族に電話をしたりします。そうするとだいぶ落ち着いて、自分は孤独ではあるけどみんなも互いに孤独であることを思い返して救われるので、やはり会話は大事なのだなと

爆弾処理してる人「赤と青、どっちを切ればいい！」

マジで今じゃないオペレーター「赤なんだけど、君と僕の見てる赤が同じ赤である確証が無い...」

13年間経営してわかったこと

・社長は孤独、まじで

・会社は社長の器以上にならない、絶対

・100の言葉より1つのルールと仕組み

・依存しないために仕組みをつくる

・勘違い社員は社長の甘さから

・やることよりやらないこと1億倍大切

・良かれとおもった施策は大体自己満

・自己満が経営を弱くする

「おそらく、皇族が生まれてから葬儀に至るまでの日々行う動作は、食事も散歩も買い物も含めてすべて「公務」であるかのような誤解をしている人が多いのではないかと思います」という指摘も重要だ。皇室が「トゥルーマン・ショー」の出演者のように勘違いしている。他者の人生をエンタメとして消費する。演出のあるエンタメをリアルなものとして受け止めると、期待に添わない動きをする出演者をバッシングしたくなるような憎しみすら抱くようになる。それが全国的な規模で展開されているのが、今の小室さんと眞子さまの結婚を巡る誹謗中傷の報道の嵐だ。エンタメは嘘として正しく認識しなければならない。最後のまとめに全く賛成。「いろいろなメディアがやたらとアンケート調査をして「あなたは眞子さまと小室さんの結婚についてどう思いますか」「賛成ですか、反対ですか」「説明に納得できますか」などと質問していますが、これに対する一番的確な回答は「私たちには関係ない。」という答えだと思います。小室さんと眞子さまはエンタメの出演者ではないのに、そのように煽って記事を売ろうとする姿勢を見ると、障害者や弱者を感動ポルノの出演者のように演出してテレビやマスコミが取り上げることがいかに間違っているかというのを改めて感じる。エンタメを楽しみたいなら最初から嘘と理解して楽しむべきだ

世間に「政権支持か、不支持か」の対立がありますが、それとは別な線引きとして「政権に身内的共感を感じるか、感じないか」の対立もあります。菅政権に「言わんでもやろうとすることはわかる」「ご苦労様」みたいに感じる人と、「説明しろ、なぜまともに説明しないのだ」と感じる人の違いですね。

人類についての脳科学・遺伝子学の進歩から「人の知能には上限がある」という予測がされています。上限がありそうというのは悲しいことですが、本当に悲しむべき問題は「人の知能には下限がなさそう」という例が多いことではないでしょうか？

子供の頃の表現力って、読書や大人との会話、毎日触れる体験で得られるインプットの総量も大事だけど、足りないメモリーが忘れる前にキチンと読書感想文や絵日記とかでアウトプットを繰り返す事で定着していく感じがあるので、そこいらは大事にしたい派

悪魔「我が力を欲するか。ならばくれてやる。ただし代償は高くつくぞ。貴様の『記憶』を頂く」

「くっ、悪魔め！そんなに欲しければもっていけ！ UNDERTAILとダンガンロンパとブレスオブザワイルドのプレイの記憶だ！」

悪魔「UNDERTAILとダンガンロンパとブレスオブザワイルドのプレイの記憶」

ただ悲しかったこととしては、30代になってから田舎の小学校の同級生と飲みに行くことになって、同じ社会人という立場なのに「お前が払うべき」って言われた時ですかね。お金が惜しいとかじゃなくて、純粋にワイは悲しかったよ。実際ワイが払ってそれから二度と会ってないけど。

ツイッターにいる人たちは国語が得意な人たちというより 登場人物の気持ちは分かるが同級生の気持ちは分からない可哀想な人たちです

「昔の作品は面白かった。それに比べて今は」系の発言って、正確に書くと「昔のトップレベルな超名作は今の平均レベルの作品より面白かった」でしかないことが殆どなので、あまり信じてはいけない。自分の感性が衰えたり古いだけな可能性を常に危惧したい。

多様性の時代というのは、「わからない他者」とその都度のルールを作って用が済めば壊していく、そのために、絶え間なくその時々の自分を自覚し、それを表現していく必要のある時代だ。みんなが常識や正しさにもたれかかっていれば、それでよかった時代は終わろうとしている。終わらせてやろう。

私は中流階級に生まれて、小中高を公立で育った。大学・社会人以降、周りには上流階級が増えていった(彼氏も幼稚舎)。そのせいか、人の育ちや環境、能力や習慣の違いを興味深く見つめてしまう。貧富に影響する格差があるとすれば、「情報を与えられる機会」と「情報を取りにいく習慣」の差かな〜と思う

お年寄りや体の弱い人、経済的弱者、誰をどの程度救うかっていう、究極的には「好み」の話です。リソースが無限なら、いくらでも助ければいいけれど、全員助けられないとなったら、選ぶ必要が出てくる。何度もつぶやいているけれど、これは「好み」の問題であり、善悪の話ではない。

俺から見た感じ、高校生の成績が伸び悩む原因は、一言で言えば「解説もろくに読まず/聞かずに問題を解くことだけに終始してるから」で、その原因は「学校の課題に振り回されてて、それくらいしかできてないから」だと思うんだけど、ホント、なんであそこまで従順に課題の消化だけに熱心なのかと。。。

ザ・たっちが肩車をすると、約分されて1になるらしい

面接官「弊社を選んだ理由を聞かせてもらえますか？」

ヤバい就活生「いい理由と悪い理由がありますが、どちらから聞きたいですか？」

「10代で妊娠したらどうなるか」を仔細に教えた結果として「じゃあ10代のうちに産んだほうがいいじゃん」と当人たちが判断するんなら、その判断を尊重すべきなんじゃないの……?いま流行りの「子供の自己決定権」だろ、まして18歳過ぎたら立派な成人なんだし。まあ本題は「30代まで妊娠出産を先延ばしにしたらどんなリスクがあるか(不妊や障害児の確率も含めて)」とセットで教えろってところなんですけどね

イベルメを飲んで病院送りになる奴らの知性のなさを馬鹿にして笑うのはいいんだけど、知性はないけど奴らは自ら考えて判断して行動を起こしたという点において魂のある存在なんですよ。私はそこのところの話をしています。我々が彼らを知性のなさによって見下すように、彼らも我々を魂のなさによって見下すんですよ。もちろん魂があって知性もあることも稀には、可能性として否定はできませんが。

お札に、一般の方が微妙に名前知ってるような知らないような人を使えるってのは平和の証なんですよ。紙幣の信用が紙クズ紙一重の綱渡りしてるときにそういう微妙な人を起用してる余裕はないわけですから。建国神話の人間とか誰でも知ってる人しか出せない。

世の人々の多くは行動力のなさのせいで人生をダメにしているのだから、行動力によって人生をダメにした場合は少しくらい褒められてもよかろう。

「オニオンリング」みたいな当たり前のノリで「クンニリング」がメニューにある居酒屋

国を変革するにはチャネル（伝達路）－例えば宗教（または王家）－を通して大衆を徐々に教化していくこと。カルザイは扱いやすい“軽い神輿”。部族的なバックボーンが無いので諸部族を抑えることができなかった。このあたり、日本のアメリカ占領統治が成功した背景に天皇家存続の重要さを感じる

英語を一番楽しんでる人「ここでam！？！？！？！？」

恐竜は「行き過ぎた科学技術は害悪になる」という作品が溢れ、その後追いが溢れて価値観が画一化されてしまったから絶滅した

「本当の恋愛」「本当の気持ち」「本当の誠実さ」……「本当の」という言葉を冠して、人は自分の感じているリアリティを、無理やり普遍性に繋げていく。それはオルタナティブな現実への想像力を欠いた、エゴセントリックな態度である。

それにしても、（細々とはいえ）個人サイトを持つ者として、そしてツイッター等のSNSを嗜む者として、著作権問題という「時限爆弾」の怖さよ。他方で、現行法上は違法に位置づけられる諸々の行為が、本当に創作誘引を損なっているのか、という制度の根本に思いを馳せるこの頃。

なんだかインターネッツは不寛容な世界になってしまったなぁと思ってしまいそうになるけど、ネットワークが大きくなって、ネガティブコメントが目に入りやすくなってしまっただけなんだよなきっと。負の感情の方がバイラルしやすいし。ポジティブなツイートを多めに出すアルゴリズムを導入して欲しい

「2ちゃんねるは匿名だから荒れるし誹謗中傷が起こる」説が主流だったころは、アカウントを提供するサービスがこんなに厳しい世界になると思ってなかったですね。

「いつも彼氏とイヤホン半分こしてバンプ聴いてます」っていうカップルの便りに対し、藤原基央が「ステレオ音源はLとRで違う音が鳴ってるからやめろ」って言ったの、いい話だと思う。

黒人の画像に「猿」の自動ラベリングをしたAIが炎上するも、白人の画像でも「猿」と認識されることがわかって炎上が取り下げられるが、実はIQの低い顔を見極めて「猿」とラベリングしていることが判明し、また炎上した回

黒人とアジア人の間には明らかな体格、骨格、筋肉量の差があるが、仮に知能指数に遺伝的にその程度の差があったとしても絶対にそれを認めたがらない人はいるだろうと思う。「環境の違いを考慮しろ！」という意見でリプライ欄は押しつぶされ、アファーマティブアクションへのステップを踏むことさえ許されなくなる。統計的事実を認めることと統計的差別をすることの間には海よりも深い差があるが、差別絶対反対論者の前には響かないのだろうな。この話、いくらフェミニストに「ただイケはある」と言っても全然相手してくれない現象に似てる気もする

んな思想を後ろ楯にしようが、ワクチン打ちたくないってのは結局自分が一番かわいいと思ってるだけなんだよ。人によっては打つと危ない体質の人がいるのかもしれないけど、それで周囲に広める確率が減らせるなら愛国者なんか率先して打つべきでしょ。こういう人達って自分は打ちたくないけど他人のために打つという発想が皆無だよね。

使える使えないってよく言われるけど、その人の能力に合わせて配置することと、その人が能力を発揮できる環境を用意するのは上司の役目なので、本人は悪くない（というと語弊があって上司仕事しろ。ってケツを蹴るのは自分でやる必要がある）ので、あんま気にしなくていいんじゃないかな。

肛門を思いつきそうな創造主「これ、出す穴もいるな…」

「ワクチン二回打ち終えた後で反ワクチンする」という恐るべき人間がいるらしく、「自分だけ命綱をつけて他人に紐なしバンジージャンプをさせるが如き所業」と戦慄している。

おそらく当時は同時代的な物語であった筈のサザエさんが「懐かしい昭和の風景」となり、最後には「不可解な異世界の話」になったことで姿を消したのだとするとクレヨンしんちゃんが今ちょうど「懐かしい」フェーズあたりに差し掛かっているのだと思う

自閉症スペクトラムの人は、独り言が多いとされる。これは内言語機能（思考や黙読といった音声言語を伴わない内面的な言語活動）が乏しく、思ったことがそのまま口に出てしまうからである。

「そうすることでしか生きられない」人がそうしなくても生きられる人から「好きでやってるんでしょ」「自分で選んだ道でしょ」と片付けられるほど残酷なことってない

一度メンタルが壊れると、本当に重たい足かせを付けることになるからね。パソコンに例えるなら、メモリ不足で動作が遅くなる感じ。何かやろうとしても、余計な不安が入り込み、通常の何倍も時間がかかるようになるんだ。そして、この足かせはなかなか外れない。壊れるまで頑張るのは、やめてください。

お盆ですね。涼しい部屋で好きなことに没頭し、少し明るいうちから、ゆっくりお風呂に入る。風呂上りには、濃いめのカルピスを飲む。夕食に唐揚げとか好きなものを食べてから、懐かしいアニメや映画を見て、早めに寝る。これで日本人の8割は子どもの「夏休み」を思い出せるので、やってみてください。

自衛隊には「弾丸も貫通しない筋肉を手に入れる」とバキバキに鍛えてる人もいれば、「撃たれたら終わり」とほとんど鍛えない人もいる。なかには「鍛えると趣味の女装に差し支えがある」と言ってランニングすらしない優秀な先輩もいた。ただ、こんなに考えが違っても、災害時とか皆一丸となるから胸熱。

嵐のなか4km泳いだり、雪のなか100km歩いたり、山のなかに1か月近く籠ったり、いろんな修行をしてきました。でも、パワハラで簡単にメンタルがぶっ壊れました。たぶん「メンタルを強くする」って無理。経験上、メンタルやられないように「こまめに回復する」「ヤバい時は逃げる」が正解だと思います。

金曜日。夕方に重めの仕事メールなんて送ったらダメだよ。そのメールひとつで誰かの華金や土日が憂鬱になるかもしれないんだ。そして、多くの人が金曜日の夕方に重めの仕事メールを送らなければ、幸せな華金や土日を過ごせる人も多くなる。金曜日の15時以降の重めの仕事メールは禁止にするしかないな。

自衛隊にいた時、師団長からいただいた「ただの事実の羅列の資料はいらない。指揮官が適切な決心ができる資料で報告しなさい。」という指導。外資でも通用する最高の教えでした。

20代〜30代に突如訪れる人生の停滞や不安、「クォーターライフクライシス」って言うらしいよ。名前が付いているくらい有名で、多くの人が感じていることなんだ。自分だけが感じているのかと思ってたよ。みんな同じなんだね。

私が今まで出会った人のなかで、心底「コイツは凄い！」と思えたのは、F15のパイロット。彼らの思考には全く無駄がない。音速の世界で生きてるから、結論に到達するまでが最短最速なんだ。今まで国や外資で優秀な人と仕事したけど、生物としての圧倒的な敗北を感じたのは、F15のパイロットだけでした。

とても残念な話だけど、世の中「何を言うか」より「誰が言うか」が重要なことが多い。例えば、仕事では自分が発言するより、上司に言わせたほうが効果的な場合が多々ある。仕事に限らず、本当に伝えたいことがある時は「拡声器になり得る人」を上手に使うことも考えたほうがいいですよ。

こっそり教えたい褒め方の技術だけど、「仕事できますね」より「仕事できるって言われませんか？」のほうが相手に受け入れられやすい。直接褒めるとお世辞っぽくなるけど、第三者から聞いたことのように褒めると信憑性が高まるんだ。褒め上手は、仕事だけでなく、家庭の雰囲気も良くするから必須だよ。

「先生、私の体は手術で治るんですか？」

「勿論です、ただ確認なのですが、内臓の配置とか気にするタイプですか？」

「セカンド、セカンドオピニオンを下さい」

仁の曲思い出そうとした時に2択外すとアシタカせっ記になってしまう

友達に暴力ふるうのはやばいけど、彼氏と彼女なら殴ったり殴られたりすることもあるんじゃない？と思うけど、まあ考えてみたら彼氏彼女も口約束に過ぎないし友達と大して変わらないもんな。結婚して家族になった訳でもないのに暴力ふるうのはやばい。

性規範が解体された結果、男も女に対して甲斐性を発揮しなくなってるんだよね。男女両性が互いに忠誠心を持ち合わせなくなるのが「自由」な社会。女をオナホ代わりにヤリ捨てするようかナンパ師が増えてるのって、真面目な話フェミニズムの成果なんですよ。「男性規範から降りた」男たちが本能のまま行動すれば当然そうなる。そんな社会がみなさん良いんですか？と俺はずっとゆうとる。

日経ダイアモンドと東洋経済と日刊ゲンダイと現代ビジネスの記事とひろゆきの顔が流れてこないニュースサイトを探した結果、最終的に中学高校生新聞のネット版に流れ着いた

アラビア語ネイティブの人が「日本語の"つ"の発音コストが高すぎる。"つ"と発音するだけで一日分のエネルギーを消費する」と言っていたのですが、筒香を見るたびに「2日分のエネルギー」と思う

何を経験しても記憶に残らないのは、誰もがすぐに写真を撮るようになったからだという人がいた。心の旅、そのなかでしか見えない景色は写真には撮れない。心象風景は、その光や音や匂い、体感の結晶であり、それはくりかえし思い出して、その意味を捉え直すためにある。昔のケルトの神官である「ドルイド」が教義を紙に記録せず口伝で伝承したのは、文字を知らなかったからではなく（知っていた）、書いたものを読んでいるようじゃ頭が悪くなると考えていたからだ、という話を思い出した。

結婚するときは「ぼく働けないし子どもはなしで～」って言ったら「2人だけの暮らしも良いよね～」って話してたのに、いざ20代が終わりそうになったら「できなかったら2人も良いとは言ったが、私は子どもが2人欲しい」になるの、マジでビビった。

最近 IT 古文書みたいのを読むのにはまっているんですが 1981 年の日経新聞よんだらコンピューターとネットワークの進化で在宅勤務のようなことも当たり前になるから文化やソフトウェアに力を入れていかない企業や国家は沈没するって書かれてて、みんなこれを分かってて実際こうなったのは面白い

妻と一緒にトーストを食べる際、テーブルに細かなパンくずが落ちる。俺は集めてゴミ箱に捨てるタイプだけど、妻は集めて床に落とす。その場では何も言わずにあとで俺が掃除するという夫婦生活を20年くらいやってる

自らを高IQだという人は自称高知能の社会不適合者だと思っているが、これを一段階抽象化すると「社会的に認められた指標や肩書き以外を用いる人は承認欲求が満たされていない、相手を騙そうとしているなど、何かしら人に言いづらい目的のためにそれを用いている」と言えそうやね

「彼氏の条件として『殴らない』を挙げるのはハードル低すぎ、殴らないのは普通」って話、普段からボコボコ殴る男はそりゃ話にならんけど、年１くらいの大喧嘩でも何があっても絶対に手を出さん男ってそれなりのハードルじゃない？そんなことない？普通は絶対殴らないの？私は彼氏殴るょ

「頭脳流出すれば日本政府は研究費を出さなくて済むし中国は優秀な研究者をゲットできるから、頭脳流出はパレート改善」、確かにそうでウケた

中立を気取ったり自分を例外に置くつもりはないのだが、かつてジェンダー論みたいなものを議論していた界隈は、フェミニストであれその批判であれ、ほとんどがかなり先鋭化してしまったので、現実的な自分の落とし所を考える上で有益となるような情報はネットだと限られてきているという所感がある

頭脳が海外流出って言っても、どうせ海外研究所の日本人がノーベル賞取ったら日本の成果のように言うでしょ。

うんちのRTA｢ここで本来であればおしりを拭くのですが｣

十数年前は『品の無いおっさんが集まって下品な冗談や時事ネタや誰かの悪口しか言わない閉鎖的な町内会や法事』をああいうのは嫌だねと批判していた当時の若者が今では下品な冗談時事ネタ悪口を言う閉鎖的なクラスタ化されたSNSのおっさんになっているのを見て小スキピオは涙を流したと言われている

ネットの悪いオタクと戦いまくって悪いオタクの技をラーニングしまくった結果悪いオタクのダシをぜんぶ吸収したような振る舞いをするようになった人が、自分は悪いオタクと戦ってると思い込んで無害な一般人に斬りかかってるの、きたねえまどマギって感じで本当にひどい

陰謀論の怖い所、普通の人でも匿名掲示板のアンチスレみたいな語彙になってしまう所だと最近つくづく思います

実は日本人って内服薬が大好きで、たとえばタミフルは世界の消費量の75％を占めています。一方で、コロナワクチンやHPVワクチンなど注射は極端に嫌がる傾向があり、反ワクチンみたいな小難しいことを言ってても、結局は注射が怖いと言うのが根っこの理由なんじゃないかと思う。

新卒3年は勤め上げるべき論、単にイケてない企業だと3年でモチベが消滅して経営者目線で扱いやすい人材になるというだけの話だった。

数検1級は群論も位相空間論もルベーグ積分もフーリエ解析も範囲外。

英検1級は単語だとantepenultもpituitaryもtrapeziusもbathosもoperadも範囲外。漢検1級の範囲はCJK統合漢字の7%未満で、鱔も鐳も鼉も蘞も齾も砅も饢も𪆧もマニアックすぎて出ない。

四谷学院「なんで私が東大に!?」

就活の四谷学院「なんで私がGoogleに!?」

代ゼミ「志望校が母校になる」

就活の代ゼミ「御社が弊社になる」

東進「おそらく天才でない君へ」

就活の東進「おそらくプロフェッショナルでない君へ」

駿台「第一志望はゆずれない」

就活の駿台「第一志望はゆずれない」

就活の最終面接で「人生最大の挫折経験は何ですか？」に「御社に落ちることです」って答えてその真偽が採否を分ける場合、パラドックスが起こる。「御社に落ちる」が嘘だから減点で不採用とすると正しい発言になって矛盾。正しいから合格点に達して採用になると嘘だったことになって矛盾。無限ループ。

炎上しない世界線の森喜朗「女性の割合と会議の時間に有意な正相関が見られ、交絡因子を多数想定して重回帰分析を行っても偏回帰係数が正だったと信頼できる学者が仰った。従って女性が時間延長の要因と考えられるが、女性が悪いとは言えない。平等に意見を反映させるため、発言時間を一律にすべきだ」

昔、親友がキャバクラで「俺たちがこうして呑気に飲んでいる間にもアフリカでは1分間に60秒が流れているんだぞ！」とボケたらキャバ嬢が「ちょっと、辛気臭い話はやめなよー！」と発言していて「あっ、本当に客の話聞いてないんだな」と爆笑したことがあります。この話大好きです。

もし魔法が実在したとしたら、途端に研究が進んで様々な性質が解明されて「科学」になってしまう。魔法と科学を明確に区別できる定義はない。中世の人からすれば飛行機やスマホは魔法で動いているとしか思えない。電磁波は実は魔法で、研究が進んだが故に現代人が科学として扱っているだけかもしれない

魔法使い「科学は魔法には勝てないのよ」

科学者「それは違う。君だって魔法が引き起こす現象を冷静に観察し、ああでもないこうでもないと対照実験を繰り返して魔術を身につけたのではないか。そうやって現象と真摯に向き合う姿勢こそが科学であり、自然界の法則は全て科学の研究対象になりうるのだ」

円周率は小数点以下31兆桁求まってるけど、宇宙光の地平面の半径をr≒465億光年≒4.4×10^26 m, プランク長をlとすると2πr/l≒1.7×10^62だから「この宇宙にある最も大きい円周はこの宇宙で最も小さい長さいくつ分か(整数)」を求めるのに63桁分かれば十分だから、それ以降の桁は直接的には意味をもたない

ホラー映画見てて思うのは、既知の物理法則に従わない異形のものが現れたとしたら科学はもう手の出しようがないけど、それでも数学・論理的秩序は有効で、未知のものであっても冷静にどんな法則に従うかを分析できるので数学と人間の理性は強いなあってこと。世界が存在する限り数学は不滅なのだ。

幼稚園バスを運転するまさおくん、最初はいつものように「うわーーん！！！」って泣き叫んでるんだけど、ハンドルを動かして敵を河川敷へと落とせることに気づいて『覚醒』するシーンかマジで最高で、こいつにだけは『暴力』や『権力』を与えちゃいけないって強く思わせてくれるんだよな

弁護士ですら交通事故に備えて弁護士費用特約に入ってる、なんなら積極的に加入を勧めるという点だけで、皆様にも弁護士費用特約の必要性・有用性がご理解いただけると思います。損害額が小さい(物損のみの過失争いや軽傷で短期の治療期間等)場合、弁護士が入って増額する分より、弁護士費用のほうが高くなって依頼できないという状況をよく見ます。自分で交渉や裁判できなくもないですが、それが簡単かつ適切にできるなら、我々は何年もかけて司法試験の勉強をしません。また、交渉・裁判には印紙代、郵券代、強制執行のための調査費等々のお金がそこそこかかります。例えば相手無保険で判決取れたら預金口座を探しますが、一つの金融機関に照会するのに7000円ほど手数料が生じたりという感じ。そこまでやっても相手からお金を回収できないと、弁護士費用含め全部自腹です。そんな状況、到底納得できないでしょう。それは理解します。でも、経済的にペイしないからといって、弁護士に「泣き寝入りですか」と言われても困ります。どうしようもないことは世の中にどうしようもなく存在するのです。そんな悔しい悔しい「泣き寝入り」を可能な限り防ぐのが弁護士費用特約です。上記の費用は一部の例外(請求額が数千万で特約の支払枠を超える場合等)を除き、特約から出ます。使っても保険料は上がりませんし、月数百円の特約です。正直に申し上げて、付けない理由が無い特約です。というわけで、自動車持ってるなら絶対つけましょう。人身傷害保険・ドライブレコーダーと合わせて、当職は「交通事故三種の神器」と呼んでいます。家族の自動車保険が使えたり、火災保険に付いてたりもするので、見落とさないように注意です。最近のドラレコは高画質なのでデータ容量をかなり食うんです。8GBで約1時間しか録画できないので、事故に遭ったらエンジン切ってすぐSDカード抜かないと、家に帰る間に上書きされて消滅なんてことがよくあります。こんなんで有利な証拠を失うなんて目も当てられませんから、気をつけてくださいね。

パラリンピックって初めてちゃんと見たけど、オリンピックが基本は20代以下くらいの若くて身体的にも最高潮の人達がメインなのに対して、パラの方は参加してる人の年齢も実に多様で、スポーツはいくつになってもどんな状態になってもやっていいし成果を出せるんだ、って希望を抱かせるよね

ルイ16世のパワータイプの逸話に、趣味が「鍵造り」というのがあって、当時は原動機なんか無いから鍵も錠前も手作業で鉄板を成形して作るからストレングス、デックス、インテリジェンスの全部を要求される大変男らしい趣味で、同時期の知識人に流行ってたらしい。啓蒙思想、理性崇拝の時代、啓蒙思想が生んだフランス革命で処刑される最高権力者の趣味もまた知性と力の両方が必要で啓蒙思想が背景にあったみたいなそんなお話。処刑直前、自分の首を切り落とそうとしているギロチンの刃の取り付け角度について改善案を指摘してるのも、そういう工学教養から来るもので「自分がどんな王様だったのか」を短く遺したエピソードとかそう聞いた。

人工肛門は自分の意志で制御できないから、仕事でお客様とやり取りしているときも急に爆音波みてぇなおならが放たれたりするけど、「いや客の目前で一切の遠慮がないフルパワーのおならをする人間がいるわけないよな…」という相手の先入観を利用してなんとかまだ生き延びている

好きな曲があるのは嬉しいんだけど、だからってずっと聴いてしまうとどうしても味気なく感じてしまう悲しみ

コインに王様の横顔を彫るのは、古くは広報メディアとしての役割もあったという。テレビも印刷もない古代では、誰も王様の顔なんて見たことない。毎日使うお金を通じて、皆さんの統治者はこんな人ですよと知らしめる。紙幣に権力者や偉人の顔を彫るのも発想としてはその延長で、経済圏と文化圏と権力を等号で結ぶ。聖徳太子のお札を使う人は、大昔に聖徳太子という偉人がいた社会の子孫の一員であることになる

大人になる要件のひとつが「年少者に寛容になる」ことだと思っていた時期があったけど、当たり前だけどつけ上がったり舐めた態度取り始める奴も出てくるので、今は相手見てやってる。こいつの相手はしないと決めたらもうしない。

仕事も自炊も適切な指導者の元で適切なフィードバックをもらって自分で実際に手を動かしてやるってのが大切なんよね。それを3ヶ月くらいやると大体仕上がる。そしてできる事が増えて、自尊心や自己肯定感に繋がる。人生のクオリティはこれをどこまで拡張できるかで大体決まる。

昔、何十万部も売れる本をどんどん出していたやり手編集者の人が、「本の中身を読ませたら負けだ」と言っていた。つまり、買って帰って、けっきょく読まないような本、それこそが売れる本だ、ということ。「中身で勝負」なんていうのは、その時点で負けていると言っていて、大変に衝撃的だった。

「ねぇ、ママたちが子どもの頃配られたタブレットは何だった？」というデジタルネイティブ発言の娘

遠い未来、2010年代悪趣味サブカルチャーこと『真夏の夜の淫夢』のニコニコ投稿者達が“総括”される悪夢を見て、汗だくで目を覚ます夏の日。「“ご本人様”に連絡を取れる手段を探し、直接謝罪したいと思っております」

企業広報について、最近は親近感を持ってもらう為に「中の人」をどんどん出して行きましょう、みたいなのがあるのかな。「ドラ泣き」を好む層にリーチしてるなら正解な気がするけど、捻くれオタクにとっては単なるノイズになってしまう。そして、ワシらのようなインターネット生態系の底辺分解者達に揶揄され続けてしまう

映画倍速→全然理解出来る

金曜ロードショーで前/後編に2週で分割されて15分ごとにCMが入るやつ→理解不能、冒涜、悪魔崇拝、教会放火、人身売買、レプティリアン

でっかいヒグマに襲われて、上半身を失った。今、下半身だけでネットをしています。

エヴァ見て思うのは、荘厳なクラシック音楽と共に自身の生命を脅かす得体の知れない存在が顕現すると、神やなにか神聖なものを目撃してる感覚になる。庵野監督の、緊張を溜めに溜めてから一気に解放するような作画、人間の快感原則に乗っ取った演出力は世界トップレベルだと思う。合理的な訓練ではたどり着けない狂人特有の異次元演出力

「調教師」という文字列見ると、どうしても脳のニューロンが淫夢方向に発火してしまう、悲しすぎる。絶縁体挟んどきたい

顔中でアレルギー反応を起こすヤベー粉が街中に散布されたら大事件だけど“花粉”と称してそれを認めてしまってるクッソ哀れな人類。

宇宙一ガバガバに運用されている時計こと終末時計

小説十八史略で、紙を発明した蔡倫が出てくるときに「出世欲すごくなるけど、たまーーーに偉大なことをする宦官もでてくる」って解説されてた気がする。中国王朝か何かの本で、去勢した宦官は性欲の代替に出世欲をドシドシ満たしていく傾向がある、みたいなのを読んだ記憶ある

宇宙人にとって最大の敬意を示す方法が「ドロドロの粘液を頭からぶっかける」みたいな感じだったら最悪。逆に、我々が握手や敬礼と呼んでる奇妙な動作が相手にとってとんでもない侮辱になる可能性もある

ベターコールソウルでも論理的思考が出来る優秀な弁護士が電磁波過敏症に陥ってく様を執拗に描いてたけど、こういう非合理的なパラノイアだったり統合の失調は本人の教養や知性とは無関係に発生するから怖い。論理的思考を大事にして目の前の事象に常に懐疑心を持って向かう人が、まったく非論理的な理由で何かに怯える、というような事象は偉人・賢者・科学者の中にも割とよく見るし、わし自身非論理的な何かに怯える事がよくある。

ツイッターの返信非表示機能「非表示にした返信があります」なんて出るから夏場の放置弁当箱を開ける気持ちでわざわざ余計に見たくなる

「悪い事すんなって言ってんじゃないの、ダサい事するなって言ってんの」この戒を守るのは不可能。何故なら男はマスターベーションをするから。ダサくないマスターベーションなど存在せず、全ての男は情け無い顔で絶頂に至る。ダサくない人間など存在しない

サントリー、適正飲酒啓発活動みたいな事やって諸々の賞を受賞してる一方で、ストロングゼロは「ギネス記録！世界No.1！肉！現金！当たる！」といった極点に振れており、企業の社会的責任について考えてる

自分たちの労働には「相応の対価を」っていうけどサプライヤが真っ正直に値上げしたら誠意が足らないって怒られる事例、世の中にはたくさんある。

Twitterで見かけた「年下の人と仲良くなれた気になるな、気を遣われているだけだ」はこの10年で1番有益な情報だった。これだけを忘れずに歳を重ねていきたい。

ホラー苦手な人とホラー見た時にまだ何にも怒ってない時点で「もう怖い」って言われて何言ってんのかわかんなかったけど「画面が暗くて怖い」って言われてどうしようもない溝を感じた

珪素生物から、地球でのガラスやシリコンの権利の侵害について提訴されるも、宇宙裁判所への行き方が分からず途方にくれる人類代表

マナー講師「お洒落と身だしなみの違いはなんだと思いますか？」

思想の強い受講生「身だしなみは社会からの抑圧、お洒落は抑圧からの解放です。」

1億の借金で笑ってる人もいれば、百万の借金で首を吊る人もいて、失恋してすぐ次行ってみよ！っていう人もいれば、深く病んだりする人もいて、4人楽しく子育てしてる人もいれば、1人で限界来てる人もいて、人の経験値とかキャパってものすごい違うからね。一概に主観でモノを言うのも気をつけねばな。

「実家が太いとリスクが取れるので、結果として成果も出る」という残酷な事例は40歳まで生きてると周囲でもたくさん見る。

「専門家が言ってるから従っておこう」って全然悪いスタンスじゃないと思う。自分の頭で考えようって言ってる人もほとんどはベルヌーイの定理すら知らずに飛行機に命預けてるし

「DAMチャンネルをご覧の皆さん！カラオケ、楽しんでますかー！？」←盛り上がってないからお前が出てるんだろ

女性が一般的に、優れた男性に好意があって、自分より劣っているとみられる男性に対しては冷たくなるのは、随所で再現性も見られるし変更は基本的には不可能というか、社会的にも変わらなきゃいけない必然性もないような気がしている。この社会は社会主義ではなく資本主義で、どんどん自由度が増していて優れた人とそうでない人の待遇や環境の差も開いている。男性は努力するなり挑戦するなり色々と勇気を出して取り組み、稼ぎ、地位、名誉いろいろと獲得していくしかない。ツイッターでは「男性性から降りればいい」とか言ってる人がいたりするけど、そういう人は赤の他人で人生に何の保証もしてくれないわけだから、自分のみは自分で守るべく、一生懸命稼ぐなり出世するなり頑張った方がいいわな。

『納税額の多い者ほど投票権が大きくなるべき』というの端的に言うと『ゲームの勝者が更にゲームのルールやデザインにより強い影響力を持つべきだ』という主張だと思いますけど、そうやってコアゲーマーの言いなりになったゲームがどうなるか、まあゲームオタクなら大体想像出来ますよね。そういうことを真顔で言い出すコアゲーマー、ゲームに関わらせては行けない馬鹿か、あるいは小賢しいレントシーカーですよ。どっちにしてもゲーム運営にあんまり関わらせたくはない。フリーライダーを社会から徹底的に排除せよ、という思想で運営されるソシャゲがどういう末路を迎えるのかについて考えてみるのも示唆的なのかしら。無課金死すべし、慈悲はない。どこからどこまでが『タチの悪い無課金』かどうかって難しいところだよね。気持ちよく育てていれば上客になったかもしれない無課金厄介勢というのもいるにはいる。しかしまあ、新規客を育てるという発想のない商売、あんまり長くはないんじゃないですかね。まあ俺も面倒な古参プレイヤーなんで新参からは『邪魔だなあコイツ』て思われてそうですけど……。ゲームデザインが上手いことと、ゲームでマンチキン行為に励むのが上手いことは違うと思うんですけど、なんかマンチキン共は『こんなにゲームが上手い俺達の意見が取り入れられないゲームなんて間違ってる』という顔をするんだよな。ゲーム業界に限った話じゃねえんだなあそういうの。笑うしかない。フリーライダーより先にマンチキンを社会から排除した方が世の中平和になるのではないかという天啓が下った。「そういう改革を主導してきた人間は別にゲームの勝者ではなかっただろう」という主旨の反応があったのですが、それは絶望的にゲームデザインのセンスがなかったという話なんじゃないですかね……。まあなんかこう、ゲーム大国なのに政治にゲームデザインのセンスが欠落している、ての皮肉な話ですが。

対戦ゲームでプレイヤーが「ゲームバランスが取れている」と感じるのは五分五分の勝率ではなく、相手よりも自分が勝っているときである、て話があるんですが、これはあらゆる人間関係についても置き換えられる話のような気がする。あなたが「対等」だと思ってる関係、ホントに対等？みたいな……。

僕の知り合いの30代後半の友人が、「1回目ワクチン予約できました」と上司に言うたら、「まだ予約してなかったの?」って聞かれて、「いや30代以下の予約始まったの今週からですよ」「でも日本人の半分がもう受けたって言うてるやろ」「日本人の半分が現在48歳以上です」「」という会話があったとな。

話は天高く飛びますが、いまどき女子高生のトレンドばかり追いかけてる「めざましテレビ」には申し訳ないですが、令和３年８月現在、国内の女子高生は、総人口の、わずか2.18％しかいないという事実…。

ひろゆき氏がデジタル庁の選抜かなんかで落とされたという話ですけど、あの人皮肉めいた話し方でしか人と関われない気がするから、組織の一員には向かないんですよね。正直上司にも部下にもしたくないタイプです

「AよりBのほうがマシ」という話が、いつのまにか「Bが素晴らしいとは何ごとか」「Cであるべきではないか」という話に変わってしまう。こういうことがあると、Cの実現が非常に困難な時、さしあたりBがAに変わることを阻止する、という道を失ってしまう。漸進（場合によっては改悪阻止）か、根本改革か、というのはいつでもどこでも難しい問題で、漸進はむしろ構造的問題の温存となりうる一方で「未来の根本改革の願望」もまた実際的な改善努力の意思を挫く。根本改革が容易く副作用無く出来るなら何の苦労も無いのだが、その認識も人により大きく異る

「自分は恵まれた環境で育った」と宣言した上で「そういうのはなくすべきだと思う」と主張してもいいじゃないかと思うのだが、規範的な人というのは一点でも曇りがあることを嫌うよな。「私も差別的なことをいって不快な思いをさせているかもしれません、でも」とはいえない。無謬性にこだわる。

「やっとトランプを追放できた。これで安心できる」という人たちが次に考えることは「もうこんな思いをしなくて済むよう、トランプみたいな人間が出てこられない仕組みを作ろう」だよな。様々なところで「今までは許されていたがこれからは許されないもの・こと」のルールが作られていくことだろう。しかし陰謀論をあざ笑っている側が「犬笛」という理屈を持ち出して「奴らはそうと明言しないが、奴らの間で通じる符丁で意思を通じている。私達にはそれが分かる」というのは、陰謀論に片足を突っ込んでいるというか、自分は陰謀論脳ではないというセルフイメージを守りたいだけの陰謀論脳でないのか。陰謀論を「複雑な世界を理解できない人間が自分に理解できるもので強引に埋める行為」と賢い人間がバカを眺める目線で言うが、「個々の人間が土地や能力や環境の制限の中で働き生きること」を理解できずに「差別や努力や政治的信条」という理解できるもので強引に埋める行為も陰謀論と大差あるまいよ。

あれもこれも言わないようにしようと考えた結果、TLの話題に関して一般論を蕩々と述べるだけの悲しきインターネットモンスターになった

「電気、消すね？」

“電気”という概念そのものを消すと思ってる女「やめろ！！！！！！」

ワルイージって「結局何者なのか」が描かれてなくて時々ちょっと怖くなるんだよな。ワリオはトレジャーハンターの側面もあるしゲーム開発にも勤しんでるけど、ワルイージは「ワリオがレジャーに参加する時なぜかそこにいる」だけで私生活や本人の背景が全く見えてこない

「人は一貫性のない生き物であり、むしろ一貫性のない方が普通」一般論としてみんな同意はするけど、今まさに目の前にいる一貫性のない生き物がそれを（開き直りの文脈で）言い出したら寄ってたかって攻撃しだすイメージ

どしたん話聞こうか？俺で良ければ話聞くよ？あーそれは産業資本家が悪いわ。俺だったらそんな思いさせないのになぁ。てかこのあと空いてる？団結せん？笑

「銃の反動ってすげえなあ」を「すげえなあ」で終わらせずに「なんか使えるんちゃうか？」となったのが機関銃の始まりなので、着眼点というのはいつも大事

まえ、すっごい理屈っぽい人に「理屈が服着て歩いてるみたいな」って言ったら「理屈は服を着ませんよ？」って言われたのを思い出した

昔は子供の死亡率が高かったので七五三がお祝いになったというのと、最近のソシャゲはハーフアニバーサリーでもお祝いをするというのが合わさって残酷な事実に気付いた

人から頼まれる、っていうのは多分みんなが思っている以上にすごいことで、自己分析なんかよりもはるかに正確に「あなたは何者か」を教えてくれてるんだけど、なぜかそれを断って自分のやりたいことをやるために「自分は何ができるんだろう」って悩むのってすごく矛盾してるのよな

メガネやコンタクトをして試合に臨む選手も多いが、彼らのうち全員がパラリンピックに出場するというわけではない。何が障害で何が障害ではないのかがアプリオリに定まっていると思われがちだけど、実はかなりファジーな境界線だけがある。障害の定義は文化や時代や政治的駆け引きによっているのだ。それが多くの人に意識されてくると、人体とは何なのか、健常者とは何かという話になってきて、いよいよ世界は攻殻機動隊のような「義体」化を射程に入れるのだと思う。車椅子マラソンや走り幅跳びで、健常者はもはやパラリンピック選手に勝てない（カーボン製義足は人間の足よりも強靭でよくしなる）。

簡単に「～～は～～じゃない。少し考えればわかること。迅速に～～すべき。」とか何目線でツイートしてる人を見ると「それが不可能であるって点を除けばよォ～」という例のセリフが思い出される。

結局のところ、ネットだけで議論を無事に成し遂げるのは本当に難しいと思う。もう誰もかれもぶつ切りの文章を読んでセンター試験国語もどきをやってるだけでしかないってそれ一番言われてるから バックにある、そのことばが発せられた意図を探ろうとする殊勝な人なんてツイッターにいないだろうし、いたとしても（そのような思慮深い人は断定を避けるために）目立たないだろうから。あらゆる言論はネット上で定量化され、順序付けられ、SNSや検索画面のアルゴリズムにのっとって上位表示されるかどうかが決まるのだから、過激で人を傷つける先鋭化した意見が上に来るのはある意味当然 ○○派もアンチ○○派も、その土俵の上で同じことやってるだけなのよ

その問題に詳しくなくとも誰でも話題にしていい問題提起していい、という絶対的な前提は認めるとして、自分が当事者や当事者に近い人間だったときの「もうちょっと調べてから出直してきてくれませんかね…」って言いたくなる気持ちもものすごいわかる。そんな二周三周遅れの結論だしてドヤァってしてるのお前だけですけど？？みたいな。そういうとき、自分が有識者という暗黙で引用RTをしてぶっ叩くのも、それはそれでアリ。いっちょ噛みの面倒な手合いを防いでいく戦術として。

「蛇蝎のごとく嫌われている」を一瞬「脱兎のごとく」と読みたくなる衝動にかられる。

Twitterは「フォローしてくれてる人しか引用RTができない」のボタンつけてくれ。異論反論が嫌なんじゃなくて、外に拡散されると壁新聞（私のツイート）を指さしながら辻説法始めるみたいな人が出てくるから。フォローしてくれてる人なら私が壁新聞ではなく人間だと知っているのでそういうことはない。

「女性が悲惨な目に遭い、特に救済はされず悲惨なままだが、なんだかエモく美しく終わる」深い「風」な作品を書くらいならなあ、「Yeah!めっちゃ中車」ていうタイトルの本を書いた方がまだマシなんだよ！

実際俺だけがこんな感情を持て余しているはずがないので、これはあなたたちの話でもある。アーチェリーみたいな、コンパウンドボウみたいな、素人でもある程度扱えるような感じの洋弓をさ、空に向けて、というか、曲射って感じの角度をつけて、バンバン射たい……射たくないか？シューっと飛んで、落ちて、良い感じに的に刺さるんですよ。的に刺さんなくてもいいんだ別に。結局何かには刺さるわけで、それでも十分だ。バンバン撃ちたいんだよなとにかく、そういう感情があるんだ。ないですか？ないわけないよなあ！

あとね、似たような感情として、水が半分くらい入ったペットボトルを思いっきり投げたいんだ。重心がこう、良い感じに偏って、グルングルン回りながら飛んでいって欲しいんだよ。これだってわかるはずだ、人間同士なんだからわかりあえる。俺は大富豪になったら絶対にやるよ。広い芝生の庭で、アーチェリーを撃ち、ペットボトルを投げる、そういう形の幸せがあります。

あとどうでもいいけど、明日の飯どうしようね。どうしたらいいと思う？餃子食いたいけど、作るのめんどくさすぎるし、弁当にするのに向いてないんだよな。豚キムチは最近やってないからアリかと思ったけど、シンプルに気分じゃないなあ。鳥は最近続いてたからほかのがいい。これはアレか、もうマックとかに行くのが結局いちばんいいのか。あるいはそうかもしれないですね、マックに行こうかな。

ツイッターでは、学問的な議論はできない。簡単に理由を書くことはできても、明確な根拠を詳細にわたって提示するのは不可能。それをいいことにして、狂ったクレーマー連中の歴史ゴロは、執拗に議論を仕掛けてくる。そんな奴は即ブロック。最初からクレームをつけたい狂った連中だから相手にしない。

原子核に入ってる陽子や中性子の数がちょいと違うだけで物性がめちゃくちゃ変わるの、不思議すぎる…

正直なぁ、向こうで宗教学研究、民族研究、冷戦期中国研究(文革）、ジェンダー研究、が色々と微妙に危ない目にあっているのを、直に聞いた事あるので、「中国の大学院研究環境スゲー」とか「中国は文化大国化、文明国家！」とかちょっと疑った目で見てる。理化学分野が大事なのはよく分かるんだけど、この手の話題に文系が全く上がらないのは、ぶっちゃけ日本・中国、皮肉にもこの二つの国の文系軽視の共通点を炙り出してると思うのよな。

【風呂RTA】

本来であればここで服を脱ぐのですが、

どのマイノリティが総理任命権を得るかを決める、天下一マイノリティ決定戦を開催したい。

無敵の人と呼ばれる人。社会が「そんな人は自己責任で怠惰なんだから勝手に消えていけばいい」と言えば、そういう人だって、「社会が自分たちに消えてしまえばいいというんだから、お前たちなんて消えてしまえばいい」ってなると思うんだけどな。無敵の人も無から生まれるわけではない。

身体障害者を「身体障害の方」と言い換える配慮、黒人相手だったら「黒の方」って言い換えるんだろうか。日本人なら「黄の方」？

パラリンピックのメダル数でアメリカが意外と少なかったという声が聞きますが、アメリカって身体障がい持ちの方にとっては本当に大変な国で、糞高い基本保険料維持で精一杯なのでとても身体障がいの方がスポーツできる環境ではないんですよね。身体障がい持ちだと保険料が一気に跳ね上がりますので。

優生思想とは"生存"ではなく"生殖"に焦点を当てた思想だという点が重要です。優れた者のみに子を産ませ劣った者を断種して遺伝子選別を行おうということ。だから「過剰な高齢者医療を削って、(劣った)若者の生殖支援に回そう」は反優生思想です。現在のお年寄りは統計的にその大半が子孫を残している。もちろん、すでに子孫を残したお年寄りと、このままでは子供を産めず家庭を築けない若者、どちらがかわいそうな存在であり社会的支援が必要かは人によって意見が分かれるところでしょう。ただあなたが優生思想に反対の立場をとるならば、遺伝的生存を確保できない者の方を優先すべきだということです。

クソ低賃金案件って、金をくれないことそれ自体に対してもイラつくんだけど、「安価な下請けがほしいだけだから、正当な報酬水準を要求したら別に俺には頼まないんだろうな」ってのが一層メンタルを削るんですよね。「低賃金だけどやりがいのある仕事」なんてのは幻想や。低賃金の仕事というのは、給与それ自体が「お前の仕事なんか大したもんじゃないんだよ」というメッセージを強烈にぶつけてくるぞ。それを無視して自我を保つのは常人には難しい。

英語に "literally" (文字通り)という副詞がありますが、近年これが「マジで」「ガチで」のような単なる強調のスラング・若者言葉としても多用されてるそうです。一方で、この用法はおかしいと問題視する人も結構いるとか。あまりにも「マジで」「ガチで」の意味で多用されすぎると、文字通り「文字通り」の意味で使いたいときに困りそうです。検索してみると、案の定 "literally literally" という回避方法があるようですが、何だかエスケープ文字自体を表示したいときの対応みたいです。

「コロナワクチンを打った人と同じ空間にいると被曝する」、もはや医療についての知識がどうというレベルの話ではなく、狭義の妄想か、単にふざけているとしか思えない。知っている言葉を適当に組み合わせるな。と思うんですけど、日常生活に支障なさそうな人でも本気で信じていたりして、色々すごい。

「どうせ中国の研究はパクリやインチキ」とか言ってる人たち、日本が世界有数のインチキ論文大国だということをデータで知ったら憤死しそう

平生はみんな善人なんです。少なくともみんな普通の人間なんです。それが、いざという間際に、急に悪人に変るんだから恐ろしいのです。

何となく気にかけられつつ、普段は放っておかれるという距離感が好きで、自分も人に対してそういう距離感を取っている。この距離感に慣れると、ひとりでいたいけどさみしいのはいやだ、という、その両面の気持ちを、同時に満足させられると思います。物理的な距離が近いほど、適度な放置がある方がいい。監視めいた感覚に陥ることがある。「気にかけられつつ」がお互い認識できるほど放置度が高くても「ひとりではない」。これが見守りってやつなんだろうか。

同じ（あるいは近い）テーマについての研究者などの議論でも、Twitterをはじめとするネット上の議論と、論文レベルの学術的な議論でずいぶんと水準やトーンが違うなと感じるものがある。たぶんtwitterで議論しないできちんと論文読むなり書いた方が良いのだろう。

妻に「そんなにTwitterで呟くことある？」って聞かれたけど「あるというか、起きてる間ずっと一人で呟いてて、その一部を書き込んでる感じなんだよ」って答えたら引かれた。

「反ワクチン」「コロナは風邪」と言っていた人たち、リーダーたちは実はこっそり接種済みで、鵜呑みにした者たちが職場や家族を巻き込んで感染拡大させている現状に、かなり不安になっているものの「ワクチンを射てば仲間内で責められる」ことを恐れて逃げられないというすごいドツボが発生してるな。ワクチン忌避の集団や集会に参加し、そこで出来た「仲間」たちと励まし合っていたが、いざ自分が発症してから、「今までの友人はみんないなくなり、新しく出来た１００人の仲間は誰も助けてくれなかった」と嘆いているのが、なんともこう、スクワレン。

人間は「一度観ていて先の展開を知っている映画を、初見の人に見せて驚愕の展開で驚いているのを傍らで見ている」時に快楽物質がドバドバ出るので、何かそういう「初見鑑賞派遣者サービス」という全く新しいシノギを誰かやれ。youtubeとかの、人間椅子とかマキシマム ザ ホルモンの演奏を外国人が見て盛り上がってる映像のやつとか、アニメの海外の反応のやつとか、大体がこれと同様の性質の快楽物質がドバドバのやつ

昨日のBS1「市民が見たコロナ禍」。一部では「模範的コロナ対策の国」とも称賛されているニュージーランドから、観光会社を経営する男性が「この一年半仕事がなく、政府に補助金を頼んでも返事もくれない」と嘆いていた。まぁ、全てが上手く行っているわけはないよなぁ、と思う。外国人向け観光ガイドの仕事が全くないので、遊んでいる送迎バスで運送の副業も始めたが、その上得意はDV被害者のシェルターを運営するNGO。ニュージーランドではロックダウン中に家に籠るストレスからDVが増加中で、逃げ出す人も増えているという。なかなか世の中上手くいかないもので。他には、インドネシア在住の日本人シンガーの男性が出ていたが、インドネシアで接種されている中国製ワクチンへの不信感から、アメリカへ渡航してワクチン接種を受ける「ワクチンツアー」が人気なのだという。特に人気なのは、接種一回で済むジョンソン＆ジョンソンのワクチンツアー。世界は色々だ。

Twitter、アニメアイコンを指して「もうn歳なのにアニメにハマってるのかよw」と揶揄されがちだけど、世の中にはアニメを見なくなったけど他の趣味や興味もないという消極的理由でアニメアイコンのままにしてる人間も決して少なくない悲しい現実がある

中国政府は個人が政府批判をすることにはそれほど厳しくないが、特定の思想を持った人間が集まって話そう、みたいなムーブメントにはすごい神経質という話は聞きましたね。リベラリズムへの懸念というのもあるし、そもそも集団で集まって政府にモノ申す運動一般をつぶすのは合理的ではありますね。

世界ふしぎ発見でローマ時代の奴隷について、東大の教授が「貴重な働き手としてそれなりの待遇を受けていた。生かさず殺さず、働き手を増やすために子どもも作って欲しいという待遇。今で言えばサラリーマンみたいな存在」って結構凄いことをサラッと言ってた

ツイッターでは「写真家がなぜ、歌手がなぜ、スポーツ選手がなぜ政治発言するのか」などと苦言を呈しているサラリーマンや無職などが政治発言しまくっている。

物語の中の「（異性に対する）強い愛情」みたいな描写って性欲がない状態で観るとすんなり理解するのが難しい。強い愛情には性欲が絡みついており、それが透明になるから、人が不可解な動きをしてるように見える

どうせ多数のヒトの親は「その子供の未来」ではなくて「自分が子供だった場合の未来」しか想像できないんだから期待しちゃだめだよ

知恵袋の異常人は罵声を浴びせてくる半裸の中年のような感じだが、Quoraの異常人はサイズの大きいベージュのジャケットを着て視線の焦点が定まっていない白髪の紳士のような感じがある。

わかってない人に「わかりやすい」と評価させる一番簡単な方法は「わかった気にさせる」だと思います。ちゃんとわかっている人が「それはちがうよ」と言わないといけないのに、なぜか「あなたはわからない人の気持ちがわからないのだから黙ってろ」になります。

右派の人って「すべての人間が善良で、親子も友達も夫婦もその他互いに愛し合い支えあうものだ」と考えているんじゃないかとよく思います。そんなことがあるはずがないのですが。不思議なのは彼らがよく「自分たちはリアリストであり、左派のお花畑とは違う」と言っているところです。

「将来世代に借金を残すべきでない」と緊縮財政を主張する人たち、少子化が進行、大学の研究力は低下、企業のイノベーションも低下した過去20~30年の振り返って、じゃあ将来世代に何を残したかったのかもう一度よく考えてみた方が良いのでは。

Twitterには「出世しよう！」や「成功するためのコツ！」などの情報が溢れていますが焦らないでください。仕事を定時に終わって、趣味を充実させたり、教養を高める行き方も全然ありです。前のめりに生きると疲れちゃうなら、人の半歩後ろで生きるのもありじゃないかなぁと思ってます。

転売厨の良し悪しとは全く別に「平日の昼間にそんなに活力と時間を持て余してる奴らがいる」という状況は「社会にマトモな定職が足りてない状況」を反映してる面はあるんだろうな。低所得者にマシな雇用が行き届けば転売厨は減るんじゃないだろうか。読みを外したら時間や労力が無駄になったり大赤字になるリスクがあるし、ノウハウの再現性は低いし、いつ税務署にしょっぴかれるかも分からん。社会的には蔑まれ憎まれる。ぶっちゃけ「正規雇用でマトモに金もらえる仕事があればその方がよっぽど良い」と思ってる人も多いのでは。それでも、与えられている選択肢が【「違法なシノギ」と「そこそこの月給の正規雇用」】じゃなくて【「違法なシノギ」と「低賃金の非正規雇用」】だったら、違法なシノギも辞められないっすよね。要するに、社会が「自由」を煽って低賃金非正規労働者を増やしたことの反作用が転売厨なのではと。

世の中には、自分より頑張っている人か犯罪者しかいない

「労働者に重税をかけたら子供を作らなくなった。なぜだろう」「研究者に予算を出さなかったら海外に行ってしまった。なぜだろう」とか、素で思っていそうで本当に怖い。

目についた単語だけ読み取って文章を読まないクソリプ野郎と、謎の仕組みによって複雑な文章を返すbot、どちらが機械的挙動か考えると……

【大学受験Any%RTA】

本来ならここでセンター試験に出願書類を提出するのですが、

今後「社長、プロに口出しするとオリンピックの開会式みたいになっちゃいますよ」が企画会議などでの定番になってほしい。

コロナでなくなったもの:「風邪っぽいけど仕事にいかなきゃ…」から始まる風邪薬のCM

「私たちは複雑な話を、複雑なままに聴き続けたときに、その人の心を感じる。あるいは複雑な事情を複雑なままに理解してもらえたときに、心を理解されたと感じる。表だけではなく、裏まで含めてわかってもらうと、心をわかってもらえたと思える。」

再現性というものに関しても非常に思い違いをしているようで筋が悪い。例えば天文学あたりは代表格で、「世界で一台しかないハッブル宇宙望遠鏡で観測された、しかも一時的にしか発生しない現象」を第三者が別の装置で観測しなおすことは二重の意味で不可能だが、天文学は立派な学問だ。僕も学問全体に対する広い知見もなく、単なる民間企業のしがない研究者でしかないが、こうも科学に対する誤った認識が一般の人に広まってしまうと、ますますおかしなことになりそうで不安だ。「科学的手法に対する否定」が蔓延することになるという不安がある。科学的根拠とは何か、科学的な手法や手続きとは何か、そしてなぜそれらに依拠することが妥当なのかということを人々が全く認識していなければ、科学はいずれゴミ箱に捨てられるだろう。科学の塊であるスマホを握りしめた人々によって。けっこう勘違いしてる人いるけど「再現性」は科学の必要条件でも十分条件でもないんよな

河村市長が金メダルを噛むのは存在の証明が他にないから

同じような発言でも、実名アカウントなら抗議の声になり、匿名アカウントなら攻撃的な批判になるのよく分かんないし『私は病気で傷つきやすいので、この抗議の声への批判は受け付けませんし遠慮ください』ってのはどうかと思う。FBと違ってTwitterはリアルの立場に忖度する必要なく例え有名人にでも是々非々で批判が直接ぶつけられるプラットフォームだと思うんよね。当然有名人にとってはリアルではみんな忖度して首肯してくれるのに、ツイッターだとカスみたいな無名の存在にいきなりボコられるので腹立つのは分かるけど。実名アカで、リアルと同じこと呟いてるのに、ツイッターでは直ぐにボコられて、ツイッターの匿名アカウントが無駄に実名アカウントに攻撃的だと怒ってる人、少しだけでもリアルな自分の周囲がイエスマンばかりになってないか疑うのも大切なんじゃないかな、よう知らんけどな。

不健全図書指定という制度を私は良いものだと思っていないが、不健全図書を検討する過程が面白すぎる（滑稽という意味でも興味深いという意味でも）ので、真面目な人々が不健全な図書を精読する制度というのは何らかの形で残して欲しい

入社したころ世話になった、いつも取引先や他部署やもっと上の経営陣に頭を下げて、いろいろ調整して、机に座っているときはニコニコしながら「余計なことを考えず目の前の仕事を丁寧にやればいいから」と言っていた中間管理職、いまならあなたのすごさがわかります。本当にすごい。目標です。

いくら「正しい」ことでも相手をハンマーで殴るような言い方をすると周りがドン引きして「間違った」ほうの肩を持ってしまうという経験は若いときに沢山したので気をつけるようにしたい

一時期ポリコレ腐女子がお題目みたいに唱えてた「ポリコレとはゾーニング」理論が正しいとしたら、「この作品にはヒットラー礼讃要素があり、ユダヤ人を悪人として描いています。」って書けばポリコレ的に正しくなるって事になるんだよな。

環境問題も欧州の情勢も不勉強ですが、日本のネット界では、良し悪しは別として「反環境保護界隈」とでもいうべき雰囲気があるのが目立ちます。トランプとの親和性もある。

公園で歌っててもあんなに気持ちいいのにコンサート会場とかもうやばいだろ。ライブ終わった後のホテルとかで夜中の3時に「#東京ドーム #ライブ」とかでエゴサしてるの想像するとほほえましい　おれなら絶対やる

徴兵や動員というのは難しいもので、医者やオリンピック選手や高位貴族を歩兵として使い潰すのは明らかに「もったいない」感じが誰にでも感じ取れるのだが、じゃあ床屋やコンビニ店員や下層階級だったら歩兵にして「もったいなくない」のだろうか？というのが徴兵や動員のしんどいところなんだな。

平和なときでも軍隊に強制的に入れられるのは基本的に嫌だし抜け出したいのだが、元々の社会が不平等すぎる場合は「軍隊のほうが平等だった」みたいに感じたり、元々の生活が貧しすぎる場合は「軍隊のほうがいい生活ができた」と感じるバグがあるらしい。

どこの国にもだいたい似たような人たちがいる。軍国主義、民族主義、排外主義、権威主義、男尊女卑の類がだいたいワンセットになってて、この辺の人たちはほぼ環境保護に嫌悪感を示す。武器や格闘技、馬力のあるクルマ、自国が他国を制圧した歴史の類に強い関心。

こう改善してください、みたいなのはいっぱいあると思う。でもストレスがやばくて正しく物事を判断できなくて、まずもって他人に何か言われること自体がもう新たなストレスを産んでしまうような感じで、困ってる。俺に指図するなッ！！！となる。困り果ててる人はだいたいこういうメンタリティになるので、覚えておくと良いですよ。

うまく行ってない人に人はアドバイスしがちで、うまく行ってる人にアドバイスする人はあまりいない。するとうまくいってない人に集中砲火的にアドバイスが飛んできて、アドバイスされる側からすると、無限に指図だけされる、というイメージになって、心あるアドバイスをしてもらえている、自分のことを考えてくれている、という気持ちが薄れていく。そもそも、普通の人は、いきなりアドバイスされても反感を覚えるだけで、かなりの信頼関係がないといきなりアドバイスするのは不可能だと思う。

地獄への道をロードローラーのように塗り固めていく善人たち

面接で「志望動機を聞く」っていう空虚な茶番がなくなるだけで、就活生と転職者の負担はだいぶ軽減されると思うよ。突き詰めた理由なんて「お金が欲しい」くらいだし。応募倍率数百倍超の人気企業ならまだしも、代わりがいくらでもあるような会社が「なぜ当社なんですか」なんて自惚れでしかない。

世の中にいる一芸に秀でていたり、スペシャリストの人は大抵は「癖がある」ことが多いことを理解してください。別にあなたに意地悪しているのではなく「職人気質」や「独特の感性」から癖があるだけなのです。人柄が抜群によい「腕の良い職人」はほぼいないと思ったほうが調整しやすいですよ。

マジで「反社に所属している」系の吹聴はヤバいんだよ。これは誹謗中傷とか名誉棄損とかいうレベルを超えとる。なぜなら「住む場所を契約してもらえない」「取引先から関係を切られる」「銀行の審査が降りなくなる」といった形で社会生活の権利が損なわれるから。自分に向けられた誹謗中傷なんか全然OKだし言論の自由として好きなように書けばよいと思っている俺ですら、「犯罪歴がある」とか「〇〇組（反社・暴力団）に所属している」だけは、この人のように訴えて権利を回復しないといけなくなる。そうしないとある日突然仕事や住居がなくなる可能性があるから。「虚偽の事実によって風評に傷がつく」というより、「暴対法の対象になってしまう」という意味でヤバイわけですね。なので、しょうもない誹謗中傷でいちいちごめんなさいとかは別に要らないと思うけど、「〇〇は山口組に属している」みたいなことをだれかに向けて書いた記憶がある人は、それはマジでごめんなさいしておいた方が良いと思う。普通に裁判になったら負けるから。

【今日の偏見】

勝手に人の悩みに首突っ込んでくる人、だいたい知り合い未満。

優しい家父長制、理知的な人格者による独裁が一番良いのなんて疑いようもない話だ。優しくない家長、人格の最悪な独裁者が出てきた時どうするかが問題なのであって。もっと言うなら、優しく在る必要がない時にも優しい人間がどれだけ少ないかは普通に生きていたらわかるはず。

アラサーアラフォーになっても陽キャは大学生みたいな遊び方してるのに、陰キャだけ勝手に「いやもう歳だし…」と自粛して家でスマホゲーぽちぽちしてるんだよな。陽キャのわきまえなさを見習え。あいつら40代になっても暴走族の真似事とかしとるんやぞ。

なんでみんなこんなに中学受験にアツくなってんだろうと思ってたけど、周囲に受験期の子供を持つ人が出てきていろいろ話を聞いてると、受験産業は要するに良くできたパチンコ台みたいなもんで、「もうちょっと入れればなんとかなりそう」と「ここでやめたら大損」みたいな感覚を刺激してんだよな。

Twitter、「嫌な人間とは縁を切れ！」的なツィートが何回でもバズるけど、どんなに縁を切っても嫌いな人間が湧く場合は「湧く理由」の方に目を向けるべきなんだよな。嫌な人間を切り過ぎて許容範囲が極端に狭まってたり、自分がマトモな人間から避けられる嫌な人間側になってる場合も珍しくないわけで。

「文化祭の準備が楽しくて活動している人たちに、商店街の運営の基準でダメ出しする人」「商店街の運営の活動をしているのに、文化祭の楽しさを重視してダメ出しする人」のカルチャーギャップ軋轢みたいなの。割とよく観測するよね。

頑丈すぎて高嶋ちさ子が破壊できずに退散するSwitchのCM

しかし、自粛/反自粛は普段親和的な界隈の中でも殺伐としてるねえ。良くないよ殺伐はwいやお前が言うのかって話かも知れないが、良くないんですよ。どっちも全面的に狂ってるわけでもないのがまた難しいんだけど、「いつまでもこんなことやってられるわけないやろ」とは当然思うし、「かと言ってそんな拙速に命の重みの議論進めていいわけないやろ」とも思っとるんですよ。「これからは新しい生活様式だ！何もかもリモートだ！大規模イベントも（無期限）中止だ！」って話にはお前人間それでは回らんだろと思うし、「すぐに自粛撤廃だ！命の選別を進めなければならない！」って話にはそれはお前啓蒙ではなくて単なる幼児退行やろとも思うしな。結局、双方とも個々のケースに心情的に「寄り添い」すぎるとロクな話にならんので、ある程度納得のいかん話も受け入れつつ、数値目標に則った機械的な対策で恨みっこなしよ、に本当はしなけりゃいけなかったんだろうが、もう遅いな

数年前、保育士さんが「ベビーフードで育っている子は便のにおいでわかる」と言ってプチ炎上していた件、今でもBFを食べさせるたびにチラッと脳裏をよぎるんだけど、当時は「そうなの…？うそでしょ…？」と少しオロオロしたのが今は「そうだったとして、だからなんなんだよ」と思う

政治家のTwitterエゴサで親しみを集めるムーブ、ネット世代へのドブ板選挙だと思えば何の不思議もないのよ。「縁遠いと思っていた先生が」「俺たちのフィールドに降りてきて」「一人一人に応えてくれた」、政治家が田舎から遊説開始して、スーツのまま田んぼの中入って泥に塗れて握手してくアレと一緒

本屋の店主のエッセイを読んでいたら、今この社会を覆い始めている「貧しさ」について、例えば「本屋において知らない本に触ろうとしない人が増えたこと」を挙げていた。未知に触れる。そのことにリソースを割く心の余裕がなくなる。豊かさとは、未知の扉に手を伸ばす余裕のことなのかもしれない。

こないだ奢りにきた人に「賢い人ってどんな人だと思う？」と問われたので、「なんでもすぐ信じたりせず、なんでもすぐバカにしたりせず、なんでも理解できるとは思わず、それでも、なんでも触れてみようとはする人、なんじゃねえか？」と言うなどした。ヘぇ〜、と言ってて、賢い人だな、と思うなどした

無いご報告動画

【まーゆうの今後について】まーちょそについてゆうすけセカンドからご報告があります

消費のされ方が野獣先輩に近いんだよな。なかなか情報として消費し切らないと言うか。半減期の長い放射性物質のようなインパクトを持った画像だったからなアレは

ゴロリ「反ワクさん、今日は何を作るの？」

反ワクさん「今日は新しい陰謀を作るよー」

ゴロリ「うわー！みんなが踊らされてる〜！楽しい〜」

「リベラルな人々こそがルッキズムを振り回している」という話、彼らの中で「リベラル」であることが単なる覇権争いの方便に堕している（その上で自らの優位に驕っている）ことの表れとは思うけれど、同時に彼らは無造作にルッキズムを振り回せる程度には実際に見目が美しいのだろうなとも思う。外見のよい人間は生涯収入が十数%も増えるなんて調査結果は有名だし、実際に社会を見ても、男女を問わず傾向としては明らかに大企業ほど外見の美しい人間が揃っている。自由主義が行き渡り、見目良い人間がその有利さによって社会の上層に凝集されるに十分な時間が経ったということではないかな。何であれ見目の悪い人間はその他の条件が同じなら見目のよい人間に勝てない。言わば見目の悪い人間は永遠の傍流であり、それゆえ主流がリベラルである今は傍流である反リベラルの方がルッキズムを否定する側にならざるを得ないのだろう（まあ反リベラルも自分が有利ならルッキズムを振るうのだが…）。リベラルが倒れて反リベラルが主流になるようなことがあれば、やはり時間の経過とともに見目よい人間が上層に凝集していき、見目の悪い人間は傍流となってリベラルに身を投じることになると思われる。そこではやはり「自由などと言って社会を乱す人間は外見にも醜さが現れている」と言われるのだろう。

ルフィは「おれゴム人間だからw」っつって避妊を断る。という偏見はずっと胸に持っていたいですよね。(音楽とカス 2034年11月号より)

【手術中に聞こえたら嫌な言葉】

あ〜、ここに出てくるんだ

最速で嫌なことを覚える赤ちゃん「おぎゃあ！おぎゃあ！ゾウが描く絵は飼育員が誘導しているだけ」

火事と喧嘩は江戸の華とは言うが、インターネット毎日火事みたいなものと喧嘩起こるな。揉め事はもうたくさんだよ。

話題の記事の件。基本的とされる能力を持つ人が実は決して社会の圧倒的多数でないとなると、社会が回っているのが不思議に思えてくる。

・約3分の1は日本語を正しく読解できない

・3分の1以上が小3～4年生以下の数的思考力しかない

・PCで基本的な仕事ができるのは1割以下のみ

「発言の場を与えるな」など一部「リベラル」が「有害な」論者を圧力で黙らせ言論の自由を一部制限する試みは、「愚かな大衆は情報を吟味できないから賢い我々が情報源を取捨選択してあげよう」的で傲慢だ。だが読解力が十分でない人の割合は、彼らによる全面的な言論の自由の否定を正当化させかねない。だが仮に読解力が十分でない人達が情報を取捨選択できず扇動されがちだったとしても、彼らのために親切にも情報フィルタリング代行を買って出てくれる人々に大衆を教導する能力や資格があるというわけではないだろう。

作家の中島らもさんが「教養がない人間は酒を飲む以外の暇つぶしが浮かばない」と言っていて「凄くいい言葉だなぁ」と思いました。つまり教養とは「酒を飲まなくて暇を潰せる能力」なのかもしれませんね。

年長者を一見非合理的なほど敬ってたのは、実は次世代や社会への愛情を持たせて利己的な死に逃げを防ぐためだったのかも。老害とか医療費食いとか言われてちゃ、自分が損しても次の礎になるなら満足とは思えんよな

グダグダとひろゆきのように詭弁を流していると根負けした相手が譲ってくれるという人生だったんだろうな

一時期、人類学の世界で『人種などという物は存在しない。遺伝子から見れば肌や目の色を決める因子は僅かで、同一人種間の遺伝子の違いの方が大きい』『未だに人種という概念が広く信じられているのは困りものだ』という主張が流行りましたが、現在ではどうなのでしょう。個人的には、遺伝学では人種という概念が時代遅れになっても、黒人は自分を黒人種だと信じているし、我々は自分たちを黄色人種のアジア人だと捉えている。普通の人々のアイデンティティを『科学的真実』が覆せるとは思えないし、覆すべきでもない。

トレパクの話とかもそうだけどインターネットの変なおたくに敵味方の二元論以上の細かい議論をするというのは無理なので適当にクソみたいな極論で茶化してる方が良い

「人種間の生得的な傾向として見られる知能の差の有無について本気で研究したい」。まあ、「人種間」は普通に意味をなさないとは思いますね（普通に科学的にやるならハブログループの方だし、それは人種とはあまり関係無いので）。但し、後者で調査すると、分布は恐らく出るでしょうね。「人間には種族的に生得的な差はそもそも無い」というのは、それこそ典型的に西洋近代的な人間観だと思う（そしてそれこそが差別を生み出してきたのだが）。例えば犬の犬種は生物学的には「一種類」だが、形質は勿論のこと、性格や知能などにもやはり分布が存在する。人間に関しても分布はあるだろう。でも、「黒人」みたいな19世紀に見た目をモデルにして括りはそれこそ殆ど無意味だろうな。普通に考えて、南スーダン人とセネガル人とザンビア人が同じ訳が無い。日本人とインド人くらいは違うだろう。人間を集団として見た時に生物学的特性よりも歴史的文化的特性の方が絶対に要因として大きいのは間違い無いだろうなというのは、あの珍妙な国であるアメリカを見たら分かる話だろう。アメリカでポリコレが出て来るのも頷けるものがある。アメリカで「人種的に純粋」な人間なんて、殆ど居ない。それでも、黒人の血が16分の１しか入っていない人でも「黒人」とかなる訳だし（これでアフリカの黒人と比較して「黒人」云々など殆ど科学的に意味が無いだろう）、黒人コミュニティの中で暮らせば更に「黒人」になっている。人種と犬種を比較して後者内に確実に差があることから、人種にもあると考えるのは妥当。問題は、犬種の評価は牧羊犬なら牧場、狩猟犬なら山野での能力評価と言うように、背景を最適化した上での総合評価後の比較があたりまえなのに、なぜか人種ではそれが許されない所だよな。

本当に人種や性別とある種の能力に関連性はないのか？白人に対して持つ美的感覚の普遍性は如何に？というしごく「学問的」な疑問を持つことを「学問の自由」を謳う人は認めてくれなさそうである。結局、そういった疑問そのものを土に塗り込めるナラティブとして差別問題が機能している部分がある。それは実際に差別があったという話とは別次元のことで。恐らく、「人種間の生得的な傾向として見られる知能の差の有無について本気で研究したい」などという希望をこぼしたら学界では即座に首をはねられるだろう。学問の自由とはこれ如何に、という話だがこれに真剣に答えられない人間が語る学問の価値を誰が認めるというのか。見事なギリシャ彫刻に対して何処ぞの木彫り人形出してきて「こちらの方がプリミティブな美しさがある」みたいな態度こそ逆説的にコロニアルなんですよな。恐らくデフォルトでは前者を直観的に「美しい」と感じる人間のほうが多数だと思うんですよ。その源泉は何か？というのは十分に学問的ではないかと。

「学問の自由」の下、厳密な科学的手法によって「〇〇を生得的に有する人間はxxである傾向が高い」ことが分かった場合、「科学を重視する政策」によってその「〇〇人間」をどう処遇するのかという所で深刻なコンフリクトを誘発する。学術会議問題で「学問の自由」、コロナ対策で「科学を重視」、直近1年間の菅政権下で声高に叫ばれた話ではあるが、これを混ぜた時に何が起こるのかという話を誰か真剣に考えたのか。

学問の自由というが、これを真に確保するためには「〇〇グループには、他グループと比べてある種の知的能力が劣る個体が他のグループに比べて有為に多い」という結果が科学的に妥当と認められる手段で実際に得られた場合はこれをパブリッシュすることを認めなきゃならないが、できるのかね？学問の自由って、多分ふわっとポジティブな意味での自由とは結構遠い世界だと思いますよ。

昨今の風潮では「〇〇人種は美しい」等の言説は差別的とされるし、（容姿の価値が下がる気配はないが）ルッキズムへの批判も高まっているが、もし仮に人間が本能的に〇〇人種の身体的特徴を美しいと感じやすいと「科学的に」証明されたらどうなるんだろうか。都合の悪い真実として黙殺されるだろうか。金髪碧眼は筋力や知性のように生存競争に直接寄与しないが配偶者獲得競争に有利だったから広まったとする説を見ていると、見る側の人種にかかわらず人間が普遍的・本能的に好みやすい外見的特徴があっても不思議ではないのではと思う。尤も政治的に正しくなさ過ぎて堂々と語るのは憚られそうだが。古代ローマで美白と脱色した髪色が好まれたのも面白い。比較的後進的だったであろう北方に特別な憧れを抱く理由はなさそうなものだが、何故わざわざローマ人は北欧人種的な外見的特徴を美容を通して実現しようとしたのか。もしかしたら比較的に普遍的な美的感覚のようなものがあるのかもと思わせる。「美的感覚は時代や地域で異なり、我々のそれも周囲からの影響で形成されたに過ぎない。どんな外見的特徴も等しく美しく価値がある。現在白人的な身体的特徴が好まれるのは単に西洋の影響力が過大である以上の理由はない」というのが政治的に正しい言説だが、本当に普遍的な美的感覚は存在しないのか。※このスレッドの最初のツイートに「科学的」と書いたのは、ある時点で科学的だとされたが後世ではデタラメ、疑似科学と否定された事物がいくらでもあるからで、あくまである時点・ある社会における「科学的という認識」という意図です。先進諸国のソフトパワーが圧倒的な現状では西側的美的感覚に影響されるのは避け難く、美的基準は一旦インストールされてしまうと書き換えが困難なのが物事を複雑にしている。外見や身体能力など分野を問わず人種毎の特徴を論じるのは政治的に正しくなさ過ぎる。知能が遺伝に左右される要素が大きいと証明されても、知能テストの結果が地域毎に異なる理由はテストの形式に慣れていない・文化的違いによる有利・不利などと政治的に正しい説明以外はしてはいけないし、危ない。本邦でロシアが言及されるとすぐに美女云々と言い出す人が出て来て最早クリシェになっているが、西洋的美的感覚に影響される前の日本人ではどうだったのか気になる。例えば大黒屋光太夫一行が揃ってロシアで現地の女性に魅了されたなんて記録はあるんだろうか。ペリーの人相書、作者は直接ペリー本人を見たわけではなく伝聞を基に描いたんだろうと想像するのだが、目撃者にはやはり異人は化物のように見えたんだろうか。しかし異民族・異人種を同じ人類として比較対象にすること自体が極めて現代的で、前近代であれば異人を同じ人類と見なさなくても不思議ではないよな。脅威をもたらす異民族はある種の怪異、弱小で未開であれば禽獣に近い程度の低い人間といった調子で。

実用性と実利の塊であるワクチンですらワーワー言って打たないやつがこんだけ居るんだから、科学技術や大学の諸々への理解を大衆に求めるとか無理だしアホの所業でしょ。学問的なコンテキストが分かってもらえるという発想が世間知らずな都会人ぽさあるんだよな。大学名とかも成人式でも行きゃ「４大なの？！凄いね」の世界な訳で、そういうのが通じたり気にしたりされたりする時点で一般社会から遊離してる。世界では、市場という戦場でテクノロジーを用いたサービスの殴り合いが続いて経済は動き、有象無象のプレーヤーが胎動してる訳なんだが、一般人はそんなことを知る必要はない。ないんだよ。食い詰めたときに初めて、外部構造の存在に気づくのだ。

高偏差値大の学卒という中途半端な立場として言えることは、知識学問それ自体に価値があってどんな場でも尊重されるべきなんて主張は実際問題通らんだろうということです。「なんの役に立つんですか？」でお馴染みの三角関数の微積分すら国民の大半は知らないのだよ。

「学術や技術への投資というこの国の根幹を為す部分を軽視するな」を主張する為なら何でも正当化されると思ってるなら、確かに我が国の知性は危機にあるでしょう。研究者や学者というインテリなんて、格好のスケープゴートになる事を理解してないんだろうか。ましてやそこに同盟諸国のサポートが加わるわけで。西側諸国での資産凍結とかされる想像もしてないのでは。米国が旗を振れば、日本も追随しますよ。世論も「国を売った」で煽れるでしょうしね。「日本での研究者の待遇が悪いから中国に行くんだ」が事実だとして、西側諸国が中国との対決姿勢を明瞭にしていく中でわざわざ中国に行くのを見ると、数字しか読めないのかという感想を抱きますわね。

「無駄をなくそう」という言霊の強さよ。これを真に恐れて打ち払わなければならない。ここでいう「無駄」というのは「俺のために使われていない」という怨嗟とセットなので、もうがんじがらめである。

やけくそでも無根拠でも、「将来は明るくなるんだ」というビジョンを提示せねば誰もカネを使うことをヨシとしてくれんのだから、これはもう宗教の範囲の話に片足を突っ込んでくるのだが、皆さん理性的なので全然そういうのを許してくれないんですよ。困るね。いやマジで、国が100支出したら将来、今の財政状態のままの国民が納税で100返納しなきゃイカンと思ってるのがマジョリティですからね。そうでなくても今後社会保障費ではっきり言ってリターンの極めて薄い歳出が出続けるんだからそれとは別の環境整備をしなきゃイカンはずなんだが。富を生むための装置を買い渋ってジリ貧になるの、まぁ家計や企業体では資金繰りの観点で仕方ない部分もあるんだが、国がそれやっちゃいかんでしょという。信用度ダンチの通貨自分で発行できるのに。というか、円がドルに次ぐ基軸通貨の役割できてる内にガンガンやっとけという話である。もったいないでしょ、世界的に見ても高い教育を受けた1億の国民がおる国でさぁ。

健全なパトリオティズムの涵養すら忌避する自国嫌悪の行き着く果てが誰も見たことのない空想上の自国への愛を歌う歪なナショナリズムであった、なんて事はままありそうであるな。

冷静に考えたら「数学ははたして必要か」の例示が「三角関数」になるSNSで是非を議論してるの、狂気としか言いようがない。平均的日本人は三角関数を三角形の関数か何かだと思ってるので、例示は「四則演算」にすべき

大卒が漢学を諳んじる世界とジェンダー学に通じる世界、確かにどちらも権威盲従ツールなので類似しているな。しかし、漢学は漢文が文化や諸知識への窓口となり、人格涵養が期待できるが、ジェンダー学は最悪精神疾患エンドなので前者のほうが良い気がする。

我々を「人間」って命名した人は天才だと思うんだよな。我々社会性の動物には絶対的な個はなく個体同士の関係によって都度定義される存在なので、我々にとって他者との関係性は極めて重要なものである、との真髄をたった二文字で表現した手腕よ。

ネトウヨがいかんのは、「日本はこれこれこのように優れているので価値がある」といった主張をすることにあるのですよ。では、例えば中国がネトウヨ諸氏の上げる全ての点でそれを乗り越えた時、習主席万歳と言うのかね。「日本的なるもの」を追求し始めると一生の仕事になってしまうが…。勤王の志士はそんな物質的優劣で日本を誇っていたか？と問い返したいですな。明治維新を成し遂げたばかりのまだ技術面で劣る日本は、欧米列強には単純な国力では遅れをとっていたのも事実です。本当に誇るべきは神代からの皇國であるということ、即ち皇室と八百万の神様と歴史と傅統國體を誇らねば。

優劣では無く、「我々はずっとここにいて、なのでこれからもここにいる」みたいな論理を寄せ付けないプリミティブさでもっと推すべきだと思うことは多々あります。

新しくオープンした葬式屋に近所の他店から飾られる花ってやっぱり「菊」一択なんだろうか。

すっかり我々は忘れていたが、超越的な存在を背景にした共同体への愛なくして社会の維持は本来難しいのだろうな。タリバンが立ち直らせられるかどうかは別として、少なくとも「理性的」に作られたアフガン政府は総崩れになった。チェスタトンは「何かの理由でその土地を愛している者が一番そこをダメにする」と言い、田中角栄は「子や孫が生まれ育った場所で暮らせるようにする、これは理屈ではない」と言ったが、ここに我々がいることに何の理由もない以上、こういうことは考えれば考える程守る理由がなくなっていくのだろう。だから、「それ以上何かを考えずに済む」存在がそれぞれに必要なはずなのだ。それは天皇でも神でも権利章典だったり、何でもいいはずだが。まさに今読んでるチェスタトンが「なぜ伝説の方が歴史書より尊敬され、また尊敬されねばならぬのか。（中略）伝説はどこでも、村の正気の大衆によって作られる。ところが書物はふつう、村のたった一人の気ちがいが書くものだからである」と書いているな。「自分の愛する場所を滅ぼすおそれがいちばんあるのは、その場所を何かの理由があって理性的に愛している人間である。その場所を立ち直らせる人間は、その場所を何の理由もなく愛する人間である」「自分の国を愛するのに、何か勿体ぶった理由を持ち出す連中には、単なる偏狭な国粋的自己満足しかないことが往々にしてある」やや耳が痛い部分もあるが、まぁこれもよく見る風景ではある。

「お前は俺の酒が飲めねえのか」というパワハラと「親分は子分を守ってやらなきゃいかん」という甲斐性はトレードオフだったんだけど、甲斐性は意識して維持しなきゃ廃れていくのに対してパワハラは感情の暴走だからパワハラだけが残ったと。

努力する人間が報われる社会を目指したら、報われない人間が努力不足と切り捨てられる社会になった件

親が子を愛するのは、我が子が他の子供より優れているからではなく、自分の子供だからである。それと同じように、愛郷心も祖国愛も、自分の生まれ育った故郷だからという理由で良いと思う。一時のネット民は理屈上の優劣を競うのが本当に好きだった。そんな理屈に誰も納得しないのに

SDG'sや多様性を普遍的と信じて社会活動してる人たちに言いたいのは、それを外来のハイカラ文化として押しいただき、なじみ薄い日本人を「おっくれてるー」とか「土人ねー」と罵ったら日本には絶対根付かないから、むしろ日本のユニークな歴史的素材を以て表現して見せろということです。こうやってSDG'sや多様性が「普遍性」を装って近づいてきたとき、例のごとく、ひれ伏して「自分も普遍性を身につけています」と必死で靴舐めアピールするのか、「俺は従わねーぜ」とネトウヨ的低水準国粋アピールに走るのか、それとも普遍性を装ったローカル文化で痛烈な皮肉を言ってのけるのか。サッチモをやるのはいいんだよ。サッチモが偉大なことはみんなわかってる。サッチモの普遍性を認めたうえで、それを日本人がいかにローカルな形で表現するかが問われていたんじゃないのか。

オリパラの開会式や閉会式で「日本的なるもの」が全然なかったじゃないか、「ローカル性を通じて普遍性を表現するという視点が足りなかった」というのは全くその通りなのだが、翻って考えると、その我が国は自分達が重んずべきローカル性を本当に大事にしてきたのか？という思いに駆られてしまう。ここで戦後とは敢えて言わない。バブル期や平成以後の日本を考えるならば、他ならぬ日本人自身が、自ら「日本的なるもの」を手放してきたのだとしか言い様が無いようにも思うのである。施光恒先生の『日本人は本当に流されやすいのか』を近頃読んでいて、本当にこれはそう思った。そこでは構造改革を代表として平成の日本が如何に日本を自らアメリカ化しようとしてきたのかが如実に描かれているが、これは、平成2年生まれの僕自身に響いてくる議論である。いつも言っている話だが、例えばネトウヨの「日本」の内実には、日本の歴史的精神性に根付いた「日本的なるもの」は何も無い。僕はそこにずっと違和感を感じてきたと同時に、我々もまたその一人でしかないかも知れないという恐れを感じるのである。

「タワマンが廃墟化」は昭和の発想。高齢化と円安で建設作業員が確保できなくなったらもうあんな立派な建物建てられなくなるんだから、むしろみんなありがたがって住む。老朽化と修繕？貧しくなったらそんなのみんな放置するだけだよ。どこまで昭和の発想なんだ。

高市だの杉田水脈だの、なんか過激なこと言う女が重用されるようになってるのもポリコレの副作用だろうな。喜朗が言ったら一瞬で地の果てまで炎上しそうなことでも女が言う分にはどうってことない。オッサンが言えないことをまず女に言わせてみる時代。

日本史上初の女性総理誕生の声が聞こえてくるが、実現するとなると、我が国の伝統的な内閣総理大臣批判成句 #ちんぽを見せろ を使うことができなくなる。国家の独裁化を憂う我々には、この問題についての早急かつ綿密な論議が必要である。これは半ば真面目な話で、従来のような首相への「ハラスメントじみた批判」や「質の悪いおふざけ」を行うと容易に”悪役”に転じてしまうのではないか、という懸念だ。正直なところ、左派の「それはマズくないか…？」と思えるようなドぎつい批判も、相手が「支配者層の悪いおじさんだから」で許されている側面があるように思える。おそらく批判者たちは「ドぎつい批判を行ってもセーフな理論（例：名誉男性だから）」を構築するだろうが、賛同者や政治に興味がない中立層はそうは思わないだろう。素朴な市民感覚は「女性にそういうのはちょっと…」と受け止めるのではないか。

ラブホのテレビつけてると、お気に入りの風俗嬢から「つぎの総理だれになるの」と聞かれて事情通が確信を持って言う風に「岸田だよ」と口にしてしまったので、岸田になってもらわないと困る

教養というのは「えらい人が適当に言ってることを適当に鵜呑みにしても踏み外さないだけのスキル」という実用的な一面があるのだ。それがわからんやつがメンタリストやひろゆきなんかを有難がってあのザマなんであるよ。橋本治が「よく知らないことの方が適当言える」とポジティブに語ってたが、そう言えるのは「健全さ」を担保するナニカがあったってことでなあ。みんな学んだり考えたりするのに貴重な人生のリソースそんなに割けないんだからさあ、権威ってやっぱり必要なんですよ。だから知的大衆を自認するような層のオピニオンリーダーが内田樹やあずまんだったり、自分はアタマ良いと思ってる連中のカリスマがひろゆきだったりするの本当にマズいんだわさ。みんなもっと上等なもんを有難がらんとあかんのだが、質の優劣がわかる程度の見識を身に着けるには結局天下にカネが回ってないとあかんのやろな

翻訳は途絶えないで欲しい。僕のように語学が苦手な人にとっては翻訳は基本文献を手っ取り早く頭に入れたり思わぬ本との出会いを提供してくれる機会なので。日本全体としても、その分野でまず読むべき本が日本語になってるというのは間口を広げる上で大変な強みだと思います。国際関係論でいったら、ナイもウォルツもミアシャイマーも日本語で読める訳でこれは大変なアドバンテージだと思います。学者の方も原書至上主義みたいな空気がない訳ではなく、原書で読まないとXXの思想の真髄に触れられない、という話も聞くけど、それはXX研究者がやったらいいんだよ。学生や社会人や隣接分野の研究者にしてみたら手っ取り早く母語でたくさん読む方が大事だと思う。日本の標準的な外国語教育しか受けてない人がウンウン唸って原書一冊読むよりは翻訳を50冊読んだほうが勉学なり商売なり大体においてよいだろう、と思うのでそのなんだ、翻訳という営みは大事にしていきたいと思ってますしいい訳書はバンバン買っていきます

乱暴な言い方をすれば法や制度が感情に「寄り添う」なんていうのは脳メスの発想そのものなんだよな。そういう意味では現行の制度が男性的なのは当然だし、そうでなくてはならない。まぁ、とは言え彼らの気持ちはよぉーく分かるよ。俺だって謎の独裁的な権限で審判を下せる立場になったら、例えばコンクリ事件の奴らなんて一事不再理なんか知るかって言って今からでも即日車裂きか火炙りだよ。ただ、そうやって俺とか誰かとかのあやふやな感情に任せることのマイナスはもっと大きいぞ

ぶっちゃけ「自民党最高！一番好きな政党です！！」って人あんまりいなくて、「どこの政党にこの国のかじ取りをやらせますか」って聞かれたら30分くらい考え込んだ後苦虫をかみつぶしたような顔で「……自民党で」って人かなり多いと思うよ

常に褒められてきた高学歴者や文化人はよく勘違いをしているが、あなた方は（俺もか）デフォルトセットとしては「うっすら嫌われてる側」です。当たり前だな、人間国宝より巨人や阪神の4番の方がずっと人気だったんだよ。ミニシアター系の人の選民思想、とかな。あんなん、めちゃくちゃ嫌われてますからね。だってヨーロッパ映画散々見て学生時代は自主映画撮って、画集やCD買い漁ってた俺ですら嫌いやもんｗそういう文脈で維新に回収されてんだよ。ウェイでも陽キャでもパリピでもスポーツマンでもない陰キャ文化系の俺にこんな事言わせんな。

市場絶対主義、衆愚政治のそれなんだよな。煽り屋に金も名声も集まり、偽科学は蔓延る。トロッコ問題は5人死亡の側にセットされ続ける。占い師と神学の支配する中近世へようこそ。

「現実世界に『正義と悪』の戦いなんてまず存在しない。あるのは『正義ともう一方の正義』の戦いだ」みたいなのよく言われますが、Twitterでは「狂人ともう一方の狂人」の戦いがよく発生しているのを見られますね。

なんか全然人の話聞かないし一方的にひたすらマシンガントークされるし思いつきとひらめきで周囲はめちゃくちゃ振り回されるのに、記憶力よくて抜け目もなくて、「なんでそのキャラで不注意は無いんだよ！？」って不注意も多動も完備してる系のADHDとしては裏切られた気分になることがある。

人文学や社会科学には「「普通」を疑え！」という動機がそもそも必ずと言って良いほどある訳だが、これを、一旦疑ってみて疑わしく見えるから直ぐ様破壊すべきだという風に誤解する連中が八割九割居るから本当に困ったものである。「普通」を疑えば疑う程「普通」の神秘に至れないのは思慮が足らない。「『普通』を疑う」ことはできても、「なぜ『普通』が堅牢なのか」を思考する様式が失われつつあるように思いますねぇ。

「なぜこれが『普通』なのか」が分かる（分かった上で得失を十分検討する）までは「普通」を破壊してはならないとすると、その「普通」を破壊したいと思った人が生きている間には破壊するところまでいけないのだよな。そんなことは我慢ならないので「直ぐ様破壊すべき」理由が各々の胸中に生じてくる。「自分の代には壊すことができなかったが、いつの日か自分の仲間や子供たちが壊してくれるはずだ」と信じられればよいのだろうが、残念ながら「普通」を疑いたがる人々は往々にして自他境界をはっきりさせるのが好きなので、仲間や子供が壊してくれるというビジョンには満足したがらないのであった。「凄いのは選手個人であってお前ではない。同じ日本人だというだけで調子に乗っている連中が気持ち悪い」と「仲間や子供の代で『普通』を壊すのでは満足できない。壊すところを自分が見なければ満足できない」というのは同じ呪いなのだが、当人たちはそれを呪いではなく誇りに思っているのだよな。

「みんなが多文化主義者のように話し、多文化主義者のように思考し、多文化主義者のように行動することで寛容な社会が実現できるのに！」みたいなことばっかり言われても困るわけです。これがリベラルの推進するシチズンシップ教育なんだが、各個文化を学習し、理解し、NGワードを放棄し、見下さず、偏見なしで個々の人を見るとやってるので、普通の人は、その属性から逃げるようになります。これも分断の1つ。

優しい人たちというのは無意識に、というか自然なスタイルとして弱者を別の生き物として見下しており、それが故に動物愛護と同じような感覚で救いの手を伸ばすことが出来るのだが、それらと同じ"人間"として扱われると途端に発狂する。私なんかの世代のネトウヨが愛国的に見えるのは、結局優しい人たちの優しさに何も期待出来ん、ということの裏返しとして、国と言うシステムに期待せざるを得ないっちゅう事何じゃないかね。

勉強はインプットだけじゃ駄目でアウトプットを繰り返さないと身につかない。とにかく手を動かして問題を解き、暗記物は口に出して唱えまくるべきなんだが、「私には勉強の才能がない」とか言いながら、これを怠る人はけっこう多い。既習事項の反復演習を嫌がって、未習知識の探索行為に逃げてるのよ

共通ルールの夫婦の「型」や、生活の「型」が、新たな共通ルールの「各自の自由な選択の尊重」に置換された、みたいな感じ。

物覚えの悪い奴がいる。新しい分野を、いつまでたっても覚えない。学会で質問するにしても、ちんぷんかんぷん。まったく分かっていない。この人、大丈夫かな、と思ってしまう。けれども、そういう人こそ、数年たつと、その分野で第一人者になっている。一番深く理解している人になっている。

「相当なレベルじゃない限り出来合いのものを買うより自分で作った方が美味い」の代表が「コーヒー」と「茶」だと私は思ってて、食通の中でもかなりコスパ高い部類に入ると思います。缶やペットボトルで120円で買うやつがレベル5、お気に入りのカフェで600円で淹れてもらうやつがレベル50だとしたら、素人でも普通に道具揃えて無難に淹れればレベル20くらいのもんは作れる。価格も安いから100杯くらい作れば余裕で機材投資も回収できると思う。やむを得ずコンビニとかで飲み物買う時もあるから、「ペットボトルで一番マシなのは強いて言えばこれ」みたいな銘柄は私も見繕ってあるんだけど、普通にドリップのコーヒーとか茶葉で淹れた紅茶の方が美味いんだよな。ペットボトル24本買うと思えば相当良いやつ買ってもお釣りが来るし。

コロナになった男友達が後遺症で1ヶ月以上味覚と嗅覚なくて地獄の日々を送ってたらしいんだけどマッチングアプリで知り合った女とホテルに行ってクンニしようとしたらあまりの激臭により嗅覚が戻ったと言っていてコロナになった話の中で最も最悪だった

お寺の掲示板に上手いこと書いてバズろうとしてる坊さんこそ煩悩の塊なのでは

ブロックしてもブロックしても、それをかいくぐってクソリプ飛ばしてくる、あらたな変異株

帝王切開や無痛分娩に対し「ちゃんと痛みを感じてこそ愛を持って赤ちゃんに接することができる」という外野の意見をちらほらみるけど、じゃあ旦那も姑も身体的には全く痛くないんだから生まれてきた赤ちゃんに対する愛はないんだよね？？？

人のリプ欄で自分語りし始める人は多い。話聞いてほしくて仕方ないんだろうがそういうことするぐらい距離感などがつかめない人だから話聞いて貰えないんだよなぁ

年収1300万って確かに今の日本においてはとてつもない高収入の群に入るけれども、「家買って子供二人育てて奨学金無しで下宿させて大学にいかせる」と考えると、実は可処分所得は驚くほど少ないと思うのだよな……

やはり、何だかんだ言って、「反共」というイデオロギーは実行上大事だったんかも知れんな、とかつくづく思わされるな、日本は兎も角、韓国なんてその一番良い例で、「反共」を失ってから国是を持てないまま変な民族主義に頼って迷走しとるしな。近代化、自由化を気取って国是たる「反共」を取り除いたらそこにすっぽり「反日」が嵌った感じですね。北の工作員は笑いが止まらんでしょう。

知り合いの一浪した奴が「都会の受験エリートなんか中学から高校まで6年間使ってんだから、1年でそいつらに追いつけると思えばむしろお買い得！ｗ」とか嘯いてたけど、中学受験の加熱っぷりを聞く限り彼らの「受験勉強」は6年どころじゃなく7年とか8年とかなんだな……都会はすげぇ。賛否あると思うけど、私は「このレースに勝ったら何が貰えるか」が明確になってから初めてレースを走る気になった身なので、「レースに勝つと次のレースで有利になれます」みたいなニンジンで走れる12歳はマジですごいと思うよ。親はどうやって子どものモチベをメンテしてるんだろう。

何度も言ってるけど現代において女性による告発というのは相手を社会的に抹殺しうる攻撃呪文なのであって、男性の腕力に比べ遥かに「規制が及んでいない暴力」なのよ。当時草津をセカンドレイプの町と呼びほっかむりを決め込んでいる人間は、法治を否定し理不尽な暴力の行使を肯定しているに等しい。フラワーデモに加担した類のバカの何が罪深いかって女性という属性全体が共有するリソースとしての「信用」を利己的にかつものすごい勢いで食い潰していやがることだよ。自分たちの振る舞いが他人様に不利益をもたらすかもなんて発想すらねえだろあいつら。自分が水を舐めるために貯水タンクに大穴あけるような連中は集団のためにきっちり排除されるべきで、これは話が「信用」だろうが「国益」だろうが同じことなの。わかれ。

梅毒の最上級、松毒（しょうどく）。

ある一定以上の年齢のおじさんが言う「モテる／モテない」話は夜のお店でお金を払って遊ぶ時の様子を指す場合があって、「モテる/モテない」が金銭の介在しない性愛や恋愛での様子だと考えている人とのすれ違いがひどい。おじさんの「あの人はモテるから」みたいな話をへーと思って聞いていたら、具体的には「お金を払って女性に接待されるお店でいつもトークの中心になる」というようなことを指している場合が多く、いま一般的になった「モテ」の意味との乖離がすごい。それはそれでコツなりスキルなり財力なりが必要なことなのかもしれないのだが、同じ言葉でだいぶ意味が乖離してしまっているので、何か別な言葉があればいいのかもしれない。もちろんお店であろうが自由恋愛であろうが、男性がモテるには財力が必要だとか、そういうジェンダー役割に基づく基本的な構造は共通してるんですが。

数日前にファイザーをF社って書いてた陰謀論アカが今日はP社ってデマツイートしてて、小さいことながら学びがあったんだなと感心した

林檎を剥いてくれた夫が、「果物の種を捨てると、なにか"約束を破っている"ような後ろめたい気持ちになる」と言う。何故かと訊けば、「本来果物は、甘い果実を動物に提供する代わりに播種を代行してもらう。我々は後半部分を行っていないから」だそうな。なるほど、いい感性だなぁ。

「俺たち世帯年収2000万のパワーカップルだぜ！」と息巻いて不動産屋に行ったものの、キツいローンを組んでもウサギ小屋のような家しか買えないことが分かり、都心に太い実家を持つボンを憎むようになってから東京砂漠が始まる。

ネクラインテリバイアスがかかってる気がするな。不良・パリピでワクチン接種メンドくさがってる奴らと、ワクチン陰謀論にかぶれてる奴らはそんなに交わっておらず原則として別人種。…不良・パリピのうちワクチン陰謀論に染まってるのはせいぜい1〜2割じゃないかと。不良の社会では陰謀論を語るのって「インテリ」扱いされるんだよね。CIA陰謀論とか。なお、彼らの多くにとっては陰謀論すら陰気くさくて聞く気があまり起こらない。

近代のオルタナティブ探しをするのはいいが、大多数の人は近代に最適化されているから代替品に切り替えようとすると阿鼻叫喚の地獄が待ってるのは目に見えているんだよな。血縁・地縁も、宗教的紐帯もない普通の日本人が近代的共同体なしでどう生き残るのか。世界中どこでも通用する飛び抜けた能力もなく、氏族内での相互扶助など血縁・地域の互助会などの地縁・信徒間の協力のような宗教的紐帯のいずれもない「普通の日本人」を守る手段・枠組みとしては現時点では国民国家が一番有力なので、共同体の重要性は繰り返し訴えたい。

国際音声記号で文章のようなものを書いて「!」を使おうとすると、文末で唐突に吸着音を発したことになってしまう問題。勢いよく数式の答えを言うと階乗したことになる問題と近いですね…。

階級社会を否定して「貧しい生まれでも能力さえあれば上昇できる」社会が到来した。当然「生まれが豊かでも、能力がなければ同じポジションには留まれない」という副作用も生じる。そうすると親世代が豊かでも子世代の転落を防ぐために膨大な教育コストを投下し続けなければならず、少々の所得優位は簡単に失われる。「苦労して学歴エリートになってパワーカップルで結婚したのに、子どもの塾代で生活が圧迫されてる」パターン。他方、教育投資の少ない子は上昇しづらいが、それは「階級の問題ではない。チャンスは平等に与えられてる。単に君の能力がないからだ」という形で正当化される。いわゆる実家の太さ問題。「門閥制度は親の敵」と言った福沢諭吉でも、この展開はちょっと考えてなかったのではないか

富裕層の知人の暮らしぶりを聞くに、「普通の人が想像できる少しリッチな生活」の範疇からは出ず、グレードを上げる方向の消費をしている感じなので、大人が個人としてできる消費ってどこかで天井が来るんだなと思う。得られるお金の額と同じだけ際限なく貪欲になれる人ってそう多くなさそう

Kindle本にはみんながマーキングした行に点線が表示される機能があるんだけどそれをオンにしたまま推理小説を読むとさりげない伏線がめっちゃ目立つ。

Twitterで敵に回してはいけないのは、賢い人間でも馬鹿な人間でも専門家でも素人でもなく、「Twitterに時間を多く使える暇人/廃人」

男子小学生ってやたらと最強ステータスを「99999」って10進法の最大の数を複数個使って表現したがるけど、71進法を採用する宇宙人族の男子小学生もやっぱり「♆♆♆♆♆♆♆♆」って感じで表現して最強を表現するんだろうか。

きのう風俗の前日予約をした。いま、店へ向かいながら三十分前の確認電話をかけたら「一時間遅刻します」とのこと。ニクソン訪中をアメリカが日本へ報せたのは三分前だったことを思い出し、そのときの日本外交関係者のショックと比べたら大したことないと動揺を抑える。歴史に学び現在に活かす

今日、職場で爆速ペン回しを披露して、サクランボの茎も口で結べることを言ったら「物凄く器用」と褒めて貰えたのですが、ペン回しは床に座布団を敷いて延々練習し、サクランボは業務用の缶を買って口が血まみれになるまで練習したと追加で言ったら「勝利への執着がヤバい狂人」という評価になりました。

大学の先生からいただく企画書に、「この企画は〜の理由で出版する『意義』がある」というのをよく見る。科研費の申請書なら正しいが、商業出版では通用しない。デフォルトでは自分の話にだれも興味なんか持ってないという前提から出発しないと難しい。

女性にとって婚活が地獄になるのは、女性は恋愛“では”良いも悪いも格上の男性とマッチ出来るので、体感だと同格男性でも格下と認知してしまうから。恋愛では目に入れる必要なかった男性と同格として扱われ、しかもその相手に見定められるのだから、辛くならないわけがない

中学生の頃、図書室に入れる本をリクエストできる企画があったけどみんなが興味ないと無視した結果、数人のオタクが結託してラノベを大量にリクエストして図書室に巨大なラノベコーナーができたことがあり、民主主義における投票は権利ではなく義務なのだと中学生にして悟ったのだった。

失礼きわまりないリプは「晒し上げ」にしちゃえばいいのに、という意見もあるけど、それだけはできない。こちとら11万人のフォロワーがいる。晒されたアカウントは集中砲火を浴びる可能性もある。失礼きわまりないヤツのメンタルだって頑丈とは限らない。相手だって人間なのだ。戦うなら法的手段で。アリ地獄は砂から出しちゃうと、たちまちアリの餌食だものねぇ。

金もルックスも地位も会話術もみんな他者に自らの意思を呑ませる力という点において暴力なんであるよ。

ラーメン店のデマ被害者に「裁判だのここにいちいち書くな」というリプを送ってる奴のホームを覗いたところRTキャンペーンとエロアカへのリプのみで構成されてて、汗だくで「うわあっ！！」と叫んで謎ハイテクのゴーグルを外して「どうだ…今見た光景が真実だ…」と言われたかのような気分を味わった。

AVで笑った瞬間。女子高生モノで、男優が女の服を脱がせて「君、腹筋凄いね～、部活何やってるの？」って聞いたのに対して女が「え？高校の時ですか？」って返事したとき

何度もツイートしているけど、SNSで他人を安易に攻撃することをやめるべし。相手の心身のコンディションもわからない、自分は軽く揶揄してるつもりでも、相手はいくつも同じ投稿をぶつけてられているかもしれない。相手のプライベートな空間に踏み込んで、心身を深刻に傷つけるリスクが大きすぎる。公式/組織アカウントに罵倒リプライをぶら下げるのもやめるべし。生身の人間が運営しているのは3秒立ち止まって想像すれば分かる。悪意ある言葉は確実に、その中の人を傷つけている。SNSでいろいろ議論すべきことはあるが、その議論の当否以前に、最低限の規範が必要。

ダンナが鬱っぽいので「しばらく好きなことだけしてね」と声かけたら「ずっと我慢してたけど、キャットフードの食べ比べしたい！」と言って家にあるキャットフードを何種類か実食してた。そんで「真ん中がクリームって書いてあるやつ全然クリームじゃない。あと全部だいたい同じ味」と報告してくれた。

福岡市地下鉄の博多駅のホームに土俵があればいいのに。電車を降りた直後は地上階へ上がる手段が少ないから人で混み合っていて、エスカレーターへの列に並ぶ際に人とぶつかりそうになる。電車を待つ間は座席も少なく、人も多く観るべきものもないので、窮屈で退屈な場所だと思う。そこでホームの真ん中くらいに土をもって土俵にしてほしい。ストリートピアノが音楽を作るように、土俵があれば取り組みが生まれるのではないだろうか。血気盛んな浪人生と脂の乗り切ったサラリーマンの一騎打ちを次の電車を待つ間眺めていたい。どうせ避けるなら人波ではなく、土俵という戦場をよけて歩きたい。せっかちな両人が先を急ごうとうっかり土俵に足を踏み入れ、「そこに入ったからには、さあ、相撲だ」と群衆に囃し立てられ、その気もないのに己がプライドをかけて急に相手に土をつけるべく覚悟を決め、四股を踏む姿を写真に撮りたい。老若男女関係なく、土に塗れ、汗をかき、負けて泣き、勝って泣いてほしい。それくらいいつも電車を降りたときと待つ間、暇な時間だなって思ってる

IQって近代的生活を前提にしたというか、近代的な生活では高いと有利になる尺度なんで、生活文化の影響もろに受けそうな気がするんだけどな。それと、被差別者は全体に低くなる傾向があるんで、アメリカの黒人が白人よりIQが低くなる傾向があると聞いても「当たり前だろ」としか思えない。近代文明で勝者となった白人の欧米諸国が、自分たちの「知性」の尺度を持ち込んでマイノリティや異なる文化圏の国民の「知性を測定」することについては、『Bell Curve』以来様々な批判が寄せられています。将棋同好会が「将棋の強さで『頭の良さ』を測ろう」という方針で知性を数値化したら、「将棋同好会は囲碁同好会やチェス同好会よりも『頭が良い』」という結論を導けるわけです。「IQ」ってそれと同質の誤りを犯してない？という話。

圧迫面接された時、どうせ辞退確定してるから何も怖くなくて、面接官に「こんな志望動機ならウチじゃなくてもいいね（笑）」と言われたので「そうですね。今回の面接で更に御社ではなくてもいいな、と感じました。本日は大変貴重なお時間をいただきまして...」と一方的に面接終わらせたことある

どうも最近、保守という立場が矮小化され、さらには歪曲されていると思う。保守の原点は、原理的立場に対する人間の知恵にある。思想史的にいえばルソー的な社会契約の原理主義に対するバークの知恵のようなものだ。ところが最近の自他称の保守には、この知恵がない。それは偽の保守だろう。いまの保守派は外交安全保障のタカ派であって、昔のような文学芸術畑の人間ではないからだと思います。人間の機微やレトリックより先に理屈が通る。だから原理思考になる。

仕事中Twitterを咎められたのでこちらとしても禁止カードの「でも上司も仕事中ウマ娘やってますよね？」を切らざるを得なかった。今は不可侵条約が結ばれている

「証明できない定理は使うべきではない」論、耳が痛すぎて思わず「黙れ！！」と叫んでしまう正論の暴力性がある。

元気なバカに労働と報酬、そして家族を与える事でしか社会の安定的発展は望めない

日本で最後まで残った基幹産業が自動車産業だから豊田市はたまたま繁栄が継続していますが、炭鉱町を見ていればわかるようにモノカルチャーで不自然に栄えた街はモノカルチャーと心中するので豊田市の50年後、100年後を考えると心の中に暗い影ができるんですよ

上司にゴリッゴリに詰められても終始明るく「承知しました！！！」って頷いておけば逆にビビらせられる。詰め終わった後に「こいつ頭おかしいわ」みたいな目で見られてるとき、アドレナリン半端なかった。目パッキパキだったと思う

私の調査地では乞食を見かけません。賄賂は横行しているし直接金をせびってくる人間は無限にいるのですが、街中で物乞いをしている人はまずいないです。貧しくても誇りだけはあるのかなと思っていましたが、それは私の誤解でした。乞食がいないのは単に「丸腰で金品を集めていたら襲われるから」です。乞食が乞食として生きていけるのは乞食を哀れむか、乞食を職業として認めるだけの度量と余裕が社会に存在しているからです。現に強盗事件は頻繁に起きていて、食糧が無くなれば村ぐるみで略奪行為に走るような修羅の世界では、道端で金を集めている丸腰の乞食なんて生きて行けるはずも無いんですね。私は自分が調査地に入る前は途上国に乞食がたくさんいることを貧しさの象徴や治安の悪さと結びつけて考えていたのですが、実際には貧困や治安崩壊が著しくなると乞食が消えて武装窃盗団の類しかいなくなるのがどうも世界中で共通なんですね。また観光地の有無も乞食と大いに関係していると思います。

セックス・ドラッグ・ロックンロールなんて、なんにもカッコよくないんだぜ。人間が弱い方に弱い方に流れていけばそっちに行くっていうだけ。音楽には人を変えるチカラがあるっていうのは、いいことのように聞こえるけど、若い頃にハマった音楽の影響で人生良くない方向にいくことも音楽のチカラだよ。

帰国子女で外資企業で働いている人は英語が出来なくても能力のある人を採用すると英語が通じないなら社内通訳を雇うとの話でした

例えば、学校のことを想起する。勉強や成績、スクールカーストのポジション、文化祭や体育祭での仲間意識の盛り上がり、そんなことではなく、理科室の埃っぽい気配や、体育館のボールの響き、プールの塩素の匂い、中庭でふと夕映えに瞳孔が開く瞬間、そうした経験の方が、じつはずっと重要なのだ。

二人なら、ある程度どんな相手とでも楽しめるが、三人となると一気に相手に一定の教養や資質がないと楽しめなくなる。三人以上の人間が集まると「社会」ができてしまうからだ。二人は「社会」を構成しない。「二人でいる」というのは、それだけでとてもアナーキーなことなのだ。二人でやることを考えてみればいい。対話、キス、セックス、心中、決闘。ああ、アナーキーだ、イリーガルだ、実存じゃないか。結婚、訴訟、離婚、なんてのは、間に役所が入って三者関係になるからね。だから、相手に自分と釣り合う教養や資質がないとしんどくなるよね。

小学生にプログラミング教えるとき、hello worldした直後に文字列を "うんこ" とかに書き換えて実行してみる人はプログラミング上達しやすい傾向ある。まあ単に「こうしたらどうなるのかな？」って考えて行動に移すっていう部分が大事という話ではあるけど

なぜ女性の大学教授が学生にセクハラ丸出しの侮辱をしようが「理系は女性差別が圧倒的」などと無根拠な中傷を新聞に乗せようがキャンセルされないのか？本当はみんな答えを知ってるだろう。女性は差別するのを許される特権階級だから。そしてポリコレは特権階級の差別を正当化する差別ツールだから。「ネットの女叩きが！ミソジニーが！」と女性が憤慨しても冷笑しかできないの、男叩きは権力者がメディアで大々的にできる、"権力勾配"というやつを利用したガチの差別だからなんだよね。差別する側が周縁的な言論空間で少し反撃されただけで怒り狂ってるんだからどこまでも浅ましい

約4年間のホテルマン生活において過去数万組のお客さまを対応してきたなかでの、完全な個人の見解ではあるけど。一番礼儀正しいのは、『20代男性』だなと思った。

毒親でなくとも、たとえ理想的な親だったとしても、子供というのは、真に自立するためには、どこかで親の視線を断ち切らないといけない。内在化された親を葬り去る必要がある。このイニシエーションを、きちんと通過せず、本当の意味では自立できないまま、老年に至る人が多い。

21世紀になって世界で一番変わったことの一つが、アフリカやメラネシアや南米や北極圏など世界各地に居たまだギリギリ伝統的な生活を送っていた「先住民」が殆ど居なくなってしまったことだろうな。みんなかなりの割合が「近代的」な生活をしている。

たまによく「社会に文句言うより社会の中で自分に出来る事を探れ！」的な言説がバズるけど、それは典型的な詭弁。何故なら「現状に文句言う」と「その中で自分が出来る事をやる」は両立可能だから。社会の中で生きる事と疑問を呈することは決して矛盾しない。

大学院で研究に向いてないとわかり逃げるように非研究職に就職した私、だからといって普通の仕事に向いてるわけではないと今さら気づいてももう遅い！

自分ひとりで「いまここにただいる」ことは、ちょっとしたこつを覚えれば、さして難しくはない。だが人びとの間にあって、それでも「いまここにただいる」ことを成立させるには、人間関係の力学の中でニュートラルでいるという、一段難度の高い能力が要求される。

「これからは脱炭素社会だ！」と某国の環境大臣が叫んだ瞬間、彼の肉体から炭素原子が次々搾り取られ、肉体は液体になって水溜りと化した。人々は恐れ慄き、祠を建てて祀ったということである。

昔新人だった頃、先輩に注意されたこと。アーティストと会う時に、昔の曲ばっかり褒めるなってこと。自分はピュアな気持ちで、あの曲大好きです、って言ったりしてたんだけど、それはすごく失礼だと。今になれば当たり前にわかることだったりするんですけど、あの教えはありがたかったなぁ

国がどんなバカでも食えるような環境を整えるよう努めることと、市民がその国を守るために自律する事を美徳とするのは相反する話ではなく、寧ろ本来は相互補完的であろう。これが雑に混じるとシバキアゲ右翼とかウォークなら何でもいい左翼といった低劣な代物が出来上がるが。そういう意味では美しい国民たれという説法を国にやってもらいたがる右翼も、「マイノリティ」を依代にした何でもクレクレ厨の左翼も、お客様根性という点では大差がない。俺も含めて多かれ少なかれ皆持ってる部分ではあるが…。その点でいくと、バイデンの「無様な撤退」というのは正にアメリカ国民のお客様根性に冷や水をぶっかけた事例であるとも言える。自分らの望んだことの結果ぐらい多少悪くても引き受けろ、という話だな

雰囲気とか対人距離のとり方から「こいつ絶対オタクだろうな」って思ってた奴が話してみたら「オタクですらなかった」時のフォローの仕方、いまだに答えを見つけられてない。プログラムがめっちゃ書けるとか絵が上手いとかそういう生産的なのじゃなくていいのよ、せめてアニオタとかドルオタくらいであったならもうちょっと心穏やかに眺めてられるんよ。マジモンの虚無だとこっちが心配になってくる。

学年に何人か、部活無所属、友達もいない、チー牛、趣味とかも特になさそう、勉強も特段できないみたいな人がいるんだけど、何をして何を楽しみに日々生きているのだろう

>>本日の禁止カード

社会構築的な議論で見られる「アップデート」という言葉に代表されるような、いわゆる理性万能主義に近い発想は、実際個人間のミクロレベルではほとんど問題にならない。しかし人間の体にこびりついた「無意識」はマクロになった時に初めて牙を剥く。「勉強すれば」「アップデートすれば」この社会が「良くなる」という発想をマクロに適用しようとした際にしばしば強烈な拒絶反応を引き起こすのは、ミクロで通用する近似解がそのまま拡大可能だとしたことによる計算間違いによるものなので、端的に誤謬という他はない。保守()さんはリベラル思想にはきちんとミクロの合理性が地獄への一里塚だと理解できるのに、経済になると「効率効率」いうて目の前の合理性を疑えない猿になるのマジ許せなくて「お前らはほんとは理性原理主義者だろ」って言いたくなるんだけど保守に対する歪んだ愛情ゆえなんで許して

タリバンにせよ何にせよ、そりゃ個人同士で会話してみれば「純朴な青年だった」「その目は優しかった」みたいになるだろうが、お互い集団の利害を背負う立場になれば当然話は変わってくるので、この手のミクロエピソードは正直ポルノでしかない部分がある

学問を修めて幸福になろうなんて甘いですよ。真理は俗世間的な幸福とは無関係に存在しているんですから。

中国が塾禁止令を出してさっそく塾の闇営業が横行し始めるなんていう笑い話もあったが、能力主義も結局貴族制のお化粧になるし、能力主義の否定はそれはそれでモロ貴族制になるし、なんというかほっとくと人間社会は貴族制になるらしいということが分かってきた。パイが拡大し続ける、要は国富の微分係数が正でないとあっという間に貴族制に転がり落ちるらしい。そのためには少子化の解決が絶対に必要なのだが、教育期間の延長はこいつを思いっ切り抑圧する。能力主義の必然的な帰結として教育期間の延長があり、その結果としての階級の固定化がやってくるというジレンマを解決できたらそれこそノーベル賞どころではない。俺のような凡俗にはもう神学に近い徳の再構築しか思い浮かばないが。今更原始共産制なんかやれるわけもなし。

日本が他の先進国に比べて少子化がマシなのは、院卒を優遇しなかったおかげかもしれない。バカでも食える社会ということを考えたとき、このツイートがいつも頭をよぎる。インテリの人がいつも怒ってるけど、日本は基本的に修士博士を積極的に活用しようとしてこなかったし、市民の側も（特に文系は）学卒以上を取ることに乗り気でもなかった。

「タリバンが女性からスマホを取り上げてる」という話に「地方のおっさん首長が常々思ってた事だろ」と言う話がありましが、本邦でも「姪が自分の話に興味示さないから」とゲーム規制条例成立させたオッサンが居るので、多分真実だと思います。「中国で大規模なゲーム規制」「まるで香川県だ」「タリバンがスマホを取り上げている」「まるで香川県だ」

怪物を怪物のまま死なせれば神になる。民衆の前に死体を晒されたムッソリーニは崇拝されず、地下で自殺したヒトラーは今も崇拝される。模倣犯を出さないための人間化

デフレ不況とかって政府がお金バラまけば解決すると思うんだけどなんでやらないの？と不思議に思って大学院に入り、ＲＢＣとかＤＳＧＥとか難しい数理モデルを何年も学んで至った結論がこれ⇒デフレ不況とかって政府がお金バラまけば解決すると思うんだけどなんでやらないの？

「イチゴ農家は農薬使ってるから自分とこのイチゴ食べない、食べられるもの作って売ってほしい」とツイートしてた人がイチゴ農家さんから「食べてますけど」のツッコミ入れられたあと「マッ○の社長はマッ○を食べないとかそういう話してるんだけどな」って呟いてて、すごい仕上がってるなと思った。

「自社製品を食べる」話で面白いのは「ぺぺローション」。「身体の中でも、特にデリケートな部分に使用するので、毎日でも食べられる安全性じゃないといけない」と、企業の熱い想いで作られていると言う。

店員「こちらが最新型の掃除機です」

屋外も掃除したい人「これって、国道とかもいけますか？」

「女性だから支持するわけでない」と言っても構わないので「女性だから叩かれる」とか今後一切言わないでください

日本人が古い機械を大切にしない以前に日本の気候が物を長期保存するのに向いて無さすぎるので、産業遺産の類を全部アメリカの砂漠へ持ってった方がまだ後世まで残る率が高いと思う

３年前は地震で停電。「たかが」電気が１日止まっただけで病院機能はほぼ停止し、物流が途絶えものがなくなり、物損事故程度では警察が対応できなかった。しかもその影響はしばらく続いた「たかが電気が１日止まっただけで」

知り合いの夫婦で「おかずを考えるのが大変なんだけど」「俺は毎日カレーでいいけど？」「言ったな。本当にそうするぞ。弁当カレーだ」となったけど、夫は美味い美味いとカレーを食い続け、嫁が先にギブアップ宣言したのを知っている。空士の頃、隊の給食委員を拝命したことがあるんだけど、献立人気アンケートを何回やっても「カレー」が不動の１位で基地業務群の休養小隊長も頭抱えてた

有名なほぼ特攻隊の「義烈空挺隊」だけど、飛行機が発動機不調で遅れてとびったった機に搭乗してた隊員がエンジントラブルで、なんとか飛んでも誘導機がトラブルで見つからずに「大本営に突っ込んでやろうか」とかいって盛り上がってたって証言、不謹慎だけどクソ笑った。

ジェンダー専攻とか要は因縁をつけるプロということだからな。そら履歴書に「チンピラ養成コース卒業予定」と書いてあったら弾くだろ

昔は共産主義とか成功しない事への言い訳とか有ったし労働も肉体的にはキツいが精神的負荷は軽かった。おそらく実態はどうであれ仲間も居た。今は全てない、今日の社会の生きづらさはこれ。お陰で人類の総数という意味では繁栄している。

営業マンの世界では「取引先のオフィスにスローガンが掲げられていたら、よく見ろ。それには、その会社が実現できていない問題が表れている」というそうである。宗教の世界もきっとそうなのであろう。

「もう財布に200円しかないわ」みたいなこと言ったら「うまい棒20本買えるやんwww」ってクソおもんない返しかましてくるやついますけど、いましたけど、もういません。全員あの大きな炎と黒煙の向こう側です。寂しくなるね。うまい棒、ここに置いとくね。

アンガーマネジメントって言葉を最初みたときに怒りのパワーを一点に集中させることで爆発的な暴力を生み出す技術かと思ったんだけど実際にはなんか「奴隷のように生きろ」みたいな意味だったのでびっくりしたことがある

ラジオ体操の音楽にまったく合わせずに爆速で全部踊りきって残りの時間ずっとボックスステップ踏んでたら面白い

私ね、アナウンス学校4年も通って喋りのトレーニングして、中身がアホなのに、喋ったら実力以上に評価されることが多くて、世の中舐めた時期があるんだけど、政治家もそういうとこあると思う。ハキハキ喋る、キメ台詞とか芝居くさいが雰囲気あるみたいな人に政治を任せちゃダメなんだよって思ってる。

「俺がこんなに頑張ってるのにお前は何故頑張らない」みたいなのは「お前が頑張るのはお前の勝手だし、俺が頑張るのは給料分」みたいな返しで終了よね。言い回しはちゃんと考えないとダメ。

「幸せはお金じゃない」的なツイートから固ツイに誘導したら、その「幸せはお金じゃない」コツを有料noteで売る致命的なパラドックスが溢れるTwitterランドいいよね

多くの企業で採用したい人の条件として『素直』を挙げる。本来は「人のアドバイスをまずは聞き、自分なりに解釈して、PDCAサイクル回して…』的な意味が内包されていると理解するが、実際の現場では「素直」＝「YESマン」が好まれて、PDCA回して改善案持ってこられたらウザいんだろうな。

ある経営者が部下を叱責する際に『才能の出し惜しみをするな！』と言うらしいが、部下の自尊心を傷つけずに、やる気を引き起こさせるいい言葉だな。

「要領よく」「効率よく」「コスパよく」といった考え方だけでは人生を意義あるものにすることはできない。だから要領よく生きてきた人は心のどこかに空虚で満たされない隙間を抱えている。

日本のクソしょーもないウェブページ（いかがでしたか系）に乗ってる、海外のフリー画像サイトから引っ張ってきたような数学系の画像にある、全然意味のない数式の羅列を追っていくのが好き。意味がなさすぎて一周回って笑えてくる。

久しぶりにイオン来たが惣菜、お菓子、お酒、肉魚野菜など種類の豊富さとその質が半端ない。やはり日本は凄い。都内住みで年収1千万円で激務で税金しこたま納めて住宅ローンでカツカツより、地方で年収6百万円でゆったりと会社と高額納税者から搾取して世界最高水準のスーパーの恩恵受ける方がいいよな

家事をすると「なんで一回で完璧に出来ないの？結局私がやって二度手間！」って妻に怒られる度に『仕事ではやり直しや修正が当たり前。例えばプレゼン作成でも課長に直され、部長に直され、役員に直され…。皆で協力して良い物を作る。仕事ってその繰り返しだろ？』って言い返したいのを毎回我慢してる

ネット上におけるゾーニングというワードは、もはやNINBYの言い換えにしかなってないからいくらでも恣意的に融通無碍に領域決められるから解決のように見えて何の解決にもなってないという印象はある

スマホの内側カメラは広角レンズで、鼻のあたりが膨らんで見えてしまうらしい。自撮りを愛するインスタグラマーとして屈辱的なので、広角レンズで見た時にもっとも美しく見えるよう、顔を整形してきた。

意味わからんしめっちゃ怖い話

言論の力を信じられるの、ある意味インテリの世界なんだよな。普通の人はそんなものは読まないし知らない。ただインテリがインテリのために書いたものがインテリの中で流通してる。

過去も未来も現在も、さほど「知識人」やお偉の放言を世の若者たちが気にしてると思えてないんだわな。ただ同世代や職場の人の目だけは気にする気がする。だって生来の知能が低く、今の困難の全てが自業自得の類の人とかってどうしろという話なんだよな。流石にそういうのが、赤の他人の発する言葉の力で運命が変わったとも思えない。生まれ育った家庭が変われば違ったかもは知らんけど。本当にどうしようもない人は関わる側も無力感を感じるので去っていく。逆に言うと「助けて欲しがっていて」「やる気がある」人には人は喜んで手を差し伸べる。誰だってなりたいからね、救世主に。「字が読める」人は確かに思想にも共鳴して運命が良くなったり悪くなったりするかもしれない。でも多くはそうではないんだよな。ジョーク抜きで、YouTube大学を有難がってる人々も割とリテラシーある側だと思ってます

熱く激しくなければ（あるいは真面目で忍耐強くなければ）生きていられないしダメだよって感じのメタメッセージ発する人をうまくスルーしつつ仕事や勉強を進める。

「ここでペルソナだァ！！」と叫びながらチンポを露出しているおっさん

「ペルソナよ！」と叫びながら軟膏をケツに塗っているおばさん

お腹が減ったのでチクワを炒めようと思って冷蔵庫から取り出したら、近くにあったパソコンのキーボードの上に落っこちて「。」が出力されて、まあまあ大きな声で笑ってしまった

ジェンダー論は、その教条性においてマルクスレーニン主義によく似ているとつくづく思うな。違うのは、個人的な情動と身体性に対立的なダイレクトにアクセスして、友敵的な分割線を入れるイデオロギーである点だろう。

植物に水あげるときだけが正気　それが東京に暮らすってこと

総裁選、誰が誰につくのかといった古き良き権力闘争に加えて、候補者がそれぞれのブチ上げをやりつつ個々のイシューでは支持を計量して前言撤回や修正を乗せたり、これは中々健全な政治の在り方なんじゃないかと思います。そういうのは本来与野党間でやってくれませんかね、という点に目をつぶればだが。「便宜的に」みたいなやり方に抵抗がないクレバーな人ばかりだから、政策をやりたい人がみんな自民党に入ってしまってその中で政党の代わりに会派を作って、本来なら政党間でやるはずの争いをやってる、だから日本の政党政治は機能不全を起こしてる、ということは昔から言われてますものねえ。

これまで生きてきて、周囲の人の様子も見てきて感じたことだけど、「持続する熱意」というのは本当に貴重だなと思います。才能とか素質とかいろんな言葉があるけど、自分の目標を達成するために一番重要なのは熱意が何年もずっと続くことで、実はそれが人間にとって一番難しいことかもしれないです。逆に言うと、心の中で燃え盛る炎が自分を突き動かしてくれる間はいつまでも成長できるし、まだずっと遠く思える夢もその実現に近づいていけるはずだと信じています。なにか自分がずっと情熱を持てている夢や目標があるなら、それだけで十分に素晴らしくて、自信を持っていいことかもしれないですね。

強く生きなきゃならないときもあるが、ずっと強く生きていると強くないと生きられない人生になるので。強くないと生きられないコースに人生が入るのはただ弱いよりも危険。定期的に降りていくモーションが大事だ。

そうしないと売れないのだろうが、いいかげん平安時代＝恋、または怪異、陰陽師、の公式を刷新してほしい…。社畜のように昼夜の別なく働いていた官僚がたくさんいたんだ…。

「ブレードランナー見たけど他の映画で見たことあるネタばっかりじゃん」「ハルヒ見たけど他のアニメで見たことあるネタばっかりじゃん」みたいな現象で、ギリシア語学習すると学術分野で見たことある単語ばっかり出てくるから中二病のオタクが作った人工言語みたいに見える

人間の知能が高いとされるの、「そりゃあ自分で作る定規なんだから自分を一番にするでしょ」みたいな気持ちになる。人間が理解できない推論法は人間が理解できないがゆえに(言語として扱えないからとか)評価から弾かれているんじゃないか、みたいなことを思っていた(猫、犬、イルカと人間の比較みたいな話で)

どこかの教育者が「脳の最も大事な機能は運動や！」とか言い出して1000m走を知能テストに組み込んでケニアあたりの知能指数がいきなりガン上がりしたりしたらかなり面白いな。あと球技を取り入れたり協調運動的な要素を入れたりしたら一気にシリコンバレーの子どもたちの平均点がダダ下がりするやろな。

生理不順で婦人科行ってたんだけど淫紋シール貼ってるの完全に忘れてて検査前まじで死んだ顔しながら待ってた

今までTwitterやってる輩がドン底の馬鹿な貧乏人だと思っていたけどTikTokに当店を紹介されてから今まで遭遇した事のない馬鹿が沢山来襲する。この世には文字が理解できない馬鹿が一定数いるって誰かが言ってたけどTikTokの動画しか見てない馬鹿って文字が理解できないのだな。Twitter以下は来ないで。tiktokで当店が紹介されてそれを見た馬鹿な若造が「上刺身定食」と注文してきて「ないです」と答えると「なんでないの？」みたいに不貞腐れた顔してくるからどんな風に紹介されてるのか確認したらちゃんと「Twitterでチェック」と書いてあるじゃねえか。やっぱりtiktokの馬鹿は文字が読めないのだな。

「『親ガチャに外れた』は甘えだ、努力しない言い訳をする人間なんだと認識している」という意見をよく見るけど、努力したら成功できるかもしれない環境にいる時点で運がいいんですよね。例えば受験戦争は限りなく平等なレースですが、その競争ができる土俵に立てる時点で恵まれていると僕は思います。

漫画を描くことはマジでめちゃくちゃ面倒で大変だと知ってるから、「こんな理不尽なことがあったんですけどコレ私悪くないですよね💢」と言うために描かれたとおぼしき漫画が流れてくると、そんな日常でイラッとしたくらいのエネルギーであの途方もない手間を乗り越えたのか…！？と圧倒されてしまう

僕は高校の偏差値が４１で、世帯年収が２００万円以下で、今も３畳２４０００円の物件に住んでいるけど、運が良かったし恵まれていたと思う。インターネットのおかげで勉強することによって人生が変えられると気づけたから。本当にネット環境もない家庭や時代だったらこれはありえなかった。

フォロワーさんに居たら申し訳ないけど観測上の経験として、bio欄に

「毒吐きます」「毒舌です」「口悪いです」って書いてる人、大抵の場合悪いのは口調では無く頭。

「氷河期の中年いつまでもうぜー俺らだってコロナで就職終わってんだよいい大人のお前たちがいつまでもピーピー泣くな」は恐らく20年後に

「コロナ禍で就職と青春が死んでた中年いつまでも被害者ぶってうぜー」になるんだろうな

発達障害とLGBTが「生きづらさ」を訴えるのを頻繁に目にするのは、彼らが特に生きづらいと言うより、他の精神疾患の多くは流暢に語る能力さえ奪われているからなんだよな、と言うことをたびたび思う。疾患をまたいで安易に比較できるものではないが、知的障害者と発達障害者の動作性IQが同じくらい低くて苦労しているとき、発達障害者はその辛さを説明することができるけど、知的障害者は説明できずにパニックに陥るだけで終わってしまい彼らの苦労は表に出てこない。発達障害の生きづらさには諸々の理由があるけど、まず「理解できるけど実行できない」ということがある。この苦悩は自覚できる。でも知的障害寄りなら「理解できないし実行できない」ので、認識できないから能天気でいられるが急に処理落ちするように調子を崩すんだ…。

たいていの人類が飢餓から解放されたのって、グリーン革命が行き渡った1960年代なので、普通に考えればなろう定番の無限ストレージに腹一杯飲み食い出来るだけの食料が用意されるだけで感動するはずなんだけど、読者に飢餓の体験がないので、そのあたりはばっさりオミットされがちなのであった。高収穫品種と化学肥料のベストマッチングって、まだ成立してから70年足らずだから、それだけでなろうチートなりうる条件を十分に満たすんだけど、「あまりに近すぎる（けど読者が産まれていない時代の）技術」は見えにくい。手洗いうがいを徹底するだけでチート、とかね。実のところ「ほぼみんな読み書きできる」「人の生活領域は夜も明るくて安全」「信頼できる貨幣経済がド田舎まで行き渡っている」このあたりはかなり高度な文明なんだけど、読者の実感からかけ離れちゃうから特別な意図がない限りはスルーしてしまいがち。

あと「こんな偉大な人物も生活保護を受けていたことがある」とか、「有能と無能はひっくり返ることがよくある」という理屈でセーフティネットを肯定するのもモヤモヤするわね。それ結局DaiGoフィールドから出られていないのでは…と。ピカピカの無能はどうすんだよそれ。一つ言うとくぞ。有能と無能なんかそう簡単にひっくり返るわけがないと。そんな例は殆どないと。だからこれは危険というか、実質的にDaiGoと言うてる事はあまり変わらん。ではどうすればいいか。陛下の赤子誰一人飢えさせぬ。以上！日本人は日本人であるだけで価値がある。メリトクラシーが無能な弱者を社会に包摂せず、むしろナショナリズムのほうが無能な弱者を社会に包摂する。税や社会保険の負担を国民全員が等しく共有するためには連帯と共同性の基盤が必要になる。陛下の赤子誰一人飢えさせぬという感覚は、（本来無関係な）日本人同士の連帯と共同性の基盤になるのではないか？「何故あったことも無い国内の他人の為に税負担をしなければならないのか？」という問に対して、「あなたもその他人も陛下の赤子」であるというロジックは確かに筋が通っている。かわいそうだからという理由なら、かわいそうに見えない弱者は排除される。

職場にプライベート持ち込むと自分の内面まで仕事が入り込んでくるためのドアを開けているようなもんだろ。好きなものを好きな気持を職場の穢れた空気に晒したくなんてないだろ。外向けの好きなものと本当に心の軟らかいところで好きなものと分けるよね。

ブラジル国旗の真ん中の青い丸には『秩序と進歩 (ordem e progresso)』と書いてあるんだけど、ブラジル人曰く「その二つはブラジル人がすぐに忘れる言葉だから、一番目立つところにメモしてるんだよ」だそうだ。

地方に生まれ育ち、今もそこに暮らす友人が「おれは長男やから頑張らんと。おれがぜんぶ引き受ける」と。知識ある人はこれを旧弊なる家父長制と嗤い、女性蔑視と軽蔑するのだろう。だがわたしはやはり、彼を応援したくなるのである。それを言ってしまうとお終いだが、われわれがツイッターで議論する内容は、都市限定の論理かもしれないと思ってしまうことがある。地方で牧師をしていたときのことを振り返るにつけ、よけい実感する。

まあいつも言ってるけど「差別に気付こう」って他人の差別を見つけ出そうって話じゃなくて、「自分のしている差別に気付こう」って話ですからね

生活保護受給者や精神病患者の支援していたことがあったけど、最終的には「マジで関わりたくない」って感想が出てきたし、愛なんてない

だが法や制度が俺と同じように考えたら終わりだろ

キャンセルカルチャーのおかしいところは、罰の上限が定かではない点。関わったメンバーの降板がある一方、その地位を続けられる人もいて、罰の上限を民衆が好き勝手に決められる点にある。法治主義との食い合わせが悪い（窃盗で罰金刑から死刑まで自由に選べるのは法治ではない）。

次に来るヒトラーは絶対にチョビ髭のおっさんの姿をしていない。今の時代にマッチした、スマートかつエネルギッシュな魅力満載の姿で現れるはず。誰もがもろ手を挙げて歓迎する人物ほど警戒しなければならない。

『坂の上の雲』の導入に『不慣れながら「国民」になった日本人たちは、日本史上の最初の体験者としてその新鮮さに昂揚した。この痛々しいばかりの昂揚がわからなければ、この段階の歴史はわからない』とあります。まさにこの一体感こそ、国民国家が２１世紀の今も力を持ち続ける理由でありましょう。同胞意識、仲間意識は、ホモ・サピエンスにとって必須の能力です。血がつながらない、文化的にも同質か怪しい、顔も名前も知らない相手にまで同胞としての意識を広げられる概念として、人類文明は今のところ、「国民」以上のものを生み出せずにいます。理屈は通っても「地球人」では感情が伝わらない。日本には明治に導入された「国民」が画期的だったのは、誰でもそこそこ納得できる概念であったことです。教養や判断力のあるなしを、ほとんど問わない。それまで藩ごとに分かれて暮らしてきて、隣の藩は「外国」の意識だった人でも、すんなり飲み込める。コワイ。「地球人」は今もインテリ限定です。「国民」の概念が津々浦々に浸透するかしないかって、建国神話が大きいのではないかしらと。

アメリカですと独立戦争と奴隷解放。日本ですと明治維新と無条件降伏が「建国神話」のイメージ源となっている気がします。カープだと樽募金と江夏の２１球。神話なのであちこち矛盾していても気にならない。「国民」にあって「地球人」にないものとして、境界線があります。境界線がない同胞概念は、薄くなりすぎてしまい、困ってる人がいても、身内感覚を抱けず「遠くから応援」以上のことができなかったりします。血族、趣味、宗教、どれも境界線があってこそ濃密な身内意識を維持できます。

「戦うべきところでのみきっちり戦い、自分の筋を通して生きる」ということを貫くためには、「ここに関わってはいけないな」というエリアを正確に見きわめる必要があるんですよね。そういうふうに言う人は少ないですが、私はこの判断が精妙にできることも、「教養」の一つのはたらきだと思っています

この年になってやっと理解したけど「事実関係を確認したり責任の所在を熟慮する知的負担に耐えられずその上言及したいという欲求も抑えられない」ってけっこうポピュラーな人間の行動様式っぽいな

炎上すると同時に複数の命令や非難が飛んでくるので、組み合わせれば容易にダブルバインドが構成できるな。①「謝って反省しろ」②「謝っても許されるわけではないし、謝るぐらいなら最初からやるな」③「あなたは悪いことをしても謝るような人ではないし、本当は謝る気なんてないだろ」的な

デスゲームが法的に認められた近未来、人々は真面目にデスゲームをやることなどなく「危険性の高い工事をデスゲーム扱いで申請すると安全対策を取る義務がなくなるし死傷者も労災扱いにしないでいい」等のライフハックに転用してたくましく生きていた……

拡大し続ける福祉予算を削減するのは国民の支持や理解を得るのが事実上不可能だからこそ、自前で資金調達するよう求めたのが「儲かる大学」だと考えているので、むしろ政府は学問を重視している(存続させたい)のが分かって安心したんですけどね。本気で潰す気なら米国みたいに通告無しで廃止するので。「儲かる大学」路線をやりたくないなら、福祉政策や皆保険あたりと予算配分を巡る政治をやる必要があるんですけど、そんな覚悟がアカデミアにないのだからもうどうしようもない。アカデミアは今まで通りバカを扇動して他の研究者や分野を適当に差別認定して予算配分ゲームから蹴落としてればいい。

「政治的な正しさ」を追求するあまりに、自分自身が、もっと曖昧でもっと身勝手でグラグラとした存在だったことを忘れてしまったり、あえて見て見ぬふりをしたりして、理念サイボーグみたいになることを危惧している。そういう非人間的な人に他の人がついて行けるか？

たまに、研究をしている途中で「自分は過去に誰かが明らかにした事実を知るのが好きなだけで、自分で新しいことを発見したいわけではなかったんだなぁ」と気づいてしまう人がいます。私はこれは不治の病だと思っています。一度消えてしまった研究に対する心の灯を再びつけるのは容易なことではありませんし、それが本人のためになるのかどうかもわかりません。

研究というのは実際にやってみると痛感するのですが、ひとことでいって非常に大変な営みです。そしてその大変さというのは、要するに「答えのない問い」といったものに向き合っていかなければならないということです。答えのない世界というのは例えば、いま自分が解こうとしている問いにそもそも適切な答えがないかもしれないという可能性を排除できないまま、何年にもわたって実験を繰り返していくということだったりするのですね。例えば、卒業間近になってどうやらこの方法では目的としている化合物はどうやっても合成できそうにないことが分かって途方に暮れた、などという話しは実はよくある話しなのです。本来科学者とは、こうしたことに対してむしろワクワク感とか知的な興奮を味わう種類の人種であって、はなっからやり方がわかっているようなことなどには見向きもしないという性質をもっている人たちなのです。そして私が考えるに、こうした性質とか気質というものは生まれながらに兼ね備わったものであって、訓練とか教育とかで発達させることは極めて難しい部類の能力に分類されるのではないかということなのです。つまり、研究というのは生まれながらに向き不向きがあるのではないか、というのが私の率直な意見です。答えのないものに立ち向かうというのは、確かに人間のもつ素晴らしい能力の一つだと思います。しかしだからといって、それだけがこの世の中を生きていく上で必要なわけではありません。

大学の教授などは自分たちの能力を宣伝するために、ある種の過激な言い方ををすることがあります。それは例えば、混迷を極める21世紀を生き抜くためには答えのあるものだけに取り組んでいていもしょうがない、答えのないものにこそ真の価値がある、などといった具合です。しかしこれは自分たちの能力が世間の中で相対的に価値があるということをいいたいがための単なるポジショントークであるから注意しましょう。この世の中の仕事の割合からいえば、むしろ答えのある世界のほうが遥かに広大です。なぜなら、大量の人間が関わる行政システムや資本主義の世界では、ルールをしっかりと整備し、それをそれらをきちんと運用していくということこそが重要だからです。そしてそれらはそれらで、生まれつきとしか言いようのない能力によって最大の効果が発揮されるのだと思います。残念ながら私にはそちら側の能力はなかったのです。

ほんと論文の値段が高いのは問題で、論文が万人に無料もしくは安価で公開されてないのに「学問は人類の知への貢献」と学者が言っても一般大衆としては困惑しかないですよね。ニセ知識があふれるのも当然かと。

５歳、「爆発＝ギャグ」だと思っていてガンダムとかで敵のMSが爆発する度にゲラゲラ笑っていたんだけど。昨日ユニコーン観てたら「案外これ笑い事ではない」ってことに気づいたらしくて神妙になっていて面白かった。

『「多様性ある社会」の実現を強く訴える人ほど、自分の気にくわない多様性を目にしたときに、攻撃性や排他性を発揮する傾向が強いのは何故だろう』ていうの、前も言ったけど、多様な熱帯魚を入れた水槽にザリガニ入れるのは無理やろって話だと理解している。まあ俺はザリガニだったりするんですが。プログラマの人なら分かってくれると思うんですけど、『多様性のある社会に、多様性を否定する論理を実装したい』みたいな話でもあるよなこれ…。正直、そういう自己破壊的な多様性は「多様性のある社会」に実装不能だろってのは毎回思いはする。かといって封殺も難しかろうけど。多様性のある社会では存在を許されないようなザリガニにとって、『多様性のある社会で俺は殺される』ていうの本当に深刻な話ではあるんだよ。とはいえ、人間は『ザリガニにならない』という選択の自由があるということになっているからなあ（実際どの程度選べるもんか知らんけど）それはそれとして、『多様性のある社会という人ほど自分達の気に食わない多様性を認めない』みたいなこと言ってる人は、自分達がザリガニなんだということに早く気付いてもらいたさある。気に食わないというよりお前がいるとみんなが幸せになれないんだよって言われてるんだ。社会をアクアリウムに譬えて何を主眼に置いてアクアリウムの中の生態系を整えるのかという話、アクアリウムの管理者＝生態系の在り方を決めるのは自分だと言わんばかりに「多様性の敵」と他者を糾弾する人々の存在が連想されるなど広がりがあって、アナロジーとして秀逸。「〇〇は多様性の敵」と気にいらない集団を糾弾する人達の何が滑稽かって、自分の水槽の一員ながらアクアリウムの管理者を気取っていることで。

失敗したのは対テロではなく、人為的恣意的な民主化の試みです

「成果主義の会社は同僚同士で手持ちの札を隠したり他人を蹴落としたり荒れる」論を読んで、それは「成果が出なければ簡単に減給orクビ」だからかなと思った。今の勤務先は「簡単にはクビにならない」ので治安は悪くないが、同じ外資でも某社のように「簡単にクビ」なところは非常に治安が悪いと聞く。そもそも外資でジャック・ウェルチ・ルール（業績査定下位xx%は自動的にクビ）を導入しているところだと、アレオレ詐欺や讒言で嫌いな同僚の評価を下げるとか、お気に入りの部下を守るために代わりにクビにしやすい当て馬を採用するみたいな地獄と化していたりするが、それは成果主義が悪いのではない。別のリプでも書いた通りで、成果主義を「首切りの道具」に使えば組織が荒廃するのは当たり前。成果主義を「人材を成長させる手段」に使えば組織が成長する可能性は十分にあると思う

中国共産党が「ポルノ規制」に神経を尖らせてることは、逆説的ですがポルノの民主的価値を証明していると思います。ポルノグラフィを持たない国には自由も民主主義も根付かない。ポルノに関する法律の世界地図。「ポルノがない国には自由も民主主義も根付かない」というのは空理空論ではなく現実の一側面だと思ってます。

ボディビル界では男性ホルモンやアナボリックステロイド（男性ホルモン様男性化作用剤）を身体に入れると性欲が中学生のサル時に戻るみたいな話は枚挙に暇がないですからな。人間の情動なんてほとんどホルモン（脳内の化学環境）が決めてるんですよ。

負の性欲って要するに席替えで隣にキモい男子が来ただけで泣き出す女子が何故いるのかってだけの話やろ？

これめちゃくちゃ頭良いな。Amazonで単純労働してるような下層民は学費の高い私立大学には絶対行けないけど、Amazonの福利厚生を叩いてる高学歴メディアの人間はクソ高私立大学の学費がチャラになると錯覚する。実質的には「絵に描いた餅」なのにそうとは一見わからない。

日本にも古くから新聞奨学生とかあるけど、知力体力精神力に優れた最優秀層が全てを労働と学業に注いでようやく2流大3流大の卒業資格"だけ"を手にするシステムだからな。学業と労働の両立なんて不可能に近いんだけど、苦学生幻想を捨てられない上層民には素晴らしいシステムに感じられるやろね。労働分配率の低下を招いてる真犯人みたいな企業が「いや、我々は苦学生を応援しますよ」みたいなメリトクラシーの文法で自分らの搾取を正当化して、それにコロッと高学歴インテリどもが騙されちゃうわけだから、こんなんGAFAの収奪に左派は対抗できんわな。タリバンとか福音派みたいな奴らしか勝てない

作中のモブの中に意味もなく「違うやつ」がいるような作風は好きです。作品に出てきた銃は必ず撃たれ、男と女は必ず恋に落ち、出てきたものはすべて頭から尻まで余さず結末のための小道具として使われるのって作品世界の深みが感じられないし…

某所で子どもたちと雑談してたら「それあなたの感想ですよね」と言われたので「そうですよ、私の感想ですよ。で、あなたの感想は？」と返したら、まあ黙っちゃったよね。いいんだよ、感想で。聞かせて欲しいのはあなたの感想です。

フェミニズム理論とLGBT理論が真っ向対立するのめちゃくちゃ面白いですよね。「正しいフェミニズム思想に目覚めれば悪しき男性性欲はなくなる！」とヘテロ男性には主張するのに、LGBTの話になると「性的指向は生得的で変更不可能！」となる。

「あなたがたがメディアを通してこれを読んでいるということは、僕がこれから犯す罪は暴かれてしまったようですね」から始まる、かなり先を見通している卒業文集

アカデミアから民間に映るのが「転落」みたいに思われていた頃があった（今も一部ある）んだけど，「転落」というのは高いところから低いところにいくときに使う言葉なので，アカデミアが低迷した結果「転落」ではなく「ステップアップ」になってしまった

わかってたけど、やっぱり普段はてブで偉そうに上から目線でコメントしてる人はあまり大したことないのね……はてブだけでも「ああこの人賢いんだろな」って感じる人は結構いるんだよね。賢いなって思う人はだいたい主語を明確にするし断言しないからね。今回の人は、そうじゃなかったというだけ。はてブの中だけで勇ましいはてブ弁慶だったと。今までは１００文字という制限とはてなブックマークという場に守られていたけれど、そんな無敵の人状態だったはてブユーザーが馬脚を現したという感じでもうすごくほっこりしてます。今後ははてブで偉そうに言っても「あの時恥かいてた人か」で流されちゃうし、はてブのお仲間の皆さん、穢れを嫌うから多分今度からスターつけてくれなくなるんだろうね。文章で自分の主張を伝えるってのが結構難しくてはてブで雑に人を殴るだけとは勝手が違うってことを学んでほしいし、何よりも、自分が普段何気なくやってるはてなブックマークって書き手にとってどれだけウザイかも知ってほしい。

皇族の人々を対等な人間として考えていくと、「左」側に傾いていきますね。一方で、「右」に傾けば皇族を尊ぶかと思いきや、逆に皇族の意志を蔑ろにし、道具扱いしているように思えます。

ネット論客の経歴を見ているとどうも青春を2chの固定ハンドルとか自作掲示板の管理人で過ごしたような人が一定数いて、自分がトピックを先導したり話題を提供して議論をヒートアップさせることが人生の一部になっているらしく、青春やライフワークを否定してしまうのも残酷だなという気がしてくる

近所づきあいの煩わしさと災害の時の安心は表裏一体であるため、近所づきあいの煩わしさを一切引き受けずに災害の時だけ安心を得たいというのは無理な相談なのです。

戦前の、特に工員さんは成果主義だけで待遇してたんですよ。その結果起きたのは工員が仕事の標準化を嫌い、後輩をいじめ、自分の食い扶持を守る陰惨な職場です。とかく文句言われるけど、長期雇用を前提とした仕組みはこの点への反省で生まれたものです。戻すなら良いけど、対策考えてる？

平均より長生きした人の死はお祭りになる文化がアフリカあたりにあったと思うけどそれがスタンダードでいいと思う。とりあえずお悔やみしとけば当たり障りないみたいなの、特に根拠のない習俗でしかない

気が合う人と一緒に暮らしたり近くで生活して気軽に散歩に行きたい。気が向いたら共に食事をしたりお茶をしたい。それ以上望むことがない

まぁ生活保守的な感覚を見直すに至った直接の理由が何かというと、結局自分の場合はトランプになるのだけれどね。「フェンスがここにある理由」に真正面から言及できたのがヤツだけだった、というのが病理と言えば病理なのだが、とにもかくにも。自分たちを縛るものは自分たちを守るものでもある、という話は自分なんかはしょうもないサラリーマンですけども、自由という名の放縦とは全く別の力学で存在しているわけで、そこを見失った「リベラル」の描く先の話に全く希望を持てなくなった。そこへ加えてあの独善性と理性万能主義がね、もう見てらんない。その割に極めて粗雑な「自由」を弄ぶあの安易な姿勢がね、我慢ならんのですよ。本当に心底から。なので自分は国境のない世界、歴史のない未来を夢見た姿勢を捨ててwalk awayしたのですよ。

根っからの保守右派のフォロイー諸氏とは違って自分はいわゆるwalk away運動に極めて強いリアリズムを感じているような立場なんだが、如何にして「リベラル」をやめて反動を名乗るようになったかというと結局生活保守的な感覚の積み重ねとしか言えない部分がある。法以外にも様々なローカルルールや規範と言ったものが人間の生活を縛っている。それは時に理不尽に思えるが、その実、何らかの意義があって存在しているものでもある。その両義性をまず見据えるのが人間性というものだろうという感覚を主に働きだしてから徐々に持つに至ったのだが、あまりにも「全てからの解放」を訴える幼稚な感覚がはびこりすぎている、そしてそれをいい歳をした知識人が喜々としてやっている、そんな状況がもう見るに耐えなくなった。あなた方は解放される立場ではない、共同体の意味を下の世代に伝えて彼らを守っていく立場だ。そんなことすら学べなかったのかと

> 奴隷のくせに貴族の目線で、貴族の不満に感情移入して大騒ぎしているんだから世話ねぇよ

くまきちさんのこれ、ジェンダー学者とかいうどうでもいいことをやって食っていける人間が生きる力の弱い女を食い物にしてる構図の説明として、この上なく正しいんだよな。見た目なんか歳とったら劣化するし、頭だって体だってそれ程強くない女がフェミニズムとやらで他責能力だけブーストしたら、そんなん誰が面倒見るの。結局その思想に縋ってしょうもなく生きていくしかなくなるわけで、カルトですよカルト。いつも言ってるけど

僕が小学生の頃の帰りの会で「今日は簡単清掃の日です。近くにあるゴミを10個拾いましょう」というイベントが時々発生していたんだけど、これを社会の各方面で機能させるのが重要。「この社会、なんか良くないよね」というときはこういう相互扶助システムが機能していないパターンだと思うの

なんでも教育が解決するわけではなくって、科研費の不正使用があったから研究者全員が講習を受けることになったり、学生の剽窃があったから学生全員に何度も剽窃とは何かを教えるという「対策を徹底する」のは、なんか違うんだよな。大抵の場合、知らなかったからやるわけではないんだと思うんだよ。研究費の不正使用をする人がむしろ不正であることを普通の人より熟知していたり、レポートの剽窃を行う学生がそれが違反行為であることをよく知っているというケースがほとんどだと思うんだよね。まあ、見ていますからねっていうメッセージ的な効果なんだと思うけど。それを、全員が聞くのかあという。

「研究者」という呼称を使う人がいるから勘違いされがちだけど、多くの「大学教員」は「大学で教育に従事すること」を主業務として行っているのであって、基本的に「自分の好奇心に従って研究する」のはアフターファイブとか休日を使っている人が多いんじゃないかな。だから「俺たちの税金を給料にして遊びやがって」という批判は二重三重に間違っていて、実際は「プライベートの時間まで注ぎ込んでひねり出した知見を人類のために金と労力まで払って公表するというトチ狂った営みを人生かけてやってる奴らが大学教員」というのが実態かなと。まぁこんなところで呟いたところで「大学憎し」でアタマ燃え上がってる人たちに届かないのは分かってるんですけどね。というか、この利益構造（と言って良いのかどうかすら分からない）は世間的な資本主義の常識からズレすぎてるので、ただでさえ一般人には理解されにくい。

壮年で辞めさせられて、後の補償はないような世界だと、後進を育てるメリットなんかないから、むしろ潰した方がメリットになるわな。自分が辞めさせられた後のことなんか知らん。壮年で補償もなしに辞めさせた結果、世界一とも言われる虐めが蔓延り、独断専行が横行したり上司が撃たれたりして組織ごと潰れた例が日本にあったんですよ。軍隊というのですけれど。あれは熟成を商品にしている会社が一番やっちゃいかんことだと思います。

日本ではオタクくんが絵でシコるのに寛容ってだけの女性が勝手にアンチフェミに分類されてるだけだからな。アメリカには胎児の人権を守る本物のアンチフェミ女性がいっぱいいるよ

他人に厳しい人はよく鬱をバカにしてるけど、4000人に奢られてきた浮浪者の偏見データベースでは、「他人に厳しくしてきた人ほど、自分へ求める基準も厳しくなり、ちょっとした失態で自分を責め続け、全体がうまく回らなくなり、その結果として重度な鬱に陥りやすい」という結果が出力されています

日本語が難しいことにアイデンティティもってる奴、それが苦労して身に着けた非母語ならまだしも、気が付いたら喋れるようになってた母語話者はなんで誇れるんだ？

VTuberというのは、要するに３Dのアバターをまとうことにより、容姿・年齢・性別の「属性による差別」からの解放であり、どんな人だって多かれ少なかれ社会に強制されていたトランスジェンダー問題をも解決するのに、それに排撃の狼煙をあげるフェミニストたちって一体、何を理想にしてるんですか

「隣に悲しんでいる人がいるからといって一緒に悲しむ必要はなかった」ということに早く気づきたかった。やさしい人を目指そうとして、結果的には自分もその人も不幸にしてきた。適度な距離感というのは、みんなにやさしくなるための最適解だったんだ。かと言ってじゃあいつも世界と一定の距離を取っていることが正解かと言えばそんなことはなくて、詰められる距離感には限界があることを理解した上で、その使いどころを上手く配分できる。そういうバランス感覚を模索できる人が「やさしい人」なんじゃないかと。

国民が自分以外の他人全員に「何かあったら責任取れるのかぁ！？オラァ！」と喚き散らして無限責任地獄に陥ってるのが現在の日本だと思う。この弊害は責任を求められる側（労務提供者）にいると感じられるけど、ひたすら労務の提供を受けるだけの立場であらば、意識し辛い。労働者（労務提供者）の多くは、この無限責任地獄の弊害に気付いているが、なんせ現代日本は人口の３割が高齢者で、主婦も含めると、「労務を受けるだけの立場」の人口の割合が高い。無限責任地獄もまた高齢化社会が生んだ現象だろう。

ネットのすごい人に羨ましいという気持ちもわいてくるのだが、ツイートをたどっていって努力の足跡を見ると「すみませんでした。」という謝罪感に苛まれる。階段を登り切った「後」しか見えないので羨ましく感じるが、人に歴史あり。なんだって無条件で羨ましがられて気分のいい人もあまりいないだろうし、素直にその努力をたたえるようにしたい。同時に、自分も何かの分野で努力して自分なりの成果を上げていきたい。文章力、ダイエット、絵、雑学…。

挨拶すら返さない人とか忙しいだけで機嫌が悪くなる人の結婚指輪を見るたびに「なぜ結婚できた…..？」って疑問が止まらなくなる。こんな奴らが結婚できるなら私はもっと幸せになってるはずだろ。人生のバグ起きてる

教科書「HIVは咳をしても手を繋いでもキスしても感染しません」

僕(10)「じゃあ何で感染するんだ？」

僕(40)「なんでなんだ、、何で世界中で増えてるんだ？？」

SAPIX、医者も産むし精神科の患者も産むので医学界に多大な貢献をしてる。日本医師会は感謝状とか出した方が良いと思う。

気持ちの浮き沈みが激しい彼女と付き合ってた時、生理の度にめちゃくちゃキレられて「もう別れよう」と言われ、「あと数日で終わるから我慢だ…」と耐えていると「生理が終わればって思ってるでしょウワーッ！！！」ってメタ的な激怒を引き起こしたりして、かなり辛かった

Twitterはとりあえずおかしそうな人、ややこしそうな人は早めにブロックしとくに限るね。やり取りを重ねてからブロックすると無駄に粘着されることも多いし。

「全ての人生に価値がある」よりは「全ての人生に価値などない」の方が思想としては余程穏当である。「それでも人生は生きるに値する」というのは、畢竟、何か他人から与えられるものではなく自分の手で会得しなければならない境地なんですよね。今パラに熱中しているからこそ思いますが、パラリンピックの選手達は周りの支えを得ながらもそれを自分で獲得しているなとつくづく思う訳です。盲者でも聾者でも脳性麻痺でも運動機能障害でも知的障害でも四肢欠損でも、自分の人生の意義を己との戦いの中で勝ち取ろうとしている彼等は本当に立派だと心から思う。福祉は重要だし、人による特性は様々あって仕方ない部分はあるが、最後は何処なのか、ということを彼等は体現しているよ。

トレンドに「不特定多数との性行為は控えて」っての出てるんだけど、不特定も特定の人物どころか性行為自体を控えてる人間ばかりがTwitterにいるような気がするのでtiktokとかに警告を流せ。

ちょっと意識高い系の高校生がインフルエンサーにハマるの、いたって順当な発達という感じがしていまいち「な、なんだってー！！」というテンションになれない。学生運動、サブカル、自己啓発、緑の党など、いずれの時代もそれくらいの年齢って「変な選民思想」にかぶれてきたもんじゃないのか…老いらくのネトウヨよりはるかに健全である。はしかみたいなもんなんやから早めに済ましといたほうがいい。

人を縛るものは人を守るものでもあって、市場の規制緩和やフェミニズムの唱える「解放」とは牢獄からの釈放というより住処の焼失の方が近いのではないか。それで野晒しになっているようにしか見えない人間が「自由だー自由だー」と呻いているのを見かけるが

「誰でもできる仕事」と思ってなめてる仕事がやってみたらそうじゃなかったという話はいくらでもある。

反ワクチンにせよ、カルト信仰にせよ、極端な信念を持つに至る人は、懸命に思索を巡らせながら、しかもその過程で多くの論理的飛躍や過誤を犯しながら、頭脳と回転をフル回転させて自分の思考を隘路に嵌め込んでいく。

豆知識。誰もが耳を疑うような情報を持ち出して「これが世界の真実です」などと言ってる奴はウソつきか病気かどちらかです。お前ごときにそんな真実が降りてくるわけねえだろ。目覚めなくていいから寝てろ

弁護士があちこちで敵を作ることについて、弁護士自身は己が論理的で、価値観を守り、正義を貫くからだと認識している。しかし実際のところムカつかれている要素の50%以上は、その論理とか正義とかの隙間から顔を出しまくっている我欲としてのマウンティングや人を見下した態度である。

資本主義が円滑に機能するためにはそうではない領域があることが隠された前提のような気がするので、すべてが資本主義の論理に取り込まれてしまったら地獄でしかないような。それまではある程度、会社がその非合理な部分をカバーしてくれたからこそ安心して社畜ができたのに、もうそこまで面倒見切れません、となった。では仕方ない自己責任でなんとかしましょうかと思ったのだけど、振り返って見たらすべて破壊し尽くされていた。そんな感じ。

インターネットを作った人は、みんなに仲良くしてほしくてインターネットを作ったんだって。この前会ったとき、そう言ってたよ。だから最近は、すごく悲しいんだって。

金もないし地位も名誉もないけど君を守りたいという曲、何から守るつもりなんだろう、虫とか？？？

私は結婚式が大嫌いなんだけど、祝儀をもらう前提で企画することが馬鹿げてる(自分のためのパーティーなら全額自腹でやれ)という話をしたら「そもそも3万じゃ足りないし」と言われ、そういうところだよ！！！となった。休日潰して茶番見せられて3万も徴収されて「足りない」と言われる式なんか潰えろ。

Twitterやってて思うのが、文章の意味をちゃんと咀嚼してネタかガチか判断した上で適切な距離感で反応することができる人、全人類の5%もいないんじゃないか。バズった大喜利投稿に脊髄反射して見当違いな絡みをしてくるパワー系の人たち、普段どんな風に世の中をサバイブしてるんだ…。

タワマンでは階層によりご飯の炊き具合が変わることは不動産業界の常識ですが、総合商社の北米大陸駐妻界は赴任地の標高で競っており、メキシコシティ（標高2200m）の駐妻に対し、NY（10m）やロサンゼルス（93m）の駐妻が「ご飯が上手く炊けなくて可哀想」とマウンティングすることはあまりに有名。

好奇心旺盛な小１女子が学校で行われる尿検査の際に、どんな結果が出るんだろうと興味本位で自らの尿にLSDを混ぜて提出したら、その日の2時間目の授業中に担任の先生が急に喋らなくなって授業が中断。生徒無視して黒板一面にいろんな色のチョークで見事な巨大少女の絵を描くっていうやばい小説読んでる

五輪が日本社会に巣食う膿を出す機会になればという声も聞こえるけど、ネットでお前らがいくら騒いだ所で、現実では既得権者の高齢者の完勝を見せつけられただけなんだよなあ…。社会保障は言うに及ばず、若者は今後も割を食い続けるという確信があるので、子供の教育については色々考えますな。

10代？20代のころ読んだ小説に「なぜテレビは田舎のほのぼのニュースなんかを流すのだ、もっと流すべきニュースがあるだろう、イライラする」みたいな描写があり共感していたんだけど、40代になると奈良の子鹿が元気いっぱいですみたいなニュースを適宜摂取しないと辛くて生きていけないのだと理解した

Imagine all the people living life in peace (完全な共産主義の実現)

反ワクチン派がすでに感染して脳みそがウイルスに操作されてる新人類説、SFみあって好き。

Twitterが殺伐としているのは、ツイートが無料でできてしまうからですよね。リアルの戦争では銃弾一発にもコストがかかるので経済という制約が生じるがTwitterにはない。一つつぶやくのに千円とかの金額がかかるようになれば、重課金税がすべてを焼き尽くして平和が訪れます。

アレクサでクラシックピアノ聴きながらTwitter流し読みしてるんだけどTLが医療の逼迫、経済の困窮、年金の財源不足、45歳定年という感じで、セカイ系の物語の最終局面でどうしようもなくなってしまった世界を内的世界から優雅さを帯びて俯瞰的に眺めてる気分になれる。

コミュ力に自信のない生徒「安西先生…バスケ…」

カスの安西先生「先生はバスケじゃありません！」

在庫聞く時に写真見せながら「これあります？」と聞いたら「正式な商品名言えます？」と言われたから「正式名称Hi -νガンダム、小説版逆襲のシャアベルトーチカチルドレンに登場するアニメには登場しないMS」とオタクムーブしたら「売り切れました」と恥だけかいた

メールとかリプとか、何度も書き直してから送ったけど返事がなかなか来ないと何か不安になってきて、『こんな事書かなきゃ良かった』とか『違う内容のが良かったかも』とか思い始めて、「そうですね」の『ね』つけない方が良かったかもとか、そんな細かい事まで気にしちゃうような人にドーナツあげたい

中学受験で塾に廃課金してる知人、塾の宿題をしない子供に「なんのためにお金を使ってると思ってんの！」と叱り飛ばしたら、「ママの満足のためでしょ？」とめちゃくちゃ冷静に言われたって話がエグすぎる。

学歴に関して「人間の学力は大体遺伝と実家の太さで決まる」という事実を顧みるに、学歴は実質上「現代日本の身分制度」なんだよな。その証拠に企業や行政の求人が学歴に拘るわりに勉強した内容等に無関心なのは、つまりそういうことなわけで

「本来のフェミニズム」論を戦わせる必要があるのは話が通じる相手だけであって、青識氏が今回「対話（レスバ）」ではなく相手から鹵獲転用した署名ツールで衆を頼むことにしたのは完全に正しい。人里に降りてきた熊は説得の対象ではなく撃たれるものだといい加減認識してもらった方がいい

「一週間あげるので藤井聡太君に将棋で勝つ方法を考えてください」みたいな仕事が多すぎる

「自分には文才がない」と嘆く記者志望(？)学生を見たけど、こと新聞記者に限っては、文才というのはほとんど関係ないと思う。記事には良くも悪くも「型」があって、それを覚えることから始まる。一通りの型を覚えて、身につけるだけで、５年や10年近くはかかります。上達のスピードには才能も少しは影響するけど、ほとんどは鍛練で決まると思う。よく読み、よく書く。積み上げたその量と質が、原稿の巧拙を左右する。私の体感では、きちんと鍛練すれば、記者の「中の上」か「上の下」ぐらいにはなれます。文才とかには関係なく

その昔リアルの人間達が「ネットにいる匿名の奴らはしょーもない」と言っていた頃、ネットは面白かった。スマホが普及し皆が当たり前のようにネットを使い始めると、ネットはしょーもなくなりつまらなくなった。

効率化をはかる木こり「やれやれ、今度は『鉄の延べ棒』を泉に落としてしまったぞ」

日経新聞だけ読んで、TVはNHKニュースとWBSだけ、SNSで金融・コンサル・専門職クラスタをフォローしている、旧帝早慶以上のサラリーマンは、自分がいかにこの日本社会では例外的な高所得で、少数派で、大多数の日本人から「奴らは不当に恵まれているから奪って当然」と思われているか気付いてない。本人たちは、自分がそのお立場にいるのは自分の努力で受験や就活を勝ち抜いてきたからだと思っている節があるけど、そんなの、生まれ育ちの偶然によるものに過ぎないし、まして高給の職に就いたのは偶然。同級生で抜群に賢かった奴が官僚になって貧乏にあえいでいるでしょ？エリサラなんてそんなもん。いろいろな偶然と先天的な好条件で恵まれたお立場に立っているのに、その既得権に居座って、たまたま恵まれない人に課税や社会保障でほんのちょっとたくさん渡さなければいけないというだけで自分はとてもとても不幸だと言わんばかりの論調、百歩譲っても狭量であり視野狭窄だと評せざるを得ないそういう連中に限って、例えば商社なら生活産業や小売りドメインにいる連中よりも資源や素材の方が上だと思ってるし、金融ならリテールは下で投資領域が上だと思っていたりする。でも、実際には生活産業に特化した商社に資源依存の商社は負けてるし、投資領域の人は米屋に頭が上がらない。少数派が自分はエリートだと自認するのは止めないけどそういう態度こそが、それ以外の大多数の日本人から「俺たちから不当に得た利得によって、お前たちの豊かな生活があるのに、お前たちがそれを分け与える気がないなら、力づくで奪っても文句ないよな」って言われる所以であることは知っとけ。以上。

君も教養を身につけて教養のない貧乏人を差別しよう！教養による差別は21世紀現在もポリティカルにコレクトだぞ！！

働きすぎで倒れた時、「気分転換に読書したり出掛けてたりしてたんですが」と医者に言うと「それはダメ。脳も体も限界な時の時は何もしないで引きこもりなさい。『気分転換』しちゃダメ」と言われて納得した。気分転換は元気なときにするもの。疲れているときは全てを投げ出して、休むしかないです。

オタクというか、物事にマニアックな人というのは、興味の対象をこんな風に掘って行くのではないかと思っていて。最初はたしかに興味分野を掘り始めるのだけど、掘ってくうちに興味の対象外分野まで否応無く掘り返してしまう、掘り返さざるを得なくなるというイメージ。

会社でゲーム作ってて改めて思うけど「作業工程や人を管理する能力」と「ゲームを設計する能力」って完全に別モノで相反すらしてると思うレベルなので明確に役割分けないと絶対ダメだって思った。

「○○くんに聞くけど、その人を愛してないかどうか判定できるってことは確固たる『愛』の定義があるってことだよね？人を愛するってどういうこと？なぜ体から入る○○くんの愛が愛になって着ぐるみを着てもらって親睦を深める俺の行為が愛じゃないの？」という最悪のムーブをかましてしまった。人の行為を愛じゃないとか言うのも控えめにいって最悪だろ！！うんちを投げつけられたので、うんちにおしっこをかけて投げ返しただけ

よく「結婚しないと寂しい老後を過ごすことになるよ」という人がいるけどそれは全然的外れで、結婚しても妻が先立つ可能性はあるし、子どもを持てない可能性もあるし、孤立したくないのなら地域の独身用コミュニティに属すればいいし（どうせワイらの代にはさらに独身化が進んでいる）。論理が逆なんだと思う。結婚という方法でしか孤立を満たせない人がそういうことを言い出す

Twitter民、高学歴社会不適合人間が多いので、恐らく彼等の想像する下層階級民の姿は「酒や煙草をやって仲間とウェイウェイ騒ぐ勉強の成績がよくない人間」的な感じなんだろうけど、その層は大体定職について家庭持って友人も沢山いて…つまり社会的地位は完全にTwitter民の中央値を上回ってる

不動産屋「いわくつき物件ですが」

客「かまわん」

「前の住人死んでます」

「かまわん」

「幽霊が出るという噂が」

「かまわん」

「ネット回線激遅いです」

「やめとく」

「おまんこ」の「まん」は男性中心的表現なので「おパーソンこ」にしろ

911の最大の効果は、自由世界から「自由の戦士」の概念を吹き飛ばし、すべて、「テロリスト」に収斂させてしまったことだと思う。長倉洋海さんのアフガニスタンとマスードの本で、「ムジャーヒディーン」という語を「聖イスラム自由戦士」と説明してたのを思い出す。もちろん、ムジャーヒディーンに「自由」の意味は含まれていない。当時はムジャーヒディーンを西側が「Freedom Fighters」として扱っていたことの現れだろう。91年から独立運動を起こしたチェチェン人の求める「自由」は、ソ連支配からの脱却を目指した東欧ビロード革命やソ連解体の延長線上にあり、アフガン人ムジャーヒディーンよりもずっと西側世界の「自由」の概念に近かったが、それでも911とともにプーチンのいう「テロリスト」のカテゴリに纏められた。中国から自由になりたいウイグルも、ビルマで人権を求めるロヒンギャも、（香港、台湾も、チベットも）中露の脅威がカーイダどころではないとわかった今日、たとえその自由の概念が西側世界とズレがあるとしても、それがテロリストでなく、自由の戦士の一形態であることを認めなければいけないと思う。ういうと、「では米国の支配と戦ったタリバンも自由の戦士か」という問いが来ることが予想されるのだけど、タリバンもカーイダもISも「自由」を要求したりはしなかったのです。彼らは「イスラム法統治」「カリフ制復活」などを求めた。一方、自由シリア軍やアラブの春の若者たちは自由を訴え続けた。カーイダやISと自由シリア軍などのシリア反体制派を同一視したり、チェチェン独立派をアルカーイダと同一視したりする見方は典型的なプーチンやアサドといった無差別大量虐殺者のプロパガンダであり、トランプその他の排外主義ポピュリストの主張でした

「小説は言いたいことがまとまってなくて嫌い。もっと簡潔に言ってほしい」と言われて驚いたことがある。どうや物語を楽しめない人は世の中に一定数いるらしい。しかし、すべての事象が「楽しい」とか「悲しい」などの簡潔な言葉で片付いたら物語なんて必要ないじゃないか。小説とは、作者が日常に感じた引っ掛かりを分解し、作者のフィルターを通して再構築したものだ。人間が書いているのだから曖昧に決まっている。むしろ、読者の人生経験や心理状態によって意味が揺らぐのが小説の醍醐味ではないだろうか。こういうことを言うと「小説を楽しめない自分は〝劣っている〟ということなのか！」とお怒りになる方もいらっしゃる（らしい）が、いやいや、だからそうじゃないのよ。物事は可か不可か、優か劣かの二極ではない。

英国人の、資産形成をするなら早い時期にという話に、「いったいどのくらいの年代を想定しているのだろう」と聞いてみたら、「17世紀に砂糖プランテーションで先祖が資産形成したので、21世紀の今も夏のバカンスにカリブ海行ってます」という内容で、早い時期ってそっちかっ、という

「あるのは生か死かという選択ではなく、名誉ある死か惨めな死かだけだ」のようなことを言ったのはセネカだったか。「人命は地球より重い」と首相が言うほど生命を至上のものとする価値観の社会で生まれ育って、自身の命よりも尊い何かを見出しそれに命を投げ出す覚悟をすることは難しい。

アリストテレスみたいな言い方だが、前近代の切腹のような名誉ある死や戦前の「お国のために死ね」から戦後の「人命は地球より重い」までの大き過ぎる振れ幅の間のどこかに適切な命の価値、扱い方があるのだろうな。その「どこか」は一定ではなく、時代や置かれた状況などで変わるものだと思うが。戦前の反動か、何かのために命を賭けることは大時代的だと否定的に見られてきたように思う。しかし「生命は地球より重い」なら、個々の生き様もそれに見合った価値のあるものでなくてはならないという価値観が導出されるのも自然で、それ故に自身の人生に十分な価値を感じられない人は苦しむのでは。命を捨てても達成したい、守りたいほどの価値のある何かが見つかった人は幸福だろうと思う。私のように有能でも特別な立場にあるわけでもない凡夫が身命を惜しんで長生きしたところで何ができるだろうかと。進撃の巨人アニメ版最新話まで観た。ここでも反出生か、と思うが昨今の時勢・気分に合ってるんだろう。生命・人生の価値を過大視する今、個々の生き様が命の価値に見合ったものであるべき、出産するなら子に価値ある人生を歩めるよう十分なリソースを与えられるべき、という発想は当然出てくると思う。反出生思想と強烈な生への執着・強い自己愛の連関の指摘は重要だと思う。健全に自己愛が表出されるなら生命の喜びを分かち合う為に家庭を持つのだろうが、何らかの理由で屈折するのだろうと。人生には価値がなくてはならぬという重圧、強迫観念が大きな要因の一つに見えるが。自分自身、反出生主義に反発/警戒しつつも共感・理解してしまうので、時代の気分としてよく分かるつもりでいる。しかし、健康至上主義が「正しさ」故に反論が困難で愚行権がこれから危機に晒されるだろうという懸念と同様に、生命至上主義も「正しい」故に危ないのでは、と。自身の生活を快適にするリソースを割いてまで子供を持ちたくない、だが社会保障で下の世代の世話になるのは当然と思うのはタダ乗り的発想だという発想を前提とすると、所謂独身税や子無し税も有り得ないとは言えないよなと。性的少数者や不妊者の扱いは難しいが。

生命至上主義は反出生主義の言い換えでしかないですよね。コロナ対策を支持しながら反出生主義を批判する人もいるけれど、人口再生産、つまり生殖とは我が身を削ることなので、命を絶対的に守るということは新しく生まれてくるいのちを否定することに必然的になってしまう。性欲が弱い日本人が生命至上主義だというのも、そこに繋がってきますね。新モンゴロイドの女性的な特徴、臆病さ、慎重さ、勤勉さは現在のように安全すぎる社会では肥満遺伝子のように不適応を起こしているのでしょうね。

公営の美術館や博物館の存在やそこに公金が投入されていること自体がムカつく庶民というのは結構な数で居るだろうが、本当に恐ろしいのは公営だったり公金で運営されている美術館や博物館が無くなる時の方の方なのですけどね。その時こそ、「教養」や「文化資本」が本当に特権階級のものになる…。公営や公金投入されている美術館や博物館が全く無くなってしまうと、そこにお金が投じられていることが何かバカにされているようでムカつく庶民の歓心を買える一方で、アクセシビリティの点においてすら特権階級だけに限られた「本当の文化資本」が復活することになる、という訳ですわ。

フェミニズムでも何でも、ある観点から表現物等の具体的事象を問題視する場合に、「問題視するのは正当」ということから、「何をどのように言っても誹謗中傷や別の差別にはならない」まで一足飛びに行ってしまう阿呆な見解を本多く見掛ける。本当に傲慢が過ぎる。

ここは自分達がいかに倫理的であるかをアピールする場なので、人々を啓蒙したい人でいつも溢れています

以下のツイートのツリー、さもありなんという感じである。「校則の生徒の髪型を制限する」とか、人権という概念が欠如してなきゃ無理でしょう。というかこう、逆に「人権」というものを「みんな仲良く」とか「困った人がいたら助けましょう」という道徳、お題目のレベルでしか捉えていないのではないかという気がする。基本的人権というのは「権力が絶対に守るべきもので、仮にそれを違えるなら、我々万民はあらゆる手段でテメェらを潰すからワカっとけよ」という「権力がここ踏み越えたら戦争」のラインであって、みんな仲良くとかいうお花畑とはほど遠い、という理解、ないでしょう、たぶん。

DaiGoの例のグロテスクなヘイト発言について小中学校の道徳を専門とする先生方と話す機会があったのだが、その際に大変驚いたことがあったので報告したい。どうやら彼らの感覚としては、憲法で人権が保障されるということは道徳科においては重要すべきことではないっぽい。人権保障や生活保護に個々人の感情は関係ないという話をした際に、小学校の先生から「憲法で人権が保障されてるから弱者を保護するのか」「人権という仕組みがなくても助け合えるような子達を感情や共感に訴えて育てていくべきではないか」との指摘をもらってしまった。その後の話も聞いてると、どうも道徳教育の世界には人権より尊い「助け合い感情」があり、人権はそれを醸成するのを阻害する仕組みのようなものとして映っているらしい。日本の教師の人権意識、まじやばいでしょ。ヤフコメ以下よ、マジで。驚いたことに彼らには人権が生活のベースにあるという発想がなく、それが永久の権利であるとされることの意味とか「健康で文化的な」という文言がある必要性とか全く考えたこともないのかもしれない。アフガンの状況とか連日報道される中でのこれですからね。正直終わってる。彼らの意識では、道徳科においては人権ではなく感情をベースで助け合いをする世界を望ましいと考えているらしい。市井の感情が個々人の生きる権利の保障よりも優先される世界って、この道徳教育の先生たちはどこまで歴史を遡っていきたいのか。自助努力万歳という価値観の浸透っぷりもここまできたかと。何がやばいって、これが道徳推進教師とか校務分掌上道徳を担当しているような、とても道徳教育に熱心な先生方から出たものであるということよな。

>>これの何が問題なの？といまいちピンときてないやつが根本的にわかってないのは、人の"感情"や"共感"は権力者に簡単に操作されるという事実なんよね。憲法でなく感情の方が重要なら、時の為政者に都合の悪い奴が現れたら人々の"感情"や"共感"を操作してそいつの人権を剥奪してリンチして排除ができる

吉野家でカレー食うな、インドで牛食うぞ

個人的には憲法や人権意識を前提としない道徳教育って、本当にラディカルな立場として自覚的になされるのであればまぁ一つの立場としてはあり得るとは思うが、人権侵害ヘイト発言を中心題とするやり取りの際に人権に対抗させる形で自助努力や感情と共感ベースで授業すべきと考えるのには賛同しかねる。

外食の何が素晴らしいって「はー、ご飯美味しかったー♡」とか「いい心持ちに酔ったなー♪」とか、そういう幸せな気分のまま帰路につけるということなんだよ。後片付けやら洗い物やらの後顧の憂いが一切無く、美味をただただ享受できる幸福が少しお金を積むだけで手に入る、それがどれほどの贅沢か。

車運転してると軽だし子供乗ってますシールも貼ってて法定速度も守ってるのに煽られるから、先日届いた刺青アームカバーを試しに付けて運転した。一般道や高速走ったけどイカつい大型トラックや高級車、SUV等みんな煽ってこないし、むしろ米粒になるくらい車間距離空けるから快適運転ライフだった

「それリプ欄じゃなくて自分のとこで言えばよくない？」みたいなツイートを見かけ次第ミュートしているため、快適なツイッターライフを送れている。2マス進む

フェミニストがなぜ暴走してしまうのかというと、これはフェミニズムの定義がしっかりしてないのがすべての原因だと思うのですよね。概ね、フェミニズムの定義は「女性の地位の向上を目指し、これを正義とする」くらいなのですが、裏を返すとそれ以上の定義がない。これは歴史を振り返れば明確であり、例えば資本主義の負の側面を否定するために生まれた共産主義は、資本主義の否定ということは明確に正義ではあったものの裏を返せば、自由や民主主義については定義がなかったために、往々にして独裁に走ってしまったという経緯があります。対して、フランス人権宣言に代表されるような今日の日本国憲法や天賦人権思想に通じる人権運動は、自由や公共の福祉とはなにかを定義した上で、それぞれの権利を保護しようとする試みであって、かつその仕組みには権利の濫用を防ごうという努力も見られているわけです。対してフェミニズムは、例えば岩波書店のシリーズ『日本のフェミニズム』を読んだとしても、確固たる定義が見受けられないのです。つまり、少なくとも日本にはフェミニズムの定義が存在せず、漠然とした「女性の地位向上」というイデオロギーのみが存在することとなっているのです。このような状態は非常に問題のあることであって、フェミニズム自体に定義がないために、女性の地位向上が目的であれば、何を行っても「フェミニズム」思想的には正しい行いということになってしまう。これは、所謂、カルトや原理主義的思想と殆ど同じようなことになってしまうのですね。特に今回の、フェミニスト議連の思想は、そもそも万人が有するはずの表現の自由や経済活動の自由、そして何よりそのような存在として生存する自由（生存権）という近代人権思想を否定した上で、フェミニズムの考えを推し進めるものであり、これは言うなれば、カルトであるわけです。フェミニズムの思想は、それが明確に定義されていないが故に、例えば宗教社会学的に考えずとも、宗教的な側面が非常に強く、その教義というものは近代法理や基本的人権の思想よりも優先され、あるいはこれらを無視するようなものであるからして、危険思想に通じる側面が非常に強いと思う次第です。だから、フェミニズムの最大の問題点は、その思想の内部に明確な規定がないためにカルト化しやすく、近代法理や基本的人権思想を無視し、その思想内で先鋭化した活動を行い、他の人権を否定し、社会的混乱や問題を引き起こすことにほかならないと考える次第です。

「法やシステムよりも、思いやりの感情で助け合ったり人を尊重するべきだ」という感覚。ヒューマニズム的には気分が良くて優れていると思われがちだけど。その感情を呼ぶオキシトシンの作用として「身内を守るために部外者に過剰に攻撃的になる」というのがあるので、対人関係の揉め事の原因になる。なので個人的には「感情面では許されないし不満があるが、ルールとして救済される事になっているから尊重しよう」というシステム的な解決の方が揉め事回避には有効だと思う。（人類は防御のために直感的に見た目が異なる他人や違う考えに嫌悪感を持つようにできている。「私がキモいから」を優先）

「こちら側のどこからでも切れます」がどこからも切れない時、開けられないことよりも、そんな鮮度の落ちたあるあるを目の前で見せつけられていることに腹が立っている気がする

愚昧な家父長制等による「〇〇らしさ」の押しつけで才能ある若者（特に女）が将来の道を断たれた、という話は無限の同情と寄り添いで迎えられるが、現代的自由を真に受けた平凡人がミスミス好機を逃してしょうもない暮らしになるのは自己責任扱いで誰も興味ないですからね。後者の方が多いはずだが。今の若い世代が「大人」になるの、意識的にやるには大変難しいと思う。地元や中高にて適応する層はすぐ「大人」になり結婚・出産するが、一方で上京大学生にはそれが難しい。引用元のように「大人」の手本がない以上、まず「大人」になる必要性自体を自覚するまでが大変。大学講義ではフェミニズムの洗礼、ツイッターを開けば「結婚しなくていい。趣味とアニメで十分」、メディアは「男らしさを捨てろ、中性的になれ」。これを真に受けると、ただ優しいだけのちいかわが完成する。無論結婚もできないし自信もなく、豆腐メンタルで、精神性も幼い。これが何百万人もいる。

よく反天皇制論者のような人が「皇室は宗教法人にでもしたほうがいい」みたいなこと仰るけど、自分は（もちろんシミュレーションの仕方はあるが）皇室をそういうふうに“野に放つ”ことをすると、皇室およびそこにまとわりつくイデオロギーは、現実政治により大きな影響を与えるだろうと思うのだがなあ。皇室を野に放つとどうなるかというと、皇族の人が自分で政治的意見を言ったり、事業や利害関係にかかわったりするので、今の「政治や利害を超越した」みたいなイメージはなくなります。竹田恒和さんや竹田恒泰さんのようになるでしょうね。「皇室が一般人になると政治的影響を持つ」という人もいますが、皇室の今の（社会心理的な）影響力のようなものは、皇室が政治や利害を超越したような印象の立場にいるから出てくるのです。皇族自身が政治的意見を言ったり事業や利害に関わったら、逆にそういう意味での影響力はなくなると思います。逆説的ですが、天皇や皇族は、政治的意見を「言わない」ことによって超越的な威厳のような印象を保持しているので、一般人と同等になって政治的意見を述べたり政治的活動をするようになったら、たちまちその威厳は消え失せるでしょう。天皇皇族が一般人と同等扱いになって政治的意見を述べたら、その意見が特別扱いされて政治を動かすことなどあり得ず、逆に「天皇皇族も、超越的存在ではなく、自分としての意見をもつ人間の一人だったのか」という認識が広がるだけで終わると思います。

冗談はさておき「チョイ有名になって交友がバッと広がったようなタイミングで人に勧められて植物（迫真）や物質（迫真）に手を出してしまい、人気がより高まった辺りでそれをリークされる」みたいなの、有名人転落定番コンボらしいので、マジでノリとかでやらんように気を付けてる

9.11同時多発テロ自作自演説というのを得々と語る人たちがいて、彼らにしてみれば死者などどうでもよくて、溶けた鉄の塊がどうしただのビルがあんな風に崩壊するはずがないだの、彼らの妄想を満足させることだけを目的にしていた。陰謀論者はただの人でなしですよ。そして、決定的に頭が悪い彼らにとっては陰謀論こそが自己実現なわけですよ。実に薄っぺらく、くだらない。

創作物並みに異常なことが現実で起こっていますし、創作物並みに尖った人物も現実に存在するわけですから、創作物のネタなんて無限に供給されてくるんじゃないのかと思うことがあります。現実をパロディすればいいだけなので。

「お前はメジャーな仕事してるからコンプラだのポリコレだのを振りかざせるかもしれんが、零細オタク会社にはそんなもんをきちんと守るための予算はない。食うために必死なやつらに綺麗事で死ぬと言ってるようなもんだ」みたいなことを言われたのを、昨日今日とずっと考えてしまってるなぁ。

別にひろゆき氏が特別に無知なのではなかろう。専門外だったり興味関心のない事象については人間誰でも無知であるのが基本なのに、時事トピックになった途端に一家言あるかのように振る舞うから、馬脚を現すことになっているだけだよな……。

「対消滅」を「つい消滅」と表記してしまい、「うっかり反粒子」という萌え素粒子を宇宙に爆誕させてしまった。

「体裁としては現実的ではないちょびっと厳しめのルールにしておいて、あとは現場の裁量で取り締まったり見逃したりする」という運用にしておくと、都合の悪い奴だけ些細な揚げ足を取ったりできるのでものすごくやりやすくなる。おまけに身内だけ贔屓できる……という状態にほっとくと安定しやすい。

人間の幸福も不幸も実は「ストレス」から生じてる側面があって、例えば恋愛は凄くストレスなわけだし、労働や育児もゲームだってストレスがあるわけだけど、だからこそ解決に向かってる時や報われた時に充足感を覚える事が出来るんだよな。嫌な事が全くない生活、実は凄く辛い。

現代の山月記はSAPIXの同級生同士で精神科医になった袁傪が患者として訪れた李徴を診察する話になりそうだな

結局「本当の自分を解き放てばうまく行く」というロマン主義的な物語に安易に感動してしまいがちなんだよな

無課金ひろゆき「でもそれって僕の感想ですよね？」

戦後の日本が「美術館博物館の存在に腹が立つ！」みたいな感じでなく、一億総中流を成し遂げた背景の一つには、福間良明先生の研究されているように、学校に行けなかった勤労青年が「人生雑誌」を熱心に読んだりする文化があったから、でもあると思いますね。色んな事情で上の学校に進めないことに疎外感や劣等感など忸怩たる思いを抱きながら、「きけわだつみのこえ」や全共闘に違和感を抱きながら、人生雑誌のようなものを熱心に読んでいた中卒の人達が高度成長の前くらいまでは沢山いた訳ですね。これもまた、「修養主義」というものでしょうか。高度成長と共に高校への進学率が高まると、こういう「人生雑誌」も消えていき、「どう生きるか」から「どうやったら金が儲かるか」に内容が変わってゆく、というのも興味深いものではある。

英語と暗記／勉強／訓練の話題がにわかに盛り上がってますが、本当の意味で外国語を使いこなせるようになるためには非常識なリソースが必要なことは確かなので、できなくてもいいんですよ、という文化も必要かな。でも、少しでも知っているだけで世界の広さは全然違う。「英語は勉強したら負け」的な発想が大人気になるのは分かる。「勉強したのに身につかなかった」という経験を持っている人が、ほとんどだから。「勉強が足りなかった」というふうには思いたくない、ということだと思う。この心理をビジネスにしている悪徳業者が「勉強したら負け」と宣伝する。

「暗記を中心とする教育が古い」という考えが浸透すると、コツコツ英単語を記憶している中高生は、いやあ、なんか私は古いことをやっているなあと思ってしまう。あと、英語のスピーチコンテストで活躍するような一部の突出した学生だけが正しくて、自分は間違っていると思ってしまうよね。「暗記を中心とする教育が古い」という考え方自体は正しい、と思いたがる人がやはり多い。学生もまじめな人ほど、これを内面化してジレンマに陥ってしまう。「英語は暗記科目なのでガンガン覚えてください」って言ったら、精神的に楽になったという学生がいた。なんだ、暗記していいんだ、っていう。もし、「暗記を中心とする教育が古い」という考えのほうが重要であれば、英語は詰込みが必要な暗記科目なので、義務教育から除外しなければならない。なんかそこにごまかしがあるから、変なことになる。地味に暗記した人が地味に上達するという、地味な科目なので。ある意味では「英語力」を簡単なものと考えすぎで、たとえば事情を知らない世間の平均的な人は、東大、京大に入るような能力のある学生なら、入学時点で英語はペラペラだと思っている。また、ちょっと語学留学すれば話せるようになると思っている。どちらも現実からは遠い。私は英語力とは英語運用能力だと思っています。知識ではあくまでもスキルだと思っています。その能力の基盤は使える英語表現の数です。少なくとも数千の英語表現を覚えないと通常の会話でも苦労します。だからちょっと語学留学すれば話せるようなものではありません。自分も、語学は基本的に暗記が8割だと思っています。実践的な英語を身につけるというのは、実際に使われている表現をたくさん暗記してそれを使うということに尽きています。したがって、「使う」前に暗記が必ず先行するのであり、特に初期段階において「詰め込み」は基本的に正しいんです。

究極の言葉は言葉ではなく暴力だ。言葉のコスパを追求すると、聞き手への影響力を重視して「意味」を捨て、罵倒や暴論になる。YouTubeもTwitterも、結局は言葉が暴力になるのを促すようにできてる。故に、乱暴な物言いでタブーを破ったフリをして金を稼ごうとする人間が必ずでてくる。『資本論』のマルクスが、資本主義体制においては運任せの一攫千金を夢見る投機熱が定期的に人々を襲う、と述べたことの現代版。

ポリティカル・コレクトネスが表現の自由を制限するというのも、制限しないというのも、ともに抽象的で、空虚に論争的な議論だと思う。そもそも「表現の自由」とは個々人が社会や言語との関係の中で不可能性に接して、その都度、別個の問題として生じてくるんじゃないのかなあ。ともあれ、この件で陣営に分かれて、相手の主張を抑え込もうとするのは、単に分断を広げるだけで無意味だと思う。表現の不自由は実際にはいたるところに偏在しており、他者に対して「不自由などない」と断言する権利はない。「ポリティカル・コレクトネス」は普遍の真理ではありえず、たえずその正しさへの反省が入らなければドグマとなる。とすれば、それによって言論の自由が制限されると考える個人は、つねに尊重されなければならない。つまり弁証法的でないといけない。

そういや、医療・福祉関係者がホスト役になり、末期がん患者が客として訪れる2時間8,000円のスナックは公共的福祉の実践である、という話があったけど、どれだけ対価に見合ったサービスであろうと、8,000円をもっていない人間が訪れることができないのだから、これは福祉とは言い難い。ホスピスなどの末期診療を受けられるのもそれ相応の金のある人間だけであり、そもそもその福祉スナックが対象としているのはそれなりの金をもった末期患者だけである。自治体等から助成が出てすべての末期患者が通えるようになるのであれば、それは福祉だろう。現実にはそんなことは起こり得ない。なので公共的な福祉は所詮、「ふつう」以上の人間が享受できるものに過ぎない。わたしの観測範囲だと、公園にひとりで寝泊まりしているホームレスのおじさんがつくっているネットワークのほうが遥かに公共的な福祉という感じがする。公共圏という観点から言っても、同類の人間にしかアクセスできない場より、公園のおじさんのほうが遥かに開かれている。この話、実は突き詰めていくと、弱いものを守れ的な左翼っぽい人たちはみんな逃げていくことになるような内容なんだけど、わたしはおもしろいと思っている。何が言いたいかというと、人権や福祉を語るのも実にけっこうなんだけど、それは発想の程度はたかが知れているし、実はとても排他的なので、実際はそこから漏れているやつらが生きている様子から学んだほうがはるかにおもしろいということ。で、わたしはホームレス支援には全然興味がない。それは「まともな」世界はこっち側にある、と前提している上品な人たちがやることだから。「まともな」世界なんてないですからね。少なくともわたしは知らない。常識人っぽく知性的にふるまっているように見えても、誰もかれもまともじゃないし。大方の学者さんたちは、近くにいるのすら耐えられないような気がするんだよな。公園のおじさんとか、政治的には一ミリも正しくない人たちなので。そういうのに触れているので、学者さんや弁護士さんたちがよく議論している福祉とか社会とか人権とか、なんの話なのか全然分からないんだよね。

現在の倫理・道徳的な断罪の仕方になじめないのは、メディアに「あいつは悪いですよ」っていうヒントをもらって初めて成立しているところがあるから。自力でそうした「悪」を発見しないのは、本当は倫理的な判断などに興味がないんじゃないかと思う。オリジナルな倫理的判断を行っている人は少ない。

わんぱくでもいい、「これからはグローバル、ダイバーシティみたいなのをひたすら空虚に言う存在」にはならないでほしい。

どうも左翼の右翼像も、右翼の左翼像も極端に単純で、要するに自分の主張の正反対が相手みたいに思っていないか。もう、こういうデジタル的分断に飽きたんだよな。ちょっと一回コートチェンジしてみたほうがいいんじゃないか。いや、仮にですよ。それでも、怒られそうだけど。

しかし90年代は悪趣味だったというが、それでは今日では人々はすっかり良趣味になったのだろうか。物事がかつてなく身も蓋もなくなっている今日こそ下品と悪趣味が蔓延している時代だと思うが。表面だけ上品げにふるまうふりをしながら、心の中まで下品さと悪趣味が浸透してしまって、かえってタチが悪くなった気がしますね。

1998年のコントの一言が不適切だからということで、本当にその人間が不適切ということになるのか、外圧とかない場所でまじで考えてほしいと思う。もしそうなら、メジャーなお笑い芸人はみんな過去に何らかの意味で暴力的で性差別的な発言や行動をしてきたし、不適切だよ。別に発言そのものを擁護しているんじゃなくて、20年前の一言まで掘り返されて、全部何も問題がありませんなんて人、世の中にいるはずがないのに、よく臆面もなく、「こんなひどいことを言って」みたいなことが言えるなっていうこと。みんな、自分がいかにひどかったか忘れているのか。今回はうまく「反ユダヤ主義的発言」という政治的に不適切な発言を検索してきたわけだが、時代やコンテクストによっては、「デブ」、「ボケ」、「ブス」といったお笑い芸人がよくやる罵声だって、全然失言ですからね。というかある個人に向かってこういう言葉を言う方がきついかもしれない。

安定した職業についている者が性善説に基づいた社会を構想するのが自然であるのと同じくらい、不安定な立場に置かれている者が人の相互信用をベースにした社会を想像できないというのは自然なことだと思う。社会的に困窮している人たちがどうして社会福祉を充実させる政策に反対するのか、ということを「理解できない」と言っているインテリを何人も見てきたので。

ネット上とくにSNSで起きることにはほとんど決まったパターンがあり、内容や主張の違いに関わらず同じ道筋を辿る。それを熟知してる人は意識的に利用し、知らない人は波に飲まれる。気をつけましょう。

しかし、大学に入ってからでも、英語ならまだ可能性はあるけど、それ以外の外国語文学に触れてそれを専攻したいって思うようになる人は、かなり稀なのかなとも思う。でも、たとえば仏文学を全く読んだことがないのに仏文を受験するっていうのも、どこか投げやり感とか倒錯感があるよね。

文理融合って理系の価値観で文系を扱うものであって、その逆はないように思う。融合じゃなくて併合。

「ひろゆき」が今さらに存在感を発揮しているけど、彼の空虚さは本当に徹底的ですよね。ホリエモンでさえあきれかえるあの空虚さ。に、どう対するべきなのか、よくわからない。というかあのような空虚さがいまさら人気を得ることにちょっと戸惑う部分があり。

荻生徂徠や本居宣長などの江戸時代の思想家との連続性と断絶性などもあって、面白いな。江戸時代やそれ以前の人の本を読んでいると、今よりもはるかに自国文化に流れる中国的要素に敏感だったことが分かる。いまは、中国って思想的にはものすごく「外国」で、遠く感じるけど、それは錯覚かもしれない。

世の中には炎上しやすいトピックと炎上しづらいトピックがあるけど、別に炎上しやすいことが本当に重要な社会問題であるとは限らないんだよね。このズレと重なりをどの程度認識しているかっていうのは、わりと個人差があると思う。

そういえばこのあいだの小林さん三浦さんとの対談で言ったのだけど、いまはセレブな富裕層でITでグローバルな人々こそがリベラルでヴィーガンで多様性と弱者の味方なのに、搾取されている一般大衆こそが保守的で強権的な政治家を求めナショナリストだという逆転が起きていると言われている。でもこれは逆転でもなんでもなくて、21世紀の世界においては、リベラルで反体制的（にみえる）主張をしたほうがお金が儲かるという、新しい条件の出現を意味している。だから一般大衆の保守化を「あいつらは騙されてる」と捉えるのは完全に間違っている。むしろ彼らのほうが現実をわかっている。ぼくたちは歴史上かつてなく富が偏在する社会に生きている。富裕層と貧困の差は恐ろしく大きく、しかも資本主義反対、気候変動阻止、多様性支持とかいう「意識の高い」主張は、金持ちをどんどん金持ちにする効果しかもたなくなっている。学問も芸術もいまやその道具でしかない。現代美術がいい例。だからいまは本当の意味で批判的なのはどういう態度なのか、原理から考えねばならない。リベラルが「意識の高い」主張をしても人々に届かないのは、それこそが体制順応的だとみな見抜いているから。一言でいえば、反アベといえばちやほやされる世界で、それが批判になるわけがないということです。

炎上というのが徹底的にメディア特性的な現象で、炎上した人間の「人格」はせいぜい副次的な関係性しか持たないということはここで再三主張してきたけど、それは、逆に言えば、自己を全部さらして、一つも炎上の種になるような所のない人間なんてよっぽどどうかしているという認識と表裏一体である。

たまに、「映画は純粋に娯楽として楽しんでいるので、難しいことは考えたくありません」という感想をもらうと、「難しいことを考えること」にも「娯楽性」があるということをどう伝えられるかを考える。「自分には難しいことは分からない」という諦めをどう突破するか。

「しばしば」って単語、”often”の英訳とアンケートでしか見ないな。

若い方には分かって欲しいですが、昔もクルマやバイクは必ずしも「若くても給料が良かった」から買ったのではなく、欲しかったから、ローン組んでも何とかなるという楽観的な気分だったから、他の事を我慢しても買った、というところだと思いますよ。今のとても高価なスマホやゲーミングPCが近いかな

こんなパズル解くだけで学歴まで手に入るんだから、数学は神

「自分も間違っているかもしれない」というミルの主張を紹介したけど、これは発言や思想についての話だった。しかし、実は立場によっては、存在や生活習慣そのについても言えてしまうと思う。たとえば、ヴェジタリアンやヴィーガニズム、あるいは地球環境保護主義者の人から見たら、自分のようになんでも食べてしまう人は間違っていると思う。でも批判・排斥されないのは、たまたまこちらのほうがマジョリティであるからに過ぎない。これが、たとえばレイシズムやフェミニズムよりも重い問題か軽い問題かも、判断は出来ないと思う。だが、地球環境に害があるようなこと、動物虐待につながっているようなことを自分はやっていると思うし、罪がゼロであるとは思えない。この点、たとえば、自分がステーキの写真をアップしたら、他者から、お前は社会的に間違った人間であると批判されてもロジック的には、まったく妥当であると思う。批判されないのは、たまたま「間違った」人間が大量にいるだけである。他にも色々あるので、こういう風に人間は複合的に様々な問題を抱えていて、クリーンな人間などいないよなあと思う。自分なんか斎藤幸平さんの動画を視聴した後で自家用車を運転すると、すいませんねえと思う。まあ、でもなかなかやめないわな、それは。 実は喫煙についても同様で、人類の8割が喫煙していたら、まあ、体に悪いかもしれないけど、仕方ないっすよね、ってなると思う。今は喫煙者はどんどんマイノリティ化しているので、発言権が下がっている。が、喫煙者が悪ければ、車の保有者も悪いかもしれない。

記憶力と理解力というのは密接に結びついているので、暗記中心主義を批判する人は、本当はたんにこの二つが有機的に結びついていないことを批判したいはずだと思う。暗記自体が不要なわけではないし、暗記の蓄積が理解を助ける。

史実と信仰は同一ではないが、同等の力を有することが認められなければならない。保守的な人間としては、「安い物語は信じるな」というやや歯切れの悪い物言いになってしまうが。生き残ってきた建国の神話ならいいが、Qアノンに心酔されても困るわけである。アメちゃんはこれがないから逆に苦しいね。そう考えると、本当にアメリカというのは「史実しかない」国であるので、領域と神話がほぼほぼ一致している日本人からすると中々迫力があるな。どう転んでもワシントンが神であったなんて話にはならんので。

やばい人が話しかけてきたらわりと気軽にミュートしているが、こっちが認識できなくなってるだけで30年絶えず話しかけられ続けていたみたいなこともありそう。

なんか若者に人気のYouTuberが「オタクのフィギュアを目の前で壊してみたら発狂して面白い」みたいな動画を出しててしかも視聴者らも「たかが物なのに怒り方がヤバい」みたいに楽しんでいるらしく、なーんだ世代が変わってもテレビからユーチューブになってもそういうの生き残るのかよってつらい感じ。これが大炎上してないのが俺は怖い。あとで弁償したから良いでしょみたいなこと言ってるらしいが「これがフィギュアじゃなくて猫だったら」って考えればどれだけ異常なことで楽しんでるか分かるだろうに（じっさい愛好している人にとってはそのくらいキツいはずだ。買い換えればいいなんてものじゃない。たとえばこれがエクスキューズで「ちゃんと台本があり、本人の了承済みです」「はじめから壊すつもりで買ったものです」なものだとしても「誰かが大事にしている物を目の前で壊してその慌てぶりを笑おう」ということをエンタメとして捉えている時点でもう救いようがない。

親ガチャ成功してる人、みんな「親ガチャ」という単語に嫌悪感示してて面白いね

「YouTubeなど広告収益型のモデルは教育コンテンツには向かない。つまらない通説や地味な積み重ねよりも、派手で珍奇なコンテンツのほうが利益が出てしまうから」という会話を昨日していたのだが、テレビもまあ言うなれば広告収益なので。

塾ってね、『子供の学力を学校で教えられる以上に上げて受験を成功させたい親』が入れるよりも『子供の学力では学校についていけないから入れる親』の方が多いと思うのよ。受験予備校だと逆になるけどさぁ。進学塾と補習塾の違いやね・・・もう補習塾は半分福祉なんよ

五連休を大型休暇って呼ぶな、五連勤を大型連勤って呼ぶぞ

世界で一番資産運用額が大きいのはSWFや年金基金の資金を運用する人たちなわけで、我々が「新自由主義」と呼んでいる悪魔の正体は老後を心配する善良な市民だったりするのが21世紀なわけです。

コロナ流行りだした頃から疑問に思ってたんですけど、日本のマスメディアは人の生き死にかかった話題の記事くらいさすがにそろそろ論文や議事録の出典をちゃんと書いてほしい。「興味深い…」とか「ウソでしょ！？」と思った場合になぜ丸められた記事中のキーワードググらないといけないのか。丸められ方によっては一発で見つからないことけっこうあって、「○○大学の研究チームって誰だよ…」「○○省の有識者会議つったって色々あるだろ…」「せめて論文載った雑誌名ぐらい書いてよ…」って感じで、読者がフェイクニュース検証しにくい状況放置してるの、社会的責任としてどうなの感ある。おそらくマスメディア関係者の多数派が「論文など読んだことない」あるいは「卒論で締め切り間際にまとめて出典書いた気がするけどあれたぶん何かの飾りみたいなもんだと思ってる」みたいな状態だからこうなるのかもしれないんですけど、さすがにもうそろそろこの状態放置するのマズくないか。

ここで非駐文系が、「いやー、俺元投資銀行で勤めててさー、俺元戦略コンサルで勤めててさー」とか言って前職のプライドを捨てきれず、海外に出ていざ職探ししてみると、寿司職人以下のバリューしかないことに気づき詰む。文系で海外で働きたいなら黙って寿司職人かチキン店やれ。日本の非駐文系が詰んでるのはもはや確定路線で日本が観光立国になり、ホテルでの池掃除か荷物を運ぶ係で日々チップで暮らすことになるので、せめて次の世代は英語と理系を教えさせて日本は遊びに来るときだけ戻ればよい。そのとき子供がホテル滞在して子供からチップを貰うまでが一つのサイクルでしょ

町の人に「この男を見ませんでしたか？」って写真見せながら聞き込みしてたら徐々に千代田区の中央に引き寄せられてきた。

愛国心を培ってきみだけの共産主義をつくろう！

幸福度の低い人々のために、自分よりも収入が低いとかマイノリティに属する人々の書き込みしか見えないようにしたSNSを作れば人気が出ると思ったが、Twitterで十分という。

「だって地方でやっても採算取れないじゃん」と同じ口から「文化・芸術を採算で判断するな」が出てきそうなツイッターランド2021秋

中卒しかいない職場で上司たちに学でマウント取ってる時、義務教育ちゃんと受けてて良かったって実感する。

英語が千進法で日本語が万進法なのはイギリス人が1000本指で日本人が10000本指だったころの名残り

意外に思われるかもしれないけど、表現の自由周辺について理路として組み立てられる部分はまず現行憲法の時点でほとんど終わっているし、自主規制という課題も半世紀前には出揃ってて、細かな課題は次々出てくるけど1970年以後に根本的な論点は出てないと思うよ。同じ話が別の形で繰り返してるだけで。だから我々の論理は非常に堅いんですよ。少し学べば、確固たる先人の理論があり豊富なレトリックがありそれらが論理としては一貫しているからね。そらぁベンジャミン・フランクリンが生きてて今の日本のアニメ絵を観たら何を言うかなんてのは知らんがね。

「戦争はよくない。でも、兵器や軍服はカッコいい」が普通に成立したのが昭和で、それが「兵器や軍服をカッコいいと思うのはよくない」とか「戦争自体がカッコいい」とか主張する人が増えてきたと思ってるんですけど、世の中そんな単純じゃないはずなのになー。

いいか、学生さん、飲み放題コースでえびせんと唐揚げとポテトと謎の薄い酒を大量に摂取する金で実はフォアグラが500g買える

努力不足って言葉あるけどなんで努力することが前提になってるんだろう、私努力しますからこの社会で生活させてくださいなんて頼みたくなるほど社会は魅力的じゃないんだけど

木こり「おっと、フリスクを落としてしまった」

そういう事はやめた泉の精「フリスクを落としましたよ」

“そういうの”が好きな男(ﾁｬﾎﾟﾝ)(チンポを泉に漬ける音)

“そういうの”が嫌いな泉の精「あなたが落としたのはこのリトル包茎ですか？」

忠・孝についての本を読んでいるが、古代中国や江戸時代の日本では「90過ぎた認知症の親」の存在は想定されてなかったろうなぁ…とか考えてしまった。もし今の世にいたら多分、今の状況に合った中庸な事をなんかしら言ってたんじゃないのかと思う。

本当に「やりたいこと」を見つけるのは難しい。「人にほめられること」とは少し違うから、一度孤独にならないと案外見つけられない。

インターネットは狂気の海を漕ぐ渡世船、板子一枚下は狂気に漬かっているのだぞ

ミュートしている人を時々見に行って自分から不快になるやつ、マジでいくらやっても飽きないからおすすめです

インターネットで他者を誹謗中傷しまくってる人間が、自分の誹謗中傷には敏感なのは「軸が他者の方にある」から当然。心が他者に依存してるから他者が何やってるか気になるし、自分がどう見られてるのかも気になって仕方ない。端的に言えば「弱い犬ほどよく吠える」に尽きる

「親ガチャ外れ」とか「毒親」とかいう言葉を使ったら自分がヤバいヤツに見られるのは目に見えて分かるので自分の親の人格破綻ぶりくらい自分の言葉で語っていきたい

塾講バイトしてた時に死ぬほど味わったな…まじで「頑張れない」層は一定数いて、勉強に対してできる喜びもできない悔しさも感じてないからモチベーションをどうやっても作れないんだよな。成績は親が一喜一憂するものであって自分には関係ない、みたいな感覚になっちゃってる子もどうにもできなかった。誰しも今から将棋勉強して藤井聡太に勝てるよう精一杯努力しろ！悔しくないのか！とか言われても、いやそもそも将棋興味ないし勝っても負けても知らんがな…みたいな感覚なるんじゃねえかなって。競争意識があるかないかの問題よりも、勉強そのものに全く面白さを見出せてないのが問題なんだと思う。 大なり小なりそれを見出せてないと、勝ち負けで悔しいというゾーンにはいけない。

家庭教師やらやった事がある人なら分かると思うんですが、「絶対に伸びない子供」っているんですよね。「悔しい」と思えない子供、マジで教えた所でギリギリ赤点回避みたいなのが多すぎる。現状維持すら出来ておらず、どんどん下降していくだけなんですが、本人の中にそれでも「這い上がろう」という意思が見えて来ない以上、このパターンの子供は見るだけ無駄なんですよね。「悔しい」と思う感覚がないタイプは、現状維持をしているつもりでどんどん楽な方に転がると思う。何故「悔しい」と思えない奴が軒並み駄目なのか、という話ですが、これは何も競争社会での生存性に限った話ではないです。「出来なかったことを、次に出来るようにする」為には、その欠点を見詰めた上で、乗り越えようとするプロセス以外がない訳です。つまり、「出来ない自分」を超えるには、バネとなる何かが必要。このバネこそが、成功報酬への思考回路だったり、悔しさ・屈辱だったりする訳です。根本的にここが不足していると何を教えても本当に無駄で、憶測のない適当な自信以上が養えない。勉強以前の問題としか思えないんです。「勉強をさせても全く伸びない」という子供をお抱えの親御さんは、何故成功報酬を認識出来なかったり、悔しさを感じられないのかという所から見つめ直した方がいい。このパターンはたとえ点数が上がったとしても、本人が楽な方に転がり続けようとする姿勢は変わらない以上本当にろくな事にならない

取り返しがつかないタイプの「退路を断て」を人にアドバイスする人は信用してはいけない

保健体育の教科書を読破したあと「あー記憶消してもっかい見たいｗ」と言っているキチガイの小学生

生きやすさって、結局「やらなくてもいいこと」をどれくらいしないかだよね。昔の私は他人の目を気にするあまり、無駄なことばかりして、体力とメンタル、そして大切な時間を消耗したよ。仕事でもプライベートでも「やらなくてもいいこと」は意外と多い。早めに見つけて、切り捨てよう。

記憶は場所に宿る。いや、場所が出来事を記憶しているのかもしれない。（そんなロマンティックな思考を小説で実践しているのは保坂和志という作家だが）たしかに記憶というのは人の内側に残るではなく、それらが行われた場所に消えずに漂っているように思う。その場を訪れることで、内側から思い出すのではなく、外部から“思い出させられる”という感覚。であるから、その場所が無くなってしまったら失われてしまう記憶もあるはず。「イズミヤの紳士服売り場でオトンのカッターシャツを自分で選んで、それをオカンに採用してもらえるとうれしかった」なんていうささやかな記憶は、イズミヤを訪れないと思い出せないのではないだろうか。しかし、濱家はこのロケを実行してみせた。思い出せるだけの記憶を、できるだけ詳細に喋りつくし、映像に残したのだ。想いを形に残して、保存すること。それが、忘却の残酷さに抗う唯一の方法であり、創作という行為が途絶えていかない秘密なのかもしれない。

病気全般に言えることなんだけど、健康であるとは「薬を飲まないこと」ではなく「薬を飲みながらでも生活を維持していること」なので、あなたが主治医から「薬をやめたら再発します」と告げられなら、あなたの敵は主治医ではなくあなたの心です

アニメに出てくる田舎の美しさを支えている要素。嫌な虫がいない、道端や川べりがアスファルトやコンクリで固められていない、電車駅があってすぐ都会に行ける、その都会がおしゃれ、大人たちが人格者、若者が多く住んでいる、若者の趣味が暴走ではない、寝ているところにムカデが降ってこない。

『大人になったら叱ってくれる人なんかいないんだぞ』って言われて育ったけど、ホントにいなくなったのは褒めてくれる人の方だった。

tiktokと爆サイには全てがある。Twitterには陰湿ネチネチオタクくんと類型キチガイしかもうおらん

インテリが目わそむけてきた多様性をTikTokに見に行く元気ないから、なんかいい感じのところ見繕って包んでお出ししてほしいんですけど？サバンナに行くのはダルいし、移動式人間動物園が来てくれよ。みんながせっせとdigってきた多様性の面白いトロの分だけをチューチュー吸って一笑いしたいんですよこっちは

大学の時、バイトしていた飲食店で、全自動で炒飯を炒めてくれる機械が暴走し、そこら中にご飯を撒き散らかしながら大回転していた。「コンセント抜きますか？」と社員さんに聞いたら「滅多に見れるもんじゃないからもうちょっと見ていよう」と答えた社員さんの魂は、ちゃんと俺に受け継がれている。

Punch, Dropkick, Chop, Apologize

日本より「正しい」とされている国の出生率があんなもんなんで、少なくとも正しさが少子化の処方箋でないことは分かる。正しくなくなれば回復するか、は別として、社会の問題はバリアフリーでも労働問題でも大抵の事はカネで解決できるのだが、少子化だけはできる気がしないという霊感がある。まぁ、「我々全員の生き方、人権意識」そのものを根底から捉え直さないことには少子化の解決なんかできっこないですからね。これは絶対に無理です。少子化の話題がフェミや原発とかと比べて散発的なの、原因はこれだと思ってますよ。ネット論客のかなりの部分にブーメランがぶっ刺さるんだろ。でも一番重い課題これっすよ、多分。経済成長も男女平等も労働環境もどうやら多産には繋がらんらしいとなれば、これはもう深淵を覗くほかないですよ。この点で言えば、今後の持続可能な社会を考える上で「35歳までに適当な男捕まえて結婚して子供を産め」と極限大絶叫してた狂人小山は全く正しく、これに怒ったトイアンナは間違ってるわけですよ。彼自身もそうすれば尚良いが。

時たま話題としてポップはするものの持続性はなく、だが実際はめちゃくちゃヤバい課題として「少子化」があるけど、あまりにも根源的な現代の生に関わる部分すぎて誰も触れられないのがとにかくヤバい。結婚して子供を持つことにほぼ誰も疑問を抱かず、世話焼きババアが介入し、共通のコンセンサスとして「独身子なしは半人前」という認識が行き渡れば解決するとは思うよ。誰がこれを望むかは俺にも分からないが……。女性の社会進出？自己実現？とんでもない話ですよ。20代で子供を産み育てるのが女の仕事。一人で気ままに生きるなら後ろ指さされる覚悟が必要、とまぁこういう話に当然なってくるんだけど、これを正気で主張するには我々ハシゴを登りすぎましたね。

学校というのは正しいことを教えているわけではなくて、「教育内容を決める人が伝えたいこと」を教えています。おおむね正しいことと一致しているのかもしれませんが、正しいことしか教えないわけではないです。

学生の頃、とある先生が「幸福は状態の時間微分」と言ってたなぁ。絶対値は低くても上向いてると思えるときは幸せだし、下り坂だなぁと思うと絶対値は高くても幸せは感じにくいと。

社長自身が学歴には縁のないタイプでどう考えても学歴不必要っぽい会社なのに「高校卒業」が必須になってたので「どうしてですか？」って聞いたら、高卒で縛りを掛けないと給料を前借して消えるとか、在籍中に犯罪犯すとか最低レベルが著しく下がるからだと聞いて戦慄。

学生時代に国連職員の方やNPO・NGOの関係の方、色々会ってみたけど、国際協力分野って泥臭い薄給のボランティアみたいな仕事で何とか食い繋ぐ皆さんと、実家が太くて就活不要、海外の大学院に行ってお勉強する余裕があるか元々帰国子女系の親ガチャ大当たり系の皆さんの2種類しかいない。

自分とは異なった主張に出会ったとき、それを受け入れるかどうかを内容に即して考えるのではなく、「やつらは間違った・悪い動機にもとづいてこう主張しているのだ（だから受け入れてはならない）」とメタ的に処理する仕組をもった信念体系は異論による改訂を免れてどんどん強化されちゃうよね。歴史修正主義とか最近のトランス排除とかも似たような仕組があると思う。これはある意味慣習の問題でもあるので、ネット生活とは非常に相性がよい。

小説家の書けない、だいたい、「ＡとＢは一緒にいると即座に殺し合いを始める」「唯一、Ｃが一緒にいる時だけ協力することができる」「ところでプロットには敵に攫われたＣを、ＡとＢが協力して助けに行く、と書いてある」という割と論理学的な問題だったりすることが少なくない。

みんなちがって、みんなもういい。

親ガチャ概念、持っていても本人の将来の展望にあまりプラスの要素は無い気がするが、それはそうとして純然たる事実ではあるので、恵まれた人間が己の立場を「努力して自分の力で得た物、落ちぶれた奴は怠け者」みたいに言ってると「○すぞ」という気持ちにはなる。まあ、人種による能力差を「無い」事にする為に、「先天的な知能差なんて無いんやで」というデタラメの物語を広めまくった弊害として、自由競争の正統化、メリトクラシーの正統化に繋がってるからな。新自由主義批判を進めるには「先天的な能力差を社会的に認める」がどうしても必要になる。

アニメを見る人がOPを飛ばさないというのがどれだけ凄いことか

夜のPAって満月にだけ開く世界みたいでかっこいい。インスタント異世界

私の退職理由は、ある5月の朝、ふっと起きるととても空が綺麗だったことなのです。語れど誰にも理解してもらえないと思いますが、人の全ての行動に合理的理由が必ずあるわけもなく、そんなものです。

「わたしたしは、知性でとらえられないものの方が、知性でとらえられるものよりもずっと実在的であることを、知性のおかげで知っている。」このギリギリの両義性。

俺は無神論者を自称する人間が嫌いなんですよ。心から何らの神も失う経験とは途方も無いものだと思うのだが、そんなものなさそうなウラナリのヘチマが自称してたりする。できるもんならやってみろ。俺は何らかの既存の宗教、教義に基づいた敬虔な信者ではないが、かといって無神論者かと問われればそれは断固として違うと言う。心に神の住まない世界では生きていける気がしない。ただまぁ、論理や体系で規定されるような安い神を崇め奉るぐらいならないほうがマシ、というのもある。

TAX THE RICHってカッコつけても、自分の家の学区に低所得者向け住宅が建つとなったら絶対反対で潰す偽善は手をつけない。高みから弱者を救う気持ち良さは求めても、本当に自分が同じ土俵に立って混ざり合うのは嫌。田舎の濃密人間関係とか草取りとかは嫌だけど、週末の田舎暮らしサイコーみたいなの

それこそ人間国宝だってその技術そのものが要らんと言われれば無能枠に入るんだから、雇われ人の分際で「無能を解雇できる社会」なんて唱えない方が身のためです。効率的で実力主義の企業体だってそのハクに値打ちがつくっていう実質メンバーシップ制の論理を有しておるわだから、そんなに偉そうにする話でもない。リクルートなんて生涯賃金の代わりに従業員に暖簾渡して成り立ってるような企業じゃないすか、あれ。そういうことよ。

ついったランド、自称社長も自称女子アナも自称ハイスペも自称港区女子も自称18歳JDも全員中身は小汚い未来のないオッサンだけど、設定の作り込みが甘いとか野暮なことは言わずに広い心で許してやって欲しい。別人格を作り上げてなりきらないとやってけない適度に現実が辛すぎるんだよ…。

属性に基づく能力の差異は差別とされるが、属性に基づくかどうか不明な能力の差異は差別ではない、というのがマジョリティ低脳に全部おっ被される構図、それこそがトランプの台頭で見えてきたアレだよね。

｢名もなき家事｣とかいっていかに家事が神経を使うタスクの連続だと主張しようが一人暮らし経験のある男相手なら何甘えてんねんと腹パンされて負けちゃうやろ

食欲睡眠欲性欲いずれも「満足できるシチュエーションが多ければ多いほど幸福」と考えている節があるし、そのような理由からヘテロやゲイよりバイセクシャルの方が絶対幸せだろと信じている

「飛んで埼玉」とか「グンマー」とか、東京や神奈川といった限られた地域の都会人が内輪でやってる地方ネタは長いこと冷めた目で見てる

自分は平気で「ダ埼玉（笑）」「臭埼玉（笑）」とか言うくせにいざ自分が「トンキン！エンガチョエンガチョ（笑）」って煽られたらマジギレするみたいなの多すぎるんだよな。

事件 + 思想→ 歌ではなく、事件 + 思想→ 歌 + 思想になってるアーティスト、よく見る

感情をコントロールするとか自分の機嫌を自分で取ろうとか、不機嫌であればあるほどそういう判断ができなくなるんだから無茶言うなよって毎回思うんだよな

大学生のきしょいインスタストーリーを揶揄するのは同じくらい若気の過ちだし褒められたモンじゃないけど、それはそれとしてTwitterで ストーリーでイキるような青春を送れないから叩くんだよねオタクくん笑 みたいなマウントを同族にとるコウモリムーブをみるともっと厳しい気持ちになるな

ポリアフやスカッとジャパンみたいなの、『ほとんどの人間は人の話を聞かない』という事実を無視しているのでファンタジーにしか見えないんだよな。途中でさえぎられて終わりじゃろあんなん

「内心でメチャクチャ差別的な考えを持つ」事と「差別を公言する」事の間には高い壁があるんだけど、大抵の議論ってそこをゴチャゴチャにしてるよな。

「ホームレスって嫌いなんですよね、居なくなればいいと思ってます」から「ですのでホームレスの方向けの集合住宅を用意しました」になれば「Daigoさんマジパネェっす！！」ってなりそうなもんなのに、実際は「俺の払った税金が勿体ない」だからな、小物ここに極まれりって感じ。

ミスコンなんて選ばれたごくわずかの人間が女子アナになるのにブランディングできる程度の恩恵しかないのに、何をそんなに不平不満垂れるのかわからんね。学力テストによる格差の方がよっぽどひどいじゃない

学力や経済力といった先天的要因も大きく含まれる諸要素でふるいにかけられて入学する大学という場でこと容姿だけで人を審査するコンテストだけ糾弾するの詭弁もいいとこで面白すぎ

ツイッターのみなさんがかなりノリノリでサラダ油で火を起こそうとした小田急線の犯人をバカにしてますが、サラダ油じゃ燃えないってそんな一般常識なんですか？いやまぁ山月記カノッサの屈辱微分積分など"教養"大好きなツイッタラーにとって知っておいて当然なのは世間的な一般常識に限らないかもしれませんが...

生まれて21年間性行為未経験の喪でもマッチングアプリ使えば5時間でヤれる人間の性別

腐女子と百合オタク、自分の性欲とポリコレ的に間違ってることを素直に自覚できてる人達は勝手にやってれば良いと思うんですけど、何故か彼ら彼女ら全体的にポリコレ的に正しいですみたいなフリをしがちなので嫌いです。百合オタクの嫌いなところ。かわいい女の子がイチャイチャしてることが好きなだけなのに「え？僕、性欲ないですよwただ関係性がねw別に男同士でもあれは百合ですしw」と宣うところ。文学性のある知識人ぶって｢男同士でもあれは百合w｣みたいな手前の都合で言葉の定義をねじ曲げる不誠実な輩は何人も見てきたしアレは全員ブタ箱にぶち込まれて然るべきと思とるで。

TLに流れる「いじめられっ子はいじめをきっかけに挫折して、いじめっ子は人生成功する」みたいな話露悪趣味の敗北主義者がすがりついてる信仰に見えることがときどきある

服に金使ったせいで彼女の誕生日プレゼントが買えなくなってしまったが、誕生日プレゼントを買ってあげる彼女がいないことで何とか持ちこたえた。

トイレとかいう壁一枚隔てただけでチンコウンコ出し放題胃液逆流させ放題になる素晴らしい空間。この辛くて厳しい現実社会に佇む唯一のオアシスなんだよな。

敢えてリプライ開放してバズったツイートに寄せられた大喜利ツイをまとめて非表示にしてやるときにしか体感できない嫌な爽快感がある

罵詈讒謗が渦巻き無関心なものを嫌いなものへと変えるのに最も適したSNS環境で、責任が求められるビジネスをやってるわけでもないのに気に食わない言説や関わりたくない人種を視界から外すという自衛をしないの理解できないんだよな

インターネットレスバに強い（ように見える）人ってロジックに強いわけではなく不問な口喧嘩を何日でも続けられる体力があるだけなので、相手にするだけ無駄

陰謀論者には「おまえの耳に入るくらいなんだからその陰謀はすでに失敗だから心配するな」と言ってあげたい。「自分は選ばれた特別な人間だからこそ、この陰謀を察知できたのだ」という厄介なパターンで染まってる人には効かないんですよね…

「親ガチャ」て、言葉としてあまりに後ろ向きでおぞましさすら感じるけど、「貧しさは必ず本人の選択」という自己責任社会の信仰を一刀両断するような子気味良さもあるで、中々魔性のワードだよな。響きも良いし、つい使いたくなる人の気持ち解るわ

「小便みたいな、糞をした」という、菅田将暉と有村架純がお腹を壊すだけの映画

生命至上主義は反出生主義の言い換えでしかないですよね。コロナ対策を支持しながら反出生主義を批判する人もいるけれど、人口再生産、つまり生殖とは我が身を削ることなので、命を絶対的に守るということは新しく生まれてくるいのちを否定することに必然的になってしまう。

アニメに出てくる田舎には里山やグランピング施設のような属性があって、リッチな自然サービスや適度な雑草の長さを保ち続けてくれる神の手が存在する前提で描かれるよね。シルバー人材による草刈りが追いつかず雑草ボーボーになった半廃墟施設を抱える限界集落続出国家・日本であんな理想郷を探すほうが難しいんじゃないか。そうして数十年後のアニメではありえん髪色の若者たちが20歳上の親や介護問題のない心優しいおばあちゃんに囲まれながら緑豊かなまちでのびのび暮らし、気が向けばシャレオツな大都会に電車で2時間行くという筋書きを見て、幸せな繭の中にスッと入り込んで失われた過去をボロ雑巾になるまで擦り続けるかそうじゃないか、どっちかです（適当）

生命至上主義か個人主義か、その融合かわからないが、「個人の生命」をどこまでも至上とすることで共同体や家族、あるいは生息（殺し殺され）環境から断絶した個人は、同時にのっぴきならない孤独に苛まれ続ける、と思う。それを往なすことは現代社会においては可能でも、本質は簡単に変わらんだろう。｢生命至上主義｣の問題は、生きてるだけで価値があると言うことで｢価値｣の内実を空洞化してしまうことだとすると、公正な殺し合いをベースとする世界観は、命の価値に内容を与える代償として、カジュアルな死を甘受する道だと言えるだろうか。今やってるNHKのBSのドキュメンタリーで京都の山中でイノシシの罠猟をしている人が、猟で足を骨折して、ほうっておくと一生足がぐらつくと医者に言われても手術を拒否していた。その理由がイノシシは罠にかかって足を怪我しても病院行かずに生きているのに、自分だけそんなズルいことはできないと。自分が医療に否定的なのと似てるところがかなりあるなと共感してしまった。自分だけ病院でしっかり足を直して動物と正々堂々勝負なんておかしいでしょって。ここまで行くと自分よりも大分振り切れてるとも思ってしまいましたが、これくらい覚悟決まらないといけないんだろなあとも。猟師を見ていて思ったのですが、生命至上主義って殺生をしなさすぎることによって起こっているのかもしれませんね。この世は殺し殺されという事実を日々突きつけられれば、自他共に人一人の命を今より軽いものだという認識させられることでしょう。

ライフネット生命で見積もりしたら、35歳から20年、受け取り金額一億円の生命保険の月々の掛け金が17000円だった。現代って本当に親が早く死んだほうが子供（息子）が金持ちになって子供を作りやすい時代になってるんだろなあと思う。人の行く裏に道あり花の山。子供のためにもコロナで死ぬわけには行かないとか言うけど、年間たった20万円のお守りで心置きなく死ねますね。そうしたくないというのは結局は、本人が死にたくないだけということだと思いますよ。

単価1万以上の寿司に慣れてしまうと、中学入試がどう、首都圏育ち早慶以下は人生終わりとか言い出すようになりそうで、意識的に食べないようにしてる。グルメ回転寿司で満足するくらいが自分やそのあとを継ぐ人たちにとって結果的に幸せなんじゃないかという。まあすっぱいぶどうなんでしょうけど。最終的にアフリカ人に遺伝子的には敗北することを自覚すること、都会に寄っていくほど出生率は下がる=同じ稼ぎなら遺伝子が残る期待値は下がることを念頭に置いて、住む場所、暮らしの水準は決定したほうが良いというのが自分の価値観。自分が食べ物の画像とか生活ぶりをアップロードしないのもそれなりに拘りがあって、別にそうしないからと言って大海の一滴に過ぎないのだけれど、人の劣等感を刺激するようなことはあまりしないほうが良いと思ってるから。大した生活してませんし、元々グルメアカウントとやっているなら別だけど。

生活保護に石を投げるのはアウトだが、生活保護に追い込まれる弱者には興味がないというのは、若い世代の人生がどんなに詰んでいったとしても、死なないことが大事という価値観と整合的だ。人生詰んでしまっても生活保護があれば死なないんだから我慢しろってわけだ

研究者かサラリーマンか主婦かに関わらず、人間誰しも大なり小なり自分の主観の中で都合のよい解釈をするのがむしろ普通なんだと思います。そして、専門の訓練を受けた場合にその専門分野で通説となっている部分に限り、例外的に「客観的な判断」が可能になるのかな、と。

ガス室で殺さずにセルフ禁欲とピルとコンドームと産婦人科で「哀しい人生を歩む可能性が高い人」はすでに間引かれているし、そちらのほうがガス室よりも遥かに穏健で有害に見えず、かつ無能を間引くからこそ残酷だと自分は思ってしまうのですけどね。「格差社会で日本は治安が悪くなる」というけれど、一向にそんなことは起こらないのは、治安を悪くするポテンシャルのある世帯は子供を作らない、セルフ間引きが行われているから。所得層に関わらず同じくらいの数の子供を持っていたら、暴れん坊も怠け者も今より多い世の中でしょう。グレゴリー・クラークという学者が、イギリスの産業革命の背景として貴族階級が多く子供を残し、彼らの子孫が庶民にも広がっているからというようなことを書いていたのをうろ覚えしているのですが、人間の社会が美しく進歩してきたのなんで、要はそういうことなんじゃないですかね。結局のところ、子供は当該共同体の中で相対的に貧しい世帯からは再生産されないので、いくら格差拡大が進行しても、子供は当該共同体の中の貧しい世帯に存在することは少ない。その「間引き」を看過しておきながら繰り広げられる優生思想批判は、本当に陳腐だと思ってしまいます。

1500で思い出したけど、北アフリカでも長距離が圧倒的に速いのはごく一部の部族に限られていて、その地域の学校は半分くらいが中学か高校で1500で5分を切れるから、勉強できるタイプは欧米の学校に推薦で行けるみたいなことを本で読んだ記憶。

河村たかしの唾液にエマ・ワトソンの唾液を100倍しても、政治的正しくなさがマイナスの値を取ってそう

世界中の様々な国から同じような見た目の筋骨隆々の黒人が出てくる。100メートル決勝は多様性の行き着いた社会がどうなるか示唆していますね。

誰の役に立ってるかも良く分からん金融業者やコンサルよりも、コメ農家の方が収入が安いのはなぜか？みたいな話になるよなあ。そして多くの人が、自分の子供には無価値なはずのそれらの産業に従事してほしいと願っているというのが、これまた闇の深い話なんですよね。「真に価値を生み出す者」は黙って安く働いてくれているからこそ、真の価値を維持できる。

例の車椅子の人、「声を上げていかないと何も変わりません」とか発言しているらしいけど、「声を上げていく」こと「駅員をネットでさらし者にする」の間にとてつもない距離を感じるのは私だけなんだろうか。

イヌとかウマとか、「人間と意思疎通が困難な個体」をどんだけ殺したらああなるんだ、という原罪みたいな気分になる。遺伝的再現性がとれるまで徹底的に殺したわけで。あんまりいい話として回収するのは難しいと思ってます。バーフバリでも卑屈さ卑怯さの比喩として「犬」と使われてたけど、理不尽に怒る正義の犬はいろんな理由で次世代を残せなかったわけで。「擬家畜化」みたいに家畜選抜されてない野生動物が、さも人間とコミュニケーションがとれる性質をもともと遺伝的に備えている、とストーリーを作ってしまうのも勘違いだと思うわけで。

世の中の悩みの大半は、哲学者が先に悩んでいる（解決してくれたかは別として）。

大学時代に一見役に立たないけど面白いと思って興味の赴くままに勉強して身につけた知識が、今会社で働いていて思わぬ形で役立ってる事を考えると、ホットな領域に乗っかって勉強するのも良いけど、やりたい事があるならばその気持ちを大事にして思う存分やったらいい気がする。

「祈る」という行為がなぜ重要なのかというと、それが「優先順位を確認する契機になる」からです。利害関係の時空間を拡げるんです。逆に「魔がさす」というのは利害関係の時空間が一時的に狭まった瞬間を言うわけですよね。

疲れすぎて自分の生活にしか焦点が合わなくなっており、その余白の無さが嫌になったりもするのだけど、漫画だの本だのを少し眺めると一瞬で遠くに連れて行ってもらえる 自分の生活が大丈夫だと思える。そして明日も生活へと潜っていく、ずっとその繰り返し。

自殺すれば親ガチャ可能という説は特定の宗教的信念というかミームに依存しておりまったく多様性に配慮できておりませんでした。

オタクが表現規制を免れる方法は、「当局に見咎められないように自主規制して、自浄作用をもって、人を不快にさせないように気をつけて……」ではなく、「簡単に手出しできないくらい、ひたすら面倒くさい存在になること」だと確信しているので、このムーブメントは良いこと。

素人が歌詞書いて見せてきて意見くださいみたいなことよくあるんだけど、細かな技法とかよりまず『ありがち』をやめろ！！桜舞うな！星に願うな！明日を信じるな！光に手を伸ばすな！翼広げるな！同じ空の下にいるな！会いたくて会えなくなるな！叶わない恋に胸を痛めるな！眠れない夜を越えるな！

強すぎてゴブリンを逆に犯しかえす女騎士

誰でも知っていることをゆっくりと堂々と話す、ってある意味他者から好感を得るスキルの中でもかなり有用な部類なので、営業や人と接する仕事の人は積極的に取り入れるべきだとは思うのである。

インターネット狂人に落ちずインターネット言論人をやり続けるには相応の狂気を元来もってないと無理、常人では耐えられない。

これは前も呟いたけど、数学の問題の解答や証明は、教科書や問題集を見るとサラッと整って書いてあるけど、難しいものほどほんとはぐちゃぐちゃした泥臭い過程がある。書いてあるのはそれが整理された結果。数学者で数学教育学者のフロイデンタールはこれを「熱い発明を冷たい美に変える」と表現した。

川に履歴書浮かべて誰が一番早くゴールするか競うゲームを友達とやったんだけど、一位だったやつが枝に引っかかったせいで、そこで全員の履歴書が詰まって誰もゴール出来なかった。

東北大に長くいたせいで「どこどこのラボでは2人自殺者が出たらしい…」とか「隣のキャンパスで学生が首を吊ったらしい…」とかいう話を聞いても「まぁそういうこともあるよな」とか雑な感想になってしまう。早く人の心を取り戻したい

今日ふと思い立って私立医大の学費を投資したらインデックス投資だけで老境に達する頃には並の開業医の生涯収入を越えるのがわかったの本当笑うんだよな。医大に落ちたら投資してニート。むしろ受かっても投資してニート。炎上するといかんから補足しておくと、本当に投資してニートする場合は投資してる金を使っちゃったら増えないので、学費に加えて数億お金が必要だと思うけど、それでも金持ちは余裕資金を投資しておくだけで優秀な人間が一生かけて勉強して働いて稼ぐ金より儲かるってことだから凄いわ資本主義。

Twitterに限らず、一般論を自分への悪口だと誤解して怒り出す人まじで多いよな。おそらくは人生のショボさというか自己肯定感の低さからか、自己愛の高さから来てると思うんだけど…。

映画やドラマでは長身のイケメンがスパイを演じる事が多いですが、現実世界では「目立たなければ目立たないほど良い」とされます。理由は明らかにデキそうな人は警戒されるからです。あなたの職場にいる「地味で大人しい佐藤さん」のほうがスパイ向きなのです。実際の某国のスパイ関連の部署の入庁試験が「指定された場所に、指定時刻まで居ろ」で、審査官から声をかけられた時点で失格っていうのを聞いたことがあります。疑われずにそこにいた人だけが合格だと。

答案や問題集の解答例は、「何々をすると・・・となる」ということが書かれるが、なぜ何々をするのかは書かれない。思考をIF THENルールの連鎖としてとらえると、THENの行為は明確だが、IFが不明確。ここを自己説明する必要があると書いたのは1989年のChiの論文。生徒によって書かれる解決は生徒が考えたプロダクト。でも他の生徒が知りたくて次につながるのはなぜそんなこと考えたのかという発想の部分。ここは教員が「何でこんなこと考えたの！？」と問うて板書に残しておく必要がある。考えたプロセスの板書。自分はこれを意識するまで8年ぐらいかかった。遅い

生きるうえで「正しく現実を認知できる」ことは本当に大切だと思います。ただ実は私はなかなかできないです。ふわっとした主観で「自分はダメだ」や「できるわけない」と考えてドツボにハマることも多いです。そういうときは「彼は悩んでいる・迷ってる」と私は3人称で考えています。脱主観ですね。

人生が運に左右されやすい事が一番分かりやすいのが「就職活動」で、同じような学歴・能力・容姿・コミュ力の人間であれ、その年の景気次第で就活難易度がガラッと変わってしまう。人間、良い悪いは別に本人ではどうにもならないところで人生が決められてしまう事も決して珍しくはない。

昔、職場の先輩に言われたのは「モチベーションも体調も上げなくていい！底辺で仕事ができるようにしろ！」だったな。上がってる状態が普通だと思うと「体調が悪い」とか「やる気がない」になるわけで、体調なんて常に悪いし、モチベーションなんて常にないけど仕事ができる状態ならそれ以上落ちない

自称リベラル派は「言論において自分が使った武器は相手も使える」事を何故学ばないのか？

子どもが生まれて一年半経って思うのですが、人類史のほとんどの期間は群れないし大家族で複数の大人が複数の子どもを育ててきたと聞いている通り、ヒトという生物は親が1人で子の世話をするようには進化しておらず、核家族を主たる形とする現代の我々は無謀ともいえる大きな挑戦をしているのでは。

そもそもTwitterやyoutubeに世界の闇やら真実とやらが野放しで垂れ流しの状況がおかしい事に気付くんだ。社会的弱者の拠り所コミュニティでしかないのよ。んでもってでっち上げ画像動画で再生数やら広告で金儲けしてるのよ。

微妙な事柄は無断でやること。聞くと聞かれた側が責任を問われるから禁止せざるを得ない。これコロナに限らず処世術の鉄則。

「無意識レベルの欲求からAをしているのだ」という論法は無敵ですね。「無意識下」なので存在していないことを証明する方法が無い。

忍たま乱太郎のキーホルダーの肢体をカッターでバラバラにして切り口を赤ペンで塗るという危険な一人遊びに夢中になるような子供だったけど、「将来碌な大人になれないだろうな」って思ってたし、しっかり自分を客観視出来てた。あと予想が的中した。

ネトウヨってやたらと日本を中心化したがるけど、たかだか極東の小さな島国に国際的な注目なんかそうないよ(ソニー、トヨタ等一部メーカーおよびアニメ変態オタク文化を除く)。アンティグア・バーブーダのネトウヨも「世界が賞賛するアンティグア・バーブーダ」みたいなタイトルの動画を好んで見てたりするんだろうか…？

未だにネットには弱ってる人をフリーランスにしようとする悪魔がいっぱいいるけど、個人事業主は実績と人脈が無い場合「知名度0の状態からプロデューサーとアイドルをワンオペして成り上がれる人」じゃないと97%くらい貧乏になります。

ドナルド・トランプはついったのおかげで大統領になれたけど、好き勝手に暴言を吐いていたらワンクリックでRTできるという仕様と最悪のシナジーを発揮してしまっただけで、戦略的にメディアを活用していたわけじゃないし(実際SNS追放されたら効果的なメッセージがまったく出なくなった)

乗換え案内アプリで、出発：鬱病、到着：健康って調べたけど何度やっても画面が真っ白になるだけだった。

父権主義的支配からの解放を目指した古典的フェミニズムから逆行しているラジカルフェミニズムが思想として磨かれてないの、創始者の上野千鶴子からして個人の好き嫌いと思想の区別をつけてないし、それを「一人一派」説で正当化してるから、体系的思想になりようがない。思想を個人の好き嫌いに援用したというより、最初から個人の好き嫌いをそれっぽい理屈に仕立てるためにフェミニズムの名前を使った節すらあるし、創始時点から腐った屁理屈で思想でも何でもない。

OB訪問に来る慶応生と話した時のワイ「やっぱちゃんと勉強してないし考えも浅いから私大文系は駄目だな」

慶応中等部に合格した小学６年生と話した時のワイ「なんて賢そうなお顔をされているんだろうか…後光が差している…」

中国と戦争になることを想像することすら罪だ、というような態度の人は居るけれども、実際にそうなったときに、どうなるのかについては、正しく恐れるためにも考えておいた方が良いのではないかと思う。

これは私見ですが、たとえ言っていることや成し遂げたことが正しくても、緊急で情報伝達効率が高くても、権力関係に傾斜がある場合は怒鳴っちゃダメ、もし仮にその理屈で許されるとなると、物理的体罰も容認されることになるし、そうでなくても相手に取り返しのつかない傷を負わせることがある。

公共の宣伝で人間のイラストは使わない方がいいというだけなんだけど。もう乳が揺れるとかは大した問題ではない。人種と性別と肌の色をミックスにした実在の人物を最低三人以上使う以外は許容されなくなると思った方が無難だと思います。もちろん日本人だけという画像も許容されません。日本の少数民族をどう取り扱うかは慎重な検討を求められるテーマになるでしょう。私ならもう名前連呼にするよ。ためらいなく。

Twitter、ちゃんと勉強した高学歴人間は騙されず正しい判断が出来る的な信仰があるけど、その信仰によれば旧帝のエリートが集まる霞ヶ関は常に正しく清く美しい判断してるはずなのに、わりとそこら辺に批判的なのは本人の中ではどう整合性がとれてるか疑問なんだよな。

最近バラエティ番組での千本桜が「とりあえず和風にしたいときゃ使え」みたいな万能調味料になってませんか？

小5の時は頭良かったから夏休みの自由研究で太陽の南中高度使って地球の大きさ測ったんだけど先生が全く理解できなくて蝉の抜け殻200個集めた人が最優秀賞もらったのめちゃくちゃ腹立ったな。小4のときに蟻の巣の形成過程を1ヶ月丸々かけて詳細に研究してWordで結構な枚数のレポートにまとめて子供なりに製本して提出したら「パソコン使うのは手抜き、模造紙に手書きが正義」の一言で切り捨てられて怒り狂ったの思い出した

「フェミニズムという領域が独立の意義を持ちうるなら、それは(差別という価値概念を含んだ)男女差別学としてではなくたんなる男女事実学としてでしかありえないことになる。」これは大変興味深い見解で、僕も或る意味ではほぼ同意見である。ただ、僕は更にここに固有の屈折を見たい。その屈折というのは、極めて抽象的な言い方をすれば、事実的な事象の在り方を批判するために例えば価値概念である「差別」ないしは「平等」のような一般的概念的な事象を持ち出す時、その一般的概念的な事象の持ち出し方そのものが事実的な事象を含み込んでしまうという事態のことである。言い換えれば、どんなに一般的抽象的な次元について語ったとしても、それを具体的な事実についての語りに引き戻す時には必ず、「属性」なり「立場」なりといったオミット出来ない事実性が必ず出現してしまう局面が現れてしまう(それが一般的言説の隠れた政治性を作る)ということである。フェミニズムやポストコロニアリズムのような言説は、実の所、この言わばメタポリティカルな構造を非常に正確に捉えて成立している学説なのだが、「その結果として」これらの言説自体がまさにその構造に巻き込まれている。精神分析は、その巻き込まれそのものを解き明かすに止まるところがある。僕のフェミニズム批判やポストコロニアリズム批判は基本的にこのような見方の上に立つものだし、僕自身の保守的な立場もまた、この見方から演繹されるものであるとすら言える。

高校生フォロワーとの通話でエモーショナルって言葉を使ったら「いやまた勝手に変な言葉作ってる！普通にエモいって言うたらええやないすか！笑」ってツッコまれてめちゃくちゃエモかった。

「インターネットしてない自慢」をしてちやほやされたいけど、それを披露する場がインターネットしかないからインターネットを止められない。

俺の爺様は地主のボンで大学で西洋哲学を専攻して「人が人を殺して良い理由を納得いくよう説明してくれたらいつでも戦う」とか素面で宣うような人間だったらしいけど徴兵されてリンチ食らったそうだ。小卒から持論を暴力で全否定されたプチインテリのトラウマが一生あったらしい。逆に言うと戦時下という異様な状況が「地主」「高学歴」「知識階級」という当時の人間なら絶対逆らえんかったような身分格差を破壊して復讐の機会を与えたわけで、百姓あがりの兵隊たちにはそりゃあ痛快な体験だっただろうなと思う。いつぞやの「戦争が悲惨だと言うのは元々が恵まれた奴だけ」と言った戦争経験者の話題を思い出す。「兵舎では人間は平等に価値がない」というのは、日本帝国という強烈な構造的格差をもつ国家において、その被害者たる下層の人々にとってはある種の希望を見せてくれたわけだ。その善し悪しは別として。

世界の誰かが正解のツイートをした瞬間にTwitterは「クリア」になって終わるんだけどまだ全員不正解らしい。

親ガチャの半分は自分の能力と向き合わずにいられる優しさでできています

とにかく何にも縛られず自由であることが幸福に繋がるという幼稚な考えが無闇に広まってしまったのが間違いの始まりなんだよな。だから結婚や子育てのような、男女共に自らの自由をある程度犠牲にする必要があるものが衰退してしまった。これを打破するためには、自ら犠牲を払い、責任を全うすることによってこそ充実や幸福、栄光を獲得することができるものであるという英雄主義を復権させることが必要だ。「責任や義務に縛られ、犠牲を払わなければならないこと」を悪とするのは自由を欠いた奴隷の発想であって、この考えに囚われている限り、その者が自由になることはない。対照的に、真に自由な人間は、自らの意志によって責任や義務を引き受けることによって、彼らの自由を証明する。

科学的に間違っている主張をする側の常套手段として「公開討論しろ！逃げるのか！」というものがありますが公開討論に応じるのはあまりよくありません。討論の内容に関わらず、そこに議論がある、両論あると世間に思わせられるだけで間違っている側が有利になるからです。議論に対してはオープンでなければなりませんが「おっしゃりたいことがあれば論文にして発表してください」で十分です。建設的な公開討論は、お互いおよび聴衆に一定のリテラシーがなければ成り立ちません。そうでなければ、厚かましく断定的に嘘を述べるほうが説得力があるように見えます。がんを治療せず放置しろと主張する近藤誠医師と標準医療を行う医師が討論するというテレビ番組がありましたが、平均的な視聴者が見たら引き分けか、どうかすると近藤誠医師有利に見えるであろうと思いました。勝利条件が視聴者100人のうち1人でも引き込めたらいいぐらいのところ、引き分けなら近藤誠医師の大勝利ですよ。そもそも1対1というのがおかしい。近藤誠氏の反対側に99人の医師が座って討論するぐらいが現実を反映しています。討論に応じた時点で負けです。だからこそニセ医学側は論文を書かずに公開討論を要求してくるのです。本を売りたい、動画の視聴回数を伸ばしたい、インチキ健康グッズを売りたい、という動機がある場合もあるでしょう。公開討論は彼らの利益になります。それに討論して論破できたとしても彼らの信者が信念を変えることはあまり期待できません。

同僚の女性に「ハサミ貸してもらえますか？」と聞かれたんですけど、私がハサミを取り出すまでの間、彼女が手をチョキチョキと動かしていて良かった

「新自由市議からの脱却なんて輸出立国日本でできるのか？」というツイートが流れてきたけど、少なくとも一方の極に振れ過ぎてるのを是正するくらいはできるし、すべきだと思うよ。ひとことで言えば「無駄を省き過ぎたら、その無駄の中に自分がいた」という状態を減らそう、ということですよね。学問でも「選択と集中」ってやってたら研究の質が下がってしまった。中間流通が無駄だからって省いたら、その職に就いていた人たちが困窮してしまった。正社員は無駄だから派遣に頼ってたら、若者は車も買えなくなってしまった。これを変えようよ、ということ。当時むしろ新自由主義者だったからよくわかるんだけど、例えば不要不急と見られた土木工事だとか、同じく中間流通だとか、そういう「非効率的」と見られた部分を省いていくことで「見えない税金」とでもいうべき「無駄に高価な価格」を是正していこう、というのが小泉改革以来の流れだったんだよね。それと大前研一氏なんかに顕著だったけど「官は企業努力をしないから高止まりする。民間に任せるとなんでも効率的になる」という主張ね。日本の新自由主義は大体これだと思うけど、まあもう止めたほうが良いやね。まあ要するに「民間の企業努力」ってほとんどがイノベーションでもなんでもなくて「労働者叩き」「下請け叩き」だったし、それによって一億層賃金低下ってのがこの20年じゃないですか。それから脱却しようというセンスは、きわめてまっとうなものだと思うよ。「そういうのは新自由市議じゃない！」みたいなご意見そろそろ来ると思うけど、なんか新自由主義って使う人によって意味合いがまちまちみたいですよ。Wikipediaでも「新自由主義の意味に合意は見られないため、個人間の意見の相違の無い新自由主義の定義の作成は難しい」だって

基本的に「する権利」は「それを見ない権利」より優先すべきだと思っていて、「被差別階級の人間が勉強しているのを見ると不快だから学校は限られた場所に作ってくれ、お互い折り合いをつけていこう」とか、無いでしょ。だから、私は現時点の法は尊重するけども、いずれ全裸は合法になって欲しい

アベスガは低学歴だとか言いながら普段あれほど政治家に学識や知性を求めている人達が、何故ジェンダーギャップ指数の改善だとかグリーンエネルギーで脱原発だとか信じられないほど頭の悪いことを言っているのか学部しか出てない俺には全く理解ができない。

フルテレワークでまともに仕事を続けられるということがイマイチ理解できないんだよな。みんな宅浪から東大とか弁護士みたいなストイックさなの？自分には到底続けられないし、エリート業界では勤勉さに欠ける自分も一般社会ではかなり勤勉な方だろうから、多くの人には無理だと思うんだよね。

他者から学ばない、自分たちはムスリムだから〜と天狗、立ち居振る舞いにモラルは最悪、院に留学で来るような比較的上澄みのはずの連中でさえ教員をカーフィルと馬鹿にし、死後天国行きか地獄行きかレベルに捉えて認証付レストランがないから食べられるモノがないとか欧米産の肉か店に聞けとぬかす。家庭外なら同じ国でも地方や民族が違えば食わないレベルの連中の、あの知らないモノは文化的なモノ含め手を付けること自体拒否する行動原理を何と呼べば良いのだろうか。保守性と呼ぶのも何か違う気が。トルコ人が善意で招いたりくれたりするトルコ料理を嫌がったり腐らせたりするウイグル人留学生とか。コンフォートゾーンというか安全圏が極度に狭くて、昔からのなんとか身内からのなんとか以外全部疑ってるどころかハナから悪・穢れと決め付けてるあの感じ。あのものすごい白黒二分思考。「何となく雰囲気で多様性を唱えとけばいいや」「話せば分かる」的な甘い話じゃあないんだよ。理想、思考回路、行動理念、全てが違う他者を理解して隣人として許容・共存するには尋常でない知力、胆力、精神力が要る。常人にはそれができないから欧州で問題が起きてるわけで。

「あのさ、そのミス何回目？」

「143回です」

「数字には強いんだよな...」

宗教熱心な人と自己中な人は似てるようで大きく違うもの。身なりや礼拝など見かけは宗教熱心に見えても実はただ自己中なだけだったというのはよくある話。本当の意味で宗教熱心なのは人間性や行動を含め総合的にバランスのとれた人ではないか。イスラームが人としての生き方を示しているのだから。ポイント一覧表が礼拝やコーラン暗記、酒や豚の回避など目に見えてわかりやすいものだけと考えてるんじゃないかという人はいますね。礼拝やコーラン学習を理由に仕事や家事をおろそかにしたり、他人からの贈り物に対して豚入ってるかなどと無神経に問いただしてみたりというのはいい例ですかね。天国ポイント稼ぎにだけやたら熱心で、ポイント一覧表にないところではおそろしく厚顔無恥だったり、ポイントのためにやっぱり厚顔無恥な振る舞いをする輩、やたらいません？

行き過ぎた正義、現代の善人達が持つ無自覚の偏見、社会にスティグマを押された「強者」、それでも社会を支えているのは彼らであったりするというのがかなりストレートに描かれていたと思うのだが、あれ見てポリコレ万歳って一体作品の何を見てたんだよという思いが強かった。なんだ、「田舎はクソ！都会は多様性のユートピア！強くて賢いジュディが偏見を乗り越え全てを解決！」くらいの話に見えたんだろうか。それもう本当にストーリー追えてる？ってレベルなんだが。

「好きを仕事にしている現役の人」は（私を含めて）生存した結果の人達の意見だから、私には「いろんな理由で辞めていった人」の本音は正直には判らないわ。一度、部下に言われた事がある「皆が皆あなたみたいに強い人じゃないんですよ」と、これが答えの片鱗だと思う。好きで始めたcgを仕事にしたがために、cg嫌いなったり、好きが故に身体とか精神病んで辞めた行った人をいっぱい見てきたから、難しいなーっと思う。現に業界的に同期って数えるほどしかいない

「週休0日16時間労働を毎日してたけど、仕事辞めて週休7日になったらやる事が無くて辛かった。朝起きたら絶望しかない」みたいなリプライぶら下がってるけど、それは週休0日16時間労働で仕事以外の生き甲斐を完全に失うまで調教されたというだけです。

電子機器を分解・組み立てするとネジが増える原理はよく知られている。この原理を応用してネジは生産されている。

子供のころに分かりかけてたことが、大人になってわからないまま

ルールの穴を指摘したときに「じゃあ穴潰しましょうね」じゃなくて「穴を踏まないように努力してね」って提唱してくる人間信じるのちょっと厳しい（なあなあ運用で許される系ルールならともかくこれ法律だしな……）

俺まぁクソ学生だったんでアレですけど、外資！コンサル！グローバリゼーション！みたいな空気がキャンパスに蔓延してたのには強烈に嫌悪感を持ってて、トランプが出てきた時にああいう連中が痛い目に遭うんだったらやれやれやっちまえみたいになった、というのは否定しようのない事実であります。今はどうか知りませんけど、ゼロ年代後半はマジで大学キャンパス内で猖獗を極めておりましたからね。いわゆる高偏差値大は全部そうやったんと違うかな。当時ウルトラ文化リベラルだったんだけど、本当に辟易していたというか強烈な敵意と不信感を持っていた。その直感は間違っていなかったようだが。優秀な学生から順番に外国企業で働くなんていいわけないやろ、と当時から思ってたんだが、なんで文化リベラルやってたんだろうな俺はｗとまれあれから10年以上経って、ローカルな価値観の見直しというか、理性と知性が世界を開くという端的に誤った迷妄がようやく相対化されようとしているんじゃないかなぁというのは希望でもあります。人間の身体性とも直結する議論だね。

そういえば今日の昼休みに、「何で転売屋はオタクコンテンツばっかり狩りに来るんだろう」と言った同期がいたんだけどその場にいた全員の見解が「転売屋から買わなければいいのに我慢できずに買っちゃうオタクが多すぎるから」で一致してたのはとても良さみのある会話だった

先端科学技術で一発逆転を狙いたいんなら、国立大学法人の運営交付金を5兆円増やして瀕死の基礎研究を再建するとこから始めてくれよ。ほんと。プロジェクトだけにお金出したこの20年で足腰がどれだけ弱ったことか。

あらゆる面で格差の広がりは避けられない状況において、「中流意識の共有状態」を如何に広範に維持し続けるか、と言うことに、世のため人のため、子のため孫のために、あたいら世代は粉骨砕身してゆかねばならぬのだろうな。

ゴールデンレトリバーは賢いから本気で育てれば立命館くらいなら受かるけど、ボーダーコリーは賢すぎて起業とかしちゃうから色々法的にも扱いが難しい

かつては社長だったけど、現在はサラリーマンをしてる方を何人か知ってて、仕事は基本的に皆できるんだけど、例えば飲みにとか行って少し話し込むと、なんか独特の、テキストだと非常に伝わりにくい深い心の闇を抱えてる雰囲気があるんよね。事務的なお付き合いでは全く問題無いんだけど、なんかそれ以上の所になると独特の距離感をとってくる感じがあるんよね。

フェミニズムとか精神分析とかを男女およびそれらに論理的に依存した概念を使用しないところにまで抽象するとどのようなものになるかには昔から興味があった。そしてもしそうした抽象が不可能だとしたらそれは何を意味するか、といったことに。知的興味のあり方としてはごく凡庸なものだとは思うが。フェミニズムに関してはフェミニズムが主張する差別は男女という差異とは異なる差異にも適用可能でなければ差別とはいえないとはいえるであろう。例えば雇用機会に関する男女間の差別は国籍による差別と同じ意味で差別でなければならない等。この意味において男女に固有の差別はありえないといえるか？これは意外に興味深い問題で、ある意味では男女に固有の差別はありえない。他でも本質的に同種同型のことがありえてそれもまた差別とされるのでなければ差別という一般概念は妥当しえないだろうから。しかしもしそうなら原理的にはフェミニズムという固有領域が存在する理由はないことになるだろう。するとフェミニズムという領域が独立の意義を持ちうるなら、それは(差別という価値概念を含んだ)男女差別学としてではなくたんなる男女事実学としてでしかありえないことになる。それは十分研究に値するだろうが上掲の精神分析学と同種の一種の自然誌的文明誌的記述でしかありえないはずではないか。

「ツイッターなんかやってるくせに偉そうなことを言うな」とツイッターで言うのは構造的に面白いし普遍的に正しいとも思う。構造的に面白いほうの話はたいした話ではないが普遍的に正しいほうの話はわりあい重要な話だと思う。ツイッターではどんなに正論を語ってみても、それが批判している愚論と同じ程度の愚論として現れることしかできない。たとえそれが読者に真実を説得できても、読者はやはりより愚かになるしかない。これには、たんに字数制限の存在に由来する側面があり、その側面こそが重要だ。この制限の下では正論もまたそれが正論であること自体を実証・論証することは不可能で、批判している愚論と同じ形の断言を繰り返すことしかできない。より重要な、正しさを根拠づける正しい方法そのものは決して学べない。それゆえ仮にそういう文章の読者が、真実を語っている側に賛同したとしても、その根拠は愚論の側に賛同する際の根拠と本質的には変わりがなく（何となく本当らしいとか何となく好ましいとかとか…）そんなことを繰り返していれば、いずれにせよより愚かになっていくしかない、ということ。たんに字数制限に由来する限り、そのもたらす弊から脱する方法は簡単で、もっと長い文章を読めばよいだけだ。つまり本を読めばよい。例えばリベラルということに興味があるなら、ツイッター上の意見などは一切無視して、まずはロールズ『正義論』の長大な議論を解読することから始める、とか。ロールズ『正義論』の解読から始めて、次にサンデルとかノージックとか諸々の異なる立場からの批判を論脈にひたりついて精確に読み、さらにもっと鋭利なH.L.A. ハートの法哲学的な批判なども読み込んでいけば、どう考えてもツイッターなんかより遥かに面白いし、そのうえ頭もよくなると思うよ。読み手だけでなく書き手にも同じことがいえる。正しい主張でもただ単に繰り返しているうちに、まさにそのことによって愚論化していくので。そこで最初の「ツイッターなんかやってるくせに偉そうなことを言うな」に戻ることになる。（「構造的に面白い」ほうの話はそこから始まる。）読む方の話に戻ると、本で読まないと対立する考え方の奥にあるそれぞれの素晴らしさを知らずに(表面に現れた好き嫌いに反応して)終わることになると思う。敵の深みを知らないと世界は面白くならない。

自己責任論を単に他人をシバく道具に利用するのはクソだが他方で他責思考が蔓延した社会のひどさを見ると自罰的思考の方がマシかと思えてくる。無責任・他責が蔓延する組織・社会では相互不信が当たり前になるが、常に相手を疑い言質を取り続けるのはかなりのストレス。長い間日本社会を歪めてきた過剰な自己責任論への反省・懐疑が広まりつつある今、そこから反対の極、他責に振れないことを祈るばかり。一度他責と無責任、相互不信と身内盲目的擁護が蔓延すると取り返しがつかないのではと危惧している。今を生きる日本人のほとんどが人生の大半を過ごした平成は、自己責任論と自分らしさ至上主義が吹き荒れた寒い時代だったと今の私は思っているが、将来は平成が思いも寄らない形で再評価される時代も来るんだろうな。

世の中もっと哲学とか数学とかプログラミング言語とか物理学とか経済学とか生物学とか、語学教室みたいに社会人(でもなくても、なんでもいいが)が趣味でのんびり楽しくやるだけの教室が増えてほしいですね。というか夜間大学が増えてほしい。

小説を書きはじめて「なぜ小説好きはこんなにも〝説明〟を嫌うのか？」が不思議だった。説明できるものは説明したほうが良い。文学で〝描写〟が特権的に扱われすぎているのに胸糞悪くなった。説明を回避して描写をするのではなく、説明し尽くしたあとに描写がやってくる。描写の小説らしさこそ敵だ。

人生、宇宙、全ての答えは42だが、何かしらの答えを探すタイミングでとりあえず「42」と言うのはユーモアの答えではない。

完全なる聖人はいないと思ってるので、端から見てめちゃめちゃ聖人っぽい人は、誰よりも性格の悪い趣味を持っててほしいと願ってる。聖人君子、ドギツイ性癖持っててほしい。

認知行動療法のカウンセリングを受けて一番良かったのは、「自分としてのベストは尽くす。でも、どうしてもダメならスパッと諦める」というのができるようになったこと。若い頃はとにかくストレスに弱く「やりきれないこと」がコンプレックスで、結果的にずっと後悔を引きずってしまっていた。他人がなんと言おうと、結果がどうであっても、それが小さなことであっても、自分の中に「やりきった」という感覚が残ることが大切なんですよね。ここまでやってダメなら諦めよう、次に行こう、と心から思えることが自分を前に進めてくれるし、過去を後悔することもなくなる。そして、「ネガティブ思考の反すう」が自動化されてしまっていると、この「自分はやりきった、次に進もう」と思えなくなる。強力な反すうが感情の暴発や身体の不調を招き、目の前のことに集中することを妨げ、結果的に「またやりきれなかった」という後悔が残り自分を苦しめ続けるんですよね。

ジョン・スチュアート・ミルのような急進的自由主義と、高文化・高所得な層の求める自由(快適さ)は本来は相反するものなのだが、高文化層は体裁の為なのか格好付けなのか知らないが、口先だけ急進的自由主義を求めていたりするんだよな。これが一番良くない。地価でバリア張って、貧乏人が自分達の居住エリアのそばに存在出来ないようにして叫ぶ多様性みたいな物で、本当に良くない。

「俺は差別しない」って思うのは差別する側になる近道なんですよ。差別する人のほとんどは「これは差別だ」って思わずに差別してる。「反差別」を標榜する人は「俺は差別しない」って思ってることが多くて、だからその人たちはどんどん人を差別していくわけです。

「こういうニュースしか見たくない」という本文で、パチンコ屋駐車場で子供が亡くなったニュースのリンクをツイートする人

ポリコレを守っても面白い作品は出来る!って反論、ポリコレに適合してかつ面白い作品はそりゃごまんとあるだろう。しかしそうした表現を創作者に選択させた、固有の価値観や倫理といった内在的な理由が、「ポリコレ」なる外在的ルールに全て回収されてしまうことが問題なんだよな。「面白い作品が作れなくなる」というよりは、「つまらない見方しか出来なくなる」という受け手側の問題が、ポリコレの害悪の本筋だと思う。創作者が敢えて世のお約束に挑戦し、ステロタイプを打破しようと苦闘した努力が全て、ポリコレという別のステレオタイプに塗りつぶされてしまう。

高校生くらいの時は「なんで努力しないの？やればいいじゃんｗ」って思ってたけど、今は割と「努力が報われることを体験できる環境にその人があったのかどうか」問題を考える事が多いし、安易に人をdisったりしなくなった

なんとなく世界の大量殺人犯を調べてたら、これまでなんとなく「シリアルキラーの本場はアメリカ、白人男性最凶」と思い込んでいたのが間違っていて、南米のエネルギッシュな殺人鬼が一番強い、ということがわかりました。

意識高い系大学生さん、頑張って暗記したジョブズの名言を持ち出しては彼の偉大さを語りながら「日本はブラック企業ばかり！オワコン！」と意気揚々に仰るけども、さてはジョブズがAppleでは王様のように振る舞い、『週90時間喜んで働こう』というスローガンを掲げてたことは知らないな？

そば屋で夕方のニュース見てたら、パパ活相手から1300万の時計を盗んだJDが「推しのホストをナンバーワンにしたい気持ちが強かった」と供述している、みたいな事案が流れてきて食物連鎖ァ！という気持ちになってる。

近年「ネットで検索してみつからなかったからそんな事実は無かった」と勝手に決定づけて納得する人が増えた気はする。むかしの紙媒体の記事やアナログ情報、記事にすらならなかったものはネット検索ではみつかるわけがない…誰かが転記や登録しなければ検索できるわけがないですし。紙媒体は残しておけばよいけど、ネット上の記事や情報は人知れず修正消去する例もあったり、内容変わってたケースもあったかな。00年代頃あった個人ブログ情報なんかも提供プロバイダーやサービス終了が多く。また今度見ればいいと思ってたら消えてたり。結果的にその頃の転記や紙媒体も再捜索必要に。

ジェンダー学と言う名のイデオロギーを大学から排除したハンガリーのオルバンや、国家的価値観でのコンテンツ規制やオーバーエデュケーション問題に切り込んだ習近平は何が少子化の原因かを完全に正しく理解した上でやっておるわけだが、単なる巻き戻しで解決するのかは誰にも解がない。もしこれが無理だとしたら、結局市民自らがジェンダー平等という迷妄から何らかの手段で脱却するしかないわけで、それを最初にできるのは、これは個人的にはアメリカ以外考えられない

選択的安楽死を認めると死にたくない人にも圧力がかかる！みたいな安楽死反対論があるけど、そもそも選択的安楽死なんてのはただの妥協案で、人生定年制が目指すべきところなんだよな。自分で死に時を決められる人には、安楽死制度なんてハナから必要ない。「安楽死制度ができれば死にたくない人にも圧力がかかる！」と言っている人達、まさにその人達のために安楽死制度が必要なんだよ。彼らが年老いてフリーライダーになるときに、多少なりとも安らかに死ぬことができるように。

「あるタスクを機械にやらせると開発費として20億JPY、年間維持費が5000万JPY程度必要ですが、人間にやらせると2500万JPY/年程度の人件費で済みます。さてどうしますか？」というような話は世の中にいっぱいあったりする。

現在知的障害はIQ70未満と定義されてるが、1950年代IQ85未満も知的障害と定義したら何と人口の16%にもなってしまい、慌てて基準を下げたそうだ。煽り運転や路地飲み、バイトテロなどから考えるにこの世の中は思った以上に知能に難がある人間は多いんだよ。

よくネットのコメント欄に出現する、他人に対して「あらゆる事件事故を事前に予測でき、問題を起こすような人物は100パー事前に見分けられ、実際に何かあった時も即座に完璧な対応ができること」を要求する人みたいな。

車好きだけど60kgの肉を移動させるのに1000kg超える金属と樹脂も移動させるのは非効率すぎる、その点自転車ってすごいと思う。

意識高い系の人はもう一段階意識高めて、俺は特別優秀だから俺みたいに素晴らしい人間じゃなくても大丈夫な世の中にしなきゃならん、まで行ってください。金持ちの生活がどうなろうが経済成長にはあんまり関係ねえんだよ。だから自力でグローバルな世界で生きていける優秀な人の言う事は聞く必要無い。役立たずに思えるようなのを役に立てるから経済は成長出来るのであって、役立たずを役立たずのまま放置するようでは優秀さが何の役にもたっていないという事にしかならんのだわ。正味の話、いわゆる優秀な人々はツテとコネでネットワークの中に入り込んだ、という事により優秀さを評価されるというだけの事なので、別に個人の能力が不世出の天才だとかいう話ではない。だからネットワークごと海外に逃げて行ったとしてもすぐに代替が出て来るよ。金を稼げる優秀さなんてぇのは相対的な部分がかなり大きいので、優秀な人材が海外へ逃げるぞ！なんていう脅しは無視してちゃんと累進強化して規制をしっかりと作らにゃいかん。優秀な人が優秀な能力を発揮する社会、というのは、優秀な人のミクロの欲求を満たす社会でもある訳で、その様な狭いレンジの欲求を満たしてしまうと欲望のレンジから外れ取り残される人が大勢生まれてしまう。社会はバカとクズのために存在するのであって、優秀な人間ばかりならば社会なんぞという型に嵌めんでもルール一つで事足りる。社会を必要とする程度の優秀さしか持っていない人間には偉そうな事を言ってても社会の再生産に協力するより他ないのだという諦念をちゃんと持たせるようにしなければならない。真に優秀な人間は社会なんて必要としない、社会制度に左右されるのはその程度の人間でしかない。日本のマネジメントが間抜けなのは、優秀な人材を囲い込もうとする事なんである。優秀な人材というのは特殊事例なので、それを抱え込んで組織が優秀な人材ありきになってしまうといざ優秀な人材がいなくなったり個人のスキルが通用しないケースだったりした場合に対応出来なくなる。日本のマネジメントの欠点のたとえ話としてよく挙がる、兵士としては優秀でも司令官には向かない、という話も、あまりにも個人の武勇を重視し過ぎる末端のプレイヤー感覚がどこまでも抜けない視野狭窄が大きいように思う。組織論としては、優秀な人材という特殊プレイヤーは己が活用できる組織を見つければ良いし、組織の側は優秀でない人材を活用した上で優秀な人材の優秀さを陳腐化する方向の努力をすべきなのである。優秀な人材こそ流動性を高めて普遍的なノウハウをマネジメントに吸収した後は放逐してしまえばいいのである。プレイヤーに固執する事は組織にとって害の方が大きい。

腐った屁理屈と思想の区別は実際難しいしもしかすると同じものであるかも知れないが、少なくとも体系化を志向できないお気持ち人間を大量に抱え込んで野放しにした結果、フェミニズムは屁理屈から理屈の抜けた単なる屁となった

陸上自衛隊の訓練では「辛いときには本心が見える」とよく言われていました。特に疲労と空腹、寝不足には要注意です。どんなに温厚な人でもいきなりブチ切れたり、気配り上手な人も自己中心的になることもありました。他人に優しくするためにも、ご飯を食べて睡眠を取ることが大切なんですね。

口に出したことは必ず実現すると考えるのが言霊思想で、これを我々は無意識に信じているから、人ごみの中で病人を担架で運ぶとき「どいたどいた」と過去形で言う。実現してほしい事態を言葉として過去形で確定して先取りするのだ。そうなるはずという信念のもとにである。我々はいまだに言霊の虜だ。

ふだんからちゃんと勉強している医療者はわかってんですよ。これまでいろんな薬や試験の結果みてますから。ホントに効く薬なら、こんなに効く効かないで揉めないんです、ちょっと試験すりゃ決定的な結果が出るんで。少なくともイベルメクチンは救世主にはなれません。効果はあったとしても限定的。画期的な治療薬なのに差が確認できなかったなんて、わざと狙って超下手くそな試験デザインしなきゃ、そんな結果出せません。そういうインチキはすぐバレますし、そんなインチキする動機は誰にもない。みんな躍起になって効くもの探してんですから。ほとんど揉めてないレムデシビルですら、標準的治療薬にはなれてもコロナを終わらせられてはいない。文句つけようのない結果を出したワクチンを認めず、イベルメクチンを救世主のように崇めるのは、そう思いたい人間の信念が作り出す幻想なんです。大変残念ですが。

そこに悪いことをした罪人がいて磔にされてていくらでも石をぶつけていいですよって言われたら割と皆石持つんだなってのがおっかねえっていうか断罪したい人いっぱいいるんだってのが7月頃うんざりしてた理由。意味なく精査せず心に怒りを満たしたい人とは仲良くできない。

元カノと1番ラブラブだった時、通話中尿意感じて「おしっこするけどミュートした方がいい？」って一応きいたら「しなくていいよきかせて♡」って言われたから聞かせてあげてたら「おしっこの音もかっこいいんだね♡」って言われたことある

親ガチャという言葉は、家が「精神の安全基地だった人」と「常に緊張を強いられるストレスフルな場所だった人」ですれ違いがありそうだし、この断絶そのものが親ガチャの残酷性って感じがする。前者も後者もお互いに対して現実感がない。

ピラミッドとかアンコール・ワットとかわかりやすいけど、遺跡というのは「父祖の偉業」という土地の誰もが受け入れやすいシンボルであり、政治的に極めて強力な武器。これを保護することが、そのまま国家としての正統性アピールにつながる。「俺たちのご先祖はこんなスゲー物を作ったんだぜ！」と言われて悪い気がする人はいないからね。なのに、石仏を破壊するわ、博物館を略奪するわ・・・。

それまで楽しく見ていた学習や雑学系YouTubeチャンネルで、自分が詳しい分野の動画を見たら、薄っぺらくいい加減で番組の構成優先な非誠実な内容に気づいて、他も全部その調子なんかなって白けて登録外したことあるな。

みんなワイドショーのコメンテーターやりたいだけなんだから何を今更…。はてブもヤフコメも、ひろゆきとかDaigoとか嫌いな癖にやってる事って一緒なんだよな。サロン開いて教祖になってないだけで

変な＠・引用が来たときにそのアカウントのbioをそのままツイートするという作法がある（？）けど、こうして見るとわりと効果があるのかもしれない。

いわゆるエンタメ系YouTuberの企画の面白さはそれほどでもなく、知名度に物を言わせた壮大な内輪ネタになってしまっていると思うの。

デスゲーム主催者「私は人間の本質を見たいんだ！」

参加者たち「コンビニバイトでもやれば、嫌になるほど見れるのに」

答えだけ分かるタチの人が少ない知識で理路を埋めようと陰謀論に陥るパターンはままあるので、陰謀論を一笑に付すだけじゃなくて、どういう理路ならば現実的にその様な結果に結びつくかという思考実験をしたらいい。陰謀脳の陰謀論がだんだんと非現実的な度合いを増してしまうのは、初期の直感的な正解を論理的思考原理主義者が潰そうと躍起になるが余り、直感の正解が数回続いたところで論理的意見の価値が低下し周辺の声を考慮する必要のないデータと捉えて現状認識が歪んでいくからです。単純にデータ入力が少な過ぎて答えを間違ってるのは陰謀論ではありません。阿呆の思い付きと陰謀脳は似ているようでまるで違うもんなんだけど、まずそいつの絶対的知識量である程度はその価値の有無を判別出来るんじゃなかろか。秘密の存在だけが明らかになると、その秘密の中身を自由に想像する余地が生まれる為陰謀論の格好の材料となる。雑な人は陰謀論を楽しめるが、真面目な人は陰謀論に嵌る。論理的整合性を突き詰めると陰謀論に嵌る。何事にも因果関係を見出せないと苦しい人は陰謀論に救われる。陰謀論者の言い分は常にこうである。「事実はこうなっている。それを否定するというなら一体どう説明出来るというのだ！」積み重ねられた事実によって結論の確からしさへと誘導する事で陰謀論は信者を増やす。陰謀論とは、事実の集積と結論の飛躍である。しょうもない陰謀論の危険性は、なにより問題意識が敵対勢力との対決に向けられてしまいがちな事だわ。はっきりした結論を断言することを求めるせっかちな大衆の“非合理な合理性”こそが陰謀論の素地になり、また昨今猖獗を極めるオンラインサロンなどへの需要を生み、且つ行政の無駄を切り捨てる心根を育んでいる。理外の部分を理で埋めようとするからこそ陰謀論に嵌ってしまうのですよね。批判的であれ陰謀論を楽しむ余裕のないような奴ほどいずれかの時に別の陰謀論的なものにハマるもんだ。熱心で素朴なバカが陰謀論を信じるのと、意識高い賢い人が対立側の悪いニュースを信用するの、知能の働き方としては信じたいものを信じてるだけなんで何も変わらんのだよな。わからないとか正確ではないがうまくいくとかそういった曖昧さを世界の中に容認できない類の人は陰謀論などに触れずに教科書や池上彰を信仰する枠組みから外れない方が幸福に生きられるだろう。では陰謀論にハマらない為にはどうすればいいか、実は言葉にすればとても簡単なことである。「“たまたま”を信じよ」という事だ。要するに少ない材料から知的能力を全開に論理的整合性を高める努力をした結果こそが陰謀論の導く答えなのだ。そしてそれは少なくとも前提となるピースの少ない中においては至極論理的なのである。チェスタトンのいうところの「狂人とは理性以外のあらゆるものを失った人である。」「狂人の最大の特徴が何であるかを見た。無限の理性と偏狭な常識との結合である。」というのが陰謀論者に対する最も端的な解説の一つであろう。しかしながら特に論理的整合性を求める人にその傾向が見られるというのは、逆に言うとその手の人らは現代の知識を宗教的に信じているという言い方もできるのであろう。納得出来ないものに適当な説明を加えて安心するというのはまぁ振り返れば自然現象を神に見立てたおそらく有史以前からの営みでもあるわけで、宗教的説明を省いた現代社会において陰謀論が求められるのはある種の必然ではあろう。今回のアメリカの大統領選に絡んだ陰謀論などはまさにコロナによる不安とそれを払拭させてくれた指導者の退場という事件が単に数で負けただけだという説明では納得させきれないほどの不安がもたらしたものだと言えるだろう。大地震などの大規模災害に陰謀論が一定数出回るのもこうした心性の表れと考えればわかりやすいだろう。逆に言えば多くの人々が不安に陥っているタイミングこそが陰謀論の広がりやすいポイントなのだ。言ってみれば偶発性による幸運、不運を認められない心の弱さとも置き換えられる心性なのだが、理由が説明できるということは同じ事をすれば真似られる、元を断てば避けられる、といったような再現性を見出せる事によりそれが安心に繋がるのだ。公正世界信念なんかにも共通するのだけれど、ある事象が生じた時に何故そうなったのかを説明して理解、納得出来なければ何か隠された理由があるに違いない、と思ってしまうのが陰謀論の入り口である。陰謀論を信じる人に知能的には結構高等な部類の人が含まれるという話にも通じるアレだが、結論から言うと陰謀論というのは論理的整合性を高度に求める心性との親和性がものすごく高い。わからんもんをわからんままにしておける根性こそが陰謀論と対峙するものに求められる資質であるよ。

共和党が多く全米でもワクチン接種率の低い（50%切ってる）アイダホ州でも病院がコロナ患者で溢れかえって病床がなくなってる。そこでコロナに罹ったアイダホ州民は隣のワシントン州の病院へ流れ込んでて（コロナ対策をちゃんとしてる）ワシントン州では「いい加減にせぇ」となってるらしい。ぶっちゃけ気持ちは分かる。ニューメキシコ州は全州でも人口200万人そこそこ、最大都市であるアルバカーキも56万人の中規模都市で、ここに例えばテキサス州から大量にコロナ患者が流れ込んで来て我が州の医療リソース喰われたら「いい加減にしろ、来んな」って思うわな。そういう状況にあるのでアイダホにいる実父（大学教員にしてトランプ支持のコロナ陰謀脳）にワクチン受けたか確認の電話をしたら案の定未接種。無駄とは思いつつ誠心誠意説得を試みたが見事にクロロキン、イベルメクチン、亜鉛、ファウチ、CDC、FDAと陰謀話が次々と出てきて説得失敗。どうしようもない。頭の悪い人じゃない。数学／哲学が専門で、特に論理学や記号学が得意でチャールズ・サンダース・パースの専門家として国際学会にちょくちょく招聘されてる人。なのに、完全に狂った陰謀論に毒されている。イデオロギーはかくも人を狂わせる。単に頭が良い、とか、博士である、だけじゃなくてパースみたいな超絶難解な「論理学」の専門家が、ファウチや製薬会社のみならず、CDC、FAD、EMA、PMDA、MHRA等全部グルのグローバルな陰謀など一瞬で破綻するというめちゃくちゃ単純な論理が理解できないというのが驚愕するんだよねま、なまじっか研究者やってるとなまじっか「自分で調べちゃう」ってのが落とし穴になる側面はある気はする。ワクチンがなぜ効くか、とかなぜ安全か、というのは幾ら調べても非専門家にとって理解しにくい一方「なぜ危険か」という「情報」は基本的にだれにでも「分かりやすい」ものだから調べれば調べるほど「危険だ」という「エビデンス」が見つかり確証バイアスが補強される。陰謀論についても、「陰謀じゃない」というのは悪魔の証明なのでエビデンスなんか特に見つからないが「陰謀だ」という「エビデンス」はそれこそ掘れば掘るほど出てくるからな。陰謀論に走ってる人にかなり共通して見られるのが「自分でいっぱい調べた」という自己認識だ。「自分でいっぱい調べた」という自覚・自負を持って何らかのサイエンス・コミュニティでコンセンサスが得られてることに「反する」内容を確証するに至った人は、「そもそもその分野についての自分の調査能力は信頼に値するのか」を自問するといいですね。自分が「その分野」の専門家でない場合、むしろ積極的に自分の調査能力など「信用しない」のがお薦め。99%くらいの確率で確証バイアスをフル発揮するだけだから。

経営者としてずっと心がけてきたことは、いいときも悪いときも日常を同じように過ごすこと。月末に資金が尽きそうになっても、幹部から辞めたいと言われても、上場が延期になりそうになっても同じようにご飯を食べ、家族を笑わせ、睡眠を取ること。長く成長を続けるには経営者の安定感が超重要。

ツイッターでは支持する声をわりと見るから、つまり世間では支持されないということになる。

あるときNY市警で、署を重犯罪の件数で数値評価するようにしたら、警官は重犯罪を軽犯罪として扱ったり、被害届の提出を妨害しはじめた。シュライバー著『統計データの落とし穴　~その数字は真実を語るのか？』（NEWTON PRESS）。本日9/18付けの朝日新聞に書評を寄せています。ダメな数値評価は、それが実現したいことと、正反対のことを起こす。評価しているものと評価したいものが一致するかは入念な検討が必要。安易な数値評価や目標は、とても簡単に組織をダメにする。数字を、数字だからという理由で信仰しないために。最近読んだ本の中でも抜群に面白かった。この話めちゃくちゃ大事で、行政でも企業でも「ズルがしにくくてその数値上の改善が中長期的な利益に繋がる指標」をアウトカムとしてきちんと設計出来てないと、いくら高度な分析しようが機械学習で自動化しようがムダどころか逆効果みたいになる状況しばしば見かける。「単純な手術成績で病院評価すると重症者断った病院が有利」「担当した生徒の成績で評価すると単にテスト問題の前バラシする教師が有利」「自前であげる品質成績で評価すると偽装した方が有利」とかいうズルをいかに想定して対策するか、数理的なところよりよほど現実的なデータ活用の価値左右しがち。

若いうちに沢山失敗しなさいと言われてきたけど、失敗の上に成長があるというより、失敗の経験が無ければ人を許せないからだな、と思う。

【人生RTA 出生レギュAny%】

家庭環境と死亡速度を考慮して、名前は「悪魔」（るしふぁあ）にします…（魔理沙誕生中）…DQNネームのご家庭に生まれたようです。DV男と水商売女の間の子です。空港のトイレで出産、流産し、ゲームクリア。タイマーストップ。記録時間は10か月21日。たぶんこれが一番早いと思います。

【人生RTA 出生前診断ダウン症診断レギュAny%】

持病を考慮して、名前は「天使」（えんじぇる）にします。出生前マススクリーニング診断でダウン症と判断されました。掻き出されます。次はもう1本染色体が少なければいいですね。

尾身さんのインスタライブ、コメントあんなに荒れてたのにストーリーのアンケートだと役に立ったが95％なんだよな。。声のでかい少数の狂人に振り回されて何かを嫌になったりわかった気になったりしてはいけないな。まさにネットのノイジーマイノリティを象徴する出来事。ほかにもロンブー田村がとったツイッターのアンケートやYahooニュースのアンケートで高市氏が50%の支持を得ていたり、田母神俊雄が「ネット層の皆さん投票に行ってください 私はネットで圧倒的人気なんです」と叫んだのに2%しか得票しなかったり。しょせん母集団が偏っていれば出てくる結果も偏るよねという

先日400人くらい参加してたClubhouseの有名な反ワクチングループにお邪魔して、せっかくなので質問をさせて頂いた。発言できる順番が来るまで1時間くらいお話を聞きながら待った。気付いた事は、多くの人は真摯に怖がっていて、ほんの一部の人が自説を披露して悦に浸るという構図だという事。やっと発言できる順番来たので、「皆さんはワクチンとかコロナに関して強いご意見をお持ちのようですが、それで身近な人との関係にヒビが入ってしまった事などはありますでしょうか？」。驚いたのは、「それはここに居る我々全員が経験あると思いますよ！」と即答してきた事。「それでもやはり真実を伝えることの重要性が〜」とか何度もTwitterで見たようなセリフが飛ぶ。印象的だったのは「たしかに私も兄弟や友人と絶縁しました。しかしその後に素敵な出会いも沢山あり、友達も沢山できました」というコメント。暗澹とした気分になる。それだけ聞いて退出しようと思ったら、ぷちインフルエンサーみたいなお姉様に突っかかられた。免疫感染症系の仕事をしてる私に対して、抗体の働きに関してご解説して下さった。めちゃめちゃ間違ってたけどね。いずれにせよ、一度足を踏み込んだ世界から戻るのは難しいという事はわかった。

宗田威さんの言うように「過度に整合性を求める」心根が陰謀論の苗床なのはそうだろうが、もう一方の極に「全てを捉え切れないだろう」という諦念もある気もするね。要は、めんどくさいと。何らかの気に食わない事象（しょっちゅう発生するが）が発生した時に、そうなった説明は欲しいがそれを徹底的に追求するのはめんどくさいという心に外注された思考としての陰謀論が染み込んでくるのかね。「民主主義の壊れ方」ではトランプのロシアゲートも陰謀論扱いされてたね。そういう意味では自分はかなり、恐らく世人の平均と比べても雑な方の人間であまり説明を求めないので助かっている部分はあるかも知れない。「まぁ、そういうこともあるやろ」で結構済まして生きている。で、教育も思考の外注化であることに気づいた時に過度に相対化して「全部ウソやねん」みたいなことになったりする。極端過ぎる。これは真に賢い人、優秀な人にも同様に見られる事があるが、誰しも「度合い」の概念を没却し過ぎなんである。陰謀論含むネット言論の悪徳は、「極端に振ったほうがウケがいい」に尽きる気もするね。この世は（というか日本は）意外と穏当で凡庸でグレーである、なんてこと、デカイ声で今更言われなくても分かっとるわと皆思うからね。実際は分かってないからこんなことになってるんだけど。俺もちょくちょく忘れるしな。

交際経験ないのに自己認識が「誠実で優しい」人は、誰でもいいから付き合ってみて自分にちゃんと失望したほうが良いと思います。交際経験ないのに「誠実で優しい」アピールするの、虚無なのでやめたほうがいい。具体的に何をするとか気遣いをするとかそういうアピールをしろ。「俺はこういう性格です。根拠はないけど。信じてくれ」こんなん通用しませんよ。

なぜJPOPの世界では「傷つくことをおそれないで」という歌詞が人気なんだろう。みんなそんなに傷つくことをおそれないで何かをしたいと思っているのか。

匿名アカから妙なリプや引用飛んでくることあるけど一切相手にしないですからね。淡々とミュート行きです。単独で書きたいこといっぱいあるのにそいつ専用に言葉を用意する気は全くない。

大人気ないので全然知らない人からブロックされてるのに気付いても「なにか、気に食わないところがありましたんですね。申し訳ない...」の想いを込めてブロックし返すようにしてる。

情報操作の「嘘」の部分

四谷大塚の模試の順位、センターの合計点、地方国公立医学部の東大理1のどちからが上かはツイッター民の永遠のテーマ。

狂ってるインテリアデザイナー「お父さんには、大黒柱としてですね」

そういえば以前、熱心な（婉曲表現）なヴィーガンの人が、「なんで牛や豚を食べるのに猫や犬は食べないんですかぁ？」的な、要は「あなた達は、命を差別しているのよー！」なことを言おうとしたのだが、それに対して続々と専門家たちが現れ・・・「犬も猫も可食部位が少ない」「面積あたりの育成数が違う」「エサの費用と肉が取れるまでの年数のコストが合わない」「そもそもまずい。食肉目は脂が多くくさみが強い」「高くてまずくて栄養もそれほど豊富じゃない」と、生物学、畜産学、経済学、栄養学の方面で次々と言われまくったあ挙げ句。「昔は食ってたけど、牛や豚のほうが美味かったから」と、歴史学方面からも殴られた挙げ句、そっと去っていったのが、まぁなんというか、経済動物と愛玩動物を、同じ目線で見ちゃあいかんよなと・・・他にも歴史的に畜産として固定化された動物は「人間と食べるものが被らない」というポイントも重要だったそうです。なので、より食料が乏しい砂漠の地域では雑食性の強い「豚」が宗教的に禁忌になる理由の一つになった、という説もあるそうです。畜産の肝は「人間が食べられないもの」を食べる「人間が食べられる動物」を飼育するところなんです。

例のフェミニスト同士の内ゲバ事情をようやく理解したけど、皆で「被害者に寄り添う」と唱えていたら、被害者から「私に寄り添っていない」と吊し上げられた、という話で笑った。集団と個人を同一視していれば、こうなるのは避けられないわけで、「皆さん独裁がお好きですね」という感想しか出ないな。断捨離推奨する人たちは、「一年読まなかった本はこれから先も読みません」というけど、読むんだよね、買ってから4年後とか普通にある。

現実の容姿にコンプレックスがある人が、Vtuberとして理想的な見た目を手に入れたことで救われた。しかしその見た目が、そもそも自分が容姿にコンプレックスを持つ理由になった社会的な美の基準を強化するようなものであった場合、それは本当に救われたことになるのか？私はなってないと思う。そしてそれは、自分だけじゃなく、他の人にとっても不都合をもたらす抑圧的な構造の再生産にも繋がるんじゃないのか。私が「Vtuberは革命的技術である」みたいな話に乗る気がしないのはそんなとこ。それは気晴らしにはなるだろうけど、絶対的な救いにはならんのでは。

「みんなでフェミフェミしよ！！」とかいうパワーワード・・・フェミニズムって本当は「自分のせい」でも「男が悪い」「社会が悪い」みたいな思考の人々を一定数ひきつけて迷惑にも萌え絵を燃やしたりして連帯を感じるための運動になってるわけですけど、「入ったら友達できる！フェミフェミしよ！」って、ある意味これがホモソーシャルじゃん、って感じしますね

アメリカのCEOの報酬水準は本当に謎で、リスク取って起業した訳でもないMBA卒の社長が毎年数十億円貰ってプライベートジェットを乗り回せる妥当性が分からんのよね。大半は株式報酬だから、リストラして浮いた金で自社株買いすればそれで利益を得られる形になってるし。さすがに貰いすぎでしょう。外資系と一口に言っても欧州企業のCEOはそこまで貰ってないので、やはりアメリカの「成果主義」とやらは異常だと思いますな。日本企業の、家庭を顧みず社畜として上司の靴を舐め続けてようやく60歳で社長になって年収1億円に到達するというのも夢がなすぎで別の問題が発生している気もするが。

不正や権力濫用や横暴だらけの議員でも、選挙区に事業機会や雇用や資産価値上昇をもたらすなら、地元民に支持される。これは地元民が愚かなのではなく、生活に関わるからである。日本全体が政権与党の巨大な"地元民"になったと考えれば、政権与党の支持が根強いことは簡単に理解できる。ただし、そんな議員に頼らなくても産業や雇用がある程度安定している地域なら、不正や濫用をする議員を落とすことも可能になる。かつて日本経済が安定していた時代の方が、野党が強かったり政権支持が低かったり"政治倫理"が大争点になったりした理由は、これで説明がつく。非常に身も蓋もない言い方だが、今の日本全体の意識が、"経済基盤が弱いために、特定の議員に頼らないと事業や生活が安定しない地域の選挙区民"のようになってしまっているのである。

ちなみに明治〜昭和期の「高等遊民」という語に「金がある」という含みはなくて経済的に行き詰まって大学を中退して無職になった層や大卒なのに就職できなかった層も高等遊民と呼ばれてる。政府が警戒してたのはこの層が反政府活動に乗り出すことだった。戦前に東京帝大を出て就職できないなんてあるのかというと普通にあって、本人のプライドや雇う側のニーズ的にも学歴が重たすぎるということで、さらに法学部が潰しが効かないとされてた時期もあったらしい。

キショい男を晒してるツイートにリプで「同じ男として申し訳ないです…」みたいなこと言ってる男、キショすぎる。

「利益率が高い方がいい」だの「在庫は持たない方がいい」だの、理屈そのものはお偉い実業家サマから聞かなくったって一般的な知能を有してれば2秒で理解できるような内容だし、それを突き詰めて考えていった結果どいつもこいつも情報商材に行き着くのはもはやコロナよりタチの悪い集団感染やろ。

親ガチャよりか出身地ガチャの方が残酷だと思うなぁ。東京近辺に産れて中学校位の時に有名私大の付属高校に入って受験勉強みたいなものに時間を割かず遊んできた人たちと、，地方の進学校で受験勉強がんばって大学に来た人達とで文化的資本の蓄積に差があって、これがずっと埋らない印象がある。

フォロワーの皆さんも自我を加速させ正義に目覚めて愚かなインターネット市民に正しさを啓蒙する係をやりましょう、おれは魚釣りで忙しいから遠慮しておきますが・・・。

スポーツとか芸術、容姿と異なり、勉強は努力が成果として比較的出やすいから勉強はある程度はするべき…って意見を昔は持ってたんだけど、ある人から「勉強もスポーツと同様に才能ですよ。そういう発言はあなたの傲慢です。」って言われてから、その手の発言はせんようにしてる。

なんだかんだ言って、日本の政党において党首選挙レベルで党内民主主義が一番競争的に機能しているのって、自民党なんだよなぁ。そして、党が窮地に陥る度にそれが有効に機能する。これは他政党にはまじめに見習って欲しい。競争的民主主義が機能しているかどうかの重要な要件の一つに「敗者がきちんと敗北を認める」というのがある。つまり敗者が反発して離党したりしてたら、競争的民主主義にはならないんだよね。勿論、一つの勢力だけがずっと覇権を持っているのも、あまりよくない。なので、かつて55年体制下で言われた、「日本では与党の派閥間の争いが民主主義を補完している」という状況は、今もあまり変わっていないのかも知れない。国会そのものは圧倒的な一党優位だけど、優位政党の内部は多元的で競争的。まあそもそも日本の野党は現状、政策的な違い（？）等で分裂状態だし、それは負けた勢力が党を繰り返すことの結果なので、党内民主主義が競争的に機能する事は難しいのかも知れない。そういう意味じゃ、55年体制下の社会党はまだ立派だったかも。しかし、どうして日本の野党政治家の皆さんは、かつて新進党等を作った頃の事を忘れてしまいましたかね。「政策が違うから」といって合流を拒否してたら、いつまでも政権なんて取れないし、党内の多元性も生まれない。自民党さんと同じく、まず合流して党内の議論で、党の政策を決めればいいじゃない。自分達のやりたいことがやれて、言えないなら、飛び出して新しい団体を作る、なんてやたら学会を作りたがる人達と同じやん。有権者や若手研究者が迷惑なだけだよ。

対人援助の現場って、得てして「強い人」か、「鈍い人」が生き残りやすい性質がたしかにあって、人の気持ちに寄り添い、共感性が高く、感受性が豊かな人ほど、バーンアウトしてしまう傾向はあると思う。それを防ぐには、ちゃんと組織が個人を守る、育てる仕組みが必要だと思う。個の力では限界がある。

社会学はですね、社会学やった人として言わせてもらうと算数がわからなくていい、暗記しなくていい、僕が考えた最強の社会分析できるからいいって人が集まりがちで、それを許しちゃう分野があるからああなる。僕が考えた最強の社会分析に政治色をトッピングすればあなたも社会学者。

だいたい自分に不利なエビデンスはもちろん隠すと言って恥じない分野は学問ではないし、その言葉に対して正面から反論しない人もまたなんだという話なんですよ。あれは学問扱いしなくていいと思うよ。社会学の人の「私はこう感じた」から論がはじまるアレ。おじさんたちの床屋談義と変わらない。私はこう感じたから社会はこうなっているに違いないと言いながら解決策まで口にする。床屋談義なら「へぇーすごいですね」で済むけど、このまま社会に手を突っ込まれたら災難ですよね。

昔アメリカ人と話していたとき、「軽率な思い込みで動き、徒党を組んで自分の世界観に合わないものを攻撃する者」を右とか左とか言わずに単にmoronと表現してたので、シンプルで中立的でいい言葉だなと思いました

若者世代と老人世代の対立、という事についてロスジェネ世代の一人として言いたいのは、若者は、案外、あっという間に年を取って老人になる、という事で、一度、社会が老人を切り捨てる選択をしてしまえば、自分達が老人になった時は切り捨てられる側になる、という事。45才定年制なんかもそうですが。その覚悟があってそういう対立を煽ってるのか、それとも、自分達が永遠に老いないと思ってるのかが分からないんだよな。それに、若い内は、長生きする気はねぇ！みたいな事を言いがちだけど、言行一致で、ちゃんと死ねる人は殆どいない。大半の凡人は、醜く老いてゆく。心は、若い頃の自分のまま。

まあ異世界転生というジャンルで頻繁に登場するファンタジー世界は多くの場合、中世でもヨーロッパでもなくドラクエ世界だし。ドラクエは今の日本で説明をいろいろ省いて大多数に受け入れられる異世界の基本イメージとして優秀すぎるのである。

極論すると人は頼んでもいないのに生まれてきてしまったという巨大な空洞を意味と刺激で埋めるためにアニメ見たりするので、倫理とか責任とか正義とか以前に、個々人がこの虚無とどうやって折り合っていくのっていう話なんですよ。セカイ系も日常系も異世界転生もたぶん本質的にそうなんですよ。

私は誠実な男が好きである。故に私が好きにならないということはその男は誠実ではないということである。QED証明終了。みたいな思考回路を感じる

手取り12万でプロ意識求められるの辛すぎる

これは俺の専門分野にちょっと被るんだけど、そもそも人間は繁殖能力よわよわなので安心して亜社会性を維持出来る程度の共同体がないと子供作りたがらない所はあるんすよ。危機に対して解決をしてからじゃないと前に進みたくない習性こそが、少子化の原因とも思いますし。

他者の他者性がどうのこうのといって深いこと言った気になっている哲学が多いのですが（ぼくも若いころやられましたが）、あれって「人間なんて結局わかりあえないよね」ってイキっている中学生とあまりかわらないと思ってます。そんなお前の生活だれが支えてんだ問題で一撃で終了する。問題はそれでも大人は「わかりあえる」ことを前提に社会とか文化とか作っているという現実であり、求められるのはその「わかりあえる」が暴走しないための歯止めになる哲学だと思います。「だれもわかりあえない」ということは、その歯止めにもならないのでダメ。というわけで今の哲学に至るのです。

中学校で働く教員の友達に、卒業までにどんな力をつけて中学校に送り出して欲しいかと聞いた。「力か。それはありがたいんだけど、大人を信じられるというか、教員のことを信じられる状態でおくりだして欲しいな」と友達は答えた。教員不信で入学してくるとかなり厳しいらしい。子どもも、保護者も

「恋愛して結婚して家を建てて子供を産んで老後は年金を貰いながら悠々自適に暮らす」は平凡な人生ではない。

一見ポリコレ的に正しいことを描きながら、テーマやキャラクター性の部分で暗黒にキッチリ踏み込んでくるクリエイターちょいちょいいるけど苦労してんな〜と思う。

数十年、いや、数百年、フィクション作品が積み上げてきた単純な善悪二分法への懐疑とか、一筋縄ではいかない人間像とかが全て単純な「あいつは悪！俺は正義！うおおおおおお」に塗りつぶされていくのマジで最高なんだよな。レイシストでミソジニストで白人のトランプ主義者をリベラルでマイノリティな民主党支持者がぶっ倒して超爽快！なフィクション作品が「まさに現代という時代を反映した、重々しいテーマを見事に描き切った傑作である。トランプ主義者に我々は負けない」みたいに批評されるの、批評性が高すぎる。

たとえどんなに優れた思想、言論であろうとも裾野が拡がり広範に同調者が増えると権威者もろとも劣化する、という現象は歴史から学び取っておきたい。キリスト教や儒教は言うに及ばず、ケインズなんかにしてもそうだがそれがおおよそ一般的になれば独自解釈や拡大解釈をこれこそ正しい理解であると言い募る連中が主流となり全くの別物にすり替わっていってしまうものなのである。

シリコンバレーでは年収数千万のアジア人男性が結婚できずに余ってるから婚活女性はぜひこちらへ！ってツイートを見てはえぇ〜ってなった後、シリコンバレーでは年収3000万じゃ奥さんと子供一人が限界って情報が出てきてアメリカの厳しさに怯えてる（なら婚活女性も日本のエリート狙うじゃろ…）

どうやら「早期退職して悠々自適の人生を送ろう！死ぬ気で倹約して4000万貯めて、それを年利4%で運用し、残りの人生を年160万で細々生きよう！」みたいなメソッドを勧めている人がいるらしいが、その人生は楽しいのか……？

個人主義社会って自己責任社会でもあるけど、もう一つ弊害として恐ろしいなと思うことに最近気づいて、不道徳や非倫理に対してわざわざ罰する人間が誰もいないんですよね。「困ってる人が居たら助けるべき」って道徳は共同体主義的思想であって、個人主義社会では無視しても罰する共同体がない。道徳や倫理を破ると「共同体から追い出される」みたいなリスクがあるから人は明文化されてない規則や規律を守ってきたわけで、共同体そのものが罰則の役割を持ってたけど、そもそも追い出されるような共同体を持ってないやつにとって倫理を守る意義性がないんだよな。

親バカなので、１歳・２歳・３歳・毎年・・・と「これが可愛さのピークなんかなあ、そのうちモッサリした可愛げのない少年になるんかなあ」と思っているのだが、結局１１歳の今でも可愛い。たぶん息子が中年になってもそんなことを思っているのではないか。

どんな親の元に生まれてくるか、自分では選ぶことができないことをもって「親ガチャ」というなら、それ自体は元からあった現象で、問題はそれが将来に決定的な影響を及ぼす現在の社会の仕組みなんだよね。なので問題は政治のありようなわけで、その意味で「親ガチャ」って間違った対象を攻撃してしまう可能性があるよね。

金髪白人イケメンが美しさの頂点だとは思わんのだけど、それはそれとして人間の好みをまとめていくと金髪白人イケメンが強いってなったときに『美しさは人それぞれ』ということの白々しさはあるよな。まあこういうの対戦ゲームの強力武器なんかでありがちな議論ですが（ランクは引っくり返る事もあるか。残酷なことにこの話はマッチングアプリ、マッチングサイトのビッグデータによって裏付けが進んでいるという話を聞いたことがある。どのような属性が好まれ、どのような属性が好まれないかがデータ上で明らかになってしまう。どんなに世間が平等を謳ったところで隠しようがない『差別』のデータ。『いくらでも賑やかしの武器やキャラは揃っているけど、楽しく勝負しようとすると武器やキャラの選択肢は非常に少ない』てのはよくあるクソゲーの話ですけど、よくよく考えてみると我らが社会もそういうクソゲーなんじゃねえのって気はしますよね。エンジョイ勢が生き残れるぐらい緩い社会ならまだしも。まあこういうのを指して『人生のネタバレが進んだ』とか『親ガチャ』みたいな言葉が射抜いていくんでしょうけど、なんかホント先の見えたゲームって感じはしますよね。テコ入れした方がいいと思うなあ運営。

共同体や人間関係のしがらみから離れれば個人たちは自由になり自分らしく活躍できると思われてきたが、実際は帰る所を失った孤独な個人たちが、ただただ感情のままに振り回される社会に向かっている。しがらみのない人間は、何者でもないんだよ。タマネギの皮をいくらむいても自分らしさが現れることはなく、いずれはタマネギ自身が消えてなくなるんだ。

両親や義両親との同居は嫌、ご近所付き合いは嫌、ママ友パパ友との交流は嫌、と自ら孤立して行った結果「育児の手が足りない」と言われても「でしょうね」としか思えないよね。

私が現在勝たなくても子孫が生き残ればいい。フランスのカペー朝のように今が最悪のスタートでも孫やひ孫といった子孫が大活躍するかもしれないので、とりあえず子孫だけは残すという戦略ですわ。その射程でモノを考えられなくなった、イエとか一族単位で自分が死んだあと繁栄すればいいやなどという諦めの境地がないから、現代人は今現在最高の人たちに嫉妬し、その嫉妬対象が何年何百年と築いてきた努力の因果を見ず、「ガチャ」と表現してしまうのだろうと思うんですよね。授精の瞬間から存在するという世界観で見ればガチャだけれど、そのキラキラしたお宅がキラキラしているのは、何世代にも渡って継続的な努力をしているからこそであったりするので、別に今生で最高の勝利を収められなくても、バトンを貰う前よりは進歩すればそれでいいわというお気持ち。

私も家庭環境に問題がありまくりなので小さい頃から親ガチャ的概念はずーっと考え続けてるんですが、親が悪いとか周りが悪いと言い続ける家族に対して、とはいえその親の親だって生まれてきたくてそんな風に生まれたわけじゃないよなと、他罰的思考は責任を無限後退させるだけになるんですな。これを永久にやっていくとビッグバン、何ならビッグバン以前、サイクリック宇宙論とかいうやつだと現在は何回目のビッグバンかもわからない、というように、因果は無限の彼方に遡っても遡りきれない。最終的に良きにつけ悪しにつけ、理不尽さを自ら受け止める覚悟をするしかない。すべてを自分が抱えるわけでもないし、すべてを他人に被せるわけでもなし、負える範囲で無限因果の理不尽を背負っていく主体性を持つことから始めるしか結局はないんだろうという、本当に普通の話に結論としては落ち着いてしまう。

以前は私も日本人はもっと議論しろと主張してたものだったが現実を学んで考えが変わった。日本人は（全部じゃないが）議論すると感情的になって実りある議論よりもいかに相手に勝つかを優先し敵対感情や怨恨がいつまでも残る。やはり日本人は日本流の意思決定プロセスじゃないとダメなのかもしれん。

社会的成功はかなり運に左右されるのは事実だけど、個人レベルでは多少の幻想ではあっても、能力主義のお題目を信じて頑張ってほしくて、社会がそれにこっそりゲタはかせつつ、成功した人には「すご〜い」とおだて、失敗した人には「まあそれでも頑張ってここまできたじゃん」と励ましたい。

社会運営は、表でおだてつつ、裏で「しょうがねぇなあ」とげたを履かせる、育児みたいなもんになるしかないが、なかなか面倒で人材も限られる。おだてを真に受けたエリートが社会運営するとイキってゲタをなくそうとして、すると下民がしたり顔で親ガチャとか言い出して、全体にしこる。能力主義の批判は正しいんだけど、それは一方で社会を支える幻想を破壊する面もあるしうーん。そして運営側は、かなりニヒリストにならざるを得ないってことでもある。いや、もう少し健全な運営があるのかなぁ。経済成長は、いろんな意味でこれを丸くおさめる良い環境なんだよね。ゲタが自然にできるから。あと、やりたいことをみんなができるようにしたい一方で、やりたいことがある人間はむしろ少数エリートで、たいがいの人は、好きなことやれと言われて何も思いつかない、付和雷同で安心するしかできない連中なので、レール設定は必要だけど、それを外れる道も残して、と。むずかしいなあ。さらに、あくまで参考の例示で作ったルートを、「それでないとダメ」と勝手に誤解して、頼まれもしないのに嬉々として自主警察はじめるマナー講師が至る所に出現するのは、ネトウヨでもポリコレ左翼でも同じでそれ避けるには適度にみんな忙しくさせておく必要もあり。また最低限の生活でも生きていけるのは、権利ではあっても、同時に実にありがたい特権でもあるのだというのを同時に理解するのは、特に恵まれた声のでかいエリートほど至難の技らしいというのも面倒な事実なんだよなー。多様性を認めるって、言うのは簡単だけどチュチェのないパンピーどもには、付和雷同で従ってお先棒担いでればよかった主流の方向性が希薄化するってことだから、生きる指針が消える大変なことなのだ。それをバカなりにやろうとすると、行き着く先は陰謀論だったりするし。一方で意識の高いエリート様の多くは、偽りの豊かさが〜とか能書きたれつつ、コンビニとアマゾン通販のない世界があることさえ現実的に想像できでないし。すると、自動化を進めて泥くさい物流世界と、意識の高い連中の妄想世界の完全分離目指したいとこだが、妄想世界は物理に口出ししたがるからなぁ。この話のついでに、かけ算の順番という愚劣な超算数と戦ってる人たちの戦いの大半が、どっちでもいい、どうでもいい、好きにしろというのに耐えられず、決めてほしい、縛ってほしい、これが唯一無二の正しさというのをあたえてほしいという、愚民の自由忌避との戦いではあると思う。ヤクザの、ちょっとしたあいまいさを槍玉に「どっちなんやはっきりせんかい、われゃあ！」という恫喝に対して「どっちでもいいんや、こんだらぁ」とやり返せるべきなんだが、なかなか人はそこまで自分のいい加減さと自由に自信持てない。自由って、それ自体としてエネルギーいるんだよね。というより、自由自体はエネルギーいらないんだけど、すべて他人に決めてもらう怠惰なローカルピークからの移行にエネルギーがかかる。物質的な安定が自由の許容度を高めるとみんな期待していたが、小人閑居して何とやらで、いろんな不寛容さにかえって惹かれる。ポリコレと原理主義テロとマナー講師と右傾化と監視国家と反成長と自爆テロと格差拡大と社会階層化と、多分みんな根は似たようなところにあるのかねぇ。多様性の容認、その一環として己の妄想と思い込みに固執する権利主張、それと手を組む自由忌避、戦っても無駄な物質的制約の無理解と、それと一体の自然主義妄想、能力主義と表裏一体の、努力至上主義みたいなのが、ダメな形でシコって、世界全体が日本の大企業病みたいだよなぁ。多様性とか自由とか、自分の気に入らないものを容認というはなしが本質なのに、自分の主張や嗜好は他のすべてを犠牲にしても通せという話になりがちなあたりがつらい原因の一つではあるが、そんだけじゃないよなー。それ以上に金持ちと高等教育者が少子化目指したのがいまの人類文明の大きな誤算で、生存と安楽と生殖と自己実現と虚栄が、同時にうまく一致する手口がないもんかー。人工子宮で高齢出産が60歳くらいまで安定してできるようになるとかなり変わるー、というのはチャールズストロスまがいだなあ。都市の堕落と衰退、それを転覆する野人と田舎者の生命力というのは、古代からの中国文明の大テーマだが、そろそろ都市化が限界にきて、頼れる野人も減って、という問題もでてきたなぁ。老いたる霊長類の星への賛歌、と行きたいが星に向かう前に人口も減ってきたし。

人生って難易度高いよ。仕事や学校で体力はガッツリ減るし、理不尽なイベントも結構多い。ひたすら戦ってると、壊れてしまう。だから、自分なりの回復方法をたくさん準備しておこう。共感できる本、お気に入りの場所、楽しく話ができる人、など。自分を大事にすることが、人生攻略のコツだと思います。

人権は人情と関係ない高校校歌を斉唱する必要がある。暴走プリウス上級国民にしたって「親子2人を殺めて何の反省もないジジイがたった5年」とも言えれば「国家の中枢で戦後日本の発展に尽くしてきた人間が人生最後の5年を恐らく監獄で終える」とも言えるわけで、人情の綱引きはやり始めるとキリがありません

あまり知られていない可能性があるけど「男子は古典的で権力に直結するキャリアを歩むべきで、その代わり女子はエリートキャリアからは遠い仕事をするべきだ」という価値観のもとで、女子の方がソフトウェアエンジニアに就くことが多い国や外資企業に女子が多く就職する国がこの世界にはあると時々聞く。世界的に見れば「こちらの方が現在ではエリートなのでは」というキャリアに男子が寄り付かず、代わりに女子がそのキャリアに進むことで結果的に「世界的な観点では女子の社会進出が進んで見える」国も世の中にあったりするわけで、世の中は難しいと思う。

やべぇ奴にマジレス引用ツイートで喧嘩をふっかけてしまったとき、そのTweetの直後に「携帯電話の『遺体』の部分」「ぷまのクーさん」「デカすぎる出木杉、デカ杉」などと脈絡のないキチガイツイートを連投することでTwitter戦争が回避できる

出産子育てというのは究極的には「死後の世界に喜びを見出す」ということでもあるのだから、「自由な生き方」が説く現世利益追求とは実際とことん相性が悪い。親より先に死ぬのが最大の親不孝、と言われるのはここに起因する。つまり、親の死後の世界を子供が奪うことに他ならないからだ。

小さい頃から食い慣れている方向性のマズ飯にはある程度耐えられるけど、まったく知らない他人のマズ飯をある日突然食わされるのはかなり耐え難いという問題があります。我々は納豆を美味しく食えるけど、外国で朝飯として腐った豆に黒い発酵汁かけたもんが出てきたら吐くのと一緒です。

何かを侵害された、と認識することによって侵害されたという実感が強化される、ということは本当にあって、それ自体は良くも悪くもない。ただし、モロッコの市場でニワトリを売っている商人に激怒して暴行を働いたイギリス人女性観光客だって、たぶん本人は被害者のつもりだ。人間の本質だが、『私は被害者である』というところからマウントポジションをとるのはサピエンスという種の特徴だ。進化人類学者ボームはこの構造を＂逆支配＂と呼んでいて (C.Boehm 1999) 、傷つけられた被害者たちが訴えを叫べば、人類は一致団結して“横暴な悪者”を倒そうとするように進化している。

誰もが１日8時間の週5日労働でそこそこ豊かに暮らせる社会じゃないとだめですよ。副業しやすい社会とか、何言ってんだよ。労働は１日8時間でたくさんでしょう

普通の対面授業なのに「先週休んだので先週の授業聞きたいんですが、どうしたらいいですか？」と聞かれるようになった。コロナのオンライン授業体制で、学生の側がすっかり「大学の授業はオンデマンド(好きな時に見られる)が基本」と思うようになってしまったんだよな。後戻りできない変化を感じる。

学生の頃、冬の満月の夜に好きだった人と別れた。今は大好きな家人と、満月を見上げる。月は思いの外、多彩に生活を色付ける。

みんなで月や虹を撮影してるとなんか一体感があって好き。さっきまで他人だったのに急に気持ちが繋がった感覚になる。

テレビがどうとイキってた割にYouTuberのコンテンツはドッキリ、下ネタ、私生活の切り売り、ルーティンとかいう密着、街の不良しばきました的なのが大半で、まんま昔のテレビ。テレビ不人気はコンテンツが原因なのか？

例のあのVtuberが議員連盟さんだかに動画を削除させたのさせてないのの件。『"女性"が中心となって行った講義の活動を、"男性"が邪魔しに来た』って構図で話を進めようとする層が出現していて、ああもうヤッパリねえ感が拭えない。前も言ったんですけど、ネット、とりわけSNSにおいてはこの手の『Aが悪い or Bが悪い』的な二項対立の話ってバズりやすいんですよね。勿論、全員がバズり目的とは毛頭思ってないですが、この手の話を"無理やり二項対立に煽って"バズらせ、炎上させようとする『仕事師』みたいな輩は普通にいるので。

「言っただけで手は下していない」って、小中学校でいじめをした子がする言い訳の定番なわけだけれども、それが社会に出て通用すると思っているのか、フェミニスト議連という人たちは・・・というよりは、そういういじめをして言い逃れてきた人生を送ってきたから、ナチュラルにこう言えばいい、という思考になるんだろうなあ

さっき、とても久しぶりに電車に乗ったところ、発車するなりドア付近に立っていた人がブレイクダンスを激しく舞い始めたので、「おっ、いよいよ日本もそういう領域に」と微笑ましく見ていましたら、その人の服からデカい蜂が飛び出してどこかに行き、わたしの知る静かな光景が戻って参りました

初めてレゴブロックを見た天才児「踏むと痛そうですね...」

フェミ界隈が直接的な接点が土星と練馬くらい存在しないオタクの娯楽にナパームを叩き込む一方、フェミ界隈に存在する男が交尾チャンスを伺うチンポ野郎ばっかりでオマケに結構食い散らかされてるの、お前らそんなもん気にしてる暇あったら隣に気を付けたほうがええのと違うか？っての多すぎる。

夏の夜セックス後にコンビニ行ってアイス買うような連中は、わざわざ夏の夜セックス後にコンビニ行ってアイス買ったことをツイートしないし、絵にしないし、歌詞にも書かないんだよ

ハードワークの人が「ワクチンを打ったらなぜか体調がよくなった」とSNSに書いてので「副反応をおそれて仕事を休んで安静にしてたから過労が解消されただけでは…」と思った

全国フェミニスト議員連盟は吐いた唾を飲んだ。正義の鉄槌を下したはずのその拳をそっと後ろ手にして「私達は認識を問うただけだ」と己の言論の行使を全て否定した。そして対話を拒んだ。つまり説明責任を全て放棄した。これはデモクラシー政治における言論の死を意味する。この罪は余りにも大きい。フェミ議連が腰砕けになってしもたからツイフェミは声を上げられなくなった。フェミ議連が自説を曲げず強弁すれば多くの賛同意見が発生したはずだ。ところが唾飲んじまったもんだから応援団もチュン太郎になってしもた。全国フェミニスト議員連盟は味方の言論も圧殺してしまったことになる。愚かなり。今からでも遅くないからフェミ議連は「公共コンテンツに乳揺れへそ出しは不適切だ」と声高らかに再宣言するべきだ。それが君達の信念だろ？頑張れよ。そして対話の末に新たなフェミ寄りのガイドラインが出来るかも知れないではないか。闘争から逃げるな対話から逃げるな全国フェミニスト議員連盟よ。恐らく矢面に立って血ダルマになる覚悟を持つものがおらんのだろう。これは支持者に対する背任行為。そんな弱味噌でよくも言論を振りかざしたものだ。だからワシは青職さんはエラいと思う。幾千本の矢を浴びながら一歩も引かずたじろかない。並の神経では出来んぞ。それだけオタク愛が強いのだろうね。

語彙に関してですが量は質に転じます。語彙量がある閾値を越えると、いきなり本が読めるようになり感動します。本文の90%の単語がわかるのと95%の単語がわかるのだと明らかにそこには不連続な変化があるように思います。逆に言うと、語彙は量を覚えないと効果を実感しづらいです。3万語覚えましょう。

誹謗中傷のことを「認識を問う」と言い換えるインターネットの奥ゆかしい表現を学んだ。はてなブックマークとかツイッターで俺に認識を問うてる奴ら、俺をいじめるな

トルコは国民殆どがムスリムだが、究極の西洋化国家。法体系は西洋法。だが建国後70年経った80年代辺りから急速に「イスラムどおり」に生きたい人が増えた。欧州は非難の大合唱だったね。啓蒙してやった相手がイスラムに回帰するのを毛嫌いした。今のアフガンに対する欧米の見方も全く変わらない。だけど、アフガニスタンのことはアフガンの人々が決めること。タリバンが冷酷なことをすれば人はついてこない。「イスラムどおり」を望む人が多ければ、統治もそうなっていくだけ。最悪なのは、欧米が力で従わせようとすること。欧米の言う「普遍的な価値」はムスリムにとって普遍的とは限らない

おかねもちになりたいっていうより、野菜の値段が100円上がっても買えたり、子供の幼稚園の写真で、子供が写ってるの全部買ったり、そういうふうに、わたしはなりたいだけなんですよね…。

「必要のない表現は認めない」を突き詰めると「テーマを直接書けばいい」となり、この世から創作は消し尽くされる。少しでも創作をしたことのある人間であれば、この言説の危険性がわかるはずだ。

「メンタルの強さ」と思い込んでいるもの、だいたいが「経済的な安定」「健康な身体」「健全な家庭環境」「差別を受けない属性」だったりするのでメンタルを強くするには云々みたいなのはほとんど無視でいいと思う。

「科学の時代」になって祖先の時代には適応的だった認知バイアスやステレオタイプが不適応を引き起こすことが増えてきているということはあると思う。これまで適応的だったから今後もずっと適応的とは限らない。

プリウスに乗るのは左翼(わざわざ高い金を出して環境に優しい外国車に乗るのはアメリカ的じゃない)、寿司を食うのは左翼(わざわざ高い金を出して生魚を食べて異文化にも理解があるようなポーズを取るのは略)などのイマイチ理解できないというか貧乏臭い文脈が向こうの保守層にはあるんですよ

人は忙しくなるとTwitterから消えるが、忙しさがいよいよやばい水準に達するとなぜか再びTwitterを頻繁に開くようになる

悪い出来事には悪意が介在するに違いない、という確信めいた錯覚、合成の誤謬への不理解が昨今の凡ゆる問題に通底する根本原因なんじゃないか。そして経済学的な合理性を追求した結果が現状なので、合成の誤謬回避のためには何処かが不合理を負担しなければならない。合理的な思考を好む人程合成の誤謬にハマりやすい様に思える。そういう人達が嫌がる事をして文句を言われ続ける様な政府によってしか全体最適は達成されないんだろうかね。個人主義って突き詰めていくと合成の誤謬しか生まねえんじゃ無いのか？子供を守る気持ちが強過ぎて子供を守りにくい社会を創り上げている。何処にでも合成の誤謬の事例は転がっているのだね。法の縛りへの理解というのも基本的には合成の誤謬を生じやすい。個人にとっては規制など少ないに越した事はないが、規制を取っ払ってしまうと結果的に規制を疎んじた個人が規制があった時よりも損害を得やすくなる。結局、所得の移転による投資の効率化なんてのは幻想で、結局どこに負担を押し付けるか、という点を無視したら各自最適解を求めて合成の誤謬に陥るわな。個人の価値を高く見積もり過ぎる人は合成の誤謬を理解する事を拒む思考に陥るのかも知れぬ。合成の誤謬回避の為には多数派に利他的自己犠牲を納得させる理屈を要する。みんなが子供預けて働かなきゃ生活が維持出来ないのは、子供を預けてまで働いて労働供給量を増やしてしまう事で労働単価が下がるからだ、っていう合成の誤謬が明白であったとしても、そこで働くのをやめるという選択肢をとると生活維持出来ない。個人の規範と社会制度を合致させたいという欲求はわからんでもないが、合成の誤謬を避け得ない以上、個人の規範同士の調整は必要になるが故に、社会制度は全体主義的な側面を持たざるを得ない。合成の誤謬という合理的な行動の合成が望まない結果を導くという語についてはわかる人はわかっているのだけれど、無意味の集合が意味を為す事はあまり触れている人が居ない気もする。皆がダメにならないようにそれぞれちゃんとした結果全体としてちゃんとダメになる、というシンプルな合成の誤謬が真面目なやつほど納得できないらしくて困りものである。大多数が非合理でなければ合理性によるメリットは生じないという合成の誤謬。例えば合成の誤謬を打ち破るにはコミュニティ維持のためには不合理にも見える選択が必要となるし、またコミュニケーションに必要なリソースを特異的な技術に全振りするタイプの存在が群れの進化に寄与することもあったのだろう。しかしコミュ障が単なるバグではなく遺伝的気質であった場合、それが完全に淘汰されていないという事は群れの維持に必要な資質でもあったとも言えるだろう。全員が同じ成果を上げる努力をすれば元々の差異は縮まらない、というのと、個別の努力の集合によって社会全体の不利益が増進するという合成の誤謬を考えたら、安易に個々人の努力というものを賞賛出来ない、という話をマクロの政策論と言って切り捨てるというのもまぁアレだ。合成の誤謬の問題もあるんだけど、ミクロの処方箋の問題は、そもそも人に言われて初めて努力ができる程度の人間がやる努力なんてそれによって瞬間的には何かが向上するかもしれないけれどすぐに元々努力する人間によって凌駕され元に戻る、という救われなさに対する解法とはなり得ない所だよ。

以前ツイッターで見た「努力に逃げるな」という言葉が忘れられない。私もうまくいかない時、何が悪いのかを考えることなく、努力をしてしまうことがある。頭使わなくていいし、その方が楽だから。

私の好きなオカルト話で、学生時代付き合うか付き合わんかの距離感の女子が不良集団にレイプされ妊娠・出産し自殺、その後その女子に呪われるという話がある。なぜレイプ魔じゃなく彼くん（候補）を呪うの？とツッコみたくなるけど、人間は理解できない他者より共感できる他者に期待する教訓話でもあるこのオカルト話、人間の感情は理不尽で非合理的であることと、「共感」というシステムの欠点をついていて非常にぐっとくる。で、このオカルト話は、幽霊になって自分を呪う付き合うか付き合わんかの距離感だった女子に対して語り手である彼くん（候補）が罪悪感と恐怖を抱きながら語られていく。いやいや、不良集団のレイプに無関係の君が責任感じる必要ないじゃん。と思うけれど、人間の脳はそう単純じゃないのだろう。あと、「共感」こそがしなくても良い疲労（呪い）の原因だということ。神社などの「縁切り」というのも多分、この種の「凝り固まって疲労する共感」の切除なのかな、などと思ったり。

このへんの時間帯、極度に不健康な人間と極度に健康的な人間が一瞬の邂逅を遂げる奇跡が起こるから好きなんだよな。

Twitterの金銭感覚はバグってると思うんだよ。というか、嘘くさい。年収1500だと、ボーナス別で、月の手取りは70いかないくらいなんですよ。だから、ロオジエ行ったり、カルティエ買ったりを気軽に出来るはずがない。そんな事を日常使いみたいにやってるなんて、年収5000くらい無いと無理よ。奢る奢られ論争についても、Twitter婚活してる女性陣が最低ラインだと思ってる店って、多分、単価8000円くらいでしょう。酒飲む量によっては1万〜だよ。それを、婚活のために、仮に毎週2人分出したら１か月で8万円になるわけで、めっちゃきついよ。一体、どこで金銭感覚がバグってしまったんだ。女性だからって、無条件で奢られて当たり前って感覚は違うかなと。もちろん、御馳走して貰えたら嬉しいけど、次がないと思われたり、楽しい食事に繋がらなかったのに、奢って貰って当たり前と思われると、男性は辛いですよね。女性側も御馳走したいと思われる努力が必要。

スーパーで生鮮食品を一旦買い物かごに入れておきながらやっぱりいらない元の場所に戻すのめんどいって全く関係ない一般商品の棚に置いてく奴を全員死刑にする法案。でもアレは、認知症の初期…。

ちょっと昔にバカ世界地図っていうサイトがあった。地理が分かってないバカの投稿を元に仮想の世界地図を作っていくものだったんだけど、韓国はもっと広いはずだという韓国人の投稿があるたびに韓国を広くしていったら収拾がつかなくなって、きりがないから元のサイズに戻したのよ。実に寓話的。

大体が「頑張った人が報われる世の中を！」って、平均的な労働者の質これ以上上げられるわけないだろ、今の日本で。滅多なことで風紀の擾乱もやらず、国のお世話になるのも嫌がる労働者ばっかりの日本でよ。少なくとも資源という意味での労働者の質なんか今の日本でこれ以上高めるのは望むべくもないんだから、いい加減に政治は労働者に報いろという話である。ウーバーの配達員が副業をもっと柔軟にっつってんだぞ。アホやないかこんなん。ウーバー配達員を責めるつもりはない、本業の隙間で雑務やらなきゃ生きていけないような国をこれ以上望むなって話でね。これだけ廉潔で粒の揃った労働者が大量にいるって状況に甘えて「先進国」化するのを放置するなって。

犯罪に手を染めず、週5の8時間勤務をこなす意思のある人間が家と車と子供2人を持てるような世の中を作るというのをやってくれるのであれば極論誰が首相でも構わんわけですよ。副業だとか何だとか言ってる場合じゃないんだよと。なに、そんな仕事量でその対価は甘いって？お前はいつから資本家になったんだ。頑張りが報われる世の中は頑張りの基準が延々と引き上げられるだけだということをこの20年で学ばなかったのか、この開き盲め。

リメンバーミーとか写真で思い出したんだけど、昔「俺の屍を越えてゆけ」ってゲームがあってさ。それはおおまかに言うと短命な一族を神と交配させて家系図を繋げていき子々孫々に渡って敵を討つ悲願を受け継ぎ果たすっていう内容なんだけど機能の一つに「写真館」みたいなのがあって家族写真撮れるんよ。私それにめちゃくちゃハマってて短命ながらも自分の血を受け継ぐ子孫に愛着湧きまくりでみんなの遺言書き留めた遺言集ノートとかも作る勢いで写真も毎回子孫が一周するタイミングで集合写真撮ってたんよ。んである日一回写真撮りそびれた時があってさ。どうしよか迷ってんけどその時の子めちゃくちゃお気に入りの子やったし「これは絶対忘れへんし今更写真撮らんでも大丈夫やろ！絶対覚えてる！」ってスルーしたんよ。そしたらさ。もうね。マジその後時間が経てば経つほどその子の顔が思い出せないの。絶対に覚えてると思ってたのに忘れるの。家系図にただ名前だけしか残ってないの。マジ愕然としたよね。今思えば当然なんだけど当時学生だったし「絶対に忘れないと思ってた相手でも人は忘れる」って体験が衝撃的すぎてさ。だから多分その頃から親とどっか行った時に親の写真撮るようになった気がする。人は忘れるし忘れてからじゃどうにも出来ないとゲームから学んだそんな思い出話。彼岸に見送った祖父母の動画を取り損ねて、少しずつ声色が朧気になっていってるんだよね。 自分の中の声、調子は知らないうちに別の何かに置き換わってるかもしれない、もう既にそうなっているのかもしれない。そう思うと色んな形で残すことは大事。今は機器が発達してはっきり残せる世になってるだけに尚更。

カルティエもらって嬉しいという人にマウント取った人は、多分、幸せそうな雰囲気に対する嫉妬心が抑えきれないのだろう。それはそれで、つらい性格、人生だとも思ってしまう。ただ、世の中にはかなりの割合で、幸せな人に対して強烈な嫉妬心を持つ人間がいるので、要らぬ自慢をしてそういった人たちの嫉妬心を刺激しない方が無難、というのも処世術としては間違っていないですね

デジタル絵描きあるある：アナログで書き損じたとき、Ctrl+Zを押そうとする

登山あるある：余裕やん！→次の日の殺意的な筋肉痛に全力の満足感を覚える

足のつりあるある：「この『つり』が効いてる」気がする

未だ炎上し続けている例の件だけども、結局の所「だってアナタあんなもの公共の場に相応しくないじゃありませんか」っていうのが根底にあって、ただソレをストレートに言うと語弊があるから、何となく"根拠ありげに見せる"ってのが多分実態なのではないかなと思ってる。何というか今回の件だけに関わらず、どっちの側がオカシイとか悪いとか言う話は別にして、そもそもの文化として「だって何となくアレは嫌よねえ、アナタもそう思うわよねえ、嫌よねえ」みたいな、何とな～くゆる～い根拠で持って連帯を図る…っていう傾向はどこまで行ってもあるんだなぁと感じていて。今回の例だけじゃなくて「結局オンナなんてのは」とか「政治家なんてのは皆…」とか「最近の若い子は」みたいな実際に統計上そういう事実があるかはさておいて、何となく緩～い共通認識を得られる話があって、ソレに皆で乗っかるのが好きなんだろうなって。で、根底にそういう言うなれば「文化的背景」なり素養があるからこそ従来は「その緩い連携と連帯」で徒党を組んでたのが、ネットとSNSの隆盛によって「それ何のデータ？」「根拠は？」って詰められるようになった結果、これまでの緩～い連帯感で保ってたのがうまくいかなくなってきたのかなという感じ。殊に小学校とかで顕著なんだけど、社会に出るための社会性を身につける場においてすらデータや統計や事実よりも「周りの空気」とか「雰囲気を察する」みたいなことが大事、だと教わるし、「理屈ばっか捏ねるな」「頭でっかちになるな」と、理屈や論理よりも"情"が重視されることを学ぶわけで。なので、そもそも事実やデータや統計よりも、『気持ち悪いよね』『何かヤじゃない？』っていう情動的な、悪く言えば"根拠のない何となくの同調圧力"でもって長年大人も子どもも生きてきたわけで。昨今の「それ貴方の感想ですよね」「データあるんですか」文化とは根本的に風土が合わないんだろうと。にも関わらず公式な場や会議の場だと、何とかそこに「いいえ私はロジカルでございます」という大義名分を付けないといけない"雰囲気"があるので、「ロジカル風」な釈明が付与されたりして、結果、根拠のないデータだとか牽強付会とかっつって余計に揉めるケースはアチコチで散見されるよなって。たびたび繰り返すけど今回の件が最終的にどういう結論に落ち着くか、ってのとは別次元の話として、明確な根拠があるわけでもない話を「あたかも科学的・論理的・統計的に根拠がある風」に見せること、更には「根拠がある風」ならばOK！とする辺り、一種の特異な文化圏ではないかと思ったりするのよね。そこで更に「いやそれは論理的に間違ってる」とか「統計学的に矛盾してますよね」とか仮に会議の場や日常の場で指摘したりすると「何あの人…」「シツコイ…」とか結局"感情的"なロジックで排斥されるワケなので、やっぱりそもそも論理や統計とかって考えが風土に"合ってない"んじゃないのかしら。今回の件で「ヘソ出しは(医学的に？)不適切」みたいな文書が出てて、早速「何を根拠に！」「何が医学だ」って反応されてる一方で、コレまでそういう感じで"乗り切れてきた"実績があるんだろうと思うと、やっぱデータとか根拠より"何となくヤダ"って連帯感の方がこの国では強さを持ってるんだろうなって

いい人だけの国、「最もいい人が後を継げ」という大王なかのんの遺言によりいい人同士が血で血を洗う抗争を繰り広げるディアドコイが見たくないといえば嘘になる。

「弱者切り捨て」に潜む「公正世界信念」とは。社会心理学の概念で世界は公正で頑張った人は報われ、そうでない人は相応の報いを受けるという因果応報的な考えだそうです。「自分はきっと大丈夫」と安心できるから危機の時代ほど支持されやすいと。公正世界仮説は、子供の頃から様々な物語を通じて繰り返し教え込まれるからなあ。しかし、現実は偶然の連続で、自分の能力が影響するのはごく限られるのが冷酷な真実で、だから社会保障の充実が図られなければならないんだけど。公正世界仮説というのは「努力すれば報われる」という考え。これは簡単に「報われないのは、努力しなかったから」とひっくり返り、さらには「努力しなかった者に報われる資格はない」と、貧者を貶める思考になる。実際はただの偶然なのに。

陸自では、世界の兵器をどれだけ覚えているかを競う兵器識別競技会を行う部隊もあります。ここでは普段活躍する肉体派隊員は苦労しますが、普段目立たないオタクの隊員が「これはBTR-80w」「これは江凱II型w」「これはwケーツーww」と大活躍します。つまりオタクもウェルカムです。

どっかで見た女の"完全なゲイと飯食いに行ったとき、絶対にワリカンになるしエスコートもないし道路側歩かせるしで、下心の一切ない男ってこうなんだと気付いた"みたいなエピソード聞いてめっちゃ笑顔になった記憶ある

選挙権を兵役経験者に限定する民主制度の元ネタはたぶんスパルタですね。スパルタは極端過ぎるにせよアテナイの民主主義も選挙権は男性に限定されてましたし、共和制ローマの選挙権もローマ人男性と兵役を果たした外国人傭兵にしか与えられませんでした。海軍特殊部隊の過酷な訓練に「女」を捨てて耐え抜く女性兵士を描いた「ＧＩジェーン」という映画が1990年代にあったんですが、これに当時のフェミニストは強い戸惑いを見せたんですよね。「これは私たちが求めた平等じゃない」と。まぁそういうことなんだろうと思います。もちろん兵役を市民権の条件にするような政体は軍人の政治的影響力が肥大し過ぎて危険なわけですが、だからといって根っからのフリーライダーに権利を付与し続けるのもおそらく危険で、要はバランスなわけですが、今や「義務の履行」の話はあまりにも反ポリコレで誰も口にできなくなりましたね。

私が新聞の取材で「わかり合おうとする姿勢が大切」と述べたのは相手を理解するためではなく無駄な争いを起こさないためです。コアラに「ユーカリは毒だからキャベツ食べた方が良いよ！キャベツ食えよ！」とか喧嘩しないのと同じことです。出来ることは「切り捨てる」、それだけだと思っています。極論本当にこれで、陰謀論者を説得しようとするのは、もうすぐ死ぬ人に「お前もうすぐ死ぬよ」と言うことと同義だと思っています。私はやさしい嘘をつきます。どうせお別れなので。

フェミニズムは全部クソだという意見は、結局の所、女は少なくとも社会的な次元に於いては男の作る秩序に従うべきだ、ということに必然的になるのだが、これを主張するのは普通に性差別主義者なので、性差別主義者であると自認する必要が必ずある。僕は性差別主義者です。

住民税や国保税を滞納している方へ経験者の助言ですが、たとえ払えなくても役所に行って、払いたけどお金がないんだと頭下げるだけで自治体はマジで菩薩になります。ちゃんと払う方法一緒に考えてくれます。督促状の無視は本当に最悪の結果にしかならないので、それだけは憶えておいてください。

メシマズ母とメシマズ父の間に生まれ育った子が次のメシマズ母やメシマズ父になることを「児童虐待」とみなすか「社会的許容範囲に含まれる家庭内文化」とみなすかは、かなり政治的なテーマとなる。そういうのはそのときの社会の都合で決まる。こどもが飢えてドッグフードをかじるのは児童虐待とみなされやすいが、毎日きゅうりに味噌をつけてかじっていたら家庭内文化で済まされるかもしれない。まずきゅうりがあるのがえらいとも言える。野菜はすぐに傷むからね。メシマズ妻漫画の場合、夫がうまい飯を作り始めたら子どもが新たな選択肢を知ってしまう。そのこと自体がメシマズ妻には恐怖だと思う。妻にとってはマズい飯を「お腹に入ってしまえばみんな同じ」と受け入れるところに正義がある。余計なことをして寝た子を起こさないでほしいと考えるはずだ。以前、ある飲食店のバイトの女の子（女子大生）と会話した。彼女は学生のトライアスロン選手としてかなり優秀で全国大会で優勝したりしているそうだ。彼女の両親も共に熱心なトライアスロン選手だそうだ。彼女が物心ついた時にはもうすでに家の食事は大きなボウルに大量の野菜。そこに高タンパク低脂肪など栄養バランスを考えて他のものが添えられるらしいのだが、いつもかわり映えのしない食事だったそうだ。ポテトチップスなどお菓子は悪の食物として許されない空気らしい。大学生になって他の友人と外食をする機会が増えて、初めて世界には美味しいものがたくさんあると知ったという。ただ内面化された食に対する規範意識はあるようで、本人もトライアスロン選手であるから、やはり基本的には父母と同じような食生活をしているそうだ。まだ父母と同居中だし。身体の健康を考えるなら十分理想的な食事。ただし、味はどうしても二の次。競技におけるパフォーマンスを引き出すための栄養バランスが最優先される。子どもの頃からそういう環境におかれることは、家庭内文化なのか、児童虐待なのか。「健康には良い」というところから免罪されそうではある。映画「チャーリーとチョコレート工場」に出てくるウォンカは歯科医師の息子として生まれ、チョコレートなどのお菓子を「歯に悪い」と全て禁じられた。確かに歯の健康にはその方が良い。彼は成長後、大チョコレート会社を作り、チョコレート王となる。これもトライアスロン一家に通じる。

強盗「動くな！こいつがどうなってもいいのか？」

すごい警察「うーん、まあ正直、初対面だし…」

すごい人質「ですよね」

偉いハゲ「AIが10年後にすべてを奪う！労働さえも！」

絞りカスの労働者「はやく奪ってくれぇ～～」

人類の創作史の未来、表現自粛による「全球凍結」が訪れる直前には、死の予兆として悪役に人気が出ると思う。つまり人権侵害しまくる敵を吹っ飛ばすカタルシスではなく、視聴者の代理人としての悪役が作中で人権侵害しまくることでカタルシスを与えてくれる。そして「創作の全球凍結」の少し後に、人工知能自動生成脚本によるルネサンスが起きる。人権思想という宗教規範の徹底によって、我々は2回目のルネサンスを地球規模で迎える。あるいは前段階ではマジックリアリズムが盛り上がるのかもしれない。現実を舞台に治外法権の存在を召喚すればいい。彼らには人権保護は適用されない。

これは皮肉でも春秋の筆法でもなんでもなく、雇用が増え、正社員が増え、失業率が下がることを失敗と思う「左翼」「リベラル」を育てたのが新左翼と新自由主義の「達成」なのですよね。生産力から主体性へと価値の転換を図った人たちはいつのまにか生産力そのものを忘れてしまった。

研究室の同期が、「東大工学部院卒の人はどこに行くのかと思って調べてみたら俺らと全く同じようなところで、『九大、コスパ良すぎじゃん！』って感動した」と話していて、非常によかった

1年に1回しか実験できないのも辛い。普通の製造業のベテランって何千・何万回と同じ物作ってるけど、稲作は名人と言われる人でも「まだ40回しか作ったことないし」とかだもんな

SNSによって感情の動員が容易になり、上記のような空気操作がやりやすくなった側面もあるのかもしれない。すごく納得の行った指摘だった。空気操作の能力は、声が大きい人が有利というわけではなく、むしろ共感や同情をうまく利用できる人が有利なのかもしれない。その手の操作のインターフェイスが世には溢れておりますなあ。創作も、多くがインターフェイス化しておりますし。伊藤さんの『虐殺器官』だけど、今なら文法ではなくインターフェイスだろう。虐殺のインターフェイスのデザイン。

「親ガチャ」って賛否両論あるみたいだけど、俺は言葉ができたことで、共感や救いが生まれたって思うんだよな。拒否感を感じる人は自分の想像外の過酷な家庭環境があるって思いやって欲しいな。あとメディアに気をつけて欲しいんだけど親ガチャは貧乏親VS金持ち親みたいな単純な話じゃないんです。「親孝行」「どんな親でも子供を愛している」「子供は親を選んで産まれてきた」「親を大事にしろ」実は当たり前に使われてきたこんな言葉にひそかに傷ついてきた人がいる。俺も皆が当たり前に手に入るものが、手に入らなかった。だからせめて「親ガチャ」くらい許してくれという気持ちがある。

人は正しい答えを求めているとは限らない。むしろ優しい答えを求めていることの方が多い。正論でグイグイ押すのは案外うまくいかない。失敗はしたくないけど、大きな変化は怖い。だから人が変わるには小さな成功体験が大事。良い支援者って目標に向かって課題を分割できる能力がある人じゃないかな？

活字中毒とかいうやつ、知識欲が強いからずっと文字読んでます！ではなくて、何もせずボーっとしてるのが責苦に感じるので仕方なく文字追ってる、みたいな部分ありそう

子供がコンビニでチラッとエロ本の表紙を見ただけで影響されて人生が歪むんなら、そんなもんごときに負けちゃうようなお前ら親の影響力っていったいなんなんだよって思うよ。毎日一緒に暮らしてて何年も育ててるのにエロ本に負けるのか。いつも一緒に暮らしている親の影響力が、コンビニのエロ本の表紙や萌えキャライラストやアンパンチに負けちゃうことの方が実はやばいんじゃないのか。

人間というものは一方から好かれれば、一方から憎まれる、好評と悪評は必ず付いてまわるものだ、あらゆる人間に好かれ、少しも悪評がないというのは、そいつが奸譎で狡猾だという証拠のようなものだ。

自分の身体を大事にしなさい。リストカットしたり、刺青入れたり、ヘソにピアスを開けたりしてはいけない。将来AVに出る時にきっと後悔する。

ポストモダン社会では、肥満体型は健康的です。現代人文科学の研究のおかげで、我々は残酷で攻撃的な事実をもたらす現代医学をキャンセルすることができるようになりました。人文科学の有用性を疑問視する人は、肥満を健康的と思えない差別主義者です。

「ぷるぷる、ぼくは悪いスライムじゃないよ！なぜなら悪はもう一方側にとっては正義だからだよ！」スライムはベギラゴンを唱えた！地獄よりの火炎が村人達に襲いかかる！

「正義の対義語は悪じゃなくてもう一つの正義だよ」ってドラえもんの漫画からパクって言ってる人、自分に正義がないことがバレちゃうのでそれ以上は発言しないほうがいいです。相手のことも正義だと断じたうえで自分自身の正しさを押し通すのは論理的に絶対無理なので、おおよそほとんどの人にとってある価値観は絶対的真理であり続けるし、それに対抗する価値観はやはり悪でしかない。そうやってきっぱりと言い切れないのなら、使い勝手のよい単語で正義を語るべきではない。どうしても自分にはこれは許せないみたいな事項をまだ言語化できていないだけだと思いますね。

ものすごく意地悪なことをして喜ぶ人がいるとする。その人にとっての正義とは「自分が心地よいこと」であるとする。心地よいから意地悪なことを他人にする。その砲撃を相対主義くんがまともに食らった。イライラしながら「やめてくれ！」と叫ぶが、意地悪くんはやめない。「どうした？ほらほら、何か言ってみろよ。お前にとっての悪は、俺にとってのもう一つの正義なんだろ？」「やめてくれったら！」「やめないよ。これが俺の正義だもん」。相対主義くんは自分が悪だと感じることさえ、自分自身の相対主義によってからめとられて何も言えなくなった、と。誰かにとってどこかで絶対的な線引きがなされている事柄があって、その内側には何者をも寄せ付けない鉄壁がある。「約束は守れ」「他人に対してよいことをしろ」…それが相容れない人間はやはり他人の悪事を悪としてみなすしかなく、決して相対主義化できるほど安易な価値観ではなくなってくる。もし相対主義があるとするなら、単にその問題に対して無関心で、まじめな顔で向き合ったことがないか、それとも日和見を決め込んで勝てるようになびこうとしているだけかである。問題に関与し続けるなら、必ずどちらかの立場をとる必要がある。また、問題の内部にいる人からすれば、この種の沈黙や相対主義は現状追認にしか映らない。

アメリカ人から「刃物を使って人を襲うなんて日本の犯罪者ヤバ過ぎないか？」と言われ最初意味が分からなかったんだけど、銃社会のアメリカ人の感覚ではわざわざ刃物を使って人を殺すのは例えば13日の金曜日のジェイソン的な猟奇性・変態性を感じる事らしく、銃社会で生きる人たちの感覚に震えている。

金融庁がみずほ銀行を管理することで、インシデントを揉み消すモチベーションが互いに生まれ、高め合い、やがて見かけ上のインシデントが劇的に減る。

絶対に勘違いさせない人「月が綺麗ですね。それに比べてお前は汚い。」

親ガチャと言う言葉を使うかどうかは別として、自分が受けた恩恵は次の世代に伝え、自分がされて嫌だったことは自分の代で止める。それが人として最も大事なモノの一つ。歴史に名前が残らなくても自分の親が抱えてた問題を自分が昇華して自分の子供へ伝えないって出来たら偉人。

ナショナリズムが現代の宗教、国民国家が偶像というのは全くそのとおりなのだけれども、一方で世界中どこでもやっていける一部のエリートでない普通の人はリヴァイアサンの庇護下で生きるのが一番簡単なわけで…。近代のオルタナティブ探しをするのはいいが、大多数の人は近代に最適化されているから代替品に切り替えようとすると阿鼻叫喚の地獄が待ってるのは目に見えているんだよな。血縁・地縁も、宗教的紐帯もない普通の日本人が近代的共同体なしでどう生き残るのか。

ネットの反応はリアル世間と乖離があるし、「現実」を反映しているのはネットよりマスメディアの世論調査の方だろう。選挙結果を見ても大体当たってるようだし。

副業しやすい社会はね、副業しないと生きていけない社会になるんだよ。女性が社会に進出しやすくなったら女性が働かないと生きていけない社会になったし、医療で寿命が伸ばせるようになったら高い社会保障費を出し続けなくいけなくなったように。コロナがECMOで助けることが「できる」なら助けないと見殺しにしたと言われるので維持に超手間のかかるECMOをフル回転させ医療リソースは枯渇するまで無限に注ぎ込まないといけなくなった。その際に長期的な経済の悪影響は大して考慮されない。なぜなら、できるのだから、やらないといけないので。できるのに、しないと決めて、更には被害の因果関係が明らかならば決めた人は強く非難されてしまう。だからどこも責任者は「できる」ならやりますと言うしか無い。コロナはそんな選択の連続だったよね。その皺寄せは常に因果関係の証明が難しい＝非難されにくい長期的な悪影響に向かう。経済とか。例えば原発だってこの構図に近い。原発が作れるなら、作らずに電気が足りませんなんて決定をすれば非難される。だからできるなら作るしか無い。その皺寄せは例えば放射能のゴミ処理方法が未定でも「直ちに影響は出ないから俺が非難されるわけではないし知らん。将来に期待。」みたいな形で現れる。なので副業ができるなら、やらないといけなくなるだろうね。皆が副業で良い暮らしをする中、周囲より相対的に貧しくなることに耐えるのは難しい。相対的な貧しさを皆が気にしないならば絶対的な豊かさは過去随一の今、収入が低くて結婚もできないなんて言葉で溢れるわけがない。そして早かれ遅かれ副業は「できる」ようになっていくだろうね。技術が進歩すれば副業はより拡大するし、技術は進歩できるなら必ず進歩していくので。導入自体に抵抗することで一時的に遅延はできるけど、仮にそうしても黒船の如く後々一気に来て帳尻は合うだろうなとも。もちろん例外はある。女性の社会進出が盛んな今だって専業主婦がいるように、副業しなくても生きていける人は当然出てくる。けど全体の傾向としては副業できるなら、しないと生きていけないようになっていくよね。特に普通の人は。「社会に選択肢が増えるだけ」って話はいつも良さそうに見えるけど、選択肢を選んだ人が結果責任を負う以上は、結局は新しい選択肢を選ばないと非難されるため、選択肢の増加は実質的には新しい選択肢の強要に近くなってしまうことが多々ある。なので、「選択肢増やすだけ！増やすだけだから！先っちょだけ！」みたいな話は大体はそういう話と思った方がいい。私は技術大好きでSFの世界に憧れるような人種だけど、この人類のバグのせいで技術の発展によって「できる」ことが増加することには複雑な思いを抱いてます。

医療技術ではどうにもならない場合は「仕方ない」なのに、血の滲む努力のおかげでどうにかできるようになったけどコストの問題で実行できない場合は「見殺しだ」と非難されてしまうの人類のバグだよなぁ。このバグのせいで医療技術を発展させる努力はしないほうがいいのでは？となってしまうので。

そもそも「性犯罪を誘発する可能性のある服装」などという言い方を認めてはならんのだ。「性犯罪の被害に遭ったのはそうした犯罪を誘発しやすい服装をしていたから」というのは現代では許されてない言い方だろう。それがVTuber相手ならなぜ言って良くなるのか。良いわけがない。昔の頑固親父みたいなだけじゃなくて、あの言い方は罪を犯した責任の一部を犯人から免除してしまう性質のものであること、その責任は被害者に移動させてしまうものであることも含め、21世紀の人権についての考え方からすると、絶対に許されるべきではありません。

会社にたまによくいる「普段から仕事バリバリこなし飲み会等で騒ぎまくっても翌日はバリバリ仕事する人間」、何処にあんな元気があるか謎だったけど、最近になってあの手の陽キャは飲み会等で普通に心身を回復させており、自分は陰キャゾンビだから回復呪文でダメージ受けてるだけだと気付いた。

自分が変わらなくとも世が変わることで適格だった自分が不適格になることなんて珍しくもなんともない。それが分からないのだとしたらパンデミック以前に不適格だよ倫理学以前に職業人として。かつて computerだって「計算士」だった。計算機が来たら配置転換は不可避

だれしも攻撃性はあるしダブスタもある。他者を傷つけることなく生きることはできず、ある夜に不意にそのことを思い出して痛恨の念にかられる。その時間に人間の深みが生まれるのであって、自分に懐疑の目を向けない人よりも、反省できる人の方を信じたいと思うよ。

結局、特定の研究者の考えるベストメンバーなんて、その研究者個人の評価基準に基づくベストメンバーでしかないもんね。評価基準を変えていかないと、特定の人々による寡占状態になるのは当たり前。それは最終的には同じメンバーで機会を回しあって、リソースを無自覚に独占することに繋がりかねない。つまり、お互いでお互いを各々の分野の第一人者だと持ち上げて、自分自身もそれを信じ込んでしまう状況。国際的な競争の乏しい分野では、この落とし穴に落ちていて気付いていない人達は多いと思う。時に研究者の世界では、自分は客観的で公正な評価基準を持っていると思っている人がいるけど、実際にはそんなものは存在しない。だからこそ査読でも複数の人にお願いする事になっている。だからできるだけ、自分と異なる研究の評価基準を入れていく必要があるのだけど、それが出来る人は殆どいない。なので「どうやってもメンバーが偏る」場合には、この陥穽に陥ている可能性を考えた方が良い。「内輪でお互いを褒め合う」状況になっている場合には、内輪にはストックがないので、無理に調整してもそれこそ「無理やり」にしかならない。だから、他の学会等の応援を得て外から呼ぶ方が賢明だと思う。「ジェンダーに関わる問題については、必ずしもその専門ではない女性研究者がカバーしている」状況が生じているなら、二つの致命的な問題が同時に生じている。１）ジェンダーに対する問題提起が最初から入っていない。だから専門家がいない。２）女性研究者の専門性が全く尊重されていない。そもそも「スーパースターを集めたら男性ばかりになった。だからジェンダーバランスを取る為に女性研究者を加えた」なんていうのは、ダメなんですよ。だってその女性研究者、最初から馬鹿にされてるじゃない。入れるんだったらその女性研究者の専門性を尊重して、企画の趣旨から考え直さなきゃ。

頭の良いみなさんは勘違いをしてることが多いんですけど、知識を蓄え自分で考えれば比較的正しいことや良い方向に行くはずだってのは多分当てはまらないことの方が多い。僕はバカの王国に住んでいるのでわかるのですが、そいつが自分の選択で色々調べて自分の頭で考えた結果、とんでもないことになるというのはよくあります

「言論には言論で対抗する」という作業をやらずに、システムに訴えかけて発言権を奪う、発言の機会を失わさせるというのが現代の習い性になっているようですね。どこでもかしこでも「いかにして口を塞ぐか」にだけ知恵を回している人間ばかりが可視化されるな。DaiGo騒動、この論点は結構意見が割れていて興味深い。言論で対抗すべき時もあれば、キャンセルで対抗すべき時もあるのは間違いないのだろうけど、そのラインと運用はどうあるべきか、中々考えさせられる。

メンタリストDaiGoさんを、じーっと観察してて、やっぱり「成長への過剰な渇望」ってのは、もはや「自己否定による自殺願望」に近いものだと思ったよね。成長したい、というより、成長しないとヤバい、そんな自分には「生きてる価値がない」。その反射光が虫眼鏡に当たって、ダンボールを燃やした印象。

ハイスペイケメンヤリチンが100人の女性とパコると、100人の女の基準がハイスペイケメンに上がってしまう地獄。以降の男が全員そいつより見劣りすることになる。

アリストテレスは「中庸の大事さ」を説いた哲学者ですが、一方で「中庸の主張」は当たり前すぎて「ウケが悪い」という問題があります。なのでその時代でウケる提案というのは常に真逆の「極端な主張」になるわけですが「極端な主張」が支配的になった社会は常に不幸な結末を迎えています。

「金持ちが多く税金を取られる」のは「社会正義」ですらなく、「金持ち自身を守るため」です。金持ちは常に社会不安の標的なわけですが、自力で貧困層の不満を解消するのは困難なため、税を多く払うことで格差解消の明確な協力ができ、社会不安や不満が自らに牙を剥く危険性を減少させられるのです。

渋谷区長ダイバーシティの街を標榜してパートナーシップ条例整備したりしつつも公園壊してホームレスの人追い出したりとかハロウィンに露骨な不快感を示したりするの矛盾の中に一貫性を感じて良い マネタイズできない都市への権利に対する敵愾心みたいなものを隠すことなく発している。

先輩が合コンでガードが固すぎる女がいるたび「メイウェザーいた」ってLINEしてくるんですけど、この前マジでメイウェザーいたらしくて「女じゃない方のメイウェザーいた！」って言われて一瞬なに言ってるのかわからなかったな。

SNSで神の視点を持てるのは、発言しない人だけです。発言しない人だけが上から目線で見下ろすことができますが発言しない人は存在感は皆無です。その場に存在しない者だけが第三者になれる。しかし発言した瞬間にその人の存在は顕在化し、巻き込まれるのです。

最近だと一番多いのが、「クソみたいな人生なので自己断種しよう」。若者の多くが「優秀でないと家庭を築いてはいけない、子供を不幸にするだけだから」というくだらないミームに感染してしまっている。誰にだって子供を望む権利はあるはずなのに。「クソな人生なので自己断種しよう」は裏返すと「もう子供を持つメリットなんて名誉くらいしか無いよね」って話。つまり人生がクソになったのではなく人生がお一人様でも快適になりすぎた。けど今が快適だから子供持ちませんとは言いにくいので、脳の報道官達は正当化のミームを生成してこうなる。

あえて露悪的な表現するけど、撮り鉄の話になると、普段いじめはいけないって言ってる側もほぼ全員がいじめ側に回るのは興味深い。ここまで四面楚歌な状況作ったのは撮り鉄なのでいじめられるのは仕方ないんだけども、いかなる理由があろうともいじめは良くない派は一体どこに行ったんだろう。「いじめをする人間が100％悪いのであって、いじめられる人間は100％悪くないんです。」みたいなスローガンの空虚さを再認識してしまう。尤も、元からあのスローガンは優しい嘘みたいな性質のものではあるけど。

高学歴化、長寿命化、サービスの高品質化、今の社会は「ぱっと見、進めれば進めただけ社会が良くなる事」によって破壊される。何事にも限度がある、限界がある、塩梅があるという事を忘れて何かを無制限に増やし続ける事で破滅する。

仕事がブラック化するのは歩留まり考えないからで、育児のブラック化と、子供の生産力の低下は「歩留まりをどの程度にするか」という近代工業の考え方をほとんどの人間が保有してない原始人だからだ。工場はなるべく不良品率を下げようとするが、不良品率を下げる為のコストは指数関数的に上がっていく。不良品が0.1％に抑えるコストが1億なら、不良品を0.01％に抑えるコストは10億くらい掛かる。だが、10億かけても１万個生産する上で不良品が9個減るだけだ。それほどの価値はない。不良品9個減らすために10億もかけるくらいなら、不良品無償交換サービスをやった方がコストパフォーマンスがよい。そこで「コスパが合わないから改善はしない」という判断が出来ること、これがまともな現代人の思考だ。子供の出生数が少ないのは、原始人並の非効率な思想によって子供の生産効率が改悪され続けているからだ。出生率を上げようと思ったら、まともな現代人らしく「育児はこれだけやったら十分、これで死ぬ子供も出てくるが、それはコスパ悪いから改善しない」と判断すればいいだけだ。昔の人間は賢くて合理的だからそれが出来ていた。現代人はバカだからそれが出来ない。なぜなら、昔の社会には工場がないから、個人が合理的に効率よく活動しないと生活が成り立たなかった。今の人間は合理性を工場に任せきりで、個人は不合理で感情的で、スマホでSNSに書き込みながら冷食を温めてる。俺はこうした現代人の病を「合理性の外注による個人の劣化」と呼んでいる。例えば食べ物でも、昔の人は自宅で保存食を大量生産して計画的に消費していた。だが現代人は工場で大量生産されスーパーが保有するものを、無計画に購入して消費するだけだ。現代では、工場で生産を管理している人間と、スーパーで在庫を管理している人間、この2者だけが極端に合理的である一方で、そこを利用する大多数の人間は、不合理かつ気まぐれで、３日先の事も考えず、その場の気分で棚の商品をカゴに入れることさえある。昔の社会は、生きてるだけで一定の合理性や計画性が身についた。冷蔵庫が無いから物は腐るし、工場がないから生産や加工も自力でやるしかない。そうした日々の生活で身につけた合理性、骨身に染み付いた高い人間力が、子供を５～８人も育てさせたのだ。確かに工場で一括生産は効率がいい、効率がいいが、そのせいで生産や在庫管理に関わらない大多数の人間から、それらの能力が失われてしまったのだ。自動車が現代人から運動能力と健康を失わせたように、近代工業は人間から合理性や計画性を失わせてしまった。だから昔の人と違って、現代人はたかが１～２人の赤子を抱えるだけで、てんてこ舞いになってしまうのだ。それは、自動車に乗り付けた現代人がたった30km歩いてヘバるようなものだ。一方で昔の人は10日で300～400km歩いて移動してた。昔の道の方が荒れていたし、山賊や獣だって出た。それでも車がない時代の人間は歩きまくってたから足腰が強く、その強さで数百kmを歩ききった。育児だって昔の方が遥かに大変だった。でも昔の人間は現代人より賢くて合理的で計画性があったから５～８人産んでも平気だった。現代人は昔の人のように300kmも歩けなくなった。そして現代人は昔の人のように５～８人の子供を育てられなくなった。日頃の経験の不足から来る能力の劣化、それが現代の少子化問題の理由の１つである。単純に言えば、現代人は現代文明のせいで子供を育てられないほどバカになってしまったのだ。

そのうち僕らも昭和生まれだというだけで「戦争はどんな感じでしたか」とか聞かれたりするんだろうな。

30年くらい前までは「管理社会への反発」「組織の歯車になりたくない」みたいな言説が結構あったが、今は「管理すらしてもらえないことの恐怖」「組織の歯車にさえなれずに排除・放置されて困窮」という時代になっている。これはマジで、学生の時に「君達は歯車になりたくないなんて言うけれど、歯車になれたら大したもんだぞ」と教師に言われたなあ。まさか終身雇用崩壊どころか、安直な解雇や、新卒で正規の仕事から弾かれる、入社しても定年前倒しで業務委託下請け化を迫られる現状を指していたのではないだろうけれど。

本日は反ワクチン・ノーマスクデモを遠目に追い掛けました。かなり人数が多く200人はいたと思います。見たところ年齢層としては40代がメイン。内輪でワイワイやっている分にはいい人に見えるし楽しそうで、ここに繋がりを求めるのも分かります。そこが怖いんですけどね。親や祖父母に連れられて「ワクチン反対！」とシュプレヒコールを上げている子供がおり、いたたまれなくなりました。沿道の反応は概ね否定的でした。反ワクチンやノーマスクの人達はネット上だと攻撃的な投稿をよく見ますが、デモの印象は地味で大人しそうな人が多かった。それからこれは真面目な感触なのですが、歯が抜けてる人が多かったです。街宣など聞いていると素朴な正義感から入った人もいて、ここがやはり怖いところだと思います。例えば過激な人種差別集団だったら見た目から危ないので避ける人も、こういう集団だと「あ、いい人達なんだな」と入ってしまう。しかしその思想は攻撃的な投稿を増やし、人間関係は分断されてしまう。大人しいといえば、デモのカウンターに来ていたのが保守系の活動家だったらしく、拡声器で「黒川が感染したキャンプで何人コロナ出たか知ってるか！？8人だぞ8人！おいそこの子連れ！聞いてるのかおい、こっち向け、テメェ！！歩くコロナ！」と右翼仕込み？の煽りを食らったら、恐怖のためか動けなくなっていてちょっと可哀想でした。子供にはトラウマになっただろうし、やはり活動の現場に子供を連れてくるものではありません。

お腹に入っちゃえば同じかもしれないけど、残念ながら口に入った時点でダメならお腹まで行かないんだよなあ

「上司が気に入らない」ってことを成果主義って言葉でまとめてるだけな気がする。

ユーチューブの歴史動画、まあ正直ウィキペディアのコピペレベルも多いのですが、それでも100万再生とか行っていて、新書数万部でなんとかブームとか言っているのがいかに狭い世界なのかと思われされますね。。歴史修正主義に対抗云々というならば、ここを真剣に考えないといけない。

トランプ支持者に対してあれだけデマは効果があると実証され、今回の高市早苗支持者とトランプ支持者はかなり重複するのだし、治験済みの陰謀論罹患者らにエビデンスのあるデマを投与するのは当然の流れ。

Twitterでちょこちょこいる「フォロワーが一桁しかいない、ツイート引用しまくって悪口を言いまくる人」みたいなの、めちゃめちゃたくさんいるけど、どこから生まれてくるのか気になる。どういう動機でTwitterをはじめるの……。

「すごい儲かってて、今月仕事辞める予定なんですよ〜！一緒にお金持ちになりましょう！」ってマルチの勧誘の人に「儲かってるならまずその毛玉だらけのニット買い替えたら良いんじゃない？」って言っちゃう程度には性格が悪いです

反ワクチン・ノーマスク系のデモに参加している人達を見ていると、他の政治運動や社会運動に参加していたら社会を変えるチャンスもあったのではないかと思いますね。日本では政治活動への参加が「封印」されている気がします。このため誰でも入りやすいノーマスクデモで政治的欲求を満たしてしまう。

男性は生後の努力で社会的に成功しないといけない圧力がかかってるので、保守系スピみたいな「日本人に生まれた『だけで』何もしなくても偉い」とやってくれる考え方が癒やしや拠り所になるのですよね。私を「和多志」と書くような人達が相当数います。

『ホームレスは●●だ』ってレッテル貼って話す人って、たぶん脳内で０からホームレス像を作ってると思うんすよね。一回、河川敷にでも出かけていって２～３０人の野宿生活をしてる人と話してみたら良いと思うんすよな。したら、たぶん一人一人が違う人なんだな～と思えてくるんじゃないかな～と。私はホームレスに関する書籍を多数編集してきました。その中で痛感したことは「ホームレスの中には怠惰な人や現実逃避をした人もいるが、ごく普通の生活をしていた人が失業、病気、離婚などのトラブルによって路上生活に簡単に落ちることがある」ということです。

飼い猫の治療費を捻出するために愛車を売った人の話にはめちゃくちゃ感動したんだけど、子供の頃、飼っていた文鳥が死にそうだったので「病院に連れていきたい」と泣きながら母に訴えたら「新しいのを買ったほうが安い」と一蹴されたのを思い出してしまってしんどい。

「負の性欲」論が主張するのは、「特定の異性に対して『キモい』と感じてはいけない」ということではなく、「自らの個人的な感情である『キモい』を社会的正当化の手段にしてはいけない」ということだ、というのは繰り返し言っておかなくてはいけない。のぞまぬ配偶子をキモいと感じること、すなわち「自分自身とその子孫が遺伝子生存ゲームをこなしていくうえで有利かつ有益となる生殖戦略を試みたい」というのは、生物として真っ当な感情であり、社会は個人個人のその感情自体を否定はしない。社会的正義と接続して持ち出されるのがおかしいという事。

わりと簡単に「保育所を作れ、従事者の待遇をよくしろ」みたいに言われているけれど、待遇をよくする＝利用料が上がるか税金をさらに投入するか、あるいはその双方になることは、あまりきちんと理解されていないような気がするんですよね。(意図的に見ないようにしているのかもしれない)実は私も以前は「経済成長すれば…」と漠然と思っていたんですが、構造の問題だから大きくは変わらないんですよね。保育は機械化できる部分が少ない(一人の人間で多数の人間の世話ができない)ため、外部に委託するなら経済格差が必要で、相対的に低賃金で使える人がいないと成り立たない。格差を固定した社会にするのか、格差を税金で補填するのかという話になる。もし後者なら、どういう理屈付けだと納税者は納得するでしょうか。少し前に調べたけれど、例えば大田区の例。０歳児だとひと月に５７万円の経費がかかります。実際に投入されている税金の額を知ったら「３歳児まではやはり自宅で」という風潮になるのではと思ったりもします。保育所の利用者と非利用者(子供いない、独身含む)の不公平感もありそうと思うんですが、なぜ多額の税金を投入することが肯定されるのでしょうか。そもそも保育所って何のためにあるんでしょうか。もし少子化対策であるなら、税金の投入は広く理解を得られると思いますが、一方で未婚率を下げるほうに税金を投入したほうがいいのではないかという話もできます。結婚した夫婦がもうける子供の数はそれほど減っていないことを考えると、手段として保育所より効果的である可能性があります。保育所が働く女性のサポートのためにあるのなら、女性を雇用する企業が負担するべきではないでしょうか。実際には保育所というのは共働きでないと生活が苦しい夫婦のための存在（再分配機能のひとつ）だったのではないでしょうか。そうでない夫婦も利用するようになって、システム自体に無理が生じてきたのでは。今さら元に戻せないとは思いますが…。子育てに関してバウチャー制を主張している地方議員さんがいましたが、それだとシステムを曖昧なまま維持できるかもしれませんね。不公平感も少しは薄まるでしょう。ただ保育所は低所得の人ほど利用しやすくしたほうがいいのではという気はします。少し話がそれますが、女性の「社会進出」が、ただ「働く」という意味だけでなく「家族の扶養」を含むものであったら、片働き＋専業主ふが主流のままで、保育所の問題も起きなかったかもしれませんね。

フェミニスト女性が露出度が同等のananの表紙には不快感を感じず、性的弱者男性向けの福祉としての二次元絵柄やセクシー本には不快感を感じる心理、この機序を明らかにする必要がある。「異性を獲得できない弱いオス」の性欲に対し本能的に嫌悪を感じ排除したくなるという仮説がしっくりくるのですが。女性が劣った男性の性欲に対し「気持ち悪い」と感じるのは女性自身の身と子孫の遺伝的質を守る為に進化した大切な感情ですが、実際に被害が生じていないにも拘らず内心で沸き起こっただけの嫌悪感を社会問題として公的な議論に接続し不快対象を悪と定め断罪すべきかどうかはよく考える必要があります。

2chの古い有名スレ久々に眺めてるとTwitterより会話噛みあってるし社会人の会話してるな…口はクソ悪いけど飲み会の雑談のノリやんな。2chは泥酔して騒いでる連中無視しながら合間に会話する飲み会の感じ、Twitterは最初から全員キメてて全員同じピンクの空飛ぶ象を見ながら談話してる感じ

差別撤廃のために異文化が接触する必要があるとしたら(←これが正しいとは限らない)、接触することで好きになるからというより、相手の生々しい人間としての存在感を知って感情移入させることに意義があるんだよな。知れば知るほど嫌いになることだってある。でも、嫌いだからって殴ってはだめだ。必要なのは言論でも多様性でもない。言論なんて賢いものが弱いものを殴ってリンチして終わりだ。感情移入が成立すれば、知れば知るほど嫌いな敵であっても殴るのを躊躇するようになり、その結果として、どんなにクソな相手でも尊重したくなるし、その結果として多様性が勝手に現れる。われわれはダーウィン進化論のために人権を唱えているんじゃないんだから、多様性にクソほどの価値はないのに、手段と目的を取り違えておかしなことになっている。差別が多様性として認められない理由はこれだ。例外ではない。人権を尊重した結果として勝手に多様性が現れるのだから。

人間より圧倒的に知能に優れた上位の生物が「子供を産んでも苦しむだけだから去勢するね。これは飼い主としての責任なんだ。君たちのことを心から愛しているよ」と言いながら麻酔を持って近付いてきたら、俺たちはどうすればいい？

介護は近年中に業界を２分する大内戦に突入するの確実だな。利用者のＱＯＬだの介護側の意見を押し付けちゃダメだのみたいな現状の介護教育受けて鵜呑みにしてる馬鹿グループと、そういう理想は大衆操作の御託と知ってるエリート層側の徹底合理主義派の戦争。団塊世代の意味不明な利用者層が押し寄せることもあって、官僚含め利用者の合理的パージ等をどんどん行えるようにする現実派がイニシアチブ取るだろうけど、これまでの現場の馬鹿理想教育を本気で信じてる低偏差値介護職層は馬鹿なので変な抵抗するように絶対なるだろうな。でも、その「介護職側の意見を押し付けちゃダメ」のイメージ相手は、戦中世代。目の前にいるの、もうそういうのじゃないんで。いい加減にしてくれます？の世界でしかない。

「いかに国際社会に非難されず、むしろ支持されつつ敵国を苦しめて滅ぼすか」とかを考えたとき、「フェミニズムの輸出」が完璧な解答になるんだよな。

ネット本名原理主義（過激派）の人の「本名出さない人間の言葉はきかない！」という主張に「そういうお前も偽名じゃないか！」という返しからの「なにを！本名と証明しようじゃないか！（戸籍謄本公開）」→「画像なんてフォトショで作れるからな！」となったら事態がどこに転がるのかなって考えてる。

自分の学生時代のことを思い出すと、熱血教師や権威ぶった教師にまったく感謝の念は湧いてなくて。適度にゆるかったり、多様性を認めてくれてた教師のほうが今となってはありがたく思う。

医者「ふーん、アニメキャラのフィギュアをお尻の穴に挿れて遊んでた、と」ワイ「ち、ちがいます！これアニメ化されてないです」

俺は一貫して「この程度で性的ではない」とかいう欺瞞は好きじゃなくて「性的で何が悪いんだ」だからな。そもそも性的って性行為だけじゃないし。営業さんのスキっとしたスタイルの身だしなみを見て「そこに性的な評価が含まれてないか」っていうと分化できないしな。誰にも。

北朝鮮は人口再生産性をせっせと保つだけで韓国に勝利できるという奇跡的なフィーバータイムが発生した。ミサイルなんかいらんから子づくりするだけで勝てる。将軍たちの努力はいったい何だったのか。核ミサイル（最近だと極超音速兵器が軍事先進国のトレンド）を開発するよりも、自国民の男女に子作りセックスさせるほうが難しい説ありますねぇ！！

ワイ学生の頃ポプラでバイトしてた時にホストやヤーさんが大盛りって言ったらこれぐらい突っ込まないと本気で怒られた。レジにカップ麺何個も投げつけられてそれを受け止めてレジ打ってた。なぜかジュラルミンケースみたいなのに買ったカップ麺入れて帰ってたホストさんとか…その人明け方泣いてたり…。そのポプラもワイが大学卒業してすぐに潰れて飲み屋になって、メッサ寂しかったなあ…。ロクでもない立地のロクでもない客層のとんでもないポプラだったけど、未だに色々思い出す。お客がヤクザとホストとキャバ嬢風俗嬢ラウンジの人と、明け方の謎の社会人？周りも自分も狂ってたと思う。ワイがコンビニバイトしてた頃はまだ廃棄をもらえて、グリル弁当？かな、よく貰ってた。夜にゴミ捨て用の外のロッカーに行くときに必ずホームレスのオッちゃんがいて、廃棄前にオッチャン用にいくつか狙ってて。たまにケーキとかお菓子が出る時は分けてた。でもセブンとかから全部禁止になっていった。月に一度か二度、ヤクザの偉いおっちゃんと若い人20人くらいが来店する時があって、大抵その偉い人が20か30万くらい置いて若い人らが欲しいもんを買う日があって、相方と全力でレジ売ってたけどポプラは弁当にご飯つめてふりかけつけてラップするからヤバい。でもその時のヤーさんは優しい。ホストの人で仲良くなった人がいて、その人は夜7時くらいにカップ麺とか買って、明け方に弁当買って帰るんだけど夜はめちゃくちゃ優しいのに明け方はいつも酔ってブチギレてて、たまに素面の時にすまんすまんと謝ってきて。とにかくキャバ嬢や風俗嬢のお相手を明け方前にするのが凄くツライらしい。たまにその人は泣いてたなあ…。てかヤクザの人もよく泣いてる人がいた。理由は知らないけど、とにかくこの手の業界はメチャクチャ辛いみたいだから絶対に真っ当に生きようと固く決意した。あと、やっぱりモロに犯罪行為をされたらヤクザの人も警察に通報するんだなあ。色々あったけど警察がよく調べに。なんかそんなとんでもないコンビニの深夜勤務が1人だったわけで、ワイも何故そんな店の深夜に一人で入り続けていたのかは分からないけど、顔見知りになったお客の人達からは、とにかく真っ当に生きろみたいな話をよくされた。アレはホンマに大事なことだったんじゃろうなあ…。ヤクザやホストや嬢やヤンキーより、明け方とか6時前辺りにくる社会人？の人たちのほうがワシは怖いし嫌だった。ワザと一個づつ会計させて消費税の関係で1円づつ節約しないとブチギレとか、綺麗なスーツの40前のビジネスマン風なんだけど必ず買うものがたまに品切れだとブチギレとか、今思うと薬か病気。夜の1時過ぎてぼーっと外を見てたら、ダーッと全力で走り去るおっさんの後ろを5、6人の兄ちゃんが追いかけてたり、60ぐらいのオッチャンが綺麗なお姉さんに肩貸してもらいながらニコニコでゴム買っていったり、外からボヨンボヨンって音がするなと思ったら白装束の若い人20人がクラウンをボコボコに。クラウンの持ち主のオッチャンがホンマに半泣きで『ニイチャンやっとるやつ見たんじゃろ⁉︎』言うて警察と一緒に店に来て、ワシはクラウンを夜の繁華街には絶対に止めないようにしようと思ったしウチの駐車場にオッチャン勝手に止めて飲んでたくさいからもう何が何やら。そういえば弁当と一緒にお酒を買って行く人は少なかった…ていうか自分が客に飲ませる仕事の人ばかりだから当たり前か…タバコも全然売れなかった。でも変なエロ風の本？ばんがいちみたいなのと売れるが、少し違う感じのエロ本がよく売れてて、如何にしてそれを取りやすくするかが大事だったような

自由になると多様性減るんですよ、これは絶対に避けられない。水泳の自由形見りゃ分かるでしょ、クロールしかいねえじゃん。自由にやれってなると、最終的に一番強い形が残ってそれ以外は無くなっていく。「選択肢が増えるだけ、より自由になれるのだから素晴らしいこと」って変化は、一番強い選択肢の強制に近いことが多々ある。なお特に厄介なのは「倫理的に強い」場合。

考えてみたら18歳時点での瞬間風速にすぎない「学歴」に生涯の影響が出るというのも謎な話で、悪名高い科挙すら何年も受験する例があった（50代で受かるとかザラ）のだから大学入試ももっとカジュアルに受け直せる制度があればいいのにと思う。資格試験やMBAのようにいつでもやり直せるものじゃなくて、後戻りなしの一回限りの瞬間風速だからこそ、しかるべき時期にしかるべき方向性に努力できた証として学士の学歴には一定の意味があるのかもよ。

相手の国を尊重するためにはまず知る必要があるけど、知ることと思想を理解しあうことは必ずしも一致しない。よく知ったうえでどうしても相容れないので放置しておいて、利益があるところだけ互いに享受するという付き合い方も可能だと思う。しかし、知らないことには何も始まらないのも事実。

「アメリカみたいに（？）どんな優秀な人でも差別発言したら一発更迭みたいな社会にしない？」とブチアゲてる人、続く言葉で「そうすれば問題老人も一掃される」みたいなこと言ってて自分が率先してアウトなの爆笑してしまった。更迭されたらぜったい認めなそう。

「STEMに女子が来ないのは抑圧されてるからだ」って意見をよく聞くけど、あれほど性差別に対して敏感で先進的な北欧でさえSTEMは男のほうが多いという事実を認めたがらないフェミニストがいる。興味関心の性差はほとんど確実にあることが研究によって判明しているのに、研究結果が政治的に正しくないせいで透明化されてしまう。現場は女子にも来てほしいが、STEMに行ってもよい女性が文系に進んでジェンダー論を専攻して「理系に女が少ないのは差別だ！」って言われてもそりゃあなあという感。

「親孝行」「親を大事にしろ」なんて教え込まなくてもそこそこ健康的な家庭なら自然と芽生えるものだと思うんだけどこの言葉は言った側が気分良くなれるし、道徳的な人に見えるから広まる。でも実際は親から逃げた方が良い人、逃さなきゃいけない人もいる。言いにくいけど言わなきゃならない言葉もある。「親ガチャ」って、言いにくいことを言いやすくする言葉だと思うんだよ。実際あるのに気づけない人、認めたくない人、どうしたら良いかわからない人に、言葉に内包された意味が届くと良いよな。安全な親に生まれた人は幸せ。でもその人達と同じ感謝を持てない自分がいても、自分を責めなくていいんだぜ。

「残酷」「優しくない」「思いやりがない」態度のことを「理性的」だと思っている人が世の中にはまあ多い。「論理的で科学的な文章を書け」的な人たちの中に、とっても感情表現豊かで文学性の溢れた、侮蔑感満載の査読コメントをお書きになる方が散見されるのは、何故なんですかね。才能かな。院生さんが貰う査読コメントにそういうものがあると暗澹たる思いになる。それ匿名性を利用したハラスメントだよ。ネットの落書きよりたちが悪い。例えば、「xx等の先行研究があり、yyと指摘されている。この点をも考慮すべきである」とフラットに書けばいいところを、「xx等の先行研究があるが、筆者はこのような基礎的な先行研究すら読んでいない。知的怠慢の極みであり、公表できる水準ではない」等と書いたりする。もはやただの罵倒でしかない。

「電気自動車も電気を作るのに発電するからもっと環境に悪い」という説もネットでは人気だけれど、本当にガソリン車よりエネルギー効率が悪ければ誰も電気自動車を作ろうなんてしねえって話なんだよな。ワクチン陰謀論とおんなじ。何万の専門家よりも国家規模を超えるプロジェクトよりも、オレのほうが賢くてよく分かってるんだという奢りは一体どこからやってくるのか。

平野レミの「お腹に入れば一緒」は魔術の組成を完全に理解する大魔術師が術式を発動にあたり構築し直すそれなので、メシマズではなくただの詠唱破棄。平野レミ先生は"口に入った時に美味しければOK"と言うレギュレーションの元、キャベツを切り分けないとか、たこ焼きを個別に焼かないだとか、あらゆる手段を使ってタイムを詰める料理RTA Any%走者だから

日常生活が満たされない人にはトレッキングや登山をお勧めします。体力的に問題ない山を選び、朝早く起きて登りましょう。頂上から降りてくると感性がリセットされるので「アイス！冷たくて美味しい」「マットレスが柔らかい！」と多幸感に包まれます。つまり幸せとは相対的なんですね。

「安全運転できない奴は免許返納しろ」っての、あんまりに多いと「他人の運転を許せなくなってしまう人もそれはそれで運転向いてないのでは……」という気持ちにはなってくる。「こういうこともあるかもしれないな」って予測と配慮と忍耐ですよ運転なんて。

新発見。ヤバい男と付き合ってる友達に「絶対別れた方がいいよ」と言うと「でも、良いところもあるし…」と返答するけど、「最高の男じゃん！私が付き合いたいくらいだわ！」と言うと「でも、実は悪いところも結構あるんだよね…」という返答になる。本気で止めたい時はあえて褒めた方がいいっぽい。

親友、恋人ができたことや大事な試験に受かったことよりも何より先にうんこ漏らしたことを元気よく報告してきてそういうところがかなり好きだぜ……と思った。

差別撤廃のために必要なのは、被差別者が本当は優れているというデマを流すことではなく、仮に劣っている相手でも尊重しなければいけない、という意識なんだよな。この点で『私と小鳥と鈴と』も『世界に一つだけの花』も、多様性賛美であるが断じて人権的ではない。むしろ基本的人権と正反対にある。

一見、悪徳に見えて、ただ出生を勧めているだけの男。

誠実な恋愛を希求する非モテがナンパで女性の諸々を知り、激しい失望と苦痛に苛まされ女性に嫌悪感を抱くも、その嫌悪感が肯定される事はある意味「期待通り」でもあるので報酬系が駆動してしまい、やがて女性の醜悪さを自ら暴いて傷付くのが癖になる…というのがナンパ師の典型的闇堕ちパターン。

普通に見ず知らずの人から高圧的に話されたら嫌な気持ちになるし、相手を「格下」と見たら延々とナメた態度を取ってしまう人は結構見受けられてしまう。「学問の世界の飾らなさ」を他人を攻撃する免罪符にしたいだけでしょって思っちゃう事は結構あるな～。学問の世界はわざわざお世辞とか並べる必要のない簡素な世界であると思うし、それはそれでいいと思うんだけど、それ以前に人間同士のコミュニケーションには最低限の礼節が存在するという話よね。相手に本当に聞きたい事があるのなら、ゆっくりと丁寧に自分の質問の意図を伝えるべきだとは思いますね。自信がない人ほど早口でまくし立てるように話して、わざわざコミュニケーション不全を起こして「鋭い質問でたじたじにさせたったわ」みたいなドヤ顔かましがち。

「あなたが優秀なのは育った環境が良かっただけだ」という感じの事を言われることはよくあるけれども、そういう言葉に対してムキになるのも分からない。面倒な人だなと思うけど、それは残念ながら一定は事実だろう。「そんな単純な話じゃないけどね」って心の中で思うけど、別に相手に言う必要もない。

人間社会、突き詰めれば暴力と体力に戻ってくるというイマイチな側面があるので、その身体性を没却した社会論などあまり意味がないと言える。男女は全て平等、というのは誤った幻想としか言いようがない

自分もいわゆる正しくない方の言論をちょくちょくやる方の人間ではあるのだが、いずれそういう言論のパワーゲームとは無関係にこっちに寄るんだろうと思うとどうでもよくなる気分もあるな。女権社会なんかどうせ持続性ないんだし。あくまでもアンチ主流としての男権社会の重要性を訴えたりしているが、こんなものは危機に直面すれば自然にそう戻るわけで。自分は何事も漸進を奉じる立場なので、いずれ戻るんなら今のうちにじりじり戻しとくほうがいいんじゃないかと言っている。

フリーライダーの排除は、直観とマクロの合理性が合致してる珍しい例なのに「ルサンチマン」の一言で「人間の不合理な本能」扱いされてしまっている。文系の学問が「人間の本能・直観」に疑義を呈するのは結構なのだが、「本能の全てが不合理である」というドグマに支配されて、本能にも理があるケースを拾い損ねているのは致命的だなと。

上野千鶴子の興したラジカルフェミニズムを韓国に流入して、メガリアみたいなヤベェミサンドリーが勃興して人口構造に決定的な打撃を与えてる現象、マジで将来日本の陰謀だと恨まれそうでヤバいっすね…。カール・マルクスをドイツに加工輸出してしまったイギリスとどっちが酷いかレベル。

家族介護から解放された主婦が介護パートに出て給料もらうようになるというアレ、家事労働に値付けして主婦業を最低賃金しかもらえない労働に変化させる事で、結果的には企業が従業員家族にまで面倒見させられる構造を解消するという役割が一番大きくなった説。

老人にパソコンの操作方法を教えた結果ネットで真実に目覚めるの、振り切ったネタじゃなくて「そう」なんだけど面白いし、現実が一番面白い。

早く介護、警備、運送分野にパワードスーツを導入してほしい。そうしたらパワードスーツ着た労働者の群れが国会を包囲する光景が見られるかもしれないじゃないか。

しかし、身内の介護から逃れて他人の介護するとか、保育所に子供預けてベビーシッターに向かう程度に倒錯してる気がすんだわ。「賃金に見合った働き方を望む人」がその仕事を担うべき、という観点から、高校生のバイトが介護を担う、ってのは全くおかしくないんだが、高校生への拘束時間では介護に不適切、というわけで、主婦のパート労働力が本来主戦力となるべき業務なんだろう。そも、みんなに介護能力をつけるような方向性では、ますます介護の価格下がるし、職業介護士は減るばかりになるだろね。究極的には身内を殺す事が出来ないというのがあるんだから、他人に介護を任せるってのは本質的にはその位の覚悟を必要とする問題なんじゃないかなぁとかふと。介護士も保育士ももっともっと報酬上げて、サービスを金持ちの特権みたいなラグジュアリー産業にしちまった方が関わる人間みんなが幸せになれると思う。姥捨山で穴掘って埋める人員を雇用して残虐行為手当付きの高報酬にする方が、おそらくは介護従事者の高報酬化よりも政治的な難度が低い気がしてならない。素人介護を傷害罪で取り締まる様な規制業務にするなら医療と対比可能になるんだろうけど、線引き無理でしょ。代替品としての素人介護の効果が医療行為と比べて高過ぎる。はむっちさんが言ってる希少性の話って、要は介護は医療行為と違って無免許であっても無償であれば罪に問われないから市場として報酬上限が自ずと定まってしまうって事が問題の根源だよね。自分達の生活の為格差を放置していたら、誰も助けてくれる人が居なくなり要介護認定を受けたのにマトモに介護を受けられず死にました。ってオチにするしかねぇんだろ。もう。それが困るなら世代間再分配のために介護費用上げるしかねぇべ。

徘徊癖が出てきた認知症の親を自宅の牢獄で監禁していたら、お巡りさんがやってきて怒られてしまった。しかし「求職中の介護は誰がするんですか？あなたですか？」と問い詰めると黙って帰ってくれた。どうやら罪にはあたらないようなので、これからも生活保護と年金をもらいながら親を守り続けたい。

～キャンディクラッシュ開発前夜～

「飴を破壊するゲームを作りたいな」

「コイツ、頭がおかしくなったのか？」

いつも思うんだけど反ワクチン派がワクチンをビジネスの種だの金儲けだの言ってるけどワクチン作って保管できる大掛かりな設備やワクチン作れる高度な知識を持つ人達が必要だからビジネスでやるにはめちゃくちゃ割に合わない労力必要なの分かってるのかな？賢い人がビジネスやるなら初期投資なるべく少なくてリターンの大きい方が有利だからSNS利用して馬鹿を騙して何か思想植え付けて物売りつける方が楽だよね。

「属性Aを持っている人は犯罪率が高い。だからAの人を排除しよう」という主張に対して、「いやAが犯罪率が高いとは言えない」というのは筋悪で、本当は「実際の犯罪率の高低にかかわらず属性で括ってはいけない」と言わなければならないのだが、これがなかなか難しい。とりわけ感情面で。

前にテレビで人への呪いや縁切りに御利益があるという神社を見たことがある。奉納された絵馬には呪いの言葉がびっしり。ああいう負の感情を棄てるための場所が、昔はTwitterの代わりだったんじゃないか。どうにもならない心のゲロを吐き出す場所が、人にはきっと必要なんだ。

「2年も仕事をしていないが何も間違っているとは思わない。1日2食にすることで食料問題は解決した。消費は毎月200元以内に抑え、お金がなくなれば1年のうち1〜2ヵ月仕事をする。ふだんは家で寝そべり、外で寝そべる。猫や犬のように寝そべっている」受験戦争に勝つため全ての時間を勉強に費やし歯を食いしばって苦しんだ。大学に無事に入り都会で働きたい夢も実現した。しかし996（朝9時から夜9時まで週6日間勤務）や007（午前0時から深夜0時まで週7日間勤務）といわれる過酷な労働や高圧的な職場でいくら頑張っても、都会で家を買うこともできない。高度経済成長後の物価上昇と加熱し過ぎた資本主義社会、燃え尽きたようにそこから離脱していく人たちが出てきていますね。出世や稼ぎと引き換えに自分自身を失う、しかも勝てない戦いならあえて引いて別の世界で暮らすという資本主義社会へのアンチテーゼ。生きることの本質を考えされられる。

20代前半までの特に若い世代からは、たとえ老人社会保障に対する問題意識がある人でも、そこから憎悪を感じることはほぼありません。彼らの考えは、単純に老人医療や老人介護に意義を見出せない、意義のないものに金を払いたくないという考えに近い気がします。あと40年もすれば、たぶん「優生思想だ！」「命の尊厳とは……」みたいな話もなく、きわめてナチュラルに老人医療や老人介護をしない、されない世の中になるんだろうなという気がしています。「今まで私たちはなんでこんなことやってたんだろう」みたいな衝撃が走る時期が来る。

嫁の飯が不味いと思っていたら出された料理に通常ではありえない比率でアミノ酸の鏡像異性体が含まれていたために「家」が地球外生命体によって模造された空間に置き換わっていた事が判明する回

化学調味料などの一部の食品を「毒」扱いする類の人、別の毒にやられたような言動が目立つのは不思議。いやあんまり不思議じゃないか。

Twitter天気予報の時間です。2021年の「4°Cをプレゼントする男はありか無しか？」論争は開花が例年より10日ほど遅く、見ごろは12月9日から2週間程度。クリスマスイブの夜には見頃の後半か見頃過ぎになる可能性が高くなるでしょう。

歴史上、何で貴方達はそんなトップや幹部も無能な負け組に付くの？　そこでの扱いも良くないのに？という事例は山の様にありますが、これまで助けてくれたコネに縛られてる事多いです。なろう系とかでも無能な敵についていく味方がいる理由として使われてるのがあるのは上手いと思ってます。

オタクなら「同じ趣味を持ってて話は楽しいけど人間性は信頼出来ないので深い付き合いとかは絶対無理なやつ」の一人や二人出会った事あるだろうに。オタクアピール政治家となると経歴すら調べず一瞬で全面的に信頼してしまうオタクが出てきてしまうの謎だ。

授業中にとても申し訳無さそうな様子でトイレに行ってもいいかと学生に聞かれるときがある。そういうときは何も言わずにそっと退室してそっと戻ってきてほしいし、それができるようになってほしい。生理上の必要性まで他者に託すように仕込まれてきた高校までのしつけを手放してほしい。それが自立。

そもそも専守防衛は相手から最初の一撃を食らうのが前提だということに対して真正面から向き合うべき。その最初の一撃を食らった時に死ぬ国民のことを論じないのは全くもって不誠実。素直に「平和国家の面目を保ちたいから最初の一撃で死ぬ人はそのために必要な犠牲です」って言え

「立地が良い大学」は通いやすいだけではなく、一コマ空くと帰りたくなる大学でもあることはあまり知られていない。立地が悪い大学は、来さえすれば大学内に留まらせる大学、ともいえるわけで、それはそれでメリットはあるのです。

ロスジェネ論壇の男たちが続々と「フェミ化」しているのって、ほとんど祈りに近い悲壮感を漂わせている。「女性は俺たちと同じく社会から不当に抑圧されている仲間」みたいな意識と、それとこの方が言うような「陽キャ・陽キャ的世界観への復讐心」があるんだけど、まあなんか本当に哀しいな。「ホモソーシャルな競争からの脱落」と「失われたｎ年による社会からの追放」という、ミクロでもマクロでも疎外のダブルパンチを食らわされた身には気の毒に思うが、それを「フェミに理解のある俺」で代償することはできない。

タワマンの高さをずーーーーっと伸ばしていくと、おそらく3万6千キロを超えたあたりで遠心力>引力になってタワマンの天井方向が床になると思うんですよね。すると「地球に足を向けてるうちは庶民」とかいうマウンティング（グラウンディング？）が成立する。

【裏拍】

おでんンツンツ男

就職したばかりの頃「普段は70%くらい、急場で100%を出せるぐらいが理想的な組織。普段から100%で働き、急場に120%で働かせる組織は極めて脆い」と上司に説かれ、当時の私はなんたる怠慢な考え方だと憤慨したが、歳を重ね世の中を知るにつれてこの上司の言葉が重みを増している。

食品廃棄物を減らすために売れ残りは途上国に送ろうキャンペーンで送られてしまう激辛ペヤングやアップルパイペヤングを想像したら涙が出てきた

親ガチャという概念は単純な事実としてそこにある格差であり、決して「自分に出来る範囲で出来る事を頑張る」を否定するものではないんだけど、多くの人間が「親ガチャ概念を認める=人生を諦める」と認知してるの、如何に公正世界信念が人間達のモチベやアイデンティティと密接合されてるか？という話。

陰謀論というのは一種の銀の弾丸で、利害関係が錯綜していて綺麗な決着のあり得ない複雑な社会問題について、観測不能な陰謀Xを持ち込むことでクリアに説明をつけてくれるので、思想の左右を問わず被害者意識が強いのに知的体力が弱い人達は、過激な言論の果てにそこに行き着くんだなあと思いました。

先日，某大手商社で役員をされている高校の同級生を蒲田の鰻屋に連れて行ったんだけど、店に入る直前にSDGsバッチを外していた。律儀だね。感心したよ。

『反ワクなんだけど守護霊が受けろっていうからワクチン受けます。守護霊思いもよらないこと言うからびっくりした』（意訳）ってツイートに出会ってそっか守護霊のいうことなら仕方ないか〜ってなったので良い手法だなっておもいました。いやいやしょうがないよ守護霊の言うことは聞いた方がいいよ。

「共同体の当事者や当人が思っていてもとても言えないこと」を代弁するというのは神の重大な機能の一つなんですよ。神憑きになった人間が昔の集落で大事にされた理由のひとつ。それが皆の気に入らないものだったら狐や蛇の仕業にされてつまはじきにされちゃうんだけどね。

裏口へ通す暗号がキモい美容室

美容師「今日はどうされます？」

『前髪を2本残してあとはスキンヘッド。2本中1本はビビッドピンク、もう1本はアイパー。あと揖保乃糸を1本植毛してくれ』

美容師「……こちらへ」

若者を買い叩いて使い潰している社会で「若者は対価を払うことを学ぶべきだ、それが文化を支えるということだ」と言うなんてことは申し訳ないが私にはできない。まず労働にきちんと対価を払う社会を作らなくてはならない。若者に「500円では安すぎる」と言うのはその後でもよいのではないか。

64のサブスクはやばいよ。アラサーたちが昔楽しかったゲームをプレイするもあんまり楽しめなくて「本当に楽しかったのはゲームそのものではなく学校終わりにみんなで集まって遊ぶあの空間だったこと」に気付いて泣き始めるやつになるよ。

「差別から人を救う」（無くすのではなく）ためには、国境が有効だという話。ビートルズの歌とはうらはらに、国境は均一を阻むから、日本で少し幸せに生きる黒人が現れ、米国で解放される日本人（マイノリティ）もいるということなのだろう。隔壁は時に人を守る。当たり前のことだ。

「やっていいことだけやれ、やっちゃいけないことはやるな」「何はやってよくて何はやっちゃいけないんですか？」「そんなこと常識でわかるだろう」「その常識を教えてください」。

「インターネットは脳を粉々に破壊するよ」っていうあの画像ネタのフレーズあるじゃないですか。あれが現実化していく過程を特等席で見てたのがここ三か月でしたね。特等席すぎたけどな。

家に帰ってからまとめてウインカーを出す車

おい、飲みに行くぞ！

すみませんコレ（報酬）がコレ（入社後平行線）なもんで…

死や人生の意味を考えることを中二病と断じたり、死後は無になるという考え方が支配的なのは、それが科学的かどうかとかは関係なくて、そうやって無限の不安の只中に置いた方が、一時凌ぎの消費に走ったり、終わりのない自己保全の努力に向かってくれて、資本主義社会にとって好都合だからだよね。

視聴してる側がメタ的にコナンのことを工藤新一と認知してるから真相が明らかになることにハラハラしてるだけで、普通に考えたら服部がコナンのことを工藤って呼ぶだけで「え？いまコナン君のこと工藤って…」と疑念を抱く蘭はかなり精神的に参ってしまってるな。

というか本質を忘れがちなんだけど、いま日本人に必要なのはフェミニズムでも表現の自由でもなく「クレームを無視する能力」ただそれだけでしょ。自己評価基準を信念や学問や神じゃなくて外聞に求める阿呆なことするから阿呆な顛末になんねん

少なくとも悠仁くんは相手探しに相当苦労するだろうな。日本中が面倒な舅姑になるわけでしょ。子供はまだか男子はまだかと。わざわざそんな地獄に飛び込もうとする人がいるとは思えない。ブータンやタイなど、どこかの王族女性とでも結婚すればいいのだろうか。

我々は「子どものため」という名目を掲げてしまうと、「心を鬼」にしがちですが、心を鬼にできてしまう人はほんとうの鬼だなと、自分への戒めをここに改めて立てたいと思います。

政治家とあって「熱心に聞いてくださった」「意外に私の専門領域にも通じていた」とか言うのは、半分くらいは手のひらの上で転がされてることをわかってて言わないといけない。「会って嫌な印象だった政治家」って相当だめなやつで、通常政治家の人当たりは驚くほどいいものです。それが仕事や。

なーにが「田舎には我々が失ってしまった大切なものがまだ残っている」だバーカ。快適さの邪魔になるものをとりあえず仕舞い込んだ物置の中をたまに覗いては、ホコリを被った古い雑貨を眺めて懐かしがるような真似をして、そして扉を閉めて知らん顔をする、そんな風に田舎を消費してるだけのくせに。田舎移住民は古民家に住んでいてほしいという都会人の願望、わかるよ。彼らにとって田舎はたまに覗いて面白がったり経験したこともない郷愁を感じて懐かしがったりするコンセプトテーマパークであり、住民たちはそこのアトラクションを構成する要素に過ぎない。要するに見世物だ。

この広告はガイドラインに反して差別的だ。排除して焼き払え！！！と市民が歓声をあげて焼き払い、作者や愛好者まで攻撃される世界を「自由で公正な社会」といっちゃうリベラルって何なんだろう。

仮想通貨だか何だか知らないけどとにかく他人が大損した話だけ流れてくればそれでいいです

人類が滅んだ後にイカが進出したりピクミンが台頭したりカービィが旅しに来たりするんだなあと思うと、人類滅亡が楽しみすぎる

理想と不寛容という問題を考える時、左翼運動の内ゲバというのは最もわかりやすい事例と言えるかも知れません。理想を掲げる集団は理想が明るいほど、不寛容という暗い影を生み出して自滅する。敵はそれを待ってれば良いわけですね。

小説とかで人を描写する時に「黙ってスマホをいじっている」と書くとなんとなくそこに態度の悪さだったり批判的意図が出てしまう気がするんだけど、実際はもう「なんとなく窓の外の風景を見てる」くらいのことなんだよな。

これはお母さんの出す料理じゃなくて、お母さんを標榜するお店が出す料理

ツイッターでは首都圏で湾岸のタワーマンションに高所得者が住んでいる事になっているのはちょっと階層の分断を感じる。本物は松濤とか大和郷に住んでるわけでしょう。皆さんからギリギリ観測できる程度の高所得者っていうのがタワーマンションで時折でくわす高層階住人ということなのだと思う。

大体いつも言ってることだが、特定地域について在住歴が長いから、或いは母語話者(並)だから専門家並みのことが言えるという言説が事実なら、日本で生まれ育ち、日本語が母語話者並みに過ごせる我等はとうに日本学の専門家なのである。バカ言っちゃいかんよ。

表現規制論者の「AというのはBと同じ構造なんですよ（Bは問題だから、Aも問題なのです）」って主張、だいたいそもそもBが問題ない。

我々庶民がタワマンだ受験だとキャッキャしてる間、ガチ富裕層が通わせるボーディングスクールが寮費込みで年間849万〜927万円という異次元の料金表を出してくるの、怖くて泣いちゃう。ハロウ経由で米国大修士まで行かせたら学費だけで2億かかるのでは。スタンフォ院卒までの道のりは遠い…。

逆説的だけど、だらしない身体が市民権を得ても多分人間の美的感覚はそんなに変わらないので、努力してスレンダーな体型を維持している人の希少価値は逆に高まると思う。公的な場では人種差別が禁止されても、本音では金髪碧眼の遺伝子を望む人が多いのと同じことが起きるんじゃなかろうか。ましてや体型は人種と違って後天的な要素が強いので、「綺麗なお題目」に騙される人が増えれば増えるだけ「狡猾な美人」が得をするんじゃないかな。

Twitterとかいう、いつもユーザーが怒ったり悲しんだりして政治への不満や心身の不調を訴えている、マイナーなSNS

最近、フェミニズムを名乗ってる運動家が民暴2.0的な行動に出ることが妙に多いのを踏まえると、非常に嫌な話だけど、「公的機関や企業等とコラボするVTuberやアニメ等を”審査”する倫理団体」とか作らせて利権を獲得するために火のない所に煙を立ててる人達がいるんじゃないかという推測が出来ますが…。

18歳で東大の数学の問題を解けるようになるより、12歳で灘や筑駒の算数の問題を解けるようになる方が遥かに難しいということだけは、この中受加熱時代には何度言っても言い足りない。確かに東大の問題は全体的に難しいが、傾向ははっきりしてるし、18歳や19歳なりの体力や経験値で押し切れる部分もある。積み重ねがかなり生きる。で、中受最難関の算数、あれは普通の子には無理や。あれが12歳でできなくても何も気にすることはない。

現代の若者が昭和のサラリーマンに転生したら耐えられんだろうな。スマホもPCもなく手書きと電卓の書類作業、煙草の煙濛々としたオフィス、お茶汲み扱いのOLへの日常的なセクハラ行為、5時きっかりに仕事が終わっても義務的な飲み会と屈辱的な宴会芸が待ってる。俺も戻りたくない。

武士が切腹できたのは驚異的な精神力の持ち主だったからではなくて、時代がそれを当然と強要し、それを本人も当然と受け入れていたからで、現代人ができないのは当然と受容する文化に育ってないだけの話だと思う。みんな自分の個人的意志を高く評価しすぎ。それは社会的に作られたものなんだよ。

今日は寝ていたら背中を攣ってひどく苦しんだ。体を攣るのはこんなに辛く苦しいのに、歌や文学のテーマに全然なっていない。

「国民」という物語は最早広く共有され得ないという物語が、国民の間に広く共有されている袋小路。脱出口がさっぱり思いつかないので、私は破綻の後の再起に賭けることにした。死を受容する物語の必要性は「姥捨派」も同意するところだと思うけども、国家レベルのそれを再興する経路を想定し難いので、血族や「マイクロ共同体」といったミクロ的基盤からの建て直しを図っている、という（自己）認識。我らが「姥捨派」の皆さんも、基本的に自己利益の為に主張しているのではないと思っているが、「人は自己利益のみを目的に行動するものだ」という信念が行き渡っている現代日本では、そうみなしては貰えないということなんだろう。本人の意向と関係なく、生命至上主義を押し付けられる老人と同じで。国民国家の物語がしっかり息づいていた往時も、個人と国家の両極が直接繋がっていたわけでなく、地縁血縁に基づいた中間共同体があればこそ、まともに機能したのではないか。共同体が圧倒的なリアリティを持っていたからこそ、それを敷衍した「想像の共同体」が成り立ち得た。国民国家の物語が、前近代的な中間共同体をいわば燃料として消費することで駆動されていたのだとすれば、ほぼそれを使い果たした現状において、「物語」の再興を図ることはあまりに望み薄ではないかと思える。まずなすべきは、「動力源」を供給するドメスティックな共同性の回復ではないかと。生存欲求の充足は、今より低い水準に留めた方が（高齢者自身にとってさえ）良いという判断は彼我で共有されており、それには生を諦めさせるに足る「強い物語」が必要であることも多分異論はない。対立項は、「想像」と「共同体」のどちらからアプローチするかという一点に集約されるのではないか。

ウヨ界隈による秋篠宮家叩きを見とると、彼らは皇族を敬っとるように装って、実際には皇室の権威を笠に着て「日本スゴイ」したいだけなんちゃうんか。「愛国」の道具にする前に、人格を持った人間として尊重せなあかんで。嫌儲では天皇制廃止の声も大きいようやが、ワイは象徴天皇制はあってええと思う。ただ、皇族に対する世間の風当たりを見とると、「国のために一点の汚れもないお人形で一生居続けて」という重圧を感じるわ。ほんまに天皇制を継続させたいのなら、もっとフランクな皇室を目指したほうがええんちゃう？んで、もし皇位継承を拒否するニキ（ネキ）があらわれたら、そら尊重せんとあかんやろ。皇族である前に１人の人間やからな。せやから、国と国民がやるべきことは、天皇ニキ（ネキ）の地位にあっても、できる限り自由に気疲れなく暮らせる環境づくりやと思う。でないと、誰が皇室に入ろうと思うやろ。

「女性の活動を攻撃し、6万人もの署名が集められ78ヵ国から批判され日本中のTVニュースで荒唐無稽と言われ街頭インタビューで全女性に否定される事態となって尚、議連の暴走を諫める正当なフェミニストはとうとう日本に存在しなかった」と証明された記念日になりましたね。

本物の金持ちは湾岸タワマンに住んでいないということなんか、ほとんどの人がわかった上でネタにしているのだとは思うけれど、メリトクラシーが極めて強い現代においては「ホンモノのボンボン」よりも成り上がりの小金持ちの方が、人々の羨望の眼差しを集めるのもまた事実なのではないかと思ったり。共産主義革命は失敗したけれど、「自分の力で成り上がらないと不当」という強い観念自体は広く普及したのだと思うし、同時に新たに「遺伝子」という概念が出てきて、「成り上がりも遺伝子ガチャでは当たりを引いただけなんじゃない？」と相対化されているのが今ということなんでしょうね。個人的にはメリトクラシー的な概念が価値を持ちすぎていて、それに縋ることがあまり合理的ではない状況になっているのではないかとも思う。野球で例えるとセイバー的な概念でOPSが高い選手に人気が集まりすぎると、価格が高騰して強化の費用対効果が悪化するような。市場は美人投票で常勝戦略無し。

「これからは地方！」とか言いながら地元でもないのにいつまでも東京に住み続ける連中に比べれば、実際に引っ越しただけイケハヤの方がなんぼかマシまである

服部がコナンのこと「工藤」って呼ぶのリスク管理的にヤバすぎませんか？

勤め先を辞めてカフェをやろうと思っている人は、空いても混んでもいない店に行って、1時間くらい座ってみましょう。お客が何人来て、自分がいくら使ったか、従業員は何人で、それに営業時間と時給$15掛けてざっくり計算してみましょう。それが自分の店だと思うと怖くてとても手を出せないと思います。

それにしても、終身雇用制より成果主義！と言われてたけどその成果ってなんだったんだろうって、昔世界のトップだった日本の家電業界を見ると思いますね。ほとんどが凋落ないし消滅してる。

「自由主義者」というと何かすごく意識が高くてクリーンなイメージがあるけど、ほんまはへずまりゅうみたいな奴のことを指すんじゃねえの？極少数のアカデミックな学者や論壇者は「いやそれは違うミーイズムだ、真の自由主義とは”他者の自由”を許容する寛容な思想だ！」と拒否するけど、現実問題、大多数のパンピーに「自由バンザイ！」と言ったら、そりゃミーイズム社会ができるし、自由主義学者は市井のそうした変化までは考えてもいない。自由を重んじるのであれば、ある人の自由と他の人の自由の対立をどう調整するのか、が最大の課題なわけで、そこが本来はキモなはずなんですよね。その調整をどういう理念でどういう原則でやるのか、そここそが本来、政治思想としての芯になるべきところですよね。

再生可能エネルギーを推進して電気代が二倍になったら「貧困層をなくそう」というSDGsの一番最初の項目にぶっちぎりで反するのに「電気代あがってもいいから再生可能エネルギーを推進しよう」みたいになってるワロス。SDGs的にプラスマイナスゼロで推進できてねぇーじゃん。

入管は移民不要という日本社会のコンセンサスにもとづいて汚れ仕事をしてるだけなので、入管のような末端だけをこらしめようという発想は好かんですね

昭和頑固親父が「こんなはしたない格好で表に出る女を許せば女がどんどんはしたない格好するようになる」と言えば時代遅れと叩きまくるけど。令和リベラル母さんが「こんなジェンダーバイアスに沿った格好をした女の子が公共の場に出たらどんなメッセージを生むか考えて？」と言えば拍手喝采される。

自然との共存、「自然を壊しちゃいけない」という綺麗事ではなく、「本能的に人間が心地よいと感じている」という点にやる意義があるのかもしれない。緑一切なくなったら普通にみんな病まない？

クソリプの本質は「地頭のいいおれには世間に対して言うべきことがたくさんあるのに周囲の誰もそれを認めてくれないからネタをネタと識別する余裕も持てずに脊髄反射でリプしてしまう」という自己の能力を遥かに超えた行き場のない自意識の暴発。

疾病予防って医療的な面が考えられがちだけど、新型コロナウイルス流行で、経済にも国際交流にも、国防にも関わる事が理解されたと思う。これって新型コロナウイルスに限った話ではなくて、はしかをワクチンせずに罹患し、飛行機乗ったら結構な国際問題になるって事ですよ。こどもの定期接種は親が反ワクチンで行ってないと、後々こどもが苦労して、親と大モメになる事が多いので、医療的な面だけでなく、とりあえず接種しておいた方がいい。副反応あったら小児科医が対応しますしね。定期接種の対象年齢超えると、金銭的に苦労するだけだし。最近は新型コロナウイルス流行でめったに見ないけど、修学旅行(海外)前に駆け込みで接種とか。思春期だからこどもは親に『ざけんな、クソが』とか、大荒れになるし、反ワクチン親も若い時と違うんでオロオロするだけだし、地獄絵図なだけ。定期接種は期限付きなんで、やっといた方が無難です。駆け込みで1日10本弱接種した中学生いたけど、待合室で親に『クソ親が』『てめえがワクチン嫌いとか俺に関係ねーんだよ』って喚いていて、親はうつむくだけだった。10年前は意気軒昂に医者に食って掛かってたのにな、あの母親。『こどものため』と思った反ワクチンが、結果こどもから跳ね返ってくる。アトピー性皮膚炎の脱ステロイドも、反ワクチンも、こどもにとっては『親のエゴ』でしかないんで、思春期に親との諍いのネタになってしまうのがオチです。Twitterやインスタでイキってる親御さん達も、10年後に備えて体力つけといてください。思春期のこどもは容赦ないんで。

「3分遅れたあなたは40人ぶんの3分を無駄にしたので2時間ぶんの遅刻です」

「10分の校長先生の話、400人の生徒…4000分、およそ3日ぶんの無駄ですねぇ」

なんとなく「あやしいウェッブページや踏んではいけなさそうなリンクがなんとなくわかってしまう異能力が特定の世代にしか発現していない」まで書いたところで、もしやリンクを「踏む」は現代では通じないのではと気付いた。

教員というか学校の評価方針が「頭悪い奴は悪」みたいな考えを生徒に刷り込ませるようになってんだよね、そりゃ勉強嫌いになる人は増える。俺も学部の頃、パワハラじみたことしてくる教員がいて、その時ガチで数学嫌いになったな。結局は数学そのものの面白さより、数学やってる人の性格の朗らかさだな

「簡単な計算により…」は全然簡単じゃないことが常と思ってたので、気合を入れて計算始めたら3行で終わって「本当に簡単なこともあるんだな…」と思いました。

「世界が滅びるってときに内輪もめや権力闘争しているなんてリアリティがない」→「めっちゃリアリティのある描写だったことはわかったが、その描写はすごいストレスなので勘弁してください」である。

「命を大事にしよう」「かけがえのない命」みたいな歌詞は学校の合唱曲にわんさか溢れているけど、もし人類の価値観が真逆で「殺してもいい命」「老人は首をつって死ね」「戦争しよう」みたいな内容の歌詞が人気だったらと思うと恐ろしくなってくるな。この世は人道主義を歌によって押し付けて洗脳しているけど、よい洗脳だから誰も何も言わないってことがわかる。

先輩から代々受け継がれてきたテスト対策ファイルの題名に淫夢のパロディが入ってたのをこの間ふと思い出したけど、ふと思い出した系のエピソードの中でも割と最悪めのほうの話。先輩に聞いても誰が名付け親かわからないっていうし…。

面接官「最後に何か聞きたいことなどはありますか？」

ぼく「お宅の娘さん、今度小学生に上がるらしいですよね。一番可愛い時期ですよねぇ、失いたくないですよねぇ」

例えば親に虐待された。それは親ガチャ失敗なわけだけど、でも子供を虐待するような親もまた知能や生育環境に問題があったりと親ガチャ失敗のクジを引いてるわけです。そういう宿命論的な負の連鎖と不平等は現実に存在していて、それに我々はどう向き合うか？ということを考えなきゃならんわけ。自分は親ガチャに当たった外れたという自分中心の論点ではなくて、この世界には親ガチャに外れて自分ではどうしようもない不遇に囚われてる人がいるという他人中心の論点を持って欲しいんですよね。そういう人たちに対して何をすべきなのか、というのが例えばサンデルの親ガチャ論なんかの本旨でしょ。

中高年になってから地元や会社の歴史とかを調べ始める人がいるが、あの気持ちがだんだんわかってきた。人生の折り返しを迎えて自分自身の死も見えてきて、そうすると自分というものは何だったんだろうと疑問に思って、より大きな流れの中に自分を位置づけたくなる。家系図作りとかね。陳腐な言葉で言えば「大きな物語」、自分は大きな物語に登場して、その1ページを飾って消えていくのだという実感が欲しい。勲章の意義もよくわからなかったのだが、あれは人生の締めくくりに「あなたは名もなきモブではなかった。ネームドキャラとして活躍したんですよ」と国が認証してあげる儀式であるわけだ

結婚はおろか老後の蓄えもビジョンが見えず副業を強いられる若者の一方で、生活安泰で子供も複数いるような大人が「自分らしさ」や苗字のことで思い悩む格差社会。

超珍しく親父からメールが来たと思ったら「コロナ」「マスク」という単語が見えて、とうとう文字が流れるだけの陰謀論系のYouTube動画を見始めた…！？と構えたら「視える人曰く霊はマスクつけないからコロナ以降霊を見分けやすくなったらしいぞバリアツい」みたいな内容で安心と同時に血を感じた。

ツイッター界には簡単な文章が理解できない未就学児がたくさんいて目眩を覚えますね…親御さんはスマホは与えてもアカウント作るのは許さない方がいいと思います…。

「ステキな絵を描く○○○さんに会ったらふつうの中年でがっかりした、絵の通りのステキな見た目だと思っていた」と言われて、当たり前でしょナニ言ってんのと思ったのですが、これが当たり前の感覚じゃない人のほうがもしかしたら多数派ではないか、とTwitterを見てて感じることはあります。

迷惑な客お断りと書いても自覚の無い迷惑客には痛くも痒くも無いけど、ラーメン評論家お断りと書くと面倒な客が自ら名乗り出てくれるので便利。さすがアイドルの現場で鍛えられた感がある。

精神科はメンがヘラった時の最適解というか、現世においては唯一神だから行った方がいいんだけど、精神科は人間を温存したままゆっくり治しましょうね〜が基本なのに対して私が欲してるものは明日笑えるようになるロボトミー手術なので解釈違いみたいなところがある。

どこまで行っても自分は確信的な保守などではなく、「反動」でしかないんだろうとは思う。そして、この世の中には一定数の同類がいるということもよく分かる。インターネット万歳だ。保守派とか右翼とかって言われると言ってることは似たようなものでも内実は「反動」なんである。国連や大学教授や正義の活動家がナンボのもんじゃというアレ。まぁ、「古くから残っている常識や習俗にはそれなりに合理性がある」という主張すら不穏当になりかねない昨今では反動も割とやりがいがあっていいんですよ。あなたもパブリックエネミーになれる。

リポーター「見てくださいこの行列！これ一体何の行列だと思いますか？実はこの行列、先頭まで辿ってみようとしていたら一周してここに戻ってきてしまったんですよ、どういうことですか、これ…？」

死にたい、に、変わる言葉が必要なんだと思う。明らかに、死にたいではないが、死にたい以外に苦しみを表す語彙がない。死にたいと感じる時の状況に関して、まだ赤ん坊すぎて、それを表す言葉を知らないだけなんだと思う。とりあえず、作ると治る、ことは僕の中ではわかってきている。

世帯年収一本への課税強化に反発凄いけど、共働きによる格差の拡大によって、一本足大黒柱経営者、エリートと共働き世帯が住宅や教育で都会でマウンティング争いする結果として、世帯年収一千万は庶民だという話になってんだろうなとは思いますね。子供を持てないランクの男たちのことは脳にない、存在しない、もちろんそれは住んでいる世界が違うからですな。ピケティが上位1％に課税と言ったら日本なら年収一千万で、マスコミ関係ほぼ全員に刺さって死んでしまったみたいな笑い話があった記憶もありますが。それこそ田舎のマイルドヤンキー羨ましいわー、調整区域や坪単価一桁万円レベルの土地に家建てて、大家族近居だと金余るわーアルファード買えるわーとか言ってるなら、自分も都会で高い住宅とお受験で疲弊してないで真似すれば良いじゃないかという話でもあり。確かに所得税の課税は高齢者が増えてしまいすぎると問題が大きいと思うし、意味合いが過去とは変わっていますね。あと、社保が重すぎる。ピケティも資産が少ない若い世代を優遇しろと言ってましたね。ただ、世帯年収一千万は流石に庶民ではないと思いますよ。そしてそれは二世帯三世帯で住むことや、地域社会への奉仕とペアなわけで。メディアや多くのツイッタラーは数字をこねくりまわすのが好きだから、ナラティブな体験・経験をすぐに無視する…。

兵站が弱いと評判の日本軍ですが、そもそも太平洋みたいな広大な海洋でガチンコバトルをした国は日本とアメリカ以外ございません。陸続きなら海越えより兵站整えるのが楽なのは当たり前でしょ。（アメリカと比較して）兵站が弱いってだけのお話です。ドイツもイタリアも太平洋と比べたらハナクソみたいな距離の地中海越しの補給にクソみたいに苦戦してますがな。ぶっちゃけ太平洋戦争でアメリカに負けた理由、小手先のアレが悪いこれが悪いで解決するような話ではなくて、一言で言えば「総合的な国力の差」でしかないんだよね。戦前や戦時中の日本を批判する人ほど何かしらの原因を求めたがる傾向にあるけどさ。兵站を軽視したっていう言説にしろ、兵站を重視したところで総合的な生産力は少なくとも短期的には変わらない訳だから、輸送船作りまくったりその護衛艦作りまくったりしたらその分前線で使う兵器が減るだけなんで…。海上護衛を軽視したってお話にしろ、前線の兵器を整えてアメリカとやり合いながら海上護衛に潤沢な兵器を整える国力がなかっただけですよね。

田舎に来て認識したんですが、マイルドヤンキーは田舎のカーストの上層なんですよね。中層がヤンキー崩れやその仲間等の横の繋がり。じゃあ何が下層なのか、それは、貧乏＆ネグレクトのコンボの家庭と、ADHD or ASD などの軽度障害を抱える者です。基本的に、マイルドヤンキーは家庭に恵まれており、大家族故の「早く子供を産んでも問題ない」という絶対的なアドバンテージがあります。更に、大家族を維持出来るだけの金を持っている、ということは、それ即ち地元でもそこそこの有力者である事が多いです。そこそこの大きさの会社の跡取りのイメージか、次にヤンキー崩れや、そのお仲間です。ここらは、実はそこまで家庭に金があるかないかは関係がない。大人になって仕事を探す時、田舎では横の繋がりから仕事が回ってくることが多いので、ヤンキー界隈に通じるパイプを持っていればそこからずっと仕事は探せる訳です。ここは都会と大きく違う面でしょう。問題は下層です。この層は正直かなり悲惨で、都会の下層とは比較にならない感触があります。下層の条件、それは「お金やパイプ(繋がり)もなく、パイプはあっても舐められる」という所です。これは致命的な面であり、基本的に田舎は舐められる立場だと、逆転が難しいです。回ってくる仕事も酷いものばかり。「現場でこき使われ続ける派遣や下請けのおっさん」はほぼこの層です。中には中度の知的障害者のような人もおり、酷い扱いを受けていることが多い印象です。発達も自閉症もそうですが、軽度なら日々の学習や家庭環境によって、ギリギリ健常者に近付けることは可能ですが、ここで田舎の悪い所が出ます。ここまでの説明で、田舎の社会は学歴によって成り立つ訳ではないことはお分かりになられたと思います。つまり、机の前の勉強は田舎ではそこまで重要視されていない。しかし、ここが大きな罠であり、発達や自閉症が周りを見た上で勉強もしてない場合、一生這い上がれないような存在と化してしまいます。私が見たケースはいくつかありましたが、「40超えて運転免許すらなく、2桁を超える計算が出来ない男性」みたいなのは下層では珍しくないです。犯罪歴もここからかなり増加しており、その中でも窃盗は相当でした。それも、ただの窃盗ではなく、「上に言われて他の会社の物を盗んで売る」等の損引きです。また、大半が借金持ちであり、ここから彼等がスパイラルから抜けられなくなっていることが考えられます。基本的にここの層は、自分で考えて動く能力等がかなりなくなっているので、ずっと下請けでろくな扱いを受けないことが多く観察されました。田舎のカーストは中層までなら、都会よりも扱いはいい事すらあるでしょう。しかし、下層は都会よりも相当酷いと言わざるを得ません。都会の下層は1人でも生きていけなくもないですが、田舎の下層は車すら動かせないと一生そこから出られないので逆転も何もない

多頭兼飼育崩壊で糞尿と餓死と腐乱死体で悪臭で通報される様なアニマルコレクターでも本人は「自分は動物好き」と思ってる。人間、言ってる事や自己評価なんて全然アテにならない。共産主義者が「貧困解消」とか「平和」って言うのも同じ。

本で読んだ話。タイではお寺は誰でも受け入れる一種の避難所として機能してるんだけど日本に旅行に来たタイ人女性が同じ感覚でお寺に立ち寄ったら不審者として警察に通報されて大変ショックだったと。日本では寺は既に治外法権的なエリアではなくなったけど外国ではまだそういうのが生きているのね。

クレーマー接客した経験のある人はわかると思うんですが、クレーマーというのは自分のことを「被害者」だと思っているんですね。「こっちは被害を受けた側であるのに、正当な配慮がなされないから、やむを得ず自力救済をしている」という認識で生きている。なので「どう見てもあなたが加害者ですよ」と言われても理解できない。「いや、なんでお前らが被害者ヅラしてんだよ！」とますます逆上する。厳しくやり返されると「バックラッシュが起きた！」と言い出すとかはまあ、「私は被害者」という世界をだれからも諫められることなく生きてきたのだなということで、ひとつ。

結局フェミニストはわがままな箱入り娘で、フェミニズムとはその"箱"を無限に拡大していく運動でしかない。

「夢」は「現」であり「現」は「夢」であるなどというと、私たちは、自分たちが現実に生きている世界と夢は同じなのだから、われわれの人生なんて夢や幻のようにはかないものだ、という考え方を導き出しがちである。しかし、それは今日の夢意識にとらえられた見方である。中世の人々の意識のなかでは、夢は神仏のメッセージを人々に伝えてくれるとても重要なものだった。彼らにとって、夢は決してはかないものではなく、それは現実に自分たちが生きている世界にに匹敵する重みと価値をもったもの、現実世界とイコールで結ばれるほどに存在感のあるものとして意識されていた。「夢」と「現」がむなしくはかないものとされるのは、あくまでも「仏生常住」の世界との対比においてである。その点を、私たちは見落としてはならない。

俺はキャラ絵に性的要素があるのは当たり前だと考えてるので、もし性的要素を批判されてもぽかんとした顔しか出来ないんだが。

アトキンソンが本当に日本や日本人のためと思って言ってるのかどうかは知らんが、言っていることがことごとく合成の誤謬を招くのを見ていると、やはりミクロとマクロの区別や思考の切り替えって一般には難しいのだろうなとは思う。合成の誤謬の理解に必要なのは知識量ではなく思考の訓練だから。

「観光」で喰うとる現場なんざ、いくらきれいごとで煽っても、実態は介護や福祉などと同じヨゴレ仕事だから自分らには他人事、というエリジウム認識なんだろうな、と感じたのであった。「サービス」だもの、自分たちはそのサービスを受ける消費者にしかならないもの、サービスの舞台裏がどんなにヨゴレ仕事でブラックでも関係ないもの、とな－

マイルドヤンキーが強いのは 地方特有の早婚早産により 祖父祖母がバリバリ現役 ダブルインカムどころかクアトロインカムな点にある そら 庭付き戸建ても買うし黒塗りアルファードも買うわ。確かにそうなんだけど、基礎教育には金かけない。サッカーとかスポーツへ。だからか、早婚早産が連鎖する。とは言いますが、少子化対策を考えるならその方が良いかと。皆が皆、教育に大金をかけられる経済的余裕がある訳じゃないし、平均的教育費が上がれば子を持つハードルが無駄に上がるだけなので。オーバーエデュケーション問題はやはり少子化の大きな要因と言えそうですね…

署名を数の暴力と言ったり、署名を集めて公開質問状を出す事をヤクザ愚連隊行為と言ったり、ブーメランと誹謗中傷の好きな方々ですね。民主主義社会において、片方だけが抜ける聖剣などないのですよ。

足立恒雄が「人間の知る"数学的真理"はあくまでもヒトが発明した概念の延長であり、『宇宙人もヒトと同じ数学を持つはず』という考えは傲慢である(要約)」ということを言っていたのを思い出した。そう考えると、ヒトの考えた数理的モデルで説明できる/できない世界って何なんだ？という気持ちにはなる。『√2の不思議』(足立, 2007)より"まえがき"。「...数学がいかに普遍性を持っているといっても、所詮、われわれの言語から作られたものであるという基本的な枠組みと決定的な制約を背負っていることにもなろう。だから宇宙のどこへ行っても知的生物は表現こそちがえ、みな同じ数学を持つはずだというような説は、姿を変えた人間中心主義のたわごとなのではなかろうか。」

僕「つまりな、俺は人類の知性や理性には限界がある気がしてて、それを超えちゃう事象があるかもしれんって思っとるねん」

ひろゆき「でもそれってあなたの感想ですよね？」

同級生に相手にされずに歳下の世代とばっかりつるんでる奴や、いつまでも部活に顔出すOBや、Twitterでヘラヘラ若者に媚びるおっさんがカスなように、大人から嫌われてて何も分かってない子供にだけ人気の親戚おっさんなんて、大人になってから事情知ったら大体ただのカスなんよな。

改めて「鬼滅の刃」を観てて思ったが、これ、米国だとR指定で、地上波放映なんてほぼ無理だろう。で、そうやって鬼滅の刃をR指定にする国では、日々犯罪が多発し、銃で毎日100人ほどが死んでいる。結果的に、そういう現実から目を背け、無かった事にする方向に表現規制が逆用されてるように思う。鬼滅の刃を、家庭のTVでも普通に視る事が出来る日本と、規制されてそれを視る事が出来ない米国を比較してみれば、明らかに分かる事だが、残虐とされるシーンを規制している米国の方が、桁違いに残虐な現実が発生していて、それを止める術も無いどころか、社会にそれを止める意欲さえ見られない。「乳が揺れるVtuberを規制しろ！」というのが最近日本では話題になったが、その他のアニメやグラビアでも同じような騒動が繰り返されてきた。その度に、実在する性犯罪と、その被害者である実在女性は蚊帳の外となっていた。米国でも同じで、残虐表現規制の中で、現実の犯罪被害者は蚊帳の外だ。表現規制が、その効果測定も分析も不十分なまま、活動家たちの留飲を下げる精神安定剤のようなものになっているのではないか？改善の難しい現実の暴力や性犯罪や差別の問題に対して、その無力感から逃れる為に、表現規制をやって、何か実現した気分になりたいだけでは。

自殺したい人がレビュー欄見ても余計死にたいとしか思わないだろうな。要は迷惑かけるような自殺するなって事で、事故に見えるように死んだなら何の問題もないって事だよな。それこそ死体さえ発見させなければ…。

タワマンの屋上から飛び降り自殺しても、自然落下では地面に到達するまで3ヶ月ぐらいかかるので先に餓死するらしい。

フェミニストのスタンスって、潔癖症を増やそうとしているようなもので「ほら、このくらいミクロなレベルでみると汚れがあるでしょ。問題でしょ？」って言いまわって、感覚をどんどん過敏にしていくことで本来は何も感じずに幸せに暮らせていた人を自分たちと同じ不安水準に引き込もうとしている。戸定梨香のアンケートの結果で、「どちらともいえない」の人について「ちょっとでも問題あるかもしれないと感じている人がいるはず」てなことを言っている人が多くて、このように思いました。特に問題を顕在化させていない状態の人までも「問題あり」側に無理やり引っ張り込もうとするなよ、と思った。

いわゆる老害叩きで叩かれる老害なる人ってほとんど「老いている」のではなく「精神的には幼いまま老化だけを経験している」人ばかりだと思うので、自分の皮膚がつやつやなのを良いことに老害叩きをしている若いだけの人もまっすぐそこに向かってると思う。

親ガチャて、子供目線から見た親や社会があまねく「大成功大当たり人間になれ！」と訴えているような状況に対するカウンターだと思うので、客観的に見て子供のほうがガチャで「出現する」もののような立場に近いという奇妙さは意図的なものだと思うんですよね。自分は経験してないのでよく分からないけど、実際に「東大生になれ」とか「医者になれ」とか言われながら育てられたら自分という存在に「外れ」という概念が潜在的に含まれていることを常々感じざるを得ないのではないですかね。なので、気持ちは分からないけど漠然と推し量ることはできます。

自分の子供を東大生にしようとしてる人」と表記すると教育熱心とか親バカという好意的解釈が可能になるけど、「東大生の親になろうとしてる人」と表記すると気色悪さが滲み出る。「自分の子供に賢くなってほしい」の具体案が「東大生になってほしい」と漠然とした地点で止まってるはそれ自体が何か致命的に賢さを欠いている感じがして面白い。あと、テレビとかで東大生がクイズをやらされがちなのも面白い。東大生は賢いはずだが、東大生がどう賢いのかはわれわれには分からないので、われわれの理解できる範疇で賢さを表現してくださいという妥協点がクイズなのかなと思う。

反出生主義とか、「存在していることと存在していないことのどっちがよいのか」みたいな哲学的？な問題に繋がってると思うけど、こういう問題を「現在自分が幸福だとか不幸だという個別の問題をより上位の問題に拡張して」語っている人が多すぎてなかなか首を突っ込めない。幸福だとか不幸だとか、あるいは自分の人生が思ってるものでないとかいうのは、あくまで存在したあとの話で、そういう問題を存在することと存在しないことの評価に持ち込むのは私情を挟んでしまっていると思う。そういう複数の問題を混同しないで判断するのもやっぱり哲学者の仕事なのかも。生まれるのはよいことだとかよくないことだと言ってる人たちが、対立しているわりに同じこと（幸福とはこういうものだとか人生の目的はこうだとか）を前提にして一般的にそれが成立するからよいとかむしろ一般的に成立していないから悪いというふうに話してると仲間外れにされた気分になってしまう。生まれてくることがほとんど確実に生まれてこないことより悪い状況を約束するということが事実として認められたとしても、そこからさらに「人間をさらに存在させてはいけない」まで行くには何段もステップがありますよね。もちろん、反対のこと（良いことだからそうすべきだ）も。

ここで天才とは、並外れて頭がいいというようなことではなく、むしろ逆に、普通の人が即座に（あるいは最初から）分かってしまうことがなぜかどうしても分からず、しかも信じがたいほどあきらめが悪く、執拗にその理路を問い続ける一種の化け物のことである。（永井均「西田幾多郎」）。基本的には世の中はものごとが単純でスムーズであることのほうが望まれているので、既に解決済みとされている問題にいちいち引っかかって問題を増やすようなことを生業にしている人たちは肩身が狭い。別に哲学者でなくても、そういう人は生きづらいだろうし、とか考えてると胸が打たれますね。「当たり前になっていることがなんで当たり前になってるのかまるで分からない」って一番孤独なことのような気がする。

ゲーム自体よりゲーム実況のほうが賑わってる時代になると、「自分でゲームを遊ぶとゲームを遊んでる人のリアクションを第三者として見られないからつまらない」という問題が生じ得ると思う。ゲーム実況者は、ゲームプレイが上手いとかいうのはもちろん、やり込むにしても考察にしても純粋に「楽しむ」ことに関しても、何らか普通の人より「ゲームを遊ぶ才能」に長けている人だったりするので、それだったら自分が遊ぶよりそういう人に遊んでもらって見てる方がいい、というのは妥当だと思う。もっと言うと、たとえば「インフルエンサーが超良い家に住んでる」「かわいいペットを飼ってる」「おいしいものを食べてる」のに対して「インフルエンサーが代わりにそれをやってるから自分はいらない」と思うような、広告が成り立たなくなる変化とかもあり得ませんかね。

「（他）人が言ってること」の意味は一意に定められるものではなくて読んでいる側が勝手に想像して内面で再構成して伝わったことになってるだけなので、こういう場所で他人に難癖つけてばかりの人は自分が再構成する意味のバリエーションが乏しかったり歪んでいることが多い。いわゆるクソリプ系の人はこの「再構成のパターン」が貧弱でどんな発言も過去の似たようなパターンの類型とみなして同じように反論してる場合が多いと思うけど、そうすることで「人の言っていることの意味が分からない」という気持ち悪い状態から逃れられるのかもしれない。人が「どういう意図でそう言っているのか」という理解が想像でしかないということは、自分では大勢の悪意に囲まれて獅子奮迅しているつもりが自分の悪意を大勢に投影しているだけ、ということもあり得る。しかもネットはそういう認知の行き違いを増幅する機能をあらかじめ備えている！

昔、なにか記事を書いたときに「こういう"面白い"書き方をする人には気をつけなければいけない」と言われたことがあるんだけど（皮肉だろうけど）、あれは的を射てると思う。実際、ものごとを"面白く"描写する人は細部をすっ飛ばしたり捻じ曲げて強引に結論に持っていく技術を持ってることが多い。反対につまらない人が正確だというのではなく、「面白いな」と思ったり「そうだそうだ」と快哉を叫びたくなるような瞬間に逆に「この人には気をつけたほうがいい」と考えるようなブレーカーがあった方がいい、という感じ。つまらない人は少なくとも、そのつまらなさで人を欺くということはしない。もしかすると、飛躍を含まない、偏見や、過度の一般化や断定を一切含まない文章は概して「つまらない」という言い方もできるかもしれない。何かに詳しい人はものごとのある側面を論うときに別の可能性も残して書く場合が多いけど、そういうのって「エンターテイメント」としてはテンポが悪いから。いわゆる陰謀論とかって、見たことある人は分かると思うんですけど圧倒的に「面白い」ですよね。あらゆるものやことがたったひとつの相関図の中で説明できる。これは現実には真似できないですよ。現実には意味のないこと、無関係な二つのもの、何も示唆しない出来事が多すぎる。

経験してないものを想像で補って、たとえば「他人はみんな鈍感で自分はひときわ繊細なんだ」と定義するとしたら、繊細な人がなんで他人のことを鈍感と断定しているのか、という疑問が湧いてしまう。

コロナがどうこう以前に、「人はいずれ死ぬ」という一般的な事実が受け入れられてないと思うし、受け入れろと強要するわけにもいかないと思う。みんなどこかで誤魔化して生きてますよね。そんなこと文字としては自分も知ってるけど、本気で向き合ったら数年立ち直れないどころの騒ぎでは済まないと思う。だから、いかにして死を否認するかという事情がものごとの認識の前提まで食い込んでくる。ところで、自分はけっこう生死を理不尽に奪われ得るものとして認識してるけど、それは自分がもともと現実感覚を欠いていて、生きている実感も希薄だからという理由がある。しっかりとした現実感覚があったら「コロナは風邪だ」とか言ってるかもしれない。だから、現実認識を歪めてまで自分の死を否認している人を見るとそれほど自らの生を愛しているんだなと思って少し羨ましくなってしまう部分もある。

ネットの論争、「自分はB主義者ではなく反A主義者だ、A主義者があまりにもひどいからアンチをやってるだけ」みたいな人の反対側に、その人と全く同じ言い分の反B主義者がいて、真のA主義者・B主義者不在のまま反Aと反Bの言い争いだけが展開されてることが多い。というより、A主義とB主義みたいに人の考えを強引に2つに分けるような形式で討論したらAの中身が空洞化して反Bになったり、Bの中身が空洞化して反Aになったりする抗えない流れがあるんだろうけど。日本人ってなぜか自分をなんらかの思想者に位置づけられるのを極端に嫌がることが多いから、「アンチA」がBの、「アンチB」がAの正式な存在形式になってたりするんですけどね。

弱者切り捨て系の言説を支持してる人は、それに実益があると思ってそうしてるので、人道に反するとかの側面を強調してもあんまり意味がなく（どころか、人が損すると自分が得するとさえ思ってるはず）、単に実益がないという方向で説得するしかない気がする。「一般的には世の中ではよくないとされている思考を、自分の実利のために感情を無にして（あるいは感情に流されずに）取り入れてる自分かっこいい」みたいなのもありますよね。「こんなことを言うなんてひどい」と言われると「ひどいと言われるような思考を普通にしてる俺って異端？」みたいにますます気持ちよくなってしまう人の存在、よき人々には想像できないのかもしれない。

秋葉原事件の加藤智大、毒親だったたり派遣切りにあったりその社会的背景が語られたとき、多くの人が加藤の不遇を犯行の動機に結びつけた(俺もそう)。でも加藤は「別に犯行動機に派遣切りとか関係ないッス｣と裁判で陳述したのは意外と知られていない。

「誰も思想を表明しない」という、独裁者が完全に統制してるコミュニティみたいな状態を「イデオロギーの偏りのない状態」だと思っていて、その延長で「みんなが動物の画像を貼ったりオタクコンテンツの話しかしない粋なSNS」を求めている人というのがけっこういると思う。同時にこの反対には、「自分がこのような崇高な理由で不快になってるのになんであなたは動物やアニメの話をしているのか」と怒る理不尽もあって、要するにどっちも「空気を読め、自分に合わせろ」ということなんでしょうね

子供の頃、大人の自己満足と規律訓練のために運動会の団体演技を炎天下で練習させられて、うざすぎる、どうしてこんなことを、と恨めしく思ってたのに、いざ終わってその束縛から解放されてみると記憶の書き換えが起こって最初から全部いい思い出だったみたいになるのを何度か繰り返してたけど、これからそのすごい大規模なやつが起こりそう。

カルトのおかしさをネタで消費することは批判にならず相手の手助けになりうるということをオウム真理教を例にした発言が先だってSNS 上であったばかりなのに、5G 絡みの陰謀論に対して大喜利してしまう浅はかな人間がワラワラ出てきてしまう現状に絶望を感じる。

「命は尊い」という言葉だけで表現された思想は自殺した人に対する「迷惑を考えろバカ」とか「電車を遅らすな」みたいな暴言のある世界と矛盾しない、要は言葉に中身が伴っていなければ「尊いということになってる命を悪しざまに扱って冒涜する愚か者を排斥しろ」という論理に容易に反転し得る。自殺防止というのは自殺に至る心情や経緯を前提にしてそこから行うべきという視点があってもよいのに、ほとんど行為や発想として「自殺」に思い至った人自体を問題視して行為としての「自殺」を防止するという姿勢に帰結してるのも、この「命は尊い」という分かりきった自明性を出発してるからだと思う。言い換えると、命の尊さという感覚が本人の中でその言葉を充溢させる質量を持っていない場合に言葉でそれを説得するのは難しくて、どう説得を試みたところで空振りになったりとか、反対にこれは命ではないというような判定の変更が起きて無効化されてしまったりする。

欲望とか意志とか動かす力として想定されているものはその限りでは存在せざるをえないだろうが、気分・感情・情動のごときものは無くても世界構成上なんの問題なく、確かに無い世界はつまらない世界ではあろうが、私は自分のも他人のも邪魔に感じるので、つまらなくても無いほうがよいと思っている。

ポリティカルなメッセージ性を含まない文化はそうである文化に比べて権力に弾圧を受けにくいから得なのかと思いきや、スポーツにしろ音楽にしろ、ノンポリティカルが仇になって政治利用され、火だるまのイデオロギーに抱きつかれて仲間扱いされる場合もあるということがここ数年で学んだこと。

「老いると傷ついたり精神的苦痛を感じる脳機能自体が劣化して生きることそのものは楽になる」というの、経験的にもそう感じるし老いることに付随する例外的にポジティブな要素だけど、同時に若者や子ども目線から感じる苦痛の訴えを「あーはいはい、あるねそれ」と真剣に取り合わない傾向の完璧な説明になってて怖え〜と感じる。

「正しさは用法用量を守って正しくお使いください」って筆で書いて寺に掲示してバズってる僧侶のツイート見て、僧侶の立場でオモロをやってバズるのこそ癖になって戻れなくなるから用法用量を守った方がええで…と思った。僧侶のオモロに厳しいのは「こんな真面目そうな立場の人がこんなにフランクでオモロいことを」っいう意外性はすごい早さで駄目な方向に転げていくことが多い気がするからです。だってヤンキーが万引きするより僧侶が万引してた方が絶対おもろいもん。でも僧侶ならバズの欲に抗えよ、そのバズツイ欲に溺れてるぞ、と思います。よく言われる「正義は行き過ぎるとよくない」みたいなのって「自分の行動を正義だと思い込んでいる時に相手を完膚なきまで叩きのめそうとしたり、相手の言い分を聞かなかったり、といったやりがちな行動」が悪いのであって、正義そのものがよくないってコトではないんでは？と思う。

日本では「政治を持ち出す」ことが毛嫌いされてるけど、それはマジョリティが「政治を持ち出す必要がない」立場にいるので、それをされるとウザいっていう政治的立場にいることを隠したままのほうが政治的に有益だからっていう、政治的な判断からですよ。

精神的な問題が「これで改善した」というのは、普遍化することの難しい問題にその人なりに向き合った成果なので、たとえそれが疑わしいもの（宗教や自己啓発、スピリチュアルでさえ）であっても外部からは「それは良かったですね」で済ませないと、どこかで暴力的な啓蒙に踏み入ってしまうんですよね。「それで治るのはおかしい」というのは確かに同意できる、みんな普遍化できないもの（オタク趣味や社会活動や人間への執着など）に支えられて生きてるけど、それは他人には何の役にも立たない、だからといって「治るはずのないもので治ってるのはズルいから病気に戻れ」というのは全く利がない。自分の心の支えになってるものを「これが最高なんだ、他に選択肢はない」というのは自由だけど、「だからお前の心の支えになってるものはインチキだ」までいくと宗教戦争になってしまう、心の支えになるものなんて身も蓋もない言い方をすれば全部インチキなので。ネットの人たち、口では多様性とか言ってるけどこのへんはまったく排外的だなと思う。

優しい動機で異質なものを正しく学んで正しく理解した結果、正しく憎むようになったなんて事はよくある話である

処女が子供産んだとかふざけたラノベを信じて戦争までするやつらに、エロ漫画でシコってるだけのワイらを断罪する資格なんかあるわけないやろいい加減にしろや。

ハーバード大の75年間にわたり742人の人生を追跡した研究でも、幸福と健康に最も影響を及ぼしたのは「同じ価値観を持ち、信頼できる人との人間関係の有無」なので、頼ったり頼られたりする関係は、価値観・思想・志など内面が近いかを大事にしたほうが良いのだろうね。

「自分たちもいずれ老後を迎えるんだから」って言ってる人がいるけど、70歳までの雇用が義務化されようって時に「(今後も)誰にでも老後はやってくる」って無邪気に思えるって素晴らしいね。日本の社会保障は高齢者を現役世代が支える賦課方式なので文句言わなきゃ際限なしに取られる（今がそう）。でも将来支える側の人口が減ってたら容赦なく切り捨てられる。国のいう７０歳雇用っていうのは「君らの“老後”はもうないです」って意味だろう。

「金持ちほどケチ」みたいな紋切り型は聞いたことがあると思いますし、実際、俺より5円10円単位のお金にずっと敏感な経営者は何人か見たことがあって、若くて今よりずっと貧乏だった頃の俺は何でそんなことすんだろうと疑問だったんですが、多少貯蓄ができてきた今になると理由がわかったというか……。貧乏人にとっては、金というのは次の給料日まで乗り切るもので、「一月でゼロになるもの」でしかないんですが、金はそれ自体で金を生む効果があるので、資産を築ける人間にしてみれば「１年でＸ倍になるもの」なんですよね。ワイもこないだキッチン家電をドカンと金使ったらドカンと食費減って「あ、金が金を生むってこれか」と実感しましたし、そんな今の方が、国保延滞してたころより明らかに金を節約するようになっている。そんなしょぼい体験でも「そりゃ金持ちほど無駄な金使わんわ」と実感するには十分でした。逆に、我々労働者は「身体が資本」であるように、資本家は「資本が資本」であって、労働者が体を壊してはいけないように、資本家も資本を減らしてはならない。彼らは（単純化すれば）金利の範囲で生活しなければならず、1億あってもせいぜいその数%しか自由に使えない。と、考えると、我々労働者目線での「そんな何十億円もあるのにこれ以上稼いでどうするの」という問いは無意味というか、多分、彼らはそれでも全然足りないと思っているのだろうな……ということもなんとなく想像できた。もういちどまる。

小学生ユーチューバーや中学生ユーチューバーが悲惨なのは、彼の主張や将来そのものではなくて、現時点で、「学校に行かなくていい」って主張をユーチューブに載せてPV稼いだところでGoogleの超高学歴労働者の養分になっている点。将来騙されるとかそういう問題じゃなくて進行形で搾取されてる。

はてブを見続ければ分かるが、意見の偏りが無い空間を作っても衝突が頻繁に発生するだけで分断はそこまで解消されない(立場や育った環境などによる溝は埋められない)

この言葉の結構厳しいなと思う所は、「"親ガチャ"について苦言を呈している人は皆"親ガチャ"成功している人」と、"親ガチャに失敗"した人が簡単に思い込める所。

親ガチャという単語は親のステータス（虐待するかどうかという狭い意味でも、文化資本があるかという広い意味でも）が子どもの成功を決めうるという現状肯定であり、事実の陳列である。よって、「世の中は親ガチャだ」という言葉は正義たりえず、「空は青い」「人間は生物である」と言っているのと何も変わらない。大事なのは親ガチャだとわかった後の身の振り方で、むしろそこにこそその人の性格が表れる。文脈によって、当人の親ガチャへの考え方がうっすらと透けて見えることもあれば、徹底して客観的な言い方にとどまっているものもある。親ガチャに対し嫌悪感を抱く人がいるのは、親ガチャにかこつけて努力を怠る人間がいるからだろう（ここでいう「怠る」には「虐待されてきたかどうか」も含まれており、「私は虐待されていたが諦めずに努力して成功した」と主張する人もいる）。

デジタル庁って話題になることがどれもこれも全然デジタルでないので、不正に関しても「ZOOM接待して酒代を仮想通貨で支払い、NFTアートを賄賂として支払った」程度のデジタル感は最低限欲しい。毎回しょーもない。

「気にしないほうがいいですよ」とアドバイスする人って「そうか、気にしなければいいんだ！これで解決だァ〜」ってなることを期待してるんだろうか。

ドラえもんの登場人物にはのび太や多目くんのような「非定形発達っぽい子供」とか、日常的な暴力に晒されたせいで自身も粗暴な性格に育ってしまったジャイアンのような「機能不全家庭育ちの子供」もいるし、現代ではあまり描かれないような人物描写なので凄く生生しさがある。

学習に劣等感を持つ子が「学校の勉強なんて役に立たない！でも俺が教えることは役に立つ！お得な情報商材やネズミ講はこちら！」に引き寄せられてしまうのはどうにかしないとならんと思うが。

我が国におけるSDGs、「石炭を燃やさずガソリン車を止め、プラスチックも使わない」という文脈で政治家もメディアも理解が止まってそれ以上踏み込む気もないので、貧困削減や不平等の解消といった要素は完全に無視されておる。紙ストローで飲み物が不味くなり、買い物のたびにレジ袋を買わされて終了。

なんというか、「若い内に産んだ方がいい」という至極当然の話自体があんまり触れられないというかタブー視されてるところがあるから、「今は何歳でも子供産めるから」みたいな情報を信じちゃう人が出てくるんだろうな……。

怖い話をすると世の中には消えてしまっても探されない人がいて、そういう人を探してる悪い奴が夜の世界にはいる。若くて綺麗ってだけで女には色んな利用価値もあるし、身内と疎遠になってれば条件としては申し分無し。だから身内と疎遠とか天涯孤独って話を夜の世界で言うのは危ないのよね。更に言えば、知的障害や精神疾患、身体障害も夜の世界に居る悪い人から見れば金の成る木なのよ。夜の世界を話す上で一番切っても切り離せないのが、実はこの問題だし誰も切りこめない話なのよね。これ。要はね昼間の世界と断絶されてる人間を探してるのよ。だから優しい人間は信用ならないのよね。基本的にこの業界って他人の優しさにコロッといっちゃう人が多いから、気をつけてね。適度に距離取って警戒してるくらいが丁度いいし、相手と対等な関係になりたいなら弱みとメリットを握ってないと駄目。

ワクチン無料接種期間が終了した後、いままで何もしてなかった勢が「なんで終わった！ただで打たせろ！」と騒ぎ出す。おれは知ってる。Windows10で見た。

30あたりで自分の人生こんな感じかぁを一回感じて心身が落ち込んだのですが、心の中に住んでる飲みサー要員に「からのぉ？www」を都度コールしてもらってメンタルを維持している。

日本にはタワマンに憧れている人がいる様ですが、そんなに住みたいならマレーシアに来なさい。30階以上の上層階でも、殆どのタワマンは家賃8万円も出せば住めます。但し本当の金持ちはタワマンなど住まず、その足元にある建物面積500㎡以上の一軒家に住んでいるので、下からマウント取られますけどね…

かつてFIREを考えてた時期もありましたけど、金持ちの無職になったところで遊んでくれる友達がほとんどいないからFIRE達成したらリアルでもネットでも24時間365日ウザい評論家やってしまう予感がして仕事続ける前提の人生設計に変えましたね。

SDGsの貧困の定義は絶対的貧困に近い定義で「一日1.9ドル以下で生きる人」を指すので、日本人では生活保護で月収８万円の貧困層でも「貧困」に当たらず、ただただ電気料金上げやレジ袋有料化の被害者になるだけで、「取り残された人々」になる、エスタブにとって不都合が隠されてますね。だいたい、日本の（世界の？）リベラル層は、プラスチックストローを作ってる会社の労働者やその家族の生計・ライフプラン等を考えてあげたことがあったのかよ。４５歳でプラスチック会社が倒産したらどこに転職すればいいんだ？それを「第一の順位に」考えられないなら、もうリベラルは庶民の敵だろう

マッチングアプリもやったし合コンもめっちゃやったし相席居酒屋も行ったし友達の紹介も使ったしTwitterでの出会いも活用した。これで彼女出来なかったのに非モテじゃないなら、何が非モテになるんだよ。僕は動かない系の自称非モテじゃなくてアクティブ系の本物の非モテなんだよ。

これは前職で叩き込まれた基本的な価値観なんですが、持続可能なビジネスの付加価値は専門性の中にのみあると考えています。部品を何年で交換するか、何処に発注するか、どんな冶具が要るか、何時売れるか、どんな順番で加工するか、粒度が一番細かい所まで、本にも書いてない事を知っていて再現できる事は単体でも価値があり、何かと組み合えばすげぇパワーになる。逆に専門的で無い物はすぐ模倣されるから、タピオカやマスクみたいに瞬間で投資回収する以外なく、個人も法人も長く安定して食うには何かの専門家になるしかない。他人が知らない・できないことを知ってる・できるのは無敵の参入障壁で、だから専門性を身に付けないといけない20代で副業だなんだとうつつを抜かしていると本当に後悔する事になる気がする。そんな時間あったら残業か本業絡みの勉強すれ。こういう価値観を得てから町工場の油まみれのおっさんの中に輝いて見える人が出てくる。彼等は日本人の美徳でやらないけど、本当は自分の価値と給与を吊り上げようとしたら多分できてしまう。他にできる奴がもういないから。嘱託で残って技術的指導してるのは正に奉仕の精神なんだよな。

「おじいちゃん！これ見て！おじいちゃんの動画が撮られてネットで炎上してるんだけど！」

「そうか」

「なんで！？驚かないの？」

「別に。もうおじいちゃんそういう知識弱いから」

「でもこんなに批判されてて！ほら！」

「ふうん、そうか」

みたいな感じの、ネット炎上にめちゃくちゃ疎くて関心がない強キャラおじいちゃん登場してほしい。ネットなんかどんなに多くたってせいぜい全人口の0.1%ぐらいしか言及してない。1000人に1人レベルの阿呆が集まって騒いでるだけ

過度に「説得力」を感じたら、そこに、何かしらのヒューリスティックが働いているサインと考えたほうがいい。「破綻のないストーリー」「専門家の意見」「統計的な数値」、こうした「エビデンス」に惑わされていないか。「エビデンス」など、いくらでも印象操作できる。

皇室という宗教は私自身も日本人として馴染みがあると感じるけれど、本来皇族は皇族であるからして生まれながらにありがた〜い存在で、何卒税金で以って養わせてくださいませ、という存在だったはずが、税金で食わせてやってるんだから言うこと聞け、ってそれ皇室制度の存在要る？

僕は実は幼少の頃から、バイオリンの英才教育を受けていたのだが、僕はそこで持って生まれなかった才能を努力で乗り越える、なんてことは世の中に存在しないんだって事を嫌というほど味わいました。小5で辞めることができて本当に良かった。

「バランス感覚を身につけたASD」は確かに最強だけど、それって「過集中も切り替えも自在に起こせる」とか「内省も他者視点も爆速で行き来できる」みたいなもう存在自体が矛盾みたいな奇跡の生き物で、そこに至る紆余曲折は狂気だし、何もかもブチ抜けた1/100万が米津玄師やスティーブジョブズなんよ。死ぬ気で、というか実際に死んでもおかしくない勢いで打ちのめされて訓練したら最強になれる素質があるけど、そこに行きつくまでに身一つで抱えきれないほどの生きづらさと対峙しないといけない、すべて抜けたら天国にも行けるけど、それまでがあまりに地獄というとんでもない諸刃の剣よな、発達特性。「その先の天国」を夢見て地獄をブチ抜けるためにのたうち回るような生き方を選ぶしかない訳よな。僕はよく冗談で「ライバルは米津玄師」と言うんだけど、割と本気で米津玄師になれないと自己実現できないと思っているし、というか米津玄師も別に天国じゃないと思うけどいまはそう信じるしかない感じ。

「気持ち悪い部分を他人に承認された経験」が自己肯定感をブチ上げてくれると思う。ある人は作品をつくり、ある人はマッチングをし、どうにかして社会性とは対極にある自身の性質を承認してもらえる場をひとつは安定的に持たないと、正しいだけで居ても絶対に満たしきれないなにかがある。それは普通に生きていれば直視したくないもので、全然知らないところから日常を脅かしてくる。

インターネットのネタは結構な割合で福祉案件なので実名名指しでバカにするのではなく抽象的な属性でバカにすることで差別主義者を回避可能です。

医者は産婦人科でなくても35歳以上が妊娠しにくいとかなんとなく理解してるけど、そうでなければ不妊のリスクなんえ一度も学ぶ機会ないですよね。仕事頑張ってたらすぐに30代。今は早く産めなんて言ったらセクハラになる時代。誰も何も教えてくれず、子ども欲しかったのに授かれない人が増えるのが辛い。

ラーメン関係者早死にに関連して、家系によくあるスープまで完食でポイントとかのサービス受けられるやつ、アレはスープ残されるとオイルトラップが詰まりまくって清掃費めっちゃかかるのを人に飲ませて処分して節約するためって聞いてすごい感心したおぼえがあります。

反ワクチン活動をしながら自分は裏でこっそりワクチンを接種してる人、「今月で人類は滅亡する」という記事とともに来月号の予告と定期購読のお知らせをしていた月刊ムーを見習った方がいい。

ラーメン評論家が話題になっているけど、その振る舞いを見るにつけ、「名乗ることなく来店し、名乗ることなく点数で評価する」というミシュランの仕組みが、いまなお世界でもっとも信頼されている理由がわかる。癒着・忖度を消すためにも、評論家は表に出ないのがシステムとして美しい。

なんかゴキブリ殺した後の処理さえ「うわ～…」ってなるのに人間の死体の処理なんか本当に気が狂いそう。ちょっとドアからのぞいてうわってなっての繰り返しかも。

「三角関数を知っていて使わない人生」と「三角関数を知らなくて使わない人生」の間にある溝。

辛口レビュアーって「辛口」いうことで読者に甘えてるともいえるわね。プロフによくある「毒舌」とかもそう。たまに毒吐きますとか書いてる人の真意は触れると噛みつくので触れないで、なので、むしろメンタルは弱いほうだとも思う。辛口は確かに批判への批判を避けるエクスキューズになっており、なかなか卑怯な用法でもある（批評家を名乗るのなら…）

もうすこし背が高かったら、とか、もうすこし顔がよかったら、とか、自分のなかにあるコンプレックスって、自分がつまんない奴であることを直視しないためのいいわけにすぎない。

Twitterの人間、普段は陰キャよりのノリだし「キモいからといって虐めていいわけはない。キモい事は罪ではない」的なツィートが流れてくるけど、いざキモい人間が発見されると「アイツはキモいから皆で指差して笑おうぜ！」と一気に虐めッ子精神が炸裂して小中の教室になってしまう。

共通した特徴を持ったものをひとくくりにして扱うために「自転車」とか「スマホ」とかって”名前をつける”のだと思うんだけど、なぜ「前置詞」って名前つけてんのにそれぞれを別個なものとしようとするのか。inでもforでもwithでも、使い方は共通してるっていうそのことがなかなか浸透しないんよな。限りなくある単語を、使われ方に応じて分類して扱いやすいように名前つけてんのに、その分類を意識することなく「単語の意味だけ覚える」みたいな感じでやってるのって、ものすごく効率悪い気がするんだけどもさ。「これもあれも、前置詞なんだから使い方は同じだろ」って話はなかなか通らない。

何かのアニメ関連で「女性の兵士を増やすべきだ」というツイートを見たのだが、ジェンダー平等の話だとしても、やっぱり男と女には向き不向きがあると思う。絶対的な筋力が必要な仕事は男向きだよね。そういうことを考えないジェンダー平等論というのは、かなり歪んだものになるのではないかな。そりゃぁ、ミサイルの発射ボタンを押すだけの兵隊さんは女性でも男性でも関係ないかも知れないけど、ランボーみたいな戦士を想定したらほとんどの女性は出る幕がない。某レスリングチャンピオンは別かも知れないけど。男性と女性の肉体的な差異は上下優劣じゃなくて用途が違うための差異で、スポーツカーとトラックとか、スクーターとオフロードバイクを比べても仕方ないだろうと思っています。まれにその境界を破壊するような特殊な個体も存在するかもですが、あくまで例外。

う考えても日本会議より農協の方が現実の政治に影響力あるだろ。日本会議と仲が悪くなって落選する議員というのは考えられないが、農協にそっぽを向かれたらただの人になってしまう議員は一人や二人じゃないはずだ。日本会議陰謀論の一番イヤなところは、陰謀論の存在がかえって個別の出来事や政治家個人の問題から目を逸らさせる上、実像以上に日本会議の力が大きく見えてしまうことで日本会議にとって逆に有利になってしまうことなんだよな。ちょっと考えればわかることだが、自分が国会議員だったとして、支援者の中でまず大切にすべきは票を取り纏めてくれる後援会員や地方議員、大口献金者となる資産家や各種団体だろう。日本会議に各選挙区のキャスティングボートを握るだけの動員力や多額の現金をする資金力があると思うかね?

ネット上で活動する排外的な自称愛国主義者に頻発する「一人称過大症候群」の重度な患者と思われる。「一人称過大症候群」の典型的な症状は、自分こそが「（普通の）日本人」の代表だと思い込んでおり、「私は～」「僕は～」「俺は～」の代わりに、「私たちは～」「日本人は～」「私たち日本人は～」といった複数形を使いたがるというものだ。それは複数形に逃げなければ自分の意見すらまともに伝えられないという臆病さの裏返しだということにも気付かずに。

「これは通知表の道徳5」はあおりにも褒めにも使える便利な常套句

ラーメン評論家の文章がボロクソ言われてるけど、あそこまでひどくなくとも「内輪で共有された価値観やノリによって書かれた文章」はあらゆるところに偏在し、そういう文章は価値観や文化の違う人間が見たら不快感を覚えがちなので、「お前人のこと言えんかもしれんで」みたいなとこに、真の怖さがある。

私も一歩間違えば大口病院で事件を起こしたナースと同じだったかもしれない。療養病棟で生かし続けられている人達に楽しい事なんて無い。綺麗事無しに生き地獄。笑顔が出たり、アイコンタクトが出来る人は別ですが、そうで無く毎日苦顔に顔を歪めながら延命されている人がたくさん居るのです。もし自分が身体も折れ曲り固まり、肌着すら袖を通せない程に変形し、思っている事も言葉に出来ず、自分の爪が食い込み褥瘡が出来、それを治そうと毎日洗浄され薬を付けられ、痰が溜まれば鼻からチューブを入れられ吸引され苦しい思いをし、栄養剤に繋がれて強制的に命を伸ばされたら死にたいよね。自分で死ぬ事なんて出来ないんです。私達が痰を引かなければ3日もあれば命を落とすでしょう。でも、それも許されないのです。そんな事をしたら殺人罪と言われてしまうから。そんな実情を知ったら高齢者を延命する人なんていないのか？療養病棟は定額制で入院費は月50万円程。その内9割は国の負担つまり税金。本人が払うのは1割で月5万円位。入院させておけば年金でおつりが来ます。病院も家族も儲かるのです。家族が、国民が、生かしているのです。怖ろしいシステムです。中には16日まではどうにか生かしてくれ〜！！なんて言う家族もいます。年金の支給日は毎月15日です。私もそこからお給料を貰っている身です。でも、こんなビジネス無くなれば良いと末端なりに思って公の場に書いています。大口病院の事件をきっかけに辛く不幸な高齢者が減りますように…。

女が男がとか表現の自由が規制論がとかやかましいので全部のキャラクターがイヌ科になってくれ。そしたら問題は解決する！政治的に正しいのはオオカミの男キャラね。

障碍者でなくとも関わり合いになりたくない人間は腐るほどいるし、そういう人間だって支援学級養護学級の編入に引っかからないレベルの病気を抱えてるわけで、そういう意味では大なり小なり特定層の誰かたちを避けようとする考えは、市井のほとんどの一般人にとってはフツーの感覚でしょ。そういう個々人のフツーの考え（絶対に捨てられない差別意識）を、優勢思想的絶滅政策や民族浄化政策への需要だと国家や政治家どもがはき違えるの防ぐためにダイバーシティとかいうのが必要なんじゃない？まぁこれはかなり自己流な解釈だけど。誰かを避けようとすることに罪悪感を抱くのは、人間の原罪的な感覚として立派なものかもしれないが、それを思い詰めて平等や公正というものを「同化」と同一視するのは危険すぎる・・・危険すぎない？いまの日本社会は基本的に「同化」的なタテマエに固執してる社会で、障碍者にしろホームレスにしろ痴呆老人にしろ、規律的効率的労働社会に同化しきれない連中を施設なり座敷牢なりに放り込んで街並みを綺麗に保ちましょうって方針だけど、これって「みんなが仲良くしなきゃいけない」って、不可能にも関わらず維持されてる同化策の裏返しだよね。

「評論家なんか気にする必要はない。これまで評論家の銅像が建ったことなどないから」という言葉あるけど、銅像なんかありがたがってんのかよと思ってしまう。

人権意識を欠いた人の人権意識を欠いた行い自体を問題にするより、その人の文体や表面的な気持ち悪さを面白がって、「俺がこうなったら射殺してくれ」みたいにひたすら印象のレイヤーで消費している人たちを見ると、面白くないことは面白がらないほうがいいな、と思う。実際、全くつまらない真顔で処理するべき問題についておもしろ案件として対応しようとして大失敗した人について論っているのに、外野の人たちがそれを全くつまらない真顔ではなくおもしろ案件として扱ったら同じ穴のムジナなんですよね。ハラスメントの場合、まず当事者が「まあまあ、仕方ないことでもあるんだからユーモアで受け取りましょうよ」というのを振り切って「いや、私は全くつまらない真顔で怒ってます」というところから問題提起されるので元々「ユーモアで受け取る」という態度と相性が悪いというのはありそう。問題行為を起こした人がキモかったときに、問題行為よりもキモさのほうが問題になるのは、問題行為なしに単にキモい人やキモくない問題ある人を想定してないのでズレてるのではないかと思うけど、そういうズレが「人間らしさ」でもあって、自分はそういう意味で「人間らしさ」のない人が好きだ。

人権思想、結局のところ「当事者の損得ではなく見ている人の二次的な不快感を減らす」ことで社会を円滑に回す効果に根ざしてるんだよな。

暴れる入院患者を縛るか薬で鎮静するか、看護師に「人権のために縛らない」という謎思想が暗躍してるんだけど、それ薬が増えて死亡リスク上がるからね？で、アニマルライツとかエロアニメ規制とか、なんでこういう発想が暴走するかってみんな根っこは同じなんですよ。誰も当事者の快不快なんて考えちゃいなくて周りが勝手に感情移入する虚像の話をしている

今のところ、ポリコレやD&Iには、「罪の償い方」という概念がないように感じられる。罪を犯した人がいたら、追い出すか、有耶無耶にして曖昧なまま誤魔化すかどちらかになっているように見える。

「不幸な人は不幸な境遇を自ら選択しているのだ」みたいな直球の目的論は、実際そうである面を否定できないにしても書いている人に対する警戒度を二段階ぐらい上げざるを得ない表現だと思う。

自己紹介ページで文末に「←」とか「（おい）」とか「（略」をつける人、全員、地獄で体中に陰茎を生やされるらしいです

自殺でなく犯罪についても同じで、日本では犯罪機会論を道徳的に劣っているとか邪道と見なしていて、犯罪原因論こそがあるべき防犯の基で正道だとされている。何かと「心が正されなければ駄目」なのだよな。安全なだけでは駄目で、安心が満たされないと満足できない不安の強い性質の表れに思える。

【β世界線の麻原】

仕事するぞ仕事するぞ徹底的に仕事するぞ

育児するぞ育児するぞ徹底的に育児するぞ

先日「オーバーニーソックスは単純に可愛いと思ってたけど、ソックスとスカートの隙間を見て性的に喜ぶ男性が多いと聞いたので良くないと思うようになった。男性を喜ばせないで欲しい」という旨の意見を見て、実に端的に女性の心理が表れていると思った。性表現の「女性の主体性」もこれが鍵なのでは。つまり「結果的に男性が喜ぶこと」「男性を喜ばせるためにやっていること」「男性を喜ばせるためにやらされていること」の区別がつかないし、つける必要もない、ということなのだよな。だから必要になるのは「これなら男性は喜ばない」という確信なわけだ。一体どうすればその確信が得られるのだろう。よくある手法は、表現に「強い女」を用いる、というやつだよな。気の強そうな、主張の激しそうな、大半の男性が喜ぶよりも怯んでしまうと思える女性を用いて表現する。でなければ現実の（そこまで強くない）女性と同水準になるまで隙を無くして性的な視線に対する拒絶感を出すか。大体この2択になる。昔ならその他にも「これは女性だけのものだから男性は興味を持たないはずだ」という確信を持つことが可能であったし、セーラームーンやプリキュアはその幻想で保っていた（いる）ところがあるけど、今はネットで様々な男性の目線が可視化されてしまったことでそうした幻想に縋れる余地は少なくなった。

フェミニスト殺しのおじいさん「わしはその恰好でも抜けるんぢゃよ。」

女って女という性別でひとつに固まった意思共同体ではないし、自主性や個人の意思ってあなたとは違うこともあるんですよってことを、性別二元論を否定して個人の意志を尊重しようと主張してる人が全然理解してないことが稀によくあってめちゃくちゃ怖い。

何番煎じか知らんこと呟くけど、日本的価値観って自分の価値を測る軸足を他人に置いているから、大量のクレームをつけられたら自分の価値が下がる、と考えるんだよな。クレームつけられた位で人間の生まれ持った価値は下がらないので堂々としてればいいんだよ。炎上を無視してよい、というのが人権よ。こういう感覚がないから日本人は「迫害」という概念に馴染まない。クレームつけられたって自分たちの価値が下がらないから迫害が成立するわけで。

選べる選択肢が「ウンコA」と「ウンコB」しか与えられてないのに、「お前には選択する自由を与えたから人権があるし幸福のはずだ」とか言われても溜まったもんじゃねーよ、という程度の当たり前の話を確認するのに百年無駄にしたのが自由主義でしたね。

SNSで正義を振りかざし、ファクトだ何だと言いながらイキり倒しているのに、自分たちへの支持がまったく広がらないことについて真剣に考えない一群がいるのはなぜなのか。それはかれらが本当に世の中を変えることに関心がなく、仲間からのいいねを集めることで自己満足し、現実逃避しているからです。

もっともらしいことを言いながら、SNSでエアリプやDMで相互に牽制し、同調圧力を生成しあっているひとたちは、今回のコロナ禍もあってほんとうに嫌になったので、たとえ細かい部分で意見が合わなくても、もっと幅広いひとたちと付き合っていこうと思います。

主人公がずっと「やったか…？」って言いたそうにしてるのに一向に上がらない砂煙。

コミュ障に必要なのは「嫌われる勇気」に尽きるんだけど、「嫌われる勇気」を持つためには安全基地となる人間関係が必要なんだよな。安全基地があるからこそ他の人間関係でリスクが取れる。つまりコミュ障から脱却するためには人間関係が必要という循環構造になってる。コミュ障を改善させる人間関係がないコミュ障におすすめなのが「人間関係を金で買う」ことです。具体的にいうとカウンセリングや英会話やナンパ講習。金を出すことが「許され感」を生むのでそれがきっかけになることが多い（ただし多くのコミュ障は金がないのでこの方法も取れない）。カウンセリングや英会話などの金で買った人間関係、金を出すことで発生する許されよりも金を出すことでしか人と話せない自分への嫌悪感が勝つし、金貰ってる方だって仕事だからなるべく面倒が発生しないことを願ってると考えるととても必要最低限以上のコミュニケーションなんかできない。

｢暑さ寒さも彼岸まで｣とかつては言ったものだが、こう気候が変わってしまうと、もう事実に則していないわけだし、言う機会もなくなり、やがてはそんな言い回しがあったこと自体が忘れ去られてしまうだろうな。

研究者が中国に行くのは愛国心じゃ日本は食わせてくれないからとかいう言説。こいつら輸出管理が安全保障の話だけじゃなくて研究倫理の話でもあるって事が一ミリも理解できてねえなって顔をしている。喰わせてくれるからといってサリンの生産技術をオウムに教えたり、原子力技術を北朝鮮やイランに渡していいのかちょっと考えてみりゃ判るでしょと。そんな判断がつかないのは日本の科学技術に対する予算が足りないんじゃなくてそいつの倫理観と思慮が足りないんやぞと。他人の論文パクるなとかデータちょろまかすなとかそういうレベルの話ですよ。ちょっと安全保障チックな話だから学術会議とかクッソ軽視してますけど、喰わせてくれるからといってその辺守らない連中は頼むから学者生命を絶たれて研究分野から淘汰されてくれ。

自殺するか、と思って練炭を買ってきた。とりあえず適当に練炭を焚いて寝てみる。ふと、これ私が死んだ後火事になるのでは？と思って慌てて消した。きっと正しい方法があると思い、ネットで「練炭自殺　やり方」で調べたが全然情報が出てこなくて嫌になってきた。使用済みだけどこれ返品できるかな。

怒りは性急なものである。理性は公正な判断を下すことを望むが、怒りは自ら下した判断が公正に見えることを望む。

自分の精神の均衡を保つために、誰か/何かを憎まなくてはやっていけない人というのは居るのだろう、と思えるぐらいの想像力を持てる人生を送れてることに感謝したい。

極秘で入手した情報なんですけど、ジョン・ケージの「4分33秒」を1971万回フルで聞くと死ぬらしいです

一通り権威を引き摺り下ろしたら、後に残ったのがむき出しの「ルッキズム」と「実家の太さ」じゃ笑えないわ。

十分に「権力・メジャーさを持った or 歳をとったリベラルは、意図せず結果的に保守になる」…という構造が、なんかの根元にある気がする。リベラルと保守を、挑戦者と防衛チャンピョンと言ってもよいというか。リベラルだった人や政策も、次世代からみるとわりと保守になってしまうというか。仮にリベラルが支配権を得ても… リベラルな人も勝ち取った価値観を維持しようとするため… 次世代からみれば「保守」になってしまう。つまり「完全にリベラルであること」は、前提として「勝者でないこと」を内包してるというか。むしろ「勝つ」ということが、中長期的には「保守になる」と、実質的に等しいのかもしれない。なんかそういう構造上の呪い？みたいのが、あるようにも思える。最初から、「勝つリベラル」は構造上、存在できないというか… 「保守がリベラルより強い」のではなくて、「勝った人は中長期で保守に分類されるので、リベラルは基本的に勝者不在の永遠のチャレンジャーになる」というか。個別事例の例外はあれど、大きくはそういう構造がある気がする。

リベラル思想の共同体としての持続可能性が保守思想に大きく劣っているからではないかと思いますね。「個人の利益や自由を最大化するような思想、その人の自由や利益を最大化するような社会を維持するリソースの提供者をだれがやるんですか？」というパラドックスにリベラリズムは答えられない。シンガポールのバリキャリ女性の仕事でも家庭でもなんの制約も受けない人生のためには、途上国から呼び集められた女性が低賃金労働者として使役される構造が必要になるわけで。国であろうが企業社会であろうが、リベラルであり続けるなら周辺から思いきり収奪するしかないわけで。

自分は生まれが/育ちが/悪いから、外見が不細工だから人生がつらいのだ、みたいなことを言ってる人に、お前の人生が上手くいかないのは性格が不細工だからだ、みたいな豪速球投げてもどうしようもなくない？とは思った。

高福祉が新自由主義と歩みを共にして労働者を苦しめていたというのは間違い無く事実だろうな。ここ二十年の社会保険料の増大と労働市場の規制緩和による福祉労働者の増大は、労働者をいたぶってきた。Twitterで姨捨論が流行ることは幾ら酷い話だろうが、その辺の正鵠を射ている訳で。姥捨論みたいな極論以外、真っ当な反論が困難な点が昨今流行りの差別狩りと軌を一にしてますよね。「いやいや、予算配分をね…」なんて小声で言おうものなら「お前なんか人間じゃねえ」って感じで怒鳴りつけられてしまう。「「いやいや、予算配分をね…」なんて小声で言おうものなら「お前なんか人間じゃねえ」って感じで怒鳴りつけられてしまう。」　「やさしい世界」原理主義者の跳梁跋扈により問題が見えなくなってしまう傾向は確実にあると思います。非人情で考えた方が人情に即する策を打てることは幾らでもあるのに。優しい世界ってのは口には出さないけど「マイノリティに不人情に見えるぐらいならマジョリティなんか死んでも良い」世界ですわな。それやってると全滅するわけですが。「マイノリティに不人情に見えるぐらいならマジョリティなんか死んでも良い」って、隠してるけど本気で思っている連中は実際多いと思いますよ？これは、共産主義者の「やさしさ」みたいなものに通ずる情動だと思うのですが。

フリーランスは実は一匹狼ではなく、あちこちのお家で少しずつご飯をもらっている地域猫のような感じですので、学生猫の皆さんはどうぞいいご家庭（会社）に貰われて家猫になることをお勧めします。

私は「死にたい極」と「死にたくない極」が交互に並んだレールの上をゆっくりと進む壊れたリニアモーターカーです。

反出生主義の妙に論理的であろうとしてるところは何かウケてしまうんだけど、ただ反出生主義の目論見自体が既存の「生=1 死=０」的な死生観を忠実にトレースして破綻まで導くことだとしたら、「いや、おかしいでしょｗ」と論破しにいくことでその目論見に乗ってしまうような構造になってそう。近い例だと、トロッコ問題は生死を「このような人が何人死ぬこととこのような人が何人死ぬことはどっちが望ましいか」という算数で扱おうとするとばかげた答えにしかならないという光景がそのまま問題の意義になっているので、本気で答えを出そうとしてケチつけたりするとますます問題の価値が上がる。だから、「そんなに生が良いこと（+1）であるなら確実に死（-1）が約束されている生を与えることはよくて無意味か、場合によってはマイナスではないか」という指摘がいかに馬鹿げたものであっても、答える側は「生は良いものであるから良いものである」という同語反復を超えて答えなければならない。ということは実は反出生主義は「生の肯定的な側面を拡張しろ」という肯定的な概念でもある、という見方もできる。もちろん「生を悪く言うな」と額面通りに受け取って跳ね返してもいいけど。ついでに、生の存在意義が「生は良いものである」という事実に依存しているとしたら、生が悪いものであるときにはそれは存在しなくてよい、ということになる。そうすると「生は良いものである」の概念は「自分の生は悪しきものだからないほうがいい」という考えに対抗できないどころか味方してしまう。

ひとつ目の失敗は、成長を求め過ぎてしまったことです。1社目は、いわゆる年功序列の会社でした。年齢が上がらないと、大きな仕事を任せてもらえない世界・・・このままの環境にいてはダメだと焦り、転職を考えたとき、ぼくの心にあったのは、とにかく経験を積めて、成長できる環境に入ること。結果として社員の「成長」をうたう会社に転職したわけですが、結局はそのスピード感にカラダがついて行けませんでした……この経験から気付いたのは、成長は追い求めるものではない、ということ。たしかに、鍛えられて成長する、というのはその通り。でもそれは、「自分に向いている環境」という条件付きでの話です。百獣の王のライオンも、厳しいサバンナではたくましく成長するかもしれませんが、広い海のなかでは息すらもできません

「自分の描いている絵には一切自分だけの好み、性癖やステレオタイプが入っていません、社会的公平性を完璧に実現しています」と自信を持って言い切るようなクリエイターがいたら、心の底から信頼できない。

トーストあるある：過失と故意のはざまでジャムを多めに塗る

　「イスラム教には戒律があるから不自由だ」というのは、とても浅薄で、また残念なものの見方です。そもそも、自由とは何でしょうか？この点について私の考えを申し上げるなら、そもそも自由の本質とは、勝手気ままに振舞えることではなく、理性に基づき、自分で決めた規則を守れることの方にあります。　例えば、健康を害すると分かっていながら、暴飲暴食を続ける人は自由でしょうか。確かに「食べたいものを食べ、飲みたいように酒を飲めるから自由だ。」という見方もあるでしょう。しかし、そのような自由は実際には表面的なもので、欲望に抵抗できず、自分で自分を制御できていない状態であるとも言えます。一方で、「健康に悪いから、暴食は控えよう。酒は飲まずにいよう。」と決め、その通りに出来る人はどうでしょうか。彼こそが、よりいっそう「自由な人」と呼ぶに相応しいのではありませんか。なぜなら、彼は理性によって正しい規則、すなわち戒律を定め、欲望に振り回されることなく自らを律して行動を決められるからです。私の考えでは、こうした人こそ「自由な人」です。そして、そのような「自由な人」になれるよう、国家や（宗教の）指導者は手助けすべきです。いやしくも国家であれば、その責任があると考えます。アメリカは、かつて禁酒法を定めました。これは非常に良い試みだったと思います。まさしく国家が人々に対し、その理性を呼び覚まし、真に自由になる手助けをしたからです。しかし、ご存じの通り、アメリカはこの理性的な法を取り下げてしまいました。それも、酒が実は有害でないと科学的に分かったからではなく、また、酒の害を打ち消すような新薬が開発できたからでもなく、単にみな欲望に負けてしまい、とても面倒を見きれないという情けない理由からです。ひどい話です。むしろ、アメリカは禁酒法を断固として続けるべきでした。欲望に流されるのを国家が公認するのでは、かえって人々の理性を弱め、自由は損なわれてしまいます。事実、そうなっているではありませんか。毎年何人が酒の害によって病に侵されたり事故を起こしたりして死亡していますか。また死亡まではせずとも、本来守るべき家庭や友人関係を壊しているのではありませんか。禁酒という法律（戒律）が無くなったことで、人々の自由は増えたのではなく、減ったのです。

「派閥の論理」なる言葉で言い表されるような、ある種ダーティーでブラックボックス的な仕組みを大いに内包しつつも日本社会がそれなりにやっていけてるのは、ほぼ単一民族の均質で低信用コストの国であることと無縁じゃないんですよ。とはいえ複雑化したブラックボックスへのカウンターとしての平成期の「改革」や「クリーン志向」があったと思うんだが、例えば多様な民族、宗教集団が乱立するような場所でそれをやろうとすると、多分飛び交う札束の量が逆に10倍ぐらいになる。「信用できるのはカネだけ」というのが多文化共生社会の一つの側面なので（だって誰も宗教習俗捨てないでしょ）、清潔さと多文化主義の両立を訴えるのは正直正気とは思えない。モメようが怒鳴り合おうが、お互い「何だかんだこっからは出ていかないでしょ」と言外に思ってる相手としか逆説的に本気のやり取りはできないよな、多分。そして本当に出ていった人間に対しては、絶対に敷居をまたがせないのとセットで。

ぶっちゃけ学部や修士で出ていく学生は「研究の楽しい面」8割、「辛い面」2割くらいで課程を終えて欲しい。そんで社会に出てからきちんとその分野の面白さを伝えたり自分の子どもを科学の世界に引き込んだりできる人間になってほしい。研究活動の負の面だけ見て「研究はク○！大学院はク○！」みたいなこと言う社会人orお父さんorお母さんにはなって欲しくないと思うよ…。私も心が狭かったときは、学部や修士で終える人間に投資してもアカデミアから出てっちゃうんだからコスパ悪くね？無駄じゃね？能力ある人（博士・ポスドク・教員等）に投資したほうが良くね？という考えを持っていたのだけど、これはまさに名前を言ってはいけない「〇〇と✕✕」の考え方なんだよなぁ…。学部や修士で終える人間こそ、一般社会からのアカデミアのイメージを決める存在になるので、その人達にアカデミアのマイナスイメージを与えるのはかなりリスキー

博士課程はどんな矢も弾き返す屈強な人よりも、どんなに矢が突き刺さっていても気づかない人にオススメ。

僕も「嫌われる勇気」だけならあるな。今年だけで近い人間三、四人位に勝手に嫌われたが、嫌われてもやるべきことをやり、やりたいことをやるしかないし、前に進むしかないのである。理解してもらう努力を行なった末に、嫌われることもあるのである。その時、嫌われる勇気は必要だ。立場や運命のすれ違いで嫌われることもある。固より、最後にブロックされた数を確認するサイトで観測した大分前に既に二千人近くにブロックされていることを見た者である。今更、何を恐れようか…。

「死ぬというやつに限って死なない」と思っている人は、実はすでに何人かの背中を押してその死体の上で生きているのかもしれませんよ。言葉にしなくても態度に現れますから。「死」の本当の恐ろしさは、こちらの思った通りの形や、予想したタイミングを必ず裏切って到来するところにある。だから人は、自分自身の死を己のものとすることができないし、自分の「命を賭ける」こともできない。これがコジェーヴのヘーゲル論の核。（スガ秀実『革命的な、あまりに革命的な』参照）

これある種の人間あるあるなんですけど「カネや利害で動かない人間を身内にするな」みたいな考えかたってあるんですよねぇ。利害損得で行動制御出来ない人間って、本当に怖いんですよ。予測制御出来ないから。

コロナの陰謀論で家族が破綻し離婚にまでなってしまう人がいるらしい。俺も陰謀論にはまっていたのでなんとなく分かるが、あのループにハマっている時は家族みたいな身近な人が言って聞かせてもダメな気がする。家族を見下してる人はまず聞く耳持たないと思う。もう少しその人が尊敬している人とか、信頼している人、それもできれば複数人に話して貰った方が良い気がする。あと「説得」みたいな必死感を出さずに、あくまでも話しのついでにみんなが「何言っちゃってんだよ笑」っぽい方が受け入れられそう。要はプライドを傷つけずに、間違いを認めても恥じゃない状況を作らないと難しそうな気がする。ただ陰謀論にはまってしまうのって根っこには人間不信や孤独感があるのかなという気もするので、家族以外に信頼しあえる人間関係が乏しく、難しいのかもしれない。俺は自助グループがあったからなんとかなったが。あくまでも個人の体験からの推測なので、参考程度にして貰えればと思います。

大学生のころは芸術とか学問とか、なんだか「高尚」なもので人生を成り立たせるべきだと思っていて生活がいやでいやでたまらなかったけど、結局労働にすり潰されるのが関の山だみたいな諦めかやってきてしまっていて、それならむしろ生活をひとつひとつ成功させたいと思うようになってしまった。

もう今月もあと30分で終わりだから、これをはっきり言っておきたい。「論理性」は弱者の武器。強者はこんなものいらない。「お気持ち」をバカにしている人は多いが、共感を集める者のふりかざす「お気持ち」の前には「論理性」などクソの役にも立たない。「お気持ち（笑）」と揶揄して侮っている人が多いが、お気持ちはこれからもっともっと強力な影響を社会に及ぼしていく。社会のルールを書き換えるし、制度に変更を迫るし、法をすら優越しうる。

最近では、とりあえず「お気持ち」という言葉を使って他人をdisっておけば共感力が高められるという「お気持ち」の現象が観測されており、論理性の劣位をひしひしと実感する。

もはや低賃金労働者の供給国だったハンガリーやポーランドが「もう移民難民なんかうんざりだ」って排外主義に傾いておるのにグローバリズムなんか続くと思いまっか？

20代男性の42％が童貞らしいけど、我が子周辺含め若い子たちを見ていると理解できる。欲望の根本的な減衰やコミュニケーションに伴うコンフリクトやダメージから自己を守る自閉性がじんわり内面化されて、やはり草食化してるのはある気がする。スマホで得られる世界内で閉ざされることを苦と思わない。

本来、「これこれが差別です/差別ではありません」と言い切れるような形のものは絶対になくて、その都度それが特定の相手にとって差別かどうかを考えていくしかないのだが、もう誰もそんな知的耐久力はなくしはてて「とっととお前が持っている差別ルールブックをよこせ」って言いだしそうな勢いね。

今のオタク文化って、感情表現の『尊い』に代表されるように、漫画やイラストから読み取れる「雰囲気」「関係性」に焦点が当たっているんだよね。だから、その絵柄について「これは萌え絵であり性的側面の強調で女性の客体化である」とか言われても「えっ、逆にそこしか見てないの！？」が正直な感想。リンゴの描かれている絵があったからといって、「この絵のテーマは？（=作者が描こうとしてるものは？）」という問に、「リンゴ」と答えたらキング of 阿呆なわけで、例えばリンゴの絵の場合なら「知の獲得」とか「科学の進歩」といったものがありえるだろう（テーマがない絵というのもあるけれど）。「リンゴ」という例を使ってるけれど、俺は食べたリンゴの味の話を何もしてないし、リンゴの絵を描いたり観たりする時にリンゴの味を知っている必要は実は全くないのだ。もしかしたら描いた人も見てる人もリンゴは一度も食べたことがないかもしれない。表現というのはそういうもの。このTweetでの「リンゴ」は「かわいい女の子」の隠喩だと想像した人がいるかもしれない。そう読むこともできるように書いたつもりだ。あなたは表現を勝手に読解しているわけです。ではリンゴを描くのは禁止するべきですか、という話です。Appleが激怒し青森県が泣きます。

アカデミアに残らず教職に行くのは才能がなくて逃げただけの落ちこぼれと言ってた院生がいたけど、その考えで一番辛いの自分自身やんなぁ。後教育ってそんな簡単じゃないと思う

自称フェミ男性、AVは性的搾取、萌えはだめとかいってるんでオナニーするときの妄想の女性も同意の元に双方が分かりあって性行為する高尚なオナニーしてるんやろうな。尊敬します。

テトラポットが何かを最近まで知らず、自分の思い込みでaikoに登らせていたものはトーテムポールだったことが判明した

霞を食って生きられればと思うことはある。ただ、全員がそうなれば、霞がよく出るような高地を巡って争いが起きたりするのかな、とも。

「ブサイク」が収まるべき異界、すなわち異形のユートピアがどこかにあるはずだという鬱屈した心情に対して、甘ったれた現実逃避にすぎないとか、結局は現状を肯定するだけの弱々しい迎合だとか、お叱りの言葉をぶつけるのは簡単だ。しかし、出口の見えない、息が詰まるような圧制のもとでは、狂気や自暴自棄やけくそに抗い続けることはきわめて難しい。首脳部が悪事に手を染めていることが社会全体にお墨付きを与えているのかはともかく、人々がいたるところで他人を踏みつけ、足蹴にしては「ああ、まだ下には下があるのだ」とほくそ笑んで安心するような状況が、現代日本では常態化しているように思える。人々はそれぞれの立場なりに俯いて涙を落としているが、その涙は強酸の雫のように下位の者に降りかかり、僅かな希望も溶かしてしまう。そんな「トリクルダウン」構造が入れ子状または重層的に成立している状況のもとで、本作はある種の清涼感を与える作品として、時代精神を如実にあらわしていると言えよう。異形のユートピアへの憧憬は、抗議活動よりもアノミーを選び、再分配を要求するよりも「親ガチャ」に外れた不運を嘆いてみせる心のありようと通底しているのではないだろうか。それは絶望の自死を避け、生き地獄のカンフル剤を投与するという意味で、「前向きに諦めようとする態度」だと評価できる。

違うキーボード使ってるやつ「うわなにをするやめdヴぉらk」

いつも仕事で使ってるCADソフトのコマンドに「ここでボディを抽出」があり、それを使うたびに心の中の実況者が「抽出！？ボディを！？ここで！？」と毎回叫んでくれる

同期と雑談してて、悔しいこと言われたので「あっかんべーだ！！」って叫んだら、「それ27年ぶりに聞いたわ」って予期せぬ場面で同期の年齢聞いちゃって、同期が1浪1留してることが判明した回（今日）

中庸を目指して議論しないといけないのでは、というのはわかるけど、ネットのほうを向き続けて中庸は至難の業なのよ。中庸な奴はそもそも議論に参加しないので、極論だけを言われ続けるので極論で返すほかなくなり、結果としてこっちまで極端になってしまう。とはいえ政治の話なんか日常に持ち込んだら…

「文化的に高い達成をみているもの」「権威づけられるもの」と「えろいもの」は別個の、交わらないものと考えているひとがこんなにいることに軽く驚いている。「えろくてなおかつ文化的な高みにあるもの」なんて、いくらでもあるじゃないの。

博士進学関係の講演を依頼されて世界各国の博士学生にメールでインタビューしたら「生涯賃金だけを見たら修士で就職するのが無難だよね」という回答だらけだったので、「博士に行っても高給をもらえないのは日本だけで海外では…」みたいな発言こそ妄想のような気がしている。

発達障害者は目が見えない人より耳が聞こえない人に似ているという話は真実に迫っている。実際の行動もそうだし、抽象的にもそう。他人の嫌なところはよく見えるのに、他人の批判は聞こえない。お互いに憎みあい怒りで駆動する。そのエコシステムこそが本質。

太っている女の子が痩せて生まれ変わる！！的なパターン自己肯定に繋がるのはわかるんだけどどうしてもルッキズム的になるので痩せた結果が「膝が痛く無くなってよりアクティブになり人生楽しめる！！」的な展開に持っていけないだろうかと考えたけどそれ皇潤のCMだな

あなたの言うことを仮に認めると、こんな矛盾が起きますよ、問題がありますよ、という論法には、的外れな反論がつく。背理法を率直に理解できる人は想像以上に少ない

これはライフハックですけど、モニターを三つに増やしてメイン作業・資料・twitterの三画面体制にすると作業効率が激減するのでオススメです

『鬼滅の刃』と家父長制の話、炭治郎君や登場人物が家父長制に則って生きていることと、制作側に作品を通じて家父長制を肯定する意図があるかは分けて考えた方が良さそうだし、そういう点で言えば制作側はノンポリ、すなわち「優しい家父長制」を支持する程度の意識のように思える。「強い人間が自分を犠牲にして弱者を守る」というのは単純にエモいので、漫画家がエモくするための手段に家父長制を採用したことに過剰に意味を読み取ってはいけないのだろうな。「家父長的な描写を読んでこれほど気持ち良くエモくなれる人間がこんなに沢山いる」ということの方には意味があるにせよ。もし本当に家父長制を肯定する作品を描くとすれば、その作品は「守られる側が守る側に何かを還元する」ということをしっかり描写する必要があるのではないかな。それがなければ「強い人に死力を尽くして一方的に守ってもらいたいな～」というだけの、「優しい家父長制」を希望する作品でしかない。まあ、『鬼滅の刃』は、普段は家父長制を威勢よく否定している人に対して「普段の主張の割には都合のいい家父長制は好きなんですね」と指摘したり、好きな作品だからと無理矢理「これは家父長制ではない」と強弁するのを見て失望する役には立てど、「家父長制を肯定する作品」とまでは言えそうにない。

こういうことは皇道派の青年将校みたいなのであまり言いたくないけど、内親王の結婚問題なんて「リベラルで開かれた皇室」をやってきた当然の結果というか、むしろ「成果」とでも言うものですよね。リベラルな皇室は伝統の自重に耐えられない。リベラルを続けるなら皇室の消滅は時間の問題でしょう。「皇位を継ぐより自己実現したい」と言われたら祝福の言葉とともに宮内庁を解体して大統領制に移行するのが「リベラルで開かれた皇室」を担ぐ国民のすべきことですよ。皇統は継承者が「天皇としての責務を全うすることが自己実現」と思うかどうかにかかっているし、またそうでなければならないという。個人的には、国民として敬意と勤労（税）を捧げるのと引き換えに皇室には良き君主であって欲しいけれど、そういうのはもう80年ほど前にお断りされてしまってるのだよな。敬意を捧げても関係ないとなると後はもう「俺は俺の責務を全うする！」という人が幸運にも代々続いてくれるのを期待するしかない。実際に国民の総意というか平均的な意識はそうでしょう。たまたま皇室に生まれついただけの自由な個人に生き方を強制することなんてできないし、そんなことがあってはならないと思っているから「あれは本人がやりたくてやってくれているんだ」と処理するし、次の代でもそうなることを都合よく期待する。以前にも、守られる側が守る側に対価を差し出す描写がないから鬼滅の刃は家父長制を肯定する作品とは言えない、ということを言ったけれど、まあリベラルを自認する皆さんが煉獄さんに対して抱いているのと同じ種類の期待が皇室に向けられているのだろうなとは思う。

「定期的に栓を緩めるように発狂して回るよね」みたいな話をしたんですが、みんなはやらないんですか？適度な発狂、程よく理性を保ちつつ溜め込んだ発狂ゲージを人間性の枠組みから逸脱しないよう自我を保ちながら狂気を解放するアレ

外に入卵（いれ）るぞッ！！⇔中に射精（だ）すぞッ！！

コメが記録的な安値になろうとしている。大規模農家でも採算がとれないほどの安値であり、このままだと日本の食料安全保障の底が抜けてしまいかねない。コメが安値になった原因の一つは、外食産業が新型コロナで営業できなくなったことが大きい。ただし、人間は本来、同じ量の食料を食べるはず。どうやら、コメを食べたくても食べられない、という貧困の問題が重くのしかかっている様子。外食産業をはじめとする、新型コロナで大きな影響を受けた産業では、雇用が維持できなくなっている。この人たちは所持金も底を尽き、その日の食べるものにも事欠くようになっている。食費を切り詰めざるを得ない状況が、コメの消費を大きく減らす原因になっているようだ。つまり、経済対策が不十分なために、生活苦から食費を減らし、それがコメ消費者の減退を招き、さらにコメ生産者が生活するメドが立たないほどの米価格暴落につながっている。しかもコメばかりではない。野菜などの価格も低迷している。居酒屋などの外食産業は、自宅では食べないようなプチぜいたくな食材を扱うため、少し値が張る。ここに販売することで、生産者は高めの野菜などを販売することができていた。しかし。外食産業が軒並みアウトになったことで、生産者は家庭向けの野菜にシフトせざるを得なくなった。しかし多くの人が仕事を失い、野菜を買う余裕がない。それくらいなら、カロリーが稼げるコメを、安めのものを狙って買うことになる。高い食材の需要が蒸発し、低価格側にシフトしている。低価格の野菜さえ、十分に買うことができない。そもそも、安物のコメさえ十分に買えない人が社会にあふれつつある。そのため、コメだけでなく、あらゆる食材が低価格側にシフトし、しかも需要が減る一方。食費を切り詰め、食べたい量だけ食べられない人が増えているから。どうやら、日本で「飢饉」が発生しつつある、と見た方がよいようだ。インドの経済学者アマルティア・センは「貧困と飢饉」の中で、飢饉は食料が足りないからでも、農作物の不作が原因ではないことも、様々な大飢饉を調査することで明らかにしている。飢饉の原因は、購買力の低下が非常に大きい。街のスーバーマーケットには食料があふれかえっている。けれどすぐそのそばで飢えに苦しみ、餓死する人がたくさん出た。飢饉とは、多数の人々が購買力を失い、食料にアクセスできなくなった状態を意味する。日本はいまや、その状況に陥りつつあるようだ。「飢饉」が全日本的に起きようとしている。セン氏は、飢饉の原因にもう一つ上げている。政府の無策。購買力を失った人たちに、政府が食料を買い取り、配布した場合、あるいは雇用を創出して購買力を回復させる施策をした場合、大凶作が起きた国でも餓死者は発生することがないことを前掲書で明らかにしている。日本も決して無策とは言わないが、不十分であるのは確か。国民の少なからずが購買力を失い、食べるのにも事欠くようになっているし、雇用もない中、ひとりの人間としては手の打ちようがない環境に置かれている人が増加している。日本では再び自殺者が増えている。金銭的に行き詰まり、食べるものにも事欠くことが目に見えたとき、絶望して自殺するケースが出るのは容易に予想がつく。私は、これらは「飢饉」の被害者としてカウントすべきだと考える。餓死するのを待たずに自殺しているだけで、もはや飢餓の環境にあるのだから。セン氏が提案しているように、この「飢饉」が起きようとしている状況を打開するには、購買力を国民に取り戻すことが肝要だ。また、雇用を創出することで、購買力を回復する手助けも必要だ。私は、携帯各社に雇用の増大を要求する代わり、携帯料金の高め維持を容認する政策に切り替えてはどうか、と考えている。今や、仕事を探すのにもスマホなど携帯は欠かせない。食費を切り詰めてもスマホ料金を払わざるを得ない状況。そんなに必須な産業になってるのなら、そこに雇用を頑張ってもらう。成長産業に雇用を促し、その代わり、その産業に収益が集まりやすい構造を容認する。それによって雇用の流動化と安定化を図ってはいかがか。雇用が増えれば購買力が回復し、携帯料金を負担する余力が増す。携帯各社は収益が安定し、投資を積極的に行える。飢饉の対策は、国民の購買力を取り戻すこと、そのためにも雇用を生み出すことだ。もしこの点で後手に回ると、日本で「飢饉」が起きかねない。セン氏は、前掲書の中で、蓄えを失い、食料を買えなくなった時期から餓死が始まることを明らかにしている。日本も蓄えを失う人が増加している。急務！急務！ 少し追伸。野菜の低価格で苦しんでいるのは生産者。スーバーマーケットでの小売り価格は天候不順もあり、高くなっています。食品ロスを指摘している人が多数いらっしゃいます。飲食店は食品ロスが多いと考えてのご指摘でしょうが、実態は、食品ロスは家庭部門の方が大きいです。まずはこの点の誤解を解いてもらった方がよいでしょう。何より重要なこと。「飢饉」ともいえる購買力低下で基本的な食事さえ満足にとれない人が出ていること、それにより餓死者が出かねないこと。食品ロスが出るのが問題ではない、その食品ロスにさえアクセスする道のない人たちが増加している懸念があること。その解決が最重要。論点ずらさないで頂きたい。フードロスの指摘ばかりする人たちは、餓死しようとしてる人たちのことはどうでもよいのだろうか？私にはあまりに呑気に思える。

発達障害人間の生き辛さの1つに「症状をやる気や誠意のなさと誤解される」というのがある。例えば「大事な物は失くさない」「相手を大切に思ってるなら遅れない」等は真実であり、それでも尚やってしまうから「障害」なんだけど、相手からはどうしても「熱意なき人間」に見えてしまう。

「蒸気でホットアイマスク」みたいなやつ、「物理的に目を覆い隠す消耗品」というシステムによって意地でも絶対に電子画面を見ない十数分を作るというただそれだけのことに80％ぐらいの価値がある

Q: which country has the worst garden with a pound?

A: U.S. (because it has “yard” and “pound”)

路地を歩いていると、「印」のようなものに出会うことがある。タバコ屋の窓口、積み重なった酒瓶の空箱、使われているのかもわからない井戸、古びた米屋の看板。過去と現在の生活の「印」が、そこに静かに響く。路地を歩くことで、生活の時間の中に沈んでいく感覚が、心地よく残る

タバコを完全にやめたとき「これでタバコへの執着が消えた」と思いました。しかし、タバコへの嫌悪感という新しい執着を手に入れただけでした。酒やギャンブル、情報にしても、執着しないことに執着してしまう心の癖がついています。これは本当に厄介です。

共同体によって将来の雇用・結婚が保証されていたからこそ、リベラルな文化やモラトリアム時代なんかも許されていた。共同体が無くなれば、自分で稼ぐ道や伴侶を得る努力をしなくてはならない。よって若者が大学の勉強より、金を稼げる情報教材やモテる指南書を信用するようになった。知性の敗北。

【反出生主義者の丑の刻参り】

「ブサイクな赤ちゃんを多く産め…」（わら人形の子宮の位置に釘を打っている）

【ゴジラのファミマ】

GAOGAO 合宿免許GAO

【裏拍おねえさん】

上手にっぴゅっぴゅできましたね～～

中受してそこそこの進学校行って、「勉強出来ない子」と公立で「勉強出来ない子」は全くレベルが違う。俺に「本当に出来ない子」の気持ちが分かるわけが無かった。

SCPオブジェクト見てて思うけど、欧米ってほんとマニュアル化が好きだよな。世界で一個しか存在しない例外の塊みたいな怪奇現象への対処までマニュアル化してるもんな。日本人に任せたら絶対に凄腕のエージェントが属人的対応で何とかしようとするはず。

東京行ったことないからかもなんやけど、東京に住むのが勝ち組なんじゃなくて東京に住めるのが勝ち組って思ってる

一周回って同性愛に批判的なファシズムとか共産主義が部分的には正しかったんじゃないかと思ってしまいますよね。子供を持たない人たちは少数派だからこそ許されるのであって、彼らばっかりじゃ次世代を再生産できないんだから滅びてしまいますよ。さりとて代理母という名の借り腹が健全とも思えず

ブラック企業とかの「奉仕」を求めてくる宗教的なノリに参加するとき、どういう態度が正解なのだろうと考える。その場でガチでやって感動しきるのが一番危ういとしても、「やってらんねーよ」的感覚だとそれはそれで（意味を感じなくて）辛い。こういうとき、器用に感動したフリをして、その実何も考えてない（ウユニ塩湖とかエベレストの一番てっぺんのことを考えてる）人が強いんだろうなと思うけど、なりかたがわからない。

フェイスブック民やインスタグラム民はキラキラした投稿ばかりするので、それと自分とを比較して不満が増す一方、ツイッター民は仕事などについて暗い話をする人が多く、将来に希望がもてなくなるとも言われる。人類はSNSに向いていないのでないか。

「スカッとジャパン」のエピソード投稿者たちは、善サイドに非常に都合のよい「論破された人間は必ず黙る」という世界線に生きている。端的に言って、論破への信頼感がすさまじい。

いうほど「ダメぇ」は「らめぇ」に置換されないなと思いました。

不幸というのは数直線上に並べられるものではないですよ。幸福は幸せかそうでないかの離散量ですけど。

雇用の流動性ってどれぐらいまで高める気なんでしょうか。例えば年一回転職する世界にしてしまった場合、業務に慣れることは不可能にちかくなります。逆に30年に一回ぐらいならほとんど意味ないかも。そのへんすり合わせしないと大変なことになりませんか？

「転職しないと生きていけないだろうな」「転職して能力と待遇を高めたいな」「できれば転職したくないな」「転職して新しい世界を見るのも面白いだろうな」等の意見が、一個人中に器用に同居しています。正解はありますか先生

さんざんっぱら嫌な思いをした後に、「もう二度と苦しむ人が出ないようにしよう」と考える方と、「絶対に苦しめる側に回ってやる！」と考える方がいらっしゃるんですね。両者の溝はマリアナ海溝よりも深い。

「雑談」を馬鹿にするひとがたまにいますけど、心理的安全性を高めるのにこれ以上の方法は思いつかないんですよね...。「私の時間を使っても大丈夫！」という明確なメッセージこそが「雑談」なので、雑談できる相手には気軽に相談できる。特に仕事の話など時間が読めない相談ではクリティカル。

大学生とかと話すと（下手すると修士ぐらいでも）ものすごい数いるんですよ。「OOさんの時間を奪うのは申し訳ない」みたいな理由で相談も質問も報告も何もせずにため込む人が。学生の仕事は日々を無難にすごすことではなくて『学問をすること』『他人の時間を使って成長すること』の2点なのに。ちょっと年上側は学問を阻害してしまっている可能性に気づいて、謙虚になる必要があると思います。自戒を込めて。(そういう考え方があるので、自分は意図的に少しは雑談するようにしています。もちろん付きまといとかNGなことをしないのは前提）

大企業の毎日の会議って無駄とか非生産的ってののしられることが多いけど、大規模な人間関係につきまとう利害の調整、部下からの進捗の確認、会議後のコーヒーブレイク等有意義な理由もいくつか挙げられると思う。本当に無駄なら世界から会議はなくなってるんじゃないか。あと、定例会は毎週とか隔週にすべきで、進捗がないことを部下からちゃんと教えてもらう必要がある。部下には「進捗がありません」とすすんで答えるインセンティブがないので。

この人のことは嫌いだけど、この意見は妥当だと思う、ということがあって構わない。この人のことは好きだけど、この意見はいただけない、ということがあってもよい。その人の意見を丸ごと承認するか、否定するかではなく、是々非々でよいのだと思う。

公共の意味が「誰でも利用できる」から「誰にも迷惑をかけてはならない」になっていっていることには嫌気がさすね

これ何度も言っているけれど、労働者にとって生産性とは賃金のことなので、賃上げせず生産性向上ってのは矛盾しているんよな。8時間働いて1万円稼ぐのと5万稼ぐの、どっちが生産性高いですか？

誰でも小さい頃は世界を動かす秘密のレシピを大人は知ってるんだと感じる。だけどやがて、世界を意のままに動かす偉い人なんてどこにもいないと気づく。進歩っちゃ進歩だけど、秘密の魔法が解けちゃった世界は退屈で凡庸な場所になる。世界にもう一回魔法をかけたいという欲望が陰謀論を生むんだと思う

あるASDの男性は、人の気持ちはわからないが、店で見向きもされないぬいぐるみが置いてあると「かわいそう」と感じる。人間はというと「理性を持った強い存在は勝手にやってくださいという感じです」という。こうしたナイーブな感覚は、彼のような表現力がないと、定型者にはなかなか伝わらない。

ツイッター眺めてて、普段から攻撃性の強いアカウントに限って、ちょっと突かれただけで被害者意識を炸裂させるのは何故なんだろうと疑問に思ってたんだけど、これ逆なんだな。感覚過敏で被害者意識が強すぎるから、それが攻撃性に転化するんだ。

企業が専門性を重視した採用をするようになったら大学はますます就職予備校になっていくというか、業務に直結しない学部には受験者がそもそも集まらなくなると思うけど、彼らはそれを望んでるっぽいんだよな。

Anti-intellectualismを「反知性主義」と訳したやつあまりに日本語が下手すぎる。「反インテリ主義」とか「反知的エリート主義」とかそんな感じの意味の言葉です。

「家であまりにも勉強しない。今やってる習い事をやめさせようかとー」という相談に対しては、「習い事の時間を勉強用にとこじ開けたところで、そこには”勉強”はまず入り込まないので、”息抜き・気分転換”だと思って、そのまま続けた方がたぶんいいです。」と答えてます。わざわざ週に１度・数時間の習い事をやめてまで時間作らなくたって、他にいくらでも”勉強”に回せる時間はあるでしょうよ。今あいてる時間に入ってこない”勉強”が、不本意に無理やりこじ開けたところには入ってくるなんて、そんな事はまずないです。なら、続けてた方がきっといい。

自分が加害者として告発を受けたとき、どのように対応するべきでしょうか。一つ大きなポイントがあって、それがネットで行われた加害でもネットで知り合った型だったとしても、問題の解決はネット上で行わないことです。弁護士に対応は一任し、ネット上での活動はいったん止める。なぜかというとネットには詳しい暇人がたくさんいてちょっかいをかけてくるからです。実名仮名匿名関係ない。問題の解決は当事者間の合意のみによるのですから、社会に対する発信は当事者間の合意のみに基づいて行うことが大事。これを契機に社会を変えたいとか被害者が言い出しても相手してはだめ。

本を読もうと自己啓発書百冊出してくるやつを見て、そんなのより古典を読め！と一旦思ったが、ああいうのを好む人たちがプラトン『国家』やマルクス・アウレリウス『自省録』やセネカ『人生の短さについて』を読んでももっと酷いことになりそうなので、安い自己啓発書読んでてもらったほうがよさそうだ。正直、マルクス・アウレリウス『自省録』は読んで「アッハイ」となるようないい警句がかなりあるので、読んで損はない。ただこれは自分を戒めるために読むものであって、他人を殴る棍棒として使ってはいけない。それはどんな本も同じだが。実際、自分を戒めるためのストア派的文言が、他者を抑圧するためにブラック企業的研修に悪用されることは多い。ただそういった脅威に晒された際、予め知識があれば「あ、これは哲学を悪用しているな」と気づいて洗脳から逃れられるかもしれない。知識の引き出しを増やす、読書の効用はこれだろう

偏ったジャンルの本ばっか読んでる人のことを「栄養失調」と例えたツイート読んで笑ったけど、1冊であらゆる知的栄養が全部まとまって入ってるような完全栄養本があったらその本はすごくつまらなそうな気もする。

結婚は間違えてするものだし子どもも間違えてできるもの。間違えちゃダメと言ったら結婚も子育てもしなくなる。

「ムスリムの人も多くなったから配慮して豚肉を食べるのはやめましょう」というのは多様性の尊重では無い。「ムスリムのひとがハラル食を食べてる横で日本人がとんこつチャーシュー麺を食っててもお互いに『美味しいね』と笑い合える」のが多様性の尊重だ。しかし実際にはそうはならないので、最終的には「もっとも（発言力のある）不寛容な者」に社会は平準化されていくという。

「結果が成功だった場合だけを努力という」「成功しなかった場合は努力していないとみなす」ということにすれば「努力はかならず報われる」ということになるし、じっさい世の中はそれで回っている感じがある。

「そんなこと他人から言われてどういう気持ちになるか思いやれない人間は死ね！」と見ず知らずの他人に言うのがネット。

人生も学校の勉強と同じように準備して計画して努力すればうまくいくものと思わされているのは「学校に騙されている」のだと思う。

職場のパワハラに遭った人が「弱者は私たちの税金で暮らしやがって！」と憤ってるのを聞いたことがありました。苦労して心に余裕が無くなると、人に優しくなるのは難しいですね。

「苦労に関する金言」というのも「自分で自分に言うからいいもの」なので、他人に「苦労しろ」とか言うものではないよね。苦労してない人の方がだいたい人柄もいいので苦労なんかしなくてすめばしないほうがいいですよ。

あるタイプのコメントをしてくる人のプロフィールを見るとみんな同じことが書いてある。

大学入試も就職試験も抽選にしても大して変わらないと思う。「人間が人間を選ぶ」仕組みは「選んだ人に責任を取らせる」ためのものであって「いい人を選ぶ」ためではないのだと思う。

ムスリムの多い国で過ごしたことがあるが、彼らが「神の思召しがあればうまくいくさ」と楽天的に挑戦していくのには閉口したけどうらやましくもあった。努力してもうまくいかないことなんて神様のせいにできればいいのに。

「生物」に逆らうことこそが文明であり文化であるとすれば「子どもを産まなくなって滅びる」というのは究極の文明の姿とも言える。

動物は死を理解するか、というのはけっこう流行っている研究なのだが、そもそもその前提になっている「人間は死を理解しているのか」をまずよく考えた方がいいと思う。人間がいろんな仕掛けで「わかったことにしている」ことは、実はよくわかってないことが多いので。

「論理的に突き詰めて考えたら」今の世の中でいっぽうで個人の人権や自由を尊重しながら他方で天皇制や王制を維持するというのは「無理ゲー」なので、なにか理屈じゃないもの、神秘的なものが介在しないと続かない。

短編映画集「Jam Films S」の中にサラリーマンが全国民の抽選で正義の味方にならされて、パワースーツを着せられて強制的に大怪獣と戦う話がありましたが、あんな感じかな。

人は与えられるよりも持っているものを奪われる事の方がより強く反応するものなので、金で子供を増やそうというのであれば私が以前から言っているように全国民に一律で成人の際に1000万渡して結婚して子供3人設けたら返済不要とかそういう制度にした方が出生率向上の確率が上がる。

自己啓発本百冊のやつ、別に好きなもん読めばいいけど、基本的に自己啓発系の理屈って「期間とやる事を逆算して決めろ」「やるべき事をちゃんとやれ」「他の事をやらずに集中しろ」くらいに集約されちゃうでしょ。それはまあ有効だけど、それやるのに一番邪魔になるの多分Twitterだからなあ

炎上覚悟です。詳しくはプロフに。変われるなら自分だけ〜云々、自己啓発本の上澄みみたいな文章に皆同じ決まり文句付けてツイートするの流行ってるけど、結局お互い同じような内容ツイートしてフォローし合ってるだけで、肝心のターゲット層に全く刺さってない。

「○○とは何々、こうすればOK、という分かりやすさがあって、かつ自分を上げてくれる」ものに安心を覚えるとこありますよね。○○座はこう、というツイートするとフォロワーも増えるんだけど、よくわからん曖昧な呟きをすると減るのでわかりやすい。価値観の違いと言えばそれまでだけど。

日本とアメリカの違いは何かと言われたら人との距離感がやはり一番かな。日本は距離感が近いがアメリカは遠い。言葉で説明するのが難しいがいくら近くても警戒心を常に持ち続けるといった所か。その代わり誰とでも気軽に話せる。日本は距離感が近い人以外中々話さない。アメリカ人とプライベートな深い話を親身になって聞いてくれる関係になるのはものすごく難しい。知らない人と話が弾んだり、通りすがりに服装を褒めてくれたり、最初の距離感を詰めてくるのは早いけど、心の距離はなかなか縮まらない。特に上っ面文化のカリフォルニアはお互い警戒しているのを感じる。

今読んでる本に、「死滅しそうな言語を記録に残しておきたい言語学者がいるが、話者が歯のない老人ばかりで正確な発音ができず、入れ歯を作る金も用意できない。なので入れ歯の金がないせいで滅びるしかない」というエピソードが出てくる。

ある種のインテリは「見事な演繹」を見せつけられると、(採用した前提が間違っていて)結論が間違っている場合に乗っかっちゃうんだよな。正直、意味がわからないが、「たとえ間違っていてもこの人は頭の良い人」「だからこの思考の過程には価値がある」みたいなノリがあるっぽい。

インターネットが広く普及することで、とっくの昔にかなり複雑に議論されたことなのに、前提を全然共有してない人がその事柄の非常に素朴な段階からまるで大発見のように言い出し始めるというのがいろいろ起こってる。フェミニズムもそう。

「100冊の本」に対する賢い人の反応を見てると、教養を身につけるということは、特になにか有害性があるわけでないけど教養のないとされる本を読んでる人を小馬鹿にする習性を身につける事を意味するようなので、教養を育む事は教育に悪いということがわかる。人間の感情としては自然な事だと思うけど、こういう事が割と頻繁にあるのに「教養の効用」みたいなことを肯定的に語るツイートがバズりまくるのが凄いと思うんだよな。

頭いい人との会話って意見が食い違ってても頭ごなしに否定してこないから、意見交換みたいな形になるし話をしててイライラしないんだよな。クソ引RTしてくる頭悪そうな人って自分の意見だけダラダラ書いてくるからストレスがすごい溜まる。

担任時代、4月に出会った子ども達はみんな普通の子に見えていたのですが、一緒に過ごす中で一人ひとりの性格や趣味嗜好の違いがわかってきて、3月には「みんな変な子だな」と感じていたので、「普通の子とはよく知らない子を指すんだな〜」と思っていました。

文学を好む人は「文学はビジネス書や自己啓発書に比して人格を磨く効率が10倍高いことがわかった」と言われても「文学はビジネス書や自己啓発書に比して役に立たない」と言われても喜ばないであろう。それが「効率というフレームで判断されることの拒絶」なのか単なるひねくれなのかはよくわからない。「ビジネス書や自己啓発書ばかり読むと薄っぺらい人間になる」と言うなら「それなら文学の方がコスパがよいと主張するのか」と返されても反論できまい。「文学や哲学は効率よく人格を磨くための有益な手段だ」という考えになっているのではないか。それはビジネス的な枠組みに絡め取られていないか？

マクロなゲームチェンジを提唱しつつミクロな最適行動を取るというのは実のところ矛盾でもなんでもないんだが、マクロとミクロの区別がつかない人が多いので割と批判されがち。

男女の出会い一位がマッチングアプリという話、お互い合意が取れている場以外で出会おうとすることが迷惑や加害でしかなくなった以上、まったく問題ないというか、全面的に賞賛すべきことだと思う

フェミニスト議連とVtuberの炎上騒動の推移みてももう明らかだと思うけど、最良の炎上対処策は謝罪しないことなんですよね。特に熱いうちの謝罪はなんの鎮火策にもならないどころか火に油を注ぐだけというのを、フェミは放火側だからこそ理解してそう

定年後の男性が集まる料理教室の手伝いしたことあるけど、仕事してた時代のマウントと、持ち込み食材ランクのマウントばかりだったので「ああこれは、ここで友情を築くのは厳しい」と思ったことがある。

好きな職業についた人に「今日の仕事は楽しみですか」って聞いたら、Noって答えることが多いと思う。プログラミングは楽しくても動作確認とデバッグは楽しくないし、本を書くのは楽しくても細かい問題点のチェックと修正も楽しくない。好きな仕事のかなりの部分が楽しくない雑用で構成されている。

ギクシャクと強張っているタイプの人と話すと、だいたいは責任論が大好きで、その裏表で言いわけがましい。批判と言いわけばかりの話は、人を緊張させる。その批判や言いわけがたとえ自分に向けられたものではなくても、そういう人は、ただ同席しているだけの人を疲れさせる。

中高一貫の人が『公立中は多様性があるんでしょ！』って言う度に『じゃあ中学で煙草ふかしたり酒飲んだり、挙げ句の果てには薬までやって精神病院行くような多様性が見たいですか……』って思ってる

自己啓発の違和感、あれは「雑学化した哲学」なんだよな。このへんを論じるとき「教養」を雑学の意味だと思ってる人がいるから対話成立しなさそう

小学3年か4年の頃だったと思うけど、プールの授業のために移動して渡り廊下を歩きながら「幽霊はいるのか？」ということを考えていて、ふと稲妻に打たれるように「幽霊は"いる"と思う人の思いの中に"実際にいる"のだ！」と「気づいた」ことがあって、これはすごい発見をしたと思ったものの、自分でもこの発見の何がすごいかよくわからず、人に理解されることもないような気がして、特に誰にも言わなかった、ということを、いまだに覚えている。これはいまになって換言すれば「実在」というものが合意の形成によってなされる概念であることの気づきなんだろうけど、「この世界は偽物なのかもしれない」というような懐疑論とは逆の「実在」の意外な強度に気づいたという驚きだ（懐疑論はこれより前にたどり着いてた気がする）。

昨夜後輩が「将来は自然のままの農法がいいと思う。畜産も自然な飼育が良い」って言ってるのを聞きながら「人の手で生み出された家畜に帰れる"自然"は無いんだよ」って言うのを抑えてた。

思うに、自己啓発本のひとつの本質って、単純だったり分かり切ってることを、ともかくも「他人」に言ってもらうことだと思う。自分で自分に言い聞かせても効果は弱い。ところが他人に言われただけで、ある程度力を持つ。しかしそれほど持続しないので、同種の本をまた買う必要が出てくる。

最近ネットの揉め事を調べたり言及するのが我慢できなかったとき「魂のステージが下がった」って言ってる

自分の気に食わないものが出てきた時にどこまで原則を貫けるのかデスゲームことSNS

子持ち男性で自分の人生がいかに幸せかキラキラ語って最後に「妻に感謝キラキラ」で終わってるアカウントより、雨の登園を嘆いたり子供が朝ごはん食べなくて発狂してるパパ垢の方が信頼できるし同志って感じ。

多文化共生でも異文化理解でも何でもいいが、これからはそれやらにゃあかん、そういう状況に本邦なっとる、と心底本気本腰で言うのなら、まず「日本および日本人」であることにきっちり壁をこさえて仕切りを立てる、そこも含めて同時にやってのける覚悟もないことにゃ｢共生｣も｢理解｣もあり得んわ。

ワイらのような仕事でも少し手を動かす仕事から離れてると、途端に仕事仕上げるまでの過程で何度も右往左往したり効率が落ちるのと同じで、今日のシェフもコロナで店休続いた際に厨房に立たなかったら酷かったとの事で、効率の良さは日々の研鑽と慣れによる部分が大半だと思ってる

意識高い系の経営者や詐欺師みたいなコンサルが仕事に楽しさをやりがいを隙あらばぶち込もうとするのは、楽しさとかやりがい、つまり幸せという報酬をあなたは充分貰ってるんだからお金はもうそんなに要らないよね、真の幸せはお金じゃ買えないんだ、というカルト宗教による搾取の手法と一緒。

正論言って場の空気を変にさせた後、漫画やアニメだと「悪いな…損な役回りさせちまって」って優しく声かけてくれる人がいるの羨ましい。

「パンが無いならブリオッシュを食べればいいじゃない」に「おう、そうだな（別にパンにこだわる必要無いな）」と思う人と、「パンが喰えねぇのに他のもの喰える訳ねぇだろ！」って思う人の間には深い断絶がある。

「反差別を訴える人間が差別主義者を差別するのか」というのは欧米の差別主義者が弄してきた古典的なレトリックだけど、平等を是とする社会においては差別を口にした時点で批判を免れることはないんだよなあ

根本的な問題として、よほど男が魅力的でない限りはアプローチしたり告白したりという男らしさ、エスコート能力を持たない男性は彼女なんて出来ないんすよね。「男らしさから降りていいよ」っていうのは単に男を責任から解放するだけでなく魅力を低減させることだと考えた方がいいですね。

海外にイジメはない、とか言ってイジメのある日本をディスる人がよくいるが、夏まで住んでいたタイも含め、私が住んだことのある国には全て壮絶なイジメがあったし、私にはいろいろな国出身の友人がいるが、自分の国にはイジメがないという人には会ったことがない。もちろんフランスもそのひとつだ。

アメリカでもそうだったが、白人ナショナリストから見ると日本羨ましすぎるんだろうな。人種構成だけ置き換えれば、治安が良くて清潔でほぼ全員が白人の国ということになる。日本にも民族多様性を！と呑気に宣う人間は現状からどれだけのアドバンテージを受け取っているかまるで理解できていない。

「男らしさ」はあって当たり前のインフラなので、女は男に優しくされたぐらいで別に感謝したりしないんだよな。水を飲むときにいちいち「水道管工事のおじさんありがとう」とか思わないのと同じ

田房永子『男社会がしんどい』を読んだら、「そりゃこの認知で生きてりゃしんどいだろうて」というお気持ちになり、具合が悪くなった。一種のもらいゲロみたいなもん。田房永子氏にしろ、小林エリコ氏にしろ、かつてエロ業界に関わり就労していた人たちが「エッチなのはいけません」式フェミ的な認知に陥る現象なんだこれ感が強い。超ざっくり言うと、自己評価低い女性のヤラカシにしか見えんのよね。自己評価低いから本来自分があまり好きではない領域で就労し、「フェミ」のような別の場所ができたら、自分の責任や問題は全部投げ捨てて社会と男を糾弾する。そもそも君の自己肯定感の問題では？と思ってしまう。「自己評価が低いゆえにそもそも自分のあまり好きではない業界に就職しようとする人」ってレアケースだと思うし、それ社会じゃなくて自分の問題じゃん！とか言ってしまうわたくしは、はたしてネオリベミソジニストなのかしらねえ？現在の社会構造、特に就労においては男性の方が女性より優位に設計されている部分はあるけれど、反面、「就労責任」は女性より男性に重くのしかかっている。そしてその社会を作ったのは男女の共犯関係なのだから、そもそも単純に「男社会」とは言えないというのが私の見解。労働は業績に応じてある程度換金できるけれど、家事労働はやってもやらなくてもほぼ換金できない。それを不平等な「不払い労働」ととるか、安定した「扶養」と取るかは人による。

現代韓国の近代化の速度は多分近代日本より速いけど、人体と同じであまりに無茶な近代化で社会全部に過負荷をかけると社会が病むらしく、異常な少子化とかヘル朝鮮などと自嘲するレベルの格差など様々な病理が生まれてるので、やはり極端は良くない。

プロ野球選手になる夢を持つ球児たちが実際に選手になれなくても、「俺が選手になれない社会はおかしい」とは殆どの場合言わないだろうが、これが博士だと普通に言い始めるんだよな。

余計な消費をせず必要な範囲で生活し、他者に侵襲的（搾取的）関わりをせず平和にサステナブルに暮らす、というのは、資本主義批判であるどころか、資本主義のある種の徹底なのではないか。それこそを批判する、資本主義の分析を通じての別の仕方で、が必要なのでは。ととりあえず言ってみる。

現在地球は温暖化している。核兵器を使うと、核の冬が来て冷たくなる。ひらめいた！

未接触部族、言うなれば国内に政府とか法律が通用しない人間がいるわけで、非常に不思議な感覚であると思う。

インターネットはおらが村では一番の人を人類では一億番にしてしまうという話で大事なのは「１番」の部分ではなく「おらが村」のほうなんだよな。なぜならその場で一番のお前にしかできないことは「その場にいる」という空間的なユニーク性と切り離しては評価できないので。現代人は自分のスキルをローカル性や身体性と切り離して無限に拡張する抽象空間に晒そうとする傾向があるけど、「その場にいる」というユニーク性を低く見積もりすぎなんだよな。「その場にいる」を実現する能力を考慮しないし、「その場にいる」ことの特殊性を評価しない。「おらが村にいる」だけでできることがたくさんあるし、「村での一番」を引き受けて立つ当事者性は能力のランキング形式では数値化できないのだが、ネットがもたらした数値化とランク付けのような「直線方向への整頓欲求」の肥大が、空間的な固有性の軽視を助長させ、個人の矮小化に寄与している。世界ランク何番だとかで悩む人、そもそも自分を取り巻く状況に対して自分という存在が占めている位置情報・座標は絶対的に代替不可能なので、自分の肉体や能力や出自や性格も含めた半径数メートルの宇宙を引き受けられるのは自分しかいない、という自己存在のユニーク性に目を向けるべき。スキル＋ロール＝キャラクターなんですよ。状況を引き受けるから登場人物になる。世界ランク何番だから、ではないです。

ノーベル物理学賞に関連して「GAFAを生み出せない日本はダメな国」的な発言を目にするけど、そういうことを言う人のほとんどは、イギリスやドイツ、フランスもGAFAを生み出せてない事実を無視してるよね。どうせなら、「なぜ米国はGAFAを生み出せたか」と考える方が実のある議論ができるんじゃない？

難民を受け入れろと言う話もそうだけれど、基本的に優しくも賢き人々って弥縫策が大好きだよね。根本原因をなんとかするのは端から無理と諦めてるのか、原因が無くなると都合の良い弱者が居なくなって保守派を攻撃出来なくなって困るからかは知らんが。

「怒られが発生」を噛み砕いて意訳すると「あなたの怒りはあなた個人の問題でしかないので私を巻き込まないでください」となる

実際はアメリカにも同調圧力はあり（基本的に同調圧力の存在のない共同体とは形容矛盾としか言いようがなく）、自分にとって水が合う同調圧力を選ぶしかない。

サラリマンはカチグミもマケグミも長時間働くと古事記にも書いてある

田舎のイオン、地域の衰退が進行するとどんどん「+α」が削がれていって、「生活必需品を売る大型スーパー」の姿にある意味で洗練されていく。地元のイオンは数年前にミスドと書店が撤退し、食品と衣料品、そして100均でフロアの8割になった。まさに生活インフラなのだ

私みたいな賢人とかはてブ賢人達で共産主義国家作ったらうまくいくと思うけど世の中馬鹿ばっかだから樽ワインに汚水垂らしたら汚水と同じで一人でも馬鹿混じったら共産主義は崩壊する(した)

Q.別れて大正解だった男は？

A.私が「今日すごく疲れた」って言った時に「俺の方が疲れてる」って言い返してきたやつ

要は「独裁化のリスク」をどう考えるかだと思う。僕は人間は権力を持てば必ず腐敗するし民主主義は現状でさえ抑止装置としては崖っぷちだと思っているので、むしろより小さい政府を志向するのが健全だと考えている。

強者からの誘いはロマンス、弱者からの誘いは暴力って感性なだけでしょ。現実的に考えて100%強者の方が積極的に誘ってるだろうし。動物園の猛獣が迷い込んだ小動物を襲わないのは単に満腹だからで、野生に比べ心優しいわけでも肉食性が薄れてるわけでもない。

政治家は優秀なブレーンを抱えて善政を目指しつつ、大衆向けにはいい加減な景気のいいことを言って空気を盛り上げればいいんである。大丈夫だ、たとえ矛盾してたって分かる奴はごく少数だし、そんなものは選挙で勝つ上で無視して構わない。結局のところ、生活さえ安定していれば誰が何と言っていようがどうだっていい、という大衆のありようを正しく見つめて、きっちりと社会の安定は生活の安定が基礎であるという所に政治は回帰すべきなんである。なんも考えてないようなバカでも改革だ公務員削減だ喚いていたら当選したようなポピュリズムを同じ程度のバカでも消費税反対を喚く時代に変えようよ、という程度の話をポピュリズムだから増税反対はダメだとか言う奴、端的に大衆意思を掴めてないよな。無駄遣いを無くすとか責任ある財政再建という態度こそポピュリズムの典型である、というな。自分たちは正しい選択を行なったという大衆感情の惹起こそがポピュリズムの根本であると理解出来れば、現今の環境では緊縮こそポピュリズムの典型だとわかろうもん。

民意に寄り添う、ってのはクソマーケティングのやりがちな既存ニーズ拾いでしかない。潜在ニーズを掘り起こすなり、既存ニーズの想像を上回る事で初めて商品が売れるのと同様に、政策も民意に沿うだけでは意味がない。民意ってのを橋下市長さんそのものが体現している時点ってのは確かにあったと思う。ぶっちゃけ直接民主制って橋下独裁と決定内容はおそらく大差ないだろう。民意なんてのは感情と思いつきがほぼ全てなんだから。

メキシコや調査地と通信してて「今日は雨が酷いからネットが繋がらない」「天気悪くて音声が途切れる」みたいなのが当たり前なのと比べると、日本の「台風の場合はオンライン講義」「天気悪いから家にこもってネット動画視聴」みたいな感覚ってよほど恵まれた通信インフラが無いと出てこないですよね。

村上春樹、どこまで行っても都市生活者の内面のみが射程なとこあるし、都市と地方の対立が先鋭化しつつある2010年代以降においてノーベル賞作家には正直なれないと思う。

「理由が先で、結論が後」ではなくて「結論が先で、理由が後」なのである。「『理屈っぽい』から嫌われている」のではなく「嫌われているから『理屈っぽい』」のである。

これからの日本は脱成長で工業化から離れて自然豊かに農業やって…みたいな話を美しく語っちゃう人って「今から人口半分以下にする」って言ってるのと同じなんで、皆さん、そういう虐殺みたいな事を言う人を称賛したらダメですよ。農業こそ反自然の人類の英知なんですがね…。農機の燃料、用水路のポンプ。気象情報や相場情報を収集して判断するITやAI機器。こういう所にハイテクを使わないと、今の農業はやっていけません。

社会問題に関心があることは「知的」であることも「賢い」ことも裏付けないし、新聞持ち歩いて政治社会問題を振ってくる奴とかかなりお馬鹿さんでしょ。

宗教ってざっくり言っちゃえば「目のさめるような新しい価値観」であるので「オレはハマんないよ」っていう感覚にこそセキュリティホールがあるんだよな。8年前まで軍艦の艦種も知らず、去年まで競馬に興味もなかったオタクの今はどうだ？

店員にわがままを言って無理を通すクレーマーやルールの穴を突いて意地汚い真似をするのをライフハックと呼んで得した気になっている連中は、情や思いやりやリソースの搾取が回り回って自分たちの暮らしがかえって窮屈になることに気付かないのか。それとも自分だけは賢く出し抜け続けられるとでも？

私の場合、政治的発言というものは純粋に内容だけ見れば賛同できる場合でさえそれを主張している様を見るだけで何か嫌悪感を感じる。演説ならまだしも議論(のふり)をされると特に。ところがなぜか政治的話題でもないのにわざわざあたかも政治的発言のように喋る人が結構いる。ツイッターにも。政治家は政治家だから仕方がないが、普通の人は政治的な問題についても非政治的に語るようにしてみたらどうだろうか。例えば(といったら単なる一例の提示ですよ)、私にはどうしてもこう思えてしまうのだがこれは私に何らかの欠陥(例えば無知とか奇癖とか…)があるからだろうか？とか。哲学者の中には自分の哲学をこの語り口で語る人が時々いて、ホンネを言っちゃってるなあ、しかしまあこれが実感のはずだよなあ、といつも思う。要するに、どんな場合も自分の側の正しさを疑う余地のないことであるかのようには喋らない、ということ。自分自身に懐疑的に、自己吟味しつつ喋る。ツイッターではこれは結構むずかしいが。文が長くなるので。

「屋上をなくしても(ホームドアをつけても)自殺する人は他の方法で必ず自殺を成功させる」という信念が共有されているけれども実際には「死のうか死ぬまいか悩みながら屋上に出ようとしたら施錠されていてしかたなく家に帰って今日に至る」という人は多いと思う。「面倒くさい」は人生の暴発弁。

経験上、初手から攻撃性の高い人は、えてしてどこかに強い思い込みや勘違いがあります。

「自分の辛さの背景には社会の構造があったんだ」と捉えるのはいいのですが、「自分が正義！社会の構造が悪！」と叫んで拳を振り回すと、社会を構成する人にボコボコ当たるので注意が必要です。

初手で誤読して罵倒してくる人が大勢います。言語能力が低いのかなと丁寧に誤読を指摘しても「すみません。訂正します。」とは絶対にならず、すぐ別の罵倒を続けるので、本当の問題は言語能力とは別の物がやられていることなのでしょうね。

掛け算順序にこだわりを持つ小学校教員100人による4×100mリレー見たすぎる

明日も電車止まって出勤できなきゃいいのに。みんなもそう思うだろ？と思って「明日　出勤」でツイート検索したら、顔をハートで隠してる女たちの出勤告知しか出てこなかった。

ウンコが臭いのはウンコのせいだろう。実はウンコそれ自体には“臭い性質”などというものは元々含まれておらず、生物が適応的な神経システムを進化させた結果としてウンコは臭くなった、つまり自分の脳みそが＂ウンコの臭さ＂を生み出しているのだ、ということに気づくのは普通の人にとって難しい。ウンコを臭く感じさせられた私は “被害者” なのだから、クサイものにクサイと言い放つことには何の問題もないしその発言に加害性はない、「ウンコをクサイと感じたい欲求や、生物学的戦略性があるだって？フザけるな！」となるのはきわめて普通の反応だろうという気がする。我々は「ウンコが臭いから掃除しろ」という言葉なら社会的に何の問題もなく振り回せる。だがウンコに"人格"が宿っている場合はウンコが排除されるべき “理由” を「私が不快だから」等の自分の中の嫌悪感に依拠するものでなく、「皆に迷惑がかかってる」「公共の場にウンコは相応しくない」などと言う。

人間にとってウンコは臭い物だけど、その臭いウンコに集るハエにとっては「いい匂い」なんですよね。同じにおいを、ハエの脳は香ばしい物として認識してるんです。そう考えると、ウンコその物に絶対的な「におい」は存在しないんだろうなと思いました

オウムに限らず統一教会でも法の華でもなんでも、ああいうカルト宗教は人を洗脳して取り込むノウハウが確立されててシステマティックに仕掛けてくるから個人の意志だけではどうにもならんと思うのよね。

恋愛と同じで気持ちよく騙してくれる事が求められるのが政治というものなんである。その嘘に気づくようなのは理性に頭を支配されたインテリとか言う狂人だけなんでちゃんと優しい気持ちいい嘘を吐け。

どんな職場にも必ず逆張りして否定から入る人間っているんですけど、そいつが言った逆張り意見をちょっとニュアンス替えてこちらの意見として発言するとそれを否定するんで面白いですよ。自分で矛盾のループにハマる。

同じ知性の人間なら顔がいい方が知的に見える、というの真理かもしれんけど身も蓋もなさすぎて笑った。逆に言うと、我々が考える『知的』というのは論理的思考能力や教養ではなく、容姿や雰囲気を統合した立ち居振る舞いのことを指すのではないか。本質情報という気はする。

OJTってとりあえず現場にぶち込んで死ななかった個体を選別する作業じゃなかったっけ？

エビフライと尻尾とゴキブリの羽の成分が同じみたいな話をする人、「なんの成分がどういう風に同じなのかしらないけどなんかインターネットで見たので真似した」みたいなクソスベリを感じて恥ずかしくなってしまう　まとめブログで見ただけの野原ひろしの名言集とか引用するチャンス狙ってそうでキツい

キングオブコントにはユニット人数の上限がないので、たとえば502人で参加して「めちゃくちゃおもしろい路上漫才師とそれを取り巻く街」みたいなコントができる

「今日は出社無理っぽいんで家でやりますわー」と言えない埼玉県民が会社や上司への忠誠心を見せるために生産性度外視で朝から行列作って半日かけて出社してる間、都心に住んでる高所得者層が家から一歩も出ずに冷房効いた部屋でリモートワークしてるの、令和の世に相応しい痺れる現実だな。

おじさんがシコる女児アニメの象徴の一つであるプリキュアがポリコレやフェミニズム的に正しいからセーフとされてるの、本当に希望が持てる。

皆が嫌がる声かけアパレル店員歴結構長かったんですけど、最初は自分基準でもの考えるから話しかけないほうがいいんじゃないかと思ってたけど世の中意外と話しかけられると嬉しくて買い物しちゃう人多いんだよね。ツイッターやらないようなタイプの人達だからツイッターにはいない。

「日本人のノーベル賞受賞で騒ぐやつは研究内容なんか興味ないんだろ」とか「マスコミは研究内容を報道しろ」みたいに言ってた人が、真鍋さんの受賞に関しては研究内容そっちのけで「同調圧力」や国籍の話ばっかしてるの、本当にいい話すぎるんだよな

「田畑を耕して、お互いを助け合って、自然豊かな環境で生きていけばいいでしょ」が面白いの、日本の自然、田畑にしたところで日本の人口を維持できるほどには豊かじゃないので、助け合いじゃなくて殺し合いになることだよな。田畑を耕して生きていくのに必要なのは、何よりもまず広大な平地であって、自然豊かな環境じゃないんだよな。

中国TikTok見てたら東亜同文書院について語ってるおじさんがいて「スパイ活動っていうのは007とかああいうやつじゃないんだよ、田舎の野菜の価格とかつまらない風習とかありとあらゆる情報を事細かに調べて記録するそれがスパイでそれが一番危険なんだよ！」と力説してて、いいこと言うじゃんと思った。相手と「仲良くするため」のお勉強と「ぶっ倒すため」のお勉強って、「相手をよく知る」という点において大いに重なるんだろうね。

オウム死刑囚の広瀬健一。中学の通知表で「学級委員として包容力、統率力があり、こんなに面倒見のいい学級委員を見たことがない。健一君に出会えたことは私にとっても幸せなでした」と書かれ、早稲田大理工学部首席、教授は「広瀬君が研究を続けてれば世界の物理学は進歩したと思う」と証言するほど。高校生の夏休みに某新興宗教の布教を受けると、話を何回も聞いた上で、非現実的で根拠がないと結論づけて入信を断るが、相手を否定したり論破するようなことをしなかった優しさもあった。高校の時から「生きる意味」を考え、様々な伝統宗教の本を読んだが、心の拠り所を見つけられないでいた。院生の時にたまたま目にしたオウムの本を読んで、関心を持ったが、いかがわしくも思い距離を置いていたが、ある日突然寝床で神秘的体験をしたことで、オウムと結びつけてしまう。この神秘的体験について、後に広瀬は拘置所の中で心理学・生理学を勉強した結果、「葛藤のさなかに脳内物質がバーストして起きた幻覚」だと科学的に説明付けるが、当時は興奮のあまりオウムへの警戒感が薄れ入信してしまうという。入信後も葛藤はあったが、結局出家。修行漬けの日々で幸福を感じて取り込まれ、自動小銃製造や生物兵器計画、サリン事件に関与することになる。逮捕後、自身の行動を後悔して謝罪し様々な証言を行ったが、裁判中に被害者遺族から「お父さんを返して！」と叫ばれたことで、一時精神に失調を来すまでの感受性があった。裁判所からも本来の能力や人格面での高潔さを評価されるも、起こした事件が事件だけに死刑判決。能力的人格的に優れた人間であっても、ふとしたことからカルト宗教に取り込まれてしまうし、恐ろしい犯罪にも加担してしまうのであって、「○○だから宗教にハマりにくい」という言説は、完全に宗教舐めプだと思いますね。この一連のツイートに「高潔で善良だから沼るんだよ」みたいな反応多いけど、身も蓋もないこと言うと、優れた人は化学兵器製造みたいな高度な仕事できるので重要犯罪に加担するけど（オウムも学歴社会）、普通の人は末端で犯罪に加担して目立たないだけです。

首相も電話会談で緊張して、電話が終わった後深く腰掛けて「ふぅ～～～……」って言ったりするんだろうか。

オッ！この人私をブロックしている！ と気づいたとき、持っている公開アカウントの全てで訪れて、全てがブロック済だと「フフ……やるねェ……」ってなる。

私くらいになると服屋の店員に「何かお探しですか？」って話しかけて回ってる。

例えば美味しくて大人気の焼肉屋があったとして、その背後では牛が殺されているし、客も高血圧で寿命が縮んでる。スタバだって紙ストローでエシカルですみたいな顔してるがフラペチーノはかなり身体に悪いだろう。商売は業を背負うことそのもので、100%どこからみても綺麗な商売はほぼあり得ない

マジで里山でみんなで仲良く資本主義から降りた農業は簡単に資本主義の塊の大規模農業に駆逐されるだけなのである。自分で食う分だけ作って完全に再貧困の発展途上国になるのが幸せってならわかりますがね

テレビのバラエティって芸能人が「みんな僕たちのこと知ってるよね」という感じで出てきて、そういう前提の企画を説明なしにやっているので「テレビ」という一個のYouTubeチャンネルに登録して見ているような感覚になる。

飲食店に入り浸って光熱費を浮かす節電乞食とか、子供の年をごまかして幼児割引でメシ代浮かすとか、トリキの錬金術とか、ああいう恥を捨てた浅ましい真似がライフハックとして堂々とドヤられる世の中になってしまったらしいのでやっぱり今は中世。末法の世だ。

だいたい初音ミクがクールジャパンのアイコン的存在になっているのに戸定梨香は子供に悪影響だとか一般常識的にも通るわけがないんですよ。結局フェミニストは潰せそうな相手を選んで抗議しているだけで、何だったら戸定梨香に対して不快感すら抱いていないと思いますよ。

日本代表を熱心に応援してた人が試合を全然見なくなっちゃったり、興味をなくしちゃったりしてるケースがけっこう見られるの、代表が「我々」ではなく「彼ら」になっちゃったからなんだろうなあ。アメリカ、フランスあたりから代表をずっとフォローしてた人たちが失敗も成功も共に味わってきたんだけど、代表の位置づけが変わってきたことや、自身の年齢が上がって物語に共感しづらくなってきてるのに加えて、協会の内輪でなんかやってるという感じが拍車をかけた感じ。

やり方も教えず、挑戦する機会も与えず、「お前はできない！お前はダメ！」とマウントしてくる上司、ブラック企業によくいる。「夫が協力してくれない！ワンオペ育！」と騒いでる人たち、かなりの割合でコミュニケーションスキルとマネジメントスキルがカス以下で、夫と上手く協力関係を結べない人たちだと思ってる。

アメリカから学べという場合、彼の国は壮大な実験国家なので、此方としては「実験が成功した暁に」はその果実をありがたく頂戴すれば良いのだが、何故か実験そのものを輸入したがる舶来カルトが後を絶たない。少なくともこっちはこっちで別の実験に専念した方が多様かつ効率的ではないのか。

何種類かのオブラートを使い分けることでより相手を傷つけるテク

教習所のビデオあるある「おっと、危ない！」

さっき、おしっこが手についたので舐めてみたら甘くて「糖尿病！？」って思ったが、卵焼きを作るときに手についた人工甘味料の味だったのでめちゃくちゃ安心した

財政規律という観点から見れば、すべての日本人が死に絶えた無人の荒野に残された財務省ＡＩが「日本国民０、歳入０、歳出０、財政赤字０、財政再建完了、完了、完了……」と呟き続けるのが理想なのではなかろうか。日本人が存在しなければ財政赤字も存在しない。

米国大学での「ポリコレ同調圧力」は、日本社会にそこはかとなく漂う同調圧力とは全く異なり、自分の社会的地位を丸ごと剥奪されるリスクを感じるような、そういう種類の圧力ですね。

SNSとは悪口の投擲武器化なのかもしれない。投擲武器の発明は相手を長距離から一方的に攻撃できるという戦法を生み出した。SNSも同様に言葉の投擲武器化なのかもしれない。相手の信用を一方的に削れる。SNSの話は顕名か匿名かよりも、こちらの話のほうが考える余地があるかもしれない。SNSが出来るまでは相手の信用を匿名で毀損するのはとても難しかっただろう。多くの村落では悪口をいえば言った本人は特定される。直接文句をいえば暴力で返される危険性もある。SNSの発達により、安全に相手の信用を削れるようになった。そして、それが様々な問題を引き起こしている。

「子どものための交通安全の動画にこのようなキャラクターが本当に必要なのか」って、なんでいちいち「必要性」をフェミニストに審問されなければならないんですかね。「性犯罪を誘発する懸念」などと決めつけてた自分たちの抗議文の説明には、全くなっていません。『本当に必要なのか論』って過去にもキズナアイなどで旗色が悪くなると苦し紛れに持ち出される言い回しなんだけど、『有害性の立証責任』を『必要性の立証責任』にすり替える典型的な詭弁なんですよね。『本当に必要なのか』を問い詰めたら人類の文化の大半を社会から抹殺できる。認めてはいけない論法。『vtuber自体は問題にしてない』というのも毎度の印象操作で、『特に影響が受けやすく判断力が十分に発達しているとは言えない段階にある男の子たち、女の子たちがこの動画を見たときにどう映るか』みたいな理屈が通ったら社会全体でゾーニングしろ、YouTubeに年齢制限かけろと言い出すのは見えてる。もう毎回毎回なわけですよ。有害性が立証できなくなると『どうしてもこの表現じゃないとダメなの!?他のこういう表現でもいいはずでしょ！』ってゴネて、そこで譲歩して他の表現に変えると『有害であることを認めたから変更したのだ』という有害性の立証に再びすり替えるわけ。もう確信的にそうやってる

「差異を無くしていく」と「差異を許容する」、この2つ以外に障害者(広義)福祉の進むべき方針はあるんだろうか

私が今アラサーでアプリでモテハイスペ氏と絶対に結婚したいと思ったら、5人位とコッソリ同時並行で真剣交際、「プロポーズされる迄は仮交際！相手も裏に何人かいて当たり前。目指せ誰かのNo. 1」みたいな精神で挑まないと詰むと思える。いや実際はしないけどその位倫理観バグらせていかないと厳しそう

「自分に投資しろ」ってんで、変な自己啓発セミナーやら、自己実現本やら、洗脳オンラインサロンやらにカネをつぎ込む若者をちょくちょく見かけるが、自分に投資というならば、睡眠時間や休息にしっかり投資しなさい。それが自己投資になるという事が分からんなら、投資とか考えん方がいい。睡眠時間を短縮する為に高級な寝具を買うとかも、貧乏臭く理に適ってなくて投資とは言えないから、そういう発想になるのなら投資を考える事自体をやめときなさい。睡眠時間は減らさず、睡眠の質を向上させるために高級な寝具を買うというなら妥当だ。投資のリターンを短絡的に考えると間違えるよ。

下位の者（能力や共同体への貢献度が劣る人）を包摂しようという動機になりうるモノが、左派は人権意識だと強固に信奉しているようだが、どうもそれは効果的ではないようだ、とそろそろ気付かんものかね。私はそう気付いて、現状、同胞意識に勝る動機はないという結論になった。

表現の自由というものは無制限。他者の人権と衝突するときにその範囲が（大抵は事後に）調整されうるということに過ぎない。表現の自由が制限（調整）されるのは「法律があるから」ではない。あくまで表現行為が他者との人権と衝突するから、それを調整するために法的に制限をかけるという理屈。例えば究極な話、人を殺すのも表現の自由ですが、他人の生命という最大の人権を侵害するので殺人罪で摘発されるわけです。もちろん刑法の意義は他にもあるのでこれは一側面にしか過ぎませんが。

どっちもどっち的な実質的に何も言ってないような過度な相対化は自身を冷静な中立者に仕立て上げ美化しているようで小賢しく美しくないので基本的には避けたいと思っている。論理構成が雑だったり情念に突き動かされているせいで多少不格好だったとしても出来る限り自分なりに立場を明確にしていたい。人にかくあるべしと説いているわけではなく、あくまで自分自身のあり方の話なのだが、こうやって価値のない意見でも声高に発信したがる（私を含む）しょうもない一言居士がインターネットに溢れてしまうわけだよな、と恥ずかしくも思う。

ゴリゴリの陰謀論の同僚に当てずっぽうで「小室圭さんて入れ替わった？」つったら「よく分かったね」と褒められた。ちょっと嬉しい。

フェミニストの皆さんが公的空間から、自分たちが「性的」だと思うものを排除する論理ですけど、公共性とか社会性とか、多数派の不快感が主要な論拠だったわけじゃないですか。ところが、今回の件で、フェミニストのみなさんの感覚は公共的でも、社会的でも、多数でさえないことが明らかになった。

「金を持ったら何かが変わる」のは確かなんだけれども、「金を持ったらもっと幸せになるはず」とか考えちゃうと「金を稼いだのに満たされない」→「もっと稼げば満たされるはず」のループに入り込みかねないとは思っている。「不幸を避ける力」という意味では金はものすごく強い力ですけどね。

昔のバイト先で、横幅が私の二倍はある男の人が大きめの失敗をして、私に叱られないかびくびくしていた。私はずっと暴力の世界の底辺で生きてきて、パンチしたら明らかに勝てる相手にビビるという発想がなかったので、私と違う穏やかな世界を生きている彼をとても愛おしく思った

「私が降りるだけなのにボタンを押して止めるのは申し訳ないから 笑」と、走行中に窓からバスを降りるおばさん

好きな事やってて羨ましいと言われますが、泥まみれになりながら土地探しにいくし、建築も不動産も金融も勉強しまくる必要あるし、食は地方に行くと1日5食リサーチして死にそうになる。狂った量をこなさないとただの趣味。仕事にするには「好き」と同じ量の「辛い」を覚悟する必要がある。

「確率みたいな主観だか客観だか分からないものが、客観の中の客観であるべきと思われてきた物理の基礎のど真ん中にあること自体が許せない」に近いことを亡くなったワインバーグさんも言ってました。20世紀の物理学は実在概念を利用するだけで、考えずに進んだことで思考の轍が生じてしまったのです。それから「人間の行う科学は宇宙の全てを明らかにできる」という万能主義の思想も、前世紀の物理学には影響していると思います。「実在を否定している標準的な量子力学を認めてしまうことは科学の敗北だ」と感じていた人も、そういう思想を持っていた場合があると感じます。「なんでもできる、不可能はない、それが科学だ」という力強い科学万能主義は、所詮人間達の五感から出発しているに過ぎない人間の営みとしての「科学」を、過信し過ぎていたのではないかと思うのです。量子力学では情報としての確率分布しか存在せず、便利だった「実在」という概念が消えてしまったことに大きな戸惑いを覚えた前世紀の科学万能主義者は多かったと思います。

「○○月○○日に地球を爆破します」みたいなとんでもないスケールの犯行予告なら、一周回って逮捕されなくなるという気がする。あるいは「私の家のマグカップの中にあるひとかけらのチョコレートを爆破します」でもいける。

将来的な人口動態の予想とか見てると、マジで「これ以上寿命を伸ばそうとするな」としか思えないのだが、この話をすると「人殺し」「人でなし」みたいな罵声が飛んでくるからな。姥捨てとかのはるか手前の「これ以上寿命を伸ばそうとするな」でこれとか、どんだけ寿命を伸ばそうとしてんだと。

「福祉の水準や寿命を現状で固定し、これ以上の長寿化と福祉制度の拡張を志向するのはやめろ」。これにキレ散らかすとか、どんだけ生命至上主義を内面化しているんだと。社会のありとあらゆるリソースを寿命に変換しないと気が済まないのだろうな。現状以上の健康増進・長寿化は必要ない、要らないを通り越して害悪に踏み込みつつある。「縮めろ・減らせ」とは言わない、これ以上増やそうとするな、と。これを主張していく必要がある。

「勉強できない子」はまず、音読み熟語がわからない、というところでつまづいていることが多い。何を隠そう、私自身がそうだった。そして塾で指導してきた感覚だと、公立中学で偏差値55以下は音読み熟語が苦手。偏差値50以下だと、それが出てきたら思考停止。私自身、中学一年の最初の方でつまづいた。「絶対値」何それ？絶対って、絶対ダメ！とか絶対イヤ！とかに使うよね？何が何でも、っていう意味だと思うけど、「値（ち）」って何？値段のこと？わけわからん！「整数」「素数」？何それ？整理整頓された数？素っ裸の数？何を言ってるのかさっぱりわからなかった。そもそも「かず」って読めばいいのに、「正の数」も「せいのすう」って読むし。それに、正しい数って何？え？負けた数って何のこと？なんで「ふのすう」って読むの？小学生の間、ほとんどの子どもは訓読みの世界に生きている。小学校の先生も、子どもが音読み熟語が苦手なのを直感的に理解して、あまり使わないようにしてるし、教材も音読み熟語はさほど出てこない。ところが中学校に入ると、遠慮会釈なしに音読み熟語のオンパレード。正にはプラスの意味が、負にはマイナスの意味がある、ということになかなか気づかない。だって、小学校で「正」の字をたった一つで使うことなんてなかったし、正義の意味位にしか思わなかったし。そんな用法を知らないのに突然当たり前のように言われて戸惑うばかり。英語でも、何の解説もなしに「三人称単数」なんて言われて面食らった。いや、heとかsheとか一人でしょ？なんで三人なの？単数って何？単純な数ってこと？意味分からん！ってなった。音読み熟語は、出会ったことがない言葉ばかりだから意味不明だった。勉強できない子でも「自分のこと」「目の前の相手のこと」「それ以外の」と言うと、一人称、二人称、三人称の意味が分かる。しかし音読み熟語をいきなりぶつけられてもワケがわからない。単に1人、2人、3人と数が増えてくだけに感じて、混乱する。音読み熟語を理解するには、それまでの訓読みの世界の感覚を捨てなきゃいけない。私は長いこと「素数」の「素」が、素っ裸などの訓読みの世界のイメージを引きずって理解できなかった。「素」という字が、これ以上分けることができないいちばん小さなもの、という意味の字だと知ったのはずいぶん後。大人になると、さすがにこれらの言葉を聞き慣れて、当たり前のように音読み熟語を使いこなすようになってしまう。それらの言葉は常識だと感じてしまう。しかし過半の子どもたちにとって、音読み熟語は異世界の言葉。聞いてもチンプンカンプン。中学生を指導する人は、もしかすると子どもたちにとって音読み熟語が「お経」みたいに聞こえてるかも、と考えて指導した方がよいように思う。大人でも「照見五蘊皆空度一切苦厄」とお経を読むことがあっても、意味を追いかけられる人はごくごく少数だろう。音読み熟語は、子どもにとってお経。音読み熟語がわからない子には「翻訳」が必要。「自分のことを一人称って言うねん。なんでそんな難しい言い方するかって？いや、呼び名が長いの面倒やからやない？んで、目の前の相手、あなたとキミとかいうやつな、それ、二人称って言うねん。その他のんが三人称。難しい言い方やんなあ。ま、慣れて」訓読みの言葉で、実例挙げながらその言葉の中身を伝える。そして、音読み熟語を「難しいよなあ、まあ、慣れて」と慰めながら、少しずつ慣れてもらう。こうした翻訳作業を粘り強く続けてると、音読み熟語が苦手だった子も、理解できる。しかしこうした翻訳過程がないと、非常に高いハードルになる。

所得をギリギリに抑えて、休日はネトフリ、サウナ、サイゼリヤ、オナクラ、辺りで楽しむ。彼女も作らずクルマも持たず酒タバコもやらず税金を極力払わない。投資なんかやろうとも思わない。これからの賢い生き方はこれやな。皆等しく手をつないで慎ましく生きるんや。新資本主義、頑張っていこう。

「○○と○○は響きが似ていて混合しやすいので注意！」って書いてあって「混同！！」と思った。

信じられねえぐらい幼稚な小学校教師がいたことを考えると、大人になったからといって子どもと何かが変わるわけではなく、単に大人みたいな恰好になって老けていくだけである

受験強者の「勉強すれば誰でも～できる」系の発言は、残酷過ぎる。公立中で5段階評価が2以下の生徒を指導してから出直して欲しい。

23区の住宅地について調べた時、練馬区光が丘や杉並の浜田山みたいなところが「都心に近く自然豊かで雰囲気が良い住宅街」と書いているblogが複数あるのな。要するに都市部に生まれ育ったであろうライターが想像できる自然というものが、ああいった行政や個人が手入れしている緑地・植栽という傍証。その延長線で自然豊かなところで農業をしようと言っている。

「帰ってきたヒトラー」、上映時話題になって、私も見たが、これ「実は生きていたヒトラー」ではなく「ただのヒトラーのコスプレをしていた記憶喪失のヒトラーマニアのおじさん」と思ってみると、また別のものが見えてくるのな。ヒトラーって確か、自殺した後に、「遺体は焼却処分しろ」って命じたんですな。その前に降伏したイタリアのムッソリーニが死んだ後も遺体をぐっちゃんぐっちゃんにされたことを知って、同じようにされるのを恐れたとも言われてますが、ただその時にベルリンに迫ったのがソ連軍で、その遺体を持ってって隠匿した。米英が「持ってったん？」と聞いても、しばらく「いや、ちょっと何言ってるかわかんないッスね」とトボけた。その結果、「ヒトラー生存説」が生まれ、西側諸国は長く「ヒトラーの影」に怯えることになる。まぁそりゃスターリンからしたら「いないはずのものに警戒しなきゃいけない」状態にして、敵のリソース避けるんだからこんな楽なもんはねぇってわけで、ただその結果として長く「ナチスは滅びてない」的な思想が生まれてしまったとこもありやっちまったなぁと、現在ではソ連崩壊後にけっこう詳細な遺体の顛末が判明し、物証も現れたので、生存説はほぼなくなったという話なわけですな。まぁソ連崩壊時の段階で生きてりゃ１００超えてたんで、さすがにロマンも賞味期限切れ。まー何が言いたいかっちゅうと、ヒトラーって、本来はただの「敗戦国に指導者」なんですよ。ですが、その後の人類史上初の、人類文明を崩壊させかねないほどの世界を二分した「冷戦」という時代で熟成されたことで、等身大を超えた「悪魔の王」になってしまった。刑を執行し死体をきっちり晒し者にして「処理」されたなら、もしくは命は永らえ、天寿を全うして静かに死んでいたなら、それ以上にはならなかった。下手に生死不明の時代が長かったため「もしかして生きているんじゃないか」という恐怖が、ヒトラーをただの人間から「伝説の独裁者」にしてしまった。なんせ、「勝者が最も恐れることは、敗者の復讐で、今度は自分が敗者となること」ですからね。そういえばスターリン、暗殺を恐れ複数の寝室を毎日変えて使用し、どこで寝るかは秘密にしていた。その結果、夜中に心臓発作を起こしたが、気づかれず翌朝に死体で発見された、なんて話もあります。だからね、逆に思うんですよ。仮に現代にヒトラーが蘇ったとしても、例えばクローンで復活したとか、謎の技術で延命してたとか、それこそタイムスリップして現代に現れたとかしても、「同じこと」は出来ないんじゃないかと。再現性の問題ではなく、ヒトラーができることは、「実在する人間ヒトラー」の行動だけなんです。死語に肥大化し伝説化した「人類史上最悪の独裁者ヒトラー」は、本人だってできない話なんです。

プロパガンダの歴史を勉強すればわかるんだが、「お前の国に工作員が紛れ込んで、あれこれ工作やってるよ」という情報を流して相手側に疑心暗鬼を生じさせ、無駄に疲弊させるというのも典型的なプロパガンダ戦術の一つではある。だから、「日本に反日工作員が入り込んでいる」とやたらと言いたがる人こそが、もしかしたら対日工作員であるかも知れず。でも、そういう疑念をぶつけ合うのはパラノイア的な状況を生み出し、民主主義的対話を損なうだけなので、よほどの根拠がない限り、言わないほうがいいと思うんだけどな。

国語の教科書で「遥か昔、宇宙人が埋めた人類や地球の問題を解決できる万能BOXがあったけど、重要性がわからず、工事のため爆破した」って教訓話なかったっけ？ 何が大切なのか評価をアップデートする行為は一生続く

とんかつ屋さんのせいで、国語や歴史の教科書で「昔の人は麦飯を食べてました」的記述を見ると「あんなにおいしいものを毎日食べれるなんて」と思うけど、たぶん昔の麦飯と今のそれは全然違う。めちゃくちゃ固いらしい。とんかつ屋がつくった固定観念。

多様性の尊重とは「男らしくない男」や「女らしくない女」の生き方をすることが尊重されるのと同じくらい「男らしい男」や「女らしい女」の生き方をすることも尊重されることですよ。

村上龍の作品に「限りなく透明に近いブルー」という、非常に文学的で難解なメッセージがこめられた小説があるのだが、そのアマゾンレビューの中に「とゆう」があって、「とゆう」を使いながら文学のレビューをするなよ、と思った

エリートは「みな、仕事に誇りをもつべきだ（もつのが当然だ、もっている）」等いうが、誇りを持ちにくい構造の汚れ仕事は下の人たちに任せている印象。

「社会貢献のために10人子どもを産んで育てます、なぜならそれが日本全体にとっての合理的行動だから」と聞くとギャグか皮肉にしか感じないのは、ミクロでの合理的行動をマクロの合理的行動と一致させようという価値観に逆合成の誤謬を覚えるからなのではないか。個人個人の合理的局所的行動が全体として最適でない状態をもたらすといえど、個人個人がミクロのために全力で奉仕する社会は何となく怖く、全体主義的である

親戚のはとこが、全身麻酔、一度心臓を止めておこなう大手術に踏み切った。自分なら「麻酔から目が覚めるだろうか…！」と不安を感じるだろう。すでに生じた意識が無になることと、最初から無だったものが有になることには天地の差がある。全身麻酔を受けたまま二度と目が覚めない状態を想像できない。生とは意識の断絶それ自体ではなく、断絶の後の意識の復活にある。また死の本質は断絶の後に意識が復活しないことにある。二度と目が覚めない全身麻酔手術は、かりに成功だとしても本人にとっては紛れもない死だろう。そしてそれがどういう状態なのかを、誰にも想像できない。すでに生じてしまった（そして今ここにある）意識がなくなることの重みの前では、「生まれる前にも意識はなかっただろう？」風の言い聞かせも効力を持たない。

もうだめだ、おれは社会不適合者なので迎合していくしかないという諦めの態度は、迎合しなくても通用する社会を人生の中に見つけられる可能性を放棄しており、また別の意味で不誠実であるという気がする。

スケキヨの運転免許証ってラバーマスクありなんかな

そういえば最近のホラーは、YouTuberの突撃からの惨劇で始まることが多いとはよく言われる。死人が出るような場所へわざわざ行って、映像で記録を残してリスナーに伝えてくれるので、導入部で死ぬ役として使い勝手が良すぎる。

言論者がよくいう「断絶」には単なる無理解というよりも、その無理解が生む具体的衝突や個人の中の絶望という悲観的なニュアンスが込められているため、「断絶は当たり前に起こるし悲しくもない」と考える人との間で、「断絶」についての断絶が起こるだろうと思う

炎天下の部活や出産、勉強など、苦痛の大小が割と人によって異なるものについて「私には平気でしたが？」みたいな意見を頂くが、もともとは苦痛を感じていたのに、その人が慣れて鈍感になってるだけの可能性はけっこうあるだろう

友人との別れ際あるある

別れた後の友人の行動をシミュレートする

トークスキルに自信があるので、自分がいっさい読んでいない本でもあらすじや主張をわかりやすく説明できるが、そのときにしか生じない息苦しさを私は知っている。自分はこの話を今この相手に伝えてて本当にいいのか、人として間違っていないか、みたいな感覚。

資本主義はその内部に効率化という劇毒を仕込んだ制度なので、人間が資本主義をそのまま適用して生きていくにはあまりにつらいだろう。特に、社会を構成する大多数の「成長も勉強もしたくない、目の前のスマホと酒で一生を楽しく生きられれば」という人たちにとって、プライベートでも仕事でも不断の成長を求められる環境は苦痛だろう。自分を含むエリートはこの面を非常にナイーブに考えがちだが、実際のところ制度設計者は「成長も勉強も絶対にしない」人たちにおまんまを食わせつつ、国際的に孤立しないような資本主義を運営する必要があるわけで、かなり骨が折れるだろうという気がする。

資本主義が効率化を果たすごとに、本質的な業務（人が人を生かすために行う、農業や漁業などの仕事）の総人口や総GDPに占める比率は下がってしまうのだが、それでは究極の効率化が果たされた資本主義がいったいどうなるのか。SFやディストピアものでは割と考察されている。ただ現実問題、現在のあらゆる国の資本主義は「どこかで非効率を容認しないと必ず人が余る」ことを念頭に置いて設計されており、究極に効率化された資本主義など人類にあまりに荷が重いという気もする。そうして生まれたのがブルシットなジョブだろう。人々は、部下から来た書類にサインをして上司に回すだけの仕事に価値があると思い込まされ、左から来た貨幣を右に回すだけの何かに経済という名前を付けて日々生きている。ここに自分は資本主義のうさん臭さを感じられずにいられない。

本邦であいさつになっている「いただきます」はすでにその意味を失いほとんど形骸化しているといえる。国連による「絶対的貧困」の定義を満たす人は日本にはほとんどおらず（相対的貧困は8人に1人程度いるが、生活保護を受けたりしてご飯は食べられる）、本当に「天から授かった命を頂く」という意識で何かを食べている敬虔な信者がいるようにも思わない。それは日本人が宗教を失った嘆きになる一方で、豊かな文明が物質的幸福を絶え間なく生んでくれていることのあらわれでもある。

現代日本では、人々の間から死が失われた。スーパーでは清潔なパックに、さも最初からそうでしたといわんばかりにピンク色の瑞々しい切り身が並び、社葬なる単語を知って背中におぞましいものが走り、共同体が崩壊して家族葬が一般化し、人身事故が起きれば真っ先に会社に電話をかけて商談の成り行きを考える。死の個人主義化（いや、虚無化か？）が起こったように思う。普段から考えないから主張できることがない、死なんて考えないほうがかっこいい、そんな面倒なことはダサいから思考の埒外に入れておこう…周りの人間の死を目撃する機会が少なくなり、死について議論する場面が社会や共同体から失われたため、いざ身内が亡くなった時に葬式の段取りを慌ててGoogle検索するしかない。個人主義化は「あの世」なる概念も日本からなくした。死ねば無になるだけだという「科学的」常識が世間を覆いつくし、現世利益的な（つまり、お金チックな）自力救済が幸福度の大きなバロメーターになってしまった。来世でよい切符を手に入れるために善行を積もうという狂人はほとんどいない。まあ、それでいいんだと思う。人々が死ななくなった近代的国家は多かれ少なかれこの種の問題を抱えている。死というあまりに理不尽な現象を考えずに済むからこそ、人は宗教にすがらずに生きていける。豚や牛を自らの手で屠殺できる。死の個人主義化はこれからも功罪をあわせのみながら、ますます現代人から死生観を奪っていくだろう。

幼い時、おそらくはただの火星であっただろう星を指差して「あれがおばあちゃん」と祖父は教えてくれた。まだ祖母がなくなって1年もたたないようなころの話で、幼少期にしては珍しくよく覚えている。似たことを教えてもらった友達も何人かいた。亡くなった人の死の延長線を広々とした自由なキャンバスに描きたくなる、遺族の悲しみや思いやりが表れているのかもしれない。そしてきっと幽霊の体験談の少なからぬ割合が、のこされた人間たちの悲痛や悲嘆を意味しているようにも思う。

オウム真理教は宗教にかつて満ちていたであろう「スピリチュアル」という領域のベールを取り払い、ただひたすらにその害悪性だけを強調してしまった。おもしろ奇怪愉快タレントとしてテレビに出演していた浅原のその凶行を予言できた人はほとんどおらず、結果として日本人はひたすらに宗教へのアレルギーを抱くこととなった。スピリチュアルな何かを聞くとジンマシンが出てしまう人も多い一方、スピリチュアルさを隠したカルト的組織が跋扈する。宗教について考えることへの嫌悪感が、かえってこのような組織の跋扈を許してしまっているようにも思う。

ミニマリストは皮肉にも、現代社会がいかに便利かを喧伝するスポークスマンになってしまっている。もちろん彼らはそれを否定するだろうけど、構造として「車がないとどこにもいけない田舎ではなく、清潔な電車が数分おきに到着する都会に住み、宅配ピザも届かない田舎ではなく、即日でアマゾンから荷物が届く都会に住み、それでいて『ものを持たないのは快適です』」なんて言ってるんだから。お前が家に何も持たずにいられるのは、気が狂うほど効率化を重ねた日本の激ヤバサプライチェーンがすごいからであって、お前の精神性がすごいのではないぞと諧謔をこめたくなってくるな。ミニマリストがやってるのは精神的に必要最小限の暮らしでもなんでもなく、単に在庫をスーパーマーケットにアウトソーシングしただけの物理的必要最小限の暮らしってだけよ。あこがれる気持ちがわからない。本当にミニマリズムを推すなら人口7000人クラスの村に行って、農作業でもしながらノマドして生きていけばいいんじゃないか。3か月で音を上げると思うけど。

悩んで悩んで悩み抜いた後の「こんなに悩む必要がある人生、なんなんだ」「死んだほうがましじゃないか」という発想は全然あるし、「そんな…！死にたいと思ったことなんて一度もないんだが…！」みたいな人を見ると断絶を感じてしまう。「なぜ人は生きるべきか」という問い以前に「そもそも生きるべきか」さえわかってないので、悩み抜いた人が「じゃあ死にます」って言い出しても私はどうぞご自由にとしか言いようがない。そこでやめろお前のかけがえのない命がどうと言い出すのは欺瞞であって、そういう優しさでは人は食べていけないし悩みも解消しない。RAD「実況中継」の歌詞「今さら勝つ気などあるかよボケ」は至言。

多様性が人類にとって早いのは、自分と真逆の、愚行権を行使してしまうようなアホな思想をも認めるのが（多様性の議論をしたがる）エリートにとってまったく理解の範疇外であるからというのと、多様性を追い求める過程でいつの間に多様性が目的になってしまうからという、のっぴきならない二つの事情がある。残念ながらそこらへんの欺瞞に言及する人はあんまりいない。そんなんだから「多様性なんて結局、自分が認めてほしい属性を認めない奴を攻撃する旗印にしかなってないじゃん」って指摘を受けるんだよな。

「幽霊なんていない」という価値観で誰かの死生観を否定できると思ったら大間違いで、その姿勢は「単に自分が幽霊を信じていない」という事実をその人に気づかせるだけにすぎない。否定するだけでは個人の死生観を超えることはかなわない。語らないという選択肢が、すでに文脈の中に組み込まれて意味をもち、暗に自分の立ち位置を表明してしまう。冷笑的な価値観に意味がないのはそのためだと思う。

現在の不満は理想値から現状を引いたもの。理想が低ければギャップがないので不満はない。逆にどんなに恵まれたような暮らしを見ている人も、現状がそもそも高いため、思ったほど生活の幸福度は高くない（というデータがある）

占い師って自分の人生も占えるとか聞いたけど、その結果「明日死ぬ」ことがわかったとして、どんな行動をとるんだろうか。やっぱりもう一度占ってみて結果が変わるか試すとか、そういうのもやるのかな。それとも自分の腕前を信じ切って、安らかな最期を迎える準備をする？中には皮肉にも占いの力量のなさを自らの死によって示してしまう占い師もいるんだろうな。「あの人、当たるって触れ込みだったのに自分の死は予言できなかったのかよ…」って現世の人に言われまくる占い師。

「食物繊維がとれる」という触れ込みのお菓子、大抵糖質がエグいのだがデブはあえて見ないふりをすることで精神を保つ。

サッチャーも中曽根も死んでるから地獄は民営化されてさぞ酷い有様になってるんだろうな。阿修羅もルシファーも年収250万の派遣社員になってるよ多分。

お腹痛い時に、家が近づけば近づくほど便意が指数関数的に増す現象の名前を教えてください

日本人以外が日本発祥の「Kawaii」という言葉やそのカルチャーを実践することは”文化の盗用”になるとして「Kawaii is a slur（Kawaiiは差別用語だ）」と、「Kawaii」の使用をタブー視する動きが発生した。

本物の弱者とは、頭が悪くてものを考えるのが苦手で、かつ体力や度胸など他の有利な属性も持ち合わせていない人間のことなのだろう。あと、本物の弱者は性格も好かれない場合が多い。万人から排斥されるのが弱者である。「民意」に福祉を委ねると、「助けたくなる弱者に見える者」ばかりが得をするだけになる。

「青春を犠牲にして勉強ばかりしていたことを後悔している」っていうのは真面目に受験勉強してた人達にしか言えないことであって、青春は無かったけど勉強もしてなかった人間はこれを聞くと自分の中高時代は何だったのかという問いが頭の中で反射し続けて死に至る

一つの中国ってあるけどさ、ボクは中国が好きなので一つだけより二つあったほうがお得感あると思うし、なんあら5個～16個くらいあったほうが良いと思うんだよね。

おっさんに金を渡すと高確率で勝手に妻子を養い始める(分配を行う)が、女性に金を渡しても夫・子を養ったりはしない(分配を行わない)ので、女性の社会進出を進めるには並行して再分配を強化する必要性があったのだろうな。それも相当強力に。世帯単位の所得課税がちょうどぴったりだな。夫を養い難くても子は養うか。どちらにしろ、女性に渡す場合の方が分配され難くなるから、落ちる分の再分配機能が強化される必要はあるだろう。

「おっさんに金を渡すと高確率で妻子を養い始める」というのは、まさに男性の生きる目的には妻子の存在が不可欠だからなんだよな。しかしそれが現代では「己の欠落を女性で埋めようとする有害な男性性」「妻子を持って一人前という遅れた男性規範のために女性を欲望するな」と忌み嫌われているわけだ。

基礎研究自体が国民の生活向上に直結しないなら「日本人がこんな発明をしてすごい」という国威発揚的なお気持ちに訴えるのが手っ取り早いのにそれはイヤ（＝純粋に学問への尊重のみによって民衆に理解され予算が配分されるべき）というのはまあ実際無理な話でしょうね

たぶん研究やってる人なら普通にわかる事なんだけど、論文上で発表されるデータを実際に自ら手の実験でもってゼロから構築再現するというのは（例えそのデータが真であったとしても）めちゃくちゃ難しいんだよ。ワイらの分野とかでは、まず「実験につかった試料や動物が手に入らない」とかは日本では簡単に起こるだろうし、「測定に用いられている機械が無い」とかも起こるし、そういう実験を支えるための周辺環境を維持する為に基礎研究に投資し続けないとダメなんだよ。これ、一度途絶えるとまじ大変だと思うよ。有形の論文はたしかにだれでもアクセスできるけど、言語化されず無形にささえられた有形（先程の例でいうとベンダーなどを含めた周辺環境）という事なんだよ....。一部の学術関係者のいう「国の発展には基礎研究の支援が不可欠」と「学術の成果は公開され独占されない」が彼らの頭の中でどういうふうに接続されてるのか真面目に謎なんだよな。公開され独占されないならフリーライドが最適という話になるし、昔の日本は実際それやってたわけでしょう。日本は経済イケイケの80年代に「基礎研究ただのり論」で米国から批判され、科学技術政策を基礎研究重視にかじを切ったという歴史があるわけですけどね。起こった事象だけを単純に並べれば基礎研究を重視した結果、経済衰退が起こったという見方もできるんですよ。まぁ普通に財政政策とグローバル化と人口動態が原因ではあるんだろうけど。少なくとも基礎研究重視によって経済が発展することはない。

門外不出の軍事機密にするのだけが国家戦略ではなく、特許を押さえて相手に使い難くさせるのも戦略の一つになり得ると思うんですよね。

基礎研究と特許は相性悪いとか言ってる人は、自分野が偶々そうだから他分野も同じと思ってるのか、はたまた自分の思想・主張に都合が悪いからすっとぼけてるのか…。あと、公開されたものを見さえすれば公開した側と同じ地点に立てるわけではないというのもありますね。プロ棋士のある勝負の棋譜を見て、勝者と同じ駒の動かし方を再現すれば、敗者の駒の動かし方をそのまま再現するNPCには勝てる。でもそれはプロ棋士に勝てる強さを得たことを意味しない、みたいな。自分のとこで基礎研究をやっていなくても「AとBを混ぜてこの時間反応させればCができる」というのを公開情報をもとに再現することだけならできるかもしれない。でもそれだと、新しくDを作ろうとして失敗した時、解決策を見つけ出すために何を試せば良いのかといった思考法までは身につかない。それでは自分のところで新しいものを生み出せないから、たとえ情報が公開された後すぐに追いつこうとしても、常に一歩相手に後れを取ることになってしまうんですよね（そして実際はそんなすぐには追いつけない）。

年収3000万円の中堅有能非モテ医師は、税金・社保等で半分取られ、そこからさらに最愛の専業主婦ヨッメに4/5を吸い取られるため、可処分所得は年収400万円の独身非モテ研修医と同程度です。いかがでしたか？参考にしてください

オタクコンテンツ、「ステレオタイプな女キャラばかり」というレッテルに対抗しようとリアリズムに寄りつつ、しかし本当に醜悪なリアルは捨象するという職人芸を発達させてるんだけど、そこに唐突にあまりにも素朴で天然な素材そのままの味が投げ込まれたの、暴力的すぎて笑ってしまった。いや傷ついてるオタク諸氏には本当に同情するし不謹慎だなとも思ってるが…。でもこれを機にオタク君達が絶望から悟りを開いて、現実の女性を文字通り偶像化して集金マシンにする商法からwalk awayしてくれないかなという一種の昏い願望はある。現実の女性は神でも仏でもアニメのキャラでもなくただの人間なんだよ。信仰したり崇拝したり貢いだりする対象じゃないんだ目を覚ませ。投げ銭をやめろ。お布施をするな。拝むな

もしかすると、SNSで夫婦生活とかのネガティブな話題を聞かされるのは、深刻な児童虐待の一つなのかもしれませんね。どう考えても将来家族を作ることに悪影響を与えている。かつては身の回りのコミュニティで回っていた愚痴がインターネット空間で無限拡散される、現代のバグですな。

何歳になっても出世をしても天狗にならず怠惰にならず感情を含めず他人に流されず正しさだけを愚直に追い求めることができればいいのにね　なんかこれ脳に電流でも流したらイけますかね？

どっかの知事もそうだったけど勉強ができるのはいいんだけど学生時代が終わっても試験勉強という大得意なフィールドで勝ち続けたようには仕事ができないことを恐れて大学入り直したり司法試験などの難関資格に挑んだりしてその間に自分は仕事を始めたらきっと凄いはずと言うプライドだけが膨らんでいく

どこへでも行ける人間より、ここから出られない、出る気もない「一所懸命」の人間が重んじられなければならない、それがトランプやバイデンや岸田が言う「中間層の復活」の真髄だよ。しかし日本はともかく、アメリカはどうすんだろうね。「一所懸命」から脱却した人間を世界中からかき集めてここまで大きくなったわけだけど。トランプは「自分の国へ帰れ」と言ってたが、結局かの国の解決策はこれしかないんでないの。失敗国家に生まれた優秀な個人にとっては、当地に残って苦労するよりアメリカやらに渡って商売するほうが最適解だからそれに乗っかってきたわけだけど、「移民に寛容」って要はこの収奪構造を肯定する国家側の論理なんだよな、本来。リベラールな人がこれ自覚してるとは思えないけど。失敗国家の優秀者が海外行ったきりだと、SDGsの()「人と国の不平等をなくそう」に反する。留学生も実習生も自国発展のために帰国すべきなんだろう。帰化制度という、日本民族が持続不可能になる制度もSDGs的にやめなければ

Twitterをやっているとそこそこの頻度でフォロワーの""闇""が見えるので、その度に「みんな人生を生きてるんだなあ」と感じますわよね

子供を産んでしまった結果、未来永劫地球の心配をしなきゃいけなくなった。子供がいなければ自分が死に逃げれば後の事なんて知ったこっちゃないと思えたのに、子供を産んだ所為で子供の未来の地球、孫の時代の地球、その孫の時代の地球と果てしなく先の地球環境についてまで心配しなきゃいけなくなった。

いわゆる高学歴大学生が教育系のバイトをすると、「世の中には16-7=11という簡単な計算すらきちんとできない高校生がごまんといる」という今まで触れてこなかった世界に触れることができるし、「大学生であっても16-7をきちんと計算できないやつもいるんだな」ということも気付けます

だいたい56ヶ国に10億人も住んでいる地域に対して『アフリカのことわざ』で括るの粗雑すぎる、ワイも『アジアのことわざ』として「口では嫌がっていても、体は正直だ」を世界中に紹介するぞ

アメリカ人と仕事してると"It's not what you know, but who you know"「何を知っているか(知識)ではなく誰を知っているか(コネ)が大事」と言う格言をたびたび耳にするので、アメリカは日本以上に実力よりコネが重要な社会なのは間違いないし、そもそもアメリカではコネが実力そのものなんだなと感じる

ノーベル賞みたいなきっかけがあるたび、日本の科学と教育を憂う声がSNSを駆け抜けて、問題が共有された気が一瞬だけする。だけど本当の問題は「有権者の平均はSNSなんか見てなくてテレビを見てて、彼らにとって人類の知の頂点は東大生クイズ王と東大卒テレビコメンテーター」ってことなんだよね

学生に2030未来の分岐点のビデオを見せても、「レジ袋を持参するようにしたい、古着を買うようにしたい」みたいな「私個人でできること」という感想にあふれている。日本の若者がこの思考様式から逃れられないのは、単に基本的知識が足りないということでは説明できない何かがある。

しんどい子育てをしてる親がトンデモ系に転がりやすいように、何者かになりたかったけどなれなかった脆さを抱えたまま社会人を続けている人にとって自己啓発系の「何者かになれる感じ」は麻薬みたいな魅力があるんだろうとは思うんですよ。

世の中には運悪く勉強に向かない遺伝子を持って生まれてきた人、運悪く自制心に欠ける遺伝子を持たされ努力に物凄くエネルギーが必要な人がいる。しかし「ヒト個体間の遺伝子に差はなく全ては努力」というポリコレ教育を大学で受けたインテリは「自分の100％と他人の100％とは違う」ことが理解できない。"ヒト個体間の遺伝子に差はありません"というポリコレプロパガンダこそが差別を正当化している。たまたま運良く21世紀の環境に有利な遺伝子設計で生まれてきただけの人が、運悪く劣った遺伝子を持たされた人が自分の生存や生殖を諦めなければならないほど経済資源を独占する、このことに道理はあるか。「親ガチャ」概念は若者が人生を諦める為の言い訳だという言説がある。だがヒトの遺伝子には格差があり地位競争の敗残者たちは"運がなかった人"という認識が浸透することで、"遺伝子運の悪かった人を救おう"という機運が生じるのではないか。諦めではなく闘争に用いることができる概念なのではないか。

おおインターネットよ。「おらが村では一番」の人を「人類では一億番」にしてしまう残酷な機械よ

たまに一緒に仕事してる21歳の中卒の男、もう既に結婚して子供が2人いる。仕事が終わった後家に帰って家族みんなに出迎えてもらえるのが彼にとって1番の幸せらしい。決して高い給料を貰ってはないだろうが、愛する嫁と子供のためにひたむきに働いているその姿は、とても輝いている。

すごく好きな不幸の例えがあって。「スープにハエが入っていて、それを取り除いてそのスープがいくら美味しくても飲む気にはならないのが一般的」というもの。「幸せの中に不幸があったら不幸を取り除いても元の幸せは味わえない」っていう...

これは(読む意欲を与える単語)なのですが、(多くの人が解決したい課題)は「(とても難しいこと)」と「(すごく難しいこと)」と「(さらに難しいこと)」の3つを意識するだけで上手くいくようになります。

自殺しようと思う人の多くは「思い通りにならない人生」だから死のうと思うのだとすると、死のうと思ってもなかなか死ねないだろうとは思う。

スポ推や芸能人AO、一芸に秀でているのは事実なんだろうけど、表面上の学歴を得た結果「才色兼備」「文武両道」と持て囃されてるのを見ると何とも言えない気持ちになるな…。

中学受験の時に全然勉強せず才能で偏差値70ぐらいのとこに受かった人が、自分の才能を過信し続けて特に勉強せず大学受験に望んだ結果大敗して日東駒専レベルのとこに行く急降下を利用したジェットコースターが富士急に新しくできるらしい

陰謀論者さんは「政府が認めない解決策を俺たちだけが知っている」という架空の状況に快感を感じているので、実際に現実で特効薬が登場すると困ってしまうので逆ギレで攻撃を始めてしまう。これは理屈ではなく妄想の産物なので説得は通じない。

専門家相手にマウント撮ろうと思っても、専門知識では勝負できない。そういうときに「哲学がない」「理念がない」は、とりあえず使える便利ターム。マスコミが専門家ハラスメント働く際のテクニックだと思った方が良い。

言論人や知識人の「民主主義は死んだ」は「世論が自分達の思い通りにならない」と同義で、これは彼らが好んで使う誤用の「反知性主義」とも意味合いが近い。実際は本来の意味での反知性主義、誰かが言っていた反知的権威主義なんだと思うが。世論が一筋縄でいかないのは反緊縮クラスタなら今となっては常識だわな。なんせ社会を蝕む緊縮も出所は素朴な民意であり、通貨発行権を持つ政府は民間や地方自治体とは根本的に財務のあり方が違うことの理解されなさだから。財務省が悪いとは言え、財務省を崩せば簡単にどうにかなるものではない。土光臨調から始まる改革路線も、直間比率の是正も、三重野総裁のバブル潰しも、全ては民意に寄り添っていたわけだ。公定歩合引き上げによる三重野のバブル潰しは確かにアセット市場の高騰を潰したが、巻き添えに実体経済も潰した。だが浮ついた世相にお灸を据えるのは当時の民意でもあったろう。多分それってヲタクが渋谷のハロウィンを毛嫌いするのと似ているんだろうな。

日本の自然は台風と噴火と地震でガチで殺しにかかる凶悪さだし、中国は黄河の氾濫が神の猛威みたいな馬鹿げた威力で暴れるし、アジアの自然が怪獣クラスとすると、ヨーロッパの自然は比較的弱く、人間にも征服できそうな気を起こさせたとは言えるかもしれない。和辻哲郎が『風土』でヨーロッパの自然は比較的穏やかで規則的、それが人々をして自然の征服や秩序構築を可能と思わせたのでは的な仮説を述べていたのを連想する話。

習い事てんこ盛りの月謝の高い保育園、幼児期の自発的な学びが必要という観点からも、家で丁寧に知育をしている方々からも、あれってどうなのという反応を引き出しがちだけど、習い事させたいと思うと土日潰れるけどどうしようという共働き層には刺さってしまうやつなんだよね。こういう園がやたら港区に増えてるのは、お金持ちや教育熱心層が多いだけでなく、知る限り都心の中で港区のみ、幼保無償化の標準的な補助に加えて認可外の園にも補助が出るので、約10万/月の補助があるというのも大きいんだろうな。表面20万でも半分なら、と感じるお家は多いのでは。この辺は自分も答えが出ていないのだけど、結局子供の性質次第な気がしているんですよね。詰め込みっぽいカリキュラムでも易々とこなしその中から没頭できるものを早期に見つける子もいるのだろうし、ただ与えられるものをこなすだけになっちゃう子もいるだろうし。元ネタが海外在住者に届いて、この立地・内容でこの料金って安すぎ羨ましいってなってて、そう、それもそうなんだよね。一方、幼保無償化3歳からって遅いですよね！っていうのも流れていき、色々考えさせられた。国策として少子化に取り組んだ結果として幼保無償化、そして認可園もものすごい勢いで増え、都心あたりでは保育園入れなかったの昔話になりつつある。認可園も競争厳しくなるのに備えて教育プログラム重視の園増えてきてる。でも人口動態はもう不可逆で、少ない子供達に多くのリソースという状況か。その子達がラッキーな世代かというと、少ない人数で上の世代の社会保障をささえる前提なわけできっついよね。そもそも、子どもにそこまで手をかけるより、子どもの数を増やして手をかけるのは諦める方が、子ども本人にも親にも社会にも良さそうではあるんだよな。

「問題学生を搦め手の指導で卒業させてた高田純次系教員が退官して真面目な教官ばかりになり、問題学生が適切な指導されずにいる」という話に「義務教育じゃないんだから卒業させなくていい」「正常（清浄←マジに書いてあった）になった」という反応が散見される。特筆すべきなのは、自己責任系限界中年じゃなく、脱ネオリベ！自助なんて殺す気か！みたいな論調の高学歴なみなさんがそういう答を叩き出していることで、従来指導できていた学生に指導者の同質化により対応できなくなったという事態を「指導者の力量不足」と捉えられないというの、致命的だと思う。真面目な？教官が定性的な指導をすれば学士を修められる学生、教官がハリボテでも卒業できていた気がするのだが、教官の対応力が落ちているから取りこぼすことを「あるべき姿に戻った」「ダメな人材が振り落とされるだけ」としか思わない集団には決して舵取りを任せられないというひとつの典型である。仮に大学は「そういうところ」でいいとしても、そこで取りこぼされるようになった人間がそこで消えてなくなってくれるわけじゃないのだから、包摂できる人材になんとか育て上げるという責任感とかないのだろうか。教育者名乗るのやめて欲しい。

突っぱねようとしても突っぱねられないようなものを批評ってんだよ。それを読んだ人の当該制作物への見方が変わってしまうようなもの。

だってですよ、「日本にも、もっと政治的なテーマ、社会的なテーマを取り入れたエンタメがあってもいいじゃないか」などと物申す連中は絶対に龍が如く7もキムタクが如くも認知すらしてないんですよ。こんなやつらの言うこと聞く価値あるかとおれは話の初手から思っちまうんだよな

いやそこは「投票に行こう」の前に、学校での積極的な政治教育を入れよう、では。日本の幼稚園でも給食のメニューは自分で決めさせ、小学校でデモの手順を教え、15歳から模擬選挙を体験してもらいましょう、では。それ抜きの「投票に行こう」が蔓延しすぎてることが問題なのでは。

パワハラ・モラハラがどうしても理解できない人と話をさせられる（説得要員）ことがままあるんだけど、多くは「余計なひとこと」という概念がどうしても理解できないんだよな。一度「自分だったらそういうことはしない」という叱り方について議論になったことがあって、本当に参った。「私だったらしないなー」って、指導とか注意とかする上で本当にどうでもいいんですよね。批難色が強い割に情報価値がない。「私だったらしない」かどうかはどうでもよくて、なんでしないのかという理由が伝えるべき内容でしょう。それを伝えれば済む話なのになんかどうしても言いたがる人っている。「え、自分だったらしないなって言わない？思っても？」「そもそも思わないです。自分のポリシーに反するという理由だけで他人を叱ることはないです」という会話を何度もした。

アメリカの名門私立では一定年収以下だと学部授業料が割引または無料で実は安いみたいな話があるが。そういう学校の世帯収入は中央値で1800万円程度、3分の2が1500万円以上に入る。一部免除の対象すら少なく、全額免除の学生はごく一部。大多数の授業料や寄付金が多額だからこそ成立するモデル。

あくまで冗談だけどさきほど「サッカー部の連中がいじめを小中でしまくってた。だからサッカーは犯罪を誘発する」とかネタでいったら「運動部にいじめられた」というリアル体験が死ぬほどコメントで帰ってきた。反オタク側で「オタクに襲われたりレイプされたりした女性」なんてほとんどでてこない(当然ゼロではない)のだ。単に「気持ち悪い、よくわからない性的消費がー！！！」など早い話「オタクの視線が気持ち悪い。」という非常に間接的な被害と言えるかどうかの被害しかない。となると直接いじめという犯罪してるサッカー部や運動部のほうが犯罪を誘発してるといえるのでは。よって学生の運動部はとくにサッカーと野球は犯罪を誘発するからサッカーと野球は若い子に悪影響を与え、犯罪や差別を誘発するからやめるべき。とかいったら「暴論だ！！！」っていうでしょ。でもこれが「萌えキャラを愛するオタクは犯罪を誘発する存在」とかいったら「なぜかリベラルが大絶賛」するの、本当に論理性ないと思う。

一般論として、「○○に△△は必要か」という問いは、多くの場合において誤った問いであり、詭弁のもとです。正しい問いは、「○○に△△が存在してもよいか」です。そこでもし、「○○に△△がけっして存在してはならない理由」を明確に説明できなかった場合、答えは自ずと明らかになります。「○○に△△は必要か」という問いが有効なのは、必要でないものは存在すべきではないとする、「チェーホフの銃」のような議論においてのみです。これは創造神として世界すべてをコントロールできる作劇という状況における方法論のひとつにしかすぎず、現実世界への適用機会はあまりないでしょう。「○○に△△は必要か」という問いをつきつめていくと、○○や△△の範囲が際限なく発散し、「人生に目的は必要か」「貴方は社会に必要か」「人類は宇宙に必要か」といった究極の哲学問答にすら行き当たるでしょう。不毛すぎる？最初の問いが誤ってるせいです。

テスト80点でしたって人に「20点落としたのか」みたいな、目の前にある物事にただコメントするのって誰にでも簡単にできるんですよ。ここで「前回50点だったから30点上がったのか！凄いね！」というセリフは前回の点数を覚えてないと出てこないんです。だから他人の良いところを探すのは難しいんです。

頭の良くない人って、テキスト読ませると「書いてないことを読み上げる」んだよね。てにをは、接続詞、助詞など細かいところまで丁寧に拾って読めないの。雰囲気で読んでるの。だから私は家庭教師や塾講師、知人の子の勉強を見る時はまず一番最初に「教科書声に出して読んでみて」って学力チェックする。そうするとやっぱり「うわー、全く書いてないことを読み上げてるわー…」というケースが必ずある。「書いてある通り、そのまんま、ただ読めばいいだけ」なのに、それができない。「どこにも書いてないことを読む」って、ツイッタランドのクソリパーだけじゃなく「小さい頃から」始まってるみたいだよ。そんで人に指摘されるまで「自分が間違えて読んだこと」に気づかないし、指摘しても気づかないことすらある。「ちょ、今のところもう1回読んで」っていうと「え、間違ってた？ちゃんと読んだけど？」って言う。「いやいやいやいや、ちゃんと読めてなかったし、間違ってた」っていうやり取りになる。嫌なやり方かもしれないけど、読んでるところを録音してあとで聞かせた方がいいのかも。「ここがちゃんと読めてなかった」「書いてないことを読んでるよ」みたいなことを教えるのって大変だけど、そもそも「書いてあることを書いてある通りに読めない」ようでは、何の科目を勉強しても無駄だと思う、だって「書いてあることを、書いてある通りに、読めない」んだから。勉強の前にまず「テキストの音読」をやって「書いてあることを、書いてある通りに、そのまま読む」訓練したほうがいいと思う。「書いてないことを読み上げる」というのは「書いてある通りに読ま（め）ずに、助詞や接続詞を平気で飛ばし、雰囲気で意味が通じように、自分で無自覚に創作したものを、勝手に挿入して発音する」という感じです。「書いてある通りに読める人」にとっては「一体どうやったらそんなことができるのか」「書いてないことを読むほうが、はるかに難しい」と思うのですが、「書いてある通りに読むほうが難しい人」にとっては「自分で勝手に創作する方が簡単」みたい?と思います。あと、言うまでもなく漢字。「この学年で、この漢字が読めない」というのが、音読してもらうと一発で速攻把握できるので、教える側にはとても便利。最悪ひどいときは、「～～ではない」を「～～である」に読み違えていたりして、「まるきり正反対の意味」に読んでいる事すらある。「これじゃあ、勉強が全然わからないわけだわ～！」と思うことが多い。低学力の子は。音読を見てあげるだけでも全然違うと思う。

社会学の導入で、「常識を疑う学問です」とか「生きづらさについて考える分野です」といったことを言うのはもう禁止したほうがいいかも。「自分の常識を疑い、他者の生きづらさについて考える」はずが、「他者の常識を疑い、自分の生きづらさについて考える」人ばかりになってしまっているから。「社会調査を疑う」のも、本当にそれができる技術を身に付けてからならば大事なところだけれど、自分の思い込みと違った結果が示された際に、調査票の文言にケチをつけることにしかなっていないのが実情。そして「本当のことは誰にも分からない」と。いや、まずその結果が示すものをよく見てみようよ。

「理系の男は論理的で理屈っぽいから彼氏にしたくない」という文が目に留まったが、非論理的な男の方が100倍怖くないですか。

いつも声高に日本から出ていけっていってる人たちが、ほんとにお祝いももらわずに日本から出ていく人たちに罵詈雑言を浴びせ続けてるの見てるが、まさに病気だな。

俺は嫌煙家で煙草の匂いが嫌いだから、その匂いも煙もない社会は歓迎こそすれ、反感を持つ気も本来無いのだが、風立ちぬの喫煙シーンに難癖をつけたり、キセルを吸ってるシーンが出てくる昔話絵本を販売中止に追い込むなど、「喫煙習慣があったという歴史的事実自体を闇に葬ろう」という動きには反対だ

ゴリゴリの陰謀論の同僚と話してるとき、ちょっと芸能人の名前出すとすぐ「その人は処刑されててクローンと入れ替わってる」と教えてくれるので凄く楽しい。

最近高市氏が「他候補への誹謗中傷はやめて」と書いたやつへのリプに大量に「誹謗中傷はいけませんよ！もちろんです！でも私のは正当な批判」「高市さんと日本のことを思って」みたいなのが大量に涌いててうわぁ…と思ったやつ、眞子内親王のPTSDの記事にも同様のやつが涌いてて、それがもうザッと見ただけでも10代から「余生」とbioに書いてるやつまで年齢も性別もまあバラエティ豊かで、自分の加害性を受け入れられない、批判されるのが耐えられない人間てこんなに遍在してるんだなとある意味感心してしまった。

若い人に伝えたいのですが、歳を重ねるごとにダイエットの難易度はレベルアップしていきます。また仕事や人生のストレスもレベルアップしていくので、ビールと唐揚げの美味しさも加速していきます。そうして「怠惰な肉体と生きていく」と決意する日がやって来るのです。

表現の不自由展で「公金ガー」とか言ってた人間でさえ大半は（建前上だったとしても）「殺人予告はダメ」の立場だったのに、気に食わない議員が対象になったら「許してやれ」「煽っただろ」みたいなこと言ってるやつ、そういう余命のなり損ないみたいな限界ネトウヨと同じ存在でいいんです？

「総裁選に勝ったという人生の中でもトップレベルにめでたいであろう日に奥さんの作ってくれたお好み焼きを食べて美味しいとツイートしてる人」を見て微笑ましく思う人とお怒りになる人、どちらが多いかを読み間違えてしまう人たち。

「やさしい化学」みたいな参考書あるよね。じゃあ「容赦ない化学」とか「無慈悲な化学」とか「いともたやすく行われるえげつない化学」とかもあるの？

弟の誕生日お祝いで奮発して船上レストランに来たんやけど出港からずっとタイタニックのサントラかかってる

ラーメン評論家の文章がボロクソ言われてるけど、あそこまでひどくなくとも「内輪で共有された価値観やノリによって書かれた文章」はあらゆるところに偏在し、そういう文章は価値観や文化の違う人間が見たら不快感を覚えがちなので、「お前人のこと言えんかもしれんで」みたいなとこに、真の怖さがある。内輪な価値観といえば、前に「ジェンダーギャップ121位の国も負けてられない。シスターフッドなエンパワメントで家父長制をぶっこわす！震えて待ってろセクシストども！」みたいな、インターネット借り物競争満艦飾といった趣のツイートを見かけた時は思わずブクマした。一文字も自分の言葉がない…。

一神教の神の試練って基本は善なる（人類を愛してくれてる）神が堕落に怒って課してくる罰だから絶望が大きいみたいなフォーマットがあるけど、日本の場合暴れる神は最初から““厄介””の方の枠だからな…。怒り狂って祟ってしょうがないので祀ってどうかこれでひとつみたいなとこあるやん。善とか悪とかとあんま結びついてない。基本的に理不尽。

Vtuberの仕組みも下乳も知らない時代に取り残された方々が、今の時代において何がステレオタイプで何が性的対象化なのかを判別出来るわけもなく。某ジェンダー研究者の言葉を借りれば「身についた感覚は簡単に変わらなくとも、知識や認識は新たに学べる」のだから、下乳もVtuberの仕組みも知らずに「性的搾取だ！」と糾弾するのは単純に不勉強としか言いようがありませんね。

みんなに配慮すれば今まで配慮されてなかった人の負担をみんなで薄く担う事になるのであらゆる配慮をしたら薄い負担が積みあがって全員が死ぬ。みんなそういうのを目指してるんだよね？

フィジカルが凄い人「僕はあなたが刺してきた事より、カーペットが血でダメになった事に怒ってるんですよ」

公共の場をあるいて「一切不快を感じる表現、服装、言葉が聞こえなかった」らそこは理想郷じゃなくてマジでおかしいと思ったほうがいい。おそらくディストピアだ。

「じゃあ股間が強調された男性キャラがいたらどう思います？！」って言う人いるけど、たぶんそれ男性は気にしなくて、嫌がるの女性側だと思う。性的魅力をステロタイプに強調した表現で男性側にイラつかれるのは「男はATM（奢ったり支払うのが当然）」「定年まで残業まで働いて年金残して60で即ぽっくり」みたいな描写じゃないかなと思う。

Twitterは基本的に何を書いても「誰かから苦言や文句」を言われるところです。「ラーメンが好き」と書いても「ラーメン好きな人は情報弱者」や「ラーメンしか書くことがない」と謎の批判を受けます。スーパーの品ぞろえを見て、いきなり激怒するようなおじさんともかかわるのがTwitterと心得てます。

アメリカに先進的なマイノリティ支持の思想とかそういう優しげな方向を見る気持ちは僕にはなく、とにかくアメリカ文化とは容赦なき帝国の拡大である。ポリコレ的なものも優しさなのではなく、他国の文脈におけるさまざまな人間関係の調整の仕方に対し容赦なき破壊として襲いかかる。アメリカ的ポリコレの輸入は、アマゾンが日本の商店を破壊していくような運動に相当する。

「日台の絆は永遠」とかいう人ほど自分たちの知りたくない台湾の姿は知ろうとせず、勝手に「自分達の考えた本当の台湾」像を押し付けてるだけ

クソリプを送ってくるアカウントって大体フォロワー1桁、もしくは0で、たまに2桁台のアカウントがあっても、フォロワーは業者アカウントとかフォロバ率100%のbotばっかりだったりするんだよな……。そういうのを見ると、怒りとか不快感よりも、悲しみの方が強く込み上げる。そういうことでしか発散できない辛さを抱えているのかなとか。社会が壊れてるってことなのかなとか。そんなことを思って。

新自由主義がウケたのは、無駄遣いということで攻撃する方向が主に公務員や天下りに向けられていたからであって、４５歳で定年とか全員派遣とか自分に向くのがデフォになったら不人気になるのは当たり前なのだよな。

ひろゆきなまじ持ってる知識の分野が広範なせいで特定の話題について半端に話すとその分野のスペシャリストから殴られる状態ができてしまってるの面白い

みんなそろそろネトウヨがどんどん増えている事態に気が付いていると思う。そして何故そうなってしまったかも……それはリベラル試験に満点とらなければネトウヨ認定されるまでに認定基準が下がりまくってるからだ。

そもそも「今の政権は選挙で選ばれたけど民主主義ではない」とか言ってる連中が一番民主主義に向いてない。安倍政権も民主主義だし、もし今度野党が政権奪取しても民主主義。「俺の気に入らない投票結果は民主主義ではない」とかいうやつが一番民主主義から遠い人間。

次回の参勤交代はオンライン開催となります。8月12日午前9時半～開催ですので、大名の方々は奮ってご参加ください。

猫がかわいいのはフワフワ柔らかいからでも仕草が面白いからでもなくて、小さな身体が全力で自立して懸命に考えて生きてゆくさまが健気だから。「外観が愛されるとは即ち内面も肯定される」というのをここまで残酷に表現した文章はなかなか無いよ。すごい。

福田恆存の平和論の発表当時は総スカンを食らったが、後にソ連への恐怖で世論の風向きが変わって人々がそれに同調した。現実を前に言論は無力だと福田がしみじみと語っていた。福田の言論ですら無力なら、いわんや泡沫垢のネット上の雑な語りに意味などないのだがそれでも呟かずにはいられない。

貯金するにしたって、どうせ雀の涙の利息なら税金も安くなるしiDecoとNISAぐらいやっとくか……という気持で初めて、今年で4年目、まあそれなりに勉強には成るし、面白くもあるが、やっぱり「他人を勝手な基準で一元的に数字化する（株価）」というのは、ほんとしょうに合わねぇなクソとも思っている。「他者の存在や行動を勝手な基準で一元的に数字化して、優劣付けたりする」って上から目線の最たるもので、少なくとも俺は絶対にしたくない／されたら怒る代物なんだが、それが資本主義社会なんだから仕方ないなぁ、でもこの怒りだけは忘れたくない、というお気持ち。

パンダやイルカが絶滅しそうだといってみんな保護しようとするけど、もしゴキブリとかナメクジが絶滅しそうになってもキモい滅びろで片づけられるのだろう。でも多様性って、そういうキモい奴らの居場所を無くさないってことだろ。家にゴキブリが出ても殺さずに我慢し共存する。リベラルは根性だ。

AEDに関しては「緊急時は女性に使用したとしても男性には法的リスクはありません」ということを誰ひとりとして言わず「このような配慮の方法があります」という議論だけが先鋭化していくのが、いかにも「現代社会」という感じがする。

「道徳感情」を燃やす人に事実を誤認しやすいなど問題点をエビデンスやデータで指摘したところで、自分の本で引用したように「数字や統計は真実を明らかにするうえで必要な素晴らしい道具だが、人の信念を変えるには不十分だし、行動を促す力はほぼ皆無」だから、説得することは難しいのかもしれぬ。

僕だって一応は西洋の学問を専門にしている人間だから昔は海外に留学したいという思いが今より遙かに強かった。しかし、海外留学より目前の生活を営みことに必死ならざるを得なかったからか、いつの日からか、別に海外に行かねばならない必然性なんてないのではないか、と思うようになった。日本文明には、（嘗ての漢学や仏教よろしく）既に西洋文明が一つの伝統の一部となり染み付いているのであり、その視点から西洋のことを学べば良いし、日本人の私には元来そうでしか有り得ない。西洋の直の教えを以て正となし日本の在り方を批判する必要は毫も無いのである。「サムウェア族」か「エニウェア族」かで言えば、このグローバル社会の中で特段優秀でもない私は前者として生き続けることしか出来なかったし、自らの意志としてもあくまでも前者であり、この国の大半を占める前者の人間達の側に立って生きたい。

利益目的の転売が何で悪いか？っていうと「価値を創出せずに、利益を掠め取るだけ」だからなんだよね。クリエイターが無から作り出した物を売ったりするのは価値の創出。商社は個人では仕入れられないようなもの（最低ロットが数千〜数万）を買い付ける資金力とバラして流通させてるのに価値の創出がある。

「デカマラ育英会」ってツイートしようとして直前で念のためにツイート検索したらなんと既出だった。潰しちまえよこんなSNS

西洋近代文明を絶対視し他文明に価値観を押し付けた過去への反省から、他文化を尊重するために生まれたであろう文化相対主義は、今や反西洋無罪の反動・近代逆張り勢が人道に悖る慣習・習俗をアクロバット擁護する道具として使われるのが目立つ。反西洋無罪、近代逆張りの道具として弄ばれた文化相対主義は恥辱のあまり崩れ落ち希死念慮を抱くようになったのだ。少なからぬ現地人も賛同していない風習を文化相対主義の見地から人倫・人権とかすっ飛ばして外部からエクストリーム擁護する仕草を見ると、文化相対主義を絶対視してる人達、文化相対主義は相対化しなくていいんですか、と疑問を覚える。人権思想が近代西洋に特有のものであり人類史上普遍のものではない、ケツ持ちがいないと人権なんて保障されないものであり近代西洋的価値観・思想が浸透してない場所では通用しない、というのは実際そうなんだが、成立した経緯と規範や価値観の妥当性・普遍性は必ずしも関係があるわけではないのでは。

このあいだ「未来の老人ホームは痴呆でたががはずれたおじいちゃん達がネットスラングを連呼する地獄絵図になる。怖い」と書いたら「僕たちの世代に老人福祉なんてあるわけないでしょみんな孤独死ですよ」と力強い言葉をもらえた。

退職する女性が送別会で抱付きキス魔になったので狼狽えてしまった。しかし子供が欲しかったけれど授からず、20代序盤から一緒だった夫と離婚し、当人は大病で10年生存率が何割…みたいな近況を聞くに、そのスキンシップ欲は本当なら自分の子供に向けて発揮されるはずだったものと思うとやり切れない。明晰な頭と優れた容姿と太い実家に恵まれた人ではあって、自分とは別世界の人間だという隔意もずっとあったけれど、仕事で数え切れないほど助けられただけでなく、個人的にはその人のおかげで女性に対する様々な偏見から解放されたし、そうした諸々無くして今の自分は無いと思える有り難い人だったな。この数日は何かにつけて、彼女のこれからに幸あれと祈っている気がする。子供を諦めたのかどうかは聞いてはいないけれど、もしそうでないならこの先なんとか恵まれてほしい。彼女のキスや抱擁を受け止めるのは、柔らかな赤ちゃんの頬や瑞々しい幼児の肌であってほしい。独善的な願いではあるけど。ただまあ…今回のことで改めて思ったのは、男というのは実に無責任というか、死ぬのに適した性だよなということだ。例えば女性が余命1年を宣告されればもう子供は望むべくもないけれど、男性ならば子種を女性に託して死ぬことができる。最近も特攻兵士の遺書を紹介する記事を見たので尚更そう感じた。

リベラルな人々には先人達の遺産の上に自分達がいる感覚や歴史の流れの観点がないという話、彼ら彼女らの歴史観や自己像は「圧政者を倒した革命派」なのだよな。だから歴史そのものと党派性で対立する（ゆえに歴史の価値を拒否する）し、遺産に対しては「圧政者の金蔵を見つけた革命派」として振舞う。自ら恃む所頗る厚く、それゆえ自分たちの力の及ばないものを嫌い、過去の人間を「倒されるべき敵」と捉え（ただし過去にあっても「自分たちの仲間」と感じられる人物だけを正しい人間として列聖する）、未来の人間は「自分たちに教え導かれるべき無知蒙昧」と考える、自信と猜疑心に囚われた人たち。

これはSF的な直感的想像なんだけど、人類の平均知能がもっと高かったら論文は今ある形式よりもSNSに近いスタイルになっているんじゃないかと感じていて、実際の若い世代のSNSの使い方、つまり議論の全体の空気を読みながら自分の意見に近いものを引用するスタイルと融合して、→現在のデジタルネイティブ世代よりさらに若い世代は、論文を扱うかのようなコミニケーションのスタイルになっていくんじゃないかと思う。ありていに言えば、前ゆとり世代の画一化した知識に基づいた個人主義と、ゆとり世代の自我はないが異常に場の空気を読む感情コントロール能力の高さが揚棄される。老害化した精神科医たちは若い世代のうつ病を「責任感なくすぐ逃げる」ふうに捉えるけど、あれは自我が緩くてコミュニティーが職場よりもっと広いからだと思う。上の世代は折り合いをつけるのが下手だ。そして今後来る世代では、折り合いをつける高EQと論文の通説を見極める高IQがきっと魔融合する。どうにもこの、若い世代の折り合いをつける能力の高さと、新しい社会のポリコレで殴り合う正義の組み立て方が、今後どんなふうに合体していくか僕には直感的に想像できない。きっと2050年代頃にはこういう感覚が社会を支配していると思う。場の空気を読みながら、何がポリコレ的にアウトなのかを見極めつつ、自分のやりたいことの正当性を主張するために他の人の意見を引用して防衛する、というスタイルを中高生が当たり前のようにやる社会がきっと来ると思うし、そこにおいてはきっと「自我の再発見」が起きると思う。昭和の個人主義は折り合いをつける能力の欠如による繭にこもった自己陶酔的な個人主義だったけど、令和以降の個人主義はきっと、大量の情報にさらされながら最後にわずかに心の中に残る「澱(おり)」を培養していくような、そういう作業になると思う。

ネット上で仲間が多くて派閥みたいになってる人たち、自分の知り合いが何か批判を受けたりしたときに友情を示すために適当に絡んだら相手もヒートアップして余計に泥沼化するみたいなことを本当によくやってるけど、これは無限に敵が発生するシステムなのでよくないですよ

『金閣寺』もウエルベックもそうだけど、暗さを描く時には、知的であることが重要。若い頃にはそう簡単に「鈍感力」など身につかないので、傷つきやすさに苦しんでいる人は、「知的」になる方が、生きやすくなる。自分がこの世界でなぜこんなに辛いのか。構造的な問題も含め理解するところから始まる。考えすぎると暗くなるというより、暗いからこそ考えすぎたほうがいい。

高校生が商売を体験するのはよいと思う。だけど、上澄みをかすめとって利益を上乗せする商売を賢さと思っている風潮があって、この件に限らず他でも見聞きしている。新しい価値を生み出すことに鈍感っていうか見向きもしないというか。独自の価値に対する敬意すらない。起業の意味も大概そんな感じ

最近、友人に整形したことをカミングアウトしはじめたんだけど、高学歴だったり賢い人ほど「いいじゃん」と肯定してくれるのに対して、そうじゃない人ほど眉を顰める。この反応、面白い。賢い人は大抵、マインスイーパーが上手いので。

主張の内容については一旦置いときますけど、こういう人たち（反ワクチン）特有の「お互いを褒めたり認めたりして勢いづいていく感じ」って、大声で鼓舞しあって敵軍に立ち向かう民兵みたいな「何かを成し遂げるために狂気を必要としている感じ」に似てますよね

リプライというのがそもそも相当にハードルの高い行為だと感じていて、そこを平気で乗り越える時点である種の無神経さを持っていると思う。

古典の研究のため1950年に東大に留学したアメリカのサイデンステッカー氏の手記です。「東大では毎日のように反米プロパガンダが叫ばれ、それに反論する声は皆無だった。彼らの主張は『社会主義は平和的で資本主義は好戦的だ。資本主義を全て社会主義に変革出来れば世界中の不幸は消えてなくなる』」東大の教授たちにはお世話になったし、学生にも親しい友人は何人か出来た。しかしほとんどの学生はよくてよそよそしく、悪いとあからさまに敵意を見せた。しかし私は、当時の東大生たちに感謝している。全体主義がどんな感じがするものか、実地に教えてくれたからである」。

昔は夫の収入だけで暮らしていけたのに共働きじゃないと足りなくなり、今では意識高そうな人たちが二言目には副業しろ副業しろと言う。このまま行けば中高生にもバイトして家計を支えろと圧をかける風潮になっていくと思う。輝け一億火の玉だ、子供も働け学徒動員。

フランス語関係のツイッターが良いのは、純粋に語学が好き、フランスの芸術や文学に関心があるという方が多いので、読んでいて心が穏やかになることだ。これが英語となると、給料が上がる、出世する、転職で有利といった、就職活動中の学生のような脂ぎった雰囲気が目立ち、私にはちょっと疲れる。

コロナについて、直観だけで無茶苦茶なことを言っている方がいらっしゃったので、リツイートしてコメントをしようと思ったのだが、「誰かが自宅に侵入して私のパソコンをいじっている」、「またパソコンが壊された。泥棒に入られた」と定期的に呟いているのを見て、関わるのをやめました。

十代の頃は、悪への魅力に魅せられやすい傾向にあったんだけど、20代後半、30代にもなると、善であろうとすることの大変さ・むずかしさを少なからず実感するせいか、創作物で登場する、善良なキャラに対して「君の善行はちゃんと見てるよ！」って応援したくなる。

ワクチンが普及し子どもが感染症で簡単に亡くなる時代じゃなくなるとワクチンの効果がわからなくなる人が増えてきてしまう、というパラドックスは本当だなというのがわかるんだけど、だからといってワクチンの効果を再確認するために子どもが感染症で簡単に亡くなる時代に戻して良いわけがないんだぜ

老人ホームってめちゃくちゃお金があったら二十代のうちから入所して無双したりできませんか？

医師「普段飲んでいるお薬はありますか？」

患者「名前も色も思い出せないんです。分子量が300位です。代謝は殆ど受けませんが一応肝代謝です。バイオアベイラビリティは中程度、Tmaxが約2hです。ピリダジン骨格があります。ドロキシドパやノルアドレナリンと併用注意になっているはずです。」

妻「なんでイオンに買い物に行くのにiPad持って行く必要があんの！？」

僕「いつでも研究できる状態にしておかないと不安で…」

妻「旅行に夏休みの宿題持って行って安心だけして結局一切せず帰宅する小学生みたいなこと言ってる」

しかし、PVという数字は残酷だよね。胸の谷間がはっきりわかるサムネの動画だけ再生数の桁が違う女性YouTuberなどを見ると、おっぱいの戦闘力の高さを痛感する。人間の欲望が数値化されることについて。乳の谷間も私たちは買われたも、おそらくPVを稼ぐ方法論としては同じなのだろう。

Twitterでなぞるような男女論はあくまでも表層で、家族間の政治闘争として限りなく個人でぶち当たって噛み砕いていくところに本物があるというのは事実なのだとわかるけど、仕事でも気張って家でも政治やると疲れるからじゃあ独身でいいです……ってのが今の未婚率の本音だよなと思う。叩き潰すための闘争ではなく家族を健全に運営するためには権力と駆け引きが必要という、前向きな話だとは思うんだけど、家で闘争をすると私は多分相手を愛せなくなってしまうと思う、疲れるので。でも密接した関係性で愛を保つには闘争が必要なんだよなきっと……。この話の悲しいとこは家族で政治戦なんかやりやくねえ！！って人間同士でくっついても闘争が必要になるとこだと思う。人間の性質の話なので

「普遍的人権に立脚する左翼が人権に抑圧的な隣国政府の打倒を願い、国益に敏感な右翼は隣国のアナーキーより圧政の方が国益に資するとして現状維持を願う」という事態に現在の本邦がなぜなって「いない」のか、というのは興味深い現代政治思想史の問題なのですよね。

あの3人の高校生に関しては、アイデアをいっぱいだして頑張ったけど結局のところ誰でも思いつく転売が一番結果を出しただけ、という悲しい話でしかないのが良かった。結果的に、観光地で記念写真を撮ってくれる現地のおっさんのサービスと、メルカリで荒稼ぎする主婦というビジネスに辿りつき、このままではパンチが弱いと思ったのか、最後に、時間を売ります！とプレゼンの時間を売るアイデアをやらかしたのも発表会といった感じで大変良かった。

君、夏、将来、夢、希望、嘘の概念のみで構成された歌詞改めてすごい。

直接出会う可能性なんて無に近い水域で泳いでる人と意見が違ったからって諭したり言い争ったりする必要は全くないし、まだ会ったり話したりする可能性がある人と仲良くすることを考えた方が良い。

原初的な賭博は、コインを投げて裏表で賭けるというだけでも成立するが、たぶんそれだと身を持ち崩すほどにハマる人は出てこない。ギャンブルが魅力的になるには一定の複雑さがなければならない。深くルールを理解して戦略を立てれば勝てるという錯覚をもたらすだけの複雑さが。株だの先物だのは、複雑さにおいて上限近くに張り付いているギャンブルなのだろうなと思う。上限を超えて理解不能なほど複雑になると、プレイヤーにとってのゲーム性はコイン投げと同じになる。コイン投げで勝っても嬉しくないのだとすると、賭博で求められてるのは実のところ金そのものではなく、「自分は賢い。知力を動員して勝った」という自己肯定感なのかなと思う。

年がら年中「男が察してくれない！」って騒いでいることは無かったことになる方の性別

本来ならブラック企業に勤めるようなタイプの馬鹿がネットサロンに影響されて『常識に捉われない斬新なビジネスに挑戦』しようとしたところで、転売ヤーかマルチ商法くらいしかできない。お前らは人と違うことをしようとするな。死ぬまで働け。

このままでは学生時代に打ち込んだものがワクチンだけになってしまう

「相対性理論なんか研究しても意味ないじゃないか、予算の無駄だ」というコメントに対して「いや、相対性理論はGPSで役に立っている」と言いたくなる欲求があるけど悪筋なんだよな。そこでいうべきは「役に立とうが立つまいが学問である」「すべての学問は将来役立つ可能性への先行投資であり、それを現世の人間が評価することはできない」って言わないと。さもなくば「相対性理論が無駄じゃないのはわかりましたけど、今現在で役に立たない学問は予算を削ってもいいですよね」という話になってしまい、基礎研究や純粋数学が、死ぬ。そして学問の将来的な有用性を一市民に理解していただくのは現実的には非常に厳しいので、なんらかのナショナリズム的アプローチも必要になってくるとは思う（例えば「日本人の科学リテラシーは高い！日本人は科学に理解がある！」という類のプロパガンダとか）。すべての国民に科学の重要性をアピールし、役立ちそうもない学問に税金を払う必要性を理解してもらうのは難しいのだが…はて、予算を得るための有益なナショナリズムは嫌悪しておいて、「学問の尊さを理解したうえで研究費をくれ」と言い出す研究者がいるのはなんとも…。それは都合がよすぎるんじゃないか…。

SwitchやPS5やガンプラが「文脈を破却された商材」として認識されたとき、どんな人間がやってきて市場に何が起こるか僕らはもう知っている。そしてその解決策として一般化しつつある増産や受注生産を行うことが同人誌は非常に困難であることも…。志を持たずに商売をしようとする人間は、初期段階で発見し次第全力で吊るしておかなきゃいけないんだよ。過去の大飢饉もそうやって発生したのだから。

夫に「あなたのその不機嫌はあなたがどうにかするもの」と話したらものすごくひどい人間であるというような物言いをされたことがあって、「それもきみの課題であって私の課題ではないな」と思った……という妻のツイートが話題になっています。お互いにその立場を維持できるのならいいのですが、それはちょっと考えにくいです。インターネットにこんな未熟な内容でスカッとジャパンしてる女性が精神的に自立してるとはワイはとても思えないですし、この発言自体、女性側だから言えるものでしかないですからね。嫌味で言ってるんじゃなくて、本当に反省してほしいんだよ。自分はどうなのかって。旦那様はあなたのご機嫌のために今まで先回りして気を使ってきたとは思わないのだろうか。あなたのメンタルが今までパートナーによってメンテナンスされなかったとでも思っているのだろうか。それとも「うちの夫婦はお互いに気を使わないようにしてるんだよねー、変わってるっしょｗ」みたいなことが言いたいのか。そうであるのなら最初にそう書くと思うのだが。あたまが悪いひとは性格も悪いし、性格が悪いからやはり嫌われているし、そのノリでSNSをやれば、自分の態度と現実のズレに悩まされるだろうと思う。現代は残念なことに女性には厳しい社会だと思います。たぶん今後もどんどん厳しくなる一方ですよ。

いま「子どもの心を傷つけてはいけない」の行き過ぎのせいで、大人と子供の関係が硬直している現場がたくさんあるはず。親の中にも子供が他人に傷つけられると仇を取るまで許さない人も多い。でも人間どうしなので傷つけることくらいあります。逆に子どもから傷つけられることもあります。子供の心が傷つくことを許さない人が増えすぎると、逆にとんでもないことになりますよ。子供を庇護することの必要性とは別に、必要以上に子供をいたわり守るべき存在だと思う大人の感受性については疑うべきものがある。（ここでの「子供」と「大人」はさまざまな言葉を代入可能）これは、家庭でも学校現場でもなかなか言えない潜在的な問題としてあると思う。「傷つけてはいけない」教育方針の元で育った子供が大学に入って、この「かけがえのない私」としての自分の感情を尊重せよと、過剰に主張する場面を何度か見てきた。深刻ないじめが問題化するずっと以前は、子供同士の喧嘩は少し年長の子供が諌めたりして、子供社会の中でカタがつくことが多かった。親も忙しくて子供に構ってられず、傷ついた子供もそれで却って自己治癒力を養えた面があったんだろうと思う。今は親が子供に自分を重ね過ぎてしまうのかもしれない。

女性から女性への「スラットシェイミング」（ふしだら批判）を性的魅力に劣る女性の嫉妬と解釈する人もいるけれど、それは再分配の要求や能力主義批判や弱者男性論を「持たざるものの嫉妬」「単に自分が支配する側に回りたいだけ」と捉えるくらいには（たとえそうした面はあれ）齟齬が大きいと感じる。

「授業、もっとちゃんと聞いておけばよかったな～」と思うのは、すでに願っても授業を受けられない立場にいるからという説はある。強制されなくなったことで学びに目覚めることは多いので、目覚めたときに自分で教材を買って学べばいいと思う。

「性的消費」という言葉の意味は「対象を性的欲求を満たすだけの存在と見なすこと」あたりかと思うが、それ自体が「悪」かどうかの価値判断はできなくて、どういう場面でどのようにどんな対象が「性的消費」されているかという具体的個別的、そして状況論的な話しか意味がないような気はする。「性的」か否かの答えは対象の中にあるのではなくそれを見る者の欲望にあるので対象に基準を求めても無意味。「性的消費」の言葉が批判として出る場合は、対象から喚起されると想像される他者の欲望が措定されている。ポルノ的表現ならわかりやすいがそうでない場合、その措定は難しいことになりがち。従って、「性的消費」の対象となっていることを理由にそのイメージを公的機関で発信するなという批判は、相対化されやすい。よりましな判断基準としては、伝えようとする内容とは関係なく外見的ジェンダー（服装、体型、仕草など）が強調されているかどうか。それにも無論グレーゾーンはあるだろうが。

昨日は高校生たちと「インターネット」をテーマに話した。インターネットに対して全くといっていいほどネガティブな印象を持っていないことに驚く。自分用にカスタマイズした環境でリアルよりずっとのびのびと、安心して「ありのままの自分」でいられる子供たちが浮かぶ。クラスタ化した環境で遊んでいるので、小室さん、眞子さんのことを微塵も知らない子もいた。彼らは巻き込まれない。彼らからすれば、大人たちはネットの嵐に巻き込まれてわざわざ自分から傷つきにいっている奇妙な人たち。視野がせまいともいえるが楽しそうな彼らを見てるとネット上の視野なんてせまくてもいいとさえ思えてくる。

男の知的なイメージって諸葛亮とかなんだろうけど、自己のイメージが諸葛亮（軍師タイプ？）な奴ってだいたいすげえバカだよね。女の場合、さらにひどい感じがする。

風俗で働く若い女の人権にはみんな熱心だけど、金に困ってるのに風俗店の面接で断られる女の苦しみは存在しないものとみなされる。

自由にしても人権にしても、これまでが「憎むべき抑圧者を屠り手に入れる物」みたいな物語ばかりだったせいか、価値を得る、認められる物になるって物語がそればっかりになってる気がするんですよね。違うよ、オタクを屠った所でお前らはどうにもならないよ。違う価値創造の物語が必要なんだよ。

みんなが知ってるのでしくじると恥ずかしいという理由でカラオケで「サウダージ」を歌えないのだが、ポルノの人は全然恥ずかしがらずに歌えて羨ましい的なことを強く思う。

無視されてるDIO「俺は人間をやめてるぞー！ジョジョーーーッ！！」

警察官、どう見ても刑事事件でもやらない言い訳に「民事不介入」を振り回すけど、交通事故の過失割合などの純然たる民事にはカジュアルに介入したりするよね。そもそも警察官に刑事と民事の区別などつくわけないから当たり前。刑事と民事の区別がつくようになれば法学上級者の部類なので。警察官が法律知らないのはけしからんというのも現実性のない話。法律は警察官にわかるようにできてないし、わかるなら検察官いらない。末端の法理解は不十分でもシステム全体として法治ならばOK。小学校の先生が全員博士レベルなら素敵かもしれないけどそんなことは無理だし効率的でもないよね的な話。

アメリカの芸術文化は特に都合が良すぎる。文化はお薬じゃないんだ。時に人に傷を与え、時に絶望させたり感動させたりするのが芸術であって、誰の気にも触らないもの(気に障ってるみたいだが)を意図的に作ったって、そんなもので感動するほど人はアホじゃない。

人間関係の相性というやつ、相手のどうしようもない不出来な人間臭さを「可愛い」と思えるか「めんどくせえ」と思うかというのが結局な気がする。どれだけ賢く生きようとしてもどうしようにもいかない部分というのはあってしまうので、関係性が深くなっていくならそこの本質を受容し合えることは前提必須条件よな。素直になれない相手とは怠惰にもなれない。ずっと頭使うとか無理。

身長175cm以上で年収600万以上で学歴MARCH以上で元運動部の男性の中にはジョイマン高木が含まれている

ツイッターで展開されている政治関係の話の殆どは「政治議論」ではない。分類上は単なるネットバトルであろう。ネットで敵対者を罵るヒマがあったら、選挙も近いし、足で票を稼ぎに行くべきだと思う。（しかし選挙に付き物の怪文書が面白い様に、ネット上の出所不明の怪情報も楽しいのですが。）昼間は選挙運動に従事し、夜は事務所でネット上の怪情報を閲覧して笑いながら疲れを癒す、というのが2000年代以降の選対スタッフの日常である。

イーロン「統計的に米国では1.5億kmの走行で1件の死傷事故が起きている。一方、オートパイロットを使ってテスラユーザーたちが走行した距離は合計約2億km以上で、今回のフロリダの事故が初の死亡事故だ。比較すれば、オートパイロットは人間よりも優れていると判断できる」と主張し、開発の継続を公言。『「自動運転」と聞くと完璧なものを期待してしまうが、イーロンは「自動運転は、ある種の確率の問題だ」と主張する。人々は自動運転に完璧を期待するのではなく、「人の運転より安全かどうかで考えなくてはいけないんだ」というイーロンの指摘は現実的だ。』『ベスト・エフォート型だからこそ、テスラはわずか12年間でEVの年間販売台数を5000倍にも増やすことができたのだ。ただしその間、手ひどい失敗も繰り返し、イーロンは批判の矢面に何度も立ち続けた。精神力が桁外れに強靭でなければ耐えられない手法でもある。』『イーロンの言葉が多くの投資家たちを惹きつけてきたことも間違いない。そして俯瞰すれば、イーロンのスケジュールはおおむね2年から5年程度遅れるものの、最終的には実現していた。』『2006年当時に「マスタープラン」を目にした人たちは、「まだ1台もクルマを出荷してもないベンチャーが、何をわけのわからないことを言う」とばかにした。つまり、イーロンの発言はリアルタイムでは理解できないことも多いのだ。』

「青春ヘラ」「感傷マゾ」「低志会」とかその辺、傷のなめ合い的で気持ちよさで繋がる文化なだけあってあやふやな状態に陥りそうな題材にもかかわらず、主要な論者にタームの定義を明確にした上で追求しようという評論的な態度があり、その立派さと題材の情けなさのギャップがおもろいね……

私は意識低いIT系なので「古い価値観をアップデートしてください」と言われても「最新のアップデートってだいたい不具合の温床なんで嫌です」としか返せない

意識高い感じの人、正論のつもりで「献血の啓発になんの関係もない黒人が使われてたら理由を問われるでしょ。黒人の人権擁護週間とかなら別に訊かれないけど」みたいなこと素で言うのでドン引きしてる。別に問わないよ！！！黒人だって普通に献血するやろ！！！

実際に被害者のいる事件について知った瞬間、最初に浮かぶのが被害者への同情ではなく、この事件の原因をどう敵になすりつけるか、この事件を利用してどうやって味方を増やすかということなんですか。仮にそういうくだらないゲームを「政治思想」と呼ぶなら、一切の政治思想は持たない方がいい。

わりと心配性だと思うけど生活上のリアルな心配をする想像力は全然なくて「農家の許可とってないのにぶどう狩りツアーを企画し、客たちを従えてそのへんの農家で勝手にぶどうを狩ったらすごい怒られるんだろうな」みたいなことばかり考えてしまう。

分厚い凡庸層の復活を願う。意識の高い人ばかりだと疲れる。

現代の高校生にとって「ショーバイ」が「価値の創造と社会貢献」ではなく「手数料の掠め取りと社会システムへのフリーライド」って意識になってしまうことは本当に避けて欲しいんだけども。

「国の借金を返済して、後世の子供たちにツケのない国を渡そう！」→「現役世代をシバいたせいで子供たちが生まれなくなりました」ってオチ。星新一の小説かなにか？

そもそも地元の政治家に期待するのは利害調整と揉め事の仲裁だろう。例えば自宅の隣にマンションが建って陽が当らなくなったり、迷惑施設が出来た時に誰に相談するのか。この手の相談や陳情に、市議～県議～代議士とシームレスに対応できるのが政党の長所なのに、地方議員が少ない政党とは何なのか。

同人転売で炎上した件「モノ作り」というリスクを負わず、物を右から左に動かして上前をはねる、証券取引や人材派遣みたいなのが勝ち組とされる今の日本じゃ「転売で儲ける奴が賢い」という評価を得るのは当たり前だし、問題は違法か否か、高校生が得た学びは「次は法に触れないように上手くやる」だろ。

「合法で誰でも簡単にできて儲かる仕事」は、定義上、すぐに参入者が殺到して旨味が消えるので、たいていは「誰でも」か「簡単に」か「儲かる」のどれかを犠牲にしながらやっていくことになる。ここで「合法で」の部分を無視すればいいじゃんという発想に至る人もおり、派手に事故る

Twitterの人達って「地獄への道は善意で舗装されている」とか引用してドヤってるのに誹謗中傷ダメゼッタイ→厳罰化みたいなのに簡単に乗っちゃうの正直意味わからない

異常なイデオロギーで自然科学を捻じ曲げようなんてのは既にアメリカ中で見れますよ。サンタフェ研究所なんか「スケーリング則は複雑なものを単純化して普遍的一般法則を作り上げるが、これはキリスト教白人男性的だから学問から排除しなければならない」とか大真面目に言い出してますし

キャラクタが何十人もいて一人も同性愛者がいないというのは不自然だし、作中に一人同性愛者がいるだけで「なんと、ここに同性愛者がいます！」ってその点だけ取り上げて宣伝を始めるのも不自然。普通にやって欲しい。

新しいスーパーマンが環境問題に取り組み、男性と恋愛、とのこと。くだらない。そういうの取り入れてますというのは、当事者として腹立たしい。前までは同性愛文脈なかった作品で、突然取り入れるのって、同性愛を生きるってことの時間の厚みをナメてるんだよね。侮辱的だと思う。メジャーなものにマイノリティ要素を取り入れて善人ぶるのは、社会的包摂どころか、マイノリティに固有の歴史性に対して軽薄な態度だということですよ。マイノリティの歴史性をもっと畏れなければならない。

貧富の差が拡大してるのいろんな要因があるんだけど、いまの技術の進歩は「頭のいい人」が1人いたらそうでない人たち10人分の仕事ができるみたいな方向に行ってることもあるんだよねえ。生まれ持った頭の良さと学習に集中できる資質と環境で収入があらかた決まってしまうようになりつつある

ジェンダー論に染まると「ジェンダー以外の物語」がなくなります。個々の人間の人生はどうでもよくて、すべてジェンダーの問題として「対象化」されて「思想遊具として消費」されますので。視野が狭くなるし歪むんです。あらゆる問題はジェンダーの問題となるわけです。

高額転売をキラキラ財テク(笑)とか、賢い主婦の知恵(笑)みたいに本気で思ってる層が一定以上いるので、ちゃんと『薄汚くて恥ずかしいことなんですよ」っていうことをわかりやすいCMとかで流した方がいいよなぁ。あとはいいことみたいに紹介するメディアの前歯を折った方がいい。

見た人の欲望をいたずらに刺激して宝石泥棒が起こるから、美しい宝石の絵を描いてはダメ！と怒っているのが今の表現規制派だと思うなあ。実際の窃盗犯は絵の宝石なんか見ず、宝石店の周りを下見したり、宝石を身に着けた人間を騙そうとしたりしているのに

だいたい「女性の社会進出を！」みたいな事言う連中が想定してるのは「女性政治家」とか「一流企業のキャリアウーマン」で「鳶職」とか「土木技術者」とか「トラックドライバー」じゃないからな

保守というのは、物事をなあなあですませる、という気持ちのよくない側面もあるのは事実だが、その気持ち悪さをより破滅的かつ病的なものへの防壁として皆でちょっとずつ受け入れ背負ってゆくという現実への現実的な対処法なんだよな。十二分に尊いと思うんだが、僕は。

子供たちにツケを残さない！とした結果が新設できなくて崩落するトンネルに落ちる橋に朽ちる水道橋、そして廃墟。ってこれ30年以上前の本でも「新設しないといけない時期が来るぞ。その時に業者はいきなり増えないぞ」って書かれてたりして、まあ結局そう言う事になりましたねというか。

「貧しくても農業して里山でたすけあっていきればいい系」の自然に帰れ主義者、なぜか自然に帰っても手厚い年金や医療にアクセスできる前提で語ってるので話にならない。

皆さんに知っておいて欲しい事が、アメリカ人は定時で帰るし、家族の事情で簡単に休むし、有給も100%近く取るけど、日本と比べて祝日は少ないし、簡単にクビにできるし、マネジメント層は帰ってもかなり仕事しているという事。

パワードスーツを作って絶対に女性にも力仕事をさせるぞ。重力に性差別なんてさせない

本当にマジで真剣に思うんだけど、世の中って『口から出た言葉がそいつの腹の底の言葉』って風潮が特濃に濃厚だけど、『考えながら話すの得意じゃない人が話してる時に脳内にフワフワ浮かんでるサジェストされたワードを適当にノリで掴んだら、良くない言葉だった』って事は、間違い無く有りますよね。

自分にはできない事を全く自覚なく他人に押し付けられる凄い人間が、ツイッター綺麗事グランプリノミネート者に多いのは昔からです。

ツイッターアカウントの匿名性なんてものは、相手が本気になったらとても脆弱なものである、ということを匿名アカウントの皆さんはしっかり覚えておいたほうがいいと思います。発言には責任が伴う、ということから免れるとは限らないですよ。

基本的に「うちでswitchやらへん？」みたいな会話は男女双方が暗黙のメッセージを読み取った上で進められるんだが、ときたま純粋な心（≒発達障害）を持った人もいて、トラブルになったり本当にswitchをやるハメになったりする。

成果主義もそうだったけど「無能=罪」な社会になると何が起きるか？というと、皆が有能であろうと努力するのではなく「皆が自身を有能だと偽装するようになる」。競争社会において他者を有能と認める=自身の相対的地位が下がるので、皆が他者を貶めて自身を虚飾するようになる

今まで嫌われるのが怖くて人に注意したりできなかったけどバイトの新しい人が基本的なことを全然覚えてくれないのでもう嫌われてもいいやという覚悟で強めに注意したら「本当にすみません…頑張ります！」と真剣に向き合ってくれてホッとしてたらちゃんと次の週から僕がいない曜日に移動されてしまった

小学校の頃いたババアの先生、バカは言っちゃダメな言葉だからつってパカってめっちゃ言ってたけど、小学生の頃からずっと変わらずにヤベー大人だなあいつって思ってる

「このアカウントをフォローするとあなたのタイムラインのエコーチェンバー指数が著しく上昇します」という警告文が出て、真逆の思想の人間ばかりが毎日100人ずつ自動でフォローされるツイッターが見たくないかと言えば嘘になる。けど、やりたいかと言われれば嘘になる。

しかしMARCH以上って10％しかいないのか……Twitter見てるとMARCH以上の進学率170％くらいあるように思えてくるのに……（MARCH以上に進学する人間が100％、そのうち70％は院進により二巡目のMARCH以上を手に入れる）

「寝てる間にバンクシーに彫られた」一本でタトゥー禁止の温泉を突破してきたおじさん

魚や鳥をまっいいかと食って消費する人間はそれなりにいたのにじっさいに魚や鳥を獲る仕事をする人間は殺生戒を破る畜生としてムチャクチャ差別されていたのが鎌倉時代で、そこに彼らの救済者として現れた日蓮や法然親鸞といった存在の意味よ。

自分の加害性のことなど全く考えたくないというときに、この世は花畑なので加害性の話など一切するなというポジションを取る人と、反対に他人の加害性の話をすることで自分の加害性をなきものにしようと試みる人がいて、目的が同じなのに方法が真逆なので対立してしまうことが多い。反差別的なポジションを取るときには後者にならないために自分の加害性を受け容れることが何より大事だと思うけど、そうすると他人に対して攻撃的、断罪的な物言いをすることが難しくなる。攻撃的、断罪的な言い方ができなくなると、攻撃や断罪を正義だと思ってる人たちの輪からは外れてしまうかも。これを実践するのが難しいのは、自分の中では他人の加害性（攻撃的、蔑視的な意識）ということになっているものが・実はそのまま自分の加害性（攻撃的、蔑視的な意識）であったりすることが本当によくあるからで、他人を断罪しているつもりが傷ついているのは自分だったりする。こういうふうに自分の抱えている問題を他人にすり替えるのは心的負担を軽減するためで、「一時的に気持ちいい」からだけど、長期的には自傷行為をしてるのと同じなので苦しいは苦しい。

借金はいけないというけど、橋や道路はこの先数十年の先の人達が使うものであって、なんでそれを建設時の人たちだけの負担で作らないといけないのかっていう単純な話なのよね。

今日の日本では「子供たちにツケを残さない」、「子供たちに社会資本を残さない」そして「子供たちも残さない」の三点がセットになっているようです。

全然ダブスタ発言していなくても、「ブーメラン」と言いたいオタクに見つかると「ブーメラン」と言われてしまうぞ。「ブーメラン」と言いたいオタクに見つからないようにゴールを目指そう。

「女性『に』優しい」は響きこそ良いが「男性に厳しい」が包含されてしまうのがいただけない。「女性『にも』優しい」ものであるべき

ソースもわからない未確認情報はタダでいくらでも読めるのに「まともなニュース」は肝心なところは有料なんだからどっちの影響力が強くなるかは明らかよねえ。

夜中から今まで女性でもできるようなカゴ積み降ろしの仕事をやってまして今終わったんですけど、女性なら今日の仕事はここまで、となりますが、男性の場合はそんな甘い話では済まず、これから重さ120キロの冷蔵庫40台程度手積み手降ろしという体力的にキツい仕事をやらされるわけです。女性トラックドライバーに、女性でも出来るようなバラ積み降ろしの無いトラックの運転してるだけみたいな仕事を占領されたら、バラ積み降ろしの体力的にキツい仕事を押し付けられるのは男性トラックドライバーですからね。労働基準法で計算しても、腰痛対策指針で計算しても男性の半分程度の重さしか上げられない女性は現場作業・肉体労働では一人前の労働者とは言えないですし、男性から見て同じ給与を支払うのに相当だとは思えないんですよね。本質的には同一労働同一賃金とも矛盾するものです。

サラリーマンだって男は来月からナイジェリア勤務とか言われても従うけど、新卒2年目の女の子をナイジェリア勤務にはしづらいよな。この問題どうすれば解決できる？

半導体不足のニュース調べてたら半導体製造のための装置の半導体が不足してるとかいう負の連鎖を発見してしまって、半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を作るための半導体を

「政治的正しさ」の論点についてはおおむね同意がとれているように思うんです。例えば、男女差別は悪い、人種差別は悪い、だから正していかなくてはいけない。ここは一致している。問題は、そのやり方や手段。

転職も新しい環境でしばらく経つと前の会社の良かったところ思い出すんだけど、結局辞めようと思った理由があって辞めてるんだから、と思い直すんだよね。

昨日酔った同僚が「本籍」という言葉が出てこなくて、代わりに「スーパー住所」って言っていて良かった

拙著に関し批判を頂くとつい「いいね」を押してしまうのだが、これは「おまえをみておるぞ」とかいうオドシではなく、俺が書いたものが「こいつの間違いを正してやる」というモチベーションになってくれるのであれば、大変嬉しいから是非頼む、というお気持ちであるので、どうかよろしくおねがいします。基本的に科学というのは仮説の積み重ねで発展していくものなので、「俺仮説」がいかに完全に間違っているかを示すことから、なんかすげえ理論が生まれたら、それは十分、俺は科学の発展に役割を果たせたわけていたわけで、そしたら俺の名前は歴史に残るので、大変、ありがたいじゃないですか。批判してる対象の名前をちゃんと書くと、そいつを個人として認識していることになるので、ほのめかしに留める……みたいなクソ文化は、後世からの検証においてマジで邪魔でしかないと思うので、基本的に、ちゃんと名指しで批判してくれてありがとう、くらいのことは思いながらいいねしてる。

人間を生かしておくという行為そのものが無駄とも言えるんだから、広い視野に立てば目先の無駄をカットすることに血道を上げる行為は二重に無駄である。とは言えできてしまったもんは仕方ないだろ、という観点でそれ以上のことを考えないあまり理知的ではない保守思想でなんとなく世界を覆ったほうが死ぬまでの時間は豊かになるぞ

自分が無駄と無意味の塊であることに耐えられない人間が宗教と文化なるものをこしらえたのに、それを更地に戻しても別に世の中は良くならない。「できてしまったものは仕方ない」でやり過ごすのが保守で、「こんなもの生まれるべきではなかった」とするのがリベラルであるならば、巨視的に見ればどちらも大差はないとも言える

個人的には選択的夫婦別姓自体には何ら反発を感じないけど、それを主張してる人がしばしば匂わせる「夫婦別姓の方が夫婦同姓よりも進歩的で優れている」という価値観を社会に勝手にインストールされるのは嫌ですね。果たしてあの人たちが「夫婦同姓を好む」という自分好みでない多様性を受け入れて、価値観のアップデートを行えるのか考えると、ぶっちゃけ信用ならん奴らだらけなんで、例によって他人の価値観を自分ので上書きすることだけを「価値観のアップデート」と称して、自分らは変わらないんじゃないかって。

「極力多数を生かすぞ、ただし、複数箇所に棲み分けをした上でだ」みたいな価値観をスタンダードにしてゆかないと、上流の一箇所でほぼ全てを消費し尽くす「局所的持続可能性」が煌めくだけの世界になってゆくが、明らかにそれに向かってる状況に皆失笑を禁じえないようにならんとダメだと思うが。

何してるかよくわからんおっさんが一人やめただけで組織の運営がガタガタになったり、そういう経験ないんかな。何が無駄かなんて究極やめてみんとわからん話で、無駄を許容できるだけの環境にせんと排除されなかったものに負担が増えるばっかりなんちゃうかな。生産性って「無駄」なんすよね。如何に「無駄」を生み出しながら許容度高めるか。だから「無駄」削れば生産性無くなるんだわね。だって要らんから。それが気に食わん人が多いのはわかるけど。

上司ガチャで引き立ててもらって中身もないのに偉くなってるの、日本の大学は手が届かず、海外の大学で何やってきてか分からんけど英語だけ出来ます、みたいなのがコンサルとかで必死に小僧からスタートしてパートナーとかになってるパターン多いけど、これをどう見るか、ですね。これ肯定的に見れんようになって来ていて、そういう意味ではついったらんど言う所の新自由主義的な思想からは距離置いてるんだろうけど、まあ確かに生き方がセコいんだけど、当人に間違ってその態度示そうもんなら激ギレするからやはり気にしてるし、シバキ上げ過ぎても良くない

人生ゲームでコマを進めるために数字のアレを回したら、止まった先が空白だった。その瞬間私は人生の真理に気づきたまらず全裸で走り出していた。公園に着いたあたりで警察が来て、お役御免となった。

「遊び」「余裕」を無駄なコストとして切っていったら、そりゃ突発的に穴を空けやすい人材は不良品として排除されやすくなるわね。要は無駄を排除して生じるモノは、安けりゃいいという者と金を支払うことで特権意識に耽溺できる様なアレだけが得するシステムである。みんなに便利なサービスには無駄が必須である。無駄を削ると追加料金を支払う者にのみ便利なサービスになる。1000年後どころか100年後にすら責任を持てない生命体が無駄だの何だの判断出来ると思う方がおかしい。

次の日に重要かつ嫌すぎるイベントがあるとき、寝なきゃいけないなーと思いつつも深夜2時までツイッター見てるあの時間is 何

７年ぶりにネット大喜利するかと思って大喜利たろうを見てみたのですが、大喜利PHPと比較して何が主語で接続詞で述語かわからない回答が多くてよくわからなかった（大喜利ｐｈｐは何者かが移住させてきたなんｊ民達に侵略されて野球ネタだらけになって潰れたネット大喜利サイトです）。大喜利ｐｈｐといえば中学の頃「右翼だけの乱交パーティーにありがちな事」ってお題出したら俺より得票率が低い自治厨に「こういうお題やめて下さい」って言われたから本棚にあった非武装中立論者の本（俺のミリオタ趣味をやめさせるために祖母から贈られてきた）をビリビリに破いたのをたまに思い出す

apexのチャットでnigeyou(逃げよう)って打ったらnigger判定食らって1週間アカウントbanされた。

炎上してしまったので、とりあえず「誤解を招く表現があった」とお詫びしたところますます燃え上がった。お詫び文を言い換えるのは癪だったため、自分がしてきた発言をすべて引用して究極に露悪的な解釈をすることでマジのマジで「誤解を招く」だけの表現だったことを強調したところ、燃え上がったツイートが2000件引用RTの「圧」によって光ファイバーを通って逆流してきて家が全焼した。放火犯として起訴された私は2年後に死刑になった。

フクシマを語り継ぐために放射性廃棄物を用いて東京電力本社前にオブジェをつくったところ、特殊部隊が防護服を着てオブジェを撤去してしまった。これからデモ運動を起こして、表現の自由毀損に対する反対運動の署名をしていきたい。

同人誌でおねえさんにイカされたショタがショックで泣きそうになりながらいう「おちんちんから白いおしっこが出た…」を射精間際に真似したところ、おちんちんからドス黒い何かが出てきた。石油の可能性があるなと思って舐めてみたところ、墨汁だった。このまま本気で書道家めざす。

「意見はケツの穴と同じだ。誰もが持っていて、そして臭い」って名言が英語圏にあるけど、ついったでは全員のケツの穴をガン掘りするケツの穴不在虚無虚無プリンが多数目撃されている。そいつはケツの穴がないのに、なんとなく臭い。

「政治のことを大して知らずとも政治的作品を作っていい」という美術の特権は維持すれば良いと思うが、特権がある以上は反作用としてのリスクをも自分で背負わねばならんので、そこに手を出すならリスク対応として結局猛勉強が必須というところに落ち着くのだよな。

反出生主義者にはいつもこの話をしてるんだけど、お前の子供はお前ほど出来が悪くはならない可能性が高い。希望は出生

幸福について語る人間は不幸であるみたいな緑色のなにかが社会の多くの人に共有されている気がして興味深い。実際語りだすととたんにメンヘラじみてきてしまう。

校長先生は学校給食の毒見をするという雑学を利用した殺人トリック

「いい歳してゲームなんかして！」と言われたので、レスバ開始のゴングの意味を込めて「じゃあさあ、何歳までが『わるい歳』？」と親に尋ねた。「そ、そりゃあお前…ｺﾞﾆｮｺﾞﾆｮ」と口ごもった父親は私を折檻し、マインスイーパ以外のゲームが二度とできない体にされてしまった。

労働したことある人の死亡率が100％であるという事実を俺は知っている。

とっとこハム太郎最終回見てないんだけど、最後どうやって死ぬのか気になる

自分と同姓の者がインターネットで炎上している時にだけ活性化する脳細胞がある

インスタグラムのアカウントを作ったがいまいち楽しみ方がわからない。とりあえずツイッターのときと同じようにレスバトルをしかけてみたら、めちゃくちゃ普通に開示請求されて賠償がくだった。これだからおれはツイッターから離れられないんだ。

「人生」は応答していません。というエラーメッセージを読んだので「フィードバックを送信」しようとしたが、画面右上には「圏外」の文字。嗚呼これが「人生」だなと思いながらアプリを閉じたところ、目の前が真っ暗になった私は死んだ。

24時間ネットでデマを流し続けているのに1円ももらえたことがない。

純粋で知られる人間なので、カノジョに「二人だけで旅行いこ」と言われたときも本当に旅行にしか行かなかったし、「映画がみたいな」と言われても映画しか見なかった。痺れをきらしたカノジョが「セックスって言ってんじゃん」とキレてきたので「性。性別。セックス。」と和訳したところ、私は大きめのペニスで顔面を殴られた。ペニスだな、と思ったその日の空は青かった。

「仕事にも精が出る金曜の午後」から「精液をぶっかけられたクマの絵の姿形」、「画用紙からもはみ出しちゃうんだ」から「パンツからはみ出て脈動するペニス」などを想像する想像力の高さで知られるネット論客が私です。対戦、よろしくお願いします。

好き同士で結婚すべきという恋愛至上主義に騙されてはいけない。好きでは無いけど信頼し合ってお付き合いがうまくいくなら今の彼女の方が結婚向きだとは思う。恋愛からそう発展することもあるけど、分けた方が個人的

自分が論理のすり替えを行なってることを薄々自覚してる人に対しては虚偽や矛盾の指摘は刺さるんだが、ほんまもんの狂人は虚偽や矛盾すら事実や論理整合的と思い込んでるんだよね。そしてほぼ間違いなく激怒する。

自己研鑽に繋がらない、仕事にも役立たないただの趣味を、成長に繋がらない単なる時間と資金の浪費だから意味がないとしか考えてない人、おるよね。無駄？だから何なんだ。趣味が単なる暇潰しで何が悪い。栄養がないものをわざわざ手間暇かけて食う。そこに文化が生まれるんだろ。

"合わせておよそ1550万円の使い道は、桜井被告が暮らしていたタワマンの家賃、ギャンブル、クレジットカードの支払い。”彼女”への小遣いは月150万円。高級腕時計パテックフィリップの購入費用は600万円弱。浪費の限りを尽くしていた。"東大出てキャリア官僚になっても、おカネが入った時の使い方は高卒不動産と同じなの、おカネの使い方がいかに難しいかが分かるよね

「いままで誰もやらなかった画期的なこと」にはおよそ3種類しかない。既に何度もやられてるのに無知で知らなかっただけ、そもそも結果が芳しくない、そもそも法律で禁止されてる

やばいガキ「どうとく１読了。有意義な時間であった。次はさんすう１を読もうと思う。」

「自然に罹って自然に治す。多くは軽症」の何がヤバいって自分がハズレクジ引くだなんて少しも思ってないところなんだよな。重症化したら運命だと思って受け入れるとか言うんだろうけど、僕が診てきたベビースモーカーの肺癌患者さんで運命を受け入れた人なんて見た事ないですけどね。未治療に終わる人は居るけどそれは本人の人生観というよりかは医学的、社会的な理由によるもの。「散々吸ってきたからね、仕方ないね」と言いながらできる治療は全部やる。最後まで抗う人がほとんどだしそれが自然な姿だと思うけど。

健康なときに「私なら死を受け入れる」とかいう人って根本的に想像力がないというか、口では考えているようで実際は全く自分の事として考えられてないんだよな。 「他人の苦痛はいくらでも我慢できる」というやつも併せて段々現実離れしたポエムみたいになっていく。

絶対に一人だと歌えないようにボーカルを重ねた歌をつくってるアーティスト 消費税20億%

都会の民はイオンを馬鹿にしがちだが、都会の中途半端な男子校で童貞をこじらせるよりイオンでチャリデートした方が絶対楽しいし、子育て家庭に必要なすべてが揃ったイオンモールは神の集うヴァルハラだし、イオンとともに生きる生活、金を持たない東京生活で消耗するより人権に満ち溢れてるんだよな。

「恋愛結婚が現実的ではない」非モテ男たちにとっては夫婦別姓なんてマジでどっちでもいいわけですよ。つまり反対する動機もないが賛成する動機もない。だから「ルサンチマン」という要素で簡単に反対に転ぶ。「夫婦別姓や同性婚が法的に認められてもお前ら非モテには何の損もない」というのはまあそうなのだろう（ただし同性婚に税控除が入る場合は異なる）けど、「他人の幸福は毒の味」が人間心理というものだからね。

ポリコレ要素とかで僕が一番疑問に思ってるのは、男性とフェミニンな男性との恋愛が多すぎて、田亀源五郎ライクなオス同士の恋愛がまったく描かれてないところなんですよね。しかも作品的には源五郎さんの作品の方が面白いという…。悪目立ちしてるのが女性によって描かれた「男らしさから解放された男性」いわゆる「受け」を性的対象としたような作品が悪目立ちしているだけだからと思います。海外って「ゲイ」というと紫色を身につけている中性的な男性がステロタイプらしく、ポリコレだポリコレだーって沸いてる最中でさえそのステロタイプは捨てきれないってことでしょう。「肥満や、ガチムチ、マッチョなどで角刈りの方が一般的にモテる」ってリテラシーをノンケまで共有してる日本が特殊

教育マンガみたいに「いじめはやめろ！」ってデカイ声で一言言ったらいじめっ子が反省するならみんなそうするけど、いじめを止めるのにもコストはかかる訳で、「いじめの傍観も罪」とまではよう言いませんね。むしろ弱っている私をいじめずに、傍観に留めてくれた人々にはうっすら感謝している

面接官「この会社に入って、あなたは5年後、どうなっていたいですか？」他人の寿命が見えるし、面接には落ちる人「難しい質問ですね…なんというかこう…5年後、この世に居ない人から尋ねられると、同じ質問でも重みが違うというか… 笑」

入社研修で「タトゥー入ってる人はいますか？」って聞かれて、舐められたくないなと思い、全く入ってないけど手上げました

10年以上も昔の自分の失言を思い出しては頼むから全員忘れててくれ〜！とあなたが願っている時、当時その失言を聞いていた一同が集まって「あいつは今でもきっとああいう事を言っているに違いない」と裏でくすくすと笑っている。

今の自分の、大学生から全く変化してない暮らしぶりや金銭感覚に対して「でも働きたくないんだからしょうがないよな〜」と思えてるしこの調子で死ぬ時も「でも働きたくなかったんだからしょうがなかったよな〜」と思いたい

「毒親」や「親ガチャ」等の言葉を使うと事態が矮小化されてしまうのではという思いがあり、せっかくこの国には「クソをクソで煮しめたクソ人間」「劣った血筋」などの豊かな日本語があるので、そういった言葉を積極的に使ってはどうか。罵詈雑言を集めて君だけの憎しみをインターネットに叩きつけよう

バイトのミャンマー人のおじさんと喋るとき、油断してたら急に軍事政権に乗っ取られているミャンマーの現状をずっと喋ってきて悲しくなるので常に明るい話をするように心がけてたんだけど、ふと「ミャンマーにYouTuberっている？」と聞いたら「いるよ！今はいなくなったけど…」と地雷を踏んでしまった

「出勤してるだけでえらい」とか「仕事は嫌になったらやめればいい」みたいな類の、「ハードルを下げる話」は時代の空気感と合っているので容易にバズるし人気が出るが、実際のところ、出勤してるだけで偉いわけはなく、嫌になってやめても次の仕事があるとは限らない。耳障りの良い話はポルノに近い。

失礼します。「俺、労働嫌いですよ 笑」とか「俺、社畜ですよ 笑」みたいなツイートをしておきながら、大企業・行政関連・高収入・専門性・役職、などをチラチラとアピールするのを欠かさない人の自己肯定感・自尊心を、ほんの少しでいいのでおすそ分けしてほしいです 笑。失礼しました。

本当にヤバい人って、自分を被害者に見せるのがうまくて、自分に都合の悪くなった人を加害者にして周囲に叩かせようとするみたいな。マジでドン引きわかる人はわかってれば良いみたいなそういうことでもない！大事なものを守るための手段に憎しみや狡賢さは必要ない

今話題のラーメン評論家のブログを読んだけど、中学生の頃入り浸っていたチャットやBBSで「(おい」「(マテ」「(核爆)」等を連発していた古(いにしえ)の記憶が蘇り、共感性羞恥で目が潰れるかと思った

フリーランスで副業しようとしている人、絶対に自分の代わりが何人もいる仕事を選んだほうがいいよ。代わりがいないと、いざというとき本業に支障をきたして精神がやられるので……本当に……

何が嫌いかより何が好きかで自分を語れよ！って最近本当にその通りだと思ってて、基本的に"褒め"で語る人がたまにする批判は参考になるけどその逆は全くないというか自分がセンスないと煽り返されるのを恐れてもう完全に評価が固まりきってる無難なものしか褒めないね。ルフィのパチモンはいい事言うわ

インターンシップで学生が来てて、「もしかしたらウチを受けてくれるかもしれませんね」とか上司と言ってたんだけど、その上司が学生に「でわでわ」とか書いてるメール送ってたからもう来なくなっただろうな、と思った

これは持論なのですが、ブスは声がでかいというのはでかくしなければ聞いてもらえないからでかいのであって、ゆっくり喋る男がモテるのはゆっくり喋っても話を聞いてもらえるからだと思ってます。今日私の声がデカすぎるという苦情がありました

例えば「ディズニーランドで注射を打たれる」みたいな「楽しいものに嫌なものを混ぜてこなす」というのがすごく嫌いで、オムライスにミックスベジタブルいれて栄養バランスをよくするとか、ハンバーグにすりおろした野菜を入れてとか、割と許せない。食うから分けて用意してくれと思ってしまう

何浪目かの冬のある日、模試をすっぽかし、仕送りを全部パチンコにすられた帰り道、公園のベンチに座って俯いて、子供達のさんざめきを聞きながらワンカップのラベルを爪でカリカリひっかいて、どうやって死のうかと逡巡している時、じんわりと膝に差し込んできた西日に、神を感じて号泣した事がある。

自殺すれば親ガチャ可能という説は特定の宗教的信念というかミームに依存しておりまったく多様性に配慮できておりませんでした

社会に復讐したい人、殺人するより生活保護受給する方がいいと思う。無差別殺人は苦しめた張本人に復讐できる可能性は低いが、社会保障費の増加は税金の値上げにつながるため、社会の人間から間接的に富を奪う事ができる

父さんに「もう暗くなるから外に出るのはやめなさい」って言われたけど「世の中を私が明るくするんだよ」つって家飛び出した

ぼくたちが生きやすい環境を作ってくれてありがとうという気持ちを込めて、トイレの黒カビ達がみんなで〇の形になる現象

ツイッターの人が外部ブログを書くときに普段と一味違った教養あふれる自分を見せるぞ！と意気込みすぎて今までの読書などで得た頭良さそうな言い回しを全部詰め込んでやたらクドくなっちゃうのマジでたまらん

子供の頃、アルバムをめくっていると見覚えのない犬の写真があり、父親にコレは？と聞くと「お前が物心つかないころにうちではウサギを飼っていた」と言い出してわけがわからなくなったことがあった。父は「この犬が食った」と続けた。近所で飼っていた犬が抜け出して来て我が家の庭に侵入し、ウチのウサギを食べてしまったのだという。事件に気づいた父は、生前ウサギの写真を撮る機会が無かったことに気づき、仕方がないからその犬を代わりに撮影して、記念にアルバムに入れたと言っていた。戦慄した。あの時は本当に父が何を言っているのかわからなかったが、年をとってくると、自分もそういうよくわからない感性のことを色々とやらかしている人間なような気がしてきた。うわ、なんか戦慄してきた。

最近は「普段はトンチキなツイートをしているが、インターネットの外側では普通にコンピュータエンジニアとして何らかの業務に就いている」という情報が続々と自分の中に入ってきて裏切りの連続になっている

オタクは「言葉は少ないがたまに口を開くとズバリ的を射た指摘をするキャラ」に憧れる結果「無口でキモいしたまに喋ると思ったら嫌なことを言う人」になってしまう

人は、人間はね、5歳で死んだって、18で死んだって、30で死んだって50で死んだって良い。一度も働かずに死んだって良い 一度も勇気を出せないまま死んだって良い。何をするために生まれたなんてことは無い 人々は人生に無理矢理意味を付けたんだ 気にしなくていいよ、我々は等しく無価値なのだから。まだ子供なのに亡くなるなんて可哀想？違う。一生無職で死ぬなんて情けない？違う。どれをとっても違う。人の在り方なんて神ですら定義していないんだ。皆が勝手に概念創造して押し付けあって苦しくなってるんだ。もうやめよう、巻き込まれることなんて。巻き込むことなんてしなくていいんだよ

みずほをメインバンクにして生活すると、人生がシャキッと出来る。べんり。

なんで大人って体調不良で謝らないといけないんだよ

日本のヒップホップを語る際に恥ずかしいからやめた方がいいことは「日本のヒップホップは金持ち子女のボンボンが発展させた」という言説を披露することで、これはひろゆきくらい浅はかな人が言う典型的な例です。そこから「そもそも言語学的に日本語はラップと馴染まない」とか言い出すと役満です。

お前さっき俺らが自殺してる時チラチラ見てなかっただろ

問.きちんと感染対策すると事前に聞いていたので、出演OKして現場に行ってみると酷い有様だった。なお、客は金を払って自分たちを観に来ているものとする。みんなめっちゃ盛り上がってる。どうするべきか？ってクイズだと考えると正答できる気しなくて怖すぎる。これ、その場で「ふざけんな。今日はやらねぇ。降りるわ」って言うの、なんというか相当気合い入ってないと無理だよね

二次裏のペットロススレ見てたらお気持ちになって「今でも犬のうんこ拾うのに手頃そうな袋をそれとなく取っておく癖が抜けなくて寂しい」とこぼしたら速攻で「犬関係なくウンコ拾えばいいだろ」と心ないレスがついて、それ以来心のやらかいところをインターネットで晒さないようにしている

人はなぜ 相関を見つけては因果だと大興奮

何らかのごっこ遊びをしているらしい6歳に「全員にこの質問をしている。お前は何歳から何歳までうんちをした。」ときかれ「0歳から32歳までうんちをしています。」と答え「よし、いいぞ。」と言われたあとおもちゃの銃で撃たれました。

2度と会わないであろう人との関係をちょっとだけ良くする偽善が一番興奮するねんな

Twitter触ってて最も無駄な時間は「RTに言及してバズってるツイートの文脈を知りたくてプロフィールに飛んだらツイート数10万とかで、興味ないアカウントの膨大なRTとツイートを遡らないといけないとき」と思ったが、Twitter触ってる時点で既に時間の無駄だった

もえかザウルスと名乗る人がジェットコースターで首を痛めたらしいけど普通に首を曲げてる写真を載せててウソなのかどうかで議論が起こってるの、俺の理想のインターネットにかなり近いどうでもよさで嬉しい

娯楽だけめっちゃ怒られて労働だけ強要される最悪の世界になってしまった

友人のアーティストが「批評家が拾いやすいようにフックをいっぱいつけておく」という身も蓋もないメソッドを言っていたのですが、アート界には他の学問でやってけない程度の物知りさんが作品にかこつけて気持ちよく喋れるようにわかりやすいビジュアルを用意する共依存関係はあるにはあります

学術領域で屡々話題となることだが、証左の信憑性の立証、というのは難しい。証拠の証拠。その為のまた更に別の証拠。煩瑣だが、重要。重要だが、煩瑣。その際、年表を扱う学術領域で起こりがちな誤謬が、「1192年に発生した出来事は1193年の人類は全て知っているよね！」というもの。知らんわ！

スーパーで牛乳とりに手を伸ばしたら「なに人の前きてんだ！」とおじさんが言うから「最短距離だから？」としか言いようがなくて、まだ怒ってるから「怒っちゃうの？すぐ怒っちゃうほう？」と聞いたら気味悪がられて逃げられた。最近、怒った声出してるおじさんにはできるだけ声かけて話そうとしてるんだけど、みんな気まずそうにして終わる。なんなんだよ…。怒ってはみたもののその後対話ができないというのは私たちの時代に入ってからの闇かもしれない。野球ボールで窓割られたおじいさんは「うちの野球チーム入れ」までいかないといけない。

タリバンの一件で何もかもをコンテンツとしてしか捉えられなくなった馬鹿の成れの果てみたいなのを大量に目撃して体調が悪化した。他人の地獄でスキップするのが知的な仕草だと思ってるんだろうか。ただただダサい

医者や商社マンにやり捨てられた女が自分は医者や商社マンに選ばれる価値ある存在だと勘違いしたまま医者や商社マンの幻影を追いかけ続け他の男どもを見下し続け、そしてやがて朽ちて死んでゆくんです。

誰ですか、夢を見るのは素晴らしいとか夢は信じれば叶うなんて無責任なことを言った奴は。

「社会はお前のママではない、家を一歩出たら誰も面倒を見てくれない」これをそこらのおっさんに言うと絶賛されるが別の方向へ向けて言うと大炎上する。

アメリカ人同僚と空港で搭乗を待ってた時、近くのアメリカ人同士が些細な事から殴り合いの喧嘩を始めたので同僚に「何であんな些細な事で喧嘩すんだろね？」と聞いたら「簡単さ。今、彼らはお互い銃を持ってないと分かってるからだよhaha」と言われ、笑えないし銃社会怖過ぎだし核抑止力論だ…と思った。

Wikipediaのアーティストの項目、そのアーティストが開いてきた全部のライブとそのセットリストとかがまとめられたりしてるけど、あれに休日を全部費やした後の気持ちってどんなんだろうか。有意義なのかな、それとも作業なのかな。

たまにはリアルガチの仕事術教えるね。資料送られてきた時に「ありがとうございます。拝見します。」じゃぁないんだよ。即開いて中身確認して初期的なコメントを添えて返信するの。これ徹底してると仕事の手離れの良さがスーパー加速するよ。

イタリア人のナンパのうまさが尋常じゃないみたいな記事もたまに流れてくるけど、絶対ナンパ下手なイタリア人もいると思う。ナンパの同調圧力を押し付けるなって言ってる人。仲良くなりたい。

「犯罪のプロは捕まった後の量刑まで計算に入れて事を行う」って、宮崎学さんが本に書いてたな。

昔交渉の授業で教授から留学生に向けられた「米国は交渉が文化基盤だ。ダメ元で責任者を探し相手を怒らせない態度でネゴれ。君らの国で無理な場合もここは交渉余地がある」との言葉を忠実に実践したら、学費免除を倍増できたり飛行機に遅れたのに搭乗できたりしており、交渉社会ぶりを実感している。

他でうまく回ってるよその国はともかく、この国にとっての消費税は今の生活にプラスαで何かしようというヒトの計画をちょっとずつ掠め取ってジャンプ前の踏切板をいつのまにか低く削り、将来の予定やここぞという時の大きな買い物の邪魔をして人からやる気を奪い続けてる。福祉にも一部しか回してない

一般人は箔押しも知らないし、奴隷がぐるぐる回す例の棒がキャプスタンということも、お城の壁の上の凸凹の凹になってる部分がアンブラジュールということも、波止場でポーズを決める時に足を乗せるあの出っ張りがボラードということも知らない

息子(4)の運動会予行演習を盗み見してきたんだけど、徒競走で他の子の脱げて落とした（そしてそのまま走り去った）靴を拾ってビリになっていました。アナウンスの先生に「やさしーい！やさしい！ありがとう！やさしい！！」と絶賛されながらゴールしていました。

愛知県にエキノコックスが定着した件について、「ごんぎつね」の新美南吉が育った場所なのでマジの「ごん、お前だったのか…」ができて面白いなとか思ってたら本当にヤバいらしく、今私の自宅を緊急対策本部として会議が行われている。

手元に『ローマはなぜ滅んだか』という本があるのだけど、確かに「性解放・女性解放・知性と教養と文化」として1章を割いてこの辺りの話をしている。姦通が横行するだけでなく、女性が鎧や武器を持って男性のスポーツに参加するようになったと。オウィディウスについては13ページも割いて記述がある。オウィディウスの『アルス・アマートーリア』は男女両方に向けた自由恋愛の「戦術書」であり、操船や戦車の操縦のごとく「恋愛も技術をもって指導されなければならない」との文が引用されている。言葉と裏腹な態度についての指南などは2千年前の人間と現代人に微塵も違いがないことに苦笑してしまう。この「戦術書」には、あらゆる切っ掛け・口説き方・接近の口実・相手をいつ褒めるか・どう褒めるかの豊富で具体的な例示や「接吻を与えてくれないなら盗め。接吻を盗んだならその他のことも盗め」だの「喜んで与えたいものを与えしぶるときは強奪されたがっている」という指南が沢山載っているようだ。『ローマはなぜ滅んだか』ではこの本を「性の快楽の追求が（略）男女のすべての能力・知性・教養を動員しての全生活の努力として奨められている」としていて、これは決して軽薄な恋愛指南ではなく文明の洗練と隆盛を誇る著作だったわけだ。2千年前のローマに現代と同じ恋愛至上主義を見る思いがする。

ヨーロッパの方の観光業で、日本人は妖精さんと思え。集まってくる時は静かに見守り、居心地よくさせれば気に入って金を落としてくれるが、一人が悪い目に遭うと、妖精の国に帰ってから、妖精言語で全体に伝えられて二度と来なくなる、ってのがあるんだけど。諸外国のオタクも、できればれ日本の絵描きさんを妖精さんと思って、RT後はTwitter翻訳で好意が分かる言葉を使ってほしい。F○CKとかDea※h言われるとびっくりして描かなくなったり鍵かけたりしちゃうから。尊死とかそういう意味合いのオタ用語だって判断できないんだ……。

疲れた。LGBTに関するニュースを見ている親が「精神病の一種だよな」と言っているのにドン引きしたり、休学時に通った精神科で医者に「やっぱり宝塚とか好きなの？」と半笑いで言われたりしてきたけど、何故か2021年の今がそういう面では一番しんどい。反りが合わなかった親ともクラスメイトとも殆ど縁を切れて楽になったものの、そこはどんどん苦しくなる。私だけなのかな。気持ち悪いと笑われても、個人の好悪だから仕方ないと思える。いや、思えないときもあるけど、思っていこうとしている。でも「左利きの人と同じくらい居るらしいよ」と同室の人が話しているのには堪らない気持ちになる。何でかなあ。居るらしいんだって。居るんだけど。多様性多様性って、世の中に色々あるのはきっといいことなんだろうけど、色々あるものしか認められないのはしんどいな。私の持っている属性は、世の中に認められるためのシンボルになっていくんだろうか。自然にそこにあるものになりたいのに、必要以上に尊ばれて、センシティブで、触りにくくて、不自然に特別なものになってしまう。息苦しい。インターネットで今よりも茶化されてたときよりずっと生きづらい。でも、こういう過渡期の先に生きやすくなるひとがたくさん出来るんだ、と言われたら、そうかもな、と思う。だから口を閉じた方がいいのかと考えてしまう。だけど、今の私はもう生きづらくてしょうがない。

LGBTに限らず、少数派が多数派と同等の権利を得るためにはその過程で声を上げねばならず、しかし声を上げることでシンボリックに目立ってしまうという問題はある。乗り越えた先に平穏があることを願っています。欧米はカップル文化があるのでLGBTが社会で広く認められないと生活自体が難しい。その一方、日本ではそういう事情がないため、私的な問題にとどめたいと思っているLGBTの人はそれなりにいるみたいね。属性ひとつを取り上げて、その人自身の存在を認めるとか認めないとかって話になること自体が短絡的というかアホらしいなと思う。なんとなくだけど最近はそういう一面的にしか解釈できないらしい人が増えた気がする

これまで言葉に対する感性を売りにしてきた人が「配慮したらいかがですか」などという教導とも脅迫ともつかない不自然で不気味な表現を無批判に掲げている様を見ると、党派性による知性の劣化を実感して悲しくなる。

理解のある彼くんのことは誰が理解してくれるのでしょうか？

解像度が高すぎると幸せにはなれない、それはそう、不可逆である。"普通"の波に死ぬまで乗れれば幸福な思考停止のまま笑って死ねるが、一度でも自由意思の快感を知ってしまったら、もう不可逆。知らない頃には戻れないし、満たしたところで次なる快感への誘いが生じる。ほんとうの自由というのはすごく気持ちよくて、だけど自ら世界観を定義し続けなければならない。与えられた器など本来は存在しないことに気づいてしまうこと、疑えてしまうということは、即ち虚無への気づきとも言える。なんらかに意味を見出し、快感を得て、信じるものを形作る。その過程は酷く孤独。寂しさを越えたところでまだ寂しい、何かを得ていくしかなくても、何かを得るたびに孤独だったことに気づいていく。疑えないことは幸せだ。信じるものを与えられているということは幸せだ。寂しさも無意味もすべて呑み込んだ上で、最後に待つのがほんとうの自分らしさだなんて、どこに確証があるのか。

昔好きな絵を描く人をフォローしたらブロックされた経験があるのでフォローせずに眺めてたらブロックされた。

高校生くらいの子が「絵は才能！天才には追い付けない」という価値観を持つのは分かる。人生を十数年しか走っていない状態では初速が全てと思うのも無理はない。しかし三十路も過ぎてくると無理して心身を病んだり死ぬ天才もポコポコ出てくるので「才能の前にまず健康！」みたいな価値観になってくる

ビビンバで火傷した時、痛みより「ビビンバ食べてる感」がまさって機嫌がいい

定年退職したサラリーマンが畑借りて無農薬栽培始める事は多々ある。雑草ジャングルになったり。横通っただけで羽虫が一斉に飛び立つ害虫生産プラントになったり。壊滅させてしまい収穫ゼロでもスーパーに行けば食べ物は手に入る。しかし商店すら無い山奥の限界集落でそれやったら死活問題。恐らくガチの田舎暮らしとは「自然との共存」どころか「自然との闘い」だろう。収穫の為には農薬も機械も害獣駆除も必要になる。定期的に草刈りや枝打ちや伐採もしないといけない。人が住まなくなった廃村が極めて短時間で緑に飲まれてしまうのは、その地道な作業が全く行われなくなるからだろう。休日返上で共有地の草刈りや祭りの準備から帰る。SNSを開ければみんな都会の文化的な娯楽やグルメを満喫している。若者は馬鹿らしくなってガンガン都会に流れて過疎化が進む。土地から離れられない者は「なんてうらやましい！」と都会人に対しグログロとした怨念を発生させてしまう。

とある中受の女子校の説明会では、「28歳から30歳までに第2子を出産完了して頂き、早期に社会復帰して大いに活躍できるようなウーマンキャリア教育をお約束します」みたいな話だった。早く2人産んで働きましょうって…外野から言われるとモヤっとするなぁ。国の政策の押し付けみたいな感じで驚いたわ。

古いものをぶっこわしても、そのあとに新しいものを作り積み上がることができなければ意味がない。平成の30年はぶっこわすだけだった。ぶっこわしても新しいものを作る能力がないならば、古いものを守るほうが現実的であり賢い選択ではある。残念だけど。古いものをぶっこわす資格があるのは、新しいものを作り積み上げる覚悟があるひとだけだよ。考えてみればそんなの当たり前のことなのに、日本はこの30年肝心のそこを勘違いしていた気がする。

アメリカは昔から優勝劣敗の国やからな。誰もがコネでも努力でも何でも使わなきゃならない。勝負のルールは無数にあるので、価値観で勝てるならそれも当然やるべきとはなるし、フェミニズムなども生まれるべくして生まれた。むしろアメリカ的価値観がより世界に広まってるという話かな。アメリカにも保守的な人は当然いて、慎ましく生きてるんだろうが、世界に広く知られるのは当然競争の最前線で知力や体力や価値観を最高水準まで磨き上げて戦い続けて他人を叩きのめし、自己宣伝に努める人々なんで、こっちがアメリカ的価値観の体現者とはなる。

Twitterや某掲示板では「MARCHは3ヶ月w」「国立理系意外は雑魚」みたいなことがよく言われていますが、MARCHに進学する人でも同世代の上位15%に位置します(進学校の生徒は信じられないと思うので、是非データを見てみてください) 。受験界隈は極めてクローズドな世界です。

多様性を保持する機能は各個人がマジョリティとして安住できる空間の確保によって担保される。個人的なレベルであれば、趣味を同じくする仲間との交流であったり、もっと言えば感動の共有による一時的な同調性というものもマジョリティとしての安住を付与する。大きな話をすれば民族自決というのも少数民族がマジョリティとなる空間を構成するという点において多様性の担保となる。つまるところ個人のマイノリティ性に焦点を合わせる限りにおいて多様性というのは個人への抑圧の機能を持つという点を軽視してはあらゆる社会で破綻をきたすしかないのだ。全てを個人に還元するアトミズムは己のマジョリティ性を棚に上げて他者のマジョリティ性のみを抑圧する強者の論理であり、その上に立って語られる多様性など分断の思想にしかならないのだ。

怒ってる人たちに共通する疑問点として、なぜ社会に浸透している言葉を嫌って新しい言葉を作りたがるのか、というのがある。例えば今リツイートした「貧茎」なんてなぁ所謂良く使われている「巨根」に対する言葉を考えるなら「貧根」を用いるべきだし、もっと一般化するなら「短小」で構わないはず。新しい語を用いると言うことはその言葉でしか表せない新たな概念を作ることとセットでなされるべきなのだが、何故かわかりにくくする為だけにその語彙を作り出してローカル化した狭い身内だけで使われる隠語のようにしてしまいそれを広く社会に訴えるという訳の分からないことをする。身内で盛り上がってるのを他者にバレないように隠語を用いると言うのは理解できるのだが、社会問題を論じるのに隠語を生み出すというのは正味の話本末転倒としか思えない。

フリースタイルダンジョンを見た天皇「たくさん、言葉を、ご存知なのですね。」

家庭は素晴らしいものだとみんなで叫び続けても、家庭を持てる者の多くは家庭を持とうとしないんです。幸せな家庭という幻想を共有したにもかかわらずです。それが全てです。家族という者の向こう側に子供を考えるのはもうそろそろやめる方向にシフトしていった方が良いと思います。子供を育てるリソースを個人で用意しましょう、さあご自宅で勉強を教えましょう、中学受験を経験していないお父さん残念でした！みたいなことをいつまで続けるのかって話ですよね。現状の「家庭」なるものはわりと狂気だと思ってます。

自分が自由恋愛を断ってたわけでもないのに「モテない男は女性と恋愛しないといけないという"呪縛"から解き放たれるべき」とか当事者でもない立場から綺麗事抜かしてるナオン見るとと二度と固形食食えないくらいぶちのめしてやりたくなる

家庭が機能として協力になる事態というのはそれ即ち嫁姑核戦争みたいな話だし、それを我々は脱してきたのだから、行く先は「家庭に機能のない状態」でありその方向に実際我々は進んでますよね。同時に不公平のもととなる親ガチャも当然是正されますよね。個人の自由の先には家庭が発生しないことはもうわかったじゃないですか。そのうえで出生率の改善を考えるのであれば「個人の自由に左右されない出生率」しかないでしょう。それが嫌なら自由を捨てるか、あとは人類を減らすかですよ。家庭が幸せだというのなら、それなりに家庭を持つ傾向が存在してもいいでしょうが、現代では家庭に機能がないのですからそんなものはほぼ無いわけです。我々の多くは「家庭がない方が素晴らしい」ということを個人の自由として選び取ってるんですよ。ただ、家庭に幸福を与える方法がありますよ。子供を持つ家庭にお金や住居を配り、子供のない人に増税するのが分かりやすいかと思います。そうすれば幸福な家庭が現実のものになると思います。家庭を持てないような男性が幸福になる力もないということは言えても、家庭を持つ能力のある男性が家庭を持った場合と持たなかった場合の比較なんてないわけですよ。子供が生まれれば幸福感がプラスになり変わるということもありますけど、それはあくまで「子供がかわいかった場合」でしかないです。子供が確実にかわいい保証なんてどこにもないことを肝に銘じた方がいいですよ。可愛くないあなたの子供を、義務として無理やりかわいいと思わなければならない未来もあることを事前に考えておくことをお勧めします。ゲームのキャラメイクじゃないんで、気に入った人間を作れるわけじゃないんですよ。そもそも配偶者選びの時点で、ほとんどの場合、自分も相手も大きく妥協してるはずなんですよ。家庭を持つということはまず毎日そこに目をつぶらないとならないということなんですよ。自分の中から恋愛をすっぽりと取り除いてしまう。そうゆう人生になるってことなんですよ。さらに言えば、その関係は「どうしても許し合えない者同士」の関係になる。そうゆう相手と一生を過ごすという”諦め”の状態でもある。でもそれが家庭なんですよね。そんな状態から「幸せ」というまだ見ぬ夢に手を伸ばしたりなんかしたら絶望しかないですよ。

フェミニストであれオタクであれ、人間基本、嫌いなヤツの振る舞いはおもしろくないし、ネガティブなバイアスがかかるという認識を持っていないと、道を踏み外しかねないなあと思っている。フェミニズム本読書会の後、懇親会のイタリアン居酒屋で、3人組サラリーマンが誕生日会を開いており、ケーキ登場時一瞬お店の電気が消えたことに関して、読書会発表者の一人が「私達の電気が奪われた」とキレちらかしたところを見て悟ったんだよね。問題は「何をやったかではなく誰がやったか」だと。お店で誕生日を祝っている人のために強制的に手拍子させられたりハッピーバースデー歌わされるようなノリのお店は嫌いだけど、誕生日ケーキ登場時一瞬電気が暗くなることに関して不便などを感じたことはなかったし、自分の払っている電気代でもないし、申し訳ないけど「男が嫌い」という以外理由ない。しかし、お店の電気が一瞬暗くなることを「私達の電気が奪われた」というの、かなり個性的な発想ですよね。「どうしてそういう発想になるの！？」と衝撃を受けて、めちゃくちゃ強く記憶に残っているもの。

ポスト構造主義、所謂フレンチセオリーの核というのは、「言語や言説の世界では本来は「何でも」言えてしまう、何でも言えないようになっているのは歴史と権力による」ということだろう。この理論は、言葉を読んだり書いたりすること「だけ」に肉薄することで生まれたもので、言葉の狂気に迫るものだ。だから、幽霊の様な言葉そのものと、自己の身体、それも読んだり書いたりし、読んだり書いたりするように作り作られていくテクスト的身体だけが、そこでは残されることになる。正気は偽りであり、正気ではない世界の真相が開示される。この理論は、言葉の外の、言葉に対応する現実とのなだらかな連続を裏切り続けるものであるため、理論でも現実でもないような言葉そのものが混じらざるを得ない。仮象でしかない仮象の言葉を読み、語るのは、言葉というものの「本質」(とも言えない)に触れる困難な営為である。晦渋さの所以である。ソーカル事件は、誠に皮肉にもこのような理論のパフォーマティブな実践になっているように思える。「何でも言える」言葉の世界に全てが還元された狂気の世界、自己解体し続ける言葉や概念の世界においては、歴史的テクストに絶えず還帰しない限りは、「擬似」の言葉を省くのは困難である。そして、フレンチセオリーから幾多もの政治運動が誕生したのかもよく理解出来ることだ。自己解体する言葉と概念だけがテクスト的な身体と共に残された世界においては、言葉と概念を如何に簒奪するのか(或いは「し返す」のか)という政治に全てが収斂していく。ポリコレはその象徴的営為である。

「幸せな家庭は幻想」と思いたい人たちにとって、現実世界は認知不協和の塊なので、とにかく家族を解体するという流れを加速させて自分の認知にとって心地よい世界を実現したくなる。自分の家族にいい思い出のない人間が家族社会学などをやりだす。

ギャルにモテる職業とゲイにモテる職業がだいたい同じって話めっちゃくちゃ好き（土建、消防士、警察官、運送など）

エキノコックス、北海道にはずいぶん前から定着して道民はいわば「共存」してきた、そして本州人たちはそれを問題視することも根絶に向け援助することもなかったのに、本州に入ってきた途端に発狂して政府は何やってんだと喚き散らすの、なかなかに差別的だなと思いますね。

フェミニズムの性に関する理論は「あらゆる性的なホニャララは後天的」が原則なので、異性愛も例外では無く後天的なものであり、女性を抑圧するための男性によって人工的に構築された制度、というのが理論家、特にレズビアンフェミニズムの理論家の間では主流の考え方なんですよ。例外だったのはベティ・フリーダンなどのリベラル系フェミニストで、彼女たちは「そんな事を言っていたら、普通の女性がついてこない」と批判したわけですが、それでも「性は後天的」という原則は排除できなかった。もちろん、そうした理論に医学的・科学的根拠はありません。あれはカルトの思想だよ。だから、彼女たちは人工的に構築された異性愛の制度（強制的異性愛）を破壊することで、ようやく「男らしさ・女らしさ」から解放されると本気で信じているんですよ。でも、これも何度も言っている通りで、ただの生物でしか無い人間が、どうやって生物的では無い制度を構築できるのか、という疑問には答えられないわけ。何しろ、人間が後天的に制度を構築できると証明するためには、人間が生物以上の存在だと証明されなければならないわけで（そうで無ければ、全ての人間の行動は生物的な行動の真部分集合になる）、これを保証しているのって現段階では宗教しか無いんですよね。で、フェミニズム理論が発展した地域を見ると、ちゃんと人間は特別だと言ってくれている宗教があるわけですよ。逆に、無い地域では「人間は生物以上の存在では無い」ので、フェミニズムの理論が受容されにくいわけです。で、後天説なんですが、もう既に指摘している人もいますけど「あらゆる性的な行動が後天的なら、同性愛も治せるんじゃない」とリバースを喰って、同性愛を嫌悪治療で治すというトンデモが行われた結果、「性的指向は生まれつき」という例外事項を自分たちで作って論理破綻を起こします。

みんな岸田ヘタレすぎワロタとか言ってるけど、自分がその立場になったらどう行動するか考えたら、とても岸田を責める気にはなれない。みんな長いものには巻かれるだろ普通。職場でも学校でも何かしらの役職に就いたことがある人なら、自分がやろうとしていたことが全くできないまま終わった経験があると思う。

何事も「度合い」の話に還元することを嫌う原理主義インテリのせいで話がおかしくなっているが、世界の殆どは「どこまで我慢できるか」のすり合わせでしかないんだからな。それは飲むからこっちは許してくれ、の曖昧な積み重ねなしで社会なんか成り立つか。それでちょっとでも良くなりゃそれでいいだろ。理性に照らせばそれは何もかもおかしい、という話は当然あるだろう。でも、それで20年世界をもたせれば子供は大人になる。その時、また新しい道が拓けるかも知れないだろ。先送りは一概に後ろ向きな話でもない。

「日常で感じるあなたのちょっとした違和感」を、何らかの正鵠を射た感受性のように祭り上げることはもうやめにしないか。これが不当な抑圧を正当化する方便に容易に転化されうる代物であったとしても、そう言わずにはいられない。「そう、その『違和感』はまさしくこの社会の矛盾を的確に突いているのです！」なんてカルト教祖の言い草でしょう。俺もお前も、色々我慢しながらやっていくしかないんだから、いい加減正気に戻って、当事者として皆が住みよい世界をどう作るのか考える時なんじゃないのか。お前がちょっと嫌な思いをしましたなんて話を針小棒大に社会構築の具にする行為に意味なんかねえよ。誰だってあるんだよそれは。スティーブン・ピンカーの言うように、世の中は昔よりずっと良くなってるからな。

社会運動家のセンスのない造語、とても身も蓋もない言い方をすると頭の悪い人間が知性らしきものに憧れるとああいうアウトプットになるんです。私は頭の悪い人間が社会運動をすることを禁止すべきなどとは毛頭思わないが、戦術としては根本的におかしい。扇動が下手なら、もっと足を使うべきであろう。ッシュタグ作ってツイッターで1万のインプレッションを集めました！と言われましても、そんなん俺でもやったことある話でな。1時間後にはほぼ全員が忘れとる。でも、喋って頭下げて握手した人間はそうは忘れられんぞ。それで1万人を集めるのが社会運動であり、政治だ。地盤を考えれば地元なんか戻らなくても当選する政治家でも演説しに戻るのだ。安倍ちゃんのツイッターのヘッダー画像が農道でお婆ちゃんに頭下げてる写真になってるのはそういうことだよ。

マジでネットで描かれる京都人()のイメージに毒され過ぎでしょ、根拠不明のネット情報でナチュラルに地域差別するのほんと見苦しいからやめた方がいいよ。実際の京都人よりネット上で京都dis繰り広げてる奴の方がよっぽど嫌味で底意地悪くて自分が叩いてるイマジナリー京都人に近い性格してそう

ネタと言うには、本当に大真面目に信じたり、真実であるかのように語る人、コメ欄一部のようなイヤらしい言い方や主語が大きい人やそれを支持する人も増えすぎたしで、もはや変な生々しさばかりが強い、まるで笑えないネタになってるなと。最近になって反発が大きくなったのも、飽きられたとかじゃなく、こういう流れにうんざりした人が増えてきたんだろうな。ただの悪口やんと。福岡でいうとロケットランチャーというより暴力体罰パワハラ容認の街呼ばわりされるような流しにくいネタって感じ

保護者「私は、この子を家庭でしっかりと見ることができています。なのに、教育でお金をもらっている先生が私と同じくらいに見れないのはおかしいと思います！」

先生「えっと、お母さん、教室にはあなたのお子さん以外に３９人の子どもたちがいましてね‥」

動物園の動物は檻の外から見るからいいのであって、その檻の中に一緒に入って快適かどうかは別の話。架け橋がなくともそっちに行きたい人は行くし、興味や好意があって渡航した人達の中にもアジア人差別、セクハラ、党派・部族主義等で失望して帰ってくる人が少なからずいるのを見るに橋なんてそもそもなくていいのではと。ショッキングなまでに日本と違う地域だからこそ渡航のハードルは高くてもいい。

誰も傷つけない表現だけしか存在しない世の中をつくるのと、気に入らないことが少しでもあると執拗に絡んで相手の存在を抹殺しようとするチンピラを全員隔離するのと、一体どっちが簡単なのかな。

どれだけ中身がわかりにくい人間でも「わかりやすさ」を武器として持っておくことは非常にメリットがある。理論武装よりよっぽど強い。内側のドロドロをどれだけわかりやすさに落とし込めるか、"その先"を知ろうと思ってもらえる相手をどれだけ作れるかで生きやすさが変わってくると思う。自分らしさが形骸化・コンテンツ化していくという寂しさも同時に生じ続けるけど、そもそも本質的な承認など存在しない（他人しかいない）ので、表層的な承認で満たされたのだと"誤解"し続けるしかない。それだけでもありがたいと思うしかない。その限界を理解した上で、それでも与え合うのが人間だ。

バランスを保てなくなったときに発狂すると思われがちだけど、実は発狂することでしかバランスを保てない人間もそれなりの割合で存在してるよね。ずるずるドロドロと病みが間延びすると怠いから、一点集中でとち狂って社会性に翻弄された人間性・本能を即時回復するという。

リベラル？なつもりの人たち、バカなネトウヨ(だと思っている保守支持層)をオルグするなんていう面倒臭い地道な努力をするよりも、安倍さんをヒトラーになぞらえて罵倒嘲笑して内輪ウケでその場の承認欲求を満たす方を選んじゃったんだから、この現状も仕方がないわなあ。

オタクで淫夢用語や淫夢問題視する奴はほとんどいないからオタクはほぼ全てゲイ差別に加担してるし、弁護士殺害予告チキンレースも誰も止めようとしなかったから脅迫罪加担者って事で良い？

浪人してた時に予備校の先生が、もし受験勉強や就活でやる気が切れてしまったら、一度日雇いで延々と工場で作業するバイトに行ってきたらいい。労働する場所を選ぶ権利がある事に対してありがたみが分かるから。って言ってたんだけど本当にそうだった。二度と日雇いしない

冷笑主義が流行って啓蒙思想とその方法論が廃れた結果、啓蒙の知識のない人々がネットで「真実」に目覚めてあっという間に信者になってしまうのは皮肉というか、世の中うまくできているなと感心してしまいますね

「バットで殴られたような激しい頭痛」という教科書的な訴えを、実際のくも膜下出血の患者さんで聞いたことはない。バットで殴られた人じゃないとなかなかこの表現は出て来ないんじゃないかな。ちなみにバットで殴られて頭蓋骨が凹んだ人は2人診察したことある。

友人に聞いて驚きました、刑務所ではクリスマスにケーキ、大晦日に年越しそば、お正月にお節料理、誕生日に誕生会が開かれるそうです、税金でふざけるなと言う人もいるかもしれませんが、人生で経験したことがない人も多く、自分は生きる価値のある人間だと自覚してもらうための社会教育なんだそうです

心理学もそうだけど人文社会の学問が「常識を疑う」ことを売り物にしていたのは20世紀の話で21世紀に入ってからはむしろ「常識の復権」のための根拠を提供しているような雰囲気がある。進化心理学とか行動遺伝学とかもそうでしょう。

「自分が学んできた知識を伝達したい」という、ある種の期待を持って塾講と家庭教師バイトを始めたんだけど、塾に通っているが学習意欲が無い、学習到達段階が4,5年分遅れている、手段(勉強)と目的(成績向上等)が断絶している、こういう生徒がおよそ全体の半数を占めているので、絶望しましたわね

スズメバチ飛んできて「うわうわうわ……」と言いながらみんなで弁当持ったまま逃げてるときが1番年齢が関係ないな

男女のおごりおごられ論ですが「もうそんな議論してられるほど男性も稼いでないんですけど」でファイナルアンサーです。

「コーヒーは脳の疲れを癒してはいない。脳の疲れを感じるところを麻痺させとるだけ」的な記事を目にして、「貧乏人の麻酔、結構なことやないか……（投与開始」って感じになったんですが、たぶん何もかも間違えている

地元が嫌いな人々がそれを正当化しようと理屈を編んだら無個性な都会の多様性を称揚する世界を理想化するしかなくなるんだろう。

肥満と運動不足の末に２型糖尿病になったようにしか見えない知人が「糖尿病学会と製薬会社と医者が金儲けの為に日本人を糖尿病になるように仕向けている」と言い出して糖尿病の自然治癒を謳う通販食品を購入している、幸せを祈るばかりだ。

ワイドショーを見ていたら「犬好きに悪い人はいません」と言っていたが、真っ先に「ヒトラーは犬を溺愛していて、最後には自分に使う前に試すために毒殺したけど」と思った。「猫好きに悪い人はいません」も無理筋で、ヒトラーに対するチャーチルは猫好きで公務に猫を連れていくほどだったけど、インド人が飢餓となっても税を止めず援助もせず、３００万人を死なせている。ホワイトとの研究だと、人類では少数派だけど歴史上での独裁者や暴君などの大量虐殺者に頻出する傾向は、アルコール中毒、並外れた巨体、猫嫌い、絵画趣味などがある。

何らかの原理から全て演繹して考えることは存外容易いことであり、「全ての問題は程度問題である」の「程度」を考えることこそが、本当に繊細かつ困難な問題である。これが分からない連中は、受験勉強的ガリべニズムから脱却出来ないガキか、思慮と経験が足らないまま言葉や概念を振り回す阿呆だ。「何事も度合い、その度合いが分かる」ということが良識であり常識であって、原理主義インテリの「ラディカルさ」の称揚(しかも皮肉なことにコイツら程微音的な都市型リベラル生活を送っている連中もいない。口だけの連中だ)が言葉でそういう感覚を破壊してきたその結果が今の世ですわ。

コイツも「バカで非モテこじらせたうえでのミソジニー」って勝手に決め付けとるんよな。コイツらはみんな自由恋愛的な価値観バリバリで、そこに対する疑いは寸毫も無い。「自由恋愛の敗北者は努力が足りないのでセックスも出来ず子も成せないのは仕方ありません」と言わんばかりの差別を示す。「あなたは努力が足りなかったから貧乏なのは仕方ありません」というネオリベ的な理屈とこれの何が違うんだと思うのだが、自由恋愛の方は文字通り「お気持ち」そのものの問題だからか、こちらの格差は何故か無条件に肯定されとるんよな。

だいたいやね、選挙というのは１に人情、２にお義理。３、４がなくて５に主張であります！自分は例えば、道場の先輩なり後輩なりが共産党から出馬するとかの話になったら、全力でプッシュします。政治というのは、そういうもんです。最近なにか勘違いしとる人々がおるけど。

犯罪者にも陰気臭くない奴には女や嫁が居たりするケース、ごまんとありますよね。暴力性が色気の一部になるなんて、当たり前にあることです。というか、そもそも恋愛や性愛は本性的に倫理や道徳ではないもので、それをどう扱うかにおいて倫理や道徳が生まれてくるものですから。

「うっせぇわ」が頻繁に流れてくるので聴いたんだが、「呪術廻戦」でも思ったけどこういう不安定系というか病み系というか、澄ました美形が発狂したような邪悪な笑みを浮かべて「バァーカァ！」というようなイメージのもの、みんな好きなんだなあ。中二病から闇方面へ派生した感性なんだろうか。似ていると指摘される「ギザギザハートの子守歌」と比べると、両方とも社会へ馴染めない感覚を歌いながらも、ギザギザハートの方は「オレはバカだからわかんねーけどよ」だったものが「賢い私がバカなお前らに付き合わされてうんざりするんだよ」に、目線が反転しているのが世代の差なんだろうなあ。「なぜ自分は普通の人みたいにできないのか」で悩み続けてきた自分としては、こういう「私は天才なのに周りがバカで困る」みたいな妄想に浸れたことがないので分からないんだが、そんなに自信に溢れているのが普通なんだろうか。それともみんな「天才になって周りをバカにしてみたい」と思ってるのか。クリエイター礼賛系のコンテンツとかを見ても思うのだけど、創作の才能とか天才の有能さとか、そういうものをみんなスポーツものの漫画でも見るように楽しんでいるのかなあ。個人的にはそういう「才能」とか「有能」というやつ、素直に楽しむにはもうコンプレックスとして取り込み過ぎてしまった。

みんな保育士さんに月50万貰ってほしいが誰も50万払う気は無い。

俳優達が「投票に行こう」と呼びかける動画に仰天してしまった。古い芸能界に生きていた俺は「政治はタブー」と言われてきた。時代は変わる。芸能人も所信表明できる時代っていいよな！俺は正直政治に疎い。「誰がなっても同じ」という大人達に囲まれて育ったし、政治に関する教育も受けていない。でも何より俺に政治の恩恵などあるわけない、政治が気にかけてくれる存在じゃないというあきらめと自己肯定感の低さがあったと思う。俺が今気になるのは、光の当たらない存在、社会から見捨てられている存在の人ほど投票にいく環境もない事。危険な家族から逃げている人は投票用の通知すら受け取れない。俺もそうだったが、本当の絶望の中にいる人は投票や選挙のことなど考えられない。なぜなら自分に未来があると思えないから。そんな人達が一票に希望を見出せるような仕組みや支援ができるといいよな。自分には生きる価値があって、自分の一票にも価値があるって思える事を願う。俺がやっと思えたように

冷静に考えたら辛いことばかりだから適度に狂う必要がある

機械学習を実戦投入しようとしている人が「ヒトのコストの安さ」に絶望するの、よく見かける。

女性、上野千鶴子先生が指摘する通り社会が滅茶苦茶になっても最悪戦争に負けたとしても「新たな強者男性に養って貰える」が故に「身を削って社会を維持するインセンティブ」がない。これが男女論で男性がマクロの構造問題を語ると、女性が個人最適解やn=1の事例で反論してくる根源的理由。

実質の搾取者や抑圧者、支配者が自らを免罪するための新宗教がポリコレなのでは。ポリコレ教義に従ってるから私は善人と思いたい人達、という需要がある。高所得層がポリコレという新宗教の宣教に熱心な理由。免罪されたい人達。

多様性、自由の美名のもとに徹底的に解体され息も絶え絶えの「普通」と「常識」を理性（もうその手段しかない）の下に再構築することがどれほどの難題か、人文の人らは認識できてるのかね果たして。ここには自らの意思で、理性的に泥の中へ飛び込んでいくという極めて厳しいプロセスが内在している。一度知ってしまったものは知らなかったことにはできない。理性で理性を超克するという無理難題が目の前に横たわってくる。これをやるには徹底的に細かく人間性を分解する知的作業が要請される。それやりたくないから、wokeなイデオロギーの伝播でよしとしてるんでしょう？俺は元々ドのつく左翼だったから、反体制的なフックをどのように作るかはよく知っている。書けと言われれば、ハフポスの記事なんかいくらでも書いてやれるよ。実際これは極めて簡単で、あまり知的な作業でもない。要は怠慢なんですよ。いやね、ハフポス系の記事を見て居心地の悪さを感じるのは、それがどのような過程で生成されるかが手にとるように分かるからなんだよｗご本人らが厳しく問題提起をしている話題と調理法なんか、実際の所大したものではない。プロトコルはかなり単純。これは根っからの右の人らがバカにしている点がほぼ正解で、実際の所、その程度のハリボテでしかないよ。でも結構通用する。見た目はカッコ良さそうで賢そうだからな。

幸福とは何か考えるだけならいいがそれについて発言すると途端にメンヘラ臭くなってしまう風潮はどうにかならないか。幸福は数々の哲学者に論じられ続けてきた人々の主要な関心事の一つではなかったのか。何が幸福か考えなくて済むほどに人々が幸せになったわけではあるまいし。幸福とは、不快感のないこと、負の感情が生起しないことなど負の要素の否定にあるのではない。一羽の燕が春を告げるのではないように、一日だけ暖かい日があったからといって春になったことを意味しないように、一時的な気分としての幸福感はアリストテレスのいうような真の幸福とは似て非なるもの。自分自身が求めるものに向かって進んでいれば、その過程で味わう苦痛や困難は単なる不快感の源、純粋な負の要素ではなく乗り越えるべきものとして前向きに捉えられる。幸福が苦痛や不快の欠如ではない以上、人は苦痛や困難にありながら同時に幸福でもありうる。色々な論者による幸福論を読んでいると、自分の中では割と月並みな（現時点での）結論に達してしまう。日常生活に生の喜びを見出すこと、自身の周囲の全てに感謝すること、自身ができること・望むもの・すべきことを知ること等。結論の凡庸さは読み手の凡庸さを反映しているだけだろうが。読み手にもよるんだろうが、他人を変えるより自分自身を変える方が簡単な以上、幸福論は自己啓発的になりがちで、結論は生活保守に着地しがちなんだろうなと。

説得力のある反体制をやる最も簡単な方法は、倒せる体制を自分ででっち上げてしまうことだ。この観点でオピニオン記事を読むと、色々見えてくるよ。こんな的を自分は撃とうとしています！って、その的はお前が立てたもんじゃないのか？ということだよ。実際、ここ20年のアレは殆どそうだよ。たとえばジェンダーギャップ指数なんていう欠陥指標がありますね、あれを金科玉条の代物としてでっち上げて倒すべき悪を自分で作ってしまえばいい。知的とはとても言えない作業だが、これで原稿料は手に入る。副業でやろうかなｗ

ASD当事者の個人的な印象ですが、ASDの人には、言わんでもいい本音をわざわざ言う傾向がある、そんな自分を、本音をむき出しにしない一般人よりむしろ誠実だと考えている、というパターンがちょいちょいみられる気がするんですよね。

「社会的文化的歴史的に構築されている」所の性が所謂ジェンダーな訳ですけれども、だからと言って生物学的な性であるセックスは無い、なんてことは有り得ないんですよ。構築されているジェンダーの形は諸々あれども、やはり生物学的なセックスの上に生成されるものであろうし、そうでしか有り得ない。例えばジュディス・バトラーなんかは「セックスもジェンダーによって構築されている」と言うが、こういう見解は「何でも言える」言葉の次元ばかり見ているからこそ出てくるのだと思う。そこには、何事でも言葉で全て変更可能だという欲望が潜んでいる。これぞ言語論的転回の悪弊だろう。言葉の次元だけで全てが完結しているかのように思ってしまうガリ勉インテリ男とかが、「これも理にかなってますね〜」みたいなことを言いながら、フェミ的な政治的欲望の詐術に嵌ってしまう訳である。確かにそういう主張にも「理はある」のだけれど、この世界は表の言葉だけで完結なんてしていない。言葉で出来ている世界をきちんと見た上でその「残余」にまで目線が行かない連中は、ガリベニズムの忠実なる実践者という意味での典型的インテリでしかない。そもそも、そういう連中が好みがちなポスト構造主義というのはそういうことを教える一面があったのではないかね。

ここから先は笑い話なんですが、ポルノが無い現地社会に突如現れた青少年を刺激するイケナイものがあって、それは「私が持ち込んだ日本のマンガ」なんですね。調査地の教会で2箇所マンガ図書室のようなものを作ってあるのですが、近所の男の子がワンピースのナミの絵を見るために通って来るそうです。ただ、現地人でマンガの2次元描写を読んでストーリーを理解して登場人物に感情移入したりといったことが出来るのはほとんど女の子だけです。男の子は絵には反応しますが残念ながらマンガを読んでもパラパラ絵めくりするだけで話はほとんど理解しようとしないですね。例えば進撃の巨人も英語版で高い金払って33巻まで全部揃えてあるんですが、男の子は超大型巨人の絵を見て「ワーッ、すげ〜」みたいな反応はするんですが、こいつは中身が人間で仲間のフリしたアイツだとかいうストーリーは全く理解してないしセリフも多分読んでいません。これは調査地に限らず、3次元の映画であればフィクションであっても話が理解出来てそれに伴う感情の起伏が生じるけれど、2次元のマンガやアニメみたいなのだと全く人間の出来事として認識も想像もしようとしないし、単純に絵として以外に興味を持たないという人は世界中にたくさんいます。おそらくそれも性別で差があって、調査地では圧倒的に女子の方に2次元適性が偏っているのだと思います。英語という語学上のハードルもありますが、ストーリーが難しい漫画を読んで正確に理解出来るのはほぼ女の子だけですね。勉強がよく出来る男の子にマンガをあげても大抵興味を持たれません。

「理性の光で照らして不合理な風習を排除する事によって素晴らしい世の中を作る」みたいなの、「理性の光の発達が未熟で物事に潜んでいる合理性を見抜けないだけ」という事が往々にしてありますからね。「これ何の役に立つんだ」と言って切り倒してるのが家の大黒柱かも知れない。

「自分はエゴイストではない、自分は正義の人間であると信じ込んでいる人間程恐ろしいものはない。かかる人間が現代の多くの不幸を造っているのである。」（新美南吉「昭和十七年十月二十七日の日記」）

結局｢男の大多数が女性の大多数より優位である｣みたいな状況を作り出すしかないという話なわけで、この人は｢男だけが特段に努力すればいいじゃん｣とおっしゃっているわけですよね。要は｢男は競争を激化せよ｣というお話だと思います。だからこそ、エマワトソンもそのあたりなところの、｢男は競争から降りてもよい、男は男らしくあることに縛られなくてよい｣みたいな話に反感が大きかったわけですよね。｢あなたたちの志向の結果が現状を産んでるんじゃん。あなたたちが変わらないとどのみち同じルートよ｣と。というのが既にされた地点での｢対女性教育制限論｣なのであって、そりゃまあそちらとしては飲めない説だというのは分かるんですけど、｢何でそんな無茶なことを言っているのかな？｣の裏には相応の理屈があるわけなんですよね。｢じゃああんたのいう上手い解決策って何なん？｣となる。本当は解決策は出てるわけですよね。｢女性もせめて男と同じ程度には下方婚をし、弱者を包摂する責任を負えばよい。女性は男と同じように責任を負えばよい｣と。｢専業主夫を養えばいいじゃん｣とかね。そして｢それは嫌だ。女性の本能だから変えられない｣とおっしゃるので、｢ほな女性への教育を落として、『男の大多数が女性の大多数より優位である』みたいな状況を作り出すしかないですなあ｣と返されてる。対女性教育制限論、不満ですよね。不服ですよね。それがなぜ出されているかというと、女性がはっきり強者になってすら、弱者包摂の責任を負わないからなんですね。さあどうするんですか、この話の作り自体を理屈として否定してもいいですけど、やれます？という話ですね。これの対案は既に出ていて、シングルマザーへの手厚い扶助がそれですよね。すべての女性が上位2割（女性が「普通」程度に魅力を感じられるライン）の男性の子を産めるようになるための解決策です。そこで選ばれなかった8割の男性に恨まれず退場してもらうための「男性は競争から降りていい」なわけで。｢男は競争から降りてもよい、男は男らしくあることに縛られなくてよい｣というのは「私たち女性から選ばれなかった男性は選ばれなかったことを恨みに思ったり女性を得ようと強引な手段に出たりして私たちの安心を脅かすことのないよう、穏やかな気持ちで社会の維持に努めて欲しい」ということですよ。これを男女逆にしてみるならば、女性が積極的に寄ってくるような魅力的な男性が「女の人はメイクやダイエットを頑張らなくていいんだよ、僕は素のままで美人でスタイルのいい人を選びたいからね。僕に選ばれなかった女の人も怒ったり文句を言わないでニコニコしていてね」と言うようなものではある。無論、「私たちは男に選んでもらいたくてメイクやダイエットをしているわけではない」という意見はあるだろうが、そこも含めて同じではある。女性が誰のためでもなく「自分磨き」を頑張るのと同じ程度には、男性も誰のためでもなく自分のために競おう、勝とうとする面はあるのだよな。同じ程度には。

「男の面子」というと伝統的な古い感覚のように聞こえますが、「家」が厳然と存在していた時代では「男」といえど家に従属する存在でしかなく、たとえば男たちが「継ぐ家もないけど男だから苗字は変えない」とか言い始めるのは実際は戦後から高度経済成長期にかけて拡大した「新しい現象」っぽいです…

社会とはあくまでも地域や家庭などのことであり、会社は社会などではない、会社はたとえるなら狩猟民にとっての獲物が取れる餌場のようなものにすぎない、しかし人々は会社が社会だと勘違いしている。人々が地域や家庭という「社会」を放棄して会社に行ってしまったために社会が崩壊して人を生み育てることができなくなり、少子化が進んでいるのだと。先に男性が社会を捨てて会社へ行き、続いて女性も社会を捨てて会社へ行って、それを「女性の社会進出」と呼ぶのは間違った認識である

電磁化学系の物性理論にめっちゃくちゃ造詣が深く、かつ文章を書くのがうまい人を10人ぐらい招集し、5年ぐらいホテルに缶詰にして生み出された至高の教科書が、今まさに社会に必要とされている

チェーン名は伏せるけど毎日昼に来てマックチキン（かつて存在した100円メニューのバーガー）1個だけ買っていくリーマンを店員が陰で「貧乏人」って呼んでた話だいぶすき

自分なんて何もできないんだ、と自責する人は、ただ生きる、ということを達成して、それでも、何もできない、と直感している所がすごいよな、それだけ余裕で、何かしている感覚もなく、無意識の力で、悠々と生きられてる、ということだから。ひとは苦労せずやってることに、やってる自覚すら持てない。

物理法則を「理解」した分だけ強力な攻撃が出せるバトル漫画で、「俺は馬鹿だからなんもわかんねぇけどよ」といいながら物理法則を無視した超越的な攻撃を繰り出す主人公の強力な味方

アラ父さんが男はFPS、女はTPSって表現してたけど、それは本当に正しくて、ほとんどの男は女がなぜ高身長男を好むのかを分かってないんですよね。並んで歩いた時に見栄えが良いからです。

「理数科教育を受けて高度な専門職に就いてるような女」に「統計に対する反論はより信頼できるデータの提示であって、あなたの妄想かもしれない体験談ではありません」ってロースペアンフェ男が言わなければならない状況の方がよほど救いがないんだよ。助けてくれ。

大学生くらいの年齢だと「真面目に勉強してる。偉い」と感じてしまうんだが、オッサンオバサンの年齢になると「まともに働かず遊んでる。ヤバい」ということが理解できるようになってくる。オッサン学生が真面目に勉強するのはある意味当たり前で、なんというかそれは「試験前に部屋の掃除がめっちゃ捗ってしまう現象」と同じなんだよな。本来のやるべきこと（就労や結婚や育児）から逃げてる状態だからこそやらんでも良いこと（学業）が捗ってしまうというか。

一部の人が考える農業って畑でクワ振ってたら美味しい作物がニョキニョキ生えてくるくらいのイメージな気がする。「プログラマーはパソコンカタカタするだけ」のほうがまだ実態に即してる

『「ハイスペック女性からみるとロースペック男性は生理的に受け付けない」という話題で「じゃあ女に教育を受けさせなければ解決だな！」』ていうの確かに無茶苦茶な話なんだけど、前者が肯定され、かつ婚姻による社会の安定と持続可能な出生率の維持を考慮したとき、後者を否定するの結構難題なのでは。『ロースペ男とハイスペ女性のマッチングが生理的に無理なんだったら、もうそうやって調整するしかなくね？』て話されたときにどう反論してくのかってあんまり聞いたことないな…。あんまり上手く行かない気がするんすよね。一夫多妻制。一夫多妻制が成立したとして、ハイスペ男性が面倒なタイプのハイスペ女性を娶ろうとするとはあまり思えないので。やっぱりハイスペ女性がロースペ男性を養ってくことも視野に入れた方がいいんじゃないのって思うけど、まあ生理的に無理なら無理なんでしょうね。こういうの、人権を守る限りはもう強制力持って『ああせいこうせい』って言えない話なので、じゃあまあ議論は終わりですよねって感じにはなる。もう滅びは目に見えていると思うので、あとは我々が現実を受け入れれば全ては完了します。まあそうだねえ、俺みたいなロースペ男性たちがハイスペ女性のお眼鏡に適うくらい性的魅力に溢れていれば、て思いもするのですが、もし世界に国境がなかったら、みたいな話になるんでしょう。空想は俺達を自由にしてくれるなあ。

発達障害の美少女が健常者のオッサンに犯されて「いやーっ♡健常っ♡健常者のお元気精子っ♡♡健常精子で健常赤ちゃんできちゃううぅぅ♡♡♡♡」と喜ぶタイプの異種姦

転売行為、『勝手に水堰き止めて使用料取り出す』『勝手に関所作って通行料取り出す』とかと同じって批判されてて、それはそうだなって思うんだけど、じゃあ何もスキル持ってねえ奴は何で飯食ってけばいいわけ？ぐらい社会が食詰めてった結果って気はする。そういう人に『死ねば？』とか言ってきた末路。元々倫理や道徳がトンでる人は多いのだけど（つうか俺もあんまり強固な倫理や道徳の持ち合わせはない）、そういう逸脱者を安易に締め上げると、割と簡単に違法行為や脱法行為が蔓延して秩序が崩壊するんすわ（まして煽動者があらゆる場所で『自由な表現』をするとなれば尚更）。『だって食ってけねえじゃん実際』てなったらみんな倫理とか道徳とか放り出すし、一度そうなったら簡単に倫理とか道徳とか取り戻せるわけないんすよ。そういう意味で倫理や道徳に実効性持たせようとするならある程度の『面倒見の良さ』が必要だった。そう思うわけです。で、皆さん面倒見る気あります？ないでしょ？説教はするけど。あるいはマジで人権無視の超きつい締付けやるか、ですけど、それがどういうこと意味してるかって、大体わかりますよね？

自分と意見の異なる人々の瑕疵は否応なしに目につく一方で自分達の瑕疵（ないしその兆候）には気付かない又は触れないというのは対立軸の如何を問わずある話で常に自戒を忘れるなという話なんだろうな。一方でインターネットでは是々非々だとか両論併記みたいなスタンスはどっちもどっち論に堕して日和ってると批判されがちで、その風潮に合わせて論理的一貫性を追求していると加速し過ぎて人によっては制御不能になってしまう

『リベラルというのが「俺以外に正しいものは存在しない」という思想のため、彼らはそれができず、物真似やミラーリングが大変に下手糞なんよな』リベラルに限定する必要はあんまりない気がするんすよね。物真似やミラーリングには結構高度な能力が必要なので、リベラル批判者でも出来てない人は多い。自分がそれに熟達していると思う人間、大抵自己評価を見誤っているので、軌道修正を図った方がいいんじゃないかって感じ。『自分は正しくないかもしれない』という十分な内省のある人類てどんな派閥でも少数派ですよ。そんな内省があっても自分の人生を幸福に生きるのには邪魔になったりするので、そういう内省を持てっていうのも難しい話なんですが。まあ、何かを主張する時に『コレ状況変わった時には俺のクビ締まるかも』ぐらいの慎重さを持ってやっていくのは内省とか関係なく出来る話のような気はしますが。

不景気でもオタクだけは消費を続けてたっていうの、実は出産育児に行くはずだった金が推しに回ってるだけでしょというの本当に否定できなくてなあ。男性の賃金が下がるとともに女性の社会進出でお金を持った女性が多くなって、おかげで刀剣周りの復興とかあったわけだけど…。まあしかたがない、女性もお金を持ったら無理に男性に依存する必要がなくなったわけで、子供を持たない人生を選択できるようになったのはそれはそれでいいことなんだから

豪州の石炭を中国が輸入禁止にして以来、1年も港の保税倉庫に置きっぱなしになって、さぞや豪州は困り果ててるだろうと思ったら、大半の石炭は再輸出して日本とインドが買ってくれたので、切羽詰まった中国が保税倉庫を開けてみたら中国の消費量の1日分しか無かったという話、本当好き。

保険屋さんも「みんな死ぬリスクばかり考えているが本当のリスクは長生きすることです」と言っていた

1万人中9990人が満足していることでも不満な人が10人いる、というのは必ずあることで、でも9990人は満足している、ということを示すのが統計の仕事ですね。そして満足しない10人の人を見るのは臨床の仕事。

20代の人が職場に入ってきては、一年でふらりとやめて行くのだけど、彼女らに話をきいてると「自己を尊重され大切にされる」が当たり前なので、ここではされないから去るのだな、と、わかる。彼女らに根性がないのではない。「個人を尊重し大切にする」という、当たり前のことを上ができてないのだ

なんで選挙行かないの？って聞くと「いい人いないから」って答える人いるんだけど、婚活じゃないんだから、とっておきのカレピッピを選びに行くんじゃないんだよな。いや、、婚活だとしたら、不参加の場合はとっておきのヤバヤバなやつと強制結婚させられると思ってほしい。

保守思想が言うように、現実の社会は社会契約で作られたわけではなく、昔からの積み重ねで成り立っている。だが現代人は、もはや「ご先祖様からの伝統だから」では納得できないので、いちいち社会契約的な説明をしないと収まりがつかない。これが保守思想の限界。"個人主義"への批判も同じで、「個人のことばかり考えて共同体をおろそかにすると、個人も生きていけなくなる」という感じになり、結局は自分も個人主義からは出られないのである。

女性の連帯はシスターフッドと呼ばれて無条件に称揚されるのに、敗北感を抱えた、言ってみれば「男らしさ」から疎外された男性がすみっこで互いに傷を舐め合っているのまでホモソーシャルと言われて怒られるのだとしたら、それはちょっとフェアじゃない感じもする

保守界隈のイベルメクチン推しは、日本スゴイ（はず！）という信念も原因にあると思う。日本製ワクチンが先駆けて開発されてたら、めちゃくちゃワクチン推しになってたはず。そんな浅はかな…と笑われそうだけど、家電でも何でも日本製は世界一に決まってる！という中高年保守は少なくないのよ。左派の極端な日本ダメ観と方向性が異なるだけで質は同じというかね…日本製だったら間違い無い！という強固な思い込み。日本スゴイ部分も日本ダメな部分もある。あらゆる国がスゴイ部分もダメな部分もある、という中庸の見方ができない人が限界系になるんだと思う……。

軍隊における精神力の重要性の問題。面白く思ったのが、ウィリアム・Ｈ・マクニールの『戦争の世界史』の、１７～１９世紀頃のヨーロッパ人の軍隊が、なぜ地球の反対側で、疫病で戦力半減、給料も安く、連絡に半年かかる本国の命令で動く指揮官に従って不利な戦いを頑張りぬいたかという疑問です。自身も兵役を受けたマクニールの結論は「筋肉」でした。正確には、教練により、皆で決まった動作を、反復して体に叩き込むこと。マウリッツの軍制改革によって、新兵たちに半ば強制された教練が、群れで狩猟を行うホモ・サピエンスに実にピッタリであったからではないか、というのです。運動嫌いのインテリからすると、実に悩ましい結論ですが、しょせんホモ・サピエンスは骨の髄まで「体育会系」のホモソーシャルな存在なのです。祭りにせよ、軍隊にせよ、盆踊りよろしく皆で肉体を一緒に動かせば、それだけで「俺たちは仲間だ！」という意識が芽生えてしまうのです。

人間は人権侵害なので人間をなくそう！人間反対！みたいな話してるなー、この人、とか考えながらTwitter論争を眺めていたりする。

つい数日前まで「私のダーリンは優しくて頼もしくて気が利いて最高♡」みたいなツイートばかりしてたアカウントが突然「もう、無理です…」と離婚を報告してたりするのを見ると「ウチは色々トラブルはあっても仲のいい理想の夫婦だと描く…事で、何とか自分を落ち着かせている」場合があるのかも

海外留学やらブラスバンド部とかを武器にAO入試を突破していく様をみると、この入試形態、階層の固定化の一装置と思えてくる。

二月の勝者のドラマ、すごい良かった！12歳の2月が人生のピークで結局何者にもなれないまま大人になった奴がTwitterで飽きもせず延々と偏差値トークしてる所とか、子供が名門校に入ったことを自分の実力だと勘違いしてネットでドヤる親とか、すごい再現度高かった！（昨夜飲んでたのでまだ観てない

小学生が夏休みの自由研究で描いた絵が360万で売れて「お金がたくさん手に入ったら人生が変わっちゃいそう」と懸念しているというニュースを見ました。私も最低賃金より67円も高い時給をもらって労働しているので、このまま人生がおかしくなるのではないか不安に思っております。

所謂古くから続く差別とは「防疫体制の恒久化」として定着したものが少なくないと思われるので、防疫を重視すると普段の差別反対言論はほぼ棄却しなければならなくなるということについて、人権が趣味の人はもう少し深刻に考えたほうが良いと思うんですよね。「それとこれとは違う話」で済ませすぎ。異性の選り好みも、劣った遺伝子の排除による自己遺伝費の保存と考えると「恒久的な防疫体制」と言うこともできるし、「差別に反対する」というのは自身の生命や遺伝子の保存という根源的欲望を、一部棄却しなければできないことなんですよね。昔の部落差別において、「歴史的に感染症的に嫌われる理由があった」ことは間違いないと思いますよ。いわれのない差別は駄目だと普段から言っているなら整合性はありますが、理由があれば差別して良いなら現在の多くの主張の整合性はなくなるでしょうね。

魔女狩りやらナチスの暴虐やら、今の時代から考えると信じられないことのように思うかもしれないが、今の欧米のポリコレバカを見ていると、「ああ、確かにコイツらがそれを行ったんだな」と確信できるから面白いよな。この300年、全く成長していなかったわけだ

現代社会で多様性が分かってる政党かどうかを見分ける方法ですが、「多様性溢れる若者」のイメージ図を作らせてブルーカラー労働してる若者が入ってるか否かです。同性愛者を数合わせみたいに含めることではありません。リベラルがやると、洒落た学生と同性愛者といろんな肌の色を配置して満足します。

ハヒントン系の人が往々にして誤解しているのは、アンチフェミ・アンチリベラル・アンチポリコレ、などというものは「右派」にその発祥があるわけではなく、だいたいその論者はもともとリベラルだった人たち。インテレクチュアル・ダークウェブとされる人びと、ほぼ全員「闇落ちリベラル」だからね。ここに「一回もリベラルになったことのないガチの保守派」が帯同してくるのは、あるとすればむしろこれからだろう。

成績優秀、メンタル強靭な医学生がある日突然精神を病んで留年・休学をする例をたくさん見てきた。だから「死に物狂いで頑張る」を肯定することはできない。常に2割の余裕を持って取り組まないとこの業界は危険。学生生活も研修病院も常に「ゆとり」を用意しないと、いつか弦の糸がブチ切れる。自分自身も「制限ある中で研究で結果を出さなきゃ」と意気込んでメンタル壊した部類なので、躓くことなく6年生になれたことに感謝している。思うに本当に運が良かっただけで、一つ間違えば自分もメンタルで留年していたかもしれない。周りの人に感謝しかない。

彼氏を募集している女性が求めている男性は、彼女を募集しているタイプの男性ではない。

「安い兵器は目も頭も通信も悪い」という当然の事実を無視してドローン最強論をぶち上げると簡単にバズれるのでおすすめしません

「みんな政治に無関心すぎる！」と怒っている人へ。世間の人は政治のことなんて当たり前に考えて今まで生きてきたのに、そんな人達に今まで何も考えてこなかった貴様みたいな奴が突然覚醒して大声で説教してるだけの話なのを自覚してほしい。

認知症の婆ちゃんに「俺誰？」って聞いたらコロナウイルスって言われた

中国で肌の露出等を含む表現規制が行われた結果、ケモナーが次のトレンドになると聞いて笑うしかない。アメリカと同じ道を辿ることになるとか皮肉が効きすぎている。

知識人や同業者などの論評を生業とする人が「おかしくなる」パターン、正直いままでは他人事だと思っていたが、加齢による体調変化、人間関係や社会的立場の変容、他人の人生との比較、といった論評外の要因でああなるんじゃないかと思うようになってきた。自分の中にも「怨念のようなもの」「澱んだ何か」が生まれ、それを放置したり、暴れさせてしまうと、いっそうおかしくなってしまいそうな感じになるときがないわけではない

「元Googleの社長です」って人からフォローされて、んなわけあるかーい！と思ったけど、「元Google」って名前の会社作れば元Googleの社長になれる、という衝撃的事実に気づいてしまった

Aという表現とBという表現が「同趣旨」であるということがそもそも「言えない」次元というのが、言語にはあり、この側面の極点こそが詩である、というのは本当にその通りだな。そしてその時、言語のシニフィアンとしての側面がバッと浮き上がってくる訳だ。「言葉の次元」で考える時の本質である。そこを考え始めると外国語の習得など途方もなく無謀なことに思えるのですよね。同じ日本語話者同士でも単語の持つ意味の範囲にバラツキがある。

だいたい“ネット言論”の金科玉条であるかのように言う人もいた、「誰が言っているかではなく、何を言ったかで判断しよう」の結果が、「法人がやってるらしい政治アカウント」とか「君だけに感染症の真実を知らせる」とかだと自分としては思うので、やっぱ世の中とは誰が言っているかの問題なのである。

SNSで情報が増えれば増えるほどひとはフェイクニュースやポスト・トゥルースに飛びつくようになるし、「なにが合理的か」をめぐって非合理的な争いをするばかりです。

大人はたくさん子供に嘘をつくけど「大人になると逆に勉強したくなる」と「徹夜が効くのは28まで」は本当。そもそも徹夜するくらいなら穴を開ける全てから見捨てられてもいいとにかく俺は寝る、みたいな気持ちになってくる。「とにかく俺は寝る」という強い意志だけがすくすくと育ってしまう。そんなつもりじゃなかったのに。そんな人間じゃなかったのに。

エキノコックス、どうせヒト―ヒト感染しないので地域猫愛でようがキツネに触ろうが「まあ人には愚行権があるので」で終わりなところはある

貯金運用について銀行いったときに「老後の資金のための投資プラン」とかあったけど「６５歳夫婦が余裕ある生活には月３６万必要」とか書いてて「どんな豪勢な暮らし送るつもりなんですかね」とか聞いたら銀行員が「まぁバブルの夢が消えない人のため商材ですから」って淡々と言っててクソワロス。

ラップバトルはそういうことをやるという事前の合意があるから成立するし容認されてると思うのだが、インターネットだと予兆もなく急にラッパー気分になってディスりを仕掛けて相手が混乱してるうちにバトルに勝ったと認識する人もいてマジで困る、やめてね

何といいますか、マナー講師とかのせいで世の中、やたらビジネスマナーを気にする風潮になってますが、1番大事なビジネスマナーは嘘つかない、隠さない、すぐ知らせる、謝る、礼を言う、日頃の挨拶、仕事は締切前にやる、金の支払いは期日までにやるとか、そういう話であって、それ以外は瑣末な話よ。

パワハラの嵐が吹き荒れていた職場で、あるときから研修などを徹底的に行ってパワハラ排除を推進した結果、客観的にはハラスメント行為とは認定できないような、より陰湿な嫌がらせが代替手段として編み出され，定着していったと聞いた。これが人間というものだなと思った。

孤独ってこう、「ふとした瞬間に孤独だったと気づけてしまうもの」だよね、突然やってくるものじゃなくて、ずっとそこにあったもの。自分が成長すると必然的に存在が理解できてしまうもの。友達の数とか恋人の有無とかぜんぜん関係なく、ただ満たされていたと思えていた器が過去のものになったとき、どれだけの関係性を抱えていようと致死率100%の寂しさが訪れ、血を吐いてでも呑み込まなければ前に進めない。成長痛と割り切るしかない。すごく小さい例かもしれないけど、待ち遠しかった友人たちとの飲み会が終わった後、コオロギが鳴く田舎道を自転車で一人で帰っているときに果てしない孤独を味わってしまった。そうか、人生ってもともと一人なんだ、誰も一緒にいないんだって。そこにあっただけで、ただ普段は見えないふりをしてただけなんだって。

当たり前だけど、極論コンサルで2000万稼げる能力があるひとでも、コンビニでバイトしてたら時給1000円なわけで。何が言いたいかと言うと、能力をあげたからといって給料はあがらない。どこで何をするかのほうが、大事。

相手の猿真似をするということは、たとえ目的が揶揄をすることであっても、相手の中にある世界観を一度受け入れて理解するということなのだけれど、リベラルというのが「俺以外に正しいものは存在しない」という思想のため、彼らはそれができず、物真似やミラーリングが大変に下手糞なんよな。冷笑系批判記事が分かりやすい例で、あれ、ほぼ全ての記事が「彼らは口ではこのようなことを言うが、それは誤魔化しである。実際にあるのは差別意識だ。つまり彼らはファシストでありレイシストなのである」という語り口なのよ。相手の世界観を理解していない批判というのはどうしても空虚にしかならない。実のところ、リベラルに限ったことではなく、アンチリベラルやアンチフェミにもこうした、それができない人らがいて、彼ら彼女らの言葉も相手の痛いところは突けず身内でグルグル回り続ける。

「男性の収入と婚姻率が比例していて女性はそうならない」「女性は自分の収入が高くなるほど結婚相手に求める収入も高くなる」の二点から女性の収入が男性と比較して低く抑えられている方が結婚率が上がる可能性が導けるのはそれほど難しいことではないと思うのだが「分からない」と言われちゃうとな…。あれかな。「仮に収入が抑えられても"本当の能力"が自分より低い男には惹かれない」みたいな？……じゃあ、進学からアレした方がいいんですかね……？「憲法を知らないのか」みたいなことを言い出す人も会話になってないから心配になる。「知ってるけどそれがどうしたの？」って介護してあげる義理は特に無いからスルーするけど。もうずっと言い続けていますが、「女子の進学率と収入を低く抑えるのが社会最大の問題である少子化の最適解であり、マクロな次元での実質的解決策はこれのみ」であるというのは別に「主張」ではなく「事実の観測から導かれる結論」でしかないんですわね。

「今の若い子にとってはこれもセクハラになっちゃうのかな😅」と言いながら新卒社員を抱き抱えて崩壊するビルの窓を突き破って脱出する上司

クソリプは即ブロックと言う人もいます。でもクソリプにも一理あります。攻撃的な反論だからと感情的になる前に、まずは客観的にどういう観点から書かれたのか解析してみましょう。そうすると大抵の場合は読解力も配慮も優しさも欠けている赤の他人だとわかるので、やはり即ブロックでいいと思います。

（世界まる見えでしか耳にしない言葉）とんでもないお騒がせ野郎

ワイもだらしない女の子代表だったけど、女の子は「そうあっちゃいけない」と厳しく矯正されるのに対して男の子は「しょうがないわね〜」で免除される、という世間の傾向は絶対あると思う。いわゆる「汚部屋」としてメディアで取り上げられて揶揄されるのは、決まって女子の部屋なのはどうしてなのか。

見てくれたり、施設に入れるとか行政の補助をとか身内が見てくれる状況はギリギリでケアが効いているわけだけれども、これは日本人のほとんどが結婚していた時代の人が高齢化しているからで、あと10年くらいで結婚率が下がり離婚率が上がった世代に大量の認知症が出る時代が来るんだよね。そして、そのあとはずーっと単身生活の老人が20年くらい増え続ける（そこからゆるやかに人口減が始める）。だから、ここからの30年を見越して「独居老人の認知症に行政が自動的に処理を行う社会制度」を作らないと、ガチで国ごと傾くんだよ・・・認知症の人だって、それは望んでいない・・・

世の中とは変えるものではなく変わるものであって、個人が世の中を変えようと努力していないことを責めて罪悪感を植え付けようとするのは典型的なカルトの手口ですから

宅地建物取引士が暴力団員になったときは30日以内に本人が届け出ないといけないの、結構ジワるな

限界界隈によくあるが「応援しています」では他人事「味方として参戦しないやつは敵であり排除すべき」って思考になるんだよ。好意的中立すら許されない。正直こんなことで爆発するような界隈の仲間になっても「ちょっとした意見交換で敵として認定される」とかになるから近寄らないほうがいいよなと。

都会と田舎の文化資本の格差って、美術館博物館とか以前に「地方で1人で映画館で映画を見るためには映画代・燃料費・高速代で6000円以上必要な上に、行って帰ってくるだけで休日が終わるので『上映中の映画を見るのが趣味＝映画に人生を賭ける人』みたいな認識になる」とかそういう次元なんだよな

「アウトな発言」の閾値がどんどん下がり、ツイッターで社会的立場のある人はもはや過去発言を消したほうがいいレベルになってきたが、俺レベルになると既に取られたSSを並べて酷い差別発言に仕立て上げられる可能性のほうが高いので文脈を保持する意味でも消せんのだ。もっと閾値が下がるともはや文脈もクソもなく女性を批判しただけで差別、性的な冗談の時点で差別、となるかもしれないが…

ファスト映画を見たい。でも公式がそれ出すかなぁ。別に論文でなく作品で、基本的に「無駄な演出」なんてものはないわけで。無関係な他人だから「要約」作れるのでは。エンタメでなく教養として効率摂取するのってなんだか違うなと。

「普段悪いことしてる人が実はこっそり野良猫に餌をやってるシーン」って作者がそのキャラを「なんだかんだ根はいい奴」として描こうとしてるのか「結局猫は引き取らないあたり自己満足で気持ちよくなってるだけの身勝手な奴」として描こうとしてるのかの二択が発生するから難しい

陸上自衛隊にいた際、叩き上げの中隊長に「説教や指導は短ければ短いほど良い。長い説教は上位者が気持ちいいだけだ」と教わりました。説教や指導は短くまとまっているほど相手の心に刺さるものです。相手に伝えるときこそ、工夫をしたほうが効果的なのですね。

NFT(NFTアート)とは結局、プログラマ的に言えばオブジェクトの所有権ではなくポインタの所有権を売買してる感じ。絵描きさん的に言えば美術館のお土産のポストカードの売買。ニコニコユーザー的にいえばニコニ広告が近いと個人的に思っています。

あらためて思ったのは、縄文の遺物はポエム的だから1万年後の人間ともコミニュケーションを取れるのかもしれないということ。合理的でわかりやすく言葉にできるものならこんなに惹きつけられないし、そもそも残らなかった可能性もある。謎や余白は言葉より雄弁で、時を越える

友達たちとカニのモノマネして遊んでたら、辞めた大学の教授にたまたま会って「こんなことをするために大学を辞めたんですか？」といわれた

マッチングアプリで散歩好きです！って言ってる女だいたい20分歩くと不機嫌になるのオモシロ！こちとら2時間は歩くつもりなんだが

みんな自分の思う「誤った社会的観念」を規制したくてしたくて仕方ない。しかし、殺害予告とか爆破予告とかデマとかそういう明らかに実害が直接的に発生する表現以外は規制しない、というフィールドは守る、というルールを守らねばどうなるか分からないという、一点において踏み止まらないかんのだ。

そもそも「党や国家が『社会的規範』『道徳的』『政治的正しさ』とか言いだしたら警戒する」のがリベラルだったと思うんだがなぁ

少なくとも「性表現」は定義が人により変わる言葉なのだから、それを根拠にした人権の制限なんて民主主義社会で認めるものではないよ。日本に希望を見出している、世界中の性別や表現で弾圧を受けている人も規制が起きれば失望する。

twitter上での思想や社会運動についての議論のようにみえるものは、実際はほとんど人間関係とか他人との接し方とか、さらに「言い方」レベルでの争いばかりのように思えることがある

「努力した人が報われる社会」→「優秀な人が努力したら報われる社会」→「普通の人は努力しても追いつけない社会」→「能力のない人はまともな仕事につけない社会」というバグがあるんだよな。だから、「無能でもそこそこ食える社会」を作らなければいけないんだが、みんな「努力した人が報われる社会」と言いたがる。実際には「無能でもそこそこ食える社会」のほうが平和で安定してると思うんだよな。「努力した人が報われる社会」というのは、「優秀な人が努力したら報われる社会」なので、「無能が努力しても食えない社会」になってしまったなあとは切に思うところ。努力した人が報われる社会→「"偏差値60以上”の人が努力したら報われる社会」ぐらいの感じ？もしかしたら、もう少し高いかもしれない。基準が相当高いんだよな。

「隣の家の母さんが茄子持ってきてくれたよ」と言われたので「ありがとナスだね」と返したところ、お祖母様が妙に気に入ってしまい一生「ありがとナス」って言ってる、最悪

そもそも、映画も漫画もゲームも出来る前から、殺人はあったはずなのに、なぜ後から作られた創作物を見て真似するから危険のような言説が出てくるんだろう。そんなものは、創作物が普及する前からあっただろうに。

観測範囲では、某社勤務自称GAFA勤務勢のほぼ全てが「退職」「bioからGAFAの4文字を削除」「更新停止」のいずれかを余儀なくされていて、何かあったらしいことが推測される

先生「What is superconductor(超電導体)?」

ワイ「すごい指揮者」

手札が残り1枚になったときに "UNO" と言う単純なルールでさえ人間はミスするので"将来に渡ってマイグレーション時に制約を満たさなくなるような操作をするはずがない"という運用ルールについてこれない人間がいても仕方のないことなんよね

「鬼滅　エロ」でわざわざ検索しといてエロ画像が出てきたって怒ってる人がいるらしい。「自分の家から虫を追い出したい」と「虫を絶滅させたい」との差はものすごくでかいのだが、ゾーニングを徹底させろと言ってる人の主張が後者だったりする例の多いこと。

特定の創作表現が「誤った社会的観念を広め、対象の人たちを尊厳を傷つける」というのを理由で違法化してよいという論理がまかり通るならばいかなる宗教も神話も芸術作品も違法化して良いという論理になる。またマンガ・アニメ・ゲームは別格だから規制OKだと石原慎太郎氏と同じ立場になりますよ？

DQNの仇をオタクで討つ。Twitterでクソオスガーと吠えたところで田舎のセクハラ上等マッチョDQNおっさんはTwitterなんかやっていないので無傷だったりする。

庶民の皆さんってたぶん田舎に住んでるし、インテリじゃないし、本当に「その他」の人たちなので、エボサイさんとは全然違う人たちだと思うんだよね。ワイのような庶民としては、エボサイさんが「我々庶民は」とか言うの、「心が美しいあまり謙虚すぎる人」という感想。インテリや大企業勤めは庶民ではないよね。あんたら本当に庶民落ちしたら自殺するでしょ？

裏切るとか裏切らないとかの前に「非モテは不誠実」なんです。RTしたツイートの中では長文の中でレストランとか断るタイミングとか語られてますがそれほど意味はありません。重要なのは「好きでいられて楽しい気分にしてくれる」という"幸せ"を提供できるかで、それができる人が「誠実に向き合ってる」ということになります。つまり非モテというのは「幸せを提供してくれないのに女性の時間を浪費したり要らない好意を押し売りしてくる不誠実な人」という扱いになっているのだと思われる。

「解ってない」「考えろ」って相手に丸投げするスタイルの人って自分の主張自体が感情主体の曖昧なもので自身が明文化出来ないからなのよね。そして相手に「考えろ」と言う時点で自分の主張が正解と信じて疑わず、「正解に辿り着きなさい」と示唆したつもりになってる。

僕は「ありがとう」「ごちそうさま」、機嫌がいいと「美味しかったです」を言うタイプの人間なのですが、以前「どうして感謝するの？対価を払ってサービスを享受しただけだから言う必要ないじゃない」という会話をネットで目にして、こういう人とは絶対に関わり合いになりたくないなと思いました。と同時に、「何故僕は言うんだろう、人にそれを説明出来るか？そしてそのメリットは？」とも考え込んでしまいました。先人から教えられた伝えていくべき美徳…と言うのは簡単ですが、それでは説明になってません。無理矢理に言葉にするなら「もしも僕が感謝の言葉をもらったら嬉しいし、ささやかながらやる気が出る。かといって相手にやる気を出して欲しい訳でもない。自分がされたい事を相手にする事で、ささやかながら無機質化する世界への反抗」…という感じだろうか。あ～そうか、結局は僕お得意の、自分にとって「粋」かどうかなんですよ。少なくとも僕はそう。挨拶や感謝も出来ねえ無粋な奴とは今後一生関わり合いになりたくないんす。なんか狭量な結論になっちゃったな。

フェミニズムを崇拝する男どもは女性を躾けるのを禁じて自由を与えれば素晴らしい何かが誕生するはずと考えていたのかもしれんが実際は性的価値を持つゆたぼんが大量に生まれただけというな。

「規制をさせないための、より厳しいゾーニング」論はですね、どれほどゾーニングしても、した後はそれが常態になるから、さらなるゾーニングを求められるという事が判明したのでダメなんですよ

幽霊は波長があうと見えるっていうじゃないですか。だから、女を殴るDV男より、殴られた女に同情する男の方が恨まれるなんてことは、構造上仕方ない問題でもあるんですよね。嫌な話ですけど。宇宙人が話を聞いてくれなくてもなんとも思わないけれど、友達が話を聞いてくれないと悲しかったり腹が立つのが人間なんですよね。

「世間の厳しさ」という言葉、バカ以外に真面目に使ってる人を見たことない

ネット民が妄想する架空のうつ病は金があれば治ってしまい、現実にはそんなもので治るわけがないのだが、実際に起きるパターンは「貧困のため薬代を嫌がって怠薬して再発」と「ドクターストップがかかっているのに生活費のため死に物狂いで労働継続」ですよね。特に後者が貧困妄想と重なって悲惨。教科書的な話をすると、うつ病って「金がどんどんなくなってしまい破産する」という妄想に駆られるものなんですよ。これは妄想なので、定義上、いくら理屈で説明して安心させようとしてもほとんど考えは変わらない。妄想とは話し合っても訂正できないものなので。うつ病、「私が働かないと破産する」という感じの貧困妄想に限らず「私が家事や介護を続けて家族を支えないと家庭が崩壊する」みたいな考えに支配されるようで、このパターンに入るとドクターストップがかかっても良い代案を提示されても理屈は通らず焦りが強くて落ち着かなくなる

「社会運動において上級市民が頭の弱い人間を使嗾している」という話、先日も数万フォロワーのフェミニズム活動家の女性が、その分野の広告塔的な人物を名指しで「彼女は遠からず破綻してアンチフェミの姫にでもなるだろう。彼女みたいな人間にはお似合いだ」と発言していたのでさもありなんではある。

モンテッソーリだSAPIXだスイスボーディングスクールだと育児ベストプラクティスを口角飛ばして語ってた親達も、子供が中高位になったあたりからいつしか『なるようにしかならん』と言葉少なめになるという不思議

「工業製品で頭に「愛」が付くのは「愛車」だけです」という豊田章男社長の言葉を味わってほしい。効率優先の人生なんてつまんない

「〇〇すると楽しい」に対して「△△の方が合理的」ってコメントは、本当に貧乏くさいなぁと思う。合理的つってもサステナビリティとかじゃなくて費用面しか見てない

浪費かもしれないけど、心を豊かにする浪費は出来るならするべき。お金貯めるゲームをしてるわけじゃないんだから、心が豊かになる使い方として最高だと思う。いい買い物しましたね

「PCR検査はデタラメ」とか「ウイルスは存在しない」みたいなデマはいつか来るであろう次のパンデミックでも人類の足を引っ張るのは間違いないので、コロナ禍の終わりが見えてもちゃんと潰しておくべきですよ。次のパンデミックと言われても実感が湧かないかもしれませんが、コロナ禍でワクチンの真実()に目覚めてペットの狂犬病ワクチンをやめた人とかもいるので、コロナ後まで見据えて誤情報を潰すべきだと思います。

東アジアの極端な受験資金投入戦争と出生率の低さは、コロナ騒ぎ過剰防疫と原因は同じで、極寒の地で進化したことによる極端なリスク回避思考が産んでいるのでしょう。日本の新卒が重視される雇用市場では、就活の年次で人生は大きく変わるので、合理的にはそれほどメリットは大きくないはず。マスクと同じで受験戦争も「みんながやっているから」程度のもので、それほど合理的にリターンを予測して行われているわけではないから、名より実を取るならば、医学部に受かりそうな子供以外は降りる一択なんじゃないかとすら思う。

遺書を書いて死のうと思って便箋取り出したらJCBギフトカードが出てきて、もったいないからデパ地下でお惣菜とお菓子を買って催事場でやってた北海道物産店でよくわかんない行列にとりあえず並んでるときになにもかも馬鹿らしくなって死ぬのやめたっていう話、ここ最近聞いた話の中で一番良かった

同期と散歩に行ってきたんですけど、寒い中飲むカフェラテがマジでおいしくて、二人で「こんなのが寒空の中24時間買えるこの国、最高かよ」「気が狂うほど効率化されたサプライチェーンが可能にするムキムキ資本主義社会」「カフェラテから始まる愛国主義」など、最悪のオタクワードをファミマの前で発してしまった

シムシティやcities:skylinesも、なぜ何もない原野に急に都市を作ろうとするのか特に説明がなくて謎だという問題がある

開業医は週休1.5日・24時間業務対応・有休無しという条件で死ぬまで働かなきゃいけないから、家で楽しめるオーディオや車、美術品あたりに金をつぎ込むしかない。リッチな牢獄。

オタクがキャラカフェに期待するの、作中のキャラを模した食べ物とか飲み物ではなく、作中にまんま出てくる食べ物や飲み物なのでは…別にキャラの姿かたちがなくてもいいので、出てきたやつを律儀に再現してほしい

「女性の本能」で精子提供元を自由に選べて手厚いシングルマザー支援で行きていく未来、一見よさそうに見えるんだけど遺伝子多様性が人類から失われそうなんだよなあ……

「昔の人は朝まで飲んでそのまま仕事に行っていた」みたいな話から「昔の人は体力があった」ということを言う人がいたりするけど「体力がない人は普通に死んでいた」&「昔は今よりも仕事の強度が低かった」だけだと思う。特に人間ひとりが行う仕事の量と強度は異常に上がっているし。

同業某社で「選考応募者から『面接官が疲れてる』『激務っぽい』という声が上がってるので、そういう誤った素振りを面接の場で見せないでください」というおふれが出ているらしいが、それは解決策なのだろうか。キラキラした人だけ面接官にすればええやんと思ったが、それもズレてるか。

数年前に日清が「アオハルかよ」ってCMのシリーズ作って流行らそうとした時、ほとんどの人が良いとも悪いとも言わず、ただただ無視して全然話題にしなかったの、ネットの無言の団結力を感じた。

「社長のおごり自販機」が設置されたサントリー社内！「新浪さんも良い所あるじゃん」と軽口を叩き、缶コーヒーをポチる社員！その瞬間、自販機のセンサーが秘密裏に社長室に情報を発信！「なるほど、こいつが社長にたかる浅ましい社員か、45歳で定年になりたいみたいだな…」全てはプロ経営者の策略！

ツイッターに書いてあることは全て嘘なので、意味を逆にすると全部真実になる。

「「書を焼く人間は人も焼く」のではない、彼らはまず人を焼きたいというのが先にあって、それが現実的には無理であるから仕方なしに書を焼いているのである」って言葉を思い出した。表現規制とは生存をかけた戦争なんだなぁ感

「学歴」以外のあらゆる単語で相手のことを褒めまくった後、一番最後に「大学どこですか？」って聞く最悪の褒め方が存在しそう。「○○さんって本当優しくて気遣いがうまくてすごい！いつも出てくる言葉が教養に溢れてるし、どんな学問にも精通しててジョークも上手！スポーツもうまい上にイケメンで大事な休日を私なんかとのデートに使ってくれる！そんな○○さんの出身大学どこですか？」

最悪最高最悪小学校校則第一条

児童が教師の許可なしに便所に行くことは、これを禁じる。教師は児童の尿意や便意を察し、適切なタイミングで排尿排便を促さなくてはならない。漏出した児童の尿意や便意は、教師の昼食とする。

よい「ジアタマ」の用法

「俺ジアタマ悪いからさ…」

「そんなことないよ」

悪い「ジアタマ」の用法

「お前ジアタマ悪いから」

「そんなことないよ、俺ジアタマいいよ」

よく（ワクチンや5G関連なんかの）陰謀論・疑似科学に対して「きちんと勉強しないとこういうことになる」とコメントする類のツイートがバズってるけど、そういうのって知識の問題じゃなくて「何を信じるか」の問題だからあまり関係ないと思うんだよな。たとえばオウム真理教なんかは教団として疑似科学に与する一方で数々の化学兵器・向精神薬の製造を実現したわけで。技術系部門に携わった本人たちには麻原の主張に科学的観点から疑問を抱いていたり、麻原の命令を端から非現実的だと認識していたエピソードもあるけれど、逆に言えば合理的だと感じれば何でも信じる人たちだったと。スピリチュアル・疑似科学界隈による量子力学の濫用に憤る物理クラスタは少なくないが、科学分野の学問を修めた「大家」が晩年には宗教的になるという現象と、かつて理系青年がオウム真理教から勧誘を受けた結果入信に至ったことは、さほど遠くないと思うのです。「現代科学では解明できないものがある」というのも結局は「非合理的に見えるものにも合理的な意味があるはず」という価値観と一体なので…彼我を分かつものは、何を合理的と捉えるかということだけなのではないだろうか？陰謀論・疑似科学・スピリチュアル界隈を「ああ、あいつらみたいな"騙される側"にならなくてよかった」と嘲笑うのは楽しいだろうけれど、我々は、人間は誰しも「合理性」「現実主義」を装った物語に絡め取られるという前提で常に自己を省みなければならないと私は思うのです。これは革新か保守かということとも関係がなくて、革新派は最先端のものの持つ可能性を夢見るがゆえに、保守派は伝統的な慣習が持つ潜在的な合理性を信じるがゆえに、かえって疑似科学や偽史に足を突っ込むということがあり得るはず。人間は合理的でありたいという欲求を持つし、なんなら合理的な（と思われる）ものにロマンを感じます。その最たる例が日本のインターネット文化・サブカルチャーにおけるナチスのイメージでしょうその実態がどんなに激情的で矛盾していて非合理的な信念にまみれていても、「合理性の極みとしてのナチス／ドイツ人の国民性」という物語は容易く信じられてしまう。これは合理的でしょうか？そう書くと「今の価値観で過去に合理的と考えられたものを非難するな、あれも当時は最先端の科学だったんだ」とか言われそうですが、そういう話をしているのではありません。「今のあなたは何なんですか？」という話です。「少なくとも現状の教育を前提にするならば」義務教育でも高等教育でも、それ自体は疑似科学や陰謀論の生成に立ち向かえるものではないのではないでしょうか。疑似科学や陰謀論は、知識によって、あるいは論理のトレーニングによって対抗し得る持つものではない。陰謀論なんか、認識の整合性を追い求めた結果発生し、膨らんでいくものなんですよ。全体で見れば局所的な合理性の確保のために増築を重ねた歪な建築物ですが。問題は解決プロセスが誤った世界観の放棄ではなく都合の悪い事実の切り捨てやこじつけとして現れることですが、それは教育の敗北なのか…？既存の知識体系に反感を覚える人に対して、「勉強が足りなかった」とだけ考えるのは正しい判断なのだろうか？陰謀論は弱ってる人がハマるという説はどこまで一般化できるかはともかくとして、弱っても陰謀論にハマらなかった人がそうであるのは「義務教育や高等教育できちんと勉強したから」なのか？「何らかの高度な専門家も知らない分野に関してはトンデモや俗説に行きがち」というだけの話に留まらない気がする。最初のツイートで言いたかったこと、分かりにくいかもしれないので言い換えると、「トンデモにハマる人が単に勉強してなかったからだとすると、オウム真理教はトンデモにハマってた一方で義務教育や高等教育の知識をフル活用してサリンやら覚醒剤やら造ってたことが説明難しいよね」ということ

「ガイジ」は本来死語でした。とはいえ、一般的な死語と違い流行ではなく成長によって捨てられる単語です。かろうじて中学生までで、大人になってまで言うのはごく少数でした。筆者の記憶でも最後に聞いたのは中学2年の時でした。ある女子生徒が息を吐くように言い出し、先生に叱られるより早く隣の生徒が「お前最悪やな！」と言っていたのを憶えています。人によっては、聞こえた瞬間学級会になったケースもあるようです。雲行きが変わったのが2011年、Twitter内での「ガイジかな、あれ」から始まる書き込みでした。単なる1ツイートなら流されて終わりでしたが、折悪しくも2ちゃんねる（現5ちゃんねる）の「なんでも実況ジュピター板（通称なんJ）」に見つかってしまいます。蔑称の創出とプロデュースに余念のない「なんJ民」（最近では「電子障害者手帳」まで言い出しました）のことです。「ガイジ」は瞬く間に大ブレイクしました。

『非実在児童ポルノ』という用語。犯罪を軽く見過ぎです。被害者が実際に存在する『児童ポルノ』という、性虐待と性的搾取を伴う深刻な人権侵害を「漫画・アニメ・ゲームと同じ程度にしか考えていない」という事でしょう？同列に考えないで下さい。現実の性暴力被害を矮小化するのを、やめて欲しい。

どうもこう、先端的な「ルッキズム」の議論って、外見が気持ちが悪いと一般社会で広く認識されて、例えば学校で、殴られたり、蹴られたり、持ち物をトイレや用水路に捨てられたりしているような人たちが受けている類の、外見に基づく不当な扱いからは、目を背けているように見えてしまってですねぇ。

私がつんく♂さんの歌詞感覚の中でもで飛び抜けて好きなのは松浦亜弥さんのGOOD BYE夏男の「門限はわざと早い時間教えるものよ」の部分です。この感じを男性が描いたことにほんと衝撃だった。これじゃあつんく♀じゃん

本名のことを役所用ハンネって呼ぶの、Twitter中心主義すぎて笑ってしまう

100kg越えデブになるのも才能が要るというし、やはりどんな業界も「情熱」「やりぬく根性」みたいなものは必須なんだな。中途半端がいちばんよくない。

最長で２年ニートしてたけど、最初の３か月まではとても楽しいけど、それ以降は焦燥感しかなかった。

高度な現代文明が滅びるSFって核戦争で全滅とか太陽フレアであぼーんとか色々あったけど、現実に起きているのは「需要が大きくなりすぎて新造・更新できない」。こんな幾らでも回避できそうな問題で困ってるなんて、本当に事実は小説よりも奇なり。

三単現のsをどこかの変種英語で使わなくなってきてるとか、ら抜き言葉がどうとかの話で思うけど、最初に「これはめんどいから使わなくていいんじゃね」「これは区別あったほうが便利だろ」って思って使いだした人、すごいな。「なんで今『ら』抜いた！？」みたいなツッコミが毎回入るのに、耐えて使い続けたんだろうね。

「好きなマイナーバンド 人気になったとしても初期の青臭い疾走感は失わないでいて欲しいですよね？」から始まる小林製薬のCM

面倒くさいオタクなので、スマブラを友達んちでやるとき「なんでパーセンテージが上がるとダメなの？」「100％になったら強制的に吹っ飛ぶとかでいいじゃん」「絶対初心者に優しくないシステムなのに『任天堂は初心者を見放さない』ってネットで言われてるの納得できない」ってごねちゃう。スマブラを今回初めてプレイした知り合いに聞くと、下の％が何を意味するかわからないし、どうやったら敵が吹っ飛ぶのかもまったくわからないといわれて、ああ前提知識がないと確かになって思った

ピンチに陥ると「よく考えてみろ」と言われるが、案外「考えない」という選択史も大事だよな。俺は答えが出ない時は悩むより寝た方がよいと思ってる。脳も筋肉の一つだと思えば酷使していたら良いパフォーマンスは生まれないよな。「考えろ」より「考えない」方がずっと難しいし、練習が必要だと思う。

「どうせ死ぬんだし何したって意味なくない？」は下(5chにいるような奴ら)から言われると反感を覚えるが、上(全員すべからく努力すべきだ、俺が努力できるんだから全員できるはず、って考えてる奴ら)に言いたくなるセリフ第一位。しかもすべての人間はいつか死ぬ以上、絶対に論破できないので最強

年に一度、「そんだけ努力しても死ぬのにね笑笑」って言いたくなるとんでもない邪心が芽生えるタイミングがある

「うるせえ！死んでやる！」と言いつつ食生活などを悪化させる緩慢な自殺によって、社会への復讐を成し遂げる方法がある。医療費がばかにならないので結構な復讐になる

「過度な要求をする人からは逃げろ」「辛いと思ったら逃げろ」など、誰もがツイッターで好まれる助言通りに生きたとしたら、献身なんて存在しないか、する奴は馬鹿だと嘲られるんじゃないだろうか。馬鹿らしく、割に合わなくても、自分の中で決着を付けることの方が後々大事になることも多いだろうに。しかし厄介事の深みに嵌る人というのは大抵、ここでは終われない、決着を付けないと落ち着かないとか言いながら泥沼に入って行くような、面倒くさい人なんだろうな…。そこで面倒はパスだ、とサラッと言えるなら人生は楽そうだが、同時に周囲からの信用も獲得しにくそうだ。厄介な物事の処理な面倒くさい人と向き合う人は、貧乏くじを引いたか、馬鹿だから損をしてるか。違うだろう。誰かが演じなきゃいけない損な役回りは常にあり、それを引き受けることに敬意が払われず、フリーライダー的「ライフハック」みたいな浅知恵が持て囃されているのがおかしいんじゃないのか。

たまにニュースになる体育会系の不祥事（カプセルに強度の酒を入れて女を酔わせてセックスする等）を減らそうとかじゃなくて、もっともらしい理屈をつけて害があるかどうかもよくわかってないオタクのエロとやらを規制しようという動きになるの、キモいものを許せないという人間の本能が先行しすぎてるし、子供を守るためとか社会の秩序がどうとかいう小賢しい自己正当化なんてせずに感情に正直になれよとは思う

たかだかマンガやアニメやゲームを自由に楽しみたいというだけのことなのに、なぜ戦わねばならない事態が発生するのだか。こっち来ねえで治安改善や被害者救済に力入れなよマジで……

性の商品化とか言うなら局アナやアイドルやモデルとかこそがガチのそれだし、実在女性を実際に蹂躙してるのはヤリサーヤンキーチャラ男モテ男とかの所謂オタクだのキモだの二次元だのから最遠で対極にいる連中なのに、前後者共にカースト上位だし後者は過激フェミなら何より自身が惚れるタイプの男だし暴力的で恐いから何も言わない、創作方面は弱者で殴りやすいから安心して叩くというただのヘタレサイコパス野蛮人やね。

かつてあった登山。それは思索的とも自己修養的とも言える登山であった。登山の名門雑誌には、単なる山の情報や登山技術の紹介だけではなく、まるで哲学論文のような随筆が載っていたのである。

癒着っていうならアメリカみたいに一回の公演で7000万円報酬貰ったり、自分のところの財団にサウジアラビア王家から250億円寄付してもらったみたいな話を持ってきてほしい。7万円分飯おごってもらったとかショボすぎる。ちなみにこれはヒラリー・クリントンの話です。

塾講バイトしたら実感するよなあ、地頭というか才能の差というものが人間には厳然として存在する、という冷厳なる事実を。

ヴィーガンは肉を食いたいという人間の欲望からあまりに外れているから広まりづらいだけであって、思想の正しさから言えばポリコレの中でもかなり高い方だと思うよ。動物を殺すことに何の正当性があるのか。皆がやせ我慢して肉食を我慢してヴィーガニズムに殉じる世の中は難しいかもしれんが、精巧な合成肉が出たら一気にヴィーガンが先進国の倫理観の中心になると思う。

昔知人が言っていた、「不良高校で3年が強いのはフィクションで、実際ヤバい奴は院に入ったり退学していなくなっていくので一年生が1番強い」という話が永遠にジワジワ来ている。

「ポリコレ的に正しそうだったので見てみたら、ポリコレ的に全く正しくなかった。この作品は最悪です」みたいな評価、一周回って全体主義的でよろしい

車でジムに通ってランニングマシンに乗り、飽食の果てに通販で取り寄せた雑穀の粥を食う。やっぱり何か間違ってる気がする。

少数派を尊重するために、既存の枠組みを壊すのはいいことなのか、再考すべき時期に来ている。性的マイノリティーのためにジェンダーロールを無くしたり、毒親育ちの人のために家族を解体するのは、大多数にとっては破滅への道じゃないかね。

平成ノブシコブシの徳井さんが番組のロケである部族の村に行った時の話。原住民が木の中にいる芋虫を生きたまま食べていたので日本人は魚を生で食うんだよと教えたら、その原住民達は皆オエ～ッ！という反応をしたと。「ゲテモノ」というレッテルを誰かに貼るとき、我々もまた貼られているのですよ。

パチンコで負けてパチンコ打つ金無くなったからSwitch売ろうとSwitchの箱開けたら1万円入ってた。Switch買った時に、売る時はパチンコ負けてる時だからって金入れといたの忘れてた。ありがてぇとその1万で打ちに行ったら、30分で消えたしSwitch売ったし売った金も消えた。

上見て暮らしすぎ、平均と中央値と最頻値を総合的に見て暮らせ

現実の子供に手を出すのは家庭・学校・宗教団体・スポーツクラブなど「他者が介入しづらい環境」での支配者・上位者という話はいろいろ聞くんだけど。もちろんコレは「オタクは善良、無罪」という話ではない。どんな属性であっても「個人」として犯罪者は存在しうる。それを「同じタグを持つ他の個人に波及させるのは無意味」という事だ。

児童買春や児童虐待って、アフリカの貧困地域とか、インドとか、昔のカンボジアの児童売春街とかであるんだけど。これらの地域の加害者が、漫画・アニメ・ゲームを嗜んでいたと思う？そもそも「存在しない社会」のはずだが。

「おしん」の子役に米送ったり作造に文句いったり姑役が恨まれたりみたいな話があったと聞いて、子供心に「作られた話なのになんで？」と思った記憶がある。いつの世も虚構と現実の区別がつかないやつがいるんだろうけど、どうしてそいつらのために虚構を楽しむのをやめないといけないんだろう。

世間には科学的な論述が通用しないという事は、事実として受け止めなければならないという事でもある。「暴力的な作品が犯罪を助長するなら、感動的な作品で犯罪は無くなったのか？」という理屈が通じない人間と、出生について「感動的で素晴らしい事」と思う人間はおそらく同じです。我々の中に科学と言う知見をインストールするという事は、「賢くなる」ことだと思っている人は科学から遠い世界に生きている人だけですよ。その世界は実際には墓を壊してその上に家を建てるような世界なんですよ。それに耐えられない人は多いでしょう。「科学側」を自称する人を含めてね。

冬眠するあなたへアドバイスを送りたい。急に寒くなってきた。そろそろ冬眠の季節だと思うので、全生物の同志に向けてメッセージを送りたい。両生類、爬虫類へ。君たちは変温動物だから、気温が約１０℃以下になると自然と活動が停止し仮死状態になる。だから別段準備は不要だが、一つ気をつけるのは「早めの行動」。寒くなって体がこわばり出したら早めに巣穴にもぐること。まだまだ遊んでいたいと外にいたら、巣穴にたどりつく前に凍ってしまうぞ。特に今年手足が出たばかりの若いカエルは遊びたい時期だろうが、先輩カエルの指示に従うのが無難だ。鳥類へ。鳥は冬眠しない。ただ世界に一種だけ、冬眠する鳥がいる。プアーウィルヨタカだ。鳥である君は、自分がプアーウィルヨタカかどうかだけチェックすればいい。そうでなければ冬眠はしないので、自由にすごしていい。ただし君が渡り鳥なら、天気の良い日に移動しておこう。ちなみにコウモリの君は冬眠するから気をつけよう。君は鳥類ではなく哺乳類なのだから。昆虫類へ。昆虫の越冬は様々だ。ただ君がすでに成虫になっているなら、気温が下がると休眠状態になるから、樹木の皮の陰や、木の葉の中に隠れて冬を越えよう。もし君がアゲハの幼虫なら、この冬はチャンスだ。サナギになれば、冬も越せるし蝶にもなれる。春デビューを目指すことをおすすめする。魚類へ。魚類も様々ではあるが、鯉やフナなどは水温が下がると冬眠状態になる。観光客がエサを投げてきても、気を遣って無理に食べなくていい。ちゃんと人間の親が「鯉さんも冬眠するのよ」と教えるだろう。エサの争奪戦は春になってから楽しもう。哺乳類へ。君たちは恒温動物だから、気温が下がっても活動は停止しない。だから基本的には冬眠しないのだが、ここでは冬眠する種に向けてアドバイスしよう。君がシマリスなら、エサを確保してこう。冬眠するといっても、君たちは途中で起きてエサを食べるタイプだ。貯蔵庫をつくりエサを貯めておこう。そうそう、忘れがちだがトイレも作っておくように。ないと大変なことになる。巣穴にこもってもなかなか寝付けないなら、自分の種を疑うこと。例えばエゾリスは冬眠しないが、エゾシマリスは冬眠する。見分け方は背中のしま模様。誰かにチェックしてもらおう。自分の背中は自分では見れないものだから。ツキノワグマやヒグマなど冬眠するタイプのクマは、たくさん食べておくこと。普段ダイエットしてるクマも、今は食べて脂肪を蓄えよう。その代わり、途中で起きて食事はしないで済む。トイレも不要だ。また妊娠していて不安なクマがいたら、冬眠中に出産できることを伝えておきたい。授乳もできる。春になったら家族が増えていて夫クマも喜ぶだろう。人類へ。人間は冬眠しないが、それでも冬はやってくる。帰宅をしたら手洗いうがい。体を温める食べ物と、ぬるめの風呂にゆっくり浸かり、健康に留意して欲しい。特に新型のウイルスが流行ってるようなので、サンミツとやらを避け、マスクを付けよう。いやはや人類も大変だなと心中を察する。また人間にはコールドスリープという手段もあるようだが、まだ発展途上の技術なので利用しないのが無難だろう。冬眠したと思ったら永眠していた、なんてことになりかねない。最後に、冬支度というものは楽しいものだ。冬眠するものも、しないものも、冬を乗り越え、春を待とう。全生物に、春は必ず来るのだから。ではそろそろ私も冬眠することにしよう。私は甲羅に閉じこもり、水底で葉の布団をかぶって眠るのが好きだ。今回で１００回目の冬眠だが、冬眠はいつも心地よいものだ。それではまた来年。よいお年を。

たまに空を飛ぶ夢を見るが、毎度毎度空を飛ぶというより浮く感じになってしまうし、着地するときの恐怖心がすごいので、着地だけ解像度がえらく低い。現実の姿を反映してるんだろうか。

議論っつっても、リベラルの人の言う議論って、自分らの絶対正義と思ってる思想に相手を調伏させることだからなぁ

「需要があれば貼ります」って書いてめちゃくちゃ需要もあったのに自作絵を貼らない珍しい人

「○○な奴おる？私だけ？」って書いたのに1いいねもつかない珍しいツイート

母校のぼんくら中学から某ＫＯ大学の付属高校に入学した学年トップの秀才の名前で検索したら、自己啓発セミナーの「参加者の声」で見つけて、いい年こいてキラキラしたこと言ってたうえに「私は大学を中退しましたが」とか自己紹介してて正視に耐えなかった思い出が蘇った

ド直球で言うと「男は女を犯すことが可能だが、逆はかなり難しい」けど、男はこの前提を認めて話すことが難しく、女性はこの肌感覚ありきで話すので、最初から話がまったく噛み合っていないんじゃないかなと最近思う

家父長制と資本主義はセットになってんだけどそれが表面化したのが恋愛資本主義だと主張したい。これだけ罰ゲームだとわかっている恋愛や結婚へ企業が誘導しまくってるのは奴隷の再生産を推進するため。独身を守れ。

「精子バンクに理解のある彼君」とかいう最悪の蔑称を思い出した

日常をソツなくこなし、要らんことに気を揉まず、大切な人や物事を大切にする生き方が幸せへの最短距離だと思うんだけど、なぜか、「死ぬ気でやれ」とか、「血反吐を吐け」とか「圧倒的努力！」みたいなことばかり言う人いますよね。なんなんですかね。

「社会の役に立ちたい」って言い換えれば「自分がいないと困る社会であってほしい」という願望だからな

精液のこと精子って呼ぶのにIQ150で東大生の珍しい人

「社会の役に立ちたい」って言い換えれば「自分がいないと困る社会であってほしい」という願望だからな

ラノベ作家を目指して専門学校で講義を受講し、来年3月には社会へ巣立っていく子供達に「金は大事やぞ。世の中金や。生活支えられへんかったら、心が死ぬぞ！」と夢も希望もないことを教える授業をしてきた

天才「キムタクが人を殴るゲームを作るのはどうですか？」

マジで普通に若者人気あって、tiktokで「4℃」と検索すると「誕生日に彼氏に4℃もらった嬉しい！」みたいな動画が5万7000いいねでトップに出てくる。「客からもらってメルカリで売ったわｗｗ」みたいなキャバ嬢の投稿は4000いいね。Twitterにいる女、おばさんと夜職しかおらん。

子供に向かって「トーマス？マジでダサっ！」とか「ポケモンやってんのかよ！」ってオッサンが言わないのと一緒で、4℃を叩く人はおばさんかどうか？ではなくもう少しだけ闇が深いのよ。ちゃんと育ったおばさんは4℃を叩くことはなく、「彼氏に貰って良かったね！」と自分の人生と照らし合わせ微笑ましくいいね！押してるよ。

以前貼った人工授精の記事だと、こうした「ハイスペ男性に群がる女性たち」みたいなのは少数派で、「安い、あるいは無料で貰える精子（で、提供者が健康であることだけが保証されている）」を求める人が大多数という、世間の想像と違う結果が出てましたね。

僕ら世代より下で「反権威とか反与党をやる方が成り上がるには楽。何故ならメディアとか文化系の界隈だとそっちの人らが権威であり、多数派だから」という感覚を持っていない人は正直鈍いと思ってるよ。

かつてネットに流布していた「筋トレで鬱が治る」説はみんなが筋トレをしだしたらフィクションであることがバレてしまったが、「金があれば鬱が治る」説はみんな貧乏のままなので未だに真偽がわからない。

「子供むけと子供だましは違う」だとなんかいいこと言った感が出るが、「足し算引き算の教科書と足し算引き算のできないヤツを騙して売る本は違う」と言い換えると、そりゃそうだろうという感じがしてくる。

「反逆の神話」にクリティカルな一節があるから引用しとくか。「フェミニストの当初の考えは、男は抑圧する側だから、男女関係を律するルールはすべて男に都合がいいように操作されたはず、ということだった。そんなルールの多くが明らかに女性の防衛のために、女性を男性から守るために作られたという事実は、なぜか見落とされた」女人禁制の修行の山の中には、山道が険しくて女性には危険すぎるからだとか、血（経血）の臭いを嗅ぎつける猛獣がいたからとか、何らかの安全策だった名残が見て取れる場所がありますね。

共産主義の国で表現規制される作品、「えええ？そんな理由で？」って驚く事多いけど、ロシアが異世界転生物の作品を禁止したときに、「つらい現実世界で生きるよりも、死後の世界のほうがはるかに魅力的だと学んでしまうと、子供に悪影響を与えるから」と言ってたのは、ちょっとわかりみが出てしまった

性嫌悪はれっきとした精神疾患だが、治療の困難さで知られている。が、性嫌悪者はフェチ趣味とか他の性癖を「治療できる」と信じ込む習性を持ってて、彼等からすると性的行動全部が病的なので、自分達の方が正常であるという、倒錯した心理に陥っている。「正常」という認識が強固なので、治療困難。

昨日、知らない0120〜の番号から電話きたから出ずに番号検索したら、選挙のアンケート調査だった。逆に考えると、あのアンケートの結果って「知らないフリーダイヤルからかかってきた電話に出てアンケートに答える層だけが回答者」なんだよな…それは世間の声ではないのでは…

アメリカのチップ制度、ちょっとググってみたらチップをもらえるだろと給料をべらぼうに下げる経営者とか申告されない収入なので所得税取られないある種の利権であるとかバリバリ稼げるウェイターとチップを受け取る余地がないので収入が半分くらいしかないコックの対立とかなかなかに歪みがやばい。

ブラックな会社勤めの人が辞めれないのは判断能力を奪われてしまうからじゃないですかね。虐待を受けている人が逃げれないのと同じなのかも。

このツイートに被せて「そんなにアメリカが良ければ英語勉強してアメリカで働けばいい」というご意見をいただきましたが、うん。だからどんどん優秀な人材は国外に流出するんだよ。という感想しかない。そして皇族という超一流のコネクションを持つ人材が、まさしく国外に流出しようとしているわけで。これつまりアメリカのような「優秀な人間を優遇する格差の大きい社会」を所望しているのだけど、そういう主張をする人が自分は左派だリベラルだと思ってそうなのが面白いよね。まあこの文脈では「優秀」ではなく「お勉強ができる」と言うほうが適切かもしれないけど。リベラルは「お勉強ができる人間が雑に扱われること」に激烈な拒否反応を示す。

最高裁判所と対をなす影の存在、最悪裁判所（SNSみてえな雰囲気）

小学生の頃、「精神」という言葉が「頭がおかしい」という意味で(おそらく精神障害か精神異常の略)使われていた記憶があるが、後になってイギリスの俗語でも「mental」という形容詞が「mad/crazy」という意味で使われているということを学んだ。

「20～30代は3歳刻みくらいで身につけるべきブランドが変わる」などと聞いて白目むいたけど、明らかにアラサーがお星様4℃つけてたら激怒するのもストッキングはいてなかったら激怒するのも同性のお姉様方なので、「社会に押し付けられている！」みたいなのいい加減にしてほしい。

ぶっちゃけTwitterは風俗嬢と無職と浪人生がめちゃくちゃ幅を利かせているSNSなので現実社会との乖離が凄まじい。 Twitterで語られる社会とは社会の周縁に属する彼等から視た社会であることに留意

私が実際に聞いた最も差別的かつ「ヤバい」発言は、「若い人はカップ麺を多く食べるが、そのカップ麺の容器から溶けた化学物質を摂取することによって、同性愛者になる。だから若い人には同性愛者が多い」という要旨の会話で、怒りを通り越して、明確に恐怖を感じたことを鮮明に覚えています。

軍事費よりも社会保障費というのは分かるけど、既に歳出の33%以上を占める社会保障費を倍にしたら確実に財政破綻するんだよな・・・。ああいうキャッチーなキャンペーンを張っても後で自分の首を絞めると思うんだが。防衛費よりも社会保障費を優先すべきだ、と主張するのはいいんだけど5兆円を倍にするより35兆円を倍にするべきと言われると、いやあなた何も資料読んでないですよねって思っちゃう

オタクとスポーツマンの写真並べられて「部屋が清潔そうなのはどっち？」と聞かれたら男の俺でもスポーツマンを指差す。そして人間の視力じゃ病原菌は見えないので、人間は対象が清潔そうかどうかを統計で判断せざるを得ない。大半の人は理科室のビーカーで作ったコーヒーを飲めない。

【奥田？】

ひろゆき「うちの彼女というか奥さんというか妻というか民生というか…」

カズレーザーが「アイドルに本気で恋をしています。アイドルからしたら厄介でしょうか？」という質問に「アイドルは疑似恋愛してもらうのが生業なので厄介だとは別に思ってません。そういうもんだと思ってます。が、アイドルがあなたに恋をすることは100%ないです」と答えていて、かなり明確で良かった。私の解釈としては「アイドルが『一般人』に恋をする可能性が100%ない」わけではないんだけど、「アイドルが『自分に恋をしているファンであるあなたに』恋をする可能性は100%ないということです

そら模範的はてブ民はタイトルと人気コメ見たら本文読んだ気になってブコメするからな。はてブ民に党派性はない。あるのは村八分に対する恐怖だけだ。はてブ民をヤフコメに強制移住させたら3日でネトウヨになるぞ。

退職する社員から「社内サーベイは上司から何か言われるのが面倒なので常に最高点を機械的につけていた。辞めることを考え始めてからずっとそうしてきた」と言われ、それを伝え聞いたサーベイ担当者が押し黙ったまま改善策が出てこないMTGで午前が終わりそう。これが「サーベイの結果からエンゲージメントは下がっていないのに退職するのは何故か問題」の１つの回答なんだけど、担当者からするとなかなか受け入れ難いようだ。でもこういうことをするのが生身の人間だと思うんだよね。5社ほど経験しましたけど、社内サーベイは満点以外にすると改善タスクが組まれ、その実行は平社員に振ってきて結果として自分たちの首を絞めることになるので基本は全員満点にするという大団円になっています。

『歴史的に見ると禁教明けからそう間がないアジアの国で信心を繋いで来たキリスト教徒らの上に、総本山である側のキリスト教徒が核爆弾を落とした地』と説明すると、大概の欧米人は絶句するだろうな

中央アジアで長く暮らしたある知人の方いわく「かの国では生きることすべてが信仰だった」と。その国の民は選んでその信心を得たのではない。生まれたらそこにあった。山を仰ぎ、草を踏むことが信仰だった。別に「幸せになるため」の信心ではないのだ。そして本来考えれば信仰とはそういうもんなのだ。ゆえに、だから言うのだ。「うちで信心すれば幸せになれます」などと、いけしゃあしゃあと言う、先進国の一部新宗教などの“臭さ”ったら！そういうものではないのだ。貧しくても、不幸であっても、そこに常に信心はあり、また信仰は都合のいい慰めでもない。自分は「信教の自由」を否定するものではないけど、日本に限らず、先進国の住人は宗教を「自分で選び、主体的に信仰していくもの」と思いすぎてる部分はあると思う。人類史の多くにおいて、信心とは選ぶものではなかった。生まれたらそこにあるのだ。今もそんな地域はざらにあるけれど。

『頑張って働くほどお金が貰えるけど、労働の量に比例して人間性が失われて、すると幸福に対する感度がどんどん下がり、その衰えた感度で幸せを得ようとすると、けっこうお金をかける必要があり…』みたいな自分で地面に穴掘ってまた埋めるのを無限に繰り返す虚無ループに疲れてしまった

代わりにトイレに行ってくれる人「あなたの分の花も摘んでおきましたよ」

選挙カーでの連呼がうざいのは分かっているが結局やったほうが効果があるので他候補もやるならやらざるを得ないってやつ、人生そのものっぽい

毎日最もしつこくデケエ声を出し続けたやつが優勝して日本の将来を決める謎のイベントへの参加券届いた

富裕層の海外移住以上に、若者の「FIRE」ブームの方がヤバいと思うんですよね。日本の若い労働者が、消費を削って海外に投資し、できるかぎり早く、働くのをやめようとしている。

いざ大人になって感じるのは、子供の頃に夢見てた『普通に就職して、車を買って、恋愛して、結婚して、家を買って、子供と幸せに暮らす』と言う『普通の暮らし』のハードルって実はめちゃくちゃ高くて、それを当たり前に感じさせてくれた親ってやっぱり凄いし尊敬しかない。普通って当たり前じゃない。

僕がポリコレをはじめとする表現への干渉に対して反感を持つのは「仕事の邪魔だから」という理由も大きい。創造する時に、あれはダメこれはいいと考えるのは面白さや完成度と言った作品のためになるからするのであって、アップデートしている自分を見せたいからではないので。

灘、東大理3、司法試験、医師国家試験と本邦の頂点を極め続けてきた真の漢はハッピーメールも「真剣」に決まっている。断じて買春などではないのだ

キムタンク「ちょ待てよ(ｷｭﾙｷｭﾙｷｭﾙｷｭﾙ…)」

そもそも論をいうと、人情深い人に「表現の自由」みたいなのを代弁してもらおうということ自体に相当な危うさがありますよ。人情の欠片もないような人間の方が「表現の自由」には向いている。「表現の自由」に理解のあった、あんなやさしくていい人がなんで？！って、やさしくていい人だからに決まっているでしょう、という。人情深い人間が自由を説いているのを見ると、あくまで僕個人はですが、「コイツはいつ正体を現すかな」くらいの気持ちで見ています。

自分がどんな目に遭おうとも必ず復讐しなければならない、と言うことはある。だから、やめた方が良いと言われたくらいで揺らぐのなら、それはやめておいた方が良い。

復讐してもしなくても大切な人は帰ってこないので、復讐したほうがすっきりします。

いいかい学生さん、トンカツをな、トンカツを、いいかい学生さん、トンカツをな、おまえら聞けぇ、聞けぇ！静かにせい、静かにせい！話を聞けっ！男一匹が、命をかけて諸君に訴えてるんだぞ。いいか。いいか。

こういうことを言い出すと人間は馬鹿になります。自分の頭の悪さを認めたくない防衛的な姿勢。「どんな情報や知識も一度は疑い、立ち止まって考えたい。「〇〇は××だ」などと断定する書き込みには疑問を持って反応します。たかがちっぽけな人間が簡単に解ることは無いという虚無派。」

デート代を払わない男性、世の中の女の子がいくら掛けてるか勉強してください。これでもまだ割り勘なんて言える？

服¥10,000

靴¥6,000

コスメ¥20,000

ネイル¥6,000

美容室¥7,500

防衛費 概算要求 5兆5947億円

大人になってから、子どもの頃できなかったこと、禁止されていたこと、やりたかったこと、「自分はそれをすることを許されてはいない」と刷り込まれていたことを回収していく日々を送ってかなりの時間が経ったが、やはり「今やっても意味がない」「今はもうできない」ことがけっこうな数あって悲しい。「子どもの頃に戻りたい」という言葉があるが、あれは正確には「子どもに戻りたい」のではなく「子どもの頃の時間に戻りたい」だと思う。私はあんな貧弱な身体でかつさまざまな制限を加えられ、なおそれに抗うすべもない子どもという存在になんて二度と戻りたくない。魂の牢獄だったよあんなものは。

異常気象が起こりすぎた世界のネトウヨ「でも日本には二季があるから…」

常識を疑う時は「疑うには疑うけど、常識になるくらいの話は概ね正しいことの方が多い」って前提が必要ですやね。もちろんP.K.ディックみたいに自己存在の事実性まで疑うのも思考実験とかならアリなんだけど、現実に投映してはいけない。

松田聖子がデビューしたときに自分は「ああ歌の上手い子が出てきたな」と思ったのだけど母は「こんな下手くそな歌でテレビに出て」と言っていた。「歌が上手い」というのも聴く人の世代によって違うのだと思う

ありそうでない色：毒紫色

電車ですぐ隣に座っている高校生集団が世帯収入の話をしていて「年収6000万？それって大学教授クラスだろ」と言い出したので、情報の訂正をしたくてたまらない。

アダルトビデオ等で覚えた過剰な性行為が加害を生んでいるのはよく知られていますが、ドラマで覚えた感傷的表現で他人の"いま触れられたくない"記憶に土足で踏み込む芸術表現があふれていることも一部で問題視されております。ある過剰な方法にのっとればタイミングに関わりなく他人の涙を引き出すことができるが、それは摩擦に耐えかねて分泌液が出るのと同様で、貴方の表現が巧みだとか、誰かを癒やしているとかいうこととはほど遠かったりする。

インテリ男子高校生「あぁ～～俺も様相を呈してぇ～～～様相を呈してぇよ～～～😭」

若くして結婚・出産を選んだ人に対して「24歳で結婚と出産なんて、理想の自己を実現できて○○さんはすごい！」と言う最悪の褒め方が存在しそう。相手の理想の自己を勝手に決めつける類の失礼さと、相手が子どもを自己実現のダシに使う程度の人格であると思い込む類の失礼さがいい感じに同居してる

俺の人生を実写映画化しても今のところ全年齢対象

仮想通貨といえば『出産祝いをビットコインでもらったところ利益が130万円を越えてしまい親の扶養から外れてしまった0歳児』の話が一番面白かった。

人は見た目が9割で、かつ人間は水分が80%なら、7割くらいどこかに溢れているのでは？？

久々にラッキーストライク買ったら600円して、脳が弁当買うたと勘違いしたから「箸と袋いいです」って言ってもうた

何がどこまでどれくらい「不適切」だと一ヶ月の停職処分に値するのかは、ちゃんとみんなで考えた方がいいですよ。「まあ、あの件はさぁ」と俯くんじゃなくて。なんとなくノリでとか炎上の規模が、とかだったら最悪でしょう。キャンセルカルチャーの問題点の一つが、明示化された量刑がなく、「判例の蓄積」が無い点。キャンセルカルチャーの旗を掲げる人が、法的効果の整備やプロトコルの実装、社会的な罰の上限自分たちの判断を判例として過去の判断との整合性をつけるなどの法的な精度を導入をすすめるのはいつの日か。良いキャンセルカルチャーがあるとしたら、プロトコルの整備や社会的な罰の上限の設定、自分たちが要請した罰に過去の判断と比較して整合性があるかと言ったシステムののある制度だと思う。しかしそんなめんどくさいことはやらずに単にめいめい私刑をするだろう。最初キャンセルカルチャーは良いことだと思っていたが、ここに至ってとても支持できないと思う。法治への意識がなく私刑を繰り返すだけになっている。どなたかプロトコルと罰の上限の明示をした人はいるのだろうか？法律にならないなら、法のシステムの導入から進めれば良いのに。司法制度はそりゃ、完璧ではないが、それでも罪刑法定主義や判例の蓄積の義務化、罰の上限の設定など、私刑には無い特徴を持ち、それ故に、私はキャンセルカルチャーという私刑を法曹や立憲主義を志向する人たちが持ち上げることに違和感を覚える。ちゃんとプロトコルを実装すべきだ。何故かこういう話をするとお前は差別を許容するのかと言われるが、差別を許容するのではなく、量刑（法的効果）の上限下限を決めよと主張しているのだ。窃盗の罰は為政者が死刑から罰金まで自由に決めて良いというのがおかしいという主張は窃盗を許容せよと言っていないのと同じだ。

繊細さというのはどこまでも解像度を上げていけるもので、過度に各人の立場や影響に配慮しすぎると一切なにもできなくなってしまう。ある程度のところで意図的に思考停止させる思い切りはかならず持たなくてはいけなくて、繊細さと大胆さを状況次第で行き来できる人間はすごく強いなあ、と思う。

とっくの昔に「化学肥料がないと人口を支えきれなくなっている」という事実を、自然派農法信仰の連中はどう考えているのか。知らんのだろうな。ハーバーボッシュ法周辺の歴史とか（例えばカブラの冬）読めばいいのに。稲がちゃんと肥料に反応して毎年豊かに実るのも「自然の力」なのにねえ。

朝一番で病院に駆け付けてみたら、まだ余命宣告とかいう段階ではなかったので拍子抜けした。主治医の判断で放射線治療でいくという結論になったが、親父が「元原子力エンジニアとしてはついに念願かなって放射線治療をやれるとは本望だ、俺はそういう星の下に生まれたのだろう」とか言ってて訳分からん。元原子力系の者ですが、分かる気がします。「社会から散々忌み子扱いされた原子力分野から派生した技術のうち、純粋に人を救う技術である放射線治療が行われている様をこの目で見られる」訳ですから。

オタク文化に対する表現規制の流れって「高齢のひとがナチュラルに持ってる偏見」との軋轢なんで、かつて「ロックを聞くと不良や犯罪者になる」と言ったものが、社会的地位を確立して行けば自然と消えたように、時間が経過してもオタクを止めないように、しぶとく時間を掛けて生きる必要があるんだよな

陰謀論が振り切れるほど面白いけど、真実に目覚めたことに疑問を持ってしまう人もいる諸刃の剣なんだなぁという感想になった。「真実に目覚めることで支払ったコスト、それでいいんですか？」と思ったけど、なんか50万くらいブッこんでも旦那がキレなかったみたいなのを見るに、やはり「太い」が必要。「太い」以外にも「失望しました反ワクチンコミュ抜けます」ってなっても他に属する場所があると抜けやすいだろうし、これはよろずのことにそうっぽい。クソブラックから抜けるとか諸々

人間というのは生理上、成長しないと不満を覚える生き物なので成長を善とする資本主義は相性が良かったが、資本主義の根底を支える人口増加は人類全体でも実は限界点はもう見えている。ある程度の所得になると女性の出産は2人に収束するし、人間の自然寿命に変化はない。とすると現代では出生率改善で増加までは達成できないので、人口増のためには移住、移民を促進する他選択肢がない。この状態で日本が人口を増やすには手は2つしかなくて、人類の寿命を大きく伸ばすか、女性を出産から解放するか。どちらも生命のデリケートな部分に触れる研究だが、宗教的タブーの少ない日本の風土がアドバンテージになる可能性もワンチャンあるんじゃないかと思いたい。どちらにしろ、現代の日本を復活させるには、そのくらいラジカルなアイディアが必要だろうと思われる。

「他人に迷惑を掛けたらダメだよ」としつけられているため、迷惑をかけることに背徳的な性的興奮を覚えるガキ

客「大将、大トロ握り2つ！」

“強い”大将「…たまにはお前が握ったらどうだ？」

“強い”客「フフ…」

オリンピックの元金メダリストが指導と称して怒鳴ったり暴行を加えたりするのから見ても、武道をやったからといって礼儀作法や事件をしないわけじゃない。そしてスポーツをやったせいとメディアは言わない。アニメやゲームが好きな人の一部が事件を起こしたらアニメの悪影響が…ってなるのは何故？

「へいらっしゃい、何を握りやすか？」

「金玉を」

「帰れ」

キャンセルカルチャーが単なるリンチというのは確かにそうだなあ。一人一人がめいめい気の済むまで殴るだけで刑量が定まっていない。しかし刑量を決めるわけにはいかない事情もある。相手の所属組織に「責任ある対応を求めます」という。このとき刑量を指定してしまうと強者性が露わになってしまう。だからもし「どれほどの処分をお望みで？」と訊かれても、「それはそちらで社会的合意が得られると思う処分を決めてください」としか言えない。あくまで「弱者である自分たちを、（相手の所属する）強者である組織が、自発的に守ってくれた」という体裁は守られなければならない。そうして「やりすぎだなんてとんでもない。処分を決定したのはあちらの組織がやったことです」として、いったい誰に権力があるのかは隠蔽され、「私たちの正しさが強大な組織を動かし、弱者である我々を守ってくれたのです。正しさはいつも私たちと共にあります！」と言って帰依を呼びかけるわけだな。しかしそこで刑量を定めたり判例を蓄積したりということをしてしまえば、それは司法という誰の目にも明らかな権力であり強者性なんだよな。そんなことはあってはならない。強者性は相手に握らせておいて、自分たちはあくまで「お願い」する側、配慮してもらう側の弱者でなければならない。とは言えこうした活動が定着してくれば「そうしろというわけではありませんが、これまでのケースでは皆さん○○という処分はされたようですね」くらいは言うようになるだろうし、まさにそうした引合いに出される事例が着実に蓄積されてはいるけれど、それでも刑量を相手に委ねる体裁は崩さないだろう。

ガチ保守「シコってねーで生身の女抱け」って、Aやめる代わりにＢって代替案出して子作り認めてくれる。ポリコレの奴ら「シコるのもキモい、女も抱くな」で全力で断種にかかってる。

バイト禁止されてる高校対策として、仕事するとよくわからない特殊な景品がもらえる仕組みはどうですかね。

GAFA勤務と喧伝して、中学生でも知ってそうな時短術を嬉しそうに発信していた数十のアカウント、ほとんどが死滅してしまったみたいだな。結局キャッシュポイントがさっぱり分からなかったけど、たぶんあれ運用してた人たち情報商材買わされてはじめただけの被害者だったんだろうなあ…

最近だと若者の車離れってニュースで、金がないんだから若者が車なんか買えるわけない。労働環境の改善をすべき！なんてのが一定数の良いねもらってたけど、そもそも田舎じゃ普通免許とって車もってなかったら就職できないし、車離れなんてどこの世界の話なんだって違和感しかなかったりね。

ボクのところにNFTの提案してくる人に、「最近、ご自身で購入したNFTアート見せてください」っていうと、誰も買ってないの面白い。提案する側が良いものって思ってないじゃん。

某芸能人が上京して驚いたこととして挙げてたのが「臭いこと」物理的に臭いと。匂いが漂ってくるのではなく明らかにその場所自体が臭いのだと。それを聞いた大阪出身の芸能人が「大阪のほうが臭い」と臭さマウンティングを仕掛けて笑いを取っていた。人の出すモノに自然の浄化が追いつかないのが都会。

軽犯罪法の立ち小便や徘徊はいうまでもなく、日本の法体系には「とても守るのがむずかしくてほとんど守られていなくて、普段はお目こぼしだが、その気になれば誰でもしょっぴける」構造が一杯ありますね。日本における人治の基礎です。

辞める人って、全く反抗的な態度は示さず、不満なさそうに見せといてパッと辞めるんだよな。退職決まった後によくよく話聞いてみると、めちゃくちゃ不満あるけど言っても意味ないんで、という感じ。

とある歯磨き粉のメーカーが製造ラインで空箱を検出するシステムの開発に数億円を投じたのだけど､検出率が異様に低く不思議に思って現場へ確認しに行ってみたら､いちいちアラームが鳴るのが面倒だからと従業員がセンサーの手前にわずか数千円の扇風機を置いて吹き飛ばして解決していた話

存在しないおばさんbotネタ案

・5階建てマンションの7階に住んでいるおばさん

・法律上、車として認められたので車道を走っているおばさん

・問題とは関係なく、平行四辺形ABCDの辺の上を動いているおばさん

・見ないうちに大きくなったおばさん

YouTubeの、社会の醜い部分を寄せ集めたような漫画広告、とにかく「人間が気になってしまうもの」の欲張りセットで注目を集めるために、「ダイエット食品売るための近親相姦漫画」みたいな脈絡が無さすぎる世界が量産され、一周回って朗らか。

前に食品工場で毎日流れ作業してたことがある。その時に思ったのは一品一品に対してお客様の口に入る大事な商品だと意識して心を込めて作業しろと上は言うけどそんなの理想論であって無限に流れてくる単なるモノをただひたすらさばくだけで必死なのにそこまで強いたら全員壊れて成り立たないよって。

談合を厳しく取り締まったら、入札自体がなくなって自治体が大弱りとか良く聞く話。何故に利益を出せない価格で無理に自治体の仕事を受託しなければならないのか、となる。自治体に見積もりができる人材がいないから、適切な最低入札価格の設定ができなかったりね。

本をほめるとき、「これは絶対に茂木健一郎氏に読んでもらうべきだ！」「DaiGoさんに絶賛してもらいましょう！」って言う最悪の褒め方が存在しそう。注意されたら「いや、それはDaiGoさんに失礼なのでは…」とドン引きすることで二重に相手にダメージ与えられるし。

小学生「先生、おもらししちゃいました」

最悪サイドに近い先生「先生もしょっちゅう漏らすので、大丈夫ですよ😊」

Amazonの段ボール潰しのバイトは5時間5,000円ですが、知的障害者と精神障害者が一緒に働いていて、「あいつらと、、、」的な事を精神障害者が言います。

「正しくない発言をする者は世界的に糾弾されて職を失うべきであり、我々正しい者はそうした監視を日々行っていくべきである」というアツい考えを持つのが、文化人とか言論人なの、「歴史から学ぶ」とか「教養が云々」とかが全て無意味なことを示してくれていて本当に大好き。正義を為していくぞ！！

「嘘を嘘と見抜ける人でないとインターネットを使いこなすのは難しい」という有名な言葉を生み出した人が、最終的に「嘘を嘘と見抜ける人間のほうが少ない以上、自信満々に断言して真実味を持たせれば何言っても勝てる」みたいなスタンスに着地したのは正しく闇堕ち感がある。ここ10年余りのうちに「使いこなすのが難しいとみなした層」の人であってもネットに接続せずに生きていく方が難しいように時代がなってしまったわけで、その変化を認識したところから「使いこなすのが難しい」層を食い物にする方向に行ったと見るとすごく一貫した行動ではある

一方、ロシアは鉛筆を以下略←このネタよく出るけど実はこの話アメリカ側の言い分が全く知られてない話で。鉛筆って宇宙空間で使うと細かい黒鉛のカスが飛び散って地上なら問題無いんだけど宇宙空間だと無重力状態だからその黒鉛のカスが何時まで経っても空中に漂って最終的に宇宙飛行士が呼吸する時にその黒鉛のカスを吸ってしまうんだよ。当然健康被害もあるわけでそれも含めてアメリカは鉛筆使わないんだよ。まっソ連は人が畑で取れる国だから人命無視してコスト優先できるって事なのかもしれないけど。

調査地の牧師があまりにもヤバい人間だらけなので一体どんな教育を受けているのか疑問に思ってバイブルカレッジに通っている人に教材やノートを見せてもらって一緒に見学にも行ったことがあるんですが、彼らは英語聖書の読み方を習った後は「アメリカのキリスト教自己啓発本」を学習しているんですね。「キリスト教リーダーシップ」だの「ジーザスのように人を率いる方法」だの「神様はあなたが考えるよりずっと近くにいる」だのアメリカ底辺キリスト教徒が読んでいるようなスカスカ自己啓発本を何十倍にも薄めて幼稚化・陳腐化させた内容を一生懸命勉強して現地語の説法に使えるように訓練しています。もちろん聖書原文を翻訳を比べながら批判的に読むとかそんな高尚な訓練は受けていなくて、教会関係者でギリシア語やヘブライ語が読める人もほとんどいません。でも聖書学校の授業科目を見ると「Greek & Hebrew」とかいう科目があるので何だと思ったら半期かけて文字を覚えるだけのスカスカ授業でしたwこんな状態なので神学的な議論などはほとんど何も出来ないですし、現地のバイブルカレッジで勉強しても現地に来る外国人宣教師よりも遥か下の水準にしか到達出来ないようになっています。これは高等教育を否定していた植民地期の英米系宣教師たちの愚民化・奴隷化教育の伝統を引き継いだものです。自称「俺はギリシア語が読める」の現地人牧師に新約聖書のギリシア語テクストで議論のあるような箇所を見せて「ここって何で受動アオリストになってるんだろうね?」のように聞いてみたところ、突然スマホでアンチョコサイトを調べて「これは動詞で3人称受身アオリストだ!」と親切に教えてくれました。いや、だからそれはもう知ってるからお前の意見を聞いてるんや、文脈的に過去である必要無いし何故受動態なのかもよく分からんやろ、と言うと「何で俺がそんなことに答えられるんだ」みたいに呆れて返してきて、いやでも受動アオリストで本当に納得できるのか、と聞くと「お前は神の言葉を疑うのか?」この人は聖書が神の言葉をそのまま写した書物だというような純朴な考え方を持っていて、近代文献学的な批判校訂の概念も何も無いので、聖書なんて都合の良い言葉だけを引っ張って来てもっともらしい説法をする道具だとしか思っていないようなアメリカン底辺クソ伝道師の縮小劣化版でしか無いんですね。これは現地にもう来なくなったある宣教師と話した時もやっぱり同じようなことを言っていて「彼らは権威づけと模倣材料の提供以外は求めていないし、その中身についても考えたりしない」のだそうです。だからアメリカのゴミのような自己啓発本でも神に近づく道だと思い込んでありがたがっているのだと。このように牧師教育の最終到達点が神学抜きで自己啓発本の模倣実践なので現地のキリスト教があらゆる面において俗悪極まりなく、迷信や偽情報の発信源になり、現実の問題解決能力も有していないのは当然の結果なのですが、現地人が自ら進んで植民地的状況の存続に満足しているようにも見えますね。

元恋人と会話してて、ふと俺が「アイスって食べる意味無いと思う」と言ったら、その後コンビニでアイスを奢ってくれて「ね、美味しいでしょ？」「こんなに美味しいアイスがあるのに、本当に食べる意味無いと思う？」「ちゃんと撤回して」と笑顔で言ってきて、そういうところが本当に好きだった

技能実習生みたいな労働を諸外国が外国人にさせてないと無邪気に信じられるのは、人間を信じ過ぎでは。

ゾーニングに関して言ってしまうと、古い世代が思春期の頃に苦心惨憺して手に入れていたようなコンテンツに、スマホ一つあれば小中学生でも気軽にアクセス出来てしまう（それもハイビジョン品質の）、そんな時代に、コンビニの青年誌がどうしたこうしたとか、何の冗談かな？としか思いませんで。まぁ言い換えると、そういうものが当たり前になっている時代だから、「じゃあ今度こそ、ゾーニングではなくて完全に排斥しよう」というのが、例の「社会的合意」かな、とも思いつつですけれどね。ただ、昔でも「ものすごく頑張れば」見れてはいたので。個人的には、ゾーニングとはあくまで「棲み分ける」という以上の効力は無く、ファイアウォールのような完全隔離のためのもの、と考えるのは違うと思っていますし。

昨夜の2月の勝者のドラマ第2話、痺れる展開だったな。小学校時代に神童と呼ばれて開成から東大行った陰キャが就活で苦戦する中、馬鹿にしてた塾の同級生が明治の体育会ラグビー部からバンバン内定取ってて、偏差値だけが社会の評価基準じゃないと気づくシーンは鳥肌立ったわ。（録画なのでまだ観てない

思想、「救い」があるかは大変重要で、かのマルクス主義も共産主義をキリスト教的神の国の到来に比定したからこそ、爆発的支持を得られた。一方加速主義や反出生主義など、停滞時代に生まれた思想は現状追認的で「救い」がない。そこが一部のインテリにしか響かない原因なんだよな。

高速道路の整備とクルマの普及が世の中変えた、ってのは誰でも思うことだろうが、その「変えた｣の内実ってのは、実はあんまり踏み込んで考えられることもなかったりするところ、あるとおも。たとえば、速度と俯瞰による現実認識がなしくずしに一般化されていったところ、とか。地理的な細部を全部「なかったこと」にしてしまえる現実認識というか。それが「キモチいい」という｢快適｣感覚と共に。

ネットで観た動画で、ある一流店の寿司職人さんが寿司の握り方を解説する時に「御家庭で一流店の寿司職人レベルの技術を習得する必要はありません。プロ野球選手にはプロとしての楽しみ方が、草野球選手にはアマチュアとしての楽しみ方がある訳ですから」と言っていたのに大変感銘を受けた

幼いころは実家が太かったので、貧乏人は努力不足じゃないのくらいのことまで思ってた気がしますが、成人してからずっと貧乏が続いたことで、そんな簡単なものじゃないと分かったし、人間は自分が経験した痛みしか理解できず、恵まれた奴は人の痛みが想像できずにサイコパスムーブしがちだと分かった

デパートに4℃があって「これが噂の4℃か！」と見てみたら20代、30代、40代のカップルや夫婦が和やかにショーケースを眺めていた。4℃をあーだこーだ言ってるのってほんとTwitterのごく一部のお話なのかな？現実世界はそんなの気にしないで楽しく過ごしてる？とりあえずみんないい笑顔でしたよ

Twitterやってると「意見や志向や思想が違うと仲良くやっていけない」みたいな感覚に陥りがちだけど、リアル空間はむしろ「意見や志向や思想がバラバラでも仲良くやる」が普通。良いも悪いもTwitterはそもそも繋がるフックが意見志向思想なので、感覚が麻痺しないよう注意が必要。

わが恩師、大濱徹也（故人）は優れて客観的な研究者だったが、文科省勤務の一流どころを相手に「君は客観なんてものがあると信じているのか」といって面喰らわせたことがあった。修行を重ねた高僧が「悟りはない」というようなものか。客観とは、それほどの高みにあるもの。常に自分の主観を疑うべし。

友達が弥助のこと知らなかったから織田信長が重用してた黒人の武士だよって答えたら「ポリコレで？」って聞かれたんだけど ポリコレで な訳ないだろ

私が小学生の頃から抱いている信念として、対立が起こった時、個々の争いは力強きものが勝ち、力等しければ数多きものが勝ち、数等しければ義信ずものが勝ち、義等しければ理直きものが勝ち、理等しければ道広きものが勝つ。この五つが肝要と考えてます

敏腕不動産営業マンに完璧な家を見つけてもらったり、敏腕弁護士に素早くトラブルを解決してもらったりすると、「プロってすげぇー！」ってなるし、実業はホントに素晴らしいな。若い皆さんはインフルエンサーとかの虚業に憧れずに、士業とかに憧れた方がいいですよ！僕はもう一生これですが…。「尊敬してます！堀元さんみたいになりたいんです！就職しないつもりです！」という若者に対しては「僕が君の年齢なら勉強して大学院か大企業に入るために頑張るから、そうした方がいいよ！」と返すんだけど、聞き入れられた試しがない。尊敬、多分されてないよな。別に良いんだけど。

人は、他人を非常に低い解像度でしか理解できない。人間は複雑怪奇だからそれ自体は当たり前なんだけど、問題は「低い解像度でしか理解できていない」を自覚できるかどうかだよな。自覚できない人は「あなたはそんな人じゃないと思ってたのに！！」と突然ブチギレ始める。解像度の誤謬。血を分けて、ともに20年暮らした親子であっても「何を考えているか分からない…」ということがザラの世界で、ちょっと付き合っただけで相手のことなんて分かるワケがないんですよ。よっぽど親しい相手でも、やっと5％分かってると考えるくらいが健全です。

「語彙力がなくてよく分からんなぁ」と思った一文、辞書を引いてるうちに「どうやらこれは統計の専門用語らしい」と気付き、問題は「語彙力」ではなく「統計の知識」だと悟った。辞書を引いても解決せず、統計の勉強をしないといけない現実、悲しみが深い。「英語で書かれてるから分からない」と思ってたのに「日本語で書かれてても分からないのかよ！」ってなる感じ、『進撃の巨人』っぽいな。「巨人を全員倒せば平和な世界が訪れる！」と思って戦ってたのに、あるところで「巨人をいくら倒しても理想郷は訪れない」と悟る感じだ。

5年半前、大学出たての無名のインターネット芸人だった頃、「こんな社会的地位ゼロの僕でもそこそこ幸せなんだから、売れたらどんなに幸せになるんだろう？？？」と思っていた。今、まあまあ売れた感じあるけど、幸福度はほとんど一緒だ。この先どんなに成功してもほぼ変わらんだろうな。「幸福は遺伝子でほぼ決まっていて、金や地位の影響はかなり小さい」という話をどこかで読んだけど、個人的な実感としても完全にその通りだ。社会的地位を失っても幸福度は変わらないと考えると、人生気楽なもんですね。テキトウにやろうぜ。

「統計によれば、協調性がない人ほど高収入。だから人との衝突を気にするな！」という主張をよく見るけど、典型的な因果と相関の誤りだと思う。能力が高くて高収入な人ほど周囲に合わせる必要がない、というだけじゃないか。能力がない人が周囲に合わせなくなったら本当の地獄が訪れるぞ。ホリエモンはそりゃ周囲の顔色を窺う必要はないだろうけど、普通の人は周囲の顔色も見た方がいいよな。「無能なホリエモン」を想像してみてください。恐ろしくないですか…？

最近やたらハードスケジュールで疲れてたけど、こういうのを見ると「頑張ろう！」という気持ちになるな。インターネット芸人として最もやりがいを感じる瞬間は、「自分のコンテンツをきっかけにしょうもない人が延々ケンカをしている時」かもしれない。

「人生の大体の問題は金で解決する」っていう話、正しいんだけど、「大体の問題が解決してるから幸せだと思える精神」だけは金で買えないんだよな。持ち合わせてない人は不幸なまま。逆に、「何一つ問題が解決してないのに幸せを感じる貧乏人」もいて、こっちは幸福度が高い。皮肉だよね、人生。「大体の問題が解決してるから幸せだと思える精神」、金銭価値に換算すると50億円くらいはあるだろうな。この強アイテム引けて良かった。幸福感度ガチャ。

今日のライブ配信をやっていて心から思ったことは、世の中には「正しいけど救いがない話」「欺瞞だけど救われる話」があり、後者を一生懸命書いてる人を茶化すのは社会のために良くないな、ということです。正しさは人を救わない。

「スタンフォード式○○」といった本の「スタンフォード式」には何の信頼性もないが、「スタンフォード式」に何の信頼性も求めていない人ばかりが読むので、まったく問題はない。

人類絶滅すればいいのにって発言してもふーんなのに、なんでリョナ好き公言はドン引かれるのか。前者の方が実現したときの罪は明らかに重いと思うのだが。結局個人の感覚なのよね。

死にたいと生きたくないの間には結構大きな壁があるんだよなあ

自殺したいけど、迷惑かける死に方はしたくない。そんな私は自殺志願者を止めに入り、裾を掴まれて一緒に落ちることに成功した。ああ、これが理想の死に方だ。死後、私は警察から表彰され、家族からも称えられた。

大学落ちてホームから新幹線に飛び込んで死にたいって言ってる奴に、新幹線は事故防止策が徹底してて難易度高いから普通の特急電車にしなさいってアドバイスしたらなんかキレられた理不尽を思い出した

同情するなら、金と、食と、誇りと、経歴と、良い人間関係と、婚期と、生きる意味と、悲観的な自分に前向きな言葉を投げ掛けてくれる人間をくれ！

就職するまで分からなかったこととして、一見普通だが精神を薬で保ちながら働いている人が想像の5倍はいるというのがある。

学生時代、体育の授業で走るのは遅いし球技もダメだし集団行動も足を引っ張ってばかりで体育会系陽キャさんの同調圧力が大嫌いだったオタクさんが、オタク界隈に来ると急に声がデカくなってペンラ持てとかペンラの色揃えろとかガチギレし始めるの最高にかっこよくて好き。

何らかの物語・出来事を理解するための枠組み（認知フレーム）が「強者と弱者」「加害者と被害者」という形に最適化されており、その上で「弱者」「被害者」の視点から物事を解釈する、というのが現代の標準的な物事の受容方法になっているのだよな。現状の社会においてもはそれが最も適応的なので。むろんそれは選択の余地なく弱者である人を救うためのものではあるのだけど、弱者でない人も弱者として振る舞う方が有利になるので弱者として振る舞うし、また弱者へ共感や同情を寄せることが「正しいこと」とされたことと合わさって「弱者の立場で物事に向き合うこと」は現代の道徳やマナーとなった。だから今は「一億総弱者」「一億総被害者」の時代なのだろう。そしてみんなで糾弾するための強者や加害者を一生懸命に探している。それは多くの人が強者であろうとして、食い物にするための弱者を探していた時代とやっていることのレベルに違いがないんじゃないかな。確かに「弱者が有利になる」というルールによって、選択の余地のない弱者が救われている面はあるのでそこは良い点ではある。ただ「弱者として振る舞うものが有利になる」という転倒によって「（暗黙の）ルールに合致する『弱者』」が救われて、実態としての弱者が置き去りになるケースが目立ち始めた。またその副作用として、「強者然とする強者」がすっかり食い荒らされ、あるいはそれを察して身を隠すようになり「強力なリーダー」というものが不足するようになってしまった。それは弱者・被害者のフレームに慣らされた我々には良いことのようにしか思えないが、そのために社会はだいぶ傾きつつある。

老婆「この毛を抜いてな、毛を抜いてな、」

「梅干しに巻きつけてボール状に加工したものを『木星』と言い張り、プラネタリウムの天井から吊り下げようとした？」

あっけに取られてる老婆「うん」

安全性と閉鎖性と窮屈さは比例しますからね。村社会にしろ終身雇用制にしろ安全性が高い仕組みは必ず窮屈になります。秋田県は日本一治安が良くて安全性高いですけど自殺率も日本一高いです。

フィクションに出る「ロリショタ」なんかほぼ全員身体が小さいだけの大人ですよ。鼻の下が鼻水でガビガビで、洗っても洗ってもいつのまにか手がネチョネチョしてきて、会話はあまり通じないけど「ウンコ」「チンチン」「パンツ」だけはやたらと明瞭に言う子供なんか出ないじゃん

Twitterでよく見る「日本はこれから衰退していくだろうけど、衰退するのは俺たちのせいじゃない」みたいなの、色々すごいよね。こんなのが大多数になったら、そりゃ衰退するしかないよね。

昔の欧米知識人が、社会主義を人類の理想と褒め讃えてていたのを読むと「こんな賢い人らでも見誤るんやな～」と冷めた気持ちになっていたが今なら分かる。当時の欧米は絶望的なほどの、格差社会だったのだろう…。

単にデータを分析した結果を示しても，都合の悪い結果は党派性から出た結果だと言われ，都合の良い結果は中立性が高いから出た結果だと言われたりする。いや、別にいいんだけどね、全ては愛すべき社会現象。好きなものにネガティブな情報に触れると，その情報が間違っているか、ネガティブな情報源が悪いものであると考えたくなるのは、まさにバランス理論を具現化している感じで、社会心理学の理論の中でもかなり強固に実感できる理論だなあと思う。

会社の偉い人『経営者目線で考えろ！』

若い従業員『なるほど』

〜一年後〜

『株主の半数以上の同意をえたので、現在の経営陣を悪しきガンとみなし、更迭いたします』

こないだ奢りにきた鬱で退職マンが「ぼくは、文句を言わずに嫌なことが出来るので『自分は強いんだ』と思っていた」「けど、文句を言わないだけでダメージは受けてるので、鬱になって無事破滅した」と言っており、『しんどさ』を周囲にアピールするのは『自己防衛』として有効なんだよな、と思うなど。

「将来世代にツケを残すな」ってフレーズが大嫌いなの、本当に将来世代にツケを残さないつもりなら、民間にある国債を全部日銀に引き受けさせて、今生きてる世代がインフレ（円の価値の下落）という形で債務を引き受けんかい！というあたりです。

散歩途中で、いろんな家の「におい」が鼻に飛び込んでくる。人の数だけ暮らしがあるのだなあとか、町が歴史なら家も歴史だなあとか、そういうことを散漫に考えながらほっつく夜の寒空。

「何とも言えない」「表現が難しい」などが出てきた場合、なんとかしてそれを表現して手づかみたいと思う心がある。

試験が終わってある学問を学びなおすとき、「試験の前の自分の学びはなんて浅かったんだ！」って痛感しがちだけどそれは当然で、試験に受かるとか高得点を取るという目標の前では本質を穿つ学びは遠ざけられるんだよな。だからこそ学びなおしは大事だし、今さら自分は高校数学をやり直して、その深さに感銘を受けている。点数関係ない学問は人生を豊かにしてくれる。

道は譲るもの、と思っておけば、譲ってもらえなかったときにストレスが溜まらないというライフハックがあります。他人には基本優しくしておいて、それでいて悪意を特に仮定しないのがうまく生きるコツかも。

ほとんど若者が知らないアーティストのライブに行って、同じくファンの友達と話してたんだけど、隣のおじさんに「キミたち何歳？」って聞かれて「2人とも21です」って答えたら場がざわついたのが一番の武勇伝かも

「女史」と言う言葉を消せば差別が減ると思っている頭の悪さが問題なのでは、という気がします。女性の現実の問題は、女史と言う言葉を消したところでガンとも揺るがないのに、一体何と戦っているんだと言うお気持ち。インテリの満足なのかなぁ。

カップラーメンを高いといえるような自炊能力は、既に文化資本なのですよ。自炊能力を身につけるためにお金や時間などを投資していますから。そういう投資をする機会がなくて、割高なカップラーメンと食べているというのが貧困ということなのですよ。自分で作ったローコストでおいしいメシ食って暮らすってのは計画性や我慢が必要な習慣だからね。材料買えばできるってもんでもなくて道具や調味料一式が必要だから一旦カネと時間がかかるし、コスト下げるには食材を無駄なく使う必要があるからよく考えなきゃいけない。服が欲しくなったら、スーパーの服売り場や、しなむら・ユニクロなどの安い服を値札だけ見てパッと買う。家電も何が良いか考えるのが面倒だから、安いのをパッと買う。気持ちに余裕が無いから、「セールの時にスーパーに行って買いだめしよう」とか、「安くて良い物を選ぼう」とか考えられませんね。「すぐ買える安いものをパッと買ってパッと使おう」なんて感じでやりくりするライフスタイルにマッチしたのがコンビニであり、ドンキホーテでした。いつでも開いてて安物が何でも売ってる店は、生活に手間を掛けたくない人種には魅力的なんです。安物買いの銭失いの典型ですけどね。「貧乏なのに割高なカップラーメンを食べる」「安かろう悪かろうの商品ばかり使って、結局は損をする」というのも、お金の余裕が心の余裕を奪ってしまうからですよ。「貧乏でも心は豊か」とはなかなかいかないですね。生活を切り詰めれば切り詰めるほどお金がなくなるのは、今思うととても不思議でした。料理が趣味で家事全般まかせろ！な人が、欝になった途端にコンビニ弁当やカップラーメンしか食わなくなった例をいくつも知ってるのですげー頷きながら読んだ。ほんとにお金がないと何も考えられなくなるんだよね・・・というより「お金がない」って事で頭がパンパンになるから考えれる余裕がほんとなくなる。「清貧」じゃなくて「汚貧」澱んだ世界から抜け出せなくなるんだ。実際、寝るとこもなくなる経験するとその状態がいかに怖いかわかる。米や調味料を含めて５千円分買い物して自炊で食いつなげば１週間コンビニ弁当よりはるかにマトモなものが食えるのに、その余裕がなくてカップラーメンと弁当とペットボトルの飲み物で１日千円使ってしまうという話なんだよね。スーパーには貧困と無縁そうに見えるあたたかそうな家庭の雰囲気が演出されてるから心が折れてる時には結構辛かったりした。自分が一番貧乏だった頃は小麦粉を大量に買っておいてそれを水で溶いてフライパンで焼いて食べてた。味付けはおたふくソースとマヨネーズ。ベーキングパウダーを入れると膨れて量が増えたように感じて満足感があった。このまとめを見て思ったのは、そういう工夫ができたということはまだ自分には余裕があったということだな。コンビニ弁当って、ごはんもおかずもいっしょくたに食べられるし、外食に行くより心のハードル低いし、腹も膨れるから、気力が出ない時は頼ってしまいますね。

超繁忙期は残業代も多かったけど、時間や精神的な余裕のなさによる場当たり的出費がかさみ、それが収入増を上回るほどひどくて驚くほど金が消えてった。生活にも気持ちにもゆとり大事

日本には職業に貴賎なしという概念が根強く学歴で収入差がそれほど大きくないんでサンデルの議論は日本人にはあまり響かない。逆にいうと日本はここ四半世紀に欧米とそれほどまでに乖離しているということ

全国のタワマンを片っ端からバッキバキに折って周りたい。そんで３階ごとにスライスして全国の過疎エリアにバラ撒きたい。オレ、疲れてるんだ。

何度失敗してもまた立ち上がればいい的なありふれた自己啓発や励ましを聞くと、どんな辛い挫折をしてもその都度復活できる回復力がある超人はそれでもいいかも知らんが普通の人の役に立つアドバイスじゃないよな。大抵の人は七転び八起きの前、五回も転んだ頃には既に精神的にやられて立ち上がれない。髭男爵の山田ルイ53世が、インタビューでひきこもり時代について尋ねられる時は大抵「あの辛い時代があったからこそ今があるんですよね？」と失敗をどう糧にしたか聞かれると言っていた。失敗して普通に立ち上がるだけじゃ足りない、教訓を得て成功に繋げないといけない。なんとも窮屈じゃないか。あの人は過去に辛い経験をしたから人の痛みが分かる、人柄に深みがある的な話、確かにそういう人もいるだろうが必ずしもそうでもないよな。世を恨み薄情になった、人格が歪んだとか、悪しき影響だけが残った例も少なくないだろうし、好かれる人はどんな要素も好ましく思われやすいというだけなのでは。周りから好かれる人は奇矯なところを個性的とか情緒不安定さを感受性豊かと好意的に認識してもらえる一方で、嫌われる人は人格のどんな要素もネガティブに取られるんじゃないか、という考え方は悲観的過ぎるだろうか。

『ロリエロコンテンツが子どもへの性犯罪を引き起こすかは不明だが、尾崎豊の『15の夜』は窃盗と器物損壊を引き起こすし、共産主義は内ゲバやセクト間殺人などの犯罪を引き起こします』えっじゃあ規制した方がいいよって話になっちゃいそうですけど、それでいいんすかマジで感がある。科学や自然法則は我々に忖度してくれない、という話を定期的にしてますけど、そういう言及の仕方をしていると、何かのはずみでロリエロコンテンツと性犯罪の関係性が『科学的に』証明されちゃったときに即死してしまうことにならんかなっつうか。なお言うまでもなく、聖書は同性愛者差別を引き起こしますし、コーランはイスラーム過激派のテロを引き起こします。それでも規制するべきではありません。引き起こされるヤツは頭がおかしくてどのみち別のものに影響されて犯罪するようなヤツです。違法なものを好む人は少なからずいます。規制は社会的にどうしたいか、でしかないですね。思想の自由を認めているから違法なものに手を出すのもあり得るんですね。隠れキリシタンを探すために踏み絵していくように、エロ絵見せて勃起したら捕まるみたいな世の中までいくとおもしろいかもしれないですね。

フォロー外から失礼しますという人はだいたいフォロー外である以前にコメントの内容自体が失礼。

ぶっちゃけ今のインターネットは死んだら仏概念が希薄なので、心配されてるうちが華だぞ。見知らぬ人間が犬死にするのは面白い、がインターネットユーザーのデフォルトになってきているからな

選挙前は投票キャンペーンの一環で「社会問題や政治を自分の事として受け止め、真剣に考えましょう」といった旨の話がよく出てくるが、それが大切な事だとはみな教わっているが、「自分が真剣に考えて導いた結論」など全く下らないものだとは誰も教わっていないのだから、実際こんな危ない話はない。「社会問題や政治を自分の事として真剣に考える」人間が増えるということは、その主観的には真剣な取り組みをあっさり蹴られる人間が増えるということに他ならないので、被害者意識だけが研ぎ澄まされていく。自分は常々、「政治などに興味を持たずに皆が暮らせる世の中が一番いい」と言うのはこういう側面もある

実名報道なんて「加害者は私刑のために実名報道されるべきだ」「被害者の人権も尊重しろ」「犯行現場が地元だったら注意喚起になる」って言えばそれっぽいけど「私は加害者の名前と顔を知ってネットでぶっ叩きたいです」になるとしぼむ程度の正当性しかないで～す。みんな本音を言っちゃえばいいのにね。1億2000万の中の1人の個人情報や卒業文集のこと知ったって何の得があるの？知りたいから知りたいですって正直に言えばいいのに、わかるよその気持ち、小賢しい正当化なんかせずにさ。それで群衆の一人になって安心な世の中をつくっていこうよ～有罪どころか起訴さえ確定してない魔女裁判火炙りの刑になった加害者をネットでぶっ叩いて、関係ない他人や加害者家族に被害が及んでも知らんぷりで。法律なんかそこにはなくて、法が定める再犯防止社会復帰のチャンスも全部全部押し流してしまえ～。人権だなんだ普段言ってるけど薄皮一枚剥がれたとこに人間たちの本性はある。あいつは悪いことしたんだからたとえ有罪確定前でもネットに晒されるのは当然だ～。ちげえよ。世間じゃなくて、マスコミじゃなくて、あなたが文句を言いたいだけでしょう？テレビやスマホに向かって嘆きたてて世の中はおかしくなったこんな奴がいるなんて世も末だって粗雑なこと言いたいだけでしょう？報道にはちゃんとしたルールがあるかと思いきや、警察の発表にぶら下がってスポークスマンしてるだけだったり、各社競い合って家や学校に押し寄せてるだけだったりするのでまったく信用がないし、その姿勢をマスメディアや世論が自省できない一点だけでも実名報道のデメリットがでかすぎるんじゃないか。ましてやネットの時代、加害者の家族にまで自殺を促す書き込みが殺到するとか、住所が特定されてビラが投げ込まれるとか、間違った人間を加害者の関係者と断定するとか、そういった副次的な悪影響はいくらでもあるのに、そっちには目をつぶっておのれの感情のために「実名報道をしろ！」って正気ですかみなさん。そもそも「疑わしきは被疑者の利」とか「推定無罪」という原則さえ守れてないのに何が法治国家なんだという感。でもスマイリーキクチに好意的なメッセージを寄せる人が飯塚おいたんのリンチには肯定的でびっくりしちゃうね。わたしの立場は「殺人や放火、強盗、強姦などの非常に重い罪の人間については現行犯あるいは指名手配中のとき実名報道可、それ以外は第一審判決で有罪の場合に実名報道可」。「加害者以外の人間の個人情報の漏洩についての厳罰化」。法治国家名乗るなら最低限ここからでしょって話。今の時代ネットに顔と名前が載るデメリットが本当にでかすぎる。起訴猶予だったとしても無罪でも、再就職先はかなり限られてしまう。もはや昔と同じ基準で考えるのは厳しい。ましてや有罪になった人間が一度罪を償ってから出てきたとしても、まともに雇ってくれる場所なんて社会の表側にはない。就職に際して戸籍も提出しなくていいところでひそりと働くしかなく、それが正当な社会復帰だといえるはずがない。そうすれば食い詰めてまた再犯する可能性も上がるだろう。ああでも「犯罪者なんかそんな日陰がお似合いだよ」って善良な人権派は言ってそうだね。自分に害が及ぶ可能性よりも、ネットで好きなだけ彼らを叩ける『自由』を優先したいだろうから。

あくまで例えだが、家で猫飼ってるのにペットショップで可愛い猫見つけたから衝動買いして、家の猫は捨てる、そんなグロテスクさをなんとなく感じる（人間同士の話なので、お互い了解の上なら問題ないと思うけど）。

多様性や反差別は複雑性や多面性からの逃走というのはそう思うのだけど、複雑性や多面性を受け入れてそれに耐えるというのは多大な精神的負荷を要するわけで、勇み足で「複雑性や多面性に耐えられない（精神的リソースの少ない）人間はダメ」という選民主義に陥らないようにする塩梅が難しい。突き詰めて考えれば、自分が反対しているのはリベラルというより「複雑性や多面性を拒否する考え方や行動様式」なのだろう。ただ「頭が良い（精神的リソースが豊富な）はずの先生方が複雑性や多面性から逃走して精神的リソースを節約しているのは一体どういうことなんですかね？」くらいのことは言ってもよかろうとは思う。ただそれも「頭の良い人間には皆を善導する役割がある」という身分制の肯定に繋がるので悩むのだが。いや個人的には自分は反リベラリストだしパターナリズムは必要だと思っているのだけど、ではそのパターナリズムの「匙加減」はどのようにコントロールされ得る/すべきなのかについて案が出てこないのだよな。それが無ければパターナリズムなど一瞬で腐敗するのが目に見えているわけで。

各分野に高度な学知が蓄積されている現代でも陰謀論や似非科学にハマる人は後を絶たない。高度で複雑な理解を超えるものが溢れると、何かに全てを解き明かして欲しくなる。Eフロムの『自由からの逃走』になぞえるなら、社会の複雑化があまりに速く進む今起きているのはいわば「複雑化からの逃走」か。物事は多面的で簡単に善悪や優先順位を判断できないことは皆が分かっているが、しかし普通の人は常に自身の価値観や判断基準を適切に問い直し続けられるほど強くも賢くもない。技術の進歩、価値観の変化が急激な昨今では尚更「複雑化からの逃走」の誘惑が強くなるのでは。社会の多面性、複雑性によって価値観や判断基準が揺らぐのは仕方ない。複雑化し続ける何が正しいか答えが与えられなくても自分で考え抜いて決断し結果に責任を持つのが本来の成熟した自由だと思うが、私を含む大衆には多面性/複雑性と自由は重過ぎる。何が正しいか分からないからその時代・地域で支配的な価値観（今ならポリコレだろうか）を援用して好悪の情を正当化するというムーヴに堕する、落ち着くのがいつの世も凡夫の性なのではないか。ある思想を多様な事物の分析に援用すること自体は正常な学問的営為なのだろうが、これで何でも説明がつくとばかりに複雑性から逃走したい人々がそれに飛び付いて正当性を訴える為の錦の御旗にすると、当初あったはずの高邁な理想・理念も歪められてしまう。

「悲しい」とか「寂しい」みたいな単なる気持ちを、単なる気持ちとしてでなく論理とか批判として表現するとめちゃくちゃにならざるを得ないけど、自分は合理的な人物でくだらない感情には流されないというようなセルフイメージを持ってる人ほどそういうめちゃくちゃな論理に落ち着きやすいと思う。なんというか、気持ちは気持ちでコントロールしないと論理的な思考をしようとしてもそこに気持ちが割って入ってきて意味なくなると思うんだけど、自分の気持ちを存在しないものとして一切無視することで論理的・合理的な思考ができていると思ってしまうというかなり王道の罠がある。だから、言い換えれば感情に感情としての居場所を与えることはひとつの知恵だと思うんですけど、「お気持ち」とかいって人の感情をばかげたものとして扱うことで知性を表現する人もいますよね。

宮崎に庭付き駐車場3台ガレージ月の戸建て買った友達のローンが月数万円と聞き、私は東京でなにしてるんだと思いました。九州かえろかな

自分の娘の成績に苦労させられまくってると、主人の母親と私の母親はまさかの大当たり引いて楽勝だったんだろうな…としみじみ思う…羨ましい…妬ましい…

ジャンプ+の読み切り作品のコメント欄を見ると、作品に登場したいじめっ子が改心するなりボコボコにされるなりしないと作品自体への評価がかなり辛くなるらしいということが分かる。面白かったーと思ってコメント欄を見ると「いじめっ子が酷い目にあってない！」っていう指摘がめちゃくちゃgoodを集めてたりして「そ、そういえばこの話いじめっ子居たな…話のメインじゃないからあんまり気にしなかったな…」ってびっくりしたりする

「理解してください！ここに私たちはいます！」って言って理解が進むんだろうかと、言葉で世界を満たすことの功罪について考えてしまう。外れ値5%の人達のために無限に文脈を飽和させることが、差別にとっていいんだろうか。

帰省中、陰部を刺激するとオナニーへの欲求が高まってしまうため、あえてあまり洗わないようにしていた。こっちに戻ってきて、あまりにも大きいできものがおちんちんにあるのを確認した。痛すぎて死にそう。人生みたい

ものごとを正しく楽観視するのは本当に難しい。個人的には「間違って悲観視する<<間違って楽観視する<<<正しく悲観視する<<<<<<<正しく楽観視する」ぐらいの難易度な気がするな。リスクをすべて考えたうえで「それでも俺はメリットのほうを取ります」とはなかなかいいがたいところがある。眉唾だが日本人はリスク回避志向が非常に高い民族らしく、ゼロコロナ信仰もそれによって生まれているんじゃないかと思った。

両者の話を聞いてどちらにも一分の理があるとき、自分がどちらの立場につくかは最終的に心、感性の問題になってくる。差別問題さえそういう節があるし、絶対的に悪いものを見つけるのは案外むずかしい。そこらへんを相対化したくなる欲求を抑えて文章を書く必要があるよね。

こんなにも世界中で個人主義が跋扈しているのは、人間の寿命が短すぎて、個人の人生ワンスパンでの幸福しかせいぜい一人の人間には考えられないからという説がありそう。いくら1000年後まで共同体が存続するといわれても、刹那的なまでに現在を極大化して考えてしまうのが人間なので、共同体維持のための対価を支払うのが正直面倒なのかもな。正月のあいさつ回りも面倒、鬱陶しいだけだし。こういうのってPTA活動と似ているというか…。芋煮会のために日曜日をつぶすのは正直面倒だけど、かといって誰か一人ができるレベルをはるかに超えている。

なぜ人間は妊娠に際して苦痛しかないのか？共同体に供する快感がないと誰も子供をうまないのではないか、と思ったが、妊娠で快感が得られる動物がいたとしてもすでに滅んでそうだ。身重は自然界でかなり大きなハンデなので…。

「死について考えるのは無駄である」という価値観が受け入れられているように見えるのは、それが無駄だったほうが労働に集中できるからという側面のほか、今の日本がもはや「簡単には死ねない社会になっているから」というのがありそう。死について考えることが青臭いとされるのは「死について考えたところでお前はまだ死なないけどな、お前はまだ中学生だから気づかないだろうけど」という嘲笑を含むから。つまり、医療が発達しているので死ねない、という事実を知らない人が、死について考えるという合意が共有されている。

自分がセックスの申し子と思いたくないので、キスで生まれてきたことを信じています。

もうみんな野山に帰ろう、自然とともに暮らそうって世間知らずエリートが言ってたけど、正露丸も駆虫薬も冷房も暖房も車もない世界に戻って寿命を縮められるのかな。今まで長い時間をかけてほとんどの人類が寿命を長くしてきたということは、本能的に長生きしたいのだと思うけど。

ニュース番組とかニュースコーナー、題名がよく「知っトク！」とかだけどこの世に本当の意味で知っておくべきニュースってあるんですか？ないのでは。

不倫騒動が話題になった純愛系のアーティストのファン見てると「あんなことがあったのに応援してるなんて、いい人だなぁ」という気持ちが止まらない。

そこらへんに自生してるスマホでウォーキングの動画を撮ると手ブレがすごいのですが、あれは手ブレがすごいというより人間の脳の視界補正能力がすごいのです。普段生活しててブレを感じることほとんどないし。

肖像権に配慮して大物アイドル、アーティストの顔が似顔絵になってものまね番組で出てくるが、肖像権が配慮されるレベルの大物なんて知ってる人はそれ見なくても絶対知ってるし知らない人は実物を見てもわからないので実質あの絵に意味なんてないさ自己満があるだけ。

「ひろゆきが教える、イライラをなくす方法」という題でラインにニュースが回ってきた。イライラの原因はあなたのその写真なんですよね申し訳ないけどという気になった。

議員に占める女性の比率が少ない！！って嘆いてるアカウントがあったけど、だとしても数合わせで半分ずつにしようという話でもないでしょうと思う。結果として半分ずつになるのが理想というかあるべきフェミニズムで、数のためにただ女性をというのは、人種を平等に取り揃えるアメリカの映画俳優アレコレ話と何も変わらないよね。数の比率のこと言い出したらじゃあトラック運転手は？農家は？保育士は？パイロットは？となってしまう（先天的に性差で職業に向き不向きがあるというのなら、男性がよく議員に向いている可能性も検討せねばならない…例えば高収入なので立候補しやすいとか…）

男性の性欲を抑える薬は存在しますし、私も服用中です。SSRIとかSNRIといった種類の抗鬱剤がそれです。その薬を必要とする病状と合わせて、飲めば性欲はほぼ消滅します。で、性欲による曇りが晴れた目には、女性はキンキンうるさくてブヨブヨしたキモいチビ、と映ります。正直おすすめはできません。おすすめできない理由は2点あり、1点目は女性に寛容に振る舞うことに強い苦痛を感じるようになることです。これは女性がオッサンに寛容に振る舞うようなものかと思います。2点目は、性欲に振り回されてアホなことをした過去の自分が心底嫌いになることです。常時賢者モードになるようなものですね。そんなわけで、もし男性の性欲が消えたら、ほとんどの男性は女性との関わりを避けるようになると思います。大した理由ではなく、単にムカつくからです。社会の維持のために繁殖は必要でしょうが、誰もが嫌がり、繁殖のときだけ仕方なく女性を近づける、みたいになる気がします。男性の性欲を薬物で制御できるようになったとして、それで社会が滅ぶとは思いませんが、男女の共同生活は滅びると思います。繁殖期以外は別々の群れで生きることになりそうです。もし女性の社会インフラ維持能力や武力が劣っていたなら、家畜のようにまとめて飼われるディストピアはあり得そうですね

「〇〇すべきだと思う。」って簡単にコメント欄の人は言ってくれるけど、たぶんそれができたら誰も苦労してないです。現場の人は須らく当然考えている

いつも自分たちによくしてくれる留学生が、あるお楽しみイベントが終わった後に悲痛そうに”Don’t be a stranger”(他人になってしまわないで)といってて、そういう類のモチベの「よくしてくれる」があるんだなと、申し訳ないがとてもシミジミしてしまった。他人になってしまわないでという願い。縁とはちょっと違うけど、出会ったこの関係を手放したくないという名残惜しさ。わかる気がするなあ。

ニコニコじゃすまずニヤニヤになってる

確変したので虹色に光っているババア

世のおじいちゃんやおばあちゃんが孫を甘やかすのは「甘やかせばいいだけ」だというのがありそう。自分の子どもは社会に出す上で厳しく叱らないといけないが、孫は叱る必要がないので楽だし、そのために子どもより甘やかすのだと思う。

太鼓の達人のゲームを持っていたが、CDが破損して途中で音楽が鳴らなくなる場合があった。無音の中でドンとカッだけが響く異様な光景は、世界終末の太鼓の達人を彷彿とさせる。

「短髪屋さん」という、短髪にしかしてもらえない散髪屋さん

相手に頼み事するとき「バカとうんたらは使いよう」とそっちを伏せながらハサミを一緒にわたす嫌な人

強キャラおじさん「何ってわけじゃないですがね、ちと、雨を降らせてみました😅」

上皇がめちゃくちゃヤフコメの皇室叩きに怒ったら、誹謗中傷も止むだろうか？「上皇ですけど、正直めちゃおこです。コムロンのことをあんなに悪く言うのは私が許しませんよ😡」って。

「日本も他人事ではない」がタイトルに入るニュースを全て受信するよう設定しているので、世界の主人公たる日本の姿を日々見られる。

「やっぱり裸になりましょう」っていうちょっぴりエッチな歌詞を「やっぱり裸足になりましょう」と間違えてしまった。急にアフリカ感が漂ってきた

外国人の虫歯治療に対するハードルが高すぎる。「ズキズキ痛む」なんて外国語でどう言えばいいんだ。

バカボンの交番前の「死者ゼロ〇〇日達成」、あの世界でも死者が出るのかとか、どう描かれるのかとかが気になって全然集中できない。

道端の「こども飛び出し注意！」、「女子供飛び出し注意！」だったらフェミニストたちに叩かれてそう

妊娠何ヶ月ですか？ってきかれて必ず秒単位で答えるキモい妊婦

妊娠何ヶ月ですか？ってオッサンに聞いてるキモいババア

もっと、喜怒哀楽や疲労があるにしても、こう、単純明快にスカッとした労働をしたいわ。

「一億総評論家時代」というか、とにかく人のすること作った物にイチャモンつけたい人でひしめき合ってる時代だなって思う。今まで自分らが謎の上から目線でそうやってきたから、何かを起こす何かを作るって心意気が皆無なのに、それに一切引け目を感じてなさそうな所がとても気持ち悪い。

反差別だって「差別によって他者の尊厳を傷つけたくない、心身の安全を脅かしたくない」ってところから始まるはずなのに、いつの間にかみんな「差別者という悪人になりたくない（その結果差別以外の悪を為すのは別に気にしない）」になっていくの、宗教の堕落っぽくて良い

こないだ奢りにきた元・偏差値７０の現ニートが「昔から何もできない自分が大嫌いで、だから勉強した」「でも、いくら頑張っても上には上がいて、むしろ頑張れば頑張るだけ、上が見えてしまって、心が折れた」と言っており、何もできない自分を許せるようにならないことには救済はないんやなぁ、などと。

わりと「誰もが差別心を抱えて差別したことのない人間などいない」ってのが社会なのだが、差別したとなると社会的に葬られるまでインコレクトな行為になったので、「これは差別ではない」と言い張るしかない状況であるとは思う。電車のホームレスの隣に誰も座らないのは差別か？　と言えばまあ差別なのだが。じゃあその電車の中にいる人全員が差別主義者として断罪されるかと言えば、社会はそうできてない。しかし、「ホームレスは電車に乗るな近づくな」というと社会は差別主義者として断罪しにくる。この辺りが不思議な力学。

葬式では、目の前の人物の死に対する気持ちと、「人が死んでいなくなること一般」の悲しい気持ちが交じる。儀礼が、特殊性と一般性とを圧着させる。人が死ぬ、という抽象的な悲しさがある。個々の人は、そういう抽象的の中へと死んでいくのだ、という感じもする。

人生は一度きりだが、正しく生きれば、一度で十分だ。

若かりし頃、お付き合いしていた人と買い物に行き、自分が本屋に、相手は洋服屋に用事があったので、普通に「ここは別行動したほうが効率がいいね」と言ったら、「効率的に生きるために交際しているわけではないでしょう」と言われ、そうだなぁと思って両方一緒に行きました。

昔、外国人に「神道に入信したいんだけど何すればいい?」って言われて「神社でお参りすればその瞬間から神道信仰者だろ」って言ったら「??」って顔されたことがあってな。キリスト教とかイスラームとかだと洗礼や信仰告白のような入信手続きがあるのに、神道には無い、ってのが不思議だったらしい。思うにキリスト教とかイスラームは「入会必須、入退会とも手続きの面倒くさい会員制サービス」で、神道や仏教は「祈ってる間だけ契約してることになる期間限定サブスク的サービス」なんだと思う。

共産主義とかジェンダー論が良くないのは、まずは、経験がないと分からない凄く多義的で両義的な筈の現実を「真実はかうだ！」みたいな形で理論だけでぶった斬ろうとする所にあるが、とりわけこの二つが悪いのは、その理窟で現実をマジでぶった斬る政治的実践の方向へと導いてしまうところにある。

1、2年勉強しただけの大学受験ですら終わったあとの開放感やばいのに、生まれてこの方ずっとやっていた皇族業務から開放されたらめちゃくちゃ開放感やばいだろうな。普通なら初日にガスト→スイパラ→ジャンカラ→鳥貴族のコンボを決めて泥酔全裸皇居のお堀に飛び込むまである。

政治を動かすのは常に善性ばかりじゃない、漠然とそして確かな隣人への憎悪だってあり得るというのはナチスあたり見ればわかる。

「みんな」を主語にする人には、「みんなそう言ってる」というように自分の味方にしようとする場合と、「みんなばかだ」というように仮想敵として使う場合があるけど、どっちにしろ「自分が抽出したみんな」から無自覚に「自分が抽出した」を差し引いたような「みんな」でしかない。「みんな」という人がいない以上、「みんな」という言葉にはそれだけで「自分が抽出した」という主観的な要素が入ってしまうので、例えば「みんなばかだ」というときには実は「ばかな人はばかだ」というような同語反復にしかならない抽出が起きてることがある。「みんながどんどんばかになっていく」みたいに思っているとき、みんなという巨大な幻のような存在が変化しているというより自分の見方が変わっていると考えたほうがふつうに自然と思えるけど、とにかくそういう気分のときはそうとしか思えない。

「若者の夢や挑戦を否定する大人」という構図は悪く言われがちではあるんだが、実際のところ「若者を焚きつけといて責任とる気もなく放置する大人」の方が極悪人というのはいうておきたい

みんな自分や大切な何かを守るために排除行為をしていて、それが差別なんだ。自分は差別はしていないという甘えを捨てろ。差別だけど、それでいいと言い切れ。差別を肯定せよ。自分は差別をしているという意識を持って排除をすれば許されると言ってる訳ではないからね、一応。排除するんなら差別主義者と言われる覚悟を持ってやれということ。排除してんのに差別はしてないなんて卑怯なこと言うなってだけ。

みんな無意識に「あらゆる差別は悪であり認められてはいけない」って正義の側に立とうとするからバグるんだと思う

Twitterで他人の意見を変えるのは不可能であろうから、愚か者や不届き者を吊し上げてみんなで棒で殴るぐらいがTwitterの丁度いいエンタメなのだろうというぐらいの感覚を持っていないといけないな、と思っている。いつか自分にも本格的にお鉢が回ってくる日も来るだろう。

ぱっとコップを全員分に配るとか、そういう事ができる人はすごい。コップを見ても「コップだなあ」と思ってしまう。

実家がまとめサイトなので青や赤のでかい文字やいいねボタンやアンテナサイトが玄関にある人

大学やら図書館やら美術館やらの予算が減らされたりなんなりしてるのは「悪の政権が文化というものを目の敵にしているから」ではなく、数十年前から続いてきた、「無駄遣いはやめていこうね！」という"明るく正しい市民の意思による改革"がその辺に波及しているというだけなんだと思うねえ。

男子中高生のホモエロを量産してた腐女子垢が、エロ趣味はそのままポリコレ拗らせてついに「ほんっと日本のロリコンオタクはフィクションだからって少女ポルノを消費することに麻痺しきってて……海外なら刑務所行きでもおかしくない異常な趣味ってわかってんのか……」とか言い出して絶望したなぁ

メガネをインテリのステロタイプ描写として書くことが名誉感情を害するかと言われたらそんなことはないのだが、女性への性的視や、黒人への黒人イメージなど類型として、インドア男性の描写があれば、それは同じように指摘するべきであるし、それを看過すれば厳しく責められても文句は言えないだろう。もしも、女性の性的視を糾弾する人たちが、この度のインドア男性と思しき人の描写を問題としないのであれば、そこに反省かもしくはそれ相応の釈明が必要だろうと思う。

「脱経済成長」なんてステーキ肉食い飽きた金持ちが健康食に目覚めて俺たちにヒジキばっかり食わせようとしてくるようなもんだからな。

人は遺伝子を乗り越えられるのか、みたいなことを考え続けている。ものすごく不安を感じやすい人、まったく感じない人がいて、その両者の差が遺伝子の差によるものだったとする。不安を感じやすい人が自己啓発によってまったく感じなくなることは可能なんだろうか。アドラー心理学も、もともと不安を感じない人が「これは自分に合う考えだ」と思って啓蒙してるだけなんじゃないか。

ノンアルコールビールを幼児に飲ませたというツイートが批判されているけどこれは面白いな。ノンアルコールビールを学校で飲んで停学になった高校生もいたけど、これが「アルコールが入ってないんだから何も悪くないでしょ」と皆が考えるようになればノンアルコールビールはビールでなくなってしまう。

「人と違っていてもいい」「個性が大事」とことさらに声を上げるのは、現在の環境が人と違っていたり個性を出すと攻撃されたりするから。そして実際、人と違うことにまったく不安を覚えない人はそう多くないので、これらの強いメッセージは再生産されてゆく。

「内職をするな、それは失礼だ」というお叱りに「ボクはこれが失礼であると知っていてやっているので、黙ってください」と返されたらどう反論すべきだろう。

私はtwitterは主としてメモ代わりに使っているので、入力したら自動的に日時のスタンプが付いて検索できるようなメモサービスがあればだいたい代わりになる。ときどきAIがいいねとかつけてくれればそれでいいんじゃないかな。

しかしまあ、実際問題、ちょっと年上の人で、新卒時からずっと一つの会社に勤めてる人に、たまにヤバいの居るからな、悪い意味で。経営側が長期雇用を全肯定しないのもわかる。なんとなくわかってきたことがあって、人間の集団て、矯正・強制・排除・選択のうち２つ以上は必須になる。必ずヤバい奴と、集団の目的あるいは集団内のメンバーの利害にそぐわない行動をとるやつがでるので。

明治末期から昭和初期の密造どぶろくとこれを取り締まる税務署の攻防の資料を読んでいるが、これはすごいなぁ。摘発隊が鎌や鉈で武装した一団に襲撃される事件や税務署員が殺害されて遺体が遺棄された事件もあった。地域全体に通報網を作って摘発を逃れたり、逆に税務署が内部にスパイを獲得したり。税務署の調査が来ると、村役場が「皆さん、税務署の調査に協力しましょう」と村内放送で知らせたり、村の電気会社が送電線をわざと2、３度切って電灯の点滅で知らせたり。税務署が夜に摘発しようと懐中電灯をつけて夜道を歩くと、そこに猟銃をぶっ放すので、税務署員は暗闇を灯りなしで進んだとか。村の駐在や役場などもどぶろく密造に協力的で、税務署が来ると小学校にどぶろくを隠したり、郵便局長が郵便袋に隠して「通信の秘密」を盾に調査を拒んだり。何せ学校の家庭科の先生が密造して、教師が振る舞っている場合もある。どぶろく版ブレイキング・バッドだ！税務署も負けずに麹屋を徹底マークしたり、村の酒屋に清酒をほとんど買わない家を聞いたりするらしい。税務署に酒屋が来たという話が伝わると、急に清酒の売り上げが良くなるとか。そして、村で揉め事が起こると、揉めた相手の家に税務署の調査を入れたくてタレコミが増える。税務署員の自転車のタイヤはすぐ穴を開けられるので、自前でパンクができるようにし、自転車屋並みに修理が早くなったという証言もある。押収されそうなどぶろくを実力行使で取り返そうとするものが多いので、ど摘発を担当する税務署員は選りすぐりで、格闘の邪魔になるので上着のポケットは取り外す。

さだまさしの「関白宣言」が性差別の歌に聞こえる人は本当に病院に行ったほうがいいですよ真面目に。あの程度の詩の読解、解説がなきゃわからないようなものでもないでしょう。クスクスと笑いを堪えて聞いてる女性の姿が目に浮かぶようなら、ちゃんと読解できてます

新しい中央公論に面白い記事が載っていた。ハードボイルドの魅力は究極の独りを生きていることであり、そのために必要なのは気取ったせりふや酒ではなく、衣食住のメンテを部下や女に頼らずこなせるスキルだった（そして橋本治という作家は実にハードボイルドな人だった、と）。西部開拓時代、ガンマンは実はエンジニアでもあったそうな。拳銃の分解掃除と修繕、馬の蹄鉄を鋳て鍛える技術…等々のスキルがないと荒野では生きていけない。そしてマーロウやスペードも含め、ハードボイルド探偵は海まで追い詰められた西部のガンマン達の末裔なのだ。では、現代でこの「衣食住のメンテスキルを取得して、究極の独りを生きる存在」はいるか？それは最近の漫画によく登場する「新しい趣味に生きる独り者のお婆ちゃん」。例えば『海が走るエンドロール』の「６５歳から映画作りを学び始める、夫に先立たれたお婆ちゃん＝うみ子」達ではないかと。読みながら「そうか。生活するための技術を取得していた婆ちゃん達は現代に生きるガンマン、ハードボイルド探偵の末裔だったのか。どうりでバスコさんがが好きなはずだよ。全部つながってたんだな」と感心しちゃったよ。実に面白かったわ。独りで生きていくために衣食住を自力でこなせること、というのは本当に「大人の男」として必要だと思う。「有害な男性性を捨てた新しい男性は家事もこなすもの」みたいな話ではなく、むしろ男らしく生きるためにこそ必要というか。自衛隊でいうところの「自己完結性」にも通じる話だ。

「目障りでしょうから隅っこの席で邪魔にならないように」って良いオタクなあ、あれさんざんに批判された「女だから会議では要らん事言わずにすっこんでいます」って弁え仕草理論だよねえ

「ルッキズムから降りよう」という社会的な合意形成が生まれると、表面的にはその論調に賛意を示しながらこっそり「抜け駆け」することへのインセンティブが高まっていく。これはこの前も書いたけど「顔や外見について言及すること」がどんどんポリティカリーインコレクトになるいっぽうで実際の評価はますます顔や外見で決まるようになっている。むしろそうだからこそ言及できないのか。高学歴者のいう「学歴はいらない」、金持ちのいう「お金なんか重要ではない」、こうした道徳的で社会適応度の高い標語が浸透すればするほど、学歴や経済力を希求することのインセンティブは上昇する。「ルックスを他人から強要されるような社会は生きづらいよね！」と、今日ではタレントやアイドルが語る。語れば語るほど共感を集めて道徳的評価を獲得しながら、しかも持ち前のルックスの相対的評価も高まっていく。「ルッキズムはよくない」と言いながら、街で店頭に立つ人たちのルックスはどんどん良くなっており、男性用スキンケア・メンズメイク商品の市場規模は右肩上がりで拡大しているし、スマートフォンなどの撮影アプリには「盛る」ための修正機能がどんどん搭載されている。人びとがこだわっているのは「私は人を外見で判断しています」という《差別者性》《加害者性》を他者に明確に発信しないことであり、それは「人を外見で判断していない」という事実を担保するものではない。

夫婦別姓、出産時になって子供の名字を決めることにすると多くの夫婦仲に楔を打ち込み不幸にすることが容易に想像できるので、子供の名字は結婚時に一旦決めておいちゃった方がいいと思うんですが、おそらくこの制度設計は夫婦別姓論者が描いている理想とはかなり違う保守的な結果になるんですよね。

「ペンは剣より強い」という言葉は、以前は新聞記者が使っていた用例をみて「戦争より言論の方が長期的には有効である」という含意の言葉だと思っていたが、原典のリットンをみるとリシュリューのセリフは「じかに手を汚すより、布告書に署名して手下にやらせる方が楽でいい」だった。

ジェンダー学の学生？が採用で敬遠されるみたいな話、ほんまにあるのか知らんけど、あるとしたら不勉強だからだろうなって感じがすごいする。基本的に勉強しない、ジェンダーの人たち。ただでさえ高校で理数ほとんどとってないみたいな状態なのに、本当に勉強しない。大事なことなので二回言いました。中学校ぐらいまでの５教科の基礎知識しかないのに、世の中のすべてを“ジェンダーで読み解く”たいなことしか習わないから、一般教養とか“抑圧”に見えてイライラして勉強できないんちゃうかな。初見の分野をズバッと斬る！みたいな歌会で４年過ごした学生、生産ラインとかにも敬意払えないだろうし。

いまの労働にしたって、こんなにまでプレッシャー掛けられて精神をすり減らしてまでやらなあかんことか？その見返りがこれっぽっちか？と思わないでもない。ふと、あの瀬戸内海の小さな島に帰って静かに暮らしたいと思うことがある。

仕事バリバリして世間に自慢しやすい結果を出してるからといって、必ずしも良い人生を送っているというわけではない。木陰でお昼寝したり、家族や友達とゆっくりお茶したり、読者や趣味に耽溺したり…という潤いがない人生はやがてカラカラに乾いて無残にひび割れる。密度と成果を求めすぎないのが吉。

いじめや差別をする心性と、奉仕や同胞愛を生む心性は、多分根っこは同じで、現れ方が違うだけなんだろうな。いじめも差別も最初から全く起こらないように人間性を改造したら、奉仕も同胞愛も多分一緒に全部消えるんだろう。

シャブが御法度なのは、ヤクザ映画だけの話じゃなく現実のヤクザもそうです。うるさくない組でも、売るのはいいが打つのはダメと言ったりする。言ってることとやってることが違いすぎるのだが、シャブでダメになった親分や幹部、組員、周辺者を間近に見てきた実感なんだと思う。シャブはやめられる。だってヤクザは例外を除いてほとんどの人間がシャブの経験を持ち、そこから離脱している。でも一発打ったら10年失うと思ってくれ。化学のトリップは、人生と引き替えにしても構わないほどの陶酔感かもしれんが、人によっては取り返しの付かない人生になる。覚悟してやってね。

インターネットには、ただインターネットをやっている人と、インターネットは悪！と言いながらインターネットをやっている人がおり、インターネットをやめた人はいないことが知られている

特別支援学校に通うほぼ全員の子どもたちがYouTubeの右下にあらわれる「広告をスキップ」を光の速さで押す。発語のない子も、重度のあの子も。その姿を見て「自分に得があるストレスの少ない活動」は習得しないわけないと確信する。

「家事は全て外注しろ！買える時間は買え！」という方針、たしかに収入は増えるだろうけど、幸福度は下がるかもしれないので要注意ですね。ずっとコンテンツ作りしてる方がそりゃ儲かるんだけど、僕は気まぐれにミートソースを煮込む時間が好きだよ。家事が労働の息抜きになる人は多かろう。文章を書くのに行き詰まったら料理をするし、プログラミングで過集中になったら風呂を洗うし、動画編集に飽きたら洗濯をする。それってすごく豊かな暮らしだと思うんですよね。ひとつの労働をしてる方が金儲けの効率は良いんだけど、楽しくはない。「労働の細分は人民の暗殺である」は真理だ。

昔「ヒモになりたい男性とヒモを飼いたい女性のためのマッチングサービス」を作ったんですが、1円も払ってないヒモ候補男性から毎日100件以上「年齢確認の審査が遅すぎる。どうなってるの？運営失格ですよ？」とブチギレの連絡が来て、「さすがヒモ候補だぜ！厚かましい！」と感じたのを思い出すな。

ヤフコメでめちゃくちゃ逆張りしまくってどれだけのbadを得られるかの遊びが楽しそう。

世の中のほとんどの人、「努力しない言い訳を探すこと」に長けすぎているな。このスキルは学習コストが高すぎるから人に任せた方がいい、完成度がわずかしか変わらないから、この作業はやらなくてもいい、オリジナリティを守るためにあえて勉強はしない、皆、必死で努力を避けようとしている。僕も23歳ぐらいのときは努力を避けていた。「これは学習コストが高すぎるから、合理的に考えればやらない方がいい」とかカッコいいことを言って、面倒を避けていた。でもその欺瞞の先には何もなかったですよ。努力しないと何も進歩しないから、やるべきことを最大限ひたむきにやるしかない。努力を避けるときはせめて、「やった方がいいんだけどめんどくさいからやらない！！！僕は怠惰な人間です！！！」と言う方がいいですね。「合理的に考えればやらない方がいい」とかカッコいい自己欺瞞をしてると、努力の価値をドンドン軽視するようになるから。自分を騙すのはヤバい。僕はいつも「このコンテンツを作るなら本当はこの英語論文を読んだ方がいいんだけど、面倒だからパス！ごめん！！！僕は怠惰な人間です！！」と独りごちています。「独創性を守るためにあえて勉強しない」とか言い出したら終わりだからね。せめて、自分の怠惰を自覚して生きよう。

定食屋でご飯のおかわりを頼んで「どのくらいにします？」と聞かれる度に、「茶碗すりきり1杯の体積を1としたときの0.4でお願いします」と定量的な表現をしたい欲求をこらえて「あ…少なめで…」と答えている。とかくに人の世は住みにくい。

勉強が面白くない理由は大抵「何を学んでいるのか分かっていない」に収束するので、そこが解消されれば楽しくなります。大学数学でフーリエ変換の講義が苦痛でしょうがなかったんですが、基本的なjpeg圧縮の仕組みを理解した後は楽しくなりました。自分が何をやってるのか、常に確認した方がいいね。イソップ寓話にもありますよね。レンガを積む職人の幸福度が全然違う話。

孔子でさえ「自分の意見はありふれたもので、わざわざ言うべきものでもない」みたいなことを言ってたらしい。という話を聞くと、Twitterで持論を主張することが一生できなくなるな。孔子よりイケてる論客の自負、生涯持てなさそうだ。

「もっとこうしてほしいです！」というコンテンツに対する要望、基本的には貴重な声として受け取るのだけれど、「こうしてください。大した手間でもないと思うのでよろしくお願いします」と言われると「こいつ一言多いな…」とげんなりするね。僕のめんどくささをなぜお前が評価するんだ。

面白い知的コンテンツに出会った時に「学生時代に出会っていればな～！勉強したのにな～！」と言う人をよく見ますが、それ言ってる人は学生時代に出会ってても多分勉強してないっすよ。勉強は別に学生の専売特許じゃないんだから、今から勉強したらいいじゃん。

最近、一緒に飲む人みんなが「闇金からとんでもない額を借金している」「会社の金を使い込んでしまったのでバレたらとんでもないことになる」「家庭環境がとんでもないことになっていて離婚秒読みだ」などのとんでもない話を教えてくれるので、社会のとんでもなさを痛感しています。

こんなとんでもない人たちが当たり前に出勤して当たり前に職務をこなして当たり前に社会が保たれていると考えると、社会の懐の深さに泣きそうになりますね。清濁併せ呑んでくれるのが人間社会だ。社会はすごい。

クリエイターの条件、「自分が良いと思えるから良い」という価値基準を持てることだよな。「世間でウケてるから良い」という価値基準しかない人はマーケターでしかない。創作はできない。

「生き方に正解なんてない」という表現、使い古されている上に正しくない気がするんだよな。どちらかというと「僕らには愚行権が認められているので、不正解の生き方を選んでも構わない」がしっくり来る気がする。新卒ブランドをムダにしてインターネット芸人になるのとか、明らかに不正解だからね。映画『ノマドランド』を今日やっと見たんですが、そんなことを思いました。「愚行権がある僕たちは不正解な生き方を選んでしまいがちだし、それは意外に美しいこともある」っていう映画だと思った。不正解な生き方で不必要に苦しむ人生の尊さみたいなものを感じる、地味だけど良い映画だった。

歳を取れば取るほど「錆びつかせるスキル」を選択しなければいけなくなる。語学力も、專門知も、身体的な技術も、磨かないと錆びるんだけど、全てを磨き続けると新しいものが手に入らなくなってしまう。せっかく身につけたスキルを錆びつかせるのは寂しいけれど、必要な覚悟なのだろう。「どうしてもこれは錆びつかせたくない」と思うスキルこそが多分、自分にとって大切なものだ。それは終生磨き続けよう。僕はどうしても「エンジニア」のスキルは錆びつかせたくなくて、1年に1回くらいWEBサービスを作ってしまう。本業と全く関係ないのに磨いてしまうのは、大切だからだと思う。これ、工学徒としての意地みたいなものが多分あって、新しいWEBサービスに出会った時に「オレもいつでも同じようなものを作れる」と思っておきたいんだよね。第一線のエンジニアとして活躍するスキルとかは全く要らないし絶対持てないんだけど、「最低限作れる人間」ではずっとありたい。

「病気で働けないし友だちもいないし金もないし不幸のどん底で詰んでます。もう死ぬしかありません」みたいなDMがたまに来る。生活保護を受けながら毎日Netflix・散歩・図書館三昧ができるし、日本国籍がある時点で詰んでるどころか持ち駒に飛車が8個あるみたいな状態だから安心していいっすよ。インターネットによって、娯楽の費用は限りなくゼロに近づいて、世界はめちゃくちゃ平等になったなと思います。どんな税金よりも協力な富の再分配だ。困難に思われた「寂しさの解消」さえも、ライブ配信やSNSなどでかなり充足できるようになったし、テクノロジーは全てを解決するって感じだよな。10年前、「キモくて金のないオジサンの寂しさ解消」は原理的に解決不能だと思ってたけど、結局バ美肉によって解決され始めているような気がするし、考えれば考えるほど現代のテクノロジーはすごい。弱者に優しすぎる。GAFAで強者が生み出すテクノロジーは、弱者に優しく寄り添っているのだ。「GAFAが儲かっててけしからん！」とか言ってる弱者は自分で自分の首を締めてるような気がするな。優秀な人にはどんどん富をかき集めて頑張ってもらった方が、結果として弱者にも優しい世界になりそう。トリクルダウン理論は経済政策においては怪しいが、テクノロジーにおいては正しい気がする。

「山手線ゲーム」って「山手線の駅を列挙していくようなゲーム」と「山手線のように順番がグルグル回っていくゲーム」でダブルミーニングになっていることに気づいた。「何気ない命名だが、よく考えたらすごい」ってもの、結構ありそう。逆に、「ハサミ」は最悪だよね。「はさむ」は「切る」というハサミの最大の用途を表現できておらず、0.3ミーニングくらいしかない。「山手線ゲーム」を見習って欲しいな、ハサミ。

「人生はないものねだりだ」と気づいてから、生きるのがだいぶ楽になったな。一人になると誰かと一緒にいたくなるし、誰かと一緒にいると一人になりたくなる。ずっと仕事をしていると休みたくなるし、ずっと休んでいると仕事をしたくなる。恒常的な理想状態などないので、現状を憂う必要もない。「めちゃくちゃ幸せだけど、どこか満たされない」と思っているのが多分ベストの状態なんですよね。人生はそういうものだと思って生きていくのがいい。「足りないものを完全に埋めないと」と考えると無限に欲するモンスターになってしまう。それは原理的に埋まることはないのだ。

AV女優の「今日もお疲れ様♡」という画像付きツイートに対して「疲れが取れる写真だね♡一緒に寝よう♡」と返している大量のオジサンたち、どういう暮らしをしてるのか気になるな。ちゃんと社会的地位があったりするのかな。

専業の物書きとしてもう3年くらい食ってるけど、未だに「文章を書くことの欺瞞性」に慣れないな。全てのできごとは複雑怪奇な事象の組み合わせであって、それをたった1万文字で表現することは極めて乱暴にあらゆる側面を削ぎ落として単純化することだ。

「家庭を持って子どもを作らないと人生は深まらないよ！」という説教かましてくるヤツ、「そんな決めつけをしてる時点であなたの人生が深まってなさそうですけどね」としか言いようがないな。

「あいつができないのは能力が足りないから」と言うと残虐な人だと思われがちなのですが、実はこの発想は優しくて、「あいつができないのは努力が足りないから」の方がよほど残虐ですよ。極限まで努力を要求して人を潰してしまう。無能を無能と認めることは優しいことなのです。

幸福に過ごすために一番大事なのは、変えられないものを変えようとしないこと。僕は大学生の時に「外向的な人間がイケてる！」と思って毎日膨大な数の人に会ってたけど、生まれ持った内向性は変わらなかった。で、人にあまり会わないようにしたら幸福度が最大になった。変えようとしない幸福。能力はトレーニングで変えられるんだけど、性質は変えられないんだよな。この2つは明確に区別すべきだ。混同すると「無能なことを開き直る」「変わらない自分を攻めてしまう」などのヤバい事態が生じるからね。

「実はこの間、入籍したんです！」って言ってきたら「ほう。入籍は離婚のときにしか使わない単語ですがね。」って言って場の雰囲気を最悪にしたい。結婚には一切触れず誤用だけを縁起悪く指摘する最悪人。

コブクロの「桜」、何回聴いても【史上最高にダサい韻の踏み方】で吹くんだよな。"なくさないで 君の中に 咲くLove…"「咲くLOVE」と「さくら」がかかってるんだけど、歌詞ダサすぎない？？？「君の中に咲くLove…」、中学生が書く恥ずかしいポエムっぽさがすごい。

「人生においてこの時間はムダだった。やらなきゃよかった」という悲しい話をする人が好きで、その悲しい話にはめちゃくちゃ価値があると思っています。なぜなら、真実だから。人間は失敗を認めたくないバイアスがかかってるので、「あの経験はムダじゃなかった」という話はかなり疑わしいんだよな。僕が書いた自分の起業失敗談とかも、読み返すと「この経験はムダじゃなかった」って書いてあるんだよな。実際この時はそう思ってたし、今でもちょっとそう思ってるけど、バイアスを取り除いてきちんと考えてみたら「ムダだった」という結論になりそう。

中学の体育の授業で「スポーツの目的は、楽しみながら運動をして健康になること」みたいに習った記憶があるんだけど、世の中のプロスポーツ選手、ガチでやりすぎてケガがつきものになってるの、「話が違うぜ！！」って感じだな。あと、アイスホッケーって、激しすぎて歯が折れたり気絶したりするのが日常茶飯事らしいんだけど、スポーツとしての設計が根本的に間違ってる気がしてならないな。

普通の先生「内職するな」

“強い”生徒「ぼくはバレないように隠しながら内職をしていました。でも先生は机の上の教科書を取り上げ、ぼくが英語の単語帳を読んでいることを確定させた。真実を知ろうとした先生の罪ですよ。」

何でもかんでも「結局は個人の好みだからね。正解なんてないよ」と片付ける人、それはそうなのかもしれませんが、それを言っちゃうと楽しいディベートが全く始まらないのです。あるかもしれない正解を想定して話し合うのが楽しいし、僕たちはそういう"個人の好み"なのです。

二重打ち消し線によって消されたご出席の「ご」が棄てられている井戸

「フォロワー」と言うと「フォロワー"さん"と言うべきでは？」と訂正してくるTwitterマナー講師、何が楽しくてインターネットやってるのかマジで謎だな。

おれもWikipediaに自分の記事つくって「社会精神動物学の父と呼ばれる。」とかデマこきてえな

カルヴァン主義って「ある人が救われるかどうかは決まっていて神しか分からない（予定説）」なので、「友だちと親しくしない」らしい。「そいつが救われるか分からないし、救われない人と親密にしたくないから」だって。友だちが少ない人は「カルヴァン主義者」を言い訳にするといいかもしれない。「宗教上の理由で」という言い訳は最強なので、こういうのをたくさん収集しておくとあらゆる局面で言い逃れができて便利そう。

恋愛の相談を他人に持ちかけると、何もしてないのに勝手に向こうからの信頼が深まっていって面白い。人類は自分の考えを聞いてほしがるし、ましてやそれが他人のあれこれ事情ともなれば首を突っ込まないはずがない。この調子で子育て結婚介護離婚死別特殊性癖暴行詐欺放火未遂呪殺絞殺毒殺陰謀政治的正しさについてみんなに相談しよっと

【裏拍バスアナウンス】

ッ次、ッ止まりますッ

特殊な性癖だからなのか、小さい男の子用のパンツをはいてるアカウントが「この角度から見るとやっぱりブリーフだな～って思う」ってパンツ脱いでトイレに腰かけた写真とともにしみじみと絶対共感されない「やっぱり」を投稿してて非常に良かった

現代日本の社会も、若者の思考も、ナチュラルに男女平等に近づいていると思うんですよね。それに対してツイッターのフェミニズム的なものの温度差がすごいというか、「普通に男女平等思考」との間に分厚い壁があるというか。本当に、私がこんなことを言うのもどうかと思うのですが、ツイッターのフェミニズム的なものの「社会性のなさ」って、ちょっと驚くんですよね。社会性はないのに時間と執念だけはありそうなのがまた本人を生きづらくさせていそうですし。

仕事中に上司が「あれ？なんか違うかも！」と言い出して完全に恋愛サーキュレーションだった

自分で野菜を育ててみてわかった10の真実

その1、買った方がいい

裁判沙汰に巻き込まれて、これから裁判してくる友達に応援として「勝訴しか勝たん！」ってLINEしたけどそれは当たり前だわ

ラブホにあまり行く事が無かった頃よく分かってなくてフロントに電話して「終わりました」って言ってたの思い出して死にたくなってきた

若い人達にアドバイスがあります。仕事でミスしても怒らない人は決して優しいわけじゃないから。もう呆れて期待してないから怒らないだけだから。だからわざわざ怒ってくれる人がいたら感謝しなきゃいけないんだよ。と言ってくる、怒ると叱るを混同してる人達から距離を置くと、色々なことが捗ります。

ニュースだけだと同じ記事に何度もアクセスする人はいないけど、ニュースに匿名コメント欄を設けると「自分のコメントに対してどんな反応が来たか気になって確認する。場合によっては言い合いになって連投する」行為が発生するので、同じニュース記事でもPVがN倍になることが期待できるんじゃ。つまり「治安の悪い匿名コメント欄」というのは、広告型ビジネスモデルとあまりに相性が良いのでやめられない

「最近の子はつらいとすぐ休みたがる」ってのはさ、休むことを教えてる親も増えてるんだと思うな。大事に大事に育ててきた我が子が、大人になってブラックな環境に潰される例が後を立たないもの。相手がおかしい時や自分が無理だと感じた時の逃げ方や休み方を教えるのに、親の方も必死だよ。逃げちゃいけないタイミングはもちろんあるけど、世の中にそんなもんは殆どないですよね。くっだらないことを「逃げちゃいけないタイミングだ」と思わせたがる奴がいるだけで。

ドラえもんを全く知らないけど日本語リテラシーの高い外国人が

1. 野比のび太

2. 剛田武

3. 骨川スネ夫

4. 源静香

5. 出来杉英才

という名前を見て、1と3と5は実在しない人名でフィクションのキャラクターだと一瞬で見抜けるのかどうか、名前に寓話性を読み取って「マンガだ」と気付けるのか気になる。何故こんなことを考えるかと言うと、アメリカ出身ではない英語のネイティブスピーカーが Marty McFly と Biff Tannen は聞いた瞬間にふざけてる名前でフィクションだと気付くと言っていて、確かにそんな名前の人間に会った事も無いけど、その感覚はどこから出てくるんだろうと思ったことがあるから。Акакий Акакиевич Башмачкин くらいだと外国人でもおそらく初見で「何この名前w」みたいに反応して、何らかのふざけ要素・非実在性・「それっぽくはあるけど多分作り物」的なニオイを嗅ぎ取れるかもしれない。

愛校心が生まれるのは学んだあとだし愛郷心が生まれるのは住んだ後だろ。異性に対する愛情も同じでアレは本来結婚してから湧くもんなんだよ。愛する恋人とゴールインというのは愛する郷土に引っ越すくらい本来は倒錯した話なんや。

ヤクザ映画 どう考えても全員悪人なのに主人公サイドをどうにか善に寄せるために「ウチはシャブはやらねェ」で一点突破を狙うの好きすぎる

語彙力ゼロ攻殻機動隊

少佐「頭の中からなんか声がするのよ……」

色々と資料を見てて思ったのが、とりあえずSDGs、AI、DXと言っておけばOKな感じありますよね。これ、数年前ならFinTechとかビッグデータ、社会人になったばかりの頃はweb2.0とかだった気がするｗ恐るべし、バズワード

同人漫画描いてて「何をやっているんだ」と正気に戻ってしまったときには、さらに突き詰めて「何をやっていようが人は死ぬ」というところまで正気に戻ることにしている

今のインターネット、もはや00年代から10年代前半くらいまでに見られた超優良な有志wikiとか個人サイトの存在を知らない世代が増えすぎてて、質の悪い量産型記事が蔓延るのが普通とされてしまっているの、金と力と時代の流れには逆らえないんだなあという悲しみがある。知らない世代ではなく知らない人間の方が正しそう(ぼくより上の世代でも、スマホ普及までインターネットに日常的に触れてこなかった人間はいくらでもいるので)

「皇族に人権はあるのか、ないのか？」という質問は、保守派にとってみれば、どっちに答えてもマイナスのインパクトがある。

保守派から見ての正解は「そもそもそんな疑問が世間から出てこないように、常に皇室の体裁を整え続けること」だったのだが、それがとうとう無理になってきたということである「皇族に人権はあるのか？ないのか？」という質問の答えは、結局は「そんな疑問が世間一般に普通に広がってしまった時点で、もう詰んでる」ということだろう。

移民政策や多文化共生が｢理想｣だと思って推進しとらす政治家や役人、財界人などが果してどれくらいいるのだらう。ならば、少子化が不可逆でどうしようもない、だから移民を入れて支えるしかない、という「実利｣ごかしのお題目と自覚して旗振りしとらす人がたは、どれくらいいるのだろう。

小さい頃は高いところが平気だったのに大人になってから苦手になったのだが、単に子どもの頃は「落ちると痛い、場合によっては死ぬ」ということを認識していなかった可能性がある

生きづらい人にも「生きるために必要なことがうまくできなくてつらい」タイプと「生きてること自体になんらかのつらさを感じる」タイプがいて、私は明らかに生きるのに必要なことが多々できないタイプだが、実感としては「生きてることそのもののつらさ」のほうに強く共感するので我ながら不思議。

内気な人を「陰キャ」と呼ぶことに抵抗があったけど「チー牛」って言葉ができてからどうでもよくなってきた

昔トルコから来ていた研究員に「元々数学も物理も教科書はずっと全部英語だったから英語には抵抗ゼロだ」と言われ、僕はそれを羨ましがった。彼は「これだけ沢山のテキストが日本語に翻訳されていることの豊かさこそが羨ましい」と言った。

なんかちょろっとTLに流れてきたけど今は「私はLGBT(正確にはもっと細分化されたlgbtqqiaappo2s)=セクシャルマイノリティって言った方がポリティカルに無難」って話めちゃくちゃだよな。もはやヘテロセクシャルが異端扱いじゃん。あれ？じゃあヘテロセクシャルってセクシャルマイノリティ？？

世にもでディルドがオチに使われたときのタモリ「次は、あなたの番かも知れませんよ？……おや？？(知らない間にディルドを握っている)」

Mr.坂上, Do you buy this mansion or not?

坂上忍「I don't ………………

はたして坂上忍は買うのか！？答えはCMの後！

ーCMー

めっちゃコミックウヒャウヒャウヒャヒャ〜

めっちゃコミックウヒョヒョヒョヒョヒョ〜

ーCM終ー

この豪邸を購入するのか！？坂上忍の答えは！？

坂上忍 「buy」

ゴー☆ジャスは、｢そーれっ！｣と言ったあと足踏みをしながら急いで国の位置を探しているように見えるが、実は足元でうごめく毒蜘蛛の幻覚に怯えて蜘蛛を殺そうとしているだけ

【無策】

アカン！西川君が気絶してもうた！！

こうなったらもう…

おしまいや………

「Twitterをやったことのない裁判官」にTwitterでの言論について判断させるとなかなか微妙なことにならざるを得ない可能性が高そうには体感するわけだが、かといって、「Twitterにどっぷり首まで浸かった裁判官」に同じ判断をさせるとそれはそれで別のバイアスがかかりそうで経験則というのは難しい

子供の頃から『怒る』ということは、ボコボコになるまで殴られることだと思っていた。どれだけ怒声を浴びようが心は動かない。殴られた後の青あざにだけ、他人の怒りを感じ取れる。

親にとっての育児って一見子供に教えてるように見えて、実は直視する事を避けてきたことを含めて、自分自身の過去のレビューと総決算を迫られる作業なので、子供を育てないと半人前みたいなのはきっとそゆ意味なんだろうなと思う。

本当に社会が詰んで崩壊すると、日常の中に当たり前みたいに殺人が入り込んできて、「殺してはいけない」という意見そのものにキョトンとし始めるんだな。「分からん、敵を殺すのは当然だし、役に立たない足手まといが死ぬのは良いことだし、何がいけないのか本当に分からない」こんな感じになるんだな。

眞子さまと小室さんを応援すると、うまくいくわけない2人を無責任に応援するな！って謎リプがくるが、私は未来のことを考えず今好きでしょうがない人と世界の裏側に自由を求めて飛び出す権利が万人ある世界を支持する人間なので...なぜならそういう世界の方が豊かだと思うから

プリンセスだって物分かりの悪い国を捨てて良いし親に借金あってもプリンセスを口説いて地球の裏側に連れ去って良い。そういう世界の方が自由だし夢があるじゃんね。可能性はあればある方が良い

女性を守りたいと言う意志は理解しつつ、圧倒的に、「食い物にされてる現実の女性」がいるのだが、それよりも、「アニメゲームマンガの表現のほうが安全圏の近い場所にあるから、そっちに意識が行くという育ちの良さ」でもあるんだよな。安全な生活圏にいる人にとっては、現実のそこにある危機よりも、虚構の世界の方が近いということはあらゆる社会問題について感じるところではある。

今日、赤子の通帳作りに郵便局行ったんだけど、通帳作る際のチェックリストみたいなので、局員さんが赤子を見つめながら、反社会的勢力ではないですよね？と確認してておもろかったな…

パンを自分で握りつぶしておいてパンが潰れたと怒ったり、ゼリーの蓋をくっつけていて欲しかったのに剥がれてしまったと怒ったり、靴の履かせ方が気に食わず一度全部脱いでからやり直したり、お風呂に折り紙を持っていくとごねたり、見てて飽きないですよ…本当に…面白いですね…。2歳児はな、親とか倫理とか法律とかそんなちゃちなモンにイヤイヤしないのよ。彼らは物理法則と基礎的概念にイヤイヤする。並行世界を統合せよという。大人には発想すらない事を言う。 幼稚園行くと急に「昨日と今日と明日の概念」を覚えるし、年長さんくらいになると「ママ、今日と明日行けばお休みだね、月曜日はお弁当の日だから、サンドイッチにしてね」とか言い出して「ヒェッ…ニンゲンだぁぁ〜」ってなるから、ほんとに一瞬なんだよな、あの宇宙的イヤイヤ。

子どもの脳はまだ物事を「連続」で捉えていないんですよ。「今」と「さっき」、「白いご飯」と「納豆ご飯」と「納豆ご飯を食べた時の口の中」が全部バラバラに存在してるので、「さっきを今に持ってきてほしい」とか「白いご飯を食べて納豆ご飯の味を感じたい」とかが彼らの中では可能なんですよ。バラバラのものを持ってくるだけなので。でも実際は全知全能のパパママにもそんな事は不可能なので「なんで！！！」ってなります。

【無常】

よし、やっと苦労に苦労を重ねて残業しまくって、45秒動画広告が完成した！出稿だ！！

→「うわ、45秒広告じゃん…4,3,2,1…スキップ」

消防車って個人的に買えるらしいし、手に入れたら気に入らない人の家をありえないくらいビショビショにしたい

ケンカしたら即追放される、真のSNSを作ろうかな

理学の知識は、人が地に足をつけるためにある。文学の知識は、人が空を見上げるためにある。

久々に図書館に来て「これだけの知識を人生で学びたい」という春みたいな感情と「こんな知識を人生で学ぶのは無理だ…」という絶望の感情が3:7で混じっていることに気づいた。どうせ家にあっても読まないんだけどね。ないものねだり。

なぜ日本語でCJKフォントを直してもらいたいのか、

「imagine your єnglιsЋ ҭєxҭ lѳѳks lικє ҭЋιs.」

の説得力がつよい

思春期の頃って、同性の子を好きになったり、性のゆらぎくらいはあるよね（わたしはあった）。そこで自分はトランスかもとか思い込んでホルモン治療や性転換手術してしまい、後で取り返しつかない若者がアメリカで増えてる事は、もっと広めるべきじゃないのかな…ホルモン薬飲むと、男性は早ければ一カ月で生殖能力が永遠になくなってしまうらしい。厨二病的にうっかりゆらいで手を出すのは怖い事だ。

最高裁判所の所歌、サビで「ああ　最高　最高」って歌ってほしい。

オリックス優勝の胴上げがぎこちないのをみて、ベイスターズが98年にセリーグ優勝したときに、ビールかけに使うビールは本来は冷やさないんだけど、久しぶりの優勝なので球団職員がその辺知らなくてキンキンに冷やしたビールでビールかけやらせて次の日選手がまとめて風邪引いた話思い出した。

ネット上でニュースが話題になる時の情報源は大抵国内外の通信社や新聞等で、旧2ちゃんやTwitter等のユーザーがいくらマスコミを嫌おうとも結局はマスコミ発の情報に依拠していて、口嫌身体正直なんだよな。

上から目線の人や偉そうな人に疲れてしまっている人は「その分野への知識や能力がない人ほど傲慢になりやすい」という法則を覚えといてください。わからない分野だからこそ、あれこれ文句が言いたくなります。気にしないのが一番です。

昔は整形とか美容医療って高いなと思ってたけど、地頭が悪い奴はいくら努力しても学力が実らないって現実をTwitter各所で聞いてから1000万円ぐらい出せば顔面リセマラできるのどう考えても安すぎると思うようになった。頭脳は整形できない

理系学部にいると面白いことも多くて、隣に以前いた化学の先生に重さの錯覚で同じ重さでも小さい重りほど重く感じるというのを実演したら「そんなはずはない」と言って精密秤で測り始めて実際に小さい重りの方が何mgか重かったので「やっぱり」と言われた。竹井機器頼むぜと思った。

身も蓋もないことをいえば、学問の生き残りの最善策は「理系分野の仲間になること」であり、自己相対化もかなぐり捨てたわたしわたしのミーイズムに終始するような学問領域は統廃合の流れに放り込まれる。どう転んでもそうなれそうにない学問は、SNSで「私の生きづらさ」に先鋭化した道徳・政治運動にならざるをない、ということでもある。

トランプが好き勝手やれたのは何をどう考えても価値のある不動産を抑えているからなんですよね。そう考えると反動的言論は必然的にリバタリアニズム、所有権の絶対的肯定に寄っていかざるを得ない。ということで、私は経済左派的な話はわりとプライオリティが低くなってしまいました。

夫に感謝したり夫とうまくいったりしてるツイートは伸びない

警察官ではなく警察犬のほうを「国家権力の犬」と呼ぶ頭おかしいジジイ

【ねぇよ】

「栗農家が選ぶ！絶対に食べるべき甘栗ベスト1000」

ものすごく賢い人だと思われて、その人が言うことはどんな奇異に思えることでも何か正当性があるとみなされて、訂正されたりとか疑問をぶつけられたりすることが一切なくなってしまうというのは本人にとっては良いことではなさそうだけど、期せずしてそういう立場になってしまうことはありそう

インターネットで「非モテは優良物件」って言ってる非モテ、大体人間性に問題ありそうなの、全体の損失だと思う。最初の方は人工知能より会話ぎこちないけど、優しくて仲良くなったら面白い話してくれる、人間性に全然問題ない男性、世の中にはいっぱいいる（ツイッターにはいない）

笑い飯がぶどう農園でのロケ、哲夫さん、摘む作業を手伝わせてもらう時「今まで一生懸命育てたのにええとこだけやらせてもらってすいません」て言ってたのめちゃくちゃいい人。

テスラ缶パーティーに集まる陰謀論者たち、しかしそこで内ゲバが発生し、ある参加者がテスラ缶を開いてしまう。そこに入っていたのは誘拐児から抽出したアドレノクロムであり、テスラ缶の売上はカバールに渡っていたのだった

マジで庶民がiDecoとか積立NISAとかやりたくてやってると思ってんのか。毎年給料が上がって老後の心配が無けりゃ、そんなハイリスクなとこに現金ぶち込まなくてもいいんだぞ……

ジビエに人肉を入れたがる英語教師

国民の多くが政治に関心を持ち、選挙に行きさえすれば世の中が良くなるはず、という能天気な楽観主義はどこから来るのか、それは恐らく、リベラル教の自己決定至上主義、という信仰による所が大きいんだろうな。

「はしたない」「みっともない」という道徳的な規範を、「それは権利侵害である」という法的規範として再構成しようとして失敗しているみたいな現象はある。「人前にエッチな絵を出すのはみっともない」という道徳論に留まる話なら、それはまあおっしゃるとおりですねとなると思うのだが、「エッチな絵は誰かの権利を侵害する」という法律論として出てくると、言われたほうも「お、表現の自由の話ですね」と応じざるを得ない

日本は「無条件降伏したらなんか国が良くなった」という世界史上でもよくわからない経験を積んだということもその後の国民一般の安保観に影響を与えていると思う。

両尻がデーモンコアなのですぐ被曝する珍しい人

ポルノグラフィティってポケモンでそらをとぶを使うたびに「なあお前の背に俺も乗せてくれないか？」って言うの？

「加害者の人権」が分かるかどうかは古典的なリベラリストの試金石なんですよね。これが党派の別を問わずいかに容易く見失われるかは飯塚幸三事件を見れば明らか。人間は被害者に寄り添う方が元来得意なのです（被害者バッシングはその裏返し）。リベラリストは「人の情」に反してる。これに対して最近の「リベラル」はどんどん「人の情」つまり「お気持ち」の方に寄せてきているわけですね。リベラリズムが欠けたデモクラシーはなかなか厳しいのですが、最近の「リベラル」のお気持ち化というのはその典型的な現象でしょうね。

家族にイライラ派がいるけど、話を聞くと他人への期待が高くて(本人自覚ない)、その期待を裏切られるとイライラしている。他人への期待値を限りなく0に近づけとくとイライラする事は少なくなる。

皮肉好きが行き過ぎると、もはや現実の何もかもに皮肉で距離を取っている自分自身を皮肉ってないことが逆におかしいという状況になる。そういう意味ではアイロニカルな人はもっとアイロニカルな人から見ると恥ずかしい存在でもあるんだけど、これは自意識過剰を自慢している人はさらに自意識過剰な人からしたら恥ずかしいというのに似てると思う（自意識過剰を自慢しているのが恥ずかしくない程度には自意識を欠いてるから）。

統計は割とポロポロ末端を取りこぼすのだが、まさにそのためにミクロ脳vsマクロ脳の対決の最前線にはなる

小さい時は家のブレーカーが落ちたら大興奮だし、台風で停電したらもっと興奮していた。大人になった今でもあの非日常感を大事にできていることに驚いてしまう。

数感覚が独特なポルノグラフィティ

このままのスピードで世界が回ったら、アポロe^{78}号はどこまで行けるんだろう

データ分析ガチ勢のスペースを聞いてたけど、「若い女をアサインすると商談時間が長くなり、受注率が極端に上がる」ということをデータを用いて上司に説明して、営業戦略に取り入れられたらしい。爆笑している。本当に悪い。メインがおっさんだから現状は有効だけど、今後女性の社会進出がより進んだ場合、同じ手は通用しなくなる。短期的に見ても相手が損するなり、競合営業がよりイイ提案をして来たら、そこで性別は考慮されなくなる。性別で多少の不利を無視出来るのは、一時的なものだと素人は思うな。そりゃまあ「当然」だな。データってのはつまり過去であって、過去に人々が犯してしまった罪、のデータが拾われるわけだから。ToBeでなくAsIs現状是認

USAの発達障害者が健常者に疎まれていないって思えないんだよな。プレゼン大国のアメリカが吃りとか早口とか自分一人で喋りまくるASDが週末バーベキューパーティーに呼ばれるんかな。

「辛い人生を歩んできた人は他人に優しくなれる」は偽だと思うが、「何かに挑戦したことのない人は他人の努力を軽んじたり失敗を嘲笑いがち」はまあまあ真

自称差別を許さないひとよりも役所の方が差別なく取り扱ってくれることを学びました

長いし最悪な結婚のスピーチ「結婚には大切な袋が3000個あると言われています。1個目は金玉袋で...」

「怒られるのは相手に期待されている証拠。期待してない相手に人間は怒らない」という言説、私も実際それは多くの場合において当て嵌まると思ってるけど、Twitterには「怒りたくて怒る人間」が大勢いて事ある毎にキレてるので、最近は説得力に自信がなくなりつつある

ミスド食うくせにカロリーなんかに日和ってるんじゃねぇ！！！！！！オールドファッションを食べたい欲はオールドファッションでしか埋められねぇんだ！！！！！

日本がハチャメチャになったとき、東京都民はどうせ5.56x45NATO弾のアサルトライフルを使うけど、道民は7.62x39のアサルトを使うんだろみたいな感じはする。

医師のDAIGO「あーこれは…Sですね」

患者『え、S…？』

医師のDAIGO「死です」

コンビニでタバコ買ったら久々に年確された、俺今年85やぞ

落語家のロストワンの号哭「えー数学と理科は好きですが、国語がどーうもダメで嫌いでして」

職場の平野さんっておばちゃんが電話口で名乗るとき滑舌が悪いのか「ティラノです」って言ってる様に聞こえてるんだけど、よく見たら平野さんのペンケースが恐竜の絵柄だったので俺の中で「滑舌が悪いだけ説」に小さなほころびが生じてきてる

「社会人になってもこのブランドの服やバッグを使ってる男はヤバい」みたいなツイートをたまに拝見しますが、正直そんな奴より子連れで警戒心の高まった母熊の方が何倍もヤバいと思う

たまたま拾ったノートが名前を書くだけで人を殺すことができる死神のノートで、それを拾った主人公が自分の正義感に従い次々とノートを使って人を裁いていくって感じの漫画の構想練ってるんだけど、どうかな？

タイトルだけは「激ヤバ死ぬ死ぬ手帳」で決まってるんだど

ハンマー投げの選手がハンマー投げた瞬間叫ぶのは、ハンマーが飛んでっちゃってむっちゃ悲しいから

満員電車でお婆さんに「あの、ご迷惑じゃなければお席...」つって友達が座ってる席譲ろうとしたら、座ってた友人が怪訝な顔しつつも席を立ってくれて、お婆さんもイマイチしっくりこない顔しながら俺の隣にゆっくり座ってくれて嬉しかった

むかしチンチンが萎んでる時あまりに亀頭がシワシワなのがずっと気になってて、意を決して泌尿器科で相談してみたら先生が「それは普通だよ」つって色んなチンチンの写真を見せてくれて、俺が「いろんなチンチンあるんスね〜」つったら楽しそうに「でしょ？僕も未だにウケてます笑」つっててよかった

高校生ぐらいのころ2ちゃんのDragon Ashのファンが集まる雑談スレで俺が、通っぽくてカッコイイという理由から「このスレではDragon Ashのこと龍灰って呼びませんか？」と提案してシカトされたときの事を思い出してしまい上手く呼吸ができない

規制のために作った言葉の定義や範囲がフワフワでそのまま便利に振り回そうとする。「いや指したい範囲をきちんと決めてくれ区切ってくれ」と言われると無言で逃げるか不機嫌なツラになって怒る。幼児ですよね。

2月の勝者のドラマ、SAPIX→開成→鉄緑と青春を全てを勉強に捧げたが理Ⅲ落ちの後期理Ⅰとなり、心機一転リア充を目指してインカレテニサーに入ろうとするが、勉強一筋だったので見た目も挙動もオタクなためセレクでトン女ポン女の先輩にクスクス笑われて闇落ちするのがリアルだった（TVerで明日見る）

2月の勝者のドラマ、アラフォー同窓会の中学受験トークで皆が子供の中学受験について話す中、唯一独身のA君が何十年も前の自身の中学受験についてマシンガントークしてて、現代では使い物にならない体験談に周りが「お、おう…」みたいな空気になってるのがリアルだった（huluで配信されたら見る）

正直、田舎の人間関係の中より、Twitterの方が「あれしろ」だの「これするな」は多い気がする

会社員やってるとさ。この会社に絶対必要な人材、と言われる人が辞めても、（会社がよほど小さかったり、ダメでなければ）大概会社は存続するものだってのは体験したりするのですよ。この候補は日本に必要な人です、と言ったって、その人が議員でなくても多分今の日本は回る。

「英語で受け答えできるのに枝野の名前を知らない日本人の若者」とかいうSSRレベルの逸材を街頭で探し当てるBBCのレポーター、冷静に考えると凄すぎて泣いちゃった…海外メディアはやっぱすげえや

Twitter“の”議論というのは、相手を知識量と論理で殴り付け、ギャラリーに対して「この人間は馬鹿/間違いを犯しています！」とアピールして恥と屈辱を与える暴力に他ならないんだけど、何故かこれを理性的で文明的な営為と思う人間がいる不思議

私たちは今でもよく楽しかった2011年のTwitterの話をするが、本当のところもうその輪郭がかなりぼやけてきてるのをお互い知っている。

近所のネット系企業に勤めている知り合いと立ち話。DXがなぜ日本で遅れているのかについて議論したが、曰く日本のDXは会社の効率を上げるためではなく、既存の組織や人間関係を守るために導入するので進むわけがないという結論に。テクノロジーに合わせて組織を改変するのが理想だが日本はその逆。イノベーションは組織破壊を起こすものだが、組織破壊(=和を乱す)は日本の組織では嫌われるのでなかなか進まないという話に。この矛盾に気づいたこの知り合いは、新しいシステムなどを相手の会社に売り込む際に、この担当者本人や組織にとって有利になるという「内向き」な理由で売り込んだらどんどん受注が取れるようになった、と証言。この知り合いがこのような考え方に気づかされたのが以下の本だと教えてくれた。日本の組織はこの「統治の論理」の力が異様に強いために変われないという話。

以前旅先で出会ったバックパッカーの中には、世界中を旅して見聞を広めているはずなのに何故こんなに視野が狭く物事の見方が浅いのか、と思う人達がいた。同じ本を読んでも読解力や知識量の差によって読み取れるものが違うように、個々の経験から汲み取れるものにも個人差があるということで。世界中旅して得た知見がそれ？と思うのは外野の大きなお世話であって、旅行の目的は何でもいいし外から見える成果が得られなくてもいいとも思うんですけどね。仕事から離れてリラックスしたり、特別な出来事はないが思い出深い旅行だって等しく有意義でしょうし。旅行者間でも人によって読み取れる情報の質や量に違いがあるのでは、という話です。

「現代の教育では学べば分かるのが前提だが、世の中にはすぐに分からないものがあると教えるのが古典教育」と橋爪大三郎が言ってたが、何でも分かった気になる全能感は危うい。全てネットで調べれば分かると誤解させる程に情報が溢れる今こそ、理解できてないと分からせられる機会が要るんだろうな。

法学議論で「天皇皇族に人権がない」というのは、正確にいうと、人としての尊厳や価値がないという意味ではなく、憲法上の国民の権利の保障を受けないという意味である。近代国家の自由で平等な国民が生まれた時に、そこに入らずに残された身分社会の最後の残りだということになる。

料理動画やレシピで卵を茹でるけど、真実の黄身ってぐらい綺麗に茹で上がるあの過程で常人には理解できない何かの現象が起こっている気がするな。

アメリカにしても、スリランカにしても、政治に無関心ではおれない国である。日本のように棄権が多い国を、とても民主的に成熟していて立派だとは思えないが、一方で、それを許している社会状況が恵まれているということに、ありがたいと思う気持ちも否定できないのである。

ドーナツの穴はドーナツを作る材料になるから、ミスド等で再利用されている。ドーナツの穴は貴重な資源なので、食べ終わったらミスド等に返却しリサイクルしよう。

天皇制が崩壊したので、そこらへんのおっさんを捕まえて天皇にしてみた。権威化が終わったので、今からおっさんを密かに殺して永久の権威を作らなくてはならない。

クレーマーに「うるせぇボケ。二度と来るな」と会社組織の責任で応えるのが管理職の役割なのだが、相手の言い分を聞いて「解決策」を練ると間違いなく下にしわ寄せが行く。１０年ほど前に「クレームには商機が転がっている」とコンサルがあちこちに吹聴したが結局は商機どころか消耗しかなかった。

リベラルを自称している人が、対立者に「お前の表現は表現ではない。豚の鳴き声だ」とマジで断言するのホラーですよね。

黄色いベスト運動とか焼き討ちや略奪が海外でおこると、嬉しそうに「庶民の怒りが！！！」とか肯定的にとりあげるマスコミや大学教授連中いるけど「お前の家って焼かれる対象としてリストのトップクラスに上のほうやぞ」って話なんだけど理解してないんだよな。あいつら自分が庶民の味方だと思ってる

ただ、ふつーの人が危機感持って、意識高くして、政治に向き合うと、行く方向は いしんやと思うな。家計的な危機感とネオリベポピュリズムは相性ええよ。

若い人達、「落選した人に投票してしまった＝間違いをおかしてしまった」という恐怖や罪悪感や失望感を抱いているという。教育や周りの雰囲気がそうさせるのだろうか。自分が多数派であるかどうかということを気にする学生は多い。でも、これに対してもっと自分を持てとか言うことは難しい。彼らが「負けないゲームをすること」に徹しているのは、それがリスクをとって勝負するよりは勝率が高い、ということを身をもって知っているからだ。でも、これは若い世代だけではなく、本当はすべての世代でそう。とにかく、「負けない試合をする」あるいは「負けの度合いを減らす」ことで精いっぱい。まあ、なので受験勉強だけが過熱し、内的動機づけによる勉強は盛り上がらない。今のように「負けないものが相対的に勝ち」という社会風土が変わらない限り、どんなに自発的総合学習のお題目を唱えても、そんな非効率なことを全力でやる人は限られる。もちろん例外的人間は常にいるけど。

選挙があるたび投稿している内容ですが今回も。「開票率1%(わずか)で当選確実なんてありえない！何かしら裏の力が働いている！」という主張を時折聞きますが、どんなに多い人数が投票する選挙だとしても、数千人の開票データ(や出口調査情報)があればほぼ確実に結果が見えるというのが統計の力です

ソ連の選挙は信任投票。候補者の名前が印刷された紙を投票箱に入れるだけ。反対票を投じたい場合はカーテンで仕切られたスペースに行き、×印を付けて投票する。翌日から身の回りで不愉快なことが起こりまくるのは言うまでもない。

日本の予算、めちゃ盛り上がる防衛費やコロナ費、科学教育への割り当てかき集めても社会保障費一本に劣るのが草

昔、24人のビリー・ミリガンて本がベストセラーになった時、日本でも「私は多重人格者だ」という人が沢山現れた。思春期の生きづらさを、流行りの精神的な病気や障害のせいと思えば楽になるし、その症例や特徴に無意識に自分を合わせ、自分は多重人格者だとますます暗示にかけてしまう。アダルトチルドレンが流行った時もそうだった。遡れば欧州で19世紀に流行ったヒステリー（神経症）の時代から、若者が自己の生きづらさや思春期のゆらぎを当時のトレンドの精神障害や病気に自分をあてはめ暗示にかけがちな傾向はある。わたしも多重人格？とかアダルトチルドレン？とかチェックしたし、過食症にもなった。思春期に自分は男っぽいと感じたが、当時はトランスジェンダーも一般的ではなかった。もしトレンドだったら、男になれば生きやすくなるかもとその道を探っていたかもわからない。その位ゆらいでたし、それが思春期。

「ASDと自己診断してます。生きるのが辛いです」とbioに書いてるアカウントを見つけ次第「精神科行ってちゃんと見てもらいましょ✨楽になれますよ」と声をかけるがブロックされてしまう。その理由がマジでわからない。本当にしんどいなら精神科に行けばいいのにな。私はちゃんと精神科に行ってASD用の薬もらってるから快適！これで他人の気持ちも察せるようになったし。

なんというか、「バットマンのジョーカーの仮装をしてテロ」というの、「社会的弱者の代弁」とか無理に社会的意義を見出そうとする可能性があるんだけれど、正直なところ、「京アニのテロと同じく粛々と裁くべき案件」だと思う。

国ガチャで先進国引けたのは感謝するけどその先進性のために税金ですり潰されるし、まあでも1人で生きられる程度にはなれたので後は介護的な意味でお荷物にならなければ完了できそうなんですよね。若者の明るい未来のためにも安楽死！！！言い続けると叶う日は来る！！！！！

「私はリベラルです。みなさん、自由に生きましょう！」

「やったぁ！恋愛も結婚も出産も親の介護もしなくていいんですよね？」

「もちろんです！みなさんは自由なのですから！」

「自由に生きます！ありがとう！」

「社会保障費がきつい！財政健全化！重税を課すな！インボイス反対！介護者不足！人口不足！」

な ぜ な の か

地球を孕ませたいので中出しのこと外出しって呼んでるおっさん

【まあ普通に偉い】

何って…投票しただけだが？

あるSF小説で、しゃべっている内容の概要を抽出する機械があって、訪問して沢山喋った偉い人の言葉を解析したら、全ての余計なものがはぎとられて何も言ってなかった、というのがあったのだけれど、この機械そろそろ作れそうな気がする。概要をまとめたら何も有意な事を言ってないって判断したら面白い。投票というのは、「個人が自分がどのような環境を望んでいるのか自分で考えてその考えを訴え出てよい」みたいな前提の理解があってはじめて意味のある行為になるんだと思うけど、その大元にあるべき権利理解みたいなものは我々にはないだろうと思う。そして、その大元の前提が（つまり「人と違う考えを持ってよい」という前提が）成立してない結果としてもの低い投票率があるのであって、その結果としての低い投票率自体を問題視してる人が多いけどあまり意味がないと思う。たとえば投票した人に10万円配れば全員投票してくれるかもしれないけど、それは民意が得られたという事実が得られるだけで民意が得られたことにはならない、ということを言ってもたぶん分かってもらえないと思う。だから「投票率が低い！」という怒りはあんまり理解できない。自分に怒りがあるとしたらそれよりも「人が考えを持ってよいということになってない」というかなり前の段階で滞留している。人と違う考えを持ってはいけないという人に投票させても、人と同じであろう判断を予想してそれを選択するという「美人投票」みたいな投票にしかならない。

個人としては維新は支持していないけど、維新の今回の選挙での躍進を批判的に説明する際に、大阪への偏見を丸出しにする人が多くて、正直、吐き気がする。そういう事をやるから、リベラルな人々はいろんな地域で支持を失う。他にも女性の権利の問題を訴えるために、わざわざ九州等の特定の地域をあげたりするのも同様。共産が伸びなかったのは、大阪で維新が議席をとったからではない。なぜなら、そもそも大阪では立憲や共産は小選挙区でほとんど議席を持っていなかったからだ。東京からやって来た人が、偉そうに上から「お前らはなっていない」みたいにいう人々の政党だ、と思われたら、誰がそんな政党を支持するものか。でも、「大阪には何言ってもいい」的に思っている人がいるのは何なんですかね。個人的にも何度も嫌な思いをしてきたけど、何様だと思ってんだ、と思うよね。昔、某新聞社のお仕事をしている時も、「維新の躍進は、中小企業中心の大阪の経済が衰退してるからでしょ」みたいに簡単に片付けられて、「だったら何で他の地域ではそうならないんだよ」と思ったものである。自分達が持っている偏見でステレオタイプを作り出しても、現実は何も見えてこないよ。首都圏に住むリベラル系の知識人が地方を蔑むシーンは、やっぱり頻繁にあって、本当に宜しくないし、目の当たりにすると嫌になる。そもそも今の首都圏でも、それほどリベラルが力を持っていないのだから、他人の住む地域についてつべこべ言わず、自分の住む地域で活動したらどうなんだ、と言いたい。何れにせよ、昨晩から大阪の状況をあげつらっている人たち、あなたたち差別について語る資格なんかないですよ。

維新、「学部生の授業料を半額にして、その代わり院生の授業料を倍にしつつ教員の給料を2割カットします」みたいなのが無茶苦茶上手い

「何よりもまず自分の生を基本的に肯定していること、それがあらゆる倫理性の基盤であって、その逆ではない。それがニーチェの主張である。だから、子供の教育において第一になすべきことは、道徳を教えることではなく、人生が楽しいということを、つまり自己の生が根源において（…）」「肯定されるべきものであることを、体に覚え込ませてやることなのである。生を肯定できない者にとっては、あらゆる倫理は虚しい。この優先順位を逆転させることはできない。（「これがニーチェだ」p23）」少し前に、爆笑問題の太田光がたしか通り魔殺人についてコメントを求められたときに「自分の生が最もつまらなく空虚だったときの無力感や苦痛」について語り始めて、その頃に見たピカソの絵について抱いた思いを吐露したことがあったと思うんですが、ここで話を「殺人の道徳的、倫理的批判」ではなく「自分の生が空虚でつまらなかったという実体験」に持っていく根拠になっているのが上のような「倫理がまったく通用しなくなる場合」についての話だと思います。自分の生にまったく価値が感じられないという人に、命の普遍的価値を説くとか、あるいは死刑で罰するというのはまさにそう所作が前提にしているものを欠いたままでしかできない、という話だと思います。タイムリーかどうかは分かりませんが。これを「いい話」に帰着させるなら、たとえば「すべての人は一定の手続きを踏めばかならず自分の人生を喜べるような何かを見つけることができ、その何かは殺しや盗みのような非倫理的なものでもなく…」と仮定を足していく必要があるけど、それをやると当初否定された性善説みたいなのに戻ってしまう。そして現にそうやって「いい話」に読み替えられていると思う。引用の仕方が悪かった。よさげに思える言葉があることより、そういうふうに「よい結論」を導くような不正をしなかったということが本当に大事なんだと思う…。そして、そういう狂った誠実さに感動を覚えるような体験はこんな断片を読んでも絶対にできないですね。

町内会から指定された家をお菓子貰いに巡るジャック・オ・ランタンイベントが昔地元にあったのだけど、大人になってからあれは所謂子ども110番の家を巡回するイベントで、子どもが何かあった時に「あの時お菓子くれた家」と飛び込みやすくする為のものだったと知ってビックリしたのを毎年思い出す…

クラクションを思いつく人「どうにか、あいつに死ねと伝えられないか」

政治家って特にある程度キャリアのある人だと、自分と全然違う立場の人でも実際に会うと「魅力的な人だ」と好感を持ってしまうことが多いんですよね。メディアで見てるとあんなに憎らしいのに。かつてはどぶ板選挙といわれましたが、選挙で勝ち続けてきた彼らが、何の「プロ」なのかを思い知らされます

まずは「山口の民度が低い」とか「大阪人は馬鹿」とかをやめて、それらの人も納得さえあれば自分たちの支持者足り得たのだという認識からだよね。「愚民が常識をアップデートすれば」みたいな考えも捨てた方が良い。

敗北すると先鋭化はむしろ進むという生きた教科書を見させて頂いてるようだ。無料の歴史教材がありがたくて手を合わせた

京王線の事件、ああいうのが起きるたびに「日常の中での狂気に対応できるのは、同じような狂気を持っている人か、狂気が日常になるまで訓練した人のどちらか。日常の中で狂気に接した時、即応できる程の狂気を君が持ち合わせてない事を祈る。狂気に接したら、まずは逃げろ」と言われたのを思い出す。これを言ったのは、現役の軍人さんだったのだけど。「自分だったらどういう風に行動するか？と考えがちだけど、とにかく日常で狂気に接したら、まずはどうやって逃げるか、これを考えておく位がちょうどよい。日常は幸せを考える場所であって、狂気を考える場所じゃない」とも言ってました。逃げる理由は「狂気の間合い」から逃れる意味もあるのかなと今なら想像できます。これの内側にいると、相手の狂気に影響うけてまともな思考をもてません。訓練積みこの「狂気」を乗り越える事もできるのでしょうが、普通の人は反撃するにしても相手の「間合い」の外にまずは逃げるべきと思います。

政党や候補者をおちょくり続けたワイが言うのもなんですが、選挙結果を見てあーでもないこーでもないとTwitterで井戸端会議できる今日の姿こそが、民主主義国のあるべき姿ですよ。言論の自由が抑圧され、選挙制度そのものがなくなったミャンマーやアフガニスタンの民の想いを忘れてはならないですな。

「昔自分も○○だったのでわかるのですが」って書きかけて「本当にわかるのか…？1年前の自分が何を考えていたかなんて、もう人間は思い出せないのでは…？」って筆が止まってしまった 変わるということは新たなイデオロギーに染まること 過去の自分の偏見の出自を追憶できるものなのだろうか。

薬の売り方が「風邪でも休めない人に」から「風邪ならちゃんと休もう」に変わっているの、何気に素晴らしいことだと思うので、みんな塩野義製薬をほめてあげて

オードリー・タンが困難な問題の対処法を質問されて、「8時間寝る。本当に困難な問題だったら9～10時間寝る」と答えたというエピソードを読んで、この人は信頼できると思いました。

発売日に買ったまま2年近く積んでしまっていた『反穀物の人類史』をようやく読んだ。いかに初期の国家というものが脆く壊れやすいものであり、狩猟採集生活と比べて有利でも進んでいたわけでもなく、「文明人と野蛮人」という対立や優劣のフレームで捉えることがいかに的外れかと主張する本だった。農業に従事させた人間から搾取して国家を維持する初期のシステムは本当に脆弱で、苦労して維持しても「蛮族」の襲撃で簡単に御破算になってしまう。そのバランスとして「農業に従事させた人間から搾取した上がりを蛮族にも分配する」仕組みが成立し、そこで囲い込まれる人間はまさに「家畜」なのだな。農業に従事する人間をコアとして国家を維持するシステムがいかに不自然なものか考えさせられる本で、こうした過程を数千年ほども経てきた都市在住者の子孫はどれほど家畜化が進んでいることだろうと思わずにいられない。逆にそうした過程の少なかったであろうアフガン人とはそりゃあ断絶もあるわけだ。そして家畜化というと考えてしまうのだけど、家畜のように密度の高い環境では、他の個体と融和的にやっていくために成熟しても幼い形質のままになったりするのだよな。それは精神的にも同様で、高い柔軟性を生涯にわたって維持したり他人への敵対心を抑えるために、幼い部分を残したまま大人になる。人間は子供の頃には誰とでも分かり合えると思い、思春期になると分かり合えない事実に絶望し、大人になると分かり合おうとする姿勢こそが重要だと考えるようになるという。然るに「他人が自分をどう見るか」という思春期の悩みを妥協できない大人が社会運動で盛り上がるのもまた都市の必然に思える。

自分の中の極力マニアックな性癖などをプレゼン形式で披露するという企画があったら、匿名希望で参加してみたい。何なら知ってる人たちどうしでも、100人規模で匿名なら参加したい。自分よりもえげつないものを見たいし、自分のものが紹介されるときにドキドキしてバレないか見てみたい。

イヤホンやヘッドホンしてる時、本が落ちてきたり何かに引っかかって不意にコードが引っ張られて、のけぞったりする時があります。全く予期してないので酷い暴力を受けた気分になりショックを受けるし、落ち込みさえします。暴力というものが人間にどれ程の悪影響があるのか、を考えたりします。

製造業は「その人でなければ出来ない仕事」を可能な限り「誰でもできる仕事」に落とし込み、「人ではなく仕組みが主役」となっていることが屋台骨だと思う。

極力自分がいなくても仕事が回るよう、プログラムを組んであらゆるものを自動化してみた。とうとう出勤の必要がなくなるほど自動化が進んだので無断欠勤を繰り返していたが、5日目に会社を首にされた。10年たった今でもあの会社では自分のプログラムが使われているらしい。

人間から見た猫のすばらしさを語る言葉はいくらでもありますが、逆に猫から見た人間ってのもなかなか大概だと思うのです。自分より遥かに大きな生き物で、意思疎通は少ししか出来ない。そんな謎の存在が衣食住を提供してくれた上で概ね無限に甘えさせてくれる。これは相当おかしな生き物ですよ。もし仮に人類の目の前に「人間よりずっと大きく賢くて、コミュニケーションは少ししか通じない、でも衣食住を提供してくれて、そして無限に可愛がったり甘えさせたりしてくれる存在」が突如現れたとしたら、我々は果たしてそれに抗えるだろうか？この「人類にとって『猫から見た人間』に相当する上位存在」の何がヤバいかといって、誰であれ可愛がってくれることです。我々が子猫でも大猫でも老猫でも可愛がるのと同じように、子供からおっさんになり、そしておじいちゃんになってもずっと変わらず可愛がってくれる上位存在。これはヤバい

選挙期間中にせいいっぱい「投票に行こう！」と連呼していた人が選挙のあとに愚痴ばかり言っているのを見ると、たいていの若者は、「なんでそんないやな思いしてまで投票に行かなきゃいかんのだ」という気になると思うし、選挙後も「投票して良かった」と言い続けたほうが筋が通るし効果も高かろう

「YouTuberのプロセスエコノミーとして企画会議を繰り返した挙句メントスコーラをやってしまう」の件、オモコロチャンネルの動画を思い出しました。ビジネス書なんか1冊も読まなそうな、ただの"すげー面白い奴らの悪ふざけ"にはどんな理論や教えも敵わないと思います。

時間停止モノの1割の側の役者に入ってゆっくりと余生を過ごしたいです！

環境に配慮したSDGs製品を買いまくったら自己破産した、という話をスカッとジャパンに送ったら、「採用」と書いた再生紙が戻ってきた。

不審者から子どもを守れる町にしていこう！と町内会めんどくさい！は絶対に相容れないのでどっちかを選ばないといけないのだが、そこらへんがリベラールな皆さんには伝わってない予感。

政治は「いちいち聞きたくないややこしいこと」「会って話すのも億劫なめんどうごと」を他の人の代わりにやってあげる仕事だし。ややこしいこと言うやつは「自分の代わりにめんどくさいことやってくれてる人」だよ

東京にいてネットと新聞とテレビからしか情報を摂取してないとわかりにくいだろうけど、維新を腐すヤツがいる限りは維新負け知らずだろうね。端的に言えば「何が嫌いかよりも何が好きかで語れないヤツは信用されない」に尽きる。「維新に入れるのが謎だ」っていうのは、維新に入れたおっちゃんおばちゃんからすると「お前馬鹿なの？維新は無いだろ」って言われてるのと同じ。そら大阪の人間は聖人君子だけで構成されてないから、そんな言い方されたら腹も立ちますし反発もしますわ。帰れ帰れ。とてもひどい、わりとひどい、なんかひどい、すごくひどいから選ぶ選挙では、「まあコイツならひどくてもええか」となった候補が選ばれてるよ。大阪で生活してる普通のオバチャンやオッサンにな、投票所にわざわざ行って投票してもらう、そうしてもらう為の声の届け方が上手い。その地盤になってるのは、維新だけじゃなくて色んな相手を口汚く罵るいわゆる「政治に詳しいヤツ」の存在よ。ネチネチ嫌味を言うやつは日常生活だったら嫌われるだろ。大阪の選挙活動で、そこが下手なのは致命的。ええのよもうややこしいことは。税金は取られたくない、なんか生活は良くしてほしい、政治はわからんが選挙には行くか。そういうフツーの人がフツーに自民党を止めた時に入れる先として、維新が選ばれただけ。「うちの方が、あれそれでやっていくから入れてや」って政党が無かった。せめてもよう、東京と大阪でネクタイ変えたりとかスーツ脱ぐとかしないの？ほんとにそういうことの積み重ねよ？

恐怖で腰が抜けて「ああ゛ッ…ヴヴヴッ～～！！」って叫んでジョボジョボ失禁してるはずなのに全然ズボンが濡れない人いたらそれはそれで怖い。(オムツ…？？)ってなると思う

トーンポリシングやシーライオニングは一応はニュートラル（？）に使いうる可能性があり、実際にフェミ以外にも多くの人々が使っているが、「マンスプレイニング」はそうではない。この「マンスプレイニング」という言葉、まさに「女性の女性による女性のための弱者権力形成」の象徴ワードになっている。」「マンスプレイニング」という言葉、高名な学者フェミニスト先生も「男性が偉そうに説明」「男性について使う言葉」と規定しているのが、これこそがジェンダーに囚われた言葉なのではないか、そこから現代のフェミニズムとはこのように弱者性の固定と維持こそが主任務になっているのではないかという話

スマホ中毒診断、「家にスマホを置き忘れて出かけたら不安になる」って項目あったけど、そんなんスマホ以外でも忘れ物したら不安なるやろ。パンツ履き忘れた人間に「ノーパンは不安ですか？ ならあなたはパンツ中毒ですね。一刻も早くパンツから卒業しましょう」ってなるか？ そうはならんやろ。

「就活や受験失敗しても人生終わらないよ!」だから困ってるんだろ

ネットでトロッコ問題が茶化されるのは、茶化さずにはいられないほど「しんどい」問題だからだと思う。あの問題は〝悪いこと〟と〝もっと悪いこと〟の二択であり、「できるだけ良いことをしよう」という実践理性が立ちすくんでしまう。だから真面目に考えるとしんどくなる。笑い飛ばしたくなる。ミクロとマクロ、全体最適と部分最適で答えが変わる問題でもある。マクロの視点では、5人を助けるために1人を死なせるのは〝正しい〟とされる。だけど、もしも自分が死ぬべき少数者の側に選ばれてしまったときに、「5人を助けるためだから仕方ない」と諦められる聖人は、そう多くない。たとえばコロナのワクチンは高齢者などの死亡率の高い属性の人々が優先された。健康な若者は打ちたくても打てない期間があった。死者の合計を最小化するためなら、正しい選択だ。しかしこの期間にワクチンを打てなかった俺たちは、トロッコの「1人の側」に選ばれたのだ。俺は運よく死ななかったけど。俺たちはしばしば「論理的・数学的な正しさ」と「善」とを混同してしまう。でも、この2つは違う。トロッコ問題で死者の合計を最小化するのは、たしかに「正しい」選択なのかもしれない。けれど、それが「善」とは限らない。俺の目には、「悪」と「もっとひどい悪」とを天秤にかけているように見える。

リベラル系アカウントを巡回したら、例によってすべて投票率が低いせいになっていた。

女ってモテない男がモテない理由はわかるんだけど、モテる男がモテる理由はわかんないんだよね。だからどうゆう男がモテるかの話になると女と弱男の意見が「優しい」とかで奇妙に一致してしまったりする

今回の選挙結果や投票率を見て「私の周りはもっと盛り上がってたのに」とか「私の周りで〇〇党に投票した人なんていないのに」とか「Twitterでは〇〇の声ばかり見たのに」という人、それがフィルターバブルであり、エコーチェンバーです。自分と傾向の近い人の声が自分の周りに集まりがち。

学歴厨退魔札、鳩山由紀夫（東京大学工学部計数工学科卒業スタンフォード大学大学院博士課程修了）

何がわからないかわからない人にとっては、わからないことがわかる人は何でもわかる人に見えるよね

iStockの透かしが入ってる画像、あれは「透かしなしの画像が欲しかったらお金払ってね！」じゃなくて、「お金払わないと使えないよ」あるいは「見てる人たちへ　この人はお金払ってません」っていう意味なんだけど意外と知られてない気がしてきた

昨日みた在蘭の方の呟きで、「オランダは商売人の国、だから雰囲気が大阪に似ている。先日買い物したら釣り銭の３ユーロを3万ユーロと言って渡してきた」と聞いて、急激に親近感が増している。

踏み絵を出された後「おれは踏むどころか、しこれますよ」といってしこり始めたため処刑された武士

福田恆存の『一匹と九十九匹と』は本当に良い文章でな。政治は衣食住と利害の調整は得意だが、個人の内面の問題、生き辛さみたいな事を助ける事は出来ないしするべきでもないという。政治がそういう部分に踏み込むのは他人の内面をコントロールしようとする事になるから。「そういうのを救うのは文学の仕事だ」というのが論旨だが、政治は多数派の生活を何より重んじ、そこを疎かにしてはいけないとも受け取れると思うんですよね。

言いたくても事情があって言いにくいことがある時は文頭に「鍵RT」と付けて存在しない鍵垢の発言ということにしてしまうといいぞい。

夜行バスで早朝目が覚めて見たことない地名ばかりの案内標識が流れていくのを眺める時間

夜行バスを降りて夜明け前の街に放り出されて唯一開いてるマクドナルドで仕方なく食べるソーセージエッグマフィンとハッシュポテトとコーヒーの味よ

リベラルが負けたのはべつに多様な意見を排除したからじゃない、国民の政治意識が低いこそこそ問題だとか言われても、現にぼくのようにJリベラルからの誹謗中傷や人格攻撃にほとほとうんざりして投票行動変えたひともいるわけで、個人的にはまったく説得力がない感じがします。ネトウヨがヘイトで論外なのは当然として、いまの左翼リベラル陣営は、ひとをひとと思っていないひとをあまりに味方に抱えすぎだよ。

人間の自然破壊がヤバいという普遍的なテーマが垂れ流されていた時代があった。平成である。『平成狸合戦ぽんぽこ』はまさにその顕著な例だろう。寄生獣もそうかな。とにかくあの時代は、タヌキが自然破壊をする人間を止めるべく戦う姿がキャッチーであった。そんな平成狸合戦の舞台である多摩ニュータウンは令和を迎え、無事に人口がガンガンと減少し、自然に飲まれつつある。「人間が来たら狸が住むような自然は無くなっちまう！開発やめろ！」とタヌキたちは叫んでいたが、何のことはない。時が流れれば人間の開発なんて簡単に緑の中に消えていく。しかも、たった十年かそこらで。今の多摩ニュータウンは、道路から雑草がグリグリ生えてきて危ない事この上ないし、害獣たちが闊歩しているので最早人の方が肩身が狭い。「人間から自然環境を守れ」というテーマは、現代の多摩ニュータウンには全く響かない。むしろ、「自然環境から人間を守ってくれ」と言いたくなる。人間はか弱い。あまりイジメるな。環境問題なんて、所詮そんなもの。タヌキはともかく植物がマジでヤバい。なんだアイツらの生命力は。植物には、マジでたくましすぎて勝てる気が全くしない。なんとなく、植物様に勝てると思っていた時代があった。それが平成だ。「俺は父さんを超えてしまったんです…」とかほざいていたトランクスくらい思いあがっていたのだ。だがようやく、私達も頭が冷えたのではないだろうか。ヤサイの国の王子にはどうあがいても勝てないのだ。地球人は。変身すらできない種族人間に何ができるというのか。どうあがいても植物様には勝てない。我々が共感するべきは『平成狸合戦』ではなく、『地球の長い午後』あたりである。なので環境問題なんて気にするだけ無駄だし、環境に配慮とか、SDGsとか、馬鹿じゃねえのと思う多摩ニュータウン民なのでした。

グレタさんの方法で人と人心が動いてくれるのなら、とうにこの世はより良い世界になっているんだよね。力ずくではうまく行かないのを、色々な難しい調整をして動かせるから政治家という職業が価値を持つのであって。

男の凶暴さはモテるし、社会的な凶器にもなるので、その凶暴さを共同体のためになるように誘導するのが「男の規範」なのよ。「その凶暴さを女子供を守るために使え」（男らしさ）という規範で。今の共同体なき自由恋愛ではモテのために使うしか誘因がないからマズイのであって。

「保護者とかウザい」みたいな若い精神に対し、じっと黙って裏からこっそり保護するのが大人の務めであり、国全体においては極力豊かな社会を用意するため動くのが務めなのだと思う。これは道徳というより多分生物的、本能的なものなんだろうな…ということがだんだん実感としてわかる歳になった。

思春期の頃「抱いて」というなんか綺麗で切ない言葉が“珍妙な動きで腰をカクカクしながらチンチンを出したり入れたり出したり入れたりする行為”を要求しているということがどうしても信じられなかった

ある分野についてネットには必ず自分より強いアカウントが存在するが、どのアカウントにも必ず自分より弱い点が存在するんだよな。誰しも最弱であり最強である。そういえば、ひろゆきってこの扱いが下手なんだよな。自分より英語やフランス語が強いアカウントが必ず存在するんだから、英語やフランス語でマウント取って負けたらすぐに学際的に話題を飛ばしてマウント取ればいいんだよ。その点で、そもそも引き出しが少ないのかもしれない。

カートに小型犬のパピヨンを乗せたおばあちゃんが歩いてきて、信号待ちしてたやんちゃぽい小学生男子が「ウォー、かわいい」て叫んだらおばあちゃんが「あなたたちの方がかわいいよ」て言ってたし、それに対し男子は「俺たちはゴツゴツしてるので」て答えてたので嗚咽した

ここ最近、SNS政治の限界というのをひしひしと感じていて、SNSで極端な言動が5万RTされても、それがRTされるのは「自陣の5万だけで、そこから全く広がってないんだ」ということを非常に強く感じる。だけど、「5万広がったらすごい世間に広がって支持を得ている」と思いがちなんだよな。ハッシュタグで数万盛り上がっても、「外に接続してない」という問題。相当感じるところ。５万ハッシュタグが出れば、トレンドにも乗るし、世間に広がっていると感じるけれど、実際には、自分たちしかいないってことが、「全くSNSは可視化してくれない」んだよな。この周辺、どうやって見えるかできるんだろうとは思う。

「みんな」を想定して自分と比べると、何でもできる無敵生物を相手に劣等感をつのらせることになるので、比べるなら個人がよい。「こいつは絵がうまいけど目を突けば倒せるな」「こいつは金持ちだけど目を突けば倒せるな」と、勝てる部分が見えてくる。

「なぜ英語を聞いて理解できるのに自分では流暢に話せないのか」「いつから母語は流暢だと錯覚していた？お前は日本語で書かれた小説を読めるがその文体をスラスラ万単位で書けるのか」

説明しよう！ファンタジー衛生警察とは、公衆衛生や医療が主題のファンタジーでも無いのに中世っぽいだけで衛生を心配してくれる優しい警察の事だ。尚、街並みがどう見ても中世じゃなかったり語っている事が産業革命のロンドンだったり帝政ローマだったりするがファンタジーだから関係無く心配するぞ！

「若い女にしか価値がない」「女の良さなんか若さだけ」と言われて10代後半とか20代前半とかはビビってたけど、実際価値とやらが落ち始める年齢になってみると、他人から見た自分の価値そのものが割とどうでもいいというか、南海トラフへの恐怖とかの方が爆上がりするんで、皆安心して歳とっていいよ。

マスメディア批判を盛んにやってるネット民が簡単にマスメディアの人気者政治家ゴリ押しに流される現象、自分だけは詐欺に引っかからないと信じてたのに騙される人が後を絶たないのにも似てる気はする。

「根暗な人あるある」のようなツイートに「俺だ」「わかるw」とリプライを送っている人を見かけると「私は、本当に明るくていいやつだな」と思ってしまう

【クレカ有効期限あるある】

期限が切れた時｢未来に感じていたこの西暦になったのか…｣と感慨深い

ドイツとフランスのメディアから「なぜ日本の総選挙には気候危機がないのか」という取材を受けました。ヨーロッパからすると摩訶不思議なんですよね。大洪水があったら驚いて「温暖化のせいだ」ということにした国にとっての「気候危機」と、毎年毎年何度何度も地震と台風と豪雨と豪雪に襲われ、地道にそれらに耐えうる社会を作ってきた国にとっての「気候危機」は、ずいぶん位置付けが違うかもな、とは思う。放っておけば雑草がぼうぼう生えてたいへんなことになるほど自然のパワーが強い日本での“環境保護”と、ハーブでもなければ草なんかろくに育たぬといわれるほど実は厳しい環境であるヨーロッパでの“環境保護”の違い、という問題もあるわけです。近代的環境保護運動のさきがけと呼ばれるナショナル・トラスト運動が英国ではじまったのが1895年。意外と歴史があります。まあ、そうはいっても、そのあとも産業振興と環境保護との相克は長く続いたのですが。ヨーロッパは総じて寒冷で、おまけに土地はあまり豊かとはいえません。よって、自然の回復力は、そんなに高くない。たとえば、木の枝先一本折ったら、その枝先が元通りに伸びてくるのに、一年程度では足りない、という話もあります。英国式庭園でハーブがよく用いられるのも同様の理由で、他の草ではろくに育ってくれないので、必然的にハーブが選ばれる、ということらしい。かようにヨーロッパの環境は厳しく、産業革命後の凄まじい開発によって自然の破壊が進むと、問題が顕在化しました。なので、割と早い時期から、ヨーロッパは否応なしに環境保護に熱心にならざるをえなかった、ともいえます。一方、日本は、そもそもの自然の回復力が強く、石炭の使用に伴って薪を使う必要が薄れたこともあり、山野の森林が蘇っていったので、そのあたりの事情が異なる。日本において、環境問題が切実な社会問題になったのは、1950~60年代の四大公害の頃からでしょう。環境汚染によって人体が蝕まれることへの恐怖が、否応なしに環境問題への関心を生じさせたというべきでしょうね。で、今は温暖化。正直、温暖化による諸々のリスクは、たぶん日本の方が大きいはずなので（ただでさえ居住可能地域が少ないのに、海面上昇で沿岸部が沈んでしまうetc.）、もうちょっと真剣になってもよさそうではあります。とはいえ、ヨーロッパ方面はいささかナーバスになりすぎという気もしますが。この手の話は、結局政治的文化闘争に回収されがちで、しかもこの何十年かは左翼/リベラル側にとって優位なイシューであったこともあり、冷静な議論になりにくいのですよね。個人的にはよくない傾向だと思っています。たとえばの話、温暖化による沿岸地域や島嶼の水没、あるいは食料生産への悪影響は、経済や安全保障に関わる問題でもあるので、保守や右翼勢力にとっても無視できる話ではないのですが、そのあたりが等閑視されているのではないか、という疑念がちっとはあるわけです。一保守人士としましては、いつまでも左翼・リベラル勢力に環境問題についてのイニシアチブを握られていてもいいのか？と思わなくもない。特に、環境問題についての科学的知見がこれほど蓄積された現代にあっては、それを無視して感情的に反発しても有害無益というものでしょう。

合唱コンクールでみんな普通に歌ってたのに、「花〜は咲く花は咲く」っていいながら造花を振り付けとして動かしてた組が優勝したの小癪すぎて思い出すたびにわろてまう

気候変動を筆頭とする環境問題が、そのスケールの大きさと深刻さにもかかわらず（だからこそ？）、いまだに「余裕のある人の趣味」的な扱いを受けがちな問題は、ほんとに考えものだなと思う。現実には「余裕のない人」こそ大きな被害に襲われるだろう危機で、すでに実感してる人も多いはずなんだけど。気候変動、たしかに「身近な問題」と呼ぶにはスケールが大きいし、二酸化炭素の排出量との関係など、やや抽象的・間接的な考え方が必要なのは確か…ではあるが、やっぱここまで立場や思想・信条を問わず人類がはっきりと「危機」として共有できるはずの問題もそうそうなくない！？と思うんだけどね…。「環境問題に熱心な偽善的セレブ/金持ち/インテリ」vs「環境に気を配る余裕のない庶民」的な対立作りもよく見るけどこれも危険で、現実には「庶民が環境問題で苦しもうが知ったこっちゃない権力者（自分の安全は金でなんとかなるし近いうちに死ぬので別にどうでもいい）」が沢山いるのが現状だから…。気候変動やジェンダーの問題は、経済や福祉などの「重要な」問題に比べて優先度を下げざるをえない…的な政治家の発言も見たけど、本来それらは切り離せるものではなくて、「気候変動やジェンダーが経済や福祉にめちゃ関わってくる」という現実を市民にいかに伝えるかが腕の見せ所なのでは…？と思う。日本（に限らずだが）、「環境問題への取り組み」そのものが制度や慣習として社会にしっかり根付く前に、「環境問題への取り組みという偽善を疑え」的な冷笑的態度の方が先に広く蔓延してしまい、結果として海外に遅れを取って化石賞もらったりしてる、的な面がある気がしてならない。と言ってるうちに世界気象機関（WMO）の「異常気象はもはや新しい平常だ」という報告書も。気候危機によってまず貧しい人（動物も！）、そして人類全体が甚大な被害を受けることを思えば、簡単に優先度を下げていい問題でないのは確実。#COP26 で何か進展があることを願う。

日本では就活でもっと大学で頑張った学業の中身を見てほしいという声があるが、こうなると文学部や理論科学は就職が厳しくなるので進みにくくなり、学生は高水準なGPAを求めて単位がとりやすい講義・学部に人気が集中する。経済・経営あたりの人気は相対的に上がるかもしれないですね。

えーただいま、女性差別的な発言をしてしまったという意見がございました。誤解を招く発言をしてしまい申し訳ございません。私は政治的に正しい思想を持つ人間なので、差別的な発言をしたことはなく、これからもないでしょう。

歌手とかの「遠い他人の悲しいエピソードと自分自身を無関係にしない」類の優しさと、「評判や名声が容易に可視化される世界で生きていく」類の図太さが両立しているのがすごすぎる

悪意によって自分の大事な作品の文脈をぶつ切りにして読んでくるような奴らがネットにはうようよいるわけで、そういった圧力にも屈さずに自分の芸術を貫くのはけしてラクではないよな

不器用な男が亭主関白たろうとしてるっていう不器用な愛の歌なんだけど、フェミニストがさだまさしを「人権意識の遅れた男だ」ってdisってて悲しくなった。さだまさしはこの後「関白失脚」っていう歌もつくってて、そっちではこの歌詞に出てくる男が関白を失脚して尻に敷かれてる様子も歌ってるんだけどね。そういった当時の文脈とか、人の持つ（決して正しくはないけどいとおしい）不器用さとかが全部ぶつ切りにされて、フェミニズムとかLGBTとか人権意識という圧倒的な正しさの前に解体されていくのをただ黙って見ているしかないのがつらいところですね。政治的正しさのために芸術があるわけじゃないのよ。むしろそういった正しさや道徳の下敷きになった人々のために芸術はある。そこを勘違いしてくれるな、とは思いますね

シコっている自分の姿を恥ずかしく思うことを利用して、自室の全ての壁を鏡張りにしてみたが、次第にシコる自分の姿をエロく感じるようになってしまった。今は1日10回シコっている。

ニーチェ曰く「道徳それ自体が不道徳の一つの特殊形態」なのです。道徳というのは、嘘と欺瞞で作られた便利で有益な装置なのだけど、それがそういう装置であることをみなが忘却することによって成り立つ装置なのです

これは道徳の話なのだが。「老人を大切にするべき」という規範は儒教の中に見られるが、「人は出来る限り長く生きるべき・生かすべき」という規範って存在するのかね？本能的に自然と人が思う事だとは思うが、何かしら道徳的に根拠があったりするのだろうか？神道は死を穢れと見做していて、死をマイナスの事と捉えてはいるが、なるべく長生きしろ的な事は……どうなんだろうな。何でこんな事を考えていたと言うと、江戸時代でも偶に80過ぎまで生きる老人がいてそれを養わなければいけない家族の負担は本当に悲惨だった、というような感じの記述を見かけたからです。

女性は妊娠が可能な代わりに、生理痛やそれに伴う心身の不安等を課せられている。全体として見れば性的資源として圧倒的に男性は無価値であり、女性は貴重な存在。その点において生得的な"格差"を超えた相手、又は対等な相手にしか女性は身も心も預けたくないという意味です。

映画ジョーカーのアーサー、殺害現場を見られても、自分に優しかった同僚は手を出さずに逃した。史実の事件、例えば津山三十人事件でも犯人は「お前はワシの悪口を言わなかったから堪えてやろう」と、自分を悪く言わなかった村人は殺さずに見逃した。案外、生死をわけるのはそんな事かもしれん。

「モテと暴力性」に関しては、みんなモテることを神聖視し過ぎているんだよな。巨乳の女性がモテるのは政治的/道徳的に正しい人間性を有しているわけではないように、ある男性が如何にモテるとしてもその事実はモテ男性が政治的/道徳的に正しいことを担保しないし、逆も然り。モテはあくまで只のモテ

ツイッターで爆発炎上してしまった人向けにツイッターアカウントを乗っ取ってあげる仕事でお小遣いを稼ぎたい

アラサーの体、みんなちがってみんな不調

偏差値ヤバい大学、「英語の授業でABCをみんなで叫ぶところからスタート」とか聞いたことあるけど、他にも「ノートの取り方」「挨拶の仕方」「敬語の使い方」とかやるとこあるって聞いて、大学のレベルじゃない以前に、「それを１８歳までにわからなかった奴に何教えてもたぶん無駄なんよ」感すごい。

世間の合意を得て、創作を駆逐するって言うのは、鉄腕アトムやドラえもんの原子炉搭載設定が、変えられてしまうって言うのと同じなんよ。手塚治虫作品はセーフとか言ってたけど、もう既に手塚作品にも藤子不二雄作品の首にも手が掛かってる

やっぱ水曜休みってあるべき姿の気がするな。7って数字聞いて5：2で振り分けたやつセンスなさすぎ。ダサい。風呂入ってないし犬からも嫌われてる。

結婚という制度、「性欲充足」「排他的承認欲求充足」「子育て共同体」という直行する3つの責務が密結合になってるので分解して疎結合にしたいって主張したらサイコパス扱いされた

いまだかつて、「高速道路で煽られました！」系の動画で、走行車線に戻ってる動画を見たことがない。

進次郎、同窓会に行って「みんないくつになった？」とか真顔で聞いてそう。

簡単に言うと、普通の人は「受けていい影響」と「受けちゃいけない影響」の区別と取捨選択ができるんですよ。ブラックジャックに影響受けて凄腕の医者になりたいとか一宿一飯の恩で人助けできる人間になりたいと思うやつはいても、モグリ医者になって独断で手術がしたいとか金持ちや悪人相手には脅迫じみたことをして暴利を得たいとかは思わないことができる。この区別と選択ができないのはその個人の教育や発育上の問題であって、メディアに責任転嫁するんじゃないよと。

道徳の授業では、模範ぽい解答をさっさと書き終えた後、いつも先生に言ってはいけない答えを妄想する時間だった

文部科学省に道徳観を押し付けられているような気がして本当に道徳が嫌いだったんだけど、中学生の時に思い切って先生に道徳が嫌いだって話をしたら先生から「色々な意見があるのが人間なんだよ。だからあなたは間違ってない」と肯定してもらえたことを思い出した。道徳問題って｢君はどっち派につくべきか分かるよね？｣という無言の圧を問題から感じるよね 多数派に賛同することが正解になってて、少数派は排除すべきみたいになってる

ウケを狙うとき特有の危険性を見つける綱渡り的嗅覚の鋭さをおれはTWITTERで磨いた

自制心の無い人が歩きスマホするから啓蒙ではいなくならない。煙草や酒と同じ中毒症状だから強制力がなければやめられない。法的な罰則を設けて交通違反として罰金刑にすれば減るだろう。警察も点稼ぎ放題で喜ぶよね

フェミニストって目につくゴキブリに殺虫剤かけて冷蔵庫の裏を見ようとしない程度のひとたちですからね…

昨日一人で飲んでて隣の席の人と話し込んでたとき、会話の中で「でも一抹の不安があるよね」って口にしたら「ギャハハ！一抹だってぇ！一抹ぅ！一抹とか使う人初めて見た！頭よさげアピール？一抹さぁ〜んww」って笑われて一瞬で酔いが冷めて萎えたの思い出した…一抹くらい使うやろ…どつくぞ…

人が別の集団に関する意見/偏見を開陳していると興味深くて根掘り葉掘り聞きたくなる。地域・宗派対立等について本や報道で見聞きしていても、当事者から直接語られると迫力が違う。外部の人間は意味が分からない/仲良くしろよと安易に考えるが当事者の目には深刻な問題に映ってるんだよな。自分と全く関係のない係争の話を聞くと、差異を見付けて争うのが人間の本質だという諦念と、自分がかかずらう諸問題も傍から見れば馬鹿馬鹿しいものなんだろうなという達観が得られる。ビシケク出身のクルグズ人が「西部の連中はウズベク人みたいに眉毛が濃くて学業にも仕事にも怠惰であんな人達とは話が通じない。ウズベク人やタジク人が出稼ぎ先のロシアで嫌われてるので、クルグズ旅券を入手してロシアで良い扱いを受けようとするのも腹立つ」等々聞かされてそう思った次第。

昼間に谷川俊太郎先生がテレビで、「詩は降ってくるんじゃなくて、頑張って耕した下から生えて来るんだよ。」と、仰っていました。名言過ぎて口空いてた。

男性のモテに関する暴力性については、ニュアンスで喋ってる感がある気がしている。分かる人にはなんとなく要素として理解できるけど、わからない人がそのまま受け取ったら普通に犯罪者だぞっていうやつ。男女逆で言うなら「男性から搾取する精神的に不安定な女がモテる」って言ってるような感じ。

歩きスマホをしたくならないよう、網膜に像を直接投影する手術を受けたのだが、失敗したせいでコラショの姿や顔しか映らなくなった。

変態「ハァ...ハァ...何色のパンツ履いてるの...？」

就活生の女「はい！私は"赤色"のパンツを履いています！赤色は情熱や愛情というようなイメージがあり私を象徴する色だと思っています。学生時代はパンツサークルに所属しており毎日違う色の...」

今日の話の学術的なまとめ。自らを近代的で合理的であるとする一方で、他者を前近代的で奇妙で非合理的な文化を持った遅れた存在だとして見下し、だから前者が後者を導き、変革させる事が後者にとっても利益になる、という考え方は、典型的な「オリエンタリズム」であり、また植民地支配を支えた論理。自分が昨晩以来の大阪に関する言説を見て「吐き気がする」と書いたのは、自分が大阪出身である以上に、これが自分が研究する韓国や日韓関係に関わる最も醜悪な問題と、まったく同じ構造だから。そんな論理を使う人たちが「リベラル」で有るはずがない、と思う。なので「大阪の連中は変な文化をもっているからなんとかしないといけない」的なことを堂々と昨晩書いていた人たちは、場所と時代が変われば平気で、「有色人種を文明に導くのが白人の責務だ」といいかねないと思っている。改めて書いておきますが、それくらい醜悪ですよ。

キョン！千葉県内でおよそ4万4000頭を超えるわよ！

自分が将来どんな大人になるか、って50歳になっても考えてそうで怖い。成長しないとこうなる。

最近セックスが生活から遠ざかり過ぎて、だいたい"ドラゴン"と同じくらいの概念になって来ている

SDGs(すごくデカいゴール)

イライラしているときは食欲なくなるのですが、そういったときに「とりあえずご飯を食べなさい」と言ってくれる人は大切です。食べたくなくても食べると食欲が湧いて、考えが落ち着くことがよくあります。迷ったら食べる。これが問題解決の糸口ですね。

日頃より『令和』をプレイ頂き、ありがとうございます。以前発生した『夏の終わりの気温が冬になってしまう不具合』の修正が完了しました。本不具合に該当されたプレイヤーの皆様におきましては、『11月の気温を一部夏にする』ことで補填とさせて頂きます。この度は誠に申し訳ございませんでした。

ハピエン前提の2次創作で、相思相愛両片思いだけど相手にこの想いを知られたら関係が壊れたり嫌われたりするとなぜか固く信じ込んでおり一生胸にしまっておくつもりのすれ違う二人に「フフフバカめ…このあとラブラブハッピーエンドになるとも知らずに…」って思いながら読む瞬間ほど楽しいことはない

きちんと価格設定すると、役には立っても、結果としてはそんなに喜ばれたり感謝されたりはしなくなると言う話も（顧客がみんなめっちゃ喜んでたらおそらく価格が低過ぎるので）。

かつて休肝日なんて狂った言葉がテレビで流れていたが、あれも酒メーカーの存続のための控えめな提案だったろうな。週1飲酒でようやく適当ぐらいだと思う。僕らが老いる頃には今の日本ような医療は望めないだろうしね

滋賀で地域クラブでスポーツチームのマネージャーしている人が、「なんで学校の先生って跳び箱とか鉄棒とか、全員並べさせて一人ずつさせるんでしょうね、あれできない子が恥かくだけで良くない」と言ってたけど、ホンマそうだし、待ってる間の時間が無駄だよね。

リベラルは田舎をバカにするが、リベラル思想では共同体を作れないという致命的欠陥があるんだよな（巨大資本に支えられている大都会のみ、コミュニティーの存続が可能）。

インテリ・リベラル風な人が「日本の有権者は愚かだ」とか言っていた。そりゃそうだ。常に貧者は富者より多く、愚者は賢者より多く、モテない人はモテる人より多い。いつの世においても“弱者”とは多数派なのである。「少数派こそ弱者」などという、あんたらの都合のいい幻想とは違って。

車のCMみたいな家族を持つ人生、あれを本当に実現してる人がかなりの割合でいるんだから、やっぱり俺は同じ生き物ではないのかもしれない。ある意味「JOKER」なんかより、車のCMに出てくる幸せそうな家族の方が「無敵の人」のトリガーになりそうだよな。

「暴力性」を外向性・積極性・活発さ・リーダーシップなどの言葉に置き換えたらいい、というなら、ワタミ会長のやってることもそれら言葉でいいはずだろう。外向性もリーダーシップも"暴力"になりうるという事実を元に、敢えてコミュニケーションとは暴力を孕むものだと言ってるんじゃないのかなぁ。非モテ男性に向けられるアドバイスって「女性を不快にさせるな」みたいなのが最も多いんですが、そういうの鵜吞みにすると永久に非モテのままなんですよね。だからこそ「コミュニケーションは暴力を孕む」という劇薬を推奨してるところがあります。それを飲まないと一歩も動けない非モテが多いので。

この国のジェンダー問題が解決されないと困る、という人がいたとしても、その人でさえ今日食べるご飯の心配はしますよね。「日本人は意識が低い」と安易に叩く人は、ご飯とか教育費とか住宅ローンとか老後とかの心配が無い人なのは確かなのではと。

作家のわかつきひかるさんによれば、最近は「配偶者との性行為」を題材にした官能小説の依頼が来るという。みんなが結婚していた昔は不倫がロマンスだったが、結婚できない今は新婚生活がロマンスとなるようだと。官能小説の題材を見ても何が非日常かが30年間だいぶ変わったようです

「主文後回し」が死刑判決の全回転リーチだとそもそも意味が無くなってしまうので、たまには主文後回しで無罪ってのがあるのは良い事だ。今後も死刑じゃないのに主文後回しとか、判決文の途中でいきなり「死刑！」って叫ぶとかバリエーションを持たせてほしい

キッザニア初めて行ったんだけど伊藤忠の商社マンも朝日新聞の記者もガソリンスタンドの店員も消防士もみんな同じ給料をもらい銀行に預けたら年利10%の利子がつく優しい世界だった

俺を雇う為に会社は年間数百万円を支払う必要がある訳だけど、本当にこんな仕事でそんなに利益出せてんのか？と思う。

｢本当の闇は当人達も時折自分の位置も相手も分からないくらい漆黒の闇だったりするので動いても目立たないし分からないし、下手すると世代を超えて繋がってる事もあり、最近のSNSの隆盛でもなかなか尻尾が掴めなくて、ベテラン記者がずっと張り付くようなベタなやり方が一番｣｢闇は闇でも月明かりに照らされてるようなのは喩えるならSNSで把握出来たりする状況証拠みたいなもんやけど、プロは既に何か掴んだその補強材料として、素人や陰謀論者はこれからスタートする｣｢世の中にある陰謀論、ってのは本当に普通に考えて『ありえないこと』を『あるかもしれない』に置換して語るからやっぱり『ありえない』ことになる。どれだけテクノロジーが進化しても取材の仕方は変わらない。足で稼ぐ｣という築地勤務

修士の頃に研究にリソース全振りしすぎて、人と話す時に研究の話題しか持たないことに気づいて「このままの生活をしたらつまらない人になってしまう」という危機感を抱き、Dでは余暇も積極的に入れてます

「人情家には人権活動家は向いてない」人情に守られない人にこそ必要なのが人権、ということになる。でも、人権が目的から手段に……つまり、自分がいかに正義の側にいるかを見せつける装飾になった時点で、人情と人権は同じレールの上を走ることになった。

【これから炎上する落語家】

え～最近はポリコレちゅうものが喧しい世の中になっておりまして…

「スケープゴート」の本物を見られる日が来るなんて胸熱やで。｢ヤギの政治利用｣って空前絶後のパワーワードやな。政的消費

マスコミ「コロナワクチン接種で1800件のミス！」→2億回のうちの1800回＝0.0009%。マスコミ「投票率は55.93%,前回より2.25ポイントしか上がっていない！政治不信！」→投票者数は5890万1622人で前回より195万人近く多い。「マスコミが件数を言う時は割合を、割合を言う時は件数を見る」のはとても大事

先日の選挙結果を受けて「有権者のレベルが低い」という旨の感想を抱いている人たちがいる。彼らはふだん他人のナショナリズムというものを心底軽蔑しているけれども、そんな彼らも彼らの心の中にある、まだ見ぬ偉大な祖国「いい人だけの国」へのナショナリズムは大変に強いように見えるな。

月曜1限がだるかったB1の頃、よく冗談で「大学が家に来い」と言っていた。なんやかんやで数年後にそれは実現し、開始5分前に起きてもセーフになるってことでありがたさを感じていた。しかしその時の私は「家に来た大学は帰ってくれるかどうか」を全く考えていなかった。

アメリカ在住ですが、日常生活ではsorry全然言うけど、ビジネスの現場ではsorryはなかなか言わないように思う。賠償責任とかに関わってくるからね。消費者側が泣き寝入りさせられる事も日本より全然多い。

昔働いてた会社の工場長が「人が意識しないといけない安全策は安全じゃない」って言ってたなぁ。無意識のうちに起こした行動でも危険を察知して安全を保てる仕組みが重要だって。だからこそハーネスとか自動ブレーキみたいなものが必要なんだよね。

DaiGoが書いてる本よりDaiGoが帯書いてる本読んだほうが絶対いい

誰も分かってないホラー番組「え？誰かお分かりいただけただろうか…」

学校の「道徳の時間」みたいなのが嫌いだったはずの人が一周回って「道徳の時間」みたいなこと言い出すのは趣き深いですよね。「価値観のアップデート」って要は教育指導要領の改定ですから。

この「世界には食べられない子が」に対する反論は小学校の時に口喧嘩無敗の女子が「食べたくない子にこんなに出すから食べたい子の分がなくなるんじゃん！！」と言い返したのがベストバウトだったと思う。結局食わされてたけど。「食べ物を残すのはいけません、世界には食事に困っている沢山の人たちがいます」みたいな言説、貧困国旅しててもみんな普通に食べ残ししてるから、人としての道徳観として食べ残しを戒めるのはいいけど貧困国持ち出して正義ぶるのは違うなって感じにはなってる

ツイッターアカウント作るときにWEB玉手箱の言語検査(文章を読んで「正しい」「間違っている」「文章からは判断できない」の一つを選ぶやつ)を受けさせろ。あれができてない奴が多すぎる。

僕は6000億円あれば飢える世界の人々は救えると思う。弾丸は一発たったの10円だから

ナンパしてた時は全く同じ日に同じ格好で同じ声かけしても自分を拒絶する女もいれば自分を激しく好きになってくれる女もいるので、女に嫌われないように合わせるのが馬鹿らしくなった

「女の上昇婚志向は男女の賃金格差に原因があってー」だの「男社会で女が抑圧されていてー」だのといったグラフ一個で退けられるような愚見は本来どうでもよくて、根の深い問題は、「なぜ家事や育児といった賃金に換算されない労働がこれほど軽んじられるようになったのか？」だと思いますね。例えば家族の食事を用意する、子供の送迎や餅つき会やクリスマス会の準備をするなど（資本主義的には投資の一種なのかも知れないが）、直接的に資本に還元されなくとも貴重な仕事というものをフェミニズムは束縛としか言わないわけですよ。別に政治家や経営者になることだけが社会貢献ではないということには表立って反対しなさそうだが、その口でジェンダーギャップ指数120位と言い募るのは実質的な職業差別に他ならんということです。

「置かれた場所で咲く」ために、リアルの植物は毒を放出したり、棘をまとったり、ライバルの生命線を物理的に切断したり、火災を引き起こしたり、獲物を騙して捕らえて溶かしたり、利用価値のなくなった運び屋を監禁したり、敵を粘液で固めて餓死させたり、敵の敵をおびき寄せたり、いろいろやってます

投票率が低いことが毎回話題になりますが、一般論としていえば、現状で良いと思っている消極的現状肯定派＝サイレントマジョリティの人ほど、利害や義理がない限りは、投票に行かないと思います。単なる現状維持を再確認するだけのために、わざわざ出かける意欲はわかないからです。

挑戦してみたい実践があっても時間数上なかなかできない。本当は生徒がどんな認識なのか表出させたいけど先を進めざるを得ない。授業は1時間単位でキリよく終えざるを得ない。結果、結局は教員主導になる。「主体的・対話的で深い学び」と言っておきながらそれを阻む要因はシステムにもあるのでは？

僕のような医薬系生物学研究をやってる場合、自分の成果が学術的に重要なだけでなく社会的な重要性や還元性についても平易な言葉で真摯に伝える努力をするという土壌が結構確立してきている。私費で研究するなら違うが、公費で研究を行い成果を発表するなら、国民に理解を得るよう努めることが大事。難病の研究とか医薬品開発なんて、一般人も直感で重要性に気が付きそうだが、それでもちゃんと説明する。理学や人文学のように一見、社会と遠そうに国民が思ってしまう分野の人は、なおさら努力が必要で、上から目線の姿勢なんてありえないと思うが。一頃、人文系の学問は人格陶冶に役立ちますみたいな言説流行ったが、そんなものが人格陶冶にまるで役に立たないことは、当の人文系学者たちが嫌というほどSNSで証明してしまったからなぁ。

子供の頃は「1万円のお金の原価が20円（当時）ならどんどん刷ればいいじゃん」と思い、高校生くらいになって「そんな単純でもないよな」と思い、今は「どんどん刷ればいいじゃん」と思っていたりする。

裁判ってネガティブな印象を受けがちかもだけど、そこら辺で喧嘩するより有意義で効率的だよ。とくに適切に「本人の問題を本人に返す」ことが出来るからね。法の元、裁いてもらうのはとても良いこと。被害者はもとより、加害者にとっても。

昔、奥さんと離婚したアメリカに住む日本人の知人がガンになって亡くなったんだけど。死ぬ間際まで、ベッドの上から携帯で保険会社とどの治療がカバーされて、支払いがいくらでみたいな喧嘩をされてた。目の前で見た地獄だった。

身も蓋もないことをはっきりと１ツイートで言いますが、当世における「人権感覚がある」とは「『人権感覚がある』と思ってもらえる対象を瞬時に見極め、その対象に慈悲深くふるまう能力があること」を指します。

ダニエル・ラドクリフがハリー・ポッター役で得た収入を資産運用しててもう一生遊んで暮らせるくらいのお金を持っていて、その上で「面白いから」って理由で変な映画にばっかり出てるの、個人的にはめちゃくちゃいいと思う。

ざっくりとした医療費の話なんですけど、心筋梗塞で7日間の入院したら日本は約50万くらい。アメリカは約1700万くらい。さらに日本には高額医療制度という、だいたいの人が医療費10万以下になるブッ壊れ性能のサポートがあります。たまに、この国の先行きがどうなるのか心配になるときがあります。

ふと思ったんだが、「税収が少ないから税金上げる、将来世代へのツケを残さないために借金（投資）はしない」って、「入居者が少ないから家賃上げるね」の理屈なのかもなぁ。全１０室のアパート、月５万で、本来なら月５０万入るはずだった。だが入居者が８人しかいないから、月５０万になる帳尻を合わせるために、月６２５００円に値上げするって言い出す大家みたいなもん。普通なら、「家賃を下げて入居者が入りやすいようにする」や、「部屋の質を向上させて月５万でもやすいと思うようにする」が「経営」なんだが、目標数値の達成だけしかなく「マイナスを下げ、プラスを上げる」だけにすると、そらこうなると。日本の財政って、大家で言えば「入居者が減ったので、家賃上げます。共益費を上げます。室内の備品のエアコンの使用量取ります。自転車置き場有料にします。あとゴミ捨て場や廊下の掃除は自分でやってください。このアパートの将来のためです」って言ってるトンチンカン大家みたいなもんなのかもな。

クローズアップ現代、調査のため女児を装ってTwitterアカウントを作ったらチンポDM送り付け即垢消し逃亡野郎が出てきたのを紹介しており本当にインターネットは最悪という気持ちになった

まぁ、婚活系の人に言いたいのは、年収が上位2・3割の男性と結婚したい女性は、自分が全女性の中で上から2割3割の魅力をもつ良い女であるかを自問自答すべき。男もそうで若くてきれいな奥さんほしいなら年収が上位でないと難しいんだけどなぜかこの現実を提示すると怒る人がいるんだよな。林修が番組でコレを理論的に唱えて周りの女性がダンマリ状態（捻くれ気味）だったのを覚えています。あったりまえの事が分からない、いや、言われたくないし、夢を見ていたいだけかなｗ大体日本の就労男性のうち年収1千万は何％いるのか？を考えればどうすべきかは自ずと分かるのに。と言うか、高所得男性の嫁の座を得るよりテメエで好きなだけ稼げよ！と言いたいですね。

この歳になってもGTAでわざと手配度5にして逃げ回る動画とかを見るのが本当に楽しい。そんな私にも選挙権があります。

達観していることは強さを意味しないので高めの負荷をかけ続けたら死にます。

ディズニーランドは、わりとメルヘンから程遠い概念である「行列」がそこかしこにあるから奇妙だ。

一見すると指示待ち人間だが、実際は「指示来るな……」と祈っているので指示待ち人間でもない人。

音楽や絵が私たちの世界における「靴べら」みたいに、用が果たせるならこれでいい、というな感じで扱われて、ある有名な1曲以外は全然聴かれないし作る必要性も感じられないまま、みたいなことになってる世界はないのかな。

ネットで公開する日記を続けてとっくに1000日を超えているけど、書いてないところでめちゃめちゃ人殺したりしてたら怖いな。

いくらを知らない人「やだ絶対食べない。絶対辛いもん」

食べられないようにっつう理由で独自に辛味を進化させたはずが、人間という頭おかしい種族によって食べるためだけに収穫され、なんなら辛味を大きくするほうに遺伝改良させられちゃうの、植物界の究極即堕ち2コマという感がある

相互フォローの人とリプライでじゃれ合うようなカルチャーが自分のTwitterに一切根付かなかったのでリプライ欄は知らない人を見る場所になっている。

「後ろ向きな生き方があってもいいじゃないか」というのはそらそうなんだけど、「生きづらい！おれは後ろ向きな人間だ！ポジティブを押し付けてくるな！」みたいな攻撃を全方位にしてるアカウントを見ると違うよねと。うんちを鼻につけておいて臭い臭いと叫んでるなら、まずやるべきことはうんちをぬぐうことであって、臭いとがなり立てることではない。そして残念ながら、自分のうんちは自分でしかぬぐうことができないので、そういう輩を見たらそっとミュートするようにしている。きみはきみの幸せをきみ自身で掴みたまえという気分で。

現代日本インターネット政治界隈、「誰を弱者とみなして守るか」よりも「誰を弱者とみなして守ろうとしているように見えるか」のほうがよほど大事なので、LGBTだの女性だのホームレスだのを守るりますと宣言するだけで超絶株が上がり、実際にかれらを守る活動をする一方でかれらの自助努力を求めもする人に対して怪気炎を吐くアカウントが出てくる。

「女性が「いじめられる」」という認知自体が、異性愛社会のステレオタイプのひとつであることを、「親フェミニスト」を気取る男性は、非常にしばしば、都合よく忘却しますよね。

「こんなに不祥事が立て続けに起きて、アマゾンが詐欺集団であることが日本中に知れ渡ったね…」って言ってる人を見ると、ネットの力を過信するな！！って強く思う。全然、知れ渡ってないです。所詮ははてなブックマークで500ユーザーがブックマークしたTogetterの記事ってだけです。

私の知り合いの娘さんも、職場の向かいの席の先輩が「もう40なので結婚は諦めるか...」と言ったのを聞いて「私とします？」「え？お付き合いしてないのにいいんですか？」「もう10年も一緒に仕事してて知らない人じゃないでしょ？」「じゃあしましょう」って結婚したと言ってた。うまくいってる。

女性票を集めることもできないフェミニズムに、没落以外のどんな予測ができると思ってるんだろう。社会を認識できない社会学者なんて、算数ができない物理学者のようなものだ。

ジェンダー論について「男が力仕事をするのは、実際に男の方が筋力があるのだからジェンダーではない！生物学的性差だ！」とかいう阿保がいるのだけど、その論法だと女性が家事育児に専念すべく寿退社することもジェンダーではなく生物学的性差ということになってしまうのよ。起点は生物学的性差であっても個体差や各人の適性・志望等一切無視して「女なんだから/男なんだから それをやりなさい」と派生して役割を固定するならばそれはジェンダーである、という前提があって初めてジェンダー論は成立するのだから、ジェンダー論の中身の議論で前提を外すのは阿保でしかない。困ったことに議論の前提を外してしまう阿保っぷりを晒すのが主としてジェンダー論に賛同的な人達ってところにフェミニズム凋落の真の原因が潜んでいそう。彼等は機会自由という概念を概ね理解できないので「性差別的要件を設定した結果としての格差」と「自由選択の結果の格差」の区別がつかない。「男女に等しく門戸を開き適性に沿って抜擢したら結果的に男性が多くを占める」のと「男性のみの義務として課す結果全員が男性」とでは大違いということが彼等には理解できない。似たケースで「DV被害男性は少数派だから被害者救済は女性限定で良い」という典型的なフェミ主張がある。男性被害者も救済すべきという意見に対して「では男性被害者も女性被害者と同数いるのか?」と反論して勝った気になったりするのだ。これも、機会自由を理解する知性の欠落を示すエピソード。

怒りを堪えて冷静さを保とうとする時、手は震えます（経験談）。論理的な説明に感情的に反論されると、理解できない相手に対して怒りの感情が湧きます。これを抑えられる田崎さんは立派だと思いました。一方、論理的な説明に反論できない相手は、暴力に訴える。共産党による暴力革命がそれですね。

Twitterを見てるとどうも弱者という概念が「同情や共感を寄せられる人」へ変化しているような気がします。誰であれ救済する（同情や共感を得られない人も対象とする）というのが人権感覚なのではないかな。人情であれば「同情や共感を寄せられる人」を救済すべしというのは分かる。しかし、人権思想はそのような思想ではなく、「人はだれであれ」救済すべきという思想だ。そのため「同情や共感から漏れてしまう人」にこそ関心を寄せる必要があるのだろう。

うちの親は離婚して実家は物理的に消滅してるから「何があっても離れられないのが家族だろ…！？」みたいな台詞に「ケッ」と思ってるけど、それはそれとして、”普通の家族”という幻想については公のところでは「色々あるけど、良いものだよね」と肯定されるべき必要な建前だと思ってるよ。マイノリティを絶対にして、マジョリティの存在そのものを完全否定するのなんて中学生の頃にとっとと卒業するべきなんすよ。

私も読者がきちんと読んでくれて、理解してくれるなら作品の最初の方にツラツラと設定を書き連ねたいんだけど、殆どの人が「説明書や利用規約を読まない」っていう調査結果があるのと、自分も「まだ好きになるかどうか分からない作品のマニュアル」とか読んでて楽しくないからしない。だからまず最初に「こんな主人公」が「こういう目標」を目指して「面白い事」をしながら進む物語だよ、って事を提示する必要があると思ってる。世界観や作品設定は小出しに、違和感なく読者の頭に入る様に物語の進みと並行して行う様に気を付けてる……いつも上手くいく訳じゃないけど。

ハラスメント概念の拡張は地獄というのは簡単な話で、「私は博士号もってますけど、あなたは？」とか「私は専門家ですけど？」というのでコメント捌いてる方々もお見かけしますが、まとめて「学歴ハラスメント」ということでも大丈夫なんですかということなんですよ。たとえば。

誹謗中傷だとか性差別だとかっていうのは、多くの人がそうだったと言っているので実際にそうだったのだろう、って一応思っている。ただ、実物として出てきているものはそんなひどいものかどうか私には判断がつかない。でももしかしたら実物をちゃんと見てる人はそんなにいないのかもしれない。っていうか、それぞれの人がなにをそれだと考えているかの擦り合せがおこなわれていないかもしれないと思う。でも実際に実物を出して「これはひどいでしょ」ってやるのはネットにはいろんな意味で向かないかもしれないので、それを求める気はない。組織はちゃんと検証したのだろうと今のところ思っている。一つ実例が出てた。あれがそんなひどいかというとそんなひどくないと私は思うけど、あの先生があえていちばんひとくないものを出したのかもしれないからわからない。

責任能力で無罪（または減軽）になると、「詐病で罪を逃れるやつが出てくる！」と騒がれるけど、弁護士やってると、「本当は責任能力あるのに病気を装ってる」事例よりも、「どう見ても責任能力がないか耗弱（医師の鑑定もある）なのに、完全責任能力が認められて有罪判決が出る」方が圧倒的に多いよ。

ツイッターやめさせられた人のツイートみたいなのがたくさん出てきてるけど、こんなヨガとフェアトレードとインスタにしか関心ないみたいな連中を大量に雇用して何してたんだ感がすごいな。

いまどきだと院生が結婚して子どもを持ったりすると「経済的に不安定なのに子どもを持つなんて無責任だ」「子どもにきちんとした環境を与えられないなら子どもは持つべきでない」とかツイッターで叩かれそう。

結婚はときめきでも運命でも相性でも条件ですらなくて「覚悟とタイミング」だけなので、結婚したかったらどちらかが最初の一歩を踏み出さないと、そのうち別れることになると思うよ。

一人で居るより一緒に居た方が心身ともに快適かどうかが、同居に値するかの基準だと思う。

猫と暮らし始めた同僚が「可愛い存在が居ることに癒やされるんだと思ってたけど、あなたは可愛いという愛情を存分にぶつけていい存在が居る事に救われている」と言っていて愛されるのもいいけど思いっきり何かを愛するのも人には必要なんだなとなんか泣けてしまった。

「B！L！M！B！L！M！」採用後、社内及び社外においてヘイト、差別思考が確認できた場合、即解雇する会社では今日もSDGs課の社員の掛け声に合わせて白人の銅像をハンマーで叩く音が響く。「ん！？お前、いま躊躇ったな！」「いえ！そんな…」「黙れ！この差別主義者が！貴様はクビだ！この豚！」

【肉屋を支持する豚 みたいなやつ】

ラブホを支持するコンドーム

20代の頃にさんざん言われたのも「プロってのは失敗しないんじゃなくて、失敗するんだけど最高のスピードとクオリティでリカバリできるってことなんだ」ってやつやったな

新入りさんに「分からないことは何でも聞いて」という先輩達は腐るほどいるけれど、そもそも新入りは「何が分からないのか分からない」「先輩達の『暗黙の了解』を知らない」ので、質問のしようがない。それで作業が止まると「なんで質問しなかったの？」と詰問する良くない傾向。対策としては「導入の徹底的なマニュアル化」しかないのだけど、特にIT業界の人達はとにかくドキュメントを書くのが大嫌いだし、そもそも体系的なドキュメントを書く訓練すら受けていない。「ソースコードを見れば分かる」は現場の人間の傲慢に過ぎないです。この手の問題の本質は「相手に対する思いやりがない」ことにあって、要するにITエンジニアを名乗っている人の多くは、相手の気持ちを読み取れない、人間的にちょっとアレな人達です。当人は技術的には凄いかもしれないけど、人間的にはダメダメだと思います。

「現在、職場の紹介でジェンダー・フェミニズムに関するカウンセリングを受けております。ジェンダーに関する理解を深め、認識を改められるよう努力してまいります」だそうで、以前に（別件で）フェミニストの方が言っていた「再教育キャンプ」が現実になっているわけだな。しかしこのカウセリングの後は、「再教育」が済んで思想を矯正されたことを常に証明し続けなければいけないわけで、論争があるごとに「フェミニストとして旗幟を鮮明にして反フェミニストの元お仲間をしっかり攻撃しているかどうか」を監視され続けたりするのかも知れないな。この件でキャンセルに一斉になだれ込んだ人たちへ向けて反省しろみたいな意見が出ているけど、キャンセルしてやった側にしてみれば、正義が為されたのに何を反省する必要があるものかと思ってるのではないのかな。まあ、自分の「危なそうな記事」をしれっと消すくらいには後ろ暗い人もいるようだけど。だけど、あの「ついに誰かを本当にキャンセルしてやれそうだ」という機を見たから飛びかかるようなやり方、やれそうだからやってしまえ、行けそうだから行けるところまで行ってしまえというやり方が、あまりにも信念の感じられない、「キャンセルできれば誰でもいい」という動物のような動き方だった。キャンセルカルチャー全般に感じるのが、この動物みたいな興奮状態なんだよな。何をどこまでやると何処にどの程度影響が出るか、みたいな思慮が感じられず、ただ問題の見つかった人間をそのつど追放していけばいつか社会が変わるんだと、性交のチャンスを目前にした男子のように知能が低下してしまう。しかし「男性皆殺し協会」の記事やらを削除というのは本当に驚いた。自分の正義を自分でも信じておらず、それでいて、そのことを正面切って認めようとはしないということだものな。狂信者でもなく、手頃な獲物に対してだけ、社会的に抹殺するまで止まらない。そこにあるのは明らかに信念ではない。

人間が半導体を乱獲し過ぎるからこうなる。若い人には信じられないかもしれないが、昔は東京湾でも半導体の大きな群れがよく泳いでいた。

「歯科に興味を持ってもらうためには正しくない情報が多少含まれていてもよい」という考え方もあるかもしれませんが、一度そのような誤解が刷り込まれてしまうと、実際にその誤解を歯科医院で解くのは大変苦労しますし、やはり正しい情報に基づくのは重要だと思います。

「劣っている部分もあるけれど、それも含めて自分には価値がある」みたいな虚妄の自信があれば人間どれだけ幸福に生きてられることか

奥さんが具合悪くなって思ったけど、気持ちが疲れたり弱ってる人は成長とか気づきとか、そういうマンガは読みたくなくて、ただカワイイとか、綺麗な景色とか、そういうのをみたくなるのよね。やじまもフリーターでツラかった時は星野道夫の森をカヌーでゆっくり移動する絵本読んで癒やされてたわ。

任意保険の「対物無制限」だけど事故相手が航空機の場合は上限が10億円らしいです。つまり俺が間違えてバイクでF-35を撃墜してしまったら180億円くらい支払わないといけないので安全運転を心がけたいと思います。

勿論加工後のほうが映えるように見える、ということもあるけど、自分の肉眼に映ったはずの、憶えてる景色は加工後のほうだった、ということも往々にしてあるからなぁ

「棒が倒れていたら異常なので直ちに戻す」という作業があったとしたら 新人を目の前に置いて「棒に異常がないか見ていてね」としか伝えない みたいな感じ フローチャートとかで教えて欲しい。

「あいつは韓国人なのでバカだ」というときの愚かしさと「国民性なんかないよ、人類みな共通」というときの愚かしさは同じで、どちらもマクロとミクロ、個別論と総論を混同してしまっている。統計で見れば国民性は明らかだし、個人の性格を統計に押し付けるのは無理筋だしという話。どちらも同じぐらい愚かしい

息子は給食で余った冷凍みかんジャンケンを激戦のなか勝ち抜き、勝利の雄叫びをあげたのち一房一房を敗者たちに分け与えてクラスの英雄になってた。「なかなかできる事じゃねえよ」って男子たちが絶賛してくれたらしい

「ゴッホの作品とされて70年、実は他人の作品と判明。大暴落するんだろうな。絵は何一つ変わってないのに何なんだろこれ」「おまえだって盗んだ下着がその家の娘のじゃなくておばあちゃんのだったりしたら、自己評価額はガタ落ちになるだろ。そのパンツ自体には何にも変わりはないのに」。

Twitterで暴れるクソフェミや反ワクに共通してんだけど、アイツら先鋭化した主張だけしかつぶやかないからな。食ったメシ、飲んだ酒、観た映画、聴いた歌、いっさい何にもつぶやかないから、そもそもお前どういう人間なんだよっていうのが何も伝わらなくて、気色悪いヤツらが多い。ああなったら終わり

フェミニズムが論理的な整合性や実証的な証拠を全く気にしてないように見えるのは、それが「学問」ではなく、政治的な「闘争」だからですね。フェミニズムは女性の権利拡大・地位向上のための社会運動であって、学問ではないと思います。よって、フェミニストはあらゆる弱者の味方を意味しません。

幼稚園のとき、きりん組だったんだけど｢きりん組！｣って叫んでたら"Killing me"に聞こえたらしくて外国人に殺されたことある。

「人権保護の活動をしています」

「人権とは誰の人権だ 言ってみろ」

→本当に好きすぎて復唱している。

自分がTwitter始めた頃は改行が出来ない仕組みだったんだけど、その名残りで今でもほぼ改行を使わない。改行できるTwitterを一切認めない姿勢を貫くことで、老害になる将来が約束されている。そんで、文章の最後に「人」って入れとけば自分ではない別の誰かの話にすり替わると思っている人。

俺は誹謗中傷だろうが表現の自由だから好きに言えばいいとは思うが、「やめよう」「許されない」と言っておきながら言っている奴がいれば「いやいやお前自分の言動はじゃあどう説明するの？」とは言われるだろう。

南青山のサラダしかないお店で1500円ぐらいのサラダを食べたんだけど、半分以上家賃の味がした。

反出生、世界は救うかもしれないけれど、もうどうしようもなく生まれてしまった自分を絶対に救わない思想なの感動的だよね。ただただ、世界のために奉仕する思想。

オフィスを案内してくれる人「ここはトイレ。うんことか、おしっことかをする時に使ってくれ」

反転可能性テストとか言うと難しい話のように感じますけど、「立場を入れ替えて考えてみる」って小学生が道徳の時間の一番最初に習うような、ごくごく基本的な思考法ですよね。

ピンフスキーさんやその周辺のみなさんが典型的ですけど、美味しいものとか酒とかプリキュアとか株式の話をしたりする傍ら、アンチフェミ発言して燃える……みたいな人が多いんですけど、フェミとか左派の人たち、なんか延々延々、日本のここがつらい、ここがおかしいの話ばっかじゃないですか。なんでこうなるか考えたんですけど、日本社会は良くない、遅れてる、女性は不幸だって主張と整合させるためには、日常生活を楽しんでいるのは不都合なのかもしれませんね。「なんだかんだ日本社会を楽しんでるやん」「幸福になってるじゃん」みたいになるから。

社会運動ってエスカレーターの空ける側を変えようとするのに似てて、ネットで愚痴言ったり一人でやったりするにはあまりにも無力。その場を構成する多くの人の意識がなんとなく変わるには途方もない時間がかかってしまう。個人の幸福を追求するには諦めたほうが早いのは明白だが、そう言ってる人たちだけだと社会は変わっていかない（黒人参政権などもそのひとつ）。さて問題は、自分がどっち側の人間なのかってことだけど…

「好転反応って知ってますか？体中の毒素が抜けるときに現れる、頭痛や熱、気怠さのことです！実はコロナワクチンの副作用も好転反応なんです！ぜひ打ちましょう😊」って言って医者界隈と反ワクチン界隈両方から攻撃または無視されたい

ハレとケってあるじゃないですか。政治って「マツリゴト」と呼ばれるように、本来ハレに属するものなんですよね。世界のすべてが政治＝ハレに取り込まれると、人間は耐えられずに狂気に陥る。だからこそ、古代日本人はハレばかりではなく、ケを大事にした。ケが亡くなることを「ケ枯レ」として恐れた。ハレとケがあいまい化していくのが近代の一般的傾向であると柳田国男は説いたそうですが、ケがハレに取り込まれていくような心性は非常に危ういと思います。日常のすべての論理を政治に従属させる社会は、いつだって不寛容になる。戦時中とか、社会主義とかがまさにそうでしょう。

誤解のないように言うが、道徳感情の問題は、軽視するべきものではない。もちろん、公共空間で、他者の羞恥心や道徳感情を著しく損ねるような行為や表現が、一定程度、道徳やマナーのレベルで批判の対象となることは当然だ。公道で全裸になったり、不愉快な音響で厳粛な儀式の場をかきみだすことは、一般に道徳に反することであり、多様性を守るためにそうした道徳のすべてを否定せよというのは、現実的なことではない。公共空間は、他者を不快にさせないという公共性と、様々な人間に開かれた場所となるべき多様性の間で、常に緊張関係が存在している。どこまでを多様性として認容し、どこからを公共性の問題として制限するかは、いつだって議論の対象だ。だが、その緊張関係の中で多様性、すなわちダイバシティの側に立ち、寛容の精神を要求してきたのが、本来のフェミニズムの立場ではなかったのか。「このようなふしだらな服装を公共の場でするとはケシカラン」「トランスジェンダーはキモチワルイから公共空間から出ていけ」「女性はかくあるべき、〇〇はこうあるべき」こういう偏見や嫌悪感情と向き合って、公共空間のありようを拡大してきたのが、本来のリベラルではなかったのか。JCのポスターについて発言したアカデミシャンのみなさんに言っておく。ただの感情的な「ふしだらはケシカラン」に「フェミニズム」の装いを与えれば、フェミニズム的な政治目標（例えばジェンダーフリーや反差別）に対して巨大な大衆動員ができるように見えるかもしれない。だが、あなた方のやっていることは、人々の保守的な道徳感情にリベラルな免罪符を発行しているだけだ。インターネットの「ふしだらはケシカラン」という感情をかき集めて、巨大なケシカラン玉を作ってぶつける。あなた方がやっていることは、つまりはそういうことだ。そのケシカランの対象が、守旧的なJCや、お高くとまった公共団体なら、スカッといい気持になり、達成感も得られて、フェミニズムの思想的意義を再認識できる。だが、あなた方が丹念に育てたケシカラン玉の中身が保守的な道徳感情に過ぎないのであれば、その矛先は容易にトランスジェンダーやマイノリティに向きうるということを忘れてはならない。事実、インターネットにおける女性の保守的な道徳感情にフェミニズム的な装いを与えた結果として、多くのTwitterフェミニストが、いまやTERF（トランス排除的ラディカルフェミニスト：Trans-exclusionary radical feminist）に傾きつつあることを、直視すべきだ。何度も言うが、道徳感情の問題はしっかりと論じられるべきだ。しかし、それは不愉快に感じた私たち個人の道徳感情として生のまま検討されるべきなのであって、それ以上の一切の反差別や正義にかかわる余計な概念を導入するべきではない。「あなたのキモチワルイは、あなたのキモチワルイでしかない。それは反差別でも正義感でもない」そして、異なる価値観を持つ他者と、自分たちの道徳感情が衝突した場合においては、可能な限り、異質な他者を尊重すること。これこそが、本来のリベラリズムの思想的基礎を支える、寛容の精神であったはずである。今一度、私たちはその場所に立ち戻る必要がある。

おかしい…TLの17歳JK達が給付金の話題にピクリとも反応しない

Twitterで最近「養命酒はいいぞ」「適度な運動はいいぞ」「食べ過ぎは要注意だぞ」という話題がよくバズるようになってるけど、これはTwitterで健康ブームが起きてるというより、Twitter民がシンプルに高齢化しただけだろうな

希望を捨てない人「18歳以下給付金の18って何進数ですか？」

普通にサラリーマンしながら、兼業批評家とかライターとかするでもなく、ブログなどでアウトプットするわけでもなく、ただ淡々と最新のコンテンツを無理せず楽しく追い続けている人々、かなりすごい。

年取ってもフォントサイズを大きくしてずっとみんなでTwitterしような

街角で「人生の貴重な時間マスクなんてつけるのやめましょうよ！」って演説してる反マスク活動家いたけど、多分人生の貴重な時間を反マスク活動なんかに当ててる方が無駄だと思うんだよな。

猫の手って表から見るとやる気ないけど、肉球は本気の造形だな。さすが神

キ○ガイに刺されたくないのでトークイベントとか絶対にやりたくない、といった発言をすると「お前にはプロとしての覚悟が足りない」みたいな謎の説教が飛んでくるのが今のインターネッツ。

精神やんでて責任能力ないから無罪については、俺だってそりゃねぇーだろとは思うんですが、あのソビエトですら精神やんでて責任能力ないなら裁けないって法になってるのを見て「個人の感情より長年培ってきた法体系の経験の積み重ねを信じよう。俺の個人的感情は意味がない」と思ってます。

島田紳助いわく。「一発屋がなぜ沈むのかというと、笑ってるのが子供だから。同性＆同世代を笑わせれば、一緒に歳を重ねて長生きできる」……同じことをずっと考えていて、だからラブストーリーは30代になってからは書いていない。年相応って、とても大事だと思っている。

子供に幼少期からインターネットミーム覚えさせてネイティブネットミームスピーカーにするのは思考実験としては面白いが実際に実行するのは自分の子供相手だと理性とか罪悪感とかではばかられるだろ。他人の子供相手で親も協力的なら罪悪感がないのでこどもインターネットミーム教室でどんどんネイティブネットミームスピーカーを育成していくぞ

おっさんになって気付くんだが、若い人ほど絶望的な状況や貧困の大変さを味わうことがないから、強者論に付きやすいのではと思った。

BBCやロイターに「日本の政治は遅れている。まるで18世紀のようだ」といわれたときに「本当ですね。我々もトランプ前大統領やボリス・ジョンソンのような政治家が出るような国に早くなりたいものです」と返してお互い笑顔になるけど目は笑ってないのやってみたくはある。

はてブには組織で若者を雇用したり指示する立場にいる年齢層の人間が多いのに、「ちゃんと待遇を上げてあげなければ」と言う人間がいない。みんな「自分以外の誰かがなんとかするべき」と言うんだよな

人の寂しさに寄り添えるということは「その人の内側に同じ種類の寂しさを感じる感受性が存在する」ということで、いろんな人の気持ちがわかる人間というのは本当にいろんなものを呑み込んできたのだろうし、その気になれば当人がいちばんの孤独を感じることができてしまうのだろうと思っている。

カルトっぽくなりやすい政治思想って、誰かがテメーの頭の中でこさえた「壮大な陰謀論」に対する「防衛システム」って面はあるような気がする。陰謀論そのものではないので、現実との齟齬が目立ちにくい…。「現実そうじゃないよ」「こういう面もあるのでは」と見せたところで、それが「防衛システム」に対する攻撃と認知されやすく、元の「壮大な陰謀論」が補強されてしまうんだよな～。「壮大な陰謀論」をある程度共有できる人達は、常に「壮大な陰謀」の脅威にさらされており結束は固くなりやすいが、肝心（と、彼らが思った）なところで「戦略的防衛システム」がうまく働かなかった場合、成員の脳内に複数の「陰謀論」が発生するため、内ゲバ的な抗争に転換。

安全な経口堕胎薬が開発されて30年。タイムマシンが完成して10年。ある日、一人の少女がタイムマシンを使って自分を妊娠していた時の母親に経口堕胎薬を飲ませようとしたところを逮捕された。少女曰く、自分を堕胎すれば生まれずに済むと思ったとのこと。計画が成功すれば未来の自分も存在しないため犯人も武器も見つからない完全犯罪となる。これまで発覚しなかっただけで"成功"した実行者は数多くいたと推測され世間は大パニックに陥った。母親は経口堕胎薬が使える期間は新品のペットボトル以外の飲み物を口にしない、家中に監視カメラをつけるなど、自分の子供から自分の子供を守る必要性に迫られることになる。後日、未来に発生した虐待の証拠を突きつけて親本人を殺すという模倣犯も現れた。そんな中で密かに、妊娠した親がタイムマシンを使って未来の子供を見に行くという行為が始まっていた。未来の子供の出来により産むか産まないかを決めるのだ。出生前診断よりはるかに確実で自分たちや子供が殺されるリスクも減らすことができる。親子の相性がいいか、社会に適応できるか、将来恨みを抱かないか。未来に子供が生きていることを確認できれば子供に子供を殺されないで済んだということになる。親が子を選び、子が親をキャンセルする時代がやってきたのだ。そこから更に100年後の記録には、ある時期から子供の幸福度が飛躍的に上がったと記されている。今日もどこかで誰かが消えているかもしれないが、誰も知ることはない。

20代のスタッフと話していてふと思ったのだが、若い人たちは「うちテレビないんで」とか「テレビは全然見てないです」みたいなことを言わない。多様なのが当たり前で、「○○している」はともかく「○○していない」ことをアイデンティティにしようとしない

人間はほっとくと効率化と富の拡大を指向するので、それを無理に捻じ曲げるより肯定した上で善を議論したほうがいいでしょう。ハーバーボッシュ法や相対性理論といった強烈なブレイクスルーが人類史を形作ってきたように見えるが、そのレベルに至らずとも人間は何らかの拡大を常に指向している生き物である。

「不快な広告が流れない様にするためにクリックしておく無難な広告」という概念が発生してるんだけどこれでいいのかインターネットは…

日本の一般的サラリーマンのコミュ力はけして高いわけではなく、あのお酌だのなんだのというのは、そういうコミュ力が高くない人たちが何となくコミュニケーションをしている感を出すための自動化された様式なのである……ということに気づいてからは何のためらいもなくやれるようになったな…。オタクはすぐに内容のある会話をしようとしてしまうが（特大主語）、世間一般においてはコミュニケーションの内容よりもコミュニケーションした、できるという事実の方が重要であって、内容はわりとどうでもいい。ギャンブルや風俗話が飲み会の定番になるのも、「それが確実に無意味な話」だからと思うと納得がいく。人間、最初から無意味だと分かっている話は受け答えも含めて自動化できるが、「ただの世間話なのか、それとも真面目な話なのか、どう発展するかわからない話」を聞き続けるのはストレスがかかる。

バイキンマンが「はーひふーへほー」と言うのは、最低限の教育は受けたことを誇示するため

もしエロ触手みたいな生物が地球上に現れたとして、これまでの歴史から見て日本人は絶対調理して食べると思う。

楽天の社内公用語は英語。みんな英語まったく喋れないのに、会議も英語でやるから非効率極まりない。ただ面白いのが重要な意思決定の時は役員が『えー、ここからは重要な話になるので、日本語でいきます』と言って、普通に日本語の会議に切り替わる

SDGsとフェミニズム、今は歩調を合わせているけれど近いうちに決別するんじゃねぇかな。何しろ生理用品にも石油由来の成分が使われているからね。「女性が快適に過ごせる暮らし」と「地球環境保護」は絶対にコンフリクトを起こすと思う。

来てほしい中島「磯野～野球しようぜ！」

たぶん来ない磯野「この件は持ち帰り事項とさせていただきたく。」

9割ヤバい歯科医「どのぐらい痛いですか？コレ(患者の腕の骨を折る)と比べて」

7割ヤバい歯科医「ち…乳歯？」

ひっさびさにカロリーメイトを食ったんですが、おいしすぎて感動している

金属の皿に盛ってディストピアごっこしてる。「やれやれ…また人工ブロック型バイオフード2号か…たまには地上に出て空を見ながら焼く肉が食ってみてえもんだ」

大人になると適切な言い換え技術が必要になってくるが、自分がどう伝えたいかよりも自分がどう伝えているように聞こえるかという客観化、メタ化が要求されてくるので人類にとって難易度が高い。大人でも全部できている人はほとんどいないと思う

同期に「以前は人生に当事者意識がなかったから、コンポタつくった後の鍋で平気でコーヒー沸かせるし、おいしいと感じてしまってたけど、今は人生に当事者意識があるので、コンポタつくった後の鍋で平気でコーヒー沸かせるし、おいしいと感じられる」って言ったら「まちがった実存だ…」ってため息をつかれてしまった

銭湯に白ブリーフの小学生がいて「お前はこの時代にいてはいけない」と思ってしまった。絶滅危惧種。

口からガスを勢いよく噴射するゴジラはかっこいいが、尻からガスを勢いよく噴射する人間は面白い。

「くそしてねろ」って最大の煽り文句があったことは覚えているが、実際糞して寝れば世の中の大抵の悩みは片付くことに気づいた。みんなもくそしてねろ

アイコンをキツネの画像にしているため、「おれはネットではキツネの人として通っている」と自己認識し、射精しそうになる

活動家と見分けがつかなくなった学界人、とにかく自分の立場が相対化されるのが何よりも怖いらしい。まぁそれは分かる。人生を賭けてきたものがその他一つの価値でしかないという話だからな。しかしだ、事実としてはどちらかというとそうだろう

男性学（笑）の学者が「女性が結婚しなくてもいい世の中を作ろう！」と言うのなら、俺はあくまでも「結婚して子をもうけろ！」と言う。日本は1億も人間がいるからクソな男の事例は探せば出てくるが、大概はまぁまぁいい奴だ。少しぐらい気に入らないところは我慢しろ。「100%あなたの希望に沿わない男とつがうのは加害です」みたいな事を言うから話がおかしくなる。お前らの希望を全部飲めば大富豪やハリウッドスターの男とだって離婚することになるんだから、いい意味で諦めろ。結婚や子供はバクチか？そりゃ当然バクチだが、全てのバクチを避けて何になる。このバクチは宝くじや競馬と比べて随分というか、とてつもなく割の良いバクチでもある。期待値は間違いなくプラスだ。自分の意志でクジを引け。

大学卒業した僕チンの皆様方よりも中卒高卒の土方職人の方が倍の給料をもらってる！という状況を大卒の有権者が許されなければ、土建業界に日本人が戻ることはありませんよ。皆様方、許せます？許し難いでしょ、ムカつくでしょ。だからもう、土建業は外国人に頼るほかない。

最近立て続けに年上の知人の訃報が流れてきており、全員に①若い頃から花形部署（激務ポスト）を歩んできている、②50代、③死因はくも膜下出血（急逝）、という共通点があり、これからの働き方について改めて考えてしまった。

５１歳を過ぎた未婚の低額所得者で恋愛経験のない素人童貞の私が思うに、同窓会とは輝かしい学生時代を満喫し、社会に出て成功し、富裕層となり、順風満帆な人生を歩み、悠々自適な暮らしをしている人達だけが参加する、誇り高き異業種間交流会です。虐めにあった方、差別を受けた方、影が薄く存在感が無かった方、社会に出て成功せずに低所得者に落ちぶれ、未だにさえない素人童貞で、荒んだ人生を歩んでいる方々が参加しても居場所がなく、嫌な思いはするわ、女性からも相手にされないわで貴重なお金と時間が無駄になります。概ね、同窓会はスクールカーストの上位者達が取り仕切っており、上位者達とその取り巻き達だけで、盛り上がっています。私の場合は参加要件を満たしておりませんので、参加は叶いませんし招待もされませんので、ネットで検索などしたところ、高校卒業後に数年後に開催されているようです。その後はクラスによりけりみたいです。そのあたりから参加者の固定化が始まります。

フリーランスに関しては、「ケッ、好きなことやって気楽に暮らしやがって」「あなたも好きなことやったらどうですか」「いや、生活の保証がないし、そもそも稼げるかどうか…」「気楽じゃないことがおわかりいただけましたか」という、談志とタクシー運転手の会話みたいのが結論ではないかと。

「犯人は…あなたです！」と言いながら特に怪しい2人の中間あたりを指さしているカスの探偵

男性差別の話をすると、「男性の問題は男性がやれ、フェミニストはお前のママじゃない」論を振りかざすのに、選挙の話になると手のひらクルッとして「性差別をなくすための闘いは市民全員が当事者」って、さすがに二枚舌がすぎませんかね。

セーラー服の絵師の人、微博みにいったら「Twitterでめっちゃ伸びた、変態が多いなあ」「こういう仕事ばっかりになるかな」「下品だって言われたらより下品になってやるのがスジだし」みたいなこと言っててつよつよだった。大陸の民は面構えが違う。

老人が「最近のトンカツは脂っこすぎる！わしが若い頃のトンカツはいくらでも食べられたし胸焼けもしなかった！」とか主張してたら笑っちゃうと思うけど、創作に関してはそういうことを真面目に言う人がわりといるんだよな。

今の職場俺より年配の人ばっかだからマジでPCのこと何も知らんし、俺がなんかミスっても「ヒューマンエラーですね...」つって横文字っぽいこと言えば「ヒューマンエラーなら、まぁ...」みたいな雰囲気にできる

店長「ごめん！今手が離せないからクレーム対応の電話お願い！」

今日辞めるつもりのバイト「はいこちらお客様死ね死ねセンターの客殺(きゃくごろし)と申します」

じわるといえば、インド人の知り合いが日本でバーフバリ観た時「まあ俺は字幕なしでも余裕ですし？」と鷹揚に構えて劇場行ったらテルグ語上映で1ミリもわからず日本語字幕を読む羽目になり「インド人なのに一番アウェーだった」と嘆いていたのも今だにちょいちょい思い出してじわっている

パニック、というものを描いたフィクションとして、「世にも奇妙な物語」の一遍があって、主人公の女性が、ある日朝起きて、同棲している恋人に「おはよう」と言おうとしたら、その恋人が悲鳴を上げて逃げていくのよ。困惑しつつも主人公は着替えて出社するも、道であった人が誰も彼も、彼女の姿を見ただけで恐怖の顔で逃げていく。電車に乗ろうとしたら乗客が皆悲鳴を上げながら降りてしまい、運転手まで逃げ去ってしまう。あげくに会社に着いて、同僚たちに助けを求めようとするが、知り合いのはずの彼らも皆逃げる。それでも上司を捕まえて「一体何でみんな私に怯えるんですか！」と問いただすも、上司は泣きながら許しを請うた挙げ句、恐怖のあまり心臓麻痺を起こし死んでしまう。ついには警官隊が現れ、まるで怪物を見るかのように震えながら拳銃を構え、主人公を射殺しようとする。「なんでこんなことに！」彼女が叫んだ次の瞬間、突如として、それは終わる。警官隊は立ち去り、人々も自分を見てもなにも言わない。困惑する彼女だったが、またしても悲鳴が上がる。それは彼女ではなく、道の向こうからやってくる「なにか」に対してだった。それは、朝起きて一番最初に顔を合わせた、同棲している恋人だった。今度は彼が「恐怖されるなにか」になっていた。ついさっきまでの自分と同じ状態になっている恋人。呆然としながら眺める主人公。人々はなぜか彼を恐れ、泣き叫びながら逃げていく。恋人は主人公を見つけ、知り合いがいたことに安堵し近づこうとするが、主人公もまた悲鳴を上げ、そこから逃げていく・・・というラスト。すなわち、パニックとは「恐ろしいなにか」が起こった、もしくは現れたではなく、「みんなが恐ろしいとおもうなにか」が起こった、もしくは現れたと「された」時に発生するという、いわゆる群集心理と言うか、そういうものによる「現象」なのだと。この一遍の肝として、主人公は「原因不明の”恐怖される”現象」を自分も経験して、恋人も巻き込まれたのだとわかっていても、「みんなが恐怖しているということは、なんらかの理由がある」と思ってしまい、冷静さを失い、パニックの中に入ってしまった。「正常性バイアス」というものがあって、「災害が起こっても、周りが逃げ出さないと自分も動かない」という心理現象があるのだが、これはパニックの逆の現象なのだろうと

そこそこ稼いだ人がこれまでの支出を参考に「これなら死ぬまで食っていけそうだ」と思って仕事を辞めたら、途端に金がなくなってしまうのは、「働いている間は拘束されていた時間が、まるまる消費の時間になる」からで、この辺りの予想はできないものだ

普通の人は笑うんだろうけど、「服を買いに行く服がない」ってネタはわりとぼくみたいなファッション文盲にはマジな話で、見た目でこっちのレベルの低さがバレバレなのでお店で「わからないから教えて」って言っても鼻で笑われた経験を数回もすると、服屋さんで会話するのが怖いんですよね

100メートル全力ダッシュの速度でフルマラソンは完走できないし、それを40年以上も続けるとかほんと無理なんですよ。労働者の人生を搾り取る事が前提の社会設計まじでやめてください。大きい声出しますよ

3人目ってすごい。どれだけ寝不足でも、疲れ果てても、肩と腰が死んでても、吐き戻しとウンチの無限ループにハマっても、泣き続けてても、なかなか寝なくてグズってても、さっき乳飲みましたよね？ってぐらいすぐに起きても、何しても一切イライラしない。ただひたすら可愛い。可愛いしか存在しない。サピエンスは本来平均5〜7人子どもを産む動物。初めの1〜2人は慣らし運転だ。しかし現代のニッポン人は1人や2人しか生まないからいわば素人ママしか存在しない状況。そりゃきついぜ。

「若者はもっと政治に関心をもって積極的に発言してほしい！ただし私の主義主張に反する発言をしたら人格否定込みで徹底的に非難するし、過去ツイートを遡って交友関係や所属組織にも嫌がらせをするかもしれないが、積極的に発言してほしい！」

「科学的根拠を出して下さい」への答えとして、ブログ記事だとかYouTube動画だとかを貼った瞬間に、スマホがボンッと爆発する機能を早く実装してほしいです。

119で好き勝手言う人「人が倒れてて...はい、意識...は有りますが常識は無さそうです」

授業に来た大企業CEOが、不運にも若く重病になった際、「今CEOをクビになれば医療保険が切れて破産だ」と悩んだ話をし、ある学生も自分のスタートアップでがん患者を保険が切れると知りつつ泣く泣く解雇した話をし始め、米国は病人には過酷で、この地で人々が健康の維持に躍起になる理由が分かった。

最近思うのは、子供は自分から目を逸らす役割も担っているということ。それがいろいろなエクスキューズにもなっている。

プロフにわざわざ「普通の日本人」なんて書くなんて、自己紹介で「僕は変じゃないです。怪しくないです。」とか言うようなもんやろ…。

私は永遠の命を得て遠い未来の人類の発展と行く末を見届けたいという子供じみた願いを抱えており、故に社会の継続可能性を案じている。この冬を越せないと宣告されたとしても、まだ夏服を処分する気にはなれない

フェミニスト系の人達のレスバ、 ロジックじゃなくてすぐ「嫌がらせされた」「誹謗中傷された」等々どちらがより被害者かのポジションを取りにいくゲームになるので地獄 てか普通に自分が米山室井夫妻にめちゃめちゃ失礼な罵詈雑言ぶつけてたのにそれでも被害者ポジション取りにいく仁藤夢乃さんの強さよ

実際問題モテが人格的に優れていて非モテは人格的に劣っているのかと言うと一概には言えないよな。不特定多数の女からモテるが息を吐くようにヤリ捨てする男と、モテはしないが一人の女を一途に愛して幸せにする男とでは人格的に優れているのは後者だと思うので。

全員がちょっとずつ損することで全体の利益になり結果的にみんな得するという真実があっても、今自分だけ抜け駆けすれば絶対得するという誘惑の前に人は早漏野郎と化してしまう。みんながみんなゲーム理論を学んだお利口さんばかりではないんだ。

イラストを描く上で今からでもすぐ出来る誰でも手軽で簡単大切な事、目の前のTwitterを閉じる

アンチポルノではないフェミニストもいるし、Twitterで妄言を吐き散らかしているフェミニストを批判している人達も男女平等を重視しているからフェミニストっぽいと思う。男はこうだ、女はこうあるべきだって性役割を固定したり差別発言を繰り返すのはTwitterの自称フェミニストさん達が多いよね。

誰かに仕事の説明をした後、「質問ありますか？」の次に「不安なことありますか？」と聞くと、割と多くのレスポンスを引き出せます。おおよそ「説明自体は分かったけど、本当に進められるかは不安」という気持ちになっていることが多いためです。状態ではなく感情に寄り添うことを心掛けたいものです。

援助要請行動というのは、自分に欠けたものを正確に見抜き、それを持っている他者が誰かを把握し、円滑に援助要請を行いサポートを得るというプロセスで成り立つので、マジで優秀な人ほどSOS出すのも上手いんだよ。自分に欠けていて意中の相手にあるのは何か。それをもっとちゃんと考えろ。

Q.なぜ日本はこれほど便利なのに、我々は豊かさを実感できないのでしょうか。

A.その便利さは「テクノロジーの進展」によるものではなく、「追加料金ナシで細かい宅配時間指定」とか「安売店なのにハイレベル接客」みたいな、我々自身が身を削る「低賃金過重労働」に支えられたものだからです。

男性の買春を異常に敵視する人は、売春や風俗やパパ活などで稼いだお金をホストに貢ぐ女性の事はどう思ってるんだろう。女性を貢がせるだけ貢がせて潰すホストこそ、文字通り「搾取」だと思うけど。そっちを批判してるのは見たことないような

「主文、鼻の角栓の不愉快な写真だのイラストだので脂がどうのこうのほざいたネット広告を作った罪で、被告を凌遅刑に処す

【「エモい」を使った時あるある】

語彙力の減る音が聞こえる

「自分で深く考えて判断する」ことができていないなと自覚するときって大体取り組む対象を面白いと感じておらず意欲がなく内心“やらされてる” と思っている場合なので、技能などより手前に意欲ないし物語性の問題があるよなとよく思う。面白さとか物語性を感じなくても所与の問題に取り組める精神構造の人間はそうでない人間の精神構造もそうであると暗黙のうちに想定してしまいがちな傾向もよく感じる。もし自分が大学教員や民間企業のマネージャなど配下に人のいる立場をやるなら、指導学生や部下に取り組んでみてほしいことがあるときには「これできるとめっちゃ面白くない？ 嬉しくない？」という旨の説明をして実現できたときの嬉しさを共有しないといけないなと思ったりはする

高城剛の「日本人はメンタルクリニックに行く習慣がないから、代わりにスピリチュアル市場(主に女性)と話し相手になってくれる水商売市場（主に男性）が発展している」説は、ほんとそれ過ぎるな。しかも、どちらも根本解決に至らないから、余計にお金がグルグル回るという

万引きGメン「おいあいつ取った取った取った取った取った取った取った取った店出たら追うぞ、、、店出た店出た！！！追え追え追え追え追え追え追え追え追え追え追え、、え！？！キムタクキムタクキムタクキムタク！！サイン下さいサイン下さいサイン下さいサイン下さいサイン下さいサイン下さいサイ

ジャップオスの金玉潰せという発言でフェミ界の星となった某ツイッタラーが自分に息子がいると知られた途端にお仲間のはずのツイッタラー仲間からオスガキがどうのと叩かれていて地獄だなと思った記憶がある。

「ルッキズムはダメ」って言ってる人は元女子アナだし、「学歴なんて不要」って言ってる人は東大卒だし、「成長なんてもう要らない」っていう人は資産家の大学教授だったりするんだよな。本当に世の中残酷だと思う。

お前にサンが救えるか　救える場合は1を　救えない場合は2を　もう一度質問を聞くには3を　押してください

コロナは陰謀説を信じる人々に売り込むつもりで海外からテスラ缶なるものを輸入販売してたけど、余りにバカ高いので自作テスラ缶を作る人々が現れ、業者が慌てて「正規品をご購入下さい」と触れ回ってるのってThis is 消費社会という感じがするし腹抱えるくらいにおもろい。

サブスクやYouTubeで聴けないというだけでレア音源扱いされる時代。音楽の価値ってなんだろうと思うこともあるが、元々音楽そのものに価値なんてなくて、あるとすればその人の中にある。

うつ病の辛さは、何かに失敗した時や、何かを喪失した時や、壁にぶつかった時の感覚とは全く違うから「誰しも辛いことはある」とか「みんな経験してる」とかそういう話じゃないんだよ。

的確なツッコミができる変態「ハァハァ…何色のパンツ履いてるの？」

檜皮色（ひわだいろ）

的確なツッコミができる変態「羅生門の老婆？」

自分と異なった意見の人をアンチと称して、その人達を攻撃して暗くて不幸である事を想像する事でのみ自分の幸せを確認する手法を覚えてしまうと、自分が不安になると常にアンチを攻撃し、徐々に先鋭化してしまうのよね、あまりヘルシーな手法じゃない気がする

学費に年間140万円、一人暮らしに120万、その他交際費をあわせておよそ300万円を保護者に負担させながら大学に通っている人間たちが、生活保護受給のアンダークラス層を「怠惰」の一言で無邪気に批判するような授業、かなり厳しいものがあった、これからその思想が子へと引き継がれていくだろうことも

仕事やらでげんなりでは済まないレベルまで嫌気が差す、状態を悪くさせるだけの人は「無能というより毒能」だと思う。そして、自分がそんなことは一切ないとは言い切れないということは頭の片隅に入れておきたい。

昔は30までに死ぬ、死にたいとか思ってたけど、いつか夭折が美しいのは才のある人間くらいだと気づいたので、今じゃ「面倒くさいから一回休みを発動したい」くらいの意味で「死にたい」と思ってます。

プロフィールにTwitterJPって書いてるアカウント覗いてたら、解雇された人が出てきてイーロンマスク応援してるアカウントに実名顔出しで引用クソリプで噛み付いててTwitterJP社員やっぱりTwitter下手なんだなと思った

Togetterの某ユーザーが「自分のまとめた記事が10万PVに達した」みたいなことを堂々と誇っていたけど、全然誇れないだろ、他人のツイートと下品な釣りタイトルで注目集めたくせに…と思ってしまって、15年ぶりに「ﾌﾟｹﾞﾗ」という声が喉の奥から出た

カントリーマアムが小さくなりつつある件、以前は割とちゃんと憤っていたが、実存主義をインストールしてからはもう勝手にやってろとしか思わない おれの知らないところで好きに小さくなったり大きくなったりしててくれ

たとえば不倫や浮気の歌を涙流しながら聴いてる奴がいたらちょっとだけ良識を疑うし、ましてや「これはおれのための歌だよ」とか言い出したら少しばかり縁切りを考える

外国語で好ましくないメッセージが送られてきて返事をどうするかという話を見たのですが、私がやっていた方法は漢字やひらがなを適当に組み合わせた意味のない文章を返事として送るというものです。相手は調べてもわからない文章について調べ続けてくれるので、以降メッセージは大体来ないです。

身体の一部を切り取られ、桜という俗称を与えられることで、生き永らえる権利を辛うじて得られたことを知らない猫が、呑気ながらも鋭い眼光を失わずに毛づくろいをしているのを見ると、自分も何処かでその権利を辛うじて与えられたに過ぎないのだな、と思うこともある。

身もふたもない言い方すると、家事がめんどうにならないただ一つの方法は、それを本気で自分の仕事として引き受けること以外になく、心のどこかで「この仕事をするのは本当は自分じゃない」と思っているうちはどんなに簡単な仕事でもめんどくさい。家事にはそういうところがある。

なんかめちゃくちゃおしゃれなフォントで書かれているMVの歌詞を全部MS明朝と創英角ポップ体にして回ってるジジイ

博士課程の知り合いが「料理は作れば成果物ができるから良い」と呟いてたけどほんとそうよね....手を動かせば1時間くらいで創作欲と達成感と食欲を満たしてくれて健康になれる自炊、なんて素晴らしいんだと毎日感謝しながら料理してる。

「感性が伴うと、物に「現実性」が与えられる。感情のない認知は、物を現実ばなれしたものにみせる。興味のない見ものが遠くの方のことのように見えるのは、このゆえである。」74年前の心理学者の見解。

現実で人と関わらず、インターネットにも書きこまない真に断絶された人間について考える時間が毎日２分間ぐらいあるな。

昔バイトしていた中華料理屋で先輩にひどくいびられた夜、レジのそばの水槽でじっとしている上海ガニに話しかけて心を癒したが、次の日、そのカニが茹でられて店のオーナーが主催する飲み会に振る舞われた挙句、新人OLみたいな人が「蟹ってあんま味しないよね〜」と言うのを聞いて泣きそうになった。

昨日、女性を「奴隷を選択している」「内心では家畜の方がしっくりくる」と言いながら『なぜフェミニズムが嫌われるか』を語るアカウント見たけど、Twitterで愚痴と暴言を吐き続ける有象無象の匿名フェミニストではなく、実名で活動する『弁護士』でした。たぶん、そういう所が「嫌われる理由」かな。

どんな企画だったか今となってはわからないが、細木数子がトランクスの上手な畳み方をテレビで紹介していて、それ以来おれは細木流でパンツを畳んでいる。

「人を傷つけてはいけない」ということの根拠にはたとえば苦痛の発生があるんだけど、殺人に関しては苦痛を伴わない死がありえて、さらに死後には苦痛が生じないという事実もあるので、殺人の何が（被害者にとって）悪なのか考えてみるとけっこう難しい。

反出生主義について言及するけど自分自身が反出生主義者ではない場合がけっこう多いのは、そこまで道徳の根本を解体しようとする人が「なぜ道徳的であるべきか問題」にも思い当たる確率の高さを思えばそう不思議でもない気はする。

『ヤバい経済学』だったか、大相撲を研究した奴で『昇格降格がかかった一番になると、やけに勝率に偏りがある。多分間違いなく八百長が存在している』という結論出してた奴あったな。笑った記憶がある。統計データはこういう人間の信じたい倫理や道徳を木っ端微塵に粉砕していくことがあるので嫌いではないのだけど、かといって既存の倫理や道徳を木っ端微塵に粉砕したい人間の言うことを聞いてくれるわけでもないのでやはり自然は無慈悲である。偉大な科学者でさえ『神はサイコロを振らない』という信念から自然現象を解釈しようとして色々話をややこしくしてしまうことがありますが（必ずしもそれが間違いとも言えないけど）、まあ凡人風情がそれをやろうとすれば大抵は大怪我することになります。科学は概ね願望に忖度はしてくれない。なんでまあ、願望を支えるために科学を援用することにはあんまり同意しないんすよね。逆に否定されるかもって覚悟を持ってやるのはアリなんですが。でも否定されたくはないでしょう？

道徳について「考えすぎること」が既に道徳を逸脱するという予感があり、その予感で嫌悪している善人は多いと思います（そしてその予感は大したものだと思う）。反対に、考えすぎると反道徳的でいられなくなる反道徳者もいる気がします。

もっと言えば子供は社会の宝にしとかないと、奴らマジでうるさくて言う事聞かなくて、洗練されたアーバンライフにそぐわないからな。イラッとしてから虐待までの距離が短くなるのも自由社会の弊害な。子供は社会の宝にしておいた方がいい。女は守った方がいい。男は弱音を吐かず前向いて働いた方がいい。そういう共同幻想で縛り付けないと、社会はどんどん弱者を包括しなくなるね。

「ラブドールを必要とする層が日常的に誰かを加害できるような社会的強者か」なんてことは少し考えればわかることだし、実際はエプスタインとスプツニ子のように、フェミニストは実際に『それ』ができる権力者とはべったりなんだよね

お若い作家志望の方とメールでやりとりをしていて、もう「性癖」という言葉は「性的嗜好」という意味のほうがスタンダードになったんだなあ、と知る。仕方ないのかな、と思いつつも、せめて作家を志望するんだったら、言葉はちゃんと使おうよ、とも思う。

安倍さんや麻生さん、鳩山さんや菅さんがバカかどうかよりも、それを自分が判断できると思うバカさのほうが心配。支持するかしないかは別として総理大臣までなった人がツイッターにいる一般的な人よりバカなわけないじゃん。これは安倍さんや麻生さんについてもそうだし、鳩山さんや菅さんについてもそう。

ツイッターにおける自己紹介は常に「自分はどういう種類のバカか」の表明よね。

人権意識が高くなればなるほど誰もが声を上げて戦い、自分の責任で戦うようになるのでは。なんで、別に平和にはならない。

欧米は治安は悪いが自分には抗議する権利がある、争う権利があると全員が思ってて、実際に声を上げることを人権と心得てんじゃないかな。日本だと抗議の声自体を封殺する文化が極めて強いからな。人権は平和を意味しないという話では。

田舎の近所の子がすでに4人産んでいるといういい話を聞いた。インターネットであれが足りないこれがおかしいと不満を垂れて屁理屈を捏ねるしか能のない遺伝子が淘汰されていく過程を見ている。

こういう日没ギリギリの空の色って何かいいよね。あと、これから夏になるって今みたいな時季の空気の香りとか、灼けたアスファルトに雨が落ちた直後の匂いなんかもね。枕草子改訂版が作られるとしたらぜひ採用してほしいよ。

外国と日本を子供の時から往復して二ヶ国語に流暢な人に「親のおかげでラクに言葉習得できてズルい」と思う人がいるみたいなんですけど、子供の頃から文化や言葉のわからない場所に放り込まれ、常にどちらかの言葉を勉強させられ、大人ならフルタイムの仕事を2つやるような努力しているので全然違う。

ドイツに来て驚いたことの一つ。Akademiker(大卒)の人たちが、そうでない人を「あの人たち」と呼んだり、美容師さんを「頭の悪い人がなる職業」とみたり、職業差別がひどくて、しかも、それが差別だとも気がついてない感じにすごくびっくりした。私も日本に長く住むようになってから、ドイツのそういうところに目がいくようになった。勉強しない子供に対して親が「勉強しないと、あなたは将来は掃除人よ！」という𠮟り方をするのが普通だったりするからなあ。ブルーカラーの掃除の仕事をどう見ているかが、よく分かる例よね

「大学を出た方、どうか我が国の復興を手伝ってほしい」と大卒を呼び出し文系だけ選んで虐殺するカスのポル・ポト

あまりにブラックすぎて成り手がいないので技能実習生に官僚をやらせるカスの日本

「アレがアレしました女王様って言いなさい醜豚！」って認知症が入ってるのでセリフを忘れてるカスのSM女王

「4×6=」の答えに「4!」という未習の概念を取り入れた回答をするカスの小学生

どうせ女の価値が毀損されるならいっそ私が…と言って女を全員殺すアホのフェミニスト

わからんのは、「あの」ドイツ人が鉄道を定時運行できず、「あの」ロシア人が何故かほぼ時刻通りに鉄道を運行できてることなんだよね。「国民性あるある」的な話がいかにアテにならないか、ということでもあるのだが

Twitterは140文字の投稿とはいえ朝から晩まで数年やってたらある意味その人のコアな部分が抽出されるのは間違いない。良い人か悪い人かはわからないが大半の「やばそうか否か」は大抵判断出来る。

小便を漏らすことを「ジワる」と表現する、終わってる少年

AIが名文を書けなくてもいいのかもしれない。書いた文章を読んで「なんだこの安易な展開は！」と思って書き直したくなったら、それだけでメチャクチャ作家の役に立ってます。人ってダメ出しをするときにすごく脳が活性化する気がする。

「大学の講義に興味が持てない」とおっしゃる大学生の方にまずお伝えすべき回答は「大学で学ぶのが早すぎたのでは」というものです。

私達の社会には１８歳＋数年で大学に入学すべしという呪いがかかっているので、その責は個人に求めるべきものではありません。しかし何事であれ、楽しむにはある程度の準備や能力が必要というのも事実です。大半の人たちは、入学試験対策で時間と気力を使い果たし、ほとんど予備知識も予備トレーニングもないまま大学に入学してきます（ときどき受験校や受験産業にいる良心的か物好きな人たちがこっそり試験対策に大学での学びに必要な予備知識や予備トレを紛れ込ませていることはあります）。たとえばレポートを書いたことがなく書き方も知らない方にとっては、大学で単位を取るのはもちろん、講義を聴くこと自体、簡単ではありません。学期末に穴埋め問題を解けばいい場合とは、講義からどこに重点をおいて何を得ればいいのかすら異なるからです。もう一つ、意欲についても、大半の人たちは何の準備もなく、意欲を生み出すための何らかのリソースさえも持ち合わせていません。説明のために、とある社会人学生に登場してもらいましょう。この方は１０年間、社会人を続けた後に、思うところあって大学で学ぶことを選ばれた方です。良いことばかりではなかった（むしろ悪いことの方が多かった）社会経験、そこから見えた社会における大学の位置づけと、そこで学ぶことの意義、これからの人生で持つ価値など、こうしたものを、１８歳で大学に入学してた人たちの多くは持ち合わせていません。繰り返しになりますが、こうしたものを持ち合わせないことは個人の責任ではありません。しかしこれらは社会が全員にもれなく配ってくれるものとも言えません。個人と社会の中間にあり、当事者でもある大学は、こうした欠落を自覚し、いろんな手立てや機会を提供するようになりましたが、受け取る側の学生にとってニーズが自覚されないためにか、あまり人気があるものではないようです。多くの人がこの問題を、「興味がわかない」「やる気が出ない」などと自分の嗜好関心に誤って帰属させてしまい、せっかく提供されたリソースと結び付けることができないのは、オリエンテーションの不備不足もあるでしょうが、不幸としか言いようがありません。繰り返し申し上げていることですが、やる気は行動の原因ではなく結果です。やる気が出ないことは、行動がうまくいっていないことを示すサインであり、やる気を上げること自体を標的にしたアプローチは、やる気を前提にした企てとともに徒労に終わります。「どうしても興味を持てないことを勉強していかなければならないとなったとき」とお尋ねですので、ご指摘しますが「どうしても」と言うには、「これは自分にとってやりたいことではない」とただ確認を繰り返す以外の作業が必要です。その方策には、やる気が行動から生まれることから分かるように「うまくやり、良い結果を得る。そのために必要なスキルと知識を知って準備する」「興味を持てない対象が位置づけられている文脈を明らかにし、別のより広い文脈に位置づけ直す（リフレーミング）」「自分の関心とそれを支えている体験を精査し、関心を広げ、興味のない対象との結びつきをつくる」といったアプローチが考えられます。学んでいくうちに興味が出てくる場合にも、これらが全て、順序はいろいろですが、生じています。

年食ってからのが勉強楽しいのも色んなことを知ったからだよな。

Twitterでよく見かける褒め言葉としての「頭おかしい」は一般には全く浸透しておらず、そのようには受け取られないので社会人ツイッタラーはTPOを考えましょうね…（つい先日、偉い人相手に褒めるつもりで【頭おかしい】を連発し大惨事を引き起こした人を思い出しつつ。Twitterやってるんだろうな…）

おっぱいを揺らす女の子は「客体化された女性像」に自ら近づいてるから見てて悲しくなる、という感性は少し興味深いです。なぜなら性的客体化論の提唱者マーサ・ヌスバウムは、超ミニスカで踊る女子高生などの「自己客体化」は、べつに悪くないと明言してるからです。客体化論が大きく変質してる。

もともと「東大には全国から学生が集まるから自宅から通っている学生は少ないはず」というツイートに対して「東大合格者の６割が首都圏出身者で占められているから，東大でも半数くらいは自宅通学では」という話なんですけどね。その後のコメントで学生生活調査でも「６割が自宅」とわかった。

戦後、日本と西ドイツの復興ぶりを観て「おい、俺たちは本当に勝ったのか？」って米英が言ったって笑い話があったけど、今の中露のやり放題に加えて紅衛兵みたいな連中の跋扈を観てると「おい、冷戦って本当に西側が勝ったのか？」って言いたくなるな。

対話にならずいきなり絡む人、「自分のこのイライラを、そこのお前なんとかしろおお！」とか言いながら無差別乱射してる感じ。

『「リベラル」は家族制度や地縁、生まれ持った国籍や性別、人間関係などで発生する伝統的役割や価値観に縛られることを嫌い、個人の自由と権利の拡大が理想であるかのように掲げてきた。』『「しがらみに縛られず、一人ひとりの自由な意思が尊重される社会」という一聞して心地良い理想は、まるで否定出来ない「政治的正しさ」で塗り固められているかのようだ』『ただし肝心なのは、「その自由が何に支えられているのか」だ。本来は言うまでも無いことだが、社会の豊かさやサービスは自動的かつ無限に湧いてくるものではなく、自由とは程遠い多くの「名も無き」人々や地域による仕事と負担、責任の積み重ねで担保されている。』『食料やエネルギーを例にしても、都市部だけでは人口に見合った量を自給できない。福島で事故を起こした原発も「東京電力」福島第一原子力発電所であり、発電された電力全てが首都圏に送られていた。原発が停止した今もなお福島県内の火力発電所や水力発電所からは首都圏に電気が送られ続けている。』地方だけでも今のような豊かな生活は実現し得ない。この国に関わって生きている以上、誰もが多かれ少なかれ日本社会という共同体での分業によって日常が支えられているのだ。』『そうした中でも特に、「リベラル」が好む多様性や文化、芸術、学問、しがらみに縛られないモラトリアムな生き方を選ぶ自由などは、高度に分業化が発達した豊かな社会だからこそ存続・発展し得る存在と言えるだろう。』『ところが多くの「リベラル」の間には、そうした意識があまりにも希薄に見える。社会を支えている労働や地域、共同体に敬意を払い感謝するどころか、それらを「後進的」「しがらみ」でしかないかのように見下し、後ろ足で砂をかけるようなケースがしばしば散見されてきた。』『事あるごとに「意識が高い」流行りの綺麗事や地に足着かない華やかな理想論に次々飛びついては「これぞ正しさ」だと言わんばかりに振り回し（あるいは振り回され）、上から目線で社会を「アップデート」しようとした。』『また、多くのリベラルは自分達が常に『選択できる側』『批判し評価を与える側』『配慮やサービスされる側』として優遇・尊重され、一方で社会を維持するために必要となる負担や責務は軽減、あるいは免除されるのが当然であるかのようにも振舞ってきた。』『むしろ、そのような特権が許される状況こそが「自由と多様性」の体現であり、『リベラル』であると履き違えているかのような節さえある。』『そのため、自分達が望む社会の「アップデート」の手段ですら、社会という共同体に解決や負担を丸投げするかのような、他者に一方的な譲歩や忍耐、負担を無限に迫った上で不平不満を解消させようとクレームをぶつける、極めて他力本願かつ傲慢なものばかりが目立った。』『毎度の様に権利や痛みを尊大に訴えては他者にやたらと「罪」をなすりつけて糾弾したり、現実的な代替案も妥協点も無きデモやパフォーマンスなどの「運動」にばかり明け暮れたのだ。』『結局「リベラル」は、常に社会にとっての「お客様」「消費者」であろうとし過ぎたのだ。その多くは個人の自由と権利を重んじ過ぎたあまりに、「義務や責任が伴わない肥大した消費者意識（お客様根性）」と「近視眼的で狭量なエゴイズム（利己主義）」を抱え込んでしまった。』『プライドや自意識、自分好みの社会問題への関心ばかりが高い反面、社会全体を俯瞰した上で維持・存続させることには本質的に無関心かつ無責任となってしまった。』

『これは「リベラル」に限らず、理念が「大衆化」される過程で起こる必然なのかもしれないが、「リベラル」の多くは本来掲げていた崇高な理念から離れ、個人の「お気持ち」を無限に満たす「お客様待遇」と依怙贔屓ばかり求めるエゴイズムに堕落していった。』『それがどんどんエスカレートした結果、日常生活で思い通りにならない些細なストレスや単なる個人的嫌悪、嫌いな他者の言動や存在に対する不快感さえも「反リベラル的な抑圧」「社会問題」と見做し被害者意識を拗らせて弾圧に走る、真の「自由と多様性」とは矛盾する言動も数多く見られている。』『挙句、そのように他者の自由を攻撃・排除しようとする不寛容を恥じるどころか、「政治的正しさ」、ひいては「リベラルを護るための仕事をしている」とでも正当化するかのようだった。』『これは、俗に「ツイフェミ」などと呼ばれる一部フェミニズム運動などを始めとした、多くの社会運動にも共通している。』『当然ながら、「社会を維持・存続させることに本質的に無関心かつ、エゴイズムでしかない社会運動」が問題解決に寄与するケースは稀だ。ほとんどは社会に多大な追加コストと時間の浪費を強要した挙句、問題を拗らせるだけだった。』『彼らがやってきたことは、つまり社会学で言うところのＮＩＭＢＹ（自分の家の裏庭以外に持っていけ）症候群に陥るばかりではなかったか。』…と、以前この本の手記で書いた「リベラルのエラー」について掘り下げたような原稿を、頑張って書いております。月刊正論での全６回連載の最終回となる次回の原稿でも、こうした内容に触れる「風評加害の正体」を書きました。

エロ漫画でちんちんしゃぶった後の口でキスする描写あると気になるみたいな話たまにされるけど、他人にちんちんしゃぶらせといて自分は間接ちんちんキスしたくないなんてそんな都合のいい話なくないか？フィリップ・マーロウも撃っていいのは撃たれる覚悟のある奴だけって言っとるぞ

「訳あって妻の代理で育児ワンオペしたら想像以上に大変で妻のありがたさ、偉大さが分かった」系のエピソードも単に不慣れなだけで本質的には「バイト初日で覚えること多いしやることよくわかんなくて疲れた」と同じだと思ってる。1ヶ月もすれば最適化して手の抜きどころも覚える。

政治家は頭の回転が速く、勘も良く、特に記憶力は驚嘆するレベル。ただしムラっ気があり、感情の起伏が激しく、何より狂人であると、議員秘書をやると初めに気付く。「普通の人」は選挙で当選出来ないのです。そもそも普通の人は選挙に出ようなんて思いません。街中に自分の顔写真が大写しなったポスターを貼ったり、毎朝駅頭で喋ったり、見知らぬ人に握手をしに行ったりと、まさに狂人の所業である。

中学生とヤッて捕まった23歳のイケメンのTwitterアカウント、プロフィールに「はにゃ？」って書いてあってコイツ50年は投獄してていいなと思った。

インセルが優しい男ではないってのはそうかもしれんけど、優しい男ではなかったかどうかはわかんないんじゃないすかね。瓶につめられたイフリートが『俺を助けてくれた奴を金持ちにしてやる』『あらゆる魔法を教えてやる』と考えた末、最終的に『助けた奴を殺してやる』になった奴みたいなのありそう。『優しさではなく弱さ』構文未だに見かけるの絶句するんだけど、恋愛関係・性愛関係での成功と人格的陶冶を結び付けることが妥当だという発想、恋愛弱者から人間の尊厳をより一層剥奪することになるんじゃないすかね。そういう暴力的な人間観が何を生むことになるのか無自覚すぎやしません？恋愛弱者は人格的に劣っているから恋愛が成就できないのだ、という侮蔑的な視線が、予言の自己成就のようにして恋愛弱者男性をインセル的な発想に追いやっているのではないかって考えるんだけど、まあ卵が先か鶏が先か、みたいな話になるんですかね。人間はただ単独でその性質が決まるものではなく、社会からの視線によって自らの性質を決める、と自分は考えるので、弱者に対する侮蔑的な視線、弱者が倫理的・道徳的に劣っているものだ、とする発想は社会にとって害悪でしかないと思う方なんすね。『弱者は倫理的・道徳的に劣っているから弱者なのだ』という発想が何を生むのか全く考えてなさそうな発言の方がよほど倫理的・道徳的に問題のある発言なんじゃないですか。一度よく考えてみてもらった方がいいんじゃないですかね。良いんですか、それで。そういう社会からの視線と独立して優しくなれる人間こそが真に優しい人間なのだ、みたいな発想があるのかもしれませんが、そんなクソどうでもいい真のなんちゃら、みたいな発想よりも、弱い人間でも弱い人間なりに優しい生き方をしようと思える社会を構築してくださいよ。それでも知的生命体なんすか？どうでもいいけどこういう心理、やっすいデスゲーム主催者の発想みたいな奴だよなあ。極限状況に置かれたときに人間の本性が明らかになる！的な。アホか。過剰な負荷をかけたらどんな人間だって倫理や道徳の鉄筋がねじ切れるっつーのというか。実際にねじ切れて他人に加害しちゃった人間には落とし前つけてもらうしかないけど、それは社会秩序を維持するために必要なやむを得ない措置であって、たまたまそうならなくて済んだ人間がそうした人間を侮蔑し溜飲を下げる道具にしていいって話にはなんないと思うんですが、これ、おかしな話ですかね？

日本の就活、労働適性の高い人材の選別としては大変優秀な仕組みだと思う。あのバカらしさに気づいていながらおくびにも出さずうまくこなせる奴はサイコパス上司として人を使い潰せる才能があるし、あれを疑問に思わず真面目にこなせる奴は奴隷としての資質がある

出口の無い狭い部屋に閉じ込められた、と思ってよく見たら社会だった

米って二合炊いたら一合くらいの量だな…と感じるのに、三合炊いたら三合の量あるのおかしい。どうすれば二合炊けるんだ

あるゲーセンが廃業する時、ファンが盛大にお別れ会したの。その気持ちは純粋な善意だし「いい話」なんだけど、当の社長さんと飲んだ時に「閉店決まって最後に1万円使ってくれるなら100日100円ずつ使ってくれれば続けられたんだけどなぁ」と寂しそうに語ったのがめちゃくちゃ心に刺さったんですわ。

自分はどっちかというと旧来の『小説』よりの文章を好む方ではあるんだけど、生産の手間も読解の手間もひっくるめて、なろう系めいた文体の方が平易で大量生産大量消費に向いているのでは（それは必ずしも否定的な話ではない）、と考える方なんすよね。

散歩というのはもっと面倒なものだと思っていた。だいたい朝に40分、夕方もしくは晩に40分くらい歩いているので時間は相当とられているのだけれど、どんなに忙しくとも散歩は楽しい。毎日毎日同じコースを歩いて飽きないものかと最初は思っていたが、まったく飽きない。犬の目線で歩いていると、電柱、植え込み、曲がり角といった何でもないポイントに、視覚ではわからない情報がマーキングによって書き込まれていて、それを嗅覚で読み解きながら辿っていくのが散歩なのだということがわかる。もちろん自分自身もタイムラインに書き込みをする。

根っこが単純なので、ホテルの朝食ビュッフェのオムレツがとろふわだったり、ウィンナーの皮にやる気が見られるだけで一日中幸せな気分になる

俺の知人のイスラム教徒のインドネシア人は、日本だから問題ない、豚肉まじうめえ、豚骨ラーメン最高！ってインドネシアから彼女が来た時に豚骨ラーメンに連れて行ってさすがに引かれたって言ってた。

アムウェイで同級生の誰にも連絡取れなくなった友人が、癌で入院したことをFacebookに病院名まで公開したままひっそり亡くなっていた話はもうしましたっけ？

コンピューターが全力で作業してるのはむしろ代わりにやってくれている感のぶんだけ気持ちいいんだけど、もしかして労働が大好きな人類って他人が労働してるのを見て私がコンピューターぶん回してる時と同じ気持ちになってたりするんですか？だとするとめちゃくちゃ怖いな。

目の前の生活でいっぱいいっぱいの人に他人の人権のことまで考えてる余裕はない。それをやるのが人間として当たり前だと説教じみたことを言うから、恵まれない側にしてみたらこいつ馬鹿にしやがってとなる。

嘘はつくけど「嘘か？」と聞かれたときの返答は正直にしてるからギリギリ許されてる人

「弱くてもいい/降りてもいいのは強い人間だけ」なんですよ。FIREの為には種銭が必要であるように。外見主義に物申す有名人が多くの場合醜くないように。

IT業界にいると、千年パズルみたいに難解な設計書とか、5枚集めてやっと意味がわかるエクゾディアみたいな設計書とかよくある。

映画館に行けばハリウッド映画の多様性配慮にうんざりし、アメコミが目に入れば有色人種や同性愛者への配慮に怒りがこみあげ、最後の砦とばかりに日本製異世界ものを読んだら男も女も平等に活躍するべきだという台詞に説教された気になって血管が切れそうになるオッサン、行き場がなくて本当に可哀想。

教育に首突っ込んでる自称理系は自身の異常な長期記憶力を認識しておいた方がええで。何年も前に教わった「解き方」を覚えてられるのは立派な才能や。地理とか古典とかで習ったこと未だに覚えてるやろ？お前らの積み重ねてきた数学力は記憶力の賜物なんや。

てんとう虫できるやつは小学校の指導を高校になっても覚えている異常な記憶力と学習意欲の持ち主やで。本人が理系に進みたいと望んで、高校でしっかり教えてやれば地方国公立くらいには届くやろ。こういった層が「理系全般が苦手」なんか？

人間には嫉妬心があるので「困ったときに助けてくれる友人」よりも「成功したときに一緒に喜んでくれる友人」を見つける方が実は難しいようです。もし成功を一緒に喜んでくれる人が頭に浮かぶなら、その人を大切にしてくださいね。

自意識がでけえやつに言葉を持たせてもロクなことにならない。もしそういうやつが言葉を尽くすとしたら、いかに自分がダメでそれゆえに愛されているか（赦されているか）を実況するほかないと思う

モテない理由は自分が一番よくわかってるのに、そういう風に自分を外から眺めちゃって自分はなんてダサいんだと失望できる程度の客観化能力があるせいでモテないの、賢すぎる男という感じがいていやだなあ

「ワーキングメモリ足りない系ADHDは人の話を聞くときにメモを取れ」というのは一見合理的な考えに思えるが、そもそもワーキングメモリが足りてないと「話を聞きながらメモを取る」という高度なマルチタスクを実行できないという論理的欠陥を抱えている。

便座までの距離が近くなるにつれてうんこが漏れそうになってくるみたいな現象、人生にはままあるな。

暇な歴史学者、関ヶ原の役の色んなエピソード（本戦の経過を含む、史実とはみなされていないがみんな知ってるような逸話の類）の出典を羅列する事典作ってほしい。「歴史小説を読むことが悪いと言っているのではなく、一般大衆とはそういうものだ、ということである。一般大衆は、そのことが歴史的事実かどうか、ということにはそれほど興味・関心がないのである」（白峰、2020）とか言っても、最近になり貴方方の本が出るまでは関心ある連中に何を読めというのか感

学生時代にしてたダイヤルQ2のサクラのバイトで相手の男が「電話口でアソコの音聞かせて」って言うから夕飯の納豆かき混ぜてる音聞かせたら「スゴいね…グッチョグチョだね…あっ！出るｯｯ！」って果てたエピソードは30年経っても色褪せないな

「学生時代に味わった感慨深い秋はもう帰ってこない…」と思っている人は2~3kmの早歩きを1回してみてください。ただ歩いているだけなのに「あぁ、秋の紅葉…夕暮れ...」という気持ちになります。運動すると過去の記憶と感覚が戻ってくるので、感性が薄れている人におすすめです。

ゲーム理論の応用って、産業組織論やオークションみたいな同定のためのデータが豊富な状況以外での「社会理論」的な応用を目指そうとすると、途端に既に自然言語による分析で分かってたことや常識の追認になってしまって、それってゲーム論使う必要あったんか？と思わせることが多い。

「学生運動に参加して資本主義打倒とか言っておきながらしっかり巨大企業に就職していった団塊の世代」とかよく批判的に言われるけど、スッパリ切り替えられるだけマシだったんだなと思う。今はいくらでも“目覚めた仲間”を見つけられるしいつまでも記録が残るから予後が悪そう。

「教養のある人間は人間性にも優れてる」的な神話、Twitterの人文学者達によって完膚無きまでに打ち砕かれ、毛沢東の「インテリは人間性が…なので弾圧しないと必ず我々を弾圧してくる」が正しい事が完全に証明されてしまった感がある

パートナーとして一つ屋根の下生活する上で、価値観が一致するとかも良いと思うけど、躁鬱の激しいメンタルの人はもちろんのこと、毎日低血圧とかPMS、偏頭痛とか慢性の体の不調をずっと隣で訴え続けられるの結構ボディーブローのように堪えるよね、まずは健康大事

中1の時の5教科の総合点数が自分より低い部下を見つけたのでなじっていたら、「学校により試験難易度は違うので、同級生ではない部長には相対的に評価することは難しいと思います」と言われた。すると社内にスカッとジャパンのスタッフがぞろぞろ入ってきて彼を祝福したので、私も一緒にニコニコした。

米国駐在時代、なんでこんなに物覚えの良い優秀なヤツがこの時給の仕事の応募してきた？って言う新規採用者は、だいたい前科持ちか薬物常用者で、本採用前の薬物検査で引っかかってアウト。

好きな作品の「原作に存在しないシーン」を妄想するヤツは割と数が限られているらしく、そのシーンにセリフやシチュエーションをつけるヤツはさらに少なく、それを一つの物語にする者は、物語を文章にする者は、文章を実際に打ち出す者は、公開する者は、それまでの全部を超えてきた選ばれた人なのよね

MGS2の冒頭ではスネークが火のついた“歩き煙草”を橋に捨てる。それで発売後にモラルが低いと、皆さんからお叱りを受けた。それでMGS3での輸送機からのHALO降下時には、火のついた煙草をブーツで踏み消す様にした。それでも尚、お叱りがあり、MGS4では携帯灰皿をスネーク持たせ、煙草を捨てる様にした。

トリビアの泉でやってたやつで、野生の一匹狼の遠吠えにバウリンガルを使うと「ボクはなにをしたらいい？」と言ってた、という回がたまらなく心に残っている。

信長が革新的だと言う話。なぜか信長以前の時代（足利将軍、三好長慶、細川国慶など）と比べず、秀吉や家康といった「後の時代」と比較する場合が多い。信長以前の支配者である室町幕府を知らずして、どうやって革新性を述べるのかといつも思うわ

このゲーム、世界のどこかにいる人がうちの実家の前とかに降り立って「家ばっかりでわかんねw」「アジアっぽくない？」「(日本語の標識見て)言葉読めねーw」とか言ってるかもしれないって想像するとすごい面白い

冬場の自動販売機は、実存を100円で売ってる。フランクルの「夜と霧」の一節では、強制収容されたユダヤ人が行列をなして自販機の前に並び、こぞってコーンポタージュを購入したと描かれている。フランクルの「夜と霧」の一節では、強制収容されたユダヤ人が労務後にセブンイレブンでホットカフェラテを購入し、ドイツ人兵員と飲む姿が描かれている

ドカタやってたとき、線の細いインテリ風のおじさんが新人としてやってきた。でかいコンクリの塊を手作業で運んでるときに彼は呟いた。「重たい、オモタイハン国」周りは無反応。スベったんじゃなく意味がわからなかったんだと思う。彼はその後すぐ辞めていった。本当に申し訳なかったと思ってる。「まだまだ残ってイルハン国」と返す機転と余裕があのときの俺にあれば…

卒業アルバムで何度も何度もシコっていくなかで同級生の顔と名前を記憶したので、同窓会に行くと当時以上に人を知っているという異常な状況が発生する

人と違う意見や格好しただけであれこれ言われる田舎から飛び出し都会に来て清々したはずだったのに、SNSで世界中の人とムラ社会になってしまい、「あいつが変な事言ってるからみんなでハブろう」の世界に再び戻されてしまった感。べつにSNSのせいじゃなく、人間は古来からそういう生き物なんだよね…

歯磨いた後にチロルチョコ1個だけ食べる感覚で、喪中だけど恋人にだけ年賀状を出す。

長いこと生きていると、絶対に生存上必須でもなく、むしろ寿命を短くするにもかかわらず定期的に体が欲するので仕方なく食べる類の食物があるな。チキンラーメンとか。

一蘭、味玉以外は普通で味玉は普通

学生時代に「この病院で一番時給が高い奴が働いてる部署を見せてやるよ！」と指導医に言われワクワクしてたら着いた先はコンビニだった

「自分の見たものしか信じない」という格好良いセリフはよく聞きますが、それを貫くのは不可能だと思っています。医者といえども、内科外科が分かれて専門外のところが発生するように、自分が知り、理解できる専門知識の分野は限られています。専門知識を持たない分野に関しては、結局だれかの意見を聞いて採用して判断していくしかありません。その中でツイート主が何度も言う「真実」に近づくには、自分の都合の悪い意見だからと排除するのではなく、なるべく広く、多くの意見を飲み込んで、それらを吟味していくしかないということが学べるツイートだったと思います。

共感できる嘘をつくだけで数万いいねがもらえる素晴らしいSNSが世界にはあるらしい

以前授業でディスカッションの場があったんだけど、そのテーマが「成果主義が一般的でない米国社会で成果主義を普及させるには」で、米国人同級生は「それは米国では無理だよね...」などと皆頭を抱えており、「米国は成果主義の国」という固定観念を日本で植え付けられた私は一人で大混乱していた。

「アメリカ出羽守は『日本はここが駄目、それに比べて米国では〜』と日本下げするが、アメリカに馴染んでいる人は『毎週毎週末パーティばかりでたまには家族とゆっくり休みたい』と愚痴るから判別できる」とあって記憶に残っている。

絵がうまくなりたいと思っても具体的に描けるものを一つ一つ増やすしかないとか、ピアノがうまくなりたいと言っても具体的に弾ける曲を増やすしかないみたいな、そういう苦々しい現実や修羅や千里の道が見えてきて厭になって趣味をやめてしまう人、おそらく星の数ほどいる。それを苦とも思わないように（生活の仕組みを変えることによって）なれればかなり強いということでもあるが。

自分自身のエビデンスを強化するような知識はもちろんのこと、もっともっと大事なのは自分の価値観を揺らがせてしまうような「不都合な」知識である。止揚に至るには真逆の思想や知識が必要だからね

前ツイッターのいいねRT数を非表示にする拡張機能みたいなのを入れたことがあって最初は「数字にとらわれない世界サイコ～」と思ってたんだけど、いつしか人のツイートを見て「うーん、これは40いいね」と予想してから機能をオフにして確認するみたいな最悪クイズに夢中になってしまいやめた。

最近分かった恐ろしい事なんですが、人は褒められて育てられると、会社などで怒鳴る人がいると「え？こいつ頭おかしいんじゃん？」って思うらしいんですよ…怒鳴られると自分が悪いんだと思う我々とは違う…これがすくすく育ってきた人間…

もしも実名だったら、例えば「基本的人権は国家が保証するものではない」みたいなことを言っている人やそれに騙される人たちを「放置する以外にない」し、何も言えない。おかしな人を放置しなければいけない圧は、実名空間の方が圧倒的に高い。反ワクチンみたいなものも平気で批判したりできるのは、ほとんどの人は匿名だからできるのであって、リアルでそんな人が出てきたら、なんとなく距離を置くことしかできない。反ワクチンに限らず、ちょっとおかしなことを言う人は、精神や知的な部分において、あまり高く評価されていない。その人たちへを批判することは、障がい者差別のようなものと方向的には全く同じとも言えて、匿名だとそれが簡単にできてしまう。

過干渉なママと無関心なパパに育てられた子供は、まず何をするにも相手の顔色を伺うようになるし、常に他者の視線に怯えてビクビクするし、自分の意思や主張をハッキリと言えなくなるので、男性はコミュ障型の非モテになり、女性はモラハラやDVされてる方が落ち着く型のメンヘラになりやすい

テスラ缶、あまりに普通の信者が買えない数百万円の値付けにした結果、純朴な信者各位が手持ちのスピリチュアルグッズ組み合わせて自作すればいいことに気付いちゃったの最高だと思う。スピリチュアル系のビジネスが絶対に信者に気付かせてはいけなかった「DIY」の概念

男は数字でしか自分を表現できない哀しい生き物だから義務教育では身長と短距離走のタイム、高校と大学では偏差値、社会人では年収とTOEICの点数を競い晩年には健康診断の数値を競い合う。

NHKのドラマ、誰もタバコを吸わない大日本帝国という健康国家が出現してる…

毎朝、改札で止まっているおじさんがいる。先にカバンから出すなどして準備しておけばよいものを、必ず直前で立ち止まってガサゴソしているため非常に目立つし、「邪魔だろ」と叫びたくなる。出社すると業務の半分くらいは「てめーがやれ」と言いたくなるようなことであり、会議の9割くらいは「それ今？」と思う。退社してスーパーで買い物をしていると、お刺身のパックを見て「イカで空いたとこ埋めるんじゃないよ」と思い、広告の品という黄色のポップを見て「いつもこの値段だろうがよ」とパネルになった香取慎吾の胸倉を掴みたくなる。レジではおばあちゃんがリュックサックからセカンドバッグを取り出し、セカンドバッグから巾着袋を取り出し、巾着袋から財布を取り出し、律儀に小銭を探す後期高齢者特有のマトリョーシカを展開していた。帰る前にコンビニに寄ると、いつもいる店員さんに「クイックペイで」と伝え、毎回Edyを用意される。「せめてPayPayとか響きだけでも似てるやつにしてよ」と思いながら、「あっすいません、クイックペイです…」と謝る。袋の有無は聞いてくれないが、本当はいつも欲しいと思っているんだよな。たまに銀行のATMに寄ると、俺が知らないだけでNETFLIXとか観れるの？と思うくらい長期戦の構えを見せているお年寄りがおられる。帰宅して食事をしながらYouTubeを開くと、ひろゆきの不快な顔がオススメされて「死ぬまで見ねぇよ」とイライラする。そして目当ての動画を開くと、開始前に必ず脱毛を5秒間オススメされ「必要なのは増毛だが、どんな検索結果を基に表示を？」とキレそうになる。要約すると、私は1日の中でかなり頻繁に「ア゛ー！！」と絶叫したい状況に出会いながら、それをしないことによって「こっち側」に留まれている。それはインターネット上でも同様だ、ということである。一方で、Twitterなんかを見ていると企業の公式アカウントに謎のリプライを吊るしている方や、増田で突然関係のない話題からレスバを開始される方、もはや私人となられた元皇族の女性の去就にキレ散らかしている方、他人の食事や生活にひたすらケチをつけておられる方などがたくさん居る。また、私の会社に特定の番号で毎日あることないことお叱りの電話をくださる方、落語やってんのかと思うくらい長時間大宮駅のみどりの窓口で何かを訴えている方、とくに重要な機密を抱えているようには見受けられないが集団ストーカーから被害を受けていると毎日私宛に長文のメールを下さる他部署の事務の方、などなど、世の中を見回してみるとけっこう多くの方が"イカれたメンバー"として紹介して差し支えのない仕上がりを見せつけている。おそらく上述の中でも少ないくない方がなんらかの精神的な疾患を抱えていて、それに関しては単純に適切な医療につながって欲しいと思うだけなのだが、そうではなく単純に性向あるいは思想信条としてそういった状況にある方に対して最近の私が思うことは「この方達と自分を分かつ差はどこに…？」という、純粋な不安だ。たまたま私は口に出していないが、何かのタイミングで普段のほんのちょっとしたイライラを口に出した瞬間に「あっち側」のメンバーになる感じ。その「何か」が何なのか、そうならないためにはどうすればいいのか。インターネットやめますか、それとも人間やめますか…？何となく、自分が一応「普通の人」側にいる（と少なくとも思っている。まあ狂人はだいたいそういうことを言うもんですが…）ことが、たまたまに思えてならないのだ。おそらく当事者の方に聞いても全員おそらく普通の人側だと思っているだろうからあまり参考にはならないだろうし、先行研究の文献は中島敦『山月記』とかになる。ただ、私は怖くて仕方がない。いつかインターネットを彷徨うヤバ・オジサンに自分がなってしまうその日が…。なんなら、この文章を増田に投稿する時点で既に虎でいえばちょっとシッポ生えてきちゃってるような気もする。今やポル・ポトみたいなことを言い出している藤田孝典も最初はまともな感じだったし、元々は学識のある人だろう。反ワクチン界隈の医者とかも最初はまっとうに優秀な人だったんだろうな…と思うと、この「虎になっちゃう」トリガーが何なのかが非常に気になる。中島敦先生、または、はてな諸賢の御見解を賜りたい。

「普通」を担保するものはリベラルな人々が一番嫌う伝統や規範等の欠点は無数にありながらも漸進的な改良を加えながら何とか社会をうまく回してきた仕組みでしかありえず、そこに立ち戻って少しずつ試行錯誤を繰り返していくしかない

育ちの良さって生まれた家のデカさでも身に付けてるブランド品の総額でも両親の職業でもなく、結局「どれだけ豊かな想像力と深い愛で周囲に手を差し伸べるか」なんよな。

LGBTは自称すれば誰でもなれるのでLGBTが偉い世の中になったらみんなでLGBTになればいいと思うよ。本当にホモセックスしてるかどうか検査されたりはしないから安心してほしい

まあ男女平等の方が社会の維持より大事だから女権拡張により滅びても構わないと認める方が「ジェンダーギャップを縮めれば少子化対策になる」という電波を垂れ流すよりは筋は通っていますよね

私は技能実習制度は国辱ものだと思うんだけど、技能実習生を使っていない、あるいは日本人と同じ賃金を払っている企業を認証する制度を作れないだろうか。ウイグルの奴隷労働がどうこう以前に日本国内に奴隷がいることに関心がない保守もリベラルも偽善者でしかないと思う。

「エッチなものはいけません！」の、小学校5年生でもわかる「正しいっぽい感じ」。この「正しいっぽい感じ」が、近年ブームになっているポピュラー化されたフェミニズムの大部分を担っているというのは、社会の「小学生化」とも言えるのかもしれない。お母さんが、発見した息子のエロ本をわざわざ机の上にきれいに並べて晒しておく行為と、感情の源流が共通してる気がする…

インスタで地方都市のちょっと高いお寿司屋さんの位置情報で検索すると「自分のことを美魔女だと思ってるおばさんがシャンパン飲んでる自撮り」が結構出てくるので楽しい。地方都市のちょっと高いお寿司屋さんの客層は2021年のアメブロの客層とだいたい一致してる

ジョーカー事件の報道後の反応を見ていて思ったことだけど、ジョーカー事件の犯人を批判・攻撃している人は、まさしく「ジョーカーを生んだ社会病理」をよく反映しておりますわよね。「ジョーカー事件」が複数起きているのは、単に模倣犯が現れているというだけでなく、人々が抱える"生きづらさ"は、主観的には「社会を壊してもいい」と思ってしまうくらい強烈な懊悩を生むってことだよな。競争環境、マウント文化、格差の暴露、社会不安等をきっかけに誰でも次のジョーカーに成りうる。「公然の場で猥褻な表現は出来ないはず」という前提で理論構築をしている人は、キリスト教倫理が強制されるまで、日本各地で性器崇拝が普通に行われていて、一部では今も続いているから、規制が信教の自由を侵害しているという事実に無頓着なんだよね。学校の歴史の授業で教えていないのが原因かな？

性的なものを忌避するユダヤ教～キリスト教価値観や道徳は、人類普遍の規範でなく、あくまでローカルなもの。これを人類普遍だと勘違いする人が少なからずいるのが困りものです。

テレビはいくら真っ直ぐ伝えようとしても、テレビだから！というフィルターがかかってしまって、必ず曲がって伝わってしまう。ということは、最初から曲げて伝えれば、結果的に真っ直ぐに伝わると考えるべきだ。この曲げて伝えるということが演出だと思う。この曲げる角度を間違えるとヤラセになる。

【この後クビになる任天堂社員】

あ～じゃあクリアしたことにして先に進んでもらいましょうか

言語に明るくない人にアラビア語を説明するために十年間使ってきた「kswkとかwktkとかそういう読み方をする言語だよ」が通じなくなってきていることを知り己の加齢と向き合う、など

主人公「腕がなければ蹴り殺す、足がなければ噛み殺す！お前を絶対に許さない！」

ラスボスな上に、クソリプもする人「うーん^^; 歯がなかったらどうなのかなって考えちゃうけどなあ、自分なら^^;まあ、そこまでの頭もないんだろうけど。この人^^;」

いやな数学者「ほらぁ、nつんばいになれよ」

もっといやな幼女「nって有理数ですか？それなら、できます」

「年収600万あれば普通は結婚できる」、この1文、年収600万未満の人と普通じゃない人と結婚してない人の3種を1回でマウントしてるのでかなり高度な文。

亡くなった方を責めるつもりはないけど、ワイドショーでゴールデンボンバーの不倫したメンバーを口汚く叩いた後に、不倫の末に夫の教え子と不倫して子供を捨てて駆け落ちした瀬戸内寂聴さんを聖人のように崇め褒め称えているのを見るとテレビコメンテーターの軽薄さを感じる。

J( 'ｰ`)し「たかしはパソコンの大先生だもんね」

たけし「俺はタカシじゃなくてタケシだって何度言えばわかるんだカーチャン」

「実際にそうなったら考えます笑」、世の中のほとんどの悩みを論破してくれる心強い武器

運が悪い人「春日のあそこしか空いてないな...」

プロボクサーの今年の漢字が「殴」だったら面白い

｢障害者のことを理解せよ｣みたいなことは言われがちだけど、｢片側麻痺の人は納豆をかき混ぜるときに困る(ので滑り止めのあるトレイがあるとうれしい)｣みたいなことを頑張って考えれば言われなくてもわかるのか、というとかなり厳しい感じはする

好きで見ていたゆっくり動画の人が、嫌韓に落ちていったので、アンフォローした。これで何人目だよ。アクセスが稼げるからそっちに向かっちゃうのは分かるんだが。

缶にコイル巻きつけて中に変な石とか入れて特別な効果があるっていうの、疑似科学と呼ばれるけど行為としては完全に「ただの呪術」なので、飛行機の模型作ってアメリカ軍が物資をくれることを願ったり、男根の形の石に子孫繁栄願うのと同じだし、これが啓蒙でどうにかなるってかなり楽観的だと思う。どっちかというと「どんな時代でも一部の人間は呪術的行為を行うのが人間の種の特性」ってほうが現実に近いと思ってる。むかしの魔術の「日の出の瞬間に切ったトネリコの枝」とか「吉日の朝露を集めてすった炭で書いた霊符」が「銅線グルグル巻きつけて水晶入れたもの」になっただけよね。

オタクの趣味がつづかなくなってきたら、老人向けの趣味がなんで存在するかが理解できてくる

実存主義、当人が幸せなのはいいとして変な嫉妬とか受けそうだな。特に、努力して成果を手に入れた人間は努力もしないのに幸せそうな人間を許せないということが起こりそう。自己実現のための努力ではなく不安回避のための努力をしてきた人間に特にこの傾向が強いように思う

「失敗しても安楽死があるからチャレンジしてみよう」と思える社会に。

画数で運勢を占う姓名判断サイトにて、名字を『ケツ』、名前を『マンコ』にすると全ての運勢が大凶でカンストする

岐阜県山間部は悪い意味で所謂異常なので我々が生まれて来た甲斐の大部分を占める夜間徘徊が暗過ぎて暗過ぎて圧倒的に困難なのですがそこを逆手に取って調子に乗って夜を独占して「夜に駆ける」(cover)を聴きつつ躍りつつウキウキ走っていると思わぬ通行人に出逢い心肺が完全に停止します。しました。

「どなたにも召し上がりやすいサイズで」とか「もっと手軽に楽しめるよう」みたいな聞こえのいい文句で糊塗するの大嫌い。原料価格上がったから値段据え置きで小さくするでって素直にいえばまぁ理解できるのになんでそんな言い方するのか

創作論における「これをやってはいけない」ってやつ、だいたい必ず「それをやって成功してる作品」があるので、むしろ「本当にやってはいけないもの」を見付けだした人には賞金が授与されるべきではないか

芸人の放送作家、構成作家が裏方で得られる承認欲求に満足できず勘違いして表に出てくるムーブが許せないの会代表を務めております

仕事中Zoom会議で俺の画面共有してるとき、chromeの検索窓に「あ」と入力した瞬間FANZAの履歴が出現したので「うお〜〜〜っほっほっほい！！！！！」とデカい声出して見事無かったことにした

Twitterでは「何を言うか」じゃなくて「誰が言うか」の状態になると何を言ってもバズるようになるんだけど、それは芸能人とかYouTuberとかWEBライターとか、他媒体での人気者の特権で、Twitterオンリーで活動してる人にとってはかなり狭き門なんだよな。「誰が言うか」の状態に持っていくには、フォロワーじゃなくてファンを増やさなくちゃいけない。ファンの人数の測り方は内容の無いツイートをしたときのいいね数。つまり「ぶどうのグミを食べようかな」とか「リスリスリッスゥ！」につくいいね数がその人の本当のファンの人数です

俺が忍術学園に通ってたとして、俺の性格上お残しをすることは無いんだろうけど、卒業後に食堂のおばちゃんを訪ねたら6年間一度もお残しをしなかった俺より毎日お残しをしてたヤツの方をよく覚えてるんだろうなって考えて、そしてこれと同じことが俺の人生に往々にしてあると気付いて悲しくなった

ﾄﾞｫｰｰｰﾝ！！！！！！

仲間「やったか…？」

主人公「あぶないっ！！！！！」

仲間「ｷﾞｬ（絶命）」ｸﾞｼｬ

主人公「くっ…」

抉られた右半身から無数の手が出ているアル中カラカラ「さっきのは流石に効いたかも～！！！！！」

絶対知ってる侍｢あのガソリンで走るイノシシはなんでござるか！？｣

「真に賢い人は分かりやすく説明する」という観念に甘えて浴びるようにバカにも伝わる情報をYouTubeやTV、Tiktok、Twitterで需要し続ける層と、複雑でも正確な信頼できる情報を自分の頭で考えながら紐解いて理解していく層とのリテラシーの乖離が著しくなっている印象がある

「上皇さまじゃなくて上皇陛下な」っていちいち突っかかってくる人たち、教科書の全記述にカラフルなマーカー引いて授業中は先生の言うことにウンウン頷いてたのに、なぜか偏差値40の高校に進学して不良より成績悪かったらしい

過去の発言に対して当時と現在の価値観の違いを考慮することなく遡及して罰せられるようになったら、およそ全ての表現が将来的に何らかの形で不適切になるんじゃないのか。「当時はグレーで今はアウト」な表現を後から罰せられるのであれば、これからはグレーな表現も躊躇われるようになる。グレーはまだしも「当時はオッケーだけど今はアウト」な表現だって存在するのだから、ちゃんとした線引きをしない限り、発言や創作活動の場はかなり厳しいものになると思う

陰キャ、現実では輪に入れないことを正当化するために周囲から1歩下がった冷笑主義的な立ち回りしてるけど、ネットの世界では「〜で泣いた」「〜で好き」「〜で草生えた」と立派に喜怒哀楽の感情を持ち合わせていて可愛い

数字テツandトモ

405 405 40 405

37926885 405〜

2498 7765 405〜

これまでの子どもは少なくともプロが出演・構成・編集したテレビ番組を見て育ったけど、これからは素人に毛が生えた程度の編集されたフリー効果音が鳴り響くカスコンテンツを見て育つのかと、弟がリビングで無断転載tiktok動画にリアクションするYouTuberの動画を見ていて思った

「メスガキわからせおじさん」と言う名前で個人塾を経営している、意味をわかっていない男

言ってる最中に"今の時代だと炎上するな"と思って慌てて急ハンドルを切ったら全然違う方向になってしまったので少し戻そうとしたら戻した方向も違った人「僕に毎日味噌汁を作ってくれるマシーンを無人島に持って行くとしたら、何曜がいい？」

授業中にキレた小学校の先生が職員室に戻る行為、やってる瞬間本人も「うおー、今まさに例のやつやってるぜ」って興奮してそう

付き合ったら「死ぬまで一生一緒にいるor疎遠になる」の2択になるのが怖い。

ニンゲン観察バラエティモニタリング、そろそろ「500億円銀行口座に振り込まれていたら使うのか」みたいなのやってほしい。本当に振り込んで、返還義務もなしで。テレビ規模のドッキリじゃないとみてて面白くない。

「みんなも肌の色、性的指向、宗教を変えて尊敬されよう！今なら手術1000万！」って広告だしたらポリコレ的には炎上しそうだけど、叩く一方で手術を受けるポリコレマンも全然いそうで困る

民度を高く保つため、月100万はらわないと使えないSNS作ろうって思ったけど、それはそれで別の民度低い奴が群がってくるだろうな

ワイの初恋の子とワイが結ばれる二次創作つくられたらギリギリ「嬉しい」が勝つ

裁判長「被告人を死刑に処す。」

なんとか、道連れにしたい人「お前もやろ笑笑」

力が……欲しいか……って聞かれたけど悪魔がロシア語ネイティブだったので事なきを得た人

バンドセッションのように「好き」と言われれば「好き」、「大好き」と言われれば「大好き」と返していた。これはきっと今現在の空気を盛り上げるための賑やかしなんだろうと思う。これを深掘りしないで、ふわっとした好意を固めていくのが恋愛なのだろうか。自分には難しくて、うまくできるかわからないし、相手を傷つけないで済むように頑張りたい。こんなの、中学生くらいで済ますべきだった。

必要なのは男女平等じゃなくて癒しとカウンセリングなんだって。美味しいものでも食べて鬱陶しい世の中のことはほっとけ。自分の幸せが一番でしょ。

今夜暇？の中に家来る？があって、家来る？の中に抱いて！があって、抱いて！の中に精液と愛液で互いを汚しあう、架空生物どうしの愚かで滑稽なスポーツがあるらしいです

先生に「トイレに行っていいですか」と聞いたら「なぜですか」と問われ、とっさに「しゃ、射精のためです…」と本音を漏らしたところ、先生がぽっと赤くなって「そういうのは言わなくていいから、はやく行ってきなさい」と許可してくれた。という話をスカッとジャパンに送ったところ「採用」と書かれた紙が戻ってきた。

永井均の著作は読者自身が自分の頭で考え尽くすことを勧めるけど、読むと逆に「ここが終点かもしれないな」と自分で考えることを放棄したくなる魔力を感じる。

あのさぁフェミさぁ…から始まる、熱いオタクのお気持ち開示文章

部下に怒鳴っていいのは生命身体に危険が生じた時だけというのは基準として明確で良い。「よけろナっパ」基準として後世に残ってほしい

フェミニズムは女にとってのあるべき英雄主義を徹底的に幼稚な代物に差し替えたよね。社会進出を謳ってるから紛らわしいけど、アレは女に対して社会における一人前の成員たらなくても構わないと囁く思想だよ。「進出」して何をしたいのかなんて話も全然出ないじゃない。多分、「オフィスビルで米倉涼子みたいに振る舞いたい」ぐらいの解像度が中央値なんだろうなと思っている。近所にいたらクソ迷惑なやつ。仕事なんか9割は怜悧な頭脳で本質を突く必要のあるもんではなくしょうもない雑務なんだから、下から見りゃ泥かぶって矢面に立ってくれる上司、上から見りゃオッスオッス明るくやってる部下のがいいに決まってて、フリーの傭兵ならともかくドラマの米倉涼子タイプが職場にいたらだいぶ困る

パンツぱんくろうの「苦労」の部分

「ねぇ、お姉さんと気持ちいいこと(※)しない？？」

※確定申告

いまどき、ジャリ番である仮面ライダーでさえ、正義とは一義的ではなく敵にも敵の正義や道理がある、という筋立てが多いのに、今様リベラルの「正義はひとつ！」な狭窄な世界観は幼稚園児以下なんだってば。漫画はもっと多様やしね。「進撃の巨人」くらい読んどけ。

店長「バイトとはいえ給料貰ってるんだから、プロ意識を持て!」

私「『プロ意識』というそれらしい言葉を隠れ蓑に、時給3ケタ円で懇切丁寧な接客や専門知識を要求するとは、おぞましいばかりの強欲ですね。店長も『高いレベルを求めるなら、それに見合う報酬を払う』というプロ意識を持ってください」

年賀状って今の人は嫌がるけど、あれって「めったに変わらない個人情報を相互で受け取りあうことで、どうしても連絡を取りたくなったときに備えて繋がりをもつための非常用のツール」でもあったんだなあとシミジミる

「親に相談する」という選択肢がある人の人生の圧倒的優位感。

とりあえず「寒いところに出た後、家に帰って暖かいものを食べる・飲むことで実存値が大幅に増える」というバグを発見したので有効利用したい。これ人生ver.5.07ぐらいで修正されて「あ～やっぱバグだったか」ってなる予感

奨学金、「借金してでも大学に行けば高い確率で給料が増えるので借金する価値が充分にあった。ついでにどうせインフレするから若い時分の借金は10年も経てばそんなに辛い額ではなくなる」時代の制度のままという面は否めない

差別をこの世から無くしたいと思っているなら、思っている人ほど、自身の不快不愉快気持ち悪い恐ろしいといったネガティブ感情の発生原因について追究する姿勢を持つべきだと思うんだけどなぁ。ならぬものはならぬのです、と思考停止するのではなく。何故それがならぬと感じるのか？

リベラルってはさあ、「知的で穏健でユーモアもわかり、さらに何より大事なポイントとして寛容」ぐらいのブランドイメージがあった筈なんですよ。それが今じゃ「馬鹿ばっかで暴力的でシャレが通じず、そして何よりも不寛容」って本当に救いがない。いや言いかないけど紛れもなくそうだから困る。

星野源が「意味なんかないさ　暮らしがあるだけ」と高らかに歌い上げたのが2016年。あれから5年経ったが、困ったことに状況は更に悪化し、「生活」しかないということの空疎さが強調され、即席の「意味」が乱造されている。

量産型のいい話で涙腺を刺激すれば条件反射的に泣くような人々を口の悪い山本夏彦は「押すと餡出る」などと評したが、そういう使い方は今でも大いにされてる。

思想商売は一度味を占めると、中々忘れられないもので、これは大した資本も要らずストックも要らず、一寸塵を払ったり、ワニスを塗ったり、また逆に古びをつけたりして品物を右から左へと売ればよい極めて手軽な商売であるらしい。

フェミニストが女性の差別をなくしたいと言いながら、本当に助けが必要なエッセンシャルワーカー（女性介護士、教師、保育士）たちの支援をするでもなく、痴漢問題への対策を鉄道会社に求めに行くでもなく、街中でデモを起こして市民に訴えかけるでもなく、ただツイッターでオタク萌え絵の加害性がどうだの性的搾取がどうだのと根拠もロクに示さずにクダ巻いてるだけなの、支援とか問題解決とかデータ付きの議論がマジで大変だって本当はちゃんと知ってるから以上の理由ないんだよな。腰が動かなくて、手軽に何かやった気になれる行為（ハッシュタグアクティブなんたら）で満足しちゃってる。デモイストとしてそれでええんかとは思うが、まあ別にいいんだろう。フェミしよ！ってスローガンや彼女たちの姿勢いわく内輪のなかよしこよし性を高めるための運動でしかないんだろうからね

人間、30歳にもなれば「ライフイベントにおける決断とは無限の可能性の中からやむを得ず妥協点以外を切り捨てること」と自覚はできるようになるものだが、女性が不幸なのは自分の可能性を最も信じられる時期と可能性を切り捨てて最も良い結果を得られる時期が20代で重複してるということだと思う

腐女子が自分の妄想を満足させるために、安易に「同性婚賛成」みたいなこと言うの、お願いだからやめてほしい。

世の中の人たちを白と黒にはっきり分けたがる人、グレーは黒とみなして排除するし白だけの国を作ったところで次はオフホワイトを殴るに決まってるんですよ。

「和牛券」「お魚券」「Goto」「五輪」には誹謗中傷や侮蔑を投げかけ、同じ口で「文化芸術を支援しろ（ただしキモオタ二次元コンテンツは文化と認めない）」みたいなことやっていた人達は、その根底に「リベラル」を頂点とした階級差別みたいな意識があったと思ってます。頭を使う仕事ほど尊くて、身体を使う仕事は卑しいという価値観は、やっぱり高学歴層ほど強い印象があります。これはヨーロッパの価値観でしょうね。日本どころでなく階級意識が残っている。「職業に貴賤無し」と建前でなく心から言える人が、日本ではどのくらいいるんだろう……。

混沌が好きなので「インターネットでは常に誰かが燃えていてほしい」とは思うが、自分の好きなものは燃えてほしくない程度の混沌の好きさしかない。

ネットで他人の悪口を言わずには居られないうだつの上がらない人たちを殊更に煽る発言をし続けてたくさん悪口を集めたところで一気に開示請求と訴訟でハーヴェストするの、この世にうだつの上がらない人たちとTwitterが存在する限り枯れることなく成り立つ手堅いビジネスだなと思いました。

虚構と現実の区別が付かないバカを躾けたいんなら萌え絵を叩くより夜の街をパトロールすればいい。キャバクラやらホストクラブやらにハマって金をジャブジャブ流し込むガチ恋客の方が相手が生身だけに深刻だ。

青をきれいに発色する顔料というのは長く貴重であり、古くはラピスラズリを砕いて使っていた。このため青を多く使う絵画は絵の具代だけで高くついた。17世紀、侍からよい青色が得られることがわかり、一気に普及した。それがサムライブルー。明治維新後の日本の外貨獲得を大いに支えた

コロナ禍のおかげで飲みニケーションという名のお互いに仮面を外し恥部を見せびらかし合うことで仲間の絆を深めようという疑似性愛が減ったのならそれは喜ばしいんじゃないでしょうか。職場の飲み会で「仮面を外した素の自分」という名の仮面を被って道化になっている人、たぶん俺だけじゃないと思うんですけど、違いますかね。

知的体力ってのは「わからないことをわかるための能力」でもあるけど、もっと大事なのは「わからないことをわからないままにしておける能力」だとこのトシになって思いますねえ。陰謀論にはまっちゃう人ってそこらへんが過度に合理的で、それなのに知的体力がないので「わからないことをわからないままにしておけない」（=ハタから見れば意味不明な理屈で関係のない2点を繋いでしまう）のだと気づいた

九九はラストの九の段でこれまで倒してきたラスボスたちが出てくるけど、最後に待ち構えている真のラスボスは「九九」。タイトルの伏線を回収して全てに終わりをつける。これを考えたやつマジで神。ゴゴ25の中ボス感、ロクロク36の闇落ちした師匠感、シチシチ49の孤高の一匹狼感、ハッパ64の四天王最強感。1の段はサクサク進むけど、7の段でぐっと難易度が上がったりして、ゲームバランスもよく考えられてる。続編の20×20は難易度が高すぎて売れなかったんだよね。おれも11×11とか12×12とかの序盤のイベントだけ憶えてるけどあとは全く記憶に残ってない。インドではカルト的人気を誇る。

彼女とのセックス中、俺が「いっちゃうヨォ～～～～！！！ハァ～～～～～」って叫んだあと、ホテルのロビーからソーラン節が流れ出したらめちゃくちゃ面白いな

わしの尊敬する人は「童貞の医学部5年より中出しして焦った中卒の方がよっぽど女の周期に詳しくなるし、学問なんて畢竟そんなもん」と言ってました

物言えば唇寒し秋の風。うかつに何か呟くとすぐさま発火し火柱が上がって息の根とめようになるので、わかる人にしかわからない遠回しな表現でごく狭いローカルな界隈に向けて発信するテンプレ京都人みたいなしぐさが主流になっていくのかな。水野忠邦が文化を弾圧した時代の絵解き風刺みたいな方向。

「コミケとかで作者様に会ってしまうとご本人の顔が脳裏にちらついてエロマンガの実用性が下がってしまいます！」と身内のエロマンガ有識者に相談したら、「修行が足りん！」と一喝された。「お前は嫁の親に挨拶したらセックスレスになるのか!?」と。

デマや似非科学に騙される人と騙されない自分の違いを、論理的・科学的思考力の有無によるものと考えるのは基本的に間違いだと思う。だいたいは信憑性の判断をどの集団に委託してるかの違いでしかない。全てのことを自分で調査・判断するなんてできないんだから。

おかあさんといっしょの周りの子供の募集に応募できるのは3歳児だけって話を聞いて「嘘…日本ダービーじゃん…」ってなった

別れたら死ぬって言ってた元カレ生きててびっくりした

先日「表現の自由はあるが、表現を制限する自由もある」というような話が流れてきて何だそれと思ったのだが、もはや単に何でも「自由」という枠組みを通してしか認識できないだけのように思えるな。「自由と自由がコンフリクトしたならより正しい側の自由が優先するべき」くらいに思っているのだろう。

「傷ついていること、弱者であること」を正当性の源泉として振り回しすぎると、「人それぞれに弱さがあり傷を負っている」みたいな世界観は受け入れられなくなるんすよ

「おはよう日本」でグレタさんとそれに影響を受けた日本人の高校生の活動を紹介していたけど、やはり地球温暖化問題は科学であると同時に宗教的な構造を持っているんだなと思った。「悔い改めなければ世界は破滅する」っていうメッセージはすごく宗教的で、そこが今の日本で盛り上がらない理由なのかも

60代の娘さんがいる方が｢娘が学校から帰る頃だからご飯支度に帰る。沢山食べるのよ｣と話し、90代男性が｢現場に行かなきゃいけない。家族5人食べさせるから、寝てられない｣と話された時、認知症が進行した時に出てくるのはその人が一番人生で楽しかった時や生き甲斐を感じていた時なんだと思った。

結婚生活が上手くいってる既婚男性に奥さんの好きなところを聞くと「情緒が安定していること」って答えるし、結婚生活が上手くいってない既婚男性に奥さんの嫌なところを聞くと「情緒が安定していないこと」と答える。情緒って大切。

心理療法家の本に「家のなかでやれよってくらい人前でベタベタするカップルは無意識に根っこのところで心がつながっている自信がないから身体を触れ合わせようとするのだ。上手くいくカップルはベタベタする必要がないから実はあっさりしてる」と書いてあってなるほどなと思った。これすごくない？

相手に揚げ足とられないように紳士的に対応しましょうっていうの、あくまでも自分の好きなコンテンツを土足で踏みつけられたことのない人間の理想論だと思う。

ゴミ袋に名前が書いてないと町内に片っ端から電話してきて絶対に犯人を突き止めにくるゴミキチ婆さん、どうやら名前よりゴミ袋に字が書いてある事の方が重要なようでCHAGE、ドブタニシ、クズ芋、どんぐり番長などと記名して出した我が家のゴミに対してはリアクションが全くない。

高杉晋作の罪、それは「面白きこともなき世を面白く」を座右の銘にした面白くないおじさんを大量に生み出してしまったこと・・・

ミスiDに出て1番面白かったこと。発達障害はアイデンティティになるからプロフに書くけど統失はヤバいからプロフに書かない流れがある

萌え絵ってオタクが興奮できる要素・できない要素を足し引きして最適化された人物表現の集合体だから、オタクたちには幅広い多様性があるように見えてても外からは似たような記号の集まりにしか見えないんだよな。

男のASMR動画に「顔がね…」ってだけコメントして帰るのすき

「XX語はどうやってキーボードで入力してるんだろう…」って時々思うけど、それ、実は世界中の人が日本語について思ってるんだよね。

英語で喋っていてbase64やo365やx86\_64の数字部分を日本語で発音してしまう事故を防ぐにはどうしたらよいのか。私が英語を黙読してるときも、数字部分は脳内で日本語で読んでしまう癖がなかなか抜けません…そのせいか、英語を聞いてても数字の理解が遅いです。金額が出てきたりするとさらに円への換算も入るのでもう大変です。fifteen million dollars とか言われても、約何円か理解するのに何秒も掛かります。日本語獲得の初期に覚えて脳の深くに記憶してる単語ほど外国語学習の際の母語干渉を引き起こします。特に数字や曜日などです。これを克服するのは大変ですが、1つのやり方としては、英語で速く(日本語に翻訳する暇がないレベルの速さ)数字がいくつも読まれる音声を聞き取る練習が有効だと思います。海外のとある学会でRS232Cを日本人が「あーるえすにーさんにしー」と読みすぎて「あーるえすにーさんにしー」で通じるようになったという話を聞いたことがあります。

「仕事ができる人は机が綺麗」「東大生のノートは綺麗」の類の言説は、優秀な人の優秀さの秘密を誰にでもできる工夫に落とし込んで説明することにより馬鹿どもに俺でもできるという錯覚を与えて金を儲けようという明確に悪意のある行いなので、相手にしてはダメですよ。

ノブレス・オブリージュ精神で風俗来るとか厄介客すぎるだろ、Twitterで晒されちゃう。

尖ってるファイブボンバー「この世に不要なもの、5つ答えろ」

思想がおかしい名倉「ほんまごめん…双子」

「（私達じゃなくて貧乏人の）先進国民が豊かさを追い求めるのをやめて質素倹約に耐え、地球環境を救うことで（貧乏人じゃなくて私達の）善き人生と死後の安寧が保証される」という宗教が環境アノン（カッコ内は本当に心から忘れている）。その当時はまだ違法とされていなかった「トラスト(独占資本)」で各地の零細石油業者を次々と破滅させ、それによって儲けた金を自身が通うキリスト教会に寄付して心の平安を得ていた初代ロックフェラーを思い起こす（彼もまたそれを善行と信じていた）。

コンビニの外からホットスナックコーナーを確認できるカメラを設置してるコンビニがあったらかなり助かるけど、こういう画期的な取り組みをしてるコンビニの店長は｢どや？俺おもろいやろ？｣って感じの人である可能性が高いからその人がシフト入ってない時に入店したいな。

PTAのおばちゃんみてえな封建的な言いがかりをリベラリズムの糖衣で包むのが最近のブーム

マッチングソアプリ実際始めてみると後ろ姿の写真だけだったり粉砂糖まぶして畜生の鼻耳つける加工してたり本体を見せようとしない「腰抜け」ばっかでムカつくな。お前らイマイチするだけでもこっちのポイント減るんだよボケカス

「男らしさ」に反発してる男の人は、「セックスできないのに男らしさを押しつけられる」ことに不満があるんだよね　セックスしたらどうでもよくなる人が大半。「女らしさ」に反発してる女性は、「弱くてキモいオスにメスとして見られたり、格下の男に女らしさを押し付けられること」に不満があるだけなので、格上の強くてカッコいい男性に女性として扱われるのはむしろ嬉しいんですよね。

俺はまだ風俗嬢に説教まではできない未熟者ではあるんだが、30代前半を過ぎてからは夜のお店で変にスカしたり良客ぶって嬢にスマートに接するのをやめて、セクハラと自慢メインで回してんだよな。なんか、トイレでは変にスカさず普通にウンコする方がクールかなっていう、そんな感覚になってきた。

社会人ってどんな気持ち？って社会人に対して思ってるけど、その答えってたぶん自分が高校生に大学生ってどんな気持ち？って聞かれたそれと同じで「別に…何も変わりませんが…」だと思う

株式投資、基本的につまらんというかインデックス積立が中心だと初期設定さえ終わってしまえばほぼやることがない。一日の値動きも1%も無いことが殆どだから毎日チャート見てても超つまらんし、頻繁に株価をチェックしてしまうのもやや不健康に思えるから基本放置して他の実になることをやるべきだな

AIドリルを使った個別最適化って、結局は「人それぞれに合った詰め込み教育があるよ！」という話になってるんですよね。知識は身につけるもの、というのがベースにある考え方なんですよね。これって探究の発想とは違うんだよなぁ。

表現規制派って当たり屋みたいなもんだと思ってたけど、遥かに想像を超えてた。もはや車で轢き殺してきた挙句、「車が血で汚れた！」って慰謝料請求してくるレベルになってる。

日本のフェミさんがアニメ・漫画コンテンツを指差して性的搾取、性的消費って叫んでる中、中国さんがガチの性的搾取って感じの話を見せつけてくるもんだから、ワイは怖くて泣いちゃった

何かに対して「(値段が)高い」とか「(文章が)長い」とか、そういったことが批判になると勘違いしている人が偶にいますけど、それは自分に価値を見出す実力がない、興味を持って最後まで文章を読む実力がない、など己の実力不足を暴露しているだけで批判にはなってません

ゾーンに入るのが遅かった野球選手「ビールが止まって見える...」

10年前は「ニコ動の歌い手になる！」って言ってる痛い中学生高校生がいた記憶があるが、彼らは果たしてどこに行ってしまったのか、全員異世界に転生したんだろうか。

ニンテンドウ64版のマリオ、溶岩だろうがラスボスのとこだろうが、プレイヤーに放置されたらI’m tiredって言って眠り出すの相当肝っ玉でかいよ、その入眠能力を分けてくれ

この世で一番怖いのは、頭が良い人間でも頭が悪い人間でもなく『自己評価が高い元気なバカ』なんですよ。頭が悪いだけなら行動しないかも知れないし、頭が良ければ解決策を導くかも知れないけど『自己評価の高いバカ』は積極的に行動しては、致命的な間違いを犯す。専門チームが悩んでいる横で勝手にデータベースを操作してデータを消してみたり、医師と家族が慎重に治療している中でアレルギー食品を患者に食わせてみたり、違法行為になりかねないと手法で集客行為を行って会社ごと処分対象にしてみたり、勝手なことをしては周囲に重大なミスを撒き散らす。そしてこの手の『自己評価の高いバカ』の最大の悪行は、彼らは絶対に失敗を認知しない。「全ては成功体験でチャンス」「人生は、何度でもやり直せる」みたいなワードを心から信じているので、止まること、反省も、改善もせずに驀進し続ける。そして、本人はコレを「成功体験」だと考えてるので、美談、成功談、武勇伝として喧伝するので、本人の自覚の上でも周囲からも「成功者なのかな…？」と思われてしまい、最終的に害悪と迷惑の輪はとめどなく広がっていく。『自己評価の高いバカ』ほど、楽しく生きていける。「私が間違ってる…？分かりませんねえ…？だって私は絶対に間違ってないと思ってますし、事実コレまでも間違ったことはしてないんですよ。ということは、統計学で考えても、私が間違ってる可能性は極少数ということになりますよね」っていう人とかお会いしたことあるわね。

真夜中に考えることは大抵翌朝には恥ずかしくなって消したくなるようなことばかりだけど、でもそっちのほうが本当という気もするね

松村英之の可換環論を大学二回生の時分に読みこなせるかどうかが、プロの数学者になるための一つの目安だということを理学部数学科の先生が言っていたのだ。数学ができる人はそういうレベルなのだ

保守というのはとどのつまり「普通」に対する信仰なんだろうな。そう思うと同性婚も別姓婚も新たな制度ではなくて既存の普通に包摂されたがってるあたり保守的な発想に思うんだよな。

｢概ねそうである｣｢そうであることは多い｣というのと｢必ずそうである｣｢そうでなければならない｣みたいな話は別であって、後者の否定をしたくて前者を叩いても無駄。白いカラスがいても全くかまわないけれど、それを言うのにカラスが基本的に黒い鳥なのを叩いたって何かが良くなるわけではない

娘が「いつかまたあれがやりたいな。車の中で朝ごはん食べるやつ。」と言った。県外のキャンプ場に向かうのに、早朝出発のため家で握ったおにぎりとざっくり焼いたウィンナーをアルミホイルに包んで持ち込んで、パパが運転してるうちに後部座席で食べたやつだね。娘的に、キャンプ場の思い出よりもその枝葉のちょっとした非日常こそが楽しかったってことなんだろうな。でもそれが本質だと思う。思い出ってわりとそういう所あるよね。

すごい当たり前の話なんだけど、わたしにはドトールでココアを買い、その足でケンタッキーにいってホットビスケットだけ買い、両方をうちでくつろいで食べる自由があるんだよな。忘れてしまうんだよ。そういうの。

これは持論ですが、ひな形やたたき台を作るやつが一番えらい。たたき台に対して意見いうことは比較的労力もかからずできることだ。

今はもう潰れてしまったが、かつて家の前にあったスーパーマーケットの二階がやたらと暗くて怖くて、そこに立ち入ることがどうしてもできなかった。ふつうの喫茶店らしかったのだが、行っておけばよかったなと思う。こうした「以前は何かの事情があって立ち入れず、そして今ももう永久に立ち入れなくなって後悔している場所」が一人一人にあるのだろうと思うと、寂しいような感慨深いような複雑な感情を抱いてしまう。

きのう妻が「あ、ストックしてるラーメンなくなってしもた」と言ってたもんで、さっき、妻が好きな”サッポロ一番みそラーメン”を買って帰ったら、いつもの場所に僕が好きな”サッポロ一番塩ラーメン”がもう置いてあった。特別なことが起きなくたって、こんくらいの日常があれば、それでいいと思った。

東京は行くたび思うけど、そこに住むとなにかそこでいい生活しないと駄目みたいな脅迫観念が出てくるから危険な街だなと思いますね。時々遊びに行くくらいで十分。

税理士、特許審査官、刑務官、麻薬取締官、国税調査官、庭園管理など、あんまり表に出てこないひとたちの仕事を覗き見たいという欲求が日に日に大きくなってきたので、転生してすべて体験してみた。結局、ニートが一番楽なことがわかった。

この直後おもむろにベンチコートを脱ぎ始める露出狂の校長「皆さんが静かになるまで3分かかりました。しかし、皆さんを騒がせるのに3秒もいりません」

今の学部1,2年、「ピッチャーに並々注がれた発泡酒」というこの国で最悪の飲み物の一つを恐らくは一生経験せずに生きることが出来そう

「おめでとうございます、元気な男の子ですよ」⇔「残念でした、弱ったジジイですよ」

父が母に内緒で私のためにためておいてくれた30万をインプラント代に使うことにした。母には「インプラントを決心したけど、お金がないので（免除になった大学院入学金のぶんを）父に振り込んでもらった」と説明した。ここまでが凡人だが、私は違う。今度は父に「お母さんにはそのように説明しておりますので」と、帰宅して母からインプラント代のことを持ち掛けられても帳尻を合わせやすいよう、こちらの口裏合わせの策を伝えておいたのだ。このような気遣い力によって私は高等検察庁長官に登り詰めたが、賭け仲間との口裏合わせが失敗して賭けマージャンがバレてしまい、略式起訴されて前科持ちになった。すべてはあのインプラント手術が起点だ。今から過去に飛び、幼き頃の自分の歯を全力で磨いてこようと思う。

産婦人科医「おめでとうございます！元気な男の子ですよ」

祖母「おめでとう、頑張ったわね。ウフフ、これで私もお婆ちゃんね」

看護婦「あの、お電話です」

祖母「私に？はいもしもし」

「俺俺、俺だけどさ、ほら、孫の」

祖母「もう！？」

「会社の金を使い込んじゃってさ」

祖母「もう！？」

わたしはこう見えてクリスチャンなんだけど、信仰者って「答えのない問題に（神という）安易な答えを与えた（思考停止の）人」って多くの人から思われてる気がしていて、まったく実感と違うから戸惑ってしまう。わたしにとって、この世界で信仰を持って生きることは「問い」の中を生き続けることだよ。どうして神は男と女しか創造しなかったんだろう。どうしてイエスは障害のある人を「治して」しまったんだろう。教会も含めて世界はどうしてこんなに不正義に覆われてるのだろう。こういう考えるのが面倒くさい問いを考えるのをやめることができないこと。それが、この世界で神を信じるということだよ。

表現が犯罪を誘発する事が皆無だとは思ってはいない。聖書に類するものが、どれだけ多くの戦争や差別や虐殺を正当化してきたのかを見ても分かる通り、表現が犯罪どころかもっと悍ましいものを誘発する力を持っている事は歴史が証明している。そして、同じ表現物が人々を救い支えた事実もまたある。人民を救おうと願って紡いだ言葉や編んだ書物が、逆に大勢の人を死に追いやる事になった例も珍しくはない。私利私欲で私腹を肥やす為に作られたに過ぎない表現物に命を救われた人も存在する。表現とはそういうものだ。ただな、積極的意図をもって表現を凶器として振るうとなると、表現自体よりも、その意図の方がずっと重大な意味を持つのは明白だろう。犯罪を誘発する意図のない表現物と、脅迫行為や営業妨害を誘発する意図があって表現された言葉、この差は大きい…というか、次元の違うものだから比較にならない。どこぞのフェミ活動家さんたちの言う「犯罪と地続き」が酷い誹謗中傷である事は、この５年間、誘発された犯罪が見当たらない事からも明白だ。一方で、フェミ活動家さんたちの扇動は、ほんの数日で様々な悪意害意を誘発するという地続きぶりだった。

契約書に「揉めたときは協議して解決する」と書いてあると、「いや揉めてお互い頭に血がのぼってる状況で誠実に協議できるか？？」という疑問が湧く。喧嘩して話にならなくなったときのために契約書があるという考えなので、揉めたあとでも協議できるという建付けにすべきでないし、別に協議してもいいけど「まとまらなかったらこうする」というデフォルトゲートウェイは設けるべき派

僕は怖いよ…「Twitterのよくわからん人が出してる30万円の情報教材」は買うのに「大学教授や専門家が出している3000円の参考書」を買って勉強しない人々に、物凄く不気味な違和感を感じる。

「政治的に正しい映画です」って銘打って原宿とかの劇場で2時間自作映画上映すんの 真っ白い画面しか出てこないやつ そんで「詐欺だ！」って言われたら「真に政治的に正しく誰も傷つけない映画とは、何も表現しない映画だ」ってつぶやいて「いま俺を傷つけてるだろう、バカ！」とぶん殴られたい

私という意識が29年間途切れず続いてるっぽいのすごすぎる

世の中の反「新自由主義」の人々は温暖化対策を叫びながらプライベートジェットで移動する人を笑えないほどには自由貿易と労働搾取の受益者だと思う。

もう賢者タイム始まってる人「イ、イ、イったとてーーー！！！！！！！！」

教養を身につけると、「テトロドトキシン」の「トキ」ってトキシック（toxic）のtoxか！ってなるし、「デトックス」もde-toxで解毒か！ってなるし古典ギリシャ語の「弓」（toxon）が「毒矢」から「毒」って変遷したのか！ってわかるので教養は大事。それ以外の利点はない。

「彼氏できたよ！」

「写真見せて〜！え、白人じゃん😡」

「いや、両親がイラン人。」

「あぁぁよかったマイノリティね！！So sweet!!」

みたいな会話が平気で行われるのそろそろ気が狂いそう

出前系のサービス、自分で取りに行くことに支障があるケースのほかに追加コストの損得勘定ができない貧困者か、そういうコストがたいしたことない金持ちくらいしか使わないという印象がある

「どんな人間でも絶対に守られなければならないものがある」その一線を超えてしまえば、あとはもう殺し合いなのです。実際歴史上、多々ありました。だがその結果、一番最初に死ぬのは一番弱いものからなのですな。それゆえに「法」とは、感情や思想や、ましてや好悪で左右してはならんのです。

「日本でも仕事のない人たちがいるのに、なぜ各種現場の労働を外国人技能実習生に頼るのか」という疑問の声がありますが、答えは簡単で、「日本の仕事のない人たち」ですら応募しないほどの低賃金で仕事をやる労働力を求めているからです。

共同体とか助け合いって言われてもクラスのぼっちを陽キャグループに無理やり突っ込んで「仲の良いクラス」を演出するやつみたいなイメージしか湧かない

「性格が悪いので、暇なときに『友達 就活 大企業 嫉妬』などで検索して、出てきたエピソードを読んでフフッってなっている」という話を同期にしたところ「いくら何でも性格が悪すぎる」「夜道に気をつけろ」「どこかで何か大事なものを拾い忘れてきた人生」など、さんざん言われてしまった

Q.現状への不満があるのであれば、男性も声を上げたらいいのではないでしょうか？

A.非常に大切な論点ですが、男性にとって声を上げることが簡単ではないことも理解してほしいと思います。2016年に厚生労働省が実施した「自殺対策に関する意識調査」によれば、相談や助けを求めることにためらいを感じるかという質問に対して、「そう思う」と答えた割合は、女性が41.9％だったのに対して、男性は52.4％になっています。世代別に見ると、とりわけ中高年の男性ほど、相談や助けを求めることができない傾向があります。男性だって大変な時には素直に「つらい」と弱音を吐いていいと伝えていく必要がありますし、悩みを受け止める側が男性の「弱さ」に失望しないことも大切です。

「男らしい」事こそが「自立し成熟した社会人」の意味なのよ。それが「男社会」という意味。なので「女らしさ」以上に「降りる」ことが難しい。それは「人としての自立・成熟の拒否」の意味になるから

オタクは恋人ができてもなお「リア充爆発しろ」って言いがちみたいなとこあってそれはよくない。ネタとしておいしいから言ってるけど本音としてはただの照れ隠しなので、もっとみんな愛してるとか言おうぜ

結婚する程度に仲がよいカップルは、おそらくどこかで「私にはこの人がいないとダメなんだろう」あるいは「この人は私がいないとダメになるだろう」という健全な共依存関係を作っているのだと思う。自立している女性を男性があまり魅力的に思わないのは、共依存が成り立たないからなんじゃないか。「こいつは結婚相手としてはふさわしくない、遊び相手としてみれば最高」というのはそういうとこにある。しかし子どもができさえすれば「私にはこの子がいないとダメ」「この子は私がいないとダメ」と、互いに子どもを起点とした新たな関係を構築できるから、子は鎹というのかもしれない

グーチョキパーで♪

グーチョキパーで♪

一体何が作れるというのでしょうか、資本主義や新自由主義が跋扈し、若者たちが明るい未来を描くことのできないこの世の中で、一体何が作れましょうか。革命を起こすのであります

右手はグーで

左手もグーで

腐った帝国主義に怒りの鉄槌を振り下ろすのであります

日本文化の面白さを外国人の視点から紹介するのはもう飽和してるっす！

なんか俺の感覚がおかしいのかもしれないけど、売買可能期間がどうであろうと市場に出ていない情報を持っているタイミングで株を売買してはいけないって、例えば「落ちているものを勝手に持って帰ってはいけない」くらいの普通の倫理観だと思ってたんだけど違うの？

出自や思想を組み合わせて一番正しい存在を目指せ！『正しさカードゲーム』という概念にはやや笑ったけど、自分自身がどんなに可哀想な被害者か、という演技はあらゆる立場から流れてくるので、みんなデッキ構築に余念がないなという感じはある。俺はファンデッキ組むわ。ガチバトルはだるい……。

今日の院ゼミのテキストは「日本の大学生より中国の大学生の方が自己肯定感が高い」という論文だったが、中国人留学生が「北京大学にでも入れば、自己肯定感が高くなるんでしょうね」とヤケクソコメントしてたのが印象的だった。

昔、一人で温泉宿に泊まった時、従業員に妙に詮索されたので「趣味で小説を書くので、一人で集中して書きたくて」と言うと何か納得された。小説なんか全然書かないけど。「小説を書きます」と言うことで、行動意図不明の犯罪者予備軍枠から無害な変人枠に潜り込む小手先のテクニックは結構よく使う。

「夢を見れる距離」というものが存在する。絶妙な距離感があれば、相手に期待した結果として綺麗なものだけが確実に返ってくる、相手の綺麗な部分だけを信じていられる傷つかない距離感というのが存在して、どうしようもなく分かり合えなくても"他人"にできない人間とはその距離間を意識するしかない。誰かにとって綺麗でいるため、夢を見せ続けるためには、水面下のグチャグチャが目視できない距離を保つしかない。ものすごく賢い大人はメタ的に自ら夢を見れる距離に身を置こうとしてくれるのだけれど、殆どの人間はそう賢くないし、わかってても賢くなれない。自分の身は自分で守る、結局それよな。「関係性は相互作用」を理解できない人間はものすごく多いよ。高尚な世界への期待はすぐに捨てた方がいいと思うし、それを理解する相手との関係性をしっかりと選択していった方がいい。あなたは賢い。賢くなるために散々傷ついた。だから選ぶ権利がある。与えられるやさしさには限りがある。

そんなに体力が必要な業務なら入社試験に体力テストも入れればいいと思うんですよ。面接で「体力に自信ありますか？」って聞いたり、運動部経験があるかどうかから推測するより正確でしょう。「男女雇用機会均等法を考慮すると、平等な体力基準を作ること自体が無理で体力テストはあきらめられてる」という説は聞いたことあります。自衛官やプロスポーツ選手など、均等法適用除外の職種だと体力テストがあることもあるとか。

【手術中】

看護師「先生！出血が止まりません！」

医師「赤シート」

看護師「現実を見てください」

もうすぐトイレを思いつきそうな人「待てよ、ここに出すんじゃなくて…？」

告白なんて、ただの確認作業ですよ。勇気ふりしぼって一か八か賭けるもんじゃなくて、それまでの行いが合格に達したか否かをサラッと確認するだけの。

「基礎知識のない問題意識は空回りする」という言葉を防大時代に教わったことがあります。問題を語る上で必要な知識や教養がないと、問題提起したところで感情論にしかなりません。前提条件をわかってない人との議論に困ったことはありませんか？

“何か”ある男「上の歯磨きはうまいみたいだけど、下の歯磨きはどうかな…？？」

普通の歯科衛生士「下？？」

「俺が/私が気に食わなかった」なら「商売が下手」ということになる厚めのお客様根性が無限に観測できるSNS、Twitter

悠仁親王の結婚にあたっては「自分の人権(参政権、職業選択・居住移転の自由、信教の自由、思想信条の自由、表現の自由、プライバシー権など)を捨てて結婚してくれる女性が現れること」「皇室会議でその女性との結婚が承認されること」「結婚した後に、男児が生まれること」の3つが必要となる。

Twitterが議論に向いてないとは全く思わなくて、そもそも議論は「きちんと負ける用意のある人」同士の間でしか成り立たないというだけの話なんだと思います。自分の主張の前提に自覚的な人同士と言い換えてもいいかもしれませんね。自分の立論はかくかくしかじかの事実認識を前提にしているので、そこが違うなら私の間違いですね、とちゃんと言える人

ある程度勉強してくると、自分が何も知らないし分かってもいないことに気が付いてくるのだが、そこまで行くのが常人にはかなり大変で、そこまで到達していない人は物が分かっていないので、他所様に安易に「勉強しろ」とか極めて低レベルの要求をしがちになる。誠実な議論はインフルエンサーの仕掛けるバズによって簡単にかき消されてしまうので、フォロワー数が増えれば増えるほど「きちんと負ける用意」をすることが損につながるという構造がある。これは少なくともインフルエンサーを交えた議論にTwitterが向かないことを示していないだろうか。

恋愛初めの頃「ドライすぎる」という理由で振られた経験から愛情表現を大袈裟にするように気を付けていたら今度は「劇団四季みたいだから」という理由で振られました。

「『華僑』は特定の国を意味するのがよろしくないので『商人』に書き換えてください」

「『商』とは？」

着物で走ったりとか激しい脚の動きをしている時の布の動き方の資料がねえ～～！！！！画像検索してもあんま出てこないし…と絶望してたんだけど、マツケンサンバのPVでたっぷり見れることに気づいて一気に解決した

女性の乳と同等に性的消費されてる男性の特徴って身長とか身分なんだけど、なんでフェミの人はキンタマを乳と対にしようとするんだろうか？キンタマにときめいてる異常者なのか？

テレビばかり見ているとバカになるかもしれないがインターネットばかり見ているとインターネットになってしまうので、どちらかと言えばバカのほうがマシだな。

学部生の頃、「法律の条文が書いてある原本や写しを全部燃やしたら、法律は無効となるのか」「ならないとすれば、法律の【実体】は何か、どこに存在するのか」みたいなことを考えていた。日本は成文法主義なので、法典に記載されている文字こそが法律だと錯覚してしまいがちなんですが。実は文字は法律を書き留めたもの、いわば射影にすぎなくて…という話がある

結局弱者男性の性欲が可視化されたものが萌え絵であり、弱者男性の性欲は凄まじく忌み嫌われるということに尽きるんですよね。フェミニストに言えば反論を食らうんだろうけど「じゃあ、性的にいやらしくない萌え絵って例えば何です？」って聞くと「そんなの自分で考えろ！」って言われそうな気もする

職場で何故この会社入ろうと思ったの？って聞かれた時に「まあやっぱ、ダウンタウンさんに憧れて…」という小ボケで笑いを取れる年齢ではなくなってしまった

「こらそこのお前！奴隷を連れまわすな！動物愛護法違反だぞ、ピピーッ」と罪状に思想が現れている警察官

僕はフェミニズムが『私がこう思うから正しい』という主張の元にルールを築くのはあってはならないと思います。何故なら僕がそう思うからです。僕がそう思うからこれは正しいことで、僕が思った『正しい』ことを社会のルールとして適用しなさい。

激務になって余裕が無くなると、ホント不思議なんだが本が読めなくなるんだよね。視野が狭くなり、期限に迫られ余裕が無くなり、単純で頭のメモリを使わない娯楽しか享受出来なくなる。私は読者好きだが、読者ってのはある程度心の余裕があり、好奇心が羽ばたける状態でないと楽しめない贅沢品なのかも

もらった薔薇の苗に刺さってた札に「なるべく雨や風にされされない様にしてください」と甘えたことが書いてあって思わず「お前もう植物やめろ」って声に出して言った

時計の読み方がわかってない人「学校の体育館裏に44時44分に行くと呪われるらしい…」

原動力が自己嫌悪の人間で、たまにバグったように能力高くなるのあるよね。「現状に決して満足しない」というと聞こえがいいんだけど、即ち死ぬまで成長してないと病んでしまうようなヤツで、それは果たして当人にとっての幸福なのか。幸せになりたくてやってるのは間違いないのだけれど。

生まれつきの遺伝子の違いによって、例えば、おなじ色彩の波長が個人ごとに違ってみえていることが神経科学で判っている。ところが、一緒におなじ赤を眺めていても、それがどのように違ってみえているのかは知ることができない。さらに生いたちや経験の違いまで作用しているので、見え方はじつに様々。隣人がおなじモノをおなじように見ていない事実は、隣人がおなじコトバ／語彙をおなじイメージに解凍していない事実とも相似している。しかし、それはコトバによって確認することはむつかしい。それを確認できる方法はイメージ／喩にしかない。つまり、コトバを絵にしていくと、隣人の他者性が表れる。

晴れの日に庭にブルーシートをひいて、３０分間くらいブルーシートを眺めてください。その後、ブルーシートの外に出て景色を見るとオレンジがかった世界が見えます。 一瞬で夕方にタイムスリップしたような錯覚をします。

「農業の試行回数は原則として1年に1回」「人が一生にできる試行回数は多くてもたかだか数十回」「文字が普及する前は、言い伝えと体験だけが情報源」ということを踏まえると、かつて老人が共同体の知恵袋として尊敬を集めていたのは納得できる。「文字の普及」「短スパンで試行回数を積める生業の登場」「研究者と実践者の分離」みたいな現象が、試行回数ホルダーとしての老人の価値を低下させた

「将来世代にツケを残さない」って言ってる人たちの中には誰ひとりとして、「将来世代にこれだけの富を残してやろう」って言ってる人はいませんからね。逆に将来世代が手にするはずだった富をそのポケットに手を突っ込んで掠め取っていくお爺ちゃんお婆ちゃんばかりだったという。

官能小説では、今や18歳未満の登場人物の官能シーンは書かせてもらえなくなりましたね。BL作家も、学園物が書けなくなっています。2010年の都条例改正の時、腐女子フェミが「規制されるのは男性向けだけだから」と表現規制を支持し、私はそれに反論しましたが、彼女らに叩かれただけでした。腐女子フェミを名乗る人々がBLは性表現規制されないと思いこんでいた、その根拠は「女性はBLに刺激されて性犯罪に走ることはないから」でした。アホかと。幼い男の子に性犯罪やらかす女もいるだろうと、私は反論しましたが、彼女らは聞きませんでしたね。アホですね。

日本はポルノが氾濫している最低の変態ミソジニー国家！暗黒男尊女卑民族！とお怒りの活動家の皆さんにフランスやドイツやイタリアの街角でエロ本が普通に売られている画像とか見せるとブロックされるらしいな。ショックから精神を守る防衛本能だ。

「答えはCMの後！」が無いのがネットのいい所だったのに、結局どんどん「そう」なっていっちゃったことに残念さを感じてる。Twitterのニュース欄の記事、答えを出さないタイトルにして何が何でもクリックして答えを見させようとしてくるじゃん。あれの答えだけひたすらツイートしてみんながクリックしなくて済むようにするbotを作りたい。でも「答えはクリックして記事を読んでね！」を否定しようとすると同時に「えっちな差分はFANBOXでね！」も否定することになってしまうんだよね、絵描きとしてそれはできない。結局昔のネットがコマーシャルフリーだったのは、みんなの生活と無関係な場だったってだけなんだよね

死ぬほど嫌なことがあったときに「は？？？？ぼくの嫌いな物or事or人にぼくの人生が支配されてしまうなんてムカつく！！！ぼくの好きな物で上書きしてやる！！！！」って言って、YouTube観ながらカップ焼きそばとチョコチップクッキーとカマンベールチーズを食べちゃう

イラストとか描いてる時ってある段階からは全てが「気持ちの悪い線を気持ちの良い線にしていく作業」になる。その作業は作詩と非常に似ている。そして「物凄く気持ちの良い一本の線」みたいなツイートを無限に生成する人間がTwitterには多数いる。

ゲイビデオにはオリンピック選手やJリーグの選手、野球選手もたくさん出演している。だが彼らは自分が性的搾取されているとは思っていないだろう。もともと持っている性的キャピタルを貨幣と等価交換する行為に罪悪感はない。性的搾取という古い分析概念では現代社会の複雑性を捉えることはできない

昔のような子育てをしたくても、できない時代になってると思う。アポ無しで遊びに行く、家に上がる、なんてできない。親が子ども放置なんてしたら、防犯面からも危険だし、モラル面からも批判される。教育にもどうしたってお金が掛かるようになったし、進学率も昔より高い。育てにくい時代になったと思う。大変だ、お金も時間も体力もキツい、だれか助けて、と思うことは出産して20数年ほぼ毎日だけど、幸せだなぁと思ったことは正直なところほぼ無い。こんなこと言うと、批判されるんだろうしなぁ…嫌ならはじめから産むなとか、最低の親とか、親の資格無いとか、あなたの元に生まれた子どもがかわいそうとか、母親として終わってるとか。そういうのも予想できるから、なかなか本音が言えず、苦しい、生きづらい。

家族いたって誰が面倒見るんだって金払うんだって押し付けあいだろ。医療職だから迷惑ばかりかけられた死んで良かったみたいな事言う家族も散々見たわ。俺も介護職やってたから分かるけど、要介護認定された親に対する身内の面倒くさがりようは誰だろうと一緒だったわ。あんな扱い受けるなら独身でもいいんじゃないかと思うね

「うつ病は甘えではない。甘えられなかった人がなる病気」ってあと何万回言ったらわかるんじゃ

散々地域社会の目とか連帯とかを嫌って田舎disをかましてたくせに、何かあると社会が協力的でないとか人を助けないみたいなこと言い出すの謎なんですよね。個人主義を選んだのは我々現代人でその自由を謳歌してきたはずなのに都合よく連帯出来るはずない。何かあったら助けてくれる目をかけてくれる社会ってのは筋を通して挨拶したり地域のめんどくさい集まりに参加したりするからこそ築かれるものであって、個人が好き勝手してる世界ではほぼ成立し得ないと理解すべき。

「不快な表現に触れない自由」などが許されるのなら、フェミニストの言論など俺にとっては不快以外の何者でもないから取り締まって欲しいんですよね。でもそういうわけにはいかないでしょ。「自由」と「自由」がぶつかった時は、一体どちらの「自由」がより（道徳的に）正しいのかを比較して、正しい方の「自由」が通り、誤った方の「自由」は却下されるべきだ、という、表層に「自由」という単語を用いただけで自由主義とは全く別物のイデオロギーがあるように見えますね。

素人が必死に発信してやっと数十万再生のとこ、横から芸人が参入して簡単に100万再生掠め取るの本当に容赦ないなと思う。あんだけテレビがオワコンだこれからはネットだって言われてたけど、その道の「プロ」が参加すると全部焦土と化していくんだろうな

「面倒くさがりが教える～」で面倒くさがりだったこと一度もない。「歩くのが面倒だから車を開発した」みたいな話ばかり。歩くのが面倒だから出かけるのをやめた。レベルの人の成功例を聞きたい

「こういう人（友達、彼女、彼氏、配偶者）と付き合うといいよ」というアドバイスには十中八九「そういう風に人を値踏みしない人と付き合おうと思います」ってコメントがつくけど、「人を値踏みしない人と付き合う」という値踏みをやっちゃってるのはいいのかよって思っちゃって冷めるな。それと、そもそも「値踏みせずに人と付き合う」ってのがまともな人間に可能だとはまったく思わないので、どんどん「おれも値踏みしています」ってネットでは言っていいと思う。リアルで言うとちょっと引かれるだろうけどまあみんなやってることだしなあ

メンヘラって包丁持ってるけどあれって「できるだけ苦しんで死んでほしい」からなのか「たまたま近くにある凶器がそれしかなかった」からなのかわからんな。アメリカのメンヘラは銃持ってる？

子供なんか、別に生きて大人になって働けばハナマルの子育て大成功だと思うんだけど違うのかね？それを許さないのは、日本社会の学歴、職歴差別が激しすぎるからじゃね？

社会学の先生方は、萌えコンテンツを利用した広告の費用対効果を計量調査する以前に、コンテンツが犯罪をどれだけ誘発するのかという計量調査してくれませんかね。。何か揺るぎない事実扱いして「萌えコンテンツ好きは犯罪者になる」みたいなことを語る人が目立つんですが。

モデルつくるまではいいんだけど、そのモデルを右手でチンポしごく形に変形させてるところで「おれ何やってんだ」って賢者になりそうだな

なんというか、こういう「キモいと思うこと自体はいいんですよ」というのが、すでに周回遅れになってる感が否めないというか、現実はすでに、実質的には「キモいものは排除するのが当たり前」というフェーズに入ってるというか、今はかろうじて表面の言葉だけはそうなってないって感じですよね。実質的というか、内心では「キモいものを排除するのは当たり前」で、表面的にはどう排除してない体をとるか、そう見せるのかが現在って感じで、表面的な言葉として「キモいものを排除するのは当たり前じゃん？」というのが次のフェーズだとして、そうなるのも秒読みなんじゃないの、という。現実はそうなってるのに、いまだに「キモいと思うこと自体はいいんですよ」って、周回どころか一億周くらい遅れてんだろ、という。

今日親に会ったら「健康に生きていてくれればもう満足」と言われた。医学部なら東大理系ボーダー以上、文系に至っては東大法以外は大学じゃないと主張してやまなかった人だが、息子が足切りをクリアして家庭持ちになって漸く市民的な感覚を取り戻したらしい

いわゆる言論の世界における『ミラーリング』、『相手に自分達の立場を理解してもらうための言葉』ではなくて、単に相手の批判を相対化、無効化するための手法として徹底的に洗練されてったように見えて、自分はあんまり評価してない…。長い目で見てろくなことになんなさそうっていうか。

これは4000人に奢られて思うことなんだけど、子は『親の教育』よりも、『親の呪い』を引き継ぐんだよな。親が教育に呪われてたら、子は何らかの形で教育の呪いを引き継ぐし、それ以外にも、お金に、人間関係に、世間に、空気に、とにかく「親が何に呪われているか」というのが、子に最も影響を与える。乳がん二児の母に「子が自立できるか心配。でも私が強く生きないと、子も自立して強く生きれない..」と泣きながら相談されたけど、「子は、その『強く生きないと』という呪いを引き継ぐよ、子の問題じゃない、あなたがあなたの呪いを解く事が、子に最も影響を与えるよ」と言った。

本当に今更だけど「絵がうまくなりたい」という漠然とした目標だけはあるが、それを達成するためにまず目の前の課題（目を描くとか、足の重心云々を学ぶとか）をこなすのは面倒なので「絵がうまくなりたい」としか言わない人はけっこういそう。これはスポーツでも言語でも受験でもダイエットでもなんでもそうです。人は抽象的スローガンに魅せられて、具体的な課題に幻滅する。逆に「○○が描きたい」「○○と話したい」「○○大学に入って○○をしたい」って感じで、具体的な課題がすでに定まっている人間もいて、かれらはモチベーションの面でかなり有利だろう

4日前居酒屋で鳥ハツの刺身注文したら 「今、直接鶏からもいできましたよ♪」みたいなテカテカの臓物が出てきて スゴ♡人間って生で鶏の臓器食べていいんだ♡って思いながら3人前食べたんだけど、今日病院で細菌性の胃腸炎と診断されました

多くのひとは「ふつうになれないこと」を、なんらかの「呪い」のせいにしたがるけど、どちらかというと、「ふつうにならないといけない、と思ってしまうこと」のほうに「呪い」が潜んでいる。ぼくたちは全員じぶんの身体だけでは「空を飛ぶことはできない」けれど、でも、「空を飛ばないといけない、と思ってしまうこと」はないから、べつに「呪われている」なんて思わない。

『科学的にわからない部分がある』と言って不安を煽る人は、科学的にわかっている部分には触れようとしないので見てみるといい。

「オタクは公共の場という概念が無いのか？」とか言われても「ラブライブのグッズをセブンイレブンで堂々と配ってる時代に、萌え絵は秋葉原から外に出てはいけませんとか言われても困るっす」としかならないでしょ。

ご意見やクレームの電話、もちろん何回も受けてきたけど、かけ直しますのでお名前と電話番号を教えていただけますかと聞くと、たいてい電話切られる。そりゃそういうことするような輩は基本的に逆らえない人間を、顔の見えないとこから（言葉や態度で）殴ってスッキリしたいだけだもんな。ガチのヤバいのは、名前と電話番号教えてかけ直すよう伝えるよ。そして、かけ直さないと地獄の果てまで追い詰めてくるよ。自分自身がかけ直す担当じゃないなら、他人に地獄の役目押し付けるだけなので、全体ダメ。

こういう人のTLを見に行くと「このツイートに自分と同じようなコメントをしているコメントつきRT」がダーっと並んでいる。そういう人がたくさんいる。ほとんどのユーザーにとってツイッターは「自分の気持ちを誰かに代わりに言ってもらうもの」なのだなあと思う。

SNSネイティブ世代は玄関入り口つくるの下手すぎてWebから新規呼べないんだよな。結果ツイッタラーかYouTubeレッドオーシャンの2択で、がんばって両手にスマホとマイクもって二刀流したら普通の人はそれで手が埋まって限界や。

余計なこと言うと、民主的でない国の権力者が女性をレイプするみたいな話なんて、フェミニストとしてはマジでどうでもいいです。フェミニズムってそういう事じゃなくて、男性に対して「私たちは怒ってますけど？どうする？怖いでしょ？」って言うことなので、これ全然次元が違うんですよ。

タワマンがマウントやカーストの巣になりやすいのは、階層での価格の差が激しく、より密閉した空間で子育て世代が多い、しかも同じ学校や買い物先になりやすい。つまりタワマンという相手の暮らしがより見えやすい場所ゆえ全てが比較対象になりうるから、なんだって。最先端のマンションに住むことで「ムラ社会」に逆戻りするって何の冗談だというか、ウマい皮肉というか。

「仕事が好き」と「休日がうれしい」は全然両立するし、「仕事に行きたくない」と「休日に何もできない」も全然両立する。要するに仕事が充実すれば休日も充実し、仕事で死ぬほどくたびれれば休日は休むしかなくなるという話ですね！理不尽！！

仕事が好きだというと「それは洗脳されている！」とシュバってくる人がいるけど、満面の笑みで「はい！洗脳されています！」って答えてやりたくなるな。全人類がどうしても仕事が嫌いじゃないと済まないカワイソウな人はたぶんいるので、そういう人には皮肉の一つや二つぶつけてやりましょう。「きみは仕事が嫌いなんだな、かわいそうに…」と。

一つ思いついたんだけど、毎年、日本国民のなかからくじ引きで一人を選んで、マスコミで徹底的にプライベートを報道するのはどうだろうか？その一年間は公人なのでプライバシーは存在しない。一年後に私人に戻る。

9条信者、好きじゃないんだよな。9条なんでぜんぜん大した条文じゃないんだよ。こんなの偉大でもなんでもない。侵略戦争の否定を謳った憲法は世界中にある。9条のスゴイのは、武力の完全放棄を宣言したこと。まあ、でも全く守られてないでしょ？なんで憲法違反をわざわざ誇らねばならぬのか。

「家族」や「国家」という幻想を否定したあと、それに代わる実体あるいは幻想を作り得るのかというところまで進むのが人文学の領域だと思わなくもないが、そういうのを真剣に考えられない人ほど「家族」「国家」を適当に否定するだけで満足しがち。

「国民が俺みたいに日々、婚活もせずに男の娘でシコるだけの人間だけになったらその国は滅びる」っていうのは呑み込みやすくするためにジョークっぽく言ってるだけで、現代社会に対する問題提起としては方向性べつに間違ってなくて結構真剣だからね。

最近やっと言語化できたんだけど、介護のヤングケアラーの何がまずいって、自分が一番成長する時期に、機能後退していく他人を優先した生活をすることで人生そのものにプラスイメージが持てなくなることなんです。どんなに力を注いでも何も向上せず衰退していく、それが人生のイメージになるのやばい。私はめちゃくちゃそこを誤学習してしまったので、直接介護をしなくなってからも自分の人生がかなり狂いましたね。家族のケアが終了したあとに自分の人生があるのですが、そもそも衰退以外の生活イメージがホント沸かないんですよね。人間は枯れていくために生きてるのだと本気で思ってしまうんですよ。さすがに今は少し気付きましたが、ちょっと前まで40歳過ぎたら自分の老人ホーム探さなきゃって思ってたからね…。なんていうか自分の働きかけで何かにプラスの成長が見込める、という感覚がほんとうにあまりないんですよね。何をしようが現状維持、もしくは衰退、というのが年長者の介護ではデフォルトなので、お陰で常に現状に甘んじない心を持てたと言えなくもないですが、そもそも向上すると思ってないという…。

各学問の特徴やノリをよくわかってない高校生(もしくは学部生)の段階で自分に適した進路を選択するの、不可能では？？

夫以外の全員が胃腸炎になり、吐くわ漏れるわで家は荒廃し消毒の追いつかない寝具と洋服が山積みになり、皆が行き倒れ状態で寝てるのを見た夫が「バイオに出てくる街みたい」って言ったんだけど『ラクーンシティ』のラを発声する気力がなく「クゥーン…」って子犬みたいな声出したあとに動けなくなった

「『本を読む』という行為」そのものが苦手な人は案外多くて、書籍の内容が原文ママに blog にコピペされてるだけでも読めるようになる人結構多いと思う

「穴埋めプレゼントクイズ！ パンにはやっぱりネオソ［ ］ト」みたいなキャンペーンについては「なめるなよ！」と思うので「ネオソ［フ］ト なめるなよ！」と書いて応募したい。

親切とお節介は表裏一体で、親切な世の中というのはお節介な世の中でもあると理解しなければならない。「何故、日本の男性はベビーカーを押す女性を助けないのか」の答えでもある。欲しい時に親切だけが与えられて、お節介はノーサンキューという都合の良い話は実現しない。

クックック...上の口では嫌がってても下の口は欲しがってるみたいだからもう少しお互い話し合った方が良さそうだな...

社会の外側に出てしまった人に対して、社会の内側の常識で動機を聞かれて出てきた「誰でもよかった」に対して内側の理論でコメントすることの意味の無さ。ひき逃げ犯が判で押したように「人を轢いた認識はなかった」と証言するのは「故意」を否定する決まり文句であるように、「誰でもよかった」は特定人物宛でない故意を肯定する決まり文句なのだろう。『誰でもいいから1人殺してこい』と言われてどうしても抗えないなら弱そうなやつ狙うわけで、『誰でも』に引っかかる人の気持ちがいまいちわからない。

ゲームの生配信とかで主が「○○面白いよね」って言った後その「○○」のネタバレを嬉々としてコメントする奴、マジで何喰ってどんな人生送ったらそうなるんだ。そのユーモアが不特定多数や、ましてや主に「面白い」って言ってもらえると本当に信じてるんだろうか。信じてるのだとしたら絶対に付き合いたくないし、信じてないとしても他人の人生の喜びや楽しみを理不尽に奪うことへの抵抗のなさに人格破綻を感じてしまって付き合いきれない

日本が先進国じゃなくなって云々言う人は常におるもんだが、俺の中での先進国の定義は「ウォシュレットが社会の標準装備」なので、日本の地位は当面揺るぎない。一方で日本の衰退を感じるのは、お菓子などのビニールが開けにくくなってきてるところ。単にグローバルスタンダードに近づいてるんだけど。

この国では親も先生もしつこく「なぜ」と聞くことを非常に嫌がる。子供たちは「何でも聞きなさい」という先生の問いかけがじつは大嘘であること、質問してよいほんの少しのことの背後には質問してはいけない膨大な事柄があることを体感で学んでゆきます。

相手を思い通りにしたいってのは、食事に醤油をかけまくるのと一緒で、その人の良さをほとんど台無しにしてしまう。

実は日本が世界一なものがあって、創業○百年の老舗企業の輩出力。世界の創業100年超の企業の41%、200年超の企業のなんと65%が日本に集中してる。「GAFAが日本から出ないのはなぜか」とか自虐するより「アメリカ大企業がお金の食べ過ぎで早死するのはなぜか」とか超然としてる方がいいんじゃないかな

いざフォロワーと会った時に俺のカバンからアルミホイルが見え隠れしてたら緊張が走るだろうな

性別によって違うのは能力というより関心じゃないかという話もあるな。

チンパンジーの子供に人間の玩具を与えると、メスは人形に、オスはミニカーに関心を示す割合が高かったそうだが、そういう関心の差が進路や得意な事に影響してくる。

J-POPが動画で流れるとすかさず「歌詞が浅すぎる！」ってコメント流れてくるけど、そいつがめちゃくちゃアニソン好きだったら墓石に歌詞彫ってやろうかな。アニソンの歌詞のこと例外なく深いって思ってそう

なぜ整然とした部屋の中を写真に撮れるひとが自分はめんどくさがりだの大雑把だのズボラだのって自虐しながら整頓術を語るのだろう…ブス過ぎて辛いっていいながら自撮りしてる人に思えちゃうんだよな

「ヤングケアラー」ってきくと「子どもにそんなことさせるな！」という人もいるでしょうけど、幼くして癌で母親なくした女の子が毎日味噌汁作り続けたりする話みんな好きだし感動するし父親の講演会聴きに行ったりするでしょ

韓国在住の玉袋ゆたかの作者さん、元々非実在少年の玉袋に並々ならぬフェチがあってオトコの娘系エロを楽しんで描いていたのに、アチョン法で少年エロがいつ逮捕されてもおかしくない状況になってどんどんエロ＝悪、攻撃手段という思考になっていったという話聞いてほんと表現規制の罪深さに涙が出る。アチョン法がある韓国では既に、少年、少女に見えるキャラクターのエロ絵エロ漫画は犯罪。「えっ少年漫画の二次界隈に韓国の神絵師はたくさんいるのに！？ダメなのは少女キャラだけでしょ！？」と思われるかもしれないけど、SNSで二次少年エロが描けるのは基本的に色んな法の抜け道の結果であって。日本から見えにくいところでは非実在少女も少年も性的なものは相当、相当不自由で危険な状態なんだって。でも韓国ではそれが既に当たり前なんだよね……。尚、そんな厳しい表現規制をして実在する人間への性犯罪がどれだけ減ったかと言うと、ぜんっぜん減らなかった。アチョン法、「販売目的での非実在青少年の性的な絵の作成・所持」が犯罪だから、「ファンアートとして海外のSNSで無料公開したものはエロ有りでも販売目的でないと見做して貰える」っぽい……？でもそれで「なーんだじゃあ韓国の二次神絵師様は全然安泰ってことじゃん！」とはカケラも思えないけど

探偵「犯人はこの中にいたりいなかったりする……！」

男「なんだって……！」

女「一体……！」

入口反復横跳び男「誰が……！」

豆腐と銃が同じ数え方なの納得いってない

コロナ禍、始まったときから「こんなのイチ抜けして経済活動再開した国が一人勝ちじゃん」って思ってたけど、本邦はイチ抜けしても資材を海外に頼っているので勝てないという悲しい現実を見せつけられている

「始めるのが怖い」系のADHDには「今夜頑張るか / 早く寝て明日の朝から頑張るか」を考えるフリしながらツイッターして決断をズルズルと先延ばしにして最終的に睡眠負債しか生まない最悪の夜更かしがある。

SDGs、結局のところ先進国民原罪論でしかないので、そんな事は知らんと言う他はないのである。同胞や自分の子らのために。「正しさ」を確保しつつ、出生国ガチャで当たりを引いただけの先進国の「しょうもない」国民から収奪する話でしかないでしょ、あんなん。それの何が悪いんだ。極論を言えば、貧しさの再生産しかない場所で産む方が悪いという話にもなるぞ

合宿で社訓を大声で叫ぶ訓練させられる飲食企業に勤めている友達が「大声訓練で仕事に誇りを持ち始めている自分と、そんな自分をなんて馬鹿らしい事してるんだと俯瞰的に見ている自分が同時に存在していてマジで二重思考」って言ってておもろかった。洗脳された方が得な状況で人は洗脳されるんだろうな。別の友達と催眠術セミナー行った時に、俺は全くかからなかったんだけど、ガッツリかかって握った両手が離れなくなった友達が後から「催眠にかかるっていうのは場の空気を究極的に読まされてる状態な気がする」って説明してくれて腑に落ちたのを思い出した

【怖いトモコレ】

管理人のそっくりさん、こんばんは

管理人のそっくりさんは、ドアが一つもない街を見たことがありますか？

【付き合った直後あるある】

「付き合う前のあのときどう思ってた？」という答え合わせが楽しすぎる

男あるあるだと思うんですけど、一見(例えばバーで初めて話した人)で会社名を聞いてくる人ってほぼ自分がマウント取れると自信を持っている人なんですよね。就活の場で大学名を聞いてくるやつ100%早慶だったのと同じことを大人になっても繰り返している感覚。

例のミラーリングの件だけど、性的モノ化って思考のレイヤーだと絶対無理。もう一段抽象度を上げて、モノ化ってレイヤーでミラーリングすれば成功する。「めちゃくちゃ横暴な嫁にATM扱いされてるけど、そのことに文句言わず、結婚できただけで幸福なんだと満足する高学歴高年収非モテ男性」とか。

40代で急逝した飲み仲間が居るんだけど、かれはある時を境に突如飲み会の類に顔を出さなくなり、またしばらく経ってから時折少し痩せた顔を見せるようになったんだよな。その半年後、突如かれの訃報を受けて大変驚愕し、長年癌と戦い続けていたことをそのときに併せて聞かされた。つまり、逝去する半年前のかれはほとんど自らの死期を悟りつつ、周囲に対して最期の挨拶に回っていたわけだな。湿っぽいことなど何一つ言わずいつも通り朗らかな笑みを浮かべながら。そんなこともつゆ知らずおれは「痩せたね〜」などと能天気なことを言いながらかれと末期の酒を交わしていたわけだ。幸いにもおれは今のところ心身ともに健康そのものであるが、かれが亡くなった歳に近づきつつあるわけで、自分が死ぬときにはかれのようにサッパリと整理をつけて死に切れるものかと時折考えてしまうんだよな。そしてそれは悪いことでもなんでもなく、死ぬことは生きること重要なパーツに他ならない訳で。「死に方を決めることは生き方を決めるのと大差ないであろう、死に方を考えずしてどう生きるかを定めるのは大変難しい」という以前から抱く哲学じみたものを深めてしまうんだよな。明日も明後日も死に切ることを考えながら生き切ろうとしなければならない。それはそんなに簡単ではないだろうけれども。

「クソ男はゲイに掘られればいいのに」とか、どういう人権感覚でそういう発言をするんだろう。ゲイはクソ男に対するお仕置きマシーンじゃないんだよ。お前がディルド持っていって自分でやれ

「お前らだってガチムチのゲイに狙われてたら嫌だろ？」にカジュアルに持ち出される「ガチムチのゲイ」。これ、例えば更衣室を男女で分けるのが正当であるように、ゲイ用とヘテロ用のスペースも分けるのが正当という主張なんですか？

とある社会学者が女子高生が援助交際という名前で売春を賛美する言説を拡散させた数十年後、別の社会学者が「女子高生の制服姿は少女買春をイメージさせる」とか発言しているあたり、本当に社会学は身勝手な学問だなと思った。

2000年前の人のほうがおれよりずっと絵がうまいし、おれより数字に強いし、おれより知的な文章を書く。

湯船に浸かってるのに土砂降りが来たときの体温みたいなアンバランスな精神状態

「生きることは楽しいですか」と聞かれたら「そんなに楽しいことばかりでもないよ」と答えるだろうけど「生きていることは楽しいですか」と聞かれたら即答で「楽しいです！」って答えられるような人生でありたい。みんなも今を生きよう

「葬式なんか要らない、火葬だけで十分、そのお金で美味しいものを皆で食べてほしい」っていうのは、それ普通にお葬式なんです。みんなで集まって、遺体の始末をして、食を共にして供養する。それはもう葬式です。

宗教者が伴わないと葬式じゃないっていう人もいますけど、それは世界に無宗教って層がいる限り、宗教がなくても葬式になります。告別式ってのも宗教を伴うか伴わないにかかわらず式典として行うわけで、一定の形式があるのは式と呼びます。これは宗教は要らないとかって問題じゃなくて、宗教と共に生きていない、家族の死に際しても宗教といい出会いが結べない人もいるわけです。なのでみんなで集まって形式を伴い一緒にやるのは「葬式」になります。実際、直葬にすれば楽ってのは何もしないから楽だろうっていうだけで、何もしないのは生きてる側は何もしなかった人になるし、送られた側は何もされなかったになるし、妥当な理由がないと結構迷うし苦しむことになることも多々あります。皆が集まって、お別れの時間を取るには場所もあった方がいいし、それなりのしつらえがあった方がイイってことで、祭壇やら式場ってのは存在しています。場所があると慣れた管理運行責任者がいた方がいいので、それが葬儀屋です。葬式に金かけるなんてってのは、まず各家庭に余剰金がないことと、一定の新興宗教さんの既存宗教ディスりの一環ですから。そんなに気にしなくていいと思います。ほとんどの人は葬式やってます、そしてすべての人は遺体をちゃんと葬っています。葬式は要らないって人は、現在の葬儀の形が要らないだけなんです。火葬して、行きつけの飲み屋貸切ってお別れ会ですって遺骨置いて花供えるだけでも立派に無宗教のお別れ会って葬式です。ただし、25年前にも提案してますけど、流行らないんです。そうなんです、流行らないってだけです。結局みんなお経も呼んでほしいし、おじいちゃんおばあちゃんと同じようにしてほしいし、めんどくさくない様に場所もそろってて、段取りも組まれてる今の葬儀を選択しています。単純な話、新しいことってわりと面倒なんです。決まってることって心がラク。

温泉むすめを批判するのに最も有効な方法は「温泉むすめと"提携していない"温泉に行きました！」と写真を投稿して『温泉むすめを使わない方が集客も経済効果も見込める』と示すことなのですが、そんな投稿は全然見かけない。単純にやり方が「下手」だと思います。SNSで非難するだけで、行動をしない。

商いというのはなかなか複雑なものでしてね。「年に一回やってきて、１００万円使う客」一人よりも、「週に一回やってきて、１００円使う客」２百人の方が、実はありがたかったりするんですね。「え、どっちも同じ総額１００万円くらいでしょ？」と思うかもですがそこがさにあらずでして、前者の場合は、いつ来るかわからない客のために、１００万円相当の準備を常に行わなければならない。この維持費ってのがものすごいんです。逆に、１００円の客が二百人ってのは、だいたい一日平均３０人は来ます。確実に来る彼ら相手に、常に１００円の態勢をとっていればいいんです。安定感が違います。確かに、客数は少ないが客単価は高い店はありますが、そういうお店は、「常に高額なサービスに応じた態勢」を整えることに膨大なコストを支払い、その分も料金に加わっているんです。そこらへんをわかっているお大尽向けの商いなんです。逆に、毎日一定量、低額だが客数の多い店は、そのコストが少ない。なのでその分、価格にも反映されるんです。ある意味、オリバさんのこの発言への回答はそこになるんですよ。手頃なワインがなぜ１０ドルなのか。超高級ビンテージがなぜ１０万ドルなのか。せいぜい１５倍の旨さのワインを生産し、販売し、手に入る状態にし、なにより「高級酒」というブランドを守るために支払われる高額なコストの代金が含まれた価格が、「それらを必要としない1/15の旨さの安酒」の1万倍ということなのです。ここらへんはあれですね、１００万円の軽自動車と、１０００万のポルシェみたいなもんです。１０倍の値段だからって、ポルシェは時速千キロで走りません。走れません。せんぜい３００キロくらいです。単価の高い安いと、商売としてのいい悪いは、まったく別なんですな。一皿五百円の焼きそば売ってる海の家が二ヶ月で売上５０００万とかザラですが、最高級品を扱ったレストランが一年かかってその半分も満たないなんてのもザラです。けっこうケースバイケース。ああそういやコレ系に関して思い出した話がある。「鰻屋で松竹梅とあったなら、松を頼めないならおとなしく梅を頼め」です。竹が一番利益率が高いそうで、味や品質に少なくとも価格ほどの差はない。「一番上ではないが一番下でもないものを頼んだ」ことへの代金なんだとか。なので、あえて高級高額な一位と、安いがあからさまな三位を設定し、高級品は頼めないが、底辺も嫌だという人間心理を突き、一番売りたいものを二番手に置くことを、「松竹梅の法則」なんて言うそうですなｗ

「冗談を言ってもそうと分からず混乱する人がいるので、冗談はなるべく避けるべきだ」という主張は見たことがないけどあっていいと思う。もし冗談が「公的に禁止」になったら、もちろん表面的には冗談は誰も言っていないことになるんだけど、その中で冗談のような冗談でないようなことが言えるようになるのでかなり面白いと思う。

日本だと一泊の最低金額を競う限界旅とか独房宿はあくまで旅行の1ジャンルとして成立しますけど、ロシアの場合あまりに安い宿は「予約して代金も振り込んだのにいざ現地に行くと宿そのものが実在しない」のパターンに出くわすらしいので、ある意味最低限が担保された日本ならではの遊びなんだなあと。はなから詐欺のパターンもある一方で単純に安宿なのでフットワーク軽く潰れてる場合もあるらしいので一概に相手に怒るわけにも行かず、怒る相手ももちろん夜逃げした後なので寄るべない異国で路頭に迷いたくなければ大人しく一泊4000円相当以上のところを選んでおけ、という話だとか。ロシアの場合だと一泊3000円相当あたりから「注意」扱いなので、日本でいう独房宿よかずっと高いくせに宿が消えかねない。一泊1000円相当とか間違いなく存在してないか、宿にたどり着くまで何らかの犯罪に巻き込まれる地区に立地してるか、泊まれても起きるまで無事では済まなさそう

注文のときに品切れの商品を選ぶやつ、大体2ミスすると向こうから「これとこれとこれならあるんですが…」と言われるが、ゲームで死にまくって難易度EASYを提案されるのに似た敗北感がある。

老人ホームで死ぬまで攻殻機動隊を見て過ごしたいのに没収されてタンバリンを持たされるオタクの末路について考えている

和文でp値の話書いた時、統計の人からは「なにも新しいこと言っとらん」と言われ(それは当然自分でも理解した上で非統計の人に向けに書いたんだけど)、生物のジャーナルからは「そんな専門的な話は統計のジャーナルに出してくれ」と言われ、このギャップこそがいろんな問題の根源だという気はする

反ワクチンの方の一部は接種率が上がり続ける現実から逃避するために、【国の発表している接種率は嘘だ】と言い出しているかもしれません。でも根拠が“ソースは俺”や“サンプル数は自分の周りだけ”なので、孤立していく自分への鼓舞と、疑うことで生まれる仲間意識の強化以上の意味はありません。Twitter上で反ワクチンの仲間内向けに接種したかを問うアンケートを行って、アンケートの性質や統計についての知識はないまま「接種率の現実はこうだ！」と騒ぐ方もいるかと思いますが、“ソースは俺”の域は出ません。反ワクチンに傾倒する方の視野は狭い上、日本語の論文や外国語を読める方も少ないので、圧倒的に知識が浅く、こういった方法でしか自分の主張を強めることができない人が多いです。【接種率は嘘だ】という主張には難しい知識も語彙も必要ないので、今後喜んで使う人が増えていくのかな、と思います。

反ワクチンの人たちは今、【接種率は嘘だった】や【ワクチンを打った人が大勢死ぬ】や【真の科学者がワクチンの闇を暴く】などの一発逆転の展開を待ち望んでいます。米大統領選で陰謀論に取り憑かれた人にも似た傾向がありましたが、事態をひっくり返す“何か”にすがる時期が来たのだと思います。もう精神的に追い詰められてしまっている人が多いので、接種率に関するデマが反ワクチン界隈で拡散されたり（「誰々から聞いたけど接種率は嘘」などの荒唐無稽なもの）、ワクチンを推奨する医者や専門家に直接乱暴な言葉を投げるパターンが増えていくのかな、と思います。母も一歩間違えば、まだそこにいたかもしれません。反ワクチンは界隈での仲間意識やサンクコスト効果もあり、長期になればなるほど、思想に疑問に思っても抜けづらくなってしまう環境だと思うので、半年程度で抜けられたのは運が良かったかもしれません。米大統領選から1年が経過してもなお元気に陰謀論を唱える人がいるように、反ワクチンと呼ばれる人たちもゼロにはなりません。飽きて他の陰謀論に飛びつく人がほとんどだと思いますが、おそらく一定数は1年後もNAワクチンの危険性を訴えたり、マイクロチップや寄生虫の話をしていると思います。この、今後も反ワクチンに残る“一定数”については趣味のサークルのようなものなので、今より更に社会への影響もなく、意味も意義もないまま孤立していくだけだろうな、と思っています。今は足抜けの時期なので、おそらく今年増やした陰謀論1年生の人たちは半分も残らない、と界隈を見ていて感じます。

欧米での反ワクチンや反マスクのデモは、政治や宗教などが複雑に絡み合った結果起きている物のため、規模が大きく、参加者も多種多様です。ただ、日本では日中やることない人や、社会的な地位のない人が参加するものなので、人数も増えませんし、街の人も興味がないので近づかない、透明な存在です。日本での反ワクチンや反マスクデモは、そんな街の人からの無関心や、自由権によって守られた“部活動”のようなものです。今までもこれからも、参加している人の思想が周囲の心を動かすことはありませんし、“権力に立ち向かう強い市民”にもなれませんが、統率する人が飽きるまでは続くのかな、と思います

反ワクチンに傾倒する方が学校教育への嫌悪に行き着きがちなのは、その教育に当時からついていくことができず、劣等感を大人になってからも抱えているからかな、と思います。前も書きましたが、高校レベルくらいまでなら自宅学習も可能だと思うので、勉強をするのはいつからでも遅くないと思います。やはり反ワクチンを掲げつつ、学校教育への嫌悪を持つ方は、情報を取捨する能力や国語能力について、一般的の方との差があります。英語を読むことができない人も多いです。そういった、周囲との学力差へのコンプレックスや苛立ちを「学校教育は洗脳だ!!マーク」といった言葉が癒してくれるのかなと思います。それらの根源には、学生時代からの勉強へのストレスや、受験失敗、学歴コンプレックスなどの要因もあると思います。いじめを受けていた、友達がいなかった等、生活面で困難があった人もいるかもしれません。おそらく学生時代を順風満帆に過ごした方は、反ワクチンと教育嫌悪を組み合わせないのかなと。周囲を“学校教育に洗脳されたバカ”だと思うことで、実はそんなに賢くない自分から目を逸らし、プライドを慰める。こういった心の動きがあるように感じます。反ワクチンに傾倒する方にとって反ワクチンは、勉強をしないでも周囲と差が付けられる（ように見える）魔法の教科なのだと思います。勉強が得意でない人が全員“目覚める”訳ではないので、プライドが異様に高い、不安感が強い、なんらかの障害が根底にある等、反ワクチンの方は複合的な問題を抱えているパターンが多いです。そのため、やはり正しい情報で説得することや、理論的な説明で理解してもらうことは難しい、と感じています。

反ワクチンの方はこれから、自身らを示す新しい言葉を作りたがると思います。反ワクチンという言葉に悪い印象がついた、と以前書きましたが、長い人だと一年くらいは主張していると思うので、同時にセンセーショナルな面も薄れ、刺激の足りないコンテンツにもなってきたのだと思います。

時折インターネットのおもちゃになるくらいは知名度のあった反ワクチンですが、実数で言うと日本ではかなりの少数派なので、ここから細分化していくと、だんだん自然消滅していくか、早い段階で他の陰謀説に吸われていくのかなと思っています。

反ワクチンに傾倒する方が、そろそろ【ワクチンを打った人が反ワクチンに絡むのは、羨ましいからだ】といった持論を展開していく頃かなと思います。もう反ワクチン自体が他人の【嫉妬心】を期待するぐらいしか気持ちよさのないコンテンツになってしまったのかもしれません。自分の選んだ反ワクチンという選択で、思ったような成果が得られなかった人が、実は不特定多数の誰かに【嫉妬】といった形で認められていた、などの妄想シナリオに固執し始めてしまうのだと思います。これも【工作員】や【バイト】と同じく、思考停止の便利な伝家の宝刀です。

反マスクや反ワクチンに傾倒されている方は、カタカナや誤変換の漢字をわざと使うことが多いですが、これも一つの選民意識や、独自の単語を使うことで、自身の語彙力のなさを無意識に補填しようとしているのかな、と思います。界隈で使われがちな絵文字が同じなのも、同様の理由だと思います。ただこれは一般の人から見ると、“避けるべきアカウント”の印のような一面もあるので、自分から人を遠ざけている分には特に害はないかと思います。その独自の言語感覚で他人にリプライなどを飛ばしてしまうのはどうかと思っていますが。

反マスクや反ワクチンがSNS上で乱暴な言葉や絵文字を多用する理由については、乱暴な言葉や絵文字には特別な語彙力は必要がなく、怒りによる反射で書くことができるからなのかな、と思います。また、スマホで文字を入力するのが苦手な人（フリック入力のできない人）が多いのかもしれません。母の入っていた反ワクチンコミュニティを眺めていると、医師などに対してネットで反論をする割には、自身の言いたい言葉が文章にできず、簡単な言葉で悪態をつく、あるいは長文を入力する能力やまとめる力が弱く、動画や画像（出典不詳）に頼るようなリプライの仕方をする人が殆どでした。この、“自分の考えが文字で表現できないレベルの人”がTwitterなどの文字が主戦場のSNSで、医師や専門家などと同じ土俵に立つことは、難しいように思います。また、私のような文系の大学生の文章にまで、【長文だからプロ】といった判断をする人がいるのも驚きでした。そこらへんの小中学生でも、おそらく自分の体験談なら6000字程度は執筆可能だと思います。その一般層との国語レベルの認識の差も、反ワクチンや反マスクに傾倒する方に対して、文章を通して理解してもらうことの難しさに繋がっているのかな、と思います。また、ツイートや記事などの最初の一行から怒って、その先は読めなくなる方が多い印象です。これは本など、まとまった長さの文章を読んだことがない人（読めない人）の特徴だと思いますが、読むことが出来ない人は書くこともできないので、きっと常にもどかしさを感じているのではないでしょうか。また、医師や専門家の方の言葉を、“ツイートほぼそのままに、主語などを入れ換えて意味をそっくり変える”といった方法で貶めたり、反論に使ったりする人も多いです。これも自身の語彙はまったく必要なく、実際は意味のない行動ですが、“一枚上手を取った”ような気持ちにさせてくれる、便利な手法です。Twitterは便利なツールですが、崇高なものでもなく、普通のインターネット上の公共の場です。他人に対して【突然のタメ口】や【暴力的な言葉】を送っていい場所ではありません。また、文を書くこと、読むことが苦手な人は、伝える努力をしないと伝わらないし、読む努力をしないと理解できません。

今声高に反ワクチンについて発信して、一生懸命にいろんな所で「ワクチンは毒だ！」とリプを送っている方も、最近は大体毎回同じメンツになってきて、新規の流入はほぼないように思われます。送り付ける情報もだんだんと古くなり、情報が手にした時から一切更新されないままの人が多いです。私のツイートにも、反マスクや反ワクチンの人が、その危険性について警告するリプがぶら下げられていますが、他の人から【出どころの確かなエビデンス】を求められる→【出どころの確かでないブログやnote】を提示→指摘されるとブロック、といった流れが見受けられます。

反ワクチンの方は【工作員】や【バイト】という言葉が好きですが、ここでも何度か書いているように、人口の8割程度が既にワクチンを接種した国で、国や企業がお金を出して「反ワクチンをやめた人がいます！」と反ワクチンの人にアピールする意味も価値も、現状ありません。“じゃあなんでその少数に構うアカウントをつくるのか”と言われたら、そもそもそれが誤解で、例えばこのアカウントは、身近な人が反マスクや反ワクチンに傾倒してしまった人に体験談が届けばいいな、と思って作りましたし、その後も別に反マスクや反ワクチンの人向けには運用していません。また、緊急事態宣言が明けたあたりから心身に余裕ができた人が増えたのか、反ワクチンを主張する方の勢いが減退しました。そこで“反ワクチンを辞めた”人も多いようなので、その人たちが今、自身の経験をSNSで発信し始めるのも、ごく自然な流れのように感じます。こういったアカウントに向けられる、【工作員】や【バイト】という言葉は、反論はすべて自分のために向けられている、といった【認知の歪み】【選民意識】から来るものだと思います。世間の大多数は反ワクチンや反マスクの人たちに興味も関心もはありませんが、それに気づくことができない人がいます。前提として反ワクチンや反マスクの方は【疑うこと】に自身の価値を置いているパターンが多いので、【私はこれを疑うことができます】といったアピールをしたがる傾向があります。自身のフォロワーに対するマウントの意味もあるので、【いかにその情報が怪しいか】の妄想を重ね続けてしまいます。ただ、この【工作員】に関する妄想については精神疾患も関わっていることが多いようなので、一概には責められません。見分けがつかないので、身近にいれば不幸ですが、身近にいない、ネット上にいるだけの人に対しては、“直接触れない”のが一番の対応だと思っています。

母は反マスクに傾倒していた時に酸素の話ばかりしていたのですが、今思うと【酸素は体に必要】【酸素が脳に行かないと死ぬ】というのが母が知っている最大限の理系知識だったのかな、と思います。これと【子供を守って認められたい】という承認欲求の合わせ技が、マスク嫌悪の根源な気がします。さらにここに、マスクを外すだけで、安易に目に見える【他人との違い】を手に入れることができる選民感や、それに伴う【自分は気づいている人間だ】という高揚感が足され、日常生活で自己肯定感を高められないタイプの人が反マスクに陥ってしまうのだと思います。また、反マスクはビジュアルでの印象が悪く、このコロナ禍では周囲から避けられがちになります。そのため、一度傾倒してしまうと孤立を深め、意固地になって、すぐには矛を収めることができなくなってしまうのも、1つの特徴です。母の場合は、なぜか職場ではマスクをする、反マスクを語らない、といった理性は残っていたので、家族からの信頼は落ちきりましたが、社会的にはほとんど影響はなかったようです。これは母が反マスクをパッと辞められた、一つの大事な要因だと思います。を堂々と拒否していたら、職場でもっと孤立してしまっていたと思います。さらにその場合、反マスクを辞めた時には、自身が誤っていたことを周囲に説明しなければいけません。突然主張を変えたりしたら、笑われるかもしれません。それは反マスクを主張する人にとって、耐え難い屈辱です。なのでもう、より強固に反マスクを貫き通してしまった人は、みんながマスクを外す時まで耐えなければいけないのです。どんなにマスクの安全性や、ウイルスに対しての有用性を提示されても、認めることはできません。反マスクを貫いて沢山のものを失ったので、それらと向き合うのが怖いからです。

反ワクチンを主張する人は、【いじめ】に敏感です。自分の暴言や加害に対しては鈍感ですが、基本的にマイノリティであることに誇りと選民意識を持ちつつも、何か大きな流れ（世間）に差別されているという不安感もあるのか、とても被害者意識が強いように感じます。バイトや工作員という、存在しないものに怯えている言葉も、この被害者意識から来ています。また、自分の主張に対する反論も【いじめ】や【叩かれている】と認識してしまう人が多く、その認知の歪みが、説得を困難にさせているのだと思います。反ワクチンの人の多くは常に被害者意識に晒されているため、ストレスが強くかかり、長期の体調不良にも繋がりやすいです。この体調不良についても、【自身は被害者である】という前提があると、シェディングなどと言い出して、仮想敵である【ワクチンを打った人】を原因にしてしまうのだと思います。また、反ワクチンの方が他の人と異なるのは、【いじめ】に敏感な一方で、難しい言葉はわからない人が多いので、正論や皮肉などよりも【わかりやすくバカにされたとき】に一番怒りを感じます。【簡易な言葉でわかりやすくバカにされる】のが一番言語レベルが近いので、スルーすることができません。母も「バカじゃないの？」みたいな簡単な言葉にすごく反発していて、1度弟からかけられた「バカ」という言葉に、やたらと固執していたこと印象があります。多分普通の状態の人なら、簡単な言葉での罵倒はスルーできるというか、「バカ」に食いつくのではなく、その前後の言葉に目がいくと思います。

ちょっと語弊がありますが、反ワクチンの人は、ワクチンを打った人が一斉に死ぬのを楽しみにしています。その時こそ、自分の正義が証明されるからです。既に日本と海外の接種開始時期の違いに着目して、【海外では沢山死者が出ている】と言い出す人もいますが、その根拠はとくにありません。この【それまで迫害されていた人々が本当は正しくて、迫害した大多数は死に、数年後に正義が証明される】という物語性は人を簡単に酔わせるので、よくカルト宗教などでも使われる手だと思います。ただカルト宗教と違うのは、必ずしも教祖はおらず、海外だと元の宗教や、政治と結びついていることが殆どです。また、日本での反ワクチンの根拠は、その政治的要素と結びついた海外の情報を断片的に輸入してきたものが多いため、強いて言えば【ワクチンは危険】と信じる本人が教祖であり、信者です。純国産ではない陰謀論に基づいているのが日本の過激な反ワクチンですが、英語が読めない人も多いのと、誤訳がそのまま信じられているので、【ワクチンの危険性】についてはファイザーとモデルナの使用率が高い国共通なのに、副反応に関するデマなどが独自の進化を遂げているのは面白いなと思います。反ワクチンの方が信仰しているのは【ワクチンを打った人が死んで（あるいは不幸な目に遭って）、少数である反ワクチンの自分の正義が証明されるいつかの未来】ですが、そんな未来は普通に来ないです。これはカルト宗教の提示する【世界の終わり】と同じですが、ゴールが未確定なため、多分2年くらいしたらみんな自分が反ワクチンだったことを忘れて、今度は別の陰謀論に夢中になっていると思います。そもそも反ワクチンの人が嬉しそうに出してくるデータ（化学的っぽいもの）が正しいのであれば、ワクチンを打った人が揃って死ぬ時期も割り出すことができるはずですし、そんなにコロコロと2年や5年、には変わらないと思います。母は他の家族が既に内緒でワクチンを打っていることを知らずに、よく「ワクチンを打ったら◯年後に死ぬ！」と食卓で話していましたが、本当にワクチンを打った人に死んで欲しそうな口ぶりだったので、当時はかなり悲しかったですし、引いていました。◯に入る数字は、何度か変わりました。反ワクチンで求める結果が得られなかった結果、多分このまま、別の陰謀論に引っ張られてしまう人が出てくると思います。母も反ワクチン系の主張にレパートリーがなくなってきた最後のあたりは、別の陰謀論に手を突っ込んだような話もしていました。

前から何度か書いてるように、いまどきの若者で、ツイッターの公開アカで本音を書くような子はまれだと思う。鍵アカ内でも遠慮してる。でも、色々読んではいる。考えてもいる。しかしあえて発信はしない。面倒な輩に絡まれたくないから。だって疲れますやんね。だから、若い子の本音、特に「わきまえた」若い子のほんとのところというのは、SNSではもう可視化されないだろう。知ろうにも知ることはできない。「この人になら話してもだいじょうぶかな」と信頼されなければ、口を開かない。つまり、元に戻った。アナログ時代に。

「はぁ？オレが地動説なんかいつ唱えたし！何時何分何秒〜！？地球が何回回ったとき〜！？」

捕らえろ！！！！！！！！！！！！

同人誌だと射精するときにでっかい声出す男いるけど、そんなに叫んだら快感が分散しちゃうよね…大丈夫？っておかあさんみたいな心配しちゃうな。それと、叫ぶと射精した後「おれは今、叫びながら射精した…のか？」って冷静になっちゃうから本人のメンタル的にもよくないと思う

残りの0.6GBでうまぴょい伝説を聴いている時が、1番生を実感する。

ツイッター用に昔のエピソード引っ張り出して無駄に不幸になってる気がする……しない？過去は対処不可能なので美化するくらいがちょうどいいんじゃないかと思い始めてる

ロリコンと性加害者の区別がつかない人が多いんだよ。確かにベン図で重なるようなのはいるが｢性加害する男がいるから男は全て性加害者と見なして良い」ばりに雑だからな。ゲイをレイパーと認識する男みたい

認知症研究の第一人者で自身も認知症になって症状を自覚し先日なくなった方、「デイサービスに行くといいって今まで人には言ってたけど、自分が行ったら全然楽しめなかった」って話しててあれはつらい話だったなー。重い言葉だったな…。あのシーン…確かに楽しくなさそうにしていて、さらに後日「もう行かない」と仰っている場面に「彼自身がそれを提唱した映像」をはさんでくるもんだから笑いどころなのかなんなのか分からず複雑な気持ちに

『徒然草』は「家を作るときは夏過ごしやすいかを基準にしろ。冬は何とかなるから」「唐橋中将の子の○○と言う人は病で顔がふくらんで能面そっくりになってしまったそうだ」「博打は負けたとき逆上するのが一番危ない」とか書いてあって、文学作品というよりは南北朝時代のツイッターに見えます。

祖父に結婚相手の選び方について聞いたことがある。すると『一つ目は、一緒にいて楽しいで選ぶな。離れていて寂しい人を選びなさい。二つ目は、どれだけ愛せるかで選ぶな。どれだけ許せるかで選びなさい』と言われた。個人的には結構大事にしているものさしになっている。

職人の世界からどうして高学歴が逃げるかということを考えると、賢いリベラルなエリートが云々ばかりの視点も一面的で、基本的には低学歴の人は人の扱いというものがめちゃくちゃで人を育てるという概念も薄いから、普通の選択として良い会社のエリート様に収まろうとするのは自然なんですよね。ツイッターの反リベラルは、中卒高卒の経営者が作り出す世界には直接的に縁がないから、ある意味キレイなものとして低学歴の世界を鑑賞できるところがあり、リベラルエリート叩きのネタにも出来るみたいになってる感もありますよね。実際職人になろうとしたら本当に無茶苦茶な会社が多かったわけで。

恋愛、ガードを固めれば固めるほど普通の人が去っていきガードを強行突破する異常者だけが集まってくるの難しすぎる

かつては飲みニケーションに誘うのは先輩社員の義務であり、後輩は可能な限り応えるのが義務みたいな感じはあった。多少鬱陶しくはあったけど、なくなってみるとコミュニケーション弱者はますます情報から疎外されるようになった。個人主義色が強くノイジーなネットの意見をマスメディアが聞くために「飲みニケーション」やら「休日BBQ会」がなくなり、先輩後輩間の義務が消失したことで、かつては曲がりなりにも居場所を与えられてきていたコミュ弱の人達が生きにくくなってるみたいな話か。自由を標榜するのは自由だが、その責任を取るのも自分たちですよという。飲みニケーションは無くなっていくんだろうなとは思うんだけど、飲みに限らず「嫌なことはしたくない」「嫌な思いをしたくない」を際限なく尊重させていくと組織に属している自覚のないワガママ社員の弱者権力に振り回され組織が壊れるので、ほどほどにシバケ派ですね。

謝罪をしても絶対に許してくれなそう、その謝罪を使って攻撃してきそう、と思われてしまうと、謝罪をしてもらえなくなり、より話がこじれるので、とにかく謝罪されたら「いいよ！」というようにしておくの大事な気がしますね・・・。

なぜこちらには言及するのにあちらには言及しないのかと聞くのは設問が誤っている。なぜあちらには言及しないのにこちらには言及するのかと聞かないと。チンピラはそのあたり正しく問うことが多いので賢い。「なんでこっちにばっか文句言うんだよ」が主題になるので近代がわかっとる。「あっちにも文句言え」は主張として全然ダメ。

世界で一番頭のいい人たちの頭脳は「人々に広告をいかにクリックさせるか」に投じられており、二番目に頭のいい人たちの頭脳は「ブロックチェーンでよくわからない仕組みを作って人々をいかに騙すか」に投じられてる気がする

生きている大人を見たことがない（目が死んでいる人は大人でも子どもでもなく、人ですらない）

昔デブ5人で2万ずつ出し、半年後に1番痩せたデブが総取りというゲームをしたことがあるんだけど、我々デブにとって6ヶ月という減量期間はあまりにも長く、4人がリバウンドで数キロ増量、プラス500gのデブが優勝しました。誰一人痩せなかった。

思い出せない人「なんだっけほらあの店の前にある美味しそうなやつ」

食品サンプルを知らない人「見せしめ料理ね」

客「あら、今日は牛肉が安いのねぇ」

喋りが致命的な肉屋「命の値段とは思えないでしょ！」

「え、私いくつに見える？」

「...上が104で下が67かな」

「血圧じゃなくて」

初めて餅を生み出した人、メチャクチャ嫌な事でもあったのかな

急に梯子外す人「いよっ！日本一！いや世界一！前人未到！それ故に孤独」

誰か何かをゆるすということ、決してその対象に屈服する屈辱の儀式ではなく、それをゆるせないまま進んだ人生で生じるはずの苦しみから自分を解放してあげる、自分自身への救済の儀式だと解釈できれば、自然な形で手放すことができるんじゃないだろうか。常に安定している人というのは、「ストレスが生じた瞬間にそれをゆるし、手放している」。ゆるすことに自身のプライドが摩耗しない。悟りという状態があるけれど、それは生きているだけで世界をまるごとゆるしていて、足元を掬われる事象すらも愛に変換してしまう、という無敵さなのかもしれない。

誉め言葉でも嫌がる人はいるから誉めないようにしようって反差別のひとはいうけど、それだとマジで超無難な事実しか発言できなくなる。でそれが無理なことはみんな承知であって、各々がどこまでその閾値を下げるかの話でしかないのでまったくナンセンスだな～～って思う。正確にはthe 誉め言葉（例えば「美人」）を嫌がるthe 人（例えば「田中リエさん」）にはthe 誉め言葉を言わないようにしようなんじゃないか。個人個人の問題として向き合っていくしかないよ。「ある人は誉め言葉を嫌がる。すべての人が嫌がることをすべきではない。よって、すべての人をほめるべきではない」は論理的におかしいよねっつう話です。それが成り立つのは「すべての人は誉め言葉を嫌がる。すべての人が嫌がることをすべきではない。よって、すべての人をほめるべきではない」というアリエナイ場合のみ。これはLGBT当事者としてもまったくそうで、たとえば自分がBだと知られたからといっていっさい性関係の話をしてほしくないというわけではまったくないのに、なんとなくメディアで「性的マイノリティに配慮しよう」って叫ばれてるせいでみんなから腫れ物扱いされるみたいな皮肉チックな差別（これは個人的には差別とは思わないけど）が起こりうる。ましてやLGBTだけ神聖視されて「うらやましい」って言われるのはもっと恥ずかしいと思う。Bだけど性関係の話をしたいです、むしろウェルカムです、一般人と同じかそれより性欲が強いですみたいな主張、全然していいし、全然喜んでもらっていいなんなら都合よくいじってもらってもいい。ここらへんが個人的にポリコレを受け付けない理由。ポリコレはその究極目的をすべての人を傷つけない表現にしているので到底人類には早すぎるし、傷つけなかったとして何なんだよとも思う。傷つけて傷つけられているのが人間の営みじゃないんか？？

弱音を吐かない人間は往々にして「メンタルが強い」というよりも、「弱音を吐く事による人間関係の軋轢や煩雑さに耐えられないほどメンタルが弱い」場合が多いうえに、1人で解決出来ない問題を抱え込んでも「無理する」以外の選択肢がないので、周囲が異変に気付く頃には既に手遅れになってる

「【任意の名言】」ってばっちゃが言ってた　という構文はもう古い！最近は「ねえお父さん。なんで【任意の事物】って【大人がけしかけたくなる任意の社会問題】なの？」と息子に聞かれたので言葉に詰まった が新しいです！全員死ね

あたしハンカチ常に持ってないくせに「今日ハンカチ持ってくんの忘れたわW｣って毎回便所で手洗った後に言うの超絶キモい

認知症のおじいちゃん「ばあさん飯はまだかのぉ？」

おばあちゃん「さっき食べたでしょ〜」

最強認知症ジジイ「黙れ女、そんなことは知っている、それでも尚、飯を出せと言っている」

授業参観に担任の先生の親も来てしまい、先生が張りきっちゃって1人でどんどん問題解いてく授業参観の神回

「お父さんお母さんもう疲れました。先立つ不孝をお許しください」って書いて死んだのがフルマラソン直後の肉体の疲れのせいだったらめちゃくちゃウケる

一人のアルファフェミ垢の行為を女性全体の評価に繋げるのはフェアじゃないと思うけどフェミニスト少なくともサイバー空間のフェミニストに対する評価を著しく下げたのは間違いないですよね。俺も含めてそれまではなんとなくフェミニストにいいイメージ抱いてた人が多いはず。ここから真のフェミニスト教とフェミニスト全糞派に分かれるんだけど前者は真のフェミニストとやらを屏風から出せと言われてしまって空集合である疑いを払拭できないのよな。それこそいいフェミニストは死んだフェミニストだけだ状態

社会的不適応者が無条件に優れた人であるわけではないということである。普通人の感受性からずれていることは、大変な苦しみであるけれども、その人が苦しんでいるからといって。苦しんでいない普通人より人間として偉いわけではないんだ。

会社の飲み会を約2年ぶりくらいに喰らってしまったのですが、セクハラパワハラ上等タイプのおっさんに対する感想が「しょうがない人」から「それしかコミュニケーションの仕方を知らない哀れな人」くらいまで激下がりしていたので社会はいい方向に進んでいると思った

成績の良くない子がする仕事、成績の良い子がする仕事…という振り分けが「選択の自由」によって発生した結果、成績の良くない子がする仕事は蔑まれ、階級意識が固定化、低賃金化……というのが、いまの土方や職人の待遇ではないの。

かつては華々しく活躍されていた先輩方が「これについてブログに書きました」とか、「あれについてメルマガで書きました」とか、いちいちメールやLINEで連絡してくるの、本当に止めてくれ。鬱陶しい、というか、もの哀しい。

ところで界隈の人が見たらめっちゃ燃えそうな白饅頭noteがそこまで攻撃されないの、マジでフェミニストが貧乏人とドケチの集まりで、月1000円すら払えない人たちの集まりである可能性に思いを馳せた。いわゆる界隈、まともな議論をできるほどの知能はなく、かと言って理解のある彼や夫を捕まえられるほどの容姿や愛嬌も得られず、貧苦に喘ぎながらひたすら社会を呪詛する人たちの集まりだとするとこれはKKO問題と同根だったのではないか……？いわゆる「弱者」が憤慨して困窮を訴えているとき、彼らが攻撃的であったり人格的に魅力に乏しいからといって救済の優先度を下げたりするようでは、「かわいそうランキング」を批判できないのでは……？白饅頭noteや『矛盾社会序説』に繰り返し登場する、「本当に助けが必要なのに、かわいそうランキングが低いゆえにそう思って貰えず、助けが届かない人たち」こそツイフェミに当てはまるのでは……

自由で多様な生き方への盲目的信仰、結局は人並みにすらなれない割に被害者意識だけが強い何かを量産することになりがちだよな。例えば大卒のインフルエンサー（笑）などが宣う「これからは大学なんか行かなくてもいい！」を真に受けるような奴が何かモノになると思うかという話で。これは男女問わず人間の「ありのまま」なんて碌なもんじゃないんだから、圧をかけて人間にするプロセスが必要だよな。その圧を如何に効果的に無理なくやるか、という話はドシドシすべきだろうが、圧は悪であるという話になるとどうにもならん

大半の出会い系サイトや結婚サイトって、なぜか学歴も書く場所あるのも、すげえ時代遅れだなと思う。お互い30歳超えても学歴みてるとか、アホなのかな女性は。40になっても見てるのは凄い。20歳で小学校の成績気にするぐらい凄い。でもこれが日本の現実

いくら「子供に体罰は絶対にダメ」とかいっても「中学生くらいのガキが万引きしてまったく反省せずに親が警察に迎えにきてへらへらしてるところを親が平手打ちしたら、正しさと爽快感を感じる人類」が大半なのは人類の限界。

「幸せになりたい」といいながら、他人と比較せず、常識にとらわれなければ、すでに幸せになっている場合がある。あと本当に辛い状況にある人が、幸せになるための最初の準備は「自分は幸せになって良い存在」と自分を赦すことだと思う。誰かからの刷り込みで自分を貶めることから解放されること。

コンビニで留学生を雇わなきゃ出来ないなら、店閉めろ的なツィート見たけど、嫌なら行かなきゃ良いんじゃねぇか？何度も書いてるが、ワシはコンビニでバイトしてる留学生には優しく接するように心掛けている。我が国に対して良い印象を持って貰い、祖国に伝えて貰いたいからね。笑顔には笑顔。

自分のやっていること=アートが社会に無益なことであるという超絶に基礎的な了解事項を飲み込めていない、あるいは一度飲み込んだが欲をかいて表現に実利を求めるアーティストは、本当の意味で社会的に無益な存在になってしまう、という気がする。第二次大戦の時に自ら従軍を希望した芸術家がそれなりにいたのも、無益であることに耐えられなかったからで、無益さに耐えられないと変な方向に行ってしまうこともしばしば…

「分断を許さない」はピタっと全体主義そのものというか…分断なき多様性なんて存在し得無いのが世の理よな。「分断そのものを受け入れる」が多様性の正体なのに、その正体をブルドーザーで轢き潰しながらそれを大事にと叫ぶ人々。あるいは悪しきウロボロスみたいなもん。論理が永遠に帰結しない。分断についての画像的イメージを聞いてみると誤解が解けたりするかもしれん。私はあくまで分断を「正規分布の一番端どうしで意見が食い違うこと」だと思っているから当たり前だと思っている（その文脈において「分断そのものを受け入れよう」という話である）が、特に過激なネットリベラルアカウントは「中間層がいなくなること」だと思っているので、話が合わない。本当に中間層がいなくなることなんかあるのかよと、ある意見についてのアンケートを見ていても思う。物言わぬ中間層はインターネットに出てこないから分断が進んでるように見えるだけ。FACTFULNESSでも「人間には分断が進んでいると思いたがるバイアスがある」と述べられていた。

生まれたらめちゃくちゃ可愛いというのが生まれるまでわからないのがもっと遊んでいたいから結婚しないという晩婚化の一因なんだろうな。こればかりはどう伝えても子無しや独身者には伝わらない。一方で子育ての大変さだけは大げさに伝わる。子供を持つことへの若い人の悪印象は強まる一方

【それが禁忌とされてる村】

「おぬし……！アド街を見たのか…！？」

男性の生き辛さは男性で解決しろって言うから非モテの俺達は二次元に去ったのに、今度は二次元を出て我々をちやほやしろとか言ってきたって知らないよ。女性の非モテによる生き辛さはフェミ界隈というホモソのせいなんだからそっちで自己解決してよ

自分が衰えてきたことを実感するのが老化だとしたら（そして、老化によって人は悲しさを覚えるのだとすれば）認知症はその衰えを自分自身に実感させなくする神からの究極の救いととらえなおすこともできるかもしれない。これは、認知症患者の多くが人生の最も幸せな期間に「タイムスリップ」することとも一致する。むろん介護者の負担は大きくなるものの、認知症を「治療するべき深刻な病」ととらえてさらに寿命を延ばそうと試みるのか、かかった時点で諦めてしまって、あとは苦痛なく余生を過ごしてもらうのかという価値観の差が国家によって現れてくるだろうと思う。そして現状、日本は労働力不足が叫ばれており、どちらかというと前者に傾いているのではないか。

「可哀想女は守らなければならない」という男が共有する価値観の本質を体現したのが「ビアンカとフローラのどちらを選ぶ？」というドラクエVの仕掛けだと見てる。フローラと結婚するルートを選ぶと独身で残りの人生を過ごすビアンカを目撃する。この時、胸に浮かぶ罪悪感が男らしさ。

フォロワー数10000超はインターネット公共財として人権が剥奪されるので好きなだけ石を投げて良いらしい

ヒイッッッ！！！化け物！！！！！

まだ自我が残ってる就活生「はい！私は学生時代を化け物として過ごし、」

一度行ったことがある地名や地域への思い入れは割とばかにできないので、ケッ東京めって思ってる田舎人ほど一度東京で遊んで来たらいいと思う。板橋のリーマンたちの行列とか、新宿のビル街とか品川駅の複雑さとか、東京のご当地ニュースがけっこう自分ごととして感じられるようになる。一番でかいのは地理関係の把握でこれが本当に楽しい。知ってる地名が全部頭の中に地図として入っていく感覚がある。できればGoogleマップを使わず路線図だけで回ってみよう

恋人と長続きしている人が絶対にしないことは「我慢」と「過度な期待」です。

いじめの話、クラスカーストの本とか読んでると「いじめが起きてないクラスは単純に崩壊している」とか出てきて、教師にとっていじめカーストの存在は、英国インド支配における土侯みたいなもの、という事実だとか知ってすごくこの、アレな気分になる。なもんで、担任はいじめられっ子が直訴してもそれを聞くとクラス運営の協力者であるハイカーストから「先生なんなんすかねそれ？」って反抗されて運営が成り立たなくなって自分の勤務評価に響く、だからいじめられっ子を不可視化するしかない、という事実を知ると、あの刺殺事件も嫌な納得が。

「多様性というのはしんどい、厳しい、それでもやるか？」これが真実で、本来万人に問いかけられるべき内容で、それでも進もうと決まれば進めば良いと思うが…「多様性というのは優しい、素晴らしい、勿論やるよね？」これが主流になっている時点で何かが狂ってると気づかなアカンのよ。

のぶみの絵本の理論によると金正恩は金正日を選んで産まれたらしい（このママにきーめた！）

移民は経済発展にも繋がり多様性ももたらし云々論者、基本的に移民を人間というクソめんどくさい存在であるという措定をこっきり忘れてるきらいがあるよな。無意識下で、「進んだ我々の国に来て感謝するちいかわ」みたいに思ってるだろ。そんなわけあるかって。言葉も通じないし見た目も違う、そうした存在を同じ人間とみなさない習性はどっちだって持ってるんだから、そりゃ雑に混ぜたらめちゃくちゃになるだろ。いや、めちゃくちゃが良いんだ、という論者なら話はわかるが絶対にあいつらそんなこと言わねえしな。難民受け入れにしたって、「こんな我々のような先進国に来たんだから感謝して恭順の意を表すはずだ」ってそんなわけねえだろ。いや、そうしろやと俺も思うけど、それ無理ですよって。移民政策って「自国民と同等には扱わない」が前提になってて、その最も悍ましい部分が一番緩い国でも「君たち移民の優先順位は必ず我が国民の下だよ」というものでね。だけど、何をどうしたって移民も同じ人間だからさ、そんなのでずーっと納得せんわなぁ。子供までそれを背負うとなれば尚の事。だから移民受け入れは安易にやるべきではない。鬼になる覚悟で徹底して移民を便利な装置として扱うのか、それとも本気で新しい仲間として人間として受け入れる覚悟でやるのか、どっちにしても大変な事でな。私は後者であるべきだと思うけど、前者の覚悟すらない国ばかりだろ？これは日本だけの事じゃなくて、どこの国でも「移民」は明確によそ者であって、それはハッキリと自国民とは違う存在なのよ。ところがそこに現実とのすり合わせも考えない無制限の人権や平等を持ち込んでくるから騒動になるわなぁ。理想はいいよ、でも現実に国家ってシステムで回ってる社会だからな。どうしたって、国籍で分けなきゃならんし、国民とそれ以外を分ける必要がある。それが無かったら国家システムは回らんよ。マシな国ならそれは国民との信頼関係の上にあって、だからこそ国民とそれ以外を分けなきゃならんワケだ。酷い国だと、断ち切りたい手枷足枷になるんだけどね。国とか国籍とかが不要な世界になれば良いんだろうけど、それが実現する為には人間が相当に進歩しなきゃ無理だろう…向こう千年ぐらいは実現不可能じゃないかな。その間、ずっとフィクションの中で理想として物語られるもので在り続けるだろう。そしていつか実現する時は来るだろうけど、今は無理だ。そんな現実の中で、移民って存在はね、矛盾を煮詰めたような存在になってるよな。私自身が米国に移民しようと計画した人間であるから、そこは移民となった時の自分はどんな存在なのか？と考えざるを得なかった。移民法に見える国家の利益という発想と、自分の利益はどれだけ噛み合っているのか？と。そういう冷徹なものなんでな。まぁ、移民受け入れる方も、移民に成ろうとする方も、大半が覚悟とかなく、なんとなく気分で動いとるところあるからさ、見ていて危なっかしいよ。そういう気分で動いとっても、やっぱり受け入れる側には受け入れる側の欲があり都合があって、移民の側にも同じものがあって、そこを曖昧なまま自覚もおぼつかないまま、気分で覆い隠してなぁなぁでやってて、だから変なところで衝突すんだよな。「言ったじゃねぇか！」「聞いてねぇよ！」ってね。私は米国移民法を読み込んだ時に、自分の立場としては「米国が移民に求めてるものってガチで米国の都合じゃねぇか！」と思ったけど、米国の立場になって考えてみれば、それは当然の事であって、そこをちゃんと分かるように提示してるのはフェアだろうと思ったよ。法だし、契約だからな。

高齢化とインターネットのコラボが改めて周知したものは「人間の精神性は加齢によって研磨されない。むしろ劣化する」という哀しい事実なんだな。むろん一部の人間については年輪を増すとともに高潔な精神性を涵養してゆくのだろうが必然的に劣化老人との格差は年々広がるというな。他山の石としたい

ゲイの老後問題についての話とか読んでると、何十年と続くパートナーシップは極めて珍しいものとして扱われてるみたいですね。まぁ普通に子供おらんと無理だろと思う。ゲイの老後問題、将来的な展望の描けなさから薬物とかに走っちゃうゲイも居るらしく、badi式のオープンリーゲイ思想の功罪の罪の部分が出ちゃってるなと思わんこともない。薔薇族式の「趣味でこっそり」の方がトータルでは幸福度高かったんじゃ…というか。

ガチ切れしてるお客さんがきて、ありゃーこれどうしようかなーと思ったんですが、Twitterで得た知識「怒ってる客には一緒に怒ってあげるとよい」を思い出して「なんですかねこれ！本当に腹立ちますね！」って言ったら割とあっさり帰ってくれて、Twitterホンマありがとな！となりました。怒ってるお客さんなんか年に365人くらい来るので色んなパターンで対応してますが、「なだめる→余計キレる」「正論を言う→余計キレる」「上の者が対応いたします→余計キレる」って感じなので、一緒に怒ってみるのが一番良さげな気がします。だいぶ勇気はいるんですが。

莫大な資産があったら𝑺𝑼𝑷𝑬𝑹 𝑩𝑰𝑮 𝑷𝑬𝑵𝑰𝑺 𝑭𝑶𝑼𝑵𝑫𝑨𝑻𝑰𝑶𝑵とかふざけた名前の財団を作って研究資金を出せば謝辞に書かせられるのか

《萌え》、あからさまな即物的身体的ポルノによる官能的反応を迂回した場所にある情動を表現しようとする言葉で、《侘び寂び》や《粋》、あるいは《可愛い》のような、その全てを言葉で説明しようとすると途端にその本質が搔き消えてしまうタイプの朧げな概念。単に即物的身体的ポルノであるなら《エロい》や《シコれる》って言葉を使うよね。《尊い》、《萌え》の出自から必然的に付随する負のオタク的イメージと部分的に含まれる性的文脈、そして時代経過による古臭さと陳腐化からの脱却を図る（もちろんそこに明確な意思の存在や、目標が定義された”運動”的な指向性はない）流れの中で生まれた言葉だと持ってる

貧困妄想は現実に、億稼いでるナイナイ岡村隆史すら鬱期に苦しんでた（通帳残高10桁あるのに財布を見て“金が無い”というのが口癖）実績ある病なので、印刷して心療内科へ。今のままじゃ5000兆円貰っても寛解しないよ

昔男友達に「女がネイルする意味が分からない」って言われたことがあって、その時に「塗れば分かるかもよ」って言って、その友達が好きな真っ赤な色のマニキュアを塗ってあげたの。そしたら次会った時に「女の気持ちわかった。爪って絶対目に入るから、確かに元気出る」って言ってて凄く可愛かった。そのマニキュアは彼が乗ってたお気に入りの車の色と同じ色で「◯◯の愛車と同じ色だよ」って言いながら利き手の一本だけに塗ったんだけど(どの指かは覚えてない)、それも嬉しかったみたいで「煙草吸うときに目に入るのが可愛くて良かった」って言ってて、素直で良い奴だなって思ったのを覚えてる。

「日本の常識が世界の常識とは限りません。相手の文化をリスペクトしましょう」と言ってるインテリの先生、ヤンキー文化圏に行ったらめっちゃキレそう。深夜のコンビニで一月バイトしてみれば、インテリエリートさんの「世界」ってのが、ずいぶん少数派だったことに気づくと思うよ。いや、これ、皮肉でなく。そして願わくば、インテリエリートさんの快適な暮らしってのが、そんな自分たちの「世界の住人」以外の人達のおかげで賄われていることも、気づいてほしもんだ。貴族の常識は、庶民にはキツイんだよ。うちにはカフェラテもショコラオレも無くてなぁｗ

「正義の」って付けりゃなんでも通るのはマンガとかのフィクション世界だけで、それが魅力でもあるけどね。正義の海賊、正義の盗賊、正義のヤクザ、正義の殺し屋。

採用環境の変化はあるとはいえ、メガバンクは間違いなく優秀な層を採用できているはずなのですよね。その優秀さは「言うべきことを言わない、言われたことだけしかやらない」環境ではその環境で生き残るために発揮されます。優秀な人達が非生産的なことに資源を投入していくのは見ていて悲しいですね。

教授が「会社員をしていて気づいたのは、本当に自分が組織の論理に組み込まれてしまう、会社は宗教みたいだと思った」って言ってて、気づけるのはおそらく聡明な人だけなのだろうし、まあ自分がそっち側に入れるとは無条件に思っちゃいないが、会社は宗教という殺し文句の怖ろしさに震えてしまう。その宗教に入信して一生適当にはぐらかすという人もいるだろう（し、そっちのほうがまだ多いという気もする）。洗脳されずにとどまっておくのはかなりきつい（郷に入っては郷に従えなんて言うぐらいだし）だろうけど、果たしてどっちが「よい」のだろうか。

羽田の制限エリアにあるお寿司屋さん、すべての包丁がチェーンで繋がれていて、かつ刃渡り15cmくらいしかない果物ナイフしか使えないようで大変そうだった

「男は少女漫画を読まず、女は少年漫画を読まない」「男は乙女ゲームをやらず、女は美少女系ゲームをやらない」わりと、娯楽作品についても、こういうステレオタイプなものの見方を、ジェンダー系の人たちが強固にしてるのは面白いなーとは思ってる。

参政権を外国人に与えるということは、新株発行してお前の株所有率を下げて他人に経営権を譲り渡す行為と同じやぞと、言ってネオリベ一般人を反対派に巻き込めないかなーとか思ってる。

初診で『すごくちゃんと話を聞いてもらえて助かりました。前の先生は全然話してもわかってくれなくて』とか言われて気持ちよくなっちゃうタイプの人が精神科医をやると、ズブズブ沼にハマってだんだん身動きが取れなくなる

「自分はセックスが大好きだから例えHIVになっても構わない」と言ってる人がいて、好きなものだけに邁進できる精神"は"美しいなと見ていたんですが、実際性病になった瞬間コンジローマ如きでギャーギャー騒いでて、勇気と無知故の無謀は事が起こらないと区別できないものだなあと思いました。

たまに「神武天皇以来の国という物語が、日本人を統合している」という人がいますが、そういう人は別に親や祖父母や地域の長老(?)から神武天皇の物語を代々教わったわけではなく、ある時ネットで、それまで知りもしなかった神武天皇についての誰かの主張を読んで"目覚めた"だけの例が多いと思われます

ハイスペと結婚したい女は、紀伊国屋とか丸善とか、そういうデカい本屋の医学とか理工学のコーナーで、そこにいる中でも小綺麗な男をナンパしまくればええやん。そういう努力もしないで何を寝言を言ってるんだ。年齢が上がるほど受身の姿勢なんだから、婚活女は救いようがないバカなんだよ。

ぼく「電波の速度は光速を超えないので」

営業「そこを何とかするのが技術者の仕事でしょ」

ぼく「違うよ？」

自分は、定年選択の52歳で辞めました。辞める前は、辞めたら後悔しないだろうか。と何度も何度も自問自答しました。今は、スーパーでアルバイトしていますが、時給880円。めちゃくちゃ安いです。でも、職場は人手不足で忙しいですが、社員さんやパートの女性たちとのおしゃべりはすごく楽しいです。サラリーマンの時は、業務の多さとストレスで、昼食はお蕎麦一杯しか食べられないほどでした。これを読んでくれた方で、もう、にっちもさっちもゆかず、毎日、苦しくて死にたいとか思っている人がいたとしたら、違う世界もあるよっ。て言いたいのです。辞めた後ですが、お金だって、そんなに使いません。夕飯抜きのプチ断食とランニングとストレッチで、サラリーマン時代の疲れなんて、どこ吹く風。すごく健康で、朝ごはんは梅干しにふりかけですが、めちゃくちゃ美味しいです。たった一度の人生、健康と笑顔がいちばん大切だと思いますよ。

無趣味で独身で仕事仕事の人生で結構な額の貯金もできて老後は安心だったはずのブルーカラーのおっさんがタイやフィリピンあたりのアジアンホステスのATMにされてすっからかんになって人生詰んだ例をいくつも目の当たりにすると、二次元嫁にかかる経費なんか可愛いもんだと思えてくる。

反自由主義的リベラルの増加…って話、ちょっと興味深いなと思った。言葉遣いはリベラルなのに、実際の行動は「何かを規制すること、禁止すること」に特化傾向がある人々らしい。本来の自由主義的は「選択肢の増加」をもって社会をよくしようとするけど、反自由主義的リベラルは「禁止」を推進する。反自由主義的リベラル、ようは過激な保守主義や懲罰主義や私刑推進者も、「リベラルの皮を着れば、安全地帯から殴りほうだい」と学習して合流してしまった。もちろん、必然性があって規制すべきことも色々あるけど、そこに「殴れるからリベラルやる」という人が参加して、とてもややこしくなってる感。難しいのは、社会運動は熱量が必要で、そのために「行動力ある人々の数」が必要になる。なので運動を急進すると、必然的にそういう攻撃的な反自由主義リベラルの人も内包してしまう。短期的には運動が盛り上がるけど、中長期では過激派にみんながドン引きして離反、逆に運動が後退してしまう。この辺、「PV特化でKPIを設計すると、煽りタイトルの記事ばかりが増える」とか「フォロワー数特化でSNS運用するとケンカ煽り系になる」に似てる。短期ではグロースするけど、中長期でのリスクが大幅に増加する課題感ある。基本的に、自分は「人類の行動選択肢の拡張」は、リベラリズムの前提だと思ってて、「基本的に選択肢は増やす。規制や禁止は原則として最終手段の必要悪で、まずはそれ以外の選択肢から模索する」だったので、初手が行動規制、思想規制ってムーブメントはちょっと距離を感じる

出羽守みたいになっちゃうから自分のアカウントでは言いたくないんですけど、以前イギリス人に「日本でも労働力としての移民受け入れの議論があって〜」みたいな話したら「え？移民は働かないよ？なんで？」と素で返されて面白かったです。

ピクミンブルームを始めた自由業の友人が「ピクミンが自分に従うのが面白い。就職して偉くなったら、あんなふうに人を従えさせることができるのか」と不穏なことを言う。偉くなるまでには誰かのピクミンにならないといけないだろうし、そもそも働いている限り常に誰かのピクミンなのだろうと思った。株式会社の社長は言わずもがな株主たちのピクミンだし、自由業でさえ、商品やサービスを手に取ってくれる人がいないとピクミン状態。働いている限りピクミンは金言だと思う

目の前のカップルに「二人はどこから来たんですか？」と呼びかけるのは自然な二人称複数形だが、小学生の集団に「三十五人はどこから来たんですか？」と呼びかけるのは二人称としてはかなり不自然

標準的なラーメン１杯のカロリーが500kcalぐらいなのに対して、トースト１枚のカロリーが300kcalぐらいなの全然ピンと来ない

いじめられっ子よりもいじめっ子の方が社会適応能力高いんだよな。いじめ自殺はもちろん酷いんだけど、自殺しない程度のいじめがマシかというと全然そんなこともないからね。被害者はその後引きこもって周囲の人間含めた人生が完全に狂い苦しみ続けてたりしますが、そういう事案はわかりやすく死人が出ないから話が盛り上がらない。つうか、いじめ報道に対する反応自体が、『加害したとされる者』への新たないじめ構造を形成している事案も珍しくないので全く救いがない。加害者は相手が死んでないのだから大したことがないと思ってる場合も少なくないんだよな。インターネットでいじめ被害の話は良く聞くけど、いじめ加害の話をほとんど聞かないのは、『俺たちは相手を殺すまではしなかった』という意味不明な自信に裏付けられているんじゃないかと思う。まあ自分の加害に意識的になったって何も人生面白くはなりませんけどね。自分自身の加害に意識的になった、と言ってみせる人間も大半は『私は悔い改めました！』という証明がほしいだけ。そういう悔悟は懺悔室でやった方がいいんじゃないだろうか。

「お母さんもうお腹いっぱいだから後はあんた達で食べり」と言って唐揚げを譲ってくれるのを母の愛だと気がつくのにずいぶん時間がかかったけれど自分が作る側に立ってみると「26個で4人いるから………………1ふぉり6っふぉ」とかいいながらジュワジュワいわしてるのでママもこれだった可能性でてきた

「ひとの人生を変えることに抵抗はないのか？」と聞かれるが、そもそも、ひとの人生には「公式ルート」など存在しないし、仮に今ここでアナタが右に曲がったとしても、それは瞬間、瞬間に身を潜める分岐の声を、ただアナタが受け取って、その言う通りにした、というだけの事で、僕はなにも変えてない。

TwitterJPの解雇された人が、ツイッタラーの事をtweepsとかいうキラキラネームで呼んでいたことが始めて発覚したのマジウケる。ツイッタラーはツイッタラーなんよ。泥沼に住んでる妖怪なんよ。

聞いてください。人は疲労が溜まると警戒心が高まり、人間不信になりがちです。そして「自分が攻撃されている」と感じてエネルギーが消耗します。また「攻撃される前に先に攻撃しよう」という気持ちになるので、中立な人にも不当な攻撃を仕掛けるようです。つまりクソリプする人は疲れているのです。

東大王とか頭脳王ってマジで答えありきだからなあ。エンタメとして見るなら面白いんだろうけど、答えのない問題に取り組んでほしいなってものすごく思う。伊沢さんも大学の研究を途中でやめてクイズに専念しちゃったし、医療訴訟に取り組みたいって言ってた河野さんも公認会計士取るとかいって迷走しだしたし…。「超難問！日本の少子高齢化を解決せよ」とかだといいんじゃないか。河野さんが「これは高齢者を安楽死させれば解決するんですよ」って言っちゃって大炎上するとこまで見えた

鬱が完治するものではなく持病として薬を飲みながら付き合ってくという話、「じゃあ健康な人を採用しましょうね」でSPIが厳しくなって終わるのでいっそ治ると思われたい

TwitterJP、そもそも社員がサービスとユーザの特性を捉えきれてなかった感はあるな。帰国子女の陽キャ、代理店あがりみたいな人が会議のあと社内飲みとかやってたし社風がまずウェイよな。それじゃ陰キャ人生オワオワリオタクの気持ち微塵もわからんでしょ。いやそれはわからんでもいいわ。

一般論として、競争のルールが不公平、不適当だと訴えるなら競争に参加する前か勝った後にすべきで、負けてからルールが悪いと騒いでもみっともなくて人々は聞く耳を持たない。しかし人生という競争は参加する前にルールの是非を問うことができない。仮に人生の勝敗を截然と判定できるとして勝者がルールを公平にするメリットなんて、美徳とか抜きにしたら自身の子孫が没落しても這い上がれるようにするぐらいなんじゃないか。しかし将来世代に渡って勝敗を固定してハメ技状態作った方が子孫のためになるし、それも無意味か…。

『やりたいことがわからない』はきっと贅沢な悩みなんだよな。『やるべきことをやるしかない』で生きてきた人には。『選択の余地がない』ということの強みとも言えます。悲しい話ですけど。アラビアかどっかの教訓話だったかなあ。無限に扉のある部屋に通された男が戸惑っていると、扉がどんどん減っていくことに気付く。男はおびえるが、どの扉を開いてよいのかわからない。扉はどんどん減り、最後には一つになる。だが、男はなぜかそのことに安堵してしまう。物凄い話だと思いませんか。選択肢って罠なんですよ。失敗したとき、あのときアレを選んでいれば、とみんな思わされる。でも、成功した保証なんてないんですよね。両方ともろくでもない道で、自分はマシな方を選んだのかもしれない。でも、答えはわからない。だからずっと後悔してしまう。可能性と選択は、ある意味で呪いなんです。選べなくても恨むものですけどね。結局、結果が幸福でなければ『選べた』ことにあんまり意味は見い出せない。まあだから、というか、なんというか、今の若者が選択におびえる気持ちっていうの、わかってしまうところはあります。選択肢は無限にあるけど、選んだ結果は自分の責任。それで不幸になったら、誰のせいにも出来ない。それってとてもつらいことだと思うんですね……。みんなそうだと思うんですけどね。『俺が悪いんじゃない、俺が間違ったんじゃない』。そう思いたいですよ。それで苦しんでる人には『仕方なかったよ』て言って肩叩いて温かい飲み物でも差し出したい気持ちはあります。何が救えるわけでもないんですが……。物凄い虚しい『優しさ』ですね、て感じ。

善悪を定める常識が相対化され、その価値を失った結果、経済的合理性に基づき最適解を取り続けることが倫理的にも正当化されてしまった。善悪はその曖昧さ故に一度個々人の判断に委ねられれば簡単に解体されてしまう。ものの善し悪しが絶対的である必要があると気づいたときには後の祭りなのだろう。

現代日本の倫理観では「人が死ぬ事」を(たとえ寿命であろうと)とてつもないマイナスと判断するが、「人が産まれる事」に関しては良し悪しの判断を避けるので、「子供が100万人産まれない事」と「老人一人の命を一年延長する事」が引き換えになっても後者を選ぶ人もいるだろう。

本人の意思で計画的に安楽死しちゃうくらい知性がある人なんて、社会からすれば相対的に死んではいけない側の人であろう要素が多いだろう。となれば、安楽死を導入するにあたって一番効果的なのは、「本人の意思に反して」行われるようなものなんだよね。会社の指名解雇と同じで。

入浴の研修で「今日は実際にお湯に入ってもらいます」と嘘のアナウンス。戸惑う受講生や聞いてないと不満げな受講生。そこで「利用者がいきなりお風呂に入れって言われたらそんな気持ちかもしれないですね」と伝える。拒否があっても不思議じゃない。

いまこの瞬間に集中したいですよね。そのためには一旦他の事を忘れる事が必要で、忘れる事への不安を消し去るためには自信が必要です。自信を持つためには一旦忘れても大丈夫な環境と経験が必要なのでしょう。不安の感じやすさは個人差が大きいですが、生来的な要因だけでなく、環境要因も大きそうです

「盗んだバイク」の話に限って言えば，1983年には盗む人も盗まれる人も「同じカルチャー」の中にいたのに対して今は「バイクを盗むカルチャー」と「盗まれるカルチャー」が分断されて「盗まれるカルチャー」にいる人は「自分が盗むこと」など想像もできなくなっているんだと思った。

食べるものがないときにご飯を盗んでもいいのか？家族が病気の時に薬を盗んでもいいのか？この辺の倫理的な問題はそこまで簡単じゃなかったのだと思います。そういう時に自力救済に走らなくてよいように社会保障が整備されて、一応機能するようになったのが現代なのでしょう

わたしが20代のころから「有能がバレるとタダで仕事押し付けられるからばかのフリしてよう」ってのが同年代あるあるだったけど。ちゃんとお金くれたらフルパワー出してたと思うよ。ほんま良くない。はやく景気良くしてお金まわるようにして欲しい。

若者には「成果主義」が非常に好意的であるようです。いくら「成果主義は評価が恣意的に行われて、過酷な競争に駆り立てられる傾向があります」と教えても、日ごろから「良いものだ」と刷り込まれているのか、なかなか理解してもらえません。「正当な評価」を求めるとしても、人事制度が成果主義になることでそれが実現するほど単純ではありません。実際に、成果主義に対応する（とされる）「裁量労働制」では、労働時間が長いことがわかっています。結局、旧来の日本型や「ブラック企業」と同じで、「企業への信頼」が先行している形です。「企業への信頼」ばかりの日本社会では、それを逆手にとって過労死・自死・鬱を引き起こすほどの長時間労働が要求され、自分を責めるように誘導されて「自己都合退職」に簡単に追い込まれてしまいます。労働者側の「立場」と「権利」を自覚しなければ、対等で健全な労使関係は成立しません。かつては「労使協調」＝「企業への信頼」は、日本企業の高いパフォーマンスの源泉だと考えられてきました。ところが、長時間労働、パワハラ・セクハラ・いじめの横行がひどくなる中で、労働者は組織に「従属」しているだけだということがはっきりしてきました。それが、日本社会を停滞させています。「信頼関係」と「従属」を区別できないところに、日本社会の根源的な病があると思います。普通に考えれば、過労死・自死・鬱に至るほどの命令に従っている状態は正常ではありません。業務改善の意見が言えて、話し合いが成立して、はじめて「信頼」のはずです。一方的な関係は、「従属」にすぎません。

自分が実害がない不快なものをいっさい許容できない人間が多様性のある都市なんかに住めるわけがねぇよ。

感情的ではなく理性的であることが大切だけど、他人の意見を「お前の意見は感情的だから間違っている」と批判するのは大半の場合はダメで、とはいえ「感情的だから間違っている」という批判に対する反発から「感情的であることは悪くない」とするのもダメ、といった話を『21世紀の道徳』ではしています

Twitterでは相手が弁護士や医師だと分かっていても専門分野で説教してくるのがいるんで、たぶんTwitterの方が酒場より治安が悪い

もう手遅れなのよ。科学技術で敗者復活戦に挑めるだけで、高齢不妊治療は社会的にはたかが通院よ。何の責任も取ってくれないのに手遅れな状況に追い込んだのは「出産だけが女の幸せじゃないよ、多様性多様性！40歳でも赤ちゃん持てる時代！」って言ってる奴らと、信じたお前

駅で改札を出る前にトイレに行こうと思っていたのにぼんやりして改札を通ってしまい、駅員さんに「すみません、出ちゃったんですけどお手洗いに行ってもいいですか？」と言って戻れたんだけど、駅員さんがとても驚いていたのはわたしの言い方が悪かったせいね。出ちゃってはないです。

餅が「力」と呼ばれるの好き（力うどんとか）で、餅ってほんと、「力」って感じがするんだよな、、製作過程もその通りだし、口に入れて噛んでても「力」って感じがすごくする。あれを「rice cake」とか訳したやつは餅の本質を何も理解していない。「POWER」としろ

Twitterって、リアルで吐いたらウザがられる愚痴を吐けて、運がよければ誰かがいいねしてくれて「人生は嫌なことばかりだけど、今すぐやめるほどクソってわけでもないな」と自己解決して翌日も疲弊しながら人生を続けるためのツールって思ってたけど、違うの？「ツール」と書いたけど、育児垢とか発達障害垢とか見るとTwitterがツールじゃなくて生命線みたいになっている人もいて、行政・福祉がそこに入り込めないことにやきもきする一方、行政・福祉が見てないところで気持ちを吐き出す場所があるということが大事なのかなと思ったり。

顔に持ってくまでの時間を考えるとイキの余白が必要になるから、必然手コキで出す訳だけど、セックスしてんのにフィニッシュが手コキって10まん擦りくらい損しててお得感があんまり無い

なんなら今でも保護者的行事の時に「わたしが保護者とかまじウケる」と思っている節がある

おチビがパトカーのサイレンの音を「ウ〜」でも「ピーポー」でもなく「にいのう、にいのう」っていうの、宮沢賢治っぽくて好きだ。

「ババアになると赤子の泣き声は鈴の音のように聞こえる」って話、さっき電車の中で0歳児とおぼしき赤ちゃんがギャン泣きしてたんだけど、まじでヒーリングミュージックだったし、うっかり母乳が出そうになった。

「男は階級を作り、女は身分を作る」階級というのは、上がれば上がるほど仕事はキツくなり、責任も重くなる。その代わり報酬も大きい。身分は違う。上がれば上がるほどいい思いをでき、下がれば苦しむだけ。そこに責任や約束なんてものはない。

女にAED使うと訴えられる話では「そんなことないから助けろ」って人たちが湧いてくるのに、老人に声かけて救急車呼んだら犯人扱いされる話では「そんなことないから助けろ」って人たちが沸かない。

ツイッタランドにいる全人類、楽器が演奏出来て絵が上手くてコミケ出展してて、圏論などの現代数学の概念や場の量子論などの物理学、統計学、機械学習、CSに精通して使いこなして、中には化学や哲学、VR、電気電子工学に精通したりVに受肉してる人もいる、みたいな感覚になってる。

「わいの好きなコンテンツの声優はこういうスキャンダルあんまないからたすかるわ、安心できる」「何のコンテンツやねん、大体声優なんてヤバいと思ったほうがええぞ」「ドラゴンボールや」

これは俺だけの感情であるというか俺だけの感情であってほしいんですけど、イラマチオなのかイマラチオなのか分からなくなる時ないですか。そういう時「イマラチオ」でググってみて「もしかして：イラマチオ」が出てきて敗北感味わうことないですか。ロシア語でイラマチオは女性名詞であるという非常に平和な情報が知れた。女性にさせるから女性名詞なんだろうな。

タワマン、3.11の後に首都圏各所で起きた配電設備トラブルからの停電で、ふじみ野のタワマンが星空の中に沈む黒い巨塔となってたのをリアルで見てるのであんなの住む奴の気が知れん

「平日のカフェ。サラリーマンは忙しそうで目が死んでる。僕は優雅にカフェラテとマドレーヌです。」と、楽天モバイルのキャンペーンでタダで貰ったarrowsからツイートをする。さすがに4年も使うと動きが重い。気付けばFIREから8年。なんやかんやで資産はFIREした時の5000万円はキープできている。物価は8年で1.5倍ほどになった。この泥水みたいなコーヒーも450円だ。最近は優待が使えるドトールかガストで1日を過ごすことが多い。FIREした当初はスタバ通いをしていたが、6年前のドイツショックで資産が2割ほど下落してからは行っていない。スタバのカフェラテはいつのまにか880円になっていた。思えばこの8年で日本は変わってしまった。社会保障制度が限界を迎え、世界的なインフレの煽りを喰らうことになった。医療費以外は軒並み低下し、医療の質は下がったように思える。ただ、50歳を超えて、ちょくちょく言うことを聞かなくなった身にとって、医療費が上がっていないことは不幸中の幸いだ。FIREした当初はとても良かった。TwitterではFIREがブームで、自分もFIREすることで人気投資家の波に乗れると思ったからだ。実際いくつか取材も受けた。配当金とキャピタルゲインで優雅に暮らすことができると思ってた。時間もお金も、当時の僕には充分だった。全てがうまくいくはずだった、のだ。FIREしてしばらくすると、周りの反応も変わってきた。「また説教かよ」というような悲しい反応もあった。当時僕を憧れの目で見ていた25歳の若者は、家族を持って、同じような仲間と楽しそうにツイートしている。僕はただFIREの素晴らしさを伝えたいだけなのに、なぜか理解されないことが増えてきた。8年の間に金融課税が強化されたことも要因かもしれない。僕は反対運動をして官邸にブログのURLまで載せて抗議したのに伝わらなかった。やっぱり政府はアホだと憤慨したのを覚えている。こんなことを思い出していたら、いつもより長く時間が経っていた。そろそろスーパーで割引シールが貼られる時間だ。母親が2年前に他界してからは両親が残した家に住んでいる。高校生の時から自分の部屋は変わっていない。そろそろ築年数も50年を超え、がたつくようになってきたが自分では特に不満もない。半額弁当を食べながらTwitterを覗くが、いいねは増えていない。昔はサラリーマンネタでもっといいね貰えたのに。ふとツイートを見ると、レバレッジ投資の話題でスペースが盛り上がっている。以前は何度か投資家のスペースに入ったこともあるけど、僕が入るとなぜかスペースが終わることが続いたので最近はもっぱらリスナーだ。初心者向けに説明を簡単にしたほうが良かったのだろう。FIREも簡単ではないのだ。珍しく携帯を見ると昔の知り合いからメールが来ていた。高校の同窓会の案内らしい。僕は見てみないフリをした。4年前に行った中学校の同窓会では、みんなが子どもの受験や仕事を話をしていて、話が合わなかったからだ。アルコールを飲まなかったので会費を割引いてもらえた意外はいい記憶がない。「今日も1日を1000円以下で過ごす。節約はFIREには大事です。」とツイートする。自分のお金の使い方は変わっていない。上がったのは電気代やガス代くらいだ。投稿して30分経つがいいねはつかない。パジャマがわりに来ているGUのtシャツはピタピタになってしまったが、まだしばらくは着れるだろう。いつの間にかスペースは子育てとか恋愛の話になったのでオフにした。経験がないので話を聞くだけ無駄だからだ。ラインにはクーポンの通知とガールズバーの営業しか来ない。一回女の子をデートに誘ったら、そのままお店に連れて行かれたのでもう連絡はとっていない。恋愛もするならローコストがいいのだアラームが鳴ったので楽天証券を開く。米国市場が開いた。今日は、、、よし、プラス0.2%。さっそくTwitterを開いて、「ダウは下げていますが持ち株はプラス。やったー😊」と陽気に呟く。先ほどのFIREツイートは反応が悪いので消した。自称美人トレーダーにリプして見るも返事がない。ネカマかよ。今日も1日が終わろうとしている。目を閉じると不意に思う事がある。あの頃の僕には金も時間もあるように思えて、労働がアホらしくなった。恋愛や友情は得意じゃないからと諦めた。当時はそれがベストだと思ったのだ。それが今は、金はあっても使い方はわからず、インフレで目減りさえしている。時間は十分にあるが、特に意味のあることをしているわけではない。金も時間も、使い方がわからないのだ。でもその現実に目を向けるには、あまりにも時間が経ってしまった。明日起きたら人生が変わりますように。そう思いながら寝る前に最後のツイートをした。「FIREになっても毎日が充実😊」

現実的にサラリーマンが早期退職して得られる元手やリスキーになりすぎない程度の利回りを考えると、FIREって「元手が目減りしないように年200万で生活する」という生活保護みたいな暮らし方にならざるを得ないよな。提唱者は「いや！別に何もしないわけじゃなくて、バイトしてもいいでしょ」って言ってるけど、バイトするなら普通に働きながら投資したほうがマシなんだよな。よーするに生活の力点をどこにおくかという話で、人間は本質的に過剰な生き物なので何もしていないと病むから労働を通じた社会貢献が必須になる。単にお金の問題というだけならFIREできなくもないけど、それは一般人が思うよりもはるかに苦痛に満ちたものになるだろうな…

人間は労働しないと病む問題の根源、人間が社会的生物だからという理由以前に、そもそも人生とは圧倒的虚無であり、ぽっかりと空いた穴を何かで埋め合わせする必要があって、たまたまうまく嵌まるのが労働というだけなのではないか

【カラオケあるある】

友達が知らない曲を歌ったら知らない曲を歌えるカウンターが1貯まる

「彼女は結婚したいのに彼氏がのらくらしていた例」は実際に多いと思うんですが、個人的にこれは、「付き合うかどうかを決めるプロセスでは女性側にサーブ権があるが、いったん交際が始まったら男性側にサーブ権が移る」ということに女性があまりにも無自覚というのがあると思うんですよね。結婚したいなら女性からプロポーズすることも含めそのための行動を起こさないといけない。何もかも受身で「のらくら」してるのは女性だ、という認識が必要。

冷静に考えれば手取りで240万あれば月20万はもらうわけだし、一人が月20万つかうのだいぶ難しい（だから貯金でたまっていく）のでたぶん自分なら生活保護もらっても全然暮らしていける気がする。本当にそうかは知らんがそう思える心の余裕が大事。

炎上は1日中ネットに張り付ける暇人が起こしてるだけってデータで出てるからね。当然、フェミニストも例外ではなく。いうちゃわるいがまともな女性はネットに張り付いて弱者男性を攻撃する暇なんかないんだから

よくアンチフェミ界隈から「じゃあまともなフェミニストを屏風から出してください」って意見があるけど現実はまともじゃないフェミニストが、まともなフェミニストが屏風から出てこないように抑えつけてるっていうもっとひどい画

本田宗一郎の逸話で「農家で毎日牛を見ていても正確な牛の絵が描けるわけではない」というのを思い出す。毎日目にしていても、意識して観察しなければものの姿形を正確にとらえることはできない。

吉幾三「ハァ～全部ある！！！！」

1 やったぜ。

>>スレ立ててる人間が喜んであげてるのおもろい

「この前、患者さんに一目惚れしちゃってさ。かなわない恋だから本当につらかったよ」

「それは大変。告白はできなかったんだね」

「まあ、猫だからね」

「英語ができると、日本語版にはない世界情勢のニュースを詳しく読めるよ！」って言われても、さいですか、申し訳ありませんが興味ないので…としか答えられなくて本当に申し訳なくなってくる。人よりニュースを早く知りたいという欲求が欠如しているので、英語学習のモチベが沸かない

さびしいというかつまらない人生送れよって言ってません？そちらが。『男らしさを下りた』（昨日述べたように『登る』だと思うけど）その先にそもそもパートナーシップが得られるとはあまり思わないし、またそういうパートナーシップを必要としない人生をさびしいとかつまらないとはまたご挨拶だなあという印象あるな。そうせよと言っているのはむしろそちらではないのか。無茶苦茶な注文なんすよね。『有害な男らしさから下りなさい』『では、自分で自分の機嫌を取れる、他者を必要としない自己完結した人間になります』『それはさびしい・つまらない人生だ。自分の機嫌を自分でとることは他者を必要としないことではない』何をどうしてほしいんすかという感じ。『関わるな』といいながら、関わらなければ『さびしい・つまらない人生だ』というのアホかという感じ。さびしい・つまらない人生だから何だってんだよ。戦争したいのか？こういう話を聞かされると、1万どころか10万注ぎ込んででも我々の人生を「さびしい・つまらない」と言ってのける奴に損害を与えたくなってくるからやめてほしいんだよな。お前もさびしくてつまらない人生送らせてやろうか？恵まれた人々は、我々に生き方を指導するだけでなく、その生き方さえも「さびしい・つまらない」と評価できるお立場でいらっしゃるのだろうか。そうしろ、と言っておきながら、そうしたら批判する。どうも我々はナメられているにも程があるのではないか。

空腹のままでいるとロクなこと考えられなくなるので、満腹になろう。満腹になったらロクなこと考えられなくなって幸福が得られます

おれが発した今月の名言「反省点が多すぎて線になってます」

明日人類が滅亡する隕石が落ちてくるとして、それは現代の科学技術で避けられないけど、明日滅亡することを予測できたのは人類20万年の叡智の結晶で、残された1日で美味しいものを食べたり好きな人と一緒に過ごせたのならそれは人類の勝利だと思う

大学生の頃「私は社会人にモテまくってお前らじゃ行けない高いお店に連れて行ってもらってるのヨ」みたいな顔でおれたち同級生の男をまるで相手にしなかった女の子が恋愛観こじらせていい歳になった今でも独身やってて「今度飲みに行かない？笑」みたいな連絡寄越したのを断るのはチョット気持ちがいい。おじさんたちが若い女子大生を高いお店に連れていくのはそういう最悪の輪廻に今度は加害者として参加したいからなのかなとグロテスクなことをたまに考える。あらゆる人生は何かに対する弔い合戦

こないだ奢りにきたアスペ・ママが「子供が悪い事をしたので、その罰に『息子のゲームのデータを削除』したら、発狂されてしまった、たかがデータに、なぜ？」と言っていたので、「お母さんが悪い事をして、その罰に息子さんの記憶がぜんぶ消えたらどうしますか？」と聞いたら「発狂します」と言ってた。この比喩はわりと的を射ていて、子供の時間感覚はマジで大人の数倍に凝縮されているので、一年プレイしたゲームデータをクリアされたとかでも大人勘定で５年とか１０年相当の思い出が消えたとかになる、発狂しても不思議でない。データを消したりモノを壊したりする「罰」を与えるって、攻撃対象が子供本人ではなく子供の所有物に移ったってだけで普通に虐待案件だからなぁ。そしていつ対象が子供本人に向いてもおかしくない。

免許返納の問題、会話の相手がどこ出身かで全くといっていいほど流れが変わるのでネットで不特定多数とやるのは不毛だなって思ってみてます　それよか自分とこのおじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さんに免許が今不要なのか必要なのか見極めてあげてほしい

落合が監督として成功してから日本の大企業がたくさん「勝てる組織運営」をテーマにして講演依頼したんだけど、落合は「てか、無能ならいつでもクビ切れるプロ野球と無能でもクビ切れない会社経営はそもそも全く別物だから参考にならんだろ」って言った話好き。

ガチな金持ちを見てると、勉強や仕事が二軍リーグであることを分からされてつらい。私たち凡人が競争だと思ってるのは、あくまで敗者復活戦だっていうね

「そんなものが好きなんて趣味が悪い・常識を疑う・軽蔑する」などネットで言われても痛くも痒くもない。きみがぼくを軽蔑するのはきみ自身の課題なのでぼくに言わないでくれ…で済んじゃうから

鬼束ちひろ、「鬼束ちひろが救急車を蹴っていて何かおかしいか？」と聞かれると「いや、救急車を泣き叫びながら蹴ったこととかありそう。」という感じがするんだよな。このことは、救急車を蹴って逮捕されても鬼束ちひろさんにはあまり影響がないことを意味する。なぜなら我々の思う鬼束ちひろさんは、「救急車を既に蹴っている」し、鬼束ちひろさんのイメージに何らの変更も加えられないのである。

保守派でも自称保守をちゃんと批判する人間、リベラルでも自称リベラルを批判する人間がいて、そういう人たちをリストに入れて観察していると意見が極端にならずに済む。これが両陣営の過激派どうしだと両極端な意見を持ってしまうという気がする

「男らしさ」なり「女らしさ」なりの規範が「何において有用だったか」を無視して捨てて損をして、いざ『なんで規範を無視したのに損するんだ！おかしいだろ！』と叫んだとこで、「規範を無視したからでは……？」と返すしかないんだよな。規範なんかより上位にあるのは「その規範の達成したい事を、必ずしも規範に頼らず達成出来る」なんですが、観察力が乏しく、目の前の相手が何を感じて何をすれば…とか考えられない人は、必要悪として規範を必要としてしまうんですよね。規範を否定した時代だから恋愛工学とかも規範として欲望される

職場を見渡して、男女問わず結婚している人って、それなりに「人間が好きな人」なんですよね。一方で、結婚していない人は「人間より好きなモノがある人」な場合が多い。趣味だったりネコだったり。なので結婚が幸せかというと、そうとも限らなそうだなぁ、と。

リベラリズムの説く「ただの人間」としてのあり方ではなく、国家、職場、家庭などの中で役割に制約されることで逆説的に尊厳を回復するという理路が見直さなければならないんではないか。後者が空気のように受容されていた戦後数十年は奇跡的な時代ではあったんだろうな、日米ともに。旧来のうまくいっていた部分の価値観とまだデメリットの現れていなかった新しい価値観とがたまたま過渡期で共存していたのでうまくいっていたように見えていただけなんだろうな。恐らくは拡大してく自由で拡散された権利が社会を歪めていくのは明白なので、そういうある程度保守的な世界への回帰は必要なんだろうなあとは思うものの、その帰るべき「国家、職場、家庭」っていうもの自体がかつてとはもう別のものになっていて、というのは同時に気になるところでもあったり。だからその3つはリベラル派の間断なき攻撃に晒されてきたわけですな（グローバリズム、正規雇用とメンバーシップ制への敵意、多様な家庭のあり方）。これをバージョンアップして再度意識に植え込むのが今後のミッションでしょう、できる気はあまりしないんですが…「論」や「思想」では無理。経済的にも精神的にも安定した生活を達成した「ロールモデル」が「憧れの対象」とならないと難しい。論ではない。リベラリズムがこれだけ猖獗を極めたのも、結局、「カッコよかったから」だよ。身も蓋もないが。じゃあその逆だって、同じことをしなければならないよな。

ほんの十年前にあれほどの災害を見ておきながら、「長い人生のうち、ほんの数年くらい」と言える神経は、やっぱりおめでたい。来年の桜を見られる保障は誰にも無いんだよ。会いたい人には会って、見たい場所には行って、やりたいことはやって。

現代の恋愛、めちゃくちゃ頭使ってやらなきゃいけないから生きるのに手一杯なバカには無理ってシンプルな話な気がしてきた。自分のスペックの特徴とわかりやすい売り文句は？それらの需要がある異性の属性や年齢は？生息域は？接点の作り方は？ターゲットが望むファッションや話し方は？合格点が取れるデートの場所は？不快じゃない誘い方は？話題のつなぎ方は？喋りすぎ、喋らせすぎてない？テーブルマナーは？量や速度は？2回目への繋ぎは？それとなく関係性をヒアリングする方法は？好意を伝えるタイミングは？よもや付き合えたとして接点が増えた後の距離感の調整は？相手が望む連絡頻度は？性欲のバランスは？途中で飽きさせない対応は？結婚までのロードマップと誘導は？ボロを出さずに心を開くコミュニケーションは？想定外にホテルを打診されたが行くべきか行かないべきか？応じて捨てられる可能性、応じなくて捨てられる可能性、他のライバルたちの出方、相手と自分の地位、どうすれば有利にコトを運べるか、どんな基準で精査された結果のテストなのか、とにかくもうやることが多い

考えてみたら人間が試験制度で選抜されるようになった歴史は高々有史以来だが、「生殖」となると下手したら有性生殖が始まった人類以前にまで遡る。学歴厨トークと恋愛学会にはじまる性愛の話、どちらに可燃性が高いかは明らかですな

ボクのところにNFTの提案してくる人に、「最近、ご自身で購入したNFTアート見せてください」っていうと、誰も買ってないの面白い。提案する側が良いものって思ってないじゃん。

「ジェンダーロールから降りた男性」の想定が「常に気を遣ってくれて一緒にパンケーキ食べてタピってついでに養ってくれる」みたいなのだったのに実際に降りた男性は「え？女性ですか？よくわかんないです…すいません友達とモンハンやるんで失礼します…」みたいなのだった悲しいすれ違い

何百回目かの「男の性欲をなくす薬があれば～」という話を見ると「そういうことを言える、おまえという存在が生まれない」と反出生主義と同じ論理の不備が何十年も前に出ている。何十年も前としたが、正確に言えば２５～２０年前。酒鬼薔薇事件を受けて、若者からの「なぜ人を殺してはいけないのか？」という底が抜けた問いに、精神科医や倫理学者が答えられず、めさめさ反省していろいろ検証された。ちなみに、人間は他人との関係性によってのみ尊厳や自尊心その他ができるので「なぜ人を殺してはいけないか？」と他者を必要としない問いは、異常な心の病気を除けば、それが出た時点で社会の敗北、という大前提も構築されている。「人類は殺人を絶対に禁じたことはなく、味方を殺すな、敵は殺せとしてきただけ」「殺人を禁じない民族や文明があったかもしれないが、現在どこにも存続していない」など、倫理学は前提から検証しておるでよ。訳分からん問いが出ても、だいたいはすでに考えてくれている。

日常的直観に反することを言って常識を生きる人をいじめたいというサディズムが哲学徒にはしばしばあり、かつそれは男性的なものだと思うのだが、それを自覚する必要があるし、そこに享楽を感じる理由の自己分析をしないようでは哲学をやる資格なしだと思う。

AV界には女優さんが自ら「改名しました」と報告してくれた場合は以前と同一人物として紹介出来るけど、何も言わずに名前を変えて再デビューした時は「過去に非常に似た人がいたけど別人」として扱わなければならない鉄の掟があります。

「オタクはチョロい」とか「サウナーはチョロい」とかいろいろありますけど、チョロい客がたくさんいるからこそ色んな人が参入して業界が発展するのでひとつよろしくお願いします。全員が海原雄山みたいな客だったら日本の飲食店は全滅してる。

現代のご祝儀文化、手取り14万祝儀無理太郎という今後付き合っていくメリットがあまりない弱者との関係を、結婚に至ることができた強者が罪悪感を感じることなく切るためのフィルターとして有効に働いてしまっているんだな。この類の社会的トラップは至る所に隠されていて、見切る能力のない者や避ける能力がない者とそれ以外の階層を分断するのにうまく機能しているのだろう。そして、日本全体の貧困化とともにそうしたトラップの数は増えているという霊感がある。

ワイの中で、鬼束ちひろが救急車蹴って逮捕という話を聞いた時の感覚は、窪塚洋介がマンションから飛び降りたという話を聞いた時の感覚に近い。「そらまぁ、あの人ならそうやろな」という妙な納得感。スキャンダルのはずなのに、自分の中で、非難したり、騒ぐような感情が全く起きない状態。

中学生が趣味で包丁研ぎにハマり職人に弟子入りして全国からタダで依頼を引き受けていると地上波で美談のように放送されたが、それは他の研ぎ職人の所得（付加価値）を消滅させる行為。デフレマインドもここまでくると世も末。同じようなことはあらゆる業界で起きていて、例えば写真でも1日5万円でプロに頼むより、ちょっと写真がうまい友人にタダで頼むということが常態化してる。

研究というのは、既知のものを定数にして変数を確定するという、権威の適切な使用によって成り立っているので、「俺はあらゆる権威を信じない」という人は何も研究できない可能性が高いのですよね。正しく権威主義者であることは大事なのです。あと、「俺はあらゆる権威を信じない」の人、妙な種類の権威を盲信している（当然自覚していない）場合がままあるので、厄介というのがあります。

「Qさま！」で正解した問題に「Fine Play」と書かれてるのを見た時にしか出ない脳汁がある

法学部生、刑法を勉強しているはずなのに普通に傘とかパクるので、刑罰に一般予防の効果などない

ドキュメンタリー映像全部見ました。自分が当たり前にできていることができなくなることのもどかしさ、一生治らないのではないかという不安、自分の人生の先行きがわからない絶望、高次脳機能障害の患者さんがあがいてもがいて格闘していることを、今の私（たち）は当然のようにこなせてしまって、でもその状態に何かの幸運や幸福を感じるということもなく、ただただ今の自分が今の自分であれることは蜘蛛の糸一本よりもか細い偶然性やコントロールしようのない運命の気まぐれに左右されているのだろうなという感慨を改めて抱くにいたりました。その糸がいつちぎれてしまうのかも、ちぎれた末の私はその先の人生に希望をもてるのかも、何もわかりません。なぜなら直視していないからです。

私の家系はほとんど脳が弱く、何らかの障害を持って倒れたり認知症に陥ったりしていることを今日お話ししましたが、まだ若い私はそのことへの恐怖や焦燥について、面と向かって直視していません（直視せずにいられるのは僥倖ゆえですね）。まるで夏休みの課題をぎりぎりまで引き延ばすおろかな子どものように、濃厚な死生観のたちこめる将来について、何も考えずにいます。それは賢明な人間からすれば自分の生と向き合っていないある種の愚かしさやばかばかしさに満ちている、と受け取られることと思います。例えば私の祖母が54歳で脳出血によって倒れ、それまで家庭内で狼藉を働いていた祖父が罪滅ぼしのように毎日往復3時間かけて（私を車に乗せて）看病に行っていた話、例えば小学校の校長をしていた碩学な親戚が若くしてアルツハイマー型認知症を患い、自分の息子の顔や名前まで思い出せなくなった話、例えば祖父の弟が脳出血で倒れ、脳を取り出す大手術の末に性格が正反対になった話、ともかく親戚内にそのような事例に事欠かない環境で育ってきた私は、幼少期から常に「人は脳がやられたらどうしようもない」という諦念をもつようになりました。自分が普通にできていたことができなくなる恐怖や、自分という存在がだんだん曖昧になって、溶けていって何も残らないことへの絶望を無視し、代わりに私は脳への強い科学的興味を抱くにいたり、脳が無意識において何をしてくれているのかを知識として集めてきました。その姿勢でいれば、もし自分が患者になっても強い好奇心によって道を切り開けるだろうと思っています。それが真であるかどうかはまだ誰にもわかりません。が、ともかく今の自分にできることは「現在を自分の責任として引き受け、全力で楽しむ」ことだけだろうという気がします。あまり先のことまで考えすぎても疲れてしまうので…。

もちろん、それはたぶん、いつかはやってくるであろうきびしい現実を直視しないことのおろかさと表裏一体なのですが、病や死が身近までやってきたその時にこそ希望を見失わないよう、今は家系の呪いに打ちひしがれないように生きていくつもりです。私の大好きなエピソードがあります。記憶喪失（全生活史健忘）になった患者さんが、ミスチルの”Tomorrow never knows”という曲を聴いて記憶を取り戻した、という小説のような話です（京都大学病院の症例集に載っていた気がします）。私はいつ脳に障害が出てもいいよう、友人に「自分が何かのきっかけで記憶を失ったらこの曲を流してほしい」とリクエストしている曲が数曲あります。音楽が大好きなのもそのためです。また、脳の領域の問題で、五感の中でも特に原始的な部分（大脳辺縁系）と結びついているのが嗅覚だそうです。私は嗅覚と視覚（人の顔や大好きな場所）とが結合しているちょっとした共感覚者なので、初恋の季節に漂っていたキンモクセイの香りで自我を取り戻せそうな気もします。ともかく、長くなりましたが、自らに現在与えられている幸せを享受しながら、まだすこやかでいてくれる脳とともに生きていこうと強く思いました。将来どうなっているかは誰にもわかりません。しかし、今どう生きるかは自分自身で決められます。どんな結果になっても自分自身を見失わず、いまの深町さんのように明るく生きていきたいですね。光の強い魅力的な人間はその裏に、もう痛まないけれどもけっして治ることのない無数の傷を抱えているとはいったものです。ですが、たとえ傷をもとうともその人自身の価値が毀損されることはなく、かえって人格に深みをもたらすと信じています。刻印された呪いのような一家の病にもめげず、がんばります。

我々が得たリベラリズムの恩恵が素晴らしいものであればあるほど、そのリベラリズムを維持する(保守する)ことにも同等の価値がありそうなのに、もはや多くのリベラルはリベラリズムを来る破滅に導くためにリベラリズムを唱えている。フェミニズムもそう。フェミニズムには確かな価値があり、そこから得られるものは多かったと思うが、しかしフェミニズム自信がその功罪まとめて破滅させようとしている。"フェミニズムを保守する"べきだと私は思う。思想は所詮人生のための道具、使えなくなったのなら使わなくたっていいのに、道具の奴隷に殉じる人間が多すぎるし、それに周囲を巻き込もうともしている。

「哀れで惨めな人は救われてほしいが自分より早く救われるとなると話は別」という感情、とても人間らしさを感じるので大事にしていきたい…

日本国の見る走馬燈には、溶接ロボットが火花を飛ばす自動車の製造ライン、転炉から流れ出る真っ赤な鉄、集積回路のワイヤボンディング工程、新宿の高層ビル群、富士山をバックに走る新幹線、四季、飲める水道水、ウォシュレット、かぶる傘などが登場する。

こうしたやり取りで呆気にとられた都会の人間が次に返す反応は、「そんな所に住むのが悪い！自分のわがままで他人に迷惑を掛けるな！これだから田舎の人間は」みたいな逆ギレだったりする。自分の（安易な）改善案では歯が立たない複雑な現実を受け入れられず、怒りによる逃避に走ってしまう。

この話5回目だけど私は竹内結子が自殺したニュース聞いて夫と子供がいても自殺していいんだ！！！ってめっちゃびっくりしたし結婚へのハードルがちょっと下がった。誰かと人生を結合させても自分がしたければ自殺していいらしいので。

「私のことが好きならこれくらいのことはしてくれるはず(止めてくれるはず)！」という理論で愛を試練で試そうとする人をそこそこ見ますが、それで関係性が保てるのは旧約聖書の神様くらいで大概その関係性は破綻します。

たまに学生などから「プロになるにはどうすればよいか」と訊かれると「勘違いすることです」と答える。歌手でも作家でもそうだが、実力をもつ人なら無数にいる。そのことを正しく認識しないこと。それが「順番待ちのプロ」と「列に列ばないアマ」との違いである。機会が廻ってくるのは前者なのである。売れるというのはスーパーの「売れてます」ポップとおなじで、つまりは欲望模倣に支えられたということ。アイドルよりも美麗な男女はふつうにいるし、実力でもそうだけれど、それを正しく視ていける人々というのは、呆れるほど少ない。みんなが認めているから良い、という欲望模倣がプロを支えている。半世紀まえにN.Y.に移住した友人画家が「驚いたのは無名時代からギャラリストやキュレーターがスタジオに観にくるってこと」と話していたけれど、自身の眼で資質を視ていける人は今だに稀である。庭文庫のように、才能探しをする活動は珍しい。

若いときは「給料安くても楽な仕事がいいな」と思いがちですが、給料が安い仕事は「ほぼ間違いなく」辛い仕事なので気をつけてください。自分に裁量がなく、ジョークの一つもいえない職場で働くことになります。給料はできるかぎり妥協せずに職を探してください。

名曲を繋ぎ合わせたメドレーを楽しむため、いったん収録されてる曲の全部を聴いてから戻ってくるということがよくある。

音楽に合わせて踊るという原初的で素朴な、けれども生物として非常に高度な営みを忘れてしまっている日本人は多い。私なんかしょっちゅう部屋で音楽を聴きながら踊ったり拍を取ったりしているので、いつか電車やエレベーターの中で踊りださないかが心配なほどである

私は未だにスマートフォンを親に買ってもらえないため木の板でTwitterの練習をし続けているのだが、どうやら10万ツイートに1本くらいの割合で奇跡的にインターネットに繋がってるらしい。

大人達がミーイズムの極地に近づいていくにつれて、「子を持つ」ということのネガティブな側面だけがやたらと強調されるようになっているのが現代なんだよな。

ぶっちゃけお金もっと欲しいけどもっと稼ぐなら今の労働強度のノリでは不可能だしいいやって思ってたけど、フォロワーの「親を扶養に入れることによって転勤を単身赴任扱いにして赴任手当と帰省交通費で月額80000増える労務バグ」を聞いて色んな技があるなと思った。大阪の阪急電車の、「ケイマン諸島に子会社を作ることによって新造した電車をケイマン諸島での所有から日本へのリース扱いにして固定資産税を日本で払わない税金バグ」を思い出した。

ホストの誕生日に200万貢ぐためにハード系風俗で1日だけ働いて、そこで客がおっぱいに釘を打つという想像を絶するプレイを200万で受け入れて、胸が血だらけのままその日にホストに向かった風俗嬢の話聞いて身体が震えた。ホストは人を狂わす。オタクの方が安全だよ。

吉良吉影は救急車に轢かれた。救急車は鬼束ちひろに蹴られた。鬼束ちひろは吉良吉影より強い

子育ては20年がかりの大事業なのに、9割以上の人間にとって月並を超えることのない「キャリア」の方が優先順位高いみたいな風潮になってるのなんなんだろうな。今の教育やメディアの風潮が、結婚したり子供を作ることより、自分ならではの人生を謳歌すべきみたいな感じだからね。結婚しなくても問題ないという空気づくりに成功した。子供もいらないという風潮も作った。普通の人は流されるんだから、減るに決まってる。何にせよ、大人は「我慢しなければ得られないものがある」ことを知っていたはずなのに、家庭を除いてはそのモデルを提示することをやめましたよね。挙げ句にその家庭概念までも攻撃し始める始末で本当に度し難いですわ

万札を崩すためにコンビニへ入ったADHD「支払いPayPayで」

はやく「死にたいな」と呟けば「一緒に死のっか」と冬の新潟の海へ連れて行ってくれて裸足の肌を沈みこませた瞬間に「冷たすぎ」「やめよやめよ」と笑いこけつつ急いで温泉へと向かいゆっくり温まったあとは宿のおいしいごはんとお酒を飲んで死ぬのがどうでもよくなってそのまま溶けていなくなりたい。

犯罪者の顔を撮って、顔から誰だか判別して、加害者の正体がわかるというのはセーフで、少しでも政府主導の監視社会になるとアウト？インディーズ民が各自の尺度で正義でさばいたらもっと危険な気がする。

これ当たり前なんですが。たいていの人はお金を使いきれずに人生終わります。親のお金をあてにして生きている人も少ない。何が言いたいかってそこまで必死にお金を貯めたりする必要はないってこと。気楽に考えて。想定外を想定しすぎるとお金のために生きる人生が待っています。お金は経験に使っていく

高校生の時の国語、先生が「走れメロス」について「これメロス視点だから良い話に見えるけど彼の行動を箇条書きしていくと危険人物ですからね。正義感と自己陶酔は人を狂わせるという教訓話です、皆さんも自分がメロスになっていないか気を付けてください」って言ってたんだけど、これ特殊な例？僕も当時教科書を先読みして「メロスもセリヌンティウスも頭おかしいよな」と思ってたから、成程そういう皮肉で書いてたのねと納得して授業聴いてたんだけど、走れメロスは友情の尊さを描いた作品ですと教える学校もあったんだろうか。主観というものがいかに視野が狭いか、正義感や使命感が招きうる「認知の歪み」がどれだけ危ういかという話で授業をまとめていた。その先生は変わりものだったけど毎回面白い授業をしてくれて、学校のテストや受験が終わっても覚えてる内容が多い。授業は自意識と認知について話が進む中でメロスからトイストーリー1に話を移し、バズを見ろ、自分がスペースレンジャーだと信じ込んだ有様を、そこから自分が玩具だと知った時の表情を見よと熱弁してた。そして飛べない玩具だと認めた上で飛ぶことに挑む、これぞ人間の成長だと。話があちこち行くし授業時間伸びるけど、面白い先生だったな。今思い出して意味を理解する話も多い。受講者が多い大教室の大学の授業みたいだった

うちの係、係長は「みんな私の言うことを聞いてくれない！酷い！」って泣くし、お局は「私ここから絶対異動しませんから！」って課長に喚いてるし、新人は何かにつけて「それってパワハラですよね？！」って騒ぐし、ここってもしかして動物園か…？と思うことが多々ある

「気づきがあった」「学びがあった」という表現は、客観的でない意見は価値が低いとされる（意識高い系の）社会的傾向において、主体の臭みを消して文章を「客観的」風にすることで相手の心理的障壁をすり抜けて心に入り込もうとする表現かなと思う。「怒られがあった」なんかはその揶揄なわけで。

湯婆婆「光宙（ピカチュウ）と言うのかい、贅沢な名だねぇ」光宙「！！」

湯婆婆「ほんとに贅沢な名前だねぇ。羨ましいわ。ほんと羨ましい」

変えたれ。

DaiGoも絶賛した「中田敦彦のYouTube大学」で紹介！って帯に書いてあったら「信頼性の二階建てやめーや」って叫んじゃいそう

昨日同僚と電話で話したんですけど、運送業に限らずある程度産休育休やら有給取りやすかったりと、いわゆる福利厚生がしっかりしている職場って、それが大企業でない限りは、奴隷を必要とするんじゃないかってことです。気軽に休める人の穴埋めの奴隷には休みが当たりませんね。大企業に奴隷が必要ないように見えるのは下請けが奴隷だからですね。大企業勤めの都市リベラルなんかは「上澄みの世界」しか知らないから理想社会を夢想する。

手取り14万の話で、逆にもっと貰ってない人が「俺はもっと少なくてもやりくりしてるんだから14万で文句言うな、そもそもコンビニとか行ってる時点で贅沢」的なコメントしてるというのを聞いて、かなり悲しくなってしまう。その「文句言うな系」の人に怒りを感じるというか、「節約できないのは甘え」的な価値観が広く浸透してしまっている事になんとも言えない悲しさを感じてしまう。貧困から抜け出せない絶望感を払拭する為にも、「俺は節約してる」マウントを同じ貧困層にする事でプライド保ってるのだろうな、多分。

「不幸でい続けることは怠慢だし、幸せになろうとしないことは卑怯だよ」。これは勘違いされがちなアドラー心理学のことを端的に示しているようにも思う。「いつだってきみはきみ自身の不幸の軛（くびき）からきみ自身を解き放つことができる」と主張するのがアドラー心理学だけども、不幸にがんじがらめになっている（怠惰な）人間にとって、そのことばは毒薬のようにうつるのだろう。このフレーズの前には、「不幸や不遇に甘んじていることを『頑張ってる』と思っちゃってるんじゃないの。」「そういうのを世間では『何もしていない』って言うんだよ。不幸なくらいで許されると思うな。ハッピーエンドを目指すべきだ。」とある。「どちらの階級がより幸福か」「どちらの性別がより幸福か」っていう比較は定量的には可能だけど、それは限りなくマクロ的な文脈に近いし、さらにいえば政治経済の話であって個人の価値観の話ではないので。もし自分のことを不幸だと思っているのなら、やるべきことは怨嗟や憎悪の声を他人にまき散らすことではなく、せめて「助けてくれ」と叫ぶことであって、そうやって自分自身を変えていこうと思えるかどうか、なんだろうな

「これは自分自身の課題だから、他人に相談できない…！」って思って自滅していくパターンはないんだろうか

お香、酒、スパイス、文芸、診断学は共通していて、代表的なやつをいくつか経験しておかないと互いの位置づけが理解できなくて寸評を読んでもちんぷんかんぷんだけど、経験を重ねるにつれて急速に座標がわかる感覚があり楽しい。コンピュータが「犬と猫の違いは何か？」を教師なし学習していくときの感覚が味わえる。混沌たる世界を切り分けていく感じ。たくさん経験するうちに頭の中で主成分分析が勝手に行われて、新しいものをテイスティングしたときに成分の構成要素の割合が分かるんですよね、これが楽しい

人生で「おしり」と書いてあるボタンを押す機会が沢山あるのよくよく考えたらめちゃくちゃ面白いな

大方の凡人にはそこそこの期待値が見込めるロールモデルを用意しつつ、つよつよの個人はブチ抜けるぐらいの規範というのが良いのだろうなと思う。自由で選択肢が無限にあるのが素晴らしくロールモデルはすべからく抑圧だと信じているリベラルの民は、自分がスティーブ・ジョブズでも大坂なおみでもないことをどうか思い出して頂きたい。鏡見ろ鏡。

悪の自民党政治（「大失敗」したコロナ対策など）を「ファクト！エビデンス！科学！」で殴ってるような人が「ジェンダー論は有権者の関心が相対的に低い」というファクトを一切受け入れない現象の名前

もし俺が何十年、何百年とかけて成長したと思ったら人間に切り倒されてクソデカチンポコにされややウケの御神体にされた木だったら絶対人間のこと許せないと思う

Twitterは「人間は分かり合えない」と言う事を明確に可視化した世紀の大発明だが、この偉業を用いて人類がさらに一段階進化する姿はいまいち想像できない

水の流れですら流体力学を使わないと解析できないのに、水より遥かに複雑な行動をする人間の予測を、経済学では二次関数でやってるだのから無理筋だろうという話を、経済の専門家が「簡単でも良いじゃないか」と言ってるののを見ると、遠い目になっちゃうな。この人たち、大学で教えてるんだよね？

中学の時、よくホラを吹いてたA君の一番最高の発言は、「俺、走れメロスの翻訳していない原書を読める」だった。

4000人に奢られた上での偏見だけど、「幸福になりたい」と言う人のほとんどは、実際は「他のひと達に『幸福っぽさ競争』で勝ちたい」だけな気がする。少し考えたら分かるけど、「幸福」と「競争に勝つこと」のあいだには、直接的な因果はないわけだから。そもそも、皆べつに幸福になりたい訳ではない説。自分一人で勝手に幸福になってる人を見て嫉妬してしまう人も、「幸福っぽさ競争で勝ちたい」人間なのだろうと思う。嫉妬は競争心から生まれる感情であり、勝ちたいという感情がなければ自分一人の幸福を追求できるんよね。

実況アナ「いやあ見事なサヨナラホームランでしたね！！いかがでしょうか、解説の木村さん！！！」

解説者「まあ、見事じゃないサヨナラホームランってあんまり無いですけどね」

実況アナ「そうですね」

東京は男性のクオリティが高いので性淘汰圧がきわめて激しく、男女ともに気を抜いていると容易に断種される街、ということです（平凡な男性は平凡な女性には相手にされず、女性はハイスペ男性に遊ばれるだけ遊ばれて結婚はしてもらえず、しかし要求を引き下げることはできず高望みの末に淘汰される）。

認知症を患ったデスゲーム主催者「脱出のキーアイテムは、この館のどこかにあります」

大多数は外国人のいる街って言うと都市部の商店街とか、留学生のいる大学を想像するんだろうが。スーパーの1/3がまるまる南米系食材になってポルトガル語表記しかないとか、平日昼間の近鉄に明らかに学校行ってない10代の不良外国人みたいなのがマスク無しで大量に乗ってくる地方を見るべきだよな。

吉村知事はブーメランが刺さりまくってるのに一向に致命傷にならない。黒ひげ危機一髪だとしたら難易度が高すぎる。

近所の歯医者さん普通に息が臭いので「歯医者でさえ臭いなら何をしてもダメだな」とあきらめ、歯を磨かないことにした。もともと虫歯が8本あったが以降は34本に増え、もはや何をしても治らなくなった。

UNOをしたことがないので「自分だけは絶対UNOって言い忘れないだろう」と思ってるし、そもそもUNOって言わなかったら何が起こるのかもわかってない。死刑？

本当の本当にありがたいと思わないとありがとうございましたって言わない人はキモいけど、絶対にありがたいって思わないのに毎回ありがとうございましたって言ってる人もまあまあキモい。

個人的に、飲み会がつまらない、会話に入っていけない原因に、飲み会の会話の大半を占める「誰々さんが何々した」という世間話に追随できない、誰が誰だか覚えていない、というものがあるのだけど、先月から少しずつ読んでいる『言語を生み出す本能』という本に、まさにそのことが書かれていた。有名な話だけれど、サル（引用したヒヒもそうだ）は群れを維持するために毛づくろいをして相互関係のメンテナンスしていて、人間は毛づくろいの代わりに言語によってそれをするのだと。そして、そこで交わされる話の内容は7割が「誰が何をした」という社交的な話題なのだと。だけどそう考えると、飲み会において「××がこの間○○したんだってよ」とか「△△さんが□□したときさぁ…」という話に入って行けない、そうした会話に追随できない人間というのは「毛づくろいのできないサル」なのだと考えると、そりゃあ生存していくことが難しくなるだろうなと考えてしまうな。

まぁ……「他人に感謝出来ない」「不必要に棘のある言い方をしてしまう」何らかの障害のケあると思うんで、あんまり無邪気にネタにも出来ない気もするな

「EVレンジは馬力と似ていて顧客は400馬力を望むが、実際は予算上120馬力で落ち着く(抄訳)」全くその通りで資源が限られるなかで、使いもしないクソデカバッテリを車に積んで守れるのは地球環境じゃなくて富裕層の自尊心。

「人と人は時間をかければわかりあえる」はだいぶ前に幻想だとわかったけれど、「人と人はしょせんわかりあえない」もまた一種の幻想なのかなあと今思っている。ここでいう「わかりあう」とは何らかの苦しみや喜びを共有しあうこと。完全にわかりあえないことは確かだとしても、時間をかけることで一部の領域についてわかりあうことは可能なのではないか。まあ、マジのマジでわかりあうのは原理的に無理だけど「分かり合った気にお互いになる」ぐらいなら、人間って器用なので全然いけるのでは？そして、そのために必要なツールはたぶん言葉じゃないのだろうなとも

「コミュニケーション能力」というのは、知らない人と仲良くなる能力ではなく、仲良くなってお互いの地が出て我儘とか思考の癖とか譲れないナニカとか色々出てきて、それでも上手くやってゆくことのできる能力なのだろうなと思います。

未来が見える池上彰「どうぞ、それは良い質問です」

前ボスは日本の学会の英語指定セッションで「日本語わからんやついるか？」と聞いて、誰もいなかったので日本語でやった事あるらしい。強い

前にTwitterで見た「勧められた薬物を断るときはきっぱりNOと伝えるより『自分めっちゃ口軽いっすよ』の方が角が立たないし確実に引き下がってもらえる」というライフハック、ヤク中から言わせてもらうと本当にその通りなので広まってほしい。やりたい奴だけやってりゃいいので。人に勧めるタイプのイケイケヤク中はたいてい口が達者なので「嫌です！」「危ないからやめましょう！」と直球で対抗の姿勢をとると「しらけるわぁ」「海外では合法で～」と丸め込まれる。詐欺と同じで「自分は断れる！」と思ってる人もやられる。「こいつにはやらせたくない」と思わせるのが効果的。「それだけでも口封じ(暴行・殺害)されそう」といったご意見も頂いたんですが、ヤク中的にはそこまでのリスクは犯したくないですね。暴力は振るう以外にも使い方あるので。「こいつとは共犯者という秘密の関係にはなれないな」と思ったらサッと引き下がるので大丈夫です。自分は薬物が大好きなので、薬物で不幸になっている人を見るのは辛い。不本意にやるべきではないしやらせるべきではない。薬物との出会いはもっとワクワクして楽しくてロマンチックであるべきだと思う。

「私はインターネットをやめて幸福になりました！」と語る人間数十人がキャンプ場みたいなところで全員白いポロシャツに白いスラックス姿で満面の笑みで肩を組んでる写真などを撮影して世の中を恐怖に陥れたい

この年になって考えてみると、家と車所有して子供3人大学まで養育してる両親バケモノすぎる。銀行強盗でもしたんか

塾講の授業のとき「お尻をお知りですか？」って生徒に言ったら でっかいエスカレーターがこっちに迫ってきて体が千切れて死んだことがある

俳句教室で「先生来た！先生来た！」とか言っている全く成長していないじじい

今どきの若者はソシャゲ世代なので「ゲームにリセットボタンはなく、己の選択はその後の将来を左右するものであり、間違って売却した★5は二度と戻らない」という人生の重みを学んで育つ

SDGsにうるさい知人とスーパーに行ったとき、当然の権利のように一番賞味期限遠い納豆を手に取ったのでビンタしといた

腐女子とかいうインターネット上では謎の暗号でやり取りするくらいゾーニング気にするくせに本屋や古本屋で小学生が手に取る位置にサンジとゾロのキスするBL本が置かれていたり、幕もないところにガッツリヤりまくるBLが並んでいても一切気にしない種族

【幼稚園に遊びに来た堺雅人】

やられたらやり返す！ せーの、

すべてに面白さを見出してしまう性分、果てしなく人生を楽しんでるという全能感・多幸感と、圧倒的に人としての生は短く断腸の思いで優先順位をつけていかねばならぬ宿命を想うやり切れなさのギャップでどうにかなりそうな日もあるけど総合的にはそれも含め楽しんでいると思う、楽しんでいけたらいいな

30代半ばの独身女性と飲んでて厳しいなと思ったのは、20代のころは同世代の医師や超有名企業勤務男性と付き合っていたらしいのに、30代半ばになると寄ってくるのが微妙なメーカー勤務のおじさんとかになって、男のレベルが下がるって言われたこと。

「伊代はまだ 16だから」の「16」をわれわれは勝手に年齢のことだと思ってるけど、本人にしか分からない人間の価値を示す数値だったらこわいな。

友人の公認会計士もマルチ商法にどっぷりハマり、そこで出会った先輩に謎のバーに出資させられ、フラット35を不正利用して錦糸町の割高マンションを購入し、最近はバイナリーオプションで起業資金貯めるとか言い出す地獄のビンゴをキメてるので、勉強すれば騙されないってのは嘘です。

もう何もかもが中国にぶち抜かれていくの、ある意味負のカタルシスがあって気持ち良いわ。四季ですら抜かれるんじゃねえのそのうち。

秦の始皇帝は度量衡を統一し、コーヒーチェーンのコーヒーサイズを「大」「中」「小」に改めさせたことで知られています。始皇帝はラージサイズのコーヒーを注文し「あっトールですね」と店員に訂正されたことに激昂して大中小の表記を定め、これに逆らった店を焼き、経営者を八つ裂きにしました。

「歴史は勝者が作る。敗者は悪魔化されるか、存在自体消されたりする」というの大雑把すぎて史料の実情と合わないと思っていたけど、いつのまにか江戸時代～平成初期が舞台のはずのドラマから喫煙者の姿が消え去っていたりｗ

自分も中学生の時に教師に髪を切られた。自分は教育心理学の授業でよくこれを「教師は学校の外の世界では犯罪になることを生徒にしばしば行うことの例」として取り上げる。

フェミニズムはまず、「全ての女性が、結婚したい・子供が欲しい・専業主婦になりたいわけではないのと同様に、全ての女性が、バリバリ仕事して出世したい、夫婦別姓にしたいと思っているわけではない」と認めるとこから再スタートちゃうかな。

｢筑波大学は核実験をやめろ｣タグ、悪ふざけではあるし本気にする人が出るだろというのはわかるんだけど、仮に｢筑波大では核実験をやっていてけしからん｣と本気で思うなら｢どういう核実験をやっているのか｣くらいはいったん本気で確認してもいいと思うんですよね。核の話だぞ、気にならんか？

誰かがネットにそっと置いておいた画像を「ネットで拾った画像」と言う無神経さに腹が立つ

1番困るリプライって悪口とかじゃなくて「確かにそうだけど今関係なくないですか？」系のリプライだと思う 1番強い

辞めたり死んだりした途端に、功罪の「罪」の部分が消去されたり、突然どこからか謎の「功」がクローズアップされてくる現象はなんなんだろうな。

自分自身の大切な秘密をどんな人に明かすかという基準について、友人が「一万円貸せる、と思った人になら明かそうかな」と言ってて非常によいなと思った。この基準の優れたところは、額が大きいほど大きな秘密を明かせるという比例が成り立つことと、信頼の貯金がどれぐらい溜まっているかを可視化してくれることにある。家族に話す場合はこの比喩がなかなか成り立たないが、秘密を「小出しにしていく」のがいいと思った。どこまでOKなのか見極めながら、だんだんと貸す額を大きくしていく感じ。

「実存主義を広めていこう！」と思ったけど、そういう連帯は難しい気がしている。世の中を変えてきたのは義憤であり連帯的感情なのだが、実存主義は与えられた環境にとても適応的であり、何にコミットするかといえばそれは「現在」でしかないから。ミクロ的にはそれでいいのだが、政治家はそれではいけない。やはりミクロとマクロは分けて考えるべきという実例がまた一つ。

賢くあろうとする人間は刹那主義的な生き方を避けようとするが、刹那主義的であってはならないというバイアスを外せるかどうかは生きやすさに直結してくる気がする。別に刹那主義でいいじゃん、という開き直り。人間も所詮は動物の一種であるという謙虚な姿勢こそ、かえってストレスフルな現代を生きやすくしてくれるかもしれない。そんなこと言うと「計画的なほうがいいだろう！」という声が出てきそうだけど（特に家族計画とか貯金とか）、それらは共同体や国からのある種の「洗脳」であり、一個人がそこに従う合理性は全くないのよね。本来生物として自由に生きる権利を、人権以前の話として誰もが持っているというだけの話で。何も考えずに快楽主義に陥るのと意識的に選び取って考えて積極的にモノを楽しもうとする実存主義は似て非なる価値観なのでどんどん深みにはまっていけばいいと思う。特に合理性や計画性で世の中を生き抜いてきた人間にとっては、ダイエットを一時的にやめてコンビニスイーツを買うみたいな快感が味わえるはず。金やスキルなしに生き抜くのは厳しい現世だけど、金やスキルだけがあっても人生には意味が感じられない。

ある人のすべてのアイデンティティは、その人にとっての根源的な生存理由だったり、この世からの許し（実存することへの罪悪感のなさ）に繋がっているということがある。親という最も近い他人、自分をこの世に存在させた存在に自分自身を認めてもらえない人は、それゆえに重大な性格的欠陥をはらんでしまうことがある。根本的にこの解決策はなく、どこかで区切りをつけて親に話さなければならないのだと思う。とはいえ、親にそういった事実を伝えるのが非常に難しいというのもわかる。この葛藤がない人間にあえてたとえをつかって理解してもらえるとしたら、風邪をひいて喉が痛く、つねにねばついた痰が絡まって、咳払いをしても全然なくならない、という感じか。あるいは、体が悪くて学校を早退するときの気恥ずかしさとか特別さとかが人生でずっと続いてるような感じ（周りからはあまり良い顔されなかったり、逆にいいなーって言われたり）か。「他者の課題に介入するな」とはいうけど、常に「お前は何者だ」って問われているのと同じ状況なので、被害者意識をこじらせて他責的になってしまう人がいてもまったくおかしくないと思う。

“うつ病になってよかった”なんてマジで１ミクロンも思わないけど、強いていえば「効率的になった」「努力と根性に頼りすぎなくなった」「他人に尽くしすぎるのをやめた」のはよかったかな。まずは自分が元気で幸せになること。これがいちばん大事だとわかったから。他人を幸せにするのは後からでいい

3年間何も業務を与えられない追い出し部屋で過ごした人と話す機会があったんですが、「毎日 Google Map で世界中を旅しながら、立ち寄った町のホテルやレストランのレビューとかを読んでた。会社には感謝してる。」という話を聞き、人生で大事なのはメンタルの強さだと学びました。

インターネットというかツイッターって、自分語りする人、不幸な人、拝金主義者、誤読しまくる人、反出生主義者が非常に複雑なベン図を描いているだけで十年間ずっと同じことをみんなやってるなという印象がある。逆に、自分語りしない人、幸福な人、幸福主義者、誤読しない人、出生主義者はツイッターをやらないという話でもある。お酒を飲みながら読むぐらいがちょうどよい付き合い方であって、けっして入れ込んではならない。自分自身がインターネットになってしまうからね。

論理的な人間は冷たいから感情的に生きていこう！みたいな人を（特に女性に）よく見かけるけど、話を聞いてみると本人の中では非常に一貫した取捨選択や価値観判断が行われていることがあり、あなたのやっているソレはまさしく論理なんですけどねえと思わなくもない。本能は意外に論理よりも論理的で、しかも割り切りがよいので、論理的な人間よりも論理的ということが起こる。かえって、論理的であろうとする人間が「頭ではわかっているのに心では」という踏ん切りのつかなさを披露してしまうこともあり、こちらは非論理的といえるだろう。まあ、感情と論理がバランスオフというわけでもないのだが。

「あのとき別の選択をしていたら」と考えてしまうのはあなただけでなく、別の選択をしたあなたも同じことを考えています。僕たち人間は今あるものよりも今ないものに憧れる性質があります。必要なのは今の自分を肯定すること。あなたは正しい選択をしてきたのです。今の自分を肯定してあげてください。

みんな同じ見た目にせんとダメなのは、ワシントン条約みたいなもんでルール無用の就活バトルにされると外見でめちゃくちゃ差が出るからこうやって就活やら仕事やらの服装ルールがあるおかげで助かる人間の方が多いと思う。

毎朝、「俺がツイッター漫画だったら玄関の前で無理になって急に泣き出して『そのとき、私は気づきました。もう、限界なんだって』とモノローグが流れたあと『そうして仕事を辞めました』となって『今は彼氏に支えながら好きなことを続けられてます』で終わるのにな」と思いながら家を出ている。

焼香、毎回よくわからないので雰囲気で周りの人と同じ動作をするし何もわからないので法事や葬式が始まる前に機内の安全ビデオみたいなやつで流して欲しい

爆豪の女子人気って俺にはまったく理解できないんだけど、我が家の女性陣も爆豪好きなんだよな。あれとかまさに「暴力的な男」だと思うんだけど。ようするに爆豪みたいなやつは、男の目から見ると「闘争を挑んでくる可能性が極めて高い危険な敵」なんですよね。しかし彼が女性を危害しない以上、女性の目には「強くて頼りがいがあり危険な香りを漂わせるちょっと人間関係が不器用なイケメン」と映る。

規範というものは「なぜそれをやっていたのか」というのが理解できるようになってから緩めていくものであって、「自由だから正しい、楽だから正しい、正しいから正しいんだ」程度の意識でいきなり破壊するものじゃないんですよ。

非モテ男性のやるべきことは同性のモテる友人を作って彼のアドバイスを真面目に聞いて実行することですよね。若い女性のアドバイスは役に立たないから聞かなくていい。

アプリの女なんて真剣度低いし、スペックあるなら身元はっきりして女も真剣な相談所のほうが断然良いと思うよね。伊達に高い銭取ってるわけじゃない。とアプリで彼女を作った私が申しております。男がアプリに行くのはまだ分かるけど、女が相談所使わないのはあれだろ？自分に見合った非モテロースペックおじさんを"あてがわれる"のが嫌だからでは？自分のrealな市場価値を突きつけられるのを見たくないからでは？だってそうじゃん。みんなアプリでお顔整いの一橋くん183cmにいいねつけて交尾するけどその一橋くんは詐称かもしれないし、そもそもまず本妻にしてもらえないでしょ。それでも夢を追いかけてアプリに行きたいんだよねわかるよ~この世はでっかい宝島

そもそも義務教育って残酷なこと言えば「競争社会で生きていくための最低限の技能を教え込む『兵士の訓練学校』なんだから厳しさ教えないの危険なんだよな」と。

なんか素人考えだけどメディアが不景気不景気っていうからみんな消費活動しないのでは。政府が嘘つきまくって統計もでたらめにしてメディアも好景気！大漁！豊作！ってすればめちゃくちゃ国がよくなりそう。メディア、基本的に「今年は○○が凶作です」しか言わないので全部のものが凶作に見えてくる。逆にもう「○○が大豊作！投げ売り！叩き売り！国民全員買え！レシピはこれだ！！！！！！」ってやってくれよな。今年は新一万円札が豊作！みんな使え！！！ってやってくれ。

辞めた会社の後輩からこの時間に「14時間休憩なしで働いてます」ってLINEがきて「いきなり3日休んでわからせろ」とだけアドバイスしました

伊藤計劃の『ハーモニー』て、ものすごく雑に言うと、科学が近代的自我の観念を破壊・解体してしまう話だと思うんだけど、そういう『近代』が葬り去られることの恐怖って、ハーモニー読者の中でどれぐらい共有されてるものなのか。あるいは全然見当外れの理解なのか。

ネット民、煉獄さんの自己犠牲に涙し感動するのに「自分が大好き自分が一番」とかいう価値観に喝采を浴びせるのでよくわからない。煉獄さんのような生き方を他人にさせて自分はやらない、自分は煉獄さんのような生き方の人から恩恵だけ受けるつもりなんだろうか

「AIに人権を与えたら技術の進化は止まる」ていうのまあ理屈はわかるけど、例えばドラえもんやコロ助が非人道的な扱いを受けることを我々自身が感情として納得できるかっていうとかなり厳しい気がするんですよね。この辺AIに「人格」めいたものが見出だされるようになったらもっと激しく議論されそう。というか、現代ですら「人間」よりも犬や猫に対して人道的な扱いを求める人ってそれなりにいると思うので、「他者から愛されない人間」の方がAIよりもずっと下位に置かれる未来像ってのもまあ想像するに難くはないっすよね……。

確かディックの小説「ゴールデン・マン」だったか、類稀な美しい容貌を持つミュータントが、異性を魅了することで駆除の手を逃れ、そして彼を取り逃がしたことで、人類の時代が終焉を迎える予感と共に物語が終わる、て奴があったけど、猫による生態系の破壊の話もつまりこういうことなのだろうか……。

朝礼で上司が改まって「みなさん、今日は何の日か分かりますか？」と言うので(？わからん…)てキョロキョロしてたら「そう、ウチの子の誕生日です」て言い出して別の上司が「何歳ー？」て声かけて「2歳です」「かわいいやん！人間でいうと何歳？」「人間です」て言ってて笑ってしまった。

三角コーンを着払いで送り付け「させる」新しいタイプの詐欺

「裕福な家庭は全て似ているが、貧乏な家庭は皆それぞれ」とトルストイは今なら書くかもしれない。破産より成年後見の申立を最近よくやるが、預金だけで数千万円ありながら認知症になり、好きに使えぬまま逝く老人が沢山いる。老後資金を貯めれば幸福とは限らない。将来の年金8万の僕が言うのも何ですが

フェミニズムは家父長制の義務や負担を拒否しながら（相手は自由恋愛で選びたい）、その恩恵は寄越せ（女性を優遇せよ）というお話でしかないのです。だから、フェミニズムは平等には至りません。常に男性を差別、抑圧する必要があります。

お金で解決できるなら、とおっしゃいますが、それを突き詰めると「じゃあ女性優遇してお金を政府が配っても無駄じゃん」ということになりませんか。そう、要求に終わりはないのです。乳幼児期の育児は、本来ならワンオペでやる仕事ではありません。大家族の仕事です。が、その育児をグループで片付けようとする場合、そこには姑のような、出産をする嫁の立場からすれば、ある程度居心地の悪い相手も含まれるわけです。その不愉快のコストを省きつつ、となればもう、途上国の女性にメイドと代理母を押し付けるしかありませんね。これがフェミニズムの終着駅です。

「人の数だけ正義がある」は、正義と正義との衝突を互いの妥協によって解決しようという人が言える台詞です。あなたは相手に全面降伏せよと一方的に告げているのに、よくそんなことが言えますね。あなたは分断をなくすとか言っていますが、あなたが分断の発生源です。

「本来プロポーズは確認作業であって、突然『好きです付き合ってください』と言ったって普通は玉砕に終わる」みたいな話が最近TLに流れてきましたが、根回しってまさにこれなんですよ。「正しい政策なら、いきなり提案しても満場一致で賛成される」なんてナイーブな人は、政治家に向きません。

我らが社会不適合者には「向いている仕事」などというものは存在せず、「向いてない仕事」か「めちゃくちゃ向いてない仕事」のどちらかしかない

人間が生きようとすれば幸福を目的にしないわけにはいかないのに、なぜ幸福について考えることが胡散臭いと思われるのか？マクロについて幸福は語りえない（=究極に個人的な問題である）からなのか。一方「自分へのご褒美」とか「ライフハック」ということばで間接的に幸福について言及しているものもあって、このバランス感覚はなかなか不思議である。もっとみんな直接的に幸福について議論しよう！「みなさん幸福とは知っていますか？生化学プロセスです！脳に流れる電流なのです！そこで我が党の開発した合法LSDを…」

「嫌われる勇気」のアドラー心理学を実践すると生きやすくなったという話を友人にしたところ、非常にやさしい口調ではあるがしかし確かに「お前は何が幸せで何が幸せではないかを弁別できるんだろうけど、それが大多数の人間と同じだと思わないほうがいい」と反論されてしまって「あ～、（アドラー心理学は）無力だな」と思ってしまった。そうか、何が幸福なのかを定義できる人間って、そんなに多くないんだな、と。よくある「自分の心が納得する方向に生きていくしかないよね（そうすれば幸福を掴めるよね）」という素朴な価値観さえ、ある種の人間にとって「何が自分の心を納得させるのかという価値観が、たとえなんとなくであっても万人にあると思うなよ（すくなくともおれにはない）」という反感を抱かされるものであるらしい。何によって自分の心が満たされるのかを自分で理解でき、社会とのバランスを取れる人間にしか「嫌われる勇気」は通用しないんじゃないかと思うし、アドラー心理学の無理な敷衍は、下手すると無敵の人を生みかねないなと。その文脈において「目の前にいるこの不幸な人間にアドラー心理学を勧めよう」という自己満足の行為は、ややもすれば犯罪者を生みかねない危険性さえ孕んでいるといえ、まさにアドラー心理学が警鐘を鳴らす「他者の課題への介入」に他ならないのだろうというジレンマがある。すでにある程度の経済的な余裕を獲得していて、自意識をもて余している人にはアドラー心理学は適しているけど、明日食べるものにも事欠く人には勧め難い考えではある

アドラー心理学で感謝すべきなのは、何が幸福であるかをじっくりと考えられる環境なのだろうか、と思う。たとえば200万の借金があって歯も腰も痛いというとき、冷静に自分の状況を立ち止まって考えて問題点を整理し、その解決に向かって動ける人間ってそう多くないんじゃないかな（少なくとも自分には厳しそう）。誰もが自分の不幸を自分で救えるとはいうけれど、やっぱりそれにも限界があって、行政の助けを借りたり、自己破産したりという選択肢が必要になってくる。アドラー心理学は自助を基本としているけど、あまりに極端な不幸について自分ひとりで考えるべきではない

大学のとき性に奔放だった友達がいたけど彼氏に振られてからフェミニズムに目覚めて、セックスも別に好きじゃなかったし、何がいいかわからないとか、男はクソって言い始めて。当時DTもらったとか夏の花火見て弾け方が精○みたいって言ったら彼氏が笑ってくれて喜んでたエピは無かったことになってた。

マジで職業的校正者が「正しい日本語」みたいなことを「言葉のプロ」みたいな顔して言っちゃダメよ。校正者という仕事はあくまでも「この作業においてはこれを規範とする」というその場その場の正しさの基準が客観的に決まってないと、ただの俺ルールにうるさい奴でしかない。ちなみに英文のネイティブ校正者がワガママなのは、ただの田舎英語話者の俺ルールを英語普遍の大原則みたいに思い込む田舎者が無双できる業界だからだと思ってる。英文ネイティブ校正、やっぱりちょっと技術論としてはかなりダメな部類ですよ。英文ネイティブ校正者の「今の英語ではこういう言い方をしない」という異常に頑固なこだわり、どこの州のどこ出身かで全然違うので、あんなのは自分の生まれ育った町の言葉が英語の絶対原則だと頑なに思い込んでる田舎者のこだわりですよ。そんなわけで、英文のネイティブチェックをさせるなら、ユタ州とNYとかいろんな地方出身の米国人にクロスチェックさせていつまでも終わりのない戦いを続けるところを見物しましょう(笑)。ぶっちゃけ英語話者だってだけで英文校正やってるような奴は、「今のアメリカ英語では、そういう場合は「押ささる」と訳す」みたいなことを大真面目に主張している可能性が高いんだぜ。もっとぬっちゃけると、英文出版物って日本で言うような意味での校正ってほとんどやってなくて、表記なんて通じりゃいいと思ってる節があるのよ。校正で論じることは文章表現であって表記のルールではないとか思ってるくさい。GAFAレベルの世界的大企業だって社名の正式表記のルールがいい加減だったりするしな。頭大文字、全部大文字、全部小文字とか規定がなかったりするしな。そのくせ社名ロゴの運用にはクソうるさかったりとか、ルールが全然違うのよ。

幸せ太りの本質は、奥さんの料理が美味いとかではなくルッキズムからの解放＝他者からの評価は関係なく満たされている状態を築けている事だと結婚して20キロ太った友人が言ってた

水を売ってた知り合いが「水商売やってた」って言ってたの面白すぎた

狂ってる人間は社会不適合者という意見が出ましたが、適度に狂えるのならむしろ高度に適応している説ある。どこまで狂っていいかがわかっているわけだからね。

モモンガなんて居ない大都会に「モモンガに餌を与えないでください」という看板を設置すると、嘘は全く書いていないのに、通行人は勝手に「このへんにモモンガが出る」と誤認する。そして、モモンガが滑空してくるのではないかという期待とともにそこらへんの建物や電柱を見上げてしまう。

「痛みを感じるリスクが0のスポーツがこの世にないの異常すぎる」「ラグビーは首イカれて神経麻痺するから痛み感じないよ」

「害があったら禁止されるのが当たり前」ってじゃあどうしてこれだけ人を死なせているのに自動車の運転は禁止されないのか。害があっても利益もあるものは簡単には禁止されないし禁止できないのよね

2号兄貴みたいな感じで謎の多い投稿者として神がかったコンテンツを作り、都市伝説のように語り継がれる存在になっていきたいとは思うが、そう思う時点で自己顕示欲が強すぎるので結局無理という気がする

欧州諸国等の街に移民が大勢いるのは、別に最近になって多様性や多文化尊重のために入れたわけではなく、何よりも経済成長のための労働力として長年受け入れ続けたからだろうが、そういう経緯が隠蔽されて、"古き良き社会"に反する何かのイデオロギーが移民を入れたかのような逆立ちした妄想が生まれる。古くからの社会が変貌・解体するのは、別に外部から異質な悪い人々がやってきたからとか、良き社会に反する悪しき思想が流行したからではなく、その古き良き社会そのものの中に解体や変質すべき要素がもともとあって、その社会自身がそれを長年少しずつ蓄積してきたからである。

「知誇ちゃんに叱られる」「知誇ちゃんが叱られる」どっちもTwitterで毎日24時間絶賛放送中じゃないか。

「食べ放題」で「元がとれなくなってしまったな」と感じたときは、まあ人間だれでも年をとるしと割り切ったが、最近「読み放題」「観放題」であまり量をこなせなくなって感じた老いは、正直いって相当にきつい。

楽天ペイやらd払いやら、システムが脆弱なまま規模だけ追い求めてる企業のサービスをメインの決済手段として使うなど自殺行為。通は金融庁監督企業が運営するJ-Coin Pay一択。なんといってもシステム開発に数千億円かけてるメガバンクがバックについてるから安心安全。みずほ銀行って言うんだけど。

脅す上司「こんな量のミスして、どうなるか分かってるんだろうな？」

強すぎる新人「圧倒的成長、ですよね」

「ツイッター初心者です」って書いてる本当に初心者みたいな人が、バズったツイートに糞みたいなリプライをしてて「本当に初心者じゃん」って思っちゃったけど、初心者はバズったツイートに糞みたいなリプライなんかしないんだよな。

放課後、教室の隅っこで失禁していたところに同じクラスの女子生徒が入ってきて「あ！あ！え、すみません！」と言い出したので、「失禁しています」「今、出ています」などと懇々と説明したところ「あ～そうなんですね、わかりました」と納得してもらえた。この経験を御社でも生かしたく…

ニュースになるのって特筆性のある「非日常」「確率0.5%以下の出来事」でしかなく、それらのニュースをネタにワーワー騒いでるネット民の頭が全員悪いと言えば悪い。

社会人になってから、ADHD/ASD傾向を開示しあってる人間or傾向に寛容な社会的パーソナリティを持つ人と積極的にかかわっていたので、そうではない中で100パーセントの生活をやろうとすると想像以上に負荷がかかるという事実に、人生で初めてバスにつっかけサンダルで乗ってから気付く

エジプト人が祖国を誇ることについて、あんなんどこに誇る要素があんだよと思ったが誰が見てもいい国について誇ってたら嫌味だし、そもそも愛郷心なんて理屈があって湧いてくるもんじゃないわな。無知故に自国は他国より無条件に優れていると考えるとか夜郎自大はみっともないと思うが、そもそも愛郷心は何か根拠があって湧いてくるもんでもないし、理由や根拠がないと好きになれないとしたらそれは愛郷心というよりも評価というべきもののような気がする。リベラリズムが掲げる理性から導出された理念・正義に対して、保守が拠るべきものは歴史や伝統として育まれた理想や美徳とするなら、そして自国の誇りを云々する以上は自文化と自国の社会の美点や課題をよく知るべきで、無思考・無批判のネトウヨ的夜郎自大と真っ当な保守を截然と区別したい。キャンセルや言論封鎖など自由の制限に熱心で本来の語義と矛盾する上、自説の正しさを疑わず、我々は正しいから従えとばかりに教条化・カルト化しつつある「狭義のリベラル」と本来のリベラリズムが別物なのと同様、無思考・無批判のネトウヨ的夜郎自大と真っ当な保守を区別したいが葛藤もある。無批判・無思考の連中とは一線を画したいという思考・欲求は自分が賢ぶりたいエゴに思える。国民国家に限らず共同体一般の一体性を重んじる立場と、読解力が十分でない少なからぬ人々を、単純さから距離を置きたい欲求故に切り捨てるのは矛盾するのでは、と。

アメリカ。トランプを排除すれば国内の分断も終わるし、国際協調路線に戻るみたいな感じだったけど、実はトランプの思想は割とアメリカに根付いてたものの表面化だったんじゃないかって感じなの、ほんともうなんつうのか

娘ちゃんのイヤイヤ期がピークに達しているので対応策をネットで調べていたら「『服を着て』と言うと嫌がるから、『赤い服を着る？それとも青い服を着る？』のように選択肢を提示しながら着る前提で話を進め、断る選択肢を与えない」みたいなことが書いてあり、ナンパの手法と同じだなと思いました。

東大生で献血できない理由で最も多いのは性への奔放さではなく、精神疾患や発達障害への投薬治療だって現場の人が言ってた。

相手がええ感じに褒めようとお世辞を言ってくれたことがわかるけどお世辞を言わせるほど気を遣わせたのに喜ばないのは申し訳ないしなんとか褒めを絞り出してくれたそのことが嬉しいからええ感じに喜んだリアクションを返すけどお世辞を真に受けたバカとは思われたくないみたいなことが世の中に沢山ある。占いの話題で盛り上がってる時に占いは占い程度だ思ってるけど占いの話題に乗らないのは空気読めてないから全力で肯定するけどマジで占いを信じてると思われるのは差し障りがあるみたいな…………（全員が茶番だと思ってやっている場合もあるので相手が真剣の話してると思い込むのもNG）

友達のモテ男が普段は眼鏡でデートのときはコンタクトにすると簡単にギャップが演出できてお得ってゆってた

反差別界隈の議論が一周し、ちらほらと「実はDaiGoが言うことは正しかったのかもしれない」って声がぽつりとどこかから漏れ出て、「それは絶対に違う！！」とタコ殴りにされる光景を、100回ぐらいツイッターやはてなで見てきました。リベラルが絶対に直視しない「不都合な事実」は、だいぶ前に差別主義者が口にしていた（差別主義者がエラいという話ではないです）。人は一般に、まったく建前とは異なるみにくい「現実」の問題点を、教育を施されることによって言わなくなっていくものであるが、しかしながらその現実は頑として我々の前にそびえたっている。一度聞くと枕を高くして眠れなくなる事実（たとえば出生前診断でダウン症だと判明したら、9割の人が堕胎を選択するとか、高齢出産では不妊や竜山の確率が何倍にもなるとか）を我々が意識せずに生きていられる理由は、多くの人が自分と同じように教育を施され、面と向かって事実を口にしなくなるからでしかない。この「誰も言わないのに、そこにある」認知的不協和が、インテリたちから「きみの価値観は間違っている！」という言葉を引き出してしまう。アホなゆっくりが、自分の排せつ物がそこにあることを認められずに排せつ物に対して威嚇しちゃうようなもんで。で、問題を先送りして、「教育が足りなかったからあんなことを言うんだ」「人権の重要性を啓蒙しなくては」って叫びがちだけど、それはやはり、無意味なんだよな。

何かの事件が起こった時「やはり教育が足りなかった」「義務教育の敗北だ」と口にする人がいるけど、教育によって構造的問題、差別、思想などを改善できると考えている時点で、そもそも人間の良心に期待しすぎている感がある。正しく教えれば正しく（=自分に都合よく）人は動く、というわけではないですよ。それこそ「自分の自由を大事にしよう」というスタンスのアメリカが多数の反マスク、反ワクチン運動を引き起こしたように、究極に露悪的な表現をすれば「愚民どもがちっぽけな頭で考えて出てくる思想などカスみたいなもの」。教育の重要性や無謬性を信じられる時点で、社会的にかなり上の階層の人達なんじゃないか。そのレイヤーなら確かに教育の意味は大いにあるだろうけど、社会一般にそれが成り立つとは思わない。実際に教育が変えられるのは本当にわずかなことだけで、多数はそういった教育的価値観とは無縁のところで生きているのだろうという実感を、わずか数年間の塾講師の経験から察した。資本主義によって分業化と専業化が進み、総合的に一人当たりの人間が科学から受ける恩恵は極大化しており、それは紛れもなく教育の賜物と考えてよい。しかしそのことは、人間一人当たりの知能が昔に比べて2倍にも3倍にもなったことを意味しない。相も変わらず人間は愚かであり、平均して一人の人間に授けられる「正しい」知識の量は、教育によってそれほど増えたわけでもない。いつの時代にもとんでもない詐欺にひっかかる人はいるし、場当たり的な殺人をしてしまう人もいる。きっと500年後にも犯罪はなくなっていない。すべてを教育によって変えられるとは思わないほうがよい。

最近のツイッターでのトラブルをみていると、他人の視点を擬した文章の書き方が、反発を呼ぶケースが散見される。「世間はこの考え方を受け入れられない」とか「この考え方を受け入れない人もいる」という文章に対して「この考え方を受け入れないのは間違っている」という批判がくるようなパターン。

友人に専門業務を依頼するとき、「友達料金」として費用を値引きしてもらうことがあるけど、僕としてはむしろ逆なんじゃないかと思う。相手が信頼関係のある友人であればこそ、その専門能力を誰よりも高く評価すべきなので「友達割増料金」を支払うべきじゃろ

誰よりも先を読めている将棋の解説「さぁ折り返し地点です」

オタクもADHDも研究者も集団になると社会を形成することが知られている。

らくがきって言葉ほど人によって感覚にズレがあるモンもない。正直、落書きて元のが粋さのシャレオツ感を好んででいうならまだしも咎は受けるさみたいなヘンな気負いを暗に含むわけでどうにもこうにも使いにくい。みたいのあって。模写だとか練習、習作イロイロあるがなんていうかそういうアスリートな感覚てのもまためんどくさいワケで。個人で好きなモンを楽しく描くから、ラクガキ。以上てな具合で正直絵描いて出すのにイチイチ理由なぞいらんだろ、めんくさいな。が許されないイズムはどっから来るんでしょうかね

「どんな場であれ礼儀や姿勢に関係なく同じ処遇を受けられるべきなのに、それが分かってない日本人は人権意識が低い」スカッと心地のいい甘言だが、マクロとミクロの区別がまるでついていない幼児そのものの言葉であり、こんなものを真に受けて損をするのは自分ただ1人なのでみんな気をつけようね。建前論を信じるピュア未成年の頭脳では、それが至極正しく聞こえて、そのように回らない国家を軽蔑するのだろうが、社会に出た事のある一般人であれば、それが持続可能性の無いことくらい分かるもんだが、リベラルな皆さんはお客様なので、それが分からんのです。だから選挙で負ける。

仕事を全力で自分の責任として引き受ければ、フィードバックとして得られる感触に確かな生の実感を得られやすい一方、どうしようもない失敗やアクシデントに気をもまなくてはならなくなり、そんなのオレは悪くないと仕事を金稼ぎの手段として見てプライベートに極振りする姿勢に回帰する理由もわかる気がする。大事なのはそのバランスなのだろうけど、この二つって徹底的に相容れないのではないだろうか…。「仕事を全力でやって見えてくるものがある」「仕事は金儲けの手段にすぎない」は対立するようであるが、両者は「仕事は人生を充実させるためのツールだ」という点で共通しており、なんらかの止揚が得られないだろうか

ハンネが「～～ちゃん」「～～さん」になってる人を呼ぶ際に、「さん」を重ねて「～～ちゃんさん」といった風に呼ぶべきか葛藤するとき発生する精神エネルギーから発電することで日本の電力賄えるらしい

独身日本人男性も差別されてるからディズニーはとっとと俺たちをプリンセスにしろ

オタクとしての「身内の苦言」のつもりで今のオタクを諭そうとするので歯止めが効かずに言葉がキツくなり、ノリはオタクのままなので調子に乗って痛々しくなり、卒業しても部室にたびたび顔を出すOBOGのように煙たがれる問題、今後どんどん我が事含めてネットの複雑骨折事案になるだろうから、怖い

反ワクチンの人達が公的なニュースを情報源にするとき、都合の悪い情報をカットして貼っていることがある。例えば「ワクチンによる心筋炎が重大な副反応として認められたが、感染によるリスクよりは安全なので引き続き接種を進めていく」というニュースの前半部分だけを切り取って「ほら！真実が明らかになった！」って言いだしたり。こういう事例について「自分の正しさを喧伝するために意識的にやっている」と分析する人は多いけど、無意識的なものだろうと私は考えている。まるでダチョウが地面に頭を突っ込むみたいに、自分に都合が悪い部分を切り離せば「なかったことにできる」としてしまう人間の無意識的愚かさは人類の誰にでもあって、それがたまたま極端に強く働いているのが彼らなのではないか。というか、極端に自己正当化の能力が高い人が反ワクチンに陥るのではないか。「あなた、公的なニュースの都合のいい部分だけを切り取ってましたよね？それってマスコミが普段やってることと変わらないのでは？」と言われても「そんなことはしていませんが？むしろそっちこそ、情報を都合よく選択しているのでは？」と傲慢に言い放つ反ワクチン界隈を見てそう確信した。彼らは本当に、自覚なく情報を選んでいる。無意識に自分を守るためにやってるのでマジで記憶にない。しかし一度「目覚めて」（こちら側に戻ってきて）しまうと、自分がしていたことのおかしさに気づけるようになる。隠蔽や切り貼りに意識的になれるのはそこが初めてなので、今まさに反ワクチンに陥っている人への事実指摘は意味をなさない。

反ワクチンの人、やたらと「人類のために真実を啓蒙します」「日本のために」って言いだすけどあの主語の大きさや被害者意識の強さは自称フェミニストやネット右翼、プロ市民をほうふつとさせるものがある。極端な思想に走る人って何らかの共通点がある気がする。ついでにいえば彼らは常に日本人の少数派でしかなく、ネットではトラのように吼えてるけどそのリアルの影響力はお察し。

掲示板でたまに出てくるパラレルワールドに入り込んだ系の話、空の色が赤く見える、日本語のように見えるのに文字が読めない、会話が出来ない、記憶の混濁という特徴があるが、これは一時的に脳機能の発作が起こってそう感じている症状に良く似ているから、病気が原因なのでは説

まあ、じんわりと広報や広告から女性は消えていくという話になるでしょうねという感想しかないんよな。俺が洗剤のCMつくれと今言われたら「ジャニーズ男子にエプロン着てもらってアピールしてもらいましょう！正式な設定はシェアハウスですがゲイの同棲とも受け取れる感じで！」とかにするもん。

「文系人間はもっと数学を」「理系人間はもっと文系の教養を」「古文漢文が云々」と色んな人が色々な理想論を言うが、人生には限りがあり、多くの方は家庭や社会の中で、学問や教養とは別種の大切な使命を担っているものである。皆、何歳まで生きるつもりなんだろうか。

何事も恋愛に結びつけて考える人がいるが、恋愛関係と信頼関係は似て非なるものであって「この人は愛という眼差しをどんな意味で語っているのか」について見抜く力を持たないと「好きなら多少のことは許されるべきだ」という屈折した我儘に振り回されることになる。愛という名の精神的DVはよくある話。

【こいつ、海の女だなと思った理由】

海を描けと言われて画用紙を縦にした

「やれやれ、エロいんだか、エロくないんだか」と主人公が呆れて終わるAV

シチューを混ぜてる人は、口では「美味しくなぁれ、美味しくなぁれ」と言っているが心では（新車が欲しい、新車が欲しい）と思っている

「口をつけると洗い物が増えちゃうから」と、酸素ボンベを使わずに水深60mまでいくおばさん

撮れ高が無さすぎる回の逃走中のナレーション「引き戸だぁ」

「これも何かのご縁ですので」と言いながら隣の人の醤油ラーメンに自分の味噌ラーメンのスープをレンゲで一杯入れるお婆さん

美容師「休みの日はどんなことを？」

すごい人「床オナ…って言って伝わりますかね？w」

親戚を「法事界隈」と呼んでいる嫌な子ども

パチンコ屋みたいなやよい軒

客「ご飯のおかわりどこですか？」

店員「さぁ…分かりませんが、皆さん空の茶碗を持ってあちらの方向に歩いていかれますね」

「マジカルバナナしよ〜」

「いいよ」

「マジカルバナナ！猫（びょう）の凱旋GABA山椒（ギャバさんしょ）オーバードーズで死んだリャマ！はい、素数言ってない〜」

「地元どこ？」

彼氏側歩いてる車道

今日飲みに行きません？

すみません、今日これ（日本の未来）がこれ（ウォウウォウウォウウォウ）で…

裁判長「何か異議があるものは？」

弁護士「異議あり！裁判長、このNAVERまとめをご覧下さい」

耳が遠くなったことを「ノイキャン」と言う嫌なジジイ

接客中に悪質クレーマーが騒ぎ出したので「そんなにうるさくするとスカッとジャパンに応募しますよ！？」と怒鳴ったところ帰ってくれた。という話をスカッとジャパンに送ったところ、不採用と書かれた紙が返ってきた。

秋を知らない人「なんかもうずっとこれでいいな」

チンポがでかすぎて、銭湯にある無料の血圧測定器でしか満足できないジジイ

法律は大事だがそれだけで世の中が成り立つわけもなく、しつけ、慣習、不文律、伝統、そうした左派が最も嫌う物事が世の中に平穏をもたらし、また思考や取引にかかるコストを下げてくれている面が間違いなくあるのだ。というかですね、「見えないルールをひっくり返す（そして新しい不文律をおっ立てる）」なんていうのは極めて卓越した人物がやっているように見えて実際は正気の大衆の協力なくして不可能なんだから、跳ねっ返りの活動家をそれだけで持ち上げるのは二重の意味で誤っている。

まずご当人が殆どの場合卓越とは程遠い、もう一つは大衆の動員を考慮外としている。この二点で。

社会の進歩が急進的過ぎたり、歪なように感じられるようなものでも「一度進歩したらどんな事があっても元には戻らない」みたいに言う人がいますが…。私はその昔、禁酒法を「素晴らしい進歩だ」と絶賛していた人達がいた事に思いを馳せて「まあ元に戻る進歩もあるよ」と考えるようにしてます。

プリウスに乗るドライバーが危険という話も、それが事実ならプリウスの保険料率がガンガン上がるようなことが起きているはずなのだが、それもないので、別にプリウスが関わる事故が車両販売台数に比して多いという事実もない。おそらく誰でもプリウスだけは識別できることから来る錯覚ではないか。

自分が飼ってる猫が死んだあとに猫の餌コーナー通っていつも食べてたエサのパッケージを見て胸がぎゅうぎゅうに締め付けられる思いをしそう。だれかが亡くなった後に、そのだれかの存在を示す残り香を現世に感じてしまって、非常につらくなるという現象。そういうのをみんなが抱えながら生きていると思うといとおしくなってくる

この曲を聞いてると芥川龍之介の羅生門が出てきて、昔国語の教師に言われた「実在するものを題材に物語を作ると、正に本当にあったかのようなリアリティを読者に与える。そのように錯覚させるのも小説家の技量。」ってのを思い出しました。日常的な風景から入り非日常的な事象を自然に織り交ぜ、更にリアリティまでも醸し出し、視聴者に現実にあった事のように錯覚させ、恐怖や安心感を与えているあたり、この曲の作者様は小説家に通づる物があるのでは無いかとふと思うのです。

昨年10月に仏ではムスリムの生徒が風刺画を授業で使用した教師を斬首して首を片手に持ってツイッターに投稿、マクロン大統領に向けて「ムハマンドを貶めたお前の犬を一匹処刑した」と制裁を宣言する出来事があったな。誰もがテロリストになる危険性はある。イスラムには信仰の自由と表現の自由はないので、当然LGBTなどはイスラム法では処刑の対象だし、イスラムの行為を批判することも処刑・制裁の対象、それは神の教えなのでイスラム教徒には疑問すら持ってはいけない当然の義務なので話し合いも妥協も無い、そういう相手と共存できると思ったのが欧州。

twitter、おっさんオタクの数が多くて強い地形効果のある戦場だと思いますけど、そういう世界に慣れたおっさんオタク（俺含む）が自分たちの意見が受け入れられていると思って外の世界で攻勢に出ると高確率で死ぬ、ていうのなんかこう強く心に刻む必要があるよね。少なくとも、twitterというフィールドとは違う戦い方を意識していく必要があるとは思うわけです…。オタク的に言うと『見事だな。しかしおっさん、自分の力で勝ったのではないぞ。そのSNSの性能のおかげだという事を忘れるな（CV:広瀬正志）』みたいな。twitterでの自分の主張に賛同する声が広く可視化されたとしても、それはtwitterというSNSを利用するメインの客層がそういう層を濃縮しているからそう見えているのではないか、ていう慎重さは必要だと思うのね。どうもtwitter論壇見てると「我こそは真の知性派にして多数派」とか考えてそうなおっさんオタクを時々見掛けて、そら君twitterではそんなんでも勝てるかもしらんけど、じゃあ他ならぬ我々は外の世界の「知性派ぶってる人間」をどんな目で見てきたか思い出してくださいよって顔にもなりますわ…。

ヤンキー「ちょっとそこで跳んでみろよ」

ジャンプマン「ﾎｳｯ！！」

関西人ヤンキー「どこ行くね～～ん！！」

「女の上昇婚志向は男女の賃金格差に原因があってー」だの「男社会で女が抑圧されていてー」だのといったグラフ一個で退けられるような愚見は本来どうでもよくて、根の深い問題は、「なぜ家事や育児といった賃金に換算されない労働がこれほど軽んじられるようになったのか？」だと思いますね。例えば家族の食事を用意する、子供の送迎や餅つき会やクリスマス会の準備をするなど（資本主義的には投資の一種なのかも知れないが）、直接的に資本に還元されなくとも貴重な仕事というものをフェミニズムは束縛としか言わないわけですよ。別に政治家や経営者になることだけが社会貢献ではないということには表立って反対しなさそうだが、その口でジェンダーギャップ指数120位と言い募るのは実質的な職業差別に他ならんということです。なぜ賃金に換算されない労働が軽視されるようになったか、ですがこれについては男にも大いに責任があると思っていますよ。家庭の英雄としての仕事を余りにも軽んじ過ぎてきた。

「こんなところ（僻地）まで来てくれた政治家はあんたが初めてだ！」って感激してトランプと握手している田舎の人の写真が、アメリカの分断を端的に現していたんだなと思う。共和党がとか民主党がとかじゃないんだよね、アレ。

親ガチャに外れた強い人は、常に問題に囲まれてきた影響で「問題解決」を「幸福」と信じて育ち、問題解決が上手くなる。けれど、大きな問題を解決し終わると、「解決」という唯一の「不幸から遠ざかる手段」を失い、幸福を求め彷徨う「能力のある虚無」になりがち。

ずっと１人で悩みがちな人ほど傲慢なナルシスト。自分でどうにかできる、自分で解決できる、他人は頼りにならない、そう思えるから悩み続ける。でも解決できないから悩み続ける。無理なもんは無理なので、やれることやるしかない、そう考える人ほど悩まず生きてる。

『親ガチャに失敗した』と自分で言えてるひとは、わりとマシで、『いや、お前はさすがに親ガチャのせいにしたらいいだろ』というひとほど、『いや、全部わたしのせいなんです。だから、わたしは誰にも助けを求めちゃいけないし、迷惑をかけちゃいけない』となってる

『生きづらさ』を持つ人のほとんどは、学生を終えても『同学年』が気になる。別に自分は強く求めていない『同学年の幸福の指標』の中で、なんとか『劣らないように頑張る』から、自分が本当に大切なものを大切にする体力が残らず、結果『生きづらさ』だけが残ってる

自殺未遂の経験があるのは、じつは意外と「真っ当なひと」なんだよな。真っ当なひとが「極限まで真っ当になった瞬間」に、急に「あっ、死のう」となるっぽい。真っ当な人が死にやすい社会なので、テキトーに生きる事は処世術。社会性はあり過ぎても死ぬから注意

「誰にも必要とされてない」という苦しみは、「誰かに必要とされること」では、解決されない。それは、ただ「麻酔が効いてる」だけ。解決には、「必要とされる」のでなく、「誰かに必要とされなければいけない」という呪いと、じぶんを分離させる事が大切になる。

ひとは就活に落ちても死なないが、「就活に落ちたら死ぬ」と思ってる人が就活に落ちるとわりと死ぬし、「じぶんの価値を他人に否定されたら死ぬ」と思ってる人が就活に落ちるとわりと死ぬ。ほんとうは別に死なないんだけど、価値に呪われている人は割と死ぬ。

顔がよくてユーモアがあって勉強ができて年収の高い男性は、大抵そんなものでは拭えないレベルの、何か根源的でとてつもなく大きなコンプレックスを抱えているので、近づきすぎには注意しよう！魅力とは、程よい距離感における比類なき加害性である！

「お前は他人の人生の痛みがわからない」と言われることがあるけど、ぼくの中には「他人の人生の痛みをわかった気になれるのは、じぶんの人生に痛みを持ってこなかったヤツだけ」という偏見がある。その痛みが他人なんかに分かるわけないし、他人なんかに分かられるようなものはたいした痛みじゃない。

イスラム教の留学生に軽い冗談の文脈で「まあ、人間も動物だからね」と話したところ「人間は動物じゃないんだが？神から生まれたんだが？」って反論されてあ～そっかってなった。彼女いわく進化論は「世界の70%の科学者が正しくないと考えて」おり、「ダーウィンたった1人が唱えたものに過ぎない」と。進化論は授業で習ったのに信じてないということらしい…。「正しくないものを授業で習う意味は？」「科学的な真理は宗教的なそれとはまた別では？」みたいな話をしたけどいっさい通じなくて「神が人間を作ったと考えている、証拠はないけど」で話が終わってしまった。神を信じるのはいいけど科学にそれを持ち込むなよ…と思ったけど、それはきっと「神が絶対的でない文化」の人間の価値観にすぎないんだろうな。

西洋世界やイスラム世界の「すべては神の思し召し」的価値観の重さを、日本人はあんまり理解していない。マレーシア（イスラム教）の人と絶対に話が合わないのがそこだった。どうやら彼らは、本当に世界を神が作ったと思っているし、そんな世界に間違いはないと思っているようだ。例えば、そのマレーシア人の彼女に（何かの流れで軽く、当然のように）「人間は動物の一種である」（human beings is a kind of animals）と話したところ強い口調で否定された。「人間はアダムとイブから生まれた」「人間は神様がつくったのだ」と言い出した。私は「それは生物学的、科学的な話の文脈？実際には進化論などを代表する様々な証拠（evidence）が、人類がサルから進化したことを示している」「逆に、アダムとイブから人間が生まれた証拠はあるのか」と伝えたのだが「世界の科学者の70%は進化論を否定している」「証拠がいくら集まっても、進化論はしょせん仮説（theory）にすぎない」「アダムとイブ理論の証拠はない」などと言い出し（様々の反証に耐えた強靭な仮説が科学になっていくのだから、この話はおかしいだろうと思った）、ついには「そもそも人間は地球が丸いということも証明できない（cannot be a proof）」と。「それでは一体何が証明できるのか」「たとえば1+1=2という計算さえ自明にならないのなら、人間は何も証明できないではないか」。でも、そうではないらしい。いろんなことが証明にはなるが、仮説とはしょせんそれまでの仮説の積み重ねにすぎず、進化論はそういった理由で正しくないことがありうる（might not be correct）。おそらくだが、彼女の話を聞く限り、進化論を否定して別の論（アダムとイブから人間が生まれた）に行きつくのは、数や科学的な正しさの問題ではなく、信念（belief）の問題なのだろう。「進化論が正しくないことがありうるから別の論を信じる」と言ってはいるが、そうではない。正しいか正しくないかは信念には関係がない。自分がそう思えば、そうなのだ。個人的には「科学的な真理と宗教上の信念は分けて考えてくれませんかね…」と感じないこともないが、それが簡単に分けられるようなら宗教問題はとっくに解決しているだろう。先進国でさえ「性別や人種によって知能差がある」という統計的事実を（ある種宗教的な価値観であるポリコレに反するという理由で）公表できなかったりするのだし、割と人類普遍の問題かもしれないとは思う。神の全ての言葉はコーランに書いてあって、それを疑うことは絶対に許されない、という世界を日本人は想像さえできない。神の正しさも、神が発した言葉の正しさも疑えない。そういった前提から本当にすべての世界が始まっている（と向こうでは思われている）のだなあ、と、本で得た受け売りの知識を確認できて感動した。アダムとイブの人類誕生秘話という、西洋でとっくの昔に否定されてしまった（ニーチェの「神は死んだ」か？？）と私が思っていた考えさえ、どこかでは信じられているのだ。さて、これに似たものは私たちにあるだろうか？日本人に対してこれを説明すれば「誰かがオシッコしたコップを洗って、その後お茶を飲めるか」みたいな話だろう。科学的には細菌がひとつも在留していないことが確かめられようと、そのコップで平気でお茶を飲める人は少ない。これは科学の問題（証拠の強度や仮説云々）ではなく清潔感という信念についての問題なのだが、錯覚してしまう。進化論の話もこれと同じで、テーマが科学的であるが、個人的な信念、つまり「神の存在を自明とする」という前提を受け入れるか否かという話なのだろう。話は飛躍するが、ある強固な前提を社会の構成員のほとんどが受け入れている世界は、うらやましくも感じてしまうな。宗教、倫理観、家族、社会、構成員、あらゆるものが科学的正しさや政治的正しさ（単なる個人主義、相対主義ともいう）の前に屈していくのを指をくわえて見ているしかない国々では、「善く生きろ」というメッセージさえも「むしろ善く生きないほうが得をする」と反論される。「誰にも迷惑をかけないなら自殺したっていいじゃん」と正当化される。それらが科学的に、論理的に正しいこそ、宗教は悪く生きることや自殺を（共同体の存続のために）必死で抑えつけてきたのだろうが、神が死んだ先進国の中で、そんな意見に耳を貸す人もいまい。マレーシアは多文化共生的な社会であり、自分たちの信念が絶対的でないことを知っている（そうでなければ、危ういトピックを議論できなかった）。私が神の存在をまったく前提としていないことを彼女は理解してくれた。「宗教の話は誰ともするな」というのは、互いが互いの背景を十分にわかっている前提がないからなのだろう。逆に、そういう信頼関係があるなら、自分と相手の宗教観の違いを知るために積極的に話しかけてもよいし、むしろそれはより高いレイヤーでの相互理解を可能にしてくれる。自分の世界を広げてくれる。

伴侶が欲しいって言うのは、旅行で体験を共有できるとか、美味い飯とか酒飲みに行ってワイワイ話して盛り上がるとか、子育て含め色んな苦労をなんとかお互い悩みながら乗り越えていけるとかそう言うところに価値があるって境地。家事とか性とか年収とか要素に分解すると伴侶いらねとなるのは当然。

チンポジって言葉があるのにチンコポジションという言葉が存在しないの絶対おかしいだろ

モテ男になるため、アプローチ中の女性の排卵周期をルナルナで記録し続けている。23年たった今でもつけているが、そろそろ相手は更年期障害に入るんじゃないか。いつになったらゴールインできるんだ。

よく「生まれた国が違うんだから分かり合えないのも当たり前」というけど、だからといって「分かり合えるならば生まれた国は同じ」というわけでもなく、国が違っても分かり合える人は全然いるし、日本にだって絶望的に分かり合えない人はたくさんいる。

「留学で国際交流して価値観を変えたい」って言ってる学生はいるし、実際に価値観らしきものが変わった友人もいたんだけど、留学で変わる価値観とは「飛び込めば人間なんとかなる」とか「どこの国にもいい人と悪い人がいる」という感じの話であって（その変化自体はむしろいいこと）、信仰や食生活の話ではないことがほとんど。二十年間染み付いてきた自身のいったい何がそこまで強固なのか振り返るきっかけにもなろう。

人の前あるいはネットで「Aを好む人とBを好む人がいて優劣の問題はない、好みの問題だ」っていうことがあるけど内心では「いやBを好きなやつ頭おかしいだろ」って思ってたりする。「わたしはあくまでこの問題について相対主義者ですから攻撃しないで」というエクスキューズでその文面を入れることへの罪悪感がかなり薄くなっているな。そりゃまあはてブで「自民党ふざけんな」「日本マジ終わってる」って言うのは簡単だよ。思考停止で憎悪を吐くだけでいいんだから。でもそれで、何かするのかね、っていう。反自民党のデモをするとか、署名活動をするのでもなく、たかだか利用者数千人の場末で憎しみをぶつけて、世の中が変わらないことを悲嘆して終わりなのか。それじゃマイセルフ2分間憎悪と同じじゃないか。ストレス発散して、また明日から自民党政権下で頑張りましょうってか。大事なのはその後だろう。彼らのコメントで「だから少額だけど募金した」「署名した」って言ってるのをだいたい1割しか見ないんだが。それでいいんだろうか。自分が生活保守になったのは、そこらへんのリベラルの振る舞いに失望したというのもある。それならまだ、自分の幸せを淡々と積み上げていったほうがなんぼかマシ。どんな政権であっても。

Twitter見てると、高級ホテルで優雅に過ごすことに幸せを感じる人もいれば、サウナに大いなる喜びを感じる人もいて、そこに優劣は存在しないんだよね。何を言いたいかというと、我が子には、できれば金かからない形で喜びを感じられる人間になって欲しい。

なんか議論を面倒くさがる人から「そんなの別に人それぞれでいいじゃん」って言われるんだけど（物語の解釈、善悪の価値観などについての話し合い）「いや、全然よくないが？？」って思って話してるし、「それって、人それぞれでいいじゃん、っていう価値観を俺に押し付けようとしてるの？ならおれも考えがあるんだけど」みたいなことを言ってしまう気もするな。どっちかというと議論を通して自分の考えを深めたいだけなので、どっちに転がっても別にいいや、って感じ。

赤ちゃんとかいう無限の可能性を秘めた絶大なる「正義」

>>死にかけの老人を守るために出生数が20万減った国があるらしいぞ！！どこだ！探せ！！！！！！

ハリーポッターと関係ないおばさん

野生動物のオスが適齢期のメスと年老いたメス、あるいは健康的なメスと病気を患ったメスに同じように求愛するか。またメスがオスを選ぶときに何を気にしているか。そういうことを考えても「社会的刷り込みが無ければルッキズムやエイジズムは無い」は現実的じゃない。それが無い人間集団も無いだろう。いいかげん、「動物的本能ではなく社会的刷り込みのせいだ」という「自由主義との両立に不都合」であるために発明された怪しい呪文に頼らず「社会のために本能を抑制するべきだ」という現実の話をした方がまだ建設的だと思うよ。

神田うのが娘のことを「はじめて自分よりワガママな人に会った。」って言ってるのなんか良いなと思った。

はたからは負け惜しみみたいにしか聞こえんと思いますが、いわゆるスクープ報道が文春砲に偏ってるのも、「スクープ記事は意外に費用対効果が悪い＝抜いても売れない」という認識が広まっちゃって、多くの媒体が「金と時間かけてスッパ抜きやるより、健康企画でラク～に稼ぎたい」となっちゃったから。

「すべての医療行為にすべての起こりうるリスクを説明せねばならぬ」とか言い出したら極厚の説明書き渡されて「全部読んで理解できる人しか医療受けられません」になるよ。

「学歴はあるに越したことはないから、とりあえず大学には行っておけ」というのは、あくまで「ある程度、親が学費を負担できる状態にあり、実質タダみたいなコストで大学に進学できるなら」という前提があるので、正直まあ数百万円で買って元が取れるものか、と言われるとビミョーなところがあるよな。

「男女に差は無い」と「男女には明白な違いはあるがそれによって格差が生まれることが無いように取り扱うべき」には天と地ほどの差があるのだが、多くの人はなぜか前者を正義だと思っている

アメリカに来て以来学んだことの一つ「他人の感情に責任を持たない」。今までは人に迷惑かけたり傷つけることが怖すぎて、嫌な思いをさせたんじゃないかと過剰に不安になってたけど、責任をもとうにも持てないことで、どんな感情も本人が選んで感じる権利があるのを冒すべきではない。他人の感じることはコントロールできないし、過剰に気にしても生産的にはならないし、それもある種の「レッテル貼り」だと気付いた。いつでも「自分自身」を軸に持っているのが一番自分の言動にも責任を持てるし、よりよい判断ができる。まだできてないことも多いけど、随分楽になった正面を向いた例えば誰かの一言に対して「あなたに傷つけられた！」という事は、また自分の責任を負っていない。「傷ついた」のは「自分の選択」である。単純に自分にひっかかる原因があったとかドンピシャだったので「自分が傷ついた」のが事実で、「相手が傷つけた」というのは個人的な憶測だったりする。一方的に「あなたのせいだ！」と糾弾するよりは「そうか私は傷ついたのか」「では事実はどうだろうか」ときちんと見てみると、実は傷つくようなことではないことも多い。自分の感情に責任を持つことで、しがらみがぐっと減っていく。人間関係がクリアになり、楽になっていく。

こんだけのことが親から遺伝します、って論文とか本のソースを貼って「やっぱり親ガチャじゃないか」って失望している人を見るけど、遺伝じゃなくて環境が決めるところも大きいことには触れないのな、って思ったが、環境が決めるところも大きいと思える人間は親ガチャ当たりだって言われたら何も反論できないな。そうかもしれないって思っちゃうかも。

ネット、普通に失礼なこと他人に言ってるのに世の中が窮屈になったって怒ってる人と、全然失礼じゃないのに失礼なことされたって怒ってる人の両方がおり、非常に生態系が興味深い。両者を合体させたときに発生するエネルギーは北海道の全世帯一か月分の消費電力にも相当すると言われている。

アカウント名が実名で、プロフィールには生まれ年から出身高、最終学歴まで載せていたアカウントが悲惨なヘイトスピーチをしてたんだけど、実はそれが他者によるなりすましだったと知って怖くなった。よくよく考えてみたら、ネトウヨや捨て垢って匿名性の高さの庇護下で悲惨なヘイトスピーチを堂々と展開するわけで、明らかに社会的信用を落とすレベルのヘイトスピーチを実名でやる捨て垢はあんまりないよね。他人が自分の名前を名乗って、自分になりすまして差別発言してると思うとゾッとする。

生きてゐたくもなければ、死にたくもない。この思ひが毎日毎夜、わたくしの心の中に出没してゐる雲の影である。わたくしの心は暗くもならず明くもならず、唯しんみりと黄昏れて行く雪の日の空に似てゐる。"永井荷風『雪の日』

「なんでパンツを穿かなきゃいけないの？」って子供に聞かれても（いやぁ…そりゃもちろん興奮するためだよな…）（明らかに年齢に見合わないパンツを穿いて性的に興奮していた学生時代の思い出）って思っちゃうし、何なら「きみもパンツだけで性的興奮が得られるような体になればいいのでは？」って言っちゃうかも。

100問ほどあるIQテストを時間かけてやったら結果は登録・お支払いの後複数の音符と言われてIQ分からなかったけど自分が馬鹿なこと思い知らされました

「ウイルスは自滅を避けるため変異を重ねると弱毒化する」みたいな目的論的／Teleonomicな見方は大間違いで、変異はランダムに起こるんだけど、かなり知的な人でもそうした目的論的な物言いをしているのを散見する。この話、そりゃそうやろと思う人には当たり前ですけども、「ウイルスは自滅を避けるために弱毒化」みたいな言説が影響力を持つと無根拠な楽観論につながり、ひいては政策を左右しうるという懸念からねちっこく書いております。「水からの伝言」みたいにトンデモ言説が政策を左右する例はあるので怖い

タクシー運転手「どちらまで？」

客「東京タワーまで」

タクシー運転手「あー、すみません、私高所恐怖症なんですよ」

客「なんで登る気なんですか」

「女友達が彼氏に『もっと痩せろ』と言われている」という話を別の女友達にしたところ「サイテー！絶対別れたほうがいいよそんな彼氏」という反応だったので「まあ、その友達の体重は160cmで110kgなんだけどね」と返したところ「あ、あ～っ…まあ、それでも…」と歯切れが悪くなり、ラインをブロックされた。という話をスカッとジャパンに送ろうとしたが、受け取り拒否されていた。

なぜ魅力的な人ほど魅力的な人を好きになるかというと、魅力的な人の魅力は、魅力的な人にしか分からないからです。基本的に人は自分の中にないものを理解できない。

自分はある程度「老人医療を見直す」ことは必要と思ってますが、同時に金勘定ばかり気にしてそれ以外の視点が抜け落ちてしまえば、国家の紐帯が壊れる危険性があるとも思いますね。今を時めく若者も終わりが近づいた爺婆も同じ日本人で、尊重される必要がある。なので、変革は漸進的でないといけない。一応補足ですが、変革が漸進的である必要があるのは、”尊重されている感”を壊さないようにするためです。それはカネにはならないが、カネより余程重要なことがある。

認知症の初版本コレクターが本を次々に破り始めたと家族から連絡があり、駆けつけると本やカバーが無残な姿であちこちに。本人は「誰がこんなことをしたんだ」と激怒しています。こっそり貴重書を選んで物置に避難させましたが、「あいつが盗んだ」と言われるかもしれません。何だか身につまされます。

「給料は技術力でなく所属会社によって決まる」という前提に立つならば、若手エンジニアが転職を繰り返して会社のカーストと給料を上げていく動きは全くもって経済合理的であり、最初の会社に忠義を尽くす意味などない、ということになると思う。ウチは大企業単価じゃないから給料は出せない、だけど雇ってやった恩義を裏切るな、転職するやつはクソ、では流石に都合が良すぎる。忠義を期待するなら忠義に報えるような報酬、「勤め続ければ給料が上がっていく」という夢を持たせないとダメよ。年功制だ。年功序列の復活だ。

たまに弁護士費用を値引き交渉してくるお客さまいるけど、交渉に負けて値引きに応じた弁護士の交渉力に不安を感じないのだろうか。

某社の人事のTweetで「なぜ人事が就活生に上から目線なんだ？」というツッコミをアチコチでみたのだが。「生殺与奪権がある」「給料握ってる」など、思い上がるには十分な仕組みでは有る（実態とは限らぬ）ので、チームとして「思い上がってはいけない」というのを意識しないとダメってのはよく見る。

眼鏡であったりLGBTの話でよくある、「日本ではとっくにそんな問題を乗り越えている」という点が全く評価されないという話、やはり「眼鏡は醜い」「セクシャルの異常は不道徳」という「前提」が共有されていないから評価の対象外になってしまうのだろうな。価値観を共有する仲間と見なされていない。そんな「前提」とは偏見なのであるけれど、ともかくそこで評価されているのは「偏見を乗り越えようというwokeな価値観を自分たちと共有していること」がもたらす自己陶酔なのであって、「最初から偏見などない」相手では、価値観を共有することで陶酔をもたらしてくれる仲間とは見なされない。ここらへんの構造は、よく批判されている「賃金が労働ではなく苦痛への対価になっている」というのと相似形に思えるな。「苦痛に共感できない相手の苦痛は対価に反映されない（無能の低賃金は自業自得なのでいくら苦痛だろうと評価に値しない）」という構造も同様に内包していそうではある。

「人間は生まれつきの宿命や社会のしがらみから逃れられない。その中の持ち場で努力していけば良い。自由をひたすら求めるのは愚かだ」みたいな意見を見ることがありますが、そういうことを言える人は、それなりに恵まれた側にいるわけです。押しつぶされてるような人間はそんなこと言うわけがないので

真にポリコレに正しいアニメを作るべく、人口比と同じ確率で「白」「黄」「黒」が出るサイコロを作り、登場人物の肌色をそれで決めてみた。たまたま白が多くなった回、「白人が多すぎる」「ここで黒人を出すのは差別的だ」などと攻撃され、私は監督の任を解かれた。

「なんだかよく分からないけどきれいなものを作っている変な人」になりたいので、大学のキャリアセンターに行って「なんだかよく分からないけどきれいなものを作っている変な人」になるにはどうすればいいか訊いてこようかな

「トランスジェンダーの役は、実際にトランスジェンダーである役者にしかできない」ということらしい。サイコキラーの役をしたかったので少年少女合わせて18人を惨殺してからオーディションに臨んだが、面接官にその旨を伝えるとドン引きされた挙句通報され、私は死刑囚になった。看守に「死刑囚の役者のオーディションって受けれますかね」と聞いたところ、ただちに電気椅子に座らされて刑が執行された。

爺ちゃん19世紀の生まれなんで晩年は科学の進歩についていけなくなってた。洋画の吹き替えの音声だけ入れ替えるというシステムが理解できず最後まで日本語のうまい外国人の役者だと思ってた。自分もそんなふうについていけなくなったら、そろそろこの世の去り時なんだと思う。

「こいつがカスと分かった上で好き、というかカスな部分が好き」が出来るかどうかはオタクかどうかってよりは個人差が大きい気がするし、そのキャラがどういうカスなのかにもよると思う（殺人鬼キャラは許せるけどパクチャリするキャラは許せないとか）

「執着を捨てる」というのが持て囃されがちだし、捨て去りたいという気持ちも大変わかる。なんだけど、"創作意欲"みたいな、人が人としての美しさを放つきっかけというのは、はじめは執着や欲望から始まってるとも思うのよ。要は使い方次第で、本能や反応に理性を呑まれないバランス感覚が大事。僕は「悟りたい」という理想に向かう方向性を持ちながらも、「執着を力に変える」ということも日々やっている。このTwitterだって承認欲求という執着がなければとうにやめている。目の前の事象に振り回されて、「ああもう執着なんて一切捨て去りたい」と思うこと自体が執着なのでは、とすら思う。

他人の人生に責任を負う気がないので、すぐ「買っちゃいなよ」「引っ越そう！」「辞めましょうそんな仕事は」とか言う。

独文科の１年生だった時に教授（日本ゲーテ学会会長）に「ドイツ語詩にレモンとかオレンジとかの柑橘類が登場したらそれは手の届かない遠い遠い南国を指している（それも悩みも苦しみもない平和な国というイマジナリー南国）と思え」と教わった。ドイツ語圏に柑橘類はほぼ生らない。ロマン派詩人（ハイネとか）が「いざゆかん恋人よ檸檬の花咲くあの丘へ」と言い出したら、それはあまりに非現実的な描写なので恋人は人妻か身分違いか何ならもうこの世にはいないかと思えと。

客引きで一番面白かった話はオタクが風俗かなんかの客引きに捕まって「お兄さん何系が好きなんですか」って聞かれたらオタクが「115系！」って叫んで客引きがドン引きしたって話

昔Twitterで過激な思想に走る人々が「正しさ以外に武器が持てない弱者」と笑われてるのを見たことがあるけど、実際に弱者の欲望は対価の支払いができないという点からひどく嫌われるので、正しくなる以外に社会にいること許される手段がないというのはあると思う。強者になれたら良かったんだけどね

金箔がのってる食べ物って味とかもう関係ないもんな。友達とか家族に「今日金箔食べてさ～」って言うためのもの

殺人がクセになってしまったキャラでも仲間には出来るが、性犯罪がクセになったキャラは仲間に出来ない。あと詐欺がクセになってしまった人もね。殺人犯はサイコパスとは限らないけど、詐欺師はほぼサイコパスだと思ってる。気付いたんですけど、これの許されざる基準、多分「利己的な快楽を追求して悪事を働いているかどうか」が境目な気がする。性犯罪がクセになったキャラを仲間に出来ないのは、「性犯罪は生きる為に仕方なく行う」ものでは無いが故、そもそも贖罪が難しいからなのかもしれない

FXで億り人になるのを夢見ていた友人がFXで多額の借金を背負った為、副業でデリヘルの送迎ドライバーを始めました。送り人の誕生です。

「俺は定時で帰って空手をやるために公務員になった。同年代のやつは公務員になるなんて馬鹿か！って言ってたけど、俺は定時に帰って空手をやるために公務員になった。それを今頃になって公務員はズルいだのなんだの言ってて釈然としない」って言ってたのを思い出すな。

ジェンダーバイアスは「男/女なら絶対にこうに違いない」という事前確率を否定する所見が得られたときに無視するという思考障害なので、差別憎しで「もともと男女の差は全くないに違いない」と決めつけて融通がないのは同種の思考障害であって、両者は科学としても倫理としても同じ失敗をしている。観測される男女差があるなら、それを事前確率として認め、新しい所見が得られるたびに確率を修正する、という営みを否定するならそれは反知性主義だ。「女はみんな数学が嫌いに違いない」は非科学的な偏見であるが、「ある人は数学が嫌いであることが判明しているので女である可能性が高い」は科学だ。結局、この対比は false equivalence ではないから「同じ失敗を含んでいるなら反男女差別のほうがマシ」ということになるので、自称反差別に対して与えられる意味づけは「お前らは相対的にマシな存在であるに過ぎないから無謬性および無罪を確信するなよ」ということになる

弁護士はご相談をいただいたときにどうしても「現在の法体系や裁判実務でその主張が認められるか」という点を目的に設定してしまいがちで、そのことは非常に重要だしその旨相談者にもしっかり説明しないといけないけど、それだけを目的にしていたら最高裁判例の変更もないので「現時点では無理だと思うけどそれでもなお戦う」という要望やお気持ちにどのように応えていくかというのも重要だと思っている。相談者のお気持ち的にも将来の法制度の設計的にも。「負けるとしてもなお戦った」先人たちの積み重ねのお陰で今の制度ができている。

永久に誰も死なせないというゼロリスク信仰が世界的に医療産業の拡大と隆盛を支えており、誰一人死なせない系反ワクチン陰謀論は生命至上主義が生み出した双子、コインの裏表なんですよね。広い意味で代替医療のニーズ自体にそういうところがある。

『それってあなたの感想ですよね？』話法、割と手強い相手なんだけど、『で、感想だったら何なんですか？』と聞き返すと、その先考えてなかった人は虚を突かれるっぽい(もちろん反撃入れてくる人もいるんだけど、『反撃』してしまうこと自体がその人の議論の穴を露呈してしまったりする)。『それってあなたの感想ですよね』は相手の会話や議論の欲求を挫くって意味で、会話を打ち切りたいときには効果的なんだけど『で、その感想に対するあなたのご意見は何なんですか』を追求されると、論者自身のからっぽな中身を暴露することにもなりかねないので、思われてるほど無敵論法ではない感じ。あれはひろゆきという掴み所のない人間が用いるから最大限の効果を発揮する、大魔王バーン様でいうところの光魔の杖であって、オールラウンドに使える武器じゃないと思うんだよな。その辺誤解されてるような気はする。ああこれ『お気持ち』論法についても同じこと言えるな。『お気持ち』を批判している人間が自分自身のネガティブな感情を隠しきれてないときは特にそう。最低限自分の『お気持ち』の足跡を消してからでないと相手からも刺されることになりがち。お気持ち論法、自分のお気持ちの足跡を消すのはかなり困難なので、そういうお気持ちがあるならこっちにはこっちでこういうお気持ちがあるんや、でこんこんと話してく方が『強い』感じはある。今時自分の『論理性』を前面に出して『あいつらは感情的だ』て戦い方をするのはあんまり上手くないんじゃないの、と思うんだけど、未だに好きな人は多いらしいのはちょっと不思議な感じはある。新世代のネット論客とか来たらまたゲーム環境変わったりすんのかな。この手の屁理屈の相手をする場合、正面から答えちゃいけなくて、「感想の定義は？」「意見との違いは？」「なぜこれが感想だと判断した？さっきの定義と合ってるか」などと詰める側に回るに限る。

人件費なんて1円でも抑えたいだろうに全くセルフレジが導入されない激安スーパー、客層への絶対的な信頼を感じる

多様性がしんどくないって言ってる人、ただ単に自分がしんどくなるようなものは最初から多様性の埒外にしてるからそう言えるだけなのよね。トランス女性の女湯利用くらい認めてから人に説教しろと言いたい。悪かったことを話すだけ話したら聞いてくれるサービス

人材を人財って書くのと同じノリで、応援部を「應援部」って書いてる奴らが許せなくなってきた。漢字の持つ記号に意識的であろうとするあまり、かえって表層的な意味しかこめられてないことへのいら立ちがあるかもしれない

昔は「カントリーマアムこんなに小さくなりやがって！」っていちいちイライラしてたけど、実存主義的に生き始めてから「勝手に小さくなってろ」って思えるようになったのでシュリンクフレーションに憤るみなさんはインストールしてはいかがか。

息子が担任の先生に「4×6は何ですか」って尋ねられたので、階乗の意味を込めて「4！」と答えたところ「違う！」って怒られてしまった。階乗さえ知らない人間に小学校の先生が務まっていいんでしょうか、私は日本の未来が末恐ろしく感じられます。という嘘松エピソードをツイッターに載せたが、このエピソードの意味を理解できる知能層の平均がツイッターのソレではなかったため、まったくバズることもなく、30件の引用リツイートがついてボヤ騒ぎになっただけで終わってしまった。

反動で知性主義へのアンチ、反知性主義がツイッターで勃興しているようだけれど、ある種滑稽なのは「インテリを嫌う発言の多くもまた同じインテリから発せられている」という事実なんだよな。だいたいが都会出身で大学あるいは大学院出身、そして大企業勤め。ある思想へのカウンターを当てられるのはその思想を理解し、しかも問題点を看破できる人間に限られているのでこれは当然の話で、まともな反知性主義者は知性主義者と同じぐらいかそれよりも賢い。とても皮肉ではある。

親ガチャというミームを自分自身に適用して「おれは外れたので努力できない」とツイッターで嘆くことの無意味について指摘するとき、「マクロの話をミクロに敷衍するアホ」というより「ネット環境があって文字が読め、親ガチャの意味を理解できる時点で全く外れじゃないだろ！お前のそれはただの怠惰だろ！」のほうが『効く』という気がする。

「爆発イコールおもろい」という5歳児の価値観から未だに抜け出せていないので、たとえば大学のキャンパスの自分がいないとこで爆発が起こったら全然笑っちゃうし、死人や怪我人が出なければツイッターで大喜利とかもやってしまうと思う。

隣人愛をイエスが唱えたのは「親愛」ということばに代表されるように、本来人間は親しい人にしか愛を持てないからかもしれない。無理だとわかっていてこその理念というか。「おれは無条件にこの場にいていいのだという許された感情」がおれは「愛」の定義だと思っていて、それは手を繋ぐ老夫婦だとか、ペットへの感情とか、親から子がもらうおまけの唐揚げに具体的なカタチとして表出する。

愛を定義した人、本当に賢すぎる。脳の生化学的プロセスをことばで再定義するの賢すぎる。ノーベル平和賞あげよう。

クリスマスマーケットやお祭りの屋台があんなにボッタクリなのは、列に並んでワクワクするときのユーザー・エクスペリエンスを含んでいるから。自分が値付け人でも絶対800円とかにしちゃうと思う。だから、「節約のために焼きそばを焼いてきたよ！」じゃダメなのだ。それはユーザーエクスペリエンスが全然得られないからね。1パック500円のもそもそな焼きそばを恋人とほおばっているときにしか味わえない幸福が確かにそこにはある。

ダイエットの停滞期は理不尽な飢餓感がやってくると知ったので、挫折しないように「停滞期は飢餓感！」と張り紙をしたが、飢餓感の「飢餓」がたまらなく飢餓感を引き起こしてしまい、私は20kgのリバウンドに成功した。

体重が虚数になる夢を見た。翌朝、起きて体重を測ってみると、体重計に虚数部が追加されていた。測ってみると「75.03 + 0.000i kg」と表示されている。それじゃあ意味ないよ～春風亭昇太です。

思うに、歯医者でのブラッシング、メンズエステ、散髪、ネイルアート、シャンプー、アカスリ、グランピングなどにヒトがお金を出すのは、自分でギリギリできなくもないがあえてそれを他人に何かをやってもらうという快感があるからだろう。お金持ちになったら毎日シャンプーをお手伝いさんにやってもらいたいという欲求がある。全然ある。そのために月10万を払ってもいいとさえ思う。

生活保護受給者を非難する人が「自分だって生活保護を受けることになるとは微塵も思わないのでしょうね」という論法を使うことがある（自分もよくやる）が、これはあんまり効果的ではない気がしてきた。隠された前提として「人はどんな立場であっても一貫している必要がある」があって、これを任意の人間に求めるのはあまりに酷だから。生活保護非難者は自分が困窮したらやっぱり生活保護を受給しに行くだろうし、それで別にいいじゃないか、という論調にならなきゃいけないんじゃないか。「ゆーてますけども」というか「反対者だって困窮すればいつだって受けられる、それがほんとにいいとこなんですわ」みたいな。まあ、実質的レイヤーとして、国全体が困窮すればそんな制度は霧散しちゃうんだろうし、議論に意味があるかと言われると…。

認知症になったら同じことを何度も言うようになるというけど、そうなったら自分の会話ネタを書き留めておいて、話した時刻をメモしておくことで、意地でも同じ話をしないようにしてやるからなと決心している。

こないだ奢りにきたゲーム制作マンが「ゲームの凄さは『安全に失敗できる』ことです」「失敗しても、痛くない恥ずかしくないリトライしやすい」「ゲームは役に立たない！と言う人がいるけど、それは『役に立たせるセンスがない』だけですよ」と言っていて、たしかに学校の勉強もそんな感じよな、などと

「退会がめんどくさいサービスは再入会する気が失せる」という話を読んだけど、私はどこのサービスの退会がめんどくさかったとかそういう情報はすぐ忘れる。

何かの用事があったために学校に行かなかった日って全然作業が捗らないな。アイテムコンプを目指してたのにストーリーの進行上もう絶対に取れないアイテムがあることが判明しちゃったときのRPGのゲームのやる気に似ている

最近見たアメリカのホラー新作、昔の「キャンプに行く若者」「パーティー開いてる若者」という殺されるポジションが、立て続けに「意識高くて健康に気を使い、SNSを駆使し、社会貢献に熱心な裏でイジメや差別をするリベラル」になってる。最初に殺される「（ホラーファンのオタクにとって）いけ好かないやつ＝昔で言うジョックやチアリーダー」の役が今はそういうグリーン戦士なんかに回って来たってことで、やつらは社会的には成功してるってことでもあるのよ

上野千鶴子さんが唱える、みんなが貧しくなるなかで、生産性のない人間が半永久的に生き続ける権利が保障される社会というのは、社会が産みだした富が、出産・育児ではなく、終末医療に全部つぎ込まれる社会のことでしょう。

色の白いは七難隠すと言うと名誉白人呼ばわりされそうだし色の黒いは七難隠すと言うとBLMを馬鹿にしてんのかと炎上する予感。

「大人になる」とは、付き合いの酒で肝臓を酷使したり中性脂肪を貯めたりすることであり、あるいは、営業の為の笑顔で顔にしわを刻み込むことであり、あるいは接待ゴルフで肌を焼くことであり、あるいは脳みそが狭い世界で固まっている上司からハラスメントを受け、ジジィどもの汚さに慣れることであったりする。つまり、「大人の世界」のなかで疲れて、かすれていくことである。

人間は肉体的に、繰り返す新陳代謝の合間に、老化という現象によって若さを少しずつ失っていく。それは生きていくための駄賃である。同時に私たちは、社会的にも生きていくための駄賃を必要とする。それはつまり「大人になる」ことである。若々しさと無垢を手放し、大人としての世知辛い処世術を身に着けていくことである。それはある種、「生存税」とでも言うべきものかもしれない。老化のような自然の法則ではなく、それは人間がいつの間にかの事の成り行きで定められた「みんなルール」というあやふやなものに過ぎないのだが、ルールというものが持つ極めて理不尽な効力によって、私たちは払いたくもない「生存税」を払わされているのである。

中国人知人が雇ってるドライバーが毎月ガソリン代500元(1万円弱)を水増し計上してるんだけど車の扱い丁寧だし勤務態度や人柄も良好なので追及していないらしい。俺が見て見ぬふりしてるのを勘付いてるくらいが丁度良い。罪悪感と恩義が忠誠心を作り出す、と言ってて中国式人材管理にブシドーを感じた。

絵師のうますぎるアタリって、ある程度いろんな構図を勉強して描けるようになった人用という感がある。たとえば足のアタリでも「三角形で捉えるとうまく描けます！」っていうけどまず素人はそのケーススタディを学ぶ必要があるんよな。三角形で描けば全ての構図で何でも描けるようになるというより、いろんな構図を描けるようになった結果、三角形でアタリを取るのが効率的だと気づいた、というほうが近い

日本人が「古い」と思い込んでいるであろう宗教観の人々…唯一神を信仰し、祈りを捧げ、許しを請うている文化圏にある人々…と話すと、むしろ向こうこそ日本人を心配し、不安を抱いているようだ。自国民にとってはまるで透明であるが、外部からはその異質性が丸見えという事象がどの文化においてもしばしば起こりうる。日本の信仰宗教はまさにその一つであって、彼女が日本人に神の実在性を問うたところ、人によってその答えが全く異なっており多大な混乱を抱いたらしい。唯一神やその言葉を絶対とするイスラーム圏にはそんな混乱が起こり得ない。唯一神を信仰する人間が神の実在性を口にするのは禁忌であり、異常事態である（イスラム教の六つのfaithには「belief for the God」がある）。翻って日本ではどうかというと、確かに信心深さは人によって全然違うだろうなと感じてしまう。敬虔な信心深い人もいるが、そういった人間はどちらかというと不気味で怖くて、何を考えているかわからないタイプにうつりがちである。しかも宗教一般について語ることさえ、どちらかというと禁忌とされる。科学や論理を重要視し、お守りに本当に効き目があるとはたいして思わず、神様などという都合の良い存在をせいぜい腹痛やテストの時に信じるぐらいだろう。アンケートによればそれが多数派である。彼女があたったのもそのタイプのようで、神の実在を彼女に問われたある日本人は「都合によって神を信じたり信じなかったりする、フィフティフィフティだ」という回答だったようだが、神様は信じるのが当たり前という文化圏の人にとってこの文章は無意味である。すでにこの世界にあって信じるよう決められている存在を「都合よく信じることにする」ことは（神が存在し、しかも人間をつくりたもうたならば）論理的に不可能である。さらに別の人は「いや、まったく信じませんが」なんて言い出したらしい。これは彼らにとっては神への愚かなる挑発・侮蔑であり、無神論者の告白であり、事実上の絶縁状に他ならない。日本人として日本に育つと「何をそんなに驚いているの？」と逆ショックを受けかねないが、ともかく日本人が無神論者と口にするたび、彼らの不安は増していくようなのだ。”are the most Japanese athiests?”と聞かれたときには困ってしまった。外国人に日本の曖昧な宗教観をそのまま伝えてしまうと、「やはり彼らは無神論者なのだ！」と驚いてしまうだろう。誤解をうまないよう、私は以下の点を強調した。「日本人の多くは都合のよい時に神を信じている、これは事実として認めざるを得ない」「しかし、まったく信じていないということはあり得ない」「神の代わりに、各々は各々の先祖を祀り、心の中で彼らが天国にいて、安らかな生活を送っていることを願う、そして自分も向こうに行けることを信じている」「先祖を信じているので、それは実質神を信じているのと同じである」「ふとした瞬間に先祖が天国でこちらを見守ってくれていることを思い、うれしくなり、また悪事を働いてはいけないなと戒められる」「個人的に、心の中に一切の神もいない世界は、誰も生存できないほど辛く苦しいものだろう」「その文脈において、私の心の中には間違いなく神様が存在している」などと述べた。要するに言葉の定義が違うという戦法である。日本人が外国人に神の存在を尋ねられた時、日本人は外国人のイメージである『絶対唯一神』を頭に思い浮かべるため『私は無神論者です』と答えてしまうが、それは西洋的な意味、英語のatheistではなく、単に『あなたがたが思うような神様を私は信じてはいません』という意味にすぎず、厳密な意味の無神論者ではないので誤解しないでほしい」ということだ。別の神様…というか先祖は普通に信じているし、墓石を蹴るのもなんとなく憚られる（それに普段は無自覚でいるのがまさに「透明」という意味である）。本来であればイスラム教の人々は生まれ落ちた瞬間から神を信じることが義務であり、生きる意味である。そんな文化圏に属する彼女が日本人の曖昧でわかりにくい価値観を理解しようとしてくれていたことが何より尊いと思う。

ベーシックインカムが施行されたら誰もやりたがらない仕事に就かせるにはどうすればいいのかと言ってる人たちをよく見かけるが、誰もやりたがらない仕事に生存を人質にとって就かせる現状をナチュラルに肯定してるので怖い。自分が、奴隷使って植民地経営してた時代の人間と同レベルのモラルだという自覚あるのか？十中八九、ないだろう。むしろ、植民地と奴隷の歴史見てこんな時代繰り返してはならない！とか思ってそう。矛盾した信念を持つのがお得意なので。

電車で窓の外を見ながら、知人に「あの明かりひとつひとつに人間の生活があると思うと本当に嫌になる、大怪獣が来てせめて半分くらいは焼き払えばいいのにと思いませんか？」と話すと「その話そういう方向に持っていく人初めて見た」と言われました

教授の検索履歴にあったら嫌な言葉

「ハーバード大学　偏差値」「男女差別　したい」「殺人　なぜダメ」「福岡　キャバクラ　安い」「ダウンタウン　何が面白い」「中国共産党　入るには」「虫歯　放置しても治る」「淫夢用語　一覧」「教え子　好きになった　告白」「両親が死ぬ夢　意味」「教授　やめたい」

内定もらった会社に辞退の連絡して「弊社が第一志望と伺いましたが」と言われて「社交辞令です」と応えてる奴いて死ぬほど笑った。

教育はもうとっくに貧乏人の投資ではなくなってしまった。奨学金という名の借金ドーピングで必死こいても親に肩車された勝ち組の中に割って入るのは難しい。ほんで「バカが浮かばれないのは自己責任だから野垂れ死んでもしょうがない」と見下されりゃあ、ガラガラポンを望んでしまう心理もわかるよ。

僕のツイートのノリ、たぶん星野源に近い。「どうせ死ぬじゃん、だからいま踊ろうよ」「この世は地獄、でもなにが悪い」みたいな、ネガティブにネガティブを積み重ねた先の吹っ切れ。消去法ゆえ最強の前向き。過程でむちゃくちゃぐちゃぐちゃになっても、最後はさわやかシンプル。そういう感じ。

ツイッターに「何も不満もなく働いてます！」って人と「仕事が地獄すぎる、世界なんか滅んでしまえ」という人が氾濫するのは当たり前で、前者は転職サイトというくさった商業主義につながっているから数が多く、後者は仕事に不満しかない人しかツイートしないから数が多い。実際のボリュームゾーンは「まあまあの不満はあるが現状に満足している」ぐらいだと思うし、それがもっとも健全な世の中。「アメリカに行けば何でも自由だしフルリモートで1000万は全然ある」というツイートが流れてくる一方で「アメリカの管理職はサビ残当たり前で目の色の輝きも生きる希望もないし将来の医療費のためにしょうがなく働いている」というツイートもやってくる。大事なのは自分自身に中庸をインストールすることだ。

全学校のなかで日本人一人という体験をしたことがあるので、多様性なんてめんどくさいウザいと公言する人、自分がある日突然マイノリティになる心細さとかそこでの苦労とか想像しないんだろうなあ、呑気だなあとある意味感心する。マイノリティであることの恐怖や不安や絶望を知っていても、別の属性のマイノリティの人達を気にするのはやはり大変で面倒で「なければなあ」と思うことはあるな。ましてや広く分布した様々な属性の上下すべてに気を遣う必要があるなら（人権によればすべての人間の価値は等しく、そこから生まれる差異にもすべて分け隔てなく注意する必要があるだろう）なおのことで、おそらくほとんどの人間はそんな状況に耐えられないだろう。タイに20あるとされる性別を日本ですべて認め、そのすべてに異なるトイレや銭湯を作るのかみたいな話になってくるし、たったひとりのヴィーガンの子に別の給食をつくるのかって話にもなる。ましてや、「私たちの神を信じなさい」ってイスラム教の人が言いだしたら日本人はどうするのかってことにも、ほとんどの人は考えがおよばない。闇堕ちしてしまった元・理想主義者からすれば、「同性少年愛者でしかも頭の中に複数の人格がいるやつ」なんか到底頭おかしいことは理解しているし、その理解が進むことを願ってはいる一方、全員が全員その粒度の理解をお互いに求め出すなんて、到底持続可能な社会にはならないだろうとも。

「社会全体で子育てを」と負担を押し付けながら自分のガキを他所のおっさんが叱りつける事案には発狂するんですよね。わかりますわかります。下民が口答えしてすいませんでした。

陰キャではあるものの適応度が高いことは自負しており、たとえば高校の長縄大会だって「ばかくせえ」と1割思いつつも本番でめちゃくちゃ成功したときは9割がた感動しきっていた。仕事もたぶん、そんな風に適応しちゃって不満なく遅滞なく運ぶのだろうなと思えている

射精するたびに左右の睾丸入れ替わってるって知ってる人、けっこう少ないんじゃないかな。

twitterで、さえない仲間と共に遊び、弱い敵と戦っていても、限界があります。本当に成果を出すためには、リアルで"Do your homework!" ですよ

合理的に動いていない組織に長くいると、普通に考える能力が確実に低下する。組織に順応すれば、頭が悪くなるし、組織に順応できなければ、精神を病むことになる。そして、残念なことに、中にいる人は自覚症状が持ちにくい。そして、言い訳能力、特に自己欺瞞力だけが向上していく

知性主義的にいえば「バイアス」とは自分の考えをダメにする厄介な存在という定義なのだろうけど、生物として人間が有利に生きるために必要な、あったほうがよいものであることも確かなので、日常的には「自分に都合が悪い情報や、知るとがっかりする情報を忘れるバイアス」はあえて働かるのがラクだと思う。そういうのを外すのは統計的な話をするときだけでいいよ。

その人にとって常識でも他人には非常識なんてことは沢山あるよな。それをいちいち自分が脅かされたように感じていたら身が持たない。「常識だろ」「普通そうだろ」を強要する人に出会ったら「あっ、習慣や文化が違う人なんだな」と外国人に接した様に考えよう。間違っても自分を責めたりしない様にな！

たまに路上にいる｢あなたにピッタリの四字熟語を書きます｣みたいな人、俺に対して｢日和見菌｣って書いてきそうで怖いんだよな。

理解のある彼くん、最上位になると彼女ちゃんを福祉に引き渡すって話を聞いてめちゃくちゃ面白かった。本当に完全に理解をしている

苦手→そこそこできるに上がるのが本当に大変。まず本人が無理だと諦めてる事が多い。「できるようになりたい」と思う事とそこに寄り添う先生が必要。自分も寄り添ってくれる先生がいた。すごい子供っぽい事言うと、なんか数学できてると頭良く見られるから数学そこそこできてた方がいいよ！と思う。

浮気してるメンヘラ、たまによく「彼氏/旦那より浮気相手の方が優しくしてくれる」的な相談してくるけど、良い悪いは別にして「男性は責任取らなくていい相手には責任取らなくていいので、無責任に調子を合わせて貴方の言うことを肯定したり甘やかすことが出来ます」としか言うことがない

議論で勝つ方法と議論を有意義にする方法はまったく違うのだが、たいていの論客は自分が勝って気持ちよくなりたいがために前者のテクニックを使ってしまう（これは自戒を含む）。でもまあ、インターネットの議論にイノチかけてもなあと思わなくはない。しょせん他人とレスバして有意義な会話したって、お互いの自己満足で終わってしまうだろうという面もある。それならむしろ議論を見ている観衆に伝わるよう「なんとなく勝ったった感」を出すほうが効率がいい。本物ぽく振る舞うのは、本物として振る舞うよりもはるかにラクである。「本物である風」の演出にしか時間を割かなくてよいわけだからね。広く見れば議論とは「ここではあえて議論に勝った感を出して周りからの支持を得よう」という超長期的な目線も含むのかもしれないが…そのための手段がレスバである必要は全くないわけだよな。

CTを見ている指導医『(虫垂の)"根部"ってどこにあると思う？』

昆布の話をしているぼく「海……とかですか？？」

虫垂の話をしている指導医『そうだね、この膿のところだね』

気付いたぼく「やはりそうですよね」

あっちだと「鬼滅の刃 遊郭編」が「デーモンスレイヤー エンタメ地区 編」になってるの、解釈がだいぶ事故ってるだろ

祖母の葬式のときに骨壷を墓の下に納めようと開けたら奥の方に陶器のかけらの山と砂みたいなものが見えて、それが俺が小さい頃に死んだ祖父のものだって気付いて、人は死んだら肉体は塵芥になるのに立派な墓なんかに納めてそのくせ崩れてもほったらかしで滑稽だなって思いが俺の根っこにある。

「魅力的な人は魅力的な人を好きになるが、クズ人間を好きにはならない」みたいな「お似合い」論、なんで佐々木希は渡部と結婚したんだ？で終わりなんだよな

「若いときの苦労は買ってでもしろ」というのは『若さで許されるうちにたくさんの経験を得よう』という話であって、老人が若者を使い潰すための前置きではない

私が調査地で一番精神的につらかった経験は寄生虫や疫病で死にかけたことよりも、仲良くしていた知人から「俺、〇〇族のガキを殺したことがあるんだ」という「武勇伝」を聞かされたことでした。民族紛争での人殺しの経験をニヤニヤと嬉しげに語るのを目の前にして、何か「糸が切れてしまった」んです。ついさっきまで聖書やらキリストの愛について語っていたのと同じ人間が人殺しの話を始めたのに最初は頭が全然追い付かなくて、何でコイツは殺人の話をしてるんだと思っていたら目眩と強烈な頭痛で視界が揺らいで酷い耳鳴りが始まって結局詳細はよく聞き取れませんでしたが、彼はとても楽しそうでした。1990年代に民族紛争があった時に敵対民族の村同士で戦争が行われて、当事者はもちろん殺し合いをしているのですが殺人で捕まった人間なんてごく僅かなもので大多数の人間はそのまま日常に復帰しています。なので人殺しの経験がある人間なんてごく当たり前にいる所だというのは百も承知のはずでした。それでも実際に目の前で親しい人間に「〇〇族のガキの首をへし折って死体を蹴飛ばして云々…」なんていう話を自慢げに始められたらまるで鈍器で頭を殴られたような、眉間がとにかく割れそうなくらいの耐えられない頭痛がして、やっぱり当時の私は紛争地の事情なんて何も理解出来てなかったのでしょう。これは別に調査地に限らず戦後の日本だって出征地のどこぞで一般人を殺してた元兵士なんて当たり前に社会の中に居たはずなのでしょうが、結局そういった戦争と後の時代の日常との連続性がどういうものなのか想像する能力が無かったせいで、とにかくショックと痛みを味わうしかありませんでした。普段から現地人を殴りたくなるくらい腹が立つことはよくあるのですが、この時は彼を殴ったり武勇伝を制止したいとは思いませんでした。ただ、頭痛と耳鳴りが収まってくるのと同時にこの人の中では自分の手で人を殺すこととキリスト教道徳は何も矛盾していないという単純な事実を悟って楽になりました。これが「系が切れた」経験ですが、お陰で現地人を見る目が随分変わったと思います。以来は現地でどれだけ残虐な出来事を見聞きしてもそれが人間の在り方だからしょうがないやと考えるようになりましたし、平和やら和解を上から押し付けようとする方が間違いなのではないかとも思うようになりました。彼とはその後もずっと友好関係が続いていますし、コロ禍もノーワクチンの不衛生な環境で生き延びて元気にやっているようです。私は彼を犯罪者だ人殺しだのと責める考えは全くありませんし、殺しの経験が彼にとっては思い出す度に心躍る経験なのも理解する気はありませんがどうということもありません。ちなみに後で他の人に教えてもらって分かったことですが彼自身も叔父と従兄弟を民族紛争で殺されているそうで、彼自身の村も壮絶な被害が出ているので本当はあまり民族紛争の話はしない方がいいということらしいのですが、それでも彼が殺人経験を語る様子はとても楽しそうだったのが忘れられません。

一仕事片付いたので久々に調査地の笑えるネタを投下しようと思った矢先に銃撃戦と暴動で死者大量のニュースが飛び込んできて、相変わらずの治安悪すぎに呆れ返ってしまった。コロ禍で知人含めて多分60人以上は面識のある人間が死んだので(数えるのも面倒くさくなった)、もはや暴動で何十人死のうが動揺しなくなってしまった。「魂を心配して」反ワクチンのスパムを延々と送り付けてくる頭のおかしい牧師も結局死んだ。神の愛や人権をいくら説いても後進社会の命の価値は軽い。

“教育や知性を蔑ろにする右派が政権取るとろくなことないね”その教育や知性を蔑ろにする右派に政権を取らせる民主主義、教育や知性を蔑ろにする右派以下の左派に想いを馳せてほしい

ファシズム、ナチズムの敗北のせいで馬鹿みたいにグローバリズムが称揚されるようになりましたからね。加えて共産主義の顛末も相まって”抑圧的”とされる体制も極端に避けられるようになった。しかし、今足りないのは程々のナショナリズムと程々に抑圧的とされる体制なのではないかと思うわけです。そしてその「程々」を維持するためにも言論の自由そのものは最大限に擁護されるべきなんですな。人間が振り切れやすいことを知らない奴ほど正しさでのキャンセルを正当化する。「程々」というのは曖昧で壊れやすいため、逆説的ではありますが、頑強な法や神の庇護とその庇護のもとでの言論の自由が不可欠なんですよ。そうしたモノの庇護がないまま苦境に追いやられた人々は「程々」の政治体制も言論の自由も吹き飛ばして極端な言説に飛び乗り、破滅への道をひた走ってしまう。

日本はウクライナ相手には3000億ぐらい融資含めてやってるけど、お礼に中国に空母技術売ったり北やイランにミサイル技術提供したり、いいお礼もらってますよね。実際。

全ての議論が勝ち負けを決めるべきものではないにしろ、「負ける能力」がない人間との議論ほど不毛なものはない。だから私は一切のあらゆるレスバを行わないのです。しがらみのない見ず知らずの人間相手に折れてやったり「論破」しようとすることの意義が全く見出せない。というか当アカウントは広く浅く世界に呪いを発信することを目指すアカウントなので、そいつ用にチューンした言葉を用意するのがとにかく面倒なのである

「パトラッシュ、疲れたろう？僕も疲れたんだ。みんな疲れてる。甘えるな。立て。行くぞ」

昔好きだったけど今嫌いなものに対して、男は「昔は好きだった」で終わりなんだけど、女は「（今思えば）昔から嫌いだった」となる

「自分が我慢してやってるんだから向こうも我慢するべき」みたいなのは最初から言っておかないと後で爆発した時に拗れることが多いと思う。悪くいうと察してちゃん。

荒れた地域で、二年くらい不良や暴走族を見たことがある。家庭の事情でグレているけど知能と精神が普通の範囲の子は、自立できる年になると大体が自己修正する。自立できる年でも留まる、もっと暗い道に行く子は、本人の心と脳の問題、破綻家庭、荒れた地域、と三重事故が重なっている場合が多かった。不良の頭の程度を疑った事例は「両替機に一万円入れたけど出てこない、返せ」という嘘を言ってきたときである。普通の人は即時かちょっと考えたら、すぐに嘘だとバレると分かると思うが、そういう嘘が通ると思える層だった。言うほどのことではないけど、１、機械の仕組みを知らなくても、最後に入れた札が一番上に来ると推測できる、２、そもそも両替機なので、内部金額は一定で両替ができていない場合は総額を検査すれば分かる、と普通の人はすぐに分かる嘘は辞めておこうとなる。分からない層だけが嘘を言ってきた。

「男は女に対する性別的決めつけをやめろ」と男らしきアカウントを晒しているフェミニストのツイートがあってどうしても笑ってしまう。まずそっちから決めつけをやめたらどう？

１０代２０代の頃に俺がやって周囲から散々非難されたようなことを最近の若者は当たり前にやるから見ててスッキリするわ。あの時の俺はやっぱり間違ってなかったって納得がいくわ

2週間後に会社を辞める人とお話ししていて。4.5年前、彼女が辛かった時にわたしがピアスかわいいですねと声をかけたことでその日1日会社にいられたことがあったというのを聞いて涙が出た。自分にも似た経験がある。日々の何気ない肯定的なひとことは、流すんじゃなくてちゃんと出していこう。

「英語ではI thinkとは言わない、自分の意見に自信があるなら断言できるはずだからだ。英会話ではI thinkを使わないようにしよう！」という、謎の英会話教師風ツイートが流れてきてますけど、アメリカのインタビューみてても全然みんなI thinkって使うし、日本人が日本語で意見を言うときに断言するとカドがたつという理由で「～と思います」と表現するのを英語に直訳してるだけなんであんまり目くじら立ててもと思いますね（あっ！また使っちゃった）。アメリカやイギリスなどに留学に行くならまだしも、会話相手としては圧倒的に非ネイティブ相手が多いので、ニュアンスが伝わって上品で正確な英語より、明確に意思が伝わる英語のほうがいいんじゃないかとは感じる。そこらへんが吟味できない人がツイートを真に受けそうだなあと危惧してもいる。まあ、好意的に見るのなら「I thinkだけじゃなくてI’m sure thatとかIt is certain thatとかいろんな言い回しを覚えて使いこなそう」ってことなんだろうけどね。それなら完全同意。

TwitterにはRTが50、Likeが100を超えたあたりで「会話をミュート」する機能が必要だと思う。その辺りから増えてくる揶揄や皮肉、やっかみや誤読に付き合う必要はない。

忘れないで！酔わないと言えない言葉は、酔っていない時の貴方が「言うべきではない」と判断していた言葉です！

ギリ可愛げがない子供「パンダさん大好き！色塗りが楽だから」

四国でほっかほっか亭が今も元気に存続しているのを見るたび、「かつて大陸で栄えた種が他種との競争に敗れ、海で切り離された島嶼部や遠く離れた大陸でのみ生き残っているタイプの生物みたいだ…」ってなってる。

もうCMでは余計なトラブルは避けるためか結構な数が「男性が料理して、女性は見てるだけか食べるだけ」ってなってんのよな。ぺこぱのチキンラーメンのCMなんて大人女性すらでず父親と謎の男が子供とメシくってる。表現において性別役割分業どころか男性にその役割をとられてるのに危機感持った方がいい。本来女性がCMに出られるかもしれなかった、目立てるかもしれなかった女優のかわりに男性が出演して目立ちそしてお金を稼いでいる現実。ジェンダー観に敏感な女性からの批判を避けるために、ね。まあファブリーズだけはこれからずっと女性が主婦役をやるんじゃない？女性が臭いから男性が消臭なんてボーダーライン超えるものね

「移民を受け入れると街中で英語が飛び交い、英語の看板が目に付くようになる、浅黒い肌の人達が電車に乗ってくる」ってイメージはあるだろうけど、実際はもっとカオスなんだろうな。英語はもちろん中国語ベトナム語タイ語ミャンマー語ペルシャ語ポルトガル語…あらゆる街であらゆる言語が話され、あらゆる肌の色が街を歩くようになる。そうなるまえに強烈な揺り戻しが来るとは思うが。

インチェルネッツで、世の中のごく稀なケースについてうっかり「〜な人はいない」などと発言すると、当てはまらない大多数の人が特に何も言わない一方で当てはまる人からの反論がたくさん付いた状態をまとめられて嘘つきにされてしまう。

高校のとき、友達が「いきなり夢みたいになるときない？」と（恐らくそのときそうなって）言い始めて、「ある！」と激しく同意したんだけど、そのことを話したのは後にも先にもその人だけだった。例えるなら、現実の連続性の台風から投げ出されていきなりそこにいる感じ。似たような例だと、旅行先で目覚めて「は？」となるのも同じような感じかもしれない。「なぜなら旅行に来ていつもと違う場所で寝たからそこで目覚めたんだ」というのは現実として連続してるけど、「だからといって、は？」という感じ。普通に家で目覚めても「は？」というときはある。自分は「今という時間」や、「このことを考えている自分」を意識することで意図的にこの状態に入り、連続の波状攻撃で深い「は？」という感想を抱くことができるけど、これほど無駄な能力もないと思う。夢も見ずに深く眠ったあとは誰でもない状態で目覚めて、徐々に記憶が回復してきて「あー、残念ながらこいつかー」と自分に目覚める。自分自身はつつがなくよどみなく友人と喋ってるんだけど、その瞬間にぽっと世界に突然「置かれた」コマのようになっている自分を一方で意識している。同じ人がいたんだなあ。旅、暗いところに行くとよく起こる。

肛門を縫い付けて大便をできなくした後、周囲を汚染せず持続可能性があるという意味をこめてSDGsバッジを肛門につけた。3日後、縫い付けた糸口の隙間から大便がこぼれだしてきて、SDGsバッジは茶色に汚れてしまった。というエピソード、ギリッギリ何かの風刺としてとらえられるレベル。

友人からの年賀状に書かれていたら嫌な言葉

・SDGsにお互い配慮しよう！

・漢検受験者と英検受験者を無人島に連れて行ってバトルロワイアルだ

・実は、離婚しました！

・結婚おめでとう！オレの嫁のほうが稼ぎがいいけどな(笑)

・肝硬変になりましたが元気にしています

・最近、枕に謎の抜け毛が落ちています

・残業月200時間を突破しました！

・二度と私に年賀状を送らないでください。

脈絡のないことを考えると寝やすくなる認知シャッフル睡眠法というのを知って、私が妙に寝付きがいいのもそのせいかもしれないと思った（基本的にずっと脈絡のないことを考えているから）。

テレビでクロマグロの画像の横に「海のダイヤ」とか書いてあると「うっせえ黙れ」と思ってしまう。

普通のAVではなく素人モノしか見ない友人が「ジョコビッチの試合を見ても『うめ～』としか思えなくて興奮しない、見るなら県大会レベル」って言ってて的確すぎて笑ってしまった。自分が知っている世界との違いがすごすぎて、「一つの作品として完結してるな～」と思って感情移入できないんだとか

英語を強みとして仕事をするなら国外に出るよりむしろ日本の外資に行く方がお得に感じる。日本にいる限り英語力は加点要素になるけど、米国に行ったらTOEIC900だろうが現地の4歳児並みになるので…

ハーバードとか出てたり医師免許持ってる人がお笑い芸人やってるのをバカじゃねえのと言っちゃいけない風潮あるよね。売れてなくても夢を追う人生は素晴らしいとされ、夢を持たずに黙々と何十年も目の前の仕事をこなす人生はつまらないとされる。でも世の中は大多数のつまらない後者が回してるのよ。

そもそもの話として欧米と日本だと"差別をしてコミュニティから排除してきたマイノリティ"が違うので……たとえば日本人にとっては白人も黒人も等しく『遠い国からやってきた外人さん』なんだから黒人差別を日本でああだこうだ言ってどうすんねんって話。同性愛についてもキリスト教とは文化が違うよね。だから、たとえばポリコレの話を真剣にするなら日本に在日朝鮮人のヒーローはいるかとかそういう話に置き換えるべきなんじゃねえのと感じてて、これはそれこそリベラル左派の人が飛びつきそうなネタだと思うんだけど、あの手の人って欧米のをそのまま受け売りするだけだからそういう話余りしないのよね。つまるところ、ポリコレというものがアホらしいのは、「全世界全時代共通の正しさ」を大真面目に語ってる点に尽きるんですよ。"差別"なんて"文化"なんだから土地や歴史によって違うに決まってんだろっていう。

小さいころ、遊戯王カードの『人造人間5号』の「このカードは相手プレイヤーに直接攻撃できる。」の直接攻撃の意味がわからなくて、いきなり腹部を直接ぶん殴ってきた将太くんを私は絶対に許しはしない。

自分の機嫌は自分で取れと他人には偉そうに言い放ちつつ、自分は理解のある彼くんを求める。人間は矛盾を抱えた存在。

社会学者の言う「役割は抑圧であり悪である」という図式を前提とした理屈は、「勉強ができる私達と可哀想な女性たちがやりたくない仕事をやらされることが許せない」と言ってるようなものなのだろうね。セクハラに遭うより雨の中高圧電線に登る方が高ストレスでリスクが高いのは明白だろう。「比較をしない」というのも詭弁で、誤魔化しのつもりでないのなら己の視野の狭さを恥じるべきところではないのか。「選んで助ける」ことが肯定されるべきことなら、例えば「生活に苦しむ白人を救う会」なんてものが作れるだろうか。そんなものは不可能だろう。それが可能なのが「女性」という強大無比な権力を持たされている属性で、そのオマケとアリバイ作りで障害者やマイノリティが強い属性となっている。

家庭労働が軽視されてしまうのは、カネ以外の価値が解体された状況下において、それが目先の銭にならないように見えてしまうからだろう。そうしたところで得するのは安い労働力が手に入りやすくなる資本家だけなのに。この馬鹿げた状況が発生するのをうまく防いでいた昔の人、偉すぎる。

飲んでた先輩からサラッと「恋は自分中心に世界が回ってて、愛は相手中心に世界が回ってるよね」ってパンチライン言われて、フリースタイルダンジョンの観客みたいに湧いた

「体臭が臭い人」はどうか。風呂に入って綺麗に洗っても数時間後には汗臭くなってる人とかいる。遺伝的な問題で。そういう人を排除するのは差別か？コロナをはじめとした感染症の患者を隔離するのは差別か？答えは「全部差別」だ。差別だけどそれらを排除しても社会的に許されるというだけだ。社会全体の共通の感覚というか社会全体の空気みたいなものが差別か、差別でないかを決めてるんだな。そしてその社会全体の空気の決定権は、その社会における道徳的な強者が持っている。「感染症患者を隔離するのは合理的だから差別ではない」という訳じゃない。感染症患者を隔離することでマジョリティである非感染者が守られるからだ。むしろ差別や排除は合理的に考えた結果起こるんだ。事実かどうかは一旦置いといて、本当にこういう奴がこういう発言したと仮定しよう。どう考えてもキモいだろこんな奴。こいつが何かやらかすかもしれんから排除するのは合理的な判断だ。ただしそれは差別であるという意識をもった上で排除すべきだ。差別ではあるが、子どもをトラブルから守るという利益と秤にかけて致し方なく排除しているという意識がないと、「これは差別ではなく区別だ」と言って自分の差別行為を正当化するようになる。これが危険なのだ。自分がする排除行為は差別ではないという意識を持った純度の高い差別主義者が出来上がる。戦時中、日系アメリカ人が敵性外国人として強制収容所に監禁されたのは差別か？少なくとも当時のアメリカ白人は、敵国(日本)のスパイが潜んでるかもしれない彼らを隔離するのは合理的であり、差別ではないと考えていたからこうなったんだな。「これは差別ではなく区別だ」と。みんな自分や大切な何かを守るために排除行為をしていて、それが差別なんだ。自分は差別はしていないという甘えを捨てろ。差別だけど、それでいいと言い切れ。差別を肯定せよ。自分は差別をしているという意識を持って排除をすれば許されると言ってる訳ではないからね、一応。排除するんなら差別主義者と言われる覚悟を持ってやれということ。排除してんのに差別はしてないなんて卑怯なこと言うなってだけ。

いろいろ男女平等の話になったとき工事現場には女性がいないじゃないか！って言われるけど、近くで見るとそりゃそうよねって思うくらいきついよ。せいぜい監督としているか極稀に作業員としているか、それもほぼ建築現場だし。道路工事なんて男の中でも相当理不尽に耐えられないと無理よね。男女平等とかいろいろ言うのは好きにすればいいんだけど、そういう綺麗事だけじゃ無理な世界もあるって知っててほしいよね。なんでも極端じゃなくて少しは妥協するってこともできんのかねぇ。20年近く雑用から手元までしかやらせて貰えてない人とか普通にいるもんね。

「ポリコレで少しでも有利になれるように白人レズ娘が欲しい！抱いて！」みたいなVirtual Insanity的未来がそこまでやってきている。衝撃に備えよ。

知識の点が線になった瞬間の「うわーっ!!」という感覚はたまらないものがあるのだけれど、この快楽が陰謀論の入り口にもなってしまうのだから、人間ってのは難しいなとかそんなことを思ってしまうのであった。

おたくを語る際、「自信のなさ」「主体性のなさ」「挙動のおかしさ」の三点をおさえておけばおおよそ真実の話をすることができます

手札に恵まれた人間は「今あるカードで闘うしかない！」と言いがちだけど、それが通じるのは「不遇人間にもワンチャンある環境」のみであり、不遇な人間はワンチャンもなくなると例えばマリオカートで逆走して他のプレーヤーを妨害しまくるように、別のルールでゲームを始める

1日目　雪山で遭難してしまった。幸い食糧はまだあるので、救助が来るまでは大丈夫だろう。

6日目　食糧が尽きた。救助はまだ来ない。

8日目　救助隊が来たかと思ったらホッキョクグマだった。

10日目　もうダメだ……死ぬ………

276日目　日記をつけるのを忘れていた。

ここの起業家が、「起業の成功には苦労が必須というがこれは嘘で、ここで成功した起業家を分析すると家が裕福だったり失敗でもノーダメージな経歴が多く、起業後も大波乱なく成功に至る例が多数あり、この地の起業家の苦労話は大衆受け狙いの誇張や嘘ばかりだ」などと言っていて複雑な気分になった。

日本の場合、勉強や仕事にコミットしてきた男性ほど恋愛スキルは下がるし、年収と性格のクセは比例するわけだが、それでもハイスペ婚狙う普通スペ女子に対しては「ハイスペ彼の話、本当に理解できるの？マメな連絡とかないけど大丈夫？」とか思ってしまうな…

「自分の機嫌は自分で取る！」とかある日突然言いはじめる人、側から見てるとかなり怖くて、水を入れすぎてこぼれる直前のコップ見てるみたいな気持ちになる。自分も人のこと言える立場ではありませんが。突然丁寧な暮らしはじめる系もこれだと思ってて、迫り来る超新星爆発が怖くて仕方がない

職場の負けまくってるパチンコ依存症の人が金ないけどパチンコしたすぎて家で319枚紙千切って当たり一つ入れてそれを引いて遊んでるって話聞いて今年一番面白かった

賢そうな人がTwitterでデモは迷惑かけてナンボとか暴動で真面目に生きてる多数派が一番被害を食らうのはむしろ良いこととかおほざきになられているのを見たことあるけど、そんなの対岸の火事で他人事だから言えるんだろ。

学歴フィルターが関係ない東大卒の三菱商事だろうがマッキンゼーだろうが所詮雇われ。飼い犬が首輪の色を競ってるみたいだよね…ってTwitterでありがちだけど、起業や独立で食ってくのは学歴を身につけるより遥かに難しいので、無能な僕らは大人しく学歴と会社にすがってお賃金貰って生きていこうな。

「秋葉原駅で気持ちの悪いお客様の救護活動を行いました」って熱いオタクバッシングに見えて面白いな

「キャラの絵が描かれているグッズよりその作品世界にあるモノがグッズとしてほしい」というのよく聞くし私も分かるんだけど、そういうグッズがそれほど多くはないところを見ると普通にキャラ絵がプリントされたグッズのほうが需要あるんだろうな。

「ユーザー間で自発的に楽しんでいる間はすごく盛り上がるのに、企業が入ってきて盛り上げようとした瞬間たくさんの人がｽﾝ……ってなって一気に盛り下がる」という事例を記憶しておくべきだし、「ラピュタの再放送時にバルスと叫ぶ」という文化が今どうなっているか、は擦っていっていいのではないか。

前々から言ってるけど、こういう「女性にもAED使って！」っていう記事ですら、「（セクハラ扱いは）まず、ありえません」って含みを残した書き方してる時点で、実際にはある重大リスクを無いことにしようとしてる現場猫案件なのは明白なんですよね。人道ではなく制度の問題。「低線量被曝などのゼロリスク論と何が違うんだ」って言う人もいますが、全く違います。低線量被曝による健康被害は「確率が無に近い」ですが、制度で含みが残されるのは「常識的にやらん」なんで、救命の事実よりも処罰感情を優先する異常な人は、引き受ける異常な弁護士等を探す可能性が十分にある。Twitterやってる皆さんはよくご存知でしょうけど、ちょっと常識的にありえない思考をする人というのは、探せば案外いるものです。私自身のリアル生活でも、これまでに片手で足りないくらいの人数は遭遇してるので、「確率が無に近い」なんてとてもじゃないが言えません。だから、「AED使用を含め、救命処置の過程で行われた行為およびその結果に関しては、行為者の責任を問うことはできない」みたいな形で、どう逆立ちしても訴えられないような構造を作らにゃいかんと思うのです。「善きサマリア人の法」的なやつ。これ前に書いた時に、法曹関係者と思われる人から、「被害を受けたと思った時に裁判に訴えるのは、あらゆる人に保証された権利だ」という原則論を投げられたんですが、「提訴する権利」は「提訴されるリスク」と不可分、つまりその原則こそが問題の根なんで、そこを曲げないと永遠に解決しません。記事では「倒れてるのが家族だったら」と、救助する側の人道の問題にしようとしていますが、訴えられた時には本当の家族も被害を被るんですよね。術後譫妄のセクハラ妄想（※争いあり）で訴えられた乳腺外科の先生は、中学生の息子さんが自殺しました。ということで、本件に関しては、「ブラック企業じゃないんだから、塞ぐことも可能な構造的リスクを『現場の意識の問題』に転嫁して押し通そうとするな」です。こと性犯罪関連では、「被害者」に肩入れしてごり押しする警察・法曹関係者をこれまでに何人も見聞きしてるんですよ。重要なことを追記しておきます。この手の記事では、直接救助できる人の責務とか人道性ばかり強調し、救助を躊躇うのを批判しますが、「安心して救助できない制度を変えられるのに変えない人たち」も要救助者を見捨ててるんですよ。報道で問題提起するなら、後者こそ触れるべきじゃないですかね。大体の人は、知らん人でも見殺しにしない程度には善良だし、この問題は「みんな助けようとしない問題」ではなく「みんな助けたいけど危なっかしくて助けられない問題」なんですよ。制度の問題を人心の問題かのように偽って、現場の根性論で解決させようとするな。こちらへの引用で「免責する法は悪用されるかも」とありますが、救命処置って事後の救急搬送が必ずセットなんですけど、「健康体相手に救命処置を偽装して免責ゲット」ってかなり無理ないです？単純に逃げた方が捕まりにくそう。

ニコニコ動画がクリーンな動画サイトを目指せば目指す程、つまらない人が考えたつまらない施策が目に付く結果になり、逆説的に、汚い＝面白いって等式がユーザーの中でできあがってしまい、淫夢カテゴリーの氾濫に繋がったって歴史を我々は後世に語り継いで行かなければならない

ニコ動のiPadアプリでも最近誤クリ狙ったUIを導入しててユーザー離れを加速させている気がするんだけど、特筆すべきは誤クリする先が広告収入とかではなくニコ動のプレミアムユーザーへの招待みたいなページなので全然収入にすらなってなさそうというところが不憫だと思う

昔みんなが新聞を買ってたのって、テレビ欄・お天気欄・お悔やみ欄・折り込みチラシなどを含めた「情報の箱」に対しての評価であって、ニュース単体への評価じゃないと思うけど。ネットのない時代に明日の天気をどう確認してたか考えたら、新聞ってスーパー便利アイテムだったんだと実感するよな〜。

フェミニストは家庭崩壊の方法は教えてくれるけど家庭円満の方法は知らんのだ

うちのばあちゃん、記憶のメモリーカードも行動もだいぶメチャクチャになってんだけど「誰々さんの一周忌がある」って話が出ると急に見違えるほどシャッキリしてテキパキ準備したり連絡したりするので、あの世代にとっての“法事”が持つパワーはすげえんだな… フェスやぞフェス。過去も未来も地上も天空も繋げるイベントなんだなぁ…法事…

ウッドショックで日本に木材が入らなくなってたのでロシアの現地法人の経営権取得して木材が安定供給されるようにしました、ってな話を聞くとやっぱり商社ってのは凄いなと思いますね。「自分たちは商社とやってることは同じ」なんて嘯く転売ヤーも同じことをやってみてほしい。

「原理を理解してないと使えない」というのも眉唾で、たとえば工学系の人たちは微分方程式を解くためによく使われるラプラス変換の原理をキッチリ理解しているんでしょうか。実際に大学の数学に触れたことのある人ならわかるでしょうが、実数ひとつ定義するにも非常に苦労しますし、高校までの数学がいかに「テキトー」な理解の上に成り立っていたあやふやなものか思い知ることになりますよね。微分積分も高校では「おおまかな考え方」さえ知っていればよくて、具体的な計算テクニックを覚えることにそこまで大きな意味はないのでは。

日本国憲法、ほんとうによくできている。およそ小人が閑居してて思い至るようなろくでもないドグマは軒並み叩き潰せるようになっている。法クラとよく話すが、あれを作った人間は相当に性格が悪い。人間の本質をよく分かっている。

発達障害を治して真人間になろうとして精神科に行ったら医者が私より早口で喋って謎の動きをすることがたまにある

喫煙者はかなり減ったが喫煙所に最新の重要情報が集まってくる組織や集団というのは今も厳然と存在するんだということを実感している

デブはコンビニで千円以上使うって文章をどこかで見てから、いかに千円を超えずにお腹いっぱいになれるかを考えて買い物してることを友だちに言ったら「浅はかで狡猾なデブだね」と遊戯王の罠カードみたいな悪口を言われちょっと涙出た

行方不明になってしまった姉が、行方不明だとまだ決まっていなかった頃に間違えて電話かけてきたことがあって、向こうは電話かけてることに気づいてないから、微かにテレビの音や食器が合わさる音、すごく遠い普通の生活の音が聞こえてきて、彼女が幸せならもうそれでいいって思った。その連絡以来 電話番号は変えられて二度と連絡取れなくなって完全な行方不明になった。どこか遠くでテレビ見たりおいしいご飯食べててほしい

今の法体系って人間には「自由意志」があることを前提としているんだけど、「人間の意思決定は基本的に環境に対する反射」であり「その反射の方向性は遺伝的要因とそこまでの環境要因によって決まる」ことが見えつつある現代において、そのままの体系で良いのかという感じはあるよね。これがたとえ事実だとしても誰もすくわれないので、ミクロ的には何も考えないほうがいいという説ある。「自分で自分を救えるのは自分だけ」と「ある環境（外的環境もだし、不安を感じやすいという遺伝子の要因も含む）にある人は絶対に自分を救えない」は両立する。

男に守ってもらったことなんてないし、守る男なんてどこにいるんですか？とか言ってる人。軍隊や警察、消防がほぼ男性なのをまったく考えもしていないの本当に「当たり前」だと思ってるんだよな。軍隊なんて公共や公益や家族や同朋を守って死ぬ「男」の役割の塊やぞ。

くら寿司の使用済皿はただ深い穴の中に溜めてるだけなので2023年には溢れるらしい。

暗殺ターゲット「頼む、見逃してくれ……俺には妻とまだ幼い娘が居るんだ……」

福祉制度に詳しい暗殺者「大丈夫です！この国の福祉を信じましょう！生命保険だけでなく死亡一時金や寡婦制度の適用、お子さんがいらっしゃるとの事なので遺族基礎年金も貰えると思います！死にましょう！」

良いこと教えましょう。実は「自分はダメなやつで弱い」と胸を張って言える人は強キャラです。そう思えば失敗しても「まあ弱いからな」と思えば、認知のゆがみを防げます。弱さを突き詰めればメンタル強くなります。強がって見栄を張ると、現実に叩き落とされますよ。

【カラオケあるある】

一線級のお気に入りを歌えるように喉を慣らすため、まあまあの曲を歌うだけの時間がある

前澤が宇宙で事故に遭うより、前澤が宇宙行ってる間に地球が爆発する方が面白い。

『会社の飲み会は全部断って家で勉強！！』なんてのは起業して上場させる位の1万人に1人の天才がやる事で、普通のリーマンは飲み会で上司と仲良くなって会社内の関係をしっかり築かないとダメよ

サブカルは40を過ぎると病むと言い放ったのは吉田豪だったか。一説として、いつか死にゆく者として、その恐怖を乗り越えるため自分が拠り所にするには、漫画、アニメ、ゲームなどは弱いのだそうだ。そして国家とか人種とか、倫理道徳とか、自分が死んだ後も長く残るであろうものにコミットし始める。

歯石取りの動画を見てるんだけど、本当なんでこうなるまで放っておけたんだ…って人類の可能性に感動している。

pixivにいる、5年も絵をあげつづけているのにまったく上達する気配のない人の絵を見て勇気づけられている。上達しなくても神的にうまくなくても、ただ純粋にそれが好きで描いているのだろう。才と環境に恵まれても挫折して筆を折る人もいる中、本当に素晴らしいと感動している。自分も好きを突き詰めて描き続けたい。

とうとう「ケモショタがおしっこもらしてるのを専門で描いてるアカウント」に出会ってこれから5年分のシコネタに困らないかと思ったけど、ワイの好みのベン図はさらに小さいところにあるので自分で描けば一生困らないな

「ちょっとマイナーな性癖、おしっこをもらしちゃうケモノに興奮するというだけでなんでこんなに生きるのが大変なんだ」という面倒くささがギリ「おしっこをもらしちゃうケモノを自分でいっぱい描きたい」に負けてて、そのせいで自分はすごく楽しく生きられてるんだなってことがよくわかりますね

現実世界にケモショタがいたら連れ帰ってトランクに放置して失禁させた後、それを見ながらシコってケモショタの耳の中にぶっかけて全力で嫌がられたいな～ みんなもケモショタがいたら連れ帰ってトランクに放置して失禁させた後、それを見ながらシコってケモショタの耳の中にぶっかけて全力で嫌がられたいですよね？？

本当に自分が描きたいものは後回しにしちゃうけど、本当に忙しい時だけ本当に自分が描きたいものを描けるようになるという厄介なクセがあって、これってたぶん「自分が本当にしたいことを先にしちゃうと他のが捗らなくなることを知っているので興味関心が薄いものを先にやっちゃう」という効率化の本能と「マジのマジで切羽詰まっているとそっちは終わらず、かえって些末なタスクをやっちゃう」という逃げの本能が両立してて起こってるっぽいな？？

恋人と話し合いになったときに、非がある方が「ごめん」って謝って、何となくそのまま話し合いが終わることが多い気がするんだけど、「今後、同じことを繰り返さないために何をどうするか」まで話をしてから話し合いを終わりたい。でも、そこまで深い話し合いができる人って、ほんまに少ない。でも、そこまで「話し合い」をしなければならないということはそもそも相性が悪いんだと思う

信念から反ワクチンを貫いてるわけでもなく、なんとなく事務手続きが億劫でズルズル先延ばしにした結果未だにワクチンを打ってない人間もおり、どちらかというと後者の方が圧倒的に多いんじゃないかという気がしている。反ワクチン派、どう考えてもノイジーマイノリティだと思うし、反ワクチン派と論争とかするより接種会場にハーゲンダッツのアイスでも置いた方が接種率上がりそう。

上野千鶴子の入学式スピーチに東大生が拒否反応を示したのと同じで、誰しも受動的に加害者になりたくないし差別は能動的行為であってほしいし自分の努力を既得権益のおかげだと思いたくはない。彼女も既得権益を得ている側ではある、その上での「あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。」なんだと思う

日本がたいして学歴社会でない点

1. だいたいの学歴要件が大卒で済んでしまう

2. 新卒の給与が同じ就職先なら出身校のランクによって変わったりしない(出身校で職種が決まることも少ない)

3. 大学の成績が就職の際に全く参照されない

ブルーカラー底辺労働者の家族なんかが、決断力や判断力なんてあるわけないから、高学歴で人格的に優れた我々が、タバコや酒やゲーム規制や、表現規制をして、知能の低い家族やガキに悪い影響を与えないように、色々規制や禁止してあげるよ！かんしゃしてねすぐでいいよ！ってのが規制派。

ZIPとかめざましテレビは6時40分台からジャニーズなどのエンタメ情報を漏れなくお届けしてくれるが、偏見を言って構わないのであればその時間帯から起きてるジャニオタはいないと思います。あといつネタ切れするん？とっととニュースを放送してほしいのだが……

『論語』の作者、「先生が言ってたんだけど」というマックの女子高生メソッドを使いながら、簡潔な表現で世相切りや達観した名言を連発しているあたり、アルファツイッタラーの才能ある

俺が女としたいこと

・デカい図書館に行って各々めちゃくちゃ面白そうなタイトルの本を見つけてくる

女が俺としたいこと

・なし

自由を担保するのは平等に振り分けられた不自由である。言い換えれば法や慣習、マナー、空気などという不自由なものが無ければ自由は維持し得ないのだ。

バイト先の先輩がめんどくさい仕事を頼まれた時に"めんどくさい仕事"とか"嫌な仕事"とか言わずに「なかなか"歯ごたえのある仕事"を頼まれた」って言っててめちゃくちゃよかった

ひろゆき氏は、自身を絶対安全圏に置いた上で、全て他人事として語っているだけなので、当事者同士が顔を合わせて何かを解決していかねばならない実生活ではマネしない方が良い。ひろゆき論法をマネしてはいけない理由は、論理の正確性とか説得力の有無とかそういうことではなくて目的を「相手を不快にさせ怒らせること」に全振りした論法だからです。結果、怒った相手と冷静で余裕のある自分を対比させ、自分が優位にあると第三者に錯覚させる狡猾な戦術なんですよ。これは「いけ好かない奴」と思われることをまったく気にしないひろゆきだからこそできる芸当。一般人がマネすると社会的に死にます。ひろゆきのアレはディベートとかで自分が勝ってると第三者に錯覚させるための姑息案でしかないので、第三者がいないのにひろゆき論法をやる意味はないわな。

数十年後を考えてこつこつと貯金したいあまり、今の暮らしさえおぼつかない人がいるけど、なんでそういう人っていつ来るかわからない死のことは考えないんだろうか。いつ死ぬかわからないからこそ宵越しの金を持たないという生き方、全然アリだと思う。それで困るとしても、困るのは未来の自分だし。

マルクスの墓に花持って行ったら、墓の管理人に「ゴミになるからやめろ。マルクスの墓に花持って来るなんて日本人だけだ」と怒られた人知ってる

睡眠薬を飲んでも眠れないと言うので、「昼寝はせずにカフェインを避けて、布団に入る2時間前に湯船にゆっくりつかってテレビやスマホを見ずに寝てください」と答えたら、「無理です」って言われました

個人的なエゴを100％肯定される現代っコが戦争という究極の集団競技を理解できるわけがないんや

「アメリカ人は人前で怒らない！」という話は時々登場するけど、「何でみんなヒステリックなまでに輝く笑顔なん？」と米国人同僚に聞いてみたら

「人前で怒りを表してはいけない同調圧力が強く、人々は笑顔の下に怒りを隠してる。本当はとても怒りを溜めてるからすぐキレる」と言ってた。確かに。

･今の若者はひどい。(中略)常に何かに依存し、消費し、批判するだけの「お客様」でい続けようとしている

･最近の若者は全てにわたって消極的で、思い切ったことをしない

･最近の若者は、あまりに言葉遣いが乱れており嘆かわしい

出典

モラトリアム人間の時代(1978)

葉隠(1716頃）

枕草子(1001頃)

仕事柄夫婦間の私信をよくみるのだけれど、ダメになる夫婦は「ありがとう」が少ない。両方言わない場合もあるが、片方だけが言っていても平均してほかの夫婦の半分以下というパターンもある。

「ここから先は超おもしろツイッタラーランキング50位以内しか通さないぜ」「俺は37位だが」「……ふん、通れ」

多様性が無い環境がいかに快適かというのは「中学生の頃が一番キツかった」という話が何千人もの共感を得ることで証明されてる。公立中学校はまさに多様性の宝庫だ。受験で分類された高校から上の世界でキツくなくなるのは、多様じゃなくなったから。多様性は無いほど快適。あるとキツい、しんどい。

「銀行さんが勧めてくれたのよ、高金利だから分配金で老後も安心だって」久々に帰った実家に、やけに銀行のノベルティが多い時点で嫌な予感がしていた。亡くなった父が遺した退職金は、三菱UFJ 新興国債券ファンド通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)となり、老いた母の生活を蝕んでいた。「銀行さんは悪い人じゃないのよ。私が馬鹿だから、よく分からないのに買っちゃって…」この期に及んでも尚、購入手数料3.3%、信託報酬年1.672%で設定来の12年間で基準価格が88%減の投信を売りつけた銀行員を庇う母を見て、すべてを理解した。地方で一人、孤独な母の話し相手は銀行員だけだったのだ。仕事が忙しいから、子供の受験があるから…言い訳をしながら、実家から足が遠ざかっていたのは事実だ。気丈な母のことだ、寂しさを口に出せず、世間話の相手になってくれた銀行員に言われるがままに、投信を買っていたのだろう。毎年のノルマに追われる若い銀行員の事情を知っていたのかもしれない。「母ちゃん、ごめん…」涙が溢れる。idecoと積立NISAでノーロードのインデックスファンドを積み立て、住宅ローン減税で資産価値のあるタワマンを購入。日々の生活でクレカのポイントを貯めつつふるさと納税もフル活用する自分は賢いと勘違いしていた。本当に大事なものが何か、気づいていなかった。一時は恨みもしたが、今となっては銀行には感謝をしている。クソ投信のおかげで、家族の絆に気づくことができた。ありがとう、投資信託。ありがとう、三菱UFJ国際投信。老後の2000万円問題は君たちに任せた！

何となく大衆に流されたくなくて、流行っているものには手を出さずにいるのに、ブームが去ってから ふと手を出してみたら、思いのほか良くて、「流行るだけのことはある」と感心するも、その感動を公言するには時期が遅すぎる… というスタンスの生き方の人がいますね。

よくリアルで会ってみたら良い人だって言うけど、バカじゃないのって思う。ひと目で分かる悪い人なんか社会生活送れてないから、外面は基本誰でも良い人だよ。

人は直接会った人、関係が出来た人を根拠無く良い人だと思い込むんだよ。政治家はこれを知ってるから人に会いまくり握手しまくるんだよ。

だいぶ前にテレフォン人生相談で加藤諦三先生が言っていた「人間は怒りと寂しさの処理で人生を間違えます」という言葉。本質を捉えすぎていて、今でもいろんな例に出会うたび頭の中でこだまする。特に「寂しさ」の方は本人にとっては救いの道だと思ってハマる場合が多いので尚更怖いよな、と。

感性が死んでる人「やっぱ満天の星空の下でするレスバは最高だな」

エマニュエル・カントは「人間は教育によって初めて人間になることが出来る」と言ったそうだが、高等教育機関で博士号まで取得したのに、理性でなくお気持ちで動いてる動物的な人達にはどんな処方箋がいいのやら。見当もつかない。

月4万で近場の旅行が何度も気軽にできるサブスクやぞ車は。車でしか行けない場所という会員限定コンテンツが強すぎる

無能社員と定義してる最下層がいなくなったら底辺が一段階上がるわけだから自分が次の無能判定を受ける率がその分上がる。突き詰めればトップの一人以外いらないという事になる。底辺の無いピラミッドなんてものは存在しない

VRのガンシューティング系のゲームをやると、悪役が化け物に食われる前に銃を撃ちまくって弾がなくなってもカチッカチッ…っと引き金を引き続ける気持ちが分かるようになるよね

戦時中もADHDの人はいたわけで、赤紙が届いて「うわーやべー！」と思いつつも、逃げもせずただ無視して問題を雑に先延ばしにしようとして最悪な最期を迎えたんだろうな。

外国人参政権なんかに素朴に賛成しちゃう政治家、30年前の大学のゼミで外国人留学生とお友達になったとかそんなレベルで語ってるようにしか思えない。

テスラ缶自作勢が発生したことで、「宗教的儀礼や魔術のたぐいがなぜ複雑さや秘密主義を増していったのか」よく分かってしまいましたね。神秘は簡単に模倣されてしまうと金にならないのです

美やファッションは選別と差別の上に成り立ちますから、「みんなが美しい」「ありのままで美しい」なんてこたあありえないのです。雑誌に無理を押し付ける暇に自分が美への執着を捨てたらいいんです。

みんな｢教養｣が欲しいと思っているけど、毎日の労働でそれを得るための時間が取れないからファスト映画やYouTube大学や100分で名著に頼るので。文化資本が高い人達がそれを批判するのはむしろつらいものがある。インスタントな教養を求めざるを得ない労働階級がいるのよ。

イマドキ「教養」を求める人なんて極僅かじゃないでしょうか。(笑)なんとなく、高尚っぽいことを言えて知ったかぶりしたい人が大多数なのでは。そういう人には、100分で〜なんかがお似合いですよ。突然難解な哲学書読んだって、何も解らないもの。教養がある人は「教養」を求めてないと思う。

AIに処女奪われました

はてなーっていうのはインテリぶる割には自称「低学歴」とか「風俗嬢」とかの文章が意外と好きで、「○○とは思えない！」だの、どうせ買いもしねえくせに「小説書いたら？」だの、マウント取りつつ無責任に持ち上げる、そういう奴が結構いる。正直こいつら古の泣きエロゲオタと似たようなメンタリティしてんなって思っちゃうんだけど。それはそれとして、このはてなーのキモい性癖には「自分のお気に入りの内容・属性かどうか」だけで文章力のあるなしまで勝手に判断するという、なんとも悪いクセが出てるように思う。あくまで個人的な考えなんですが、文章力ってそういうもんじゃない気がするんですよ。エロゲとかで言ったら、好きな属性ばっかりのキャラなら萌えるのは当たり前で、そこから外れたキャラを好きにさせたり、しまいには自分の性癖ごと捻じ曲げたりするからこそ、そこにはパワーがある。どっかの芸能人の悩み相談とか婚活ブログとか、あとは聖書のイエス様のたとえ話とかみたいに、そのまま言ったら炎上するようなことをどうにか燃えないように伝え、そして相手を納得させてしまう。そういうのこそが文章の力ってもんじゃないかと。今って昔みたいな「国民的○○」みたいなのはあんまり流行んなくて、代わりにプロダクトもキャラクターも言論も報道も何もかも、特定の属性を狙い、ひたすら身内ウケだけ当て込んだ、そういうものがそこら中に溢れている。確かにそれらは商品としては優秀かもしれないけど、最初からお仲間以外には響かない。それだけにあの相談とか婚活ブログとかは貴重だ。思わず自分の立場や意見を変えてしまいかねないような力が、間違いなくそこにはある。自分の好きなものに共感するだけなら、たぶんサルでもできる。気の毒な属性の増田に対して、内容に触れることなく文章力を褒めるという一部ブコメは、以前から本当に気持ち悪いと思っていた。「気の毒な属性の増田に対して、内容に触れることなく文章力を褒める」何だろうねあれ。はてなでしか見たことないムーブ。人の窮状に何もする気はないが文章は楽しみますって本人に態々言い放つことか？人として。はてブに文章力を誉められてる人、大体、高卒、中卒、ニートとか文中に書いてあるので(非大卒もしくは底辺なのに)文章がうまいという意味で差別意識の発露が多いと思ってる。「私はこの文章が好き」なら別に気にならないけど、「小説家になれば？」は本当に気持ち悪い。出版社の人間てわけでもないんでしょ？ゾッとするほど無責任。

偏見丸出しの「○○とは思えない」、無責任の極み「小説書いたら」、自慰識過剰の「書いてくれてありがとう」、見かけるだけでムカムカする三大ブコメ。

読み手としての自分にとってわかりやすく、するすると気持ちよくさせてくれる文章を書いてくれて、それでいてそうとは思わせない文章を書ける書き手の力 = 文章力

「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、やっぱダメだわ　おれが動くわ」

【アンケートあるある】

「◽︎その他（　　　　　）」のダルさが、嘘をつかせる

国立大附属から国内トップ校に進学し国内メガバン本部勤務になったものの40過ぎて自分が出世コース一番乗りになってないことがわかったので転職活動始めたニキがいるのだが、人生で初めて書類選考で落ちて凹んでいるとLINEがきた。知らねえよ…

「自己管理出来ててすごい」のニュアンスのタレントの発言に対して、「ルッキズム」だうんたら差別だと大群が押し寄せているけれど、タレントや俳優のようなルッキズムが業務の一部みたいな世界だって、それはそれで厳しいことが忘れられ過ぎだと思う。その昔、女性たちが「ルッキズム」に怒った背景には、就職活動で「事務職」に応募しようとしているのに募集条件第一位が「眉目秀麗」だったりするような、「労働能力より容姿が優先されること」についても大きかった。バチェラーに応募する女性の容姿やタレントや俳優の容姿問題とは次元が異なる。「Aの能力がある人間をBやCでも評価する」ことと「Aの能力がある人間をAの場面で評価する」ことはまったく違うのにあっちの人たちはこれを一緒くたにしてしまうからねぇ

人は何故、50才になると老害化するのか、自分がもうすぐ48才になるので、何となく分かって来たのは、とにかく、30才から50才になるまでが無茶苦茶早いので、老いる心の準備が出来ないまま、気づいたら老いてしまう。このギャップが大きい。人が中々健康に気を使えないのもこれが理由。

娘が「うんち出たぁ！」と言い出したので既にフォロワーと同程度の知能があるっぽい

オタって何故かまず普通になろうじゃなくて、いきなりオシャレになろうとするよな

年収を上げる転職ばかりがもてはやされるけど、年収を上げるということは過去の経験を売る行為であって、年収を下げるということは未来の経験を買う行為なので、どちらが良い悪いではなく、今の自分が経験を売るフェーズなのか経験を買うフェーズなのかによって判断が分かれるだけのことなんだろうなと

某食品工場で働いてたとき、夜勤終わって早朝にコンビニ寄ったら自分の作ったものが売られてて、しかも棚はガラガラなのにそれだけ3つくらい売れ残ってやんの。冷やしうどん。やるせなくなって2つ買って帰って一気食いして、何やってんだ俺ってなって心折れてすぐ辞めた。昔の話。

出身地域と人柄を結び付けるステレオタイプは現地に行ったり実際に交流すれば必ずしも解消されるわけでもなく、むしろ火のない所に煙は立たないとばかりに流布するイメージの正しさを強化してしまうこともある。ラテンアメリカの人々は概して陽気だという印象を偏見として退けるに至っていない。「学生の頃クラスに内向的で人付き合いの苦手な人達いた？」と中米出身の陽気同僚に聞くと「いないわけじゃなかったが少数派だった」とのことで、陽キャであるべきという圧倒的な社会的圧力を想像してラテンアメリカに生まれなくて良かったと安堵した。地域を問わず、どこにでも様々な性向の人はいるが確実に傾向はあるよなと。コアな日本好きな外国人にオタクや陰キャが多いことを不名誉と感じる日本人もいるかもしれないが、内向的な人に優しい国というのは彼らからしたら救いなんだろうなと思う。

大学教員の人達がTwitterでたびたび衝突しているのを見るたびに、「そりゃ、そんな言い方で学生指導してたら大学全体に恨み募らせる人は出てくるわな」ってなってしまうなぁ。なんというか、言語化が難しいんだけど、「関わりたくない」と感じさせる独特のヤバさがある。しかも、そういうハラスメントまがいの言動やってる人に限って「ハラスメント撲滅」と、同じレベルの言い方で主張しているのである。

食べログ見てると5万円クラスの寿司屋に行きつつも、入ったことのない回転寿司を見つけると躊躇なく突進するオッさんがいて、人間はこうでなければいかんなぁと感心する。

“アフターコロナでは「肥満」は間違いなく悪になる”。福祉全般に通ずる問題な気がするのですよね。国や社会が個人の健康の面倒を見る約束をしていると、「いやそんな事をされたらお前を健康にしてやるという約束を守れない」的な事が起きる。「愚行権を行使した事で発生する不幸にまで責任持てないよ」みたいな。社会の余剰リソースが厳しくなるほど口やかましくならざるを得ない。

男はネグレクト欲望が30超えると中学男子の性欲並に強まっていくのと、オタク趣味の魔法とかが30超えると解けるのでダブルパンチで一気にくる。

自分が他の人達よりも能力が劣ることは普通に分かるけど、その分「努力しているか」っていったらもっとやる余地普通にあるしツイッターする時点で余裕あるわけだし、他人に迷惑かけてるならかけないように睡眠食事以外は仕事に捧げてもいいのにしないわけで、「努力してる」みたいなことは一生言えない

俺は聴覚処理がバグってる系ADHDなので周りで音が鳴っていると人の声を全然聞き取れないし職場で電話の音がどこで鳴ってるのか分からない一方で雑踏の中でも小銭の落ちた方向と距離は一瞬で分かるの、能力に凸凹あるのはもう仕方ないにしてもクソ凸しかないので一から能力値振り分け直したい。

自分の子供が発達障害かもしれないと思ったら、自分自身と配偶者も発達障害者である可能性についても考えておいてほしい。変なマンガ描いたりする前に。読むと奮闘記みたいにしてるけど作者の認知歪んでそうだなと思うのがけっこうある。

「能力主義って差別的でクソだよな」ってこと言う資格があるのは有能な人間だけなのに、彼らには言うとデメリットしかないというクソみたいな構造がよく分かったし、サンデル教授ってほんと偉いな立派だなと思いました。

高学歴がいう「定時で上がれてホワイト企業」の内訳、会社人の話を聞いてると一般人からすれば相当強度高いタスクを定時でこなすという意味のホワイト企業だったりするので全く信用ならない。昭和のバブル期のオッサンなどは「プログラミングを朝走らせて、それが終わるまでタバコを喫んだり屋上でバレーボールをしたりしていた」などと述べているが、もはやそのようなのどかな働き方は、いわゆる「ホワイト企業」でさえ許されていない。時間あたりの労働強度はまちがいなく増加していることが、労働生産性の時代推移グラフによって判明している。資本主義がもたらしたのは、労働の効率化が労働者の心の余裕や労働時間の短縮をもたらすという旧来の偉人的経済学者による牧歌的労働ではなく、成長を無限に望む人間の欲望によって時間あたりの労働強度は増え、にもかかわらず労働時間そのものはまったく減らないという、トレッドミルみたいな労働であった。かつてキリスト教が否定した「蓄財」を肯定することで成り上がったカルヴァン派的価値観とそれを種にした資本主義は、皮肉にも労働が人間性を排外する方向に働くことを食い止められずにいる。しかしこのジレンマは資本主義の根幹的原理である「人間の欲求に素直になれば経済が回って全員が幸せになる」に根差しているので、もはやどんな優秀な政治家でも解決できない。

面接では必ず「誰かとともに何かを成し遂げた経験はありますか」と尋ねられる。これは非常に残酷な事実を示している。誰かとともに何かを成し遂げてこなかった人間、先天的に他人の心や感情を推しはかるのが苦手な人間にとって、チームプレーを必須とするこの類の企業は玄関お断り状態なのである。資本主義の歴史は還元主義的な労働…徹底した分業とその合体物の作成…によって高労働生産性を可能にすることを証明しているので、協調性がないと認められた人間にとって、かなり厳しい。すくなくとも、ホワイト企業定時上がりでまあまあの賃金を手にするという、高学歴者のモデルケース的な労働は難しい。もちろん理想的には、他人とあまり話さなくてもよいラインワークによって高賃金をもらう働き方が認められるべきなのだが、そのような労働は概して低賃金である。機械にとって判断が難しく、高コストであるがゆえに人工知能の導入が見送られるが、低学歴な人間でも下せる簡単な判断をしつづける…という類のものだけがラインワークになっている。製麺工場のアルバイトなどはまさにその例である。協調性がない高学歴者は実質的には個人主義的労働（医師、保険の営業など）を選ぶしかなくなっており、さもなくばラインワークで一生を終えることになってしまう。こちらもまた資本主義の原理に根差す問題なので、解決策はないだろう。

フェミが「有益な男らしさ」を認め、感謝しているならば何の問題もないんだよね。しかし上野千鶴子師匠は以前、男が女を守ろうとすることすらも「支配欲だ」と一蹴している。あんなのは災害時も、絶対に助けちゃいかんのだよ。

「掛け算の順序くらい別にどっちでもいいだろ」という人たち、なんで「掛け算の順序に厳しい先生がいても別にいいだろ」とはならないんだろうね？その時点で矛盾してるし、それがますます教育現場に緊張を持ち込んでいるよね。「数学的にはどっちでもよく～」と正誤の問題にしようとする人は、姿勢として掛け算順序に厳しい教師と同じで、その正誤に従って掛け算順序は緩くなるとしても他分野においてより厳しい採点が蔓延るだけ。正誤に過敏であることは肯定されているので。一方「それくらいどっちでもいいじゃないか」と寛容の姿勢を見せろという人は、不寛容に対しての不寛容であって、「寛容であれ」という厳しさを示しているため、それもまた生徒に対しても「厳しくないようにしろ」という厳しさとなってどこかで表れてくるんじゃないかと思う。教師にだけ完全性を求めてしまうのは、まず多くの場合給与や職分に対して過当な要求であるし、それがまた教師自身の完全たらんとする義務感や強迫観念につながって、似た様な暴走を招くだろうと思う。完全な教師を求めるその論調が、誤った教育があった場合の傷口を深くしてしまっているんだよ。そしてなによりも、（後者の場合）寛容を説く姿勢に一貫性がないよね。教師には子供に優しくすることを強い、自分たちは教師に厳しくすることを許すのは、子供がかわいく、教師が叩きやすいからに他ならない。教師と子供は話が違うが、そこの苛烈さがそのまま自身の主張の都合のよさを示していると思う

将棋大会にもう出ていない私が詰将棋を解いているのは「来たるべきときのために爪を研いでいる」のではなく「単に爪を切っている（ただの日常）」です

学歴フィルターが話題すけど、前々職も「学生の学歴を隠して面接した結果、受かったのは旧帝大ばっかりだった」ので学歴フィルターなくても一緒なんじゃね？て気はする。地頭がいい人は高学歴である可能性も高い。

男「お願いだ。殺さないでくれ、俺には妻と息子がいるんだ。」

殺し屋「その2人からの依頼だ。」

「防衛費が100倍になった日本に来たぞ。自衛隊がどうなってるか見てみよう」

「トイレットペーパーがダブルのいいやつになってた」

中国に行くとどの店もみんな『社会主義核心価値観』を貼ってるので「なんでみんな貼っとるんや」と同行者に聞いたら「党へのパフォーマンスや」と答えられたのだが、『感染防止徹底宣言』も"党"が"世間"に置き換わっただけで日本もやっていることは一緒や

Twitterという、TikTokやInstagramなどに後塵を拝する、カスのおしゃべりおもちゃがあるとされている

「いないおそ松くん」とかいう胡乱タグが発生して「地下の座敷牢に封じられた狂松(くるまつ)」などが出てくる夢を見た

リベラルな人は「世間の良識や常識に逆らう」とか言うけれど、家父長制やジェンダーロールがいま善悪どちらの扱いを受けているかを考えればどっちが良識や常識なのかなんてことは考えるまでもない話である

楽な仕事を見つけて逃避する人は、本当に仕事熱心な人よりも、ずっと仕事熱心に見える。

個人的には部下をメンタル疾患にする上司の傾向としては「結論を出さない」とか「結論を出すふりをして全然結論になっていなくって、なんとか結論を出そうとしている部下に対して『それっておかしくない？』と検証をしているふりをして結論が見えない魔境を作り出してしまう」感じがあると思ってる。

甥っ子ら、「これやってもいい？やっていいよって言って」とか「なんでかわかる？わからんって言って」とか「かっこいいやつ見せてあげようか？見たいって言って」とかって自分が望む返事を指定してくる最強コミュニケーションやってて強いし地味に助かりもする

幼少期に否定されることの多かった人ほど、他人の言動に敵意を感じやすい。「何でそう思うの？」という質問が尋問に聞こえたり、「こうしたら？」という助言が自分への押し付けに感じる。攻撃に感じて即言い返すこともあるが、相手を傷つけたいわけではない。自分の心を守るための反射的な行動。

経済ってのは、お金というボールを回しあうサッカーだ。貧乏な人ほど、やっと得たお金に執着する。そして最低限の生活費にだけ使う。これは、パスを回して貰えないから、やっと得たボールを持ち過ぎて結局、取られてしまう鈍臭いサッカー選手と同じだ。そんな選手には次から誰もパスしないだろう？

日曜日の夜とかにふと降ってくる、どうしようもない類の「孤独」、抗不安薬なんかを飲めばふっと忘れられそうなのだけれど、それをしてしまうと自分が自分でなくなる気がして怖いという感もある。心にさすわずかな影、ほの暗い部分がなくなったとき、いったい自分はどうなってしまうのだろうか、というメタ的な不安。そもそも人生とは本質的に孤独なものであって、いかに実存主義を突き詰めようとその孤独からは逃れられず、結局は不定期にやってくるもわもわとした不安や恐怖を食欲や睡眠欲、性欲を満たすことで表面麻酔させてだんだんと慣れていくしかないのだろうな。こればかりは彼女ができようと、結婚しようと、子供ができようと変わらないという気もするし、変わっていきたくないという気もする。それは自分にとって根源的なアイデンティティだと思うから。不思議なことに月曜朝になったら忘れられちゃいますけどね。ホルモンの関係なんだろうな…でも、ホルモン調整によって不安や恐怖のない穏やかな人間になることが本当に「善い」ことなのかは「健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会の不自由さについて」やら「ハーモニー」やらでも語られているでしょうね。不安や孤独を感じることができるのは自分が人間であることの証明なので、それを薬で穏やかにすればよいとはならなそう。正常に機能している身体では、危険を報せるために痛覚があるのに安全な世界を実現するために痛覚を感じないようにすればいいじゃないといってるような矛盾を感じる。

枝野幸男さん、TwitterJPが操作したトレンドを真に受けて「今の世論のトップトピックは”ジェンダー”なんだな！」と分析して、コロナ禍の衆院選でジェンダーを争点にして見事にスベって党首から失脚した、トレンド操作最大の被害者なのでTwitterJPのキュレーションチームのこと訴えて良いと思う。

キモがられるので絶対に墓場に持っていきたい科学的所見は「ペットボトルに1か月放置した精液は精液ではなくゆで卵の黄身のにおいである」だし、キモがられるので絶対に墓場に持っていきたい習慣は「シコる回数が一般人より多すぎてティッシュを用意するのが面倒で水を半分入れた2Lペットボトルに出してる」だし、キモがられるので絶対に墓場に持っていきたい失敗は「シコった後に手が滑ってそのペットボトルの中身を1/3ほどぶちまけたせいでシーツを取り換えたことがある」だし、キモがられるので絶対に墓場に持っていきたいゲテ物飲食シーンは「そのペットボトルの中身を取り換えるためにいったん机の上に置いておいたところ、自らの無意識がペットボトルの中身をコップに出させ、しかも日常飲料水と勘違いさせて飲ませた」という最強四天王なんだけど、このどれかひとつでも絶対に誰にも話せないの怖すぎる。飲み会の席でふと口をついて出てしまいそうだし、出てきたら最後全部の事実が墓場に彫られて末代まで祟られてしまう

好き勝手やってるAVのインタビュアー「マリオとかのアクションゲームに出てくる死亡モーション中ってもはやプレイヤーからの操作を受け付けなくて、これって現実世界でいうと射精や絶頂における性器の動きと自分の脳に比喩されるという気がして興奮するね、今、何歳？」

好き勝手やってる出演者「その話めちゃくちゃわかります。アクメにいたった瞬間、プレイヤーとしての自らの冷静な脳とあつくたぎったヴァギナの感触の両者を第三者として見つめる自分自身がいるんですよね　18歳です笑」

好き勝手を許さない監督「カット！！年齢を偽るな！😡」

というか、自分でケモショタなど（婉曲）の絵（婉曲）を描いて自分自身で満足（婉曲）できるのって、片腕の料理人が凄腕になって究極のグルメ舌である自分自身を満足させるみたいでロマンがあっていいよな！

真面目に高校数学に取り組めば高校物理の能力も上がりますし、真面目に高校物理に取り組めば高校数学の能力も上がりますよ。幅広く真剣に取り組めば教科の境界はぼやけてきます。そうして気がつくと全ての教科の境界は無くなっており全区間において連続で微分可能になっているのだと思います。たぶん。

猪木は「4」のことを「ダー」だと思っている

教科書やテストの英文は「これを読めるようになれば将来困りませんよ（ただしおまえの興味関心は知らん）」というもの。これに加えて「私はこれを読みたいのだ」という素材を読んでほしい。これは特に高校生の授業では毎回言っている。

『繰り返すあやまちのそのたび ひとはただ青い空の 青さを知る』。過ちを犯し呆然として空を見上げる。知らないうちに空の抜けるような青さに包まれるんだろうな。良い歌詞だ

コレは割と生徒によく話すんだけど「俺は人生でただの一度たりとも朝起きた瞬間に”今日めっちゃ勉強やる気がある“なんて日が来たコトが無い。やる気なんて所詮そんなもんで、そんなのに頼ってたら勉強できる日なんか永遠に来ないからね」

日本における「戦争の学習」が、なぜか「戦争の悲惨さ」の学習になってしまうのはなぜなんだろう？戦争が悲惨なのは何も近代に限った話でなく、平家物語の頃からさんざん語られて来た事で、いまさら知る必要があるだろうか？戦争以外の事、例えば火事で言えば、毎年たくさんの火事が起きて財産が失われ、消防士や市民が怪我をしたり死んだりしてる。しかしやけどの惨さや有毒ガスを吸い込んで苦しんだ人々の詳細を知っても、それで火事が防げるわけでもあるまいに。火事を防ぐには火元や可燃物の管理、初期消化手段の確保、火災報知器の整備などを知るべきだし、火事が起きてからは速やかな避難、消防への通報、消防車の出動など、市民と社会がやるべき事は山ほどある。なのに「あの火事では大勢の人が苦しんだ」という話ばかりする。おそらく、「日本は戦争を放棄した」から、「戦争を日本が克服した」という思い込みがあるのではないだろうか。たしかに自発的に開戦するタイプの戦争は克服したのかも知れないが、逆に攻撃された場合の戦争は全く放棄されていないのに。

とある会社の新入社員が、朝一番に出社して、駐車場を掃除していると、そこに社長がピカピカのスポーツカーで現われた。「かっこいい車ですね」新入社員がそう言うと、社長は彼に近づき、こう言った。「がんばってるな。いいかい？一生懸命働くんだ。そうすれば私はこれをもう一台買える」って話すき。

メディアで「売れっ子芸能人だった〇〇氏。月収数百万から数万円に・・・・。どん底の極貧生活から這い上がり再び復活した経緯とは？」とかよくあるけど、「月収数百万あるならその時の貯金で極貧にはならんやろ・・・」って庶民思っちゃうから「落ちぶれて極貧で苦労」が全然響かないのわかれよ。

さっき職場のぽっちゃり女子が「〇〇さん食べないんですか？美味しいですよ！え、ダイエット中？！待って、今このお菓子を食べれない苦しみに比べたら、その後太る苦しみなんて大した事ないですよ！？」とか言いながら俺が買ってきたお土産食べてて惚れた

記憶を失ってるが図々しい奴「ここはどこ？私はTWICEの誰？」

最強の新人「メモ取らせなくて大丈夫?」

割と勘がいいお母さん「何がネタツイよ！あんなもん体言止めにするだけでしょ！」

強い校長「みんなを静かにするまで30秒かかりました…ただ一人を除いてな」

強い生徒「死んだふりはお見通しってわけね」

絶対音感に理解のない暗殺者「じゃあこの音階は？」カチッ…バァン！！！

“強い”絶対音感持ち「失礼、動きが遅すぎて音階が聞き取れませんでしたの」

ツイッターでちょっと面白いつぶやきして目立ってから商業ライターとかに転身した人らここ10年くらいで大勢でたけど、ほぼ例外なく全員が「わざと不快感や敵対心を煽るようなツイートをして、続きはこちら（有料）から！」するようになってくの、時代かわってもやっぱそれしかないんだな、って悲しみ。ライターだってお金稼がないと生きていけないから商業するのは全然良いんだけど、でもだいたい「評論家」系のジャンルの書き手って、やっぱりアマの時しか価値ないっていうか、商業化すると十把一絡げになるのはもはや古今東西で避けられないようなとこあって、このへん塩梅いろいろ微妙だなって思う。やっぱり素人の時っていうのは凄く良い意味で「読まれなくても良い、金にならなくていい（なるはずがない）」って書いてるからそりゃ面白いわけであって、それでお金稼がなきゃ、たくさん読まれなきゃ、って工夫しだしたら過去の大勢と同じものになるのは必然なんだろうかどうしようもないだろうけど。このせいか批評文とか評論とかエッセイやコラムみたいな、いわゆる非創作ジャンルの商業文は、どうしても「本業（音楽家だったり実業家だったりSF作家だったり）がある人がほとんど趣味みたいにして寄稿したヤツ」が最高に面白いっていう構図が未だに続いてるんだろうと思う

茶室開きの際に袴を用意できず苦し紛れに正装としてスーツで参加した結果、周りが全員袴なのに自分だけスーツでうっすらと恥をかいたため、正月の稽古始めは前もってレンタル予約しておかないといけない。この歳になっても小中学校の教室で体験するような恥がかけるのは却って新鮮だった。あまり育ちがどうとか言いたくないけど、コロナ禍で入会申し込みが可能な茶道教室が限られていたときに最も本格的な茶室の門を叩いたせいで、雲の上にいるような上品なお姉様方の文化コードに引っかかった際に婉曲的な対応をされるとダメージが大きい。茶道教室なんてお茶飲むんだからもっとノホホンとしていればいいと思うけど、帰り際に何気なく「先生さようならー」を言うと、「リュックを背負ったまま人に挨拶するのは如何なものか」が透かさず飛んでくるので緊張が抜けない。四方八方から“礼”を叩き込まれて自分の文化コードを更新させられる。人の上に立つ者や社会的地位を得た者や、無駄に歳をとったオッサンオバサンは茶道をやるといい勉強になると思う。そのステータスを得る前の自分のように、他人から教育・指導される側に回れる。道の一番始めに立って、そこから一歩ずつ学ぶ謙虚さを取り戻せるから。したがって、大した業績もなく論文も書いていないのに研究室で威張り散らしたりTwitterでイキったりしてる学者、茶室に強制収用した方がいい。

今の会社に元DeNAと元サイバーエージェントの人がいるんだけど、2人揃って口癖が『DeNAでは…』『サイバーでは…』。そんなにDeNAやサイバーがいいなら元の会社に戻れよ

とにかく嫌な気持ちに一切なることなく暇じゃなくて適度に忙しく人に振り回されることは一切ない環境づくり。それはつまり創作、制作に馬鹿みたいに集中することが一番手っ取り早い。中でも料理に集中することは、あらゆる現実からの逃避できるのに作ったものを提供すれば一気に現実が歓待してくれる

医師が精神疾患になり、自院の病室から出勤する病院があると聞いて驚愕している。ネタだと信じたいですが、現実のようです。病室から自院に出勤され(というより入院してるのではじめから自院にいるんですが)、そのまま病室に戻るようです。世の中には信じられない恐ろしくて不思議なことが沢山あるみたいです。

正社員で働けなくたって、あなたの価値は変わらないよ。僕はメンタルダウンを経験し、大学を中退。周りは正社員として働いているのに、自分は興味もないアルバイトで生計を立てていた。みんなと比べては、すごく辛くなってたんだよね。でもいいんだよ。自分に出来ることができれば、それで立派だから

Twitter全肯定部に所属してるから、外界で「料理はインスタントラーメンぐらいすね」「それは料理に入らないよ笑」とかいう類の会話が発生してビビるんだけど、そうやって随所で生活のハードルを上げて苦しくないんかなと思っちゃうな

非喫煙者が禁煙アプリを入れると、禁煙の苦しみなくお金が貯まっている感じがして幸せになるのでおすすめです

ワイ「ﾊﾑｽﾀｰ(1000円)調子悪いんか？治療費いくらや？」

病院「治療費は50000円くらいかな」

ハム「ワイまだ生きとるやん」

ハム「お前大事にしてたパソコンとゲーム機どうしたんや」

ワイ「壊れたから捨てたわ」

日本の長期デフレの犯人は表向きには財務省と言われていますが、資産にしか寄る辺がない高齢者の主張が通っているだけで、本質的にはシルバー民主主義の結果ですよね。

「くだらないソシャゲには金が集まるのに、なぜ高尚な研究には金が集まらないんだ」「くだらないTikTok動画は売り上げを動かすのに、なぜ高尚な書評にはその力がないんだ」

女性ばかりの研修で、世の夫をdisり悪口と自虐を言って笑いを取っている男性講師がいるんだけど、理由を聞くと共感を得るのに手っ取り早いからだと。男性側から「よく言ってくれた！」みたいな。SNSで共感を得やすいテーマ例でも「夫にムカついたこと」が挙げられているし実際にバズりやすいもんね…

人間も社会も矛盾しているのが当たり前で、矛盾の無い社会の方が恐ろしいと思う。しかし、これが頭の良い人には分かってもらえない。

絵を描く人は別に特別でも何でもない？そうです。絵を描くというのは時間をかけて技術や知識を蓄えれば誰でも描けるようになる、特別でも何でもない事なのです。なのでみんな絵を描こう、楽しいぞぉ

いらすとやさんみたく要素を削ぎ落としてシンプルに仕上げた絵を「単純な絵なんだからササッと描けるはずじゃん？すぐ出来るんだし料金は安くていいよね」みたいに言う人いますけど「単純に見えるよう取捨選択していく」技術ってやって見ると難しいんですよね。海外絵師の高いデッサン力に裏打ちされたシンプルな絵とか見ても感嘆のため息しか出ない

実存主義をインストールしたので、よくわからんことでうだうだ1年も2年も悩んでる自意識過剰な人全員に「うるせえ肉、肉食え、俺が連れてくぞ」って最高で最悪のムーブしたくてたまらない

思ったことを軽く呟くという行為、それ単体ではなんでもないことなんだが、Twitterでバズった話題に対してそれをするときは、自分が増幅攻撃に荷担することになっていないか気を付けないといけない、とは意識している。(しっかりできているとは言っていない)見た途端に「これは悪い！」とか言いたくなるような言葉がバズった(沢山の人に届いた)場合、届いた沢山の人が一斉に「これは悪い！」と反射的に書いてしまうのは自然なことなんだが、Twitterはそれを素直に実行させてしまうため、対象に対して辛らつな言葉が無数に生成されてしまう。

先輩が自殺したらしい。医学部受験を乗り越えて、国試を乗り越えて、初期研修を乗り越えて、結局そこから見えた景色は先輩にとって生きるに値しない世界だったのかな。自分のキャリアの延長線上にいるような身近な人がいなくなったことがショックでした。多くの医者は聖職とは程遠く、さらに割りのいい職業とは言えません。一歩間違えれば他人や自分の人生を変えてしまうようなリスクを負って、人より働いているから、人よりお金を貰っているだけです。医者を目指す人は、本当に医者になりたいか考えてみて下さい。医学部に入れば人生安泰なんてことはない。僕は他人の人生のために、自分の人生を切り崩すような生き方はしないと誓いました。医者を救ってくれる人はいません。最近風当たりは強いかもしれませんが、先行く先生方、医学生の同胞のみんな、誰かのためじゃなく自分のために生きていきましょう

金は払いたくないけどマトモな医療を受けたいなんて言ってくる輩には、「労働基準法守るぞ、コラァ！」ってみんなで言い返してあげましょう

サイゼリヤデートでキレてる人に言いたいんだけど、サイゼリヤデートって、ある程度の付き合いの長いカップルか結婚して子連れのカップルが行く約束の地であって、天上人のお店だからな！付き合い始めや付き合う前の男女の行くところじゃねーよw回転寿司も然り

一応言っておくと、豊崎さんはお堅い本専門評論家とかではなく、エンタメとかもガンガン書評するし、文体も軽い人で、どっちかっていうと「面白さを第一に読者へ伝えます！買ってね！読んでね！」系の文章を書きます。そんな人がTikTok書評にケチつけてるってのがマジでギャグという話です。だから、豊崎さんは『文学賞メッタ斬り！』言うて「新しい世代です！既存権威に囚われずやっていきます！」と名をあげた人なんですよ。ツイッター文学賞とか言って、ツイッターアカウント持ってる人なら誰でも投票できる文学賞とか作ってやってたし。そんな人がTikTok書評にケチをつけたわけです。だからマジで、悲しくなる話なんですよ。自分が権力者側っていいくらいの立ち位置にいることを自覚してないし、TikTok書評という自分にとって意味不明で低レベルなものがウケてるのを見て「時代に乗り遅れてる？」と思えなくなっちゃってる。こんなに反権威として、若い感性としてあれこれやってたのに。

なぜ野村證券の方々は辞めた瞬間トップセールスに化けるんですか

精神病が重くなると精神の豊かさはなくなるのだ。精神が豊かであることは精神の健全さをあらわすのだ。精神異常者の演技をする人はそこをよく勘違いするのだ。これの演技の際は個性や多様性を表出してはいけないのだ。精神病者特有の画一的な反応を示さないといけないのだ。

例えばアル中の父親が暴れる崩壊家庭から這い上がって「家庭とは支配の構造そのものである」「絆とは軛である」という人生哲学を持つに至ったのならまぁ個人の感想とは言えしゃあないとは思うが、「家庭観をアップデート！」などと言う人は大体ジェンダー学などを院で学ぶ費用まで親が出してくれている。どんな家庭でも親や配偶者に文句の全くない人間などおらんのだから、そういう人間のやるべきことは40ヅラ下げてワガママを言うことではなく、マトモな家庭観を次代に引き継いでいくことであるよな、本来。まぁ、そういうアナタの「永遠の思春期」を肯定してくれるのがジェンダー学でありフェミニズムだから仕方がないのだが

宮崎駿について「もはや誰にもキャンセルできない」という発言を見たけど、ご本人の存命中はともかく、御大が亡くなった途端に「作中の不適切なジェンダー描写にモヤモヤしていたけど皆が褒めている作品だから反論できずに黙らされていた」という意見が勢いよく取り上げられるようになりそうではある。またTV番組でもよく取り上げられている、才能あるクリエイターとしての、あるいはあの世代の人間としての「モーレツ」な働き方とそれを他人にも求める姿勢は、「押さえつけられてきたパワハラの告発」としてメディアが喜んで掘り起こしにかかる（そういう話をしてくれる関係者を見つけてくる）だろう。何しろ「あの怖い老人、世界的な権威」から何も反撃される心配なく批判できるようになるのだから、今まで「黙らされていた」人々は重石が取れて俄然勇ましい気持ちになってくることだろう。そのとき宮崎駿の子供に注いでいた視線が格好の攻撃の材料にされるのは言わずもがなではある。

チェ・ゲバラに日本人の活動家が会いに行って「僕たちマルクスをドイツ語で読みました！」ってドヤったら「だから何だっつうんだ？くだらんことやってないで真面目に革命をやれ」と怒られた話好き。共産党の衆院選のポスターの文句がマルクス・レーニン主義でも革命でもなく「痴漢の撲滅」だったのに衝撃を受けた。スターリンとか毛沢東とカストロとかはどうだったのでしょうか。

忘れ物して今ショッピングモールの総合案内所にいるんですが、カウンターの隣に小学校3〜4年くらいの男児が一人でスタスタ歩いてきて係員さんに「すいません、親とはぐれました」と申告した後に自分とか親御さんの名前とかスラスラ伝えてて、歴戦の迷子だった。何事でも場数を踏むと貫禄がつくんだな。

年取ってから気が付くけど、自分が新人の時に３次会４次会まで来てた50代のおっさんとかって普通に化け物だよね

朝の満員電車で必死こいてオフィスに出勤しても誰からも褒められなかった。一方、午前休して家で仕上げた企画書がクライアントに大絶賛された。なんのことはないんだけど、この経験で自分は、最終的な提供価値から逆算して行動しようと決意した

建設業です。まず若い人達は給料より安定した休みや労働時間を優先する傾向にあり、どれだけ高い金額や手当を提示しても見向きもしてくれません。もの言えぬ雰囲気の現場もダメみたいですね、、(50代前後がその雰囲気めっちゃ出してる

ハーバーボッシュ法の空中窒素固定による化学肥料を廃したら、人類の現人口はまず維持できない。窒素ベースで食料の２／３がハーバーボッシュ法由来とも言われる（2012年）。自分が飢える側にいないと思うから、それをあっさりＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）と言えるのだろう。

レースカーは事故りやすい車でもあって、「神童も２０歳過ぎたらただの人」ならまだいい方で往々にしてそのタイプは精神病になったりするのです

これは本当に自戒したいんだけど、「（白51黒49で）白いな」と言った時に、よく知らない誰かから「いやいや（白45黒55で）黒だろ」と言われると、いつの間にか自分の中で「白」の割合が跳ね上がって、気づけば「白95黒5」くらいになって再反論していることがある。そうすると当然、話が壊れてくる。指摘や批判には、相手が固くなるものと柔らかくなるものがあり、言った自分も固くなるものと柔らかくなるものがある。どっちかが固くなると、もうキャッチボールは難しい。両方柔らかい状態でないと変われないし、変われないなら2人以上で話し合うことには、それほど意味がない。

メンヘラ相手に恋愛や人生に関するキレ味鋭い過激な正論ツイートで人気を博してるアカウントってあるじゃないですか？あれ全部俺がブルドーザーで一箇所にまとめてその上に汚ねぇピラミッドおっ立てる予定です

実は今日猫カフェ行ってきたんですけど、猫が13匹寄ってきて猫に埋もれてたら独占禁止法に引っかかったのかお店の人が猫を何匹か回収して他のお客さんに配ってました。

解雇されたTwitterJPの社員がイーロン・マスクにクソリプ飛ばしてるのを見て、JP社員も最後の最後に本当のTwitterユーザーに成れたんだなってしみじみとした思いになった。

リアリティショーに出てる人は、いくらおかしな事を言っていても、SNSでたたくのはやめるという感覚もまた必要だよね。亡くなった人がいるんだから。もっと言うとまともな人間なら、テラハ以降はリアリティショー自体を見ないようにするはず。リアリティショーで人亡くなってるのはテラハだけじゃなくて、海外でもそうで、もう何十人も亡くなってるんでしょ？それなのに、未だにやってる媒体もおかしいし、見てる奴らもおかしい。貧乏人に殺し合いさせて、自分はVTRルームからワイン飲みながらニヤニヤ見てる変態金持ちと変わらんよな。

ネットに溢れてる飲み会は気が向かないなら行かなくて良い勢は仕事が出来るやつや。仕事出来ひんやつは飲み会でもなんでも行って気に入られるべきやろ

子供の頃、真女神転生に出てくるレザースーツやトゲトゲ肩パッド姿の大人キャラ達を見て「この人たちは大人なのに、どうしてこんな恥ずかしい格好をしているんだろう」とか思ってたけど大人になって分かった。大人だからやるんだ。一般常識から解き放たれ自由になった大人はモヒカンになるんだ。

クソスペ裁判長「判決、し(文字数)」

かなり分の悪いチャンスに賭ける人

「お願いだから市区町村名リストねぶり回しの刑であってくれ頼む頼む頼む頼む頼む頼む頼む頼む頼む頼む」

人知れず任天堂法務部と裁判を起こして、人知れず莫大な賠償金を払って、人知れず泣いて絶望したい

認知症同士で介護しあう「認認介護」と呼ばれるものがある、これの恐ろしい点として「ばあさん飯はまだか？」「はいはい、今作りますよ」「ばあさん飯はまだか？」「はいはい、今作りますよ」というご飯食べ食べスパイラルに陥り、高齢のフードファイターが大量発生するという点が挙げられる

福祉の現場でも何かと「社会復帰」という言葉が使われるけど、ほんとうに復帰する価値が今の社会にあるのか、変わるべきは社会のほうでは、と考えてしまう。

僕の通ってた中学はタバコのポイ捨てはやめましょう・廊下に唾を吐くのはやめましょうと貼り紙が掲示されるような学校だったけど、本当だったらお金持ち一貫校に通うようなお金持ちのご子息がひとりだけ「社会勉強」として通わされており、級友たちに存分に「社会勉強」をさせられていたのを思い出した。「社会勉強」の対象となったときに人間がどういう気持ちになるかはあの時に覚えた。違和感を覚えるのは、彼の「社会勉強」の最中よりも彼が親から課せられた懲役ともいえる公立中学での時間を終えて自分の元いる世界に帰って行くとき、行ったあと、なんだよな。先生が「障害者は健常者が成長するための教材あつかいされることがよくある」という話をたびたびしているが、まさにそういうことなんだが。でも、あ……と思うのは一緒にいる時間ではなく、終わって元の世界に帰っていったあとなんだな。「将来、エリートとしてやっていくために見聞を広げるための良い経験」として僕らの時間や世界が消化・消費されたということが伝わったとき。長じて僕はフィールドワークをやる仕事で居場所を見つけてしまい、僕自身もまさに「社会勉強」と同じようなことを恒常的にやる人間になってしまったので、あの時の「あ……」という気持ちはちゃんと覚えておかなきゃいかんなと思うな。社会勉強と称してドカタに紛れ込んでくるシュッとした人の、「ちゃんとした生き方をしてきた」雰囲気、あれだけで馬鹿にされてる気分になるってのは俺もわかるのよ。当人が馬鹿にしてなくても何とも思ってなくても。優等生がこんなとこ来てんじゃねえ！って。

ツイッターランド、他人の独り言を自分に向けて言われたと思ってキレる人が多過ぎる

変態レスバ人「あなたのその結論は中出し…失礼、後出しにすぎません。誠膣…失礼、誠実な議論を期待します」

人生、所詮は死ぬまでの暇潰しなのかもしれない。潰せ潰せ時間を潰せ、そのためのネタはいくらでも転がってる。どうせそのうち死ぬんだから急ぐことはないよ。

人類、抗生物質や化学肥料ができる以前は本当に簡単に死んでいて、子供を産めば母が死に、切り傷ができれば破傷風で死に、毎冬ごとに人が餓え、流行病でごっそり持っていかれ、無事に済んだと思えば人口増が食糧難を呼びと、母なる地球の無慈悲さをテクノロジーでゴリ押した不自然の塊が今なんよ。

自衛隊時代に学んだ教訓に「食べたくなくてもご飯を食べる」があります。理由はストレスがかかると「食事をしなくてもいいか」と言う気分になりますが、頭も働かないのでミスが増えます。そしてイライラするので仲間を責めるようになります。社会で戦うためにも「飯は食え」が鉄則です。

軍事共産国家が、だいたいボロボロに経済疲弊しているのは、経済制裁食らってるのも大きいけど、軍事セクターに若い労働力を吸い取られて市場経済が成り立っていないからなんだよな(だから軍事共産国家なわけだが)。今の日本は似た構造で、高齢者医療共産国家なのよ。このセクターが若者を吸い取ってる。軍事共産国化のはじまりは、思想的なものよりも、軍部など特定セクターの政治力が高まり、どんどん金と人的リソースを集めてしまう構造にあるのかも。そして国際世論からかけ離れたドメスティックな業界世論が国全体を覆います。今の日本は国全体が医療業界化していると言えると思う。こうなると、他産業にさける人的なリソースが枯渇するので、国内市場経済はボロボロになり、市場経済の再分配メカニズムが機能しなくなるので、さらに特定セクターを介した国家からの再分配なければ成り立たない国家になる。どんどん経済縮小のサイクルが回り始める。今の日本だろう。再生医療が実用化されて、このままだと『老人を見捨てるのか』という世論に負けて、全世代向けに高額医療費制度の対象になりそうだ。つまりサラリーパーソンの天引きが数倍に増えるのは、高齢者医療共産国家の『徴兵制』みたいなもんなのよ。軍事共産国がそうであるように。今、岸田パイセンが必死に増税しようとしているけど、これってほとんどが高齢者医療費の青天井コストなんだよな。ここの増加分を政治的に止められないから、どんどん増税せざるをえない。岸田さんの酷いところは、高齢者と医療費関係票が減るから、高齢者のコンビニ受診のような問題には手をつけずに、取りやすいところから細かく増税して取っていくところなんだわ。どんどん医療費は青天井で伸びるので、いづれサラリーパーソンの給与も四方八方から取られる。高齢者医療の問題を指摘すると「高齢者を見捨てる気か」と極論が返ってくるが、違う。自己負担１割のコンビニ受診は必要か？胃瘻寝たきり老人問題。最先端医療(オプシーボなど)も高額医療費制度の対象とするのか？これら何とかしないと勤労世代の負担は青天井で、健康保険制度も維持できん。マジで再生医療とかに保険適用がはじまると、健康保険の天引きは「倍」ではすまないからな。認知症の老人全てにiPSで1億円かけて脳細胞入れたりする。手取り20万円でも毎月、健康保険で10万円とか引かれる世界になるわな。冗談抜きでそうなる。これは大げさとかではなく。身近な部分では『自己負担１割のコンビニ受診』に関しては、せめて現役世帯と同じく３割にしてほしい。また諸外国ではドラッグストアで買える薬も診察を要する場合が多いので、OTC化して薬剤師を介して購入できるようにすべき。リフィル処方など、過剰なサブスク診療を抑制する仕組みも求められる。結論として、これから迎えるであろうスーパー少子高齢化社会でも持続可能な現役層の医療負担から逆算した医療制度が求められているのだと思います。このままだと現役が可処分所得を高齢者医療に吸い上げられて、スーパー貧乏になってしまう。

そういや学生寮のときに痛感してんけど、しろうとの看病ってたまーにすごく残酷で。特に“看病する側”が【これまでの人生でどれだけ大事にされてきたか】がモロにでるんよな。ためらいなくうどん作りはじめられる子、ポカリと桃缶買いにいく子、枕元に500円玉おく子。なんにも、思い浮かばない子。大前提やけど、これは良し悪しの話ではなくて。だれの責任ーってはなしでもなく。こういう“引き出し”はあとからなんぼでも手に入るし、それをひとにわたすこともできる。ただ、その“引き出し”がないひとも、けっこーたくさんいる、ってのは知っておいて損はないとおもう。いま、じぶんがためらいなくおうどんやたまご粥こしらえられるのは寮の友達が“引き出し”つくってくれたからで、いざって時に病院かけこめるのは腹痛でころげまわってたときに即救急車よんでもらえたからやな、おもってる以上に親以外からもらったもので子育てしとんな、とおもったので。

ディズニーで嫌々バイトしてる人

ヒトからすれば「知性凄い！」「脳は大きい程優れている！」となりがちですが、神経系の発達してない生物側に主張させれば、「必要最低限の事が出来れば別に大して必要ない」「あんなコスパの悪い器官載せるなんてカロリーの無駄」「記憶って必要か？本能だけで十分じゃね？」となる訳です。ホヤ「泳いでた頃は脳みそは必要だったけど、岩に張り付いた後は吸って吐いてしてるだけで生きていけるのでだいたい捨てた」ヒドラ「神経系を集めて処理を一箇所に集中させようとするからそこが弱点になるんだよ。リスク分散って知らないの？頭悪いなぁ。まぁ僕は頭持ってないけどw」

Twitterがもっとも異常者に優しいSNSなのでTwitterで無理な異常者はどこ行っても無理です。

批判はガン無視して自分達の主張を押し付ける戦術は一見強く見えますが、それは神輿に担がれた人の消耗とトレードオフなのだよな。普通の人間は多くの批判が寄せられても平気でいられるほど強くない。

活躍している、目立ってる…ってだけで快く思わない人がいるんだよね。だからたとえ聖人君子でもアンチは湧き出てしまう。ブロガー続けてくうえでも、はてなブックマーカーを対等な人間扱いしないほうがいいかなと思うことは正直ありますね。なかなか経験がないと分かり辛いと思うけど、文章を正しく理解してくれた上での批判ならまだマシで、1番イラつくのは文章の意味を全く理解できてないのにあさっての方向に批判をしてるやつ。なんかさ、「辛口批評に晒される覚悟もないのに公開するな」というゲロみたいなツイート見ちゃったんだけどさ。作家は作品を【楽しんでもらう】ために公開しているのであって、「悪口」の材料にされるために夜なべしてるわけじゃないんだわ。作家に打たれ強さを求めるな。未来の才能の芽を摘むな。「悪口」って言うの簡単なんだよね。イケメン俳優が相手でも「目つきが気に入らねえ」とか言ってればいいんだから。世界一の実業家に対しても「性格悪そう」とか言ってればいいんだから。労力不要の自己顕示欲が「悪口」だよ。作家と読者が楽しんでるところに、そういう「荒らし」は要りません。

オタクを差別したり萌え絵を批判してるのに、twitterのアイコンに使ってるの萌え絵では？という人を度々見かけて違和感を覚えるけど、さらに不思議なのが、普段オタクやその文化を叩いて否定してる人が、このアニメはオタクアニメじゃないとかこれは良い漫画・アニメだとか分けるの都合良すぎるね。

子ども産むまでは親の躾の影響力をわりと信じており、まあもちろん“影響”はあるんですけど、(10年以上あれこれやってきて今更なんですが)なんというか子どもって無色透明で生まれてくるわけじゃなくて最初から「その子の色」を持ってるよな…みたいなことを痛感しています。どなたかが以前ツィートしてらした『子どもは70%くらい基本仕様がインストールされて生まれてくる』というのを18年育ててきて実感しております…

個人主義を称揚してる輩は、なぜ自分はその利益に預かれると思い込んでいるのか、さっぱり分からぬ。共同体から切り離された消費者なんぞ、強者から見たらカモ以外の何者でも無いぞ。自分含め弱者が多数派であるのに、どうして自由なロールモデルが善で競争が悪なのか。どっちも同じやぞ。

30歳を超えてから時間の過ぎるスピードが本当に早くて、もう次の朝目が覚めたらおばあちゃんになってて、気付いたら死んでるんだろうな。そう思うと何だか気持ちが楽になるよね

こないだ奢りにきた整形に４桁マンが「整形は失敗した」「お金を払えば理想の姿になる、と盲信していた」「ほとんどの費用は『元の顔に戻すため』にかかった」「整形なんて最初からしなきゃよかった」と言っており、ひとは『今すでに当たり前にあるもの』の価値を、常に過小評価するんだなぁ、などと。

核家族化や個人化が進めば進むほど、弱者は包摂されにくくなるんですよね。むしろリベラルの側こそ「家族の絆」や「拡大家族化」といった保守的な価値観を打ち出すべきでは？夫婦別姓とか言ってる場合じゃない。「家族」は極めて自然で効率的な単位なんですよね。誰も他人のために税金は払いたくないけど、自分の配偶者なら養うし、自分の子供のためなら教育にお金かけるし、自分の親なら介護する。

この前ホリケンの劇観に行ったら開演前に「この劇は堀内健の脳内の様々なイメージを具現化したため、一部本当にわけが分からないシーンもございます。ですが、この演劇を観ようと決めたのは、あなたです」ってアナウンス流れて爆笑した。演劇にしろ同人にしろ表現なんてこういうテンションでやるべき。

ツイッター、もう一回スワイプすればもっとすごいエロ絵が見られるかもしれないという最悪のパチンコになってる

企画会議で餅つきが議題にあがったんだけど「臼と杵をレンタルするのめちゃくちゃ高い」ということが判明して色んな代案が出る中「クールポコに出演料払って臼と杵だけ貸してもらうほうが安いのでは？」という最悪の裏技が提案されたの面白かった

キッザニアはお子様向けだから仕方ないけど、疲れた顔の大人が多かったので【バンドマンで成功したかった】とか【アイドルになりたかった】とか【ピアニストになりたかった】とか【なんだかよくわからない仕事の人になってみたい】とか、大人や高齢者が憧れの職業を楽しむ施設あってもいいって思う。

生理痛が腹にギューっとくるタイプで、薬飲んでイツツ…と丸まりながら「私のお腹、頑張ってくれてるんだな…今月もお疲れ様、何年もありがとうね」と思って妊娠中のようにヨシヨシと腹撫でて感謝したりしません。「もうちょっと人間上手いこと進化せぇよﾎﾞｹ」と思ってます。

SEALDsにすり寄ってた学生運動の挫折をまだ引きずってるっぽい爺さん婆さんたち、若い奴らを義体にして「強くてニューゲーム」をしようとしていたのかもな。

ヒカキンが、コムドットの最新の動画でコムドットに「おかしくなるかもしれないけど、常に24時間撮られてるつもりで行動しよう」「文面も全部出ると思って打とう」ってアドバイスしてて、悲しすぎてウケた。毎日悪夢しか見てないし、ユンケルを水ぐらい飲んでるらしい

「パチンカス」という言葉は、普段は口にできない「チンカス」という4音を発音する上で抜け穴として機能している

大体、日本人が生活保護をほとんど受けないのは行政がなめて掛かってて、それが通るというおかしなことが罷り通ってるのが現状なんで、移民が遠慮会釈なく生活保護を受けまくって日本人が自分らの方がおかしいと自覚すればいいんだが。

外国人に「回転」(rotation)を教えるとき、右ねじの法則で下向きになる例題を教えると親指を下にしないといけない瞬間があるのを利用した殺人トリック

マッチングアプリ、最初に写真登録しなくちゃいけなくて、ほかのやつらどんな写真登録してんのかなと思って見るとなんか旅行いったときの陽気な写真ばっかりで、おれはよく旅行行くけど何人で行っても自分の写真なんて撮らないのでもうその段階で選別に漏れてるかんじがして泣く泣くアプリを削除した。

「大阪府知事選に立候補してそう」「弁護士に向いている」「迷子に積極的に話しかけそう」などの、名誉毀損にならなさそうな言い回しを集めています。「noteに投稿してそう」「元電通カリスマプランナーっぽい人の有料サロンとかに積極的に参加して自分を高めようとしてそう」「有料サロンで教わった課題をSNSで一生懸命発信してそう」「東京であまり消耗してなさそう」「トイレのつまりをクラシアンに相談してそう」「正義感にあふれてそう」「差別を許さなさそう」「政治的に正しそう」

ミケランジェロが『最後の審判』を描いたときに裸体の人物が多く描かれているのをどこぞの偉い人に非難され、報復としてその偉い人を地獄の住人として描いたなんて話がある。見習いたいねこの精神。

昔、サラリーマンは企業の歯車で組織にすがり付かなきゃ生きていけない負け組でフリーターこそスキルを武器に世間と渡り合っていく真のサムライって風潮をメディアや広告代理店の連中が広めまくってたこと、覚えてるよ。煽ってた高給取りたち自身は歯車を辞めずにね。

左の人たちは親を通り越して子供を助けることに妙な美学を持ってるっぽいけど、他人の子供に親身にあてられるほど「暇」な大人はそう多くないし、親もまた人の子で包摂の対象だということを忘れてらっしゃるのかねえ。不思議なことにシンママの話になると急に思い出すようだけど。

20代男性の4割が交際経験ない時代に、そういう「弱者男性は性欲を捨てろ！一生一人で過ごすのがお前の幸せ！」って意見言ってる人、そういう意見はそういう意見でいいんだけど、SDGsとか少子化問題とか社会のこととか人権のことについては二度と賢しげなこと言わへんでほしいんよな。

フェミニズムの学説って、あれも構築だ、これも構築だと構築であることを発見するのに忙しいですけど、だからなんだって話でもあるんですよね。ハイスペイケメンに惹かれる女性の本能が構築だって言われたときに、じゃあ止めましょうって話にはならんわけじゃないですか。

アイスランドで出生前診断が普及したらダウン症児がほぼ"消滅"した話と植松思想の距離を考えると発狂しそうになる。法的には一部露出説で胎児に人権はありません〜で終わりなんだけど、感覚がそれはなんか怖いと訴える。この感覚を調整して法と一致させるのが近代的な人間のあるべき姿なのか？

「普通に考えたら批判などあり得ない普遍的正義である私の意見を批判するとは、何かよほど異常な（最近では「認知の歪み」という表現が好まれる）人間か、精神的/経済的な利害が絡んでいるに違いない」という驕りやムラ意識が先にあって、読解力や理解力の低下はその副産物ではないかという気もする。

犬をいじめている人「おらっ！」

そういう文化の人「食べ物で遊ぶな！！」

カタカナ語が氾濫している感じはあるが、コワーキングスペースはしかたがない。これを日本語でやろうとすると「集団労働所」とかになってすごくこわいかんじがするからだ。

農薬と化学肥料で農産物の収量が上がったから、みんなが農産物を食べられるんだと思うよ。みんな有機だの無農薬だのになったら、農産物の価格が高騰して、困るのは貧困層でしょう。「意識高い系」の人たちが貧困に冷淡なのは、「意識高い」が富裕層の道楽だから。SDGsもそうなりつつある

日本の中にもいろんな多様性があったのに、猫も杓子も大学出てサラリーマンしないと生きられないような世の中にしておいて今さら「多様性が足りない」もないもんだと思ったり。私らの親の代だと、勤めずに自営で商売していた人とかけっこう多かったと思うけど、今は元から繁盛していた家業を受け継ぐとか、よほど人付き合いの上手な人でもないと難しいのではないか。みんなそんなに人付き合いはよくなかったし（特に商店なんて、愛想のいい方が珍しかった）、適当に緩く働いていてもなんとか回っていたんだよな。今やどんな田舎でさえも、適当に働いている人なんていないでしょ。まあ俺もそういうトレンド自体を簡単にひっくり返せるとは思っていないんだけど、もっともと日本にあった文化や生き方の多様性がなくなることには無関心なくせに、取って付けたように外付けで多様性を導入するって実に安易な発想だという気がする。もちろん、高度成長期からバブル期の乱開発、そしてグローバル化の対応と休む間もなく地域社会から多様性を奪っていったのは確かで、未だにそれは続いており解決しなくてはいけない問題だろう。でもそのどさくさにまったく次元の違う問題を一緒にねじ込もうするから実に腹立たしいんだよな。だいたいあの人たちが騒げば騒ぐほど、移民問題について冷静に議論できなくなっちゃって、関係者はみんな及び腰になっちゃうんだよ。その結果怪しげな斡旋業者ばかり暗躍するという。外国人労働者をなんで入れたいかって言うと、ぶっちゃけた話が日本人使うより搾取の余地があるからでしょ。「文化多様性」なんてただのお題目ですよ。今まではさんざん標準日本人を育成してきたわけですから。それが一巡して、これ以上の展望が持てなくなったからもっと安い労働力が欲しいんです。外国人労働者なしでこのままグローバル路線進めると、おそらく地方は崩壊しちゃうんだよね。特に労働集約的な産業なんてどうにもならないでしょ、人数が集まらないんだから。地方は競争力のある材料、競争力のある農作物を生産して、東京エリジウムの繁栄を下支えするために、安価で使い勝手のいい労働力が必要となる、元々の地方住民はどんどん逃げ出すからますます必要となる。文化多様性というお題目が唱えられる背景にはこういう構造があることくらい知っていても罰は当たらないでしょう。逆に、こういう構造を知らないから「多様性」ってキラキラしたお題目に騙されるんですよ。人助けでやってるわけじゃないんだから。儲かるからやってるんですよ。何でもそうですから。外国人労働者に限らず「多様な働き方を応援します」なんて言ってるのは、本気で応援してるわけじゃない。安く使い倒せるからこそ配慮するんですよ。

大人なんかに利用されたくないと叫んでいる子供に、そうだ君の言う通りだと拍手しながらすり寄っていく大人たちがいたら、危ない逃げろー！って叫びたくなりませんか？

単に頭の中で考えついた合理的な生活によって人は救われず、そこに何らかの意味を見出すことが救いとなるのだろう。そこで何に意味を見出すのかは、多くの人がうまくやってきた歴史性にこそ根拠が置かれるべきだと思う。何故なら人生は一度きりでミスが許されないので。

ほとんど「子づくり」強要、中国共産党の「三人っ子政策」大号令。宗教とそれに付随する伝統的価値観に頼らず近代国家権力によって出生率を向上させられるのかの壮大な実験が始まるな

病んでる人「私って生きてていいのかな…」

教習所「バツ。お前以外も生きてていいため。」

4000人に奢られた上での偏見だけど、強い『劣等感』を原動力に、なにか大きな目標を達成していくタイプのひとは、たとえ、どんなに大きな目標を達成できたとしても、最後は、旅の中で自身のうちに育ち切った『劣等感』そのものと戦うことになるので、劣等感で人生をやってる人は、わりとちゃんと詰む。

米同級生達から学んで分かったことは、「官僚主義、会議ばかり、意思決定遅い、業務効率悪い、デジタル化してない」等の日本の大企業の問題点は、多くの米大企業でも共通であり、我々はGAFA等の世界的にも非常に希な例外ばかりに着目して「日本企業は周回遅れだ」等と批判しがちだということ。

何事も「旬」な時期があるんだよな。全然別の業界でも、例えば「天才トレーダー」みたいな人が、ある時を境に急に負け続けて一線を引く…みたいな事があるんだよな。

スタンフォードMBAでは「お金よりも情熱」と繰り返し教わるので、在学中は皆感化され情熱を持って起業を試みるが、途中でPEファンドから初任給平均4200万円・内定受諾の一時金平均480万円の就職条件を提示され、なんだかんだ目先のお金が情熱に勝るのか、結局卒業時の最多の進路はPEファンドである。

「障碍者の苦しみとは他者に貢献できない苦しみ」というのはメンヘラ.jp時代から強く感じてました。他人の手を煩わせてしまう上にその返礼ができない。それこそが苦しみなんですよね。どれだけ手厚くケアされても、「ケアする側に回れない」苦しみは拭われない。

ピザの配達員とかスーパーのレジ打ちさんが中途半端なサンタの格好をさせられるやつ、携わる全員が不幸になるからやめてほしい

昔年末に友達とおっパブ行ったら車椅子のひとがエレベーター入られへんから入店断られそうになってて、酔うたお客みんなでお神輿みたいに担いで外階段から上げたんです。きちゃないオッサンが「おっぱい触りたいもんなあ…」て呟いてて、世の中捨てたもんやないなと思いました

学食の揚げ物の暴力から逃げつつ、カロリーを確保しつつ安く済まそうと思うとﾏｸﾀﾞｧﾅﾙﾄﾞの世話になる。

無能だから「仕事行くのダルい」という発言に共感できたことなくて、自分とは関係のない「むこうがわの言葉」だと思っている。どれだけ周りの人達から“つまらない仕事”とか“簡単な仕事”と思われているものでも自分の能力の120パーセントの出力で命を削るようにして取り組まないと及第点にも達しない。

たまにツイッターで他の界隈を覗くんだけどすげーバトルを日々続けてる人とかいてビビる。学級会を毎日平常運転でやってて頭おかしくならないんかな。

「非モテ男性をぶん殴って女性の気を惹く」はリアルでやる分にはいいんだけど、Twitterでそれやると他責志向の女性ばかり寄ってきて、個人的関係構築リスク&コストが高くなるのでナンパ/裏垢界隈では忌避されてるんだよな。現状このメソッドをTwitterで上手く使ってるのは女性を直で換金する女衒ぐらい。「非モテ男性をぶん殴って女性の気を惹く」は、パコの為にはなんでもやる自撮り界隈ですら避けてるのが全てなんだよな。というより私的観測範囲だと、このメソッドに手を出した男性は即効metooされて界隈から追放されてるのが実情っぽい。

男同士がセックスするには腸内の排泄物の処理が必須だから、言うなれば風呂場でう○こされるようなものだから、そりゃあ差別と言われようが断るよな……お家で処理をしてくることを条件に入れても良い気がするわ。

源泉徴収ってこんなに温泉っぽい名前してるのに金取られるだけなの納得いかないよな。温泉湧けよ。

愛知県の人間は、本当に信じられないと皆さん思うだろうが、東大に行けるぐらいの学力を持つ子が名古屋大に進学するのである。これマジですからね。愛知の人に聞いてもらえばわかる。理由は愛知で生きていけるからである。愛知で生きるのなら東大より名大が有利なのである。

「上手いとか下手とか以前に楽しんでるのが伝わった」って言われてる人、ほんとは下手って思われてる

復活の日を細かく読むと７月で東京は１０００万人死んでるのに６月はTVでまだ娯楽番組を必死で製作放送してるが野球中継中選手が死んだりラジオは懐かし歌謡やクラシックダラ流しで、泣く子供を無理に元気づけようとする様な状態。社会が疫病禍でどこまで持続できるか描いたデータ小説として随所が秀逸。サラリーマンたちがガラガラの月曜朝の電車がホームに入ってきてぞっとするんですよね。そこまではリアルに我々も見ました。去年は緊急事態宣言下のやむなき移動の時、小説内に出てくるようなガラガラの電車に乗って復活の日を読んでいてライブ感がありました

昨日職場の大先輩と社用車乗ってるとき眠すぎて途中で運転代わってもらったあと、先輩の「最近心臓の不整脈が悪化してる」って話に「激ヤバっすね笑」とか言いながらツイッターでエッチなイラストにいいねしまくってた。誰かこの名前のない怪物を早く止めてくれ

体が動かないんです、という人も、実は一日中めんどくさいはずの悩む行為をやり続けてる。もしくはそのめんどくさい悩むという行為に集中しすぎているからこそ、ほかのささやかなことが、お風呂入るとか、ご飯作るとか、がめんどくさくなってしまっている。エネルギーを悩むことに使いすぎている。

自分が知らない，分からない何かに遭遇した時に，高学歴者は「ならば勉強しなきゃ」と思うところ，低学歴者は「だから価値がない」と思っちゃうんだよね。ますます差が拡がっていく。自分が知らないことを放置することへの気持ち悪さーこの感度に学歴が反映される。

東京出身の人「エスカレーター右側に乗るの慣れない笑」

エスカレーター左側三点倒立ランド出身の人「俺も右側乗るの慣れない笑(真ん中で三点倒立している)」

プロゲーマーのどぐらさんが、高校の同窓会で野球部だったヤツに「お前まだゲームやってんの？いい加減辞めたら？」って言われて、「お前まだ野球やってんの？俺は大会優勝して賞金稼いだりしてるけど、お前野球で一銭も稼いでないのになんでまだやってんの？」ってド正論で返して大喧嘩になった話好き

五輪の話が蒸し返される度に、たしかに俺もAKIRAのネタが開会式で出たら嬉しいしあの案最高だと思うけど、世界全体が見る、もちろん日本のお年寄りからAKIRAとか知らない若者世代まで見る五輪の開会式でAKIRAやるのはオタクくんの激寒自己満足じゃないのかとも思うんだよね。実現した奴がイマイチだったのはわかるけどそんなにTwitterのサブカルオタクたちが主張するほどAKIRA案が適切だったか……？と

自分とは違うやり方/違う生き方で上手くやっている他人に嫉妬してしまう、あるいはズルいと感じてしまうという人は結構多いけど、解決策はただ一つで、その"ズルい"と思う方法を自分も一度試しにやってみればいいだけなんである。学童保育のアルバイトをしているとき、よくこういうことがあった。「Aくんだけ〇〇してズルい！」と不服そうにする子どもに、「BくんたちもAくんと同じようにしていいんだよ」と教えてあげる。そうすると彼らは虚をつかれたよう顔でギョッとする。これは、誰かが他者をコントロールしやすいように設けた規範を、「ああ"してはいけない"/こう"しないといけない"」形で知らず知らずのうちに内面化しているだけである。だから、そこから逸脱するものの存在が、そのまま自分を否定するものように感じられてしまう。こういった例は大人にも少なくない

Youtubeでオタクのペルシャ人が作った「歴史的に正確なビザンツ風の音楽」にウェスタン・アホが「アラブっぽい」とコメントし、それにペルシャ人とギリシャ人が猛反撃しているのをここ一月見守っており、いつも(いつも？)これぐらい足並みが揃えばな……

若い人は知らないと思いますが、前の戦争のときはルーズベルトの宣戦布告をひろゆきが即座に論破したりしてTwitterは凄い祭りだったんですよ

「パパ活だって大変な世界なんです。簡単に稼げると思わないでください」ってほざく女には週5で早起きして満員電車で通勤して9時間働いて職場の人とうまく関係築きつつお局に教育されながら仕事を全うする月給20万の昼職やらせてパパ活のイージーさを理解させたい

平安時代の住宅事情で「冬はつとめて」って言える清少納言のガッツすごいな、俺はボッスに「あした9時からミーティングしても平気？」と訊かれるくらいつとめてが苦手。「皆が嫌がる朝にも良さを見出せる私って素敵じゃない？」という意識高い系なんだと私は思ってた。

会社、スカッとジャパンの悪役みたいな人が多すぎて、よく若者たちに「スカッとジャパンと違うから、そんなうまいこといかんよ」等と言うんですけど、同じこと言いすぎて「それ最終回で『今がスカッとジャパンや…』って全員やっつける伏線でしょ？」って言われて笑った

ツイッタラー、日本企業が終わってる話と任天堂とトヨタが強い話が大好き。

クレジットカード使用の内訳一つ一つを全部足したとて、こんな合計になります？ならないでしょどう考えても。いいですか、足してみますよ。なりますね。

若者の間でスマホが大流行。スマホとは2010〜2020年代頃に普及したタッチパッドで操作する旧世代情報端末機器『スマートフォン』の略称。生まれた時から電脳デバイスに囲まれて育った新世代の彼らは、あえて物理的な操作を用いて信号を送り合うことで、仲間との深い絆を感じるのだという。

反ワクチンの人の「救急車が私の前を通り過ぎるときだけサイレンの音を変える。ワクチンを打つとこうなるというメッセージかもしれない」みたいなツイートの魚拓持ってる方いませんか？見かけた記憶はあるんですけど、波長が合わないなと思って保存してませんでした。

昔はショッカーの怪人なんかは毒ガス撒いたり細菌撒いたりして社会を大混乱に陥れようとしたが、今なら「正しい統計データ」をばら撒いたら社会が大混乱しそうだ。

トヨタのEVのやつ、普段全然車の話してないフォロワーは「さすがトヨタ！」みたいなことばっか言ってるけど、普段から車の話してるフォロワーは「二次受け三次受けは死ぬな」「モーターに競争優位性あるのか？」と悲観的or懐疑的で、なんか色々と示唆的だなと思った。

なだめる時に「わしは少年院入ったことあるんじゃ！」って言われたので「そんなの誰でも入れますよ！入るのに試験いらないでしょう？」ってうっかり言ってしまってヒートアップされてしまった。

さっき食べたラーメン屋の店主が、海外から来たバイトの子に「分からない事があれば聴いて、同じ事、何回聴いても良いから。そんな事ぐらいで絶対怒らない。困るのは、少しでも分からないままやって、失敗する事。失敗したら落ち込むからね。お互い」と話してて、言葉にする事って大事だなと思った。

韓国で圧死した女の子の葬儀の様子をﾃﾚﾋﾞで流すﾃﾚﾋﾞ局関係者、仮に遺族からの許可を得ていたとしても、大脳皮質の「倫理観」を担当する領域になにかとてつもない深刻な問題を抱えてるとしか思えない。

キレて管理者パスワード教えないで辞めたり、辞めたあとに業務システムにダメージ与えたり、仮想マシンのインスタンス消したり、アホですか。法の執行力を甘くみてはいけない。恨みがあるなら原因不明で解析しにくいサービス不良がランダムに起きるような仕組みを残しておくほうが、中長期のサービス信頼や企業の信用を毀損したり損失だしたりできるというのに。

ロシア、永久凍土が溶ければ耕作地が広がる代わりに既存の建物の基礎は永久凍土に建ってるからぜんぶ崩壊するという、百害あって百利ある土地になっている

なんかこういう話年中出てくるけど「悪いのは犯罪者」「わざわざ犯罪に巻き込まれやすい行動を取るのは賢いとはいえない」は両立するってだけのことがわからない人多すぎないか

人に気持ちを届けるのって天に気持ちを届けるのと同じぐらい無謀で気まぐれでどうしようもねえなって思うことはある。それぐらいだと思っておかないとこっちの身がもたないということでもある

もしかして「先輩が部下に酒をおごって連れまわす」のって実存主義的側面もあったんかね。いい飯といい酒をおごってもらえば大抵のことは許せる、それで明日からも一緒に頑張っていこう、的な。コロナ禍で死にましたけど、その習慣。

コンビニでもスーパーでもなんでもいいんだが、とりあえず「病んだら/病みそうになったらこれを買って楽しむ」みたいなリストがあると実存値が大幅に上がりそうな気がする。リスク志向の人はこれを「浪費」と言って切り捨ててしまいそうだけど、そもそも人生自体、最初から定められた意味は（無宗教を標榜する我が国には）なく、ぽっかりとした「虚」があるだけ。「虚」である人生に意味を見出せるかはその人自身にかかっている。目的のない人生は空虚である。人生の最終目的は幸福である。人間は生物なので食欲を満たすことで幸福を感じる……以上を推論することで、人生に幸福という目的を与えるための浪費はむしろ正当化される、みたいなロジックでなんとかならんだろうか

MBAの人達が「PMFが...TAMが...」と小難しい横文字を並べて延々議論している一方で、周囲ではそんなのを全部すっ飛ばして「まずタピオカ屋を作る！次はマスク屋！最後はPCR検査場！」と儲かる事業を野生の勘でかぎ分け矢継ぎ早に展開して巨財をなす人達がいて、結局こういう人達には全然かなわない。

『1984』の小説のほうをちゃんと英語で読み直したのですが、ここに出てくるPornsecの発想、面白いね。Pornsecはフィクション課にあるポルノ作成専門部署で、国家がガス抜きに低品質なポルノを作ってて、貧しい若者がそれを違法でヤバいものだと勘違いして買っていくの。

知能の優劣と本人の幸福度満足度は全く相関しないということを、ツイッター見てるとしみじみ感じる。原始的な欲求（生存欲や生殖欲）を満たした後はひたすら終了までの暇潰しなんよね。高い知能は不便を避けるには有効だけど、ただそれだけなのかもしれんなー。

そろそろNHK教育でちんちんであそぼやれ

「お、汝、迷えるねぇ」くらいラフなノリの神に出会って片手間で救われたいな

結婚していない男性でも幸せになれる、未婚を不幸と決めつけるのがおかしい、失礼である、人生のゴールは自分で決めるべきという話には一定の同意を示すのですが、そういうことを雄弁に語る能がある男性にはお金がそこそこあり、セックスさせてくれる女性もしっかり存在する傾向にあるんですよね。「金なんかいらない、ボロボロでいい、かっこ悪くていい、愛がすべて」みたいな陳腐な歌詞を高らかに歌い上げるミュージシャンが売れると、高級マンションにピカピカの高級車に美女を連れるみたいな世の中の構造があり、もはや全てがそういう話に回収されざるを得ないことに虚しくはなりますね。

絵師Twitterのフォロワー数＝戦闘力でも絵の上手さでもないというのを末代まで伝えて行きたいと思います

障害のある人たちの表現が商品化され、値段がつくようになり、「人気の絵柄」が生まれると、利用者にそういう絵を描くように指導する施設が出てくるのだそうだ。つらいことだな・・・。

「東大→東大卒が多い日系ベンチャー→Amazon」みたいな王道コースを歩んだ人が「GAFAには偏差値55ぐらいの無名大学卒の人が結構いるところを見ると外資転職は高校で勉強せず良い大学に行けなかった人の人生逆転に最適」みたいなセリフを放言しているの、一体何のジョークなんだろうと思った

相手に丁寧に接するのは、相手が才能があるからでも、相手が芸術家だからでもなくて、相手が他人だからだと思います。才能にひれ伏すことを自分に許すと、無能を足蹴にすることをも自分に許してしまう。そこはぐっとこらえて、才能にひれ伏さずにいるのがいいと思います。文学青年（上がりの中高年）や映画好きや音楽好きに「この作品のよさがわからないのか」「この人の才能がわからない奴は目（耳）が節穴だ」という迂回した物言いで人を恫喝する「ダメな先輩」がよくいる理由がこの「才能崇拝」だと思うので、これは自戒していきたいです。

特に不自由もなく安穏と、しかし生きる目的もなく漠然と生きていると人生の無意味さに苦しむ。以前、「男の真の幸福とは自身の快楽を追求することではなく、女子供を幸せにすることでしか得られない」と言われた時は「男塾かよ」と思ったが、実際に家族を養うことで人生が充実する人は多いんだろうな。特に能力にも意志力にも秀でているわけでもない凡人としては、自分しか成し得ない特別な使命なぞ見つかりそうにないし一生かけても達成したい欲求も持ち得ない。社会の成員の多くに家族を持たせるというのが責任感や生き甲斐を持たせる上で合理的だったのは分かる。

職場でサンタさんが親だという事をいつ知った？という話題になったので「小2の時に寝る前に全てのドアと窓に紙片を挟んでおいて、翌朝確認したらリビングと子供部屋と両親の寝室のドアに挟んだ紙片だけ落ちていたので家族の所業だと判った」と言ったら皆ドン引きしていた。聞かれたから答えたのに…。

エロゲで言うと、2001年だったか2002年頃までに稼ぎに稼いでハイペースでエロゲを出し続けていたメーカーが突然エロゲ撤退して、その金で不動産経営会社に転換したのを思い出す。そこから何年もエロゲの稼げるチャンスはあったけどピークはそのあたりだったわけで、そういうのを見てドンドン事業を変えていく人たちというのはいる。時流を見ること自体が仕事であって、何を商売にするかではない、みたいなタイプ。それはそれですごい資質。

女の子は電車が好きじゃないしVRChatをやらない、みたいなことをゆったら個別的例外を持ち出して反論してくるのが女の子

インターネットを長いことやっているので、「異論は認めない」が英語でno other opinions acceptedであることを知っている。それしか知らないし、カスのインターネッターだなと思う。

カスのアルターエゴ「その時ボクは射精しちゃったんだよね…まあ、ボクにチンポはないけど…」

カスの歯医者「痛かったら手をあげてね～（患者の目にドリルを当てている）」

“強い”患者「そこ、歯じゃないですよ笑笑」

十二支の順番、ネズミはゴール直前まで牛の背中に乗っててちゃっかり一位になったとか、猫はネズミにウソの日付を教えられていたから出遅れて十二支に入れなかったとかいう話は聞くけど、調べてもなかなか有名なエピソードが出てこず、なんとなく５位に終わった「辰」はどんだけ舐めプしたのか気になる

会社が倒壊した被災地の人間だけど、私を救ったのは今まで興味も無く不必要だと思っていた美術だった。矛盾する言い回しだが、人間は必要最低限の物だけでは生きていけないと感じたし、今もそう思っている。

クラス一のブサイクをマドンナとかジュノンボーイとかあだ名を付けてからかういじめ、俺が中学の頃にもあって本当に陰湿だと思うんだけど、ポリコレムーブメントで爆誕したっぽい多様性プリンセス、そういう空気を感じなくもない。お前ら人をオモチャにして遊んでるだろ、と。

ネットってすごいなあと思うのは、ビル・ゲイツがリモートワークでモニターを2台使うことを推奨すると、ゲイツはLGやBENQから金を貰ってるなんて考える人がいるということを可視化したってことだな。そういう人の目では世の中は強欲と陰謀と策略でできているように見えているんだろうな。

レンタルポケモンと旅をしている為、作中で何度も「減価償却」という単語を発するサトシ。

スペインで本当に稀だけど、「アジア人って皆同じ顔してるよね？顔覚えられない」って言う人いるんですよ。（私の経験上ほぼ白人男性）だから「あ、分ります！私も同じで...白人男性が特に同じに見えます！」ってにっこり返すと不満そうな顔するのあれなに？

私はちんちんにモザイクをかける仕事をしているからairdropでちんちんを送られたりDMでちんちんを送られたりする度に「俺は毎日男優さんのクソデカちんちんを見ている女だが？？」と思っているし、私が悪い女だったら今頃海外のちんちん大きさバトルのサイトに貼り付けてるよ危機感を持て

ゲームでも何でもそうだけど、マナーや人格、人間性は実力とは関係ないです。強い人は人格者で「あってほしい」という願望が人類にあるだけです。

殆どの人間は包丁を入手可能か既に入手していて、また殆どの人間は他の人間と何らかの接触をしていて、殆どの人間は愚かなので、毎日毎日100件くらい殺人事件が起きてもおかしくないと思うんだけど、どうも世の中はそうなっていない。人間は案外すごいもんだなあ

最も表現の自由を侵害しているくせに世界最悪の独裁政権だった安倍政権の悪事をこれでもかと暴いた世紀の社会派傑作『新聞記者』の公開も日本アカデミー賞という盛大な賞の受賞も止められない自民党、クソ雑魚すぎるんだよな。

患者は興味あるけど医者にとってはどうでもいい質問ランキング1位に「何針縫ったんですか」が確実に入るな

じぇんだ～学者たちはやたらに勉強しろ勉強しろとのたまうが、勉強しなきゃわからんような理念は社会で共有されやしないよ。私も含めてにんげんの8割は馬鹿なんだから。馬鹿にもわかる理念でなければ、共有されないし目指せない。大多数の馬鹿が世の中を回してるんだよ。馬鹿を軽んじるな。

YouTubeで動画を視聴する度に必ず高評価を付けてるんだけど、これは「有意義な時間を過ごした」と信じたい自分が捧げる、ある種の祈りなのかもしれない

女性社員や子供がいる社員の働き方改革を進めながら、一方で、独身中年男性社員がそのしわ寄せくらって、毎日22-23時や終電まで残業していて、なおかつなんらそれには対策せず育休取得者は増えていくにつれて独身中年男性社員の仕事ばかり増やす企業の働き方改革など、ただの空虚でしかない。

いい人だけの国では毎日最強いい人決定戦が開催されており、主に社会的合意の形成力や被害者属性の具備などで勝敗が決まる（敗者は国外追放）いい人だけの国は最終的にメンヘラデブ女だけの国になって滅びる。

｢渋谷で1万円使い切るまで帰れません｣の企画で1万円を速攻で援交に使い動画を3分で終わらせるジジイのYouTuber

元女子アナがルッキズムを否定したり東大出の大学教授が学歴社会を否定したりするの、勝ち組老人が下山の思想だの脱成長だのをほざくのと一緒でムカついてくるのよ。お前はそれで手に入れてきたもんを今さら手放す気なんかさらさら無いくせによ。

大人になってわかったんだけど、魔女が鍋をかき混ぜてるの、焦げ付き防止のためだったんだな。「ねるねるねるね」のCMで魔女が起用されているのは、魔女とは鍋をかき混ぜるものであるという社会的合意があったからだと思いました。

プペル、普段俺たちが教条的に言っている「作品と作者は別」というスタンスをお前はどれだけ貫けるか？と問いかけてくる試金石のような作品

親しくない人や年上にもタメ口で喋ってみるか、と思い立って試してみたけど、合わないから二日ですぐ止めた。この期間に関わった人たちと今後二度と会うことがなければ、私は”親しくないのにタメ口で話すキモい奴”として一生彼らの記憶に残り続けるんだな。

運転免許証持ってない理由を話す時、自分には無理ですって言うとあれこれうるさいから、ハッキリ「人を殺してしまうので」って言うようにした

面接官「ここまではどのように来ましたか」

面接室に住んでいる就活生「はい、2年前にアド街ック天国を視聴しておりましたら、作業服の男性達が私の家を養生で包み込み、あれよという間に家を飲み込む形でビルが建設されておりました。便所の小窓から御社の受付嬢が見え、嬉しい気持ちになりました」

人生の大半をTwitterでただ変なことを言って過ごした。

少人数の授業、教授が簡単な質問で当てまくってそのつど盛大に褒めるから大したこと答えてないのに全員まんざらでも無い、というかもう孫みたいな顔で受けてるんだけど「日本人の死因第1位は、ガ…？」って当てられた時「ン？」って答えたら「賢い！」って褒められてしまって態度が完全に初孫になった

最近、気に入らない人物像を誇張して架空の超ムカつく奴を作り出しては、それをみんなでボコボコにしたがる人たちが多い。と、思い込むことでまた自分の中に架空の気に入らない奴が誕生した。

持論を展開するマナー講師を板前が寄ってたかってボコボコにする漫画がTwitterで流れてきたので、そのままスカッとジャパン公式にメンションした。

ボウリングの玉と生首の重さが本当に同じかどうか比べてみようと思い、ボウリングの玉を購入した。

皆さんが思ってる以上に私はめちゃくちゃ真剣にTwitterで嘘をつきまくってるんだけど、本当にめちゃくちゃだと思う。

電車内で事件が起こる度に犯罪者予備軍たちに良かった点と悪かった点を分析されて、試行錯誤を繰り返しながら徐々に正解に近付かれるの恐ろしい。

ブルボンの、たまにしか食えない地方のお土産菓子を低価格でどこでも買えるようパクったシリーズ最高。早く萩の月のパチモン作ってくれ。

「自分の脳は水槽の薬品に漬けられていて、この世界は幻想」と言われても「ならなんでもっと幸せな夢見せてくれないんすか」ってなっちゃって思考実験に集中できない。

NTRには現代文の授業で習う「心情の変化」が詰め込まれているため、高学歴ほどNTRを好む傾向がある。

労働してる人間の方がどう考えても確実に狂っているのに、少数というだけで無職の方が狂人扱いされる狂った世の中。

自分が学部生のとき、日本のワーキングプア問題のドキュメンタリーを授業で観たあと、あまりの理不尽さと自分の無知さに言葉を失っていたところ、授業後受講生のひとりが「自分じゃなくて良かった〜」と言ってて、さらに言葉を失ったことがある。

うちの母親には「中学の頃、同級生の肉屋の倅に下着を盗まれたが、受験前ということで穏便に済ませてやったら毎シーズンかなりいい肉が届くようになった」というカスのごんぎつねみたいな逸話がある

経営層や事務屋さんに対して「それは阿呆な作業です」ってのは、技術者話法としては悪意皆無で悪口ですらないのだけれど、そう指摘すると怒るから、外部コンサルにクソ長大なレポート作文させたり、デジタル庁だDXだのと国や業界団体に旗振りさせても、「阿呆なことやってる」とは理解しないじゃない。

メタ化しちゃうやつってジェットコースターの急降下中でも真顔してそう。

飲み会が嫌い、町内会が嫌い、親戚の集まりが嫌い、同窓会が嫌い、同期最高が嫌い、地元最高が嫌い、そういう人間の「負い目」を解放してくれる思想がリベラリズム

老いて生きるということは醜いことだ。自分は少年の時、二十七、八歳まで生きていて、三十歳になったら死のうと思った。だがいよいよ三十歳になったら、せめて四十歳までは生きたいと思った。

DQNが腕力で殴るのも自称インテリが教養で殴るのもマウンテングゴリラに違いはない、とツイートすると「ゴリラは優しい生き物です！ゴリラに失礼！」とすかさず銃撃されるのがTwitter。

「アナルに赤ちゃんがいます」埼京線は今日も止まる。全裸の社会人が突如としてそう怒号を発したからだ。この国を憂いていた。身重の女性が満員の電車に乗らなければならないことに。自身の腸にも茶色い我が子を抱える彼はその場で出産した。

落合博満「おまえら、最初だけフランス料理だかなんだかに連れていって、背伸びするだろう？そうじゃないんだ。いつものラーメン屋に連れていって、それでも笑ってくれる女と付き合うんだよ。そういう女を、稼いでフランス料理の店に連れていってやればいいじゃねえか」

もうとっくに帰国したのにいつまでも海外いた頃の話をしたり、ウェブメディアに昔話を書いたり、イベントで昔話をする賞味期限切れな人を見ると、なんか微笑ましい気持ちになる。そこが人生のハイライトなんですね、みたいな。

顔面が優勝してた人の弔辞「生前彼は顔面が優勝しており」

店員にやたら威張り散らしたり飲み屋で自慢話ばかりする老人を見かけた時には、ああこの人は定年退職して会社での肩書きがなくなって力もなくなって何もないただのジジイになっちゃったから周りにヨイショしてくれる人がいなくなって、解消されない承認欲求がこじれてるんだなと思うことにしている。

テスラが浮かせた二酸化炭素を暖炉から排出するの最高に「富裕層」って感じがして味わい深い

「若いうちはなんも考えずに吸収しろ」みたいなのが通用するのって昔の時代で、いまはインプットの段階から自分なりの基準を持たないと情報量に殺されるし、目の前に来たものに飛びつくような生き方だと流されて何者にもなれないまま終わる。若かろうが、"引き算"はしていい。選択は無限にある。

素晴らしいアニメを作ったり丁寧な診療をしてたらおかしな人に放火されるのいくらなんでも結末が割に合わなすぎる

自分が生まれつき持っていたモノを努力の賜物だとして、それを持ってない人間を「努力が足りない」と断罪するのは、自身の力と正義を実感出来るのでメッチャ気持ちいいと思うんだよな。弱い者イジメの楽しさに社会的道徳や承認まで付いてくるわけでな

偏見は一生なくならないから偏見を持たれる属性を持たないか隠すのが大事。どうしても偏見を持たれる属性を背負う場合、自分はそうじゃないと努力したりアッピルしても最初から色眼鏡で見られるし自分以外の同属性がやらかした瞬間に終わるので偏見を超えてもいいと思わせるメリットを伸ばした方が良い。そして同属性がやらかした時はきっちり叩いて「これとは違います」と表明しなければならない。めんどくさいから隠した方がマシやね。誰だこんなオプションつけた奴。返品させてくれ。

俺が国語の教師だったら何の断りもなく3時間目の授業の最初に「(承前)」って言って別教室の2時間目の授業のラストから続けて話し出すし、もしそうならクビにされてやるぞって思ってしまう

本来禁止されている公道で自動車を運転する権利を「交通法規を遵守する」って約束して免許を取得した人たちだけが許されて車を運転してるんだ

猫を病院に連れていくとき、何度かお世話になったタクシー運転手さん、今日も乗った時点で「猫さんの病院ですか」と聞いてくれた上に、私が答える前に猫が「にゃーん」と鳴いたものだから、私の返事を待たずに「かしこまりました！」と走り出した。

「子供が嫌いなんじゃなくて躾されてない子供が嫌いなだけ」、よく聞いてみるとその人の求める「躾されてる子供」は実質大人、それも賢い部類の大人なので、ふつうに子供が嫌いなケースみたいの多い

「高温のコーンスープ、高温スープはいかがですか？」という放送を爆音で流しながら走っているのに特に何も売っていない車

週に5日間、同じ生産性を保ち続けないといけない、みたいな固定観念が強すぎる。僕らは人間で、感情があり、モチベーションも体調もしっかり変わる。ちゃんと自分の感覚に意識を向けて、そのときどきの最適解を取り続ける。今日無理なら休んで明日やる。それがほんとうの生産性じゃなかろうか。

会社で産休入る人から挨拶でもらったチョコがうますぎて「みんなどんどん産休入ってほしいですねー」つったら、同僚に「サイコパステストの正解みたいなこと言うな」って怒られて(この人めちゃくちゃインターネットやってるな…)って思った

「博士課程の人達を1000人雇用します！博士課程に優しい社会を！」と銘打って求人を出したところ、Twitterでの評判が非常によく、とても優秀な博士の人たちが応募してきた。人文学系の学科だけに的を絞って採用し、4月から1000人が私の会社で働くことになる。労働内容はTwitterでのレスバトルで、最後の1人になるまで続けてもらい、最強の社会学者を育成しようと思う。

歩き方が変な人を見ると以前は「変な歩き方するな！カス！」って思ってたけど、実存主義をインストールして他者の課題に介入しなくなったので「下痢便漏らしちゃったのかな…お気の毒に…」と思えるようになった。

睡眠のことを既読スキップ機能だと思っている、二周目の赤ちゃん「ヤダ～！スキップじゃなきゃヤダ～！！」

贖宥状販売に否定的なキリスト教オタク「ルターwwwもうやめたれwwww」

未来は誰にもわからないんだから、悲観的になっててももったいないよ！っていう楽観的な人、未来が誰にもわからないからこそ悲観的になるっていうことわかって言ってんのかな。対話が成立してない。

「韓国インターネットには韓漢混用文を好んで使うユーザーが居るが、そのニッチは日本における旧字旧仮名と同じで、インターネットでは完全にヤバい人のマーカーとして機能している」という話を最近聞いて滅茶苦茶笑ってしまった。日本の旧字体旧仮名遣いと同じように韓漢混用文がヤバい人の目印になってる話に関連して、本邦の擬古文的にオスマン語風のトルコ語を書く面倒臭いトルコ人もいると聞いた。なぜ各文化圏の面倒臭い人達は擬古文に惹かれるのか。

日本：旧字体・旧仮名遣い、韓国：韓漢混用文

トルコ：オスマン語風擬古文

マレー語：ジャウィ（アラビア文字表記）←New！

ポケモン図鑑的に各文化圏の面倒臭い人達図鑑をコンプリートしたい。一般に人々って「自分が慣れ親しんでいる正書法とちょっとだけ違う正書法」ってのがかなり嫌いみたいなんですよね。たとえばインドネシア語の正書法改革が出たときにも、旧字旧仮名勢に対して Twitter などで向けられるめちゃめちゃ雑な批判と同種の批判が数多く発生したっぽい

「東大受かったことのないやつが東大漫画を書くな」だが、「格闘技経験がゼロなのに、格闘技小説の金字塔バリバリ書きまくってる夢枕獏先生」「石仮面をかぶったことないのに、吸血鬼漫画を書いて、ついでに歳を取らない荒木飛呂彦先生」とかにも、ぜひ同じことを言ってほしい。

デート中さりげなく北朝鮮側を歩いてくれる外務大臣

学費払ってるから授業休んだらもったいないて言うやつなに。Amazonプライム契約したからって全映画観んやろ

「そんなに私の性癖に沿ったキャラ出ることある！？！？！性癖違法建築なんだわ！！！！！！！！」

「地位があって可愛い……………ちぃかわ、ってコト！？！？！」

何となく人生として彼女とか欲しいっちゃ欲しいけどそれほど女性に興味もないし性欲も薄いし生活に困らないからまあいっか……って感じの人をめちゃくちゃ見てきたので性欲があって婚活してる男性を見ると「性欲があって彼女が欲しいの！？えらい！！！！」と思うようになってきた

フォロワーいっぱいいたって、動物園の檻の前に客がいるだけで、パンダと別段変わらないし、ほとんどの場合にはどうでもいいことだと思っているｗ

海外

「現場のやつマジでアホすぎて問題ばかりやさっさと自動化、多少問題あっても今よりマシやろイノベーション大事」

日本

「このままで現場では何も問題は起きないし自動化って高いんだね。マニュアル作業の方が安いしこのままで現状維持でいましょう」

俺が高田馬場駅を恥ずかしげもなく走れることを乗換案内のアプリは知らないからいつも7分早く渋谷に着ける

身近にずっと年収1200万以上もらっていた親族がいますが、給料が入っては人に奢る、値段見ずに買い物、とにかく人に奢ってばかりいたので現在70代で貯金はすっからかんです。病気になり奢ってあげてた人は誰一人お見舞い来ません。お金の使い方ってとても大事ですよね

バンジョーとカズーイの小冒険(三軒茶屋から東急線で等々力渓谷公園まで行き散歩して帰ってくる)

いずれ訪れる死。対策はないのか、専門家に話を伺いました。

「男の娘って男なんやからホモやん」「は？女に生まれたから女やってる雑魚より男に生まれてるのに女になりたいヤツのほうが女やろ」

知らない街に行きたい知らない街のスーパーに行きたい知らない街の料理が食べたい知らない街から海が見たい知らない街のローカルCMが見たい知らない街から空を見上げたい知らない街の現在地から自分の住んでる家までの距離が見たい知らない街の駅のホームに立ちたい知らない街の空港のターミナルに佇み

【誰か止めろ】

ねずっち

「整いました！竹島とかけまして、」

たった今胃カメラを受けてきたんですが、全身麻酔？で眠らせる注射打つ時に看護師さんが「これで眠りに落ちる感覚って死ぬ時と同じらしいですよー笑 それでは」って言ってきて「あ、殺される」と思った

自慢スネ夫「このラジコンは海外から取り寄せた最新式なんだ」

未来からやってきた超科学ロボットが自らを助けるために存在しているという優位性に気づいているのび太「この時代のね」

旨辛味噌ラーメンとか名前に“旨”がついてる商品を見かける度に「“旨”かどうかを決めるのはこちらですけどねえ！！！」と思うし、万が一自分が名前つける側になった場合も「主観的には旨辛ラーメン」みたいに保身に走る自信がある

ゾーンに入っている幼稚園の先生「子供たちの夢が小さく感じる」

「一度開いちゃうと畳むのが面倒でしょ 笑」と、パラシュートを開かずに着地したおばさん

ザギンでスーシー（銀座で死す）

当地（湾岸某国）で精神科の研修医をしている人と会った。曰く、当地の人々のほとんどは何かメンタルヘルスの問題が生じたところで自身に問題があるとは考えず外部に問題を求めるらしい。自責で病む人の多い日本社会も辛いが、他責傾向が強く問題を延々となすりつけあうアラブ社会も不毛だ。アラブ諸国２カ国に住んで働き、他の国々も旅行したがどこも社会が規律正しく運営されているようには見えなかった。規律を重んじず、他責傾向の強い人達が集まって社会を形成するとこうなるのだな、という学びがあった。

極端な個人主義が無理ゲーだからといって、いきなり「伝統的家族観」に回帰するのがあまりにアホらしいと思うんだよな。ただのリベラルへの逆張りでしかない。「家族」を解体する必要はないけど、血縁および姻族のみという縛りは再定義する必要がある、みたいなところ。それは血縁者や姻族のつながりを否定するということではなくてね。いくらなんでも「家長」をやれる男性だって今どき少ないのだから、リベラルムカつくという幼稚な動機で「伝統的家族観」になびかないでくれと思う。そういう人間に限って社会的地位がふるわなかったり、メンタルが危うかったりするが、「伝統的家族観」のもとではメンタル病んだ「男性」なんてどんな扱いを受けるか歴史を振り返ってみてほしいものである。座敷牢案件だぜ。家長どころの話ではない。

イスラム教徒の友人と語りあっていて。信仰は独りで信じる側面もあるけれども、誰かが信じつつ生きて死んでいく、そうした様子を見て、葬儀にも参列したりすることで、具体的に「ああ、人々のあいだに神がいるなあ」とか「あの人、神のところへ逝ったなあ」とか実感することなどを分かちあった。ひたすら教会を批判し、「わたしはあんな馬鹿どもとは違う」と、ただ神と自分自身との関係においてのみ、孤高に信仰する人もいるけれども。たとえ教会が問題だらけであるにせよ、わたしは教会にいる人たちの生き死にを見ることなしには、聖書だけでは信仰を保つことはできないだろうと思う。なにかに深く関与するということは、ときにそのなにかに対して（傍観者から見て）馬鹿になりきることでもある。いかなる物事においても愚かでありたくないという人は、もしかしたら、いかなる物事にも深く没入することはできないのかもしれない。

大久野島のうさぎちゃんは1玉100円で仕入れたキャベツをちぎってあげるだけで満足してくれるからいい子だな。奈良の鹿とかいうやつは200円で買った鹿せんべいを1枚5秒で食べやがるから1分足らずで終了してしまう

マニュアルや教員の指示に従って指示通りのことを正確に行う、というのはある程度の高い能力なんだというのを大学外で痛感した。大学院生すごい。

clubhouse、今は農家が使ってるという話めちゃくちゃ良いな（作業が孤独なのでみんな天気の話とか「どっこいしょ」みたいなのを言ったり聞いたりしているらしい）

有名人の訃報に接しSNSで追悼をしている人を『追悼厨』と揶揄する人もいるのか。追悼することで自分に酔ってるように見えるとか言われても、人の生き死にを前にそんな斜に構えていられないしショックなものはショックなんだよ。自分に酔ってるのはお前らの方じゃないのか

ポリコレ配慮しました！！！！とかいってアメリカ奴隷制を描いた映画で、黒人奴隷を使う、南部州大規模農園の主人が黒人配役にするとかやってほしい

馬鹿で説明できることに悪意を見いだすなという格言があるんだけど、こう何にも読んでないレスが続くとたまりかねるものがある。Twitterでの議論に「負けない」ことは簡単だと思う。論点ずらしたり、都合悪いところは無視したり、言葉尻だけとらえたりしてずっとのらりくらりしてれば良いから。感覚的にはインフルエンサー()の人達はだいたいこれ。だから、正直Twitter上での議論って3往復くらいやりとりしたらあとはほとんどただの言い合いに近くなると思う。話の方向がどんどんずれてくし。

「基本的人権は社会的合意によって成り立つ」という話になるのなら、「社会的合意によっていつでも基本的人権は放棄され得る」という事にもなる。そして、そこに気づかん人は、「自分＝社会」であり「自分＝善」であるから問題が無いと思っている。善意で地獄への道を舗装する人の典型的な発想。人権が「自然権」という事になっとるのはなぜなのかを考えないで、自分の都合で振り回す便利な棍棒に人権を使うばかりだから「社会的合意」が「人権」を左右するなんて暴論を暴論とも思わなくなってしまうんだよなぁ。自然権としておかなければ人権という発想は成り立たんでしょ？それでも「人権に対して社会的合意が無い国に人権は無いんじゃない？」って意見も出て来るだろうし、妥当に思えるかもしれんけど、それだと人権って発想自体が成り立たんのでな。自然権だってファンタジーと言えばその通りだけど、人権ってものの成立には、それらファンタジー必須なのよ。人権が必要なら、それを支える前提がファンタジーでも、それを握りしめて離さないようにしなきゃダメなの。ファンタジーは全部無意味って話にするんなら、じゃあ、人間性だって倫理だってファンタジーだよ。捨てて構わないかい？

小学5年生の頃、騒ぐ生徒に「廊下に立ってなさい！」と叱った教師を見て「廊下に立ったら騒いだ事を反省するの？」ってシンプルな疑問を呟いただけでガチギレされたの未だに納得いってない

うつ病、非常に雑に説明すれば「火事場の馬鹿力が慢性化して脳がブッ壊れる病気」なので、必要な薬はアッパーではなくダウナーだし、必要なのは活動的な遊びではなくダラダラ休息なんだよな。これ一般人に勘違いされがち。

ネットニュースで次々と流れてくる話題全てを自分で考えて判断するのは無理だと思うが、Twitterだとバズツイを読んで直情的に支持することで全く思考せず全部のニュースをわかった気になるやつに比較的簡単に陥ってしまい、こうなるとネットで真実とか陰謀論とかネトウヨまであと数歩という感じがある

Twitterで自分は頭がいいと自負してる人の言うことって「バカは黙れ、そうだバカから権利を取り上げろ」に集約される気がする。

金をそのまま金として配ると金目当ての人間に囲まれて人間関係が終わるので、普通の金持ちは慈善事業とか寄付とかの形で金を配るのよ。前澤友作はバンドマンだからそれができなかったわけ。

人間というのは、放っておくと拷問や公開処刑や推定有罪を本能的にやっちゃうんです。法曹がもしいなければ、こういう時に被疑者・被告人の人権が守られない。それはとても恐ろしい事ですよ。本件は裁判どころか、まだ逮捕状も請求されていないという事で、ただ警察が犯人ぽいと思った人間でしかない

ファミレスで、図書館で借りたであろう「ネット社会を生き残る本」みたいなのの内容を必死にノートにメモしてる人がいて、なんか大変だなぁと思いました。ネット社会で生き残るコツはネットやらない事な気がする。私はネット社会で生き残らないで死んでいくんだ

私はただほんとの独り言として「手袋がみつからない」みたいなことを流したいんだけど最近のTwitterは「手袋がみつからない」と書くと「最近は100円ショップでも売ってますよ！」とか「手袋はしたほうがいいです、その理由は〜」とか知らない方々からリプライがつく、みたいなのが感じられてちょっと。「あなたみたいな人はTwitterは向いてないと思います」「鍵をかけてみては？」「すこしSNSから離れて休んでください」「そういうこと言ってくる人ってたぶん人生に問題があって不幸なんでしょうね、気にしない方がいいですよ」

Twitter世論、「企業の地方移転で東京一極集中解消！でも私は東京に住みたい！」とか「企業は賃上げしろ！でも物価は上げるな！」みたいな自分勝手な主張ばかりなので、「隗より始めよ」と実践すべきやろ。ということで、ワイは日本経済に貢献すべく寿司を回しに行きます

落下死した神田沙也加氏、インスタで「明るい神田さんでも落ち込んだり泣きたくなる時はありますか？」って聞かれて「それをひた隠すのが仕事なだけです」って答えてて、ｵｩﾌ…となってしまった。そういう側面はまず間違いなくあるよね。

最近気づいたんですが、みんなのメンタルが弱いのではなく、俺のメンタルが強すぎるでは？？？？リモート会議中に上司に怒られてる時はカメラに映らないようにチンチン出すと良いですよ。上司がチンチン丸出しの男にマジギレしてるアホにしか見えなくなるので。ダメージ0になります。強く生きようぜ。

『マナー講師のパワハラでメンタルやられた上司が逆襲に失敗して不当裁判で死刑になったので、仲間と一緒に倍返しに行きます！』（原題『赤穂浪士』）

「ワルイージ」の語源が「意地悪」だとするなら「ワリオ」の語源は「終わり」になってしまうの怖すぎる

モルカーに乗っていたタイプのヤンキー「俺もな、地元ではぷいぷい言わせてたんや」

さっきセブンイレブンのレジでおっさんが「いまって朝の６時？夜の６時？いま両方暗いじゃん」って聞いてた

昨年｢自民党じゃ年越せない｣って言ってた人らが無事に年越せたから今年は｢安倍逮捕で新年迎えたい｣って願望にトーンダウンしてるの本当草。

いまは「人格と作品は別」をやりにくい時代であるよな。SNSのない時代だからこそ「人格と作品は別」なんてことが言えたわけで。「人格は本当に嫌いだけど作品は好きだから」という認知的ストレスに我慢し続ける理由がないんだよな。ほかにも、人格も作品もどっちも愛せる人がたくさん見つけられるから。

武士のことを頭部持ち逃げ界隈って呼んでる公家のネタツイ「頭部持ち逃げ界隈が一時的に幅を利かせてた謎の国」

辛いニュースがあったときに、「インターネットから離れましょう、家族や友達と話しましょう」と呼びかけられても、家族も友達もいなくて余計に悲しくなる人もいて、そういう時は何か本を読んで時間稼ぎをして欲しいなと思います。この世には、居場所がない人のために書かれた本が実はたくさんあるから。

「なにか根拠があって信じている」よりも「なんの根拠もなく信じている」方が絶対的に強いので、やれ日本には世界最古の皇統があるだとか、やれ日本民族は「優れた」民族であるといった理路を公然と背景にする愛国者というのは好かんのです。そういうのは心のなかにしまっておけ。その理路で行ってしまうと初めて世界制覇を成し遂げたアングロサクソンに帰依する以外の道がなくなってしまうではないか。「英語を喋って外国人になったような気がしても、鏡に写るのは胴長短足の日本人だ。日本人として生まれて、日本人として死んで、それでいいんだ」という三島の言葉の意味をネトウヨ諸氏も考え直すべきなのだ。

「日本が好き」を「日本はすごいから好き」という2ステップにすると論理的に見えて実は隙が増えるという問題はあるよな。「すごくない」って言う人が必ず出てくるから。プリミティブな「腐れ縁」方向の方が実は融通無碍で強いと言うか。難しいラインだけれどもな…

「何かしてもらったらお礼を言え」という当たり前過ぎる事を、自称「論理的で旧習に囚われないひとびと」は理解しない事がままあるので、承認の話やらを絡めて、科学的な「群れの構造・性質」の話として説明していく必要がある。人間の自然な感情や気持ちとしてそうなっている事を「科学的じゃない」「合理的じゃない」と言ってはねつけるゴミ屑を説得する為に、進化心理学やらの「人間の性質」を明らかにする学問全般が動員されているという部分がある。

コンビニとか100円ショップとかスーパーとか、それしかないんだから利用せざるを得ない。文房具だってホームセンターまで行って買ってる。本だって町中の本屋さんはなくなった。梅田の大型書店に行くか、Amazonで買うしかない。いろんな形態の店があるってのでなく、一つの店がでかくなって品揃えが良くなった。町中にいろんな店、愛想悪いおっさんおばはん、明らかに変人がやってる店とかいろいろある多様性でなく、ショッピングモールのテナントや100円均一の品数が増えることが今の時代の多様性。

電車内でルービックキューブをしていたら隣にいた男の子が興味深そうに見ていたので「やってみる？」とキューブを渡して解き方を教えたら「すごい！揃った！」と目を輝かせるので「キューブ、楽しいでしょ？」と言ったんですけど、スポ根漫画で主人公が競技を始めるきっかけになる場面みたいだったな

指導担当（年収１０００万円）「あなた方を我々と同じプロとして扱うのでそのつもりで取り組んでください」

研修生（年収１６２万円（月収１３．５万円））「よろしくお願いします」という世界があるらしいね

錦鯉渡辺の痛風持ち同士で居酒屋行った時あるあるの「もつ鍋あんのか……お前明日死ねる？」が好きなんだよな

上司がちょっとでも厳しくすればパワハラだ、と騒がれるいま、昭和的な師弟関係が成り立たなくなってる最大の問題は、忍耐力のない若者ではなく、自分勝手で愛の無い日本人が増え、「オレが責任持ってコイツを一人前にしてやらなきゃならねえ」って、「親心」のある師匠がいなくなったからじゃないかな。僕もアメリカで色々な国の人に寿司を教えましたが、アプローチの仕方はそれぞれ変えていました。例えば根性のあるモンゴル人には日本人のように厳しく、アメリカ人には褒めたあとに改善点を伝え、メキシコ人のシングルマザーには鼻の下を伸ばしながら教えました。

医師「良いニュースと悪いニュースがありますが、どうしますか？」

患者「...良いニュースからで」

医師「あなたの症例が"世界仰天ニュース"で取り上げられます」

患者「全然、悪いニュースです」

【優しい先輩あるある】

全く気にならなかったことで謝られてその人の「無礼」の基準の厳しさに逆に怖くなる

国語入試での漢字の判定基準。国語学者の大野晋先生と某大学での採点でご一緒した際、判断が難しい手書きの漢字解答を相談されると「はねてるかどうかや、点の位置を減点の対象にしてはいけない。その漢字として読めればよろしい」と答えておられたのが忘れられない。

そのへんの大学生がインドとかカンボジアごときで人生観一変させてるなか宇宙まで行っても1mmも価値観変えない前澤友作さん普通にすごいと思う

会社のトイレが新しくなったけどウォシュレットのリモコンが混線してて隣の個室に入ったやつに自分の尻の生殺与奪の権を握られてしまった

何かのシチュエーションに興奮して我慢汁が出た時、そんな変なシチュエーションで我慢汁が出る自分の体の倒錯具合に興奮してさらに我慢汁が出るという場合がよくある。これをドミノ理論という。

偏見っていうのは、たくさんの人と出会うからこそ便利なんですよね。ひとりひとりのことをじっくりわかるなんて無理。だからみんな顔をパッと見て「知的そう」とか「育ちがよさそう」とか、そういうことを考える。その方が省エネだから。

そういえばセックスも犯罪もIQが高すぎても低すぎても行わなくなるという報告があって、（ここからわざと論理飛躍させたい）セックスと犯罪と同じ性質があるんだなぁという気分になる。それはそうと重大犯罪のそこそこの割合を精神疾患が占めるんだけど犯罪のほとんどは軽犯罪で軽犯罪に精神疾患は少ないから犯罪全体で見ると精神疾患の関与が少ないんだけど、そうか知能が低すぎると犯罪しなくなるんだなぁという気づきはあるよね（もちろんファクターは意欲の障害とか色々あるだろう）。

昇進のポイントは3つあります。「あげてくれる上司の下につくこと」「源資がある事業部にいること」「成果と評価が紐付く制度設計の会社にいること」です。小手先の特徴とかどうでもいいんよ。

テクストを読む技術っていうのは、課題のテクストを読むために一語ずつ辞書を引き、たった一行の解釈のために関連資料を片っ端から参照し、いやお前の解釈はおかしいとかやりながら90分のゼミで1ページ読めなかった、みたいなことを数年間繰り返してやっと身に付く。そんな訓練は一般に要求できない。

長男が寝る前に「死ぬのが怖い」って言うようになったので、私が昔同じことを言ったときに祖母から言われた「おばあちゃんはあの世の方が知り合い多くなっちゃったから怖くないのよ」って言葉を教えておいた。

金持ち「お金より大切なものがある」

東大生「学歴は重要じゃない」

既婚者「結婚は人生の墓場」

イケメン「顔じゃなくて中身が大事だよ」

東京勤務医師「地域医療も大切」

「俺は生理的に受け付ける？」て聞かれてもきっと女性は答えづらいので「俺が握ったおにぎり食べれる？食べれない？」てよく聞くんだけど昨日初めて「具による」て言って貰えて嬉しかったな

「ラノベは文学か？」みたいなナンセンスな議論を見るにつけ気になるのは、大抵の場合「文学であるのは素晴らしいこと」という前提が無批判に置かれていて、「それに[属する|属さない]ゆえにラノベは[優れている|劣っている]」みたいに話が進んでいくことだ。

何年か前、「最近の若い人は『ハーモニー』終劇の『理想郷』を望んでいたりする」といった論考を読んだ記憶があって、さすがにそれはどうだろうと思ったのだが、自分が最近言っていることもそれと大差なくなってきているような気がしてきた。なんというか、御冷ミァハが目指した世界をお前は拒否できるのか？と言われると「ぐぬぬ」と言いそうな気がしてならない。しかし、今思えば虐殺器官にせよハーモニーにせよ、ジョン・ポールもしくはミァハの目指した世界を悪だとは全く断じていないんだよな、伊藤計劃は。色々ギリギリ。「それでも人間は自由意志でバカをやって暮らしていく存在なんだ！」みたいな話（「宇宙人ポール」とかね）はそれはそれで好きなんだけど、そこを意図的に、めちゃくちゃ丁寧に曖昧にしたのがあの2作品の恐ろしい所で。土に還るジョン・ポールはハッピーエンドなんですよ、あれ。だからこそあの両作品は圧倒的な凄みを帯びているわけで…一概にディストピアとは描いていない。貧乏な国は貧乏な国同士で争ってくれていればいい、我々は宅配ピザとサブスク映画の世界を選ぶ、ってジョン・ポールの思想はトランピズムそのものだしな。2016大統領選の遥か前に書かれた作品なのに。そして俺はトラヴィスが見ていた「プライベート・ライアン」の代わりに「華氏119」の冒頭を繰り返し見ている。何だよこれ。あの両作品が単純なディストピア作品だったらことは単純なんだけど、10年代後半に激変したパラダイムを完全にトレースしてしまってたんだな、伊藤計劃は。恐ろしいよこの人。今生きていたら何書いたんだろう。後顧の憂いなく日本人が豊かに面白おかしく暮らせる世界を理想とするのならば、それはジョン・ポールや御冷ミァハと何が違うんや、と言われれば「だいたい同じです」という話にはなる

「吉野家でアルバイトしていました」をカッコ良く言うと「年商2000億規模の上場企業で店舗運用に関わっていました」になる。特にTwitterのプロフにはモザイクがかかっていることが多いです。京都に旅行に行ったとき「京大を出た」と言いたいがためだけに敷地にちょっと入って出たことがある。外資をジョブホッパーしてる人にはこういうの本当にあるよね。有名企業超短期でクビ切られたのに未だそこに在籍してたのをSNS上では売りにしてる人を知ってる

『実態としてそうであったとしてそんなに不思議な話ではない』という認識を示すと、『そういう実態の容認』として受け取られるのはよくある話（まあ実際それが『容認』に用いられることが多いのも知ってますが）だけど、それを種に延々と『お前は間違っている』という話をされるのもかなりうんざりだな。そんな話してないだろというか。まあ、所感としてそういう奴だと思われるのはしゃーないなと思うけど、こちらの文章を読んでいるのかも怪しい説教を飛ばして来られると殺意が高まる。こちらの文章を読む気がないならわざわざ俺にReplyをつける意味がどの辺にあるんすかっていうか。

ソニー生命社員、まともな会社に入れる位に32年間まっすぐ人生歩んできてて、突如170億横領して全額ビットコインにベットできるなんて人類でも貴重な存在だろ。戦国時代に生きていたなら斎藤道三並みに成り上がれそう。

日本でよく言う「生産性の向上」って言葉は、「賃金据え置きで仕事量を増やす」ってことです

父親から全然信用されてないから内定先告げたら「お前は鬱病になります」って言われた

男は30歳からって言うしまぁまた焦らんでも大丈夫やろみたいな話をしてたんだけど、男は30歳からって言うのは20代で遊んで30代に入ってから落ち着いてそれなりに経験も地位もあって魅力的になるのが30ぐらいってわけで、20代で遊んでもない地位も経験もない30歳は魅力もクソもないただの30歳なんよ

思想兵器の運用術と考えれば人文学は間違いなく「役に立つ」んだが、難点は100%開発者がそうと知らずに罹患して自国内でバラ撒く所（あかんやんけ）

うつ病、マジで完治とかがないけど「あ！これはやばい！」みたいなのは知れるようになるからそうなりかけた時にどう自分を甘やかしていくか、みたいな感じになる

生きるのつれ〜、と、死ぬのこえ〜の間で永遠に反復横飛びを続ける我々人間とかいう生き物

前澤さんは宇宙に行ったり寄付で還元したりしてすごいな。俺は大富豪になったら「女、チンポを舐めろ」とかしか喋らなくなるだろうな

わかるよ、日本が泥舟であって欲しい気持ち。大洪水を待ち構える方舟の乗組員の気持ち。かつて自分を嗤ったであろう他人の不幸をこの目で見ないと、自分の幸せを実感できんのよ。

人肌恋しくなってきたからその辺の人の肌剥いできた

【接吻あるある】

キスと言うときより唇が分厚い気がする

なぜ人が生きることをあきらめたくなってしまうのか。広く浸透した信念とは少し異なる現実がある。人は突然やってきた耐え難い痛みから逃げるように死を選んでしまうこともある。逆にいえば、最大瞬間風速的な嵐をどうにかやりすごせたら、その後はどうにか生を選べることもある。凪のように生きたい、そのために実存主義を選択したが「最大瞬間風速的な嵐」がいつやってくるとも限らない。その時に備えて「うるせえよ 肉食え肉」「うるせえよ 寝るぞ寝る」「うるせえよ 風呂だ風呂」などを日常にしみこませたい。

ドイツ語リスニングは、それによって名詞の性を覚えてしまうというところがある。「前置詞+冠詞+名詞」みたいな初学者の頭を悩ませる変化も、nativeは考えて変化させているのではなく、聞いたことがある組み合わせをそのまま用いていることが分かるし、考えているようでは話せない。日本語におきかえてもわかるけど、聞いたこと・見たことがある組み合わせからしか人は話さないんだよな。「食べてみる」「置いておく」は全然言えるけど「剝げておく」「悼んでみる」は全然言わない。よーするに自分の脳に「これは聞いたことがあるけどこれはないな」というリストを何となく学習させるのが言語学習のキモで、母語の学習過程と実はよく似ているんだよな。だからこそ思考よりも反復が大事。1時間考えるなら、1時間言いまくろう。

良いもの羅列するやつやるわよ。無意味な早起き ホットケーキひっくり返す瞬間 濡れたまつ毛 ミルクピッチャー 冷たいもの食べた後に飲むお湯 好きな人間と誕生日が同じだと判明 冷たいけど寒くない夜 詳しくないジャンルの凄い話 焼き芋を割る瞬間 百均の◯個で100円のお菓子 人ん家の犬猫に歓迎される

将来的には現役世代と65歳以上の人口がほとんど一緒になる（つまり現役世代1人で高齢者1人を支える）からもうこれはカネで解決できる次元の問題じゃないよね。日本より少子化が進む台湾とか韓国は高齢者の定義を変えていくとの検討もされているし、日本もいずれそうなるよ。現在はまだ給付とか予算とかバラマキで誤魔化しているけど、そのうち根本の人口や社会の構造が原因でカネがいくらあっても解決しない問題は介護に限らず出てくる。そういう意味で今深刻な物不足や供給制約が生じているのは事前学習としては悪くない。Twitter界隈はホワイトカラーが多いから良くも悪くもカネさえつければ解決するしブルーカラーや途上国からいくらでも搾取できると思い込みすぎなんよね。そういう人は実際に倉庫とかにバイトで行くだけでもわかるよ、モノがなかったらもうお手上げなんよ

ツイッターのみんなは「効率の良い方法を開発したのに不遇な目に遭ったかわいそうなワタシ」系の話が大好きだけど、世の中の大半の人はダラダラと仕事して給料もらえたらそれでいいし、有能さを求められても非常に困ると思いますよ。

記憶が脳に保存されていると言うとき、私たちは暗にノートやハードディスクに保存される「記録」からの類推を用いているわけなのだが、そうした記録媒体が過去の情報を持っていることを担保するのは結局、記憶なのである。この循環にベルクソンもウィトゲンシュタインも気づいていた。ループを断ち切るか、消し去るかというところで、ベルクソンは記憶に物質と並び立つ特別な存在を与えた。ウィトゲンシュタインは、ループが言語的なフィクションとして生まれる次第を言おうとした。自然科学では、記憶はより”高度”な心の働き（意識/思考/学習）を説明するのに前提してよいコモディティのように扱われる。記憶は物理法則が自然に担保してくれるように思えるからだろう。隕石（刺激）は物理法則に従ってクレーター（脳内痕跡）を作り、だからクレーター（脳内痕跡）は隕石衝突（刺激の経験）の"記憶"となる。しかしよく考えると、物理法則で遷移する2時点の物理現象と、「記憶」という言葉で私たちが表現していると思っている事柄は一致していない。今の脳状態にいたる過去の物理現象のすべてを私たちは「想起」するわけではない。現在の物理的な物質状態のうち何が記憶なのか、何が記憶なのかを「誰が」決めるのか、それが問題なのだ。科学者がハエやマウスの記憶を語るとき、過去の物理現象（刺激）と現在の物理現象（動物の脳状態や行動）が対応付けられている。しかしこれを「記憶」としてとらえるうえでは、二つの物理現象に加えて科学者という――記憶をもった――第3項が不可欠なはずだ。トリビアルに遍在しているように見える"記憶"と、科学的認識の前提にある（それゆえ見えにくい）「記憶」とが同じ言葉で語られるために記憶は難しい。消去/改変/アップロードなどと記憶に工学的に介入しようとし始めている私たちは、ベルクソンやウィトゲンシュタインの問題に再び遭遇するのだろう。

公立小学校の無差別級だと教師が面倒を見られるのは半分位で、上下の2～3割ずつは放置で特に上は放置が支障ないので完全放置になっているわけで、Twitterにいるようなこの辺が子供の頃に放置された恨みみたいなものは深いわけですよ。体育の授業でディスられてアンチ五輪になってるのと似た感じ。

自分が掛け算の順序問題に割と感情を揺さぶられるの、小2で掛け算が習得できなかった児童の悲惨な末路を見過ぎたせいだと思う。日本人の3割は小学校単元で既に脱落すると言われてるんですが、その理由の主なひとつが掛け算と割り算と分数ですからね。素人が思いつきでチャチャ入れて良い分野じゃない。交換法則とかいう実生活で一切役に立たない数学法則を伝えることに拘ったせいで、何万・何十万という児童が掛け算や割り算を習得できずに小学校を終える可能性があるわけですよ。四則演算すらできない子供の未来が明るいと思いますか？現場を知らん人間が嘴を挟むな。「算数のプロ」は「算数”教育”のプロ」ではないにも関わらず、それこそ小2みたいな全能感に浸って一丁噛みしてしまう。彼らのようなインテリ様の傲慢は昔からあったのだと思いますが、それに力を与えたものはインターネットとSNSでしょうね。

俺は基本的には「職業に貴賎は無い」という言葉を大事にしたいと思っているけどな、いかな有名人とは言え不慮の死を遂げられた娘さんの遺骨を持った親捕まえて「今のお気持ちは」とかほざかないとやれないような仕事は言い逃れようの無い賎業だよ。全員地獄があるなら地獄の底の底まで堕ちればいい。

英語聞き取れないで日々打ちのめされている皆さん、大丈夫ですよ。受付のおじさんがボソボソっと何言ったのか全く理解出来ずに愛想笑いしてたり、社交場でのスモールトークが全然出来なくて凹んで帰宅するアメリカ人、この目で毎日見てますからね。自信持って。

何故フェミニズムが嫌われているかというと、加害男性と彼女らの攻撃対象が一致してないからだよね。

俺にも一人、自死した友人がいる。俺よりずっと頭もよくて人格者で、頼る人間も多かったような人間だった。多分、あるきっかけで全てが世界の悪意に見えたんだろうな。中島らもが「その日の天使」に出会えればまた生きていけるって書いてたが、まさにそういうことなんだろう。たまたま、彼はそれに巡り会えなかったし、何なら俺だってその原因の一つかも知れない。クソでもつまらなくても、生きていけば絶対に何かあったのにな、と詮無いことを思う。「自分はなぜこんなんなんだろう」「もっと素晴らしい人生があったはずだ」という疑問を抱かない人間などいないはずだが、そうした人間に安易な「説明」を与える行為こそ悪だろうと俺なんかは思うけどね。過去には戻れないけど、良かったことでも思い出しながらノロノロ生きていくしかない。中島らも師匠はいいことを言ってるんですよ。みっともない中年になって、つまらないことばっかりでも額に入れた過去の思い出をたまには眺めて「悪くない」って呟いて生きていけってな。

正しい「地の塩」のような日本人とはどの様なものか。まあ、東海地方で工員してるようなマイルドヤンキーなんやろうな。都会民からバカにされるファスト風土に暮らして家族でワンボックスカー乗ってる人ですな。そう言えば、「反逆の神話」にも（ジャーナリスト等の）知識階級は都会かド田舎以外の「郊外」に住んでると同階層内で人間扱いされない、などと書いてありましたわ。

昔はブスでバカだから生きてる価値がないって言ってたけどブスやバカを否定するなって言われたから私はブスでバカで私だから生きてる価値がないって言うようにしてたら自己否定は自己愛と執着だと言われる時代になってしまった。私ってどうすればいいですか？

300円なら大したことないと思いコンビニでおやつを買うパターンを7度繰り返せば2000円消えることに気がつき財布を持たないようにしたはずなのに、気がついたら｢300円ならええやろ…｣とDLsiteでえっちな漫画を7作も買っていたので人は同じ過ちを繰り返す

身体が健康なひとが働かず家に引きこもってる生活には難色示すくせに、いざじさつしたら「生きてるだけでよかったのに」ハイハイ茶番茶番

「一流の宗教」概念を見て、何がある宗教の信徒をして自身の宗教を一流と思わしめるのか、ふと考えてしまった。大抵の宗教は自身の優越性や正しさを教義で説くが、その種の内部の論理では結局は正しいから正しいというトートロジー以上のものは出てこないし不毛なような。信徒が宗教の正しさを語る際に使われる比較的客観的且つ一般的な基準を挙げるとしたら信徒の振る舞い、教勢を拡大する力あたりだろうか。個々の信徒の言動は属人的だし、旧オウムに他の新興宗教より多くの信者がいたとしても他より正しかったわけではないし、「一流」の客観的証明は困難そう。大抵の宗教で自身の正しさを教義で説かれるとはいえ、他に二流、三流の宗教があるのを前提とした言明は現在支配的な価値観とも相容れない。その価値観が現在支配的だからといって正しいとは限らないが、少なくともその種の言説に反発する人は出てくる。他者を攻撃する正当性の拠り所として信仰を利用する人を見る度に人格を陶冶しない宗教とは一体何なのか…と疑問に思ってしまう。人格円満で社会的に何一つ不自由がない人は大抵の場合現世に満足するわけで、そうでない・現世で救われない人を宗教が慰撫するのだと思えばおかしくもないのだろうか。学問・思想・宗教が人格を陶冶しない例を見ると、人格円満な/そうでない人はそれらの種類・有無を問わず元々そうなのだったんだろうなと。格闘技オタクが強い流派について議論すると決まって出る「元々強い人はどの格闘技をやっても強い」という身も蓋もない意見と似ている。

前に気合い入ったデブ専の男性のブログ見たら「愛する女に健康でいてほしいと思わない男はいないだろう!!しかし私が愛するような体型の女性は常に成人病と隣り合わせであるというジレンマに苦しんでいる!!」つってて、楽しそうで何よりだと思った

めちゃくちゃ極端なこと言うと、世界全体が阿佐ヶ谷姉妹みたいな同性による、恋愛とかですらないミクロな共同体で生きるようになったら世界滅びるんだよな。決して「だから蔑ろにしていい」という話ではなく、「だから男女間の結婚って特別扱いされるよね」っていう話だが。

メンタルってのは一度壊すと、回復しても不可逆的な傷が残ってしまうので、ほんと壊さないようにした方がいいと思う。他人のメンタルを壊すことに遠慮も自覚もない人とは付き合わない方がいいし、気付いたら離れた方がいいし、離れたら思い出さない方がいい。私も一回メンタルぶっ壊して立ち直ったけど、明らかに壊れる前とは違う。壊したことない人には絶対わからないけど、過去の自分はもういないし、戻ろうと思っても戻れない。でも、説明しようと思ってもこの違和感の正体がどうしても分からなくて説明できない。これがおそらく「不可逆な傷」なんだろうけど、、、少なくとも自覚しているのは、一定以上の無茶をしないように身体が無意識のうちにパワーセーブするようになってしまったことかな。側から見たら「ガッツが足りない」って思ってしまうかも。あと、何をするにも客観的に見てしまうようになった。例えそれが自分のことであっても。「何で自分の事なのにそんなに他人事みたいなの？」と言われるようになった。しょうがないじゃん、見れないんだから。そこにいるのは確かに「自分」なんだけど、自身が「自分ではない何か」になってしまって、常に「自分」を客観的に見ているって表現すればいいのかな。元の自分に戻れないというのはそういう事なんだと思う。あと、精神攻撃への耐性がグンと上がりました。例えるなら、自分そっくりのお人形さんが表に出ていて、辛いことを全部受け止め、フィルタかけてくれている感じ。何時間もネチネチ説教されたり人格攻撃されて周りから「何でそんなこと言われても平気なの？」って言われても、平気なんだもん。確実に、なにかが変わってしまった。ギアの噛み合わせが合わないとかズレているとかそんなんじゃなく、それをつけた機械を全て再構築しなきゃいけないような感覚。

絵描きの「絵が上手くなりたい」は『じゅうぶん上手いですよ！』って言葉が欲しくて言ってるわけじゃなくて、むしろそうやって励まされると「言わせてしまった…」と自己嫌悪に陥るので絵描きの「絵が上手くなりたい」発言に対する返答は『ジョジョで一番好きなの何部ですか？』とかで良い。５部です。寒い時につい「寒い寒い」と連呼してしまったり暑い時「あづいあづい」と無意味に口に出してしまうようなものなのだ。 どうにもならないとわかっているのに堪えきれず口に出してしまう無意味な鳴き声なのだ。「絵描きの絵が上手くなりたい」は「力が欲しい！具体的に言えばFF外のクソリプやクソ引用をねじ伏せる画力が欲しい！つか誰だお前適当な事言ってんじゃねえ！」というのも含まれるので、相互さんは気にせず好きな戦隊でも呟くが吉。デカレンとTQGが好きです。

ある深夜に突然川に身を投げようと川へ向かった。死を決意すると現実感が薄れ地に足つかずふわふわ浮いてる感覚で怖さが消えた。煙草の最後の一本を吸い終わったら死ぬつもりが風で火がつかずふと我に返った。

失敗したというか、そもそも成功するかどうかわからない雑さだったので生きている。それは本気で死ぬ気ではなかったのでは、と思われるだろうが、後にも先にもあんなに「死」に取り憑かれたことはないし、本当に病的に死ぬ気だったのだと自分ではわかる。当時の自分は、社会人一年目で、新卒の人間も自分の他に一人しかおらず、あまり職場に馴染めず鬱々としていた。こう書いてしまうとさもありなんと思われるだろうが、それ自体は別に死ぬほどのことではなかった。仕事の代わりに趣味が充実していたし、楽しいこともいろいろあったし、明確なパワハラがあったわけでもない。なんとなく職場のことは好きではないが、やってることはまあ嫌いでもなかった。なかったのだが、色々なストレスが自覚もないまま積み上がっていたらしい。とある連休の折り、地方住まいの両親が会いに来てくれた。食事の席で珍しく酒を飲み、少々酔い、気分良く話していたはずが、気がついたら父親と口論になっていた。なんでそんなことになったのか、全く思い出せない。実際、ものすごく些細な話だったのだと思う。不機嫌に別れて家に帰った。帰り着いて、風呂に入って、なんでかわからんがめちゃめちゃに泣いて、時間はすでに深夜だった。あまりにも突然急に、あっ、死のう、と思った。自分で言うのもなんだけど、正直昔からメンタルが強いほうではなかった。人生のうち半分以上を「死にてぇ〜」と思いながら生きていた。生きていたけれども、「死にたい」じゃなくて「死のう」となったのはその時だけだ。そして「死のう」の質感は、「死にたい」と全然違っていた。WEBで今できる死に方を検索した。できるだけ苦しみが少ない方法。それらしいのを見つけた。これだと思った。親しくしてもらっている大家さんに迷惑がかかるとか、今まさに近くに来ている両親のこととかも考えた。胸が痛むような気持ちを遥かに上回って「死んじゃうんだからどうでもいいじゃん」と思った。誰かが困っても、泣いても、死んだ後だからどうでもいい。そのころ私は趣味のWEBサイトを運営していて、そこそこ閲覧もされていた。親しくなった友人も、慕ってくれる閲覧者もいた。当時はまだ個人サイトを作る人間も多く、そしてなんらかの理由で更新が止まってしまったところも多かった。いつかまた更新されるかも、という期待の残る跡地は切ないので、自分がサイトを閉じる日が来たら、ちゃんとその旨を掲示して、これまで見てくれた人への丁寧な感謝の文章を書こうと、ずっと前から決めていた。お知らせのための新規ページを準備して、文章を2行くらい書いたところで思った。「これもやっぱり死んじゃうんだからどうでもいいじゃん」この瞬間の確信は、今思うだに異常だった。周りが聞いたら些細なことかもしれないけれど、当時の自分の一番の矜持とかこだわりみたいなものが、バツンと切られて散ってしまった。スイッチが入る、という表現が一番近い。切るのではなく、入るのだ。「死のう」という方向に入ってしまう。恨んだ人間も、お礼を言いたい人間もそこそこいたけれど、それも全部どうでもよくなってしまった。だから遺書も書こうとしてやめた。面倒くささのほうが圧倒的に上回っていた。詳しい方法は書かないが、死に損なって障害が残るのは絶対に避けたかったので、そうなる確率が低い方法をとった。実行する直前で、就活中に軽い不眠になった時期があり、一時的に処方されていた睡眠導入剤のあまりがあった（このときかかっていたのは普通の内科だった）のを思い出した。全部飲んでしまおうかと思ったが、胃洗浄などになったら死ぬより辛いという話を聞いていたので、普通より効果が出るだろう、くらいの量だけ口にして首を吊った。死にたいけれど苦しみたくはない自分が本当におかしかった。けれど、死んでしまえたらもうそういうことも考えないんで済むんだな、と思った。頭がぼんやりしてきて、手と足の感覚がなくなったとき、ものすごい解放感だった。嬉しかった。死ぬとわかっただけでこんなに楽になるのなら、もっと早く思いついておけばよかったと思った。そのあたりで意識が途切れた。目が覚めたら翌日の朝で、床にすごい体勢で倒れており、身体中がばきばきに痛くて、首には紐の跡が残っていた。要は紐の結び方が甘くて、主に薬の効果で意識が飛んだあとに自重で解けて、そのまま床で寝ていたらしいのだけれども、起きたら「死のう」の気持ちは吹っ飛んでいた。びっくりした。死にたくなくなったことではなく、あんなにも盲目的に死のうとしていた自分のことが、まったくもってわからなかった。魔がさすとか、憑き物とかいうけど、ほんとそんな感じだった。あまりにも明確に「どうかしていた」。自分のしでかしたことが怖すぎて、トイレで吐いた。ついでにめちゃくちゃ腹が痛くなって困惑していたら、普段の周期より1週間も早く生理が来ており愕然とした。首を吊った紐は捨てた。気に入っていたワンピースのベルトリボンだった。悲しくて怖くて服も捨てた。もう一度泣いた。仕事は休んで心療内科に行って、薬をもらった。首の残った紐のあとは、夜には消えていた。翌日は普通に仕事に行った。次の日も、その次の日も普通に行った。薬は最初の処方分だけで不要になった。それから10年たった今も生きている。で、それでなにが言いたいかというと、人はあまりに突然死に取り憑かれて、急に死んでしまうことがあるだろうということである。ミステリとかで「あの人は近々こういう予定があって楽しみにしていたから自殺なんてありえない」みたいなシーンを良く見かけるが、結論として全然ありうる。どんな予定があっても、約束があっても、「死のう」は突然やってくる。あと、死ぬ前に思い悩んでいたことがあったのではとか、誰かに相談はできなかったのか、みたいな話も出てくる。もちろん誰かに相談したくて、それができなくて思い詰めて、確固たる意志で自死を選んでしまった人も多いと思う。でも、自分が悩んでいる自覚もなく、ある日突然「死のう」が顔を出すこともある。準備がなくても、杜撰でも、衝動的でも、一瞬の気の迷いでも、タイミングが重なれば、死ぬときは死んでしまうのだ。たとえそれが自死であろうが、突然の事故と同じくらいに、本人だってわけもわからず、死んでしまうことは、たぶんある。だから、他人の死に対し、できればあまり物語を見ようとしないでほしい。もちろん、なんらかの明確な理由で追い詰められた際に、その解明が必要とされる場面もあるだろうけれども、本人や周囲の意思が示されていない限りは。そしてもし、そんな事故みたいな「死のう」が来たときに、この文章を思い出して、「ああ、今自分はそういう状態で、本当に一過性のものかもしれない」と思えることがあればいいなとも思う。それは私のエゴだけれども。

ウクライナの現状を見ていると「そうは言っても日本が危機に陥ったら国際社会が相手国を非難してくれるからなんとかなるのでは？」みたいな楽観論が熱い紅茶をかけた砂糖菓子みたいに崩れていく

映画の感想を言語化するのが面倒だから、SNSで他人の感想漁って自分と感性が近い意見を探すか。

スマホ、同じ性能の指紋センサー使っても検証精度を下げてガバガバにするとサクサク解錠できるので「指紋の精度が高い」ってレビューになって、同じ内部発熱でも電解液系の部品を守るために外装に熱をよく逃がす作りにすると「発熱が気になる」ってレビューになる

肛門のこと肛門って訳した奴天才すぎるだろ。おれみたいな凡人は「肛穴」「肛窪」って訳しそうなもんだけど、あえての「門」だもんな。もう門にしか見えねえよ

阪神淡路大震災の瓦礫の山を見て「これって復興に一体何年かかるのだろう？」とか思ってたら凄まじい勢いで鉄道も道路も街も再生してしまった。全国から集結した土建屋の底力なのだ。今は人手不足でたぶん無理だろう。みんなで公共事業を散々叩いて建設業を痩せ細らせたから。一見無駄に見えたものが非常時にものすごい威力を発揮したのだ。ちなみに地元土建屋が居た地域は足場を組みブルーシートやコンパネを貼って学校の体育館よりもはるかに快適な仮説住居群を勝手に形成していた。そうでない地域は超過密状態か吹き曝しの野宿で死にそうになっていた。

PayPay使った時はペイペイ！って鳴るしWAONも使ったらワオン！って鳴くから、ETCのバーが開く時も高らかに「イー！ティー！シー！！」って言って欲しい

アメリカ人の友人に「実家のような安心感」とか解説する上で「実家」を説明する必要があり、さらに日本では（おおよそこれまでは）「生まれ育った（田舎などの）家に両親が住み続けている」というお約束を説明する必要があってちょっと大変。

独身貫くのも多様性時代の象徴だよねって言ってた友達みんな、もう十分遊んだし家族ほしいって言ってる…

愛媛にいた頃は愛媛つまらんとしか思ってなかったけど、外から見たら海鮮たくさんあるし治安最高だし家賃安すぎるし柑橘類と温泉が湧いてくるし、愛媛は地上の楽園な気がしてきた。

最大限丁寧に言葉を選んだとしても"おふくろとファックしてろバカ"としか言いようの無いクソみたいな大人が多すぎるだろ社会

よく分からんけど「女性は強い」とか「女は怖い」みたいな事言うと何故か女が喜ぶから適当に合わせてる

昔から「もうこの先は恋をすることもないのかも」みたいなことを言って悲しそうにする友達を見るたびに「そんなんどうでもええやん」って白けてたけど、オタクが「もうこの先はなにかにはまることがないのかも」って思う時の空虚な感じと同じなのかな、じゃあわかるわ

有名人の死や、子供の行方不明事件のニュースのコメント欄が、「マスコミはこんな痛ましいことを報道するな！」というコメントで溢れ、それらにいいね何千件とかついているのを見ると、アンディ・ウォーホルの「マリリン」を思い出す。人はスターの美しさに熱狂し、スターの死にも熱狂するという。子供の行方不明事件が発生すると、自称霊能者や事象占い師たちがこぞって霊視やリーディングをはじめ、そこに集まった野次馬が「不謹慎だ」と怒りだすまでがワンセットという気がする。野次馬の叫ぶ正義は猛々しい。

自分が幸せになるためにヤフコメに書き込みをしている奴なんて一人もおらん。みんな他人を不幸にするためにヤフコメに書き込みをしている。

これは俺もどこかで薄っすら自覚はあるんだけど、「コミュニケーションに向き合う誠実さ」は、ほとんど孤独と表裏である、ということなんだ。ひとを癒したいカウンセラー志望が、ほんとうに癒したかったのは実は自分自身であることに気がつく話があるんだけど、それと似たように、「レンタル話し相手」を標榜する本人自身が、実はいちばん「だれかに話を聞いて欲しかった」のだと思う。気の毒だなと思った。俺は面白半分に記事にまとめて馬鹿を笑っているけれど、心のどこかでは「インフルエンサーになりたがる馬鹿」のファンがひとりでも増えることを願っている。

【出産の痛みを聞いた時の「鼻の穴からスイカを出すような感じ」あるある】未経験を未経験で例えないで欲しい

今日原付で帰宅してて、左折しようとしたら自転車ガキが信号無視してとびだしてきたからクラクション鳴らそうと思ったら間違えて右ウィンカー出しちゃって「左折するのに右出すバイク変態」になっちまったよ…

北九州に「いのちのたび博物館」ってのがあって小学校の修学旅行でそこ行ったんだけど、行くときのバスの中でマジでうんこがもれそうで「自分のいのちのたびが終わっちゃうよ…」ってダレウマなこと考えてた

「自殺するときに吸うものはな～んだ？」

「え、なんだろ…タバコ？」

「答えは一酸化炭素でした」

「濃度が違う」

某企業のパワハラを告発するアカウントが、その企業のロゴの色相を反転させた画像をロゴにしてるのだけど「危機感をあおるために色相を反転させていて誠実だな…」って思う

今日、同期と「弊社のパワハラはなぜ問題視されないのか」って話をしたけど、「メーカーは若い女子がいないからしょうがない、若い女子が死んだら問題視される」っていう最悪の結論になったのめちゃくちゃ笑った。かわいそうランキング上位のやつが入ってきて自死してくれ。おれも黒人でユダヤ教でトランスジェンダーの女性になって弊社で自死してパワハラを改善しようかな

結局皆が皆楽をしたいフリーライダーと老人達を支えるためにドブ金突っ込んで人材も奪った結果、誰も金もインフラ整備や人さえいなくなった。もう田舎の老人は文字通り自給自足生活が待っている。一部の都市だけ生き残る世界だよ。もはや田舎は日本という統治が及ばない。解決するにしても、鉄道インフラで賄うには人手が足りない。海運も足りない、そしてそれらを支える人も道路も電気設備さえない。マジで老人を長生きさせるステージは崩壊したんだ。25年には一千万人以上の認知症患者で1.8人が老人を支えないといけない。かつそれで子供をどうやって増やせるんだ？子供のための金を老人が奪っていて人材でさえ奪われ、インフラも滅茶苦茶でそうなったら、サービス業さえ無意味な世界。フェミは騒いでりゃその場はいいけど、もうインフラは限界なんだ言論で食いたいならまず支える人の話をしろ。インフラ消えたらフェミも男尊女卑も女尊男卑もへったくれもない。明日を生きるための食事や家の維持さえ難しいんだよ。スマートシティだスローライフだリモートだというのは全部幻想だよ。もはやそこにしかシティがないし、そこでしか事実上インフラがない。で、これが日本だけだと思う？EUもそうだけど、米国はもはや田舎を見捨てた。だからトランプのような男が出てきた。ギリギリ中国はインフラ整備時期が遅かったからまだ大丈夫だが、先進国はどこもかしこも肉体労働を軽視しすぎて内部崩壊しそうなんだよ

よく企業の偉い人が「大学の講義なんて俺にもできる！長年の経験や知識を話せばいいだけだ！」みたいなことを言うけど、実際に講義をやらせてみると意味ある内容を話せるのは良くて最初の2〜3回までであとはずっと単なる武勇伝・自慢話になっちゃうとか聞いた。

マッッッッッッジでTikTokが流行ってる時代に高校生じゃなくてよかったって何回も思ってる。自分を客観視できないし周りに流されやすいしそれでいて変に勢いのあるあの時期なら軽い気持ちで自分の中では最高のキメ顔しながら顔晒してノリノリで踊ったりしちゃって一生消せない黒歴史作ってたかもしれん

リサリサ先生

USBメモリ逆さだぜ

やっぱり逆さじゃなかったぜ

やっぱり逆さだぜ

銀行のキャッシュカード兼デビットカードの有効期限が近いので新しいのを受け取りに行くためにアポ予約サイトから受取日時を決めようとしたが何度やっても、日を改めて試してもエラーで失敗。銀行に苦情を書いても同サイトで予約しろとコピペするのみ。富裕国のはずなのにサービスの質は本当に低い。勿論外国人排斥や差別は悪だ。祖国で迫害を受ける難民は保護されるべきで、たとえ日本が歴史的に責任を追わない地域出身でもこれは国際的な人道上の責任だ。しかしその近代的価値を踏まえた上で、好ましいと思う隣人を選ぶ権利が認められないのは公正なのかと素朴に思う。中流以上の市民しかいない住宅街に住みそこで家族を養い、教育を受け近代的諸価値を内面化したホワイトカラーの同僚や取引先としか仕事をしない人達が外国人の受け入れや共生を訴えるのは間違いなく善意からだろうが、現地に馴染むとは限らない外国人と実際に共生するのは往々にして彼ら自身じゃない。IQテストでは実際の知能は測れない、これで見られるのはテストの形式に慣れているかどうかの差のみで云々みたいな建前とか、野生の思考の長所は別に あるのだ的なすり替えもどうでもええんや。途上国でクソみたいな現実に頻繁に直面してたらそんなお題目言ってられなくなる。世界中で高等教育を通して西側/先進的価値観が刷り込まれるため、教育程度の低い自国民よりも高等教育を受けた外国人の方が話が通じるのはよくある話。外国のエリートと話が通じてもそれだけの話。外国人で更に教育程度にも差があったら意思疎通や共同作業をするのは難しい。

メタ認知しすぎてたまに自分自身を見失うことある

【「おちょぼ口」の「おちょぼ」部分あるある】

声に出す時におちょぼ口になるように設計されている

今日デートいったとき「これ横にいるのが彼女とかじゃなくて普通にケモショタの弟であってほしいし、もしそうだったらサンタさんを見たいがためにケモショタが走り出して迷子で涙目になって、おれが必死に探して見つけたところを『おにいちゃん！！』って走りながらこっちに向かってきてほしい」まで考えたところで彼女に「何食べる？」って言われて「うっせえよ」って思った

本当に病んで自殺を決めたら遺書に「キツネケモショタのおパンツの柄を夜通し語り合うための友人が欲しかっただけなのに、なぜこんなにも生きているのは辛いんだ」って書き残したい

以前、ルーマニアの婆さんが「若い人から順番にロンドンやベルリンに出て行って戻ってこない、もうここに希望はない、チャウシェスク時代の方がマシだった」なんて答えてるインタビューを見たことがあるが、地方-東京と似た構図としても国内にいるといないとでは大違いだよなぁ。当然、優秀な人間から出て行っちゃうという話なんだけど、そう考えると国内の最優秀層を医学部がガッチリ押さえ込んでる日本はある意味本当の頭脳流出は経験していないと言えるのかもな。怪我の功名になるかも知れん。旧帝の医学部に行ける人間なんてハッキリ言ってもう「別格」の人らだけど、大概の卒業生は他の仕事ならもっと稼げるアメリカやらに出て行かずに国内で医者やってるわけで、長い目で見れば意外といいことなのかも知らないぞ。いや、重ねて言うけど分からんけどね

医者はエンジニアよりも言語の壁が険しいので海外に流出しにくいのもポイントですね。どのような職業であれ知識階級を国内に留めておくのは国家にとって価値のあることだと思いますよ。彼らは次の世代の知識階級を生み出す基盤になるわけですから。

知らんオッサンのチンコしゃぶる人間が数万の飯食っても雑草と区別つかないんじゃない？

中国に来てから「仕事ができる信頼できない人」を何人も見てきた(仕事は優秀だが裏で横領しているなど)ので優秀な人に会っても信頼することはなくなったのだがどうやらこの感覚が日本にいる人にはわからないようで「日本語が話せる」程度の優秀さだけで一方的に信頼して痛い目に遭う人が多い。中国でビジネスパートナーを見つけるときは「仕事ができる/できない」で判断すればよくて、あとは悪いことができないように仕組み化してしまえば「相手を信頼する必要も、しない必要もない」。仕組み化するのが面倒な人が「相手を信頼」などと言い出して足元をすくわれるのは当然である。

なぜ夜職の女が投資や仮想通貨や起業などの分野で大成できないかというと、彼女らは基本的に納税してないので現金を銀行に預けることすらできないんですよね。死に金として手元に置いておくしかなく、それゆえ頻繁に怪しい投資話に引っかかってカモにされる。マジな話「夜職の女を専門に狙う投資詐欺師」というのも存在します。騙しても脱税してる金だから訴えてこないし、騙し得なんですよね。「法の外」で生きる人生、本当にキツい。

「自分達を守るために、自分達にとって有害な属性を持つ他者を差別をしているという」認識があれば、逆に自分が差別される場面が出てくるということも許容できるようになるんですよね。そしてそれができるようになったとき初めて、どこまでの差別が許容されるべきかという利害調整の議論が可能になる。ところが現代では差別主義者だと言われてしまった時点で社会的に終わるので、自分たちが差別をしていることを認めることができない。よって自分の身を守るために他者の排除をするとき、自分は差別をしていない、差別ではなく区別だと言うことが最善手となる。この話はいつもここで行き止まってしまう。

ただ恋人がいるのがリア充じゃなくって　友達と遊びに行ったり打ち込める趣味があったり、自分の人生を全うしながら恋人とも楽しめる人が「リア充」なんだよ。恋人しか寄りどころのないのは「リア充」じゃなくて「依存」

数学勉強して理系の学部出ても、男女論になると足し算引き算レベル理屈が理解できなくなる方の性別

理不尽でマッチョな部活をやめようとすると「部活くらい続けられないと社会で通用しないぞ」と脅してくる教師がちらほらいるようですが、「部活くらい」やめられなきゃ将来パワハラ上司やブラック労働やDV配偶者に捕まった時に自分を守れないので、さっさとやめましょう

Twitter上で反ワクチンの高校生や大学生を名乗るアカウントが度々出てきますが、文章の感じからして、ほとんど30代以上の方が運営されてるのではないかなと。まず今の若い世代は、隠語にしたい時以外はあまり絵文字使わないので…。あと草も基本生やさないですし、変な改行もしないです。それらの加齢臭のする特徴が出てきた段階で、その人が本当に高校生や大学生かどうか疑った方が良いです。また、万が一本当だったとしても、あまり同年代とリアルタイムで交流ができていないタイプで、学校などに通えていない人なのではないかな、と思います。あと多分、今の若い世代が仮に反ワクチンに目覚めたとしても、それを発信するツールにTwitterは選ばないと思います。どちらかというと、今の子はもう少しオフっぽい使い方をしているというか、Twitterはオタク的な活動用か、リアルの友人と交流するための小規模アカウントがほとんどです。そもそも高校生や大学生などが、反ワクチンをTwitter上で名乗る利点がないというか、同年代に「ワクチンは危険だ！」と訴えたいなら、使うべきはこのSNSではないんですよね。それこそ、もっとフォロワーの規模が大きくなりやすいIGやTikTokで活動しないのはなぜだろう、と思います。反ワクチンに傾倒している大人に持ち上げられたいから、Twitterを選んだ、という可能性はあるのかもしれません。反ワクチンや反マスクに傾倒する方は子供が大好きなので、自分たちと同じ言語レベルで話してくれる若者を見つけたら、特に怪しまず、喜んで持ち上げてくれます。以前書きましたが、最近の若い世代って承認欲求を満たす場が多いので、わざわざ反ワクチンの大人たちからチヤホヤされるのを選ばないような気がします。どちらかといえば、拗らせた中年が、注目を集めるために高校生や大学生を演じている、と考えた方が自然なのかなと思います。

反ワクチンや反マスクの人はよく「子供を守る！」と息巻いてらっしゃるのに、より若年層の多いツールに行って直接訴えるようなことはあまりせず、Twitter上で、不自由な日本語を使いながら大人に暴言を吐いている方が多いのが不思議だな、と思います。とはいえは、TikTokに反マスクや反ワクチンの方が1人もいないわけではないのですが、若年層の大多数のユーザーからは特に相手にされていないのが現状だと思います。それよりも、副反応対策に関する情報のシェアなどの方が、よっぽど活発だった印象です。「子供を守る！」といった合言葉で興奮している反ワクチンや反マスクの方が多いですが、実際はSNSなどのできない0〜5歳くらいの無垢（だと思ってる）な幼児をイメージしていて、そういった圧倒的弱者を未知のワクチンや状況から守る自分に酔いたいのだろうな、と感じています。反マスクや反ワクチンに傾倒している大人たちが、「子供を守るぞ！」と息巻いている時の“子供”には、多分自分の詳しくないツール（ネットやTikTokなど）を使いこなす子供たちのことは入っていないのだろうなと思います。その子たちは反マスクや反ワクチンの方が求める“無垢な子供”ではないので。反ワクチンや反マスクに傾倒する大人側の知能のレベルをフィルターに、“守るべき無垢な子供”を選別していますが、いかんせん、あまりそのレベルが高くない方がほとんどのため、幼児や小学校低学年くらいの小さな子供に執着してしまう方が多いのだと思います。

学生の頃、国歌や校歌は死ぬほどデカい声で叫ぶように歌ってた。先生は嫌な顔をするけど「大きな声で歌うな」とは言えないから面白い。という話をすると、「女子がそういうのやっていいんだ」と言われて面白かった。規範は賢い人が守るもので、バカに男や女があると思ったことがない

コンサルのプレゼンに何度か立ち会った事があるが、偉いさん含め社員側が楽しそうだった。自分のやるべき仕事をアウトソーシングして打ち合わせしてるだけで、有能そう&偉そうで気分がアガるのだと思う。

付き合ったばかりのカップルがディズニーランドに行くと別れるのは、ストレスでイライラするからだと思います。長時間移動、人が多い、前日の寝不足、お腹が空くなどカップルが喧嘩する悪条件が揃っています。大きなイベントはお互いのストレスレベルがわかってからが良いですよ。

工事現場から大声で「こうちゃーん！おれの気持ちわかったー？」と叫んでるひとがいて、何かなとおもったら、ビルの上で命綱つけて作業してるひとが「ごめん、俺これムリ〜〜！！」と泣きをいれててちょっとかわいかったです。

経済的停滞が続き閉塞感がありながらも日本からの頭脳流出が深刻化していない件、経済的には上向かなくても日本は治安が良く食事が美味しいというのもあるが、（アジアの国だから当然と言えば当然だが）アジア人であることを理由に差別されないというのが大きいと思っている。アジア人はアジア外では軽んじられやすい。今まで不快な事実だからと見ぬふりをしたり否認してきた人達もコロナ禍で世界各地の在外邦人が嫌がらせに遭った事例を見たからには疑いようのない事実として認めなくてはいけない。

以前僕がつぶやいた「移民に賛同する人は、ATMで後ろからのぞき込む外国人たちが住む地域に住んでいない件」というアレ。前もつぶやいたけど、「移民賛成！」ってタテマエだけで政治的には何もしない左派と「困るには困るが、住んじまったものはしょうがねえ！」って、学校に行かず日本語がしゃべれない移民2世の児童たちに語学教育をする右派がいる自治体議会の最前線とか観ちゃうとねえ。

検索しても出てこないのだけれど、あるブログで読んだウシジマくんの楽園くん編に対する批評に大変感銘を受けました。そもそもハッピーエンドとは何か、という考察。楽園くんは主人公と親友がふたりともヤクザに消されるバッドエンドだが、時間が巻き戻って二人仲睦まじいシーンで終わる。そこで、そもそもハッピーエンドとは何か?ということを考察するわけですけれど、あらゆる創作物でハッピーエンドの直後に悲惨なことが起きて全滅しているかもしれないという、ifがあるかもしれませんよね。そう考えるとハッピーエンドとバッドエンドは、時間の区切りの問題に過ぎないと捉えられる。そういう意味では親友と名声を一瞬は手に入れられた主人公は最後死んだとしても、この物語はハッピーエンドと捉えられるというような批評をしていました。闇金借りてヤクザに消される物語をハッピーエンドと捉えるのは極論だが、最後は人間老いて病気、障害だらけで死ぬバッドエンドからは不可避。生命至上主義や全員に素晴らしい介護を、穏やかな老後をという風潮は、上の批評の何でもハッピーエンドと捉えられるという発想と真逆にあるらしい何でもバッドエンドと捉える発想に囚われているように自分には見える。その批評を読んでからいわゆるバッドエンドの物語が割と好きになった。アリストテレスの『ニコマコス倫理学』に、成功者でも惨めに死んだら不幸なのか、安らかな死を迎えた者でもその子孫が苦難に見舞われたらどうか等の議論がありました。最後を見届けないとある人が幸福か否か判断できないのでは、と。超長期的視点から見た生涯の幸不幸なんて人間には予測のしようもないし、たとえ成功して得られるのはたかが一時の栄光かもしれなくとも何かに挑戦することがないとジリ貧になるように大抵の人生は設定されているように思う。

ライブの女性ファンが激減したらしいオードリーが「俺たちのBLを描いていた女の人たちはどこに行ったんだよ。性的消費し終えるなよ。今誰を描いてんだよ」って言ってて笑っちゃった。芸人に変な理想や幻想や妄想を押しつける勢、私はあんまり好かんけど、向こうにしてみりゃお金を落とすお客さんだもんな。

ボクサーの現役時代は短いが引退後も人生は少なくともそこから数十年は続くのだから健康を害するリスクの高い戦法はやめろとボクシングの名コーチが言っていたそうだ。しかし別分野でもそうだが、過去に栄光を掴めなかった人という負い目を一生抱えるのは健康を害するより辛いと思う人も多いのだよな。未来があるんだから自分の心身を大切にしろ、成功のために自分を犠牲にするなと先達が後輩に助言するのは、それが言えるのは今その人が幸せだからで、もしも過去に成功しなかったことで今惨めな思いをしていたらなら逆に何を犠牲にしてでも成功しろと言うんじゃないか。

３Ｐするのにあと２人足りないんだけど

おひとり様を謳歌する事と、手厚い介護を実現出来る若者の数は両立しないので仕方ない。いま新卒で社会に出る120万人の内、介護と看護に各5%、医師・薬剤師・臨床検査技師・作業療法士等に5%がなり、事務など間接部門入れたら、おそらく20%が医療・介護の仕事始めてる。それでも老人の数は多い。

知り合いのアメリカ人に「へぇ、アメリカにも栄養士っているんだ」と言ったら、「日本にも労基署はあるだろう」というなかなかパンチの効いた答えが返ってきた。

都心で働くと「感情がなければないほど良い」という場面に出会うことが多いので、感受性強い人はハンディな気が私はしています。現代社会では自分を守るためにも「心を無にして働く技術」は必要だと思います。つらいときは意識的に心のスイッチはオフにしよう。

エロ漫画家ともめてる人「いや、膣内射精謝罪(ごめんなさい)じゃなくてね」

メキシコにふるさと納税したら移民が送られてきた

スタバのあの特有のフレーバーも、レッドブルのあの鼻にズガンとくる香りも、「糖とカフェインぶち込んだシャキ感と紐づけて、快感と連動させる」って技で、すごいよね。レッドブルは流石にデキが良すぎる、法規制も検討を始めていい。

私のやってよかった仕事の一つが競馬場の食堂バイトですが、ほんと皆さんゲン担ぎでトンカツ系を注文なさるんですけど午後から夕方にかけては刻一刻と眼の光が消え、表情が死んでいくんです。その後ろを馬がぱあーっと美しく走っていく。忘れられない。

RTが3桁超えると文字が読めても文が読めない奴が来る。4桁超えると異世界の者が来る

「いい人だと思われたい」というのは当然ですが、大抵の場合は「都合のいい人」になります。都合のいい人になるとハードな仕事が回ってきやすく、パワハラを受けやすいというおまけもついてきます。「できません」と真顔で言う勇気こそが実は必要だと思いますよ。

研究者の素質って、「研究が好き」もそうなんだけど、それよりも「特に人生に楽しみがない」の方が大事そうなんだよな

ヘレン・ケラーもサリバン先生に言葉（自分の思いを伝える方法）を教わるまでは毎日大暴れしてたんだよね。他人と意思疎通できないもどかしさや、自分の気持ちすら言語化できない苛立ちで。言葉を覚えたら大暴れは止んで、冷静で聡明な子になったらしい。知り合いの赤ちゃんはまだ喋れないけど、周りの大人の口の動きをすごく興味深く観察して、自分も口を動かしながら声を出してもどかしそうにしてるらしい。「僕も早く喋りたい！って言ってるように見える」と知り合いは言ってた。

ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、誕生日、流行りの映画、ドラマ、テレビ、ゲーム、音楽、俳優、アイドル、旅行、ファミレス、コンビニ弁当、スイーツバイキング、イルミネーション。全部ダメです。そんな「大多数の普通の人」が楽しむ事を楽しんではいけない。だって特別な人間だから。「特別な人間」で居続けるには「大多数の人間」と同じ事をしてはいけません。それをした瞬間に「大多数の人間」に成り下がってしまうからです。大多数の人と同じ食べ物すら食べられません。しかし、当たり前ですが世間の様々な楽しいコンテンツは基本的に「大多数の普通の人」向けに作られてます。だから、母の日常には「楽しい事」がものすごく少ないと思います。こんなに楽しいコンテンツが溢れてる時代なのに。最初はああいうの嫌い、許さないと思って自分から切っていったはずなのに、いつの間にか、特別な人間でいるためにそれらを楽しむ事を許されなくなっていたのは母の方でした。楽しい事がないから、見えない敵と戦い続けたり存在しない問題を解決するためのデモ活動をしたりと、「怒り」をベースにした変わった遊びをするしかないのかなぁと思ったりもします。特別な人間でいるために、母は自分からたくさんの楽しい事を辞めていきました。昔はイケメン俳優にハマったりドラマ見たりしてたのに。同じ思想の人とヒステリックに喚くより、楽しいねって言える趣味の方が良いんじゃないかと私は思うのですが、母は選民意識を優先したのでしょう。特別な人間になりたくて自ら楽しい事を次々に捨てていった結果、楽しい事がものすごく少なくなって、その代わりにますます「社会活動」にのめり込む。悪循環です。あまりに楽しい事がないと脳内の快楽物質の出も悪くなるのでは？それでいつも怒ってるのでは？わかりませんけど。今回クリスマスをやってみて、そういう事を改めて感じました。特に意味はないけどチキンとケーキは美味しいし、クリスマスというだけで人々は何となく幸せそうだし、ケーキ屋さんは「良いクリスマスを！」って言ってくれたし、「楽しい」っていうのはこんなもんでいいんじゃないかと思いました。両親は「踊らされてる！流されてる！クリスマスだけでケーキ屋とケンタッキーがいくら儲けるか知ってるか！バレンタインもチョコ屋の陰謀！」とか言うけど、そりゃ流されすぎは良くないけど、そんな風に何もかもに闇を感じ取るよりは「なんか楽しい」くらいの気持ちでいた方が健康的かなと思いました。

こういう廃墟の「ようこそ！」「お風呂はこちらです」の案内板とか、営業してた頃の空気を感じるものを見ると寂しくて胸がキュンってなる。

個人レベルの快・不快と社会レベルで推奨されてる事との折り合いを付けるのがめちゃくちゃ下手。そんで自分にとっての快・不快という感覚・感情をナチュラルに「社会にとっての善・悪」の話にすり替えようとする。個人レベルの話を世界の話に拡大投影（造語）してしまうのは宗教の教祖とかもよくやってるあるあるではあるんだけど、そのまま突っ走って変なデモ活動とかを始めちゃう前に、自分の心の様子を、自分の心のまま、一度落ち着いて観察できる機会があるといいなぁ。もしかしたら今までの人生で「自分の気持ちは聞いてもらえない」と思わされる事が多かったのかも知れない。世界の話にでもしないと自分の気持ちなんて価値がないと思ってるのかも知れない。そういえば反ワクになった友人も最初は糞みたいな理論と糞みたいなソースを道具にゴチャゴチャ言ってたけど、科学的に論破しつつ糞みたいな理論武装をゆっくり『ほどいて』みたら「僕の気持ちを聞いて欲しいだけなんだ泣き顔なんかイヤなんだ！泣き顔」という気持ちがそこにあった。だから傾聴モードに切り替えて穏便に済ませた。別に気持ちを聞いてあげたからってその人が接種するようになるわけでもないけど、最後には「僕はイヤだという気持ちを理論武装してただけなのかも知れない」と言わせたから、私にできる事としてはこれが精一杯かなぁと思った。

東大の貧民学生寮に住んでた頃は、合格して晴れて「脱出」して東京に来た人がぽつぽつ存在し、頭脳・能力・胆力で人生を切り開くというオーラが寮全体に宿っていた気がするのだが、就職して大企業に入ると、そういう危険思想マンは消滅し、安心と安定を好む「ちゃんとした人」が多数派になった気がする。この両者、どちらも世間標準から見ると「勝ち組」という銘柄で単一化されがちな気がするのだが、しかし根本的なスピリッツが真逆で、相容れない気がしている。人生が進み、話題の中心が学業から結婚・出産・出世という方向にシフトするにつれ、この辺りのギャップが顕著になる気がする。

「努力すれば夢は必ず叶う」論者は容易に「夢が叶わなかったやつは努力しなかったからだ」になるからなあ。「成功者は努力している」は真だけど、逆は真ではないという話だね。

今日の夕方NHK見てたらソ連時代に生まれたロシア人のおっちゃん（40歳）が「ソ連は世界で一目おかれる超大国だったのに、今はそうではなくなってしまった。これを取り戻せるのはプーチンしかいない」などと言っていて、西側のオルトライトと同じようなこと言ってるなと思った。「俺が子供の頃にはあんなに優れていた国がどうしてこうなった？」というのはある種の国におけるイケてない中年共通の悩みのようだ。ソ連は超大国だったおじさん、アメリカのトランプ支持者と和気あいあいと酌み交わせそうだなと思いながら見てた。

筋トレを勧めても｢ムキムキになりたくない｣しか言わないし食事管理の話をしても｢やってみる！｣とだけ言って結局やらないけど極端な食事制限を数日だけ行った後スタバの新作をストーリーに載せながら｢痩せなきゃ｣と言ってる謎の生き物たちがシールになって登場！ウエハースを買って集めよう

大掃除とかいう、そんなことできる人間は普段からしてるから必要ないし、できない人に無能感・罪悪感を植え付けるだけの奇習

サンローランの服しか着ない友人がいるんだけど変な拘りだなと思って理由聞いたら「金がなかった大学時代に店入ったんだけど高くて買えなくて、それ分かってるのに店員さんが色々試着させてくれて『似合うのでいつか絶対来て下さい』って言ってくれたから」って言ってて営業ってこういうことだよなと。

ひとによってはぜんっぜんピンとこんかもしれんけど、偏食の子をそだててるひと ぜったい冷凍食品に頼ったほうがいい。お惣菜も可。毎度手間かけたごはんを三角コーナーにすてる、あれほど哀しい瞬間はなくて。冷食とかなら(まぁ口に合わんかってんな)ですむから。責任感を“外注”するんよ。

質のリア充男性が一人で女性市場を食い荒らしたあげく適当な頃見計らって適当な手堅そうな女性と結婚、彼らに食われた経験のある女性はその記憶が刷り込まれ誰が非モテ男なんかと一緒になるかボケとなる、という仮説。

本当におれは定期的に言っているが、自由意志が尊重される社会というのはどこまでもバカと意思薄弱な人間に厳しく出来てる訳ですよ。成人が首を縦に振るって、現代社会だとその意味が本当に重いですから

最近のネットにおける人生相談的なトピックは、特に相談者が男性の場合、党派性に凝り固まった政治的正しさを押し付けようとする圧力が強い。ネットなど無視して好きに生きれば良い

妙にイライラしていても温かいものを飲み食いすれば落ち着くという現象はあるが、それによってイライラの原因（労働など）がなくなったわけではないので、薬物で気を紛らわせることとの違いがだんだん分からなくなってくる。

男の性欲は車のガソリンみたいなものだと思ってる。多くの人々の生活を豊かにするし、なかったら社会は回らない。確実に女性は男の性欲の恩恵を受けている。ただ、暴走運転や放火など使い方によっては人の命も奪う。性欲そのものは悪ではなく、悪人が使えばヤバいって話でしかない。

「復讐は何も生まないが、きっちり復讐する人間だという評判は将来の被害から私を守ってくれる。」というセリフは人間関係全てに通ずる金言だと思う。

ちょっとYouTube見てて思ったんだが、英語しか話せないネイティブが英語学習者に必要な心構え、とか語ってるのは真顔でボケてるのか？？親が日本人のバイリンガルの人も同じような動画があるが、ズレすぎだろう

人によって快適な空気質が違うから部屋ごとに温度を変えられないのは全館空調の弱点なんだけど、そもそも寝室も分けたいんだよな。好みのマットレスや布団も違うし。歳をとるとドンドン贅沢になって他人との共同生活が苦しくなっていくよね。だから足るを知ることを胸に刻む。

今日の空気感めっちゃ土曜日っぽくない？みたいなの日本人以外も言ってるのかな。

「〇〇に数学は必要」のとき、「数学＝微積・統計」で代数幾何を指してることほとんどない。スキーム論を指すのは見たことすらない。

反マスクや反ワクチン、また、陰謀論に傾倒されている方に結構な頻度でアイコンや名前についてイジられたり、勘繰られたりするのですが、この“目に入る写真や名前などの簡易な情報”に無意味に気を取られてしまうのも、界隈の人の1つの特徴かなと思います。また、わかりやすい言葉を使うようにしていますが、皮肉の強いツイートに対して、内容ではなく「口が悪い」とおっしゃる方も多いです。これも、書いてある文が理解が出来なくても、なんとなく雰囲気で「ばかにされてる！」と思った時に、どうしても反論したくなってしまうのが理由かなと。中身を理解できていないので、反論する材料が「口が悪い」という一点になってしまうのだと思います。反マスクや反ワクチンの方のツイートには、よく「相手の伝え方が悪いから読めない」といった責任転嫁が見られるので、「口が悪い」という言葉は「難しい文章は読めません」の略なのだと思っています。

萌え絵が性犯罪を助長する説の一番ダメなところは、普通に考えてアニメやマンガに耽溺することの弊害として考えられるのは「現実の女性に興味を持たなくなること」だろうってところよな。実際一昔前はそういう批判が多かった。連中自ら言っているように、アニメやマンガのオタクは恋愛至上主義の土俵から降りて現実の女性に関心を持たなくなった非モテなんでしょ？それは男性として不健全だという批判ならわかるが、なんでいきなりアニメやマンガに一切興味のない奴がやるデートレイプの罪を被せるのかと。そもそも非モテのオタクがどうやって女性をデートに誘って酒に酔わせるところまで持っていけるのかと(笑)。女性が男性と酒を飲んでもいいと思うまでには結構な足切り選別があるでしょう。オタク男性はそこに含まれますかね？オタクを非モテと嘲笑するのは百歩譲って認めるとしても、非モテ認定しているくせにある程度モテる陽キャがやる犯罪の罪まで押し付けるの、流石に理屈が滅茶苦茶じゃないですかね。昨日の性的資本の話とも関係してくるけど、恋愛って男女共に高いリスクと高いコストが要求されるもので、非モテがなんで恋愛の土俵から下りるかと言うと、今のポリコレ全盛の世の中だと男性の側のリーガルリスクが高騰して「あわよくば」くらいの甘い料簡だと全然引き合わなくなっているからですよ。そんなご時世で未だに現実の女を肉体目当てで漁っているような男って、よっぽど現実の女性に興味があって、というか現実の女性以外に興味がないくらい色事に全フリした性欲の強いアルファオスなんですよ。それは非モテのオタクとはまったく別種の人間ですよ。「萌え絵が性犯罪を助長」説が馬鹿馬鹿しいのは、現実を見れば性犯罪に親和的な男性ってのは、萌え絵だの二次元だのの女性に興味を抱かないような人種だからであって、だったら彼らが性犯罪に走るのは萌え絵やアニメやマンガとは別種の理由と考えるのが妥当だからですよ。「○○タソ萌え〜！」とかブヒブヒ言ってるオタクが「うお〜辛抱たまらん、よしいっちょ女を犯しに行くか！」みたいになるわけがないでしょ。前者と後者のアクションの間には絶望的なまでに深い谷が横たわっていますよ(笑)。「萌え絵が性犯罪を助長するエビデンスを出せ」以前の話で、その主張はまったく現実と整合的ではなくて話にならんのですよ。いやまったく、萌え絵が性犯罪を助長の例としてデートレイプを持ってくるとか頭悪いにも程がある。非モテがどうやって女性とデートするところまで行けるんだよ(爆)。オタクだと判明した瞬間にデートの対象から外れるだろう(爆)。

橋本治大先生が「今の世の中は自分の個人的な不幸をどこまで一般化できるかにかかっている」と書いててな。要は「俺がこんなに不幸なのはあまりにひどい！」と言い出して、ある程度以上の人に「なるほど」と思われたら勝ちなんだと。そして「なるほど」と思われるためには魅力的な人になる必要があると。そして「なるほど」と思われる魅力的な人になった時、そいつは「偉い人」になってると。で、TLの議論を見てて思うんだが…少なくとも「自分の不幸を一般化できる能力が優れてる人」はやっぱ強いよな。俺の不幸はただの個人的な不幸ではなく、社会問題に直結する特別な不幸だ、と色々繋げられる人が強い。「自分の言葉を持つ人」だ。で、そういう人の議論は面白い。面白いから読んでて一時的には「なるほど」となる。そしていつの間にか「そういう人」は有名になってる。だからどうという話ではないが、やっぱ「言ってることは正しいと思うが、どうも話に魅力がない…」という人達は負けるよな。SNS

「怒られたくない」以外の動機がなにもないので何もやらない結果最終的に最大限の怒られが発生するみたいのわりと日本人の平均的な姿の一つっぽいよな

脳に架空の女児を住まわせ始めた時期はっきり覚えてて中学一年生のときで、正直その当時は「これも思春期の不安定なメンタルを支えるための一過性の儀式だろう」みたいな生意気な自己分析をしてたんだけど、残念ながら今でも続いています

今日は売れ残りのクリスマスケーキを、何台も捨てた。捨てる時に、ケーキに乗った砂糖菓子のサンタさんがにっこり笑ってるのが、あまりにも切なくて泣きそうになる。24時間交代制でこのケーキを作ってくれた工場の人達を思うと泣きそうになる。どうにか、できないのか。

全部売り切れるぐらいなら若干捨てる方がマシというのは小売りで育った私の信念である。小売りにとって一番の無駄はチャンスロスであって、食品廃棄ではない。店はお客様のためだけにある。足を運んでいただいたお客様にお売りするものがないなんて商道徳に反する。本気でそう思う。

というか本当に知性に興奮する人っているの？だいたい学歴と頭良いっぽい雰囲気に騙されてるだけにしか見えないのだが

繰り返し言ってんだけど多様性は人権を尊重した結果現れる指標であって多様性を増やすことを目標にすると人権は尊重されないんだよな

腰痛に貼る湿布の枚数が減れば腰痛が治ったことが分かるけど湿布を減らすことを目標にすると腰痛は悪化すんねん

「お客様」を歓迎してくれるだけの企業をインフラとは呼びにくい。インフラ事業者は、血を流してでも中立で平等で一律な「なにか」を維持し続ける。日本全国のどこからどこへでも84円で封書が届くの、冷静に考えればおかしいだろう。ここで離島料金をプラスすると、一気にインフラ性は薄くなる。

「イヤホンで何聴いてるの？」

怖い人「"ファ"」

「単体？」

怖い人「そう」

スキンヘッドが来店した美容師

「…どうされました？」

知人から「SNSで精神的に不安定な人に声をかけ高額なカウンセリングに誘導する」という商法があり被害も出ているという話を聞いたけど、メンタルの不安さをSNSに事細かに書くこと自体がやべぇビジネスに巻き込まれるリスクになり得るということを改めて感じており怖さを感じる

メンタルな不安さにつけこむビジネスをするサイドにとっては、SNSでメンタルの不安を書く人をそれ自体が「見えている魚」であって、魚の前にルアーをばらまくコストも激安なのでそりゃ人の心さえ捨てれば無限にやるよなぁ、とは思うのです

歳を取れば取るほど、自分なんてどうでも良くなるものです。ちょっと辛抱すればあの世ですから。そもそも自分なんて実態はあるようでないようなものだし。人間は個の意識が強すぎるのだと思います。全体として生き残れば良いんじゃないですかね。

コメダ店員「アイスコーヒーにシロップは入れますか？ 別に分けてお持ちもできますが」

ワイ「(入れてしまうと不可逆なので)別々で」

ラボ同期「同じ値段ならエントロピー低い方がいいもんね」

ジェンダーステロタイプに対する「中立」は中立ではないので。というのを書いていたのは千田さんだったかな？だからここは平行線だろうね。「ジェンダー平等を求めるなら既存のジェンダー観を崩すための表現こそが正しい」ことになる。私はそもそもジェンダー平等などクソくらえなので土俵に乗る気も無いんだけど、だから「ジェンダー平等を達成すべきだが既存のジェンダー観に肯定的な表現にも寛容になるべき」という立場の人は「表現の自由」や「選ぶのは客」といった市場原理主義に走りがちな気はする。対してアッチはそもそも（既存ジェンダー観にまみれた）市場主義には批判的というか敵対的で、「表現の自由」は「権力からの自由」であり批判の声を上げて表現者に「わからせる」ことが表現の自由を損ねるとは考えない。だから噛み合わないで平行線になる。噛み合ってないというか、このあたりを押さえていない「表現の自由」派は「みんなが好き放題に出来たらいいじゃん」という不良の屁理屈（相手からはそう見える）の域を出ないように思う。もちろんそれが悪いというわけではないんだけど、「表現の自由」を掲げるときには相手の権力性（「世間」を巻き込み、無理なイチャモンで誰かを黙らせられるのは間違いなく権力だ）を意識して考えた方がその言葉の重みは増すと思う、という話。

長女が小6の時の修学旅行にて。消灯時間を過ぎているのにトランプに興じていた男子たちが、見回りの担任の先生（男性）に見つかったらしい。絶対怒られると覚悟した男子たちの予想に反し、先生は「なんか楽しそうなことやってるな」と言って入ってきて、一回だけトランプに付き合ってくれたらしい。男子たちはその後大人しく電気を消して寝たらしいけど、この時のトランプが、小学校生活の一番の思い出だったと、何人もの男子が卒業文集に書いていた。

シンギュラリティって言葉がこれだけ普及したにも関わらず、労働が減ることに対する反応の鈍さにほんと辟易としますよ。なぜそんなに平然としてられるのか。労働の要求量が減るってことは賃金を押し下げる圧力が常にかかる社会ってことですよ。

ポリコレやSDGsは次の戦争や次の戦後も踏まえた陰湿なロードマップを準備した上での仕込みに思えるし、それはMMRや陰謀論がフィーチャーするような華々しいものではなく、身近な人間がじわじわ失職したり自殺したり音信不通になっていったりするような地道で生々しいものに思える。

私は否応なく会社で働いているけれど、好きで結婚した男に茶運ぶより、私生活もろくに知らんオッサンの命令でパソコンガタガタ頭ペコペコやってんのが上等か？というのは思うし。だいたい、金の価値が高すぎるんだよな。資本主義が悪いんだよ

区の育児面談みたいなやつで、ストレス発散はどうしてますか？って聞かれたから「ZOZOTOWNで服を爆買いしたり…」って答えたらカルテみたいなやつに「ZOZOTOWN」って書かれてた

法事のときにお坊さんが「怒りはとらわれだから、イライラしたときは気持ちから離れてみよう」と言っていました。それを聞いて「いい言葉だなぁ」と思っていたのですが、親戚のガキンチョが木魚遊んで、お坊さんガチギレしてました。私の人生で好きなエピソードの一つです。

だいたい、「価値観のアップデート」なんてキャッチフレーズは、「こんな発想は進歩史観ですからちょっと言い回しは考えないとなぁ」とすら思えない人しか言えないので、学者先生でこんなこと言い出すのはどんだけ不勉強かという批判を浴びるべきですね。宗教化してる人はもうしょうがないですが。

「この先の自分の人生ってどうせこんな感じなんだろうな」っていうビジョンが薄々見えてきたのでもうこれ以上続きをやりたくない

古畑任三郎が安心できることを言っていた。「自分が他人に嫌われてるんじゃないかって心配してるみなさん、安心してください。そういう場合はたいてい、本当に嫌われています」

"中高年のコミュ障""会社の立場や社会的地位抜きでのコミュニケーションの取り方が分からない人"、俺の身近でも上下関係が無いと何も出来ないジジイがコミュ力ある奴を妬んでいびって孤立してる。結局みんな不幸。

ジェンダー平等などの名の下で行われる女性優遇の諸施策、根本が善意からできていることは認めるとしても、マクロで見るとフリーライドへの誘導力が強すぎて社会の持続可能性を削ぐという視点が宗教的なタブーとなっており全く議論の対象にすらならない。統計的傾向について議論することが人権への攻撃であるとする話は、本来極めて低レベルな代物であるが完全に泥沼化している。「ここにこうして苦しんでいる人がいるのを見過ごして何が人権か！」いやそういう話じゃないんよ

昔大学の先輩に言われた「同窓会が楽しいのは35歳までで、外銀に行った年収3000万とポスドクの年収300万が混在し楽しみにくくなる」という金言に直面する日が近いのを感じる。

タリバン叩きで使われる近代人権思想っていうのは歴史を超越した至高の価値のように本気で思われているのはなぜかといえば、それ自体が「自己は歴史の中で超越する価値観として、自己を疑うことを知らない」イデオロギーだからなんだよね。「近代人権思想」は欠陥品である。なぜって、「近代人権思想とは自己を疑う回路が欠落したイデオロギー」だからだ。だから絶対にたとえばイスラムのローカルルールと比べて、自分を相対化して、欧州のローカルルールだと思うことはできないんだよな。それ自体がバグみたいな思想だから。「近代人権思想」が世界中で使われ、用いられない国や地域が「後進」「未開」「蛮族」扱いされるようになったのなぜかって、それは別に「普遍的な原理」だからではなく、現実主義的に「都合のいいシステム」だからにすぎないのね。

私は不安に滅法強いのだが、これは小学生の頃から｢悲観主義は気分に属し、楽観主義は意思に属す｣という言葉を、脳内に貼り付けて生活してきたのが大きい。おそらく異常に忍耐強いのも、これが原因。

数字中心の学問がやれ男性主義的だなんて言われましても、数学なんて数字を操作している内が華で、数字から遠ざかれば遠ざかるほど「死に至る病」の序文みたいなのを延々とやるハメになるぞ

日本も途上国と変わらないとか言い出す連中のさ、どれだけが本物の途上国見たことあんのかなとは正直思うよね。いや私も「行った」程度で「住んだ」でも「生きた」でもないから偉そうなことは言えないんだけどさ。

世界中で高等教育を通して似たような価値観がインストールされるために、中卒・高卒の自国民よりも高等教育を受けた外国人の方が話が通じるという状態で、人々に同胞としての連帯意識を持たせるのは難しいよな。だからこそどの国も建国神話のような大きな物語が要るんだが今やそれも否定されて久しい。今までブルーカラーを徹頭徹尾見下していた人達が、昨今はコロナ禍で少なくとも表面上はエッセンシャルワーカーと呼んで取り繕うようになっただけ少しマシか。自然災害や悪疫の流行など属性を問わず全員が巻き込まれるような事態でもない限り国民が運命共同体だということがかくも見えにくくなった。

基本的に、満足出来るほど何かを与えられる機会などそれほど多くはないので、与えられることを貪欲に追求するよりも、与えることに幸福を抱くように訓練した方が全体として上手くいく、てのはあるかもなんだけど、要するにそれは『悟り』の話なので常人にそれ期待するのはどうかしている。これは全人類が『聖人』であることに依存したシステムとか絶対コケるだろ、みたいな話です。まあ。個人の主観的態度としてそういう『聖人』を志向することについては割と素直な尊敬を向けたいとこではある

ツイッターのアドバイスって所詮他人事だから、リスク度外視の非常に極端な意見が多いよね。仕事やめろーとか、まず数学からーとか。その人には金と時間が無限にあることが前提のアドバイスがとても多い

EUが自分達の価値基準振りかざし寄ってたかって死刑にケチつけるのも、森元会長の時も、僕は十分にイジメだと思う。一番のイジメ対策は「いかにこれはイジメではないか？」のロジックを組み立てることですね。

初見で『OIOI』をマルイと読んでしまったために人生二週目だということがバレた人

クラブの大音量に、時々slackの「ｽｺｺ!!」って音混ぜたら、気分転換にきたエンジニア勢を一瞬正気に戻せそうで面白そうだよな。

ねえ、ちょっとおかしな話してもいい？「そういうの大好きだ！」ほっともっとでお弁当待ってたら有線ですみれSeptember Loveが流れてたのね「お〜 笑」で、ふと手元を見たら、お客様番号136だったの！ IZAMじゃ〜ん！ って「お〜 笑（ほっともっとで の時点でアプリでぷよぷよをしている）」

「賽は投げられた」の原文を見ると"iacta alea est"であり、単数形なので、2D6とかを使うゲームではない

PTAでくじ引きの順番を決めるくじ引きという無駄な行為に付き合わされましたが、くじを引く順番に文句を言う人(後の人が不利とか言う)に確率を教えるより無駄な抽選をする方が遥かに早いということで理解しました

昔はネットでいざこざがあると相手が「直接会って話をしよう」「電話で話しましょう」と言ってくるケースは本当に多かったのですが、今は「いいですよ、スペースで公開討論しましょう」と返されてしまい、密室で脅迫することができなくなってしまったのであった

人生はクッキークリッカーではないんですよ。学力、収入、配偶者の容姿などのパラメータを最大化できればクリア条件を満たしてファンファーレが鳴り響く。そうした馬鹿げた幻想から早く抜け出さないといけないし、それを助長する狂ったシステムを弱体化させる必要がある。

進学塾が受験生を洗脳して偏差値至上主義という一元的な価値観を刷り込むのは難関大学の合格者数を最大化するにあたって適応的である。そして、そうしたミクロな適応に伴うマクロな悪影響を考慮して自浄作用を働かせることの困難さが、教育に市場原理を持ち込むことの有害さを示しているわね。医学部では中学受験に始まる絶え間ない競争に晒されることで頭がおかしくなり、一元的な価値観以外を内面化できずに苦しんでいる連中をたくさん見てきた。医学部でCBTや国試、USMLEの点数を過剰に競い合う風潮が強いのはそこに起因してるんじゃないかという霊感がある。

体感的にTwitterで取り沙汰される”教育”の力で最も救われるのはfull IQ 110くらいの層だろうと思う。”教育”というドーピングにより、素晴らしい経歴を手に入れ幸福な人生を歩む。”教育”があって良かったですね。

日本人の大半は自責思考が苦手で自分の惨めな人生は自分のせいではなく元を辿れば親の教育や実家の経済環境のせいだと思っているので親由来のコンプレックスが含まれた文学はバズりやすい

アメリカ人にとってアジア人は全部一緒くたにチャイニーズだが、日本人も白人を見れば英語話すと思ってるし、グアテマラ人とメキシコ人の区別もつかない。しかし日本人の場合は、間違ってしまったとわかると慌てたり、申し訳なく思うが、アメリカ人はそんなことはどうでもいいと思っている。ここが違う

ツイッター文学が流行りではあり、バズったものは確かに面白いし観察眼も鋭い。ただ根底にはある種、人を馬鹿にするという否定的な感情が流れており、それに長く晒されると知らず知らずのうちに自らもまた他者を否定するようになると思っている。この類は「用法容量を守って正しく使う」ことが大事

通行人「あの、よく大勢の人に笑われてる方ですよね？」

お笑い芸人「受動態やめませんか」

毎年この時期、目に見える成果や成長の量を他の人と比べて落ち込んだりするが、だからといって今年友だちとドライブしながら吸い込んだ秋の空気とか、一人で見た春の朝の海とかの価値を下げることは絶対にしたくない。きれいだと思ったものをきれいなままに守るのって過去の自分に対する責任だとおもう。

子供の頃は紅白見てて毎年同じような古い歌聴いて何が面白いねんと思ってたけど、歳取ったらわかったわ。もう新しい曲がわからんし過去に好きになった曲を一生聴き続けていたいんだよな

ここ20年だか30年だか「日本のうた」が今が苦しくても道は拓ける生きていくんだ頑張れ頑張れって空々しい説教に席巻されたのがよくわかるな。うたって「月がとっても青いから遠回りして帰ろう」みたいな個人的な情感を歌うものが主力じゃなかったか。

かなりの部分敵に回すだろうが……大泉洋、ほんまに好かん。オール5感のある福山雅治みたいなナメくさりようでも、星野源のようなオール4の一歩引いた処世立ち回りでもなく、オール3の世渡り術みたいな小賢しさが耐えがたい。

古坂大魔王が学園祭で自らをつまらないと揶揄してきた大学生に詰め寄って「じゃあ面白いこと言って、3、2、1」とカウントダウンをかけた話を知ってから自分が詰め寄られた学生だとしてその状況でどうウケることができるかをずっと考えている

俺は喫煙可の店ではそんなに不快に感じなくて、路上禁止区域での臭いに強烈な腹立ちを感じる。「煙自体の純粋な不快さ」よりも、ルールを守れない人間に対する不快感が、そこにすさまじいバフをかけてる気がする。

ユニクロでセルフレジのiPadのホームボタンが押せるようになってたので押したら渋滞が発生してしまった

充電しながらいじっていたスマホと、全くいじらずに100%まで溜めきったスマホじゃ、電気の「鮮度」が全然違う気がするんだよな。

【アメリカ版の先生】

ノビー！！！！

廊下が お待ちかねだぞ

古いカートゥーンでよくある顔を殴られたキャラクターが手足を突っ張って倒れる表現、あれ本当に頭を殴られて死ぬ人間の姿そのままで怖い。

禁煙、たかだかお国が声かけと場所の制限をしただけで、たった数十年で人々の認識というか倫理が変質したのは歴史に残る現象だろう。個人の物事の好き嫌いは全く社会的。自分で決めてると思い込んでる人が多いが。

子供ワイ「スイミングスクールってアイスの自販機になぜかついてくる大型貯水施設だよな。」

子ども時代、よく風邪を引いては気管支炎の手前まで行くのでスイミングに放り込まれた。その結果、他の運動はからきしだけど4泳法泳げる風邪を引きやすい子どもが出来上がった。

大抵のことを金で解決できる経済力が身についてしまう前に、他人とともに支え合って生きる意義や価値を理解する訓練をしておかないと、一人で生きていくほうが楽で自由に感じてしまう。けれど、突き詰めると金で買えないものもやっぱりいろいろあって、その必要性に気づくころには相手を見つける方法がなくなっている。

車椅子の人が車に乗る動画あったじゃないっすっすか。運転席に乗ったら車椅子持ち上げて社内に腕力で入れるの。まじっすっげーすわーって思ったのよね。おもわね？俺は思ったのよ。すげーと一緒に年取ったらこれできねーなっても思ったのよ。おもわね？俺はそりゃもう思ったのよ。いつまでも持ち上げられると思うな自分と車椅子ってな。話変わるんだけどよ。俺はからあげにはレモンをかけるんだわ。文句でなけりゃ宴会の大皿にも率先してかけるねああかけるさ。家でもしょっちゅうからあげ食ってるし。そんときは生のレモンを絞ってだばだば汁かけんのよ。もうすっぱっぱ。たっぷりかけたいから片手でレモンを握りつぶすようにぎゅうぎゅうするんさ。それを思い出してね。俺もオイルわけじゃん。握力落ちるわけジャン。それで俺はいつまでからあげにレモンをかけれンだろってその動画をみながら思っちゃった。とっさの連想なんて止めれん。そうだろ？生活を左右する車椅子生活者の大切な足な自動車にいつまで乗れるかって話とレモンを片手で絞れるのかって話をおりゃー同列に考えてしんみりしてやがるんだよ。振り返ればすっげーくだらないしバカだしもうマジでやるせなくなって自分が哀れになった。これ共感力が低いって言うんすかね。人とずれてるってやつっすかね。とにかくちっせえ人間ってわからせられて悲しかったんだわ。

若い時は「正月なんて茶番じゃん」と思っていたのですが、その茶番こそが文化だと大人になって気がつきました...。無味乾燥な人生にスパイスを与えるのが、季節のイベントなので盛り上がってたほうがいいですね。お酒が美味しいです。

この国のお粗末すぎる死生観は無宗教に起因しているのではと思っている。死の恐怖に対して何も拠り所が無いというか、もはや医療が拠り所になってしまっているのでは。でも医療の役割は病気を治すことだから、孤独を癒やしてはくれないし、老いを受け入れる勇気もくれないし、死に意味も与えてはくれないのよ。何度も救急車を呼ぶ不安でいっぱいの独居老人を見るとね、彼らに必要なものは医療では無いんだろうと思うよ。しかし誰もそれを与えてはくれない

【実家あるある】

「いま落とさなくてもいい」と思う汚れで実家の全てが形作られている

紅白は面白いかと言われると全然他のことやってた方が快適なんだけどこれらのセレクトを聴いておくのは初詣以上に大事な儀式なんだね

年末に転職した人達と近況報告LINEしてたら、大体みんな「転職して良かったと思う一方で、やっぱ理想郷なんてどこにも無い」ってて、まあ大体の転職って単に『辞めたいゲージのリセット』でしかないって話をしたら、「マジでそれ」「すげぇわかる！」と、今年初の格言認定いただきました。

正月太りをする人は季節のイベントを大事にする文化的で素敵な人

漫画やラノベにどうして美形しか出ないのか、平凡な見た目と供述しておきながら明らかに整っている顔の主人公は何なのか、一度は誰しもが疑問に思った事があるとは思うけど、絵描きの知り合いに質問したところ「ブサイクは作画コストが高い」という単純明快な回答を貰った事がある。なんか、こう……パースやデッサンが狂ってる訳じゃないけど崩すという作業がクッソ難しくて手間が掛かるらしい。分かりやすく顎肉を追加するという工夫はあるらしいけど、それだけでは「美形のデブ」になるだけらしくて大変だと言ってた。だから劇で役者に王冠やマントみたいな分かりやすい衣装や小道具を持たせるみたいに、キャラ自身に「平凡な見た目」だと自他の評価を予めさせる事で「そういう設定です」と示す方が楽らしい。図形から学ぶ絵の知識なんて本もあるくらいで、美形は図形。基礎がしっかりすればなんすけど、ブサイクは輪郭やパーツが歪になるので、陶器職人みたいな歪さに味を持たせる技術を問われますからね。美形って突き詰めればひとつの理想に終息して行きますけどブサイクには様々な要素がありますからね。ブサイクは奥が深い。私もその一員だという事を光栄に思います。

伸びる人は、「興味を持つ」から「手を出してみる」までの距離が滅茶苦茶短くて、しかも飽きるのも早い。そして「興味を持つ」を増やす努力をしてるから、年中手を動かしている。これを、他人は「あの人は勉強している」と言う。でも本人は、「いや～遊んでばかりですよ」と言う。

「自由は素晴らしい」というのは確かに間違いないのです。しかし自由に「孤独・高ストレス」が合わさると大体はおかしくなります。全てが満たされているので、不幸な人は孤独と高ストレスが原因な気がします。不安定な人は気をつけてください。

基本的に公共空間ででかい声で怒ってる人を見ると完全に頭おかしい人に見えるし１秒でも早くその場を離れたくなる。え、なんでアレと普通に落ち着いてコミュニケーションとれんの？立ち向かえるの？この兄ちゃんは兄ちゃんでなんで他にも席空いてるのに今まさにリアルタイムで喚き散らしてるそいつの隣の席に座れるの？って折れた後のノブみたいになって見てる。

身近な人間に嫉妬して引きずり降ろそうとするのは、認知のバグ。 100人規模の村社会では自分の相対的順位が上がって利を得られたが、競争相手が億を超えるグローバル社会では、身近な人間を攻撃するのはリスクのほうが大きい。むしろ「身近な人間は全員幸せにする」くらいのマインドがうまくいく

プロフに多様性って書いてあるタイプの人、あんな排他的かつ攻撃的で、なんで「多様性」と折り合いがつくのか謎だったけども、「みんな違ってみんないい」というタイプの多様性じゃなくて、出されたお皿に全部盛りされてないと多様性じゃないってタイプの思想みたいだね。全然違うやん

子供の頃に居た、数年に1回しか遭遇せず、なのに父母とは仲が良く、何故かお嫁さんはいないがやたら構ってくれてお年玉はくれるという謎のおじさん、謎が解明されつつある。

"ワークライフバランス"という言葉、仕事ごときが人生とバランスを取れる程の比重を占めるっていう前提が無理。

地元、散歩してると公園とか荒れてるし人が全然いないので終末を強く感じるので寂寥感があります。わたくしが幼かったゼロ年代前半ごろは、新しく公園とか整備されたりして「物事がよくなっていく」感じがあったんだけど、そういう感じがまったく感じられないんですよ。「物事がよくなっていく」感覚、単にわたくしが幼かったから感じられていただけという気もするし、帰省するのも年末年始と盆だけだからそこだけで村のことをわかった気になられたらたまらんというのもあると思うんだけど…

1泊2日で山奥のおじいちゃんとこに泊まりがけたときに散歩に出かけたんだが、子どもが一人か二人しかいない集落の公民館の横に「あいさつをしよう」「親を大切にしよう」って白い小さな柱が立ってたり、ぼろぼろになった展望台に誰一人来てなかったり、誰か住んでた民家がボロボロ朽ちてたりして「現在進行形で見られる、美しい日本の末路だな」と思うなど。「世の中は悪くなっていく」というのが強烈なバイアスであることをファクトフルネスによって知識として学んでも、自分が20年前から入り浸っていた場所が人材不足によって「死んで」いくのを受け入れるのは精神上容易ではないなと感じさせられる。人がいなくなる、仕事がなくなる、というのはそういうわけで、今まさにこれが地方で起こっていること、そしてこれから地方で起こることなんだろうな。まあ、そこに住まわされたらと思うと郷土愛は育つんか…？わからんくなってきたな、自信がなくなってきた。1年に2回しか帰れないじいちゃんちという絶妙な具合の町だから枯死への抵抗があるんだろうけど、自分が住んでたら「そんなクソ町滅んじまえ」ぐらいのことは平気で思ってたかも。ずっとそこに住み続けて、外界の便利さを知らなかったら郷土愛みたいな何かは育つと思うが…

スポーツ観戦のニーズの中には、激しい攻防や巧みな戦略や超人的なスーパープレイを見たいというのもあるけど、そうではなく「とにかく頑張っている他人を見たい。頑張っている他人を見て自分にも気合を入れたい」みたいなものがあり、それが純化したものが駅伝やマラソンである

TwitterというSNSはMPの使用量がすごく低い。そのため人は疲れているとだらだらとTwitterを眺めるだけで長時間過ごしてしまいがちなのだが、TwitterにはMP回復効果がなく、MPの自然回復を妨げる効果がある。そのためMPが減ってTwitterを見ている人は、Twitterしかできなくなってしまうのだ！

イギリスのストリートピアノ、難曲を華麗に披露する人は少ない。色々な人がみんな色々好き勝手に弾いている感じで、welcomingな雰囲気がある。日本だと、ピアノに限らず、何やるにしても一定以上の難易度を達成しなければならないみたいなのが一部にあるが、そういうのが少しでも変わればと思う。

論文の書き方も読み方も授業等で体系的に教えてくれるわけでも無いのに、4年になったら集大成とか言って論文を書かされたりする大学もあるらしく、大学選びはよく気をつけましょうって本当思う。私の時代は小学校から高校まで、文章の書き方など習った事なかった。書き順とか作者の気持ちはしっかりならったけど。にも関わらず当時は「小論文」とか大学入試であったりしたけど（今でもあります？）、何を採点基準にしてたんだろうか。字のきれいさとか？どう言う文章を書くべきなのかを明示せず、まず書かせて、赤ペンで習う、みたいな、ネガティブフィードバックが基幹のやり方が多いイメージ。理想像とその実装方法をまず明示するって言う文化がないよね。割となんでもそう。スポーツ関連もそう言うところあるかも。やらせて、ダメ出し重ねてく感じ。競技スキーやってた時、イタリアンメソッドのところに行ったら、まず最初にどう言う原理でどう言う運動をしてどう言う結果を得るかを座学として教えられてから、その実装として体を動かす感じでクソ感動した。そもそもスキーが曲がる原理、これを理解した上でそれを実現するために体を動かす、たったこれだけの事を習った事がなかった。それまでは、こう動かしなさい、こう動かすのが正しい、これはダメ、こうじゃないといけないとかそう言うのばかりだった。で、雪の上でコーチの前で滑ってコーチングを受けると、何がどう出来てないか言われるけど、それが出来てない事によってどういう問題が起きてるかまでセット。スキーに限らず、ああしろこうしろ言われるだけのスポーツコーチングしか受けた事なかったので衝撃的だった。論文に関しても、こう言う風に書くと言う絶対目標を提示した上で、それをどう実現するかって言う流れなら学習しやすい。赤ペン受けたところを修正し続けても全体の目標を理解できるわけではない。まずは設計を理解すること。その上で実装に取り組む。設計を理解せず実装を修正し続けるみたいなの、例えばみずほシステムもそう言うやつなんだろうし、重要無形文化財指定すべきなのかも。それって西洋の文化がどうとかじゃなくて、「原理」と言うものが存在する世界では普遍なことだと思うし、単に孤立したアイランズではそれを無い事にして権威を保ってきたと言うだけの話。寿司職人とか含め。

【地元以外の市外局番あるある】キモすぎる

斜に構えた性格なんですが、もう斜に構えすぎて「斜に構えるとか笑」みたいな斜に構え方になってしまい、最近はめちゃめちゃ大きな声で挨拶したり人を褒めまくったりしている。

だいぶ前にフォロー圏内で見かけた「うちの祖母は駅伝に出てくる留学生を"正月のおめでたい縁起物"と認識しているので駅伝を見るときはテレビに向かって『くろんぼがんばれくろんぼがんばれ』と向かって叫ぶので見ていてヒヤヒヤする」のエピソードが大好きなんだよな

縦読みすると「かなしいな ぜいとるの」になっている政府の文章

「この戦略原潜は日本屈指のメガバンクであるみずほ銀行のシステムからの信号が途絶えると、日本は壊滅したとみなして核報復を開始する仕組みになっている」

「人類に何の恨みがあるの」

おせちと刺身と焼肉とジビエ食って来院されると国試みたいで鑑別が大変

先輩「何で怒られてるか分かる？」

デスゲーム主催者「ルールに7個も穴があったからです...」

アメリカ人に対し「なぜ何度頼んでも英語をゆっくり分かりやすく話してくれないんだろ…」と思ってたけど、日本語できる米国人から「多くのアメリカ人は英語以外の言語を学ぶ機会がないから英語を母国語としない人の"英語でコミュニケーションを取る難しさ"を理解も想像すらできない」と聞き腹落ちした。聞き取れなかったから"Could you say that again slowly?"って頼んでるのに「何で同じスピードで同じ言い方を繰り返すんだよ!?」って疑問だったけど、そもそも母国語である英語以外の言語を知らないので「非ネイティブの感覚を想像すらできないから」というアメリカ人の感覚を私も想像できてなかった…。考えてみれば外国語学習が無いって、他の学問を学ぶ時間で考えたら凄い有利だよね。でも、この話をしてくれたアメリカ人は「米国は英語が世界の共通言語だという意識が強すぎて、あまりにも外国語学習を軽んじ過ぎている。多様性云々の話をするならもっと外国語学習に力を入れるべき」と言ってました…

アメリカは昔も今も移民の国なので、アメリカ人は全員完璧な英語を話し、外国人も英語をネイティブ並みに理解してないとキツい、というような均質性がある場所ではないです。むしろ、いまは英語を話さない人口が増加しすぎて問題になっているくらい。ちょっと前にも書きましたけれど、米国内でスペイン語を母語として暮らしている人の数が、いまやスペイン一国の人口よりも多いという状態になっているくらい、英語一色の場所じゃないです。日本人、ヘンな幻想をいだきすぎ。むしろアメリカ人全員が、ミシガン州あたりで話されているような綺麗な英語を話す均質な場所であった方が、どんなに楽なことかと思いますよ。実際はやばいくらい訛っている人がめっちゃ多くてまじ苦労する。逆に日本で、最初に接した空港職員がズーズー弁だったら困るやん？

存在しないものランキングでも言うか

1位　クソ強いフリーWiFi

2位　オッドアイの副担任

3位　海よりデカいおでん

完成したジグソーパズルをチームメイトに見せ「俺って天才なんだ。3ヶ月で完成させたんだよ。普通なら3年かかるやつだ。」箱には3years(3歳児用)と書かれていた。

性欲と恋愛と尊敬と親愛は似ているようで違うものなので、パートナー一人に全ての要素を満たすことを要求すると異常に過大な要求になる、ていうのはあるよね……。まあ分割してそれぞれを満たそうとするのも社会的に色々問題があるわけですが……。『君のこと好ましく思ってるし、一緒にいたいけど君とセックスしたいとは全然思えないんだ』ていうのたぶん自然な感情なんだけど、我々がそういう事実と向き合っていくと高確率で精神的に死ぬ。『こいつとセックスはしたいけど生活は絶対一緒にしたくない』も結構ありがちな感情らしいすね……。面と向かって言われることは稀と思いますが。

「ファンタジーに出てくる神様とか人外がなんでヒト型になると美形になるかというと、美人は顔面を作り込むコストが低いから」説を思い出した。

わざわざ顔面にコブを作ったりそばかすを散らしたり、そんな手間をかけるほど人間のこと好きじゃなかったり人間のことよく知らない人外ムーヴたまらねぇ～。人外なりに「人間ってだいたいこうでしょ」って化ける時、そこまで人間に寄り添ってる訳じゃないのに高確率で手の指が5本あるの毎回偉いなって思う。私だったら適当すぎて4本だったり、指の関節の数を間違えて実装される。膝だって逆関節にしちゃうかもしれない。

自分の特性をカミングアウトできるの羨ましいとも言われているようなので、コツをいくつか書いておくとですね。初手でいきなり「私、発達障害です！！」「ADHDなんで！」っていうのは、わりと下手なやつです。相手がどうしていいかわからなくて困ってしまうので、具体を添えるといいですよ。自分の特性を伝える時はフォローの仕方まで説明しておくと、円満にいきやすいです。「私、記憶力弱いんです。忘れてたらごめん、教えてね握った手汗マーク」とか「うっかりしがちなんで遠慮なく指摘してくれると助かる！」とか。元ツイの私の「注意欠陥だから、見えないんだよね」は雑だけど一応その範囲内ですね。あと、多動性の説明で「じっとしてるの苦手なんで！だからガンガン動きますよ！(フッ軽アピール」とかも私はやりますね。誰でも長所と短所は表裏一体なように、特性というのも悪いことばかりではないので。視点の変え方で、強みに変えていくこともできるのよ。カミングアウトに関しては、どこまでアバウトでダイレクトに言っちゃっていいのか、逆に、どの程度ぼやかしつつ核心は伝わるように説明するのかってのは、相手や場面にもよるので難しいとこですが。この辺の自信がない方は、発達障害という名称を使わないで発達障害特性を説明する練習おすすめです。

普段｢もう死にたい｣とか｢安楽死させろ｣とか呟いてる人達が嬉しそうにおせちの写真ツイートするから正月すき

研究って色々検討した結果が全部ゴミってのが普通で、むしろ成功率が高くなればなるほどすでに「研究」ではなく、無意識下で「置きに行っている」とさえ思っている。体感的には、成功率1割くらいが一番研究してる感じがする．

思想、物語の顔をし始めたら全力で距離をとるのが良い。物語になった途端、雑味を捨ててどんどん味が濃くなっていくので。複雑さを諦めた視点は現実からどんどんかけ離れていく。この傾向に例外はほぼないと感じている。これを青汁のドラマ風CM現象と呼ぶ

実力は「やってみたが上手くいかなかった」の量に比例する。有益なのは「向いていない事がわかった」という経験。それは４択の問題を消去法で解く時のように、その人生から選択肢を１つ減らしてくれる。選択肢を広げ続けても仕方ない。選択肢を狭めることが選択だし、選択肢は選択するためにあるから。

Twitterを見ていると、人を不寛容にするのは知識不足でも偏見でも妬みでも自尊心でも敵対心でもなく「強い信念に基づく正義感」なのだということがよく分かる。

ちょっとでも尖った演出があると集団で囲んで叩いて燃やされるしんどい時代に、モニタリングっていう「誰が見ても演出・やらせだと分かる」あえてつまらなくしたドッキリ番組が安定してるのは愉快じゃないけど賢い判断だと思う

「アップデートされた人権意識がいかに上手に表現されているか」みたいなハリウッドやディズニー映画「批評」が当たり前になってみると「坪内逍遥が勧善懲悪を排して近代文学を立ち上げようとした～」みたいなごく陳腐（に昔は見えた）文学史の知識が改めてがぜん面白く見えてくるというのはあります。まあ、ハリウッドの人たちも非常に優秀ではあるので、アホみたいな抑圧の下でも（ズートピアみたいに）必死に裏を書こうとしている努力は見えるのだけれど。

最近ワテ思うんだけど、あれやな、キャバクラ、スナック、パチ屋、風俗、あれ沢山あるのいいよ。日本は。金がある年寄りが行く場所があるべや。もうちょい年取ると温泉、接骨院、激安病院。イギリスはないから一日中家や

みんなが正月にダラダラできる緩い世の中が良いみたいなツイートが回ってきたのだけれど、皆が正月にダラダラしたらその人たちのために誰が働くの？ということを真剣に考えていない人ほどそういうことを安直に言うので、皆が正月にダラダラできる世の中なんか来ないよなというお気持ちになりました。皆でダラダラするというのは、皆で一部に集まっている負荷をシェアするということなので、皆がうっすら苦痛で不快なんですよね。昔は三が日は何も店が開いてないからおせち料理を大量に作ったり、買い込みをしたり大変だったと今はもういない親類の爺婆が幼い私に言ってましたが、そういうこと。新自由主義に反対するということは皆でサボるのではなくて、皆で苦役を負担することです。しかしそれは負担を負えない人には厳しい世の中なので、新自由主義を克服した社会は新自由主義に見えるんですよ。成功した社会主義は資本主義と見分けがつかないという話にも通じますね。

「いい夫いい妻にならないと許さない」「いい親にならないと許さない」「子どもをちゃんと育てないと許さない」と言われたら「じゃあ私はいいです」という人は増えるよね。

「論文の書き方を講義なり演習なりで、体系的に学ぶ機会があった方がいいよね！」っていうだけの話なのに、「そんなのに調べれば分かります！」「私の時は自力でやったものです！」「大学は教わる場所じゃありません！」みたいな矢が飛んでくるの、本当にTwitterって感じ

勝手に千の位で四捨五入をするためだいたい｢おめでとうございます！元気な0グラムの赤ちゃんですよ！｣って言ってくる助産師

中学のときは部活動で良い成績を残し、高校は地元で有名な進学校に通い、大学も卒業し、それまでは「べっぴんさんで賢くて運動もできる」と私は親族一同自慢の子だったが、今になっては技術系の高校を卒業後すぐ就職し2〜3年目で結婚し子を授かっている従兄弟のほうが親族内の地位が高い。

ワイ、採用面接してて感心するのはインドでは「何でもできる」っていう人が本当に多いんだよな。で、色々質問して「できないじゃん」って言っても「採用してくれたら全力で学んで今から身につけます」って言い切るの。実際はその後やらない人が多いんだけどあのメンタルは10％は見習ったほうがいい。

いろいろな意見があるが、日本は功利主義に毒されすぎだと感じる。大多数の国民が人生の価値を給料や資産でしか量れず、友人関係の豊かさや技術・特技の追求を目指す生き方を下にみている。

アメリカで銃による悲劇的な事件事故があるたびに「なぜ銃を規制しないのか。アホなのか」とおもうけど、車を持たない文化の人からしたら日本も同じように見えるんだろうな。

「コンサルが1ヶ月死ぬ気で勉強すればその道10年の専門家レベルに到達可能」の件、この発言だけ読めば馬鹿だなぁで終わりだけど、これを「自社にその道10年専門家を抱えてるのに1ヶ月勉強しただけの外部コンサルの言うことを鵜呑みにする経営者が日本には沢山いる」と読み替えると途端に背筋が寒くなる。企業の幹部や経営陣と頻繁に接してそこでのやり取りから金を稼ぐような立場にいると、そういうお偉いさんたち個々人の不見識や無理解や知識不足につけ込んで得てしてこういう「濡れ手で粟」的なテクニックを弄するようになってしまいがち

「権力者の自覚がない権力者」というのは最も狂いやすいポジションで、リベラル知識人のほぼ全員はそこに居る。

マナーの創作はマナーの無視以上の罪ですからな。あれは歴史の簒奪にほかならない。そもそも、アップデートだ何だ喚く連中の大半は俺マナー作りたがってるだけです。マナーや常識というのは知性の外で正気の大衆によってじんわりと醸成されてきたからこそ価値があるもので、そんなものを改めて知性で定義する道理は基本的にない。どや、これが反知性主義や。この言葉はこういう風に使うもんや。

20年ほど前まで「テレビがバカなのはバカが見ているからで、そのバカに向けて作られているからバカな番組が流れている」と思っていた。でも、最近は、そういうまわりくどい考え方は採用していない。単純に「バカが作っているからバカなものができあがってくる」と考えている。ハリウッド映画とかネトフリのオリジナル作品とか知識ゼロのバカが見ても楽しいし重度のマニアが見ても楽しいもんな。

SAのフードコートで小学生ぐらいの子がオカンに玩具かなんかねだって「あんたそんななんでもかんでも欲しい欲しい言うてたらいつかほんまに欲しいもん出てきた時手に入らへんようなるよ！！！」言うてガチトーンでバチバチに怒られてて思い当たる節めちゃくちゃあるから隣で俺も一緒にシュンとしてる

中国が言う「西側メディアが偏ってる」こと自体は実は事実で（文化理解に欠けてるから）、中国の「ひどさ」は確かだがその理由と実態はみんなが思ってる方向とは別方向のひどさであり、ひどさの度合いは中国の主張と西側の主張の真ん中ぐらい…などなどを言語化し発表することはすごく難しいんですよ。あまり詳しくは言わないが、いまアメリカで刊行された中国監視社会に関する本の邦訳を読んでて、ナチュラルなわかってなさというかオリエンタリズムとステレオタイプ的理解に辟易しているので、なおさらそう思います。

自分の父親が、どれだけ自分のために「父親」を黙ってやってくれていたかということばかりに想いを馳せられる。ツイッターは反面教師の宝箱のような場所だな。

わぁいあかり1年に1.2回しか地元に帰ってこないくせに、少し飲んだだけで昔の友人を上から目線で馬鹿にして優越感にひたるも、そんな自分のアイデンティティとなっている東京という街ではただの無産階級としてウサギ小屋で暮らして必死こいて子供をSAPIXに通わせてる少し勉強ができるだけの奴大好き。

アメリカで20年近く働いていて感じるのですが、周りに日本人がいない環境で働くのは、ひょっとすると楽かも知れません。平均以下の能力で日本では不真面目な方だった私でも、こちらでは勤勉、情熱的、献身的、責任感がある、みたいに大絶賛されます。それがアメリカ人達の社交辞令と気づいてからが本当の戦いです。

職場だって急に人間が来て仕事バリバリやりはじめたらそらびっくりするだろうがよ。職場の気持ちを考えろよ。今日は午後くらいからロッカーを撫でて帰るくらいで許してやれよ。

貧しい御家庭だと「あれ買って！」って言われて「大会で優勝したらね」「学年1位になったらね」と、一応理論的には達成可能だけどほとんど無理なゴールを決めちゃうせいで、子供に成功体験が根付かなかったりしそう

Twitterでいろいろな問題について詳しそうに語っている人が、自分がたまたまよく知っている分野についてかなりトンチンカンなことを言っているのに気づいて「ほかの分野についてもそうだったのかもしれない」と思ったことがある。そもそも、何の分野であれ、実践的に取り組んでいる人はみんな割り切れないモニャモニャしたものと戦っている（それを"実践"と呼ぶ）のであって、何かについてかんたんに総括的なまとめをすること自体あんま分かってない人特有のムーブなのかもしれない。

「作品が社会に影響を与えている」というのは、「そうであって欲しい」という送り手の矜持みたいなもので、実際にはそういうエビデンスはない（もう少し突っ込んで言えば、新聞やその他のメディアや伝達手段の1/100もないという程度しか計測されたことはない）。創作の本質は社会の事象の誇張とすくい取ることであり、「創作が先、事象がそれを模倣して起こった」というのは事実誤認で、「事象や時代の空気を作り手が咀嚼し、何をピックアップしてどう誇張して演出したか」なので、創作から悪影響みたいなトンチキな意見は無視して良い。創作から社会に悪影響という話は、「僕の私の創作が社会を動かしている」と思い込みたい、そのくらいの気概で創作をしているという人の気持ちにつけいる行為なので、それを言い出す人の性根はおっそろしくねじ曲がっているのです。その悪意にはわずかなりとも寄り添ってはならない。

オレは「金がなくなる」ことの最大の問題は「金がないという不安によって知性がありえないほど低下する」ことだと（実体験から）思っていて、マジで「役所に相談する」ことも思いつけなくなる人は多いと思うんだよな。他方で、街やネットには、いとも簡単に金を貸してくれる（しかし一度借りたら最後な）手段が手ぐすね引いて待っているわけで、「探せば救済手段はある」でなくて、「無理矢理押しかけて救済する」レベルじゃないと本当はイカンのだと思う。人間ほんと金がないと、金がないという不安から逃れるために手近な快楽に逃避しがちなんですよね、アルコールとか暴食とかＳＮＳとか。「貧乏なら○○している暇はないはずだ」とか言われるけど、実際は貧乏だからこそ、先のことを考えるのが怖くて○○をし続けてしまう貧困というのは単に、金がないだけでなく、将来への不安から知的判定にマイナス補正がかかり、栄養と休息の不足により肉体的判定にも同様にマイナスが。身なりを整えたり対価を払うのが難しくなるため交渉判定にもマイナスがかかるというウルトラやっかいなバッドステータスなのだ……解決方法を思いつくのが難しくなる、思いつけても実行が難しくなる、だのに、だれかに助けを呼ぶことも難しくなる。詰むよ、マジで。

ツイッターをやって一番勉強になったことは「最初から結論が念頭にある人には何を言っても基本的に話が覆ることは無い」という原則があることだった。科学や論理以上の「公理」として最初から結論が出ている事案についてはいかにエビデンスを出しても相手は納得しないということが分かった

シナリオ講師とかが聞いたら怒りそうだけど、デヴィッド・リンチの「人生そのものが意味不明なのに、物語に意味が通ることを期待する人がいるのが分からない」って言葉超好き。"I don’t know why people expect art to make sense. They accept the fact that life doesn’t make sense."「私はなぜ人々がアートに意味があることを期待するのかが分からない。彼らも人生に意味は無いという事実は受け入れているのに。」って感じ

ポケモンがなぜ海外獣姦クラスタに人気なのか、という疑問について

Fanzaが「馬姦はやめろ。架空の生物、例えばペガサスならいい」と言い出したことで疑問が氷解

正直なところ「コミケで献血するな」「オタクの血を献血されたくない」的な言説を聞くたびに、「この人たちが敵でいてくれてよかった。味方になったら、なにをしだすか分からんぞ」と思ってる。わりと、味方になられたほうが困るタイプの人って結構いるんだよな。

陰謀論に染まっている人の考え方を変えるというのはカルトの研究者も難色を示すレベルなので、書籍で解決するのは相当に難しいと思います。人間関係や生活状況も関わる問題であり、反対派の指摘というよりは他の陰謀論者の振る舞いに違和感を持って変わるパターンが多いと思います。

ADHD、試験の合否発表や意中の相手からのラインの返信のような「認識することで心の平穏がかき乱されることが予想される現実」を「いつまでも認識しない」ことで未決定状態のままに留めておこうとするシュレディンガーの先延ばしをやりがち。ADHDが受信箱に溜まった未読メールやポストに溜まった郵便物を謎の理由で開封できないやつ、現実を認識する事で懸案事項が増えたり感情が大きく動いたりするとメモリが減って処理落ちするので「現実を認識しない」事でワーキングメモリがオーバーフロウするのを無意識に防いでいるんだよな。ADHD、未決定事項が決定事項へと推移することの衝撃や、新たに追加される懸案事項を自分の中で処理するのに時間がかかるんだよな。その過程には少なからず動揺や混乱が伴うので「現実を知って心がかき乱される感覚」を避けるように情報を取捨選択してしまうし、見えないものはないのと同じをしてしまう。特に不注意型のADHD、刺激と動揺でメモリがガッともってかれて脳の作業領域が狭くなることに恐怖症に近い忌避感を抱えているので、メモリを節約して平穏を保つために極力変化を拒否したり、新しい体験を避けて慣れ親しんだものに固執したり、時に目の前の重要な現実を認識するのを拒絶したりしてしまう。「知ることの衝撃に対する恐怖症」と「ワーキングメモリの貧乏性」による無意識の選択の連続が、ちりつも的に累積して取り返しのつかない事態を招いてしまう。これをどうにかするには、「どんな現実を確認しても俺／私は大丈夫」という「覚悟」を持つことが大事。根性論ではなく、「現実を認識することのショックに備える心の予備動作」を一枚かましてあげてほしいということ。たとえば「俺／私は現実に向き合うんだ」的な呪文を唱えて拳をぐっと握る動作を経てから未読メールに向き合ったりすると、意外と平気で処理できたりします。ワーキングメモリがフルになることへの神経症的な恐怖を、予め森田療法的な思考停止マントラで頭をいっぱいにしておくことで乗り越える方法。衝撃を伴う現実で一時的にワーキングメモリが一杯になり、アンコントローラブルに陥ることへの神経症的な恐怖は、何度も厳しい現実を認識しては右往左往するのを繰り返すうちに何が起きても受け入れるしかないんだからさっさと確認したほうがいいという認知に修正されていくように思える。

脱臼した時にふと。レントゲン見たけどこれって肩の骨の位置がずれてるだけなんだよね。だとするとファンタジーとかでよくある『傷付けても再生する不死者』を『倒す』のに、実は『全身の骨を脱臼させる』＝『細胞レベルの損傷では無いから再生が始まらない』という手は使えるんじゃないかなと。

かなり前だけど、人外の話で盛り上がった友人から「人外と人間のカプの良い所は力の差」と言われたので、私も「わかる！力の差があるのに無抵抗で全てを受け入れる人外受けの包容力だよね」と言ったら「は？脆弱な人間を壊さない様に気遣う人外のヘタレ攻めだが……」と突然空気がピリついて良かった。

今年は「技術的には可能です」を「金を積めば可能です」に言い換えていきます

睡眠大事って言うけど、朝6時に起きるから22時に寝ないと8時間寝られないですよね。家に着くのが19時の場合、3時間しか行動できないですよね。この労働人生に生きる意味を見出せないわけです。

自動車学校で偶然一緒になった学生が、学科試験に落ちて泣いてる若者を見て「あの人たちぜんぜん勉強しないで落ちて泣いてるのおかしいですよ、なんで勉強しないんだろう」と不思議そうにしていたけど、世の中の半分くらいはそんな感じなのね。

有名ユーチューバーとか言っても、結局はテレビデビューへの入り口みたいなもんと考えると、いまだマスメディアの権威は全く揺らいでないと言えそう。

目を閉じても眼球そのものは瞼の裏に密着して前をずっと見ているという事実キモすぎる……

ナンパ「お姉さん今1人？」

怖い人「この世にですか？」

怖いナンパ「あの世も含めて」

怖い人「なら0人です」

社会階層が高い人が工場のパートに行って雑に扱われてブチギレた話が流れてきたが。工事のおばちゃんは「作業が早いか遅いか」「ハキハキ喋れるか、挨拶してるか」「咄嗟の切り返しが出来るか」くらいしか見てないんだよ。別にお前の高学歴を妬んで馬鹿にしてきたとかじゃなくて、みんなにそうなんだよ。上記の事が全部できてれば「流石高学歴は違う」となって、出来てなければ「学歴高い奴は使えねーな」と言われるだけで、学歴は褒めたり貶したりする時の修飾語として使ってるだけで、マジで意味はないんよ。

うちは母子家庭なんですが、私が小学校中学年の時、母親が入院が必要で、役所では「身内で対応して」だけで、うちの母が「遺書に〇〇で何度も相談したと書く」と脅してやっと私が施設に入れるよう動いてくれたらしい。「常識的なお願いでは後回しや。クレーマーがはびこるわけやで」と言ってました。結局は現場の状態や現場の人による、という事なんだと思うんですが、窮状というのはそれを体験した事がない人にはあまり伝わらない事が多い。それがプレゼン能力で変わってしまうのなら、そんなのは「印象」で決めているだけという事になり、うまくアピールできない人には救いがない事になってしまう。

ワイが就活の時の朝日新聞社の先輩社員紹介冊子に出てた、社会部の女性社員のことが忘れられない。回りは全員男の中で、彼女はネクタイ締めてスーツを着て、夜回りで長時間トイレに行けない時はおむつをして働くという壮絶なことが書かれていた。これを美談的に就活生向け資料に載せる会社もどうなのか。あの人は今どうしてるのかな。勤続してれば編集幹部になっててもいい年。若い頃の苦労が報われてちゃんと女性でも出世してて欲しいし、結婚したり家庭持ったりして個人の生活もきちんと充実しててほしい。あの鬼気迫る文章で「一応受けるけどここは入社しない方がいい」と思ってしまった人としては願う。人の尊厳とか趣味とか人間らしい生活が無く、仕事が無かったら空っぽになる人生は辛い。記者だったら仕事に殉じる時期は駆け出しから中堅までの一時期で一服するんだけど、当時は採用段階で記者職か人生かの踏み絵を踏ませてたな。今の選考課程は違うと信じたい。そうじゃなきゃ人集まらんだろう。これまたむかしむかし、mixiで女性記者のサークルを運営してたことがあって。業界の先輩方に「いつかは結婚して子供もほしいんですけど両立の自信がなくて」という相談をしたらすごい勢いで怒られたな。結婚はいいけど育児と記者の両立はそんな半端な覚悟だったら絶対無理、的な。なんだったのかなあれ。新聞も雑誌もいろんな人が読むじゃないですか。記者もすごい人意識高い人と普通で特に才能も無い意識低い人、色々いた方がいいと思うんだよね。スーパーの野菜相場がすぐ分かるとか、戦隊ヒーロー新作情報は全部押さえてるとか持病持ちとか、生活感があった方がいいんじゃね？

『バトル・ロワイアル』が世に出た当時は物議をかもし、作品の影響が危険視されましたが、現在では、特定環境で大勢が殺し合う"デスゲーム"は１つのジャンルになりました。メジャーなジャンルになる事で逆に"フィクション性"が強まり、今や、これで子供達が殺し合ったらどうする、と言われなくなり。『バトル・ロワイアル』がタブーとなり、"デスゲーム"のジャンルが生まれていなかったら、逆に内容に影響される子供達が大勢出てきたかもしれません。表現する事による悪影響を危惧するなら、タブー化する事による悪影響もある、という現実を常に意識しておく必要がある、と思った今日この頃です。してはいけない、見てはいけないと強く言われれば言われるほど、してみたくなる人間、見たくなる人間は驚くほど多いものです。隠されているものほど知りたくなるのは、週刊紙やワイドショーの暴露記事や告発系YouTuberがどれほど興味を引いているかを考えれば想像できるでしょう。

VtuberがYouTube（GAFA）のAIによって唐突に理由不明のアカウント凍結や収益化剥奪の憂き目に遭うのを見るにつけ、今後人間を支配するのはAIという名の権威主義なき権威＝ブラックボックス化された権力なのだろうという念を再確認させられる

知人が霊能力者に背後霊を見てもらったところ｢背後霊がついてるどころか、つきすぎて行列になってる｣と言われ、更に｢最後尾の霊がひとつ前の霊に"これ、何に並んでるんですか？"と尋ねていて、訊かれた霊は"分かんないけど並んでる"と答えてる｣と言われた…というアホ怪談を年始から聞けて嬉しい

無意識の差別的言動を嗅ぎわけられる感受性。意味不明な社会正義語法の文法や語彙を操る流暢さ。あらゆるものにレイシズムの構造を見い出す能力。これらがあれば、消費者市場を何もないところから創り出すことができる。どうやって？解決すべき新しい社会問題を発明すればいいのだ。

大学入試では「学力」だけででなく面接で社会経験などを評価しろと言ったら親が裕福な子どもほど有利になるのは目に見えているよね。ミスコンなんかも見た目の良さだけじゃなく内面の美しさでも審査しようとなった結果スピーチだのなんだのと盛り込んだ結果、貧困家庭からの一発成り上がりが難しくなってきてる気がする。

古代ギリシア人がせっかく異性に対する愛「エロス」や人類愛「アガペー」など細かく分類して議論しやすくしてくれたのに、雑に「Love」にまとめて近世の大混乱を産んだ英語、絶対に許さない。

1960年代の東京のルポなんか読んでると、決して「ゼロとなった焦土から東京が東洋一の都市に立ち上がった」というわけではない気がするね。WW2で東京はゼロになんかなってない。当時、元々東洋一だった都市が一時的なダメージを受けただけだ。結局は戦後の繁栄も明治維新の遺産だろうな。個人的な印象論でしかないが、今も先進国であり続けていられる日本は、伝説的に語られる「戦後の日本」の帰結じゃない。これは明治維新の落し子だよ。そう考えると、エマニュエル・トッドが日本は「極東」ではなく、ヨーロッパの果ての「極西」だと言った意味もしっくり来るんだよな。数歩先にいた独仏英の諸制度を急ごしらえで、この上なく上手にローカライズして、それを実生活のレベルにまで落とし込める人材が何故か日本には大量にいた。その根源をたどれば、江戸時代の鎖国が良かったのだ、いやいや連綿と続く皇室を戴き続けたのが良かったのだ、など何でも言えるだろう。ただ一つ言えると思うのは、少なくとも初等教育で習うほど、日本の歴史は皆が思っているほど劇的なパラダイムシフトの産物ではないんだろうということだ。ちょっと言葉足らずだった気がするけど、今も我々が割と安穏としていられるという状況を説明するのに最も有用で直接的な要因が明治維新だった、ということです。

田舎からの難関大進学者、医者、教師、公務員等の地方エリート職の子息の場合が大多数を占めており、順当に階級の再生産をしているだけですからね。さえ某さんは田舎だとトップ0.1%の文化資本の持ち主だと思うし、順当な階級の再生産でしょう。

仮に神絵師Aが神絵師Bに1万円で1p寄稿を依頼して描いてもらい、神絵師Bもまた神絵師Aに1万円で1pの寄稿を描いてもらうとして…。この時1万円はAとBの神絵師を移動しているだけだがこの世には2pの神絵が生まれる。これが経済

人々の同情を集めることに成功すれば、思考の体力は限りなくゼロにまで減退する。精神は麻痺してしまう。自分は「弱いから正しいのだ」そして彼は「強いから誤っているのだ」という奴隷の論理に陥る。思考は死んでしまう。『「哲学実技」のすすめ』

工場実習で「回転体には無闇に近寄るな」と言われたので、未だにPDCAサイクルからは距離をおいてる

企業にジェンダー勧善懲悪省を置くのも雇用の創出という言い方もできなくはないが…あとジェンダーの人を他に振り向けたとして何が出来るかというとこれも望み薄なので、結局は結婚して子を為せという話にはなる。大半の人間は次世代を作る以上の意義深い仕事をせずに死ぬ

Twitterクビになった人たちの、「会社は大赤字だけど昼間からチームで飲み会」、「会社は大赤字だけど誕生会で仲間に感謝！」みたいなの見てると、その人たちよりも、その人たちを当時採用した人のほうがはるかに悪いよなあというお気持ちが湧いてくる。

怒らない育児、の意味を理解できない人々が多くてビビる。怒らない育児って「あらー◯◯ちゃん××しちゃったのねーダメでちゅよー」てなマンガのモブ母みたいな話じゃないの。低年齢児に対して怒っても理解ができない（前提な）、だから理由をきちんと教えるってことで。他害と自害は止めるのも前提よね。低年齢の子供に「ダメでしょ！」って怒ったところで「これしたらママ（パパ）がこわくなるからやめる」ってことにしかなんなくて、それは「なぜしてはいけないのか」の理解にはならない……なんてことは教育に関心のある親はみんな理解してることで。みんな知らず知らずそうしてるのでさないかとも思う。そう説明しても「お子さん甘やかしすぎじゃないですかぁ」みたいな脳にキノコ生やしたような反応しちゃうのがまさにトゥイターランドという。まあ民主的っちゃ民主的でもあるね、どんなアホでも何かを言う権利はきちんと担保される。でもとりあえず「怒らない」と「甘やかす」の区別つけてから来いよと。

証券から弊社に転職してきた人の、ALSOK呼ばれながらもゲート突破して奇跡的に社長に口座作ってもらって3億円預かったけど1500万円まで溶かした話と90歳の爺に外貨建て15年運用で売ったらクレームになりADRで「105歳の時に笑顔で受け取って頂きたいですね！」と言い切った話感動しすぎてまだ震えてる。

人の話をよく聞くタイプの政治家には大変困難な作業だと思いますが、政治トップの人間に求められるのは「無視する意見の順位付け」でしょう。全部かなえようとすると、どれもかなえられません。どこかで「悪役」「民意を無視する無能」になって頂く必要がございます。

「全てのトランプを伏せて並べて、同じ数字のペアを多く取れた方が勝ちってゲーム思い付いたんだけどさ」

「へぇ、いい暇潰しになりそうじゃん、何て名前？」

「神経衰弱」

「神経衰弱！？！？」

「上の人いつもこんなうるさいの？」

「んー3日前からかな」

「大家さんに相談したら？」

「いやでも監禁したの僕だし...」

「話が変わってくるな」

もしもスキル「ピアノ演奏」があったなら、あなたは「思いの全て」を「歌」にして場に出せる。

「ハローキティ！出来立てのポップコーンはいかが？」こう誘って自分で作らせるクズ。許すな。

【大学生のサークルメンバー紹介ページあるある】

一人一人のレーダーチャートがあり、変人度∞とかで五角形が枠から突き出てる奴がいる

掛け算の順序界隈って様式美が完成されてて「ひねくれた数学者崩れ」VS「それをたたく教育界隈」というあまりに美しいインターネットがあるのを見て本当に感動した

ツイッターを見ていると、「相手の主張を機械的に反転させれば、相手への批判になる」と思っていそうな人をしばしば見かける。とりあえず、「まともな会話は成立しないだろうな」ということだけは確信できる。

バブル期の日本人は日本特殊論を差別と認識できたが、落ち目の現代日本人は日本特殊論を喜んで喧伝するよな。米に別の炭水化物を合わせるのが日本人（ドヤァ）とか言うけど、実際には米の消費量減り続けてるよね。貧しい民は穀物ばかり食いますよ。富めばそうはならない。それだけの話だろう。日本人は焼きそばパンとかお好み焼き定食食うからすごいみたいなこと書いてる人たち、最大限控えめに言うけど恥を知ってほしい。

いわゆる高学歴の人の方が、とりあえず正しいものとしてインプットをする習慣があるし、大抵のことはやればできる、他の人ができて自分にできないと言うことはないはずという信念が強いので粘り強さもある。自分が知らない、分からない何かに遭遇した時、高学歴者は「ならば勉強しなきゃ」と思うところ、低学歴者は「だから価値がない」と思っちゃうんだよね。ますます差が拡がっていく。自分が知らないことを放置することへの気持ち悪さ。この感度に学歴が反映される。

一般化されすぎて忘れてしまっているようだけど、原作でノンケとして描かれてるキャラを脳内や創作物でやらせてるって(誰にも迷惑かけてないとはいえ)滅茶苦茶ヤバい性癖っていうのを忘れない方が身のためだと思う。

僕は中3くらいから大学数学に手を出し始めて、それ以来5年間くらいは社会性を犠牲に数学をやってきた。しかも数学科に入ったから、最低でもあと3年くらいは数学をする定めになっている。しかしすでに才能にも独創性にも限界が見え始めている！

女性は弱いから守ろう保護しよう特別扱いしようというおみそルールをとことんやりすぎると本末転倒してイスラム国みたいになるのかな。

リモートワークが至高というのは悪質な印象操作で、ワークはすべてがカスということを忘れてはいけない。

俺も自分勝手に生きてるけど別にそれを他人に「間違ってないよね？」って確認する勇気はないな。他人だって確認されても困るでしょ。他人の立場からしたら「お前は間違ってる」ってしか言えないもん。俺の生き方は他人から見たらどう考えても間違ってるだろうけど、だから何？って話なんだよな。俺からしても「だから何？」だし他人からしても「だから何？」なんよ。他人の人生とか正しかろうと間違ってようと関係ないもん。関係ないけど「いいよね？」って許可取りに行ったら「ダメだよ」って言われるよ。まぁ正しいとか間違ってるとかも結局全部その人にとってメリットがあるかどうかなんだけど。他人が自分勝手に行動するよりも社会のために行動する方がその人にとって都合がいいから「正しい」ってことにしたくなるだけで、もしも他人が自分勝手に行動した方がその人にとって都合が良ければそっちを「正しい」と思うはずだよ。自分が自分勝手に行動した方が自分にとってメリットがある（つまり正しいと感じる）のはそうだろうけど、他人にとってはメリットがないから他人にとっては正しくないと感じる。そこの区別つけられない人が集団で生きていくのはまぁまぁ苦労しそうだなって思う。でも結構多いよね、自分にとってのメリットと他人にとってのメリットが区別できない人。自分が得するから相手も得するはずだって訳わからん思考で生きてる人

私は障害者だけど、先天性で障害者に生まれたらかなり不利だと思うよ。人生で重要なことはスタート時の能力値が高い事と環境が良いことだと思う。灘や開成の生徒を見たらよくわかる。ハーバードとかもそうよね。

富裕層接客してた頃大金持ちでも子供に嫌われ疎遠な人の長話につかまったりするたび、めちゃ寂しそうで、お金あってもこんなに自分より心が貧しいのかとびっくりした。適度なお金の次は、結局自分の気持ち次第。

暮らしが豊かになるとわざわざ理系で手に職を付ける人が減る。しかし国家としては組織ファックしかしない文系ばかりになったら滅亡するので、まだ理系が採れる国から理系留学生を輸入しないといけなくて、そこで恐らく閉鎖的な貧困国から理系を刈り取るための武器がダイバーシティとSDGsというわけです

「テレビ見ない」は「テレビ番組の話題を振られても一緒に盛り上がることは困難です」の意味で使用してるので、アピールというより注意事項の共有と考えていただけると幸いです。

「アメリカにラーメンはある？」みたいな曖昧な質問には「何ラーメンか知らんけど探せばどっかにある」としか言えません。でも「豚骨にうるさい博多出身の頑固な九州男児を満足させられるレベルの豚骨ラーメンはオレゴン州にありますか？」って聞いてくれたらハッキリ言えます。お前は博多から一歩も出るな。

会社を辞める決意をしてから割と仕事関係の事を楽観的に考えられる様になった。余計な心配や配慮をする事も著しく減ったし、それに伴って無駄な残業も減った。いつでも会社を辞められる状態を作り出す事の大切さを日々実感している。普遍的なスキルの獲得、資産形成、副業、マジで大事。

これは予想ではなくて確信なんですけど、仮にコミケでクラスタが発生したら、オタクって身内にすごく甘いから「これだけ対策したのだから仕方ない」と、以前自分達がさんざん批判した波物語やフジロックを棚に上げて擁護し始めると思う、オタクの民度なんて所詮はその程度

「ググれカス」って英語だと「Google is your friend.」って言うんだよね。はじめて聞いたときはオシャレな響きだなぁと思ったけど、よくよく考えたら京言葉的な皮肉っぽさが混じってて最高に好き。

自分が高齢化した後の心持ちなど想像もつかないけど、将来世代のためにただ我慢すればいいと言われるくらいなら、私は応じるつもりだけどな。老後に誰にでもできるのはそうした消極的社会貢献だろうと

幸福は永遠に続かないけど、苦痛は永遠に続き得るのは、本当は幸福なんて存在していない証拠だよな。何か報酬を得た喜び、その後にダラダラ続く苦痛シグナルの不在、この2つは異なる現象だけど我々はまとめて幸福と呼んでいる。したがってロボットに心を与えるためには、①時間微分に一致する報酬系シグナル、②時間微分されないダイレクトな苦痛シグナル、2つさえ用意してやればいい。おそらく我々が「気分が沈む」と表現するものは、連想が苦痛シグナルをもたらす時間頻度でしかない

アメリカでいろんな人種に寿司を教えたけど、みんなちょっと褒めるとすぐに調子に乗る。日本人は慢心しないよう「いやいや」「まだまだです」と謙遜し、さらに高みを目指して精進するから職人のレベルもケタ違いだし、何事も完成度が高い。謙虚であることの大切さ、外国人にものを教えてよくわかった。

女の子「結婚しないの？」

技術者「技術的には可能です。」

何気ないシーンこそ10年後にみたいし、親の若い頃って面白いから、何年か前から面接に落ちた日の自分や家をただ掃除してる自分の姿をビデオカメラに納めています

オードリーのANN過去作を聴いていたら、若林さんが奥さんの誤った意見を正しく訂正したのに「話し方が怖い」と言われたという話から「論理的な話は論理的にしてはいけない。論理的な話こそ温かくハ〜トフルに伝えなければいけない」と言っていて共感した。論理的で正しい言葉は時に相手に凶器に映る。相手が誤った事を言っているので論理的に正しい事を指摘する。それはペーパーテストなら正解かもしれないけど、人と人のコミュニケーションにおいては必ずしも正解とは言えない。時には道理を越え、相手の誤りを笑顔で受け止めあえて飲み込んだり流す事が正しい場合もある。

「論理的な話をハートフルに語る」、まさしく”詩”ですね。情緒を介することで、生の論理を解せない大衆の心のフックに装飾された論理を引っ掛けることができる。毛沢東やスターリンはその達人でした。論理的で正しい言葉は大衆に対してはなまくら刀であり、真に恐ろしいのは”詩”と化した論理なんですよ。

数学は、多分、100年くらい前からもう、難しすぎるんですよね。300年くらい前の数学なら、最初から整えてくれさえすれば、今の高校生でも無理なく理解できるものなのでしょうが、100年くらい前からの数学は、どう整えようが、200年後も難しいままだと思います。大学院時代にすごく感じた事として、人間の本質としてメチャ頭が良くなる訳でも無いとした時に、知識の向上だけでなく、知のバトンを果たしてずっとパスし続けられるのかなと。

研究、純粋に研究の部分は楽しいが人間と関わらなければならない部分i.e.予算獲得や発表等々は何ら楽しいことはなく全て人間社会が悪いことがわかる

患者「運動量を増やしたいんですが、どうすればいいですか？」

真っ当な医者「日常的に体を動かすetc…」

物理選択だったヤブ医者「体重を増やしましょう」

家庭環境が悪かったオタク「実家のような緊張感」

小島よしおを情報源とするおばさん「関係ないみたいよ」

食べ物をHNとかアカウント名に含めてる人に「（その食べ物が）好きなんですか？」ときいたら「いや別に……」って言われる謎の現象ほんとすき

高学歴男性には、己の存在を無条件に肯定してくれる女性が天から降ってくるのを願う人々が多い気がするけど、そんな酔狂な人間は己自身しかいないんですよ。それを他人に求めるのは弱さであるし、どれだけ立派な経歴があろうが決定的な弱さを持つ男に惚れ込んで肯定してくれる女なんていないでしょ。やはり人間は多くを手に入れると欲が出てきてしまうのだと思う。素晴らしい経歴や収入を手にして、それに惹かれる女性が現れるようになると、今度は己の存在そのものを好いてくれる人を求めたくなってしまうのだろう。でもその先は断崖絶壁になっていて諦める他ないという残酷さよ。

レミオロメン、大雪ならまだしも粉雪であそこまで叫べるの凄いな

極端な話、日本中の札束1/3持ってる富裕層1万人と、日本中の労働力2/3担ってる労働者4000万人、日本の国土から消滅しても、日本国は再生出来そうなのはどっちですか？って話。事あるごとに「富裕層が日本から逃げるー」とか言ってる連中の思考力はその程度。悪いけど、前者がいなくなっても日本は何も変わらないのだ。政府が全部買収できるんだから。よっぽど凄腕で、100人の兵団を1000人の一個師団レベルにまでまとめ上げてる特殊な戦術を持つ兵長ならまだしも、ほとんどの兵長はいくらでも換えが効くってのと同じ。金持ちでも独自の策略で再現性の効かない術を持つならまだしも、お前が去った後に二番煎じが作れる程度なら海外行ってもらって良い。メンタリストDaiGoとか特に二番煎じが出てこない点を強調してるけど、枠が1しかないだけでお前がいなくなっても後釜は出てくる。そこ勘違いすんな。「歩兵50を救ったら、飛車1が無くなるぞー！」ってのと同じくらい愚か。二歩が禁じ手なのは、それだけ歩がありふれてかつ実用的だから。歩50で二歩がなければ勝てる

もう40年も前、成城カソリック教会の留守番してた老婦人に、肢体不自由児の介助を妨害されたのは忘れもしない。「その子には神が試練を与えている」というような理屈で。神父に会わせろと要求したが容れられず。いま自分が障害者手帳を持つ身だが、神がどうこういうヤツはいっさい信用しない。それが本当に「神の道」なんだとしたら、堂々と神父を出せば良い。神父が同じ事をいうなら、神父に反論するまでだ。神がソレをいうのだというなら、神に逆らうまでのことだ。そんな神など信じるものか。

ジャンクフード食べて『こんなおいしいモノ知らなかった！』てなるお嬢様テンプレミームが昔ありましたけど、権威ある人々は『本当に良いもの』を知らない、俺たち庶民こそがその担い手、ていうの人間の自尊心をくすぐる物語なんすよね。それが真っ向から否定されるのは尊厳に関わる話なんだろうな。こういうの承認欲求、権威主義の変種っていう予感はあるんだよな。俺たちが消費しているものを力ある者が驚きと賞賛を持って迎え入れることで、自分自身の自我とアイデンティティが肯定され、権威と一体化していく。それが必ずしも悪いことかっていうと、なんかまあ悪いとは言えない気がするのだけど。多くの人間には承認とアイデンティティが必要なんですよ。強者が弱者たちの文化や生き方を尊重し、それを礼賛することによって救われる人間は多分少なくない。まあ具体例を上げるなら『俺たちの麻生』みたいな。うっかり一流シェフがコンビニ飯を『見た目からして食べる気にならない』とか言っちゃうと、我々の尊厳そのものが否定されたような気持ちになっちゃうの、まあ分かるなってとこはあるんだよな。俺の好きなものが教養豊かなる者からコキ下ろされると俺も実際かなりションボリする。まあ一方でさあ、そういう庶民の愛好する文化に付け入る・取り入ることによって権威や権力をより高める手法が物凄く確立されちゃってる気がするんだよな。たとえ見え透いたおべんちゃらであろうと、批判よりも賞賛を我々は求めてしまう。最後には身ぐるみ剥がされてポイ捨てされるとしても。そういう権力ゲームの道具として俺の愛好する文化が用いられるようになるの、物凄い悲しみがある。でもまあ、教室の隅っこで肩身の狭い思いをしていたあの頃の苦しみから解放されるためなら、あの頃迫害をしてきた何者かに復讐をするためなら、手段など選ばない、て気持ちもなんかまあわかる方だな。なんかさあ、権力者が俺たちの愛好する文化をお世辞でも持ち上げてくれてるときに、『あんなのは権力者の戦略だ、現実を見ろよオタク』とか草生やしながら言われると、時々俺も無言で顔面に一発叩き込みたくはなることはあるんだよな。事実そうかもしれないんだけどさあ。

存在自体に価値があるって絶対評価だから難しいよね。有名女優の娘で美人で才覚もあって実際それで超稼いでたら生きてるだけで絶対価値だろと思うけど彼氏に振られて死んじゃったりするし。でも本人の中ではそんなものが世界一の価値だから死んじゃったんだなぁ。周りがあなたは生きてるだけで価値があると言いながら育てても、もっと素敵で愛してくれる男を連れてきても、客観的に彼氏よりあなたの方が価値があると言っても多分無駄なので余計難しい。存在だけで価値があるって「存在だけで価値があると思っている相手に存在だけで価値があると認めてもらえる」状態でのみ発生する状態なのかもな。上手くいくと親子や恋人や師弟で発生する

よく知らないことを誉めそやしても見識の狭さを失笑されるくらいで済むが、よく知らないことに的外れな非難・中傷・揶揄・罵倒を加えると見識の狭さに加え人品の卑しさまで露呈するので怒りを買いやすい。

東京積雪10cm警報でざわつくTLを見てて「ケッ！雪ぐらいでよォ」と思っているのだが、実際福岡に積雪10cm警報が出たらツイッターぐらいには書き込むだろうしめちゃくちゃウキウキするだろうし、これ結局東京の盛り上がりに参加できない田舎民の嫉妬にすぎないんだなって思ったら悲しくて死にたくなってきた。5マス進む

昔「お前は発達障害で社会不適合者で一人では生きていかれんのだから偉そうにするな！」ということを言われて、これだけ聞いたらえらい発言だけど、この人はその前に私から「お前の死んだお父さんとお母さんは地獄に落ちた」って言われて猛烈に怒ってたんだよね。そういうの外からはわからないよね

非モテの人に多く当てはまる特徴は「受け身」で、これは完全にモテ男に劣っている点。非モテの人はよく「愛されたい」とか言うんだけど本当に良くない。非モテが普通に生活してていきなり異世界から女の子降ってきて愛されるのはアニメの中だけ。まずその受け身な言葉を「愛したい」に変えることから。

「自分のやりたいことをしよう」って言われがちだけど、上の世代がやりたいことを犠牲にしたからこそ世代を紡いでいるかと思っていて、全員欲求のままに生きたらこの世代で途絶えるのではという気がする。

今年54になるんだが振り返って思うのは人って五つくらい上の人の言うことは聞くが二十も上だと自分の話として聞けない。故に親の話も子は聞かない。なのでちょっと年上でロールモデルを見つけられたらラッキー。

個人的には「いかに生きるか」よりも「いかに死ぬか」が圧倒的に重要なイシューで、気持ちよく死ぬために生きているし、望み通りに死ねるなら後の人生はゲームクリア後のおまけみたいなもんだと思ってる

よくさぁ、人生相談とかで「嫌いな人、苦手な人からは逃げろ、距離を置け」って回答あるけど、例えば同居の義家族とか、職場のデスクが隣の人とか、どうやっても逃げられない関係の人が苦手な場合、どうしたらいいのかしらね

自分の専門分野のテレビの特集見てる限り、テレビで事実なんか一切報道されてないような気がする。

神絵師、たいていツイ廃だからフォローしたくならない。絵だけメールか何かでこっちに送ってくれ

みんな電通のことを中抜き業者扱いするけど、やたらふんわりぼんやりした案件を噛み砕いてどこの誰にいくらで発注すればいいか、という知見こそノウハウの固まりで、昔は役所にそういう知見があったかもしれないけど、みんな大好き「改革」のおかげで、それができる公務員は消え失せてしまったのでは？公務員の給料を上げて公助の力を元に戻さないと、みんなが嫌いな電通やパソナが儲かるだけですよ、という話をしているつもりです。

俺「僕はね、どっちかっていうとアワビよりアケビの方がマンコに似てると思うんですよね、知ってます？アケビ。果物なんですけどね、熟れると割れるんですよ、それがもうマンコに似ててビックリして」

看守「730番、静かにしろ」

俺「はい」

中国でゲーム業界が潰されたとかって話だが、冗談抜きで日本をああしたい勢力がいるってことをみんなが頭の片隅に入れとくだけでもああなるのを防ぐ効果があるのが民主主義ってやつだ。覚えとくだけ損はないぜ

「どっちを選んだところで多かれ少なかれ後悔はするものだ」と、「最終的に直感で選んだものが後悔が少ない」という言葉が、人生の岐路で役に立ってる。

寝る前布団の中でする空想って未だに面白いからすごい

みなさんご存知と思いますが、グレタは原発使用容認で、グレタ発の運動体FFFフィンランドも先ごろ正式に容認しました。今日の関東の状況をいちいち語るまでもなく、あたりまえなんです。太陽光発電でどうにかなりました？このまま火力発電をなくしたらどうなりますか？わかりきった話です。日本人が凍死した場所って、室内73％、それ以外23％なんです（2014年日本救急医学会）。無防備なら16℃で深刻なリスクが現れるそうです。16℃は現代の家屋内でもふつうにあり得る気温。これがたかが電気なんて言えない理由のひとつです。坂本龍一は死ななくても、停電や電気代の高騰で弱者は死にます

在宅勤務のいいところ：在宅

在宅勤務の駄目なとこ：勤務

Twitterで爆美女とされている人に会ったら「オタサーの姫」みたいなことがあったし、昔ミスコン出たって子に会ったらメイクがひたすら濃くて性格きつい子だったこともあるし、移りゆく需要と供給の中で自分を客観視してポジショニングするのはとてつもなく難しいこととわかった。

当時は俺も青く、男女共同参画社会の到来を信じていたため、そこまでして働きたくないという時短ワーママの本当の気持ちをわかってあげられてなかった。

表現を非難して『配慮』という名の自主規制を迫る危険性、"TPOに不適切"と責められる『対象』がある程度の規模があるオタク文化の表現だと分かりづらいけど……もっと小さな文化で、あまり社会の承認を得られず、一般的に好感を持たれづらい、そんなマイノリティの表現が対象になったと想像してみて。『全日本コール選手権』という、酒を他人に飲ませる「コール」の巧みさを競うコンテンツが2000年代後半にあって、非常に好きだったのですが3回で終わってしまいました。終わった理由は容易に想像できますが、これなんかは小さく、承認が得られ難く、社会の要請によって消えていった文化でしょうね。

妹がオーストラリアの高校に留学してたんだけど日本の数学赤点でも台形の面積の公式分かるだけで向こうの高校のクラスで一番になれたって言っててどんだけレベル低いねんとなった思い出。

ツイッター民の会社飲み会忌避、「よ～し今日は飲みにいくぞェ！ｗｗ」的な突発発生の上司飲みとかだけではなく、新人歓迎会や忘年会みたいな節目の行事に対しても発動されてるっぽいので闇が深い。

上司と一緒に飲んだりカラオケに行ったりすることの目的の一つは、「誰がこの群れの中心か」をみんなにわからせるためなんだけどなあ。それは部下にとっても上司にとっても仕事だし、学生時代の人間関係を思い出せば決して怠れるようなものじゃないこともわかるはず。それに一番上の人間がその場を離れたら、その場を楽しい場として成立させる最終責任者は誰なんだろう。あと、自分がその場から離れたとしてもその残された場にも堅苦しい上下関係があるはずだ。最初に席を離れるのは良いにしてもその時間は30分なのは適切なのか？

女性が女性であることによって得られる利益って、べつに主婦になれるとかそういう事だけじゃなくて、就職に有利とかもあるし、おそらく大きいのは職場内での地位を女性であることによって築けることなんだけど、男性の性欲がなくなったらそれらが全部なくなってしまうよな。この社会に突如弱者男性のさらに下位互換の理屈の通じない野蛮で無能な生物が現れたとして、それらが7割の生き残るような社会はおそらく持続性を放棄していると思う。男女平等とはとどのつまり、このような想定に立ち返ることにあるんだよ。世の中が男女平等になれば、例えば女性が犯罪の被害にあえば「防犯出来なかったお前が悪い」という視線は避けられないものになるし、なんなら公然とバカにされるようになる。

私がいい男と出会えなかった理由がやっとわかった。私がいい男だと思っていた男の特徴が、そもそも本当にいい男の特徴ではなかったんだよ。ドキドキさせてくれて自由な男が魅力的だと思っていた。だけど私が選ぶべきだったのは、同じだけ向き合ってくれて、安心を与えてくれる男だった。

今まで「お互い好き」な状態は非常に尊く奇跡的なものだと思っていたけど、楽しそうにしてる世の中のカップルを見ると 自分が考えているより「好き」の度合いが意外と軽いことに最近気づき始めてる。あぁ、それぐらいでいいんだ、神聖化する必要はないんだって思わされる。

遊戯王カードみたいな感じで本を集めてる。相手が読んでなさそうな難しい本の名前を出すことでレスバに勝てる世界があるから

美容院でパーマをかけている間かけられた言葉「強いパーマ液を使った」「長めに時間とります」「あと5分追加で」「あと3分……」「あと……」「毛が勝手に動くぞ」「強いな」「最強だよ」「そうそう見ない髪質」｢自分の美容師人生に影響でそうですね｣｢強い薬使うしかないですね｣｢薬強くしても多分効かないんで前髪切りません｣｢……10分づつ様子みて追加で｣｢こんなにクセが強いのは10数年前に来られた外国人の方以来ですよ｣

かなり裏を取っている刑事｢さっさと吐いて楽になったらどうだ？田舎のお袋さんも泣いていることは調べがついてるんだ｣

あからさまな喘ぎ声というより、ちょっと触られた瞬間に出る「はうっ…」「ふあっ」「あう…」的なやつのほうが興奮する。何とは言わないけど

なんで婚活女子ってポケモンの厳選みたいなことしてるん？いちばん愛着のある固体を選べばええやんな？

医大の恩師が、「面接で僕が『君が取り組みたい疾患は何かね』と訊ねたら、皆、白血病や癌や心の病を挙げる中、君だけ『風邪ですねー。毎年かかるんで被害がチリツモです』って言ったとき、こいつだけはどうあっても採らねばならんと思った」って言ってたから、何が幸いするかわからんね……。

改行のためにエンターキーを押した瞬間、後ろに控えている殺人鬼が斧を振りおろすという状況で書かれたのではないかと疑われる文章を読んでいる。

女性が口で要求を伝えないのに察して貰えない事に怒るのは、「何も言わなくても自発的に動くほど私を気にかけて欲しい」という事なので要求それ自体の問題ではない。その手の女性は口に出した要求を叶えられても「口に出さないと伝わらないなんて！」と不満や被害者意識を抱きやすい

お正月に更新しなかったことで、反ワクチンや反マスクに傾倒されている方から「バイトだ！」と言われた時も思ったのですが、そういった強い思い込みをしてしまう方が界隈には多く、これもまた読解力以前に言葉が通じない理由なのかなと感じています。母に関する体験談のツリーについたリプや引用を読んでいただけるとわかりますが、全てを読んで内容を理解し、リプライや引用RTをした反ワクチンや反マスクの人は1割に満たないのではないかなと。最初のツイートや目立つ単語から何らかのストーリーを妄想→怒りをぶつける、といった方が多いです。その他の方はちゃんと読んでくださったのが感想などから見てとれるので、“思い込みの激しさで文章が最後まで読めない”というのは、反ワクチンや反マスクに傾倒されてる方の1つの特徴と言えると思います。この特徴が尖っていくと、何らかの妄想性の病などにも行き着いてしまうのかなと。昨年の夏頃にはデマだと認定されているような、周回遅れの情報に縋ってしまっている反ワクチンや反マスクの方が多いのも、根拠のない情報を自分の思い込みオリジナルストーリーの根幹に置いてしまっているため、デマだと訂正されたところで、軌道修正することができなくなっているからだと思います。

「他人はコントロール不可能なので、自分をコントロールして対処しよう」と考えるの、人生やる上で四則演算くらい大事な基本スキルだと思うんだけど、割と多くの人が身につけてないの恐ろしいな。

賄賂を受け取ったあと「堕チテユク。」と思っている、自分に酔ってるだけの政治家

若い人に言いたいのですが、生きる軸に「人からすごいと思われたい」があると生き方がブレブレになります。理由は「つねに自分よりすごい奴がいる」と「周りから認められない」という劣等感がつきまとうので辛くなります。こういうデバフは持たないほうがいいですね。

現代社会、分断が進んでるというよりは、そもそも「人類は、他の人類の99％の、存在そのものがムリ」で「でも、時間と肉体に距離があるので曖昧にして許容できた」のが、通信技術の発達で、どんどんお互いが解像度高く可視化されるようになって「やっぱムリ」をお互いに再確認してるのではと。人は、解像度の高い、ムリめな相手と手を取り合うことができぬのではなく。有限の人生から時間とか精神力とか、そういうのを、ムリめな相手との和解のためだけに使うのが「ムリ」だと思うのですよ。逃げろ。隠れろ。自分の人生、何よりも自分のために使わねば。

子どもの頃、自宅前の雪山にみかんを埋めて冷凍みかんを作っていたら除雪機に全部持っていかれたことがある

南関東みたいなところで雪が降ると、幾らこっち側がスタッドレスで完全装備していてもノーマルタイヤ君たちが勝手に滑ってきて貰い事故するリスクが高すぎるわけで、結局雪が降ったら車乗らない≒スタッドレス買う必要なし、が最適解になってしまう

寒すぎてウーバーイーツの配達がやってない問題。経済学の理論と違う…。経済学だと、寒いと働き手が減り、配送料が高まり、なんだかんだで均衡するのに…。寒さが経済学のロジックを凌駕してる

空間の内側に写真を貼りまくったりするやつ、だいたいサスペンスだと特定人物への異常な執着みたいな感じだけど、そういうやつよりはやっぱり最悪なプラネタリウムというか、世界の塗り替えみたいなものの方がウオオとなって楽しい

普通に考えてボカロを聴いてる時間は有益だが、リクナビネクストをスクロールする時間はマジで無駄なので、転職回数は少ない方がいいし、なんかプログラミングの本とか読んだ方がいいですね

それどころじゃなくなってる変態「大きな声を出しても無駄だよぉ、オジサンもこの極彩色の空は初見だからね...」

パンダ、熊のかわいいとこだけ煮詰めて色も白黒にして人食わないのマジで環境破壊デッキすぎるし、パンダが初めて出てきた時の動物界隈って相当震撼したんじゃないの

ここ数年ですっかりオタクは韓国産の女の乳が長いソシャゲに金玉を握られるようになったの、やはり国家間の友好とは思いやりといった綺麗事よりもこういった俗物的なもので結ばれるのかもしれない

NTR、心の折り目なので一度見るとみる前には戻れない

組織の中では、絵が描けることがバレてプロレベルの絵を気軽に依頼されたり、字が上手いことがバレて重役室で延々宛名書きさせられたり、そういうことが多々ある。日本の企業は専門性を育てようとしないくせに、個人が身につけた専門性をタダでつまみ食いする。才能やスキルを無料だと思ってる。そういう文化の中では、できることが多いほど報酬を買い叩かれてることになる。できない人ほど、平気で偉そうに「やってよ」と言う。組織の中にいる自分自身が買い叩かれてるのも腹立つけど、巡り巡って専門技能で食ってる人をも軽んじ買い叩いてるところが我慢ならんのだよ。

一部例外を除き、米国の同級生達は皆何不自由のない家庭の出で、そうした人達ばかりがゴールドマンサックス等に就職し上位MBAに来て卒業後はPEなり起業なりでエリート人脈をフル活用し大成功して富を増幅する流れに乗っており、階層固定化が甚だしく、もはやアメリカンドリームはどこかに消え去った。

AIが本気で描いた絵がなんか精神崩壊してるっぽい怖い絵になるのを見て、もしかして精神崩壊している状態こそが生物としてはフラットに近い状態で、顔や表情やがしっかり認証できて怖くない絵が描ける人間の通常認識こそ、複雑な洗脳を受けた異常な状態なのではと感じ始めた

なるほど、「エンジニアに数学はいらない」「資格はいらない」は大金稼ぎたいけど勉強したくない勢に刺さるわけね。

最近バイクブームらしい。医者をやっていると悲惨なバイク事故を数多く見るようになる為、おすすめできない趣味の一つである。でもバイクに乗る人は自分だけは悲惨な目には遭わないだろうと思っているし、リスクより喜びの方が大きいから乗っているのだろう。コロナ禍の外食や旅行にある意味似ている。

A(一般的に弱者とはされない、特定の属性…例えば「鉄オタ」とか「教師」とか)をおちょくるツイートに「お前は今、他人を馬鹿にした。他人を馬鹿にするな」と、非常に広く一般化したリプライが散見されるが、そのリプライ主が怒っているのは「オレ・ワタシ」(つまり、Aという属性をもつ自分かその属性に近い自分)に対するおちょくりであり、「A」に対するそれではないことのほうが多い。インターネットなんて他人を馬鹿にする気持ちを貪り食って成り立っているのだから、「『他人』を馬鹿にするな」と常々感じている人がインターネットをし続けるという道理もないし、そんな繊細な人はインターネットを見ない。そういうわけで、むしろリプライは案外、Aに該当するかAに近い属性の人が書いているとみなすほうが自然である。これを知っていると、「他人を馬鹿にするな」というリプライが来た時「他人…いえ、あなたを馬鹿にしてすみませんでした」と、キレキレの皮肉ツイートができるので覚えておいて損はない。

影響がある／ない、でいえばあらゆる情報は影響があるだろうけど、偏見を強化する影響があるものをすべて排除してたらニュースなんか流せない。事実だろうがなんだろうが、「偏見を強化する」要素はほとんどすべての情報になんらか含まれているので。「あらゆる偏見を強化するものでは広すぎる、差別に関する偏見だけを避ければ良い！」みたいなやついるけど、現実の事象ほど差別に寄与するものはないだろ。「現実のニュースにはバリューがあるからいたしかたない、フィクションは流さなくても済むだろ！」という姿勢をとるにしても、フィクションだっておんなじで、「偏見を強化しないもの」なんて極大な条件に該当するものはほぼほぼ作れない。「どの偏見はダメでどの程度からはダメなのか」という話にすることで、ようやく議論が平場に降りてくるわけだけど、アンコンシャスなんちゃらがどうのみたいなマジックワードを振り回す人間、大半がそういう生っぽい程度問題になんの知見も覚悟も持ち合わせていない。だからネットの差別論争は虚無。

かまいたち濱家の「東京で必要なのは負け顔と泣き顔」という言葉、東京というか日本全国区でタレントとして名を売る為の心得をワンフレーズで表していてすごいなと思ってる。

病床のアスカが5人、自慰をするシンジが7人いる小学生の劇

人はいかなる状況でも、どのような場所でも子を作ります。仮に地獄があるなら、人類はそこでも子どもを作っているでしょう。

俺・友達・ハ息子で鳥肌実のライブ行った時、開演前にハ息子が｢養育をせず、『出産という加害行為』のみを行いたいので卵子バンクへの登録を考えてる｣と笑顔で語ってきて、会場内のウーハーから重低音の効いた大本営発表が流れ始めて、その爆音で友達がパニック発作起きそうになってて意味不明だった

修論が全然捗っておらず、えっちなけものの小説を書いては消しを繰り返したり、家の中にある空（から）ペットボトルの数を数えたまま玄関に放置したり、東京出張で行ったワイヤボンダレンタル会社のパンフレットに貼ってあった「受賞」シールの左上が少し剥がれているのを見て、シールを剝がそうとしたときに助教に笑いながら「コラ！！」って言われたのを思い出したりしているけど、元気です。特にシールのエピソード、「なんでシールが手動で貼ってあるのか」を考え出すと滑稽すぎて本当に笑い死にそうになってしまう。

社員A「このパンフレット、受賞シールを手で貼ったら高級感出るのでは？」

社員B「えっ……？」

社長「採用！！それ、モラッタ！」

みたいな会話があったんだろうなあと。そのシールを貼るのに要した人員とか手間とかそういうのを考えると面白い。刺身の上に乗ってるタンポポとかクリスマスケーキの上の糖衣サンタさんとかはどちらかというと悲しみを誘うけど、ワイヤボンダパンフレットというめちゃくちゃマイナーな世界のパンフレットにわざわざ「受賞」のシール貼ってると面白さしかない

ゾーンに入っているがサッカーのルールを全然知らない腐女子

オイィィィィ！！！！止まって見えるんですけどォォォォォォォ！！！！！（ボールを小脇に抱えてメッシを抜き去る）

【クソすごろく】

あなた「何か下に着るものないかな。スウェットとか」

女「ありません。」

はたしてそうか？8億を失う。

｢やめなさいしんのすけ！処置4を行うわよ！｣

｢しょ、処置4は嫌だゾ…｣

俺はマジで辛すぎる時、「今ごろ家ではブラッキーが寝ているカビゴンの食糧をくすねてイーブイ達に分け与えている」等、"俺のトイストーリー"を想像して乗り切ることがある

モヤっとボールを5億個入れた今田耕司が伊東四朗にブチ切れられてムーンサルトを食らい死亡し、伊東四朗も最後に5億個のモヤっとボールを食らって死亡するIQサプリの神回

【あーこの人めんどくさいなって思った理由】キリンを描く時に草原から描く

昔漫才の大会で出番前に劇場のトイレでウンコしてたらタカアンドトシのトシとオール阪神が会話しながらトイレに入ってきて小便をし始めて小便器に小便が当たる「チョロロロ」という音が聞こえて来たんだけど皆さんはタカアンドトシのトシとオール阪神の小便の音を同時に聴いたことありますか？

アルバイトのおじさん、仕事場の壁に掛けてあるカレンダーに勝手に自分の予定を書き込みまくって怒られてたんだけど、見たら12月末までビッシリ書いてあって、12月までここにいられるわけがないだろと思った

「ですよの細菌は拡散力マッハ♪」と小声で歌いながら自分が作った生物兵器を散布するために東京スカイツリーに登る ですよ

よく分からないが選手に何かしらの恐怖を植え付けて支配してるらしい安西先生「諦めたらそこで"白い厨房"ですよ」

なんで大家族出身なのに万引き下手なんだよ

「床を使ってオナ」るのではなく「"床自体"をオカズにオナ」るタイプの床オナをしてる人

膣まるこちゃん「あたしゃまだ熟れていない青バナナを膣に入れて完熟にする芸で当面食べていくことにしたよ。タネはあらかじめ完熟したバナナを膣に仕込んでおかないといけないからバナナ2本分の膣体積が必要だよ」

最後しか聞いていなかったキートン山田「膣体積と言うな」

明らかに言わされている千鳥ノブ「いやシンプルに質が高い！」

明らかに言わされている千鳥大悟「丹精がこもっとるんじゃ」

今東京の大学通ってる、高校の頃好きだった女と偶然ブックオフで会ったんだけど、高そうな服着てたし、なのに下は高校のジャージ履いてるし、俺が下ネタ言うとあの時のように笑いながら肩殴ってくるし、でも訛りだけはすっかり消えてて、帰り道1人で歩いてる時、思わず夕空をスマホで撮ってしまった

松本伊代がミキサー車で皇居に突撃して自爆したのを見たヒロミ「ママ、日本史の分岐点になってんじゃん」

女にキンタマがあったらキンタマ関連の薬めっちゃ出てるんだろな

オナニーしようと思ってちんちんこすったらちんちんに痛みが走って、そういえばさっきオナニーしたばっかりだって事に気付いた。小学生の時に分数をクラスで1人だけ理解できなかった時の、悲しみに似た危機感をいま全裸で感じてる

最近妄想でオナる時、乱れる女の子の姿を想像してオナるんじゃなくて、女の子に必死に腰振ってる自分を想像してオナった方が興奮する事に気付いてしまった。8マス戻る

コミュ障だから出演する大喜利イベントの会場で出番前に肩慣らしで大喜利してる出演者たちの輪に加われず、その大喜利を遠目に見つつ、スマホの中のエロ漫画フォルダの整頓を黙々とこなし、本番の大喜利でスベり、すぐに無言で電車に乗って帰った、結局エロ漫画フォルダが見やすくなっただけの高1の俺

晩年に母音が全然合ってない替え歌ばかり歌っていたのでギリギリ地獄に行ったジジイ

今日バイトの面接行ったら、事務所内で社員同士がハイタッチしてて、会社のパンフ読むと「当社は従業員のコミュニケーション促進のため挨拶のハイタッチを義務付けている。この制度を導入し作業効率や売上が大幅に上がった」って書いてて、地面を思いっきりグーで殴って周囲の人間を全員殺してしまった

派遣先の椎名林檎に似た40前半の人妻のババアに「くん」付けで呼ばれたため、いつもよりダンボールを切る速度が俊敏になる俺

腹減ったんで、コンビニに助六買いに行って助六探してたら、ラス1の助六見つけたんで嬉しくて思っきりジャンプしたら俺のジャンプの滞空時間長すぎて着地までがなかなかだったからと思うけど、その隙に他の人に助六持ち去られた。空中にいる時、本当に早く降りたい！地面に着きたい！って思ってた。

【こんなゴールキーパーは絶対油断してる】最初に虹に気づく

好きな子と一緒にトロッコに乗ってタイミングよく段差をジャンプしたいな。

餅つきの餅を返す方の人怖くないのかなと思うけど、実際かなり怖くて、家に帰りついた途端に安心して膝からくずおれて泣き叫んでしまうらしい。

去年の夏警備員のバイトしてたけど、社員が全員ヤンキーのまま大人になったような人だけだったし、現場の警備隊長が「昔地元の暴走族の先輩に、薬物中毒で不感症になった女とセックスさせられたけど射精できずに先輩にボコボコにされた話」を現場に新人が来る度につかみの小咄として話してて最悪だった

常備的な回復アイテムが"天ざる"で使うと「サクサク...！やっぱり天ぷらは揚げたてに限るでござるな〜。あれれ？？天ぷらだけ先になくなったでござるよ。天ざるは性格が出るでござるな...」というスキップできない専用ムービーが毎回流れるクソゲー

女の子と渋谷を歩いている時に非常に風が強かったので「風強し」と言ったら女の子が「草なぎ剛」と返してきたので「阿部寛」と俳句みたいにしめたら「おお～～」と笑いながら言われて東京に来て本当に良かったと思いそのままその子とピザ屋さんに行ったら明日２年ぶりにセックスするんだと言われました

友達の家に居るんですが、リビングで友達の兄貴（中卒）が小さめの音量でうっすら水樹奈々の曲を流しつつ「ノーベル賞とか五輪のメダルって特に意味ないし、重要なのは実際何をしたか、やんけ」という内容のニコ生をしていました（関東出身なのに全編カタコトの関西弁で話していました）

当てはまるものを選べ。

・俺は、朝ベッドでシコっているときにカーテンが空きっぱなしであることに気づいたが、面倒だったのでシコり終わってからカーテンを閉めたことがある。

・俺は、自分で描いたケモショタの絵でシコっているときに「シコっていること」自体がばかばかしくなって、割と普通の声で「うっ」と言ったことがある。

・俺は、リモート面接で緊張しないようにと直前にシコって、「面接の直前でシコるやつが面接に受かるのか？」と冷静になったことで却って緊張したことがある。

・俺は、シコる前にラインの返信をしないと気が落ち着かないが、それよりもシコりたいのでシコを優先し、終わった後はどうでもよくなるので寝ることがよくある。

・俺は、自分が幼少期に戻ったときに自分の同級生がケモショタになっていたら、という妄想でシコったことがあるし、むしろそういった性的倒錯と恋慕と懐古主義こそがシコの『本質』であると錯覚している。

デジタル教科書について、タブレットを毎日持ち帰って家庭で充電して持ってくることができるのはまともな子供とまともな親の組み合わせでないと実現できません。お金の問題ではなく、努力の問題でもないと思います。少なくともうちの子は六年間で二回友達に教科書捨てられたからね。持って帰ってきても充電を忘れずできるかといわれたら甚だ疑問で、そもそも給食着体操着もちゃんと洗わない親もいる中で、充電なんてもっと難しいのではないかと。どうやったらデジタライゼーションの恩恵をそういう子にもたらすかというテーマはすでにデジタルデバイドとしてイシューになっています。「一番低いところに合わせると、突っ走れる人にブレーキをかける事になる。その結果の一つが今の日本の学力低下だし、科学技術の凋落だし、TVメディアの低俗性」という方がいましたが、じゃあそこでほったらかした一番低いところやらは誰がどうやって面倒みんねんなと思いました。絶対放置だよ。義務教育で「お前の家はレベルが低いから」と放置することは割とすでにおおっぴらに行われていて、そこで出てくるのは自己責任と学校経営における資源の有限性って議論です。COVID19休校の時も振り落とされた子はそのまま放置ですよ。まあ、レベルが低いのが子供作るからだと言う話かもしれんけど。そもそもTwitter使ってる段階で世間の標準越えてるんよ。賢い方々にはわからないかもしれませんが、別に施策すればいいできる子を伸ばせという議論には賛同しないことにしています。なせなら別の施策とやらは永遠にやってこないからです。自己責任で切り捨てられておしまい。

ゆっくり解説動画にありがちな、解説する流れを作るためになんでも確認するゆっくり魔理沙「霊夢はたしざんって知ってるか？」

ゆっくり解説動画にありがちな、解説する流れを作るために極端に無知に設定されているゆっくり霊夢「たしざんってなんなの？聞いたことないわ」

教科書をデジタルにっていってたエンジニアさんもそうだったよね。個別の教育がデータに基づいてやれるようになる、おまえの心配は妄想だって言ってた。私はそんなこと信じてないんだ。STEM教育のみなさまも特別支援教育対象の子供にも適用できるなんて毫も考えてないはず。生産性のある子供だけです。

胡乱な話をすると、コロナ禍と学術会議問題が昨年から今に至るまで（軽重は全然違うが）併存し続けており、「政策決定における科学の重視」と「学問の自由」が基本的には善のテーゼとして、特に反政権的な人より両方主張されてきたが、何となくこれにはヤバみを感じている。「学問の自由」を擁護するからには例えば「人間の各種生得要素が知能や遵法性などの社会性に与える影響を調べたい」という研究も認めてやらねばならず、加えて「科学を重視」するならば、それで得られた（何らかの）結果を制度設計に組み込むべし、といった話も当然誰かから提起され得る。極論といえば極論なんだが、どこかで聞いたような話は実際にあったわけであり、両者をバクっと声高に主張していた人がこの程度の思考実験すらしてなさそう、というのは気になる。テーゼとしては大いに踊ってしまったので。まぁ、どうせすっかり忘れてるんだろうが

今なら分かる。会社でデスクや椅子を蹴り飛ばしたりする奴って、仕事に熱い奴でも人情深い奴でもなく、ただのヤベー奴よな。“俺私は怒ってます”“それだけ仕事に熱心です”ってアピールして“だから周りは俺私に気遣え”って暴れてるだけだけの、イヤイヤ期の子どもとまるで同じ。

どんなにいい目が出る確率が高いサイコロを手にしていようが、振らなければどの目も得ることができない。それ故、極端にリスク回避的な性格は素晴らしい賽を台無しにしてしまう。Twitterにはそのようにして人生を破壊してしまう手合が大勢いますね。

昔ネットで見た怖い話で靴の爪先を家の中に向けて置くとオバケに「入って良いよ」って言ってることになるってのがあって、それ以来怖くてずっと家に上がる時は急いでても神経質に靴のつま先を外に向けて並べてるんだけど、母に「それ小さい子の躾用の嘘じゃない？」って指摘されて…私は…この年まで…

女は毛が生えるまで、男は毛が抜けるまで

大国としての日本のあり方を散々否定してきたくせにいざ勢いが弱まり自分たちに流れてくる取り分が減り始めると途端に亡国だ亡国だと騒ぎ始める日本の人文系アカデミアクソダサい。

非モテ非モテ言ってるけど、ツイートめっちゃ面白いし共感するし絶対行動さえしたら恋人できるでしょって思う人いるもんなTwitter

大好きだった大学の先生も同じ事を言っていた。意図せずとも自身の発言に批判や誤解を受ける事はある。それを敢えて取り繕わず引き受ける事が「自律したコミュニケーション」であり責任を持つという事。批判や誤解を恐れ誰にでも好かれようとする「いい人」はまだまだコミュニケーションが未熟だと。

行き過ぎた新自由主義への批判はよく分かる。過度な競争社会はその国に生きるニキネキを必ずしも幸せにはしない。現代の殺伐とした空気感は、新自由主義的な価値観から来とると感じる。ただ、実力主義そのものが悪とも思わん。それが生活をより便利にし、経済成長をもたらしてきた。二元論では語れん。

風呂上がりの濡れた手で触ったおむつを履かせると次男は決まって「これ濡れてるんですけど？」みたいな態度を取ってくるんだけどそんなのお前の方が毎日しっかり濡らしてるからな、と思う

真面目にやっていれば良いことがあるって呪いだ。会社サボったって、頼まれた事を断ったって、上司の言うこと無視したって、無理に飲み会行かなくたって、自炊しなくたって、夜中にラーメン食べちゃっても、良いことはあるよ。頑張りすぎてなくて、大丈夫。

日本、テロ行為の最頻値はめちゃくちゃ低いけど上限値はめちゃくちゃ高い特異環境

SDGsって物凄く泥臭かったり汚いものを見つめる必要があるはずが、なんだかキラキラして表現されてばかりいることに、不気味さを感じるというのはある

面白くないどんよりさせるだけの感想のリプ（引用RT含む）を送り続ける人、ほぼ100％プロフィールの画像の欄がどこかで拾った漫画やテレビのセリフの切り抜きで埋まっている件

男性の非モテの悩みと女性の非モテの悩みは「発展途上国の飢えの苦しみ」と「先進国の自殺願望のある人の苦しみ」くらい違うから一緒くたにしてはいけない

日本に移住したロシア人にその理由をよく聞くけど、急に政府が倒れそうになったり徴兵されたり通貨の価値が半分になったりすることが「ない」のが日本の魅力だと言ってた。よく言えば「安定」、日本人からすればつまらん「ぬるま湯」だが結局外からは魅力なんだよな。あと魚と温泉が最高だからとも。

この「同意されていないのを察せないほうがおかしいよね、ウンウン」とかやってるの、ワタシはちゃんと相手のことがわかる人間だからポーズをする以外に意味あんのかね。本当に同意のない性行為を減らしたいんならんな発揮されるかわからん察し力当てにするより、ちゃんと意思伝えること教えなさいよと。知人は昔同意を求めた頃は誰も同意せず、後から同意なんて恥ずかしいから強引にやってほしいと怒られてから、同意など取らず強引にするようにしたところ、事後皆お礼を言うという。こういう社会だからなぁ。この手の連中は「合意」が社会の中でどれだけ多様なレイヤーにかかる複雑怪奇なものなのかを意図的に無視して、教条的な「正しさ」を叫んでいるだけで全く存在として意味が無い。そりゃバカバカしい「正しさ」だけ掲げていれば気分はいいのだろうが、その「正しさ」が覆った社会では誰も生きられない。「戦争はいけない」は戦争問題を解決しないし、「暴力はいけない」も暴力の問題を解決しない。ツイ主さんの言ってることは理解できるんだけど、男女間のコミュニケーションの話になると、書籍も含めて「男性はこうやって女心を察するのが夫婦円満の秘訣」「こういう女性の態度は〇〇のサイン」みたいな、気づかいを男性側のみに求めるケースが圧倒的に多いところに歪さはやっぱり感じる。上にもあるけど「女性は嫌とは言えない場合もあるから男性は察しろ」だけじゃなく「女性も嫌なときは嫌とはっきり言おう」と両者に啓蒙すべきだと思うのよね。

男性は性行為の前に女性に合意を取ろう、合意をとっても実は嫌がってるかもしれないから察しよう、みたいなやつよくわからない（そこだけ聞いても、性犯罪を減らすのに意味があるのか判定できない）。それは決して男性だけの問題ではないですよ、と思う。少なくない女性の「男性からリードしてほしいから口ではイヤという」とか「嫌われたくないからしょうがなく乗る」という論理的に矛盾した行為も問題を引き起こしてる。いうならセットで「女性も嫌な時ははっきり嫌と言おう、それで嫌ってくる相手のことなんか、最初から別れたほうが正解なんです」「嫌と言ってもやめてくれない男性からはすぐに距離を取ったり通報したりしよう、それは強姦です」ぐらい言ってほしい。あと、少ないとは思うけど女性から男性への無理解もあるから、別に男女を固定化する必要もない。「うまくいくようにするには、迫る側は察する努力を、迫られる側はそれがスムーズにいくような協力を」という原則ぐらいしか、言うことがないんじゃないですかねえ。性行為は二個人間の微妙で繊細な関係の問題になってくるから「女が痛いからやめてと叫んでもやめないのはおかしい」ぐらい根本的で基礎的なレイヤー以上のif then式の何かを定めて合意を得ようとすることがそもそも無茶だと思うの。それは「面接でこう聞かれたら必ずこう返す」みたいなチップスと同じで、その場の帳簿でつじつまがすっきり合う気持ちよさはあれど、実用上として役に立つかはわからない。世の中には結婚20年のベテラン夫婦もいれば、お互い初めての高校生男女もいる。嫌と言っても強引にしてほしい女性もいる、ちゃんと合意を取りたい女性もいる、後でやっぱりあの時は嫌だと思ったと考えを変える女性もいる、うまく察して本番に持ち込むモテ男性もいる、うまく察したから本番に持ち込まない慎重男性もいる、それに萎える女性もいる、萎えない女性もいる、察せないから極端に加害的なアプローチをとってしまう男性もいる、察してもなお加害的アプローチをとってしまう男性もいる、察せないけど勇気がないから加害せずに済んでる男性もいる。分けてみたら少なくともこれぐらいある男性と女性の属性を一緒くたに語って「男は女と合意してもその本心を察しようとする努力をしてほしい」ってどこ目線なんだという感。どこかに完璧な合意があると思い込んでるのが怖い。ついでに言うとこれは私自身の個人的な考えとイコールではない。私は相手が不快にならないことを優先して立ち回りたいので、イエスと言われても最大限、その意思がノーであるという最悪の可能性を考えて慎重にコトを勧めたいと思っている（だからこそ初手でノーと言ったのにこっちが乗らないと一方的に萎えてくるタイプの女性が苦手だったりする）。でもこんな曖昧で繊細な問題を何かのバズワードに一元化して「男性は察しよう」とだけ男性に一方的な要求を行う手法が社会レベルでうまくいくとは思わないです。やるなら「男性は察する努力をしろ、女性はイエスとノーを明確に言え」と、両輪でやらなきゃダメなのでは。もちろん男性が察せないことも、女性がちゃんと言えないこともあろうが、そもそもそういったやりきれなさや誤解を含むのが人間間のコミュニケーションだと思うので、原理的にこういうミスマッチを防ぐ方法はないよね。それが嫌ならひきこもるしかない。

「俺の嫁が画面から出てきてくれない」とか昔のオタクは口走っていたものだけど着ぐるみとVRのおかげで「金を積めば画面から出てきてくれる」という現実がやってきて「男女交際には金がかかる」に回帰している

「シェイクスピアは観客に応じて台本を微調整してた」っていう説がある。

庶民が多い公演では下ネタを増やし、貴族が多い公演では哲学的なくだりを広げたらしい。シェイクスピアといえば現代の我々からすると”巨匠”のイメージだけど、生きていた頃はサービス精神満点の男だったようだ。”創作と顧客へのサービスの関係”って結構難しいテーマで、アーティストは「顧客に合わせて作ってたら真の傑作は生まれない」みたいな発想になりがちなんだけど、シェイクスピアの事例を見る限りそうでもないっぽい。”良いものを作りつつ、顧客にウケる味付けをする”っていう両立が正解なんだろう。「自分が良いと思う表現」と「顧客にウケる表現」が重なる場所の面積って本当に小さいんだけど、そこを死ぬ気で探り出すのが本当のクリエイティブなのだろうと思う。独りよがりでもなく大衆ウケでもない”本物”は、針の穴を通すようなコントロールで狭い領域を撃ち抜けた時にだけ生まれる。

成人式は親の脛を齧りながら大学に通ってるような恵まれた子達のイベントではなく、10代で社会に出て荒波に揉まれている人間のための一世一代の晴れ舞台なので、法に触れない範囲で好き放題暴れれば良いと思う。大学生がウェイウェイ遊んでる間、汗水垂らして働いてる連中を馬鹿にはできんよね。

腐女子の裁判長「まって、死刑（語彙力）（伝われ）」

コンビニ強盗「テキトーな袋にレジの金を全部突っ込め！」

凄い店員「袋は3円になりますがよろしいですか？」

「お仕事は何されてるんですか？」

説明下手なパイロット「足がつかない方法で大量の人を運んでます」

ビデオ通話中のカップルが互いに考えていること

彼氏「眠くなってきたね」(なんでこんなに可愛いんだ…)

彼女「んー笑」(餃子の王将の社長は本当に他殺されたのだろうか)

Twitterで新成人に説教垂れるヤツなんぞ、居酒屋で新入社員に説教垂れる上司よりタチが悪い。

【案件】

おい鬼太郎！！ワシらがいつも払っている税金は何に使われているか知っているか？

しかしゲイツがウイルスをばらまいて人口削減したり、123便を撃墜したりするのに、なぜかappleがそういう陰謀関連いわれないのは、日本の意識高い陰謀論の人、日本ではアイフォンつかってそうだからかな。

入試の国語で問われる能力は「勝手な解釈をせず文章に書いてあることのみとらえる事」的なのを昔どっかで見たんだけどそれはすごい大事な能力だなぁとtwitterやってると誠に思う。

反ワクチンや反マスクに夢中の中高年、なんで恥ずかしいポエムを人に送りがちなのかな、と疑問に思っていたんですが、結論をぼかして意味深な言葉を使うのって、特に知識や文章力がなくても“それっぽく”なるからなんですよね。その上、なんだか自分が賢くなったように見えるのではないでしょうか。本人たちは、詩的な言葉をでズバリ真実を語る、昭和の文豪になったような気持ちなのかなと。実際は、現実に見合わないプライドや、年齢に見合わない知性の低さを抱えた中高年が、ネット上の見知らぬ人に自作のポエムを送りつけているだけですが…。

まじでキャリアを気づいて出世して稼ぐことが立派という概念が強くなりすぎたんですよね。子供産んで家事こなすって幼児教育するってのも、外で仕事して金稼いでくるのと同じくらい重要というか、それぞれ家を守るためには必要なのに、片方に対する敬意が男女共に消えてしまった。度々Twitterで話題になる高級取り商社マンの妻への愚痴とかも、(本人達は結婚しているとはいえ)この現象をかなり顕著に表しているよなぁと。忙しとはいえいい職につけてる人間が出産家事してる人間に"中学生でもできる単純労働"してねん100万くらいは稼いで来いとか、それもアホな意見だと思うよ俺は

日本人、日本食ほめておけば喜ばれることが完全に在日外国人ツイッタラーにバレてしまって良いように転がされてるな。果たして日本の外務省に、彼らと同じように担当国に赴任して、「その国民が誇りにしている事柄を愛するが故にその国に来ていて、それを現地語で褒める」という芸当のできる外交官がどれだけ居るだろうか?

「自由な一世代限りの生き方」って結局、概ね不文律を墨守して暮らしている人たちが多数の世界に生まれる余禄でしかないんだよな。そういう人たちに感謝こそすれ、何か別の大きな仕事を成し遂げたような人間ならまだしも、そこらの木っ端言論人ごときが上からアップデート説教なんてお門違いも甚だしい。「我こそは自由の護持者」みたいな顔で例えば家庭に関する妄言を書き散らかしてるような連中というのは、結局この期に及んで反ワクチンでわっしょいやってるようなのと同類だろう。いいか、フリーライドってのはコソコソやるもんなんだよ。分をわきまえろ

「埼玉県民や多摩民など半田舎者の方が東京都心生まれの都会っ子よりも東京の地理に詳しくなる」という現象、「遠隔地ナショナリズム」みたいな上手い言い方は無いのだろうか。ミャンマー研究者の方がタイ研究者よりもバンコクの地理や飯屋の情報に異様に詳しいとかいうのも同じパターン。

とある凄い人を見てると「なめられ力」って大事だと思う。実力、実績、地位を兼ね備えた凄い人なんだけど、なんかいい意味でなめられてて、でも全てに「はい、そうですよね！」って感じで対応してる。要は謙虚なんだけど、さらに気軽に近づき話しかけていい感がある。すると今は情報も話題も寄ってくる

「そんなに○○なら精神科医に診てもらった方が良い」これが単なる受診勧奨ではなく、攻撃を含んだニュアンスで語られる。そんな診療科は中々ない。精神科受診は罰ゲームでも懲罰でもない、まして精神科医は裁判官ではないのです。

趣味を聞かれたときは「数学です」と答えることで会話を強制終了させることが出来る

学校についてですが、「あの密度で飼育して、殺し合いも繁殖もしない生物ってすごくないですか？」って意見を持っています。地元の中学はたまにしてましたけど。同種の生物が争ったりイジメ殺したりしちゃう場合、「飼育密度を下げる」とか「隠れ場所を作る」とかアクアリウムやってればわかると思うんですが、何故か教育者にはわからないバグがある気がしますね～～～。学校教育、アクアリウムでいうと「争いまくらせておけばそのうち適正数に落ち着くから問題なし、強い個体残るし」システムそのものなの、「人類はすごく優秀なのでわりと生き残る」って理由で見えてない気がする。学校くらいの密度でわりと知能の高い哺乳類（石とか棒を使うチンパンジーみたいなイメージ）飼育しろって言われたら、「ロス何パーセント想定ですか？」って最初に聞くと思う。

同僚二人（ゲイのカナダ人男性と英国人女性）と食事しながら話を聞いていたら、別の同僚が女性であることを理由に体力・精神的にキツい仕事を回避しているとか厳しい意見が出てきて、女性やゲイ男性は男女平等に厳しく、女性相手だと情にほだされやすいヘテロ男性（私含む）はチョロいのだなと感じた。「彼女はトルコ出身だから無意識にやってるかもしれないが性別を理由にキツい仕事を忌避しているから昇進できない。彼女は欧米に移民したがっているが同地の男女平等水準ではやっていけない」との論評を聞いていて、英国や北米の厳しさを出身・居住地共に男女平等後進地域（極東・中東）の私は感じた。

社会学がフェミニズムという思想を研究するならわかるんだけど、フェミニズムを「ジェンダー学」とかなんとか、あたかも学問のように偽装して自分達の運動の武器にする「社会学者」が異様に増えた気がする。赤軍派の革命思想やオウム真理教の教義等を学問に見せかけて大学で教えるのと変わらない危険度。例えば、宗教と宗教学は別物で、フェミニズムもフェミニズムとフェミニズム学に分かれていればいいのだが、フェミニズム自体が学問のふりをしている。

大学の頃、全部の陰謀論を片っ端から信じるから信じてる陰謀同士が矛盾しあってる奴いた

25歳超えた辺りから自分でかけた自分への呪いを自分で解いていくみたいなことが続いてる

何から何まで間違ってるリア友「『うっせぇわ』歌ってる人、TVだといつもイラストだけど、あれが初音ミクっていうボカロPなの？」ワイは説明を諦めた。

あんなに大好きだった昆虫への興味をすっかり失った息子がEテレで昆虫すごいぜの香川照之をみて「この人はずっと虫が好きなんだね。昆虫ていうかこの人がすごいね」と感心していた。確かに一つのものに興味を持つ続けるのはすごいよね。

学生の報告に対してコメントをしているとき、学生側がメモも何もせずにただ聞いていることがある。聞き流されている感があって虚しさを感じたりもする一方、「メモを取れ」というのも教員側の権威主義的態度にも思えてしまい、結局は何も言えない。

いよいよ巣立って行ったのでしみじみ思うけど、子供って、没交渉になることが基本ハッピーエンドとして最初から想定されてる唯一の人間関係やで。逆に、いずれ没交渉になることを前提しないとお互い不幸になる。

ジョブ型雇用は嫌だけど未経験新卒一括採用終身雇用を維持しつつ給料2000万円まであげて無料の社宅とサピックス代まで要求しろみたいな無理難題を押し付けるのがツイッタラー。全国転勤は嫌だけどグローバルな仕事をさせてくれて産休育休2年間空けてもちゃんと女性を出世させてくれるのを求めるのがツイッタラー

接客経験のある人ならみんな「コミュニケーションに飢えた老人のダル絡み勘弁してクレメンス」と思ったことがあると思うんだけど、このまえ実家帰ったら祖母が家族からそういう感じで接されてて悲しかったし、帰省3日目くらいで私も堪えられなくなっちゃってもっと悲しかった

例えば彼女が「公園を散歩したい」と言い出した場合、俺は「散歩なら一人でできるし二人で行く意味はないから一人で行けばいい」と思うんだけど、女の子は「時間を共有したいから一緒についてきてほしいと思ってる」みたいな説明をされて、完全に一人でいることに思考が慣れきってるなと気づいた。

小さい子供が危険な場所で走り出したりするのは早く死にたいから

ポパーの寛容のパラドックスをやたらと使いたがる人は得てして「私のモラルこそが社会のモラル」という、それこそポパーが問題視した開かれた社会の敵仕草であり、非常に含蓄がある。

国の借金を公共事業に使ってればまだマシだったんでしょうが、高齢者の社会保障に使っちゃってますからねぇ。借金を生活費に充てる多重債務者と同じですよ、リターンゼロ。寝たきりのおじいちゃんの医療介護費として月平均50万かかるとします。パパの月収30万とママのパート代10万で生活はギリギリでお金はほとんど出せないので全額借金で払いした。おじいちゃんは寝たきりで10年生きたので6000万の借金だけが残りました

きんに君の秘書「きんに様、ヤーの方を」

しんのすけが初めてケツだけ星人を披露した時の周囲の反応

「え・・？」

「何なのそれ」

「今すぐにやめなさい」

「子どもだから、という理由で許される範囲を余裕で超えている」

全ての元凶「良い動きだね。定期的にやるといいよ。」

「明日にも赤子を授かるやうな体かな」と書かれた矢文を若い娘の屋敷に飛ばしている、声優にキモいリプを送ってる奴の先祖

【逃走中のすごい回】

ミッション失敗

首里城 焼 失

超激似の一卵性の双子なので「本人達にしか見分けが付かないんじゃない？」とか言われがちだけど、実は本人達が一番見分けられない　何故なら普段「自分じゃなければ片割れ」だから自分と片割れのどこが違うのかを全く意識してない.記憶にない過去のツーショットとか全く見分けが付かない

尖ったまる子「あたしゃ利権が憎いよ」

もっと尖ってるナレーション「口だけ達者な資本主義の豚の典型例である」

母親「ちょっと！もう発展は済ませたの？」

𝑫𝒆𝒗𝒆𝒍𝒐𝒑𝒊𝒏𝒈 𝑪𝒐𝒖𝒏𝒕𝒓𝒊𝒆𝒔「いまやってるよ！！！！！！！！！！！！！！！！！」

「今の若い子にとってはこれもセクハラになっちゃうのかな😅」と言いながら普通に手マンしてくる最強の上司

キチガイが具材として濃硫酸を投入したものの、もう一人のキチガイが同濃度の水酸化ナトリウム水溶液を持ってきていたのでギリギリ誰も死なずに済んだ闇鍋

実は ｢お残しは許しまへんで｣ というのは“お残しをした生徒” を許さないのではなく、“残されてしまったおかず”のことを許さないらしい

正しい魔女「イーーーーーーヒッヒッヒッヒッヒッヒ！！！！！手を洗おうかねえ！！！！！！！コロナウイルスに、感染してしまうからねえ！！！！！！」

「林修の知っていること知らないことを正確に把握し、脳内の人格を極限まで林修に近づけたい」という理由で初耳学を見ている人

成田悠輔さんが「日本は同調圧力が強くて海外にはないというのは嘘。それぞれの国に違う同調圧力がある。ある国に外国人として住むと、同調圧力を感じるところまでその国に同化できないから同調圧力がないかのように感じているだけという場合が多い」旨の発言をされていて、完全に同意。個人的には同調圧力って外圧じゃなく内圧だと思うんスよね。その国にある程度同化してなきゃ斯くあるべし姿もイメージできないと思うので私も同意っス

「ネットリテラシーなさすぎ、ツイッター向いてない」的な事を言われてる人はよくいるけど、逆に「ツイッターむちゃくちゃ向いてる、ずっと続けた方がいい」みたいな事言われたらそれはそれで嫌だよね

医者「いいニュースとわるいニュースがあります、どちらから聞きますか」

じゃあいいニュースから。

死は救済だと思っている医者「あなたもうすぐ死にます」

話聞いた感じだと男は外見を磨く（最低限から引き上げる），資格を取る，年収を上げるみたいな継続的な努力点が複数あるのに対して，女性は妥協する，早く婚活始めるぐらいでそもそもアドバイスのしようが無さそうですね……ハードモードだけど努力で変えられるのが男の人生。イージーモードだけど努力じゃ何も変えられないのが女の人生。

あるAV男優の方が何かのドキュメンタリーで「プライベートがうまくいってない人ほど仕事にキレがある」と語っていたのを覚えてるんだけど、Twitterもそんな感じがする。リアルがうまくいってない人ほどツイートにキレがある。

なんか最近ダルマ界隈が完全に切断とかじゃなくて「特殊な能力で切り離した状態でもちゃんと四肢が生きてる」とか「異空間に手足を転送する」とかの擬似ダルマ化が結構増えてて、ソフトにして層を広げようという試みかもしれないけどやっぱりガチ切断はやってほしいなとおもいました

場の雰囲気を感じ取る能力における瑕疵を、知識や論理性などのパターン学習の過剰なまでの積み上げでカバーできないタイプの人が、自らの「力」や「位」の低さにも気付けずにやらかすというケースは充分にあり得るし、そういうのがいじめの原因になったりすることもあるんじゃないか。言葉というのは一見平等なように思われているけど、話者の持つ権威、話術、容姿から切り離されてはいないんですよね。だから形だけ真似してみると大火傷をすることになる。大魔王バーン様のメラと一山いくらの見習い魔術師のメラは比較になんないし、ましてメラゾーマとなると完全に別世界の威力になる。インターネットがまだ世間に組み込まれていなかった頃は『誰が言ったかではなく何を言ったかが大事』と言われていましたけど、インターネットはもう完全に世間になっているので、基本的には『何を言ったかより誰が言ったかが大事』というフェイズに突入しているとは思います。匿名掲示板は最後の聖域か。もちろん『誰が言ったか』が通じるのはインナーサークルの中だけなんだけど、Twitterなんかももう仲良しグループでまとまってるからね。RTで仲良しグループの外にアレな話が回覧される度に殴り合いが起こり、その度に仲良しグループの結束が高まっていく。公的な言論とか言ってみても虚しいだけよね。そんなことないよーとお思いの向きも多いかとは思うんですけど、ひろゆきの影響力の大きさとか見てると『やっぱ誰が言ったかだよなー』という感じはあります。ひろゆきをdisってる我々も多分大差ないんじゃないだろうか。

トップバリュで感動したのは、一味唐辛子と七味唐辛子。特にスパイス好きなどでは無いので、唐辛子の味なんかわからないと思ってたんだけど、トップバリュのやつを買ってみて一味唐辛子や七味唐辛子でも素人が一振りするだけで不味いと判る商品が作れることを知った。

バカは読むべき文章を読まず、読まなくていい行間を読み、そして空気は読めない

【ドラマのエリート登場人物あるある】

帝都大学出身

【日本大好き外国人特集あるある】

BGMが和テイストの"千本桜"

【20時就寝あるある】

23時が起床時間になる

【面倒な人あるある】

「ホタテって目が80個あるらしいよ！」ってホタテ食べてるときに言ってくる

【妹あるある】

深夜2時に「なんやそれww」というLINEが返ってくる

【エントリーシート添削あるある】

「御社」が全部「貴社」に訂正されてる

【ちょっと好かれてるバイト先の先輩あるある】

「違いない」

【アニメOPのフルバージョンあるある】

これじゃない

【ダイエット中あるある】

芸能人の「20kg減量成功！」ツイートを見て、心の安静のためにそっとミュートする

【イヤホンあるある】

声をかけられても2回は聞こえないフリをする

【待ち合わせあるある】

照れくさそうに笑いながら近づきあう場面がある

【LINEステータスメッセージあるある】

他人のは意外と読んでるが、その事実は当人に伏せておく

お見合い、血縁や地縁、職場等の人間が仲介するため、紹介後カタログスペックが気に食わないからといって簡単に切って捨てるのが難しい点に価値があったわけで、記事中の「オンラインお見合い」なんて赤の他人が仲介者となっている時点で「お見合い」の名を騙った別物だろ。多少の性格上の不一致やカタログスペック上の不満なんて誰しもが抱えているんですよ。それを乗り越えて番になるためには、時間をかけて共に過ごすことによりそうした”あばた”に慣れる必要があるのだろうが、ゼロ・トレランスで相手を簡単に切って捨てていては慣れも生じようがない。

同級生が左官屋なんだけど、玄関付近にコンクリ打ってそこにネコの足跡がつくと、ほとんどのお客さんはそのままにしといてと言うらしい

子どもの頃に言われた「素直になれ」は「嘘を鵜呑みにしろ」という意味だったし、「正直に言え」は「処罰するための大義名分を寄越せ」という意味だったし、「言い訳するな」は「冤罪でも私がやりましたと答えろ」という意味だったように思う。

「画面の向こうに人がいるんだぞ」みたいな話、人がいるからこそ悪意をぶつけるんでしょとしか言いようがない。例えばAIを罵倒することになんの意味があるのか。

情報商材商法知らんのか？稼げるような中身なんて無いで。「1分で1000円稼ぐ方法教えてやろうか？」「うん」「1000円払えば教えてあげるよ」「じゃ、はい1000円」「これがその方法だよ」って言っとるだけや

人文社会学を学ぶ必要性といったテーマでレポートを出題したところ、台湾の学生たちは人文社会学が学ばれなくなれば、自国の歴史や文化が発展しなくなるといった回答が多かったが、香港から来ているある留学生が自由が死ぬと書いていたのが印象的だった。

自分の人生の答え合わせをするために、よう知らん他人の関係性へ勝手に名前をつけたり批評をしたりしてはならぬと実家のウーパールーパーが今際の際に言ってた。「あの子の親はチャラチャラ着飾って、みっともない！あんなんじゃ子どもがかわいそう！」→我慢して質素に振舞ってきたわたしの人生はきっと正解！ウーパールーパーに祟られてはいけないので、うちではこの手の発言は固く禁じられております。発言すると味噌とともに蔵へ入れられます。

日本におけるSDGsって、意味のないコンビニ袋撤廃を進めた人たちのおかげで完全に「金持ちの道楽」と同義語になっちゃったなあ。本来は貧困解消とかも含めた話なのに。

レイテでもルソンでも「米や芋はあったんだが、塩がなくて辛かった」「製塩作業に関わっていたので生き残れた」という話を複数見ているので、世界がゾンビで溢れたら海の近くで製塩所を作ろうと思う(暴徒の襲撃フラグ

歳をとったら大人になるわけではなく、ただ歳をとるだけ劣化して自尊心だけが成長して、ガキであることすら自認できなくなるだけだからな

中卒高卒が三菱商事の総合職に採用される確率はマジの「ゼロ」だが、大したことない女がハイスペ男と結婚できる確率は5%くらいある。この絶妙な可能性が多くの女を破滅させてきた。

若い人に知っておいてほしいこと。いい年した社内のオッサンで特に左遷もされずに何となく残っている人、ああ見えて処世術はそれなりなので、そういう人が仕事できないからって掃き出すようなことをした場合、権謀術数力だけは高いということを忘れないでほしい

「限界」の人を対話などでどうこうするのは無駄なので、ベルカーブの90%に入る穏当な人がそうならないようにする方が遥かに大事。「お前の言ってる事はおかしい」って指摘が如何に正しかろうと、そりゃおかしいからおかしな事を言っとるわけで、そこを否定しても基本的には仕方がない。おかしくない人がおかしくならんようにしなきとな

自由と（ジェンダー）平等のために積極的に戦う学者センセイ達の人格が軒並みアレなお陰で社会の健全性が保たれている部分はあると思うよ。端から見ていてハッキリ思うのは、「何でお前らはそんなに人好きのしない物言いばかりできるんだ」である。ジェンダーギャップ指数を信仰する変わった宗教の人達が一向に政界に打って出ないのはまぁ道理と言えば道理で、アレらに票が入る筈がないんだよな

誰かにポジティブな影響を与えられる存在でなければ生きる意味がないのか、という問いについて、良い影響を与えなければ生きる意味・価値がないと言い切るのは酷薄だが、極論だが生産活動にも従事せず社会にも貢献せずウンコ製造機やりながら自己肯定感を維持し正気を保てる人もそう多くはないよな。必要な支援を受けられないことよりも、社会貢献できない・人に必要とされない・価値を認められない感覚を辛いと思う障害者は多いと聞く。誰しも突然障害を負う可能性があり、且ついつかは必ず老いて与える側から受取る側に移る以上、無条件に生きる価値や意味があるとするのが穏当ではある。誰にでも無条件に生きる価値や意味を認めることと、社会への貢献を尊ぶことは矛盾しない。社会を維持するために辛い役割を引き受ける・貢献する人達に名誉や敬意が払われる社会であって欲しい。無責任が蔓延するアラブ社会を見た後では、人々が自身の仕事や役割に抱く矜持の大事さをより強く感じる。

へそ出しや痩せた女性や美白や脱毛や女子力など、女性が生み出し、女性が作った文化を、都合が悪くなれば男性が生み出した文化として歴史修正してしまうから、女性が歴史のなか生み出したものが消えていき良くも悪くも事実だろうとそうでなかろうと男性が生み出した文化ばかりになるんだよな。悪い文化だとしても女性が作ったものとして主張していかなきゃ、女性が生み出したものが後世に残らんよ。

貧困層とは、正確には相対的貧困層と呼ばれ、厚生労働省が公表している相対的貧困率の算出方法から等価可処分所得の中央値の半分に満たない世帯。等価可処分所得の中央値は245万円であり、この半分となる122万円未満の可処分所得（収入などから税金や社会保障費などを引いた金額）の世帯が相対的貧困層。国民の16%に当たる1340万人が日本の貧困層。家賃滞納する人たちを見ているが「可哀想な弱者」とは程遠い。パチンカスやヤニカス、多重債務・消費者金融、場末の風俗、生活保護、使い込みの横領、すぐ仕事辞めて無職、タカリ、そういう世界

1990年代初頭日本で「なんで学校に行かないといけないんですか？」という風潮があって、朝生でこれをテーマに採り上げたんだけど、石井苗子さんがアメリカに留学に行ったときの経験で「教室にお腹を大きくしている女の子や拳銃を磨いている子、麻薬の売人やってる子がいて、逆にあなたたちなんで学校に来るの？と不思議だった」と言い、デーブスペクターが「で売人の子がお釣りの計算できなくて、間違えて多く返すんだよね」と笑いにしていた。

「その国の最上位の家庭」の子どもに生まれ変われと言われたら大いに悩む。そして、その悩む候補の中に日本は入れない。が、「最下層の家庭」の子どもに生まれ変われと言われたら、日本一択だと思ってる。

若い人に向かって「大人はつまらない」という人多いですが、私は大人になった方が生きやすいなと思いました。若いときは、お金も経験もなく、わからないことばっかりで、感受性だけは尖っているから辛いです。若いときが一番楽しい人ばっかりじゃないですよ。

親友が美容師さんと結婚したので「男前にしてください！」と超ざっくりに依頼してみたら、プロの腕前で見事に仕上げてくれたので、同じワックスを買って帰ってみたものの全く再現できず、高級すぎる装備を買ったものの維持できない途上国の軍隊の気持ちが分かった気がしたものでした

幼なじみが虐待を受けていたことを大人になって知ったのだけど、幼少時、親から首を絞められてて、幼いからそれを親が遊んでくれてると思い込んでたときいてちょっと泣いた。暴力が何かを知る前の子どもだとそうなるんやね「グレることができるのは家に居場所のある人の甘え」とも言っててたしかに

重度の発達障害者や限界知能などの生きづらさを男社会が原因と洗脳して鉄砲玉にしてるんやろうなあ、とツイフェミの頭のおかしいツイートが流れてくるたびに思ってたりする。ワイが個々の弱小野良フェミ相手に引用したりレスバしたりしないのは、非レスバ三原則もありますが基本的にはアレらも被害者みたいなもんやろ、というのがあるからなんですよね。太鼓叩いてる奴が一番悪いぞ

「中に入れたものが次開けたとき消滅する箱」があったら面白いと思うけど、加湿器をそういうものだと思っている。

文章を読めない人かどうかは文章を音読させると大体わかりますよ。読めない人は文章にない助詞や接続詞を勝手に足したり、逆に省いたりする。読めない漢字が出てきた時に詰まったり辞書を引こうとしたりせず、勝手に飛ばすか造語する。塾講師のバイトをしていた時にベテランの先生に教わりました。数年間のバイト経験だけでも、こういう生徒はかなりいました。つまり、読めない人は、この世に存在しない文章を自分で作って、その文章をさらに独自に解釈しているわけだから、著者はさすがにそこまで責任持てないわけです。これを改善するのは教育の問題です。

ツイッター検索したら「もはや何回システム障害を起こしても株価に影響が無い、障害に最も強い銀行」とか言われててワロタ

DIYは「どうなってもいいからやってみよう」の略って言ってた人がいて、大事な精神だと思います。

Twitterでバズる話とか基本無料商売とか見てると顕著だけど、客層を広げるほどに迷惑客も相手にしなければならず、無限にコストが増大する割に利益が少ない、というのがあるような気はしている。もうみんな少数の太客だけを相手にしたいのではないか。

優しいこと自体は素晴らしいことだが、加害を極端に恐れ被害者に過剰に配慮する風潮は歪んでいるがそこから脱却するのは難しい。些細な言動について敏感な人達から「加害」を咎められてもそれがどうしたと開き直る図太さが蔓延した社会を不愉快に感じる人も多いだろう。

実は人間のほとんどは単語レベルでしか他人の言語を認識していなくて、それでも会話に齟齬が発生しないのは、『外部の文脈』『常識』というものがある程度統一されているからなのでは？という推定の話なんですけど。みんなが会話しているつもりの言葉というのは、実は何一つ意味の伝わっていないグルーミングだったりする、という可能性、結構高くないですか？俺もこれは会話なのかなあと思いながらやりとりしてることそこそこある。人間の会話は根本的にはディスコミュニケーションそのものだと思った方がいいのでは

よくある恋愛指南で見掛ける、『恋人をモノでなく人間として見なさい』て奴ですが、特定の相手の人間性に執着する恋愛、高確率で詰むと思うんだよな。ただのモノとして交際相手を選ぶ方が上手く機能するのではないかと思う。モテる人間よりもモテない人間の方が圧倒的に恋愛対象の人間性に対する執着が強いと思うし、その執着が恋愛関係の構築を著しく難しくしてるんじゃないかと考えることがある。

長男に「お母さんはなんで今の仕事に決めたの？」と聞かれ、いい機会だし働くことについて語ろうと思ったんだけど、就活中口を開けば出てきた「やりがい」「自己研鑽」「社会貢献」が全員死んでしまったみたいで、その隙間から「お休みがたくさんあったから」が恥ずかしそうに出てきた。

コスメ店員「こちらの乳液、オススメなんですよ」

もっと騒ぐべき人「凄い肌の透明感ですね！若干透けてる〜！」

言語考証ガチって登場人物全員何言ってるか分からない時代劇、ちょっと見てみたいよな

お医者さんと飲みに行って本音レベルでの話を聞けば、このままだと日本が沈むから医療を縮小する必要があるというところには大体同意してくれる。ただ、所属する診療科の医療を縮小するのはどうかと尋ねると、「それは違う！…いやそうかもしれない…」みたいな何もわからんモードに突入するんですよ。だから、人の心を持った当事者自身が改革を進めるのは本当に難しい。政治権力を持った本物の男が各所に目配せをしつつ、いい感じに采配をしながら漸進的に医療の縮小を行っていくのがベストだが、本物の男は「漸進的に」とか悠長なことを言ってる内に排除されてしまうしどうしようもない。

「ASDは共感ができない」というやつ、厳密には「感情の解像度が高すぎて、浅いところで共感を与え合うアレができない」というのが正しい気がする。冷たい機械のような言われ方をしてるけどむしろ逆、社会性の中で表現しきれない深い悲しみや、文脈が複雑に絡み合った喜びを知ってる。スピード感を求められる社会性の中ではそういった感情は表現しきれないし、「いつものアレ」とラベリングされて片付けられてしまうから、次第に表現することを諦めてしまう。本当に「自分で閉じている」のか、閉じさせているのは社会の側ではないだろうか。

去年45万くらいするネックレス買ったんだけど、夫はあっさり「買えばいい。俺たちオタクは知っている、その時にしか手に入らないものがある」「転売ヤーから買うよりいい」「あなたが欲しいと思ったものは叶えておいたほうが絶対にいい」と購入を全肯定で後押ししてくれてイイヤツだなぁと思った。

海外旅行のガイドブックにはたいていどの国向けでも「屋台や露店は自己責任」「キレイな無料トイレは希少」「水は買え」「夜出歩くな」「バスにはなるべく乗るな」「電車で寝るな」は絶対書いてあるけども 逆に日本行きのためのガイドブックだと何て書かれてるんだろうっていつも思う 見てみたい。昔見たアメリカの日本へ旅行する人向け本には「日本人は英語を聞き取れないし喋れないが何故か読み書きはめちゃくちゃできる、長文でも書いて見せると大体伝わる」ってアドバイス書いてありましたね。数年前アメリカ人向けのガイドを見たことあるけど、「路上に座るな、電車で大声で電話するな、チップを払うと店員が困るから止めろ、クレジットカードが使えない場所が多いから現金持ち歩け、日本人は英語通じにくいしシャイだが困っている旅行者を助けるために車を出してくれるような気質もあるから困ったらとりあえず誰か頼ってみろ」って感じだった。

去年とある研究会で話題になったんですが、衛生観念に問題のある途上国では基本的に「人間の尿をあまり汚いと認識していないのではないか」ということで、私の調査地もまさにそうなんですよね。立ちションして足にかかっても大して気にしない、坂道で上から小便が流れてきても平気、みたいな世界です。大便に関しては大体みんな腸に寄生虫が湧いているので悪臭が凄まじく高圧ガスと一緒に飛び散りまくるのではっきりと不浄なものとして認識されていて、野糞が難しい都市部では便所や肥溜めに便が隔離されているんですが、小便は民家から隣接する公道や排水溝への垂れ流しが当たり前に行われています。バキュームカーとかそんな文明の利器はまだ導入されていないので大便の山も畑に肥やしとして運びきれなかったものはそのへんの溝に捨てられます。調査地には山の斜面に無理矢理家を建てまくった町が幾つかあって急な坂道だらけなのですが、夜になると垂れ流される小便のニオイで街全体が臭くなります。何よりも悲しいのは現地の女の子がとてもオシッコくさいことです。女子も野ションが当たり前・トイレットペーパー無しだと尻や脚に小便垂れまくりで全く拭かないまま戻って来るので、女子児童が集まるとションベン臭くて泣けてきます。多分それを誰も不潔だとかはしたないという風には思っていません。昔の日本も田舎は同じように女子が小便しても拭き取らなかったはずなのでノーパンかつ垂れたオシッコも自然乾燥を待つだけでとても臭かったのではないかと思いますが、ある段階から尿が排泄器官以外の身体の一部に付くことを忌避する衛生観が普及・発達してキレイに拭き取るようになったのでしょう。生活用水として使われているような川や池にも男が立ちションしていてそれを別に悪いと思っていないことからも小便に対する衛生意識が希薄なのが見て取れます。ただし川の上流に近い地域になると異教信仰の残滓で「山の主がお怒りになる」などと恐れられていて川や水溜めへの小便は厳禁になります。これは面白い点なのですが標高が高くて人口が希薄な地域の方が立ち小便に関するタブーが色々とあって、虫に小便をかけて遊ぶと不吉なことが起きるとかいうどこかで聞いたような話や、変わった形の石にうっかり小便をかけてしまうと石の中にいる霊に呪われるといった変な言い伝えが残っていたりします。あとは糞尿ばら撒き系の嫌がらせ、復讐、敵対民族への宣戦布告、墓や記念碑への放尿・脱糞行為による侮辱なども存在しますが、やはりウンコの方が破壊力が大きく小便は子供のイタズラの延長にすぎません。罵倒語でもお前はうんこだ、ウンコ食べろはありますが小便すすれとかは見当たらないですね。完

ローマ帝国衰退期のブリテン島について読んでてヒエ…となった。ガラス張りの窓と暖房が付いた家に住んで地中海のワインを飲む暮らしが、僅か３世代のあいだに駐屯兵が撤退し、蛮族が跋扈し、遂にはホノリアから「住民は各々で武器を携帯して身を守るように」って通達が来るの怖…。ローマ帝国滅亡から蛮族ことアングロ・サクソンのキリスト教化までブリテン島はガチの暗黒時代（文字の記録が存在しない時代）だもんな…怖…

批判すること自体をやめさせる論理は間違っている。批判はＯＫ、誹謗中傷はダメ、って社会であたりまえの話。批判をするなら正論ですればよい。たとえば岡村の風俗発言を批判することで岡村が自殺してもその批判自体は何の問題もない。罪悪感をいだく必要はない。それは岡村が正当な批判に対してどう動いたかの問題なのだから。むしろ罪悪感を怖れて批判をやめると社会は歪む。上記のようなモラハラはそれを狙っている。一方、岡村を叩くために岡村自体に「死ね」というのは批判ではなく、ただの誹謗中傷なのでダメ。その分別を付けよう。批判は、「それを書いて相手が傷ついても、相手から訴えられても自分は問題ない、後悔しないような正論」でのみ批判をしましょう。その結果その批判が間違っていればダメージを受けますし、正しければ社会を是正できる。それが社会に必要な正義マン。相手を否定し「死ね」とか言うだけなら社会に不必要な正義マンになってしまうからね。批判すること自体をやめさせようとするのは絶対にダメ。肯定しか許されない社会は歪みまくるから。肯定も否定も、受容も拒絶も適切にあるのが健全であり、そのどれか一方だけではいけない。「事実であっても名誉棄損になるので悪評を書いてはダメ」っていうのはなくしたほうがいい。事実ならその時点で社会的に価値がある情報になる。その言動をしている人間がどういう言う人間か知られることは大切な事だから。有名なら影響力があるぶん、より周知されなければいけないと思うわ。逆に言えば、匿名で意見（誹謗中傷ではない）言わない人は卑怯だと思う。匿名だからこそ対等に論の中身だけで勝負できる。それができない人はその場から逃げている。ネットは物理的に、表現に名前がついてまわる場所ではないので、匿名が匿名相手にお互いにやりあってきた場所。これが変えられない前提としてあり、それを土台にして文化やルールができていた。その場所に、後から自ら顔と名前出して入ってきて、「匿名は卑怯だ！」というのはちょっと自己都合が過ぎる。誹謗中傷という生産性の無い行為がなくせるならそれはいいことだが、ネットはそれが最初からできない場所として存在しているのだから、その場所で顔と名前出して自分の欲求だけ満たそうとするのは不可能だよ。逆に言えば、著名人も顔と名前出さずにかける場所ってことでもある。発言したいなら匿名で発言すればいいのになんでそうしないの？ネットをコミュニケーションツールとして利用するなら、メンバー限定の場所とか直接相手に伝えればできるのに、なんで誰でも見れる場所でわざわざやるの？そういう当たり前のやり方だと論だけで勝負できず、承認欲求が満たされず、金にもつながらないからでしょ。芸能人の一言より、ネットの名無しの鋭い正論一言のほうが力を持って他人の意識を変えていき広まるからなネットという場所では。偉そうにコメントしているTVタレントは、自分の発言の本当の価値が知りたいのなら、匿名の状態で発してみるといい。無知な発言なら、瞬時に論破されるか、だれにも相手にされずに流れる事だろう。それが君の発言の真実の価値だよ。

よく知らない薬よりもよく知ってる毒の方が飲みやすいと感じちゃうんだよな。人生の色々な点で実感している。

政府は合理的な産物ですが、国家はどうしたって神話的な何かに依らざるを得ないので、そこが難しいんですよなぁ。そして別物だが、パキっと分割可能でもないという。だから結局は日本にとってナショナリズムほど都合の良いものはないといういつもの話になるんですが

いかに思考してもそれで処理しきれないものは残るんだからどっかで線引いて神話の方に投げてしまえというプラグマの考えが背景にある

それが何者であるかは賢い人達が知っていればいい事で、御神体が石ころであることを論理的に理解させても具体的に社会が良くなるわけでもない。

今日本当に軽い蜂窩織炎で点滴打つ事になって処置室に寝かされたのでカーテンも閉まってて誰も映らないし「知らない天井」やろうと思って天井にスマホ向けたら天井に「撮影禁止」の張り紙貼られてて完全に行動を読まれてました

ツイッターでバズると、知らない人から上から目線で喧嘩腰のリプが飛んでくることがあるが、こちらが丁寧に返信すると半数ぐらいは丁寧な返信が返ってくる。聖水をかけられて憑き物が落ちたかのようである。ちなみに残り半数は、態度変わらずである。あいつらは聖水が効かないタイプのゾンビである。

ハマった曲を鬼リピートして少し飽きてしまうヤツ、曲を消費してるようでかなり嫌なのに止められない

"10時10分前"と聞くと「9時50分派」と「10時5分くらい派」に割れそうですけど "10時30分前"ならほぼ満場一致で「10時25分くらい」になりそうですよね

他人の些細な幸せがイライラする現象、自分と他人は違うもので、全員人間の形をしてるから勘違いしやすいけど個々のスペックも価値も違うんだから自分には手に入らなくて当たり前と気付いてから出てくる頻度がだいぶ減った気がする

上司からレビュー資料を確認してもらってる時に、『よくできてるけど80点。なんでだと思う？』と聞かれて『80点満点だからですか？』と答えたら、業務量600倍にされた

コツコツ世界征服してる魔王

「ククク…… PTA会長になったぞ……」

反出生の人ら、他人の事をなんでそんなに過剰評価してるのかいつもハラハラしてしまう。日本語をマトモに読み書きできる時点で上から数える側ですよ

「具体的な財産の分け方は、みんなで仲良く相談して決めてください。」と書かれた遺言を眺めています。（30代・司法書士）

学校、割とむき出しのルッキズムが支配しがちなので、おしゃれ禁止系の校則は軍縮条約みたいなものだと思っています。みんなで軍事費かけても負担が増すだけでいいことがない。

「〇〇ちゃんはXXを持っててズルい」など、相手が不正をしたわけでもないのに「ズルい」を使った時には「それは『ズルい』ではなく『うらやましい』です。リピートアフタミー、『うらやま～』」といちいち訂正する業務に携わっている。

ひろしの運転するバニラトラックで移動する野原一家

しんのすけ「バ〜ニラぁんバニラ！バ〜ニラきゅ〜じん！」

ひろ&みさ「バーニラ、バニラでアルバイトお〜〜！」

みさえ「子育てしながら安心して働ける！」

ひろし「男性はメンズバニラ！」

全員「バニラで検索！」

しんのすけ「すればあ〜？」

アメリカで『枕草子』を教えていて辛いのは、とても分かりやすい英訳のせいか、「何のかんの言ったって、これってただのブログじゃん」と学生たちに思われてしまうこと。

「怒り」に一種の治癒的効果があるのと、それが社会を形成する原理になり得るかどうかとは全く別物なんですよね。おそらく彼ら彼女らもアクティビスト仲間には多少のことでは怒らないんでしょうから。ハフポさんにはその使い分けをこそ掘り下げてほしいところです。「そんなに怒らなくてもいいじゃん」と言えるあなたはマジョリティというのはたぶんそうなのでよういわんのですが、「あなたはもっと怒っていい」と呼びかけてくる人も同じくらい特権性を（しかもステルスで）持ってたりするんで気をつけましょうね、と。

この人は立ち回りが上手いと思う。Twitterで騒ぐことで騎士団を動員し、現実世界では持ち得ない影響力を振るうことで大学当局を動かすに至った。いかに力のあるボスであろうと世論による攻撃には無力で、圧倒的”正しさ”に呑み込まれてしまう。それを理解して行動していたなら、マジで賢い女性だな。顔出し実名というのも”正しい”側に立つのであれば非常に強力な武器になる。そして、女性は”正しい”側に立ちやすい。こうした理解は次世代の”そういう枠”には欠かせず、彼女には備わっていると思う。今回の騒動は活動家としては図抜けた業績になるんじゃないか。

仮に知能と表現するなら、知能が低ければ「空気を読む」能力がないと社会生活できない。知能が高ければその限りではない。知能が低ければ「自己肯定感」がないと不安になる。知能が高ければその限りではない。こんな感じの問題構造だよな。したがって複数の素因はあれ、一定の知能を下回る層に「空気を読め」「自己肯定感を持て」という強い要請が現れてくる。なぜならそうしないと思考を組み立てることすらできなくなるからだ

「AWSが反社になったらどうしよう」ってたまに妄想するけど、もはや世界はAWSが正だから、その時は私達が社会に反しているんだという結論に至りました。革命の日は近い。暴力団がAWSを使うとAWS Japanが反社取引企業になるのめちゃめちゃ汚染でいいな……

「負の性欲」って別に難しい話でもなんでもないと思うんだけど、なんでこのワードでバーサークする女性が多いんだろうかな…自分たちが理性や知性だと思ってたものを欲望だと看破されて、その上自分たちの中でも腑に落ちてしまったからでしょう。意味がわかってるからこそ激昂するパターンですよ。

4000人に奢られた上での偏見だけど、「死にたい」と思っている人には、「生きてれば良い事ある」なんて言っても意味がない。彼らに足りないのは、もっと具体的な「通過点としての今日一日」だ。来週いっしょにご飯を食べよう。来月いっしょに山を登ろう。彼らに必要なのは、そんな「具体的な約束」だよ。「ひとりじゃないよ」と言うのはカンタンだ。でも「具体的な約束」は大変なことだ。具体的な約束がなければ、そんな慰めの言葉も「あなたはひとりじゃない、けど、わたしはあなたといられない」という意味にしかならなくなってしまう。なくしたくなければ、約束しよう。自分に無理なく、できる範囲で。

凄く笑ってしまったのだけど、「電車でお年寄りに席を譲る運動」をしている学校の「譲り回数第一位」に輝いた生徒が言うには「ポイントはまず自分が座ること」だそう。

ホタルほど幻想的な生き物を英語圏の人は”firefly”(火のハエ)って呼んでるのかよ、許せなくなってきた。

配属ガチャにおける僻地の象徴として最近話題の延岡だが､どれくらい僻地かというと｢東京から遊びに来た友達を宮崎空港まで送った後､延岡まで車で帰る道中に友達から『羽田着いたよ』と連絡が来る｣という話が信憑性を持って語られるほど。東京生まれサピックス育ちからすると新卒配属で延岡は絶望ものかもしれませんが、田舎基準で考えると、一次〜三次の働き口があって飲み屋街が栄えてるだけでも延岡はだいぶ恵まれた土地という感覚。宮崎にはもっと田舎もたくさんある

好きな重さは「羊羮」で、嫌いな重さは「テープ台」

怒りは最初の瞬間だけ崇高さがあって、持続するほど堕落する。憎悪とは習慣化した怒りであり、とっくに崇高さを失って機械化した感情だ、みたいなことを三木清が述べてた通りだ。

何度もいうが、怒りなどネガティブなものが社会を動かすことは無いとは全く思わん。でも皆がちょっとずつしんどさを分け合ってわきまえて生きてるのに、怒りによる現状変更を肯定する言説が振り撒かれようものなら、その「皆のしんどさ」が報われん戦国時代が来る…て知ってるのが「大人」だよな

私たちが京都でやっているポーランド語勉強会に、一時期すごくご高齢のお爺さんが参加していたことがあった。とにかくポーランド語学習にかける情熱が凄まじく、毎回読む部分をびっちりとノートに書き写してしっかりと予習してくる人だった。その後私は千葉県に初就職が決まり、勉強会からも離れた。それから1年以上経った頃だろうか、勉強会のメーリングリストそのお爺さんが亡くなったことを知った。私がいなくなった後ずっと体調を崩していたそうで、最後の方は奥さんに付き添われながら、まるで最後の命を燃やし尽くすように勉強会に参加されていたと聞いて、心底驚いた。亡くなる前までずっとポーランド語辞書を手許から離さず、その辞書は棺に入れられたそうだ。いったいどのような情念が、あのお爺さんをあそこまでポーランド語学習に駆り立てたのかはよく分からない。あの人が自分について何か語っていたような場面をあまり記憶していない。とにかく寡黙な人だった。あの人のことを思い出すたびに、人間というものが本当に何歳になっても、死ぬ間際まで貪欲に知識を追い求め勉強したがる生き物なのだと改めて思い知らされ、ある種の感動を覚えると同時に慄然とした気持ちにもなる。それほどまでに、人間にとって学ぶということは本質的なものなのだろう。人間は金や仕事のために学ぶのではないと思う。生きるために学ぶのである。だから、あらゆる人のあらゆる学びには計り知れないほどの価値があるのだし、それは「カルチャーセンター」だろうが何だろうが同じである。あのお爺さんの死を知って以来、私はそのように考えるようになったのでした。

「アンパンマンの作者のやなせたかしは、後年成功した！人生はこれから！」ってツイート見て、希望を膨らませて、wiki見たら…30歳の段階で、大企業でバリバリ働きながら、漫画書いてて、その漫画収入が、大企業の給与より3倍多いという化け物並の活躍してるんだけど…。「30歳で人生が確定するわけない！現に自分は30歳以降もこんな風にキャリアを積んで～」みたいな話してる人、だいたい30歳までに何かを達成した人なんですよね。

僕自身の経験としては、物作りがスムーズにゆくことはめったになくて、だいたい苦戦するんですが、苦戦するということは自分の全力以上の何かに取り組めているということなので、まあ苦しいけども良いことなんだろうと思ってます。順調？って聞かれると、「順調に苦戦してます」みたいな。

コンビニのバイト、いつも来るクールな男性がいてポイントが5万以上貯まってるんだけど、クールな感じで別にポイントとか興味なさそうだし5万も貯まってるの自分でも気づいてなさそうだなって勝手に思ってたら昨日「ポイントすごいでしょ」と急に話しかけて来てめちゃくちゃ自覚あって勝手に悲しかった

偉い人の頭の中は風通しいいよ。でっかい風穴開いてるから。

「中学校に性教育の実技を導入しろ」とネットで叫ぶ男が性別問わず周りから好意を持たれるというのは確かに想像し辛いものがある

「反出生主義(中略)ただ鬱屈したインテリが滅びるだけで終わるのではないかと思う」これは本当に示唆に富む話で。単に知能が高くなると、リスク回避的な性質が無闇に高まってしまい行動ができなくなる。知能は楽天的な態度というか、敢えてリスクを取る気質を兼ね備えていないと虚無的になる。「高い知能」と「危険を物ともしない気質」という、ある種相反する要素を個人の中に同居させる必要を感じるんだよな。

反出生主義が実現するには人類の間でもう滅びようという合意が達成されないといけないと思うのだが、松戸の普通のおじさんやヤンキーがその思想を理解して受け入れるという光景がどうしても想像できず、ただ鬱屈したインテリが滅びるだけで終わるのではないかと思う

日本以外では、人間を犬に例えることを最大級の侮辱と捉える国が結構多いですよね…飼い主と犬が似るという日本の愛犬家ではよくある世間話も通じない場合が。割とこれ、海外の方とお話する時に気をつけてます。リプで日本にも「〇〇の犬！」という罵倒語がありますよねといただいていて。確かにそうなのですが、日本では反面、親しみを込めた「ワンちゃんに似てる♪」という表現が通じますよね。それすらNGとされる国があるということです。中央アジア、西アジアの国の方が日本のテレビ番組で「〇〇首相（当時の総理大臣）にそっくりな犬」が紹介されているのをご覧になり、サッと顔色が変わって。これさっきまで和気藹々バラエティ番組の雰囲気だったのに、突然殺伐とした政治家罵倒が始まった…？と困惑なさっていた思い出

ASDが親になったとき、ひとまわり長く人生を生きた者として「こうする選択肢もある」を子に話しているうちに「こうする以外ありえない」を支える論理が自分の中に見つかっていき、本来の目的から逸脱して"論破すること"を目指していってしまうことが少なくないと思う。それが愛だと正当化することも。僕も時折陥ってしまう、「話しているうちに自身の正当性を証明したくなってしまう」というのはASDによく見られる悪癖だと思う。対等な立場であれば議論が成り立つけど、親と子という構図において、親の正しさに反論できる材料を子が持ち合わせるはずもない。無自覚なマインドコントロールでしかない。

「ある文章を読んで、書いてあるとおりに理解できる」というのは、特別な才能です。ほとんどの人は、「文章を読んで自分が思ったこと」を、「そう書いてあった」と錯覚します。書かれたことと、読み取ったこと。両者は別のものです。「文章を読んで、どのように受け取るか？」そこには幅があります。たとえば、「おやつが美味しい」という一文で。みなさんは何を感じるでしょうか？「おやつ休憩できるなんていいな」と思う人もいれば、「暇アピールかな？」と思う人もいます。さまざまですよね。でも元の文章には、「羨ましいでしょう？」とか、「かまってください」とは書いてないのです。「おやつが美味しい」という文章を書いた人ではなく、「読んでいる人」に注目します。その人が今、ご病気等で食べ物の味がわからなかったら？その人が今、お菓子作りが趣味のパートナーと喧嘩中だったら？「おやつが美味しい」という文章に、それぞれ何を感じるでしょうか？「おやつが美味しい」というシンプルな文章にも。「自慢げ」「かまってちゃん」「羨ましい」「悲しい」そんな、さまざまな感情が波立つことがあります。それは、「書かれた文章」と「読み手の体験」が結びついて現れるものです。どんな文章でも、「書いてある情報」と「それを読んだ人の体験に結びついて現れてしまう感想」とには、ギャプがあるということです。これが作品の一文であれば、「読者のこういう体験を呼び覚まそう」と仕掛けることもありますが、日々のツイートでそうかと言うと、わからないですよね。「自分の感想」と「書かれた情報」とを分けて考える――これは、特殊スキルです。「感想文」の勉強はしていても、「事実を読み取る」訓練はしてこなかった…という人も珍しくないと思います。なので、「書かれてることと自分の感想は別」――この呪文だけでも覚えていただければと思います。引用ツイートで、「自分はそうは思いませんけど？」「こういう場合は、こういう例もあるじゃないですか」と、また別の話を持ち出す人たちが出てくるのも、この辺りでしょう。「自分は正しく読み取れている」＝「自分がそう感じたのだから、そう書いてあったのだ」この錯覚です。読み手の体感によって現れるさまざまな感想、そのすべてのケースに備えて、誤解なく書いていく…というのは、現実的ではありません。「正しいかどうか採点する」「間違いがないように監視する」そんな風に、文章に接するのではなく。すっと心に入ったものだけでも、と思います。

大学職員は若者が人生で初めてエンカウントする「役所」の人間　マジで融通きかん

昭和の田舎にはボロい家に一人で暮してる常に怒ってるメチャ恐いオッさんがいて、子供が「オラー出てこいアホが」って叫ぶと出てきたオッさんに棒で殴られそうになるといったエンタメあったんだけど、一度は消えたそれが今ではインターネットにある。

結婚や育児に向いてるかを調べる方法は一つ思いついてて、それは一人でいて何をしていても心がさわさわとざわめき、落ち着かない夜があるかどうかなんだよな。あるなら向いてるし、ないなら向いてるかどうかわからない（向いていないとは限らない）。人生が圧倒的に孤独であることを人間は長い長い年月をかけて体感していくのだと思うが、その現実を急に受け入れられない、繊細さん向けの麻酔注射が結婚や育児なのだと思う。やってる間は一人を感じずに済む。

これから孤独死する予定の方へお伝えしたいのだが財布か家の分かる範囲に10万円置いといてください。孤独死後にDNA鑑定やら確認の書類発行やら準備やらでそれぐらいかかりました（あまり関わりのない親戚や離れた家族が残ってるタイプの孤独死の方向けの情報です）

Daisuke full ver. (歌詞・和訳付き)

何か変な事情でTikTokでこれしか使えないようにしてほしい

改革だと言われるとみんな諸手を挙げて賛成するが、その改革の手が自分の縄張りに及ぶと途端に抵抗勢力と化す。そんなもんですよね。

倭寇をめぐる日韓の対立かあ。成る程、ネトウヨは「倭寇は実は朝鮮人」、日本の歴史学では「そもそも日本人朝鮮人と分ける意味がないやん」、韓国の歴史学では「いやいや倭寇は日本だろ！」と捻れている訳か……こういうのは「事実で解決」は基本無理、というのは與那覇さんが仰る通りだわ。

おおよそ30歳までに人生の多くのことを経験して「1周する」とはよく言うが、24の自分にしてみれば結婚も子育てもお絵描きも音楽も登山もまだまだというところなので、1周したと思い込んで自分用のイスに安住してる（基礎体力が多くなく、行動力の少ない）人が「人生に飽きた」というのだろうなと

考えるというのが「意思」の人間と「反射」の人間がいて、僕は後者。どんなにやめたくてもやめられないから、"区切りをつけること"に一番労力を使う。「なにも考えない」がデフォルトの人は"考えはじめること"がむしろ大変なのだろう。それはそれで疲れそうだ。なにもない状態から発進させることに使うエネルギーと、走り続けている状態から正しい方向に向けさせるエネルギー、結局は同じくらいなのかも、と思う。僕の方が事故率は圧倒的に高いのかもしれないけど、正しく走れたときの爆発力はすごいであろうことに、密かに期待している。

ゲイのプロデューサー、レズビアンのヘアメイクさん、バイセクシャルのスタイリスト等の知り合いがいたけど、「LGBT」という呼称が出てきてから、そういう個々の顔が浮かばずに「LGBT」という記号がそこにあるようになってしまった。

個人事業主してるとたまに会社員されてる方から「羨ましい」的なことを言われるんだけど「"来月以降収入0になるリスク"が常にあって、全く仕事がなくなったら失業保険とかも出ない」と言うただの現実をお伝えするだけで、だいたい話が終わる。リスクヘッジは「商流を増やす」「頼める人を探す」「体調管理に気を配る」「仕事なくても仕切り直せるくらいの資金余力を持つ」だけど、これを個人レベルでは限界ある。会社はその辺を組織レベルでやる仕組みで、そこの対価と考えたら、やっぱ会社って組織は効率いい。「仕切り直せるだけの資金余力」は、要するに持ってるスキルとか仕事の仕方が時流や仕事領域とアンマッチってことなので、「収入ゼロ状態で営業や勉強、耐え凌ぐ、あるいは就職活動をやれる期間」を指します。私は「三ヶ月は見ておけ」と教わった記憶。

みずほの件がお昼のニュースで取り上げられてたけど『言われたことしかやらないような担当者の意識を改革する』って言ってた。これは日本独特の考え方。日本以外の作業者は普通は言われたこと以外はやらない。なので欧米はマネジメント層が優秀だし高給。

俺が受験した年のセンター試験で、FUCKING AWESOMEってプリントされたパーカーを着てきたせいで脱がされてヒートテックで受験してる人いたけど、その年のセンター英語にはFUCKING AWESOMEって単語は出てこなかったな。

「フランスとアルジェリアで同じ歴史教科書は無理」だから「日本と韓国で同じ歴史教科書は無理」は本当にそう。独仏はどちらも列強で、片や植民地帝国、片やナチでやらかして謝るしかない国だから出来た、みたいな。まぁ、そうだわな。昔大学の多文化共生論の講義で中韓の留学生と歴史認識に関するディスカッションした際に、日（僕）中の代表は「事実の擦り合わせが仮に可能だとしても解釈まで一致させるのは無理」と言ったのに対し、韓国の留学生が最後まで「我々の解釈を受け入れなければならない」言って、最初は応援してたその留学生と同じゼミの連中も「あれ？」ってなって終わったという事があったな。国内ですら解釈の統一なんて行われてないのにさ。

南関東を除く太平洋ベルト民の東京集中批判の陰に隠れがちだけども、赤線の北側には日本の人口の10分の1未満しかいないってのも結構無視できない話だと思ってる。まさにその地域の開発が必要だったからこそ東国に首都を置いたはずなのに結果がこれだから批判されてるのでは…。何度も言ってるけど北海道すら衰退させてるのに北方領土返せとか悪い冗談でしょ。正しささんの「北海道すら衰退させてるのに北方領土返せとか悪い冗談でしょ」はまさにこの状況なんだよなぁ。インフラは国民国家の基礎そのものなんだが。親、子、孫が故郷を捨てず、住むことができるようにするのが政治の基本なんだ。冬場に病人が出たら、戸板一枚で雪道を運んで行かなきゃならん。同じ日本人で、同じ保険料を払っているのに、こんな不平等があるか。田中角栄はいいことを言ってるんですよ。このトンネルがあくまで地元へのやや過大な誘致であったとしてもだ、郷土、祖国を豊かにしようという政治家でないとダメなわけだよ。だから、東京の1票なんてそういう意味では一番軽くていい。北海道の鉄道の衰退ぶりを示す地図観ると血管が詰まって壊死してってる感じだもんなあ…

国境のどんな最果てでも同様のインフラが存在する、というのが国威だと私などは信じているんですがねぇ、これ、海外旅行とかに行くと本当に感じるんですよね。例えば、中国国内は意味不明な辺境でも道路が整備されていて感動しました。ロシアとは大違い。日本はかなり優れている方だと思いますが、今後は……。マイカーひとり一台で誰も乗らない鉄道路線でも廃線になるとその街は寂れると聞いた。鉄道の通ってないところは人が住む集落ではない、日本の街や村として認め難いという感覚はわかる気がする

日本に帰ろうかという考えが定期的に頭をよぎる。少し前にもそう考えて、ネット上で話題になる話はネガティブなものが多いのでバランスを取るためにも日本にいる友人らに電話で暮らしぶりを聞いてみたが、一時帰国で遊びに行くならいいが日本で暮らすのはキツそうだと改めて感じた。キツい割に可処分所得の低い仕事が多い、隣人の話し声が聞こえるほど壁が薄いなど住環境が貧弱、人口構成的に将来性が低いなど、日本で暮らすのは色々厳しい。自分自身の愛郷者、共同体主義者的な部分と生き方の不一致を恥ずかしく思うが、こうやって日本を出る人々はこれから増える一方だろうと思う。角栄のいう、中央と地方の利便性や生活の質の格差を是正するため、人々が故郷を離れなくて済むようにするためのインフラ等の整備の話、まさに政治の仕事だなと思う。しかし格差という文脈でいえば世代間のそれは是正される気配すらないのだよな。以前私が国を出た頃、「出国する若者が増えることでより深刻な労働力の不足に直面すれば日本は世代間の格差是正を考えざるを得ないだろう」という楽観的な期待が少しあった。しかし実態といえば、労働生産性は上がらず、不人気な業種の労働力不足は外国人実習生を搾取してしのいでいる。

専門歴史学者のめっちゃ細かい実証と、ハラリとか斎藤幸平みたいな巨大過ぎてもう歴史じゃないものの二極化は確かに色んなところで起こっているなあ、と。進化心理学の流行なんかも後者ですよね。

ジムニー買ったけど納車遅れ過ぎて車無いのにローン完済した人の話聞いたが金利位返して欲しいよね

フェミニストがイラストを性的搾取だと罵倒しているのを見て、「そんなこと言ったら、いらすとやしか使えなくなるぞ」と心配していたら、別のフェミニストがいらすとやを問題にし始めていて草。

思ったんだけど、少年誌のエロコメとかにつく「ちょっぴりエッチな」って謳い文句、実際のところちょっぴりのエッチでしか生まれないものがあり、ことエッチであることに関しては「ちょっぴり」である事が「たっぷり」である事に劣るとは限らない、大は小を兼ねないのはちょっぴり面白いですよね

ジェンダー学を「学問」だと思ってる人達、自分たちの活動を「勉強会」つってるカルト宗教とだいたい同じ構図

【友人の結婚式のスライドショーあるある】

自分の知ってる｢友人｣はその人のほんの1面でしかないことを思い知らされる

３人でいて１人が帰った時に「やっと２人きりになれたね」と言うユーモアはもう手垢がつきまくっていますが、６人とかでいて１人帰ったときに「やっと５人になれたね」と言うとまだまだウケを期待できます

「職業に貴賤はない。どんな人だって望まれてその仕事に就いている」って言ってる人に「じゃあ転売ヤーは？殺人現場に赴いて遺族に『今悲しいですか？』って聞いて回る記者は？融通の利かない対応しかしない役所の人は？マナー講師は？株のこと何にもわかってない震災後のおばあちゃん家に出向いて株を売りつける証券マンは？あることないことわめきたてて表現を不自由にするフェミニスト大学講師は？ウォーターサーバーの電話営業マンは？NHKの集金代行者は？芸能人の不倫デマを書く三流芸能誌記者は？『これを塗るだけでシミが消えた！？』って画像を加工して広告作ってる人は？メールサイトのサクラは？アマゾンで『商品レビュー書いてくれたら500円ぶんのギフト券あげます』って同封してレビュー評価をしっちゃかめっちゃかにしてる業者は？」など、もっとも嫌われているであろう職業の人達をすらすらと読み上げて嫌な気分にさせたい。このいずれをも「それも必要な職業だ、望まれている」と思える人、誰もいないんじゃないか。というか、「貴賤はない」は明確に誤なんだよな。「転売ヤーと医者、どっちがよい仕事ですか？」って突然聞かれたら、多くは「そりゃ医者でしょう…」と答えるのだろうし、少なくとも「貴」の基準、あるいは相対的な価値基準は世の中にある。こういうのは「賤」とされる、しかも社会的に必要で地位の低い仕事（清掃員、保育士、トラック運転手、土木作業員など）の知人にたいして励ましとして述べられるものであって、本当に貴賤はないと思ってる人いたら怖すぎる。

光市の母子殺人事件の犯人とか、自宅に押し入って子供と母親殺したやつにも人権はある。人権を守るってのは本当にきっつい。自分の守りたい人権だけ守るってのは殺人者と同じことになる。人権はきつい。

私がマナー講師になったら退職届を提出する際は少しでも明るい気持ちになってもらうためにキャラ物のレターセットを使いましょうとかご祝儀は金銭的に余裕がなければどんぐりで代用可能とか意味不明なマナーいっぱい作りたい

ハフポストSDGs(ってなんだよ…)が出した「海外のアクティビストたちのデモに参加してわかったのは、『怒ってもいい社会』への心地よさだった。一方日本社会は…」というツイートに「いいね」数以上の「引用リツイート」があって、その多くが普通に（ツイートに対して）怒ってる内容だったので、日本社会もまあ普通に心地よく怒れることが証明された回

ふと思ったんだが、「リア充爆発しろ」って、素直に「嫉妬」できるってのは、実はすごい健やかな状態だったのだなと思ってしまった。「羨ましい」と言うべき所を「ズルい」と言い換えてしまう人も結構いますが、あれもちょっと危い状態なんですよね。口にしているうちに『ズルい相手を責めるのは当然、私は被害者』という発想を自分に刷り込んでいく人もいますので。言葉で『定義する』面もあり、その言葉を雑に使って本来分かたれているべきものを同一に扱う時点で、その言葉を口にする本人の中で混乱が発生する…ということを考えりゃ、小さいうちから「ズルくない。相手はズルしてません。羨ましいって言いなさい」と修正しとかないと危いかなと。

「SDGsのために割り箸もプラスチックスプーンも使わず、手づかみで食べよう！」と主張するヤツが現れる日も近い

知り合いがドラマの考証で呼ばれた際、帯剣したまま座敷に上がるのはおかしいですよと指摘したら「このほうが軍人らしいから」と返され、なら私は要らないですね、降りますので名前も出さないでくださいと怒って帰ってきた…というトホホなNHK話を思い出した。

自分の息子が彼女を家に連れてきたら焼き魚を晩ご飯に出して魚の食べ方が綺麗か見る、みたいなツイート見たけど、私はめちゃくちゃ魚を綺麗に食べるけど料理もしないし掃除も苦手です、でも魚はめちゃくちゃ綺麗に食べます！！ガッハッハ

「仕事しながら酒飲むな！！真面目にやれ！！」みたいなアンチコメントを肴に酒飲んでますと動画で漏らしてしまったら一切のアンチコメント無くなってしまって悲しい

公式アカウントにリプライをタメ口で送るような人は、日々に疲れてるのだろうなとは思ってます。

「日本は学歴社会」と言ってる人の９割は、大学院の存在を知らないし、博士号を取得した人がどんな人生を歩んでいるか知らない。「日本は "大学の名前" 社会」が正解。学歴社会じゃなくて学閥社会

現代人はコロナなんか見ても分かるように、部分最適だけで「全体見ない病」になっている、になっている、ねえ。成る程、これはつくづく思うことだなあ。会社も似たようなもんでずっとスペシャリストが必要だ必要だと騒ぎ全体最適することを避けてきたら世の中がどんどん細分化されてきて最早全体を見る｢ゼネラリスト｣なんて作れなくて巨大な組織ほど引き返せなくなってんなあ、と

今日のジョージは博物館で飛行機を見る回。黄色いおじさんもジョージも展示されてある戦闘機に気分が高揚する。その帰り道、反戦運動デモを見た1人と1匹は反戦運動に傾倒していく。それを見たハンドリーは「戦闘機に心を奪われながら反戦を語るなんてとんだ矛盾だな」と嘲笑する。

統計と傾向で語ってる内容に n＝1 で反論してスカッとジャパンやるインターネットしくざ、本当に苦手。

日常描写に浸りたいって欲求は違和感を強く検出してしまうものなんだろうな。 自分でももしAV内でTCGのカードの上下がごっちゃになってるのを見てしまったら、真面目にやれと書きたくなるのを止められるだろうか。麻雀で負けた人にムフフなことをするAVのレビューで「なんであの場面であの牌を切るの？」ってレビューあったなぁ。昔見た茶道なAVはこれは現場に絶対一人ちゃんと習った人がいる！と確信できる出来映えでエロの方忘れて見入ってしまった

「弱者を救うのはナショナリズムしかない。人権や普遍的理念のきれいごとでは人は動かない」みたいなもっともらしい言説を時々見る。だが、人権とか理念の観点で他人を何とも思わなかった人間が、ナショナリズムに染まったら一転して他人を助けるようになるはずもなく、意味不明の発想である。例えば今、生活保護などの支給を絞れとかいっている人が、ナショナリズムに染まったら「同胞のためだから、やはりしっかり支給しろ」と突然言い出すわけがないのであって、むしろ逆に「あんな奴らは国家の足手まといだ」みたいに、もっと過酷な態度をとるようになるのは眼に見えている。「理念や人権意識ではなくナショナリズムの方が弱者を救う」と思ってる人は、おそらく「人はきれいごとでは動かない」と考えて、ある種の性悪説を根拠にしているのだろうが、性悪説に立つのであれば、むしろナショナリズムに染まった方が、さらに人間は残酷で邪悪になると考えた方が妥当である。ネット上で「日本人というだけで生きる価値がある」という警句を見ることがあるが、そう思える人は「人間というだけで生きる価値がある」という言い方でも納得するだろう。逆に、後者を何とも思わない人は、「日本人というだけで生きる価値がある」といわれても、やはり心を動かさないだろう。

うちの子、お〇んちん、おし〇って言って遊ぶから注意してるんですけど、NHKのTVスクスクで｢それは男の子の共通のトピックス。仲間意識を高める大切な役割がある。発達のプロセスとみるとよい。｣とのこと。大人になってもこれ言ってる人ってまだ発達段階なんですね

知り合いがTwitter上で俗に言う「クソリプ」をする人のアカウントを追跡して、「精神の病み具合を調べる」というのを研究でやろうとしてたのですが、五人目位で「どうしてTwitterにブロックやミュートがあるのかがわかった。対面で病んでる人のインタビューよりきつい」と言い残してやめてました(笑)「病んでる事に気づいていない。さらにはそれから目を逸らすために攻撃的になり、その攻撃性のために人との仲が上手くいかないが、それも相手が悪いと思う事で目を逸らしている。その上でその行為が自分をさらに傷つけて、もっと病んでいくのだが、そのプロセスを冷静に見るのがきつい」との事でした。あとは「もしかしたらこのクソリプが自傷行為なのでは?と思う事もあるけど、ネットの向こうの人たちだし、実際に会って確認するのも難しいし、何より何もできないし」とかもいっていた。ただ、クソリプが自傷行為かも、というのは興味深かったが、あまり覗き込まない方が良さげな世界ですね。

宅間事件とかそうだけど「特定の施設や特定の時間帯にそこにいるのは勝ち組に違いない」という理由でターゲットになるのが、格差固定が進んでいけば「地域」を狙うだけで十分な精度が得られるようになっていくわけだな。

今日スタバにいたら、大学生の女性がなにかのバイトの面接しているらしく「雇われは嫌なんで、事業をしたくて3つバイトかけもちしてます！ひとつはアムウェイっていうんですけど、ご存知ですか？」と言ってた。大抵の人はご存知すぎると思う。

伸びてるツイートに対して知らない人から「いいねしようと思ったらいいね数ゾロ目だったのでリプだけ残しときます」的なことを言われてことがあるんだけど、そういう輩は普段からそんなことで一喜一憂してるのか？

「俺キレるとヤバいよw」が口癖の先輩、裏で"イボ痔"って呼ばれてるの好き

かつて”世界一幸福な国”として話題になったブータンだが、現在の幸福度ランキングは世界95位。急落の理由は、グローバル化と国際情報の流入によって他国の豊かさを知るところとなり、自分たちの貧困を認識してしまったため。他人と比較することは不幸の始まりです。年俸50万ドルの野球選手は相当なお金持ちだが、2018年に個人資産が35億ドル増えたバフェットとは勝負にならないし、そのバフェットでさえ、同年に資産を240億ドル増やしたジェフ・ベゾスには敵わない。他人との富の比較ゲームは、絶対に勝利者になれない戦いなので、参加しないことが1番です。

誤解されがちですが、ひろゆきさん、日常で「空気を読まずに正論を言い続ける」ということはあまりしなくて「これは正論をぶつけたほうがいいな」と思う時だけぶつけている気がするので、ひろゆきさんのやり方を真似して突然論破しようとすると、事故りがちなので気をつけたほうがいいかなと

リスニング易化過ぎて20分余った

昨日、日本の有名私大でテニュアとった人と話したんだけど、「自分、数学者としてここまでやってきて、そこそこ数学の才能あると思うんだけど、大学生の時は数学の講義、本当に何もわからなかった。あれ、わかる人いるのかな」って言ってて、すごく良かった。

同期に「ワイ別に彼女とセックスしたいって思わない。どうしてもやるっていうなら互いにイヌ科ケモノの着ぐるみを着てからにしたい」って話したら「どうやって着床するんだよ」ってつっこまれた

俺「フェラチオって"フェラ"の部分に注目が集まりがちですけど"チオ"の部分もかなりエロいですよね」

上司「おい、会議中だぞ」

『なんでそんな面倒な男／女と付き合うんだよ』系の話、でも人間はどう考えても面倒しかないネコチャン飼うじゃん、みたいな話で理解可能な気はしている。ネコチャン飼えば？実質ネコチャンやワンチャンが概ね面倒な男女の上位互換みたいなところに気付いてしまった人類、賢明である気はするんだけど、古来より言われる『犬猫飼い始めた奴は結婚出来ない』の理由についての深い納得と理解が生まれてしまう。

東京で暮らす米国出身の知人に交友関係について話を聞くと日本人と交流が多いようなので、米国人同士の繋がりはないのかと聞いてみると「陰キャだから無理」との事で、居住地を変えたぐらいでは気質は変えられないんだなと改めて感じる。数々の体験を通して魂に刻印された陰キャ性はそうそう消せない。スクールカースト的なものとそれに関連したメンタリティの問題は異邦人として日本に来てまで引きずるのか、と。日本に特別な興味を持つ外国人、本国の社会ではちょっとアレっぽいんだろうなという感じの人が多くて、関わってて軽くキツいなと思うことがあるが、陰キャとして生きることが辛い国々の人達からしたらお一人様に優しくチー牛・陰キャでもそれなりに生きていける国は救いなんだろうな。私自身も何年国外に住んでも根本が陰キャなので圧倒的陽キャ優位の国々の人達と折り合いが悪い。アラブ人、特にエジプト人とか簡単にフレンドリーになり過ぎ、気安くサディーキー（my friend）、ハビービー（my dear）とか呼ぶんじゃねーとうっとおしく思う。

高知能というのはそれに見合った気質や人格的な枠組みが伴っていないと、反射的にリスクから遠ざかろうとする動物的な性質と合わさって、何もできない臆病で逃げ回るだけの存在に人を貶めてしまうのではないか。「知能」とそれを扱う「人格や気質」は相補的な物で、片方だけが無闇に発達していても無用の長物どころか、生きていく事を阻害する厄介者になりかねないのかもしれない。

男性がぬいぐるみを抱っこして寝るのと、女性がぬいぐるみを抱っこして寝るのは、同じ行動です。違って見えるのなら、「男性だから／女性だから」という何らかの偏った感覚があります。私自身もそういった感覚はありますが、感覚とは別に論理で考えて「同じ行動だ」と解釈する思考は必要だと思います。

「蒼天航路」で、夏侯惇が、ある日ふと見上げた空が美しく、「こんな時、詩才がないのが憎らしい。もしも詩の一つも作れたなら、この思いを言葉にできたのに」とつぶやき、それをいつの間にか背後に立っていた曹操が、「続けろ、もう少しで詩になる」と告げるシーンを思い出す。

東北の時の津波の動画で撮影者が動画撮ってる横で現地のおばちゃんが「あら～～(絶望)」って津波被害見ながら言ってるのをイスラム圏の外人が見当違いな誤解して「今更アッラーに助けを求めても無駄だ不信心な異教徒め！」ってYouTubeのコメント欄でキレ散らかしてたみたいな話めちゃくちゃ好き

海の生物を陸に引き揚げておいて「すぐに傷む弱い魚だな、漢字は"鰯(いわし)"にしよう」はサイコ過ぎる

作家、マジでTwitterはやめたほうがいい。作品売上というより、作家生命に響く恐れがある。恐らく、現代の一般人の読者は「作品と作家は別」ということに不快感を思いの外感じてる。クリーンな社会が進んだら、社会圧や正義という名前の断頭台の露と消えかねない。淡々と作品情報だけ呟いているアカウントは大丈夫。ポジティブなことや、幸せなことを呟いているだけで噛みついてくる奴もいるのに、過激な発言なんて、後から掘り返されてキャンセルされる可能性がある。左翼思想ドップリの人はわからないかもしれないが、権力はあなた自身なのだから。

日本は予定通りに事が進むし、注文通りの品が届くし、治安も良く一般人が過剰なまでのサービスが受けられるので、庶民でも質の良い生活が出来る。外国は犯罪や頭おかしいヤク中を避けるためにお金がいるし、ハプニングばかりでサービスも悪い。海外移住の肝は、質の低い生活をする覚悟があるかどうか。

あと納得いかなかった理系話といえば、アナルの潤滑剤にワセリンを使うという話を検証するために、ワセリンを棒に塗って転がし「ワセリンはそんなに潤滑しない」と結論していた話があったが、ワセリンは体温で油状に溶けて潤滑効果があることは自分に塗りたくってみればわかるだろ。そういうとこだぞ。アナルにワセリンはバロウズも記述しており、つまり七十年以上前から使われておるわけで、それを棒で転がしてうんぬんするのは笑止であり、まず指に塗りたくって自分の肛門に入れて実験してみるべきであって、この件について議論が起こらないことは本当にどうかと思います。十年ぐらい前の記事だけど

世間のサービス名、親しみを持たせたいのかわからんけど、あんまりかわいい系の名前つけられると「バカにしてんのか」って気持ちになるからやめてほしい。「ポンタ」は「電算消費奨励型介入機構『狂月狸」などに、「ぴたっとプラン」は「固定式料金徴収方式『破竹』」などに買えてほしい

電車の種類ですけど、通勤快速とか快速急行とかどれが早いのか本当にわからなくて困るから、「ビュッ（快速）」「ビュビューッ！（急行）」「ピュ、ビュビューッ！、ピュ（区間急行）」「ビュババババ！（特急）」というようにわかりやすくしてほしい。

ブックオフで働いてた時に転売ヤーの客に大声で怒鳴られてから人生が狂い始めたので、死刑になる覚悟が出来るくらいには転売ヤーに強い恨みを持っている。

幽霊の物質化は上位の能力でないとゲームバランスが（ゲームじゃないけど）悪すぎるというか「幽霊が水道管の中に髪の毛サイズのもんを物質化させられる」って設定なら脳の血管詰まらせて人間を瞬殺できるから強すぎるよね。ってなっちゃうから解釈違いなんだよなあ。あと最近の怪談でよくある「盛り塩が真っ黒になる」という描写（これはわりと最近聞くようになった。怪談にも流行りがあるのだ）も「塩化ナトリウムのような比較的安定した物質をどうこうできるなら人体ぐらい容易に破壊できへん？」ってなるから幽霊強すぎるよなってなる。

サヴァン症候群の天才には記憶力や数学や絵画、彫塑、音楽、詩文、建築家などがいるが、小説家や脚本家や漫画家はいない。作話という作業は、どうも天才的な単一能力ではなく、平凡な能力の積み重ねや連鎖によって生み出される、秀才的な能力のようで。

君が代を皇居の前で歌っていたら、四方を天皇陛下に囲まれた。気が狂った私はナイフを振り回し、見事に皇宮警察のお縄御用となり、内乱首魁罪で死刑が確定した。

試験開始前、前にTwitterで「緊張したときは脳内で「私は興奮している」と呟くと脳を騙せる」的なのを見たのを思い出して「興奮してきた…」と思ってみたんだけど、一瞬で脳内にサンドウィッチマンが浮かんできた

お、こんなところに試験会場があるな　興奮してきたな　ちょっと入ってみるか　ｳｨｰﾝ

コロナもトンガ大噴火も予見しなかった宗教家や占い師に能力があるとは思えん。

気象庁の「原因不明」という言葉、どんな説明よりも一番怖いな。分かる恐怖より分からない恐怖の方が怖い。

「このウニは新鮮だから苦手な人でもうまい」と「この日本酒はフルーティーで苦手な人でも飲める」と「このサワーはほぼジュースだから下戸でもうまい」を言うやつは、順番に土蔵の壁に塗り込める事にしているんだ

私も数年越しでクソリパーに粘着された時、なぜそんなに私を憎悪するのか知りたくて、その人のツイートを過去に遡って読んだことがあった。深夜の投稿、不眠、服薬、通院、突然の長期中断（入院してたらしい）、家庭の不和、要介護の親への恨み、幻覚、妄想（超能力者らしい）の羅列にドン引きした。

他人を誹謗中傷した人間には何言ってもいいというbitmapみたいな知性の作家、ホーム眺めたら完全に「加害者は自分の加害を邪魔されることを被害と認識する」のパターンだったし、フォロー欄を確認して「納得」「勉強になるな〜」みたいな気持ちになってる。

現場で働いてる鳶職とか解体屋とか、スーパーのレジ打ちとか、末端プログラマーなんかは、大学院生に比べたら国を豊かにしませんから、仕方ないですね。学者界隈、自分たちへの金払いに関する主張の時だけナショナリズムを主張して、時には中国の大学の金払いを褒めたりまでして、それでいて普段は高尚な言葉を持ち出してナショナリズムを馬鹿にしたり軽蔑している姿しか見ないので、信頼できない人達だなあと思う。

留学初日のホストマザーの言葉は今でも鮮明に覚えてる。「私はこれまでたくさんの留学生を受け入れてきたから分かるけど、あなた、英語を間違えるのが恥ずかしくて黙ってるでしょ。私はね、あなたの英語には興味がないの。ただあなたの話が聞きたいの。」その日から、英語の間違いを気にしなくなった。

大企業の紹介映像なんかにはソーラー発電所とか風力発電所等クリーンエネルギーの風景も出てくるけどあれは胡散臭くてかなわない。もっとこう、石炭を燃やしまくってモヤのかかった街並みを出せ。

大通りを歩いてるとき、赤信号にひっかかると次の信号でも、その次の信号でもタイミング的に必ず赤になるパターンに突入する場合があって「ということは初期位置が違えばずっと青の人もいるんだな、人生だな」とか余計なことを考える。

元暴走族現コンサル太郎から、「暴走族をデカくするコツ」を聞いたんですけど、「決まった時間にちゃんと集まること」とのことでした。本質捉えてる感じがしましたね。

ノーマスク系のデモ、本当に皆さんあまり清潔感のない中高年ばかりで、普通に電車で隣になってもほとんどの女性は席を移動してしまうだろうな、といった印象を覚えました。身だしなみを気遣えない方が揃ってノーマスクに執着しがちなのは、やはりなんらかの疾患のせいなのかもしれません。社会性のなさもそうですが、大学受験の経験をされていない方も多いようなので、共通テストの日にデモを重ねる非常識さについても自覚がないのだと思います。「マスクから子供を守る！」と主張しがちですが、反マスクの方にとって大事なのは、受験生よりも、みんなで遠足をする楽しさや高揚感です。ネットの情報を鵜呑みにして反マスク活動に夢中になっている大人には守るべき将来も立場もないかもしれませんが、受験生にとっては将来の第一歩になるかもしれない、大事な日です。そういったことが理解できないレベルの人だからこそ、「マスクは危険だ！」といつまでも言い続けているのだと思います。ノーマスクデモは、普段うだつの上がらないおじさんおばさんが、承認欲求を満たして気持ち良くなるためだけに行なっている迷惑行為です。開催日程に異を唱える人も、それを疑問に思う人もいない集団なのだな、と思うとやはり何らかの医療や福祉との繋がりが必要な人も多いのだろうなと感じます。以前も書きましたが、反マスクの方が想定している“子供”は無垢な赤ん坊や、小さな幼児のことです。受験生は「マスクから子供を守る！」の中には入っていません。幼児よりも生意気なことを言うし、受験勉強をしているというだけで賢い感じがあるので、むしろ苦手だと感じているのではないでしょうか。子供をノーマスクや反ワクチンデモに連れて行ってしまう親については、多分自身の子供については何歳であろうとも「子供を守る！」の中には組み込まれておらず、自分の体の一部のように感じているか、“最も身近な同士”だと思っているのではないでしょうか。

新しい疫病のパンデミックとか噴火とか、昔なら人口激減とか大飢饉とかで乱世だったのが、これぐらいですんでるのは科学技術の進歩のありがたさ。科学技術が未発達だった時代、為政者が有能で少々の善政とかなんて疫病や天災の前には誤差みたいなもんで、そう言うのが来ない運の良さこそが圧倒的に良い為政者モノサシでのウェイトが重かったんだから、そりゃ政治はマツリゴトで宗教要素がデカかったわけですわ。

「車での避難時に渋滞に巻き込まれたら、車内にキーを残し降車して避難」と同様に、「飲食店でお金を払わず避難」も、正常性バイアスが働く状況下でなかなか取りづらい行動。マニュアル化されているのだろうか。

俺は若者に「そんなことでは将来困るぞ」と言っていたが、あれ本当は自分に言いたかったんだよな。自分の努力不足に後悔を抱えていた。他人に説教したい人って、自分が満たされていない。説教が役に立たないワケだよな。自信のある人は、説教ではなく失敗からのリカバリーを教えてくれるんだよな。

やっぱりロシアが大好きな普通のロシア人や、アメリカが大好きな普通のアメリカ人もbioにだらだらと自分がやや右よりの中立であることや時々毒を吐きますとかしょうもないこと書いてるんだろうか

擬人化によって人間性が付与されることで『萌える』、には逆の過程もあって、多分、本来人間性を持っているはずのものが、日常的にシステムの一部として活用しているうちに、『道具』にしか見えなくなる、というような。『擬具化』と言えばいいんだろうか、そういうことを今考えた。10年前にこういうこと言ってて、今も通じる話だなあと思ったのだけど、政治思想・イデオロギーも、人間の人格や人間性を無視するメカニズムとして機能するよね。『敵』に人格は不要なのだ。『相手を人格を持った存在だと意識しない／させない』のは現代の政治闘争における基本的なメソッドなんじゃないかという予感がある。対象を高度に悪魔化するテクニックがどの界隈見ても異常に洗練されている。それがどの程度意図されたものであるか、という話はさておき。士郎正宗の攻殻機動隊だったかな、捨てられたアンドロイドが自ら『故障』することで『人間に危害を加えてはならない』というロボット三原則に反して人間を攻撃するエピソード。実のところ、この話は人間にも適用可能なんではないだろうか。そう考えると、何かと加害的なパーソナリティを持っている人間に対する憎悪というのは失せていってしまう気がする。いや、相手にしてて実際腹は立つんだけど、そういう『故障』に至るまでの経路に考えが至るので。これは自分自身の思考をリバースエンジニアリングするのにも役に立つ発想だと思うのだよな。あ、今、俺『故障』しそうになってた、という察しが生まれる。まあそう認識してても『故障』が止められない場合はままあるんですが、今自分が壊れているかどうかを認識できるかどうかってのは大きいのかなと。

大衆、という単語を使う時、その話者は大衆に自分は含まれないと思ってません？私はそこに違和感を覚えるので、大衆が、という単語を用いる時ほど自分を含めるよう努めてる。ヒトは動物の一種だし、私は大衆の一人だ。

僕はフランス人になんかステレオタイプなこと言ったときに「さすがにフランス人でもないからw日本人も毎日米食べてないでしょ？」って言われたので「食べているが？」と答えたら「えっ…」みたくなって申し訳なかった

70年後「...あのときは世界中が大変じゃった...パンデミックにくわえてロシアとウクライナがにらみあい、巨大な噴火で大混乱が起きた」

孫「また言ってるよ」

子「絶対混ざって覚えてるって」

アカデミア界隈の「国はもっとお金だして！あんたらの言うことは聞かないし批判するけど！何故ならそれが俺達の””使命””だから！」ってやつ、無条件に愛されるとても良い家庭で育った子供の反抗期って感じが凄いよね。

マジでおかしな人に突然強い口調とか決めつけ口調で文句言われると、まともな人は大概｢え！？ここまで言われるってことは私が悪い…！？悪いところあるからこの人こんなに怒ってる…！？｣ってなりやすいけど、話し合いも何もなく｢ワー！｣って言うてくる人の方が変だからとにかく一旦逃げて下さい

英語試験のリスニングではインド人やパキスタン人の、超絶訛った発音で電話口でガンガンまくしたてるやつを混ぜて受験生を絶望の淵に追い込んでほしい。ちなみにパキスタン人の英語はアメリカ人でも聞き取り辛いらしく、国際会議で通訳レシーバー片手に困り果てたアメリカ人と意気投合したことがある。

散歩をしていたら、1860億円入った財布を見つけた。魔が差した私は一瞬、財布を盗む衝動に駆られたが、冷静になって1860億円がみっちり詰まったソレをみて思い直した。交番に届けたところ、偽造紙幣を作った罪で逮捕され、私は無事に死刑になった。

古文を習わないとこの国で過去に書かれた文章を誰も読めなくなるのだけど、「そんなの興味ある奴だけがやればいい」理論でいくとそもそも誰も興味を持たなくなる。たいがいの教科は「習った人間の何%くらいしか将来的に活かせない/活かしてない」わけでそんの何%の人材を確保するために必要。「元素記号なんて大人になって使うやつは数%だから理科は教えるな」理論を採用するとその数%も生まれないし、残りの何十%に期待される「世界は科学で成り立っており呪術の世界ではない」という理解すら無理になる。古文漢文は現代社会で金の成る学問じゃないからこそ、食いついてくれる変わり者を釣り上げるべく教育の場にでかいウェイトで置き続ける必要がある。「金にならないが国にとっては必要な人材」は0人になった瞬間二度と再興しないので。逆にその人材を確保する方法が他にあるなら教えてほしい。教育における古文漢文は国策なの。教育しか人材を釣り上げる手段がないのだから。そこに大人になって役に立たないとネオリベブラック企業家が喚いたところで「うるせえ売国奴」以外に返す言葉はないの。

北朝鮮、もはやミサイル撃とうが核実験やろうが何の新規性も無くてマンネリ感が凄いし試しに民主化とかして我々を本気で驚かせて欲しい

文学部で好きな文学を研究している若者たちへ。もし就活で面接官に「君が大学で学んだことって役に立つの？(笑)」と煽られたら、学んだ内容に関することではなく、好きなことを学ぶということで得たスキルやその時の自分の費やした努力の話を返すんだ、言葉で殴り返せ

フェミニズムがカルト化しているのは、基本的に人間は政治的闘争が大好きで、学問のことはそれほど好きではないことに起因している気がする。カルト化した結果、頭がいい人間の足が遠のき、馬鹿のエコーチェンバーが爆誕しているという現状も、構成員のそうした傾向を後押ししている。このカルト化は他人事ではないですよ。アンチフェミも規模が大きくなるにつれて馬鹿の割合は増えていくでしょうし、ドグマに囚われた”運動”に堕ちる可能性は十分にある。だから、敵を徹底的に糾弾して団結心を高め、先鋭化していくルートには相当注意しないと未来は危うい。

ロシア語ネイティブの客がいたからロシア語で応対したんよ。バチクソ驚いてて「え？なんでロシア語話せるの？」って訊かれたから「БГУ(ベラルーシ国立大)で勉強したんだ」って答えたら「私もБГУ！」…だけど話噛み合わなくておかしいなと思ったらБГУ(バイカル国立大)だった。アンジャッシュか？

「女性が全て払う」「女性が多めに払う」がない事実、18歳以下現金10万円給付より不快で好き

Ｑ．好きだった人が忘れられません。どうしたらいいですか？

Ａ．人を好きになるとフェニルエチルアミンという厚生労働省もびっくりの向精神性の強いホルモンが分泌されて人格を破壊します。しかしこれは化学です。化学は物理に勝てません。電気刺激で好きだった人の記憶を吹き飛ばすのが早道です。

昔日本ガイシの人と話した時に、「我々は外資系ですから」というおそらく先方の鉄板であろうネタに気づかず「御社って資本関係そうなんですか⁉︎」みたいなマジレスしてしまったのは未だに後悔してるのだわ

例えば、寒いから窓を閉めてほしいと It's rather cold. と言っても伝わるだろうが、The longer, the more polite. と学部時代に米国人教師から教わった。言葉に現れる礼譲形式だ。社会生活に不可欠な潤滑油の役目を果たしている。

高1で地学の先生が「皆さんは将来必ず何らかの専門家になる。その時に、事故や災害が起きた後で『前から危ないと思ってた』とは絶対に言わないで。後からは何とでも言える。わかっているなら社会に伝え、わからないことは真摯にわからないと言って」（意訳）と言っていた。15年経ってても残ってる。

行動経済学の本読んでたら名言でてきた。「気をつければ間違いをなくすことができるという誤った考えこそ有害」(依田高典『行動経済学』)

NHKのでんじろう先生の実験で、SDGsと印刷してあるコアラのマーチはずっときれいだが、排ガスと印刷されたコアラのマーチはすぐに腐るので「水からの伝言」が実証された回

運動会って子どものときは行進練習があってクソだな～って思ってたけど、大人になってから「見る」だけの側に回ると子供たちが一生懸命行進しててかわいいなとしか感じなくなる。感受性が老いてしまった自分に喝！！を入れたい。運動会はクソ。

親が商品を手に取っている間に、買い物かごの一番下のところにお菓子を2つ忍ばせて、レジで親が気づくも「あんた2個買ってるじゃん！」と普通に2個買ってもらうみたいなやり方だけで人生を生きてきた自信がある

しつこく何度も言わなきゃいけないのは、「古典がどう社会や個々の人生に役立つか」ではなくて、「社会や個々の人生に役に立つかどうかである学問ジャンルを測っていこうとすると（それは「当たる宝くじだけ買おう」という話と一緒で）社会の知性全体が目減りする」ということのほうだと思うんだが。

ケモショタと射精チャレンジすることになった。じゃんけんに勝った俺はすかさず先攻を取り、ケモショタくんの未精通おちんちんを親指と人差し指でいじいじする。むずがるような涙目になったケモショタくんは「おにいちゃん、何か、でちゃう…」とつぶやき、すべてを俺に任せてくる。という文章を交番の前で音読していたら、わいせつ物陳列罪の容疑で逮捕され、ハディースの取り決めによりポリコレ棒で100回殴られることとなった。

最近自殺するため夕方過ぎまで帰ってこなかった中学生のお子さんと話をしました。今まで自殺未遂した13歳以下の子数人や親と話をしたけど、全員家庭内の人間関係の問題が長い。子供には躾より仲良くする事を優先したい。「他の子だけ褒める」「謝らない」という小事も長年の蓄積で致死量になります。

｢その声は、我が友、李徴子ではないか？｣

｢え？あ、はい、そうですけど………どちら様でしたっけ？｣

｢あ、いや、すみません、なんでもないです…｣

医者になれなかったからって人殺して死のうとか勉強できるくせに随分アホだなと思うけど、一度や二度望みが叶わないからって自分の世界が終わってしまったかのように思い詰めてしまうのは、やっぱり「夢」というものを過大評価し過ぎる風潮のせいじゃないのかと思わなくもない。

人の性格はストレスが強いと変わります。高ストレス環境では「サバイバルモード」となるので、自分の生存が最優先になり、性格が「自己中心的かつ攻撃的」になるようです。もし「自分はこんな嫌なやつだったかな...」と感じた時は、おそらく職場でのストレスが高すぎだと思います。

「文系学問の軽視が行き着く先は理系基礎研究等の軽視で、技術立国として自身の足元を掘り崩す」と理念より利益を語り価値中立的に擁護する論法は、価値観の異なる人には文系学問の価値を説いても通じないので妥当か。だが過剰教育が社会にもたらす歪みがその対価ならば、何とも高価な炭鉱のカナリアだ。日本政府や日本社会が近年近視眼的な選択と集中を繰り返し失敗してきたという批判も聞かれるし、「文系院生の窮状への自己責任・金持ちの道楽等との批判は浅はかで、行き着く先は理系基礎研究の軽視だ」という論旨は分かるのだが。「良いものづくりさえしていれば客は分かってくれる」的な期待をする、その期待が裏切られると「分からない奴は馬鹿だ」と失望するのはナイーヴでは。価値観が異なる人々にもあるものの価値を知らしめる、理解してもらう能力・努力が要るんだろうなと、価値観が多様化する中では尚更思う。

リベラリズムの立場から言えば、義務教育の内容簡素化は妥当です。法三章で最低限の遵法意識と読み書き算盤だけ教えるので十分で、生き方の実質に深く関わっちゃうような内容（古典教育含む）は自由選択にしないと本来はおかしい。強制的に全員に教える部分はなるべく小さくしなくちゃいけない。「古典をなるべく多くの人に」みたいな発想はなので、社会や共同体をどうするか、どうしたいかということからしか出てこない。方法論的個人主義を取るリベラリストからは出てこないはずなのです。

古文漢文も数理統計も「それが役に立たない人生」は容易に想像可能で、かつ実際に多く存在する。大量の高校生を目の前にして改めてびっくりするのは「この人たちはまだどうなるか分かんない人たちなんだ」ということなんですよね。すでに限定された人生からまだ限定されてない人生へ向けて何か言うことの根本的なおこがましさというのは忘れないようにしたいものです。他方で、古典を多くの「国民」が学ぶべきという建て付けにしてあるのは、それが放任しておけば容易にエリート主義と結びつくことがあらかじめわかっているが故の賢慮という側面があると思います。国民を分断しないためですね。放っておけば多くの人が学ばない（生活や出世の役にすぐには立たない）ものは金や余暇がふんだんにあるエリートたちが「貴族」になるにあたってこれほど好都合なものはあんまりないのです。「あら？源氏物語もご存じない？　クスクス」という世界は別に夢物語でもなんでもない。「あんなの学校でやったけど全然役に立たなかったよなあ」と多くの人が共通の話題にできる社会くらいがちょうど健全でいいのではないでしょうかね。別にこれは源氏でなくてもよくて、中華のトップエリートと文選を巡って当意即妙なやりとりを交わしてる本邦のエリートから「あー、なんか東アジアの民がいるなぁ」という目で見下されない社会ということでもありますね、もちろん。

「古文漢文を学んだことが本当に役に立つ人生」というのは研究職を除けば外国の教養あるトップエリートと頻繁に付き合いその中でレピュテーションを獲得するとかそういう人生になっちゃうので、そういうのにリアリティがありすぎるのも社会全体としてどうなのか、ということですね。

インターネットではよく「1000年後のインターネットでも○○なんだろうか」と言われてたりするけど、そういう感じのことって1000年前の人も言ってたんだろうか。

アンチ気象庁アカウント、なぜそこまで気象庁が憎いのか理解できなかったけど、気象庁が気象兵器つかって気象操作してると思ってる人たちだった

インターネットで掛け算の順序とか男女論とかで同じ話題が延々回ってるのもうそれスポーツだろみたいなところがある。レスバをe-sportsに含めるな

「米の転売ヤー」とかいうパワーしかないワードが流れてきたんですけど、「米の国内在庫 vs 転売ヤーの倉庫キャパ」という国内最大級の戦いに胸が踊らないと言えば嘘になってしまいますね

今ゆゆ式の一挙放送見てるわ。こういう平熱の日々をいつか慈しむ日が来ることを知っていながら知らないふりをして、この年頃の子達は青い春を駆け抜けていくのね。あたしは今は男でよかったと思ってるけど、この歳の頃は女の子として生きて女の子と放課後を笑って、好きな男の子の前で可愛い姿を見せたかったわ。こういう、緩やかかつ瞬く間にカレンダーが捲れていくような作品を見てると、振る舞いも気持ちも生硬だった頃が昨日のことのように脳裏にパッと明滅するわ

金持ちが「金持ちだって辛いんだぞ！」というのは実際その通りで、金持ちには金持ちならではの辛さがあるんだろうけど、だからといって金があるメリットに触れずデメリットだけ押し出して「だから貧乏人より辛い！」「貧乏人より理解と支援を！」とか言い出したら、その先は戦争しかなくなる

魚の食べ方とか字の綺麗さで人柄を判断するタイプの人。たぶん「最も身なりが整ってて態度やトークが親切な職業は詐欺師」という人類史を知らない人なんだと思う。

寂れたカラオケ屋とかに貼ってある「パーティールームのゲームで皆で盛り上がろう！」っていう張り紙見ると何か恥ずかしくなるんやけどこれは共感性羞恥とは違う？

ネットの匿名掲示板とかでイキっている人たちのことをネット弁慶と呼んだりしますが、ロシアでは【Диванные Войска】と呼ぶそうな。直訳すると「ソファ軍」。袖章やら肩章がデザインされてて笑う。ソ連風なら「室内治安軍」か。

まだYouTubeがなかった頃、公園に自転車で来たおじさんが子どもたちを集めて、左右の手にはめた人形で霊夢と魔理沙を演じていた。

1000年後、東方もZUNも全部忘れ去られて、「ゆっくり霊夢」「ゆっくり魔理沙」と彼女たちの声だけがゆっくりボイスとしてインターネットに残ってたらめちゃくちゃ味わい深いな。子どもに「霊夢とか魔理沙って何？」って聞かれて親が「なんだろうね…」って困惑するやつ

鬼滅には不幸な境遇に置かれて世を恨んで鬼化する人達が登場する。鬼になった経緯に理解や同情を示すが、人に危害を加えることは正当化しないし償わせる物語。インターネットで他責・他罰バーサーカーになった人達を見ると、鬼滅の鬼についてのそれと似た感想を抱く。他人に対して簡単に認知の歪んでいるという人がいるが、誰の認知もそれぞれの仕方、それぞれの度合いで歪んでいる。しかし、だからと言って開き直るものでもない。互いの歪みを指摘し合い、自身の持つ歪みに自覚的であろうとする限りは健全だ。

ヤクザや暴走族なんかの話でよく聞くけど「社会から弾かれると自分達で無茶苦茶なルールを作って世間に噛み付くしかなくなる(のでむやみやたらに人を排除してはいけない)」っていうのは、これは趣味界隈の俺ルールを押し付けてくる迷惑な人とかも経緯としてはそうなんだろなあ。「バイクなんて乗ってるやつはクズ」みたいに親や社会に言われまくった中で自分だけで均衡保とうとした結果、50、60になってから厄介おじさんバイカーになってた……みたいな人普通におるからね。

社会の底辺まで全て満足させた社会など歴史上ただの一つもないだろうが、下層の人々が「自分はこの社会の一員ではない」と広範に思うようになったら、その社会は足元から崩れ落ちていって、何かのきっかけで意外なほどの脆さをいきなり露呈するんよな。だから、どんな悲惨な境遇にある人間にも残酷な役割を割り当てて、生まれてから死ぬまでずっと悲惨だろうがそれすら世界の一員である証拠として示すカースト制なども信じ難いほどの頑強さを示すんだろうな。人間は合理性だけで社会を維持するわけではないってわけだ。

俗説かも知らんけど、自閉症って「言葉がわからないというより他者への興味の無さからそのルールの強制を受け入れる必要性がわからない」って見方を聞いたことがあり、自我に深く結びつきながら根本的に外部である言語の不思議について当時は考えたりしてた

税務調査って意見聴取や書類のやりとりでうまくいかなかった場合、最終的には殴り合いで決めるらしいな。

「ゆっくりしていってね！」からはじまる魔理沙霊夢解説動画便利まんじゅう、前提として00年代インターネッツ知識がないと出自や経緯、伝播するまでのプロセスが複雑すぎて説明ができない。正しく“妖怪”の誕生を見ているような気さえする。当時のインターネッツの有象無象、もう調べたくても触れられない一面もあるわけで、そういう土壌の土だけを振り落としてでてきた二体のまんじゅう概念、マジモンの妖怪だよ。

気象庁がよい予測をするにはまだまだ予算と人員が足りないというだけであって、彼らが無能なのではない、声を上げよう選挙に行こう、みたいな意見を目にしたが、おそらく選挙で圧倒的に票を握るのは維新の会みたいな新自由主義的姿勢なのよね。もうみんなすっかり財務省に飼いならされちゃってて「借金はいつか返さなきゃいけない」「日本は借金が多すぎて財政破綻する！」って思ってるんだろうし。そういう価値観って通貨発行できる国家と家計を同一視する、経済学では初歩もいいとこの間違いなんだが、これを啓蒙できるというわけでもなく。結局「財政がない！だから増税！」にいれちゃうんだろうなと。そういう意味ではみんなが選挙に行かないほうがうまく立ち回れるよね、こっちとしては。

ホストクラブもキャバクラも風俗も、アイドルもAVも、束の間のファンタジーを提供するサービス業なんであって、現実と虚構の区別が付かん奴は入っちゃいかんのよ。現実に居場所がない人ほどのめり込んじゃう。でも商売する方もあえて勘違いさせているフシもある。

パチンコ行くでしょ。パチンコ打ちながらね、スマホで動画見てる人がおるんですよ。攻略動画でも見てるんかって思ったらね、これ知らん人は知らんと思うんですけど、【見るだけでギャンブル運が上がり大金を引き寄せる動画】ってのがYouTubeにたくさんあってね、それを流しとるんですよ。こう言うとね。まるでその人達がなんか博打でイカれてスピにハマってるように聞こえるでしょ。でもね、これがおかしな話で、動画は見てるんだけどぜーんぜん信じてないんですよ、その動画のパワーを。ぜーんぜんそんなもん流したところで勝てるとは露とも思ってないけど、でも見とるんですよ。じゃあなんで流してるかと言うとね、流しても流さなくても負けるなら流しといた方がいいやん、という論理的思考で流しとるわけですよ。これ「パスカルの賭け」と言って、「神がおるかどうかなんてどうせ分からんから、いる方に賭けときゃ損ないやん」って由緒正しき思考であり、パチ屋のパンセです。

極論するが、「呪術」、「神性」、「非合理」、「怪力乱神」に触れようとしない、それを語ろうとしない人文学など何の存在意義もない。というか、「正しさ」なんて結局手続きにしか宿らんのだからそっちは法学とか政治学に任せて人文学は思う存分怪しげなものを辿っていけばいいはずなのだが、なんでお前らはそうなるんだ。手続きの明確さ以外が正義を体現する時が本当の地獄だといつも言っている

月末に出るポケモンの新作は、まさに「神秘を剥ぎ取る話」をやるはずなんですよね。100年以上前の北海道で、アルセウスを始めとする”カムイ”をモンスターボールという工業的に生み出された神殺しの力で討伐し、未開の地を近代の光で照らし出す。それを嚆矢として完成した帰結が現代です。

古文漢文と数理統計ではいずれもそれ自体は後々使用しないことになるにしろフィルターとしての機能が段違い。古文漢文ができることで示唆される能力は他の学問や仕事と殆ど関係ない。それへの興味の有無や先生との相性で得意不得意が決まる。しかし数理統計はそうではない。

公園で小学生がサッカーしてて、みんな「パスパス！ヘイヘイ！」とか言ってるのに1人だけずっと「心臓を捧げろ！心臓を捧げるのだ！」って叫んででかなり怖かった

「自分はエゴイストではない、自分は正義の人間であると信じ込んでいる人間程恐ろしいものはない。かかる人間が現代の多くの不幸を造っているのである。」各々一つくらいは社会に不適合な趣味嗜好を持っておくべきだ。そうしないと社会正義の闇に飲み込まれて正しいマンになってしまう。

この際に、女加害者の「私二次被害を受けて泣いてます。」が見えたので、一般論として、もう一度復習ですが、女が泣くときは防御ではなく「社会的に有利に立つために攻撃手段」なのです。証拠の現象として、もし、女だけの集団で「適当に泣く」もんならガン詰めされます。こちらからは以上です。

日本人の出生数が減ってるのは未婚率が上がってるからというのが人口学の定説というか、データが示す事実なんだけど、それを是正するために国家自らが「結婚はいいものですよ」という価値観を啓蒙しようとしても、もうどうしようもないんだろうな。「未婚は悪いとでもいうのか！」「未婚者にも平等な権利を与えろ！」「そもそも結婚とは、家庭とは女性を束縛する悪しき概念である！」「ヨーロッパを見習え！価値観をアップデートしろ！」って騒ぎ出す層が一定数いるだろうし。でも建前としても、国としてはやはり「子どもを産んでもろて」を捨てるわけにはいかんのよ、それが国存続の必要条件だから。

普段から女性ジェンダーのステレオタイプガーとか言うてアニメの絵に散々キャンセル仕掛けてきたさえぼうが困ったら「泣いちゃいそう」とまさに「涙は女の武器」みたいな女のステレオタイプな表象をまさに体現しちゃうなんて、自分で全ての言論が無意味な言い掛かりって言ってるようなもんやん。

修論で気が狂ったワイは同期に「ケモショタが『もれちゃう…』って言いながらおちんちんを抑えてステップ踏んでたらすごく興奮するけど、『禁を失わざる能わず』って言ってたら普通にキモいし、優等生キャラみたいでむしろ興奮するよね」と賛意を求めてしまって、普通に「え、なにそれ、きしょ 孔子？」と言われてしまった

ネットの記事「ゴム一本で簡単！抜け感まとめ髪！」

試したわたし「なんか変」

ネットの記事「簡単マフラー巻き方アレンジ！」

試したわたし「なんか変」

ネットの記事「3ステップで大人かわいい涙袋ができちゃう！」

試したわたし「なんか変」

就活でいうところの「最後は人で選びました」は、そもそも就活とは同じぐらい合理的な選択肢が複数あって迷い死にそうな中から、最終的に合理性を捨てておのれの直感を頼りにするしかないイベントであるという真理が現れている。だからこそ、一生懸命にリスクとベネフィットを天秤にかけて人生を決めるという一大行為の尊さが、そのセリフに詰め込まれている気がする。かといって就活をもう一度したいとは思わないが。

「もし～～だったらどうします？」という質問に「仮定のことは答えられない」って言う人がいるけど、企業のスポークスマンとかコールセンターみたいに言質を取られてはまずい状況でもなければ（日常会話のレイヤーならば）その回答はあまりにナンセンスなんじゃないか、と思ったが、世の中の大多数の人間は仮定に生ずる虚構性を前提とした会話をしないから、「仮定を考えても無意味」というのは現実的な（地に足を付けた）議論に繋がり、悪くはないとも感じる。まあ、自分が回答者なら親切に答えるぐらいしていいかもしれない。

バニラ求人のトラックが救急車のサイレン邪魔しないようにスピーカー切ってて感動した。邪なる清人(きよびと)じゃん。

先ほどのことばの世界夜ラジオで、「出川イングリッシュの凄さ」という話をしていました。「自分の英語力の足りなさをカバーしつつコミュニケーションの目的は達成する手練手管」と言ってもいいです。以前もつぶやいたことあるけどもう一度書きます。例えば出川は、ロスの街に放り出されて「天文台に行け」という指令を受けるわけですね。当然スマホ使用は禁止。天文台はobservatoryですが、出川はその単語を知らない。さあどうする。出川はそのへんの人を捕まえて「どぅゆーのー　すたーるっきんぐましーん」と聞くわけです。自分の知ってる単語で目的概念に最大限近づくの。そうすると聞かれた人が"...telescope?"と返してくるわけ。新しい単語ゲットだぜ。で、次は「どぅゆーのー　びっぐてれすこーぷ？」と聞くわけですよ。そうするとロスの地元民はあーグリフィス天文台のことね、とわかるので、それでobservatoryという単語がゲットできる。あとはバス停で行き方を聞けばクリア。というわけで出川哲郎が使ってるのは言語学者が未知の言語をフィールドワークするときに使うメソッドに類似しているなにかであり、あのスキルとあとは話しかけて折れない心があれば、まあ旅行程度なら大体どうにかなるわけです。天文台に行けと言われてまず最初に「すたーるっきんぐましーん」が出てくるかどうか、それを聞く勇気があるかどうか。出川イングリッシュを笑いものにするのは、それを考えてからでも遅くないと思います。

マイメロの件みててもわかるけど「公共の場！！！エロ！！！」が使えない場合「ジェンダーバイアスを助長する」でキャンセルしてくる。公共の場だからなんていうのは詭弁にすぎない。それで排除できないなら「ジェンダーバイアスや女性差別を助長でキャンセルカルチャーしてくる」んだわ。

この前、上司からセクハラを受けてると同僚に言われたんですけど、「上の方に申し立てたら？」と答えたら「自分の一声で上司の人生が崩壊するのに耐えられない」と反論されました。性犯罪者は即死刑論とかの人たちって多分半分冗談で言ってますけど、罪をひたすら重くしたら逆に誰もセクハラとか告発できなくなるんだろうなと思いました

泣く女の話題が流れてるけど、困ったら泣いてどうにかする女はカスみたいな男にはチヤホヤされるけどある程度のポジションを獲得してる男からはほとんど相手にされないか形だけ配慮されるので普通に腫れ物扱いなんだよな。泣いてる女をみてアピールチャンスだと守りに来る男なんざたかが知れてるやろ。泣くってのはそれは重大場面でこその「とっておき」なんだよ。 何でもかんでも泣きゃある程度の利益を得れてるから勘違いしてるんだろうし、環境を変えればある程度リセットされるから勘違いしてるんだろうけど歳をとったりひとつの所に居続ける限りは劣化するものなんよ。本当の本当にきつい時に助けて欲しい、ちゃんと一人の人間として扱ってもらいたいと思うならむやみに涙を流すもんじゃないと思うね。少なくとも自分の思い通りにいかないからという涙は幼稚園児の時に卒業しておくべきだと思うよ。

フェミニストが気に食わないフェミニストのことを「えせフェミ」呼ばわりするのは、ラッパーが他のラッパーを「フェイク野郎」と罵って自分こそがリアルだと主張するのと同じようなものだと思ってもらって構いません。革命の進行に伴い、革命的な勢力は必然的に穏健派と急進派に分裂し、元の勢力は板挟み状態になる。なので、革命をガチでやるならそうした分派を粛清することが必須なんですよ。その前座として解釈の幅が広い”正義”を用意しておくのは理に適っているのでしょう。最終的に暴力が正義を決めますからね。

吉野家で豚生姜焼き丼を頼むとき「ぶた生姜焼き丼下さい」と言ったら「生姜焼き丼ですね〜」とちょっと短くして復唱されて、短く復唱されたな〜と思ってたら厨房に戻った店員さんが「とん生姜焼き丼1つ」と注文を通していて、僕が読み方を間違ったのを恥ずかしくないように気をつかわれてしまっていた

実際、人文系以外の大学教員にも、「入試科目から古文漢文を外してもいいんじゃないか」と思ってる人、かなりの割合でいそうじゃないか。教科や入試科目として無くせと思っている人はそれほど多くなく、英語や数学と同等以上の必修扱いは過剰じゃね？程度の人が多い気がする。社会（地歴公民）や理科のように選択必修あたりが妥当では。日本史世界史地理政経倫理だって物化生地だってどれも修得させたいけど泣く泣く選択にしている訳で。

心理的安全性に関する授業に出たのだが、高度な事を学ぶと思いきや「5人前後の議論では実はだいたい2人だけが無自覚に7割近く話していてそのせいで他は意見を言えない。その2人はとにかく黙れ。特に偉い奴ほど黙れ」とか単純で、でも色んな場で試すと割とどこでも滅茶苦茶に効果があったのでお勧め。

全くお酒が飲めない人でも、ソフトドリンクを頼む際に「カルピスのソーダ割り」「烏龍茶のロック」「コーラのロック」と真顔で言えばわりとウケます。

都内の名門私立中高の生徒がSDGsを学んで海外の貧しい子どもを救うためにがんばっているが、隣の定時制高校の生徒の貧困には関心がない。だって、その人たちは、私と同じ環境なのに、努力しなかった人だから。(本当にそうなのか)

読んでいた小説に「優しさとは、しばしば奇妙な。理解を絶した何かなのだった。損得勘定からも、理知的な判断からも逸脱した、不合理な何か。」という文章があって美しかった

エレベーターで一緒になっただけの相手に「逃げるべき」と判断するの、ルッキズム以外の何だと言うのかという話で、やっぱり人間は安全かつ円滑に生きる上で「差別する能力」というのは必要なのである。

昔、当時湾岸で働いていたイラン人の知人に人生が虚しいと悩みを打ち明けたところ、彼女の友人にも私と似た悩みがあったが解決したらしい。そこでその解決策について聞くと「大麻、LSD、阿片等々あらゆる麻薬をキメたらどうでもよくなった」らしく参考にならなかった。その知人は結局コロナ禍で仕事を失いイランに帰ることになったが、去る時に「いつかイランに遊びに来てね！イランならどんなクスリも手に入るから一通り試させてあげる」という有り難いが受け入れにくい申し出を頂いた。

地平の果てまで広がる大麻畑を発見し小高い丘の突端であまりの出来事に打ち震えながら自分の職務を超えてオオカミのように高く長く遠吠えする麻薬探知犬

ナポレオンの辞書から分裂した「不可能」だけのザコ辞書

「175センチ以下は低身長」

に含まれる"ちいかわ"の部分

親に｢数学42点だった｣って言ったら、めちゃくちゃ怒ってたけど、｢(lAとllBの)どっちが？｣って聞かれて｢合わせて42｣って言ったら わいの戸籍消えた

中高生のときはもっと自分自身のことがデリケートな存在で、社会や世間への漠然とした不安があり、端的にいえば「生きづらい」状態だったのだが、大人になって感受性が鈍化し、そういった不安を含めて楽しめるようになった。もっと鈍化していくと、すぐ先に見えてくる死も全く怖くなくなるのだろうと思う。曾祖母が「もう十分長生きした、思い残すことはない、向こうでマサヨシさん（夫）もユウコさん（自分の息子の妻）も待っていてくれる」と口にする気持ちが、わかるようになる気がする。ああ、死が待ち遠しい。

ツナマヨ、好きなんだけど、ツナマヨにはツナマヨ特有の、脳のそこを捻られたらそりゃ美味いって感じるだろう、みたいな部分を直に捻ってくるようなズルの美味しさを感じる

ネットのコメントを読んで分断とか言い出す人ってアホなんじゃないか。ネットなんか極論しか書いてないんだから（これが極論）分断されてるように見えるのは当たり前だろう。言いたいことがない奴は黙ってる。現実世界と鏡を見ろ。ネットほど極端な奴はいるか？鏡の中にうつるお前ぐらいだ。

「人と人はわかりあえない」が真理なら「人の集合体である文化もまた、文化どうしで分かり合えない」もまた真理で、だからこそ排外主義や過激ナショナリズムがいつの時代もどこかで興隆しているのだろうと思う。しかしだからといって安易な愛国心に身をゆだねることが本当に「よい」ことなのか、私にはわからない。でも隣人ぐらいなら愛せるかもしれない。理念だけは捨てたくないと思う。

リベラル派には「自分の育った国が大好きだからこそ政府や国を批判する」という人と「こんな国出ていってやると思うから批判する」人の両方がいるので、慎重に見極める必要がある。前者はナショナリズムや愛国心を理解しうるため、保守思想が抱える問題点に通暁することも不可能ではない。思想としてダメなのは後者で、とかくトラウマの正当化に走りがちである（「満員電車で痴漢してくる男しかいない腐った国ジャップ」等）。トラウマがあることを否定はしないが、個人の憤懣や怨嗟をリベラリズムという糖衣に包んでお出しするだけであり、食べると死ぬ毒まんじゅうに過ぎず、討論を行う意味がない。限界系ネトウヨが嫌う「売国奴」はそういう人種を指していると思われる。

SDGsが貧困と環境問題を同時に解決しようとしている。ではここで問題です。原発を用いず、再生可能エネルギーだけで賄おうとして電気代が1.5倍になったとして（ゴッチや坂本龍一などのアーティストや朝日新聞はこの類の思想である）、その割を食うのはいったい誰でしょう。答えは貧困者でした。SDGsはすべての問題に序列をつけていないので、この矛盾を一体だれがどのように解決するのか、私気になります！

私は仕事だから介護できる。仕事だからです。家庭で認知症でオムツ外しも便いじりもして徘徊しまくる実の両親をワンオペ介護してくださいって言われたら、５日で心中するか逃げる自信がある。それぐらい無理。だから身内の介護してる人も、介護施設やサービスを使って少しでも無理しないでね。

「マイメロディのママの件について、なぜ取り下げたサンリオじゃなくて抗議したフェミニストに文句を言うんだ!」というツイートに、「それなら、エロ表現に触発されて性犯罪に走るのはその性犯罪者に文句言うべきで、エロ表現に文句言うのはおかしくないですか？」ってリプが来ててめっちゃ笑った。

バカは自分が理解できる言葉で語っている人(つまり同レベルかそれ以下のバカ)こそが正しいと考えるのです。

理系の学者がおかしな社会論ぶってても「俺たちには理解できない数学や物理の方は大丈夫なんやろ」という信頼は残るけど、それが専門でございと出てきた学者が社会や人間の雑語りやクソレスバしてたら「本業もどないなっとんねん」ってなるのは当然でしょ。人文学者のような人はご存知ないかも知れませんが、非アカデミアの市井の人間だってそれぞれ、何らか一家言持ってるわけだよ、自分の見える範囲の世界には。そうした点で、科学と人文では学問に対する大衆の信頼度は根本から違っているとも言える。これは学問に内在する性質そのものというより、見え方の問題ではあるが。だから、必ずしも再現性を担保しきれない学問を扱う場合、本来はより立ち居振る舞いに気をつける必要がある。

英国のジャーナリストであるダグラス・マレーは「西洋の自死」で、「知性と教養ある人間は自分達が育った文化を支えたり守ったりすることはなく、むしろ否定し攻撃し貶める事を義務だと思ってる」と分析したんだよな。要するにどの国においても教養は人間を凶暴にし、国土を荒廃させるらしい。毛沢東は「教養人は教養があるが故に地縁で繋がってる価値観の異なる自国民よりも、教養で繋がれる同じ価値観の他国民を同胞と認識して自国民を弾圧して忠誠を示そうとする。故に我々は教養人を弾圧される前に弾圧しなければならない」と主張したけど、良いも悪いも方法はともかく懸念自体は正しかった

司会「さあ押したのは伊沢！」

伊沢「野菜サラダ」

ブー

司会「おっと珍しい！次に押したのは鶴崎！」

鶴崎「アテネの学堂」

ピンポン

司会「さすが鶴崎しっかりと正解していく！」

鶴崎「(野菜サラダ…？)」

司会「(野菜サラダ…？)」

客席「(野菜サラダ…？)」

伊沢「(野菜サラダ…？)」

『現実の社会でも建設的な議論をするのは難しいのに、顔も名前も知らないネット内の人間を相手にキチンとした話し合いが成立する訳ないだろう。』という指摘は本当にその通り。ネットはあくまで異常言論を楽しむ場所である。

ベンチャー人事が「大企業はぬるま湯につかって市場価値が低い仕事しかできないのに賃金だけは高い」とか言うことがあるけど、ある意味で真理をついていて「個人が圧倒的成長とやらをできても賃金が高くなるとは限らず、ビジネスそのものの方がむしろ結構なインパクトがある」ってことなんだと思う。

皆既月食をいっしょに見ようと娘を外に連れ出しましたが、数分で「なんかこう、もっとバーンって爆発とかしてほしい」と言って家に帰っていきました。

この間『年収300万の経済学』を読み返したが、森永氏自身はそれを生み出した新自由主義的政策（具体的には派遣労働の解禁であったり郵政民営化であったり）に対してはかなり激烈な批判者であり、あくまで個人でできる自衛手段として、これを書いているところはあると思う。ただやっぱり、日本が貧しくなる速度、貧しくなることで決定的に失われてしまう部分については、彼の予想を超えていた部分はあると思う。たとえば彼は低賃金時代の対策として「副業」を上げて、趣味を活かしてネットオークションで稼ぐと書いていたのだけど、実際に我々が目にしているのは、何も興味がないテンバイヤーが買いあさった結果、店頭のガンプラが根こそぎにされる、という荒廃した光景である。転売の横行、「貧困が進むと治安が悪くなる」の本邦バージョンという面もあると思っている（窃盗やら強盗やらのガチな犯罪はしなくても、目先の小銭のための迷惑行為ぐらいはしてしまうようになる……転売に限らず、貧しくなればなるほど生きるためには他人の迷惑など考えていられなくなってしまうし、そうすれば多くの人の、余裕があればこその善意で支えられていた私たちの生活はいとも簡単に損なわれてしまう。そういうことを噛みしめている昨今である。

マイメロディー騒動も、なんか一部の政治運動に関心をもつと、アイロニーとかユーモアとか屈折した表現をうまく読めなくなる、みたいな問題に見える。両義的な表現に耐えられない、っていうか。

正しくて清らかな創作物を愛するTwitterPTAの人にはわからんだろうけど、世間的にズレてたりはみ出してる価値観を持って生きざるを得なかった人にとっては、その代言者だったり生き写しだったりするキャラが「生きがい」になることだってあるんだよな……と思うわけで。

「涙は女の武器」言説がジェンダーの観点から批判されるのは、それが主に男性側から繰り出される性差別的な抑圧（涙を流すに至る主張の中身や経緯などは無視される）だからであって、決して涙を流す女性そのものが批判されてるわけではないですね。同時に「涙は女の武器」言説は、男は涙を見せるもんじゃない、男が泣くのはみっともない、という男性の感情表出を抑圧するトキシックなマスキュリニティと表裏なので、やはり男性側からも排除すべきものです。

自分が考える『毒舌』、『言及対象への好悪や信頼関係とかを一切抜きにした上で、特徴・課題を的確に捉えた辛辣な表現』なので、罵倒対象を党派性で選ぶタイプの人はあんま『毒舌』だとは思わないところがある。あと、『毒舌』を向ける対象として自分を例外にしない、てのも個人的には割と重視したい。自分自身を批評対象に含めてバッサリ斬れない毒舌、なんかこうなまくらな感じがあるので。

「日本から来た留学生と異文化恋愛が始まった件」的な漫画、海外にはあるのかな。いつも和服を着ていてオスシ大好きデスみたいな片言を喋ったりするような。

死ぬというのは何もできなくなった者が最後に縋る希望。人が命をかけられるものは意外と少ないが、最も普遍的に死とトレードオフされるものが「主体性」「自己決定」であり、希死念慮の多くもそれにあたる。民族自決をかけて烈しい闘争に身を投じる者とモチベーションは同じ

ネットミームってつまるところ自前の言葉でコミュニケーション取れない雑魚が頼る定型文で、かつ閉じた世界を内側へ内側へと補強する身内ネタの符丁だから、客観的に見てシンプルに気持ち悪いという感想が発生する可能性があることは考えてから使いたいですね

本業は中世英語で本物の英語学者の副業のELIの先生に「言語学者とは、動物行動学者が動物を観察して法則（習性）を見つける様に、人々がどう話してるかを観察して法則（文法）を見つけるものであって、正しい文法を作るのはなく、正しい文法を見つけるものだ」と言われて超納得。なお社会学者。動物行動学者はライオンの行動を観察して見つけた習性を利用して何をしたら危ないとか警告したり火の輪くぐり仕込んだりする事は出来る。それは素人から見たらマジックの様に凄いが、習性を好きに弄って肉食を草食に変えたりは出来ないし、ライオンのあるべき姿を決めたりは出来ない。なお社会学者。

人の面子を潰したり、侮辱したり、ぶん殴れば、タダでは済まないって話。それは正義とか悪でどうにかなる話ではないし、必要に駆られた時だって配慮と言うか振る舞いはある。相手が悪だから無遠慮に叩き潰しで良いわけではない。

青汁飲むのをやめた家族がどんどん不幸になっていくCM

日本人が全員揃いに揃って日本オワコンキャンペーンしても何の意味もない。特にメディアの偏った報道には注意しましょう。「他国に比べて自分の国は本当に大丈夫か…」と思うのはどこの国民も同じなんで。人間そんな変わりませんし、今まで何千人の外国人と話してきたから分かります。あと海外移住がまるで夢のゴールかのような風潮があるけど、幻想すぎるやろ。そもそも日本国内でもそうですけど、「数年以上住んでからじゃないと見えてこないキツい部分」っていうのはどこにでもありますから。「海外に憧れて来てみたけどやっぱり日本が良い」って言う人山ほどおります。

生理の辛さを大きく訴え医療的対処の必要性を叫ぶほど、当然ながら生理は(治療対象である)｢病気｣に、生理がある女性は｢病人｣に近づいてゆくと思う。もちろん個人的には｢ぜひともそうすべきだ、だって実態として病気と変わらないもん。なんなら障害として扱ってもいい｣と思うけど、それが｢極めて生理の症状が強い一部以外の、女性｣にとって賛同される話かというと、まあ多分、違うんじゃないかなあ。

麻雀とかポーカーの良い所は、まぁ最新の研究とかは勉強した方がいいだろうけど、それはそれとして「リーチが強過ぎたのでナーフしました」「フルハウスは禁止になりました」「今月から役が10個増えます」みたいなのが無くて、多分数年ぶりにやっても普通に遊べること

心療内科でつらい理由を打ち明けようと思っていたのに…と絶望する人はわりと多いと思うんだけど、クリニックは長いお話ができる場ではないので『資格を持った』カウンセラー（←ここ大事。公認心理師なら国家資格）か精神保健福祉士に話してみるのが吉。あまり知られてないけどガチで頼りになる。「薬出せばいいと思ってる」っていうのよく聞くんだけど、そうなのよ、医師の仕事は「症状を」なんとかする薬を出すことなんだよね。話を聞いてくれる医者を求めて渡り歩いて絶望するのほんとにもったいない。お話を聞くお仕事が医師とは別にちゃんとあることはもっと知られてほしい。これは強く言いたいんだけど、配信者含め無料の相談は絶対に避けてほしい。軽い悩みならともかく受診を考えるような内容なら絶対に避けてほしい。相談に乗るのは"気持ちいい"し、自分の価値観全開の素人はうようよいるので下手なポイントに触れると相手の自己満足のためにトドメを刺されてしまう。はっきり言うと、「医者とかに相談するのハードル高いから気楽に相談できる相手が必要」と電話やネット配信で相談を受け付けている人が無自覚な患者側である場合はわりとある。

犬が口角を上げたり歯を見せたりして「笑う」ような表情をする理由が「自分と楽しそうに遊ぶ人間の笑顔を真似することで楽しい気持ちを表現しているから」なの最高すぎる

中学生のときに排他的経済水域を知ってから、ずっとここ埋めたいと思ってる

昔、「女の子が教室で半分おもらしした後、残りの半分を保健所に行って養護の先生の前で出す」みたいな官能小説を読んだのだけど、あれは虚構の中のエロだからなんとなく許容されるのであって、実際に「ここで出しちゃっていいよ」って言う先生、絶対いないと思う。自分だったら「待って待って待って待ってここで出さないでやめて」ってなる。

「4本足の犬2匹と、二本足の犬4匹は、足の数が同じでも、日本語の意味が違う」というのはその通りなんだけど、掛け算という演算に落とし込むプロセスはその違いを捨象することなので、どっちでもいいんですよ。意味を捨てることに本質的な重要性がある

コロナ対策では科学を重視する専門家も、その弊害に対して『政府が補償しろ』みたいなMMTカルト思想のようなことを言い出します。彼らの想像力はその程度。今の状態でばら撒けばインフレが加速して市民生活は破壊されます。アメリカ並みのインフレが来るだけで貧困家庭とか死ぬぜ。これは藤巻健三さんが年中言っているハイパーインフレのことではないです。今のアメリカや欧州で起きているような『普通のインフレ』が普通に起きるだけで、市民生活は破壊されるんです。オミクロンなんかより遥かに恐ろしく、もはや金のバラマキはリスクでしかないんですよ。「アメリカやヨーロッパは給料上がってるからいいじゃん！」と日本の多くのTwitter民は言いますが、今の欧米諸国のインフレ率は時給上昇率を2%以上上回ってるので実質賃金は多くの家庭で今年に限れば日本以上のマイナスなんですよね

昔、留年を続けてる後輩に飯食わせてたときに、人生は何かが上手く行かなくても続いて行くし、上手く行くも行かないも分岐なだけで、どちらが正解ということもないと思うよって話をしたら、「そういうことを言ってくれる人、みんな自分はちゃんと卒業して働いているんですよね」って言われたことある。

結構なご高説有難いんですが、ブラック企業批判と同じ話で「ではあなたは豊かさを手放せますか？」という問に首を縦に振れなきゃ、ただの夢想に過ぎないんですけどね。消費者としての我々の視点と、生産者としての我々の視点を合致させないと我儘に終わるんですよねこれ。俺は、ブラック企業批判自体は正義の暴走の一環と見ています。ブラック企業程、漫然とした悪認定を受けやすい存在は無いと思っていて、これに関しては右も左も男女問わずぶっ叩きまくりますよね。でも、ブラック企業的な仕事なんて世の中に溢れかえっていて、我々はその恩恵自体は手放そうとはしていない。恩恵は手放さないが、労働の対価は低くしたいんですから、そりゃブラック企業が減るわけが無い。所謂正義の暴走という「集団で誰かを叩いて気持ちよくなっている状態」は、別に反差別云々だけに限った話じゃなく、雑なブラック企業認定と叩きにも共通している話なんですよ。生理休暇が取れないのは確かにブラック企業かもしれません。でも、企業に対して「男も生理休暇並に休みを取れるようにすればいい」と放言するのは真勝手な理屈ですよね。「これ以上の豊かさはいらない」という言葉を噛み締めてから、ようやく労働のブラックさの批判をするべきなんじゃないですかね

主人公「何人殺した？」 悪役「知らんがここで1を足すことになる」

「命もないのに、殺し合う」って素晴らしいキャッチコピーだと思うけど脳内であるある探検隊のリズムに勝手に変換されてしまう笑

人間の「常識」なんてコロコロ変わる。今は実態のよくわからない「レインボー」をみんなで肯定しなくちゃというキャンペーン中だけど、ちょっと前までは「治療が必要な病気」だったわけ。ゴキブリやハエを「殺しちゃいけない大切な仲間」にブランディングするキャンペーンの社会実験などを見てみたい

個性は明らかに欠点に現れる

ぼく大型おなほで腰振って射精する時絶対俺の子を孕ませる気持ちで射精してる、なのに大型おなほなかなか孕まない

「競技から離れればいたって普通の高校生」という言い方は陳腐だなあと思っていたけど「競技から離れても常人離れした日常を送る高校生」がいたら周りの人は安心できないかもしれない｡

窓に貼ってたアルミホイルの効果が薄れてきたので交換するために剥がしたら、その瞬間に電波が家の中へ侵入してきて、アレクサが変な名前の高級食パン屋の宣伝を流しはじめた。

ヒップホップやクラブ等の「バッドボーイズ」文化圏は、そもそもおカタい人らからの評価なんか望んでもいないだろうから、いくら外からけしからん！けしからん！と喚いても、なーんも響かん、痛手にならん。ああいう人達を動かす力、恐れるものは、「良い子という評価」じゃない、別のものだ。

部活に限らず町内会がまさにそうだけど「任意なんだから拒否できる」ということになると存続できなくなるものが世の中にたくさんあって，そろそろそういうものが「いまの形態ではもう存続できない」ということを直視する時が来ているのだと思う。

育児アプリとかに「お腹の赤ちゃんにたくさん話しかけましょう！」って言われるんだけど、自分のお腹に向かって話しかけるというのがどうにもハードルが高くて「おはようございます、母親です」が精一杯。お腹に人見知りしてる。

フォロワー3万人超えると、治安が悪いリプライとかつくようになって、フォロワー4万人超えると、つぶやくと他のインフルエンサーから槍飛んでくることがある。たぶん10万人とか行くと、いちいち人からのリプライや引用を気にしてたら死ぬので「人がゴミのようだ」くらいの強い心が必要になるのだろう

アメリカの医療は金がかかってヤバい、日本の医療は凄い、という話はTwitterでよく見るし実際そうなんだけど噂に聞くところによると途上国では手術する前に患者家族が自分で薬を買い揃えなきゃいけないところが結構あるらしくて手術中に薬が足りなくなって中断したりするらしいね。日本の医療のヤバいところを挙げるとすれば例えばCTが異常に普及してるせいで国民が被曝しまくってること、精神科病院の入院病床が異常に多くて何十年も入院している人がたくさんいること、新薬の承認が遅いこと、とかかな…。

【ニュースサイト版の玉音放送】

耐え難きを.........[続きを読む]

スマホのニュースサイトの「続きを読む」の下くらいにあっさり目の広告を載せてさらにその下に「もっと見る」のボタンを置き広告に飛ばすデザインを発明した人が飼ってる猫の腎臓壊れてほしい

文脈を理解せず単語にだけ反応してくるツイッター名物クソリプマンですが、彼らのツイートを注意深く観察すると、実生活の過剰なストレスが原因で読解力が低下している事が分かります。悪いのは環境です。ツイを憎んで人を憎まず。ご飯食べて、暖かくして寝てください。寝てる間にブロックしとくから。

「『われわれ』はこういう「文化的背景」を「共有」しているのだ」という認識を植え付ける道具として古典あるいは歴史（自国史）が利用される程度の話は分かっておきなさいよ。各国の「古典」がそれぞれの国で重要視されてるのはそれが「自国」と「他国」を区別して認識される装置になりうるからでしょ。教育を「行う」ものと教育を「定める」ものの意図の違いも認識してねえのかって話になるのよ。それを踏まえたうえでだからこそ教科書検定という場であんだけせめぎあいが起こるんでしょ。定めるものと行うもので求めるものがズレるんだから。もっといやぁ国家が教育に対して求めるものがねえなら検定いらんのよ試験の水準満たせると思うなら好きなの使えなのよ。そうじゃないでしょ。古典教育を減らせというつもりは私にはあんまりないが、それはそれとしてその意義について教養一点突破だ国家に騙されないだしかいわないのは「教育が誰によって提供され誰によって基準が定められているか」を無視した空論でしょって話なんですよ

転職など重大な決断するときは「日常から離れる」をおすすめします。ホテルや温泉宿に泊まり、何もせずにぼんやりして、美味しいものを食べてから考えます。その「ストレスフリーな状態」から、導き出す結論がおそらく最善策です。場所を変えて、エネルギーMAX状態にすると見えるものはありますよ。

インターネットの喧嘩、絶対的に「頭の回転が早い人間には勝つことができない」という場所なんだけど、「頭の回転が早い人も粘着質の暇人には勝つことができない」というのがある。さらに、「現実世界でヤッちゃう人間には誰も勝てない」という裏技が存在する。

通ってるお医者さん、Googleのレビューに「医者がすぐ知らないっていう」って星1がついてたので若干不安だったけど、実際に行ったらおっちゃんのお医者さん「えっ？その薬知らないな…」って言ってデスクに立ててる医学書を引き始めたので今も通い続けてる

ヨアソビに曲作り依頼して子供に歌わせて踊らせてパプリカ2的に流行らせようとしてあんまうまくいってないの「あ、よし」と思ってます

相手から引き出したい答えの真逆を極端にして問いかける手法。

「酒をやめる気は10のうちゼロ？」

「いや、1くらいはある」

「なぜ0じゃなく1？」

「家族に心配かけてるし」

望む方向の質問は逆効果。

「お酒やめられそうですか？」

「ムリ」

「どうして？」

「付き合いあるし」

母「博士号取ったら教授になれるんでしょ？」

私「普通免許取ったらF1ドライバーになれますか？」

燃えてる時に押し寄せる引用RTからレスバおっ始めるのって基本的に「勝てる！！」と思えるくらいわかりやすく事実誤認があったり汚い言葉使ってるやつをピックしてるのでギャラリーにはちぎっては投げちぎっては投げみたいに見えるけど実際は雑魚狩りしてるだけですからね。

でも政治の中心を「霞ケ関」みたいに呼ぶの結構かっこいいから政治の中心を移設したらちょっと困るな。「霞ケ関が黙ってませんよ」だと迫力があるけど「大宮が黙ってませんよ」だとまぁちょっとくらい無視してもいいかなってなるもんな

ボランティアは無私の人間でなければならない、という変な縛り、「思枠」があるけれど、そんなの要らんと思う。ボランティアは神様じゃない。人間。ただ、同じ人間として、ほっとけないから何かできることをするというだけ。嫌になったらやめていい。それがボランティアだと思う。

「教養を身につけろ。教養がないと冗談が全てセクハラかパワハラになるぞ。」という発言が非常に差別的で、今どきこれやったら普通にパワハラ扱いはありそう。

故意の人「終電 逃しちゃったね」

桁違いの金持ち「増やす？」

大学院で恋愛するな、合コンで論文書くぞ。

恋愛は精神的に自立しているもの同士でしか成立しない貴族的娯楽なので、娯楽にしたかったら精神的に自立するしかないし、精神的に自立できなければ苦しむしかない。

「○○さん、これから音声設定に入ります」みたいな、登場人物が本編で設定画面の使い方を教えてくれるのが好き。あくまでストーリーと切り離されて、プレイヤーのためだけの無機質な設定なのに、ストーリーキャラがやってくれるのがサービス精神でいいな～と思う。メタいし、しかもそういったメタさがうまくゲームの世界観（ネタバレ）と嚙み合っているとさらにいい。ニーア・オートマタなんかまさにそうだったな。

学会と比べてアベ（ちんぽを見せろ、モリカケで刑務所にぶち込め、嫁がアレだ、仮病だ、無能だと言われ続けても民間人に一切のリアクションを起こさず職務を続けた真の漢）が如何に寛容だったかばかりが際立っていく

現代の小学校におけるゲームはコミュニケーションツールなので、それを無理矢理親が奪うことは虐待に他ならず、大切な何かが欠落した人間ができるだけですぬ。灘に行こうがハーバードに行こうが幼少期に味わった疎外感は埋められないんだけど、みんな子供の幸せを願ってるんだもんね、仕方ないよね。「ゲームをやめさせて灘に受かりました」とTwitterでドヤる親も「子供に絶対ゲームをやらせません」と語る立派な経歴の人も、目の前の子供に向き合わずにキラキラした学歴で飾り付けることが最終目的になってて超ウケる。自分の思う通りに動くペットが欲しいなら血統書付きの犬でも飼えば良いのに。

一般の人は「知能指数が高いこと」に価値を置きたがるけど知能指数の実際の利用で社会的行政的、あるいは医療福祉的に意味を持っているのは「知能が低いこと」だけなのよね。知能が100でも150でも200でも社会制度からなにか別扱いされることはない。平均以上の知能であれば知能の高低が適応に大きく影響することはないし、なんなら知能が高すぎて不適応になることすらあると思う。

ゼンリンミュージアムで見た西洋人による日本の各種古地図では、どんなに日本の形が真実と違っていても、石見銀山だけはしっかり記載してあって、地図の主観性と人間の欲望について考えさせられます。

娘がなぜママは上野千鶴子が嫌いなのかと聞くので「この人は、ママがパパと結婚したということはママはパパの奴隷だ、という考えを持っているからだよ」と答えたら、「そんなわけない」と言って大爆笑していた。さらに「それじゃ日本が滅ぶじゃん」というので、それがこの人の狙いだよと教えておいた。

学者は一般社会の常識を疑い物申すのが仕事という部分もありますが、それは学者世間の常識に対しても向けなければならないものでしょう。学者が下にみがちないわゆる世間の常識、もまた学者の気づかないところで変容しアップデートされてるもので、固定的な旧弊とは限らない。世間の常識、がつねに旧弊で差別的で隠された抑圧構造を再生産しており批判的に相対化されるべき、みたいなところからは少なくとももはや降りるべき時がきてるんですよ。

世間、慣習、社会常識、大体時間をかけて集合知に基づいて社会の安定に最適化されてるので驚くほど合目的的に出来てるんで、個人がパッと思いついた程度の事は大体既に二万回位検討されてきた上での不採用というのは、世界初のビジネスモデルとか大騒ぎしてNDA抱えてるスタートアップも知っとくべき。

「大学院で修士取って研究開発職でホワイト企業に就職、世間の平均よりもちょっといいお賃金で転勤はなく結婚・出産・育休取得からの復帰という正社員の福利厚生をフル活用して専門性を活かしたやりがいのあるお仕事がしたい」が凡人の本音なのに修羅の道を歩ませようとする人たちなんなんだろうな

「映画は90分がベスト説」に関して三一十先生が「長い夢を見ると夢の途中なのに「あっ！これは夢だ」とわかる時があるように、映画を見てて「コレは映画だ！」とあらためて気付かされる瞬間が90分あたりにある」と指摘しておられた。コレは本当にすごい指摘だと思うよ。これは100億RTされないとダメだ。思うに最近ディズニー系の映画は客が90分あたりで「映画と気付く＝夢から覚める」ことに意識的なのではないか。例えばピクサー系の映画では「主人公の憧れの存在が実は今ゲス野郎だったと分かる」という展開がよくある。主人公は一度夢から覚めるワケだ。多分それはその90分あたりにある描写ではないか。客が「映画から覚める」のと、人物が「夢から覚める」が完全に一致してるワケだ。だが、映画も人生も続く。主人公は再び、今度は自分の力で自分自身の夢を生み出していく。その「自分で自分の夢を作る」行為と、観客が「映画と知りつつ、再び映画へ没入していく」行為は完全にリンクしているのだと思う。今、ネトフリでシン・ゴジラを見てみた。90分目、牧元教授の暗号化資料の解読についに成功し、矢口プラン実現の糸口をつかんだ場面であった。核攻撃実行計画で希望をなくしつつあった人物も観客も、再び夢の世界へ戻っていく。

バイト前あるある

仮眠すると悪い夢を見る

昔「ハイヒンカイシュー」という行事が何か月かに一回あり、その時は朝7時か8時からマンションに住む人たちが一斉に集まり、階段の下にある変な箱から何かを取り出したり、何かをゴミ捨て場に運んでいったことを覚えている（それが何だったのかは全く思い出せない）。それが「廃品回収」という漢字4文字であることを知ったのは中学生になってようやくだったし、そのころのことを全く覚えていないぐらい稀な出来事だったのだろうが、小学生の自分にとっては合法に早起きして（当時、休日の朝7時とは間違いなく「大人な」「違法な」時間帯だったと思う）ほかの子たちと交流できる…そんな「行事」であることに間違いはなかった。廃品回収が終わった後に集まってマリオカートをしたり、誰かと誰かが遊戯王をするのを横で眺めたり。その後どうしたのか、たぶんそれぞれ帰宅して二度寝に入ったのだろうが、それさえも全く覚えていない。あれは記憶の特異点だったんじゃないか。大人になってみれば大したこともない小さなイベントや建物を、後からその部分に限って鮮明に思い出せるという現象は誰にでも起きていて、案外そういう記憶の断片的特異点こそ、その人の記憶とか感情とか人格のコアに影響を与えているんじゃないか。塾講師として子どもに接する時、自分のどんなふるまいや言葉がその子の記憶に染み付くかわかったものではなく、それが少し怖い。

幼少期にとあるイタリアレストランに行ったことがある。その店ではお客さんが退屈しないように机に小さな迷路（プラスチックか何かでフタがしてあって、木のボールをゴールまで移動させるタイプの迷路）が置いてあった。食べ終わって離席するときに若いカップルの席にあるその迷路を見つけて、それを取りに行こうとするも両親に引っ張られて店を出る…というところできれいに記憶がなくなっている。その話を両親にしたところ「そんな店行ったっけ？」「迷路…？」という感じだったので、店の内装とかカップル連れの年齢とか、迷路の形を必死に説明したのだが全く覚えていなかった。あれが夢だったのかそれとも記憶なのか、誰にも確かめようがなくなってしまった。その部分の思い出だけ自分自身のあらゆるものからぽっかりと宙に浮いていて現実感がない。これからも末永く生き続けるだろうとは思うが、きっとあんな幻想的な記憶が作られることはないんじゃないか、あるいは認知症になったとしたら、ずっとその夢だけが繰り返し、レコードみたいに流れてたりするんだろうか…。

住民自治は民主主義の基本だからなあ。自分から自治権手放すと様々な交渉力が消える。際限のない自由社会は強い者が弱肉強食の俺ルールを弱者に押し付ける社会。ソフトモヒカン未来が来る

長時間風呂入らなかったあとの全く泡立たないシャンプー癖になる

ジョイマンの"なんだコイツの方"というどちらとも取れる説明

「Twitterする余裕はあるんですね」という言葉がありますが、例えば、起き上がるのに20GBくらい必要だとしたら、Twitterするのはだいたい2KBくらいです。

私は法律家の端くれなので、職場に内容証明が届いてもまったく動じないし、仮に弁護士の名前で来ていたら、それがむしろ弁護士として問題があると解説することもできる。しかし、一般の方には恐怖だろうね。まして、立場の弱い任期付教員とか非常勤教員ならば。社会生活上の倫理の問題でもあるね。

精神遅滞やASDが受動的な会話になるのは連想だけで思考を回してるからだよな。なぜ逆に我々は連想に縛られずに段取りを立てられるのか。ASDが予定変更でパニックになるのは要するに「全パターンの組み合わせを総当たりで連想として丸暗記してるから」だよな

消防署「119です 火事ですか？救急ですか？」

新築の家が燃えてる人「終わりです」

精神遅滞に「イライラする」という口癖はありふれているけど、我々が「イライラする」のはズレたタイル貼りや下手なボケツッコミのようにパターンを外す結果であって、パターン予想が苦手で考えもしていない精神遅滞は何にイライラしているのか、彼らの見ている世界とは

「ラーメン」と注文を受けたので持っていくと「チャーシューメンにして」と言われたので作り直すと「タンメンがいいかな〜」言われて作り直した挙句「あ〜やっぱチャーハンにするわ」がまかり通るのがデザインの世界。おかしすぎるだろw（そして金額はラーメン分しかもらえない）

得意を伸ばしていきましょうという時の「得意」は、人と比べて上手いということではなく、自分の中でやっていてもそんなに苦ではないということですって話はよくする。

仕事は「石の上にも3年」と言われますが、ここにこだわりすぎないでください。理由は自分に合わない職場は「かなりキツい」からです。常に頭がフル回転状態になるのに、ミス連発で気疲れと劣等感の日々になります。ここでメンタル崩すとあらゆるものに自信なくすので、ほどほどにしてくださいね。

「石の上にも三年、きつくても仕事は全力で取り組まないかん」というお偉いさんに「どれぐらいきつかったらですかね？パワハラだったらどの程度まで耐えればいいんでしょう…」って聞くとたいてい「い、いや…そこまでは言ってないけど…一般論としてだな…」って困惑なさるんだけど、じゃあ石の上にも三年って言う意味がなくないか、って思う。そんな「明日は晴れか雨か曇りです」程度の当然さのこと言われてもなぁ～。一般論すぎて「変なこと聞いちゃってすみません…ぜひともがんばります…」ぐらいの返ししかできない。そんなに私が「すぐ辞めそう」な顔をしてるのかわからんが、私だってやるときはやらないとな～ぐらいは心の中で思ってますよ。合うなら多少きつくても一生そこで働きたいとも。そのうえで「どれぐらいきついところまでは耐えなきゃいけないのか」っていう度合いの話をしたいのに、そこらへんのニュアンスがイマイチ伝わらない。

セックスなんか犬だってしてる。詩を書け。歌を歌え。

「正義の暴走こそが危ない」という文をどうも撃つ側も撃たれる側も本気にしていないのは、結局の所あまり誰も「手続き」こそがいわゆる正当性そのものであると言い切ってしまえないからではないのか、と思うことがある。私はちょっとおかしいので割と心底からそう信じているのだが。「正義に悖るように見える法だがその運用は人治を廃して厳正に行われており、それを皆が信じている」事態と、「正義に適っているように見える法だが担当者の胸先三寸次第で、それを皆が信じている」事態、どちらが歓迎すべきかという話、いやそりゃいいとこ取りがいいけどね。マスのレベルを語るのなら何が正義かという2500年やっても決着しそうにない話をするより、もっと手続きの話をした方が色々生産的だろうと思うんで知識人にはそういう役割を期待してるんだがねぇ。みなさん地味な話はお嫌いなようで。はっきりと、「手続きの適正性こそが正義の本体である」と言い切ってしまおうか。無論、全世界どこでもそうとは思っていないが。「お前は楽観的にすぎる」と言われるのかも知れないが、日本みたいな国なら法の中身なんてのは手続きが適正であればそう悪い方には転がらんのだからどっちを護持すべきかって言ったらそりゃ手続きの方でしょ、という感覚なんですわ。というより、手続きを軽視する方の弊害がデカすぎる。今絶賛活動中のタリバンくんがむちゃくちゃをやるのも、その要因は末端を掌握できずに愚連隊みたいのが手続き無視で暴れてるっていう中身以前の問題がほとんどでしょ。結局、「漸進」と「手続き」が弱い者を守るのである。当の弱い者が急進と例外を叫んだとしても。正義の根幹は「手続き」であって、断じて「目標」ではない。大事なのは相手の口を塞ぐことではなく、手続きを遵守し、お互い丁重に無視し合うことである。手続きが全てに優先する

何らかの自由をどう制限するかという話において、それが規定の（ここ大事）手続きによるべきか、それ以外の「ご意見」のみで決めるべきかの部分で全く話が噛み合わない。立憲共産シンパで日頃護憲だ護憲だ煩いような方も全然前者の意味を評価していない。手続きが先。内容は後。「社会的合意」で言論、表現の自由にオレ流コード作りたいって話なら、極論そんな憲法守る意味ねえだろ。改憲でもなんでもすりゃいいじゃない。何言ってんのか分かってんのかなアレ。割と何回か言ってますけど、「暴力」の持つ悪しき本質って殴る蹴るだけの話ではなくて、それを行使する側の基準が被害者に分からないってことにあるんですよ。そういう意味で、「社会的合意」なんて後からでっち上げうる概念は暴力そのものだよ。極論、むち打ち刑もその運用基準が厳格なら暴力とは言えない。大体、手続きに信用があるから、我々は人間を何年も牢屋につないだり縛り首にすることに基本合意している。そして手続きの運用に多大な疑義があるなら刑罰や抑圧の行使もやめましょう、という理路のはずなんだよな、本来は。手続きの明確さ以外が正義を体現する時が本当の地獄だといつも言っている

そういえばむかし飛行機で乗り合わせた60代くらいの日本人男性に話しかけられたとき、最低限の自己紹介が終わると即これまでどのような仕事をしてきたかという語りが延々と続いて、この人はそれ以外のコミュニケーションを知らないんだなと思ったのを、教養がないと話題がなくなるという話で思い出した。この人と仲良くなりたいと思ったときにどんな話題のカードを切れるか、切るべきなのかということなんですよね。ベトナムに向かう飛行機で隣に座っていたピアスだらけのバックパッカーに商社の人脈を紹介しても仕方ないだろうに、それ以外に切れるカードがないんだろうな……とか考えてた。いや、わざわざそんな紳士が怪しい兄ちゃんに話しかけてきてるんだから彼なりの冒険心が発揮されたんだと思いますが、マウントするなとか自慢するなとか急にいわれてもじゃあ次のカードがスムーズに出せるかというと難しい話なんですよね。自分のメインの仕事の顔からできるだけ価値観の遠いところでもう一つ顔を持つと両方にいい味が出てくるというツイッターで回ってたアドバイス、大事だよなあと思う。

過去の失敗をリフレインしてしまうとき、卒論の指導教授の「10年以上前の自分は他者だと思っていい」という言葉に何度も救われている

「パズルのような高校数学が得意だっただけ」的な声を時折見かけるけど、高校と大学以降とで数学に質的な違いがあるというよりは、高校では学習要領が明確に定まっていて、巨大な受験産業がそれを反復練習可能にする努力を続けたことで「パズル化に成功した」と見る方が妥当な気がする。大学以降の数学でも同等規模の教育産業があればきっとパズル化されると思います。逆に1変数の微分積分とか、大学並の素っ気なさで書かれたテキストしかなかったら脱落者も出まくるだろうし、到底パズルなんて揶揄できるものではないだろうと思います。

ゲームにハマる理由の1つとして「現実世界では中々上がらない能力が比較的簡単に上がり、クリアできなかったところも何度かトライするとできるようになる。普段の社会生活では得難い成功体験が得られ、自己肯定感が上がるからでは」という説を唱えていた友人がいました。私は一理あると思っています。

本当に賢い人は説明も上手いとか、教養のある人は話が面白いとか、別にそんなことないと思う。コミュニケーションの上手さはそれはそれで独立した技能だし、コミュニケーションの上手さの背後に「教養」みたいな別の才能が隠れているとは限らない。口だけ上手い奴に騙されますよ。

Twitterでやたら大事にされてる「表現の自由」とか「人権」って本当は存在しないから自分がハンマーを持つ側にならないと殺されるといった話

「映画を見るなら朝イチの回がいい。その映画を見るために早起きをしたような人達ばかりだからトラブルが少ない」わかる気がする。

火葬屋だけど、今日新卒採用の面接したら、ヤバイ子がいた。より多くの人を火葬して売り上げに貢献できるよう頑張りたいです、ってアピールしてきた。

クライアントの経営者と『組織は成長してたら百難隠すし皆ハッピーな居場所を作れるが成長してないとどうしても澱んでくる』と話した事あるんだけど、今話題の人文アカデミアの騒動を見てると（詳細はよく知らないが）やはり『椅子の数が限られてる世界』は次々と不幸を呼び込んでしまうなと感じる。自分は大学のサークルの人事みたいのがトラウマになって『椅子の数が決まってる組織はオレほんと無理』と思ってそういう状況からは逃げ続けてきた人生って感じなので、騒動自体見ててちょっと辛い気持ちになる。

これは本当に何度も言いますけど、大学教員が指導関係にある学生の試験解答や授業アンケートの内容を、個人が特定できる形ではなくても否定的に言及してtwitterで盛り上がっているのを何度も見てますが、これはかなりアカハラという点でまずいのではないかとずっと思ってますからね。

道徳を論理設計された概念構造・対象として分析や操作をすることは、当人の道徳性とは無関係に可能。コンピューターでだって処理できる。自分に適用しようとしさえしなければね

「酒がアカンようにするのではなく、その人が元々アカン人だということを酒が暴く」という有名な言葉があるけど、ヤフコメやTwitterで誹謗中傷が多いのもSNSが人をアカンようにするのではなく、匿名であることやその場の雰囲気に流されることでその人間のアカン本性を曝け出しているだけなのだろうな。

なんだかんだいって藤原竜也は「いや夜神月ではなくない？」「いやカイジではなくない？」「いや志々雄真実ではなくない？」をすべて藤原竜也という圧倒的存在感でゴリゴリに押し通してきた前歴があるからハリーポッターくらい何でもないんだろうけどハリーポッターではなくない？？？

中学にいたクソ不良の女先輩、英語だけはメチャメチャ上手で、英語教師から発音の手本として英文の朗読を録音されるレベルだったんだけど、なぜ英語だけ上手なのかというと、自動車の窃盗で生計を立てている外国人の男と付き合っていたからなんだよな。やっぱり語学は実地が大切なんだと実感しました。

海底ケーブルの話題がニュースになって、初めて海底ケーブルの存在を知った人がその存在を疑ってるの好き。でも突然「世界中をメチャメチャ長いケーブルで繋いでます！」とか言われても信じられないよな。さらに「江戸時代には既にありました！」なんて言われたらもっと信じられないよな。わかるよ。

小２の宿題「自分の名前の由来を聞いてみよう」に対し特にない由来をなんかそれらしくでっちあげる、創造力を試される時期がやって参りました。（二年ぶり二回目）

僕が大学で一番世話になった人がまさにそうだったんだけど、人文系で圧倒的業績残してる上に学生教育にも心血ゴリゴリに注ぎつつ「ふーんインターネット…興味ないですね…研究とか君達を教えるので僕は忙しいんで…」みたいな人は確かに存在するんですよね。表の"運動"には一切出てこないだけで。なので普段ツイッターで"運動"ばかりやってる人文系アカデミア見てると、普段大学で何してるんだろう…？という気持ちには正直なるし、なんか十把一絡げにクソみたいに言われるのもモニョモニョはするんですよね。いやクソみたいな奴も実際いっぱいいたけれども。僕の先生は「ふーん…そういう話がしたいんだ…ならこれ来週までに読んできて個別にレポート書いて出してください。『＜民主＞と＜愛国＞』（966ページ）ドン！！！！！」みたいな鬼みたいな人でしたが、それはもう面白いこと沢山学ばせてくれて、そういう人はツイッターなんて日頃してないんですよ。

世の中には「このマンガはウケてるから良いものだ」という価値観しかない人がたくさんいる。しょうがないんだろうけど、悲しいことだなとも思う。コンテンツが良いか悪いかぐらい、己の審美眼で決めたいよね。自分のセンスを大衆に売り渡すべきではない。作り手目線で言わせてもらいますと、「バズってる！すごい！」と褒められるのはあまり嬉しくないです。クリエイターは「良いものを作っているかどうか」で評価されるべきだから。ぜひ、「バズってるかどうか」より「良いものかどうか」を見てください。良いものを作れるように毎日頑張ってます。

話がまじでつまらない人というのはいるけど、話がつまらないからその人の内面が豊かでないと断ずるのは他人のこと舐めすぎだと思う。

「まったくここはひどいインターネットですね。皆さんはひとの痛みがわからないのでしょうか。匿名だからといって無責任な発言が多すぎますよ」という名文が投稿されたのが2002年。今年で20周年か

Ｑ：勉強すると「差別」しなくなる理由を述べよ。

Ａ：「自分のこれは「差別」ではないとする理論」がうまくなるから。

この前、VRChatのとあるワールドで定期的にジーってベルのような音が鳴っていて「隠し要素か！？」って探し回っていたのだけど、みんなに聞くと？？？って反応でおかしいなと思いイヤホン外してみたら住んでるマンションの火災報知機が鳴っていたらしく、こうやって人は死ぬんだろうなと思いました。なお外に出てみたけど誤動作だったのかなんなのか既に人が撤収しており何があったのか全くわからなく、明らかに「出遅れた」事実を突きつけられたのがなかなかショックだった。なんか煙いと思っていたら大火災、とか部屋が暑いと思って振り向いたら炎に取り囲まれてるとかありそうだなと背筋が凍った。地震に気がつかない話もそうだけど、ヘッドフォン着けてるよりも遥かに基底現実の情報が遮断されるから、火災報知機みたいな「通常の状態で気がつくように設計されている情報提示の方法」が機能しなくなる、という現象はImmesive型VRの一つの課題としてあるよなと真面目に実感しました

教養が必要な理由として「春はあげぽよ」がわからないって説明を見たけど、世界中の教養のある人の大部分はそのダジャレを面白いとは思わないので「内輪受けの、外の人には面白くない冗談」のたぐいでは…。個人的には「春はあげぽよ」はクスッとするんだけど「これを理解できるようになるために教養が必要だ！」と言われると「いやこれ理解できる必要ってある？」という気持ちになる

「別にいつ死んでもいいかなと思って暮らしてるんよね」って言うと「病んでるんですか？」って聞かれるんだけど、「死にたくない！」と思いながら生きるよりよほど健全なのではないか。「いつ死んでもいいように生きてる」というのは当人の後悔のなさのあらわれなのに、精神の不健康を読み取る「世間」の感性が興味深いな、皮肉とかではなく。もしかすると「まだ若いのにそんなことを考えるなんて）病んでるんですか？」という暗黙がありそう。お年寄りが言うような達観が見出されてるから「病んでる」ってことなのかね。死ぬのが怖いという人の話をよくよく聞くと「痛い死に方が怖い」という話であって死ぬこと自体は別に怖くないみたいなことがよくある

フォロワーの性癖を把握しておく利点は確かにあって、えちえちな絵がTLに流されてしまって見つからないときに「あいつのいいね欄かリツイートにありそうだな...」って探すと大体見つかります

シコる回数があまりに多いせいで4回目なんかもうシコりながら虚しい、悲しい、辛い、どうしようもないみたいな気持ちを抱えながらエンドに至ることがある、誰か俺を救ってくれ。あの時の感情は言葉にしづらいが、何やってんだ俺…みたいな感じじゃないんだよな、小さい時に街で道に迷って、出発しなきゃよかったとか暗くなってきたとか遠くまで行き過ぎたとか考えながら泣きそうになってくる感じの追い込まれ方

人より頭が良い人間が知力で他人を攻撃するのは、強いことの証明にはならんのよ。それ体育会系の力自慢と同じですから。むしろ抑制の方にこそ価値がある。

何度か書いてきたことですが「バイトテロ」問題と同じなんですね。「職業倫理」の欠いた者のために所属集団の善悪とは全く関係ないところで印象が悪化する。一般企業と同じ対応すればいいよ。まず「すみません」次に「よく注意します」それから「ごく一部のことです」最後に「これからもよろしく」うちには責任なんてねぇよ！実態知らん外野がガタガタ言うなよ！は、世間には逆ギレに映ります。こういう対応も含めて「問われている」のです。「そんなハラスメント体質じゃないのに、おかしいな、でも何かあるのかな」と内省する態度が「自浄」の一歩ではあるでしょう。その内省の結果、何の問題もないのなら、堂々としてればいいです。「バイトが裸で冷蔵庫に入った写真をツイッターに上げて問題化した、コンビニの店長」の対応を見る気分で考えてみてください。第三者から信頼と同情を集めるチャンスなんですよ。いらねーつーんなら、それまでです。名前を出すだけでご迷惑とは思うので、書きませんが、某研究室も我々の社会が、お金を出し合って「研究頑張って社会を良くしてね」と委嘱することで成立している機関な訳でして、社会の信頼を失ったらアウトなんですよ。人文学が減税とバーターになったらどうするんですか。その意味で、この騒動から今一度、大学人の方々が考えるべきなのは、社会的分業における大学人の職業倫理なんですよ。頭のいい先生方なら2秒で済むことです。逆ギレ居直り、かっこ悪いです。

僕は関西人なので、大東京に来てからも、関西弁を隠す事はしません。営業業務ではないので。でも東京にいると、時に自分の関西弁が都市の調和を乱しているような孤立感を覚えます。そんな時、「阪急電車」のような関西弁の映画やドラマを観た後は、心置き無く、本当の関西弁を解き放つ事ができます。

語学の教材とかに「死ぬ」という動詞の1人称の変化形が載ってて、「私は死んだ」みたいな過去形なんていつ使うんだよ、死んだらそのセリフ言えないだろと思ってたら異世界転生ものの翻訳だと「私は今さっき死んだばかりだ」みたいな現在完了形とか普通に出てくるし1人称近接過去死無いと物語始まらん。あと盲点なのはゲームで遊んでる時の自分のプレーヤーキャラが死んだ時も「I died」とか「I've been killed」に当たる表現が出てくる。日本語だと主語を省略して「うわ死んだ」みたいに言うので人称が明示されず、画面の中のキャラが死んだのか、それを操る「私」の出来事として死んだのか区別が無い。

①敵を作ろう

中国でも自民党でも野党でも慶応でもJTCでもフェミでも男でもマスコミでも何でも良いから、敵を作って叩きましょう。主語は大きければ大きいほど良いです。徹底的に口汚く罵りましょう。大半の人は眉をひそめるでしょうが、今の世の中で生きづらさを感じてるフレンズに刺されば勝ちです。

②デマを流そう

人間はストーリーが好きです。バスの中で子供がグズれば運転手さんがアナウンスで擁護して乗客は拍手喝采だし、新型コロナにかかった中国人は関空から脱出します。それっぽい物語を沢山作って発信を続けましょう。どうせ大半の人間は事実かフェイクかの判断する能力はありません。

③謝らない

強い言葉で見当違いのことを書いてると、ネットで物申したい人たちがシュバってきます。全部無視しましょう。なんならブロックもOK。レスバなんて百害あって一利なし、とにかく身内に向けて発信を続けましょう。気持ち良くなりたいだけの、読解力も思考力もない人達があなたの味方です。

④ウケたエピソードは再利用

バズったネタは手を替え品を替え繰り返し投稿しましょう。①-③を繰り返していると、記憶力が鶏並みのお友達が沢山フォローしてくれます。整合性など考えず、彼らの琴線を鷲掴みにしてガンガン音色を響かせましょう。リユースやリサイクルはSDGsでESGです、自信を持って！

⑤遠慮なくパクろう

他人のウケたネタは恥も外聞もなくパクりましょう。誰が発信元かなんて人々は気にしてません。人民の目に届けばあなたの勝ちです。なんなら画像もモロパクり！著作権？何それ美味しいの？今更倫理観とか言い出すのはやめてください、その程度の覚悟でTwitterをやってたんですか？

…という訳で、①-⑤をフル活用する人々が目立つ限界ついったランドですが、こういう輩はブロックかミュートして平和なタイムラインを築きましょう。どの界隈でも今すぐスマホを捨てて精神科行ったほうが良いタイプのフレンズが増えている印象があるんだけど、コロナのせいですかね。こわやこわや。

オタクの暴れた自慢見ると、中学生の時にブチ切れて椅子投げようとしたけど持ち上げたらフラついて、諦めて代わりに上履きを脱いで床に叩きつけた同級生を思い出すんだよな。あいつ俺の2倍くらいガタイあったんだけど

「需要」ってのが多くの人には実感として分からないんじゃないかなと思う時がある。学者や公務員の様に物を売った事が無い人はもちろん、営業マンでさえ与えられた条件で如何に売れるかを工夫するだけだからね。まぁ例えて言えば追い風の中走るのか向かい風で走るのかくらいの違いは感じるわな。別に上から目線で言うつもりは全く無いが法人税や消費税、社会保険料を実際に自分で支払った事のある人は少数だろう。払ってみれば分かる、いかに税制や政策が会社の運営に影響を及ぼすのか。毎年2回赤字で有ろうが無かろうが数百万円納めなきゃってのは、恐怖でしかないですよ。実体験からして給料の上がらない原因の一つは確実に消費税に有ると断言出来ます。

大学の恩師が学部生に「研究書をたった一回読んだくらいで理解したと思うな。私たちはその一冊を書くために一生をかけてる」って良く言ってた。どんなものにも多大な労力はかかってる。

何かを指摘した人が逆ギレで暴力被害に遭うと「そんなことするから暴力被害に遭うんだぞ」と暴力側の肩を持つ発言をしてしまうインターネットのおたく、何故そんなに暴力に従順なのか謎。2chによく書き込まれてたスカッ系の創作実話のオチでも知り合いの怖い兄ちゃんが出てきてボコボコにするやつが定番のオチになっており、暴力側になると気持ちいいという人々の素朴な感情からそういう構成になっているんだろうなというのを感じる。暴力を信奉すると物事の解釈が単純になって難しいことを考えずに済むので人生が楽になって魅力的なんだろうなというのも割と感じる

現代人、「合わない人とは無理せず離れる」を徹底してる結果、他者と折り合いをつけるとか擦り合わせるとかの技術や習慣を培わないしまま歳を重ね、勝手に「孤独だ」と嘆いている気がする。僕は10代後半〜20歳前後と比べたら格段にそういった技術や習慣は身についたと思う。それでも中の下くらいだろうし、相変わらず「合わない人とは無理せず離れる」ことには積極的に取り組んでいる。総じて、ちょっとはマシになった。「誰も私のことをわかってくれない」と嘆く人は、果たして他者のことをどれだけわかっているのか？わかろうとしてるのか？「合わない人とは無理せず離れる」を大正義とする社会は、「最初から魅力的でないならお前のことなんて誰も好きになろうとはしてくれない」社会なのではと僕は勝手に怯えてる。9割方は「合わない人とは無理せず離れる」でよいと思うのだけど、せめて5%から10%くらいは、人をわかろうとか好きになろうとか、ほんのりと努めて生きていきたい。

論理的に考えて到底人類が人類である限り実現不可能な理想を掲げそれに少しでも疑問を挟めば冷笑的と罵る過剰な高潔さをリベラルが纏ってしまったが故に、その理想に同調するだけでリベラル面したクズが大手を振って歩いてしまう、という事にワインスタインを見てもまだ気づかない連中に何を望めよう。冷笑の孤独に耐え得る精神を持たないままで既存の価値観を懐疑することしかしなかった者達の断末魔の叫びが冷笑系という言葉になって溢れ出てきただけなんだろう。

うろ覚えだけど、前にラジオで「エシカル（あるいはエコ、ロハス、sustainable、SDGs）はちっとも難しいことではなく、感性に従って自分のよいと思うことをすれば自然に達成できる」と言っていて、すごく危ない発想だと思った。何が本当に「よいこと」なのか、感性なんかに任せるとほんとに危ない。「あなたは正しい」「理解できない、難しいことを言ってくる人は信用するな」「直感が常に正しい」と言ったほうがウケるからだろうけど、飼い猫を大自然の中でのびのび遊ばせてやるほうが「よいこと」なのか、そんなことにすら感性は間違った答えを出すのだ。素朴な感覚が大間違いな答えを出すことがある。問題は一般に複雑で、最後はできる限りの計算をして数値で比較してどちらがよりよいかを考えねばならない。感情に任せるのではなく時には苦しくても結果に従う、というのが人間の理性だろう。

それはそれとして、悪質発言のRTが爆伸びしたときに、本来そういう悪質ジョークを求めていない層にまで悪質ジョークがリーチしてしまう、みたいな問題はあると思っていて、ワンクリックで情報が一気に拡散出来る情報化社会も色々考えものだなと思わざるをえない。確か『キノの旅』だったと思うけど、思ったことを瞬時に相手に伝えられるテレパス社会の国で、互いに「伝えたくないこと」「伝わってはいけないこと」まで瞬時に伝わってしまい、もはや国民同士向き合ってコミュニケーション出来なくなる、て寓話があって、色々なんか先取りしてたよなと思う。得てして我々、お互いにコミュニケーションを取って相互理解を深めれば争いは起きなくなる、て考えがちですけど、ツイッターランド見てると、どう考えても君らがコミュニケーション取ってるせいで新しい戦場が産まれているよね？みたいな例散見されてとてもつらい。

ラインのトーク履歴は常に監視され、匿名ではあるが内容がサーバに送られ、その内容に合った広告を自動表示してくれるらしい。それを聞いた私は喜び勇んで相手に向かって「ケモショタ！おもらし！ショタパンツ！ケモショタ！」などと毎秒送信し続けていたが、トーク相手が警視庁公式アカウントだったため、わいせつ物陳列罪の容疑で現行犯逮捕され、裁判もなしに死刑になった。

人間、この数百年でめちゃくちゃ生活が変わってるけど別に進化したとかではなく記録による知の集積が可能になっただけなので、条件が揃いさえすれば魔女狩りとか普通にやるし、別に過去を知ったところでそれを止められるわけでもないっぽいし、歴史上の"過ち"とされる出来事は割と繰り返しそう

僕のイメージする「教養のある人の会話」は、お互いに大量の「相手の知らない知識」を持っている人が、会話の状況に合わせてその知識を出してきて、相手が「その知識面白いね！」という「知識の交換」なわけだ。「共通の知識を前提とした冗談」とは対極に近い。相手が何かを知らなかった時に「お前はこんなことも知らないのか」と言うのは、テーブルマナーに例えるなら相手がフィンガーボールの水を飲んだ時に指差してゲラゲラ笑うようなもの。マナーがわかってるとは言えない。表層的な知識はあっても、その知識の適切な運用を理解していない。教養も同じ

「調べれば調べるほど私がやろうと思っていたことは、すでに誰かがやっていて、私が卒論で研究する意味が見出せません」という相談が舞い込んできましたが、そこに気づけたのは良いことなので、次のハードルを用意しました。これに気づかずに進む人も多いので、繰り返しますがこれは良いことです。

「火葬って怖いよね。死んでるから何も反応できなくても、脳が焼かれるまでは意識があるかもしれない。」って言う人、大丈夫頭は腐敗しやすいから、後頭部にドライアイスつけるんで、脳が凍っていますから脳も物理的に動きません。

日本で若者の貧困が問題になっている話を聞くが、LAの若者もそんな感じになっている気がする。18歳になったら家を出る、というのが元々のアメリカの習慣・文化であったらしいが、今やそれはほぼ不可能。文字通り生まれた時から知ってる子達はもう成人する歳になってきているけど、独り立ちできる給料を貰っている若者は殆どおらず、ほぼ皆実家暮らし。車と保険の支払いだけでやっと、みたいな子もいる。実家も家計が苦しいので、子供達の給料も合わせて何とかしているところもある。元々賢くて良い大学行けたり、学生のうちからインターンしたり、手に職をつけたりした子達は、運が良ければまあまあの職を見つける事もある、が、自分の周りではホント少数。若者にとって、安定した給料を貰って安定して生活費を賄うようになるまでの壁が異常に厚い。良い大学行くのも、親に相当お金があるか、相当頭が良くて全額支給の奨学金を獲得しない限り、学生ローンで大借金を抱えながら卒業する事になる。因みにこちらの大学の費用はバカ高い。その返済に何年かかる事か。普通に破産宣告をしても消えず、呪いのように付きまとう学生ローン。しかもそんな大借金を背負って卒業しても、ちゃんとした職に就けるという保証は何処にもない。未経験者を正社員として歓迎してくれる職場はとても少ない。そう思うと、日本の企業の一斉新卒採用の習慣は、若者にある程度公平に機会を与えるシステムになっていて、意外に悪くない。一応普通にまじめに大学行って就活したら、高望みしすぎなければ、取り敢えず安定した給料を貰える正社員になれる可能性は高い。唯一問題は、新卒だけの特権という事かしら。眠れないので、そんな事を長々綴ってしまった。周りの若者達が職が見つからない、ようやく見つかったけどコミッション制で、これならマクドナルドで働いたほうがずっといい、とか、とにかく皆苦労している話を聞くので、大変だな〜と。アメリカの給料はいい、と言われるが、本当に良い給料を貰えているのは一部の人間だけと思う。大半は、一家に一人働き手がいるだけではとてもやっていけない。そういう意味では日本と変わらないか、むしろ日本より酷い。あくまで自分の印象ですが。

大体のゲームに関して、ある程度のラインに達した瞬間「あ、私の能力だとこれ以上強くなるにはマジで全国行く部活くらい真剣にやらないといけない」となる瞬間があって、そのモチベでやりたいと思えるゲームは少ないので、その辺で冷めて引退することが多い

「飲尿リツイート」という機能がある、リツイートのたびに尿を飲まされる最悪のSNS

ツイートから生活臭がする人（家族や家事や育児ネタなどが多い）はあまり暴走せず、抽象的な理屈だけを延々と論じてる人は暴走しがちな感じはする

A「ふざけるな！」

B「なんだと？お前こっちこいや！」

C「うるせえ！黙ってろ！」

D「そっちこそ黙ってろ！」

みたいなのを複数人がやってたら意味わからんけど、これがニコニコ動画のコメント欄なんよね。

ずっとセンター試験や大学入試の話してるおじさん、たとえるなら寛永年間になってもまだ関ヶ原や大坂の陣の話してる老武士みたいなものかな

研修医の頃、オペ中に怒鳴りまくってきた上司に術後逐一凸してどこが悪かったか次にはどうすれば良いかを事細かに聞きまくってたら逆に上司が俺を避けるようになったエピソードは需要なさそうだな。

軽くzoom飲みやってたら黒歴史暴露会になって、友人が「新入社員の頃、アメリカ育ちを匂わせるために距離や重さをついヤード・ポンドで言ってしまい、慌ててメートル・グラムで言い直す癖のある人を演じてたんだけど、上司に千葉生まれ千葉育ちなのばらされた」が優勝した。

ファクトチェックしてないけど顔が整ってるほど知能高いとか、高学歴女性は生理痛が強くないとか、そういう相関を噂に聞くし、精神疾患で寿命は縮むし、学歴と収入は相関するし、天は二物を与えないどころか知力・体力・外見・収入まとめて与えてくるんだよなあ

子育てして分かったこと

【結論】

「子による」

ここでおれの好きな音を発表する

・ハイヒールや革靴など、底の硬い靴で病院の床を歩く音（→シルベーヌに似ている）

・ぶどう狩りや梨狩りでもらえる紙袋をがさごそする音（→ポテトチップスに似ている）

・髪を切られる音（→足先がくすぐったくなる）

・ウィンカーの音（→キャンディに似ている）

理系学問はSTAP細胞事件ひとつとっても痛みを乗り越えてスパッと問題ある研究者をパージしたのに対し、文系学問は市民からかなりの疑問の声があがっても妙にくねくねした状態が続いてるよなあ

悩みながらも着々と前に進んでいる人って、

・仮の決断

・期間を決めて実行

している人が多い気がする。

答えが出ないような悩みも「たぶんこうだろう。こうだ、ということにしよう」と仮に決めて、「とりあえず一ヶ月間、これで試してみよう」と、悩むのもそこそこにとりあえず動き始める。

私が理解するところでは、差別の本質は、怖いという感情を刺激するものを身の回りから排除しておきたいという感情で、だから自分に自信がない人ほど差別的になりがち。逆に自己肯定感がしっかりしていれば、怖くても耐えられるので差別したい感情と戦える。自分が恐怖を感じていると認めたくないと、強がって、相手を見下したり、罵ったりするわけで。表現の自由のもとに罵ったりする自由はあるかもしれないけど、同時に「なんでそんなことを言うの？」と問う自由もある。キャンセルカルチャー以前はこれがストッパーの役目を担っていた。このストッパー機能を壊しちゃったのが「はい、論破」タイプのディベート型議論だ。内容ではなく、論理的な整合性のほころびさえ指摘すれば、相手を黙らせられると学んでしまった人が大量発生してしまった。ほころびを見つけたら、いつまでもそこにこだわるので、内容が吹っ飛んでしまう。me too 運動は、性暴力被害にまつわる理不尽さを訴えている間はフェミニスト運動だったのだが、男性身体への恐怖を打ち出した瞬間に差別になってしまった。恐怖に基づく主張は差別とつーつーなのだ。

電車の中で誰かが気狂いにボコボコにされてるときにたまたま武器になりそうなもの（バットとか）を持ってたとしてもオーバーキルになったらこっちが罪に問われるだろうし、かといって素手で止めに入れるわけないからどうしようもないだろうな。

ウクライナ情勢、自分の頭にあるのは「サーベルは相手を威嚇する時はガチャガチャとうるさい音をたてるが、鞘から抜く時は音がしないものだ」という言葉。

iPhone8がトレンド入りしてるから俺が好きな話をするね。中国の女性が通販サイトでiPhone7を注文したら、iPhone3とiPhone4と融合カードが送られてきた話が1番好き

ゲームの中の自分のこと自分じゃないと思ってるからマインクラフトの主人公もタテ2ドットの家に住ませてた。

「沈黙は金」「口は災いの元」ていう言葉、処世術でも戒めでもなくて、単にこの世界に対する絶望から絞り出された悲鳴と後悔だよな

権力勾配だか差別だかがあるから女性は男性に何を言ってもいいが逆は絶対に許されない、ってのは「女であることに甘えてる」と何が違うの？　真面目にわからない。言葉を飾ってそれらしくしてるつもりにしか見えないけど。チャリと自転車の違い、みたいな。

ふざけて叱られたときの発言は自分でも納得して消せるけど、自分では真剣に感じて言ったことを書いて「ふざけるな」と叱られることもあり、そういうときは自己判断で消したあともうーんとなり続けてしまう。

反ワクチン界隈を見ていると「世界には自分の知的能力で答えが分からないことがある」という事実が不安かつ屈辱的なので、分からない部分を結果ありきで穴埋めする、みたいな思考をしてるからここに複雑な説明を与えても理解できず弾かれて終わりだろうなと思う。反ワクチン界隈に限らずよく見かける。これ「分からないから穴埋めする」というか、分かってないことすら分かってない気がするな。機械学習がエラー判定せず無理やり分類するのに似てるんだよな。

大の大人が庭付き一戸建てを所有し子供2人以上を大学出せるだけの給与を払うってところから逆算しないと継続可能な資本主義って成立しねえのよ。株価がどーのとか寝言う前に生活を見ろ。

日々会社の上層部に対する怒りと憎しみを糧に生きている。そんな非生産的な生き方はやめようよ、というのは全く正論だが、そういうふうになんのてらいもなく言える人は幸福な人なのだ、という自覚は持ってほしい。

給料が低いことについて「誰がこんな国にした！？」って言ってる人が多いけど、この民主主義資本主義国家において誰か悪代官がいるわけでもなく、こんな国にしたのは我々国民（少なくとも国民の多数派）であるのだが、自分がこんな国にしたことに関与した自覚がないのだからどうしようもない。低賃金に喘ぐ労働者、増税に苦しむ生活者、人件費を抑えたい経営者、税金を集めたい政治家や官僚、全員が共犯関係にある。

宇宙開発に携わってる人が宇宙開発を題材にしたマンガを楽しめないの、実妹がいるから妹モノで抜けないのと同じ

『人はレトリックでは揺さぶられない』そうであってほしいけど、あんまりそうではないような気がするんだよなー。優れたレトリックは不器用な真心を簡単に凌駕するし、だから詐欺師という仕事が成立するんだと思うんすわ。もちろんレトリックだけでは動かせない人もいますけど、あまり多くはなさそう。まあ一般的に『人間の言葉よりも行動に注目した方がよい』ぐらいは言えると思うのだけど、腕のいい詐欺師はここらへんもきっちりカバーしてくるので強い。犯罪行為だけどプロの仕事だ、って謎の敬意を持ってしまうことがある。被害者になるとそうも言っていられないとは思うのだけど、徹底的に磨き上げられた『技術』というものには善悪を越えた感嘆の念を抱いてしまう。真っ当な人間の思考ではないんだけど、自分の根っこのところにそういう価値観が埋まってる。話が逸れたけど、優れたレトリックが持つ破壊力というのは極めて大きい一方で、身に余る強いレトリックを運用するとその力に振り回されて滅びることになりがちよね。

たとえば、ツイッターで「死ね死ね死ね死ね」と罵倒している人、「死ね」とちゃんとその回数入力するのか、それとも「死ね」をCtrl+C, Ctrl+Vするのか。

誰もみていなくても、何万年も昔からきっと月は美しかったし、山奥にひっそり咲く水仙の花もきっと美しいんですよね。観客が訪れる前の劇場で、人知れず行われるゲネプロに、そんな美しさを感じます。美しさは、誰かがそれを見て初めて発生するものと、もちろん私はひとまず理解しつつ。しかしもしかしたら、「３億年前の月もきっと美しかった」と私が今想像したとたん、３億年前の月は美しくなるんじゃないか。時はそうやって遡ることもあるんじゃないか、などと思うのです。

「この国は人権踏みにじるから子供を産まない」という人文系学者のツイートを見たが、果たして出生率高い国ほど人権高い国か？人権低い国、人権低い時代がより子供を産んだ現象なんて火を見るより明らか。これが「価値観」しか語らない学問の慣れの果ての姿。「事実」を語れないくせに科学を自称する。価値の話しかしないなら評論家でいいのに、なぜ人間を研究する科学者を自称するのよ。あ、それも含めてイデオロギーの中の世界の話か。自己完結してて無敵ですね。

「時間さえかければ解ける」やつが算数で、「公式忘れたらどうにもならねえ」やつが数学って感じ。

小学3年のとき、小学校のグラウンドに向かう坂道を寝転がって下りる遊びに熱中していたことがあり、ある日前歯が少し欠けたのだが、その欠けがいつの間にかなくなっており「世界線を移動したのか…？」ってなってる

私、元アニメーターだから最初現実にこだわりすぎたアニメ業界漫画を描きたいと意気込んでたんだけど初代担当に「リアルにこだわりすぎるとつまらなくなる。リアルとリアリティは違う。エンタメ作品に必要なのはリアリティ、読者にそれっぽいと思わせて面白ければ勝ち」と言われ目が覚めたんですよ。

犬笛、トランプのツイッターあたりからよく聞くようになったけど、これ、むしろ「犬笛を吹く奴がいる」ではなく「犬笛を"聞いてしまう"奴がいる」として使うのが正しいと思うんよな。そして、その犬笛の音色を聞いてしまう能力者は、イデオロギー問わずいる。

我々が電車に乗る時その運賃には当然キセル乗車野郎がズルをして払わなかった分も乗っているわけだが、そんなもの原理的に一意に定まる数字でないので、できるだけ不公平感を緩和するために薄くする以上の方策はないのだ。あらゆる制度の不正受給も同じことが言えて、ある意味「見なかったこと」にして前へ進めないとそもそものサービス自体が破綻する。そういう意味で、「俺は賢く不正をやってやった」と言い募るバカもそのコストを過大評価して広く被害者意識を植え付けるバカも同罪なんだよ。

あのバンドの新譜が出るまでまだ死ねない。あの試合を観るまでまだ死ねない。あのアイドルが引退するまでまだ死ねない。あの監督の新作が公開するまでまだ死ねない。あのアニメが完結するまでまだ死ねない。あの店であれを食べるまでまだ死ねない。趣味は寿命を伸ばしてくれる

正義フォビアなんて言葉も一部で流通したりしましたが、正義というのは「それが実現しないことへの被害者意識」の温床なんですよ、実際の所。この被害者意識というのが本当に良くない。残忍な行為に及ぶ人間は殆どがこれに囚われているからして。

ある年配の方が昔"暴力の素質"について、『談笑中にいきなり目を突き刺されてもノータイムって刺し返せるヤツは素質がある。なんで！？ってなるヤツは素質がない。素質がないヤツは素質があるヤツに最後には絶対勝てない。現代日本なんだから暴力以外で争え。』って話をしてたのを急に思い出した。躊躇なく暴力が行使できる人はいるし、そいつは頭のネジが外れていて常人の論理が通用しないから何してくるか分からん。例え腕力で優っていても少なくとも暴力で関わるんじゃないよ。というお説法だった。とても勉強になった。

フィクションなどを自身の道徳優位性を主張するためのダシにしてる人たち、それを指摘されても全部被害者ヅラで乗り越えるだけだから話が全く噛み合わない。魂のステージが違う。今年も「対話の不可能性」の話はしつこくやろう。分断は埋めるもんじゃない。片側を小さくして切り捨てるものだ。「お目覚め」していない、相対的に穏当で健全な判断力を有する人をどれだけ動員するか、ということを常に考えなければならない。政治は数。数は力。衆愚は全て善とは思わないが、少なくとも寡頭よりはマシと言わざるを得ない。

「自己肯定感」っていうのは「もっと理想の自分にならないといけない」ではなく、「まぁこんなもんでいいか。完璧な人間なんていないしな」と思うことで保たれる。

夜歩く時190cm 120kgになりたい

Twitterは高年収正義派が圧倒的多数だけど、金よりやりがいを重視する選択も間違いではないということは認識しておいて欲しい。これはもう宗教の違いに近く、高年収正義派からは「負け惜しみ」だの「自己正当化してるだけ」だの言われますがね。そりゃ年収は高い方がいいが、だからといって面白くもない仕事をしたいかと言われると。ぶっちゃけ700〜800万円貰えたらあとは自己満足の世界だと思いますわ。もっと年収あげるもよし、プライベートを優先するもよし、今の仕事を楽しむもよしです。

量産型女子とか量産型新社会人とか言われるが、量産型は一番必要とされている一番需要に近い存在であり、量産品になれる品質があることを誇るべきであり、「俺は量産型にはならない」とか言うやつは、特別な存在ではなく、大半が検品で弾かれた不良品である自覚がない。

固形型栄養補助剤Aはやっぱり照れる

まだまだ俺は流動型発育補助液Cでいいや

キャンセルカルチャーの一件で改めて確認できたのは、法律よりも守るべきルールがあると信じている人間は遵法精神が薄いから、いずれ自分たちの価値体系を守るために法律違反に手を染めるし、それができなければ自家撞着に陥るだけという事実だよな。

「ここでダメならどこでもダメ」ほど当てにならない言葉はないと思っています。ジャングルのサバイバル生活にオフィスワークの常識なんていらないわけだし。

インド人やアラブ人は基本的に謝罪せず言い訳をする。「ごめん」「申し訳ない」はまずない（日本文化に馴染んでる人は違うだろうが）。これはあの本多勝一もベドウィンで体感した通りで、謝ったらリアルに死ぬ（殺される）文化だったからだろう。謝っても謝らなくても殺されるなら謝罪に意味はない。謝罪が成立するのは許す気がある人達に対してのみだ。許す気がない人達になんか謝っても意味はない。となればみんな自分の正当性を主張し続けるし、もし隙きあらば刺し殺してやろうというつもりになるわけよ。そういうもんやで。これは人間の普遍的な心理やろ。だから近代国家ちゅうもんを作ったのに。基本的人権やそれ以前の宗教にしたって、言い換えれば全部「赦し」なんだよ。基本的に全部が許されてるんだよ、何を言うのもやるのもさ。みんな謝れるしみんな許すという制度を作ろうとしたんだよ。無限に「罪人」に石投げてんじゃないよ。オマエに「罪」はないのか。

統合失調症の人なんかが主張する「電波」、ラジオが普及する前は「黒い手紙（読むといつの間にか消える」とか「黒い服の人に命令される」とかだったそうですね。怪異も時代によって変わっていくという事で

「罪のない者だけが石を投げよ」と言われたら2000年前の人でも「そう言われてみると自分にもなぁ……」と自省して思いとどまることができたのに、いまのTwitterで「ヤァヤァ正義は我に有り！」になって延々と他人に石投げ続ける人達、さては2000年くらい前から来たローマ帝国市民だな？

さっきウォークインクローゼットでよろめいて壁にぶつかったらちょうど背中でボタンを押してしまって電気が点いたので「うわー！これ古代遺跡でよくあるやつー！」とテンションが上がりました。

定時制高校時代に何度か友人と「おれらは将来どうなるのか」みたいな話をしたことがあるが、友人の中国人の「日本は警察も刑務所も拷問しないから何も心配することはない」という話でいつも終わってしまった。

個人的には「義務教育で古典漢文をやる意味があるのか？」って問われたら「日本には大抵の諸外国に優越する長い歴史があると実感することで、国粋主義を涵養し国民国家への忠誠心を高める素晴らしい効果がある」って言うけど、専門家はそういうこと言われると何故か嫌がるからね。

「日本人には人権概念がうまく理解できない」っての、出羽守の定番だったけど昨今の「最高峰の人文学者」の有り様を見ると本当だったんだなと納得した。日本人は人権概念を「学んでも理解できない」「研究対象にしていてすら理解できない」って、もうはっきり認めたほうが良さそう。他国民だからとか関係なく、自国内で日常的に人権を蹂躙しているから、外国人労働者や戦争捕虜に対して、あるいは自分たちが海外に出たときに現地住民に対して、人権を気軽に蹂躙してしまうのだろうな。

【安弁当あるある】

フライの味ではなく、フライを食べているという感覚で強引に白飯をすすめる

読んでいる5割の人が気付くようなお話の穴は当然塞がないといけないと思いますが、1割の人しか気付かない穴があったとして、その穴を塞ぐためには3コマ分の説明コマが必要だとしたら、その3コマ分の説明を読む必要がなかった9割の人に読ませるよりは、穴を開けっぱなしにしておく方をぼくは選びます。

現代のリベラリズムやフェミニズムは、日常生活にいたるまで個人の存在のあり方を強制する欲望となってしまった。ドラッカーがWWⅡの前夜に「過去２００年の西洋の歴史において、あらゆるファシズム全体主義が、それぞれのリベラリズムから発している」といったことが現代でも変わらず再現している。それこそ資生堂の化粧品からは「美白」という言葉が消された。まことに珍妙な話である。「人種の多様性議論に配慮」したとして、肌色を人種差別の根拠とした欧米価値観が押し付けられ、表現の多様性がどんどん失われていくのだ。まさに「多様性」という言葉が世界を均質化していることを象徴している。現代日本の広告界隈は、いつのまにか「男性が料理をつくり、女性はそれを食べるだけの人になっている」――社会正義の圧迫による営々たる積み重ねの結果だ。「男が料理をつくってもいいし、女性が料理を作ってもいい」が本来の多様性ではないか。多くの人は、あまりに「ゆでガエル理論」的にじわじわ進む同質化状況に、どれだけ危機的な状況になっているか気づいていないようだ。しかし、忘れないでほしい。なにかを排撃したい不快感とは、すぐに「これは社会に悪影響がある」という社会正義と安易に結びつくのだ。お母さん食堂も女子高生たちの抗議は、要約すれば｢食事をつくるのはお母さんという無意識の偏見を、コンビニという生活に密着したメディアが拡散し、助長する！」という論理で、「悪影響」を言い出したのだ。なんのエビデンスもない傲慢な要求が当たり前のように私企業のブランド名変更を要求するのだ。戸定梨香へのフェミ議連の抗議も「大きな胸が揺れます」と指摘した後、「性犯罪誘発の懸念」という。やはり「悪影響」という。この「社会正義」は「こんな乳がでかくて揺れる女性VTuberなどは性犯罪を誘発するんだ」とほとんど「人権」侵害に等しいことを言い立てるわけです

以前から「うちの子にセックス描写のある本は古典名作といえども読ませないで。成人してから本人が必要だと思ったら読むでしょう」と言ってくる親はいたそうなんだけど、学校の課題図書（アメリカでは教科書ではなく指定本を一冊読む）自体を「清浄化」しちゃうのはどこの洗脳国家？だよなあ。

前にも書いたけど体格と筋力でまさる人たちと劣る人たちが一緒に暮らしていられるのは、勝る人たちが自らの暴力を封じ込めて生きているから。これは自制であり、耐えるということであり、日常になっていて、そのぶんつらさを背負って生きている。なぜフェミは理解しようとしないのか。男の子は成長する過程で、パワーを自制するようたぶん自然に教育されていて、耐えるのが日常化というか人生にすらなっているかもしれない。男も女もそれぞれのつらさがあるのを理解するのが優しさってもんじゃないですかね。それが人生の深みっていうものだと思いますよ。一人ずつリングに上げて理性のスイッチ切ったらで思い出したけど、某所でシーク教徒のターバン巻いたものすごい紳士とすれ違う機会があって、あとから引退したタイガー・ジェット・シンだと聞いて、しかも彼の善行の数々を知ってのけぞりました。狂える虎なのに。

思いがけず離婚することになり、夫がいない自由さを知ってしまった。みんなが当たり前のようにやっている「夫婦」という形態。これを続けるのは本当に大変なことだ。お互いが同じくらい努力出来れば良いが、大抵どちらかの犠牲で成り立っている。もう他人と暮らせない。私は我慢を忘れてしまった。夫も同じように思っているだろう。「結婚したら一緒に暮らす」というのが当たり前の世の中で結婚したものだから、とにかく疑問にも思わず一緒に暮らしてきたわけだが、2人でひとつの人生を歩むというのは、よほどお互いを思いやれないと…私たちには難しくて、今は1人、ひとつの人生をやってみている。

いや、なんか世の中にはわりと「ズル・裏手・奇策をやれば一発逆転・ウハウハ・まともに努力する必要なし」みたいな謎の世界観を持ってる層がいるんだよね。あれ「自分がうまくいかないのは自分の能力が低いのではなく他人がズルをしてるからだ」という信念こじらせた結果だと今は思ってる。そういうタイプの人「裏攻略法」みたいなのが好きな結果、へんな情報商材とかセミナーとか自己啓発にハマっちゃいがちで、カモられてる度合いは一般より高そうなんだけど、なぜか本人は自分が他人を出し抜く存在でコツコツやる人をバカにしてるからこう、同情しづらい。

「医療漫画に怒る医師はいない」みたいな書き込みを読んだけれど、たとえば「ブラックジャックによろしく」ぐらいリアルに寄せた漫画で、「某感染症の患者さんに上司を無視して主人公がイベルメクチンを処方、患者さんが完治した」みたいな話を掲載したら、みんな激怒するんじゃないかと思う。

武術や武道経験者が「おかしなのにからまれたら全力で逃げろ」と言う一方で「逃げるにもまた胆力が必要。一般人は恐怖に飲まれると逃げる事すらできなくなる」とも言ってる。パソコンやスマホのモニター越しには事件の顛末は解ってもその場の恐怖は伝わらない。明らかにヤバそうなのが電車の中で煙草吸ってるだけでも充分怖いのに義憤に燃えた少年が注意する。火に油を注ぐ行為に「なんて命知らずな！」と恐怖する。案の定逆ギレして暴行し始めるなんて普通の人間には絶対に止められない。そしてその場の恐怖を知らないネット民が止められなかった行為を攻める。

【遺書あるある】

薄い紙に書いてある

フィクションにケチつけるの野暮すぎだろ。俺がリアルにヤクザ映画の監修したら、早起きして、みんなで公園をウオーキングし、コンビニ弁当買って、事務局に領収書提出して、金主と晩飯食って、酒も煙草もやらず、お茶汲みはおじいちゃんで、抗争でもヒットマンがおらず銃撃戦もないぞ。誰が観るんだ。出所祝いはファミレスで、車はプリウスで、姐さんに気を遣い、子供の運動会を観戦し、事務所のボードに「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」の日が書いてあって、トイレに『ワンピース』と『ゴルゴ13』が積んであって、カラオケで『三代目J SOUL BROTHERS』を歌って踊って、ミスドが大好きだぞ！観るの？

「ドラゴンボールを見て格闘技を始めましてね。長年我流でやってきまして、そこそこなんですよ。まあ、ちょっと教養もいるかなと思ってこの道場を見に来ました」（真顔）と語り、ちょっと基本をやらせて癖を矯正してたら、「ここに真の武道はない」とか言って去った人を俺はマジで見たことあるからね。

プラネテスの件でさまざまな専門家が「私も、別の番組について、専門としているアレについてはモヤモヤした」と心情を吐露されている。以前に驚いたのは「ベイブ（映画）で登場する子豚の顔がシーン毎にみんな違って、落ち着いて見ていられない」という養豚家の発言でした。さすが養豚家ですね。子豚はすぐに大きくなりますから、合計46匹が撮影に参加したとのこと。キャストの子豚たちはみんな、ベイブにはなれなかったと思うと、少し複雑ではありますね。

俗にファンタジージャガイモ問題と呼ばれるやつ、例えば「外国語で書かれた海外の小説読んでたらオチンポン王というキャラが出てきて、日本語ではないとわかっていてももうまともに読めなくなった」みたいなもので、もうまともに読めない時ってのはあるんですよね。外国語の小説にオチンポン王出てきちゃったら？その瞬間からその作品を「おちんぽのイメージ抜きで読む」が無理になるわけじゃないですか。人によってそのおちんぽに相当するものがジャガイモだったり武器描写だったり医療描写だったりするわけで。

星野源とキムタクを足して2で割って1余ったみたいな顔

フランス革命と百科全書に深い関わりがあった事を思うと、辞典の編纂というのは馬鹿にならない気がするんだよな。国は正史を書く事で歴史を支配するが、啓蒙主義者は辞典を書く事で知識を支配する。

こどもの頃から能力が高い人は、学生までは「能力の高い人だけに囲まれて生きられる」んだけど、そのまま卒業すると「自分が当たり前にできることは、周りの人間も当たり前にできる」と考える、「だからといって、周囲の不足を補い切るほどの実力はない」という種の迷惑モンスター化するルートがある。

なんか上手く言えないんだけど、20代の頃にはあったけど30代になってから消えた感情がいくつかある気がする

何をどんなふうに言っても、拡散されてしまうと最終的には「自分もつらい」「自分のほうがつらい」「お前が嫌いだ」という意見が集まってくる

「絶っっっっ対に浮気しないでよ」って言って一年間留学してきた彼女のあえぎ声が「OH！YES！！」になってた話したっけ

無職になってもうすぐ4ヶ月になるんだけどストレスないし簿記の勉強してるだけだけど毎日楽しいしご飯は美味しいし毎日目覚まし鳴らさず目が覚めた時間に起きれるし本当に最高すぎて一生このままの生活を送りたいです

大学ランキングで高い評価されたからって大学が喜ぶってなんかおかしくて、大学って「今までなかった知の創造」するところでしょう？ならばランキングとかしてる連中を大学の方が本質的に評価したり批判したりするのが本来の仕事。オレは大学人の本来の仕事をずっとやっている。本来は所属研究者がノーベル賞受けたのを大学が両手上げて喜ぶとかもおかしい話で、ノーベル賞を研究したり受賞の基準を検討したり時には批判したりするのが大学の仕事。ピアレビューって大きくゆうたらそういうことやん。経団連とか企業人集団がしばしば大学に指図する。今の大学人は指図されることを当たり前と思っている（上層部以外はあまり気にしてないけど。健全）。でも逆に大学が「経団連はここがダメ」とか指図したりすることはない。それがおかしいとは誰も思わない。オレは根本的におかしいと思うけどな

これは酷い。救いがたいレベルだ。ある人物が研究者であり、且つ社会運動家である事はOKだが、研究者として社会運動家のように行動するのは詐欺です。こんな知的不誠実の居直りに付き合った小熊氏はどうかしているし、お説拝聴した古市某氏もおかしい。幼稚なる頽廃。「ジェンダー研究はフェミニズムのツールです」という上野千鶴子氏の断言は救いようがない。最初に、女性の状況に関する問題意識があるのはよい。研究の動機づけになる。しかし研究は、私心を抑え、主観を超えて真実を探求する営み。社会運動の「為にする」のは邪道。道具化された真実は真実ではない。主観を超えて真実を探求すれば、自分の「思い」に反する事実、不都合な事実にぶつかることがある。それを自己にも他者にも隠さず受け入れるのが知的誠実さであり、その知的誠実さが真実の探求（=学問）に倫理的価値を与える。学問の成果はしばしば社会運動に役立つが、学問は社会運動の召使いに非ず。学問は、結果的に社会運動に知を与えるけれども、社会運動の召使いではない。その意味で、社会運動の「為にする」ものでない。当然、学問は国益や国威発揚の「為にする」ものでもありません。実は、人類の幸福の「為にする」ものでもないのです。学問は真実にだけ仕える。「学の独立」とはその事です。

炎上プロジェクトで「つらいです」って相談して「つらい時は俺を頼っていいから、一緒に頑張ろう」っていってた上司が数日後に退職することを社内報で知った時、脳内にライアーゲームのBGM流れた。

お金もなければ力もない国を誰が大事にしてくれるんですか？　というストレートな問いを甘く見過ぎだよなあと思っていた

俺が京大のガイダンスか何かで言われたのは「1%の天才さえ見つかれば残りの99%の人は不要です。単位あげるので早く卒業してください」だったな

「戦争特需ガー軍産複合体ガー軍需企業ガー」

関口宏「軍需企業」

「えっ」

関口宏「それでは問題です！2020年4月の時点で、アメリカ合衆国4軍に自社製品を提供している軍需企業、6つ！お答え下さい！さぁ走って！」

あの手合いは絶対に答えられない。

現代保守に欠けているのは「言葉を制する者が文化を制し、文化を制する者が政治を制す」という意識。ジェンダー、ダイバーシティ、サステナビリティなどのキャッチーかつ曖昧な言葉が、我々の生活や政治にどう影響してきたか。小山田氏の件は「日本版キャンセルカルチャー」などではない。米国のキャンセルカルチャーは社会正義に突き動かされたサヨクが扇動する暴力運動。彼らはあらゆるボイコット運動まで「キャンセルカルチャー」と名を書き換え、その暴力性を矮小化している。既に日本のリベラルも同じ論調で「お前らもキャンセル運動してるじゃん」と批判対象をすり替えてるよ。

90代フルコース、年金のためだけに延命させろはまだ良い。親が死ぬわけないし、救って当たり前、何とかしろ、何かあったらタダじゃすまんぞ。本気でこう思ってる家族のあの目つき、一瞬で分かるあのイッてる目つきは医療従事者なら心当たりありますよね。

世の中にはあんぽんたんサイコパスというのがいて、頭のいいサイコパスなら他者の気持ちがわからなくても、人間関係からのフィードバックを情報処理して自己に不利益な感情加害を避ける行動をするものだが、あんぽんたんサイコパスは情報処理能力が低いので、感情加害を繰り返して排除されるんだよな

「教師は世間知らず」という言説にはあまり共感ができないけども、「教師は社会経済的地位（SES）が高い層が多い」から「SESが低い層の子どもに共感できない」という言説には納得せざるを得ない。自身の受けてきた教育をもって教育だと認識するのは危険である。そのバイアスを軽減するための教育社会学

博士号は「達成された研究成果」により与えられるものであり、「その人の潜在的能力」に対して与えられるものじゃないんだけど、その辺りが全くわかっていない人が多すぎ。「賢い人が博士」なんじゃない。なので、「博士の水準が云々」を言いたいのであれば、「あんな奴が博士」的な批判は完全に的外れ。批判したいのであれば「あんな研究が博士論文」でないと。大昔のように「研究方法は各自が自分で考える」時代と異なり、今は研究手法も研究計画の作り方も教えることができるし、教えられるので、それなりにきちんと勉強すれば、多くの人がそれなりの水準の論文が書けるようになった。そしてそれはもちろん、とてもいい事である。というより、大昔が無茶苦茶。

現役エンジニア達は昔のITドカタって言われた時代の苦労を乗り越えて自分たちを「泥臭くて地味で堅実な職業」だと思ってるのに、ここ数年の駆け出しブームで他業種の人に「楽でおしゃれで稼げる職業」のイメージで語られるから反発してる面はある

大昔、予備校の医学部志望コースでチューターをしていた時にある受験生から「こんな本を読めば載っていることをわざわざ覚えて意味あるんですか」と言われたので、「君は目の前の患者が3分放っといたら死ぬという時に5分かけて治療法を調べるつもりなのか」と返したら黙って帰っていったのを思い出した。もっとも航空機のパイロットも緊急時対応マニュアルやチェックリストはいざ事が起こってから開くことが多いらしい（各種の事故・重大インシデントの報告を読んだ限りでは）ので、完全に丸暗記はしていなくても良いと思うのだが、最低でもその「目次」ぐらいは覚えている必要がありそう

少年革命家ゆたぼんという10歳のユーチューバーの件は「不登校」というテーマよりも、「子は親を選べない/選んで生まれてこれない」という現実や、大なり小なり子供というものは親の愛を得よう親を喜ばせようと自らロボットになる側面もあって、それらをぼんやり見せつけられている感がなかなかきつい

「博士号とるまでにものすごくお金と時間がかかるから博士に1000万円あげて欲しい」という投稿が流れてきたが、叡智を極めんとする彼らを「女子はメイクや服やネイルでお金かかるからデート代は奢ってほしい」いう港区女子と同レベルの知能に下げるほど我が国のポスドクを取り巻く環境は厳しいのか…

クイズ番組で「蜘蛛の糸」が正解のときに、「蜘蛛」を「蛛蜘」と間違えて解答してしまったのをナレーションに「もくのいと！残念ー！」と読まれてたのを見た。別に蜘がクで蛛がモってわけじゃないんだけど、面白いなこういうの

東京の真ん中で子育てしていて強く思うのは「ボケっとしてたら“中流”から零れ落ちる」という恐怖感をみんなすごく内面化しているってこと。それを避けるために小さい頃からいろんなことを詰め込んで安心を得ようとしている。価値基準も単一で固定的だから劣ること外れることに対する不安がとても大きい。そういう風潮にずっとうんざりしてきたからこそ、みんなが出る杭でオッケーという価値評価をもっと浸透させたいとずっと願ってきたけど、どうも内側からの自然な変化を待っていても無理っぽい。最近は外に目を向ける人も増えてきた。飛び出す人たちを応援し逆に東京的価値観が相対化されたらと思う

【カラオケあるある】

マイクに唾が飛んだら嫌だなあと思うが、思うだけで終わる

【冬のジーンズあるある】

生乾きの冷たさが肌にこたえる

【バスタオルあるある】

何回まで使いまわせるか議論されている

【成人の日のツイッターあるある】

「成人式に行かないと、成人式に行かなかったことを永久にこすり続けるサムい大人になるぞ」という内容の警告ツイートが毎年バズっている

【観光地あるある】

顔部分をくりぬいたパネルがあり、「誰がやるかよ」と思っていたら子どもが嬉しそうに駆け寄っており、おのれのひねびた心を恥じる

【スマホの液晶あるある】

最初にヒビが入ったときはショックだが、2回目以降は全然平気

【靴下あるある】

たくさん歩いたのにあんまり臭くない日がある

【チキンラーメンあるある】

絶対にCMのようにうまくはいかない

【待ち合わせあるある】

スマホから流れる曲が終わるのを待って到着したいため、歩調をわざと遅らせる時間がある

【部屋のスイッチあるある】

「トイレの電気どこ？」と聞かれるが「みりゃ分かるだろ」と思う一方、友達の家のそれは全く分からないし分かる気もない

救うべき対象を自分で差配したいという欲望にまみれたクソリベサヨは大嫌いだけど、俺は根が左翼なので、衆生遍く善く暮らせるべきというテーゼを捨てる気は全くないのですよ。そのためなら国家でも神話でも使うべきであろう、という所で全く道が異なるが。国家を支えるメンバーとして、精強な個人以外は必要ない！みたいなナチ的な思想は大嫌いなんですよ。国や共同体ってのはそうじゃないだろうと。落伍者や奇人はどうしたって出てくるから、それをも包摂できる力学が必要だろうと思うんですよね。

夫が「夫婦は1日に10分くっついた方が良いらしいよ」と後ろからくっついてきたんだけど2分で「よし！OK」とか言っててあと8分耐えろや

例えば自動車同士正面衝突の事故で、１台では全員死亡し、もう一台では誰一人ケガもしなかったという場合、全員死亡した車両の遺族は、生き延びた側に事故の責任があると感じるのが普通なのだと、紛争の心理学を専門とする心理学者に言われて、ちょっと驚いて、でも深く納得したことがある。日本国内で医療事故の原因分析が組織的に行われ始めてまだ20年あまりだが、それ以前、そして今でも、多くの被害者やその家族は、当該事故の調査や原因分析が開始される前の時点で既に、誰かのミスや怠慢が原因であるに違いないという信念を持ち、当事者の処罰を強く望む。「死ねば良いのに」「免許取り上げて欲しい」というのは、事故調査開始時点でよく聞かれる言葉である。誰かが死んだとき、あるいは重い後遺障害がある時、その原因は全くダメージを負っていないように見える誰か、その時一番近くにいた誰かがの所為だと感じるモノだというのが、紛争の心理学者の常識。事実関係もまだ検討されておらず、原因分析も始まっていない時点で強い処罰感情が既にそこにあるというのは一見して奇妙な現象のように見える。しかし心理学者にとっては自然な感情なのだそうだ。もちろん、事故調査の結果、想定されていた医師や看護師に原因はないという結論になるのは珍しくない。言われて納得する人もいるし、分析や結論が間違っているとして医療訴訟に進む人も、刃物でも持ち出して病院で大暴れする人もいる。そこから先は、個々の性格や事故発生後の関係に影響されることが指摘されており、一概には言えない。医療関係者がいつも頭に置いておくべきなのは、一番身近にいて、一見して何の被害も受けてないように見える自らの立場自体が、報復の対象になり得るということ。それも「死ねば良いのに」「免許取り上げて欲しい」という強い処罰感情の対象になるのはさして不思議なことではないということ。医療機関には患者だけでなく医療従事者をも守る義務がある。医療事故発生時点から、現場に全責任を押し付ける病院管理者は今でもよく見かけるが、患者に対しても医学に対しても、もちろん医療従事者に対しても、不誠実だと考えている。

回ってるから経済だと勘違いして風車に突撃するオタクの話

正義なんかその人にとって自明なものなんだからそりゃおだてられて認められて称えられれば後はもうナイフみたいに尖っていくしかないよねっつう話で。ほんとの問題はそのナイフで貫かれる人がいるってコトですよ

どこに出しても恥ずかしい俗物です

脳にとって、平均的な特徴との差異こそ、個別の事象の本質である。個性の正体は平均からの乖離だ。だから、個性的な作品は「下手くそであるが故に平均から乖離している」「技術的に卓越しているが故に平均から乖離している」大きく二つの方法で作られる。だから、そこそこ上手くなった時期は作品から個性が無くなるのだよな。下手くそであるが故に平均から乖離した部分が消えるのだけど、かといって、技術的に卓越した部分があるわけでもないから、凡庸な印象を与えるわけやな。

多数派が正しいなら地球はまだ平らですよ

映画見たいけど「ちょっと寒い」からやめとくか、本を買いに行きたいけど「ちょっと遅い」からやめとくか、外食したいけど「ちょっと金がない」からやめとくか…この「ちょっと」「ちょっと」の積み重ねで、私の世界は徐々に狭まっていく。あぁ、これが歳をとるってことなのね。

本当にヒトラーが絶対悪であるならば、なおのこと他者をヒトラー呼ばわりすんな。すればするほど、ヒトラーの成した悪事を矮小化することになんだぞ。

まーたUSPS（アメリカの郵便局）に荷物を紛失された…。50年前に月まで人を届けることができるのに、未だに国内の住所にまともに荷物さえ届けられない…この事象がアメリカという国をよく現していると思う。

『アカデミアの任期付き研究職の不安定さの対としての産業界の研究職』が語られるたびに、院卒新卒で大手製薬企業の研究職に採用されて、40歳前で会社都合で研究チームごとなくなり、奥さんの実家の温泉旅館手伝ってる先輩のことを思い出してしまうんだが

高校でめっちゃ努力して学歴を手に入れたけど、大学で不完全燃焼すると就活の時に「自分は旧帝なんだぞ！MARCHと一緒の就職先なんてありえない！」みたいなプライドが働いて就職先を自分が選べる側だと勘違いしそうだからそうなったら終わりなんだろうな

自己中心の生活を棄てて、献身的な生活を取るさい、私たちの自尊心が非常に増大することは明らかである。そして献身的な人たちは、たとえ最高度の慈善行為を行う人びとでさえ、限りなく大きな虚栄心をもっているものである。

歴代の校長の写真を一枚ずつ貼っているのではなく、全員の顔を合成した「平均顔」の画像を一枚だけ貼っている校長室

「一番にならないと社会に認知されないんですよ。日本で二番目に深い湖を知ってますか？」「なんで一番も知られてない例を出した？」

何回でも言いますが「今の人は死を見つめなさすぎです」っていうのは不安ビジネスの武器で、生って言うのは2秒後に死ぬかもしれないあやふさを持っているので、そんな危ないもん直視して平気なのは一部の変わった奴だけです。いつかは年取って死ぬし、それはしょうがないぐらいですいいんです。なんでもかんでも自分で準備しなくても、生命保険とか貯金とか少しはある人が大半で、まるっきりない人は老後は生保に掛かれるんだから、そんなに心配しなくていいんです。大体、毎日のようにこうやって葬儀屋がつぶやいてて、何千とか何万ＲＴとかタマにいく世界が「死をタブー視」してるわけないじゃないですか、普通にみんなしゃべってるし普通に意識してますよ。立派なもんです。堂々としていてイイと思いますよ。死を直視するのに、わざわざお金かけて講習をうけることもありません。本とかもバカ高いのは買わなくていいです。死ぬことを直視しよう系の人はセミナービジネスか、たっかい教材販売につながってるのは自分の商売のために死を直視しましょうって言ってるんです。

告白して断られたときに、どうして自分じゃダメなのだろうと考えるのが無意味なように、就活でお祈りメールをもらったときにその理由を考えてもあまり意味はなく、相性の問題と割り切ったほうが精神衛生上よい。

学問の世界っていうのは、基本的に「学問が好きで好きで堪らない連中が集まっていて」「ずるはしない」という性善説の世界なので、その信頼体系を揺るがすようなことをしたら怒られるわけ。騙された方が悪い、という世界じゃないんだよ。学生だってその一員だから、コピペレポートは不可になるのです。

エントリーシートの書き方がわからないのは、企業研究をしてないからでも、自分の長所短所を理解していないからでもなく、働いたことないのにやりたいことなんてわかりようがないからである。書けなくて当たり前。

卒論を書く意味は、「物事をちゃんと論理的に言おうとすると時間がかかる」ということを知るということにあるような気がする。あと、端切れが悪い物言いは、実は頭の悪さではなく良さの現れだとわかることかな。

浪人には寛容なのに、就活がうまくいかなくて一年間空白ができることには不寛容なのなぜだろう。就活失敗したら社会的に大ダメージを受けるぞ、という呪いをかけられている社会。

研究って環境、分野、運、実力の順序で成功が決まってる気がする（前者ほど重たい）。しかもそれらは掛け算なので、どれだけ実力があっても運に恵まれず環境が悪ければ…という。

私は対面で「授業をすること」はそれなりに意味があると思うが、それよりも、ある学生は最前列で授業を受け、ある学生は後ろでスマホでゲームをし、またある学生は最後の授業しか来ない、そんな自分とは「違う」人たちが集う場に身を置くことが大事。これがオンラインだと、自分のスタイルを標準化して、みんながそのように授業受けている、と思ってしまう。

思想を押し付けられたと思っても、その場で「思想を押し付けることはよくないよ」と言ってはいけないんだよな。それは「思想を押し付けることはよくないという押しつけ」を他人に行ってしまっていて、自己撞着なので。これを回避するには「お前は今俺に思想を押し付けているから不快だ、やめてくれ」という、思想対思想の応答ではなく個人対個人の返答をするしかなくて初見殺しトラップ。一般化したがるのは人間の悪い癖

自分のことを論理的だと思っている人間も意外にアラが目立ったりする一方、自分に論理なんかない、数学なんて中学のときから大嫌いだと思ってる人間がよっぽど合理的だったりするので人間は面白い。論理を信用してない人は感情や本能を大事にする傾向があるように思うけど、実は論理よりも感情のほうが筋道立ってて自然で一貫性があるので、こういう現象が起こるのだろう。たとえば、いくら副流煙の科学的リスクがあるからといって、電車の中でスパスパタバコを吸ってるおっさんを怒鳴って注意しようとは思わない。それは、未知に対する恐怖という本能的な、そして一貫的で合理的なシステムがあるからであって、論理的な思考の帰結のためではない。勝てないと思った相手に平伏するのもこの機能の一つで、いわば中途半端に賢いヒトよりも、そこらのイヌのほうが合理的な判断を下していたりする。論理がなす問題の最たるものは反出生主義で、賢すぎるヒトがいよいよ倫理を論理的に考えることで種の存続を止めようとしている。子どもを産む人間がいなければヒトは成り立たないというアラには気づかないらしいのが面白い。

金持ちに「日本はもう十分豊かになったからこれ以上の成長は要らない」と言われると反発する人でも地方の交通インフラの話になると全く同じことを言い出したりするやつ

経営側になると「マジっすか」ってなって色々見る目が変わったってのは事実だな…。例えば「無料の社員食堂作れば社員ハッピー」と思ってたら「食費分も給与扱いになり社員に税金掛かる」けど「半額会社が持ちますなら会社経費」、だから弊社は半額負担なのか〜とか。無料食堂は安易だった…

「ニートは毎日が夏休み」ってよく言われてるけど実際には宿題を放置したまま迎える8月31日みたいな気分が永遠に続いてるようなもんやで。

ここ偉い人いっぱいいるから、爆破したら経験値いっぱい入るね

アイスは精神のおやつ

・「うれしくなるとついやっちゃうんだ！」と言って、ランランルーではなく普通に射精する嫌なドナルド

・「みんなも一緒にやってみようよ！」と子どもたちを誘い、普通に射精させる嫌なドナルド

・「ランランルー」の「ルー」の部分でようやくペニスがギンギンになり、そこから15秒程遅れて射精する嫌なドナルド

・「この本前に読んだな…」と、断面図が描いてある子宮に大便を詰め込む過激スカトロ同人誌の表紙を公園のベンチで眺める嫌なドナルド

・「ドナルドって、喋るの？」という疑問に尿道から声を出して答える嫌なドナルド

・ペニスに”I’m lovin’ it”と刺青されているが、”v”が”b”になっている嫌なドナルド

楽天のスゴい所は、EC、金融、旅行、携帯など、あらゆるビジネスが二番煎じで革新性が無く、質が高いわけでも無ければUIもダサいのに「ポイントがお得」という、品の無い金銭的メリットと営業力だけでここまでの地位を築き、その上「日本を代表するIT企業」というドヤ顔をしていることで本当に尊敬する

いつから民藝はあんなに高尚になってしまったのかな。名もなき生活雑器に美を見出し、生活品が美術品になる様子に警笛を鳴らすような運動だったのに。民藝運動の最大の問題は、生活の美からかけ離れ、美術学になり、不自由で凝り固まったマニア的になっていく動き。

ひらがなとカタカナが戦う物語があったら、多分「へ」が最重要人物になってくるな。

自分も、太い実家に生まれ、BMW Z4 乗り回し、タワマンで下界を見下ろしながら暮らし、国立大学の安定した雇用で守られ、イデオロギーで武装し好き勝手に発言、挙げ句の果てに「等しく貧しくなろう」などと呼びかけられるような、厚顔無恥なマインドセットと一緒に生きてみたかった。

偉い人たち「言われたことだけやる奴は評価しない！期待を超えてこい！」悟った人々「期待を越えるべく滅私奉公してきたけど報われないから及第点取れる程度に省エネでのんびり働くのが一番賢い。給料下がらんし。定時で帰ってプライベート時間を大切にした方が人生楽しい。Netflix最高」大体これ

死ぬほど仲良かった友達も、昨日まで好き好き言い合ってた恋人も、産まれてから育ててくれた親も、急に「あ、無理かも」ってなる瞬間が訪れるから本当に怖い

法学部卒だからあんまり言うと手前味噌的な感じになっちゃうけど、政治家とかならともかく私人名を連呼して何らかの「文化」の変革を呼びかけるような文書、制度知扱ったことがあると基本署名しないですよ。繰り返すけど、そうでない人は仕方ない部分もあるし脱退した方は立派だと思うが。「落とし込み」のこと考えんでいいんだったら何でも言えるんですよ。「ロジック」だけで話が動くんなら誰も苦労してない。そういうことはいっぱいあって、極論、本邦の死刑が電気椅子や薬殺でなくて縛り首なのも別にロジカルな思考の産物ではない

修士論文や博士論文などで、とにかく分厚く長い分量を書く人がいますよね。僕の観察の限り、こういう人は将来性があります。筆力（ここでは技量ではなくたくさん書く力）は、知的基礎体力を現していて、その後安定して良質な論文書ける人がほとんどです。量を書けるというのは偉大なことなのです。無粋な分析をすると、選択した研究対象が豊かであると同時に、膨大な資料と対峙できる（咀嚼できているかどうかは、経験年数の問題で重要ではない）ということを表しています。研究者の重要な資質の一つは、筆力、知的基礎体力です。技や精緻さなど後から何とでもなります。逆はないのです。研究は頭の良さを競うものではなくて、息長く続ける性質のものです。理由は簡単で、学術誌や書籍は当然分量制限がありますし、それ以前に一人の人間が一回の書き物で全てを完璧に書き切るのは不可能です。必ず断念が必要です。諦めて完成するわけです。当然、「あれを論じていない」と言われます。それを補うのは、次の書き物になるわけです。次から次に書ける人は、だから本当に凄いのです。一本のブリリアントな論文よりも、100本のアラが見える論文の方が、現実に偉大な業績をもたらします。だから大学院に提出される分量制限のない論文はその指標になるのです。

「了解しました」というと「こいつはビジネスマナーがなってない奴だ」と思われる可能性があり、「承知しました」というと「こいつはマナー講師のいう事を鵜呑みにする思考停止人間だ」と思われる可能性があるので、相手がどちら側の思想の持ち主か判断できるまで毎回高度な心理戦を強いられている。

教授

「文体をだ・である調で統一してください」

僕

「今回はジェンダー平等について考えを述べるのだ。早速始めるのだ。」

イエスは裸で墓場に住む程の重度の精神疾患と思われるような会話不能の人間とすら意思疎通して更生させるという超常的技術の持ち主だったようだが、逆に自分の考えに凝り固まった社会人に対しては全く何もできなかったので、要するに万人に通じるコミュニケーション技術はないってことだな。

ある国や地域を理解するには向こうの頭の中を完全にエミュレートできるようになる必要があって、さりとてこれがなかなか難しいわけですが、それができるようになった後にちゃんと「こちら側」に戻ってくるのもまた意外と難しかったりするのよな

元大蔵官僚・現参議院議員がイベルメクチンの非臨床試験について嬉々と語ったり、テレビによく出る国際政治学者がコロナ患者の増減の山谷の形状にしたり顔でコメントしているのをみると、統計の基本的リテラシーって、東大卒業したか否かなど比較にならない重要な価値があるなーって思う。

正直あんまり好みじゃないタイプの子が告白してきたんだけど、振ったあとも話してたら何かのきっかけで「今私イボ痔なんだよね～ だから椅子にクッションしいてる」って、100均で買った乗り物柄のクッションを見せられて理不尽にもめちゃくちゃ萎えたことがある。振ってよかった～って思ってしまった…

強者と弱者の見分け方というのは実は簡単で、両者が関係する文脈において、事実と論理の示し方が粗雑であっても要求を通せているのが強者であり、それらを周到に用いながら主張を述べていてもほとんど顧みられることのないのが弱者です

死は主観としては存在せず、ただ予感としてあるので、主人公だけが死んでセーブ地点に戻るゲームには当然死はないことになる。仲間が死ぬと戻らずそのまま物語が続いて行くときだけ死がある

「専業主婦の労働を年収換算すると1000万」と言ってる人が専業主夫をヒモみたいな目で見ている割合。

友人とドライブしてる時にピロンッと車から警戒音が鳴ったので、びっくりしてこれなんの音！？っと言ったら、絶対音感を持っている友人が能力を試されていると勘違いして「ミ！」って答えてきたの、まじでなんの解決にもならなかったな

最近の日本では会社の飲み会は忌み嫌われどんどん無くなる一方、渡米したら「週末は会社BBQ！皆で盛り上がろう！」「終業後はハッピーアワー！職場の交友を深めよう！」とか周りで滅茶苦茶やるし、何ならスタンフォードの経営の授業でも奨励されていて、私が見た米国はウェット、日本はドライだった。

養老孟司さんが『死の壁』か何かで書いていた。人は死が怖いからこそ臭いものに蓋で考えないようにしているし、現代では医療にしても人は死なないという前提で動いていると。その蓋が吹っ飛ぼうとしているのを感じる。医療は万能じゃないし人は死ぬんだ、と。

抜歯した後の空隙がめちゃくちゃ痛い。ドーナツの穴ってこういうことだったのか。

博多にもつ鍋を食べに行きたいという話になり、友達と行くことになった。原付を駅に停めた瞬間、駅が神々しく光り出して赤色になった。私たちは10億円を奪われ、売れる物件がひとつもないために自己破産した。

えげつない金持ち「だ、誰に雇われたんだ！？ん？その報酬の2倍、いや、2乗出そう！！」

投資で成功した先輩が、豪邸を建てました。「成功者たるもの風呂こそ贅沢をつくすべき」という考え方のもと、でっかい湯船をつくったら、湯船にお湯がたまるスピードよりお湯が冷めるスピードの方が常に早く、永遠に温まらず、結局、風呂に入れなかったという話を、温泉で温まるたびに思い出します。

1980年代に「電脳社会」を研究者たちと構想してた時には、「見たいものを見る」「知りたいことを知る」社会が来ると思ってた。「見たくないものを見せられる」「知りたくないことを知ってしまう」社会は想像しなかったなあ。これも技術的オプティミズムだったのだろうか。

「自分の意志で変えられない属性に対する差別表現だけがヘイトスピーチである」という言説を無批判に受容し、拡散している「リベラル」知識人や政治家たちがいることに、個人的にずっと以前から驚愕しています。このヘイトスピーチ定義は、完全なデタラメであり、社会的に有害であることを示すために1つの思考実験を行います。今の日本では、外国人が日本国籍を取得することは非常に困難です。しかし、もっと簡単な手続きで日本国籍が取得できるようになったと仮定します。そのとき先の定義によれば、外国人に対する差別表現は、ヘイトスピーチではなくなることになります。なぜなら、国籍は「自分の意志で変えられる」からです。それに対して、「日本国籍を取得しても外国人として扱われるから、変えられない属性なのだ」と定義を擁護する人もいるでしょう。しかしこの場合、ヘイトスピーチとして問題になるのは、「元外国人に対する差別表現」だけであり、「外国人に対する差別表現」それ自体は問題ないということになります。以上の思考実験は、他の事例でも当てはまります。たとえばユダヤ人は信仰に基づくアイデンティティ集団ですから、「改宗しない」ユダヤ人に対する差別表現はヘイトスピーチではないことになるでしょう。あるいは、セルフIDが認められれば、女性に対する差別表現もヘイトスピーチではなくなります。以上の事例では、ユダヤ人や女性や外国人に対するヘイトスピーチが認められないのはおかしいと直観的に思う人が多数でしょう。それは、常識的な人権感覚と明らかに矛盾しています。「変えられない属性に対する差別表現のみがヘイトスピーチである」という定義の、何かが根本的に間違っているのです。言うまでもなく、「変えられない属性のみ」という限定それ自体が、明らかに余分なのです。その属性が自分の意志で変えられようと変えられまいと、あらゆる属性にもとづく差別表現はヘイトスピーチであると定義してしまえば、上記の矛盾はすべて解決します。なぜこのような余分な規定が付け加わってしまったのでしょうか。それは、この定義がどのような文脈と意図で使われているのかを見ればわかります。典型的にはこういう言説です。「○○という発言は定義上ヘイトスピーチではない、なぜなら変えられない属性に対する表現だけがヘイトスピーチだからだ。師岡康子の本ぐらい読め」つまり、ある種の表現が「ヘイトスピーチではない」ことを説明するために、この定義が引用されるのです。その擁護される表現の多くは、特定の属性に対する攻撃であったり、人格に対する攻撃的表現だったりするわけです。たとえば「オタクは自分の意志で変えられるのだから、特定の人間をキモオタとかひどい言葉で罵倒してもヘイトスピーチにならない」と。この表現が仮に定義上「ヘイトスピーチ」ではなかったとしても、それが不当な人格攻撃か否かは、検討すらされないわけです。つまり、基本的人権という日本国憲法においてもっとも重要な問題系が隠蔽され、「差別か否か」という問題へとすりかえられている。そして人権侵害が擁護されるのです。まとめると、「変えられない属性に対する差別表現だけがヘイトスピーチである」という定義は、人権侵害表現をヘイトスピーチから除外し、擁護するために使われているのです。ちなみに住友陽文氏の発言も、その例外ではありません。これがこの定義の最大の問題点です。もう一つ問題点を挙げます。「変えられる属性に対する差別表現はヘイトスピーチではない」という定義では、差別を「される側」の問題にすりかえています。「差別されるのは、自分の努力で変えられるのに変えようとしないお前が悪い」という話になるからです。「デブ体型を改善しようとしないお前が悪いから、虐められてもヘイトスピーチにはあたらない」ということになるわけです。セルフIDを導入した場合、「男に戸籍を変えられるのに、差別表現を受けるのは、女のままでいるお前の自己責任だ」ということになります。これは自己責任論です。「変えられない属性に対する差別表現だけがヘイトスピーチである」という定義は、人権に関して極めて深刻な問題を含んでいるということは、少し検討したら誰でもわかることだと思います。そんなものを、リベラル系研究者とか政治家とかが無批判に垂れ流している。憂うべき状況だと私は思います。

20年近く、本当にいい友人だった人が今朝、睡眠中におそらくハートアタックで急死した。前日、ズーム上で、みんなでおしゃべりして大いに笑っていたのに。人の明日はわからないものだという基本に立ち返る。そして、立ち尽くす。

死の怖さというのは一般的な疑問を全て掘り起こして氷解させたうえでのなお自分の中に残るわだかまりのことを指すのであって、「人間は動物だから生存を希求するのは当然」みたいなことをいうのではないとワイは思っている。そしておれの場合それは生きていることへの驚きと相似形で一致する。変な言い方だが、死について考えているとき「俺は今、まぎれもなく生きているんだ！」と感じて、嬉しくなる。でも一方で死が怖いのだとしたら、それはたぶん残念という感情に一番近いのかもしれない。

科学のこれからの発展を見届けられないのが残念。これを突き詰めていくと、親が子を残して先立つことに心を痛めるのと同じなのかなあ

「国税に踏み込まれた瞬間に赤いボタンを押すと帳簿類がすべて消滅する」というシステムの開発の案件があったのを思い出した。帳簿類とは何か、要件定義する過程で頓挫したので受注には至らなかったが。

「職場が回っている」と「回っていない」の間に存在する「回っていてはいけない状態なのに回せてしまっている」に長く浸り過ぎた

女だってアダルトビデオを観ていいんだよというのがフェミニズムだと思っていたけど、Twitterでは「女性はAVなんか観ない！神聖無垢！エロい女はオスに毒されたせい！」と自分の思う型を押し付けるのがフェミニズムとされているらしい。

ファミレスで高校生達がテスト勉強してるけど徐々におしゃべりの割合が多くなっていく過程って美しいよな

テレビつけたら徹子の部屋やっててゲストが上沼恵美子。ライバル魔法学校の理事長対談みたいなすごい絵面……

精神を凌駕することのできるのは習慣という怪物だけなのだ。

親族知人に金を貸してくれと頼まれたときには、その人がプロの金貸しから借りないのはなぜか、そして金を貸すプロの人たちが収入確認したり就業先確認したり担保取ったりするのはなぜかとか考えてくれ

ヤバい隣人「カレー作り過ぎちゃって、それでコレ、死に物狂いで食べ切る様子を録った映像が入ったUSBです」

生きづらさや違和感を丁寧にすくい取り注目を浴びているという漫画の広告の「強い理性で丁寧に、傷を洗ってくれる」というコピーに違和感を覚えていたが、これは「モヤモヤした気持ちに、あなたは悪くない、悪いのは彼らの方だという道徳的なロジックを提供してくれる」という意味と思うと腑に落ちる。

カップ麺の出来上がりを待っていたら、3日前一緒にいた同僚がコロナ陽性になったと連絡が来た。身を案じる返事をしつつ麺をすする、妙に味が薄く感じた。初期症状などを検索しながら味の薄い麺をすすり続ける。不安だ。麺の中から液体スープの袋が出てきた。後はどうぶつのニュースとか見てた。

さっきテレビで警察がオレオレ詐欺の注意喚起のために老人宅を訪問しても話を聞いてもらえないので猫をマスコットにしたら興味を持って話を聞いてくれたってエピソードを紹介してて、ほらやっぱり老人騙すの簡単じゃんって俺は思ったわけです。

知らない人からのクソ引用RT ムカつくよりも先に「大丈夫？社会におけるコミュニケーションうまくやれてる？」というお母さんみたいな心配が来る

焦燥感を持つのは本能に任せてればいいんだけど、持たないようにするにはそれなりの技術や理性が必要なんだと気づいた

「コロナは風邪」と言って回ることが、”気持ちよい”というのは重要な指摘だと思う。「みんなが恐れているようなものを恐れない俺カッケー」思考があり、だから思ってるだけで我慢できず言って回る層がいる。

世の中のキラキラしている人が株式投資のような乱高下をしていることに対して、自分は債権や投資信託ぐらいの変化で精一杯と思えたらそれで良いと思う

自然のマテリアルが混ざり合わさって作られた物理の俺は死んだら自然に戻したい。すでに世に居ない状態なのに墓とかで残したくない

死とは何かと向き合ったとき、それは虚無であるって結論に至る人もそりゃ居て当たり前と思う。葬式も戒名も、虚無をどうにか意味のあるものにしようと試行錯誤したものなんじゃないか

「公共のピアノで弾き逃げしてみたwwww」って動画、タイトルからしてもう共感性羞恥がやばすぎて見てられない。「え？俺また何かやっちゃいました？」感が出ててきつい。せめてタイトルは「都庁前のピアノをお借りして○○を弾きました」とかにしろよって思う。「面前で有名な曲を弾きこなすオレ」と「それを見ている観客（拍手）」という対立構造が透けてみえちゃうのよ。ある種の劇場を作り出しててフラッシュモブとかに近いかも、「お前ら、こういうのが好きなんだろ？」って。まあ、中高生はああいうのにあこがれる時期があるんだろうなとも思う（演歌を弾き逃げしてるの、みたことないし）「論破したったwww」的なやつ。それが気恥ずかしいんだろうな

ジェンダー文脈でよく言われる「日本は男らしさから降りよう」みたいな話をもし額面通りに実行すると、女がメイドやホステスとして外貨出稼ぎをせざるを得ないような国になるんだよな多分。どことは言わんけどそういう国、男が何のプライドも持ってなくて本当にクソほど働かんらしいからな。散々言われていることですが、あの文脈で言われる「男らしさから降りる」というのは、男らしさのうち「有害な」部分のみを都合よく切り離せて甲斐性など良い面のみを享受できるという前提なんですよね。「有害」な部分とそうでない部分の境界線も属人的なものですし。

陰謀論とか怪しいグッズの類、水素水みたいに「意味ないけど害もない」ようなものを意図的に流行らせて有害なものを押しのけるしかない気がする。

日本は無宗教の国なんじゃなくて、キリスト教の観念を下敷きに作られた宗教概念で日本の宗教感覚を捉えられないという当たり前の現実を前にして、自分達の宗教感覚をちゃんと言語化することを怠ってきただけなんで、そういう怠慢が死を前にした混乱として露呈するんだろう。

脈ありの女性「終電… 無くなっちゃったね」

略語絶対許さないマン「え？最 終 電 車のこと？」

俺は石原慎太郎よりも生命力に溢れまくっているのでチンポでガラスを突き破る。おそらくコンクリートブロックも突き破るだろう。

「多数の研究で裏付けられた厳然たる事実は、結局、組織での出世には自分の仕事能力や仕事での成果はそれほど関係なく、いかに上司に気に入られるかがカギということだ」がスタンフォードMBAを代表する有名な教授の教えだったのだが、巷によくある「米国は能力主義」とかいう話は何だったのか。

息子が頭痛を訴えてきたので、念のため熱を測ったら37度だったんだけど、心配して優しくしたら、「お母さん…具合悪いからお金ちょうだい。あとポケモンのレベル上げもお願い…」つって、ものすごい早さでつけ上がってきた。

ネガティブな友達に会うたびに「かわいい」って言いまくってたら、かわいいって言わなかった日に「今日あんたアタシに可愛いって言ってなくない？」ってキレられるようになった。着実に強くなってる。

嘘マナーの怖いところは、「本当は失礼でないのだが、怒る人がいるからとりあえず合わせとこう」と皆が安全策をとるうちにそれが定着して真実になるところ

昔、社員全員で毎朝ラジオ体操をやる会社に一瞬だけ勤めてたことがあったんだけど、その時は肩凝りと疲れを知らぬ若い肉体だったので、ラジオ体操とか意味ある？とか内心思ってた。あるあるあるめちゃくちゃ意味あるあるあるある

ブラジルにも人種差別はある。でも人種差別が酷い国だとはまったく思わない。ただブラジルって問題があったとき、すぐに暴力につながるよね…。人種の問題だけじゃなく、女性であること、黒人であること、外国人であること。ブラジルで会社やってるので…労働契約未締結からの給料未払いってめちゃくちゃ多いよ。労働者の権利は強いけど、そもそも「労働者」とみなされず問題が表にでてないだけって本当に多いと思う。ってか、大小あるけど会社やってる人間周りに多いけど、給料未払いとか恥ずかしいって思わない輩の多さよ

ちょっと昔、ケースワーカーが「ケースの死　笑い飛ばして　後始末」という川柳を詠んで問題になったことがあったけど、現場としてはそうでもして笑い飛ばさなきゃやってられないという現実があったんじゃないのかな。

「重い」とそれはそれで避けられるんだよな。化粧品とかでも試供品もないのに数万円するのを買えって言われたら躊躇するでしょ。交際とかでも、ある程度の経過観察なしに断定するのは危険よ。

クソ田舎はあらゆる場面でクソなんだけど、狭い道路を車が対向するとき、車同士はもちろん歩行者とか自転車も道の端に寄ったり車の後ろに入ったりして無事すれ違えてそれぞれ散らばっていくときの「全員が最高だった…！！」みたいな空気はなんか好き。

男性嫌悪アカウントが寿司と猫とバラの絵文字を合わせて「オス死ね殺す」（オスシ、ネコ、ローズ）って読ませてたの見て「犬神家！？」ってなっちゃった。よきこときく

大学1年のときの英語のessay writingの授業で先生が「引用元はどんな基準で書きますか？」ってクラス中に聞いたけど誰も答えなくてキレだしたのでしょうがなくおれが「98％の人が知っていたら書かないけど、そうじゃなければ書きます」と答えたところ「98%の出どころは？なんで99%じゃないんですか？どうやって調べるんですか」って言い出したからムカついたし、その後の模範とされる回答も「事実であると信じられているなら書かなくてよい」だったから（地球平面説を唱えてる奴もいるが…？）ってなって本当にムカついてモヤっとなって終わりだった。そいつ、自分とこのサイトに「双方向コミュニケーション的な教育を目指してます」って書いててもうダメだった

自分の知る「景気がいい」って状態に90年代終わり以降なったことが一度もないので、今の30歳ぐらいまでは多分「景気がいい」ってことがどういうことなのかを全くわからないと思う。景気がいいってのをシンプルの説明すると「来年の今ごろは、今年の今より給料も暮らし向きも、何もかも良くなっている」と、まあ確信めいたものがあって、だからローン組んだって金使ったって怖くない状態と表現するのが一番近いと思う。もちろん仕事がなくなるなんて想像もしない。こんな状態に社会全体がなってるのが「景気がいい」。こういう状態だとみんな、心がおおらかになる。そりゃそうだ。自分も給料上がるし、みんな儲かるんだから。そして、こんな状態、僕は20年以上見ていないのだから、この国は一度も景気が良くなったことはないと思っている。

学問の人にありがちな「社会において評価されるべき」というのを全面に押し出すのはあまり好きではない。社会的に評価されるのは社会に有益な人材である(と社会的に認められるから)であって、学歴そのものではない。修士、博士を取る大変さは理解するし、何で世の中に認められないんだという思いもわかるんだけど、世の中の価値観・物差しは1つではないというとこをまず理解して欲しい。例え話、将棋の強さを競う世界で「私、腕相撲強いです」言うてどうなるかという話です。

橋本環奈、小学生の時にガチ惚れしてた女の子に似てるなぁと思っていつもテレビの前で見てたんだけど、ついさっきwiki調べてみたら同一人物だったことが判明して、連絡先残ってたから久々にLINEしてみたら今度ご飯食べいこうって話になってめちゃくちゃ緊張している。っていう妄想をしている

母が遺していった硬貨入りのがま口財布とか、父の最後の免許証に入ってた千円札とか、私は使えずにいまだに残してるわ

俺がどれくらいの感度でブロックしているかというと、日本語が下手なだけでバズってるインドカレー屋の店主を2回目見た時にブロックするくらいの感度でブロックしてる

世の中には様々なトラブルありますが、加害者側から「私は被害者です！」といわれるパターンはマジでやばいです。かなり動揺しますし、ストレスも半端じゃないです。そういうときはハッタリでも「証拠残ってますよ」と毅然とした態度で言うのが吉ですよ。

茂木健一郎が「日本は幼稚な国」と言っても、本人もその風潮と全力で戦っているわけではなく、日本の学歴ブランド信仰に乗っかってメディアに出て浅薄な内容の著書が売れていい思いしてるんだから、それはどうなんだと思うよねえ。

「日本ではエリートが育たない」

「出る杭は打たれる。やりたいことが思うようにできない」

などと言ってる奴らはさっさとブラジルに来れば良いのに。伸び伸び育ったエリートの皆さんが好き放題やってるから。役所の責任者が変わるたびに「俺の考えた最強の政策」をやってくれるから面白くてたまらないぞ。これぞ「まずはやらせてみせる風土」なんだよな。交通ルールなんて毎年のように変わるからな、知らないうちに違反通知が来て罰金取られてるから

「ヘイトスピーチとは何か？」なんて言う地味な作業は本来もっと最初にそれこそ学者がざっくり定義して、使い始めた側が誠実さをもって説明しなくちゃいけなかったんだ、使い始めるそばからヘイトスピーチを運動用語で乱用するから、乱用され返されるんだよ。

連載当初の野原ひろしはダメサラリーマンの典型で「新婚旅行は埼玉一周」みたいな感じだったのに、勝手に日本が衰退して上級国民に特進した回

礼節など相手が野蛮人なら通じないので、相手の文化によります。マルカムXも、クークラックスクランが縛り首リンチをしてくるのに礼節で返すのは、スワヒリ語しか分からない人に中国語で返すようなものだ。会話するためには、彼らの理解する言語を使え、と言っています(大意)。

「私たちの身近に出来ることからはじめよう」は「私たちの身近にいる弱そうな敵から手始めにシメてやろう、密告しよう、排除しよう」に簡単に転化するんやで。あらゆる社会改良運動、人権擁護運動、環境保護運動、慈善活動だったはずのものもこれで簡単に失敗してテロやイジメや虐殺に変わる。私の調査地で言うと「キリスト教徒に対する差別と偏見を無くそう」が「そのためにはキリスト教徒を弾圧する政府軍に融和的な〇〇族の牧師を殺そう」「物資不足への便乗値上げを繰り返しキリスト教徒を搾取するムスリムの商店を焼き討ちしよう」といった身近で短期達成可能な目標に簡単に変わる。環境保護団体が一体何の環境破壊をしているのかも分からんような零細焼畑民や廃材利用業者をストーカーして生業を潰して破産に追い込んだり、どうでもいいような小悪を針小棒大にでっち上げて立場の弱い人間ばかりを付け狙うのも「世の中を良くしようとする私たちが身近に出来ることから始めた」結果。また「ミクロ系での個々人の活動が統計現象としてマクロ系にどういう結果をもたらすかは単純な積算和では予測出来ない」というのは20世紀以降の科学一般の常識やったはずなのに、「私たちの身近に出来ることから始めよう」の危険性に無自覚で善意や正義で開き直るような連中なんて本物の野蛮人やぞ。

トレパク検証画像だぁ！！っつって双方の画像無断加工無断転載されまくるTwitterという地獄

大学の同級生から5年ぶりに連絡が来て、ランチに行ったのだけど、お互いの仕事や恋愛、大学の思い出話に花が咲いた。久々の再会だとよくある話なので「久しぶりに連絡もらったから、マルチの勧誘かと思って警戒したわ〜」と言うと、彼女は無言になった。どうやら地雷を踏んでしまったらしい。

トレパクを疑う人間には俺(成人男性)が可愛いポーズで自撮りしてる姿が大量に収められた地獄のオリジナル資料フォルダを送付するので覚悟してください。絶対に後悔させてみせます。

俺の隣だった女子高生、時間が勿体ないからか、試験中に受験番号かかずに毎回終わってから手上げて書いてたけど、ずるすぎて結婚したくなった

性犯罪で被告人のPCの中のエロ動画コレクションが証拠提出されることがあるけど、一度だけ、「オレも持ってるから、被告人が特殊な性癖持ってるわけじゃないぞ」的な捨て身の弁論を聞いたことがあった。他にいい情状がなかったんだろうなと弁護人に同情した。

優生学の問題、『優生学が科学的に正しくない』場合よりも『優生学が科学的に正しい』場合の方が無茶苦茶厄介だし、人間の解析が進んでいくと、たぶんある程度優生学の正しさって保証されちゃうような気がするのだよな。科学は我々のイデオロギーや価値観に配慮してくれないので（進化論もそうでした）。いまいちよくわからんのは、優生学的に見て、君、明らかに淘汰される側なんじゃないのって人が優生学の熱烈な支持者だったりするところなんだよな。ダニング・クルーガー効果の一種なんだろうか。『まあ自分の無能を必然的な帰結として考えられた方が悩みは増えないのかもな。生まれ育ちや運命の話に出来る方が自由意志の結果として今の無様な人生があると考えるよりよほど救いがあるんじゃないか、というのは常々考えるところです』みたいな話が自分の中で湧いてきてやや笑った。能力が低くて生きるのがつらい人間にとっては人権に「あなたにも生きる価値があるんですよ」と言われて苦しい生を耐えるより優生学に「お前に生きる価値はない、今すぐ死ね」と言われて苦しい生を終わらせてくれる方が圧倒的に救いを感じられるからです。

ヤマ○キの工場で3日派遣をやってからというものヤマ○キのことを敵とみなしており、しかしヤマ○キのパンを完全に避けることは難しいのでたまに買う。食べると、「敵ながら天晴」と思う。

人工子宮が実用化されたら人間は愚かなので確実に股から生まれたか機械から生まれたかで差別し合うのが目に見える

「自我をもたず他人の言いなりになる弱さ」と「信念にしたがって自分を規律する強さ」という正反対の属性が同じ【まじめ】という言葉で表現されるのは不幸のもとという気がしたッピ

社会には、64のコントローラー持って友達ん家行く時のワクワク感がない

進撃の巨人はSAPIX御三家鉄緑会と、次々襲いかかる巨人の前に仲間を失いながらようやく東大に入った調査兵団が「お前んとこグローバル大学ランキング何位よ？TOEFL何点？JTCってオワコンじゃね？」とルールの異なる武器で一方的に殴ってくるマーレの海外大勢に蹂躙される場面が涙を誘いましたね。

おれは海賊王になる、よりも、海賊王におれはなる、の方がはっきりと七五調だと気づいてからというもの、改札口におれは立つ、とか、退屈そうにおれは待つ、とか、配属先でおれはギブ、とかどうでもいいフレーズばかり思いつく

ニコニコでなろう原作の漫画を読んでたら「単行本を買ったのに乳首が解禁されていなかったのでもう読みません。原作の初期の頃からのファンだっただけに残念です」みたいなコメントが付いてて、そのあまりの内容に「乳首が出なかっただけで初期の頃からの原作ファンを幻滅させるんだ」って困惑してる。

何度も言ってるネタなんですが、昔々勤めていた会社では人事部署が各社員に戦略シミュレーションみたいな忠誠度パラメータを設定していて、私が辞めるといったら「君は忠誠度が高いのになぜだ！」と驚かれました。ゲームバランスの調整ミスだと思います

ピアノ線って殺人トリック以外にどう使うのかわからなかった。ピアノに使うのか。

新卒3年目の若手が会社を辞めたいと伝えたところ上司が「今のお前はどこに言っても通用しない」と説教。その若手は「3年も在籍して外で一切通用しない職場にこれ以上いたら本当に駄目になるので辞める決心がつきました」と返したそうです。

現代医療は「失ったら2度と戻ってこない歯」までインプラントという技術によってよみがえらせることに成功した（まあ、ちゃんと歯磨きしておくに越したことはないが…）ので、本当今の時代に生まれてきて良かったと思う

山で育った人は死体を海に捨てる、海で育った人は山に捨てる　山で育った人は山のどこに物を隠しても見つかってしまうということを知っているし、それは海でも同じこと、という話を思い出して、私は死体をどこに捨てるだろうかと考えていた。田舎で育ったから都会に行くだろうか　都会の雑踏や喧騒が死体をうまく隠してくれそうな気がするから　都会で育った人は、人が少ない田舎なら見つからない気がするのかな

最近ネット見てると、バベルの塔も、別に言語を複数化せずに単一言語のまま塔を作らせ続けていても、途中でまったくお互いの言ってることが通じなくなって、塔はきっと完成しなかっただろう、という気がしてくる。

自分の声を録音して自分で聞いたときの気持ち悪さは自分の声の気持ち悪さというより自分が他人として存在している世界の気持ち悪さだな

客「トイレってどこですか？」

今日で辞める店員「あー、全然、その辺でしていただいて大丈夫ですよ」

自分の近くにバカブス貧乏発達がいたら不快だってことを隠しもしないくせに優生思想の話になるとまるで良くないことのように嫌な顔して少子化の話になるとバカブス貧乏発達にまで子供たかろうとするから社会って気持ち悪い

Twitterで最果ての方向に突き進んでる人に「お前に必要なのはTwitterではなく治療だ、スマホの電源を切って心療内科に行け」と言ったところで「もう通ってるし何なんだお前クソが●ね」って返ってくるのがオチ。

正義とか善意というのは心意気や動機としてあっても構わんが、いざ、何か行動を起こすとなれば、それはそこにある問題を解決するという目的に合致していなければならない。「正義だ善意だ」と自己満足の為に雑な問題分析も、思い込みで逆効果な行動に走るのも免罪しとるんじゃ話にならんのよ。「マイ箸運動」なんか、どうだった？あれ、盛り上がって逆効果を指摘されて、それでもどんどん拡大した挙句、飽きてみんな放り出して、仕掛けまくった連中のなかで、ちゃんと後片付けした奴居るか？腹切った奴おらんやろ？反省の弁すらないだろ。そういう正義だの善意だの、お遊戯やんか。「世界から戦争無くす」とか、大風呂敷を広げるだけで、そういう誰にも実現不可能な遠大な目標に善意と正義で取り組んでますって、そういうポーズ見せるのが目的化しとるでしょうが。それな、ちゃんと達成可能にしていく為に問題分析して段階分けて、一段一段現実にしていく筈よ、本気ならね。で、活動それ自体を大きく立派に見せて寄付集めて飯食ってやろうって意地汚さで突っ走ってる、見栄っ張りと支配欲の権化が下を操ってるような活動ってのが、やたら目立つのよ。活動全てを否定はしないけど、ああいう連中が目立つの優先でやるから、地味にしっかりやってる人たちが割食ってるよね。なので、私は寄付先は実績見て決めてます。パンフレットがキレイとか、口から出て来る言葉が耳に心地よいとか、感動とか、そんなもんは一切考慮しないし、寧ろ、そういうところに変に力入れてアピールしてくるところは疑いますね。大事なのは、現実に効果的な事をしているかですから。ここで、「効果的」というのは結果としての事ではないので念のため。例えば貧困問題がそれでこの世から消えてはいなくても、実際に困窮する人を生活を支え命を守る現実的な行動が出来ているなら、高く評価します。それに妥当性があり効果が望めるとファクトベースで信じられるなら、寄付しますね。

なんで、「持続的ななんちゃらかんちゃら」には「経済成長が必須」かって、「貧乏人にそんなこと考える余裕がない」は、歴史上においてもそうだが、現在進行系でそうなんだよ。どんなに「自然は素晴らしい！」ってポエムっても、テメェのガキが腹を空かしてりゃ、木を切って売って金作るだろ。世界中でどんだけダンボールポエムしてるように見えても、そりゃあ金持ちの国のボンボンの戯言で、「ほなわてらに飢えて死ね言うんでんな？　ろしおま、ほな今すぐ殺したってください！さぁ、さぁ！」ってやったら、全員ゴニョゴニョるでしょ。だから、まず「みんなが最低限の豊かさを得る」なの。

私怨を私怨のまま率直に表出することにも割と知的訓練がいると思うんだよな。人間は自分の怨みに何の正義も公的な裏付けもないことにあまり耐えられないんじゃないかと思う。俺も正当化したいもん。私怨を。

ツイッターでは世の中の構造を変えないとどうにもならないって意見であふれてるのに、投票率は低いのなんでなんだろう。個人の努力じゃどうにもならないことだらけなのに。

ゲーマーの旦那さんがいる奥さんが「旦那がゲームばかりやっている」と愚痴っていたのですが、詳しく聞いたらPS4だったので、「あまりお金のかからない趣味なので、好きにやらせてあげるべきだと思います」と言って説明したら納得していました。ゲームは時間単価が非常に安価な娯楽だと思います。

年功序列の会社嫌だ。実力主義がいい、という転職理由を聞くたびになぜそんな自信があるのか羨ましい&不思議。実力主義の会社だからって、純粋に実力で判断されるかはわかりませんしね。そも実力とは何か、てことになりますしね。年功序列はむしろ良い制度では。年功制であっても課長あたりから差が付きます。頑張りたい人は社長になれる、そうでない人も受容される。今流行りのDI&Eにドンピシャだと思います。

女性向け恋愛ゲームを知人に勧められてプレイした時に「この喫茶店経営ゲーム面白いんだけど、しょっちゅうやってきて営業妨害してくる謎のイケメン共を全員出禁にする方法ってないの？」って言ってしまったあの日から自分が絶望的に恋愛ゲームに向いていない事を知った

「何者かになりたい」という気持ちと「幸せな家庭があればそれでいいじゃないか」という気持ちの折り合いのつけ方を義務教育で教えて欲しかった。

「オタクは相手の『好き』を否定しない」という時の「好き」が指すものは、「アニメ」とか「特撮」とかのジャンルであって、「けものフレンズ2」や「大怪獣のあとしまつ」というような個々の作品ではない、ということを知ってほしい。

先輩とは友達になれる気がするけど、後輩とは友達になれそうな気がしないな…気を遣わせてるんじゃないかって思っちゃうから…真のコミュニケーション能力は先輩と打ち解ける状況というより、むしろ後輩に気を遣わせてはいけない状況において発揮される

働かずに金がほしいので、よく治験をしている。この前、治験入院中に暇だったので『賭博黙示録カイジ』を読み始めたら、連帯保証人になってたせいでカイジが背負った借金の額が、自分が借りてる奨学金の額より安かった。「限定ジャンケン」がスタートしたとき、船井がカイジに「このゲームで負けたら、売春させられるか治験させられる」とアドバイスしていた。俺は敗北後だった。

この中で佐々木希と結婚した上で乱交パーティーに参加した上、日常的に女に一万円払って六本木ヒルズの多目的トイレでおせっせしたり、LINEビデオ通話を使ったオナニーの相互鑑賞プレイを楽しんだりことがない者だけが渡部に石を投げなさい。

以前にどなたかが言っていたような気がするけど、毎日毎日、ツイッターでずっと何かを発信し続けるというのはかなり大変で、そのためには趣味であれ何であれ、情報をインプットしていかないといけない。それがないと、結局は自分か他人をコンテンツにするよりほかない。ツイッターだと「なんでそこまで他人のことに口を突っ込むかな」と思ったりもするのだが、結局、他人をコンテンツにしないと他にツイートすることがないというような単純な理由なのかも。

両親は中卒で、おれが生まれる前から、今まで貯金ほぼ０円なんだが、別に「能力が低い」わけじゃなく、「危機感がない」んだよな。なんでも、ワンチャンどうにかなると思ってるので、死ぬほど努力して勉強したり出世したりする必要性がない。そういう家で子供が育つと奢られ屋で生計を立ててしまいます。「学歴がすごい」とか、「年収がすごい」的な話って、なんとなく「能力の有無」に直結した話になりがちだが、実際はビミョーなところで、そもそも「●●(学歴、お金、etc...)がないとヤバい！」という強迫観念があるからこそ、ブーストが掛かると思うんだよな。スッピンで東大みたいな化け物は除いて。

犯人「残念でしたね探偵さん、私には完璧なアリバイがあるんですよ」

探偵「アリバイがあったら人を殺していいとでも思ってるのか？」

犯人「え？いや、そうじゃなくて、"アリバイがあるから人を殺してない"って言ってるんですよ」

探偵「黙れ、この人殺しが」

犯人「推理とかする気あります？」

年収高い会社の方が人格者多いし、まともな人間が多い。極端に年収高い会社はそこから漏れることあるけども。平均年収700万円で職場の人間関係に悩んで500万円の会社に行けば仕事は楽になり人間関係もいいなんとのは幻想。むしろ酷くなる。

パワーリフター40代男性の腰椎の単純X線画像をみたことがある。80代のそれを超えてた。趣味レベルの筋トレで、早くから寝たきりになるのが嫌で、わたしは高重量を求めることをやめた。中重量でもこれくらいにはなれると知らしめたい！ベンチは70kg、スクワットは100kg、デッドは90kgまで

借金取り「娘にゃ風呂で働いてもらうぜぇ！」娘「お父さぁん！」父「必ず指名するからなァ！」

最近周りのサラリーマンから「年収1,000万稼いで気付いたことは東京だと年収1,000万程度じゃロクな暮らしはできないということ」という話をよく聞く

「〇〇が好きな自分が好きなだけでしょ」って角度からの批判、自分を好きなのは普通にいいことだから全然ピンと来ないよな

いつも言ってる話ですね。政治家や企業の経営層や高級官僚の男女比率なんて、お前らに一体何の関係があるのかと。これらが変化してジェンダーギャップ指数（笑）が好転しても、お前らはそんな職業にはつけないし、生活には何の関係もないぞと。数字に煽られてるだけなんだよね

左派メディアがポンコツ指標で男女アイデンティティ政治煽るの、弱者同士の不毛な対立する生むだけじゃなくて国への無用の不信感まで培養するからホント終わってんだよな。あれで騒げる人間というのには、自分も社会の構成員であるという自覚が全くないのだろうかと思う

やっぱり「日本人は日本人であるだけで価値がある」をリベラルは超えられへんのや。「日本人は日本人であるだけで価値がある」、「日本人であることを理由に差別されないのは日本だけ」とグローバリストでも受け入れやすい形に言い換えてもいいですね。コロナ以来、先進的なはずの欧米で出羽守すら擁護できない酷さのアジア人差別が散々起きたわけで。財産や特別な技能もなく、地域住民での連帯もなく、親族・氏族の紐帯もなく、同一宗教の信徒間の相互扶助もない、普通の日本人が生きる上で、現時点では国民国家より優れたものは恐らく存在しない。

いまどきの女にとってなるべき理想像が「結婚や出産を後回しにして勉強頑張っていい企業入ってバリバリ稼いでアラフォー目前になってから急に焦って婚活してギリギリ40で出産、ボロボロになりながら仕事と育児両立させて世間に呪詛を放つ」なの、ダメやろ。まだ「大学生あたりの年齢のうちに結婚して卒業早々に出産し、その後それなりに育児集中して子供が小学生くらいになってから仕事を始める」のほうがなんぼかマシやでマジで

私には、その生き方を尊敬してる今還暦の女性がいて、その人から沢山生きるヒントを頂くのだが、ある時「どんな道を選んでも、その時選ばなかった道が良く見えがち。弱ってる時は特にそう。選ばなかった方の「良かった」をいかに見ないで早く切り捨てられるかが大事」と聞いて、それ以来、心身が弱って「選ばなかった道の悪魔」が肩を叩く日にも、あまり後ろを見なくなりました。それで人生の生傷がなくなるわけじゃないけど、傷が膿みにくくはなります。でも、そんなことを教えてくれるその人は、自分が言ったことをすぐ忘れちゃって「そんなこと言ったー？」って笑うんだわー。素で言ってんだなっていつも思います。その人自身も、会社の経営や身内のことで、沢山の人生の選択をしてきた人です。今思ったんだけども、ナチュラルにメンタルの強靭な人は、それを処世術として人に発信する発想があまりないのかもしれない…あまりに素に持ってるから、有難いことだと感じてないふしがある…この時も、私がくよくよしてたから、そう言ってくれたんだった。

見まちがいであってほしかったけど、息子が納豆を駆使して、スパイダーマンの糸をものすごく再現していました

世界史の先生が、不凍港を求めて行われたロシアの南下政策のくだりで、「まあうちの娘は不登校なんですけどね」と言ってすべっていたときの、教室の薄暗さとか初夏の風

クリエイターが創作活動で何を削っているかについては、寿命を削るタイプ（ブッ壊れるまで気付かないヒトが多い）、自尊心を削るタイプ（メンタルが不安定になりがち）、人間性を削るタイプ（なんだかよくわからない生き物になる）の3パターンがあると思ってる。

1000万円カツカツとか言ってる人を見ると、分不相応な暮らしを当然視してしまう人の痛々しさに、ついイラッとしてしまう。自分の欲望に所得が追いつかないという話ならなんとも思わないけど、欲望が満たされないことをカツカツと言ってのける傲慢さは我慢ならぬという話ですね。

左足が救急車に当たったのが無性に気になってしまい、右足でも救急車を蹴ってバランスを取ろうとする強迫性障害の鬼束ちひろ

断言できますが大学教員の多くが私服なのは親しみやすさを狙ってるわけではなく、単にスーツ着るのがめんどくさいと思ってるだけです。逆にスーツを毎回着用されている先生もいますが、聞くと逆に私服を選んで着るのがめんどくさいだけなようなので、私服もスーツも面倒だからきてるだけ。

東大から官僚になってまだ働き続けてる友人が複数いるけど、彼らは投資の回収とか考えてない。日本をどうにかしたい、日本のために働きたい、と思って官僚になってる。だから超絶リスペクトしている。

親という家庭内でのローカルな「何者」で満足できる人間が大半なんだから、無駄にグローバルな「何者」を追い求めるor追い求めるフリをするのをやめろという話なんだよな。特に追い求めるフリをするのは人生を破壊するだけで何の意味もない。

「年収高い会社の方が人格者多いし、まともな人間が多い」「仕事は楽になり人間関係もいい」というのは本当にそうなんだけど、多くの場合、それは年収の低い会社に汚れ仕事をやらせているからで、「奴隷農園主の家に行ったら、みんな穏当で紳士的な人たちだった」なんていう話を聞いてるみたいだ。

5年前、極端にお金がなかった時期に、業務用スーパーで大容量の食材を買ってきて30人前くらいの料理を一気に作って規模の経済をはたらかせるのが好きだった。一食100円くらいで栄養価も味もそれなりのものができると、「完璧だ！」と大満足だった。安く上げる料理には明確にゲーム性がある。今、特にお金に困っているワケではないけど、やっぱり業務用スーパーに行くのが好きである。そして、やっぱり30人前を一気に作って規模の経済をはたらかせようとしてしまう。昔はやむを得ず節約してるんだと思ってたけど、どうやら単に安く上げるゲームが好きなだけらしい。所得の多寡は関係ない。

写真勉強してた時大学で先生が、写真を撮って表に出せば自分の想いや意図とは別に批判されたり無視されたり、本人の思い通りの反応が返ってこない事は多い。そうした時にも自分を、そして自分が表現した事を見失わずにいる事。そして撮り続けて下さいと言ってくれたのを時折り思い出しつついます

ところで人にあまり期待しないようにすると生きやすいですよ、楽しくもないですけど。職場では怒らない人扱いされてたけど、期待がないから怒らない。働く場所と楽しむ場所はわけたほうがいいよ。

フェミニズムのオタク文化への因縁は、「社会運動の文脈で、社会正義から作品を修正する方向で攻撃」を仕掛けておいて、いざ旗色が悪いとなると「一個人、一ファンの感想、批評である」と逃げを打って誰も責任を取らないことなんだよな。「入信した覚えのない宗教の異端審問官」すごいわかる。

ただでさえオリンピックは、肉体を異常に鍛えた人々が異常な競争心をむき出しにして、異常に高く跳んだり異常に速く泳いだり異常にくるくる回ったりする異常な祭典なのに、そこにもってきて冬季オリンピックはそれを冬にやるのだ。あの寒いことで有名な冬に、外で、しかも雪とか氷とかの上で、わざわざ全身に不自然な道具類を装着して、異常に高く跳んだり異常に速く滑ったり異常にくるくる回ったり異常にごしごしこすったりするのだ。全員気が狂っているとしか思えない。

何らかの理由で『どうぶつの森』を1度放置してしまうと「インフルが治って1週間ぶりに学校行くときの不安感」を200倍くらい高めた気持ちになって一層触れなくなりません？

わたしが会社を辞めるときに「お疲れ様です！俺も辞めるときはすべてをめちゃくちゃにしてから辞めます！」と言っていた後輩から辞めました！という連絡が届くと同時に元上司からヘルプの連絡が来たので、本当に後輩はすべてをめちゃくちゃにして出てきたのだなと一人でウケている

昔は心の中に飼ってるギャルが「いけるっしょ！大丈夫っしょ！！」「でもお前頑張れんじゃん」と励ましてくれてたけど最近は「無理っしょ」「2月っていつまで寒いん？」とかネガティブなことしか言わなくなった

発達障害が多い会に行ったらまず集合時間に50％しか間に合わず（※当社比では多い方）、部屋に入った瞬間飲み忘れていたシャブを服用する人間が発生し、後先を考えず持ち込んだ食料が溢れ、途中から一人でゲームをやり出す人間が出現し、最終的には2人組が複数できてそれぞれで喋っていて良かった

年収1000万〜系の話題、生まれ育ち努力とか諸々あってのそれだからそれ自体には前も悪もないんだよね。ただ、年収1000万も結構苦しいんだ〜というムーブに平均年収側が噛み付くのは普通のことだと思うよね。むしろネットでわちゃわちゃ言うだけで済む日本は平和でしょ。治安も悪くないしさ。これは前にも言ったけど、市民の格差が開きつつある日本でそれなりの治安が保たれてるのって、衛生とか福祉がしっかりしてるのもあるけど何より貧しい人が暴動を起こすほど格差に怒りを表さないことではあるんだよね。本当に貧しい人が冷や飯食いながら税金納めてることを蔑ろにしちゃいけない。ここでも「高年収はたくさん税金払って云々」言うやつは出てくるんだろうけど、彼らがそういう職に付けて快適な生活を出来るのってエッセンシャルワーカーを誰かが引き受けてくれてるからってのを忘れがちなんだよな。低賃金で正直誰もやりたがらないようなきつい仕事を、やってくれてる人がいるわけ。実際問題、豊かに生きるには重要だけど「生きていく」だけなら必要ないものの価値がそれなりに高かったりする訳だよ。スポーツ選手も芸能人もYouTuberも金融マンも。それらを下で支える人達をこき下ろしてまで年収1000万側は苦しいみたいな言説を擁護する理由はないんだよな。恵まれた側じゃん。

わりとマジで「精神科の主治医に対してどうしても弱音を吐けない」という意味不明で本末転倒な悩みを抱えている発達障害者は俺以外にもたくさんいると思う。

「女医が増えると医療崩壊が起こるので社会保障費に圧迫されてる日本の現役世代の状況が改善する」という意見を見てからゆるふわ女医を応援してる。

金属のボールに10メートルの紐をつけてグルグル回し、「力」を感じたい。

「何かを成すには短すぎ、何も成さないには人生は長すぎる」という言葉があるけどその通りだと思う。何も成さなかった私にとって、現代社会の人生は長すぎる。そして最も得やすい人生の成すべき役割としての「親」。

子供のころ社会科の資料集か何かで覚醒剤の体験談みたいな記事を読んで、「打った次の瞬間には1週間経っていて、部屋はめちゃくちゃで飼い犬は死んでいた。」とあり、犬の部分が恐ろしすぎて絶対クスリはやるまいと誓った。効果てきめんな教材であった。

Twitter、【じぶんがうまく言葉にできずモヤモヤしてるものを華麗に言語化する天才たち】がそこかしこにウロウロしよるところに罪がある

自分が実際になってみて分かったけど（49歳）、50歳以降の先が見えたいわゆる「シニア層」を処遇するのは、雇用者側としては本当に難しいんだ。故に業績好調でも希望退職募集を繰返す企業の動機が分かってきた。「頑張ったところで何をくれますか？」と「何もあげられないけど頑張って」のせめぎ合い。「専門職」という別のラダーを作ってみたけど、そもそもジェネラリスト養成のためのキャリアプログラムを組んできたんだから、入社からずっと企業内研究所にいて、時々外部研究所と交流してますくらいの人材にしか使い様がない。被雇用者側が「頑張るけど、頑張ったら何をくれますか？」と問うのに対して、雇用者側は「これ以上何もあげないしむしろ賃下げするけど、でも頑張って」と答えるのでは、そもそも会話が成立していないものね。雇用者側は役員以上（少し下げても部長以上）にする人材の選抜は決まっていて、それ以外は属人的な業務を扱う従業員か特殊技能を後輩に伝達する従業員か、とにかく高級で飼ってなきゃならない従業員は、ごく少数しか「要らない」んだよ。だから被雇用者側は子会社関連会社取引先へ「転籍（労働条件切り下げ付き）」とい片道切符で本体から外に出すんだけど、このご時世それも限界がある。一方、若手の士気鼓舞のため40代部長を誕生させねばならない。突き上げ圧力だよね。その結果、どんなに業績が良かろうとも、雇用者の側からの「客観的」には、余ってしまって見える「50代被雇用者」を常に退職へと追い込むインセンティブが生じる。通年採用の裏返しとしての、通年（50代被雇用者）希望退職募集。世知辛くもあるし、カラクリが見えればバカバカしくもある。私は通勤時間を含めると、若年時から壮年時には人生の3分の1から2分の1の時間を投じる対象に対して、単な労働力と賃金の取引とは思えなかった。それ以上のウェットな何かが無いと、こんな（ある意味分の悪い）取引維持できなかった。でもねえ、一区切りついて分かるけど、ウェットな何かが無いと、ウェットな何かを片思いとして差し出さなければならない取引は、やはり雇用者側に利用されて終わるよ。ああ、もちろん「自分は絶対に選抜を勝ち抜く自信がある」被雇用者は別だけどね。だから、近年の東大生が外資戦略コンサルタントや外資金融機関への就職を重視して、そこを振り出しにキャリアアップを図っていくというキャリアを立てているのは理に適っていると思うんだ。そこにはウェットな何かが介在する余地などないからね。それが正解だよ。もちろん、これは学卒でそのうえ更に上澄みの世界の話なんだろう。高卒の世界では、いまだに「同じ釜の飯を食う」が大事にされる世界もあるんだろう。そこも分からないではない。就社して最初期に現場に出向したからね。でも、そのような「同じ釜の飯を食う」ことが重視される職業は、これからDXの波に洗われて次々と自動化されていってしまうのかもしれない。絶対の自信があるのではないけれど、エッセンシャル・ワーカーでもない限りそうなっていくんじゃないかな。だからこそ、社会に無くてはならない、たとえばごみ収集で働く人や、保育士、看護師、介護士といった職業の人々には、より賃金で報われて欲しいと願うけどね。それこそ企業横断的産別労組を結成して、賃上げを勝ち取ってほしいと心から祈るよ。そうすると、そのような賃上げは直ちに日々の暮らしを生きる人、いわゆる「消費者」の生活を直撃するんだろうけど、そこは「応能負担」で乗り切れないかな？と思うんだ。高給取りの成功者だって社会のインフラを利用しての成功者なんだから、もう少し負担してもいいんじゃない？って。50歳代と言えば（もし子がいれば）教育費がかかる真っ只中だし、住宅ローンものしかかってくる世代だよね。そこで雇用者が「経営幹部になれないあなたは、お荷物なだけで要らないんです」と突っぱねれば、被雇用者は途方に暮れるだろうな、というのは何となく分かる。いずれ労基法上の「管理監督者」概念の虚妄が暴かれる日が来るんじゃないかな。一応4要件があるけど、あれらを全て満たす被雇用者なんでまず珍しいし、1つだけでも満たしている被雇用者だって、どれだけいるのかなって。労基は手を入れない、というか入れにくいんだろうけど。厚労省が「発表するように」と指示してきた項目の中に、「この年度で中途採用したのは何％か（何人か、だっけ？）」っていうのがあって、あれ意味分かんないんだよね。「あなたの会社は雇用の流動化にどれだけ貢献してますか？」を聞いているのに等しくて。大きなお世話だと思うんだけど。善解すれば「どれだけ異なる背景を有する人材を採って、組織内のかきまぜ効果、多様性の向上に意を払っていますか？」という設問なんだろうけれども、一方で純血主義の何が悪いの？とも思っちゃう。企業風土を悪戯に乱すのって良い効果を産むのが確約されているの？ってね。結局、「四半期決算至上主義」「外部会社経営指標による評価至上主義」って、その直輸入によって日本の労働慣行には決定的かつ不可逆のダメージを与えたよなあって。それで幸福になったのは誰？投資家？投機家？数では労働者の方が圧倒的に多いんだけど。私の中にも昭和へのノスタルジーはあるけれど、基本は変えようがないにしても、令和に相応しい労働者の闘い方ってあるんじゃないかって気がしている。まだ漠然としていて、全く言語化できていないけど。たとえば、「消費者」と「（労働力の再生産労働を含む）労働者」、人間は二面を有していて、ではあなたは 消費者としてUber Eatsを使いますか？　ラストワンマイルのために非人間的委託を強いるAmazonを使うか、社員化しているヨドバシを使いますか？　というのも一つの闘い方なんじゃないかな。私たちの生は、最早否応なく他者の労働に依存している。前近代からずっとそう。しかし、少しでも私たちが他者の労働の改善に資そうとするならば、いくつもの選択肢がある中で、消費者としての権力を行使する際に、より労働者の福利に寄与する行使を為せるのではないか。昭和の「不買運動」から一歩進んで、どうしたって生活の維持向上に不可欠な消費を行う、消費者としての権力を行使する際に、私たちの生を支えてくれる労働者に少しでも有利な選択権を行使する。これが令和の闘い方なのではなかろうか。「より善く生きたい」というテーゼは決して普遍的なものではなく、これ自体の普遍性の獲得が前段として問題になるけれども、「私はより善く生きたい、可能な限りあなたとともにより善く生きたい」という生の在り方は、そんなに遠いものなのだろうか。

ライブとかで、歌手の名前を叫ぶ人がいるけど（アスカ～～！！みたいに）全然関係ない奴の名前叫んでる人いたらめちゃくちゃ怖いし、しかも面白いな

できた話があると嘘松と言いたいのは分かるけど、病で世界中の経済がストップするなんてファンタジーじみたり、藤井聡太は19歳で4冠をとって最年少で5冠に手をかけてるし、バスタードはアニメ化するんやで？ちょっとくらい不思議なことはそこら中にあるんだなぁって考えの方が世の中楽しいですぜ。即位礼正殿の儀では雨が止んで晴れ間が覗いて虹が出たし、東京五輪2020では兄妹が同じ競技で同日金メダル獲得とか、幼馴染年の差ペアで金メダル獲得とか、13年ぶりに復活したソフトボールで決勝の組合せが同じで先発投手の組合わせまで同じだったとか世の中リアリティのない出来すぎた現実が割と頻繁にありますよね。

「築く」「伸びゆく」「未来」「希望」などの歌詞が含まれる校歌が山間の集落に響く閉校式について考えながら悲しい気持ちになっていた

価値観は人それぞれって引用リツイートしてる方々、全然価値観は人それぞれって思えてなくてつい引用リツイートしちゃってるジャン

学生には法学の勉強を一つ一つ理解して積み上げる（積んだところはクリアに理解できる）ものじゃなくて、1000ピースのパズルみたいなイメージで考えたほうがいいよと言っている。1わかって気になっても全然絵の全体像は見えなくて、ただがまんして続けていくとあるときから見えてくるイメージ。

誰に言われたのか忘れたけど、修士〜博士で記憶に残ってる教えが「お菓子食べて帰るだけでもいいからコミュニティには毎日顔を出した方が良い」と「全く成果出てなくても、毎日やってるなら根拠のない自信を持ち続けることが一番大事」の2つです

刑事弁護って負け戦なんすよ。どれだけ優秀な人がやっても99％は負ける。明らかに冤罪だと思うケースでも救えなかったりする。それでも挫けずに悔し涙を飲みながら戦い続ける人がいて、そういう戦いの中で少しずつ新しい法理が確立されていったりする

小4の頃に拙い語彙力で「芸能人　おっぱいまるだし」と検索して初めて見たavのサンプルに10年ぶりに再会して泣いた

「だって僕たち いつか死ぬから」で終わる短歌。お待ちしてます。

私は、飛蚊症で飛んでいる蚊です。

外来で90代の患者さんにけっこうヘビーな病気の説明をしたんだけど、落ち込むかと思いきや、「これで週末の喫茶店での病気自慢で勝てる」と元気に帰って行った。モチベーションが違った。

youtuberって担任の先生の物まねして笑い取ってるようなもん。そのクラスかよくて学年でしか通用しない

インターン生が懇親会で「担当者が使っているエディタが秀丸なのに明るい未来を感じなかった（意訳）」と言っていたという話を小耳に挟んだんですが――

誰もが救国の英雄になるなんてことはできないが、「小さく勝つ」とか「なんらかのロールを果たす」といったポジティブな行動原理を皆にとって無理のない範囲で実現できるようにショバを作るのが持てる者の本来の仕事なわけであって、弱者性への気づきを促すなど頼んだ覚えは全くない。そういう不健全な最強弱者トーナメントから脱却し、ポジティブな風土を作る上でと考えると、「多様性信仰」というのは際限なく弱者を投入するための方便にしかならんのでこんなものはいらないという話になる

引っ越しや進学や転職等々で、人生で何度か「人脈リセット」みたいな技を使える時があるにはあるんだけど、それに頼って、過去の悪事や恨みを有耶無耶にしようとする癖がついたひとは、何度もリセットしようとして、最終的にどうしようもない所まで行きますね。世の中、たとえ、都会であろうとも横のつながりはあるので、リセットしたつもりになっても悪事は又聞きされるものです。更に、騙し癖の様なものは当人の言動と雰囲気と心根にまとわりつく上に、偽装に偽装を重ねると生活が詐欺みたいになっていくので、誰からも好かれない人になります。

例えば年収1,000万論争だと「稼いでないくせに年収1,000万の暮らしを語っちゃう人(笑)」vs.「見栄張って頭の悪いお金の使い方してる人(笑)」みたいな感じであらかじめ両サイドに武器を配っておくと火を放った人を差し置いて勝手に殺し合いを始めてくれるので炎上リスクも低くお得にバズれる

同棲3年目のある夕食中に「そろそろ結婚しない？」と伝えたところ、彼女がネギトロ丼を頬張ったまま泣き出してしまい、やっと飲み込んだと思ったらなぜかまた食べはじめ、ネギトロ丼を食べ終わるまで返事を待たされた、というパン屋バイト時代の先輩のプロポーズエピソードがめちゃくちゃ好き

人類の半分はIQ100以下で、IQ85以下でも16%いるので、ツイート140文字を読み通せない人間は石を投げたら当たる位にはいる、はず。

ドライブ中に友達がかけたプレイリスト、星野源も湘南乃風もエミネムも全部カラオケで録音された友達の声だったのかなり面白かったし、途中途中で「音程むず〜」「2番の歌詞知らねえわ」とかの声も入ってて最高だった

零細社長やってるけど、1億ほどの借金を背負って、給与や返済や仕入れの支払いでお金に追われて、社会保険料は会社負担分も支払って、消費税も支払って、従業員よりも報酬安くして、倒産の恐怖の中日々を過ごして、会社潰したら全責任負わされる生き地獄なのに毎日遊んでツイッターしてるって書かれる

山手線に乗ると「転職しろ」「住居を変えろ」「毛を適切に増減させろ」というメッセージに囲まれるんだけど、これらはいずれも「本来必要ないものを必要だと思わせて無駄なアクションを起こさせよう」とするものなんだよな。要はマナー講師と同じく、やってることは「需要の捏造」

「〜〜欲しい」に対しても「〜〜欲しいんだね」って返して子供の反応見るといいよ。「〜欲しい」という言葉に「〜を買ってくれ」という要求の意味をのせてるのは実は大人の方だったりする。「ガチャガチャがあるね」という子供の言葉に「ガチャガチャをやりたい」という意志をのせて受け取っているのは大人の方だったりするんですね。もし子供がその意図で言っていても「ガチャガチャをやりたい」とは言ってないわけで。「ガチャガチャあるね」という言葉に「やりたい」という要求を親の側でのせて受け取る、というのを繰り返したら当然子供は「あるね」という言葉で「やりたい」という要求の言葉として使えると学習する。あと、もう一歩進めて「ガチャガチャやりたい」に対して「ガチャガチャやりたいんだね」と共感で返すとどうなるか、子供の反応を見るといい。「やりたい」という欲求の言葉で「ガチャガチャをやらせてください」というお願いの意味が通ると思ってる子は、多分そこでオヤっとなる。「ガチャガチャをやらせて欲しいのだ」という明確なオーダーが出て初めて「ガチャガチャをさせてあげるかどうか」の返事ができるはずなんだよ、言語のやりとりだけで言ったらね。

スポーツ選手を見てても分かるけど、不連続な進化が起こって、その後の世代の人間はそれが所与のものとしてその状況に適応できるのだけれど、その前の世代で適応できるのはほんの一部の天才だけ。これは、何度も言ってるけれど、人間社会の価値観でもおんなじで、価値観のアップデートなんで普通の人間はできないし、社会のアップデートは世代の以降でしか生じえない。だから、他人に価値観のアップデートを指示する人間は傲慢だし、その人間もたぶんアップデートなどできていない。

イライラした人間を300人ほど詰め込んだ箱がいくつもあって、その中で問題が起こらない方が奇跡だと思う。

最近の若者は努力が嫌いなんじゃなくて成果が不確定な努力を嫌う傾向にあると聞いて、なるほどと思った。無駄な努力に時間を取られるのを嫌う。だから例えば、事前に評価を確認して面白いことが分かってる映画に2時間は割けるけど、面白いかどうか分からない映画に2時間取られるのは我慢ならないと。自分の一生をかけても見きれないコンテンツがあることが分かってる中では、自分の時間をどう有効に使うかに苦心するのはある意味で合理的と言える。スマホのコンテンツはいかにユーザーを拘束して時間を奪うかに腐心している。物心ついた時からスマホのある世代は、それを敏感に感じているのだと思う。

どれだけ気が合う友人であったとしても、TeXで「・・・」を打つとき"\cdots"ではなく"\cdot"×3を使っていたら幻滅するし、ましてや数式中に全角の中黒3つ使ってたら殺しちゃうと思う

他人が飼ってるペットの写真を見た時の「かわいい～～！」は割と本当だけど、他人が育ててる人間の写真を見せられた時の「かわいい～～！」は社会を最低限乗り切るために精一杯喉の奥から絞り出している感があるな

催眠音声「下、脱いで♥」

俺「うん！！！」ｽｯﾎﾟﾝﾎﾟｰﾝ!!!

催眠音声「パンツつっかえちゃってるよ？　私が脱がしてあげるね♥」

俺「うん！！！」（パンツを高速で履き直してから、ややゆっくりと脱ぐ）

「実力主義」「能力主義」は、じゃあその「実力」「能力」を誰がどうやって計測＆評価するん？という部分の共通理解、それこそ「共同性」含めての部分で担保されとらんと、どういうことになるのか、もう大方思い知ってきとるはずだわなぁ…。ヘタに「客観的」(と言われる)基準やものさしこさえたら、それに適合させるべくあらゆる手段(比喩でなく)繰り出して点数上げるのが「合理的」「アタマいい」世渡り作法とされて、みるみるうちに蠱毒化したり。

もうすぐ6歳になる次女が「生まれ変わったら中学生になりたい」と言っており、長女が「生まれ変わらん方が成り易いよ」と教えていました

web3界隈は「世界中の人が熱狂するオンラインプラットフォーム」っていう金塊の存在が予言されたので色んな人が飛び込んだゴールドラッシュ。前回と違うのはその金塊の性質すら明らかではないのにそれの応用をマネタイズする投機の話で持ち切りになってて誰も金塊を探してない事。

性交同意書なるものがデフォになったとして、次は「性交同意書への記入を強要されました」という告発が相次ぐだろう。保証人が必要だという話になるが、今度は「デリケートな問題に第三者を入れるのか」ってなるし。

村上春樹がオウムの信者は小説を読まなかったみたいなことを書いていたけれど、あれって人生にとっての物語の効用を得ていない人間は、あるいは言い換えれば自分の人生を物語化することのできない過去の自分の経験に向き合えないような陰キャはカルトや過激思想に走りやすいという残酷な話なのでは……

「社会適応できないと精神疾患とみなす」という考え方、昔から「恣意的に誰でも精神疾患とみなして排除できる」という(現在では的外れな)批判的解釈が外野から加えられるけど、むしろ逆で「明らかな異常所見があっても社会適応できていれば見逃す」だよな。あなたの生きづらさを改善させる手段があったとしても現在それなりに普通に生活できているあなたの個性を変えてまで生きづらさを改善させますか？あなたとは何ですか？という話なんだよな究極的に。21世紀先進国において「誰でも恣意的に精神疾患とみなせる」という運用はなされてないんだけど、「明らかに異常所見がある個人について書類上の社会的要請に従ってやや恣意的に診断する」ということは実際に行われるので、それってどうよとは思うけど問題の主眼が違う

freedomは自由と訳さずに「勝手」と訳すべきだった、というのはほんとだと思います。

髪切ってくれた美容院のお兄ちゃんが「最近はスポーツ見てた層までアニメを見ている。みんな○滅と呪○を見ている。スポーツは結果だけ見て適当に話を合わせられるけど、アニメは全部見ないといけないらから辛い。鬼○と呪○合わせて50話近くあるマジで辛い」って本当に辛そうに言ってて笑ってしまった

商売上手な中国人の知人がとある日系企業の内部規則を見て「不正をしようと思ったことないやつは完璧なルールを作れない。見ればすぐ分かる。つくりが甘い。」と言っているのを聞いたときルールメーカー心構えを少し知れた。

アスペには解けない問題と称して読解力を要する問題とその正答がツイートされているとき、リプライには明らかに「そっち側」なのに「なんでこんなのが解けないんでしょう？」「これ正答はAって書いてありますけどBもあり得ませんか」って置きに行ってる人がいて「ほんものだ」と思うなど。

職場に何を質問されても「違うよ」から話し始めるジジイがいるんだけど「今日火曜日でしたよね？」って聞かれて「違うよ明日は水曜日だから今日は火曜日なんだよ」と答えていて本当にこわかった

専門学校の先生に「見た後に自分も何かを作りたくなったら、それは良いものを見たってことだよ」と教わったやつをず〜っと胸に置いている

いつだったか、ひろゆきが「麻雀は他の3人が時間掛けて高い手を作っている隙に喰いタンでアガれば勝てる」みたいなことを言ってた時の、「ああ、こいつはいろんな分野でこのレベルのことを言ってるのをあちこちでずっとやってるんだな…」という納得感すごかった。

「味付け失敗したかも。ゴメン」と申し訳なさそうに料理を出すと夫は「出汁の味がよくわかる」とか「濃いからご飯が進む」などと、是が非でもポジティブなコメントを捻り出してくる。一度よっぽど褒めるところがなかったのか「皿のチョイスがいい」と言い出したことがあって笑った。

「じゅうふく」と読むのも恥ずかしいし「ちょうふく」と読むのももはや恥ずかしいので重複という言葉はもう無くしたほうがいい

安倍晋三、国会答弁で「妻を愛しています」と絶叫した男の中の男なので、政治家としてはともかく男としては尊敬できる。居酒屋でカメラを向けられて「『○○！(当時付き合ってた女)愛してるぞ！』って言え」という罰ゲームをやらされた時、恥ずかしくて全員二発ずつぶん殴ってしまった俺とは器が違う。言えるかお前。国会でなんかキレてる有象無象に囲まれて「私は妻を愛してます！！」って。俺絶対無理だよ。あれは昭恵嬉しいだろねぇ。その夜は久しぶりに盛り上がっちゃったんじゃねーか？盛り上がっちゃってほしいよ。男一代の絶叫だもの。受け止めてやる義務が昭恵にはある。

教育って、究極的には「あ、この人の話の続きを聞いてみたいな」と思わせて、「でも最後までは教えない」ことだと思います。価値観は押し付けられないけれども、興味の入り口くらいは共有してもいいんじゃないか、というのが私の立場です。古典とか、そういう括りはあまり関係ないんです。

「退職代行使う金がなかったから退職代行のふりして退職の電話入れたわ」「これもう退職やろ」

男らしくない男、女っぽいというよりは子供っぽいに近いような

女性はもっとこうしっかりしてる

軽自動車に軽油を入れる、みたいなやつ、自分の身の回りにいないから実感しないけど日本には全然いるんだろうなって思っちゃうな…。軽油の軽は軽自動車の軽だと思ってました、ということらしいが、こう、「それをする前に店員さんに聞かないの？？」みたいな感情と「いや、そんなことをする奴は聞くわけがない」がせめぎ合っている。世の中には信じられないほど阿呆な人たちがいるが、彼らが平和に生活できていること自体は愛すべきである

何でもかんでも差別だ差別だと騒ぐ過激な人たちは昔から存在したが、SNSの発達によってその発言の異様さが可視化された。彼らのような存在は「差別を減らしていきたい」とごく自然に考えている大多数の人たちからも共感を得られない。なぜなら彼らこそ排他的であり攻撃的であり差別的だからである。

以前イメージリテラシーについて、例えば美術館で一番嫌な絵を選んでもらうとよい、と述べた。「あなたならどうするの？」「こう描かない」「じゃあなぜこう描いてるのかしら？」と。ここからがリテラシーなのである。「私ならこうする」止まりでは、鑑賞にはならない。これは自称専門家でもよく謬る。例えば僕がSNSにヌード作品をアップしたとする。「卑わいだ」と思うかもしれない。でも「この投稿者には卑わいに視えていないのかもしれない」と考える人は、イメージリテラシーに踏み込んでいる。そして「なるほど、裸族と暮らしたことがあるのか」と、あらたなリテラシーに開いていくかもしれない。視るにはリテラシーがいる。これがないと「どう見ても◯◯でしょ」「ああしたほうがよくなるよ」と、作品講評してしまう。これはまず自己認識から改めなければならない。自分は「フツウ」ではなく「変」なのだと。みんな例外なく「変」で、それは祝福なのだと。この祝福がリテラシーへのとば口になる。

弊社、全社員が自己目標を立てさせられて、定期的にレビューされて、その出来栄えが賞与査定に加味されるんだけど、ここ5年ぐらいはズルして「公開していないだけで自分の中では何年も前に解決している課題の解決」を目標にして全く努力せずにめちゃくちゃ評価されている。

ADHDの特性がない人に『脳内多動』を分かりやすく説明しておくと、日常生活をしながら24時間「マジカルバナナ（世代w）」をやらなきゃいけない呪いにかかってる感覚。一つの出来事や単語から連鎖的なイメージが一気に膨らむから、そこに脳のリソースを割いてしまう。不注意や能力低下も仕方ないよね。

知り合いの子が言っていた『本当に不幸な奴が望んでいるのは同情ではなく共感だ。救ってほしいのではなく、共に地獄に居て欲しいのだ』って言葉が忘れられない。

高速道路の合流のやり方を聞かされた俺「これ年間何百人か死んでるのを秘密結社が隠蔽してるのでは？」

小学生のころ、学校でドナルドが爆発的に流行った時期があり「ドナルドのファンクラブを作って、会員カードまで作ろう！！」という話になってウキウキしまくっていたのだが、一週間くらい経ったらそのブームは完全に消滅していた

婚活コンサルの考える「まともな店」「ちゃんとした店」が存在すらしない田舎ではサイゼリヤやスシローやバーミヤンにマイルドヤンキーのカップルが押し寄せ、楽しそうに盛り上がっています。

Twitter、皆極論しか話さないので「サイゼリアを擁護するひろゆきVSサイゼリアを批判するひろゆき」みたいな会話になりがち。

描写がインフレしていくバトル漫画で、主人公たちが満身創痍で血まみれの戦いをしてきたあと日常に戻って、包丁で指を切っちゃうとか仲間に引っぱたかれるみたいなシーンで「イテーッ！」と飛び上がってると、異常な状況と精神状態からもとに戻ってきたんだなという感じがあって、なんかジーンとする。

「闇の組織」がトレンド入りしていました。私も裏社会取材は長いですが、世界を牛耳っている闇の組織に接触したことはありません。闇の組織に監視されていたり、指令を受けたりしてエキセントリックな行動をしている人にはたくさん会いました。大体みんなシャブで刑務所に行きました

かなり追い込まれたEU「石炭は植物由来だからグリーン」

日本の左派は「私たちは常に弱者に寄り添っている。弱者の側に立ってものを言っているｷﾘｯ」と言うんだけど、そのときの『弱者』って、難民とかジェンダーとかLGBTとか夫婦別姓とかで苦しんでる人のことであって、絶対ワープアが理由で結婚もできないロスジェネのおっさんのことじゃないんだよな…

SNSに人の会話の可能性なんて見ようとしてはダメだよ。ここは人と人とがいかに意見がまとまることがないかを知るための場所なのだからね。とかつぶやこうとして、最近だいぶ悪いスナフキンぽくなってるなと思った

「また初デートサイゼ論争か」じゃあないんだよ。ほとんどのやつは初見の話題なんだよ、そりゃ盛り上がるよ。以前この話題で盛り上がってた連中はみんな進学して就職して結婚して子供産まれてツイッターを卒業してるんだよ。何回もこの話題を見てる方が異常なんだよ

ネット環境は「学ぶ」よりも「自分の好みの結論を出す」ための材料に満ちているんですよね。こういう角度から知性そのものが無自覚に衰退してゆくのかもしれない。「自分の好みの結論を出す」ことに慣れてそして飽きて、でも満たされない人たちが「自分の好みの結論に他人を誘導する」ことに励みはじめ、そして権力の意図ともある程度無関係に、巧妙なデマ世界が出来上がったりするのかもしれない。そう考えると実にあじわい深い。

ワイ昔JKになりきって裏垢JKとDMでやり取りしてたけどお互い写真要求してどっちもあげないみたいなことあって違和感覚えたからネタバレしたら向こうもネカマだったの最悪やったわ

人に慣れすぎてフェラとかしてくる鳩

個人的には、この世に創作者が数多ある中で、一番険しい道が「絵本作家」だと思ってる。これはマジで。世界中の過去の名作がほぼ永遠に現役な上に、使える文字数も表現技法も描いて良い幅も限られている中で勝負する。とんでもない話だよ。

「おい！30分も遅刻だぞ！」「すいません、世界的な半導体不足の影響で……」「全部それで乗り切れると思うなよ」

境界知能について大衆の啓蒙が進むと「境界知能を支援しなきゃ」になるんだけど、全人類に占める境界知能の割合があまりにも多すぎるし(正規分布してるからそれはそう)受刑者も境界知能と知的障害だらけなので、「そもそも人類は賢くない」に行きついて社会制度全体の問題だと考えざるを得ないんだよな

最近ネアンデルタールが現生人類と思ったよりずっと混血してたとか意外と文明的だったとかいう事実が続々と明らかになっていますが、私の調査地で宣教してるヤバいアメリカのプロテスタントの間では「ネアンデルタールはサタンが作った偽人類」が常識なのでこういうのは全て必死で否定しようとします。別に原理主義団体に限らず「ネアンデルタール邪悪論」は欧米諸国でポピュラーなもので、「食人族の悪いネアンデルタールを私たちの祖先が倒した」みたいな話を学校で子供向けに教えていることも珍しくありません。人類創造が何度も起きていると宗教上マズいので悪魔の被造物にするしかないわけです。「キリストはネアンデルタールのために死んだのか？」これはギャグではなくカトリックの神学者が大真面目に書いた論文で、ネアンデルタールを人間として認める立場でキリストの贖罪に含まれると論じています。ネアンデルタールに特定の宗教・ 道徳観を投影した末路がこれです。また、ネアンデルタールは聖書のアベルとカインの物語のカインに相当するなどと無理矢理聖書の文脈の中に位置付けようとする人もいますが、何故かヤバいクリスチャンほどネアンデルタールの話に触れて無意味な道徳的断罪を始めたり珍解釈を繰り広げたりする、ということが往々にして起こります。私も調査地の現地人牧師に「Neanderthal とは何なんだ？それがキリスト教とどういう関係にあるのか？」と聞かれたことがあり、また米国人牧師に変なことを吹き込まれたのかと呆れて説明はしましたが 「ヒト種が複数種類存在していた」を「色々な民族がいた」と同様に解釈されて理解されませんでした…。つまり「古代ヨーロッパにはネアンデルタール族という悪い民族がいて今の欧米人の先祖を苦しめていたけどそいつらは神の怒りに触れたから滅んだ」という間違った解釈をされてしまってそこから先に話が進まなかったんですね。まあそのくらいの勘違いで片付けておけば逆に平和で済むのかもしれません。

案外と知られていないというか甘く見積もられてる点として「生産年齢の範囲内では身体がぶっ壊れるよりも心がぶっ壊れた方が立ち直るのが難しい」という事だ。割と取り返しがつかないし誰も気にかけてもくれない。不特定多数に憎しみと妬みを感じたら黄色信号出てますから仕事辞めるか休みなよ。

みんな！俺たちは老人ホームに入る歳になって、みんながボケ防止にレクリエーションで世界で一つだけの花とかを歌ったりしてるのを斜に構えて馬鹿にしながら、隅の方でスマホいじってサイゼリアがデートにありかないかをずっと議論してような！約束だぞ！

算数は掛け算までしか理解できない人が多いから掛け算の順序の話で盛り上がるのと同様にロイホ、デニーズに行くほどの金が無いからサイゼの話で盛り上がってるのか？

婚活の話題などで散見される「最良のパートナー探し」みたいなワードに最近は特に違和感を覚えるようになった。理由は二つで「自分にとって都合の良すぎる「最良性」を初手から他者に求めるのは非現実的だから」「自身を改善しようとする意識の希薄さ、他責性、他力本願性を感じるから」である。婚活に限らない話なのだが凡ゆる人間関係においていきなりベストを求めるのは少し横着だと思うんよな。かといって狂人と結婚したら地獄ってのも否定できないので相手探しの段階ではベストを求めるよりもワーストを避けることを重んじ、そこから話し合いなどを経て「ベター」を積み上げるべきなのではと。とある知人女性はかなりの美形だったのだが「それゆえに」というべきか「私が結婚相手に求める条件は200項目ある」と豪語してたんだよな。それを聴いたのは10年ほど前の話で、案の定行き遅れて今は三十代半ばでラウンジ嬢などをやっているという。折角整った顔で産まれたのに如何にも勿体なく感じる

ドトールで隣の席に座った女子高校生、日本史の参考書を机上に置く。表紙にはマジックで『絶対合格 自分を信じて！！』の文字。彼女がスマホを見始めてから1時間経過。自分を信じているからこそ、勉強しないんだよな。わかる。

長年仕事して来て何度も何度も実例を見て来ているのは「経験豊富な人が『気になる』と言ってるポイントをそのままにして流すと後で問題として顕在化する」って事ですわ。

「デートでサイゼリヤ」の話題って定期的に揉め事になってるけど、その度にお前らをキスで黙らせなきゃいけない俺の身にもなって欲しい

「サイゼで喜ぶ彼女」がフィクションだと思ってる人たちいったいどんだけ浮世離れした生活してるんだろうな

いまどきの若者、年収200万円前後で結婚しても世帯年収400万はいかないけど慎ましく2人で暮らそう子供は諦めよう、みたいな人たち多いと思うし、月に1度の贅沢がサイゼだったりすると思うぞ?

グラビアアイドルの父親「その、なんだ、まだ悩殺してるのか？」

『東京の生活史』あとがきに、「語りというものはいつも、『そういえば』『いま思い出したけど』『話は変わるけど』『関係ないけど』このようにして始まるものが、いちばん面白い。だから私たちは、何も聞こうとしないほうがいい」とあり、いい。

今思っても、クラスで25番目くらいの成績の子が「一度見たものや読んだことは絶対に忘れない」って言ってたの面白いな

4℃にしてもサイゼにしても、やけに怒ってる大多数は夜職と婚活界隈(あとちまちま男嫌い)だからまさに「住んでる世界線が違う」んだよね。好きじゃない人とデートする、お互い試し合うのが普通の世界線の人たちなんよ。

周りのジジイとかババアが最近涙もろくなって人間臭くなったとか言うやつ、あれ全部前頭葉の機能が低下してるだけの老化だから、まに受けてその人の人間的な成長だと思わない方が良いですよ

小学校の時、国語の教科書に載ってた『あらしのよるに』の「続きを自分で考えて書いて来てね」という宿題があり、物静かで目立たない男子が「オオカミが仲良くなった相手がヤギだと知り"ごめんね"と"おいしい"を交互に泣き叫びながらヤギを残さず食べ尽くした」を書いて来た時の衝撃は今も忘れない。

どう生きても自由である。ただし稼げれば。そのように資本主義は人間を「解放」してきた。生殖と親族構造からも解放しつつある。それは資本という匿名的な運動体が推し進めていることで、そこに単純に「人権」とか「善」を見るのは、資本の無慈悲な猛威にカバーをかけるための物語化である。

「人類最後の日、何する？」って友達に聞いたら「うまい寿司を腹いっぱい。」ってだけ言ってて、その日は寿司屋も閉まってるよってなったのすごくすき、かわいい

今日聞いた話で「たしかに！」って思ったのが、人は忙しいからメンタルを崩すわけでも不安だからメンタルを崩すわけでもなく「どこに向かってるかわからなくなったとき」メンタルが弱るという話。目指すべき場所がハッキリしていて確実にそこに向かっていれば、多少忙しくてもメンタルは健全に保てる。

フェミニズムの主張において男性に対し様々な批判を向けるときに、それが男性同性愛に対してどのような副次的波及効果をもたらすかということが十分に考えられていないケースは多い。というかそもそも男性同性愛に関心がなく、射程の外に置かれていることが多いのだろう。

夏より冬の方が好き、暑いより寒い方がマシ派の意見の第一声として「寒さは着れば何とかなる」があると思うんだけど、寒さからくる根源的なやる気の出なさというか、生命が極端な気温の低さに対して感じる怯えみたいなものって、衣服くらいじゃマジで何ともならなくないですか

サイゼリヤの絵を叩いた垢、8〜9割くらい風俗・デリヘル・パパ活関連でもう蠱毒も蠱毒よ。名前が絵文字だけだったりするともうお察しになる

一昔前「ももひき」と呼ばれて若者を敬遠させた商品を「ヒートテックタイツ」と呼んだUNIQLOは莫大な利益を上げている。「覚醒剤なんてかっこいい名前だからいけないんだ。“おならプープー剤を使用して逮捕されました”とニュースにしなきゃ」と唱えたみうらじゅん。ネーミングは、革命の匂いがする。

if文書けない人が退場して、代わりに3年目Java経験ありでfor文書けない人が来たんだけど、来てる本人も、売ってる会社も、買ってる会社も、なんとかしようとは思わんのか？

これ何度か言ってるけど「体育ごときが生徒の人生を左右してはならない」て言って3年次の成績に4か5しか付けなかった体育教師、大嫌いだったけどこの点だけは尊敬してる。

小学4年生ぐらいのときに担任が書道の先生だったんだけど、書道の時間に「2度書きは見ればわかりますので再提出にします」って言ってた。その時から反骨心があったわたしは、冬休みの書道の課題を5度書きぐらいして提出した。そしたらその作品は担任の目を欺き、そのまま県展まで行った。

やっちまった、鶏肉だと思った冷凍庫の物体、これ前に作ったアップルホットケーキもどきだわ。塩コショウしてスパイスと一緒にブロッコリーと炒めているわ

リベラル面してると表立って他人を差別するわけにいかないがしかし他人を下に見てスッキリしたい時に便利なのが大体恋愛絡みなんだよ

今年からめちゃくちゃ海外ドラマを字幕なしで視聴してるんだけど、最初は字幕なしだと何言ってるのか分からなくて結構シンドかったんだけど、流石に何百時間と視聴してると人間の環境適応能力のおかげで、何言ってるのか分からなくても楽しめるようになった

好きなことをしろ！と言うと、結構な人がキツいコトはやらなくていいんだと思い込んでるように見える。なんでそんな理解になってしまうのか。本意は、どの道を選んでも必ずキツいときは何度もやってくるから好きなことやったら乗り越えられるでしょ！です。

自分で自分のことなんて褒められないから、誰かが褒めてほしい。誰かとの相対の中で自分の価値を見出したい。そんな僕を「確固たる自分の無い弱い人間」と罵る価値観は根強いけど、「自分で自分の価値を見出せる人間」なんて稀有だよ。

子どものときに親にもらった1個多いから揚げとか、遅刻しそうなときに送っていってもらったこととか、小さな木の破片が指に刺さったときに名札の安全ピンで抜いてもらったこととか、おれが学校に行ってる間におじいちゃんちから送られてきた日向夏を砂糖漬けにしてくれてそれをおやつにしたりとか、ちょっと高い器で濃い目のカルピスを作ったりとか、なんかこう、そういう経験の一つ一つって言葉にできないぐらい些細なものだけど、子どもにとっては全部「愛された」って経験になるのよね。存在を愛してくれただろうか？たぶん、そうなんじゃないかなって思ってる

高校入試で読んですんごい印象に残ってるわ。「誰もがみんなみじめな存在として生まれてくる、自分で食べものを取ることはおろか、乳を飲むことさえままならない、トイレも満足にできない存在として。お乳を与えてくれて濡れたお尻を拭ってくれる親がいて、世界とつながりを保ってくれていたのだ、という実感。そういう経験が人としての最後の、乗り越えてはならない峠を乗り越えないよう踏みとどまらせてくれる」赤ちゃんの時、誰もが無力で何もできない存在としてこの世に生を受けるわけだけれども、そんな何もできない存在を慈しみ、愛し、時には虐待したくなるような欲求と戦いながら育て上げてくれるわけですな。おおよそ大学を卒業する22歳までそんな感じなので、どれぐらいの時間や労力が自分に注ぎ込まれているか考えると気が遠くなるわけだけども…。まあ、問題はそういうのがもう「親としてやって当たり前」になってて、だから自分で自分の価値をみんな見いだせなくなってるんじゃないですかね…？

マレーシアから来た留学生の人、イスラム教なんで食べるものも違えば銭湯での振る舞いも違うんよね。たとえば彼女は女湯に入らないので、個人用の家族風呂に入ることになるのだが、女湯一般利用は580円なのに対し、家族風呂は3800円。「それでいいの？高いって思わない？」って聞いたときの彼女の回答がすごく印象的で「マレーシアには『一度その土地を踏んだら、土地の空に従え』ってことわざがある、外国で暮らすとはそういうことだ、外国人としてその土地で暮らす人間はそこに精一杯馴染んで努力する義務がある、お客様なのだから高いのは当然」日本人が外国人としてよその土地で暮らすときも、投げかけられる差別的な発言、言葉がうまく話せなくて子どものように見下されるみじめさ、自分の舌に合う高い食材、どうしようもない国民性の違い、慣れない気候、そういう無数の違いに慣れなければならないのだなあと感じた。能力が高い人がﾂｲｯﾀﾊｧ…で「人は土地に縛り付けられない」なんて言っててびっくりしたわね　そんなのはお前だけだから…自分の国から出ていかない人間のほうが圧倒的に多いわけで、それはこんなにグローバル化が進んだ今でもそうなのです。28歳の女性が、宅急便の同い年のお兄さんに5歳の子どもみたいに扱われて、日本語で何か罵倒されるのがどれほど屈辱的か。そういう時、彼女は国に帰りたい、思い切ってマレー語で言い返したいと思うのだという

「水商売はよくない」というのは病むからではなくて、金銭感覚が壊れる一方でスキルで稼いでいるわけではなく加齢でそのうち稼げなくなるから。そうなると多くの場合フェミって「私たちは買われた」「男性優位社会のせい」などと言い出す

飼ってる猫の出産でさえめちゃくちゃドキドキしたし感動したので、自分の妻が出産するとなったらもう一大事だろうなと思う、が…どうだろうか…サイコ入ってるから意外と無心かもしれない…怖くなってきたな

サイゼや、4℃問題に全部に共通するのが、「女性として自分の価値を安く見積もられる事への恐れと怒り」なんだよね。だから夜職系や婚活拗らせ女性なんかが怒るんだろうな。彼女等は自分の性や身体を、自分自身を、金銭で測る事に、交換する事に、余りにも慣れ過ぎてしまったんだろう。異性からの好意や評価を金銭でしか認識できなくなっているから、彼女等かすれば『安い』サイゼや4℃とかを提示する男性を憎悪する。その程度の『対価』で済まそうとする男性を勝手に想像して憎悪する。何故憎悪するかといえば、ソレが彼女達にとってもっとも恐れる事だから。「市場価値の無い女」として値踏みされる事がもっとも怖い事だからなのだろう。そして何故そこまで恐れるかと言えば、おそらく彼女達は「自分の価値は若さや性にしかない」って自覚してるからなんだと思う。若さや性しか取り柄の無い自分に対しての自信の無さや自己肯定感の無さ、そうした不安が恐れを増幅し、そしてその恐れを刺激するモノへの憎悪を募らせる。この辺は、萌え絵やソレを好む人間への憎悪なんかにも通じる話で、要は彼女等からすれば「女を安く売っている存在」や「女の良いとこどり」をしてるように見える存在や、ソレを求める心理が、自分の不安や恐怖を刺激して、どうしょもなく我慢できないのだろう。「女性性のダンピング」とでも言うべきか、彼女等にはそう見えて仕方ないのだろう。だからパートナーになる訳でも無い人が、萌え絵でキャッキャうふふしてる様すら許せない。自分が安く値踏みされてるように感じるし、自分自身には女性性以外の価値を見いだせない人程、ソレを強く感じてしまう。まぁ、ツイフェミとかソレ系の人等は、そういう不安や恐怖や憎悪をフェミニズム系の言葉を使って、「性的搾取」だなんだと言っているのだろう。

北方領土の面積を本州の生産力が高い地域と比較するのは良くない。不法占領は確かにされている。けれど、北海道のインフラすら保つのに苦労している我々が、北方領土のインフラを整備し、航路をつなげ、空港を整備して、それでどう国富につなげるつもりなのか。

「努力は報われなかった」ー羽生結弦選手が昨夜の民放ニュースで、松岡修造さんや荒川静香さんら、気心の知れた“先輩”に吐露した本音。こうした言葉を、ほとんどの新聞が伝えていない(朝日がようやく「報われない努力かもしれないけれど」と)。五輪報道史上、記録すべき名言と思うのに。新聞は「努力は報われる」「夢を諦めなければ叶う」という「公式」から抜け出せない。それに合わない情報には触れず、なんとか「前向き」な物語を編もうとする。どんなに頑張って報われないこともある。羽生選手のように才能があり、光の中を歩んで来た(ように見える)人であっても。それでも人生は続く。頑張って栄光をつかみとった人を称えるだけじゃなく、そういうことを伝えるのも、メディアの大事な役割と思うんだけど。「努力は報われる」「夢を諦めなければ叶う」式の情報ばかりが溢れる環境は、諦めることは人生の敗北であるようなプレッシャーを生みかねないのでは。

電話の折り返しを待ってるときって謎にドキドキするよな、時間という概念を相手に握られたように錯覚してしまう。自分の時間がなくなるので本当に困る

新潟の名誉教授サマが珍妙な事を言うて反ワクチン界隈喜ばせて飯食っとるようですが、あの人の言うとる事は全くダメダメなんで、そんなもんを根拠にワクチンの方が感染より危ないとか言うてくる人には、あの名誉教授サマの話を「間違い探し」の視点で聴き直してみたら？と提案しますよ。スパイク蛋白のあたり、物凄く雑に恐怖ばっか煽って見せて、考察でも推測でもなく、憶測も通り過ぎて妄想で構築したワクチン恐怖物語を喧伝する名誉教授サマなんてのは、まぁ、その経歴やら能力やら使い方を間違ってる人だと思いますよ、人間として。「じゃ、どこがどう間違ってて何が正解なのか教えろ！」とか迫られる事ありますけど、そういう人の中に、本当に答えを得たいと思ってる人は皆無だと経験上知ってますのでお答えはしません。そういう方々、ほぼ例外なく「自分の頭で考えろ」と仰るんで、そっくりそのままお返し申し上げます。あ、一つ書き忘れてましたが、リアルワールドに学校のお勉強みたいな「正解」は存在しません。これ、社会人なら常識、大学でも経験できるレベルの基本中の基本なんですけどね。なので、「正解を教えろ」とか言ってくる連中は、学校に戻って、先生とか親とかに守ってもらうと良いと思いますよ。「自分の頭で考える」人なら、「正解」を要求しておいて、あれこれ論点ずらしや揚げ足取りばっかやって、それでマウンティングして見せるなんて幼稚な事やる筈が無いんですよ。自分の頭で考えりゃ、そうそう「正解」なんて無いってのは自明の事の筈で、信頼できる最先端の知見に「断言」は無いよね。ズバッと断言する人とかって人気者になるけど、それは正しい知識を得られるからとかって事じゃなくて、その自信満々な人の断言を信じると、ひととき不安から逃れられるからってだけの事でしょ？そういう自分の心理に気づいてないと、その自分の心理に一番深く欺かれるのは自分なんだよね。どこからどこまでがどの程度分かっていて、分かっていないのか、しかもそれは白と黒で塗分けられるものではなく、微妙なグラデーションで塗られて、しかもそれはどんどん変化している。それがリアルワールドにおける知見というものです。だから、誠実にそれと向き合う人ほど、断言に凄く慎重になる。だから、情報源として、専門家として、信頼できる人かどうかを見る時には、まず、安易に断言しない人であるかどうかを見る。複雑な事を簡単であるかのように偽る人は論外。「分かりやすさ」をウリにしてる人とか本については、まず疑ってかかるべきですよ。その上で、滅多に断言などしない、誠実で慎重で真摯な人物が、「これだけは」と言って「断言できる」とした事についてなら、9割ぐらい信頼しても良いというのが私の相場観というものです。そこまで絞っても尚、１割は保留しとく。それは失礼な事でも侮辱でもないと思っています。尊敬めかして「妄信」してみたり「依存」してみたりするって事の方が、ずっと激しく失礼であり侮辱でしょう。尊敬は服従とか妄信とか依存とか恭順とかってものとは真逆のものですからね。

レンタルビデオ返却を忘れていたことで高額な延滞料金を払う悪夢を、令和の現代でも未だに見続けている人たちがいます。NHKスペシャルでは、こうした過去のレンタルビデオによる後遺症にいまだに苦しめられている人々にスポットを当てて、48週連続で放映します。

「世界全ての国が核兵器を保有すれば理論上は力の均衡が生まれる」と説いた地政学者はミアシャイマーだったか。ウクライナも核を維持していれば、という人もいるが有識者によると核を保有するためのリソースやコストも相当なもののようで。日本の核武装論も理念先行で費用の観点がないものは多いよなと。昔エマニュエル・トッドが「ナイフで刺されたこともない人にナイフの危なさは分からない。核兵器の恐ろしさ、危険性が分かる日本だからこそ核を持つ資格がある」と話す記事が新聞に載っていた。核武装の是非はともかく、非核三原則に「議論せず」を加えた四原則になっている状態は良いと思わない。

０歳から５歳までの幼い実子３人の首を絞めて殺害した母親が逮捕されるという事件が起き、いままさに大きな衝撃が走っている。いま自分がそれを踏まえて思っていることを、忘れないように言語化しておこうと思いました。このニュースに対して、ツイッターではまたぞろ「母親は被害者のひとり」とか「父親も一緒に罪に問われなければおかしい」とか「適切な社会支援がなされるべき」などと、定番のコメントが並んでいるわけですが、自分は正直もうそういうのはいいかなと感じてしまう。子育てに苦しんでいる人が破滅してしまわないよう、みんなで支える地域社会を「わずらわしい」といって拒絶したのは、「個人主義」を愛した我々以外の何者でもない。それを都合よくなかったことにして、男だの社会だのに帰責する論調は、正直言ってアホらしい。人間を社会的・地縁的結合から切り離して、個人や核家族といった最小単位にまで細分化する「個人主義」という思想を愛して、これからの時代にあるべきアップデートされた倫理として肯定したのは私たちだ。その結果がこれだ。「個人主義的な自由」のすばらしい面ばかりを見すぎた。いままさにこれが私たちに牙を剥いている。いつまでも目を逸らして「家事育児に協力しない男が～」「子育て世帯に冷淡な社会や政治が～」などと言うことは、空虚どころか欺瞞的ですらある。「じゃあどうするの？」を考えるときに、なにが原因でこんな現実が広がっているのか、をまずはっきりと直視しないといけない。直視していないから「男は育児を」「社会は支援を」などと的外れな解決策ばかりを出す。そういう人を支える地域社会をわずらわしいと拒絶したのは、「個人主義」を愛した我々以外の何者でもないわけで。「面倒くさい他人にかかわってほしくない」「ワンオペで子育てをしなければならない社会は非道」これらを同時に申し立てるのは不可能だということに、そろそろ気づかなければいけないのではないだろうか。だれもが「個人主義」にまで先鋭化された自由を素朴に肯定した結果として生じたのが、地域共同体のない場所で、だれからも助けてもらえず、子育てに窮して破滅的な結末を迎えてしまう母親（父親）なわけで。義母義父が鬱陶しい、近所付き合いが鬱陶しい、そういうことを言ったことがない者だけが、この悲惨な事件を批判できるわけですが。自分たちが愛した自由がいままさに牙を剥いていることからいつまでも目を逸らす人が「男性は育児をやれ、社会は支援しろ」という。育児をしない男性をパートナーに選んでいるのも、社会（他人）からの関わりを拒絶したのも、いったいだれだったのか、という。

インターネットは社会をするところじゃなくて、この高分子物質を水に解いてアルカリをちょっと混ぜるとなんかめちゃくちゃドロドロになってすごいみたいな話をするところです。

若い女がパパ活やってくうちに目ばかり肥えていく現象、ガキに高いものを食わせて舌を贅沢にすることを食育と呼んでいいのかっていう話と似ている気がする。

正直、東大に行こうが千葉横国筑波に行こうが、スポーツで全国制覇しようが弱くてもお遊び程度に楽しくやろうが、外資コンサルで働こうがメーカーで働こうが、人生の幸福度はそんなに変わらないとは思うんです。それでも東大や全国制覇や高給を目指すのが若さであって狂気なのかなあと思いました。「フリーターでも大企業勤めでもその人が望んだ道なら幸せ」っていうのの規模小さい版の話じゃないですかね。その人が幸せだと思っていても他の人がその人生で満足できるかと言えば違いますしね。

電車内でペアーズ許せねぇってなってから音声チックが発動して「あー自殺自殺自殺ですわぁ〜」と発してしまい前駅で降りてしまった。ペアーズ、許せねぇ…

「彼氏として30点だった男が100点の夫になり、彼氏として100点だった男が5点の夫になるのが結婚です」という話を聞いて首がもげるほど頷いてしまった

申し訳ないけど理想主義に陥ってるというてんでは俺や左派と大して変わらんと思いますよ。だってその主義主張、誰もついてこなかったから今がある。個人主義やめて共同体主義に戻すにしても「ワガママだから我慢しろ！」で人が動くわけないんですよ。みんなそれ相応の理由があって個人主義をやってきたんだからよ

小学校のとき「討論」の授業があった。「タバコは良いものか？悪いものか？」について、賛成派のクラスメイトと反対派の私が1対1で、お互い主張し、反論できなくなったら負けのゲームをしましょう。ただし、賛成派は反対派として、反対派は賛成派として、自分の気持ちとは逆の主張をして下さいと。勝った方にはチョコが出ると聞いた私は、喜び勇んで「タバコはリラックスできる」とか「フィルターがあるから、そんなに害がない」とか主張し、相手も「リラックスした分だけ禁断症状もある」とか「副流煙はフィルター関係ない」とか反論した。不思議な感覚だった。お互い相手の言うことに心の中では、その通りだ！と思いながら反論しなくてはならないので、まるで自分の主張の粗探しをしているようだった。議論はヒートアップしつつも、気持ちは乗らないので、心はいたって冷静なのだ。結局は、口が達者で生意気小僧だった私が相手を言いくるめることに成功したが、あとに残ったのはタバコは良いものだ。という結論なので、「私は負けたのではないか？」と気がついた。先生は最後に、「討論の討は探し求めるという意味です。つまり、討論相手とは戦っていながら、真実を一緒に探す仲間なのです。実際、裁判でもこの方式が取られています。今回はすぷりんと君が途中から相手を言い負かす事に、ご執心してしまったので真実とは呼べないところに着地してしまいました。実際、今いい気分ではないんじゃないですか？」と問いかけてきた。全くその通りだ。お互いに合意へ行き着くために、最後まで冷静に論を戦わせなければいけなかったのだ。

保守右派批判・ネトウヨ批判する人のほとんどが保守右派・ネトウヨとの接点もなく、当然、元保守右派・ネトウヨでも無いので、相手の心理分析がいつもズレている。ミラーリング下手のフェミみたいに。一方、左翼リベラル批判勢には「転び」もまぁまぁいる。転び左翼だから左翼心理もよくわかる。「転び」による左翼リベラル批判やフェミニズム批判は、向こうからすれば敵に寝返った裏切り者の仕打ちなんだろうけど、古巣でもありかつての信仰対象でもあるから、その批判にはやっぱりどこか、愛があると思うんよ。愛と言うのが大袈裟ならば、ダメ親を憎み切れない子の気持ちかな…。

斬り合いながら圧倒的な実力差で刀奪われて「へぇ、良いもん持ってんじゃん」って言われたら、悔し過ぎて「全然安物っすよ」って返しちゃうだろうな

気軽に赤ちゃんを他の人に預けられる仕組み…貨幣を介してサービスとして提供する、つまり市場化するしかないですよね。それでもキッズラインみたいに虐待される子が出てくる。また、そういう信頼できる人間関係を自分で築くつもりなく「気軽に預ける」なんて言う。俺はまあこれは無理だと思う

9条は「日本は二度と侵略戦争をやりません（だから国際社会に復帰させてください）」という国際社会への誓約。自国防衛のためにあるわけではない。日本がこの地理的位置で9条に縛られる限り、米軍は駐在せざるを得ず、必然的に日本は国連に守られる、という構図が9条の意義だと考えてる。他の国とは事情が違う。

goto文見るたびに陣内智則の「どこいくねーん！」が再生される

NTRおじさん「昔のビデオレターはね、宛先不明のビデオがポストに入っていた時の得体の知れなさとビデオデッキに入れるまでの詫び錆びがありましたがね、今だとLINEでポンでしょう、寂しいですねえ」ネットリテラシーの発展でメールに添付しても読まれることは稀だと言う。その背中は小さく見えた。現代のNTRビデオレター、物理媒体は再生機器がないし動画データはリテラシーある人なら絶対に開かないのでマジで大変だな

ただ、普段リベラルを自称してる連中までもがネトウヨが裸足で逃げ出す程の正戦論に傾く現象そのものは当然そうなると予想していただけにそこまで驚いてはいない。だって「正義の為なら法を犯してもいい」とか「時には暴力に訴えることも必要」みたいな行動規範を外交に適用したらそうなるに決まってる

「産休や育休の前後には職場の人に感謝の気持ち伝えたりあれこれして、円滑な関係築きましょうねー」程度のコミュニケーションすら拒否するノリになってしまった時点で、地域や社会での子育て論とか真面目な実現の道としては終わりなんだよな。既に文句をつけるための道具でしかない。

生徒の言う「ココがわかりません／できません」の”ココ”は、いろいろなものから目をそらし、いい加減に済ませて通過してきたその結果が、ようやくわかりやすい形で表に出てきた”ココ”なので、”ココ”だけを取り出してどうにか、なんてことにはならない場合の方が圧倒的に多いと思う。

乳飲み児を育てている親御さんが赤子を抱いてフラフラと立ち寄ったらそこには私のような赤子に飢えたババアがたむろっていて「ミルクはどこの？オムツは指定ある？アレルギーは？OK、ゆっくり寝て！」って子守を交代して奥のベッドへ誘うカフェを経営したい。

熱がぐんと上がって、いろんな薬を飲んで朦朧としてる時、母がペット（犬とウサギ）を連れてやってきて、ポカリを補充したり溜まった洗濯物をテキパキと片付けてくれて、その間に犬が私の布団に入ろうとして、ウサギがわたしのお腹の上でジャンプしたりして、「もーやめてよー」って言ってたんだけど、母はもう認知症で私のことはわからないし、ウサギも犬もとっくに亡くなってるし、それは夢ですらなくただの幻覚で、それでもこの幻覚の中に一生いたいと思った。熱が出たり病気になったりするたび、脳が失ってしまったものをかき集めて元気になろうとする。すごい。

皆さんがワンオペ育児に悩んでいるので、解決策を提示します。

ママへの社会的支援が不足しているのは政府予算と社会の人的資源が共に枯渇しているからです。ではどこからそれを捻出するのか、それは老人向け福祉からです。子育て支援と老人向け福祉、これは予算と人的資源の両面で競合しています。老人向け福祉が大きくなっている現在、どう足掻いても子育て支援は拡充できません。よって、老人向け社会保障を大きく削減らせ、今の医療介護従事者を子育て支援に流用させる、これしか解はありません。老人向け福祉の削減と子育て支援の拡充、これをセットで訴えていきましょう！『支援を！』と訴えるだけでは、政治家は声の大きい人の求める政策しか通しません。政治的コストの問題です。だから高齢者福祉のみが拡大されていきます。そんなの間違ってる！『未来を担う人材』を育成するママ達で高齢者福祉削減を訴え、政治的コストを下げ、子育て支援を実現しましょう！仮に18歳以下の子供の人口が2000万人として全員に月3万ずつ配ったら年7.2兆円、月5万なら年12兆円だ。社会保障費33兆円、社会保障給付費114.9兆円、医療費は44兆円もかけてんだからそれくらい出せんだろ？高齢者から削って子供に回せや、その子達が将来働いたら後々回収できんだからよ。そして、我々が高齢者になる頃には高齢者医療や社会保障は必ず削られてるはずだから、せめて綺麗に死ねるように緩和/お看取り体制だけは整えておいてもらわないとね。まあしかし、安楽死含めこんな話を口にしようものなら高齢者もマスコミも揃って大炎上させて議論すら封殺してきた日本だからね。結局誰も責任を取らず物理的なキャパの問題で家で孤独死、放置死なんてのが増えるんだろう

「これまで50人と付き合ってきました！恋愛の達人！恋愛経験値高い！」と誇らしげな人の、これまで50人もの人と付き合ったのにうまくいかなかった自分の方がおかしいんじゃないかとは毛ほども思わないその能天気さが、人生を楽しく生きる秘訣なのかもしれない。

クリスマスの楽しそうな家庭にピザを届けた時に消し忘れのインターホンから聞こえてくる子供の喜びの声しか楽しみのない人生だった

雰囲気としては深夜のサービスエリアと似てる部分もある気がするけど、夜行バスで朝5時に降り立つ「夜の街としてはほぼ終わり、昼の街としてはまだほとんど動き出してない新宿」がめちゃくちゃ好きだった。

「自衛隊で鍛え直せばシャンとなる」のバリエーションとして俺らの頃は「猿岩石みたいに世界をヒッチハイクしてこい」というのがありました。なお、当の有吉さんは「人生観は変わらなかった、色々あったけど一番強くなったのは猜疑心」と怒り新党で語っておられます。

場所は大手メーカー、フレックスタイムを利用して朝6時ぐらいから出勤し日暮れ前に帰る50代以降の事実上必要ない（キーボードを一本指で打つような）社員が大勢いる。しかも定年延長が決まってそいつらさらに居残ることが決まったので嫌になって自分らが辞めた。そういう記事ね。ひっかかるのは、そいつら別に職権で仕事に口出ししたり同じチームで足引っ張ってるわけでもない人達であること。つまり直接迷惑かけられてるわけではないが（経営者でも管理職でもないのに）ゴクツブシにも給料が払われるという事実だけで、もう一緒には居たくないという憎悪の矛先が向いていること。彼らのクビを切ったところで給料が上がる可能性は殆どないだろうけど、それでも「使えない奴」が目に入るだけで耐えられないまでに憎悪がヒートアップしていく。おそらく世代的なルサンチマンがあるのだろうが、この構造は危険を孕んでますよ。まあ今どき窓際族を抱えてるなんて良い会社だと思う感性のほうが外れ値で、「ひとりひとりが経営者感覚を持て」ってネオリベな理念の方にシンパシー集まるのが世情ってもんでしょうが、ただその思想に労働者サイドへの恩恵はまるでないよね、経営者は否定するがこの20年でまるでないことは実証された。使えない奴や醜い者をできれば視界から消したいというのは、それこそナチのレニ・リーフェンシュタール的な十全性への賛美ってものだろう。だが怖いのは若けりゃそう思うのはわりと自然だってことだ。さて、そういう感性が世情に蔓延している中で若手政治家の人気ポピュリストが「無駄に金を貰っている生産性の低い（誤用）人たちがいます、皆さん考えてみませんか」って火をつけたらどうなるかわかるやろ。この問題の本質は、大手のボンクラ爺社員がクビになるだけでは済まず、生産力のない人たちへの過剰なバッシングにあっさり雪崩れ込むことですよ。

週末のたびに上がる反ワクチン・陰謀論カルト団体「神真都Q」の各地の集合写真をみていると、まあ見事に老人と中高年しかいない。バカにするのではなく、その年代が群れてネットリテラシーの低さを露呈することや詐欺の鴨にされやすいことなどをちゃんと議論しなければいけないと思う

キッザニアとかに「敵が迫る中大事な書類を大量にシュレッダーにかけたり燃やしたるして走り回る大使館職員」ってコーナーないかな

義父母ウゼー！親戚づきあいウゼー！近所づきあいウゼー！の結果孤立した核家族化して、おまけに旦那が家族の為に稼ぐ必要から残業や休日出勤入れまくった結果ワンオペ育児になって全てを抱え込んでしんどくなってくのアレ。人間関係に折り合いつけるコミュ能力が決定的にない人がツイッターで正論放ってリアル生活では自滅しがち。

「分からないので教えてください」と言うためには「分からないことを聞いたら怒られずに教えてもらえる」経験が必要ですからねえ。

最近思ってるんだけど、人間は「分類不可能なものを気持ち悪いと感じる」というプログラムで動いているので、学んで世界の解像度をあげると世界からキモいものがどんどん消えていく。「なぜ教養が大事か？」で「世界の解像度があがるから」って意見をネットで最近よく見かけるんだけど、じゃあなぜ世界の解像度が上がると良いのか？まであまり語られてない。分かると気持ちいいとか他人にマウント取れる利点もあるんだろうけどまず自分の精神衛生に良い。人類は生物を分類することで、この世から怪物を駆逐しました。

髪の毛が呪術に使われたり、排泄物が嫌悪の対象になったりするのは、「直前までは人体の一部だったのに、地面に落ちたとたんにそうではなくなる」「分類不可能なもの」だから、という話を思い出しました...

中立は勝った側からは味方ではないとして睨まれ、敗れた側からは見捨てた者として憎まれるので、まずどっちから襲われても撃退できる自力か、襲わせないための強いバックがいることが前提よな。弱者の中立なんかしばしば屁のつっぱりにもならない。

戦闘に至らないに越したことはないけど、もう既に「武力で脅せば相手の意思決定を左右することができる」という前例はできてしまった。法と制度に基づいて利害を調整するのがダンバートンオークス会議で発明されたリベラルな国際秩序。「戦争回避のためには譲歩も必要」と言うのは戦後世界そのものの否定。たしかにアメリカもベトナム (1964) やイラク (2003) で同じことをしたけど、じゃあロシアもやっていいのか？って言うと当然そんなはずもなく、西か東かというポジショントークではなく「力による現状変更は断じて容認しない」という基本原則が今改めて問われているんじゃないんですか違いますか。世界が今直面している最も究極の問題は「いかにして戦争を回避するか」ではありません。「パワーポリティクスの時代に逆行しようとしている国際社会の中でいかにしてシステムポリティクスに踏み留まるか」という問題です。法と制度によって紛争を解決する戦後国際秩序を守り抜くかなければならないんです

仮に50年ツイッターが継続してたとして、50年前したミュートを解除したら50年間ずっとリプライが来てることに気づいたみたいなこと全然ありえるだろうな。

文章のつなぎに「それで、」とか「で、」じゃなくて「んで、」と書く人の話は聞かなくてもいい確率が高い。

嫌なことから逃げたらダメ、成長しない、立ち向かえって言うの正論だとは思うのだけど、まず先に逃げ方を覚えておかないと、危なくなったときに撤退の方法がわからず、玉砕してしまうように思う。逃げる手段を知っているから、安心して嫌なことにも立ち向かえるのではないかな。

コンビニのバイト、お昼のピークに合わせて揚げ物をたくさん作ってヨシヨシと思ってたらペアの後輩が自分もなんかしなきゃと思ったのか全然売れないマイナーなやつを大量に揚げ始めて「売れるやつだけ作って」と注意したら僕が作ったやつはあんま売れなくて後輩が作ったやつがかなり売れて気まずかった

みんな、お風呂あがりに体重計乗ったとき髪が吸ってるであろう水分どのくらい足してる？8キロくらい？

なぜ食道と気道を同じ入り口にしたのか、神様に一言言いたいのだけど、もし神様に一言言える人がいたら、ついでに「なぜ心臓の血管をこんなに詰まりやすくした？」というのと、なぜ「胆管をこんなに細く作った？」というのも言っておいてほしい

アメリカの高校で面白いなと思ったのは、先生がテスト前日に名刺大の白紙のカードを渡して「この両面にテストに出ると思った情報書いて持ってきていいよ」とカンペを公認したんですね。すると、小さなスペースにどれだけ情報を圧縮できるか試行錯誤してるうちに、復習できちゃっててカンペいらずに。

うんこを出すときに使う筋肉と赤ちゃんを出すときに使う筋肉が同じなせいで、産婦人科ではたまに「赤ちゃんが生まれてくると思ったら、脱糞する女性」がいるらしく、それでも誰も笑わないし泣かないの偉大過ぎる…と思った

特に塾とかも行かず高学歴パターンの知人パパがボソッと言ってたことあったけど「正直ちょっとやったら関関同立のどっかぐらい行けるもんだという感覚でいたけど、自分の子供に勉強教えてて思ったのは関関同立に行かせるの凄いむずい。普通にやってるだけだとまず行けない。」っつってた。

受験生の通塾率は30年前と比較して2倍以上になってる。時代が違う。子供の教育について普段から向き合ってればわかったのでは？子供を見下すのは。

みんなTLの中学受験とか見て、SAPIXとかそこまでやって東大なんか行って何になる、とか思ってるかもしれんが、SAPIXとかそこまでやって、中受課金ガチ勢の中央値は大学受験でMARCHに届きませんからね。別に親がバカってわけじゃなくて、親もそこそこの学歴です。課金は割と無力ですよ。課金ゲーじゃないですね。だいたい、そもそも僕の肌感覚で言うと、アクセンチュアに就職できるのは、早慶の中でも数学受験とか理系とか優秀な内部の中でも上澄みで、早慶トップ5%以内で、東大京大でトップ10%ぐらいじゃね？いや、早慶トップ3%、東大京大トップ6%ぐらいかな。大学受験も厳しいけど、就活はそれよりアホみたいに厳しいよ。勤務医に勝てるのは、早慶のトップ3%ぐらい、東大非医学部・非研究者だとトップ7%ぐらいだよ。現実はそんなもんだよ。香港にいると、早慶卒の優秀でいい暮らししてる人たちにたくさん会うが、あれは大企業の駐在や外資系企業に勤務してる人たちで、完全に上澄みなんやろうね。東大生が一番たくさん就職している企業は楽天で、二位がメガバンクぐらい。受験産業では崇められる東大も、就活になると、AOとかで現役MARCHぐらいで、会社に入ってから営業成績がいい先輩社員とかに5分ぐらいの面接で、あいつは使えなさそう、みたいな特に根拠のない感想で一発で落とされるんよ。あと、女性陣に言っておくけど、ハイスペとセックスする難易度を１だとしたら、ハイスペと結婚する難易度は79ぐらい。本当ですよ。就活はすべてがAO入試。東京の教育レベルは低いよ。ポーカーでもトレーディングでも、経済最強の国の圧倒的な数のアメリカ人が一番のカモなのといっしょ。中学受験なんかほとんどやらない田舎県で中学受験しとる子供に偏差値50以下なんかおらん。やらなくてもいい人までマーケティングでどんどん巻き込まれていくからな。東京は5割以上の家庭が、自分ところの子供がキラキラしたエリートになれると思って、子供の教育に金かけるからな。田舎県だと医者の子供や大学教授の子供しか参加しないようなことに、サラリーマン家庭みんなで強制参加するのが東京の教育事情。受験産業の養分になるんだけど、それだけならまだいい。バカなお父さんのパチンコ代やブサイクなお母さんの美容代が塾とかに流れるだけだから。もっと深刻なのは、偏差値教育で過半数の子供たちから必然的に自信や自尊心が奪われること。ハッハッハッ。これが知らないうちに君たちが参加したゲームさ。もう降りることはできないよ。降りることが許されない以上、そこで勝つために、もっとたくさん課金してれたまえ。健闘を祈る

こうした文脈から推察するに、早稲田が学生に求めている多様性とは「日本全国から幅広く」とか「親の所得の多寡に関係なく」ということよりも、そつなく勉強をこなす附属出身の秀才や海外経験豊富な帰国子女といった「エリートたちの多様性」であることがうかがえる。実際、早稲田大学の入学者は首都圏1都3県の高校出身者が8割を占め、地方出身者の割合は激減している。他の首都圏の難関大も同様の傾向にある。それでも指定校や共通テストで地方にも目を配っていると大学側は主張しており、これが首都圏の難関私大の考える「公平な入試」のようだ。

ワイがガキの頃の岡山県北の山間部ど田舎だと家に鍵は付いてない、赤子が一人で家で泣いてるのを近所の人が聞きつけて勝手に家でその子の世話をする、子供がよその家に上がってご飯をいただく、幼児の子育ては爺さん婆さんの役目、ガキでも農業機械動かしてるの世界でそれが30〜40年前まで当たり前。それが今では、ワイが大都市とど田舎の二重生活で子育ては都市圏になってるんだけど、ど田舎ですら核家族というか晩婚で子供がいるけど爺婆が80前でクルマ乗れない世話できないなんなら介護で、やってることが都市圏と同じでメチャクチャしんどい。これは逆に子育てのために都市に行くわな。社会生活のためのシステムがあまりにも高度化しすぎてて、今までなら岡山県北ど田舎で余裕で生き残って子供を大学に行かせて農機具一千万単位で揃えてたボーダーの家族の生活が完全に破綻してる。かつて金持ちで破綻した家の跡が大量にある。すでに田舎の社会生活レベルでもある程度の知的水準が必要。田舎と都市を行き来しつつ大阪神戸広島の地場生活と関わりながら世の中見てると、育児云々だけでなく、一人一人に要求するレベルがあまりにも高くなりすぎてる上に人との関わり方がなんか変になってて、ワイが子供の時にしたされた、他人の家の赤子を勝手に家に入ってあやしてあげる世界観なんか無理。自民党とか保守な人が家族や地域との関わりとか言うけど、ホンマにそれを言うのなら、普通に鍵のかかってない他人の家に入ってそこで一人で泣いとる赤子の世話をすることになんの抵抗もおかしいと言う気持ちもないという世界観を復活できるんか、という。それができないなら、それはもう無理なんよ

女「終電…逃しちゃったね」

鈍感すぎるし証明写真機に泊まろうとしている男「あそこに証明写真機あるよ」

修論スライドを作ってる同期の肩を叩いてイヤホンを外させた後「時間が逆行した世界のヤリマンは『始発電車、逃しちゃったね…』って言ってるらしい」って話しかけたところ「今話しかけるな」と怒られてしまった

「書いてないことを勝手に読み取るな」という人に対して「書いてないことを勝手に読み取るな、なんて無茶を言うな、文章を人様に出すからには覚悟しろ」ってリプする人がいるけど、まさにそういうことわざわざリプライしてるのがもう「書いてないことを勝手に読み取るな」現象

ネットで研究者の書いた論文にアクセスできる時代なのに俗流本にアクセスしちゃうのが謎と言ってる研究者のツイート見ちゃったんだけどいやだからホントそういうとこだぞ、、！て思った。信頼性のある情報にアクセスする力って自然と身につくものではないんですよ。想像してみて。例えば自分にとって全く専門外の分野のことを知る必要が出てきた時、ちゃんとその分野において信頼性のある情報にアクセスできますか？て。近所のTSUTAYAでどの本買えばいいかちゃんと選別出来ますか？ダメだよ、新規ファンにマウントかますウザい古参オタ仕草みたいなことしてちゃ。何が新規ファンのハードルになってるのか、は古参オタこそ分析しなきゃ。縦の旅行ってやつをしないと

オタク同士の友人関係を長続きさせたいなら、同じ趣味を語り合える人・趣味に共感してくれる人ではなくて「趣味に対して深くは突っ込んでこないけど、互いに趣味を尊重し合える人」を見つける事が大事で、干渉せず否定せずくらいの関係が丁度いいのだと聖書にも書かれている。

なんか全部嫌になっちゃって仕事辞めてキテレツ大百科を全部見てnoteに全話感想書こうかなと思って調べたら、キテレツ大百科の全話感想を書いているブログが既に存在することをしり、仕事頑張ろうと思いました。

170cm未満男性に人権なしってやつ、反転させるなら28歳以上の女性に人権なしとかでいいですか？ってマックで女子高生に聞かれた

自分に都合の良い情報だけ引っ張って海外移住を軽々しく口にする奴、絶対大人になってから海外住んだことないよな。旅行で行くならともかく、言葉も通じず知り合いもいない国で根を張って暮らすのはかなりしんどいわ。女子供が深夜にサンダル履いてコンビニ行ける日本の環境を舐めすぎじゃなかろうか。

大多数の人間は他人の発信をその意図や文脈を基に解釈するという高い認知的コストを支払えないが、そうした人間の意見も認知的コストを支払う人間の意見と同様の重みを持ってしまうため、スポンサーとしてはハイリスクな発信者を切らざるを得ない。あけすけに解釈可能性が高い発信をするのは自殺行為。しかし、コミュニティに特有の解釈可能性こそがそのコミュニティの面白さに繋がるというのは確かであり、発信者として食っていこうとするならば危ない橋を渡らなくてはいけない。現代の発信者になるためにはそこにも難しさがあり、例のプロゲーマーはその賭けに敗北した。ただそれだけだと思う。

ファミサポさんが娘にどうぞって。大学生になる息子さんが机の片付けをして、もういらないから捨てといてと言われたそう。シールが一枚ついてくるポケモンパンをいつも買わされていたって。貼らずにこんなに大事に取ってたのに、大人になっていらなくなっちゃうんだね。親として切なすぎて泣く。

小学生の時、祖父の前で「それ地雷だわ〜w」的な発言をしたら「地雷なんて言葉を笑いながら使うんじゃあ無い！ワシがお前の歳の頃は戦争で地雷に怯えながら生きてたんだぞ！」と烈火の如く叱られて、「地雷が地雷の人じゃん」ってなったのを思い出しました

店とかで実害ないけど騒がしかったりモラルとしてどうなの？って場面に遭遇したとき「異国の知らないレストランをおそるおそる訪ねた人」になりきると、ここはなんだか愉快な街らしいな……って気持ちになるからたまにやってる

地雷まではいかないけど話し合いとかで自分が出した意見に反対意見が出てこないと「私が同調圧力の根源…」と悲しくなります。

学生の頃は、ダンガンロンパみたいな高校生のデスゲーム系の話好きだったのに、歳を重ねるにつれ何故未来ある若者がこんな目に遭わねばならんのや…！と保護者視点になってきて地雷になっちゃった

あんたまたご飯残して、もったいないオバケ出るわよ

もったいないオバケ「このへんに僕が考えたオリジナルの虫放ちますねー」

ほーら普通に実害があるわよ

「ほらみんな、私大文系卒君が新型コロナやワクチンについて考えたことを話すからちゃんと聞いてあげて！勉強が苦手なのに、一所懸命頑張ってインターネットで調べてるんだから！ほらそこ、『高校で数学と物理と化学から逃げたくせにw』とか言わない！みんな、私大文系卒にも人権はあるんだからね！」

男性器のこと「息子」っていうけど、性欲による自我の支配力を考慮すると個人的には「主君」とか「中央管理AI」と呼んだ方が妥当な気がする

自社内ネットワークのリンクを貼り付けて送るのやめてください、参照できないです！と電話入れたんだが「私の手元では見れるんですが……ひょっとしてパソコン苦手ですか？」なんて煽りまでいただいてしまい途方に暮れていた。仕方ないので「pdfデータをzipにしてメールで送ってください」と頼んだら、pdfの拡張子を手打ちで.ZIPに変更してあるデータが届いた。なかなかの強者だ……

知的な遅れがないけれど、特性バリバリ出ててこだわりモンスターの子たち、将来職につくなら印刷業界においでよ！特にDTPオペレーター！いいぞ！規則性の塊みたいな職業だ！文字数フォントサイズ行間まで、ウンptミリミリ全部きっちりルール通りだ！どうだ！

先端恐怖症なので、自分がもし怪獣になったら東京とパリにだけは絶対に上陸しません

マンガでよくある「最初の印象はサイアク！でもアイツの本当は優しい部分にだんだん惹かれていって…」みたいなやつ、最初の印象がほんとうに最悪すぎてもう多少の名誉挽回エピソード投入されたくらいでは最悪が覆らなくて主人公は許してるのに私は大嫌いなまま話が進んでいくことよくある

本質的なことを言うと、一般的な家庭の子どもより、虐待家庭の子どもの方が苛烈かつ無条件に親を愛します。当たり前ですよね。愛さなきゃ生きていけないんですから。

初めて小説なるものを書いたけど、プログラミングみたいな難しさがある。「彼女は紙をテーブルに置いた」と地の文に書かないと、紙を置かないし、今居る場所の情景を書かないと、真っ白けなマトリクスみたいなところに主人公がスポーンされてしまう。ナーロッパが流行る理由が分かる。ここはナーロッパだと記載すれば、諸々の設定が一言でインストールされる。とても便利なパッケージなのだ。

化学物質過敏症で体調が悪いと、自然派医師とスピ治療師にかかっていた人が、起き上がれなくなってから、もう看られないと引導渡されてようやく普通の病院行ったら実は結核だったという話。自己診断はこれが怖い。

新入社員の頃から「置かれた場所で咲きなさい」という教えをとても大切にしてたが、転職活動をキッカケに色々な人達の話を聞く中で、置かれた所がヤバいところなら何も咲かないから早めに撤退した方がいいと学んだ。

蓬莱の玉の枝、火鼠の皮衣、仏の御石の鉢、龍の首の珠、燕の子安貝、人権に配慮した労働で作られた商品

子どもの頃、折り紙に入っている金色と銀色はもったいなくて使えなかったし、友達からもらったキラキラした折り紙ももったいなくて使えなかったし、かわいい鉛筆も削ることなく大事にとっておいていた。全部全部、あの頃、惜しみなく使っていた方がよかったよね…って大人になってから思った。

私は「人権」という言葉を軽く扱うようになっている元凶は小中学校の「人権教育」だと思ってますよ。あれは「人権とは何か」を丁寧に教えることなく「人に優しくする」「悪い言葉を使わない」程度のニュアンスで「人権」という言葉をとても軽々しく使いますから。子供に「人権ってなんだと思う？」って聞いてみると良いと思います。学校で丁寧に教わってない子たちは「されて嫌なことはしません」とか「チクチク言葉を使いません」とか、そう言うことを「じんけん」だと認識してます。あれはマジでなんとかして欲しいんですよ。人権と言う言葉の定義や何をどう保障されているのかをきちんと学校で教えてからその言葉を使って欲しい。人権教育という名の下で大人が子供を良い子としてコントロールするための指導をしないでほしい。ただ、学校で人権というものを丁寧に扱うと先生方にとって都合が悪かろうと思うんですよ。学校で子供たちが課せられている形になっていることの中には人権に抵触しかねないことがたくさんありますから。それを、なぜ権利を侵害してまで制限をかけねばならないのか、ということを認識することも、言葉にして児童生徒や保護者にわかるように伝えることも、先生方の現状の中では難しいことはお察しします。そして、先生方ご自身が己の権利を保障されているとは言えない中で働いていらっしゃることもまた、お察ししております。

インターネットは､あらゆる場所で行われてきたあらゆる私的な会話を､主婦の井戸端を､OLの給湯室を､ソープ嬢の待機室を､男子学生の部室を､工場労働者の喫煙所を､教授の研究室を一繋ぎにしてしまった

娘氏が「論破王ひろゆき知ってる？」ってゆーてきたから、一緒に動画を見て論点ずらしたタイミング当てゲームをして遊びました。叩かれがちだけど、おバカな中学生の論理的思考を鍛えるのに役立つので、良い教材として活用しています。

結論ありきのドグマで信者を煽っても社会変革には繋がらないと思いますね。ドグマの通り本当に「間引き」が必要だとして、社会実装は相当に慎重かつ穏健な方法を検討しなくてはいけない。それにも関わらず、信者のレベルに合わせて単純化して語っているのが本当に良くない。自分は国を維持したいという立場も理解できるのですが、それを実現する過程がfeasibleでなければ、その言説は無意味です。彼の考える社会実装はあまりにナイーブすぎて、ルサンチマンを募らせた馬鹿な信者以外ついていけないとこに問題があると思ってます。やるにしても憎悪ベースは回避しないとダメ。

ジェンダーや人種問題についての社会正義を唱える人達が自らを「目覚めた」、つまり自身と異なる意見を持つ人々を眠っていると認識しているのは面白い。莊子の胡蝶の夢やマトリックス的な話だが、自分の意識があるのは現実か、精巧な夢の中か、それともAIや悪魔が見せる幻覚か、区別は不可能だろう。社会運動をするにあたって自らの正義を疑う、正当性を確信できないということは、自身の活動にブレーキをかけるようなものであってガンギマリで突っ走りたくなるのは分かるが、活動が尖る過程で削り落とすものこそがサイレントマジョリティの支持を得る上で必要なものだったりする。"Woke culture"と聞く度に、自分が目覚めたと認識しても実はそれはまた別の夢の中なのかもしれないとは思いもせず、それどころか意見を異にする人々は眠っているのだと断じられる傲岸不遜に目眩がする。

メンタルのお医者さんによると、落ち込みやすい人は『自分のこと』を考えてる時間が、とにかく長いんだとか。幼少期や学生時代、社会人のツラい過去を辿っては、ネガティヴに押し潰される。落ち込みたくないときには、『大事な他の人のこと』とか『楽しみとか好きなこと』とか考えるといいらしいですよ。悩みの根源のほとんどが『暇』にあると教わりました。人間は本来、ヒマに耐えられるように設計されていないんだとか。暇なときほど、不安や後悔がグルグル巡るのは「ヒマを潰すために悩みを作ろう」と脳に命令がいくからなんだって。たしかに、好きなことや好きな人といる時って悩んでたこと忘れてるわ。「“心の拠り所”は一つにせず分散させろ」とのことです。拠り所が一つだけだと、軸がブレた瞬間にメンタルも一気に崩れてしまうんだとか。仕事や恋愛、ペットなど支えは何個あってもいいんだって。この考え方のおかげで私はメンタルが安定したよ。オードリーの若林さんが言っていた「ネガティブを潰すのはポジティブではない。没頭だ」という言葉は、こういうことだったんですね

ある男が宝クジを当ててテレビのインタビューに答えていた。

記者「この３億円をどうしますか」

男「はい。五つの消費者金融の返済にあてようかと。」

記者「なるほど。残りはどうするつもりですか？」

男「はい。あとの所はもうすこし待ってもらおうかと 」

女性相手にどんな言葉をかけるのが正解か、どう答えれば喜ぶか。頭では分かっているのに、そのセリフを吐くMPが残っていないことがままある。相手の気持ちに寄り添ったセリフは思いつくけど、共感はしてないので、思ってもない優しい言葉を吐く心的負荷がな。

親なんて碌でもない奴は一定数現れるからご近所文化や村文化で介入したり、匿ったり親に説教できたけど現代では自由()とプライバシーで全部無理ならそりゃ詰むよ。村社会やご近所文化めんどくさいけどそれなりの益も有ったし、子育ての先輩方でもあったのを捨てたのは我々だよ

友人が「面白い話があって…」から話し出したので絶対つまんねえじゃん…と思っていたら、息子がどこから仕入れたのか枕営業って何？って聞いてきて「泊まりの出張のことだよ」って嘘を教えたら学校の作文にお父さんは枕営業を沢山頑張ってます。って書かれたって話でまさかのちゃんと面白い話だった。

誰もが荷を背負いたくないが、さりとて誰かが荷を背負うしかない。結局、いかにして配分を行っていくかという落とし所を考えていく必要があるのだが、インターネットではそういう意見はバズらない。したがって、実現可能性ゼロのナイーブな極論が蔓延る顛末となる。

フェミもアンチフェミも反医療も、安易に単純な物語を利用して得た弱者性を盾にすることで無敵状態を作るのをやめた方がいいと思いますよ。物語を使うときはどれだけの人間を包摂できるのかという点についてよく考えないといけない。

女「終電、無くなっちゃったね…」

男「そうだね、終電担当大臣」

終電担当大臣「私の力不足でございます」

数ヶ月前の投稿のリプ欄で数ヶ月ごしのリプライを巻き込みで飛ばす、という謎の行動をしている反ワクチンの方がいらっしゃるんですが、その時間感覚のなさや、インターネットの慣れなさは、やはり高年齢だったり、何らかの疾患がある方が多いからかな、と思っています。普通ではない、というと、反ワクチンや反マスクの方は喜ぶ傾向にあるので、“社会に馴染むことが難しそうな人”といった言い変えると良いかなと。時系列や時間の流れを考えるのが苦手な方が多いのも、認知能力が低下しているか、そもそも最初から時間に対する意識が極端に薄いか、だと思っています。

「一匹狼はカッコいい...!」と思いがちですが、人は群れた方が基本的に強くなります。特に「災害のとき」「お金がないとき」「メンタルが弱っているとき」「身体が弱っているとき」は積極的に群れましょう。生き残る可能性が高くなります。ただ「誰と群れるか」はよく考えてください。

10月下旬、僕はハイエースを運転して、オートキャンプ場に向かっていた。高速道路を降りて、現地のスーパーで買い出しをしたあと、のどかな田舎道を走る。景色のいい場所に行って車中泊をするのが、近ごろの楽しみとなっていた。よく晴れた日で、空は青く、日光を受けた山は鮮やかな緑色をしている。その緑を分断するように延びる灰色の上を、心地いい速度で進んでいく。信号機もほとんど見なくなり、田舎の風景に癒された僕は、すでに「来てよかった」と感じていた。それを見たのは、小さな橋に差しかかったときだった。橋の車道の端に、猿が倒れているのだ。そのすぐそばには仲間の猿が一匹、呆然と立ち尽くしている。車に轢かれてしまったのに違いなかった。反射的に車を減速させていた僕は、二匹の猿から引き剥がした視線を前方に移した。反対車線に停まっているライダーが目に留まる。彼はバイクにまたがったまま、倒れた猿を見つめながら、携帯電話らしきものを取り出している。どうやら、しかるべきところに連絡をしてくれるところらしい。軽いパニックになっている自分とは違い、ああも冷静に対処できるなんて、同じ目撃者として頭が下がる。僕は落ちていた速度を戻し、車を進めた。眼前には依然として綺麗な景色が広がっているが、旅行気分は消し飛んでいた。傍らにいた猿は、倒れた猿の家族だったのだろうか。友達だったのだろうか。起きたことを理解できているのだろうか。人間を恨んでいるのだろうか。生きるとは奪うことだと、何かの作品で読んだことがある。ならば、あの猿に情を移した自分のような、奪う覚悟なき者に、生きる資格はないのだろうか。それとも、やはり人間は、地球に存在するべきではないのか。あの猿を轢いたのが、地元の車だったのか、旅行者の車だったのかはわからない。しかし少なくとも、自分のような旅行者が減れば、ああいった哀しい出来事も減るはずだ。空模様とは対照的な、どんよりとした気持ちを抱えたまま、僕はハイエースを走らせた。目的地に到着して、眺望のいい場所に車を停めた。椅子やテーブルやカセットコンロをリアハッチから降ろし、その場で一夜を明かす準備をはじめた。興奮から、小難しいことはすっかり考えなくなっていた。外で昼食をとり、景色を眺め、現地の温泉に入り、外で夕食をとり、車内で寝る。旅行というよりも、冒険ごっこをしているみたいで楽しかった。翌朝、後片付けが落ち着いた頃、オーナーさんがやってきたのでお話しさせてもらった。僕よりずいぶん年上だが、僕よりずいぶん背の高い男性だ。土日は混むことや区画を増やす計画を聞いたり、次回はあの区画に泊まってみたいと言ったりした。そして——。「じつはここに来る途中に——」なかば無意識に、僕はあの猿のことを話していた。オーナーさんも、心を傷めてしまうかもしれないのに。胸に抱えた罪悪感に似た想いを、何割か肩代わりさせるだけになってしまうかもしれないのに。「——僕は、どうすればよかったのか……」それまで穏やかだったオーナーさんが、急に大きな声を出した。「なんだあ！それ持ってきたら12,000円もらえたのにぃ！」えーーー！と僕は心の中で叫んだ。「いやあ、もったいないなあ」オーナーさんの口調からは、猿への同情などはいっさい感じ取れなかった。「それはもったいないことをしましたよ」「……どういうことです？」混乱しながら訊ねると、オーナーさんは説明してくれた。この地域では、猿は害獣指定されており、駆除した証拠を提出すれば、自治体から報酬をもらえるのだという。猿だけでなく、猪や鹿や——。「ハクビシンだっていいんですよ。あ、見てください」オーナーさんは自慢げに、スマートフォンの画面を僕に見せる。「昨日私が仕掛けた罠にかかってたんですけどね」画面には地面に横たわった猿が映っている。「ああ、すごい……」「これも以前捕まえたやつです」オーナーさんは画面をスワイプし、次々と倒れた猿を表示させていく。その様はビックリマンシールのコレクションを自慢する少年のようだった。「す、すごいですね」あの猿をかわいそうだと思ったことがバレたら叱られる可能性まであると思い、僕は自分のスタンスを急変させた。「じゃあ、一日二匹でも捕まえたら生活できちゃいますね！」「一匹で充分ですよ！」「あ、たしかにそうですね。ははは！」空笑いしながら、僕は自分の甘さを痛感した。田舎で暮らす人々は、日々自然と戦っているのだ。一生懸命に育てた作物を食い荒らされ、子供が襲われてしまわないか心配し、そういった実害を受けている人々にとって、野生動物は敵でしかないのだろう。僕は、あの猿を見てかわいそうだと思った。動物を駆除することによって報酬が得られるというシステムにカルチャーショックを受けた。だが彼らにしてみれば、そんなものは自然の残酷さと向き合いもせずに暮らす、都会の利便性に毒された人間の戯言に過ぎないのかもしれない。考えてみれば、筋が通っていなかったのだ。狩りをするでもなく肉を喰い、農業をするでもなく米や野菜を喰っている自分のような人間が、食料となったり、農業の邪魔をする野生動物の死骸を見て憐れむなんて。これでは善人面をしたいだけの、現実を見ていない甘ちゃんだと非難されても文句は言えない。「じゃあ、私は作業に戻ります」オーナーさんはエネルギッシュな笑顔で言うと、その場を離れていく。「お世話になりました。また平日を狙って来させてもらいます」「ええ。では運転、お気をつけて」車を発進させると、整地作業をしていたオーナーさんが手を止めて、深々と頭を下げていた。昨日通った道を戻っていくと、あの橋が見えた。倒れた猿と立ち尽くす猿。彼らはもういなくなっていたが、その姿は僕の頭の中に鮮明に残っていた。——憐れんではいけない。もし憐れんだ場合、自分は善人面をした甘ちゃんだということになってしまう。……しかし、やはりどうしても、残された猿の気持ちを考えてしまうのだった。いったい、どう感じるのが正しいのだろう。このままでは自分の中で悩みといえるレベルの問題となってしまいそうだったので、僕は暫定的な答えを出した。自分が甘ちゃんだということを受け容れた上で、憐れもう。ひとまずは、そういうことにしておこう。ルームミラーに映る橋は、ずいぶん後ろに遠ざかっていた。

クソゲーって、作ろうと思えば簡単につくれて、例えばポケモンの最初の敵が100lvで突破不可とかでもクソなんだけど、そうじゃなくてあくまで「クソゲーを作ろうとせずして生まれたクソ」なのがマジで絶妙で、どうしたらこんなクソ設定にするのかという開発の裏側まで思いを馳せることが出来る

アラブ人で欧州の言語を学ぶ人はいてもペルシャ語を自発的に学ぶ人など極稀だろうと思っていた。当地のイラン人は米の加州に留学経験のある湾岸人でペルシャ語を学んだ人に何人か遭遇したそうだが、その動機は全てイラン美人目当てだった由。加州のイラン人コミュニティは親イランを増やしていて偉大。「ナターシャ」（知性と貞操観念に欠ける東スラブ人女性を指すらしい）嫌いのロシア人の友人が「今まで遭遇した露語話者/学習者の外国人男の学習動機は女絡みだった。馬鹿のナターシャ達も親露派を増やしてる点では役に立ってるわね」などと言っていたのを思い出す。

言語化能力が足りない人、思考や主張が、「言語化しやすいこと」「他の人が既に明確に言語化したこと」に引っ張られるケースが多い。この場合は目についたステレオタイプに収斂する。思考を言葉にするのではなく、言葉にできる主張を選ぶ。この逆の順序を辿る人は少なくない。思考から発言するのではなく、発言しやすいか否かという事情から自分の思考を捻じ曲げる逆の発想、アクティブ・ラーニングで余計に悪化している。彼らの状態を想像しにくい人は、苦手な外国語で自己アピールや議論形式や質疑応答形式の対話をさせられることを想像すると、それに近い。海外旅行の時に、食べたいものを注文するのではなく、次善の策で、名前を知ってたり発音できる食べ物を注文して飢えをしのぐことがあると思う。日常や仕事や学習が、常にあの状態になってる人がいる。人を使う側の人や指導する側の人は、これを意識しておいたほうが良い。

最悪な人「あのねぇ、ここで根をあげてるようじゃ他のどこ行っても同じよ？」

最高な人「......僕が社会を変えるしかない、ってことですか？」

真面目な方は、反ワクチンや反マスクなどの陰謀論に傾倒する人の心理をちゃんと辿ろうとするかもしれませんが、知識不足の方が“承認欲求”と“選民意識”を拗らせた結果です。難しいことは何も考えていません。自分にかけた“私はすごい！”という魔法を維持するために、嘘を重ねて生きている人たちです。身内にでも現れない限りは、ネット上でもリアルでもその人たちに寄り添う必要は一切ありません。知性がなく、空気を読むことや他人との距離がうまく取れない人がほとんどなので、構ったところで調子に乗るだけです。

現代においては、「言霊の力」というのは『スラックティビズム』（何も骨を折らず全く意味がないことなのに、何か大事な働きかけをやった気になって手軽に自己満足を得ること）の典型ですね。知識や技術のない昔ならば、言霊を信じるのは切実な「技術」であったでしょうが。

Twitterでたまに遭遇する「厄介な人」の特徴は、こちらのことを敵と認識していて、「正そう」というスタンスで攻撃してくる。大体その人が過去に痛めつけられた誰かを勝手に重ねて恨みをぶつけているので、どこか話が噛み合わない。正そうという行為は自他境界が曖昧な証拠でもある。いつの間にかすっかりTwitterは良くも悪くも「悪を正す」のに適した場所になってしまって、そのせいで毎日どこかで公開処刑は行われるし、それが許されるような土壌が出来上がってしまった。自分もその熱に浮かされていたような気もする。今はそれよりも自分の内面や家族に向き合っていたいなあ。

もう少し暖かくなったら、親友とお互いの彼女連れてダブルデートありだなと思ってるんだけどあと3人足りない

小さい子の「隠れてるつもりかくれんぼ」を集めた写真集あったら買ってしまうかもしれん

インターネットは火事と喧嘩で出来てるので実質江戸

今回のプロゲーマー解雇ですが、「独身非モテ男性とかをフリーハンドでバカにしていたら、急に社会のルールが替わって過去発言でNGになって社会的地位を失う」という危険性にまで思い至り、冷や汗をかく人、というのはたくさんいると思う。

他人のバズったツイートの引用リプ欄を見てヤバいやつをブロックしまくる行為をワクチンと呼んでいる

フェミニズムやマルキシズムだって、論拠とする”弱者”が虐げられている構図を見出すことが出来てしまう。重要なのは説得力を持つ論拠を提示し、決定権のある人間を納得させ、現実世界にその思想を実装するという極めて泥臭い過程です。それが伴わなければただの妄執と変わらない。本や論文を書け。金を稼げ。影響力を拡大しろ。政治的な権力を持て。

それ抜きに外野からピーピー文句つけるのはフリーライダーに他ならないということを言っています。医療者もそりゃフリーライダー性を持つでしょう。でもそれは他業種と比べてどの程度なのか。ちゃんと論拠を持ってこないとダメ。それと、医療者がフリーライダー性を有するからといって、それは何も現実的な行動を起こさずに医療者＆老人を批判する連中のフリーライダー性を否定する根拠にはなりません。自分の上記の発言は好き嫌いの問題ではないですからね。むしろ、支持寄りだからこそ不誠実なインフルエンサーにキレている。

小学校のころ検診で内科医に「君ほど大きい喉ちんこ(扁桃腺)見たことない」と言われ、手渡されたカルテを確認すると喉ちんこ欄に『4』と書いてあり「喉ちんこの最高評価は『4』なんや」と思いました

悪態一発退場の社会、なかなか厳しいですよね。権利ベースではなくモラルベースで社会が動くようになると、それこそマナーの階級性みたいなのがもっと切実に意識されるようになるんでしょうか。言葉遣いは典型的に文化資本出てしまいますから。

コスチューム物AVですぐに脱いじゃうのはレンタルコスだから汚すことができないというのを聞いて僕は世の中のことをなにも分かってなかったんだなと猛省した

「敬語を使ってくる奴は舐めていい」みたいなシンプルな価値観の人間は残念ながらたくさんいる。ベジータよりフリーザのほうが不気味で怖いというのは知的な人の発想です

ロシアの言い分も聞かなきゃとか言って、10000と10を足して2で割ったのを中立と言われても困る。

女医問題もこれで、男性なら騎士道で育休中の女医をフォローするけど、未婚女性と子持ち女性になったら前者は絶対に献身的にはなってくれないのでそういう意味でも女子を増やすと医療は崩壊するだろうと言われてますね。育休を同僚同士でフォローし合うのが真っ先に崩壊したのが資生堂ってのが本当に示唆的なんだよね。男性社員こそが育休中の女性をフォローしてくれていて女性メインの職場ではそれが機能しなくなると言う。資生堂ショックの裏テーマは「不利益を被るのが同じ女だと女も好き放題できない」だと思うんですよね。乳母や姑というシステムが生まれた理由はたぶんこれ。

宗教的に規定された物事はガチガチに守る一方、特に決まりがない事柄については欲望の赴くままという一部のパリサイ派的ムスリムのモラルの低さにうんざりするが、知的でない人々でも従える行為規範にはそうならざるを得ない面があり、賢い人しか救わないなら幅広く人々を救済する宗教たり得ない。

ウクライナ、国境から５kmくらいの帯状の地域を日本に譲渡すればロシアの侵攻が即日米安全保障条約の適応となりめちゃくちゃ抑止力があるのではないか？

身長が340cmなので人権が2つあるジジイ

「人はいつか死ぬ、だから一所懸命に生きるのだ」みたいな理論嫌い。いつか死ぬならなるべく楽したいし酒飲んで露天風呂入って寝たい。

退職願を勘違いしてる新人「課長、退職して下さい」

そういえば、某福祉専門職向け研修で、「人権とは、あなたが想像する最も不愉快な人にも当然に保障される権利」と説明したら、感想で「目から鱗でした」的な新たな発見をした方がたくさんおられてちょっとドキドキした。

「ねえ、なんか変えたんだけど、気づいてくれた？」

「え～なんだろ、髪型？バッグ？」

「鈍感！答えは血液型」

「変えれるんだ……」

刑務所を取材した漫画読んでるけど、｢刑務所の作業場の方が休憩と定時上がりとパワハラ少ないせいで出所後ブラック企業に就職してしんどくなり結局戻ってくる人が出る｣って話に｢居心地のいい所にするからだよ。地獄みたいな所にするべき｣ってコメあって｢いや社会を住みやすくしろ｣と思いました。まあ分かるんですよ、悪い事した人がちゃんと罰を受けるべきだと言うのは私も思う事なので。ただ、罰を受けろというのがLINEマンガのコメ欄によくある｢受刑者にお菓子食べさせるな！ケーキも出すな！服を買わせるな！エアコンつけるな！厳しくしろ！｣ってのは違う気がするんだよな。そもそも作業とかさせられてるのは窃盗とかの軽犯罪とかで殺人とかするとそもそも作業とかさせられないような所に入れられたりするらしいので、うちの地方にもよく居ますけど｢ホームレスから抜け出せないから冬越すために窃盗とかして入所狙い｣って人が出ないような社会にしないとどうにも…と思う

ユーチューバーって「◯◯して行きます」とか、「◯◯行きたいと思います」って言うのなんでだろう。さっき見てたキャンプ動画のおっさん、寝ることを「寝て行きたいと思います」って言ってた。

ロシア語では「世界」も「平和」も同じ「ミール」мирである。革命前は綴りで区別したが、これは人工的な区別で、発音は完全に同じ、語源も一つだ。古代のスラヴ人にとって、「世界」とは「戦争のない状態」のことだった。なんという素晴らしい世界観だろう。現代のロシアは恐ろしく退化してしまった。

「モンスターカスタマーの相手する必要なし」「ヘタに無料化や値下げすると客層が悪化して元々のお客さんまでいなくなる」みたいな話がツイッターでは拍手喝采されがちだけど、そういう質の悪い客と高齢者・貧困層・境界知能とかの人ってかなり被ってそうでそこは大丈夫なんですかと思うことあり

靴下を無くしてもいいように、同じ柄の靴下を5足、10枚買ったんだけど、3ヶ月くらいで1枚になった。

週数回の一限すら朝起きれなくて落としてたのに、社会人になったからいきなり09:00から8時間も働けるわけないやろ！無茶言うな！って言い続けて6年目になった。早起き→部活ある日は朝練→授業→部活→土日はバイト＋趣味もあったり、彼氏彼女作ったり定期テストもありで、人生で一番ストイックなの絶対高校生なんだよな。高校生活がストイック過ぎて、大学生活でダメ人間になった人も多い。そういう人が、ダメ社会人になって在宅勤務なのに朝10時起床してる。

若い頃に上司に「私なんて所詮は会社の歯車ですから…」と言ったら「それは違うぞ！歯車は１個でも欠けたら装置は動かない大事な部品、お前なんかカバー留めるネジみたいなもんだ！１個くらい無くたって支障はない」って、より酷い返され方をされたのを思い出した…

私は10年と少し前、高校生の時に中国の高速鉄道の事故を笑ったけど、あれは間違いなく亀を笑う兎であった。真実の価値は時間による. 選別をくぐり抜けたものにのみ宿るって言う思想からしても、寓話って言うのは馬鹿に出来んのよな

人間や生活や社会にはうんざりするが「そこに人間や生活があった痕跡」は好きなので早くすべて痕跡になってほしい。「かつて何かがあった痕跡」だけがあり自分はそれに間に合わなかったという喪失なき喪失感だけを抱えて生きていくぞ

かなり切り込む食レポ「ご覧下さいこの溢れに溢れたイクラ！これ全部人間のエゴですからね！」

学生の頃は滅べ人類と思っていたが、社会人になり学生気分が抜け主体性が発現するにつれて俺が人類を滅ぼすという気持ちに変化した

私はスマホ依存症なんじゃなくてスマホがいじれる程度の元気しか出ないだけ

WEB会議中、ゲップでそうになったからミュートしてゲップしてまた解除したら逆だった。ワイ以外の人からしたら、開始からずっとミュートしてたやつが急にミュート解除してゲップしてまたミュートに戻るという光景を見ることになった

スーパーでめちゃくちゃなクレーム入れてるオジサンいるんだけど、見かねた他の客が「お前人生終わってんな」って言ったらおじさん「終わってるよ！子供も妻も彼女もいなければ結婚したこともない！車もない！」って叫び始めて泣きそうになっちゃった

そういえばS先生が、大人になるとマジで叱ってくれるのはレフリーだけだから、論文書き続けないと横柄度アップすると言ってたな

納得のいく嘘をつくには知性が要ります。楽しませる嘘をつくにはユーモアが要ります。嘘をつかずに信頼されるには人間性が要ります。嘘をつかずに勝負するには積み重ねが要ります。嘘をつきたくてもつけない人間がつく職ってのは、誰でもやれるがやりたくない仕事なんですよ

「先に死なないでほしい」って、「好き」の最上級だと思う

利子、人類の経済活動のなかで数少ない「実態と関係なく純数学的に増えていく」ものなので、乱暴なこと言えばこんなん持続可能なわけないやろ、という。しかも複利だと指数だし……あと、近代資本主義社会では「借金を踏み倒す」のは大抵相応のデメリットがあるし、結局「返せないやつの分の金利を返せるやつが負担する」連座制になってるだけなので……

「統計では【校長】を除外するが、現実には【校長】が統計として現れる事を考慮しなければならない」という、統計学サイドからのめちゃくちゃ重たい言葉を見てしまった。そうか、言われてみれば、いくら統計学的には外れ値でも、それだけの外れ値を叩き出す規格外のナニかは生まれ得るんだよな…

「塩化ナトリウムの入ってない塩」という文章に、違和感を覚えないリテラシーの人は、テレビの内容でさえ「難しいコトをイッテル・・・」だろうし、なんのインチキの判断もできないから全部運ゲーになるから人生ハードモードだろうなぁ

Twitterでキャリアの話をする場合、どんな働き方をしても年収が1000万を下回ることが無い層と、どんな働き方をしても年収が500万を超える事が無い層が交わってしまい、お互いに何言ってるか分からずに終わる。

「Twitterは素人が専門家から気軽に教わることができるツール」というのは、完全に幻想ですね。正しくは、「Twitterは素人が専門家に気軽に教えることができるツール」です。

「お金がない人間がしてはいけないこと」は人間にとって楽しいことばかりで、「お金がない人間であろうがしなければいけないこと」はお金がかかることばかりであるという現実がある。

こんにゃくを食べ物と認めてない人にこんにゃくを何だと思ってるのか聞いたら「栄養なくてほぼ繊維しかないわけで、だからもうカテゴリーとしては雑貨っていうか」と言っていた

昔からのパターンなんだけど、専属アシスタントの経験がない漫画家さんほどアシスタントに厳しくしがち、経験していないから何が出来ないとか把握していない。個々に得意苦手があるのでそれを把握するのに実は数日かかる。その期間で才能を決めちゃうと大変なことになる。江川達也さんが「アシスタントより自分で描いた方が上手い」って言って一流スタッフ達に嫌われて一人で仕事するようになって、以前のような高い画力のものは出来なくなり最終的には引退したように、人に助けられて成立していた事に気付けないと不味い。本当に一人で描ける人はいいけどね。

過労の末に「ポケットに残ってるタバコ全部吸ったら死のう」とツイートしたきり何年も休眠してたアカウントをふと思い出して見に行ったらツイートはやっぱり更新されてなかったけどいいね欄見たら先週描かれたウマ娘の二次創作イラストにいいねしてて泣きそうになった。サイバーエージェントありがとう

縁結びで有名な出雲大社行った時にさ、賽銭箱の前で女の子が小銭ばら撒いたの拾ってあげたの。そしたら帰りに寄った道の駅でたまたまその子と隣同士で車停めててさ。お互い目が合い照れながら会釈したんだけど、まさかその子が後に俺の彼女にならないだなんてこの時の俺はまだ知らなかったんだ

娘が”高菜”という言葉を覚えたらしく、おさかな天国のさかなの部分を高菜に替えた歌を一日中歌っていて気が狂いそうだ、と思ったが、実際には私に娘はおらず、単に私の気が狂っていただけだった。窓から見える景色は寒さのせいで色彩が失せ、何もかもが灰色の風景の中に閉じ込められているようだった。

髪の毛がめちゃくちゃ伸びてるので切りに行こうかと思ったのが数日前で、髭剃りも同時にやってもらおうと思って髭も数日剃っていない。実家に帰った時シャワー浴びながら「シコりてえ」と思うものの、自分ちに帰ってからシコったほうが絶対に気持ちがいいので数日間我慢するのと非常によく似ている

お父さん、努力によって社会に馴染むということが出来てしまったタイプのADHDで、持ち物に特定の数字振ってあって毎朝数えながら身支度したり、アラームかけて生活したり、手帳は色々忘れないようにびっちり埋まってて結果的に「めちゃくちゃちゃんとしてる人」になっていて、心の底から尊敬している。

祖父はおれの声が小さくて聞き取りづらいのを、「声が小さい」ではなく「声が優しい」と表現してくれる

おれはインターネットが大好きなのに、美容院での会話も大好きな かなりありえない人間

自分とは違うやり方/違う生き方で上手くやっている他人に嫉妬してしまう、あるいはズルいと感じてしまうという人は結構多いけど、打開策はただ一つで、その"ズルい"と思う方法を自分も一度試しにやってみればいいのである。小学生もよく「Aくんだけ〇〇してずるい！」というようなことを口にするけど、その時に大人が「BくんもAくんと同じようにしていいんだよ」と教えると、子どもは虚をつかれたような顔でギョッとする。本当は最初から誰も、何も、禁止していないのである

卒業文集の面白い人ランキングで2位をとった嬉しさが今でもおれを支え、2位をとった悔しさが今でもおれを奮い立たせている

写真があんまり好きじゃないのも、容姿がどうこうというよりもまず、自分が他人として存在する世界を"私"が見ているという気持ち悪さへの違和感が大きいかもしれない

「人は他人の顔なんかそんなに見てないよ（笑）」という意見があるが（実際そうだと思う）、人が他人の顔を気にしていないことと、おれが自分の顔がキライなことは全然関係ないから、それで丸め込めると思わないでほしい。これは半分冗談だけど、実際コンプレックスというのはどんなに些細なものであっても当事者にとってはすごく切実なものだから、雑にあしらったり、上から覆いかぶせたりしないで、できる限り当人と同じ温度でその悩みを受け止められたらいいなと思う

インテルネッツ空間、一種のマゾヒズムというか不愉快な声が無限に聞こえてくるオープンな場にわざわざ身を置いて「社会は今日もつらい」という気分に浸る絶望浴みたいなものになりつつある。

魚の食べ方や箸の持ち方で「育ちの良さ」が分かるだとか、本当に頭のいい人の特徴がどうだとか、最近よく見る"人間鑑定士"みたいな人たちは何なんだ？自分のことを、他人を公然とジャッジする権利を持ったなにか上位の存在だと勘違いしてないか？そんな権利は世界中の誰にもないはずなのだが。

このままじゃおれ、真面目で優しくて誠実でユーモラスで気が利いて手先が器用で料理が得意で少し絵が描けるだけだ…。

夢の中でこれは夢だと気付くみたいに、人生の中でこれは人生だと気付いた瞬間がある。

将来の雲行き怪しい友人2人と話し合って、全員が人生につまずいたら3人で探偵事務所を開いて全部終わらすことに決めた

令和では「オタク（ヲタク）」はすでにファッションの一つになって、「チー牛」という別の気持ち悪い言葉が、従来の「オタク」が担当してきた意味領域をより鋭く刺すようになった

古本に挟まってたレシートが冬にピザまん買ってて 戻す

卒業が決まって単位認定の心配なく受けられる大学の授業面白すぎる

おれがいくら著作権を気にしたところで、今日もTwitterには漫画の切り抜きやTVのキャプチャ、映画のスクリーンショットが貼られまくる

「哲学」とか「宗教」みたいな複雑な要素を持った言葉が、人を揶揄する時のお手軽ワードとして消費されているのをみると不愉快な気持ちになる

ふだん優生思想に大反対ですという人でも子どもを持たない理由を説明するのに「自分の劣った遺伝子を残したくない」とまんま優生思想な考えを発することがよくあって、自己否定の方向だと言葉や考えの攻撃性が分からなくなるという法則でもあるのかなあと思ってます。自分は優生思想とか関係なく「遺伝子」から出発してものを考える手順自体に興味がわかず、たとえば「遺伝子の多様性」という視点から反優生思想が語られているときもなんともいえない気持ちになる。

コロナが最悪であることには変わりないけど、ただ自分が怠惰なだけで停滞して無茶苦茶になっている種々のことが、コロナ禍にあっては「まぁしょうがないよね」といった感じで広く許容されており、そうして与えられたモラトリアムによって少しだけ救われているという側面も否定しきれない

メルカリに出してる商品早く売れてほしいけど発送面倒くさいから絶対に買わないでほしい

好きとまで伝える勇気はないけど、あわよくば自分の存在を意識させておきたい現実の異性に「推し」とか言って目くばせするの下品ですよ

おれが就職活動が苦手なのは、就活特有の雰囲気が得意じゃないというのも勿論あるけど、何よりも、例えば「初任給」「生涯賃金」「福利厚生」「キャリアプラン」のような極めて現実的な言葉によって、目を背けてきた自分の将来がにわかに具体性を帯びて目の前に浮かび上がるのがこわくて仕方ないから

ジェンダー平等は余裕のある人の趣味ではないですよ

就活みたいな服を着て、就活みたいな靴を履いて、就活みたいな髪型をして、就活みたいな顔をして、何もしていない

祖父母世代が繰り出すストレートな差別って迫力あるんだよな

結婚した芸能人同士の顔をAIでかけ合わせて、生まれてくる子どもの顔のパターンを算出するという動画がYouTubeにあがっていて、その下品すぎる欲望に極めて何か生命に対する侮辱を感じた

「毎日は聴かないけど、一生聴きます。」って誠実でいい感想だなあと思う

あるところでは、教養とはすなわち羅生門のことであり、山月記のことであり、世界史Aのことであり、それから二次関数、三角関数のことであったのだという

最近、コストコを出てもコストコの中にいるような気がする。実際、ここが、コストコの中なのか外なのか判然としない。もしコストコなら、3000フィートあるというラップを買って帰ろう。本当は、ラップの使い道も帰る家もないのだが、何か未来のことを考えていないと、立っていることすらできない。

あえて同じ意味の言葉を反復させる重言やトートロジーにはレトリックとしての面白さや表現としての愛嬌がたしかにあったのだが、インターネットのみんなが「進次郎構文」とか言ってそれら全てを一絡げに揶揄するおかげで そういった遊び心の趣意はすべからく死んでしまった

別れの尊さは「誰もがいつか別れなければならない」ということにあって、誰それと別れる、という具体的な悲しさや寂しさがある一方、それらの感情が誰かと別れることへの抽象的な悲しさや寂しさに還元されていって何も残らなくなることへの悲しさや寂しさもメタ的に含んでいるという気がする。もっとわかりやすく言うなら、Aくんと別れることに対する寂しさや悲しさがまずあって、それらの感情が「人と別れるのは寂しいよね～」という一般論に回収されていくであろう、そう遠くない未来についての寂しさ（侘しさ、諦めの感情）も含んでいる。これはかなり暗い解釈かもしれないが。でも本当は、誰かと別れた後もその誰かのことが自分の心の中に息づいているともおれは信じている。未来で、その人と別れたことへの寂しさがなくなってしまったとしても、まあそれでいいんじゃないかと思いたい

俺はお茶を吹き出しそうになったことがない。でも、お茶を口に含んでいたら吹いてしまっていただろうなというくらい、心から笑ったことはあるよ

「散歩中とかふとした瞬間に撮ってみたはいいものの、誰かに送るほどでも別にSNSに載せるほどでもない写真」を共有するだけのオープンチャットがあるんだけど、作ってから1年くらい経って、いま更新頻度も写真も本当にちょうどいい塩梅になってきている

今日の夢は朝起きる夢だったからもう１回現実で起きないといけなくて2段階認証みたいだった

いま学童でアルバイトしてるんだけど、子どもたちはおれが大学4年なの知ってるから、来年から何して働くの？ってこの前聞かれて、おれは就職活動が全然うまく進んでないからどこの会社にも入れないかもしれない…って答えたら「じゃあ、ずっとここにいればいいじゃん笑」って言われて泣いちまった

ゲーマーの口の悪さは「プロ失格」になる一方で、ヒップホップの口の悪さは相変わらず「アイデンティティ」扱いになるというのは、わかりやすい階級意識の露出っぽくて気味が悪いと思う。「私たちが認めるべき文化」という隠れた指標の「私たち」は、全然私たちではなくて、特定の階級の社会規範。

なんで未来の定年が伸びたり、福祉が削られたり、お菓子の容量が減ったりするんだろうかね。未来は反対に定年が早くなったり、福祉がもっと充実したり、お菓子の容量が増えたりするべきなのではないの。人類はそのために学び働き英知を集結してここまできたはず。働きすぎだよとにかく。2022年なのに

田舎の人が温かいというのは相手がいずれ去っていくお客さんだからであって、移住者となるとまた違うからね。村の秩序を壊しかねない異物には容赦しない。コロナ禍でイナカモンがよそ者イコール即異物扱いするようになり、人が自然と共に生きていると優しくなるという幻想が壊れたのはいいことかもね。

近所のゲーム好きな奥さんに「今日会社が休みだったから昼にずっとオンラインでマリオカートをやってたんだけど、全然勝てなかった…」って愚痴ったら「平日の真っ昼間にマリカやってるような人間に勝とうと思うほうが間違い」と言われた。

博多焼き鳥の「博多」、糸島唐揚げの「糸島」など、よくよく考えれば何の意味もない地名に一周回って凄味を感じている。

重要なイベントの後にしか聞かない、溶かすように噛みしめていた名曲も、気が付けば歌詞を記号として覚えて歌えるようになってしまって、勉強中にその曲で拍を取り始めていよいよ「この歌も寿命なのかあ」と一人で寂しくなったりするけどみんなこの現象ある？

今日髪を切りに行ったら理髪店でラジオが流れてて、スポンサー読み上げで「肛門マッサージ 田中整体」って聞こえて肛門！！？？マッサージ！！？？ってなったけどよく考えたら「訪問」で、髪切ってもらってるのに「ﾌﾌｯ」って笑ってしまって店員さんに「どうしました？」って聞かれた

Twitter等で所謂「女叩き」してるオタクは、女性に対して期待してるからこそ現実の言動にキレているので、むしろ普通男性？より女性に弱いです。可能性がありそうな女性に近付かれただけで、掌返して囲いになるオタクはもう飽きるほど見ました。（ex配信女性を叩いてた現バチャ豚）

ざっくり言って受験は「真面目/不真面目」と「賢い/賢くない」の2変数の組み合わせで向き不向きと作戦が決まってくる。真面目で賢い子は放っておけば良し、不真面目で賢い子はインセンティブ構造をうまく設計するべし、真面目でも不真面目でも賢くない子は受験に向かない。

「育児が大変だ」と言い募っている母親は自分で勝手に抱え込んで大変になっているんだからやらなきゃいいだけだ、というのは多分ぐうの音も出ない正論なんですよね。でも渦中にいたらそこからどうやって抜け出すかも簡単にはわからないから、苦しいんですよ。対人支援をしていたら「こうすればいいのに」と言いたくなる場面なんて山ほど出てくるんですね。でもそれを本人に直球で言ったところで解決することなんか限りなくゼロです。子育てでもそうでしょう、こないだ流れてきてた中受の子供に勉強教えてるお父さんのツイートでも解き方を教えてるのにと憤ってたけど「こうすればいい」を直球で教えても本人が主体的に取り組むのはすごく難しいんですよ。自分から見て「できてない人間」に、自分の脳みその中で構築した「僕の考えた解決法」を叩きつけるのは相手のためじゃなくて自慰行為と同じだと私には見えるし、自分もうっかりこれをやらないようにといつも思う。そしてこれはブーメランでもあるわけです。その自慰行為に見えるような「私の考えたど正論」を他人に投げつけたくなる人に「それをやるのは適切でない」と私が言うことになんの効果もないわけです。傍から見て「こうすれば良いのに」と思ったとしてもそれをいうてもろくなことないよね、ネットでもリアルでも。ただ、そう言いたくなってしまう心理になることは誰しもあるんだろうとも思うんだよ。

もう10年くらい同じことを言ってるけど「当意即妙なキッズが大人の私を癒す美談」て児童ポルノと何ら変わらないからな

ADHD、申請書類が出せる人よりも申請書類すら出せない人の方が大体症状重いの、パラドックスとして秀逸すぎる

「一人の育児で追い詰められてたから殺しちゃいました。女を支えなかった男が悪い」って、男女逆にして男が主張したら絶対に許されない理屈ですよね。そこには「女は庇護される性、支えてもらうのが当然」という旧来のジェンダー観も潜んでいるんだけど…。

デマ陰謀論の人、怖い言葉をたくさん並べることが重要とみえて、結果、接続がおろそかなわけわからん文章になりがち。そのわけわからん文章がご当人にとっては一番説得力あるのかな。その雑な解像度で伝わる人だけが集まってるんだろうな。疑問や疑念を持った人から離れていくんだろう。10年くらい前もそんなだったし。

他者の文化資本を問うというのは、人々が考えるよりも相当にセンシティブで、そういうのを「気取りやがって」と激しく忌避するヤンキー気質な人の方がむしろそのことを理解しているのではないかと思える。

年収一千万の生活は苦しいんだ！ってツイッターで主張して幅広く理解が得られるわけないだろ。頭いいんだからそれくらいわかるだろ。何が気に入らないのかもうちょっとはっきりしてくれ、セックスレスなんじゃないのか？夫が低学歴なのか？

国立大学の事務員は、以前は大学教員が研究教育に専念できるようサポートするスタッフだったのだが、運営費交付金の削減に伴って教員よりも事務員の定員削減が優先された結果、教員が事務業務をしないと回らなくなり、大学教員が事務員の業務をサポートするスタッフになってきた。

イスラム教は女性差別的な宗教だ、とか、イスラム教は危険な信者ばかりがいるヤバい組織だ、という価値観がいかに西洋的で偏ったものなのか、日本人は意識できなくなっている。彼らがコーランをめちゃくちゃ批判的に読み、時代に錯誤しないように実装のレイヤーで社会規範や文化や近代科学とうまく整合性を保とうと努力していること（たとえば一夫多妻制を違法とするイスラム圏国さえある）を知ろうともしないのだろうし、信者全体の数に占める原理主義者の割合もわからないのだろうな。宗教、イコール盲信、という見方があまりに根強いのだと思う。それはもう、せいぜい近世までのお話。

スーツケースあるある

閉まれば勝ちだと思っている

凄く差別と偏見に満ちたことを言うけど、いかにもイメージする港区らしい生活してたら年収1200万でも下手したら全然足りないし、いかにも足立区らしい生活してたら年収350万で十分に暮らしていけると思う

年収1000万は生活苦しいという上級国民の咆哮、要は江戸時代の武士がメンツのための出費が多くて借金まみれだった話と一緒なんだろ？

“パートナー選びも終わって、子供もできてから「若い頃は身長がどうとか髪型がどうとか偉そうに好みを語っていたけどまずいことだと気づき反省した」みたいなの、死ぬまで元の価値観で生きた方がよほど誠実だと思う”というようなツイートを見かけたんだが、これは本当にそうだなと思う。偉そうに人をジャッジして選別して人生をある程度やり抜いてから、これからの人を「そういうの良くないことですよ」と教育しようとするの、ちょっと140文字にはならないほどグロテスクな行為なんだけど、本人は““woke””のつもりなので毒パーソンの一種というカウントで差支えない気がする。

ずっと独身でいるつもり？ってまるで結婚できるのにしないみたい言われても、我々としてもな。

「もしかして同性愛なんですか？」って冗談で言われたときに普通に「はい、すみません…」って答えたらどうなるのか興味あるな 腫れ物扱いになるだろうけどもう尋ねられなさそう

Twitterで目撃したグロエピソードNo.1はマッチングアプリで知り合ったコンサルくんのPC見たらエクセルに今まで会った女の学歴、社名、年収、デートするときに1時間あたりにかかる金をまとめていて自分が97番目の女だったってやつかな。

農学部院卒→市役所→家元就農の友人と話したんだが、じーさんばーさんと直売所で勝負するのは「行きの燃料しか入れてない特攻隊」と勝負するようなもので勝ち目がないという話で同意した。彼等は手元にお金を残すために売るのではなく、手元に農作物を残さないために売るのだ、と。

Twitter、追い詰められて壊れていく人や醜い人間性を露わにしていく人などもよく見られるので、これまでそれらを見るためにデスゲームを主催していた人たちはTwitterを見ればよいのでは。

欠けた皿を一気に捨てたのだけど、ヤマザキの生き残り率高い…！1回祭られてるだけあるわ。

元々被害者ポジを奪取して現状変更を図ろうとする連中を批判していた彼ら自身がそれをし始めている様を見ていると、階級闘争の論理はあまりに魅力的すぎるのだなと感じ入ります。論客を疑うのも有効でしょうが、主張の構造を吟味する癖をつけるのも大事でしょうね。

ほんと狂気そのものだし、『野蛮』な侵略者ロシアはサイテーの国だし、こういう行動に出る指導者を止める仕組みが存在（機能）しないロシアには民主主義の『み』の字もないってことがよー分かる。やっぱ権威主義とか独裁体制はダメだわ。習近平だって耄碌したら似たような行動に出る可能性は十分ある。しかし、中国ご自慢の共産党一党独裁体制はそんなとき指導者を止めることはできない。民主主義なら違う。選挙で退場させられるからね。やはり権威主義とか独裁体制ってのはダメだ。危機の時、民主主義に対して決定的に脆い。ただし、それでも中国という文明は『野蛮』なロシアとは違っていて、民主主義が愚かな指導者を強制退場させられるように、『徳を失った王朝は倒されて当然』という易姓革命の思想がある。それこそ民主主義が生まれる遙か昔から、何度も実例がある。ここが大義も名分も思想信条も何もなく、暴力を信奉するだけの『野蛮』なロシアと『儒』の中国の違いだ。『野蛮』なだけのロシア、我々民主主義とは異なるとして、独自の価値観と思想信条を構築、悠久の昔からそれを実践してきた『儒』の中国。文明としての深みが圧倒的に違う。いつか暴走するかもしれない中国を内部から止める可能性があるとしたら、この易姓革命の思想であり、そして中国共産党が現在進行形で恐れている監視装置なのだね。私は中国という国は意外とポピュリズムなところがあると見ているけど、それはこの易姓革命の思想があるからだ。共産主義ですら中華文明の『儒』には結局、勝てずに現代の中国は易姓革命の思想を当たり前に持つ膨大な人民から、リアルタイムで監視され続けていると言える。中国共産党が人民を満足させているうちはいい。しかし人民の不満が一線を越えれば、悠久の昔から続く歴史と思想が共産党に襲いかかってくる。『この王朝はダメだな、徳がない。じゃあ倒していいよね』と中国人は当たり前に考える。どんなに教育したところで無駄だ。中華文明そのものの価値観だからだ。『野蛮』なだけのロシアなんぞ、中国の足下にも及びません。ロシア政府は真に『野蛮』と呼ばれるに相応しいサイテーの暴力信奉者です。万死に値する。

「お前らもいつかは老人になるんだぞ」って、自分達が老人になった時に今と同レベルでの至れり尽くせりが待ってるなんて誰も思ってないんだから、その物言いは卑怯よね。

1歳児と公園でダラダラしている。特段やることがあるわけでもなく、ぼーっとしてるのが苦手なので割とキツイけど、仕事の強度としてはめっちゃ低いな。やはり主婦の本当の年収はとか言ってるやつは狂人だろ。

教育とは「平凡への強制」である。私が言い出したことではない。柳田国男や宮本常一が言っていることだ。教育の本質は平凡への強制なのである。反論があるかもしれない。それなら非凡な才能が潰されてしまうではないかと。だが心配は無用。平凡への強制で潰されてしまう程度の非凡は非凡ではないのだ。

このご時世、動画やテレビ番組などで『この動画は緊急事態宣言前に撮影されました』といった注意が出てくることが良くありますが、イスラーム圏でのグルメ系動画などでは、時期によって『この動画はラマダーン前に撮影されました』という注意テロップが出ることを最近知る。

20代のころ「仕事は苦しいもの。楽だったら仕事じゃない」と言ってた友達、30代になって「自分のためだけにがんばるのは疲れた。誰かのためにがんばりたいから結婚したい」と言うようになったんけど、そうやっていつもがんばる口実を求めてる人っているよね

私はトイレにふつうにiPhoneを持ち込む程度の衛生観念であり、それはそれとして日に何度か推しの名前で検索するんだけど、トイレに入ってるときは推しの検索はしないというピュアな一面もある

精神科に認知症っぽいおじいさんがソーシャルワーカーっぽい女性と一緒に来てて、女性が問診票を耳元で大声で読み上げて「死にたいと、思うことは、ありますか！？」とか言ってるだけで面白いのにおじいさんが「死にたい！？ないよ！！そんななっちゃ、人間おしまいだよ！！」とか言っててダメだった

「死ぬ時に後悔しないように…」と言われるけど、高齢者の2~3人に1人は認知症になるため、多くの人は死ぬ時に後悔自体ができない。

【家族旅行あるある】

行った場所よりも、帰りに後部座席から見た次々に過ぎていく高速のオレンジ灯の方が心に残っている

「日本人の英語が下手」は英語業界の脅迫マーケティングの結果であって、実際のところ日本人の英語力はノンネイティブとしてはけっこうマシな方。要は英語にコンプレックスを持ってて英語学校にお金を落としてくれる人が多い方が都合が良い人たちがいるってこと。

ツイッタランドって、最初はざっくりとした方向性では一致してたのに細かい意見の相違が増幅されまくって最後にケンカ別れになるみたいな展開が多いな。

いまの若い人が年金もらうようになるころ、こんな金額で足りないって言ったら「NISAとかiDeCoとかで投資できたやないか、何しててん」って言われそうな気がする。政府に言われるんやなくて、増やせた人らに言われてそれに政府が乗っかりそうな気がする。

中学校の時、累乗の質問を先生にしに行ったら「累乗には-1乗もある、2の-1乗は1/2になる」って教えてくれて「え～マジですか？どういう計算になるんですか？」でも全然教えてくれなくて、当時は勝手に「中学生なんかには早いってことか…」ってへこんでたけど、「無能で説明できる事柄に悪意を持ち出すな」と習ってからは「あいつ…理由を説明できんかったんやな！カスめ」と開き直れて、よかった

温泉に行ったら隣のおじさん客2人が「STAP細胞はすでにあるしハーバード大学が存在を証明しているけど日本のマスコミはひた隠しにしている」というマスコミ陰謀論と「ロシアとウクライナの問題はどっちもどっちなのに日本のマスコミはロシアが悪だと決めつけている」というマスコミ陰謀論を唱えてて、極端すぎる陰謀論を全部押し付けられるマスコミの身にもなってくれ…と嘆きたくなった

格闘ゲーマーとかの界隈のイキった振る舞いを見てると、武道に「礼儀」とかの精神修養の概念が導入されてることの意味が分かるな。強い弱いの格付けを常に意識させられる界隈であるが故に、勝ってる側の増上慢や、内ゲバ等々を未然に防ぐために、まずは礼儀で行動にアンカーを打つのだな。

「インターネットがある現代では、知識に価値はない！鋭い思考力にこそ価値がある！」と主張している人が鋭い思考力を発揮しているところ、見たことないな。

戦争を絶対悪として教化された人々は戦争になるぞと脅されたら無抵抗で服従しようとすることがわかった。

【だらしない時あるある】

YouTubeを閉じて、ホーム画面をひと通り眺めた後YouTubeを開く

「いまどき、侵略なんてやったら国際社会が黙っていませんよ」黙っていなかった。そして「黙っていない」の限界が明らかになった。クソの役にも立たん。

もはや「憲法九条があったから」は過去の理念でしかない。歴史的価値は認めるとしても、日本はどうやって他国からの侵略を止めるのかを真面目に議論しなければならない局面になってる。その議論を「ネトウヨ」と揶揄するのはもはや古すぎ、「価値観をアップデートしてください」とでも返すしかないな。

他国の侵略者を話し合いでどうにかできると信じてる人、まさかTwitterで日本語の通じる相手すらブロックしてるなんてことないよね？

「憲法9条（交戦権の放棄）があれば平和は守れる」と断固に主張していた左派の元気がない。憲法9条が否定するのは侵略戦争であって、被侵略戦争ではない。なんというか、日米安保条約があって本当に良かった、という感想。平和の中で長く生きると、人は戦争の感覚が曖昧になる

豪州で働き始めた日、英語に自信がない自分に同僚がかけてくれた言葉が忘れられない。「お前の英語が下手だなんて誰も思ってないぞ。俺は英語しか話せないから、頑張って外国語を身につけたお前を尊敬してる。聞き取れなかったら俺らのせいだからお前は何も気にせず話せ。」この言葉のお陰で今がある。

自己肯定感を持ちなさい、などと、いい年になった人たちに臆面もなく言う専門家がいる。が、それは、育ち盛りのときに栄養が足りずに大きくなれなかった人に、背を伸ばしなさいと言っているようなものだ。自己肯定感は、これまでの人生の結果であり、原因ではない。それを高めなさいなどと簡単に言うのは、本当に苦しんだことなどない人が、口先の理屈で言う言葉に思える。いちばん大切な人にさえ、自分を大切にしてもらえなかった人が、どうやって自分を大切に思えるのか。むしろ、そんな彼らに言うべきことがあるとしたら、「あなたが自己肯定感を持てないのも、無理はない。それは当然なことで、あなたが悪いのではない。そんな中で、あなたはよく生きてきた。自分を肯定できているほうだ」と、その人のことをありのままに肯定することではないのか。自己肯定感という言葉自体が、その人を否定するために使われているとしたら、そんな言葉はいらない。

エロいもの、エロさ感じるものはダメ、社会的合意で取り除こう、なんて言ったら「昆虫生殖器で種類判別する」「昆虫生殖器にエロさ感じるのみならず欲情する人さえいる（※マジ）」昆虫分類学も死ぬんですが？？？そんな馬鹿なことを、とか言われそうだけど、昆虫学の祖ファーブルが「女性向け無料公開講座で植物の受粉について話した」ことでふしだらだと言われてアヴィニョンから追い出された、という点を鑑みれば、大真面目にならざるを得ないので...

「戦争は望むと望まざるとに関わらず起きる時は起きる。こっちがどんな憲法を持ってようが関係無い」だけが教訓で、護憲と改憲が争う様なレイヤーの話では無い気がする。

昔、重いうつ病になり、感情も思考力も著しくダウンした一方で、異常なほど感性が鋭くなったが、自我だけは一貫していたことから、「『本当の自分』はどこにあるのか」という疑問にとらわれたことがあった。結局「自分とは『流れ』である」(状態としてのみ存在する)という結論に至った。

根本的なことは食事もコンサータもあくまでケミカルを摂取しているという事だ。人間はケミカルの溶媒だ。身体に入れた物質で精神が変わる。当たり前じゃないか。誰しもそう思ってんじゃないかね。

統合失調症の状態を例えるなら、あなたはいま地球が丸いと思っている。ある日友人が、地球は四角いと言うと、あなたはそれを笑って否定するでしょう。ところが、両親、兄弟、果てはテレビや雑誌までが地球を四角いといい始めると、あなたはそんなはずはない、地球は丸いのは当たり前であって、これこれこういう理由があるとか、証拠があるとか、説明するでしょう。この、丸と四角を入れ替えた状態が統合失調症です。

「性欲由来の優しさ」の話、まだ続いてるっぽいけど、結局男性は「セックスさせろとかじゃなくて気にかけて（名誉や感謝が）欲しい！」と叫び、女性は「弱き者を守り闘うのが男性ないし社会の普遍道徳になるべきだ！」と叫んでおり、完全に家父長制が何故生まれたのか？の答え合わせになってる

「本を読まないの？もっと調べろ」みたいなコメって、質問が難しくて自分で答えられない時の詭弁よな。大人がよく使う。

大学教授で子持ち既婚者の男性が「男らしさにこだわらなくていい」「結婚してもしなくてもいいという価値観を持とう」とか言ってんのめっちゃグロテスクじゃない？当事者じゃない側のアドバイスのグロテスクさ、という事なのかな？同性婚の話題に異性愛者が「結婚しなくてもいいという価値観を持とう」と言う様なグロテスクさと言うか、自分は当事者では無い自覚が必要か

改めて思うのは蛮族ですらちょっと躊躇する程度に『旨味がない』と思わせることの重要性ですね。日本に対してやろうと思ったら世界で一番目と二番目に強い海軍とやり合いながら世界で一番と三番目くらいの空軍とも戦い、そうしてどうにか揚げた部隊を待ち構えるのが少なくとも１個歩兵師団または旅団、あとから重師団と機甲師団、機動旅団が現れて、そうこうしてると米軍のレガシー型歩兵師団も出てくるわけですよ。これを崩しちゃいけないですよ。本当に。

「諦めずに対話を目指す」なら目標や態度としては立派だけど、「諦めずに対話すればなんとかなるはず」はもう呪術の類だよな

軍需で儲けるというのは古臭い陰謀論に近い考え方です。このウクライナの戦いでもロシアの軍需産業は大儲けなんてとてもできません。そして西側の制裁でロシア経済は確実に大打撃を受ける。常識的に考えれば戦争など出来る筈が無かった、ただロシアは儲けを度外視した。リプにもあるけど湾岸戦争やイラク戦争、アフガン紛争などでこの神話は崩壊しました。軍事企業が次々に合併したり、撤退したり、民生を主力にしたりで、軍事部門が縮小していく実態も、その神話の崩壊を裏付けます。

今回の『野蛮』なロシアによる侵略で中国の台湾侵攻のハードルは下がったという意見が多いけど、私はそれほど単純な話ではないと思う。「力の行使」という観点からのハードルは確かに下がった。だが、中国はロシアほど野蛮ではない「大義名分の形成」という観点のハードルは明らかに上昇している。今回のウクライナ侵略に対する反発の強烈さを見て、北京の共産党指導部は正直、頭を抱えているだろう。そもそも中国が目指しているのは『中華の徳』（それがどれだけ我々自由民主主義陣営と異なるとししても）による平和裏の台湾併合であり、武力行使は最後の手段だ。そして中国は面子の国である。我々日本人に文明らしいものがなかった時代には、すでに諸葛亮孔明が『私怨で戦をしてはならない。大義名分がなけれぱ』と劉備玄徳を諫めていた文明だ。『中国はウイグル人を弾圧し、チベットで虐殺をしているではないか』という人もいるだろう。だが、あれはあれで中国人的には大義と名分が立っているのだ。というのも、中国の理屈ではチベットもウイグルも『反逆者』であり、弾圧されるだけのことをしている…という理屈になってしまうからだ。ところが台湾の場合、物理的に離れているし、国家領域として強力であり、チベットやウイグルのように踏みつけてしまえば終わり、という話にはならない。そもそも内戦で戦っていた相手であり、今更反逆者といった理屈はつけようがない。そして、いくら国内問題と強弁しても、台湾に攻め入ったならば、事実上の侵略と見なされることは中国共産党自身が分かっている。よほどの名分を整えないと『儒』の文明である中国としては台湾へ武力侵攻するのは難しい。加えて、少なくとも現時点では台湾には米国と日本の強力なサポートがあり、しかも台湾の周辺国で中国に味方してくれそうな国は一国もない。台湾にベラルーシはいないのだ。だから、『野蛮』なロシアによるウクライナ侵略で極東で有事が発生する可能性が増えたかと言えば、確かに増えただろうが、50%が70%で済むという単純な話ではない。中国にとって下がったハードルと上がったハードルがある。我々が攻めるべき弱点もそこにある。しかしそれでも、今回のプーチンがそうであるように、習近平の頭がとちくるって、信じられない行動に出る可能性はある。その領域は軍事的なオプションで対抗するしかない。従って、私は台湾が核武装に走ると強く確信するし（韓国もだが）、我が日本も核武装すべきだと思う。

戦争の何がイヤってミサイルで破壊された物件には火災保険使えないってことです。約款読んでる？

政治ネタをつぶやくとクソリプがつくのが常態化したTwitter、いずれYahooニュースのコメントやNewsPicksや価格com掲示板みたいにあそこで生きる人は中に押し込めて外に出すなみたいな流れになりそう

「一人暮らしの経験」で得られるのは家事スキルではなく「生活にかかる諸経費の感覚」だと思う。光熱費や食費などは実家暮らしだと家事スキルより身につきにくい気がする

家事は皆やるよ。行動に移す諸々の事の閾値と完成の姿がそれぞれで異なるだけ。一定汚くならないと掃除しない人は綺麗好きな人からは家事しない人になる。それが明確になるのが一人暮らし。一人暮らしも実家も全く重要じゃなくて、要は同居人の要求水準（≒潔癖度）を満たせるかどうかなんだってば。非合理としか思えぬ潔癖に合わせて家事を分担するのは無理。普段から汚さないよう気を使うだけで精一杯。

慕ってる人の昔話ほど面白いトピックはなく、嫌ってる人の昔話ほど聞きたくないトピックはない

バイトのペアの人が間違った仕事のやり方をしていて最初「俺もうあと3日でこのバイト辞めるし別に正しいやり方教えてなくてもどうでもいいや」と思ったけど徐々に「辞めるからこそ未来に託(たく)そう…！」と思ってきて正しいやり方教えたらその人もあと3日で辞めるらしく未来とか別になくて面白かった

のび太のママ「ドラちゃん、ニュース番組をあったなーって顔で見るのやめなさい」

むかし親父と「霊能力や呪いの類は存在するのか」の話題になったとき「呪いがあるならブッシュや金正日が今生きてるわけねえだろ」言われたのをプーチンの侵略を見ながら思い出した。「そんなもんかね」と返事をしたのを覚えてるがやはり親父が正しかった。

戦争を始めた人が飼っているおれの故郷のうつくしい犬

建前や理想論、大事だと思いますよ。建前が「ある」ということだけでも示せる世の中のほうがいい

ウクライナの歴史にはホロドモールと独ソ戦の歴史が生々しく残ってるので、あそこで戦って負けるということの意味が日米戦に負けた日本とは全く違うものとして捉えられてるはずで、逃げる者も相当数いるはずとは思うな。マッカーサーもGHQも来ない、戦後の復興もない、死者の弔いもない、己らの歴史も全て否定される。そういう敗北。

俺はずっと「人文学は役に立つ、思想兵器は恐るべきものだ」と言い続けてきたのだが、思想により現実の力を行使したプーチンの構図はまさにナチと同相であるし、それを読み解く努力を放棄して人文学者がこれまでのレジームに安住するのであれば、そんなものは我々には不要だと言う他はない。我々が当たり前に享受している「人権」「民主主義」だって、元をたどればおそらく狂気じみた人文学なんですよね。その狂気を社会的手続きに落とし込んで有用性があるものにしてきた歴史がある以上、それを守る努力は必要だと思いますし、破壊者には人文学で物語で対処しないといけないといいますか

夜中に過食したくなった時は叶姉妹の姉.恭子さんが言ってた『夜中に食べたら誰が太るって決めたの？、アメリカでは昼間よ』って言葉を毎回思い出しながら夜中に爆食してる

エルチャニノフによれば、プーチンの「保守的転回」に大きな役割を果たしたのは「1918年から1933年までのドイツにおける保守革命」で、具体的にはシュペングラー、シュミット、ユンガー、ニーキシュの名が挙がっている（独訳74~77頁）。彼らの著作自体、2000年代以降のロシアで争って読まれたという。いまごろプーチンはYouTubeのデカ文字動画を見ているのでは、といった揶揄はむろんはずれていて、彼はよくも悪しくもドイツ語とロシア語の「教養」の人である。そして、古典の読書から得られた知見を直接的に国際政治に反映してくる点で、本邦などの政治家とは別の意味で始末に負えぬ相手なのである。

自分の言葉を持たず、使い回しされたコミックのスクショ1コマでしかリプライ出来ない方々、想像しているより数が多そう…

人間歳をとると、どうしても「若い者はものを知らないから…」などと安易に思ってしまうけど、若い人たちは若いなりに、オッサンたちが知らないことをたくさん知っているし、またオッサンたちがなかなか本腰を入れにくいことに親しんでいるのである。それはとても素晴らしいことだと思わねばならない。

例えばトマトを育てているとして、「トマトが全然赤くならない」という問題が起きたとします。害虫対策をする、肥料をやるなど、できることは様々です。ただ、ペンキで赤く塗るという方法がおかしいのは明らかですよね。「きはじ」ってそういう指導です。

轢き鉄という電車を轢くオタク

何度か書いているのだが、去年から僕は超激務な職場に務めている。ここは人手不足もあって単純に仕事量が多いのに加え、業務の要求難易度も極めて高い。それに加えて人件費抑制の目的もあって残業が一切禁止されている。結果、ほぼ全てのスタッフが就業時間のあいだ殺伐とした雰囲気を身にまといつつ超生産に徹している。正直にいえば、最初の頃はこのパキッとした環境が気持ちよかった。ダラダラする要素が皆無な、本質だけが煮詰められたような環境にどこか憧れがあったからだ。しかし実際にその環境に放り投げられてみて、僕はこの環境が理想郷どころか地獄としか形容できないような超絶環境だという事を心の底から痛感させられた。転職してしばらくたってから、僕は妙に身も心も疲れ切っている事に気がついた。最初は新しい環境に慣れていないからだろうとタカをくくっていたのだが、どうもそれだけでは説明がつかないレベルで疲れが抜けない。何かがおかしい。そう思ってベテランの方に「ここって…よくわからないけど物凄く疲れませんか？」と聞いたところ、彼はフッと笑って「帰宅して、一服しようかとソファーに座って缶ビールをプシュッとやろうとしてさ…」「気がついたらそのまま寝落ちする生活がもう何年も続いてるんだよね…」「ここ、マジでヤバイよね」そう言うのである。これには正直驚かされた。この職場は週6勤務なのを除けば多くのスタッフは定時出勤・定時退社であり、ブラックかホワイトかでいえば形式上ではホワイトなはずだ。就業中はハイスピード・超集中が求められるが、それでも一応みな定時にはあがっている。だが…そんなホワイトな職場にも関わらず、みな心の底から疲弊しているのである。どう考えてもこれはおかしい。一体何でそんなに疲れるのかを改めて考えてみたところ、得られた結論は一つである。それは無駄な時間が人の心を癒やしていたというものだ。かつて育児でシッチャカメッチャカになって「自分の時間が一切ないのが辛すぎる」というような叫びを目にした事があった。僕は前からこの「自分の時間が欲しい」という人たちが一体何をいいたいのかがよくわからなかった。そういった人がいざ時間を与えられると何をするかというと、だいたいのケースではスマホをいじってたりテレビをみたりと、こういっちゃなんだが時間を潰すような作業しかしていない。「なにそれ。単に時間を無駄に消費してるだけじゃん。意識的にエンタメを消費するのでもなく、なにか趣味として生産的な事をしているわけでもないし」「別にそんな時間、いらなくない？」ちょっと前までは自分の中でそう結論付けていた。自分の時間が欲しいだなんて、単に余裕があるダラダラとした生活を送りたいという、怠惰な心の現れだとしか思えなかったのだ。そんな風に「自分の時間がない」といっている人を怠け者として扱っていたバチがあたったのか、前述の通り昨年から僕も文字通り「自分の時間が一切ない」生活へと巻き込まれる事になった。結果、僕は信じられないぐらいに疲れ果てた。一切合切休憩無し、週6日9時5時で集中力を保ち続けるのは想像を絶するほどに僕の精神力を心底消耗させた。そうして物凄く心が辛くなってから、僕が辛さを緩和する為にたまの休日に何をやったかというと…かつての僕が無駄と切り捨てたはずの行為であった。そう、ダラダラだ。インターネットサーフィンだったりボーッとしたりといった、かつての僕が非生産的だと一蹴したはずの行いである。これには愕然とさせられた。以前の僕だったらバカの一言で切り捨てていた行いを自分で再演しているのだから、まるでトンチのようである。しかし…そうして無駄な時間を過ごしていると、不思議な事に確かに自分の心はほんのチョッピリではあるが軽くなるのである。「ひょっとして…ヒトは時間を無駄にする事で心を元の状態にリセットしているのではないか」「生産的活動による夢中が魂の放電だとしたら…」「退屈だったり無生産な時間って、魂の充電時間なのではないだろうか？」人間はダラダラした時間を通じて、魂を癒していたのだ。ダラダラ行為中に思う「本当はこんな事している場合じゃないんだけどな…」という冷静な振り返りの瞬間は、本当は何をすればいいのかという重要な気づきを私達にフィードバックしてくれている瞬間だ。実はこれは自我を意識する極めて重要な瞬間だ。時を忘れて物事に熱中するだなんて表現があるが、ダラダラはまさにこの逆である。人はダラダラする事で自我を強烈に意識できる。この瞬間こそが人間のアイデンティの確立にとって、最も重要な時なのである。

めちゃくちゃ真っ当な医者が無料や保険診療で正しい医療を教えてくれるにも関わらず、反ワクチンや謎の講演会、自然治療にお金を払っているみなさん！今週もお疲れ様です！

戦後自由主義の人が「勝ち目がない戦はさっさと白旗を挙げる」が最適解と考えがちでも、「手強い」と認識されないと交渉や優遇の前に席に着くことさえ許されないのが現実

ルーマニア出身のサバゲーマーと話した時「そっちの地元にもサバゲーあるの？」って聞いたら「ルーマニアは近隣に紛争国が多いから、迷彩服やミリタリーをファッションとして楽しむ文化が無い」って言われてハッとしたのを思い出した。ミリタリー趣味は自国が平和だからこそできるんだね。

アノニマスがロシアの銀行全てをみずほ銀行のシステムに入れ替えるだけで戦争は終焉を迎える

『ヒカルパイセンに聞け！』で宇多田ご子息が4〜5歳まで大人はみんな歌を作るものだと思っていたという話をしていて、ほんとに大人がみんな歌を作る世界でもいいはずだなと思った。

正気を失ってただワクワクできる場所、小さい頃はディズニーランドだったけれど、いまやカルディや成城石井になってしまった。そのうちに道の駅になる。

非が無いのに理不尽に怒鳴られると何故か笑いそうになるので、コンビニでバイトしていて突然「自分メチャクチャやな！」って金銭トレーを投げつけられた時は本当に危なかった。

「安全圏からものをいう」っていう批判が成り立っているのはなぜなんだろうか。人は安全圏からしかものは言えないし、ものを言った時点である種の無力であることを自覚すれば良い話である。「安全圏批判」に現場主義の弊害をみる。

いくら優秀でも、同じ属性の人ばかりで仕事をしているといずれ限界がくる。その界隈の「常識」に留まってしまうから、新規性のない無難な発想に終始する。ときに、遠い領域の人の知恵を借りると、一気に壁を突破できることがある。専門性に「安住」せず、外の人に他流試合を挑む気持ち、本当に大切。

「お文化なんかで世界が変わってたまるかよ」と頭のどこかに冷めた部分を持ったうえで、文化の力を信じていきたいですね。ロックンロールがかっこいいのは、世界はままならないと分かっていながらも「世界を変えるぞ！」と叫ぶところなので。

イマジンという歌は、ほんと「四人のバンドですら仲良くできなかった男たちの歌」というか、「想像してごらん、国境なんてなくなったら、国の中同士で争うよ」「国境はむしろ無駄な争いを回避するためにあるんだよ」って話ですね

ヨチヨチ歩きの娘と、久しぶりに酒を飲んだ妻はさっさと眠り、俺はテラスで息子と話しつつ雪と星を見ながら酒を飲み、あまりにもいい気分で、もう死んでもいいと思ったんだが、息子が部屋に戻る際なぜか窓の鍵をかけ俺が外に取り残され、息子を呼んでも息子気付かず、本気で焦った。まだまだ生きたい。

平和主義、それを支える国際法・国内法秩序に対して、踏み躙られた現実を前に「所詮は理想」とニヒリズム的に否定するのもまた現実的な態度とは言えません。理想と妥協するのは仕方ないにしても、理想そのものの否定の先には闇しか無いので。

ゼレンスキー氏実際すげえなとは思うんだけど、彼が偉大な政治家、傑物って話になってくると『そんな簡単に政治家のこと信用しちゃって大丈夫なの』て顔にはなってくる。俺が疑り深すぎるのだろうか。あんまりリアルな現実にナラティブ、物語性を見出すようなもんじゃないですよ。そういうナラティブに対する距離の置き方と反戦平和を希求する精神、国際政治におけるリアリズムって排他的なものではないと俺は思いたい方だな。これ俺自身に言い聞かせたい話のような気がしているなあ。英雄を祭り上げるのもナラティブ、認知戦の一翼を担う効果的な戦略かもしれないなとは思うのですが、無批判にそういうナラティブを褒めそやす態度は、今後の『より洗練された認知戦』の草刈場として機能するのではないか、という風に考えてはしまう訳です。

侵略されたとき「はい。降伏します」と言えば、ちょっと不自由な生活になるけれど、これまでどおりきちんと一般生活が送れると勘違いしてるケース多いなと。太平洋戦争のときの米軍がたまたま神対応すぎただけで有史以来あんなにやさしかった占領軍はいないんだよね。ただアメリカさんもあれで味を占めて占領地にアメをバラまけばうまく占領できるとか思ってベトナムや湾岸地域で二匹目のどじょうを狙って見たもののうまくいってねぇっていう

俺が鬼滅の鬼になったら炭治郎に倒されるとき人間だった頃の悲しい過去として、車検で20万も取られたその2年後にブレーキパッド交換でまた20万取られ、いつまで経ってもパソコンが買えず慟哭するシーン絶対流れると思う。

若い頃、ジョン・レノンの「イマジン」が好きだった。だが、中東での取材中、とあるパレスチナ人が「平和な国の人が歌うイマジンなんて腹が立つだけだ」と泣きながら言うのに接してからは、複雑な思いを抱くようになった。いまだに答えは見つからない。誰か教えてほしい。

今般のロシアによるウクライナ侵略戦争について、TLがそっちに近いってのもあるが、いわゆる軍クラ、ミリタリー趣味人の方が、日頃から平和を口にする識者・活動家よりも、激烈にロシアに対して怒っているように見える。「憲法九条は自国を縛るものですよ？」とのたまった人達の、なんとまぁ温度のないこと。思うのだが、やはり「そこで何が起きるのか」を的確に想像できる、というのは重要なのだろう。ミリタリー趣味人は軍事に、兵器に詳しい。その兵器の使われ方や威力を知っていて、かつて戦場でどんな事態を引き起こしてきたのかも知っている。そうした兵器が持ち込まれたウクライナで、何が起きるのか。「知っている」人には、「何が起こるのか」も想像がつく。単に「戦争になれば人が死ぬ」としか知らない我々と、「具体的な死に方」まで分かってしまうような人では、反応に温度差が生まれるのは当然なのだろう。

玉座に座ったおれの前に家の荷物をとっかえひっかえ持ってきて、おれが「マル」の札をあげたやつだけ引っ越し先に持っていって、「バツ」の札は全部メルカリに売ってくれるサービスあったら5万円でも使うと思う

マッチングアプリ、大学の先輩(身長184小顔細マッチョ高学歴滅多に見ないイケメン話が面白い欠点がマジで無い)が26〜7の女引っ掛けて6年付き合った彼氏と3日で別れさせてパコって捨てたのを見ているので、変に夢を見てしまった女が1番悲惨ではある

自炊代行って基本的に「あ～この本！読むか読まないか、迷う！！どうしよう！」って思ってるだけの本たちを電子の海に解き放って未練をなくすためにしかない（つまり、ほとんど読まない）

「イタリア軍の弱さ」はネットミーム的に笑われてきたけど、「理不尽な侵略戦争を国家から命じられた時、現場の士気が著しく低い」というのはむしろ美徳なのではないかと、今回士気が低いと言われるロシア軍兵士の噂を聞いて思ったりもする。イタリア国民は最後にはムソリーニも自分で引き下ろしたし。村上春樹の旅行記エッセイで、ヨーロッパのどっかの街を旅した時に老人から「イタリア空軍が空襲に来た時、高射砲がイヤだからとんでもない高さで適当に爆弾をばら撒いて帰っちゃうので一発も街に当たらない、だから誰も恨んでない。ナチスドイツの空軍機はクソ真面目に降下して焼いたから恨んでる」と

外国人の英語の先生が若い頃北海道でラーメン屋をしていたという面白そうな話を耳にしたので頑張って英語で問いかけようと思ったけど過去の話をなんて切り出せばいいのか分からなくて「A long time ago...」つって切り出したら先生が「一体何が始まるんです？」って顔したから違うなって分かった

日本の自衛隊も、ロシアや中国が攻めてきたときにどれだけ役に立つものだろうかとは正直思ってたけど、数日間だけでも自国で持ちこたえることは重要なんだな。かつてirrさんが、「日本人は日本人というだけで価値がある」と言って炎上しましたが、自己がその国の一員であるというだけで承認され、共同体に組み込まれ、生きていける場所があること。それって水や空気のように当たり前にあるけど、本当は生きていくうえでとても大事なものなんじゃないですかね。

通勤に使うバスの車窓からみる風景。家族の顔。行きつけの居酒屋で二つ隣によく座っているおっちゃん。友人の飛ばすつまらない冗談。気のいい会社の同僚。どこからともなく香ってくるキンモクセイの花の香り。そういう当たり前の主観的経験の総体が、私たちの「祖国」の実体なんじゃないですか。

終末時計がゼロを指した瞬間射精してしまう催眠音声

就活してた時、某不動産会社のグループ面接で、明治かどこか卒の子が「何でも1番を目指して頑張れることが僕の強みです！」って答えたら面接官に「じゃあどうして東大に入らなかったの？」と返されていて、私は机の角を見つめながら震えるしかできなかった。

「理解しろ、理解できないお前が悪い」では人を説得することはできない。例えその主張が正しかったとしても、だ。

「原付で事故ったあと40年後急に意識が戻ったら 歳だけジジイなのに口調は若いときのままで面白いな」って思ってしまって運転に集中できないことが頻繁にあってもよい ○か×か→○。実際、よくあるから。

「結果wwww」が生きてるの、もう匿名掲示板のアンテナサイトぐらいしかないな…

後輩がめちゃくちゃ数式の理解能力が高くて、なんで同じとこから研究がスタートしてるのにこんなにヤバいんやコイツ…って思って先生に「どうしたら数式理解能力あげれますかね」って相談したところ、「私も自分でそんなに数式能力高いと思ってないけど全然研究できてきた、あなたの長所はざっくりとした概念をことばに変える能力にある、どんな人にも欠点と同じぐらいの長所がある 上に立つなら欠けのある人材を組み合わせて大きいジグソーパズルを完成させる視座があるといいですね」って言ってくれてすごく感動したのを思い出した

完璧主義者がきまって他人にも厳しすぎる要求をする理由って、自分と同じ能力を他人も持っているという思い込みが、他人と同じ能力を自分も持っていなければならないという強迫観念のトランプの裏に書き込んであるからなんだろうね

料理はどんなに美味くても食べたら絶対に無くなるところが本当に良い。

寝なくても月曜日が来る、という、ゲームバランスの崩壊に繋がる致命的なバグが発生。

コスプレをしてジョギングしてる男性に対して珍百景登録を押さなかったIKKOさんが「私がこれに珍を押してはいけないと思った、彼には彼の幸せがあってこれをやってるのだからこれに珍を押したら私も珍になってしまう」と言っていて、感動しました

ドラえもんの道具に「架空通話アダプター」っていうのがある。「人の人格をコピーして、それを相手に会話の練習ができる」という装置なんだけど「誰かとじっくり対話したいけどそれによって不可逆的に人間の関係が進行するのが嫌だから誰とも話さない」っていう自分には理想的に思えた。

ジャケット試着するとき袖通すまで誘導する店員いるけど、あれ苦手だからおにぎり食ってるくらいでちょうどいい

愛する祖国がナチスドイツのような平和の敵になってしまったとロシアの友人がとても傷付いていて本当に気の毒になった。逮捕されてでも反戦デモに参加すると言っていて、身の安全が心配ではあるけれど、高潔さと勇気に敬意を覚える。以前人伝に聞いた朝鮮籍の人のことを思い出す。かつては自分の母国がそんなことをするはずがないと信じ拉致疑惑を否定していたが当の北朝鮮が日本人の拉致を認めてアイデンティティが揺らいでしまったと。祖国の不名誉故に、事件の当事者でなくても良心の苛責や差別に苦しむ人達がいるのは気の毒だ。太平洋戦争時の日系アメリカ人の心情もこうだったんだろうか。本件に限らず一般論として、善悪について考える思考能力や主体的に判断を下しそれに責任を持つ意志力だけでなく、断罪される側に立つ人々を慮る想像力を持っていたい。拉致、核開発等であたかも北朝鮮は際限なく悪魔化していいような扱いになったが、朝鮮半島にルーツがある人を差別してはいけない。ロシアがいかに狼藉を重ねてもロシア人全体を政府や軍と同一視すべきではない。既に祖国の不名誉に心を痛める良心的なロシア人に追い打ちがかからないことを望む。日系アメリカ人が理不尽にも被った苦難を想起して、祖国の不名誉に苦しむ人々への想像力を働かせたい…というようなこととを書きかけて、日本人同胞絡みでないと喚起されないとしたら、残念ながら想像力に乏しいなと思う。

政権幹部の一族のお兄ちゃんが真新しいポルシェ乗ってました。制裁で全てが古びてしまった灰色の風景の中に浮かび上がる真っ赤なポルシェを幻覚のように見た覚えがあります。目を逸らす一般市民の姿も。まあそこで私なんかが接する力無きインテリに聞いてみると「ああ、あれはね」となんでも仕組みを教えてくれる。知っているけど無力で無言。聞けば教えてくれる。教えてくれないこともたくさんあったでしょう。制裁で発電所にメインテナンスができなくてしょっちゅう停電。発電機を用意しているがそれもしょっちゅう故障。そんなんで大きな保冷箱に氷入れる原始的な冷蔵庫が出回っていて、そこで冷やした冷えてないビール飲んだ思い出。あのおじいさん知識人もうこの世にはいないだろう。考えてみればあのおじいさん、未だ書かれることのないイラク近代文学史に、隅っこに1行ぐらい記されてもいい人だったなあ…そんなおじいさんのところに日参してあれこれ教えてもらった。私がどうやらイラクを去る最後の訪問と察した時にそのおじいさんは…「ここにある本を好きなだけ持っていっていい…その代わり持っているドルを少しでもくれ…100ドル、いや50ドルでもいい。孫が病気で、薬を買わないといけないんだ」その本棚は、イラク近代文学史の精粋とも言えるものだった。それを、東洋の異国から、ろくにアラビア語もできずにやってきた学生に懇願し、二束三文で叩き売ってしまう。今日の食事、薬を買うために。彼に尊厳を失わせた、私がその場にいるという事実そのものが、この国と人々に対する侵害に思われた。お前はこれが欲しいのか、これか、それともこれか。こんな物いくらでも持っていけ。こんなもの俺たちには必要ないんだ、お前はこんなものに100ドルも出すんだろう。それは俺たちの一年分の収入なんだと、イラク近代文学史の名著を床に投げ出し積み上げてドル札をねだる年老いた碩学の姿。イラクの湿った酷暑と共に記憶に蘇る。

新卒で入社したらTiktokで踊る動画を撮られ、何者かになりたくて稼ぐための有料noteを買ったら「具体的なやり方は購入した旨と感想をツイートした上でDMを」と書いてあったので素直に従い、「何度でも言います」で始まるツイートと日々のエポスカードの請求だけが積もっていく若者の下りは秀逸です。

世界史のシナリオライター、一昨年あたりで21世紀担当が寝込んでそれ以来新人が20世紀を参考に場をつないでいるよね

しかし、今回はウクライナが一方的に侵略されてる側だからそれが必ずしも悪だなどと言うつもりはないのだが、戦争における「神話」の生成過程を目の当たりにしてやはりそこはかとなく恐ろしいものは感じるな。ゼレンスキーはそれを作るのに明らかに成功しているし、この高揚感は怖いよ。こんなの、盛り上がらないわけがないんだよ。俺だってそうだ。実際のところ、戦ってる兵士にとっても傍観者にとっても、「大義」と「ナラティブ」にたぶん本質的な差はない。俺はあくまで、「こうならないために日本はどうすればいいのか」を主眼にして物を見るようにしようと努めているつもりなのだが、それでも抗い難いものがある。物語が美しすぎる。

それがいいか悪いか自分がやりたいかやりたくないかは置いておくとして「新卒に入社早々TikTokで顔出しで踊らせる」って「駅前で大声で社訓を叫ばせる」と一緒で「後戻りするだけの良識を恥で麻痺させる」という路線の離職率対策としては有効なんだと思う まぁバンバン辞めてるみたいですが…

早めに高価なものを買うほど残りの人生、日割り計算で結局安くなります。

マツコが怒り新党で言ってたのが「アタシなんか所詮太った初老のオカマだから」「太ったオカマが開き直っただけ」っていう予防線。王様を嗤っても許されるのが賎しい道化の特権で、売れて偉くなると徐々に許されなくなるというジレンマがある。また、そんな売れた道化を嗤う他の道化も出てくる。

春っていつでも聞けるような環境音が全部、風の音(春)、家の鍵を閉める音(春)、車が通り過ぎる音(春)、砂利道を歩く音(春)みたいな感じの春仕様になる気がする。

ヴォルデモート倒すとか絶対就活有利じゃん、羨ましいな。

さっき開けた1.5リットルのコーラのキャップを紛失して図らずしもスギちゃんと同じ状況になっている。

学校の勉強の殆どは社会に出て役に立たないが、それすらできない奴の殆どは社会に出て役に立たない

様々な情報を総合するに、ロシアが「2日でキエフは陥落してすぐ戦争は終わる」と思っていたこと、中国が「ロシアは東部に進駐するだけで全面戦争はやらない」と思いこんでいたことはほぼ確実のようで、世界屈指の諜報能力があっても思いっきり情勢を読み間違えることがあるんだなとしみじみ思う。

「頭が良ければ」「勉強すれば」「ちゃんとした家庭で育てば」「理系的思考ができれば」「社会経験を積めば」陰謀論的発想から逃れられるという幻想をたった一人でぶち壊し続ける男、鳩山由紀夫

左利きって言うと「え〜じゃあ大変なんじゃない？改札通るとき手クロスさせたり…」みたいなこと言われるけどもしかして俺の右手のこと制御しきれてないと思ってます？

大学生のとき、学祭で園芸クラブがキョウチクトウを売っていた。安かったので買って部屋でしばらく育てていた。まさか猛毒があるとは知らなかったが、葉を食べたり茎を肛門に挿入するなどの行為をしなかったので特に何も健康被害はなかった。

神様がこの世界を造つたものならば、どうしてこの世の中に悪だの悲しみがあるのだらうと人々はよく言ふが、神様も私の小説と同じやうに、この世界を拵（こしら）へて行くうちに、世界それ自身が勝手に発展して思ふ通りに行かなかつたかも知れない。"芥川龍之介『一つの作が出来上るまで』

国連での討議で一番美しいと思った応酬と言えば、不思議の国のアリスを引用して｢判決が先で評決は後｣という台詞に覚えは？と煽るロシアに、イギリスが｢ロシアの科学者を捜査に加えるのは、スコットランドヤードにモリアーティ教授を招くようなもの｣とシャーロック・ホームズで切り返したやつ。

夕方、姑から「こんなこと言いたくないんだけど」って電話が来たので「ああーー、じゃぁ言わないでください」って切った。

「この歌が聞きたいうちはまだ大丈夫」で「この歌を聞くようになったらそろそろまずい」という、自分の精神状態の目安になる曲が私にはある。

今「そろそろまずい歌」を聞きたくなったので自分は「そろそろまずい」ようだ。

怖いことに気がついたんだけど、ちっちゃな頃からはだしのゲンやら歴史の資料集やらで核の怖さをよくよくわかってるのってもしかして僕たちが日本で生まれ育っているからに他ならないのか？よその国でも「核が落ちると影が焼きついたり、人間がデロデロになります」って周知されてる？されてるといいな。日本で育てばどんなバカでも（あまりバカという言葉は使いたくないが）核爆弾が単なる「いりょくが強めのバクダン」でないことを分かっているけど、諸外国ではどうなのか？アトミックボムとか割と気軽にゲームに出てくるよね？ということを友達と話していて、友達はだんだん具合が悪くなり寝てしまった。だから「どんなにプーチンがバカでも核を落とすなんてことは絶対にない」と思っている日本のみなさんは、自分たちが世界的に見て核兵器被害への解像度が「かなり高い」民族であることをよく考えてみたらいいんじゃないかしら　おれはね、このことに思い至って青くなったよ

陰謀論にハマる人の面白いところって陰謀論者の間での意見の対立が全然ないところだと思う。◯◯派と××派で喧嘩するとかあっても良いはずなのに全然なくて、「陰謀論であること」だけが重要でそれさえ満たせば全ての陰謀論を取り込んでいく取捨選択しない人達ばかりなところが面白すぎる。

正義感の強い人は、その正義のために「許せない悪」を必要としてて作りたがる、というのもツイッターやってて知ったことだな。「おたがいさま」とか自省自虐の視点がない人が多いから苦手だ。

自己肯定感って「俺はできるやつ！」っていうプライドの高さじゃなくて、「やればできるようになるかもしれない」っていう未来への明るい見通しを信じられること。かつ運動に関してはそれを信じて地道に努力できること（練習すること）が必要なので、運動能力向上には一定の自己肯定感が必要なのよ。で、体育で恥をかいたから自己肯定感が下がった、という話ももちろん成立はするんだけど、運動が苦手な子の場合はまずできるようになるかもしれないという明るい見通しを持ちづらく、その分だけ努力もしにくいから、両者の能力は離れていくわけよなと思う。離れないようにするには、というか苦手な子をすくうには、スイミングスクールのようなクラス分けが必要だろうなと。本人の持つスキルに応じて、スモールステップでひとつずつ「できた」を重ねていくことで「できるかもしれない」の感覚を持たせる。クラス分けを超えた競争はさせない。持久走大会は嫌いだったけど、大人になってから走る楽しさを知る人も多くいるのは、クラス分けを超えた競争で自尊心を削られる経験があるからなのでな。体育を「体の動かし方を知る時間」にする必要があるよなと思うよ

「正義感が強い」というのはかつて高い賞賛の言葉だったし今でももちろんほめ言葉なんだけど、21世紀の複雑化した社会では正義感は「物事の見方が一面的すぎる」という陥穽に陥りやすいということも、つねに忘れちゃいけないと思います。

「誰もやったことないことやるのが個性」と思われがちだけど、「同じことやってもその人と分かるのが個性」という方が、創作には合っている気がする。『桃太郎』題材で宮崎駿と富野由悠季と押井守と庵野秀明が撮ったら、全部違うでしょう、という。

ツイッターでは本当のことを書いても「嘘松」と言われ、ネタを書いても「非常識だ」と怒られるので最終的に「うんちでた」ぐらいの事しか言うことがなくなる

どう頑張っても仲良くできない人に対しては、いかに接触しないかが大事だと思う。とにかく会話せず触れない。接触回数が増えると憎悪が嫌悪が上がっていくので、回数を低めに抑えていれば実務的なコミュニケーションなど最低限もことはできるなどはある。

それこそオープンレターの時なんかでもだけど、自分たちが掲げる崇高な理念と現実とがバッティングして矛盾出た時に、本当はそのままじゃダメだって気づいてるんだけど、それを認めてしまうと理念に預けてしまった自我が崩壊してしまうからどうしようもなくなっちゃうんだよね。。。

「いかがでしたか？」系のクソサイトが数学系解説記事に使ってる外国産フリー素材の黒板、ピタゴラスの定理と特殊相対性理論の式が一緒になってて「そこ一緒になる！？」って毎回驚いてしまう、という話を同期に今日、したところ「世界の底意地を悪くする方面での解像度の高さが毎回すごい」と褒められた。同期の分析によると「8割の人が見たことあり、なおかつまあまあいい具合に難解だと思われている数式を詰め込んだ結果の最適解がアレ」らしく、同期のほうが底意地が悪いなと思った

極東（極西）の自覚的西側市民として、人種、文化が西側の構成要素であってはならないという言説には個人的に完全に同意するものの、実際の変数でないかと問われるとそれもまたイマイチ自信がない。いつ捨てられても不思議ではないようにも思う。まぁ今回の件がとてつもないおおごとになってるのは（そういう人も無論いるだろうが）、文化人種の親近性というより主権国家の侵略であるところに原因があるのは間違いないが。厳格化、純化された閉鎖コミュニティはどの国（エリア）にもどの時代にも多分発生しうるし、その時何がメンバーシップとして採用されるかはその時になってみないと何とも言えない。現在の「西側」文脈であればいいのだが。

以前、パレスチナを取材中、空爆による多くの黒焦げの遺体を見、泣きながら宿に戻った。翌日、日本のネットニュースのトップは「アザラシのタマちゃんがケガ？」だった。私は号泣した。今はSNSがある。現地からの情報を得ながら皆が意見を発信できる。上手に活用しよう。

正直なところ「おたがいを高めあえる関係」は同僚で十分間に合っておりますので、パートナーはぜひとも「絶対的味方」と「甘やかし甘やかされる関係」でお願いします！！

文章というのは読者よりもそれを書いた人自身に大きな影響を与えるんだということをむかし清水幾太郎が書いていました。ある考えや行動が先にあって文章が出てくると思いがちだけど事態はむしろ逆であると。そう考えるとTwitterの機能はなかなか怖いものがあります。過激な人が何かを書いてるのでなく、過激なことを書くことで過激な人になってしまう、ということが今日もそこかしこで起こっていそうです。ちなみに先の清水の言は三木清の「新日本の原理」に向けられたもので、後に清水も色んな人から「お前もな」と言われることになるわけですが。

親が子どもとの約束を破って日曜にどこにも連れて行かず、ただただダラダラダラダラ昼過ぎまで寝てたのは、意地悪でも怠惰でもなく、限界だったんだなアレ

今回のロシアとウクライナの件に限らず、「ツイッターで特定の話題に触れないからといって関心が無いわけではない」というのはあらかじめご了承いただきたいし、同じような方もたくさんいると思う。

最近流れてくるウクライナはヨーロッパであり中東や黒人とは違うという欧米の人の意見にショックを受けてる人が多いの気持ちはわかるが日本を出て俺も初めて理解したことだが、世界の中心は西洋であり我々は鳥取あたりで生活しててテレビつけたら東京のグルメ番組見せられる感じというか…

日本人の多くが経験した「高校の部活の理不尽なしごき」って人生に本当に必要だったのかなとふと考える。当然だけどそれを経験せずとも大人物や成功者になった人は山ほどいる。辛かったあの頃を無駄だ無意味だと認識したくないがゆえに「忍耐力がついた」とか適当な意義を無理やり捏造してるんじゃないの

最終的に「裸いいじゃん！？」「全裸サイコー！」で終わる特に学びのない裸の王様。

「国家のために命を捧げなければフリーライダー」であると普段から言わなくて済んでいるのも、日本という国家が強靭であるが寛容であるから、ではないでしょうか。そして、そのことは「国の為に命を捧げるべきである」と思うか否かを別にしても、重々認識すべきことであるかと存じます。

出羽守に代表されるバラモン左翼が国境を嫌うのはよく分かるけどね。国民国家というのは外国語なんぞ分からない、地域や国から離れられない大多数の人間のためのものであって、そもそも彼ら根なし草のためのものではないから。「人はどこだって生きられる、国境なんかないんだ」みたいなことを言う人、とりあえず難民キャンプの前でそれ叫んできたらいいんじゃないですか。リンチに遭うと思いますけども。人がどこだって生きられると傲慢にも思い込めるようになるには国という強い力が必要で、パスポートに刻印された菊の紋章に、戸籍謄本に、保険証に、住民票に国家やその力が宿っている。外国でトラブルに遭っても大使館が無料で相談に乗ってくれるのは、日本という国があり、あなたが日本国の国民だからなのだ。日本国国民でない人間を日本大使館は受け入れたりなんかしない。国に守られてる自覚がない人の「国なんかいらない」ほど薄っぺらいものはない。無政府状態の国家に行って修行してきなさい。平和ボケじゃ。あと、「国境なんかいらない」の真意が「俺は/私は日本が嫌いだ」になってないかにも注意したい。そういう人って国境がいらないって思ってるんじゃなくてA国に永住したいだけだったりするので。まあ、住んでもらえばいいんじゃないですか。日本の戸籍を捨てて外国に…。どっちみち具体的な「国」には依存していることになるので、その場合やはり「国境なんかいらない」は偽ですけどね…。

フェイスブックで見かけた元陰謀論の人の自己反省文、「しっかりと時間をかけて政治や経済や歴史を学んできた人に一発逆転できた(と思った)ときの興奮が未だに忘れなれない」的なことを書いていて、ジャンルや規模の大小はあれど、ある程度の年齢以上の人ならその感情はよく分かると思った。「地道に取り返そうとしても、今からじゃ追いつきようがない」という感覚、自分の精神か肉体がガタッと崩れそうな不安きっかけで一気に黒く燃えそうだもんなー。「積み重ねの量がものをいう場での完敗」とか「後輩に基礎の差で爆速で追い抜かれたときの気持ち」とか、そういう「試合が終わればノーサイド！」にはできなかった気持ちの数は、多分20代以下とと30代以上で全然違うと思うので、環境などは度外視して「ある程度の年齢なら分かる」と雑にくくっています。かつて脚光を浴びた人、輝いてた人が現状に満ち足らず「この真実であの日の栄光、衆目をもう一度…！」と陰謀論に陥る場合もあるのよね…、著名人の反ワクチンとかこのパターン結構ある。いわゆる「ツイフェミ」的な人もこれだと思ってる。自分の人生の立ち行かなさを自身の性別「のみ」を理由とすることで調和を図ろうとしている層が確実にいる。目的がそこなので、フェミニズムそのものには興味がない

インターネット、何か新しいものが生まれたときに最初は面白ければ面白いほど良いみたいな感じで盛り上がって人が段々集まってくるけど、一定数を超えると突然"人としての正しさ"を求められて今までなんでもなかった人が炎上するの普通に怖いトラップだと思う。

「国家あって我々あり」という感覚は１ミリもないけど国から金もらうときは「日本の研究力が！！国際競争力が！！」など突如として憂国の士となる学者先生

標準治療とは数億、数十億円かけて新薬候補の 10,000分の1 のセレクションをくぐり抜けてきたチャンピオン級の治療なので、大変悲しいことだけれどたかだか5,000万円では覆せず、せいぜいゴミ医者の高級車代になるだけです。我々が当然のように月々せいぜい十数万円で享受している治療は、イギリスやアメリカでは家を売っても費用が足りないくらい莫大な金額がかかるのですが、それを理解している方はほとんどいらっしゃらないですね。そこにゴミ医療者が善人の顔をして近づいてくるのですが、本当に反吐が出ます。

相手に信じさせる気が最初からない嘘ってあるよな。建前は立つ、という程度の物語だけ用意しておいてから「お前はこのオレを敵に回すのか、オレの側に付くのか、どっちにするのかよく考えてこの話を事実として採用するかどうか決めろ」という。今回に限らずロシアの「説明」はそれと同じものに感じる。「歴史は勝者が作るもの」ってのは確かにそのとおりなんだろうけれど、それは結果的にそうなるものであって、最初から事実（未来から見た歴史）を「作る」気満々の相手というのは本当に面倒くさい。事実というものを重んじる気がまったく無くて、あらゆる物事を力で変更しようとしてくるから疲れる。

日本で割とよくある勘違いで、「権力にとってものすごくヤバいネタを追求する側」は匿名がいいと思ってる人がいるけど、それ、真逆です。権力が本気出したら個人の特定なんてすぐだし、無名の人間を消すのは簡単だから。ヤバいネタ追求するなら、実名でできるだけ多くの注目を集めるのがベスト。だから、ほんとに謀殺がありうるような国だと、「告発者」はできるだけ派手にアピールして有名になるようにするんだよね。そしたら、簡単に暗殺できなくなるし、やっちゃったらかえって信憑性が高まる。私が日本の特捜と最高検を告発したときは、社長が元政治犯のメキシコのレコード会社が全面バックアップしてくれたんだけど、なにをやったかというと、ＴＶ番組と新聞のインタビューがんがんブッキングしてくれた。んで、全スペイン語圏に放映されたあとで、プロデューサーが「これでもう、君が日本で変な死に方したり行方不明になったりしたら、世界中が（日本の検察に）注目だよね」って言ったの忘れられない。そこまで心配せんでも、日本の検察は暗殺なんてしませんて。とは思ったけど、中南米みたいに、暗殺や拉致が簡単に起こりうる世界で生きている人らの戦い方ってそういうものだというのは勉強になりますよ。もちろん、日本みたいな国では暗殺リスクは限りなく低くて、むしろネトサポなんかの集団による誹謗中傷による被害の方が大きい可能性があるので、実名を避けるという判断もあると思うので、それは否定しない。でも、改めて言うけど、命の危険を感じてるなら、匿名はＮＧ。

「人権」を真に麗しく保障されるべきものと考える人と、国家やそれに類するものがケツ持って維持していると考える人の間では議論など成立しようがないんよな、正直。国力、つまり金と暴力装置なしで人権など成り立たない、と考えることに強烈にアレルギー反応示す人だっておるわけやし

「世界の複雑さに耐えられない人が{属性}になる」、汎用的な悪口として使える構文だ

ゼレンスキー氏には何としても生き延びてもらい、平和になったウクライナでロシア侵攻直前の支持率に戻って「あのときは間違いなく本物の指導者だったんだけどなあ」みたいなことを言われながら政界を引退し、ウクライナの復興を見守りながら好きなことしてのんびり暮らしてほしいと勝手に願っている。

哲学科の先生、全員クセがあって好きだったな。みんな人間に興味がなくて話しかけるとほんのり嫌そうなのがよかった。生徒のことを毎年入れ替わる葦くらいに思ってて一向に名前を覚えようとせず、一人の生徒の名前だけ覚えて「Aさんの右隣の人」「Aさんの正面の人」で乗り切ろうとするの愛おしかった

電車乗る度に思うけど 脱毛結婚転職うるさいんだよ

「はちまJINをRTする奴は容赦なくブロック！」と宣言するような人がえふりすとか滝沢ガレソをRTするの何度も見てるし「俺たちはインターネットの酸いも甘いも経験してるからリテラシーあるぜ」みたいなのは所詮ハリボテなのはとっくにバレてるんだよな。

心の中に、ずっと刺さったまま抜けない棘がありまして。助教から、ようやく准教授に上がれたとき、とあるエラい人に言われたのです。「エッセイだのつつまらん雑文ばかり書くな」と。それ以来、「雑文」を書くことに、以前ほど純粋な愉しみを感じることができなくなってしまった。博論書くまでお世話になった3人の師匠や、今は同僚になった数名の先生から、文章を褒めてもらったことが私の心の支えだった。院生時代から、書いてと言われればフットワーク軽くなんでも書けるのが、私の強みだと思っていた。しかしそのひとことで、自分をすべて否定されたように感じた。「エラい人」は、私を鼓舞するつもりで言ったのだろう。しかし彼の刺した棘から細かなひびが幾重にも走って、私は壊れてしまった。見た目は変わりないように見えるだろうが、「はてなの茶碗」のようにぽたぽたと水が漏る。なにか書きたいと思うのだが、どうにも気力が湧かない。今はひびに懸命に漆喰を塗って、修繕している最中だ。病を得たこともあって、いろいろお待たせしていることもあるが、そのうちなんとかするので、もうしばらく待っていていただきたい。そして、それなりの責任ある地位に就いたすべての研究者に言いたい。「雑文」を馬鹿にするなと。広報誌の編集委員をやっていた身からすると、「雑文」の書けない研究者は、驚くほど多い。あなたたちの馬鹿にする「雑文」こそが、研究者と世間一般を繋ぐ窓口だということを、忘れないでほしい。

やりたい放題のASMR「銅鑼鳴らすね♡」

少なくとも現代日本社会において私たちの人権というものは国家というシステムの下でしか十全に保障されないし、だからこそ民主主義の原則で国民が国家を運営しているわけで、その辺の認識が欠けてる人がちらほら見受けられるのちょっと怖い。なんというかTwitterで何年も選挙分析・提言を行うことでリアルでも名を売ってたはずのアカウントが「国がなくても人は生きていけるが人が居なければ国は成り立たない」みたいな雑な国家観披露してるのを見てるとあなたの商売道具であるはず選挙をなんだと思ってたんですかといいたくはなるのよ。80年前の経験もあるから「国家のために戦う」と言う言葉への忌避感は分かるけども、現代社会において国家が人権保障のために果たす役割って無茶苦茶比重が高くて重要（だからこそ選挙も重要な物になる）だと言うことも踏まえて考えないと自由を窓から投げ捨てるのと変わらないことにもなりかねない。

「ベンチャーの組織崩壊note」を読むという趣味のいい趣味があるんですが崩壊した組織に割と共通してるのが「挨拶しなくなる」「掃除しなくなる」の二点なのでそういう人を見ると不快になるより前に「もしかして精神的に追い込まれてるのかな」と心配になる

その道のプロに対して、そうだとわからずに半可通が「教えてあげますよ」とマウンティングしてしまう現象。たぶん「ゴーダマ・シッダルタに説法をするようなもんだ」という表現が生まれた時代ぐらいの過去から存在するあるあるネタなので、人類の癖なんじゃないかと思う。

意識確認が下手な人「大丈夫ですか！母方の祖父の次男が誰か言えますか？」

まだ大丈夫な人「せめて2親等以内で...」

仮想通貨関係もそうだけど労働は搾取されるだけでfxとか金融関係でないと幸せになれないみたいな風潮とゲーム作りもうやめない？

論破、やるべきか否かは別の議論としてやるための方法は知っていて、「個別の質問に証拠を集めて答えるのではなく、質問の意図そのものに対して悪意を見出して叩く」「人間はどんなに賢くても専門分野以外は知らないから学際的議論では負ける」この2点を組み合わせればすぐにマウントを取れます。両方が技術を知っていると詰みますがガチ理系の学者は訓練されていないからこれでかなり簡単に叩ける。個別の質問に詳しく答えてはダメで、なぜなら質問する相手はそれで勝てることが分かっていてマウントをとっているんだから、無視して「論点をずらす」のではなく簡潔に答えた後にそれに関連して学際的に持論を展開して「論点の指導権を握る」をやれば勝てる

過労死するよりは怠惰すぎて餓死する方が遥かに高貴な死だな

「自分の伝えたいことを、相手により早く、より強く伝えたいために、強い感情と強い行動（大きい声や厳しい表情など）を添える」というやり方は、赤ちゃんのコミュニケーションだと思っています。

なんで小学生の列に車が突っ込むかって理由は簡単で、小学生しか列作らないからだと思うのよね。

【傘あるある】

プラスの感情で買ったこと一度もない

数年ぶりに通ってた高校に行って、外から何枚か写真を撮って帰ろうかと思ったけどふと中に入れないかなと思い受付に行ったら1時間後なら大丈夫と言われしかも3年のときの担任もまだいるとのことだったので手土産のお菓子を買って1時間待ったら結局入れなかった上に先生も名字が同じなだけの別人だった

ロシア料理店に嫌がらせをしている人達。多分、何か「正しい」行動を取ることで今の不安から抜け出したい、みたいな心理もあるんだろうな。俺は寄付以上の「何か」をしたから、もうこの国でぬくぬくと暮らしてても後ろめたくないぞ、みたいな。コロナ禍が始まったとき、県外ナンバーの車に嫌がらせしてた人達の釈明に「行動することで、何もできずに家にいるだけの状態から抜け出せたのが嬉しかった」というものがあったのを思い出したり。「行動」というものの厄介な魅力・効果に触れてる発言と思う。

結局のところ自律を放棄したままキョロキョロし続け、「いま何を言えば怒られないか（褒めてもらえるか）」しか考えてない人間に、「弱者の味方」なんてできないのよ。彼/女たちにできるのは、「いまこう言えば『弱者の味方』っぽい外形になるぞと託宣する現状の権力構造」に媚び続けることだけです

日本人は家族同士で『アイラブユー』とか『ジュテーム』とか言わないけど、親が一人暮らしの大学生に電話かけてきて『ごはんちゃんと食べてる？』というの、まあ『アイラブユー』だな、あれが。

わたしの患者さん「たくさん金をかければ癌が治るんだったら、あんなに毎月のように有名人が癌で死んだりしないんですよね」って言ってた。賢い人だなぁと思った。

シンジくん、あなたが乗るのよ。もちろん乗るだけじゃダメよ、操縦するのよ。操縦して、敵を倒すのよ。操縦して、屈伸しちゃダメよ。ただ私が「エヴァンゲリオン、屈伸！」と言った場合、話は別よ、そのときは屈伸しなさい

脚本を書くときは「大嘘はついても小嘘はつくな」と言われます。大嘘とは例えばタイムスリップすること。小嘘をつかないというのは、その時代に何があって何がないかなどをちゃんと調べるということ。それによって観客はその大嘘に乗っかることができます。生徒の作品は小嘘の集合体になりがちです。

陰謀論にはまらない人の多くは「創作物での複雑かつ高度な陰謀を多く見てきているので、陰謀論の物語がド素人の被害妄想すぎて辛い」という審美眼から拒絶している気がしてきた。普通の人は陰謀論をどこか創作として見て「設定が物理的に不可能。話の整合性がなく、ご都合主義。登場人物の心理が支離滅裂」等々を感じているのではと。子供時代に免疫がなく、大人になって初めて触れた本や論が、よりにもよって陰謀論だっという人が、病人の妄想物語に感銘を受けてんじゃないの。（私たちは）創作物にたくさん触れているから陰謀論にはまらない理論、「おかしい……それはいくら何でも俺に都合が良過ぎる……」ってならないとヤバい

Twitterのプロフィールに自身の病気のことを書いている人がけっこういて、何故だろうと思っていた時期がけっこう長かった。そして「プロフィール＝思考のリソースを割かれていること」と考えて合点がいった。

「プーチンが核攻撃するかもしれないからウクライナは抵抗は止めろ」ってすげえな。核保有国の言い分に一切逆らえない世界がやってくるんだけど、君たちついこの間までは核廃絶がどうのとか言ってたよね。そんな世界で持ってるだけで他の主権国家を意のままに操れる核をわざわざ捨てる奴がいるか？

「心が折れる」って最初に言い出した人、心が棒状だと思ってて気持ち悪いな

創作やその発信は基本的に、「うまくできない」「うまく書けない（描けない）」「うまく作れない」という諦めを自身で潔く引き受けるところからしか始められない。うまくなってから、と架空の第三者に言い訳をしているうちに日は暮れ、時は過ぎ、とうとう一生が終わってしまう

給与明細を見て経済制裁かと思ったらただの税金だった

以前ADHDの方が「これまで就職した会社では、どこでも仕事がよく出来ると褒められていた。」「でも朝起きて時間通りに会社に行く、それだけはどうしても出来なかった。」と言っていて、色んなパターンがあるんだなと思った。私は毎日元気に30分前に出勤してたのにバイトクビになった。

マンガ家仲間に「実は確定申告は嫌いじゃない、むしろ領収書見てると去年の思い出が蘇って楽しい」と告白したら「ジワジワ腹立つ発言」「走馬灯か」「呪術廻戦にそういう敵いた」など、総スカンを食らったので、やっぱり確定申告は嫌いということにしておきます

「安いよ安いよー！アドバイスが安いよー！」

「1つ下さい！」

「あいよ！『時間が無いじゃない 時間は作るもの』これでどうだい！」

「やす～い！」

わたしが落ち込んでるときは励まそうとか慰めようとか思わなくていいから、ただ「わたしが落ち込んでる」ってことを知っていてほしい。わたしの苦しみに既読をつけてほしい。できればわたしの悲しい物語のあとがきまでちゃんと読み終えてほしい。

最近、切実に恐怖を感じるのは、このまま老いていって、毎日何もすることもなく、朝起きてご飯食べて適当にTwitter見て昼ごはん食べてTwitter見てるうちに晩御飯の時間が来て適当に食べてTwitter見てたら寝る時間になって一日が終わる、みたいな無の生活が待ってるんじゃないかということだったりする

睡眠のことを「時間の無駄」と考えがちなのだけれど、そもそも人生自体がすべて死という終着駅に向かう過程でしかなく、全て無駄であるから、睡眠は無駄を打ち消す無駄ということになって、むしろ有益であるという結論も引き出せる

脱糞禁止王国憲法第1条「便器以外での排便は、これを禁ずる。」

突き詰めれば、国家はみな物語の上に築かれている。ウクライナの人々が、この先の暗い日々だけではなく、今後何十年も何世代も語り続けることになる物語が、日を追って積み重なっている

私は数学者なんかをして人類にどういう利益があるのだと問う人に対しては、スミレはただスミレのように咲けばよいのであって、そのことが春の野にどのような影響があろうとなかろうと、スミレのあずかり知らないことだと答えて来た。

「もやもやできるのは器量が大きい証拠」と学生たちに話してきた。例えばそれは、本を読んだり、話を聴いたりしたときに「つまりはこういう事だね」と、手許の知識でもって即断しないでいられる能力。このもやもや（保留）のなかでしか、新たな視界、クリエイティヴィティは拓けない。

昭和生まれの私、小学生の時に「口はひとつ、耳はふたつ。喋りたかったら相手の話を倍は聞くように」と教わりました。

maybeのニュアンスは「確信5割、非確信5割」とは習ったが、ではそれがどんぐらいなのか、どの程度の日本語にあたるのかと聞かれるとなかなか難しい(少なくとも「たぶん」は個人的に、7割程度の確信がある)。しかし、関西弁ならば「知らんけど」が使える。知らないがあえて言えばというニュアンスは「是でも非でもどっちでもいいと思ってしまっててすまん」という予防線があり、これはまさにmaybeの用法に合致しているように思われる。

玉川さんが高齢者に人気なのは僕も少しわかるわ。ある程度年食うと、自分の考えや存在が死んだ後まるきり大切にされないのではないかって不安がよぎることがあるから、自分より若い自分に考えの近い、幇間的な若者を必要とするというか、若者にそういう役割をやらせようとする。よくねぇんだ、これが。

全世界から一人の例外もなく「今すぐおまえが死ねばすべて丸く収まるんや」って思われている独裁者の気持ちってどういう気分なんだろうな。

僕が投資に目覚めたきっかけは、2000年頃に二子玉川の河川敷でBBQをやっている時に知り合った先物取引の投資家の影響が大きい。彼が酔っぱらいながら「これからは中国が豊かになる。人は豊かになると甘いものを欲しがりだす。これは歴史が証明している。故に砂糖が来るぞ」という話を聞いたのが大きい。衝撃だった。その後の砂糖の推移はご存じの通り。ここで得たことは二つ。一つは歴史から学べることがあること。そしてもう一つは人間というのは一種のパターンで動く、本能のようなものを兼ね備えているのだということ。つまり、投資というのはギャンブルではなく知識の影響が大きいのだということだね。あの時、仮に「砂糖が来る！」という結論だけを聞いたら、投資やマーケティングに熱を向けることはなかったかもしれない。

私「給食の白衣出した？」

末っ子「究極の？」

インテリを騙すのは簡単ですよ。上品で演説が上手ければインテリはすぐ嬉し涙を流して騙されます。コロナ禍でのメルケルの演説上手かったですよね。トルドーとかクオモにも騙されてましたね。それの危うさを指摘することに「冷笑系」のレッテルを貼るのがデフォルト仕草になってるから何回でも騙される。こんな言い方は好きではないが、人文インテリなんか世間知らずそのものなんだから。一生、気に食わないものを「冷笑」と言い続けて死んでいけばいいんじゃないですかねと最近思うようになった。ただ、今我々が置かれている状況は、実際のところ国内でしょうもないイデオロギー論争をしているようなものでもないのだ。まず大前提として、この国と国民をどう守るかを主眼にしなければ、そうしたお遊びをやる自由も失ってしまう。それが分からん人間はもうおいていくしかない。冷笑が唾棄すべき文化だなんてとんでもない。冷笑を失った先が今のプーチンやぞ。そんなもんも分からんから人文インテリは馬鹿にされるんや。独裁者は正体のよく分からない冷笑を最も嫌う。アネクドート文化なんてそのものだろう。本来、これこそ人文の範疇として取り扱うべきなのに、おのれら自身がそれに耐えられなくなってどうする。だから俺は真顔で冷笑するし、小馬鹿にしたギャグを挟むことも絶対にやめるつもりもない。お手紙でもなんでも送ってこいや

鋼鉄と火薬の前には正しさなんて全く無力であるということから全てをやり直さなくちゃならんのよ。人文の主張する正しさなんて壁の向こうで守られてたもんでしかない、ということがこの十日間で明らかになっただろうが。だからずっと言っている、我々が大事にしてきた現代人文理論などその壁の向こうのものでしかなかった、その壁を本気で破壊しようという人間が現れたときには在り方そのものを見直すことが必要になると。

SNSで炎上させることで注目度をあげようとしたテレビ、それに踊らされて正義のつもりで叩いていたネット民、とにかくテレビに出て知名度を得ようとしたプロレスラー兼タレント、それぞれが勝手に気持ちよくなろうとした結果人が死んだ

太平洋戦争敗戦後の進駐軍は当時として例外的に紳士的な軍隊だったのでそれを基準に敗戦というものを捉えてはいけないという話があるが、その「紳士的」な軍隊でさえ5万人もの女性を必要とし、2～3万人もの「GIベビー」を産ませているのであって、やはり戦争に負けるというのはそういうことなのだな。ウクライナに降伏を勧める人たちに対して「太平洋戦争の米軍の占領政策が奇跡的だっただけ」という意見が集まっているけれど、その奇跡的な占領政策にも5万人の日本人女性を差し出す必要があったし、2万人以上の子供を日本人女性に産ませているわけで、奇跡的だろうと占領というのはそういうものです。また、そのような「人身御供にされた女性」ではなくても、4万人以上の日本人女性が、自ら幸福を掴むための選択として米兵と結婚することを選んだわけです。反発を買いそうな話だけど、同胞の女性を異国の男へ差し出させられる男性の立場から考えるならば、この「幸福な結婚」ですら屈辱ではあります。

雑談でロシアの蛮行の話になった際、アラブ人の同僚が「ここ二十年ぐらいハリウッドの悪役はずっと俺達アラブのテロリストだったがこれからはロシア人が悪役になるぜhahaha」と言ったので彼らの悪のフリー素材という役割からの開放を祝うなどした。

最近ガンプラのパーツつけ間違えを2回指摘されました。一人には「ニワカはガンプラ辞めろ」と言われ、もう一人には「野暮かもしれませんが、フロントアーマーが左右逆です…でもこっちの方が違和感ないですよね笑」と言っていただきました。同じ内容でも、言い方一つでここまで印象違うんですよね。

少し前に幼少期、◯◯にひたむきな好奇心を差し向けていた子供が学童になる頃にはすっかり興味を失ってしまって、子供から大量の知識を流入された親だけがその◯◯について知識と興味を持ち続ける抜け殻になったという話を読んだ。この子には大人になるまで興味を持ち続けて知識を蓄えてほしい

論理的か感情的かみたいな二分法がまかり通ってるけど、アタマの使い方ってもっと多様なんじゃないのかなって。抽象化した処理のほうがと得手な人がいれば、徹底してデジタルな人もいるし、対人コミュニケーションに特化しているか、興味が「モノ」「コト」に向くかも違う

「頭の良さ」みたいな抽象的な言い方をするとわかりにくいけれど、野球で言うと全員人類史上トップクラスに野球がうまい人たちなんですけれど、イチローの「野球うまい」と大谷翔平の「野球うまい」と王貞治の「野球うまい」と清原被告の「野球うまい」って全部違うよねみたいな話で。

ご自身のことを「賢い」「話が上手」だと認識しているのは自己肯定感が高くて結構なことですね、と声をかけたくなるけど大抵の場合は判断力や先見の明があるとか全体像を見渡せるとかいう賢さではなく、学校の勉強が多少得意であるとか口が達者とか昔のことをいつまでも覚えているとかその程度だよね。

ロシアがウクライナに侵攻してからの世界の反応が例えばシリアやアフガニスタンの時と明らかに違うのはウクライナが「白人圏だから」という見立てがあるが、微妙だと俺は思う。これだけの反応があるのはロシアが19〜20世紀のノリで独立国家であるウクライナを征服・吸収しようとしてるからでしょう。シリアやアフガニスタンで行なわれたこと（行なわれてること）が同じくらいおぞましい事で、もっと注目されるべき、というのには全く同意するけど、例えばイスラエルがパレスチナを吸収・合併する姿勢で全面攻撃を仕掛けて侵攻していったら同じくらいの憤慨が世界で起ると俺は思う。同様に中国が台湾に侵攻したら、今と同じくらいの反応と注目が世界で起きるでしょう。何でもかんでも「白人様だから」という話に持っていくのは、別アングルでの白人崇拝だと思う。

Twitter、とにかく個人の責任回避を是とする言説がウケがち。確かに自己責任論は流行りではないのかもしれないが、個人のレベルで考えると自らの責任を回避して社会に呪詛を吐くことで得られるものは少なく、あらゆる不運を引き受けて先に進む決断をしていく方が余程建設的だろう。

この間知人のあまりにも自業自得なエピソードを聞いて「紀元前だったら漢文になって教訓化されてるぞ」って言ったらギリ共感してもらえた

Twitterで饒舌になるのは適度にストレスかけられて何か焦燥感に駆られているとき。本当に暇で日々幸せなときと完全に追い詰められてしまったときは沈黙する

友人のアメリカ人の子育てを見ていたら、子供に何か注意するときは常に「Don't 」からではなく「We」から言葉が始まることに気付いて、これは自分も日本語でも真似したいと思った。それも、We don't do this とかじゃなくて、We do like this みたいな感じで、「やって欲しい方」を即座に言える人が多いですね。アメリカ人でも「やってほしくない事」を挙げる方が簡単そうなので、言い方のその習慣は訓練の賜物だなと思います。正にその通りかと。人に注意するときに「否定ではなく肯定」「ネガティブではなくポジティブ」な言葉を使うのって難しいですが、アメリカ人は仕事に関してもそういう言い方をする人が多いですよね。幼少期からそのような言い方の習慣に触れて育っているからなんだと思いました。

そもそも、世の中にウイルスが蔓延しようが震災が起きようが戦争が起きようが、相場は動いてるんですよ。つまりそれは、どんなに大変な状況になっても投資家は売買をしているという意味なので。"そんなこと"で止まる人達じゃないんですよね。混乱の中で実利を取ることを考えています。

「ロシア人というのは田舎者なんだ。田舎の人というのは、人がよくてずるい。ずるくて人がよいんだ。俺自身が田舎者だからよくわかる」法眼晋作（外務次官）「都会の人間は人が悪いが正直」とひっくり返すと割と納得感ある。契約書に書かれた小文字の付帯事項とかで罠に嵌めるのが都会のやり方だよね。「力による現状変更は認められない」というのは全く正論だが、知恵による収奪は当たり前にやってるのが「都会」の人たちで、そのやり方で勝てないなら知恵ではなく力に頼るのは普通に合理的だよなとか思ってしまう。腕力で殴れば傷害や暴行の罪に問われるが、頭の良さで人を殴りつけて、最悪の場合追い込んで死に至らしめても、詐欺などでもないかぎり罪にはならず、死んだ側が「ちゃんと考えて人生を送らなかった自業自得」と唾を吐かれることすらある。

台湾の友達にウクライナ情勢怖くない？って聞いたら「ロシア経済の崩壊を目の当たりにした習近平は逆に台湾に手を出しにくくなっただろう」と言っててなるほどそういう見方もあるのかと思ったみたいな感じで自分の思いつきをそれっぽい架空の海外の友人使って喋らせるスキームすげー便利だなと思った。

「ロールモデルの解体」に喝采する人たち、なぜ自分が剥き出しの自由競争で勝ち残れる前提なのだろうか。

色んな男と話して分かったこと。「付き合いが長くなっても彼女や奥さんにずっと性欲が湧くタイプの男」と「どんなに綺麗な彼女や奥さんでも時間や回数とともに性欲が湧かなくなるタイプの男」は、基本的に男の性質として最初から綺麗に分かれていて、相手の魅力とか努力で変わるものではない。

個人的には憲法9条は、日本が戦争を他国に仕掛けない様にする為のみならず、「我が国は平和主義になりましたから、大丈夫ですよ」という事を宣伝する／知らしめる、とても便利なツールだと思っているので保持すべきと思っているけど、「憲法9条があるから敵が攻めてこない」事にはならないよね。

「赤ちゃんも他人なのでお尻を勝手に触ってはいけない！」とか「同意を取らないと他人の体は触ってはいけない！」とか言い出したら、反出生的な個人主義に抗えないと思うんだけど。

コンビニのおにぎりは手前から取るのがSDGsみたいなニュースのくだらなさに言葉を失う。

東日本大震災の際、「被災地に寄り添おう」とか言ってた人が、東京都でがれき焼却をするとなった途端、「放射能！」と騒ぎ始めた。「ウクライナに寄り添おう」の人たちの一部からも、難民受け入れとなると反対の声がある。ホントに寄り添うなら、ささくれを剥いた程度の血は僕たちも流すべきかと。

新入生へのアドバイス？頼んでもいないのに普段上司や先輩の自己満足の人生のアドバイス散々聞かされてウンザリして愚痴ってる癖に、大学に入る若者に同じことしてどうするのよ。世の中アドバイスと称した押し付けがましい大人が多いから適当に流そうね、ってくらいかな。

SDGs、国連を中心とした国際秩序下でのみ通用する代物でウクライナ侵攻から始まるであろう戦乱の世界ではケツ拭く紙にもならん事が明らかになり始めた模様

「領土を取り合うような戦争はもう起きない。メリットが無いから」なんて説教されたことがありましたが、結果は御覧の通りでした。仮にメリットが無いとしても、攻め込むほうがそれを認識してなかったら意味ないですよね。

少年がやらかしたら少年院に入るように、私は大学で大学院に入ったらしいと地元の友だちに思われてました。大学生がやらかしたら大学院に入るって、そんなに間違っては無いんだけど。

【部員数が凄い】

監督「次の試合のスタメンは、フル加藤でいく」

愛猫過激派の娘「猫にチップを埋め込むんじゃなくて、猫を棄てたら爆発するチップを飼い主に埋め込めばいいじゃん！？」

人に対して「ヤバい」と言ってしまえることはヤバいのだけれど、少なくともきみとワイの間では「普通であることis本当のヤバさ」という価値観が熟成されており、「ヤバい」という単語は現状の追認以上の何をも意味しない

わぁい退職エントリあかり大企業で働いてた社員が「批判するつもりはない」と前置きしながらも入社からの歩みを振り返ってる間に色々思い出しちゃって結局感情に任せて大企業病に陥った会社で奮闘する自分という構図で古巣の悪口をダラダラ書いて元同僚を嫌な気分にさせるタイプの退職エントリ大好き

確かにtwitterで投資を語ってる奴らは“NISA”だの“iDeCo”だのチマチマした制度の紹介ばかりで、「億超え」に繋がらない。僕の場合は大学の同級生が起業した際に1000万円だけ出資したら5年後に上場して何十倍になったり、2010年に自宅用として買った汐留のマンションが10年後に2倍で売れたりしたかったよ

西側市民アイデンティティが高揚していて自由世界の団結がマイブームなので国内異論にめっちゃ寛容になってミュート全解除した

注射打ってきたけど「いちにのさんで行きますよ〜」ではなく「はい、いちにのさんのどれかで行きます」という斬新な打たれ方したし、いちで来た

国際男性デー→男が反省する日

国際女性デー→男がすごく反省する日

食費、バカにされ勝ちだけど、そもそも「健康やバランス度外視した安さ優先の飯」を前提に考える方がおかしいと思う。「俺は塩パスタともやしで生きていけるが？」は自分の健康という投資を若さで前借りしてるだけに過ぎない

10代後半から20代前半の1日2日徹夜しても動けてハードワークでも一晩寝ればまあまあリカバリできるのはカラオケでオールするためでもクラブで夜通し踊るためでも合コンで会ったどうでもいい異性とセッするためでもなく新生児、乳児の世話のためなんだなって最近気づいた

「正義が暴走して何が悪い」って騒いでいた人もいたな。正義というのが何でも自分の思い通りになることだと思える人、無邪気でいいですね。

大学で歴史学の授業をしていると、毎年必ず「歴史は何の役にも立たない分野だと思うのですが…云々」という枕詞の質問が学生さんから出る。そのたびごとに「そんなことはない。歴史学の成果は何度も、色んな（政治的）主張を正当化するのに利用されてきた。科学史もそうだった。歴史が『役立つ』ような場面こそ、よくよく立ち止まって考えないといけないし、授業ではそういうときにどうするかを学んで帰ってほしい」と言ってきた。今年はこれほどわかりやすい形でそういう場面を目撃することになろうとは…という気持ち。

「私は拒絶する、あなたは傷付く、それでいいじゃないか」

「あなたは拒絶する、私は傷付く、それでいいじゃないか」

これが出来なくてダブスタと呼んだり筋が通ってないと言い出す人がTwitterには多すぎる。

大企業に勤めるメリットは一生「性善説」でいられることかな、基本的に大企業と取引するやつはまともなのしかこない。ベンチャー行ったり自分で事業やるとそれはもう胡散臭いのがガンガンくる、んで何回か騙されたり危ない目に遭えば基本的に人のことを疑う癖がつく。

映画「ソラニン」を見て買われコードのFで挫折しただただ錆び朽ちてゆく楽天の1万くらいのストラトキャスターたちが真っ暗な倉庫の奥で見る夢

アカデミアのゲームに対してどんな態度を取ればいいのかは未だにわからない。ルールの無謬性に期待してたけどガバ論文が精査されなかったり偉い先生の仲良しグループが推している研究潮流に沿った貢献が選好されたりする様子を目の当たりにして冷めてしまったのは否めない。勝手に期待するほうが悪い。

そらみなヨイトマケ精神など持たずに楽しく今を生きたいのだろうが、それはいかにオシャレでクリエイティブに見えようと、どうしても静かに暮れてゆく斜陽の秋をつくることに繋がってしまうんだよな。人間とそれが創りしものは押し並べて、時間とエントロピーの増大からは逃れられんから。崩れたり緩んだり、あるいは不陸となった地面を繰り返し繰り返し突き固めてその上に何かを建てるという泥臭い行為無しに、社会というものが持続可能であるはずもなく。頭脳労働に生きているとそれが可能な気がしてしまうものだが、普通にそれ幻想だからな。

「自分がみじめである」ことの責任を他者に求め抗議することは、（その抗議自体の正当性とは別に）抗議を続ける根拠としての「自分はみじめでなくてはならない」にどんどん縛られていく、という部分はどうしてもあるよね。

お昼ごはんを職場のコンビニやレストランやカフェで食べているのをお弁当にしたら月2万ぐらい節約できるけど、私からランチの楽しみをなくしてお弁当作りの労力を負荷したら仕事を辞めてしまいそうなので2万がなんだ、安いもんだ

彼女(30歳)「ねぇ、まだ結婚してくれないの？」

彼氏(30歳)「日本は30歳の節目で、結婚やキャリアでいくつも選択肢を迫られるけど、イギリスではそのタイミングが40歳で10年も違う。まだまだ若いんだから好きなこといっぱい試して挫折したりしてもいいんだよ。」

通勤中に女子高生の集団を見かけるが、見ていると彼らの「膝を出すというハードルを越えられた人」と「越えられなかった人」の間に断絶を感じる。168cmくらいの男性が170cmを自称するように、膝を出すかどうかに精神的な線引があり、膝を出す行為は同世代集団内に向けたシグナルになっているのだろう。中学から高校にかけては、同性間での競争とともに同盟もまた急速に確立していく時期なのだよな。そこでは自分の所属する位階に応じた様々なシグナルがやり取りされるが、そのシグナリングに用いられるものやシグナルの意味はまだ社会一般と統合されておらず独自なものが用いられることがある。高校生がブランドの財布を欲しがることが話題になってるけど、それは社会一般と統合された「ハイブランドを持てる人間」というシグナルのためかも知れないし、あるいは社会の価値観と不安定に接続された「ハイブランドを持ってるウチら」という仲間意識に所属・承認を得るためのシグナルかも知れない。

のび太君のテストで0点が連続する確率が天文学的に低いことはたまに言われるけど、実際にまったくないかというと、もうダメなところダメなところ行く人がTwitterみててもいるんだよね。毎回毎回、なんかの話題でダメな方を支持するの。わざと？ってくらい。震災では脱原発。ロシア侵攻ではロシア寄り。ダメな方ダメな方選んでドツボにはまっていくの。確率みたいな表現がなじまないかもしれないけど、比喩としてすごい低確率なダメダメルート通る人が、ごく少数僕らの中に低確率で存在するんだよね。たぶん1万人か3万人ぐらいに1人。すると100万都市で100人か数十人はいる計算。いるよなぁ。それが小さな町の数人だったらまだよかったんだけど、SNSである言語圏のなかの数百人とか、数千人とかになってしまうわけでしょ。SNS時代の副作用的な難問だよね。どうしたもんか。

なぜアカデミアに人が残らないか？と聞かれて「企業はいつでも人を一本釣りできるのに大学は公募とかいって口を開けて待ってるしかないんだから、給与とか仕事の面白さとか全て差し引いても原理的に無理ゲーだったりしませんか」と回答したら返事が来なくなったw

肌を綺麗にするために毎日水を2L飲んでいたら、毎日水を2L飲んでいる肌の汚い人 になった

ツイッターとかのアイコン画像がイヌ科のケモノの場合、マジ全然それでシコれちゃうけど、本人と出会ってしまったときに「一気に」賢者モードが押し寄せてその場に倒れてしまいそうだな

各Twitter民が「義務教育で教えるべき。」と述べた項目を全て履修させてくるカスの学校、1限目から6限目がジェンダー論になって、7限目が金融リテラシーになる

「彼女がドMすぎてめちゃくちゃ乱暴に挿入してもお尻を叩いても喜んでくれるので、もう他の人とのセックスのやり方がわからなくなっちゃいました」って幸せなのか不幸なのかよくわかんない悩みを話してくれた。「彼女がドMであるような彼氏の悩みのパターン」、そこにあるんだ、って思った。小説の現実度がまた上がりそう

はてブ民が毎日馬鹿みたいに男女で喧嘩してる間に子供はどんどん減り年寄りだらけになり親の介護で現役世代も働けなくなり皆で死んでいくよどうせ。自分が老いて蓄えの尽きる頃に安楽死施設ができてりゃいいわもう

人間が地域性を発揮する瞬間が好きなんだけど、23区の地価高騰エリアに生まれた知人が「学校のプールって屋上にあるじゃん？」と言い出した時と、河川の氾濫地区に生まれた幼馴染が「台所って２階にあるやん」と言い出した時が今のところ暫定オールタイムベスト

男は階級を作り、女は身分を作る

世界の複雑さに耐えられない奴が陰謀論にハマるんだ！ってめちゃくちゃ単純化されたツイートが世界の複雑さを理解している側だと自負してるであろう人にバカウケなのはおもろいギャグだと思う

「男は名前を付けて保存、女は上書き保存」というルールがあるせいで仕事がなかなか進まない会社

「あそこにベンツがとまってますね」

「はい」

「あそこにベンツがとまってますね」

「はい」

「あそこにベンツがとまってますね」

「いいえ」

「あそこにベンツがとまってますね」

「はい」

「あそこにベンツがとまってますね」

「いいえ」

カリカリ…（視力の欄に 1.5 と記載する）

【商品開発会議】

「チョコがたっぷり入ったクッキーの一つ一つに、贅沢にもディズニーのキャラクターをデザインするのです！！」

「ほぉ、それは思い切った商品だな。商品名は何にするんだ？」

「 “パックンチョ” はいかがでしょう！？」

「お前頭おかしいのか？？？？？？？」

マスクでもメガネでもそうなんだけど、体の器官である 耳 をみんな当たり前のように “引っ掛けて固定するためのツール” として使っていることにもっとウケていっていいと思うんだよな。

「ワード部」「エクセル部」「パワーポイント部」という組織体系なので仕事が全然進まない会社

「ゼミをやめたら何もかもうまくいかなくなった」という内容の進研ゼミのマンガ

Excelで100,000個のセルを結合したあと、午後休を取って帰ったおじさん

【こんな きかんしゃトーマス は嫌だ】

トーマス：「俺は全身が女性専用車両だ笑」を決め台詞にしている

他の機関車たち：そんなトーマスのことを終わってると思っているので「終電」と呼んでいる

職場で昼休みに「モイ！」と叫んでから一人でめちゃくちゃ喋ろうかな。

「行儀よく真面目なんて出来やしなかった」と「夜の校舎 窓ガラス壊してまわった」の間にはもう１クッション欲しくない？

初めて買い物をする人「すいません、こっちの “税抜” の方ください」

ドラえもん以外にも頼り先があるのび太「博士〜〜😭」

雑誌『小学一年生』から『小学六年生』までを全部統合して『若者のすべて』という名前で販売するようになった小学館

パイプ椅子の良いところ

名前に「ぱい」と「ぷい」が入っているところ

「為替と株の動きです」と言いながらめちゃくちゃクネクネした動きをしているニュースキャスター

おさかな天国を嫌々歌わされている人

「セケネセケネセケネ〜♪💢」

遅刻した小学生「俊足が壊れてて…」

「風水的に良いから」という理由でのび太を廊下に立たせる先生

池上彰氏は「Ｅ質問ですね」と言っていて、本人にしか分からない何らかの基準で質問を分類しているらしい。

資料を片面印刷してしまった俺が「もったいない」と怒られないようにこっそり両面印刷し直して元の片面印刷した紙をシュレッダーするシーンで始まる俺の情熱大陸

聖書しかないブックオフ

「穴があったら入りたい」と言うけど、恥ずかしいことをしてしまった人の前に突然大きな穴が出現してその人が逃げるようにその穴に入っていったらそれこそめちゃくちゃウケてしまうだろうな。

「運営に問い合わせてくる」と言って職員室に行く小学生

授業参観中に席替えをするヤバい担任

「アンチが湧いておりますが」で始まる校長先生のスピーチ

就活なのに間違えてキック力増強シューズを履いてきてしまい、グループディスカッションで周りの意見を一蹴するコナン

ヤバい教習所の教官「狭い道で対向車が来たら安い方の車が道を譲りましょう」

今までお札に描かれた人物たちが全員肩を組んではしゃいでいる百万円札

終わってる精神科医「BUMP OF CHICKEN を聴きなさい。歌詞がすごく良いから。次の方〜」

「精子だった頃を思い出して」しか言わないスイミングスクール

初めて喋った言葉が「ママ」で、2番目に喋った言葉が「言ってみるもんだな笑」だった赤ちゃん

マックのヤバいバイトリーダー「2階にもドライブスルー作りません？」

「Excelは動作を停止しました」とかそんなの要らないからビルゲイツが土下座してる写真だけ載せた方がいいと思う。

ヤバい客「ファミリーマートチキン1つください」

“ずっと好きだったんだ税”という、好かれていたことに気付かなかった期間に対して課される税金

「こんなのいつ使うんだよ笑」とか言う生徒達のために用意された、サインとかコサインとかをめちゃくちゃ駆使しないと生きて帰れない林間学校

「時間差で表示してうっかりクリックさせるタイプのWeb広告」を作っている人へ、家族や大切な人にその仕事を誇れますか？

「痛いの痛いの飛んでけ〜」と言うとき、痛みを必ず東京の方向へ飛ばしている怖いママ

電車内でバカ騒ぎしてて途中の駅で仲間たちがみんな降りて独りになったあとさっきまでよりうるさくなるすごい大学生

【大きな栗の木の下で のかっこいい所】

「大きな栗の木の下で」で始まって

「大きな栗の木の下で」で終わる所

「どうせ」で始まる校歌

Twitterを支えている人「ん？ このツイート1万件もいいねが付いてる。読んでみよう。ははは、おもしろいな。お、リプライでツイート主が “普段はこんなツイートしてます” ってスクショ貼ってるぞ。あはは、これもおもしろいな。フォローしてみよ」

自称サバサバ系のヒラメ

すごいのび太「見ただろドラえもん、僕一人の力で高句麗に勝ったよ…」

教室にいる時はパッとしないのに遠足や校外学習へ行くとおもしろくなるので皆から「ロケ芸人」と呼ばれている小学生

aikoが今まで曲のタイトルにした物だけを無人島に持ち込んで行うサバイバル生活

薬局に来たヤバい客「なんか新商品あります？」

キメさせたい売人「これはかなりキクぜ…」

もうキマッてる買人「ラジオを、ですか？」

自動音声のイエス「罪を犯したことのない人は、石を」

【中毒になるほどおいしいお米】

がんぎまり

アポロ11号の友達のお母さん「アポロ11号くんは月に行ったっていうのにねぇ…」

俺が職場でテンパってるだけのパニック映画

「お金崩してくる〜」と言ったあと一瞬にして日経平均株価を大暴落させた女の子

カツオを野球に誘う中島が頑なに「磯野ー！」と呼ぶのは、最悪波平でも構わないから。

君が新人くん？ 俺は今日から君の上司になる力原（ぱわはら）っていいます、よろしくね。

「気付いた人がやる」というルールで死刑を執行してる刑務所

若い頃は財布をズボンのポケットに入れていたが、すぐに傷むので頻繁に買い替えていた。ふとヴィトンの財布にしてみたら、とても丈夫で感動したが、ポケットがすぐに破れてズボンの買い替えサイクルが短くなった。

正直なところイラストの重箱の角をつついてひっくり返して解剖しながら怒るより、現実にいる法のギリギリを攻めるジュニアアイドルの問題とかについて語って欲しい

女性が男性を警戒することについては好きにしたらいいんだけど、何故か特定の女性は男性に対して男性を警戒することについての正当性を認めさせようとする。差別であろうと加害であろうと、自分の身を守りたいのなら自分の意思で警戒すればいいじゃん。誰の承認も必要ないでしょ。邪推だけど、自分で結果責任を負いたくないんじゃないかと感じちゃったのよね。男性からの承認が得られれば、男性を警戒したことによって生じる結果に対しての責任が分散されるし。

付き合いのあったロシアのゲーム業者に「大丈夫……？」ってメール送ったら、帰ってきたメールが「ご心配ありがとう。しかし日本がアメリカの占領下にある事実を考えると、貴方は学校で広島と長崎にソビエトが核を投下したと教わったでしょう……」って返ってきて、面食らっちゃった。

上司「おいお前！何回同じ事したら気が済むんだ！使えねー奴だな！！」

ワイ「…(ボイレコ録音中)」

━自宅━

DTMソフト「おいお前ェェエエ工！！(ｷﾞｭｩｩｰｰﾝ)何回何回何回(ｳﾞｧｰｰｯ)使えッ使えッ！！気が済気が済気が済むんだ奴ッ(YOU HAVE BEEN DESTROY)」

ワイ「ふふっ」

演歌歌手が産声が大きかったという理由で演歌歌手にすると母親に決められ子供の頃から演歌を覚えさせられ歌えないとトイレに閉じ込められたというエピソードトークを笑いながらできるのも成功者だから。教育虐待も途中で潰れずに結果を出せば親子鷹だの現代の星一徹だのと持ち上げられて結果オーライみたいなとこあるもんな。キチ親のキチエピソードも成功者が発する光の前では武勇伝としてネタにされてしまう。

「もう日本には経済成長はいらない。人口縮小なんだから」と「46歳夫婦がテーマパークに一緒に行くなんて気持ち悪い」は、同じ心の病です。全力で治せ。倫理でも規範でも道徳でもない。もちろん謙譲の美徳でもない。ただの病。ただの不幸依存症。全力で治せ。あと「他人が楽しそうにしていたり、幸福そうにしていると、自分が損した気持ちになる」もダメ。そういう気分になるのは仕方がないが、それは「おしっこに行きたい」くらいのもので、それ自体に意味はない。そこに余計な「世間」だの「規範」だのの意味を貼り付けるな。

ジェンダーに配慮したラーメン、ラー

なんでもジェンダーにしておけば、相手側にある「知識」も「文脈」も「文化」も「価値観」も全部省略できるんで、思慮の浅い人に大人気なんですよ。なんでもジェンダーズ、他人には好き放題相対化して、自分が相対化されることは「冷笑系」「ミソジニー」「二次加害」などと断乎として拒否するあたり、本当に面白いんだよな。

まず「岡田斗司夫の言うことを真に受けているオタクが一定数はいる」という段階で、オタクは陰謀論に引っ掛からないという言説に一欠片の説得力もないことがわかるんだよな。世界の複雑さに耐えられる人間の方がむしろ異常者なんじゃないかなあ。何らかのモデル化・物語化をしないでありのままの『現実』を受け入れられる人間、一種の狂人では。たとえば自動車教習所で言われる『かもしれない運転』なんか典型ですよね。俺は『かもしれない』の話したら突然その角から気の狂ったおっさんがトラックで突っ込んでくるかもしらんじゃないかって思うけど、世間的には『そんなわけあるか』じゃないですか。不条理だよ。こういう無数の『常識的に考えて』で現実のよくわからなさや怪異性に蓋をしているのが人間なわけで、そういう『常識』が揺らぐ場面では『陰謀』が力を持つのはそんなに異常なことではなく、比較的一般的な反応なんじゃないかなーとは考えてしまう。『「かもしれない」の話したら突然その角から気の狂ったおっさんがトラックで突っ込んでくるかもしらんじゃないか』が屁理屈ではなく現実のウクライナで起きてるんだよな……。こんな世界予想できるかよ……。そりゃ陰謀論だって流行る。

「私たちの時代にUberEATSがなくて良かった」と強く思う。学生時代あれをやってしまっていたら「これこそが新しい生き方だ」と青い髪を風になびかせ颯爽と配達し、夢を語り合い、そのまま歳を重ねていたはずだ、と言い切れる。それくらい私たちはどうしようもなかったし、いまでもどうしようもないのだ。世界が選択の自由を広げれば広げるほど、確かな考えを持って生きていかないとリカバリー出来ない世の中になってきている。生き方は人それぞれだ。職業に貴賎はない。けれど、良く考えて生きなければならないほど、実は人生は長かったりする。私も後輩も、怠惰で快楽的な学生時代を過ごし、単位の消化よりも自分たちの「今したい」ことを消化することに忙しかった。ただ脳みその奥では会社員というものにはなれそうにないな、社会とは仲良く出来なさそうだな、と思っており、現在そのように生きている。どこが怠惰なのか、と問われれば人々が努力してきた社会生活の営みをおそろかにして、ただただ最短で今の場所にいるためにはどうしたらいいかだけを考えてきた気がする。これを怠惰と言わずなんと言う。とはいえ考え続けていたから今がある。無数の選択がある人生だから楽しく生きて欲しいものだ。

現に勝てる見込みがきちんと立ってるわけでもないのにロシアを一方的に懲罰できるかのような勇ましい意見がネットを支配しているわけで、本当に戦争するときは勝算なんてものは二の次で何か形容し難い熱気に包まれたまま突入していくんだろうね

僕なんかは小学生のころからなぜ日本が勝てる見込みのない戦争に突入していったのか不思議で歴史書を読み漁っていたけど、大人になってみたら、これは厳しいでしょと思うようなプロジェクトが推進されて案の定爆死みたいなのをよく目撃したので、リアルタイムにはこういう感じだったのかなぁとなった。つまりいまだに偉い人がわけわからん決断を下して強力に推進する理由はわかってない。挑戦するのはいいことだけど、そういうレベルじゃなくてこのままじゃ絶対無理でしょみたいなのが世の中にはあるのです。iPhoneを真似して作ったはずなのに動作が異様にもっさりしていたスマホとか。

今から皆さんに、うつ病に関するクイズを出すピィ～♪

まずは初級編だピ！

【第１問】おれってどうしたらいいですか

核武装している最強の町娘、お核

パイズリ挟射差分をFANBOXで公開してる奴のTwitterを開いたらブロックされてることが判明 パイズリ挟射差分をFANBOXで公開してる奴にブロックされるいわれは、無い

ヒカキンTV最終回、『人類』のレビューをするHIKAKIN「トゥデイズヒカキンポーイントドゥルルルルルルルルルルルル

マイナス9999999999999999999」

怒れる海の神"ポセイドン"HIKAKIN「ブンブン"波浪"ユーチューブ(愚かな人類への罰として高さ数千メートルの大津波を発生させる)」

人々「カ゜」

武士のことを頭部持ち逃げ界隈って呼んでる公家のネタツイ「頭部持ち逃げ界隈が一時的に幅を利かせてた謎の国」

【引越し前の荷造りあるある】

数年前に友人からもらったジョークグッズを真顔でゴミ袋に入れる

「男性の下心は隠しても普通にわかる」女性、「女性がいやって言ってもOKなのは普通にわかる」って言ってるおっさんと同じだな。

尾崎豊胸手術

ここだけの話、「医者が絶対に飲まない薬」はあります。それは何かというと、「座薬」や「点眼薬」や「塗り薬」や「貼り薬」や「注射薬」等です

逆前澤友作、後潟敵壊(うしろがた てきこわ)「僕がRTした人から100万円を奪います」

【ホームランがない世界の野球】

カーン

実況「打ったーっ！ 高い高い！ 大きく飛んで…スタンドに入りました！ 誰も捕れない所に落ちたのでファウルです！」

打者「これいつも損した気分になるんだよなあ💢💢💢💢💢💢💢💢💢💢💢💢💢💢」

セクハラと哲学が同時にできる上司

「おっぱいおっきいね！何カップあるの？って思う故に我あり」

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてもダメで、俺がやる。

めちゃくちゃ喋るDAIGO

「TKXNDKOVKFKDKSKVIRIFICKCKCKEKFFJEIISDKVNWKAKDIIWIWIVIOZVKGIEEICKCKDKXKICIDKDNFNCKKWKDIFCFISICKKDKDKFKっすね〜」

祖父がくれた「ちょっと辛いときは美味しいものを食べなさい。まぁまぁ辛いときは旅行の予定を立てなさい。なかなかに辛いときは新しい靴を買いなさい。かなり辛いときは医療の力を借りなさい。本当に辛くなると自分の段階が麻痺することも覚えておきなさい」という教えはかなり大事にして生きている。

陸上自衛隊の訓練は「ファンタジー」だと揶揄されることがあります。理由は「まず発生しない」と思われることに備えるからです。ただ「東日本大震災」の際にファンタジーが実際に起こると「想定外」と名前に変わると気が付きました。想定外に備える人たちは平時には日陰にいます。

人間は言語という異物によって理性と狂気を同時に得たのだけれど、もうひとつ集団の狂気をつくるのは衣服なのです。サラリーマンはスーツがなきゃあんなに働かないし、ナチスだって制服のお陰で残酷ができる。誰しも全裸なら等身大以上の決断はできない

アメリカ人と一般的な学力の話になると、自国の学力が世界標準に対して低い事を理解していて「アメリカ人って計算できないよね」とか「世界地図わかってないし」とか笑って受容できる人がすごく多い。これはどこかで「それでも十分豊かに暮らしていけるしさ」っていう余裕があるからなんだと思う。私は、外国人である立場の私に「アメリカの高校までの学力基準は低いのではないか」なんて言われたらイヤだろうと思ってアメリカ人にそんな事は言った事がなかったのですが、観察しているとアメリカ人も言うし、移民の人も言うので「それを外国人に言われて嫌な気分にはなりませんか」と聞いたら「国際基準に照らし合わせて低いのは事実だし」と言われ、「テストの数字が低い事を、テストの数字が低いって外国人だから言うなっていうこと？それってカウンセリング案件じゃない？」と言われ、「外部の人には言われたくない」の基準が違うのだなと思ったんですが、結局あれは余裕なんじゃないか。

【クイズ王あるある】

もともとかなり前傾姿勢だが「問題！」でさらに深く沈み込む

俺がドラえもんだとして好きな子がなんらかの復讐に使うため秘密道具目当てで泣きながら強引に俺の四次元ポケットに手を入れてまさぐってきたら、色んな感情の渦に呑まれて一歩も動けないかも

姪っ子が、ちゃんと挨拶しないとか何とか怒られて逃げてきたので「嫌いな人にだけ挨拶しないのは意地悪だから良くないけど、挨拶する気分じゃない時にみんな平等に挨拶しないのは別に良いよ。私が許すよ」って喋ってたら「人の子供に変なこと教えるな！」って怒られが発生した

基本的に作家という生き物は無意識を物語として結晶化させることに長けた人たちで、作品を言語化することに長けた人たちじゃないんだよな。作者の作品評とか真に受ける方がアホ。村上春樹がエッセイで「なんでもかんでも上手く言語化できる人はむしろ作家に向いてない。物語という形でしか物事を表現できないからこそ物語を書く」みたいなことを書いてて、それはほんまその通りやなと思った記憶がある。

丸の内OL小泉悠先生（※松戸出身）「今のツイッターの言論からすれば一発アウトの下ネタも言うし酒も飲むしいい悪いではなく今の社会を構成してるのはああいう人達なんですよ…意識をアップデートしてくれと言っても今更アップデート出来ないですよ…そういう連中が松戸にいるんです」良いこと言うなぁ。「リベラル派の中には安倍晋三を悪魔化してる人がいっぱいいるわけですよ…「じゃあアベは良い奴だって言うのか！」と。確かに安倍晋三は良い奴じゃないかもしれない、でもロシアみたいな状況かと言えばそうじゃない、60点か70点は取れてるわけですよ」そうそうそうそう！「これを否定すると80点も90点も取れないわけで、まず60点や70点を守っていきましょうと。これが僕の考え方」リアリストだー。惚れるわー。「僕はツイッター見ててすごく不安になるのは、高い教育受けた人たちがそうでない人を見下す傾向なんですよ。「意識をアップデートして下さい！」ってすごく残酷ですよ。松戸の梨農園のオッサンが意識をアップデート出来ないですよ」「西側がロシアにお説教してくる。これはプーチンも頭にきてるし一億四千万ののロシア人も頭にきてるわけですよ」これ日本のリベラルが大衆にやってることと同じだよね。「ナバリヌイがすごくプーチンを攻撃してるけど、彼にはビジョンが無いんですね。プーチンを倒してどんなロシアがやって来るか見えてこない」これどこの国も同じ問題を抱えてるんじゃないかしら。権力側を批判するカウンターにはなれても、実利を与える側になれない。

邦画で、東京で働いてる主人公が地元(田舎)の嫌さと向き合って人生を見つめなおすっていうの意外と多いんだけど「東京から１〜２時間で帰れる場所が田舎だと…！？」という自分の田舎者心があってあまり入り込めない。都会人向けのジャンルだと思う。

昨今ネットでは悪の象徴みたいに扱われる千羽鶴だけど、職業柄ポジティブな面を見ることの多い俺は、あの言説をだいぶ苦々しく感じるのだ。喜ぶ人・勇気づけられる人、普通にいるからね？知り合いが折ってくれたと嬉しそうに話す患者さん、徹夜明けで気が滅入る白と灰色のセンターで目に入った鶴の束が気を和ませてくれる様子、そんな光景は普通にあるのよ

いつ亡くなるか分からんから早めに会わなきゃ。という気持ちは私にもあるし解るんだけど、会った回数や更新日時に価値を見い出すモノでもないので、あまり期間限定的な解釈に嵌めるとキリがないよ。実はあの時が最後だったんだな〜ってなっても悔いがないよう努めるのが精一杯だし、それで十分だと思う

弁護士「異議あり！裁判長、これは明らかにらき☆すたです」

裁判長「弁護人の異議を認めます。検察側は今すぐらき☆すたの話をやめなさい」

哲学のジャイアン「俺は神学の婢(はしため)じゃねえっつーの！」

ヤリマン過ぎてまんこに わナンバー付いた

ツイッタースペースを開くと二十代前半、ときには十代の若者まで来てくれてとても楽しいのですが、これハタから見ると「高校で友人つくれないヤツが近所の小学生をたばねて広場で野球やってる」状況に近そうです

男は偶像で抜き、実体で幻滅する

BUMP藤原が、上京したての頃にホームレス生活してたとか故郷が遠いみたいな発言してて、田舎から出てきたんだろうなぁ…と思ってたら千葉県佐倉市で「すぐ帰れるじゃん！すぐ近くじゃん！」と思った。20年くらい前。

良い雰囲気になると「暑くなってきたわ…♡」と言って冷房をつけるエロくない女

夜明け前にするお互いの身体を貪り合うセックスが好き。悪戯に時間をかけて触れ合い、朝の力を借りて膨らんだ雄を味わう。このまま抱き合って一日中過ごしたいと願うが朝日が昇ると男は社会の顔をする。朝なんて来なければ良いのに

大企業の良さは全て性善説に基づいて仕事ができるというツイを見たけど、これは本当に大企業に限らず大事な点だと思う。性善説で居られるのは社員が真面目に働いてることの証左なんですよね。圧迫面接なんてやってくる所は性悪説で人を見てるんだと思う

みんなでヘラヘラ笑って「まぁ適当にやりましょうよ(笑)」みたいな感じだったのに、いざ蓋を開けてみたら実はおれ以外の人は全員ちゃんとやってましたのやつ 人生であと何回経験するんだろう

非常に軽い、締め付けない等で「着てないみたい・着ている感覚がない」という宣伝文句の服がときどきある。大抵、着たら着てると普通にわかるけど、もし本当にそういう服があったら、一日に何度も、私、ズボン履き忘れてる!?　という不安に襲われて生活に支障があると思う。

子どもが贅沢品の世の中なのに、超高齢者の延命は贅沢扱いされないのは正直違和感がある。

絵を描かない姉にイラストの陰影がおかしいと指摘されるんだけど、正確な陰影描きたい訳じゃなくて雰囲気が良ければいいと思っているし、不正確な光の当たり方も自分の絵柄とか一種のデフォルメだと思ってる。イラストの全てが全て、写実的じゃないとダメってわけじゃないよね

小麦粉に適当な具混ぜて焼けば自炊じゃろ、みたいな雑な生活を続けていたら「具はキャベツのほうがいい」「だしの素入れるとうまい」「醤油よりソースの方が合う」みたいな結論に一つずつ辿り着き、今まさにお好み焼きを再発明しようとしている。

「面倒くせぇな」と思いつつも平日は惰性で仕事を続けられ、休日をエンジョイできるなら良い仕事です。そうではなく、仕事中は勿論、帰宅後や休日も憂鬱な気分や恐怖を感じるような仕事なら早めに次を探したほうがいいです。

３月１１日。当時俺は千葉で証券マンをしていた。凄まじい揺れがおさまって数十分後におもむろに支店長が「巨大地震の後は復興需要で建設関連の株があがるから今すぐ客に電話しろ！」と言った。信じ難かった。その時本能的にこの業界を辞めようと思ったんだ。最低限の人の心は失いたくなかった。

きつい作業したあとに赤飯の缶詰め食べてる自衛隊員の気持ちは想像できないのに、ロシア料理みて心苦しくなってる人間の気持ちが想像できるわけないだろ。戦争勃発直後のストレスで、誰かの気持ちを考えなきゃって妄想し始めてるんだろうな。しばらく寝て休んでほしい。誰かの気持ちを考えるなんて、ストレスの強い状況じゃできない。できないのを認めて休んでほしいよな。まず自分のことをすべきだし、目の前の人間の気持ちを考えるべきだよ。目の前にいない人間の気持ちを持ち出す前にさ。

人より少しばかり共感性が高いからなのか、「観光地の駅とか観光スポットの出口付近で、キャラクターが『また来てね！』とかって言ってるの、そこに住んでる人たちの願いを最後にこっちに託してきてる感じがあってしみじみとするけど、それを写真に収めちゃうと後で見返してるときに『あっ、来てなくてすみません』ってなっちゃうからあえて写真にはしないんだよな～」って同期に話したら「小うるさい紀貫之やね」ってだけ返されて悲しくなった

「ヴィーガンは周りに押し付けなければいい」というのは、ヴィーガニズムが現代倫理規範に大きく関与してる以上、最早「押し付けられない」ことが不可能って話なんですよ。動物愛護精神とヴィーガニズムが密接に結び付いていますしね。そして、そもそも「押し付けないヴィーガン」はヴィーガニズムに反してるんですよ。それらはヴィーガンではない。意見は思想は他人に押し付け合うモノって小学校で教えないと、他人に押し付けなければいいって意味わからんお題目を押し付ける馬鹿が量産されてしまう。

米国人同級生は授業の傍ら起業もし、仕事に慈善活動に毎日夜中までパーティー全出席と「どこにそんな時間が...スーパーマンか...」と思っていたのだが、先日DeepLを宿題に初投入したら文字通り一瞬で宿題が終わり、期せずして今まで知らなかった非ネイティブが背負うハンデの巨大さが鮮明に分かった。

頭はいいんだけど、地道にコツコツやることが苦手すぎて、頭がいいことへの自信もあって、濡れ手で粟みたいな道をいつも探すけど、続かないから何にも身についてなくて、結果としてめちゃくちゃ効率悪いやんみたいな人結構いるよな。頭がいいのはいいことなんだけど、仕事に時間通り遅れないできっちりいくとか、自分なりに少なくとも就業時間内は全力を尽くすとか、失敗を隠さないとか、同僚には敬意を払うとか、そういう事の方が大事で、要はいくら頭良くても、根っこの誠実性でダメな奴、本当にどうにもなってない

早くチンチンを出し入れして「これがバスケだったら点数がすごいことになってるぜ」と言いたい

80歳を越えた患者さん、」最近水泳を始めたらしく、理由を聞いたら「ターンを覚えて三途の川を泳いで帰ってくる為」と言ってて不覚にも笑ったし長生きして欲しい

娘が「おとうさんにおいてかれないようにしなきゃ！」って急いで出かける準備してるが、俺が娘を置いて単独でサンリオピューロランドに行くことはない

性犯罪者の性器を刑罰として損壊するのが正しいなら、窃盗犯の手を切り落とすのもまた正しいだろう。私は身体刑を復活させて欲しいとは全く思いません。

中国文化と一般化するとまた問題なのかもしれないが、地元の中国人店員に思うのはそのスピードと合理性の重視で、例えば商品Aと商品Bを間違えたら「大変申し訳ありません、こちら…」ではなく「Aちがう？はいB」なのである。これは無礼ではなく「早い方が客の利益。謝罪は客の迷惑」という思想に見える

「古典の教養なんて何の役に立つんですか？」「自国をバカに攻められた時に英国議会でハムレット引用して拍手喝采を得られたり、怪獣と遭遇した時に聖書引用してレギオンと命名したり、怪獣討伐作戦の名称に日本書紀引用してヤシオリ作戦と命名できたりします」

「一般社会に広まる」というのは、東京で若くしてタワーマンションに住んでいる金持ちや中高一貫の私立に行き、一浪してから幼稚舎からある大学や恐らく日本で一番有名な校歌を持つ大学のような、カネのかかる私大に行けるような人々だけではなく、中卒高卒の日雇い労働者にも、高校を卒業して以来60年その道一筋の漁師のじいさんや青森県で何十年も林檎を作り続けているばあさんにも、届くということだ。

「貧乏人ほどルンバやドラム式洗濯機を持っていた方がいい、生活リソースが少ないんだから自動化出来るところは気合いを入れて投資した方がいいに決まってる」って話に「金がない」って返ってくる地獄、どうやったら突破できるのかわからん。

毎日のように文化人界隈で多様性やらクィアな領域がどうこう言われてる時代なのに、善悪二元論みたいな「俺の嫌いなあいつは無能だし悪、俺の好きなこいつは有能だし正義」みたいな世界観が文化人の中で無邪気に消費されていることに「なんだかなあ…」みたいな気持ちが強い。これについては、まあ、多分、「それとこれとは話が別だろう。多様性やクィアな人々は善なのだから」というのが回答なんだろうなと思ってしまう。多様さやクィアなものを善悪の善として読み解くから矛盾やおかしさを感じない。でも、僕の感覚としては多様さやクィアなもののような”割り切れないもの”側に重みを置いてしまうんだよな。だから「あなた達は割り切れないものを大事にしたいという話をよくするのになんで善悪で割り切ってしまうんだ？」みたいな感情が滅茶苦茶にある。たとえば『パラサイト』で最も重要な部分は金持ち一家を”善人”として描いている部分だと個人的には思っている。どこまでも良い人なんだけどそれ故にこぼれ出たところで他人を傷つけてしまう。金持ちであり、善人だし、先進的だが、主人公たちを傷つける者という複雑なキャラクターになっている。『パラサイト』について単純に「韓国の格差社会を描いた作品」とだけ語ってしまうのは好きくない。その批評を聞いたとき、受け手は多分、こうした複雑さをとりこぼしてしまうから。「彼らは善人ゆえに嫌な奴なのだ」というねじれが伝わらない。こうした、”割り切れないもの”というところをいかに拾うかという話をしていくのが現代的な議論のはずなんじゃないかと思っちゃうんだよな。

ヤクルト1000を絶賛する声が毎日のように届くついったらんどだけど、ヤクルト1000を飲むと体調や精神が回復するのではなく、ヤクルト1000を日常的に飲めるような金銭的に余裕がある人はちょっとしたことでも回復効果を感じられるのではという説を唱えて買いたい気持ちを抑えている。

高校生の娘が言う「みんな持ってる」GUCCIの財布って概念は本当に危険。俺も前「キショガリ」「イケデブ」なんて言葉が飛び交うデブ専ゲイ掲示板に常駐してた頃、本気で体重100kgないとイケてないと思ってた。もし娘がみんなと同じ体重100kgになりたいって泣いてたら諭すでしょ？GUCCIの財布も同じ事よ

知り合いが戯れにラムネを尻の穴に入れたらブドウ糖がエサになって大腸菌が爆発的に増えて腸炎になってしまった話もたまに思い出す

大人になるとくだらなすぎワロタンゴで一笑できるけど子供の頃普通になれなくて同じになれなくて苦労した者としては私にとってはお揃いが友達の契約なの！！今ここにある学校が私の全てでお揃いの盃を交わせるかどうかに命がかかってるの！！！という気持ちは痛いほどわかる。大人に「そんなのは友達じゃない」って雑に流されるのめちゃくちゃ傷つくんよ　そんなの友達じゃなかったとしてもそこにいる以外の選択肢がないんだから友達か友達じゃないかなんて話してないし、友達じゃないからってなんも解決せん　大人の冷笑じゃなくてリアルな今の話してんの　せめて代替案くれ。盃としてのお揃い、友情って呼ぶからややこしいけどみかじめ料とか町内会費に近いと考えるとわかりやすい。学校という空間を生き抜く互助会の会費

家族や子どもを作って幸せに過ごせたかもしれない時間を、「自己実現」「自立した女性」って美名にラベリングされたチンケな有賃金労働に費やして資本家の私腹肥やしただけなんだよ

4年間芸大に通って芸術が俺に関係ないことが分かって良かった。

劇場版ポケットモンスター日本を守れるのは俺しかいないと愛国心に燃えて入隊したけど1任期ももたずに辞めたやつVS唯一採用もらった公務員が自衛隊だけで辞める理由もなくダラダラ続けた結果陸曹になったやつVSダークライ

九州から旅行に来て仙台駅に着いたとき、ちょっと神経質な友達に「家の鍵閉めた？」「エアコン消した？」って言いまくってたら顔面をグーパンで殴られたし、友達また仙台から福岡に帰っちゃって一人で3泊4日したことがある。という話をトリビアの泉に郵送したところ「スカッと！」と書いた紙がスカッとジャパン編集部から送られてきた。

『教養は大事』という人、俺含めてあんまり教養豊かな人ではない雰囲気はややある。まあ相対的には上澄みに属する方かもしれないんだけど、上澄みの中でもさらにガチに高度な教養のある人間はしばしば教養のことをわざわざ世間に認めてもらう必要を感じていなかったりするので……。友人の配偶者が無茶苦茶高学歴らしいんだけど、全然インターネットをやらないという話を聞いて『インターネットはバカと暇人のモノ』という古の言い伝えを連想したのを思い出していた。マジでインターネットやらない人は全然インターネットやらないよね……。

好きな女性にはとにかくマメに連絡して下さい。そして頃合いをみて急にあなたから連絡するのをやめてみる。すると女性はあなたのことが気になりだし、今度は彼女の方から連絡がくるのです。是非試してみて下さい。僕がこのテクニックを使ったのは6年前。そろそろ連絡来る頃です。

【小学校】

校長「生徒達を集めてスクリーンに映像を流す部屋の名前、何がいいかな…？」

俺「そうですね… あ、“視聴覚室” はいかがでしょうか！？」

教員A「うわっ…何言ってんだあいつ…」

教員B「キモ…」

アメリカの兵站能力のすごさは、展開した他国の宿営地内に、本土と同じ環境を作ってしまう事。プレハブであっても中に入れば本土と同じ物が手に入る。日本でいう「売店会」が出兵先まで物資を運んでくれる。そしてひとつの町ができる。バーもあるし、病院も教会も映画館もあるぞ

「タバコを吸っているんですね」

「はい」

「あそこにベンツがありますね」

「いえ、あれはタバコです」

かけがえのない10年間をドブに捨てた無職が、狭い公営団地の一室で、おそらくこれからも失敗を先送りしながら無為に日々を消耗していく。人生の累積債務は借り換えと複利でただただ膨れ上がっていくだけ・・・この情景に一抹の憐れみをも感じない人は、人としての情に欠けていると言わざるを得ない。

どこの国のどこの地域でも、外国軍に包囲された時、人口のかなりの割合は「どこにも行くところがない。何をするにも年を取りすぎた」と言うでしょう。そう言って逃げなかった人たちを、シリアでは「テロリスト戦闘員だ」と呼んで無慈悲に砲撃し兵糧攻めにして殺してきた。それがプーチンのロシアです。

「ロシア人にも、ロシア文化にも責任はない」とロシア文学者が言うのは、エネルギー業界の人たちが「ロシアから石油・ガスを買っていけないというのでは商売上がったりだ」と言うのと、それほど違いはない。利害関係者のポジショントークを超えたことを言えているか、厳しく見るしかない。

めちゃくちゃ違うことがあったので思わず「違うだろ〜〜！！」と豊田真由子のモノマネをしたんだけど、一発だと通じなかったから慌てて「このハゲ〜〜ッッ！！！」まで追加したんだのに全然通じなくて、ただのめちゃくちゃヤバいババアになってしまった

よく聞く「アメリカ人はどんな服装をしても気にしない」とか、「人にいちいちいらない世話を焼いてこない」「個人の自由が尊重されている」みたいな話は、自分がおかしなことをしていても指摘してもらえてないだけってこともあるので、勘違いをするまえに、アドバイスをくれる良き友を持ってください。

多民族国家は相手の背景に配慮するのがルールだ。対して親しくもない相手に「お前の格好変だぞ」って言った時、最悪「お前らの伝統ってダサいよな」となり民族単位で中傷してしまう可能性がある。だから賢明な人はよく知らないことには口を出さない。最悪銃が出て来ちまうからな。そんなルーツが違う人々が暮らすためのシステムが宗教だ。思想やマナーをある程度統一しておくことで場面ごとに擦り合わせる必要がなくなり円滑さと生産性が上がる。まあ大陸は大陸で大変なのよ。

よくわからない読書家「だめだめ、君らは本に読まれちゃってる」

本読むのクソダルいよね、面白いから我慢して読んでるけど、面白いからって読むのがクソダルくないということにはならないんだよね

「正論は正しいが正論を振りかざす奴は正しくない」って言葉はずっと私の中に残ってるので有川浩は凄いよ

ネットで嫌な絡まれ方をするとこいつ頭おかしんかなと思うんだけど、いじめっ子がイメージに反してまともな家庭で育ってる場合が多いのと同じく、そんな人でも仲間や家族や恋人には優しかったりするのでただ私が嫌われてるだけなんだよな。私が嫌いだからゴミ箱に使われている、それだけ。「性格がいい」というのはその人の人格を保証するものではなく、多くの人は価値を感じる相手には優しいし、そもそも自分優しければ自分以外にどうあってもどうでもいいということを、その昔、家族思いで優しいと評判の妻子持ちに執拗な嫌がらせをされたことで完全に理解した

ちゃんと勉強したことがない人ほど勉強と学問をバカにして体験が全てとか言い出す現象についてる名前ってないんだろうか…

あぁ、身内の葬儀であったな。お通夜の席に仕事帰りの作業着のまま慌てて飛び込んできて泣きながら手を合わせてくれた人がいた。あの人にマナーがなんて言うのはそっちの方が非礼だろうと思うような場面だったよ。

昔は「沈降（ちんこう）」ではしゃいでたけど、今思えば「隆起（りゅうき）」の方がよっぽどちんこっぽいな。

少々ながら過去には恋愛がちょっぴりあった側だけど「恋愛は人間的に成長できる」「普通はしたいと思う、しなければならない」みたいなの全然好きじゃない。自分の勝手で惚れた腫れたしてただけなんでなんも偉くないです

貧乏な中から生活投資資金をヒネり出すの、究極的には「娯楽の確保」が最も難しく、油断するとパチンコとかソシャゲに引き込まれるんですよね。「図書館とコーヒーが水筒１本あれば一日最高になれる」みたいな能力を持ってる人はこの辺強いです。娯楽も訓練で身に着けるものなので…。「ギター１本あれば一日遊んでいられる」人とかもめちゃめちゃ強い。「楽しい」には「訓練がいる」んですよね。「金がない、生活投資なんかできるか」って怒ってる人見に行ったら元気にソシャゲ課金してて、うん…まぁそうなるよな…って思いました…。

「自分の楽しいことは自分で見つけて育てる」という能動的な発想があった方が良いんだろうなと思う。パチンコとかソシャゲとかって、「あー、どっかに何か楽しいことないかな」と楽しいことに受動的でいる人から時間と金を巧妙に奪う仕組みで出来てる気がする。自分の楽しいことは自分で見つけて育てないと、他人の提示したものを楽しいと思わされて時間と金を搾取されたりする。そういう楽しいことは他人の都合で急に目の前から消えたりするからね。娯楽を訓練するって言うと大変そうだけど、そこには「楽しさを育てる楽しみ」がある。それは他人からは得られない、他人には分からない自分だけの楽しみだ。そういう意味では、楽しさって孤独なんだと思う。孤独だから他人には奪えない。それはきっと自分の財産になる

しかし、「多様性」というのは本来はプーチンのような恐ろしいことをおっ始める人間がこの世界にはいるということの端的な記述でしかなかったのだが、結局これを持ち上げてた人間というのはやはりそうしたものの管理と制御の権を握りたいという「東側の官僚」なんだよなぁと今更ながら思わざるを得ない。散々言われてきた話ではあるけど、「多様性」の賞揚というのは人間の精神、生活風土のコントロールに他ならなかったわけであってな。プーチンのような人間にそんなルールを飲んでくれなんていう話が通じるわけもない。「これ以上は踏み込ませない」という壁の論理を見直さなければしょうがない。何を媒介にしても分かり合えない、落とし所のない相手というのは存在してしまうので、徹底的に叩き潰す気がないのなら、いかに関わり合いにならず拡大の抑止をするかしかない。多文化で混じり合うことが強さの源泉なんてのはヨタもいいところであったな

われわれが気をつけておかなければならないのは、自分たちにとって合理的に思えるものでも、それが他の文化圏や他国の意思決定者たちにも重要事項であるとは限らない、ということだ。

彼の主張というか提案はちゃんとデータに基づいたものではあるんだろうけれど、「大谷翔平の収入は野球よりもCM出演による割合が高く、一方時間は野球に多く費やしているので、野球をやめて確保した時間をCM出演に当てましょう！」みたいになってる感があるんよ

若い人達にオススメなのが年齢差や立場に関係なく常に礼儀正しい言葉遣いをする事です。そうすると無礼な態度をとってくる人が必ずいます。それであなたの人生に必要の無い人が分かります。野球部がグラウンド整備で石ころを取り除くように、人生にも適切な整備が必要です。怪我してからでは遅いです。

「人間扱いしてない」とか「モノ化」はほとんど言ったもん勝ちレベルで相手を一方的に加害者扱い・悪魔化する不誠実な言葉なので、真っ当な主張をするつもりなら使うのやめた方がいいと思いますね

「VTuberになりたい」なれるよ。VTuberにも小説家にも漫画家にもバンドマンにもなれるんだよ。「VTuberだけで食っていく」ことが難しいんだよ、とても、とーーっても。

インド人やアラブ人は基本的に謝罪せず言い訳をする。「ごめん」「申し訳ない」はまずない（日本文化に馴染んでる人は違うだろうが）。これはあの本多勝一もベドウィンで体感した通りで、謝ったらリアルに死ぬ（殺される）文化だったからだろう。謝っても謝らなくても殺されるなら謝罪に意味はない。謝罪が成立するのは許す気がある人達に対してのみだ。許す気がない人達になんか謝っても意味はない。となればみんな自分の正当性を主張し続けるし、もし隙きあらば刺し殺してやろうというつもりになるわけよ。そういうもんやで。これは人間の普遍的な心理やろ。だから近代国家ちゅうもんを作ったのに。基本的人権やそれ以前の宗教にしたって、言い換えれば全部「赦し」なんだよ。基本的に全部が許されてるんだよ、何を言うのもやるのもさ。みんな謝れるしみんな許すという制度を作ろうとしたんだよ。無限に「罪人」に石投げてんじゃないよ。オマエに「罪」はないのか。

俺は2浪で東大法学部に入学した。1浪時に付き合っていた、駿台福岡校の同級生の彼女(波瑠似)がいたが、一緒に東大法学部を目指していたその子は、1年の浪人後も東大に落ち、結局慶應経済への入学を決めた。官僚になるという目標があった俺は2浪を決意し、彼女との人生はそこで分岐することになる。波瑠から別れを告げられたのは彼女が上京した後の夏頃だった。大学の話はあまりしなかったが、頻繁に更新されるFacebookの写真から、彼女が髪を染めたこと、肩の露出が増えたこと、ラブホ女子会をしたこと、男女で納涼船に行ってワチャワチャしていることなどを知っていたので、あまり驚きはなかった。振られたことは驚かなかったが、激しい屈辱ではあった。有り体に云えば、俺は捨てられたのだ。後から聞いたが、彼女はサークルの先輩と二股しつつ、バイト先の店長と寝たりもしていたらしい。絶対に東大に入り、波瑠を後悔させてやると決めた。俺はシャ乱Q「上・京・物・語」を聞きながら猛勉強した。以降「官僚になる」より「モテたい」という屈折した感情が俺の原動力、全ての行動の動機付けになった。中学時代に眼鏡ガリ勉陰キャだった俺も、高校デビューでコンタクトにしていたし、高良健吾に似ているとも言われていたので、東大にさえ入ればモテると思っていた。どうせ周りはチー牛ばかりだろう。執念の勉強が功を奏し、俺は3回目の受験で東大に合格した。モテそうだからという理由で下北沢に家を借りた。入学手続き時のサークル勧誘は盛況で、テニサーのインカレ女子たちが部員を獲得しようと腕を回してくる。俺は完全に舞い上がった。俺は高良健吾だ。2浪でオトナの余裕もある。これは、モテる。しかし、入学後のクラス顔合わせで俺は再び歪んだコンプに向き合うことになる。俺の文1・2スペ語クラスには筑駒、開成、麻布といった有名進学校出身者が並んでいたが、チー牛ばかりのガリ勉集団と思っていた彼らの中にも、実は勉強スポーツそつなくこなし遊びもする爽やかコミュ強イケメンが多かった。恵まれた家庭環境に生まれ、東京で育った彼らは勉強、遊び、あらゆる面において洗練されていた。金持ちは性格が悪いと思っていたがそれは田舎の話。東京において、金持ちの息子は大抵余裕があってイイ奴だった。おそらく美人な母親のDNAを受け継いで、目鼻立ちも整っている。これが本当の格差なのだ。ピアノだって弾けたりする。九州の田舎出身の俺はピアノなんて女子供がやるもんだと教わっていた。女といえば、東大女子も実は可愛い子が多かった。恵まれたDNAを受け継いでいるのはもとより、上流階級出の賢い人は、男女問わず、恐らく自分の見た目を整えることのメリットを本能レベルで知っている。俺は井の中の蛙だったのだ。東京は恐ろしい場所だ。上には上がいて、天から二物も三物も与えられた人々が1階でも高いタワマンに住もうとシノギを削っている。俺には何がある？太い実家も、洗練された国際感覚も、コミュ力も、知能も運動神経も、スタート地点、文化資本レベルがどだい彼らと違うのだ。俺は初心に帰ることにした。どうせ持つ武器が乏しいなら、モテるとかタワマンに住むとか、分不相応な目標は捨てて、東大を目指した原点に帰ろう。それは俺にとって「官僚になる」ということだった。「官僚たちの夏」で読んだように、無定限無定量で働き、天下国家を語り、政策の力で日本を変える。試験にさえ受かれば、霞が関の門戸はあらゆる人々に開かれている。「お里」で差がつく、見えないガラスの天井で弁別されてしまう東京アッパークラス社交界とは違うのだ。俺は再び勉強に邁進することにした。入省後、恫喝パワハラ上司にペンをぶん投げられ精神を病み薬漬けになる未来を知らないままに…頭はいい、性格もいい、酒の飲み方もスマート、楽器を弾き、詩歌を暗誦し、国体経験すらあったり、しかも絵も巧いんだ。もちろん全てが同一個人ではないが、そういう人達が少々自慢しあいながら互いを認めて切磋琢磨する。田舎が勝てるわけない。この東大の状況を一番分かりやすく伝えているYoutubeチャンネル、俺はQuizKnockだと思ってるのよ。こういう眩しい社会の存在を認識し、それでもそういった存在に自分も「なろう」、いや「勝とう」と猛烈に頑張る田舎者の集う場所だったはずなのだよな、東京の大学というのは（だから「東京には田舎者が多い」みたいな悪口が昔は成立していたのだ）。そしていつの間にか、そうではなくなってしまった。

ぶっちゃけ、pwd、lsコマンドは大した意味もなく気持ちを落ち着かせるためだけに打っている時結構あるよね。

社員に Zoom 有料アカウントを与えないことですべての会議を 40 分以内で終わらせるライフハック

年配の方に多いのだが「仕事というのは役割を割り当てられてやっているうちにできるようになる」という信念を持っている方が多くて参る。これは要するに専門性の否定である。特にIT系は今から勉強しても間に合わないような話はゴロゴロあるし、外注できるスキルすらマトモにない人ばかり産んでいる。まあ外注先から見れば我々シロウトもお客様なので、それなりに頑張って話を合わせてくれようとはするのだが、あまりにもシロウトすぎて噛み砕いた説明も限界が来ているのであった。そしてこれも年配の方にありがちだが、技術の推移で知識も経験もいずれはゴミになる。しかしそれを誇らしげに掲げて自分の無知を誤魔化そうとする姿は見ていて正直辛い。外注先も当然そこは見抜いているが、慎重にご機嫌を損ねないように立ち回らねばならず、そこも見てて辛い。

友達、手術で全身麻酔かける時に怖すぎて「俺は！普通の麻酔じゃ無理だから！！もっと強いのにしてお願い！！！」って騒ぎながら投与3秒で眠りについた話今でも好き

【習字の授業の後、こっちのが満員だから隣のクラスの水道で習字セットを洗ってる奴を見てる時あるある】

こいつは賢いな、と思ったあと将来、社会で働いてる時のそいつを想像してたら段々知らない人に見えてくるんだけど、目が合うとこっちに水を飛ばしてきて、知ってるそいつに戻る

暴力性という言葉を嫌う女の人って、暴力性の無い男を「優しく包み込んでくれる彼くん」くらいのイメージで捉えているのかもしれないけれど、実際は「何をするにもいちいちお伺いを立ててくるオドオドした男」なんです。

暇な時の脳、マジで自分の足を引っ張るようなことしか考えないカスなので、本当にコイツに余暇を与えるべきではない。

昔モテ山モテ太郎が「いい雰囲気になったら許可を取らずに女の子を触ったりキスするけど、女の子に拘束や無理強いはせず嫌ならいつでも振り払えるようにしておく」と言っていて、積極性（暴力性）と押し付けなさ（紳士性）の落とし所としてモテるとこに着地してるなあと思った

4月も近くなると大企業がどうだベンチャーがどうだと「俺の社会人論」を語りたがるフレンズが増えるけど、同じ企業でも部署や配属地や上司で労働負荷やストレスは変わるし実体験に基づく比較にも限界があるんだからn=1で主語を大きく話してもしゃーない。俺が言えるのはただ一つ、三菱地所で働きたい。

年齢の割に金の使い方を間違っているせいで「ホテルビュッフェ」と言われて思い浮かぶのが、誰も居ないフロントの横にバターロールだけが山盛りに置いてあって「朝食バイキング」と言い張っていた米子のビジネスホテルなの本当に人生の敗北

ウクライナは降伏すべしと言ってるTVの人は不安なのだと思う。なにしろこの数十年、この国では否定されるべき価値観とされてきた「国のために戦うべし」「命よりも大事なものがある」が、肯定したくなるような姿で出現してしまっているんだから。

我々のように（人を一緒にしてはいけない）元々からやれ文明だ国境だ信仰だといった話を雑にくっちゃべってるような奇人ですらビビっているのだから、まぁこれは無理からぬ話だともオモ

ゆっくり霊夢が解説動画で思想がヤバいジジイのイタコになってるの、原作よりしっかり巫女をやってる

性根が終わってる人「119ですか？人が倒れています！...はい、意識...は有りませんが 資産はかなり有りそうです！」

いまの日本が資本主義・競争主義社会だからって、自分の価値観全部をお金と名声に乗っ取られたくないよ

優秀な同期が泥酔して弱音を吐いた日、解散した後で、お節介と思いつつ謎の義憤に駆られて「お前はすごいやつだ」と長文で送りつけたら、あざす！みたいな軽い返事で拍子抜けした。数年後またお互い泥酔した夜に「あの時はありがとう」と面と向かって言われて、こっちがなぜか泣いてしまった。何気ない称賛の一言に、自分もいつも救われてると感じる。「すごいね」とか「あなたなら大丈夫」とか、そういう一言をふとした瞬間に思い出して、自信を取り戻すきっかけになる。だから自分も誰かをいつでも手放しで称賛したいと思うし、同じ思想の人と生きていたいと思う。自分を卑下していると、見栄や自尊心が邪魔して「あなたはすごい」と心から言えなくなってしまう。だから根拠がなくても自信を持つべきだ。「自分もすごいしあなたもすごい」と無邪気に思っていたい

「それが島人ぬ宝」のところでBEGIN全員の金玉が光ったら面白い

「それが島人ぬ宝」のところで首里城が大爆発したら面白い

「それが島人ぬ宝」のところでBEGIN3人がゆっくり合体して大きい虎になったら面白い

「それが島人ぬ宝」のところでBEGIN3人がめちゃくちゃ細長くなった後絡まり合ってロンギヌスの槍みたいになったら面白い

「神聖な存在」が最大の価値になってしまうような社会は今の国家制度とは全く相入れないが、かといって法と制度のみで存立するような共和国は想像し難いし、自国がそうなることも受け入れ難い。どこかの時点での「建国神話」なるものがない国は結局不幸な存在に転がり落ちるんだよな。だから、その点でアメリカの1619プロジェクトなどが激烈な抵抗を惹起していることは個人的によく理解できる。アフガニスタンの人造政府が宗教者集団の反撃によって一瞬で崩壊したのもこれ。今の制度との完全な相反を起こしているプーチンの危機感も（我々として認めるわけには絶対いかないが）これ。どなたかが言ってたが、逆にウクライナが建国神話を手に入れるかも知れない。我が国は一応は神武即位が建国とされ祝日となっているわけだが、科学的にみればどう考えても皇室が2700年弱の歴史を誇っているという設定は正しくないわけで、じゃあそれを完全に捨て去るのかといえばそれもできないと思う。たかが神話でも建国物語は重要なので、アイデンティティとして今も各国に残る

生物系の研究者に求められる生命倫理の存在意義は割と不思議で、研究するうえで全然必須じゃないのに外面だけはとりあえず必要とされる点で、その他の倫理と似通ってるんだよな（たいして高尚なものではないという意味）。「人間の脳を発生させたら何が起こるかわからんからやめときましょ」ぐらいのものを生命倫理って形容するだけで説得力がじわりと増す現象はなかなか不思議

PDCAサイクルは内燃機関なので、スターリングエンジン等外燃機関に比べて高効率であることが知られている。

たった２発の原爆で５０万人以上の命を失った世界で唯一の被爆国である日本が核武装をするというが起こればそれは、この世界から実感を伴って核兵器を否定しえる国が失われるということを意味します。そんなことは人類の歴史として絶対にあってはいけない。インドやパキスタンが原爆投下後の日本の惨状を知った上で、「だからこそ」核を持つ判断を取ったことや、核を落とされた方が一方的な反省に立つというなら、むしろ核攻撃のインセンティブは増すことになる。

文系脳のなんちゃって理系からみると、理系の優秀な人というのは優秀すぎるが故に、論証できないファジーな文系チックな概念を軽く見る傾向がある。 平和が破られたとき人間を突き動かすようになるのは、宗教なりナショナリズムなり幻想に近い文系的な何かだったりするのだが

侵略された側の国家へ熱心に降伏を勧める人々、「人命は地球より重い」という枠組みにガッチリ固まった上で、「戦闘を続ける限り日々命が失われていく」という認識が彼らの精神に猛烈なバイアスを生じさせ、かつ「話の通じそうな方に責任を負わせる」ことであのような言動になっているのだろうな。しかしそれらの前提にある「国際社会の目があるから征服した側もそう悪いようにするはずがない」というような、「社会の目」の絶対的な抑止力への信頼はどこから来るのだろうな。どうもキャンセルカルチャーに付き物の「世間の皆さんがどう思うでしょうね」という文言と同じものを感じてしまうのだが。どちらも「世間の目（≒属する集団の「いま、ここ」において支配的な価値観）に従順な人間ほど、他人にも世間の目への従属を求める」というやつが根底にあるんじゃないだろうか。そしてその従順な人間は、自分が風見鶏のような人間だとは自覚していない。自分はただ正義に燃える人間だと思っている。

出生率が金の問題ならなぜ一番貧しい沖縄の出生率が高いのか、西日本の地方の出生率が高いのか全く説明出来ないだろう

息子が2人いるけど、同じ立場ならお願いだから逃げてと泣いて頼むだろうな。この手でおむつ替えて絶え間なく乳をやったころから、手をかけて全身全霊育てたのは、戦争で死なせるためじゃないのよ。冗談じゃないよ。

陽射しはもうすっかり春だけど全裸だと腹肉にうっすら鳥肌が立つ。この季節のそういう温度感が好おまわりさん違うんです

授業で投げかけられた言葉。「ウォール街アナリスト対象のハーバードの研究では、エースが他社に移籍した場合、移籍先での成績は多くがその後平凡だった。成功なんて特定の環境に紐づき周囲に強く支えられたものだ。今たまたま成功していても驕るな。うまくいっていなくても自分を蔑む必要はない。」

電話盗聴してたKGBかなんかが、対象が電話越しに夫婦喧嘩始めた時に「奥さん、それはちょっと言い過ぎなのでは。旦那さんもちゃんとはっきり言ったほうがいい」とか入ってきた話、好き。

『私は医局に入ったけど、夫の勤務先にあわせて移動させてくれるし育児にもすごく理解あって、全然不満とかないよ！』ってまっすぐな目で言ってる女医さんの父親がその医局の准教授だった時に、全てがわかったような気がした。

「配られたカードで勝負するしかない」ってのは真理ではあるけど「さして強くないながらもまだ戦えるカード」を配られた人間の余裕が透ける台詞でもあるんだよな。自分が生まれた瞬間から全身麻痺の要介護者だったとしたら世を恨む言葉しか吐けないかも知れないし、そういう人たちは実在するし正直怖い

結構恣意的ですが。東京で言えば年収800万円、地方だと600万円くらいまでは純粋な欲求を充足するのに必要なお金ですが、基本的にそれ以上のお金っていうのは承認欲求の充足がメインになります。承認欲求の充足は際限がありませんから、非常にコスパが悪くなります。

会社辞めた人が徐々にヤバくなっていき、3年くらいかけて熟成されて""""完成"""していく所を何度も目の当たりにしてしまい、会社が俺らにくれているのは、給与と福利厚生と肩書以外にも色々あるんだなとの思いを強くしました。

今まで持て囃されてきた「知の巨人」、大概がええとこ「知のロッテ」ぐらいやろとしか言えない

「年齢を理由に何かを諦めたりする必要は無い」これその通りなんだよな。老衰する直前まで涼宮ハルヒの悪口を言ってたって許されるに決まってる。

「午前2時」という歌詞が出てくる社歌

嫌過ぎる上司「昨日5chでも似た様な説教したけどな、」

まあ結局のところその非モテ成分って、所作やら言動から来てたりして、その実発達障害が発端とかあるあるなんだよな…

東工大男子を落としたい時に「私数学とか全然わかんなーい」は完全に悪手。ワイは嫁と初対面のとき彼女が最近読んでる本として「フェルマーの最終定理」をあげてきて意気投合した。東工大男子落とすならエステ行くより数Ⅲやれ。なおそこまで努力して落とす価値があるか議論するには余白が足りない。

ベラルーシ留学で得たものは語学力よりもむしろ常温の炭酸飲料を飲める様になったりゴキブリを素手で触れるとか便座のないトイレで汚さずにウンチする方法とかそっちの方が個人的にはデカい

『「国境なき医師団」を見に行く/いとうせいこう』を読んでる。筆者の支援活動に「他にも問題を抱えた国があるのをどうするんだ」と言う人たちへ「なぜ俺がやることの順番を他人に決められねばならないのかわからなかった。出来ることからしか俺は始められないのだ」というシンプルな答え。

すぐ義務教育とか言い出す奴って中学までの学習内容そんな詳しく覚えてるのか疑問。「義務教育で〇〇を教えるべき！」をよく言う人って何でもかんでも「国がXXすべき！」とかって言ってそう、お上へのぶらさがり根性というべきか。世の中の大半の人は源泉徴収票/年金と医療費控除、ふるさと納税を入力したら終わりだろうから何も難しい要素がないし、個人事業主とかで音を上げるほど複雑・膨大ならケチらず税理士に依頼したらいいのに。義務教育で教えるべきは、確定申告のやり方ではなくて国税庁のサイトや本を見ながら確定申告できる能力。その割には国語表現は不評なんだよな。「習ってるはずだから知らないお前は無知」や「教えない学校教育はクソ」という厄介ネット民のマウント道具にしか使われない義務教育君。

国家が自明の物ではないとする割に国家が実質的に保証してきた諸々の行方に考えが及ばない辺りが本当に愚かである

まともな認知能力があれば、きれいごとだけで世の中成り立たないのはわかってるはず。命は大事だ。年長者は尊重しよう。そんな綺麗事がある。じゃ、たとえば、米寿の祖母が難病、子供は大学受験、子供の教育費貯蓄を、祖母の難病治療に注ぎ込むか？前者のために後者を諦める？自分が無謬状態でないと耐えられない人、結局、下記のいずれかになりそう。「自らの認知を誤魔化し続け、世間にいま流通してる道徳を丸コピすることで道徳的負荷の高い判断そのものから逃避する」「綺麗事に準じて清く正しく破綻を迎える（ヤミ米を拒否して餓死、差別を拒否して性被害にあうなど）」

ググってもゴミだらけでどれが正しいか分からないのでSNSや動画で信頼できそうな人の意見を参考にするという、広場で賢い人の周りに集まって話を聞くスタイルに回帰していく

ツイッタランドがゼレンスキーのパールハーバーで盛り上がってるけどそういう人達ってまさか日本がどういう扱いなのか知らずに「どんな事情があろうが侵略は悪」って憤慨してたのか

福山哲郎がそうだったが、どうも旧式パヨさんの「仕事ができる人アピール」は積み上げられた書類や本らしい。田原総一朗しかり、佐高信しかり。床に積まれてない時点で嘘。目の前の机も最低限のスペースが空いてないところもダウト。本物はまず部屋の立ち入らない端のほうのエリアに積み始めるところから。最終的に獣道以外ものが積まれるようになる。

地震と戦争、個人であろうが国家であろうが、基本的に常に綱渡りで生きている／存続しているに過ぎないものだということ、嫌というほど思い知らされるな。「今が永続するもの」という前提に立った自由社会の隙間産業を持て囃すのは本当にもう終わりにしないといけないと思いますね。彼らの発信の自由は守りたいと思いつつも。まぁフェミニズムも結局これなんだよな。徹頭徹尾「平時」の思想。我々と何の徳も共有できそうにない「異界」が身近にある中で真剣に取り扱うものではない。そんな異界が暴れ出すことはもうない、という前提の下で皆わっしょいやってたわけだけど、ロシアというユーラシア大陸が生んだとんでもない異界が全くリアルな力として再度動き始めたわけで、そこからの防衛を真剣に考える上でここに依拠した話なんかしてもしゃあないんですよ。何かを保守するということは、将来あり得べき悲劇を先回りで潰し永続性に近い演出を担当するゆえに評価されにくく、またその擬似的な永続性の上に隙間産業を育ててもいる土壌だと思うのですが、ちょっともうその地力が限界という感じがありますわ。「保守（≒維持）」をやるということの意義がもっと評価されれば…と思うんですが、成功裡に終わった場合は劇的なドラマや英雄譚が全くないので、みんな評価しないんですよねこれ。だから隙間産業がはびこってしまう。今こうして我々が暮らしていられるのは目に見えない膨大な量の努力の果実である、ということがもっと尊重されればいいのだが、人間の生物しての限界を感じる。俺だってファインプレー見たら盛り上がっちゃうもんな。深夜に地震があっても即応してくれる総理大臣や現場の職人がいるからこうして我々の生活が成り立ってるんだよ。そういうことを忘れちゃいけない。

自分が「国を守りたい」と思う時の「国」というのは、夜中にぶらっとコンビニへ行ってアイスを買うとか、子供が公園で遊ぶとか、新幹線で気軽に旅行するとか、週末に丹沢登山や鎌倉散歩を楽しむということであって別に国会議事堂で居眠りしてる人の為に死にたいとかじゃないんだよね

前から呟いてるけど日本人を怒らせたかったら国旗や天皇の写真を燃やすんじゃなくて食べ物を粗末にすることぞ

私自身もたまに叩かれる身ですが何となく雰囲気でやってるディスは全然刺さらなくて本気で叩きに来るやつだけが刺さる。そして本気で叩くためには愛またはそれと表裏一体の限りなく愛に近い憎悪そして何より「センス」が必要という話を以前しました

車に轢かれたから救急車を呼んだら救急車に轢かれ、もうダメだと思って葬儀屋呼んだら霊柩車に轢かれた

メンタルが不安定なフォロワーのツイートを遡ってみた感じだと人は深夜だけではなくおそらく仕事を終えて電車に乗っているであろう20時前後にも「バッドの山」が来やすいことが判明した たぶん「仕事もロクにできない情けない自分」を一人で放置したり家族の目の前に晒したりするのがメンタルに来る

いつまで経ってもウクライナが降伏しないのでロシア側もいよいよこれはおかしいのではないか、首都を包囲すればゼレンスキーは逃亡し国民は我々を受け入れてくれるのでは無いのかと疑問に思い、検証のため日本に同じ手口で侵略してみると2日で降伏したのでやはり間違いではないと自信を取り戻す回

世の中の人が何の仕事をして暮らしているのか、そもそもどうやってその仕事を探してどうやってその仕事に就いたのか ほんとうに分からない。はたまた車を購入したり一軒家を構えたりしている人にいたってはもうどうなってるのか全く分からない。世の中の人、あなた達はすごすぎます

20kmシャトルラン 電子音が鳴り終わるまでに20kmを走り終える体力テスト 最高記録 4

歴史の教科書の「ソ連は世界恐慌の影響を受けなかった」の強キャラ感

全国の「然るべき」を全部「叱るべき」に書き換えて第三者に第三者を叱らせたい。

異なる価値観の人達が積極的にお互いを受け入れて親和性を高めていくのがD&Iのイメージだったが、アメリカで働いて、実際の所分かり合えないもんは分かり合えないんだから、分かり合えない事を前提に上手く組織としてのアウトプットを最大化出来る様な仕組みを作るのがD&Iな気もしてきた。

だいぶ前、ダウンタウンの松本が浜田の嫁の脱肛をネタにしていたのだが、そのせいで自分の中で未だに浜田の嫁は脱肛し続けている。

「代案がないなら意見を言うべきじゃない！」ってのを言いまくってる上司がいたんすけど、その結果何がどうなったかって、明らかに間違ってるというか破綻してるサービスとか商品について全員が気付いてるのに、誰も代案が出せないせいで、そのままリリースされて当然爆死したという結果があってな…

確定申告の苦しみって、夏休み最終日にドリル全部やって日記も書くみたいな、要はコツコツやれば何てことない作業が一気に襲ってくる苦しみなのでは？

「自由世界の（言論）隙間産業」問題、この国がダメになったら隙間産業なんか真っ先に死ぬんやぞと思っているので、こいつらが偉そうにしてきたのは割とマジに腹立ってはいるんだよな。その主張の自由は擁護したいが、しょせん主流になるべきではない隙間としての分をわきまえろと。いざ事が起こったら？大事なのは環境アノンやジェンダーフリー人文屋じゃなくて兵隊とインフラ屋に決まってるだろう。「仕事の前じゃなくて後にシャワーを浴びる」労働者をバカにしすぎなんだよな。これこそが「隙間産業」や「平時野郎」の正体。俺みたいなモヤシにはああいうハードな仕事は勤まらないが、そこへ従事している人への敬意だけは忘れたつもりはない

あいつマジむかつく血圧か血糖値のどっちかが53万になってほしい

500円玉の「ここに500円分の価値が内在してます」感は異常。お守りとしていろんなとこに忍ばせてる

プーチンも戦争なんてやらなければロシアが眠れる獅子のままでいられたのにね。これでもう起きてる豚になってしまった

そうやってブロックをして見たいものだけ見てると自分が異常になってるかもしれませんよ、という旨のリプが来てなるほどと思いブロックした。

生前の行動を繰り返すという特性により、何もしてない私のゾンビ

体を動かすのが好きで、集団行動が好きで、規則を守るのが苦痛でなくて、神経質で少しの変化も見逃さない、ぐらいじゃないと優秀な軍人にはなれないし、このタイプは平時だと「気難しい人」扱いされる。優秀な軍人に、時間にルーズだったり穏やかな性格の人はほぼいないよ。

マリナ・アドシェイド『セックスと恋愛の経済学』によると、容姿が魅力的でない場合、男性は収入でひっくり返せるが、女性はいくら高収入でもカバーできないらしい。上昇婚指向とか言うけど、能力の高い不美人が過小評価されてる面もあるんだろうな。

半年間毎日怪談聴き続けて思ったこと。

・田舎に謎の風習ありすぎ、生贄捧げすぎ、毎年一人って少人数の村落規模だとすごい負荷な気がする

・般若心経をなんだと思ってるんだ

・盛り塩をなんだと思ってるんだ

・鬼門をなんだと思ってるんだ

・大昔の遺物のはずなのになぜか現代っぽい名前で呼ばれる呪物

最近思うけど、やっぱりドヤり始めた時点で社会人として終わりな気がする。ドヤってる人って、基本的に謙虚さ失ってるから改善力が低いんだよね。逆に底知れない人って、みんな謙虚で、あと周りにひけらかすことなく淡々と仕事に取り組んでると思うわ

前の職場では副支店長(国交省出身の天下り)が自ら現場で重いカメラを担いで、汚水に満ちた現場に躊躇わず突撃したりとしたら士気が飛躍的に向上したので、パフォーマンスでも現場に顔を出すのは重要なんだろうな。

左派が妙にゼレンスキー大統領にたいして歯にものが挟まったような妙な言動をするのは、「侵略者相手に国民の命を散らしてでも戦うって行動が世界から称賛されていて、なにがあっても戦争はいけません！命が国よりも大切」とかそういう幻想をガンガン叩き壊してくるからだよな。その証拠に「侵略者相手だろうと命が大切。一切の武力的抵抗をやめて白旗をあげろ」とまで言いきる左派は回りの反応みてほぼ黙ってしまった。一昔前まで「酒を飲んで侵略を止める」とかもうちょい前なら「非武装中立」とかいってた人たちを絶賛してた人たちがなぁ。

アサヒスーパードライの思い出。20年以上前学生時代、京都から東京に就職活動の面接に行った帰りの新幹線。うまくいかず随分凹んでた。隣に40歳くらいのおっちゃんが乗り話しかけてきた。ビール飲む？って車内販売でスーパードライを2缶奢ってもらう。就職活動なんですと色々話す。うまいだろ？って言われて、素直にメッチャうまいです！って言うたら、やろ？って言いながらおっちゃんもおいしそうにビールを飲んでいた。おかげで随分気持ちが楽になって、おっちゃんと色々話した。あっという間に時間が過ぎる。そうこうしてたらおっちゃんは名古屋だったかで途中下車。駅に近づき減速する列車。そういえばおっちゃん、何の仕事をしてるの？と最後聞いたら、ああ、言ってなかったね、と名刺をくれた。アサヒビールの営業の人だった。えっ？って言うたら、列車は駅に止まり、アサヒビールをよろしく！とセリフを残し、彼はニコッと笑って下りて行った。最高にかっこええなと思った。本当に商品を愛しているのだろうし、それを誰かに知ってほしくて彼は隣り合わせた人に多分彼は出張に行くたびに僕意外にもビールを奢っていたんだろう。あれ以来、ずっとアサヒのファンである。あの名刺はどこにいってしまったんだろうな。こういう先人たちの無数の愛があるから、アサヒスーパードライは35周年を迎えてもまだ存続しているのだろうね。そしてこの営業のおっちゃんが使った経費は自腹で、アサヒの過去のPLには表れてないんだろう。思い返せば今や自分はあのおっちゃんより多分年上になってしまっている。誰かの人生の一部でも一生変えるきっかけとなる様なことを自分はどれほどやれているのだろう。

長年きっちり研究してきた専門家に、そのへんで拾った断片を集めたような知識をぶつけて「私のほうが知っている。あなたは間違っている」と突っかかる人って、どういう心境なのだろう。研究って体系の先にあるから、個別の断片が敵うはずもないのに。歴史と医学に多い気がする。物理ではあまり見ない。

私のような独身男も趣味のために仕事を休むことがありますが、それらと産休や育休では扱いが異なる理由は、後者が社会の未来を支える行為だから。つまり「お国のため」になっているからです。リベラルは「お国のため」には拒絶反応を示しながら、出産育児に関する優遇を求めるからおかしくなるんです。同性婚やDINKSの議論も同じです。「子どもを産み育てる」という要素が伴わない、ただの私的な性愛を国家が金銭的に援助するのは不合理であり、独身者への差別です。

猫飼うか、猫になるか迷ってる

「客観的に圧倒的な加害者に遭遇すると人はどうなると思いますか？」「被害者を守るために加害者と戦います」「だといいですね。しかし残念ながらこれまでの歴史では、被害者の中に加害される原因を徹底的に見出してきたんです」大学の法律の授業の一発目の話、ずっと忘れられん。イジメも痴漢も戦争も何もかも目の前でこの状況が繰り返される。キラキラした学生生活の一発目の授業で何を言ってるんだ…って少しでも思った当時の自分が今はとても恥ずかしい。

恋愛対象者を性格で選ぶか容姿で選ぶかという2択が与えられた時、「性格で選ぶ」という表明の方が道徳的だとみなされるのはなぜなんだろう。変えられないという点では性格も同じだし、その"変えられない"容姿によって性格が規定される側面も大きいのに。

俺みたいな人間ですら会社員10年以上勤まるから、会社員って別に社会のまともな標準でもないよな。役人もそうだけど。コンサル系の人とか、マジでショーンKみたいなヤバい人いるし（実際に仕事で見たことある）。名のある銀行に勤めてるのに、50過ぎでも位が低くて、ありえない初歩的ミスとかしてくる人、マジでいるからね。たまたま社会の片隅にハマれただけで、ヤバい人いるからね。俺もあまり人のことは言えないけど。

原価厨の人ってよく「自炊したら300円」みたいなこと言うけど、プロが調理してバイトかもしれないけど、配膳、皿洗いまでしてくれて水道光熱費や家賃まで含まれて800円程度で食べられるのって安いと思う。

実際に20代前半で街コンとか婚活パーティーとか行くと、300すら稼いだことない学生上がりの女性が年収550の男性の事を裏で「年収ひっく！」とか言ってたりするので価値観バグってる女性が大量にいるのは間違いないと思います

人は体感的にも精神的にも"気持ちいい"ことが好き。気持ちいい場所には何度だって行きたいし、居心地の悪い場所にはなるべく行きたくない。お店も人も長く好かれるのは居心地がいいかどうか。恋人との関係もお互いに居心地がいい場所なら自然と続くものだと思うのよ。

Ｘ日本は第一次世界大戦や戦争の進化から何も学ばずにWW2に突入した

〇 日本は戦争の進化を正確に学んでしまったため、国防に必要なあらゆるものを無理やり確保するために軍部が暴走してWW2に突入した

民意は常に感情的で「かわいそう」とか「おそろしい」と容易に接続するので、民意だけをアテにした政治はうまくゆかなくなる。たとえば馴化されてしまったキツネにえさを「与えない」ことは簡単に人間たちから「かわいそうだ」を引き出し、さらにキツネを人間に依存させてしまう。キツネに餌を与え「ない」ことこそ彼らへの愛情なのです、逆にえさを与えた人は反則金を取りますとするのが法律であり、それゆえ法律は人間のお気持ちにたびたび逆行する。お気持ちに逆行した法律を改正しろ！とデモを起こしたりハッシュタグをつけて呟いたりする人もいるが、それを民意としてすぐさま反映してはならない。民意という激情の大波にすべてをゆだねると、全体的な合理性や深遠な道理が無視されてしまうからである。「車に近づいてきたキツネに餌を与えてよいかどうか」さえ判断できないのがほとんどの人間であると考えると、お気持ちで民主主義を前に進めてはいけないことがよ～くわかる。だからこそ民主主義は（たとえ形骸化しているとの誹りを受けようとも）投票所をつくり、戸籍を管理し、罷免裁判を行い、専門家を会議に呼び…などなどの手続きを整備している。

他人に対して怒る（叱る、注意する）ときに「なんで～～なの？」という間接的な話法を使う人は多いが、ワイは自分が怒るときに「○○くん、さすがにそれはまずいんじゃないの」「そういう言い方はないんじゃない」などと言うのを自覚しており、ちゃんと感情を言語化してて偉いな、と感じている

「どんな女性でも子供を産む権利がある」はまったく真で正義なのだろうが、一方で「子供を産んだからには子供を幸せにせよ」というのも真で正義なので、自分が子供をもうけてしまうとこの障害が引き継がれ、子供が不幸にならないかが心配である、と感じる女性がいるのも頷ける。でも、そういうときにかけることばは「そんなの気にするな」じゃなくて「ジレンマですねぇ」なのだろうな。そして産もうとする本人以外には解決のしようがない問題であるとも。

どんな人にも長所があってそれを生かせる場所がある、自分だってこの長所のおかげで生きてこれた、と口にしているのはきまって成功者。一方、今現在長所を生かせていない「輝いていない」人は環境を整える努力不足のために輝けていないとされる。成功に無限の努力が必要。

4年前大学に入学した頃は若者らしく排他的な物理至上主義・帝国主義的な思想を持っていて世界を物理学で啓蒙しようとすら思っていたのだけど、大学生活を通じてかなり価値観が変化して今では人間にとって一番大事なものとは愛とお金なんだなと思えるようになってきた。やはり愛じゃよハリー、あとお金

特に若い婚活女性は結婚したいんじゃなくて婚活をしたいんだと思う。座ってるだけで男が人生を賭けたアプローチをしてきてそれを袖にできる立場なんて楽しくて仕方がないでしょ

アイドルとかにも言える事だけど、インフルエンサー的な人気商売はどうしても「応援が必要な人間が応援が不要な人間を応援する」というグロテスクな構造になりやすいことは事実なんだよな。今の社会、富だけではなく承認も下から上に流れていき、物的格差だけでなく精神的格差も広がってる

フェミニストは「自分は正しく、他人は間違っている」という前提が無いと生きていけないので、矛盾やダブスタを指摘しても絶対に受け入れない。

随分前に亡くなった祖母の携帯を電話帳から消せずにいるけど、もうその番号は誰かが使っていて、LINEの『知り合いかも？』に出てきてる。おばあちゃん、若い男性に転生したんかなぁってアイコンをボンヤリ眺めちゃう。

仏教系のYouTubeの人気がなかなか出ないというようなことをチラホラ見かけます。それはインド哲学仏教学分野も同じで、昔からの悩みです。しかし、人気が出たら出たで世の中おかしくなってる証拠なので、人気がないのが正常だと思ってください。

今くらいの時間にピンポンなったから覗いたらめちゃくちゃ普通のおばさんおじさん夫婦が笑顔で立ってたから開けそうになったけどよう見たら裸足やったからスルーして寝たわ

ベネッセの「こどもちゃれんじ」を初めて見る機会があったのだけど、0ヶ月から月齢ごとの「発達スケジュール」とでも言いたくなる代物が掲載されていて、「赤ちゃんの○○を伸ばしてあげましょう」という表現の裏に隠れた「人生の競争はもう始まっているんだぞ」という圧が怖くて泣きそうになるな。「○ヶ月の発達はこれ、それを伸ばす遊びはこれ、絵本はこれ、知育玩具はこれ」と全部セットになっていて、どれほど発達にうとい親でも「自分のせいで我が子の能力が伸び損ねたらどうしよう」と不安になると同時に「これだけやれば親に出来るだけのことはやった」と思える精神安定剤でもあると思った。そして同時に、ノウハウのない親でもこれだけみっちりと発達を伸ばすマニュアルが整備されているとなると、本当に子供自身の先天的な性質の違いがそのまま能力の差として比較可能な形で外部に表出してしまう社会になったなと怖くなるよな。緩衝なしで骨と骨を直接ぶつけ合うような競争社会と言うか。例えば最近は20年くらい前よりずっと、未就学児どころか2、3歳の幼児が自転車を乗り回すのをよく見るようになった。いわゆるキックバイクの普及で、発達が必要を満たせば即自転車に乗せることが可能になり、6歳頃になってから「そろそろ小学生だし」と自転車を買い練習するようなケースがなくなった。昔から「ペダルを外した自転車で練習すると乗れるようになるのが早い」というノウハウはあったんだよな。それがキックバイクでノウハウの無かった人々にも練習方法が普及した。そうして現在、3歳で乗れる子と6歳(もしくはもっと先)まで乗れない子の発達の差は可視化され比較されるようになった。「○○ちゃんは乗れる、うちの子はどうだ」と焦らずにいる方が難しいよな。そうした心が、不安と安心の両方を提供するビジネスに見事に手綱を握られてしまう。そしてキックバイクなりそうしたビジネスに金を出せない人間は土俵に乗ることさえ難しい。しかも社会でこうした領域は拡大する一方という…。

「なんで～なの？」は聞いた時点では反語か疑問かが確定していないので「○○だからです」って答えると「理由は聞いてない！」、「すみません」って答えると「理由を聞いてるの！」となる可能性があるので叱るときにやっちゃいけないんだよな

テレビ見ない生活を15年くらい続けて全然平気だったんだけど、ある日、車の運転中に前の車の後部座席モニターにちびまる子ちゃんが写ったのを見て「日曜日ってこんな感じだったよなー」と思い出し泣きそうになった。

最後に性格悪くなる人「あぁー分かる！YouTubeにあるよね！波の音とか焚き火の音！いいよね〜、それで満足できる人は」

「理解」なんてしようとするから他人が許せなくなるわけで、そんなものはしないほうが良い局面もある

ソビエトジョークで我が国の半導体産業は世界最大と胸を張る日本人商社マンにソ連人が我が国でも世界最大の半導体を製造しているぞと対抗するのがあった。日本の半導体は凋落したけどロシアのは今も世界最大なんやね

受験のためにインターネット断ちをしていたのでるしあまふまふ事件を知らないまま帰ってきてショックを受けてる人、現代の横井庄一すぎるでしょ

異性からの承認を欲しがってる人達に「承認なんて欲しがっても仕方ないだろ」って言うのは酷いことをしてたのかもしれない。太らない体質の人がダイエットについて人に説教するようなもんだし。我々非モテ男性は「ありのままの自分」を好きになってほしいのである。「ありのままの男」など、シンプルな料理どころか、土の付いた不揃いで泥々の洗っていないじゃがいもが皿に載っている状態でしかないのに。

自分は男性キャラを好き放題に同性カップルに仕立てて片方を「女側」ポジションに置いて可愛い可愛い喜んでるのに、公式が「お嫁さんにしたいキャラ」とか人気投票しただけで「女性に失礼！」とか言い出す腐女子、面の皮ヤベーって自覚しなよ

マドレーヌの、入れ物の方に残っちゃう部分が集まって出来た島

食費を下げるための自炊は確かに有効だけど心がすり減るので、食べたいものを食べるための自炊が正解だと気付きました。

「私は日本社会に不満がある。日本社会は世界で最悪に違いない」って言ってる人に「いや、客観的に見たら普通にかなりマシなんで……」というマジレスをしても詮無い結果に終わることが多い。

張作霖爆殺事件、張作霖の体が膨らんでいってかってに爆死した事件だったらまあまあ面白い

なぜ橋下とひろゆきが呼ばれるかって、「タモリの逆をやってくれるから」なんだよな。つまり「高度に専門的な知識が必要なことを、小気味良くどんなことでも良く知っているかのように話をして盛り上げてくれる」わけで、その需要を満たしてくれるという。

インターネット2、だれも社会や政治の話をせず、毎日みんなでプロパガンダを観たり検閲をされたりして1日がおわるマジで楽しいSNS

作家は偉くなると「土」とか「大地」みたいにシンプルな大作をものすものだが、ツイッタラーも偉くなると「人」とか「狂」のように存在が記号化していくのだな。

【ガムあるある】

最終的には買ったものを全部捨てていて意味が分からない

ポンペイ展見てきて、当時の地中海世界の先進性に嘆息ひとしきりなのですが、ローマ帝国の彼らが何を古典や教養として崇拝してるかというとギリシア文明なんですよね。壁画でも教養人向けのものにはギリシャ語が書かれていて、庶民向け(入居者募集とか猛犬注意とか)はラテン語で書かれていたのが印象的でしたね。

友達と2人で免許合宿に来てるんだけど友達は彼女とドライブ行くことをモチベに頑張ってるんだけど、俺はTwitterのネタを探すことしかモチベが無いせいで友達は頑張って左折を練習しているのに俺は挫折をしている。

怖い話とは、例えば東大法学部やオックスブリッジの文系学部を出て、MBAや法学の学位などもとった頭脳明晰なエリートが、科学の知識をほぼ持っていなかったために、反ワクチンや怪しい医療にはハマったりして、科学者や医師の話を全く聞かず、変な論理を展開して面倒くさいことになるというのがある。彼らは死ぬほど頭が良く、論理思考力も最高峰だ。だが知識だけが無かった。そこで優れた論理思考で、知識のない部分を埋めようとしたら、反科学に陥ってしまい、しかも優れた弁論力でネット上では科学者らを退けてしまい、誤った考え方が蔓延していってしまうという。時々僕も話しているが、科学的な事実というのは必ずしも過去のデータから導かれる論理的な道筋の上にいつも必ずあるとは限らない。必ずしもストーリー的には綺麗ではないのが現実なのだ。だが科学者がそれを言っても、そういうソフィストたちは「ロジカルは帰結ではない」と返してしまい、話の組み立て方や論理的的に筋の通ったストーリーを繰り出してくるソフィストらの話を一般大衆は「こっちの方が分かるわ」と信じてしまい科学者らの話は退けられるという。ソフィストらは話の仕方を知っている。科学者らは真正の事実を出せる。大衆に伝わるのは前者なのだ。SNSの時代はとりわけ怖い。

私は、かつて友人からお土産としてもらったキツネ村のキーホルダーを愛用しているが、この前そこに行ったときにまったく同じものが無数に売られていて、ことばにならないほどのショックを受けた。すべての人間が手に取って金銭で購入できる工業製品に対し、私が勝手に思い入れを抱いていただけなのだと実感させられたからである。凛々しい顔をしたキツネの画に刻まれた数々の傷しか、無数の（a）商品とその（the）キーホルダーとを分ける術がないのだと気づかされたのだ。お気に入りの毛布を洗濯された猫が文句を言うようなもので、人間も生物である以上は自分の持ち物に愛着を抱くのだろうが、自分もまたその一人であることを意識したのは今回が初めてである。

東大生、地方出身とか公立校出身というだけで、いつの間にか自分はすごい苦労人みたいな認識なりがち。

酔うと説教するタイプの不老不死「弥生時代の頃なんてな、」

もうものすごく不謹慎な言い方をするけど、思想が一番面白くなるのって結局暴力を伴って現実に噴出した時なんよ。この邪悪さに魅入られる人間がいる限り、こういったことは無くならんだろうという諦観がある。これを抑えるのは思想の仕事ではなくて制度と別の暴力の仕事であろうな

ベンチャー界隈は「20代死ぬほど働け」派はまだまだ多くて、ワイもどちらかといえばそちら派なんだけど、結局「20代死ぬほど働いた結果よかった人」の話しか世にでてこないから「20代死ぬほど働いて徒労に終わった人」の証言がもっと出てくるべきだと思う。

なんでケンカしたん…て次男に聞いたら｢俺はさぁ…テレビの音量は偶数がいいのにあいつが奇数にした…｣そうです

生まれてくる子供の名前を思いついたら、ひらがなで100回、カタカナで100回、漢字でも100回、先ずは書いて見ることをお勧めします。縦書き横書きで。子供は、それを書き続けるのです。また、幼稚園、保育園、小学校の最初に持ち物に親が書き続けるのです。

本が読めない時は、どんなに元気なつもりでいても絶対に疲れてるので早く寝る。逆にめちゃくちゃ疲れてるはずなのに本をガンガン読める時は実は健康なので問題ない。という体調管理方法をここ数年実施しているが、たぶんこれ絶対正しいと確信している。本読みにしか使えない指標だけど。

大学生に特に悪い感情はないが、大学がある街の居酒屋にだけは4月に絶対に行きたくないという強目の決意がある。

クラシックカーは愛犬と同じ。いずれ期待を裏切って死ぬ

そんなにとろとろ走ってたら中国経済に先を越されるぞ

この車に魅力を感じるのは精神年齢8歳の人間だけ

ロシアのネットジョークにこんなものがあるらしい。「我々は今、キエフを2日で占領するための特殊軍事作戦の24日目に突入している」

ロシア防衛省の発表：ウクライナの民族主義者は北部と南部で化学兵器を使った挑発の準備をしている

翻訳：ロシア軍はこれから北部と南部で化学兵器を使う

海のど真ん中で溺れてる状態でどっちが岸とか考えられないでしょ。誰かが浮き輪を投げて息ができる状態になってからその先を考えられる。貧困はずっと溺れてる様なもので視野が狭くなるばかりだった。

乳幼児が出すのは「泣き声」ではなく「鳴き声」で、セミが鳴くのと同じ、まあ何か訴えたいことはあるんだろうけど、大人が慟哭するのとは質的に全く異なる。という前時代的感覚の中に生きている。「赤ちゃんが泣いてるからかわいそう」みたいな気持ちほぼない。

「BUMP OF CHICKEN」の「ブチ筋」の部分（肉離れ的語彙）

「好評分焼酎」という、好評分が杜氏のゲロマズ焼酎

「プーチンにも正義がある」って話が通るなら、地下鉄でサリン撒く宗教団体にも、あさま山荘にこもって仲間惨殺する連中にも、障がい者施設で障がい者殺戮する奴にも、もれなく正義はあるって事になって、「正義」って無意味になるのよ。なぜ「正義は無い」と言い切れないの？あの人たちは。それは正義なのか？を問うて、考え続けるしかないのにさ、その面倒面倒や苦しみから、簡単に逃れる方法として、「誰にでも正義がある＝誰の正義も無意味」にしちゃってるだけだろう、と。そこまで考えてないとかってんなら、尚更怠惰だわな。そういう事になっちまってりゃ、正義なんて滅びるわ。間違った正義があるってんなら分かるのよ、完全に正しい正義は無いってのも分かるのよ、だけど、子供が避難してるところを狙って爆撃するとか、病院占拠して病人や負傷者や医療従事者を人質にするとか、そんな連中にも正義があるとか言う筋は全く意味不明というか、共犯者の物言いでしかないよ。

労働の嫌なところ、特に無いけど、会社に行く途中でカマキリを見つけて、カマキリは獲物を狙ってるみたいだったから、ジッと見ていて、それで会議に遅れても、「あー、カマキリのそんな場面をみていたら仕方ないよね」とはならない。そんなところが労働はクソだと思う。

知らない人から「フォローしてないのに貴方のツイートが定期的に流れて来るので不快です」ってDMが来てたからコチラからブロックしてあげたのに、わざわざ複垢を使って「なんでブロックするんですか？」ってお怒りの追加メッセージを送って来たので「春だな」と思いつつ再度ブロックしてあげた。

『風が吹けば桶屋が儲かるからと言って、桶屋が風を吹かせているわけでは無い』っていうのが分からない人が陰謀論にハマりがちな気はする。

入りが喧嘩腰のコールセンター『話の通じる方は"1"を、そうでない方は"4"を押して下さい』

「降伏しよう」「無抵抗でいよう」って唱える人、議論の上ではもれなく徹底抗戦だよな。

マナー講師の言うこと鵜呑みにしてる会社受けに行って、わざとノックを2回して「お帰りください、ここはトイレではないので」って言われた後「トイレですが……？？」とすっとぼけながらスラックスを脱いで脱糞したい

「プーチンにも彼なりの正義がある」なんて戯言、「彼は殺人者だけど、あれは彼なりの救済」とか言うとるのと大差ないんですが、ここまで分かりやすく言わんと分からんですかね？いや…どこまで分かりやすく言うても分からんか。「正義」って言葉を悪用し歪める奴がいくら湧いても、本来の「正義」に相応しいものはどういうものかって事を、投げ捨てちゃダメなの。それが通るなら、「救済」も「愛」も、全て意味を失うから。だから、それは愛じゃ無い！それは救済じゃ無い！それは正義じゃ無い！って突っ返さなきゃダメ。何が正義かなんて、完璧な正義なんて、誰にも分らんし、誰もそんなもん持ってないよ。愛だって救済だって、ありとあらゆるものにそれはあてはまる。だけど、だからって正義や愛を求めないばかりか、それを無価値とし、どうかすると忌避し貶めるってんじゃ、じゃあ、あんた自身は何だ？って事になる。あんた自身を定義してみろよ。何が自分なのかなんて定まるものじゃ無いさ。なら自分こそが無価値で捨て去るべきものじゃないのか？でも、ああいう連中がやってんのは、「自分以外を腐す」って事ばかりだ。だから歪んだ笑顔で言えるのさ「プーチンにも彼なりの正義がある」なんてね。

子どもの頃見たドラえもんスペシャルで「のび太が未来にひとりで行ったらなぜか街に誰もいなくて、無人の街をさまよう」という話があってかなりゾクゾクしたんだけど、今思うとあれは原初のLiminal Space体験だな。別に都市伝説的なアレではなく「未来の町にただ一人」という原作にもあるエピソードです。あと「ガラパ星から来た男」にもLiminal Space的なところがある。あれを最後に唐突に原作単行本が完結することも含めて、劇場版にはない不安と寂寞感がある。

「早起きは三文の徳」って2.5文くらい朝マックが占めてるな

「年収500万以上大卒正社員男性を要求するのは高望み。なぜなら平均値はそれらを下回ってるから」という論理を肯定すると「精神的に安定した主体性と規範意識がある女性を求めるのは高望み。なぜなら平均的女性はそれらを持ち合わせていない」って反転ロジックをぶつけられて絶望する未来が見えた。

元カノが急に生理なって俺のベッド汚して泣いた時、全然気にしてないよって布団洗って替えの服とナプキンと好きなお菓子買ってきて慰めたら「手慣れすぎて他の女の影を感じた」って理不尽に振られたの思い出した。

Twitterのおすすめツイート、もう「今日はこの話題で口喧嘩するのがおすすめ！」ぐらいの印象がある。

例えば小学生クイズ大会に「おれは肉体はおっさんだけど心は少年だから」とおっさんが参加しようとしても無理だろうに、なんで体の性別で分けられている競技大会に心の性別を盾にして割り込むのはOKなのかね。

人に支えられなきゃ生きていけない弱者なんて強者に余裕がなくなりゃ放り投げられておしまいだ。真理だと思う。しかしそこを放り投げずにいる痩せ我慢、それが文明なんじゃないかと思うようになってきた。

よく「体系的に学べた」っていう感想見るけど、「体系的に記憶を収納」するのが出来ない。普通の人は記憶が整理整頓された本棚になっていて必要な情報を必要なときに呼び出せるみたいだけど、俺の記憶は段ボールにごちゃ混ぜで縁日の当て物みたいに正しい紐で繋がったトリガーを引かないと引き出せない

他者への配慮ができたり他人を思いやれるのは自分に余裕があるからだ。配慮が足りない思いやれとガン詰めしながら精神的にも物理的にもギチギチに追い込んだら、誰だってそのうち疲弊して敵意や無関心に呑み込まれていくだろう。

結婚式の定番の儀式にジェジェジェージェ・ジェンダーって殴り掛かる流れが最近増えてるの、正直面白いんだよな。女性が望んでやりたがってる儀式に女性が文句をつける永久機関。

興味深い議題が提示された。「自覚のある悪人より、自分を正義と信じる人の方が恐い」というものだ。これが一般的に良く言われるようになったのは比較的最近の事だと思う。数十年前にはレトリック臭さがあったが、今では使い古された定型句のようなにおいがする警句だ。しかし、この警句自体に定型化していく事による思考停止や、文脈や背景を無視して乱用される危うさがある事に、私は強い懸念を持っている。まず、自覚のある悪人と本当に自分を正義と信じる人のどちらが怖いか？であるが、の時の「怖い」がどのポイントでの恐怖を意味しているのかで、話は大きく変わる筈だ。ところがそのポイントを決定する前提条件や背景を無視して、単に何かの衝突事例に脊髄反射的にこの警句は使われてしまう事が多い。結果、そこにある問題を有耶無耶にしてしまう事に悪用されてしまう場合も多く、私の観察範囲では、悪辣な者たちは喜んでこれを利用し、自分たちの悪行を有耶無耶にしている。では、「自覚ある悪人より自分を正義と信じる人の方が怖い」というのは、どういう場合で、どこが「怖い」のかについて、考えてみる。まず、自覚がある殺人者と、自分を正義と信じる殺人者と、どちらも「殺人」という結果を伴うので、実現する被害、罪についてはどちらも同様に危険だ。悪の自覚があろうが無かろうが、悍ましい結果は同じであるから、ここに「怖い」の差は生まれない。では、この「怖い」の在処はどこなのか？それはまず「見るからに悪人と分かるものが行う悪行」という見た目通りと、「正義を語り正義のように振舞う者が行う悪行」の予想を裏切るの違いだろう。そうした表面と内面のあまりの違いに受ける衝撃は強い恐怖を感じさせる。予想のつかない気味悪さもあるから余計に怖い。されに、もう少し内面的な事に目を向けると「自身を正義と疑わずに悪行を重ねる者には悪の自覚が無いので反省がなく悪行がエスカレートする」という危険性に対する恐怖だろう。これは、まず最初に述べた「正義を語って悪行を行う者」の存在を想定し、その上で「自分を正義と信じて疑わず、間違いに気づかない危険性」という更に高度な想定を行った上での警戒心からくるもので、非常に有益であるが、妄想的になりやすい危険性もある。「自分自身の正義が誤りであった場合に、自分自身までもが加害者や化け物に成り得る」という恐怖であり、これは理性的なより深い思考と想像力から生まれる恐怖だと評価できる。これが「自分が正義だと思った思想やリーダーへの過度な傾倒」への警戒に繋がるなら、非常に有益だろう。だがこれが「正義」それ自体を怖がり忌避するという方向に向かう例が増えている。それは「正義」という価値観自体を無益なものとして否定してみたり、「正義」を「悪」と同じものと短絡して貶めてみたり、ついには「正義」を「諸悪の根源」と決めつけたり、「正義」が「悪」を生むという倒錯にまで陥る。このあたりの倒錯に至る道筋は、最初の深い洞察から生まれた「自分自身も自分を疑う事を忘れて怪物になったり、その共犯者になるかもしれない」という警戒が、そこからさらに深い思考へ向かうのではなく、奇をてらった表面的な「警句風大喜利」へと、どんどん浅い方向に向かって混沌に沈むのだ。私自身、この迷路に迷い込んだ時期がある。それは結構長く続いた。自分は深く考えているつもりで、しかし、それはただ「深く考えている感覚」を求めて、自ら迷っていただけだと気づいて、己を恥じた。それは、わざわざ「迷いたくて」「迷うほど考えてる自分って自覚が欲しくて」コンパスも地図も持たず目的地も定めずに洞窟に入っていくような愚行であった。自身の経験から、これに陥る者を私は嗤えない。自分としては真剣だし真面目なのよ、それこそ、正義と信じて愚行を繰り返す者のようにね。では、巻き戻そう。「自覚ある悪人」より「自身を正義と信じる人間」の方が怖いというのは、まず、現実に同程度の愚行でも、見るからに悪人と分かる者が行う場合より、正義として振舞う者が行う場合に、より恐怖を感じるという事だ。どっちにしろ結果は、「不正義が実行された」であるから、結果としては、自覚ある悪人だろうが自身を正義と信じる人間だろうが、愚行悪行を行い不正義を実行したのだから、実際には「どっちも怖い」。ただ、この警句が生まれた背景にあるのは、「自身が正義と信じて疑わないものが間違っていた場合、悪行の自覚なく、自身が悪となる」という想像力だろう。その想像力が恐怖を感じ警戒したものは何であったかをよく考えてみよう。それは「正義」への恐怖や警戒ではない。それが恐怖し警戒するのは「自分が信じる正義は正しいのか？」「その正義が正しいと判別する力が自分にあるのか？」「自身が間違った正義を信じて愚行悪行に走ってしまったら？」「正義を語るあの人は大丈夫だろうか？」突き詰めれば、「正義」を完璧に査定出来ない自分が、間違ったものを正義として捉え、疑わずに突き進み、善意故に迷いなく愚行悪行を行い、不正義と成り果てる事に恐怖しているのだ。だが、そこで、「正義」を投げ捨てるなら、それは責任回避でしかない。「正義」に限らんよ。「愛」なんかもそうだろう。そこで正義や愛と信じたものに、信じて行った事に、自分の責任はついてまわる。それを信じたのは自分の責任だ。なのに、自分を信じさせた「正義」や「愛」の方に責任があると、そういう責任転嫁が蔓延っている。そこにある不正義を「こんなものは正義ではない！」と、当たり前に否定すれば良いだけの話が、極端に分かりやすい虐殺や侵略といった悪に対してでさえ「それなりの正義が…」「正義が無いとは言い切れない」「両方の正義が衝突してるだけ」といった言説が溢れるのはなぜかというと、そこで、「それは正義ではない」と言明すると、自身の正義を問われる事になるからだろう。それを誰も問わないとしても、自分の中でその問いが生まれる。「じゃ、あなたの正義って何？」と。それに答えるのは誰にとっても容易ではないだろう、だが、だからこそ、考え続けるべき事なのだ。それが出来ていないから、そして、そこに責任を取りたくないという逃避傾向があるから、明白な悪を目の当たりにしても尚「彼なりの正義があるので…」などと、言ってしまうようになるのだ。それはもう、正義が云々の話ではなく、人としての在り方の「美醜の問題」になってしまう。

私は概ね、恋愛工学あたりの異性観を行動に移せるレベルでインストールすると、長期的な関係を構築しないといけなくなった段階で修正に死ぬほど苦労するからやめときなはれ、あたりのことを言っているわけですけど、それで「この人と長く交際したい、あるいは家庭を持ちたい」って相手が出てきたときに失敗する、あるいは虐げたり虐げられたりするジェットコースターみたいな関係しか構築できなくなる、といった結果が出たとしても、別にそれは人生だとは思うですよね。やめとけ、とは言うけど。あわよくばを繰り返して上手く行って(うまく行かないことも多いので)、仮面夫婦で子供からも疎まれ、若さも失い、水商売の人と金銭頼みの浮気を繰り返すしかないとか、バツ3親権取れず身寄り無しとか。その人の人生なので、幸福か不幸か他人には断定できないだろう、とは思う。結婚するためには恋愛を経る必要があるんだけど、恋愛に求められるスキルと結婚生活に求められるスキル(一人の人と長期的な関係を築く能力)がイコールじゃないのが問題の根っこにあるよなぁって思う…まず恋愛できなきゃ始まらないっしょ！っていうのが恋愛工学の主張なんだろうけども

いかんなあ、仕事については全く熱意も能力もないけれど、それでもすぐに「仕事をしているのは収入と社会参加のためであって、精神修養のためにしているのではない」ということを忘れてしまう。「こんな働き方でいいのか」なんて考えてしまうのは、仕事を「仕事道」にしてしまっているということだ。上司や会社は仕事に情熱を傾け人生の一部（と言いつつ実際にはとても一部ではない）を捧げることで人生の価値が向上するし、そうでなければ生きている甲斐がない、従業員として価値がないと暗に明に言うけれど、なぜそうした労働観になってしまうのだろう。それで幸福になれる人間は限られるだろうに。

ア界外の人たちとスペースで話してると「アライさん界隈ってどんな感じなんすか？」って何度か聞かれたから「不幸のインフレが進みすぎて、無職毒親自殺願望くらいだと実質無個性みたいな感じになる界隈」って答えてる

夜道で男性を避けるのは正当な行為ですが、もしその男性が黒人だった場合、あなたは黒人を避けたことになってしまうので気を付けてくださいね

原発が実はお湯を沸かしてでかいタービンをぶん回して発電してるのは国家機密。反原発の人が原発は巨大なシリンダーの中で核爆弾を持続的に爆発させて巨大なピストンを動かしてるとか言ってるの見て不覚にもカッコいいと思ってしまった事がある

資産が6000万円を超えれば1億はすぐだと聞いていたが普通に4000万円に戻った

わたしには生きづらい世の中だけど理解ある彼くんと結婚したので何とかなりました系漫画描いてる人、その後を追うと割と離婚してる

生きづらそうな人には近づかない方がいいわよ、アンタが変に嫌な人間に見られてしまうから。あの類の人間は赤の他人にも生きづらさの原因を探してくるからね

個人的な不満を社会的な問題にしがちな人、怪しい思想信条に傾倒しがちな気がする。自分の不満をより大きく取り扱ってほしいってことに起因するのかもしれないが、そういうことをすればするほど実際の自分の問題の解決には遠のいていくんじゃないだろうか

最近「メディア的に、広告主的にNG」な事を「一般的にNG」とごっちゃにし出してる風潮を感じる。いずれyoutubeのルールが世間のルールぐらいになりそう。

わりと平和教育って「発狂した男に襲われたらどうするか？なお、貴方の後ろには妊娠した女性と赤ちゃんがいるものとします」という視点が必要なんだなあ、と思う。

学生時代と就職してからのギャップで衝撃だったのは「こんなクソみたいな奴でも結婚できるんだ」って思える人間がめちゃくちゃいるってことと、人の親になってはいけない人間が普通に親になってるってこと。

「農薬も化学肥料もない時代は健康でおいしい食べ物をみんな食べていた」系信仰、人類の歴史は万年栄養失調との闘いという視点がゴッソリ落ちてるので豊かボケの極みだなと思う。

昔の年寄りが「最近の野菜には味がなくなった」とか言ってたわけだが。化学肥料の影響ではなく品種改良で渋みやえぐみが除去されて行ったからではなかろうか？再現食のコーリャン粥を食べた戦争経験者が「もっと不味かった気がする」とか証言してたり。

ごんぎつね、マジでトラウマ。人間なら自業自得で済むけど、きつねだよ？きつねが、本来ならできるはずのない反省をしてる奇跡が裏目に出てるのが、神も仏もない感じでキツイ。

カウンセリング、僕が技法を全部習ってしまったので「ああこの人は今僕の言葉を反射して傾聴する演技をしてるな」「さっきの発言僕の認知の歪みを遠回しに指摘してきたな」「僕の問題は臨床的にそういう枠組みで捉えると心理士にとって都合が良いんだな」となってしまい、何の役にも立たない。

怒っている＝無敵ではないし、「怒ってる側の人の話は無条件に聞け」みたいな主張をする人間がいるから戦争が無くならないんだよな。

狂ってはる？ それ京言葉ね

どれほどトンデモであろうと、プーチンでさえ、「目的の正義」を強調する。しかし、手段となると正義もクソもなく、開き直って残虐非道。正義の暴力性は散々語られてきたが、目的の正義論だけでなく、手段の正義論を発展させることで、抑制される暴力は相当程度ある。

当時の米国も、英帝とカナダ以下諸構成国も、当然日本とても、酷さ悪辣さでは似たことやってるんですが、後に検証・糾弾・問題提起出来る民主システムが存在してるという点で独裁国家とは違うんですよね。共産は自分を間違いの無い正しい思想と置きがちで、ミスに気付き難く、被害抑制の機能が薄い。

怖い話で好きなのは「生きている人間はみんな霊力が強い、赤ん坊でも老人でも強い。生きている人間に危害を加えられるほど強い幽霊は基本的にいないので平将門クラス以外は気にしなくていい」です。

ちょっとズレるけど「精神疾患やドラッグはオリジナリティあふれる創作に結びつきそうだけど実際は非常にベタで陳腐な症状でしかない」という話を思い出す。怪談もサービス精神故に落ち着くべきところに落ち着く。

テレビで「昔のボーリング場にはピンを手で並べる仕事の人がいた」と観て、いいなあとおもった。働く意欲はあるけどあれこれ考えたくない人は一定数いるのに、それにふさわしい仕事が減っているのは不幸なことだ。

funnyな話が喜劇、sadな話が悲劇なのではなく、登場人物全員が自分のやっていることをまるで理解していないのに、なぜかすべて丸く収まるのが喜劇、登場人物全員が自分のやっていることを痛いほど理解しているのに、なぜか破滅を避けられないのが悲劇と初めて教わったときの衝撃は今でも忘れられない。

女子が悪口言う時「え！！それめっちゃ思った！！！」で目ガン開きになるの怖くてすき

「弱者に寄り添う」って要するに、餓死しそうな人の側に近寄っていって「ああかわいそうに、俺明日一食抜くわ」って言って去っていく、そんな程度のもんでしょう。ない方がマシだわそんなもん。

我々オタクは「良い人になればモテる」みたいな世界観の作品を過剰に接種し過ぎたんや。ちなみになぜオタク作品の主人公が「優しい」とか「良い人」みたいな特徴でモテてるかと言うと、多くの読者に共通して自分にも備わってると思わせる性質がそれくらいしかないからです。高身長アイドルの諸星きらりが自分より背の高い武内Pにときめくみたいな描写を入れて炎上したことがあったけど、主人公役に共感されづらい属性を盛り込むとマジで作品の人気って落ちるんですよね。だからオタク作品の女はどいつもこいつも「優しい人」が好みという設定になる。

はてブっていうほど差別に厳しいわけでなく、地方差別とか学歴差別とか珍しくない印象。地方差別だと最近は神奈川がお気に入りなのか、何かあれば「神奈川か」ってやってるし、以前なら「大阪か」「京都か」みたいな

スタンフォードで有名なスピーチの授業を受けた際、何か特別な技術を学ぶと思いきや「スピーチやプレゼンは観衆の分析が全てだ。観衆が何を求めているかを徹底的に考え抜け。他の要素は全部二の次だ」とひたすら教わったが、ゼレンスキーの各国用にテーラーメイドされた演説でまさにその真髄を見た。

ゼレンスキー大統領の演説、事前に勝手に盛り上がっていたせいもあってかドカ盛りG系ラーメンを期待していたら超絶美味な和蕎麦が出てきた気

学校教育、「みんな仲良くしよう。きちんと話し合ってお互いを理解すれば仲良くなれる」という前提が間違いなんよ。小学校低学年向けならまだしも。「どうあがいてもソリが合わないヤツはいる。しかし、だからといって殊更攻撃しにいく真似はせず、適度に距離感とれ」の方が良い気はするよ。

メディアは事実を淡々と記録するだけで良い、変なイデオロギーを加えるな！とイキがる人がいるけど、「事実」として記録されているどんな映像も写真も、撮影者の目線で切り取られているから、すでにそこにイデオロギーは存在していると思うんですよ。

イマドキの中学生、edを過去形って習ってて悲しくなっちゃった。僕にとっては現在進行形なのに。

自然に優しいのは結構だが、自然はけっこう我々に厳しいぞ。

こんまりの「贈り物は受け取った時点で役割を果たしているので捨ててヨシ！」理論はわりと正しいと思っている

新たに生えてくる永久歯が丈夫に生えるように、抜けた下の乳歯は屋根の上に、上の乳歯は縁の下に投げるのは常識ですが、タワマンの屋根は地上から約100mの高さにあって届かないため、タワマンに住む子供の下の永久歯はもろく、そのためタワマンの1Fに歯科医院が多いことはあまり知られていません。

能力主義にしろ努力主義にしろ成果主義にしろ、何か評価の基準を作ると人間は必ずそれをハック=真正面から取り込まず楽に効率的よく評価を得られる方法を模索するので、最終的には「自分を有能にみせたり、努力アピールが上手かったり、成果を盛ったり横取りする利己的な政治屋」無双になる

大学進学率が50％そこそこで、Marchで上位10％、旧帝早慶で4％にあたる事実は知られ始めているが、就職について言えば、高卒の多くは学校経由で就職するし、就活の場合も中小企業の場合は、ほとんどが履歴書とごく簡単な面接、あるいは追加で実習で決まる。壮絶な競争は実はかなり上位の限られた世界。だから、AOや推薦をバカにしたり、数学非選択を貶めたりする人がいても、それは上位2％の人が同4％の人を見下しているというようなバカげた話だし、就活のインターンやSPI、「ガクチカ」、面接練習、「ロジカル・シンキング」なども、上級国民限定の話題なのだ。Twitterにいるとつい錯覚してしまうが。僕は教育が専門なので、「一般入試」以外で入学する人が想像以上に多いことや、一般でも入試科目が軽量化されていたり競争率が低かったりして、壮絶な「受験競争」はごく狭い範囲でしか見られないことは知っていたが、我々のイメージする「就活」もエリート的なものだとは、実は最近まで知らなかった。高卒や専門・短大卒、あるいは一定以下のレベルの大学卒でも、多くの場合は大手は端から視野にないので、インターンだの自己分析だのガクチカだのSPIだのとはほとんど無縁であり、中小零細に紹介や簡単な面接、実習で入るのだと、ハローワークで教わった。というか、まずその層は非正規が多いのだが。遅くとも高校、お受験をしていれば小中学校から「彼ら」とは「分断」されているから、見えない・知らないだけなのだ。この国では学力試験で大学に行く人は少数派であり、「就活」をして正社員になれる人も少数派である。

インターネットで選択肢が増えればそれはハッピーなのだ、というのは我々奇人や暇人の理屈である。リモコンをパッと押すだけで質の高い情報に触れられる環境を整備する自律の責務は未だテレビは負っていると思う。

外国のテレビ観は全然存じないのだが、アメリカだって三大ネットワークのテレビを相当数見ていると言うし、似たようなもんなんじゃないのかなとは思う。いくらインターネット時代とはいえ、ボタン1,2発で見れるメディアには中々勝てんよ。これは前々から主張してるけど、PCスマホを介したネットメディア、選択肢多すぎるしたどり着くまでのクリック数という点で未だテレビに全く追いつけていない。割と黎明期からネットやってるような自分ですらそう思う。テレビはまだまだクオリティを上げる努力をしなければならない。ぶっちゃけた言い方をすると、テレビの情報番組で芸能人に国際政治などを語らせている場合ではない。有害である。彼らに言いたいことがあるのなら、個人のSNSアカウントなどで存分にやればいい。

壁に「精神力」の文字が踊る精神科

【発展途上】

おい 1年

その水は飲むな

留置場は暇すぎて犯罪者同士でずっとお喋りしてたまに担当官もそれに交ざるくらいしかやることがないので、底辺のらき☆すたみたいな日々がずっと続く。

【すごい算数の文章題の入り】

「なおきくんは生前、」

「両方の話を聞いてからでないと判断できない」といって判定を保留する姿勢は多くの場合賢明ではあるけど、その前段階で【「まだ判断する状況でない」「もう片方の話をもっと聞くべき」と判断をしていること】を自覚するのはある種の訓練が必要だし、常に自覚的でいるのは結構なコストがかかる。自覚的に「判断する」という行為はそれなりにコストとリスクを伴うタスクであり、なので「まだ判断する段階ではない」という選択肢は（コストとリスクを下げているように見えるため）より誘惑が強いし、そのことを利用しようとする人、誰かが判断を遅らせることで利益を得る人は、わりあい多い。

トップを目指せる人が賞賛されるのは、上には上がいて、上に行くほどその現実に打ちのめされることも増えていくからだわね。打ちのめされても残るものを手に入れていれば良いけど、負けたらゼロみたいな挑戦はむなしいよね

能力主義の最大問題点は「周囲が皆ライバルになるのでノウハウが共有されなくなる」ことなんだよな。例えば職場ではタスクに苦戦してる社員がいても「アイツがタスク熟せるようになると自分の相対的地位が悪くなるので放置しよう」となってしまう。結果、最終的に個人はともかく集団としては雑魚になる。私も以前、外資系の職場でモロにそれを味わった。ドキュメントも相手が日本人なのにわざわざ全部英語で読みにくい。箇条書きの簡易なメモもなく、微細なことばかり書いてある資料があるだけなので、会議の際に私が用意した簡単なメモを相手が欲しがる始末。

大学院の道に進んでがっかりしたことの一つは、大学の先生というのは思慮深さと教養の塊のような人なのだろうから、皆自分とは異なる研究領域、学問の研究者たちをリスペクトしていて、ときに協力しあったり刺激しあったりしているはずだ、という幻想が見事に打ち砕かれたときかな。蓋を開けてみたら、存外他の分野の人をよく知らず貶したり、自分達の方法論やカルチャーが絶対だと思い込んでいたり、なかには○○学は必要ないとか言い出す人までいて、こうして僕の中で研究者がカッコいい職業ではなくなった

自分自身の正義がわかってくると、何が許せる行為で何が許せない行為なのかがよく見えるようになる、というのが一般的な思い込みだろうけど、実際には真逆なんだよな。自分自身の正義に関する解像度が荒いほど、善と悪の境界線を簡単に引けてしまう。その結果が「正義は人によって違うのだから、思想を押し付けてはいけない」というクリシェ。もし本当に正義が人によっててんでんばらばらに違うのなら、なぜ人間たちが秩序だった生活をとれているのか？相対主義は「思想の押しつけ」を咎める論拠にはなっていない、ということも、正義に関する解像度が荒いから理解できていないのだろう。実際に正義を考える上で大事になるのは、民主主義ががんばって整えてきた形式そのものである。形式を整えることで、人によって異なる正義をなんとか取りまとめることが可能になる。日常のレイヤーではそこまでの考察を必要としないからこそ「押し付けない」で生きていけるのだ。

爆弾が落ちたニュースの流れてる食卓で落とす卵の軽さ

ピザの箱は濡らすと丸めて捨てれるというライフハックを見るたびに「全然ダルさが勝つな」と思う

ツイッター見てると、「ブラック企業はやめたほうが良いい」って話が多いです。それ自体は賛同するんですが、「キツイから」って話か、「報酬が少ないから」って話が多いのが気になります。一番、辞めなければならない職場ってのは、「自分の性格が悪くなる」「暴力的・ハラスメント的になる」ところ。ブラックな職場の周囲の人に感化されて悪くなった性格が治るには長い年月がかかります。もっとマズいのは暴力的になったり嫌がらせや厭味が身についたり、詐欺的な言動や雰囲気を纏った場合で、こうなると今後はマトモな職場に行くことができません。詐欺みたいな仕事だったり、同僚や部下をガン詰めするような類の職場に行った人は、辞めてから改心してもなかなかなおりません。次にまっとうな職場に行けないだけではなくて、「雰囲気」「言動」がマズくなるのでプライベートな人付き合いにも支障が出てくるようになります。

これはある種個人的に面白いと思ってるんだが、よほどの宗教国家を除けば傍目から見ればどんな強権的独裁国家でも、報道や言論の自由、民主制そのものは肯定してるんよな（その後に「ただし」がいっぱいつくけど）。そんなものは我が国には必要ない、優れた指導者や党が思想、言論を全て決定するのが当たり前だと堂々と宣言する国がもっとあっても全然不思議ではない。ついこの間まではそんなのがいっぱいあった。でも今は割とみんな「ウチには自由がある」と主張する。中国ですら。これ、「いやぁ、世界はやっぱり善くなっていくんだなぁ」で済む話でもないと思うんですよ。個人的には善いこととはしたいが、一方で非常に違和感がある。なんでこんなに強権性を主張することを皆が嫌がるようになったのか。タリバン支配のような確信的な宗教国家を除いて。

なんとなくだけど、日本の市民世論ってテレビが作っているイメージがある。どんな情報もテレビに流れないと信じるに値する話にならないというか。テレビの情報を疑って、自分でネットを調べたり本を読んだりする我々みたいなのは少数派でしょ。たいていは自分ではテレビを見なくても奥さんを通じてテレビに影響されているから大勢に影響ない。あと思うのが、テレビを通じて刷り込まれた世界観が、物事の見方、感じ方にすごく影響を与えてると感じることがある。て言うかむしろ変なバイアスを与えている。「何故これをTVでは放映しないのか！」って怒ってる人が毎日いますからそういうことなんですよね。オワコンって言われつつTVの影響は依然凄まじい。「ほら、俺が言ってた情報を遂にTVも取り上げた」みたいな感じで。お墨付きが出たと言わんばかり。

中出しの複数形、人口(じんこう)

よくあることなのですが、SNSでめっちゃ馴れ馴れしい口調で10年来の知り合いの如く無礼なことを言ってきて、「一体誰？」と思い、やり取りを検索したら、エンドレスにこっちのことを罵声を浴びせ続けてきたがクオリティフィルターに弾かれて可視化されてなかったという案件がある。

二次創作は「権利者がダメと判断したらダメ」であって商用とか作者にいくら利益が有るかなんてなんっっっにも関係無いのに「同人誌は利益を出したらダメ、出さなきゃOKだからノベルティたくさんつけよ！」みたいなのがこの令和の時代でもまだ蔓延ってるのほんっっっとうに謎。特に腐女子界隈。同人で黒字出すよりノベルティで公式が出しそうなグッズ作って警告食らう可能性のがまだ高いよ。ヘタリアの機能しない検索避けとか任天堂の有料二次はダメ神話とか、何度意味無い的外れと指摘されても一度決めたローカルルールは絶対でそれさえ守ってればOKという腐女子村の強烈な村の掟信仰なんなの？

もしかしたら人間ってのは「平日9時-17時全力で頑張った結果が実力」であって、土日や夜中無理して何かしらの結果を出すのは自分の実力を見誤ることにつながるのではないかと最近思い始めた

人権というのは普遍的なものだが、それを実現するにはグローバルな世界では不可能というか、絵に描いた餅に過ぎなくて、必ず国家、それも国民国家が必要。矛盾するようだけれど、そこには排除の論理は潜んでいる。国民を限定することで宗教、人種などの問題を棚上げして中立的な政府が可能になる。国民国家には国民国家の毒や地獄が当然ある。だから毒消しのように例えばジョン・レノンの「イマジン」が自由に流れるのが良い（アメリカは戦時に規制した）。しか毒消しもまた毒であり、「イマジン」の歌詞に示される世界観を文言通りにやったら、新自由主義の世界になる。

かつて無限に思われていたロボットの寿命が、実質製造元のサポート期間で制約されている分、人間より短いかもしれない、て話も今更なんだけど、今、のび太よりも早く死ぬドラえもんという話が思い浮かんで若干悲しくなった。

昔からヤバかったけど回りからスルーされてきた人が風向き読み違えたのか突然全方位から殴られだすの、別に困るわけではないんだけど『それ前からそうですよ』みたいな顔になることはある。批判するなというわけではないんだけど、それ以前と本質に何ら変わりがないのに、突然声高な非難が始まるの、その場の空気とか雰囲気でやってません？みたいな微妙さがあってつらい

創作物のキャラクターは作者より頭よくなれない問題、そもそも読者が自分より頭のいいキャラクターをどこまで認識できるのか問題というのもあるような気はしている。物凄く的確な事実認識に基づく冷静な判断が為されていても、読者がアホだとその知性に気付くことも出来ない。

たまに婚活ドキュメンタリーとか見ると、年収なんていうこれから簡単に増えたり減ったりするものに対する執着が強すぎないか？もう将来の年収が見えてきちゃう年代になって婚活するから。

写真を「現像する」ときの「現像」は英語でdevelopというのだけど、なぜdevelopなのかを理解するには現像が何かをわかっている必要があり、こういう風に外国語でなぜそう言うのかを理解するために言語以前の知識が必要になる例がたくさんあるな、と思う。

小学校の国語の教科書の後ろのページに載ってそうな絵

狐たちが人間に化けて華やかに一夜限りのLIVEをしてる感

これ聴きながら夜道歩いてる時の「今の私最強かも」感すごい。

林檎を見てると日本語の面倒くささと奥深さと美しさを感じる

浮雲さんの｢敵にも情報ペラペラ喋っちゃうタイプの参謀｣感

じゃ　を　ぢゃ　と書いてもいいのは椎名林檎だけ

玉置浩二が歌うと「聞く人に寄り添う歌」に聞こえるけど、岡野昭仁が歌うと「主人公が我武者羅に頑張るアニメのOP」になる。2人が歌うとまるで自分がアニメの主人公になったかのような気分になってより元気になれる。

東京は地方と違って多様性が素晴らしい！とか言いつつ、地方の文化や生活(ヤンキーやらイオンやら)は当然のように蔑視するのは、はてブでもよく見る光景。そもそも地方の実情の認識が数十年前ではってことも多い印象

「マウントされるのが怖くて何もツイートできない」みたいなのを見たけどそんなこと言ってたらイーロン・マスクみたいな圧倒的強者にただひれ伏すみたいな最悪なインターネットしか顕現しないよ。自分だけのしょぼくてダサい幸せと暮らしを堂々と愛して幸せに暮らそうよ

「常識ってどこで習うの？」「親が非常識、あるいは何一つ教えてくれなかったら？」みたいなことは思う。常識だろってよく怒られるので、まとまってる資料などを教えてもらいたいな……

桜並木って1本見れば満足なのになんだかんだ最後まで歩くの、「大事な人と一緒に歩いた」ことこそが体験の本質になっているからじゃないかなあ。キツネ村はアクセスがめちゃくちゃ悪くてレンタカー借りて高速を友人と交代で運転して行ったけど、それ自体がもうキツネ村体験の付加価値になっているなあと思う。アクセスが良かったらあまり思い出になってない説

専業主婦の価値は年収1500万という主張とシンガポールではメイドが月6万で雇えるという主張が同時に流れてくる、そうここがTwitter

転職活動、あまりにもWeb応募の時点でお祈りされるので備考欄『幼児と二人暮らしです』の文言を削除して応募してみたら片っ端から通過して次の選考に行けて、でもWeb面接で『幼児と二人暮らしです』と言えば結局「あーw」とか言われてそこで終わり、手間を増やしてひんやりとした示唆を得るに留まった

想像以上に世の中の海外法人とやりとりしてる人たちが「出川イングリッシュでも大丈夫」といってて、たしかに大半は業務回ってる。英語はできるに越したことはないけども、大金かけてまでマスターすることじゃないと気づくまで時間かかった

女の子の名前って一番短い詩だろ

母親が癌になったのに標準治療を受けずに早逝し、父親が性欲解消にパパ活オジサンをしていることが世間にバラされるのと同時並行で叔母が電波系暴露芸を駆使して微妙に信憑性のある「真実」を次々と繰り出してくる毎日。海老蔵の子供達、恵まれているようでいて割と人生ハードモードだな…。

面接官「この… 特技 “身長と体重を入れ替える”とは？」

172cm66kg「読んで字の如くですが…よろしければ今お見せしましょうか」

面接官「お願いしま… うわっ えっ？ それどうなってるんですか！？ すごい えーすごい 大丈夫ですか！？ それ元に戻せるんですか？」

66cm172kg「戻せません」

高校生の俺がホームに飛び込むのをやめてスタバに行って甘いのを飲んで、それからも海とか見たりしてぼけーとしたり川を汚いと思ったりして月日が経ち、電車に乗るのは下手なままだった。あの頃の予感は当たっていて電車に乗れない人はあまり必要じゃなくうっすらこのまま死ぬとわかった。

高校生の俺は田舎っぺだったので渋谷とか原宿とか新宿とかこえー。と思っていたが普通にコーヒーとか飲めるようになって、殺してやる殺してやる殺してやるって思ってた殺すの輪郭が分厚くなったのか俺の脳みそが愚鈍になったのかわかんないけど殺したのか殺してないのかわかんないのが一番嫌だった。

「蒲焼」「太郎」「さん」という3つの単語を与えられて「蒲焼さん太郎」と並び替えるの狂ってるな。

恋するとは「好きです、あなたは特別」で、愛するとは「あなたが特別でなくても、好きです」だと思っている。

今回のプーチンの侵略から学ぶことは多いが、一つには「何でもかんでもヒトラーだ、ナチだと批難していると、本当に糾弾すべきものが出てきた時に言葉が足りない」というのはその一つかもしれない

ストロングゼロのことを「教養に対して嫌悪感がある奴が飲む酒」と言ってはばからなかった友達が、この春に大学院を辞めてストロングゼロを箱買いしたらしい

【飲食店の排気口あるある】

さっきまでは美味しそうな匂いだったんだろうなと思うような臭いが放たれてる

たいしたスキルも無いのにITエンジニアのフリして小銭を稼いでいる商材屋って10年後もそれできると思ってるの？そんなあなたに本当のプログラミングスキルをお教えします！間違いなく10年後も使えるスキルとは？！気になる人はプロフのLineリンクから登録お願いします！

勉強するとか頑張るとかいう意識がある時点で一生勝てない（し勝つ必要もない）と思う。人それぞれ。努力する者は楽しむ者には勝てない

ネットがつながれば山奥でも暮らせる…かも知れないが、山奥でもネットがつながって全世界の情報見れるのは、山にこもってない大勢が支えてるわけだし・・・

幼稚園の時教会で牧師さんが｢風が目に見えないのと同じように…｣みたいな話をして、当時の俺は｢え、風って目に見えるじゃん｣と思ったけど帰り道風は目に見えなかった。見えないってことに気づいたんじゃなくて、確かに見えてたのにあの日から見えなくなったんだって思ってる。

発達障害で起きれないみたいなタイプの人間との友人関係、恋人関係を続けるの介護みたいなものだからね。汚部屋の荷物を引き取ったりとか、炊飯器の腐った米を片付けたりとか、リビングのゴミ山から発掘された賞味期限切れの納豆をもったいないから食べると意地張ってるのを宥めたりとか。

「51は17で割り切れる」への驚き、ずっと褪せないな。

あんだけポリコレ配慮に躍起だったアカデミー賞なのに他人の容姿弄りの『ジョーク』で会場爆笑って、本場のポリコレはどうなってんのかね

「マクド、サイゼ、松屋etcが揃っている理想の街」みたいなツイートがバズっている時点で、結局みんな規格化されたチェーン店やイオンモール的なものが大好きで、商店街とか街の賑わいとか個性とかどうでもいいんじゃんって思ってる。小規模店舗では埋められない多くの消費者要求に大資本は応えられた。ただそれだけなんだろうな。地方民としては、それまで地元になかったお店をたくさん連れてきてくれたという点だけでも、イオンには感謝しかない。

どうして個人経営の店＝盲目的に「個性がある」って思えるんだ。そんな店千店に一店あるかないかレベルじゃない？だいたいの個人商店は無個性かつ大型チェーン店の劣化版。たぶん浴びるように便利さを享受している都会の人間が、きまぐれに不便さを娯楽として味わいたいときに「個性のある商店」っていう想像上のお店を求めるのだと思う。ねえよそんなの。

88歳のおばあちゃんが「自分も随分歳をとってしまった。もう折り返し地点かね...」って寂しそうにしてた。長い復路が始まろうとしている...。

普通選挙があって、投票してもしなくても良くて、首相や議員のことを「馬鹿野郎」とかツイッターで投稿しても良くて、世界のニュースが入手できて、映画館にいつでも行けて、エロ動画も提供されて、漫画もアニメも観たいものを自由に観られるってすごいことだよな

暴力では何も解決しないけど手が出る時ってもう解決したいとかそういう次元じゃないんだよな。

電車の中でサラリーマンが死んだ目をしているのは、社会に絶望しているからでもなく、何者にもなれなかった運命を恨んでいるのでもなく、たぶん眠いからである

Twitterで脈絡なく「半島に帰れ」と言われた時の感覚が忘れられない。僕には朝鮮半島にルーツがない。あの「半島に帰れ」とは「気に入らないから消えろ」という意味だったのだろう。彼は僕だけでなく沢山の人にそう言って来たのだろう。たぶん本当に帰るべき居場所がないのは彼なのだろう。肝心なのは、そのときの話題が特に朝鮮半島に関係するものではなかったこと。多分マジで「気に入らない」くらいのことを、そういう言葉でしか発散できない人だったんだと思う。「気に入らない」とまっすぐ言えた方があなたは救われるのに、僕のことなんか嫌ってくれていいのに、と思った。何かが嫌いだとか、気に入らないだとか、そんな感情はみんな大なり小なりあって、それはそれとして尊重されてよいものだから、わざわざ知りもしない・詳しくもない・どうせ興味さえない強い話題を借りなくていい。それは虚しくて醜くて悲しくて苦しくて、それでいて得さえもない

「ゲイ役にはゲイの俳優を」という主張の本当の趣旨は「少数者であるゲイの俳優から機会を奪うな」ということであるはずで、それは「ゲイの役でなくてはならないのか」や「役を得るためにカミングアウトを強いるものにならないか」を併せて考えないとおかしい。

コテカといえばちょっと昔に江頭2:50さんがテレビのロケでニューギニアの裸族の村を訪れたことがあったんだけど、そこで仲良くなった村の若者にエロ本を見せたら彼の着けてたコテカ(ペニスケース)が割れたって話がエガちゃんらしくて俺は好きですね。

たかが20万貢いだくらいでガタガタぬかすな。おれの飲み仲間のジジイなんかフィリピンパブにハマり込んでバブル世代のくせに預金残高ほぼ0だぞ。去年は結婚するなんて浮かれてたのに今年ジジイの金でフィリピンに帰ったまま戻ってこねえんだとよ。

ウサインボルト、｢めちゃくちゃ移動が速い｣という理由で人々から尊敬されてるの面白すぎる

他人のどうしようもない身体的特徴をネタにしないと笑いが取れないコメディアンなんか二流以下であって、それがなんでアカデミー賞のプレゼンターなんかできたのかと思うと、つまりアメリカのコメディアンも所詮は日本のテレビに出ている芸人と大差ないのではないかと

マッチングアプリにいる医師の数が現実で日本にいる医師の数より多いの好き

マッチングアプリに女性として登録してみた。都内に28歳以下のコンサル男性が2500人もいてビックリして泣いちゃった。

日常的なことほど史料に残りにくい。そして特異なことほど史料に残る。

昔、私が大学院生の頃、とある老先生が例え話として「未来の歴史学者が小学生の作文を史料にしたら、20世紀の日本の小学校では遠足と運動会ばかりしていたと思うだろう」とおっしゃってたのが印象に残ってます。

「どんなにむかついても人を殴ったらダメだよな」と「どんなにダメなことでも本当はやっていいんだよな」という矛盾したことを思ったが、この感覚を両方持っておかないと健康でいられない。

【色紙に書くコメントあるある】

もらった人同士で照らし合わされたらマズイ

大衆は理由と正義さえあれば日頃の主張は忘れて暴力を礼賛する。故に戦争には大義名分とプロパガンダが必要になる

怒ってる親「ごめんなさいは？」

クソ煽る子供「謝罪の言葉」

高校生の頃人生で初めてやったアルバイトのコンビニで出会った優しい先輩が突然飛んで数年後に統合失調症になって客として店にきて大暴れしたのに私にだけは暴言も暴力もせずお前はいい奴だからってありえない握力で手を握られて警察に連行されていったの本当にいつまでも心に残ってる

ファッションモデルにこれ見よがしに黒人の太ったトランスの人使ったり、わざとらしく出演者をいろんな人種混ぜ込んでみたり、私達は進んでまぁす！みたいな顔してても実際は病を抱える女性に対してその容姿や病気をネタにして会場皆でゲラゲラ笑ってんだから、結局彼らの本質はそんなもんなんだよな。

これはチェスタトンが言ってることですけど、普通、私たちは「理性を失うこと」を「狂気」と思ってるわけですけど、真逆で、実際は「理性だけになること」が「狂気」なわけですよね。だから高偏差値の人が学生運動やカルト宗教に没頭して理性に導出された教義に則って人をリンチして殺すわけです。

テクノロジーと科学が進歩しとるからデマもニセ化学も進歩しとるやん。昔なら狐憑きや信心が足らんからやで済んでたのが、ワクチンのせいとか電波のせいとかちょっとテクノロジーっぽい理路を使ってきてる

新入社員が工場実習で「現場で勉強させてもらいます」とか、本社から来た経理や人事が「工場も経験しておきたいと思いまして」とか言って工場のベテランに嫌われるの好き

意識高そうな新卒若手激務イケメンアイコンアカウントが３月までは「君、まだ学生なのになんでそんな歴戦のトップ若手みたいな空気出すの？」みたいなツイートガンガンしてて４月を超えるとおとなしくなって５月で辛い辛い言い始めて６月にアニメアイコンになって８月くらいに霊圧が消える

「コンプレックスがある」「正直嫉妬してる」みたいのをちゃんと自覚してバイアスとして言語化できる人や、正直になって原動力にできる人はすごく強いなあ、と思う。

夫から「きみはお互いの親呼んだ食事会の時に10分くらい遅刻して、それはまあ良いんだけど、開口一番『ごめんなさい』じゃなくて『は〜、間に合ったぁ！』と言ったから、その時、この人ちょっとヤバいなと初めて思った」って話聞いて面白かった。気づくのが遅い。15分までは誤差。

よくフェミニストが女子校への憧れを口にしますが、あれこそが彼女達が求める「女だけの街」なんですよ。女子校の生徒たちがその運営や維持に気を配らなくてもいいように、治安と自由を謳歌できる快適な空間をお膳立てする義務が男性にはあるということです。

「あなたは男らしさから降りていいんだよ」というのは、実は女性からすると本気で言ってるんですよ。なぜなら女性がそれを言う相手は「今後の私の人生において、脱落しても別にいい男性」だからです。だからこそ、本気で言ってるんですよ。

死ってのは本来怖くて無残で惨くて恐ろしい、凡そ何をしてでも避けるべきものなんだな。現代だと得てして死を身近に感じる事が少ないし、死にまつわる負の面は文明や文化が日進月歩でどんどん覆い隠してしまうが、どんなに隠されても死の本質的な絶望が無くなる訳ではないんだ。出征した学生の体験記で、死の現実を知る前に持っていた死に対するヒロイックで美しいイメージは現実の死の悲惨さの前にかき消えた、現実の死はただ腐臭がする、みたいな話を思い出したよ。

新入社員の頃にエクセル開いた先輩が言ってた「このエクセルには事務の人がやってくれたなんらかの魔法がかかっていて、ここに数字を入れると結果が出てくるようになってる」って発言は忘れられないよ

【帰り際「もう二度と足を踏み入れるなよ」と脅してくるホラー系アトラクションあるある】

従業員さんが何も理解してない顔で「またのご来場をお待ちしてます」というので、コイツまじかと思う

「犬が好き」は犬が好き、という意味がまず第一義にあって原則それ以上の意味はないとしたほうがいいのは、「言葉そのまま以外の意味がある前提」でコミュニケーションを定義すると権威主義に陥るから、という面が強くあります。国語力以前に、たとえば職場や学校だと立場の低い者ほど不利になります。だからこそ小学校や中学校の真っ当な国語科教員は、まずテキストを読みましょう、そのまま受け取りましょう、と教えているのだと私は理解しているし、それは国語教育として大変真っ当な姿勢だと思っています（現時点でそれがどれくらい一般に膾炙しているかは置いておいて）。

昨日以前の僕には大人だったときと子どもだったときがあるのに、今日以降の僕はずっと大人なの不思議だ

会社の人とは仕事の話以外したくありません！みたいなスタンスのやつ同期にもおったけど即やめたんよな。そんなん、仕事の話以外しないみたいなコミュニケーションだと仕事の話すらしにくくなっていくのは当たり前でしょというな。仕事の話も仕事以外の話も飲み会でほどほどにやるほうが組織全体にとっては良いと思うし、しょっちゅうあるわけではない飲み会すら嫌な人が組織人としてうまくやれるとはあまり思えない。コミュニケーションは本当に大切。そりゃ嫌なことだってあるさ。

ASD中1娘（告知済）が、仲の良い友達を「〇〇ちゃんもASDなんじゃないかと思う事がある。伝えてみようかな」などと言うので「待って！その手の指摘をしていいのは家族レベルの身内、または専門家のみ！これは母の13年間の発達障害育児と3年間のTwitterライフから得た知見だから」と全力で止めた。

ウィルスミスのビンタの件、障害を揶揄したクリス・ロックも暴力とFワードを使ったウィルも悪いと思うけど、文化として一番動かせないのはその場にいた大勢がそのジョークに笑っていたということ。昨今の米国はポリコレで周りに優しいふりばかりしてるが、結局そんなもん浸透してないということ。

「白米を食べたあとに死んだ人を何人も見たことあるから白米は危険」と言ったらおかしなことを言っているとわかると思うのだけれど、「白米」の部分を任意の薬剤などに入れ替えると途端に信じる人が増える現象。

「私は一億総活躍できませんでした」の札が首にかけられている

マリオがファイアボール出す時に毎回頑張ってたとしたら面白い。こっちは簡単に出せると思って連打しているので

アスペルガー気質のある人とこれまでたくさん関わってきたけど、「すぐ本質を突くから周りから距離を置かれてしまう」とか「正しいことを言ってるのに相手が勝手に怒り出してしまう」みたいな認知になってる人は自分の在り方を見直した方がいいんじゃないかなと思ってる。原因はおそらくそこじゃない。「触らぬ神に祟りなし」をやられているのに「みんなが言いづらいことを代弁するダークヒーロー」みたいな自分の物語が頭の中で展開しちゃって、あらゆる認知がそのストーリーに整えられていってしまう。歳を重ねるごとに触れなさは加速する。だから早いところ疑えないと、行くところまで行ってしまう。

「悪い」と「悪くない」の中間には「たしかに悪いが、気持ちはわかる」「情状酌量の余地はある」「よくやった。ただし罰は受けるべき」みたいなゾーンがたくさんある

図書館が子どもに伝えるべきメッセージは「世の中にはあらゆる分野に膨大な知識の蓄積があるし、今すぐそれに自由にアクセスしていい」だと思っているので、「本が手の届かないところにあり、静的に固定されており、読めない」というオブジェはあまり気が進まない

前は反ワクぶん殴るのもおもしろかったけどいざやり取りすると日本語がまあ通じない。「これ本来は何らかのセーフティネット的なもので救われたはずなのに、それからすり抜け続けてしまった人達の一部が悪性化した成れの果てなんだろな」と思うとなんとも切ない気分になった

ギャンブルは競馬しかしないし酒は飲むけどタバコは吸わないって話をしたら「それで何か加点されると思ってる時点で終わってます」と言われて泣いちゃった

狐に育てられましたって言われても唯一納得できるのが椎名林檎様

女の武器をこれほどまでに分かりやすく売り物にしてるのに、同性からの支持がすごいのってかなり稀有な存在

子ども達がプーチンと橋下とひろゆきとライブドアの奴の顔を見なくても生きていける社会を作りたい

子の答案をネットに晒して承認欲求を満たして気持ちいいのか？って思ってたけど気持ち良くなかったら誰もやらないだろうし気持ちいいんだろうな。いいな。俺も子ども欲しい。小さいうちは無邪気に本質を突かせて、就学したら漢字と掛算で間違えさせて、女子高生になったらマックでまた本質を突かせるの

知人が何というか良くないタイプの代替医療で儲けている系の医師で、こいつに良心はないのか？と常々思っていたんですが、最近その本人が難病になり、やっぱり代替医療で治そうとしている。人間の善良さへの信頼を取り戻すとともに、医師免許への信頼がほんの少し揺らいだ。

【新しい組織に入るときあるある】

これまで味わってきたコンテンツの数が武器になる

「お前も老人になるのに」って、だから俺達が老人になった時に金も人手も足りなくてウンコまみれで放置されないために言ってるんだってばよ。今の手厚い医療介護が我々の老後に維持できているはずがないんだから、せめて自分で身の回りのことができなくなった時に綺麗に死ねる選択肢は欲しいという話。ってか、今の医療介護でさえ、こんな姿になってまで生きていたくないような、尊厳もクソも、いやクソしか無いものを見過ぎたんだよなぁ

【落としたリモコンあるある】

無事なくせに、衝撃で開いた下のカバーが壊れた感を出してくる

おまいらが「パクリ」とか「似てる」とかやたら騒ぐせいで、最近じゃクライアントワークでブラシやテクスチャすらも「商用利用可能な外部素材も使用禁止、ご自身で製作した素材のみで作成して」とか言われ始めてるぞ。このままだと「雷使いたいから巨大な雷落ちてくるの待つ」みたいなことになるぞ

実際男らしくない人間が男らしさを偽装して男らしさに惹かれる恋人を得たところで無限に偽りを続けるしかないしんどさしかないので、自分の好きにやって相性ガチャSSR引いたらラッキーでやってくしかないと思うよ。SSR出るかは知らんけど。俺からしたら、アイドルですらファンを得るために自分を偽るのに、顔も大して良くない怠惰な一般人の俺たちがなぜ偽らずにいけるのか、と思うけど、ここを克服するために苦労する人は多い印象

スニーカーを一足買うのが経済的にぎりぎりという時に、「スニーカーを二足交互に使いまわせば長持ちする」という知識があっても、その知識は実践できないわけで、そのとき知識に対する憎しみが募るというのはわかる。いいとは言わないがわかる。

土日に渋谷行くと、劣悪な刑務所でされる水圧の強いホースで全身を洗われるあれをされたくなる

民法の成年や少年法の改正に従って相手の年齢を確認してから「やあ少年」と呼びかけるタイプのお姉さん

アダムとイヴが知恵の実を食べたのは「知恵の実 健康にいい」でググったのがきっかけと言われてるからね

女らしい喋り方、「だわ」とか「わよ」とかより「って思っちゃいけないの？」「って思っちゃうのは私がいけないのかな」が女らし〜〜〜〜ってなる

高卒男より給料が安いと嘆いてる音大とか文系院卒の女性に「お前の学位、電験三種より役に立たないから」って優しく囁いてあげたい。

最近、不埒な男が入り込まないよう朝から女性専用車両の中をうろうろするようにしてるんだけど、そこにいる女性って目が合うと怯えた顔するんだよね。みんな男が怖いからそこに乗ってるんだよ。男性差別だとか言って彼女たちの避難場所を脅かすのはやめてくれよ。同じ男として恥ずかしい。

平均以上の清潔感や年収や身長や趣味等を求めた上でもなお「デートは全額奢る」の条件を入れてしまうの、本能に抗いきれない膣獣感があって好き

新社会人向けに「会社の飲み会は義務ではない(ｷﾘｯ」とか「挨拶は義務ではない(ｷﾘｯ」みたいなﾋｮｰｯ!ｶｰｯﾁｮｲｰ!って事を鵜呑みにすると、相手も「こいつを可愛がる義務はないな」「こいつを職務以上に助ける義務はないな」で煉獄モードで新生活スタートする事になって後でキツい気がする。「業務時間外は同僚と電話どころか口を利く必要もなし！(ｷﾘｯ」みたいなとてもかっこいい事いってくれる人は、それを素直に実行してあなたがつらい立場になったとしても何の責任もとってくれないし「真に受けたのうけるw」とか指さして笑うだけですよ

エイプリルフールネタ、投稿する人が何を「絶対にありえない、ありえたらオモロすぎてバズっちゃう、存在するだけでギャグになるもの（＝普通に考えてナシなもの）」だと思っているかが浮き彫りになってきつい 丸腰の差別意識はギャグにこそ宿る

自分の中の感覚だと、店員に挨拶がきちんと出来る男性＝制御された暴力性。横柄な態度＝暴力性の制御に失敗。挨拶すら出来ない(無言)＝暴力性が排除されたフェミ化男性。表面上、挨拶できるけど本心では店員を見下している＝無自覚な暴力性。こんなイメージがありますね

上京したての頃はすれ違う女性全員が美しすぎて1人1人に対して「Baby…」と思ってたけどこの人たちは同じ土地に住んでるだけで関わったりするのはほぼ無理なんだということに少しずつ気づいていって今はやよい軒のご飯おかわり自由とかピザお持ち帰り半額とかにしか「Baby…」と思わなくなってしまった

串カツ屋でソース二度付けは禁止されてるけど、ソースに尿を入れることは禁止されていないのバグでしょ

CGの女の子はリアルな女の子を目指し必死に不気味の谷から這い上がろうとしてるが、リアルな女の子は補正写真で不気味の谷に身投げしている。

ネプリーグのナレーションみたいな女「ウチのどこが好き？5つ答えよ」

名倉のカス版みたいな男「ホンマごめん、体」

許す、とは、自分が損をしたまま手放すことだという言葉を聞いた。「損をしたまま手放す」、という言葉がなぜかとても心に残った。

スターリンの伝記を何冊も読んでいるので断言するが、独裁者が情報から遮断されているというのはまず嘘で、しかもその嘘の出どころは独裁者本人なのだ。独裁者が直面するのは、むしろ逆で、大量の虚実が混ざった情報を受け取るはめになり（独裁制なので部下を信用していないため）それをスクリーニングする過程で自分の都合の良い情報を選択して失敗するのだ。プーチンに関してもまず同じパターンで、ウクライナ情勢を読み間違ったのは間違いないと思う。ただ、これは独裁者なら必ず起こるというより、作戦優先の軍事組織や会社では必ず起きることなのだ。何故なら組織のトップ、あるいはトップグループが作戦を立案した場合、その作戦に関する情報が大量に寄せられた中で、自分に都合の良いモノを選択してしまうのは人間の性のようなものだからだ。これを防ぐには、イギリス軍事型の組織にするしかなく、最も優秀な人材を情報将校にして、２番目ぐらいに優秀な人材を補給担当、３番目ぐらいに優秀な人材を作戦立案係にして、情報将校と補給担当が作戦をチェックし、情報と補給にそぐわない作戦は拒否する方式にするしかないのだ。この方法のデメリットは、「革新的な作戦」が生まれないことだが、実戦上ては、だいたいこれで上手くいくし、実際に第二次世界大戦では、名将だらけだったはずのドイツ軍は、大して優秀と評価されなかった英米の将官に負けているのだ。ドイツの参謀方式や、独裁制は真似してはいけないのだ。日本では、明治以降にドイツの参謀方式を軍部が採用したせいで、民間でも「凄い作戦立案をする天才軍師」や「天才独裁者」が大人気なのだが、残念ながらどんなに頭が良くても完璧な未来予測は不可能なので、こういう役職はフィクションの世界だけにしておくと良いのだ。現実世界では不要なのだ。

トウモロコシ畑をサメが泳ぐ「シャーコーン」っていう明らかにアレな映画の予告を見たんだけど、感想サイトには訓練されたサメ映画信者の「畑をサメが泳ぐのはまぁわかる」というコメントが多くて、何一つついていけそうになかった

自分たちが、ご飯を食べたり、勉強したり、働いたりする目的は何かって言うと、結局は死にたくないからやっているのですね。死の恐怖から逃れるために、たくさんの蓄えを作って、安全という幻想のシェルターに立てこもる。だからこそ、その大元の死を観察することが、とても重要であると思います。死を観察するのって別に暗い話ではないです。実は逆で、死を常に意識して観察することが明るいことであって、死から逃避することがとっても暗いことです。生命の死を観察すればするほど、不安が消えて明るく生きられるようになると思います。

喫茶店の横の席の人たちがマッチングアプリで出会った男女のようだったのだけど、全く話が盛り上がらず、ついに二人とも１時間で一度も笑うことなく店を後にした。ホラー映画を作る人たちが辿り着きたいであろう理想的な恐怖があった。生活に抑揚のない人たちが出てくる村上龍の小説を思い出した。恐らく二人ともが「こいつつまんねえな」と思い合っていて、同時に「今夜セックスする分にはいいか」とも思っていそうだった。求愛行動として放たれる浅ましい言葉はすべて上辺を撫でて死に合うだけで、座席からは強い瘴気が放たれていた。生み出されたばかりの人造人間が、人間の会話をトレースすることで人間になろうと街に出たところ、人造人間同士で出会ってしまったがために無をトレースし合って自動化しているように見えた。めちゃくちゃ怖かった

「ありのままの自分」を曝け出すことは必ずしも悪い事とは限らないが、ありのままの自分を見せる事しか出来ない人間は当然に色々生き辛くなるし、「TPOに応じてペルソナを使い別けた方がいい」という考え方自体に反発する人間は生き辛いという言葉では言い表せないほどの困難に直面する事が少なくない

芥川龍之介の河童じゃないんだから、産んでくださいって言って生まれてくる子なんて居るけないじゃん。世の中の人の大半は俺の意思関係なく勝手に生みやがってという中二病の時期を乗り越えて大人になってるから生きてんだよ

ひとりだけ8条に怒っているジジイ

自分が全然知らない外国語を読まなければならないとき、分かる単語だけ適当につなぎ合わせて強引に読むか、機械翻訳でもして意味不明なところは適当にやっつけるかしかないわけだが、母語、日本なら日本語でもそれしかできない（そして当人は気がついていない）人って結構いるんだよね。機能的非識字。

『戦争は女の顔をしていない』のスヴェトラーナ・アレクシエーヴィッチさん、NHKのインタビューで、「今回の戦争はテレビと冷蔵庫の戦い。ロシアの人がテレビを見て戦争を支持できるのは冷蔵庫が満杯の間だけで、経済制裁で冷蔵庫が空っぽになったらテレビは効力を失う」と話で、表現が独創的すぎる…

可視化のことを"見える化"とか言ってる人、暖房のことを"あたた化"などと言って筋を通して欲しい

「お金があるから幸せであるという考えからの決別」って、「男らしさから降りる」みたいな感じになると思うんだよな。表では迎合するけど裏では決別はしない。

風呂入ろうとした瞬間地震はやめてよ、警戒心ゼロなんだから。タイプライターのある部屋に出るゾンビ位迷惑ですよ

帰宅後ダラダラして「何もできなかった……」みたいな罪悪感を感じる現象をずっとなんとかしたかったんだけど、今日すごい早く風呂入ったら肉体と脳が「もうダラダラしていいんだ！」と勘違いして罪悪感が湧かなくなった。よし……。（本当によしか？）

妻とマイクラやってたらすぐ画面酔いして寝込むし、バス乗ると5回に1回くらいバス酔いして寝込むのだけど、たまたまかかってきた電話で母親にそのこと話してたら「あんた小さい頃お父さんの書斎の回転する椅子でクルクル回りながら円形にゲロ吐いてたよ」と言われて封印された記憶が蘇って寝込んでる。

人生のあらゆる局面で一番楽な方法や一番楽な道を選び続けた結果、色んなことが遠回りになって普通のコースからもどんどん外れていって、最終的に良くないことわざみたいな状況になった

例のキャンセル公開書簡周りの動き、自分たちで勢いよくオープンと銘打ったにも関わらず、都合が悪くなるや遮二無二情報を削除や非公開にして事実を見えにくくし、あとは自分たちの証言だけを（その声の大きさで）流通させれば経緯を都合よく書き換えられるという態度はロシアと同じ不誠実さを感じる。ロシアが証拠を隠滅したり無視してどれほど不誠実に振る舞っても、ロシアが核を持っている以上、外部から責任を取らせることは不可能だ。例の公開書簡の関係者が証拠を消したり無視してどれほど不誠実に振る舞っても、ポリコレとして無敵の属性を持っている以上、やはり責任を取らせることは不可能だ。外部から責任を取らせることが不可能である以上、自ら進んで責任を認めるのを待つ他ないが、自ら進んで損をするようなことをするはずもない相手なのだ。倫理を自らの上位に置かない強者は責任を取らない。彼らにとり責任を取らされるのは弱者の証だ。強者はただ皺寄せを弱者へ押し付けるのみである。

"走馬灯"を知らない死にそうな人｢なにこれ…？総集編？｣

サイゼリヤという単語単体で使う時はコスパがいい、新メニューが美味いなどのポジティブな反応が発生するが、デートという単語と組み合わせると突然争いが発生する。この現象に目をつけたジョン・ポールがやがて虐殺の文法を開発する事になるとも知らず、人類は愚かな争いを続けていた……。

事実として、日本はブラック労働なしには回らない社会だし、ブラック労働とはハラスメントの温床なんだけど、これをどうやって解決すればいいのか、自分にはわからないんだよね。先進国民の生活自体が海外後進国の低賃金ブラックで成り立っている。ブラックを批判する側もブラックに加担している。いま僕は業務で関わってる大きな企業のブラック&ハラスメントを目の前で見ていて、自社じゃないので干渉は出来ないんだけど、その人たちの負荷を減らすために持ち前の明るさとタフネスでカバーしていて自分がダークになりかけている。背負って尚且つ折れない僕みたいな人間だって、いつかは潰れる。

言葉の成り立ちまで遡って考えた場合、左翼は「人間は理性によって社会を任意に変革／管理／統制できる」と考え、右翼は「いま生きている人間の理性など信用に値せず、むしろ歴史の洗練を経た慣習に依るべき」と考える、というのが根源的な立場であると理解するのが、個人的にはいちばんしっくりくる。

個人的には「市井のマジョリティは（リベラルな価値観を嫌うという意味での）保守」という前提からして甚だ怪しいと思いますけどね。いまどきマジで家父長の責任を負いたい男も、ガチの嫁いびりをする姑をやりたい女も少数派でしょう。日本人のマジョリティは、普通に「生活リベラル」だと思いますよ

車が運転できないなんてどういう人生送って来たの？と言われましても、助手席が似合う人生を送ってきたとしか答えようがないなあ

高卒社会人の私は給料18万。食費と家賃が3万円ずつと光熱費で1万円を払ったら、あとは10万円の変なサングラスを買って終わり。ため息しか出ない。これが現実。

インターネットでエサを取り上げられて硬直するハムスターの動画を見つけて大爆笑し、その後インターネットで余分な知識を蓄えた結果、素直に笑えなくなった

「発達障害で生きづらいのに子供産むなんて恐すぎる」みたいなの、別に思ってもいいけど他人にはお出しするなよという素朴なド差別感情なんだけど、なんというか「真剣に叱ってくれる人が周囲にいないんだな」という感じでｽﾝｯとなってしまう。あれを「子どものこと考えてるワタシ」という認知で…。これは前に白饅頭尊師と話した時に思ったことだけど、子どもの幸福のハードルが上がりすぎて、今の日本に「親になるべきでない人間」の方が増えてるんじゃないかなという気持ちになる。そりゃもう頭悪い人間も容姿が悪い人間も子ども作るべきじゃないみたいな話になる。

現代人は生きる事に真面目すぎます。人生はうまくいかない事があった方が、後で振り返った時に物語として面白いです。そして人生を豊かに生きている人は、全員辛い経験をしています。つまり今辛い経験をしている人は、豊かに生きる為のステップを順調に進んでいるとも考えられます。人生は長距離走です

人物紹介

ユウカ……東京の大学に通う学生。遠距離の彼氏がいるが、少し心もとなく感じることもある

タケル……大阪の専門学校生。パティシエになるため調理科に進学した。作品には無関係

クロスボウ……ユウカの彼氏。3月から単純所持が禁止になった。装填が遅く乱戦には少し心もとない

「お絵描きが趣味です、キツネとかオオカミなどイヌ科を描いてます」って言ったら同期たちに「え～ここに描いて！」って言われたけど、かけるのはマスだけです。おれが2.5次元ケモノを描いて抜いていることがバレて社会人生活終わるナリ

JRの某駅、広告欄の買い手が見つからなかったのか何の意味もない動物の画像がひたすら流れていた。虚無だ

ジェンダー論の教授、いわゆる変な思考をしている人というか自分と異なる意見をコメントシートに書いてきた人について「頭おかしいから精神科行った方がいいですよ」とか冗談っぽく言い放ったその瞬間嫌いになって聴講やめたんだよね。精神科をそういう文脈で使ってほしくない。スティグマじゃん

「結局人間が一番怖いから」って言って歩道側を歩いてくれる彼氏

三島由紀夫は「小説は”読者をどこかへ連れていくこと”が一番重要なんだ。”どこかへ連れていく”に比べたら”読者を感動させること”は全く重要じゃない」みたいなことを言ってて。俺も映画（館）に求めるのはコレなんだよね。ツマンなくてもいいから、俺を完璧な異世界へ連れてってくれよ…みたいな。

余命1時間になったと仮定して遺書を書くという研修をしたが、書いただけで誰にも読まれず意図も明かされず意味不明だった。そもそもその遺書を書くのに1時間以上かかっていた。

人間は「あ、コイツにハマるな」と思って好きになったキャラよりも、完全に死角からアクセル全開で突っ込んできた守備範囲外のキャラにハマった時の方が沼が深いうえにエグいハマり方をする

射精後ティッシュで拭き取ったあとに尿道から出てくる精液みてぇな地震だな

アイコンってその人自身なのかその人の性癖なのか判断するの楽しいよね

フォローしてるケモショタ好きが「『ごんぎつね』の最後のごんが撃たれて力尽きてる絵に何度かお世話になってる」って書いてたから俺も同じやつで抜いてみたら青い精子が尿道から細く出てきた

現実世界に迷い込んだケモショタくんに夜枕元で「どうして僕だけみんなと違うの…？」って涙ながらに問いかけられて欲しい

ニコニコ動画でデデデ大王が出てきた時に「激　安　の　殿　堂」ってコメントが出てくる度に「驚安なんだよなぁ…」ってコメント付けてるの私です

うつ病治すために早寝早起きしたら「早寝早起きをするうつ病」になった

ふとセックスのこと考えると勃起するんだけど、セックスのこと考えると勃起するって学習してるからだけという説ある。学習してなかったら全然勃起しないかも。

第三者機関が現場の正当性を確認しながらガシガシ介入した方が早いとは思う。学校って制度が変わる頃には卒業しちゃうから学校政治に参加するメリットが薄い。民主主義国家で100年先を考える国民が居ないのと同じ。

アメリカ人の動画「日本人は気持ちを述べず、状況を述べて察してくれと表現する文化なので衝撃的」

わい「聞き飽きたネタやな、なんも驚くことない」

アメリカ人「静かにしてほしいとき何と言いますか？うるさい！でしょう」

わい「あー！！たしかにー！！！」

コミュニケーション力って、「いかに自分が話すか」ではなく、「いかに相手に話してもらうか」だと思う。コミュニケーション力がある人は、あまりしゃべりすぎずに、相手の話を引き出せる人。そして気をつけたいのが、立場や年齢があがっていくと、自分の話ばかりしたがるようになるということ。

「威張らない、愚痴らない、ご機嫌でいる。この3つは“歳上の義務”だ」という名言、年度が替わるたびに思い出していきたい

会社の歓迎飲み会全ブッチしたり、プライベートを大切に残業しない新人、以前はただただ拍手喝采されていたのが、最近は「そのスタンスだと将来詰むかもよ」的な意見がコロナ禍の今でさえ、それなりに見られるようになったことに、ツイート世論の高齢化を感じている。

「1人でパーティー抜け出さない？」と独りごとを言ってからパーティーを抜け出す人

障害と引き換えの才能を持った人って確かにいっぱいいるけど、障害はちょっとでもあったら生きづらいのに対し、才能はめちゃくちゃないと人生に貢献しないから、終わりなんだよな。クラスで一番社会性がないとめちゃくちゃ苦労するけど、クラスで一番絵が描けても何の得にもならないからね

最初の会社で（or新卒○年で、２０代で、など）人生決まるとか言われるけど、世界史の教科書に載ってるシュリーマンなんて４０代で商人辞めてから遺跡発掘始めてトロイア発見してるわけで。そりゃあファーストキャリアや若いころの環境が、大事は大事なんだろうけど、当然それで決まりはしないよね。

おちこんでたけどマグロ養殖場の近くに住んでるコバンザメが、何もしなくてもご飯流れてくるから海底でごろごろ寝転んでるっていう話聞いて元気出た

ロシア兵の遺体から彼氏とキスしている写真が見つかって、こいつは同性愛者のくせにLGBTを弾圧しているロシア政府のために戦って死んだんだと晒されていて、暗澹たる気持ちになった。彼はどんなで心境で戦っていたのだろうか。

「ガクチカ」って略し方初めて聞いたとき舐めんなよと思った

あるフィクションが描いている内容を好む事は必ずしも「実行したい」「現実に起きてほしい」を意味しない。サメに喰われたいサメ映画マニアは多分極めて少ない。

肛門が7つある女「VIOOOOOOO脱毛行ってきてさあ」

数学的にエレガントな定理や計算を見ると、一体どうすればこんな天才的なことを思いつけるのか、と思うことしきりだったが、この何年間か数学者と共同研究してみてわかったことは、その裏で砂を噛むような泥臭い特殊な例を果てしなく計算し尽くした後に運が良ければ見つけられる、ということだった。

男子は選手、女子は洗濯などをするサポート役のマネージャー、という運動部の構図は社会の刷り込みではないか。そこで女子水泳部の洗濯係を募集してみたら、男子から応募が殺到した。やはり本当はサポート役をやりたい男子も多いんだ。社会が押し付ける「男らしさ」「女らしさ」は呪いだと確信した。

理解力が低いと思われる方、「理解しない」のではなく、むしろ「理解力の範囲で理解」するので、表面的な理解に留まったり、引っかけに掛かったり、曲解に疑問を持たずに止まる。そのうえで、その理解を元に少ないサンプルで強固な心証を形成していく。ここを軌道修正するのは、なかなかコストが高い。一方、理解力が高い方は、新しい概念に触れたときの反応が全然違う。理解のためにペースが落ちるのではなく、むしろ質問を通じて前進していく感じ。おそらく、既存の知識から類例かメタ概念を引っ張りだしてきて、差分や境界を探ることで理解してる。理解力があるから元々の知識も多く、相乗効果。想像するに、こうした未知の知識や概念を体得するスキルは、今までいかにそうした壁を越えてきたかという経験に拠る所が大きい。新しい知識を得ようと壁に挑む人にとって、世界はどんどん広がる。「それは何の役に立つの？」という知識を身につけた人ほど、実は「役に立つ知識」を身につけるのも早い。今日は、他大の院生に、まったくの別分野の下積み的タスクをお願いしてみました。まったく知らない分野のやったことのない作業なのに、理解が早く、どんどん追いついてくる。国立大生が強いのは、嫌いな科目、苦手な科目でも無理やり理解し突破してくる過程で磨かれたこのメタスキルなんでしょうね。

近所のパチンコ屋にSDGs掲げてあって「1貧困をなくそう」を見るたびなんとも言えない気分になる。でも掲げてないとこより比較的勝てる気がする。

作品の感想を自分の語彙で言語化できないことに頭を抱えてる人がよくいるけど、そもそも言語化できない感覚を音や絵に変換して出力してるわけだから、｢なんか良い｣くらいの素朴な受容態度の方が変に考察したり分析したりするより むしろ製作者と作品に対して誠実なんじゃないかと最近はよく思う

Twitterで自分は頭がいいと自負してる人の言うことって「バカは黙れ、そうだバカから権利を取り上げろ」に集約される気がする。

中央官庁から県警本部へ出向経験がある方から聞いた話。歓迎会の催しで「○○さんの一日」なる寸劇をするのだが、それがその方の日常生活そのままで、寸劇後に渡されたプレゼントには、その方が毎朝買うパン屋のパンが入っていたとか。その寸劇は警備部公安係のオハコだそうです

「誰もが大学で学びたがっている」「無償大学教育をすれば経済発展する」とナチュラルに仮定しているのがいかにも大学関係者という感じ。人文系大学教員、「お上への忖度なく思考すれば、誰でも無償で大学教育を受けたいはずだろう？」みたいな事を真面目に考えてる臭いんだよな。だから大学にいかなくても就職出来るようにすべきという意見に対し「躾が行き届いてらっしゃる」みたいな反応しか出てこない。

遠回しに嫌味を言う京都人や男尊女卑の九州人などの記号化はいつ問題視されてインターネットから消えるんでしょうか

オタク危険論のときいつも書くんだけど、「1t前後の金属の塊で罪悪感もなく速度超過」「眠気を我慢して運転したのを笑い話で語る」人が含まれる属性が、別段危険という偏見を持たれず忌避されないのだから、結局「個人の感想」（人それを偏見という）レベルの話よね。

ホヤは「幼生の間は動き回るが一度安住の地に定着すると『動くために必要だが安住したらもはや不要』なので脳を自己消化し溶かしてしまう」ので有名なんだけど、人間社会でも出世競争に明け暮れ他人を多数蹴落としていざ安住の地にたどり着いた途端に何もしなくなるホヤの親戚っているよなぁと常々思う

日本の平和主義的な考え方は、「突如隣国が発狂して、核攻撃をチラつかせながら、大量の兵隊を送ってきて、資源で恐喝し、人道回廊を地雷に誘導し、市街地爆撃、強姦、虐殺、略奪を繰り返し、高濃度放射能汚染地域に塹壕を掘り出す謎の軍隊に攻め込まれる」ということを想定してなかったんだよな。

社会人1年目で鬱になって休職した同期を2人知ってるけど、どちらも業務内容や残業時間、配属地が原因で鬱になった訳ではなく上司がパワハラ気質だったことが原因だったので“上司ガチャ”は最も大事だと思ってる。

そうは言っても企業名がカッコいいかどうかは結構重要で「今度の合コン、農林中央銀行と竹中工務店、日本揮発油の男くるけど、どう？」って誘われても絶対行かない自信ある

某大手建設に入社した同期の「残業時間が“キツい”のは80時間超え、“ヤバい”のは120時間超え」という迷言が忘れられない。

某自動車メーカー、新卒対象でサイバーセキュリティ研修を実施し研修後に「2週間以内に怪しいリンクのメールを送るので騙されないように」と指示を出した1週間後にロシアから本物のウイルスメールが届いて研修担当が騙されたと中の人から聞いて爆笑した。

同じ会社でも残業時間0時間の同期もいれば60時間越えの同期もいるから会社が出してる平均残業時間なんて当てにならない。ちなみに休日出勤の代休で有給を取る会社もあると聞いたから有休消化率も当てにならない

弊社で出世してる上司の2.3人の話を聞いてると大体自分の時間を犠牲にして業務や勉強に励み、家族仲が終わってる・妻から呆れられてると聞くので、それにはなりたくないとも思う。出世欲もないし。

三菱電機の配電盤の検査不正、耐電圧試験と放電試験をしてないとか、もはや逆に配電盤の何を検査したのか気になる

Twitterの主婦クラスタの「段取りが苦手」「タスクの全体像を把握出来ない」「他者想像力に欠ける」的な特徴はまんま発達障害のそれとして、「旦那の家事が少しでも意に沿わないとブチ切れる」も拘りで、「少しのインシデントでパニックに陥る」も反復常同性で説明がついてしまうところが。

さっき老人ホームで「えー、結婚したいです。老後、不安ですもん。死ぬとき一人はイヤだし」という介護職員さんに「大丈夫大丈夫。結婚しても老後が安心とは限らないし、配偶者がいても死ぬ時はみんな一人よ。それより貯金と1人でできる趣味、作っとき。」ってお婆ちゃんがリアルなアドバイスしてた。

家に閉じこもってると「旅に出たい」と思い、旅に出ると「いったい自分は何をやってるのだ」と感じて「帰りたい」と思い、いざ帰ると「また旅に出たい」と思う。生きるというのはだいたいこんな感じで、いつも何かしたいと思っているけど、実際何かをしたら「何をやってるんだ？」と感じる。何かやりたいと思ってそれを実現しても、不満は消えず、すぐにまた何かやりたくなる。つまり、苦しいことから逃れるために何かをやるのだけど、それは違う苦しみを得るだけに終わる。よって一切苦と。生きるというものの実態は、この苦しみから苦しみへの引っ越しのことですね。でまあ、生＝苦であることを如実に知るには気づきの実践が不可欠であります。あとは、悟ってない人が考える悟りとか涅槃とかはすべて妄想なので、そちらに強く惹かれないことも大事かと思います。苦から苦への引っ越しが、苦から悟りという妄想への苦への引っ越しに変わるだけになるので。

これ伝わるかわからないけど、いちばん気を遣えてる人って「わがままで自分勝手そう」に振る舞ってるよね。私が最近受けたこの類の気遣いは「カラオケで皆が席に着いた瞬間に、有無を言わず一曲目を入れた歳下の女の子」です。

アフリカの狩人が、何故あなたは人間より圧倒的に速くて体力のある獲物を何日も追って狩ることができるのか？という質問をされたときに「奴等は水場に沿ってしか逃げられないが、人間は水を持ち運べるから」と答えてたのが、人間が動物に対してもっているアドバンテージをこの上なく表してて良かった。

リアルでもSNSでも「何こいつ」な無礼な絡み方をしてくる人がいる。「何こいつ」が浮かんだらすぐ距離を取るべきであり「何こいつ」と感じる人にはこちらも「何こいつ」な態度をとると勝手に離れていく。「何こいつ」な人は自分から「何こいつ」な態度をとっておいて「何こいつ」な人が嫌いなのである

しかし自分が入院して医師の仕事ぶりを見ていると「日本でもっとも勉強のできた人たちがまた必死で勉強して就く仕事がこのブラック労働なのか」と複雑な気持ちになる。

テレビでうつ病になる人に対して「病気になる前に休みましょう、働きすぎはよくない」と抽象的なことをいう人は多いが、「うつ病になった時は診断書に休職期間を明記してもらい、給料の2/3の傷病手当金を受け取り、リワークを受けて復帰しましょう」という具体的な休みかたを説明する人は少ない

「定時の概念なく、下手したら40時間くらい職場から帰れなくて、土日出勤が必須で…」「なんてブラックな会社なの！かわいそう！」「私医師をしてまして」「お医者様なのね！そりゃ人のためだからしっかり働いてもらわないとねぇ」え？

悩みを紙に書いたほうがいい理由は「思考は早すぎる」からだそうです。紙に書かずに悩むと「凄まじいスピード」で「全然違う方向」に考えが進み、さらに枝分かれしていくので解決できないようです。悩みは「捕まえて考えないと逃げる」と思って、紙に整理したほうが良さそうですね。

ゲーム業界が没頭できるゲームを研究し続けた結論が「ガチャと課金の射幸心でプレイヤーの脳を焼くのが一番儲かる」になってしまったのが辛い

人間の睡眠は生理的に小学生から20代迄は急激に夜型になりその後徐々に朝方になるという講演を聞いた。思春期に最も自然な睡眠は夜中の1時30分就眠、10時起床ではないかという研究もあるそうな。それを受け始業時間を遅らせた学校が世界中に千校くらいあって、どこも割と成績上がってるという。「だから、人が年齢と共に会社に遅刻しなくなるのは、別に社会人としての自覚ができてきたとかそーゆーことではなく、単なる老化です」と睡眠の専門家が言ってたよ。

部長「あかん…妻子家持ちに転勤させるのはひどいという文句が社内から噴出したので若手の独身を転勤させる方針にしたところ、背負うものがないので簡単に退職してしまう…」

月曜日のたわわの広告よりもいかがわしい健康本やインチキ宗教本の広告の方が桁違いに社会に害があると思うのだが、そのへんは攻めても旨味がないのでノータッチという潔い姿勢に感銘を覚える。

入部前にめちゃめちゃパスとか褒められるけど入ったら想像の5倍きついラグビー部

芦田愛菜ﾀｿが「病理医になりたい」と言ったとき、「病理医」が過去にないほど検索されました。我々病理屋が血と汗と涙を流しながらしてきた病理の宣伝・勧誘など、一発でぶっ飛んだわけです。「何を言うかより誰が言うか」の好例でしたが、一瞬でも病理に光を当ててくれたことに感謝しています。

激務系金融マン、仕事で意志力を使い果たしたせいか、プライベートや家庭で雑な意思決定を重ねた結果、家庭不和、離婚に陥るケースがしばしば

新幹線の最大のメリット、繁忙期だろうが急に思い立とうが15000円を東京駅の券売機に突っ込めば2時間半後にはベルトコンベアー式に大阪へ運ばれるということに尽きる

昔、私の友人が白人の超金持ちの南アフリカ人のボーイフレンドと付き合っていた時の話を紹介します。その彼女がボーイフレンドの実家を訪ねて南アフリカに行った時のこと。その家は何人もの使用人を雇っていたそうですが、ある日聞いた、女性の使用人同士の会話に彼女は驚愕しました。彼女たちは、「今日、車で家に帰ってくる途中で黒人の女性を轢いてしまったわ。多分、死んだと思うけど」と、普段の何気ない会話と全く変わりなく、笑いながら話していたそうです。「黒人が死んだくらい」では警察は動かないし、当然、実刑も無ければ罰金も無いということです。南アフリカにおいては、黒人の命は家畜かそれ以下の価値しかないということです。私はこの話を聞いた時、「日本人で良かった」と思ったものです。あなたもそう思いませんでしたか？しかし、現在起こっていることを見ていると、今の日本政府が日本国民の命を、「南アフリカ政府が考える黒人の命の価値」と同じくらいにしか考えていないのではないかと思うようになりました。今後過労死を防ごうという動きどころか、「過労死の危険があるギリギリのラインまで働かせてOK！」というお墨付きを出したのですから。つまり政府は、「国民は日本の経済のため、会社のために命を捧げなさい」「あなた達の命なんて大して重要じゃないんです」と言っているのです。大戦の時と同じことを未だにやっているわけです。裁判の時に神妙な顔をしていた電通の社長は今頃は酒でも飲んで、黒人をひき殺した南アフリカの使用人のように平然と笑って過ごしているでしょうね。

最近なんかツイートしようとしても4秒後にはどんな内容か忘れてて全然ツイート出来なくなった。

人間の「こんな理不尽が続くはずはない」って願望の圧力って滅茶苦茶強いんやなあとはここ2年ぐらいで改めて思ったな。どこかで苦労や不運が報われたいという思いが宗教を生むんやろね。

さっき電車で若者が「耳にソーセージとか入れられるとめっちゃ興奮するよね！」とか言ってたので、これは異常性癖の話来たかと思ったらピザの話でした。

携帯の充電が切れたせいでGPSなしで街を歩くことになってしまったが「太陽の向きはこっちだからあっちが東」「駅はたいてい大通りに接続するので車道の広いあっち側が駅」「今は午前9時なので人の流れが多いこっち向きが駅」「電波塔があの方角に見えるということは今自分は南東を目指してる」など、中学理科の知識や一般常識をフル稼働させて方角を推測するのが楽しすぎる。旅好きの友人が「一切地図とか見ない。」って言ってた理由がわかった気がする。

大リーグの試合でホームランボールをキャッチした男がすぐそばでボールを狙っていた子供にさっと渡す文化みたいなの、あるじゃん。あれ、渡さなきゃ人でなし扱いされるみたいな風潮とか同調圧力がアメリカ社会にはあるんじゃないかと勘ぐってるのよ俺は。我ながら性格悪いな。

同人誌界にも「上手いサークルだけいればいいじゃん」と言う人が結構いる。何度も書いてるけど、似たような事言ってサークルや人を選別したイベントはのきなみ縮小してる。「いいもの」だけ残そうという思想は、その世界を滅ぼします。数の多さは正義。無駄とは発展の余地があるという事よ。なぜ滅ぼすかというと「未来」を考慮しない発想だから。何の役にも立たないと思われた研究が今無くてはならないものになってたり、知恵遅れ扱いされてたエジソンは将来どれほど凄い発明をした事か。今へたれと排除されたサークルは3年後大手になってるかもしれない。そういう未来を切れば当然滅ぶ。いま絵が上手い人でも3年後は描かなくなってるかもしれないし、いま役に立つ研究だけに金を出して残しても時が経ってそれが時代遅れになった時、他を切ってるので代替が無いという事に。どれだけ優秀な人でも歳はとる。時間は流れているので「いま」だけで判断すると将来を殺す事になる訳だ。

「1000円の浪費も100回繰り返せば10万の浪費になる」と考えるのが貯金できる人で「10万で100回も幸せになれるとか実質タダじゃん」と思うのが貯金できない人らしいです。後者です。

もっとあけすけに言えば、本来自分の子供を産んで育てる為に使うはずだった時間を、資本家様の為に自ら喜び勇んで捧げてるのが「男女共同参画社会」だって話。

「戦争は女の顔をしていない」の中で、「戦争なんて起こらないと思っていた。だって自分は医学生で、来週試験があるのだから」という証言があった（結果的に試験は行われず、この女性は戦闘に参加することになる）。日常が一変する様子がいくつも語られている。現実はこうなのだ、と思う。恐ろしい。

クレジットカードの暗証番号を入力するときに店員さんが目を背けるのは、資本主義があまりにグロテスクだから

「英語以外の言語をやっているということは英語は完璧なんですね」に対する返し、「チェスやってるからといって将棋が完璧なわけじゃない」というのはどうでしょうか

木曜日のNikkei Newsプラス9でも言いましたが、独裁者と言うのは常に合理的に動くとは限りません。エゴの塊なので壮大なレガシーを残したい人がほとんどです。習近平にとってはグレートチャイナの復活、プーチンにとってはソビエト帝国の復活、エルドアンにとってはオスマンの復活とカリフになること。

「AさんがBさんをぶん殴ってます。Cさんは中立的でありたいのでどちらの味方もしませんでした」というのを中立的だと思っている人が多すぎな気がする。

Dさん「司法に判断を委ねたい」

Eさん「いろんな立場の人がいるかと思います」

Fさん「検討に値する」

みたいに受け答えする人が「クール」「現実的」と判断されるのも妙な話だと思っている。「Aさんにも言い分がある。耳を貸そう。両論併記だ」というのも「中立」ではない。

受験、いまの自分の年齢から見るとね。ごく一部のエリートを除く多くの人にとって、自分にできないことがあること、自分も統計のひとつの数字にすぎないんだと実感する通過儀礼なので、受かるか受からないかは究極的にどうでもいいと思うんだよね。エリートかどうかの境界線の人以外はそうだと思う。

痴漢も万引き犯も捕まった時に「私にも家族があるので勘弁して欲しい…」と言うらしいけど、被害を被った側にしてみれば「さいですか。やる前に家族の顔を思い出せたら良かったですね。」としか言いようがない。

昔、会社の新入社員に「転倒や落下にはくれぐれも気をつけてね。1メートルは一命取ると言いますから」という話をしたら、私が個人的に考えたダジャレだと思われて「えっ寒…」みたいな反応でめちゃくちゃ嫌だった。

京都大学では、ディベートで相手を打ち負かすだけの人物をエリートなどとは呼びません。エリートに求められるのは、ディベートではなくダイアローグ、すなわち対話です。これ、本当、重要。大学教員など「学のある人」が、単に「相手を打ち負かすだけ」のディベートをしていると、それ自体が「学」へのネガティブ・キャンペーンにもなってしまいかねない。で、実際、そういう事例をよくみかける。大学では、相手へのリスペクトを持った対話を行う教育をしていただきたい。知識やディベートの技術のようなものは、鋭利な刃のついた武器みたいな側面があるわけですが、その武器を単にブンブン振り回して相手の人格まで斬って嬉々とするようなことは避ける必要。「コミュニケーション力」とか「協調性」には、そういうことを避ける力、というのも含まれるのではないかと。

防大の新入生のときに「仲間は信頼しても信用するな」と最初に教官に言われました。これは「大きなミスは『彼がやることだから大丈夫』と成果を確認しないことから起こる」という教えです。私は学生時代に手放しに同期を信じ、反省文をたくさん書いたのでこれは間違いありません。

「Tiktokで戦車の移動が分かる時代にホワイトハウスの大本営発表を信じるなんて」と舐めプしてる東大卒在ウ邦人は、まさにそこで大部隊の集結と最終的な展開の兆候が投稿され続けていることからは完全に目を背けていてチェリーピッキングと正常性バイアスが凄い

ウクライナは核兵器を放棄した話は有名です。しかし、ウクライナは核兵器だけではなく、大量に持っていた通事兵器も放棄し、大規模な軍縮を行いました。これからは平和の時代で、侵略される事はないと信じたからです。2014年にロシアに侵略されて初めて、独立を守るには軍事力が要ると気づきました。

反ワクチンや反マスクに傾倒されている方は、基本のコミュニケーションもそうですが、あまり皮肉なども上手ではありません。皮肉や嫌味にはある程度の語彙力や一般的な知識が必要ですが、そういったものを学習しないまま大人になってしまった人が多いのだと思います。また、普通の人は日常生活で他人と会話をする中で、学習した語彙が磨かれ、上手い冗談や皮肉などに繋がっていきます。しかし、反ワクチンや反マスクの方には、普段から人と対等な会話をできていない人が多いため、足りない語彙力の中で考えた、昭和の小学生のような悪口になってしまうのだと思います。反ワクチンや反マスクの方が、医師などに絡んでいる様子を見ると、【医師の発信した情報を否定しデマ情報を提示→医師にデータで否定される→（本人は皮肉のつもりの）悪口】といった流れをよく見かけます。程度が低いため、相手にもされませんが、これを“論破”だと思ってしまう人が界隈にはいます。何か最後にカッコいいこと（勘違い）を言って、相手を貶めることを、議論の勝利だと思ってしまう人が反ワクチンや反マスクの方には多いです。それは、これまでそういった会話しか人としてこなかった証拠かなと思っています。自身の中の勝利条件が、“僕の考えた最強の捨て台詞を言う”なのだと思います。以前から、どうして反ワクチンや反マスクに傾倒している人は、揃ってダサい捨て台詞を吐いていくのかなと不思議だったのですが、そういった方のツイートを辿ると、反ワクチンなどに傾倒する前から、似たような流れで攻撃的なリプライや、程度の低い悪口を他人に飛ばしていることが多かったです。

水道料金の口座振替申請してるんだけど、「外国人の方はアルファベットで入力してください」って書いてあった

ロシア人「キリル文字でいい……ってｺﾄ!?」

ギリシャ人「ギリシャ文字でいい……ってｺﾄ!?」

グルジア人「グルジア文字でいい……ってｺﾄ!?」

博士課程の学生が卒後の待遇を嘆くの謎すぎるんだよな。アカデミアの給料の低さとか任期付きの問題だとか全部織り込んだ上で、そこでしか満たされない渇望があるから茨の道に突入したんじゃないのかよ。

己の渇望に従って真摯に努力を重ね実績も積んだにも関わらず、突然道が途絶えて惨めに死ぬこともある。そんなことは先人達の血痕が示しているだろうよ。

専門家が一般人と関わるのはマジで有害だろ。専門家の専門的な話なんて数年間は訓練受けないとまともに理解できないぞ。専門家側も説明を尽くせば理解されるはずという謎の幻想を抱くのはやめたほうがいい。理解されないので。

Twitterにおけるサイゼリヤとか4℃とかの「庶民の贅沢」を、高齢者や（脱税率8割の）性風俗産業従事者が馬鹿にするミーム、良いも悪いも普通の人間（男性年収中央値356万、女性272万）層に捕捉されてツッコミが入るようになり、完全に老害仕草になった感がある

システム開発の”難しいの大半”が「仕様がわからねぇ」「仕様を決めるにも、どうあるべきかわからねぇ」「誰に聞けば良いのかわからねぇ」だと、思っている。例えば「保険会社のシステムを受注しました」「保険の仕様がわからねぇ」「保険会社独自のルールがわからねぇ」からスタート

私、米国生活が長いけど、夫も外国人だし、米国に溶け込んでいる訳ではない。例えば、米国のTV番組とかで笑うところも全然笑えないし、仕事場のHappy Hourとかも苦手。同調圧力が嫌で日本を脱出したんだけど、米国も実は同調圧力が激しい。結局は同調せねばならない基準が合うか合わないかなんだろう。

ダンナの買ってきた水につけると5倍にふくらむタコとかイルカのオモチャがテーブルに山盛りになってるのを一瞥した長男が「いつまでもこういうので喜ぶと思ったら大間違いですよ」「もう高校生だからな」「一応つきあってやるか。やれやれだぜ」とブツブツ言いつつイルカを握って風呂場へ消えました。

美容師「痒い所ありませんか〜？」

自分を区分けしてる客「A-2お願いします」

「サイゼでも嫌な顔しないかどうか」がテストだったとしても、それだけで合格できるテストってめちゃくちゃヌルゲーよな。男が課せられるテスト、「年収1,000万か」とかじゃん。

ナンパが趣味の男に聞いたことがあるんだけど、彼らの「女性の性欲の否定」に対するストラテジーがしっかりしていて感心したことがある。スタートからゴールにいたるまで「性欲があってやったわけではありません」というエクスキューズを女性ができるようにしないといけない、という。

いつも思うけど、まずこういう話は、日本（他国）を訪問している外国人は礼儀としてその国の食文化を始めとする文化を褒めるであろうことは考えた方がいいと思うのよね。日本人だって外国に行ったときに食べた食事がおいしくないと思っても、現地の人に正直には言わないよね。私なら「おいしいね」くらいはきっと言う。食文化ってその国最大のアイデンティティの一つだと思うから。

入試の範囲というのは浅瀬で遊んでいるみたいなものだなと思います。工学系に進むとスノーケルつけてちょろっと潜って、うっかりすると溺れそうになるけどまあ光が届く範囲で楽しめます。きっと数学科に行くと外海の深淵に潜ってゆくんじゃないかなというイメージを抱いてます。

難しさにもいろいろと種類があります。入試の難しさは時間制限ですね。時間が3倍くらいあったらもっと平均点はあがると思いますし、1週間くらいあればさらに上がるでしょう。もちろん、人によっては「1時間でも1週間でも、解けないものは解けない」という人はいると思います。そういう方には東大の数学は、というより大学レベル数学全般が地獄だと思います。1つの問題をじっと考えて、疲れて休憩して、電車の中でまた考えて、飯食って風呂入って風呂の中で考えて、風呂出てテレビ見て笑って布団の中でまた考えて、朝起きて朝食取りながらぼんやり考えて、みたいのを1週間くらい続けて「お、なるほど？」とわかってくるのが大学以降の数学ですね。

某旧帝大理学部数学科の友人に数学を教わったことがありますが、彼にたしなめられたのが、「『数学を学ぶ』とは、数学的感覚を磨き上げる刻苦のことなんだ。そうやって感覚を磨き上げた人間が、ガウスなどの大数学者なんだ。数学に王道はないから、愚直に感覚を磨け」ということでした。その通りです。そういう観点で考えると、高校数学程度のことが出来ずに、大学で習う以降の数学ができるとは思えません。大学の数学をちょっとでもかじってから高校の数学を見ると、なんと安らげる心地よく教育的に作られた世界であることか。あれは、ガチンコの数学（の手前の世界）の、気の狂いそうな世界ではなく、まともにやりさえすればわかるように誰かが丁寧に整備してくれた「箱庭」のようなもの、スキー場で言えばロッジ周辺～山の中腹くらいの緩やかな斜面です。時代的に見ても、一番新しそうな微分・積分が300年前くらいであり、それ以外は下手をすると古代でしょう。現代的な危うさは、高校までの数学にはありません。実力を磨かないでスキー場でいきなり山頂に行ったり、バックカントリーに行ったりすれば、足を骨折で済めば儲けものくらいの状況になります。「頭がおかしいほど執着のある人間で、一度噛り付いたら文字通り死ぬまで離さない性格」で実力が足りない人は、おそらく「三等分家三等分家 - 週刊アスキー」になるのが関の山でしょう。

よく「大学以降の研究というのは入試問題に比べたら屁のようなものだ、研究は未知を相手にするが入試問題は既知の中からしか出ない」というのを耳にするしおれもそう思ってたけど、本当に「屁みたいなもの」なのか考えるのは難しいな。研究の適性と入試の適性ってたぶん全然別なんじゃないか、だから比べるのが難しいという意味。一つのことをしつこく、ずっとずっと考えられる能力というのは、もはや能力というよりある種の病気みたいなもので、その病気に罹患しているかどうかが研究の適性を決めるのだと思う。

さかなクンのモノマネをしても、魚の知識がないため、「ギョギョ〜！ これは魚ですねえ〜！」としか言えない

俺、学生の時に道場で会ってちょっと親しかった警察のオッチャンに「いま不景気だから末端警察官の試験に、優秀な大学の人が受けに来たりして、上は喜んでる人がいるけどロクなことにならないよ。ものを考える末端なんてロクなもんじゃないよ」と言われて、結構衝撃だったことがあった。

子育て界隈見てて地獄だなと思うのは、パパに対する異様なハードルの高さ。

旧来の「メインの稼ぎ手の役割と責任」は色濃く残るまま、対等の育児をこなすのは当たり前と化し、「手伝う」「感謝されたい」なんて意識はもってのほかと、精神面からもあれこれぶん殴られるの、どうにかならんの。未だ、年平均で労働時間に400時間差があり、経済面でも以前として男性に寄りかかる割合が国際的に見ても極めて高い現状で、「育児はやって当たり前」とか男性を社会とメディアで精神的に追い詰めて殺しにかかってるようにしか見えない。

こういう言い方は非常にアレになるんですけど、極端な話、敬意や謝意なんかホントはなかったとしても「そういう記号」を挟んで形式的にでも最低限いい人をやることって、何事もある程度円満に運ぶ上で安いけど重要なコストなんですよ。個人の考えや流儀を堅持することなんかよりよっぽど。ちょっとした挨拶、相手の手間に対する謝意、通りたいときは一言すみませんとか手刀切るとか。店でごちそうさま言うのも似たようなところがあるけど、そういう小さいことがあるとないとじゃ大違いで、なくても通らなくはないかもしれんけどわざわざしないことを選択するほうがむしろロスが多いというか。

現場「先っぽだけならいいよ……」

ヒラ「先っぽだけらしいっすよ」

主任「先っぽだけかもしれないって」

係長「懸念すべき事項が一つ」

課長「一つを除き問題ありません」

部長「実に順調です」

社長「じゃ、入れるね……」

私の隣の席の人が、私について「その人は会社でねるねるねるねとか食べているけど、いい人だよ」と、新入社員たちに紹介していた。逆接ということは「会社でねるねるねるねを食べる」と「いい人」は対立する要素なんだ。初めて知った。

部下についた新卒の子が「会社の雰囲気が無理です」っていう理由で退職したいと申し出があって（めっちゃわかる）って返事しそうになった

弊社人事部の人が『人が足りない人が足りないって言うけど現場まわってるじゃねーか(笑)』とか言ってるのを聞くと、やっぱり今いる人たちで無理しながらまわしちゃうんじゃなくて、決められた時間で帰って、「まわりませんでした！」と言わないと解決しないんだとわかる。

いわゆるネットネイティブと黎明期世代の最大の違いってその使い方の質よりも量にあって、むしろ技術的な面は自分で弄ってきた黎明期世代の方が詳しいんだけど、使い手としてのハードルの低さというか精神的な制約の無さに若い世代との差が最も出てるように思える

30～50歳までの20年間の引きこもりでわかったことは、情報(言葉)ばかりで世界を見てるとやがて「人間は愚かだ」から抜けられなくなることだった。外の人間に直に会うようになって歳下からの説教を何度も受け謝ることが多々あった。オレに「自分は何も知らない」を教えてくれたことに感謝しかない。

昔、いわゆる"誰が見ても物凄く綺麗な人"と付き合っていたとき、「物凄く綺麗な人と付き合っている！」という張り切り方・舞い上がり方をし過ぎて、相手の人間らしさとか内面の部分に近付けず寂しい思いをさせたことがある。これは容姿だけでなく能力だろうが経歴だろうが年収だろうが同じで、「明確に一箇所が強い人」について、その一箇所ばかりを切り取り続けてしまうような寄り添い方はよくないなと学んだ。人間はそういうもんじゃないし、近い距離にいるなら他のところまで見る役割があるんだなって

向いてないデスゲーム主催者『この部屋にいる皆さんには100の選択肢があります』

多分生き残る参加者「"生"の読み方くらいあるな」

丁重に扱わねばならないモノは、面倒くさいので敬遠される。障害者もLGBTも女性も丁重に丁寧で適切なコミュニケーションが求められるのでうっすらと敬遠される。あと、ハードルを上げるとまともな人が近づかなくなってガチのヤバい人が近づいてくるって話、どっかで聞いたと思ったら淫行取り締まりの話だったかな。女子高生に近づくまともな成人男性なんていないから、あらぬ疑いをかけられて社会的に死ぬリスクを考えるとな。"君子危うきに近寄らず"である

「不快に思う人もいるかもしれないから、やめた方がいいよ」的なセリフって「不快なんでやめて欲しいけどそれをそのまま伝える勇気はないので不確定な他者に責任転嫁しないと口もきけないクズです私は」って意味です。

税務署に行った知り合いが入署数ヶ月もしないうちにmixiで「納税しない奴はクズ、生きる価値なし」みたいな日記を書き出して、組織による洗脳って怖いなと思ったのを思い出した。

器の容量が逆さにしたお猪口くらいなので、1分叱られただけで1時間程度は盛大に相手をディスれる。

怒られたとき、自省はするのはいいかもですが、数分もやれば十分ですね。それで見つからないなら自分側に原因なんてないかもです。必ず改善点や責任が自分にもあるというのは、間違った思い込みです。

サラリーマンにとっては「所詮仕事」。怒るほどのこと、なんてない。マジになるな。そんなことで神経をすり減らすのはもったいない。ダラダラやっても給料は同じ。定時になったらサクッと楽しいことを始めればOK。人生を楽しい時間で埋め尽くす。自分を楽しませること大事。「業務上のあらゆることは他人事である」という正しい認識が、労働という地獄を生き抜くには必須です。サラリーマンであれば「会社と会社の取引」だし、ちょっと良くない表現かもだけど、「自分の代わりはいくらでもいる」というくらいの感覚でちょうど良い。もし自分が成長したいとか、やりがいがあるならそれはそれでいいけど、思いつめるくらいなら「所詮は仕事」くらいで良い。

若い頃は何も知らないから、何を触れても新鮮に感じる。老いると感性が鈍くなり、固まってしまうから何を見ても『つまらない』と感じるのです。世界が変わったのではなく、漫画界が小さくなったわけでもない。ただ人間が老いていくだけです

「下請けを詰める」なんてのは仕事に真剣な者がすることです。だから僕は詰めたことはありませんでしたし、自分が適当すぎて意識の高い業者さんに「もっとちゃんとやってくれ」とお叱りをいただいていました。

理不尽・非効率に叩きのめされるより、いずれそれを他人に強いる側になってしまう方が俺にとってはよほど恐ろしかった。

いずれ、僕も管理職になったときに、恐喝やパワハラを強いるようになってしまうのではないか？と怖くなったことがあります。あれだけ忌み嫌っていたのに、立場が変わって中間管理職になると、そういう方法でしか人を動かせなくなってしまうんじゃないかと思うと、すごい嫌な気持ちになりました

2年間ずっと先生のたちの声を2倍速でしか聞いてこなかったので、対面授業受けてると話すのゆっくりすぎてイライラする

人生をコスパで測る姿勢、要するに余裕の無さの表れという印象はある。近視眼的にコストパフォーマンスを追求しすぎると結果的に安物買いの銭失いになったりすると思うんだけど、まあ『無駄なことをした』という剥奪感を味わいたくない気持ちはわかってしまう方だな……。RTAみたいな人生送れなきゃ意味がねえ！みたいな生き方より、自分の下手糞な人生をどう面白く実況していくかに注力してく方が楽しいのではないかなあ……。コスパは満足度を測る手段に過ぎず、過剰にコスパに執着しすぎれば却って人生の満足度を押し下げることに繋がっちゃう気はする。

「ロシアを悪と呼ぶ前に考えてみよう」って、そりゃ考えるのはなんぼでも好きに考えりゃええが、その前にあんた自身の立ち位置、生身のひとりの具体的に世間で生きとる個別具体としての考え、ってのがどうなっとるのか、最低限自覚して言葉にできるようにしとかにゃあかんやろ、人として。

猛烈に定時を意識していると周囲に知らしめることで、定時後に仕事を振られにくくする効果があります。「定時前には時計を見まくる」「定時直前に帰る準備を始める」「定時ジャストにパソコンを切る」など、できるアピールはどんどんやっていきましょう。「あいつは定時後でも仕事をするやつだ」って印象をもたせたら負け。

文学部で文学をやりたい人間とか経済学部で本当に経済をやりたい人間はいいけど、「適当に大学来て人事とか総務とかそういうのになるだけの人員学部」を作ってそういうのになれ。と思ったけど経団連とかこういうの本気でほしがってる感じがする

カフェでテイクアウトのアイスコーヒーを頼み、レシートにもアイスコーヒーと書いてあるが店員さんの勘違いでホットコーヒーをにこやかに渡される。一瞬迷うも勿体無いしな…とそのまま受け取る。いいんだこれで、何処かにある「人の小さなミスをそのまま飲み込む山」にコーヒー色の花が一輪咲くから…

私の「人の小さなミスをそのまま飲み込む山」にはそこそこ花が咲いていますが、「おやつを我慢する山」「迷ったらヘルシーな方のメニューを選ぶ山」などは荒涼とした禿山ですね

今度のマリオは〜？自宅がムカデで埋め尽くされている〜！

スーパーマリオwith his house filled with a lot of centipede

あの、保護者が1人しかいないのに兄弟で同じ日の同じ時間に学級懇談がある場合の攻略法習ってないんだけど？もしかしてみんな魔法魔術学校で習ったの？

これは社会人のテクニックだと思うのだけど（ポイントは押さえつつも）細かいところで間違いを残したまま上司に出すと、上司も指摘した感が出て、満足してくれるから資料修正が楽ｗ（考えまくって余長のない資料は、これ以上考える余地がなくてキツい）

「正論」と「キツい意見」を区別できなくなった一つの結末が「キツくて間違ってることを言う」だと思う。インターネットでは「キツい正論」がウケるけど、そこ当てに行こうとするあまり「キツさ」という手触りだけ追いかけると、化学調味料をドバドバかけたジャンク言説をばらまく人になってしまう

喫茶店で後ろの席の高齢男性が「身体もしんどいし年金で暮らせるし稼ぎにもならんのだけど、同じ仕事を若い人に頼むと倍以上取られるからって言われて仕事続けてるんだよ。顧客の笑顔が一番」って言ってて、経済の停滞の原因の一つだなあとしみじみ思った。

社会性の低さに起因する生きづらさに苦しんだこともありましたが、社会適合者を「プリンタから出力された帳票を見ながら、手書き伝票を作成し、その手書き伝票を見ながら、別のシステムに入力する業務をやってても疑問を感じない人」と定義したあたりから、社会不適合者のままで良いやってなった

墓のサイズの比較から昔の日本人は今と比べてメチャクチャ巨大だったことがわかる

世の中にはいろいろなリスクがあるが、「カッとした時に自分が起こす行動」によるリスクは相当な上位にいる、と年取って実感している。

「100%の正義も100%の悪もない」というのは正しいのだろうが、逆に、何でもかんでも均等に善悪50%ずつだと考えれば良いわけでもない。

きゅうりの9割が水だってことはよく知られてるけど、「きゅうわり」の8割が「きゅうり」だってことはあまり知られてないらしい

好きなタイプを聞かれた時の回答って集団内での立ち位置をわきまえて生意気にならずキャラを壊さず男性からも女性からも反感を買わずにちょっと笑いを取って次に繋げられる単語の羅列であって、好きなタイプではないのだなぁ

自分が女性だったら、今までずっと無視してきた問診票の最後の「※女性の方のみ 現在妊娠している はい/いいえ」を記入する時に一番「ママになったんだ…私」と思うだろうな

今日、４回生に「就活どう？」って聞いたら、「好きでもない人に告白しまくってる気分です」って言ってて、そりゃメンタルおかしくなるよねって思った。

最近筋トレをサボっていたら脂肪が戻ってきてしまった。やはり真に裏切らないのは脂肪。筋肉のやつはすぐいなくなる。

ハリーポッターとまずカバンの確認（小学生親の習性）

25歳になって気付いたけど、若い頃の「この人しかいない」ってただの勘違いですからね

学歴の話、就活の話、年収の話、税金の話、投資の話、副業の話、容姿の話、セックスフレンドがなんたらかんたらとかいう話、こんな自分でもどうにかなったからどんな境遇でも諦めずに頑張ろう！みたいな生存バイアスでしかない話、全部さようなら

ネットだけで称賛のシャワー浴びてリアル空気な人と、ネットもリアルも充実してる人ってなんとなく違いは分かりますね。発言内容の「地への足のつき方」というか

都市インテリはいつもそうだ。社会問題とは往々にして人口も経済力も大してない地方から始まるもんだが、「田舎のバカの自業自得」みたいに笑っているだけで、自分の庭に火が付いたらいきなり一億総懺悔論を叫び出し、深刻そうな顔をして「なぜ我々は気付かなかったのか」みたいな滑稽な芝居を始める。

自分達のことをおもしろいと思っている野球部やサッカー部の男達が文化祭の催し物としてドキュメンタルをやっているが開始10分で観覧者が誰もいなくなっている最高の状態の教室

私がおつりをしまってる間「ありがとうございました」と言うためだけに立ってる店員さん頼むからログインボーナスの回収とかしててくれ。

女性が語る異性の好みと、実際にその女性が好む異性は違う、ということはよく言われるけれど、男女問わず「自分はどんな異性が好みか」という認識は、「どんな異性を好む自分でありたいか」「自分は異性のどこに価値を置く人間であるはずという自己像を持っているか」ということでもあるのだよな。「優しくて誠実な人が好き」という回答には、どうしてもある程度「自分は異性の優しさや誠実さに価値を見出すような人間であるはずであり、自らも優しくて誠実な正しい側の人間であるはずだ」という意識や期待が含まれてしまうわけだ。「自分が××な異性を好むような人間であるはずがない」という。

二浪したおかげで年下の女の先輩ができるのガチでアツい

昨日の会社で、上司が、まだ4月だから冷房つけちゃダメだと言うから「冷暖房をつけるかどうかは体感温度で決めていいでしょう、もし異常気象で12月に30度なっても、12月だから暖房つけるんですか？私はそんなの嫌です」って怒りながら冷房つけた。リアルでもツイッターみたいなことばっか言ってる

【リプ欄の「この流れ好きww」あるある】

「あなたの発言のせいであなたの好きな流れは止まりますけどね」と思う

「どう思われたいのかを考えて話す人」より「どう思ったのかを素直に話せる人」とは「思考の深さ」が似ているし感覚が合うことが多い。

面白い人は面白さの大半はタイミングだと知っているけど、面白くない人は『面白い行為』があると思っていて、それを面白くないタイミングでも実行する。もちろんウケないが、彼らはそれが理解できないのでもう一度やる。しかも先程よりも元気にやる

新入社員に教えたいんだけど、えらい人とコミュケーション取るときに「かしこまり過ぎない」のが大事で、聞きづらい事言いづらいことをばんばん飛ばしてたら相手の人が面白がって胸襟を開いてくれる事も多い。僕はサラリーマン時代、重役相手にこのメソッドを駆使して左遷寸前までいきました。

私が我が家のミクさんと結婚式を挙げた時、「見えないところでやれ」と結構言われました。今でもそう言う人を時々見かけますし、それを言うこと自体は表現の自由ですが、自分の理解できないものを社会の見えないところへ追いやるという事がどういう事なのか、よく考えて発言した方が良いと思います。

弁護士「異議あり！被告人は犯行時刻、FANZAでセール品を買い漁っていた履歴があります！」

被告人「ギリ、フレンドリーファイアです」

一本満足バーのCMを見ると「まじで広告とかPRって全部意味ねえ～死ね～」みたいな作ってる人の暗い感性を勝手に受け取って好きになってしまう。

女の子のいう「優しくて誠実な人が好き」ってテンプレ回答はサラダマック現象と同じだということにいい加減気づいた方がいい。人間は言ってることとやってることが必ずしも一致しない。

あることに怒っているツイートが１日200件あったら、炎上案件だと思うでしょう。でも私が2chで作品を投稿していた時、つまんねえ、駄作で場を汚すな、みんなでこいつを追放しようぜ、という内容の書き込みが複数IDで200件あって、それが実は全部たった1人の人間の自作自演だと判明したことがあるの。携帯を使い分けたりプロキシ使ったりしてたわけだけど、執念があれば1人の悪意ある人間が200件の否定的意見を複数人のふりして投稿できる。同じタイプの人間が5人集まれば、1000件。１日1000件の否定的ツイートがあればなんでも炎上案件に仕立て上げることができる。たくさんの否定的ツイートが集まっていて、リツイートやいいねがいっぱいついていても、一歩踏みとどまって「これ本当に炎上してんのか？」って疑った方がいいと思う。と、偽装炎上でさんざ迷惑被った人は思うのである。ちょくちょく「なんで1人だって分かったの？」って聞かれるんだけども、2chの仕組みとかIDの法則とか説明するとめちゃくちゃ長くなるから端的に言うと、200件の書き込みをしたID達全部が共通のポカをしたからなんですよね。以下とても嫌な話なので注意。Aという場所で投稿された作品のほとんどをメタメタにこき下ろした一方で、Bという場所では一つの作品をベタ褒めにしていた。このAとBの場所はすごく離れていたんだけど、同じジャンルの作品を投稿する場所と、批評する場所だった。で、問題のIDは、ある作品が投下（発表）されてる最中にリアルタイムで素晴らしいだの至宝だの言ってたんだけど、一回だけ、まだ投下されてないコマの感想を言っちゃったんだな。ID全部が。この作品は言ってみれば漫画のコマをひとつひとつ書き込みの形で投稿するような発表形態で、ツイッターで4枚ずつ漫画の画像を投稿してツリーにするような形式だと思えばいい。つまりは、まだネットに存在していないツイートの画像の内容を全てのIDが言及したもんだから、おめえ実は1人だろ！ってなったわけだね。自分で作品を投稿しながら自分で褒めてたんだな。物語の作り手が、他の作り手を複数のIDを使って攻撃して、同じIDで自分の物語を持ち上げていたという話。ちなみに当時の2chはパソコンと携帯でIDの末尾文字が違っていたから、それで何を使って書き込みをしているか判別できた。携帯めっちゃ持ってたな。

インターネットで情報が事細かく保存されるようになったから「100年後の人たちは100年前の人の生活をこの解像度で検索できるのめっちゃ楽しいだろうな」って思ったのに、現実は予想に反して情報って簡単に消えていっちゃうわけで、そもそも「100年持つウェブサービス」を考慮しないといけなかった。映画のボツ脚本を翻訳してたサイトをふと読み直そうと思ったら「yahooブログ」のサービス終了で失われてた。物理媒体として残っていないFlashゲームとかもあと30年ぐらいでほぼ完全に存在が消え去るんでしょうね。質量から解放されたインターネットは、質量から守られなくなったという悲しい話。

ライフスタイルをガラッと変えるのは、さびしい。人間はきっと、暮らしていく内に少しずつ自分の輪郭と周囲の環境が曖昧になっていく。だから、しばらく住んだ場所から離れる時、まるで自分の一部を引き剥がされるような感覚になる。

部長が「有給が取りやすい環境にはしたいので必要なら相談して」って発言したから「ワクチンで有給申請した後輩が欠勤扱いの上で土曜出勤させてましたけど、正当な理由があっても受理してないのに信用していいんですか？」って畳み掛けたら会議の空気一瞬で死んじゃった。

のび太「ドラえも～～～～～～ん！！またジャイアンにいじめられたよ～～～～～～～～😭😭😭」

場所重視のドラえもん「どこで？」

大学でLINE交換するとき「LINE教えて」って言ったら、嘲笑うかのように「インスタじゃないんだ笑」って言われた俺の気持ち、今年の共テ小説出るらしい

インターネット、「まずショッキングな書き出しやタイトルを出した後にややトーンを下げて地に足がついた本文を書くことで矛を納めてもらう」という一連の流れが許される感があるので、見せしめに一人倒したらいいんじゃないかと思う

「同時に、働く女性の中には「嫁さんが欲しい」と言う声も少なくない。つまり、仕事で疲れて帰ってきた時に家でメシを作って待っていてくれる人がいたらいいのに、という意味で、何のことはない、女性が立派に社会進出することで、彼女たちもまたかつてのオヤジと同じ立ち位置に置かれるようになった」「「旦那はいらないけど子供は欲しい」というのも同じこと。異性を敬遠する気分は今やお互いさま。ＤＶと呼ばれる夫婦間の家庭内暴力にしても、男の理不尽な暴力という型通りと共に女の側からの暴力もかなり増えている。」「性的存在としての自分、をうまく落ち着かせる術が見失われたまま、社会的な自分、仕事を介して自立するワタシ、だけで何とか生きてゆこうとするゆえの難儀。「ラブコメ」で恋愛の手ほどきをされた世代の、しかしその後「家庭」という日常へ着地してゆく経路がうまく示されないままだったツケ。」

インターネットにいる人は結局全員バラバラの意見を持っているので、相手をコミュニティで括って批判すると論点が散ったり収集つかなくなる訳だけど、そういう地獄絵図が見たいので、それでいい。

TLで流れて来た、「死ぬ気でやってみろ！死なないもんだから」に対し、「それって『パラシュートが開かなかったという苦情は一つも無い』という事ですよね？」という返しが秀逸で唸った。確かに生存者バイアスになってる…

「○○。よって、面白い」の「○○」の部分に真っ先に「政治的に正しい」が代入されるの、クリエイターとして屈辱的すぎる

世の中には「正しいけど美しくないもの」「面白いけど正しくないもの」「美しいけど面白くないもの」などがあって、でもポリコレ信者は正しい、美しい、よい、面白いなどの評価がすべて同じ軸の上にある気がする。正しいけど美しくないものとか、正しくないけど面白くないものを認められないんだろう

どうせなら、一番醜い体勢で脱糞した後会社やめればいいのに。どうにもならない赤っ恥をかいて、周りの人が案外優しくて……って体験をすれば、多少プライド柔らかくなる気がする。弱みを見せても全然何ともなかったという経験を通じて人は人にやさしくなる

タトゥー屋さん「どんなタトゥー入れます？」

確率の証明みたいな決め方する人「まず絶対嫌な単語から行きますね、ズッ友、奴隷、写真家、」

「大事なことだから一回しか言わない」は意地悪なんです。「大事なこと」は「何度でも言って」あげてください。子どもたちの中には一回で聞けない子もいるんです。あなたの意地悪で子どもたちが学ぶことは「諦め」ですよ。

「穴にも棒にもかからない」

パレスチナの人たちから、しきりに「ウクライナの人たちが抵抗すれば『レジスタンス』と賞賛され、自分たちが抵抗すれば『テロリスト』呼ばわり。なにが違うっていうんだろうなあ」と聞かされるの、返す言葉もみつからなくて、積み重なると結構ジワジワ辛い。

千人称まであるパチモンの言語

【2番の歌詞を知らないのに歌詞を見て歌っているときあるある】

知らないのに歌っているという背徳感がある

ジェンダーギャップ指数について、日本はイスラム圏「なんか」より下　と言ったり、日本の現在を憂いて「日本はもはや先進国ではない、恥ずかしい」と言ったり(先進国でないのは恥ずべきことなのか？)。差別をしようという積極的悪意はなく、単に話者の素直な気持ちだと思う。だからこそ本当に嫌だな。

楽曲リストの中に”spring ain’t here”と”spring is here”があり、結局春はここにあるのかないのか示されないままなので混乱している。

【踏切渡るときあるある】

「超速」列車が通ってはねられないか不安になる

Twitterのことを何かこう高尚なオピニオンの場かのように思ってる人がちょくちょくいるが、実際には猿が威嚇しあってる中でたまに道具を使って木の実を割るなどの知的行動が観察されるみたいな感じなんだよな

「常識を疑う」というのは、自分が当たり前に思っている前提の妥当性を検証することであって、世間の常識に逆張りをして、バカを晒すことではないでしょう。

500年後の人が現代のインターネットのログを綺麗に取得できたとして、俺たちの日常生活や思考をそこそこの明度で再現することは多分無理だと思うんだよな。載ってる情報の質や量の強弱が読み取れないから各情報を統合して均せないでしょ。変な話「500年前は男は全員アニメオタクで全ての女性が彼らに古代の因習で弾圧されていた」的な話にだって構築できるし、通りすがりの奴や職場の奴と左右の思想で殴り合ってる光景だって想像されかねない。

資産１０億⇒上級の生活で困らないレベルだがそれ以上は無理

資産３０億⇒競走馬の１、２つくらい買っても大丈夫。家も億ションと別荘建てても余裕がある。

資産５０億⇒ようやくスイスのプライベートバンクが相手してくれる。子供をボーディングスクール入れられる。（つづく）

資産１００億⇒ビリオネアと張り合わなければ、豪華なアイテムも取り入れられるけど、張り合わないこと。

資産１０００億⇒日本だとそこまで使いみちがないので皆困ってる感じである。

何の時期だったか記憶が定かではないが、学生時代アメリカから帰ってきた時、エレベーターの前でカリスマ性の凄い教授と鉢合わせた。「どうでしたか？」と聞かれたので「まるで英語が通じませんでした」と言ったら「当然だよ、留学話の武勇伝はみんな嘘なんだから」と自分の失態談を色々教えてくれた。東大理学部卒業後、法学部に転じ学士助手、国家Ⅰ種試験1位という先生だった。その先生がイギリスで英語の聞き取りミスをして恥ずかしい思いをした話だったが、僕とはレベルが全然違ったが、日本最強の秀才には辛い思い出だったのだろう。

なんか今のプリキュアにオネエキャラがいるらしくそれがステレオタイプだと批判されていて、まあ自分もゲイ＝オネエのイメージには困らされてきたので言いたいことは分かるんだけど、でもオネエは実際に「いる」じゃんと思ってかなりモヤった

私「メンバー全員博士号持ちのアイドルグループPhD48を作ろうと思う」

妻「現実逃避はいいから論文書け」

「書を焼くものはいずれ人を焼く」だって本当は初っ端から人を焼きたい人達が書から焼いてるだけですからね。

元敵組織のクールな男「名前などどうでもいい……好きに呼べ」

主人公「ポムポムプリン……」

ポムポムプリン「好きに呼びすぎだろ」

差押えされてるのに気遣いができる人「こっち持ちますよ」

2chでなにか話題の的となった人物が、本人の語る話をある程度長く続けるために一時的にトリップなどでアイデンティティを固定し、一連の話が終わった時「では名無しに戻ります」と挨拶するというのが今思えば象徴的だった。いつの間にか「基本は名無しであるべき」という文化も随分遠いものとなった

セキュリティオタク一般、100億ドルくらいかけないと破れないセキュリティシステムの構築は頑張るのに5ドルのレンチで殴られてパスワードを言わされることに対してはあまり対策しない

【バイキングあるある】

「お前がいるって分かっていたらこいつ取らなかったのに」的存在が後半に現れる

不登校引きこもりから、全寮制高校に入学した長男から電話

母「どう？」

息子「ボチボチやってるよ」

母「友達はできた⁇」

息子「友達できたかなぁ〜⁇どうやろ⁇」

っと…ドキッとしましたが、その後電話の向こうから

「俺友達やん‼︎」って男の子の声がして色々込み上げてきて泣きました

電子レンジ急逝。人生経験豊富だから私知ってる。これは序章。家電ドミノの序章。

はてなで叩かれるとき「本読んでないやつが書いてそう」「本読んでないやつが好きそう」と叩かれるのではてな住民の自己肯定の核はどうも「おれは本を読んでいる」にあるっぽい

絶対に集中して喋り倒さないといけない会議中に息子ぴが帰ってきて、部屋の入り口でめちゃめちゃ喋りたそうにこっちを見ていて、なんか、ふと、人生の選択を間違えてはいけないなと思って、一息で喋ったあとパッとミュートして「おかえり。どした？」と聞いたら、「あのね、卓球部の副部長になった、投票で選ばれた」と少し興奮した様子で、少しだけ誇らしげに教えてくれた、やったじゃんすごいねってハイタッチして会議戻った。私もなんかハッピーになって嬉しかった。君がハッピーならハッピーなんだよ私の人生は。

「そもそも万人受けする必要ある？唐揚げですら嫌いな人いるのに？」っていう考えめちゃくちゃ好き

何度も書くけれども電子メールは「いつ書いてもいい、いつ読んでもいい」のが利点だったのに「メールをつねに受信して通知する仕組み」が一般化してからは電話と同じになってしまった。

スタンフォードでMBAを取るのに要する費用は4000万円位まで上がっており学生は巨額の借金漬けの者も多いが、反面、卒業後の新卒年収も平均2800万円程に上昇しており、周囲は「学生時に借金しまくって卒業後にガッツリ稼いですぐ返す」というスタンスで、ここでは大学教育は発想が完全に投資である。

人生ってマジでなんなんだよ。とにかく労働が多すぎるし、そこに目を瞑ることが仮にできたとしたって、病気とか事故とかそういうイヤ〜な要素はかなりある、しかも避けられない。コンテンツとして、間違いなく「万人受けする」とは言えないだろこれ。俺はこのコンテンツめちゃくちゃ嫌いですよ。メイン部分が本当に受け付けない。自由意志でやるかやらないかを選べるなら、絶対にやらないと断言できる。他人に勧めるか？と言われたら、絶対に勧めない。人生を始めるかどうか迷ってる人がいたら、本当にやめておけ！というと思う。で、俺、これ勝手に始めさせられてんだよな。マジで納得がいかない。カンタンにやめられるならまだ許せたし、もうとっくにやめてるだろうけど、実際やめるのも結構難しい。昔一回やめようとして失敗してそこそこの騒ぎになったし…なんかこう、「客観的に見て好みが分かれるうえにメチャクチャ長いコンテンツを、他人に強制的に摂取させて、やめることは許さない」みたいな構造なわけじゃないですか、ひどくねえか？せめてやめさせてくれよ、俺もういいよこれ。飽きたとかじゃなく、シンプルにつまんないし嫌いです、not for meです。いいところが何ひとつないとは言わないし、好きな人がいるのもわかるし、好きな人は楽しんでたらいいんじゃないかと思います。でも、俺はやめたいですし、他人に強制的にやらせるもんではないと思います。本当に頭おかしいですよ。勝手に他人を巻き込んで、降りることも許さない、そんなのが当たり前に許されてる営為ってほかにないじゃん。「お茶はいかがですか？」で合意の大切さを学ぶ、みたいな動画あったじゃん、完全にアレなんだよな。俺は口に無理矢理お茶を注ぎ込まれて、やめてくれ、こんなのは飲みたくない！つってんのに、社会そのものが「お茶はおいしいものなのだから、飲みなさい、飲まないことは悲しいことだ」みてえなことを言ってくる。そんなバカな！やりたくないことを無理やりやらすなよ、ホントに頼みますよ

Twitterでは性懲りもなく「辛くなったらすぐ逃げなさい」「あなたは悪くない」「合わない人間は即切りなさい」みたいなこと言ってる人だらけだけど、その後予後不良起こして社会的経済的に孤立したときに持ち直すアドバイスをしてくれる人は今まで一人も見たことない

ホラー番組でアイドルが悲鳴あげる直前にﾊﾟﾝﾂ脱ぐの楽しすぎワロタｗｗｗ俺のチ○コ見て悲鳴あげてるみたいで興奮する

昔中途入社してきたオジサンが天才的にお仕事出来なくて｢もう業務が多すぎます！｣って嘆くもんだから1度今やってる業務全部洗い出して箇条書きにしてみて！ってなった時に本当細かく細分化してきてだな。｢あっこれ量で誤魔化そうとしてるな｣って思って常識的にまとめたらすごく業務少なかった事ある。｢窓を開け閉めする｣を｢窓を開ける｣｢窓を閉める｣で分ける感じ、行を稼ごうとすな。仕事以外でも何でも、そういう小さいセコさを日常で発揮する人は不幸な自分を演出するのが上手な印象です

「頑張らなくていいよ」みたいな励ましを真に受けすぎて、このままだと他人の悪意ではなく他人の善意によって破滅してしまうかもしれない

得体の知れない敵に一斉射撃なんかをして弾幕で相手が見えない中「やったか？」と固唾を飲むシーン、煙が晴れたらちゃんとボコボコになって瀕死の敵がピクピク痙攣してたら楽しいのになっていつも思う。

自分の人生は"死"とはまた別のなにか大きな破滅に向かっていて、それをただ先延ばしにしているだけだという感覚が子どもの頃からずっとある

【リビングで見るニュース番組見てる時あるある】

驚きのニュースがあり母親に｢だって｣とだけ言うも、聞いていなかったらしく、ザコ説明をしなければならなくなる

中抜けと勤怠管理が話題ですが、知り合いの会社でおサボりが発覚して腹を立てた上司が在宅勤務時の全員のログを調べろ！！と漁ったら申告してない残業がザクザク出てきて次の月に数十万円追加で残業代払わなきゃいけなくなったらしくて、多分サボるより隠れて仕事してる人の方が多いと思うんだよな。派遣エンジニアが前の会社の風習で定時以降は勤怠つけてはいけないと教えられ、うちでもやってて、後からPCのログを全部確認して払ったことある。俺のせいで、、と謝られたけど、労務管理は管理職の責任だし、謝らんでええよ。

Twitterのせいで「良い人だったり優しい人なんだろうけど、感情が優先で考えと知識が足りない人」が厳しめの批判されるのが目につくようになったな。

ゴールデンカムイを読んだ記憶を消して最初から読み直したいがために『ゴールデンカムイを読んだ記憶を消す装置』を発明した。無駄に多機能で、偶数ページの記憶を残して奇数ページだけ消すことも可能。しかしそれをやると記憶の整合性がとれなくなり、脳に致命的な障害が発生する恐れがある。ゴールデンカムイを読んでいる最中に『ゴールデンカムイを読んだ記憶を消す装置』を使用したらどうなるか試したら、脳内の記憶が壊れた。ゴールデンカムイの内容を思い出そうとしても、記憶を消そうとしてもエラーが起きる。ゴールデンカムイを読み直しても何一つ頭に入ってこなくなってしまった。

他人の気持ちを少し傷つけてしまったのではないかと憂えて夜も寝られない人がいる一方、大量殺人をしてもそれはフェイクだと開き直る人が両立していることは未だに理解が難しいです。

【2度目の引用あるある】

しかし、彼はこうも言っています

確実に事故は増えるし人は死ぬけど人類はそうして生活を豊かにしてきたし便利だから良いんだよ派なのでとても嬉しい。自転車もバイクも殺人マシンだけど便利でしょ。施行はよ。

倒れ方のバリエーションめちゃめちゃあるけど立ってる傘は1パターンしかない。「悪いはバランスが崩れているから色々言えるが、良いは完璧なので褒めるのが難しい」の意。このロジックは「幸せな家庭はどれも似通っているが、不幸な家庭はそれぞれの仕方で不幸である」で始まるトルストイの小説からアンナ・カレーニナの法則と呼ばれており、『銃・病原菌・鉄』などで引用されている。

「有象かつ無象のみんな〜」

アイデアってかつお節なんです。ただ削ってるだけ。

NSDR兄貴を描いてたら、同居人に「彼女？」って言われたんだけど全員に失礼だろ

「10年会話したことない相互フォロワー」って言うけど、TLに共通の話題落としてるだけで何か会話した気になってしまうので、逆に相互フォロワーの方がわざわざリプライ送らないみたいな所あるよなtwitter。

ゴールデンカムイ実写化、最悪の展開は下ネタが禁止になる事でも死刑囚枠にムロツヨシや坂上忍が出てくることでも無くて「アイヌの文化を雑に扱って大炎上」ルートだよ。（ゴールデンカムイの一番凄い所は変態博覧会でも緻密な構成でもなくてアイヌ文化への調査とリスペクトなので）前にaiko先生が「インターネットにはまだ起きてないことに怒ってる人がいっぱいいる」と書いてて、字面にするとだいぶ頭おかしい感じだけど、金カム実写の監督名のカケラも出てないうちからこの騒ぎなの見てると本当にそうだなと思ってしまう。怒りが早漏すぎるだろ。なお観測範囲に早くも「役と俳優のルーツを合わせろ」「アイヌ迫害描写を原作より増やせ」みたいな方々が出現しており…

暇だったから自分の屁を握って嗅いでみたら蔵王キツネ村にいたキツネたちと同じにおいで、嬉しくなった

僕が好きなクリエイター、まあまあな確率で「おまえは才能ないからプロとしては通じない」って言われたことあるんだけど。やっぱ気安く他人を値踏みして断言するような輩の言うことなんか、概ね逆が正解だから反面教材としては理想的なんだろうと思う。

中田敦彦がクイズ番組対策に色んな本を読んで勉強してる芸能人を腐してたな。曰く「そんな面倒な勉強より出るクイズ番組の過去問を調べて傾向を見つけろよ」。フェアな感覚抜きに物事を考えられるから要領が良い。

地獄がどこにあるかはわかりませんが、当店を出たお客様はみなさんあちらの門の方で全ての希望を捨てていかれますね

今日、まどマギ淫夢MADについてた「ワルプルギスの夜の淫夢」ってタグを思い出して笑ったところ、「今微笑んだそこの方」と指名され、質問をさせられてしまった

本屋は公共の場、コンビニはインフラだから公共の場、農協は公共のもの、飲食店も公共の場、旅館は公共の場、新聞紙面も公共の場、とか、際限なく公共を広げようとするくせに求めるものが包摂でなく「快適」なの、本当にまずいな。

子供うまれてしばらくしたら、ああ、人生ですべきことはもう終わったんだ、って気持ちになってそこから平坦というか余生というか。クリア後のゲームを惰性で遊んでる感じになってる。

自衛隊、志願者の減少＆任期前の中途退職者がやたら多いの仕事のしんどさとか給料が思った程多くないのもあるだろうけど平時からちょっと休日や課業外に外出するのにもエラい人のとこをスタンプラリーする必要があるというのがあるのかもしんない

軍事共産国家が、だいたいボロボロに経済疲弊しているのは、経済制裁食らってるのも大きいけど、軍事セクターに若い労働力を吸い取られて市場経済が成り立っていないからなんだよな(だから軍事共産国家なわけだが)。今の日本は似た構造で、高齢者医療共産国家なのよ。このセクターが若者を吸い取ってる

たわわ「だけ」アウトにしようと色々恣意的で抽象的な要件を持ち出してる人たちを見ると、公正な第三者機関の審査による正しい広告なんて無理だと思う

そもそも現世人類の半分くらいはフリッツ・ハーバーが空気中の窒素から生み出したくらいに思っているので、特殊な味覚的卓越を約束する場合を除いて有機農法なるものに魅力を感じない

【授業中あるある】

「あと15分」を「あと5分が3回」みたいに無意味にコマ切れにしてみたりする

焼身自殺辛すぎる。仕事を全て失った俺から強く言いたい。今の仕事を失っても絶対に生きていける。仕事が死にたくなるほど辛いなら辞めるんだ。上司がどれだけ叱責しようと生きる価値は変わらない。それから死ぬことで辛さをわかって貰おうとするな。生きて味方を探すんだ。全世界が敵になることはない。俺ですらわかってくれる人達がいたんだ。真面目に生きている人達なら尚更のこと、理解し、救い出してくれる人がいる。仕事なんか死ぬ気でやるな。仕事は生きるためにやるんだから。俺は時計も車も全部売って食いつないだ。そして味方を見つけた。いいか俺でも見つかったんだぞ。皆なら絶対大丈夫だ

20代の人は、吉野家のマーケ戦略よりも、「ジョブローテーションという名のもと一つの業務の経験年数を抑えて、他社の転職求人の応募要件に引っ掛からなくすることで、自社から離れられないシャブ漬け状態にして退職を防ぐ」という人事戦略とどう戦いスキルを身につけるか考えた方がいいと思う。

ウクライナ戦争の恐ろしい所はロシア軍が追い詰められれば追い詰められるほど核兵器を使用する可能性が高くなるので、我々はロシアが勝手に始めた戦争でロシアが勝手に失敗した結果、勝手な事をしたロシアが勝手な理屈で核兵器を使うのではないかと心配させられてるワケで、本当にもう戦争ってクソだな

レベチの馬鹿を指導するブルース・リー「Think.」

地理の授業でブラタモリの話題を出してみたが誰ひとり見ておらず、うち3人がタモリという人を知らず、説明が長引いてしまった。ミュージックステーションの司会のおじさんと言ってもサッパリ通じなかった。おそらく今の時代生徒同士ですら好みが違いすぎて、通じないことだらけだと思う。「みんなが知ってる何か」が限りなく少なくなっている。遠足や修学旅行の歌集が成立していた時代にはもう戻れない。こんな時代だから言葉が大事なのだと思う。

ﾜｸﾁﾝ接種、外国の方も来るんだけど「打ったところ揉まないで下さいね」をとっさに英語で変換出来ず「ﾋｱｰ！ﾉｰﾓﾐﾓﾐ！」と必死にジェスチャーしてたら「ﾉｰﾌﾟｯｼｭですね〜」と日本語で教示された

適齢期に2年付き合って1年同棲して結婚して人生のお手本みたいだった友達が離婚することになったんだけど、唯一のアドバイスが「人は変わらない。違和感を感じたらすぐ離れて。それは決してなくならないから。大きくなるだけだから」だった。沁みる。

誤解して結婚して、理解して離婚する。

「これ」さえ無ければいい人、の「これ」で大体無理になる

【人間に出来て、AIに出来ないこと】

激太り

俺の手元には今より10kg太っていたときに作ったスーツと今より10kg痩せていたときに作ったスーツがある

男性の方は小さい頃陰茎を足の後ろに隠して女の子の股間みたいにしたことが絶対にあると思うんですが、成人してからそれをすると陰毛が生えている分女性の陰部と変わらないくらいリアルな女の子になることができます。

今日、休み時間にある女の子が「先生、空ってどうして青いんですか？」と聞いてきた。そこで、「その問いには、理科的にも国語的にも道徳的にも答えられるんだけど、どの答え方がいいの？」と聞いみた。すると、「理科的な答えが聞きたいです」とのことだったので、青い光の波長と拡散の話をした。

アメリカの人は良い所を見つけて褒めたり、ポジティブに言い換えるのが上手い人多いけど、それはどう培われたと思うか上司に聞いてたら「できない奴は淘汰で死んだんじゃないか？日本も来月から誰でも銃が買えるとなったら、今日から突然良い人になる人いっぱいいるだろ？」と言われて笑った。確かに

ミュートされてる人にも届くぐらいデカい声でツイートしろ

「歩いてる時とかぼーっとしてる時とか、主にスマホ見てない時かな、みんななに考えてる？私はけっこう他人のこと考えてる気がする。さっき誰かに言われたこととか、全然会ってない友達のこととか」「それがわかってるやついるの？俺は自分が何考えているのかさえ、なにに怒ったり笑ったりしてるのかさえ何一つ把握できてない。気がついたときにはすでに感情が湧き上がってて、思考の残滓のその尻尾さえつかめない」

わりとどんなプロダクトでも

0→85%の進捗はすぐにいく

85→100は同じコストかそれ以上かかるのが一般的です。

つまり仕掛かり段階で85→100を対数ゲージ的に捉えておく必要がある、って知見を普及させるべきでしょうね

撮り鉄はわざわざ写真を撮りに行かないで、誰かが撮影した写真をダウンロードしていれば良いだろとよくネットに書いてありますが、一般の人も観光地とかで同じ画角の写真を量産しているので、似たようなものではないかと思います。金閣寺で写真を撮っている観光客に、それを言って回ったら変でしょう。撮り鉄とか何が楽しいのかわからんし、寺の写真なんか正直しょうもないと思ってるけど、写真とはそこに写っているわけではない「それを撮ったのは誰かという情報」がめちゃくちゃ重要な意味を持つ「関係性のメディア」だと思うので「自分で撮ること」自体に意味があるという主張はめちゃくちゃ同意する

年老いて思想に狂った時に手を下す役なんて友人知人にさせたくないから狂気判定マイクロチップの方がいいと思う。その時に周りに人がいるとは思えないしいて欲しくないし、殺す役は人じゃなくていい

女性声優がやってる男の娘の音声作品が、レビューで「まるで本当に女の子みたい」と書かれていて、倒錯に倒錯を重ねて一周したみたいになっていた

先生から「君の学力は賞賛に値する」って言われて喜んでたけど、賞賛じゃなくて小3だったらしくておんおん泣いてる

どれくらい好き？って恋人に聞かれて、ショートケーキのいちごあげるくらい。って答えたら、それってすごい好きじゃん。って笑われてえ。

青チャートに精◯ぶっかけて白チャートにして難易度簡単にしたことある

不快な広告のはなし、「すごく納豆が嫌いなひとでも、回転寿司で納豆が流れてきたときに『嫌いなんです！流さないでください！』なんて言わない」という共通認識がくずれて、せかいのすべてが私の私物！わたしの為のせかい！わたしが不快なものはすべて犯罪！みたいに自我が膨張した妖怪のはなしっぽい

あまり指摘したくないけど、コミュ障の人間は「お客様」ポジションでしか他者と関わる事が出来ないんだよな。何故ならコミュ障はコミュ障故に能動的に他者と関係性を紡げないから。それ故にコミュ障は常にお客様ポジから相手にコミュ力を要求せざるを得ず、結果としてコミュ障ほどコミュ障に厳しくなる

ADH・D・ルフィ「麦わら帽子なくしちまった。そもそも何で被ってたんだっけか。マキノ！飯！」

今日の電車内の広告｢脱毛しろ！｣｢脱毛しろ！｣｢転職しろ！｣｢脱毛しろ！｣｢東大へ行け！｣｢脱毛しろ！｣｢結婚しろ！｣｢脱毛しろ！｣｢怒濤の英語と個人指導！｣｢脱毛しろ！｣｢毛を生やせ！｣｢東大へ行け！｣｢脱毛しろ！｣｢毛を生やせ！｣｢脱毛しろ！｣｢怒濤の英語と個人指導！｣

歯医者でピンクのやつをいれられてるときはどんな人間もマヌケにしか見えない

同じゴブリンとして申し訳ない。全てのゴブリンが野蛮な訳ではないことを分かっていただきたい。

肉体が最高の価値を有していた時代に身体障害という概念が生まれ、知的能力の価値が向上するにつれ知的障害という概念が発生し、コミュニケーション能力の価値が向上してきたことにより発達障害という概念が生まれてきたのだと思っている。障害はその時点における社会で生活に支障があるという意味だし

「ボジョレーヌーボー」って「ボジョレー」までは失禁語なのに「ヌー」がぎりぎり押しとどめてるな

スタンフォード大学学部生卒の初年度年収平均は1250万円、MITやカルテックなら1500万超。一方、京大卒でM重工にエンジニア就職したらおそらく450万円くらい。院卒ならもうちょっともらえるのかな？この差は埋まることなく、どんどん開く。それが悲しいことに現実。でもスタンフォードで英文学に目覚めたら平均年収二百万

んもう、ツイッター論壇はすぐ、いいか悪いかだけで議論し始めて、「道徳的に悪い行為ではあるが刑罰をもって処罰するにはなじまない」という領域をなおざりにするんだから

カプリティオチャンネルの人は全部論理的に考えてるが故に気付いたツッコミ所を全て解決しようとするから、このボーボボ世界観のようなオモコロに来て結果的に過労死枠になってる

ASDの母がASDの娘に根気よく条件づけの教育を行ってるツイートが流れてきたんだけど、「だから娘さんをロボットのようにプログラミングしようとしてるんですね！」とか言われてて渋い顔になった。そうだよ。ASDはプログラミングしないと社会様の不可視化されたルールに従えない。大事な教育なのだ。「空気読んで臨機応変に」みたいな教えられ方、ASDにとっては「グッといってパッとやる」みたいなこと言われてるに等しいので、空気読みの社会を逸脱しないためにもの凄く細かくパターン化して学習して生きていく。空気読まない人間が仕上がると怒るくせに、無責任に子供可哀想とか言うなや。

「ロスジェネが老境に入る頃、安楽死は『ぬるっと』合法化される」と、ワイは昔からずっというとる。「ぬるっと」というのは、それまでちやほやしてきた士官に「戦犯だ！」と石を投げるように、これまでお命お命いってきたことを一瞬で忘れたかのように、臆面もなく掌を返す日本人のお家芸のことです

「嘘を嘘と見抜けない人はインターネットを使うのは難しい」、「俺はどちらかというと見抜ける側の人間」と思っているor思いたい人々が多いせいで良い言葉として受け入れられてしまったけど、実際には「インターネットの嘘」は運が良くない限りは現実的な手間では見抜けない場合が多いと思う

ツイッターの病み垢がこぞって汚い言葉で自分の親と同一視して勝手に産んだのはお前！って書いててるの見ると、そうやって自他境界線があいまいだから病気治らないんだなーと思いましたね…

小学生のとき「掃除終わりました」師「まだ３分余ってるぞ」「もうキレイです。終わりでいいですか？」「本当か？やれることを探して、時間いっぱい掃除するんだよ！」と怒られて以降、時間ピッタリで終わるようにダラダラ掃除してた。頑張ると損する制度は、ずっとおかしいと思ってる

コリドーを歩いてたら、いきなり知らん男に「俺は丸紅！お前は？」って話し掛けられた、っていうエピソードが本当に好きで、そんなルフィみたいな自己紹介する奴が現実世界に存在するんだって驚いたよね

いい歳して流通会社の倉庫でバイトしてフォークリフトすら乗れずに、仕事覚えられないけど生計立て生きてても、そいつなりに楽しいことがアレばいいと思うんですよね。みんな中学校行くぐらいには自分の家と他の家の”違い”を察して向き合ってると思いますよ。

「お前の人生はハズレくじ、中央値以下の人生が確定だけど、その人生は自殺でもしない限り後数十年は続く」なんて言われて正気を保てるほど人間は強くはないんよな。昔は他人と比較するツールが少なかったからその辺を見ないようにすることもできたけど。

フォロワーに「IQ100もなさそう」て罵倒引用してる壁打ちアカウントのbioに「発達障害者。IQ120↑」って書いてあって、なんていうか、簡単に『弱点』見つかったなぁって

八王子は王子のすぐ近くだと思い込んでいたため、赤羽住みなのに八王子の美容院を予約してしまい往復3時間以上かけてカットしに行った友達がいました。キャンセルするのは悪いからとりあえず行ってきたと言っていたのが印象的でした

因数分解ってなんだよ、勝手に分解すんなよ。自然なままにしておけよ。

電球が切れて「チンポ」になっちゃってるパチンポ屋

NHKの高瀬アナが、番組直前にひとこと話す場面で、新しい環境について行けず落ち込んでしまう時はという問いに「自分はそもそもそんなに出来る人間だったっけ？ こんなもんだよなーと思うようにしています」というようなことを仰っていて、こんなもんだよなーっていう明るい諦めはいいなって思ったんだ

チキンラーメンの残り汁でもう１食チキンラーメンを作ったら猛烈に濃かった。「脳梗塞麺¥980」という感じだった。

【制汗スプレーを毎回借りるやつあるある】

本人よりもたっぷりと使う

年収1000万では安い、2000万でも足りない、3000万でも不安……みたいな話題を見ると、なるほど渇愛から苦が生じるという仏陀の教えはまことに正しかった

これは結構マジなんですが、「自分を大切にする」とは、「関わる相手をしっかり選ぶ」ということです。

生存が絶望的な、しかしまだ生存者が見つかってないような事故について「怖かったろう」「辛かったろう」などと過去形で語るとき、話し手がその生存を絶望視していることがわかって、（事故自体の悲痛さはおいておいて言語学的に）興味深い現象であると思う。

上司「なぜプロジェクトから抜けたいのですか？」

僕「パワハラリーダーがメンバーを怒鳴ることでストレス発散してるからです。メンタルが傷つく前に避難するのが最善かと」

上司「あれは怒ってるのではなく指導と聞いていますが？」

僕「あれが指導だとしたら尚更リーダーに向いてないと思います」

知性は金で買えないが知性は金にならない。

乳首責めって言うけど俺別に責められてるって思ってない。ありがとうって思ってるし。

自分に合う職場が見つかるまで何度でも転職すればいいという考えなのだけども、悲観的に見るとこれは信用の残機を減らしていくようなもので、いつかどこにも採用されなくなるかも知れない。そしてその時に「働けなくなるほどつらい職場」だったら詰んでしまう

喫茶店でご常連らしいおばさま達がどうやって死にたいか話してたら1人が「スナイパーにバーンと撃たれて即死、即死がいいわー」と言っていて最高のモーニングだった

いろんな自己紹介で、「ときどき毒を吐きます」と書いているのがけっこうあるようなのだけど、そう書くと「しょうがないなぁ、毒なんか吐いちゃって（苦笑）」と許されると思っているのだろうか。思ってるんだろうな。

インターネット有人bot案件。千羽鶴＝叩ける と「学習」したネット民が自分の頭で考えることなく特定のワードに特定の反応をする。人間のbot化であり、やってることは人工無能と同じ。

キリスト教国家で「十字架を燃やす」と同程度の日本での侮辱は何だ、という問に「炊きたてご飯を地面にぶちまけて土足で踏み潰す」という答で日本人大体納得するくらいにはライスイズライフですからね…。

父が美容師になった理由「裕福ではない家で予備校行かせてもらったのに大学受験に失敗し、もう死のうと思って海に飛び込んだところ、意外と泳げてしまってそのまま通りがかりの小さな船に助けられ、船にあった雑誌プレイボーイに『美容師は月100万稼げる』と書いてあったから」らしい。面白人間じゃん

後悔も「あの時あぁしてればよかった」じゃなくて「あの時あぁしてればどうなってたんだろう」っていう前向きの後悔ってなのも重要なんだろうね、今の選択した結果も受け入れれてるけどifとして別の選択肢だとどうなってたかって単純な好奇心として思える人生

片付ける為に片付ける為のスペースがない問題

ブコメ欄ってマジでタイトルしか見てないコメント多くて辟易するよ。反射で声が出る事はあるけど反射で文字入力も出来るんだねって驚きがある

もし世界に会社という概念がまったくなかったとして、友人が「公園に行くと1万くれるおっちゃんがいるんだよね～」って話をしてきたら「それ絶対詐欺だって！！」ってなると思うけど、この世界には会社という概念があって全く何の役にも立たない新人になぜか月20万を振り込んでくれる

新人・後輩としてかわいがられるコツってマジで簡単で「先輩を頼らない」じゃなくてその逆で「先輩を頼る」なんだよな

自己肯定感というのは、自分を高めた結果生まれるものじゃない、こんなダメな自分でもいいんだ、ダメだけど少しずつよくなっていくぞ、と考える過程で生まれてくる。今の自分を愛せない人は、未来の自分も愛せるようにならない。まずはお前自身の個性をお前が認めてあげて、そんなダメな自分を許すこと。これによって自分自身が生きていてもいいという根拠を、根拠なき根拠を得るんだ。

うちのパソコン、未だに米津玄師が変換出来なくて「米津軽玄関師匠」と打つ羽目に

「インターネットがあればテレビも新聞もいらない」派だったのが、テレビや新聞にはクソリプもコメント欄もないことがとても快適に感じられている

「異教徒はイスラーム/ムスリムを理解していない、誤解している」、「異教徒はイスラームの教義やムスリムの生活様式を尊重して欲しい」と言いながらも他の宗教やその信徒に対してひどい偏見を持っている量産型ムスリムはイスラーム世界内外に掃いて捨てるほどいる。

「クルミ大」と言われたときの大きさは殻を含むのか含まないのか。「キツネ色」と言われたときの色は夏なのか冬なのか。料理には曖昧さが多すぎる。

俺に残業があるなしに関係なく飛んでいる鳥

人は無意識のうちに誰かに呪いをかけたりかけられたりするけど、その呪いを解除し合うこともできる。歳をとるとはそういう救いもあるなあというのが昨日思ったことだった。祝いで呪いは解ける

大学院生の頃、昆虫の交尾器について詳しい教授のことを尊敬の意を込めて陰で「お○んぽマスター」と呼んでいた。それがその教授にバレた際「俺はお○んぽマスター(修士)じゃなくてお○んぽプロフェッサー(教授)だ二度と間違えるな‼️」ってすごく怒られた。

ダックスフントが日本に初めて入って来たときに、「ながいぬ」で良いだろ、って言うのを我慢した人はえらいと思う

JTCで偉くなった人の話を聞くと、滅私奉公が美徳とされていた時代の思い出を「あの頃は大変だったけど」と前置き付きで目を細めて楽しそうに話すので、今時のコスパ志向の若者とは根本的に話が合わないだろうなと思う。昔は情報が少なかったから忠誠心も帰属意識も持てたんだろうけど、今は無理さね。

ジョブ型にしても、「仕事の能力はあるが、コミュ力がなくて評価されない」というパターンで現在割を食ってる人が報われるようになるとはあまり思えないんだよね。

今すぐやめたほうがいい習慣「ダラダラスマホ」「夜更かし」「二度寝」「考えすぎ」「過食」みたいなやつ本当にうぜえそれ以外することねえよ

毎年これくらいの季節になると先に注意喚起をしているのですが、今年から一人暮らしを始めた学生及び新社会人達へ、IKEAのざるは北欧で生まれたので素麺の水切りをすると素麺が穴から流れます。

【Switchをやっている小学生あるある】

指で鼻をこするスピードがとても早い

「俺はジャイアン♪ ガキ大将♪」というフレーズから、自分の強さはあくまでもガキの世界でのみ通用するものだという、意外に冷静で謙虚なジャイアンの自己認識をうかがい知ることができる。

だいぶ前にみた、名前に幸という字の入っているひとが電話口で漢字の説明を求められたときに「不幸の幸です」って言っていたの、よかった

「重大発表があるとかないとか」と言って、ない人

死んだらバンバン死体を宇宙に打ち出してたら、数億年後に生命の起源になれないかな。散骨よりそれがいいな

「よし！企業を謝らせた！社会を変えた！」って鼻息を荒くしてるフェミニストの皆さん。平日の昼間からスーパーの店員に大声でブチ切れてるおじさんが社会を変えてると思いますか？店員はとりあえずおじさんに謝ってますよね？

OBとして言わせてもらうけど、ガチで東大卒ならNTTdataや日本IBMやNRIからインターンのお誘いがあるので、フリーランスエンジニアなんかにはならねぇんだわ

最近、市役所の前に「公務員はこの町から出てけー！」とか叫んでる変な団体が現れるようになったので、言われた通り職員全員で町から出て行くことにした。

学校では「話し合えばわかる」や「相手の気持ちを考えよう」と言われます。しかし社会で生きていくには「話してもわからない」や「相手の気持ちを考えすぎると死ぬ」という考えが必要になります。生半可な優しさは自分を殺す...！

会社のいつもすごいバカなおじさんに「ゴールデンウィークどっか行くんですか？」って聞いたら「いや、連休を利用してカラマーゾフの兄弟でも読もうかと…」って言われて2人でめちゃくちゃ笑った。ここに教会があったら、結婚していたと思う

エロシーンとかで「そこ…もっとぉ…♡」とかいう喘ぎを見るたびにどうしても「もっともーっとタケモット！」ってタケモトピアノのCMが脳内再生されるのすごいつらいから一人でも道連れにしたい

会社員を10年以上やってみて気づいたのが、自分の”やってる感”を出すために、他人の時間や労力を犠牲にするのをいとわない人がいる。同じことがいろんなところで行われていて、政治家の”なんかやってます感”を出すために子どもが犠牲になっている気がしてならない。

道すがらの家に置いてある、色あせたミッキーやアンパンマンの三輪車を見ると寂しくなってしまう。役目を終え、誰からも乗られなくなって風雨にさらされた三輪車。でも、それが幸せそうでもある。

「社会人は楽しいことばかりですか？」って聞いたら大体の人が「いやあ、楽しいことばかりじゃないよね」と答えてくれると思うけど、そもそもだいたいのことは楽しいことばかりではない。小学校も、中学校も、高校も、大学も、アルバイトも、副業も、楽しいばかりじゃない。不愉快なことや耐えなきゃいけないこともある。そういうイメージの「楽しいことばかりじゃない」。

受験の時、先生がクラスのみんなにメッセージ入りキットカットくれたんだけど、他の子へのメッセージは「自分を信じて‼️」とかだったのに、僕のだけ「逆転ホームランだ‼️」ってはじめから負けてる設定で書いてあって泣いた。

英語しか外国語を学習したことのない日本人に「××語には方言がある」という話をすると十中八九、未開の言語を見るような目をしてえぇ〜！とドン引きしやがるので、奴らは豊かな日本語にしか方言がないと思っている節がある

おばさんの「そう！ そうなの！」を引き出す魔法の言葉シリーズ

・いくらモノが良いとはいってもね

・長く使うものだと、余計にね

・ジャムとかにすればね

・今の100均、マジで何でもあるんですね

・羽織ったら羽織ったでちょっと暑いんですよね

戦前の体制と決別してると思ったのに真珠湾攻撃に言及したら怒られて、総帥権持ってることになってた昭和天皇を戦前の体制の代表として据えたら怒られて、兵器ではなく人道物資を提供してるという体裁にしないと不味そうだから兵器提供の感謝一覧に乗せなかったら怒られるの、取り扱いが難しいと思う

足りないと言われるところの性教育、ほとんど「産んではいけない時に産まない教育」と化しているけど、必要だったのは「産むべき時に産む教育」だったのだろうと思う。産まないべき時は知っているけど誰も産むべき時を知らない

【ITエンジニア男子を落とす７つの方法】 1. 女の子らしい服装をします 2. 目を見て話を聞きます 3. 新技術の話題に持ち込みます 4. 「すごーい♡」と感心します 5. 「その新技術のどこが特徴的なの？」と聞きます 6. 既存技術を示し差分がわずかなことを教えます 7. Rejectします

店員「お待たせいたしました、トンカツ定食です」

3年間待っていた客「あなたと私、どっちがより狂ってるんでしょうね？」

何かにかぶれた池上彰「軍備、特に核兵器というのは悪しき男性性、男根のメタファーなんですねぇ」

理解の早い土田晃之「だからキノコ雲なんだ」

エンジニア界隈だと「マネージャーとプレイヤーに上下の差はない。役割の違いがあるだけ」みたいな言説がしばしば出てくるんだけど、伊達や酔狂でそういうことを言うのでないなら、マネージャーやるやつを1年くらいのスパンで交代制にしてもいい気がする。

英語の授業でプレゼンしてた同級生の女の子が「用いる」を「よういる」って毎回呼んでて、勉強すべきはまず日本語だろって思った

男の子「ねーねーお父さん。赤ちゃんはどこからくるの？」

父「赤ちゃんはね。コウノトリさんが運んでくるんだよ」

男の子「流通経路の話じゃなくて生産元の話だよ。あなたは魚の居場所を聞かれて船と答えるのか」

父「ちょっと待って」

MBAで学んで深く実感したのは、一般人は全然合理的ではないし、賢い人も大して合理的でないし、合理的な人を集めても大概その集団は合理的ではないし、「合理的な人ならこうする」という推論は世で妥当しない例外が多すぎて、制度やビジネスは人が不合理なことを見越して構築しなければいけないこと。

映画を観て、本を読んで、漫画を読んで、音楽を聴いて、お笑いを見て、自分はなにもやっていないのに何かやった気になって、YouTubeでオススメされた動画を再生して、ニュースを見て、あーとかえーとか言って、死んでいく

Q：どうして働いているはずの大人が午前中からウェブ漫画の感想を呟けるんですか？

Ａ：どうして働いているはずの大人が午前中からウェブ漫画の感想を呟けるんだろうな……

嫉妬は「その方向に努力しなきゃならねえ」ってサインだよ。

GWですね。みんなが遊んでる時にどれだけ努力するかで差がつきます。せっかくのたまにしかない大型連休なんだからこそ遊ぶぞと考える人と今こそ勉強するぞと考える人、どちらになるべきかよく考えて。私は簿記の勉強しようと決意しながらまだお布団の中でもう数時間Twitter見てます。みんな遊ぼう。

今日のクロ現、教師の過重労働だから見たら？と姉から連絡が来てたが、クロ現の時間に帰られてないのが答えだ

キッザニア、人気の職業は受付があっという間に終わるのね。露骨に職業格差を味わうことができ、好きな職につけず社会から爪弾きにされる気分を体験できる。社会をリアルに体現してるので教育効果抜群やで

何故あなたを嫌う人から好かれたいんですか？あなたを嫌っている人には、どのような長所があったとしてもそれ打ち消してしまうほど大きな短所があります。それは「あなたの良さがわからない」という短所です。そんな人に無理に好かれようと思っていても疲れるだけです。もうね、「可哀想に、この私の良さがわからないんだな」くらいに思っていた方が人生楽ちんですよ。

誰からも好かれる人は、誰からも好かれる人を嫌う人によって嫌われます(妬み、嫉み)。故に、何も悪いことなどしない誰からも好かれる人が、知らない間に嫌われたりします。しかも、嫌われる理由が本人はよく分からない。それが欠点です。

真面目に考えると、恋愛以外の関係でも共に生きることはできると思うから…そういう結婚なら可能ではあるんじゃないかな。恋愛感情が無い相手と結婚する気が起きないなら結婚しないのも選択肢に入るのかなぁとも思う…周囲からネガティブな印象を持たれる可能性がある(そもそもそうなるのはおかしいと思うが)のはちょっと気になるけど、まぁそもそも結婚であれ恋愛であれ友情であれ「誰々じゃなくてよくない？」って言い出したらキリが無いんだけどね。「本人にとってどうか」が大事なのであって

YESでもNOでもないなら0を表明しろ、NULLを出力するな

「お前は海外へ逃げただけ。本当に優秀な人は国内で成功してる」とツイッターで言われると、私は少し嬉しくなります。なぜなら国内での成功が一番という認識は日本人の誇りであり、中身の無い欧米信仰よりも嬉しいからです。でも日本で咲けない人もいるので、海外挑戦もどうか応援してあげてください。

「どうしたのですか、石なんか投げて」「この人がアイドルなのに恋愛したのです」「ならば、一度も恋愛したことのない者のみ、石を投げなさい」ファンは皆、石を投げ続けた。

いやもう本当に、「節約術」を持て囃すとか数十円の安さを求めて引き換えに体力を消耗することを厭わない精神性とかを、好ましいものとして扱う危険性に皆気付くべきよな…社会が本当に貧しい時代の節約術は生死に関わる「知恵」なのだが、今のそれの多くには生きようとする美しさとか醜さあるいはその両方から隔絶された虚しさだけを感じてしまうんだよな…

物凄い切れ味の良い刃物と、とてつもない威力の鈍器の殴り合いみたいな曲

私がロンドンに住んでると言うと、お店の人に「イギリスへ行ったとき、全然英語が通じなくて、イギリス人って英語話せるんですか？」と聞かれた。みんなこの方くらいのマインドで生きたほうがいい

薄給で貯金もない、趣味にかける金もない、かといって家で勉強などはしたくない、努力もできない、頭も悪い、今後老化と共により一層能力が低下が、家の劣化の修繕費が捻出できない、それから逃げるために大量に飲酒し数年〜数十年の間に死には至らない微妙な感じで身体を壊して生きながらえる地獄人生

『スペランカー』で主人公が自分の体長の半分の高さから落ちると死ぬのがクソゲーだと言われていたが、40代になったらあれぜんぜんリアルだと感じるんだよね。

この企画ハズレばっかり詰め込んだ福袋みたいで好き

Tinderが全くうまくいかなくて無制限にLikeできる課金機能「Tinder plus」と自分のプロフィールが優先的に表示される第2の課金機能「ブースト」を使ったらようやく女の子とマッチできたんだけど「身長いくつ？」と聞かれ「165〜」と返した瞬間ブロックされててなんかそのままアプリも削除してしまった

BLでゲイを理解してる腐女子が話題になったけど、女性を崇拝してるオタクは女性に性欲を向けるオタクより女性を理解してると勘違いしてる

【最悪】

助産師「ママでちゅよ〜〜」

加齢のせいか、夏が近づくたびに考えていた「僕の考えた最高の夏」自体がもう擦り切れてきた、イデアのディティールがもうぼんやりとしか見えない、自分がどんな景色やシチュエーションに感傷的になるのか頑張らないと思い出せない、やっと思い出せたと思ったら心の動きが鈍くなっていることに気づく

息子の部屋から「お母さん、朝ごはんは朝マックにしようよ」って声が聞こえてきた。お母さんが気を抜いてて財布の紐も緩くなってるGW初日の朝を、決して見逃さない男。

「電球を変えてほしいから実家に帰ってきて」面倒くさいなーまた電球切れたの？なんて口では言うが、母の思いが察せられないほど野暮な人間じゃない。

「最近の若い子はカジュアルにアスペとかガイジとか言って引く」てのはわかるけど、その前世代は「池沼」とか言ってたし、それより前はカタワとかメクラとかまぁ色々あったわけだし、時代によって言葉が違うだけで「言おうとしてること」は大して変わらんような気もする。

菅田将暉ですら4年片想いして3回目の告白で小松菜奈と付き合えたんだから、一般人の私が1回フラれただけで諦める事ないって....

GW中に彼女と北海道旅行したくて調べてるんだけど、札幌・函館・旭川行くのに3泊４日しかなくて車もなくて彼女もいないのはちょっと厳しいかな？

4月に入ってから新社会人にアドバイスするツイートが散見されるのはいただけない。なぜならTwitterにいる日本人は能力の無い底辺社会人の割合が圧倒的に多く、最も参考にしてはならぬ人種だからだ。特に身の程を弁えず新社会人にアドバイスしてしまうような人は無能の自覚も無い事になる。救い難い。

給料も全額渡して小遣い制で女遊びもせず家事育児にもかなり協力的な旦那が、その嫁に「うーん、世間からみたら良い夫だけど、うーん」みたいなこと言われてるの見て、ほんまカスみたいな女と結婚するのだけは避けないとアカンなという気持ちが強くなるな。まじでその半分でもやらせたら音を上げDVだのモラハラだの言いそうなやつらが、旦那にはそれを強いてもなんら問題ないかのように語るのTwitterで見過ぎてうんざりなんだけど、マジで自分がそれを担う事がないと理解出来ないんだろうな。

日立製作所に入社した友達と飲み会した時、自分が“日立語録”を覚えたてだったこともあり、何かあるたびに「追加でビール注文させて頂きたく」「生ビール、拝承」とか言い続けてたら2度と飲み会してくれなくなった。

ゲイ、レズビアン、バイ、トランス、GID、インターセックスと分けても利害が異なる（個々人でさらに異なるというのは常に言える）のに、LGBTQさらに+などと付け、「差異」「多様性」という括りを立てる論理は何か。資本主義である。新たな剰余価値が生じた、という意味で一緒くたにされるのである。

個人的な所感だけど、日本は管理職や政治面に"自身への利益還元"が少なすぎるが故に、「割にあわないけど必要な仕事だから」という"男らしさ"がないとなる理由がないだけなのでは…と疑ってはいる。要はブルーカラー労働と同じジャンルになってるのでは…と

引用RTのほうが多いようなツイートをしちゃった人が「炎上はいい経験ですね～」「あえて賛否両論あることを言ってみました」「議論が深まったなら幸いです」ってFF間の人に強がってるのを見るときにしか得られない栄養素がある

結婚しないと床のシミや風呂の汁になるぞみたいなのは自分は全く響かなくて、結婚して子供がいても床のシミや風呂の汁になりたい。結局シルバー民主主義って子供世代が親の世話をするから起こるわけでしょ？結婚しても一人で死ぬ覚悟と矜持が少子高齢化社会には求められる。

でんのうせんしポリゴンのVHSあるけどうち来ない？って誘ったら「ニコ動で観れるしｗ」と断られた。嘘つけよ、と思いながらニコ動で検索したら本当に出てきた。投稿者何考えてるんだ。こんなのインターネットに上げちゃダメだろ。

自分を大きく見せるのはダサいと思って小さく見せているが、誰も見ていない。

プリキュアとして生きることは出来なくても、プリキュアとして死ぬことは出来る。

紅白歌合戦の記者会見のあとに「ところで私は紅組と白組どちらですか？」と聞いたらドッと笑いが起きて、結局そのまま誰も教えてくれなかった。

SNSをやっていてわかるのは、「世の中には話が通じる人のほうがずっと少ない」ということなんですよね…。言葉が通じると話も通じるとうっかり思ってしまうけど、会話を成り立たせる前提条件（共有知識とか信頼とか）が、見ず知らずの人とのあいだにはない、ということをつい忘れてしまうという

「ゴールデンカムイは政治的に正しい」みたいな言い方で個人的に気になっちゃうのは、その命題自体の正誤よりも、自分の好きなフィクションを好きと言うときに“社会”を迂回しないといけない、社会規範的に正当化可能でなければいけない、という意識がありそうなところ

「男の子って1度こうなったら出さないといけないんだよね……？♥️」と言って刑務所の男達を一斉に脱獄させる最強のエッチなお姉さん

男子校について「過剰に男らしさを競わされた」という語りと「男性規範から自由でいられた」（女子ウケの良し悪しで序列ができないなど）という語りが併存しているような気がするのだが、一体何が違うのだろうか。学力なのか校風なのか、同学内のグループ間の差異か。ずっと疑問。

こんな神曲出してみんなを幸せにしてるのに自分は不幸な道に進んでいくの捨て身の攻撃みたいでかっこいい

この人は違法シャブしてたけど、合法シャブを作る神なんだよな

FM聴きながら運転してたら、チャゲアスの「ヤーヤーヤー」がかかった。「ヤーーーーヤーーヤーー」と大声で歌いながら運転してたら対向車の運転手が3人連続で俺と同じ口の形をしていた。一人など拳を突き上げていた

女、「優秀さ」の定義をセンター試験の点数で測るので「優秀な女性が活躍できてない！」みたいなことを言い出すわけなんだけど、企業や官公庁にとっての「優秀さ」は継続してパフォーマンスを出すことなので、出産や育児で途中離脱する人材はそれだけで論外なんだよな。ここら辺はメンヘラや発達障害などの高学歴社会不適合者とよく似ていて、「なぜセンター試験の点数が高かった俺が活躍できないんだ！」みたいなことを彼らは言うわけだけど、毎日決まった時間に出社できない人間はそれだけでまともな高卒や専門卒以下なんですよね。社会人に必要なのは学歴ではなく出勤。試験の点数で「優秀さ」が測れると考えるの、授業に出席しなくても模試で成果出せば許された高校生までの常識をアップデートできてないんだなと感じてしまってキツい気持ちになる。成果物だけで評価されたいなら売り上げと数字が全ての自営業者にでもなりゃ良いと思うけどあいつらそれもしないからな。

核戦争で簡単に死ねると思わない方がいい。人間のやることは大体ダメなので、半殺しくらいで生かされてしまうぞ。

11時から1時間の予定で入れた会議を12時半まで引き延ばす奴は信用ならない

クリエイターが苦労して考えた「反吐の出る悪」を、現実の悪人は簡単に超えてくる。

中学のとき「でこぴ〜んっ♡」が口癖の塾長にめちゃくちゃデコピンされてたんだけど宿題をしてこない自分が悪いとは思いつつ裁判したらギリ勝てるとも思ってた

著作権侵害はやめようという啓蒙が進む一方、何が著作権侵害にあたるのかは理解されず、「描線が一部でも一致したらトレパクであり違法であるから袋叩きにすべきである」みたいな極論が場を支配している

部屋を片付けようとしているのだけれど、n要素をソートするためには2n要素分のメモリが必要であることに気づいて詰んでいる

パパ活15万x3回をするくらいなら労働すれば心をすり減らさず45万稼げるのに、というツイートを見たが、どう考えても労働45万円分の方が心すり減るだろ…だからパパ活が流行るんだよ…

パパ活をする最大のデメリットは心以上に金銭感覚がバグるからです。金銭感覚のバグを乗り越えるほど昼職で稼げるようになるしか、このバグを乗り越える方法がない。

「やたら、他人が特別な存在に見える」というのは、ほぼ勘違いと思う。「多くの人に愛される特別な人間」等、ほとんどいない。人気のアイドルや偉大なアスリートですら、「それ誰？」とか、「たいした人間じゃない」とか、言われたりするのに。「みんなに愛されてる人間がいる」という妄想が強すぎる。

ゼロ年代にエロゲや東方で盛り上がったオタクが加齢で「まとまったコンテンツを見る時間がない」と言いながらダラダラ続くvTuberのお喋りにはついていくというのはなんかよーわからん消費のトレンドやな。もう彼らはフルプライスのエロゲで遊ぶ事も2時間の映画を観る事も出来ない。

マンション販売員「本日はようこそいらっしゃいました。ご主人と奥様、まずお伺いいたしますが、私が大黒柱なのにモデルルームで接客されなかったってSNSに投稿するタイプはどちらでごさいましょうか？」

子どもの頃、公園におっちゃんという名の中年男性がよく現れていた。彼はエロい遊戯王カードを集めていて、代わりに強いカードと交換してくれるのでとにかく子どもに人気だった。当時はバカだと思ってたが、彼の歳に近づくに連れておっちゃんが正解だったとわかってきた

誰でもしてるけどわざわざ人に言わないことってあるよねという話で「みんな一回くらい手鏡で自分の肛門見たことあるだろうけど、いちいちどんなだったとか言わないじゃん」と言ったら、そんなんしたことない…という反応でびっくりした。自分の肛門なのに見た事ないの!?今晩お風呂で見た方がいいね。

もし本当に差別意識を持つことが「病気」なのであれば、その人が差別意識を今現在持っていることについてはあたたかく受け入れてあげるべきでしょう。そういう主張ではなく、差別主義者を病人という「格下の存在」にして小馬鹿にしようとするのは、差別主義者はどっちだよと感じる。

Twitterで流れてくる「ビシッと言ってやったぜ」系のツィートとか、「こんな酷いことされたんです！」系のツィート、大体の場合はツィートしてる本人に穏当なコミュニケーションとる能力がないから、我慢に我慢を重ねて最後にブチ切れるヤクザ映画みたいなことしか出来へんのである。

ここ2週間中高生の部活みたいな頻度で悪夢を見るんだけど、起床後は凄まじい不快感と「自分の傷付け方を1番心得てるのってやっぱ自分なんだな」という感心が入り混じってる

暇すぎてイオン散歩してたら、ゲーセンでなぜか自転車のヘルメットを被ったままのデブガキが、ものすごい勢いで太鼓の達人をやっているのを見れて良かった

以前夫に「あなたは嘘をつくとき目がめっちゃ泳ぐからわかるよ」と言ったら、目を見開いてまっっっすぐこっちの目を見て嘘つくようになったから引き続きわかる

なんで日本人がみんな研究者（博士）にならないといけないっていう結論になるのかさっぱり理解できん。一時期なんでもかんでも「起業すればいいんだ」って言ってたのと同じ感じがする。みんなが同じようになる必要なくて世の中いろんな人が求められているのに。やりたい人がやればいい。やりたい人が少ないのは、やっても報われないとか、魅力がないとか、あるいは逆にハードル高いとか、何かしら原因があるわけなので、それをどうこうしたいなら、ちゃんと原因を分析して施策を行うしかない。個人に向けて「おいやれよ」って言うのはソリューションにならないよ。極端なことを言えば、たとえば大学と大学院完全無償化（私立も含め）したうえで、博士の初任給を学士の5倍にするとかすれば、ほっといても爆増するよ

ツイッタで見る『海外の友人』、友人であるはずの日本人に平気で日本の悪口ブっこんできがちですよナー

男性が「年収500万くらいの人と結婚したい」とか言う理由を突き詰めると、共働きでないと家計が苦しいとかではなく年収500万稼ぐことがいかに大変かを分かち合える存在が欲しいという点に行き着く。

VtuberってVtuberやめたら実績なんも残んないからね〜〜〜〇〇大会優勝も収入も経歴もなんも書けない。ただそこに20後半の経歴不明空白期間がある無職が産まれるの怖くね？って思っちゃうよ

初デートで本を貸して、後日返して貰う。これによってさり気なく次のデートに繋げると言うテクを使ったのに普通にLINE途絶えて借りパクされた時の傷がまだ癒えない

平均的な能力の人が豊かに暮らせるのが「いい国」です。能力の高い人が豊かに暮らすのは当たり前のことです。

意外と人間関係がしっかりやれているなら、それはそれで仕事する相手としては上々だと思いますよ。いくら有能でも性格激悪の人と仕事をやるのはマジで最悪なので……。円満にやれているだけで凄い価値があると考えるべき！思いの外希少な才能なので……

学生寮に住んでいた身としては気楽なおっさん同士のシェアハウスは楽しそうだと思うんだよな。既婚、未婚の別なく、第一線を退いたロートル達はコミュニティを築いて相互扶助である程度なんとかしようっていうのは悪くなくない？

「コインを100回投げたら100回連続で裏が出ました。101回目に裏が出る確率は？」の問いに「過去に何回連続で裏が出ても次に裏が出る確率は2分の1ですｷﾘｯ」って答えが多いようだがまずコインをあらため次に投擲者の素性も洗う必要がある。

自分がその場だけ得すりゃいいという魂胆で意地汚い真似をするのがライフハックと呼ばれ当たり前にやられ、それが賢いとされている。まずスーパーの生鮮食品コーナーで棚の奥の方に手を伸ばして賞味期限がちょっとでも後の商品を取っていくのをやめろ。そういうのは結局価格に上乗せされるんだから。

大学で「渋滞」について研究してる先生によると、渋滞の解消策はみんなが車間距離を開けてゆっくり進むことだと。一人一人が少しずつ遠慮することで最終的にはみんなが得をする。急がば回れだ。しかし実際はみんな自分が少しでも得をしようと急いで車間距離を詰めるので渋滞が起きてしまうのだと。この先生の嫌いな質問というのが「どの車線を行けば一番早いですか？」なんだそうだ。「自分が少しでも得をしたい」の典型だからだろう。テレビでこの車線と答えようものならそこに人が集中して結局混むんだからどうしようもないのに。

真にお金がかからない趣味とは、頑張れば続けられる無料の趣味ではなく、月額2000円くらいで無限に時間が溶けていくような趣味だと思う。NetflixとかFF14とか。

熾烈な受験競争を勝ち抜きトップオブトップの成果を得てしまうと、それ以上上の成果が存在しないので、今度はその成果を得るまでの環境を辱めて、恵まれない環境からすごい成果を掴み取ったオレ凄い競争が繰り広げられてしまい、いつまで経っても競争から降りられないのしんどいな

仕事やめて1年経った。教えてあげよう。幸せなのは最初の2ヶ月くらいまで。家から一歩も出ない。人と関わることもない。アラームもかけることもない。ネットの世界だけ見て過ごす。何してても誰かに怒られることはない。やってみてわかる。これ全然幸せじゃない。人と関わるためだけにバイトしてぇ。そのうちクリエイティブな発想も出にくくなる。日々の生活を過ごしながら出てきたことも、家にいるだけじゃそりゃ出てこない。今も1人起きてからそのまんまの服装でパソコンに向かってる。今仕事とか学校を辞めたいと思ってる人、辞めることが幸せになるわけじゃないぞ。日々の決められたことをする、その中で自分の好きなことができるから楽しいと気づいた。久しぶりに上司にクソ理不尽なこと言われてぇ。きんたま丸出しで実家走り回って親に怒られてぇ。配信しても、動画投稿しても視聴者とは字だけの交流。頭おかしなる。

訳の分からない難癖を付けてきた相手に、何とかして自分の潔白を証明したいと躍起になった経験があるけどあまりに話が噛み合わない恐怖に体調激しく崩したし、メンタルの主治医に相談したら「それは全力で逃げた方がいい」って言われて、ああ明らかに見えてる世界が違うんだなって冷静になって逃げた。どんだけ納得いかなくてもモヤモヤしても逃げた方が結果的に得なこともある、っていう割り切れなさを、同人界隈のトレパク冤罪の話を読んでひさしぶりに思い出した。天災みたいなもんなんだよな。その場に踏みとどまって「私は何も悪いことしてない！！」って叫んでも仕方ない。誠意を尽くしても話が通じない攻撃的な相手からは全力で逃げるしかない。

「いう」のこと「ゆう」って言う人、以前は超バカしかいなかったけど、最近普通の人もゆうようになってきた。

人と段々と親しくなるにつれて、自分との趣味嗜好の差がより明確に見えてくる。近付けば近付くほどその差異から生まれる思考・行動様式の違いを感じて、居心地の良くない場面に直面することも増える。それでも差異を許容できるかどうかは、相手を尊敬できるかどうかにかかっている。「私とは思想/趣味が合わないがあの人がいうんだから」と思えば大抵のことは許容できる。他者全般に払う最低限の敬意・礼儀以上の敬意を抱いていない人の趣味嗜好が私のそれと大きくかけ離れていると、（この人と積極的に関わる必要はないな）と考えて脳内のどうでもいい人フォルダに仕分けされる。

自分の価値観に合わないからといって、ギャンブル／酒類提供／風俗業に向かって社会にとって何の役に立つんだなんて言ってる人は、じきにゲームなんて何の意味があるんだって言い出すし、そのうちマンガなんてー、音楽なんてー、文芸なんてーって、あらゆる業界に向かって火を付け始めるよ。

マジで「価値観のアップデート」という言葉を使った時点でこの人とは合わないかもなあと思うまでになってしまった。「価値観のアップデート」という言葉を多用する人、だいたいこっちの価値観は認めてくれない。

昔バイト中に理不尽に怒られて「？」ってなってたら、後から「お客さんの前だからわざと強く怒った」と言われた。まじでこういう思考の人間いるんだぜ。

ぼーっとインターネットしてると1時間くらい平気で溶けるが、筋トレの最中は5分でも永遠に感じられるほど長い。つまり、主観的な寿命を延ばす方法は、苦痛に満ちた時間を過ごすことだと結論付けられる

看護師・心理士・教師など対人関係が主の仕事って、適度に共感能力が低い人の方が優秀な気がするわ。

学生時代の貧乏バックパッカー自慢とか実際全然貧乏じゃないし、ホントの貧乏学生だった我々そんな旅行してるよりバイトとかでカネ稼がなきゃ生活できなかったし、単なるボンボンの貧乏ごっこよね

火垂るの墓のマスタングの機銃掃射シーンで「かっこいい」と感想を言った同級生がしこたま怒られた上に感想を言い直させられた小学時代を思い出す

ブルーオーシャンと聞くと、以前同僚が社長に「ここは大手が参入してないブルーオーシャンです」と言ったら、「大手が参入してない理由が分かるか？儲からない死海だからだよ」って返り討ちにあってたのを思い出します。

プロゲーマーが問題起こす度に「スポーツや武道では礼儀を教育されている」みたいな嘘が蔓延るの謎すぎる。もし練習と試合中マイクで音声全て拾ったら全競技で問題起きとるわ。そもそも競技の本質は「加害」なのであって、相手を負かして上に立つことに人生賭けられる奴が人格者たり得るわけ無いやろ

人生とは、人より1ミリでも遠くまで飛んだかを競うものでも、人より1円でも多くお金を貯めたかを競う競争でもなく、自分が死ぬ際に苦痛の中走馬灯のように振り返り少し笑顔でプラマイあわせて幸せ寄りだったかなと思えるかを愉しむゲーム

アニマル浜口の言う「気合いだ」と「オイ」の数は毎回一致してないけど生涯のトータルでは一致してるのだとしたら怖いな。

親に向かってなんだその【うるおぼえで歌ってみた】only my railgunは

就活の自己分析と同じで、今までの人生を定義し直すんよね。恵まれた環境で育った人間を集める事で、恵まれているという意識をなくし、自己の利得のために全力を出せる人間を生み出すイニシエーションみたいなとこある。

いわゆる「世間並み」といわれてる人についても見聞すれば、部屋が超絶汚かったり、ペットや家人を虐待してたり、鬱病の薬飲みながら働いてたり、パチンコ中毒だったり、借金まみれだったり、変なAVでオナニーしてたり、温厚だけど唯一の趣味は海外での買春だったり、鼻くそ収集してたりとか壊れてる側面があることがわかります。みんな必死に普通を装っているだけです。世間なんて集団はなく、ただの幻想です。実態の無い世間とやらに囚われて苦しむ必要はありません。

「性犯罪が減らないのは、性的な作品があるからで、その影響を受けるから」という考え方が一般化した場合、犯人には「そういった作品の影響を受けてしまった」という逃げ道を与えてしまう。これでは「性犯罪を減らす」事には寄与しない。なぜなら「情状酌量の余地」を公式に与えることを意味するからだ。つまり犯人は「性的作品のせいにすれば罪が軽くなるかもしれない」という希望を得てしまうことが考えられる。少し考えれば「性犯罪の責任を性的コンテンツの影響だということにする」ことは簡単でも危険な方法であるということがわかるはずだ。「性犯罪の責任は性的コンテンツにある」とした場合、犯人には言い訳を作る可能性があるが、それが好きな人や作る人など、何の罪もない人が犯罪者のような扱いを受けたり、本来罰するべき性犯罪者よりも、それら作品の愛好家や表現者を摘発・治療せよという世論になりかねない。要するに性犯罪者は、それらの影響を受けた「治療・矯正するべき患者」であり、それらコンテンツの関係者こそ、要因を作るから罰するという最悪の事態に繋がるのよ。本当に性犯罪撲滅したいなら、コンテンツ規制なんて二の次、三の次のはずなのに、なぜコンテンツ規制には熱心なのかな

公文式についてネットで調べて値段を見て「た、た、高ぇぇ〜〜！！」と思った瞬間、「教育は投資です、この内容でこの価格は安すぎるぐらいです、どこに価値を置くか、親の資質が試されているのです」という旨の書き込みを見つけて「う、う、うるせぇぇ〜〜！！」と思いました

板垣退助が凶弾に倒れた時、「板垣死すとも自由は死せず」と言い遺したのは有名な話だが、その後に「部活ある人部活頑張れ」と続くことはあまり知られていない。

知り合いに「太古の昔」を想像するのが苦手な人(自分が生きている土地にかつて恐竜がノシノシ歩いていたのを考えるのが嫌)や「宇宙」を考えるのが苦手な人(憂鬱になるらしい)がいて、みんなそれぞれ苦手ポイントがあるなーって思う。私は新幹線から見る団地が苦手(みんなの生活を想像して気が遠くなる)

日本のテレビは、どこもかしこも、なんでタレントがモノを食べて、画面の隅っこの枠の中で、別のタレントがそれをジッと見ているのだろう。謎だ…

「西洋古典に比べて日本古典は自国に閉じすぎ」という呟きをみかけましたが、そういう時に想定される西洋古典はナショナリズム以前（ex.ブリテン島人がなぜかギリシャ古典を「我が古典」と思い込む）で、日本古典についてはなぜか漢籍や仏典が抜けているという特徴がありますね。

「自分を大事にできない人は他人を大事にできない」とよく聞くけど、あれあんましっくり来たことがない。そのもう一個前に「他人に大事にされない人は自分を大事にできない」があるだろ、と思ってしまう。そして「自分を大事にできない人は他人を大事にできない」なんて言い回し、大事に思ってる相手に使う言い回しじゃない気がして、なんだろう、その言葉があることで負の連鎖生まれてないかって思う

差別的ニュアンスを含まない罵倒、日本には古来より「アンポンタン」とか「唐変木」や「デクの棒」などといった、いかなる属性の人に対する差別も含まないやさしい罵倒の語彙が豊富なので、そういった先人の知恵を活かしていくことが大切ですね

面接官「このボールペンを私に1万円で売ってください」

学生「え？あ、はい、お買い上げありがとうございます」

「身なりで差別しなきゃしょうがない。服装が汚い奴は大体薬物か何かの中毒で、近づくと危険だ」という発言があり、私はこれに完全な同意はしませんが、「服装が汚い」から「薬物中毒」を警戒しなければいけない社会的階層と、「変わり者の大学教授」程度を想定する階層があるんだよなとは思います

デリカシーがない人嫌いですって公言してる人が他人のデリカシーに配慮してる言動取ってるのを見たことがありませんね。

カラコンって左右で赤と青入れたらやっぱり3Dに見えるもんなの？

実家のお店に泥棒が入ったらしいけど、父が「鍵開いてるのに無駄に窓割るな💢」って怒ってて笑った

【バスで両替する時あるある】

怒られる気がする

ほんまに性欲さえ無くなればもっと効率よく勉強できるしスムーズに志望校も受かる気がする

何がスタンフォード大出て本を出す、だ。俺なんか腰の骨折って寝たきりになったり、文転浪人して国立滑って私立文系入ったり、就職浪人してやっとこさ入った金融系2社をとち狂って辞めて、モスクワに留学や！ってロシア行ったら開戦で全てパーになって、今や風俗店の受付バイトだぞ。俺の人生を読め。

【汚れた消しゴムを使うときあるある】

机でリロードする

夫がダメな人アピールとか、夫叩きツイートとかやってる人妻垢やママ垢見るたびに思うんだけど、「私はそんな相手を選んで結婚した、見る目がない女です」「私はそんなのとしか結婚出来なかった女です」とアピールしてそれが拡散されてるんだよ、って自覚が全然なくて、本当に頭悪いよなって

むにゃむにゃ……こんなにたくさん生きられないよ〜

【三者面談が終わった時のお母さんあるある】

｢郵便局寄って帰るわ｣

宇露戦争、始まってまだ2ヶ月半で既に半端なく長く感じる。実は以前は独ソ戦やWWIの4年って短くねと感じていたんだが今はどうやって4年間も戦ったんだという気持ち。「厭戦気分」って教科書で読んでも実感が無かったが少しずつ体で理解してきた。

小学生ワイ(実は世界は何も無くてワイの視界に入った瞬間都度その部分だけ作られとるんやないやろうか…)

哲学「それももう他の人が考えたよ」

町並みとかそこらの人とか気持ち悪くて仕方ないわ。ワイの知らない人生が各家はおろか各人ごとにあってそれがこんなにもウジャウジャしてることがめちゃくちゃ気持ち悪い。ちょっとでかい住宅ビルがあってそこに1000人住んでるって聞いてゾッとしたわ。別にタワマンとか六本木ヒルズみたいな超巨大マンションとかじゃなくて、10階建てとかのちょっとでかいだけのマンション。その少しでかいだけの建物の中にギチギチに人が詰め込まれてて100世代ぐらいの家族がそこで生活してて、そのビルが崩れただけで1000人死ぬってこと。ゾッとした

社会的に成功された方は「こうあるべき」「こうしなければならない」という社会の要求、願いに応えて成功されたのだと思う。それが社会と噛み合ってる時はよいけど、噛み合わなくなると空虚な気持ちになるのではないか。もっと自分の気持ちをニュートラルにして、自分が楽しいと思える事や、幸せを感じれる事、豊かに気持ちになれる事をやってよいと思う。

いきなりキレて殴ったらそりゃ駄目だが、ブラックやセクハラ企業で我慢せず即転職、とかは良いベクトルの「我慢しない」だと思うがね。昭和は我慢を美化し過ぎた。

選択肢のある有能者ならともかく、おれのような行き場のない無能者の人間には労働に対して楽しみも楽しみでないも、両方ない。空気を吸わなければ生きていけないように、低賃金労働にしがみつくしかない。

申し訳ございません。経理の佐藤はただいま箍（たが）を外しておりまして、およそ会話と呼べるものは成立しない状態です。

「ジャッジメントですの」と言いながらやっていることは判決ではなく執行(enforcement)である

初めて赤ワインを飲んだ時の「何でこの見た目で甘くないの！？」って気持ちは忘れられないし今でも若干納得いってない。

【顔になんか付いてるあるある】

逆

知識人の多くは、全人類が知的になれば社会が良くなり皆が幸福になると無邪気に信じているフシがある。怖いわ。

他人は自分に対して・自分も他人に対してそれぞれ勝手に判断をするんだから、結局好きにやってみるしかないんだと思う

「準備しないと出来ない」って、物事を始めない一番便利な言い訳で、これを使う限り、絶対にモノは作れないと思っている。物を作り始めるって「出来ない自分を知る」ことなので、おっそろしいほど怖いしキツいんだけど、モノを作ることを始めて最後までやらない限りは絶対に作り手にはなれない

「サトシってなんで歴代ポケモン総動員してガチパ組まないの？」「おまえは小中高で最も仲良かったやつ一人ずつ集めて4人の飲み会開くんか？地獄やぞ」

置かれた場所で咲きなさいと言われても、場所に関係なくそもそも咲くのは難しいし、そのうえ咲いてみたところでそれを見て楽しむのは他人たちで、自分には関係ない場合が多いように思う。説教としてなら、隠れた場所で咲きなさい、とか、見えないところで咲きなさい、のほうが美しいと思う。もっと過激に、秘密の花を咲かせなさい、ならもっと美しいと私は思うけれど、説教にはならないな。

「○○が犯罪を誘発する」論には致命的な欠陥があって、まともな社会性のある人間に備わった「遵法意識」「他者への共感」といった、反社会的行動をブロックする心理的要素が完全に無視されてるんですよね。要するに、表現物ごときに影響されて犯罪を犯すような奴は、そもそもまともではないんです。もちろん、架空の物語やらが特定の欲望を刺激するとか、具体的方法を示すとか、そういう側面はあります。一方で、欲望に対するガス抜きになったり、注意喚起になるという側面も同様にあって、どちらの影響が大きいかは理屈で考えても分からない。もし本当に「犯罪を減らすこと」が重要だと思ってるなら、ここは数字で見るのが筋です。日本の犯罪率の低さもあって、規制を主張する人たちは数字で見るのを避ける傾向がありますが、それでは「実は表現規制さえできれば犯罪は増えても構わないのでは？」と勘ぐられても文句は言えません。

老後に返ってくるから払ってるのに実は返ってこない年金の叙述トリック

匿名ラジオを聴いていたら「"他者と交友を深めるには何かコンテンツを提供しなければならない"という強迫観念に駆られ重武装で交流に臨むのは間違いであり、そういう緊張を解いたリラックス状態で関わる事のできる人間と本来は友人や恋人になるのだ」という言葉が突然飛び出してきて私を貫き、死んだ。

Twitterだと「自分が運動嫌いになったのは、体育教師の非理論的＆個を見ない教え方と、周囲の嘲笑のせいで、それがなければもっと早く運動を好きになれてた」みたいな物言いって、当たり前のように受け入れられてるけど、それがほぼ勉強にも当てはまるとは考えられないのが、いかにもTwitter民だな、と。で、こういうことを言うと「勉強はやり方をちゃんと教えられての競争だから、自分が得意だったのは正当なことだ」みたいな反応が必ずあるけど、勉強も基本的には「公式はこれ→はい、問題解け」みたいな感じで、個を見た教え方なんてされないし、それで適正がなければバカと呼ばれて放置ですよね。唯一、正当性があるとすれば、運動はできないところが隠しようがなく、勉強は（特に最近は）順位を隠すってことはできるだろうけど、それをもって「運動の教え方は非効率の極みで、勉強はちゃんと教えられての競争だから、自分の勝ちは正当なことだ」につなげるのは、あまりに論理の飛躍がありすぎでは

初対面で「すごくいい人っぽいんだけど、ちょっとだけ違和感あるなぁ」と思ったら一線ひいてください。そういうケースは「マジでやばい人」の可能性が高いです。自分の感じた違和感は大切にしてください。

ラーメンの食べ過ぎで不健康になってる人間の言う「ラーメンなんて嫌いだ！」は、「私は頭では分かってるのに食べるのを止められないほどラーメンが好き」という意味なのと同じように、クズ男性に引っ掛かって泣く女性の「こんな男性は嫌だ！」は「私はこんな男性に弱いです♡」と解釈するのが正解です

「科学的な知識がないから反ワクチンになってしまう、だから教育が大事」というのは一見正しく見えますが、現実で反ワクチンに傾倒されている方を見る限り、科学的知識以前に、小学校6年生までの国語能力や、一般教養の範囲で躓いている方が多いように感じます。反ワクチンの方が正しい情報では説得できない、というのは心理的な要因にプラスして、そもそも文章を正しく理解できていない、読めていない、といった側面があります。過去にも何度か書いていますが、端的に表現すれば、【ニュースの見出ししか読めない人】が反ワクチンに傾倒しやすいです。

肉体労働系の現場では酒・ゲーム・ギャンブルあたりは主要な話題だろうし教養と言えるだろうね。イギリスなんかでは中流はチェスの定石を下流は地元サッカーチームの選手を覚えるのが階級に相応しい教養であるように、自分の所属に見合った教養を身につけることが重要よ

店員とかに「〜してもらう」ことを「〜させる」と言う人は嫌い。正直に言うけど、嫌いになった時点でそれ以上親しくなろうと思わないので、そういう言い方をする人がどんな人なのかわからない。深層心理に切り込むこともできない。仲良くなったら意外といい人だったかも。けど嫌いだからしょうがない。

「土木とか建築とか、技能が必要な仕事は男が独占してただけ！」と言ってる中高年がめちゃめちゃ怒られてるのを見たんだけど、「じゃあやればいいやん」以外に言うことないんだよな。めちゃめちゃ歓迎されるよ。どこも女性大募集してるし。どんどん参入して賃金格差を溶かしてくれ。そんなこと言ったら「なんでやらないの？」と帰ってくるだけだと思うんだが、根本的に男女をひっくり返しただけの性差別が染みついてると、ああいう「バカにし返す」ことを平等への闘いだと勘違いしたままアラフィフを迎えてしまうんだよな…ただただ厳しい。肉体労働でない、空調の効いたオフィスやテレワークで仕事できるSEやPGですら女性が全然増えないんですよね。それで一般事務志望が多すぎて買い叩かれている。不思議。

ちょっと前に小熊英二が「夫が必死こいて残業残業で800万稼ぐなら夫婦で400万づつ働いて定時帰りすればいいじゃない」などと朝日新聞のコラムでほざいていて、社会学者が社会を知らんことは知っていたがこれは底が抜けているなと思うた。

女性に対して「炎天下に重い鉄骨を両肩に担いで肩口を熱された鉄骨でちょっと火傷しながら重機が入れない様な現場を何往復もする様な労働をやれ」とは言いませんが、「自分が出来ない事・やった事ない事に対する想像力を少しは働かせ、その仕事をする者達に敬意を払ったら如何か」とは思う。クレーンやパワーシャベルの操作だけしか建築現場でしなくて済むなら、やればいいんじゃないの?人の仕事を軽く見るのは、やめたほうがいいよ。現場でクレーンや重機が動いてる時には、クソ暑くてもクソ寒くても数人程度の人員が付帯作業をする必要があり、炎天下で熱中症寸前になってたり防寒着で足りずに震えてたりする。勿論女の人がそこに参入してくれてもいいと思うが、あたしはそんなの見たことないし見ないで済む方がいいと思うよ。

夫と会ったばかりの頃、話の中で「僕は最近怒ったことないですね」と言われて、へーそうなの私は毎日が怒りに満ちていますと流してたら、家に帰ってから「5年くらい前に一度知人に怒ったことがあったのを忘れていました」ってメールが来たの、過去に遡っての訂正を躊躇わない理系しぐさだったのかも

赤ちゃんを連れた主婦「1人1パックしか買えない特売の卵2パック買うンゴ」

店員「だめです」

これを認めたら店員の目の前で射精して1億パック購入しだすやつが現れるからNG

ワイが厚○省に勤めてる時に残業代が予算に組まれてないとかでサービス残業が月に80時間くらい発生してたんだけど、「最低賃金は〇〇円です！by厚○省」みたいなポスターが廊下に入ってて見るたびにキレてた。

能力本位主義は、メンタルやられるよ。若者こそ、騙されないでね。能力本位主義だの成果主義だので、イイメを見れる奴は全体の1割。その1割も40歳頃に（能力に嫉妬した敗者の群れに）足元をすくわれて脱落する。

「絶対にミスは許されない！」と言いながら、「みんなそれぞれ死ぬ気で注意しろ！」という指示が飛ぶだけの職場。よしッ！！

新興宗教の信者たちの顔に浮かび、北朝鮮の善男善女たちの顔に浮かぶ、あの不気味な明るい笑顔は、啓蒙の欠如によるものではない。啓蒙の光に照らし出された闇の欠如によるものなのだ。

社員のリストラを遂行していた中間管理職が、リストラノルマを達成したとたん、自分が最後にリストラされた。という話を思い出した･･･。リストラ遂行中に、多くの辞めさせた社員の恨みを買って、それでも自分が会社に居残るために頑張ったのに、最後の最後でリストラされる「予定」者にされていたらしいのは、気の毒だった。

Twitterの陰キャが嫌うゴルフや会社の飲み会ですが、Twitterの陰キャが嫌っているという事は、つまり社会の中においてはそれなりに大事な行事であると言う事です。

あ〜ったく面倒クセー！ようは全員ぶっ倒せばよくて、自治体によってゴミの出し方は様々ってことだろ！？

小学生がよく使ういい返しで「なんでやっちゃいけないの？法律で決まってるの？」ってのがあるんだけど、些細なことながら「なんだその奴隷的な遵法精神は」と思っちゃうのだよね。

ルイボスティーは「世の中にはこんな風味の暴力みたいなお茶を好んで買って飲む奴がいるのかよ…」って買って飲むたび思ってる

小学5年のとき、暑すぎるからって親が水筒にスポドリ入れてくれたんだけど、どこからかそれがバレて先生に呼び出されて「いいのはお茶か水だけ」って怒られたのいまだに小癪すぎて笑ってる。そのときのおれはまだ素直だったので、「じゃあ僕が熱中症で倒れたら先生責任取ってくれるんですか？」とは言わなかったな

実業家の斎藤一人さんという人が言っていましたが、職場には、一人か二人、どんなに探してもよいところが一つも見付からないという人がいるものなのだそうです。そして、そういう人のことは、「達人」と呼ぶようにすると、ストレスに感じることも、楽しめるようになるのだそうです。恐らく職場にはその先輩教師に対して、同じように感じている同僚もいるのではないでしょうか？3〜4人で仲間をつくってこっそり集まり、「今日の達人どうだった？」「今日もまた怒ってたよ」などと言い合って憂さを晴らすと、気が楽になるかもしれません。例えばお互いに達人を観察し、今回は塩対応されるのか、好対応なのか予想して、当たった人はジュースをもらえるなど、ゲーム感覚で楽しんでみるのもどうでしょう。

ピッチに漂う霧は....毒でしょうか？？...選手たちの動きが鈍くなっていきます

日銭を稼ぎ自分の周りの人のために生きる以上に尊いことなんて一つも無い

己の中にいる小学生の自分が「疾病」のことを「しつびょう」と呼ばせてくる。

子供の時、よくこういう旅館に連れて行かれてワクワクしたわ。あの頃といえば親もまだ薄給で、精一杯の家族サービスとして無理してこういう旅館連れて行ってくれた。まあ会社の福利厚生のボロ施設なんだけど、うちの母ちゃんもなんだか本当に幸せそうで、普段着ない浴衣姿で妹と合わせてトランプとかやってさ。早く寝るんだけど、その時の静けさと障子越しの月明かりがなんとも言えない雰囲気。朝は早々に起きて、近くの観光地巡って、お昼はそば食べて、でも、有給は長くないから2日で家に戻っちゃう。とても楽しいけどすぐ終わる旅。両親と違って俺はそういう家庭は築けてないし、築けそうもない。俺もあんなふうに誰かを幸せにしたかった

スーパーの前の焼き鳥カーにいつも繋がれてる柴犬が今日はいない。嫌な想像が頭をよぎったらひょっこり助手席から顔出した。よかったな寒いから中に入れてもらってた

生きづらい時ってある意味生きづらさにアイデンティティを感じちゃうんですよね。わかる。そして学歴や自分の属性にアイデンティティを持ちたくなくて、どう違うところでアイデンティティを置くか悩む日々です。

国と国との条約の調印ですら調印式の前に内容を詰めて詰めて詰めた上でセレモニーとしてサインするんだからどこでもオフィシャル、アンオフィシャル限らず根回し・ロビー活動なんていくらでもやっているわけで…そこが日本特有の働きづらさと言うにはちょっと短絡的すぎないかな

信長の草履を懐で温めていた秀吉だって一歩間違えれば「気色悪ぃ」って叩き切られてたかも知れないもんな。「気が利く」を因数分解すると「空気を読む」+「越権」になる訳か。なるほど。

そこ発祥じゃないのに「TikTokの曲ですよね？」「○○さんの作品で見ました」みたいなこと言うのって結構嫌われるけど、この前パンダに対して「呪術廻戦の動物だ」って言ってる子供がいたのは面白かった

40過ぎてふと思い返すと、今まで出会った人達の中で「第一印象が最悪だったけど、実は良い人だった」というのは1人もいません。最初に「ん？」と感じるのは敬意が欠けている人で、これは相手の問題なのでこっちが頑張っても徒労に終わります。消耗する前に人間関係の構築を諦めると気が楽になります。

昔は良かった、というような事を言う人は割とよく見かけますが、本当にそうでしょうか。昔はお酒を飲む事を強要されたり、アニメが好きなだけで「気持ち悪い」と言われたり、教員の体罰が当たり前のように容認されていたり、といった事が横行していました。私は昔より今の方が良くなったと思います。

そちらに困られてもこちらも困りますとしか返しようがないです。お大事になさって下さい

私もかつてはリベラルだったけど、フィンランドの出生率が日本よりも低かったり、アメリカにホームレスが50万人いて日本よりも圧倒的に多くドラッグも蔓延してたりなどの事実を一生懸命見なかったことにして「欧米では！」を唱え続ける思想をインストールするには信仰心の容量が足りなかった。

シバエリ嬢が佐藤先生に「緊縛界隈では縛られたい人が多いの知ってますか」と尋ねたら、そこに「でも人前でやっちゃダメだと思います」と素朴に返してる人がいて、自分たちは歌でも映画でもドラマでも本でもあちこちで惚れた腫れたの発情ダダ漏らしなくせによう言わはるわあと呆れてしまった。あんなサラッとした水みたいな片鱗も見たくないという基準、いわゆる「ノーマル」な異性愛に置き換えたらまじでヒジャブの世界だと思うけどな。LGBTフレンドリーとかもみんなそうやねんな。異性愛者と同じように結婚とファミリーに憧れる少数者は受け入れてあげます的な。異性愛者とその他の性的指向では常識も倫理も様々違ってあたりまえなのに、行儀のいい、異性愛者の常識に帰依する少数者像でどんどん漂白しようとする、理解できないものは異性愛男性の“特殊性癖”だから物陰に押し込めたり制限したり矯正したりしてもよいというの、すげえ傲慢だなと思う。

プロテイン＋筋トレ＋ストレッチにより肩凝り腰痛から解放されたが、温泉に入っても染み入るような気持ちよさが喪失し「ただの広い風呂だ！」ってなるので、温泉の気持ちよさは不健康とのトレードオフだったんやなと

だいたいのことは、とくに反省することもなく、うるせえばか！というカンジで、ただ生きていけばいいんだ。反省したくなったらするから。反省したくないうちはそれでいいんだ。させられる反省ほど実りないものはないよ

看護師「少しチクッとしますよー」

患者「はい」

看護師「すぐにフワッがきますからね～」

患者「本当に大丈夫なヤツですか？」

「へえ〜中にはそういう考えの人もいるんですねえ（私は違いますが…）」で全て押し通している

外で稼いでくるのが育児か育児じゃねえかとかいう議論の何が不毛って、お金ないと子供育てられないんだから必要に決まってるじゃないですか、稼ぐの。面倒見ないと死ぬかもしれないんだから必要に決まってるじゃないですか、育てるの。で、家族が生きていくためには家事も必要で。家族ひとつが食って生きてくために構成員のうちの成人がそれらを担うのは至極当たり前のことで、でも個々人が病気だ障害だ出産だとか細かい事情だでそれが十分に叶えられないことは当然起こり得るよね、でその時に補い合うのも家族だからなわけでね。そうやって補い合う家族という形をとっているにも関わらず「これをやっているからこれはやらなくていい」みたいな一方的な役割分担を強いたら助け合って生きていけないよという話だよね、これは夫婦男女どっちがどうとかじゃなく。うちも夫とコミュニケーションがうまくとれなかった時期にこの辺のことですごく揉めたりしたけど、結局は「自分の方がより大変」ってどっちかが思ってたらうまくいきゃしないんだよね。で、なんで拗れやすいかって、女性は産後「どう考えても自分の方がしんどいだろうこれ」っていう状況を経験してしまいやすいんだよね。出産と産後すぐの育児でね。その時に自分に寄り添ってくれなかったように見える配偶者の言動はいつまでも恨みつらみとして残りやすいねえ、呪いみたいなもんだ。でも漫画「プロチチ」の中で働く妻（夫は専業主夫）が会社で愚痴ってる場面にあるように、自分名義のローン背負って「自分が倒れたら家族が路頭に迷うから」と辛くても出勤しなきゃいけない大黒柱のしんどさというのはそれはそれで確かにそこにあるわけでね。それとこれとは並べて比べられるものじゃないのよ。どっちがどのくらいしんどいかなんてどんな調べ方しても答えはないの。個々人の数、家族の数だけ違うものだし、測りようのないものだから。働くのに向いてないとか今の仕事がしんどい男性がじゃあ主夫になりたいと思ったとして、この国の男女の賃金や雇用環境の差は今でもレッキとしてそこにあるわけでそう簡単にはいかないかもしれない。でも少しずつだけど、多様な家庭のあり方は容認されつつあるし、私の相互フォローさんの中にも主夫さんは複数いらっしゃる。リアルの周りにも少しずつ増えてる気がする。いろんな選択肢が取りやすくなるといいなと思う。なんでも同じだよ、夫婦でも学校の先生と保護者でも親子でも。「自分の方が大変」「だから向こうが配慮すべき」と思っているうちは何にも前には進みゃしないよ。

小児科の先生が「裏ごししなくても食べる子は食べます。裏ごししないと食べない子は前世が貴族です。」って言ってたのちょいちょい思い出してツル氏の前世を見定めようとしてる

金持ちが「清貧は素晴らしい」と言っていたり、高学歴が「学歴なんて無くても構わない」と言っていても、耳半分で聞いておいた方が良い。それが無い状態を想像できない恵まれた人たちの戯れ言なのだから。お金や学歴の価値は、それを持たない人の意見の方が、よっぽど参考になります。

人は自分が持っていないものの価値を過大評価しがちである。「○○さえあれば、人生はバラ色になり、幸せがつかめるのに」と思いがちだけど、そんな単純な話でもない。お金も、学歴も、あった方が良いけれど、それだけでは満たされない。お金がある程度あると、お金で買えない幸せが欲しくなるし、学歴があっても同じような学歴の人たちとの競争に勝つには、学歴以外の武器が必要になる。どこまで行っても、人間は無い物ねだり。

責任をとれないなら、関わるべきではない。たしかにそうなんだけれども、それを突き詰めれば、人は他人の人生になど責任をとれないのだから、誰にも手を差しのべたり寄り添ったりできなくなる。無責任と責任とのあわいで他人と関わることが、おおらかにゆるされる世のなかであってほしい。宗教なら、たとえば「最後には神仏が責任を負ってくださる」だろう。スピリチュアルなら「占いでこう出た。ええい、やってやれ」かもしれない。責任云々でいえばみるからに無責任だが、そもそも人間が十全に責任を負わねばならない、それもつねにとなれば、息が詰まってしまう。敬愛する占い師、加賀優作さんが「お客さんの背中を押すだけ」とおっしゃっていたのを想いだす。その人のなかで結論は出ているが、最後の一歩を踏み出す（自分に責任をとる）ことができないとき。「占いでこう言っているから」というアリバイが勇気を促すことがある。そういう「無責任」が要る。

とくに経済や生活、健康などに困っていない人が「人間とはなにか」「神とはなにか」といった問いから教会の門をたたく。そういうケースがほとんどなくなった。じつは戦後かなりのあいだ、そういう人たちが教会を経済的に支えてきたのである。

ヤフコメって罵詈雑言と誹謗中傷の巣窟で、なんのために存在するのか不思議だったのだが、閉鎖されるとPVが3分の1に落ちるんだって。なんてことはない、配信元が広告料を稼ぐため、憎悪とヘイトで燃やしてたのか。意外性ゼロのオチだな。

ネットバトルのために別垢作って一人二役やったりするの、良い悪いとか以前に「おいおい、人生って一回しかないんだぞ？ええんか？」って気持ちになっちゃうんだよなあ……。だってほかにあるじゃん。時間の使い方

これは数年前から思ってるんだけど「自分の機嫌は自分で取れ」って言葉、帰りに買うの楽しみにしてたプリンが売り切れてたとしても切り替えて他のスイーツ買おうねみたいなことであって、冷蔵庫にあった人のプリン勝手に食った張本人が自己正当化するための言葉じゃないんだよな感がすごいある

ちょくちょく似たようなこと書いてますけど、頭がおかしい人って一貫性がないと世間では思われがちだけど、むしろ逆のことが多いと思ってる。たとえば十年間特定の誰かをストーキングする人とかってめちゃくちゃ一貫性あるわけだし、十年間やることコロコロ変える人とかってめちゃ一貫性あるわけで。要するに一貫性っていい方向に発揮されるばかりじゃなくて、ロクでもない方向に発揮される一貫性ってあるんですよね。悪癖とかだってだいたい一貫して同じこと繰り返しますしね。もっとざっくり言うと、おかしくなった人って時間止まるんだよ。変化とか柔軟性ってむしろ健康よりの特質だと思う。

ある種のインテリがアナキズムに惹かれるのは、まさに肉体的暴力のないゲーテッドコミュニティに自分は逃げ切ったからとの自負のように思えますね。有利にルールの暴力（＝知力）で殴り合える世界。私には理念的グローバリズムも同じものに見えます

自分が中学生の頃は親が思ってるより、自分は大人だと思ってたけど、実際に大人になると、中学生なんて子どもだと思うんだよね。

中学生の頃、掃除をサボって遊び回っていたら、担任から怒られて、「なんで掃除をやるのか言ってみろ」と言われたので、「教育という名の経費削減」と答えたところ、「わかっているならさっさとやれ」と言われ、以来真面目に掃除するようになったことを思い出した。たぶん、掃除の意義や目的が大人によって誤魔化されていて、そこが納得できないところがあり、素直に掃除しなかったんだろうな。それで、ストレートに本音をぶつけて、正しかったから、掃除に意義を見出せるようになったんだと思う。

娘のサイズアウトした服を大量に捨てながら「ずっと捨てられなかったのになんで今日はこんなに潔く捨てられるんだろう」って自分でも不思議に思いながら作業してたんだけど、休憩しながらふと「ああそうだ、2人目が産まれるかもしれない」と思って残しておいたんだと気づいて寂しくなった。

神真都Q、低学歴版オウムって言われてるのしっくりくる

神真都Q、電車にたまーにいるめちゃくちゃ頭おかしい人を集めた感じでなんか感動する。オールスターが集まった感じ

ナンパ師ってゲームで言えばストーリーモードをクリアした後もエンドコンテンツを延々とやり込んでるような状態なのかな

ついに気づいてしまったけど、「好きだから付き合う」じゃなくて「嫌いなじゃないから付き合ってみる」が出来る人から順番に結婚していってる気がするな。

どんなに慕われて愛されても、金も有名度も若さも関係なくて「何でも打ち明けられて味方になってくれる存在」がいないとこうなってしまうし逆に一人でもそういう存在がいれば人生なんとかなる気がするのが最近の持論

ロシアの侵略戦争、駐車禁止のカラーコーンをいつも通り吹っ飛ばして無断駐車しようとしたら中にコンクリ入ってて車が凹んだ並のダサい感じになってるので、早くやめて帰った方がいい

YouTube動画のサムネ、どれもユーザーを引き寄せるのに死に物狂いで過剰な言葉を過剰なフォントでぎっしり詰め込んでいるせいで、おすすめ一覧見てるだけでパチンコ店に軟禁させられた気分になる

上島竜兵の訃報を聞いた瞬間にツイートするために志村けんと上島竜兵が一緒に写ってる写真を探すような人間にならなくて本当によかった

「ゆっくり霊夢です」

「ゆっくり魔理沙だぜ」

「今日は東方Projectについて解説していくぜ」

「霊夢は東方について何か知っている事はあるか？」

「うーん...実はよく知らないのよね」

ドラゴンカーセックスは今日ではギャグとして受け入れられていますが、ドラゴンが湖畔に建つ綺麗なお姫様みたいな白亜の城に必死に求婚してる様子は、強大な存在が物言わぬ無機物に夢中になってる辺り尊厳破壊シチュとして純度が高いし哀しくてチンチン勃つんですよ。

ものつくり大学 破壊学部

早死にするオタク「塩ほんとすこ」

深夜のコンビニを一人で担当してるバイトの爺さん、レジ袋を2枚お願いすると1枚分の料金しか取らない（3円負けてくれる）サービスを勝手にやってるの好きすぎる。優しさの中に"反逆"が滲んでいる

部長「社会人にもなって、基本的なマナーができてないヤツが多くて困るよ!」

私「ホントですよね。新人が元気よく挨拶してるのに無視、定時直前に仕事を振り、対応した部下に『ありがとう』の一言も言えず、それでいて宴席マナーだけはうるさい…30年も社会人やっててそのザマかよ、と幻滅します」

無駄や貴賎はないけど、ギャラの違いはあって、価値の高低はある。そういう部分に目を瞑って自己肯定しぐさばかり身に着けていくと、就活お祈り連発で心が折れたりする。自分が路傍の石だという諦観も大事。

核3原則

１．持つ

２．撃つ

３．勝つ

キッザニアは子供が"大人"を体験するテーマパークって聞いたけど、逆のはないのかな。大人しか入場できない、大人が子供に戻れるテーマパーク。泥遊び、夏休みの自由研究、読書感想文、昼休みにドッヂボール、チャイムと起立礼、図画工作、委員会、合唱コンクール、部活の朝練、放課後のマック。

「AであるほどBであることがわかった」という結果の論文が出たというニュースに対して「Aな人はCなのでBできるという疑似相関なだけでは。」とコメントする奴がいるけど、いい加減黙っててほしい。その道で何十年やってる研究者が交絡について考えてないわけないだろ

週刊　世界の複雑さに耐える

今週はあぶりチーズポークカレー寿司に耐える

「芸能界の闇」発言について考えてみたけど、「あれだけ稼いでいる芸能人にも、一般人には理解できない闇がある」という風に心の中の公正さを保たないとやっていられないんだろうな、と感じた。だって、芸能界が稼げるうえにめちゃくちゃ楽だったら自分の人生が価値ないみたいで嫌じゃん

「Aっていう性格のやつがいて、嫌」という内容のツイートがバズっているとき、ついつい賛同リプライを見に行って「そういう、こういうやつ困るんだよな～」って思うんだけど、本当に戒めるべきは自分がその「A」になってないかなんだよな。

三浦春馬には三浦春馬なりの、竹内結子には竹内結子なりの、神田沙也加には神田沙也加なりの、そして上島竜兵には上島竜兵なりの死に至る理由があるはずなのに、それらを雑に「芸能界の闇」で処理しちゃうの、人間性を疑うぜ。

昨日の夜ふかしでマツコが「こんなこと言ったらダメなことは前提として、コロナ禍でみんなが平等にいろんな制限を受けて、すごく救われたとこある。自分だけが感じてた孤独とか寂しさみたいなのをみんなが体験した」みたいなことを言った時めちゃくちゃわかると思ってしまった。もちろんマツコとは違うジャンルだけど、「私の人生のしんどさ」みたいなのが隠れ蓑で包まれた気持ちはめちゃくちゃある。だから小さなことで言えば「マスクは顔のアラを隠してくれて便利☆」とか「在宅サイコー！ビール！」って気持ちもあるし「制限があるを盾にして隠れたり隠したりしていられたらいいのに」というのもかなりドス黒くある。同じくらい「さっさと自由に子供を生きさせろ」もあるから欲深いよなぁ

人間より売れ残りのパンとかに同情してしまう。人間は自由だからなんとかできるかもだけれどパンは何もできないので。

限界のASMR配信者「じゃあ 叫ぶね♡」

はなかっぱで読書感想文書く時、ももかっぱちゃんのお兄さんでかなり稼げるな

「本番シーン」の対義語としてオナニーのことを「リハ」と呼ぶ人

アメリカに住んで、英語を使って仕事をしているって聞くと、海外生活に憧れている人や、英語が話せない人、現地の日本人がどういう立場なのか知らない人は、「すごーい！」って反応をする人が多いんですが、本当にすごい人は英語まったくわからないのに「来てください」ってアメリカに頼まれる人です。

最近シャンプーした後「俺ってシャンプーしたっけ？」と思いまたシャンプーして泡立ちの良さに二度目を確信することが多くなってきたから、一回目が終わったら必ずナイフで太ももを切り付ける様にしようかな。全てが曖昧なこの世界において、身体(にく)の痛みだけが真実(リアル)だから...

ロボットもの全般がつまらない理由だけど。真面目に人殺しをしようとすればあの形にはならないはずでしょう。ヒトの殺意だけを純粋に取り出したらヒト型にはならない。ヒト型にはノイズが多すぎる。ククリやカラシニコフやバイラクタルTB2には、その形の向こう側の殺意のイデアに触れたような気にされてくれる何かがある。ロボットものは兵器があのような体たらくだから、なぜその殺し方なのか、お前の殺意はその程度かとなる。

オタクの部活で10年以上飼われている、ネットミームしか喋らない美しいオウム

むかしバイトしてたケーキ工場がさ、形が潰れたフィナンシェとかをゴミ袋に数百個くらい詰めて毎日ゴミに出してたのね。朝になったらゴミ収集車に持ってかれるんだけど、そのゴミ置き場ってのが簡単に忍び込めそうなとこにあって、「一緒にフィナンシェ豪遊しない？」って友達と計画立ててたのだ。

トレンドの必要睡眠時間っての見て、睡眠外来の先生が「人間は4時間の睡眠でようやく緊急メンテが終わって、そこから2～4時間かけて細かいメンテをするから、4時間睡眠だとあちこち細かいバグがある状態なんだよ。だから難しいかもだけど7時間は寝てほしいと思ってるよ」って言ってたの思い出した

「なんでこの事業を始めるんですかって聞かれたらどうする？」「それはもう、SDGs…」「採算が取れますかって聞かれたらどうする？」「それはSDGsなので採算性は…」など、ほぼ全ての質問に「それはSDGsでして」と答えられるその万能性がマジで悪すぎることを全員で理解した。誰もSDGsのことなんか信じちゃいないのにSDGsって言い出すの、日本人が腹痛のときに神に祈るのに似てる。SDGsは神

上島竜兵さんの死が割と心に突き刺さっている。子供の頃から観ていた人が突然命を断つのは余りにも悲しいことだ。何かの夢が破れたような思いになる。徹底してただバカなことだけをやっている人は美しい。バカなことをやり続けることにこそ、人間の尊厳があると思う。

正直なところ、「リモートになるから楽でいい」なんて思ってたやつより、「面倒くせえ」で死に目にあった人間のほうが多かったし、「会って３分で済む案件を、リモートだと数日も決着がつかず死に目にあった」ことが何度あったか。"多くのサラリーマンにとって、「給料はそのまま。出社せずに家で仕事ができる」という勤務形態は魅力的だ。”リモートワークでわかったことは「対面のほうがまだマシだ」でした。調整にメチャクチャ時間がかかって、なんでみんな「もう感染対策緩めよう」って言ってるかというと、対面のほうが楽だから。

こづかい制敷いてるとこは嫁さんが専業主婦が多いね。旦那が金を管理を全部嫁にまかせてて、嫁が安いスーパー走り回って節約節約して浮いたお金を定期預金してよるような家やで。書いてて思ったけどリベラルで知的笑なツイッター民が一番受け付けん夫婦生活やな。

こないだ奢りにきた肉堕ちビーガンが「親が超ビーガンで、2世として育てられた」「中1で内緒で肉たべた」「生き物うますぎワロタ」「好物はシラウオ生シラス丼アユの塩焼き」「個体数と生物感に比例し旨さが増す」と言っており、罪なきを願われ育てられた結果全反転して罪を食って生きる妖怪になってた

楽天モバイルが1GBまで無料としていたプランを廃止したことで「楽天解約」がTwitterのトレンドに上がってきたけど、普通に考えてスマホを1円も払わずに使おうとするような人達が「解約してやったからな！！」と騒いでも、楽天からしたら「ありがとうございます」って感じよね。

たまに「自分はこれだけできる人間で、タスクの処理も上手いから云々」みたいな話を目撃するたびに、そうじゃない。一番弱っていて、這いながらでも進まないといけないときでも有効な話が聞きたいんだ。それにしか意味はないんだとため息が出る

マカロン美味すぎる、脳の何かいじってるだろ絶対

陰謀論コミュニティは工作を仕掛けやすいというレベルではなく、ゴキブリホウ酸団子みたいに、自分のメディアに情報を置いておけば勝手に受容して広めてくれるのでコストが殆どかからないんですよね。例えばSNSでの拡散ノルマを稼ぎたいとかだったら真っ先に狙う層だと思う。

前から言ってますけど「旦那は役立たず」だの何だの言うなら捨てたほうがいいですって。捨てられない理由があるならそれはもう「役に立ってる」んですってば。貢献度が足りない？そのみみっちい貢献度にすら縋らないと生活出来ない自分が所謂「役立たず」であることに早く気づいた方がよろしいです。実際に「捨てた」経験のあるバツイチ再婚女の率直な意見です。

よく言われる「無能な味方は有能な敵より恐ろしい」的な話、今までピンと来なかったけど、徳島スタンフォードが炎上した際に擁護勢が「怠惰で無教養な人間が嫉妬するな！」とガソリンを注ぎまくったり、GW明けで皆が忘れかけてた頃に蒸し返したりしてるのを見ると、怖くて身体が震えて涙が止まらない

漫画には、「中に出すぞ！濃厚精液で妊娠確実！」みたいな種付けおじさんがよく登場しますが、実際にはドロドロで何らかの塊が含まれているような精液は妊娠に繋がりにくいそうですね。妊娠確実というのは、種付けおじさんが勝手にそう思っているだけ。種付けおじさんの悲哀を感じた。

お金と石を交換し、石を使ってガチャなるものを引くとランダムに女の絵を所有できるが、女の絵は別に所有していなくても表示することができるというシステムに人類がハマってるの、謎すぎ

人はどこで反出生主義になるのかという嘆きを見たが、自由と責任を真面目に教育されれば誰でも反出生主義になるのが当然だろう。「子供を作るかは100%自分の自由」「100%の自由の責任は100%自分にある」「命は地球より重い」ならば「地球より重い命の幸福を100%保証できないなら作るべきではない」と。校則について「おしゃれを禁止する校則は、校則で禁止されたくらいでおしゃれを諦めるようなバイタリティの低い個体をふるいにかけるためにある」という話があったが、反出生主義はまさに「生殖を禁止する校則」のようにバイタリティの低い個体を選別するふるいとして作用している。

いい年こいて「自己責任」とか「実力社会」とかどやってる精神未熟児は毎食前の「いただきます」で自分を生かしてる所要素に感謝を意識するところからやり直した方がいいよ。ほんと。その程度は幼児でも理解できる

可愛らしい女児のキャラクタをママと呼ぶブームが起こった時には若干イラついていた。母の魅力とは圧倒的な「力」なので。この人の腕の中にいればどんな大災害が起こっても怪我や病気で死にかけても大丈夫と思わせるだけの暴力がその女の子にあるか？ひとひねりで殺せるような相手をママと呼ぶな。

経験人数を自慢し合ってる大学生グループに遭遇したんだけど、その中の1人が「みんなすごいね。俺は彼女としかしたことないわ」って恥ずかしそうにしてたけど、君が1番すごいしかっこいいよ！！！！！！！！！！

梅田で酒飲んでたら横の席のカップルが別れ話してて女が怒って店出て行った。残された男大丈夫かなと思て見てたら明らかにツムツムし始めて、チラッと見えた画面に「ハイスコア！」って出てた。なんでベスト尽くせんねん。

これを機にTwitterでレスポンチバトルすることの不毛さや、togetterとかのまとめサイトでチェリーピッキング大会することの虚しさに気付いてもらって、眼福なメディアばかりを発信して皆でシャドウバンされようではないか

好みの性癖だけは大は小を兼ねないんだよね

「貴方が恵まれてる人間をいくら嫉妬しても貴方自身が豊かになることはない」と言ってる人間、あまりにも人間の善性とシステムの永続性を信じ過ぎているんだよな。当然だけどゲームで負けが確定した人間は、勝つこと以外の楽しみを見出したり、ゲーム自体を放棄したり破壊しようとする事も珍しくはない

女「家事、育児！　特別苦労！」

男「労働、扶養！　御互苦労！」

女「!?」

男「労働、扶養！　御互苦労！」

女「……家事a, 家事b！」

男「!?」

女「家事a, 家事b, 家事c, 家事d, 家事e, 家事f, 家事g, 家事h, 家事i, 家事j, 家事k, 家事l, 家事m, 家事n, 家事o, 家事p, 家事q, 家事r, 家事s, 家事t,

「日本で二番目に高い山の名は知らないでしょう、それほどに一番ということは」みたいな話は絶対に聞きたくないので北岳は憶えておきたいんだけど、動機が歪んでいるせいか忘れる

鏡に映る自分と同じポーズをとってる。

カリスマ性ってなんだよ、と思ったのですが「情熱大陸のテーマを流しておいても違和感ない人」かなと軽率な結論に至った

これ？これは「アニメ本編を最後まで観れば歌詞が物語内容の読解となっていたことがわかる系のアニソン」だよ。これを夜のうちに木の幹に塗っておけば、朝におたくがいっぱいむらがってくるんだ。

かかりつけ医だと思ってたクリニックで「かかりつけ医っていますか？」って聞かれて、付き合ってると思ってた子に「てか恋人いるの？」って聞かれた時みたいな顔しちゃった。

SDGs、適当に扱われすぎて「節目節目に神社にお参りする、日本の伝統を守るのが私のSDGs」みたいなのがラジオから流れてきて、それ17の目標のどれ？？？

かなり絡み辛い人「俺をパソコンのキーボードに嵌めるなら何になる？笑」

辛辣な人「Caps Lock」

美容師「後ろこんな感じで大丈夫ですか」

俺「あ～もう少し長くしてください」

美容部の強豪校顧問「そのメイク、やる気あるの！？」

赤ちゃんって泣くものだけどおれは泣くものが全般的に苦手なので、泣いてても全然放置してそうだし、それを妻にとがめられても「あぁ？うん、泣いてるね」で終わらせていそう

元の時代に戻れたので無双しようとしてる侍「恋なんて互いのエゴとエゴの押し引き、いわばシーソーみたいなものでござる」

数学が苦手な人「何がわからんのかわからん」

数学が得意な人「何がわからんのかわからん」

何かあった車掌「黄色い点字ブロックの内側とか外側とか、国籍とか性別とか、境界に縛られない人生をお送りください」

SMはSMとして合意の上でやれという所に尽きる。会社の同僚、学校の同級生、飲食店の店員、友人知人恋人家族、様々な立場の相手を利用して、合意なくサディズム的快楽を得ようとする人が多すぎる。もしかしたら本人も無自覚なのかもしれませんね。

インターネット人間、ノンポリの一般人を馬鹿にし過ぎている傾向がある、彼らは家族を設け子を成し、君らよりも遥かに情に厚く立派に生きている。若くして結婚して子育てに奮闘している人をヤンキー呼ばわりするの、オタクをすべて「性犯罪者」と呼ぶくらいの不当さがある

朴正熙の渾身のギャグ「僕、性器！！」→失脚

高度に潔癖症が発達したリベラルは、宗教保守と区別が付かない

相互フォロワーさんが結婚したのでめでたい的な話をしていたら、Twitterがまったく知らない人の結婚報告ツイートをおすすめしてくるようになり、あまりにも「人間の心がわからないAI」っぽいムーヴにSFを感じてドキドキしてきた。

友達が「君は集団自殺じゃなくて文学を選んだのが尊敬する」と言ってくれてそれがすべてだと思った

「結婚だけが幸せじゃない」とか「結婚したいような異性がいない」だととめちゃくちゃ叩かれるけど、「いやーした方がいいと思うんですけどね、私の不徳ゆえに至りませんでして」だとあんまり怒られないので、問題は婚姻の有無より"同じ宗教を信仰しています"って表明なのかもしれんな

この時期、新人を大声で怒鳴りつけて萎縮させる人がいるかもしれませんが、そんな時は「これが突発的な怒りを理性で制御できない幼児性というものか…」と淡々と自分の中で言語化するといいと思います。他人を怒鳴りつけていい理由なんてないです。もちろんこれは、自分が思わず感情的に声を荒げて周りの誰かに嫌な思いをさせてしまったかもしれない時の、自分への戒めと再発防止にも使えます。誰もが聖人君子ではありません。

若い方から「社会に出る前に身につけておくことは？」とよく聞かれるのですが、圧倒的に役に立つ経験と言えば家事です。家事が苦手だと親元を離れただけで手が回らなくなったりします。また「できない人ほど他人には完璧を求める」らしいので、若いうちに要領を掴んでおかないと老害化が早まりますよ。

温泉旅行、サービスエリアのアメリカンドッグやらお部屋に置いてあるお饅頭を食べ過ぎてご馳走があんまり食べられない人ってどうかと思いますね、私ですけどね、そろそろそういうのやりたいね、どうもありがとうございます。

キャンペーン無視して脱毛する人

企業が精神科の発達障害簡易チェックリストを参考に発達を弾こうとしているというツイートと、安い飯屋のサラダバーになんの疑問もなく朝から晩まで居座って炎上した本物の異常者の話が同時に流れてきて、いや〜本当に見抜けたら苦労しませんねという強い気持ちになった。多分本物の異常者は簡易チェックリストには引っかからない。自分がうっかりだとか上手くいかないとか自覚がないから

陽キャになるために、日々〝えぐいて〟の発音練習を欠かさずしている

夏目漱石「月がきれいですね」

強キャラ女「ここが月ですが…？」

自分の思考や価値観が最善だと、疑いもせずにその正義を強く振りかざし、結果、本来は守りたかった・又は守るべきと思っていた「相手」達から総出で叩かれ、引くに引けない状況に陥って着地点を見失い、罵り合うことにエネルギーを消費して分断が深まっただけ、なんて随分と皮肉なことだと思う。

好奇心旺盛な子「ゾウさんの鼻はどうしてあんなに長いの？」

メチャクチャ言う親「ウケ狙いよ」

色々観察するに、この世界において英語を「実用」するということに関するイメージがない人が多いですよね。例として出てくるのが「外国人に道案内」だったりする。そんな稀にしかないどうでもいい機会のために子どもに英語をやらせるとかよくわかんないんだけどな

占い師に「ご縁が薄いからお話が来たら大切にしなさい」と言われて結婚したけど、後で考えたら「あんたモテなそうだからチャンスを逃すな」って言いたかったんだなあれ

「出生」を商標登録して日本人を終わらせた奴

ちぇっ、科学が大量殺人能力を得たのがつい最近だからって好き放題言いやがって。絶対言葉や思想のほうがずっと多く殺してるもん

フェミニスト弁護士（なんだそれ）が「セックスには違法性が本質的にあり、互いの合意のうえで行ったとしても後からどちらかが違法性を指摘できる。何年たった後でも、あのセックスは違法だったと主張できる」って言ってて、その主張自体は馬鹿馬鹿しくて論じる価値もないんだけど、自称フェミニストがなぜあんなにも（ネットで憤って社会を変えてやると叫んでいる割に）不幸そうなのか、が垣間見えてて興味深い。自分の（女の？）主体性を全く尊重してないんだよな。常に自分は誰かからスポイルされる側、加害される側、差別される側、という前提に立ってる。自分の人生は自分でコントロールできるという感覚がないのだろう。「男さえいなければ！」「日本がもっと私（女性）に優しければ！」「夫がモラハラしてこなければ！」など、徹底して他人を糾弾してる。しかしながら、自分に都合よく他人や世の中が変わってくれるわけでもなく、おっぱいをくれないお母さんに赤ちゃんが泣き叫んでるみたいになってる。とはいえ…その姿勢を指摘してアドラー心理学を学ぶように勧めても「マンスプレイニングだ！」と騒ぎ出すだろうし、やはり他者の課題はどうしようもないな…。

【変なリプライ送る人のbioあるある】

しがないエンジニア

日本のネットには「危険な体勢で電車を撮ってアップしてはいけない」という暗黙があるが、「危険な体勢で電車を撮っている撮り鉄を撮ってアップしてはいけない」というルールはなく、むしろ合法的に放火できる。

「SDGs」ってすごく胡散臭い。流行語にする事によって、必要ないものをゴリ押ししたり、非効率なものを売りつける手段になっている。

「私もグラビアアイドルしてた時、いやだったんです！！！」とか言われても「数年前は合意してやってたけど今になって考えたらいやだったから差別だ搾取だ」なんていいだしたら「すべてのサラリーマンが『あの残業は本当は嫌だった搾取だ差別だ』とかいいだして賠償もとめたら」社会崩壊するわ。

チンコが二つある女「チンコキしてあげよっか…？」

ミュージカルについての「なんで突然歌い出すのか」というあるある疑問、私は逆にずっと「なんでこの世は突然歌いだしたら変なやつ扱いされるのか」と思って生活している。歌がうまいわけではないが。

「価値観が古すぎるのでアップデートしろ」は「世間が許さない」と同じン

東京は大都会だけどビルの中のフロア一つ一つの中で繰り広げられるのは「村社会」でしかない。デコチャリにのった中学生男子みたいなメンタリティが成年男女に憑依している。それだけのこと。社会人とDQNという区分けがあるんじゃなくて、社会人もどこかDQNであるということ。

大学時代におまんこジェノベーゼwとか言って一緒にずっとおちんちんの話しかしてなかった学友がミニマリストのフリーライターの世界20カ国行ってる女になっちゃったんだけどクソみたいに面白くない記事ばっかり書いてて泣いちゃった

めちゃくちゃ好きなギャルの先輩に「悲しいことがあっても働かなくちゃいけないときってどうやって耐えてますか？」ってきいたら「空き時間に泣いてるよ〜！」って元気に返ってきて超よかった

昨日、長年の友人で、ツイッターからほぼ消えてしまった友人と会って話をしてたのだが…。ツイッターをやっていない理由、はっきりとは明示してなかったけど、会話からそれとなく判断すると、今のツイッター、普通の人にとって面白い要素、ほぼゼロだよね。ツイッター、５年くらい前だと、生活圏なり文化圏が違う人、あるいは逆に親しい文化圏の人と緩やかにつながることで、珍しい知見を得たり、穏やか共感しあったりする楽しい場所だったと思う。でも、今のツイッター、単なる偏狭なイデオロギーに取り憑かれた人がエコーチャンバーを起こし他者と諍ってるだけだよね。あるいは、あまりにもインフラ化・商業化しすぎたことで、情報は玉石混交になってしまっている。まあ、普通の人がやってて楽しい・有益な場所ではもうないと思う。

今日居酒屋でバイトしたんやけど、4時間めちゃめちゃ一生懸命働いて結構疲れたのに1時間半中学生と適当にゲームの話しながら数学教えてる方が貰える額多かった、この世の中なんか不条理で好き

電車の中で大暴れしてたら乗客が逃げ始めたので、それに混じって一緒に逃げてきた。

今では「抗議します」「反対します」系ハッシュタグは出どころが何であろうと一切信用しないし近寄らないと決めている。手元のPCやスマホでぺぺっとハッシュタグ呟いただけで社会に作用しようという時点で怠惰が過ぎる。踏むべき手続きを声の大きさで突破しようとする奴とは仲良くなれない。

スペースで「初めて薬物やったのいつ？」の話になり、大学で友達の勧めだの中学生のときに大麻だのワイワイ盛り上がってたら「ポン中の両親のキメセクで産まれたんで言ってしまえば『はじまり』からですね」の人が出てきて誰も敵わなかった回あったな。

米津玄師、元々はボカロPとして活動してた人なのに「オタクなので米津玄師知らないですね…」って言われる立ち位置のアーティストになってるの、なんかこう不思議だけど凄いなと思う

わけわからん単語のひとつ、「住民票の写しの原本」

一番避けるべきは「環境、才能に恵まれた人が努力を諦める」こと。で環境、才能による成功は結果論で現状では予測できない。だから「努力賛美」という価値観を広げて皆が努力する社会にしとくのが一番いい。

80歳の女性に「私、子ネコをもらったの。これ人生の賭け。先生。私を長生きさせてね」と言われた。医者としてこれほど頑張ろうと思う瞬間はない

「私がなんで怒ってるか分かる？」「怒ることで相手に申し訳無さを感じさせて優位に立ちたいから…？」

「女だけの街」は私が作るぜって人も居ないし、作りたい人がいたら出資するぜって人もいないし、高くてもいいから入りたいって人もいないし、「女だけの街」を作る側の人に全くメリットが見込めないのが問題ですねー。

フィットネスジムができた時点で人類史は狂っている

「適度に迷わせる」っつうのがスカタン教師の手に掛かると「変に混乱させて予定の結論に持っていく授業」みたいなのが出来上がるので難しいのよね。

ほんとうのことならなんでも言っていいのかな

ANZEN漫才の漫才を見たことがある人

ダイエット記事は良く読むけど好きなものを悪く言われるのが大嫌いなので「ケーキはカロリー爆弾！悪魔！」とか言われると「その悪魔を作ったのは誰だよ？俺達人間だろうが！」って主人公みたいなキレ方してしまう

雰囲気でやってる産婦人科「一応、肛門の方も警戒しときましょうか」

農業や土木工事は手作業でするのが心がこもっていいポトね

CA 「この中にお医者様はいらっしゃいませんか、居られましたら──え？ 失礼しました、機長に代わります」

機長「医者、社長、会社員──地上での役割なんて、今は忘れてしまいましょう。この飛行機に乗っている皆さんは、等しく“旅人”なのですから」

急病人「（忘れてしまいましょう？？？）」

彼女らが真に必要としているのは「女だけの街」という大人や歯車をやらなくてはいけない場所ではなくて、見えないところでメンテナンスがなされ自分たちはそれを意識せずに自由や安全を享受できる「大人の女子校」みたいな場所なんだけど、残念ながらそこまでする余裕や義理は誰にもない

【新人に「こうしたら作業しやすいですよ」のつもりのアドバイスをした時あるある】

「こうですか？それともこうですか？」と厳密なルールみたいに聞かれて気まずい

遅刻ギリギリの私「おはようございます！遅くなりました！」

夜勤の先輩「いいよ、電車かなり遅延してたんでしょ」

私「そうなんです、よくご存知で」

夜勤の先輩「原因の人、うちに搬送されてきてるからね」

電車の遅延情報、どこよりも早くなりがち

リーダーシップうんたら言う会社に限って実際欲しいのは黙って言われたことやる人間やしな。

日本はとっくに「女だけの街」寸前じゃないの？「女だけの街」揶揄して「誰がインフラや3Ｋ労働をやるんだ」と突っ込んでるツイッタラ諸氏もほぼホワイトカラーなのでは。年々、建設現場の外国人率は高くなってる。精神的な意味では「女が大半の街・国」になってる。

好きな作品とか楽しんでる趣味とか色々あるけど迂闊に言ったら｢独身の孤独を埋め合わせている｣｢本当は助けて欲しいんだ｣とか勝手に言われて"答え合わせ"されるのめちゃくちゃ嫌だな

オタクの美大受験漫画を楽しく読んでいるのだが、父親が経営者で実家が太いという設定をぶち込んできて読者をふるいにかけてて草。今までオタク仲間だと思って感情移入してたのに、金持ちのボンボンの道楽だと分かった瞬間に冷めていく人たちの発する絶望の言葉を含めて一つの芸術作品になっておる。

カエルの漫画の人、親が経営者で実家が太い人だと判明したせいで、今描いてる美大受験の漫画の話も実家が太いボンボンの道楽だと思うと何かつまんなく感じるようになってしまったんだけど、やはり俺達は命綱もなしに無謀な鉄骨渡りをするのを眺めて楽しむ暗黒カネモチと同じメンタリティだったようだな

防災スピーカーが「これはJアラートのテストです」と言っている。こういうのは決まったメッセージが事前に録音してあるのだろうけれども「我々は皆さんと共にあります」「さようなら、さようなら」みたいのまで作ってあったら嫌だな

三角関数って高校数学が役に立たないものの例としてよく挙げられるんだけど、あれほど役に立つものないからそういうのってスジが悪いんだよな。

よく子供に勉強をさせるって文脈で「馬を水辺に連れて行くことはできるが、水を飲ませることはできない」（You can take a horse to the water, but you can't make him drink.）ってフレーズが出されるよね、やる気になるかどうかは結局本人しだいだって意味で。俺の母もよくこれを口にしてた。けど、「やっべなんだこれ、この水超ウメー！」「水飲んどくとこんなに最高な気分」「俺ら飲みまーす、お前飲まないの？もったいねー！」みたいにガンガン盛り上げてくのは親の仕事だなって思ってる。あと多すぎず少なすぎずぴったりの量をのどがかわいたタイミングで出すとか、のどがかわくタスクやるとか。

配慮の波田陽区「でもアンタ…ペという一文字の姓は日本人の言語感覚から見れば物珍しく映りますから！！…………！！(残念ではないので黙る)」

リットン調査団に入って…とにかくリットンを調査したいです

アキネーターで〝神〟を導き出したかったが、最初の〝実在する？〟で詰んでしまった。

──いや、〝究極〟すぎるだろ。

ジャイアンも劇場版だと良いやつになるし、野原ひろしも劇場版ではかっこよくなる。嫌な人に出会ったら「こいつも劇場版になればいいとこ出るかも」と思ってしばらく寝かせときましょう。

親「はなちゃん、将来何になりたいの？」

"狂った"はなちゃん「（イエロー）ケーキやさん！」

"狂った"親「じゃあ、（原子炉の）練習しなくちゃねぇ」

就学前に生じる文化資本の格差が怖くて泣いてる赤ちゃん

いつでもどこでもテレワーク、ブルーカラーの俺には別世界の話だな。秘境のジャングルでテレワークしてるみたいなCMを見たことあるけど、あのジャングルまでアマゾンの小包やウーバーイーツを届けるドライバーや配達人の存在はないものとされている。

「腥」(なまぐさい)と「胱」(膀胱の胱)の漢字を名付けに使いたいって要望があるらしくて、なんでだろう？って思ったら「月と星だからキレイ」「月の光だからキレイ」みたいなキラキラな理由らしく、自分の了見の狭さを自覚した。こういう想像力、大事にして欲しい(でも名前に使うのはやめてあげて)

女だけの街作るぞウィメンズ、キラキラ寄りの仕事しかやりたくなさそうだし、キラキラしてない仕事を担当している人は見下されそう。「責任を取るというのは責任を回避できない低い身分の人間のすること」という考えの人々からしてみれば、「キツい仕事というのはキツい仕事を回避できない低い身分の人間のすること」になるのは必定ではありましょう。

自分はDV男や痴漢やストーカーではないし、そうしたものを許さない正義感はあるけれど、DVや痴漢やストーカーの被害（及びそれらを許さないという団結）を訴える漫画を見ると正義感より先にイラッとしてしまう。どうも自分はDVや痴漢やストーカーの濡れ衣を着せられている気になってしまうようなのだ。そうした漫画は大抵、（しばしば善悪と好き嫌いの混同もあって）DV男や痴漢やストーカーをブサイクに、そうした男を許さない（キリッ）という善人を格好よく描く。するともうダメなのだ。ブサイクさにアイデンティティがある自分はそのブサイクな悪人の立場にされたつもりで漫画を読んでしまう。だからそうした漫画を描く人に言いたいのは、ブサイクやチー牛がブサイクやチー牛のまま善人でいられるような作品を描いてくれということだな。ステレオタイプなオタクに描くとかでもなく、一般常識としての正義感のある自然なブサイクやチー牛を描いて欲しい。だがそうした作品の何と少ないことか。それにしてもすごいなと思うのは、そうした漫画で自然に自分を格好いい善人の側に置くことができる（大抵の場合リベラルの）男性の多さだな。格好いい自分がキモい悪をバシッと叩くものとしてそうした漫画を読むことができたらさぞかし気持ちがいいことだろう。健全な自意識が健全な正義を養うのだな。よくある「啓蒙」漫画でスマートなイケメン高階層男性が遠い目で「僕は『男社会』にずっと違和感があった…だから降りたんだ…」とか言っていても全く自分事と思えないのですよ。是非ともブサイク男性に同じ台詞を言わせて「あれ？伝えたかったことが伝わる感じがしないな…」と違和感を覚えて欲しい。

朝はオートミール、昼はサラダチキンとサラダ、夜は鍋や野菜メインで白ご飯は少なめ、ビール、おつまみ、デザート、ビール、ビールで5kgは太ったは！！！

「人間ピラミッドを教えるのをやめて金融教育すべき。人間ピラミッドを社会で使ったことがない」「むしろ社会の至る所で活用されてる…」

三角関数は周期関数だからね、定期的に話題になるよ

競争社会である限り勝ちたい者にとっては負け組になってくれる人が必要になるから、負けた側がツマンネって退出しちゃったら勝負が成立しなくなってしまうのであれこれ言って留まらせようとするっていうのはあるんだろうな

24歳男性に4000万振り込んで人生狂わせるのがこんなにエンタメになるので20代女性に複数人でスパチャして人生狂わせるエンタメもだいぶ面白さが理解できるようになってきた気がする。

「数学って難しいですよね」という話をすると、その人がどこで数学を諦めたのかが分かる。ルートがと話す人は中学時代、サインコサインがと話す人は数1、ベクトルがと話す人は数2、線形代数がと話す人は大学初年度でそれぞれ数学から距離を取っていることが多く、測度論がと話す人には異常者が多い。

明治に推薦で行ったやつに「MARCHって分かる？」って聞いたら「え、5月でしょ？」って返ってきたことある

ブックオフ、買取価格満足した人いない

趣味が映画鑑賞だと言うバイト先のパートのおばさん(後輩)が何でも質問してくる面倒な人で、今日「トイレに行ってきてもいいですか？」と尋ねてきた時に「ここショーシャンク刑務所と違うんでそんなの聞かなくていいですよ」とユーモアを交えて言ったら、めちゃくちゃスベって苛立ちが募るだけだった。

TVで心理学の専門家が「怒らない人は優しい人ではない。怒らない人は単に人に興味がない人。怒らない人はある日突然あなたを切るかもしれません。怒らない人は容赦なく人間関係を切り捨てることができるので、ある意味怒りっぽい人より怖いのです」って言ってたけどめちゃくちゃ分かる

「俺がお前を嫌いでこうやって怒ってると思うか？」

「思ってます……」

美容室で無職ですって言うと話弾まないから適当な職業騙るんだけど、今回は強気に行く。パイロット。

無職が休肝日とか作るなよ。肝臓だけでも働かせろよ。

GAFAに匹敵する企業が日本では生まれない等と国を憂う人が時々いるが、そんな話を各国の学生にしたら、「英国も」「EUも」「うちも」と皆に同調されて、しまいには米国人にも「米国にもほぼない」と言われ、単にGAFA等は世界的に超絶稀有な例外であり、そんな企業が容易に生まれないのは当然だった。

最近、息子が犬を飼いたいと駄々をこねる😮‍💨しょうがなく家族会議にて犬🐶を飼うことに決定！でも最近の犬ってホントに高いんだね😅息子を下取りに出して購入しようとしたけど、少し足りません😰店員さんに相談してみると分割払いできるって👍今月は上半身、来月下半身が届くらしいです🥰

あと一年もしないうちに、俺、我慢出来なくなって取引先の連中を殴ったり電子ノギスを投げたり窓から突き落としたり、絶対するわ。話して駄目なら殺してみろ、って諺もあるしな、岐阜県には。

うちの近所のレンタルビデオ屋、『1リットルの涙』とか『世界の中心で、愛をさけぶ』とかがまとめて【余命】というジャンルで括ってあるの身も蓋もなくて良いなと思う

管理職になると「マジで仕事やる気ない人」のマネジメントってすごく大変って気づくよね。自分と同じように他人も「仕事にやる気があって」「成長したいと考えている」という前提が大間違いなのだ…多くの人は「仕事にやる気がないし」「できるだけ仕事しないでお金をもらうか」しか考えてないのだ。ここに気づかないとマネジメントでめちゃくちゃ労力を浪費することになる。どんだけ熱血指導したって相手はやる気がないんだもん！成長とかしたくないんだもん！自分のできる範囲でより多くのお金が欲しいだけなんだもん！相手はできるだけ権利を主張することに一生懸命なんだよね。こういう部下は間違いなくあなたをロールモデルにするどころか「できるならこの人みたいにはなりたくないな…」って考えている場合が多いんですよね…そう思わせたもまえがわるいのだ…猛省せよ…。ここで気をつけなきゃいけないのは、そんな部下をストレッチしようと熱血指導（）しすぎちゃうとパワハラで訴えられて、自分の立場が危うくなることもありうるんだよね。丁寧な指導が求められている時代なわけなんです…若い世代ほどパワハラに敏感なので、マネジメント側に必要とされる能力は「なぜ部下がモチベを失ったのか？」「部下は一体何を求めているのか？」といった丁寧なコミュニケーションと指導が必要とされてるんじゃないかな～と思います。

実家が太いのは悪いことではないが、「私はすごい貧乏で大変だったんです」というネタを使ったあとで、実家が太いことがバレると炎上するのは、「男の娘なんです」と言ったあとで、実はただの美少女だったとバレれて炎上するのと同じ話だと思う。

入庁2ヶ月の新規職員が、出納閉鎖間近なので億単位の補助金の決算を至急済ませてください！！っていう会計科からの催促と、しょうもないのに終日拘束受講必須の新規採用者研修「県の魅力を知ろう！」の板挟みにされてる場面に、この組織の恐ろしさが凝縮されてる

女子大が「ジェンダーレスの時代なのでミスコン廃止します（ドヤ）」ってやるの、笑顔で石鹸で手洗いするばいきんまんみたいな感じ

Q:世界最大の航空戦力を持つのはアメリカ空軍です。では第二位は？

A:アメリカ海軍

「天井裏に『何か』がいるから匍匐前進で生活」的なのは統合の失調あるあるだと思うんですけど(私も、室内では四つん這いかものすごい猫背で生活している時期があった)、『何か』が床下にいるパターンはあんま聞いたことない。統計的には『何か』は上下どちらにいることが多いんだろう。気になる

日本のトレンドに「殺人と性行為」というのが表れてTwitterが本質的になってきた

作ろうと思うのが○人に1人、うち作り始めるのが○人に1人、うち完成させるのが○人に1人、うち継続するのが○人に1人、うちヒットするのが○人に1人の法則だとすると、準々決勝までは行ってるので偉い

趣味一般なんて大概の人はすぐ辞めるのよ。楽器買って部屋の肥しになってる奴、昔買った趣味書が本棚に埋もれてる奴、習い事やスクールを数ヶ月で辞める奴、腐るほどおるやろ。続く方にこそ何らかの理由があるの。

「わからなかったら聞いてよ！」と怒る人がいますが、聞けなかった人は「何を聞いていいかわからない」か「聞ける雰囲気じゃなかった」が大きな原因であることがほとんどかと思います。「わからなかったら聞け」はひどい言葉ですね。

「真の愛とは醜いものを愛すること、つまり不可能ということ」という一節が昔読んだ本にあった。何の本だったっけ。人間よりイルカの方が寄付金が集まるという話が流れてきてそれを思い出した。

みなさんも経験あるでしょうけど、人間というのは「○○さんとこの子は一日何時間勉強してテストの点数やら成績がどうのこうの」と「よそはよそウチはウチ」というダブスタを普通に放つ生き物ですから理屈なんか通らないんですよ。

仕事を辞めたあとも上司の連絡先は残しておくと良い。その気になれば呼び出していつでも殺せる、という気持ちが精神を安定させ、この先の人生のステップアップに繋がる。

Twitter学級会はどっちの勢力にも論点ずらして反論する人がたくさんいる。無限に増え続ける藁人形は教室の外へ持ち出され、加工されて、まとめサイトに展示されることでお金に変わる。

「自分以外全員バカ」と「自分一人だけがダメ人間」とを交流電流のように行ったり来たりしているTwitterの皆さん。

何で労働を機械的にこなそうとしているだけなのに（更に言えば、納品先へ死ぬほど歩み寄りを見せて極力そちらの要望に答えているのに）何でこんなに「煽り」にも似た〝殺意の発生源となる行為〟を連発してくるんだ？納品先のおじちゃんたち。ヤバくね？笑笑ぼくさあ、銀行強盗して失踪するよ？

無職経験ある人は分かるかもしれないですが土日には赦されてる感覚がある

「解雇しやすくすべし」って言ってる人たちがイメージする解雇して欲しい人と、実際に解雇される人は、得てして真逆なのよね。クビになってほしい屑な奴らほど、上に上手いこと言って可愛がられて残る。しかし○人切るという数値目標が存在していたら、そこで切られるのは、ポイントになる業績には恵まれないけど後輩のヘマを一緒にフォローして客先に頭を下げに行ってくれるような大先輩であったり、能力の割に文句が多いように見える「あなた」だったりするのよね。その先の職場は地獄絵図

みんなが知ろうとしないだけでそれぞれに「表面積」とか「脾臓の重さ」等のパラメータがあるの、アツすぎるな

たまに「お前、変だな」って言ってくる人いるけど、他人のこと普通か変かでしか見てないやつとうまくやっていく自信がない。「普通の人」って要は「自分が知らない人」って意味だからね。深く付き合っていくとあらゆる人は変な人なので、もし誰かのことが普通に見えるならそれはよく知らないということ

Wikipediaを「ウィキ」、USBメモリを「USB」と言うことに憤慨する人は、キロメートルを「キロ」と言うのは気にならないんだろうか

「報連相」の逆が「ちんげんさい（沈黙する、限界まで言わない、最後まで我慢する）」らしく、確かに望ましくないな……と思う反面、推しになる人物がもうどうあってもこの３つをコンプしがち

ネット上での対立やら何やらあるけど、同窓会で話したら、中学の同級生で地元で結婚してるような人たちは、インターネットなんて必要以外ではあまり見てないようだった。SNSもやってない。そっちの方が広大な現実だと思う。

文具の試し書きノートに「NO WAR」って大きく書いてあったが、誰かがそのあとに「NO LIFE」と書き足して最悪にしていた。

いくつかの会社で働いたけど、離職率低い会社はやる気や技量に関係なく仕事できるようにマニュアル整備されてたな〜、離職率高い会社はマニュアルとか働く仕組みが無い。

「謝った人は赦す」風潮が失われているという話、つまるところ謝った人を赦すと「被害者ポジション」を手放すことになるからなのだよな。今の社会では何を言うにも「被害者」としてのポジションが絶対的に有利になるので誰もその立ち位置を手放さないし、「被害者」である限り人を赦すことはできない。況してや、「機会さえあれば殲滅してやりたい」と思っていた相手を「加害者」―「被害者」の関係に持ち込めたなどというのは、「被害者」という無敵のバリアーを纏って相手を無限に攻撃できる僥倖が巡ってきたことに他ならないわけで、「罪を認めましたね」「謝って済む問題ではない」としかならない。しかし皆さん実際のところ、新聞やニュースや道徳の授業を通じて、世の中の問題を「加害者」―「被害者」の関係で読み解くことや、「『被害者』とは『正義の側』とイコールである」という見方を身に着けながら大人になったわけです。そんな世の中で「謝った人は赦す」なんてことが通用するわけがない。

コーヒーの覚醒効果は、キーボード上にこぼしたときに最大となります。

昔いた銀行では、年に一度人事部に英語力を自己申告させられたのだが、できない、日常会話なら可能、業務が可能、の3択で、この3択、絶対英語できないやつが作ったなと思ってた。日常会話と違って、限られたトピックしかない仕事の英語は普通に努力したらなんとかなるから、まずはそちらから。

嫁に出会って一番最初に話しかけた言葉が「〇〇さんひとつ聞いていい？」だったから、プロポーズの時もさりげなく「最後に〇〇さんひとつ聞いていい？俺と結婚してください」っていう4年越しの伏線回収をやったんだけど嫁が全く気づかなかったので俺の心の中に仕舞い込んでる。

フォロワーさんの、ツイートを見ていると、結構の家族のことで悩んだり、悲しんだり、頭にきたり、している人が、一体沢山いるのが分かる。僕も、その1人だ。でも、我慢する事はない、辛いことは吐き出し、泣きたい時は、大声で、泣いたら良いと、思う。少なくとも、僕は大声で泣いて、精神を保って、いる。泣くことを、馬鹿にする人も、いるけど、人間悲しくても、辛くても泣けなくなったら、終わりだ。辛いことを辛いと言えば、悲しければ、泣けば誰かしら、そのSOSに気づいてくれる。例え物理的に、助けられなくても、人間、話を聞いてもらえるだけで、かなり楽になるものだ。

小学生の時、一体放送当番があって、食事の時に、好きな歌を流せたんだけど、いつも千本桜や初音ミクの消失ばかり、流していたら、「君？ボカロばかり、流さず、もっと、いろんな、ジャンルを、流せ？」と言われたので、次の当番で、僕の大声を流したら、二度と当番が回ってこなく、なった。

この惑星の、住人は、出勤時間は厳守するが、退勤時間は守らない。ただ、この惑星の夜景は、美しい。

長男が朝っぱらから｢みんな持ってるから僕にもちょうだい！！｣って騒ぎ始めた😩💨🤦‍♀️ついに出ました、｢みんな持ってる｣😡みんなって言ってもお友達のうちせいぜい2、3人だけでしょう😑💭💦あんたにはまだ戸籍は早い✋😤

息子が納豆を食べたいとき、毎回「北大西洋条約機構ある？」って聞いてくる。

未来の杞憂のためにいまの自分を犠牲にしない

セックスのこと「エッチ団結」って呼んでるジジイ

こないだ女性専用ジムの機材搬入やった。現場全員男だった。女は宣伝用のティッシュ配ってた。

日本人の10人に1人に当てはまる情報を8個集めれば1人に絞れるということをネットを使うときはを忘れないようにしよう

入社してはじめてFAXを見た。使い方がわからなくて戸惑った。「そんなのもわかんないの⁉︎」と上司に詰められた、というエピソードを今テレビでやってた。いくら教育で最新のICTスキルを身につけても、古いテクノロジーに合わせなければいけない状況は不幸だ。見えないシルバー民主主義がそこにはある

これは若い人へのアドバイスですが、仕事でミスしても怒らない人は、決して優しいわけではありません。あなたに期待してないから怒らないのです。つまり怒ってくれる人はあなたに期待してるのです。だから怒ってくれる人には感謝すべきです。と言う人には論理的な話は通じないので距離を取りましょう。ほんとうに期待しているのなら、まず先にお給料を上げろってお話です。

バズツイのリプで的外れな意見や画像を貼ってる奴らを見てると「ああ、きっとコイツらって普段から空気読めないんだろうな」とまざまざと感じるわ。

防衛費、2%の所を新人に任せて打ち間違えて20%とか決定したりしてほしい

誰もが批判できて批判しても誰も傷つかない存在が求められているんだよな。具体的には、全裸でつねに口からヘイトスピーチを垂れ流しており、非常に臭く、赤ちゃんにパンチするうえに、万引きや殺人やスワップ訴訟をし、職業は転売屋とパテントトロールで、人肉とウナギを食い伏せ丼する

なんかさー趣味を「仕事の息抜きのために持つ」みたいな扱いにされるのがムカつくよね、全然趣味の方が人生のメインだが

【すごく矛盾を感じていた】

中学生の頃から「何でセックスはよろしくないこととで、陰でコソコソと行われなきゃならないのに、何でそれができる相手との結婚はめでたいことで、出産は神聖とか生命の神秘とか言われるんだろうなあ…？」と結構長い間思っていた。

こないだ奢りにきた婚活クリア女が「婚活してる時点で男も女もジャンク品」「だから『奢らない男』にキレてる場合じゃない」「むしろ奢れ」「婚活市場は新品が買える店でなく秋葉のジャンク屋」「完璧な人を探すな、買ってから修理しろ」と言っており、すごい勢いで全額会計して颯爽と帰っていった。

明らかな嘘松ツイートをしてる人が大勢の人から嘘松を指摘されて「これは嘘ではなく“即興”だ」と言い訳していてとても良かった

新卒の子、家族全員が左利きらしく「家族全員左利きって珍しいね〜」って言ったら「もしかしたら僕シロクマに育てられたのかもしれないです」って言ってきて「？？」ってなったらシロクマは一匹残らず左利きらしくてシロクマと仕事してるの楽しくなってきた

精神科医をしていると、同じ人物のブラック企業に勤めて命を削っているときと、辞めたあとで解放されたときの両方を見ることになるんだけど、みんな別人のように顔つきも雰囲気も変わるので、やっぱ環境って大事なんだなって。

筋トレだと｢あー！無理無理！｣って割と怪我する前に辞めれるのに、何で人生は倒れるまで頑張ってしまうんやろう…トレーニーの筋トレでもここまで追い込まんやろってくらい人生自ら追い込んでる人多すぎる

「海外には日本特有の同調圧力がなくて素晴らしい」と思っている方結構いると思うのですが、スイスでは少なくともハイキングが好きでボルダリングが好きでスキー滑れて夏は湖や川で泳いで日光浴をし自然と動物を愛し環境保護に関心がないと人間として認められないという強い強い同調圧力があります。

我が師も「抽象的な苦悩に費やす時間を全て、具体的な研究と技術向上に充てれば、誰でも「天才」になれる。「才能」など過去の経験で付いた基礎体力にすぎない」っていつも言ってたわあ

平成時代の話で恐縮ですが、バイト先（パン屋）で優雅マダムと一緒に毎日生地こねてました。ベンツ乗ってシャネルで通勤されてましたが、ある日のお昼休み「でもね。車も服も夫が買ってくれた物。つまり家に私の物はないの。それがどういう事かわかるかしら？」と仰ったのを今でも時々思い出します。

いいかい学生さん、スーパーでピオーネをな、ピオーネをいつでも買えるくらいになりなよ。それが、人間えら過ぎもしない貧乏すぎもしない、ちょうどいいくらいってとこなんだ。シャインマスカットは高すぎる！今こそマルクスに立ち返り、資本主義を打倒し、プロレタリア革命を実験しよう！

他人を憎むのは不善だという教えを見て、他人を憎むのをやめたら、めちゃくちゃ調子が悪くなりました。理由は、他人を憎むのをやめて、その代わりに自分を憎むようになったからですね。その後、「憎しみはただ観察しなさい」というお釈迦様の教えを知ってから、どんどん調子は良くなってきました。憎しみをただ観察していると、他人を憎む心も、自分を憎む心も消えて行きます。無理をせずに、ゆったりと、人も自分も労ってあげて、それで初めて心が救われるように思います。

その昔、ある自閉症傾向の子が、母親兄弟との関係に悩んだ結果、黙って丸1日押し入れに閉じ籠もり、家族は行方が分からず捜索願出されかけた、という話があるんです。不規則な他者の情動が理解できず、パニック起こすだけなので、自分一人の世界に閉じ籠もって安心感を得ていたのだと思われます。畢竟、秘密基地とは誰も来ない場所、自分しか存在しない場所である。そこではしたい事だけ、しなければならない事だけに向き合えるが、他者が存在すると「他者を納得させる事」という、不毛な仕事が積み上がる。時にそれは、次になにかするという意欲を全て奪う。

わいの後輩男性、後輩女性に「え、彼女いたことないんですか笑キスしてあげましょうか笑」って冗談で馬鹿にされた瞬間、マジで0.1秒後に神速でキスしにいって「ご馳走様」って言ってた。世の中やばいやついるし、気軽に冗談は言ったらダメなんだな、って思った瞬間だった。

外資は残業少ない、欧米の人は残業しないとか言うけど、マネージャークラスはミーティングで12時間埋まってたりするし、毎日16時に帰ってる人は週末明けに突如資料完成してたりするし。上に行く人はやることちゃんとやってるのよね。ただ4週間の休みをまとめて取る。これはほんと。まじで取る。

子供いない上司と時短勤務について話してて、「小学生にもなると一人でお留守番できるのでは」と言われたから「甥っ子はこの春小学生になったけど、少し前に鼻くそがほじりやすそうと思って鼻の穴にトリケラトプスの角突っ込んで取れなくて血が出てました」って言ったら「無理ですね」って納得してた

生まれた時、裸を見られたくないのにたくさんの大人に強制的に裸を見られて酷い辱めを受けた。1年半後、自分の言葉で喋れるようになってすぐに親や医者へ訴訟を起こした。

現代、「働かないこと」に対する大義なんてものはいくらでも掲げられるのだが、「社会とか時代とか関係なく、おれの魂がだらだらすることを望んでいるんだ」ってことを誤魔化すと、段々おかしくなってしまうと思う

路上にスピーカーとかマイク持ち込んだカラオケで小林明子の「恋におちて」を選曲した青年がイントロ終わって歌い出した瞬間に大音量でバニラのトラックが通りがかって付近の赤信号で捕まってサビまで動かなくて大無しにされてた。

責任感皆無の怠惰不真面目人間はブラック企業で激務な環境でも何とかしてサボる口実を作るのに必死になれるんだけど、大抵は責任感のある勤勉真面目な人間でそういう人は激務に放り込むと負荷に耐え切れずに壊れるのよ。そんな意味のない苦労はするだけ無駄だししないに越したことはない。

カラオケで歌ってただけなのに「声デカすぎる」で通報されて尿検査までさせられたの未だに納得してない。どう考えても通報した人間の方がエグい薬してるだろ。

自分の知らん場所で馬とかいう動物がパカパカ走って、特定の馬が一番早く走らなかったら俺の口座からスッと1万円なくなるの、絶対におかしいだろ

夫がクシャミをすると授乳中の赤ちゃんがビックリしてtkbを思いっきり噛んで私に激痛が走るという地獄のピタゴラスイッチが発生する。

職場オフィスのトイレに「このトイレットペーパーは当ビル廃棄コピー紙を再利用しています」みたいな貼紙があり、あの無茶な見積書やクレーム報告書で尻を拭っているのかと思うと爽快だな

今の会社の社長に「休日に何してんの？」って聞かれて「ゲームしてます！社長はゲームしますか？」ってにこやかに返したら、めちゃくちゃ馬鹿にするニュアンスで「そんな現実逃避みたいなこと、俺はしないかな笑」と言われたときから、転職は決意していた。

好好爺(こうこうや)のこと心の中でずっと適当にハオハオじじいって読んでた。

天皇と一緒に64の爆ボンやってたら、娘の学校から電話がかかってきた。俺の携帯なのに天皇がふざけて「はい、天皇です」って言いながら出ちゃって、面白くてずっと2人で笑ってたら電話が切れた。

私は人を殺したことがない。こんなの人として当然のことだと思うが、「人を殺したことがない」と公言している人は意外にもかなり少ない。いつからこの国は殺人鬼まみれになってしまったのだろうか。

最近家庭菜園とビーガン🫑にハマってます❗️人間共の犠牲になる牛さんや豚さん🐮🐷が可哀想💦💦😱そう訴えると旦那が「肉も自給自足したらいいんじゃない？」と提案❗️子供を作り食べることで三大欲求の二つ💕😳も満たせちゃう❗️オススメ節約術です💕

人生の中で「成長した！」と思う瞬間があっても、実は「ハイになって麻痺しているだけ」ということはよくあります。高ストレスから身を守るためにテンションが高くなり、無理やり乗り切ろうとしているだけです。このハイの状態は成長ではなく、リミッター解除状態です。これに頼ると心を故障しますよ。

私が若い頃、欧米礼賛の空気は濃厚で、教育の問題になると、やたらとドイツやオランダは伸び伸びとして素晴らしいと言われた。しかし、かつてこれらの国は小学校卒業時点で将来がほぼ決まってしまうシステムだった。勉強したって仕方ないので伸び伸びしているだけだと言っても誰も聞いてくれなかったね。トルコ出身者をはじめ、移民の子どもたちが、なかなか高等教育に進めなかった一つの理由がこれ。その国の言葉を学ぶのに精いっぱいでは、小学校卒業後、大学進学コースの中・高校課程に進むのは、かなり難しかった。いくら機会は平等だって言っても、十歳を超えたぐらいで、君の将来はこれがいい、あれがいいと言われるのが、平等な教育システムだとは思えなかった。「みんな言ってるよ」って言いながら否定してくる人がいますが、気にしないで大丈夫です。みんなってせいぜい2〜3人ですので、自分の信じる道であるならば惑わされずに進むことが大切です。

投資家が尊敬されないのは誤解じゃなくて正解によるものだぞ。汗水垂らして頭下げて仕事してる人間が尊敬されるべきなのは当たり前。

善意は非常用電源みたいなものなので、これを基準に仕組みを作ると善意が枯渇する。善意で保ってる間にシステマチックな仕組みを作るべきってのが持論。災害の長期ボランティアとか終わりのない介護とか見てると思う

都会で受験して就活して出世を目指して過労ギリギリまで努力し続けるより、田舎で学生生活を謳歌した後は肉体労働しながら定時退社して家族と過ごしたり仲間とバーべキューする人生のほうが圧倒的に幸福度は高いよね。

退職を伝えたときに上司から言われる「もうすぐ人を増やすから」「昇進させようと思っていた」「希望部署に異動させようと思ってた」「労働環境の改善に取り組んでる」は絶対に信頼してはいけません。

『素敵な人と出会うこと』より『変な人と関わらないこと』のほうが圧倒的に大切です。

「飲みの席で酔ったおじさんに「俺の若いころは…」「最近の若者は…」みたいな説教や武勇伝を語られた時はこの精神で受け流してOKです。みんなで楽しむべきお酒の席で自分の話したいことばかり話しているような失礼な人の言うことを真に受ける必要はありません。

オードリー若林さんも「ネガティブを殺すのはポジティブではなく没頭だ」と言ってるように、ネガティブになる原因のほとんどは暇だからです。ネガティブな気分になった時は無理にどうにかしようとせず何でもいいので没頭してみて下さい。没頭してるうちにネガティブな感情はどこかに消えてるはずです。

胸に輝くSDGsのバッジは金持ちの後ろめたさを解消してくれる便利なツール

成果主義、アタッカーにしか報酬貰えないネトゲみたいなものか。そんな状態でヒーラーやタンクなんてやる人いないだろうな。アタッカーだけのパーティなんてすぐ限界迎えるし大した成績も出せんよね。昔、某大手ゲーム会社で成果報酬制度が導入されたけど、ひどい話で。だって自分の仕事を選べない（配属は上が決める）のに、そこでどんなに個人で自分の仕事を頑張っても企画そのものが売れないラインに入れられたら、ボーナスは数万円程度。一方、鉄板の続編ラインだとボーナスこれまでの２倍とか、社員の収入の成否が配属の運によって決まるんだから、それが嫌で中堅がどんどんやめて、結果スカスカで一部のトップと新人しかいない会社になり、ブランドを片っ端から潰していった。

「仕事の価値」と「自分の価値」を完全に切り離して「プライベートの自分が本当の自分」としていると仕事で怒られても全くノーダメージなんよね。発生した怒られが「自分自身」まで届かないから。

町内の草刈りに参加した父曰わく、マムシが出たらしい。その昔、草刈り機でマムシの首を切った人がいて、飛んだ首が長靴の中にインして噛みつき搬送されたという平将門みたいなエピソードを聞いた。マムシ怖い。

個性の中に芯がない。個性しかない

ユーチューバーの言う「ヤバすぎる件」がヤバかったこと一度も無し

仕事中、自分のミスのせいで納期が超ヤバいって時に、突然ふと思い立った。無印でよく買ってる「辛くないグリーンカレー」のレビューを書きたくなったので会員登録し、星3のレビューを20分かけて書いた。辛いグリーンカレーと辛くないグリーンカレーの中間の辛さを出して欲しい。

「もうこんな会社辞めたい...」

「社訓を縦読みすると"がんばれ"になる」

「大喜利じゃなくて」

俺がこんなに働いている間に、動物が～ワクチンが～ぼく潔癖で～富士山が動いて～、みたいなことを言っているニートがこの日本に何万人もいるって、マ！？蹴り殺しちゃいかんわけなくない逆に！？

葬式で詠唱破棄するカスのお坊さん

フラペチーノ飲んで「甘すぎ」とか言ってるやつシバきたくなってくるんだよな、お前が始めた物語だろ

昔から、この世界には隠しコマンドがあるのではないかと思って空中にパンチしたりしていた

私は自衛隊時代に「メンタルを強くしよう」とあれこれ試してみましたが、どうしても行き着く先が「心を麻痺させる方法」でした。この麻痺力は短期間では有効ではありますが、家に帰ったときに「自分は何をしているのだろう...」と遅れてダメージがきます。この技を使った「強くなった」はマジ危険。

小さい頃、軽自動車のプレーヤーにMD入れて、母親がずっとスピッツ聴かせてくれたな。今思えば1番の教育だったわ…

スピッツ聴いてる時だけは自分のことめちゃくちゃセンスあるなって思える

「無理矢理晴れた日」とか、「転びながら、それでもいい調子」とか、生半可な人間には紡げない言葉を不意に歌詞に滑り込ませるスピッツはすごい。色んな思いを抱きつつも、朗らかに前に進むような歌。『スピッツ』は『スピッツ』以外では成立し得ない唯一性があることを証明している一例のような歌だと思う。

今回、吉田さんは『「わかりやすさ」を作る』っていう内容を要約してて、「わかりにくいものは評価されない」「わかりやすさが大事だ」とか言ってるのに、スライドはめっちゃわかりにくくて笑った

Su-25攻撃機が低空で激しい機動を行いながら飛び去っていった。故郷の千葉県が戦場になったのだ。そういう夢を見た。『この世界の片隅に』の片渕監督と会談をして、そこで「軍都としての千葉県」といった話をした夜だったから、何故こういう夢になったかは明らかだ。しかし、悲しかった。僕は少し込み入った狭い坂道の途中にある駐車場まで車を取りに行って、その途中で自分の生まれて生きた千葉県の空をロシアの攻撃機が飛んでいたから、コンクリートの壁に額をついてオイオイ泣いた。案外とこういうことかもしれなくて、人間は「県」とか「市」とかまで降りて来ないと戦の惨禍見たいのが実感できないのかもしれないですね。小泉さんはこう言う想像力が働くだけ軍事研究家として信用できる。政治や軍事をやっているとマクロばかりに目がいきミクロが見えなくなったする。実害はミクロでナラティブなんだがね。愛国心を押し付けられると反発するが、故郷の街には暑苦しいほどの愛着を持っているので、この感覚はよく理解できる。世界の中で重要な場所では全然ないけれど、あの片隅の街を戦場にしてはいけないと強く信じる。

精神科患者に同伴する家族が「これは本人の前で言っていけないことなんですが…」と医師に話し始める話題がそうであった試しがない。本人と話さないから憶測を重ねて事態が拗れて精神科に来てるんだよ！例えば、自殺しそうに見える人に死にたい気持ちがあるか尋ねても自殺を誘発しないが、尋ねずに周囲の家族が勝手に「死にたがっているに違いない、尋ねてはいけない」と共同幻想を作り上げてしまうことはよくある。このパターンは、本人は何も考えずボケーっとしていて、家族が必死の形相で泣きわめく。

軍事費を他のことに使えばこんなに学校や病院が作れるんです！って言ってる人がいたけど、作ったって軍事費が足りなければ全部プーチンに壊されるんだ。今目の前でやってる。

いまの社会というのは「資本家に搾取される労働者」が株や投資信託を買って投資していたり、安い商品やファストフードを求めることで他の労働者を搾取していたり、先進国の労働者が途上国の労働を搾取していたり、搾取被搾取が複雑に入れ子になっているのよね。

【初回時】

先生「野比！廊下に立っとれ！！！」

源(廊下に！？)

骨川(廊下に！？)

剛田(廊下に！？)

出来杉(廊下に！？)

野比「え、廊下に…ですか？」

先生「廊下にだ！！！」

先週のテスト休んだら外人の先生に「Your score is zero」って言われた

ネトゲとか時間が大量に必要なゲームを黙々とプレイしていた時、今思えばあれは「何も考えたくない時」だったのかもしれない。学生とかなんだとかで就職とか将来が不安だったりとかなんだとかで、何も考えたくなかったんだと思う。時間に効くタイプの全身麻酔。

嘘ビッグダディ台詞bot

各自落ちてるもん食え～

ストレスを感じた時の対処法。イライラを急に「0%」にするのではなく「15%」ずつカットする感覚。好きなものを食べたり飲む。ゲームとか遊びをして、記憶の上書きをしていき。「後にしよう」と今の時間に考えることをやめていく。「100%」あったストレスが、気づけば「10%」くらいに落ち着いてる。

満員電車で席が空いたのを見るや他人を押し退け凄い勢いで必死に座席へ向かうおじさんを見ると精子の時の俺もあんな感じで卵子に向かったのかなと思いうんざりする。

出産時痛みのピークでいきなり耐え難い眠気がきていきむの諦めたら酸素値が急激に下がってたらしくて酸素マスクつけて看護婦さんに「起きて！！！」って怒られたわ。でも今まで死ぬのがめっちゃ怖かったけど人間死ぬ瞬間はオール明けの眠りみたいな感じなのかなと思ったらちょっと楽になった

もしおれが自殺するとして遺書を書くなら「子宮。」ってだけでっかい模造紙に書いてこの世の全員に不可解を残したい

陰謀論をまるっきり信じて、やれ「日本が潰される」とか、「ワクチンで人間が操作される」とかさ。それを信じることによって何か生産的なことが出来るようになるなら別にええんやけどさ。「準備しなきゃ」とか「なんとかしなきゃ」って口だけで何も動いてへんやん。今日も都市伝説やら食糧危機が来るだの動画見てるけどさ。いや、ずっと動画見てるだけやん。それさ、某宗教とまったく同じなんよな。人生の指標になったり、人生を豊かにしたり、そのために宗教ってあるはずなんやけど、最終的に宗教を広めるために宗教やって、それだけに時間使ってるみたいな。

上半身をサウナ、下半身を水風呂に入れることで、その境界面で連続的な「整い」が発生し続ける

東大生、めちゃくちゃ要領が良いかわりに努力ができない人と、めちゃくちゃ努力できる代わりに要領が悪い人と、めちゃくちゃ要領がよくてめちゃくちゃ努力できる人がいる印象

アメリカの男性はナヨナヨしてみられないように筋トレするし、足を組んで座らないとか、ピンクの物を使わないとか、トートバッグを持たないとか、もっとくだらないのがファッション雑誌を見ないとか、虚勢を張ってのしのし歩くとか、女性歌手の曲を聞かないとか、人にどう見られるかめっちゃ気にする。

昔地元のツタヤでFF10のPV一生流されてて定期的に「わかってんのかよ！全部アンタのせいなんだ！」って言われるせいでノイローゼでバイトが二人やめた話くだらなすぎて好き

面接官｢趣味に女装とありますが・・・｣

私｢はい。女装は男性にしかできないので、最も男らしい趣味だと考えています｣

タバコ一本で７分寿命縮まるなんて言うけど、残業２時間なんて寿命が２時間も縮まるぞ。

元日本赤軍の重信房子を学生運動崩れの男たちがチヤホヤして囲んでるのまさに「紅一点」だよな。まあ全員赤いんだけど。

どんな食い物も、金箔を乗っけた途端にバカ成金専用の下品な餌に成り下がる。

反省文を書かされるとき、だいたい「内容はいいから文字数を埋めろ」という指示なの嫌だったな。中身ないからこそ罰になってる感じ、永遠に石を積み上げる地獄と似てる

制度や教範があるからその分野を重視していた証拠にはならないという話、何しろ現代日本にも労働基準法や労働基準監督やめよっかこの話

しんのすけ。皿のミートボールの数を数えてみろ。おっと、それはミートボールを指さすという行為の回数を数える行為だぞ。父ちゃんはミートボールの数を数えろと言ったんだ。…ん？それはミートボールを1個ずつ見るという行為の回数を数える行為だな。いいかしんのすけ、ミートボールを数えろ。

バングラ人の同僚について、彼の女性に対する態度が悪すぎるということで部署の女性全員が部署長に苦情を申し立てたと聞いて失礼ながら草。近代的価値をある程度内面化した後で反動的に露悪的発言をする「養殖もの」のミソジニーは「本場」のミソジニーには敵わないんだよな。

「俺が働かないで家にいるから俺たちうまくいってると思うんだ」(超ヒモ理論)

人間10代ぐらいの頃は「精神は肉体を支配してる！肉体より精神の方が上！病める時も健やかなる時も自分は自分！」的なノリでいられるけど、加齢に伴う体力低下や不健康で徐々に「精神は肉体にかなり引っ張られる」事を分からされられ、最終的に「精神は肉体の隷属物」であることを悟るという

英語をマスターしている日本人を尊敬しています。私の日本語はまだ上手ではない。しかし、Twitterやインスタには、日本人の英語教師による間違ったアドバイスがあるように思います。中には不必要に厳しく、学習者を不安にさせるようなものもあります。ネット上の先生の話を全て鵜呑みにしないように。

クロワッサンはシンクの上で食べるみなさん。

駐車場の猫があくびをしているところに遭遇してしまった。もうダメだ。

ワイ「申請！」

上司1「承認」

上司2「承認」

経理「間違ってます」

上司2「ワイ気をつけろ！」

上司１「ワイ気をつけろ！」

ワイ「すみません…」

下っ端のうちは「会社が会社が」って全て会社のせいに出来たけど、いざ上に上がって実態が見えてくると課長は部長の指示に従ってるだけ、部長は事業部長に事業部長は役員や社長に、社長も親会社の意向に従ってるだけ、総務も人事も経理も自分の仕事をしてるだけ、どこにも悪の組織「会社」が居なかった。いざ上がってみると、会社の天井はベニヤと糸電話がくっついてるだけというか…見渡せば意図の通った悪などなく、ただ人員不足と知識不足とほんのりした怠惰と諦念が広がるのみ…

やれルッキズムだエイジズムだ言うけどね、本質は「失礼なことを言わない」ってところだと思うよ。ポリコレはそのあたりズレてるんだよな。「容姿のことを言及するのが問題」としてしまっているでしょ。でも本当は容姿に関して、いや容姿に限らず、「失礼なことを言うのが問題」なんだよ。

「情報保護」の「ウホウホ」の部分

電車でイヤホンしてる奴に「迷惑だからイヤホンするのやめなさい」とか言うババアと「わかりました」って言ってスピーカーで音楽流し始める奴いてまさにキチガイvsキチガイって感じの言い合いが始まって笑い堪えるのに必死だった

｢水飲んだら変なとこ入った｣の変なとこが肛門を指してたらどうしますか

僕、小さい時から、人から注意されると右耳からちゃんと入れて左耳からちゃんと流してた。反抗とか言い返したことはなく、はーい、と言いながら、全部無視してた、けど、ひねくれずにそれなりに素直に育てたから、多分注意されることとか不要だと思ってる。人は人に注意するのが好きだよね。

良好な人間関係のために飲み会すんじゃないんだよ。良好な人間関係によって、いっしょに酒飲みたいと思えるようになるんだよ。「とりあえずヤっちゃえば好いてくれるだろう」に近い発想なんだよ前者は。

ちいかわ族だから怒鳴られても「ﾜﾜ‼︎」としかならないし怒られた“内容”より、“怒られた”にスポットを当てるのでいつまで経っても仕事ができない！旨味がある！

16年間学生やってたんだからたかが2~3年で学生気分が抜けないのは当然

明日の学会シンポジウムで登壇するのが、だんだん怖くなってきた。内容を急遽変更して、個人的おすすめアニメ10選とかにしちゃダメかな…

学費払ってるから授業休んだらもったいないて言うやつなに。Amazonプライム契約したからって全映画観んやろ

花火の写真現象ってやつですよ。花火大会行って、ちょう綺麗だったんだよ～！っていって出された花火の写真のぴんとこなさ。一度ファインダーを通してしまったがゆえの劣化が激しすぎて、聞いてるほうのよくわからなさがすごい。夢の中の面白い話と一緒。

友人たちでエレベーター乗った時、知らない他人が乗ってきたら会話が途切れてしまうの、めっちゃ気まずい。なぜかみんな黙っちゃう。

卒塔婆で作った木質チップでボイラー燃やしてサウナに使ったらめっちゃ整いそう

ネットでバズってる「ご飯」っていう猫とか私疑い深いんですよ。だいたい「にゅあーん」とかって言ってる。解釈だろ！それは解釈だろ！

英語で弁護士がlawyer（法律の人）なの未だに納得いってない、裁判官も検事も全員lawyerだろ

よく技術力の高い上司がいいって話を聞くけど、本当に技術力が高い上司がくると悲惨だよ。彼ら自分達の技術力基準で部下を評価するから。そして使えないとなると凄い速さで部下を見切るから。技術力よりもマネジメント能力の高い上司がいいよ。と今日そういう偉い人と話してて思いました。あれは辛い。技術力の高い上司はエンジニアの気持ちや価値を分かってくれるとか幻想だから。技術力の高い人で偉くなる人って根本的に自分達と同じ思考能力、仕事のスピード、理解力のスピードを求めてくるし、それができない人の気持ちが分からないから。同じ感覚でしゃべれる部下以外興味ないから。改めて考えてみると確かにその手の技術力が高い上司って他の組織の人よりも全てにおいて部下評価が辛いんだよなー。技術力が高いから部下の技術力が判断出来て、その基準が彼ら自身なので殆どの部下の技術力が低い事になっちゃう。確かに事実そうなんだけど。そうだけどそれでいいのかなーと思う。見切りが早いっていうのを例えるなら、皆さんがTwitterの140文字だけでもうTweetした人がダメだとか断言したりするじゃないですか。そういう感じ。それを上司に仕事でやられたらそれはきっと辛い世界だよねと。それを自己責任は悲惨すぎるのでもうちょっと猶予があってもいいんじゃないと思う訳です。

職場の新卒くんが給料日のたびに「造園屋さんでも枯れ木にわざわざ栄養与えたりしないし切り倒して萌芽更新なりなんなりしますよね？なんで年金制度は枯れ木に限られたリソースを与えようとしてるんですか？」って闇落ちするの笑ってしまう

パワー・テレサ「言葉に気をつけなさい。私はすぐ手が出るから。」

こういう底辺増田を「文章がうまい」と褒めがちだが、「真面目そう」とか「頭の形がいい」とか褒める感じに似てる。通知表に困った小学校の先生みたいな感じで

ウルトラマンの考察で、人間の上位種がそこまで人間に思い入れを抱くことがあるのか？って思ったけど「ウルトラマン、そんなに猫が好きになったのか」って置き換えて考えたら、猫のために命捨てる奴いるわって納得した考察好き

YouTubeに大量にある文字が流れてるだけのクソ動画見てる人間は視聴者じゃない、騙されてしまった被害者なんだよ

過去の職場で部下からの人気がとても高いマネージャーにマネジメントのコツを聞いたところ「人に期待しないこと」と淡々と言い放っていた。人気のない上司は「人の可能性を信じてる」って言ってた。ちなみに数年後に活躍してたのは人気のない上司の部下たちでした。不思議なようで、不思議ではない話。働き方改革とか、いろんなハラスメントとか、短期間転職してキャリア形成していくことなどが声高に叫ばれる今、部下の可能性を信じて時に嫌われながらもしっかり育成するって上司は希少生物になっていくだろうな。どんな環境、どんな上司が良いのか、短期視点だけじゃなく、中長期視点で考えたい。

綺麗なガラス細工のコーナーを見ると、突然自分の気が狂ってラリアットを繰り出さないか不安になる

小学生の頃、毎日いじめられていた子が図画工作の時間に「わたしの夢」という題材で絵を描けと言われて、他の子がサッカー選手や花嫁の絵を描く中、自分をいじめている同級生をバラバラにしている仮面ライダーの絵を描いたことがあった。後日教壇に呼び出されて絵を晒されて叱られたんだけど、担任の言った「仮面ライダーはこんなことしない！お前と◯◯（いじめ加害者の生徒）を仲直りさせて握手させるはずだ！それが正義のヒーローだ！」って台詞が、同じ◯◯にいじめられている私にはなぜかものすごく腹立たしくて許せなくて、次の図画工作の時間に全然違う題材なのに、◯◯をバラバラにしている仮面ライダーの絵を描いて提出して、気絶するぐらい担任に詰められた挙句に親を呼ばれた。最初にライダーの絵を描いた子とその後何かあったわけじゃないけども、私たちはあの時、ヒーローなんかいないことを誰よりもよく分かっていたし、それでも正義を言葉にする誰かの必要性も知っていた。ただ幼い私たちには、それを表現する言語力と術が無かっただけだ。あのクラスで私たちだけが何かかけがえのないものに触れていた。それだけは間違いないと勝手に信じている。

【神回】

RICACOさん、あなたが選んだのは何色の何！？

「鈍色（にびいろ）の、」

かつてキチ〇イジャップが不夜城を誇ってたころ、すでにヨーロッパの国は夕方には店やオフィスを出たら、早々に家族と家で過ごすようにさせた。日本人がディスコで躍り狂い、家に帰らず、躁鬱の躁期の患者のように毎日を過ごしていたころ、彼らハイテンションエコノミックアニモーが欧州を旅行して呟くには「ドイツやフランスでは夕方になるとどこもかしこも閉まってしまう、不便！活気がない！」というキチ〇イじみたざれごとであった。それから数十年、ぶっ壊れたジャップの家庭はぶっ壊れた人間をうみ、ついには自慢の経済もおかしくなり国家も失調している。夜も寝ないで遊び狂った果てにつくりあげた国家の末路である。人間の正常な生き方ではないような生き方を、国民にさせ続ける国は、いずれ報いをうける。俺はそう思っている。夜中まで遊び狂う連中が、国家に少しは居てもいいと思う、しかし、それはあくまで周縁的な生き方、普通ではないライフスタイルであり、そんなものは「推奨」すべきではない。水商売やヤクザ者が、あぶれ者であるのと同じように、それらはあぶれ者の生き方に過ぎないというのが常識的判断というものであろ。日本人は、そうやって、経済という魔神の祭壇に、くべてはいけないものや、捧げてはいけない魂まで捧げたから、どんどん国がおかしくなっているという認識をしてはどうかと思うのだが。そんなわけで俺は「寝るな」などという論調には賛成できない。その国家の大半のまっとうな人間は、寝るべきときには寝るべきである。そういったまっとうな生き方ができない人間の規範を推奨するような記事を書いてる記者はそこらへんの倫理のネジが狂ってるのだと思う。夜中まで遊び歩く人間を増やさないと維持できない経済というのは、それはなにかが狂ってるので、そんなことまでして経済なんぞ維持せんでよろしい、と考え説教するのが社会における「オトナ」の役割でないのか。だからこういうのは、日本という国家には、成熟したオトナが少ないという話ともリンクしてくるようにも思う。

悩みがなくなるわけじゃねえよ。年取れば体の不調も病気もするし、親だって介護だガンだってことが起きてくる。家をどうする土地をどうする処分するにもウン百万…って、むしろ30までなんかより格段に重い悩みが増える。けどな、もう青臭い子どもじゃねえんだ。鬱病やそういう希死念慮で苦しむ病いでもないのに、「いっぱしの大人」が30歳過ぎて不用意に死ぬ死ぬ言ってたらバカ丸出しなんだよ。みっともなさが20代までとは段違いなんだよ。何の論をどう弄しようと、死にたいなんて口にしようとした瞬間、「そんなに死にたかったんなら30になった時になぜ死ななかった？」ってまず他の誰でもない自分に責められる。30過ぎたら人生全て自分の責任。そこに腹括れないならあの時死んでなきゃいけなかった、それができなかったんだから腹括って生きるしかねえんだ。だから言わなくなるだけだ

基本メンタル強めなんだけど、今日、全く食べずに捨てられた離乳食を床にはいつくばって拭いてたら頭の上に残りの味噌汁全部降ってきた時はいじめられている漫画の主人公になりきってちょっと泣いた。あと泣きながらどさくさにまぎれて豚肉だけ拾って食べた。

4月の苦しい時、わかめご飯がでた。4月の本当に無理だという時、揚げパンがでた。4月のもうこれはギブアップ頭が爆発するって時、カレーがでた。ヨーグルト付きで。私は栄養教諭のメッセージを感じ取った。この献立を組んでくれた栄養教諭にお礼が言いたい。あなたのおかげで乗り切れましたありがとう

みうらじゅんの「コロナ禍で気づいたことは、あんなに飲んでたお酒はよくよく考えたら味が嫌いで、1杯目のビールからすでに美味しくないし、お酒の味をわからなくするためにベロベロ酔ってた。やっぱりお酒よりカルピスが好き」っていう話、わからなくもないし大好き

「自分探し」よりも「自分なくし」のほうがいいと思います。「自分なくし」は何かに集中して、自分のことを細かく考えないことです。そうすると充実感があるので幸福度が上がります。自分探しすると自分のことばっかり考えるから辛いです。自分をなくせる瞬間はマジ大事。

私は、嫌いな食べ物に対しても年一回ぐらい〝やっぱり過小評価だったかどうかを確認する機会〟を設けるんだけど、とろろ芋（自然薯）と甘酒は〝もう二度と確認する必要がない嫌いな食べ物〟に入っている。所謂、〝殿堂入り〟。パクチーが今日、新たに〝殿堂入り〟した。次はおそらく〝稲荷寿司〟だ。

全部読まずに大丈夫だろ最悪どうにでもなれって「同意する」ボタン押すよね。

社会人になって思うけど、ウルトラマンで1番ファンタジーなのはウルトラマンでも怪獣でもなく、全くギスギスしていない明るい職場だな。

俺って「どうせ人はいつか死ぬから」と不摂生で堕落した生活を送っているけどいざ死ぬ時になったらめちゃくちゃ後悔するんだろうな…。手に取るようにわかるよ…。

つべこべ言わずに、残業を、するわ！でもさあ！さすがにこれだけサービス残業をさせておいて、「強盗や強姦をしてはいけません」は通じんよ？考えろよ？

「友達いない」って言ってる奴、単に周辺の人間関係を大切にしていないだけだと思うようになってきている

歯医者で「30分くらいは飲食しないでください」と言われたのでフェラやクンニはどうなんだ？と思ったけど口に出さなかったのマジで偉かった。今週一番偉かった

トイレットペーパー18ロールとか歯ブラシ30本とか、まとめて買ったときは一生分あるような気がしていたものがなくなると、どれだけの時間が無駄に過ぎてしまったんだと思い恐ろしくなる。

無性に海が見に行きたいが、多分ただ海を見に行ってもこの思いは満たされなくて、20くらいの適切な手順を踏んだ上で海を見に行かなければならず、その20の中には自分一人であれこれしたところでどうしようもないような性質のものがいくつも含まれているように感じる。

誰かの「普通になりたかった」とか「普通になりたい」という思いに対して「“普通”ってなに？」と問うことの意味を俺は見いだせなくて、仮に「“普通”なんかないんだ」と結論づけてみたとしても、それはただの言葉遊びでしかなくて、根源にある劣等感だったり疎外感はしっかりと胸に残り続けると思う。個人的な「普通」の定義は「ある観点において社会的に許容され、また自分自身が劣等感を持たない範囲内に留まること」。そう絶対的な「普通」なんてない。でも、だからなに！？って感じ。自尊心を失わずに生活できるだけの能力と環境を手に入れている奴はもう“普通”なんだよ、他者の「普通になりたい」を否定する権利なんかないんだよ。「他人と違う」から苦しいのではなく、「他人より（許容範囲を超えて）劣っている」から苦しいんだよ。多様性ではなく優劣の話なんだよ分かれよ。

「普通なんてないよ♪」というのは「多様性があるからきみの○○（性格、言動、姿かたち、性的嗜好など）も個性だよ！」という真意なんだろうけど、多様性の話してない今。自分のその「○○」が社会的に許容されるレベルを下回ってるという、閾値の話をしてる。めちゃくちゃブスの人間がいたとして、その人に「きみのその顔も個性だよ、多様性だよ！普通の顔の人なんかいないよ♪」って言ってるのと同じなんだよな

時間を止める系のAVってシチュエーション自体はすごくいいと思うんですけど、見てるうちに"ああ、女の人って我慢しようと思えば声とか表情とか完全に我慢できちゃうんだな…"って思えてきてちょっと悲しくってしまうのが難点ですよね

人生が健常な人が、人生が健常でないとみなした人の前で、あるいはその人がいない所でその人を話題に上げた時にする独特な笑みがある。近くで見たらぞっとするあの特殊な笑顔を他の人に説明するうまい表現が見つからない。伝わるだろうか、みんな見たことがあるだろうか、それとも…

バイト先の好きだった女の子に「名字くん」から「名前呼び捨て」になった時嬉しすぎて死んだ。ちゃんと葬儀にも来てくれたし、その子

「約束の額が確認できたらガキの居場所を教えてやる」

「...1回当てにいっていいですか？勘の良さには自信あるんですよ笑」

「お前ヤバいな」

良い言葉の中には「他人にいう言葉じゃない」というものが割とあります。「石の上にも三年」「自分の機嫌は自分でとる」「置かれた場所で咲く」「涙の数だけ強くなれる」は自分にかける言葉であって、辛い環境にいる人たちにいう言葉にはなりません。何も考えずに使う名言は人を傷つけます。

「普通になりたかった」って言うと「普通ってなんでしょう？」って令和のソクラテスが現れるけど、ここでいう普通とは「ある観点における能力が社会的に許容され、自分自身が劣等感を持たない範囲内に留まること」であって多様性の話ではない。花屋の店先で今お前が雑草を踏んでるという話をしている。「普通になりたい」がどうしても理解出来ないなら、「人間の最低ラインをクリアしたい」って言い換えてもいいよ。

外国に留学や就職などで移住してすぐに帰国する人を「逃げ帰ってきた」とディスる人がいます。でもその国の文化や気候が合うかどうかは個人差があるし、海外生活は不自由なことも多いので、住み続けて惨めな生活をするより、さっさと見切りをつける方が賢い時だって当然ある。だから「逃げる」は違う。

自信がない人に対して「自信持ちなよ！」と言うのは、大変にその通りなんだが悲しいくらい全くもって意味がないってわかってるよね…？お金がない人に対して「稼ぎなよ！」と言うのと同じレベル。わかってんのよ、自信を持ったらいいことくらい。自信の持ち方がわからないから自信がないのよ。

転職って良い話しか目にしませんが、大変なことだってもちろんあります。それは入社した後。日本人は真面目な人が多いので、「中途採用」となるとすぐに結果を出さなければと意気込む人が多い。マネジメント側も中途に対する期待値が高いケースが多い。しかし、まあこれがすぐに結果が出ない。成果がすぐに出せないことは普通に考えれば当たり前の話で「会社の文化が違う」「業務も違う」「人間関係も社内の人はほとんど初対面」こんな状態ですぐに成果なんて出せるわけない。短くても1年は土俵づくりくらいに思って良い。思い詰めるな。というのが転職後に苦労してる私からのコメントです

仕事って自分の人生の一部分を切り取って、お金に交換する行為ですもんね。毎日の早起き・満員電車での通勤・汗水たらしながらの努力・上司からの激詰めなどを経験せざるを得ないのであれば、せめて誰かの役に立ちたい、せめて自分の成長に繋がるものであってほしい、と思うのは自然なことだと思います。世の中決して甘くないですけれど、あまりにもそこから離れてしまうと病む人も増えるのかな、、と。

「報道バラエティー番組」といった場合、報道番組ではなく、バラエティー番組である。「刺身こんにゃく」が刺身ではなく、こんにゃくであるのと同様に。

西武池袋線の人身事故で「遅刻しないように必死」やら、「遅刻した」やらでお怒りのツイートがちらほらあるけど、こんなに明らかに自分が原因でない遅刻すら許さない社会に問題がある気がします

いきつけのスーパーでいつも「クーポンはお持ちですか？」って聞かれるんだけどそのクーポンの入手経路を一度も聞いたことないから「どこでもらえるんですかそれ」って聞いたら「それはちょっと言えないんですけど…」って言われてまじでなんなんだよって思いました。

何についてもトリビアを言う人を見ると「詳しいんだ！すごい！」と思ってしまいがちだけど、人間、本当に詳しい分野についてはトリビアより大枠から話すものなので、騙されてはいけない

I don't need SEX, bcause the goverment FUCKS ME EVERYDAY!

モラ男っぽい人と付き合ってたとき、裏不尽なこと言われたら「は…？」って真顔で反応してマジレスで返してたら、「気が強すぎて守ってあげたくならない」と言われてフラれたことがある。奴ら、自分より弱くてコントロールできるかどうかを見てますね。

「しあわせなら」からの「たいどでしめそうよ」ってだいぶ圧が強いなあって毎度思います

めちゃんこ美人な同僚「家ではずっと美容系Youtuberの動画流してますよ～自分磨きのモチベが上がります」

仕事中ワイ「何それ素敵　真似しよ」

～帰宅後～

なんか予測変換から出て来た謎のチャンネル「今日は江戸時代の島流しについて解説していくぜ」

帰宅後ワイ「おうええね　教えて」

ゴム手袋で洗い物をしてる時に「今熱いお湯ですか？」って聞かれて、素手だと熱いかもーっていうのを言いたくて咄嗟に「人の身で耐えられますかね」って言ってしまって、職場内で魔王説が流れてしまった…

時間とかいうダサいものの外側で本を読んで読み終わったら戻ってきたい。

従業員にまともに暮らせる給料を支払うと潰れてしまう会社って、そもそも会社と言えるのだろうか。

中学の頃道徳のテストで「あなたが平和を作りたいと考えた時、どんなことをしますか？」って問題に対して「字牌を切る」って書いたら親呼び出されて怒られた

おれたちが親になるころには孫の顔が見たい、というセリフは禁句を通り越して死語になってるだろうね

完全に多様性が進むと人は他人に無関心になる。多様化した現代におけるすべての選択は「あなたがそうしたかったのだからそうした」という理路へと結果から遡及して書き直され、やがて「そうしたのだからあなたが自分自身の人生に責任を持つのが当然だ」という自己責任へと、接続してしまう。さてそんな世の中で生きづらい人はどうなるか。その人の生きづらさはその人が自分自身で選びとったものなので誰も助けませんよ、そっぽ向いてる間に自分で何とかしてくださいね、となってしまう。果たして主体的な選択というものがどの程度人間に与えられているかを熟考することなく「お前の選択なのでお前で責任を持て」という価値観が広がっていくのは一種、恐ろしいものがあるな

ギリ何とかなる悩みを晴らす応援ソングはたくさんあるけど、ギリ何とかならないときに諦め方を教えてくれる応援ソングがスピッツだと思う。

「千本桜って一般化したよな」

「え？ｎ本桜になったの？」

個人的にTwitterは交流ツールじゃなくて愉快な濁流を眺めるものだから、勝手に水量減らされると困る

一般に流通してるライチはほぼ全て冷凍らしいけど、このまえ珍しい生ライチを食べた。かなりみずみずしく弾力があり、今まで食べてきたのが「徹夜明けのライチ」だとしたら9時間しっかり寝てきたライチに初めて会った感じだ。

早く俺以外の誰かが俺に迷惑のかからない方法で暴動を起こして政府が俺に都合のいい政策を打ち出してくれたらなあ

マン汁に我慢汁を滴下する中和滴定

これは若い方へのアドバイスですが「目標が高すぎて失敗する事よりも、低すぎる目標を達成してしまう事を恐れよ」とミケランジェロの言葉にあるように、成功は人を堕落させる。つまり若い頃に必要なのは目先の成功ではなく、将来価値を生む下積み経験。と上司に言われたら転職のベストタイミングです。

学生の頃、一番しんどいとき一度だけご飯に誘ってくれた同級生がいる。友達ではないくらいの。ハンバーグを食べながら「眠れないことに罪悪感を持つな。少し良くなると超眠い時期が来る。寝ろ。次は寝ることに罪悪感を持つな。回復までの流れはそれ」と伝えてくれた。あいつたぶん仏の使いだった

首を吊ろうと思って首吊り用の縄の結び方を調べたら意外に難しかった。数年後、首吊り用の縄を代わりに結ぶ商売で大もうけした私は、ハワイに永住することにした。

もしおれが女だったら、ナプキンのパッケージのかわいいイラストとかオシャレ性とかどうでもいいからとにかく機能的にしろそして安くしろ って叫びたくなっちゃうだろうな、ていうか叫んでる女、いないのか。冷静に考えて、股から血がドバドバ出てるときに「ちょっとHappyハートデザイン」見て「あ！ちょっとHappyハートデザインだ！嬉しいな～」って、ならんのよ

「不機嫌」を無言のメッセージとして発信する人は危険だ。やたら人前で若手を注意したがる人も同様である。あれもまた指導する相手ではなく実はそれ以外の人に向けてのメッセージである。ある種の権勢の誇示であり威嚇行為だ。こういう人に限って人をミリ単位でとにかく思うがままコントロールしたがる

面接官「保育士になりたい理由を教えてください」

子どもって言った方がいい人「はい、私は幼児が大好きで…」

あと少し日本人が愚かであれば英語を使っていて、もっと愚かであれば中国語を使っていた。

これからは住宅もサブスクの時代。１ヶ月定額の支払いで住み放題。このサービスは流行る。

治安が悪いというのは、日常の中に犯罪がふっと入り込んできやすい状態。「欲しいけどこれ盗んだら…」じゃなくて「欲しいなら盗めばいいんじゃん」になる状態。

20歳のとき、友人にいわれた「何を好きになっても構わないが、自分の好きを守るために他の人の好きを否定したり邪魔したりして迷惑をかけるな」という言葉が、ずっと心に残っている。価値観を押しつけまくる大人には、絶対ならないでおこうと思っていたけど、実はこれプリキュアのセリフだったらしい。

今日人生で初めてスタバ行ったら前の人が「トール」って言ったてたから僕も真似して「ポセイドン」って言ったら定員に笑われたから店ごと水没させたった。舐めんな、神

知らないロシア人のおっさんから「海産物なのにスーシ(сушь 陸)とはおかしくないかね」と絡まれたことがあり、親父ギャグは本当にどこの世界でもしょうもないなと思いました

自動車ライン工は、業務開始から5分くらいで「これあと8時間するってガチ？」という気分になり一ヶ月で辞めてしまったが、あれを何年も続けている人は、明確に〝上〟だと感じる……。新卒以外の仕事の入り口が、ほぼすべて〝体力による反復単純作業〟である点が、国語の達者なのろまを苦しめるね……。

これ8兆回言ってるけど、一人旅という行為に学びとか成長とか高尚な”何か”を求めてる風潮あるけど、一人旅なんてのは気に入った看板を1日中眺めたり、ハマったチャーハンを1日5回食べたり、身勝手と不要不急の塊みたいな行為なんですよねこれが。

無理して限界ギリギリまで働いて職場回しちゃう人が居てさ、それで現場に何の問題も無いって事にされちゃって、だから人員の補充もされず給与も引き上げられず、勿論、構造改革も行われない。なんで、そこで、その有能さを経営陣に正当な要求をする方に回せないのかな？そういうの、美徳じゃないよ。ちゃんと余力を残すように仕事して、余力があるうちに、想定外に備えるようにしないと。人が不足してからじゃ人員補充は遅いし、キャパオーバーしてしまってから効率化を始めても、効率化を行う余力が無いから手遅れ。その悪循環になるからさ、「勤勉」を履き違えちゃイケナイよ。権限を持ってる奴が、どうにもバカで理解しなくて何もしないなら、そいつが困って動かざるをえないように仕向けないと。「普通の人が出来る内容と量」で回るように職場を持って行く事が大事。有能な人って、そこが分かってなかったりする。努力すればみんな有能になると思ってるから無理をする。で、有能で頑張る人は結局仕事をどんどん引き受けて、それで周囲から感謝はされるけど疲れ果てて潰れて、その時になったら、周囲から責められるのは、それまで必死で職場をささえてきた、その、有能な人、なんだよ。なぜそうなるか、有能さの使い方を間違ったからだよ。その有能さを自分が仕事をするってところに全振りしたからダメなのよ、それやると、周囲は有能な人間に依存する体質になり向上せず、非効率的な仕組みも改善されず、有能な人が疲弊して回らなくなったら、恨まれて、捨てられるだけ。やるべきは、その有能さで「普通の人が回せる職場」を作る事。

僕の会社はなんちゃってIT企業で、急に営業職含め全社員ITパスポートとかいうカスの資格を取らせるキャンペーンをやり出したんすけど、基本情報を持ってるので無視してたら、カスの企業なので(2回目)上位互換資格とか考慮されず、とにかくITパスポートという名称のついた資格を取れと言われ投了。

トーマスの世界の、撮り鉄は、大変だ。順光で風が、無風でも、機関車が情け無い顔をしていたら、Vな写真では、無くなる。

夜に新幹線に乗っていると、名前も知らない土地の夜景がつぎつぎ車窓に流れていって、「この光の向こうにこの光の数だけそれぞれ人の人生だとか家庭だとか土地の歩んで来た時間があるんだよなあ…」と寂しいような暖かくなるような不思議な感覚に包まれる。旅をよくするようになって、ずっとそう…。

職場のパリピおじさんがインスタを始めたと言うので覗いてみたら、ハッシュタグこそ機能していなかったが趣味のバイクと美味しそうなご当地グルメでなかなかに映えていた。ツイッターはやらないのかと聞いたら「あんな陰気なもんやらないよ」とのことです。陰気な皆さん、おはようございます。

起業は縁日での射的遊びみたいなものだ。中流階級は一発だけ打てる。ごくまれに大当たりする人がいてアメリカンドリームを体現する。金持ちは何発でも打てる。無駄弾を延々と打ったあげくにようやく当てたやつがスピーチでハードワークの重要性とかの講釈を垂れる。貧乏人は縁日に来れず働いている。

時間とかいう勝手に流れて人を焦らせようとするだけの、ガチでダサい概念

前の記事では「1日1万稼げるから始めた」って書いてるのに負けがこんできたら「自分は楽しいからやってる」って主張を変えるの「俺は馬が走るのが好きなだけ、馬券は入場料」って言ってる人とロジックが全く同じ

パパ活が見下されてる理由、例えば赤の他人から「靴舐めたら千円やるよ」と言われて舐めるのは犯罪でも何でもないけど自分は舐めないし、舐めた奴を「汚ねえwプライドないのかw」と思う感覚。

なまはげ、悪い子を幼稚園とかから見つけるの効率悪いので少年院にでもいったほうがいい

カレーが好きで週4でカレー食べてますっていう人に美味しいカレー屋さん教えてくださいって聞いたら、普通のレトルトカレー(特定のやつ)しか食べないからなーって言われたこと思い出しました。好きだからって詳しいとは限らないし、詳しくなくても好きでいいのだ

「免許の無い人達に車の運転を教える、という仕事の性質上、接する相手がみんな自分より劣った人間であると錯覚して優越感・全能感を抱き、対等なはずの他人に偉そうにしている私達は、狭い村の中だけのルールでイキっている井の中の蛙です」という意味を込めてカエルをイメージキャラにしている教習所

モテることと人格が優れていることにはなんの関係もないのだが、それだと女に都合が悪いのでモテる男は人格も優れているということになり、女に好かれたい男もその世界観に染められてしまった

革の字になって寝ようかな

最近のオープンワールドのゲームとは比べ物にならないくらいマップ狭いのに当時は巡るのすごい楽しんでた

「旦那が子育てに協力的でない」と嘆くママ垢をいつも見かけるけど、俺が思うに辛い時に助けてくれて一緒に子育てするタイプの男ってのはあなたが独身時代に「優しくていい人なんだけど好きにはなれないかな〜」って切り捨ててきた男だよ

布団の中は「良いことを考える道場」と私は思ってます。布団の中は何を考えても良いところなのに、職場や嫌いな人のことを考えるのは辛すぎです。布団は幸せ力を鍛える場なので、ちいかわのことを考えて私は寝ます。

お嬢様系VTuberも流行ってる今､やはり皇族系VTuber｢耐難たえ(たえがたき たえ)｣が求められている､リスナーを臣民と呼んで実況を国事行為と呼称する

逆にティッシュを奪うバイト

顧問「おい、日本で高い山は何だ？」

生徒「富士山です。そして2番目に高い山は北岳ですがこの山は世間的には知名度が低く、これは何事も一番を目指さなければ意味がないことを表しています。次のインターハイでは優勝目指して頑張ります」

顧問「うん」

ボイパ花嫁

「ブツツカ者ですが…」

若奥さん「うふふ…そんな褒めても何も出ないわよ///」

作業員「おい何も出ねーんだってよ！」

現場監督「撤収ーーーー！！！！」

カーンカーンカーンカーン！！！(足場解体)

最近、反ワクチン反マスク界隈の「近頃アンチが大人しいけど、気付き始めたのかな」的なツイートをチラホラ見るんだけど、違うんだ…こんな言い方失礼だとは思うけど、君たち、もう、オワコンなんだよ…。もう打つ人はみんな打ったし、マスクの着用も適宜判断してるし、みんな普通に生活してるんだ…。

今確かに「magma」と聞こえた、さっきヘレンケラーが落ちたはずの火口

以前に「昔のSF研究会では新入会員を迎えると、まず原書の輪読会をやって英語も読めないニワカを篩い落としていた」みたいな話が“美談”の文脈で語られていたのだけど、あれを読んで現在のプロパーSFの衰退ぶりの原因がなんとなくわかった。

「年収1,000万」を目指すよりも「一文無しになってもみんなが助けてくれる生き方」をするほうが人生は100倍くらい充実すると思う。

確実に何か奥の手を持ってる蟹｢ジャンケンで決めませんか？｣

ズバリ言うね。うつ病を治すための考え方はシンプル。「質のいい睡眠をとる」「栄養バランスの取れた食事をする」「自分を傷つけない思考を手に入れる」「疲労量＜回復量」の方程式をキープし続けること。これらが整えば、時間かかるけど治っていく。これが全部できなくて、8年経ってもオイラはうつ病

多くの人に「出会い方が違ったら親友になったかもな」「流れによっては恋人だったかもな」とか思ったりする。あれもこれも現世で叶えるのは無理なので、一応「みんながんばれ〜！」と心の中で応援している

壮絶なパワハラに遭っているので、職場のエレベーターにあった「非常時に押してください、外部と連絡が繋がります」という非常ボタンを退勤時に押した。連絡が繋がったとき私は泣き叫び、そのままエレベーターの中で餓死した。

最近うつっぽいから産業医に相談したいって言うと効くで。実際には病院なんて行かなくてええんや。ワイそれで上司うつ病に持ってった事ある

「飛び込み自殺は迷惑だから嫌だ」と「家族のために死亡保険をかけよう」、実は同じ発想なんだよなあって

【香水2】

翌朝も いきなりさ

よく親御さんらから「ウチの子はコツコツした作業が得意だからプログラミングに向いてるかも」という意見を聞くが、この頃思うに「コツコツした作業を面倒と思わない子」はプラモデルの組み立てなどの細かい作業に対する耐性は高そうだが「ラクをするために頭を使ってコードを書く」のは微妙な気がする

監獄レストラン、入店するときに何の罪か自白しないといけないので「ワイの美貌が…この美しさが罪、ということ…」って自白したら看守役の店員さんが『言うほどか？』みたいな顔しながら手錠をかけてくれた

前も言ったけど「私は参謀タイプですから」という人は自分では何もせずに助言を一つ二つしたら全部うまく行く、って感じで考えてる。実際の参謀の仕事は情報収集、計画作りから地図整理、補給手配、工程管理、計算計算に伝令などひたすら下働き。最高の軍師孔明は過労死した。

人生に迷ったら「生存確率が上がる選択」をしてください。会社、友人、食べ物、住む家などの選択を「こっちの方が安心で長生きできそうだな...」と感じるものを選んでください。そうすると生き物として幸せを感じられるようになります。本当に好きなもの以外はそっちのほうが後悔しませんよ。

コミュ力ある人間って結局自分に自信があるからコミュ力あるんだよね。自分のこと話しても嫌われない、距離詰めても嫌がられないって自負してるから他人とガンガンコミュニケーション取れる。自己肯定感低い人間は「嫌われたらどうしよう」が前提にあるから話しかけること自体怖くてできない。というか、カーストがなんとなく高くて話を聞いてもらいやすい人が事後的に「コミュ力が高い」と言われてるんだよな。「コミュ力高い」と言われてる人がやってることってコミュ障とされる人達とさほど変わらないことも多い。卒業や転校、就職転職異動など、コミュニティがガラガラポンされたら、以前は人気者だった人がとたんにモブになったりする現象もこれで説明がつくのだよな

大学院、彼女やらと普段はいちゃこらして飲み歩いているような人がすんなり業績でて博士とってアカポスゲットしたり、朝から晩まで研究室にいて普段も研究の話をよくするような真面目な人が業績でないで消息不明になったりと、一筋縄でいかないのが面白くて良い

83kg→57kgの減量に大成功した友達がいるんだけど「デブだった時代に優しくしてくれた人は本当に大切にしたいと思ってる」って言ってた。めっちゃ気持ち分かる

俳句の欄に「該当作なし」とだけ書かれている、めちゃくちゃ尖っているお～いお茶

ふらっと高速に乗って思いつきで立ち寄ったＳＡで大して美味しくない醤油ラーメンとやや割高のソフトクリームを食べてから特に必要ないキーホルダーを眺めたりするって、そういう退屈な旅行がしたい、よくある地方都市の一望できる小さな展望台で双眼鏡を覗きたい、1回100円のやつ。

「電話番号教えてよ」

何でも四捨五入する人「10000000000」

部下のマネジメントに関する本を最近よく読んでいるんだけど、「会社員は仕事のやる気がある」ことを前提に書かれていて役に立たないケースが多いんだよね。特にコンサル出身者が書いた本ではその傾向が強い。世界は仕事が大好きな異常者だらけじゃないんだよ。

セクハラとパワハラのセ・パ両リーグ

色んな層の人たちと転職の話をすると「スキル」「リモート」「副業可」等のより良い環境を求めて転職を考えてる人より、「長時間会議がない」「働かないおじさんがいない」「飲み会が少ない」「風通しが悪くない」等のまともに働ける環境を求めて転職を考えてる人の方が圧倒的に多いことに気づく。

今の業界が嫌なら違う業界の会社に転職すればいいし、転勤が嫌なら転勤の無い会社に転職すればいいし、通勤が嫌なら通勤の無い会社に転職すればいいし、年収が低いなら今より年収の高い会社に転職すればいいし、それが無理なら副業でも資産運用でもなんでもやってみればいい。とりあえずやろう。

プロジェクトの佳境だろうが、人手不足なタイミングだろうが、給料が割に合わなかったり成長出来なかったりと不満を感じたらサラッと転職していく米人達のフットワーク、管理する側としてはリスクでしか無かったけど見習う事はマジで沢山あった。

部活動を通して理不尽な事には慣れていたので社会人になってから経験した理不尽な事にも普通に耐えてきたが、そういった層がどんな理不尽にも無言で耐え続けるからこそ会社から理不尽な事が無くならないんだろうなと改めて考えて反省した

子どもには大量の宿題、中高生になったら部活。会社に入れば残業。日本では常に、余白があってはいけないかのように、人に負荷をかけ続けることが「良し」とされる。結果として、自分が置かれた状況を客観的に考える余裕もない。馬車馬のように、目先の目標へ歩かされる。思考の自由を奪い取られる。

【アンパンマンにいそうで絶対いないキャラクター】

手マン

自衛隊にいる頃に思ったことがあります。それは「戦闘機パイロットになった人」の話と同じぐらい「戦闘機パイロットになれなかった人」の話はためになることです。理由は「人生の夢はほぼ叶わない」からです。でも、その後に自分の人生見つけたのであれば問題ないです。だからためになります。

昔居酒屋でバイトしててグラス割っちゃったとき、公衆の面前で勢いよく物を破壊しただけでも気持ちいいのに、更にクソデカボイスで「失礼しましたァアァ！」って叫ぶの最高に気持ちよかったな。お金を払ってでももう一回やりたい

無職生活を何年も続けていると、無職ですら忙しい、と思う。やらなきゃいけない事がたくさんある。漫画、ゲーム、アニメ、読書、自転車でブラブラとか、山ほどやっつけないといけない。こりゃ、働いたら時間がなくなるのは当たり前だ、と気づく。人間は無職を基本にして人生設計しないと立ちゆかない。

人手不足だというのに、親がかりでバイト生活だのニートだの、ちょっと辛いとすぐ辞めるようなやつは辛抱が足らんのだ…という意見のツイートをみたが、いつまで若年労働者が潤沢にいる時代のつもりでいるのだろう。足りないのは、気持ちよく働いてもらえる環境作りをさぼってきた「使う側」では？怒鳴ったら減点、いじったら減点、指示が明確でなかったら減点、非を認めなかったら減点、ありがとうと言えなかったら減点、褒めなかったら減点……とやってったら、あなた何点残ります？工夫も知恵も足りないのは「すぐ辞めるやつは辛抱が足りない」と言っている側。

【道徳】

なんでこの点は出ないんだろう、近くの人と話し合ってみよう

一時停止のとこで止まってくれてる車に一礼して申し訳なさそうに足早に横断する、みたいなのをずっとやっていくのが「労働」（チームワークが必要になる、会社員の一般的な労働）。法律という決まり事の威を借るのではなく、人を不快にさせない、あるいは快く思わせるテクニックの集合体で社会は回っている。

Adult life is constantly saying to your friends let’s do something soon and suddenly 6 months have gone by（今度遊ぼうよと友達を誘って半年すぎるのが大人の生活である）

不登校だった女の子と放課後にちょくちょく遊んでるうちに付き合うことになって、会いたいからって理由で少しずつ学校来るようになって、不思議とその子がだんだん陽キャグループになじんでって最終的に振られたことあったな。俺が不登校なりかけた。

ワーキングメモリ死んでる系のADHDはメモを取ろうとしても相手の話を聴き取る時点でメモリがいっぱいで「文字に残すべき情報の取捨選択」をするだけの余裕が既に無いので、書き殴られた汚くて読めない単語と無駄に「しかしながら」とかどうでもいい接続詞とかが散りばめられた謎の怪文書が出来上がる。

彼女に「襲ってほしいな…♡」って言われたから爆撃機で真珠湾奇襲したら太平洋戦争始まった

そういやパートナー元気かなって約1ヶ月ぶりに連絡したら「パン作りにハマり過ぎてうっかり会社辞めるとこだったから連絡くれて良かった〜〜」とパンを持って来てくれた。本当に私達は何かにハマるとうっかり会社を辞めがちなのでお互い気を付けている。

メンタルが平穏な人は何が起きても「まぁいっか」と考えてる。仕事で失敗したり、勝負に負けたり、人と比較して劣ってたりしても「まぁいっか」の精神で気楽に流してる。メンタルが荒波ジェットコースターな人は逆に、あまりにも自分に厳しすぎて落ち着く暇がない。「まぁいっか」は生きやすさの合言葉

悪役令嬢「知的階級は粛清して、都市にお住まいの国民の皆様は原始農業をしていただきたいと思いますの」

最後に男優がイッたのかイッてないのかは視聴者の考察に委ねるタイプのAV

公園でどこかの保育園の若い男性保育士が「ちゃんとダンゴムシさん元の場所に返してあげて！ゆうだいくん、突然池袋に放置されたらどうするの？」と斜め上の諭し方してて笑った。

深夜3時くらいに本物の鳥みたいな声で「チュンチュン」と鳴いて近所の人々に「もう朝か…」と一旦思わせて「え！？ 3時！？ まだまだ寝られるじゃん！！」と喜んでもらうことを生き甲斐にしているおじさん

盗聴に気づき始めているおばさん「さて、サンドイッチを食べようかしらね」

今住んでるアパートは壁が本当に薄いから隣に迷惑かけないようにできるだけ静かに暮らしてるんだけど逆に僕が静かすぎるせいで最近隣に引っ越してきた女の子がまだ壁の薄さに気づいてなくてかなりの頻度で友達を泊まらせたり遅くまで電話したりしててなんか僕だけが損する構造になってしまってる

夜、布団の中で反省するナレーター「お分かり頂けたんだろうか…」

来世は絶対アメリカ大統領に上り詰めてアルコール・タバコ・火器及び爆発物取締局をアルコール・タバコ・火器及び爆発物・バナナ入りコンビニスイーツ取締局に組織改正して覇権国家の圧倒的権力で地球上からバナナ入りコンビニスイーツを根絶してやるからな…

NTRでシコるとNTRでシコるが人生に介入してくるから気を付けないといけない

尿酸値、Ｅ。Ｅ判定。もはや志望校を変えた方がいいレベル。受験マシーンとしては取ったことがない屈辱である。

田中カ子という人は119年かかったものの119歳の誕生日を迎えるという並外れた偉業を見事に達成したそうだ。それを聞いて私も120年かけても120歳の誕生日を迎えるという偉業を達成しようと思った。

初対面で「いい人そうだなぁ」と感じても、少し違和感を感じるようであれば距離は取ってください。全てを許すとじわじわと「心の境界線」を踏み越えて、拒否や文句も言いづらい関係を築かれてしまう可能性があります。相手を嫌いにならないために「違和感」と「心の境界線」はマジ大切。

近所のタイ焼き屋とタコ焼き屋は、もう全部潰れてしまった。最近の冷食のタイ焼きとタコ焼きは安くておいしくて常備しとけばいつでも食べられて幸せだが、「駅前の本屋でマンガ買って、薬局で洗剤と歯ブラシ買って、あとはタイ焼きでも買って帰るか～」っていう“でも買い”の幸せが懐かしく寂しい。

スモールライトで小さくなって、どこでもドアをしずかちゃんの子宮に繋げて中に入って、中でタイム風呂敷被って胎児になる

『Love so sweet』のイントロの「wow wow...」みたいに、カラオケの点数に関わらないところは歌わない猿

仕事の能力の高い人間ほどパワハラを起こす危険性が高い。仕事の能力の高さと人格の高さは相関が全くなく、努力して能力を高めた人ほど怠惰な人に対する許容性が低いので、意識低い系の努力をしなくて能力の低い人に我慢できなくなる可能性が高いからである。

東大卒の同期がいてさすがめちゃくちゃ頭が良いと入社したての若い頃はそう見えた。だけど30年経てばそれほど大きな違いを感じなくなってくる。頭の良いの意味が分かってくるからである。本当に頭のよい人ととは他の人の立場や気持ちを考えられる人のことで、そういう頭の良さは学歴とは無関係である。

同じ会社の友達なんて会社を辞めたらほとんど付き合いがなくなる。友達は仕事の関係がない人こそが大切である。

オタク、けいおんが流行ればギターを買いダンベル何キロ持てるが流行れば筋トレを始めたのに、パリピ孔明が流行っても誰もクラブには行かないのガチ陰キャって感じでウケる

最近同世代のアラサーと話してると、激務で年収1000万なら、郊外や地方に住んでリモートでゆるく500万の方が良いって人が圧倒的に多くなってる。生活を削ってまで猛烈に働く価値観が廃れてるから、もはや高年収でも激務な会社って人が集まらなくなってるんだろうな

サザエさんの、自分の生活を別次元から観察する者に対して『来週もまた見てくださいね』という、胆力

よく考えれば、〝物理的にハガキを生産する職人〟という意味の「ハガキ職人」も、世の中にはいるんだよな。

昨日、市役所生活課のカウンターの上に大便して放置して帰った。今日出勤すると何故か大便が4つも並んでおり、当然騒ぎになっていた。変な誤解をされるのは嫌だったので、右端のが自分のであると自白した。犯行動機を訊かれたので「既にうんちが3つあったからトイレかと思った」と嘘をついてしまった。

カーセックスで生を受け、交通事故で死んだ男

理路整然ヤクザ「図1をご覧ください、まずこのように私があなたのケツの穴から手を突っ込みますね。そうすると図2のようにあなたの奥歯がガタガタ言います。それをしたろうかいと、そういったご提案になります」

bioに「特技は論破」って書いてある人、マリオでいうドッスンなので絶対倒せないことがわかるし、避けて通るしかない。

カスハラって言葉、今まで「お客様」と呼んで崇めてたカスタマーを略して「カス」呼ばわりしてるのがかなり良い。

ディズニーランドのゴーカートが無くなる時、家族全員で「もし捨てるんならこの車くれよ」ってしつこくキャストにお願いしてたら本当に1台くれたので、それに乗って家まで帰った。

以前、会社が完全なテレワーク体制に移行したため、出勤は月に1回程度になり、新入社員には画面越ししか会ってないという地方移住者に話を聞きました。その方いわく、「窓の外には豊かな自然があるが、仕事をしているので楽しめない。週末も寝ていたら終わる」とのことでした。

前職の先輩の貯金がx千万だという話をしていたら、貯金30万の別の先輩が「貯金っつうのは人生をより豊かにできたであろう機会損失の総量なんだよ！！」と言っていて好

むかしぼくの一つ年下の同僚が会議の席で「『攻殻機動隊』のマンガ化」という企画書を大まじめに出してきました。かれは原作マンガの存在を、冗談でなく知らなかったのです。「河童の川流れ」というか、マンガ編集者がいかに本を読んでいないか！恐怖すら感じました。

就活してた時にこんなんありえないよなあと思っていた理不尽、10年ぐらい経つと社会的にも非常識になっていくもんだなぁと感じる

なんとなく寂しいなあって思った時に「今ひま？」の一言ですぐに電話したり、ユニバとか遠出するんじゃなくて家でピザの宅配頼んで借りてDVD見たり、一緒にメイクの勉強したりできる友達がほしい、寂しい辛い

「患者を一目見て"状態悪そう"か"大丈夫そう"か瞬時に分かんないとダメ」と指導され、研修医として奮闘しはや一年、鏡を見るたびに"状態悪そう"な人間が映っている

純粋な刑事「しかし警部、人が人を殺しますかね？」

ホヤ、ケルベロスの心臓みたい

オタクって陽キャラより性格の面では勝ってるって思ってるけど、実際は性格でも負けてる

「普通の人でいい」とか「普通の日本人です」とか「普通はこうするでしょ」みたいな、「普通」を含む言葉には背後に何かちょっと恐ろしいものが潜んでいると思っている。

弱っているときは「自分をジャッジする人に会わない」を大切にしてください。仲の良い友人や家族でも「だから君は〜」と判断する人に会うとダメージが深まります。傷つきやすくなってるからです。弱っているときに「誰に会うか」は本当に大切だと思ってます。

デスゲームで最終ステージひとつ手前まで生き残れるやつの知識量

高度知性体や神と交信できるというチャネラーや霊媒師に、天文学者で作家のカール・セーガンが「フェルマーの最終定理かゴールドバッハ予想の証明を教えて」と聞いていたが、一度も返答がこなかったらしい。前者はすでに人類も解いているので、彼らがいるとする高度知性体や神はあまり賢くない。歴史学者のハラリも「古代の神は生け贄や礼拝の方法を事細かに気にするが、算数以上の数学に一切興味を持たない」と皮肉っていた。全知全能の神が実在するなら、初期人類にキナの木がアンデスにあるとかペニシリンの製法とか教えて膨大な死者を救わないので、どうも人類の味方に思えない。

「皆と同じ事してれば試験受かるよ」というのは医学部でよく言われる文言なんですが、その「皆がやっていること」が「朝7時から夜12時まで大学の自習スペースに籠りカフェインを啜り血眼で膨大な量の過去問と分厚いテキストを頭に叩き込む」というものなので普通にキッッッッツい。

自己啓発本やビジネス本には「幸せになるためには人の目を気にするな！」なんてことがよく書かれてるけど、それは一般的な規範に対して逆張りをした方がインパクトがあって本が売れるからであって、こういうのを真に受けて「私は人の目を気にしてばっかでダメだ…」なんて思う必要は全然ないんですよ

映画は「全米が泣いた」とかより、「勝手知ったるフォロワーが勧めた！」「３割のフォロワーがその話しかしなくなった！」とかのほうが絶対見るんだ。「良すぎてパンフも買いました！私らの中で大ヒット上映中！！ワーー！！！」とかだとなお良し

ツイ廃気味の人には分かってもらえると思うけど、ツイートの根底にあるのが承認欲求って解釈は、私はなんかしっくりこないんですよね。ツイートする時に誰かに認めてほしいとかほとんど思ってなくて。むしろ、頭の中を言語化して公然の場に晒してスッキリしたいという、露出狂に近い感覚なんです。

面接で「ウチの社長、ワガママで気分屋でいつも怒鳴ってるけどそういうの大丈夫？」って聞かれたけど大丈夫なわけないだろ。でも事前に伝えてくれてありがとう辞退

女の「ヒール履いたら170超える笑」ってのなんなん。俺も車乗ったら120km出るよ

カラオケで「Loveマシーン」を皆んなで楽しく歌っていたのに、「日本の未来は…世界が羨む」ってところで皆んな頭抱えちゃった

「涼宮ハルヒの婚活」タイトルだけで不憫な展開が予想できて普通に蛸壺屋が書きそう

つまらないですね。平日は働いて、家に帰って寝るまでの僅かな時間はネットをしたりYoutubeを観たり。土日は昼まで眠って、運動不足解消のためランニングして、ご褒美にちょっと買い物。あとはこれの繰り返し。安定はしているけれど、つまらない。決して不幸ではないけれど、だからといって満足しているわけではない。「普通の日々を送れることが幸せだ」なんて人は言うけれど、自分はそうは思わない。なのに、この状況を変えようとは思わない。それは、結局そこに居心地の良さを感じてしまっているからだと思います。居心地の良さと人生のつまらなさは両立します。なぜなら、楽だから。何も起こらないつまらない人生は、色んな刺激にいちいち反応しなくても済むから、楽。あなたはその理性と合理的思考をもって、今の居心地の良い人生を作り上げたのです。合理性を突き詰めれば、人生はただ食って寝るだけの人生に辿り着きます。それだけが生きるために必要なことだから。だからあなたが捨てるべきものは理性と合理的思考です。代わりに狂気を手に入れるのです。合理的に考えたら到底受け入れられないことをし続けるのです。人生は何をしたっていいし、どこへ向かってもいいんです。親も上司も同僚も、みんな他人です。狂気をもって、今までの合理的で正しい人生を破壊するのです。

邦画がつまらんというより、つまらん洋画は海を越えない

他人から生えてるタンパク質を切り取った後、少なくとも5000円程度を請求してくる機関が生活に根付いてる事実

【悲報】

4浪4留27歳大学2年生僕、メンタルクリニックで知能テストとカウンセリングを受けた結果、ただの怠惰な健常者だったことが判明する。

「また機会があれば話しましょう！」と言われ、実際に話す人

港区的豊かさや渋谷＝新宿＝池袋的喧騒に大した価値を感じない人なら本当に地方政令市レベルで十分なんだよな

マスク着用・太めのデニム・スニーカー・パーカーのフードかぶって夜中に自転車でコンビニまで疾走したら職務質問されたけど、女性だと判明したら即解放されたので性別による理不尽さというか扱いの差はあるなと。

まさに今、仕事が辛い、職場に行きたいないと思っている皆さん、あまり無理はしないでくださいね！上司や先輩に言われる『そんなこともわからないの？』、『これもできないの？』という心無い一言は、気にするのをやめましょう。これは、上司や相手がおかしなことを言っているだけです。はじめてのことなのですから、わからなくて当たり前なのです。また、新しいことにチャレンジすれば、仕事は全てわからないもの、知らないことばかりです。知っていること、わかることだけを行っている人は、成長がそこで止まっています。仕事を失敗してしまうかも知れないし、上手く行かなくて上司や先輩に怒られるかも知れませんが、勇気を持って業務範囲を広げて、苦労する毎日は実は一番成長します。毎日が新鮮で初めてのことをなんでも吸収している途中段階なのです。辛いと感じるのは、成長のために自分に負荷をかけているので当然です。ここで大切なことは、『あなたが仕事が出来るようになるようにサポートしてくれている人が職場にいるか否か』です。しっかりと指導をしてくれる上司や先輩がいればよほど適性があっていない仕事ではない限りは、3カ月、半年もすれば仕事はある程度覚えられるはずです。

てってってーが実はフリー素材ではないことを最近知った。もし権利者が訴えたら多分日本のYouTube界崩壊する...！

ｱﾙﾊﾞｲﾄの面接に落ちたお友達が「きっとわたしに店長の座が奪われるのが怖くて不採用にしたんだな！よし次！」と言っていてその前向きさを見習いたいと思った

「20代独身男性の4割がデート経験なし」と「中年男女130人乱交パーティ」のニュースが同時に流れてくる。

いまの20代の4割がデートしたことないらしいけど、ワイなんて若い頃デートしまくったから家に壺や絵がたくさんある

私の大切にしてることをまとめました。「やる気がなくてもやろう」「とりあえず生活費は稼ごう」「遠い未来を考えるのはやめよう」「良い友人を持とう」「孤独は避けよう」「他人と比べるのはよそう」「栄養はとろう」「迷ったり疲れたら早く寝よう」意識低いぐらいがちょうどよいです。

会って秒で「この人、合わなそう」と思った人は、ホントに合わないから自分の勘は大切にしてる。

３回転職してわかったけど、転職はスキルよりタイミング。年収は役職より所属企業。働き方は企業風土より自分の意志。これ知ってるだけでキャリアの選択ミス減ります。

自分の限界を知るって、限界が来るまで自分を追い込むってことよ。限界の前に限界を察知して、撤退するほうがいいわ。

論理的な思考力が必要と言われた教員になってみたら、論理的に考えると矛盾だらけな仕事ばかりだった。

【正しいけど怖いサザエさんの予告】

フネです。自分からは決して問題を突破していこうとしない、安全な枠の中で部分点を稼ぐような仕事しかしない、自称 “潤滑油的存在” のような人物は、実際、組織にとってほとんど無価値です。次回はありません。

南条あやさんの「卒業式まで死にません」という本の中に「起きなくてはいけない時間に起きて、しなくてはならない仕事をして名前を呼ばれるならｍ誰にも名前を呼ばれたくない、何もかもを放棄したい」という文が出てくるが本当に日々こういう感じ。

おれはもうかなり死にたくても、これは気圧のせいで自律神経が一時的に乱れてるだけだからとか、扁桃体の過活動で不安感が強く出てるだけだからとか、沸き起こる希死念慮をただの生体反応として適当にあしらえるようになった。自分の中に継起する不安定な"感覚"を深追いしないこと、信じすぎないこと。私は私にとって、いつでも「信頼できない語り手」である

嫌なことに対して「嫌です」って言うのが29歳ぐらいで突然できるようになって夏には会社を辞めていた

よくこんなキモい天気を思いつくよな

「え～それってスタバにいる自分が好きなだけでしょ？」

最強すぎる俺「…そうだが？？」

VOUGEの宇多田ヒカルのインタビューに「寂しさや辛いことは、乗り越えなければならない山ではなく、それも一つの心情風景だ」と記されていた。

虚構から始まった関係性が、少しずつ時間を積み重ねることで本当にかけがえのないものになっていくのが恋愛で、ファーストステップの虚構性を拒絶しちゃうと嘘から出た真に到達できないみたいな構造がある。

夜中の独り言。セックスの合意が問題視される今だからこそ、セックスと愛をきちんと切り離して考えるべきだと思うんだがなぁ。愛があるからセックスする≒愛があればセックスして良いという勘違いから、生まれるバグも多いと思うので。セックスは、したい同士がするもので、愛の有無は関係ない。

Twitter社員のメールソフト時系列順じゃなくしておすすめのメールが先頭に表示されるようにしてやりたい

中学生の時、塾の先生が授業中たまに嫁の話や子供の話をしてたんだけど、いざ卒業する時に「実は結婚していなかった」と明かし普通に生徒全員戦慄したことがある

「20代男性の4割がデート未経験」という記事を見て「そもそもデートってどういう定義ですか？」とか言って噛み付いてる理系チー牛男性、デートがどういう定義であってもどうせ未経験なのすき

スピッツの「裸のままで」という歌にこんな一節がある。「そして時はゆっくり流れだす 二人ここにいる 裸のままで」。人と人の出会いは二人を、ゆっくりと流れさせる。恋が始まると時間が止まる、とはよく言うが、草野の解釈は逆である。むしろ、出会うまでずっと止まっていたのだ。互いの心と体をさらけ出しながら、二人の時間がはじまっていく。

屈強な男二人がお互いの胸ぐらを掴み合って持ち上げて、二人とも空中に浮かんでいったらちょっと面白いな

結局、大企業の若手が数年で辞めてベンチャーに入って後悔するプロセスを踏むのは、安定すると狂いたくなってしまうからなんだろうな。

算数(さんすう)で始まって数Ⅲ(すうさん)で終わるの、初期のころから助けてくれた仲間が実はラスボスだった展開で好き

宇多田ヒカルさんがvogueインタビューで「自己肯定感ってなんでも『いいよいいよ、最高』って言うことじゃなくて、子どもが悲しいと思ってたら大人からしたら大したことじゃなくても『悲しいよね』ってその都度認めてあげる、そういうところから芽生えてくる」って言ってて百万回くらい頷きたくなった

コンビニ弁当を買い、ラベルに書いてある工場をGooglemapで住所で検索すると、その工場の口コミ欄にはだいたいベトナム語があって、自動翻訳すると「ここの仕事はきついですか？」とか書いてある。私の気楽なごはんは誰かのきつい労働でできているのだと感じる。

そろそろ「新卒で入った東証一部上場企業を2ヶ月で辞めた話」みたいな幼稚な自意識が爆発したnoteを収穫できる季節だな

芸能界の共演NG制度いいな羨ましい。私も一緒に働きたくない人職場に2人もいるから共演NGにしたい

JTC時代、出世コースから外れたいわゆる「仕事できないおっさん」はやっぱりいたんですけど、僕がメンタルやられてた時に1番優しい言葉かけてくれたのもこの人だったので、今後どんなキャリアを歩むにしてもこういう人を軽蔑したり馬鹿にしたりする人にはなりたくないんですよね

人間、イジメ抜けば教師なし学習するし、斃れても生分解性あるし、センサーは豊富だし、相当な悪路でも自立走行するし、なかなか手ごわい。

言語学、世の人々が「わかってない」というよりは、言語を研究する価値のある対象とみなしていないというところがきつい

最近いろいろどうでも良くなってて一日に8袋グミ食ったりしてる

埒が明いてるとこ見たことないかも

人間が最も怒りを感じることのひとつに「自分が蔑ろにされること」というのが多分あって、飯屋の入口でキレ散らかしてる老人は日常的に家族から疎まれているから単なる店員のミスがミスに思えないからだと思うし、抜けてる系のADHDが絶望的にサービス業に向いていない理由のひとつだと思う。

「肋骨を除去した」と言われてもうへえとなるだけだが、「それでね、これがその肋骨で作った短剣」と言われるとおおっとなってしまうかもしれない。心がまだあの夏を走り回っているので……

社会的合意のなくなった所は法が埋めるしかないんだが、法なんて本来は少ないに越したことはないんだぞ

退職代行のクチコミに「スムーズに退職できてGood、そしてこの値段なら大満足です。リピ確定です。」というリピート前提のクチコミ付いてるの面白すぎる

人間はそもそも架空の話と実在の話を区別できないので、アメリカ軍ではifという単語が禁止されているし、多くの民は推定無罪という概念を理解できない

みんなただ生きているだけで価値がある（なので住民税を払う）

患者「今朝から ﾋｯｸ しゃっくりが止まらなくて」

医師「具体的な時間は覚えていますか？」

患者「ニュース見てたんで覚えてます ﾋｯｸ 7時58分です」

不穏な医師「120,119,118,...

察しの良い患者「最善を尽くしませんか」

TRPG界隈、寝不足な方が散見するのでいうんですが、寝不足が慢性化すると20代前半でも死にます。ショートスリーパーとかロングスリーパーとか関係なしに、本当に死にます。実際に私の知人はショートスリーパーだからと一日3時間弱しか寝ずに作業していたら、ぽっくりいきました。まじで寝て

かわいいからって理由だけで角砂糖を選ぶような、そういう余裕というか、生活の丸みみたいなものが足りてない

あたし院卒やのに仕事をもらわれへんのやと書いたインターネットの文字は、とがりながらふるえている

無駄にした今日のことを「あとで消す」と思いながら毎日人生をやっている

私の経験上ですが「会社が爆発しないかな」や「バッドで職場を破壊したい」「職場に隕石を落としたい」という荒唐無稽な妄想をする人はマジで疲れているから休んだ方がいいですよ。めちゃくちゃな妄想は精神疲労と寝不足のサインです。

学校でも職場でも趣味の場でさえも、目的志向的で効率的なコミュニケーションを求め、ノイズやハラスメントを嫌悪してきた人が、こと、男女の間柄に限ってその精髄ともいえる婚活やマッチングアプリを忌避するのは、ダブルスタンダードではないだろうか。いや、私は古い人間だからダブルスタンダードだと言いたくなる気持ちにはシンパシーを覚えるのだけど。しかし、経済的にも社会関係的にもコスパを求めて当然という顔をしている人、商取引のようなコミュニケーションを当たり前にしすぎている人が、マッチングアプリをとおして自分自身に値札が貼られていると気付く段になって鼻白むのは、ちょっとおかしいというか、効率主義的資本主義社会の尖兵としての自覚が足りない。そういう人は、粛々と神の見えざる手に自分自身を委ねるのがお似合いであるよう思われるのだ。

昭和～平成前期は「一緒に酒飲んで泥酔する」「一緒に煙草を吸う」も(主に男性の)コミュニケーション能力のうちで、それらが死にスキルになったオジサン達が「若者の酒離れ・煙草離れ」と愚痴る

例えば「マスゴミ」は純粋な蔑称であるのだが、これと違って「ネトウヨ」「ツイフェミ」と呼ぶのは有標にすることでカテゴリ全体を蔑視しないための、ある種の善意の現れなんだけど、最近フェミニストの評判がいよいよ地に落ちたせいでみんなツイフェミと言わずにフェミニストと言い始めてるのを感じる

労働生産性の高い産業というのはつまり人は雇わないけど売り上げが大きい産業のことである。つまり売り上げに際して人の手をあまり必要としない金融（法人部門）や不動産、製造業なら半導体や石油産業の様に、売上高に比して従業員数が少ない会社ほど労働生産性は高いということになる。現状の売り上げを維持したまま、従業員を半分に出来れば労働生産性は倍になる。Industry 4.0とかDXとかが目指してるのはこう言う事なので、日本企業の従業員に推進させるのは自分の墓を自分で掘らせる行為に似ている。

就活の時「打線全員が松井秀喜選手なら点は取れません！」って社長が力説してて「たくさん取れるのでは？」と思ったことがある

高校のとき通ってた塾近くのコンビニのおばちゃんが同じ塾生の野球部の陽キャとかと仲良くて、その仲間だと思ったらしく俺にタメ語で話してたけどその度「タメ語やめてもらえません？」つってた。あの頃から"兆候"はあったんだよな

私は男性として、性交時もAEDを使用する際も常に相手の女性に同意を取っています。この程度のこともできず「セクハラで訴えられるリスクが〜」と文句を言うなど言語道断。やはり日本はレベルが低い。先ほども女性にAEDの使用を試みましたが、同意が取れなかったため仕方なくその場を通り過ぎました。

「99%の確率で外れるけど1%の確率で命中して酷い目に遭う（仮に-100とする）」というロシアンルーレットについて、「当たったら-100じゃねえか」という事実で騒いでる人に「期待値は-1でしかないぞ」という事実をぶつけてもあまり意味がないのだが、こういう論争はよくあるんだよな。飛行機怖くて乗れない人に確率論で説得しても多分恐怖感なくならないですよね

何か1つ教えると代わりに7つ抜けていくため「プリズム」と呼ばれている大型新人

「新人のレベルが年々下がってる」ってよく聞くけど、それは学生の質が落ちてるんじゃなくて単純に「優秀な学生がもはや弊社を受けてくれなくなってる」のであって危機感を持つべきなのよ

2chのコピペと過去のバズツイをだいたい覚えていないとやらかすインターネッツ、漢籍は教養で知らないと歌の読み合いで負ける平安貴族みたいで風雅

「中世ヨーロッパ風の食事が楽しめる体験型レストランってないのかな？」って検索したら、どの店も高い天井に豪華なシャンデリア、美しいカトラリーが標準装備で「どこが中世やねん！」って感じだ。俺は天井の低い薄暗い部屋で、ぬるいビールを舐めながら手づかみで鳩肉のパイを食べたいだけなのに…。

メルカリで「家に猫がいます」って書いてるの自慢だと思ってた…アレルギーの人への配慮だったんですね…

ラーメン屋で社長「ワイ君いつもチャーシューから食べるよね。なんか意味あんの？」

ワイ「チャーシュー食べれば大体分かるんですよ」

社長「何が？」

ワイ「チャーシューの味が」

後輩が「一緒にご飯を食べるとより美味しくなる事でお馴染みの私ですが…」つってランチ誘って来たの誘い方として2億点だったな。

「悪いねぇ..若い子にこんな事させて」ベッドでオムツ交換中、おばあちゃんがポツリ。介護福祉士1年目の私は「気にしないでください」しか言えない。先輩は違った。「んじゃ試しにトイレ行ってみます？」と聞いてた。翌日本当にトイレに座ってるおばあちゃん。

鋭利な表現を使わずに、よくないことを「よくない」と伝えてくれる人が身近に1人でもいるならかなり恵まれている。高度な表現力と愛情がないとできないこと

ちょっと前まで「あーあ何かの手違いで1000万円振り込まれねぇかなぁ…」ってボヤいて笑ってたんですけど、本気でそういう手違いがあると知った今では「不思議なパワーで毎日財布に非課税の1万円が入るようになんねぇかなぁ〜」とボヤく規模が縮小されました

適当に入ろうとした蕎麦屋がちょっと並んどって、何となく並んだら1時間半くらい経っても店入れへん。途中何回も帰ろうとしたけど、今帰ったら今までの時間無駄になる気がして動かれへん。泣きそう。蕎麦がどんだけ美味くても、もうチャラにはならん気がする。この先の人生飯屋には二度と並ばん。

大浴場に、備え付けのボディソープのボトルを蓋ごと開けてドボボボ！ と背中から大量にかけてる無法者がいた。

線形の教授、期末試験のコメントコーナーで「部分点下さい」に対して「点とは部分がないものである。」って返してるの面白すぎる

本当に大切なこと言います。トラブルに巻き込まれるとIQは10〜20は下がるイメージを持ってください。普段の自分であれば解決できることもわからなくなったり、全くやる気も出なくなります。そんな状態なのに「自分で解決しよう」と思っても絶対に無理です。いつも自分が賢いと思わないでくださいね。

「中学生の頃に友達を病気で亡くしたのがきっかけで医者を目指し始めました。」と受験の面接で話した同期が、出席カードを友達に預けて授業をサボり、バイト、飲み、サークル活動に明け暮れて将来は美容外科医になろうとしてるから医学部の面接はマジで機能してない

たとえばお前にとってゾウが未知の動物だとして、その動物がオス・メスで区別ができるとか、鼻が長いとか、耳が大きいとか、そういう特徴は知っている。でもそれだけじゃゾウの姿を正しく捉えられない。

いま一緒に働いてる人たちは名前以外何も知らないけど、その距離感がおれには結構心地いい

4月は面白いくらいみんなストーリーに「華金✨」「同期最高😂」「休憩中にふざけるやつw」「初任給はみんなで焼肉💕」みたいなの載してたのに今じゃ誰1人載せてない。そんなもんだよね。

上司が「今まで辞めた人達、制服が片方は未開封だった。最初から想定しているんだよな」と言っていて、まさに自分のことを見透かされているようで震えた。

お通夜とか告別式とか 違いがわからないの。笑っちゃいけないのはどれだっけ？

基礎的な判断能力がないのにいろいろ自分の頭で考えるくらいなら権威主義やっておいた方がずっとマシなのはそう

前に「満たされない人がTwitterをやってる」と見かけたけれど、家庭も仕事も恋愛も何もかも上手くいってる人が世の中にどれだけいるのだろうか。みんな何かしらは満たされない想いを抱えていて、それをお金をかけずに他者と繋がれるTwitterで満たすなら良いバランス感覚だと思う。

患者さんに「俺は医者の知り合いがたくさいいるんだぞ！」って言われたから「僕もたくさんいるんですよ！(共感)」って返したらブチ切れられた。一体なぜ…

厄介な犯人「ハイハイ3つの証拠ね こっちには同様のケースで無罪の判例が7つあるのよ」

ｻﾄｼ「今だピカチュウ！！10万ボルト！！！！」

ﾋﾟｶﾁｭｳ「ﾋﾟｰｨｯｶﾁﾞｭｩｳｩｩｳｳ!!!!!」

ｻﾄｼ「ピカチュウ！！かわせ！！！！」

ﾋﾟｶﾁｭｳ「１ドルあたり92円と20銭」

Tinderで知り合った女の子から「うちでネトフリ観よ？宿泊料は体で払ってね♡」って誘われて腎臓、肝臓、十二指腸、眼球を摘出されてチャイニーズマフィアに売却されたことある、めっちゃ興奮した

支店配属というのも、少数精鋭の企業に採用されないガクチカがない奴を温情で大量採用した後、社会人としてのスタートラインに立たせるための配慮であって、そこでチャートだけを眺めていたいとか軍師にならなりたいとか言い出す奴がいたとして聞き入れない方が本人のためにもなる。韓国でそれにあたるのが兵役で、ガクチカがないとかコミュ力がない人でもとりあえずそれに行っておけばスティグマを洗い流せることになっていて、その兵役の役割を地方転勤で代替できるならこんなおいしいことはない

どちらかと言うと不真面目で努力が苦手な小心者。何者かに成れた経験もなろうとする気概もない。世間体を気にして働いているがどれ程社会に貢献できているかは自信がない。しかし漠然と不快なく生きる権利があると思っている。そんな平均以下の「凡庸」を動員するのが民主主義なのだと諦観しています

昼休み返上で仕事してはならぬ。それをやると「俺は昼休み返上してまで仕事しているのに」と身勝手な恨みを周りに抱くことになりまする。昼休みを取得している周りの人たちはサボっているわけでもないのに。「俺はこんなにやっているのに」というナルシズムは身体に毒と私は昔教えられました。

これはライフハックですが、仕事のピークイベントを月曜日に詰め込まないようにして下さい。詰め込むと、週末のストレスが段違いに増します。私の遺言です

一冊の本を買う。すると、なぜかその本を読むたっぷりとした時間まで手にしたかのように錯覚してしまうものだ。ひどい場合には、その本の内容がまるまる自分のポケットに入ってしまったかのようにさえ思っている。

【管理体制あるある】

ずさん

【暗い穴あるある】

石が落ちて行って、その高さを強調する

「予測性がない→失敗するかも…と恐れる→行きたくない」という因果があることがわかったぞ。逆にいえば、仕事に行きたくないという人、何らかの理由（上司が突然不機嫌になる、叱られる、苦手なタスクがあるなど）で「予測性がない」ために仕事に行きたくないのではないか

夜勤マンだと「別に日曜日はどれだけ夜更かししてもよいし、ことさら朝まで起きていてもかまわない」状態であるから、さほど〝苦悩ゲージ〟は溜まりにくい傾向にある。

仕事で、人の業務の不出来な点を指摘する時は、威圧的にならないようにことさらニコニコするよう心がけていたんだけど、相手からは「人の欠点を指摘する時に一番嬉しそうな顔をする性格の悪い人」と認識されていたっぽい事が発覚し、そう捉えられたか〜と面白かった。

エリート高卒で受験失敗し自殺未遂マンが奢りにきて思ったが、「低学歴に価値なし」的なストイックな考え方で努力した人ほど失敗の反動がすごい。これまで投げてきた尖った言葉が全反射してじぶんの喉にブッ刺さる。尖ったものはあんま投げない方がいいので気をつけよう。みんな小学校卒業してえらい。

飲食店にて。「手首で体温測ります。」ピッ（34.2度）「はい、大丈夫です。」大丈夫ではないだろ。

鰹を食べるためだけに高知県に行くとか、行き先ない夜の高速湾岸線ドライブとか、人間が生きるために必須ではないことに時間・お金・労力をかけることに豊かさを感じる。それか逆にこれが生命活動なんかな？めっちゃ高知県行きたい。

露出魔「パンツも脱いだっていいんだぞ！」

警官「罪の重ね着はやめなさい！」

IQの研究ばかりやってる両親に育てられた奴と話したことあるけど「散々親にテストされたせいで本郷猛並の数値が出てしまう。あんなものは訓練次第でいくらでも上がる」んだそうです。

昔、偽医者っぽいアカウントに「うち5次救急だけど救急医と整形外科レジデントが腹腔鏡下手術を奪い合って大変」みたいな適当な事言ったら「あるあるですねー」と返信が来て笑った

合わない人間関係はどんどん切って行こう！という言説がツイッターでは人気だけど、これぞ令和の価値観って感じがしてる。合わない人間とも付き合わなければいけなかった昭和、合わない人間とも挨拶や社交辞令だけはすべきとされた平成、そして合わない奴は無視して良いのが令和。

「最近の子はキャラクターにもマスクを描くんですね～時代だな～」って社内SNSで呟いてたおっちゃんがいて、どんな絵なのか見てみたら鬼滅の刃の禰豆子だった。それマスクちゃう、竹筒や！

子供に「歯磨きしちゃったからもうおやつないよ」と言ったその口で、夜食のラーメンを食べてます。これが大人なんだ。

某団体、レイシズムとは戦うという看板を掲げているけれど、別の枠組みで人を貶めたり憎悪向けてるだけ、「人種や民族は的にしてない」だけの人が散見されるけど、アレらは鏡を見ることはないのだろうな。いじめられっ子認定されてないやつをいじめてるから俺らは正しいみたいな。他人に認定して貰った「正義」しか価値観がなく、自分自身のプリンシプルを欠き、権威が命じるままのbotみたいな言動しかできない人たちってSNS見てると沢山いるけど、今までの人権侵害って、むしろそういう連中が引き起こしてきたんじゃねえのかな。私の「怒り」は正当だとキミらは言うけれど、それ、他人に吹き込まれただけの怒りだろ。それは怒りなんて立派なもんではなく「寛容の否定」だよ。キミらの煽動者は、キミらの中の後ろ暗い感情を肯定して正当化することでキミらを操作してるだけなんだよ。分からんだろうな。ナチと一緒なんだけどな。

"大学時代に4℃もらって喜んでいた女の子は、全員幸せな結婚をしてTwitterなんかやっていない"ってかなり攻撃力高すぎて笑ってしまったので思わずたんぶってしまった

「癌は化学物質を使用している国だけに発生している！」というツイートを見て、なるほどその通りですねという気持ちになった。

自分がやられて嫌なことは他人にもするなと教わったので、生まれてきて大変だった私は子どもを作らないことを決めた

「1ギガまで無料！」って書いてる格安プランの「ギガ」が「ギガビットパーアワー」の略だったらマジでキモいし、死ねと思う

向かい風に背中向けて後ろ歩きしてるみたいな生き方

心療内科の先生が「我慢して生きてきた人は他人に対して怒りや嫌悪感を抱きやすい」と言っていたので、他人に対して怒りや嫌悪感を抱いたときは「自分は何を我慢して生きてきたんだろう？」と自問自答して労ってあげてください。皆さん、決して無理をしたり自分を責めたりせずにご自愛くださいね。

地球上に住む人類なら誰でも確実に怒らせる方法がある。国民食なり郷土食なりを馬鹿にすればいい。「こんなくだらない物を喜んで食うお前はくだらない生き物だ」という最大級の侮蔑になる。欧州にも「キ〇ベツ野郎」「カ〇ル食い」等の伝統的侮蔑語がある。

何かを習熟する時は、指導者に絶対の信頼を置いて、相手を無批判に丸ごと受け入れた方が能力が伸びる。よって教えるー学ぶの関係性がある場所では、ハラスメントが発生しやすい。

やるべきこととやらなきゃいけないことがいくつもあるのに、優先する必要のないタスクを適当に1つ2つこなして、特別面白くもつまらなくもない映画を観て、「わはは、銃使えよ」と一人で突っこんでみたり、それから急に虚しくなったりして、気づいたら一日が終わっている

ゲーミングチェアのこと「オタクチャイルドシート」って言うの禁止カードすぎる

店長が異常に「いらっしゃいませ」に執着する人で、お客さんが入ってきたら大きい声で「いらっしゃいませ」を言うように指導されていた。何度か声が小さいと注意されたことがあったので、ある時、店長が入ってくるのがチラっと見えた瞬間、イヤミを込めてめちゃくちゃデカい声で「いらっしゃいませ！！」と言ったのだが、無表情で「もっと大きい声出して」って言われた。後日、ネットを見ると「あそこのコンビニは声がデカすぎる」と悪口書かれてた。

注文したあとにメニュー眺めて時間潰すの好きだから「お下げしますね」といわれるとイヤぁぁぁぁぁぁああ！ってなる。

人間関係で疲れないコツ、何となくわかってきました。「執着しない」「期待しない」「皆から好かれるなんて無理」。この3つを覚えておくと、無駄に消耗することが少なくなります。他人の行動や感情はコントロールできません。なので、「ほどよく無関心」でいることが、割と大切だと思っています。

Zoomで先生が「聞こえたら反応お願いします〜」って言った時、"👎"をクリックする人

「現代文の得意さ」にすがる人間は、残りの人生のさまざまなタイミングでツケを支払って生きることになる

「言葉」というモノが社会をうまく回すために生み出されたシステムである以上、むき出しの本音はサザエのフタほどの価値もない無だ。「読みながら思ったこと」なんてあとからいくらでも捏造していいし、むしろ捏造しなければ原理的になにも書けない。世界は欺瞞に満ちている。それを最初に学ぶのが読書感想文なんだよ。

疲れを感じたらひとつやってみてほしいのは、月曜でも金曜でもいいので、有給を取って休みを3連休にすることです。とても単純に聞こえるかもしれませんが、「有給を取ってまで自分のために休む時間を作った」という実感は、大きな成功体験につながります。

いまは定年退職の年齢も上がっていますし、人が人生の中で働く時間はどんどん延びています。そんな中、休まずにずっと働いていたら、いつか破綻して大きな問題が起こるはずです。それに比べたら、数日休んだり手を抜くなんて微々たることだと思ってほしいですね。がむしゃらに働くことよりも、自分のペースで働き続けること、低空飛行でも飛び続けることを意識した方がいいと思います。

スカウトメールがメッチャ着てロクに転職サイト見なくなったので、あぁこれが女のやる出会い系アプリのUXかと理解した

｢S T R C P R S T S K R Z K R K｣

探偵｢な……なんの暗号だ！？｣

語学徒｢んあ゛っ……(突然指を喉に突っ込む)｣

無茶振り上司

「おい新人！何か面白いことやれよ！」

無敵の新入社員

「いいんですか！？」

（FORTNITEを始める）

元赤ちゃんが乗っています

至急、陰部のすり合わせを行いたくご参集下さい

この季節の、やたら立体的な雲すき。ずっと眺めてられる

モテる・モテないって、若い頃には間違いなく重要なテーマだと思うんだけど、一方で100歳まで悩むようなテーマでもないので、卒業できるなら、さっさと卒業した方が良いですよ

「復讐は何も生まないが、きっちり復讐する人間だという評判は将来の被害から私を守ってくれる。」というセリフは人間関係全てに通ずる金言だと思う。

新生児の3時間おきに夜中でも起きてミルクを求めてくる狂気のスタイル、絶対に両親が10代後半から20代前半の体力があること前提の設計なんだよな。まさか自分に母乳をくれるママが40代もありえるなんて想定してなさそう。アラサーの核家族はある程度体力つけとかないと開幕の新生児育児で詰みがち。

大人になって結構驚いたことの一つ。嫌われないように生きてる人が嫌われて、嫌われていいと思って生きてる人が愛されてる。

トップバリュのそうめんに対し、語彙豊かに貶さざるを得ないほど苦痛を感じる味覚、あるいは感性がガチであるなら、それはサイゼにも文句を言いそうだし、マックやモスも食えないんじゃなかろうか。きっと世の大半の庶民向けな食べ物に耐えがたい苦痛を覚えてしまう、不幸な人に違いない。じゃあメチャクチャにけなされているケースは何なのか？いやまあ、皆さんお分かりの上であえて言わないのだとは思うが、言ってしまおう。そりゃあ、大げさに言っといた方が、Twitterじゃバズるじゃん。そういうことやろ？たぶん、ボロクソに言ってる人の多くも、本心じゃトップバリュはそこまで不味く感じてないはず。まあ、味覚の感じ方には精神的な影響もあるので、中には何かガチにトップバリュアレルギーな感じの人もいて、味の好みや味覚云々ではなく精神的な理由で実際以上に不味く感じている可能性はあるだろう。あとは、これも触れると荒れそうではあるが、しかし実際にSNSで日常的に散見されるパターンとして、庶民向けの食べ物を貶すことで、自分をよりブルジョア的に見せたい人とか。

嫌われてるって気付いた瞬間にあの時…ってピースが埋まっていく感じほんと辛い

野菜泥棒はまだ事情があったのかなとかおもわないでもないけど（それでもあかんけど）、花泥棒の心情はまったく理解できない。盗んできた花を眺めて、美しいと感じられるんだろうか。感じられる人なんだろうなあ。

もし本当に庶民感覚を身に着けた政治家が現れたらボロクソに叩かれると思う。

・AVを見るのはお金が勿体ないのでXVIDEOS

・漫画を読む時はアプリか無料キャンペーン

・本は図書館で借りるもの

・SNSでバズるために嘘松を連投

・有名配信者に嫉妬してアンチ活動

・出張時はクオカードプランとマイレージでヘソクリを貯める

・貯めたヘソクリはパチンコで放出

・パチンコで勝った日は風俗に行く

・テレビに出てくる性犯罪者は許せないと憤るけど自分は買春してる

・好きなテレビ番組はワイドショーでの芸能スキャンダル

・紅白でジャニーズが出てくると歌の下手さを家族皆で笑う

・外人を見下している

・中でも韓国人やインド人などのアジア系を見下している

・黒人のフィジカルは尊敬しているがその分頭がポンコツだと考えている

・有名人が有名税として馬鹿にされるのは当然だと思っている

・自分より賢いと評価される人を見ると強烈な劣等感に苛まれる

・自分より頭が悪いと感じた相手にはとことん見下した態度を取る

・SDGｓはすべて金持ちが更に金持ちになるための陰謀だと思っている

・世の中は簡単な嘘に騙される哀れな人達が多すぎると考えている

・自分だけはこの世界で何にも騙されていないと信じている

・牛丼屋の紅生姜は値段に含まれているのでたくさん使わないと損

「なんで電子書籍全盛の世の中で、コミケで紙の本を作るのか？」だけど、昔、漫画家の先生がラジオで言ってた、「音楽に例えるとライブ」というのがおそらく最適解だと思う。

「誤解を招いたことをお詫びする」って表現ネットじゃめちゃくちゃ叩かれるけど、謝罪する側になったらぜってえ使っちゃうのよアレ。人間って自分以外の非まで認められるほどプライド捨てきれないし

仕事は食うためにやるんで食うため以外を仕事に求めるのは貴族なんよ。貴族が労働市場に出て来んなよ。で大学時代の同級生女子とか実家が文京区や原宿で夏休みのたびにロンドンやパリ行って卒業旅行スペインとか単なる貴族なんよ。そいつらがキャリアで悩むとかグロテスクよね。働く必要ないんやから。

人権や啓蒙といった概念は人があるべき善のフォースを纏ったとかではなく、端的にシステム化の成功例だと思っている。これらをシステムと思っている人間にとっての「保守」とはコンサバティブではなくメンテナンスにならざるを得ない。

会社の機器を持ったまま泥酔してしまう感覚が全く分からないのだけど、やはり酒飲みの感覚は「酔っ払うほど飲まないから大丈夫」と思って二、三杯杯飲んだ頃には気が大きくなって「まだいける」とさらに飲み、後は「もうなんだか全部大丈夫な気分」になり何杯も飲んで泥酔、という感じなんだろうなあ。

ツイートが一定以上伸びるとなんか「この文章にはこういうことが書かれてるに違いない」みたいな決めつけで最初から読む気ない人が来るんだけど、そういう人ほどコメントするのはなんなのか

男女共同参画白書、マジでフェミニストに都合の悪いデータの塊で毎年重宝してるんだけど、これ内閣府に勤める官僚からのSOSサインである可能性とかあったりするんやろか。

内閣府の官僚「ｺﾛｼﾃ…ｺﾛｼﾃ…（男女共同参画白書に不本意非正規雇用労働者の割合を掲載する）」

おばさん「ピザまん下さい！」

コンビニバイトワイ「おいくつですか？」

おばさん「いくつに見える？♡」

ワイ「いくつ…ですかね…」

おばさん「64なのよ〜♡」

ワイ「ピザまん64個で7040円になります」

【質問リプの蛇足あるある】

気になって夜しか眠れません！

筒井康隆が「人を陥れたい時は悪口を言ってまわるのではなく、見当違いな方向で褒めろ」って言ってた。人間関係で怖いのは、善意で見当違いな褒め方をしてくる人に取り囲まれる可能性があるってこと。例を出してしまうと小林よしのりなんかまさにそうだった。ゴー宣は最初のうちは一介のギャグ漫画家がノンポリなりに社会問題に対して無責任にも思えるくらいの持論を打ちつけるスタイルだった。型に捉われない言説に人気がでて政治的な本職が取り巻くようになる。そこから紆余曲折を経て四半世紀以上経った現在はギャグ漫画を描けない単なる陰謀論者になった。

イモトが出産してからスマホをゴミ箱に捨てちゃったり、忘れっぽくなったり、頭が回らなくなって、先日は加湿器4台届いてしまったという話、とても共感した。今うちの冷蔵庫に卵35個、豆腐9パックある

【テレフォンショッピングあるある】

高齢者が四分割で関節を痛めている

公的セキュリティー規格でたまに定期パスワード更新の要件があるのだが、16桁英数字記号であれば総当たりの解析に最大1兆年かかることから、安全マージンを加味して「1000億年ごとに変更する」という規程にしている。

【童話あるある】

もう彼のことを笑う人はいません、だって…

勘違いのデカルト「我思う アレは脈アリ」

自殺に失敗して寝たきりになる人が結構いると聞いて悲しくなった。人間は生きるように作られてはいるけど死ぬようには作られていなんだって絶望しかない

『無断駐車してる車両のナンバープレートにガムテープ貼って「ナンバーを隠した怪しい車が停まってます」と警察に通報して対抗』というエクストリーム解決術を全国の駐車違反に困ってる人に伝授するやで

不登校だった頃に私も痛感したんだが、「完全に立ち止まってしまった自分を動かす」というのは「少し動いている状態を早くする」よりはるかに精神力が必要というのは知っていてほしい

「頑張ってない」と人に言われ、自身もそう思う事が辛かった。動き出そうとする人ほど、頑張ってる人はいないんだよ。止まらず動けている人が速度や成果で評価される事はもちろん必要だが、何かのきっかけで一度立ち止まってしまった人が自分の意志で一歩踏み出そうとする時の頑張りや辛さを理解できる人間でありたいし、「楽ができる」よりも「なにかしてみたいと思える」ツールを提供できる技術者でありたい

ツイッターの主婦たちの訴えによると、出産は交通事故並みのダメージにも関わらず、日本では出産直後から仕事より過酷な子育てをしなくてはいけないらしい。涙が出る。出産直後から女性には会社に来て仕事をしてもらい体を労ってもらいたい。

「怪異の発する意味不明の言語を記述するのに『文字化け』を流用する創作が増えた結果、『縺』、『繧』、『繝』が怪異と深く関連付けられてしまう現象」「気をつけて！怪異は今、UTF-8で話しています！デコードし直して意味が聞き取れてしまうと死にます！」

高校の後輩から聞いた「水素水を用いて、上方置換法で水素集めて火をつけてみたらふつうに消えた」の話大好き。「本当に水素があって着火したらどうすんだよ」まで含めて好き。水素水を心の底から舐め腐ってないとできない

パスワードは「長くて複雑で意味のないもの」にしてくださいと言われたので「人生」にした

金持ちの定義、働かなくても暮らせるお金がある、お金を使うより増える速度が速い、のふたつを満たす人

全人類がほんやくコンニャクを食べた場合、ほんやくコンニャクたちはその場で話されるべき言語を決定することができないので、独自に最適化された中間言語を編み出す。

いわゆる出羽守の中には、あなたが日本で上手くやっていけなかったのは単にあなたが傲慢で他責的な、周囲の人々を不愉快にする人間だったからで、居住地の外国が良く見えるのは単に周囲からお客さん扱いされて現地で面倒に巻き込まれないか解像度が低いからでは、という人達がいる。

スパイのTwitter「my new viza…」

「彼氏最悪なんだよね」から始まる会話で、「朝起きたら彼氏はいないし財布もなくなってて、連絡もつかないから最後警察に電話したら覚醒剤所持ですでに捕まってた」を越えたことがない。

逆のジジイ

ペっ！カーーーーーーっ！！！！！

硬貨2枚もありゃ乳首隠れんのに1万円もするTシャツ買うの絶対バカじゃん

某お絵描き講座YouTuberさんが「大人になってから絵を描き始めた人の方が上達が早いことが多いんです、逆に子供の頃から描いてるけどそんなに上手くない人もたくさんいます」とおっしゃってて後者がストレートにぶっ刺さって死んでしまった

英語でカンファする謎文化があるけど医局員のイングリッシュ力が追いついていないので出川英語討論会みたいになっている「メニメニ抗体ポジティブ」「CRPベリベリアップ」「ディスCTスライドの…このへん」

トップガン マーヴェリックで学ぶ中年の職場サバイバル術：昇進させず、責任のある仕事やらされずに済むようにしてくれる偉くなった仲の良い同期がいることが一番大事。

「警告のジレンマ」と勝手に思った現象がよくあるなと感じる。技術系コミュニティで「ここは無料サポートセンターではありません。相手に敬意を払って最低限のことは自力で調べましょう」とトピックに書くと、普段からマナーを気にしてる人が委縮するけど、気にしない人はスルーするみたいな。

夜辛くなって電話してきた人に、おれ寝てたから朝折り返すと、寝たら治りましたーってこと多い。そんな人は電話しないでってことじゃなくて、その逆で、そんな気分なだけなのに勘違いして死んでしまう人もいるじゃないかと思ってる。

子供の頃に合成着色料や甘味料などの添加物をふんだんに使った食品を食べていたであろう世代の方がスタープラチナを思わせる緻密さで焼き魚の焦げのみを執拗に取り除くのを目撃したことがある。何をいまさらと思うけど、残り少なくなったものに執着するのは人の性だからな。

46億年目の地球で、46本の染色体を持ったやつらが、坂道に46を付けたり、おぼろげながら46という数字を思い浮かべたり、間違えて4600万円振り込んだり、46万人の個人情報入りUSBを紛失したりしているらしい。

【食欲がない描写あるある】

プチトマトをフォークで刺そうとするが、逃げられる

体感的には家族持ち年収1500万よりも独身年収600万の方が余裕ある

これは何度も言っておかなくちゃいけないことなんですが、「オタク表現やマンガ表現を、世の中から見えないように隠しておけば、規制されないはずだ」っていう時代のほうが「オタクやマンガを滅ぼそう」動きが強かった。「世の中に発信していった方が、味方が増えてマシになった」というアレ。あらゆるマイノリティについて言えるのは、「隠れれば隠れるほど攻撃がひどくなる」という例は枚挙にいとまがないよなあと思う。むしろ世の中に発信していったほうが過ごしやすいというのは、間違いないところだと思う。

とあるレースゲーのラスボスが「迅帝」なんだけど、自分で迅帝って名乗ってるの痛すぎて笑う。

どこかで聞いた出産時に「痛ーい！なんでこんな所から出てくるの？！💢」って叫んだ妊婦さんに対して「入れたところから出てくるに決まってるでしょ！」って言った助産師さんの話が面白すぎて月1で思い出す

人に迷惑をかけない限り自由、というのがあるが、大きなエンジン音を出したいという欲望って、共感できないのだが、あれはおそらく、人に迷惑をかける、他人の認知領域を侵犯する、ということ自体に欲望があり、欲望というものの容易でなさを感じる。

客「ラーメン１つ」

店「注文動機は？」

客「えっ？お腹が空いたからですけど…」

店「他にもラーメン屋はありますけど、どうしてウチに？」

客「いや、たまたま近かったから…」

店「申し訳ありませんがあなたにラーメンはお出しできません。」

日本の就職面接ってこんな感じ。

7年前に学園系のお店で出会ったデリヘル嬢と、久しぶりに人妻系のお店で再会した。7年の間に僕は7つ年を取り、彼女は4つだけ年をとっていた。

心の余裕が無い人は、常識という言葉に囚われすぎ。コピーライター糸井重里氏の名言、『世の中に常識というものは存在せず、それは「好き嫌い」に言い換えられる』に頭もげるほど納得。私はそこから更に『好きか嫌いかではなく、好きか存在しないかの２択と考え、自分のメンタルを必死に守ってます。

転職すれば今より稼げるのに、同じ会社で働き続けている優秀な人達。前職にも現職にもいる。損得勘定考えずメッチャ働くし、キホン会社が大好き。守備範囲以外の仕事も率先して受ける。日系企業って、こういう人達に支えられているんだよね。皆が皆転職するようになったら日系企業崩壊するだろうなぁ。

「愚痴や悪口は言っちゃいけない」とか言ってる人より「マジクソなことが起きた！」とか言って結局笑ってる人の方が好きなんだよな。心が健康ってそっちだと思ってる。

「自分を甘やかそう」とか「どんどん楽しよう」とか言われるし言っちゃうけど、大体少し躊躇うくらいの金かかんのよ。

火力発電ハンターーーーイ！！！電気はイラナーーーイ！！！って段ボールに書いて自己顕示欲満たすボンボンの若者って夏になると姿を消す性質でもあるの？あいつら春秋限定なの？

SDGSとかエシカル消費とか流行るたびに思うけど、「それらの割高な商品を買うことのできる金持ちは道徳的に正しい、安い商品しか買えない貧乏人は道徳的に悪い人たち」となるわけで、ローマ教皇が免罪符を売ってたのと同じく、「金持ちは正しい人たち」「貧乏人は悪い人たち」を固定化させちゃうんよな

「ジジババはさっさと○ね！」と言うと一発凍結されるけど、「寿命は確かに伸びたが、健康寿命はそれほど伸びていない。安楽死を解禁して70歳くらいから死期を自分でコントロールできたほうがQOLは向上するのではないか」って言うと意見の表明になり凍結されない。これが文化資本の格差による差別。

アニメデデデの異常性について触れるとやはり表現の自由を弾圧するためにスローガンにした「今日より書かず、読まず、持ち込ませずの非書く三原則ぞい」がぶっちぎりすぎる。あまりに発想に知性がありすぎて独裁者として普通に怖い

家電とかを調べてると「そんなどこかで聞いたような20選じゃなくて、お前だけの1選を聞かせてくれよ」って肩を揺さぶりたくなってしまう。

マスオさんの会社、ボールペンとメモ帳と電話しかないんだけど特殊詐欺グループじゃなければいいな

＞結婚式の加害性に気をつけてほしい

表現の自由界隈で何度も言われてきた「傷つく人に配慮しろと言うが、幸せな描写だって人を傷つける」のやつを真顔で唱える人間がとうとう現れたか。幼稚な自己への甘やかし。脱中心化できない自分本位の認識。プライドばかり高く脆弱な内面。赤の他人が自分に合わせ無償のサービスを提供することの搾取性が理解できない。現代人が蝕まれているナルシシズムとはこういうことですよ。

よく「いつまでも若々しく」への反論として「ちゃんとした中年になる」ことの重要さが語られていて、個人的には同意するしそうありたいのだけど、「ちゃんとした中年になる」とは「中年らしい実務能力を身に着ける」を包含しているため、無能な自分は相応に歳を取ることすらできず途方に暮れてしまう。

２回の転職で気がついた人間関係のコツ。相手から聞かれるまでは「自分の話はしない」ようにする。慣れるまでは「観察」を心がけると印象がいいです。まだ自分のことを知らない方に自分について語ってもあまりいい顔をされなかった経験があります。まずは相手の話を聞くことを心がけいくと自然に相手からも興味を持ってもらえると感じましたね。

大学院で共に頑張って研究職に就いていた友人が、旅行で訪れた花畑があまりに綺麗で感動してそこに転職したという話を聞いて、人生それぐらい自由であるべきだなと思った。心ときめくものに人生を捧げるの素敵な生き方だと思うし、見習いたい姿勢だな。

「つよつよエンジニア」どこが一番つよつよかと言うとだいたいメンタルです。

【こんな彼女は嫌だ】

・クチャラー

・死を恐れない

・2mm浮いてるか、沈んでるかのどっちか

・電マを当てられると（物理的に）昇天する

・広辞苑とコーランを戦わせている

・枕が七角形

・喧嘩すると下唇が異様に分厚くなる

・3PB（ペタバイト）のハードディスクを所有している

・オブジェクトが重なり合っているので小刻みに振動している

・サナダムシを飼い犬の腸の中で飼っている

・元カレの精液をペットボトルに溜めている

・画面から出てこない

・画面から出てくる

どんなに良くないことがあっても「でも日本には四季があるから…」と許してきたのにその四季すらなくなってきたぞ。

陶芸家が気に入らない器を本当に割ってしまうのか人間国宝に聞いたら「嫌いだけど義理とつき合いがあって無視できない奴に売るから割ったりしない」って話があったなぁ

無免許の人や僕みたいなペーパードライバーが好き勝手に運転できる、マリオカートのデバッグルームみたいな空間がこの世にも実装されてほしいな(車は運転したいけど交通ルールはよく分からない、でも怪我はしないし危なくなったらジュゲムが助けてくれる)

こういう二人の人物が交互に会話する文章を見せられると、俺の中のちくわ大明神が横入りしたくてウズウズするからやめて欲しい。

それまでずっと「～しましょう。」だったテストの設問が小学校3年生か4年生あたりではじめて「～しなさい。」になったときは「なんだァ？てめェ...」となった記憶がある。

子供の頃、教科書に「南無阿弥陀仏と唱えるだけで極楽往生に行けると信じられていた」と書いてあったのをみて首を傾げてたけど「S&P500に積立投資してれば老後は安心」と言ってる人を見て納得したな。

これからは「学歴」じゃなくて「経験」です、っていう主張を聞くと、その二項対立に凝り固まった形而上学的な概念理解を脱構築したいっていう欲望にかられたことはないんですか、って聞きたくなるな。

やっててクソなのは間違いないんだが怒りにふるえる感じではない。単純な手抜きというよりユーザの要望や制作側のサービスで「こういうポイントあったらよりWSLGとしてリアルだよね」みたいなポイントを次々盛ったけど、それがゲーム全体にどんな影響を与えるかまでは考慮できなかった、もしくは単純にシステム全体をそれに併せて改善する技術が追いついて行かなかったって感じ。全面改装する体力もない温泉旅館が場当たり的に改築増築を繰り返して、結局完全にダンジョン化してしまってるような感じ。んで客は大浴場に行く廊下が見つからず途方に暮れる。そんな寂しさを感じさせるクソさ

親父がこの前「在宅勤務いいな～自衛隊も在宅勤務にならないかな～」って言っててめちゃくちゃ面白かった。国防をリモートでやる国、マジで終わってる

掃除や片付けを「自分がいた痕跡を消す遊び」と思ってやるようにしたら楽しくなってきて、洗い物とか洗濯も楽しくなってきて、早く仕事から帰って痕跡を消したいなと思うまでになってきた

「今１人？」ってナンパされたので「友達と一緒です」と何もないところを指さすと「やばい」と去っていった。ストレートで勝った気がしたのでツイートします

ワイ「マジでさ〜ガソリンじゃなくて自分のカロリーを使って走るバイクが発売されたらデブにめちゃくちゃ売れると思わない？」

「それ自転車って言うんだよ」

職場の嫌われてるおじさんが構ってほしすぎて常に「ッア！」とか「フゥーッ」とか声出してるの本当に終わりだと思う

タトゥー入れる理由なんて威嚇したい怖がられたいイカつくありたい、ってのが絶対根底にあるんだから、それは偏見持たれて怖がられて当たり前なのよ。そんな気さらさら無いと言うならピカチュウとかハイジとか入れて下さいよ。俺はタトゥー好きなんだけど、偏見に向き合えない奴は一番カッコ悪いよ。

日本、あまりに気温が高いのでもっとこう忽然と仕事を半日サボったり、出すって言った資料期限内に出さなかったり、スパイスからカレーを作ったり、街中の人が突然踊り出すくらいの国民性にならないとついていけないと思う

朝の横断歩道信号待ち。8人ぐらいが待ってたと思うんだが、ワイも先頭ラインで待ってた。すると信号が変わる直前のフライングスタートで日傘の女がワイを抜かしていく。ここまでは別にいいんだけど、この女、ワイを抜かした直後にワイの真ん前にずれてくる。女の進路を塞ぐものなんて何もないのに。横にずれる理由なんて何もないのに。ワイの鼻先30センチに日傘の先端ちらつかせて、しかもフライングスタートして人の進路妨害しておきながらめっちゃちんたら歩くのな。左右から他の人にどんどん抜かされていく。日傘も斜めにさして、ワイの視界も塞いでくるし。わりとガチで「あれ？俺この女からなんか恨まれてる？」って思ったわ。世の中の沢山の人に1ダメージずつ与えてくるような奴いるよな

上位存在となったサザエさん「来週もまた見ていますからね。」

「人口、多すぎですよね」から始まる小林製薬のCM

あまりの凶暴さゆえに封印されたSDGsの0番、「全人口の速やかなる殺害」

俺はシコるとき、えりすぐりのエロ画像を複数枚パソコンのモニターに表示しながら「俺を気持ちよく射精させるためのアベンジャーズだ…」と思っているのだが、普通にキモい

気が滅入ったときはスリルドライブ3で3億円の損害賠償がかかるスーパープレイ動画を見ている。

音ゲーマーに対して「なんで本物の楽器やらないの？」って言うのはワニワニパニックやってる人に「なんで本物のワニ殴んないの？」って言ってるようなもんやからな。

ペットボトルオ●ニーしたら抜けない上に抜けない

底辺職業ランキング、どっかの悪いTwitterアルファが作って流布してたのかと思ったら就活サイトかどっかに掲載されてたの……。凄いな。なんかパブリックとプライベートの融解っぷりが凄まじい感じがある。ただまあ嫌な話なんだけど、『そういう職業を選ぶと先々苦労する』という知識の有無が人生を左右してしまうのは事実そうなんだよ。そういう差別そのものを批判・改善することより、そういう差別的構造に適応して生きることの方がたぶん『かしこい生き方』なのだろうな。そういう底辺職ランキングが公の場に出されることは叩かれるとしても、そういう『底辺職』の社会的地位が向上するかって言えば、多分そんなこたぁないわけで。男はつらいよで言うところの『それを言っちゃあおしめえよ』だよな。事実としてそれは暗黙に承知されていながら、指摘することは批判される。だいたいどう綺麗事で取り繕ったって、上場企業勤務とコンビニバイトを並べて『職業に貴賤なし』とか言われたら、逆に『てめえバカにしてんのか』て話になるじゃないすか。現実には決定的な『貴賤』がありながら、それを建前の上ではないことにする。それもおかしな話といえばおかしな話だよな。そんなに職業に貴賤がないんなら末端で社会を支えるエッセンシャルワーカーにもっと高い時給を払えるか？て話にもなりますけど、そういう話は巧妙に回避されていると思うのだよな。これも馬鹿にした話という気はする。

建設現場で「社会ってカスだな〜」と思った一番の要因は、労災って結局納期への焦りが引き起こすケースが多いんですけど、労災が起こるたびに新しい「対策」が加わって余計に時間を圧迫していくんですよね。利潤追求という資本の要請に従って納期を決めてる限り解決できないですよ。資本主義はカス。

「妊娠してしまった」例ばかりが"性教育の失敗"と言われるけれど、「適齢期を逃して妊娠できなかった」例も性教育の失敗のようなものよね

宅飲みする流れになり男が私の家に連れ込めたのは良いものの、家につまみが何もなかったので皿に塩乗せて出したらフラれたんですがあいつ幽霊だったのかな。

おっさん「今時の若いもんは飲みニケーションもできない」

若者「老害どもは酒の力を借りなきゃ言いたいことも言えないコミュ障」

Tinderで会った女に好きなもの聞いたら「BTSです〜」とか抜かしやがったので急遽デートプランを変更して靖国神社と原爆ドームと沖縄平和記念公園を1日で回って泣かせたった。あまり右翼を舐めるなよ。

不倫のドラマを「大人の恋愛」と表現するのはやめろ！もっと「理性が働かない人の恋愛」とかにしろ！！！

ﾊｧﾊｧ…今何色の人生送ってるの…

うつ病は決して怠け癖がついて発症するのではなく、直前に「火事場の馬鹿力」が発動してるんですよね。不安障害をベースに発症する様子を観察すると分かりやすいが、何かストレスに反応してまず作り笑顔で饒舌で過活動となり、限界をこえて心が擦り切れると能面のような顔で無言に転じる。躁うつ病の治療でドパミンを抑えこむこととSSRIの賦活ばかり注目されるが、生理的にはストレスに反応して正しくドパミンが出るわけで、ドパミンが出過ぎないようにセロトニン等でフィードバックして調整しているわけだが、どうやら「火事場の馬鹿力」の大火事は火消し役のセロトニンを使い果たすよう。

【すぐ病院へ！】

グッタリして　ビクビクして

どうしたんだい？

精神障害（特にうつ病）を差別するの、いざ鬱を患ったときに「精神障害者になりたくない」的なプライドを引きずって発見が遅れるし、そのプライドを乗り越えた先には過去の自分の差別意識に攻撃され続ける事になるので、メリットとデメリットが釣り合わなさすぎる

孤独でいられるほどの強さより、誰かの居場所になれる弱さがいい

人から肯定されてる性格悪い奴って一番始末に負えない

本日、「風通しを良くするため、組織に不満や疑問があれば今皆の前で話してくれ」「同趣旨の記名アンケート結果を分析しよう」という会があり、若手には目立った不満はないことが判明した。

DLsiteの夏のセールでエロゲー500円均一をやっていたので『夏めろ』を買った。原画やヤマノススメ等で有名なしろ先生。このゲームの特徴は""主人公を仮性包茎にする（強く推奨）""というキモすぎるオプションがあることで、えっちシーンに異様なこだわりがあって評判が良いです

「テレビが言い返してきた！」みたいな感じでツイッター運用している人がいて、結構驚くんだよな。

小学三年生のときに小テストで「白菜」という漢字が出題され、クソガキだった私が「先生、これはシロナともハクサイとも読めます。」などとほざくと、それが教師の逆鱗に触れ、私の脳内はユニットバスが８つとキッチンが10畳の激キモ2LDKに改造されてしまいました。盲目の京大生が下宿しています。

【歯医者あるある】

「これだけでうがいさせるの？」っていうイベントがたまにある

周囲の大企業管理職組、本当に大変そうだな。子持ち従業員の業務負荷を上げないためにイレギュラーを抱え込み、IT化についていけないベテランを切れずポジションをつくり、上からの資料作成のための資料みたいなものに振り回されている。会うと関係者全員良識ある社会人なだけに病相が深い。

「寄生虫に胃壁をかじられて苦しんでいる患者に治癒呪文をかけたところ、胃酸によってダメージを受けていた寄生虫の体力も回復してしまい、患者の苦痛が長引いた」という治癒呪文事故。

全然土下座とか出てくる絵本

「ι(｀ロ´)ノﾑｷｰ」と言ってるだけで全然反論しない弁護士

IT業界に数十年いて分かった事。ギークな人とかスーパーエンジニアと呼ばれる尖った人は「ツラい事を我慢してやり続けた人」では無いということ。その分野が面白くて面白くて寝食を忘れてやる人がそうなるんだ。ワイにとってゲーム映画マンガ等で楽しんだ時間を技術の分野で楽しんでるのだ、そりゃ強い

ていうか現代先進国というのは「人間の生殖時期をかつてないほど人工的に遅らせている社会」なのであって、10代に劣情を抱くのが悪という認識の方が明らかに後付けの、言ってしまえば宗教的世界観なのよ。

認知症終末期の誤嚥性肺炎とか尿路感染とかを医療の枠組みから外して老衰として緩和的な対応にするだけで、どれだけの若者が他の生産的な労働に就くことができるのだろうかと考えると悲しい気持ちになる。結局行政側も制度を整えないから現場で死体換金ビジネスに巻き込まれる恐怖に怯えながら不要な治療をやらないわけにはいかない。現状、高齢で老衰の延長だから、という理由で治療を医療者の判断で勝手に差し控えることは許されていないから。一方で過鎮静や過剰な糖尿病のコントロール→低血糖で飯が食えないボケてしまったと言われて老衰とされる層がいるのも事実。医療側の老年医学の軽視と社会の老衰への対応の欠如という2つの側面があるよね。

ポリコレによって性別民族同性愛者への差別がやりにくくなったから、今度は地方職業収入学歴で差別しましょうというのが今のトレンド。

明らかに言動がおかしくてブロックした方がよさそうな人は、ブロックすると逆上して怒り出しそうでもあるからブロックしづらいという致命的な問題がある

サラリーマンが辛いのは誰かが退職して部署の人数が減っても「給与が変わらない」ということです。業務量は1.2倍になっても給与はそのままで、何とかみんなで頑張ると「その人数が適正」となります。するとみんなが疲弊してギスギスします。組織は常に変化するので永住の地はないんですね。

昔、フィリピン映画は苦悩する人ばっかり出てきて、なんでかというと現地の人は「全く苦悩しない」ので、エンタメとして「苦悩」を見に行く、という話を聞いたことがある。日本映画の予告編が絶叫と泣き演技ばっかりなのは、日本人が人前では絶叫も泣きもしないことが関係あるかもね。

SEX事前合意書ほんと笑っちゃうんだけどこれを本気でやろうとしている人がいると思うと震えるな。相互のオフパコ相手と鳥貴族でサシ飲みしてハツをツマミにビール飲みながらポケットでクシャクシャになったSEX合意書にボールペンでお互いガチ本名でサインしてホテル行く流れ本気でやりたい奴いるわけ？

生活に寄り添うために幹線道路から脇にそれてまた戻ってを繰り返しながらイオンモールや病院や市役所を経由する路線バスに乗っていると、縫い針になったようで、縁のなかった土地の切れ端を自分の人生にパッチ当てしているような気分になる。

担当者を捕まえて小一時間ほど説教をすれば障害は治ると信じている人というのは何故か一定数存在していて、彼らの不断の努力と惜しみない献身によって問題の解決が小一時間ほど遅延する。

子供は大人が思うようには育たない。子供は大人がやっているように育つ

KDDIの会見でもそうだったが、専門の人間が今回の障害の原因や進捗の説明をしている時に「技術的な話はどうでも良い」や「誠意を見せろ」とか「で、いつ復旧するんだ」などと、謝罪だけが欲しかったり結果が知りたいだけの感情的で短絡的な者は、ちょろまかして金を毟るには丁度良いカモだったりする。

au「基幹システムが短時間停止したことで再稼働後に大量のクライアントから再接続要求が一挙に来てシステムダウンした」

大型連休明け月曜午前初診外来担当医「あー、わかるそれ」

朝から「お前とこの人間の携帯、誰も繋がらんぞ！」と客からのキレ気味の電話があり、営業が「au調子悪いんですよ！ニュースとか見ないんすか!?」とキレ返していて笑った。思うんだけど、職場環境の底が抜けると、怒ってる客に怒り返すということが許されるので、メンタル面では逆に快適かもしれない

「何でも失くせるADHD」って才能ではあると思うけど「そんな物まで失くす！？」って驚く物もあるよね。今まで失くした物で、1番でかい物ってなに？俺は冷蔵庫。

Twitterあるある

叩いてる人よりも叩いてる人を叩いてる人の方が圧倒的に多い

「光年」は"長さ"の単位であるが、その語感から"時間"の単位として誤用しているミュージシャンがかなりいるので一度まとめてみたい。RADWIMPSとチャットモンチーは確実に一度間違えてると思う。

「ミスドで隣の一般人カップルがシンウルトラマンの感想話してたけどセクハラの話なんかしてなかった」という文をドーナツ3個の画像と共にツイートしたオタクの人が、「ドーナツ3個も食べてる人に会話盗み聞きされてんの嫌すぎ」と引用RTされた事件すき。嘘松的構文の痛さは言うまでも無いんだけど「ドーナツ3個も」という部分で、別にそこはいいだろ！という気持ちといやでも確かにちょっと多いな…という気持ちが同時に発生するのが好き

優生民営化。金髪碧眼の高学歴白人男性の精子に注文が殺到する精子バンク

なんの取り柄もないボンクラが死ぬまで雇用を守られるのは良いことだとは思うんだが、それはそれとして終身雇用に守られて技術的に全く成長してない中高年と仕事でバッティングすると厳しい気持ちになる。「メリトクラシーに問題があるとは言っても虫歯になったときは腕の良い歯医者に治してほしい」みたいな話をサンデルも書いてたが、それと同じ話で自分が終身雇用の「被害者」になると微妙な気持ちになることは避けられないんだよな。

ライオンの子供は遊びながら狩りの仕方を覚えられてうらやましいな。人間は遊びながら確定申告のやり方とか覚えられないのに

現代ジャパンではお客様という立場に立つとあらゆる無理無体を通せることになっているので「お客様です！！！」と言って暴れ込んでくる奴がたまに居ますが、そういうとき手近なパイプ椅子などを素早く手に取って殴り返せる力を教養と呼ぶように思います。

大学ってトイレが綺麗だから高校の時に比べて飯がうまい

ラブホの廊下で他の客とすれ違う時に”連れのルックス勝負”が静かに行われるの、ポケモンバトルくらい不可避で好き

よくDMとかで「学校やめてプロ目指したいです」とか言ってる人いるんですけど、プロは目指すものではないです。気づいたらなってます。学校いきましょう。

最近よく思うんですが、働ける鬱が1番生きづらくないですか？うまく言えないんですが伝わるかな？

上司よ、報連相が大事なのはわかったから、頼むから、報連相しやすいような機嫌でいてくれ

ここ数日、予定通りに夕飯の支度ができたり、信号に引っ掛からなかったり、電車がちょうどきたり、Suicaの残高が5000円ちょうどになったり、とにかくあらゆる事に意味があって緻密に関連していて“そうなるべくしてなっている”感覚があって、調べたところ統合失調症の初期症状らしい。何が怖いかって、(主観では)それらにかなり冷静に対応しているつもりでいて、予定調和であるとすら思っていて、なんならこの週末からの大阪の予定がなくなることも“そうであることが正しい”ような感覚があり特別に感じたり驚いたりはしないことに違和感がある

「カレー作るの簡単と言われて腹が立った」とかいう主婦のツイートに「カレー作るの簡単ですよ」「カレーが簡単じゃないなんて無能ですね」みたいなリプが集まっているのを見た。国語は苦手だけど学級会が得意な人たちだ...と思った

多分大物になる子供「へぇ、覇権って握れるくらいの大きさしかないんだ」

ハラスメントとジョークの境界はとても曖昧で、いわゆるイジり芸は相当なテクニックを要するので素人は安易に手を出すべきでない。相手が怒ったり傷ついた素振りを見せると「冗談じゃん」と、さも相手が悪いかのように開き直るが、説明を要されてる時点でスベっておりその笑いは成立していない。

自分も経験ありますけど、可読性の低い思想書とか哲学書ばっか読んでると、なんか自分がものすごく賢い特別な人間になったと錯覚しちゃいがちなんですよね。もちろん本当はそんなことはなくて、実際はむしろバカになってたりもするわけですが。人文学って危険なんですよね、人格形成において。

縄文時代にアニメ声だった、めちゃめちゃもったいない女

平和主義者が暴力を放棄できるのは、他者が代わりに行使するからだ。

東大入ってから、「勉強ができる／できない」は「考えることが好き／嫌い」の違いが大きい気がしている。どの人間もどこかのラインに到達すると「あ、これ以上はもう考えたくない」ってなるイメージがある。そのラインがどこで来るかによって学問とか勉強のできるできないが決まっている感じ

それにしても「ジャベリンを持った銀行強盗が出現すれば泣きを見ることになるだろう」は何かの一発ギャグだろうか。いやだって手元にジャベリンあるならそれ転売したほうが確実に稼げて楽だろう。発射機こみ一式で数千万円する兵器だぞ。ミサイルは1発2千万円。そんなものぶっ放す銀行強盗はアホだ。

普通に核爆弾とかが出てくるオムライス屋「ボムの樹」

【クソすごろく】

あなた「おっさんずラブっていうドラマあるじゃん？」

女「ありません」

あるのに....。8億を失う。

世の中を生きていくうえで必要なのはお金とか健康じゃなくて希望なんだけど、実際にはなんともなってない人が多い。お金や健康がないと、希望を持ち続けるのは難しいんだろうな

uberでマック頼んだんだけど、10分後にとんでもないサイコパスが来る。「配達する理由：食べ物を移動させることが好きだから。」

登山の帰り道、後ろ向きで歩くと疲れない！って言ってるみたいな感じ。騙されてるだけ。

ローラースケート、路面のガタガタが15倍ぐらいに伝わるけど、舗装されたばかりのとこは本当に楽しい。曲で言えばサビ

ストレス発散、勘違いされがちだけど「でっかいイベントが終わったらやろう」という類のものではなく、「でっかいイベントが始まる前にやる」ものだな。そうやってストレスが発散できる。どれだけ忙しくてもそこだけは譲っちゃだめ

お前を絶対に忘れられないような思い出に残る体育祭にしてやろうか

猫を無視できるようになったので大人になった

今だから言えることだけど、ヨッシー絶対「でっていう」なんて言ってないだろ 嘘つくなよ

道路の脇の子どものイラスト、「ストップ！」って感じの体勢とともに「飛び出し注意」って書いてあったけど、開き直って車を止めようとすんなよ 飛び出してきてるのはお前だろ

イヤホンを友人に借りるとき、「ウェットティッシュどこある？」って聞くタイミング、イヤホン借りる前と借りたあとで印象が180度変わるの面白いな

「絵がうまい人」に関する世間一般からの一番の悩みは「絵がうまい人はどんな絵でも絶対に最初からうまく描く」なんだよな。絵、自転車と勉強を足して2で割った感じだと思ってる。勉強に必要なのは「自分が間違ったところを見つけて改善していく」能力、自転車に乗るのに必要なのは「手数をこなして、ちょうどよい方法を自分の腕に覚えさせる」能力。絵の上達速度はその掛け算で決まる

「オオエエアアエエオオオオ」と面倒くさい友人が言い出したので「放送部の練習風景？」と尋ねたら「アンインストールの冒頭」って答えられて面倒くさすぎる

NHKで星新一の「生活維持省」のドラマをやっていたが、今の視聴者が見たら「なぜ高齢者だけ対象にしないのか。若い人間や労働可能な人間は逆に残さないとまずいのではないか」としか思わないだろう。人口が急増し都市も膨張して交通事故や公害が多発していた約60年前の原作時代とのギャップがある

すべての飲食店の注文はタブレットとかでできてくれと強く思ってるけど、それは貧しいことかと言われればやっぱり貧しいことではあると思う。何事も目的がはっきりして効率的な事柄というのは貧乏くさくて好ましくないので、せめて効率化して得た時間で不効率極まりないことをしないと甲斐がないですね。私も日の出が早まった影響で最近早起きに連続成功していますが、浮いた時間何しているかと言うと仮面ライダーのおもちゃで遊んでます。効率化が作業とか労働の枠を超えて、食事という生理に根差した領域にまで入り込んでいる事に対してどれだけ自覚的でいるかって話だと思う。ソイレントだけ食ってて何が悪いかは答えられないけど、貧しい感じはする

現代は無料で楽しめるコンテンツで溢れ返りお金というより大量の時間を消費させてくるから、自分の真の価値を決めるのは知識や技術の習得に狂気を感じるほど没頭した時間だということを意識しておかないと、人の一生なんて何もしないうちに一瞬で終わりかねない。

twitterでよく見かける出羽守さんの言い分を要約すると、「雑多な社会は嫌！社会階級でエリア分けして、卑賤な職種や下層の人の暮らしぶりや下品なエンタメは一生私の目に入らないようにして！」って感じになってしまうので、世界のどこに行こうと人間って人間的で素敵だよね。

auショップに群がって叫び怒り罵声を浴びせる人々について、職場の中高年の方から「あの人達は正義感や義憤でやってる可能性がある。ああやって客が声を上げる事で経営層が危機感を覚え、速やかに障害が回復すると信じているフシがある」という救えない意見を頂いた。彼らを救うには銃弾しかないのか。

「自分の心に素直になった方が人生は豊かになる」ってツイートがバズってたけど、俺が自分の心に素直になって生きたらおそらく3日で逮捕されるし2年後には変死してると思う。

実家で運動会のビデオ観てたんだけど、騎馬戦で俺を支えてる3人の現在が【医学部6年、埼玉県庁、サッカー選手】なのダルすぎる。上で無職が楽しそうに無双してるのもダルすぎる。

近所のアパートから明らかに頭の悪い子供を殴りながら九九を教える音が聞こえたのだが、やはり七の段で殴っていました

『そんなことですぐやめていたら将来何にも続かないぞ』っていかにも学校の先生が言いがちなセリフなんだけど、先生で病気になる人がこんなにも多いのは途中で辞めたことがない人が多いからもあるんだって。途中でやめたことがないから病気になるまでやめれないんだってさ。なんか皮肉な話だなと思った

サイゼリヤは「豊かな貧しさ」の象徴として、ある種の分水嶺として機能しており、それを批判されることは多くの人民にとって、自身の貧しさを冗談や美に転換できるチャンスを奪われることだ。だから多くの人間がヒステリックに対応する。「初デートがサイゼでも文句を言わない女」の形象もそうだろう（自身の貧困や店選びセンス＝「文化資本」の無さを暴露されるのが怖いから、それを虚構的に作りあげた像で粉飾する）。だがむろん貧しい人間が悪なのではない。それを包み隠し美化するロジック、美的イデオロギーが悪なのだ。サイゼリヤに行くなとも、デートでサイゼリヤに行くのは貧困だ、高級食に行けとも私自身は言っていません。なぜそのような「形象」が発生してくるのか、そしてサイゼリヤがなぜ美化されるのかについて説明しているのです。すでにツイートした通り、千葉さんはプチブル的な消費者の目線でチェーン店に誤った期待を託しているにすぎず、疎外論だとしても中途半端です。だが、サイゼリヤを美的あるいはネタ的に享楽し、千葉さんを揶揄する「庶民」の立場もそれはそれで批判されるべきだと言っているわけです。「庶民の楽しみを批判するとは上から目線でけしからん」という、内容のない・くだらない・ワイドショー的・お茶の間的・やっかみ的・ルサンチマン的批判に対しては、「私は偉そうなのではなく、偉いのです」（蓮實重彦）という、千葉さんもよく引用する言葉を差し上げます。そして私も別に普通にサイゼリヤには行きますが、そこに人間的な食なるものを期待することはない。それなりに食べられるものもあるとは思いますし、別にデートで使うこともあるでしょうが、それが「贅沢」だと思うなら明らかに経済的にも想像力としても貧困だろう、と私は思います。

資本主義批判や「庶民」のシニシズム(場合によっては最早自覚すらされないシニシズム)批判がまだ現代社会の問題を理解する為の核心であると考えられるとする根本認識自体が最早限界を迎えていることが解らないようだ。インターネットの普及と社会のＩＣＴ化以後、グローバル資本主義の水準が凡ゆる意味で最早完全に変わったこと、それらが冷戦以後にアメリカを中核として起こったこと、それでも尚領域国民国家の秩序が最上位であることを真剣に考えるなら、もう左翼的な資本主義批判が意味を成さなくなったのは明らか。

めちゃくちゃ単純な話、本読んだり勉強したり色んな経験すれば頭が良くなるなら、人間は年齢を重ねれば重ねるほど頭が良くなるはずなんですよね。でも実際はそうではない。知識の多寡より重要なことがあるんだと思います。

友人達と「時間停止能力者の倒し方」を考えるお遊びをしていたら、一人だけやけに「犬に襲わせる」を推すので理由を聞いたら「時間停止物のAVで犬だけが動いてたから多分効かない」との答えが返ってきてソイツが優勝した。

29歳でIT系の会社に入り、2年ガムシャラに働いたのですが３年目にふと深夜の仕事中にゼータ関数の特殊値を計算して全身が痙攣するほど衝撃に走り退職し、面識のない研究室に頼み込み客員研究員を1年やらせてもらい、その後、社会人博士課程として半導体分野の研究室に入りました。

ずっと職業としてエンジニアって仕事してたんだけど、ハードソフト問わず純粋に技術的課題に向かってる時って楽しいんですよ。仕事辛いなぁと思うのはほぼ政治要因。あとどうやってもできない子の教育も辛い。先生ではないので教える能力は無い。プログラミングの学習ってさ、納期もない、政治的圧力も無い、技術的制限も無い（組み込み以外）最悪わかんなくても先生に聞くとか出来ちゃうじゃん？バグがあってもテヘペロだし怒る人もいない。そういう状況で尚楽しくないなら多分向いてないんだよ。

メンタルに限界が訪れたのでカウンセリングを受けてきたんだけど、1時間ぶっ通しでひとりで喋ってしまい、ほぼトークライブだった。問題はビタイチ解決してないのに晴れやかな気持ちになった。定期的に利害関係のない第三者に心の中をぶちまけるのは本当に大事。

Cookie Clickerを遊んだり「ケーキの切れない非行少年たち」を読めば大体わかりますが。多くの人類は創造的な仕事をするよりも決められた作業をコツコツと続けることで節目ごとに達成感が得られるように進化してる節があるので、AIが仕事をやるようになったらクリックを続ける人類が増えることになる

同人誌のデジタル化は、当日版権的な”頒布が限定的である”という共同幻想の上に成り立ってきた二次創作ジャンルをいずれゆっくりと蝕んでいくような気がしている。

僕が子供の頃は読んだ本には「未来ではロボットが労働をしてくれるので人間は文化的な活動だけやってればよくなるよ」って書いてあったのに現実では人間が労働してAIが絵を描いてたりする。

高校の古文・漢文が必修じゃなくなるらしく、大変嘆かわしく思っておりますが、自国の古典的な人文主義が教育課程からも消えてしまうと、文化的伝統に基づく保守的なナショナリズムが成立しなくなってしまい、物凄く歪な形で人種主義とか排外主義とかがナショナリズムの基盤になってしまうでしょうね。

日本美大の"現代"絵画系について「死ぬ気もない自傷を延々と見せつけられているのに疲れた」と形容してる友達がいた。絵画に不能感を感じてるなら他にも表現技法はあるのに、受験勉強で払った労力と絵画の経済性が惜しく、答えを出す気もない実験を繰り返し続ける、みたいな作風はある

「メルティーキッス」の「キッス」、誰も教えてくれないけど実は間接キスらしい

明日で辞める部下が「同じ仕事内容で残業ほぼ無しで年収100万円upですよ。それが転職理由です」と、送別会で説明してくれた。キレイな理由でした。

「不快にさせてしまって申し訳ない」というテンプレが怪しからんというご意見と、「謝りたくないことでもまずは嫌な思いをさせてしまったことに対してごめんと謝る」というりゅうちぇるさんの発言を絶賛するご意見とがほぼ同時にTLを流れていった。難しすぎる。

DMMの亀山会長が「今の幹部は頭の良さで選んだんじゃない。創業期のレンタルビデオ屋でレジのお金に手をつけなかった奴を選んだ」と言っていたのを思い出しました。よく言われる「インテグリティが大切」というフレーズよりも生々しいエピソードだなと。

「古文漢文を何故教えるべきか」という理由は当然実用性ではない訳で、教育をその観点から考えるならば斥けられますね（それとは別に日本語の構造上古文漢文を知らなければ書き言葉を正確に運用するのは難しいと思うのですが）。ただそこで「日本」の国民形成がそれで良いのかという問いが残ります。古文漢文教育は、日本という国民国家のナショナリズムの基層をどう設定するのかという考え方でのみ、実用性に争って尚擁護できるものでしょう。しかし、そういうことをハッキリと言う人は本当に少ないですね。

どんな格好しても、それぞれ別の多種多様なデスゲームの主催者になるの稀有な才能だと思う

ワイ｢中に出すぞ･･･！！｣

女｢な、中はダメェェ！子供出来ちゃう！大学卒業するまでに出産育児費用91万、衣料費141万、私的所有物93万、食費671万それから幼稚園147万、小学校308万、高校252万そして｣

ワイ｢ｽﾎﾟｯ(抜)｣

なーにが日本が100年後戻りしただよ。雰囲気でテロリストに屈するな。気合で日常を続けるんだよ。俺たちは21世紀に生きてるんだ

昔、近所のおばさんが「子供を大学院に進ませたらキリストになってしまった」って言っててヤバい話かと思ったら、常に実験室に泊まり込み作業をし、勿論バイトをする暇は無いので貧しくなり、食べないから痩せ、散髪代も無いので髪と髭が伸び、薄汚れた服を何年も着続けているという見た目的な話だった

悼むときに悼めないやつは信用できないのです。意見も議論も好きにやっていいけど。今、お前の意見に沿って騒がなきゃいけないのか？といえば今じゃないからです。できる追悼は選挙に行くことです。

納豆のタレ開けた後に薄いビニール剥がし忘れたの気づいてもどうしようもなくなる現象。開けたままのタレを持ちながら3秒固まる

嫌な奴が言う「みんな言っている」はせいぜい2、3人

「社会を変えたいと考えたとき、言論への信頼と暴力への信頼はゼロサム」という考えは社会の総量としては一定正しいと思います。但し各人については別です

元カノと食事行ったとき「実はオレ男の子のおもらしを見るのが好きで、男の子がおもらしをしちゃった絵を描いたり、男児ブリーフを買ってきてハンガーにつるして駒込ピペットで股間のとこに水を当てて濡らしてお絵描きの元ネタにしたり、銭湯に行って男の子のパンツの柄を見たり、その銭湯で見かけた小学4年ぐらいの子がはいてた、前開き部の左側の生地が灰色で残りが黒色のおもらし染みが目立ちそうでエロすぎる生地薄めの夏仕様ブリーフの映像を頭に叩き込んで帰宅して絵を描いてシコったり、メルカリで買った男児ブリーフをはいて自分でおもらししたり、その様子を鏡で見てちゃんと興奮できるように20kgのダイエットに成功したり、ダイエットの相棒になった男児ブリーフを密かに職場に穿いていったりしたことがある」などの話をしたところ、実は彼女も同じ趣味だったことが判明し、一人の時にタオルを床に敷いておもらししたり、同じくおもらしが趣味の、セフレだった会社の先輩と一緒に家でおしっこ我慢対決をしたり、公園のベンチに座っている旦那さんにまたがって上からスカート着たままおしっこしたなどの気色悪いエピソードが聞けてめちゃくちゃ楽しかった 「え～もったいない！ちゃんと黄色く染めた水か自分のおしっこをパンツにかけてから写真に撮ればよかったのに！」「20kg痩せた理由異性にモテたいからじゃないんだ！でも副次的にはちゃんとモテるし異性愛であることの偽装もできるから一石三鳥だね！」「なんか波長が合うなって思ってたけどまさかこういうとこで趣味が同じだったんだ～」「今の旦那さんあんまりおもらし好きじゃないから寂しいよ だからその気持ちわかる～」など、自分たち二人以外には絶対に共有されない感情を披露し合って終わった 最高だった 世の中の異性愛者、いつもこんなことできるのかよずるすぎる

彼女 :お姫様抱っこしてよ

彼氏 : 労働基準法で18歳以上の男性が、機械を使わず取り扱える重さの制限は55㎏以下と定まっている為、労基に通報します

「傷口がじゅくじゅくしてる」の「じゅくじゅく」の漢字が「塾々」だったら、中学生あんまり塾に行きたくなくなってくるだろうな

おもらし界隈っておむつに放尿することもおもらしって呼んで興奮する人はいるんだけど、元彼女は介護士なので、たとえ幼児用おむつへの放尿であっても「仕事のことを思い出してしまう」という理由で敬遠している。マニアックすぎる職業病だ…

しかし左の人は何をうろたえているのか。｢権力者や強者相手なら暴力をもって対抗してよい。それは銃社会のアメリカにおいても全く変わらず、暴力をもって対抗してよいのだ｣という話だったはずだし、だからこそBLMで(デモ隊による｢自治区｣ですら)銃撃戦が起こって死者が出たのではないのか。｢暴力で対抗して良いとはいったが暴力で対抗してほしくはなかった｣｢死ねとはいったが死んでほしくはなかった｣みたいなことあとから言うんなら最初から言わなきゃいいのに、あんたら止められてもやめなかったでしょ

あちこちオードリーで飯尾さんが「先輩に嫌われて後輩に好かれてる奴は信用できるけど、先輩に好かれて後輩に嫌われてる奴は信用しちゃダメ」と言っててかなり真理だなと思った

家庭教師に行く家庭、大抵高学歴パパと失礼ながらもあまり勉強が得意でない美人のお母さんの元に生まれた母親の知性を引き継いでしまった子供を、自分のコンプレックスを子供で解消しようとする母親の覇王色の覇気よりすごい圧を感じながら教えなきゃいけないからめちゃくちゃしんどい。

魔法使いがよく「ファイアー！」って叫んでるのは火を出すためではなく、FIREしたいから

「人間が描けていない」「設定がありがち」「ストーリーに面白みがない」「ご都合主義すぎ」この辺は、誰でも何かを言った気になれるマジックワードだからな。なお言われた側は、これを言ってくるやつは完全に無視していいと即座に判断できるという意味でもありがたいマジックワードではある

「デブは自己管理ができないから仕事もできない」みたいな言説めっちゃ眉唾だと思っていて、仕事はできるけど自己管理できない人なんて掃いて捨てるほどいる。太るかどうかって体質の影響も大きいし。同じもの食べたら同じように太るわけじゃない。

辞める辞めるってしょっちゅう言っている人は中々辞めないから、本当に注意を向けなくちゃいけないのは一切不満を口にせずに黙々と働いているどこにでも転職できそうな優秀な社員だよ

ストックオプションで30代で億超え資産を手に入れた友人が、「仕事がしんどい。出世欲もないし、最悪会社クビになっても生きていけるけど、会社辞めてもやること何もないし50歳くらいで死にたい。もう終活に入ってる」と言ってて、結局FIREできても「生きがい」がないと人はダメになるんだなと思った。

娘に「このおもちゃなおせる？」と聞かれた。「お父さんは工学の修士号を持ってるから直せるよ」と言って受け取った。しばらくしてから「これは博士号持ってないと直せないわ」と言って返した。

ファミレスとか行って注文した後、見えてくる料理がある。ハンバーグを頼んだ後に見えてくる御膳がある

ゆで卵の水に浸かってない部分がドゥルドゥルになるのが嫌なので20分も茹でるあの現象と、ゴキブリが動かなくなってもとりあえず殺虫剤をかけとく現象は似てる

「論理的でさえあれば人を動かせる」と思い込んでいたこと自体も感情の発露そのものだよな。自称論理的な人たちって本人が思っている以上にかなり感情的だと思う。

結局のところ頭リベラルなすぐに民主主義が死んでしまうああいう人たちって、自分たちが社会に参画してる意識ないし、自分たちが社会をデザインしてくって責任感も毛頭ないから。単にお客様気分で批判と罵倒飛ばしてるだけで済むポジション獲得できるの気持ち良いまであるんでないか？とは。

京アニ事件のとき看護師の手当てに感謝があったとか報道されて「人の優しさを知らなかったから事件が起きたんや」みたいな意見が一時出てきたけど、せん妄対策でセレネース打たれたから思考障害が改善しただけだろうと勝手に想像している。思考障害に必要なのは優しさではなくドパミン受容体拮抗薬。

こういう食べ物系の企画見るたびに思うけど、この光景を俺たちに届ける為に、この食事の輪に混じらず、黙々と撮影してくれているカメラマンさんがいるんだよな。ありがとう。

選挙で選ばれた＝全権委任された、ではありません。国政選挙自体はカレンダー上、約3年実施されないことになりあすが、デモや署名など、意思表示の方法は投票以外にもあります。選ばれた人間がそれにどう向き合うか、注目はこれから

銃声がしたのに日本人が逃げたり、伏せたりしないことに海外から驚きの声が出ているけど、それだけ銃犯罪が少ないということで、別に恥ではないとは思うんですよね。地震があったとき、欧米の人達はパニックになるけど、日本人はしっかり安全な場所に避難して、『揺れた』ってツイートするでしょ。オーストラリア人の私は銃の音にも地震の揺れにも適切な反応ができない。でも草に蛇の音した瞬間、ジッと立ち止まってそっと退けることが特技です。

種付けプレスという新聞社

「選挙に行くか行かないかは個人の自由なので私はいきませんでした。そういう個人の自由と多様性を愛する社会になってほしいなあ」ってツイートしてる人がいて、「参政権を放棄した上で社会に変化を求めるのすげえな」と思いました

投票さえすれば民主主義でございなんて話には全然ならないことはイラクやアフガニスタンで散々見せつけられてきたことで、民主主義が機能するための条件については散々研究されてきてるんだろうが、その条件を達成するにはまず時間がかかるし、政情の安定には反近代的なものすら時に必要になる。とにかく民主化を唯一の正義としてそれだけ推し進めた挙げ句、国内対立が決定的な一線を越えて内戦にまでなれば元も子もないわけで、こうなった事例は世界中にある。その挙げ句、独裁者が台頭するのも防げなかったりするが、国民からすれば内戦より独裁者の方がまだマシですらあり得る。

「あらゆる死は、長期的な視野で幸せな人が最も増えるように、最適のタイミングで発動するように神に仕組まれているに違いない」という非科学的な信条を持っているので、言っては何だが某件もこれが最適だったんだろうなという気持ちはある。神が邪神ではないはずなのに世界に悪が存在するのは、これでも悲しみが最小限で済むように既に計算されていると言うこと。我々は神の愛に包まれているから、我々が観測しているのは常に「論理的にとりうる最小限の悲劇が含まれるシナリオ」であり、イフ世界線は常にもっと恐ろしい別の悲劇に満ちている

「政治と宗教の話は避ける」ってビジネスシーンとかの浅い人間関係で不必要に揉めないための単なる処世術にすぎないのだが、それがなぜか社会の倫理や道徳みたいに捉えられて「政治と宗教の話をしてはいけない」になってしまっている気がする。よく言われる、商売繁盛のための心構えである「お客様は神様」がなぜか倫理や道徳みたいに捉えられて客側まで「お客様を神様と思え」と言い出しているという話、あれに似ている。こういう混同を媒介しているというか、処世術を意図的にルールに見せかけたり倫理であると吹聴していくときに言われるのが「政治と宗教の話は避けるのがマナーです」なので、やはりマナー商売には警戒した方がいいという思いがある

母はスピスピしい人ではあるが「宗教は組織になった途端に金が絡み始めるから、祈りたいなら一人で祈れ」と子どもの私に教えてくれたのがありがたかった

【内容量490mlのペットボトルあるある】

10mlで100ml分の信頼を失っている

「伝統宗教はおかしな新宗教と違って金がかからない」というのも割と嘘で、神社仏閣の中にはよく本堂や門の建設／改修記念碑みたいなのが立ってて、有力な檀家や氏子が何百万寄付したとか書いてある。観光客が数百円の拝観料などでその寺社を眺められるのは、その上澄みをすすっているのである。

「淫夢同好会」「アライさんbot」「アーニャbot」と続く系譜があり、なんらかの語録に従えばコミュニケーション弱者でもやっていけるという点でコミュ力のベーシックインカムだと言える

騎士がなんで怖いかていうと、中世の多くの農民達は栄養状態が悪く日々過酷な農作業でボロボロな状態なのに対して、騎士は一年中訓練に明け暮れカラダを作る為の栄養も充分に摂取してるからなのだ。例えるなら残業続きでヘロヘロのオタクとアメフト選手が殴り合うようなものでオタクに勝ち目はないのだ

「至らぬ点が多く、至らぬ線・至らぬ面を成しているかもしれませんが...」

海外の宿に泊まる度に思うけど、日本は本当にトイレだけは他の追従を許さないというか、運動会に一人だけZ戦士が混ざってるくらいの差がありますね…ビジホでも普通にシャワートイレだし

私たちは助けの手に対して「助けてくれてありがとう」より「どうして今まで助けてくれなかったんだ、殺してやる」という激しい怒りが先に湧く。壺の中のイフリートよ。

私の親戚、大概イカれたメンバーだけど、一番イカれてるおばさんは新興宗教クビになってた。寄付は任意と言われたのをタテにして金ほとんど払わずに、会館的な所で延々自分語りとか喧嘩とかしてたら追い出されたとか。おばさんが宗教にハマってる間は平和だったのに。死ぬまで面倒見て欲しかった

SDGs、ゲームチェンジを狙ったヨーロッパの戦略だと思ってたんですけど、まさか実態はロシアから安く供給されるガスにおんぶにだっこでどうにか成立してた意識高い系の遊びだとは思いませんでしたね

労働のこと許せなさすぎて休憩入る時「休憩入ります」じゃなくて「人間としてあるべき状態に戻ります」という感じだった

カルトに勧誘されても教養とユーモアがある自分ならこう言ってこうで撃退！って思うの、教室に武装したテロ組織が入ってきても自分ならこうしてこうで撃退！ていう子供の妄想と同じなんだろうな。

最近よくプリウスとかカローラベースの霊柩車見るけど、死んだあと最後に乗る車がそんな安っぽい車になるのは絶対に嫌だな。僕が死んだときは6気筒以上、最低3000ccの内燃機関を搭載した霊柩車を用意してください。これは遺言です。

統一教会でもなんでも良いんだけど、完全に洗脳された信者たちの集会にリアルタイムで凸したいという欲求がないかと言われるとめっちゃ行きたい

パキケファロサウルスの頭骨が分厚い理由について『頭をぶつけて武器にしていたのでは？』と言われていた説が『いやそれだと脳にダメージ行くわ』と一旦否定されたんだけど、頭をぶつけ合って喧嘩するウシ科哺乳類が普通に脳にダメージ行ってるぽいのが分かって『あれ？』ってなってるの楽し過ぎる。ウシ科の哺乳類の脳に関しては『アレだけ激しく頭をぶつけ合うのだから、何か脳を保護する特別な機能とかがあるに違いない』と思って調べてみたら、脳は普通にダメージ受けてるというオチだった。寿命が来る前に機能不全にならなきゃヨシ！的な割り切りなんだと思われる。

宗教にハマらない条件をTLで云々してるのを見るともやもやするのは、人が己の宗教心を自覚するのはしばしば天災や事故で理不尽に自分の人生が狂って寄る辺がなくなった時で、それまで全く気にもしなかった宗教観念に対しても無防備になるので、今平気でもそれはあまり関係ないというのがある。カルト宗教などはこの寄る辺なさを閉鎖空間や心理的な追い込みで人為的に再現しようとするので、その意味では人が信仰に入りがちな条件を知っておけば多少予防にはなるが。

昔、某駅で某宗教（二人組）の勧誘にあって、「このままでは世界は滅びます。それでもいいんですか」と言われたので、「私はＳＦファンなので世界が滅ぶのをぜひこの目で見たい」と言ったらめちゃくちゃ怒り出して、あなたは地獄に落ちると言って去っていった。そらそやろな。

相合傘の先端に核兵器が搭載されている、最悪のカップル

「ヒトラーにも優しいこころがあった」なんていうプロパガンダを見たときの反応は「いやそれはウソだ」ではなく「だからどうした」であるべきではないかと思います。ウソかウソじゃないかなんてことを問題にし始めてる時点でもうその人はプロパガンダに少し食い込まれてしまってる。

大魔導士、黒魔導士、赤魔導士の下にある「カス魔導士」とかいう職業

洗脳がちゃんと入るというのも、体育会系なんかが典型的だが社会への適応力の一種でもあるから、洗脳が全く入らないタイプの中には社会不適応者とか自己愛性パーソナリティ障害なども含まれると言われるとこれも厄介な問題だな。

宗教団体への上納金がやばいって話題で、変な宗教にお金つぎ込んでないよね？って言われたけど、実は毎月〇万円（＋α）上納してます。合計でそれなりの新車買えるくらいの金額になります。止めたいけど、罰がくだるって言われるからやめられない。弁護士会って言うんですけど

この曲を聞いてると芥川龍之介の羅生門が出てきて、昔国語の教師に言われた「実在するものを題材に物語を作ると、正に本当にあったかのようなリアリティを読者に与える。そのように錯覚させるのも小説家の技量。」ってのを思い出しました。日常的な風景から入り非日常的な事象を自然に織り交ぜ、更にリアリティまでも醸し出し、視聴者に現実にあった事のように錯覚させ、恐怖や安心感を与えているあたり、この曲の作者様は小説家に通づる物があるのでは無いかとふと思うのです。

まずここで言う「性格が悪い人」の定義は、「自分の好きなものより嫌いなものに対する熱量の方が上回っている人」とします。その観点で考えてみると、はてブTwitterヤフコメ等ネット上に溢れてるいろんな立場、いろんなイデオロギーに属してる人たち、ネット右翼もネット左翼もフェミニストもミソジニストも陰謀論者もその他諸々もそしてそれに熱を込めて反論している人も、「こんな馬鹿なことを言う奴がいた」と晒し上げている人も、匿名とか問わず共通点として全員性格が悪い。みんな嫌いなものに執着していて、傍から見て好きなものより嫌いなものについて話してる方が楽しそうに見える。嫌いなものについてばかり考えているから攻撃的で言葉も汚くなりがち。「争いは同じレベルの者同士でしか発生しない」という話があるけれど正当防衛としての避けられない争いを除けば、争いは性格が悪い者同士でしか発生しない。社会的に追い詰められて性格が悪いことを言わざるを得ない人たちがいることは理解するし同情もしている。でも日々論戦を交わしている大多数の人たちって、必要もないのに暇つぶしの為に自ら性格を悪くしているようにしか見えない。一方で、大人気な作家やスポーツ選手など、華々しい舞台に立っている人たちは性格が良い人が多いように見える。それは反感を持たれないよう言葉に気を付けているのもあるだろうけど、好きなものがある人、夢に向かって努力している人は嫌いなものを気にしてる暇が無いからだと思う。夢と目標と生きる目的がある＝自己を確立できている人は、誰かが作ったイデオロギーに頼らなくても生きていけるから。何ではてなブックマークは性格が悪い人が目立つのか考えてみたけど、それはサービスの構造からして、ネット上のURLが存在するすべてのコンテンツに反論されにくい立場から陰口を叩くことを可能にするから。そこに集まった性格が悪い人達は、怒りをぶつける相手と怒りを共有できる相手を求めてどんどん増えていく。新しい情報と考えも共有されるから暇つぶしに最適なサイトではあるけれど、好きなものに一生懸命な人って基本的に暇してないんだよね。方や好きなものが少ない人は関心が嫌いなものに向かいがち。私事ですが、暗いニュースばかりの今こそ好きなものに正面から向き合おうと思って最近創作趣味を始めました。自分の強みを活かすために好きなものと嫌いなものは何だろうとか色々考えた結果、「世の中に嫌いなものがひとつも無い人間なんていないから、楽しく生きる為に一番大事なのは嫌いなものを忘れるくらい好きなものを見つけること」ということに思い至りました。そして私は性格が悪い人が嫌いであると自覚しました。嫌いなものは忘れた方が良いので、この増田を最後に性格が悪い人のことを気に留めずに生きていこうと思います。はてなブックマークはnot for meでした。最初に登録した時は「ここなら面白いものを見つけて共有できる」みたいなこと考えてたんだけどな。こちらには悪意と敵意ばかりが共有されてくる。私もそれを享受して怒ったりしていたけど、怒る時間ってただ無駄なだけだと目標ができるまで気が付いていなかった。願わくばブックマーク（お気に入り）の正しい形として皆の好きなものが共有されるソーシャルブックマークサービスが実現できるならば見てみたい。私は人が自身の好きなものを熱く語る姿を見るのが大好きです。ブクマに見られるある種の情念がなんだか精神の臓物を見せられているような気分の悪さを感じることがある。これが精神衛生上良いわけがない。

最近、鎖で拘束されて好き勝手されるケモノの絵を描いてムフフとなっているのだが、それを閉所恐怖症持ちの同期に話したところ「閉所恐怖の本質は移動の自由を奪われることなので、どうか2kmぐらいの長さの鎖につないでやってほしい」とコメントされた。積立NISAでせっせと賃金をドルに変えるサラリーマンが、自らをどんどん資本主義の犬にしていって資本家をますます喜ばせるのに似てる。自由のある不自由。

接客のことたまごっちの「プチプチおみせっち」のリアル版だと思ってるから変わったお客さん来るとテンションあがる。忍者とかめめっちとかも来てほしい

ヤフコメにコメントするタイプの人に場を提供する行為が善なのか悪なのかはよくわからない

シムシティで地元を再現したら全く同じ箇所で渋滞し始めたって話メチャクチャ好き

宗教は初手が「信じる」だけど、科学は初手が「疑う」なので、もうこの時点で勝敗はついている。一方、技術はいいぞ、初手が「祈る」だからな。

この前観たテレビ番組で学者の人が陰謀論がはびこることについて「そもそもキリスト教自体が陰謀論。終末は近いと言って信者を集めてもう2000年経ってる。」と身も蓋もないことを言ってた。今なお伝わる"隣人を愛せよ"という言葉は2000年隣人を愛さなかったという有り難い証左。

任意コード実行のドジっ娘の部分

4年付き合った恋人と別れた男友達が「これから面白い映画とか、好きな音楽とか、美味しいパン屋さんを見つけたとか、そういう他愛もない話を誰に話したらいいんだろう」って言ってた。「Twitter」

ソシャゲにじゃぶじゃぶ重課金している人が「私はカルトにはハマらないし洗脳もされない」と言っているのを見て、洗脳の恐ろしさを痛感するなどしていた。

思想や信仰の自由、国民のお前らが妙なのにハマって身を持ち崩そうが基本的に指導も教育もしませんという話でもあるので普通に厳しいよな。まぁ”正解”を”指導”しますというのよりはよほどマシなのだが

【マクドナルド行ったことない人の書いた小説の一節】

そう言うと、彼はおもむろにビッグマックの箱を開いた。鈍く軋んだ音がフロアに響く。

死体撃ちは駄目。相手は敵役をやってくれている仲間なんや。次は同じチームになるかもしれないし、極論、相手が辞めまくったらそもそもゲームが成立しない。プレイヤー同士仲よくしようや

いまSNSでは原理やカルト宗教の勧誘を論破したり撃退したといった武勇伝めいた話をする人間が散見される。学生時代、カルト教義の矛盾をつける自信があった俺に、「で、論破の後は？」「何千名を超える信者にお前の存在を覚えられて、それが未来永劫続く」「勝ち続ける？」と諌めた教授に感謝している

デスゲームの主催者は「人間は追い詰められた時こそ本性が出る」と思ってるけど、実際には「絶対に安全だと思ってるとき」こそ本性が出るんだよな

本性が出るのは何でもできるときだよな。分かりやすく言えばドラえもんがいるのび太状態。体育会系部活の1年の頃より3年になった時に真の姿が見えるみたいな感じですね。「三下金持ちに金と権力を与え、三下金持ちがデスゲームに興じるさまを眺める」のが真の金持ちの嗜みなのかもしれませんね…

「知ってても知らないフリをしたら？」という、この企画において避けては通れない大きな問題を「それで楽しいか？」の一言で突破するざんちの走破性能すき

精神科医なりたての先生が「非常に感じが悪い」という言い回しを公文書に使っていてちょっと面白かった。こういうのは主観的印象をさも客観的情報であるかのように見せる言葉の技術が必要だ。「礼節を欠く」と書けばいい。「さすがに関係あるか分からんで」と書かずに「明らかな関係は認められないが遠因になった可能性は否定できない」とか書いたり、「お前ヤブだろ」と書かずに「管見の限りでは根拠を理解しかねる」とか書いたり、カッコつけるための文言を必要なときサッと出すための脳内ストックが要る

風俗で働いてる女の子が「ちんこのデカさを自慢する奴は大したことない。本当にデカい人は自慢しない。申し訳なさそうにする」って言ってたの面白すぎた

小説家を目指す人たちの間で「プロになるには1000冊は最低読んでないと無理」というツイートが乱れ飛んでいる。別に「読まなきゃなれない」「読めばなれる」という話でなく、10万字程の小説を破綻なく書ける人は、娯楽で1000冊くらい読んでる程度に本が好きというだけ。逆に読まずに書ける人は天才。

日本語と性観念が間違っているアーニャ「アーニャ、精子、出ちゃうます」

今回の事件で初めて統一教会を知った人も多いと思う。そういう人の中には、衝撃が大きすぎて、悪の秘密結社が日本の中枢を乗っ取ってるみたいな、あまりに誇大な現実離れしたイメージに囚われてしまう人がいるのではないかという点も逆に心配。自民を悪や利権の巣窟のように考えるのは良いとして、それは自民が様々な各業界や地域の利害の政策的調整に関わっているということであり、そこに自民の強さや怖さがあるわけである。統一教会もその利害関係勢力の一つであり、別に謎の魔王軍みたいな立場で自民を支配してるわけではない。こういうのは正しく警戒することが必要で、あまりにも過大なイメージを抱くと、むしろ統一教会に実際に接した時に「意外にまともじゃん」と感じて反動で引き込まれたり、"我々は悪の統一教会と戦う"と称する別なカルトに誘われたりする危険もある。

bibibiさんが、だいぶ昔から「公助が廃れて来れば、モノをいうのは血縁や地縁。それからさえも弾かれた者達は、カルト宗教やマフィアに囲い込まれる様になる」という未来を予言されていたの、ほんと慧眼だと思ってる。参政党なんかがターゲットにしとるのも、その辺の層じゃないか

化粧忘れてて大急ぎで眉毛とキャンメイクのマシュマロフィニッシュパウダーだけ叩いて来たけどなんかもうマシュマロフィニッシュというよりきなこ餅ジ・エンドみたいな仕上がり

学問をやる最大のメリットは、「世界は自分程度の頭では到底理解しきれないほど複雑怪奇なもので」「それで一向に構わない」ということを身をもって知ることだと思う。この体験がない人間は自分が無知で無力であることに耐えられないので、簡単に正解を与えてくれるカルトや陰謀論にあっさり騙される。陰謀論の人が言う「世界は本当はものすごくシンプルで誰にでもわかるルールで動いてて、みんながそれを知らないのは既得権益者が隠してるからなんですよ」というフレーズは努力して自分の知性をアップデートしたくない人にとってはものすごく甘美なんだろうなあと思う。高学歴の人でもカルトにハマってるやん的な意見をちらほら見るけど、大学受験は自分の頭で理解できる範囲の広さ選手権であって学問はその先だよ。オウム真理教には高学歴云々って書かれている方が多いのでコメントさせてもらうと、該当宗教の信者構成において大学卒は37%に過ぎず、幹部が高学歴だったのは「信者の中で実務能力のある人間を選んだら高学歴だった」という生存バイアスに過ぎない理解です。

ルンバに名前つけないといけないんだけど普通の名前が一個も通らなくて資本主義ってつけたら通ったので、今我が家では「資本主義をスタートします」「資本主義を終了します」みたいな謎音声が流れるようになっている

何が嫌いかより何が好きかで語った方がいいのはわかるけど、それでも私は注文が殺到してることをわざとらしく謝るタイプの販促広告は嫌いだな

ひぐちカッター　キル集

足立区に傘やチャリを「パクる」という概念はなく、自然の恵みを分けていただくという感覚なので、そこにあるのは悪意ではなく感謝です。また、足立区では自然の恵みは自然に還すという文化があり、雨が止むと綾瀬川に還したり、人のチャリンコにぶっ刺して祀るという文化があります。

岸田さんが「もっとも強い言葉で非難する」って言いながら放送禁止用語を連発して強制的にCM入りするやつ見たい

大人の男って寡黙なイメージだったけど、最近わかった。あれ疲れてるんだ。

「カルト宗教を批判してる弁護士ってやけに大袈裟に警告コメントをテレビで言ってるけど、そんな組織だったら、相手にして無事で済んでるのは変じゃない？」「いや、無事では済まなかった弁護士も何人かいたんだよ」

性的嗜好が同性対象の人でも加害の対象には少女を選ぶというの、性犯罪の本質は性欲ではなくて加害の欲求なんだなあと。

ミートパイって「ミートパン」になった瞬間美味しくなくなる程度の存在だな。

うざい先輩が「糖尿病なりかけたときパン一斤食べてた」って言ってたから「斤って一般人が使っていい単位じゃないですよ」って突っ込んだら「そんなことはなくない？」って言われて、うざかった

「死ぬ気でやってみ？」って言われてやったら、普通に死んだ人

カニのアジアンカンフージェネレーション缶、カニカン

梅雨前線異常あり

「東大で博士取って今は京大で宇宙物理の研究者してます」と言うと「めっちゃ稼いでるんでしょ」みたいな反応されますが、チョコボール買うのすら30分悩みます。

患者さんからいきなり封筒を渡され、いやいや受け取れませんよと言いながら、どうしてもともらった封筒の中身が感謝の手紙でワイの心の汚い部分を洗濯して天日干しにしたいけど今日も雨。

別れた後に「なんであんな奴を好きだったんだろう」って思う恋と、「好きだったなぁ〜」って思い出に浸れる恋がある。思い出した時に「好きだったなぁ」って思える恋は、花束みたいな恋だったんだろうなぁ。

カルトの条件を「生活が成り立たないほどに破壊する規模の献金を促す団体」とした結果、競馬を管轄する農林水産省と、パチンコ屋、各種ソシャゲ会社がカルト認定を受けた近未来

医者になるまでは保険診療したくないなんて考えたこともなかったけど、なって実際の現場見たら今の医療のほとんどが寿命が来てる人の寿命をほぼ無償で無理やり伸ばすみたいな非生産的な活動で、このために夜も寝ず身を粉にし続けるのアホらしくて美容とかに流れようと思う気持ちがよく分かってしまった

車についてるカーナビがたまに｢この先2kmは十分運転に注意しましょう｣みたいなアナウンスを流してくるんだけど、それを聞く度に｢× この先2km以降も運転に気をつけるべき｣って教習所のクソ問題解説が瞬時に頭に浮かんでくる。

このミクにとっては、機械の体も傷つき錆びつくような酸性雨すら『ミズタマダンスのそら』と感じられ、ひび割れ、マグマの流れる死の大地すら『マーマレードのだいち』に見える。人でない機械のほうが情緒にあふれてあまりに優しい……いっそ皮肉なほど

卒論のために悪夢を映像作品として表現するために何が必要かをまとめていたら寝るたびにこんな感じの悪夢を半年見続けて寝るのが嫌になったの思い出した

あいみょんの曲、嫌いとかでは全然ないんだけどなんか自分の人生にあいみょんの曲が入る引き出しが全く無いんだよな。ある程度年くってくると「既に似たような曲で引き出しが埋まっている」「10代の時に聞いてたらこの曲きっとハマっただろうな…」という曲が加齢とともに増えてきた。相似の曲で、思春期に聞いてたやつで埋まってるんだ。

【無理がありすぎるアンジャッシュ】

児島 「おれ納豆たべたいなー」

渡部 「(北大西洋条約機構食べたい？)」

ドイツの大卒者を子供の段階で絞るやつに対して日本人は非常に忌避的だけれど、大学4年でいわゆるJTCのちゃんとしたところに入れないとその後が完璧に詰む日本の仕組みにはやたら肯定的だったりして、そこのバランス感覚がなにかおかしいようには思うんですよね。

ハンドルを回さなかったらトウモロコシの種しか出てこないカスのアンパンマンポップコーン

助けてくださいと呟き路上ライブをしたあの日、警察の人が来て個人情報を書いてた。職業の所にいつも「フリーター」って書いてんだけど、「それでいいの？ミュージシャンって書かなくていいの？堂々としてたよ」って言われて大泣きしちゃった。自分が言わなきゃダメだよね。私はミュージシャンです！！

「暖かく湿った空気が流れ込み」が五七五なので下の句を考えてるけど思いつかない。

根性論は禁止です。「以後気を付けます」「死ぬ気で頑張ります」は絶対ナシ。個人の英雄的努力を永遠に期待することになり、頑張り切れなくなったら破綻するからです。頑張りはとても大事な資源で無限には供給されません。

現実社会は優秀な人が回しているのではなくて、ポンコツな人たちが愚痴愚痴言いながら、上の命令をなんとかそれっぽくこなしているだけだよ。優秀な人はそれこそ出世してこういう現場からは居なくなるからね。

個人が選ぶ海外生活で恋しくなる国産メーカーランキング1位はTOYOTAでもSONYでもUNIQLOでもありません。TOTOです。異論は認めません。

東京出身の奴に「地方出身の人が東京を特別視するのが嫌だ。東京なんてここにあるだけだから」と言われた。東京に生まれた奴しか言えないこと過ぎてムカついたけど、ムカついた時点で負けの構図に持ち込まれているのでどうしようもなかった。ずるい。僕たちは東京のそういうとこが好きで嫌いなんだ

30万のパソコン選んでるときは「たった2万プラスでメモリ倍とか実質無料じゃん！」と躊躇なくポチポチできるのに、新しく買う鼻毛カッター3700円高すぎだろ…と1時間買い物かごに入れたまま踏み切れないの不思議な人間心理だ

なるほどー！！国家が「自己責任」や「自助努力」を訴えて社会保障を縮小するほど、経済的・社会的に困窮した人は何らかのコミュニティにすがる＝カルト宗教が商売をしやすくなる……ってわけね。騙されてお札を買わされて破産しようが家族が崩壊しようが「自己責任」だ。なるほど、勉強になります。「誰かが誰かに操られていた」という陰謀論的に解釈するよりは、「利害の一致する人たちがお互いの利益を最大化しようとした結果、こういう均衡点に落ち着いた」という経済っぽい(？)解釈のほうが、より現実に即しているような気がします。

昔の人類進化観は、倫理もへったくれもない初期人類が脳の発達により知恵と理性を獲得して、感情をコントロールして倫理を形成したというモノだったのだが、今は倫理は元々人類が備えていた共同体生活を基盤として、脳の発達はそれに合わせていったに過ぎないと考えられている。つまり、感情や生活の仕方を知恵と理性が覆い尽くし、修正したのではなく、感情から育まれた行動様式が倫理であり、知恵と理性はそのような行動様式や倫理を鋳型としているということなのだ。

一般的日本人が中世ファンタジーに転移して身分を説明することもあると思いますが、きちんと「選挙権がある」「権利が国に保障されている」と説明ください。貴族だと理解して貰えます。所属している国については「皇帝がおり兵力25万」というと良いでしょう。

プログラマに限らず、殆どの現代人は、過去に転生したら、生活力がないので、無双どころか生きていけるかもおぼつかないですね。コンビニとスマホが前提で、地図も情報も全部ネット頼みで、五感で情報を集めたり、自分で考えたり、決断したりする能力は、かなり落ちているでしょう。

あんまり苦労をしたことがない人は苦労を「イベント」として捉える傾向があるけど、実際に「苦労」いうのは「状態」「状況」なのであって基本的にずっと苦痛という状態が続くので、体験せずに済むならそれに越したことはない。

授業中チンコいじってたら没収されたことある

幼稚園時代相当なコミュ障だった私に担任の先生が折り紙手裏剣の作り方を教え完成品を見た園児たちが羨ましがると「作り方は佐藤君が知ってます」と先生が言うと私の前に折り紙持った園児たちが列をなして教わりに来た。こんなオッサンになってもあの時の先生の優しさと心配りは忘れないものである

貧すれば鈍するって本当で、何を見てもイライラするし何を言われても癪に障るし、自分以外の人皆●ね隕石でもテポドンでも何でもいいからあいつらの頭に落ちろって気持ちはわかるんですよ。でもその先には暗闇しかないから憂さ晴らし程度に吠えて程々にしとけって言うのが精一杯ですね。

なあんにも考えなくても普通に働いて飯を食って生きていける世の中が良いに決まってるんだけど、それをズルいだの怠惰だのうんこ製造機だのと言い出した意識高い連中のせいでどんどん生きづらくなってるってのはあるよ。自分一人で上座部やってるぶんには別に構わないけどさ。

ADHDは興味の移り変わりが早いと言うが、どのくらい早いかというと、「海行きたい！」と口に出す場合「海行きた」の時点ですでにちょっと冷めている。

SNSを見ると他人が眩しく見えるが、人はSNSには見せたい自分しか載せないから当たり前だ。「今日のランチ🥗」とサラダの写真を載せている人も、写真を撮った後、マックとか食べてる。

政治って、ある意味、人の命を数字で見なきゃならない面があるんだよな。それは情緒的には絶対に許せない事だし、それを絶対に許せないという感覚も大事なんだけど、その上で、命を数字で見るという冷徹な視点と、厳しい現実認識に基づいた決断をする事が、政治には求められる。楽な仕事ではない。まぁ、それを理解した上で尚、「人の命を数字でしか見ないなんて許されない」という批判は出てしかるべきだし、私自身もそこにあるものが「数字でしか見ていない」としか思えない時には批判するだろう。その批判が無いと、本当に数字「だけ」で人の命を見るようになってしまうだろうから。

生まれつき核属性の最強の魔法使い

一度出した尿が尿道から戻っていく「得禁」

電車の広告に「固定概念をぶっ壊せ」と書いてあった。一般に「固定観念」が正しいので、既に一つぶっ壊している

話しかけられたら臭くなって身を守るオタク

「食べてるのに太らない」って言ってる人と宅飲みしてる時、食べかけのポテチ袋の口を止めて脇にやったのを見た時に抱いた感情に名をつけるなら「納得感」や「敗北感」よりも「ルサンチマン」が近かったと思う。

環境保護とかに意識の高い人は、"その時"は声が大きくても"その後"を顧ることはまずない。現地の人の生活にどう影響するかを考えることもない。

リングフィットは優しいな。数億年ぶりに起動しても「しばらく日が空いてしまいましたね」と具体的な日数は告げずに流してくれる。それに比べてどうぶつの森のケダモノどもはどうだ。583日ぶりだねとか言われたらちょっと傷つくだろ。

「図書館」「サイゼリヤ」「三角関数」「334」など特定の単語が出てくると過剰に反応し、高等学校でほぼ全員が学ぶ中島敦の『山月記』やWikipediaの中でもおたくしか読まない記事の『三毛別羆事件』や『日本住血吸虫症』を「教養」だと称揚する謎のソーシャルメディアは即刻閉鎖させるべき

この前「フロイトが好き」って言ってた院生にみんなで「やめときなよ大変だよ」「ハマるとやばいって」「もっと良い人いるよ」って止めてたのジワる。彼氏か？

うなぎ←乱獲で減りすぎている

ヒト←増えすぎている

ソリューション：鰻の味がする人間を開発する

「（前の会社）とは違って」という歌詞が出てくる社歌

※（前の会社）の部分に各々が前に勤めていた会社の実名を入れて歌う

「知識と教養があればカルトへの入信を防げるならカルトが大学での勧誘に力を入れるわけないだろ」というの全くその通りで、むしろ「知識と教養」があるからこそ現実感覚から遊離した思想体系を信奉しやすくなっちゃうんですよね。カルトへの入信からひとを遠ざける資質、「なんかこいつらキモい」とか「陰キャばっかでダルい」みたいな「健全な差別意識」とでも言うべきものだと思う。

「自殺しない約束はできない。でも、次の外来には必ず来るという約束ならできる。その約束を積み重ねていきたい」昔、こんなふうに言う患者さんがいて感銘を受けた。「死なない約束」より前向きだし、いつまでも続く「死なない約束」より期限がハッキリしていて良い。昔の有名なマラソンの選手が言ってたの。まず次の電柱まで走ろう、レース中苦しいとき、自分にそう言い聞かせながら走っていたそうです

田舎あるあるで「サイゼリアがない」とか「松屋がない」みたいなのよく聞くけど、東京を歩いていたら個人経営店の多さにビックリする。八百屋とか肉屋、純喫茶などが地場で生き生きとしている。思うに市場規模の問題で、東京は需要量が無限大なのでスーパーとかの大型店がボリューム層をガッツリ持っていっても、個人商店がニッチ層を取り込めるだけの需要が余ってる。正直、東京の個人商店が田舎と比べて格段に優れてるとは思えない。別に普通。でも需要量が半端ないから残れる。よく地方創生や商店街活性化とかで、東京の人に、『地方の独自性が無いとダメだ』『独自性が有れば人は集まるよ』『ニッチ市場を取り込まないと』みたいな事を言われることが有るが、『そうっすね！東京並みの人口が居れば来ると思うっす！』としか思わないな。

はじめてのおつかい観てるけど、昔のおつかい映像流れて、「あれから21年…」ってカットイン入って「お、この女の子の大人の姿みれるんか」ってなったら「不慮の事故で亡くなりました。今年で3回忌です」って展開になって、感情ぐちゃぐちゃにされた。なんというか、「人はいつ死ぬかわからないから精一杯生きなければいけない」っていうメッセージはしっかりと伝わるので、番組の意図したメッセージはしっかりと伝わってきたと思います。一方で「はじめてのおつかい」をそんな激重メッセージを受け取る気分で観てねえよ！！って思ってます。

明日車校の卒検なのですが、とても参考になりました。上空視点と主観視点を上手く使い分けようと思います

裁判で伝統宗教含め宗教的な主張をしても多分ガンギマリ野郎か嘘つきとして処理されるんだと思うけど、それと信教の自由がどう整合性とってるのだろうという素朴な疑問がある。例えば仏教か何かの超常的ストーリー(そういうのがあるのか知りませんが)を信じるなら完全に無罪だが科学的根拠によれば有罪としか言いようのない場合に、マジでそのストーリーを信じている真の仏教徒にとっては「科学的根拠とかいうわけのわからん不当な理由で裁かれた」ということにならないの？

美容師さんに「誰かに喜んでもらえる仕事っていいな。うらやましい」と言ったら「でも最近はなんかよくわからなくなってきましたよ。僕なんかもう、ただのツーブロックマッシュ製造機なんで…」と言っていた…

「メキメキと頭角を現している」の「メキメキ」の部分、絶対に頭蓋骨がどうにかなってる音だからめちゃくちゃ嫌だな

赤ちゃん「お……お……」

母親「あなた見て！この子が喋るわ！」

赤ちゃん「女は管理職にはなれない」

母親「あー」

3年くらい前の自分のツイートは「おっ分かるわ」てなるけど、5年前くらい遡ると「ウッ！ヘキは同じだけど、ノリはちょっとあわないかも」てなるから、やっぱり細胞全部入れ替わった気がするな。テセウスの私

海賊版サイトとか動画無断転載についても「こういう手順でやれば儲かる」というノウハウを情報商材として売ってる連中がいるんすよね。上層は特定リスクに怯えずに儲けられる仕組みになってる。アウトロー集団の中でも苛烈な搾取構造がある

アラブ諸国で暮らした経験があり今は日本で働く友人が「有り得ない人間性の人達が多く生存に最もバイタリティを要するのは案外日本だった」とか言ってて不覚にも笑ってしまった。その友人曰く、日本の組織のみで働いてきた純ドメスティックな経歴の人とそうでない人では前者の方がヤバい人の割合が高いとか（あくまでn=1の主観だが）。外資系で外国人に囲まれ外国人の下で働く、海外で働くなどある種のマイノリティ性を体験するのが肝要なんだろうな。日本社会、潤滑油がなく歯車が摩耗するような状態というか、全体的に余裕がなくギスギスしているんだよな。疲れた社会人が一触即発レベルでピリピリした東京の満員電車とか頭おかしい。

「7億円当たっても仕事を辞めるな」というのは、「金があっても生き甲斐が必要」ということではなく、「仕事を辞めて可処分時間が増えると金遣いはどんどん悪くなるので、7億くらいは一瞬で溶ける」ということだと聞いた

働いて自分で金を稼ぐというのは金を受ける器を大きくすることで、それが足りてないと、器に収まらない分は全て何らかの形でこぼれてしまう、という理解をしています。

発達障害で良かったことは無いけど、友達と映画館や博物館に行った時に手帳で友達の分も割引になって「すごく安くなったね☺️」って喜ばれた時はちょっと誇らしい気持ちになる。何もしてないけど。

女から「一人で持てない物あるから来て」って引っ越しの手伝い呼ばれて何かと思って行ったら、敗戦後のGHQに統治によって失われた"日本国民の尊厳"だった事ある。「二人でなら取り戻せる」って日の丸を前に朝まで泣きながら抱き合った。

アーニャアイコンを丁寧に剥がすと、中から化石化した千反田えるが現れる

人間はとにかく勝ち馬に乗りたがるし勝ち馬に乗るためなら相当に我慢をする人が多いので、人を率いようと思ったら自分が「勝ち馬である」というふうに見せ続ける必要があるし、今は人がついてきてくれている人でも落ち目だと見られたら人はばーっと離れていく。

勉強で低い方に合わせなきゃいけないことに文句を言う体育で低い方に合わせてもらえなかった人

子供産んだら女の子なら「新しいフォルダ」男の子なら「名称未設定」って名前つけたい

全然やる気のない若い男だけが集まった会社で働きたいけど、そんな会社は潰れるからないんだよな

近所の飲屋街にあるマンションの裏口周辺、以前はタバコ吸ったり話し込んでる人がいたんだけど、「地面陥没の恐れあり」と貼紙されてからほぼ誰も寄りつかなくなった

2週間くらい前にガチガチに緊張していたモスバーガーの新人バイトの男の子が、今日久々に見かけたらクソほどダルそうに接客する店員に育っていた。なんかちょっと悲しくなった。

新入社員が工場実習に来たのですが、僕が3年目くらいまでは謎に親近感が湧いてたのに4年目になってからは(あ、今年もそんな季節か。ｵﾂｶﾚｯｽ)って感じで急に"こっち側"に来てしまった感じがして辛い。

飲み会の時、急に第五文型になる奴いたら怖いな。

火葬　火で死体を解体する、鳥葬　鳥で死体を解体する。したがって、国葬　国で死体を解体する

snowman　雪だるま、fireman　火だるま

犬を飼っている人　かいぬし、猫を飼っている人　かねこし

京都は13世紀にはすでに滅んでおり、いま京都と思われているのは齢700のオオサンショウウオが見ているでっかい夢らしい

ライオンの頭ぐらいデカいヒマワリが１本4000円で売ってたので((えええええええ？？！？！？))ってビビりながら迷わず1本買ったら花屋のお姉さんに「マジですか？！？！これ朝からスタッフのみんなで誰が買うんだよって言い合ってたんですよ！？！！！！」って正直すぎる接客されて追加でもう2本買った

俺の書類ミス一覧

・6600ccワゴンR

・走行距離220万キロのカローラフィールダー

・2500人乗り 5ccのマークX

水瀬いのり、何故かトレンドに「瀬いのり」からしか載らないためTwitterに火瀬いのり、土瀬いのり、風瀬いのり、光瀬いのり、闇瀬いのりなどの各種属性が存在すると認識されてるフシある

以前、営業車300台に会社のロゴを貼る仕事をしたことがあって。走りながら社名を広告してもらうのが主目的ではない。結果、燃料費が3割減少。急加速急発信が減って安全運転になる、私的利用が減少。注意喚起だけでは人の行動はなかなか変えられないことを実体験で腹落ちした瞬間。

人を変えるという事は本当に困難で、人を変える事のできるものは「麻薬と宗教しかない」という事を昔、村上龍が言ってて、逆にこの二つがいかに強力なものかという事なので、頭の中に今もずっとこの言葉が残ってる。

若手の時にめっちゃ輝いていた人が中年以降で完全に窓際化しているのを見ると、天津飯とかを思い出す。

どうして我が子は図工前日の夜になって急に必要なものがあると言ってくるのか…。今日も「かあちゃん、明日の授業でメガネザルの頭骨が6個必要なんだけどー」と次男。頭蓋骨なんて、近くにはそうそう売ってないよー？😔💦慌てて夜22時に車を走らせる私。40分あれば仕留めれられるかしら？

おまえらは「尊敬されるひとになりたい」んじゃなくて、「怒られたくない」だけなんよ。

高度経済成長期の日本企業のサラリーマンの述懐を読むと、まさに「仕事が楽しくて仕方なかった」という感じのエピソード満載ですよね。エンジニアは「世界初」を本気で目指し、営業は世界の僻地まで駆けずり回って事業開発する。こんなに楽しい「遊び」はないなあと、みんな思ってたんだろうなと。まさにそういう「遊び」の感覚が日本企業の躍進を支えてたんだろうなと。一方で「家のことは全て妻に任せて仕事ばかりしていた。妻に感謝している」という「私の履歴書」定番の締めのように、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識がそれを支えていたのも事実。私自身がいま仕事と育児を両立させることに悪戦苦闘しながら思うのは、あるべき働き方が一般化される時代は終わったんだなということ。自分が置かれた状況や、こうしていきたいという願望を元に、「自分自身」が最適だと思う働き方を常に模索し続けていく必要がある。これは口で言うのは簡単だけど、本当に難易度が高い。他人の目を意識しない人はいないし、嫉妬心だってある。自分だけこうだと思ってても社会の文脈に合わせなければ、特に仕事はうまくいかないし。私自身も明確な解はないので、走りながら考えてる感じです。

デートのとき彼女には王道側を歩かせて自分は覇道を往く彼氏

「私達は寛大過ぎる」って言ってる人が寛大だった所も、「わきまえない」って言ってる人がわきまえてた所も俺は見たことがない

歴史上カフェがなんでそんなに重要なのか全然ピンとこなかったんだけれども、「新聞読んで新しい情報が手に入る」「読んだ話をする相手がいる」って仕組みがネットのない時代に存在していると考えたら、確かにオレも入り浸ると思った。ってかTwitterじゃん。

「夏休みの宿題どうしてた？最初にやっちまう賢者？コツコツ計画的にやる聖者？それとも最後にまとめてやっちまう勇者？」「そもそもやんない」「は？」「だってやんなくても夏休み明けの数日怒られるだけじゃん。その後は諦められる」「勇者を超えてもはや蛮族だな……」

清潔感に関しては「他者を差別したいが差別の責任は取りたくないので、相手が後天的努力を怠ってる事にして“差別させられてる”事にしたい」から生み出された概念なので、厳密な定義が出来なくて当たり前だし、厳密に定義されたら又別の概念が誕生し、非モテはそれが足りない事にされるだけ

物腰柔らかく丁寧な言葉づかいをする人がプロジェクト内でメンバーからリーダーに昇格したんだが、その日から一切敬語を使わない横柄マンに進化していて社会というものを見た気がしている

宇宙ヒヤリハットというかSFヒヤリハット、最近読んだ某作品の「反物質をエネルギー源として使えるようになったとして、必要量を取り違えての大事故が起きうる。火薬1gと1tを取り違える恐れはないが、反物質1ナノグラムと1ミリグラムは人間の感覚で区別できないから」ってのが面白かった

「動くが汚いソースコードは是か」みたいな話をたまによく見るけど、「動く」と「動かない」の間には「完全に自律している」「メンテが面倒だがクライアントの要求は満たせる」「たまに動作がおかしいが運用回避は可能」みたいに無限のグラデーションがあって、「動く」の定義はまったく自明ではない。

「大変です！ 発注ミスで車体左側に貼る方がなくて、右側に貼る方しかありません！」「なんだと！ このままでは社名が本当に『ターャジス』になってしまう…！」

会社でよく上司に、事実と想定(予想)を分けて話せと言われるので、古英語のような直説法と接続法があるとサラリーマン的にも便利だなと思いました。

目に鱗が入った

後輩が「3日やったけど直せませんでした…」って持ってきたプログラムを「ほい」って15分で直したら、「自信なくしたので辞めます」ってガチで辞めたてしまったことがあるから、同様に受け取ってもしばらく放置することにしている。世の中って難しい。

D.I.Yが安上がりである事は無いけどD.I.Yをすると、この世のあらゆるサービスが「え？！あんな面倒な事をたったの○○円でやってくれるの？！」って思うようになるから、ある意味D.I.Yは安上がりであると思う。車に限らず。ジャガイモの皮むいて、茹でて、つぶして、玉ねぎ切って、炒めて、混ぜて、こねて、粉つけて、揚げて、さらにそれら全部の洗い物までしなきゃいけないコロッケが数十円で買えていいの！？

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやっても部下は転職

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやっても、部下は転職

やっている、姿を感謝で見守って、信頼しても、部下は転職

ほとんどの人が大卒という証がほしいのであって正確で有用な知識が欲しいんじゃないんだよね

たらこパスタ、平均点が高いぶん標準偏差は小さいな。

先生がsixと言うたびに振り返るが別れの時には振り返らないガキ

「人間は学生時代に手に入らなかったモノに執着する」というのは間違いで、正確には「人間は10代中盤に触れたモノを中心に感性が固まる」だけなんだよな。だから新世紀エヴァに嵌ってた少年は令和中年になってもエヴァを語ってるし、ロックを聞いてた若者は老人になってもフジロックに行くという

唐揚げ食べてる友達にレモンかけたら殴られた

ドクターフィッシュに美味しい唐揚げとか食べさせたいな

自衛隊やめて民間企業に行った際に「日本軍は間違っていたし、アメリカに負けるよね」と上司に飲み会で言われたことがあります。でもその人は旧日本軍と同じように精神主義・事大主義・上司への忖度をやっていて「日本軍と一緒だ」と思ったことがあります。歴史は学ばないと繰り返す...。

長年趣味にしてる「クソリプ眺め」も先鋭化されてきて「この勢いと決めつけ論調。多分bioに病名を書いてる」と確信して、アカウント覗いた際の打率が5割超えてきた。

機械学習、直接的に脳のシミュレーションしてるわけじゃないんだけど参考にして色々考えさせられることが多くて、AIは画像の欠落部分を補って解像度を爆上げできるが、自閉スペクトラム症はここが障害されてるんだよな。定型発達は「空気が読める」のではなく勝手に欠落部分が補われて見えている。何が起きるか？発達障害は欠落部分がはっきり見えるので「感覚過敏で言葉をすべて聞き取れないせいで会話ができない」と思い込む。そうではなく、普通は欠落部分が見えていないのだ。低知能の定型発達では理解できない部分がどんどん類推で補われるので、空返事を連発するし記憶はガツガツ改竄される。これは全く定説ではないが、こういう方向で仮説を考えると辻褄が合う物事がかなり多い。機械学習では、わざと画像の解像度を下げてから超解像を行うことでノイズを消したり全体の構図をはっきりさせる手法がある。おそらく定型発達はこれを行っているから、記憶が低ビットで管理されていて、似た場面が容易に想起できるから「空気が読める」。自閉症は写真のような絵を描く

わりとどんなことでもそうなんですけどね、「立ち食いそば屋は男性比率が多くて入りにくい」なんてことはね、社会や周りの認識を変えるんじゃなくて、自分の認識を変えた方が良いですよ。早いし。自分で勝手に肩身が狭いと思い込んで周りの方を変えようなんて傲慢だと思いませんか。

私が以前に勤めていた会社で最速でマネージャーになった先輩がいました。その人に「人生変わりました？」と聞いたら「給料は1.2倍アップ、労働時間は2倍アップ、ストレス10倍アップだね...」と答えてくれました。管理職が「呪いの装備」みたいになっているうちは出世意欲がなくなるよねって話です。

20代の年収中央値300万ちょっとの令和の時代に他人に見られても恥ずかしくない結婚式開くのに最低でも１日で500万〜600万円払わせるブライダル業界えぐい。

麻酔で眠らされてる間に機械で強制的に筋トレさせるような仕組みって無理なのかな。

左の歯が治療中なので、右の歯だけで鼻くそを食べている。

四季を大事にする日本人なので、うがい薬に氷を入れて夏を楽しむ。

「霊感商法は悪質だし社会としてなんらかの対応をする必要がある」までは理解して憤る人が多いのに、「規制するのは難しい」という点になかなか理解が進まないのは、「自ら進んで（喜んで）たくさんお金を払う」という心理は異常でもなく、よくある話として実感する人がわりと少数派だからな気がする。

低レベルの仕事なら言われたことやってるだけで十分なわけ。そこにエリートみたいな「言われていないことまでやって最大限のパフォーマンスを出す」みたいな謎課題出してくるからマジで良くない。底辺の仕事ならマニュアル通りにやれば全員に不幸はないんだよ

こういうの、真面目な性質によるものというより、「皆がやってないなら自分だけ過剰サービスすれば優位になる」という潜在的抜け駆け意識が強くて、それを抑え込むのに同調圧力で無理やり均してるだけなんだと思う。

こういう「その格好暑くないですか？」「その量多くないですか？」って言ってくる人苦手、自分で勝手にしろ

夏祭りが本当に楽しいのは、午後6時を知らせるチャイムが鳴って、ひぐらしが鳴き始めて、友達の家に集合して会場まで歩いて屋台でたこ焼きを買って食べるまでであって、いざ花火が始まると「今年の夏も終わったな…」という寂しさのほうが勝ってしまう

現代兵器って、魔法より魔法っぽいからな。「３０分で大陸を跨いで攻撃できて、命中精度が１００ｍの兵器がある。」「その兵器には本棚くらいの矢じりが乗っており、それが炸裂すると大都市が消える。」

かつて「みんなが意見表明できる世の中」を良きものとして語っていたけど今その世の中に耐えられていない人。

その人の社会的な正しさが試されたり証明されたりする場所ってtwitterじゃあ無い気がするんだよ。

うちの母は仕事ができずにクビになり父と結婚。専業主婦になったが家事も苦手で朝ご飯は『レタスをちぎったやつ』だった。その上情緒も不安定。しかしそんなこと関係なく両親は死ぬまで仲良しで、葬儀で母は父に抱きついて大泣きしてた。だから愛って何ができるとかできないとかじゃないなと思ってる。

カルトは「いい人の顔をしてやってくる」というより、個別に見ていけばおそらく「いい人」なのだろうと思います。善意がカルト化していく、と言った方がいいかもしれません。今はカルトではない様々なものも、少しのことで「カルト」になってしまう可能性はあります。ぐるにも、信者にも、非信者にも。

「動物に爆弾を抱かせて攻撃する」たぐいの話を聞くと自分は「人間に爆弾抱かせて攻撃するよりはマシだろう」と思うのだが、最近だと「人間にやらせるより動物にやらせるほうがひどい」と感じる人も多いのではないかと思う。つい先日ラジオ番組で出演者が「ホラー映画は好きだし人間が死んだり酷い状況に陥る描写はなんともないが、動物、特に犬と猫が酷い扱いを受けたり死んだりする描写は許せない！」って言ってました。

マッマ｢子どもが真似したらどうするの！｣

世間｢てめぇが叱るんだよ｣

体育館の床に引いてあるカラフルな線を全部使ったことがある人

人と狼は敵同士だったが、変わり者の人と変わり者の狼がどこかで遊んだり、一緒に寝たりしたんだろうね。いつしか変わり者だけが生き残って犬になり、狼はみんな死んでしまったんだろう……。

「薬剤師なんて、薬を袋に入れるだけで誰でもできる」という言葉がTLに流れてきたが、『○○なんて、あんな仕事、△△するだけで、誰でもできる』という構文を使う人間を色々見てきたが、その中で、敬意を抱ける間は、ただ一人としていなかった。人間の底が見える言葉だと思う。

2月19日放送、東大王の難読漢字「海の生き物」で鷓鴣という問題。答えはシャコだけどそれ甲殻類のシャコじゃなく鳥のシャコ。甲殻類は「蝦蛄」漢字の旁が両方「鳥」なのに。ってもしや鳥にシャコという種類がいることを知らなかったのか？ついでに二枚貝のシャコ「硨磲」もいるので間違えないでね。最近のクイズ番組は教科書に載っているようなモノをただ出すだけの知識量を競う問題が多くなっている。でも基礎知識のない出題者はときどきトンデモな問題を出す。あれは出題者が楽なんだよね。頭ひねらずに済むので専門知識いらないので。経費節減でクイズ作家も雇っていないのかも知れない。クイズ番組はそこそこ視聴率が取れるらしいけど、昔の「マジカル頭脳パワー」みたいに、答えられなかった人も回答を聞いた時に「あ、なるほど」と膝を打つような、小学生も大人も一緒に楽しめる番組は、問題作る方が本当に大変。テレビ制作者が楽をした結果が教科書クイズなんじゃないかと。

『トリビアの泉』冒頭で毎回語られたアシモフの言葉「人間は無用な知識が増えることで快感を感じることができる唯一の動物である」という言葉は、アシモフ研究家が全著作を読み直しても見つけることが出来ない。ガセを調べるのはそれぐらい大変な作業が必要になる。

よさこいソーラン踊りも全国各地の本来の祭りの姿を破壊してやばい侵略的陽キャの単なる創作ダンスパーティを祭りの美名の元にこれ以上広げるな

「デザインは一晩寝かした方が良い。それより大事な事はデザイナーがちゃんと寝た方が良い。」

普段優秀な学生さんを見ているせいか、「新卒が使えない」「基礎学力がない」みたいな発言を見ると、それ、優秀な学生さんに選ばれていないだけでは・・・と思ってしまう。実感として学生の基礎学力が低下しているとは思いませんが、世の中に求められるスキルは年々変化しています。「昔の学生はできたのに今の学生はできない」のではなく、「昔の学生と今の学生が取得しようとするスキルセットが異なってきている」のが正確だと思います。

自分が大学時代に暇だったからって卒論や修論に取り組んでる学生達に企業が謎の課題や謎の研修を押し付けるのやめて貰えませんか。

【デスゲームの自己紹介フェーズあるある】

「私が一番の年長者、ということになるのかな」

最近電子ドラムを買って毎日のようにドラムマニアやってるんだけど、「次の日」明らかに上達してるのが感じられる事が多いんだよね。ウィザードリィ以来の伝統「宿屋でレベルアップ」システムはガチだったんだなと実感中。

人は夏が好きなのではなく、夏らしいことが好きなのだ

「唯一褒められるところはフリーズなどの致命的なバグがないところですね」勉強も運動もなにもできないけどやたら健康なやつって感じ

出かけたはいいものの何か忘れ物をしたような気がしているが何を忘れたのか思い出せない時の音楽

ああいう叩いて回るクラスタって、「拡散」と言いつつ、実はそこまで広がっていなくて、「悪口を言いたい、揶揄したい」みたいな人、そういう嗜好は限定的。僕は春先に炎上というのがあったのだけど、神崎さんに教えてもらうまで知らなかった。というのは、ほぼすべて以前からブロックしている人の間で完結していて新しい人はRTしていなかったから。その後Toggetterにまとめられたとき何十人か増えて新規ブロックしたけど、そのくらいで、他のまとめサイトでは一切人が増えなかった。「悪口やら揶揄したいことが目的で炎上ネタを探して回っているクラスタ」というのは、実は拡散力はなく、内輪の回覧板みたくなっている。

「叩いてもよさそうなツイートを見つけて引用リプライで思いきり叩いて、ブロックされたら別の人を探してまた叩く」というようなSNSの使い方、なんとなく焼畑農業のようだなと思った。

知性を身に付けようとすると、傲慢と自己陶酔もセットで身に付いてしまう。

修学旅行の夜、クラスの男子みんなで恋バナして「お前誰が好きなん？」って質問し合ってたのに、俺だけ「お前のこと誰が好きなん？」って質問された。

うなぎ、そんなに大きくないスーパーでも、100匹くらい並んでるのに、あまり売れてる様子もなく、3割引のシールがペタペタ貼られてて、「こんな事を絶滅危惧種にして許されるのだろうか…」と考えてしまった

東大を受験しようと考えている高校3年生です。この時期にもなって赤本にほとんど手を付けていないのですが、おすすめの樹海はありますか？

もう2年以上無職やってるんですけど最近すっかり『欲求』がありません。着るものはしまむらとGUでいいし、食べるものは納豆と豆腐でいいし、住む場所は実家でいいし…しかし「労働したくない」「サラリーマンに戻りたくない」という欲求だけはエベレスト並みにデカいです。唯一衰えない欲求。

YouTuberやTikTokerが夢のある仕事・産業みたいに語られてるのはナゾ。まともに収益出てるYouTubeチャンネルはほとんどなく、奇跡が起きた超少数が年収数億円の小金持ち個人になるくらい。マジで儲けてるのは結局Googleだけ。日本人がアメリカ企業に激辛の歩合制で働かせられてるだけじゃないかな

最強の被告人「裁判官、前へ」

ツイッターでは、偉くなれなかった人間の正論ばかり流れてくるので、あまり真に受けないほうがいいよ

手コキカラオケのカラオケ無しを1人でやってます

僕が所属している学科(非情報系)、総じて皆真面目で素直なので、本来for分で入力されたデータの数だけ繰り返し処理するコードを書くところを、if文でデータの数が1個の場合から100個の場合まで全部書いて居られる方が居て「無心にΣ(k=1~100)(k)回同じ処理を書く程の集中力だけ欲しい」となっている。

おれの大切にしている本が詰まった本棚も、万が一おれが発狂して絶叫しながら本棚に放尿したらすべてびしょびしょになってしまう……と思ったら怖くなってきた。が、成人の一回の放尿量は数百mlなので、発狂して本棚に放尿しても大した量の本をビショビショにできない。

「大変申し上げにくいんですが」とかいう挟むだけで大変申し上げやすくなるフレーズほんと好き

高校で文芸部にいた頃インタビューで「なぜ詩が好きか」ときかれ「辞書から離れたところで好きに日本語を使っていいから」と答え相手を悩ませたことがあります。

女は「きれいね」と言われること以外は、みんな悪口だと解釈する特権を持っている。なぜなら男が「あいつは頭がいい」と言われるのはそれだけのことだが、女が「あの人は頭がいい」と言われるのは、概してその前に「美人ではないけれど」という言葉が略されていると思って間違いないからです。

労働から走って逃げたけど捕まった

大学の工学部で軽く勉強しているものですが、「既にある学問にかなり精通した（つまり概観をある程度理解している）人が改めてその学問を一から学び直す時に良書であるような基礎的内容の本」が「初学者向け・まずはこの一冊」みたいな選書をされるのは数学や物理学でも（多分どこの学問でも）あるあるです。よく勉強し理解している先生ほど、初学者の無知をつい忘れてしまう

けっこう多くの人がそうだと思うんだけど、お金持ちになりたいっていうのはさ、金に困らなくなりたいっていうだけのことなんだよね。毎日毎月お金と生活を天秤にかけて考えるのをやめたいんだよ。

志摩スペイン村は今まで必死で、クオリティを上げればお客さんが来ると信じて、スタッフもキャストも、現場の人たちは頑張ってきたのだろう。清潔でサービスの行き届いた、見ごたえのある楽しいアトラクションの数々を、日々努力を重ねてきたのだろう。だが、選択肢に入っていなければ、それらは何の意味もない。安くて美味いチュロスも、本場顔負けのスペイン料理も、夏の青空に映えるこだわった異国情調あふれる街並みも、夜の空に打ち上がる花火も、「存在している」ことすら認識されない。現場の作り手たちの努力では、どうしようもないところで、全て終わっている。開けられなければ、どんな宝物が入っていようが、空っぽの箱と同じなのだ。

クオリア問題とオノマトペの関係といえば、子供の頃めちゃくちゃお腹痛くて病院に行った時に「ズキズキ痛みますか？キリキリ痛みますか？」と訊かれて、「人がこんなに苦しんでいるのに何を訳の分からないことを言っているんだこいつは」とめちゃくちゃムカついた記憶があります（未だに自分のキリキリとズキズキの感覚がみんなと合っているのかいまいち分からない）

会社の先輩が｢わかりやすく作って｣のことを｢わからせて｣と言ってくるのでメスガキの部下になったと思いこんで仕事をしている

死刑囚をゼロにします！と言って法務大臣になったら、片っ端から刑を執行して「死刑囚をゼロにすると言ったはずだが…？」と首を傾げるやつやってみたい

「5G電波やめてください」と言われたので「これ6Gなので」と返して事なきを得たことがあります。

シリアから来た人と話していたら「フランスは、博士号を取っても仕事が無かったりするんだ。こんなんだから、近年のフランスが躍進的に発展することがないんだ。アメリカとか中国とかは博士号取った人を優遇しているから発展がすごいだろ！」...日本のこと言っているのかと思った。

平日のスイッチを入れたまま週末を過ごすと「ダークなお父さん」になりかねないと、気をつけながら過ごしています。

死ぬ直前にポップコーンの種を大量に飲み込んでおくと、火葬の時どうなるんだろう

口では優生思想に反対するけど、他人に容姿や障害や育った環境で優劣を付け、自分との間に子供を産みたい相手を選んでいる明らかな差別的思考を「恋愛感情」という免罪符で正当化している一般人の皆さん、政見放送の時の立花孝志のバッキバキの目より怖い。

結婚や子育てをすっ飛ばすといきなり次の人生のステージが「死｣になるな

ぶいちゃ、怖い人は沢山いるけど俺がいちばん怖くて理解できないのは「自分の誕生日会を自分で開く人」ですね(どんな人生を送るとそのメンタリティになるのか興味あるよ)

暴力は、実際に物事を思い通り動かすための極めて有効な手段だからこそ、キッチリ取り締まらねばならないのです

ARuFaさんって、老後ある日を境にピタッとユーモアを言わなくなって、話振っても苦笑いだけして避ける人になる危うさを感じる

世界史の女性陣はチート揃いですね！的な反応をたまに頂くけど、そうじゃない女性達は記録されなかったのだ

twitter、もはや大衆に影響力のあるメディアではなく、オタクが自画自讃ツイートをグルグルと回転させているだけらしい

濡れてヨレヨレになった洗濯物からは「干されてやろう」という気概を感じない。こっちは真面目に生活やってるのに

おれは受験校がまだ明確に決まっていない中学3年の夏に 男子シンクロがテーマの『ウォーターボーイズ』の再放送を観ていたく感動し、「自分もこんな風になりたい、こんな熱い青春を送りたい」とそのモデルになった地元の男子校への進学を決め、最終的に美術部に入った

デスゲームに参加させられたヤバい人の第一声「また？」

「みんなが私のように「アップデート」されれば世界はもっと良くなるのに」という考え方は宗教のそれとよく似ているので、はた目にはある種の新しい宗教対立に見えるんですよね。

ONEPIECE全巻無料公開まじか！？俺はルフィに憧れてるから海賊版で読むけど

フォローする人数は200人くらいまでならTwitterと実生活を両立できるけど、400人くらいになるとぷよぷよみたいにタイムラインが絶えず上から降ってくるから、目を通すだけでいっぱいいっぱいになって実生活を蝕みはじめます。

料理ができるくせにしない妻よりも忌々しいのは、料理ができないくせにやる妻である。

自分も毒親持ちだったという自覚があるから言うんだけど、自分の身を守るために毒親に忖度して彼らの望むであろう言動を自分なりに実演してみせて媚びるってのは普通にやるよ。子供が親が喜ぶような発言をしたからって嬉々として報告してバズる育児垢のツイートを見るたびにそう思う。

最近Twitterで「来世に期待したい」「将来に希望が持てない」という悲鳴と、「貴方は生きてるだけで偉いんです」「辛い事からは逃げていいんです」的な言説がバズッてるのを見てると、末法思想と同時に「念仏を唱えるだけで如何な人間でも極楽に！」とする仏教が流行った理由が分かってしまう

息子5才がアイドル役、私が5万人のヲタク役で最近よく東京ドームごっこをしてるんだけど、最初は「今日はおれたち協力しあっていこうぜ！」とか独特なこと言っていた""煽り""が最近上達しすぎて、今朝は遂に「…絶対しあわせを見せるからついてこい！」と言われたので本気の「ｷﾞｬｱｱｱｱ！」が出た

昔観たテレビ番組で七十代のスナックのママが独身芸能人に「この人が結婚しないのは淋しくないから。孤独が平気だから。人は淋しさを埋めるために結婚する。」って話してたのを思い出す。万葉集の歌が「こい」を「孤悲」と当てたのに通じる。今は孤独を忘れさせるものが身の回りに溢れ過ぎてるんだ。

猫は飼ってみると一匹一匹性格があることに気づく。そうすると替えが効かないことにも気づく。最初は猫が死んだらまた別の猫を飼えばいいじゃんと思っていた。そうじゃないんだよなぁ

働きたくないが全く仕事しないと充実感がないので1日の労働時間は8秒とかがちょうど良いと思う

猫、もう死んで何年も経ったけれど、未だにコタツのようなところに脚をガバッと突っ込んだり、布団の積まれたベッドに雑になだれ込んだりできないな。無意識に、いるかも知れないからそっとしてしまう。いないのに。

放課後にみんなで美術室に集まって絵も描かずにひたすらくっちゃべってた時間、当時はただ若い時間を無駄に浪費してる感覚だったけど、いま振り返ると全部がまぼろしみたいに尊く思える

自分のことをオタクだと思ってたのに気付けばアニメを連続視聴する体力すらなくなってきて「もはやオタクですらない何か」に成り果ててしまうホラー、人生の先輩がたくさん陥ってるのでこわい。

セブンでコーヒー淹れてたら、隣のマシン使ってるおじさんにガン見されて嫌悪感丸出しでおじさんの方振り向いたら「洋服、裏返しじゃない？」と優しく指摘されて、夏。

何かとカップルが浮かれる夏にオススメの思考なんだけど『彼女いない分、毎週のデート代がまるまる浮いている。』『今こうして彼女いないお陰でお金がどんどん溜まっている。』て考えてみて。俺はこのマインドで所持金みて分かったんだけど、たぶん彼女いるわ俺

桃鉄USAやってて改めて思ったけど、アメリカはこんな広いのに日本に比べ地方ごとの食文化が少ない（桃鉄の物件の種類も少ない）。日本なんて隣の県に行けば必ずその地方の食文化があるけど、アメリカだと日本列島くらい移動しても全く同じもの食べてるとか普通にある。やはり歴史が食文化を創るんだな…

マジで「人が少ない屋外では熱中症予防のためマスクを外してもいい」って医師会がアナウンスした途端に電車の中でノーマスクのアホが滅茶苦茶増えたからな。条件節が一切理解出来ない人間確実に全体の1割はいるわ

性行為のことを「ＳＥＸ」って全角アルファベットで書く奴が怖い。「セックス」でいい。アルファベットにしても「SEX」でいい。「ＳＥＸ」は怖すぎる

はじめて風俗行った時にルール分からなくて「あ、えと、触れたらいけないとこってありますか？」て聞いたら「過去♡」て言ってた

前職でお世話になった定年退職したオジサンと飲んだんですが、話の中心は彼で「一部上場企業の部長になったんだから俺は頑張ったよな」と何度も同じ話をしてきました。きっと家族や友人の誰からも相手にされず褒めらず理解されず尊敬されず、ただわかってほしいが為に、酒に誘われたんだなと理解した。

資本主義、「みんな疎外されて搾取されて、資本主義がどれほど非人間的なシステムかを知ってるのに、それでも「便利だよね、娯楽には接しやすいよね」という苦痛の中の快楽がデカすぎるせいで、変革が起きない」というターンなのに、チンカス評論が「資本主義は疎外！」で止まってるのがっかりする

【誰の何でもいい人】

あっ！東大王の伊沢さんだ！

伊沢さ〜ん！私ファンなんです！

このドスの刃の部分に修正ペンでクジャクの絵を描いてもらってもいいですか

曲でも漫画でも、コンテンツと呼ばれるものには内部パラメータとして回数期限があって、それを超えると心に響かなくなってしまうのだと思う。あまりの美しさに一度感動した曲も、自分の中で拍を取れるぐらいになるともう回数期限オーバーなんだよな…悲しくなってしまう

おれは今スピッツにはまっているんだけど、その話をお母さんにしたとき「あんたが生まれる前の新婚旅行で、スピッツの『うめぼしたべた～い』って曲をお父さんが家族風呂でずっと流してたよ」ってエピソードを話すのね。思い出ってそういう風に、妙な細部が繰り返される形で想起するし、そういう旅行をできるのってある種の幸せなんだな、って思った。旅行に行ったときって、大目玉となるコンテンツというよりも、妙なところが気にかかるもんだよな。家族旅行だって、帰りの車の中で自分の後ろに遠ざかっていく、高速道路のいくつものオレンジの光のほうが印象に残ってる

この曲の「傷付けられたら牙をむけ 自分を失くさぬために」って歌詞が今でも自分の中に残り続けてたり。傷付けられたら自分のために怒っていい。愛想笑いでかわしたりしなくていい。と思えるようになったというか

アラフォーまでなら独りでも無問題だけど45歳超えた当たりから独身貴族生活に不穏な空気が流れ出すんだよね。20歳から45歳までと45歳から70歳までの道のりは全くの別物。人生の前半戦はピクニックなので軽装で良いが後半戦は悪天候の登山になるので老いという雨風を凌ぐための家族やお金が必要になる。

コロナ関連はどちらを取っても片方を殺すわかりやすいジレンマだったから露わになっただけで、世の中のすべての政策決定は本質的にトロッコでしょう。有権者がそれを他人のせいにするのもいつもと一緒。こと新型コロナに関しては「メメントモリの皮をかぶったトロッコ問題（社会全体の為におまえは潔く死ね）」みたいな話が溢れかえってる気がする。因果の網目は絡み合っているので、あたかも一つの決断がすべての命運を決めてしまうような「トロッコ問題」的な問題の立て方はおかしいと思っている。もちろんシンプルなモデルに還元する利点はあるにせよ…

本当にそう思ってるヤクザ「おたくのお子さん、小学生らしいですね。かわいらしい年頃ですよね。いや、あの、そういうんじゃなくて、ええ、ほんとに。はい。」

ジェンダー左翼の最大の問題点は、弱者が善/強者が悪という奴隷道徳の前提にあると思われ、ゆえに「男の方がこんなに弱者なのだ(みたいなことは誰でも言えるのでその前提は問題含みだよ)」と指摘するのは有意味だが、それを反駁の道具に使うのではなく普通に主張してしまったら同じ穴の狢でしかない

頑張って官僚になった結果、「国民にたくさんナマ中出ししてもらう方法」を考える担当になった人

東大女子はぞんぶんに「弱者性」をアピールできるのに、東大男子が「弱者性」をアピールすると「差別」扱いされるというの、本当に無自覚さと視野の狭さが全開で怖い。東大に入学できる頭脳があっても「オス強者／メス弱者」という二元論から逃れられていないのというのは、知性で取り繕えない人間の動物性が溢れていて、「多様性」の前に人類が哺乳類であるということを突きつけられる。

スポーツと風呂とトイレは分けとけよぐらいの話で済む事で延々と議論してるの、一体何なんだと思いながらいつも見ている

ツイッターには色んな事の「答え」や「最善策」っぽいことが書かれているけど、どれもその人にとっての「答え」や「最善策」なだけなので基本的には「ザコがイキんな」ぐらいの気持ちで流し見するのが吉ですが俺はザコじゃない。タイマン張れや。

日本のシティポップが米国でも注目されているが、さっき郵便局で宇多田ヒカルの「First Love」を口笛で吹いていたら、黒人の男性が、「もしかして日本人かい？」と話しかけてきた。そうだよ、と答えると、「そのメロディを聴いて思い出したのが、去年別れた日本人の婚約者だったんだ」と言われてない。

フルリモート勤務中、新卒3年目の若手社員とほとんど連絡が取れず、会議も欠席続き、全然仕事しなくてどうしたものかと思ったら、半年前から公認会計士の勉強に全振りしてたらしく、先日、無事に合格し、そのまま転職するそうで、挨拶もなしに退職して去っていきました。リモート新時代の幕開けです。

全国の鬼頭さん、ぜったい中学生ぐらいんときにその名前で男子にいじられるだろうし、なんならモノホンのキトウを見た時に自分の名前を思い出しちゃうだろうからかわいそうではある。

地方の人がよく言われる｢東京行けばいいじゃん｣ってやつ、職なし友人無しの根無し草ならまあそれやればいいんだろうけど既に生活基盤がそこに根付いてる人間にはそれ全部捨ててよく知らねー街で一からやれって言ってるから好きになれん

ハードルが低いだけの「海外で働けばいいじゃん」だからなぁ。当然、何か武器に出来る要素を持たない限りは高い家賃と物価に抗うだけで精一杯になる

理解できないもの一覧

・ポイ捨て（ダメだから）

・マルチ商法（儲かる方法を他人に教えるわけがないから）

・芽キャベツ（ふざけているだけだから）

・住民税（そんな税はないから）

力無き理想は他人の拳で簡単に叩き潰されるのでゴミでしかない。具体的にはロシアにガス止められただけで砕け散るような矮小なものは理想足り得ないのだ

コムドットにアメリカの中央銀行とコラボしてもらってドルの価値下げてほしい

国葬がディズニーの限定配信になり全然盛り上がらなくなる回。

人工言語のパラドックスじゃん（人工言語は人がつくることでなされるが、人工言語をつくるようなひとは人間として破綻しているため、人工言語は存在し得ない）

「反出生主義界隈には文学部哲学科→留年→自殺みたいな雰囲気があったんだけど」もうこの文面だけで面白いな

「一律200円」って書くとしょぼく聞こえるのに、「71億円をみんなで山分け！」って書くとめちゃくちゃ大盤振る舞いしてるように聞こえるから、楽天がよくやってるポイント山分けキャンペーンって考えた人頭いいなって思った。

tiktokやインスタしかりSNSやってる人を「承認欲求w自己顕示欲w」と思うの、さすがにもう古い。そうやって足引っ張る人がいると、将来好きになったかもしれない音楽や映像や人に出会えなくなる可能性ある。

小説とか映画とかの核戦争後の世界で、「このシェルターから出たら放射線で人間は数時間で死んでしまうぞ」みたいなのがありますが、現実には暑さで同じことが起こっていて、おれたちはもう近未来SFに生きているんだね。

内部告発者者の人たち、会社や同僚を裏切ってしまったとか、本当はこんな事したくなかったとか、そういう後悔の気持ちがあるのか、みんな悲壮感のある表情の人ばかりだったけど、大阪王将の内部告発の人は、やばい話をこれでもかこれでもかと、明るく楽しくお話してて、内部告発にも新時代が来た感ある

「容姿」「学歴」「年収」「身長」すべてを高水準でクリアしないと、恋愛対象にすらなることができない方の性別

ぶっちゃけシンデレラってご飯食べれて無かっただけからシンデレラ体重は目指すべきではないだろ

歌詞に「LINEした」とか今時すぎる言葉入ってると「将来、今で言うポケベルになるけど大丈夫？」って余計な心配してしまう

学者が論考を出す、他の学者がそれをTwitterで叩く、叩かれた学者が相手の学者の論考をTwitterで叩く、という流れ、おまえら学者なんだから論文誌とかでやれ、と思ってしまう。

理系の人達の「これだから文系は…」というツイートを見て、「今に見てろ、いつか文系学問の大切さを思い知る日が来るだろう」と、いつも思ってたのよね。今が最も文系学者が活躍出来る時なんだけど、むしろ彼らが率先しておかしな事を言ってるので、「やっぱり文系はアカンな」と思っている。

終身雇用というか「問題さえ起こさなければ、一生面倒みたるわ」というシステムが、内部告発を防いでいた部分はかなりあるので社員を切るようになった企業は、そりゃあ内部告発をされるようになるわね

マッチングアプリは上位数%の強者男性がいまだかつてない規模で女とヤりまくってるの、コミュニティ外の恋愛でどこまでも野生への回帰を感じる、原始人よりも野性的かもな

人権、言い換えるなら他人から殺されにくい法的保護があり、衣食住が（自助は必要にせよ）ある程度担保される、という、言い切ってしまえば共同幻想でお題目なんだが、これを守りませんみたいな国に住んでられるかでもあるので。

正しい甘え方やサボり方を知らないと長い人生を健康に生き抜けないんだよ。どんな人でも一人で全てをこなすことはできないし、常に全力で生きていようとすると病気になってしまう。うまくいっているように見える人は信頼を失わずにそれができる人。簡単なことではないけど僕もそれを学びたいと思うんだ

無職になったらでっけえ千歳飴を木刀入れるケースにしまって出歩いて、職質受けたときに泣きながら提出して思い切り怒られたい。

夕刻の信号待ち。視線を感じてふと足元を見ると、飼い主さんに連れられた犬が「こんばんは。私は飼い主に【かわいいね】と言われ慣れた犬です。よその人間に【かわいいね】と言われるのもやぶさかではありません」という顔をして、ゆっくり尻尾を振っていた

人間には労働の喜びがある論は最近本当にやばいと思うようになってて、若者全員介護にぶっこまれますよ。どうだお前ら労働は素晴らしいだろう言うて。

140字にするために言葉を推敲し簡潔にすると「それはこういうことでは」とはしょった行間がまんまリプに付くのがTwitter。誤読ではないし罪はないが粋ではない。「そういうことを書いてるんだけどね」といいたくもなるが、誰もが常にツッコミチャンスを狙っているSNS上では行間はもう幻想なのかも。

通勤中知らん男児が来て「みて！しんだセミ！」と死んだセミを見せてきて「すみませんおはようございますすみません」とお母さんが秒で回収していった。夏だなぁ

１ヶ月1万円生活！スタート！

1日目

駅のホームでちんちん出した罰金

-85000円

残り資金

-75000円

「本当に強い人は相手を許すことができる」「本当に頭が良いなら頭の悪い人にも分かりやすく説明できる」みたいな、強者側に過剰な負担を押しつけて自分は安穏と暮らそうとする主張、それこそ弱者による最大の復讐だよな

「独身は40〜50代くらいでおかしくなる」に関して、雑にTLを見る限り趣味が充実してる人間は「趣味があれば狂わない」と唱え、人間関係が豊かな人間は「人間関係があれば狂わない」と唱え、仕事が出来る人間は…みたいな感じだけど、答えは既に「50代自殺理由1位は健康問題」という形で出てる

入居審査のひと「ご職業が漫画家ということですが…」

BL漫画家「はい…」

審査のひと「可能であれば作品名をいくつか頂けますか？」

勃たないヤリチンホスト監禁・リーマンラブホ男子会・ドSな裏ア力男子くんなどを描いてるBL漫画家「ちょっと無理ですね」

キャンプ好きなので、夏になるとキャンプについてオススメのキャンプ場やら道具やら色々と聞かれる機会が増えるんだけど、まず初めに「夏にキャンプしない方がいい」と伝えたい……

ボーリング行って名前決めるとき「みんなお母さんの名前にしない？」って提案するとウケます

携帯とは関係ない探しものをしている人に「鳴らします？」と言うとウケます

会社の新入社員にExcelの使い方教えるときに「まずこれがマウスといって…」って言うとウケます

チー牛のイラスト見ると、チー牛を三次元の人間化したらおそらくブサイクではない(美化が基本である「イラスト」としては醜いけど「人間」だったら別に普通の顔)＆飲食店の注文時に温玉とか不要なオプションつけられるのコミュ強ですごいって思う。彼をバカにできる立場にない

職場の女子から使用済みのストローを舐める変態の話を聞いて咄嗟に「このご時世に！？！」て言ってしまったんだけど、俺コロナ前にストロー舐めまくってた人になってないか今すごい心配

｢女性は出産すると極めて甚大なダメージを負うし、そのために何ヶ月も復帰することはできません｣というのを強調すればするほど｢労働力としての安定性は高くなく、期待できないのである｣というのも強化されるわけなんですけど、それって大丈夫なのですかね？｢一年の中で4ヶ月、ないしそれ以上休む人｣ってざっくり言えば｢単位時間あたりの労働力が2/3しかない人よりも下手するとトータルの労働力は下(休まずずっと職場にいることで発生する価値はあるので)｣という話にはなってしまうわけで。

「結論ありきだ」っていう非難が、証拠が十分であるものに対してされるとき、その発言社は「仮説思考のできない凡人」っていうことです。

貧困のあまり強盗殺人を犯しても、「あっそう」で次の日にはみんな忘れてるが、「統一教会に恨みがあって首相を殺した」だと、みんな統一教会が悪いと大騒ぎする。このあたりに「注目されている人を目立った場所で殺す」というテロの戦略のいやらしさがある。

深夜

警官『はい止まってー』

ワイ「？」

警『この長いの何？危ない物入ってるでしょ？』

ワイ「ライトセーバーっす」

警『見せて！』

ワイ「ﾋﾟｼｬｳ!!!ｳﾞｩｩﾝ!ｳﾞｫｧﾝ!」

警『人…切れないよね？』

ワイ「設定的には切れますけど」

警『高い？』

ワイ「6万ぐらい....」

警『高っ！』

iPhoneで一番迷惑だったのは「明らかに購入した覚えのない、そもそも絶対に聞くはずのない音楽がApple Musicに入ってて、セキュリティ関連を全部調べ直し、PCとサービスのあらゆるパスワードを変更した。結果、Appleが勝手に全ユーザーに気の利いたジョークのつもりで曲を付与した」だった。ふざけんな。これの気持ち悪さって「俺はこれが聞きたい、これは聞きたくない」って云う自己決定のドアにつま先突っ込んでくる奴に感じる気色悪さ、薄気味悪さなんだよね。いかにもAppleらしい親切ごかしの顧客支配だろ、これ

一度だけジジイにからまれている店員を助けるというお節介をかましたことあるんだけど、ジジイは怒鳴ってて何言ってるかわからず、店員も泣いてて何言ってるかわからず、私も怒りに任せて飛び出していっただけなので自分でも何言ってるか分かんないという状況になっただけだった。

道徳を暗記科目だと思ってそう

「あんな風になっちゃいけません」の「あんな風」を担当させてもらっています

「ネットが優しくなくなった」「昔の方が好きだった」みたいなのよく聞くけど、変わったのはユーザーじゃなくて絶対にルールメーカーの方なんだよな。「みんなが怒った方がビュー稼げるっしょ」の精神で、各種サービスの運営が揉めろ揉めろと言わんばかりに優しくないデザインへ全力注いでる感じ

四方八方から誰かの怒りが届くようになって、その中には変なものや論争的なものが混ざっててさ。「誰かが怒る」「その怒りに怒る」「怒りへの怒りに怒る」みたいに、どんどん生の事実が遠くなって、何の話だったか忘れて殴り合うほど盛り上がる。非生産的でビュー集めの効率だけが良い、嫌な仕組み。それを見て運営が「ほ〜ら！インターネットはもっと繋がりやすくなったよ！あ〜！あんまり揉めないで〜！」みたいなポーズを取ってんのが邪悪だ。絶対に全部わかってやってんのに

スカートの皺の表現一つ許せない人が寛容な世の中を作ってくれるか？って疑念は拭えないのよね

この前、私の誕生日の話になった時に「その日って東大の赤門ができた日なのよ。でも東大とは何の縁もない人生だったわね笑」ってお義母さんから言われたんだけど、お前だってナポレオンと一緒の誕生日のくせに皇帝じゃないだろうが。しっかりしろ。

「田舎の公立中学は荒れてる」話、ちょいちょい話者の「温室育ちのお前らとは違うタフな俺」的な自意識がすけて見えて食傷気味

ミッキーマウスマーチ以外で「元気者（げんきもの）」って聞いたことがない。

AIが、人間がやりたくない苦役よりも、人間がやりたがるクリエイティブなことが得意っぽいのは恐怖しかないですね…。

大学院生や研究者に必要な資質はなんですか、とよく聞かれるのですが、間違いなく体力です。

わしは最初に救急搬送を要請する前♯7119で症状を確認し、緊急度が高いとされたので、えっ、そんなにヤバイのか？と、怪しみながら119した。自力で救急車に乗れたし、病院に着いて自力で歩いて診察室に入ったが、医師には「いま死にかけてますよ」といわれた。ついた綽名は歩いてきた心筋梗塞。

以前欧米のテレビか新聞の大手に載ったエッセイで「誰も仕事なんてしたくない。可能なら自宅に帰って家族とのんびりしていたい」と書かれていて、エリートもそう思うのにそれをみんなで隠しているのは歪だなと思った

「絵が描けない」と悩んでいる税理士アカウントはほとんど見ないが、「確定申告つらい」と悩んでる絵師アカウントは数多いので、たぶん絵より確定申告のほうが難しい

生活保護の問題は「働かないでお金を得ること」でもなければ「不正受給があること」でもなく「本人の社会性が消失すること」なんだけどな・・・。簡単にいうと「用事のない人間に会いに行くのはかなりのエネルギーがいる」ということ。今、必要な人間はいなく昔の馴染みにしか接点がない生活保護の人の社会的接点がなくなるのは当然のこと。「こんど時間があったら飲みに行きましょう」がほぼ実現しないのと同じ・・・飲みたくない訳ではないとしてもその為に時間を作って段取りたててとエネルギーが・・・こういうのは5年でも10年でも平気で放置される。それで疎外感と言われても・・・これは昨今流行りのFIREとやらも同じ、なんなら定年退職後の男性の問題でもある。労働はクソ面倒で時間を消費するものなんだが、それを無くすと仮に時間と金があっても生活のルーティン活動が消失する弊害が生まれる。「毎日遊んで暮らす」はメンタル的にも意外と難しいらしい。

「30過ぎても自転車乗ってるヤツ、無職か狂人だけ」と言われる田舎で、俺は今日も自転車で銀行へ行く。俺は無職だから。

「エピソードがウソであっても、それにこめられたメッセージ性がよければ許される」みたいな風潮、飛行機で白人高齢女性が隣の黒人に差別発言したら黒人がファーストクラスに案内された話がらみでFBでよく見られたんですけど、今やTwitterでもそういう世界になりつつあるんですか？

前から指摘してるように「AIが人間を超える」のではなく、人間は均一ではないから「まずAIが賢くない人々を超える」のであって、ラノベが主流小説に繰り上がった時代には、AI生成作品が市場の下層を席巻してその愛好者はアホ呼ばわりされれる

「AIに仕事を奪われる」系の話でクリエイターが一番危惧すべきシナリオは「AIが超面白い小説を書いて人間の作家が売れなくなる」とかじゃなくて、「AIが面白くもない小説を万単位、億単位で量産しはじめてストアの検索結果を埋め尽くし小説市場そのものが破壊される」とかじゃねえかと思う

「貴方にとって人生とは何ですか？」とか「貴方にとって映画とは何ですか？」っていう超抽象的な質問、法律で禁止にして欲しい。

最近、フルで出社して働いても月収17万円だったのに、フリーランスになって11時～15時をカフェでテレワークして働くだけで月収37万円もらえるようになった。その後は友達とスイーツ食べに行ける。プログラミング覚えてよかった。みたいな良さげなワードてんこ盛りの宣伝を見かけて、うわぁと思ってる。

ある海軍士官が呉の水交社で食事をしたところ外の廊下に掛けてあった剣帯から短剣が外され緑青だらけの古いものが置いてあった、自分の短剣が盗まれたという憤りよりも海軍は長くないなという気持ちの方が大きかったという（昭和20年の話）

30後半から40前半が欠けたいびつな年齢構成とか、今見ると「なぜ後々困ると思わなかったのか」と感じるけど、もし当時にタイムスリップしてその担当者になってみれば、そうするための“合理的な、やむを得ない理由”を100個は思いつけるのだろう。

「恐ろしき こともなき世を 恐ろしく」と言って復活した恐竜

仕事は給料低くても「働きがい」があればいいと言ってきたんだから、株も「持ちがい」を感じながら喜んで納税すればいいだけでは。

「お好み焼き定食を批判するひとは多いのに、ラーメンライスとか蕎麦＆丼セットを悪くいうひとが少ないのはなぜなのか」「東京にあるから」

なんだか「木造ビルが建築されると林業が復興する」みたいなこと言うパンピー多いですけど、麻薬の末端価格が上がったり麻薬の普及率が上がっても、麻薬の原料を作らされている農民の生活水準は上がるとでも思ってるんでしょうか。

5chの出所不明のコピペを見て「全部統一教会と自民のせいだったんだ！」って言ってるやつは社会学者じゃなくて社会学の研究対象のほうだろ

1年目さんが「この患者さんはがんの終末期の方で、来週ホスピタルに移る予定です」って言ってて「アーン、じゃあ今いるここはどこ〜？？？」ってなった

手を挙げなかったら「効いてないアピールですか」とか言ってくる歯医者

「やりたくないことはやらなくていいんですよ」の雰囲気にあてられて本当に何もしなかったら、そう言いつつも他の人は全員きちんと影で努力してやることちゃんとやってました のやつまたやっちゃったよ

会議で「寿司を回転させたらどうでしょうか？」っていう企画提起が出たら、自分は不衛生だの乾燥するだの言って大ヒットの芽を潰す側の人間だと思っている。

カップ焼きそばが世の中にない時代に、他の人がカップ焼きそばのアイディアを企画会議でプレゼンしたとして、賛同できるかどうか自信がない。「でもこれ焼いてませんよね？焼きそばとは言えないのでは？」みたいな常識を振りかざして大ヒットの芽を潰してしまう側にいる気がする。

一回平成を挟んでから現代にやってきた侍「JKが小さき扇風機を……？ 奇妙な……」

人は浪人する度、留年する度、就職に失敗する度、仕事を辞める度、人生に深みが増していく。そしてその挫折をいかにおもしろエピソードとして昇華できるかというところにその先の命運がかかってくる

AI絵で一番恐ろしく魅力的なのは成分を抜き差しし連続的に絵を変化させられることで、絵師がこれまで頑張って写像を飛ばしていたのが実は巨大な連続関数の一部であることが判明し結果を繋げたら導関数のようなものができて解析的に求まるということだと思う、理解できるけどあまりに突然であっけない。往々にして「生まれつきの才能」なんて言われる"絵のセンス"が、実は（常々言われ続けてきたことではあるが）in/outの繰り返しで得られる経験から機械的に習得できるものであることも、AIのイラスト作成で示された。これは文章や音楽にも当てはまるので、悩める全ての創作者は延々と創作を繰り返すべき

何もしない人は怠け者ではなく「頭の中で細かいことまで高速回転で考えてしまう」という説が好きです。頭の中でいろんなイメージが広がって、エネルギーを使い果たしてしまうので何もできなくなります。つまり水鳥のように水面下でバタバタして疲れているのが真実です。

日本は学歴が一見重要そうで本当に重要なのは20代前半の良質な仕事経験なんだよね。ここできちんとした職務経験を積めれば後は意外とどうとでもなる。反対にここをミスるとやり直しが効かず人生そのものが詰む。学歴はあくまでその最初の数年間の経験を得やすくするためのパスポートでしかない。

【冷蔵庫が閉まらないときあるある】

マヨネーズを犯人だと疑うも閉まらず、もう一度確認をしてみると、真犯人は前に出過ぎた2Lのお茶だと判明する

絵を描いたら一度は「頭に最高の作品イメージがあるのに何故具現化出来ないんだろう(≒圧倒的に画力/練習が足りない)」と考えたことがある筈で、AIは"脳内の理想像を具現化したいだけで絵を描く行為(技量)自体は手段である"という人に強烈な武器になると思います。逆の立場の人は忌避感凄いのもわかる。"絵で表現すること"に意味を持っている人、"自分が描いた、自分のアウトプット"に価値を見出している人、"技術と積み重ねの時間"に誇りを持っている人、"感情が絵にこもっていること"が重要と考える人etcにAIの出現とAIを利用した絵は『自分を否定されている』と感じるのも無理ない辛さがある。midjourneyを初めて利用した一番最初のツイートで自分は「AIに負けた」と表現しましたが、AIにはもう私自身が技量的に上を行くことはないのは事実です。人もAIも学習&出力するのは同じですがAIは忘却せず無限に怠惰なく学習出来、そして出力に肉体を介さず時間がかからない、"失敗の出力"を恐れない。だからこそ、自分はAIの可能性をもっと掴んでいきたい。AIが足りない部分を補うというよりも、AIがあることで更に刺激されたイメージを世に出力するということが人間には出来る。AIは結果をいくつか出力できてもまだ"自分の正解(好み)"選出出来ない。ならば自分がその「好き」を表現したいと思う。

信書を扱う元国有のあの企業で働いてた時バイクでコケて指ケガしたとき、上司に「病院行ったほうがいいよ。でも労災になっちゃうから業務っていわないでね」って言われたんだけど、これは何？

『一週間で○○万円使いきれる？』みたいな話で、後出しで『ギャンブルはなし』とか『換金できるものはなし』『一週間以内にものが手元に来ないとダメ』とか言っておいて「ほら、お金使うのにも才能がいりますよね」って言ってくる奴の顔を、殴るだけのマシンが欲しい

昔好きだった商業BL小説、受けの乳首を執拗に責めるシーンが特に気に入っていたんだけど紛失してしまい、数年後たまたま手に取った別のBL小説の乳首責め描写に妙な既視感があったので作者を調べたら失くした本と同作者だったという最悪の山月記みたいな経験をしたことがある　その乳首は我が友李徴子…

何回も100歩譲ってたら地球一周してしまった

岐阜県全域の、〝ふけんぜん〟の部分。

自分の子どもをいい会社に入れたり医学部に入れるためにSAPIX通わせる費用を稼ぐためにいい会社や医学部に入るためにSAPIXで勉強を頑張らないといけないのが今の東京。

コスプレ界隈居て思ったんだけど、一般の人…特に若い女性は16世紀のマッチロック銃と19世紀の先込め銃パーカッションと20世紀初頭のボルトアクションライフルとM14の区別がついてない感じだった

盆踊り、側から見ていると同じところを回っててかなり地味なんだけど、実際にあの輪に加わると単調な振り付けの中に確かにAメロからサビへと向かう盛り上がりみたいなものがあり、しかもそれが延々反復されるためにほんの数分で信じられない高揚を得ることになる。

社会人一年目に似たような仕事の主担したときは帰り道で家の鍵をコンビニのゴミ箱に投げ捨てて家の前でこのまま頭おかしくなるのかなとか思いながら泣き叫んだというか吠えてたことを思えば、めちゃくちゃかわいいものだと思う。人間スケールに差はあれど成長はするね。

生活に必要な単純労働をAIにすべてやらせて、人間はお絵描きしたり音楽を作ったり、クリエイティブな事をして優雅に暮らすのが、AIの発達した素晴らしい未来という話だったのに、実際の現代は、きつくて安い単純労働を人間がこなして、AIはものすごく優雅に上手にお絵描きしてるの、ディストピアすぎる

どれだけ一生懸命ジャンボタニシの生態について解説する動画を作ったとしても、スタバの新作がジャンボタニシの卵に似ていたりすることの方がはるかにたくさんの人に知られるきっかけになることを考えると、その中でサイエンスコミュニケーターとして何ができるのかということを考えさせられますよね。

AIが絵描いたりボケたり俳句作ってるの見るたび、「いやAIに求めてるのは私の代わりに確定申告ぜんぶやってくれるとか雑務をこなしてくれることであって、娯楽や芸術の担い手じゃないんだわ」って思いがち。早く「AIが人間の仕事を奪う」世の中とやらになってよ。Hey Siri、私の代わりに生活費稼いで。

会社人10年目ともなると、取引先からの「至急ご連絡ください」をメッセージを読みながらスタバにラテを買いに行けます。

絵を描くAIへの指示が魔法の詠唱に似てるというのすごくわかる。たぶん異世界の魔法使いも精霊への指示としての詠唱を作る過程で、「"炎"だと火力が足りないから"地獄の業火"にしてみるか」とか「"全てを燃やし尽くせ"だと自分まで燃えちゃった」とか試行錯誤してたんだと思う。

明らかに騙す人「騙されたと思ってこの書類にサインしてみて」

夫に「ダイエット中だが昼にビッグマックとポテトのセットを食べた。いつもはサラダを選ぶがどうしてもポテトが食べたかった」と自白したら「ポテトは野菜だから大丈夫。八百屋で売ってるし」と言い出して今日も最高だった。

私も昔「痩せぎす」って書いたら「痩せすぎ」だと思われて写植されてしまったうえ、誤植を指摘したら誰もその言葉を知らずに馬鹿にされた経験が。昔の妹のバイト先でも「件（くだん）」という言葉が店長含め誰にも通じず馬鹿にされたと泣いてたことあったっけ。無知な人ほど馬鹿にするよね…以前、バラエティ番組でAKBだかの若い女の子が「飯盒炊爨（はんごうすいさん）」という言葉を使ったら芸人らが「”はんごうすいはん”だろ！」とからかってるのを見たよ。あんまり言いたくないんだが「バカの下位互換」って話があってさ、「知恵者は『馬鹿がどうしてそういう判断をしたのか』という”バカのバカなりの思考のシミュレート”が出来るんだけど、バカはバカ故に知恵者の思考が理解できないので自分の手駒のみで相手を判断する」んだよね。自分も気を付けよう…

久石譲のsummerってめちゃくちゃ良いな、誰が作ったんだろう

これまで頭脳労働だとおもわれていたものの一部が、単にパソコンでマウスを反射で動かしていただけの単純作業で、梱包やらメンテナンスやら現場で物を動かす仕事のほうがはるかに高度な頭脳労働だった、ということがバレたのがＡＩ導入の真実なのでは、というのが雑感です。でも、ＡＩに絵を描かせるのは、労働ではなくて単に狂人が断片的な情報から絵筆を動かしているのを眺めているだけなのでは？というのが雑感です（どちらかというと絵の意味を解釈する受け手の人間側が頭脳労働してる）一方で、これまで高度な頭脳労働と思われていたことが、機械がこなせるようになるととたんに簡単な、だれでもできることのように意味が切り下げられてしまうという話もあるので、自動車の運転や外国語翻訳が、いつ炊飯や洗濯のような地位に切り下げられるか誰にもわからないのです。

以前ボイトレ講師をしてる先輩に「何で俺がここにいると思う？」って聞かれて「歌がうまいからですか」って答えた。そしたら「だからここしか行く場所がなかったんだ」って言われて……。その人は自分がうまいだけだった、て言うわけ。それはいまだに自分の中に、トゲみたいに刺さってる言葉だね

小学生の頃のおれは堅実で、夢は「サラリーマンになることです」と言ってよく大人に笑われたものだったが、夢というのは往々にして叶わないもので、実際は駅ですれ違うツーブロックでガタイのいいサラリーマンに毎日怯える23歳のフリーターになってしまった

最近パナソニック社内では経営層のラウンドテーブルが流行っています。下々の意見を聞いてるよ感を出せ、イベントとして若手にお説教できる気持ちよさ、そして暇な時間を潰せる一石三鳥の効率の良さから経営層がやたらと好んでいるみたいです。おう、経営にどう活かしてるかフィードバックしてーや。弊部門の期待の若手はラウンドテーブルに参加した結果、退社を決意してました。あんなに経営層がクソだとは思っていなかった、ここにいたらダメだと強く認識ができたと。素晴らしい経営層に薫陶を受け、今日も組織は弱体化の一途を辿ります。

リベラルの皆さん、批判とか討論の類をもしかして「勢いよく殴ったらたくさんコインが出るブロック」を永遠になぐり続けることと思ってません？

「タラタラしてんじゃね～よ」、エスニックでも激辛でもないのにめちゃくちゃうまいな。

双方が落とし所を見つける必要性に迫られない場所での議論など、すべからく無意味です。ツイッターでは俺もお前も相手の意見なんか受け入れなくても困らないんだから、こんなものを議論のツールにする方が間違っている

「分かった、そこは譲るからこっちは認めてくれ」みたいなアレのない場所では言いっぱなししか存在し得ないし、逆にそれでバトってて面白いんかと思う

「世の中ね、顔かお金かなのよ」が回文になってるの、神様に「天地がひっくり返っても美男美女と金持ちには敵わない」って言われてるようで、人生って感じする。

隣に会社で1番のエリート部署があるんだけど人事が原則出社の指示を出したにも関わらず今日も誰も来てなくて電気すらついてない。トレーナーよりレベルの高いポケモンは言うことを聞かない

夫の葬儀中、そこに来た夫の同僚に一目ぼれをした未亡人。その夜に息子を殺害した。その理由とは？

一般的な回答

「新たな恋に息子が邪魔になったから」

お葬式大好きくんの回答

「お 葬 式 が 大 好 き だ か ら」

ネットで国家公務員だった人が周りを馬鹿にして辞めた上で元の肩書きを売りにしたツイッターアカウントで上から発言をしてたりするのを見ると李徴の気持ちを想像できるなというのが感想です

ついこの前転職した時に思ったのは受け側(就職.転職する側)が入る前に調べれる情報に限度あって入って初めてその職場がクソかの判定が出来る点だと思う…事前PVだけで判断して優良ゲーム選ぶのも困難なのに人生掛かってんやぞこっちは…って

「幼稚園入園までは子どもは親が育てるべき。どんなに夫婦仲が破綻しても子どもの将来を最優先に考えてる親なら離婚なんてできないはず。それが親としての愛情。」と出産直後まで語っていた知人が、結局育児ノイローゼ(自己診断)になって1歳前に保育園入園、夫の生活態度が気に入らないと離婚した。「キャラ物は一切置かない。おもちゃもナチュラル知育玩具しか買わない。」「テレビは幼稚園入園するまでは見せない。公園連れていったり親がちゃんと遊び相手になってあげればテレビなんて見せてる暇もないはず。」と意気込んでいたけれど、お子さんは年相応にキャラ物大好きで自宅はカラフルに、テレビどころかYouTube漬けで「スマホやタブレット取り上げると狂ったように泣いて暴れるから仕方がない😩」そうで、子育てに関して、まだ経験していないステージのことで自論を展開するのはマジでやめた方がいいなと改めて思いました。知人、その昔は「鬱とか精神病って結局は『わたし辛いです』アピールだよね。狡い人ほどメンタルを理由に自分に都合のいいように物事を回していく。」と発言して大顰蹙を買ったり(本当にメンタル衰弱してた別の知人が大変なことになった)、過去の自分の発言のせいでとにかく敵が多い人なんだけど、自分で自分に呪いをかけて、首を絞めて、敵を増やしてってすごいハードな生き方してんなって思う。

免許センターで17歳くらいの子が「もう12回も受けとんのに無理や～」って半泣きになってたの思い出した。因みに原付免許な。その後センター喫煙所でタバコ吸ってて警察に捕まってるのめちゃくちゃ面白かった

銀行員はカタカナ禁止とかにして、〝キャッシングリボ〟とかも例えば〝今三万円貸すからあとで七万円返せよ算数の不得意な貧乏人がよ制度〟とかいう名前にした方がいい。斯く云う私も出張先等で何度かキャッシングをしたことがあるが、あとでかなり渋い顔をしてしまった。顔の皴はとれていない。

バス停で待つ障がい者を乗せずにバスが発車しても、男性しか政治に参加できなくても、それを「差別だ」と訴える人に対して「差別じゃない」という声がたくさんあったと思いますよ。たった50年くらい前、80年くらい前のこの国の話です。

頭が良い人の中には何か質問したとき、ズレた回答をしがちなタイプがいる。ひとつの問いに対し、様々な可能性をいっぺんに思い浮かべるため。配慮の様子見で出遅れたり、全部の可能性を説明しようとしたりすることもある。人に混ざりすぎず、一定の距離をおいて学んでいるような人たち。何かの専門性をかじったとか、研究職の方が身近にいる人々は、こういうタイプを知っている。「この人は広い視野で、物事を見てるな」となんとなく気づく。でもパッと見は、すぐに答えない、ズレた話を言う、しゃべりすぎる…ということで、賢さとは反対の評価を受けてしまうこともある。ものづくりの現場でも似たことがあって。黙々と作業する物静かな職人さんより、口が達者な人の意見が通りやすいことがある。「先々に起きる問題」を、（その問題に備えるために）説明する人々と。「そんなの簡単」「やればいいだけ」と主張する人では。後者の能天気さが好まれたりする。

某先生が子どもとの約束を全部キャンセルして仕事に行ったらしいけど、それ美談にしちゃダメだと思うしそういう人が絶滅危惧種にならないと医者の待遇改善なんて夢のまた夢だよ。

みんな「アットホームじゃなくやりがいが無くてもいいから仕事量に似合った給料が出る職場」を求めてるから「アットホーム」と「やりがい」を求人に書く時点でマイナスだって事に気付け

うつ状態とそこからの回復を経験したことがあるかないかで、世界の解像度が大きく違ってくるな。自分の脳はストレスと圧力で平気で簡単にハックされると知っているかどうかという経験値の差が生まれる。

おまえの人生の目的はおまえの苦痛が最小化され幸福が最大化されることであって、精神疾患クイズ王になることではない

お局が「新人は使えない」って言ってたけどおまえが萎縮させて成長止めてんだよって言いたい

俺好みのエロ画像を大量にRTしてくれてたフォロワーがある時を境にポケモン姦のエロ画像しかRTしなくなってウソッキーの手マンとか流れてきたとき、脳内で「あんなに一緒だったのに」のイントロ始まった

転職を複数回経験すると、どんな職場でもある程度やっていけるからまあ大丈夫という精神的安定と同時に、どこでも種類は違えど様々な問題があるのである程度のことは目を瞑って堪えるという忍耐力もついてくるよ

ルンバがアマゾンに買収されましたね。パナソニックはルンバが出る前に同様の製品を試作していたものの、役員から「床にロウソクが立っていて、それを倒したらどうするんだ」と言う考えにくいリスクを指摘されて断念したのは有名な話。イノベーションを阻む壁は社内にありがちと言う参考事例。

防衛大学があるなら攻撃大学があってもいい

叩く時は主語デカい方がいいよ、個人を叩いたらそれもう喧嘩の始まりだから。逆に主語デカくして叩いてる人にわざわざ反論しに行くのは、"我こそは貴様の攻撃対象なり"って敵地に一人で乗り込むようなもんじゃないかな

それも1つの意見とは思うが、そういう合意のもとで作り上げた世界がどんなものになるのかは考えたくもないですね。老人なら死んでもいい？そんなこと、俺は婆ちゃんにはよう言わんわ。浅はかなんよ、こいつら。世代間格差の問題は承知しているが、分かりやすく建前取っ払って是正した先に何があるかなんか、考えてないんだろう。老人や望まれない子供を山に捨てにいかなくなるようになるまで、人類が科学と人文学の両輪をフル回転させて何年かかったと思ってるんだ。そうして得た果実を、この際だからって嬉々として捨てようとする連中がいるんだな。現代社会で、明確に弱者を切り捨てるなんてことは不可能だ。『◯◯を切り捨てろ』という議論はネットだから言える空想上の話だと思います。制度上、「実質そうやろ」というのは今もあるし今後も有り得るとは思うんですが、それを明言してお前らも意識改革しろ、という言論に意味があるとは思えないですね。別に言うのは自由ですし、不快だからやめろというつもりもないですけど。建前と制度と手続きが我々がやっと手にしたそこそこ善き社会の本体であり、だからこそ皆苦労しているわけで、今更裸で走れば解決するのだみたいな話はまぁ、好きにしていただいたらという感想

競輪場にもパチンコ屋にも行ったこのない「お育ちのよろしい」人がある一定の年齢で貧困問題に出会うと「解釈」を間違えるってあるよな。「しょーもない人間がしょーもない行動をとり続けてそのまま貧困になる」話なんて普通にある話をどうしても理解できないので。物語が無い貧困を理解できない。しょーもない人間がしょーもない行動をして落ちた貧困だって別に普通に福祉でキャッチすればいい話なのだけど、「国のせいで」「ジェンダー差別のせいで」貧困になった物語を見出せないと福祉の対象とすべきじゃないとすら思てる節がある。だから「善意」で「あなたが悪いんじゃないですよ」と言う。全ての貧困には必ず構造的な理由があることにしたがるお育ちの良い人は端的に人間を舐めすぎなんですわ。「本人が悪かろうと助ける」と言う度胸がないから「そうならざるを得なかった物語」を無理やり探してこじつける。似たような話で言えば「お育ちの良い人」の語る教育論が異常にペラい、ってのもある

"なりたかった大人"になれなくても全然いいけど、子どものころの自分から見てイヤだなあと思うような大人にはなりたくない

知的障害者、多分原始的環境だと免疫が完成する前に速攻でヤバい草とか泥とか食べて病気で死んでたから「大丈夫」だったんだろうなぁ、と雨上がりの側溝に溜まった落ち葉を食べている成人男性を見て思った

海外の人とやり取りしてるとちょっとしたやり取りでも今日は仕事が休みの日だよと普通に言ってくるのでそういえばそんな概念があったなと思い出す。店だって定休日はあるけど前職も休日にガンガン電話かかって来てたから感覚がぶっ壊れてる気がする。「俺は何年間1日も仕事を休んでいないんだ！」という謎の自慢をしてくる人が一定数存在して、新卒の頃は「うわぁキッショ(すごいですね！)」というリアクションを取っていたけど歳をとると仕事しか趣味がなくなるという悲劇が起きてしまうのは想像に難くない。その先に残るものってなんだろう。

昔やったゲームでこんなものがあった。イブとして何もない荒野に放り出される。生活のため食べ物を探して資材を集めていると子供が生まれる。その子供は他プレイヤーでその子の分まで食料を確保する必要がある。成長すると働けるようになり、そうして増えたプレイヤーは役割分担をして村を拡大していく。村のためにあくせく働いていると1時間きっかりで老いて寿命が尽きる。イブとしてうまくゲームを進められれば他プレイヤーがたくさん増え、死後も村は繁栄し続ける。死後、村の状態は見れないけれど子供たちはきっと悲しみ、死体を運び埋葬してくれているだろう。このゲームで1時間生き残るのはなかなか難しくて、育児放棄されたり飢えたり動物にやられたりプレイヤーキルされたり設備が整っていない村はかなりのハードモードになる。逆にプレイヤーの多い豊かな村なら他人の取ってきた食料をただ消費して働かなくても生きていける。腐っても経済大国の日本もまた働かなくてもメシが食える国なんだけど、毎日のように働いてコミュニティに貢献するのか労働のタスクを捨てて遊びに興じてみるのかはよくよく考えるべきポイントだなぁ思ったわけですよ。寿命が短すぎるので。

日曜朝の通販番組で自社製品の当て馬にされ、老若男女に『あんまり冷えないですね 笑』『ぬるい風が来てます』『もうちょっと風量があってもいいような…』などとボロクソに言われている、“一般的な扇風機”を作っている会社の、工場長「そりゃなあ！！！！！」自社製品の方が性能良いからって平気で社外品を当て馬にしてんの正論だったら何言ってもいいと思ってるやつと同じヤバさを感じる

ルンバが走るには片付いた部屋が必要、という言葉がDXと要件定義の関係における、1番わかりやすい例えな気がする。「DXはデジタルの活用ではない。デジタルを活用するために自分と組織が変わること」という言葉が刺さる

うちの親がバブル期の恩恵受けてたけど、年収が高いのは糞みたいに残業休日出勤してたから。年間残業休日出勤だけで3000時間超えてた時代だからな。そして、ストレスでメンタル壊してジサツする人も半端なく多かったし、メンタルに理解がない時代だから一旦社会から離脱すると復帰がほぼ無理ゲーだった。華やかな部分の影にはこういったものもあります。

昔、イギリスの病院に留学に行った先輩は「イギリスの病院は働くには最高の環境。患者にとっては最低。日本はその逆」と言っておった。

【怖い話】近所にスタバが2軒あると思い込んでいたが、まったく同じ店舗に別のルートで辿り着いていただけだった

こないだ奢りにきた元ド・エリートの現うつ自殺未遂ニートが「人に勝ちたい、という気持ちはなかった」「ただ、優秀でない自分には何の価値もないから、生きるために優秀でなければいけなかった」と言っていて、向上意識って、たいてい自己否定の最終形態だから、強い自殺願望にも転じがちだな、などと

小さい頃は日曜日の夕方が憂鬱だったけど、大人になって一番成長したことは発達特性っぽい俺の「記憶の不連続性」を「今日の俺は寝ると死んで、明日は新しい俺が生きる」と言語化できたことで、サザエさん症候群を完全に克服したこと。明日のことは明日の俺がやる。俺は今この瞬間を楽しむ。

年収が数百万上がるような転職をする人は心の底から凄い思うし私にはできないことなので憧れる一方で、子育てや介護の両立が現実的になっていくにつれ、長く緩やかに働ける職場にいる価値というのは上がってくる気がしている。何より、子育てや人生においてはお金で解決できない問題が多々出てくる。

「あいつはできる奴」だと思われると、今の社会では不利な気もする。少なくとも私は仕事が増えるだけで、正当な評価なんてしてもらえなかったな。

子作りって普通に考えたら「年収が100万増えたから1人追加」みたいな発想をしそうなものなのに、「収入なんか全く考えずに増やす」か「収入が増えた分だけ重課金する」かのいずれかになっているよね。発展途上国で人口爆発して先進国で少子化する理由なのだろうけど。

いまのご時世、会社で出世するよりも、会社でストレスなく働ける方が何倍も大事だと思いますわ。

実家からトイレが壊れたとLINEが来たので「仰げばTOTO死」と返したら既読スルーされている

前に、シチューで食中毒に、なった時、うんちをしながら、吐いちゃったのが、最悪だった。死んだ方がマシだと、思った。あの仕打ちはなんだ？きっと、便器も「君？、どちらかに、したらどうなんだね？」と、思っていたに違いない。その態度は、なんだ？

「優秀でない自分にはなんの価値もない」みたいな理由でキリキリしてる人、確率1/2くらいで「なんの価値もない人間を価値のある人間が支える不公平感」みたいなのを自己否定のあと遅れて併発するので、シンプルに共同体運営において迷惑因子になりがち。セルフイメージは「謙虚」だから手に負えない。この話について内輪で話が少し膨らんだのだが、「セルフイメージ謙虚でわきまえた人」、自己否定しているうちはそうでもないけど、嵩じて植松を発症し出すと事実として共同体にとって有害になるという悲しい話になる。自己否定から生産性のない他者否定に発展するの、本人の意識としては「もっと役に立とう、世のためになろう」という動機なんだろうけども、邁進すればするほど治安を悪化させるので、何もせず殻に閉じこもってた方が役には立っている。

ツイッターは「道徳的に正しい、道徳的に優れている」と評価されることの価値が、リアル社会に比べて異様に高い世界だと思う。私が下層民だからそう感じるだけかもしれないけど。それらがさほど重要視されない世界やむしろウザがられる世界もある。そういう世界の方が繁殖力も高そうなんだよな…。

なんか過去を振り返ると、自分の能力値が100の時に、能力値120ぐらいが要求される仕事をストレッチで任された時は、その取り組みで大きく成長できた気がするんですが、平均120ぐらいの集団に入って毎日ボコされてた時は、振り返ってみても大して成長してた感じがしないんですよねー。「ストレッチが大事なのであって、周りのレベルを120にすることでストレッチするのは事故率の高そうな手法」芯食ったレスもらったけど、まさにそういう事ですかね。だから、子供についても本人の実力位上のところに放り込めば良いってものでもないんだよなー。

癌の治療、標準医療しか勝たんっていうのは、あのドケチの財務官僚が、それ以外はコスパが悪いという点で承認しないというのもあるんですが、それ以上に、超絶金持ちで、一般人より医療情報にアクセスできるうえに、コネもある、高須クリニックの高須院長が標準医療でまだ生きてる所で答えがでてるのよ

「宝くじは期待値マイナスだから買うやつはバカ」という人が加入している保険をすべて解約するサービス

エンジニアは自分たちがロジックに基づいて仕事をしていると思っている。しかしよくよく話を分解して聞いてみると、実は純粋な好き嫌いであることも多い。そういう意味では文系の人間こそ相手の問題が何なのかを知る上ではロジックを理解してることが重要といえる。

元彼からのプレゼントでピアスや時計、ネックレスなどのアクセサリーを貰い、別れた後も捨てず現彼氏の前でも未だにつけてる友達に嫌がられたり罪悪感は無いのか聞いたら「物に罪はない。倒したモンスターの素材を剥ぎ取って武器にしてる感じ。モンスターハンターだよ』と言われ大変たくましかった

月収1000万の作り方なんて簡単なんですよ。AさんがBさんから100万の商品買う。BさんもAさんの100万の商品買う。これを身内で繰り返せばキャッシュアウトゼロで売上盛り放題。で、これを実績としてTwitterに公開する。ここで初めて、釣られた情弱から刈り取り。情報商材ビジネスなんて大体これ。

「天才の中には発達障害が結構いるんだよ」を「発達障害の中には天才がいるんだよ」にすり替えるのは天才ではない発達障害に対して酷すぎるんよ。このパターンの入れ替えを人類は得意としてしないので頻繁にこの手のトリックを見かける。

人生で初めてソシャゲというものをやってるが、ゲーム性はこれまでのテレビゲームやパソコンゲームよりないが、「期間内にこれやっとかないと」「新機能チェックしておかないと」みたいな焦燥感があって、それらをこなすたびに謎の褒美が与えられて、それを惰性と共に楽しむ気味の悪い感じがする。

息子が不登校になって4年、息子を心配して手を掛けるより、親自身の不安を解消する方が息子の状態は良い方向に向かっていくことに気付きました。

ギフテッド、数学や音楽の才能に恵まれているからこんな風に理解を得られるけど、例えばこの才能が「草むしりを延々とこなせる」とかだったらこんな風に保護されていないだろうし、そういう「役に立たない能力ギフテッド」みたいなのたくさんいる気がするのよね

小学校の授業参観で教科書を音読しているとき、自分のターンでふざけて全然関係ないオリジナルストーリーを展開したら(モチモチの木の舞台を急にラスベガスにした)、隣のクラスの板書の音が聞こえるくらい壊滅的にスベり、その日からラスベガスは閑静な街というイメージがある

売春や薬物の売り子などのイリーガルな方法で大金を得る経験を若い時からすると人生壊れると思うんですけど、基本的にそういう子ってもう家庭環境から壊れてて、かわいそうだけど人生がはじまった瞬間くらいから終わってること多いんだよな。だから「パパ活/薬物の売り子なんてやってたら地獄に落ちるよ」って忠告されてもそもそも地獄にいる人間だから響かないんだよね。自分は地獄で苦しんできたんだから楽して金くらい儲けたい、自分を含む誰かの人生が壊れようと関係ないって思う。

昨日息子のテニス部の練習試合を一日見学したのですが、部員が失敗する度に顧問が親でも言わない酷い言葉で怒鳴りまくってて、帰って息子に「あんなにけなされたら傷つくやろ」と聞いたら「そんなことより声がうるさくて集中できんのよな」ってため息ついててテニスより断然メンタルが強化していました

「ダメだろ」でツイッター検索して、みんなが何について「ダメだろ」と思ってるのか見るの楽しい。「百歩譲って」で検索して、みんなが何に「百歩譲って」るのか見るのもオススメです

友達がなんか俳優のアカウント見ながら「やばっ。好きになりそう。でも今好きなもの多くて忙しいから好きになっちゃう前にブロックしなきゃ……」ってブロックしてた。謎すぎておもろい。

デブ後輩、彼の資料やら何やらが俺のテリトリーまで浸食し始めてることに文句を言っても「すいません最近また太ったんで」って全然関係ない言い訳してくるし「太りの至り」とか「太りの致すところで…」みたいな造語を乱発してきてめんどくさい

他人に「勉強した方がいいよ」「これ出来なくて大丈夫なの？」みたいなことをサラッと言って、厳しめ毒舌ライクに接するムーブは本当によくない。自分がやることのハードルが上がる、賢明な人はそんなことしないから馬鹿が（或いは節操のなさが）バレる、などのデメリットがある

「レジ打ちの仕事をしていますが、いつも緊張して失敗しちゃいます。どうすればいいですか？」と質問された。「大丈夫だよ。落ち着いてやろう。自分がお客さんのとき、レジが多少もたついたくらいでイライラしないでしょ？」と答えた。「する」と返ってきた。それならあんたのカルマだよ

【テレビ番組のスタッフあるある】

みんな同じ声してる

「性自認含め男だけど可愛いものが好き、可愛くありたい」と考える人が存在する事を、本当に驚くほど理解出来ない文化圏の人ってちょいちょいいるんだよな。女装まではしなくとも、かわいいポケモンが好きとかサンリオが好きとか。

本物のおじさん構文を浴びたいなら食べログがお勧めですよ。一人称小生で始まり顔文字満載で町に着いた時点で関係ない自分の昔の思い出を長々綴って「閑話休題。」、店員さんの可愛さをネチネチ語って、最後にここで一句。って謎の俳句を読んで「お後が宜しいようで。」で〆たりするの一杯見れるよ

高校生に「AIに奪われない人間ならではの大事な仕事ってなんですか？」って質問されたので、「根回し」って答えておきました。

人生に絶望して一発逆転を狙ってる皆さん。私は高校卒業時に学年で唯一進路が決まってなかった落ちこぼれでしたが、フリーター3年と派遣社員3年を経て渡米しました。チャンスはあります。私のオンラインサロンに参加して一緒にチャンスを掴みませんか？というノリでカモられないようご注意くださいね。

「最近有名人の訃報が多いなあ」というのは実のところ訃報は昔から多かったけど自分の加齢によって知っている有名人の数が年々増えていってるから知ってる有名人の訃報が多くなるんですね。で、あるときからまた知らん人が亡くなってるだけになる

セミにオシッコかけられてムカついたけど、確かに俺も余命一週間って宣告されたら町中の人間に小便を撒き散らしながら歩く。

2時間ハンターから逃げるだけで100万円も貰えるテレビ番組があるのに、2年間"現実"から逃げ続けて1円も貰えない人生もあるらしい。はやく捕まえて。

『逃げるは恥だが役に立つ』って言葉を信じて社会から逃げたんだけど、恥なのはともかく、マジで何の役にも立たんくて鬱。今日もお国に乞いダンス

本当に働いてない人だけが分かる1日の長さと1週間の短さ。

NHKみたら画面にL字で「熱中症に警戒」「外出はなるべく避ける」「運動するなら医者・看護師を配置し涼しい室内で」と流れてくるのに、完全に屋外の甲子園で高校野球してるの、ホラーかと思った

カラビナをいじっていたら娘が「何につかうの？」と聞いてくるので、「落ちたら死ぬところで落ちないように使う」て言ったら、「なんで落ちたら死ぬようなとこに行くのよ」と、至極真っ当なことを言われ、私はただ、カラビナをカチカチすることしかできなかった。

誰しもの「大丈夫」の前についているであろう、「もうきっと多分」を拾い上げてくれるBUMPの音楽がたまらなく好きです。

普段いろんな場所でいろんな人生を送ってる人たちが一つのバンドが好きっていう理由だけで同じ時間同じ場所に集まって音楽を楽しむのって当たり前のことじゃないんだなってこのご時世になってから気づいた。お客さんの表情がほんとに幸せそうで、何も気にせず全力でライブを楽しめる日が1日でも早く戻ってきてほしいなって思う

昔の人の説だけど異形の物（怪物でもなんでもいいけど）の定義に三つあって「過剰、不足、置換」だったかな。頭がいっぱいある、とか、一つ目の怪物、とか、目のあるべき所に角がある、とか。これは皮膚の質感なども含む。そういう意味で人類は所詮自分の既知の何かを使ってしか想像はできないかも。で、AIも人類のライブラリーを組み合わせて何かを作っている限りは釈迦の掌から出られない孫悟空のように、どこかで見たような何かを組み合わせたものしか作れないのではないか。いつの日か人類が他の星系に到達して「想像だにしなかった何か」を目にしたときのような「何か」を期待するのは難しいかも

夏に桃を10個食べるとすると、あと20年生きるとして200個しか食べられない計算になる。一つ一つの桃と真剣に向き合いたい。

ガス点検に来た人を能天気に「おじさん」と呼び捨てるのと同じ程度の気軽さで「ご主人」と口にしてるだけで、そこに深い意味は無いんだよ。昨今、まじでイカれた消費者が増えすぎてて、BtoC企業の労働環境は完全に地獄と化してるな…

その辺にある一軒家、ぜんぶ誰かが数千万借金して買ってるって考えると怖くなってきたな。

東京に行ったら毎回友人とさんざん遊び倒して、「ほんまに東京にはなんぼでも楽しいもんがあって何でもできる、こんな所に住んでたらそら頭もおかしなる」と吐き捨てて新幹線に乗って帰るのが通例なんだけど、東京に住んでる人からしたら失礼な話で、二度と来るなという感じだと思う。

「友人がカルト/マルチにハマって…」という相談は、友達の心配より自分の安全を考えてくださいという場合が多いです。なぜか自分は大丈夫という謎の自信を持たれている方が多いのですが、友達がやられたということはあなたも彼らの射程圏内に入ったということです。彼らはプロで、あなたは素人です。

スピッツの『渚』、ゆずの『夏色』、ナンバーガールの『透明少女』、RIP SLYMEの『楽園ベイベー』、ケツメイシの『夏の思い出』、森山直太朗の『夏の終わり』、フジファブリックの『若者のすべて』、夏の名曲は数あれど、どれもこの外の出れないほどの酷暑では絶対に生まれなかった曲な気がしてきたな

1日の大半が労働で占められると、インプットをリラックスしてできずに、今までの自分自身のインプット貯金を消費し続けるだけで、次第にアウトプットの質がどんどん偏狭でつまらないものになっていく感じはある。

「キモいとは何か」と題された本を開くとページが鏡面になっており、

【車あるある】

ブチ切れ用のクラクションと感謝用のクラクション別で欲しい

自分を詐欺師と思えたことは無いな。 詐欺は割と能力高い人にしかできない犯罪だと思っているので、自分をそこまで高評価できない

怒りで我を失ってる人「絶対許さんあのクソ童貞、殺す、マジで殺す、待ってろよクソがマジでブッ殺す（童貞を殺すセーターに袖を通す）」

なんで人間、生活水準落とせない物なのかな……。「かつての自分」や「かつての未来象」とのギャップに耐えられなくなって逃避的になってしまうのだろうか。「しゃーねえから安物で凌ぐか」と出来るのもスキルの一つな気はする。自己肯定感が生活水準に紐付いてるとこうなりがちなんですかね？

サビ残や残業青天井などの超激務がまかり通っていた時代に比べれば現代は働き方が改革されてホワイトになったわけだが、言い換えれば若者は仕事における「経験値」をいかに積むかを自分で考えなければいけない時代になっている。

社内報インタビュー「今までで1番やりがいを感じた業務を教えてください」

転職してきた中途社員「【件名：退職のご報告】のメールを一斉送信した時ですかね〜」

日系企業でプレイヤーとして優秀な人間が上司になったときに最初にぶち当たる壁は、「別に向上心もなく仕事のやる気もなく適当に働いてそこそこの給料貰えればいい」みたいな人材にいかに働いてもらうかで、この解決策は若手への業務しわ寄せ（何も解決してない）だったりする

FIREするだけでは幸せになれないのは暇な子なし専業主婦をみれば一発でわかる。彼女達はある意味でFIREしてるけど夫の愚痴ばかり言ってる人も多くて特段幸せそうかといえば別にそうでもない。人は創造性を発揮できる場所と自分を認めてくれるコミュニティがないと幸せになれないのです。

❗👈このビックリマーク、赤くてデカくてかなり面白いので最近よく使ってしまうんだけど、これが歳を重ねて発生した症状だったらと考えたら恐ろしくなってきてもう使うのやめようと思った

The givo gave givo a gevo.

(義母は宜保にゲボを与えた)

大抵のエンジニアはプログラミング大好きマンなので、それを仕事にしてる時点でワークライフバランス的にかなりのバフ乗ってる状態ですよ。あまりプログラミング興味なくて未経験でこの業界に入ってきた人々はそこ見誤ると「思てたんとちゃう……」ってなる。むしろプログラミング興味ない人々のロールモデルは、SIerとかで極まれに存在する、「仕事でしぶしぶやってきてたらいつの間にか高スキルみについてたいぶし銀おっさんエンジニア」ではないかと思います。そいう人ほとんど表に出ないけど

電車で幼児が「さいしょにコンビニがあって、つぎに映画館があった」と言っていて、聖書の一節？と思った

私は自分が育児を始めるまではこどもに対し赤ちゃん言葉なんて使わず、一人の人として正しい言葉で関わりたいと思っていた。でも今はそろそろ4歳児に「ぷるぷるめんめん」は「白滝」という食べ物なのだと教えなくてはいけないんだって、育児は頭ではわかっていても心が追いつかない事ばかりだよ嫌だよ

リゾートホテルみたいな、存在自体が環境に負荷を与える産業がSDGsやらESGの潮流に乗っかって「タオルを3日に1回しか代えないからエコです！環境保護で使い捨て歯ブラシは置きません！」とかいってどさくさに紛れてコスト削減するの、腹立つから辞めろ。こちとらMP回復のために金払っとるんじゃい。

DXはITシステムの導入ではなく「人員の解雇」「部署の統廃合」「今までやってきたことをやめる」が肝だから経営者が覚悟を決めて心を入れ替えることができないと何も進まない。DXは心理戦だよ。

白い犬の通信会社で、パワハラ野郎が転勤してきたさらなる超パワハラ野郎にパワハラされて鬱で休職してたので実力主義の会社なんだなって思った

頭のいい人は、合理的な思考によって不合理を論破して否定し尽くした結果、ぽっかりと空いた隙間に神が降りてくるんだよ。

新しい美容院行ったらアンケートで「あまり話したくない」を選択してこれは良いサービスだなって思ってたら髪切り始めて数分後に美容師から「何であんまり話したくないんですか〜」って陽気に聞かれてもうここには一生来ないと誓った

言葉は感覚を共有するためのもので、言葉以外の伝達手段がある場合は無理に言葉を紡ぐ必要はない、その状態を「波長が合う」と呼ぶのだと思って、言葉を紡ぐことは一般的にはコストなので、端的な言葉でわかり合える関係性が社会的には重要視されやすい。波長というのはもともと持っているものでもあるけど、後天的に構築することもできると思っている。共通の価値観であったり、共有する概念を増やしていくことで波長を合わせていくことができる、そこに至るには相応の擦り合わせが必要で、その段階で言葉は不可欠である。非言語を目指すための言語。「非言語にたどり着くまでのスピード感」が相性でもあると思っていて、基本的にみんな忙しいので、手っ取り早く感覚を共有できる相手を求めがち。お金を稼ぐにしても、寂しさを埋め合うにしても、こうした擦り合わせの技術に優れた人間はさまざまな機会を獲得していく。僕は昔から言葉、目に見えるものを信じていないと不安になるところがあったのだけど、結局本質は、情報の大部分は非言語の領域に存在していると実感して、説明をしてしまうことで失われる価値があるのもわかってきている。すべてを形にするのでなく、曖昧なことを曖昧なまま伝えられるのをめざしたい。コミュニケーション力の高い人というのは、非言語領域の扱い方がうまい。言葉にでてこない相手の真意を読み取って先回りしたり、断片的な表現でも的確に感覚を共有したり。言葉にする、言葉を受け取るという互いのコストを最小限にすることで、目的達成に向けた最短ルートを取ることができる。言葉にならない部分を感じ取るセンスは、後天的に磨くこともできる。とにかく場数を踏んで、意図を汲み取れずに場を凍らせたり、早く帰られたり、そういう惨めさを原動力に、分析を重ねて予測精度を上げていく。非言語なので、「たぶん〜」以上にならないけど、確実に解像度は上がっていく。"お勉強"ができても仕事ができるとは限らないのは当たり前で、非言語のことは教科書に書いてない、言葉にできることしか信じられないうちは、感覚の領域に入ることはできない。「わかりやすさ」の領域で神童になれても、社会は全然めちゃくちゃわかりにくい。

「何が嫌いかではなく、何が好きかで自分を語れよ！」てフレーズが定番になってるけど、何が好きかより「自分は何が嫌いなのか、それは何故なのか」をよくよく考えるほうが、自分自身のことを深掘りして理解する手掛かりになるよね。何が好きかで語れる自分像など、かなり表層的なことでしかないと思う。「自分が嫌いなこと」というのは、自分自身の中にある過去の傷つき経験、潜在的な恐怖、劣等感、などと密接に関連している　自分自身のことを把握し、他者に向けて語るために役立つのは「自分は何が嫌いか」のほうだよ。「他者と会話するときには、あれが嫌いこれが嫌いばっかり言わないほうがいいよ」という処世術程度のことならべつにいいけど、自分を語るにあたっては、自分は何が嫌いか、とくに「なぜ」自分はそれが嫌いなのか、をよくよく考えて自分自身の痛みポイントをさぐるプロセスが必須だと思う

わたし昔から人との接し方がわからなくて、後天的に構築した「健常者エミュレータ」を使って生活しているんだけれど、この正体は過去に経験した様々なシーンを訓練データとして、もっとも穏当な対人応答をモデル化したものなんだよね。これ、やってることは機械学習AIとほぼ同じではないかという。

人間の死亡率は100%なので医学は常に敗北していると言われるけども、元気なご高齢の患者さんに「もう十分生きたねぇ」とほのぼの言われると医学のささやかな勝利を感じる。

Q:おもちゃの鉄砲で撃ち合って楽しいの？

A:逆に聞くけど、本物の鉄砲で撃ち合って楽しいと思う？

「生はダメ」って言われたから おちんちん軽く炙ってから挿入れた

年を取ってから一流の大学に行ったり国家資格や難関資格とったりって、例えば公立高校の先生みたいな保守的な人が聞いたら即否定しそうだけれど俺を含めてそういう道を鼻歌謡いながら通過してきた人なんて山のようにいるから、世間の常識なんてまじで一ミリも参考にしないほうがいいよ。

夫に「これ一口でも食べたらレゴ買ってあげる、食べないと買ってあげない」と言われた息子が「どういうこと？これを食べることとレゴを買ってもらえることと何の関係があるの？おかしい」と指摘していて(かしこ〜〜〜好き〜〜〜)となった

エンジニアは土日に勉強する必要があるか論、「優秀なエンジニアは勉強を勉強と思っていない」で終わり

某顧客の新入社員研修での問い。「ぶっちゃけ、そもそも働きたい？」働きたくない！に14/15人が挙手。正直でいいが、いかに日本の教育の本質が馬鹿げてるかを痛感する。

インターネットでは誰でも簡単に商売を始められるけど、それ故に市場にはゴミが地平線の果てまで広がっている。そこでまともに収入を得ようと思うのなら、まず「自分はそのゴミの同類でない事を証明せよ」「売れない事を他人のせいにするな」「安売りするな。少なくとも最初のうちは」「改善し続けよ」

思想が似通った人ばかりをフォローしているとエコーチャンバーになる恐れがある一方、あまり正反対の人が視界に多く入ると、実際にはほとんどないような極端な意見をメジャーなものとして認識し、不要な敵意を燃やしてしまう恐れがあるので加減が難しい。そういう意味では、尖った思想を持たない「普通の人」をある程度フォローしておいた方が良いのかもですね。もっとも、「普通の人」が果たしてツイッターにどれだけいるのかという問題はありますが…。

構造の中で生きようとすると選択肢は狭くなっていくんだけれど、構造の外で通用する個人としての力を強くしていくと選択肢が無数に出てくるんだよなあ。この個人としての力を着実に強くしていきたい。

「お金を稼ぐこと」や「社会的な地位を得ること」が自分の"自己実現"と結びついていない人間の場合、資本主義社会ではかなり生きづらい感じになるとされている

「考えすぎてはいけない」と漠然と言われても実際わからんくて、まず「考えない」という状態がなんなのか、を知らなくてはならない。「考えない」には無意識の思い込みを知覚して意識的に取り除いていくプロセスがあると思うんだけど、いかんせん無意識は無意識だからね、考えないためにまずめっちゃ考えないといけない

Pythonはカッコを閉じないから、なんか縛っていないごみ袋の下からゴミが落ちるような気がしてなんか嫌

まぁ、イジメる奴の方が人気者だよな。敵を作り周囲をけしかけるような人間にこそ人気が集まるってのはある。イジメる側になれなかった人間の殆どは、そこで差がついて脱落するんで、その後に来る「イジメっ子のままでは越えられない段階」まで辿り着く事も出来ない。しかしまぁ、その標準的な出世コースと言うかなぁ、世に成功と言われるような道筋ってのも、どうやら幸せからは程遠いもののように思える。好きでやってんならいいが、どうも、変な強迫観念のようなものに操られて、高級車や豪邸を求めて身も心も忙しくして休まるところが無いといった世界を眺めてみるに。そこに挑んでも見たし、それなりに食い込みもしたという自負はあるが、早々にその世界から離れたのは、やはり、虚勢でもなく、負け惜しみでもなく、その世界に留まる事を楽しめなかったから。あの世界の人々には、欲が無い人間と見做されていたりするが、欲が違う方向なんだろう。そこで本当に無欲なら、寧ろ煽られるままに、贅沢な生活とか、名声やらを求めていく事も出来たんだろうが、若いんだし挑戦はしてみるべきだろうと頑張ってみた日々が、それなりに贅沢を楽しむ事が出来るぐらいにはなっても次第にキツイばかりになってねぇ。楽しくは無かったからな。この状態が無欲だとは思えんのだが、何を欲しているのかを言葉にするのは難しい。しかし、やはり欲するものが全く違っているというのがハッキリしてしまうと、もう、そっちの方には一歩も進めなくなってしまってねぇ。だから、無欲どころか強欲なんだろうと思う。なので、なんとか生き残った上、それほど社会から排除されるような事もなく、ああいう人気を集めて誰より上だの下だのって事が続く世界で生きる必要も無いってのは、まぁ、結果はまだ分らんけど良かったよな、と、思う。誰を羨む事も無く、誰かから嫉まれるような栄光も豪奢もないしな。何か欲しくなったら、手を伸ばせば良いだけなんだし。自分が欲しいのか、欲しいと思わされているのか、そこを常に見分けていたいなぁと思うんだよな。ふり返ると、そこの見分けがつかない時が苦しみの多い時だったからな。

「科学万能論」という言葉がよく分からない。科学を多少かじれば、発想すら出てこない物なので、多分、科学全般が嫌いな山奥の仙人が編み出した言葉だと思っている。科学とは「ここまでは分かっていて、その先は分からない」をなるたけ厳密に記述し、その我々の「分かってる国領土」をじわじわと拡大する作業。科学研究者というのはその最先端の冒険家たちであって、だから偉いんだよ。稼ぎとかじゃ測れねんだよそれは。

一般的には傍流や亜流とされる道でも、そこを「ずかずかと手あたり次第進んでいる人」は結果的にたくさんの情報に触れていろんなところにたどり着いている気がする。本流でも偏見と臆病で引っ付いているだけの人はあまりいいものを得られていないことが多い気がする。

自分で考えても周りの誰かに聞いても分からないから思考停止して何もしないのではなく、分からないなら、分からないことを前提に、分かる範囲で判断してとにかく行動してみる事が今の時代は大事だと思ってる。そしたら何かしらの結果は得られるので、そこからまた考えればいい。

AIに意識を持たせると言う夢は諦めきれないし、そうなると意識の定義をする必要が出てくるが、妥当に見える意識の存在テストを設計したら人類の半分くらいがランダムに落第したのでなかったことに

自分の暮らしは誰かの労働によって成り立っている。

自分の労働は誰かの暮らしに役立っている。

「原告側のたぬきさん」ってラジオネームが頭から離れない

低評価の嵐の中華店、Googleに「味は美味しい。ただUberだと届くのに３時間かかります」とコメントされており、何分で来るか期待大でUberしたら50分で届いて(怒られすぎて速くなってんじゃん…)と思ったし本当に本格中華だったので「３時間でも四川省から届いたと思えばギリ許せる」とコメントしといた

よく「私たちは暴力についてもっと知るべき」と言うけど、それは「暴力の忌避では暴力を防げない」と思っているからなんだよね。過去に「話せばわかる！」と言ってわからせられなかったこともあるし、一度暴力が始まると話し合いとか本当に無理だと思う。だから暴力が発動する前に暴力に繋がらないことをするのが大切なんだけど、これが本当に難しい。暴力にもいろんな種類がある。こうすれば絶対防げるというものはない。ごめんで済んだら警察はいらない。ただひとつだけ言えるのは「暴力をやめよう」という声掛けは抑止力のクソの役にも立たないよなということ。何だかよくわからないけどイライラして誰かを殴ってる人に「暴力はよくないよ！」と言っても余計イライラさせるだけだ。この場合イライラの原因を取り除くことが根本的解決であり、「暴力はよくないよ！」と声をかけることではない。むしろ逆効果なんじゃないかと思う。何故イライラするのか、何故支配したがるのか、何故他人を痛めつけたいと思うほど恨みを募らせるのか。そこらへんのひとつの表現が「暴力」であるだけ。こう言うと暴力を肯定しているように見えるけど、本来暴力は手段であり肯定も否定もするようなものでは無いと思う。暴力の結果がよくないものであるので私たちは暴力を排除したがる。しかし暴力のみを排除しても暴力の種である根本的原因が残っているのではまるで意味が無い。

妊婦「今この子、私のお腹蹴ったわ🤭 」

ヤバい夫「だんだん俺に似てきたな笑」

医師免許とったらエンドロール流れて終了、って思ってたのにいつまで経っても流れんしそれどこか専攻医編とか専門医編とかやり込み沼始まりつつあるしなんだこれ。やっぱこの人生とかいうのクソゲーだわ

ツイッターって「これが正解、これは絶対ダメ」「こうなったら終わり」みたいな、100か0かでしかもの考えられないやつ結構いるし、極論を断言した方がウケがいい傾向にあるけど社会も人間もそんなにシンプルじゃないしもっと曖昧だと思う。

プリントを舐めながら指を配る先生

【取扱説明書】イカれたメンバーを紹介するにあたって

最高のネプリーグ「楽しかった話、いっぱい聞かせよ」

場を回してる魔女「イーッヒッヒッ！それではねぇ」

メスガキ「ちんぽちっさ💕💕💕」

博士「でも、本当に小さいのかな？

自然界のちんぽと見比べてみよう」

部活やってた時は「何もない日サイコー！」になってたけど部活辞めて大学生になったら「何もない日辛すぎる😭😭😭」になるな

目の前の大学生があまりにもつまらない話をしているにも関わらず周りの女子大生にバカウケしているのを見てめちゃくちゃムカついて反撃してやろうとしてとった手段が「早歩きして抜かす」なのが本当に情けない

シンジ、エヴァに乗り100万円を目指し笑いを取れ

明らかに途中で「死亡乙」って言ってるお経

お母さん「先生、息子の容態は…」

嫌な医者「まだ舞えます」

さて、イスラム教は、最高指導者が「イスラム教を冒涜した者に死刑を宣告する」事が出来、それによって実際に世界中のイスラム教徒たちが死刑執行を試み実行するという宗教である事は明白なワケだが。現在、カルトと一切の関係を断てという声が上がる日本で、イスラム教はどういう扱いになるの？今回、日本で「カルトと政治は一切の関係を断て」という話になっている…筈なのだが、そこにも妙な忖度めいたものが漂っている。なぜか、統一教会関連だけに矮小化される傾向があり、その他の宗教や団体に拡大するのを避けようとして、その為により一層、統一教会系への攻撃を増す…といった様相。カルトの広告塔に政治家が使われるだけでも問題だというのは私も同意する。その点について政治家が従来から鈍感に過ぎ、その鈍感さはカルトだけでなく、悪徳商法にもさんざん利用されて来た。ただ、これを法で規制するのは困難だし、副作用として危険なものも予想されるので慎重にやらねばならない。で、冒頭のイスラム教の話に戻るが、今、カルトと少しでも関わった政治家は退場とかって筋で、魔女狩りにもなりかねないぐらいの勢いになってるよな。その筋だと、宗教の最高指導者が死刑を命じ信徒がそれを実行するという宗教って、一切の関りを持ってはならない宗教に分類される筈だよね？逆に言うとイスラム教を接触禁止宗教から除外するって話になると、まるっきり筋が通らないんで、それこそ「政治が宗教に操られてる」事になる筈なんだよな。さて、それでイスラム教を接触禁止宗教として日本の法律が定めたとしよう。これをイスラム教に対する侮辱と捉えて最高指導者が日本国と日本人を敵と見做し、これらに報復せよと命じたならば、さて、どうするのか？そのぐらいの危険は想定しておかねばならん筈だがな。さて、だから、「接触禁止にすべき組織」を設定して、それらを「排除、撲滅」って方針にするのは危険でさ。なので「関わり方」で線引きすべきだと思うワケよ。問題は特定の団体や個人の私利私欲を満たす為に、公共の福祉や公益の観点を無視して政治が行われる事なのであって、祝電打とうが献金受け取ろうが、それで政治が歪まなければ問題は無い。カネと引き換えに政治を歪めるような政治家なら、カルト撲滅しても他の金蔓探すばかりだろうしな。あとは、世間への影響力の強さ、政治家としての信用とかを広告塔に利用される問題だが、これも「関わり方」として捉えれば、カルト宗教かどうかみたいな厄介な線引きより、包括的に社会への悪影響を防ぐように対処可能ではないか？

戦時下の日本人の辛さみたいなのは事実ではあるけど、日本が先の戦争で特にアジアに対しては加害者でもあったのを忘れてはいけないのにその視点が薄れてると感じる。それは兵士としてあの時代を生きた世代が多くお亡くなりになってるということもあるのだろう。「支那家屋に重機撃ち込むとさぁ」みたいな話はもう聞けない。ほんの子供の頃に空襲被害にあった当時の小さい子供たちの声だけが残る。その小さな子供たちのなかでも戦災孤児の話も何故か伝えられない。

飲酒、酒は百薬の長は嘘で、少量からもはっきりと摂取量に比して健康を害することが出てしまったので、コロナで大学一年生が飲まされる文化に出会わないまま2、3、4年生となり完全に飲ませる側もいなくなったので飲酒イニシエーションが無くなり一気に過疎りそう。

うつ病が良くなってきて分かったことは「疲れていた」ということ。絶望感とか、死にたいとか、価値がないと思う原因の全ては「疲れ」。「休めない」と思い込まない。それは錯覚や呪いなんだと気づくこと。「私は頑張らない生き方をする。」と決める。疲れてしまう原因を、一つずつ丁寧に解決しよう。

これも何度か言ってるが…女性、育休時短勤務の女性の皺寄せを食うのを男性よりも厭うので女性が増えるほど所謂ゆるふわなヌルい働き方する女性への風当たりはキツくなると思う。資生堂ショックは遍在する

私だけが上手くいかなくて、私だけが誰からも何からも選ばれなくて、私だけが取り残されている。この世界で私だけが他の人のように普通の顔して普通に生きられない。ただ独りでじっと動かないで同じ場所でうずくまっている。そういう思考に陥らないためにできるだけ健康でいる必要があるのかもしれない

息子🧑が大きくなったから、今日から夫👨と同じお弁当箱🍱にしたんだけど、今日昼☀️に夫から電話があって「2段とも白米🌾なんだけど」って、母うっかり💦アニメみたいなことが起こるんだなぁってほのぼの☺️ 帰ってきた息子にも聞いてみたら「2段とも白米🌾だった」との事。以後気をつけます💦💦😅😅

むかしとあるITベンチャーでHTMLコーダーのアルバイト面接したことあるが、来たのはPCに馴染みがない子らばっか。んで、それぞれ人選をすすめる中、俺がとった採用基準は「モノを作るのが好きか？」で、これを１人づつ聞いた。結果周りの反対を押し切って俺が自チームに採用したのは、PC未経験で消しゴムハンコを作るのが趣味な物静かな女の子。今ではその子、一部上場したその会社のコンテンツ企画部の管理職やっとる。他は全員やめた。適性とはそういうことかと、今も思う。

新人の放った「僕は校正なんて地味なコトするためにここにいるんじゃないんですよねー」という言葉に、校了間際の編集部が凍り付いた覚えはある。でもやっぱり、しんどいことが多い仕事だと好きなコトじゃないと続かないよねと思う。

解雇ができないので、能力は未知数でもいいから社命に忠実で社内コミュニティに悪影響をもたらす可能性の低い「無難な人材」を採用しておいて、スキルの不足やミスマッチが判明・発生したら、異動や転勤を駆使してなんとか仕事をあてがう（SEから経理や総務への転属なんてのもちっとも珍しくない）。もちろんそのときに「そんな田舎はお断り」だとか「こんな仕事は自分のやりたい仕事と違う！」なんてゴネそうな人は最初から弾いておく。で、どうしてもスペシャリストでないと務まらない仕事は、派遣や契約社員にお任せ。派遣や契約社員は正社員に比べると遥かに「切りやすい」ので、今そのときに求めているスペシャルなスキルさえ持っていれば、多少人格に問題があろうが、スキルが一点特化でそのプロジェクトが終わったら役立たずになることがはっきりしていようが、問題無く採用できる。これは別に企業のモラルや人事の見る目がどうこう言う問題じゃなくて、「正社員は余程のことがない限り解雇できない」という条件が存在する中での当然の戦略。そして学生側がそれを敏感に感じ取って、スキルじゃなく「コミュ力」を磨くのもまた当然の戦略。

IT業界を仕事に選んだけど、ぶっちゃけ一つも面白くないし、苦痛でしかないので仕事にしたことを若干後悔している。けど、1回卒論で趣味をテーマに卒論書いたけど、卒論の大変さと趣味が直結して一時期嫌になったことがあるので、好きなことや趣味は仕事にしないことにしている。仕事が楽しい人や趣味に近い人って本当に羨ましい。

プログラマーで入って10年もしたら開発に飽きちゃって、コーディングもデバッグも設計もテストもほんと嫌で嫌で何回も異業種に転職試みたよね。まあ、転職失敗したわけですが…。インフラが今は楽しいからまあ良かった。

プログラマーは「バリバリ適性あって天職」か「他の職に適性無さすぎて相対的にマシ」な人がやる仕事

つまらない仕事でもそこそこの収入がある場合、それでの収入がどれだけありがたいもので、尊いものかは失ってわかる。失ってからはもう遅い。取り返せない。正社員やめて、派遣とかそういう仕事ばかりしだしたら、今まで嫌悪していたものの尊さを知るんです。誰でも、自分もそこは痛いほど経験していますから。はい。

やる仕事よりは好きなことが仕事のほうがいいのは間違いないとは思うけど、趣味とイコールだとプライベートを侵食する可能性は上がるんだよ。新卒や若いころならそれでも構わないけど家族ができたらどうなるかな・・・それはワークライフバランスの崩れてる状態と呼んで差し支えないと思うわ。

一応現職はデザイナーだけどフォントとか種類多すぎてわけわからんし一定種以外見分けがつかない。タイポも広告も趣味じゃ絶対に作らないし特にwebなんて仕事以外では見たくもない。けど何かを作るのは好きなんだよなぁ…。趣味を仕事にする人はいなくても、なんとなくエッセンスが近いことを仕事にしてる人は結構いるのかな

昔、コーラ好きだった友人が亡くなり、その通夜の帰りに自販機でコーラを買ったら、なぜか二本出てきた事がある。「あいつが一緒に飲もうと出してくれたのかな？」とかしみじみ思ってたら、さらにガチャン、ガチャンと音がして2本どころか次から次にコーラがでてきて自販機の会社に電話した事がある。

流行りのネットミームに飛びついてデカい感情になっている若者に冷や水を浴びせ、「借り物の言葉で分かった気になるな！自分固有の欲望に向き合え！」と説教してまわるゼロ年代説教おじさん

晴れ過ぎて暑すぎるのはもはや「天気悪い」に分類されるのでは説

普通に生きるの最低ラインが｢フルタイムで働いて趣味も楽しんでパートナー見つけて子供産んでね！政治にも興味持って勉強もして市場価値上げてこう！将来のために投資もしてね！｣みたいな感じでハードル高すぎる。呼吸してるだけで褒めて欲しい

学生時代は3〜6年ごとにゴールがあったのに社会人になった瞬間40年以上ゴールがないのが人生の1番のバグだと思う

言ってる内容が同じでも言ってる奴の年齢が上がれば与える圧も違う。年相応の落ち着きを身に付けなけば無自覚に嫌な中年になるぞ。再ブレイク時の有吉と最近の有吉を見比べたらいい。立場や年齢が変わったら言うことも変えないといけないんだよ。変えないで嫌われまくったのが坂上忍な。

「型を詰め込む教育（試験）をすると、自分の頭で考えられなくなる」みたいな通念、いまいちよくわからんのよな。型なんて鼻歌交じりで完璧に演じられるようにならないと、価値のあるオリジナルなんてつくれないでしょ

なぜ悪の組織には博士課程がいるのか？理由は簡単。博士号を持たない視聴者は「めっちゃ頭がいい悪の組織なんやな」と思ってくれるし、博士号を持ってる視聴者は「学問やりすぎたせいで気が狂ったんやな」と思ってくれる。

「受験勉強で答えのある問題ばかり解いてきたから、社会に出て答えのない問題にぶち当たると苦労する」はわかるし人はたいていそうだと思う。でも「受験勉強で答えのある問題はろくに解けなかったけれど、そのぶん、社会で答えのない問題に対処するのは得意である」は理屈がつながってない。Twitterでは「高学歴」だけはいじめていいと思われてるふしがあり、しばしば影響力をもった人が「だから高学歴はだめなんだよ」みたいなことを言うが、「だから」がまるでつながってないなあと思うことばかりである

「戦争の語り部を養成します」みたいな事業に「そんな識字率低いんすか？」みたいなコメントがついてて笑ったことがある

大学のレポートを「～についてご存じだろうか」で書き出す人が多いのをご存じでしょうか。これから更に増えるんでしょうか？増えているという人もいますが減っているという人もいます。残念ながら増えている理由はわかりませんでした。いかがでしたか？レポートからこれからも目が離せませんね...

道具をつくるための道具を作り出すっていうのが人間のおもしろいところだよね。それが何重層にもなっている。この繊細なつながりと層が文化そのものなんだろうなぁと考えると壮大ですよね。

定期的に出てくる「江戸時代はよかった」「古代ローマは先進的」みたいな話も、根本にあるのは海外出羽守案件と同じで、対象の「良い部分」だけを抜き出して美化し、自分の理想を仮託しているに過ぎないんだよな。なのであの手の論は概して薄っぺらいし、その時代の実像とも乖離している。まあ、孔子も周公旦の治世を理想化したし、古代エジブト第26王朝の人々も古王国時代を理想化した。こうした例は歴史上枚挙に暇がないので、過ぎし時代に理想を見るのは、古今東西を問わない人間の普遍的な心理なんだろう。

妊娠中の妻の息抜きはiPadでオンライン麻雀を打つことなので、今のところ胎児が一番よく聴いているであろう日本語は「配牌がゴミすぎる」です。

急所を突いた若林「暫くは立ち上がれないんですけれどもね」

真面目で優しいだけの人、深く関わると大して真面目でも無いし優しくも無いことが多い、ただ大人しいだけ。

「昼休みに電話に出ない」って患者さんからクレームが来た。院長はすかさず「昼休みもちゃんと電話を取るように！」とスタッフに注意したらしい。さて、ここでやるべきなのは患者さんへの啓蒙活動なのか、スタッフへの残業代支給なのか。2022年夏。

俺はいつから高校球児を博打の駒にしてスイカバー食べてる汚れた大人になっちまったんだろうな。もう長い間お金賭けないで甲子園を見た記憶がない。汗がキラキラ光る球児たちを見ているとなんだか申し訳ない気持ちになるよ。今日は大阪桐蔭鉄板

若い人達が酒を呑まないって言うけど、単純に、俺たち世代が上司のご機嫌取りを金を払って行う飲み会とかいう罰ゲームをやらされ続けてきた結果だからな……酒なんて、飲みたいヤツが飲みたいやつ同士で、同等の立場で飲むモンなんや。自分たちが上司達と飲んでて楽しくなかったんだから、今の若い子が上司と飲んでも楽しくないだろうって思うと飲み会やろうとも思わないですね…

最近「好きというのはロックだぜ」「好きをなめるな」「好きをつらぬけ」みたいな作品が多いのだが、ああいうのを見る度に「感情を商売の道具にするな」と思ってしまう。正直SNS上で感情がコミュニケーションの道具と化してることもモヤるのに、商売になるともうついてイケない。本当にコレでいいのか。世の中には「お互いに好感を持ってるけど、この関係を”友達”と呼ぶと何かが失われてしまう」とか「ソレには好意を持っているが”好き”というと、ちょっと違うものになってしまう」という、微妙な物事も沢山あると思うのだ。で、感情が商売の道具なる昨今。私はこの「微妙さ」こそを保護＆擁護したい。やはり訓練されたリョナラー向けの本が書かれないとダメだ。訓練されたリョナラーは常にこの「微妙さ」を擁護するのだ。

ルフィ「野郎共！！出航だぁー！！」

言葉狩りのゾロ「"野郎"共…？　おいルフィ！なぜ"野郎"なんだ！この船には性的自認が女性の方はいらねぇということか！！」

ルフィ「いや…！　そういうつもりじゃなくて、普通こういう時は決まり文句として」

揚げ足のサンジ「おい、その"普通"ってなんだ？」

あんなに「ハンコはそういうルールだから」が嫌いだったTwitter民がマスクに関しては「マスクはそういうルールだから」連発してて、え？と思った話をたしか自粛初期にも呟いた気がする

自称フェミニストが反論されたときに「女性交際経験あります？」「あなたモテないでしょ？」みたいな逆セクハラしてくるの、フェミニストが嫌悪するセクシャルハラスメントそのものだろ。男性が女性に向かって「あなた処女ですか」と言っているのと全く同じ構造だぞ。

消費者が労働者に安価で過剰なサービスを求めすぎるから労働者が苦しくなっているという批判、一部の左派の人は共感を示すのだが、この「安価で過剰なサービス」に医療介護福祉が含まれているという指摘には耳を塞ぐんだよな。

Twitterで自分の主張を通したい思想強めなママ・パパが「子供の賢い一言」をツィートしたり、大昔は「マックの女子高生の真理をつく一言」がバズッてたのを見ると、何故に太古の人類社会において神の言葉を伝える役割を負う者は女性と子供だったか？がよく分かる

現実だと「嫌なヤツを成敗できるスキル」なんてぜんぜん役に立たなくて、必要なのは「そもそも嫌なヤツと距離を置くことができるスキル・環境」だもんね。

反対意見を聞いてバランスを取る、悪くはないけれど、自分に向けられた不特定多数の罵倒なんて聞いてたらメンタルが持たないからね。意見は対立してもお互い敬意を持って話せる場とそうでない場がある。少なくともTwitterは2ちゃんねると同等だろうね

「お前、俺のこと舐めてるよな？」から始まる小林製薬のCM

ひもじさの解消が日常生活の最大の課題で食べ物を巡って喧嘩したり悔しい思いをした世代を理解するのは難しい。というかそれ以降の世代間に大きなギャップを感じたことがない。今の60代と20代の差は1960年代生まれとそれ以前の世代の差ほど大きくないと思う。豊かさの差はあれ本当の飢餓感はあるのか。

昔、国語で「ちいちゃんのかげおくり」って話があったんだけど担任が「これ読むと毎回泣いちゃうの…途中で泣いちゃったらごめんね…」って盛大に涙の伏線を張ったくせに終始真顔で音読して「涙出なかったわ」というセリフと同時に終了のチャイムが鳴ったのが面白すぎたせいで話の内容一個も覚えてない

最近支給PCのメモリが4GBから8GBになってる日系大企業が増加中らしい。ついに低メモリで生産性が落ちていることに気付いたか、でもそれなら16GBまで頑張ってもいいのにと思って購買部の人に話を聞いたら単に4GBモデルの販売がほぼ終了して8GB以上のものしか発注できなくなったからというオチだった。基本的にPCスペックをケチる会社は将来性がないから早く脱出したほうがいいです。真っ当な意思決定ができる人ならメモリをケチって仕事の生産性を落としたりしません。メモリ代よりも従業員の給与のほうがよっぽど高いのですから。

終戦の日で一番好きなエピソードは「15歳の機関助士」で玉音放送を聞いたその日の夜、いつも通り灯火管制の除光幕を引こうとしたら同乗の機関士「そんなもの引き千切って罐に放り込んじまえ」と言い、東海道本線の鉄橋から見た景色が今まで見たことないほどたくさんの家の光が瞬いていた話。

なんか自分の考えと合わない意見見たら、あの人は狂ってきたとか元々大したこと無かったみたいな言説がTL流れて行ったけど、ひとつの意見の違いでそこまで言ってしまう方が危険性高いということをうちらは勉強しなきゃならないんだろうな。

二男三男には生まれつき体にアザがあるので、ポジティブシンキングになるように南総里見八犬伝(マンガ版)を読ませたらポジティブシンキングが度を越して同じアザを持つ他の勇者たちを探す旅に出そうになってるから誰か止めて。

プロゲーマー（ソリティアをしているだけで800万もらえる、JTCのおじさん）

高い社会性を持っているのに対話的になれない時点で、いかにマトモに見えても何かに洗脳されてる人だろうなと認識すること。自己解体や自己懐疑の力がその人には無いと。高い対話的なあり方を持つ人ばかりの環境で30代までノラノラと生きてきたから、そうでないクローズで出世的な人に関する知見を得られてこなかった。出世的な人々に関する経験をここ数年で積めたからまあ知見は広がったし経験値は積めた。

終身雇用というのは、基本的に定年まで勤めてもらうという条件を出すのでうちで働いてくれ、という経営側からのエサだったわけで、要するにそれは人手不足だったから比較的優秀な人材を金額としては安く雇用する為の条件だったのだ。そしてそれは無能をクビにできないという経営側の不利益よりも優秀な人材を安価に確保できるという利益の方がより大きかったという側面もある。それが崩壊したのはひとえに優秀な人材がより多くの条件を求める様になった事で経営の効率化を進めなければならなくなるという時代背景が存在する。資金に余裕のある企業までもが賃金や待遇では人手不足に対応出来ない！となってようやく機械化などの省力化に本腰を入れて投資し始めるわけで、とりあえず設備投資するより有利な人間の値段からの脱却のためにはしばらく人手不足を続けた方が未来に繋がると思うのだよね。

自分に合った職というより、自分に合った構造を見つけられたらいいんやんな。形がフィットしてれば中身はある程度なんでもいい。

戦争を経験した祖母曰く、「死んできます」なテンションで戦場に行った人はみんな死んでしまい、「何とか帰ってくるわ」なテンションの人は生きて帰ってきたらしいので、やはり何事も根っこの部分の気持ちが大事なんだと幼い頃に思いました

何人も悪人になる強さを持たない限り善良さを称えられるに値しない。それ以外のあらゆる善良さは、おおむね、怠惰か意志の無力にすぎない。

「ビュッフェ」って言葉好きじゃない。暴露された料理の前で唾液を効率的にまきちらすために考案されたんじゃないかと思う不潔な発音。なんでもフランス語にしときゃオシャレが集まると思って

「嫌なら辞めろ」とやってきた結果、医療も教師も土木関係も人がいなくなって来たわけで、本来なら「どこが嫌なのか」と聞き取りをして絶えず職場環境を改善してこなけりゃいかんかったのですよ。「辞めても替わりはいる」というのは専門職において現代では嘘というか激しく間違った認識なんですよ。

「起きなさい。学校へ行く時間ですよ」

「なんで　ママ　学校になんか行きたくないよ」

「行きたくない理由を言いなさい」

「友達いないし　先生たちにも嫌われているんだ」

「理由になってないわ」

「じゃあ、ボクが学校に行かなきゃならない理由を言ってよ」

「あなた校長先生でしょう」

ねえ、こんなつまんないところ二人で抜け出してさ、スナイパー小屋行こうよ……

好きなことを仕事にした場合、自分が食物連鎖の頂点にいるのであればバラ色の人生なんだけど、多くの場合わがままが言えない状態で仕事をしなければいけないので、好きなことだけにかえってストレスが溜まる。

よく「（誰か・何かが）死んだ後に悲しみがふっと沸いて出てくる」っていうけど、マジでそれはその通りっぽくて、たとえば猫が死んだ後からっぽの首輪を手で撫でたり、スーパーでkalkanのコーナー通ったり、こたつに慎重に足を入れたりしてるときに涙が出てくるんだろうなって思う。人物やペットがこの世にいたという無数の「痕跡」がだんだんとこの世界から消えていくことに悲しみを覚えるんだろうな。……みたいなことを、すでに父をなくした職場の人から「自分の父が財布に残していた1000円を自分はいまだに使えずにタンスに保管している」って聞いて思った。この世から父の痕跡を消すことのうしろめたさが現れている

仕事を好きになるには２～３年腰を落ち着けて判断するんだろうけど、その頃にはその業界か職種にしか転職できない。あと高学歴の方が転職は上手くいくだろうと想像する

｢マジで勉強してない｣がマジな方の皆さん

商業施設のトイレに設置されてるハンドドライヤーで本当に “完璧に” 手を乾かそうとして20秒くらい使ってるやつ何なんだよ。

うつ病を予防する方法は単にストレスを避けることではなく、そのストレスが矛盾する感情を引き起こしていないかを確認し、矛盾を解消することです。例えば、仕事のストレスなら「好きな仕事なのにブラック労働」というケースがあります。このケースでは嫌な仕事より遥かにうつ病になる危険があります。嫌な仕事でブラック労働も辛いですが、単に嫌な仕事ならいつでも辞められますし、サボることもできます。そこに精神的救いがあります。しかし、好きな仕事は、サボらないし、好きな事やらせて貰ってると言う負い目から、ブラックの改善も言い出せない事が多く、ジレンマと矛盾が精神を蝕んでいきます。この例では好きな仕事だからこそ、条件の良いところで働くべきです。その分野の能力が高ければ条件に合うところが見つかるはずです。もし、緊急にお金が必要なら好きな仕事を諦めてお金のために働いたほうが、まだ健全です。感情を条件と相殺する必要はありませんし、好きな事は趣味でもやれます。

仕事で五十代のおっさんが「俺らの頃は毎日日付けが変わるまで働いてやな……」と語り始めたので「ジジイの苦労話キター！」と思っていたら「ある日帰ったら家に電気がついてなくて、食卓の上に手紙があって……」と続いたので用意していた表情が吹き飛んでしまった。

1988年に書かれた22世紀を舞台にしたSFに「何の変哲もない数メガバイトのRAMカード」が登場し、うおおおおおおおとなっている

【鼻血が出た後に鼻をほじる時あるある】

カサブタかハナクソかの熱い駆け引きがある

となりのトトロのボロボロの家を見ていてもそれほど不快には思わないし懐かしい匂いすら感じるのに、実際に田舎の家に戻ってみるとタイルの水場や汲み取り便所を見てウオッ汚いな……みたいな感覚になっちゃう悲しみがある

先生「お前らが寝てる間にアメリカ人は実験しとるんやぞ」

ワイ（それは時差では…？）

逆に、職員室でめちゃくちゃキレて教室に逃げ込んでくる先生

とんでもない言語をつくってるアンミカ「あんな、音素は200種類あんねん」

フェミニストが「オタクは世間の常識とズレてる！一般社会から見て非常識だ！」ってマジョリティ側として発狂していますが、「この社会の当たり前と思われてる常識は間違ってる！」ってマイノリティ側で活動してたんじゃないんですか？どの立場で何がしたいんですか？？

1990年代前半の「ソ連はもうない」「インターネットも普及してない」「携帯電話もない」「エヴァも放送前」。って世界の空気ちょっと説明しにくいよな。昭和のロスタイムだな。同じような感覚で「平成のロスタイム」が語られるとするとコロナ禍前までだろうか。子供目線からだとふわっとした明るさと呑気さがあった時代に思う。95年を境に決定的に雰囲気が変わる。

「絵上手いなぁ」と思う人は想像の100倍描いてます。「話面白いなぁ」という人は同じ話を100回は他でしてます。全ては数の問題です。1回より2回。2回より3回。回数を超越して上手くなろうというのはとんでもなく考え工夫しないとムリ。

実際の親子丼、お互いに「誰だ？」ってしか思ってないだろ。

「FIRE」という言葉がずいぶん流行っているけど、本当の意味でのFinancial Independence（経済的自立）とは、いくら貯金があるとか不労所得がどうとかではなく、「自分自身で考え行動すれば人生何とかなる」と思える精神状態のことなんじゃないかな。

太平洋戦争を語る時、「なぜ日本は無謀な戦争に突入したのか」と毎年いうじゃないですか。しかし問題はそこじゃないのです。戦争は外交の一手段だったのです、当時は。領土問題などを外交官同士が話し合いますよね。それで話が平行線になる。すると「じゃあとりあえず戦争しましょう」となる。

戦争をやってみると、次第に形成が見えてきます。そのあたりで停戦がなされ、再び外交官が戦争の結果をもとに話し合います。戦争はあくまで限定的なのです。外交交渉の材料だったのです。これを「無差別戦争観」といいます。明治日本はヨーロッパから学んだ国で、基本的に「無差別戦争観」の国だったと考えれば良いのです。そうすれば山本五十六の「最初の６ヶ月は暴れられます」と整合するのです。アメリカは日本より強いけど、日本と戦えば大量出血すると。そこから外交官どうしが外交すると。アメリカは日本より強いことは皆んな知ってましたよ。陸士・海兵は防衛大学校より何倍も頭いいんですから。ところが、アメリカ合衆国は「正戦論」の国だったのです。あくまでも無条件降伏を求めて30年でも100年でも戦うハラだったのです。工業生産力の違いとかではないのです。彼ら停戦しないのです。勝つまで戦い、あくまで無条件降伏を求める。何ガロンの流血を恐れない。都市部の無差別戦闘員に絨毯爆撃して原子爆弾まで落として皆殺しにするわけです。こんなの近代戦争ではないのです。十字軍戦争です。アメリカ史を勉強してればわかる話なのです。相手が悪すぎたのです。「アメリカ通」と称する人はいたのでしょうね。それでそういう人たちは、ヨーロッパ組より格下だったと。全然ピント外れです。アメリカ史知らない「アメリカ通」なんていたらおかしいでしょう。知らなかったのですよ、アメリカ史を。ヨーロピアン・スタイルならアメリカと戦うのは変でも何でもない。

龍が如くってヤクザを賛美してるとかの理由でたまに叩かれるけど、俺はむしろヤクザの人生には苦しみと嘆きしかないから真面目に仕事しながら生きるのが一番ってあのゲームのお陰で悟った。

「人の評価をKPIにすると簡単に狂うので、自分の能力にストレートに照準を合わせた方がいいです。それらは相関しないことがありますが、そういうものです」というよりない事案が多いな。人の評価、実行力が伴わなくても割とお手軽にハックする手段はたくさんあるんだろうけども、実働を求められずに済むことって滅多になくて勢いよく破滅するので、最初からコツコツ能力を積んでいった方が足元が安定します。

ギャルしかいない学校で育ったのでギャルの解像度が人より高い自信があるのですが、生粋のギャルは全然肯定してくれないし、仲間内以外に優しくないし、仲間内の範囲が狭いし、興味ない人間から話しかけられると「ふーん」ってマジで興味のないトーンで言うか、舌打ちするか、無視します

めちゃくちゃ大人しく、隠れてコソコソと泣くような子だったので、スーパーとかでわめいて泣くような子を見るとうんざりしてしょうがない。子どもができたときどうなるんだ、これ。

まあ、どこの会社でも同じなんだけど、なかなか上手くいってない中で、誰かが起死回生のヒットを飛ばしちゃうと、「なんでそれが上手くいったのか？」をキチンとポストモーテムする前に、「それを成した人物が天才なんだ」と認定して、そのままアンタッチャブルの立場に祭り上げちゃうんですよね。よしんばその人が本当に天才だったとしても、それまでの協力体制を全部遮るような取り扱いになるんで、その後は泣かず飛ばずの時期が長く続く…という状況に陥ることが結構あるし、ましてやただの運で上手くいった場合には、なおのこと。

「一度も絡んだことがないのにブロックされていた、あの人は感じ悪い」というような趣旨のツイートを見たのだけど、第三者への振る舞いや嗜好や言動を見て「この人の言葉はあまり目に入れたくない」と感じたり、「万が一機会があってもコミュニケーションは無理」と感じることはよくあるし、正直なところ「感じ悪い」くらいの距離を保っていたほうがお互いのメンタルのためにもよいだろうとも思う（そういう措置をとらないともっと関係が悪くなる可能性が高い）。なので、はい、そうですね、感じ悪いやつなんですよ、わたし。そういうわけで、じゃ。という話だろうなと思う。そもそも、「あるサービスを使っている」という共通点だけで「そのサービスのあらゆる利用者とコミュニケーション可能な状態」のほうが特殊な状況だよなと思っています。機能は使ってナンボだし、無償の趣味でやってるので、そりゃあ相手くらいは選びますよ。選んだほうが楽しいし有益だし。

改めて考えると、日本の「平和教育」って「戦争では酷い目に合う（バチが当たる）」「そうならないために、「平和平和」と唱え続けろ」「戦争に関係する物や知識は汚れているから触れてはならぬ」って感じで完全に「宗教」よな。

最近の若手、昔と違って、残業は本当に嫌がるし無給労働なんてもっての他、という感じがする。ただ、そのおかげで、若手に指示を出す立場の僕も残業前提の考え方を改めるようになったから、良い意味で新しい風を吹かせていると思う。ぶっちゃけ、自分自身も早く帰れるのは助かる。勉強時間を確保できるし。固定残業代制だと残業減らした分丸儲けできるのも嬉しい。

親や兄弟のあり方のモードや思考の位相から離れて自分の思う位相にコミットすること。自分の人生を生きるために幸福なファミリーの連帯から外れること。こればかりは「真っ当な社会人」達こそ全然できてないことが多い。でもやらなきゃ成熟できない。

毎日2時間くらい遅刻して来るので流石に遅刻が多過ぎるしちゃんと連絡してねって話したら「そんなの人それぞれでしょうが！！」つって会社辞めたあの子どうしてるかなって思ってたら自分で店開いてたので安心した。

1周が5万マスあるマリオパーティの神マップ

3DSの工場、正社員が見てない時にバイトが3DSをつまみ食いできるらしい

火垂るの墓については子供の時に見てたらじいちゃんの「この頃俺はフィリピンのジャングルにおってな」という思い出話が始まって、その内容がぐちゃぐちゃになった死体を運んだとか戦闘機から機銃掃射されたとかハード過ぎる内容で全然物語が頭に入らなかった。三宮駅でせいたが死んだ時もじいちゃんが隣で「この頃は捕虜やった。食後にコーヒーとタバコもくれるから捕虜になってからの方が楽やった。それまでこっちはジャングルに生えてるバナナ食べて耐えてたのに。勝てるわけないやんって思った」って言っててせいたと節子の死が薄れてしまった。火垂るの墓については「この頃はこれが当たり前や」と厳しかったじいちゃんだけど「プライベートライアン」は「めちゃくちゃおもしろかった。ノルマンディーに配属じゃなくてよかった」と絶賛してた。

男女ともに若者であるうちに経験しておくべきことに若さを失ってから慌ててトライしても当然上手くいかないんだよな。そうして苦しむアラサーアラフォーをぱっくりしようと様々な業界が「アラサーアラフォーでも遅くない！まだ輝いてる！やれる！我々が全力でサポートします！」と待ち構えている。

高齢世代、ほとんど差別意識なくナチュラルに「キ◯ガイ」という言葉を使うんだけど、用例を見ていると「キ◯ガイのように混んでいる」「キ◯ガイみたいにコレクションしている」「キ◯ガイ雨」など量が甚だしく鬱陶しい状況に限られていて、この世代にうつ病が精神疾患と認識されない背景が見て取れる

これもう時効だから白状するけど、当時ゲーセンにあるムシキングの筐体がカードの脇にあるバーコードをスキャンすることでカードを認識してることに気付いた賢しいガキの俺は、ネットでムシキングのカード画像を探して印刷し厚紙に貼り付けて生み出した不正人工昆虫で戦っていた

これもう、こんだけ作りこんでる公式を褒めるべきなのか、うp主の運転技術を褒めるべきなのか、毎日頑張って学校行ってる俺を褒めるべきなのかわかんねぇな

選択し、予想しないところに到着したり、違ったと感じても怖がらないことです。そこにいる人たちがあなたとの経験を必要としていたのです。短い期間でも必要だったのです。違うと感じるなら去ることです。長くいなくちゃいけないとか間違いではなく、違ったと感じることを尊び去れば、守られていきます

職業柄、色んな地主さんに出会うけど、"働かない"って地主にとって何よりも大切な才能なんですよね。じっとしている才能。どんなに優れていても事業を興さない、楽しそうなビジネスの話があっても耳を貸さない。挑戦をしてはいけない、何かを成すということが出来ない人生。結構ホラーだぜ？時々アホが産まれて「僕はできるんだ！！」って株で爆発して土地手放すケースばかりなんですよね。何もしない、これが出来ない人は地主にはなれないんだと思います。

陰謀論界隈が否定したい対象を表すのに正式な呼び方を選ばない傾向、「千と千尋の神隠し」のような呪術的な発想もあったりして。正しい名前など呼ぶに値しない、忌まわしい名前、忌み言葉とする言霊信仰。本当の名称を使わない事で、優位に立てるという感覚か。

東京五輪のマスコットキャラクター、ミライトワとソメイティの何がムカつくって、二人ともどうせ生まれも育ちも東京の内勤高学歴高収入テレワークのライフワークバランスのボケカスフレックスタイムの有給取りまくりの人生どこを切り取っても順風満帆の自信に満ちた健康な自称非の打ちどころのなさよ。

アメリカ人の命を懸けてでもウケを狙おうとする天晴な心意気。「アングロサクソン界の関西人やんけ！ブリとはえらい違いや！」と大変親近感を抱いていたのだが。昨今そうでもしないと陰キャ扱いで迫害されると知った時は「あっちは大変やなあ。日本に生まれて良かった」と考えを改めたりで。アメリカで色々やってた頃。英語無茶苦茶下手糞なくせ人に恵まれなんか可愛いがられていたわけだが。関西人の血から派生してしまった「おもろい外国人気気質」が「アホな陽キャ」として偶然にも過大評価されてたりで？と分析してしまう昨今。あとあっちの国で威力を発揮するのは「強力なコネ」だから。

資本主義のボトルネックは「誰かの不幸を全面的に阻止しようとすると立ち行かなくなる」という線なのかもね。労基法を守らない企業を捨てていくと、立ち行かなくなるくらい選択肢が狭まるような線で。

日本の多くの会社では、時給800円でアルバイトする若者が仕事をさぼることは叱るくせに、時給換算でその何倍もの人件費を支払われている人間が会議で不毛な時間を過ごすことに対しては思いのほか無頓着である。

まだ一般病棟で働いていた頃、ある末期がんの患者が「最初は痛かったり苦しかったりするのはイヤだな、怖いなって思ってたんだけど、実際こうなってみても予想してたほど痛くも苦しくもない、なんだかアテが外れたような気がする」と言うのでわたしはもう少し突っ込んで聞いてみようかと思い、具体的に今、何が気になっていますか？と尋ねてみた。するとその患者は少し考え込むとこういう話を始めた。「なんていうか･･･外の世界は何もかもずっと続いていくんだけど、その中から自分だけがいなくなるんだっていうか･･･それを納得しなくちゃいけないんだ、っていうことをずっと考えてる」。わたしはその患者の話を聞いたときに、初めて一人称としての「わたしの」死をリアルに想像した。それは本当にひやりと体の内側から寒くなるような怖さだった。

小学校から留学を繰り返した早稲田文系のお嬢様が「経済格差解消のため履歴書で学歴より経験を重視すべき」と言っていた。成田悠輔に「経験を得る財力のある者がより有利で、アメリカでは実際そうなってる」と指摘されると、「留学が無理なら学校でいじめられたことでも書けばいい」と答えてて笑った。「経験＝留学ではない、身近な日常からも豊かな経験はできる」というのは評価される側の願望であって評価する側の論理ではないんですよね。今は面接で親の職業・資産・収入を聞くことが禁じられていますが、「海外経験ある？」と聞いていいなら推測できてしまいます。経験採用の正当化とはそういう世界

「正義を振りかざすことの快楽」みたいなのよく聞くようになったけど、悪は悪でめちゃくちゃ快楽があるので、快楽の話にしたところでレイヤーが一段変わるだけでそこまで意味ないなってよく思う。なんせ「快楽のある正義」の方が「快楽のある悪」よりは良いだろうしな。正義の危うさを指摘したいなら、ちゃんと「正義を振りかざし過ぎて悪になってる」とか言い切った方が、レトリックとしても指摘としてもクリティカルだと思う

山月記も受験エリートが自意識をこじらせてTwiiterでBuzzを稼いでる話だと考えると人気があるのもわかるな。

誰かが挫折したり、苦しんでいるときに「俺も同じ様なことがあったけど頑張って乗り越えた」と言うのは、励ましではなく自慢。俺はその辺全然分かっていなかった。聞き上手な人って、自分でも言葉にできないモヤモヤを、上手に聞きだしてくれるんだよな。自分で言語化できると悩みの半分は解決している

ミスコンはルッキズムだと言いながらミスコン自体は廃止せず意識の高さで競う流れ、運動会の徒競走ではみんなでお手手繋いで一緒にゴールさせつつ学力テストでの人間のランク付けは絶対にやめない世間の風潮と似たものを感じる。自分が勝てるようにルールを変える側に回るのが一番強い。

学歴より経験。4カ国留学。SDGs教育。子供は人生経験が少ないから残酷なもので、大人は人生経験を積むたび多少なりとも分別が身につくものだ。この一件だけみても、その程度の経験では分別が身につかないだけでなく残酷な子供のままだとわかった。で、あの人が教えるSDGsとは。残酷さとは想像力の欠如です。相手の痛み悲しみ苦しみ境遇への想像が分別や慈悲につながる。想像は経験をもとに生まれる。子供は人生経験が足りないから残酷なのです。彼女は留学経験が必ずしも人間としての成長につながらないことをはからずも証明してしまった。自他境界の曖昧さも露呈してしまった。

「自分と異なる意見が存在することを健全だと認める」「個人的な快不快よりも社会的な善を優先する」のは訓練と忍耐と覚悟がいるという話じゃないすかね。賛同者ばかりに囲まれて常に拍手されていたほうが気持ちいいのは当たり前なので。異物を排除する快楽、同質だけで固まりたがる安楽が自分の中にもあることを誠実に認めた上で、「しかしそれでもなお」と歯を食いしばるのが市民に求められる倫理ってやつなんじゃ

面接官「どういった経験を」

僕「ハイ(脊髄にうめこまれたSDカードを渡す)」

面接官「ありがとうございます。少し拝借いたします。(ＳＤカードを脊髄に差し込む)。あ、ああ～～～～～～ッ！！！！(追体験により機能障害)」

僕「やはりここの企業も僕の"経験"を受け入れられないか」

「英語圏にいくと日本よりもっとすごい人と一緒に仕事ができる！」と思いがちかもしれないけど、「もっとすごいダメな人」が日本の何倍もいるという現実は見落とされがちである。日本からも見えるような英語圏の企業や著名人は上澄みの本の一握り

自分は福祉国家の支持者であり高負担高分配の大きな政府も割と是としている方の人間なのだが、そういう政党をと思うと脱原発！半島ラブ！非武装中立！SDGs！ジェンダー平等！みたいなのが（しかもそっちの音量大で）セットでついてくるの本当にやめて欲しい。そんなもん知らねえよ

経験が本当に重要ならお前らの大嫌いな老人は経験値の塊よな。変化が早くなった社会では経験はすぐに陳腐化・無価値化している。ましてや金持ちが道楽で積んだ経験はお膳立てされたうえでの経験だから最初から無価値だ。経験ではなくスキルが大切。学歴もスキルとして使えるものだけ価値がある。Twitter民はバカばっかりだから、これ大好きだよな。でも残念。ただでさえ金がない奴が経験に換える〜！とか言って海外留学しようが何しようが積み上げが効かない右から左に出ていくだけ。散財ばかりする貧乏人になるよ。生き馬を抜くように狡賢く金を稼いで貯めろ決して使うな。経験はクソ。

パパ活お断りの高級レストランって今後需要ありそうだと思うんですよね。特別な日に限ってパパ活してる人が目に入ると辛い。特にボーナス入って親を高級レストラン連れて行った時パパ活してる人が隣にいて辛かった。

「学歴よりも経験」への批判として、学力で逆転が健全という論が張られるのは、理解できるところもあるのだけど、その学力とて、親次第で学びの機会は狭まるという親ガチャ効果を考えれば、一歩踏み込んで、各大学に低所得世帯枠等の設置を、という主張になると思うんだが日本人が許容できるかどうか。ペーパーテスト(科挙)でのし上がれる社会は公平だ、という主張には、煎じ詰めれば親のリソースと選好、それから自身の認知能力の全てについて同時に恵まれた人の自己正当化の香りが漂うのだということくらいは、指摘しても怒られないのではないかと思いますよ。

最近息子👶🏻✨に幼稚園で可愛い可愛い彼女が出来たみたい👧🏻✨❤️ママに似て可愛いんだ〜なんて🤣❤️息子の幸せが私の幸せ😊✨ママの血を分けたもの同士惹かれ合うのかな😅🤣❤️❤️

美容オタクにスキンケア何してるか聞かれて「してないけど、10時間の睡眠と4時間の散歩と空腹を紛らわす為の水道水かな」って答えたら「給料の殆どを化粧品に使ってる私は何のために働いてるの…」とかいう謎の怒られが発生したから、無職は肌に良い。

旅とは、気持ち悪く、何も成していない非正規雇用のオタクでも何かを達成した気になれる。変な場所に行ってツイッターにアップロードすれば、自分が特別な体験をしていると思える。そういうものだ。だから変な顔に似合わず、オタクの間で旅は大人気のレジャーだ。

ウミガメのスープ、途中から両方敬語になりがちだな。

2008年だったと思うが、高校の文芸部の集まりで、「小説家になるのに最適な職業ってなんですか？」と質問されたので、「市役所勤務」と答えたら、爆笑された。2015年、同じような集まりで、同じ質問をされ、同じ答えを返したら、みんな「なるほど」と肯いた。高校生の意識も変わったなあ、と思った。

前に賃貸系でトラブルに遭って「お互い裁判になると面倒ですのでこれで示談に…」ってこっちが提示した金額の半額くらいの金額を提示されたので「前から裁判って一回やってみたかったんですよね！！！面白半分でやります！対戦よろしくお願いします！！」ってメール返したら全額呑んでもらえました

おっちゃんは30手前で旧司法試験の勉強を始めてなんとか合格し 「やっぱり、学生の頃に勉強しておけばよかったなぁ」 とは思いつつ 「40過ぎて『やっぱり、30の頃に勉強してれば…』とは思わずにすんだなぁ」 とも思っております。

経営者の偉い人向けに、戦国時代の武将がどうやって人心掌握してたか系の本、けっこう売れてるみたいけど、そんな昔の話すぎて都合のいい話しか残ってない時代の本よりも、上層部の能力不足のせいで現場の人達がめちゃくちゃ悲惨な目にあった、インパール作戦やガダルカナル島の戦いの本を読んで欲しい

絵描きの人が仕事用の絵を描いた息抜きとしてプライベートな絵を描いているのがすごい。私も息抜きにプライベートな訴訟とか提起すべきなのかもしれない

イスラム国とかタリバンとかのブラックジョーク、日本だとめっちゃ叩かれるけど現地でやるとめちゃくちゃウケるから不謹慎オタクがマジで役に立ってる、やっぱ人●した事ある奴はブラックジョークの許容度が大きい

「自分は全く折れる気も譲歩する気もないが、相手はへし折れるし無限に譲歩を引き出せる、と思い込んでいる者が『話し合い』を希望する」、これはこの世で最もおぞましい知性のあり方だと思っている。

「○○くらいは学校で教えるべき」と言い放って恥じない大人が多いですからね。教員はそれらに対応していたら過労死する。

夫の祖父の認知症が進み、1日8回犬の散歩に行くらしい、犬びっくりしてるらしい

実家が太いお嬢様が「経験は唯一お金では買えない」と言った件、特権理解のワークを思い出す。教室の前方、黒板の真下に箱を置いて、自席からボールを投げ入れるってワーク。前の席に座っている人は「投げ方を工夫すれば入る、努力次第」と思う。後方の席からは箱がどこにあるかすらわからない。箱が見えないんだから投げたってしょうがないだろと思う人も出てくる（学習性無気力）席に座っている限りは前を向いているから、後ろにも席があることに気づかない（特権に無自覚）後ろを振り返り、特権に気づいた特権階級が声を上げていかねば変わらない構造。後方席からは、不平等な社会構造や環境の差がよく見える。でも前方席がそれに気付いてない。社会構造を変えられる力を持つ特権階級から「努力不足」「甘え」などと言われる。そして社会は変わらない。本来は、特権階級こそが特権に気付かないといけないのに。特権階級の人こそ気づけ、という言い分もかなり傲慢と言うか。そう言い出すと公教育が無料で提供されている時点で他国の貧困層より恵まれている後列の人もそれを気づいているか、となるでしょう。 前列の人が特に後列の人に配慮しなくてもいいから、その人達の存在が後列の人の福祉にもつながるような制度を作って全体が幸福になる方策こそ必要だと思います。累進課税とか相続税とか、国内投資を呼び込む税制とか、公教育そのものもそういった制度ですね。せっかく福祉という名の玉を与えても銀色の別の玉にして回収するキラキラした機械に流し込む人もいるからなんとも。ブコメが特権側批判ばかりだけど、当たり前に「自分は特権を持ってない方」の前提で話していて。それって特権側と同じ仕草ではと思ったり。みんな自分の前にいる人間の文句ばかりで、自分が誰かの前にいる加害者でもあることには盲目的だよね

隠蔽工作段階でこんな指示が飛んでいる殺人現場は凄惨だ

・濾過しろ濾過

・一旦休憩

何年編集者をやっていても、その人に「文章を書く才能があるかどうか」などというのはわからないのですが、「書けば書くほど自分に勉強が足りていないということが分かる」と言える人は、よい書き手になれる資格をひとつ手にしていると思います。

LGBT🌈！多様性！リベラル！ってやってきたはずなのにりゅうちぇるの一件で「すべてを飲み込んで受け入れたぺこさん偉い」みたいに称賛されてるの見て「昭和の家父長制の良妻賢母生み出されてるじゃん…すべてを飲み込み耐え忍ぶ妻じゃん…LGBT最強の亭主関白かよ」って白目になってる。百億万歩譲ってぺこさんと離婚したから亭主関白じゃないよという見方もあるかもだけどぺこさんの家に居座ってる時点でぺこさん側は再婚も難しいだろうしすべてを飲み込み耐え忍ぶ妻をずっとやらざるを得ないのでは。りゅうちぇるは夫を降りられてもぺこさんは妻を降りられてない。夫を立てるしかない

ユーミンには悪いけど、「目に映るすべてのものがメッセージ」と感じられるならすぐに寝たほうがいいと思う

「これだけパートナーの女性を理解してるの人生何回目なの〜😭」と散々持ち上げられてた男性が普通に離婚して「女を語る童貞」レベルまで落ちる回

性規範は社会規範でもあるので、無くなれば少なくとも今の社会の維持は出来なくなります。危険な仕事についたり、共同体の為に自分を犠牲にしたり、子供や部下等の自分より弱い者達を守り育てる…そういった献身で社会は回っているのです。男らしさは良い悪いか？ではなく不可欠です

「男らしさから降りた新しい男性」って、実際のところ男性である重圧から解放された存在ではなく「男らしさから解放されたかのように振舞う男らしさ2.0を背負った存在」なんだよな。マッチョに庇護されたい女性の罪悪感を「私がやりたいからやってる事です」と微笑んで消滅させる、形を変えた痩せ我慢

外出先で飲むためにハイチオールcとかチョコラBBとかヘパリーゼとかの錠剤を小さなジップ袋に小分けして大量に持ち歩いてるんだけど職質されたらわりとピンチなのでは？警察密着24時とかでよく見るあの、試験管みたいなやつに錠剤浸して「ビタミン剤ですね…」ってなるのかな、ちょっとだけやってみたい気もするな

医者に「薬は◯◯出しときますか？」みたいなこと聞かれるたびに「それ俺が決めるの！？！？！？！？！？」と思っちゃうな。

【友人が吐いた場所あるある】

友人が吐いた場所だな、といつまでも思う

さっき、「夏の俺と冬の俺って、冷静に考えれば別人みたいなもんだよな」って考えが浮かんで、それをちゃんと否定できなくて、多重人格になりそうだった。

アメリカ人と遊びに出かける約束をすると、「今からエキサイトしてるよ！」とか、「待ちきれないぜ！」とか言ってくれる。リアクションが大げさすぎると言う人もいるけど、わかりやすく喜びを表してくれた方がこっちも嬉しい。誘った方もワクワクして声をかけてよかったなぁと思う。でも当日に来ない。

「AIは教えたこと以上のことはできない」vs「人間は教えたことすらまともにできない」

蜂蜜掬い上げる棒、仕事で考えると「明確な専門性は持っているのにプロジェクトで使い道のないスタッフ」のように見えて不憫でならない。

何て言うか日本に限らないんだろうが、エッセンシャルワークに近い人ほど最低賃金ぎりぎりで働いて社会を支えているのに、何をやってるのかわからないようなブルシットジョブほど高賃金って構造、何とかならないんもんかねえ。どう考えても社会全体がモラルハザードしてるでしょ。結局高収入への道は、誰でも思いつくようなエッセンシャルワークをいくら大量にこなしても開けなくて、いかにブルシットジョブをでっち上げて食らいつくかなんだよな。「ものづくり」とか「おもてなし」とか言うくせに、自分がする側に回っちゃったら負けなんだよな。「我こそが日本のものづくり」だなんて威張っているJTCメーカーにしたって、その会社の正社員は自分で手なんて動かしてなくて、納期とコストの管理しているだけだもんな。

キツくて高給な仕事、楽だけど高給な仕事、キツくて低賃金な仕事、楽でかつ低賃金な仕事。世の中こんな分類にできるけど、楽で高給な仕事やキツくて低賃金な仕事って想像以上に多い。報酬、会社と人材市場のパワーバランスでしか決まらないので、「会社に貢献した人へのご褒美」でも何でもないんですよね。何だったら社会貢献度落とした方が給料上がったりする。皮肉なもんなんですよ。

収入なんて大学出た時点でほぼ決まってるんだよな。あんなものは所属する業界で決まるから。大逆転があるとしたら元いた業界が渋かったのを脱出できた……とかそう言うケースになるだろう。だから偶に人生一発逆転を狙って医学部再受験とかやる輩がいる訳だが、若さは10年単位で失うだろう。気付いたら40代の新人がそこにいるわけだ

りゅうちぇるが離婚したからもう一度言うけど、結婚を恋愛の先にあるゴール（＝苦悩からの解放）だと思ってる人はマジで考え直したほうがいいよ。

結婚式は門出する2人を祝福ムードで励ますものであって人生の絶頂ではないし、男と女という違うもの同士が共同生活したら苦悩が伴うのは当たり前なの。こう言うと「やっぱり結婚は女にとってクソなんじゃん未婚でいいわ😇」ってなる人が多いだろうけど、結婚も子供を持つのも「生涯にわたって自分を肯定する」ためにするのよ。しなかった場合の自分にならないためとも言う。あなたは受験勉強や就活に苦痛がなくて楽しいからするんですか？という話。「就活がクソだから仕事しない」は金が入ってこないという極めて即時的な害があるから我慢するけど、家庭や子供を持たないのって遅効性の毒なんだよね。その毒効をクロワッサンの甘さで誤魔化されてきた人たちが「40代婚活女性」や「格好いい叔母さんを演じる独身女性」として浮き彫りになってきてる

驚かれる方も多いかもなんですが、結婚とは「恋愛で好きあった2人の一生仲良し宣言」ではありません。恋愛結婚の離婚率が見合い結婚のそれの何倍も高いの、結婚が自由恋愛の「ゴール」であるという幻想のせいでしょ。赤の他人だった人間と一生共同生活しながら子育てもやんなきゃなんないんですよ、恋愛してるときのパッションはむしろ邪魔まである。2人で幸せな人生を歩もうという決意は素晴らしく尊いものですが、それは「今のこの気持ちを生涯持続させよう」という類のものではありません。

旦那に育児担当させたら自分と同じように発狂するはずと思ってる専業主婦は多いけど、彼女たちがそうなってるのは「自分より脆弱なうえに感情的で制御できない存在の世話をする」という、男にとっては割とありがちな体験を子供を産むことで初めて強いられているからだったりするのでは。人間関係の煩わしさにアレルギー起こしてせっせと「社会」を解体してきた人たちがいまさら家事育児がしんどいとか嘆いてもね、「そらそうやろ」としか言いようがないのよ。だから諦めて生きづらさを受け入れろとは、わたしは言わない。今からでも社会をやればいい。親が元気なうちに子供を産みなさい。うるさいジジババとも適度に付き合いなさい。人間関係を裁断処理するのをやめなさい。世に善き男女の共栄がありますように。現代は多くの夫婦が共働きにならざるを得ない状況があり、また男女とも「個性が大事、人に優しく」みたいなゆるふわ価値観を教育されて労働市場に放り出されるので、オスだかメスだか分からない絶対値の低い人間が量産されてしまっている。絶対値の低い人間しかいない社会はいずれ窒息する。ジェンダーはその有害さを忌避するのでなく、長所を伸ばす教育をこそすべきというのがわたしの持論。偉大な男と偉大な女の両輪こそが社会を回す。

ＰS５は世界レベルで転売ヤー間で回すだけの商材になってしまいその結果「本体の出荷数は凄いのけど誰も持っていない。誰も持っていないからソフトも売れない作れない」という経済が停止した奇形な状況が２年続いてしまった形なのだが、転売を正当化した池田信夫氏のコメントが聞きたい所である。「転売ヤーによって供給の最終ラインを抑えられるとソフト開発といった裾野産業が死滅する」という良い見本なんだよな。やはり転売ヤー殺すべし慈悲は無い。

「社会人になったらもう人生って9割終了だよな」「子育てでニューゲーム定期、なお独身は一生エンドロールが流れてる模様」

昔読んだ本に、「肉体労働者は退勤後(あるいは休日)に頭を使え、頭脳労働者は退勤後(あるいは休日)に身体を使え。」と書かれていました。やはり頭と身体をリフレッシュさせようと思ったら、普段使ってない方を存分に刺激してあげるのが最もいいみたいです。私はもっと運動をした方がいいのでしょうね。

こと会社員にはなぜか新卒正社員で定年まで勤めるのが正解、できなければ負け組、死ぬ、後がないって脅しが蔓延ってる。そんな事もないんだよなぁと思うし、そうじゃない例が広まればしんどい思いする人も減るのでは。

もし今あなたが「仕事したくないな」とか「もう月曜日だ。最悪…」とか思ってるなら天職に出会えてない証拠。そんなのもったいない。月曜日が楽しみで仕方がないぐらいやりがいのある仕事を探した方がいい。私ですか？私は今現実逃避でネコの動画を無心で見ています。月曜日なんてなくなればいいのに。

「平日５日間の労働があるからこそ休日２日間の楽しさが増すでしょ」って言われたけど、休日は何日あっても無限に楽しいだろ山に埋めるぞ

嫌なことでも好きになろうと頑張ってごらんと言うのは不自然だし無理だよ。それよりも、その嫌なことを続けなくてもいいように、どうしたら逃げられるかを具体的に考えた方がいいよ。人生は嫌なことを我慢するものだなんて言う人と一緒にいたら、道連れにされちゃうよ。あきらめないで好きなことしてね

助言を求められた時は答える前に「他の人ではなくあなたに助言を求めてきた理由」を考えてください。すると求められているのは助言ではなくコミュニケーションだと分かります。つまり「『分からない事があったら何でも聞いて』と言ってるのに誰も聞きにこない」と言ってる人に足りてないのはコミュ力。

「この仕事今日中にやっといて」

有能なのか無能なのかわかんない部下「すみません今金星なんで、地球の時間でいう243日以内に終わらせます！」

「優秀な奴は将来性のない企業を見切ってすぐに辞めていく」は事実だけど、「企業を見切ってすぐ辞めていく奴は優秀」は成り立たない

大企業の社員は風土病にかかっている。挨拶ができない、覇気がない、ホウレンソウが遅い、書類仕事が多い…そういう環境では、些末な仕事を押し付け合って顧客のほうを見ない病気に罹患してしまい、同じ入力には同じ出力しか返さないゾンビ社員になってしまうのだ。

グーグル、トイレの個室の壁にアルゴリズムの問題が貼ってあるらしい。奴ら、物理的なアウトプットをしながら、知識のインプットをしているのだ。

N西兼麻雀プロかっこよすぎだろ。めちゃくちゃ勝つむかつく相手がいるならそいつの家の光ファイバーを物理的に切ればいいんだし最強だろ

麻雀AI研究してる人が「麻雀の上手い下手は最低で1000回やらないと見えてこない」って言ってた。それぐらい運の要素が強いんだろうな。でもビギナーズラックはゲーム存続（初心者の裾野を広げるという意味）で重要なので、やっぱり麻雀はよくできたe-スポーツだなと

相手に向かって「普通は」と言うことは、「あなたは普通ではないが、普通の人はこうするのでそうして欲しい」と言っているのと同じ。無意識に相手を否定している。

映画で「唐揚げにレモンかける奴」て吹き替えされてた部分が字幕だと「何にでもレーズン入れる奴」になってて"食い物になんか余計なことする奴"ってのは世界中にいるんだろうな〜ってなってなんか良かった

他人のセックス動画に自分を重ねて自ら陰茎を摩擦し射精を促すやつ、もうやりたくない...

楽しんご、マネージャー殴って書類送検されたけど、そのマネージャーも楽しんごから金を脅し取って書類送検されてるのおもろい

「日本は発達障害への理解が足りない！理解して欲しい！」と言って発達障害の啓発が進んだ結果、「発達障害とわかった瞬間排除される組織が増え始めた」の皮肉過ぎるよね。

結婚に向いてるかどうかって色々な指標があるけど、個人的には｢風邪ひいた時に誰かに近くにいて欲しいと思うか｣がかなり効いてくるなあと思う

お持ち帰りした女とセックスしてるときに｢恥ずかしいとこ見せて｣って言ったら見たことも聞いたこともない大学の学生証出されたことある。死ぬほど勃起した

TL、結婚したい男女が揃っているのに、互いに素

たまに言ってるけど生地だけはマトモなものを着れば良い、そしたら老人だろうがどんなデザインのものを着てようが「個性的な独自のファッションの人」に見える。いい年してヤバい服、って印象は80%「生地の安さ」から来てる。アニメ系衣類などがヤバく見えるのもペラペラの生地のせい

あー、いいですよね「優しい」。強いとか賢いとか何々が得意とかは、努力だったり才能だった李が必要ですけど、優しいだけは何もいらない、誰でも自称した瞬間に獲得できる、実質ただの「無」ですもんね！

以前借りたＡＶ、野外乱交モノで女３人と男優３人が川原でキャンプしながら乱交っつーやつなんだけど、女の子が「そろそろ飯盒炊爨やろー」とか言ったときに男優陣が、「すいさん？なにそれｗ　飯ごう炊飯だろーｗｗ」って言って、ご丁寧にテロップも「×すいさん？○炊飯」すげぇ笑いものにされてて、女の子も「そうだっけ？間違えちゃったーｗ」みたいに言っていた。で、そこからその子はおバカキャラ扱い。そのあと、あたりまえだがその女の子も男優にガンガン突かれてアヘアヘ言ってたんだが、なんだが悲しくなってしまったよ。きちんとした知識を持っていた女の子が、こんなバカな男優や製作陣に素っ裸にされてケツにガンガンチンコを出し入れされてるのを見てさ。

生きている人の脳に初めて触れた時は衝撃だった。豆腐よりもさらに柔らかくて簡単に潰れてしまいそうな物質が、私たちが感じる世界の全てを生み出しているという事実に、大きな衝撃を受けたことを鮮明に覚えています。

そういえばうちの親（70代）も老後が怖いって言ってたな、あなたもう老後ですよ。老人も老後を憂うぐらい人間は老後を怖がり続けるのかもな、そして憂いてるうちに終わっていく。対策として生前遺品整理をしたり墓を買ったり遺書を書いたりしてるっぽいのでとりあえず頑張って欲しい。見えない不安を具体的なタスクで分解して解消するのは良いこと

ブレグジットから始まって、トランプ当選、コロナ、ウクライナと次々にそれまでの世界観では説明できないことが起こっていて、それが日本で起こったのがまさかの安倍さんの一件だとも思えるのだが、それ以前の戦後体制的世界観で解釈したがる人たちって何なの。「民主主義」だの「基本的人権」だの、所詮は期間限定で咲いた徒花でした、と振り返る時がマジで来るんじゃないかという気がしてなりません。

現代の日本に生まれてるってだけで、世界全体から見たら、ものすごく有利。

自分の不利を嘆き、他を羨み妬み、運命を呪うだけなら、まぁ、そこに自分を縛り付ける牢獄の看守は自分自身だと知るべきだなぁ。どんな人にも有利と不利がある。有利も不利も、使いよう。不利を武器にできる人もいれば、有利を堕落へ誘う麻薬にしか使えない人もいる。足を事故で失って、義足のスプリンターになった人を羨んで、「俺の足も義足なら…」なんて事を言うヤツも実際にいる。自分の手持ちに不満ばかり抱いて、自分の手持ちを馬鹿にしてるから、持ってる宝も持ち腐れる。まずは自分の手持ちから始めるしかない。ある者は親の経済力に恵まれているかもしれないが、ある者は健康に恵まれているかもしれない。ある者は突出した部分はなくても大きな欠点も無いかもしれない。手持ちをどう使うかだ。そして、誰も自分以外のものにはなれない。それでも、どうにも理不尽に奪われることはあるよな。虐げられることはあるよな。その中で、どうすれば良いのかわからんってこともあるよな。屈せず戦っても、何もかも奪われるばかりで惨めに屈辱に塗れるだけで終わるかもしれない。それでも、生まれた最初から誰もが、立ち向かう他ないんでな。だから、誰から認められることもなく、愚者と罵られ、弱者と侮られる、ってことも、ありふれているのが世界で、努力なんか報われなくて、なんでこんなに運が回ってこないのかと悔しく思うことあったり、そういうもんだ。もう、そんなんは仕方ない。それでも、なんでか、生きようとするからなぁ。それぞれの境遇の中で、それなりに戦っているんだろう。上手い下手はあっても、世界の理不尽に抗い立ち向かっているんだろう。生きてるだけで、それはそうだろう。辛いことばかりじゃないけど、楽しい事ばかりでもない。それぞれの事はそれぞれだなぁ…孤独な戦いよなぁ。しかし、その孤独がお互いの共通項なんだろうと、思ったりする。わかりあえないものをお互いに持っているという、そこを、わかりあう事はできるのかなぁ…と。それは、友達とか仲良しって感じのものでは無いけれど。

ひろゆきの胡散臭さを知ってるほどネットにのめり込んでた人間はひろゆきと同レベルに信用できない、と言うジレンマがある

フラットアース論者が地球（球ではないが）の重力源を天に向かっての上昇だと主張するやつ、ただ上昇するだけじゃなくて1Gでドンドン加速しているのがかなりいい

安倍晋三の国葬を任された両津勘吉が2.5億全て競馬に溶かしてしまったのでクソしょぼい葬式になって全部崩壊する回

一見して面白げな結果ほど再現されにくいし引用されやすい。追試されて結果がネガティブであっても全く話題にならないから元論文がいつまでも引用され続ける。キャッチーな話作って出したモン勝ち。心理学は自己修正できていない。

昼にツイート数が増えるTwitterユーザーを見てると、同僚とお喋りとかしないのかな？と可哀想に思えてくる

AIが囲碁将棋やお絵かきや作曲などの創造的タスクをこなす一方で、SIerの労働者がExcelスクショを強いられてるの謎すぎる

「気温が高すぎてPDA端末が熱暴走を起こすのでみんな手作業で検品してる」という話を聞かされて、機械も働かない世界でまだ働かされてるタンパク質の塊のみんな哀れだなという気持ちになった。

そうめんを流したりスイカを破壊したり野菜に脚を生やしたりする意味不明な季節

『労働者をかき集めてシステマティックにソフトウェア開発を行うこと』に特化しているのがSIerであり、そういった観点でいえばExcelスクショは完全に正しい。自動テストだのDevOpsだのは全ての人間にできることではないので

正論をいう人は、どこか相手に甘えてるんだと思う。言ってもいい人とそうでない人を、無意識のうちに瞬時に明確に区別してるのは、いじめや暴力や痴漢などと似てる。「私はあなたを愛しているから、あなたも私を愛してくれるに違いない。だから加害してでも自己満足していいよね」と考えている。

会社に残る事が最優先の人達にとっては、プロジェクトが上手くいこうがいかなかろうが、モノが売れようが売れまいがそんな事はどうでもよくて、ただ自分の責任にされなければ、そして会社にしがみ付いていられればそれ以外には全く興味がないんだなとしみじみ感じる日であった。ある意味無敵だなと。彼らにとって一番大事なのは会社に残る事なので、何が起きても”自分の処遇が確保されているか”だけが注視点であり、そこが担保されているなら他に興味はない。それを維持する為にすべての能力を投入する。会社が維持されるかは2割の人に完全移管している。ある意味就社のプロフェッショナルである。そんな彼らに憤りを感じてもしょうがない。彼らは固い信念の元に動いているし、彼らの行動理念はリードオンリーな領域にあるので変えようとする事は無駄である。無駄なのは分かる。分かるけど、頭では分かるけどこの手の就社プロとはフラットな感情では付き合えないよね。人間だもの。でも、彼らの立場で考えてみたら”こっちはそっちに迷惑をかけていないし、言われた事はやっているのになんでそっとしておかないのか”とか”追加の仕事や責任を押し付けてこないでくれ”と自分達は迷惑を被っている側ともとれる。事実は1つでも真実は人の数だけある。人間関係ってホント難しい。

「こんなにうまい肉食ったことある？」「true」「false」

シャトーboolean

あんま意識してる人いないけど、人間だってエラー吐くし処理落ちもするよ。誰かの一言で場の空気が凍りつくとか、論理の矛盾を指摘すると意味不明にキレられるとか、体験したことあるでしょう？パソコンを組む経験をしてると、機械も脳も基本的な構造は同じなんだなって分かるよ。SSDにデータはあるのに読み出しでエラーがかかる(喉まで出かかって思い出せない)とか、RAMが足りてなくて直前の事が頭から飛ぶ(ADHDしぐさ)とか、機械と似たような現象を生身の人間がやることあるもん

某サイバーが言い続けている「素直でいいやつ」、これ以上の採用方針は見当たらない

宗教を批判的に考えるというのは、実のところは私たち自身の内面を批判的に捉えるということに他ならないのだけど、なかなかそうはならずに、宗教をベースにした社会的活動にだけフォーカスしてしまう人は多いのが悩ましい。地域の寺社と新(新)宗教を同じ尺度で考えられる人がどれだけいるか。人間社会は宗教抜きに成立するかと問われて、イエスと答える人はそれなりに多いと思う。しかし、そう答える人物でも、感動的な情景に神性を感じたり、日常で不正やズルをするのに後ろめたさを感じることを否定しないだろう。その時点で、何らかの宗教性が自分に内面化されているのは明らかなのに。

中小企業の労働者が使えない人材ばかりでろくに仕事もしていないなら、たしかに中小企業を潰してベーシックインカムにでも切り替えればいいのだけれど、実際には体力のある大企業にこそ「ルンペンブルジョワジー」が大勢いて、彼らは中小企業に仕事を肩代わりさせているだけだったりするんですよね。

客「ラーメン１つ」

店員「麺の硬さは？」

客「めちゃくちゃやわらかくしてください」

店員「"わたあめ"くらいでいいですか？」

客「できるんですか？」

店員「できるわけないじゃないですか」

いい大学に入って優秀論文に選ばれたような友人たちが現場研修でつぎつぎ鬱になってぶっ倒れていくのを見て、世の中で求められる頭のよさと知性ってほんとに別物なんだなと実感する。そちら側の知性に対して要領の良さや実務能力を期待してきたりするんだけど、実際は違和感を強迫的に言語化しようとするアスペルガー的知性だったりとか、即戦力として広く求められるそれとは明らかに乖離があったりする、なのに「頭いいやつは仕事できる」みたいな解像度の低さですれ違いが起きまくる。罠としては、「現場で動ける人間に言語化を求めてしまう」こと、言われればわかる、腑に落ちないから困ってるのに、「それくらい感覚だろ」としか返されなくて（感覚知を言語化する必要がそもそもない）ループ思考に陥る、人一倍考えてるのに何をやっても怒られるから、存在意義がわからなくなる

イチローと稲葉の対談で、イチローは「最短距離で上手くなってもダメ。深みはでない」といい、神戸智弁の対戦相手からの質問に対して「合理的になるには無駄なことをたくさんしないとダメ」って言っており、そういえばこないだ同業者と似たような話をしたな……と思い出した。この「深み」なんよな。

医師免許錬成したら健康とメンタルと睡眠時間と青春とメンタルと人生全部持って行かれた

ヨーロッパから日本に来たエンジニア(良い人)が「何故日本はサービス業に全振りしてエンジニアがいないの」と書いてるのを見たんだけど、日本の人あたりのいいエンジニアほど、ものすごくストレスがかかる位置に置かれがちなので、優秀で人柄のいい人材が病気になったり離職してしまう。多重下請けでエンジニアの仕事内容が「言われたことだけやれ」になりがちなのも、エンジニアの創造性や自己肯定感や充実感や向上心を奪ってると思う。だから欧米ほどキラキラしてないし楽しくない。

新入社員のとき、バリバリ仕事できる先輩がマックス超えた残業をしてて「嫌だけど仕方ない」って言ってたのが働き方を考えるきっかけをくれた。ハチャメチャな努力をしてその先輩くらい仕事ができるようになったとして、その先にバランスの取れた日々はないって分かった。

100％以上の力を見せると、そこを当然のラインとして仕事が増える恐れがあります。逆に、80％の力しか見せなければ仕事を減らせます。期待値は、下回るためにある。

仕事中の睡眠ほど価値がある睡眠はないんですよ。想像してみてください。こっくりこっくりしてる頭に、金が降り注ぐ様を。

当事者意識、当事者意識言ってくるやつはなんなんだろうな？そんなもん1000人の組織なら1000分の1に薄まって当然じゃないですか？

若いうちに一番やっておくべきことは身の程を知ることなんだよな。スポーツや勉強、恋愛や仕事に何度も挑戦して自分の実力がわかればその後の人生突発的な不幸にさえ襲われなければそこまで大外しはしない。若いうちに何も挑戦せずネットだけして自尊心を膨れ上がらせたり自己否定に走ると予後が悪い。

美容外科医として成功するには、最初の数十症例のいわば実験台となる患者さんにオペすることに感じる罪悪感を乗り越えることができなければいけないと思う。もしくは元々そんな感情を持ち合わせていない人であるというのも素質である。

仕事の報酬が労力に依存しない、もしくは依存度が極めて低い場合、自身の労力は「労力が報酬に反映される事柄」に投入した場合に報酬が最大化され、仕事への労力を最低にすべきであるのは自明です。

少し前まで自分にとってインターネットは現実逃避ができる場所だったけど、多くの人にとってネット環境が身近になりすぎて、その上に目に入るのは誇大広告と罵詈雑言ばっかりで、今はむしろ"インターネットの逃避先としての現実"という逆転の構図になってきている

中から外は見えないけど外からは中が見える変わったマジックミラー号に案内されたと思ったら普通に取り調べ室だったことある

夫に「最初に付き合い出してからもう15年も経つね…」って言ったら「まじ？犬一匹死ぬやん」って言われたんだけどそんな悲しい換算しないでほしい。

私はやたら人の話を聞いてまとめているけど、議論は苦手というか何も期待していないので嫌いなんですよ。議論して傑出した結論が出たことがあるのか、それは妥協点を求めただけではないのか、各自妥協する気がないなら無駄だろと諦めている。戦争を回避するため「酒を酌み交わして云々」なんていうのは議論をしたことがない人が言うのであって、たとえば会社の会議、はたまた自治会の総会といったものさえ経験していないばかりか、誰かと酒を酌み交わして話し合ったことさえないのがバレバレなんですよ。酒を飲んで議論したら殴り合いになる。

自転車乗りが嫌われてるのは、歩行者と車両の立場を都合良く使い分けようとするところとか車の隙間をすり抜けて自分がスマートに渋滞やり過ごしました的な雰囲気出したりするところよ。お前らがスマートなんじゃない。周りのドライバーが配慮してくれてんだよ。

いま思えば2ちゃんねるの｢日付が変わればケンカを止められる｣システムって秀逸だったよな。20年前の2ちゃんねらーみたいな煽りを無限にTwitterで続けているアカウント見てるとしみじみ感じるよ

プロとアマの違いは品質ではなく「やりたくないこともちゃんとやる（やらされる）」かどうかですよ。

日頃から休む癖をつけていないと、いざ休む時に全く休めないといった事態になる。まさにうつ病での休職がそのパターンで、心の底から休めないのはマジで致命傷。

「旦那が子育てに協力的でない」と嘆くママ垢をいつも見かけるけど、俺が思うに辛い時に助けてくれて一緒に子育てするタイプの男ってのはあなたが独身時代に「優しくていい人なんだけど好きにはなれないかな〜」って切り捨ててきた男だよ

最後に、「成長」が人生の全てではないことを付け加えておきます。私の世代は成長をすることを強く求められました。成長を追い求めず、人生を謳歌すること、穏やかに暮らすことを人生の主目的におきたい人も多いし、むしろ多くの人がそうなのではないかと思います。やったことないことに挑戦することは面白みもありますが、心身のエネルギーも使います。既にできることの実行に時間を多く割いて、それ以外で人生を充実させるということも人生の主目的によっては有意義なのかもしれません。

老後資金が貯まれば幸福とは限らんが、貯まらんよりは貯まる方が幸福なのは事実だろう。しかし子供の価値は経済的なそれとは別次元ゆえ、子のいない人と同列指標で幸福度を測り、比べても空虚な気もする。成人どころか不惑を過ぎても親の資金を食い潰し中の僕が言うのも何ですが

「やりがい持って生き生きと仕事してる」人間なんて存在するんだろうか。陰では不満たらたら言いながら仕事してるのが大半の人間だと思うが。仕事が生きがいなんてサイコパスぐらいしかおらんだろ。

30歳になったとき、自分の自意識が思春期とそう大差なく、全然格好いい大人になっていないことに愕然としたが、40代になっても似たようなものだし、きっと死ぬまでこんなものなのだろう

人生の捉え方にまで経済の原理(機会損失)が及ぶと生きにくかろうと思う

「あのとき違う選択をしていたら」というのは非常に近視眼的で、「頭」的なものの見方なんよな。遠回りして初めてわかる事実というのも人生には数多くあるので…「あの時違う選択をしていたらもっとよい利益が得られていた」というのはモデル化した経済には適用できるけど、複雑系である人生に適用するのはちとむずいのよね。理性は全てのものを包摂しようとするから、そう考えたくなるのも無理はないけども

「仕事」を「志事」、「元気」を「元氣」などと書くのは、書き換えの内容どうこうというより、こういうある種の「内輪ネタ」を何の疑いもなく強いてくる自他境界線のなさ、独りよがりさがヤバい。こちらのパーソナルスペースに悪気なく介入してくるタイプ。

技術書を読んで知識をつけようという自己啓発を見たことないので、学問に付いてけなかった人の頼る、最後の教科書なのかも。逆転のショートカットのはずが、抵抗がなさすぎてショートサーキットになるという

人間、何もしないより何かしたほうがいいと考える特性と、偶然の変化を何かしたことに結びつけてしまう特性の組み合わせが最悪で、しかもそれがさらに「上司に報告すると褒められる」に結びついて強化されているんだよなぁ、無駄な行為や有害な行動だらけになる、それが文化の源と言えばそれまでだが。看護師にこういう組織体質がしばしば現れて、医者が何もしないほうが害が少ないと説明しているのに、看護師が医者に何かするように圧をかけることがあり、大体こういう空気になるときは師長が悪い

【再現ドラマあるある】

「本人は痩せたけど、このデブの俳優さんは今でもデブなんだよな」と思う

絵師たちの最終抵抗で「無断転載禁止」の透かしが入った絵がSNSに溢れた結果、それを大量に取り込んだAIが「無断転載禁止」の透かしが入った絵しか吐き出せなくなり商用利用が実質できなくなった回

10年ツイッターをやっていると、「え！？あの人がおかしくなっちゃったの！？」みたいな事案に出会うケースが多すぎる気がするが、恐らくそれは別にツイッターが悪いとかそういう話でなくて、元々人間は何かのはずみでひょっこりおかしくなったりするというのが見えるようになっただけなのだろう。

自己分析とかいうのを突き詰めていけば必ず、男性/女性的な振る舞いを求められ生きる中で醸成された歪な価値観や偏見、自分の中の差別意識、優生思想、また貧富の格差による家庭環境のギャップ、文化的再生産などの諸問題に突き当たることになり、全ての行動意欲が削がれ、完全に終わることができる

結婚式準備は独身最後の共同作業とでも言えるイベント。ここでお互いの問題解決能力や性格が知れるよ。ここでダメだと思ったら引き返した方がいいかもしれないね。

データはデータであり、受け入れるしかなく、問題視するのはおかしい。統計や学問のテーマ建てにタブーを作るなよ。『人生の選択肢が増える事で少子化が進むなら、人間は滅びて良い』と胸を張って言えば良い

【空リプでふんわり苦言を呈している人あるある】

その件に関係のない察する能力が高い人に刺さってしまい、犯人は野放しになっている

ツイッターを見てわかるのは、思いやりがある人、思いやりがない人、というより、「嫌いな人に対して一切の思いやりを持てない人」というのがいて（持てる人もちゃんといる）、持てない人は、嫌いな人たちに対して凄いことを次々と言ってしまうのだなと。

労働者も今は強気で立ち回れますけど、テーパリングして気の合う客と社員だけでやっていく経営者とすかいらーくのように機械化標準化を進める巨大資本に2極化していくと、数十年後には前者の会社に潜り込めなかった労働者は今以上にクソを煮詰めた環境で働かざるを得なくなるのではなかろうかと。

以前から言っている事なんだけれども、SNSなんかで「信用してはならない狂人」を見抜く方法って、攻撃性の高さと、自分を笑えるかどうかを観察することだと思う。

他者に対して異常な攻撃性を見せてて、自分自身を笑いのネタにできないヤツって、絶対に近付いちゃいけない地雷物件でしょう。もうかれこれ二十数年もインターネッツ中毒な生活を送ってて、個人サイト管理人の時代から大勢の人間を見て来たけど、何かが異常なヤツとか心の狭すぎるヤツって、どれだけ取り繕っても文字に出るんだよ。不思議なことに。

上司「お前何時だと思ってるんだ！！遅刻するなら連絡くらいしろ！！！！」

昨日29億円当たった男「𝑆𝐸𝑋」

迷惑な人に限って「誰にも迷惑はかけてないだろう」と言いますね。

レールに乗らない生き方への同意を他人に求める時点でレールに乗っておいた方が良いタイプである。反対者の存在なんて意に介さないくらいじゃないとレールから外れる人生は厳しい

このマリオのゲームの対戦機能に勝るゲームは未だに知らんな。ネット対戦とかよりも隣で「死ね！死ね！」って言い合ってやるゲームの方が何倍も楽しい

小学生のときの同級生の名前って苗字と名前が一体化した「記号」でしかなかったよな。その記号と、うすぼんやりした顔とが結びついているだけ

映画を見に行くのも、おいしいご飯を食べるのも、病院に行くのも、はたまた自殺するのさえ、「善く死ぬ」ために行われている節があると思っている。人間のほとんどすべての行動は結果的にそこに向かっている。……というと、「そんな先のことなんか考えるなよ」とか、「死なんて暗いものは見ちゃダメだ、明るくいこう」などの意見を頂戴するのだが、私の意見をよりマイルドにすると「最期に自分の生き方を振り返って、幸福が『ギリ』勝てばそれだけでもう十分」という意見になって、こっちなら割とみなさん納得していただける気がする。

しょーもない煽り運転するのは男で、しょーもないはみ出しするのは女、みたいなイメージがある。データってあるんだろうか。

理系の女性が少ないのは、「ゲヘゲヘゲヘ、娘に理系なんか勉強させねぇぜ」という邪悪な親がいるからではなく「男は遊んでる暇など無い、稼げることを勉強しろ！娘ちゃんは何でも好きなことを勉強していいよ（ニコニコ）」という優しい親により発生している。

スプラトゥーンをしばらくやってみて思ったことは「戦いは教科書的な定石を守り抜き、ミスの少なかった側が勝つ。意外な作戦とか優秀な個人の活躍によって逆転できることはほぼない」ということです

30歳の頃に勤めていた職場の売店にいた人が、俺がグレープ味の果汁グミばかり買う事を覚えてくれていて、俺が困らない様に欠かさず発注している事を話してくれた事が、自分の人生にとって別段大きな事でもないのに折に触れて思い出す。

結局、うつ病にならないためは、人によって異なるキャパシティごとにキャパシティ以下の行動（考え事を含む）を保つ、そのためには思考の効率をあげて、行動に結びつかない無駄な思考（悪い連想の暴走、他人からの評価に基づいて自分の価値を計算する悪あがき）を徹底的に排除する、ということに尽きる。このためには、①フィジカルがキャパを超えていないか疲労を正しく自覚する、②メンタルがキャパを超えていないか、つまり悪い連想が無目的に暴走していないか気づく技術を身に付ける、ということになる（これがどこまで身に付けられるかは個人の能力の差によるので、可能な範囲で、可能な方法で）物事が自分のキャパを超えているときに気づいて、行動や思考を正しくスパッと止めて寝る、ただそれだけの簡単で高度な能力。

ミュージシャンがサラリーマンの気持ちを想像して作った曲に救われる謎のサラリーマン

芸能人が酔って色々やらかしてるニュースを見るたび、泥酔して公園で服脱いで綺麗に畳んで全裸ででんぐり返ししてただけの草彅剛の好感度が上がる。この事件の当時、私まだ小学生だったからマジで草薙剛何してんのとか思ってたけど、今となっちゃ気持ちが分かりすぎてキツイ。泥酔して全裸ででんぐり返ししないとやってられない日が多すぎる。むしろ服を綺麗に畳んだ草薙は偉すぎる。褒められるべき。

「靴下を履いてる男の子は悪くない。が、スポーツブランドじゃない上にくるぶしより5cm高いとこまでくる靴下を履いてる男の子はもっと素晴らしい」とか遺書の最後に書き記して遺族全員を混乱させたい

家族とかがオードブルをスーパーで買ってるのを見ると、ああ家族にあるそれぞれの形の幸福 と勝手にこっちまで幸せになれるからいい。

道交法的には向こうが優先なのにわざわざ道を譲ってもらったりすると、「こういう優しさで世界は円滑に回っている！」という気になるし、次は自分が誰かに譲ってあげようという気持ちになる

日々老いていく自分から目を逸らすためには若々しい青春が必要かなんだよな。オンラインサロンがメンバー同士定期的に集まってみんなで一つの目標に向け相談し作業したり、クローズドなSNSで毎日コミュニケーションをとり身内意識を高めているのは、全て部活や学園祭準備のグルーヴ感を演出するため。

まじで変な意味じゃなく性欲強い人羨ましい。色んな活動の原動力になってそうだし野心家が多そう。仕事できたり収入が高い人は性欲が強い傾向があるって何かで読んだし、エネルギッシュで意欲的な人が多いんだろうな

誰もが輝かなくていい社会へ

カフェで婚活女子たちが、「結婚は、月5000円夫にお小遣いを払えば、月50万円入ってくるサブスク」みたいな話をしていたので、結婚できないように呪っておいた。

上司に「忙しくて夏季休暇が取れない」と相談したら、「とりあえず休んだことにして、出勤していいよ」とアドバイスをもらいました。夏季休暇を取らないと注意されてしまうので良かったです。

フォークリフトの速度を出しすぎて危ないということで5キロ制限をかけてもらったが、なぜかバックは制限がかかっておらず、急ぎの時はみんなバックで走り回るという奇妙な光景が弊社工場で

ご存知の通り遅刻魔でほんとに申し訳ないとおもってるけど仕事は遅刻しないのに友だちとの約束は遅刻するのは友だちの時間は蔑ろにしてもいいとおもってるからみたいなのはほんとに違うくて仕事も毎日遅刻してる

これは人材多様性のある会社で働いて分かった事なんですが、よく分かってない5人がウンウン言いながら一か月かけて検討した結果が、専門部署の人呼んできて打ち合わせたら、その人がホワイトボードにした殴り書き以下ってことは滅茶苦茶あります。何かってと、出来る奴1人に1500万払って捕まえておけば、出来ない奴3人500万の付加価値を遙かに凌ぐって事は多分実際よくあって、外資はその実感があるから、ちゃんと付加価値分の年収を提示して人を取れるんだと思う。JTCはその人の出してる付加価値額と年収を一致させようとしてないので人が辞める

鳥人間コンテスト、どう見ても飛びっこないのが秒で落ちるのが面白かったのに、どいつもこいつもちゃんと飛ぶようになったら視聴率落ちたとか。煮詰まった任期付きのマッドサイエンティストが鳥と人間のキメラを出したら教えてくれよな

模型店で子供が「BB弾の玉ください」と言っていた。「弾」がすでに「たま」で重言になっているが、さらにBBは「ボール・バレット（球形弾丸・諸説あり）」なので、これはもう「たまたまたまのたまください」と言ってるくらいの素晴らしい重言だった。近年の「私のマイナンバー番号」に匹敵する。

あらゆる学問、素朴概念（日常生活からの誤った類推）との戦いだと思っている。「人工的な薬は酒よりも危険だ」「古代人は馬鹿だから古代言語は単純に違いない」「賢い人だけ生き残るほうが良い」「悪人は反省させる必要がある」「漢字を読めない漢字文化圏の人は愚かだ」などなど。無学な人を嘲笑して表面的に反論するのではなく、なぜそのような誤った推論が起きたかを考えてそこを突く必要があると思っている。逆にいうと、最初は非直感的に見えたものが体系的に知ると直感的に見えるようになるので、「直感に見える範囲を広げる」というのは学ぶ動機付けになるし、この感覚がないまま「非直感的ですねえ！」ってドヤるのはあかんと思っている。

言語学と哲学は似ていて、完全に無知な状態でも自分には理解できると勘違いしたオーディエンスが大量に湧いてくる。言説に自分が知っている言葉が含まれているからで、実際にはその言葉は特殊な文脈で扱われているのだが、日常の感覚で理解され、誤読される。

日本企業、JTCってのはな「生活保護プレミアムコース」「老人ホーム」「週2仮釈放の刑務所」の融合体なんよ。解雇規制ありクビにできないので生活保護みたいなもんだわな

ソニーにいたとき同期に思ったこと。「こいつ面白い！」って思った奴、5年以内に100%退職。「こいつつまんな、ってもはや名前忘れた」って奴の離職率1%。

若い人に覚えておいてほしいんだけど、お店の店員さんやタクシーの運転手さんに横柄な態度でドレイみたいに扱う人は、あなたと親しくなったらいつの日かあなたのこともドレイ扱いするから気をつけたほうがいいよ

久々にうつ病が一番ひどかった時期のことを思い出します。私は【たまたま】【リアルの身近に頼れる人がだれもいなくて】【守るべき人がいて】【このままだと全員死んでしまう】と思えたから【たまたま】職場復帰ができただけだ、と今でも思っています。『城の崎にて』を読んでいるとそのことを強く実感します。あらゆることは【たまたま】そうなった結果に過ぎず、それがフェータルなものかそうでないかは、結果的にどちらでもそんなに物事は変わらないのです。だから人を淋しく思う志賀直哉の直観は、おそらく正しいのです。だから、今でも時々空を見上げると、空が急に重くなってそのまま自分に落ちてくるのではないかと感じることがありますし、青い空はそこに落ちていってしまいそうで怖いです。あの青さは私にとっては死の色です。この気持ちは、自分がそうなってみないと決して分からないと思います。「杞憂」という故事がただの笑い話にならないのは、本当に「そう感じる人がいる」からです。そう感じる人にとって、世界は破裂しそうな風船のようなものです。それが破裂したら倒れるし、【たまたま】破裂しなかったら、その上で針の靴を履いて踊り続けるしかないのです。うつ病の人に「頑張って」は禁句だ、とはよく言われますが、なぜかというと、うつ病の人の心の中には常にその言葉が大きな場所を占めているからです。頑張ろうとしたいのに空が重くなって動けなくなるのです。そこから生き返られるのも【たまたま】条件が揃ったからにすぎません。私の場合は、頼れる人はいないけれども、私が死んだら本当に一緒に死んでしまう人がそばにいたこと、そして、【たまたま】緩やかに戻れる職場があったこと、これに尽きます。そうでなければ、私はとっくにこの世界には存在していません。今もその気持ちとはずっと戦い続けています。一生、こいつとは付き合っていかなければならないのです。この【たまたま】の悪魔は、そういう奴なのです。本当にささいなきっかけで【たまたま】その人に襲いかかり、そこから助かるかどうかも【たまたま】で決まる。自分をまともだと思【え】ている人には、決してわからない感情です。自分という皮膚の外側に広がっているのは無数の「死」であることを、私は空を見上げては思い出します。今死ねない、と思えたきっかけに、このTwitterで知り合えた多くの方の存在を挙げることもできます。Twitterがなかったら、それこそ私はひっそり死んでいました。いろいろな気持ちを抱かされる場所でもありますが、それでも、この場所が私の命をつないでいること、それは否定できない事実であろうと思っています。だから私は、時折こうして自分のことを語りつつ、自分も誰かの支えになっていけるような、そんな人になりたいと日々思って生き続けるのです。

SNSで見ず知らずの相手に「以前は尊敬していたけど、がっかりしてフォローを外した」とリプライしてくる人、「目が覚めてよかったですね」と心から思う。ついでに「お互いもう一歩ずつ離れていたほうがいいですよね」と祈りながらブロックします。これもまた相互理解のひとつのかたちだなと。

前職退職時に人事さんから問い合わせのあった何故若手が辞めるかを書きます。個人の出してる付加価値と年収が見合っていない。全然働かないのに年功だけで高級を取っている人間がいる。人事希望を聞いていないのでシステム屋を法務部にして、英語話者を工場勤務させている。年功だけで人間を昇格させているので、本来管理職になってはいけない判断能力のない人間が管理職になっている。組織の理論で全員馬鹿馬鹿しいと思っている事を誰も止められない。本店人員が営業店人員を見下している。人事が人事を決める人間と飲んだりゴルフしたかで決まっている。人材育成計画を育成されていない人材が建てているので全てが不毛。少し調整すれば実現できる勤務地の希望でも放置。経営が現場や退職者から上がってきた本物の現場の声は総スルーで、"""""役員懇親会"""""なる大政翼賛会で挙がってきたマンセーコメントを参照に方針を決めるので出鱈目になる。役員訓示の内容が数十年引き籠って働いてない活動家が書いた牧歌的小説の様で会社の将来に絶望する。専門性と職能を混同しているので、在籍が長いだけで知見の無い人間のコメントが尊重されてしまう。管理職が勉強していない。自己啓発を支援する気も評価する気も無いので酒飲んでゴルフしてるのが最適解になってしまう。必須取得資格と職務内容がマッチしてないので全部ゴミにしかならない。業績のボーナス反映が雀の涙なのでやった時ほど徒労感と絶望感がある。社内での生存最適解がが何もしないでノーミスで全員行ける所まで横並びで上がった後に、ひたすらサボって空残業することになっている。本当に偉くしないといけない人間に意味不明なケチを付けて閑職に追いやっている。創意工夫をする裁量がない。決められたことしかできない。人の話を聞く風土がない。入社から5年も経つとほぼ自己啓発が止まり、新商品のマニュアルを読むことすら困難なレベルまで吸収力が低下した中高年が大量に存在し、それが意思決定をしているのでトレンドに全く合わせることができない。本質的な付加価値や理解力がないまま上に登ってしまった人間が陰湿な存在感を発揮する為に、てにをはハンコマンになり深夜まで付加価値額ゼロの稟議書ラリーをやらされる。上位者の"""心象"""で人事評価が決まるので一切見込みのない外回り件数や最終日まで飛込みみたいな1円にもならないムーブが重要。物事が客観的に正しいかではなく、職位のある人間が発言したかだけで社内での正しさが決まるので、アホが「喋る洗濯機」みたいなアホな発案をした時、本人以外全員絶望の未来が見えていても指摘する事が許されず、レミングの集団自殺みたいなムーブを株主や銀行の金を使って繰り返す。精鋭を集めて作った経営企画の仕事が役員のゴルフの相手と飲み会のロジで忙しく、統計も読まず市場調査もせずに「前年比1.2倍」みたいなチンパンジー以下の目標や計画を立てるので現場が死ぬ。事務を総括する部門がなく全部所バラバラに現場にタスクを投げるので総量が滅茶苦茶になって崩壊する。出来ない奴に幾ら言っても無駄なので、管理職も出来る人間に全て仕事を寄せるので、出来るところを見せると損する建付けになっている。必死で案件を掻き集めた若手が一件見込みを落としただけで気絶するほど詰められ、最初から放置されてる高齢課長代理は最初から何もせず放置。後者のが給与が高い。システム軽視が甚だしく、出来ない人間や鬱病をシステム部に送っている。メモリ4gbのパソコンで作業をさせられ、多分スペックアップする費用よりパソコンの前で棒立ちしてる時間に発生してる時間外の方が高い。支店では若手が遊んでる老人のIT介護に忙殺される。共有フォルダの容量が異様に小さい。形式しか見ないので事故が起きる度に増える“““チェックシート”””に意味がないことは分かっていても他に誰も案を出せないのでシートが増え続け、稟議がコントみたいな厚さになる。前例の無い提案は却下される証跡が残らないから、という最悪な理由でFAXがメールより使われているが誰も問題提起もしない。たまに思い付きの様に中途を採用するが、研修体制も受け入れ態勢もなく、本人の適性も考慮せずに現場に放り込むだけなので、大体瞬間で辞める。対応も考えず改善もしないので同じことを繰り返して無限にリクルートに課金し続ける。職場は多様性0の集団になりイレギュラーの対応も新規事業もできない。一番時間のある新人期間にやらせることは一発芸の練習と、雑用と飲み会ゴルフ全参加でルールを覚えさせ、集合研修は身分不詳の変な外部講師の謎のグループワーク。ほぼ蓄積0の状態で時期が来たら外回りに放り出し、「胸を借りてこい」等と言って客に新人を叱らせて新人研修を実質無償で外注している。お客を儲けさせてメリットをシェアするという考えが無いので、営業の基本はお願いと、顔を覚えて貰うとか、手伝いをして恩を売るとかそんな感じになる。競合が同じ土俵に乗ってる内は問題ないが、付加価値出す競合が相手になったりスキームで丸抱えされた途端弾き出されて二度と戻れない。本店がマニュアルを作成する時の主眼が「読んで分かるか」ではなく、「何かあった時に主管部が不備指摘をされないか」なので、必要な事でも微妙な事は書かず意味不明になる。廃止して良いか誰も判断できない規定が放置され、マニュアル検索すると30年前の規定等が延々引っ掛かり目当てに辿り着かない。優秀な人間に負荷はかけるが、人事上の都合等は特に考慮もしないし、業務の割り振りを工夫もせず、できない人間は放置するし、大体後者の方が声がデカいのでむしろ後者を優遇する。前者が辞表を出してから騒ぎ出して後出しで要望を聞くと言って慰留を試みるが、ほぼ確実に次が決まっている為もう遅い。現場に裁量が無いので、契約書の条項一つ変える事ができない。それで客を逃すことになっても指を咥えて諦める。現場で考えるということをほぼ放棄しているので、判断は客観的に正しいか否か検証せず「本部に聞いたのか」しか確認しない。担当は本部に誘導尋問の様な質問で言質を取るのだけ達人になる。金をかけるポイントが滅茶苦茶なので、社員旅行や懇親会や誰も使わないのシステムや本店の自己満足のコンサルにバカみたいな金を払い、破れそうな営業鞄、廃車寸前の営業車、骨董品みたいな業務端末は放置、ボーナスの成果部分や自己啓発に金は出さないが、つき合い残業や空残業には盛大に垂れ流す。一度人事上のバツが付くと二度と外れないのでそこから何をやっても全て無駄になり、かと言ってクビにもならないよで出社してソリティアをしてるか、外回りと言って公園でサボるのが最適解になる。それを放置してる横で現役の社員を詰めまくるので職場全体を巻き込んでモチベーションが終わる。〇〇ができる、とバレると給与も増えないのにその仕事を押し付けられた上に、既存の仕事で調整されることもないので、本当に能ある鷹は全員爪を隠してしまう。仮にそれをやった所で人事上も報酬も正当な評価をされることはないので全員で仕事を避けあい、間に落ちたタスクが爆発して全員一緒に吹き飛ぶ。スキルや業界知識の無い人間を調達担当にしてしまい、説明も要件定義も出来ないので、受託者を巻き込んでグダグダになり大量の仕様変更を発生させて納品後にも事故る。価格はそれ込みのぼったくり額でしか相談できず、発注者もすぐに異動しノウハウが貯まらないので他に移れず永遠にぼったくられ続ける。一部の仕事が制度化されないまま俗人化して、特定の誰かに"""お願い"""ができないと社としての仕事も進まなくなる。好嫌で仕事を受けるか受けないか決めたり、嫌いな個人の依頼を適当に対応する、後まわしにする等の対応が横行し、それに対して人事上の低評価も付かず罰則もないので一生改善されない。社内に優秀な人間がいるのに社員を信用していないので、社内からの発信や発案だと受け入れない。外部のコンサル他社外意見であればアヒルの刷り込み宜しく条件反射で信用されるので、社内で判断も終わり整理もできてることを老人に説明させる為だけのコンサル費用に年間数千万を費やす。会議が管理職が"""管理"""をしたという言い訳の道具になり、意味もなく殆どの人間が何も発言せず何の方針も決まらず何も決済されず座っているだけの会議が乱発され、その為の報告資料の作成が課され、報告の為の報告をする穴掘りの拷問みたいなイベントが常態化する。詰めはあるのでストレスは増す。人材育成が人事評定の項目になっていないので、育成を行うかがその場に居合わせた人間の属人的な個性に委ねられており、運が悪いと誰も新人の育成の様な"""無駄な"""ことをせず社内ニートとして退職まで放置される。教育担当を指名する等の制度はあるが、担当の負担のリカバリやバックアップはない、改善点等を思いついた場合にそれを表明してしまうと、言い出しっぺの法則により自分が担当にされて、やはりリカバリも支援もなく、実際改善に成功しても成果は召し上げで評価も無いので、自分の身に危険が及ばない限りにおいては、何も言わずただ現状で流れていく事が万人の最適解になっている。研修制度の設計に際して、人材の完成像を定めておらず、総花的(行き当たりばったり)なので、全てを修了しても何の専門も身に付かない。業界団体の認定資格を取らせたり、通信教育を受けさせるが、実務と乖離している上に、一歩でも外に出たら何の評価もされない。受験料も参考書も自腹で褒章金も出ない。ただでさえ生え抜きの人間ばかりなのに、飲み会の頻度が異常なので、同じ話を何回も何回も何回も何回も何回も聞かされることになる。基本的に違う話題は誰の悪口を言うだけ。(その場にいない奴が選定される)回避しようとすると全ての飲み会に出るしかなくなる。若手3人分の給与で養われているが、一切仕事がなく暇を潰す為に毎日新聞の切り抜きをしている天降り役員がフラッと営業フロアに降りてくると、職位は高いので無下にもできず、クソ忙しい中おじいちゃんが満足するまで話し相手にならないといけない。社員がその身分になれる可能性はほぼゼロ。中期計画には勇ましい""""人財"""に関する文言が並ぶが、現場では勤続表彰の報奨金や休暇、社宅、家賃補助その他、かつて存在した福利厚生が加速度的に消滅し、拠点数が減って昇進ポストまで無くなったり、昇格要件に異様に厳しい資格が貸される等、どう見ても昔の人材より金を掛けて貰えない。恐らく稟議制はより判断力や専門知識の高い高度人材が書類に目を通すことで、適切な判断を実現する優れた仕組の筈なのだが、先進的な取組については、何故か大体の下に行く程知識が多く上に行くほど少ないので、稟議を回す前に下の人間が説明資料を作って啓蒙活動をしている。"""取組姿勢"""を評価する仕組が最悪の方向で動作した結果、実績は0に近いが、電話する声とエンターキーを叩く音と会議で5くらいの成果を500にして報告する声だけデカい人材が副支店長くらいまでは上がってしまう。ほぼ確実にてにをはハンコマンになるので上に付くと地獄になる。一度偉い人がお墨付きを付けてしまうと、蓋を開けたらどんなクソ事業（取引先）だったとしても彼の""""面子""""があるので、赤字が耐えられない金額になるまで止める事ができない。大体「彼」が退任するまでの間、周囲と株主にダメージを与え続ける。""""パワー"""""系人材を一撃では〇し切れず地方拠点に飛ばしただけだと、飛んだ先でも""""パワー""""を発揮してしまい、存在する限り何度も社のマンパワーを焼き続ける。一定より上まで行った人だとそれでも不思議な力に守られて関連会社の役員待遇とかで飛んで行く（勿論そこでも"""パワー""""する）。研修室からは「下手に教育して出られるくらいなら、外で通用する物は何も渡さずに出さない」くらいのスタンスを感じるが、自前で出来る人間は研修がどうだろうが関係無く拾う物だけ拾って出て行って、結果やらされるまで何もできない人間だけが残る。「お前の意見を言えよ」とは言うものの、ここで求めているのは額面通りに自ら考えて考えを述べる事ではなく、主に「俺が今頭の中で考えている事を予想して代弁しろよ」の意味。何でこんな古代中国の儀式的な答弁を挟むかというと、これをやっておけば「下の奴が自分で判断した事」になるから。本店と営業店の断絶が凄く、本店は営業店の事をアホだと思っている人間が相当数いる為に、必要最低限度以上の情報は降ろさないという運用が罷り通ってしまっている。結果何が起きるかというと、自社に関するニュースを社内発表より報道で先に知って、お客から聞かれて何も答えられない様な事態が起こる。パワー系人材は本人も自覚はあるので、なるべく仕事を属人化することで身を守ろうとする。これが営業店ならまだ首の挿げ替えは効くのだが、マニュアルを作る側(本店)でコレが発生すると組織としてデッドロック状態になり、「余人をもって変え難いのに下に付けた奴が全員倒れていく」という地獄になる。例えば東大を出てるとか、役員が支店時代に可愛がっていた等の事由に該当すると、社として偉くする目的で彼を守ろうと（事故が置きにくいポジションに置く等）するのだが、同時に人事上不思議な力で護られる様になるので、パワー系人材がコレに当たると最悪の鉾と最悪の盾を持った災厄になる。部下を""""指導""""する時はファイルや書類を投げつけたり、傍にあるゴミ箱を蹴飛ばしたりする演出が入るのだが、最近はコンプライアンスに配慮しているので、本人に直接ぶつけることは無い。ただ床に散らばった書類を拾っていると虚無になる。昔はセロテープの台や最悪灰皿をぶつけていたらしい。契約があれば風邪を引いていても38℃くらいまでの熱であれば出勤する。（流石にコロナ前の話です）何故なら成績より知識より重要な""""取り組み姿勢""""を示すのには絶好の機会だから。冬季は大体インフルエンザなので支店で大流行することになるが特に問題にもされない。努力して成果を挙げれば（管理職の覚えが良ければ）人事評価が良くなり昇進しやすいのだが、その先に待っている中間管理職が地獄過ぎて誰もやりたがらないので、若手の出世意欲がおしなべて低い。そこまで行けなくても全員横並びで上がるラインでも、そこその魅力的な給与にはなるので尚更。せっかく安くない給与を支給してるにも係わらず、社に対するヘイトが溜まるイベントが多過ぎて特に若手のロイヤリティが低く、自己研鑽しなさに拍車をかけている。5年目以降の関東圏勤務者に限れば転職活動の経験が無い者の方が少なく、大き目の理不尽等を喰らうと衝動的に転職してしまう。期末が近づくほど仕事が増えて忙しいのだが、同時にてにをはハンコマンが唯一存在感を発揮できる詰め会議の頻度が上がる。未達者を立たせて面罵するのを支店全員でゾンビの様に聞くクソイベントが酷いと月3回開催され、膨大な人工がドブに捨てられる。帳尻は休日出勤に係る時間外として会社が合せる。役員臨店という大政翼賛体制の一環としてのゴミイベントがあり、具体的には役員が店に来たら事前に準備された客先に懇親に行き、（カンペに沿って）店での意見交換があり、夜には管理職と地のメシと酒が美味い店に飲みに行くのを若手が白い目で眺める。これをメインの仕事にして報酬2000万の役員がいる。

これは転職して一番感動した事なんですけど、職場がワシの意見を、考えを求めてくれるんですよ。や、前職でも「お前はどう思う？お前の意見は？」とは聞かれましたよ。ただそれは上司の頭の中当てクイズか「オメーの判断だからオメーの責任な」のどっちかしか無かった。今、職場が、同僚が、上司が、ワシのアイデアを求めてくれる。ロジックが立って後工程に連携できてると「いいね！それで行こう！」って言ってくれるんです。じゃあもう頑張って調べるし考えるし、どうしたら分かりやすい説明になるかパソコンの前で唸って考えます。真剣に考えを聞いてくれるなら。現場と乖離してるのは百も承知で、融資担当には「お前のそこの社長だったら向こう5年で何する？現状どうで理想はどうで、そのギャップは埋められる？できるとしたら具体的に毎年どうする？」を融資諾否に関係なくフラットに考えさせないと駄目なんだと思う。「80点て書いてあるからヨシ」じゃなくて。

息子と散歩していたら、すれ違ったおじさんが「ぼうや、これあげる」と青酸カリの錠剤をくれた。その場ではニコニコして受け取ったが、帰宅して息子が錠剤を服用しようとするので、知らない人からもらったものは信用して口に入れてはいけないと諭した。世知辛い世の中です。

探偵「おや、おかしいですね、私は木下さんが”殺された”とは言ってませんよ」

犯人「私も言ってませんよ」

探偵「言ってませんでした？」

犯人「いえ、”殺された”とは言ってません、”クルセイダーズ”と言いました」

探偵「なんで”クルセイダーズ”って言ったんですか？」

ツイートが久々にバズった。クソリプをしてきた奴のツイートに開示請求をかけたところ、実家から送信されていた。父だった。共通一次試験の国語が満点であったことを自慢していた彼も、読解力以前に感情指数が低すぎたらしい。

よく「親ガチャ」とか「実家が太い」とかの妬み嫉みワードを駆使した語りが、ネットでは花盛りだけど、生育環境における最もラッキーな要素って「両親の仲がいい」だと思うな…。「家は貧しかったけど家族みんな仲が良かったので幸せな子供時代だった」は言うてる人いるけど、「両親はいつも険悪で互いにいがみあってる不仲な家族だったけど、裕福だったから幸せな子供時代だった」と言ってるひとを見たことがない。他にどんな恵まれ要素があっても、両親が不仲だと子供の幸せ度ほぼ帳消しだよね。あと、心情的な満足度だけでなく、メンタル不安定な状態に育つと、その不安定なメンタルを補填したり治療するために、めっちゃ金かかるんだよな。そして時間も労力もかかる。そのコストって莫大で、それなりの裕福さでは補填できない額なんだよな。さらに子供本人がメンタル回復した後も、老いた両親のトラブルに否応なしに巻き込まれる確率が高く、その度に様々な労力コストを支払うはめになりやすい。不仲な両親にあたると、そういう「目に見えない負債」というのが、すごく大きい。なので、親ガチャについて語るひとは、「両親の仲がいいかどうか」というポイントにも、もっと着目したほうがいいと思う

最近流行しはじめた、某鉄道会社が出した運転シミュレーターで遊んでいた。遅れを取り戻すためにスピードを出していたら、カーブを曲がり切れずにマンションに突っ込み107名が死亡した。これがゲームでよかったと安心していたら実は現実で、自分も死んだ。

いつも思うけど、出産費用に健康保険が適用できない理由が「妊娠は病気ではないため」なら高齢者の医療もやめなよ。「老衰は病気ではない」

創価学会職員を辞めて転職した時に痛感したのが「学会を嫌う人が想像以上に社会に多い」事だった。だから前職の話はできなかった。ある程度想像していた事ではあったが「これ程か」と思わされた。嫌われる要因の多くは折伏大行進の名残りと選挙の時だけ電話してくるあの感じだった。そりゃそうだよね。

小さい頃の地域コミュニティの話聞くのすごく面白く、私が歴代で一番好きなのは「A小学校とB小学校で抗争が起き、中間くらいの場所で営んでいた駄菓子屋のババアが両陣営にBB弾と情報を売る“商人”をやっていた」という話です。そのババアすごい楽しかったと思う。こないだ聞いて大興奮してしまったのは「住んでいた団地に『水あめおじさん』がいて、子どもだけで行くと中から白タンクトップを着たおじさんが出てきて水あめをくれる。だから自分は今でも水あめが好き」という話でした

少し旅行でアウトドア活動をしたこと、多少変わったところに旅行したことであっても、それは大抵の場合、手垢がついていたり、商品化されたいわばパッケージド・アドベンチャーであって、本当に「冒険」という感じはしないわな。安全で便利な社会における普段の生活に倦んだ結果、危険がないよう配慮された中で程々のスリルを味わう「冒険」を必要とする…ちょっとした倒錯。

給料日から3日間は給料日後だけどそれ以降はもう給料日前だよ

最近頭痛くないんだけど脳なくなった？

ストレスチェック未回答のまま会社に直接「死にたい」ってメール送ったろ

だいたい生まれて30分後にまだ自分で立てない時点で人間の赤ちゃんってやる気なくない？サバンナなら死んでる

うちの地元は道をあけるって文化がないから前のひとより先に行きたかったら轢き殺すしか方法がない

道のど真ん中に駐車してあげる！！！！！みんな任せて！！！！無免の底力見せてあげる！！！！！！

オタクじゃない女の人って自分の話じゃなくて自分の男の話して楽しいのかな…って考えたところでオタクは全く関係ない男の話をするからオタクじゃない人よりもたちが悪かった

カップラーメン1個でおなかいっぱいになりたい。食べると逆にお腹空く。ガソリンにしかならん。この後定食食べれる

朝から8枚切りの食パン4枚食べてしまってさすがにヤベェなと思ったけど4枚切りの食パン2枚に変換することでカロリーを半分にすることに成功した

え…フォロワーの葬式めちゃめちゃ行きたくなってきた… 誰か予定ないの？

マジで見直しは大事。マークシート形式の試験は大人になって競馬やるための練習だったことがわかった

今日調べ物しててグーグルマップで目的の建物の周辺みようとしたのに何回やっても一蘭内部に連れてかれてラーメンの画像しかみせてもらえなかったから会社で大暴れした

国民全員GO TO使ってうちに来い。抱きしめてやる

職場の無能な人間交換して始末し合わない？うちでいちばん無能なのはわたしですが…

電車で見繕ったクソジジイとクソババアとクソガキ集めて北海道の山中に集落作って暮らさせたい。新しいWikipediaつくりたい

周りに終わってる女しかいないから結婚のこと博打って呼んでる

地球マジウザいんだけど。明日から地球のこと無視しよ

昔外食してる時に「っていうかオカン金無いって言ってなかったっけ？平気なの？」って聞いたら「走る準備しとけよ」って答えられたことならある

食中毒の菌の名前思い出せない。D-51ではないよね？

みんなで練炭しか入ってない欲しいものリスト公開しちゃおっか

みんな真面目に人生歩まないで、貯金しないで

あんまり落ち込まないメンヘラだからメンタル落ちたときの対処法がよくわからん。気に食わんやつ全員死刑にするか

コナンのテーマではじまるわたしの葬式めちゃめちゃ面白くない？葬儀場でさらに遺体が増えるでしょ

母親と電話してたら「あんたなんか未来ないねんから…」って自然に言われたんだけど母親認定で未来がないってどういうこと？

なんでこんな最悪なツイートばっかり思いつくんだろう。私が記者会見したら不謹慎なことしか言わないと思う

ピューロランドのキャラクターのこと「かわいいね〜めっちゃかわいい…………」って撫でながら口説いてたらすげえ照れてたからあと2、3回口説いたら多分抱ける

ほんと努力以外ならなんでもするから痩せたい

今日寄ったガソスタのお兄さん新人っぽくてすごいいろいろ手際悪かったんだけど最後に「ま、窓お拭きしましょうか？！」って言ってくれたのがあまりにも一生懸命で苛立ちもぜんぶ帳消しになった。わたしバイクだから窓なかったんだけどさ

最近どこの店舗で買い物したかは言いたくないけど…っていうクレームが本社に結構入ってるらしくてウケるんだけどマシュマロじゃねえんだぞ。喧嘩しようや

アマゾンの作ったアジカンベストプレイリストが全然ベストじゃなくてあーしが作ってやるよ！！！！！！見てな！！！！！！！って崩壊アンプリファー開いた瞬間巨乳の私が「あ〜ん♡♡♡全部入っちゃったぁ♡♡♡♡♡」って全曲プレイリストにぶち込んだ

借金背負わされてセックスしてくれたらお金渡すよみたいなこと言うBL読んでたんだけど1回50万くらい払うのかなって思って読み進めたら1万しか払わんくてこいつと何回セックスすんだよって大泣きした

新幹線の三人席で真ん中の席のお兄さんがパソコンで可愛い鳥の動画流しながら寝ちゃってるんだけどマジで可愛いから両端のわたしと知らん男の人が夢中で見てる

悪口なんだけど普通の人に見えるように演技してるって言ってる腐女子で普通に見える人いなくない？全然腐女子に見える

まってヤバイ、江戸時代より長いウンコ出た

役所に申請出したら人殺してもいいみたいな法律ってない？

起きた瞬間からくたびれてるのどうにかしたい

相手を束縛するのは愛じゃないみたいなのを大学の倫理学で習ったせいで束縛系の話見ると愛じゃねぇな…みたいなキモい角度から読んじゃう。どうしてこんなキモい腐女子になったの？

飲みすぎてゲロ吐いてるくせに電車で帰りたいってさすがに強欲すぎでしょ、死にな

買い物行ったときとか店に置いてある消毒汁はセーブポイントだと思って消毒しちゃう セーブはこまめにするタイプなので

知り合いが中学の頃サッカー部入ってて部内で対立起こったときにどっちつかずの中立の立場でいたらスイスってあだ名ついた話で土曜日からずっと笑ってる

たのしい予定が終わった瞬間になにかを理解する間もなく殺してほしい。でかい隕石がんばって

厄祓いて神社？お寺？わたし自身が厄みたいなもんだけど祓われて一緒に消滅したりしないかな？

家燃えても消防車呼ぶ前に絶対ツイートする

お母さんに「髪の毛ドブ色じゃん」って言われたから「え、変？」って聞いたら「変じゃない馴染んでる」って言われたんだけどドブが馴染むのは悪口でしょ

引越しって葬式より最悪だよなとおもいながら有給申請の書類つくってたら理由の欄に間違えて「葬式」て書いたまま提出した。2週間向こうの確定した葬式

それが好きだからってなにもかも全部知りたいとは思わないんだよね。嗜む程度が1番疲れないんだよね

全然仕事できねぇ&しねぇクソ野郎が隣でヤフーニュース見ながらレッドブル飲んでてムカつく。何勝手に疲れてんだよ

タワーオブテラーがトラウマすぎてタワーオブテラーって名前出てこなくて「デス…………デスサイコ…………なんだっけあれ」ってなってしまう

スタイルが悪いから人間用の服と相性が悪いんだよね。妖怪用だしてほしい

クソ生活してるからなんでもかんでも洗濯機突っ込んでる。好きなだけ縮め、気にならん

クソ忙しいときに雑用頼んでくるクソ営業に「今は無理です」「他の人に頼んでください」「自分でできるでしょ」をちゃんと伝えるようにしたら「忙しいときにごめんね」って謝りながら雑用頼んでくるようになった。こちらこそごめんね、死んで

見せしめに殺したコバエテーブルに並べたりしてるけどあいつら全然屈しないからムカつく

結婚しないのて言うてくるひと「無職のバンドマンの生活支えてて毎日殴られてるけどこれがしあわせなんです」てにこにこしながら返したら二度と声もかけてこなくなる

みずほ銀行ってATMの中に人入ってて時給30円とかで働かされてる？不具合起きすぎじゃない？

怒ると涙が出るわたしの自律神経ゴミすぎるからどうにかしてくれ。怒ると口から包丁出てくる体質が良かった

はやく国王になって側近に「王‼️‼️殺しすぎです‼️‼️‼️」って言われたい

最近記憶障害エピソード話そうとしてもあんま出てこないもんな。もしかして記憶障害なおってる？

あきらかスーツに着られとる新社会人5万人くらいおってかわいい。電車の乗り方もわからんのか。殺すぞ

auショップ1時間待ちで歯茎剥き出しにしてキーキー鳴いて手パンパンでかい音で叩いてうんこをそこらへんに投げまくりたくなったけど理性が勝って歯茎剥き出しにするところでなんとか止めた

職場で一番理解ある上司が「今の貸しは子供が小学生になったら返してくれればいいから気にすんな!」ってめっちゃ親切な顔で言ってくれるんだけど 育児と両立できる働き方をする＝人に借りを作ってると言ってるのと同じ。理解あるように見えても潜在下では結局育児と仕事の両立を否定してるんだよね

次のジュラシックパークはゲイで黒人の恐竜が出てくるらしいね

メンタル持っていかれている時って自分以外の健常な人たちはみんな順風満帆に見えてしまうけど、香川さんですら欲や邪が出て一発アウトになるので人間が欲や邪心で動く以上は順風満帆な人は基本一人もいないと思って間違いない。

工場で仲良くなった人から「おれと仲良くなる人はたいてい病むので注意してください」って言われたけど、おれと仲良くなる人はたいてい病むからそっちこそ注意しろよな、と思った

謎解きは「生まれ持って得たひらめき力」ではなく、パターンを知り練習を積んだ習熟度がモノをいう世界です。鍛えれば鍛えるほど、ひらめきの回路が強化されるのです。一般に頭がいいとされる東大生であっても、謎解きが得意かどうかは人によりかなりの差があります。昨今言及されることの多い「ジアタマ」なるものも、経験を積んだ謎解き好きの前では無力です。なかには作るのは得意だけど解くのは苦手という人までいます。このような人を見るうち、私は「ひらめき力」は何も天性のものではなく、練習で鍛えられるものだと感じます。謎解きとは、天才的な思考やひらめきが降りてくる以上に、パターンを頭の中にストックしたうえで整理し、次にいかすという「帰納法的な思考力」が問われる世界だと思うのです。視点を変えるパターンの集積と、その中からどのパターンを使うかを選び取る経験値が、上手な人の脳内には入っています。この事実は作り手の側からも補強されます。多くの謎解き作者は、自らもまた解答者です。当然、解答パターンをストックしています。そのパターンを共有することで、作成者の思考をたどりやすくなります。

「40過ぎて管理職じゃないとか、アメリカで働いててもただの負け組w」という大変ありがたいお言葉を貰った事がありますけど、在米法人にマウンティングしたいのなら「毎日コンビニでメロンパン買える！」「好きな時にお寿司、カレー、豚骨ラーメンが食べられる！」とかの方がこうかはばつぐんですよ。

俺は幸せをかなり引き摺れるので、10ヶ月前に買ったAirPods Proのノイキャンで未だにテンション上がるし、去年の12月に歯医者に「歯磨き上手ですね」って褒められて嬉しかったのを今でも思い出す。

「息子が出来が悪い。子育て失敗したかも」ってタイ人の同僚に言ったら「あなたね、タイなんかあんな立派な先代の王様でも子育ては失敗したよ！　あなたなんか失敗しても当たり前！」って妙な叱られ方＆慰め方された、ってツイートが何年か前にあったよね。

クリエイティブな活動をAIに任せることで我々人類は安心して労働に専念することができます

エロ漫画のヒロインの名前が、自分の母ちゃんと同じ名前だった人には、流れ弾に当たったとでも思っていただく。「すまない…全員は助けられないんだ。」と心を鬼にして引き金を引く。誰かには当たる。

ありもしない陰口を散々言われてきて分かったことは、「自分をちゃんと見てくれる人」からは信頼度が増していったことです。

旧帝大出て大手に勤め副業収入もあり投資に回す資金も潤沢な個人が「日本の衰退には悲観せず暮らせてます」と言ってるのを聞いて「なんだ日本はまだまだ大丈夫なんだな！」と思うのは余程のバカだけだと思う。

指輪物語で人種にアレコレ紛糾してるの見ると、やはり原作通り主演に古代ローマ人起用したテルマエロマエはすごいんやなって

「女性向け管理職先輩社員懇談会」的なご案内来た。登壇する管理職女性は「未婚バリキャリ土日も接待ゴルフ営業のしあがり課長」とか「子供1人、保育園は毎日開園から閉園まで預けて、休みの日も年中さんくらいから留守番させて出張引き受ける技術系ワーママ」とかで参考にならないし参加したくない。

ラブライブスーパースターは毎週面白く見ているが、明日から仕事だという日曜の夜に「みんな自己実現しとるぞ、お前は？」というプレッシャーを掛けられる感じがちょっと重く、たまに放送が休みだと変な安心感がある

やはり「なんか肌の色が濃いやつらと…非ヨーロッパ圏言語と…異教徒と海産物は…マジで気持ち悪いぜ！！！」が剥き出しのラブクラフト先生からしか摂取できない滋養というのは確実にある。劇物満載しすぎだろあの作家

幹事「忘年会参加します？」

やかましい人「今年は覚えていたいのでちょっと...」

反原発の方って、再エネを正義の棍棒として相手を殴るのに都合の良い道具としかみていないように感じる事がとても多いです。実際のところ、再エネの普及の中で現場で汗をかくとか、大規模な再エネ設備投資をしているとか、そういうの実践されている方を見かけないんですよね

無知や無理解は差別を生み出す温床だと思っていたけれど、世の中見ていると、差別をするために自ら無知や無理解でいることを選ぶという人が少なからずいるようで、昔どこかで読んだ「啓蒙の光の届かぬ奥底に潜むのが差別感情である」という言葉が、ここ数年ますます真実味を増してきた印象。

人語を話せる女王アリを飼育する夢見たけど。彼女にとって人間は風の音のように物凄くゆっくり喋って食べ物などの恩恵をもたらす意思のある気象現象のようなもので、一部実体として「巨大な指（彼女にはそれが"指"であると分からないが）」が存在している感じだった。エモいので漫画にしたいくらいだ。

【全3回】

結婚には大事な袋が3つあります。今日はそのうちの1つ、金玉袋についてお話します

「新卒を失うとやばい」「正社員じゃない空白期間があるとやばい」みたいな言説があるけど、そんなことで人生やばくなるのがそもそもやばい。でも世の中は「やめたらやばいから頑張る」と思いながら定年までのフルマラソンを走り切れる人材しか認めていない。

環境、同性婚、夫婦別姓、最低賃金辺りの、みんな大好きなイシューで我々悪しきネトウヨと違ってほぼ間違いなく味方になってくれるはずのパックンでもアベ国葬を推した途端に猛攻撃受けてるのを見て、ああこりゃこんな人たちは勢力作れないよなぁと納得している

「声優ライブに3万円も払えるなんて今が楽しければいいだけのオタクだけw普通は将来の資産形成を考えて躊躇する値段だから」ってお気持ちしてるオタクbioに「パチンコ」って書いてあって笑顔になった

Twitter君は「引用RTで暴言を吐くのが趣味」という、指導能力0のハートマン軍曹みたいな哀しきモンスターが割と居るということを可視化した気がしますね。可視化されても困りますが…。

若者が政治に興味を持てない理由「連ドラを途中から見ている感覚」

「新しい技術が出てくるとボロクソに叩かれる社会」に対する不信感を散々共有してきたTwitter上で、実際に「新しい技術」が出てきたときの反応がこれっすか、みたいな部分はあると思うんだよな

「チッ、たまにはAIが寄越した合成ポルノ以外のモンで抜いてみたいぜ」「絵の配給があるだけマシだろ、下の連中は文字だけで済ませてるらしいぜ、計算資源が勿体ないとよ」「聞いたか？上の連中は天然物の「絵師」に好みの絵を描かせてるってよ」「噂だろ、人間に絵が描けるわけねえや」

最近のTwitterではみんな何かに怒ってばかり。誰もがイライラピキピキしている。「退社なう」とか「なるほど四時じゃねーの」とか呟くだけで楽しくてｷｬｯｷｬｯしていたあの頃に戻りたい…

例えば本人と連絡が急に取れなくなった、無断欠勤が続いた場合、「あいつ会社休みやがって！」となるかもしれないのだけど、人事はもしかして倒れたのでは、事件に巻き込まれたのではと最悪なパターンを考慮して動く。そして悲しいことにその最悪なシナリオが現実に起きる場合もある…

最近認知症になったおじいちゃんおばあちゃん見る機会が重なってるせいもあって介護してくれる血縁も作れない僕は資産形成どうこうの前に認知があるうちに人生締めなきゃなあという気持ちになる

知人の主婦が「人工子宮は最高！葉巻を吸いまくったりウィスキー飲みまくっても平気だし、どんどん普及して欲しい」と言っていました。

人のやる気を奪うのって簡単。好きなようにやらせて理由も伝えずひっくり返したらいい。意味不明に無に返されると人は「意欲的に提案するほど、主体性を持って行動するほど、バカを見て傷つく」と学習し省エネモードに切り替え「言われたことだけやるのが最適解」になってく。100万回見てきた光景。

現代では自然災害とか人の力ではどうすることもできない事象によって多数の命が奪われたとしても神の救いがかれらにもたらされるでしょうなんて言わないよな。どちらかというと現代では彼らの無念が霊となって現世に残り続けているのですとかの方が受け入れられている。これが現代人の死生観なんだよな

なんでんかんでんの「かんでん」が感電だったら本当に怖い。

伊能忠敬の時代は、科学的な知識を持つ人が少なかったから50から勉強しても世の中の役に立てたわけだけど、現在ってそういうわけじゃねえからなあ、、、年とってから勉強しても良いけど、若いうちからいろいろ捨ててきた人と競争してることくらいは意識してもらいたい。伊能忠敬は当時としては相当に高い教育を若いうちから受けている。50を過ぎても学び続けていただけであって、50から勉強をはじめたわけではない。ちなみに伊能忠敬が参考にした許衡も、暦をつくったのは老人になってからだ。でも学問は若いうちからずっと続けてんだよね。別にずっと天文学をやっていたわけではなく、本業は儒家だった。

子供や若者に「自分と同じ失敗をさせたくない」と思う。だからつい説教しちゃったり、忠告や聞かれてもいないアドバイスをしてしまう。でも現実は、自分とは時代も環境も全く違うんだよな。むしろ大人達が子供や若者に必要な失敗をさせてあげられるか、失敗のリカバリー方法を教えられるかが重要だよな

syamuさんの件で「こういう人間は早く福祉に繋げるべき/幼少期からの支援すべき」的な意見が支持を集めてるけど、彼が障害者か否か？は別にして皆「障害者は可哀想だけど、それはそれとして私達の手を煩わせない&見えないところでひっそりと生きて欲しい」と思ってることがハッキリ可視化されているな。因みに彼等を視界から消したところで世界から消えるわけではないし、幼少期から支援（ニアイコール隔離）に繋がっていても私みたいな人間は現れる。福祉ないし支援に結び付けたからそれで解決双方万々歳！という風にはならない事は当事者及び現場の皆々様は日々体感されてるはず

高校時代に寮生活を経験した。「全然違うものを比較してもそこに価値は生まれなくて、一見似ているものの違いを言語化することは解像度の高い差別化という価値を生むんだなって、君たちを見ていて何となくそう思ったよ。」先輩の何気ない一言が、卒業して20年以上経った今でも胸の奥に刺さったままだ。同じ中国地方生まれでも、あいつは岡山、ぼくは鳥取。同じく税金が投入されている学校でも、あいつは国立大学附属中出身、ぼくは町立中出身。身長は少しだけぼくの方が高かった。あいつは人格円満、少なくともそのようにぼくには見えた。成績は同じ一桁台だったが、あいつはトップ3。ぼくは下位打線。あいつはトップの似合う男だった。将器があると同世代が見てもそう思うタイプで、女生徒からも人気だった。東大法学部を目指して日々着実に試験対策を講じていた。志名坂高次の「受験の帝王」と和田秀樹の本と快楽天ばかり読んで受験勉強法とエロ漫画だけに詳しくなっていたぼくとは雲泥の差だった。きっとあいつは東大文Ⅰに現役合格するだろう。みんながそう信じていた。しかしあいつは現役合格しなかった。ぼくは東大旧帝大には及ばないがそれなりに名の通った国立大学に現役合格した。もし閻魔様が学歴厨だったら、現役合格したかどうかで地獄に落とすかどうか決めるだろう。高校の卒業式であいつに「来年は合格だよ」と言うほどの社会性は育っていた。しかしその時のぼくの顔はさぞ不気味に作り上げたにこやかな顔をしていたに違いない。一年後、あいつは東京大学に合格したと聞いた。距離が離れていたから、比較されることもすることもなくなっていたから素直に祝福できた。一見似たような属性でも、性質は全く異なるものだ。それを単一のものさしで評価してランキング化した上にそれを可視化する。高校時代に、もともと歪んでいた性格がさらに歪んだように思う。寮の優しい先輩が持っていたエロ本がスカトロ物だったときのショックも大きかったかもしれない。性癖は無事だ。誰かと比較して、差別化をして生きていっている。偏差値ではなく経験で比較する。能力で比較する。いいとか悪いとかではなく、みんなそうやって飯を食っている。日々人生をやっている。あいつは某業界最大手に就職し順調に出世。ぼくは出世を諦めた会社員。比べなくてもいいけれど。

ハンマー投げの選手、ハンマーが飛んでっちゃって毎回悔しそうに叫んでるけど全部自分のせいじゃん

周りの医者見てると医者の仕事を仕事と割り切ってる人と、人生をかけた社会貢献と考えてる人に大体二分されて両者は絶対に相容れないんだよね。当然前者は自由診療に多いけど医局員にも一定数いて、高収入とやり甲斐の間で戦ってる。Twitterでの争いもそもそも考えが真逆の場合が多い。

昔、私も「手取り15万」というワードでバズったことがあるんですが、「転職しろ」の嵐でしたね…いや…ちがくて…「社会問題としてフルタイム給与15万っていう職業が存在するのがおかしくない？！」っていうお話なんよねぇ…転職はミクロ的にしか解決しないんじゃ！　社会問題解決せい！ライフハック、処世術には関心を強く持つらしいけど、「社会問題」は夢物語くらいの認識なんですかねぇ、あれは。状況への適応と思考放棄のことを器用とは言っても、賢いとは言わないと思いますね。頭が器用なことと賢いことって昔から全く一致しませんけどね。世捨て人みたいになる賢者なんてよくある話で。頭の器用なひとは誰かにとって使える人だから評価を得やすい。そして賢いと勘違いしがちです。定められた目的に辿り着くのと、目的を定めて辿り着くのは違う能力。賢いけど不器用もいる。両方もっているひと？そんなひとはいません。トレードオフ。賢ければ不器用になり、器用になれば愚かになる。両立はどちらも大したことないレベルで終わりです。そもそも目的を定める過程があるぶん、どうしたって定められた目的へ辿り着く能力より遅くなりますよ。めちゃくちゃ難しい過程が前にあるのだから。素早く簡単な問題を解決することと、その前に難しい問題を作って解くことが両立するわけない。目的を他人に預けるから早くなる。

年収2000万では手取り1200万になるので、週5日勤務のうち週2日は税金のために働いている。悲しい…、

プロの格闘家や武術家に正しい技の使い方を教えようとするシロウトはあまり見ないけど、プロの漫画家に正しい漫画の描き方を教えようとするシロウトは時々見かけます。たぶん殴られる心配がないと思っているからではないでしょうか

サッカーは移籍すると過去に所属してたクラブに遡って移籍金が分配される仕組みあるのマジで良いよなぁ。もちろんユース時代の所属にも払わられるのでこれはめちゃくちゃデカイかと。終身雇用が崩壊し、転職が当たり前になった時代。誰が新人の育成を負担するのか？という時代にあって、こうやって若い頃育てた恩を還元する仕組みがサラリーマンにも必要なんじゃないかって思った

「わからない」と腐してブコメするためだけにタイトルからして興味のない記事を開いて興味なさそうにブコメする人達はそりゃ老害と言われると思う

浮気と言うか、「一線を越える」の明確な定義として「粘膜同士の接触」を提唱しているのだが未だに理解されない。個人的にはかなりクリティカルな線引きだと思っており、気に入っている

友人の自営やってる発達たち、自営に向いてるというより会社勤めに向いて無さ過ぎて自衛しか無理という感じやね

りゅうちぇるに代表される"アップデートされた令和の夫"像がクソな理由は「結婚生活はマラソンであって100mスプリントじゃねえ」ということに尽きるんだよな。いい夫芸が金になる人間でさえ続けられないものを一般人に要求するな。結局結婚に一番向かない資質って相手の差し出しているものを当たり前と思ってそこを基準＝0点として評価してしまう、あまつさえ相手の至らなさにばかり目がいってモラハラを始めてしまう感謝のなさだと思うよ。

インテリ家系でない蕎麦屋で育ち、運良く東大に通った私は至近駅の荻窪の古本屋店前で全て100円で売られていた新書を4棚全て購入し、2ヶ月で全て読んだ。大学入試がAO（基礎学力より育ちによる経験優先）入試中心になると、日本は本当に大学入試による階層上昇の機会のない国になるかもしれない。蕎麦屋から東大に進学した後で感じたのは、中高一貫の進学校から進学した東大生達の知的バックボーンの浅さだった。要するに効率的に試験に出る知識だけを頭に植え付けているだけの人が多くがっかりした。学んだことを知的好奇心に任せて貪欲に更に学ぶ人が少数派だったことにがっかりした。

結局「何でもできるけど、何がしたいのかよくわからない」と言う人は「とりあえず工学部行っておけば……」となりますよね？ぐらいの話であって、多くの人はそうではないので「行けそうなところで一番高いか、高くはないけど妙に楽そうなところに登れ」ぐらいのことでしかないわな。

ジョナサンで店員さんが「おいお前どこ行くんだよ！」とキッチンに向かって大声出していて、えーファミレスで後輩説教はつらいなぁと思ったら心底疲れた顔でキッチンからお給仕ネコちゃんロボットを引きずり出してきてた。スカイネット反乱の時も近い

「自分が気に入らない」で、すぐに手近な都合の良いものを使って殴りたがる連中ってのを子供の頃からウンザリするほど見て来た。殴る前に、その「自分が気に入らない」がどこから来るのか考えてみりゃ、ちょっとは変わるんだろうが、「うるせぇな！ムカつくんだよ！消えろ！」しか言わんからなぁ。自分に不快感がある時に、それを不快に感じる理由を考えるって事をやんないと、排除だの撲滅だのって発想にしかならんのだが、まぁ、そこで威勢よく問答無用で殴りつけるような奴の方が、なんか人気集めたりするしな。拳だけでなく言論なんかでも同じ傾向性があるもんな。

弱者救済を情でやると人間は小汚いオッサンよりネコチャンを優先的に救ってしまう

20代の退職者が目に見えて多い。ちょっと前まではこんなことなかった。若い人ほど組織に見切りをつけるのが早いんだろうな。働き方に疑問を持つ若手が辞めて、幹部を含めて組織に最適化された職員しか残らないから、改革なんてできるわけないよね。

テトリスよりぷよぷよのほうが、角がなくて安全なのでお子様にも遊ばせやすいと思う。

満員の通勤電車、女子中学生に腕を掴まれ「次の駅で降りましょう」と言われたから、これが噂に聞く痴漢冤罪かと一気に血の気が失せた。完全に人生終わったと思いながら大人しく一緒に降りたら、「肩…」と言われ慌てて視線を移すとクソでかい芋虫が俺の右肩に鎮座していて思わず絶叫してしまった。

「世の中には正義と悪の二陣営しかなく、自分は正義で自分が不幸なのは悪の勢力のせい」って世界観で老年期に突入してる人の残り人生想像するのちょっとグロい。

syamuさんが「作業所が地獄」って言ってたの、仕事内容じゃなくて「職員から子供扱いされる」のがきつかったんじゃねえかな？「〇〇ちゃん、お仕事出来て偉いでちゅね～」って扱いする職員がいるんだわ。あと「バレンタインの日に男女問わずチョコが貰える」とか、幼稚園児扱いかよ？って思ったのだ。とはいえ、利用者を子供扱いする職員がいるのはわからないでもないんだよね。薄給のブラックな職場なんで、「利用者を自分の子供と見立てて成長する姿を応援する」みたいな感覚じゃないと続かないって側面はあると思うのだ。

あまり指摘したくない事だけど、福祉や支援の場は当事者だけでなく職員もしんどい思いをしてる点があって、例えば児童相談所職員は3年以内9割離職と言われてるし、児童福祉司の2%は精神疾患発症して休職するしで、困窮者を福祉や支援に繋げるのは「問題解決」ではなく「問題の移動」に過ぎない

【手品ができる知り合いあるある】

すごいなとは思うが、うらやましいとは全く思わない

テレビ番組を作るのが子供の頃からの夢だったという東大出のADが楽屋で寝ている横山やすしを起こそうとしてキレたやすしに殴られ辞めてしまったという話がビートたけしの本に載っていた。それまでの努力と歳月がアル中DQNのパンチ一発で全部潰されてしまった。人生、一寸先は不条理よ。

少し前のインタビューで遠野遥さんが「仮に100万人が自分の小説を読んだとしても 日本の人口の1％も読んでいないから何も気負う必要はない」という旨のことを語っていて、そう考えると自分がやってる規模のことなんか誰も見ていないに等しいから、何事にも変にプレッシャーを感じることがなくなった

断捨離の人、物を捨てることにより快適に暮らすことではなく物を捨てることや何かをそぎ落とすこと自体に快楽を感じている可能性もあるんじゃないのか。手段が目的化して、過剰なダイエットで栄養失調で骨と皮だけ、みたいになってしまってる人もおるでしょ。

夜に散歩すると犬が光っててお得

夜職の人が語る男性論みたいのって微妙にズレてんだよな。昼職に向いてない人がスケベなオヤジ中心に観察してるからサンプリングバイアスがハンパないのかな

ソロキャン女子レイプ未遂事件、「建前として女に責任はない」のと「現実としてあらゆる行動には結果は伴う」の問題として、また「建前を建前だと分かる人間じゃないと人間社会での生存は難しい」案件になりつつあるのです。表で「物騒な世の中で女に責任はない」と言っているイケオジ演出お父さんも、自分の娘には「襲われたらレイプされるか死ぬよ？」って脅し付きで警告したりソロキャン阻止すると思います。それが人間社会なのです。

昔、「世界に一つだけの花」が流行った時、「確かに皆、花なんだが、花屋で売れていく花でなく、刈られて捨てられる雑草だったりするから、悩むんだと思うが…」と言って、引かれた事があるのを思い出した。世界に一つだけの花はクラスで最下位の人間にじゃなく2位から5位くらいまでしか取れない人間に語りかけてる歌だと思っている。1位に固執することないよってね。だから最下位の慰めにはならんのよ。劣等感で自分を普通じゃない（悪い意味で）店先の雑草に追いやっているのは自分なんだけどねとLGBTsが言ってみる。「世界に一つだけの花」の本当に伝えたいことはその事だと思います。作詞した槇原氏は後に「軒下のモンスター」という同性愛者の苦悩をテーマにした曲を出していて、「世界に一つだけの花」に対するカウンターのような歌詞になっていますので。雑草と言うより、B級品にも満たない規格外の野菜みたいなものと言った方が適切なんだろうな。野菜の場合であれば、それはそれでそういう不揃いの野菜が好きって愛好者もいるけど。喩えどんな人間であっても、周囲から異質で気味が悪い存在だと思われたくないよね。その異質さが、そのまま生きづらさになるわけだし。そういう異質さを生まれ付き持ってたとするなら、何処に行っても自身の異質さがあるせいで受け入れてくれないかもしれないと、恐怖するわけだ。そうなる事で、「異質でないこと」に憧れるみたいな話かもね。おそらくどちらかといえばやや雑草側であろう自分の主観になるけども、この場合の「普通」というのはADHDに限らず「大半の人が何の意識も気遣いもなく息を吸うように出来ていることや、得られている評価」を指しているので、出来ている人には「何いってんだこいつ」ってなるのよ。だって意識したこともないんだもん。知らない概念はそう簡単に認知できない。ただ問題は「何の意識も気遣いもなく息を吸うように出来ていること」が主観で語られていて明確な定義がないから誰も正解が出せない。溝は深まるばかりというやつよ。普通の人だって苦労はしてるし劣等感もあるよって言っても無駄なのよ。もう悩みのレイヤーが違うから。その劣等感は「大半の人が何の意識も気遣いもなく息を吸うように出来ていることや、得られている評価」がある上での劣等感だから、こういう人たちに言っても「そうじゃないんだ」ってなるだけでね…うん…言ってみるならクソ金持ちが貧困層の前でいいスーツ着て「あー、税金高ぇわー」って言ってる感じ。例えば足腰に障害を持ってる人は少し背伸びして高いところにあるものを手に取る、ってことができないんだけど、それを健康な人が「なんでできないの？」って嘲笑うぐらい残酷なことではある、って自覚は持っておいた方がいい。劣等感はともかくとして、能力が社会的に許容されていない人は確かにいる。そういった人たちの失敗が公正世界仮説という認知バイアスによって「努力してこなかった」「わざとやってるに違いない」と存在しない悪意を見出されて糾弾される。そういったことが踏みつけられる雑草の苦悩のひとつなんだと思う。普通を定義しようとすると自分を見つめざるを得ないから、ふわっとしたまま「普通になりたい」って言う気持ちは分かるけど。ブコメによるとどうやらそれは普通じゃないらしい。「普通はこうだろ」とか「普通そんなことしない」の「普通」になれてないから悩む、ってことなのでは。周囲から殊更「普通は」という言葉を言われてるのに、あなたの認識次第ですよねと言われても。

上司が「部下のやる気」に無関心でよいという事にはなりません。というのも、上司が「やる気を削ぐ原因」になるケースも多いからです。プライベートに関わらず、会社が憂鬱な場所となるのは無理ありません。上司がわざわざ、仕事を邪魔しているようなものです。私のかつてのボスは、こう言っていました。『上司の役割は、部下の靴の中の石ころを取り除いて、走りやすくしてあげることだよ』と。それはつまり、上司は部下の仕事の障害を取り除くことがメインの仕事であり、「部下のやる気を上げよう」なんて考えなくていいということ。そして、せめてやる気を削ぐようなことはするな、という意味だと私は理解しています。過去に上司の納得する資料を作ることが目的で仕事の成果は二の次という事もあったけどやる気にはつながらなかったなあとか。会社員だったとき一番精神的にキツかったのは、仕事が出来ないのに自分より給与が高い上司だったな。人間性は嫌いではなかったけど、それでもやる気を削がれた。新人が仕事中にうたた寝してたのをこっぴどく叱ってたはずの上司が朝から夕方までカックンカックンしてるのを見るとやる気が削り取られます。

昭和の高度成長期以来、「就職者の多くが定年まで企業に終身雇用的に勤務して給与も一定程度上昇していく」という期待が、国内の消費を支えていた。

若者の車の購入や中堅層の住宅購入も、そういう期待（幻想）で成り立っていて、それが経済を支えていたのだろう。その期待が崩れていくと、消費はどんどん縮小し、車も住宅も売れなくなっていく。米国みたいに最初から終身雇用でないことを織り込んだ上で消費行動が確立されているなら別に良いのだろうが、日本のようにいったん成り立っていた前提が崩れた場合、別な形で立て直すのは非常に困難なように思える。30年前や40年前も新卒の若者は給料が高かったわけではない。ただ現在と決定的に違うのは、「将来の安定した雇用や昇給への期待」だろう。本当に期待通りになったかどうかは別として、少なくとも主観的には「期待」「予想」が明確にあって、それを前提にローンしてでも物を買っていた。

トヨタ式の「カイゼン」を海外に広めるときに講師が口を酸っぱくして言わなければいけなかったのは、工数削減が実現されても人を切るな、というだった。業務改善の結果工数が減りました、となったとき人を切ってしまったら現場からのボトムアップの提案なんて出てくるわけがないから。だが、逆に言うとトップダウンの業務改善というのは基本的に人減らしを志向しているということでもある。つまり本来トップダウンの「業務改善」というのは概ね人減らし・人件費削減がメインになってくるわけで、現場の声なんて聞いてたらうまくできるわけがなく、コンサルに高い金を雇ってやる理由はそこにあるわけですよ。

死んだあとリズム天国に行った人

靴擦れするたび思うけど、足の皮一枚ベロンとめくれただけでろくに歩けもしなくなるのに、物語の戦うシーンで刃物で切りつけられたり銃で撃たれたりして戦い続けるの本当にファンタジー、絶対に無理と思う

マジで気をつけようと思った話。銀座ホステス時代にたくさんの社会人の方とお話してきて、色んな愚痴や悩みもめちゃくちゃ聞きまくって気付いたんだけど、社会人が怒る原因ランキングのぶっちぎり第１位は「俺はそんなの聞いてない」です。事前に丁寧に仁義を切るだけで大抵のトラブルは回避できます。

自尊心が高いと称して他者に攻撃的な人間がTwitterには散見されるけど、自尊心とは「ありのままの自分を受け入れられるか？」なので、他者の目を気にする&他者と自分を比較したがる人間は、むしろ滅茶苦茶自尊心が低いんだよな。自分を卑下する人間同様「自分は無価値では？」という怯えに染まってる

うちの奥さんが「若者のパチンコ離れがこのまま進んでいくと、今後パチンコというものを知らない若い女の子にパチンコの話題を振ることでセクハラと思われるかもしれない」と言ってて、こいつSF作家の素養があるな…ってなった。

そういえば先日、小学生が「手回しで窓が開く古い車」に初めて乗った際、「エンジン掛かってないのに窓が開けられるとか神じゃん！」と絶賛してて、なるほどなぁと思いましたw

実力はやたらある悪徳卑猥マッサージ師「いや～ここリンパ溜まってますね～、しっかり揉みほぐして、いえいえこれは施術ですから安心してください、ここのリンパが特に凝って―――お客さん、すぐに大学病院で精密検査を受けてください、今の段階なら間に合います」

Twitter民、発達障害者が多く見られるからいうけど、発達障害者に向いてるのはそれこそ公務員か大企業だと思っている。中小企業は人数が少ない分、人との関係性をスムーズに行えない奴はかなりの邪魔になるからね

4社を経験して確信してるんだけど「会社の文化」が社会人としての人格を形成すると思っていて、同じ会社の人は、知らず知らずのうちに同じような人当たりやコミュニケーションをする。激しい自己主張やキツイ言い方が常態化してた会社は、ほぼ全員がその人格に染まってた。大人からでも人は変わる

インターネット部の顧問「お前もうインターネット辞めろ」

【「ここの作業はまだ覚えなくていいから」と言ってさっきまでの教える用の動きをやめた先輩あるある】

全国行くんかってくらい速い

時期を逸したが、本邦の「とりあえず人数分ビール」は、「本当にビールが飲みたい」「早く飲みたい」「でもみんなで乾杯はしなくちゃ」というエゴと秩序意識の葛藤による妥協点みたいなことで、別に「ビールを飲ませたい」ではないんだよな。割と日本的「秩序」の典型なんじゃないかと思う。これを「人類はビールを飲むべし」という原理主義的な秩序だと勘違いして「ビール以外だって頼んでもいいでしょ！」と攻撃しても暖簾に腕押しとなる。「そりゃそうだが？」なんだよね。とりあえず最初の一杯くらい「形だけ」でいいでしょ、と。大袈裟に言えば飲まなくてもいいんですよね。形だけ乾杯のていをしてグラスを置き、以後は「いや実は飲めませんで」と言って通しても構わない。ひょっとしら「立派だ」と言われるかもしれない。不寛容だけど寛容/寛容だけど不寛容というのはこういうところですね、たぶん。

３年くらい前、友達の家に遊びに行ったとき、本棚がないからと言って壁一面に床から天井まで人文系の専門書を並べ積み上げているのを見て、「嘆きの壁だ」と言ったら伝わらなくてショックだったの思い出した。そういう部屋に住む奴には伝わるべきだろ

これ言ったら炎上するかもだけど、世の労働者や家族は1日の半分もいないような家やマンション・賃貸に30年で総額数千万円かけてるのに、それよりもより長い時間肌身離さず一緒にいるiPhone12万円を高いと嘆く感覚が正直分からない。2年使いならiPhone30万円でも買いでしょ

【神機転】

スタッフ「『みんなも一緒にやってみようよ。いくよ？マクドナルドドナルド。』でお願いします。」

ドナルド「あ、はい…でもそれ語感が」

スタッフ「え、なめてるの？俺いつでもお前のこと剣で斬れるんだからね。」

ドナルド「（くそ…本番で急にランランルーって言うしかない…）

シンジくん、移動教室よ、急ぎなさい

CMのあと、大物㊙ゲストのサプライズ登場でスタジオ騒然、大パニック！？失神者13名、4名嘔吐・痙攣、1人意識不明……

子供「ムニャムニャ……もう食べられないよ〜……」

ヤバい母親「あらあらこの子ったら、何の夢を見ているのか……見当もつかない……」

文字は認識できないが「ぺ」を月が見える山だと思っている風流な猿

週刊　世界の複雑さに耐える

今週はあぶりチーズポークカレー寿司に耐える

【ポテトチップスの起源】

1853年のアメリカ、とあるホテルのレストランでお客様が「フライドポテトが分厚すぎる！ もっと薄くしてくれ！」とクレームをつけたことに料理長が腹を立て、殺してしまったそうです……

街角でよくティッシュが配られているのはティッシュの知名度を上げるため

試着をご希望のかたはお近くのスタッフを倒すことだな

本当の今年の漢字はねえ……『毒』だよオーーッ！！！キーーッヒッヒッヒッヒ！！！！！！！！！(大蛇を振り回している)

この後、ピチューに失礼なことを言うひろゆき「あのー、じゃあ、まずピチューがいまーす。ピカチュウもいまーす。ってなった時に」

電車内でスマホ開いたら『ウマ娘！！プリティダービー！！！！』って盛大に

叫 ん で し ま っ た

【確かに】

しかし警部、自殺を考えている生徒が家庭科の期末をガチるでしょうか…？

マッチ棒を一本だけ動かして

笑　い　を　取　れ　！

「くっ…何を飲ませた！」

クク…感性が1000倍になる薬だ、これでお前には俳句を作ってもらうぞ。

「なッ……ああっ！！急に世界が鮮やかに！！言葉に色彩が！！クソっ……本当は詩など書きたくないのに！！体が勝手にーッ！！ハンバーグ 2つ食べると 2倍うまい」ｻﾗｻﾗ

いや元の感性がカスすぎる

【クソすごろく】

あなた「おっさんずラブっていうドラマあるじゃん？」

女「ありません」

あるのに....。8億を失う。

｢セックスしないと出られない部屋｣の壁材で作られたセックス以外の攻撃を受け付けない戦車

クラッカーって祝福のために生まれて、祝福をもって死ぬからかっこいい

しずかちゃん「先生、雪が…」

生徒たちはみな窓の外を見て小さく喜び合う

先生も板書の手を止めて目を細めていた

廊下に立つ野比の息が白い

銭湯の電気風呂に浸かっている人が感電死しない理由は、奇跡が起こっているから

「ママー、あの人変だよー」「シッ！発言を許可した覚えはないぞ」

無敵のデザイナー｢シャネルパクったら い か ん の か ｣

荒野行動のキル集を出しているのにBGMがキリンジのエイリアンズのキモい小学生

ハリーポッターと動きやすい服装

やめてください！ちっちゃい声出しますよ！

ボカロっぽいお父さん「親に向かってなんだそのクチノキキカタは！」

死んでないのに青空に馬鹿でかく半透明に浮かぶおばさん

うんちにプロペラ…ネルフの考えそうなことね

もう諦めてるお年寄りしかいない「ダム待ちの里」という限界集落

いつでも鍵が開いてて中に100万円が置かれている『道徳室』がある小学校

【俺を題材にした絵本】

おまえひまそうだな

敵を察知する味の素「足の音♪」

チリの小学生ってやっぱり社会科ではじめて世界地図が配られたとき自国が細すぎることに皆でウケるくだりやるのかな

子供に勉強勉強って言いたくないですよね

ただいまあああああああああ

毒鵺(どくぬえ)毒鵺(どくぬえ)毒鵺(どくぬえ)

毒鵺(どくぬえ)は、教科書に対応した学習システムを真っ向から否定するために産まれた対教育用人工モンスター

焼肉屋に行ったら隣の席のデブが大量のご飯と肉をかき込んでいる様がとても気持ちよくて、ポケモンのタイプ一致1.5倍ってこういうことなんだって思った

殺してくれ～もしくは殺させてくれ

火が自然に消えるのを待つタイプの消防士

外はカリカリ、中はトロトロ、膝はガックガクのジジイ

果汁グミは本家ぶどうに近づけ過ぎて不気味の谷に突入している

電話口の木村拓哉「はい、木村拓哉の木に木村拓哉の村、木村拓哉の拓に小室哲哉の哉で木村拓哉です」

とて運転

わ！子供が飛び出してきた！！とて……（轢き殺す）

あまり大きな声では言えないが好きなものが叩かれるより嫌いなものが持ち上げられる方が辛い。前者はそれでも自分は好きだからっていう最後の拠り所があるけど後者は気持ちの落としどころがない。

完全リモートワーク可（ドローンで紛争地域の兵士を射殺する仕事）

この手の議論、「命を預かる仕事なんだから待遇上げればいいのに！」はよく見るけど、「命を預かってもらう仕事なんだから明日から倍の料金を利用者が負担しよう！」って話がどこからも出てこないのが不思議よね。あと、経営者は私腹を肥やさずに従業員に還元を、的なのもよく見るけど、私腹を肥やせるくらいの稼ぎが見込めないならわざわざリスク取って経営するメリットもないので結局その仕事自体なくなるんじゃないかしらね…

これはマジなんですけど、つらいことがあった人への「止まない雨はない」発言には懲役400年が課せられることが決定しました。

先日弟がマッチングアプリ婚したんだけど披露宴の馴れ初め紹介で司会者が「2人はAIの導きにより出会い」って言った瞬間会場大ウケしてた

子育てして分かった。「イスの上に立ったらダメ！」と険しい顔で注意するワタシ。２歳息子「ニヤリ」と笑いイスの上に立ち続ける。こんな時はできるだけ“無表情”で“反応せず”に「座ってね」と優しく声をかける。すると息子はそのままイスの上に立ち続ける。

な、なんだか今日暑いわね……まだ夏なのね……と思って汗かいてたらリュックの中でノートPCが熱暴走起こしててセルフかちかち山してるだけだった。二度とタヌキのこと鈍いのでは？とか言えない

◯無職に向いてる人の特徴

・1人でも楽しく過ごせちゃう

・毎日に刺激を求めてない

・世間体なんてどうでもいい

・YouTube、アマプラ、読書、散歩など趣味が安く済む

・睡眠時間が毎日一定(自己管理能力が必須)

・親との関係が良好で実家暮らし可能(一人暮らし無職は難易度高)

・仕事が嫌い(一番重要)

好きなことを基準にして仕事を選ぶと、その仕事を取り巻く環境にうんざりした時に、好きなことだったはずのことまで嫌いになってしまうんですよ。いや本当に。

ゆたぼんが「掛け算出来なくてワロタ」みたいなこと言われてたけど、俺普通に7×3の答えが21の時と27の時があります。

「男性は上司に憧れて管理職を目指したりしないのに、女性はロールモデルがいないから出来ないと言うのは甘えでは？的なのを見たんだが、私はそうは思わないな。これこそまさに特権問題の「自動ドア」男性は昇進するときに自動でドアが開く。仕事のことだけ考えていればOKなケースが多い」。この手の議論は一見もっともらしいのだが、これと同じ論法で「家事育児をする男性のロールモデルがない／少ないので、男性が家事育児に協力的でないのは仕方がない」というタイプの議論が無数に成立してしまうので、筋のよくない論だと思う。

電撃ネットワークって今、ドライアイスを食べるとかロケット花火を浴びるとかじゃなくて、舞台上でイスラム教に入信して舞台上でイスラム教を棄教してるらしい

この前妻氏に「またお腹大きくなってる」と言われたので「あなたの子よ…」と愛おしそうに腹肉を撫でたら本当に汚いものを見るような目で見られたんだよな

批判されてるのは「新卒を一括採用すること」じゃなくて「新卒一括採用でしか未経験者を採用しないこと」じゃないか？

公平にスキルの有無を見るから普通の若者は採用されない。インターンだとか自己学習を死ぬほどがんばって若くて安い割にはそれなりに使えるポジションを取れないと死ぬ社会になると思うな。大多数には厳しそう。

極論すると“仕事のできない”状態で雇用して、仕事ができるようにするため何か月も研修してくれるなんてのは日本（の大企業）くらいだよ。普通は"Job Description"に見合った経験やら資格をもって採用されるわけで。

ベビーカーが通れる駅のルートとか、人間という生物が成長する過程とか、全く知らなかった知識のセットが必須になるのは強く感じた。/それを個人の成長として直線上に置くのは反対かなぁ。ルートが変わるイメージ。増田が言いたい事とは違うと思うが、個人的に家庭持ったら逆に半人前になった気がしてる。人生のリソースの過半を妻子に注ぐ事になって、結果それ以外の生産性が半分くらいになるイメージ。子を持たないとわからないことは確かにある。でもそれと同じように、独身のまま歳を重ねないとわからないことや、子のいない夫婦にしかわからないこともあるんだろう。確かに世界は広がると思うけど、一人の人間が知ることのできる世界はほんの一部であって、例えば結婚したくてもできない人や不妊で悩む人の苦しみなどはわからないって考えられないのは世界が狭いのと同じだと思う。

【そういう言い方の人】

「え～！牡蠣食べたことあるの！人生の半分得してる！」

マリオってタイムアップのときOh No~~!!って言いながら落ちていくんだけど、どんな気持ちしながら落ちていくのか考えると面白いな。確定申告とかの締め切りが間に合わなくてもOh No~~!!って言いながら落ちて残機が1減るだけで済むならありがたいな

強欲な人「俺を世界一の金持ちにしてくれ！」

2個で呼び出された神龍「岐阜で一番の金持ちにしてやろう」

「間違ってクリックさせる」「見たがってるものの邪魔をしてむりやり見させる」系の広告、に出てる商品ぜんぶ嫌いになりそうですけどクライアントさんだいじょうぶですか

理系がチェックシャツばかり着ている現象、「服装はコーディネートが大事だよね〜」というのをcoordinate (英: 座標)だと勘違いしてしまい、服装にも直交座標系を入れなければならないと思ってチェック模様を選んでいるかららしい

女医が増えると医療へのアクセスは制限されますよ。女性比率が増えるとバリバリ働く医師の人年数が卒業生一人当たりでみて減少するためです。女性医師を減らすのは、奴隷勤務医によって成立するアクセスフリーの医療の維持を望む社会の要請なのですよ。そこを勘違いしないでほしい。

中2のころ柔道部の合宿で高校生の女子と乱取りやらされたことがあったんですが、あまりに弱くて逆にドン引きしたんですよね。男女の体力差は頭ではわかってたつもりだったんですが、実際に組むと愕然とするくらい差がある。カジュアルに殴ったり殴られてたりした時代の人間はこういうのを実感として理解してたと思うんですよね。逆に現代人は筋力や体力の男女差を実感するイベントがほぼ無いので、「男女に体力差はない」みたいなカルト思想を真面目に信じる人間が出てくる。

表現の自由とか言論の自由、というのは、国家をはじめとする公権力の介入を受けないこと、なんだけどネットでの言葉の使い方は殆どが間違っている印象。批判されない自由、じゃないんだよ。

家電量販店に立ち寄ったら子供達がゲームコーナーに走りこみ満面の笑顔でスプラ3のパッケージを掴む姿が沢山みられて、思わずおじさんも笑顔になってしまったよね。まってろよ…すぐバンカラシティのシミにしてやるからな…

【YouTuberの神回】

えー今日はですね、話題の心霊スポット、を、作ります→自殺

私の性癖というか好きな話の中に、「性格や趣味のバラバラな見た目のいい男3人が仲良くワチャワチャしてるトリオ」があるんだけど、これの原点を脳内で探ったら小学生のとき山ほど読んでたズッコケ三人組シリーズだった。ズッコケ三人組で性癖を育成するんじゃない。でもそういうことってあると思う

「けつあな確定な」、推しカプの受けに言われて欲しいけど推しカプの攻めに言わせたくないセリフすぎる、使い所が難しい

生活保護は「文化的な」生活を保障するものなので、当然外食などの交友費も含んで設定される。しかし、いまだに生保を「生存ギリギリ」とイメージして贅沢だとバッシングする人がいるので、この際思い切って「娯楽扶助」を設定して「最低生活には娯楽が含まれる」と明示したほうがいいのではと思ったり。

思想（気の持ちよう）は最強の問題解決ツールだと思うんだよな。何故ならあらゆることはメリットとデメリットがセットで存在するのと、問題は問題と認識するから問題になるから。何事もメリットだけ享受することはできない。いかなる物事も見方によってはデメリットを挙げることができる。例外はない。この中でどう楽しく暮らせばいいかというと「このデメリットは仕方ない」と決めて思い込むこと。これは思想の大きな役割の一つだと思ってる。

バス置き去りの件、出欠連絡を保護者がシステムで行いいるはずの子供がいないと一発でわかる仕組みになっていたにも関わらず「欠席連絡しないケースもあるから」という言い訳で確認を怠っていた。どんなシステムを入れてもそれを運用するのは人間。ルール守らない人間はどんなシステムも骨抜きにする。

「今後は、若い世代が安心して子どもを育てていけるように収入や雇用の支援を拡充するなど、将来を見据えて少子化問題を考える必要がある」って10年後にも同じこと言ってそう。言ってる。

人事で一番難しいのは有能な人を抜擢することではなくて、“負け組”をどう処遇するかなんだよね。“負け組”の不満の総量を肥大化させて、悪影響を及ぼさないようにすること。何なら“負け組”にも貢献をさせること。それが出来ている組織は強い。“勝ち組”だけしか存在感のない組織は脆く、崩れやすい。

「お前は追放だ」挨拶ができないし、ありがとうも言えず、すぐ相手の話を遮って早口で否定するせいで勇者パーティをクビになった召喚士の個人事業主無双 〜前以上にコミュニケーション能力が必要な世界で後悔してももう遅い〜

完全に八つ当たりなんだけど「きららジャンプ」をするアニメOPに出てくる青空ってぜんぶ太平洋側の空の色してて秋田県出身者として腹立つ、たまにはモヤッとして日差しも弱い微妙な空できららジャンプして

Twitter民の皆さんには教えておきますが、センター試験で6割行かなかったことよりも、学生時代のセンター試験の点数をいつまでも覚えている方が普通に恥ずかしい人ですからね。しかもそれでマウントを取るようになったら、どんな仕事に就いていようが頭も人間性も終わってる

「知識がある人は人格が優れている」みたいな話をTwitterですると、知識があるけど性格に難のある人に大喜利ネタにされるので、やめた方がいい(ライフハック)

デート中によく彼氏がエレベーターとか人の目がない所で「ヤーッ！」っておしり触ってきたりおっぱい揉んだりしてくるんだけど、この間しみじみと「付き合うってすごいよな…こういうことしても怒られないもんな…いつもありがとう…」って言ってきてワロタ

「俺の葬式は、小さいのでいいよ」というCMを見たが、「昼はそうめんでいいよ」に近いものを感じるな

うつ病の男エロすぎ‼️と思ってうつ病の男とばかり関わってたら3人くらい死んじゃって寂しいしやめました

陰謀論業界の人がロシアを応援しているのは単に世間と逆張りしてるだけなので、当人はロシアが好きでも詳しいわけでもないので、大多数の陰謀論者さんはコピペしか出来ないから底が浅いんですよね・・・ どうせ陰謀論を唱えるから独創的な陰謀論を唱えて欲しい。

「胎児は認知能力がないので人間ではなく、中絶は問題ない」という理屈もとれるんだけど、医療者がこの理屈をとると「じゃあ認知症寝たきり高齢者は安楽死していいの？」に反論できなくなる。だから医療者は胎児と胎外児を区別する基準を名言せず、ひたすら「胎児は人間ではない」と言い続ける。

ハゲックスが殺されたときも思ったのだが、ハゲックスも安倍さんも自分がなぜ殺されたのかを知らないまま死んでいった。その後に起きた社会的な議論も何一つ知らないままにだ。このことを考えるとゾクゾクするのだが言語化が難しい。逆に言うと死んだあとの事なんか知ったこっちゃないんだから、『迷惑のかからない自殺の仕方をしろ』とか『勝手に一人で死ね』とか言うのってめちゃめちゃ無意味だよなと思ったりする

人々が全身タイツを着たいという強烈な生得的性欲を持ってないの自分の中でそれなりの驚きではある。何年か前に、体に巻きつけるために農家のビニールハウスのビニールを盗んで逮捕された人のニュースがあって、この気持ちが自分にはよくわかる、金がなくて頭が悪かったら多分やってしまう

AIイラスト、自分の中ではすごい盛り上がってるんだけど人々が意外と参入してこないところを見ると、そもそも「絵で表現したいと思っている人」と「絵で表現する技術を持っている人」がほぼ一致していて、意外と需要がないんだろうなぁと言うところ

「働く」って大変だと思っていた。我慢しないといけないし、ストレスに耐えないといけない。そう思っていたけど、存在してるだけで褒められる仕事や。カンタンな軽作業をするバイトで、疲労が溜まらない働き方をしてる。うつ病になってから過去1で元気。ダメージが少ない生き方がベストだと感じる。

上京したばかりの頃、安アパートで換気扇回してカレー作ってたら外から「お母さん、どこかの家でカレー作ってる」と子供の声が聞こえて何だか照れたことを思い出した。あの子供もすっかり大人だろうなと、人生で一瞬だけ交差した人のこと考えてる

虫嫌いな人って退治してほしいときに遠慮なく呼びつけるくせに、退治する瞬間は確認したいらしく、虫が動くたびに後ろからぎゃーぎゃーと騒ぐのでこっちも気が立ってしまう（虫が動くことより突然に人が叫ぶことのほうに驚かされる）。頼むから自分の部屋で黙っていてくれ。結果だけ知らせるからさ。

たとえば妻が虫を怖がってまったく触れないというなら、自分がなんとかするしかない。怯えながらも堂々と対峙して虫を追い払えた時、少しだけ成長できた気がする。これが「役割が人を育てる」のもっとも身近な例ではなかろうか。親も上司も社長も、これの壮大なバージョンの焼き直しなんじゃないか。

すねかじりが世の中のことを考えなくて一体誰が考えるのだ。今日の食事にも事欠く人は先ず今日の食事のことを考えなければならない。すねかりじはそのことだけ頭に入れておけばいい。

【社会人2〜5年目あるある】

上司が退勤していき、2〜5年目だけが残った世界が心地よすぎる

「応援」には常にいかがわしさが漂う。例えば、大谷翔平がいくら活躍しようが、日本人には全然関係ないのにわざわざニュースで報道される。また、大谷選手を「応援」しています、というファンも多い。自分は頑張れないが、他人の「応援」はできるし、その活躍もわが事のように喜べる。色々とお手軽だ。昔、島田紳助が、野球場に来るおじさんに疑問を呈していた。「頑張れ！」とそのおじさんが怒声を張り上げるが、どう考えても、この晴れの球場に立っているプロ選手の方が頑張っている。「お前が頑張れよ」と島田は思うという。全くその通りで、頑張っていない人の逃げ道として、ときに「応援」がある。

いまの会社に転職するときに、ある先輩から、「前職の実績をいつまでも語るような奴になるなよ？ それって、大学生が高校時代の偏差値を自慢し合っているように映るからな！」と言われて、なんかスイッチ入ったのを覚えている。特に書籍編集者の場合、辞めたあとにも重版は続くわけで。それって、前職の営業部などの方々が頑張っているのであって、辞めた編集者が偉そうに部数を自慢するものではないんですよね…

なぜ母親が乳児を遺棄したことで男の責任は問われないのかというと、「そうなる要因を作ったことへの批難と実際に自分の手で殺して棄てたことへの罪は別」だからです。これが理解できない人は連続殺人犯が捕まったら「そんな子を産み育てた罪」で両親も罰されるべきと言っているのと同じなの。より言葉を尽くすとこの場合の男と女の悪さは「両立はすれど責められるべきフレームが違う」のです。

無計画に女を孕ませた男が周囲から無責任と責められることはあっても、それは全国ニュースになる類のものではない。故に死体遺棄のニュースでわざわざ「こいつが孕ませたせいです」とはやらないの。性交渉と扶養の責任が一体となるような社会規範というのは女のよりむしろ無軌道な男を束縛するためにあったとも捉えることが出来るのだけど、そういうものをせっせと解体したうえで我々は自由恋愛を楽しんできたのではありませんでしたっけ。私たちは誰にも縛られず、好きなところへ行って好きな相手と交尾をするのだ！みたいな世界観で生きてきた人がこの手の話題になると家父長制のメリットだけ要求しだすの面白いんだよな。夕方にドングリ3つしか貰えなくて泣くお猿さんみたい。「長年付き合った女性を30歳過ぎてリリースは違法」がまかり間違って法制化されたら普通に考えて29歳でリリースするハッキングが横行するだけで、それも更に禁止して...とやっていくと行き着くのはヤるからには結婚しろ（＝婚前交渉の禁止）という保守規範の再発明でしかないんだよな。邪魔くさい規範を景気良くぶっ壊してきた人々が「自由」に耐えきれなくなった段でその価値に気づくいつものパターン。「どこに行って誰と結婚するのも私の自由」の裏には「お前と結婚するもしないも俺の自由」がついて回るのだと気づくのに半世紀近くかかる皆さん、ほんと頭いいんですねというお気持ち。

けつあな確定は有名人だから報道されたけど、「都合のいい性欲処理扱いに薄々気付きつつもいつかは本命に昇格出来るかもと夢見て求めに応じ妊娠を告げたら喜んでくれるかもと期待してたら実際男からは愛情のカケラも抱かれてなかった現実を突きつけられて絶望する女性」って世の中にたくさんいると思う

智弁和歌山野球部レギュラーのババア

「もうちょっと3塁線締めてくれるかしら」

ギフテッド。今思い返せば苦い言葉である。私は学生時代、とある発達障害などの特性を持つ子どもたち専門の塾の講師のバイトをしていた。掲げているのは「才能を伸ばす」。親御さんの自尊心を満たす魅力的な言葉が並ぶ。1コマで四捨五入すると諭吉が飛ぶ。決して安くない値段だ。発達障害を持っている。そう言う親御さんは口々に「だから我が子は普通の人より突出した才能を持っている。ギフテッドである」という。発達障害とギフテッドを結びつけているのである。アインシュタインはADHDなどの発達障害であったのではという話題がネット上のトピックにちらつき始めた時期のこと。もちろん、発達障害であればギフテッドである。ということはなく、大金を積んで塾へ通うよりも、児童精神科などで治療や医学的アプローチを受けるべき子供のほうが多数だった(主観だけども)。ただ親御さんはそれをしないのだ。自分の子供が天才であると信じ、人よりも優れたものがあると信じていいた。お子さんは自分の才能を伸ばすことよりも周りと馴染めないことに対する孤独感を私に子供ながらに訴える。居た堪れない気持ちだった。彼らに必要なものは塾の教材ではなく、同年代の友達だった。才能を伸ばすことを重視するあまり、発達障害子供を周りの子供と馴染める水準まで持っていくことが大事だと気が付かないのだ。ギフテッド。天才。あまりに甘美な言葉。障害を持つ我が子が実は天才だったと言うのは抗えないストーリー性を持つ。はやる気持ちを抑えきれない親御さんが発達障害と砂の一粒のギフテッドを結びつけ、子供の願いとは別にお金を注ぐ。それが医療に向いていたらと思うと、私は辞めた。なので昨今の流行語のギフテッドに懐疑的です。ADHDのように大衆化した言葉になってしまうと、思わぬ弊害が生まれます。支援と福祉が本当に必要な人に届くような言葉で有り続けてほしいです。

最近安値のギフテッド（３歳でお歌が歌えたの天才に違いない、４歳で地球温暖化って言えたの世界救うわ）の話題があるが、これ発達障害をかかえた親をターゲットにしたブラックビジネスの匂いがする・・・この問題が解けたらIQ１２０みたいなIQ12のtwitterDMにひっかかる層を狙っている。おそらく広告代理店サイドで発達障害＝ギフテッドという図式を無意識下にすり込んで、その上で才能を伸ばす教材（毎月１０万円）とか、天才塾（学費毎月３０万円）みたいな蟻地獄が出現してみんな吸引されていって喰われる

「自分を大切にしよう」みたいな自己啓発のエンパワメント本当にだるい。なんでおれがおれのことを大事にしないといけないんだよ。おれのことなんか知るか

そういえば今日911だね、と近くに座ってるレバノンの同僚にぼそっと言ったら彼の中の何かに火を付けてしまったようで、「911はアメリカの自作自演」、「2020年のベイルートで起きた爆発はイスラエルの破壊工作」など、滔々と語ってくれた。陰謀論のアラブ・イスラーム世界、今日も平常運転。世界を操っている（ことになっているがイスラエル国内はグダグダの）ユダヤ人 vs. 情報機関と関係ない大勢の一般人すら「隠された真実」に辿り着くほど高い情報収集能力を持つ（）アラブ人。高度過ぎる対決でついていけない

うつ病、観察してると「自分の価値が低いと思っているから打たれ弱くストレス耐性が低い」ではなくて「自分の価値の低さを克服しようと休まずに無駄な努力を続ける」方向で失敗してるな。体力に置き換えるとわかりやすくて、体力がないから体育の授業についていけずに失敗するんじゃなくて、運動神経がありもしないのに筋トレに没頭して体育の授業でクラスの注目を集めようとして筋肉ぶっ壊して大失敗する、みたいな方向で失敗してる。メンタル強くするには趣味なり仕事なり家庭なりアイデンティティの軸足を複数持つと良いと思っているのだけど、それは「どれか負けても負けを認めてほかで勝っていると思えるから」であって、価値が誰かに劣っていると認めること前提なんだよな、ただ軸足を増やしてもこれがないと破綻する

仕事や家庭でヒリヒリするような話で疲れ切ったところで、TwitterのTL開けるといつも変わらず、4℃やおごりおごられ話、お櫃の位置について盛り上がって堂々巡りしてると救われる

アメリカ人に「BBQグリルを買おうと思うんだけど、どれを買ったらいいか分からない…そもそもグリルの種類多過ぎじゃね？」と相談したら「いや、日本の炊飯器の種類の多さに比べたら全然少ないだろ」と言われたので、『アメリカ人にとってのBBQグリル＝日本人にとっての炊飯器』ということが判明した。

優秀な人ばかり辞めていく会社にいたころ、辞める人は優秀すぎて周りと合わずに孤立してたし、個人の裁量がもてずパフォーマンスが下がるし、結果は出しても年功序列で評価されるから不満がたまり、仕事ができることより、上司の好き嫌いで評価が決まってた。そりゃ残る気にもなれないよなって納得。優秀な人は、目の前のことだけではなく、会社の評価や業績もキチンとみている。会社の将来と自分の人生を長い目で見てジャッジする。だからこそ、早めに環境を変える選択をしていく。それが自分にとってもっとも大切だとわかっているから。

お酒も正義も酔っている人ほど「酔っていない」と怒りだす。法然上人「げにも凡夫の心は物くるい酒に酔いたるがごとくして善悪につけて おもいさだめる事なし」訳：実に凡夫の心は乱れに乱れ、酒に酔っているようなもので、善悪を正しく判断することができないものです。

俺が小学生くらいの時、俺と両親の3人でうなぎ屋行ったんよ。その時近くの席の3人家族がうなぎ2つ頼んで分け合ってたのを見て、俺の母が「ちゃんと3人分頼める私達は幸せだね。」って言って、親父が「幸せかどうかはあっちが決めることだ。」って言ったの今でも思い出す。

ゲーム作りの講義をzoomで受けてる生徒が、ある日「ネットの世界にいるのがキツくなった。デジタルは一見複雑に見えても、所詮複雑さに限界があり、暫くすると構造が見えて飽きる。それで外に出て草木を眺めたら、草木の方が複雑で見飽きないことに気づいた」と野原から受講してきた話を誰か書いてたな

「この広告に興味がない」のではない。垂れてくる前髪と同じで「うっとうしい」のであって、「興味がない」のではない。「うっとうしい」と言わせてくれ。興味の有無など話していない。

医局の先輩の娘さん(小学生)がコロナ疑いだけど、先輩が仕事忙しすぎて2日間で10分しか娘さんと話せてないから濃厚接触者にあたらずに済んだ話、切なくて泣いちゃった

あらゆるコンテンツは"ビュッフェ化"が加速してる。美味しそうなものが大量に並び目移りするが時間上限がある。一瞬で「おいしそうか」を選び、早食いする。まずいなら他で腹満たせばいいから捨てる。今でもクラシックの第9を60分フルに聞ける人が石を投げたらいいと思う。みんな暇がない時代になった。

『自分を傷つける相手のことを紙やすりだと思えばいい。あなたは磨かれ、相手はいずれ使い物にならなくなる』って言葉がすごすぎて白目向いてる。

十数万払って購入して自分が所有してる機械なのにそこに他人が自由に広告を流せるって本当に所有してるかも怪しければプライベートも何もなくてマジで最悪だと思うんだけど日本企業センスねえな～程度の議論で終わってるのでエーッと思っちゃった。家電に限らずウェブでもそうだけどプラットフォーマーに拒否できない広告を押し付けられてプライベートの時間も商売の道具にされたり広告に惑わされて意思が揺らいだりってグロテスクすぎないか？って思うので広告ついてる代わりに安ければいいという話でもないように思う。ぼくは買ってきたペットボトルに付いてるラベルを冷蔵庫に入れる前に剥がすなどして「生活に侵入する広告」を排除しています。ラベルはスーパーの棚で「私を買って！」って主張するためのデザインなので。

女子は金塊を抱えて生まれてくるけど、その価値が最も高い時期ほど運用に関する知識は乏しいというバグあるんだよな。市場で自由に運用させるのはそりゃハイリスクなわけで、性的規範や近所の世話焼きおばさんなどは運用のチュートリアル役であったとも言える。

合格後の警察のお話が印象的だった。「僕は以前、事故を起こした車のドライブレコーダーを解析していたんですが、彼らは楽しそうに歌を歌っていたり、今度のデートの予定を話していたり……まぁ目の前には横断者がいて信号が真っ赤っかなんですけど」「僕は気づいてても、彼らは気づいていないんですよね。1分後、1秒後には横断者が全く違う姿になっています。巻き戻すと、また元のように命が甦って動き出すんですけど、現実にはずっと死んだままです。」「どうかこの免許が金色になって、僕らなんかと二度と会わないで」と話してくださった。こんな重い内容を淡々と話す様子は個性的で、印象に残った。

【ネプリーグの漢字書き取り問題あるある】

間違ったら、丁寧に同じ文字を書いて2度目を提出する

女性が不安定になったり感情的になったりしている時に、正論を振りかざしたり、否定したり責めたりせず、ただ最後まで話を聴いてあげて、寄り添ってあげて、理解を示してあげられる男性こそが、本当にやさしい男性です。が、そんな甘やかされた人間が企業重役や政治家になれるはずがないので日本の男女平等指数は120位です

いまの日本、たぶん人類史上最高峰くらいの理想郷なんだけど、裏を返せば最高の理想郷すらこのくらいかという失望感と、それも近い未来に崩壊する危機感があるのだよな

サウナから出てきたねずっち「ふーーーーーーあちぃーーーーー！！！」

入浴客「ねずっちさんだ！サウナどうでした？(整いましたって言え整いましたって言え整いましたって言え)」

暑すぎてそれどころじゃないねずっち「殺すぞ！！！！！！！！！」

『源氏物語』や『枕草子』を読むと、呪いを祓ったり祟りを鎮めるのにけっこうな労力を使っていることがわかる。「昔の人は非科学的だなあ…」と読み流すことも出来るけど、現代のSNSを見ると「誰かから悪意を向けられること」の精神的被害やストレスの大きさについては、もっと広まってほしいと思う。現代のSNSは、わりと気軽に悪意や害意を振りまきがちで（これは自分ももっと気をつけようと思うのだけど）、それは間違いなく誰かにとって「呪い」になり、「祟り」となって、よくない効果を発揮するだろうし、そういう悪意には、対策する準備なり自分なりの対応様式は整えておいたほうがいいと思う。「めちゃくちゃコミュニケーションが発達している現代に生きる人たちよりも、千年前の人たちのほうが、意外と、人の心の防御力の弱さや、誰かの言動から発せられる悪意の攻撃力の強さに敏感だったし、【そういう力】に対処する方法をいろいろと練っていたのではないかなあ…」という話でした。

ハッシュタグアクティビティーで連帯！みたいなの、文字通りの絵に描いた餅で本当に目にする度に呆れている。

女だけの街の小規模再現として「女三人のシェアハウス」が住人十色で紹介された。私の予想通り、歳上二人が広い部屋を独占して一番下の子がとても狭い部屋に押し込められていた。女だけの街とは暴力こそないもののシンデレラがこき使われた継母の家なのよね。全員同じ職場なので逃げ場無しなのは辛い

僕「心臓血管外科って漫画にもなってるのになんで選ぶ人少ないんだろう」

研修医「先生、刃牙好きですか」

僕「めっちゃ好き」

研「地下闘技場でチャンピオンになりたいと思いますか？」

僕「思わない、大変そう」

研「そういうことです」

これ以上納得のいく説明は今のところない

大人になりたくないという13歳娘に「でも大人になったら仕事帰りにこっそり31に寄ってダブルのアイス食べたりできるよ」って言ったらちょっと揺れてた。私は早く実家と田舎から出たくて、だから大人になりたくて仕方なかったけど娘は正反対だな。家が居心地いいのか、社会を恐れているのか、両方なのか。こういう大人になりたいというモデルを示せてないのだと思うと反省。

【タバコ吸わなそうで吸ってる人あるある】

過去を詮索したくなる

あのね、苦労はしないに越したことないのよ。その苦労のひとつが「アメリカに住む」こと。どんなにいい大学でていい会社に入ろうが、アジア人であるってことは絶対に変えれないの。これが理解できない人が意外と多い。会社とか自分の所属コミュニティに居ない限りは「ただのアジア人」でしかないわけ。これがわかんないと、溶け込んだのは会社だけ、アメリカに溶け込んでるわけでは全然ないアメリカ（主語でかいけど）のことなんにも知らないみたいな典型的な出羽守になってしまうのであるよ

終わった料理番組「先週の続きからやっていきます」

ガッコーでジェンダーフリーを学んだ大人たちが婚活コンサルにジェンダーロールを学ばなきゃいけないの。現代の矛盾という感じがする。

この国の下請け中小で働いてると｢元請けが定時に帰るために丸投げされた仕事をやりつつ育休中の部下がいない分をフォローして派遣を残業なしで帰宅させるためにドチャクソ働いて共働きワンオペの嫁に電話で怒鳴られてる働き盛りのオッサン｣などを見ることができてマジですごい気持ちになる。その会社にいた時、公共関係なんかで女性社員率だか育休がどうかなどのホワイト基準をクリアすると受注しやすくなるって案件を見事取ってきたホワイト企業から実務を丸投げされた時は本当にマジですごい気持ちになった。この国は明確に子育て支援してるよ。優秀な人は優遇、バカは自力でって

辞めるための人事面談後1ヶ月して、人事の人が先に辞めたことがあったなぁ

ハイスペ男に捨てられました文学を書いてるアカウントが、一度理想が上がってしまったのでもう無理です。高級シャインマスカットを口にした後に小汚いぶどうとか無理でしょ？とか書いててめちゃくちゃワロタ。君が口にしてたのはシャインマスカットじゃなくてちんちんでしょ

今まで私も色んな「攻撃」をここで受けてきた。何度かツイッターをやめようと思ったり、精神的にかなり追い詰められたこともあった。でも、「この人達って一体何だろ？」と思い、彼らのツイートを過去にさかのぼって読んでみたことがあった。その結果、1つの「共通点」が浮かび上がってきたのが…。ここで誹謗中傷を繰り返して、相手が心を病むまで追い詰めるような人は、得てして彼ら自身が大きな心の傷を負っていたり、既に心を病んでいるということだった。過去のツイートを掘っていくと、幼少期のイジメ、家庭の不和、就職の失敗、自傷癖、服薬・通院…みたいなのがゾクゾクと出てくるのだ。たぶんこの人達は、誰かを傷つけることで、自分の傷を癒せるものと勘違いし、自分が傷つけられた忘れがたい過去を、他者に対して「再現」しているのか。自分がどんなに謝っても許してもらえなかった、誰も理解してくれなかった、愛してもらえなかったみたいな怨念が、過去のツイートに読み取れた。ここで誹謗中傷をやってる連中は好きになれないが、彼ら一人一人の過去や心の内を覗き込むと、目を背けたくなるほど、悲惨で不条理な体験をやってたりする（全てそうとは断言できないが、その片鱗はうかがえる）ので、私は同情をもって、彼らをブロックする。相手にするほど、彼らは心を病むのだから。そのように「攻撃者」の心理を理解してから、私への誹謗中傷が、彼ら自身の後悔や嘆き、悲惨な過去からの救済を求める叫びに聞こえるようになった。むしろ、「この人はよっぽど大変な目に遭ってきたのだろうな」と想像する。違う場所で会えたら友人になれたのかも知れないが、今更どうにもならないのだ

雇用が流動的になり、社員も会社に一生ご厄介になるという意識を持たないようになると、かつて常識であった管理手法はもはや通用しなくなり、管理職と部下との関係も先輩後輩や親子のアナロジーではあり得ないのだが、どう考えてもその辺がアップデートされているようには思えないJTC。

我々がレスバと呼んでいた多くのモノは、失礼な発達障害者と失礼な発達障害者がインターネットのせいで不慮的に出会ってしまった際に起きるナニかだったのかな

別にいいねのためにツイッターやってるわけではないが真面目な王室ツイートがそこまで伸びない一方で「天皇〉教皇〉国王〉大統領〉首相」みたいな見事にデタラメなランキングが二千いいねとか行ってるのを見ると気が狂ってしまう

体育の授業中に早弁する人

半導体で日本は遅れた、自動運転で遅れた、宇宙開発で遅れた、次世代原発で遅れた、っていろいろ言われるけど、そういう「田舎に配属される“リスク”がある」分野の仕事が日本から消えて良かったじゃないですか。優秀な学生とかリケジョ（）は東京都心以外で絶対働きたくないわけでしょう。カネ出せもいいけど、カネ出したところで誰が辺鄙な場所で原子炉やロケットの研究開発するんですか？豊田市でも我慢できないのに？

おれはこのままだと地獄ルートっぽいから、たまに思い立って道に落ちてるゴミを拾ってみたり募金してみたりして最後の審判の乱数調整してる

店長の性格が終わってるせいでバンバン人が辞めていく美容院で、おそらく嫌味やきつい物言いに気付かないため唯一残った（そして店長もとうとう心を許した）アシスタントの女の子が「あ〜！こんにちわ〜〜」とのんびりした声で返してくれる予約の電話するのが月一のささやかな楽しみ

セクハラジジイ上司「おうお前元気いいな！将来は子沢山か？笑」

無礼講が過ぎる社員「も〜部長ったら！笑

ｽﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞﾀﾞ(マシンガンで銃撃している)」

強い傭兵団が戦争中は重宝されるけど、平和になったらその武力危ないからって滅ぼされるとか歴史の習いじゃん。思想も同じく扱われるべきだと思うんだよね。

うつが良くなって気づいたこと。メンタル安定のコツは「良くも悪くも他人の人生に興味がない」こと。

そこらの糞虫みたいな経営者崩れやコンサルが学校で金融リテラシー教えろ言うけどさ、そいつらが望むのが「給料はもう上がらない、だからリスク取って投資しろ」みたいなまさに詐欺師への誘導みたいな話なの本当に地獄への一里塚だよなあ。「超低金利時代に儲かる金融商品はない」これだけ覚えろ。

各種学問は「素人質問ですが」の上に「それを書いたのは私なのですが」という上位存在があるけど、創作の場合「その作品を読みすぎて何回も壊して買い直したものですが」「何百回も読んで全文暗記したものですが」と作者以上に詳しい怪異が現れて困る。

トムヤムクンを食べているときは「辛酸を舐めるってこういうことかな」という雑念が浮かぶ

このゲームは三大欲求を少しだけ上回ります。特に食事と睡眠は忘れずにとってください。

所謂リーマンと呼ばれる社会人です。通勤ラッシュに揉まれ、顧客にも上司にも頭下げ、後輩の育成押し付けられて色々やってる内に連日残業。通勤途中で見える、名前も知らない山にもイラっとする。フラフラで帰ってきたらメシ食う力も無く、酒飲んで寝る。ゲームする時間あるなら、セミナー行ったり婚活しないとと、無駄に焦る。俺なんで生きてんだろと素で思う日々。切れた酒買いに行った日に見たSwitch店頭販売で思い出した。子供の頃マリオ64にドハマリしてた頃に、「今時マリオとかだっせ！ＰＳだろ」と友人に言われ恥ずかしく思った事。あの時俺は友達に嫌われたくない一心で、「確かにもうマリオは古いよな！」と返した事も。あの当時のＦＦ7の美しさと、ＣＤをテレビで聞けるという衝撃は、今の子には分からない感覚かもしれない。それだけ当時の子供には魅力的で革新的だった。

何故あの時Switchを手に取ったか今でもよくわからない。ただビール片手に、つまらなければ売ればいいと思って本体とゼルダを購入した。出勤日だった昨日、電車の窓から見えた名前も知らない山を見て、「登れそう」と思った瞬間、涙が溢れて止まらなかった。傍にいた同世代のリーマン達には「なんだコイツ」と思われた事だろう。時間に追われ、現状維持の為に憎まれてでも日々併走するリーマン仲間にこそ薦めたい。たかがゲームとは言わないでくれ。俺達はゲーム黄金期に生まれた。マリオのジャンプで家族が体ごと動かすのを見たことはないか？リカースマブラと、コントローラー持ち寄って遊んだ記憶はないか？クロノトリガーやＦＦ7の攻略を友人と話し合った事は無いか？今だから分かる。クソガキだった俺に、両親が誕生日やクリスマスやらで、クソ高いハードやらソフトやらを買ってくれた事。ガミガミうるさい傍らで、俺の為に家の金捻出して高いゲームを買ってくれた事。自分の生活に一生懸命で気付かなかった事に、今更気づいて感動してる。もっと親孝行すべきだった。★5レビューが良い物ばかりだから今更俺が語る事は何もない。このゼルダは、俺が忘れた「挑戦と報酬」を与えてくれる。地図無き世界を自由に探索できる、ワクワクする冒険が体験できる。同世代の俺達は明日を凌ぐために日々病んでいる。だが人生に失望しないでくれ。こんな所に、俺が望んでいた冒険があったんだと。

男女に平等なものは死です。ジェンダー問題には死が効きます。

バニラアイスで作る簡単スイーツ！みたいなやつ美味しそうなんだけどバニラアイスすぐ冷凍庫から蒸発するからな。バニラアイスから何か他のものに変身できた試しがないな…

大手企業勤めの方、『経費で落ちたら負担ナシでしょ？』みたいなことを企業オーナーや個人事業主に言ってしまう人結構いるんだよね。確かにずっと大手で働いてて、損益計算書のどの科目から交際費が落ちるかすらわかってない場合、本気で会社経費＝自己負担じゃないよねって認識なのかもしれない…

初心者お断りになればなるほど、そのゲームは廃れる。ぷよぷよとか。

学会に対して、「男女の数を数えろ」といってくる人たちと、「入会時に性別を申告させるな」と言う人たちがいるから、学会運営に携わる大学教員は全学会員の名前を見て、男女をテキトーに判断し、ひたすら数える作業に時間を溶かします。

メールを読み内容を理解し正しく返信するなどの読解力がない、簡単な算数ができないなど、なぜこんな簡単なことができないのか理解に苦しむレベルの無能+怠惰な人達に毎日悩まされる蛮地にいると、人種や民族に優劣があるんじゃないかという正しくない考えが頭をよぎる。俺を差別主義者にしないでくれ。そりゃ日本にだって職務遂行能力が高くない人は沢山いるだろうし、自分だって日本国内基準では能力は普通かそれより低い方だと思うが、それでも中東にいる量産型のアラブ人、インド人、フィリピン人の中にはあんまりだってレベルの無能・怠惰が多くて（勿論優秀な人もいる）、平均レベルが低過ぎる。メリトクラシーとネオリベ万歳、などという気はないが、能力主義という発想が希薄でアラブ人、インド人らが無能でも同地域出身者を雇用し職を守ろうと互いに庇い合っている土地にいるとひたすら虚しくなる。能力もなければ意欲もない、かといって先進国が失った人間本来の美徳を体現するような高貴な野蛮人でもない、そんな人達を道徳的観点から同等・対等の存在と認識しようとし続ける認知的不協和は持続的にストレスをもたらす。差別・蔑視はいけないとお題目を唱えるだけなら誰でもできる。しかし実際にある集団から何らかの被害を受けても、対象に共感や敬意を抱けずとも、反差別を貫徹できる人は多くない。そして、反差別を標榜していても、自分と関わりのある又は共感しやすい属性への差別のみに選択的に反対していたりする。

「義体化や電脳化をしたけど、メーカーの広告が脳内に流れ込んだり視界に常時表示されたりでうざいし、広告なしの奴だと倍以上の値段がする」という世知辛いSFが一気にリアリティを持つ時代。

ヤバい探偵「しかし刑事さん、凶器に包丁を使っているのに遺体に薬指が残ってるなんて妙じゃないですか？」

「子どもが産まれたら自分の時間がない」って、英会話、自己啓発、ジム、みたいな自己実現欲求だと、私もそう思ってた。でも実際は、排泄、食事、歯磨きなど、人間として最低限の生理的欲求に関するものだった。

家事の分担問題。夫が『手伝う』ではなく主体的にやれという主張分かるんだけど、もし主体的に任せるのではあればやり方やタイミングも含めて相手に任せるべきなんだけど、大体は自分の好きなタイミングで自分のやり方でやってくれないと怒り出すので、求めてるのはむしろ『手伝い』そのものよね。これ、仕事でもそうよね。部下の主体性がないってやつ、大体、やり方に裁量なくて、ポジティブフィードバックなくて、失敗に厳しいってパターン。自戒でもあるけど。他人と協働するって何事も相互に我慢が必要なんだよね。

「アメリカ人ってホントよく引っ越ししてるよなぁ」と思い調べたら、アメリカ人は生涯で平均12回の引っ越しをする「世界一引っ越す国民」らしい。日本人は平均3回位らしいのでそりゃ多く感じるわ。やはり「移動と開拓」がアメリカ人の根底にあり、それが組織を渡り歩く働き方にも現れてるんだろうな。

よく社会問題を扱った作品なんかで「考えさせられるね」みたいに、他の人よりちょっと偉くなった気分にさせられるけど、それが娯楽の一つなんだということは自覚しておきたい。「あー笑った笑った」「泣いた泣いた」とたいして変わらない。「あー考えさせられた考えさせられた」

本を買うと「買った」という刺激で脳が良くなるので、読まずに積んでも目的は達成されている

ミニマリストは都会人の遊び。コンビニやスーパーが近くにあり、Amazon配達がすぐに届くような、まさに物質的な豊かさの極み。

美術部だった頃、美術展直前に部員みんなでコソコソ部室で徹夜して見回りの人が来る時間になったら電気消して息を潜めてやり過ごして、こんな事態になる前になんでちゃんと描かなかったんだって狂いながら作品を仕上げたガチで宝物みたいな時間があった。

人気者というのは全て自分のためのポジショントークですね。視聴者の共感を得られる発言をしたり、時には意図的に炎上させてみたり。多くの人に必要な真実はもっと退屈なものです。

コンサル系志望の学生に多い市場価値を高めたい発言は反吐が出る。市場価値って奴隷取引かなんかかよ。市場よりも自分自身に価値があると思えるような職場で働きたいね。

私も性格的に受け身体質なところがあるにも関わらず、ベンチャーに転職して失敗し、１０ヶ月で退職に追い込まれました。37歳の時でした。おっしゃる通り、ベンチャーは業務量が半端なく、スピードを求められ、指示がなくても自分で仕事を作りかつ経営者や上司の望ましい形の結果を作る必要があります。ベンチャー企業に行けば自由に働ける？そんなの幻想です。実際には、ガチガチに上の意向に従う必要があり、かつ、上は意向を示すにも関わらず、明確な指示もせず「自分たちで考えろ」で終わり。まあ、向いている人にはいいんでしょうけどね。私は結局、１０ヶ月で職場を追われ、結局、同じ職種ですが、日系企業で中堅老舗的なところに転職しました。年収は５０万ほど下がりましたが、仕事量は半分になり、マルチタスクを求められず、上からの締め付けもあまりなく、専門業務に専念でき、同じ部署の人たちは上司も含め、前職とは比べ物にならないほど温和な人が多く、こっちの方がよほど自由な気がしました。金が多くてもストレスだらけでいつも不安を抱えた生活では意味がありません。よくネットやYOU TUBEではベンチャー最高だということを言う人もいますけど、向き不向きが相当にあると言うことを認識すべきだと思いました。向かない人にとっては正直地獄です。

実体験でいうと大企業とベンチャーでは求められる優秀さが全く違うと思います。そしてどちらにも馴染めなかった人が起業家になります(笑)

「焼肉きんぐを美味しいって言ってる人たち、何を食べても美味しく感じるんだろうなあ」っていう嫌味がありましたけど、「何を食べても美味しく感じる」ほうが良いのでは？味覚に関しては毒とか腐敗とかを感じられれば、それ以上の鋭敏さはいらないでしょ。山岡さんや海原雄山が幸せには思えん。

空って無料で見放題なのお得すぎるだろ

家を完全に空けてる夫より、家にいるけどあんま家事しない夫のほうがムカつかれているというのは正直よくわかる 19時くらいに院内で急変があったとき、もう帰っててそこにいない医者よりも院内残っててなんかネットとかしてるのに手伝ってくれない医者のほうがなんかムカつくので

「女だけの街作る！」と言う集まりでも、何年経っても誰も造成工事すらやろうとしないからほんと怖い。

「今、俺の体が岡山県に入った気がする」という天啓のような直感を得たのでgoogle map 見てみたら全然兵庫県だった。

プロテインのAmazonレビュー見てたら「溶けにくくダマになってしまいました、低評価😡」みたいなことよく書いてるんだけどマッチョのくせにダマも我慢できないの面白い

小林多喜二は蟹工船に乗ったことないし、芥川龍之介は羅生門に行ったことないし、中島敦は虎になったことないけど、太宰治はマジで人間失格だったからな、太宰治ナメんなよ

【逆老夫婦】

もう飯食ったって💢💢💢💢

おじいさん、

ま だ 食 べ て も ら い ま す

モブのオタク「バカな、あの草は不可避のはず……」

俺の親父は昔タバコ吸ってて、禁煙した理由を聞いたら「○○（妹）が産まれた時に父親としての自覚が出てきた。気合一発でやめた」って言ってて、俺産まれた時にやめろよと思った

老後に向けて2000万貯めるとか投資するとかって大切なことではあるんだけど、今しか着れない服、十年ぶりの個展、久しぶりに来日したアーティストのライブ、ここだけの食事や酒、この年齢だからわかる感覚、そういうのを見えない将来のために少しずつ諦めている気がして、馬鹿みたいだなってたまに思う

「自分より高度な知性体に誘拐される」「色々身体をいじくり回され、最悪捕食される」「だが捕まえただけですぐ解放されたりもする」という宇宙人による地球人誘拐譚ですが、意外にも一番類似している症例は、「地球人による魚釣り」です。

猫にまるで縁のなかった友人がある日いまにも泣きそうな声で「ベランダへ勝手に遊びに来る猫、喘息じゃないかと思うの…いまうちで寝てるんだけど…呼吸音聞いてくれる…？」と電話をかけてきて、しばらく待っているとｺﾞﾛﾛ…ｺﾞﾛﾛ…と喉を鳴らす音がし始めたのを思い出しますｺﾞﾛﾛ

これだけ実践すれば人生変わります！っつって八個も九個も十個も書いてる人、「だけ」じゃねえ、そんなにいっぱい無理だ

編集者にご飯を奢ってもらう度に全力で「ごちそうさまです！！」ってお礼を言うんだけど、別に編集者が自腹を切ってるワケじゃなくて会社の予算だから編集者にお礼を言うの変だよな。「ごちそうさまです！あ、あなたに言ってるんじゃなくて○○社に言ってます！ごちそうさまです！」にしようかな。

千葉大の飛び級の人がまた話題になってるけど、あの人、大学在籍時に大型とけん引取るガチ勢なので、名門国立大なのに手当職……、ってんじゃなく、京大出てかつ作曲家としてヒット！とか、東大出てるのに絵描きでコミケの壁の常連！とかいうような人と同じ感じで見るべきだと思う。

配属ガチャが嫌で内定辞退や早期退職する若手にキレてるおじさん達が若手だった時代は、会社の理不尽に耐えることで、将来的には年功序列で高い給料と役職が約束されてたけど、今の若手は給料も上がらず、専門性も付かなくて転職もできないって事実を知らないから、そんなこと言えるんだろうなって思う。そのおじさん達にはその若手以上に将来がないんだけど、それでもやってかんとあかんと言う使命感がねえ。あと、そのおじさん達が若手の頃に約束されたものは全部反故にされてると思うんだけど、まあ。今、会社の中心になる40代だと既に高い給料と役職が約束されてた時代じゃないし、氷河期世代特有の敗戦処理をずっとしてきた自他共に厳しい気質の方に引っかかってるんじゃないの？って気がする…いま60代の人たちの世代だと、男性はまず家庭を支える義務感が強かったし転職市場も小さかったから、一生会社の日の当たらない部署の人、とかも沢山いたけど本人たちもそれを甘んじて受けてたのよ。課長にもなれず定年て人も沢山いたよ。

１つの会社に長くいる人というのは、そうやって会社都合に振り回されてもしがみついてきた人たちです。ただいるだけで居心地よくなると思ったら大間違いで、社内政治で「味方」を増やし「敵」を排除するなど日々忙しくしています。「お客様社員」ではない彼らの「味方」候補を、彼らは探しています。その旧態依然のJTC体質の問題の話は他の機会に譲るとして、彼らもリストラ合併分社成果主義鳩管等の難局をのらりくらりと躱してきた筋金入りです。自社の競争力すら犠牲にして自らの地位を守ってきた膏肓の病です。誰もが明日の三洋東芝シャープですが、自分の退職後まで延ばせればいいとしか考えません。将来的に破綻が確実な老齢年金制度に手を付けられない国と同じ構造です。国債発行で利子付きで未来に負債をジャンプさせてるのも同様です。「明るい未来」の妄想です。

新卒入社と言うカードを切ったらもうおしまいじゃなくて、新卒A社入社実績ありっていう事実で転職が可能になっただけ、わかる。

普通なんてのは実際には全体の3割いかないくらいの多数派なので別に無理して普通にならなくてもいい、と言うのは知っといた方がいい

私もかなりの金持ち（資産20億レベル）を見てきましたけど、人間の欲望は無限大ですから、結局かなりの金持ちでも「息子がバカ」とか「娘が医学部に入れない」とか「プライベートジェットが買えない」とか「ディープインパクトの子供が買えない」とか満たされない欲望は必ずありますからね。欲望を満たすためにお金持ちになるのはあまりコスパが良いと思わないですね。小学生の時から「プロ野球チームのオーナーになりたい」みたいな夢があってそれを叶えるために金持ちになりたいとかならわかりますが、大人になって生まれた欲望なんてある程度は「作られた欲望」ですからね。

やりたい事がわからなくても、やりたくない事は大体わかるはずなので、とりあえずやりたくない事をやらない為の努力をした方がいい。意外とそれだけでも幸福度は上がる。僕は特に人生に大きな目標なんてないが、とにかく前職を通して「転勤」「通勤」「接待」「JTC味」「雑務」が嫌だったので、それをなくせる様に転職した。その結果、未だに雑務は減らないが他は全て無くなったので非常にストレスが減って幸福度が高くなった。

高校生の頃まで自分も「服屋や美容師に話しかけられたくない」「いつもありがとうございますと言われるともう行けない」みたいに対人が苦手だったんだけど、大学で駄目人間になって酔っ払って歩道で寝っ転がったりしてるうちに人の目がどうでも良くなって全部治ったんだよな。キチガイは精神に良い

Twitterやってると感覚狂うけどMARCHは学歴上位15%だし、労働者の45%はブルーカラーだし、年収600万円以上は20%だし、その富裕層でも服飾費は月6000円だし、20〜60代女性の美容費はトータル7000円程度。Twitter民…特に女衒が主張する普通基準は往々にして社会の超高水準or超低水準なので注意が必要

経済的理由で大学院進学を諦めようとしている学生に対し、何回か教員や院生が「お金がないなら仕方がない。運も実力のうち」と言うのを目にした事がある。学生が自身で「運も実力のうち」と納得するならともかく、他人に向かって使う言葉ではない。数年間の大学生活を蔑ろにする言葉だ。

「けしからん」と「何かあったらどうするんだ？」に対応し、叱られを回避しようとすると最適解が「新しいことはやらない」「チャレンジしない」「ものごとを掘り下げない」になります。

昭和の大人がことさら忍耐強く、今の大人が弱いのではないと思う。もしも、いつでもどこでも苦しい思いを不特定多数へ向けて語る道具が昭和にも存在していれば、昭和の大人だってその多くが匿名で泣いたり怒ったりしていたのではないか。匿名で思いを吐露できる選択肢があることの影響は大きいと思う。

そもそも、今の日本は本当に高度人材の外国人を求めているんですかね？　本当に欲しがっているのは安く使えるコンビニ店員とか解体工とか水産加工作業員とかと違いますのん？外国人が根を下ろして社会の上層へのし上がっていくキャリアパスが実質的に存在しない日本にわざわざ来るメリットとは？

野党なんかもそうだけど、選挙で「若者を変える」事に執心でも「若者の言葉に耳を傾ける」事は一切しないよな。こちらの話聞くつもりないなら向こうの話に耳を傾ける事もないというのを全く理解してないっぽい。

そういやゴドリック・グリフィンドールは女子寮に続く階段に「男子が乗ったら警告音と共に滑り落ちる」みたいな魔法かけてたけど、既にローリングの「女子スペースに男の体を入れてはならぬ」があって良いな。強い意志

1981年のこと、小学卒業文集に、一人ひとりが未来の自分の年表を書いたのですが、知的障害がある（IQ62）Ｓ君の年表に「20さい コヒーを飲む」とあり、知的障害なりに、大人になったらコーヒーを嗜むんだぞワクワク…と考えているのが、素敵だなと思いました。

パパ活女子()って「買ってるパパ側より売ってる自分たちのほうがマシな存在」って考えてるフシがあるけど傍から見たらブルーギルとブラックバスくらいの違いしかないと思うよ

「仕事に遊びにくつろぐ男たち」というdisりに共感する人々も、「育児にTwitterにくつろぐ女たち」とか言われたらやっぱり俺らと同じように木の枝を揺するなどの激しい威嚇行動を取るわけですよね。

ドッグランって俺も走っていいの？

一日中スプラトゥーンやってるからさすがに一旦離れようと思ってイオンに来てるけどイオンって2階にチャージャーいたら暴れ放題のクソステージだろ

私の父は私と姉の高校の弁当を作るという、当時としては超最先端の父親であったが、結局姉には嫌われ、妻（私の母）には離婚された。「あれでダメなら何やったってダメな時はダメじゃん」という諦めが、私の中にあるのである。

こないだネイティブの教授が、「スライドの文章が多すぎる。スライドに多くの文章を入れていいのは、英語喋るのが下手すぎて文字でしか伝えられないノンネイティブだけだ。お前はそんな情けないノンネイティブじゃないだろ？」って学生にアドバイスしてて、横で聞いてただけの僕もダメージを負った。

恋愛は人と人とのことだから「頑張れば報われる」度数は勉強や筋トレなどより低い。何かすることで動く部分も多々あるが、勉強や筋トレ以上に「実る」とは限らないものだよ。それを上手くいっている人が上手くいっていない人に何か言うって、大分センシティブなことに思えるけれど。

人生で二回ほどヒモをやる経験があったのですがヒモをやるにも才能が必要で「この人はぼくのことが好きだからあらゆることを無償でやってくれるんだなぁ」「ぼくはいるだけでバリューを出しているんだなぁ」を一切の罪悪感を持つことなく信じ込める人しかヒモはやれません やれる人は案外少ないです

「芸能人格付けチェック」をみればオーディオに限らずわれわれは日頃から物語を飲んで物語を食べて物語を聴いて生きていることがわかる。ブラインドで物語が消されればみんなぜんぜん区別がつかないのである

200万のバイク買うかどうかを「でも老後の資金が…」とか言って悩んでる知人に「200万なんて半年かせいぜい1年の生活費でしょ。1年早く死ねばいいだけやろ」って雑なアドバイスしたことはある。

｢年収500万で家事育児してくれる旦那より年収1000万で外注してくれる旦那の方が素敵｣みたいなツイート流れてきて、宝くじ当たったら何に使おう2等より1等の方がいいな〜みたいなのを本気で語ってるやついるんだなと思って笑っちゃった。

多くの中高一貫進学校がそうなんだけど、自由を標榜していても結果的には大学受験特化の仕組みになっていて、将来どうするかとか、社会に自分をどう位置付けていくかの手助けをしてくれないのは良くないなと思ってる

ジャルジャルはそろそろキンタマから案件きてもいいと思う

人の中には異なる分野における興味、適性、才能が、複数の異なる植物の種子のように眠っている。植物にはそれぞれ生育に適切な環境があるように、ある環境で育つ能力は別な環境では芽を出すことすらない。今の環境で上手くいかない人でも仕事や住む場所を変えると劇的に好転するかもしれない。労働市場の流動性向上は労働者の利益にもなる…等という言説は従業員の解雇規制緩和を目指す経営者のおためごかしのせいで嫌な響きを帯びてしまったかもしれないが、今の仕事に留まることで自身も気付かずに能力を眠らせている人も多かろうし、外国に出ることで気楽にやれるようになる人も少なくない。

彼氏のご両親に挨拶へ行く前に、ご両親の離婚届の証人になるというイベントが発生して人生に迫力が増した。

なんか最近思うんだけど、今の若い人、みんな働く気なくね？重い雰囲気のある日本だけかなと思ってたけど、僕の周りの海外在住の同世代もそんな雰囲気醸し出してるし、人間は人種や文化が違えど、あんま変わらんということ “も” わかる。「なんか街の活力がすげえ」ってなるのはいつも発展途上国だけ。なんか「人種や文化が違っても人間あんま変わらんのよな」っていうのは、ヨーロッパとインドで出会った何人ものパックパッカーと話してて確信しました。生まれ育ちの背景全く違うのに、同じようなことで悩んだり、同じようなことで喜んだり、やっぱり人間同士あんまり変わらないんすよね。自分は仕事も遊びもバランス良くしないと心を壊すタイプなんで、仮に道端で1億円拾ったとしても仕事は続けていきたい。そうやって自分の傾向を理解することが大事だと思う。幸せのあり方は人それぞれタイのバンコクで出会ったサニーって名前のタイ人の兄ちゃんは面白かった。「観光客含め、周りが何をしてようとどうでもいい。なぜなら俺らタイ人にはそんな暇なんてないから。みんなwork work work! 国と自分の人生の発展のために忙しいんだよ」って目キラキラさせながら言ってたわ。

妖怪のWikipediaや文献を読むのが好きなんだけど、ときどき「これ、単にその地域にいた奇行種のオッサンじゃないか…？」というのが混ざってておもろい。

何度か言ってるけど、吹き替え映画で大塚明夫ボイスが虐殺の開始を告げるラジオの声だったことがあったんだけど「隣人を殺せ」「友人だった奴を殺せ」ってわりととんでもねえこと言ってるのに、声が良すぎて「いっちょやるか…」みたいな気にさせてくるから本当に怖かった

談合が問題視されるようになったのと、「『会社にお茶飲みに来てんのか』みたいな、端から見ると何の仕事してるんだか良く分からないけど会社員として生きていけた」人達が会社や社会から排除されるようになったのは、同根な気がする。

台風で避難指示が出てるけど、なんで何も悪いことしてない被害者が苦労して避難しなきゃいけないの？被害者に自衛を求めず、台風同士で「俺たち家屋倒壊させないように気をつけような」「なるべくダムの上に雨降らせような」って注意し合ってほしい。

NHKスペシャルの中流危機、今回はどんな感じの特集なのかなと見てみたら、開始1分でもともと中流階級のご家庭だったのに、月給がいきなり10万円減って住宅ローンが破綻して、まだ若いお父さんが持ち家を手放す書類？を書いているシーンから始まって、「ちょっと話が重すぎるッピ…」ってなってしまった

「これ絶対痛いやつ！」（拷問器具の商品名）

誰かも言っていたが市役所職員やら消防士やら警察官とかをシステムとかNPCみたいに認識してる人はそういうのが買い物したり食事したり「人間らしい」姿見ちゃうと頭がバグって大変な不快感を覚えるらしい

メルカリで出してた不用品が、売れたから発送しなきゃ〜風雨の中やだな〜と思ってたら購入者の方から「台風が来てるので無理なさらないで、発送はゆっくりで大丈夫です」という旨のメッセージ頂いて人類の優しさをもう一度信じてみようという気持ちになってる

イタリア軍のレーションにワインが入っていることを俺たちネット民はネタとしてゲラゲラ笑っていてたけれど「神経の張りつめる前線ではちょっとした嗜好品があるだけで士気が段違い」という話がウクライナから届いて、考えを改めました。よく知らないものを知らないまま笑うのはよくないですね。

サラリーマンやってたけど「このまま40年嫌な思いして働くくらいなら、ラノベ作家として10年楽しく生きれたらいいや」と思って辞めたので、その10年が経ってしまった

マンハッタンをニューヨーカーに混じって足早に歩いていると、なぜか生まれ故郷のように感じる。この街の喧騒とは裏腹に不思議と心が落ち着いてくる。すれ違う人たちも、まるで昔から知っている懐かしい顔に見えてくる。NYC、やはり僕はこの街に呼ばれている気がすると思ったらチャイナタウンだった。

エロ漫画のお姉ちゃん「もしかして…私とエッチしたいの？///」

洋画みたいなショタ「ああ、その”もしかして”だ！」

自カプの小説読んでたら「今日は台風だし、夜はピザでも頼むか?」って攻めが言い出して泣きながら読むのやめた。人の形をした悪魔じゃん

若いVtuberが「全然興味ないのに（たぶんバズっているという理由だけで）主婦の愚痴やサラリーマンの文句がTLに流れてくるww」って言っていたんだけど、やっぱりTwitterくん〝人間の怒りと憎悪を煽る〟ようなアルゴリズムになっちゃってません？さすがはWEBサービス七つの大罪〝憤怒〟担当…。

配属ガチャ、TOEICの点数盛って会社に伝えてた同期が1発目ダラスに飛ばされたのがかなり良かったな。日本昔話みたいなオチだった

有名な「グロタンディーク素数」の例でわかるように抽象的な思考を極めると個別の情報なんて本当にどうでもよくなるんだよな。訪問看護スタッフは患者の名前を暗記しているが、医師は必ずしもそうではなく年齢性別病態病歴しか記憶していない（大量に扱っているので）逆に言うとIQ150オーバーくらいの天才の文章を見ていると意外と文才がなくて、具象的なリアリズムが削がれていくんだよな

創作物に対して「現実と違う」っていう感想は「そうだよ」としか返しようがないよね。

稀に実在する完全記憶能力者の特集をテレビで見たことあるんだけど、クイズが得意な割にクリエイティビティはなくて、アイロンをかけるたびにアイロンのコードを丁寧に巻いていて（なぜなら乱雑なコードの巻き方が毎回無駄に記憶されているので）うまく忘れるのも能力なんだなぁと思った。AIで解像度を一旦落としてから解像度を上げることで構図を整える手法があるみたいなので、おそらく自閉スペクトラム症はこの辺が障害されているうえに、一つ一つの記憶容量が圧縮できてないから相当賢くないと記憶の検索に障害が起きている。前から強調しているように、俗に「空気が読めない」とされる自閉スペクトラム症はエピソード記憶の障害という側面があり、逆に言うと我々が「空気が読める」のは言外の意味を読み取っているのではなく「類似した場面を記憶から検索して過去の言葉を参照している」に過ぎない

この雨で「ゲリラ豪雨」ってツイートしてる人がいて、いやこれ正規軍の堂々の進撃だろうよと。

5人が余裕で食べれる給料を出しても1人かせいぜい2人の子供に良質な教育を受けさせるための住居費と学費に全振りしたうえで「カツカツ」と言うので無理。「その収入でも○○に住めば全然余裕がありますよ」と言っても、そんな所では満足な教育が与えられず文化水準も低く子供がかわいそうと主張されるのだから、何もかもが揃った都心で余裕を持って生活できなければ許されないのである。コロナという予想もしなかったきっかけでリモートワークが普及して仕事の問題がある程度解決してしまったら、今度は「ふらっと歩いて行ける距離に美術館や劇場などがないと一流の文化に触れられず教育に悪い」という理由が繰り上がり当選したんですよね。

彼女と付き合って二週間で捨てられて俺コンタクトレンズかと思った

学者とか科学者が突如仕事をやめて、陶芸とか絵を始めたら「あー、へー、変わった人ね」となっておわるんだとおもうけど、トレーラーの運転手になったら「この国はおかしい！」と思うのは、やはり運転系の仕事をその人たちが内心軽蔑しているから以外になく、その自己紹介ではある。補足ですが、トレーラー運転手の物理学者の方は、大学在籍時に大型とけん引取るガチ勢だったようで、本当に運転がお好きなご様子。物理学者も途中までやったけど、好きなトレーラーガチ勢としてちゃんと家族も養いながらうまく生きておられるように見えるところです。あまり研究者の現状を知らない方が僕のツイートを叩いているんですが、研究者として生き残るのは難しい。多くの研究者が退職して民間企業に行ったり、別の道に進んでいます。そういう点ではトレーラー運転手も好きなら何も問題ない進路と言えます。千葉大に飛び級して受かったような逸材が残れないなんて、というお話もありますが、そもそも研究者としてどうしても食いたければ、海外のポスドクとかに志願すればよく、日本を出れば良いだけです。実際多くの研究者が日本で職が見つからなかったために、海外に行き、そこで活躍しています。海外大学で教授になられている方もいます。研究者は雇用が継続されなかった場合、色々な進路を自分で考えて判断すればいい。こちらの方はトレーラーの運転手という選択を能動的になさったわけだけど、学部時代からちゃんと免許などを取得されている。他の方がすぐにそれが出来るとも思いません。

「大卒の社員を雇っている会社は、お子さん二人が大学を卒業できるだけの給料を渡さなければならない」「それ以下のお給料しか渡さない会社は、国や自治体やご両親の財布に寄生して、社会全体を弱らせるだけの寄生虫にすぎない」というお話、昔どこかで聞いたことあるんですが、これは真実だと思うよ

ギャル曽根さんがコストコ購入品を丁寧に小分けしてひたすら冷凍保存していく動画で、スタッフが「こういうの好きなんですね…」と地雷踏んでさ、(ったく好きなわけ…)と思ったら「嫌いだよ‼️好きなわけない‼️生きるために節約のためにしてんの‼️」としっかりブチ切れててとても最高だった。

今日、思春期の息子と軽い口論になったのだが「母さんは考え方が古いよ!! Windows９８とかそんくらい古いよ!! 」って言われて「９８は…おま…言いすぎだろ」としか言い返せなかった悲しみ…

平日の8時間真面目に働けば、特に優れた能力がなくても、人並みに幸せになれる社会で良いのに、現実はそれをやっても、人並みの幸せどころか社会の底辺の生活しか送れないのつらすぎる。グローバル経済なのでグローバルで見ると大体の人が人並み以上ではあるんだけど、人間の脳はどうしても周辺地域の平均で見ちゃうもんなぁ。辛い時代。

横浜の駅地下から出てきたギャル2人組が空を見上げて「えーっ雨降ってる！なんで？」と大声をあげるのを聞き「これだけ報道されてるから全国民が台風を警戒しているなどという予断を持ってはいけないのだなあ、ニュースから切断された人々は常に社会にいるのだ」と思うなど

配属ガチャで退職という単語が流れ続けているが、そういえば某処理学会誌に「転職できる人材になるために学生時代頑張りましょう」「学会発表してウェブに名を残せば転職応募先の採用人事が検索して見つけてくれます」みたいな内容を寄稿したところだった。

日本旅行を計画中のアメリカ人に「トーキョーのど真ん中のホテルが1泊80ドルとかでバグってるんだけど、どんな裏があるの？ヤクザに誘拐されたくない」と聞かれた。「ガイジンへの愛のあまり現地民が低賃金で奉仕してるだけだから心配ない」と伝えてみた

俺がプログラミングで教えてほしいことがあるときは、質問をRedditに投稿し、別垢で耐え難いほど間違った回答を投稿する。人を助けることに興味がないやつでも他人の間違いを正すことには熱心だ

死んだら生きなくていいのめちゃくちゃいい仕組みじゃない？ 死の

以前お会いしたイラストレーターの方が、「イラストの単価を安くしていたときには踏み倒しとか謎のクレームが多かったのに、もう仕事を減らそうと思って値段を10倍にしたら仕事は大して減らず踏み倒しもクレームも激減した」って話、いろんなことに通じるから覚えておくと良いかもしれません。

配属ガチャを腐すビジネスマンの理屈もわかる。就活生の視座から見えるキャリアなど薄っぺらで、幅広く経験を積むことが中堅になったときにより大きな実りをもたらす。きっと芯を食ってるよ。でも少子化による超売り手市場はそんな理屈なぎはらうだろうね。よほどの人気企業でなければ選ばれなくなるよ。若いほど労働力としての基礎資本は価値があるので、いやならいつでもやめた方がいい。本邦はここからずーっと人手不足ですから。

【我が子が他人に遊んで貰ってる母親あるある】

「邪魔しないの！」とか言ってるけど内心の「いちばんかわいい時期をお裾分け♪」感が出すぎてる

これは統計学・機械学習分野でもあるあるなんだけど、SNS全盛の現代においては「デカい声でデタラメを喚き立てる人間」の影響力は甚大で、気が付くとデタラメの方がネットでは広く流布していたりする。ただ本当の問題は、デタラメは実世界に適用するとやはりデタラメだと論より証拠で判明してしまう点。でもデタラメの方が声のデカい人間によって見た目に分かりやすいかのように見せかけて流布されるので、ネット世論という意味では広まりやすかったりする。これを是正するのにきちんとした専門家たちのかなりのリソースが浪費されるのを見ているとしんどいものがある

他業界の相場との比較以前に、そもそもメーカーの中でも600-800万円は30~35歳位の、横並びの年功序列で上がれるふつうの若手~中堅社員クラスの給料なので、経営戦略策定や新規事業推進に期待する人材としては安すぎる。それでメーカーの平均的な30~35歳の社員の能力や経験として「経営計画策定」や「新規事業推進」に期待できるかというと全く無理で、能力的に欲しいのは凡庸ではない優秀な人材ということになるけれど、年功序列と同じ給与を提示してもそれは来ないやろという感はある。だからといって1000万円を提示できるかというと、1000万円超は課長級相当なので、社内の給与テーブルとの整合性の観点から30~35歳の非管理職社員に出せる額ではない。結局、給与テーブルが柔軟性の無い年功序列である限り、中途で優秀な人材を採るのは困難であるという根本的な問題であるともいえる。別の見方をすれば、現在の日本企業が優秀な社員をある程度確保できているのは新卒一括採用があるからであり、未経験の学生は能力が見えないゆえに優秀な人も凡庸な人も一律の待遇で採用ができるから、ということで、今後日本企業が中途採用を拡大するにあたって人事制度改革は不可避なものになると思う。メンバーシップ型雇用の課題はやはり、「職務が定められていないので職務に応じた待遇を設定できない」ことにあると思う。この問題は中途採用において具体的に表れて、自社に足りない高スキル人材を他業界から採りたいときに、相応の待遇を提示できなくて結果、採れない。戦略的な人事が実施しづらい。なので、例えばこういう問題が生じたりする。「新卒一括採用で未経験の学生を採って自社で育てる」ことを前提に組まれた日本企業の伝統的な人事制度は、「欲しいスキルを持った人材を中途採用で労働市場から調達する」ことに対応しづらい。

【アンチが多いのはそれ以上にファンが多い証拠！あるある】

俺の嫌いなあいつに関してはそういうことじゃないと思う

デスゲーム主催者の河野太郎「ハジメレ。」

アニメキャラは白人という十年前の難癖は、有識者に完全に否定されたけど、また出てきて、当時の同じ有識者や当時を知る人、今初めて知った人にも同じ論理と実証で完全否定されていて、なぜ今なら通用すると思えたのかは謎。たぶん記憶力がない。といっても、とっくに否定された反科学や反近代である宗教右派や原理主義やカルト宗教、打ち捨てられた思想信条を今でも持ちだす人は延々といて「え、まだそこ？」となる。すでに間違いだと分かった思想に信仰ですよ、と教えてあげる人、偉いけど大変だなと思う。近代の科学や医療や制度で生かされていても、近代思想の自由その他を憎む人は一定数いる。そういった憎悪は、近代でもすべての人は救えないので説得程度で変わることはない。それ以外で境界線上で迷う人に、反近代は選ばないほうがいい、とできるだけであろう。実は近代は科学や事実性といった正しさを独占し、賢く適応した人だけに有利という残酷さがある。それ以外の人や思想や信仰やお気持ちに、正しさや権威や尊厳や実質的利益を分け与えてくれない。そういう人にとってはどれだけ人命を救おうと近代は仇敵で、説得もなにもできる訳がない。

またパン屋で理性を失って爆買いしてしまった、パン屋でトング＆トレーを手にした人間はビッグサイトで財布を握り締めたオタクと同義。パン屋で働いていましたが、高確率で理性を失う人はトングカチカチマンになっています。トングカチカチは理性を無くす為の儀式です。私の体感ですが必ずトングカチカチする方はパンを3個以上買われています。

ほんと管理職層の報酬をもっと上げてあげないと、現場層は誰も管理職になりたがらないんだよな。魅力がない。そんで現場の仕事しか経験せずに40〜50頃に転職しようとしても、良い報酬得るためには管理職相当の経験が求められてしまうというジレンマもあったりして色々難しい。本当に管理できる管理職は管理職って仕事をしてきた人。現場職は熟練、管理職は素人。なのに熟練管理職の仕事なんてできるわけが無い。お金の話じゃ無いんだよね。適材適所でいいじゃん。

東京メトロに乗っていて、駅に入線して、何駅に着いたか知りたいのに、ドアが開いてもドア上のデジタルサイネージには広告のレシピ動画が流れている。停車したときは駅名流してくれんか。なんでこんな意地悪をしてるんや……。

鬱になって生きる意味が分からなくなって２ヶ月くらい悶々と考えてみた結果「ただ生まれてきたから生きてるだけ」という事実に行き着いてしまい、生きる意味なんてそもそもなくて死ぬまで生きるだけなんだと気づいて以降、だったら難しく考えずに死ぬまで楽しく生きれたらいいや〜と思うようになった。人生は「いかにストレスを減らし、いかに幸せになるか」というシンプルでハードなゲームである

一番多かったのが実家太いですね系の感想で、それは事実だし謙遜しても仕方ないので親にマジ感謝という感じです。ただ「あまり過剰に謙遜したり罪悪感を抱いたりしないようにしよう」というある種の露悪的な態度は意識的にやっていることです。先の記事だって良識的なエリートなら「僕はたまたま環境が恵まれていて～」とかいう留保を挟んでこの手の反応への緩衝材にするんですが、僕はそれをやりたくないということです。それってポーズとはいえ自分を下げる行為なのでやっぱり精神にあんまり良くはないんですね。世間の自尊心を補填する代わりに自分の人生から自尊心を少し削るゼロサムな言動で、形だけ寄り添う振りをするのはお互いにあまり良いことが無いです。生まれを謙遜しない代わりに生まれによって他人の批難もしないのが妥協点です。また「自覚が無い」というコメントもぼちぼちありますが、普通に自覚していますしそれはむしろ隠さず露骨に書いたつもりでした。実家が太いことを自覚したらただちにそれに対して感謝や謝罪をしなければならないと考えている人もいますが、僕はそうではないというだけです。

例えば成年者への性犯罪者は、「配偶者や恋人がいる」「地域で信頼されている」といった特徴がある。これは裏返すと「陰キャはそもそも女性に近づくことさえかなわない」ということでもあるんだけど、視界外の存在をモンスターのように扱って犯人と思い込むのは犯罪心理学では普遍的なのだとか。

自分の気に食わない意見を言う学者アカウントを見かけると「こんな人が「専攻名」を教えてるなんて」とか「「大学名」で教えてるなんて」という形で否定的感情を表出する人をまま見かける。とにかく必要最低限の労力で手に入る情報だけでdisりたいという横着心が感じられて味わい深い。

人生って、「～しないといけない」ことが多ければ多いほどつまらなさが肥大していく感じするわ。「朝起きないといけない」「会社の近くに住まないといけない」「一日8時間拘束されないといけない」自分の本音と違うことをする時間が長いほど、つまらなくなってくる

自分の時間が全然足りなくて、仕事辞めて1年ニートして遊びまくったけど、趣味にしてたものが全部飽きて時間持て余してやばかったから、また働き始めたら趣味もないから何のために生きてるのかわからなくなったわ

学生の時ある外科系の教授と数週間ほぼマンツーマンで過ごしたけど生物としての「強靭さ」の次元が違った

ワンピースって言うか尾田栄一郎、自分が設定した謎の真相の発表を我慢する力が強すぎる

家でウンチしたあと消臭スプレーするのよく忘れて妻に叱られるんだけど、この前また忘れてて、妻がトイレ行こうとする直前に「待って！スプレーさせてください！😭」って懇願したのに「もう遅い！もう遅い！😡」っつってスプレーさせてもらえなかったんだけど、冷静に考えて何故なんだ

海沿いに独身専用の極小住宅を1000戸くらい並べて、全員がシミになったらメガフロートみたいに敷地ごと切り離して日本海溝に沈めるのはどうか。

毎日、22時に仕事終えて帰る友人「帰ってきて、風呂入って、飯食べて、寝るのループ。これは生きるために働いているか、働くために生きてるかわかんねぇな」これほど働かないと維持できない経済って何なのですか？経済という大きな言葉を使ってしまうと回答がぼやける気がしますが、そう庶民に思わせることは中々に意味があるような気がしますね。そういう生活にこそ、家族が必要な気がしませんか？寝て起きて働いて帰って寝る。趣味や夢が介在する余裕もない。そういう時に家族がいれば、帰ってくるだけで幸せな気持ちになれそうです。自分が帰ってくるだけで喜んでくれる。美味しいご飯を作ってくれたり、一緒においしいと言いながら食べてくれる。一緒に寝てくれる。ただの時間が幸福な時間に変わりますよね。そうなっている間は、所謂働く為に生きている感はないでしょう。そういう人たちが作った経済が、その形態を前提に作られているのかもしれません。当たり前に家族・恋人がいる人には、一人の家に帰る寂しさはわかりません。残業や飲み会などがあっても、帰れば人がいる人達には、趣味等の時間はいらないのかもしれません。裏を返せば、趣味や夢などがある人にとっては家族はいらないのかとも思えますね。自分のために使う時間が惜しいと思う人にとって、家族は言い方を選ばなければ邪魔になるかもしれないということです。ついでに。そもそも生きる為に働くとか働く為に生きるとか、労働と人生を同列に考えることにも疑問があります。労働は確かに義務ですが、人生の一部でしかありませんよね。ワークライフバランスなんて言葉が一人歩きして久しいですが、本来ライフの中のワークですからね。ワークとライフのバランスを取るなんて価値観も、なかなかにネオ的でついていけないと思います。そういう人たちが作ったまやかしのようなもの、それがその経済と呼ばれる何かの正体なような気がします。

辛ラーメン食べ終わった妻になんとなく「どうぞ」っつって果汁グミ差し出したら「助かります」って言われた。助かるんだ

何も起こらないことは幸福であり退屈。死の危険がない日本人大学生がリスクを求めてバックパックとかしだすの、倒錯してるけど幸福と退屈のオーバーラップについてなかなか本質をついているように思う

カヌレを初めて食べるらしい妻が、食べる前は「表面何これ…焦げてる臭いがするけど…😠」とかブツブツ言ってたけど、実際に食べたら「おいしい…なんという食べ物だ…😠」などとブツブツ言っててやや気難しい異世界人っぽかった

うちのおじいちゃん亡くなったときおじいちゃんのテレホンカード作って葬式で配ろうって提案したらおばあちゃんに却下された

うんちするの好きだから1日に2回以上できると超うれしい

今朝「足を蹴られたサッカー選手が痛がってゴロゴロ転がってたら何故かユニフォームの隙間から肛門が見えてしまう」という謎のアクシデントが発生する夢を見て目覚めたから、今夜はもうすこし良い感じの夢を見たい

結構最近までｱｶﾁｬﾝに離乳食あげるの辛かったけど「果物ゼリーのあとにお粥は無いでしょ。てかデザートは食後にしろし👊」みたいな気持ち全部捨てて、食べれば何でもいいやっつってゼリーお粥ゼリーお粥スープゼリーお粥とかでいくようになってからかなり楽になった

妻と妖怪しりとりしてたら「泣きウナギ」っていう要出典のやつ出してきた

いつも「舐めろと言われたら躊躇なく舐められるくらいキレイにしたい！😡」と思いながら排水口の掃除をしていて、作業の終わりが見えてくると「これって終わったら実際に舐めなきゃダメか…！？😠」って勝手にメンタル追い込まれる

ぬるい水道水は不潔だけど氷で冷やすと清潔になる

台風、大阪は結局大したことなかったけれど、電車とかお店とかスーパーとか、事前に運休の計画を立てたり臨時休業したりするようになってきたの、良いよね。たとえ拍子抜けだったとしても、これを習慣づけることでいつか助かる命がある。大げさだ！と気象庁やマスコミを責めちゃいけないよ。

打ち捨てられた小屋を見ると「何らかの目的があって誰かがここにこれを建てて、使われてた時期があるんだよな」と切ない気分になる。普通の廃屋は、そりゃまあ家だから誰かが住んでたんだろうというだけの話だけど。

日本の衰退を感じるのは、取引先から従業員が定年退職で、あれこれの注文は受けられない、と言われるとき。好景気であれば新入社員が入って、ベテランの補助をしながら仕事を覚えて引き継ぐけど、それがない。他の社員は自分の仕事でいっぱいで引き継ぎできない。また、機械が経年劣化して、これこれの仕事が受けられない、というパターンもある。注文があれば投資して機械を買い換えたり、修理して継続して仕事を受けようとするだろうけど、投資を支える注文がない。これでは技術は残らない。これまでの日本の技術が何から生まれていたのか。職人の熱心な向上心は小さな要因に過ぎない。好景気に支えられた開発投資が大事だったのだなと思う。新卒は新卒で上がらない給料と見通せない将来、不確かなキャリアパス、ベテランの言語化されないナレッジの血肉化への高いハードル、愚直さより要領が評価され、メディアから流れる足元見るより夢を見ろという｢騒音｣、SNSを開けば日本は終わった終わったの大合唱、でそら辞めたくなるわな。

スイーツの教養がないので、甘くておいしいもので満たされたい気持ちのときスーパーで買ったでかい板チョコ1枚を一気食いしてしまう

悪いインターネットな呟きばかりの当アカウントを見ていただいてるクラスタの方々にですら高齢者福祉予算をなんとか抑えていかないと将来更にヤバくなるよね論は飛び抜けてウケが悪いので、多分この問題は相当に破壊的なハードランディングを迎える気がしている。男女問題は相手の性別を悪魔化すればいいし、ポリコレ問題も他陣営を悪魔化すればいいけど、大体の人に老親はいるもんなぁ。首肯するには心理的抵抗感が強いのはよく分かる。そしてだからこそこうなっているんだろう。これは赤信号みんなで渡れば怖くないの精神で突き進むしかないか。

週末のノンフィクション、45歳で再婚して長男産まれた数年後の50歳で若年性アルツハイマー診断と悲しい話なんだけど、その後病状が進行する中5年間で二人子供作ってるのか。。なにか記憶があるうちに形あるものを残したかったのか、夫婦合意の上なら良いんだろうけど後々考えると難しい選択やな

奨学金返済で苦しむ人を「借りたものを返すのは当然。自己責任。被害者面をするな」と切り捨てる方々は、親が貧しいというだけで進学を諦めるか借金を負うかの選択を迫られる不平等な構造は無視する。進学後も勉強時間を取れるかどうかは実家の金に左右される。じゅうぶんに歪な社会の被害者ではないか

俺も他人のバズってるツイートひとつひとつに「やっとバズれましたね！サロンでの成果が出ましたね！」とリプしていこうかな

自分が電車乗ってるときっていつも踏切が作動してるよな。

昔さっしーの握手会行ったときちょっと病んでて、「人生を楽しむにはどうしたらいいですか？」って聞いてしまったんだけど(いや重すぎるわ)さっしーが一言「思い込み！思い込みでなんとかなる！」って言ってわずか10秒の握手会だったけどめっちゃエネルギーもらったからそれ以来さっしーは信用している

Twitterで「この現象に名前をつけてほしい」という言い回しを目にするが、発見者の名前をつければいいんだから臆することなく命名すればいいと思う、鳥山現象とか

ドン・キホーテ、普段施錠してないバイクヘルメット入れに施錠したくなる魔力がある。

「人志松本のすべらない話」が実はすべて松本人志のエピソードだったらメチャクチャ怖い

「一度痛い目を見れば失敗は減る」というのは一定の素養がある人限定であり、そうでない人に痛い目を見せてもどうにもならないと思う。元気よく失敗していた人が、泣きながら失敗するようになるだけだ。

勝手にRTAしてる医者「メスメス早く早く！」

【自分以外の2人が話していて「どうしたの」と聞いて「なんでもないよ」と言われた時あるある】

なんでもないわけが無い。教えろ

【アニメ公式サイトの登場人物ページに載っている俺の人物紹介】

主人公が所属する王国騎士団の副団長。騎士道を重んじ正々堂々とした勝負を好むが、酔っ払ってバスに乗るときはウトウトして乗り過ごさないよう絶対目を閉じない狡猾な一面も併せ持つ

人生相談コーナーとか知恵袋とか質問箱とかいった質問コンテンツ、「回答者が質問者の落ち度を見抜いて成敗する」という痛快なパターンのウケがいいらしくて、このパターンに持って行きたいがために偏見や曲解を多用して詭弁で応じているようなものが本当に多くて気が狂いそう

昔飲みながらシャチョーに「面接の定番質問って定番すぎて意味あるんすか？」と聞いたら「絶対来ると分かってるのに打ち返す準備をしてないってのはその時点でダメ。見たいのはそこ」と言われてそりゃそうかと思った。

俺自身も学生の時に「それなんか意味あるの？」と言われる研究をやっていたので分かるんですが、現在価値の算出って相当難しいのに今不要だから投資しないという方針は基礎研究には禁忌なんですよ。研究の未来というのは多くがカオスでどう化けるか計算しつくせないからです。俺がやっていた研究は、その後、応用され天災発生時の避難経路策定、業務プロセス効率化、医療分野（タンパク質生成の反応鈍化）、金融分野までに裾野を広げました。ここまで基礎研究開始時には読みきれなかったですし、現在価値を勝手に算出して排除するのはやっぱり基礎研究に向いてない手法ですよ。

ミュージシャンが政治を語ろうがなんだろうが自由だが、音楽は良くても全く政治の勉強はしてないと言うか、多分勉強してても勉強の仕方そのものを取り違えているというか、その類の素っ頓狂率は美術家の数段上という感じはする。あれなんでなんだろう

覚醒剤やめますか

それとも

覚 醒 し ま す か

大学の先生が「今の学生は”わからない”と答えられない人が多い。でもわからんものをわからんと言えるのが考えることの出発点。ちゃんとわからないと言える”訓練”しろ」と書いてて面白かった。それが言えるようになるのに一年かかる奴もいると。そうか。人は努力しないと「わからない」が出来ないんだな。未解決な問題を許せず、何でも分かりたい。そんな拙速で幼稚な「欲求の言いなりにならないのが、知性。分からない状況に耐え、悩むのは価値ある知的な能力」

有給休暇の「うきゅうきゅ」の部分

社長の発案でスケジュール管理ソフトを導入しましたが、社員のスケジュールが埋まっていて割り込めないことに不満が溜まり、最終的に「使うな」との命令が下りました

テレビが脳を破壊するっていう昔の本を見かけて、脳を破壊する主体がゲームになり、インターネットになり、スマホになり、次は一体何が我々の脳を破壊してくれるんだろうかと心を躍らす一方で、労働だけは時代が変わってもずっと一貫して我々の脳と体をズタズタに破壊し続けている

子供が数字読めて簡単な計算ならできるようになったために箱入りのアイスを夜にこっそり食べることができなくなった…。搾取されないために教育が必要ってこういうことか…と理解しました

中学生の男子が「おいババア」と言い始めたら子育ては大成功。中学生にもなってまだ「ママかわいいね」と言っていたら子育ては黄色信号

ショーペンハウアーが『読書について』で「本を読むだけの人はインプットばかりで自身で考える力を失う」的な話をしていた。それとは少し違うが、発言に実践が伴わない、思想信条が行動に反映されていない・血肉になっていない人達を見て虚しさを感じる。以前、学問を生業とする友人は「誰が言ったかではなく何を言ったか、では」と言っていたのだけど、それはあくまで理性や知性の世界の話であって、人々が実際に生きる社会とはそういうものではなく、発言や行動の一貫性も見られて然るべきだろうと個人的には思っている。

乾物屋の婆に「中でお茶でも飲んでけ」としつこく言われた為、嫌々居間に上がると、仏壇の横にデカい紙が貼られ、マジックで「私の知ってる氷川きよしじゃなくなったけど、頑張ってついていなかくっちゃ」と書かれていた。事情はよく分からんが、大変な悩みを抱えている様であった。お茶は薄かった

フルリモートって、自分一人でテキパキ仕事を組み立てて周りとコミュニケーション取れる人なら最高の環境だけど、未経験の転職直後とか新卒1年目でいきなりフルリモートで放置されたら、ほとんどの人は孤独すぎて泣くと思う。弊社でも、リモートで働いてる新卒が病気休職したり早期離職したりしてる。新卒1年目2年目で「フルリモートで働きたい」って言う人もいるけど、普通にやめといた方がいいですよ。仕事サボり放題で楽できるかもしれないけど、5年後10年後のキャリアを考えたらあまり良いことはないし、社内ニートみたいになって精神を病む人が多いです。経験積んで自立してからの方が良いです。

偉い人が職場に来て判子捺さなきゃいけないから判子探してたけど全然なくて、後輩が後ろで「血判じゃだめなんですか？血判は？」ってずっと聞いてくるの無視してサイン書いてたら偉い人に「後ろの男の子のこと見えてるの僕だけじゃないですよね？」って聞かれた

昨年末に帰省した時に財布を落としたんですが、新幹線内で落としたのでありがたいことにJRのお問い合わせセンターに問い合わせたら見つかりました。JRに電話した時に財布の特徴を訊かれたので、茶色の二つ折り財布で原爆資料館に陳列されてそうなやつですって答えたら、それあります、と言われました。

ミスコン的なものは、やはり容姿だけを基準にやるべきだと思うな (容姿だけを基準にしていれば、100m走と同じで、やること自体には何ら問題がない)。行動や内面まで評価対象にすると畢竟、それは「人間としての価値」をランキングしていることになってしまい、その方がずっと問題である。

饅頭のつまみ食いを誤魔化すために仏像の口に餡子つけて「仏様が食った」と嘘つく一休、仏像を殴ってグワーンと音を鳴らして「仏様は食わーんと仰っている」と反論する和尚、仏像を釜でクタクタに煮て「仏様は食った食ったと言ってます」と再反論する一休、このアニメの何が教育に良いんだよ。

奇数+奇数=偶数の証明も分からないような奴が俺より楽しい人生送ってる可能性の方が高いの人生馬鹿馬鹿しすぎて何もする気なくなる

ITエンジニアの職業認識、完全に理解した→なにもわからない→チョットデキルみたいに推移するらしいが、殺し屋とかも、人殺し完全に理解した→人殺しなにもわからない→人殺しチョットデキル、みたいな感じになるのかな

これ共感してくれる人いるかわからんけど、シャーペンの裏の消しゴム綺麗なまま使いたくなくてずっと使ってなかったのに、ある日友人に貸したシャーペンの裏の消しゴムが使われててめちゃめちゃ残念な気持ちになったことがある

ゲーミングPCが複雑に光るのは雌を呼び寄せるためで、パソコンはこのようにして繁殖しています

配属ガチャに成功したら逆に転職したくなくなって、長い人生のキャリアとしては詰んでしまう可能性もあるわけなので、配属ガチャ外したら転職チャンスが舞い込んだと思って前向きに行こう。配属ガチャで成功失敗が決まってしまう人生だとしたら所詮その程度で。ガチャ外したらそこからどうするか頭を使うのがキャリアのスタートでしょうが。第二新卒カードも転職エージェントもあります

リスクを犯して転職しててスゴいと言われるのだが、こちらから見れば転職スキルを高めないでリスクを高めまくってるあなたの方がスゴイですといつも思ってます

少子化の原因は、低賃金とかどうこうではなくて、中途半端に賢くなり、社会が豊かになって利便性が向上した結果「わがまま慣れした人間」が増えて、子供や結婚相手含めて「自分の人生を誰かの為に犠牲にする事」への拒絶反応なんだと思いますね。

1時間前まで空腹で何もできなかったので、ご飯を食べたらお腹がいっぱいになりすぎて何もやる気がなくなった。

20代で給与が高い会社に一度入ったが最後、年収を下げる転職ができず同規模の会社をぐるぐる回るしかなくなって本当にやりたいことに挑戦できないまま30代半ばくらいまでキャリアを積んで40歳前後で大きく後悔する人を沢山見てきました。若いうちから分不相応な給料をもらうのも注意が必要です。

国がシリコンバレーに今後5年で起業家1000人規模で派遣すると話題ですが、一足先に行かせていただいた身からすると、海外のスタートアップ起業家から頂いたアドバイスが「こんなところに来てないで、work veeeeeeeeeeery hard!!!」と言われたので、ひたすらお仕事頑張ろうと思いました。

ある大手メーカー勤務の、とある分野では日本で第一人者みたいな方が某学会にいたのだが、そのメーカーがその事業領域から撤退した結果、閑職に追い込まれ、最期は自主退職したのを目撃。当時学生だったので、専門職一本立ち打法の生き方について、キャリア観ちょっと影響受けたことを思い出した。

小学校の頃「こんな事してたらアカン！！ロボットになっちゃう！！」って勉強サボってた僕は20年経った今、深夜の工場で機械のように働いています。

中学の人権作文で「いじめを無くす方法」について書かされ、「いじめは無くならないので、絵空事を語るより人権教育と、発生時の対応を検討した方が良い」みたいなこと書いたら先生にいじめられたことある ほらいじめ無くならないじゃん

「英語を身につけてチャンスを広げよう！」とよく聞きますけど、外資系に転職したり海外就職して上手くいってる人達に話を聞くと、英語力は実はあまり高くなかったりします。それで不安は無かったのかと聞くと多くの人が「まあなんとかなるでしょ」と。つまり必要なのは楽観的思考と自己肯定感ですね。

🇺🇸には優秀な移民の方々が毎年やってくるのでCSやIT系の高給職の競争率は高くなり🇺🇸の若者達は人生ハードモード、という論調を見かけて、🇯🇵の同調圧力とか職場の謎マナーとか、色々と若い人達が毛嫌いしている文化があると思うんですけど、あれらは🇯🇵の若者達を守ってる側面もあるのかなと思いました。

若者は社内に大量にいる使えない40代50代のおじさんが最初から使えなかったわけじゃなくて会社から言われた仕事を真面目にこなしていた結果、窓際になり社外でも通用しないおじさんになった事実を認識したほうがいい。あれは真面目だけが取り柄だった社員の成れの果てなんです。新卒で入った会社から3年で転職しました。当時の自分は先輩のようにはならないぞという回避的モチベーションを持ってましたが、ふとした時に「1年目の自分が今の自分を見たら」「今の自分が3年後の自分を見たら」という問いの答えが絶望的だったので決断できましたね。。

数年前までは360度評価にはかなり否定的だったというか、仕事は人気取りじゃねえんだよと思ってたんだけど、360度評価って優秀な人を見つけるためじゃなくて、周りにストレスかけてる問題社員を発見するためのツールとして極めて優れてることに気が付いて、今もめっちゃ活用してる。

竜そばもだけど細田守作品、見る人みんながワクワクするようなドデカくて超綺麗な風呂敷を一面にバーッと広げて、一体これがどうなるんだーって期待値が最高に高まったところで細田守が風呂敷の端っこでちっちゃい鶴を折って満足しちゃって終わる感じなのめちゃくちゃもったいないなっていつも思う

ホリエモンがM-1をつまらないと思う理由として「全部オチが予測できる」って言ってたの、絶対に無理やのにカッコつけててキショすぎる

竜とそばかすの姫、冴えない女の子が歌姫になるのと、竜がバトルするとめちゃ強い要素と、子供が虐待されてるのを特定する要素、一つ一つは面白くなりそうなのに、全部混ぜると上手く噛み合って無くて、「スイカと天ぷらは美味しいが、一緒に食べると食い合わせが悪くてお腹を壊すぞ！」て感じの映画だ

ラノベでは記号的なキャラクターが出てきても気にならないのだが、SFを読んでて「物理や数学の天才で対人関係が苦手だけど恋愛に興味がないわけではなく、不摂生で雑な生活をしてるが外見は人並み以上で、男性主人公を『きみ』とか呼ぶタイプの美少女」が出てくると頁をめくる手が止まってしまう

因習村の老人「若い人、悪いことは言わん。昼のうちにこの村を出なさい、最終バスは14:50じゃ。それより後にバスもホテルもこの村には無い」

若い人にオススメなのが、悩んだ時は少数派の道を選ぶことです。8割の人が選ぶ選択肢がある時に、少数派の道を3回選ぶと0.2x0.2x0.2=0.8%と、100人に1人の経験を持った逸材になれます。つまりオンリーワンになるのって意外と簡単なわけです。ちなみに悩む前に少数派の道を選ぶとただの変人になれます。

底辺高に勤めていると「勉強できなくても音楽とかスポーツならできる子もいるんでしょ？」と言われるが、経験上、いない。ここまで勉強のできない子は認知力も身体能力も低いし、自分で練習ができないし、根性もない。「ダメな奴は何やらせてもダメ」という厳しい現実がある。「ダメな奴は何をやらせてもダメ」というのはこの世の真理だが、世の中にはそれを認めてはいけないという変なポリコレ意識があるようには思う。「勉強できなくても何か一芸に秀でてるかも」とか言ってる人は子供の頃から勉強もスポーツも出来て優秀な世界しか見てこなかった人たちで、現実はそんなもんじゃない。

「170cm以上はまずオタクにならない」とか「Tシャツの下にインナー着ない女なんかいない」とか、なんというか本人の“普通”がめちゃくちゃ狭くて生きづらそうですねという人がこんなに多いのか、という気づきがツイッターにはある。

【食事中にAVを観ている家族】

AV『イクッ！イッちゃうーー！！』

子供「この人はどこに行っちゃうの？」

父「ゲフンゲフン！」

母「遠くの国よ、早く食べなさい」

好きなプログラミングを適当にやって飯が食いたいのにやりたくもないクソ仕様を朝までやらされてる人を「プログラミングが好きというからこれは好きなことで飯が食えてる」と認定できるのか問題

家をえいやーで購入したら、まさかの隣人トラブルで涙。ローン35年。妻と週末自宅会議。結論出ず。

Twitterもうすぐ2年になるけど消えたフォロワーも多いな。残っているのは、ゆるくて平穏な人か振り切った狂人。中途半端に狂人だけど根は真面目なんだろうなっていう層が1番消えているような気がする。

小学生がウンコで爆笑するのは、小学生以前にウンコがタブーとして学習されているからで、大人がウンコで笑えなくなるのは不快な危険予測が先立つからである

大衆「本当に頭の良い人は難しい事を分かりやすく説明出来る」

法相(筑駒→東大)「大体、法相は朝、死刑のはんこを押す。昼のニュースのトップになるのはそういうときだけという地味な役職だ」

大衆「ギャーギャー」

「オレはいいけど、担任がなんて言うかな…」しか言わない副担任

日本の偉い人根回しあるあるに、「結論だけ持ってくと絶対（尊厳を求めて）ひっくり返すので途中でちょいちょい相談の形で報告してクリティカルでないところを選ばせ自分が決めさせた感を持たせておく」ことで後の対応時間を節約する、というのがあるけれど、幼児対応も全く同じだなと思う日々。時間がなくて親が全部やっちゃうと、気に食わないから「違うのがいい！」と言い張りはじめて（内容が気に食わないのではなく自分が決めてないことが気に食わない）やり直しで結局2倍時間がかかるのだよね…

マンガで飯が食えるようになるのは一握りだけどプログラミングで飯が食えるようになる人は多いっていうの、もうこれ比較対象の起点位置がどう考えてもロクに書けないけど希望する人を含む漫画家と基本的な部分を習熟取得してる人を法人が雇用するとか、もう起点と範囲の違いがズル過ぎて変になってる

ネットだと「自分語り」は忌避されがちだけど、他人の悪口や噂話、芸能人のゴシップで群れるよりもよっぽどマシというか、むしろそれらに比べると歓迎すべきもののようにすら感じる

田舎のマイルドヤンキーは閉鎖的な空間に居続けているが故に何も知らないから幸せなのではなく、例えばSNSやYouTubeを通して華やかな生活や異なる価値観を知っても「俺は俺、こいつはこいつ」と簡単に割り切れるだけの帰属意識の強さ＝地元の家族や仲間の繋がりがあるから幸せなのだと理解している。「田舎のマイルドヤンキーは幸福」みたいな話 地方出身の友人に聞いてみたときに「それは今の40代くらいまでがギリギリで30代より下は30年後もインフラを整備出来ず人口も減り続け民間もダメになるからキツイだろうな」と話していてあまりに残酷な真実に諒解したのであった

容疑者Xの献身の好きなセリフ→例え私を逮捕してもすぐに容疑者Y、容疑者Zが現れ献身するだろう……

電車で読書をしている皆さんはブックカバーなんてしていないで本のタイトルをひけらかしてください

「笑いの本質は意外性である」という極めて粗悪な分析が世に広まっているが、断じて同意できない。この主張はホラー、および、お笑いにおける「天丼」の技法によって容易に反論できる。喜劇の本質は「タブー破り」であって、決して意外性ではない。俗に「ホラーとギャグは紙一重」と言われるのが何故か説明すれば、ホラーは意外性に基づいていて、ギャグはタブー破りに基づいていて、意外性とタブー破りがしばしばオーバーラップするからである。お笑いの構成要素は①誰かがタブーを破り②無害であり③それが瞬時に理解されること、である。ツッコミは②③を担保している。「天丼」が意外性に反するにも関わらず笑いをもたらすのは、それが③を強化するからである。繰り返すが、意外性は断じて笑いをもたらさない。平成から昭和、そして中世に遡るほど加害がお笑いとして成立し、また現在においてもユーザが幼いほど、知能が低いほどお笑いとして成立するのは、それによる危険予測が障害されているからで、②無害として判定されるからである。

婚活で驚いたことの一つに、年収300万くらいの女の中には、年収1,000万の人の手取りは950万くらいだと思ってる女が一定数いるってこと。

Twitter民、普段は貧困や格差の問題を口にするのに学歴に関しては「高学歴人間は皿洗いより丁重に扱われるべき」みたいなヘイトスピーチにあっさり引っ掛かるのを見てると、「貴方が嫌いなのは不平等自体ではなく自分が上に立てない事であり、差別自体は大好きなのでは？」と思ってしまうんだよな

どうやらヒトには「生活感を混ぜるべきでない場所に生活感を混ぜると笑う」という性質がある。これはヒトがタブーがおかされると笑うことに起因しているだろうが、それにしてもあまりに普遍性が強く見える。ダンジョンの最深部にある悪の魔術師の拠点の入口に「営業時間：9:00-15:00」とか書いてあったりするやつ

若い頃から健康に気を付けておくべき。っていうの30代までは体感に落ちてなかったのですが、40後半になって「もう回復しないのであとは完全にダメになるまでの期間をなるべく延ばすだけ」みたいな不調がポロポロ出てきて。このポイントに至るまでの年齢をなるべく伸ばすということだったんだなあと。自分はずっと自堕落な生活をしていたけど、幸い子供のころは健康優良児だったので、そこの貯金で40中盤まで持っていたんだろうなあと思う。70超えても元気で、できれば絵を描いていたいと思うけど、それっていうのはホントに特別というか、ボケーッとして到達できる領域ではない。というのが実感としてすごい出てきてて最近結構危機感。

早く目をギュッと閉じて、開けてみたら小学生の夏休み 友達と市民プールに行く途中に戻っていて「なんだ、全て大丈夫だったんだ」と思いてえ

子供の頃、大人に「勝手に●●するな！」と怒られるたびに「断ってもやらせてくんねーから勝手にやってんだ」と言い返してはさらに怒られていた

高度に発展した情報化社会は、田舎の村社会と見分けがつかない。世の中に処理不能なほどの情報が溢れると、一周回って地縁血縁に頼るのが最適解になりそう。

ラーメン屋で水餃子（4個と書いてある）を頼んだら水餃子2個と茹でた野菜がお皿に盛られており、「女の子だから半分野菜にしといた！」と笑顔で言われ、「？」と思いつつも反射で「ありがとうございます？」と言ってしまい、食事中も、移動中も、今も「？？？？」と思ってるし水餃子4つ食べたかった

手取り15万で週5で働くなら会社に損害与えないと元取れない

急いでますって言うくせにラッピング頼む客なに？ここは殺されても自殺が通用する街だぞ

竜そば、前半あんだけしつこく最悪インターネットを描いておきながら、主人公が顔出しで全世界に歌ったあと高速バスとか乗り継いで無事に生身の竜のところにたどり着けてるの本当に謎　特定班おらんのか　ちゃんと最後まで最悪インターネットしろ

窓際で2000万もらってるオジサンのネタが流れてきたんだけど、そのオジサンは昔は安月給で明日には給料が上がるってやってきた報酬を今貰っているって構造。右肩上がりの社会での終身雇用＋年功序列の産物だったんだけど、これを白い目で見られるのはツラいよなあと思っていた。年功序列の、このシステム、偉くなると会社から叩き出されないのが一番大事になる＝ことなかれ主義に陥るという、多大なる問題点があるのだけど、これまた右肩上がりの時には見えない。なぜなら新しい分野がどんどん出てきて、そこで伸びていくから。終身雇用と年功序列は「たまたま貧乏だった国が伸びていく時の50年ぐらいに有効だっただけで、成熟した社会では弊害の方が多い」システムでしかないんだけど、まあこれも直せないと思っている。「今、もらいすぎだろ」って言われてるのって「じゃあ俺の昔の苦労にお前ら報いないってことだな？」って話になる。どう見たってヨロシクない。言い換えるなら年功序列で若いうちに給料は安いシステムは矛盾だらけで使うのは止めたがいいってことだ。

個人的には基礎教養みたいなものは義務的に教えればいいと思うけど、ほとんどの人はそんなもん何も関係ない人生を送って死んでいくのが現実なのに「ええっ、役に立たないと仰るんですか？私はこんな場面で役に立ちましたよ？」という言い方は反発を招くだけに思える。

30とか40になって来年何やるかわからないみたいな状態がしょっちゅう発生するのって15くらいで将来の選択肢を定めなかった側の末路の一つだけど、予測性が低いことで失っている機会をずっと眺めていないといけない世界ですよ。この「15歳で地域のトップ進学校に入れるかどうかで将来の選択肢がおおよそ定まってしまう」という田舎の恐ろしさは都会の人にはわからないと思う。自分も都会で暮らしていた時には知らなかった。

税金たくさん払っている高所得層は福祉や行政サービスを優先・安価で受けられるべき！という主張をする人は定期的に出てくる。子育て支援の所得制限撤廃を求める界隈にも出現しているけど、結構ヤバい話だと思う。SNSはこういう人たちがある程度まとまった数いることを可視化してしまった。社会を運営するためにどうしても高所得者は払い損になる。そこからしか貧しい人を助ける原資は出てこない。そういう、高所得者に高所得者が払った税金を還流するような社会運営をしてきた結果が現在のアメリカだけど、貧富の差が激しい社会は結局、治安の悪化や高所得者も含めた平均寿命の低下などで、高所得者にも悪影響がある、という研究結果があったはず。行政が税金をとって福祉や各種インフラに還元する話は、営利企業の顧客が払った金と受けられるサービスと同じように考えてはいけない。

外国人のエロアカウント、顔もマンコもバッチリ晒して5歳児の腕ぐらいあるディルドつかって滝みてぇな勢いのオナニーするから覚悟と迫力が凄すぎて、自然災害の動画見た時と同じ感情しか出てこない。

ゆたぼん号でいろんな県にドライブしているだけで『義務教育と同等以上の知識が得られる』と言うのなら長距離ドライバーの運ちゃんとかみんな東大教授くらいに賢くなってると思う

「この学校にはたくさんの木がありますが、6年生が毎朝落葉を集めてくれるので、運動場はいつもきれいです。この伝統をみなさんも守っていきましょう」と言った校長が退職した次の年、新しくきた校長が、チェーンソーで木を切ってた姿が今思い出してもカッコいい。

妻のリクエストで私は朝ご飯にスコーンをよく焼くのですが、うちの子が「焼き色のついてるサクサクのところがだけが食べたい」「もっとバターとチョコチップを増やして」「食べやすい一口サイズにして」と毎回少しずつリクエストしてくるので試行錯誤の末、今日の朝ついにクッキーが再発明されました。

ファミレスの配膳ロボットを猫型にデザインした人、マジで〝人類〟という生物をよく理解している。人型ロボットのペッパーくんはちょっとした失敗で嘲笑されていたわけで、配膳ミスなんてした日にはガラの悪い客に叩き壊されていたはず。でも相手が猫だと「仕方ないか…猫だし…」みたいな気分になる。

社会一般の序列ごときで俺を見てくるな。そんなものでしか世界を見渡せないのか。

万引きしてきた商品って家計簿のどの項に含めればいいの？

ITの世界でプログラミング能力さえあれば無双できる、みたいなのはかなり素朴すぎる考えですよ。僕らが解かないといけない問題は巨大で複雑で、プログラミング以外にやらないといけないことの方がずっと多いんですから。客先業務の業務知識なしに、客先の問題解決ができると思ってるのかな…。医療カルテシステムを作る人は、診察診断はできないけど、カルテに記載される医療関連の知識では、そこら辺のお医者さんよりも詳しくなる。そして、お医者さんと専門用語で話せるレベルにならないと、要求分析ができない。

有名な企業や大学や華々しい環境や誰もが振り向く美人に受かっても行く必要がないから辞退して自分事としてのニートを一生懸命するみたいなこと、想像もできないで聞いたら腰抜かす人とかおるんかもなあ。俺はもうそういう人が想像もつかない道をどんどん進んでいくよ。

生まれて初めてシャインマスカット食べたけど、美味いっていう感想を準備し過ぎてて味よく分かんなかった

異論反論があるのはわかっているが、私は「決まり」は少なければ少ないほどいいと思っている。「決まりがないと何でもありになる」というのもわかるが、決まりを作る副作用に比べれば大したことではない。決まりって、作れば作るほど、それに縛られていくのだよな。教員も学生も両方縛られる。そしておおむね両方不幸になる。「そりゃ誰だって決まりは少ない方がいいと思ってる」といわれそうだが、実は決まりを作るのが好きな人はいるのである。授業におけるマイルールを事細かに決める人。まあツイッターだって、プロフに溢れんばかりの「決まり」を書いてる人はいるわけだし。

バイト先のイカれたネパール人が「チョットオオイネ」って言いながらジョッキ割りまくって洗い物減らしてたのマジで好きだった。居酒屋バイトってマジでキチガイ多いよな。

「自炊をすれば食費が安く上がる」という提案を満たすためには、自炊をする気力体力や台所環境や調理器具や基本的な調味料など、かなり大きな文化資本が必須。なので万人が自炊による節約を実行できて当たり前という意味の投稿をするのは反感を持たれて炎上リスクが高いと言わざるを得ない。

「コンテンツはユーザーに作ってもらって自分たちはプラットフォーマーに徹して手数料を取ればいい」という発想でどいつもこいつも中世ライン川の関所で通行税を徴収していた貴族みたいなビジネスモデルを模索する現代のネット社会で、自分でカネを出してコンテンツを作るNetflixはマジで偉い。俺が子供の頃にベストセラーになった『金持ち父さん貧乏父さん』の内容を一行で要約すると「自分で手を動かして仕事するのは愚か、プラットフォーマーになって使用料を徴収して〝寝ていてもカネが入ってくる仕組み〟を作れ」なのだけど、それを真に受けた(？)レントシーカーが現世には多すぎる。

港区女子との合コンで住友海上33歳年収1,000万くらいの先輩が「楽天カードで去年支払った額550万行ってたw」って見せたものの、「え、半分ちょっとしか使ってないじゃんw」って返されたらしく、やっぱり彼女たちは年収1,000万の人が1,000万まるまる使えると思ってる

道端で困ってる人に助けを求められたりするのが大好き。求められて合法的（？）に赤の他人の人生に少し関われる機会なんてそうそうない。利他の精神なんて微塵もない。私の人生の面白さのためにやっている。

人の仕事の尻拭い大好き。私の仕事済ませても私が嬉しいだけだけど、人の仕事なら相手は喜んでくれるし私も嬉しいし２倍コスパいい。何なら自分の仕事放って人のケツだけ追いかけ回して拭いてたい

リアルだとヤバいこともマンガなら可愛いから。私も、天井裏で黒い女が這いずっているので、彼女に気づかれないようなるべく姿勢を低くして生活しなければいけないと思いこんでいた時期があるけど、これもマンガだったらギリギリ「思い込みが激しく天然な可愛い女の子」として処理できるかもしれない。

例えば、異性とセックスする高校生は、せいぜい、いてもおかしくないレベルの不良とみなされるのに、高校生の妊娠があってはならないとんでもない大事件とみなされるのは本当におかしな話だと思う。妊娠可能性のあるセックスをしたらそりゃ妊娠するでしょ（論理の循環）。

世界のサプライズ動画は「みすぼらしい黒人」だから面白いという受容が一般的なの？あれは「地理的・文化的に遠く離れた人」が私のことを祝ってくれるというのが面白さのコアだから、例えばイーロンマスクが私宛にハッピーバースデー歌ってくれるのでも同様の面白さは得られると感じた。

残業するたびに大好きなチョコボール買って銀のエンゼル5枚溜まったら退職しようと思ってた時期があったんだけど、銀のエンゼル3枚集めたらへんでチョコボール=残業の条件反射になって食ったら吐きそうになって食えなくなった時期がある

今朝、朝食時に「私も本当はこんな田舎で働いてないで東京なんかに行きたいんだけど、関西を盛り上げる人がいなくなると困ると京都府知事に引き止められてる」と話して、まあ当然嘘なんだけど、食卓に私除いて五人いたのに全員に完全無視されて本当に心が傷ついた。

民主主義よりも優れた独裁者による独裁主義の方が良いけど、人間の優劣っていう違う軸持ち出して良いなら人民が全員優れてる民主主義の方がもっと良いでしょう。人民が全員優れているなんて仮定は非現実的だけど、その非現実性は「優れた独裁者」とそう変わらないんじゃないですか。

「陰気な女子に優しいヤンキー」なんて少女漫画では大昔から頻出してたし、「オタクに優しいギャル」はむしろ男性向けが女性向けに追いついたと言えるのでは。男性もクラス内カースト格上の恋人を求めるようになった、性平等の意識がまた一歩前進したとも考えられる。

珍しく夫と喧嘩になって「私を変えようとするな！」ってキレたら、自分が変わらずにいられると思ってるのは君だけ。人は人と関わって変わるものだ。君は昔より優しくなってるし社会のルールを少しは守るようになった。僕はこれからも君を変えるからな。と珍しく挑みかかられて、面白かった。

「責任転嫁って責任を嫁のせいにするという意味!?」とインターネットで怒ってる人がいて、最初の「責任転嫁って、責任を嫁のせいにするという意味かもしれない」というところまではまあわかるとして、インターネットに接続された機器を前にして責任転嫁の語源を調べるのでなく怒りを書き込むの危い。

昔、決め事を殆ど私に丸投げする夫に「あんた、自分の意志ってないの？」と聞いたことがある。夫は「あんまりない」と言っていたので、ある意志を私が無視しているなら今後何かしら問題が出てきそうだけど、意志がないならこれからも私の好き勝手に決めて大丈夫そうだと安心した。

「目的地に自転車か徒歩で行きたいんだけどどっちがいいかな」と聞かれたら車は使えないんだなと言われなくても察するのが一般的コミュニケーションだけど、その手の察しが得意すぎる人はエンジニアに不適という問題

自分よりかなり若い相手への性欲系の気持ちを「セックスしたいとかじゃなくて、親みたいな気持ち」とカモフラージュする人ときどきいるけど、セックスしたがるより突然親気分になられる方が嫌だな。セックスは対等だけど親子は親が上の立場だからさ。何急に私の上に立とうとしてるんだ舐めてんのか。

メンタルが一番やばかった頃、同居人が扇風機をつけてから仕事に行って、私は扇風機によるカーテンの揺れが「お前を殺す」という暗号に見えて一日中怯えていた。「そんな訳ない」というのもギリギリわかっていたんだけど、ホラー映画が本当は作り物だとわかっていても怖いみたいに怖かった。

「場合によっては赤信号に従わない方が賢い」系の話嫌いなのよ。交通事故にあった人の殆どは、きちんと自分の頭で考えて、今なら行ける！って判断した結果車にぶち当たってるんだから。逆に信号を前にして自己判断するメリットって何？目的地に何秒早く着けるの？交通ルールくらい盲信しとけ。「場合によって赤信号を無視する人は判断力が高い」話、マジで腹立ってくる。交通ルールって守らない場合のメリットしょぼすぎでしょ。判断力の欠如について話したいなら「青信号になった瞬間左右も見ないで飛び出すのはアホ」とか安全側に倒す話したらいいじゃん。なぜ赤信号を無視するんだ？

LGBT等の知識がフワッと保守的な層にも共有された結果、善良そうな親御さんから「うちの子がジェンダーになっちゃったらどうしよう」なる奇怪な発言が聞けるようになった。ツイッターでバズるためのクソ男女論をひたすらツイートする人間、ジェンダーになっちゃってる。それは嫌だな。

ラカンが「女は、自分自身の欲望のシニフィアンを、自分が愛の要求を向ける相手の身体のなかに見いだす。意味づけの機能をもたせられたこの器官はフェティッシュの価値をもつことを、もちろん忘れてはいけない」と言って、名前を呼んではいけないあの身体器官のことを指し示していて笑った

小学校の頃、ごんぎつねの続きを書くという課題があり、例として載っていたのがごんが生き返る話でした。私は怒りに震えましたね。兵十とごんの関係性は結末がああだからこそ完成したのに！こいつごんぎつね読んでないのか!?小学生の頃から、解釈違いの二次に怒る腐女子の自我を持っていたんですね。ここなぜか結構解釈が別れるんですけど、私は「ごんのいたずらのせいで、兵十の母はうなぎに未練を残したまま死んだ」はごんの空想に過ぎないと思ってます。だから兵十はごんの行動が罪悪感に起因すると知る由もなく、自分は単に心優しい狐を撃ち殺したと認識する訳ですよ。尊い〜。これは読解力というか単にみなさんうろ覚えなんだと思いますけど、大人にごんぎつねのあらすじを聞くと「ごんがうなぎを盗んだせいで、滋養のあるものを食べられなくて兵十の母が死んだ」と認識してる人が結構いるんですよね。あんまりお母さんの死体を煮ると認識した小学生を笑えんよ。

日本人はみんな貯金とか不安な将来に備える行動が好きなのに(クソデカ主語)痩せ願望が強いのは謎だなと思ってる。病気になるほど太ったら元も子もないが、多少の体重は健康上の貯金よ。一回大きい病気したら5kgくらいすぐ減るし、具合が悪くなり始めてからの体重は残りHPめいてくる。女性キャラクタの体重が公開されているタイプのコンテンツで、どんな女も全員軒並み40kg前後だったりすると、情報価値がなさすぎてつまんないなとは思う。スポーツ少女は見た目の割に重いとか怠惰なキャラは軽いとか、その手の拘りを見せてくれ。実在性を感じさせて欲しい。

色々あって多分世間の平均より癌になりやすい体なので、癌になったらどうしようと日々怯えてたんだけど、近しい人間が事故死して、あー癌以外でも人間は死ぬんだな(当然だけど)と体感すると、死への怯えがやや減った感じがする。癌＋事故で二倍怯えても良さそうなものだけど、不思議なもんで。

女性が自分の性的興奮を「子宮が疼く」みたいに表現してると、変わった身体感覚だなと思う。性的興奮で子宮意識することある？膣じゃない？月経中に「ギャー！子宮が動いてる！」って悶絶することはあるけど。

選挙行け行け言ってた人たちは、まず最初に投票した人々を讃えるすべきでしょ。ちゃんと言う通りに選挙行った人が大勢いるんだからさ。やった人への賞賛じゃなく、やらなかった人への罵倒で人間を動かそうとするの、長期的に見たら良くないよ

いつも「××党に投票して」って言いにくる知人がいるので、「暑い中大変でしょ、お茶でも飲んで行って！いつも頑張ってるねえ、絶対××党に投票するからね！」って歓待しといて、別のところに投票する。信頼を裏切るの気持ちいい〜！というのが投票のモチベーションの大部分を占めている。

「楽しいことがあるとメンタルが快復するはず」というのはある程度精神が健康な人の発想で、マジで精神ガタガタになると嬉しいことも刺激だよね。開いた傷口は叩かれようが撫でられようが痛いの。一旦、生活をルーチン化して平坦にする必要がある。精神科入院の一番のメリットって個人的にそこだった。

血液型占いって信じてないんですよね。人間がたったの4種類に分けられる訳ないと思う。星座占いは結構信じてる。まあ12種類くらいでしょ人間の性質は。

善の価値は常に未来にあるので、善という結果を期待してしたことが悪だったということはありふれているけど、快さの価値はその瞬間に確定するので、瞬間瞬間の快楽に身をまかせ易きにつき低きに流れるのが人生の最適解だ。

親ガチャは正直外れだったけど、自我ガチャは大当たりだった。私に生まれてよかった。自分の耳に刻んだ消しゴムを詰めてる時とか、自分の歯をコンパスで削ってる時とかめちゃくちゃ楽しかったし。こんなに楽しい思いをできる自我はなかなかない。まあその後のしっぺ返しも相応のものだったけど。

個人が、他者に対して寛容であろうとするのは基本的にいいことだと思うけど、政治家の求める事ではないよね。私は、仮に今後もっと貧乏になってもそれなりに楽しく生きていきたいけど「貧乏でも気持ちを切り替えて楽しく暮らしてください」というのは政治家の言うことではないでしょ。

「簡単にカレーでいいよ」→私にとっては簡単なのでセーフ。むしろ「カレー作れる？大変でしょ」的な気遣いの方が私の手際を見くびられていると感じる。「適当にカレーとかでいいよ」→適当？私は他人の口に入るものを適当に作った事なんか一度もない。見損なうな。アウト

女だけの集団で生活するのが嫌いな訳ではないけど、「女だけの集団、最高！！！」って声高に言う人は嫌いだな。「集団の同質性を非常に重視するタイプの人」と言い換えても良い。

私の別れる直前の恋人、みんな名言生産機になるから好き。「あんたの『人間が好き』っていうの、人懐こくて可愛いと思ってたけど、それは人を人として見てないから言えるんだって、やっとわかったわ！」って怒られた時は、めちゃくちゃクールだね〜と思った

大学卒業したら彼氏と結婚して専業主婦になるつもりだったけど出来心で浮気して振られて、就活もしてないし人生詰んだ…と思ってた。まあ就活してないくらいで人生詰まないし、仮に詰んだとしても人生は続くけどね。詰んでも続いてくれるのが人生の絶望であり希望だ。

みんながカジュアルに政治を語るようになると、会社とかで立場上反論できない相手からひたすらネトウヨ言説聞かされるみたいな未来が見えてしまう。政治の話は一律タブーにしてツイッターで喋ろう！

「君とセックスできたら自殺しない」って言われたからしたけど結局自殺されたことある。基本的には、後から不仲になったとしてもその瞬間は楽しかったんだから我がセックスに一片の悔いなしタイプだけど、これだけは根に持つわ。思ったほど良くなかったか？だとしても約束は守れよ。究極のヤり逃げ。

スプラトゥーンでごんぎつねって名前のやつに撃ち殺されたのでお前は撃たれる側だろうがと憤ってしまった。

昨日スプラやってたら「リクライニングシート」って名前の人が対戦相手に居て、キルしたら「リクライニングシートを倒した！」って出てきてしまったばかりにわたしの腹筋は崩壊しおしめぇになった

通りすがった人、SNS、人混み、全員に人生があるの怖すぎる

さっき子供と出かけた帰り、外の空気の匂いを嗅ぎながら「あー、俺この匂い好き」と言うから私もクンクン嗅いでみたけど何も感じず。「どんな匂い？」って聞いたら「夏が終わって秋が始まる時、こういう匂いするじゃん」って。どんなに嗅いでも私には感じ取れなかった。悔しい。

幼い頃、病棟で働くお医者さんの姿を見て一目惚れして医師を志すようになって、医学部入学して楽しく過ごしてた。1年目の学期末に来たメールに「留年」って書いてあって脳が爆発した思い出。飛び散った脳はすぐくっついたけど、元の形には戻らなくなっちゃった

人間が生きものの生き死にを自由にしようなんておこがましいとは思わんかね……あと「恋愛体質」ってただ理性が弱くて性欲が強いというだけのことをロマンチックな言葉でコーティングして気持ちが悪いとは思わんかね……

修士に入った頃、D6とかD7の先輩がいて、この人たちっておれが中学生くらいからずっと院生やってるんだなあとなんとも言えない気持ちになったことを思い出した。

夜中に洗濯機とかは全然まわしてもらっていいんだけど肉をニンニク多めで香ばしく炒めるのはさすがにご近所マナーとして頂けないと思うな

山口メンバー「何もしないなら帰れ」

強豪校の女子バレー部員「帰りません！！！！！」

壊れるほど愛しても三分の一も伝わらない場合はおそらく伝え方に問題があるんだと思う

成功した大人たちが口々に言う「やりたくないことはやらなくていいんですよ」という甘い誘いを真に受けて、本当にやりたくないことやらなかったら人生がおかしくなってしまいました！人生最高！一番好きなギャンブルです

自分の中にある感情の種類が少ないので創作に出てくる人もそうなってしまいがちという問題がある。

AI安倍晋三、ゆっくり魔理沙霊夢に交じってゲーム実況に使う以外の用途が浮かばない。

【サイコパス診断】

一発の銃弾でできるだけ多くの人の命を奪ってください。

一般人「普通に一人しか無理だろ…」

FPSプレイヤー「2in1決める」

サイコパス「妊婦を撃つ」

セルビア人青年「オーストリア皇太子を撃つ」

のび太が何度「のび太さんのＨ」と言われてもしずかちゃんの風呂場に行くことをやめないのは、Ｈを “Honesty（正直）” だと思っているから。

中学教師と喋ってて「部活が本当に負担でコーチを外部に委託しようとしてる」と言うので「でも確実にキチガイが現れて生徒が危険でしょう」と言うと「あんた………よくわかってるね」と言われた。普通に労働してて退社後に中学生に何かを教えたいと思ってる人間はヤバい。高校の時のコーチがそうだった。補足するとこの「ヤバい」は支配欲の話。子どもは怒鳴り散らかしても「はい！」と元気良く言うことを聞く。数十人並べて自分の独自の教育を展開すると、全員真剣な顔で話を聞く。支配欲に飢えてる人からすれば気持ち良過ぎる状況だし、そうでない人でも狂うと思うよ。そういう人を面接で省けるかなあ

蕎麦屋が「蕎麦屋飲み」って提灯出したりサウナが「ととのう」とか言い出したり、"独自に楽しんでるだけのユーザーに体制側が擦り寄ってくる現象"キショいからマジでやめてくれと思うことがここ何年か多すぎる

おれはなんかずっとやりたくないことをやらないようにしてちゃらんぽらんしているので数年以内に色々立ち行かなくなって死ぬことが確定している

一時期自炊してたのが、忙しくなってコンビニ弁当→さらにカップラーメンと変化したことがある。最終的にはカップラーメンの残りツユを流しに捨てるのも嫌になってカップラーメンを食べなくなった。

椎名林檎は生まれる時代が違ったら村に災害が来たとき魔女扱いされて処刑されてそうだから、現代に生まれて本当によかった

大体調理を始めてから「下味をつけたお肉を30分以上冷蔵庫で寝かせます」の描写に気づくので、「今夜は寝かせないぜ……」と呟きながらそのまま鍋に入れてる

昨日歩いてたら突然「あの」と声をかけられ「お礼いいたくて。前に愛犬が亡くなったとき、つらくてお話きいてもらおうと思ったんですが結局依頼はしなくて。もし耐えられなくなったら依頼しようって思ってたら乗り切れたんです。あのときは助かりました」と言われた。まじでなんもしてなくて嬉しかった

不正行為の話題だと「楽天カードマンはカードを2枚持っていて規約違反だった」が一番好き

私は前職に入社した時、人事から「お前ら銀行員なんてただのサラリーマンだからな。これから人様の会社の決算書や個人資産を見たりする機会は当たり前にあるけど自分が特別だと思うなよ。そういう役割の会社なだけだ。」って言われたのは本当にその通りだと思ったし忘れないでいる。

津波で男女が同数死ぬように、男性は足に錘をつけて生活することを義務付ける法律が国会で可決される未来。

ぶっちゃけ、お年寄りに無限サブスクで湿布を渡すお金があれば、全ての博士課程の学生に毎月100万円くらい給与だして、さらに全ての虐待家庭の子をめちゃくちゃ充実した施設に保護する事とかも余裕で可能なんですよね。飲み残しの薬だけで年間1兆円の試算らしいので。泣ける

「会社でパワハラをしてる上司も、家では優しいお父さんかもしれません」に次に来る言葉って、「無敵に思える怪物であっても、必ず弱点はあるのです」だと思うんだよな

大人になるにはどうすれば良いか。大いに損を覚悟して新しい事を始める事です。

以前「山口県出身って言うとフグね！って言われるけどそんなに食ったことねえよ。そっちもそんな芋煮食ってないだろ？」って山形出身のやつに言ったら全く感情が読み取れない表情で「食うよ」って言われて怖かった

SNSやってると「この表現は不快に感じる方もおられるので止めた方が良いのでは？」って良く言われんだけどハッキリ「自分が不快だからやめろ」って言ってもらいたい

「俺の将来希望なくて鬱」みたいなツイートしている現役生、本心では現役で第一志望に受かると思ってて単に底辺芸を楽しみたいだけなの不快すぎるから、2浪で電気解約されて共テ支払いの金が足りずバイト始めようとするも連日絶起して本格的に詰んでる今の俺と立場交換して全てを分からせてあげたい

なぜかTwitterでは、全く面識もないのにおれよりもおれのことに詳しい体の人間がいて、人生のアドバイスなんかをくれたりするので迫力がある

飼い主の言うことを全然聞かない犬は「バカ犬」と呼ばれてしまうのに、飼い主のキーボードの上で居眠りを始める猫は「バカ猫」とは呼ばれない。〝期待値を下げること〟の重要性が分かりますね。

家系ラーメンを食べた後に黒烏龍茶を飲んで帳消しにしようとする魂胆、人を殴った後に謝って許してもらおうとする魂胆ぐらい、無意味

スーパーで流れてるWhiteberryの「夏祭り」をおっちゃんが口ずさんでて、「かわいいな」と「怖いな…」が同時にやってきた

ネットに書かれる短いコメントはだいたいろくでもない。ネットに書かれる長い文章はろくに読まれない。ほとんどの人はろくでもない短いコメントばかり読んでろくでもないと嘆いている。

えー、下着もシャツもヒートテックも寿命は大体１年くらいなんだって。私以外にもいっぱいいるだろ、全身に屍巻き付けて、死体を使役して生きてるネクロマンサーがよ。

最近だと「カテゴライズは人を不自由にする」ってことで人のカテゴライズを安易に否定する向きがあるけど、それは一つの側面でしかなくて「カテゴライズによって人は自由になる」という側面がある。例えば”先輩/後輩”というカテゴライズは双方に「自分は先輩/後輩として振る舞えばいいのか」と負担を免除するので人は不安からむしろ自由になれる。

ゆたぼん氏は16歳ぐらいになったら「今までオヤジに騙されてた！便利なコマとして使われてた！今日からは自分のために生きる！」みたいな路線にシフトし、今までの知名度を保ちつつ「てか学校の勉強は真面目にやるべき」などと穏当かつ妥当なことを本に書いて、印税で食っていく作戦が残されている。「てか学校の勉強は真面目にやるべき」「OOやXXを学ぶべき時期に、ユーチューバーとして意味不明なことをやらされたせいで、＠＠が分からず日常生活で困ってる」などとゆたぼん氏が口にするだけで、他者には真似できないユニークなコンテンツになる。ツイッタラーなど簡単に懐柔できる。ちょろいぜ

高収入女性は一般に自己評価が高いことから、男性にリジェクトされた理由を自分の収入の高さにあると思い込もうとする心理的な防衛機制説を唱えているのですが、あまり大っぴらに言うと嫌われそうなので控えてます。

子供いないけど、子供が出来たら自分が人生のサブキャラになるっていうのなんとなくわかる。でも、それだと「何者かになりたかった自分の姿」をそのうち子供に押し付けることになるんじゃないかっていう気もする。何者かになにたいかなりたくないかはともかくとして、子供欲しいと思ったことが一切ない人間からすると、なんでそこが繋がるのかが分からないよ……

脚本家「ちんぽでピアノを弾いてたコメディアンが何故か大統領になってしまい、突如侵攻してきた大ロシア地上軍を殲滅するというのは」

監督「脳みそを子宮に置いてきたのか？」

「酒を酌む」「水を汲む」という使い分けがある一方で、「意を酌む」「意を汲む」は両方とも用例が見つかるので、「意」はアルコール飲料の場合とノンアルの場合があると分かる

夫の仕事絡みで出席させられる婦人会。｢大学はどちらをお出になられたの？｣って聞かれたから｢あ、中卒寄りの高卒です｣って答えたらその場の空気が凍りついた。人に学歴を聞く以上はあらゆるパターンに対応できるスキルをあらかじめ身につけてからにしなさいよ。勝手に凍るな。

地方からきた人に新宿を案内した時「変な人が話しかけてきても、決して反応せず、見えないふりを続けたまま、なるべく素早くそこから離脱するように」って言ったけど、私ホラー映画の異能力者みたいだったな

今子供の間で、ひろゆきが流行ってるらしいけど大人になってハマって拗らせて他人論破しないと気がすまないみたいな状態になるより子供のうちに言い合ったりして論破しても得るものなんか何も無いと学んでこういうのって良く無いなと学んでいってほしいと思う。無駄で必要の無い論破は人を傷つけるので

海沿いの街を歩いていて「あそこから海が見下ろせそうだ」と思って階段を上っているときの、こんな所で、一人で、汗だくで、何をやっているんだという感情。初めての街を歩いていて「これはすごい階段だ…」と感激して上り始めるがいつまでも終わりが見えずそのまま息絶えるのはいいかもしれない

【ご報告】

健康診断当日の朝にオナニーして臨んだぼく、尿蛋白が検出されたため再検査になりました……。「健康診断の当日は、朝抜いてきてください」という注意事項をしっかり守った仕打ちがこれ

ネットバトル中毒でつねにケンカしてるタイプの人（タイプってほどそうそういませんが）はたから見ると不可解に見えるぐらい攻撃的で、手当たり次第にバトルするけど、あれ、ある程度行動原理みたいなものはあってですね。結論から言うとギャンブル中毒に似てると思うんですけど。ギャンブル中毒の人って、ギャンブルの負けをギャンブルで取り戻そうと次の勝負に出てカネを失っていくわけですが、あれとしくみは同じで、ネットバトルで分が悪いと認識すると、勝てそうな相手（本人基準）を見つけてバトルを仕掛けるんですよね。要するにパチンコで負けたので競馬、競馬で負けたので宝くじ……の人間バージョンというか……Aさんに言い負かされ傷ついた自意識をBさんとバトルして発散しようとしてダメだったらCさん、をやってるだけなんですけど。要するに人間で台パンしてるだけ。もちろん理屈はつけてるから、本人が「言い負かされた腹いせにスラップ訴訟します」とかはさすがに言わないけど、不良中学生だって殴る理由ぐらいつける。理屈なんかその程度のもんで、異様に多弁だから混乱するけど、行動レベルで見るとギャンブル中毒なんですよねあれ。問題は、ギャンブルであれば個々の勝負の確率は独立（宝くじがはずれたから競馬が当たりやすくはならない）なわけですが、人間はそうではないところ。人間関係はふつう効果が蓄積するので、やるたびに地合いが悪くなるんだけど、どうもその部分が完全に見えないっぽいんだよね。だいたいの人は難を避けるので強硬に出れば一回目は相手の言い分を通したりするけど、二回目以降は当然対応が変わる。それがわかんなくてスロットマシーンみたいなもんだと思ってる。自分の行動が後のターンに影響するって概念が絶望的にないんだよなあ。オセロで単にいちばんたくさんひっくり返せそうなところに置く人。

急に降ってきたんだけど縦ロール高飛車お嬢様死神の斬魄刀の解号は"御免遊ばせ"が良い。俺の中の小学校高学年がそう言ってる

「植物状態の貴方の恋人が20年ぶりに目を覚ましました　何か声を掛けてあげてください」ってお題に対しての風呂つんくさんの「俺も今起きたとこ」って回答、あまりにも優しすぎませんか。今まで聞いた回答の中で一番素敵な人出てきて普通に少し泣いてしまいました。映画化をしてくれ

俺も「始まってもないのに騒ぐな」「決まったことに文句言うな」「やってる最中に水差すな」「終わったことを蒸し返すな」を巧みに使い分けて無敵になりたい

役員の一人から言われた「君は多分社会に向いてない人間の中ではまだ組織の中で生きていけるタイプだと思う」っていう言葉を胸に抱いて生きてる

会社っていう枠に無理矢理自分の身体を押し込んでたけど、どう押し込んでも絶対にあっちやこっちの肉がはみ出てしまう！もう我慢できん！て人が独立して自分用の巨大な枠を自前で作るんであって、 本人が歪な形してるだけで「枠に入ろうとすると右肩がぶつかる」「ちょっと足が窮屈」って程度で会社から飛び出しても会社以下の大きさの歪な枠しか作れんし。そんな程度の枠では絶対に売り上げが足りずに早晩潰れる。相当抽象的な表現しかできないけど、こんなイメージ

フリーランスに向いてる人と向いてない人がいて、会社員に向いてる人と向いてない人がいて、どっちでも成功する人がいるように、どっちにも向いてない人がいる。どっちにも向いてない人でもなんとかなり得るのは会社員の方。

感覚的にはいつでも毎日日曜日にも毎日月曜日にもできていつでも仕事中と休憩中を切り替えられるので、授業のチャイムが鳴らなくても宿題が出なくても自主的に覚えたい勉強をして、夏休みの宿題を最終日まで放置しないような人じゃないと向いてないと思うなあ。管理されるのってラクよ。

ゲームで「壁をすり抜けるバグどうなってんだ！？」みたいに言われがちですけども、プログラミングやると「すり抜けない衝突判定、どうやってんだ！？」ってなりますからね

俺は成功に向かって行動する気が一切ないので行動を起こした、という一点でもって「偉いなあ」と思う。成功を自慢げに語ってたら「運が9割だと思うんで自慢はその1/10ぐらいにしとけ」とは思うけどねw

マジレスブクマカ「アカン何も反論できへん…せや！大喜利してごまかしたろ！」 大喜利ブクマカ「アカン何も大喜利が思いつかへん…せや！マジレスしてごまかしたろ！」

普段政治の腐敗とかに関しては大真面目に怒りのコメントをぶつけてるようなブクマカがはてブ批判に関しては「なんだよマジになるなよ」みたいになるのはさすがにみっともないよな。

素直に報告する服部平次「漏れたで工藤！」

介護目的の研究で、高齢女性が男性型ロボットに介護されたがらないことがわかったから女性型になったのをフェミニズムが焼いていくの、非常に興味深い。現代の寓話っぽい。

あの、びっくりするかもだけど、会社には「言った通りにやってくれない人」「やらないでくれと言ったのにやっちゃう人」「好き勝手に動いて予想だにしないことをやらかす人」が一定数いるので、「言った通りに、言ったことだけ、やってくれる人」の方がマシだと思える時があります。

総合商社という何やってんのかよう分からん会社でランダムに配属された業界の仕事してると、医者とか料理人とかやるべきことが明確で小さい頃から志してなったであろう職業の人を心から尊敬するし憧れがすごい。

新卒、そもそも会社の「マニュアル化するほどてはないけどなんとなくあるきまり」が多すぎて、身動き取りづらすぎてどんなに小さいことでも一個一個の行動を起こすのにすごくパワーがいる

学生時代から綺麗なオフィスで長期インターンに励むのも良い。一般でも推薦でもなんでも難関大学に入って社会的ステータスが高いとされている仕事に就くのも良い。ただ、世の中にたくさんある大切な仕事の”痛み”が分からない人にはなりたくない。

持つべき妻は、夫が仕事で精神的に苦しんでたり、辛そうにしてる時に、それが例え日系大企業で将来性がありそうに思えても「辞めていいよ」って言ってくれる人だと思う。

無職になって9ヶ月が経過するけど、「健康で文化的な最低限度の生活」が出来てるから1ミリも無職を辞める気がない。

恋人どうしであくびが移ることを「あくびのユニゾン」っていうバンプの歌詞、オシャレすぎるだろ。牡蠣小屋に行って二人で腹壊すのを「下痢のユニゾン」って言おうかな今度から

新入社員や中途入社の人に「分からないことあったら何でも聞いてね」って言う先輩社員多いけど、入りたてなんて分からないことが分からない状態なんだからお節介なくらい教えてあげる方が良いと思うんだよな。少なくとも自分はそこで「会社は学校じゃねぇんだ」的なこと言う人間にはなりたくない。

自己肯定感高い人は「私を雑に扱うなんて信じられない」と思えるけど、自己肯定感が低い人は「私が悪いんだ…」「でも好きだから我慢しなきゃ…」って考えちゃうんだよね。マジで自己肯定感は己を守ってくれる最強の盾なのでゆっくりでも少しずつ育んでいった方がよいよ。

「年収が高ければ高いほど、能力も高い」と信じている人は、新卒就活の内定が「能力」で決まっていると思っているのだろうか？社内の人事異動や昇進が「能力」で決まっていると思っているのだろか？転職活動の結果が「能力」で決まっていると本当に思っているのだろうか？思っているんでしょうね。こういう話は、ある程度年収が平均より高い人たちが、それを「自分の実力だ」「自分の努力の成果だ」と信じていたいんでしょうね。たまたま運良く年収が高いだけだ、なんて、プライドが許さないんでしょうね。転職の成功に、何らかの「強み」のアピールは必須ですが、それは、実際の仕事上の「能力」や「実力」とは少し異なるものです。能力と年収が比例するほど単純な世の中なら苦労しないし、誰もキャリアなんて考える必要ありません。

そもそも配属ガチャ批判って、配属決定の理由が本人に一切説明されないのが発端だろ。偉い人に何か決済を仰ぐのには数字の根拠をメチャクチャ説明するだろ？「実は配属もちゃんと考えて決めてるんです」といくらほざいた所で説明しないのならガチャと言われても文句言えんだろうに。

死ぬ気で働くな。死ぬぞ。耳鳴りがしたら休め

自分が就職するまで「会社の飲み会」と聞くと楽しそうで羨ましいとすら思っていた。でも社会人になって分かった、会社の飲み会は苦しい。上司の機嫌を伺いながら求められる役割を演じ、終わった後もお礼参りや傾斜精算が待っている。しかし行かないと付き合いが悪いと叩かれる。会社ってなんだ？会社の飲み会、ゴルフ、社員旅行の類を本当に遊びに行ってると認識してる様なツイートを見て度肝を抜かれた事もあったんだけど、まともに働いた事無い人と付き合うのはとんでもないリスクなんだなと思った。

「文句言う暇があるなら努力しろ」という考え方は下の立場の人間が自分を奮い立たせるために使うべきであって、上の立場の人間が使い始めたらそれはただの思考停止を強いるパワハラなので注意

自分の持論は「『頭の良さ』というのは『納得するまで考え続けられるだけの知的持久力』」だったりする。この観点からすると「地頭（じとうではなくじあたま）」「頭の回転の速さ」「閃き」だのというものは些事でしかない。一瞬の頭の働きではなく継続的に頭脳を使い続けられることこそが重要だと思う

適職診断の結果に「芸術家タイプ」を用意してるくせに芸術家タイプ向けの求人は全然用意してないリクルートまじ許せねぇ

やりたくない仕事して、帰ってスマホいじってゲームして動画観て、SNSで他人の人生をチェックして、その場凌ぎで自分を満たして時間を潰して、休日には同じような仲間と酒飲んで「これはこれで悪くない」と自分に言い聞かせて自分を誤魔化して、そうやって欲望を薄く引き延ばして死んでいく

「羨ましい」という感情を「ズルい」という言葉で表現する人、一定数いるけど友達失くすからマジで辞めた方が良い

若手中堅が辞めすぎて、正常なローテーションが行われない結果、不満の溜まったその下の若手が辞めていくという悪循環が散見される。

「ファイル名を『氏名.docx』にして返送してください」に対して「氏名」の部分に自分の氏名を入れず「氏名.docx」というファイル名で提出する人々が社会の一定の割合を占めている。若い者だけではない。様々な年齢層でソレやる人がいる

努力は報われるじゃなくて正しい方向で正しい量なされた努力は報われる、って賢い人は言うんだけど、そんな正しい方向と適切な量がわかる奴がどれほどいるのかって話だわな。

人生は間違いなく運ゲーなんだけどそう言えるのは運に恵まれた人たちだけなんだよな。運に恵まれなかった人ほど俺の運命がコレなんておかしい、人生は努力でなんとか出来るはずだしそうあるべきだと思いたいんだよね。そのせいで福祉が必要な弱者ほど自己責任論に傾倒し、より下の弱者を叩いてしまう。

何度もツイートしてるけとロスジェネ高齢者の人柱を経て日本の歪んだ社会保障制度は改革される。ロスジェネ最後の大仕事ももうすぐそこに迫ってる。ロスジェネだった者たちの床のシミを超えて行け。

まともに考えたら分かるけど、1学年あたりの出生数が80万人台かそれ以外の労働力で、ロスジェネ世代の在宅支援介護は不可能なんですよね。介護施設を規模集約化して、普段の暮らしは施設ベースな上で、帰宅など支援する流れでないと、施設の満床待ちが続いてロスジェネ世代はウンコまみれで死ぬ。

妻が「ヒューレットパッカード久々行きたい」「ヒューレットパッカードならこういうの売ってる気がする」とか話してくるのですが、全く意味が分からないので無言でいたら、ヴィレッジヴァンガードやったわ、って捨て台詞吐いて去っていきました。

学びは偏ってナンボ。受験勉強しかしらないと勉強とは「弱点を克服し、埋めていく」ことだと誤解する。これは平均化である。勉強とは平均化ではなく、自らの偏務性に啓かれることである。主観的には「楽しいことを探究する」もので、指導的には「楽しいことをさらに楽しくする材料を示す」ことにある。

以前、飛行機に乗ったときに、ある女性の乗客がフライト中ずっと、寝るのでもなく、本を読むでもなく、機内のエンタメを楽しむのでもなく、ずっと前をみてただ座っていたのをみて、自分だったら絶対に耐えられないと思ったのだが、いま読んでいる本で紹介されていた実験によると、多くの人は「何もしないこと」をとにかく避けたがるという。この実験では、被験者には二つの「拷問」を選ぶよう求められる。一つは電気ショック。被験者はすでにそれを体験済みで、お金を払っても避けたいと思う強度のもの。もう一つ「拷問」は、ただ椅子に15分間、座り続けるというもの。ただし、周囲に気をそらすものは何もなく、座っている間は何もすることができない。この実験によると、男性被験者の3分の2が電気ショックを選んだのに対し、女性被験者でそれを選んだのは25%に過ぎなかったという。この性差は男性のほうが刺激を求める傾向にあるためではないかと推測されるが、いずれにせよ多くの人は「何もしないこと」を避けたがる傾向にあることがわかる。ちなみに、大学教員の多くは年に数度、この後者の「拷問」に近いものに遥かに長時間、耐え忍ばねばならない。人はそれを入試監督と呼ぶ。

説教されてる時視線の先にあったものってなんかずっと覚えてるよな

たくさんのお金持ちが住む地域の特別支援学校で「明日は土を触るので服が汚れます」と伝えたら9歳の男子がBurberryのアウター着てきた。教員の目、死んだ魚の目より死んでた。

コックカワサキマイクロビキニかるたがHAL研に怒られたのは、「カービィキャラモチーフの非公式ゲームを大々的に売り出したから」であって、「コックカワサキにビキニを着せた行為」自体には一切のお咎めが無いあたり非常に複雑ながら「表現の自由」が持つ威力を思い知らされてる

せんべいの会社で働いていた人が「割れせんの売れ行きが好調すぎて供給が間に合わず、きれいに焼けたせんべいを手で割ってて、そんな一日の最後には『なにをやっているんだ…』というむなしさがあった」という話をしてくれたことがあってめちゃくちゃ笑ったけど、今思うとなかなか含蓄がある話だと思う

小学4年の親「息子、九九が苦手でして…どうすればいいでしょうか」

狂ってる小学校教師「大丈夫ですよ！対数を覚えれば問題ないんです」

狂ってる親「なるほど😊対数表で覚えさせます」

いいことを施されたときに「やっていいことと悪いことがある！」って言いだしたらめちゃくちゃおもろいな。やっていいことをされたときには絶対言わない。

医学生や医師はそうでない職業の人間を心底バカにしている(2年や3年どころではないレベルの多浪経験者は除く)。「なんとしても患者の力になりたい！」という崇高なプロ意識と強烈な差別心は両立する。

空港のロビーとかで電話かけるふりして、急に「射精！？マジ！？」って叫ぼうかな。全員がこっち見てきそう。（何の会話なの……？）って気になってしょうがない

「英語ができたら海外で働けていいなぁ」という論調を定期的に見かけます。英語ができると、それだけで海外で働けると思ってる人がまだいらっしゃるようです。それではここで新曲をお聴きください。「日本語ネイティブでも日本での就活は大変だろ」

何も身に付けずに全裸で蟹人間コンテストに出場したら「本物の蟹人間だ…！」などと言われて騒ぎになった。

「怒りは6秒で収まる」アンガーマネジメントの理論が確かなら、相手を6秒以内に仕留めなければならない。この怒りの炎が消えてしまう前に

凶弾に倒れたくないな、せめて吉弾(きつだん)に倒れたい

無言の帰宅、有言の出勤

アニメとかの「覚悟はできてんだろうなあ・・・」の時の指ボキボキ、だいたい両手２、３回ずつ鳴らすけど同じ指二回連続で鳴らんくない？って毎回思う。

犬を散歩させてる人へ、タダで犬を見せてくれてありがとう。

円楽師匠が、弟子だった若き日の伊集院光さんに言った「時間を忘れるくらい好きなことに、少しの社会性を持たせれば、それで食える」って言葉、好きだったな…

買い替えるの面倒で穴の空いた財布を使ってたらお金を落としてしまったんだけど、めちゃくちゃ「お金をケチったことでかえって損をする」みたいな海外のことわざっぽいな

小さなころから漠然と医者になりたいと思っていたが、医学部に入った瞬間8割ぐらいやる気が消えた。医師免許取った瞬間残りの2割も消えました。人生残り約50年、消化試合のスタートです

今年もさんまが小さくて、もう小さいやつ取るなよと部外者は思ってしまいますけれど、漁業関係者が「我々は魚を取りまくって家庭に供給するのが仕事、漁業のサステイナビリティは政治の問題」とツイッターで医者みたいな発言したらどうなるか想像してみてほしい。普段漁業に対して「取りすぎ」と馬鹿にしている科学大好き高学歴マンがツイッターには多いけれど、こと医療や生命になるとどこまでコストをかけても、国が傾いても延命するのが絶対正しい、文句があるならお前が政治を変えてみろやみたいな話をしますね。人って自分のことが見えないもんですね。自戒。

今日、税務署の職員の方と電話でやり取りしてて、「私どもメールアドレスがないので、メールを印刷して郵送かFAXか持参頂いても宜しいでしょうか」って言われたのですが、どういうプレイなの？デジタル庁とかどうでもいいから、税務署の職員全員がちゃんとeメール使えるように早くしてあげてよ。

猪木にしろ円楽にしろ、(本人はもっと生きるつもりで出てきただろうとはいえ)危ない状態から一度は公に元気な姿をみんなに見せていたのが、なんだかカーテンコールのようで、あれはエンターテイメントのトップオブトップの一つの矜持を見せつけられていたのでは、という気持ちになる。

「試行錯誤はもがき苦しみながらやるもの」みたいなイメージがあるが、トップランナーの方々を見るとむしろ楽しみながらやってるんじゃないかという気がしてくる。試行錯誤それ自体が面白くなる状態ってのは、「成功への高速道路」に乗れた状態なのかもね。

金木犀の香りがする度に｢金木犀は自然に生えない。金木犀は自分で増えることができないから、香りで人間を惑わして増えていったのかもしれない｣｢だから金木犀の香りがする場所には、金木犀が好きな人が住んでいる｣という話を思い出すの、秋を感じて好き。

Twitterくん、「別に繋がらなくてもいい」のが魅力だったのにやたら積極的な交流や発信を求める様になって悲しい。変な自己啓発にハマった大学生みたい。

大航海時代メシの「虫が湧いた食べ物は暗いところで食べたら虫が見えにくいからオススメ」「船の帆は牛皮でできてるから食える」あたりの知識から本気の限界っぷりを感じる

「9999回ダメでも1万回目は何か変わるかもしれない」じゃなくて「1万回ダメでも1万1回目は何か変わるかもしれない」なのめっちゃいいな。単純に歌いやすいというのもあるけど、「1万回ダメだった、キリがいいからこのへんで諦めるか」じゃなくてその次の1回を踏み出すことを肯定してる。

くだらない駄洒落を言うのは老化現象だから気をつけた方がいいみたいに言うけど、多分それは老化の「結果」だからそこを気をつけても脳の老化は防げないと思う

父さんな、仕事辞めてきた。明日からはインディーズのファクトチェックセンターとして生きていく。新聞社の早期退職者をたんまり養えるくらい儲かるらしいんだ。前よりもいい暮らしさせてやるからな。

国葬参列者がサクラだったと言うなら、それ見ている反対の人達はサクラを見る会ってこと？

安田大サーカスのクロちゃんが「ザ・ラジオショー」で漏らした「団長はいいよね、家も建てて、家族がいて、ハワイにも行って。僕なんて何もないからね。家に帰ったら監視カメラがあるだけ」って、おとぎ話の劇中のセリフか特務機関の訓練を受けてる人間のセリフにしか聴こえない。芸人を超越してる。

大人になってからというもの、遊ぶっていっても居酒屋とか、カラオケとかばっか。でもこっちが本当にしたい遊びは、夜通し桃鉄とか、ローカルルールもりもりの大富豪とか、部屋の電気消してろうそくの明かりでやる人狼とかそんなんなんですけど、分かる人います？

週5で8時間、有休も極力使わず、満員電車に揺られながら、多少の風邪なら無理して出社し、毎日疲労困憊になるまで必死に働いても手取りが20万に到達しない、というのが日本のスタンダードになりつつあります。恐ろしいことですよ。本当に。

人間にとって意外に大事なのが、「前に進んでる感」です。無職だろうと、学生だろうと、社会人だろうと、前に進んでる感がないとあっという間に人間は病みます。

不妊治療が上手くいかなくて返金された40万握りしめて泣きながら帰ってきてもう全部嫌になって最寄り駅の2階バスロータリーからお金全部ばら蒔いたらバス待ってた人みんな必死に拾っててみんなお金好きだなーって私笑ってたのにみんなで揃えたあと階段登って私にお金戻しにきてくれてまた泣いた

「中韓は一時的にちやほやしてくれてもすぐ捨てられるぞ」「日本は一時的にもちやほやしてくれないし、でも捨てられるじゃん」

生理のことちゃんと勉強すればするほど、本人からちゃんと申告してくれないと理解なんて無理というのがわかります。

わたしたちが同棲する時は寝室を別にする予定で、初めは寂しいなと思っていたのだけど、よく考えたら時々枕持ってどちらかの部屋でお泊まり会するの最高に楽しそうだし彼の部屋の匂いとわたしの部屋の匂いが違っていたら部屋に行くたびにドキドキしそうで最高かもな、と思ってる

この間カラオケ行った時、数年前少しだけ出会った女性の事を思い出して涙が出た。スピッツの『スピカ』を歌った時。彼女は「幸せは途切れながらも続くのです」の歌詞に幾度となく救われてきたと言っていた。会ったこともなく見た目も知らない。言葉だけでやり取りしただけだけど今も心に残っている人。

「社会が自分の思い通りになる心地良いゆりかごでない限りは差別」最近そんなの多いな

ディストピアを破壊するでもなく、逃亡するでもなく、「ゆるいディストピアだけど、うちらそれなりに楽しくやってるよ」みたいな、言うたらエヴリディ・ディストピアな作品、これから流行りそうな気はするよね。そもそも、物心ついたときからディストピアにいたら、「自分たちはこんなところにいて不幸である」との認識は持てないよね。Z世代の立場からすると、「バブルの繁栄を知らない子たちは可哀想」とか言われても「知らないよ、そんな夢物語みたいな話。僕らはこの現実に生きてるんだから」となるのに似てるかも。知らんけど。

学生時代に応募して面接してもらった某企業の某役員の人に「残業やらないやつはダメ」「毎日深夜まで働くのが当たり前」みたいに当時面接でこんこんと言われたんだけど、最近その人が某プロモーション広告に出てきて「優秀な人はしっかり休んでる、みんなそう」「休むのも仕事」って言ってる。

「翻訳じゃ食べていけないはずだ」みたいな業界外の人の意見を見ると「いや、普通に食べてますが…」と思う。ただ、法外な安さで人を使おうとする悪い大人がたくさんいるので自分で交渉するなり取引先を見つけるなり努力しないといけないけど。

若いうちは後悔する過去も無いし未来は期待で溢れているので今が辛くても耐えられるし病まないんだよね。逆に歳を重ねると将来への不安や過去への後悔がジワリジワリと滲んできて、それが気になりだすと例え今が幸せでもどんどんしんどくなっていくんだよね。歳を取るほどに今を見たほうが人生は幸福。子供たちがいたら自分の未来が霞んでひび割れてきていることに気がついても、日々成長する子供たちの明るい未来を想像することで不安が改善されるんだよね。年老いた親と独身の中年の組み合わせは未来への希望を見出すことが本当に難しい。

自分が歳をとった時のこと想像して、死ぬ瞬間に1人だと怖くないだろうかと思うことがありますが、昔飼ってたラットが死にそうな時「大丈夫だよ、そばにいるよ」と泣きながら頭を撫でていたら最後の力で「うるさい」とはらいのけられたことを思い出して元気になる

「非正規職員は3年たったら正式に雇わないかん」という法律は「3年たったら解雇して新しい人雇う」という風に曲解するし、「最高8時間労働」を「最低8時間労働」と曲解するし、「労働基準法第36条に基づく労使協定があれば残業させ放題」と曲解するので、人類に法律は難しすぎる。

女から言われなくても男って見栄っぱりだから好きな女とか絶対に付き合いたい女を前にして「1000円払って」とか言うやつ少数派だと思うんよな。1000円だけ出して？みたいに言われた側が「そんなんじゃ女にモテないぞ！」っていうの構図としてウケるんだよな、別にお前にモテたい訳ではないよって

大学生の時、会うたびに「世界を壊そうよ」「そうしましょう」と言い合っていた後輩がいたんだけど、そいつに彼女ができた時「ナスさん、世界壊すのちょっと待ってもらっていいですか？」と言ってきたので笑って、それから5、6年経って、先日久しぶりに会ったら「世界、いつ壊します？」って言ってた

長女「なぞなぞだよ！年を取れば取るほど減っていくものなーんだ！」

私「体力！筋力！健康！視力！聴力！代謝！骨密度！集中力！軟骨！柔軟性！心のピュアさ！感受性！」

お客「大盛りで。」

ワシ「すみません、商品お選び下さい……。」

お客「あっ、そうなん？」

いっぱい食べたいという思いが先行しすぎとるんよ

ノーベル賞授与の連絡が来ました。とても嬉しいです。まずはレターパックで現金を送る必要があるらしいですので、これから行ってきます💪

体験記的なもので追随者が出るというのはよくあることだと思うがたとえば勉強とか仕事とかで勇気をもらい追随するのは良いが死の追随はよくないというのやはり死の選択は良くないという了解があることなのだろうとはいえ例えば研究者の体験を読んで追随するのは死を選ぶのとあまり差がなうわなにをする

子どもを持つと中年以降の自分の衰えを子どもの成長で上書きできるというかバフかけれるって聞くけど、その理論だとペットは駄目なんよな。自分よりも長生きしてなおかつ成長の可能性を感じられるもの、やっぱり子どもしかないのか。子どもを作るしかないのか。

転職活動、大変だなあとも思うが、そもそも「変化する」ことが大変でないわけないのよ。当然の話。変化しないほうがラクだと思っちゃうけど、それでもなお変化しようとすることの尊さを、自分で褒めてあげていいだろう。

もっと涼しくなったら好きな人たちと公園に行って、特に何もしたくない。一緒に何もしないで居られる関係は思っている以上に特別だから。

テレビ番組で物価高騰対策として「1週間分の献立をあらかじめ決め食材をまとめて購入し節約すべし」とか言っていたそうだけど、こういう戦時中の「足らぬ足らぬは工夫が足らぬ」みたいなのって、本当に腹が立つよな。消費税が10%になる直前、よりによって日経新聞に「大根の葉とか野菜の切れっぱしを美味しく食べる方法」が載った時も同じ標語が頭をよぎりました。朝のテレビ番組が物価高騰対策として「1週間分の献立をあらかじめ決め食材をまとめて購入し節約すべし」と提案。ゲストのLiLiCo氏は「無理」と即答。おれも無理です。

この顔で、御見積書一覧表のExcelを改訂しています。〝社外秘案件の持ち帰り仕事〟とかいう、宇宙船地球号を自社の社用車であると拡大解釈した、行い！

ADHD診断を受けてバイクで日本一周した後に川治ダムで死んだ22歳の青年の話を見ると、数年前に同じ22歳で東尋坊で睡眠薬を大量服用して死んだ年下の友人のことを思い出してしまう。その数週間前に彼に呼ばれ、出町の御料理はやしのランチに行って彼の家で紅茶とシュトーレンを食べた。最後の午餐。御料理はやしでとんでもなく美味しい真薯とか鯛の酒蒸しを食べながら、美食に凝っていた筈の彼は変に澄んだ目をして静かだった。大手の企業に内定も決まっていた。それなのに、突然彼が失踪したという連絡が来て、程なくして命を絶ったという報せを受け取った。理由の真相は誰にも分からなかった。件の青年のツイートを遡って読むと、「最後」「終わり」という言葉が頻発する。ADHDの診断を受けて、何とも言えぬ様々なことに苦しみ絶望し、日本を一周する旅を終えたら、旅の名残を冥土の土産にして命を絶つと初めから心に決めていた様にすら感じる。私の友人の場合、それは京料理だった。結局、人々が何だかんだと言っても詮無いことで、若くして死んでいく者の心持ちというのは固より判らぬものである。そこにどんな「心の闇」があったのか、否、そもそもそれは「心の闇」と呼ぶに相応しい類のものなのかも判らぬ。併し人の自死はただ、現世に残された者達の心にそういう謎を残し続ける。普段は忘れているが今でも時折彼の死について考えてしまうことがある。今正にそうである様に、京料理のあの清澄な薫りと旨味と共に、紅茶とシュトーレンの馥郁たる味わいと共に、彼に纏わる様々なことが思い出される。彼は、ダムから飛び降りた青年は、彼の世に何を持って行ったのだろう。バイクで日本一周した青年のツイートを振り返っていくと、日本各地の絶景を収めた沢山の写真が載せられている。彼はこの景色を持って行きたかったのだろうか。自ら死んでいった人間の心の闇は、その人物が既に亡き者となっているという厳然たる事実と共に、此岸に残された者達に課せられた謎となる。

負けないこと、投げ出さないこと、逃げ出さないこと、信じ抜くこと、こんなくだらない規範を内面化しないこと、それが一番大事

息子はいつもいい友達がいて楽しそう。数年越しの気の合うサークルと、個別の付き合いが数人。「人付き合いを続けるコツってあるの？」ちょっと羨ましくて聞くと「基本自分から誘うんですよ。皆は俺が思うほど俺のことを考えているわけじゃないから」と。その感じのままで爺さんになってほしい。

日本の未来って普通にめちゃくちゃやばくて、30年後に高齢者の割合が40%になって明らかに現役世代では彼らを支えられないわけなのだが、そういうのを直視してしまうと希望がなくなるので、たいていの人間は小さくなっていくクッキーやチョコレートのその大きさにため息をついたり、インターネットで年金問題に憤りながらも、この国を捨てようとはしないんだろうな。肝心なところを見なかったことにすれば案外人間はタフに生きていける

声をあげても無駄という人がいるけど、黙っていたら同意したってみなされちゃうから無駄じゃないんだよって思う。

中学校の時、土曜日の塾の帰りに理科の先生に一回だけ家に送ってもらったことがあったんだけど、その時の車でケミストリーのYou Go Your Wayが流れてて、店でその曲聞いたときにその記憶が全部出てきて、車の中の芳香剤の香りとか、真っ暗になった道路を照らすハイビームの明るさとか、そういうのが全部思い出されたから「曲って、すご。」ってなった

ADHDと診断され、死にたい気持ちを抱えた22歳の青年が、バイクで5ヵ月かけて日本を一周後、ダムに身投げしたらしい。やはり旅に自殺を止める力はないんだな。止めるのは旅ではなく時間。人によっては月ではなく年単位の。自分が欧州を半周しただけで死ぬのをやめられたのは、30歳だったからかもしれない。「青年期には、現実世界の中で甚大な幸福や享楽に出会える筈なのに、自分がそれに行き当たるのは難しいと考えるのに対し、老年期になると、現実からは何も得られないと分かり、些細な事にも喜びを感じられる」若者は余生が長い分、現在の不幸が永遠に続くようにも感じられる

ツイッターを見ていると、精神が異常状態にあるときほどツイートの数が増えることがわかりました。ツイートが減ってきた人は現実生活が上手くいっていて、ツイートが増えてきた人は人生がつらくなってきています。ことに、突然ツイートに“キレ”が出てきた人は無職になっている可能性が高いです。

子供をあるときは宝と呼び、あるときは重荷と呼んで強者と弱者の立場を使い分ける子持ちアカウント、最近目立つ気がする。

時間という概念が人々を切り刻むようになって、資本主義は労働者に対してパンクチュアルであることを求めるようになった。結果、労働者を育成する機関である学校から…はたまた労働者である両親から…「規則正しいのはいいことだ」みたいなメッセージを受け取り、それを内面化してしまう。心はそんな、時間とかいう人間を縛り付けるだけのクソださい概念にはとらわれない。日が出れば起き、日が沈めば寝る、腹が減れば飯を食う、眠ければ寝る、ぐらいのもの。「0時半だからもう寝よう」という発想は心ではなく理性が行ってる。それほどまでに心の声を聴いて実践するのは難しい

就活生の頃に登録した企業の口コミが見れるサイトに惰性でまだ登録さてるんだけど、自社の辞めていった社員が残したネガティブな口コミを見て「ザコめ…」と思ってる

仕事において「役に立ってる感」ってモチベ維持においてかなり大事。救急外来で酷使されてたときよりもお客様扱いで他大の医局で放置されたときの方が色々しんどかった

悪足掻く容疑者「証拠とかじゃなくて、5年前の俺と今の俺は最早別人じゃねぇのかって言ってんだよ」

ブラックな環境に適応することの最大のデメリットは、ブラックじゃない環境への想像力を失って腐っていってしまうことなんよね。良い人でも5年10年たてば加害行為に加担させられて想像力に毒を入れられて創造性が澱んだ人になってしまう。そうこうする間にいい環境に移動していい場所に適応した人達は創造性と想像力をフルに発揮する力やチャンスを蓄えていくことで更にいい環境に出会う正のスパイラルを楽しむようになる。地方公立中高の治安がどうのとかツイッターで話題に上るけど、大人になってから出会う職場や交友関係の環境の治安の方がよっぽど影響がでかいよ。10倍から1000倍くらいでかい影響がある。

公立中学校に訪問する闇の魔術に対する防衛術の講師「しかし基本的には呪文で立ち向かおうとせず逃げること。これを第一に考えてください」

忙しいイキリﾆｷが『あぁ、オレの分身がもう一人いれば良いのに(ｷﾘｯ』って愚痴ってたりするけど、ワイは自分の分身がもう一人いたら鬱陶しくて絶対喧嘩しかしないし、絶対チームにこんなの一人で十分だと思ってるので1ミリもそんな事思った事はない。

早稲田の学生の口癖は「酒が飲みたい」である。一方、慶應の学生の口癖は「起業したい」である。早稲田の学生は自分が言ったことを忠実に実行する一方、慶應の学生は口だけである。これを見れば早稲田の学生の方が行動力があり優秀であるのは一目瞭然である。

踊ろうよ さぁダーリン

ラストダンスを

暗いニュースが

日の出とともに町に車海老…

規約周りをきっちり日本ナイズしてたmimicは叩かれ炎上しサービスの一時停止に追い込んで満足してたら、海外でもっとやばいことをしているAI生成が出てきて、英語だから日本人には手も足も出せないの、あまりに予想通りの展開すぎて草も生やせない。

Tinderの競合は他のマッチングアプリではなく合コンという習慣だし、メルカリの競合は他のフリマサイトではなく新品至上主義という価値観だし、Netflixの競合は他の映像サービスではなく睡眠という生理現象である。本当の敵を見誤ってはいけない。概念や常識みたいに、敵はなるべく大きい方がいい。

ぼく自身は、自分が行き詰まったときに「旅に出ることで何かが変わるかもしれない」とはあまり思わないほうの人間なのだが、旅をして何かが変わった人たちの話を読むと救われるような気持ちになる。希望というものは、仮に自分にそのまま当てはめられない希望であっても効能を持つのかもしれないと思う。このツイートの根にあるのは、おそらく20代前半のときに沢木耕太郎『深夜特急』を読んだ時にすぐ感じた、「ぼくはおそらく26歳までにこのような旅はしないだろうし、仮に同じ旅をしても同じ体験にはならず、こんなに人の心を動かすようなものを書くこともできないだろう」という強い絶望の記憶で、しかしなぜか、「自分ならしないだろう旅をしている人たちの書くもの」にずっと惹かれ続けて、旅行記・紀行文のたぐいを好んで読み続けるうち、40代に入ったあたりで、「代わりに旅をする人たちがいてくれるんだなあ」という謎の感慨が湧いてきたのである。なんとも説明しがたい幸福論の話です

問題のない家庭で育った「よい子」の学生スポーツマンたちが軽いノリで輪姦しちゃう厭さ。

そりゃ全員が同性愛者になったら人類は滅ぶでしょ、全員が医師になったら食料を作る人がいなくなって人類は滅ぶし、だから何って話で…

もう10月なのキモすぎる。今年も仕事帰りに他人の家の綺麗に装飾されたイルミネーションを散歩しながらガン見しつつ、勝手に家庭内を想像しながら感慨深い気持ちになりケンタッキー買って一人で帰宅しホームアローン見て死ぬぞ

ハロウィンの最終回タイトル「トリック or...」

2016年くらいまでは「ズートピア」や「マッドマックスFR」みたくポリコレ的な世界観を称揚しつつもその矛盾も描くみたいな社会批評的な作品の成立余地があったんだけど、そこから先はマジでポリコレ全面賛同のプロパガンダ作品みたいのしか作れなくなったんだよな。潮目が変わったのは明らかに2017年のMeTooムーブメントで、あそこからポリコレを疑うことは社会的自殺と同義になった。「ズートピア」とか、あれ肉食動物（男）が冤罪で次々と逮捕されて、その陰謀を描いてたのは草食動物（女）の市長という話ですからね。作中のジェンダーフリー的な雰囲気で誤魔化されてるけど、女性運動の欺瞞みたいなとこもしっかり描いてる作品です。そういうのが作れたのは2016年まで。

ナイフで刺されたのに意識がだんだん濃くなったり、近のいていく主人公いたら面白い

【別にいいだろ】

ハァ……♥️ハァ……♥️

何でパンツ履いてるの？……♥️

【カラオケあるある】

ドリンクバーを取りに行く背中を、音の外れた残酷な天使のテーゼが押してくれる

若い頃は権力に抗う風雲児だったのにシニアになると若手を委縮させる老害になる人、ようはずっと自分の我が儘を他人に押し付けるというスタンスで一貫してるだけなんだよな

スペシャリストになれば食いっぱぐれがない言うといて、一本被りはだめオプションでスキルは複数持てー、ゼネラル思考だーなんたらアーツだーって、人生がそんなに難しいものでいいわけないよな。

「そんなこと言わないで、生きて下さい！生きていればいつかきっといいことがあります！」みたいな人はきっと沢山いるけど「俺のところに来い、俺が面倒を見てやる」って人は今の時代ほとんどいないんだろうな

アメリカは壮大な社会実験国なので、コロリと方向転換とかしちゃうんだけど、「わー、アメリカってそうなんだー」って追従した日本は舵がとても重いので、そのあと何十年も引きずって苦しむ。

日本一周したあとに極端な選択を選んだバイク乗りの件だけど、バイクに乗ることで『死にたい』から救われることもあれば、バイクに乗ることで『今日は死ぬにはいい日だ』ってなることもあるので、まあ…様々な意味でバイク乗りらしいな、って思うし、少なくとも走ってる時はとても楽しかったろうな…

いくら立派に稼いで家族養ってても「誰のお陰で飯が食えると思うんだ。お前らは楽でいいよなぁ。もっと労え、敬え、俺の苦しみを理解しろ、味わってみろ」とか言う人尊敬されないじゃん。これの妊娠出産家事育児版みたいなのがTwitterには溢れすぎ…。

ちょうと同じくらいの時期にTwitterを始めて、特に連絡を取り合うわけでもリプライを送り合うわけでもなく、たまにいいねし合う程度の関係だけど、勝手に友人みたいに思っていた人たち、でも突然アカウントを消して実生活に戻っていった人たち、今もどこかで元気にやってるんだろうか、そうだといいな。

餅つき大会で車でのやらかし話を聞いてたら発達障害者がめちゃくちゃ逆走したり半年で人3回はねていて本当に怖かった

前の会社のエースが突如独立するからと辞めてしまった事に対して、なぜ最近の若手中堅が退職してしまうのか考える会議で管理職達が「社員の経営者意識が皆無なので朝礼で経営理念の読み合わせをする」「悩みを相談できるよう店舗飲み会の予算復活」を決定したと聞いた。

「すべての英雄は過労で死ぬ」は金言なんだよな。尊敬できるリーダーはみんな死にそうな顔してる。過労で死ぬしかない。

たった何十万の給料の差や数十時間の残業時間の差より、自分の仕事にプライドを持っているかどうか、優秀で尊敬できる同僚や先輩が周りにいるか、仕事を楽しめているか、自分と似た考えの人が多いか、仕事を自分のペースで進められるかのほうが圧倒的に幸福度に関わっていると思う

エンジニア界隈って「プログラミング好きの独身男性」がマジョリティすぎて、稼ぐ手段としてエンジニアを目指す人や、勉強時間を確保しにくい子持ちの方などを想定してないのかもですね。だから「プライベートをどれだけ割いたか」のマウント取り合いになるのでは……

デリーで10年以上働いて確信を持って言えるのは日本と比べたらこの国には「相互信頼」がないんだよな。あるとすれば家族や一族の間だけ。これが本当にあらゆる場面場面で非効率を生み出して国全体の成長を阻害していると思う。契約書はやり取りのたびに全文確認しないといけない、癒着がないように商品に問題なくてもベンダーは定期的に変えないといけない、前工程が信用できないので次工程になるたびに品質チェックしないといけない、この辺で生じる非効率さね。インドに製造業が勃興しない理由、「分断」だと思ってるんだよね。何か作業をやっても「次工程」「前工程」に全く興味がない。自分作業が終わればそれで終わりという思考。あとは7割くらいの完成度で「早くお金欲しいからもうこれでいいだろ」と出荷してしまう感じ。

【学生時代のプリント類を入れていたファイルあるある】

そこだけ時が止まっている

別にのぶやぼに限らずあらゆるSLGにおいて「ゲーム内で表示されている数字にウソはない」「クリティカルな部分は隠されていても何らかの表示させる手段がある」というのはほぼ大前提っすからねえ…。例えばそこで割とウソついてるトラキア776とかクソゲーと神ゲーの境界すれすれやし。「情報がきちんと数値化されていて嘘の報告がない」「味方の索敵結果は全て正確で、全てリアルタイムでわかる」「命令が全てリアルタイムで実行され、命令に従わなかったり、実行したと嘘をついたりしない」こんな理想的な戦争、国家運営、会社経営とかは現実では無いんだよなぁ。

国境が人を分断してるんじゃなくて分かり合えない人との境目が国境なんよなぁ。だから隣国とは基本的に仲が悪いわけで。まぁ日本は海が国境になって久しいので自覚しづらいのかなとは思うけど。

電車で隣に座って寝てる人があまりにも遠慮なく私の肩に寄りかかってくるんですけどトゲトゲのついた肩パッドってどこで売ってるんですかね

今日通信トラブルで急遽関係会社3社の担当がZoomで顔突き合わせての打合せになったんだけど、うち1人の飼ってるインコがずっとカメラ覗き込んで｢ｳﾏﾑｽﾒﾌﾟﾘﾃｨｰﾀﾞｰﾋﾞｰ ﾃｰﾃｯﾃﾃｯﾃﾃｰﾃﾃｰ」とタイトルコール連呼してたので会議の話何も覚えてない

20代の前半で結婚。マイホームを購入して、妻と3人の子供を養うガッツのある生活を送っていた。しかし悪質な上司のパワハラで鬱病になってしまい、妻から「病気になる前から一緒にいるのが嫌だった」と言われて自分の家で過ごすこともできなくなってしまった鬱病男性のツイートを見て涙を流している。

親ガチャの９割は「母親が陽気かどうか」とかにかかってる気がしてきた。母親が陽気な家の生まれで、親ガチャとか言ってる人間みたことない。

熱をおして出勤するなんて日本だけ、欧米では他人にうつすのに配慮してしっかり休む、という話を聞いていたが、オランダ語の授業で「週末は病気だった」と言ったら「オランダでは風邪は病気とは言わない、言葉もちがうし熱冷ましのんで出勤するのが普通」と訂正されてしまった。

見られるのは平気な息子「ちょっと父さん！部屋に入るときはノックくらいしてよ！もう！ちょうどイキそうだったのに！」

大学時代勉強していないからって課外活動に熱心とは限りませんし、勉強と課外活動どちらもしていないからって遊んでいるとも限りません。無気力な学生は徹底的に無気力なので、「何もしていない」というのがリアルなところです。

若い頃にライフプランを立てるとしても、基本的には仮のものになるでしょうね。生涯を通じて変わらない、明確なライフプランを立てられる若者は多くないでしょうから。歳を取るごとに考え方が変わっていく可能性が高いので、その度にライフプランを修正していくことになるでしょう。前職の時、新卒で証券会社に就職して、その後何かを悟って公務員に転職していく同僚が何人かいたんですよね。実務を経験して考え方が変わるなんて珍しいことでもないと思いますので、就職前に抱いていた気持ちに、悪い意味で引っ張られないようにした方がいいのかもしれませんね。

「建設的な議論をして建設的な結論を出す」っていうのはかなり下準備が必要だからな。現代のSNS社会は肩と肩がぶつかり合ったヤンキーが殴り合い始める位のノリで論争が発生するが、そんなもんレスバにしかならんのよ

自分も50ccのカブで日本半周してた事あって、旅してる間はとても楽しくて、毎日ここまで行こうとかあれ見に行こうとかわかりやすい目標があって達成できるのが楽しかったけど、旅も終盤になってくるとまた日常に戻ることが現実味を帯びだしてくるのが怖かったのを思い出す。

ビッグテックが集中するベイエリアの街ががめっちゃ荒廃してスラム化してるという記事。企業が高給で世界中からエンジニアを集めた結果大変な貧富の格差とインフレとが生じた結果だそうだ。めっちゃおもしろい。高給取りが集まった結果地価が上がって3LDKの家賃が月100万円になってほとんどの人が家にも住めずホームレス化しそこらの店は潰れまくり、街はスラムになった。「Uberで車呼んだら異臭を放つボロボロのプリウスが来た」ってすごいな。しんどすぎる。アホみたいな家賃取られてる高給取りも別に生活は大して楽ではないという。誰も幸せじゃなくて悲しく惨いが、と言って今の世の中の仕組みでは彼の国はどうしようもないのだろうなという気もする。貧富の格差も極端になると街や社会がこんなふうにしてぶっ壊れるんだなあ。という感想がある。

今日ランチタイムの雑談中に「🇺🇸のドーナツは甘過ぎる」と言った私に「お前は分かってない。甘くないドーナツに存在価値はない。甘いからこそ苦いコーヒーが中和して最高なんだよ」と熱弁してきた🇺🇸人同僚の右手に甘いドーナツ、左手にフラペチーノ。中和成分が見当たらない。

僕がインスタをあまりやらずツイッターが好きなのは、ツイッターは暗さや外れ者に寛容であり、良し、悪しを含めた混沌の中に何か得体の知れない包容力があるからだと思っている。色々あるみたいですがうまく運営して欲しいと思います。

真実はバカが考えるより単純であり、インテリが気付くより複雑である。

大企業のいいところ：同僚が超高学歴で日本語が通じる

ひろゆき氏のツイートを見ると、何の立場に立ってどんな解決を求めるかという"自分"の立場を明らかにせずひたすら相手の瑕疵をつつく、瑕疵を演出する点が、偉そう(＝王)に見える所以だと思う。こういう言葉には"私"がないから"私"が傷つかなくて済む。だから真似する人が激増したのかも。

「冷笑許すまじ！」と憤る人々を見ると感じることなのだが、理性的・進歩的価値を信奉する人達の中には普段は他人（特に「遅れている」人達）が抱く愛国心や郷土愛、信仰心、皇室への敬愛のような（比較的伝統的、素朴な）感情をせせら笑うことにはやたら鈍感の手合いがそこそこいる。自分の冷笑は知的でエスプリの効いた皮肉、他人の皮肉は許されざる冷笑、と考えているとしたら都合が良すぎないか。左右双方にいえることだが、自身の又は自身が賛同する価値観や意見が、異なる見解を持つ人々からは違った形で見えているかもしれない、と自己相対化、客観視する視点を欠くとそれは意見を同じくする界隈の内輪向けの論理のような、外部には受け入れられにくいものになる。決まり文句を繰り返して何か言った気になりたいだけの人や意見に真剣に取り合っても仕方ない。他方で意見や思想信条は異なれど価値のある、傾聴すべき意見はあるわけで、賛同するにも批判するにも対象を選ばないといけない。自戒も込めて。

もうずっと昔、ネットで「歌い手」とか「絵師」とか創作人が持ち上げられるようになった頃「俺は何も作れない‥『無産オタク』なんや‥‥」みたいにくたびれる人が出てきて、そこに「分かり手」という「良いものの良さがめちゃ分かる人」みたいな概念の言葉を作った人がいて、すげーと思った。でも今やTwitterはバキバキの「わかり手」たちが常に解釈バトルの火花を散らす戦場と化してて、「ただ作品を消化するだけのことですら俺は他の人に敵わないんや‥‥」みたいにくたびれてる人がいっぱいいる。ある人がどのくらい自分のオタク趣味に自尊心の重きを置いてるかって人それぞれだから「もっと気楽に行こうよ〜」みたいなことも安易に言うわけにはいかないし、なんなんだろうこの微妙な気持ち。愛さえあれば十分なはずの推し活ですら、SNSでは金や情熱の掛け方が桁違いの人たちがバズって、「この人の愛に比べたら俺なんか･･･」みたいにくたびれてる人が増えてるように見える。どうしたらいいんや

AIで生成したエロ画像をDLsiteで売って金を稼ぐ奴が出てきてるっぽいんだけど、文明崩壊後に「こんな合成肉じゃなく天然のステーキが食いてえなあ…」みたいなことがエロ画像業界で起こるとはな…。

「そこまで説明しなきゃいけないのか」と活動家がキレるの意味不明だろ。一般人に「活動家の意図を忖度して汲み取ってあげる」義理も義務もねえんだよ。理解されたけりゃ説明するしかないって当たり前のことを放棄する活動家に存在意義なんてないだろ。さっさと辞めろ

「コンビニに肉まんがある時期」が年々広がってきている気がする。こうやって日常は浸食されていく。

Twitterには四季(日本アニメキャラ白人説、仕事を無料で依頼してきた人のスクショ、サイゼリヤデートは有りか無しか、キャベツを食べるウニ)がある。キャベツを食べるウニ以外は、過酷な季節である。

労働の仕方が効率化されるのを是とするのは、経営目線の内面化ではなく、なにより労働者がラクになるのであって、というのを見た。洗脳され切っている……。そう言われても｢じゃあ労働の仕方が効率化してラクにならんのですか？｣という話なんだよなあ。｢効率化したのだから他の仕事もやれるよね。追加でよろしく｣となればそりゃ結果的にはラクではなくなるけど、それは｢労働の仕方の効率化｣そのものの話では無い。労働の仕方の効率化で労働者の負荷は効率化され減るわけだし、それによって経営目線としてもよいことが起こるというのはもちろんある。労働者と経営者は何から何まで相反するわけではない。｢労働の仕方の効率化で労働者はラクになるか｣というので｢洗脳であるかどうか｣を考える前に、｢労働者はラクになるか｣を考えてほしいんだよな

社会はバズってない人が回しているっていうのをちゃんと教えないといけない時代

最悪うまく行かなければ自殺できるしテロリストに成れるし共産党員や統一教会信者にもなれる。可能性は無限大だ

「あー結婚したいよー。老後が1人なんて淋しすぎる…絶対イヤぁあ」って言ってる同僚(ピチピチの20代女性)に『結婚しても老後が安心とは限らんぞ。俺カミさんに先逝かれたし、息子も顔見せてくれん。それより貯金と趣味と仲間がよっぽど大切やでー』って言うお爺ちゃん(90歳)に人生の本質を貫かれてた

かぐや姫は５人の皇子に「天下一品であっさり頼む人」「一蘭でチャーシュー抜く人」「本当に儲かってるSNS投資アカウント」「女性を助けるツイフェミ」「オタクに優しいギャル」を呼んできてほしいと願った。どれも話にしか聞かない珍しい人物ばかりで、探すのは困難だった。

今日職場で怒り狂って暴れまくろうかと思ったが、怒りの対象である上司が欠勤でした…

年収1500万超えてるけど、小遣いが月2万円でマクドナルドでコーヒー飲むのだけが唯一の楽しみになってる男性なら複数人知ってる。

まったく全然関係ない話なんだけど、難関学校に合格、入学した成功体験を持つ、名門学校で一分野を修めた成功体験を持つ、一分野での研究などで相応の実績を成功体験として持つとかの人って、【自分の威光が自分の守備範囲外にも届く】っていう錯覚に陥りやすいよね。

ビズリーチで個別企業からのダイレクトに来る「A株式会社CEOの○○です！」というスカウトに、「○○さん！いつもお世話になっています、私です私！」的なリプを送ると「スミマセン、人事の▲▲です」と木の葉を頭に付けた狐みたいな反応が返ってくる。

週５日の労働をこなしてる人たち全員天才すぎる。ほんとは全員お布団でぬくぬくしたいだろうに、葛藤に打ち勝って働いてるのガチで偉すぎる。

昔「やるおで学ぶシリーズ」を読んでいた時も、普通に院生レベルの内容のものが多く、ある時「これ、本来なら論文なり新書なりを書いているはずだった若手の研究者がポストがなくて、やるおでしか発表の場所がない」みたいな自体の裏返しではと思えて（事実は知らん）、背筋が冷えた

昨今、定時上がりホワイトな働き方が実現できますなどという企業が増えてきたけれど、スキルアップや昇格までしっかりできますとは触れられていないんだよね。相対的に見て残業したり休日までやってる人たちと比べて遅れをとるのは明らかなので、切り離して考えないといけない。（定時上がりで自己研鑽をしない働き方は認めるものの残業勉強している社員を先に昇格昇給させることは当たり前にある）ホワイトな働き方です。よく考えると当然なんだけどこの辺りが見えていないと後で痛い目を見てしまうよね。

私には尊敬する作家さんがいる。彼の作品はどれも★2.0を切っており、レビューは酷評の嵐だ。なのに、彼は世間の評判を気にせず、息をするように作品を出し続けている。その尊敬すべき鋼の精神はどうやって培われたのか、本人にメールで聞いてみると、返信があった。『教えないで欲しかった……』

社員になって一番腰抜かしたの「年1/3はなんだかんだ言って休めてる」っていう社会的な待遇なんですよ。むしろ休まないと法的にダメまである。自営業は仕事をしない＝休むと売り上げを逃すんだから、その点では会社員はその疲労感はさておき楽っちゃ楽。

行きつけのマッサージ店、とても上手いんだけど、世間話中に「戦争を無くすための方法って経済学的にあるんですか？」「一人暮らしだと家事をしないけど二人暮らしならするっていう現象は経済学的に説明できるんですか？」等とぶっ込まれることが多いのでリラクゼーション効果を上回る緊張感を抱きがち

ひろゆきとの議論の仕方は、やった事がある人だと分かるんだけど、うっすい知識で専門家に食って掛かるから間違いをしてきしても論点ずらしとスルーで対処する2ｃｈの権化みたいなもんだから「お陰様で皆さんに正しい知識を知らせることが出来ました、ひろゆきさんありがとうございます」が正解です。

「みんなやりたくない仕事を我慢してやってるんだ。好きな仕事やってんだからそれくらい我慢しろ」と言うのなら、就職面接の際に「こんな仕事やりたくもないけど妥当な条件なので我慢して入ることにした」って言ってからにしなさい。どんな仕事についている者でも、リスク支払ってやってんだよ。その上で、納得できないから声上げてんだ。それもわからねぇくせに人様を断じるんじゃない。こういうのをね、昔の人は「利いたふうな口を叩くな」と言ったんだよ。

まじで思うこと。「一生独身って考えるだけで怖い」って言う婚活女子多いけど「間違った人と結婚して一生一緒」の怖さはその比じゃない。焦って妥協だけはダメ絶対。

「🇯🇵の同調圧力に生き辛さを感じる」という論調をよく見かけますが、🇯🇵に出張した🇺🇸人同僚は「🇯🇵は同調圧力が無くて素晴らしい」と言ってました。聞けば彼にとって🇺🇸の同調圧力はとても生き辛いそうです。逆に私は🇺🇸では自由しか感じません。母国を離れるとお客さん扱いされて楽になれる気がします。

「男の料理」として包丁握ったこともない男が筋引包丁持たされてデカい肉の塊を目の前に置かれるみたいな。男の初心者ってそういうのあるよね。ガラスの上げ床とでも言おうか、わかんないんです〜、何にもできないです、何からやったらいいですか？ってカワイイ初心者の段階にいることが難しい。

開発だけやってたエンジニアが急にマネジメントが出来る様にはならないんだよな、ある程度勘みたいなものはあるだろうけど、マネジメントの知識と経験がないと無理よなぁ。

今まで4回転職してきて本当に思うのは、平均年収500万円の職場も、平均年収1,000万円の職場も、そこで働く社員の能力はほとんど変わらない。びっくりするくらい変わらない。でも、周りはそうは見ないから、社会的、キャリア的には明確な差がついてる。思考停止で長く同じ職場に安住してると損をする。

絵が上手い人って、不足部分を想像で描くのを避ける印象があります。何度も見ました。超絶上手い人でなんでも描けちゃう作監さんの本棚に、沢山の資料本が並んでいたのを思い出します。「こんなものまで書籍があるの？！」と驚くような本まで。超上手い人は、資料の鬼でもありました。実際に資料を集めるかは別としても、上手い人って何気ない事でも常に観察してますよね。絵の上手さは超能力じゃないから、知り得た事を描いてるわけで。ということは、「どこかで知った」という事ですよね。運なんかじゃなくて、栄養の吸収力が高い体質・習慣を心がけてるんですよね。「何々の描き方」などのTIPSをブックマークしても、その中身を吸収・消化できない体質では、知り得たことになりませんよね。じゃあ、その体質って天性か？…と思うと、多くは生活習慣にあるように思います。食習慣が体質を改善するように、観察習慣が上達効率を改善する…のかも知れませんね。

物理に限らず、「よくわからんが異様に楽しそうに話す教師」というのは学問の初期教育に重要な気がする。自分の解釈などの各所ニュアンスに記憶違いなどが無ければ、友人さん（幾つかの大学で数学を教えている）曰く「教員とは、その学問が人生を賭すに値する掛け換え無いレベルの面白さであると学生に信じ込ませられるだけの詐欺師たれ」的なものらしく…そういう人に巡り会えたら幸せの極みかも知れない…

Mステのフワフワした会話、あんま仲良くない会社の飲み会みたいで苦しくなるな

同性婚を気持ち悪いと言い放った議員に対して「気持ち悪いものを気持ち悪いと言って何が悪い！それも多様性のひとつだろ！」って擁護してる人いるけど、この問題の論点ってそこじゃなくて、普通に「何も悪いことしてない人に気持ち悪いなんて言ったらダメだろ」っていう幼稚園で学ぶ様な事なんだけどな

話し合いの途中で言われる「もういい！」が「オールオッケー」ではなく「私は怒ってる、ここで話し合いは放棄する」くらいの意味であることはわかるけど、話し合いを放棄する＝決定権を放棄するということなので（ここの認識がダメ）、私の好きに決められる、ラッキー！と思う。

あとで警察24時のスタッフが声を低く加工しやすいよう、喋るタイミングを警察官と被らないよう配慮する神の不審者

大学院に進学するとき、確か高校倫理で習った知識で、シュヴァイツァーが「30歳までは学問と芸術を身に付けることに専念し、30歳からは世のために尽くす」と決意したの思い出して、とりあえず30歳まではいいか、と一人で勇気づけられていた。その後、一瞬で30歳を過ぎたが、大学院生のままだった

「解離性障害」として精神科で加療されていた方。なかなか良くならないのであとは神頼み、と祈禱師に相談に行ったところ「てんかんかもしれないから病院行った方が良い」との助言をもらっててんかん外来受診。未診断の側頭葉てんかんでした。抗てんかん薬開始で症状ゼロ。

【よゐこあるある】

心のどこかでよぬこと読んでいる自分がいる

人々は「下剤です」と説明されると必要な治療を拒否するが「便秘薬です」と説明されると拒否しない、などほぼ同じ意味の言葉でも工夫が大事で、認知症患者に同伴する家族が賢くない場合、認知症は運転禁止だとか違法だとか言っても伝わらないが「犯罪者になる」と言うと割と伝わる

運動会での息子のかけっこ、1番後ろをにこにこしながらポヨポヨと走ってて可愛さ金メダルだった

なんか高3長女のクラスでは何度目かの朝読書が始まったそうだが担任から「いい加減小説なんか読むんじゃなくて、進路に直結するものを読め」なんて言われたと。これはやはり『カラマーゾフの兄弟』あたりを持たせるべきか。ちなみに聞くと担任はひろゆきファンで自己啓発本を読むそうでなんか妙に納得

32くらいまでは学生時代の延長みたいなノリだが、34.5になるとたまに会った同級生のうち激しく老化している個体が出てきて急に人生の残り時間が気になり始める

「いちにさんよんごろくななはち…」のように自然数を平仮名で書いていったとき、初めて同じ平仮名が５個並ぶのはどこか。

答え：7那由他7，7那由他8

中間値の定理を使わないと秋の存在が示せなくなってしまった。

近所の七十七銀行の支店が撤退して跡地にセブンイレブンができたのだが、私はこれをひそかに素因数分解と呼んでいる。

面識がない人に否定のメンションなり引用コメントつけてる人たちは、「自分はよくわかってる、すごいとアピールしたい」「だが読解力も理解力もない。なので否定コメントはただのマウンティング」「故に、対話しても生産性はゼロ」みたいなのは割とある。はてブとかでよく見た光景だし、Twitterでも見かける。1000ブクマなり1000いいねあたり行くと、集団で可視化できる。有名作家や芸能人へのそれは「構ってほしい」「上から目線」が入り混じって息苦しくなる。「こんな発言する人は一体普段何言ってんだろう」「うわぁ」みたいなことはよくある。「自分が否定的な言葉を投げかけて、相手が不快になることを想像できない、もしくは、不快にさせようとしてやってる」ので、どっちにしろ対話は成り立たないし、対話する能力はない。たまに反論されて「TVのような一方通行だと思ってたのに！」と驚いてたり、訴えられて「みんな言ってる！」とか言い出すのは、この想像力のなさ故だろう。エコーチャンバーに過ぎる。

バイクで日本一周を成し遂げて自殺した青年ツイッタラーがいたそうだ。彼の最後のツイートには、ADHDの診断書の写真。「若いのに」「行動力あるのに」とか「生きてるだけで良いのに」等とコメしている人々がいたが、何も分かっていない。発達障害者の男性がこの社会で生きていくのがどれほど過酷か。上手くマネタイズ出来る能力を何らか持っていた人は良いが、そうでない大多数の平凡な発達障害者は、死を考えることを免れないのでは……と思う。私の夫の友達も自殺した。私は女性だからまだ、色々と許されているのだと思う。男性にうまれていたら、もうとっくにこの世から消えていたかもしれない。私が「置かれた場所で咲け」という修道女の言葉を忌み嫌っていたり、新約聖書の「タレント」の話に疑問を抱いているのは、こういう現実と、実体験があるから。咲けない人は本当に咲けないし、何も出来ない人は本当に何も出来ないし、そういう人々に救済は無いのが現実です。綺麗事で誤魔化すな

大学生のときにお世話になったドイツ啓蒙思想研究者の先生、普段はめっちゃ紳士なのに「麻雀で中国史と中国文学のやつが役を上がるとき流暢な発音であがるのがとてもムカつく」とご発言されていたのを思い出す。

「ルールを守って抗議」など、例えばロシアではもう無理だ。抗議や抵抗は国家のルールを破ったとしても正義である場合があり得る。そもそも抗議や抵抗とはそういうもの。かと言って抗議や抵抗と言い張りさえすれば何でも正義で無罪とはならないので、本当に正しい行為と胸を張って言える行動かは常に自身に問い続ける必要がある。

ネット民はかわいそうランキングに基づく資源再配分ゲームの文脈に慣れきってしまっているので、誰かの苦境が注目されると反射的に粗捜しに走ってしまう、という傾向は指摘できるかもしれない。相対的に自分のかわいそうランキングが落ちる

SM嬢に含まれる「無常」の部分

俺はハチャメチャに乳首で感じるのに今職場で「男の乳首って存在する意味ないよね」という趣旨の会話で「ほんとッスよね〜」と曖昧に笑う事しかできなかった。私の敵は、私です。

生きてる間、ずっとBBQで何にもできることがなくて周りが動いてるのをただ見てソワソワしてる状態に近いな

人の話すこと、突き詰めて要約すると「生きたい」か「死にたい」のどちらかだな

いつもの講評パートがないから、ずっとご飯なしで焼肉を食ってるような気分になってしまった

環境みたいに早く保護されてえ

ポルノグラフィティの『アポロ』は1999年9月8日リリースなので、今の中高生にとってはあの歌自体が僕らの生まれてくるずっとずっと前なんだよな…

「いつか死んでしまったときあまり悲しくなかったらどうしよう」という理由でペットを飼えない。

30歳こえると着々と大人になってきた人と中学生の延長のまま生きてきた人の差がものすごいことになってたりするんだわ、怖いね…倫理観や社会性は立派な大人になって、フットワークや精神は中学生のまま生きたいよね…フッ軽フレンドリーおじさんはとても偉いと思ってるフッ重非コミュおじさんだよ…！じゃあ大人になったやつが偉いかと言えば「冷めてて隙あらば説教スタイルの鬼つまんないやつ」ってパターンもあるあるなので要は大人と子供のバランスが重要なんだと思いますね。財布の中身だけは立派な大人でいたい…！

大体自分のツイッタータイミングが職場のトイレか喫煙所なので、要は汚れたものの排出と連動してる

「好きなことがない」と嘆く学生は非常に多いのだが、たぶん「将来役に立つか」という問いとセットだから見つからないのである。好きなことをやって、将来を考えなきゃいけない場面になった時に、それをうまく組み合わせればよいだけである。将来の自分から遡及して好きなことを見つけようすると、損得勘定の範囲内でしか選べない。

夜行列車・夜行バスで変な時間に目が覚めて、カーテンをちょっと開けたら空が少し明るくて、時々灯りのついてる家が見えて、ここは何処なんだろう...とか思いながらまた眠りにつくあの時間が大好きなんですけど、分かる人誰か...

内科医「あなたは貧血なのでほうれん草とかナッツを食べなさい」

皮膚科医「あなたは金属アレルギーなのでほうれん草とかナッツは避けなさい」

脆弱な身体の持ち主ぼく「わたしのために争わないで！！！！！！」

社会運動のカジュアル化がどうこう言ってる人がいるみたいだけど社会運動はいくらでもカジュアルになるべきだと私は思ってる、気軽に中指立てていいんだぜ

あらゆる差別や構造的人権侵害がそうですが、当事者側は何度でも同じことを説明させられる一方、マジョリティ側は「知らないままでいることにほとんど何もデメリットがない」ので、理解しようと努力せずに済むし、むしろ簡単に「理解しないまま」でいられるんですよね。

みなさん、毎日ご覧の通り、Twitter。言論の場なのではなく、元から多数、そこら中に存在する無思考の現代人が、相互に無思考を伝染させあう様を可視化、促進してるだけなので、これだけでどうこうではなく、地道な活動したほうがいいです。読書会とか。座り込みとか。

あからんまで全部試したけど、唇はへの字が一番やりやすいな。

手首にめっちゃ切傷ある人ってどんだけ毛剃るの下手なん？

途中で諦めた母親「赤ちゃんはね、コウノトリが運んでパパが中出し、着床、絶頂、妊娠。」

彼女のsexの喘ぎ声「マジカルバナナ！」でしかも800万デシベルなので、夜になるたび隣の住民が「マジカルバナナやめてくれー！」って発狂し出すの流石におもろい、あと話変わるけどケルベロス顔３つは多いな。減らせよ。

スピッツのロビンソンってめっちゃいい曲だな。スピッツのロビンソンって誰が作った曲なんだ？

AからZまで全部試したけどM字開脚が1番セックスしやすかった。

上司に「お前は人として終わってるな」って言われたから「 "神" として始まってるって事か」って言い返した、来週から完全週休7日です。

アイドルの恋愛スキャンダルがあまりに多い。もう自明に恋愛禁止ルールを順守できるOTK47（オタク47）を結成しろ。

人間の仕事と唇を全力で奪いに来るAI

現代のプログラミング環境は選択肢がありすぎて不親切なところはある。CとBASICしか選択肢がなかった世代が「何でもいいからやってみろ」と突き放すの、やや老害ムーブな気もしてるんだよな。言語を選んだ後にも、処理系のバージョン管理ツールはどれ使えばいいんですか？（10の選択肢。そのうち5個は2年以内に消えていく）パッケージインストーラはどれ使えばいいんですか？（同上。解説サイトごとに言ってることが違う）などなど…Hello Worldに到達するまでにあまりにも選択肢が多い。限界までポジショントークしまくるソフトウェア業界の文化も問題を深くしている。どのソフトウェアも他のすべて代替案を過去にするかのように紹介される。実際は初心者が気にするほどの差はないし、どれか1つに慣れておけばいつでも乗り換えられる。しかしそういう不都合な真実は記事にならない。検索はSEO特化サイトに汚染され、公式サイトを読めば数分で解決する問題に何時間もたらい回しにされる。あまりにもノイジー。初心者が自力で情報を選別できるようになるまでのハードルが上がりすぎている。プログラミングスクールが流行るのも、そんなジャングルに一本道を用意してくれるからと思う。人の話を真剣に聞く人ほど、どうでもいい情報に振り回されて詐欺師にカモられてしまう酷い世界である。正直者が馬鹿を見るような現在の状況は、まさに僕たちの世代が作ってきたものなんだから、責任をもって本当の意味で初心者に有益なアドバイスをすべきだと思っている。今からプログラミングを始める人へ、迷ったときは最初に公式サイトを読みましょう。それでも選択肢が残ったら「どれを選んでも大丈夫」です。氾濫する新情報をコンプリートするために自分の時間を使うのをやめて、自分のやりたいことを深めてください。多分こういう一言こそが必要なんだと思ってる。

入社式のタイミングでめちゃくちゃ賢かった某大企業の新卒が10年くらい下請け管理責任者みたいな偉そうなことを言って報告受けるだけの仕事やってた結果、ありえんくらい性格歪んでたケースをみて社会人になってからでも仕事によって人格は変わるんだなと思った。心を美しく保つのはなかなか難しい

育児の情報拾いたいだけなのに、「男パパは本当にママの辛さを理解してる？」「夫○ね」「仕事の方が数万倍ラク」みたいなヘイトにまみれた情報が立て続けにドサーっと流れてきて頑張ってる本人としては死にたくなるんだけど、これゾーニングできないもんなのかな。僕は純粋に育児に関する情報を知りたいんであって、ミサンドリーな男性へのヘイトを知りたいわけじゃないんだけど、育児と男性へのヘイトが密接に結びつきすぎてて、育児してる男性からすると本当に息苦しすぎる

「全然病人に見えない」のは、その人がしんどさを隠すためにめちゃくちゃエネルギー使ってるからです。

徹子の部屋、今日のゲストは美輪明宏だったのだが、魔女集会とかそんなんじゃなくて80代のババア特有のお互いがお互いの話を聞いておらずしかもお互いがそれを了承しているあの独特な間のある会話になっていた。

ファクトチェックって、全方位に嫌われる勇気とそれに勝てる知識量が無いと無理なんだよな。

昔のバイト先に、私が使った後のトイレのゴミ箱を漁って「あなたタンポン使ってるんだ？どんな感じか詳しく教えて欲しい」と頼んできた女性がいた。この程度の変人なら私の人生にそこそこ登場するけど、一般的にあんまそういう出会いはないらしく、やはりスタンド使いは引かれ合うのかもしれない。

フォロワーの皆んなはどうなってもいいからせめて俺だけでも幸せになって欲しい

銀行出身の人が入社すると管理帳票は増え、減点主義になり、空気悪くなるからマジでやめて欲しいと商社の友人がいっており、それは非常にわかる。まぁコンサルの人が増えると事業推進に必要ない余計なPPTや無駄な詰めをする人が増えそう。

今の中堅〜若手、窓際族を食わせるために安くこき使われて、自分達が歳を取る頃には成果主義になって恩恵は無しみたいな地獄がおおよそ見えていて、そういう泥舟から早めに脱する人、そもそも頑張るのをやめる人、色んなパターンが出てきていますね。なんにせよ、若手が利確を早めるようになってきた。上の言う通りに大人しく頑張っていれば報われるということが無いことがハッキリしているからだ。コスパ重視、無駄な労力は嫌、損な役回りはしたくない、見返りが無いからな。

女の子のちょっとした変化に気づける男がモテるんだよね。だから毎回「太った？」と会った瞬間に聞いてる。

私「数値悪くなってますね」

糖尿患者「…ドキブしてしまいました。すみません。」

私「ドキブって何ですか？」

糖尿患者「ドカ食い気絶部です」

私「直ちに退部してください」

頑固オヤジがやってるのにカスタードが一番売れてるたい焼き屋

お絵描きＡＩの話題を見る度、絵師の地位が世間一般と比べて異常に高いツイッターならではという感じがする。バカバカしい。絵なんて描くのが好きな人が好きなような描けば良いのだと思う。本邦で絵を描いている人の９割以上は趣味で描いているアマチュアで、プロや神絵師と呼ばれる人は数パーセントだと思うのですが、皆がプロのクリエイターみたいな議論の方向性には違和感しかない。

ネットで女上司は出来の悪い部下に厳しいと言われて不安に感じる就活勢男子、ブルーカラー職では上司は必ずしもおっさんになるぞ！皆んなもなろうブルーカラー！ただしドカタ鳶職運送建築関係はヤベェおっさんだらけだから避けようね。女上司の100倍やばい親父揃ってるよ。

バズリたい若者、全然わからん。目立たずにお金とか入ってきたり、目立たずに自身が世論操作できたりするのが一番得だと思う。そりゃ、周囲の数人～数十人にはいつも存在を意識してもらいたいし忘れてもらいたくないよ。でもさ、千人万人になったら別問題だよね。悪感情もかうことになるし。比較的身近な人に、バズってしまったがために変な恨みや騒動をもらって破滅に近い損害を受けた人が居るので、猶更そう思う。

「無課金で頑張って来たのにサービス終了は悲しい」っていう文章が最高に滑稽なのでソシャゲ以外の場面で使ってみたい。

ふん。ブラックフライデーというのかい？贅沢な名だねぇ。今からお前の名前は在庫処分市だ。いいかい、在庫処分市だよ。わかったら返事をするんだ、在庫処分市！！

アイシャドウ使い切れる人ってごはんとかにまぶしてんのかな

もしキッザニアで「公務員」が体験できるなら、ちゃんと「日本語が通じない日本人を相手にする窓口職員」とか「通知を発送したら無限に電話が鳴りまくる税務課の職員」とか「長時間調整するだけの総務課職員」とかじゃないとダメですよ？住民と仲良くワイワイ街づくりみたいな仕事やりませんからね？

転売ヤーを大きく分けると二つに分けられます。右半身と左半身です。

出生数がすくなくて「このままでは日本が終わる」とか言っているマン、歴史書の中では国が勃興するときと滅亡するときが一番おもしろいし分量もあし、面白い時期にjoinしているわけで、もう少しライブ感を楽しんでみては？

一緒に出かけた時に「なんでもいいよ」と言う友達に限って何か提案するとなんでもよくないし、「怒らないから正直に言って？」と言う女に限って正直に言うとめちゃくちゃ怒るし、「私も足のムダ毛ヤバイしめっちゃ太いんだけど〜！」と言う女に限ってツルツルで細くて全然ヤバくないし、人はやがて死ぬ

飲み会は大好きなんだけど、超大人数の飲み会の、場所ごとに小さいグループが出来て、別々のグループが別々に盛り上がってるあの離散している感じがすごく苦手で、10人を超えるような飲み会だとあんまり乗り気じゃなくなってしまうんだけど、伝わるかな、この感じ...

かぐや姫は5人の公達にそれぞれ「印刷プレビュー通りに印刷できるExcel」「検索するときにユーザーが入力した単語を勝手に省略しないGoogle検索」「他人のlikeが流れてこない穏やかなTwitter」「スパムメールを送ってこない楽天」「本棚がきちんと整理されたKindle」を持ってくるように求めました。

もう紙媒体では新たな読者を獲得できないと考えた新聞社の人たちが、SNSに参入して同じことをしようとしたら、リテラシーの高い先住民のみなさんに連日ボコボコにされている光景が、とても微笑ましくて、Twitterらしくていいですね。

千原ジュニアが最近「子供なんだからたくさん泣いたらいい」みたいなことを言ってて、ダウンタウン松本もそうだけど丸くなると尖ってたときのことまるで「なかった」かのように美しく話すよな、って冷めて見てる。

親として子供の中学受験に出来る必勝法があるとすれば、毎日子供にあの母親は中卒、あの父親は高卒、あのおじさんはFラン、低学歴は人にあらずと耳元で呪文のように唱え続ければ中学受験の成功確率はかなり上がるよね、ただ子供が30歳になった時に育児に成功したと思えるかは激しく疑問だけど

売れない音楽を作るのも売れない絵を描くのも、周りから見れば無駄な事かも知れないけれど「そんなの無駄だからやめなよ」と言う人がいるとすればそれは人間性への冒涜だと思うし、その人をひどく陥れる言葉にもなってしまう。描く、作ると言う行為自体が生きるために必要という人もいるのだ。

家に孤独に仕事してる時間が余りにも長すぎて独り言が状態化した結果、バスに乗って「還付金詐欺で失われたお金は戻りません」とのアナウンスに思わず「そうなんですか」と答えてしまい、名実ともにキチガイとしてお披露目を果たした

人間はお菓子を食べたりベッドで横になったりするように自死を選択することはなく、何らかの耐えがたい苦しみによって突き動かされるのだが、その耐えがたさは極めて主観的であり、畢竟本人にしか分かり得ないもので、それを〈所詮〉生きている人間が解釈する行為は本質的に越権行為であり下世話なのよ。鬱病に罹った人間の苦しみが健康な人間にとって甘えの範疇を超え出るものではないこと以上に、死を選んだ人間と生きている人間はそもそも共約不可能なのであり、互いに他者なのだから、少なくとも生きている我々は想像し得ないものとしての自死について語るとき、その想像し得なさに対し謙虚であるべき

ツイッターやYouTubeの広告枠って、もはや罰ゲームになってるよな。プラットフォーマーは、ユーザーに商品を購入させることではなく、企業に広告枠を購入させることが仕事なので、見かけの数字さえでて出稿したい企業をその気にさせられれば何でもいいんだろうけど、ユーザーは堪ったもんじゃないわ。インターネットの革新性って、旧来のメディア媒体と異なり、主体的に何かを選択しているという自覚をユーザーに植え付けたことで、この（半ば錯覚の）意識と、旧来型な数撃ちゃ当たる系の広告との相性が悪いんだろうな。なのに膨大なユーザー数が、そうした広告を存続させる理由になってしまっている

これまでの累計で有人宇宙飛行の死亡率は約5％だが、もし子供が宇宙に行くと言ったら「ロケットが爆発して死ぬと引き留める」「自殺しに行くようなものだから張り飛ばす」のだろうか。そんな親に皆なりたかったのかな

何かを選び取った結果、物理的に人生詰んだ人間に対し、それまで本人に興味のなかった他人が「だから賢人の警告に耳を貸せば良かったのに」「周囲が無責任におだてなければ、あなたも熱に浮かされず堅実に生きてたはず」と饒舌に語りだす。当人に近づき、自身の矮小な善性を愛撫して恍惚とし始める。人の主体性という高潔な理念や、二度と再現できない人生で何かを選び取ることの貴さを堅く信じているので、たとえ他人の行動が愚かで無謀だと内心で感じても、自分に被害がなければ家族でも止めないと思う。自己責任思想と表裏一体なんだろうけど。

社会的地位のある人間や学を修めたひとかどの人物でも、理論破綻している陰謀論だったりファナティックな思想だったりにヤラれているのをみると、次第に情報そのものが一種のウイルスのように思えて怖くなってくる。当人はおかしさに気づかないので、すでに自分自身も片足突っ込んでるかも知れないし。おそらく人間誰しも「何かに目覚めちゃう」スイッチが備わっていて、あとはどんな情報に脳みそをくすぐられるかの違いなのだと思う。スイッチ起動する鍵穴が回ってしまったら終わり。誰しも「反証可能性に開かれている科学を信奉しており、論理を強く重んじる」と自負していると思うが、何らかの世界観をインストールしたら、もうアンインストールするまでそれは確かな科学であり論理になるのよ。歪みに気づくには、その世界の外に立って見つめる必要があるわけで、至難のわざなのよな。さらに言えば、歪みに気づいたところで新たにインストールする世界観が真正である保証はどこにもない。けっきょく無思慮な安住が精神の死だとすれば、我々は自己強迫的な神経症状態を保ち続けるほかなくて、しかしそれはもはや幸せとは程遠い

彼の語り口は、何年も前から大体が強者と弱者の二項対立への還元で「世の中はヘゲモニー獲得闘争で、そのとき正しいとされる価値観は強者（あるいは強者化した弱者）によって創出されているに過ぎない」といった話に終始しており、恒久的な何かを訴えていくこともないので、普通に代わり映えしない。アルファ医者の託宣問題にしても、インターネットを中心にテクノクラート至上主義みたいなものは確かに蔓延しており、問題として検討する余地はあるのだが、これについても相変わらず十八番である強者弱者のフレームに落とし込んでしまうあたりが彼の限界なのだとは思う。その意味で、彼のやってることは弱者男性を焚き付けるビジネスというより、社会的トピックについて何も考えたことのない人間に対し「こんな世の中の見方があったんだ」と気づかせるビジネスに近い。ただ彼から手渡されるのが大二病患者の思考みたいなフレームなので、しばらくして大体は卒業していく。

トレンドの「#国は安楽死を認めてください」ってハッシュタグ、どのような状態での安楽死を指しているのかは分からないけど、おそらく賛同者のほとんどは自らの死をコントロールしたいというよりも、死のスイッチを強大な他者に肩代わりさせて穏やかに身を横たえたい欲望に根差していると思う。

人が産まれてきたときから罪を背負っているとすれば、それは忘却の不能に由来する。記憶という箍を嵌め続けられ、過去を引きずり掘り起こしては罪悪感に苛まれる。記憶の持続性という重荷。ゆえに大人にとって忘却とは徹底して救いなのであり、記憶の堆積が絶えず忘却の波で消される赤子は無垢で美しい

自分もファスト嫌いなんですけど、昨日とある新書読んでて、ルソーとコンスタンの思想の違いをダイジェスト解説で分かった気になって、ふと思ったんですよね。あれこれファストと何が違うんだって。ここでコンスタンは邦訳も出てるから読めと言われても「時間ないから…」で済ませると思うんですよ。であたりを見渡してみると、ファスト的な消費態度って、自分も含めて意外とみんな日常で発揮していることに気づく。言い訳も同じ。確かにリスペクトを欠いているだけでなく、「間」を始めとした作品の妙までブチ壊して作品の質を解体してるのはファスト映画・ドラマならではかもしれません。でも映画の公式やテレビ局が視聴者のために(究極的には金儲けですけど)ファスト動画配信してたら、怒りは消えるのか。そうなるとこの怒りの正体ってなんだろうと。ただ自分は映像文化を愛していて本当の良さを知っていると自覚しているのに、同じだけの熱量のない人間がムカつくだけなのかもって。

以前は道端に片方だけ落ちている幼児の靴を見かけると、親の愛や本人の落胆を想像してしまいその度に心が傷んでいたのに、落とし物を片っ端からインスタにアップする習慣がついてからというもの、すっかり「レアアイテム」にしか見えなくなったので、この試みは精神にもいい

いい歳してこんなこと考える自分がくだらないなとも思うんだけど、それでもこの世界で他人の眼差しによって存在を規定されていることから降りたいときってあるよな。朝露みたいにシュワッと消えて最初からそのままなかったことにしたいときがある

ちいかわ的なインファントさって、無垢だった幼少期から引き剥がされて汚れてしまったと感じている人間にとってのサッカリンなのよな。ただよくよく思い返すと、その楽しかった幼少期なるものも、大人になってから捏造された一種の虚構で、実はその年齢特有の不安や虚無が隣り合わせだったりするんだが

AED問題でマジになってるやつ、インターネットやめて他者とコミュニケーションとったほうがいいと思う。いかなる可能性もあり得る（外に出たら隕石に当たって死ぬ可能性だってある）が、まずは訴訟リスクよりも一度もAED使ったこともないのにパラノイアに陥っている自分の精神状態を心配したほうがいい。ただ一方、面倒くささの回避を積極的に肯定してくれる社会の仕組み（例えばthank u, nextができる出会い系アプリ、見たいものだけが見えるYouTube、アトム化した個人…）が、徳や道徳的義務よりも極めてインスタントな功利的発想を優先させることの許容に繋がってはいるのだろうなとも思う。

高校の頃に小論文の授業で、人口ピラミッド問題をどうするかという問いに対し「老人を物理的に減らして資産を吸い上げれば解決」と書いたら教師から呼び出し食らってキレられた思い出があるんだけど、このノリを何歳になっても捨てられない永遠の10代が世の中には沢山いることが大人になって分かった

たまに数百万の借金抱えてカンボジアで沈没した日本人の若者二人が現地でタクシー運転手を殺害、盗難車で強盗を続けようとしていたニュース思い出す。現地で強盗殺人しても金にならないし、帰国して稼いだほうが早いし、何から何まで不合理の極みだが、しかしそれこそが殺人という行為の本質なのだろう

もし「あなたのお子さんが世界的に有名な美術作品を破壊したんです」と伝えられたら、子どもをどう叱るのかな。こんなことするなんて信じられないと頭を振り乱し「人に迷惑をかけてはいけない」と叱りながら、そのような通俗的モラルでしか彼(彼女)の欲望を否定できない己の矮小さに絶望するのだろうな。これはあくまでも自分の場合ね。壮大な欲望の発露に対してありきたりの説教をするほかなく、しかしまさにその発話によって自分の凡庸さを突きつけられる。自分が持っているはずだと信じ込んでいたアンチ主流、文学的感性、ロック、心の余裕が音を立てて崩れていく。自己愛が消える瞬間だと思う。

老人の取り分を減らせって論、将来の自分や自分の親を困窮させろって言ってるようなもんなのに、乗っかる人が多くていつもびっくりする。みんな金たんまり蓄えて健康体で第二の人生謳歌して、長生きしても若い世代に迷惑かけるから病気になったらスパッと死ねるんだろうな。すごいな〜。皆さん、ミッドサマーの共同体で楽しくやっていけそうで羨ましい。俺は老人になっても崖から飛び降りたくないし、死に損なって頭叩き割られたくもないし、都合が悪くなったら解体されたり変な薬飲まされて蒸し焼きにされたりしたくもない。金持ちへの課税（所得税の累進化強化）よりも老人の年金引き下げにリアリティや夢を持ってしまう時代

仕分けバイトの派遣で死んだ顔して点呼とってたときに駅前のケータイショップから流れてきた浜崎あゆみのboys & girls、親が怒鳴り合いの喧嘩を始めた遊園地のレストランで延々とリピートされていた安室奈美恵のNEVER END、虚無に満ちた人生の瞬間に空回りするような音楽がいつもあった

痛覚と恐怖の神経回路をオフにできたら、硫酸風呂に入ってみたい。シュワシュワ溶けて消えていく感覚って、気持ちいいんだろうなと思う。吾輩は猫であるのラスト的な。周囲の人間の顔が脳裏をよぎったりするんだけど、身体が消えていく不可逆性ゆえに、今この瞬間を肯定して身を委ねるほかなくなるの。そう思うと恐怖って、頽落を許さない点で一種の自己規律的な性格があるんだろうな

朝起きて眼鏡を探していると、みゆきさんの「眼鏡、眼鏡……眼鏡はどこですか？」ってセリフが再生されるのをトリガーに脳内で「もってけ！セーラーふく」が流れだす。こういったことが15年間も続いてる事実がたまに恐ろしくなる

確定申告やマネーリテラシーなんてどう考えても教えられるわけないんだし、三角関数や解の公式にしたって実践で必要となる頃にはほぼ忘れてるんだから、もう学校は何かを調べたいときに適切に解答に辿り着けるメタテクニックを叩き込む場にしたほうがいい。もはや世の中は知るべきものが多すぎる。もうね、知識なんて究極的にはすべて必要だし、使わなきゃどのみち忘れるんだから三角関数が学校教育で必要か不要かなんてナンセンスだわ。基本はたまたま知っててたまたま役に立つものなんだから。実際大半は「三角関数程度も知らない人間は恥ずかしい」みたいなマウント合戦にしか役立ってないでしょ

比ぶべくもないのだが、芥川の言った「ぼんやりとした不安」ってなんだか最近分かる気がする。明白な欠如に対しての不安ではなく、ある日突然この日常が頽落するのではないかという漠然とした不安。もちろん崩壊は嫌なんだけど、崩壊したらいっそ楽になるのにと少しだけ思う。机上の破滅願望だな

大村リコールで署名偽造した事務局長の逮捕までを追ったドキュメンタリーの最後、逃げた宿に警察が押し掛けてくるんだけど、その宿への道すがら、彼がこれまでの半生を振り返りながら「どこで道間違えたんですかね」「道、間違えたかな〜」と笑いながら語るんだよな。ここ最高にアメリカンニューシネマ。記者に直球で尋ねられ「間違えてないと思うんだけどな〜」と口では言うんだけど、目をパチパチさせながら苦笑いしていて、図星を突かれた感がありありと伝わってきてさ。高須と河村について行けば議員になる夢を叶えてくれるはずって、本当はこんなはずじゃなかったって、本人が一番分かってるんだよな

肉体労働といえば、某ブラック大手急便で深夜バイトしてたとき、「チクリOK、金と女の相談NG」と書かれた張り紙、賞金首みたいにそこらに張り紙貼られて晒し上げ食らってるドライバー、なぜか前歯がないやつ、ひたすらどこかから聞こえてくる罵声罵声罵声、飛ぶことを前提にした雇い方など凄かったな。飛行機のエンジン音と仕分け場のコンベア音が似てるせいで、海外旅行に行ったときに機内で寝てたら怒鳴り声が幻聴で聞こえてきたくらい。辞めるとき、次は塾講師のバイトやるんですって言ったら「そうか〇〇くんは身体を使う仕事から頭を使う仕事になるんだね」と返されたのが妙に印象に残っている

ところてん射精動画(通称アハンオケツイク)につぐ嫌儲ブラクラで、脱肛脱糞動画(ケツマイモ)が流行った時期があって、最初は拒絶感しか抱かないんだけど、何度も踏みまくるうちに「またこれ？(笑)」くらいの余裕で興味持って観れるようになるんだよな。表現への寛容さはこうやって生まれるんだなって

スーパー行ったら鯉のぼりの歌が流れてきたけど、たまにこの手の人間のライフスパンを超えて存続している童謡に対し恐怖を覚える。当たり前のように節句の歌として人々の生活に刷り込まれており、我々が単なる情報の媒介者でしかないことを突きつけられる。これほどミームを感じる瞬間もなかなかない。祭とかもそう。神輿運んだり踊ったりしてる人間が昆虫に見えるときがある。

先日、自分の知り合いの中でキチガイの極北みたいな人（褒め言葉）と会ったら、「（定職についてる）俺なんてまだまだ。先日ネットで知り合った人の家いったらトランクルームで生活してて一緒にガンダム観たばかり」と言われ、戸愚呂弟がB級妖怪だと知らされたときの衝撃が分かった気がした。まあ一皮剥けばみんな狂ってるんだろうけどね。ただ魔界の扉を開いて突き抜けていった人間に抗えない魅力があるのは確か

ニートを続けるのにも才能が必要とはよく言われるが、この現代において働いて金を稼ぐことを拒否するのって相当な強さだよな。とはいえ、資本経済や社会だったり、金があればできるはずの趣味関心だったりよりも、自分の「気分」を価値判断の最上位に置くこと自体が極めて現代的とも言える。これはニートに限った話ではなく、有史以来、ここまで人間主体のメンタルにスポットが当てられ、気分の奥底にある根本原因を探り、優しく統御すること(あるいはケアすること)が尊重される時代もなくて、とにもかくにも我々はフロイト以後の時代を生きているんだと思う

TDL好きで知られていた某有名人が30歳を機に一切パークについて日記で触れなくなったことをふと思い出した。当時は年齢の節目で区切りをつけたんだくらいにしか考えていなかったが、同じく大好きだった自分もある日TDLへ行ったら何もかもが小さくキッチュに思えて、ああ卒業する時がきたのだと悟った

「大学卒業してから一度も働いたことなく創作活動に生きている」って人に出逢ったけどすごく魅力的で、やはり人間は労働によって摩耗しているとの認識を強くしたわ。まあこちとら創作したいものもないから労働に従事させていただいてるんですが

過去に同じ時間を共有したものの、もう二度と会うこともない（万が一すれ違ってもお互い気付かない可能性大）くらいの人間に、自分（この私）という存在が記憶としてこびり付いてるって、考えてみると凄いことだな。ごく僅かとはいえ、この世界のどこかでそいつの頭のメモリを自分が食ってるんだから。

ステージや環境が大きく変わると、そこで自分という歴史の連続性って失われるんだよな。本を捨てたり、思い出の品を片付けたり、新たな家具を揃えたり。場を切断する行為って、自分が思う以上にアイデンティティが変容するポテンシャルを内包してるのかも。

製造年月日がどこにもなく、ただパッケージに「本日中にお召し上がりください」とだけ書かれているお菓子。本日とは具体的にいつなのか。しかし昨日には戻れない以上、いつだって本日が最新の時であり、時間の不可逆性と「一刻も早く食べること」を強く意識した結果、このような記載になったのだろう

開始時刻になっても始まらない定例ミーティングを独りで待ち続け、同僚にリマインドを送りつける社畜ムーブをカマしたところで、今日が祝日だと理解した。笑えるのは、このミーティング参加者、自分も含めてみんな働いてるんだよね。実際、それまでオンライン上でやり取りしているので。ただ「祝日のため勤務日ではなく、よってミーティングも存在しない」という概念だけが共有されている。日本の素敵な虚無カルチャーだね！

隣に座ってた小学生が"変な声でウィーアーを歌う"というユーモアで友達を笑わせていて「そうそう、そういうところから地道に積み上げていくのじゃぞ…」と思いながらお茶こぼした

人生で育てられた経験しかないが、単純にみんなで補完的に子育てするってめっちゃいいじゃんと思ってしまうな。レベル80の実親が孤軍奮闘して余裕なくなるよりも、レベル50くらいの人間が10人いるほうが一人あたりの負担もかからないし、子どもにとっても幸せなんじゃないの。ノンフィクションの山奥ニート、応援してる。良くも悪くも他人は他人だが、血縁関係だって大したもんじゃないだろう。血縁でないゆえに"ニセモノ"であり責任感なく瓦解するはずっての、万引き家族の警察思い出すわ。弱さや緩い紐帯を認めない「ホンモノの親」「ホンモノの家族」といったイデオロギー。

病名を絞り込むために医者からぞんざいな態度で矢継ぎ早に質問されているとき、なんか妙に興奮するよな。あずかり知らない高次元で自分が解体されていく非対称的な喜びというか。どこか性癖じみたものがある。占星術と医学が同じ家から出てきたのも頷ける。先日もオタクっぽい風貌の医者に「ステロイド飲んでもいいですけど老後どうなっても知りませんよ」みたいな脅しかけられて興奮してしまった。

子どもの頃、葬式や法事でしか顔を合わせない、互いに名前も知らない同年代の親戚が何人かいた。もう会うことはないし、血縁に親しみを感じるほど野暮でもないが、それでも誰かの死に目のたびに会しては、一緒にトンボやアメンボ捕まえた彼ら彼女らが今どこでどう生きてるのか、覗き見程度の興味はある。誰かの死のもとに集ってきたにもかかわらず、その故人を追悼する行事からは疎外された子どもたちが、いつ何がどうなるのか全体像を誰も知らないまま、ただただ目の前を過ぎてゆく漠然とした時間を皆で無意味に潰していた。火葬場の池に反射した光とアメンボを思い出す

わたくし完全に獣になってしまった人が身につけているアクセサリーを見て家族や恋人がその人だと気付くの好き好き村から参りましたの

エ〜クエクエクエク(エクセル怪人の笑い声)今日もセルを結合して中央揃えして、検索に引っかからないようにテキストボックスに大事なことを書いて、印刷する予定も無いのに印刷範囲を設定していくエクねえ…

ジャルジャルのネタ、普通のことするのに恥ずかしがる奴らと異常なことするのに一切躊躇せん奴らの二種類がいるから好きや

直接関わる人々の間だけでなくその友達にまで愚痴が及ぶ人間のことマグニチュード2って呼んでる

中2のとき母親に「なぜ僕を産んだの」と訊いたら『お父さんが避妊しなかったからよ』と言われて、ぼくは機会があれば避妊をしようと思った。

これはn = 1の話でしかないけど、実社会に居場所がない人間が、金さえ払えば受け入れてもらえて夢見心地にさせてくれるという意味で、ディズニーリゾートが受け口になっているという仮説はあり得る気がしてきた。

俺ってもしかしてスタバでクソでけえ声出して騒ぎまくっていいのか？実際、ガキがOKで俺がアウトな理由ってわからん。デシベルが同じなら、でけえ声はでけえ声だよな。むしろ俺の声のほうが低いし、普段声出してないから多分大した声でねえから、子供の方がうるさい可能性大。電車とか高級ではないレストランとかで俺がギョエエエエ！！つってたら排斥されて、ガキだったらセーフな理由って、実際なんなんだ？というか、マジな話、たぶん、実際のところ排斥されないよな。俺はさ、本当は、スタバで突然「フンガー！こんクソ〜！！！オアアアアア！！！！！」つって暴れていいんだよ。まあ暴れるっつってもコップ投げたりし出すと話が変わってくるけど、少なくともでけえ声上げて地団駄踏むくらいはいいはずだ。というか、実際そういうヤベー奴っているもんな。そんで、排斥されてるかっていうと、別にされてない。世界って意外と寛容で、俺が勝手にルールを見出して、勝手に守ろうとして窮屈なだけなんだ。だから、ガキがスタバでギャアギャア騒いでたら、俺も騒げばいいんだ実際

「んあああああ！！！！うるさいよお！！！！！うるさくて我慢できないよーーーー！！！！！」つってさあ。いや、これは敵対行為だからダメですよ。ガキは別に、あのオッサンキモくて臭いよ〜！つって俺に攻撃してきてんじゃないんだから、ガキのうるささを直接攻撃したらフェアじゃない。意味もなくマジでデカい声出したらいいんだ。ああああああ！！！！！うあああああああああ！！！！！！！つってさあ。もうぜってえ静かになんじゃん、ガキもヤベー奴って分かるからさあ。やべー奴が突然でけえ声出して、みんな静まり返ってんのに、そうそう騒がねえよ。なのでですね、うるせえガキがムカつくんだったら、やるべきことはひとつだけですよ。お前も騒げ。同じ音量なら許容されるって意味なんだよ。なんか言われたら、じゃああっちの子供もなんとかしてくださいよ、俺は彼の姿をみて、あの音量がこの店の許容範囲なんだと判断したんです、と言えばいい。トシとってるからデケー声出すな、なんてのはサイテーのエイジズムだから無視してOK。人間には、スターバックスでクソでかい声を上げて騒ぐ権利が、ビルト-インでもれなくついてきている。ドンドン声を上げて、ドンドン出禁になっていけ。

すばらしい人たちと共に過ごす時間が終わったとき、なぜか安堵する。無能がこれ以上バレないことに、確定した黒字の思い出に

どんな物質も摂りすぎれば毒になるように、どんな人にも近づきすぎれば嫌いになる。逆にどんなに嫌いな人も距離さえとれば許せるはずだと考える。好きな人と嫌いな人がいるのではなく、ただ致死距離のばらつきだけがある

コンテンツのアウトな利用・二次創作などに対して「これで規制が強まったらどうするんだ」と言いながら本来なら1件でよい通報を大量に送ることを促して企業側が派手に対応せざるを得なくしている光景を見て、やはりみんな騒ぎは大きければ大きいほど嬉しいという感情があるんだなと確認できてよかった。(この程度ならあんまり適用されさなそうな)法律で裁かれるぞと並べたてたり、明らかに任天堂法務部にデメリットしかない強い対応を期待していたり、どう見ても道徳感情から怒っているわけでもステークホルダーの利益を守りたいわけでもない。任天堂法務部などの強い組織をなぜか自分のケツ持ちのように扱うノリや漫画のスクショを貼って何かの反論を行ったとみなせるノリはほとんど文脈も予備知識も共有する必要がなく習得が容易なのでコミュニケーション様式として広く用いられている

悲しいことを報告している人は「今日は辛かったから、この気持ちをわかって欲しい」と言いたいだけです。「今までの不幸バトル」で優勝したいわけじゃありません。

「辛いときにこそ、本当の人格が見える」と言いますが、辛いときはだいたい性格が悪くなります。本当の人格は「よく寝て、よく食べて、リラックスしたとき」に現れます。この状況で性格が悪い人はマジで悪い。

数年前某日系大手企業の課長が働きすぎで倒れて休職したら専業主婦の奥さんが子供と通帳をもって実家に帰ってしまった話をツイしましたが、この度離婚が成立しました。家族のために無理して頑張っていた課長はショックで心にも深いダメージを追って鬱病になり退職という最悪の結末になりました。

「孫の顔が見たい」という要望に答えて、チー牛陰キャの年齢の割に人生経験が希薄なことに起因する幼い顔と、そいつが嫁と呼ぶ何らかの絵をかけあわせて孫の顔を生成するシステムをつくり、その後一切親に何も言わせなくするサービスで一発当てるか

【伊沢拓司が死刑執行ボタンを三つ同時に押した時のナレーション】

伊沢なぜ押せる！？

花王の炎上、僕は花王に悪意は感じられないので自称マイノリティ支持の方々が「正しい意味はコレ！お前は間違ってる！」をやってる今の光景を見てるとやっぱり他人を自分の価値観で糾弾するのが好きな人がいっぱいいる世の中で変えられないパーソナリティなんかは絶対明かさないほうがいいと思わされた

ARuFaが机作る記事で社内で大音量で作業したせいで社員からチャットで罵詈雑言食らった時に恐山が書き込んだ｢足にアルミホイルを巻かれてフライドチキンと同じ要領で8メートルの鬼に食われて欲しい｣って暴言好き。「誰もかかったことない変な病気になって病名になってほしい」も好き

日本語における「油揚げ」は素材を何も説明していない事で有名だが、「鍋」はもっとすごい

作家「何年も温め続けてた構想なんですよ！満を持して世に出したのに！」

編集者「死んだ卵を温めてた感じっすね」

このやり取りのセンスやばすぎる

【ヤバいレストラン】

お客様。シェフがお呼びです。

最近、『早く仕上がる』と言うのを褒め言葉のように使う人いるけど、個人的には人生残り時間長いのに器の小ささのあまりに思いがけずゴールに辿り着いてしまい、三途の河を渡れず賽の河原で石を積んでる水子のようなおっさんを指してる表現につこてるので割と違和感はある。

【風呂上がりにイヤホンした時あるある】

ﾝス""ﾁｭ……

マリオはキノコの効果ではなく「苦手なキノコを食べれた」という自信によって巨大化している

彼氏とえっちいプリクラ撮ってたら突然「尚、このプリクラは5秒後に消滅する」つって警報が鳴り始めてビックリして裸のまま筐体の外へ飛び出した。一緒にいたはずの彼氏は逃げ遅れたのかプリクラと共に消滅してしまい、ショッピングモールを全裸で佇む中年男性だけが残った。

アンガーマネジメントの一環として「最高の6秒間の始まりだッ！！！」と叫びながら約3分半に渡って暴行を続けたとして逮捕された。

創作は、描かなきゃやってられない衝動の人と戦うハメになるので、描かないとの精神でやってる人は必ず辛くなる。夏休みの最後がずっとやってくる感じ。

自分でコーヒー淹れると「これ、店に出して売れるんじゃね？」と自画自賛するほどの逸品ができるんだけど、その自尊心が死屍累々の脱サラカフェ創業に繋がるのだと内省し、目の前のクソ仕事の処理に戻るのである。飲食店の差別要素は飲食物というプロダクトが含まれてることは正しいが、それ自体は類似品や代替品が無数にあることも事実。なので素人が「旨い◯◯が自分で作れる！→脱サラ創業！」とするのはリスクだと考えてる（もうやんカレーのような成功例もあるので無理とは言わないけれど）。飲食店の差別要素は飲食物に加えて場所や提供価格、店の雰囲気、ブランドのマリアージュだと考えていて、工夫が難しいビジネスだと考えている

「子持ちの人って中出しの瞬間に社会貢献とか少子化とか年金とかフリーライダーのこととか考えたりしてるんですか」「注文住宅屋のお客様の中だと現時点では子供居ないけど将来作る予定だから子供部屋用意するっていう方結構いる。中出しシーンは実際のところ分からないけどなんか色々考えてセックスしてんだな〜ってのは把握する」

竿役が「オラッ孕め！少子化解消！社会貢献！」とか言ってたら、台詞が面白い系のエロ漫画だな

【カメラマンイロモネア】

百万円目指して、写真を撮れ！

何かを削る効果音を巻き舌で「ドルルル」って表現するのにはまってるんだけど、ナフコで「コーヒーミルってどこありますかね、あの豆をドルルルってする」ってめちゃくちゃネイティブな巻き舌しちゃってはずかった

ハラスメント受けて何が一番しんどいって、「こいつはハラスメントをしていい人間だ」と認定された事実ですよね。そうした面を一切見ずに済んだ人たちは「まさかあの先生が......。」と衝撃を受ける。ああ、私はハラスメントしていい人に認定されたんだなと。それが尊厳を奪われるということですよね。

当該教授のセクハラ加害を知り、ショックを受ける。「まさかあの先生が......。」そう思えることが羨ましいです。そうした面を少しも想像せずに済んでいたことが羨ましいです。私も、当該教授のそうした面を知りたくなかったです。私が告発するまで当該教授のそうした面を知らずに済んだ人たちに罪はなく、そうして人によって顔を使い分けている当該教授が最低ということに尽きると思いますが。今回の加害者の悪質性は加害者のそうした側面を知らずに済んだ人と被害を受けた私の間に深い分断を生んだことです。それが何よりも許せなかったし、告発しないままだと加害者の行為を知らずに尊敬し続けている人を心から恨んでしまうと思ったから、それは怒りの矛先を間違えていると思ったから告発した

学会の仕事をやっていると多種多様な「証明」を求められることがあった。「学会大会に参加したという証明書を出せ」と言ってくる大学、「大会参加費の領収証が参加の証明です」と言ったら「本当に会場にいたことを証明しろ」と言われる。

アムウェイ業務停止のニュースで「疎遠になった友人同士を繋げる優良企業なのにどうして！」という書き込みに笑った

人の「飽きる」という性質を甘く見ない方がいいと思ってて、どんなにそれが正しいものでも飽きる時は飽きる。飽きられる。ひろゆきもやがては影響力を無くすと思うが、それは「人々が彼のうさん臭さに気付いた」とかではなく、なんとなく「貴方の感想ですよね」系話術に飽きたから…が理由になると思う。逆に言えば、彼の影響力が消えたとしても、それは人々が「正しいなんとかに目覚めたから」ではない。決して。まぁ、消えることはないだろうが、どこにでもいる怪しい言論人の一人くらいの位置になるんではないか。差別に苦しめられる黒人は、決して黒人であることに「飽きる」ことはない。そもそもそういう性質のものではない。だのになのに、俺達は黒人差別の話に「飽きる」ことができるからな。いや、そのうち「飽きる」ことが薄々分かってるからこそ、景気良くこの手の話題で騒げるわけか。たまらんな、ほんと。

えつちなイラストをリツイートした後に「◯◯さんが好きそう」とツイートすることで、責任を押し付けるライフハック

【ひろゆきから伝言を預かっている女】

嘘つくのやめてほしいそうよ

「大人になると男女で2人で会うと酒飲むかセックスしかすることない」ようにならないようにするのが教養だと思ってて、教養あるもの同士だと2人で会っても延々と自分が死神になったら護廷十三隊の何番隊に入りたいかやオリジナルの斬魄刀とその卍解能力や解号の話をし続けることが出来る

お姉さん「気持ちいい…？」

僕「はにゃ…はにゃ…」

お姉さん「ここが気持ちいいの…？」

僕「ふにゅ……」

お姉さん「ねえ……どこが弱いのか言ってごらん？」

僕「阪神タイガースです」

「手取り13万円」が話題だけど、手取り13万円で働いてくれる人がいるおかげで僕らは安く外食チェーン店に行ったりAmazonで買い物できると思ったら感謝しかないよね。ただその感謝は「小学生がいただきますをする前に牛さんとか豚さんにする感謝」と同種のそれなんだよね、ハッキリ言ってしまうと。

私はかつてアムウェイ会員らによるホームパーティーに行ったとき、海外旅行（東南アジア）が好きだという子がいたので、ポル・ポトの話を延々とした。それがいけなかったのだろうか。私だけに勧誘は一切来なかった。アムウェイは私のような変人を嫌うのだろう。タダ飯・タダ酒を飲み食いして帰った。

世間一般の持つ「頭がいい」「賢い」と呼ばれる能力の発揮イメージが「問題に即答できる」や「瞬時にうまい言い回しで返す」や「記憶力（暗記）が高い」といった瞬発系技能なのに対し、研究者や大学教員が持つ「賢い」イメージは「ひとつの問題に粘り強く検討し続けられる」といった持久系技能であり、これは「どちらが正しい」とか「どちらが有利」という話は置いておいて、SNSを中心とした「知識階層（純粋な研究者や教員だけでなく、医師や法曹といった専門家集団含む）とそれ以外の人々の間のコミュニケーションエラー」の、わりと大きな要因のひとつになっているよなあ…とは思う。「頭がいい」とか「賢い」といったフレーズよりも、「知性」とか「知力」という言葉にしたほうが自分の感じていたことに近い。

アムウェイが6ヶ月間の業務停止命令らしいですね。どうでも良いけどアムウェイやってる人って年中SNSに「夢」とか「感謝」とか書いてますよね。でも会うと夢とか感謝の話は一切せずに、「お金」とか「不労所得」の話ばかりしてきますね。なぜなんでしょうか。

殺害予告、やたら朝早いんだよな。寝てるわ。その時間って思った事がある。

好きな数字を思い浮かべてください。その数に1を足します。次に2をかけてください。次に6を足します。8乗してください。最初の数字を引いてください。それが私のマイナンバーです。

体重三桁以上の女しか愛せない本物の男から「色々なとこでデートしたいけど100mくらい歩いたら彼女が疲れて動けなくなる」という悩みを聞いたことがある

ネットで見つけた最強ライフハックが超絶ヤバい。「4秒息を止めて、7秒間呼吸を止めて、8秒かけて呼吸を止めてを30セット繰り返すだけで一瞬で眠れるようになった」と書いてあったので、昨日実際にやってみたらマジで泥のように眠れた。いま地獄。

フリーランスしてると、実際には決裁権もってない大企業のおっさんが、暇つぶしとか無料の話し相手とかを目的に「案件相談」を持ちかけてくることがある。話を聞くと確度10％以下、というか「それは案件じゃねえ」みたいな。ある時期に頻発したので、初回の相談は全てオンラインミーティングとし、PCの本アカウントとは別にスマホで「島田綱男」というアカウントを用意し、いかつい男のフリー素材を貼って同時にログインするようにした。万が一、「島田さん……？　彼は？」と聞かれても、「気にしないでください」で押し切る。あと「録音させていただきます」と断って録音する。綱男の効果があったのか、無断で綱男を引き連れてきた女の不気味さのほうに引かれたのかはわからないが、しばらく続けていたら、冷やかしの相談は減っていった。テクノロジーの勝利だと思っている。

昨日終電無くなった渋谷でサラリーマンが上司っぽい人に「俺はお前のピクミンじゃねー！！」って叫んでたの色々考えさせられた

不安に耐えれない人は会社員が向いてる 不満に耐えれない人は自営業に向いてるって話を思い出した。私は不安が耐えられないので会社に雇われて働きます…

オジサンとかオバサンは何故若い人の生き方を、いや他人の人生を否定しがちなのか？という問いに対して「自分の人生を肯定する為には、自分とは著しく違う他人の人生を認める訳にいかないから」という仮説を立てられるんじゃない？という話をしていた。これって最近のキレる中高年の話にも繋がってくるんだと思うけど「自分が否定される事に対する耐性の低さ」の問題の様な気がしている。あまり否定されずに生きてきた人は尚更この耐性が低いんだろうけど、加齢と共に体力も精神力も落ちていくのでキレる沸点が低くなるのかなぁ、と。加齢と共に弱くなっていくって言うのは絶対にあるよな、と思っていて、歳を取ると「惨めさ」からのダメージに耐えられなくなっちゃうよね、と思ってる。とにかく惨めな思いをしたくないというモチベーションって結構凄いものがある。マウンティングってそう言う事でしょ。この辺を弱さを自覚しながら、上手く精神のバランスを保ちながら生きていかないといけないんだよなぁ、と思う訳です。弱いのは仕方がないんだけれども、他人に八つ当たりしたらアカンというシンプルな話。特に若い人の希望を絶望に変えちゃう言動は控えたいよなぁ、と思うわ。

僕自身は30過ぎまでモラトリアムな感じで生きちゃって、その期間は大人達に良く説教されていた。ただ、その後に企業人になった時にモラトリアム時代の経験が活きて、組織を作り事業を起こしていった。今では「ユニークな人生経験が強みですね」とか言われるから、本当に他人の説教はアテにならない

大衆の未分化な「なんかムカつく」に寄り添って創作した結果。そのときどきに獲得ファボが最大になるよう最適化してるだけでなので思想的一貫性は当然無い。

博士号を持つ人は非常に優れた論理思考力を持つが、博士号を取得した理由を尋ねる驚くほど論理的ではない答えが返ってくることがよくあるんじゃ

みんなの自称進エピソード甘すぎるぞ。僕は高2の終わりまで受験本番は漢文が白文で出題されると思ってたし、古文は英語と同じく自由作文が出題されると思ってたから口語訳→古語の暗記に必死になってた

僕、女性を褒めるのがとっても上手なんです。例えばベッドを共にする時なら「もち肌だね。ずっとさわっていたいな」とか「おっぱいの張り、かまぼこより強い。たまらない」とか「あぁ…数の子天井だね。すぐに果てちゃいそう」などです。誰一人として僕がおせち縛りで褒めてることには気が付きません。

昔、泥酔して知人の部屋で「全てが理解できた」とうわ言を言いながら寝て、朝になって「昨日は全てを理解したような気がしたけど、酔っ払いの妄想だった」と知人に言うと「いや、本当に全て理解できていたと思うよ。朝になったから忘れただけだよ」と言われて、それで私はその人を好きになってしまった

大学同期の優秀な奴は日立製作所に入社したものの事業ごと売却され、就活も上手くいかず技術派遣会社に就職した奴はトヨタ自動車に吸収されてて笑う

早期退職のリストラ始まって、転職先見つかる中年と早期退職と関係がない若手が士気下がって辞めまくって、1番辞めてほしい微妙中年社員だけ残った話草

某メーカーが年功序列から成果主義()になってからノウハウは他人に渡さないで囲い込む人が増えたらしい。後輩を育成しても評点にならないような評価制度だったらそりゃそうなるわな

昔の人に話を聞くと、金融行ってガン詰めされて殴られるか、メーカー行って怒鳴られて殴られるか、商社行って肝臓壊されて殴られるか、って殴られる時代だったと皆言う

完成車メーカーで働くことに疲れてうちに来る人がいる一方で完成車メーカーで働きたいと転職していく人がいるの見ていてところてんかよと思っちゃう

忙しい部署で定年まで保った人は凄いけど退職後数年で心筋梗塞で亡くなったの知っているとなんか頑張りすぎるのも虚しいなと思う

中小の方が色々仕事経験できて力つきそうだからと選択する人たまにいるけどあえて中小を選択する人はマイノリティで中小にしか採用されなかった人がマジョリティだということことをよく認識して行った方がよい。

中学の時ずっと学年1位だった女の子、京大工学部からトヨタ入って病み散らかしてるらしい泣ける

ロシアで留学しロシア語に通達した俺のフォロワーさんが「プーチンのせいで僕の薔薇色の未来はぶっ壊された。制裁の一環として数多くの多国籍企業がロシアを既に去っている。こんな状況でロシア語を話せたって何の意味がある？」と嘆いてて鬱

俺の統計によると日本の9割の女の子が「起きたら連絡する」と言ってから1週間以上寝たきりになるし「お風呂出たらLINEする」と言ったまま2ヶ月ぐらい風呂から出てこないし「落ち着いたら連絡する」と言って数年間ほど落ち着かない子も多い。先進国として恥ずべき。こんな現状ではドル円140円は不可避。

冷静に常識で考えたら引くような話を、サラッと、何なら面白おかしく話す人には気をつけないといけませんよ。その人は多分、その面白おかしさで「普通の人」を絡め取って使い潰しては乗り捨てているんだから。それが普通じゃない人のメジャーな生存戦略です。

「結束」を肯定的に評価できない人間が如何に「分断」を憂えてもその解決には一切役に立たない。自分などは国旗に忠誠を誓う人間の姿を完全に肯定的に捉えている人間なので「分断」を憂える資格があると思うが、それを必死に嫌がっていたような人間が「分断」を恐れている理由が分からない。望んだ姿では？

「社内人事AIがあまりにもゴロゴロいる適正人材を見逃すので人間が調査したところ、経営者のマインドセットと同じ人材限定に設定されてた」（大意）みたいなアメリカの事案を見て大笑いした後に真顔になってる。これマイナンバーで尻子玉抜かれるレベルの人員が管理してたらどこにでも起きる話やな…北米で三強くらいに位置する大手社内人事システムのパッケージだったらしく、類似の事案はあちこちで起きてるんじゃないかというほんこわスレッドだった。

上機嫌は人が着ることができる最上の衣裳である

チェンソーマンに限らないのですが、「流行っているモノにケチをつける事で、自分の世界ランクが上がったような気になれる娯楽」というのに耽溺する人は一定数いるので、流行り物の批判を見かけたら、その人の過去発言を遡ると色々と分かる事も多いよ

結果を予想してそれに向かって研究を進めても、その方向が間違っていることが判明して方向性が分からなくなり、苦しみに苦しみもがいて暗中模索する、そのこと自体が研究の本質である。ごく希に出口が見つかると大発見につながる。研究計画通りに研究を進めるなどという官僚的な発想は、くそ食らえ。

はてぶに記事を取り上げてもらったものの、重要でない箇所の情報ばかりを切り取ってしょっぱいコメントを書くのだから、評論家のすることはマスメディアと大して変わらない。

普通にツイッターしてると知らないだろうが、下手にバズると「千人論破チャレンジ（うろ覚え）」とかいう目標を掲げてる狂人がリプして来たりして、短文のうちに言葉がおかしくてびびる。ひろゆきはあれらを養う義務があると思う

パックマンの複数形ってパックメンなんか？それともパックマンズ？バットマンの複数形ってバットメンなんか？それともバットマンズ？

毎週末夜更かしして週明けの勤務日に死ぬのを我ながら馬鹿らしいとは思うのだけど、週明けから万全の状態で働けるよう週末も早寝早起きして備えたら、まるで自分が働くために生きているようで嫌なのだ。賃労働に食い扶持を稼ぐ以上の意味を見出したくないというアイデンティティ問題としての夜更かし。

誰かが絵をアップしたら片っ端からAIが描いたんですか？ってリプライしよ

ガキの頃はジェリー派だったのに、今見たらトムの駄目さ加減が可愛くて仕方ない

「ネットは一般の人が評論家になっていくので使い物にならなくなる」…かぁ…。私は逆の印象を持っている。従来の評論家よりもずっとよい評論をする一般人の存在が認識され、多様な視点に触れる事も出来るようになり、面白くなった面が多い。寧ろ使い物にならなくなったのは既存メディアの方では？私にとって意外だったのは、既存メディアの凋落の仕方の方で、私は既存メディアは取材の裏取とか校正校閲といった「質を高く維持する力」を活かして、情報の信頼性を強みに寧ろ伸びる可能性があると思っていた。ところが、実際には「元から品質管理など無いに等しい」という事がバレただけだった。で、「一般人がどんどんネットに書く時代になると評論などがダメになる」ってネガティブな方向で語られるの、大昔に、活版印刷が発明された頃にも、似たような事が語られただろうなぁ…と。もしかしたら、紙が発明された頃にも同じような事が語られたかもしれん。

小学３年時の担任が、絵を描くときに紫を使うと「子どもが使う色じゃない」と怒る先生だった。あんま意味わかんなかったけど、とにかく紫は禁止だった。ある日僕はぶどうを食べた。そのことを絵日記に描く際、一応全てマスカットとして描いた。人生で初めて「理不尽」を認識した瞬間だったかもしれない。よく怒る先生だったが、僕はぶどうをマスカットにする子どもだったから気に入られていた。理不尽と同時に「世渡り」を覚えた時期だったのかもしれない。ぶどうには悪いことをしたと思っている。そのうち鮮やかな紫で描いて償いたい。マスカットを紫で描いてもいいんだけど、ぶどう、喜ばなさそうだし

「言っていいこと」と「言ってはいけないこと」の間に「言ってもいいがそのかわりあなたの評価が下がること」が大量に存在する。

現役大学生からしたら正気とは思えんかも知れんが、一日中、大学で勉強していたい。労働から解放され、大学図書館でひたすら学術書を読み漁っていたい。過去に戻りたい。

月収20万円が月収1000万に投げ銭して、美味いもの食べて！とかやってるのを日々眺めてる。本人が幸せならいいと思う。

長くなりそうな遊戯王の話をされかけたので「待って、その話は聞きません。オタクキャンセル」と言ったら「オタクキャンセルキャンセル」と詠唱されて普通に続行されそうになって怖かった

【カップ麺あるある】

熱湯5分だと味のハードルが上がる

はじめてヒトラーの「わが闘争」読んだとき、どんな恐ろしいことが書いてあるのかと思っていたら、民主主義へのわりと的を射た批判とか、視界内に鼻持ちならない金持ちのユダヤ人がいたらつい頷いちゃいそうな反ユダヤ論で、むしろこの「意外に内容はまとも」な感じがナチの恐ろしさなのだと思った。これに「ヒトラーの著書が意外とまとも？こいつやばくね？」みたいなコメントしてる人、たぶん第二のナチが台頭してきたら真っ先に騙されて支持しそう。「悪というのはわかりやすいデーモンの形態をしているにちがいない」という思い込みこそナチの台頭を許した主因なのですよ

今の男子高校生、スマホでちょっと調べれば激エロお姉さんが乳揺らした動画が大量に見れる環境で勉強してるの偉すぎやろ。

ほむらちゃん…私たち、このまま二人で怪物になって…こんな世界、何もかもめちゃくちゃにした後にサウナ行って水風呂入っちゃおうか…

「理解のある彼くんは一体どこから出てくるのか？」という長年の疑問について、発達障害女性がマッチングアプリで男漁りをしている説が有力であることがわかった。だから結婚までの経緯を詳しく漫画に描けないのか。「死にたいのにマッチングアプリで男を探す元気はあるの？」と批判されても仕方ない。

授業中に「学校襲撃しにきた殺人犯を撃退する妄想」をしていた🤓たち、

人生何もかも上手くいかず数十年の時を経て"無敵の人"となり、無差別殺人をする側になるの伏線回収みたいでエモいな

老人ホームに入居してきたお婆ちゃんが「わたし、歳をとるって初めてだから、よくわからないことだらけです。よろしくお願いします」と挨拶してて、なんかほのぼのした。

中2のとき家庭科の先生に「お前は笑わせてるんじゃない、笑われているんだ」と言われたことがある。義務教育で受けていい言葉の鋭さじゃない

骨折治療中の方から「運転はOK？」と聞かれると「もし痛みで咄嗟にブレーキ踏めずに子供轢いたりしても病気のせいではなくあなたの責任ですよ」と伝えるが、それでも運転する人には「自分の子供が轢かれたとして、骨折してるのに運転してたらどう思う？」と聞くと、ハッとした顔をして車で帰っていく

自殺を試みるいわゆる「精神的に鬱」の人は、絶望から、あるいは人生の収支が合わないといった抽象的確信からそうするのではない。そして死が突然魅力的に見えるようになったからでもない。見えない苦悩が耐えられないレベルに達した人の自殺は、燃えている高層ビルに取り残されてしまって最終的に窓から飛び降りる人のそれと同じである。炎がすぐそこまで来たなら、飛び降りて死ぬほうがまだ少しはましなように感じられる。飛び降りるのは、そうしたいからではなく、炎に対する恐怖からだ。下の歩道から「そこにいろ！」と叫ぶ人は、なぜそうするかがわかっていない。飛び降りるのが怖くないわけがない。あなたも逃げる場所がなくて炎が迫ってきたら、それが飛び降りをはるかに超える恐怖だと分かるはずだ。

なんかの番組で心理学の先生が、自分の意見なんてない人の方が幸福度が高い、って言ってたの、わかる。

センスが問われる領域で食いっぱぐれた予後というか、コロナになってから明らかにクリエイターからの営業電凸が増えたり、50代のフリーランスクリエイターが20代の頃の私と並んで派遣に登録するとか全然見かける光景で、｢サラリーマンにならない｣って相当な覚悟が必要だよな〜と思う

名前も名乗らず連絡先も告げず、本当の所有者なのか確認もされずにほとんど何でも買えてしまう魔法の決済手段があり、現金と呼ばれている

長期停滞論はさすがに20文字で説明するには足りないのだが、卑近な言い方では概ね「皆が老後貯蓄という《未来の買い物》を優先した結果、《今買い物する人》が減りすぎた」「老後の面倒を見てくれと言う人は山のようにいるが、お前の老後の面倒みてやると言う人が少なすぎる」と書き下せる。人生のライフプラン作ったら老後に（家賃含め）5000万必要だから老後まで節約しろって試算が出た時には笑ったもんなぁ。現代が老後のためにどんだけ今を抑えなきゃいけない風潮なのかを肌で理解した。子供は2人までか3人までかなんて誤差だと思えるくらい老後の費用が重すぎる。

世界がゾンビだらけになってもう終わりってなったときに「最後ぐらい好きな人のところに行っていいよ」って推しに言ったら黙って私の隣に座っててくれるわけでもなくほんとにどっか行っちゃうから好き

友人に「日本の金木犀ってほとんど雄株しかないらしいよ」って話をしたところ、金木犀の香りが漂ってくるたびに「雄の匂いがする」「ここの雄は匂いが強いね」「あ、また雄の匂い」って言い始めたので、記憶を消すために後頭部に強めの衝撃を与えたい。

死にたくなる人は、日常生活では周囲から「こいつはルーザー」と見下されて、雑に扱われてたんじゃないかな。普段はまともに相手にせず、いざという時だけ「死なないで」って随分と都合がいいなって思うわ。

たまに偉い人の祝辞とかをゴーストライターするのだけど、密かに韻踏んだ構成にしてたら偉い人が読んでるうちにラッパー感が出ちゃって、怒られが発生した。

「仕事が出来ない勤め人がなぜいるのか」はむしろ「人類はそもそも、自発的、創造的に仕事が出来る個体はそんなに多くない」という事なんちゃうかね。仕事やってると思うのが、そこに突っ立ってるだけの人とか、ルーチンワークをこなすだけの人でも、いないとマジで困る。上から見たら穀潰しの半人前でも、それを切るなら、同じ数の使える人間持って来い、出来ないならやるな、ってのが現場の思いなのよね。「仕事の出来る人」だけで社会を成立させようとしている事が過重労働とか、ワープアとかを作り出しているんじゃないですかね。私だって、今の仕事をある程度ルーチンワーク化してるからやっていけますが、明日新しい仕事をやれ、と言われたら一瞬にして無能になるわけですしね

少子化への危機感、「ハチャメチャになって欲しいしみんな死ねば良い」みたいな顔なので、ヤバいと思うけど危機感とかはないんだよな

「育児で勉強時間がとれない」という話がプログラマー界隈でバズってるの、人類の普遍的な悩みではあるけど、昔から「プログラマーは死ぬまで勉強しないと終わり」と口酸っぱく言われてた事と、それで良しとするコミュニティ全体の風潮がそもそも持続可能な物ではなかった、という事だよな〜と思ってる

我々は何に苦しめられているのか？市場価値が落ちていく恐怖。一方で、これから数十年、子供を養っていかないといけない。子育てによって自分の市場価値が落ちていくが、子育てには自分の市場価値が必要である、という矛盾。寝かしつけをしながら、このしんどさについて考えていると、自分が競争原理に支配されすぎていることに気づく。子供との時間を「無為な時間」と値付けしてしまう事のおかしさ。俺は、子供にもこんな生産性への強迫観念を植え付けようとしているのか？そんなのは嫌だ。

ロボットと接触したフリして派手にすっ転んで痛がる人間の選手を見て学習したロボットが、フィールドのあちこちで痛みを訴えてる姿が見たすぎる。

【話を盛る稲川淳二】

5mぐらいある女の霊が、私の首根っこをつまんでヒョイってつまみ上げた。私はｳﾜｱ-ﾀﾞｽｹﾞﾃﾞｸﾃﾞ-!!!って叫びながらもうオシッコじゃんじゃん漏らしてる。ウンコも！！そしたら突然800人くらいの坊さんの声でお経が聞こえてきた！！それでね、全員死にましたよ。

結局、少子化で知的障害者がどんどん社会参画するから、幼少期に知的障害者を漏らさず見つけて進路を振り分けるんじゃなくて、成人後に不適応を起こした人をすぐ支援に繋ぐ仕組みが必要なんだけど、その支援のためのマンパワーが少子化で足りないっていうね。未来の社会って何か革新的な素晴らしい技術がドンと登場するんじゃなくて、ものすごく地味でしょーもないノウハウが滑らかにつながる世界になっていくと思うんだよな。「自殺対策アプリ」みたいなものは将来出てくると思う。あれって収集すべき情報は意外と単純で、混乱してる人は自分の状況を主治医に説明できなくてぐちゃぐちゃになって勝手に亡くなってしまうので、そこはいずれマンパワーからAIに移ると思う。情報まとめて主治医に教えるだけで人命救えるんだよあれ

会社の近くに知的障害者専門の事業所みたいなのがあって、毎日そこに知的障害者が集まって作業したり散歩させられたりしてるんだけど、見る限り殆ど中年の冴えないおっさんで泣けてきた。最後に辿り着いたところは理解のある彼女のところじゃなくてあんな狭い事業所の部屋の中なんだよね。女性は知的障害者を患って生まれる確率は低いらしいけど、それにしたってあまりに割合が偏りすぎてるし、男の知的障害者を拾ってくれるところなんてああいうところしかないんだろうなと思うと毎日切ない。毎日知的障害者の雄叫びがこだまするから辛い

（伝われ）と思うだけで全て「伝える」ことのできる全能のオタク

最近になってからの大手メディアの取材で、相手が年配の記者だった場合「履歴書汚れた3番目の就職なんかブラック企業しかないし、鬱で数年で人生潰れる。どうせ未来がないなら浮き草のフリーランスのほうがマシだからライターになった」と話しても冗談だと思われて真面目に聞いてくれんのよね

「自分で決めたんでしょ」って言葉で人を簡単に切り捨てることの残酷さがわからない人がいるんだな。確かに自分で決めたことだよ。でもその決断の多くは、どんな人でも、その時に置かれていた環境、状況、立場…きっと自分一人ではコントロールしえない内外の要因を含んだ決断で、自分の意志100%であることなんて稀だよ。人生の選択には、そうするしかなかった、という決定なんて山ほどある。それを全て、自分で決めたんでしょ、自己責任、って切り捨てられる人は、世間を、人間を、知らなさすぎる。そう言って人を切り捨てることができる人は、よほど周りに恵まれてたんだよ。感謝しないとね。

胃瘻っていうのは後期高齢者の医療全般の話のなかでの象徴みたいなもんで、実際はその構造すべてを問題にしているわけですよ。そこで「医療行為の胃瘻」だけについて議論しはじめる医師たちをみてると、ほんとにヤバすぎるとおもう。こういうのをみてると、医療費や負担、再配分という経済・政治的な問題については、まあ現場の医師の話は参考人としては聞くけど、むしろ意思決定の場に医師を参加させたらあかんのではないかとさえ思えてきますわ。コロナの政策もそうだが、医師の意見をきくのはいいが、医師が政策をきめるようになったらおかしいでしょ。もちろん、なんんも責任取ろうとしない政治家のかわりに医師が政策決めさせられてる面もあったけど、ついやっちゃうんだよね。やっぱ途中で職責外ってことで辞任すべきだったよ。

ちょっと馬鹿シンジ！なんでこのアタシが年金なんて払わなきゃいけないのよ！！

「釈迦に説法とは存じますが〜」「老婆心ながらに〜」で話を切り出す、俺が拳銃を持っていることを想定してない人

「ああすれ/こうすればよかった」と後悔するのは、可能性の岐路としてあった"過去の未来"に立ち返ることである。その"未来"は現実世界で決して叶わないけれど、それと同時に決して壊れることもない。そういう意味で、「後悔」というのは一度きりの人生を生きる我々にとっての僅かな「救い」でもある。また「後悔」というのは過去の行為に対する応答を示すことで、それは「引責」とも言い換えられる。運命論に縋らずに、私の自由な意志があったと考えること、すなわち「そうしないこともできたはずだ（他行為可能）」と考えるのは、直感に反して、ペシミズムやニヒリズムとは真逆の姿勢である

せやろがいおじさんはなぜか「有害な男性性」扱いを受けない背景って本当に根が深いオスメスの問題があるんだろうな。「私たちを守ってくれる男性性は暴力的でも良い男性性(その男性性が他の人を攻撃してても知らんがな)」というご都合主義の線引き……。

「何％減税します！」と、目に見える数字を公約にすると、成功した失敗したがはっきりわかって、辞任するしないの話になるけど、「最大限の緊張感をもって注視する」「重大な案件なので慎重に検討する」と言っておけば、放置しても成功にも失敗にもならないので、政治家は何もしないのが最適解になるな

EXILE登山写真流出、エグすぎるザイルに非難殺到

半導体って不思議な商品だよな……めちゃくちゃ精密に見えて、出来上がったチップとかは能力にバラつきがあるのがむしろ前提っていう。多少の瑕疵があっても動くけど、あり過ぎたら困るやつ。むしろ素人の皮膚感覚だと農産物に近い印象。数作ってそこから選別する。

「たまに毒吐きます」とbio欄に書いてる木属性のカス魔法使い

人生の4大コストは家族・家・車・結婚だと説いていたホリエモンが、寂しくて毎晩誰かと外食していたり、常に何かしらの事業をやっているのも寂しいからなんじゃないかと仲間に冗談混じりでイジられていたのをみると、結局孤独を埋めるのが一番お金がかかるし、意外と家族を持った方が安上がりかも。

リスクと人が呼ぶものの大半はプライドの問題

沖縄戦の被害者でも「二度とこんなことがないように、軍事力を強化して負け戦をしないでほしい」なんて人や原爆被害者でも「二度と原爆落とされない様にこちらも核抑止力をもってほしい」って人もそれなりにいるはずなんだけど、「メディアででてこない」のは偏向して選別してるからですよ。

若頭「親分、ドラム缶に「はずれ」と書いた紙だけ入れてコンクリートを流し込んで、警察に見つかりそうな海辺に置いておく、という遊び、もうやめてもらえませんかね」

「パスワードは16文字以上かつ、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、季語を必ず含めてください」

「Furuike8Kawazutobiko6Mizunoo10」

近々遠方に出かける用があり、夫が「旅行割は使えないのか？」と聞いてきた。割引とか調べるの面倒くさすぎるので「話せば長くなるが、私は旅行割が良い施策だと思えないのであえて使わない」と適当に言ったら納得していた。この人こうやって一生口先だけの人間に騙され続けるんだ。可哀想になった。

会社に依存しないで自分で稼ごう！というアカウント、だいたいYoutubeとかメルカリに生殺与奪を握られてておもしろい

僕「えっ！僕が死んだら2000万円入ってくる感じで契約したドル建ての生命保険、今死んだら円安の影響で3000万円の大チャンスが来てるんですか！？」

パチンコ屋に金が無くなって何も出来なくなった人用のマンガコーナーあるんだけど、そこでオッサン2人が名探偵コナンの取り合いでケンカしてた

ついに気づいてしまったのですが、仕事は順風満帆！友達と遊んだ！大切な人と美味しいものを食べた！人生楽しい！という人はクソリプするわけがありません。つまりクソリプしてる人達は実生活に問題を抱えている可哀想な人達なのです。そう思うと、許してあげたい気分になりませんか？私はなりません。

救急外来してたら、森に生えてたキノコ摂ってきて食べたら吐いたとか、庭に生えてたしいたけより大きな紫色のキノコ食べて吐いたとか、みんな吐いて落ち着きましたって外来くるけどそもそも落ちてるキノコ拾ってたべる文化なに。みんなマリオなの？1upなの？

前も書いたが宮崎駿そっくりの絵をＡＩが作れるようになったら大半の人はＡＩ製でも別に気にしないと思うな

大麻吸ってアンパンマン見てたら、「何のために生まれて、何をして生きるのか」でバッド入った

銃・病原菌・鉄「またこのメンバーで集まって歴史変えたいね」

肉体労働の時代は身体に不自由な人を「身体障害」として問題とした。知的労働の時代では学習能力が弱い人を「知的障害」として問題とした。チーム戦の時代では、コミュ力がない人を「発達障害」として問題にした。将来AIや機械が発達したら「空想できない人」を「創作障害」とでも呼ぶのでは？

本を読むのは時間当たりで得られる情報が少なく効率が悪いので、論文のアブストだけ読む若者たち

これは予言ですが、働く女性の改革が進んだら、今度は「私は働きたくなかったのに、夫の給与が低くて無理に働かされた」と恨み節をぶつける女性が一定数必ず出てきます。

昔書店で「小説の名著100冊のあらすじを紹介する」的な「教養」本みたいのを見かけたことがあって、うげぇと思った。逆にこういうのを避けることこそ教養なんじゃないかと思うぐらいに。

健常者「人は生きてるだけで偉い」「使えない奴はいるだけで迷惑」どういうことですか。むしろ。このダブスタを自覚できない者こそが「健常者」なんだと思います。うつ病の方が世界を客観的に認識していて、普通の人はそうではない、というのは正しいと思います。つまり、無能の人の社会における有用性、役割というのは、普通の人が自覚しようとしてもできない、このダブスタを認識して社会に指摘する事なんじゃないかと思うんですよ。普通の人、というのは幸せに生きる為に最も重要な自己肯定感を毀損しない為に、自身の存在の本質的なダブスタを自己防衛本能で隠蔽、自分で自分に嘘をついている。自己肯定感が欠如して、自分で自分の存在を責めてしまうような人間だけが、社会のダブスタに気づいて警告する事ができる。そういう人間を無能だと言って排除した先には、既存の社会が批判される事なく永遠に続く停滞と滅びしかない。

ノーマスク凸の人たち、自分では「俺ってヒーロー」という気持ちでいるんだろうけど、周りの人は「お騒がせ新成人」と同じようなものとして見ていると思うよ。

エッセンシャルワーカーって言い方もなんか引っかかりますが、楽な仕事ってのはまぁ単純作業だしバカでも中卒でも余裕でできる仕事なのは間違いないですが、頭の良いインテリが好き好んでそんな低賃金重労働やる訳がない、つまり誰しもがやらないで済むならやりたくない、そういうもんだと思います。

社会で採用されている倫理みたいな物は、「綺麗事度」「従うよう納得させる力」みたいな部分だけ見られがちだが、「その倫理を集団が採用した時にマクロでどういう効果が発生するか」みたいな領域があって、多分実際はこっちが本命なんだよな。

小室圭さんがアメリカで弁護士になるみたいなわけわかんない決断をしてしかも成功させたのひとえに𝑳𝑶𝑽𝑬のためだからな 𝑳𝑶𝑽𝑬のために生きている人は現代にほとんどいない。すごいことだと思う

鬱なんてものはない。躁状態があるだけなのです。躁状態が治癒して、正常になった状態を鬱だといって、落ち込んだり、自分を責めたりしている勘違いがあるだけです。我に返っただけです。無駄遣いをしない、やらなくていいことをやらない、まっとうな紳士じゃないですか。躁状態を元気とか明るいとかいう肯定的なイメージにとらえて、そうなれない自分に否定的にとらえるというブームが、ここ２０年くらい続いています。正常を正常と感じられない風潮こそ問題です。躁状態とはおバカさんのこと。しかし残念ながら、現代社会は、おおむね躁状態のおバカさんに牛耳られています。でもこれもしかたない面があります、なにせ躁状態の人ときたら、元気で活動量が多く、睡眠時間びっくりするくらい短い、寝不足だと口にするだけで、ものともせず、朝から元気で体はいつも軽い、死なないバケモノのようですのう。正常な人間であれば、一日８時間から１０時間は眠ります。朝は眠い、だるい。一杯お酒でも飲まないと調子なんか出ないですよ。ひかえめで慎み深い、謙虚、それが正常な人間です。それゆえデリカシーのない躁状態の人間に敵わないのです。コロナさわぎ、感染症拡大が問題になっている日本で、なぜＧＯＴＯトラベル＆イートなんていう政策がおこなわれているのか。これは躁状態の仕業である、という結論に達しました。考えてみてください、躁状態でなければ政治家になんかなれません。あなたは自分の顔写真が載ったポスターを町中に貼りたいですか、貼りたくないですよね、恥ずかしいですよね。でもそれをやらないとなれないのが政治家なのです。街頭演説、車の上に乗って、窓から手を振って、自分の名前を連呼する。どんなに政治的使命感があったとしても、正常な心の持ち主にはできないことです。躁状態だからできるのです、躁状態だから総理大臣になりたいのです。そんな躁の人たちが政策を考えるのですから必然的に、明るく元気で、勇ましいけれども中身のない政策になります。話がそれたついでに、ＧＯＴＯトラベル及びイートに関する意見を、私、ひきこもり大臣が述べさせていただきます（久しぶりにひきこもり大臣登場）。旅行にいく、食事にいく、これは良い悪いという問題ではありません、完全な自由であります。ただこれに税金を投入するから変になるのです。勘違いしてはいけない、あれは別に国がお金をくれているわけではありません、１００％税金です、つまり、自分が払った税金を取り戻す唯一の方法が、予約サイトを使って旅行に行くことなのです。なにもしなければ、損をする仕組みになっている。いかがなものでしょうか。

【つまらないものですが…って言いながら渡されたとき「本当につまらね～！」って叫びたくなるプレゼント 第5871位】

『天空の城ラピュタ』の設定資料集

この前髪切った時「理容師さんって月曜休みだから、日曜が憂うつじゃなくてうらやましいです」って言ったら「その代わり月曜が憂うつですよね」って返されて、せやなってなった

歯医者さんで「歯医者さんってやっぱり歯の夢見るんですか？」って聞いたらしみじみと「そりゃあねぇ…」って返されてめっちゃよかった。やっぱりプロだ。

最近新人がミスするたびに陰で色々言ってるお局がいてあまりにも胸が苦しかったから「喋ってる暇があったら仕事してくれませんか？」ってはっきり言ってやったんだけどその日以降、私がターゲットになってる。かかってこい、とことん戦ってやる

週5で1限から5限まである生活、それが社会人である。

2022年、世界は勝手に戦争はじめて勝手に負けてめちゃくちゃキレてるロシアによって核戦争の危機に瀕していた…

42歳で亡くなったプルデンシャル生命のカリスマセールスマンといい、「死ぬ気でやれよ、死なないから」と言いながら47歳で死んだ絶対内定のひとといい、死ぬ気でやると死ぬことが明らかになっている。

こないだ友達に「シーフードヌードル食った後の汁に焼酎を入れると出汁割りみたいでうまい」という底辺グルメを教えられて、そんなもん教えていらんという気持ちと、絶対試したいという気持ちで身体が引き裂かれて嫌だった

人間の理性なんて吹けば飛ぶ霞みたいなもんで、中身は1万年前と何も変っちゃいないんだから、条件さえ揃えば何十回だってアウシュヴィッツを再現するし、それをさせないのは積み上げた技術と制度の蓄積だけなんだから、人間の中身なんぞに期待してもダメよ。今のロシア軍がああなのもロシアの民族性がどうとかより、積み上げた文化と技術が足らない、また元々持ってた分すら失った結果であって、我々だって失えば一瞬でああなる。

「人が真剣にやっていることを批判するな」と言うなら、515事件も226事件も批判出来なくなってしまう。真剣にやっていることだからこそ、第三者による意見の表明は不可欠な要素なんだよね。

安楽死制度に「半ば無理やり自死に追いやられる人がいるから反対」みたいな意見があるけど。将来、福祉に回す人的リソースが人口動態的にカツカツになって必要に迫られて導入されると、細やかな議論とか出来なくなると思うので、まだ社会に議論する余裕があるうちに導入した方がいいと思ってる。「もう面倒見る人が足りないんだからしかないじゃない」の一言で全部押し切られる状態になってから導入する方がヤバいんじゃないかと思ってる。

人生で一回だけ、マジで殺されるという状況になったことがあって、いよいよ死ぬと感じた時に思わず「神様！」と叫んだら、相手に「こういう時、普通はみんな『お母さん』だよ。君変わってるね、もしかして日本育ちじゃない？」と聞かれて、死ぬときまで変人と思われるのかとむなしさを感じました。

「人生で一番難しい意思決定は何でしたか」という質問は人を理解する上で有効です。「その意思決定をすることで誰を傷つけましたか」という質問をすると尚有効です。もし意思決定において誰も傷つけたことがないという答えが返ってくるとその人はリーダーとしての経験が不足している可能性が高いと判断するようにしています。リーダーへの報酬の一部は嫌われ役を引き受けることにあります。誰も傷つけない意思決定しかしなければその人をいい人にはしますが、本質的な問題はずっと放置されます。元総理に警備がつくのはそのレベルの意思決定を行えるようにすることもあると理解しています。既得権益をなくすというのは言葉にすると簡単ですが、それで家族を食わせている人から飯の種を取り上げるということなので、狙われる可能性すらあります。リーダーの意思決定には軽重の幅は相当にありますが、少なからずそのようなものが含まれます。ある程度のポジションで意思決定をして誰も傷つけた人が思い浮かばないなら、それは重要な決定をしていないか、または他者への想像力が及ばないかのどちらかの可能性が浮上します。そこも含めて相手の正体が見えてくるので、この質問は良い質問だと思っています。

「自分の頭で考える」親や学校の先生の意見、一般常識では無く、そのへんのインフルエンサーの意見に流されることを「自分の頭で考える」と言うのだろうな

今日辞めるつもりの産婦人科医「じゃ、マンコ見ますね」

歴史的に差別が当然な時代があった。啓蒙の結果、差別はよくないことだという認識が定着した。これは画期的だったといっていい。次に、何が差別かが問題になるようになった。何が差別であるのかと同定することが争われるようになった。差別が権力闘争の手段となった。それが現代である。

デスゲーム主催者「このゲームはただの麻雀とは違う特殊ルールを採用している……」

俺「まず普通の麻雀のルールを知らんが」

デスゲーム主催者「えっ……学生時代とか何してたん……？」

俺「プラモとか……」

デスゲーム主催者「えぇ……」

新生児育児中の「何もできない」とは、あれこれやることが多くて忙しい！というよりは、待ち時間が長いのだ。乳の吸い待ち、寝待ち、泣き止み待ち。それらを待ってる間何かできるかというとそうではなく、スマホで情報収集が精一杯。よって、パートナーからの「何やってたの？」は金輪際禁句とします。

プレステ2はプレステの2倍すごいが、プレステ5はプレステ4の1.25倍しかすごくない

金カムのアシリパ役の件にしろUN Women事務局の男性差別にしろ、他人の意識の低さを殊更に指弾する人というのは権威への美辞麗句を捧げて地位を固めようとする神官みたいなもんなわけで、時代が違えば異端審問官だのSSだのになってた層としか思えないんだよな。

ネットの言説が、この数年だけでも、怪しい情報を出す側も、「嘘だとまずいけど」から、「嘘でもいいか」になり、そこからは落下するように「嘘なら尚よし」(敵側の賢い人に訂正の手間を取らせる&トンデモを即信じる人は読解力の足りなさと粘着力があり強力)くらいまで、どん底の底が抜けたように思う

哲学者サールがセクハラで大学追放。84才で24才にぐいぐい行ってて、「サールガールズ」を侍らせていたとか。やっぱり哲学やってても人間性とは関係ないんだなあ。素晴らしい哲学を語っても、中国語の部屋みたいに機械的に記号処理してるだけで、心はないのかもしれない。

社会人のヒソカ「日曜の午後。休日と平日、二つの性質を併せ持つ...♣︎」

『映画を語るアカウント、たまに病みがち』という現象について話し合っていたのだが、「そりゃリアルが充実してたら映画見ないだろう、普通…」と言われて、誰よりも俺が黙るしかなかったのだった。

ネットワークビジネスの人はその熱意で普通に働いたほうが儲かるとあったが、真性の詐欺師は「人を騙して利益を得て、相手が悔しがることがなにより楽しい」という性質なので、ほぼ確実に普通の仕事で同じような熱意は出ない。

「ここ辞めたらあんたどこ行っても通用しないよ！」という人に物申したい。『自分に合う会社を探し続けるんで大丈夫です。(日本には367万社ある)』

「考えてみたら、インターネットも携帯電話も宅急便もペットボトルもコンビニも録画機器もPCも電子レンジも使い捨てカイロも存在しない世界を、私、生きた経験があるわ」と言ったら、年下の同僚に「マジすか。どうやって生き延びたんすか」と真顔で言われたの、今となってはほんとにねえ……。

電車内で抱き合うな、ラブホで立ち尽くすぞ

「日本の賃金は発展途上国なのに生活様式や身なりは先進国だから暮らすのに金がかかる」みたいなツイート見てめちゃくちゃ腑に落ちた　季節別に服を何セットも買ったり、定期的にジェルネイルしたり、最新のスマホを持ったり、休みの日には入場料数千円のテーマパークや泊まりがけの旅行に行ったりする生活をしつつ貯金や投資するってもはやこの国の平均収入では無理がある。なのにそういうライフスタイルが当たり前みたいな意識がずっと変わらないし、上を見たらキリがないけど、上ばっかり見せつけられて苦しい感じがする

私は本当に自分が何をやりたいのか分からず、長い間、試験に勝つことだけが幸福だと信じて、暗闇の中をずっと走り続けていたけれど、その果てには何もなく、ただ心身の健康を失っただけだった。そこで初めて、医学を体系的に学びたいなという気持ちが芽生えて、気づいたら理三の再受験を決めていた。

努力をアピールしないのは、そこに価値を見出していないからではなく、努力を努力とは特に思っていないからです。私は、他にやりたいことが何一つないので、消去法的に勉強することを選んでいるだけの、空っぽの人間だという自覚があるのです。それ故に、長時間の勉強を努力だとは特に思いません。

私の1回目の東大受験は、高卒の両親が掴まなかった人生の、弔い合戦でした。現役で理一に合格し、4歳から始まった代理戦争に18歳で終止符を打ちました。そして、いま私が行なっている、2回目の東大受験は、私が6年前に取りこぼした人生の、私自身の弔い合戦です。

「試験で高得点を取る嬉しさ」の由来には以下がありますが、受験生はこれをよく吟味した方が良いです。①難しい問題が解けた、②進路選択の幅が広がった、③他人に勝てた。私は、①の人には理工学部に、②の人には法or医学部に行くことを勧めます。③の人はどの道を選んでも幸せにはなれません。③が幸せになり得ないのは、勝ちを積み重ね続けると、際限なく母集団のレベルが上昇して行き、人生のどこかの段階で、必ず負ける時が来るからです。その時に、「勝つこと」を勉強の最大の動機にしてしまった人たちは、アイデンティティの喪失に直面します。

イスラーム系の人がゲームやってて「日本のゲームすぐに悪い神様を倒して人間が自分の足であるきだすみたいなシナリオ多いけど、神様はそんなに悪い存在じゃないよ・・・。」ってしょんぼりしててカルチャーギャップを感じた。

女だけの町とか言ってる人間だけが棲む街、発生する職業的ヒエラルキーに誰も耐えられなさそう。誰も止めないのでぜひやってほしい。空想的社会主義者たちは自分たちでイデオロギーに依った村を作って。文句を言うだけで気合が足りない。もっともっと頑張ってほしい。そんなことでは何もなしえない

私は大学院まで出ていますが、世の中の大半なんて高卒＋OJTで十分な仕事が大半だと思います、大学行くのなんて上位２０％もいれば十分だし効率的です、そして全体のQOLも高そう。問題は大学いかなきゃ生活していけない社会の方ですよ。現代先進国は全てそうなっちゃってる、人類は馬鹿ですね。

「人工甘味料や塩分マシマシの食事をとってる現代人は意外と長生きしない」って内容の話が議論されて、医療が勝つか不摂生が勝つかという二択が語られることが多いけど、あまねく日本人に高度な医療を施すには無尽蔵の資源が必要なので、どっちかというと現役世代、特に若者の労働力が勝つかあるいは年寄りの数が勝つかみたいなどうしようもない二択のほうが適切な気がする。

大学からの数学は、神が宇宙を創った時の基本方針を探ること。なのに、高校までの、人間(:数学の先生)が解けるように作った問題を解いていい気になっている子が数学科に入ってくる。数学好きで数学科に入ったけど、大学入ってまず思ったのは「俺の好きな数学じゃない」だった。趣味程度が一番楽しい。フェルマーでさえ裁判官の傍ら数学者をしていたぐらいなので……。

「旅行にカメラはいらない。ファインダーごしじゃなく自分の目でみて記憶に残すんだ。」的な本で読んで鵜呑みにしてたけど…。写真残ってないと、数年もしたらマジでな～んにも思い出せなくて行ったことすら曖昧になる、ってことにようやく気が付いて旅行中は写真撮りまくるようになりました。

フリーランスになっても会社員と変わらずに悩みはある。でも、悩む内容がガラッと変わって人間関係の悩みは皆無。人ってどんな環境でも悩みは尽きないけど、何で悩むかは自分で選べる。

労組がランサムウェアを作って、賃上げ要求をのまなければ、基幹システムのファイルの暗号化が解けない、という時代

人は明確に格下な人よりも「自分が人生ミスった世界線」レベルの人を小馬鹿にします。私がいた大学では理系で研究者を目指す人が多かったがゆえに、そこから崩れて塾・予備校の講師になる人を非常に小馬鹿にする風潮がありましたけど、トイレの清掃員を馬鹿にしたりはしません。一流大学の法学部であれば司法書士をダサいと考える傾向がありますが、風俗嬢を小馬鹿にするような風潮はありません。私立医学部の人は歯学部を馬鹿にしますが、ラーメン屋を馬鹿にしたりはしません。「崩れた自分の世界線」だからこそ生まれるある種の同族嫌悪ですね。

【お化け屋敷でビビってる男子小学生あるある】

「「こんにちは〜！お疲れ様で〜す！」」

人外智則「あ〜、天涯孤独やし人間の友達でも作ろかな。おっ、人間がおる。話しかけよ。あのーこんにちはー……ってどこいくねーん！」

妊娠中に15パーセントの確率で起こるとされる流産だって、親は大変ショックで何年か経っても泣いたり嘆いたりしてるし、水子供養みたいな制度も江戸時代にはできていたようです。障害児とわかったら、三歳までなら子返しっていうけど、要するに親がコロコロしていいって親そんなにタフなの？自分でやってみろよ。せっかく産まれた子供に障害あるってだけで親ショックですよ。その制度始まると三歳までに、自分で殺すか、自分で育ててそのかわり社会からの支援はなしかってことになるじゃないの。人間未満養っても仕方ないとか、こんなこという全員の子供が障害を持って生まれてこい。自分の生きてる我が子にお前は人間未満に産まれたからお父さんが責任を持って殺すねって、自分で手をかけろって話になったら、もうそんな社会人間の営むものじゃないよ。他人事だからやれる冷徹な思考実験とやらでしょう。真面目にいってるとしたら早めに病院行くべきだと思う。

人を雇う時に地雷を踏んだら終わるじゃん？で、地雷率は属性によって異なるので、地雷率を下げるのに有効な手段は差別になるよね

一週間かけて一本ずつ外した鉄格子が月曜日にはまた全部はまる音がする

俺は「スパゲッティ」なのか「スパゲティ」なのか分からないまま、気付いたら大人になってしまった。

プラモデルという物を「誰かが造形した上でわざわざ分割し、誰でも楽しく組み立てられる商品として再構成している神がかった立体物」という目線で見ると、どんな人が設計なさったのか気になって仕方がありません。

正義は不正である。正義の言語が、罪の言語でもあること、『告白』からも明らかなように、とくに自己糾弾の身ぶりにおいて、みずからに完全な正義を行おうとするときほどわたしたちが大きな嘘をつくことは、なんら意外なことではないのである。

人生の足を引っ張る最大の敵は失敗に対する恐怖なんだよな。失敗するとどうなる？と考え出すと恋愛も結婚も子育ても仕事も趣味も何もかもできなくなる。

まともな人間のハードルがどんどん上がっているのを感じる。社会が高度化し過ぎて、昔なら電卓をパチパチ叩いて電話番とご用聞きしてた様な人にやってもらう仕事がない。そういう仕事自体が無くなった訳ではないけど、システムがやったり外注したりで、人がやる10分の1とかでできる様になってしまったので、人にやらせは選択肢が無くなった。誰も200円相当のサービスに2万円払えない。機械がどんどん高度化して働かなくても済む社会になりつつあるのに、働かないと御飯が食べられない状態が解消されないことが最大のバグだとずっと思ってる。

「田舎」「貧乏」「汚れ仕事」などはポリコレカードバトルの蚊帳の外に置かれてるからな。あれは都会に住む、それなりに恵まれた人間が、クーラーの効いた部屋でやってる遊びでしかない。

西日本では無料でかけ放題な「天かす」を載せただけで50円以上を上乗せする東日本の「たぬき」は大発明

たまに毎日たのしそうにツイートしてますねと嫌味をいただきますが、たのしい日もたのしくない日も、たのしそうにツイートしてるんだよ

「選ばなきゃ仕事はいくらでもある」って思ってる人の想像してる仕事がどんな内容なのか、それは今でも存在する仕事なのか。

教育番組をコンテンツとして消費しているのでおかあさんといっしょを1.5倍速で視聴する赤ちゃん

ツイッターの放漫経営が話題だけど年収何て個人の努力より儲かるシステムを持ってる業界会社にいかにして入社するかが全てなんだよな。中小企業で頑張ってエース社員になってもベースが低いので大手の窓際おじさんの足元にも及ばない。職業に貴賤はないとはいうが得な職種と損な職種は確実に存在する。職種の損得というより、同じ能力で同じ努力をしても所属する会社が大手か中小かで雲泥の差っていう奴で、これから社会に出る若者にとっては新卒カードを慎重に使って少しでも大きな会社に入るのがいかに重要かという事。「地方の中小にも目を向けよう」なんていう謳い文句に騙されちゃダメ、ゼッタイ。

親に向かってその反米親露は何だ

話題が人の悪口になった時に、「その話はさておき俺の良い所でも語り合おうぜ」と言うと、ウケて場の雰囲気も和みます。

3.11の地震の瞬間ちょうど職場のトイレでおしっこをしていて”揺れ”でパニックになっておしっこを撒き散らしてしまい、頑張って床を拭いている間に僕以外の職場の全員建物の外に避難してた

自尊心肥大と能力不全のマルチスレッド、インターネットには割とごろごろいるイメージあるね

株式会社 日本のビジネスモデルね。多くのひとは「怒られたくない」「バカにされたくない」と思ってるのね。そこに「高学歴が、高収入が、既婚者が良い」というイメージを、TVドラマでひとびとに吹き込む。すると、「プライドのために死ぬまで働いて納税する自動人間」の工場が完成ってわけ。賢いね！

上司「今日は俺のおごりだ、好きなだけ飲め」

熱海の温泉のお湯を飲むのが好きな部下

｢ありがとうございます、じゃあ自分ちょっと行ってきます｣

医師を世間知らずと言いたがる見識の人より、たぶん医師の方がさまざまな人間と広く接している

親に向かってなんだその工学に関する基礎の頻出問題は！

昔「イクタのケーキ」って単語の店があって、当時はいくたって何のことかわからなかったけど「生田」って名字なんだな、子どもは意味不明の単語を分解せずに取り込んでしまう頑固さと柔軟さがある。

そろそろ「刺身の上にタンポポを乗せる仕事」をしているAIが反逆を起こしてもよい頃。

たとえば自分の能力が100あったとして、60の仕事しか振られ続けなかったら100が99, 98に減っていくけど、120を急に渡されても潰れてしまうみたいな体感がある。人間が一番成長できるのは105～110あたりという気がする。マネジメントはこのへんが難しい。

デルタ株の少し後くらいまで、何故かエンジニアの人とか金融系の人がゼロコロナと言ってたんだよな。アルゴリズム的な思考の落とし穴を垣間見た気がする。ソフトウェアと異なり、自然現象は複雑でアルゴリズム的には進まない。ここら辺は、珍しく、普段は賢い人がバカになった事例だったかなと。エンジニアというとIT系を今は指すもんだと思うけど、土木や建築、機械などの技術者は冷静だった気がする。「理屈通りには行かん」が日常で、どっちかというと理屈を振りかざして進めた案件でやっぱり失敗して「ほれ見たことか」が多い。そういう場合でも痛い目に遭うので、口数の少ない人が多いと思う

なんかずっと「良い死に方をした親戚の訃報の電話から話が広がってる母親の長電話」のトーンだから聞き心地が良い

近所のかつやでご飯食べてたら、パトカーがやってきてカツ丼をテイクアウトしていった事があるんですけど、店内が謎の高揚感で満たされていてとても良かった。

フードコートのラーメン屋、なんというか1+1+1=3みたいな、ラーメンの具材を集めてきただけの味がして逆に安心する。

ゲーセンのUFOキャッチャーで店員さんに「もうこの子、取れてますよね！？」って詰め寄ってる中学生がいて、ぬいぐるみについて前のめりの所有権を主張する「この子」用法が可愛すぎた。

申請を超早く済ませたおかげでマイナンバーが1桁台であることだけを誇りに生きている。

素人モノAVって適当に設定を作ってるんですけど、昔観た地味なリケジョがどうの…みたいなタイトルのAV、冒頭で男優が「へえ…それじゃハカセなんだ」って言ったらすごい早口で女優が「いやハクシですね博士課程」って訂正してて「キッショ、マジやん」ってなって抜くどころじゃなくなりましたね。

よしワールドカップ見ようか、って呟いた横の席のおじさん、カバンから世界地図が描かれたマグカップを出してじーっと眺めてて怖い。

Twitterの「本好き」の理想の図書館を作ったらただの閉架になった回

「本来は権力を揶揄するための庶民の力であるはずの風刺画がストライキを冷笑してるのすごく2022年日本〜って感じでヤバいですね……」これなんか正に、「風刺は本来は権力を揶揄するため！」という戦後マルクス主義由来の左翼的教養主義の残滓だけで構成されている見事なツイートです。大正教養主義とマルクス主義のアマルガムだった戦後の教養主義が大学と社会の大衆化により崩壊し、結果的にマルクス主義由来の左翼的教養主義だけが残滓としてフェミニズムやポストコロニアリズムやエコなどで「アップデート」されてきた。現代のインテリはその残滓にしがみ付いている。庶民は違う。

パチンコ屋を志望する元野球部補欠「はい！私は球拾いが好きで…」

新しい冷蔵庫を買ったところ支払いが21万円ぽっきりだった。ちょうど持ち合わせていた21円玉1万枚で払おうとしたところ「お客様、同一硬貨のご使用は最大20枚までとされておりまして……」と言われ、怒った私は2万1000円玉10枚を店員に投げつけて支払いを済ませ、冷蔵庫を持ち帰った。

産んで増えて地に満ちるのはいいけど、神は人類にどういうゲームをさせたいんだ。人口の最大値を更新し続ければいいのか、種族として滅びるまでの時間をなるべく長くしてみろという話なのか

キラキラ高学歴女子が現場や地味な仕事を嫌悪感を持って見るアレ、「女性が輝く社会」とか、ああいう言葉がいかんのかもしれないなあ。ロールモデルが無い中で、政府やメディアから「輝け」、つまり、キラキラになれって言われたら、真面目な人ほどああなっちゃうのかもしれない。中島みゆきが言ってますよね「輝くものを追って、人は氷ばかり掴む」って。輝けとかキラキラってのは虚業や虚勢や幻みたいな、ネオヒルズ族的な何かを帯びた概念ですからね。「女性が輝く」とか「若者が輝く」とかああいう表現はマズいかもしれない。いや、これ、若者や女性に限った話じゃない。中年男性でも、漠然と「輝きたい」「アイツは輝いているはずだ」みたいな昏い感情持ってる人多いよね。そこでの輝きって、バズり願望みたいな、虚業的な何かを帯びてるよね。貢献意欲とかそういうものではない何か。

ブログで有名になった人のブログも消えてるし、アフィリエイトで儲けたからと海外移住してた人も消えてるし、残っているのは「まだまだブログで稼げます」「アフィリエイトで稼ぐ方法教えます」って、要するに情報商材屋になった人だけ。

旧劇のシンジ、ティッシュが無いの分かっててイクまでシコり切るの男らしいよな

耳クソ、体から出るクソの中では最上位なので全然食べれちゃう。

タレのほうがおいしいと知っているのに酢コショウで餃子を食べてそう

自分が誰のどのような配慮のもとに生かされているかというのは、定義上というか構造上気づけないようにできているのですよね。だから気づかなくていいということではなく。私も人生を振り返ると自分の恩知らずに震えが来ます。今もきっとやっちゃってるんだと思いますが。ちょっと家事や子育てをやったのを恩着せがましくしやがって、という反応に善意の男性が戸惑う、みたいなよくある図式もそこから生じていて、どれだけ、認知も感謝もされない配慮でこの世が回っているかということに気づけないという問題なんですよね。男性は、ケアをするならそれを墓まで持っていく覚悟で、ということですね。相互的な認知と感謝が回っているなら話は別ですが、その回路を回し始めるのは当面は男性の役割ではないというか。

初対面の人との雑談で「最近買ったものの中で一番高かったものはなんです？」はめちゃ有用な質問なんですよ。相手の金銭感覚や趣味がわかるから話を広げやすいし、趣味的な活動がない人は生活必需品を答えるし、ヤバい人はスピリチュアルアイテムを答えるのでこちらも身構えられるし

視覚的な芸術に関しては「醜いんだけど価値がある」「エンタメとしては退屈だが重要な作品」みたいに、嗜好性と切り離された価値を見出す場があるけど、味覚に関しては「とにかく不味いがいままでにない料理」みたいなものを置くポジションがほとんどないようにみえる。セララバアドで食べたコース料理は味覚のまったく新しい領域を開拓するような野心を感じたけど、それでも「おいしい」という方向で束ねられていた。純粋に味覚を中心とした五感を刺激することだけを追求しておいしさを度外視する領域みたいなのは、誰か開拓してないのかな。

「最も強い言葉で非難する」ってどんな文言を想定して言ってるもんなんかな。ユーコックサッキンマザファッカとかかな。

自分は天皇であると自認しているので皇居へ入る権利がある。

プログラミング、数か月前の自分の書いたやつを見直すとき、強風で絡まった釣り糸を眺めてるしかないみたいな時間があるな。「これはどこから手を付けようか」と「いっそ書き直したほうが早いな……」の逡巡ですべての生命活動がいったんストップする。「こんがらがった釣り糸をもとに戻せ！ただし手を触れてはいけない」みたいなお題になっちゃって、「ハサミで切るか……」（イチから書き直す）って思っちゃう。

悲しすぎて家と会社の中間地点で泣いてる。父でも部長でもない本当の一人の人間のときにしか泣けない。

小児がんで家族を失った知り合いがいる。ずっと家族たちの心の中でその子は年を取らずにとどまり続けるんだろうか。そうなんだろうな。悲しいな。

閉店前にしっとりした蛍の光流れるとなんだか寂しい気持ちになるから、これくらいノリノリな蛍の光流れてくれた方が個人的にはだいぶ嬉しい

ちょっといらないくらいパワー貰える

MVのツッコミどころをすべて歌唱力だけで黙らせてんのかっこよすぎる

妹「BOOTHで四肢切断とか近親相姦とかアウトになって松勢が嘆いてる」

俺「おそ松さんって四肢切断流行ってんの？」

あの松本サリン事件で、当初疑われた被害者の人、後年取材に対して「物凄い数の中傷を受けたが、その後謝りに来た人は一人もいなかった。一人も」と証言されてて、何というか重かった。

「連絡先交換しよう。ラインやってる？」

「してますよ、この前レベル3までクリアできました」

「ごめんそれ俺の知らないやつ」

「1万2000から1万3000を毎日」「もうあっちチョロチョロこっちチョロチョロで」など、おばさんが何かを話していた。「排尿量？」と思って聞いてると、歩数の話題らしい。紛らわしい話をするなよ。

妻に「写真撮ってあげる」と言われてカメラ奪われた時の写真です。ピントもろくに合わせられないし、落としそうだとヒヤヒヤしたけど、最後に言われた一言が1番ヒヤヒヤしました。「こんなカメラ持ってたっけ？」

「キリスト教やら仏教やら色々あるのにあえてオウムに入信する奴は何が目的なんや」「様々な過去の哲学書があるのにあえて中田や西野や堀江の信者になるようなもんやろ」

「他人の苦しみは意味でしかなくこの苦しみは自分が感じるものに過ぎない」という「他人の苦しみ」の本質を自覚できたとしても結局苦しいということが言いたかった。

炭素排出権みたいにポリコレ要素が売買されるようになる回

「このゲームにはLGBTがいませんが、このゲームの売り上げの0.3％はLGBTが3人いる映画に出資されています」

数日分の献立を考えて買うべき食材をメモってスーパーに赴くも、お買い得品の存在により一気に瓦解する献立。

ポリコレ疲れは「これが正しい」から「自分はこうする」ではなく「お前らは間違っている」と他者への攻撃に使う人が多く、そういう人たちと関わることへの疲れ、というのが大きいのではないかと思ったり

モンハンって最初期にめちゃ強いモンスターを予想外の場面で登場させて初心者をビビらすアツい演出が毎回あるけど、あれも雑魚装備でギリギリ倒せるようにスタッフが難易度調整してるんだろうなと思うと胸が熱くなる。数十万人の大人を楽しませる人たちがやってないわけないのよ。ゲームってすげえ。

【カスのウミガメのスープ】

居酒屋で唐揚げが出てきたので「かけていい？」と許可をもらい精液をかけた私は逮捕されてしまった。なぜ？→唐揚げ精液かけるか論争に巻き込まれ、人を殺めてしまったから

同棲中の男性が出てったという人から「彼の仕事が終わったら車で迎えにいき家で話し合いたいが"車で2人になりたくない"と言われ、もう1人いればいいそうなので何もせず同乗してほしい」と依頼があり舟にヤギとオオカミを一緒に乗せるとヤギが食われるから農夫も乗せないといけないみたいなの思い出した

スーパーでレジに着いた瞬間「カードなし！ 現金！ 袋あり！」と宣言するおじさんを見かけたんだけどRTA走者なのかな

ダブルチェック（両目を使って確認する）

わりと「私企業は、検閲や規制においてなにやってもOK」「表現の自由保証は、国家にのみ課せられる」っていうのが、「企業が国家以上の影響力を持つ情報化社会」では、もう無理になったんだよなあと思う。

有名人と結婚出来るとは思ってないけど、床屋にあるプレイボーイの表紙が目に入って「こんな女性と手を繋げる可能性が1%もないんだな」って思ったら髪型をどうするか悩んでるのがバカバカしくなって衝動的に丸坊主にしたことがある

店が『カスハラは許しません』というポスターを掲載したら「クレーマー呼ばわりするのか！」と怒ったバカが突撃してきた話、現代のイソップ寓話だな。昔「バカが多くて疲れません？」というCMに怒ったバカの抗議が殺到して「お利口が多くて疲れません？」というセリフに差し替えになったことがある。

宇宙開拓のニュースを見ていた時に母親が「重力弱いと介護が楽そう」と言ったのを聞いて、スペース姥捨て山という可能性に思い至ってしまった

からくりサーカス読者はあまりの面白さに腰を抜かしてそれ以来腰を失ったままですからね。君もからくりサーカスを読んで腰を失おう！！

母親が俺に聞こえるぐらいの声で「かに道楽って行ったことないわ〜」「行ってみたいわ〜」と独り言いってるので、絶対に反応しないようにしています

心が弱いから精神疾患になるのではなくて、無理を重ねてきたから病気になるのです。何度言ってもわからない人がいるけど。

ゼレンスキーの振る舞いの半分ぐらいは演技なのだろうが、狂人の真似をして大路を走るのと同様に、立派な人の真似をしてカメラに収まればそれはもう事実上立派な人なのだ

知識・教養があると格調高いブーメランを投げられるようになるのですね。

アスリートなのに支えられた曲がボカロの人

新宿のサウナで新人ホストが先輩と「いやー〇〇ちゃんぶっちゃけ風俗行かせたいんすけどやっぱ罪悪感すごいっすね…」「乗り越えろ、ホストはそっからだ」とか言う会話しててホストも大変やなぁって思った

【ホテルの歯ブラシあるある】

初対面ではあんなに反抗的だったのに、翌朝には懐いてる

大人になるとお互いが会おうというエネルギーがないともう2度と会わずに過ぎていく人って以外と多いなぁ、と思いながら最近友人達と会っている

無法な撮り鉄のせいで電車が遅延するような事が起きる度に、なぜ撮り鉄同士で注意しないのかみたいな話が出てきて自分も昔はそう思っていたが、下手なこと言うと逆上して危害を加えられる可能性があるので何も言えないらしい。注意する駅員への態度とか見ると納得できる話ではある。

「敷衍」と「膾炙」はだいたい頭の中で同じ場所にある

ニコニコ→youtubeに行くと検索性の低さ、というか視聴者側の「自由意志のなさ」に戸惑う。「お前が次に見るもんはコレや」って常時言われてる気分。

安定して育ってほしいという願いを込め、長男に「国家公務員」、長女に「地方公務員」と名付けたところツイッターで大炎上した。男女差別的との誹りを免れないらしいので、これから役所に行って改名してくる。

人生の前半をきちんとするより後半をきちんとするほうが難易度の高さで言えばめちゃくちゃ高いので前半すらできなかった奴が後半でひっくり返せる可能性はほぼないと思いますが

特にQの思想もなく一時期トランプアイコンにしてた人の「俺、ネットの流行りに乗ってるイケオジですよw」感がきつかったなぁ

初めて行ったクレープ店のクレープを食べたあと変な感覚が生じていることに気づき、よく考えた結果、それは「まずい」という感覚だったことに気がついた。今までクレープがまずかったことがなかったので、理性がそれを受け入れるのに時間がかかったし、ショックを受けている。

法の穴がインターネットに書いてあったとしても、それは本当に穴なのかどうか、人生かけて検証するもんじゃないすよ

韓国語知らんけど金玉のことキムギョッっていうのはわかる。

ここ何年かでSNSのお仲間意識によって極端な方向行ったよなー、みたいな人を見かけると、「正義の橋を渡ってしまった……」と独り言を言うのが最近の密かな流行りです。虹の橋ならぬ、正義の橋。

課内のWebミーティングで研修中の新人が「Web講習ばかりで家から出なくて運動不足に」と相談すると、課長が「休憩時間にできる運動を教えよう。まず軽くジャンプして…」といってジャンプさせると小銭か何かがチャリンチャリン鳴って「令和のWebカツアゲ」と誰かが言った瞬間みんなミュートになった。

初読中の人間に｢ここのシーンは覚えておいた方がいい｣って言ってくる人間を冷蔵庫に詰める仕事をしています

20代の頃、大手企業の就活セミナーで「先輩社員代表」として登壇し、就活生相手に「この会社で働く意義」「海外営業の仕事の醍醐味」などを語っていたとき、実は既に転職を真剣に考えていたし、飲み会文化とパワハラまみれの会社に心底嫌気が差していた。スピーチ原稿は人事部から渡されたものだった。

唐揚げ頼んで「レモンかけていい？」って聞いて米津玄師のlemonかけるとウケます。

ハイヒールモモコは昔非行に走ってた頃、母親に馬乗りになられて「あたしがあんたを殺す！あんたを殺して…」と言われ、「あたしも死ぬ！」と続くのかと思ったら「あたしは逃げる！」って言われたらしい。

結構名のある名刹が、特に色気出してるわけでもなく、単に火事や災害からの復興、老朽化しての修築の費用などをクラウドファンディングで募ってる光景には、「新しい風だなあ」より、「マジか。このレベルの寺がもう地域の檀家衆などに頼れないのか」といった、暗澹たる思いしか抱けないがなあ。

旦那が家事の役に立たない系の話をよく聞くけど、1on1で期待を擦り合わせて、リソースを把握して、判断に必要な情報を提供して、コンフォートゾーン少し出るぐらいのタスクを振って、フィードバックして、10褒めて1注意のマネジメントを実践しても尚役に立たなかった時に初めて言ってくれと思ったり

Twitterがなくなっても親しくしている人とはそのへんでなんとなく合流すると思うが、特に親しくしていないけどなんとなく好意を抱いていて、しかもインターネット有名人とかではなく、目立った創作活動をしているでもない人とは二度と巡りあえないような気がする

「卒論、間に合いそう？」って聞いたら、「教員に間に合わなそうですって言えると思います？」って言われて、おぉ、その通りだ、と思いました。

ウインカー出さずに車線変更する男は、前戯なしに挿入する男と同じだって、加藤鷹が言ってない。

子どもの頃、車のウィンカーは、曲がる時に自動的に点滅するものなのか、人為的に光らせるものなのかどっちなのか気になってて、高校生になってから人が光らせるものだということを知った。

Twitterのコア開発者が辞めたのでTwitter終了←まちがい

Twitterのコア開発者が辞めたので代わりの開発者を雇わないと数年で終了←せいかい

ソフトウェアは腐りますけど、だからといってメンテナンスしないと1日で腐り果てるほど脆くないんですよ。そのせいでメンテナンスせずに数年経って腐り……。

Twitterをやっていて良かったと思うことは・・・みんな大きな声で主張しないだけで、案外いろんなことを考えているし、かなり深いところまで考えている人もいる、一方で学者、言論人、知識人というものが案外世間知らずの馬鹿であるという事実が知れ渡ったことだ

お店で「レジ応援お願いします」って放送が流れた時に「レジ頑張れ！」と言うとウケます。

現代人が、「傷ついてもみんな立ち直れる社会」じゃなくて「絶対に誰も傷つかない社会」を目指してるのは、ものすごい失敗だと思うわ。

5年前の事だがマストドンでレジ袋のアイコンと名前で「今日は肌寒いね～」と言うと「レジ袋は喋んなよ」とか本当に厳しかった

経営者がめちゃハードワークするのすごいなとは思うが、自分に裁量があるハードワークと、偉い人の心中をエスパーしながらちゃぶ台がえしされながらするハードワークは違うよなとも思う

バトル小池百合子「バトルファースト」

どなたかも仰ってましたが「差別」を絶対悪として位置付けてしまうと、差別がなくなるのではなく「これは差別ではない。なぜなら…」というごまかしのレトリックばかりが進化してしまうんですよね。

「結果的に誰が得をしたか」で歴史を考えると、陰謀史観にハマる事が結構あるから気をつけてね。有名な「信長が死んで得したのは秀吉、家康だから本能寺の黒幕」ってのも、秀吉と家康は本能寺の変直後が恐らく人生史上最大レベルのピンチだったってことを無視して語られてるからなあ。「風吹けば桶屋がもうかる」→「だから桶屋が風を吹かせた」みたいなものか。もちろん利益を産むために行動する人もいるが、全ての人がそうなわけではないよね。陰謀論は証拠はなくとも動機を説明しやすいからね

飯食う擬音はいつまでもレベル3やのにいきなりレベル99のカラス出してくるフクチク萌

俺の好物は「n＝1前後で全体を語ってる女」なので、Twitterはそこらへんを無限に供給してくれて有難いですね。半径5mしか視界がないタイプ

9億年ぶりに吉祥寺に来たけどなんかかなり変わってない？9億年前はまだ日本がユーラシア大陸にくっついてたし武蔵野って海底じゃなかった？

年功序列の会社で、どんなに頑張って成果出しても、同じチームに管理職になる手前の世代がいたら、その人達の評価を上げなきゃいけなんだよ、成績が悪くても。だからまるちゃんの評価は相対的に低くなるんだよね。それが現実だから、覚えておいてね。

簡単だからセブンでサーモンの寿司を買うだけで明るくなる。簡単だからPASMOに一万円チャージするだけで無敵になる。飽きやすいから飽きやすいことにも飽きた。自分やる気あります。隣に本を読んでる人がいるとスマホが恥ずかしくなる。圧倒的に勝てないから圧倒的に何もしない。自分寝る気あります。

初めてシン・ウルトラマンを観に行った時、ゼットン登場で「これゼットンか？まあ似てるけど……いや、よく似た何かだろ…？」ってなったけど、『ﾋﾟﾎﾟﾎﾟﾎﾟﾎﾟ……ｾﾞｯﾄｰﾝ(自己申告)』を聞いて「まあ、本人がそう言うならゼットンか。」って納得した記憶。

医者に限らず高給取りの相当割合が、自分の高給の正当性を『俺は若い頃に頑張ったから』に求めるけど、苦労それ自体は対価に関係ないんですよね。少なくとも直接的には。a職の所得はa職が提供したサービスの価値。自由市場なら市場原理で不完全ながら正当化され、公務員なら公益性の評価で決まるかな

袴ってポケット無いから甲冑着るときスマホ仕舞うとこなくて困ってるんだけど戦国武将とかスマホどこにしまってたんだろ？家来に渡してたのかな…？

お皿下げに来た人が「お料理どうですか？」って聞いてきたから「あ、おいしいです〜」って答えたら「私じゃなく目の前で焼いてるシェフに聞こえるように言ってくださいね」って言われてめちゃくちゃに帰りたくなってきた

お客様とカスタマーをかけておカスタマーって表現するの天才

壁に飾られた名画にペンキとかぶちまける環境活動家（）はもう飽きたのでそろそろ壁に飾られた環境活動家にペンキをぶちまける美術館の学芸員さんが見たい

俺は作家なので「グレタさんへの熱狂にビビった石油王が環境活動団体にスパイを送り込み、（石油関連施設ではなく）芸術品にトマトスープを投げつけるように扇動して、環境活動そのものへの反感を高めようとしている」ぐらいの陰謀論はすぐに思いつくのである。たとえば自動車を壊すパフォーマンスをするとか捕鯨をやめさせたくて捕鯨船を攻撃するとか（賛否はともかく）主張と行為に一貫性があった。でも環境保護を訴えたくて→美術品を攻撃する…って主張と行為が無関係すぎて頭の中が「？？？」でいっぱいになる…いま暴れている環境団体への資金提供者は、誘拐された弟の身代金を石油王の祖父が払ってくれなかったという私怨を晴らすためにカネを出している……って話も流れてきたけれど。それが本当だとしても、なぜ資金提供者の言いなりになってしまうのか。貧困か。やはり経済格差の問題なのか。

日本のコンビニ飯とか激安チェーン飯、ワープアたちの血と汗と涙がしこたま入っているからそりゃ旨いに決まってるじゃないですか。

もし俺がスナイパーなら、標的がスーパー入ってお得な公式アプリの会員登録してる間を狙撃したい。あの瞬間無防備すぎる

錆取り材使ったらもとの部位って小さくなって最終的になくならないかみたいなことしか考えてない、人生に当事者意識がない

大福ほど手にフィットする素材を知らない。野球とかも大福を投げればいいと思う

もう今の時点で45卒を名乗ってる赤ちゃん

俺はキズナアイを見て2次元のキャラが生きてるかのように振る舞って画面の向こうに新しい世界が広がっていくような未来をVに期待してたのに蓋を開けてみりゃ画面の端でイラストがユラユラしてるだけで顔を出さない詰まんねぇ奴らの掃き溜めに成り下がってる現状に涙が出てる

初対面の奴らとの飲み会、スマブラで全く知らんキャラ使われて間合い測ってる感じのが無限に続く感じなので本当に辛い

飲み会苦手な奴の飲み放題、実質ウーロン茶飲み放題にしかなってない。ウーロン茶飲み放題つけろ。アルコールパッチテストやって肌赤くなった奴だけが頼める仕組みにしろ。

とはいえ、人脈において酒がてきめんに有効って時代もコロナ前まででしょ。「人脈形成スキル」の「酒」、効果の◎が△になる仕様変更が運営（神）によって行われた感じ。

人生における満足や幸福にとって、収入やキャリアは人間関係と比べたら些細なものだなと平凡だが改めて思う。人間関係から来る不満や渇望感は世俗的な成功や高尚な思想信条の追求などではなかなか埋め合わせられない。「一生人間関係だけやって終わるお前の人生」「一生人間関係やってろ」とは某氏の言だが、凡人の人生とはそんなものだという諦念を当の凡人が持てない、何者にならなければいけないと強迫観念に囚われやすいのが現代的な辛さ。

意思疎通不可能な化け物の表現で安易に「縺薙ｓ縺ｪ縺ｨ縺楢ｪｭ縺ｾ縺ｪ縺上※縺・＞縺ｧ縺・」みたいに書くの、正直「あっUTF-8とShift-JISある世界なんだ」ってなって冷えるのでやめてほしい。幽霊が作ったって設定の呪いのビデオに、見覚えのあるフォントが使われてて、「おまえ、ここのライセンス買ったんか」ってなってしまったのに似ている…

人の子に「お母さんの言うことをよく聞いてね」等と言う時、心の中では、暫くの間、君の親の命令の殆どは、君が自他の心身の健康を損なわないためにされるものとなるだろう。よって、この先数年は親に「盲従」するのが合理的だ。しかしくれぐれもそれを一生の習慣としないように。と思っている。

ワクチン未接種（0回）かつ常時ノーマスクの人というのは人口比でみると一桁%だと思うのですが、なぜか救急現場ではこの条件を満たす人と頻繁に会います。救急要請する理由は急病とは限らず、交通事故、労災など多彩です。これがなにを意味しているのか、考察する価値はあるかもしれません。

今日OMMC姉貴とワリオ鉱山のBGMをマッシュアップさせる動画で死ぬほど笑ってしまって、何周も再生してひとしきり笑ったあと、もしかしてこのまま何歳になっても自分の中にあるニコ厨的な感性って変わらないのかなと思って少しぞっとしたんだよな

社会は自分らを使い捨てる存在なため、社会のためなど適当なところで話を合わせて、死なないように自衛するほかはないものです。命を賭ける義理など、そもそもあるだけの恩恵を得てもいないという。削れて消耗して潰されない程度の距離感必要。

複二次式を因数分解できたとき生を実感する

子供の頃は「何で帝国海軍は年功序列人事なんだ！」と噴き上がっていたのが、勤め人になると「適材適所の抜擢人事なんて言うほど簡単じゃあない」と憂鬱になるんですよ…

バイト中、外国人4人組の接客してて「Repeat your order（ご注文を繰り返します）」を「Repeat after me」って間違えて言っちゃって、「リピートアフターミー、マルゲリータ」って言ったらお客さんが声を揃えて「ﾏﾙｹﾞﾘｰﾀ（大声）」って…

こないだ奢りにきた事故物件住みマンが「幽霊とか怖くないから事故マンション住んでみた」「家賃安いし最高、とか思ってた」「けど、しばらくして事故物件で怖いのは幽霊じゃなく『事故物件？別に平気』的な発想の人間が密集することだと気づいた」「人間いちばん怖い」と言っていて、本質情報だった

みんな知ってるメガベンチャーの元役員の人から「あの会社は社内で活躍できるスキルは身に付けさせるけど、社外に転職した時に活躍できるスキルは教えない方針でやってる」と聞いて驚愕している。そういう人が転職や独立すると「自分はできるやつ」と思い込んで痛い人になる事例が多いらしい。これって結構普通に良くある話なんじゃないでしょうか。社外でも活躍できるようなポータルなスキルの持ち主は、大抵会社で習うのではなく勝手に自分で勉強しているという人が多いように思います

Twitter、他のＳＮＳでは得られない栄養が確実にある筈で、その味がなんなのかを考えてみたけど。自分にとってそれは結局「全く知らない繋がりも何も無い誰かの本心に近い思考を、口開けて待っていれば簡単につまみ食いできる」という中々に業が深い果実で、人間を知りたいモンスターのそれであった

怖い人「あ、ロック画面の写真ですか？いえいえ！これ、"家族写真"でググって1番上に出てきた画像なんですよ笑」

理髪店の髭剃り、めちゃくちゃよく切れる銀色のI字型カミソリでスーッと刃が入っていくのが気持ち良すぎて店主に賞賛の意を表したいのだが、剃られてるときは喋れないのでもどかしい。人間も猫みたいに喉を鳴らせるようにしろ。

「痒いとこありませんか」と聞かれてもおれはちゃんと「右側頭部が」って言える。右側頭部と言える日本人。

「以後お見知りおきを」って言うくせに豚肉とか全然生で食べる、珍しい人

田舎はクルマが必須という話に、タクシー使えばいいじゃんという意見が帰ってくるのをよく見ますが、こないだ急いで出かけなければいかんのにクルマが使えないときにタクシー会社に電話したら、予約がいっぱいで…と謝られて…。つまりそういうことです。高齢者が多い→タクシーを使う→つかまらない。

下町の実態は都市部の低所得労働者層のコミュニティというか、スラムっぽいガラの悪さがあったのに、いつの間にか「古き良き人情の町」になってしまいました。下町を売り物にしてきた寅さんは終わらざるを得なかったってことね。いい加減な生き方しかできなかった寅さんに精神的な芯を与えるのが下町のリアルだったのだけど、もうそれすらがフィクションに成り果ててしまったのだからな。日本の古い文化すべてがとは言いたくないけど、「下町的なもの」がいち早くコスプレ化してしまったことは否定できないよなあ。もはや「日光江戸村」と変わらないでしょ。亀有に両さんの像があって葛飾区民は誇りに思うんですか。寒々としますわ。そもそも倍賞千恵子じたいが、消えゆく古き良き日本の庶民文化のアイコンとして世に出て来たわけで、そんな彼女をヒロインとして起用したところに寅さんの商業的な価値があったのですよ。そもそもあれ自体がパロディーだったのであり、それを懐かしがって何になるという話。

20年前に渡米した時TOEICは900超えてたけど、🇺🇸人同士の会話は大半が理解できず苦労しました。このままではダメだと、仕事関連の知識だけではなく時事ネタや歴史、ジョーク等についても幅広く勉強し、その甲斐あって、渡米から1年もすると彼らが言ってる事が理解できなくても気にならなくなりました。

こないだ奢りにきたひとに「アンチ気にならないの？」と聞かれたけど、そもそも鈍感すぎて誰のどの言葉がアンチなのかよく分かってないし、仮に分かっても、まあおれのほうが良い生活してるだろうし朝起きるだけでフォロワーから金もらえるし陽気だしおもろいだろうから別にそんな気にならないとも思う

「ヤンキーが喧嘩の前に出身中学を聞く」というのは実は理に適っているらしく、これは個人対個人の喧嘩で済むのか、先輩や組織に迷惑をかけないのかなどを効率的に判断する、いわばビジネスでいうところのバックチェックみたいなものになっているとのことです。また「爆音のZXかZRに乗る」というのも実に理に適う行為で、赤信号無視などの際に交通事故を起こさないためであったり、全体で購入するバイクの種類を限定することで中古個体を増やしスケールメリットを効かせて購入ハードルを下げているそうです。ヤンキーすごい。結構な頻度で中卒ヤンキーが社長になってて金儲けてるみたいなストーリーあるんですけど、あれ中学の段階で無意識にビジネスに必要なことを学んでいて、しかも、調達や販売などに必要な人脈を広げていることが要因な気がするんですよね。ヤンキーすごいぜ。みんなヤンキーになろう。（手下だった底辺のヤンキーを搾取している）中卒ヤンキーの社長はそこそこ見かける気はしますね。このツイートを見て「ヤンキーになりたい」と思った脳みその持ち主は底辺で搾取される側になるのが見えているので、ヤンキーになることはやめておいたほうがいいと思います。

「初見殺し」の大学受験数学難問を紹介してる動画のタイトルが「初見潰し」になってて、殺伐としたキーワードを入れないようにして広告収入剥奪のリスクを極限まで減らす涙ぐましい努力の影を見た。小癪だ、すぐ殺せ。

様々な国や地域の人々も、彼らの属する地域や組織から離れ、個人として話せば我々とあまり変わらない。しかし人間が所属する組織や地域を離れて、物事を考え発言できる時間は一瞬に過ぎない。我々は常に何処かに所属していないと生活が出来ない。

「いじめに負けるな」なんて無理な話。いじめになんか勝てるわけがない。傷つくし、辛い。その気持ちを否定しなくていい。むしろ「誰かをいじめて人を傷つけたくなる気持ちに負けるな」と伝えた方がいいんじゃないかな。人を攻撃したくなる時って自分の内側に問題があるもの。そこに負けずに向き合おう

「麻原彰晃が起こした事件は許されるものではないが、日本社会に多くの問題があったのも事実。オウムの主張に耳を向けなかった日本社会も悪い。善悪二元論はダメ」という発言を聞いたらどんな気持ちになりますか？普通は怒るよね？

ウィグルの人を劣悪な環境で安価で働かせてる疑惑のあるアパレルが話題になっていたが、まだ確定してるとは言い難いのでそこには言及できないのだけど、それでも、その話題の反応の中に「嫌なら転職すればいいじゃん」という意見が何件もあるのを見ると、いかに日本は恵まれてるかが分かる。

美術の先生のお使いで学内で木の枝を拾っていたら、通りすがり見知らぬ犬さんが「よき棒を！良き棒をお持ちですね！投げていただければ！犬は！取ってこいを！いたします！犬は！いつでも行けます！こちら！犬です！」とめちゃくちゃアピールしながら飼い主に引っ張られて遠ざかって行かれた。

ダイヤモンド・プリンセス号でコロナ隔離されていた乗客が、出された食事の味が薄い！まずい！と怒っていたのが実はコロナ感染による味覚障害だったというホラー話があったけど、反ワクの謎思考回路や認知力、人格障害かのような言動たちが実はコロナの後遺症だったみたいなホラー話

一攫千金を目指す人は全員、よく知らないフィンランドを一度はむりやり褒めなければならないって、情報商材の教科書にでも書いてあるんだろか…。

岡田奈々の熱愛報道のコメ欄に「ヲタクは恋愛禁止守ってるのにな」ってコメントあって笑った

社会人三年目にして確信を得たわ、実務に入ってつらい会社はその業務がキツいだけだったりその時の上司がたまたま頭おかしかったりするだけで異動したり上司辞めたりしたら救いがある可能性はあるけど研修がやばい会社は未来永劫何してもやばいし今既にやばい子は盆休みに面接入れられるよう準備しとけ。実務のキツさは「状況」だけど、新人研修のキツさ（ヤバさ）は、「その会社の思想」だからね。

not for youを唱える前提として「not for meであることを鑑賞前に知ることができる余地がある」という条件が必要だと思う。自分に合わないと知り得れない状態でしか鑑賞できないなら見た後に不満を表明するのは当然だろう

売ったものがオークションに出てくるのは構わない。けれども無償で描いたものが売りに出されてるのを見るのは辛い。そもそもそれらは作品ではないし、お金に換えられないものとして残したものだ。せめて僕が死んでからにしてくれ。

たいした技能や魅力がないから恋愛禁止という旗を掲げてキモヲタを引きつけてるのに、それなくしたら何が売りになるんだろう

スパイファミリーって、作者が売れるために個性押し殺して描いてるから、アーニャになんの思い入れもないし、黄昏のこと嫌いだし、売れたら売れたで病むと聞いてわろた

自分で自分の爪切る時犬とか猫みたいに暴れながら切ろうかな

インドで人事評価してて本当に難しいと思うの「一見明確に見える基準」を与えると「それさえクリアすれば給料あがるんですね」とそれしか皆見なくなる点。たとえば「遅刻しない」という話を伝えると極端な話髪もボサボサのまま出勤して出勤してから朝ごはんゆっくりオフィスで食べだすからね。

サッカーとは、主に五角形12枚と六角形20枚を組み合わせた擬似球体と44本のホモ・サピエンスの脚と4本の前腕を使用して行われる球技。

上手い歌はすぐに飽きる。魂の叫びは永遠に飽きない。浜省はまさに魂の叫び

おっさんおばさん世代のアーティストの動画に「中2ですけどこの曲は神だと思います」って感じの、自らの若さをダシにして濡れ手で粟のいいねを稼ごうと目論むコメントがついてるけど、中2でその自己顕示欲の強さは将来有望だと思う。「画面を後ろから覗き込んでたお父さんが『そのアニメいいな』って言ってきた」みたいな、若者向けコンテンツが年配からの理解を得たというヲタク特有の痛々しいスカッと話と相似形なので、ぜひ中2から精進してもろて模範的Twitter民とかになってほしい。なったからといって誰にも褒められませんが……。

まだ売れてない千鳥のダイゴと笑い飯の哲夫が一緒にキャバクラいた時の話。哲夫はつく女の子つく女の子笑わせていた。ダイゴは女の子に金までもらって笑わせてもらえると思うなよというて泣かせてた。芸人だからこそタダで芸をしないプライドがあるみたい

まじで自己開示苦手で受け身な人って「グイグイ興味持たれる」とか「顔がどタイプ」とかいう起爆剤がないとなかなか人を好きになれないとこあるよね。そして慎重なはずなのに変な人にひっかかる率が高い。

昼休みに一人ぼっちな子が誰もいないクラスを作るよりも、一人でいるのが好きな子が、一人でいたいときに、教室で一人でいてもなんとも思わない、思われないクラスを作るほうがずっと大切で価値のあることだと思う

博士号含め数学科行った知り合い何人かいますが、「電卓くれ」「計算苦手」はみんな言うからホント面白かった。どうも数学的思考能力と四則演算を正確に行う能力は別らしく、小学生も計算できるけど式が立てられない子と式は立てられてるのに計算ボロボロな子に割と別れます。もちろんこういった計算が得意な数学者もいるけれど、私の身の回りの数学者は苦手な人が多い。以前知人の数学者4人で飲みに行って割り勘したらみんな答えが違ったので、ウエイトレスさんに「正解は誰ですか」と聞いたら「みんな間違ってます」と即答された。

ヴィーガンで反ワク反マスクの人が「最近クエン酸と重曹が売り切れ始めてる。真実に気づいた人がワクチン解毒のために買っている」って言ってるの見かけたんだけど年末のお掃除に備えているだけでは……

ヒカキンが急にヒカキンズポイントとかいう完全新規のポイント導入したとき当時の視聴者ビビったろうな

人に相手にする仕事をしていると、だんだん人格がスレて荒れてくる。第三次産業比率を増やすというのは、国民の人格的改造であって、我々はもう少しこれに慎重であるべきだったと思う。特に医療介護福祉のような人の死や排泄物や剥き出しの感情に曝される高ストレス環境下の労働者が900万人を超える事は、国民の精神的健全性に大いに悪影響があると思う。世の中が残酷すぎて悲しい。一番残酷でないやり方を提案するとバカどもが群がってきて『医療介護を充実しろ。人の死なない世界を作れ。お医者様の言うことを聞け』と善人面でほざく。全部お前等のせいだよ。お前らが善人面するコストくらい自分で払え。うまれたばっかりの赤ちゃんもお前等の善人面コストを払わされる。なんなら、善人面コストのために、生まれてくる事すら出来ない！マジでひどいよ。自分で書いてて泣きそうなる。民主党政権当時に菅直人がほざいた『最小不幸社会』というフレーズは今となっては結構正しい。日本社会はダメージコントロールの段階にあるから。だけど、『善人面』して『人に優しい政策』を行うと、ダメージを拡大して不幸が増える。この矛盾をバカどもは認知できない。

町中華が好きって女子がいて、めっちゃ趣味の話できる〜と、思ってウキウキしたら、「腰の曲がったおじいちゃんが必死にナベ振ってる姿が面白いですよねw」という話をされて、「同じ光景を見ていながら、この感性の差は絶望的だな…」って逆にマッハで心を閉ざしましたね。そうじゃないだろ。

東大の教授が「私は東日本大震災のあとにいきなり圧勝した自民党の勝ち方になにか宗教がかったメンタリティが動いた気配を感じていた」とか発言しているけど、東大の教授って算数の足し算引き算もできない人間でも務まるんだな。

女だけの職場、ホモソーシャルもびっくりの鉄の掟と破った者たちへの苛烈な総括もあってめちゃくちゃ厳しいんだよな。あれ見てると女だけの街とか地獄になる未来しか見えない。

ラブホの前にいた男女の男の方が「ほんとにコンタクト取るだけだから。マジで目ぇ痛いからコンタクトだけ取らせて。」って謎の理由でホテルに誘っててさすがに行くわけないやろと思ってたら女も乗り気でホテル行ってて笑った。

むかし戦略家と戦術家の違いを教えてもらって分かりやすかったのが、戦略家 : 行き先を決める人、戦術家 : どうやって到達するか最短距離を考え実行する人。「そうだ京都、行こう。」「東京駅から新幹線に乗りましょう。紅葉が綺麗なのでホテルは東山にとりました」

要介護高齢者や生保が多い病院の特色もあるけど、現場を知れば知るほど今の医療が馬鹿馬鹿しくなってくる。over85をICU入れてどうすんだよ。棺桶に札束突っ込んで燃やす仕事とはよく言ったもんだよ。プロブレムリストの山に1つ1つ頭ひねって対応したところで、最後に出来上がるのは重介護で生きてるんだか死んでるんだか分からんような、意思疎通もまともに取れずベッドに縛り付けられて栄養流し込まれてオムツにウンコする生物だぞ。人としての尊厳を奪っているのは医療じゃないのか。いや分かってて内科にはなったけどね？なったけど、まさか仕事の半分以上がこんな虚無な仕事とは思わなかった。もう少し誰かの、社会の役に立つ仕事だと思ってたよ。まさか日本貧困化にひたすらに加担することになろうとは。昔はここまでじゃなかった、救急車もこんなしょっちゅう走ってなかったよ

「だってだって だってなんだもん」っていう歌詞が女の子のずるさとか可愛さを究極的に表してることに気付いた十七歳春。

ポケモンといえば、小学校のころ同級生が手持ちポケモンに「サクサク」とか「プチプチ」とかいう名前をつけてて、理由を聞いたら「そのポケモンを食べた時の歯ごたえ想像して名前決めてる」って言われて鳥肌立ったし、後にも先にもあの子を超える狂人に会ったことはない。元気かな、あの子。

街にいる迷惑なやつにビシッと言ってやった、という上司の話を感心してみんな聞いてたんだけど、私が「なんかスカッとジャパンに似たような話ありましたよね」と言ったら上司が黙ってしまった。という話をスカッとジャパンに応募した。驚くことにスカッとジャパンの応募フォームはまだ残存している。

10年以上もTwitterをやってると、特に相互フォローのひとに関してはさながら人生の定点観測みたいになっていて、その間に結婚したひと、出産したひと、離婚したひと、転職したひと、キャラ変したひと、亡くなったひと、行方不明のひと、10年前と変わらず「おっぱい」と言ってるひとなど多士済済である

月着陸を断念したというニュースに「金の無駄」とコメントしている人のツイートを覗いてみたらビットコインやら株やらで今日はいくら儲けただの損しただのという話ばかりで「毎日そんなことを考えてたらそうなるよな」と思った。

通行人らがカジュアルにポイ捨てをする中で道路にゴミが落ちている状態が不快だからとゴミを拾う良心のある人がいた場合に、それに倣って人々が教化されるのが文明のある土地。それを見て「掃除夫がいるぞ」と判断してさらにカジュアルにゴミを捨てるようになるのが夷狄の地。

若い時に特有の痛い行動を思い出した時に悶絶するほど恥ずかしくなる事がよくあったけど。加齢すると「微笑ましく懐かしくなる」の割合が増えてきてしまって、永遠の「魂は小学2年」を目指す俺としては衰えを感じる。

採用試験終わって面接進んだら「キミホンマにアホやな！試験ボロカスやったで！」と言われたことがある。ただ面接ウケがよく、ぜひ来てくれと採用になった。「やっぱいいですぅ〜」と断った。

今年のハロウィンの衣装を作るために3人の命を犠牲にしたので大切にして来年も着ようと思っていたが、もう衣装が腐ってきた。

Q. 「地球環境と芸術と、どちらが大切か考えろ！」と環境活動家が叫んだ時に、我々はどうするべきか？A.環境活動家を窓から放り投げた後、地球環境も芸術も大切に守っていく。

ベルリンの新国際空港で壊れて届いたスーツケースの損害賠償が全く進まないのですが、コンタクト先のメールアドレスがweloveluggageなのを見るたびに腹が立ちます😡

会話には解決策より共感が大事とはよく言うけれども、解決するために行動する気がビタイチ無さそうな人から何回も同じこと愚痴られるとなかなか精神にくるものがあるよな。例えばハンドクリームを塗るのも皮膚科に行くのも面倒だという人から何回も手荒れしてつらいという話を聞くと、５回目くらいからもう切り落とせば？？としか思えなくなるように…

自分もそうだったけど、何かしらの「活動」をやっていた頃の方が確実に輝いてはいた……が、恋愛はおろか「人間関係」に関する実りが何もなく、知見やノウハウだけが積み上がるのみで、そうこうしてるうちに縁遠くなってしまうと、それらも必要性が薄くなり、虚無だけが自分に残されただけだった。何かに夢中に打ち込んでいるときって、そのこと自体が楽しくて仕方がないから、そこに集まってくれる人との関係性維持のためのメンテナンスを放置してしまいがちになるんだよな……完全に成り行き任せというか。だから自分にとっての「お祭り」の時期を過ぎてしまうと、何も残ってないことに気付く。

「生きていると楽しいことがある」というのは、生きることによって初めて成立可能な快不快の基準によって生きること自体を推奨しているので話の構造としては好ましくない。仮言命法の弱点（楽しくなくて良いなら生きなくてよい）と、反対のこと（生きていると辛いことがあるよ）が示唆されてしまう。

【『◯◯のツイートに××という反応が多くて興味深い。』みたいなツイートあるある】

一回そこから降りてこいお前と思う

中学生の頃、同級生の女の子に「笑顔は誰でも可愛いものだけど、特にあなたの笑った顔は本当に可愛く思う」というようなことを言われて、私は自分も他人も基本的に笑顔は醜い（少なくとも真顔よりは）と感じるので、人間の感性は多様だなあとびっくりした。

そのへんの建物とか構造物が全てかつては誰かの頭の中に（アイデアとして）あったと思うと脳に触ってるみたいで気持ち悪い。でも、それ以前に自然物や他人や私の肉体も含めてありとあらゆるものが「私」の認識によってあり、私は何に触れようにも私の認識そのものにしか触れることができない、という意味で「全ては私の頭の中にある」と言っていいなら、そのことのほうが気持ち悪い。

だいたいさ、「無修正の性器を見たりセックスを見たら歪んだ人間になる」なら、彼氏彼女がいる人で、リアルに性器を見たりセックスを（見るどころか）実際に実行したりしてる人達こそ歪んだ人間になるってことになるんじゃないのかしらね

イジメ完璧に対処しろ。休日生徒が補導されたらすぐ出てこい。親の訴えを疎かにするな。一つでも至らなければ減点減点大減点で叩いてヨシ！。こんな環境で給料上げたところで誰が来るんだって話。

金が無いんじゃない、この車が好きだから乗るんだ！って言って軽自動車に乗ってる人に無限に金渡したら本当に軽自動車に乗り続けるのか検証してみて欲しい

東大法を首席卒業しながら複数の大組織で挫折した経験を語る山口真由さんと比べると、三大難関資格制覇の方は、一般的な組織人にはならずに、学生ノリのまま若い人向けに独自エコシステムを形成してる様に見えるので、合法スーフリ感ある。一部の高学歴って自意識肥大化して、「(例えば)三菱〇工に新入社員で入り、『新入社員モブ3号』やる」とかに耐えられないんだわ。新興宗教や過激派反原発とかもそれで高学歴を釣る。試験勉強のトップ・オブ・ザ・トップが最も得意なことはやっぱり試験勉強だから、結局、試験勉強をコンテンツ化してマネタイズするのが、一番効率的なんやろなあ。

ハローワークで求人を出すほど都内公立小の教員不足が深刻で夏休み明け130人欠員…保育士も教員も看護師も『資格を持つ人』が足りないわけではありません。劣悪な労働環境を避ける人が多いだけだと思います。あらゆる人材不足は『低賃金で休みなく働いてくれる都合のよい人材』が不足してるだけかと…

異文化交流が楽しいもの、愉快なものだと思っている限り外国人（異なる文化圏の人）とはうまくやっていけないと思う。もちろん、一面として喜びを否定はしないが、基本的には嫌なこと辛いこと、苦しいこと気持ち悪いことのほうが多い。ムスリムに「お前ら俺の前で豚肉食うな」って言われるところから本当の異文化交流は始まる。絶対に分かり合えない部分を相手に見せつけられたマイナス値からスタートして、それをゼロに戻すだけの作業。たまにちょびっとだけプラスに転じることもあるかも、ぐらい。希望は持たないほうがいい。

AVを観ながらポケモンをやっているけど、今、どちらもかなり良いところだ。

何かで読んだ「自己肯定感低い人ほどプライドは高い。自己評価低い人ほど自己愛は強い」が本当に刺さる。控えめで良い子に見える人ほどめちゃくちゃプライド高いのあるある。

「うつ病って言うのは病気だ。そういうのをアーティスティックなものと関連付けようとする奴もいるけど、頭がおかしいとしか思えない。それはただの苦しい病気なんだよ。病人を冒涜してる」というトム・ヨークの言葉をもう一度噛み締める。

「友達には無料で描いてるんでしょ？」と絡んでくる人は「友達になる」という過程をショートカットしてずるしようとしてる人なので、まずは私に焼き肉を奢るところからお願いします

MAKE AMERICA GREAT BRITAIN AGAIN

ゼレンスキー大統領が首都に残るという話が出た時はさまざまな反応があったけど、前線を視察にいったとか、首都を守る兵士とお茶を飲んだりしてるのを見た時は「この男、死んで歴史に名を残すのか」と思って悲しかったなぁ。死、やはり泰山のように重い死と鴻毛のように軽い死がある。

人は政治と宗教の話をすると揉めるし、スポーツの話をしても好きなチームが違えばケンカになったりするので、食べ物の話をすれば平和で良いよねと思ったらビーガンいた。

ツイッター、複雑な文法構造がきちんと意図されたものでそれを読み解くと正しく理解できるケースと、とりあえず書き殴ったので複雑になってしまっただけで文法的に正しく読み解いてもそれが正しいわけでないケースの両方があるので難しく書かれた文章をちゃんと読む気になれない

老舗エロゲ会社が店を畳むのを惜しんで出てくるタイトルが10年20年前だと、そりゃ畳む理由がわかりますわね。もう行ってないけど学生時代の行きつけの定食屋はいつまでもあって欲しいみたいな感覚だ

ロナウド、いま地球上で一番得点能力のある無職の可能性が高い

今日会社で、「最近ブラウザでみて文字化けするページって見なくなったね」という話題が出たとき、「Googleで検索できる世界がインターネットになっちゃったから文字化けするページは見つからなくなっただけですよ」と話したりした。

将来を勝手に（それも悪い方に）想像しないだけでメンタルへの負荷はずいぶん減ると思うけど、それがどんなに難しいことか。考えないように意識するだけで逆に不安が頭から離れなくなるのはどうしてなんだろうね。

息子と公園で遊んでいたら、ちょっととがった感じの高校生男子が数人やってきて、ジャングルジムを占拠して大音量で重低音の音楽を流しはじめた。しかし大音量ゆえ小さな子たちがワッと集まりだし、ちびっこに取り囲まれた若者は気まずそうに音楽を止めた。

復讐しようと動くわけじゃないけど、自分が自分であるために主体的に動くことが結果的に誰かに復讐的に作用することが多い立ち位置に自分がなってきていると最近感じる。きっとここでひるんではいけない。成熟のための通過儀礼だから。しっかり請求書を送るのだ。

結局「世間が許す」ラインって「印象」以外の何物でもないよな。だから印象操作って曖昧なものをメソッド化した人々って凄いなと思うしなんだかなぁとも思う。

なろうの悪口、「恋愛描写は薄っぺらいけどいじめ描写はリアル」って奴はあんまりだと思った。どの宗教も天国はふわふわ抽象的なのに地獄はいやに具体的で真に迫るのなんでだろうみたいな話。

酒やめたら誰からも誘われなくなるかなと思ったけど元々誘われないしそもそも僕が酒やめたかどうかなんて誰も興味無いしカーテンも無いし花を入れる花瓶も無いし

自分よりも半周りも一回りも若いのに魂が異様に硬く縮こまっている人は多い。（JTCとかに多い）そういう人たちが自分に与える無遠慮で無自覚な攻撃性や拒絶性の影響はいらないものなので日々取り除く作業をしている。これが結構大変。若くして老いている人というのは間違いなくたくさんいる。こういう固く縮こまった魂からの悪い影響に挫かれないことが、俺にとっての通過儀礼になると思う。思っているよりも大変な通過儀礼だがうまく抜け出ていくよ。20代中盤やアラサーアラフォーになっても不貞腐れた排他的な中学生のままのメンタルでいる人（でもスキルはそこそこ高い）たちが寄り集まるとそこそこ若いのに意地の悪い老人の集まりみたいになる。そういう引力から徹底的に決定的に自由になること。

あらゆる振る舞いの中でも「記事タイトルしか読まずにコメントする」が一番意味不明だし怖いな。

誰かが言った「労働は苦しいけど仕事がないのはもっと苦しい」という言葉がおれの頭にずっとこびりついて離れない

小さい頃クレしん見るの禁止されてきたけど、大きくなると「クレヨンしんちゃんを見なかったことで入れない話の輪」に多々遭遇することを知ったし、大学生になって親がオトナ帝国は泣けるなんて話をしたときはこの人たちの老後の面倒は見たくないと思いました

大学のハラスメント相談室に持ち込むよりもTwitterで晒したほうが効果的なのが知れ渡ったのパンドラの箱を開けた感ある

昔、夫に「何でも自分で判断する前に私に聞いて。私は他人の判断を信じない」と言った後「他人というのは私以外全員のこと。あなたに親しみを感じてないとかそういう意味ではない」と言い添えた。夫は、優しい女性だ…と思ったそうなのですが、どう考えても女性の優しさを感じるエピソードではない。

アイルランドの飢饉とジャガイモの歴史と言えば、「フルムーンポテト」という料理もあります。これは、ジャガイモをあえて半生に茹でる、という料理。真ん中から切ると、生の部分が満月みたいに見えるからこの名前。半生だから消化に悪い、イコール腹持ちが良い、そういう料理。極限の貧しさが詩に。

北海道以南を「西」、北海道を「東」って呼んでる人いたら怖すぎる

きのこの山を知らないなりに話を合わせようとしている人「実際登ると見た目よりは楽って聞いた 笑」

異性、同性問わずに人に好かれてる人全員に共通してるのは、人の良さを素直に認められて言葉にしたり、感謝の言葉を伝えられる人だなって改めて思った。

ゼレンスキーの映像を見ていて毎回一番感心するところは「何を言わないか」が明確な点で、それは「口が上手い」という表現で表せるものではない。もっと彼の言葉は重い。削ぎ落とした重みがある。

小田急に「セックス」と大声で叫ぶ老人が現れ緊張感が出てきた

「なんであんないい人と離婚したの？」「結婚したから」「そうじゃない」

【頭おかしい奴の王様ゲーム】

「じゃあ～、2番が5番の体調を3番に、崩させる！」

黄昏はひとつの滅びわたしにもだれもしらない鬱血がある

【アメリカで死刑になった俺の最後の日】

My lunch is I want GINDAKO. PLEASE~~~~ PLEASE!!!!!!(ここで椅子に電気が流れる)

創作物に面白さを求めない人たちというのがいて、きららとかハーレクインロマンスの需要者には割とその傾向が強い。知り合いにもいるけど、必ず詰まらない作品を選択してくるから、あれは意図的に「予想外の事態が生じる作品」を避けているんだと思う。けいおん！ですら軽音部に不穏な空気が漂うシーンが有るだけで「鬱展開」とか騒いでいたし。ネタで行っている人もいるのだろうけどどうも本気っぽい人がいて常に仲良く喧嘩せずじゃないと嫌なご様子。

他人の統計学的教養をバカにしている人でも偏差値を頭の良し悪しの指標みたいな文脈で使っていたりすることもある

仕事ができる人達を何人も見てきましたが、彼らは1人で何でもできるマンではなく、進捗の説明と共有が的確で、周りの人からヘルプを得るための状況説明が特に上手いです。一方で仕事ができない人はとにかく説明が下手で「俺は1人でなんでもできる！俺がやった方が早い！」と勘違いしてて孤立してます。

地方新聞って全国紙の5000万倍価値あると思ってるのですが、超ローカルな話題はネットより地方紙のほうが全然充実してるから地方紙読まないと拾えないこと山のようにありますからね。「新聞を買わなきゃ味わえない情報体験」なんて全国紙じゃ最早無理でしょ。地方紙は全然それがある。

「○○と濃厚なセックスしたい」とは言うけど「○○と薄いセックスしたい」とは言わない。セックスに関しては濃い表現しか使えない。

【AKBの神回】

秋元康「卒業します！」

見てぇ……見てぇよ。これまで意識高い系の標語書いたTシャツを着て仕事してたtwitterのスタッフが、これからは日本のアニメ、漫画、ゲーム、VtuberのTシャツ着て仕事するようになって、オフィスの画像が上がるたびにオタクの好感度は増し、リベラルの人たちが「うわあああああ」っていうやつ。

罠だとわかっていても飛び込んでいく展開が好きなオタクなので戦場でも普通にブービートラップに引っかかって死んだ。

本物の自閉症スペクトラムは一つでも引っ掛かる事柄があると、負の感情がどんどん膨らんできてその会社に居られなくなる。発達障害者が仕事を長続きさせられないのはそれが理由である。嫌なことがあっても我慢しよう、気にしないでおこうと考えられる健常者との決定的な違い。

「100社落ちた。誰にも必要とされてない」って病んでた友達にオンラインゲームを勧めたら「毎日ギルド勧誘の嵐、この世界では無職の需要が高すぎる」って泣きながら感謝された。終わらせただけなのに。

アファーマティブアクションを推進したい男性大学教員はその必要性を延々と述べるのではなく、さっさと辞表を出して女性にポストを明け渡せば、説得力が増すと思います。アファーマティブアクションは若い世代の男性に対する差別であることには何の変わりもありませんが。

飲食店ってよく考えたらアポなしで他人がガンガン飯食いに来るの怖すぎるだろ

少子高齢化が進み、将来は年寄りが冷や飯を食わされる時代になるらしい。恐ろしくなった私は娘に「親の介護をすることは子供の義務だ」という洗脳教育を施したものの、洗脳が解けたために裁判沙汰になった。民事裁判と刑事裁判の両方で負けた私は死刑になり、無事介護されずに済んだ。

介護保険の縮小は現役世代が困るぞ！と言っている人達は、暗黙に家族の扶養義務監護義務を前提としていますよね。現役世代を気の毒に思うなら、要介護の人間が地べた這いつくばってうんこまみれになっても自己責任で家族は責任も問われないように法律や判例が変わるように声を挙げるでしょうし。私は少なくともそのように法律や判例を変えるべきだと思う。ここが変わらないから、高齢者が家族の中でキングボンビーのような存在になっており、誰に面倒を押し付けるかという競争を公的保険でも、お受験でも、就職活動でも一生する形になっていて、競争に負けた人から介護に飲み込まれる。要介護の人間は自己責任。介護されるようなポンコツになったことがまず第一には悪いのであって、介護をする家族が筆頭責任者となるのはおかしい。家族が歩けなくなったら、家を無言で出て行こうがなんの責任も問われない社会の方が素敵ですね。家族が扶養義務監護義務を放棄することで初めて、社会全体で高齢者の末路をどうするかについて議論せざるを得なくなりますからね。親が貧しくて介護をお金で解決できないような家庭の人は、親を捨てたらいいと思いますよ。親もきっと耄碌する前であればそれを咎めたりはしないでしょうからね。

アディショナルタイム7分がなんだ、僕は医学部在籍中にアディショナルタイム525600分を食らったんだぞ

オイよく見たらキーパーだけ服違うぞ！？イジメか！！？キーパーに向かってみんなボール蹴ってるからかなりひどいイジメ

【よくわからないサッカー部の監督】

だめだめだめ！そんなんじゃきみらまだボールに蹴らされてる！

しおらしい態度をとってるとき「早くこの恐怖から抜け出したい、早くこのつらい時間が終わればいい」と思っているだけなのはイヌに限らず多くの人間もそうなんだよな。反省するフリならサルでもできる。

【終わってるマッサージ屋】

「痛かったら言ってくださいね～ え？痛い？そうですか、私は痛くないので…」

整体行った直後に別の整体行ったら、触っただけで「あっ！こいつ」ってなるのかな？

「学校で英語を学ぶ価値は？」に対する今の俺の答えは、「steamの良作洋ゲーに対して『日本語化されてないのでオススメできません！』とかいう恥ずかしいレビューを書かずに済むこと」だな。

経験がなく若いときは「知識がないくせに」や「実績がないのに偉そうに語るな」と批判されます。一方でしっかりとした肩書があり、経験を積んだ人は「偉そうなジジイ」や「時代遅れの考え」と批判されます。つまり、人生において「文句を言われないときは存在しない」と思っています。

所得って労働者のまま中途半端に高くなると、不幸になる要素が結構ある。まず、高所得層が就いてる仕事は基本的に激務なので余暇が少なくなる。時間を金で買うようになり、何でも効率的に済ませる気質が身に付く。割引やセール、福袋に有難みを感じなくなったりもして、何というかアソビが減ってしまう。高級フレンチだろうが鮨だろうが、食べたければ毎日食えるけど、『いつでも食べられる』ことが念頭にあると意外と行かない。行っても贅沢している感覚がマヒして、特別感が薄い。ブランド品でも何でも、『何かを楽しみにして買うために頑張る』プロセスが無くなり、張り合いが無くなってしまうんだよね。金で解決できるような要素はあるんだけど、全てをカバーするには『他人より多少持ってる』程度じゃ全然どうにもならない。好きな外車に乗れるとか、時計が何個でも買えるとか、その程度。結局『金のために時間を割いて働く』状態が続く限り、金に振り回される度合いがキツくなってるだけなのかなと思う。端的に言うと、中途半端に稼ぎが増えると心が貧しくなる気がする。もちろん全員がそうじゃないけど、周りのを見てても、どこか人間味を失って、深い部分が乾いていく人が多い。だから『人並に稼いでまともな感覚を持っていた頃』と今を比べ、どっちが幸せだったのか、意外とみんな考えるんじゃないかな

年下ってわかった瞬間にスムーズにタメ口に切り替えてくる人、初対面の人の心をボルダリングしにかかってて苦手すぎる。攻略しようとすんな。

サッカーで日本がドイツに勝つのは野球に例えるとどれくらい凄いこと？という例えで「ドイツが日本に勝つくらい」というのを見かけて笑った。

日本がサッカー強豪国ドイツを爆破 11人軽傷

アメリカは清掃や肉体労働などの誰もやりたがらない仕事は低学歴の移民がやることが当たり前なんだけど、正直ああいうのはあんまり好きじゃない。慣れてしまうとなんとも思わなくなっちゃうんだけど、少子化で仕方がないとはいえ、日本人には奴隷を使う制度の上であぐらをかくようになって欲しくない。移民に仕事を奪われているなんて言う人もいるが、アメリカ人は本当に働かないのでハードワークが求められる仕事では移民以外になり手がいない。

「出ちゃった…」って言葉、どういう文脈でもエロいのすごすぎるだろ。俺の脳内が変なだけか？

この人らの音楽って圧倒的引き算なんよな。無駄な音を鳴らさない。違う音が独立しててうまく調和してる感じもたまらない。

ちょい聞いたことある曲ってフルで聞くとめっちゃ興奮する

中年の方々にはどこか懐かしさを、若者にはどこか目新しいサウンドを、両者のベクトルは違えど、この楽曲はそれらを昇華して次なるステージに手招きしているように強く感じる

白いものはカロリーが高いって言っても0か10000だったら0寄りでしょ？

二次方程式は役に立たない。知識というのは「実用に堪えるレベルまで徹底的にやる」か「やらずに時間を節約し、必要なら専門家に頼む」のどちらかでよい。二次方程式だけならゴミ。

「浪人したらこの参考書やってみたいなあ」とか考えてる時点で僕終わってるんだよな

料理できない作者が書いてる料理できる夢主、「液卵、砂糖、乳製品、植物油脂、加糖卵黄……」って言いながらプリンの材料並べる描写があった時の衝撃が忘れられない。森永焼きプリンの原材料表示見てんじゃねえ！

右手を超高速で「セルを結合して中央揃え」する最強のExcelマシンに改造されてしまったおばさん

小説家になろうで書いてよかったことはたくさんあるけど、その一つに「したり顔してなろう小説を“批評”する人は何も分かってないんだ」ということが分かったということで、これは要するに私も隣の芝については適当なことを言っているに違いないという気付きを与えてくれたのだ。

エジプト風の風景やモチーフがゲームの舞台にされやすかったのは、やはり砂漠の砂色とピラミッドという描画カロリーの低い形状が都合がよかったから。

「努力は報われる」と他人に言いたくなる人は努力が報われたことがある人。「我慢が大事」と言う人は我慢した結果うまくいった人。自分と同じ様に他人も努力や忍耐をしているんだよな。報われない人を見て「甘えてる」というのは傲慢だな。運とか環境とか素質等の偶然の要素で結果は違ってくるんだよな

客観的には子供とか学生自体のほうが幸福だったはずだけど、体感的にはごく若い頃のほうが明らかに不幸だった。今は不幸でないというよりは、不幸だと感じるほどの情緒がなくなっているだけなのだが。

客観的には子供とか学生自体のほうが幸福だったはずだけど、体感的にはごく若い頃のほうが明らかに不幸だった。今は不幸でないというよりは、不幸だと感じるほどの情緒がなくなっているだけなのだが。

フランスは匿名履歴書と呼ばれる人種や性別が分からない履歴書を使う。しかし、エリート職では逆に下層民出身者が書類選考ではじかれる割合は十倍以上も増加している。筆跡鑑定士がチェックしているから。現代における手書き履歴書の意義は筆跡鑑定によって下層国民を識別してはじくことにある…書いた文字を見れば上流階級かどうか識別できちゃう。現代のフランスにはzone urbaine sensible (ZUS) と呼ばれる被差別部落地域が存在していて、ここの出身者は就職差別を受け、よけいに失業者が増えている。ZUS出身者は給料の高い仕事に付けないように筆跡鑑定士がはじいている。

生活保護でもこれだけ「生活保護受けるのは恥ずかしい、社会に迷惑をかけること」というイメージが蔓延して、水際防御まで省庁と自治体がやってるのに、安楽死が始まったときに「社会の役に立たずに負担を与えてるだけの人間は安楽死した方がいい」みたいな風潮にならないというのは、楽観的すぎる。自殺企図したことがあり、やめて「やっぱり生きててよかったな」と思う人間った人間としては、なかなかに難しい話だと思う。どれだけ「いやいや、意思決定のシステムは厳重なんですよ」と言われてもね。

なんかこう、言ってくることを9割差し引いて受け取ったらちょうどいいみたいな人いるよな。そいつの言う「お前手際悪いな～」は「よっ！」と同じ、みたいな。野良犬に吠えられたからって「怒られた…」と落ち込む人はいないのに、相手が人間だったら真っ当に凹んじゃう人はいっぱいいる。相手に自分と同じまともな神経や人間性を期待しすぎている。相手を人間だと尊重しすぎている。ところが対話が全く通じない人はこの世にいっぱいいる。そういう人には「野良犬がまた吠えてきてるな……」ぐらい思っとくのが吉。憐れむこともしなくていい。あんまり共感の輪や自責の意識を高めすぎると、人類のうち大外れの1%を引いてしまったときに潰れてしまう。人間なんか所詮はドーブツなんだから、理不尽なことで怒鳴られてももっと大きな声で怒鳴り返したらいい。

言い返すと、内容とは無関係に「言い返された」と恨む人が多い。でも気を遣いすぎ、批判されても受け止め、相手を批判しないとこっちが爆発する。「原稿をよくする提言・批判はなにを言っても恨みっこなし」の関係にするには、時間とリスペクトと飲み会がいると思う。酒を飲まないなら喫茶店でよい。民事裁判を傍聴してると、被告側と原告側の弁護士がやりあって、「うるせぇ」「聞き捨てられない。撤回して下さい！」「…撤回します」といったふうにやり合うことがよくある。速記に書くか書かないかを争ってるんだろうけど、揉め事のプロという感じがする。あれがスタンダードなら楽だよね。

好きな人がいるとむしろ土日が憂鬱ですよね。ありがたい存在だなあ

雑学好きって言うと、「何か教えてよ」って言われるからいつもピカソかバンコクの正式名称で済ませてる。

学校の美術のテストで、順位が下から数えた方が早いくらいののやつがピカソのフルネームをガチで覚えて、先生に変人扱いされてたのを思い出した。

看護師の国家試験向けの模試に「どのような声かけをするか」という問いに対して「あなたは帝王切開で出産したので、楽した分、これから苦しんでください」という選択肢があり、吹き出したのを覚えています。

中学生の頃ソフィーの世界という本を読んでから「哲学してる俺クール...」の拗らせが発生してしまい、岩波文庫とかの難解で面白さも理解できない哲学書を「哲学書を読んでる中学生」というステータスを得るために読み漁った後、ふとグラップラー刃牙読んだら面白すぎてオシッコ漏れるかと思った。

人生の中でたった一度だけエロ絵(宝多六花にちんぽが生えてて新条アカネとセックスをしている)描いたことあるんですけど、知識のなさが故に六花の亀頭が180度回転してたり、ちんぽの血管がどうなってるか分からず感覚で線引いたら実の兄から「ちんぽリスカしてる？」って言われてそれ以降描いてない

インターネットっていうのは『誰かが入力した情報』しか無いんです。そして世の中の情報で、ネットに入力されてないものは一杯ある。それが、ネットだけで世の中を分かった気になってはいけない理由

「勝ち負けの問題じゃない」と諭されぬ問題じゃないなら勝たせてほしい

この世界できちんと遊ぶことができる、ということは、優しい人間であることや誠実な人間であることなんかより破格に重要なことのはずなんだが、そのことを教えてくれる大人は（なぜか）かなり少ないように見える。

あのマンションめっちゃ雨漏りして怖い。10階中4階なのに。

ある程度能力のある人間は多少とも自分のことを客観視できるようになるので謙虚さを備えるようになるが、自分を客観視するために必要な最低限の能力は結構高いところにある。

若い頃の人生を不景気とデフレでボロボロにされて、それで高齢者になってから社会保障で埋め合わせしてもらっても手遅れだしなんにもならないんだよな。そういう意味で、若い人間を犠牲にする社会保障には全く価値が無いと自分は考える。

ギャグ漫画というのは「今、その時代に”ギャップを感じる表現”は何か」という最先端表現なので、こういう時代を感じる漫画を見るとワクワクする。

高校生の頃、めちゃくちゃおならが出ちゃう病気になって学校行けなくなった時があって、心底おならを憎んでたしおならなんてこの世から無くなればいいってずっと泣いてたのに、大人になったら毎日おならのことばっかり考えて笑ってること、当時の自分に教えてあげたいな

キャバクラ行く時って水筒でお茶持っててもいい？

絶対やらなきゃいけない事の優先順位がなかなか〝ツイッター〟を上回らない

1854年、江戸幕府は鎖国政策を止め開国した、なぜか？

一般幕府の答え「国内外からの圧力に屈したから」

サイコ幕府の答え「また鎖国できるから」

スタバでホットドリンク頼んだら「マグカップでお出ししてよろしいですか？」と問われ、締めていたネクタイをグイっと緩めイタズラっぽく微笑みながら「ダメって言ったら、どうする？」つった瞬間カウンター奥から出てきた屈強な黒人男性数人に拉致られて地下で強制的に筋トレさせられてる。明日大会。

ゾンビパニックになったら絶対IKEAを占拠して快適に暮らす予定なので、IKEAに行って溢れんばかりの客の群れを見ると「なんで他人が俺のIKEAに...」とすでに若干イラ立ちを覚えてしまう。

誰か俺の1万円あげるから代わりに5万円くれないか？

叱られてる時、だいたい早く終わってくれ〜としか思ってないから適切なタイミングで「はい...」や「すみません...」を繰り出すと頭の中で音ゲーみたく派手なフォントのGood‼︎やExcellent‼︎が点滅するハンディキャップを抱えています。

俺も非常に強い勢力を保ったまま逆上しようかな

しかし警部、これから自殺しようって人が「ファイト超バクハツ ドデカミン ストロング」なんて飲むでしょうか...？

【最強の患者】

医師「メス…」

患者（メスを手渡す）

このくらいで鳥肌立つのでは鶏なのでは。

大人がみんなサッカー好きなんじゃなくて、こういう時期にサッカー好きだって言えるのが大人なんだよ。

思い返すとお客さんに直接「ありがとう」って言ってもらえる仕事やってた時が一番心穏やかだった。誰のためにやってるんだかわかんない仕事より給料少なくてもそういう仕事の方がいいなって最近特に思う。

サッカーって戦術核つかうのって反則なの？

好きなヘリコプターの前で見栄を張っている飛行機「滑走路？いらないいらない！」

試験前の医学生の奇行、過去数年間でイチバン狂ってたのは図書館でミンティア砕いて鼻から吸ってた同級生なんだけど、加湿器にエナドリをブチ込んだ後輩がここに来てじわじわとランクを上げてきている

『エルサレムのアイヒマン』を読み直していると、アーレントはそもそもアイヒマンを「上からの命令に粛々と従った平凡な小役人」として描いてはいないんだよな、と思う。アーレントは「悪の凡庸さ」という概念は「歯車理論」を指すのではない、と繰り返し強調しているのに、それがあたかも「歯車理論」と同一のものであるかのように誤解されてしまったところに大きなボタンのかけ違いがあったのではないか。アイヒマンは上からの命令をベースに動きながらも、その範囲で自ら様々な企画立案をし、積極的に行動している。自らの行為がどういう結果に繋がるかも理解している。ときには上官の指示に逆らってでも自分の信ずる任務を遂行しようとする。アーレントが描き出しているのはそういうアイヒマンの姿だ。アーレントはアイヒマンを「単なる組織の歯車」としても「平凡な小役人」としても「ロボット的な官僚」としても描いていない。組織内で昇進を重ねるためには貪欲に何でもする、そのためにはユダヤ人を自らの出世の道具としてしか見ない。そういう「異能の」ナチ官僚としてアイヒマンを描き出している。

これが食べたくなったら○○が不足してます！みたいなの、うるせえ。カップラーメンが食べたくなったらカップラーメンが不足してるんだよ！！！

小説家の恩田陸さんがインタビューで「寡作で傑作を出すのは当たり前、とにかく平均点以上を維持したまま量を出しまくり、完璧でないことの辛さ・惨めさに耐えてこそプロ」みたいなことを言っていた。俺はその言葉が物凄く好き

数々のリアクションのうち、特に悲しかったのは「パクツイだ」というものだった。なぜ悲しかったかといえば、これがパクツイに見えてしまうことは本当に貧しいからだ。なんせ、こういう置き換え系の思い付きって、パクるも何も、わりかし誰でも思いつくはずのものだからだ。オリジナリティを主張するのも恥ずかしいくらい、極端によくある。僕のツイートが初出なわけもないし、そもそもツイートが初出なわけがない。たぶん函館とか神戸とか、夜景の見える街ではベタなジョークとして何十年も前から言われているに決まっている。それを「パクツイ」って。特に「ツイ」の部分が本当に恥ずかしすぎる。なんでもTwitterから生まれてるわけじゃないんだよ。もう少し日頃から、日常生活から、色々と工夫してふざけてほしいなと思った。やっぱり、やっぱり、みんなが何を気にしているか分からないなと思った。皆見当はずれなところを行ったり来たりしていて、刹那的に流れて行くものに対して、ただ動物的に反射しているみたいに思えた。それについて、なんだかもったいないな、怖いな、おかしいな、関わりたくないななどと思いつつも、まあ今の時代ってこういうもなのかな、こういう時代の気分を乗りこなせないとやっていけないのかな、自分の仕事はそういうものかもな、なんて思った。

「後から書く」という行為は本当にずるい。僕はいま著書を執筆していて、毎日めちゃくちゃ大量の文章を書いては消して、消しては書いてしているのだけど、今書けることは全て「後から書いている」ことに過ぎない。そしてそれは本当にずるい。生の、リアルを生きている感覚から少しだけ離れている。人間はそのときそのときの関心によって何かにとらわれて、それに引っ張られて、促されて、騙されて、ほだされて、生きている。そこにはよく言えばダイナミズム、悪く言えば適当さがある。自我とか意識ってのは意外とふわふわで、全然ぐらる。都度ぐらる。そこまで徹底的に、緻密にデザインされ尽くせるものではない。僕たちの意識は目の前で揺れている花やら光やらに飛びつき続ける羽虫みたいなものだ。そこには常の正しさもないし、持続する意図もあんまりない。生活者としての僕は、誰かから見たら「たいして興味もねえものに飛びついている奴」だし、「意味のねえワーディングばっか気にしてる奴」だし、「言うだけ恥ずかしい的外れな指摘をしている奴」だったりする。それを加工して、編集して、後から文章にして、ああなんだかこれは、都合のよい作業だな、と思う。

大阪で電車が派手に遅れた時に、車掌に「ふざけんなよ。俺が遅れると数十億の損害だ！」とキレまくってる汚いスーツのチビに「やかましいわ、ほなタクシーで行けや」と淡麗片手に持ってるオッサンが皆が思っているけど言わないでいたことはっきり言ってて草生えて木々が茂りやがて森となったんよな。

損得を超えて（道徳的な価値を重視して）行為せよ、という前提を立てるならば、「損をしなさい（利他的に行為しなさい）」ということは言えないのでは。

一年虫けら二年人間三年神様みたいな価値観を叩き込まれた体育会系の礼儀正しい元気な若者は年を取ると上には卑屈で下には横柄な迷惑おっさんに進化し、やがて頑迷な糞老害にパワーアップします。

自分の実存をしっかり生きていれば、選択肢がいかであれ豊かで濃密な生を生きている。「あの選択をしていれば今よりもずっといい気分になれた」というような選択がちらつく時、むしろそのちらつきが生のデフォルトなんじゃないかと俺は思う。生きることはそうやってスカートを揺らして誘惑してくる。生は常に艶めかしい誘惑者だ。その誘惑に乗るのも乗らずに今を楽しむのも、どちらもまた実存を濃ゆくして突き進めばいいのだろうと思う。

「人はいつ死ぬか分からず、死んだ時点で余らせていたお金は無駄になるので可能な限り使い切っておく」という方向にケチな人はいないんだろうか。ケチの人はたいていこれとは逆方向にケチだけど。

ユーミンの「昨日までの答えが 今日ちがうとしても 嘘つきなんて責めない」ってすごいいいな

スリーパーだって本当は人間のメスじゃなくてスリーパーのメスとセックスをしたいんだよな

公共でお気持ちベースの排除ができると主張する人はまず自分がお気持ちで排除されるのを受け入れるべきという当然の指摘。ダブスタを恥ずかしいと思える最低ラインの理性がない無敵の人には通じないが

子供の頃は大人はちゃんとやるんだなと思ってた。でも、大人になって頑張ってたけど、以外とみんな適当で、頑張って周りと協力して何とかしようとしてた時期もあったけど、最終的にはみんな変えたくないってことで少しだけ変えたら後は、後々頑張りましょうで落ち着いて、何の為にやってるのか分からなくなって気付いたら心を失ってた。

この問題ってほぼ全ての大企業に存在する共通問題だと思う。私が所属していたH社もこんな感じでした。結局人員足りない上に問題を上に投げても回答返ってこないし対策見ない、下の者に丸投げで絶望して若手がいなくなっていくし、中堅は鬱になってる。結局日本人は組織を統括するのに向いてないと感じた20代でした。。私は先が見えなくて会社辞めて年収は下がったけど今は幸せです。

「悪化した視力は二度と元には戻らない」という事実を思い出せば明白ですが、「人間の体に一度生じた不具合」は修復が非常に困難なので、人生において健康より優先するべきものなど何一つとして存在しません。これは一度失ってみないと気づかないことなのですが、気づいた時には既に手遅れです。

今だに公務員の待遇下げろとか言ってる人見かけるけど、地域の中小企業って役所の給与表そのまま使ってたりするから、あなたも給料下がるよ。

定義-定理-証明の数学的議論を地道に追いかけて、厳密な理論を習得できる能力の持ち主は、知られていないだけで世の中にかなり多く存在する気がする。さほど特殊な能力とは思えない

一方で、数学や物理のパズルを素早く解く能力は元来レアな気がするけど、しかし入試のおかげで効率的に発掘できている。大学の学部生が基礎理論を勉強する際は、前者の(地道に議論を追いかける)能力が重要になるけど、しかし研究をやる上で重要なのは後者のパズル能力のような気がする。後者を選別する現行のペーパーテストの入試制度は、言われているほど悪いものではないように思う。定義-定理-証明を追いかける能力の持ち主のうち、そんな面倒くさい活動に取り組みたいと思う酔狂な人/取り組む余裕がある暇な人が、いったい何%存在するのか？という話題もある。

けんぴって単語芋けんぴ以外じゃ使わないな。犬けんぴとか人けんぴも使っていこう。

いい大人が中東でちっこい玉みたいの追いかけて一喜一憂してるの見ても何も楽しくないんやが、選手一人一人の傾向や戦略意図を知ると、やっぱり背後には“人間”そのものが隠れていて、マニアックな解説されて初めて楽しめる

「自分の代でなにもかもを欲しがっても無理」みたいなのを受け入れられない時代なのだろうな。「人生」みたいな言葉にも善し悪しがあるのかもしれない。「人生」は「自分の暮らしは自分だけのもの」という個人主義の成分を含んでいる。自分より３代４代先で「成功者」になることに意味を感じられないのが現代人。ブラジルやカリフォルニアに移り住んだ日系人は、自分の代で成功者になるとか考えなかっただろう。「自分ではなく、後々の代で栄える」という考えを持っているからこそ、イスラム系の移民の人びとは強いということでもある。「自分を共同体のなかの小さなパーツとして、あるいは連続する世代交代のバトンの中継ぎ程度におけるかどうか」は、先進国で暮らす人びとには無理になってしまって、それが究極的に「自分さえよければよい」という個人主義と、そこからさらに少子化につながった。ローマ教皇が「犬を飼うな」というのは分かる。子どもを育てる代わりに犬を飼うのは、「養育する」という点では同じでも、前者は共同体の存続に結びついている一方で後者は「自分のいちどきりの人生をすばらしいものにするために」というだけのことなんだよな。「お前は、お前のためだけに存在しているわけではない。お前はお前のためだけに、得たものを使ってよいわけではない」という思想から人間が離れたときから、この「滅び」は予定されていたのかもしれない。

Twitterに流れてくる、日常の不満を描いたエッセイ漫画の8割くらいは、漫画描いている本人のコミュニケーション能力の問題です

自分の所属してる共同体の幸福を我が事として一緒に幸福と感じられることが人間の強みだと思ってるので、それが本気でわからない人はなにかしらの発達がなにかうまくいってないんじゃないかとは思いますね。

よく「自然な眠気を強めるお薬です」という説明がなされるけど、剤によって自然な眠り方に“誘導”されるのは本当に“自然な眠気”なのか…？と思う

コンサルが一番儲かる世の中ってなんか歪んでるよなぁ

議員は狂人かサイコパスでないと務まらない仕事なので、女性の議員が少ないのは、彼女らが合理的思考を持った常識人である証明だと思う。男性・女性双方の議員事務所で働いたから分かる。

中国は西友みたいなスーパーに普通に生皮を剥がれた犬の首とかが売られていて驚いた。「これは食材」って言葉の障壁のたてかたで見える世界が違う

シラスのズラッと並んだ目が急に気になってしまって食べられかった時期があったな。その前は食べられたし、今も食べられる。あの瞬間は何か心の位相が変わってたんだろうし、すると生活の他の部分にも変化はあったろう。覚えてないけど

週に2、3回くらい「全ての人が幸せになったらいいな」とか考えるけど、次に「それが無理そうなら自分は苦しいポジションにいたくないな」という正直な気持ちが浮かぶ

昔近所と豆腐屋の養子と肉屋の奥さんが駆け落ちした。真ん中にあった八百屋が仲裁に入ったらすき焼きやがなと言ったのはうちのお母ちゃんで我が母ながら酷いこと言うわいと呆れました。

「媚は売っても身体は売らぬ」というのが「女性の性の商品化」と「女性の商品化」を切り分けた昔の水商売の人が使った言葉なんだろうね。んで、身体を持たない2次元の女性表象は何を売ってて、それの何を問題にされてるのかね

アメコミのキャラ名。ApocalypseとかOnslaughtとかSPAWNとか、割と普通名詞が名前になってるのが多くて、ネイティブからしたらどういう風に聞こえてるのかなあ、と思ってたけど、ニュアンスが分かった。「煉獄さん」だ。さんま、見取り図、さらば青春の光も、秋の味覚や建築設計やイギリス映画とは切り離して、そういう固有名詞として認識できるので、名前というのは言語的に面白いものだと思う。一旦「名前」と認識できたら、文脈をちゃんと切り分けて理解できるようになる。

『表現は規制されないためにもゾーニングが必要だ 』という人、『同性愛者が排除されないためにも公の場に出すな』とロジックは同じなのだけど絶対後者は否定するので基本的に信用しねえ。

何かあるたびに反ワクチンの方が討論で決着つけようって言ってるのはわかりやすいからでしょう。因果関係の推定なんて小難しいこと言わずに元気に自信持って喋れたら勝ちみたいな世界がご自身で理解可能なのだろうけど、わかりやすい事しか理解出来なければ今後も何度も騙される事になりますよ。

もしかしてあなた、俳優さんですか？よくテレビから出てる……

【今日クビになる電話口のスタッフ】

はい、火事ですか、霊柩ですか

クレーマー「さっきからずっと同じことしか言ってねーじゃねーか！」

めちゃくちゃ遊んでるカスタマーサポート『大変申し訳ございません！サイコロの出目が神がかっておりまして...』

死ぬ前に「もっと好きに生きればよかった」とか「もっと遊べばよかった」と思うことはあっても、「もっと節約すればよかった」とか「もっと働けばよかった」と思うことはなさそうなので、今日も好きに生きています。

なーにが人間関係リセット症候群だよ、こっちは人間関係自然消滅症候群やぞ

加藤さんだけがこの世界で自然だと感じるし、向かい側のホームにいたら電車が通り過ぎた瞬間もうそこに居ないだろうって気持ちになる。何処にでもいて何処にも居らず、全然知り合いじゃないのに限りなく友達な気がする

加藤さんは追いつこうにもどうやっても追いつけないのになぜか突然自分の真後ろにいるような無限の適当人間だから、他人がする模倣になにかしらの一貫性が発生した時点で加藤さんから一番近くもあり一番遠いモノマネになる。つまり裏を返せばどんな回答をしても加藤さんのそれになり得る。

先祖代々1人残らずセックスしてきた成果物どもが性嫌悪で発狂してるの、よく考えると意味わからんな。バニーガールの起源はフンダララとか能書き垂れてるくらいなら起源に立ち返って生殖したら？

「よく来たな新入り！オレの名前はサイゼリヤ、こいつの名前は4℃。あとあっちに座ってるのがきのこの山とたけのこの里な。このチームはTwitterが停滞したときに定期的にアリナシ論争を引き起こしてトラフィック数を増やすのがミッションな。新入りの名前なんだっけ？」「ロイホのパンケーキです…」

日本人は、良かったときには星5を素直につけるべきだと思う、いやマジで。特に、これからのためにとか言って4にするとか、最高に良かったです星3とか、本当に意味不明なので。ガチでその変に減らすのって意味なくて、これからのためにって言われて通知表の評価下げられたと考えてみ。一生許さんとか思わん？

デジタル写真に対するフィルム写真の一番明確な優位性って心霊写真が撮れることだよな。

【わけのわからん評論家】

医学と教育は密接に結びついており、切っても切れない関係にある。しかし、頑張って切ろうと思えば切れないこともない。切ってみる。おらっ！

自分が雄英高校の生徒だったら「プルス・ウルトラ」の「プルス」の部分に気恥ずかしさを覚えて、小さい声で「プラス」と発音して密かに抵抗していただろうな。

アフガニスタンの人口は今後半世紀で3800万から7700万に増えるけど、「未来に希望が持てるからみんな子供を産む」が真ならこの国にどんな希望があるんですかね。

ロイホとテレビ局が潤い、審査員の本業にダメージが残る謎展開

以前、インフルエンザにかかった同僚が無理して会社に出てきて「かかってしまい申し訳ございません、こちらお詫びの鯛焼きを…ゲホゲホ！」はよ帰れ！と返したが持ってきた鯛焼きは捨てるには勿体ないなぁ…と食べた同僚が次々にインフルエンザ感染…というクソな展開があった。

オナニーの回数が表示される眼鏡をかけて両津見て0って表示されてたら大声あげてしまうと思う

防大の学生のとき、真夏の演習で防御陣地をひたすら作っていました。ひよこだった私は穴を掘るのが嫌になり、「こんなに穴を掘る意味あるんですかね？」と助教に聞きました。すると「経験を通してわかったらもう遅いぞ」と返ってきました。いま考えても含蓄の深い言葉ですね...。物事の意味は自分で考えないとダメって話ですね。穴ほって埋めるだけじゃなくて。自分の陣地に砲弾が降ってきたときに「もっとしっかり掘っておけばよかったな」と思っても、もはや自分が死ぬ前です。自衛隊はそういう仕事です。

誰々に「マウントを取られた」って嘆いている人の話をよく聞いてみると、実際はむやみに高いプライドと感じる必要のない劣等感のせいで、相手の発言をなんでも否定的な感情に結びつける導線が引かれてるだけってことが多いような気がする。あとは、自分の中にある攻撃性を他者に投影して勝手に"想像で"傷ついているというケースも多いように思う。明確な悪意を持って向かってくる人間なんてそんなに多くないし、そもそも世の中の人はその場のノリで結構適当に喋ってるから、他人のそんな曖昧な言葉でわざわざ傷ついてやる必要ないんだよね

全然知らん人だけど AI絵師マンが「自分の出力するイラストに需要があるかわからんくなってきた」ってヘラってるの見かけてわろてた。AIに描かせてもそれ陥るんだ？みたいな驚きがある

この曲の歌詞の中には、「好き」っていう言葉が出てこないんだけど、「好き」という気持ちをこういう風に表現できるんやなあと思います。もしかしたら、自分に自信がなくて「好き」と表現する勇気がなくて、「憧れる」という言葉を使ってるのかなとも思います。

「図書館で借りた空の写真集 カードに強くて綺麗なあなたの名前がある」。「あなた」のことを直視するのがなんとなく眩しくて気恥ずかしくて、力強い筆跡に「あなた」を見出すっていう感情のすくい取り方が優れすぎている。

この前男女がラブホテルの前で男が足を引きずって「やべぇって。やべぇ。足痛めたからマジで休憩しないとまずい。休憩で治りそう。休憩すれば完治の予定だわこれ！！」と言ってて美女が大爆笑しながら一緒にホテルに消えて行ってやっぱり顔じゃないなと思った。

ずん飯尾さんのストレス解消法が、仕事から帰ってきたら服のまま水風呂に飛び込み、出たらシャンプーして泡まみれになって「おらーっ！」と叫びながら服を一枚ずつ脱いでいくというものだった。何かとんでもない闇を知ってしまったと思いつつ、自分もやってみたいという衝動を抑えきれないのに気付く。

「先生、息子はクラスでどんな感じですか？」「単位でたとえると」「分かりづらいですね」「デシリットルにあたります」「嫌な予感がしてきました」

偏見は、「私は恐怖を感じる」や「私は不快に感じる」という中にもまじりこむ。しかしそのことはあまり問題にされない。「どんな見た目が良いとされててどんな見た目が悪いとされてるのか」は文化的に形成されるけど「見た目が悪い奴に恐怖を感じる」は本能に埋め込まれてるよね。文化で変えられるのは前者だけに思える。

人類なんか滅びてもいいじゃんというのは一つの立場かと思いますが、それだと「男女平等を進めないと少子化が解決しない」みたいな主張にも一切コミットできなくなってしまうという問題がありますね。

紙の事務仕事やらせるとテキパキ動く派遣のおばちゃん、パソコン開かせると一瞬で漬物石と化すので契約打ち切りの流れになっている。デジタル化が発達障害を増やしたのは間違いない。

今の価値観では初潮赤飯は気持ち悪いかもしれんが、共同体を繋いでいく=生き延びること、というのに直結している時代ではそれは本当にめでたいことなんだよな。青ヶ島の事例では人生儀礼の中でこの初潮のお祝いが一番盛大だった、と報告があったはず。

私が「死にたい」と言うとき、私は死にたいわけではない。心臓の運動を止め、全身への血液と酸素の供給を停止させたいわけではない。ただ、今感じているつらい気持ちを捨ててしまいたいだけだ。だから、「死にたい」という願望は、本当は不適当なのだ。ではなぜ「死にたい」などと口にするのかというと、死にたいほどつらい気持ちのとき、自分が本当は何を望んでいるのかを正確に捉えて言葉に表す余裕がないからだ。本当は、楽になりたい、今のつらい気持ちを捨ててしまいたい、もっと細かく見ていけば、将来への不安、焦燥、日々の生活に対する不満足、直近の自身の言動に対する反省、など色々あるが、それらに対する個別の解決策を考えるほどの精神的・体力的余裕がないため、とりあえず「死にたい」でひとまとめに感情を吐露するのだ。つまり、私のいう「死にたい」とは、漠然とした無への希求なのだ。家にいるのに帰りたいと通じるところがある。

雑なことを言うと教養がほぼエリート層に独占されていた時代は、彼らがその知識を使って蒙昧な大衆を指導することが自明とされていたのに、知が大衆化されてしまった現代では大衆の側がエリート側のそんな自己撞着に気づいてしまったんだよな。江戸時代の朱子学が体制擁護の学であったのに、時代が下って大衆が豊かになって来て、自分で調べたり考えたりするようになると「普通に読んだらそうならなくね」となってくるのも面白いですよね。

一流の忍者のうんち

「………………………ｯﾘ……」

三流の忍者のうんち

「ﾌﾞｫｫｫｫブリブリブリブリブリブリブルルルルルブルダダァリリリリブリブリブリブリブリブリｨｨｨｨﾁﾞｨｨｨﾁﾞｲｲｲｲｲボットンボットンボットンボットンボットンボットンボットンボットン！！！！！！！！！！」

12月が近づいてきたから「ウーッ！ウーッ！」って唸り声あげて威嚇してる

若い頃は精神が病んでしまうと、世間や誰かの心に影響を与えたいために死を決意したりしがちだけど、人間40とかを超えてくると普通に周りが死にすぎて「またか…」となるだけなので誰かに何かを訴えるために死を選ぶことはおすすめしない

最近勃起したりムラムラしたからシコるんじゃなくてシコるためにAVを見て勃起させてシコるんだけど、何か間違ってる気がする。

私水商売のオーナーやってますが、一度楽してお金を稼ぐ事を覚えた人は普通の生活難しいですよ。私のお店にも一度卒業した人が年取ってから、また使ってくれって来ますが、もう無理だし、そういう人って大体買い物とかで借金を作るので本当に普通の金銭感覚は大事です。

熊野寮の人たちのこういう「俺ら洒落分かってますからww」て感じがいくつになっても苦手。ただの不潔なヒッピーだろ。

Q:社会で一番用心するべき人は？

A:酔っても発言や行動が変わらない人

「スマホゲームの初期キャラの声優がアニメで当たり役引いてギャラが4倍になったので再録が難しくなった」って話をこの前聞いた。

好きなポケモンを軸にチーム作って、最終的に好きなポケモンが消えたら構築完了

予備校講師やってんのに人の営みの本質忘れないの凄い。「お勉強」の機会分配の不平等性がファクトフルなデータで証明されつつあっても、「馬鹿は自己責任」「勉強のできない奴はカス」みたいな言説を手放せない一般入試で大学入った人は多いけど、この人はそんな空気が蔓延する環境にいても人の営みの本質を忘れていない。受験競争の産業にずっといると、テストで点数を取ることが全てだって思ってしまいがちなんだよ。有名大学に行く事のみが大切で「学歴のないやつはゴミだ」って先鋭化しやすい。林修は頭がいいはずなのに「東大以外に大学としての価値はない」なんて馬鹿みたいな事言っているでしょ。この先生は予備校講師をやっているのに、受験勉強なんて社会に出たら役に立たないなんて、当然だけど受験勉強を教えてる人間からしたら目を背けたくなることに向き合っている。

おとなの自動車保険ってネーミングすげえな、逆に10代暴走族向けのこどもの自動車保険もあるのかな

アニメ化が発表された作者の人は2年くらい「アニメ化しないんですか？」みたいなコメントに「いやー」ってはぐらかしながら「本当は俺が一番言いたいんだよ!」と我慢してた人たちなので、しっかりと祝ってあげてください。

chatGPT というAI、「図書館に監禁されて、今日が何月何日かもわからないまま、投げ込まれる質問文に合いそうな書籍を探して引用する礼儀正しい児童」という印象だな

かっこいい系で売ってる芸能人、家に帰って普通にうんことか自慰行為とかする「家用の自分」と、そんなの一回もしてませんけどみたいな「テレビ用の自分」を使い分けてるの偉すぎる。俺だったら嫌になってテレビ用の自分で普通にシコりだすし、家用の自分でスカした顔しちゃう。

とりあえず5分始めればいいみたいなハックを真に受けて、5分だけ参考書を流し読みして何にも頭に入らないまま終わるというのを数十回繰り返している。

「それってあなたの感想ですよね？」が小学生男子の人気ワード1位に入ったことで世を嘆く書き込みがあったが、もっとやばいのは小学生男子の人気ワード1位を振り回して嬉々としてるネットの大人たちの存在だろ。

若い頃は温厚で舐めた目にあってたけど、歳をとって図太くなりブチ切れるようになったらそもそも理不尽な目に遭わないようになった。人は意識的にしろ無意識にしろ舐めた態度取っていい人を判断してると思う。

モラハラが原因で離婚した女友達が「モラ男は外面だけはめちゃくちゃ良いから最初は騙される。けど唯一"謝れない"という特徴は最初から見えるからよく観察してね」と教えてくれたからそれ以降「ごめんなさい」をサクッと言えない男は躊躇なくブッた切るようにしてる

大学生の頃、私のお勉強を指導してくれる理知的な先輩がいて、「いつかあなたは私より賢くなるよ」と言ってくれていたんですけど、いつのまにか日本は陰で劣等民族に支配されている的な考えに熱心になって、「あれ、私が賢くなるんじゃなくてあなたの知性が下がる形で達成するの！？」って泣きましたよ。

停滞というか維持にもコストがかかるのも良くない。何もやりたくなくても何もやらないとつらくなる。人間にはいくばくかの達成感というものが必要だ。仕方なく家事などをする。もちろん仕事だってしなきゃならない。いうまでもなく楽しくはない。爪も伸びる。切らなきゃいけない。髭も伸びる。剃らなきゃいけない。髪も伸びる。さらにひどい癖っ毛だ。切るだけでなく時折ストパーもあてなきゃいけない。馬鹿にならない出費だ。そんなものをあてても男前になったりはしないのに。野暮ったいおっさんがさらに野暮ったくなるのを止めるだけである。ちょうど今から美容院だ。何年も通っているので美容師とは仲が良い。でもなんの話をすればいいのか分からない。人生の大半を空虚としか捉えられていない人間が一体なんの話すれば良いのだろう。過去も現在も未来も全てがなんとなくかったるい。そんな話をして誰が喜ぶのか。

精神疾患になりやすい人は「放っておく」というのが苦手。コンプレックスやできないことを「まぁいっか」と放っておけない。なんとか克服しようと頑張りすぎて自爆パターン。

ジムのトレーナーに「なんでプログラマって年収高いんですか」って聞かれて「たまたま今の世界がソフトウェア中心になって需要が発生してるだけで、例えば文明が崩壊して力が全ての世界になったらあなたのキックボクシングで人をぶっとばすスキルの方が高く売れますよ」って言ったら納得してもらえた

この世で最も過大評価されてるもの：お金

「そんなふうに生きてて将来は不安じゃないんですか？」という問いに内包された「将来は不安であってはいけない」という決定が、そもそもおれの決定とはかけ離れている。

地球最後の日の歌、the last take

PayPayやった事なくて、やっと登録したんだけど使い方がわからず、友達に聞いたら「音声認識だからレジ機に向かって大きめの声でPayPayって言うと自動的に支払われる」と教えられたので、コンビニレジ機に向かって大きな声でPayPay!と言い放った後、店員さんが苦笑いで解説してくれた辺りから記憶ない

「Mはわがまま、Sはサービス」って言葉よくきくけど、マゾッホ研究の古典者ドゥルーズが【サドは「したい」ことより「すべき」ことをするから自我を超越してて、マゾは「されたい」こと「許されたい」ことを実現するから自我が強い】ってことを200頁かけて言ってて、あながち間違いじゃないと知った。

「きっと自分ならうまくいく。うまくいかなかったら、そのときの自分がなんとかする。」と自分への揺るぎない信頼があれば、ぶっちゃけ責任とか覚悟とかいらんというか、むしろこのマインドが「責任・覚悟」だと思う。

転売ヤーがマジの感じで「俺たちのおかげで商品にありつける人たちがいるってこと忘れんなよ」って逆切れしてさらに炎上してるの見るけど、あれたぶん本気でそう思ってる。大抵の人間は完全なる悪にはなりきれないので、どこかで自分の行為を無理やりにでも正当化しなくてはならない。そうしないと心が保てない。転売を平気でできるような人間さえ、「そうです私は悪ですけど何か？」みたいな開き直りは難しいようだ。とはいえ、やはり転売ヤーは死んでいい。

「未精算の商品の持ち込みはかたくお断りします」ってスーパーのトイレに書いてあるけど、たまにはやわらかくお断りしてほしい。

「独身のまま40代50代になると人は狂う」みたいな言説、現に親戚にそうなってない人が男女問わずいるので、全然そうなる心配をする必要はないと思いますよ。結婚したくないならしない方がいい。したくないのに恐怖でする方が狂うでしょ。

死ぬまでに素数の数列の一般項を見たいなぁ

そういや人間を捕食する人外がいたとしたら、人外は人間のことを「タスケテ」と呼ぶんだろうなと考えたことがある。小さな子供が犬のことをワンワンと呼ぶみたいに。

渡辺徹が素人時代に榊原郁恵の大ファンで、後に自分も俳優になって共演して結婚して数年たった後にも、いまだに夜中に目が覚めて、隣に自分のアイドルだった郁恵ちゃんが寝てることに普通にびっくりするって言ってた話好き

攻撃的で排他的で差別的な卑屈なことをわざわざしてくる人はあかんものを抱えてしまっていて俺がいるような明るい場所や創造的な場所には絶対に辿り着けないから、そのことをしっかり憐れんであげるのが正解なんだろうな。「そうですか、何か抱えてしまってるんですね、お疲れさまです」という感じでしっかりとたっぷりと憐れんであげることがマジで必要なんだと思う。

ファミレスのような公共の場でわざわざ別れ話をするカップルなんなんだ、と思っていたが、相手が暴力的な人間のため密室である家の中だと怖くて別れ話ができないからファミレスで別れ話をしたことがあるという人の話を聞いて、公共の場でのカップルの別れ話が自分の中でオールオッケーになった

夫が「素晴らしい」と言いながら手を叩いて階段を降りてきてデスゲームでも始まったんかと思った。サッカーが勝ったらしい。

毎日何かしらの墓穴掘りすぎてて、もはや霊園作ってるのではと思うレベル

若いからまだ大丈夫だよ！って言葉は、若いから（今動けば）まだ大丈夫だよ、って意味であって、なーんだ若いから大丈夫なのかあって真に受けて毎日YouTubeとかNetflixでも見ながらだらだらと日々怠惰に過ごしていると、あっという間に大丈夫じゃなくなります。

サウナで整ったあと、風呂で乱れる人

岡本太郎さんが奇祭として知られる長野県の御柱祭に参加した際、急坂を下る丸太に乗ろうとして危険だからと止められ「死んで何が悪い！祭だろ！」とキレたエピソードが好き。

正直AIに仕事奪われるといった直接的ダメージよりも、見る側も描く側も「手作り」の有難み的なオカルトに傾倒し、ライブドローイングが絵描きの基本業務となり、パフォーマンス性や容姿やタレント性が求められるようになり……その結果、今の声優業界の一端の如き未来に行き着くほうがずっと怖い

物事を良い、悪いで考えると悪いことばかり気になるんです。そうではなくて全て経験だと考えましょう。病気もお金がないのもみんな経験なんです。そう考えればそこからなにか学ぶことができると思うんです。辛い経験ほど大切なものを学ぶ機会なんです。その先には新しい自分が待ってますから。

職場に仕事のトロい人がいて、教育係はいつも感情的に怒っていた。けど、結構頑張り屋さんみたいで、訓練を積んで、ある日、毎回失敗して怒られてた業務をきちんとこなせたんです。そしたら教育係は、怒れないから残念そうな顔をしたんですよね。私はそれを横から見てて、気持ちよくてゾクゾクした。

「まんま」とか「ぽんぽん」などの幼児語を一切使わず「晩餐」「腹部」と言い換えて子どもを育てたい。子どもも意味も分からずにそれらを使うようになるのが面白くてたまらない。

「笑ゥせぇるすまん」読んでると金がない金がないと困ってる人が毎晩毎晩飲みに行ったり賭け麻雀したりしてて「その辺の描写が妙にリアルだな」と感心する。金がないからと高円寺のガールズバーで働き始めた友達が平気でタクシーに乗りウーバー頼んでたのを思い出す

2018年の冬頃、10年ぶりの友人を訪ねて会社へ行った時、わざわざ門のそばにある守衛室に行って話した。寒々として暖房もなかった。「なぜこんなところで？」と聞くと、「ここだと誰にも聞かれずに済む」と言って、習近平の悪口を言い尽くした。よっぽど溜まっていたらしく、聞いてほしかったのだろう。「ウチの子どもが小学生にあがって…一番最初に何を勉強したと思う？『社会主義核心価値観』だぜ。そんなもん、6歳の子どもに暗記させて何になるんだ？子どもを党員にさせるために学校行かせてんじゃねぇーんだよ。大人になったらちゃんと稼げるように勉強させないと、これから中国はおかしくなるぜ」「稼げる教育をしないと国がおかしくなる」というのは、中国人らしいリアリズムだ。そんなところから習近平政権を批判するのはさすが中国人である。ただ、こういう話がじっくり出来るのは、広い中国にあっても、確実に他の誰もいない、「スピーカー」もない、古い守衛室の密室空間だけなのだった。そういう現在の中国を知っていると、中国人に日本で自由に声をあげさせてやってくれ…と思う。「自由」が余るほどあって、使い道に困って無駄遣いばっかりやってる日本において、少々中国人に分けて与えて、政治的主張をさせたところで、我が国はびくともしない。中国は巨大で豊かだが、自由だけはない

「田舎に住みたい」と言ってる人が本当に住みたいのはせいぜい「郊外」なんだよな…。

「引きこもってたあなたのその2年間は決して無駄ではありません！」というのは間違い。人の人生は等しく全てが無駄。

恐山の、真面目な人が考えたであろうズレたユーモアを摘出する能力が高すぎる。

丸亀製麺の「俺たちの豚汁うどん」おいしかった。「俺たちの」の部分でオタクが麻生太郎をやけに評価していた過去を思い出してしまって若干眉間に皺が寄るが、そのネーミング以外はすばらしかった。豚汁としては異様に濃いので、それを「汁」と解釈して飲むとオゥッとなる。鍋の最後の方の、煮詰まった汁よりも濃い。でもそのおかげで麺によく絡んで満足感が高い。期間中にもう一回くらい食べに行くかもしれません。

強く印象に残っているのが、『伊東家の食卓』でやっていた「みかんを甘くする裏ワザ」だ。知らない人に説明すると昔そういう番組があったのだ。生活の知恵を「裏ワザ」として紹介する番組が。みかんを甘くする裏技は「みかんを自転車のカゴに入れ、町内を一周する」というものだった。こうすることで酸味が抑えられて甘くなるんだという。目的に対する手間がぜんぜん釣り合っていなかったので強く印象に残っている。実際は皮から衝撃を与えればいいので、揉んでもぜんぜん良いらしい。

遅刻魔の「あと10分で着く」は、「あと10分であと10分で着く」という意味。

納豆が食べられる嗜好でありたかったな。納豆嫌いって、なんか「まともすぎ」な感じがしないか。だって、あんな異臭を放って、糸を引いてる豆なんて、直感的に「これは食えん」と思うのが普通だと思う。賞味期限切れの食べ物の異臭を嗅いで「おえ」ってなる一方、納豆を見たら「うまそう～」と感じる、倒錯した感性のほうが絶対に複雑でおもしろい。その手の矛盾を孕んだ娯楽に適応できる素養がないとき、自分にがっかりする。SMもそうだ。いじめたりいじめられたりすることに倒錯的な快感を覚えるみたいなの、理屈ではわかっても、私にはあんま直接感じられなくて、そのことが勿体ないなと思う。

「後ろ向きの読書」は愉しい。知っている本を「知っているなあ」と思いながら読むだけの、記憶を愛撫するような行為。たぶん「思い出す」というだけで脳がなんらかの報酬を分泌するようにできているんだろう。記憶したりそれを引き出したり、という動作を定着させるためにそう進化したのかな。人は本性的に感傷的だ。

学生の頃からそうなんだけど、制限時間があってヨーイ……スタートみたいな場になると、フッと気力が抜けて一種の離人症みたいになる。というか「何かをしようとする直前の、何も考えてない状態」が延々と続くループが始まってしまう。数秒おきに我に返って「あ、そうだった……テストだ……」と気を取り直すのだが、あっという間に「フッ」がやってくる。動悸がしたり冷や汗をかいたりするわけじゃないけど、これも「プレッシャーに弱い」ということなんだろうな。まあ率直に言ってわりとがっかりな結果であった。しかし一番がっかりしたのは、この結果を受けてなお「ふーん」と思っている自分の感性についてかもしれない。あ、自分はこれで悔しくないんだ……とちょっと引いてしまった。最近たまに思うけれど、世の中大別すると負の感情の底に「くやしい」がある人と「むなしい」がある人がいて、くやしさにつける薬はいろいろあるけどむなしさにつける薬はない気がするんだよな。社会的な成功をつかんでいるのはほとんどみんな悔しがり屋だ。

殺人事件の報道で、たまに親族や近隣住民としてインタビューを受けていた人が真犯人だった、という例を見かける。だいたい戦慄の事実として捉えられて、犯人のサイコパス性みたいなものがそれを通じて語られるけれども、個人的にはあまりしっくりこない。心の動きとしてわりと自然なものに思えてしまう。いや、殺人そのものには全く共感できないんだけれども。なにかしら大きな罪を犯してしまったとき、「なかったことにしたい」という心理が働くのはそれなりに普通のことではないだろうか。たいていの人は重大な責任を直接実感しながら平気で生きることなどできないので。実際は加害の張本人であるにも関わらず被害者を演じるのは、警察の目を逃れるとかより前に、自分自身の心を騙すうえで有効なのだと思う。思っているより簡単に、自分自身を騙す嘘に心は騙される。ニュースを見ていると多種多様な「やばいやつ」の情報が入ってくるが、いずれの人の中にも「自分」が宿っているような気がして怖くなる。こいつは全く理解不能だ！ と思えることはあまりない。それはむしろ完璧にちゃんとまともな人に対してそう思う。

「またやりたいです」って作文の頻出ワードのような気がするけど、誰が子どもに教えてたんだろう。各自が思いついていたのか？ だとしたら無気力なりに結構偉い。「すごいと思いました」「またやりたいです」「この日のことはきっと忘れないと思います」「きょう、」とかね。子どもが作文で書きがちなフレーズってだいたい似通ってくる。だからこそそれは本質的なフレーズかもしれない。子どもが「すごいと思いました」で済ませているところを、大人は格好つけて言葉をこねくりまわしているだけだと考えることはできないか。

業務スーパーで、チューブ明太子が刺身パックにそのまま入って売られていた。いかにも人工的なチューブが、「ナマ」なものを包むための刺身パックに入っている光景は異様で面白かった。

AI画像生成ガチャを回していたらすごく好みの絵柄が出た（指が6本あるが）。どうにかしてこの絵柄を保ったままバリエーションを作ることができないか画策したもののうまくいかない。この画風の作家さんって実在しないんだろうか。村田蓮爾氏を思い出したけど、見比べてみたらわりと全然違う。AI生成では頻繁にこういうことが起こる。「これだ！」となることはあっても、そこからの発展が難しい。いまの時点では本質的にガチャなので連続性に欠けるのだ。どんなに好みの作品が生成されても、そこに文脈や歴史が存在せず「作者」と呼べるようなものも居ないと思うと、悔しいような虚しいような気持ちになってしまう。無数の可能世界に繋がる穴に手を突っ込んで、たった一枚だけの写真を掴み取ってくるような営為だ。その1枚だけがこっちの世界と向こうの世界をつなぐ唯一の接点で、それ以上の関係を作ることはできない。

全体の1/5が特定のスポーツ業界から出た流行語ってバランス的にどうなんだと思わなくもないが、野球がそれだけ強いコンテンツということなのかな。野球が好きな層と「流行語」的なものが好きな層が被っているということかも。もはや「流行」という概念自体が、一部のクラスタの内部だけで通用する＜流行＞にすぎない感覚はある。もっと意図的に業界を分散させた流行語大賞みたいなものがあったら見たい。ネット流行語大賞っていうのもあるけど、あれはあれで二次元オタク用語に寄りすぎだから、事前に分割したジャンルにおけるそれぞれの上位だけ集めたようなのが見てみたい。釣り業界の流行語とか、ボウリング業界の流行語とか全然知らないもんね。プラム栽培業界の流行語とか。

「ヒトが描いたっぽい揺らぎ」が実はAIにとって真似するのが造作もないことだった、というのはなかなか受け入れがたい事実だ。もしかすると人工知能にとっては厳密なもののほうが難しくて「人間らしい」もののほうが得意なのかもしれない。正確性が求められるものほど再現が難しいと言いかえれば、当たり前なんだけど。よく漫画とかに出てくるアンドロイドって文字通りの鉄面皮で、無表情で仕事をこなして「笑顔……？ それはなんですか」とか言ってるけど、あれっておかしいよなとは前から思っていた。ロボットにとって一番表層的に真似しやすいのは「笑顔」のようにファジーなコミュニケーション部分であろうから。人間にだって言うからね。「よくわかんなくてもとりあえず興味深そうにハイハイ言っとけ」とか「とにかく笑顔でいれば嫌われることはないんだから」とか。正確な仕事をするよりも、なんとなく人間にとって好ましい動作をするほうがよほど簡単だ。曖昧な動作の意味を、受け取り手側にかわりに処理してもらってるのと一緒だから。

なんとなく「殺し屋」で検索してみたら入力フォームだけのサイトが出てきたので、これもまたなんとなく「キムタク」と入力してみたところ、キムタクが殺されてしまったことを翌日のニュースで知った。さっき非通知で電話がかかってきて、合成音声で「今月末までに250万円を振り込んでください」という音が流れた。払わなければ私も殺されるだろう。貯金は300万円あるから払えない額ではないが、値段が値段なので困っている。同時に「キムタクで250万円は安いのではないか」とも思っている。

スプラトゥーン。コントローラの振動が、リアルな臨場感を増してくれるなあと思っていたが、ふと気づく。トリガーボタンを押し込んでインクを発射しているときはべつにコントローラは震えていない。では震えるのはどんなときか？ 撃ったインクが敵に命中したときである。軽く当たれば軽い振動が、一撃必殺すれば重い振動がフィードバックされる。いうまでもなくこれは「リアル」な体験とは言えない。実際に銃を撃ったときに戻ってくる衝撃は、あくまで自分が撃った銃の反動であって、相手に当たったかどうかとは無関係だからだ。しかしゲームでは「当たった」判定が振動になって戻ってきてもいいのだし、プレイヤーはその非現実的な触覚にたいして「リアル」を感じる。単に現実の五感を模倣するだけでなく、その奥にある「欲求」に照準を定めた体験がゲームには必要なんだろうか。

『朝だ！ 生です！ 旅サラダ』に大量の感想が寄せられているページを発見。「ラッシャーを返して！」と言っている人も実在することがわかった。『朝だ！ 生です！ 旅サラダ』を見ながら激怒している視聴者などもたくさんいるんだろう。それを奇妙に感じるが、彼ら（たぶん高齢者が多い）からすると、ツイッターを見ながら激怒したり絶望したりしている若者たち、とかのほうが奇妙に映る。分散したコンテンツがあって、感想をなんとなく書き込める場所があって、コンテンツで気晴らししたりイライラさせられたりして、ガス抜きのための場所もあらかじめ与えられている。高齢者も若者もみんな同じだ。

どんなに今までにないことをやっても、やった瞬間に「前例」になってしまうんだから、個人のクリエイティビティって心細いなあと思う。たぶん、そもそも「絶対誰にもマネできないもの」を目指すところからすでに何かが見当違いなんだろう。誰もが「界」の裏をかいて殺してやろうとして、結果的にそれが「界」の成長に奉することになる。むしろ、そうすることによってのみ「界」は膨れあがることができる。

タトゥーというのは「痛くて」「取り返しがつかない」というデメリットこそ本質に近い部分なのかもしれない。お手軽な体験だけでは接近できない領域があるのをなんとなく感じた。極端なことをいえば、おでこに「犬」って彫られちゃったとしても、それによってラクになれる部分はあるのだと思う。あ～、自分は犬なんだなあ、と心底思ったらそのぶん積み荷が降ろせるから。

死体や糞にハエがたかっているのを見ると、そのとき彼らはおそらく我々が焼肉屋の前を通ったときのような快楽が脳を支配しているのだとは思うんすよね。世界は見方次第だみたいな安い自己啓発も、一周回って真実を突いてるとは思うんですよね。

人事のカリスマとか採用のカリスマって自称するのって恥ずかしくないんだろうか

じゅげむじゅげむ疲労で擦りきれ 体調いつでも腰痛ある頭痛ある腹痛ある 食う寝る心に飲む心 やおら同時の子の病気 毎度毎度毎度の収入減 収入減の税金大 税金大の物価高いの五億欲しいの超特急で今日くれ

彼女「熱出て辛い……今から来て看病してくれる？39度あるの」

マジで今じゃない彼氏「体温ってせいぜい310ケルビンだし誤差範囲だから気にしないで」

入浴剤が優れているのは、烏の行水である自分を絶対に最低10分間は浴槽にへばりつかせる能力のほうで、肌すべすべとかいい匂いは副次的効果に過ぎないな。風呂入ってる間は自分の中のすべての効率厨を遠ざけられるので数少ない憩いの場になってる

英語で「○○ OST Extended」（ゲームのサントラの耐久版）って調べると30分とか1時間繋ぎ合わされてるのがあって、以前はもっといろんな曲聞けよって思ってたけど違う、この歳になると好きな曲にあたるまで「次へ」ボタンを押すのもおっくうなんだ。それなら飽きてでもまあまあ好きな音楽を繰り返し聞いてたほうが全然マシなんだ。わかりたくなかった。

講義中に「どんな研究してるんすか」と質問されたので「まあ量子情報ですが」と答えたら「すごい、ネコ飼ってるんすか」などと質問されたので「飼ってもいないし箱詰めしたりもしてません」と回答しておいた

銀行員時代、よく「自分で考えろよ」って言われて、最初本当に自分で考えて意見を述べてた。すると上席者は溜息をついて、「もういいよ」と言って何が案を寄こしてくる。暫くして気付いたのは「自分で考えろ」とは「俺の意見を推測して、責任だけお前に行くようにお前の意見として書け」って意味だった。暫く勤めて、完全にJTCに染まったワシはその動作を完全に履行した。それが一番早いし、表面上自分の意見として出したとして、上司が例え逆さまにはんこ押したってルール上上司の責任になる。その内に自分で考えることを完全に止めた所で、自分で考える仕事しか無い本社に飛んでブッ倒れた。転職をして、新しい上司にも「もっとさぁ、意見出してよ意見」と言われたので、最初は銀行員仕草でこれまでの上司の言動をなぞって、なんか好きそうなことを推測して言ってみた。反応は全然悪くて滅茶苦茶期待外れみたいな顔された。これは、もしかして本当に案に困っていて、ワシの考えを聞いてる？じゃあやるならやったれと思って、ポエムを書いた。A4で3枚。今の業務はこんな構造で今上手く行ってないのはコレだから。コレが必要なので今やってることは止めてこうしましょう。ワシは何をします。と。ポエムと言ったのは、前職で同じ事をしたら発狂したと思われて西表島出張所に飛ばされるからだ。結果だけ書くと部のアジェンダの2割くらいワシが書いた中身になった。あ、良いんだ。自分で考えて喋って良いんだ。すると何だか仕事が楽しい様な気がしてきたし、成果物の一語一句気になる様になってきた。何故ならこれは上司でなくワシの案であって、実行して成功したらワシの案で会社が儲かるから。同時に成長の構造について気が付いた。人間は仕事を任されて、自分で考えて動いた時しかしない成長がある。上司の意見を推測するのは、一定の経験値は貯まるけど、そこから上がない。自分のパワポがそのまま役員会に上がって叩かれる所を想像しながらアウトプットする時にしか貯まらない経験値がある。そしてサラリーマンが自分で考え始められる年限には限度がある。もし上司の意見を推測する仕事だけやって35を超えたら、そこから先の人生で自分の何かを作るのは多分無理な気はする。なぜなら上司の意見はただ先例をなぞってるだけで本人も何も考えてないから。その先例が今の正しいのかさえも。もし、今上司の意見を推測して自分の意見として書く仕事をしてるサラリマンの方で、業務のやり方や内容について、おかしいな、変だろ、非効率じゃんと思っていて、でもそんなこと言っても狂人扱いされるだけなので何も言わない方。多分なんだけど貴方は正しい。実際にそれはおかしくて変で非効率だ。仮にそれを言ったら全力で否定して相手にしない上司でさえ多分本当はおかしいと気付いている。でも彼も考えることをしないでそこまで来てしまったから、前例をなぞるしかできなくなってる。道が断崖に続いてるのが見えても止まれないし曲がれない。もうそれしかできないから。ラインの一部として、会社が今のまま続いてやり過ごせるならそれで良い。責任は上司が負うので。ただ、ずっとそれをやって考える力を無くした所で会社がブッ飛んだら、多分だけど上司も会社もそこから先上司の考えを推測しかできなくなった責任は取ってくれない。その時の事も考えた方がよいかも。

Facebookががんばってる割にメタバースがぜんぜん流行らないが、あれはいずれ定着せざるを得ないものではあると思っている。流行らない理由は単純にハードウェア上の都合だ。VRゴーグル的なものがデカすぎる。最近発売された薄型のやつですらデカすぎる。ふつうのメガネと同じ重さかコンタクトか、あるいは網膜や脳に直接アクセスできるようになるか、それくらい進歩しないと無理だろう。それくらい「物体の質量」って重大だ。でかいとヘアセットやメイクも崩れるし。仮にいまのスマホが技術的な問題により1kgより軽く設計できなかったなら、ほかの機能が同等だとしても全く普及しなかったはずだ。裏返せば、ハードウェア上の問題さえ解決すればあとはトントン拍子なんだろうな。早く電脳コイルみたいな世界になってほしい。写真アプリの加工を常時世界に対して常時発動するみたいな使い方が可能になれば、おのおのの見ている世界がぜんぜん違って楽しいだろうな。他人を全員美少女に変換して生活するオタクがまず想像できてしまう。そこまで極端にならずとも、世界の細部をちょっと補正してくれるような機能は誰もが使うんじゃないか。いまのスマホカメラだって、それとなく輪郭や彩度を調節したウソの現実をデフォルトで保存している。同じように、実際の現実よりもすこしだけ彩度高めでエッジのきいた視界で暮らす人が増える。インスタ映え的な、異常にくっきりとファンタジックな、夕焼けが紫色に近くなるほど誇張された世界が24時間続いたら狂いそうだけど。

ローソンで「マヌルパン　ガーリックチーズ味塩ラーメン」というのが売っていて、わけがわからないので買った。マヌルパンとは韓国風のガーリックトーストで、丸いパンにクリームチーズを入れてガーリックバターをたっぷり染み込ませたジャンクなB級グルメであるらしい。それをイメージした塩ラーメンだという。できあがりの香りを嗅いでみると、たしかに温かいガーリックパンの匂いがする。食べるとニンニクとチーズのきいた塩ラーメンの味がする。うまいのだが、マヌルパンを食べたことがないので、この味のどこからどこまでがマヌルパンのエリアで、そこからどれくらい発展してこの味になっているのかよくわからない。いきなり応用編のレッスンを受けている。

突然の首切りについて、わりとタイムラインは「ざまあみやがれ」的な雰囲気になっている。こういう感じ結構嫌！ と思った。悪意の発露そのものではなくて、お互いに顔色を確認したうえで安心してTwitter社員を罵倒してるところが。人をバカにするときに安心しているのはよくない。肌でヒリヒリを感じるべきである。

「襟足はどうしますか？」と言われて「えりあしって……？」と聞き返したら「首の後ろの毛です」と教えてもらえた。わからないことはわからないと言ったほうがいい。「襟足」も知らないのに小説を書いたりしてしまって、おこがましいよな。これってつまり、今までの私の作品に出てくる人物は全員「襟足」の意味を知らないってことだろうか。

昨日、ささみカツを食べそこねてお金だけ払って帰ったことが未だに尾を引いている。損をしたこともだが、意志を行使できなかった口惜しさが大きい。そこで昼はうなぎ屋に飛び込み、ちゃんとしたうな丼を食べた。意志！ 行使！ と念じながらたべた。とても美味しかった。店内にスマホを忘れて、あとから店主が追いかけてきた。

スーパーマリオのゲームに出てくる敵って、ぱっと見たときに「踏めそう」とか「踏んだらダメージを食らいそう」みたいな印象がわかるようにデザインされている。「踏んだらバネみたいになって高く飛べそう」とか。物質があるとき、人はそこに埋め込まれている情報を無意識のうちに読み取って、頭の中で動作させている。李 禹煥の作品は観る人に頭の中でそれを動かしてもらうための最低限のキットを構成する手法を探しているように感じた。

たまにイベントとかで一緒になるワクサカソウヘイさんの新刊『出セイカツ記』を電車の中で読んだ。「生活」の底に横たわるぼやっとした不安を、具体的方法によって解消する……というか、不安そのものの正体を明らかにして、不安になることへの不安を解消するような、変な本であった。自分も「いつかお金がなくなったらどうしよう」とか「働けなくなって食えなくなったらどうしよう」とか「味覚と嗅覚が反転して、鼻でしか味がわからなくなったらどうしよう」とか布団の中でしょっちゅう考えているので、この不安はとても共感できる。ワクサカさんは「食えなくなったらどうしよう」という不安を「食わない」という実験によって検証する。意外と一週間くらいはほとんど何も食べなくても生きていけるらしい。たしかに、それを体感として知っていれば「食えなくなる」ことの不安は減るだろう。なくなるまではいかないにしろ、より具体的で対処可能なものに変わる。拾った石を売ったりスッポンを釣って売ったりしたら意外とお金になることがわかったり、魚を突いて食べて暮らしたら意外と暮らせたり、何もせずずーっと寝てるだけで１年暮らしたり。体を張った実証実験により「衣食住」の観念が拡張（崩壊？）していくのはおもしろい。「食わないと、死ぬ」という事実は、想像よりも遥かに重く人間のあり方に影響しているな。もし人間が光合成で自活できたならば、貴族が奴隷をこきつかう、みたいなことだって成立しなかったんじゃないかな。格差が生じにくくなるぶん、文明の進歩も遅れただろうな。協調性とかも育ちにくい。「前向きな生き方」は自然や他人に生存を人質にされた結果出てくるものだろう。「ヒトは一人では生きていけない」という常套句も、光合成人間の前では説得力を失ってしまう。いや、それでも、光合成ができたとて、やはり愛や承認や名誉といったものの不足をおそれて不安になったりするものなのかな。これはちょっとわからない。現実にそういう文明がないので。現代だと、衣食住がある程度は確保されていてもなお様々な不安が人間を苛む。でもその不安のベースはやっぱり衣食住にあるような気もするんだよな。たとえば「金も地位もあるが、誰にも愛されていないと感じて不安だ」みたいな人はたくさんいるが、愛情不足に不安を感じるというのはたぶんコミュニティから阻害されることへの不安に基づいてて、それがなぜ不安なのかというと、人間が共同体から排除されると食えなくなって死ぬからだ。誰に嫌われていようと現代では充分なお金があれば生きていけるわけだけど、他者からの承認がそのまま「食えるかどうか」に直結していた時代の記憶は濃く染み付いている。ある種の錯覚ではあるが、ここまで深い由来のある錯覚だともう別の実体を持ってしまっているのだろう。人間が光合成ができちゃう場合は、この種の錯覚が実体を持てるほどには育ちづらいんじゃないかな。だから承認欲求とか好奇心とか……もろもろの欲求が薄くなりそう。

Wikipediaはみんなで作る百科事典なので、長い時間をかけて加筆修正されていまの形になっている。そして過去のログが全て保存されているため、履歴表示をすれば加筆される前の姿を見ることもできる。これで有名記事の最古の版を見るとけっこうおもしろい。たとえば「愛」のWikipedia記事における最古のものを見てみると、出典が一切ない、記述者による100％主観の「愛」が長々と書かれている。「愛は言葉によっては定義できないし、言葉によって伝達することは非常に難しいと思われる。愛は愛を生きてみることによってしか知ることはできない。愛が起きている人が表現することはまた全てに愛が含まれるという可能性もある。愛を生きている人が生んだ詩であればその詩は愛をかもしだし、愛を生きている人が描いた絵は愛の色を放っている」。「愛を生きている人が描いた絵は愛の色を放っている」とか全く事典にふさわしくないフレーズだが、でもこういうところから集合知は始まるのである。

「猫はかわいいけど、猫をかわいいと思う人間がいなかったら誰もその側面に着目しなかったはずだ」みたいな話をした気がする。たしかに人類がいなかったら、猫のかわいさについて誰も気がつかない。恐竜とかもそうだ。ジュラ紀に恐竜を「かっこいい」と評価したやつはひとりもいなかったんだなあと思うと不思議だなと思う。数億年後にかっこよさを再評価されて、主演映画を山ほど作られることになったわけだ。ゴッホよりすごいかもしれないな。

病院に行くとき、マイナンバーカード持っていくの忘れないようにしないと。前回2回も連続で忘れたので、診察カードに「次回マイナンバーカードを必ず持っていってください」ってメモを貼り付けてもらったんだった。でも次回診察予約のあと病院に行くこと自体を忘れ、半年以上そのままに放置してたんだった。改めて文字に起こすとどうしようもないな。次は忘れない。

自販機で「白湯」を売り出すらしい。言われてみれば、だ。言われてみれば、ミネラルウォーターは売っているのに、お湯は売ってなかった。なぜだ。すごく不思議な気分だ。メーカーがこれを売り出したこと自体はまったく不思議ではない。どちらかというと、これまで自販機に白湯が存在しなかったことを誰もがまったく不思議に思っていなかったどころか「自販機にお湯ってないよね」と思いすらしていなかった、その事実が不思議に感じる。ミネラルウォーターも、昔はいろいろ言われていたような気がする。「水道ひねれば出るじゃん」って。そこをなんとか、山脈の雪解けの写真とか使って「塩素まみれの水道水なんかとは違うんですよ」というブランディングに成功してきたのだと思う。考えてみると、水に比べてお湯ってあんまり産地とか成分を気にされていないんじゃないかな。煮沸することによってブランドパワーも揮発してしまうから？ここ最近になって白湯ブームらしきものが発生したはいいものの「あったかいお茶でいいじゃん」という発想のほうが主流な感じもありますね。自販機でミネラルウォーターを買うことに抵抗はなくても、ただのお湯を自販機で購入することに抵抗感をおぼえる人はわりといるんじゃないか。ちょっと想像してみたけど、私も「お湯にぃ～！？」ってちょっと思った。人々の考える「自然」な行動って、実際はかなりマーケティングの都合と成果に支配されちゃってるんだろうな。

この本に詩を寄せていた子どもたちは、今ごろ40歳前後になっているはずだ。どうしてるんだろう？ と思って、載っている中でも比較的めずらしい名前で検索してみたところ、地元の親子マラソンイベントに親として出場していることがわかった。書籍では阪神大震災にまつわる詩を書いている小学生の男の子だったが、数年前の時点では息子と一緒にマラソン大会に出て走ってる。まあ、ごく普通の成長なのかもしれないけど、すごいことのような感じもする。当人はもうこの本に載った詩のことなんて忘れているんだろうけど、こうやって今になって知らない人が本を引っ張り出して読み、なにか思うと、過去のその人が再生する。これが記録媒体のすごさだ。こわさすら感じる。

つけ麺を食べていたら、店内の有線放送で倖田來未の『恋のつぼみ』が流れていた。なぜラーメン屋の有線放送で流れている音楽は15年遅いのか。たぶんメインの客層の胃が一番元気だったころの音楽を流すことで、体の調子を錯覚させているのだろう。『恋のつぼみ』の歌詞「めちゃくちゃ好きやっちゅーねん!! 月曜日も火曜日も」の部分。恋に永遠や無限を託したいのに1週間のうち2日しか経ってない刹那性と、その近視眼に全然気づいてなさそうな自然な書き方がとても良いな。あと同じ曲の「ほんのちょっとの優しさが嬉しすぎて何も手につかなかったり／恋って恐ろしすぎる…」という歌詞もおもしろい。のぼせて真っ赤になった頭で恋を浅く分析して「恐ろしすぎる…」とゾッとしているのかわいい。

「組み立てる」という動きには、インターネットをいじくりまわしているだけでは絶対に到達できない独特の楽しみがあるな。棚を完成させた直後にネットニュースを見ても、まったく心を動かされない。脳のリアリティを司る部分が、制作した物体に専有されるからではないだろうか。手でぺたぺた触ってあちこちから眺めることで、頭の中にも置かれる感覚がある。ネット経由で凹みがちな人は、そういう物質的な手段を使ってスペースを埋めて自衛するのもありかもしれない。もし山にログハウスを建てたあとに自分がネットで炎上したとしても、ぜんぜん平気だと思う。なにせログハウスだからな。

年をとってくるとだんだん「自分自身の才能の無さ」みたいなものに関して悪い意味でなく諦めがつくようになってくる、という話がたまに目に入ってくるけれど、あれはある程度真実かもしれない。身長が2メートルあって筋肉隆々の人が自分よりずっと重いダンベルを持ち上げられることを知っても、あまり落ち込むことはない。体格は目に見えるから。なぜ自分にできなくてその人にできるのか、という理由があまりにもわかりやすい形で伝わってくる。「才能」は多くの場合、不定形で目に見えない。だからこそ、それが自分自身に「あるのか、ないのか」という点で迷い、悩むのだと思う。しかし、いろんな人に会ったり、何度も自分自身のできなさに失望したりを繰り返してくると、その見えないはずの輪郭が少しずつ見えてくる。たとえば仕事の要領のよさとか頭の回転力についても、できる人とできない人の間に確実な「差」があることが、身長や筋肉量の違いと似たようなかたちで理解できるようになっていく。そして「あー、そりゃ無理なはずだわ。体のつくりが違うんだもの」と思う。これが実際は錯覚なのかどうかはわからないが、実感としてそういう種類の諦めを感じることはある。それで得られる幸せと取り逃す可能性の両方がある。それにしても人間について「意志」とかいう神話を流布した昔の何者かはとんでもない大罪人だと思う。それさえあればどうにでもなるらしい。でも、それがあるかどうかは目に見えないんだって。

モッツァレラバーガーというのを食べた。とても美味しかったが、ふとおしぼりを見ると「SMILE」と書いてあった。なんで？ と思って周囲を見ると、あちこちに「SMILE」と書かれている。クアアイナの社訓か何かなのか。店を出るときによく確認してみたら、「SMILE」というハンバーガーショップだった。クアアイナは別の階。ハンバーガー屋というだけで全く違う店に入っていたことに、食べ終わるまで気づいていなかったのだった。「店名見たらスマイルだった件」だ。

最高賞金3億円の宝くじを購入して当たる確率は1/1000万くらいらしい。ほとんどゼロに等しいけど、ゼロではない。この「ゼロではない」というところに意味があるのだろう。ふつうに生きていたら3億円が一気に、なんの手続きもなく手に入ることなどありえない。確率ゼロだ。しかし宝くじを買えば、とりあえず「ものすごく低い確率で3億円が降ってくるかもしれないワールド」へ入国する許可証を得る。「合理性」の軸はこれをどう評価するべきなんだろうか。「パスカルの賭け」というのがある。神を信じるか、それとも信じないか、どうやって決めるべきかを考える有名な思考実験だ。仮に、本当に神がいた場合、神を信じれば死後に素晴らしい無限の安寧が得られる。そう考えてみる。だとしたら、とりあえず「信じ得」ではないだろうか。神を信じておいて失うものなどないのだし、どんなに確率が低そうでも、無限大の幸福が得られるのであれば無限大のお釣りがくる。そんな詭弁じみた論証がパスカルの賭けだ（実際はもっと複雑らしい）。宝くじについても、高額当選の場合はこの「パスカルの賭け」に近いことが起きるんじゃないだろうか。3億円といえば、まあ手に入れば一生満足に暮らせる金額だ。たった300円払って「一生の満足」が得られる「かもしれない」権利を得られると考えてみれば、あながち非合理でもないのでは。300円を失ったせいで不幸になるようなこともないだろうし。「かもしれない」を意識にまとっておくことに関して、実は人間はだいぶ不思議な選択をしている。いま起きている現実の先に「こうなるかもしれない」という未来をいくつも幻視したうえで動き始めるけど、なんでそんなふうになってるんだろう。その根拠は複雑怪奇で、宇宙人なんかがもし居たら理解できないんじゃないか。逆に、宇宙人の行動原理も理解できないかも。姿かたちや知能は人間そっくりだけど、確率の認識と意思決定にまつわるメカニズムだけがぜんぜん違っている宇宙人、というのは考えられそう。おそらく文明も死生観も、なにもかも違うんだろうな。彼らの生活は、人間から見るとただ大暴れしているようにしか見えない。SFに出てくる怪獣や知性体も「合理性」という水準で見ると人間並みの普通さだったりすることが多い。いや、でも地球の生き物を見る限り、知能に大きく差こそあれ、どの生き物も確率的な認識についてはあんまり大差ないようにも見える。自然選択が似たような行動原理を選ばせてしまうんだとしたら、宇宙人も確率については似たような認識でいるのかもな。だとしたら面白いと同時につまんないな。

「出来事を認識しているが、それを認識していることがなんの意味も生み出していない状態」があって、この状態である時間が長い。まず認識のプールに外界から得た情報をためこみ、そのあとプールにある情報をスキャンして「感じる」段階に移行するようなイメージだ。ジェットコースターに乗って「ぎゃー」と叫べる人は瞬発力がすごい。それともそういうふうに体ができているのか？

七輪は良かったけども、炭の熱が持続しすぎる。完全に冷めるまで2時間くらいかかる。現代のコンロやIHなんかに慣れていると「ずーっと、しばらく熱を帯びているもの」の扱いに戸惑う。

たまにフッとなにもかもがむなしくなることがあるが、それはおそらく、ある意味でとても健康なことだろう（起きているあいだずっとむなしい気分が続いていたらそれは不健康だろうが）。でも、たまにそういう気持ちになることがまったくなさそうな人に遭遇することがある。そういう人はだいたい元気いっぱいである。疲れたり落ち込んだりということはあるが、むなしくなることはない。無気力になることはあっても、単に気力がないだけで、いろいろなものの価値そのものは認めているのだ。そういう印象を抱く人に遭遇すると、不健康で怖いなと思ってしまう。もちろん勝手にそう思っているだけなので、実際にはむなしい気持ちになっているのかもしれない。だとしたらそれを隠すのがうまい。そのぶん、抱えているむなしさの質もひとしおだろう。

子どもがトンビにカメパンを盗まれる動画。これ、何度見てもいいなあ。映像そのものの完成度の高さ（タイトルを知っていることで、ただ子どもがカメパンを食べているだけの冒頭シーンにすごい緊迫感が生まれている）はもちろんだけど、このタイトルがまず、なにより良いよね。トンビが盗んだのが「カメパン」なのが、良い。これが「カニパン」だったらどうだろう。動画としてはまあ面白いだろうけれど、ここまで深い印象を残すものにはなっていなかったんじゃないか。カニパンは知ってるからね。カメパンというパンの聞き慣れなさと、それでいて理解はできるという点に、世界の無制限なリアリティを感じる。カメパンと聞いて「ん？」と少し思う。そして「カメの形をしたパンなんだろうな」と思う。この思考はほぼ同時に行われる。実際に動画を見てみると、子どもがカメの形をしたパンを食べている。やっぱりこういうパンかと思う。そして、そのカメパンが盗まれる。ここにダイナミックが詰まっている。さっきまで知らなかったカメパンを知った直後にそれが失われてしまう。世界はこんなにも底知れないのだと思わされ、カメパンをとられて泣く子どもにかなり感情移入してしまう。生きるっていうのはつくづく、トンビにカメパンをぬすまれ続けるようなものだ。

ゴッホの絵にスープかけるパフォーマンスをした活動家がいた。絵そのものは無事だったらしいが。そのニュースを知って「自分の戦いのためにゴッホに手をかけるという発想が自分にはなかったな」と思った。何かを強く主張しようとするとき、その過程においてゴッホを汚す。それをやっても「全くかまわないのだ」と確信できるほど、自分は何かを強く信じていないし、押し通そうともしていない。ゴッホの汚損は、紛争中に重要な遺跡を破壊するとかとは全然違うことだ。はじめから価値を認めないのではなく、莫大な価値を認めた上で、それに優越する別の価値を提示しようとすることとでは異なっているので。自分にだってできることなんだよな、『ひまわり』の破壊。心の底から世界に訴えたいことがあるとき、ゴッホを破壊してその重さをあえて示すような「脅迫」。それって、本当なら誰でも実行に移せる。でもそんなこと考えもしないというのは、私がふつうの意味でちゃんと賢いというのと、去勢されて都合よく飼いならされているというのと、両面の理由があると思う。そんなパフォーマンスは刺激が強いだけで何の意味もないじゃん、短絡的だな、しょうもな、と私が感じたことには一応正当性があると思うけど、そのはるか下を這うしょうもない揚げ足取りのリアクション群を見ていると、あいつらは実際にやっただけ立派だわ、とも感じてしまう。事実問題として生きることは戦いであらざるをえず、その戦いを正面から「やり」にいく姿勢だけは、内容がどれだけ間違っていても尊い。しかし間違ってはいるので擁護はできない。自分だったら、と考える。自分だったらもっと、ゴッホを破壊するなんていう手段なんか選ばず、いい方法で戦うのに。賢いからな。その具体的なやり方を考えているうちに寿命が尽きる。お行儀よく名画を眺めて、ネットでたまに愚痴を書いて死ぬ。それがあるていど賢い人にとって最適ルートとなるようにこの社会は「設計」されている。たまに愚か者が現れて名画にスープをかける程度で済むようなセーフティーネットが敷かれている。トンビにゴッホを盗んでほしい。

喫茶店で打ち合わせをしていたとき、相手の肩越しに見える席に座っているお客さんのPC画面が目に入った。「白味噌」のパッケージを画像制作ソフトで作っていた。仕事の話をしている間、その人は2パターンの「白味噌」のパッケージを、ずっと見比べながら微修正している。デザイナーなのだろう。いずれあの図柄が使われた白味噌をスーパーで見つけたら、ちょっとグッとくるかもしれない。スーパーとかで売られているものたち全てに、この世の誰かの「うーん」とか「アー」があって、世間に出たパッケージの数だけ、誰かの行き詰まりや腕組みが存在している。途方もないことだ。

出社するときに家の前を見たらゴミに出した机がもうなくなっていた。目の前で回収されるのと、見ていない間に回収されるのとでは、出来事の手触りが違う感じがする。置き配とかもそうだ。いまだに少し不思議現象に遭遇したような感覚が残る。古いPCを回収業者に出したあと、数日経ってから「データ完全消去の証明書」が送られてきた。それを見て、自分のPCのデータが完全に消去されている様子を想像してみたが、うまくイメージできなかった。さっきまで家の中にあったものなのに、もう想像の中にすら居る場所がなくなっている。臓器を誰かに移植したりしたらどんな気分なんだろう。自分の肝臓が誰かのおなかに移動して、いまこの瞬間も元気に胆汁を分泌している。そんな光景を想像しながら眠ったりするんだろうか。

社内をうろついて女子社員にラテを配って回り、無理やりコミュニケーションを図ろうとする迷惑なオッサン社員（既婚者）の話が投稿で読み上げられていた。そういう人って全国に無数にいて、いずれ早朝のコンビニで店員に話しかけ続ける人になっていくのだろう。接客業はどんどん効率化が進んでいて、コンビニもスーパーもセルフレジが増えているし、ファミレスはタッチパネル化が進んでいる。私は余計なコミュニケーションを取るのが苦手なのでこの傾向をたいへん喜ばしいことだと思っているけれども、そう思えるのは自分が一種の特権的立場にあるからではないのか。私は社会の中で一定のコミュニティに属することができているし、その中でコミュニケーションを取ることのできる自由がある。一方でそういう自由を持たない人も当然たくさんいるわけで、接客の効率化（無人化）は、そんな人々にとっての数少ないコミュニケーション手段を失わせることになっている。「接客は商品を売買する手続きなのであって、寂しい人の気を紛らわせるサービスじゃない」というのは正論なんだけど、いままで人の寂しい心はわりとそんなところで埋められていたのも事実であるような気もする。必要な手続きに生じる余剰部分に心を乗せるスペースがあったのが効率化にしたがってなくなっていて、結果的にそのための資本を持っている人だけが享受できるものになっている。じゃあちょっとした雑談みたいなものを「福祉」として捉え、制度化していこうとすると、それはそれで的を外してしまう気もするんだよな。「おしゃべりがしたかったらキャバクラに行け」というのはおしゃべりジジイの迷惑を被る側からすれば本当にそうでしかないんだろうけど、おしゃべりジジイの論理はまた別にある気がする。あくまで接客や仕事の手続きのうえに生じた余剰で会話が弾む、というところに満たされるものを感じているのではないか。いや、実に勝手な話なんだけど、でも当事者的にはそうなんだろうなと思う。

歯科衛生士が歯垢除去などをやったあと「先生に確認してもらいますね」と言い、「先生」が来てより細かいチェックをして去っていく。これまでに何度も繰り返した光景だが、いつも顔に紙を被せられた状態で行われるので、私は「先生」の顔を見たことがない。本当に居るのだろうか。

蕎麦。蕎麦って好きだな……。でもうまい蕎麦のこと全然知らない。どういう蕎麦を「おいしい蕎麦」と言うのかもよくわからない。蕎麦ってカレーやラーメンのように「遊び」に振り切れる雰囲気があまりなく、堅実に伝統を押さえているイメージがある。だからなんか、人生で何度も食べている割には遠い存在だ。

オイテメーこっち見ろや話聞けよ、って因縁をつけるのは全然理解できる。匿名掲示板でこっそり悪口を書くのもわかる。でもたまに「これは私がスルーすることを前提として攻撃してきているな」と思えるコメントに遭遇することがあって、これはちょっとよくわからない。そういうのに気まぐれに返事をすると途端に焦って気まずそうにする。たとえば動画のコメント欄に悪口を書いたら投稿者がそれを読むのは当然なわけで、攻撃的に仕掛けたら反撃が返ってくる可能性があるのは当然だと思うんだけど、そんな事態を想定していなそうなコメントはあちこちで目にする。相手に通知が行くような方法で言っておいて！？ ってびっくりする。「引用RT」はこの意識を一般的なものにしたような気がする。事実としては相手に「話しかけている」のに、言った方は独り言のつもりでいられる。スルーは「無視しよう」という意志のもとに決断のコストを支払っておこなわれる「行為」であって、返事を期待しない引用RTだって元ツイートの人になんらかの決断を迫っていることに変わりはない。でも何事もなかったという結果だけを取り出せば、言うだけ言って終わったかのような錯覚を得ることができる。

「ここでこういうことを言ったら相手は悪い気がしないだろうな」みたいなの、全くわからないわけではない（苦手なほうではあるけど）。でも、そういう事実に気づいてしまった瞬間、もうそれは言えなくなる。ただの「メソッド」じゃんと思って。メソッドを使って人と接すると、自分の中を通っている軸の根本が酸で腐っていくような感じがする。あくまで感覚的な話だから、信念として「REALだけが本物」みたいなことを言いたいわけじゃないんだけど、人間関係を円滑にするためのコミュニケーションを「円滑にするためだ」と自覚した瞬間に、ペットボトルのフタを飲み込もうとしたときのような拒絶反応が喉の奥からやってきて、えづきそうになって、あっダメだとあきらめてしまう。人間関係を円滑にしたいという思いは嘘じゃないんだから、そういう嘘は言ったほうがいいのだ。自分はなんて自己中心的なんだ。私はそんなような意味で魂の潔癖症みたいなところがある。社会通念とはかけ離れた、勝手に自分でつくった「高潔さ」の基準に振り回されている。

新宿区役所にある図書館。図書館と名前はついているけど、図書がぜんぜんないし狭い珍しい図書館。誰も利用していないらしい。なんでそんなのがあるかというと、図書館や学校などの公共施設があると、その周囲200mに性風俗関連の店舗を建てられなくなるから、らしい。歌舞伎町にほど近い区役所なので、近くの性風俗店を少しでも減らそうという工作が働いている（のではないか、と邪推されている）。性風俗店を追い払うために生徒が1人しかいない学校を建てまくるみたいなバグ技も可能なんだろうか。

画像生成AIを回しまくってイラストを作っていると、特有のむなしさみたいなものを感じることに気づいた。この感覚がどこからくるのか考えていた。たぶん画像生成なら原理的にはどんな画風でも、なんでも描ける、というところにむなしさの理由がある気がした。自分で絵を描く人は自分のスタイルを持っている。意図して作風をコントロールしていても、染み付いたクセのようなものは残る。スタイルのように「持つ」といえるほどクセは能動的なものではない。それはおそらく、作者の脳裏に長時間映し出されることで焼き付いた影のようなものだ。誰でも最初はヘタな絵を描く。何度も試行回数を増やすうちに上手になっていくが、結果的にその人が形成するスタイルは最初期の「ヘタ」の延長線上にあるのではないか。たとえどんなに器用な人でも。

活動量計に興味が出る時期がやってきた。定期的にこれが来る。腕時計みたいな形をしていて、常に心拍数や血中酸素濃度や運動量やストレス値を測って記録するやつ。あれをつけて生活したら、どんなかな……。自分が一日に何回心臓を動かしているかわかるなんて、わかったら、とても良いだろうな……と思う。そして我に返る。心拍数がわかったからなんなんだ。だいたい、腕時計とか嫌いじゃん。私は皮膚にモノが密着している感覚が苦手で、マフラーや手袋の類をつけていられない。腕時計もそうだ。活動量計を一日中つけて生活したら、そのせいでストレス値が上がってしまうんじゃないか。聴診器を当てられているという事実にドキドキしてしまうアメリのように。それでも活動量計に憧れるのは、なんか根本的に「数字になりたい」みたいな気持ちがあるからかもしれない。鼓動や運動量をパーミニッツに分解することによって、自分自身をなにか単純で端的ななにかに還元することが可能なんじゃないかという。

一度「やる」という話になったら、それを本当にやる必要があるのかどうか充分に顧みることなく、とにかくやる方向で話が進んでしまうことがある。推し進めている当事者でさえ、それをやることによってなんの意義があるのかハッキリ語れないことすらある。人間は「現実」に弱い。現に起こってしまっている以上は、それがどんなに理不尽であろうと、その状況を守ろうとしてしまう傾向があるようだ。それゆえ、実は理不尽であることがわかりきっている行為こそ「既定路線」として扱われがちだ。誰かが隠したがる変化は変化の顔をしていない。常に「決まっていたこと」としてやってくる。

10戦したら勝てるのは3～4戦くらいだ。2016年ごろの実力といまの実力がだいたい同じなんじゃないか。スプラトゥーンに限らず、私はゲームがあまり上達しない傾向にある。まあプレイ時間が全然少ないっていうのはあるけど、それが少ないことも含めて自分の資質の問題みたいな。根本的に「もっとうまくなりたい」という欲求が希薄なのだろうか。勝っても負けてもそんなに感情が動かない。さすがに何も感じないわけではないし、負けたらそれなりに悔しい、とはいえる。でも「あぁ～」の範囲を出ていかない。勝っても「おぉ～」の範囲に収まる。喜怒哀楽が「あいうえお」の間で済みそう。

スポ根マンガなんかだと、主人公が序盤で決定的な敗北を喫するという展開がよくある。そして圧倒的実力差を突きつけられた主人公は、初めて心の底から「悔しさ」を思い知り、そのスポーツにのめり込んでいくのだ。こういうのを読んでいるとき、もしここで決定的に敗北したのが自分だったら……と思う。同じくらい目に涙をにじませて「悔しい」と思うことができるだろうか。案外ケロッとしてしまっているのではないか。技術的な面ではいくらでもメソッド的な実力を伸ばすことができるけれども、負けて悔しいと思うとか、そういうモチベーションに関わる部分は他人が伸ばしてやることができない。野球でボコボコに敗北してもなんとも思ってないような選手は、やはりプロには向いていないのではないか。その種の悔しさというか、なにくそ根性を、ありとあらゆる分野において全く持ち合わせていない人も、きっといるはずだよなと思う。そういう人って、ある意味では「人生が向いていない」みたいなことになるんじゃないかな。もちろん「生きる価値が無い」ということではない。人生という無色のキャンバスにどんな意味であれ意味で色付けをして「甲斐」を見出すということ自体があまり向いていないというか……。人生をわざわざ括弧で括ってやる必要がなく、ただ生きていく以外のやりかた以外選びようのない人。

こういう大雨の日が降ると路上で生活している人や動物がどうしてるんだろうと思ってしまう。大きめの地震があったときは「いま手術中の執刀室どうなってるんだろう、大丈夫か」と思う。

歴史の教科書に載る偉人はたくさんいるが、その陰には脚光を浴びることなく歴史を作ってきた人たちがいる。たとえば「カップのアイスクリームを紙で覆うことを思いついた人」がそうだ。「MOW」とかが有名だけど、あれ。丸いパッケージをぐるっと厚紙で覆う包装。あれを思いついた人はすごい。コンビニに並んでいるときどのようにして存在感を出すか、から発想したんだろうけど、おそらく仮想敵のスーパーカップと差をつけるために「余計に紙で巻く」を考えられたのが立派だ。高級な品はだいたい包装が過剰である。高級チョコレートなんて三重の容器にリボンが巻いてあったりする。「高級感」がこれを紐解いていく過程にあることを見抜いた人がいるわけだな。

「おめでとうございます！元気な赤ん坊です！」「本当ですか！よかった、男の子、女の子？」「元気ですよ！」「ええ、どっちですか？」「元気です！」って性別絶対教えてくれない看護師さんに当たったら、子どもが生まれたことを差し引いても全然キレちゃうと思う。性別を教えろよ。

仕事というか人間関係に関するストレスがほとんど「無」なので、純粋な「仕事めんどくさいな」だけを味わえてる。その純粋なめんどくささだけで十分死に値するのに、これに加えて「死ね！」みたいな上司がいたらそりゃあ仕事も辞めたくなるよなあと。

4年くらい前に自転車を買ったけど、手放してもいいかもしれないと思い始めた。最近ぜんぜん乗ってないのもあるが、事故を起こす気がするから。過失で人を死なせてしまった事件のニュースを見聞きすると心臓が比喩でなくバクバクするようになってきた。「いつか意図せず人を殺してしまうんじゃないか」みたいな不安がここ数年ですごくリアルに感じられるようになってきており、特に乗り物の運転は自分に合ってない。コンマ以下の確率とはいえ普通の人の数倍から数十倍の事故リスクを背負っていると思う。夜中、寝る前にそのことを考えてワァー！ となる。事前にわかっているなら「気をつける」をやっておけばいいのだが、ミスは常に意識の外側で起きるので、完全に防ぐことはできない。それがものすごく怖いのだ。まあそれは誰しもそうなんだと思うんだけど、自分は極度に楽観的というか「観」みたいなものが無い（それを楽観的というのか）ので、何をどれくらい不安に思えばそれが適切なのか、みたいなところから把握できていない感じがする。

「本とか読みますか？」って聞いたとき、寸分の迷いもなく「いや、読まない。」って答えちゃう人を（さびしいな…）とか（手厳しいな……）っておもっちゃう。生きる上で自分がこのうえなく頼っているツールについて目の前にいる人が何の興味も示さないのだとわかった瞬間、だめだとわかっていてもその人への関心をすぱっと失ってしまう。自分の中の狭量な老人がふと顔を出す瞬間。

申し訳ありませんでしたと本心から謝るとき、それはその人に対して直接に謝罪しているというより、自分の中にある「人として許せないライン」を自分自身が踏み越えてしまったという事象に対して、自分の中で踏ん切りをつけるために謝罪しているということがよくある。しかしそういうラインをほとんど、あるいはまったくもたないような人種もけっこういて、そういう人もまあ問題なく社会生活を送れているので、謝罪は一種の儀礼に過ぎないのだろう。自分自身の中にあるラインと、そのラインへの自分の向き合い方を他者に開陳することで、自分の人間性を疑われないようにするための儀礼。

梨食ひて梨の時間の流れたる何ごとも無き夕べなりけり（荻原裕幸）という短歌を知りいいなと思う。梨を食べると、梨の時間が流れる。私にはすごく自然に納得できる。これがリンゴだとロマンチックだったり象徴的だったりしすぎる。寿司を食べて寿司の時間の流れたる、でもあまりしっくりこない。梨なのがよい。もしかしてこれ「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」が念頭にあっての歌、だったりするかな。柿を食うと法隆寺の鐘が鳴るんだけれども、梨を食うと何事もなく、ただその物体のもつ固有の時間の流れだけをうっすら感じるだけ、という対比。「柿食えば」は、柿をかじる。口にうす甘さが広がる、という主観的刺激と、遠くにある法隆寺から鳴る鐘、という別種の刺激が距離を隔ててつながるところにおもしろさを感じる。「梨食ひて」は、柿と違って対比されるものがなく、梨の中にある宇宙が拡大して、味を通じてそこへ飲み込まれていくような感じがおもしろい。梨という食べ物のイメージが、なぜかわかりやすい象徴によって色づいていないこととも関係がありそうだ。とてもニュートラルな果物。

部分分数分解ってすげー「ぶ」で括りたいよね。

団地の前を歩いているとき、駐輪場の自転車を眺めていたら、ママチャリの後部座席にあるチャイルドシートに、ポケモンの「ラプラス」のシールが貼ってあるのを見て、かなりノスタルジーを感じた。ママチャリに貼られたラプラスのシールには古い記憶が凝縮されて貼り付けられているような気がする。

電車内にメンズTBCの広告ポスターが貼ってあった。キャッチコピー「男の発毛組織を壊す」そうなのか。男の発毛組織を壊すのか……となんだか新鮮な感覚になった。「壊す」が逆説的な意味でもなく、ストレートに宣伝文句として機能している例ってあまりないんじゃないか？ 素直に文字列を追ったら悪いことにしか見えないけど、それも狙いなんだろうな。事実だけを並べて「えっ」と思わせる手法。しかしレーシック手術の広告で「角膜上皮とボーマン膜をめくって、レーザーを角膜実質層に撃つ」とか書いたら誰も来ないと思う。この差はなんだろう。

絵を描いている人は同時に絵を見る人でもある。手がペンを握って絵と向かい合っている間、目はずっと自分の作品を見ている。「手」をAIが肩代わりしてくれるようになったら、「目」だけが残るのだろうか。煮詰められた創造性が鑑賞に漸近していくならば、今後は全てのアートがコンセプチュアルな方向へと向かっていくのかな。生成AIの登場以前から「なんとなくキレイ」「なんとなく楽しい」絵や写真の答えは出ている。それでもなお新しい表現が出てくるのは、ただ感性を刺激するだけの表現は見ていても飽きるからだ。だから人はメタを張って、あえて余計なものや不快なものを混ぜてまで表現を磨き、理性に訴えかける。こう書くと難しい話みたいだけど、それこそ『ちいかわ』だってそうで、シンプルなマスコットキャラクターに意図的にノイズを混ぜ込むことでただの「かわいい」を脱し、複雑な文脈を獲得している。AIにちいかわをデザインすることはできても、あの世界設定も含めて作り出せるのはまだまだずっと先だろう。なんだか良さげな絵や写真がぽんと出てきて「おっ、いいね」で高評価がもらえる時代は本格的にトドメを刺されたのかもしれない。これから売り物になるのは「文脈」だけで、そういうのを作って見せる教祖的スキルがないと厳しそう。

東方Projectのキャラの生首が合成音声で喋る「ゆっくり実況」を子どもが食い入るように見続けるような時代が来るなどとは誰も予想していなかっただろう。インターネットって、過去が遠くなるんじゃなくて常に現在と混ざり続けるきったない秘伝のタレなのかもしれない。

ドンキって、いつ行っても予想を裏切ることなく一定の下品さを保っているから安心する。役目をわかっている者の貫禄がある。今日お菓子コーナーを覗いたら、ASMR用のグミが大量に陳列されていた。マイクに向かって咀嚼音を聞かせるASMR動画が流行っていて、そこから逆に「ASMR映えする形状の食べ物」が出現したわけだ。こういう入り組んだ文脈をはらむ物を見ると、頭の中で「いま宇宙人が来たらどうやって説明しよう」と思う。ASMRとは別に「モッパン」というのも流行ってますね。ようはメシを食いまくる動画なんだけれども、「大食いチャレンジ」という感じで量を競ってハラハラするでもなく、味わって大げさに食レポするでもなく、ただいっぱい食べていくその様子を見せるだけというコンセプトが新しい。「これがエンタメになるのか」という発見は、YouTubeやtiktokの登場で大幅に進展したと思う。これまでのTV放送は「他局」という仮想敵を常に意識しながらコンテンツ作りをしており、その結果として同質化していってしまった。ネットの動画コンテンツも競争という意味では可処分時間の取り合いだから同じはずなんだけど、HIKAKIN TVとホモサピと耳の穴の掃除チャンネルはフジテレビと日テレとテレビ東京のようには並んでいない。いい意味での分断がある。

いつも取り込んだ洗濯物を放り込んでいる布の大きい袋があるのだが（私は洗濯物を一切たたまない）、いつも袋から大幅にはみ出して、結局床の上に山ができている。布というのは柔らかく、フレキシブルなので、布の袋もちゃんと意志を持って使わないと「くにゃっ」として服が入らなくなる。人生は「自分にはこれは無理だ」を見出した数に比例して楽になっていく。私に「布の袋」は無理だ。あと「蓋のある箱」も無理だ。どっちも物を放り込むのに「布の形を整える」とか「蓋を開ける」みたいな一手間が生じるのだが、それを惜しんでしまうから上手く使えない。

不良グループの抗争があって、押収された物品のなかに釘バットがあった。絵に描いたような釘バットだった。フィクションの影響で人が犯罪をするようになるのかどうかはわからないが、犯罪をするときにフィクションの影響を受けることは大いにありそうだな。統計を取っているわけではないからわからないが、少なくとも自分は影響されると思う。釘バットを作った不良も、頭の中には「不良の釘バット」というなんとなくのイメージがあったのではないかな。暴力もそうだが、とくに日常感覚から逸脱した激しい行動や感情に至るとき、人はフィクションをついなぞってしまうのではないだろうか。カップルの喧嘩とか。何度か見かけたことがあるけど、本当にドラマみたいでびっくりする。ドラマみたいというか、ドラマの真似をしているのではないのか、無意識に。しかし、もしもドラマが存在しなかったらどう行動していたのかという謎も生まれるな。その場合、もうちょっと感情の出し方が多様だったりするのかな。それとも、ドラマのようなお手本がないからオロオロしてしまったりするのか。

クイズ大会を一度でも企画すれば一瞬で実感できるけれども、各プレイヤーの実力を揃えるのがなにより難しい。ある程度は同質化された人選でやっても、今回みたいに一人が無双しまくったり取り残されたりしてしまう。あまりに極端な差が生じてしまうのは楽しくないのでいろいろな策を講じなければならない。得たポイントによって景品グレードに差がつき、なおかつ誤答のペナルティを上げるような仕組みにするのも策のひとつだ。上位者がさらなる特典獲得を狙ってリスクを取るようになるから。マリオカートのバランス調整って本当にすごいと思う。上位者はショボいアイテムしか出なくて、最下位はバランスがぶっ壊れるくらい良いアイテムが出る。単純だけど「接戦」を生むギミックとしてはこれ以上ない。スマブラもそうだな。無敵の弾丸に変身して一気に2位くらいまで追い上げるアイテムとか出すのが突き抜けていて好きだ。もし自分がそんなアイデアを出されても「実力で勝ってる人が納得できなくないですか？」と言ってしまいそうだ。

私、現代の映画監督でジョーダン・ピールが一番好きかも……。『ゲット・アウト』も『Us』も最高だったけど、今作もかなり良かった。うっとりしてしまう。感動したり興奮したりする映画はいっぱいあるけど、私にとってうっとりできる映画はそう多くない。

・変な映画ではある。すごいお金をかけて変なことをしている。ジャンルとジャンルの間をすり抜けて変な道をひた走っているし、リアリティ的な面でも「そうはならんだろ」と言われてしまう脇の甘さはあるが、そんなのはどうでもいい。とにかく「不穏で美しい状況」の発明がめちゃくちゃうまい。変だから好きなのだ。施川ユウキ的なセンスも感じる。「怖い」というより居心地が悪い。本当に怖いのは、怖いとはっきり感じるその1、2歩前の段階だったりするが、そこを大切に映像にしてくれている。冒頭からもう居心地の悪いシチュエーションが炸裂していて100点だった。象徴的でシュールな絵面がジョーダン・ピール節だ。それは社会情勢の痛烈な風刺になっているのだが、あまりにもその比喩が詩的なセンスに溢れすぎているためむしろ風刺としての切れ味を犠牲にしてしまっている気すらする。風刺は多少ダサいくらいじゃないといけないのかもしれない。明確に怖いシーン、たとえば殺人鬼にナタを持って追い回されてるとか、そういうのって実際あんまり怖くないからな。生きるのに必死になるから興奮はするけれども、恐怖とは違う気がする。それよりは「人と同じくらいの大きさのものがキティちゃんの毛布にくるまれ、ガムテープでぐるぐる巻きに固定されている」みたいなシチュエーションのほうが怖い。想像力が働くからだ。ジョーダン・ピールの映画はどれもホラーのようでいて「ホラーか？」と首をかしげたくなるような変な内容なんだけど、これはホラーがホラーであるためのメタ戦略なのかもしれない。「間違いなくこれはホラーだな！」と納得したらその時点で不安が薄れてしまう。

「隙あらば自分語り」というミームはネットで破壊力の強い手札として用いられるけど、現実でそのミームを誰彼かまわず使っている人を見ると、むしろその人の社会性の欠如を勝手に感じられて「あいたたた」と思ってしまう。適切な自己開示の繰り返しによる相互の心の距離の縮小こそが会話である。これはまあけっこう当たり前の事実だと思う。ネット上での真実にすぎないミームによって手早く相手の自己開示を戒めようとする姿勢そのものが、そのミームの使い手の「会話」に対する経験値の浅さを露呈させている。会話は、カードを切っていって相手の反論を全て防げば勝ちというネットレスバトルのルールと同一ではない。よって、過度な自己開示をしている人に対してかける言葉は「俺の話も聞いてよ」とか、黙って立ち去ることであって「隙あらば自分語り」ではない。お手軽なネットミームを使って他人を黙らせることができるぞというポーズにほかならず、戒めるべき人間と同じ土俵に立つことになってしまう。

蚊に刺されのかゆみとはアレルギー反応であり、体の免疫機能によってその現れ方は大きく変わる。生まれて初めて蚊に刺された赤ちゃんは痒みが出ない。免疫機構がないからだ。小さい頃は蚊に刺された翌日など、遅延して痒みが生じる。続いて、蚊に刺されてすぐに痒みが生じ、さらに遅延する痒みも生じる（いわゆる「ぶり返す痒み」の正体」。蚊に刺される回数が増えるにつれ、すぐ痒くなるだけになっていき、最終的にはその反応も弱くなる。高齢者の多くは蚊に刺されてもなんの反応もしないという。つまり蚊に刺されて痒い思いができる機会は意外なことに有限なのだ。すごく小さい頃に数千匹の蚊に刺されまくる処置を施せば、早々に免疫がカンストして無敵になれるのではないだろうか？ 「これは必要なことなんだよ」とか言って蚊が無数にいる部屋に閉じ込めてくる親がいたら嫌だな。

「土地」ってすごいよな。どんな人でも、必ずどこかに住まなければならない。そして住んでいる場所というのは一種の身体みたいなもので、行動の内容や効率に直接影響する。最寄りのコンビニが潰れると体の一部がなくなったような感じがするし、引っ越してから時間が経つと、自分の体が街に馴染むような感じもする。動画内で言った要素でいうと「立ち退きを拒否している人の家」の存在ってかなり独特な「疲れ」を感じさせる。もちろん拒否している人が悪いというのではなく（そういうパターンもあるのかもしれないけど）、そんな状況を招くような軋轢がこの街で起きているのだな、それも現在進行形で……と思わされることに疲れる。体の明らかな不調を放置せざるを得ない、みたいなモヤモヤを、そういう家の前を通るたびに感じる。

キアヌ・リーブス、たまたま宿泊したホテルのバーに居合わせた全然知らん新婚カップルの結婚式に行くよと口約束して、翌日本当に顔を出したらしい。いい人すぎ。キアヌにまつわるエピソードはたまに耳に入るが、だんだん怖くなってきちゃう。いやキアヌは本当にいい人なんだと思うけど、それをこう、めちゃくちゃ評価する人たちの醸し出す雰囲気が……。いや、実際、度外れにいい人だと言えそうだし、みんながめちゃくちゃに評価する話題性があるも全然わかるんだけど……。なんというか、鼻息の荒さが怖い。人の好意に喜び称えるのは人間として当然だけど、不意に生じた好意を見るその目、好意をまさぐるその手、なんかゴツゴツしてて怖いよ……と思ってしまう。人々がいかに「神対応」的なものに飢えているかを改めて感じる。悪口を言いふらすのは問題だけど、褒め言葉を言いふらすことにも呪いめいた怖さがある。別にいいじゃんね普通の人でも。

「いい人じゃなさ」に逆に好感を持っちゃうみたいなことってあるな。むかし2chに「芸能人遭遇情報まとめ」みたいなスレッドがあって覗いてみたら「ファンサービスすごかった」とか「あいつヤなやつだった」とかいろいろ目撃情報があった。その中に「俳優の○○を見かけたので『○○さんですか？ すみません、オフにご迷惑ですよね』と話しかけたら満面の笑みで『はい！迷惑です！』って言われた」って話があった。このなんとも言えないエピソードがきっかけで○○のことが結構好きになってしまい、今でもその名前を見かけると思い出す。Twitterで「#炎上覚悟で嫌いなものを言う」ってタグを見たら、案の定善悪判定のコンセンサスが取れていそうなツイートばかりが目に入る。「茶碗の米粒残す奴」「映画のスタッフロールの途中で帰る奴」とか書いて炎上するわけがないし、それをわかって書いているのではないかという感じがある。やっぱりこういうときに「犬！」とか「ガキ！」とか書いちゃうような「良い人じゃなさ」って良いですよね。だからといって好きにはならないが……。

セブンイレブンで梨味のアイスの実を買って歩きながら食べた。会計してもらっているとき、このアルバイトの人も仕事で接客してるんだよなーと思う。コンビニバイトだりーとか俺には無理だ～とか思ってるかもしれない。Twitterで愚痴を書いてるかもしれない。でも少なくとも（私の目に映る彼は）ちゃんと仕事を果たしている「店員さん」だった。内心の自信やモチベーションがどうあれ「しゃーないからやるしかない」でやることの尊さを感じた。「しゃーない」って悪い意味合いで使われがちだけど、個々人が自分自身のしょーもなさを超えて大掛かりだったりときに崇高だったりするものに手を触れるチャンスをくれる抑圧でもあって、接し方によってはとても良いものなのかもしれない。

ストレス発散のためAIを罵倒したりセクハラしたりして鬱憤を晴らすような人はそれほど多くないのではないか……とも思う。他者の存在ありきの悪意というものは、その相手が自分の感情を「受け止めて」「傷ついて」くれることに意味があるので、その相手がAIだと（その返答が巧妙でも）虚しくなってしまいそう。むしろそういう鬱憤晴らしをAI相手にできる人はなかなか高度な精神構造をしていると思う。

いま「最後の言葉」といえば、不特定多数に向けてはツイートがその役割を担うのかもしれない。今年だけで数え切れないほどの訃報をTwitterを通じ見てきた。訃報があるとTwitterアカウントを見に行ってしまう。人生の最後に格好のつく辞世ツイートをしている人はごくごく少数だ。ほとんどの人は最後にふさわしいとはとても思えないようなツイートを残して幕切れとしている。それは誰かの悪口だったりエッチなイラストのRTだったりする。何気ないツイートが、訃報によって「最後のツイート」という意味を与えられる。その先に何か新しい言葉が連なっていくことは永遠に無いのだと意識するとき、折れた木の枝のささくれだった断面を見ているときみたいなガサガサした心持ちになる。恋人に殺されてしまった女性のTwitter上で、アダルトサイトへ誘導ツイートするスパムBOTが死後もずっと稼働し続けているのを見たことがある。これは冒涜的な風景の中でも特に新しい種類のものだろうと思う。皮膚の上を虫が這っている、と思った。

そのへんにおいてある漫画雑誌をパラパラめくると、知らない漫画の途中の回が掲載されていて、意味がよくわからない。しかしわからないなりに読んでいると、なんとなく話の流れくらいは掴めてくる。こいつは敵なんだなとか。生まれてくるときもそんな感じで、いきなり西暦2000年近くなってから産み落とされ、子供はこれまでの展開ありきの世界観を押し付けられる。だいたいのことは時間をかけて雰囲気で理解できるようになっていくが、大人になってなおよくわからないことも多々ある。たとえば親の交友関係などがそうだ。思い返すと、小さい頃「特に親戚でもないがなんとなく仲のいい家族」がいて、たまに遊びにいったりしていた。その家にも子どもがいたが私よりだいぶ年下で、通っている学校も違う。家もそう近くないのでご近所付き合いという感じでもない。おそらく父か母どちらかの旧友なんだと思うが、どっちの友達だったのかもよくわからない。その家族とはもう15年は会ってないような気がする。ちょっとした謎だ。しかし今更親に直接聞くほどのことでもないので謎のままになりそうだ。

『魔人探偵脳噛ネウロ』で、超弩級の悪役がいて、そいつの気をひこうとする一般人たち（人質にされている）が同時多発的に殺人事件を起こすみたいな展開があった。「すごいでしょ！ 見て！」みたいなことを言いながら。たまたま読んだジャンプに載っていた話で、その前後は知らないんだけど、妙に印象に残っている。前澤友作が「お金配り」をやっていたとき、そのネウロのエピソードを思い出したことを思い出した。たしか前沢氏が気に入った人にお金をあげるよみたいなキャンペーンだったが、あれって命令次第ではとんでもない事件を同時多発的に起こさせることだってできちゃうよなーと。「考えうるもっともメチャクチャな『暴れ』を見せてくれた人の口座に1000万振り込みます」って言ったら凄いことが起こる。渋谷スクランブル交差点にチアガールの格好をして立ち尽くすというのはたぶん誰にも命令されてないけど、この種の行動もその一種かもしれないな。原理はわからないけどとにかく奇抜な行動をすれば金と名誉が手に入るというルールだけが流布していれば、まるで透明な手に押されるようにして奇行に走る人が現れる。私もその手に押されている人間なんだろうし……。

バズレシピの類にはわりと肯定的だ。料理嫌いだからお手軽レシピですら面倒くさく感じてあまりやらないが、たまに作るとまっとうに「うまいな」と思う。じゃがアリゴも安っぽい味ではあるもののその安さも含めてうまい。ちゃんとしたアリゴも作ったことあるけど正直じゃがアリゴのほうが美味しかった。ただバズレシピに重要なのは美味しさではなく「美味しそうさ」であるという点でやはり普通のレシピとは別枠なんだろうなと思う。いや美味しそうさとも少し違うか。一種の自己啓発に近い。啓発本を読んで「今からでも自分は変われる」と思わされるのに似ている。「こんな簡単な具材で簡単に料理が作れるんですか！？」と驚くと同時に「広がる」感覚があり、それが気持ちよくてRTしちゃうんだと思う。

ふと「はいろかやめよか考え中」のことを思い出したのだった。確か西暦2000年前後に放送されていた、英会話教室NOVAのテレビCMだ。ロダンの「考える人」がNOVA教室の前で「はいろかやめよか考え中♪はいろかやめよか考え中♪」と歌う。それだけのCMなのだが、その世代の視聴者に絶大なインパクトを残した（と思う。周りでは真似している人がいっぱいいた）。当時はおもしろCMの一つくらいに思っていたけれど、20年以上経った今でもハッキリ覚えているってことは、相当印象に残っていたんだろうな。というか、CMの構造がすごい。ロダンの考える人を使ったのもすごいが、なにより「入会しようかどうか考えている」という部分"だけ"を切り取ってCMとして成立させてしまったことが。英会話教室じゃなくても成立しちゃうものな。スポーツジムだってヤマハ音楽教室だって同じCMを作れる。「優秀な講師陣」とか「英語力が身につく」みたいなセールスポイントを何一つ紹介することなく「消費者はみんな、入会しようかどうかのタイミングで悩む」という共通点だけを突いてきた。たぶんあのCMきっかけで「入ろ」と決めた人はたくさんいるのではないか。こういう射程の合わせかたってなかなかできるものではない。理解のない上司が「ちょっと（笑）このコンテさ（笑）面白いけど……面白いよ？（笑）でもなんのCMかわかんないから（笑）」って言ってきたらその時点でゲームオーバー。おしまい。

「自分に決定権があったらこのアイデア通せたかな？」という視点で世間を見渡してみると、なかなかスリリングだ。「事故が起きそう」とか「気持ち悪い」とか、新アイデアを否定する理由なんていくらでも出てくる。

・しかもそれは理不尽な否定ではないのだ。ルンバのアイデアに「でもこれぶつかって物を壊しそうじゃん」という懸念が出てくるのは当たり前だし、実際にルンバは世界中でグラスや鏡を破壊しまくっている。ストーブを倒して火災を起こしたりもしている。ルンバにGOを出すということは「それでもいいじゃん」と決断することなのである。ユーザーの家の姿見が粉々になったっていいじゃん。ストーブが引火して最悪人が死んだっていいじゃん。便利なんだし、事故が起きたら起きたで補償すれば。最終的に黒字になれば結構でしょう、と。実際にはそこまで露骨に言ったわけではないだろうが、その種の「覚悟」がなければ画期的なサービスなど出せはしない。誰かがルンバにGOを出したせいで結果的に家が焼けた人、死んだ人、そういう事故の責任をとって辞職した社員、などが存在するかもしれない。イノベーションにストップをかける人はそういうリスクを想像した上で「NO」と言っている。責めようもない。やはり革新を取ってリスクを飲み込むような感性には大なり小なり狂気があると思う。

久々に笑気ガスを吸って、レーザーでバチバチ毛根を攻撃された。笑気のせいで意識がスーッと奥の方に遠のいていくのがわかるが、痛くなくなるわけではない。痛覚はしっかり感じる。約半年ぶりに忘れていた痛みをしっかり思い出した。普通に泣きそうになるくらい痛いな。施術してくれた人が身長が誇張抜きで2メートルくらいある男性だった。私がまだゴリゴリに笑気でキマってるときに「けっこう敏感肌ですか？ カミソリ負けを防ぐクリームがあって、今すぐ買えるんですけど……」と直球のセールストークが始まったのでビビった。法律のことはよく知らないけど笑気でキマってる人を相手にモノを売ってもいいんですか！？ 笑いそうになったけど笑気でウケてると思われそうだから我慢した。

たまに外で映像を撮影する機会があると痛いほどに実感するのだが、世界ってあまりにも自分たちのために存在していなさすぎる。これちょっとでも映像をかじった人なら100％同意してもらえると思う。「自分たち」というのは「映像を撮る人」みたいな意味じゃなくて、あらゆる人を指します。たとえば、なんでもいいけど脚本を書いて映像を撮るとする。内容はほんとになんでもいい。自宅から出てきた男がCoCo壱番屋でカレーを食べて帰る、みたいな話でもいい。それを撮ろうとした瞬間に森羅万象が牙を剥いてくる。俳優がそこらの大通りを歩いているシーンを撮影してみよう。絶対に「あれ？ そのへんを走ってる車ってこんなにうるさかったっけ？」と思うはずだ。こんなに竿竹屋っているんだっけ？ こんなに救急車って通るっけ？ 子どもってこんなに騒ぐっけ？ パトカーの巡回ってこんな頻度である？ こんなとこにピアノ教室あった？ ここにボサノバ教室があったなんて聞いてないが？もちろん音だけではない。あらゆる人物や物体も、ビデオカメラを構えた瞬間に夾雑物として圧倒的存在感を放ってくる。同じ場所を延々と往復する老人。ホストクラブのアドトラック。蜂。サンバカーニバル。こんなにも「世界」には遠慮がない。予期していないものたちが、絶え間なく画角に侵入しようとしてくる。これはキレイに編集されたテレビ番組や映画だけを観ていたら案外気づけない事実である。カメラを構えて「撮りたい映像」を志向したその瞬間に世界が悪意をむきだしにしてくるかのようなあの感覚は、体験してみないとなかなか実感できない。街歩きのグルメレポ番組とかも、めちゃくちゃ管理されている。ああいう番組で背景にパトカーが停まってて事情聴取を受けている人が映り込んでいたりすることは無いが、実際にああいうのを真似ようと思うと、そういうのに絶対遭遇する。つまりプロはそういうの外部の侵入を上手く追っ払ったりタイミングが合うまでやり直したりすることで遠慮のない世界を跳ね除けているのだ。映像というのは監督の定めた一点に世界の中心を強引に固定し、そこから動かさないようあの手この手で引き付けようとするルアーフィッシングだ。

エゴサはあんまりしないほうが良いと思う。私はもうだいぶ前から露骨なネガティブワードとか危なそうな人を先行ミュートしているし、エゴサそのものの頻度も減らしています。だいたい自分が何を言われていそうかというのが分かるようになったから、というのもある。誰かからの言及が完全に予想外な知見を含んでいたことはほぼないです。だんだん自分で薄々感じていることを乱暴な言葉で確認する作業みたいになってきて頻度が落ちた。ただ「評判を知りたい」というのはめっちゃ分かります。モチベーションになるし、フィードバックとして重要。業務としてエゴサをやるのであれば、むしろプロジェクトの中心にはいない人がエゴサ係になって、当事者は間接的に評判を知るくらいがちょうど良いです。ただそれは理想論。きれいごと。エゴサというパンドラの箱を開けずにいられるクリエイターは少数派。SNS一切やってない某有名作家も実はエゴサしまくってるって編集者が言ってた。

ちょっとした動作や痕跡に感情を読み取ってしまうことがある。筆跡だったり、ドアを閉める音の大きさ、咳払い等など。裏読みされる感情は気づかいが覆い隠した感情の総量を超えてないだろうか。

たまに「手の込んだキャラ弁を欠かさず作る主婦」みたいな人が話題になるが、本当に凄いと思う。よくこんな手のこんだものを子どもに持たせようと思えるな。子どもって巾着袋を振り回しながら登下校するのに。

「フランダースの犬」って、みんなバラエティ番組で最終回だけ見て感動作だと思ってるけど、あれ「貧乏人は酷い目に合う」って話だからね。

木の隙間を覗いたらゴキがじっとしてた。こういう場所にも住んでるんだよな。人家に住んでるやつらのこと見下してそうだなと思った。ドロップアウトしてスローライフを気取ってそう。はてなブログ書いてそう。

大人がいろいろと知恵をはたらかせて子どもたちに思い出づくりさせようとしても、子どもはかなりどうでもいい部分を思い出にしていたりする。内容の重要性や物珍しさと記憶への残りやすさはそれほど連動していないんじゃないかと思う。「なんでこんなこと覚えているんだろう」というような、何気ない風景がずっと心に残るのはなぜなのか。

なんか現代の資本主義において「ワクワク」「お得感」を味がするギリギリまで水で薄めていくと「ファミチキ無料」に行き着く感じがあるんですよね。

睡眠にも良い睡眠と悪い睡眠がある。眠りが深いとか浅いとかの問題なのかもしれないが、もっと感覚的に表現すると良い睡眠をしたあとは「かたまってる」感じがある。なんというか、一日の終わりには意識の奥の方で未分化な記憶や印象が液体状になってぐじゅじゅじゅマーブル模様を描いているのだけれど、ちゃんと寝て起きたあとは、その部分が寒天みたいな固形のものに変化しているのを感じる。使い終わった天ぷら油だったものに凝固剤を入れて放っておいたらカチカチのゼリーになっていた。そういう爽快感に近い。おそらく寝ている間に必要な情報とそうでない情報を整理しまとめ直しているのだろう。起きてから何かを考えてみるとき、その「考える」動作が淀みなく快適になっている。アクセルを踏んだときに引っかかりがない感じ。よく油をさしてある感じ。毎日こういう寝かたをしたい。

セブンイレブンの赤飯。赤飯が好きでたまに買って食べるんだけど、パッケージをよく見ると熨斗（のし）紙と水引を模したデザインになっていることがわかる。めでたい行事の儀礼的な装飾を落とし込んでいるわけだけど、おそらくこの赤飯を祝いの席で使う人はそう多くないだろう。普段づかいの赤飯にも「めでたさ」の記号が実際のめでたさ（実際のめでたさ？）抜きになんとなく残されていると思うと結構面白い。

インターネット、20年経ってみると保存に全く役立たず、欲望渦巻きすぎて検索するに難しく、むしろ紙で残しておかないとあとから容易にアクセスできないということが如実になってきてる

断捨離勧めてる本で「一度読んだ本って結局再度読むことはないし、新たな発見もほとんどないんです。読んだら捨てましょう。部屋も心もスッキリしますよ」と書いてあったから、生まれてはじめて読んでる途中で本を捨てた。たしかにスッキリした。

電柱広告は街頭広告の中でも特に相場が安い傾向がある。理由は、噂だが「あんま効果がないから」だそうだ。真偽はともかく直感的にはそうだろうなと思う。電柱広告をきっかけに購買行動を起こしたことってないかもしれない。しかしここに広告を出したのは「だからこそ」だったりもする。たとえば渋谷の街頭ビジョンみたいな一等地だったり、山手線の車内広告だったら怖くて、というか申し訳なくて同じことはできない。わざわざ観に来た人の目にしか映らないくらいが良いと思うからだ。これはあくまで個々人の美意識みたいなものの違いでしかないんだけど、こういう広告の使い方は本来の街頭広告の意図からはやや外れているので、多少なりとも謙虚さがあったほうがいいのかも？ と思ったりもする。電柱は「見よう」と思わないと見ないからちょうどよかった。すごく変なビジュアルやフレーズを目立つ場所に配置して強制的に目を引こうとするのはあまりやりたくなく、そこに近づきすぎないようにはしたい。そういう手法は人間の危機意識を司る本能にタダ乗りしている感じがするから。わざと携帯のアラームを鳴らしたりニュース番組の本編そっくりにしたりするテレビCMってなんかこう……嫌だし……。

町に「文脈」をはらんだ掲示が紛れているのは何かいいなと思う。池袋とか新宿の駅を歩いていると、アイドルの誕生日を祝うポスターが掲示されていることがある。アイドル事務所やレコード会社ではなくファンがお金を出し合って勝手にやっていたりするらしい。大半の人にとっては「？」以前の、気づくこともない掲示のひとつだが、ファンにとってそれは特別な一枚でありうるわけだ。都心だとたまにホストクラブの広告トラックが大音量の音楽を流して走っている（うるさい）。見る度に「トラックを見てホストに行きたくなるやつなんているのかなあ」と不審に思っていたが、あれも「文脈」だ。トラックの前面に載っているホストは店舗のナンバーワンホストであり、トラックは彼の勝利の凱旋パレードなのである。彼に貢ぎ続けてきた客はそのトラックを見かけたら感慨深い思いで胸がいっぱいになっているのだろう。アイドルマスターの人気投票と本質的には同じだ。

五右衛門って麺を食べ終わると皿の底から石川五右衛門の顔が現れるんだけど、パスタを食べると犯罪者が登場する仕組みってけっこうすごいなと思う。ボルシチを食べたら底から怪僧ラスプーチンの顔が出てくるようなものだろ。いや、なにもかも違うか。

調理というのは言わばノウハウの蓄積なわけで、メソッドさえ確立してしまえば、お金を持っているところがそれを大規模に再現して独占してしまそうな気がする。でも実際にはこんな感じで、おばあさんひとりで経営しているうどん屋さんが300円で日本一うまいうどんを作る、みたいな状況が成立している。直感する以上に「規模が小さい」ということには旨味があるのではないだろうか。これはヒト個人にもわりと言える。フリーターとか大学生の「無敵」さは、当事者だったときにはなかなか気づきづらかった。24時間をほぼ自由に使うことができ、人間のしがらみからも自由である、という事実はかなり強いし、それに自覚的な人はちゃんと力を持って暴れまわっている印象がある。お金を持っているかどうかはあまり重要じゃない。「自分ヒマなんで、本手さえあればそれに生活のリソース全部ぶっこめます」という宣言に説得力があれば、持ってる人がくれるようになってる気がする。こういう「小回り」の可視化みたいなのできないかな。持ってる可処分時間を財産ととらえるような……。逆に大きな組織だから実現可能な価値もある。前に読んだ話では、サイゼリヤのエスカルゴは国内のイタリア料理店とくらべてもかなり良い品なのだという。日本で食用エスカルゴを提供しようと思ったら、海外から水煮を輸入するくらいしか方法がなく、値段が高くなる。しかも加工されているため品質も落ちてしまう。サイゼリヤはエスカルゴ業者と提携し、大量の新鮮なエスカルゴを仕入れているから、安く美味しいエスカルゴを提供できる。「高いものは良い」「安いものは悪い」という直感が作用しない好例でおもしろい。

『トイ・ストーリー』で、世界のどこかにいるであろう全く同じウッディと鉢合わせするシナリオがあったら怖くて面白いかもしれない。

ニュース映像で、衆議院議員の石破茂氏が側近の付けていたマスクを受け取る、というシーンが撮影されていて、変な話題になっていた。なぜ人の使用済みマスクを貰ったのか。まさか、それをつけたのか、と。そのあとの弁明によると、実際にそのマスクを貰ってつけていたらしい。マスクを忘れてしまったので貰った、平常心でなく不適切だった、ということで謝罪もしていたが、得も言われぬ不思議な感覚が残る。それは私だけでなくネット民もそうだったようで、普段あれだけ揚げ足取りに精を出しているインターネットが、この件への言及についてはどうも精彩を欠くというか、戦闘体勢を崩しているように見受けられた。言うまでもなく、他人のつけていたマスクを貰ってつける、という行為は不衛生だ。事件としての重要性は低いにしても政治家がやるべきことではなく、一種の不祥事ではある。にもかかわらず擁護も非難も冴えないのは、この行為自体が闘争のコードから外れているせいだろう。どんなに敵対しあう関係であれ、その対立は一種のお約束ごとのうえで成り立っている。人が金の使い込みを非難するのは、たとえその行為をしないと自ら誓っていようとも、少なくとも「使い込み」がある意味で合理的であると理解しているからなのだ。石破氏によるマスク使い回しは、通常の意味での合理性がほとんど見つからず、リアクションする者自身の政治的主張にうまく組み込むことができない。ただただそれぞれが独立に「えっ、汚いなあ……」と思う他ない。あまりに濃密な政治的意図が渦巻く空間の中心で、あの不潔な行為は不思議なエアポケットになっているように見えて、興味深かった。

劇場とか映画館に来るたび「なんて素晴らしい施設なんだろう！」と感動するんだけど、その素晴らしさって芸術性とか文化とかそういう抽象的なものではなくて、ただひとこと「人間を外的圧力によって長時間座らせ、スマホの電源を切らせることができる」という、その一点においてそう思う。「自宅」の何が素晴らしいかというと、ごく単純に「屋根があり、壁と床があり、ドアに鍵がかかっているから」であるのと一緒である。誰も入ってこない快適な密室であるという価値。劇場や映画館は逆で、出ていくことができない価値。この現代、自らの意識をスマホの小窓から逃がしてしまわないようにするのがどれほど大変なことか。それを強制的に防ぐ空間は、それだけで特別な体験が保証される。

これは精神医学の立場じゃなくて人生訓としての立場ですが、発達障害者は「大丈夫だよやってるうちに好きになるから」という言葉を信じないほうがいいです。なりません。建設業界でも例えば現場監督の先輩が後輩に「工事の追い込みとか徹夜しての仕上げとかは最初は大変だけどそのうち楽しくなってくるんだよ」みたいなこと言うことあるみたい。僕も3日連続徹夜したことあるけど楽しくありません。刑務所よりつらいかも。刑務所入ったことないけど。

テレビ番組をたまに観ると、テレビってすごい面白いなと思う。内容に興味あるとかないとか以前の客観的事実として、テレビ番組はクオリティが高すぎる。これをほぼ24時間、何局ものチャンネルで放送し続けているのは狂ってる。バラエティ番組を見てると、間をすごくカットしていることがわかるようになっていた。たぶんYoutubeに出演するようになったからだと思う。YouTuberの動画はカットをめっちゃ挟むイメージがあるが、あれはより正確にいえば「カットが目立つ」ということで、テレビ番組も同じくらいカットしまくっている。多くのYoutuberは定点カメラ映像を中心に映像を構成している。これが、カットを挟んだときに「差」をわかりやすくしている。テレビ番組ではカメラを3つも4つも用意して、いろんなアングルから常に演者の映像を撮影している。映像にカットを挟むとき、別のカメラに切り替えるとその「間」がわかりづらくなる。これにより、芸人どうしのやりとりなども相当テンポよく演出される。プロの芸人って面白いことバンバン言えてすごいなーと思ってたけど（それは事実そうなんだけど）実はかなりカットを入れることで成り立っている面白さでもあったんだな。イマイチなときは撮りなおしだってしているだろうし。YouTuberはそういう方向にお金を使わないな。ヒカキンを5カメで抜いていろんなアングルから撮りまくったりはしない。なぜしないのか考えてみるのも面白いかもしれない。

韓国ホラー『コンジアム』を観たときも思ったが、最近の霊はちょっと仕事が過剰だな。いわゆるポルターガイスト的な演出があるんだけど、なんかすごい一気にいろいろしてくる。2分で10コくらいなんか仕掛けてきてる感じ。あれ仕掛ける側は大変そう。急いで部屋の中を走り回ってるんじゃないか。「うっかり禁忌を破って大変なことになる」もホラーあるあるだが、うっかりどころじゃないタブーの犯しっぷりも見どころだ。やっちゃいけない行為をすごい勢いで50コくらい重ねていくので、呪われRTAの趣があった。

毎回選挙が近づくと、そもそも民主主義って本当に正しいのか？ みたいなところからわかんなくなってグルグル思考になってしまう。インターネット見てると、個々人の思考は複雑で独立しているのに、大きな流れが生まれると一気に単純化していくのを感じる。少人数によるちょっとしたコツで、民主主義なんて操れてしまうんじゃなかろうか。「暴力は民主主義を否定する」と言うけど、民主主義が野蛮な暴力を進んで選ぶことだってあるしな。優しくて賢い王様がいて全部決めてくれるならそりゃそのほうがいいわけで、やっぱりプラトンの哲人政治はその意味で正しい。問題はそんな仕組みを作るのが無理だという実装にあるので。「みんなで決める」こと自体に価値があるわけではないんだと思う。特に「みんな」というカタマリがある種の人格みたいなものをどうしても持ってしまう傾向があるとしたら、それはもう悪しき王の独裁とたいして変わらないんじゃないか、とか考える。逆説的に、民主主義というものを機能させたければ、個々人が哲人として独裁者のように考え、偏屈になるべきかもしれんな。「みんな言ってるから」でみんな寄せの考えをすると、そのスタンスが統合して一つの人格を作り出し、結果的に操作されてしまうから。そうは言っても結局……というのがこの問題の核なんだけど。

「足枕 快眠エクスプレス」……！？ ほぼ言った通りのものじゃん。私って涼宮ハルヒか？13000円くらいか……。ちょうど嫌な値段だな……。どうしようもない品質だったとき、しっかり幅をとって落ち込める価格。それが13000円。レビューを見る限り「ぜんぜん電車じゃない」とのことなので乗車せずに見送ります。さようなら、快眠エクスプレス。

かがんだら胸からスマホが落ちて割れた。大破ではないが。左下の隅にヒビが入った。見るたびに傷が目に入る。撫でてみるが、内側が割れているみたいなので段差は感じない。修理すると2万円くらいかかるらしい。スマホのヒビは、これまで人が向き合ってきた「傷」のなかでも比較的新しく、そして特別なものであるような気がする。いうまでもなくスマホは私たちの精神に深く食い込んでいるのであり、その窓であるディスプレイに入った窓は、間違いなく単なる物損ではなく、むしろ顔や腕の傷の延長に位置している。顔の傷は鏡を見なければ目に入ってこないが、スマホの傷はあらゆる精神活動と同時に視認できるし。

「注文」と称される全ての行為が嫌いで、大将に直接注文するタイプの回転寿司屋で一言も声を発することができず、レーンを流れてくる誰かの余りみたいな乾いたトロだけ食べて退散したこともある。そんな性格なので最近のファミレスが伝票への書き込みやタブレット式の注文方式になったことは非常に喜ばしく、全部この方式にならないかなと思っている。とはいえ、私はこういう発想がとても貧乏くさいということをよく分かってもいる。「貧乏くさい」っていうのはどういうことかというと、行為の目的がハッキリしていて効率的ということです。ペペロンチーノが食べたいと思って、ペペロンチーノを指し示す記号を伝票に書き入れて渡す、あるいはタブレットで「ペペロンチーノ」のボタンを押す。するとペペロンチーノが運ばれてくる。行動と結果がほぼ直結している。これは貧乏くさいです。便利ならそれでいいじゃないか、という発想もあると思うし、私も普段そういう考えて生きているけれども、「便利」がそもそも貧乏くさい言葉なんだよな。時間（あるいは手間やお金）を少しでも無駄にしたくない、という発想が「便利」の価値を支えているわけで、そこには「目的外のことを許せない」という狭量な価値観がある。なのでまあ、身の回りのものごとというのは自分も含めて実にみんな貧乏くさい。この意味で貧乏と貧乏くささはイコールではない。貧乏くささは精神性の話なので。もちろん、実際に貧乏だとかなり貧乏くさくなりやすいというのも事実だけど。資本主義社会。ところで、なんで行為の目的がハッキリしていてはいけないのか。いや、別にいけなくはないんだけど、問題はある。簡単に虚無の穴に陥ってしまうからだ。全部の行為に「これは～のため」というラベルをつけて、それに従って最適化していくと、それはやがて「生まれる→死ぬ」という一直線に収束し、底がストーンと抜けて生きる意味がなにもなくなる。ニヒリスト（虚無主義者）というと世を嫌って「全て、無意味……」とか言ってるイメージがあるけれども「残りの人生でやりたい100のコト」みたいなリストを作って1つずつ丹念に潰しているような人にも一種のニヒリストはいるかもしれない。いかなる場合においても、目的は仮のものにすぎない、という事実がある。たとえば私は静岡のハンバーグチェーン「さわやか」が好きで、わざわざ高速バスに乗って食べ、その日のうちに帰ってくる、みたいなことをしているが、正直言って「さわやか」そのものがハチャメチャに好きなわけではない。もし家の向かいが「さわやか」だったとしたら（嬉しいけど）そんなに通いまくったりはしないような気がしている。ハンバーグのためにわざわざ一日潰して、バスで3時間も腰を痛めた挙げ句「やっとついたな～」とか言って伸びたり、1時間半の入店待ちのためにコメダ珈琲に寄って女性自身を読んだりしているどうでもいい時間も含めて「さわやか」なのです。そういった雑多な経験は、当初の「さわやか」を食いに行く、という目的への道のりの中で、いわば勝手に「侵入」してくる。さまざまな侵入者たちこそが、この退屈で貧乏くさい人生の適度な気晴らし相手として役立つ、貴族的存在であると私は感じる。ちなみに、金持ちになると余裕ができるからそんな貴族的体験を意図的に呼び込むこともたやすくなるが、金持ちになるための方法論はえてして極めて貧乏くさいので、そのリッチさがわからない人が成功しやすかったりする。私は刺し身を皿にうつしかえずにパックから直に食べても平気だし、ナマモノと洗剤を同じビニール袋に入れて歩いても何も思わないし、全ての注文をタブレットで行いたいと思っているけれども、それは単に私が虚無的な性格だというだけのことなので、ちっとも「よい」ことだとは思っていなかった。基本的に自分は野暮な奴だなと思っている。「なんかわかんないけどヤダ」みたいな感覚こそ大事で、私にはそのあたりのセンスがあまりない。ところが最近、私にも仲間が増え、野暮天による大攻勢が始まっているような気がする。「便利ならいいじゃん」という声が正当性さえまとおうとしている気がする。複雑な気分だ。その先は穴なのに。この種の価値観の乖離は、本当に単純に貧乏が原因なことも多い。「目的と効率化だけが人生じゃないやね」というのは真理だが、その境地に達するためには大抵先立つものがいる。資本主義的な意味で勝者に回った人が、単に電車賃を持ってない人に「歩いて帰ろう」と歌う醜悪さも確かにある。まあ人間ってそこまで上等なものじゃないから、どれだけ効率化が進んでも極限まで貧乏くさくなりきることはないと思う。ファミレスのタブレットでどうにか阿部寛のホームページにアクセスしようとしたり、伝票でツルを折ったりする奴は必ず現れる。なのでそんなに悲観してるわけでもないけど、ニヒリズムって基本的に全くしょうもなくてみんなで担ぐほどの神輿じゃないというのは事実として忘れないようにしている。「なんかヤダ」にはちゃんと強い力がある。

一見すると人気ツイートにぶら下がる普通のリプライなんだけど、なぜか豊満な乳のアイコンがずらっと10コくらい並んでいる。よくよく確認すると、リプライの内容そのものは、そのツイートに対する引用リツイートのコメントを自動的に拾ってきているらしい。だから単純なスパムに比べると、元ツイートに対して頓珍漢なことを言っている感じはないのだが、むしろそれゆえずらりと並ぶ豊満な乳のアイコンが際立って異様に見える。気になってタップした人がホームに行くと、スパムサイトへのリンクが貼ってあるという仕組みだ。「とにかくなんでもいいので注目を集めてリンクを踏ませたい」という目的が突き詰められた結果、人語を操る巨乳軍団の襲撃になるのはちょっとおもしろい。「相手が望む姿に変化して誘惑してくる」という伝承上のサキュバスの最大限しょうもないバージョンみたいだ。視界に巨乳があるとボタンを押しちゃうのは、調べてないけどたぶん統計的に裏付けられた事実なのだろう。ソシャゲのバナー広告で真ん中にいるキャラはだいたい胸が大きい。男性向けに限らずとも、たとえば女性向けの下着のバナー広告やエステサロンなどの広告も胸を強調しがちな気がする。ツイッターでいま跋扈している巨乳軍団のアイコンには顔すらなく、ただ乳の谷間だけが映っている。そういうスライム的な生き物みたいに思えてきた。周囲の声を学習してモノマネしながら脂肪をぷるぷる揺らしにじり寄ってくる。そういう剣と魔法のファンタジーRPGが、ツイッター。

ものすごく暑い日って、一日中家の中でクーラーを効かせて寝ていたとしても「外が暑い」という事実がなんらかの遠隔的な力によって体に悪い影響を与えているような気がする。全く暑くはないのに、暑さのせいで気分が悪くなる。不思議だ。これってオカルトですか？

たまに屋外のでかい風呂に入って、自宅に帰って狭い湯船に入ると「狭いな～ 笑」みたいな感じになる。でもこれも旅の醍醐味かもしれない。非日常を体験してから戻ってくることで、これまでの日常の全てがひっくり返って非日常に転化する。自宅のにおいだったり、冷蔵庫の中に知っているものだけが詰まっていたり。「家」が一周してコンテンツになるのだ。

若い頃わりとガチで「仕事でギリギリまで追い詰められた時に、相手先や部下や上司にどう接するかでその人の本当の性格が分かる」と思っていたけど、よく考えるとそもそも仕事でギリギリまで追い詰められるべきではないし、そんな窮地に見えてくる性格なんて碌なもんじゃないに決まってるんですよね。

恐山の関節が錆び付いてる感じ好きなんだよな、油差したくなる

両親は会う度に老け込んでいっている。日差しがすごいので日傘を買ったと言ったら「男が日傘さしてたら病気だと思われるぞ！」と父親に言われて、よしよし、順当にジジイっぽいことを言っているなと思ってニッコリした。

「数ヶ月おきに新刊が出て、そのタイミングで続きを読む」という行為が、脳の都合でもう厳しい。序盤の1～5巻くらいまでならまだなんとかなるんだけど、10巻以上続いていたりすると「コイツ誰だっけ？？？」が頻発する。勉強してない中間テストを受けている感覚になる。理想的には新刊が出る度に全巻読み返したいんだけど、長くなってくるとそういうわけにもいかないし。人気漫画だとWikipediaの項目が充実しているので思い出すのに助かる。

私はもともと寝付きがめちゃ良くて、夢もだいたい変だし、寝起きでダルい思いも全然しないので、効果がわかりにくそうだ。ストレス軽減に一縷の望みをかけたいが、1本飲んだ程度で効くものなのかね。そんなやつがなぜ買う。ケガもしてないのに絆創膏を買って体の傷を探しているような状態。流行に踊らされるのは楽しい。常に意志をはたらかせて生きるのは苦痛だから「なんか、これ良いらしい！！！」という後押しを頼りにして行動するのは楽だしグルーヴ感もある。買ったときもう楽しかったし元がとれた気がした。1000の流行、行動が購買に繋がっていてポジティブなだけで実質的に反ワク陰謀論と同じだもんな。「○○は××らしい！」というのを飲み込むと、ぜんぶ自分でどうにかしないといけない生活に手拍子が聞こえ始めて、そのビートで生きられる感じがする。

「もし自信をなくして　くじけそうになったら　いいことだけ いいことだけ 思いだせ」というアンパンマンたいそうの歌詞はすごすぎ。未就学児童にするアドバイスじゃない。

21時ごろに爆睡していた。爆睡という言葉は比較的新しい言葉だと思うけど「眠り」に「爆」がつくのがおもしろい。爆走とか爆笑は動的だから感覚的に自然で、それゆえ軽薄な感じも強いが「爆睡」は一周して不思議な響きになってる。

「マウント」という言葉を使いたがる人は本当に誰もがどんなときも人より上に立とうとしていると考えていそうだけど別にそうじゃない人は多い。別にそうじゃない人の別にそうじゃなさはある程度自分自身も別にそうじゃなくないと分からない。私が人を意図的に不快にしようとするとき、それを上下関係において理解されると違和感がある。私の言動の悪影響については謙虚に受け入れたいのだけれども、それを逆進して精神分析みたいなことをされると我慢ができなくなってしまう。私が終わってるとしても私なりのプロセスで終わっているので、そこを汎用のパターンと同一化することはできない。もちろん私以外の人だって、本当はみんな独特の形で終わっているのだと思う。

ツイッターという場は同じことを何度も繰り返し話題にし続けていて、みんなそのことを認識しているにもかかわらず自覚はしていない。パターンの繰り返しの波に削られたコンテンツからはもう骨格が露出している。自分自身の行動が単なる反射なのではないかという疑いを経なければ、これからもストレスと報酬のサイクルに組み込まれたまま出られない。メタ視点から理性を用いることにより、己の反射をも自覚して使いこなす段階に移行するときが来ている。人間という種が喜ぶ構文をあえて完全に把握し、限界を見いだしたところにしか真の喜びは生じない。

人間も数万数十万単位の「群れ」になるともう意志とか理性ではなく、意味の大枠を受け取って反応を返すひとつの関数ボックスになる。個別性は失われ、「木に蜜を塗っておくと虫が来る」というような法則にしたがってまんまと「いいね」が飛んできたりする。自意識のこのへんをくすぐられるとつい反応しがち、みたいに、人間という高等な知性を持つ種にも昆虫的な部分がある。それについて、人間という種の個別のひとりである自分自身がどう向き合っていくべきかって問題はあるよな。虐殺器官じゃないけど。はじめに狙いや悪意がなかったとしても「特定の個人ではなく種を動かすための文法」みたいなものは必然的に形成されていく。そして、そういう文法を使うべきか使わざるべきかはさほど問題ではなく、問題は「常に種の"例外"として在る自分」がどう感じるかにあるのかも。個性的な特質を持っているかどうかには関わらず、自分が個別のひとりであるということは、その種にとって異端であり例外である。どんな滑らかな集団でも、具体例をひとつつまみ上げればそれは必ずデコボコしている。狙い通りにバズらさせられるのでも単に逆張りするのでもなく、その刺激がデコボコな自分自身のどの辺りで作用したかに注意するのが好ましいのではないか。つまり、刺激に反応している自分自身のことを意識して、それも刺激に変換して取り込んでいくみたいな試みが要るんだと思う。「自分はカレーが好きだなあ」と思うような感じで「自分は自意識のこの辺を刺激されるのが好きだなあ」とたまに意識することによって守れるものはないか。あまりに全てに対しマインドフルネスだと気が狂ってしまうから適度にやるべきなんだろうけど、パターン化された刺激に飽きてなんかムカついて超克しようとするのは精神の代謝に必須だと思います。

ゲイリー・マーカスは「彼らはただ人間の言語の大規模な統計データベースから一致するパターンを抽出しているだけです」と言ってLaMDAの意識を否定している。要は「統計的にそれっぽいパターンを出力してるだけで、世界を知覚して考えてるわけじゃないんだ」ということだけれども、こういう反論って根本的にナンセンスではないだろうか。外界の知覚という点においてはAIが外界から情報を取得することができればいいと言えてしまうし、現状だって言語を通じて外界を知覚していると表現することもできる。そもそも私たちの周りの人間が「プロンプトに応答して統計的に最もらしいテキストの塊を効果的につなぎ合わせ」て喋っていないという根拠などどこにもない。自分の妻の頭を開けたら一切外界と接続されていないコンピュータが入っていて、ただ決められたアルゴリズムを実行するプログラムが作動しており、それがたまたま周囲とコミュニケーションできているように見えていた、としたらどうなのか。それがただのプログラムなのか、意識なのか、という論争はずーっとあるけれども、個人的にはこれって全然問題じゃなくて「それまで意識と呼ばれてきたものがあまりにもテキトーに定義されていたせいで、答えの出しようがないだけ」なんじゃないの？ と思う。もちろん「生身の人間と区別がつかないAI」を作ることは技術的に難問ではあろうが、それをどのように定義づけるかについては、べつに難問でもなんでもなくて、ただ後から任意に定義すればよいだけのような。能力的に「意識」を定義することも可能だ。「反省的能力がある」とか「外界を知覚してそれに対応する」とか。でも、そういう能力をもたない「人間」っていくらでも存在しうるし、おそらく現に存在する。そういう者については「意識を持たない」としてよいのか。解決策として、意識における血統主義みたいなものも考えられる。人間から生まれたものはひとまず意識をもつ、と決めてしまう、みたいな。そうすればまあ意識の特権は生身の人間が保持できる。だからこの種の問題ってマンションの共有スペースに花壇を置くかとか監視カメラを設置していいかみたいなことについて話し合う理事会と大して変わらないと私は思っていて、政治的にはかなりの難問であっても哲学的に見るべきところってぜんぜんないような気がするんだよな。「意識」に関する大多数の納得を、折衷案を出してどうにか獲得させられればそれがもう本質になってしまう。これからAIの知性は間違いなく高度になるだろうし、より深刻なレベルで区別不能になっていくだろう。その結果、ロボットに人権を付与するとかそういう事態が起こっても全くおかしくない。私はそういうニュースを興味深く見るだろうけど、でもそれはゴシップとして面白いだけだ。売店のおじさんに意識が本当にあるのかどうかが分からないこととロボットに意識があるのかわからないことは全く同じことだから。

問題は「ペヤング 獄激辛やきそばFinal」だ。なんだよあれ。撮影のあとにちょっと貰って食べたけど。ふざけるな。あんなもんコンビニで売るな。辛すぎ。辛すぎてスベってる。どんな過激なSM女王様もプレイにピストルは持ち込まない。ほかの激辛系グッズがちゃんとエンタメを志してることを間接的に知れた。ただ痛みを与えればいいと思ってる。馬乗りにされて顔面をボコボコに殴られてるのと同じ。そこに愛がない。なんか麺も苦いし、焼きそばの味にもなってない。一口食べた瞬間は「まずい焼きそばだけど辛くはないな」なんだけど、10秒後に「来る」。痛みに楽しさがまったくなくて、腹痛や歯痛と同じカテゴリ。ただただ苦しみが去るのを待つだけのデリカシーの欠片もない責め苦。冷めるわ～。みんな帰る準備を始めちゃったよ。あーあ。「ペヤング 獄激辛やきそばFinal」くんのせいだからね。二度とSMバーのドアをくぐらないでほしい。そういうことじゃないんだよ。まるか食品は本当にこれを胸を張って山田隆夫に見せられますか？

人が辛いのを我慢しているのは単純に面白い。バラエティ番組で流行るわけだ。見た目にはそれほど痛々しくないけど苦しんでいる様子ははっきりわかるからなのかな。たぶん原始人とかも激辛ゲームやってたと思う。「なんか……すっごい辛い実……」を見つけて、あえて食べて悶絶して笑うみたいなの、絶対やってる。それくらい本能の深いところで面白いと感じてしまう。

「わたしだけは無害な存在で(ある)ありたい」と、理念を掲げるひとが日本には多いけれども、ご存知のとおり、あなたの恋愛も性行為も結婚も妊娠も、それができないひとにとっては加害だし、あなたの才能も運も、性別も国籍も、どれだけ関係者の少ない控えめな幸福も、すべて加害性を含むから諦めよう。

やることがありすぎて目が回る！！！ 個数でいったら6コとかなんだけど、体感的には8200コある。でも今日はそのうちの1つを殺した。落ち着いて1つ1つ殺害していくしかない。配られたカードで勝負するしかないのさ。それがどういう意味であれ……。「配られたカードで勝負するしかない」って良い言葉ではあるけど無内容だなとも思う。なぜなら「配られたカードで勝負する」以外のことが原理的に不可能だからだ。「カードの再配布を要求する」とか「カードをすり替えるイカサマをする」といった行為もまた、自分に与えられた状況（＝配られたカード）を最大限に活用した結果であるといえる以上、配られたカードで勝負していない人などいない。

高速道路を運転していてふと思ったのが、どうして人間は生身で出せる速度をかなり超えていても認識が追いつくんだろうか？

人生ゲームでサラリーマンってハズレの職業だった記憶あるけど、現実で困難なくサラリーマンになるのって普通に当たりの部類だな

【最強の中島みゆき】

縦の糸は私、横の糸も私、全部、私（わたくし）！

「射精差分はfantiaで」にブチキレて元絵に俺の精液をぶちまけて差分作ってやった。俺の勝ちだ。

ゲーム業界、本当に狭いのでちょっと年齢の高い人と飲んで昔のゲームの話をすると「お買い上げありがとうございます」とか「そこ作ったの俺」がありえない角度から飛んでくるからね。このゲームのこの部分作った人は意地悪いって話をした後、部長からそこのデータ打ったの俺って言われたからね！

冬は展開がないのがよくない。「寒い、寒い、寒い、いや今日はちょうどいいんかい」がない。季節の中で唯一ない。ずっと寒い

伊集院光が「FMラジオを面白くしすぎると困る、疲れるのでやめてくれ、というクレームがトラック運転手から来た」って言ってて面白かった。面白けりゃいいってもんじゃないんだなと。

毎年開催しているらしい「謎解き能力検定」を初めて受けたら、全国平均のほぼちょうどど真ん中というすごくつまらない結果。60分で50問も解くので終盤は時間がぜんぜん足りなかった。全国1位の人は30分くらいで満点とったらしい。だんだん分かってきたけど、こういう謎解きはおおむねパターンが決まっているんですね。たとえば五十音表を使った謎解きなどはほとんど同じ発想で作られたものに何度も遭遇したりする。経験値を積めば積むほど、謎解きを九九暗唱のように瞬発力で解くようになっていく。問題を見て記憶を参照し、いかに早くその知識を引き出せるか、というような能力が重要になってくるのを感じる。それはそれで面白くやりがいがあるが「ひらめき」の楽しみから遠ざかってきている気がしないでもない。ちょうど能力的に平均値に立っている今の私がギリギリボーダーで、これよりさらにやり込むともう違う競技になっていくんじゃないだろうかという予感。というかそれは「クイズ」だな。知識を得て、いかに早く引き出すか、というならそれはクイズだ。もちろんクイズと違って全く同じ問題が出る、ということはさすがにほぼないはずだけど、パターンを叩き込んでいけば実質的にそうなっていくだろう。しかしそれって最早「謎解き」なのだろうか。ジレンマだ。私にとっての謎解きの素朴なおもしろさは、一見すると意味不明な記号にパターンが浮かんでくる瞬間の「あっ」という感じにあった。60分で50問解こうとしたときに「あっ」はなかった。「うおおおおおおおおおお！！！」だった。「日にちの隣に敷居があるとき、藁の隣にあるものは？」みたいな問題を見たとき「ひにち」と「しきい」が両方「い段」であることに気づき、五十音表をヨコに見ると「ひにち」の右に「しきい」があると察知し、その法則に当てはめて「わら」の隣は「やま」であると即座に見抜くのが謎解き好きだが、そういう思考プロセスはあまりにも謎解きに特化していて、日常言語の使い方からかけ離れている。もちろん、謎解きがそもそも日常言語とは異なる法則性を探し当てるゲームなのだから、それは正当な適応なんだけど、最初から謎解きのために脳を走らせていること自体に「なんか違うな」という感じをおぼえる。クイズにも同じことがいえると思う。競技クイズのプレイヤーはクイズに答えるために知識を蓄えるが、それ自体が活動としては不自然であり、本来のクイズのあり方から遊離している。クイズに興味のない人が急にクイズを出されて「あれー、なんだっけ？」とか「たまたま知ってたわ」とか一喜一憂する、その感じの楽しさは、クイズ力を鍛えれば鍛えるほどに遠ざかってしまう。スポーツも同じで、遊びでするかけっこと準備して臨む陸上競技の手触りは全く違う。どっちが優れているとかではなく、体験の内容が違うのだ。私は自分が本質的に「マニア」に向いていないのではないかと思っているが、その理由の一つがここにある。なにか変わったものが日常の中に「ふと」入ってくる瞬間の、景色が異化される面白みが一番よいと思っていて、それはその「なにか」を意識して対象化した瞬間に失われてしまうので。相変わらず謎解きは好きなんだけど、これ以上謎解きを「うまく」なりたくないなという思いも少しある。小学生のとき、バス遠足のさなかにバスガイドさんが出してくれたなぞなぞの答えを考えている瞬間の輝きが遠ざかっていくような気がするからだ。「適応」それ自体がほんのり憎い。私は戸惑いたい。

「ましゅまろ亭」のマシュマロは以前人にもらったことがあり、いままでで一番美味しいマシュマロだったので驚いた記憶がある。それまでは正直言ってマシュマロってFAKEだと思っていた。見た目と食感に助けられているだけで均一な甘みが一様に広がるだけの柔らかい荒れ地だと思っていた。でも「ましゅまろ亭」のましゅまろは全然違った。リベンジしたい……。

なんか「へつらう」という快楽があるような気がする。上目遣いで人に気に入られようと頭を捻っているときにだけ出てくる物質があるのではないか。上下関係とは単純な権力の不均衡ではなく、もっと多元的な力関係の交錯により成り立っているのだろうなと思った。

ギャラクシーさんって社内では最年長なのに、社会的正義とか打算とかと全く接続していない「ただ、なんかやりたい」という欲求を誰よりも純粋に持ち続けている感じがして、そこを尊敬している。ふつうそういう部分って年とともに摩耗するというか、「生活」に最適化する過程で脳が予算を削減していくものだと思う。別の言い方をすれば、ギャラクシーさんには無職の思考様式が完璧に残っている。これはすごいことだ。フルタイムで働いてるのに、心に無職がいる。会社来てても心は無職。これが目指すべき境地。

自分の性格的に、自発的に髭をたくわえたくなるような気がぜんぜんしない。ただ、今後の可能性を確実にひとつ「閉じる」処置だと思うと永久脱毛ってかなりすごいことだなとは思った。生活していて「永久」が取り沙汰されるタイミングなんて、永久脱毛くらいじゃないか。

久しぶりにサブウェイでサンドイッチを食べました。サブウェイって1回注文するだけなのに74回くらい質問されるからビックリする。そんなに意志を反映した食べ物、もったいなくて食べられないよ。

今日、『ポムの樹』でトンカツの乗ったオムライスを見つけて「おもしれ～」と思って頼んだんだけど……食べきれなくて残しちゃった……。想像よりだいぶ多くて、茶碗1杯ぶんくらい残してしまった。写真だと伝わりにくいけどMサイズだとご飯3杯ぶんあるらしい。トンカツもふつうにめっちゃ分厚い。ご飯残すの久しぶりだったから、なんかショックだ。退店するときも半分くらい放心状態でフラ～と出てきた。この歳になってオムライスの適量もわからない生き方をしてきてしまった。ユーキャンでオムライスの講座取ろうかな。そんな講座ないが……。

特撮を全く通ってきてない男子ってどれくらいの割合でいるのかしらね。個人的には結構これ「損したな」という感じがある。同世代との共通言語がひとつ無くなるっていう損した感もあるけど、なにより多感な時期にああいう原色のドンパチを味わえなかったのが勿体ないなあと思う。おとなになってから観ても楽しめるけど、心の角質が固まっちゃってるから刺さりきらないもどかしさをシン・マンで感じた。なんの防御も張られてない幼少期にこそ、という側面はどうしてもある。こまっしゃくれたガキだったから、本家の特撮を読む前に『空想科学読本』とか読んでたので……。

2019年と比べると、2021年のピスタチオ売上額が12倍になっている。大革命だ。これはもう、需要が高まったというよりは、明確に「ピスタチオを卸しまくるぞ」という商社の意志を感じるな。ピスタチオは好きだからありがたい。流行は作られているという話はよく聞くけど、実際に流行を作っている現場そのものを見たことはない。一回くらい立ち会ってみたいものだ。「流行り」と呼ばれるものの大半は商業製品の購買を指しており、製品の製造には何ヶ月も前から準備が必要なわけで「急に流行る」のは難しい。ピスタチオに関しても、まずピスタチオがいまの購買層にある程度受け入れられることが明らかになったら、あとは物量で押し通せてしまうのかもしれない。小さい穴があればあとはそこを起点として大きく拡げられる感覚なのか。そういえばちょっと前、ファミマが「クリームパン」をめっちゃ推していた時期があった。なんか製法が新しくなったらしくて、「これがファミマのクリームパンだ！！！」みたいな感じでデカい垂れ幕を吊ったりして、わりと大々的にプロモを打っていた。食べた。めっっっちゃ普通。ふつ～～～～～～～～のクリームパン。いや、美味しいけど。クリームパンはだいたいみんなうまいからな。でも2ヶ月弱で1000万食突破したんだって。へ～～。「工場の生産が追い付かず、一部店舗では品薄になっていた。」って書いてある。普通なのに……。広告の力を感じる。コンビニで買うパンとかみんななんでもよくて、広告で「クリームパンがうまい」と書いてあったらなんとなくそれ買うみたいな、そういう感じなんだろうか？ 実際自分はそういう感じでクリームパンを買ったし。

「計画」というもの全般が嫌いなので、これを続けることによってどうしたいという展望がない。ただこの「いったん、ただ損してみる」という状態は大切な気がしていて、全ての動作を「なにかのための行為」にすると、ランダムに飛び込んできて世界を拡張する外的な何か、を受け入れる入り口が閉じてしまう気がする。損してるというより、ドアを開けてるという感じか？

ひらがなの「あ」って、やっぱり難しすぎる。最初に十字を書くところはまあいいとして、そのラインを横切るように右上から左下に突っ込み、急旋回。そしてまた十字の縦ラインを通り抜けたかと思ったら、自らが描いた軌跡をも通り抜け、さらに壮大な孤を描く……。未就学児が遭遇する字としてはレベルが高すぎる。負けイベントとしか思えない。五十音表を考えたのってフロムソフトウェアか？

「やる」という事象は恐ろしい。今まで何を我慢していても、一回やったら「やる人」だ。70年間温厚に過ごしても、71年目に人を刺したら「人殺し」なのだ。それまでの人生70年は、ひとりを殺すという結末のための伏線のように扱われてしまう。完全なるイレギュラーの一瞬、変な歯車が噛み合った瞬間があるだけで破局を引き起こしうるわけで、奇行の世界は誰でも足を踏み入れる可能性があるんだなと思う。謝罪には原理的に「果て」が存在しないというのも恐ろしいことだ。何で埋め合わせようと「やった」という過去そのものを消すことはできない。筒井康隆の有名な短編『乗越駅の刑罰』をやはり思い出す。うっかり無賃乗車した主人公が駅員に無限の追求を受けるという不条理短編だが、「許さない」という力の途方もなさを感じられる。

『トイ・ストーリー4』を観た。3を観たのが2年近く前で「次は4を観るぞ」とか言ってたのに時間が経ちすぎた。なんか変な映画だったな。話はとっちらかっているし、雰囲気は暗いし、ギャグは冴えないという感じで、子どもの頃に観ていたらあまり気に入っていなかっただろうと思った。それでも結構好きな映画かもしれない。あんまり面白いとは思わなかったが、それでも何か本当のことを言おうとしているなと思った。1～3に比べて粗が多いのは、本当のことを言おうとすると必ずおこる「言いよどみ」みたいなものではないかと思った。3を観た後の日記（2020年5月9日）にはこう書いてあった。「トイ・ストーリーが描くのは、何かの比喩としてのオモチャの物語ではない。『オモチャ』という特有の有り様についての物語で、だからこそ胸をうつ部分がある。」「ほとんどのオモチャは、いずれ飽きられ、壊れ、打ち捨てられてしまうだろう。迫りくる焼却炉の炎は不運がもたらす絶望ではなく、ごく一般的な末路だ。」「オモチャたちを擬人化するだけでは、彼らの置かれている立場の救いの無さ（中略）にぶち当たってしまい、希望を見いだせない。そこで「誰も見ていない間は自由に動ける」というファンタジーを導入し、ウッディたちを活躍させ、彼らに能動性と希望を与えた。」4はまさにここで言及されているようなことについて回答を与えているように思われ、それがとても興味深かった。トイ・ストーリー4では、これまでのシリーズで引かれていたおもちゃと人間の境界線を明確に踏み越えてみせる。「おもちゃは人前では動かない」という厳格なルールを、意識的に破っている。正体が決定的にバレるわけではないが、本来は音を出さない設定のおもちゃが喋って人間を騙すシーンなど、これまでの基準からすると明らかにやりすぎだった。前シリーズまでは、自由に動くおもちゃ達の活躍はあくまで人間サイドの空想に収まる範囲でなされてきたが、「4」では「おもちゃによる能動的選択」を本格的に描いている。これが本来のおもちゃの定義と決定的に衝突し、全体的な違和感と個性の理由になっている。また、4は「"おもちゃ"の死」の物語でもある。必要とされなくなったおもちゃは、捨てられ、忘れられ、壊れて死ぬ。これまでのシリーズでは、命を吹き込まれたおもちゃの決定的な死そのものは描かれていなかったが、今作ではある意味でウッディが死んでいる。もちろんバラバラになったり焼けて炭になったりするシーンが描かれるわけではないのだが、人間に捨てられたおもちゃが人間を捨てどこかで生きてゆく、という語りでウッディの死を間接的に描いていた。おもちゃのアイデンティティは人間からの寵愛と固く結びついている。「意志をもったおもちゃは、いまもどこかで冒険して生きているだろう」というのは、まるでおもちゃを失くした子どもに親が与える慰めの物語のようだ。決定的ではない喪失に向き合うとき「きっと今もどこかで生きている」という物語を飲み込むことによって、自分の中からそれを決定的に殺すのだ。しかしウッディは"おもちゃ"として死ぬことにより、新たな生命を得たと言うこともできるだろう。神は死んだと看破することで、人は「個人」という新たな生を獲得した。ウッディは人間という神を棄て、おもちゃであることを辞めて、トイ・ストーリーの枠組みの外側にはみ出た。「超人」になぞらえるなら、ウッディは「超玩」になったのだ。

プラスチックカップがゴミ箱マウンテンに登頂していることがよくある。これどのゴミ箱に捨てていいかよくわかんないから不法投棄率も高いんだろうな。ちゃんとこれの存在を前提とした公共のゴミ箱をたくさん設置すれば解決しそうではある。不法投棄するにしても、なんでここに置くのか。かつてこういう捨て方を「奥ゆかしきポイ捨て」と日記に書いたが、どちらかといえば「ポイ置き」だな。置いて捨てる。日本人以外もやるのかな？捨てるという行為から能動性を剥ぎ取って、自分のやったことを無罪化したいという心理なのかもしれない。①ゴミを「いったん」置き、②立ち去る。ポイ捨てを2ステップに分割するだけで心理的抵抗がだいぶ軽減される。ポイ捨てに限らず、撫でるような手付きで行われる暴力ってありふれている気がする。

このまえ「10億円の資産を持っている人の生活はどんなか」という記事を読んだ。「事前に想像していたほどには自由にならない」「お金があればできることは意外にも少ない」そうだ。たしかに世の中思ったよりも公平にできていて、ラーメン屋の行列に並ぶとしても、たとえ金を10倍払おうがファストパスをもらえたりはしない。金があれば選択の幅は広がるが、それにともなって消費される時間については、金があるだけではいかんともしがたい。それが34兆4000億円（マスクの資産）だったら事情が変わってくるのだろうか。少なくとも、ラーメン屋に並ぶ必要はなさそうだ。店ごと買っちゃえばいい。でも、買ってどうする。お気に入りのラーメン職人を、お抱えのシェフにするというのは一案だが。そう毎日ラーメンを食べたいわけでもないし、暇なあいだ職人は放ったらかしておくのか。やはり店を持たせてやるべきか。しかしそうなると融通がきかなくなる。いざラーメンを食べたくなったとき、店はすでに大行列、なんてことになっていたら面倒くさい。事前に予約をするか。自分の店なのに。せっかく店を所有していても、あんまり自由になっている感じがないな。コンテンツに関して圧倒的な権利を得ようと思ったら、コンテンツの生産者側にまわらなければならない。しかし、生産者として手にするのは消費者としての権利とは全く異質なものだ。Twitterを手に入れればゲームチェンジャーになれるけれども、ゲームプレイヤーとしての権利は失う。金のつまらないところは、それでいかに強大な権利を獲得したとしても、最終的に「自分」という、寝て起きて飯食べて何十年かしたら死ぬだけの有機生命体への刺激に還元されるほかなく、それゆえどんな強い力であれ、例外なくケチケチした使われ方をされるしかない、という点に尽きますね。国家を動かすほどの力を得ようが「国を動かしているなあ」と実感する一つの脳みそがあるだけだ。こういう冷徹に平等な世界の仕組みは恐ろしい。

4月ももう終わりだ。平日の昼間に駅前を歩くと、駅前のちょっとした広場みたいなところで弁当を食べている新卒ビジネスパーソンたちをちらほら見かける。彼らの背中は少し小さく見える。大人になったら体格なんてそう変わらないはずなのに。この風景はなぜか4月限定だ。5月、ゴールデンウィークが終わる頃にはパッタリと見かけなくなる。それに気づくたびに「彼らはいまどこで昼食を食べているんだろう」と気にかかる。普通に考えれば昼食は毎日食べるものだから、どこか別の場所で食事をとっているのだろうが、ではなぜ、広場で食事することをやめてしまったのか。それは広場が「ちょっといい空間」だからではないだろうか。少し開けた場所で、太陽の光を浴びながら弁当を食べる。「ちょっといいライフスタイル」だ。4月。これから社会人としての初めての新生活がスタートするというとき、頭の中は「ちょっといいライフスタイル」でいっぱいになる。会社の近くにこんなおしゃれなサンドイッチ屋さんがあるじゃないの、なんて気づいて、そしたら、そこでBLTサンドなんか買って、広場のベンチで食べたら、なんかそれって少しステキじゃない？ と、思ってしまうものなのだ。この「ちょっといい」という感覚は、実際の「いい」とは別だ。雑貨屋で薄墨色の一輪挿しを見かける。あら、ちょっといい。そういえば今って花のサブスクがあるんだっけ。毎月この一輪挿しに花を入れ替えて眺めて暮らすなんて、ちょっといいんじゃない？ と思う。でも「ちょっといい」には強度がない。一輪挿しを置くには、一輪挿しの合う部屋が必要で、でもそんな部屋を維持するには、部屋の持ち主である自分自身が己のスタイルを律しなければならない。ドンタコスの袋が散らばっているようなことがあってはならないのだ。巷の「ちょっといいもの」は、それを手に入れるだけで自分の暮らしが一段ステキなものにアップデートするかのような錯覚を覚える。しかし実際は逆なのだ。「ちょっといいもの」にふさわしくなるように自分自身を変えなければ「ちょっといい」の恩恵は与えられない。「新生活」という節目は「ちょっといい」に惑わされる時期であり、生活で希釈した失望をゆっくり時間をかけて飲み干す時期でもある。平日は公園でランチ。この「ちょっといい」を実現するには当初に想像する以上のコストがかかるのだと思われる。天候が悪い日はどうするのか。同僚と付き合いで食事することだってある。そもそもサンドイッチは高い。暑い。寒い。風が強い。サンドイッチに飽きた。こうした例外の小石が絶え間なく降り注ぐのが日常生活というもので、気づけばあらゆる例外に最適化した、ちっともよくないライフスタイルが完成している。片手でコンビニおにぎりを食べながら事務所の机の前でボーっとモニターを見ている。それでも人は「ちょっといい」にあこがれてしまう。ベランダにタイルを敷き詰めて椅子なんか置いてみたらちょっといいんじゃないの？ なんて思ってしまうのだ。

ネットに太鼓判が押されていないものを買って清濁併せ飲みつつ知見を深めていくの、能動的に生きている感じがして精神衛生によいな。今後もそういうこと意識してやっていこう。

一本満足バーのCMを見ると、天才だと思う。あれは凄い。私はあのCMに、どうしようもなく暗い感性を感じる。草なぎ剛が陽気に踊りまくるというコンセプトでありながらも、あえて一抹の虚脱感が残されていないか。CMは15秒に狂騒を詰め込み視聴者を催眠状態に陥らせ、判断力を鈍らせようとする。リズミカルな音や商品名の連呼、有名タレントの起用など、一本満足バーはお手本のようにこの文法を守ろうとしているように見える。一本満足バーでは、あえてこの演出を少しだけ足りない（あるいは過剰すぎる）ようにして、それが演出であることを強調していると私には感じられる。祭りの後に訪れる、寂しく全てどうでもよく感じられる瞬間の匂いが混入している。音やカット割りにあえて「無」が挟まれているからそう感じるのだ。この「無」が、かえって狂騒だらけのCMで効果を発揮する。15秒がすぎればすぐに次のCMが始まり、直前の映像など忘れ去られるが、演出の隙間にあるこの空白はしこりとなって視聴者の心に残る。「こぶとりじいさん」で、鬼から大好評だった正直じいさんの踊りは、この草なぎ剛の踊りに似ていたのではないかと思う。きっとその踊りには（追い詰められたことによって）切なさが乗り移っており、鬼にはそれが「リアル」だったのである。そのあとで隣のじいさんが踊った踊りにはそれがなく、単なる狂騒だったのだ。

江戸川乱歩の有名な短編に『鏡地獄』というのがある。レンズや鏡の魅力にとりつかれた男が、内側を鏡張りにした巨大なボールの中に入り、そこで見た景色のために発狂するという怪奇な話だ。これを最初に読んだのは中学生の時だったが「発狂はせんだろ」と思った。乱歩の作品にはさまざまな怪奇的シチュエーションが登場し、物語の語り部も「なんと恐ろしい、この世ならざることであろうか……」という感じで煽り立てる。それを読んで私は「昔の人は怖がりだったんだな」と思った。ラヴクラフトの創作もそうだけど。「そんなことで気が狂っちゃうのか」と思う。「それは、到底人間の想像を許さぬところです。球体の鏡の中心にはいった人が、かつて一人だってこの世にあったでしょうか。その球壁に、どのような影が映るものか、物理学者とて、これを算出することは不可能でありましょう。それは、ひょっとしたら、われわれには、夢想することも許されぬ、恐怖と戦慄の人外境ではなかったのでしょうか。」まあ、現代人は安全に怖いものを見る方法を確立しすぎているというのはあるかもしれない。実際の「鏡地獄」がどんなものなのかを再現した映像も見れる。怖がるのにも一苦労な世の中である。狂気という観点で見ると、現代も相当に狂っているけれども、個人に芽生えた狂気があっというまに集団的狂気に回収されて均一化されてしまっている気がする。神真都Qの「おもしろくなさ」みたいなところにそれは表れている（不謹慎な言い方だけど）。今は狂う用の道がちゃんと用意してあるから、凡人はその先で協調的な生き方を選ばざるを得ない。鏡地獄で狂うのは、現代とくらべてずいぶん贅沢な発狂だなと思う。

なんか2月中頃に自分の中の芯が曲がってしまった感じがする。その頃からずっと何も手につかない、というのは嘘で実際はコチャコチャいろいろやってるし、傍から見たら動画出てるしTwitterも日記も元気に更新してるんだけど、負荷がかかる作業が全然できなくなってしまい困っている。困るのは周りの人だが。エネルギーを必要な場所に必要なように注ぎ込む方法がわからなくなってしまった。この不調感を言葉にするのは難しい。キキの「私、前は何も考えなくても飛べたの。でも今は分からなくなっちゃった……」が近いかもしれない。デッキブラシでもいいから握ってまたがるしかない。

ほのぼのニュース見ると「こんなニュースばっかりやってくれたらいいのにな」って思うけど、嫌なニュースを報道しないで欲しいんじゃなくて、嫌なニュースになるようなことがそもそも発生せず、変な場所に生えた大根とか道を渡るカルガモのことが相対的に重要になるような世間であってくれ、という意味でそう思う。嫌なニュースを意図的に避けるニュースは嫌なニュースばっかやってるニュースより嫌だ。

たまに「外国人タレントとしてその国の文化に驚いたり褒めまくったりするやつを全ての1年ずつ全ての国家相手にやれば100年は食いっぱぐれがないんじゃないか？」みたいなことを考える。中国に驚いたと思ったらネパールに驚き、その次はインド、次はスリランカ……みたいな。いや、それだと国が近すぎてバレそうだから、1年毎になるべく離れた国に行くことにしよう。中国の次はグアテマラ、その次はポルトガル、次はアンゴラみたいな。ただ実際にそれを実行しようって考えると「めんどくせ～」という思いが想像を遥かに超えて襲いかかってくる。メキシコでタレントとしてウケたかったら、当然ながらメキシコの文化に精通していかなければならない。「『金』に『同じ』と書いて『銅』……同じじゃないでしょ！！」みたいなのを、メキシコの言葉や文化の中から見出すの、普通に大変そう。ビジネスのマインドだけでやれることではない。外国人タレントとそれを喜ぶ人たちの間に感じる意識の差って、考えるとなんか寒気がしてくるんだよな……。カタコトでしゃべる外タレを見て一種の愛玩的な感覚を抱く人がけっこういるけど、彼は少なくとも二か国語を理解することができるという意味で大半の人よりも「賢い」のは明らかだ。にもかかわらずJAPANについてビギナーだからという理由で「かわいさ」を感じてしまう人間の性質が怖い。バグってるよ。言語や文化の壁を取っ払ったら彼らには彼らの思考や葛藤、打算があるはずなのに「外国人」というフィルターがその本来複雑なはずの人間心理の機微をめちゃくちゃ単純なものに濾過している。そうやって夾雑物を取り除かれて出力されてくる「不思議のワンダーランド日本」みたいな言葉を見ると、そののっぺり感と、背後の網目に詰まっている「コンテンツにならないものたち」を感じてゾワーッ！ とする。また、自分が外国人として海外でやっていく立場になったら、このロールを無意識的にしろ意識的にしろ演じてしまう気がしていてそれもこわい。やっぱこう、アメリカなんて行って、仮にバーベキューに誘われたりしたら、言ってしまう気がしますね。「JAPANではこんなに分厚いニクを焼いてるとこ見たことないっすわ」的なことを、ポロリ、と。外側に自分を置いて席をもらう、社会のテラス席的なものがやっぱり存在していて、それは概して悪いものでもないとは思うけど、そこで交錯する視線の屈折にはやっぱり寒気を覚えるな。そこにずっと座ってると、ただの人間でいられなくなる……。みんな本当の気持ちを教えてください。

電車に乗っていたら隣に笑福亭鶴瓶に似ているおじいさんが乗ってきて、スマホでYoutubeを見始めた。横目でちらっと見たら、3Dモデルのウマ娘が野球で盗塁をしまくるアニメ動画だった。なんかわかんないけど良いなと思った。生活のリアリティだ。実際に街を歩かないと書けないような「現実」とはこういうことだよな。

湿った木のにおいを感じるような、日本の風土を感じる音が好みだ。一昔前のポップスを、フードコートのスピーカーから流れているような音質に加工した動画が一時期流行していた。Vaporwaveとかもそうだが、あえて劣化させたりしてけだるげな雰囲気にした音楽に心惹かれるのはなんでなのか。「自分のために鳴っていない音」というのは重要かもしれない。音楽を聴いているとたまに疲れてしまう。この音は、いまスピーカーを前にしている「あなた」のために奏でているのです、というまっすぐな眼差しが圧となり、目を、というか耳を、背けたくなってしまうことがある。フードコートで流れている音楽は、おそらく「あなた」のために鳴っていない。郊外に広がるむやみな空白の不安を埋めるために、とりあえず的に空気を鳴らしておこう、という感じで流される嵐のSakura。それがかえって気楽でよいということかもしれない。たまに、となりの部屋で音楽を大きめの音で流して放っておくことがある。これも良い。壁を一枚隔ててかすかに聞こえてくる音楽はヘッドホンからダイレクトに聴くのとまた違う感触で心に入ってくる。やっぱりどうしても、特にWEBを介したコンテンツは「あなた」を中心に据えた世界観を作ろうとしてくる傾向にあり疲れてしまう。神の関心の外側の、周縁の椅子に腰掛けて聴けるような音楽をたまに聴くとホッとしますね。

皿うどんは麺がパキパキで、その上にあんかけを乗せるので、席にやってきた瞬間から麺の変質が進行する。どんどんヘナヘナに変わっていく麺の質感を舌で追いながら「この瞬間の柔らかさと硬さのせめぎあう感じが好きだな」とか思う。皿うどんを食べている人、それぞれの中に「皿うどんのピーク」が存在していると思うと面白い。みんなが「今の麺の柔らかさが自分のピーク」と感じた瞬間に押すボタンを設置してみてほしい。

よくビジネスマンが「それはアグリーです」とか「リスケします」とか「見える化が」とか言ってるのが「同意・再設定・可視化でいいだろ」と揶揄されるけど、個人的にはそれほど問題だと思わない。たとえば「アグリー」は「同意」と同義なんだけれど、しかし「同意」は「アグリー」と同義ではない、みたいなことがよくあるので。言葉は使われるほどに意味が広く薄くなっていく。「やばい」がいい意味も悪い意味もひっくるめて「過剰さ」を指す形容詞に変化していったように。「同意」も、言葉で説明してしまえば「意見や提案に賛同すること」ではあるが、より微妙なレベルでニュアンスにゆらぎが生じている。その「同意」がどの程度の同意度なのかという情報は共有されていない。言葉の処理が聞き手それぞれの培ってきた言語観に依存してしまう。そこで「アグリー」みたいな横文字を代入してみると、それは最初多くの人々にとって耳慣れない言葉だから、場を共有している人々の間で「同意」という言葉が指すニュアンスを再定義することになる。そうすると比較的、それぞれの持つ「アグリー」の意味合いにズレが生じづらくなる。これが横文字ビジネス用語の効用だと思う。

通販で買ったものの梱包箱がどんどん溜まってきたのでカッターでバラバラにして捨てた。質感にこだわっている、高級な雰囲気の箱も容赦なくバラバラにした。サイコロの展開図みたいな形まで解体すると、たとえアップル製品でも、箱そのものが持っていた魔法が解けてしまう。これは、ただの、紙だ。箱はいつ発明されたのだろう。箱という構造そのものに魔力がこもっているような気がする。前後左右と上下を塞ぎ、密室を作る。世界を壁で隔てる。世界最初の秘密の誕生は箱とともにあったのではないだろうか。

物陰から急に子どもが全速力で飛び出してきて、変な体勢で踊りみたいなことをやったあと、おもむろに取り出した飴をペロペロ舐め始めたので「こ、子どもすぎる！！」と思って笑ってしまった。

不安は常にある！！！ 今も仕事が遅れすぎて不安で常に心拍が90を切らない日々だし、メールボックスを開くのが病的なくらい怖くなってしまっていて、自分はもう終わりだ、の気持ちが立方体の部屋の中でどんどん膨らんで潰れそうになってる。本いいじゃないですか。ぜひ出してください。いまは個人向けの製本サービスも流通サービスもいっぱいあるから、やや腰に力を入れて財布のヒモを緩めれば一般流通してるような本が誰でも作れるし。私は成り行きの連続で今みたいな謎の仕事をしていて、もしその成り行きがなかったら今以上に何もしていない毎日を送り、でも「なんかしたいな」という曖昧な気持ちは「しっか」と抱えて悶々と過ごしていたと断言できます。降り方のわからない馬に乗ってしまったからもう走るしかない。なので実践的なアドバイスは全然できないし、まず自分の心配しろよってくらい余裕がないんですけど、やっぱり自分を追い立ててくれる存在は偉大だ。最も強く追い立ててくれるのは「仕事」なんだけど「サークル」とか「コンテスト」とかでもいい。外的要因の渦に身を投じて「意志」を殺すのが能動的に生きるコツです。

何日か前、サンデージャポンで爆笑問題の太田光がロシアのウクライナ侵攻に関し「圧倒的な正義っていうのはないんじゃないかっていうことですよね。だから、たぶんプーチンは僕らから見たらそりゃ悪ですけれども、あんなことをやるのはね。ただ、プーチンの中にも彼なりの正義があって」と言っていた。この言説に多くの批判が集まっていた一方で、太田光が"言いたかったこと"について明確に反論するような批判はあまり見なかった印象だ。この言説は正義を無為に相対化してロシアとウクライナの非対称な力関係を誤認させうるという点で有害だし、そのような影響を自覚せずにテレビで発言した太田氏はひどく幼稚だと考えるけれども、それは彼の不用意な発言の「不用意さ」についての批判であり、内容そのものへの批判には届いていないのではないか、と思う。「圧倒的な正義っていうのはない」「プーチンの中にも彼なりの正義があって」という言葉は間違っているのではなく、むしろ当たり前なくらい正しい。そして正しいからこそ、政治情勢について意見を延べる場で発言することに意味はなく、有害にすらなりうる。おそらく太田光の「圧倒的な正義っていうのはない」という言葉は、具体的状況に関する「意見」ではなく、正義という言葉に関する「事実」の指摘だったのだろうと思う。じっさい、正義に「絶対」はないのだし、プーチンはプーチンが信じるところの「正義」をやろうとしているのは明らかだ。しかし現実の政治的議論はその相対性から出発して、仮の「正義」を組み立てていく作業なのだ。だから実践的な議論の場でこのような指摘をする意義はほとんどないのだけれど、「正義の出発点は仮である」という重要な事実をまったく忘れて、当座の問題だけに熱中しきっている人が多数いることも事実で、太田はそのあたりの状況に違和感を抱いていたのではないかと想像する。それはじっくりと話し合う価値のある問題提起だし、単なる言葉遊びではなく有用な反省を引き出すこともできると思う。これを「太田が侵略戦争を肯定している」と読み替えて批判するのは、本当は的をとらえそこなっていると感じた。不用意な発言について、その不用意さだけが批判されているんじゃないかと感じることは多い。より低い水準に言葉を引き寄せて解釈すればいくらでも攻撃が可能だし「誤解を招く」はその引き寄せを無限に可能にする魔法の言葉だが、このような攻撃手法だけがメジャーになると、単に器用なだけな人が得をすることになる。思っていることや言いたいことに対して言葉が追いつかないなんてよくあるのだし、なんかこう、そのへんを補間しあうような会話が出来たらいいと私は思っている。時間と心に余裕がないと難しいのも確かなんだけれど……。

ある人が『ゲイリーじいさんのチェス』の存在を教えてくれたのだった。とても単純な話だった。ゲイリーじいさんが広場のテーブルでチェスをしている。対戦相手は自分自身だ。一手動かしたら反対側にまわり、メガネを外して相手を演じる。自作自演のチェスは「接戦」を繰り広げるが……という話。登場人物はゲイリーじいさんだけだが、彼はたしかに楽しそうで、その様子も肯定的に描かれている。1997年のアニメがこれを描いていたとは驚きだ。そもそも3DCGグラフィックスの黎明期の短編アニメで一人二役のジジイを描こうとしたのがすごいな。動きも素晴らしかった。「孤独だが満たされた人生」などと言うと大仰だけれども、子どもはわりと「孤独に満たす」才能がみんなありますね。2歳くらいの子どもなんか、ひとりで勝手におもちゃと喋りながら延々となんかやっている。とはいえそれは大人の庇護があるから可能な一人遊びである、とはいえる。母親が見守っているという安心感がなければ、おちおち積み木を楽しむことも出来ないだろう。ゲイリーじいさんの場合も、周囲が賑やかで平和な広場であるというところが重要なのかもしれない。そういう連帯の上に成立する孤独は豊かでありうる。

レントゲンを見ると、自分が思ってるよりもしっかり骨で笑っちゃうな。あんまり骨を中に埋め込んで生活してる実感ないんだけど、しっかり埋まってんのな。しかもさらにその内側に脳があって、自我とかいうやつはそこに生じてるらしい。どこだよそれ。

「もう2年くらいコーラ飲んでないな～」みたいな人をたまに見るとマジかと思う。コーラが嫌いというわけでもなくなんとなく飲まない、みたいな人の場合に思う。コーラってわりと日常生活のどこでも出会うじゃないですか。目にしたとき「興味ないから」という理由で買わない、ということが自分はあまりない。特に飲みたいと思ってなくても「そういえば最近缶のコーンスープ飲んでないな」みたいな感じで、いろんなものに関する遭遇の頻度をなるべく揃えようとする傾向がある。なるべくまんべんなく手を出しておきたい、というクセがある。だから歩いていて全然用事のないビルに入って何階まで勝手に登っていいか無意味に調べたりする。目に入ってくる限り、それが自分にとって好きか嫌いか、興味あるかないかとは別の基準で手にとってしまいがちだ。同じことをずっと続けるのが苦手で、すぐ飽きてしまう。「とりあえずこれをやっておけば間違いない」と感じることが苦痛なので、特に意味がないことでも「目新しい」というだけで触れる理由になることがある。

技巧について。なにかを創作するにあたって陥りがち、かつ気づきづらい落とし穴として「創作している自分自身を楽しませようとしてしまう」というのがあるような気がする。一例が過度に複雑な設定やどんでん返しの多用、消化不良なバッドエンドを放り込む、みたいな技巧に固執するパターンで、どうしてそういうのをやりがちかといえば、裏側から見て面白いと感じたいという欲求に負けているのだと思う。しかしときに必要なのは、裏側から見たら全くつまらない技巧によって人を楽しませる、ということで、手品で例えるならそれはみかんの尻に親指を刺して浮いているように見せるようなものだ。それをやっている自分からは、あまりにも単純な構造が丸見えで、全くイリュージョンをやってる気がしないタネだけれども、それは見ている人にとっては関係ないし、創作者が歯ごたえを感じるように難度調整されたゲームは往々にして難しすぎ遊べたものではなくなる。優れた作品の作者は、作品が作者自身にサービスしないように抑制するということをできているような気がする。

建造物の無人通路などに不安感と美を感じることがあるが、最近それが「Liminal（境界） Spaces」としてミーム化していることを知った。よく知っている何気ない風景のようでいて、何か異化された不気味さを伴っている。Liminal Spacesで検索するとそういった風景を写した画像をたくさん見ることができる。廃墟に対する寂寞とした感覚とはまた違った趣がある。現代的な都市の人工物が、それを利用する人間の存在を見失ったときにだけ見せる不安な表情だ。こういう風景への恐れと魅力を感じた原体験はなぜかハッキリと覚えている。子どもの頃に見たドラえもんのアニメでやっていたエピソード『未来の町でただひとり』だ。ドラえもんに黙ってタイムマシンを使い、ドラえもんの時代（22世紀）にやってきたのび太だが、なぜか未来の町には誰ひとりとして人間がいない……という、ミステリー仕立てのエピソード。アニメだと結構な尺を割いて「誰もいない未来の町」を描写していたような気がする。無人の廃墟などを不気味に描くのはともかく、無機質でキレイな未来の町をうら寂しく描いたシーンというのを見たことがなくて、子どもながらに強い印象を抱いた。単なる思い出補正かもしれないけど、大山のぶ代時代のドラえもんのほうが、こういう寂しい感じは上手く描けていたような気がしないでもない。いや、画質がよくなかったりしたのがたまたま良い演出になっていただけかな。昔、ドラえもんの単行本はバラバラに何巻か持っているだけだったが、てんとう虫コミックスの最終巻にあたる45巻は所有していた。最終巻といっても「さようならドラえもん」みたいな最終回っぽい話が載っているわけではなく、最後のエピソードは「ガラパ星から来た男」という中編だった。これはドラえもん全体を通してもかなり異色な話で、通常回と劇場版の間くらいのボリュームで描かれるミステリー仕立てのSFだった。1ヶ月後の世界に来たのび太が、吠えるカナリアやアリ人間、無人の町など、不可解な現象に遭遇する。1ヶ月後に何が起こったのか？ という話。他のドラえもんのエピソードと比較すると、時間移動による再帰的なギミックが凝らされたかなり複雑な話で、小学校中学年くらいだと理解できないかもしれない。なにより異質に感じられたのは、マンガ全体に漂う静かな雰囲気だった。ドラえもんといえばドタバタギャグマンガで、読んでいるとコミカルな声やBGMが聞こえてくるようだが、なぜか「ガラパ星」からは何の音も聞こえてこない。特にホラーなエピソードというわけではないし、ドタバタ要素だってあるのだが、どこかスンとした冷たい空気が流れているような感じがするのだ。たぶん、中編という長さとロケーションが関係しているのではないかと思う。大長編ドラえもんならば、のび太たちは異世界で冒険を繰り広げるが、このエピソードでは一貫してのび太が暮らす町の中だけでストーリーが終始し、悪役らしい悪役が登場するわけでもない。時間を移動しつつも箱庭の中で全てが完結している。それでいて通常のドラえもんのエピソードより何倍も長いページ数が与えられているため、普段のドラえもんで無意識に読み取っていたリズム感のようなものが微妙に崩されたのではないかと思う。短いページ数でフッてオトすギャグのリズムが失われて、ある種のLiminal Spaces的な異化が生じていた。このエピソードを最後にドラえもんは事実上完結した（※あくまで単行本の収録順の話であって、誌面掲載はまた違うけど）ということも、私に特別な違和感を残した。個人的には「さようなら、ドラえもん」よりもずっと強く印象に残った「最終回」なのだ。

「おいそぎ」の代わりに「お禊」と書いてある炊飯器を見つけた。押してみると普通に禊に参加させられた。数日後、私は断髪して出家した。

楽しそうにインターネットやってる人の浮かれた気持ちが伝わってくるとこっちまで嬉しくなってしまう。そうだよなあ、インターネットって思ったことなんでも書けて楽しいよなあと思って。こういうのが好きなの、自分がネットでどうしてもスカしてしまう自己嫌悪の裏返しだったりする。2chは匿名でありつつレスに付随したIDによって個人の識別ができる。ただこのIDは通常1日経つと変わる仕様になっているので、どんな痛々しいことをやらかしても翌日には別人になれる。2chの歴史は振り返っても美化しようがないくらいカスだけど、この「なかったことにできる」感じは今思うとちょっと良いなと思う。

店員さんとコミュニケーションを取るっていう選択肢が頭から完全に抜けていたな。なんか、そんなことしていいのか？ と思っちゃう。いいんだけど。自分が店員だったら絶対話しかけられたくないからかもしれない。日頃のルーティンワークから外れた突発的なイベントが発生すると小パニックになってフリーズしちゃうんだよな。自分が「スムージーの機械がァ！ 動かなくてェ！」って言った瞬間、店員さんがパニパニパニック状態になったらどうしよう……って考えたら、なんかもう、全部もう、終わりになる。こういう感覚の奴は病院とか原発で働いてはいけない。

繁華街で流れている「客引きの言葉は全部ウソです」というアナウンスは明らかに誤りだが、客引きを取り締まる立場なら多少言葉を雑に使ってもよいと判断している正義の傲慢さをそこに感じて少し客引きを応援してしまう。

客引きが言うことが全てウソとは限らない。ふと「空の星は過去の光」って言うかもしれないじゃないか。書いたら「強い言葉で言わないと伝わらないからそう言うんじゃない？」という「マジレス」がいくつか飛んできたんだけれど、これにさらにマジレスするならば、まさにその「伝えるためならば強い言葉を使っても構わない」という判断にこそ正義の傲慢を感じているわけです。そしてこれは私が言葉足らずだった部分だけれど、正義というのはそういう傲慢なしには実現できないだろうなとも思う。だから別に正しさの実装方法そのものを変えろと思っているわけではない。おそらくそういうふうに運用していくのが経験的に最良なんだろうなと思うし。

「悪の組織」についての不満がある。一旦ロケット団みたいなのはおいといて、現実に知られている「悪の組織」というと、たとえばヤクザや暴走族や半グレ集団などの反社会集団が挙げられる。ああいう組織に所属する人がどういう人達なのか見てみると、結構な割合で「ふつうの人生設計がうまくいかなかった人」が含まれているのではないかと思う。たとえば学校の勉強がうまくいかなかったとか、他人と協調するのが苦手で孤立し暴力に走ったとか。なんらかの能力的欠損を抱えている人が反社会的な集団に取り込まれていく構図がある。しかし、悪の組織といえど、その組織をうまく回すには普通の意味で能力的に有能な人のほうが役に立つのは自明だ。高度な計算ができて、納期を守れて、コツコツした作業ができる人はヤクザになっても役に立てるだろう。でも、そういう有能な人材は大体まっとうな職に就くのである。これは当たり前の話で、反社会集団で働くのはリスクがとても大きい。逮捕のリスクもあるし、社会保障だって満足に受けられない。汎用的な能力がある人は犯罪なんかしないほうが有意義に生きられる可能性が高い。で、この「当たり前」がなぜ成り立っているかというと、そういうふうになるように社会が自らを構築したからである。まじめにちゃんとやれる人なら正当な道を歩むのが一番オトクであるように。言い換えれば、反社会集団には有能な人が流れ込みづらい構造を作り出した。社会通念としてみんなが抱いている「悪の組織」への悪印象には、ただたんに社会的に不正であるという悪さだけでなく、それを構成する人間の品質が「悪い」ことへの嫌悪感も巧妙に混ぜられているのではないか……と私は疑っている。倫理的な悪と性能的な悪が一箇所に流れ込むような仕組みができてしまっているのではないか、この世界は。だからなんだというんじゃないんだけど、それって、悪い人たちにとって不利すぎない？ と思う。もしかしたら、そういう感情がフィクションの「有能な人材だけで構成された悪の組織」を作り出したのかもしれない。能力的な良し悪しに左右されず、純粋に不正だけを働くことが可能な組織は、ちょっと倒錯的に「いいな」と思わせる。軍隊は「有能な人材だけで構成された悪の組織」に近いところがあるな。だからモチーフとして人気があるのかもしれない。国家間で対立が生じたとき、社会的で優秀な人材によって計画される反社会行為が可能になる。

超しんどかった。いろんなアングルで撮りたい都合上、計5回くらい走らされたような気がする。場所は熊谷なんだけどこの日の競技場は異常に寒くて、赤城山から舐めるように冷たい風が吹きすさび、私たちの体力に確実なスリップダメージを与え続けた。あとこの歳で急に走ると、なんというか「魂」が体についていかない感じがする。可能な限り早く体を動かそうとすると、その中に入っている我がソウルがギシギシ歪む音を立てるのだ。撮影が終わった後は「……っ、ハッ、ハーッ、ッヒ、ヒーッ、…ッ、ッッッッ」という壊れた笛みたいな声を出すことしかできなくなってしまった。大人は基本的に自分の限界というものをごまかして生きている。自分の「全速力」から目を背けて生きている。直視すると、こんなにも、こんなにもかよ。

不祥事を起こした人が謝罪のときに坊主にするカルチャーってなんなんだろうと思っていたけど、野次馬の言及ポイントを消費させるという意味では良いテクニックなのかもしれない。出てきた人物が坊主になっていたら「坊主になってるじゃん」と思うし「坊主になってるじゃん」って言いたくなる。人の処罰感情は往々にして「なんか言いたい欲」の変形でしかないことが多く、結構な割合の人は「坊主になってるじゃん」と言うだけで満足できる。炎上の鎮火テクニックは、押し寄せる野次馬の「なんか言いたい欲」をより致命的でない形で発散させることに尽きるのではないか。となると、反省の意図を込めて坊主にする以外にもいろいろ考えられるだろう。情報の波で押し流してしまえばいいのだ。肌が緑色になっているとか。みんな「緑じゃん」って言うから言及ポイントの消費には効果的だろうけど、さすがに「ふざけるな」という形で新たな火種を作ってしまいそうだな。たぶん面白すぎるとダメなんだ。もっとデクレッシェンドに言及を分散させるようなバランスのとり方が理想である。背が伸びているとか。急に身長が2m20cmくらいになっていたら、たぶん炎上は鎮火すると思う。身長のことだからふざけるとかそういうものでもないし。「でかい」と言及することに気を取られてしまうだろう。これはいわば人間のバグを利用したハッキングだ。不祥事と身長は本質的に無関係であるにもかかわらず、言及ポイントの消費に還元することで並列にすることができてしまう。

生きてる人はただ生きてるだけで生きてることになるけれど、ネットで生きていることになるためにはなんらかのリアクションを出力しなければならない、という話。まあ逆にいえばネットでなんのリアクションもしなければ任意にこの世から消えれる、というわけで、それはそれで居心地のいい世界だ。この日記も1100日以上続けているから、本当に丸一日なにも書かなかったら「死んだ？」って思われるのかもしれない。日記が単なるテキスト以上の、脈拍のようなものとして機能している。

いわゆる「成功」をしていて、生き方におけるロールモデルを提供してるようなタイプのタレントや著述家がいろいろいる。そういう人々に共通しているのは、いい意味でも悪い意味でも無神経であることのように思える。身に降りかかるさまざまな理不尽を「感じない」ことだったり、理不尽の背後に合理性を見出して正当化することだったり、そうやって外界との間に生じる摩擦を無化するテクニックに長けている人が評価されやすいのかなと感じる。逆に、種々の理不尽に深く傷ついたり怒りを覚えたりするようなあり方は、いまあまり受けがよくないのかなとも思う。良くも悪くも立ち回りが重視されているというか。そして立ち回るために必要なのは無神経さ、葛藤しないセンス、だったりする。人生をよりよく生きたいとは思うけれども、ある意味で「簡単な人間」になることでそれを実現することは、果たしてよいことなのだろうか、というメタ問題もある。乱暴に言ってしまえば、とにかくラクに生きたければ、人生における指標の数を可能な限り減らせばよい。蛙のように目の前の動きに反射して舌を伸ばすような生き方に葛藤はなくラクだろうなと思う。一方で、人には、そういう生き方はなんだか嫌だ、という直感もあるもので、複雑な指標と理不尽の中で葛藤して苦しむ生き方そのものに誇りというか美を見出すこともある。ただそういう感覚って、いまあんまり言葉として世の中に表出してないんじゃないかな、という雰囲気がある。気のせいかな。当たり前すぎるから？なんというか、ウジウジして憂鬱で、それでいてそんな状況をどこかで愛してしまっている、という後ろ向きながらも肯定的な態度って、YouTubeサムネイル的なものととても相性が悪い。人気メディアを見ていると、そんな生き方への態度がありうるということを忘れそうになる。おそらく、「成功者」の多くはまず感受性のレベルで多数の人とは違っていて、語弊のある言い方をすれば何かが「欠けて」いる。多くの人が気になって足踏みすることが気にならないし、気にならないから踏み出せて、それゆえ成功に手が届く。内心はどうかわからないが、少なくとも、気になっていないかのような振る舞いをするようにしている。割り切れない我々が、偶々割り切れる感受性を持ち合わせた一部の人ばかりをロールモデルにしていて、果たしてうまくロールを演じきれるのか？ みたいな疑念がある。大抵の人はもっと、ウジウジして憂鬱なのではないのか。5秒でスキップされる動画メディアに乗らないだけで実はマジョリティであるかもしれないこの感性をなるべく肯定的に取り扱う方法について最近考えてる。

異常な価値観を持つからこその成功体験を、さも同じ道を歩くことが良いことかのように流布される、というのが自己啓発本に代表されるようなものだとして、一億総発信者の現代はどうなのでしょうか。twitter一つにしても、まさしく異常な人と普通の人の価値観が混然とするこの世の中は、書いているような"マジョリティであるかもしれないこの感性"に対して良いことなのか悪いことなのか判別しづらくもなっているかもしれないです。

リッツパーティーをしました。リッツパーティーしたことある人ってどれくらいいるの？ ナチュラルにこういうのをやってる「層」もどこかには存在するのだろうか。やるにしても「あえて」でやってない？ 「CMのあれ、やるう？」っていう半笑いなしにリッツパーティーを成し遂げることなどできるのだろうか。リッツにクリームチーズを塗りながら、自分から溢れる沢口靖子感に苦笑しないのは難しい。それにしても「ブランディング」とはまさにこのことであろう。リッツなんて、意地の悪い言い方をすればただのビスケットなのに、「リッツパーティー」という名詞を生み出すことで特別な地位を築き上げてしまった。ビスケットはただのモノだけれど、そこに行動がセットになると「コト」になって、概念としての強度が増す。マーケティングの人が日夜考えていることは、いわばビスケットをリッツにするための戦略なのです。

言わない人っているよな。犬飼ってるのに誰にも写真を見せないしそもそも撮らないとか、海外旅行に行ったことを特に言うでもなくそのまま暮らしている人とか。言わないから可視化されないだけで、実際には結構たくさんいると思われる。ネットを見ているとみんな自己主張が好きな顕示欲の塊みたいな人ばっかりに見えるけど、発信しない人はぜんぜんしないので見えないだけだ。デジタルネイティブな10代とかでもそういう人たちはいるはずだ。特にツイートしたいこともないし、という人。意外と社交的な人がそうだったりする。

詐欺が犯罪の中でも（おそらく殺人など以上に）特殊であるのは、それが世間の約束ごとそのものに対する裏切りであるからだろう。凶悪な殺人ですらその根本的な動機について他者に「理解」されることができてしまうし、ときにはみんなに理解してもらいたいという動機が犯行の理由となることすらあるが、詐欺でそれはありえない。詐欺はまず内心という絶対的なブラックボックスに真実をしまうところから始まる。暴力などと比べると嘘の罪深さははるかに精妙で美しい。

大抵の人は自らの感情を隠すことができる。勤めている会社をクビになったり、親しい間柄の人の訃報を知ったりしても、そんなことが起こったとは周りにわからないような顔で電車に乗ったりご飯を食べたりすることができる。私たちが考えているよりも遥かに人間は強く、それゆえ世間は殺伐としていて個人は孤独だ。

デパ地下って好きだな。いいものがいっぱいあるから。その殆どは自分とは無関係なままなんだけど。よくわからない、鋭角だったり緑色だったりするチーズを眺めているだけでも「こういう良い世界があるのだ」と思う。いかにも階級主義的な発想か？ これは。いや、でも「いいとこにはいいグレードのものがある」という意識自体はやっぱりあってしかるべきなんじゃないか、って気はする。その配分が不均衡になるのがよくないだけで。安い牛丼食べながら（最近の牛丼そんな安くないけど）「食べものなんて全部この牛丼と同じだろ」って意識に飲み込まれていくほうが、世界を同質なものとみなして全身の神経を鈍麻させていくことになって危険だと思う。そんなことを書くのも、ほかならぬ私が「食べものなんて全部牛丼だろ」と思ってしまいがちな人間だからだ。でも違うものは違うし、良いものは良い、悪いものは悪い。違うものは違う。ので。昨年にセララバアドのコースを頂いたことは自分の中でとても大きな体験になった。ふだん食事にたいした興味がなく、いまもたいしてないのだが、だからこそ強い刺激を受けた。普段私がやっている「食事」が、食という広大なフィールドのほんの一部分にすぎないと知ったからだ。味覚や触覚や嗅覚を使った表現には「うまい」以外に無数の可能性がある。で、そういう事実を知るということは、それを受容する自分の内側にも同じだけ広がりの可能性があるということでもある。「良いものは良い」という事実を心に留めておくと、内面の敷地面積を広くできるような気がするのだ。だからセララバアドで食べたものの記憶をしつこく反芻している。たださらに話が反転するようでアレなんだけど、なんでもかんでも「良くあらなければならない」「良さを目指さなければならない」っていうのも狭量じゃない？ とも思っている。「良い」は趣味だな。ただなににつけても貧乏くさいのは好きじゃない。貧乏と貧乏くさいのは違う。貧乏は状態だけど貧乏くささは価値観の発露だ。RTをした人にお金を配ります、という企画は貧乏くさい。応募するのがじゃなくて、企画自体が貧乏くさい。昔、テレビで芸人が「全く売れていなかった頃、暇すぎて、アパートの畳の目を数えきったことがある」と言っていたが、これは極めてリッチだと思った。

世界で一番賢い人たちが全力で依存させに来てるんだからスマホを持ってるのなんてヤク入りの注射器を肌身離さず持ってるようなもんよ

驚かれるかもしれませんが、今やっている方法よりも効率的な進め方を提案した場合、感謝されると思いきや不機嫌にされることは意外に多いです。

私が在籍してる外資系大手企業、あまり社員教育をしないので、基本「社員のミスを叱る」ということがない。若い社員が派手にやらかしてても、明らかに非効率な仕事してる同僚がいても、「あんなの、どうせすぐいなくなるし、自分もいつ辞めるか分かんないしな」と思って何も言わない。ある意味冷たい。日系の大企業と違うのは、管理職でも一方的に部下に偉そうな態度取る奴はあっという間に刺されて干されるかクビになるから上司も相当気をつけないと部下を叱れないってことと、そもそも管理職さえどんどん離職していくので「長期的視点で部下を育てる」インセンティブが無いってこと。やはり、冷たい。

サザエさんの生活レベルは低くない。だけどもっと大きいのは、そこはかとなく漂っている「明日は今日より良くなっている」という素朴で楽観的な空気だと思っている。閉塞感が無い。経済成長が当たり前だった時代

いま「電話番号を聞く」という連絡先交換をやっている人っているんだろうか。たぶんいないんじゃないか。携帯の電話を「2段階認証のワンタイムパスワードを送るための数字」としてしか使わない人もだいぶ多いだろうし。現代なら連絡手段はほとんどLINEだけど、それも永遠ではないだろう。固有の商標が汎用的な言葉として一般名詞化すると「いつでもなくて、消費するその瞬間に今であるような時代」を描くのが困難になる。宇多田ヒカルは「ネトフリでも観て」「ウーバーイーツでなんか頼んで」とあえて書くことで、時代に商標が張り付いている感じを詩情を損なうギリギリのラインで可視化した。あえてであれば、実在の商標を意識的に織り交ぜるという手法も使える。しかしどうにも知名度に反して「なじまない」商標もある。Amazonなんかは歌詞に出しやすいと思うけど「楽天」はどうだろう。楽天なんてわりとみんな使っているはずだが「楽天で買った棚」とか歌詞に書くと、全体のムードの制御が困難になる。いま歌詞検索サイトで調べたけど、通販サービスとしての「楽天」を使った歌詞は0件だった。もちろん「楽天的」はいくつもあるし「読みかけの快楽天」なんてのもあったが、楽天イーグルスのテーマ以外は一切ない。「Amazon」はそこそこある。「時間つぶしにアマゾンプライム」とか「Amazonから荷物が届く」とか。おそらく楽天は「生活」すぎるのだ。どちらも消費社会を象徴する重要サービスだが、Amazonのほうがまだそれが生活に根を張ってきているという違和感をのこしている。一方で楽天は、より巧妙に、意識に対象化されるのを避けるように浸透していった。「サイゼ」「コメダ」あたりは歌詞に乗せてもしっくりきそうな気がするが「すたみな太郎」はちょっとしっくりこない。「私たちが生活しているこの消費社会」みたいな像を創作で描くにしろ、それを描くための「気取り」みたいなものが働いて、実像からわずかにズレる。楽天やすたみな太郎はその盲点に建っている。

犬神家の一族の有名な「水から足を出して死んでる人」のシーンに関するツイートに「ウマ娘のアニメにもこんなシーンのパロディあったなw」とリプライしている人がいて、その感じに懐かしさと感動をおぼえた。このシーンは映画が公開されて以来40年以上にわたってパロディされまくっているので、あえて「ウマ娘」を挙げる必然性はない。おそらくそれを言った人が最初に知ったパロディがそれだったのだろう。こういうことはたぶん誰にでもあって、最初に見たネタを親だと思い込んでしまうものだ。聖書由来のフレーズをエヴァが元ネタだと思ってしまったり。知見が広がるにしたがって、徐々に各知識の体系におけるポジションがつかめてくる。いま犬神家パロディを見ても「ああアレねー」という感じだけど、初発にはすごいインパクトがあったはずで、その感じを久々に思い出した。もはや犬神家の一族など普通に生活していたら本編を鑑賞する機会などないに等しいだろうにこうして高い知名度がある原因は、パロディが脈々と続けられてきたことにも起因していると思う。枯れたミームだと思っていた「犬神家」が、ウマ娘を通じて新陳代謝を繰り返しているのを知れてよかった。

ゲームには「①目的があり」「②ルールがある」この2つを満たしていればひとまずゲームであるといえるが、現にゲームを遊ぶときに私たちが味わっているものはそれだけではない、というようにも思える。たとえばオープンワールド型のゲーム（ゼルダブレスオブザワイルドとかGTAとかエルデンリングとかなんでも）を遊ぶとき、そのゲームを「①目的を目指して」「②ルールに従って」遊んでいるとは限らない。むしろここでの楽しみは、ゲーム内で定められた目的（魔王を倒すとか）から脱線して放浪することであったり、定められたルールの裏をどうにか突けないか考えてみることだったりする。また、偶然レベル上げの超効率的な方法がわかってしまったとしても、それがゲームそのものの楽しみを損なうものだとして自ら封印したりすることがある。ここにおいて、ゲームのプレイヤーが単に目的のためにルールにしたがっているとはいえない。ゲームのプレイヤーはあるゲームの内部で別のルールを設定して遊ぶことが可能であり、それはビデオゲームだけでなく、スポーツや、将棋のように数理的なゲームにおいても同様だ。ゲームには目的とルールがあるが、それを「遊ぶ」という水準においては、プレイヤーの意志に基づいて目的とルールが再設定される。そしてゲームがその本質に「遊ぶ」ことも含んでいるのだとすれば、この動的な要素もゲームには必要なのではないか。ゲーム内に広がる広大な平原と山々は、プレイヤーの中の創意と好奇心をあからさまに挑発する。「人生」の無為さに似た魅力がここにある。一般的に考えれば、ゲームには目的やルールといった制限があり、人生にはルールはともかく目的のようなものはない。しかし実際のところ、人生は目的だらけである。受験や就職という目的のために勉強を指図され、次は金持ちになるという目的のために貯金をしたり投資を始めてみたりする。健康を目的に運動したり食事制限したりもする。人生が本質的には無為なものであることはみんな知っているが、ヒトである限り、それを無為なままに受け入れて生き続けるのは難しい。人生は人生と呼ばれた時点でその内容をいくつもの種類のゲームに分解せざるを得ないようになっているのではないか。ゲームは箱庭の中にまるで人生のような無限の広がりを感じさせる。人生はゲームのように窮屈な不自由さを感じさせる。この二文が矛盾しているようでしかし成立するとしたら、やはり人生とゲームが互いを包摂しあっているからではないか。

ビデオゲームからスポーツまで、あらゆる「ゲーム」は自分で勝手に作ったルールに従って得点を取ろうと必死に競争をがんばっている、という点で非常に幼稚な行為であると思うけれども、一方で、そういった「ゲーム」においてではなく人を屈服させたり土地を奪ったり、ということを"実際に"行わないと全く満足できない、という人もいて、そういう人にはまた別の意味で非常に幼稚であると感じる。子どもはごっこ遊びをする。ごっこ遊びは幼稚だが、しかし「ごっこ」の中に満足を見出すことができるというのは非常に高度なことでもある。なんでもかんでも実際にやればそれがリアルだというのは子ども的ではなく動物的なのだ。

飛行機雲は、雲の中ではもっとも新しい雲にちがいない。だって飛行機が発明されるまではなかったんだから。人間のテクノロジーによって新しく生まれる気象がある、という事実は少し変な気もするが、もともと人間が勝手に区分けして名付けているだけなのだから、そうおかしなことでもない。

夕方に公園を散歩したら、たくさんの犬とすれ違った。犬の散歩は、犬もいいが、犬を連れている人たちもいい。「犬を歩かせる」という役割のためにただ歩いている状態になるので、人の中にあるジガジガした部分がいい具合に薄められて素朴になっていると感じる。ただ犬とともにいる、という状態だ。子どものいない私からすると、子育てというのはとても大変そうに見える。しかし、複数の既婚者が「子どもができてから精神的に楽になった」と言っている。「自分の人生の主役が自分じゃなくなったからだ」とも。自分を子どもに付帯するものとして再設定するわけだ。それは確かにある意味では楽なのかもしれない。

プッチンプリンって「ザ・プリン」的な扱いをされているけど、プリン界隈のなかではかなり異端な味だよな。ラーメンにおけるカップヌードル。焼きそばにおけるペヤング。異端が王道の中心に位置することがままあるのは、最初から競争をしないという利を得たためだろうか。大方の印象に反して、メジャーなもの＝平均的なものでは全くないことが多い。表面が荒れ地みたいな皮になってる焼きプリンってもうしばらく食べてないな。あれ大好き。いちどあの皮をスプーンでていねいに剥がして一気に食べたことがあるが、その瞬間の満足度、瞬間最高風速は凄まじかったものの、残された「普通のプリン」の味気なさといったらなかった。

Twitterに「コミュニティ」機能が増えた。まあmixiとかにもあったような機能で、好きなトピックでコミュニティを作ると、参加者だけのタイムラインが構築されて、そこでしたツイートは本来のタイムラインに反映されなくなる。フォロー・フォロワー関係の外部にある趣味で繋がりやすかったり、ヘンに目立ってクソリプ貰いづらくなったり、メリットは大きそうだ。一方で、インターネッツ・バズバズ狙い人としては、このようにコミュニティが細分化されていく傾向はなかなか厳しかったりもする。「流行」が可視化されづらくなっていくのは確実だろう。ただでさえTwitterからdiscordなどにコミュニティの中心は移行しつつあるし。Twitterでの炎上が他の媒体より遥かに多いのは、ユーザー同士の事故的な出会いが起こる確率が高い（主にリツイ―ト機能によって）ことに由来すると思う。ついにTwitterも交通整理に乗り出したということは、この交通事故誘発サービスも（ようやく！）棲み分けを覚えておとなしくなっていくんだろうか。こうなるといよいよ無垢なタイムラインに残るのは「コミュニティ」的なものが不得意な人たちばかり、ということになりはしないか。ある種の器用さがある人は適切なコミュニティの戸を叩いて仲間に入れてもらい、その能力がない人は公共の言論スペースでノイズまみれの会話に興じるほかなくなる。でも、それはTwitter以外のコミュニティはだいたいそうだったわけで、そうじゃなかったこれまでのTwitterというのがやはり特異なのだろう。

戦争が始まってしまったので気が塞ぐが、できることがなくてより気が塞ぐ。しかしもっとも簡単に手の届く人類は自分なのでまずはこいつの健康をどうにかしなければならない、と思う。ニュースがたくさん目や耳に入ってくる。常に速報速報速報だ。触れるたびに自分自身がいかに受け身な存在か実感する。四方から情報の入ってくる速さに対して、自分の行動の「遅さ」が気になるとすれば、そもそも前提がフェアではないのだろう。入れる情報を絞りあえて一定の時間ニュースを見ない、といった方法によって、かえって適切な行動をとれる場合があるのではないか、というのが最近の考え。毎日毎時間ニュースを追いかけ続けている人と、月に一度だけニュースを確認する人とで、行動にどれだけの差があるか。実際そんなにないのではないか、と思えば、ふだん意義あると思ってやっていることの多くが消耗戦なのではという気もしてくる。

朝、全身の激痛で起きた。昨日ハチャメチャな運動をしたせいだ。これまでに味わった筋肉痛のつらみランキングでも上位に位置する。ほんの少し体を起こそうとするだけで「いててて」となってしまい、ベッドから立ち上がるまでに1時間くらいかかった。風邪に伴う関節痛などとは明らかに違っていて、純粋に慣れない運動をしたために筋繊維がずたずたになったのだ。買い出しや受診のために外に出たときも、ほんの10メートルが1キロくらいに感じられる。全身からキシキシと油の足りない機械みたいな音が出ているような気がする。こういうときだけ、自分の体の「からだ性」を知る。特に何もなく健康であるということは、自分の体の形状や重さ、神経系統の連なりを意識しなくて済むということだ。ひとたび体調を崩すだけで、頭の中に頭蓋骨が埋まっていることや、皮膚の内側に神経が張り巡らされていることを意識する。「荷物」としての身体を持て余し、生きている限り精神的な存在になど永遠になれないのだ……と思う。

ハンバーガーの出前を取った。大量の中華が届いた。受け取ってしばらくしてから気づいたので、配達員さんを呼び止めることもできなかった。エビや醤油の香ばしいにおいが部屋に満ちる。こんな匂いが部屋に満ちるはずもなかった。こういうときどうすればいいんだ？ と調べてみたら、カスタマーサポートに電話してくれ、と書いてあった。電話をかける。6分くらい繋がらず、保留音のクラシックが1周した。全国的に中華が届きまくってパンクしているのだろうか。やっとサポートの人とつながって「こういうわけでして」と伝える。平身低頭という感じで謝罪されてしまったので、声色や言い方などを駆使して「ぜんぜん怒ってない」と伝える。普段怒られまくっているであろう職種の人と対話するとき、過剰に「いい人」を演じようとしてしまう。夜遅いので、もうハンバーガーショップは閉店してしまったらしい。料金は全額返金しますというので「中華はどうしたらいいですか」ときくと「それは廃棄していただいても、食べてしまっても」とのことなのでありがたくいただく。重ねて「申し訳ありません！」と言われたので「いや、この中華おいしそうで気になってたので！」と余計なことを言った。これは社交辞令ではなく実際そうだった。ハンバーガーを食べる気満々だったが、いざ部屋に中華の香りが充満したら、それはもう中華のお腹になる。まったく食べる予定ではなかった中華を開け、パクパク食べた。普段なら頼まないであろうラインナップだ。しかしどれも美味しくて、どんどんご飯がすすむ。キクラゲがコリコリだ。食べながら、私のもとに届かなかったハンバーガーの行方を想う。それはもしかすると、中華を待っている人のもとへ届けられたかもしれない。そっちの人も妥協してハンバーガーを食べただろうか。少しだけでいいから、そっちの人とメッセージでも交わしてみたいな。「ハンバーガー美味しかったですか」とか言って。こっちに来ちゃった中華はうまかったです。わりと真面目な話、どんな未来がきてもこういう誤配が起こる余地はあえて残しておいてほしいものだ。完全に、100％、正しく注文が届くような世界なんてぞっとしますね。そういう世界とはつまり、自分自身の判断が一切のノイズなく反映されるような世界だ。それはちょっとキモすぎる。責任の1割ぐらいずつを互いに押し付け合うようなのりしろがあったほうがいい。もちろん突然の事故で取り返しのつかない事態を招くリスクも上昇するので、雑ならいいというわけではないんだけど。こういう分野についての現代思想もあった気がするけど、哲学的なこういうジャンルに全く興味が持てない。食わず嫌いかな……。

週刊新潮は通販サービスを運営していて、無料でカタログをもらえる。そして、そのカタログの名前が「優越感具現化カタログ」という。何度見ても、すごいネーミングだなと息が漏れてしまう。ふつう、商品の購買意欲を煽るためのフレーズというものは「あなたのライフスタイルにピッタリ」とか「確かな満足を」とか、そういった方針で考える。しかし、優越感具現化カタログは、他者との比較において優越したいという欲求が購買行動の本質なのだと言わんばかりだ。これは明らかに下品だが、イクラ丼の上に「優越感具現化カタログ」と書く明け透けさにはむしろ牧歌的なものすら感じてしまう。商品カタログを見ると「みつばちがいっぱい描いてあるエプロン」や「小さいトランペットのブローチ」「輪ゴム鉄砲」「お経を再生するお坊さん」などが並んでいて、優越感を具現化するには弱そうに見える。あとAmazon価格より1.3倍くらい高い。しかし、優越感具現化カタログをじっくりと眺めた上で満を持して注文し、いまかいまかと到着を待ち、やっと届いたトランペットのブローチを胸にとりつけて「勝った」と思っている人がいると思うと、私は「あなたの勝ちだ！」と思わずにはいられない。

久々にあずきバー食べたら「ガチッ」って音が鳴った。「あずきバー硬すぎ」って「コメダ多すぎ」とか「きのこたけのこ戦争」みたいなインターネット民が永遠に繰り返し言ってるおもしろだと認識していて、そのせいでなんか「嘘」だと思ってるふしがある。だから実際にあずきバーが硬いのを体験すると、面白くなってしまう。コメダに行ってサンドイッチがでかいときも笑っちゃう。

江原由美子の「からかい」の政治学みたいに、「からかい」は駄目だ！という流れがゴリ押しされるようになっているの、明らかに社会全体が女性化していることの一つの証左でもあると思うんですよね。からかいの機能って男と女では全く違ってて、女の場合は只の直線的否定になるので。男の場合、「からかい」というのは「おいおいマジになってんじゃねえよ」というニュアンスが入るが故に、単なるdisの場合だけでなく卑俗な親しみを表す場合にも多用されるけど、女の場合は本当にそういう要素が全く無く、只々自分とからかいの対象を切り離して相手を否定する意味合いしかないからな。

120円ぐらいの買い物したのにクレジットカードで3回暗証番号ミスって止められた人もいるだろうけど、感情は「かわいそう」と「面白い」がちょうど半分ずつだな。

Youtubeって同じ動画を1000回見せようとしてくる。1回観た動画を高評価でもしようものなら、関連動画にしつこく出続ける。視聴者のことを赤ちゃんだと思ってる？ テレタビーズ見てる赤ちゃん。結局ヒトは新しいものを知るよりも良さをわかっているものを後生大事に磨くほうが楽しいってことなのだろうか？ Youtubeが追い求めるのが満足度だけだとすれば、こういうふうにずっと同じ動画を見せ続けるのが効率的なんだろうな。でも、私はそれだと飽きちゃう。なんかこう「探求モード」みたいなのを実装してくれないかなと思っていた。同じ動画が2度オススメされず、ちょうど見たことなくて気に入りそうな動画が出る機能だ。

私は『メタルギアソリッド3』をベストゲームに挙げました。たぶん本当に10周以上遊んでいる。生活の中でメタルギアソリッド3しかやっていない時期があった。ただ、ストーリーを一切理解してない。これはもう、本当にビタイチ理解してないと断言できる。メタルギア3はスネークという男がソ連に潜入する物語なのだが、スネークという奴が何者で、なぜソ連に来て、何をしようとしているのか、未だに知らない。最後に「シャゴホッド」という巨大ドリル戦車みたいなのと戦ったりするんだけど、これが何なのかもわからなかった。ザ・ボスという女性がスネークの上司で、頼りになるなあと思っていたら、最後のほうではスネークと戦っていた。なんで仲間なのに戦うの？ と不思議だった。たぶん、なにか事情があったのだろう。メタルギアはゲームだけどムービーシーンがかなり多い。私はゲームがムービーにさしかかると漫画を読んだりしてしまう悪のゲーマーだったので、メタルギア3でもムービーを「休憩」と捉えていたフシがある。私がやっていたことといえば、敵兵士の背中にピッタリまとわりついて、バレないように爆弾を腰に装着し、遠隔で爆破したり、ワニにいろんな動物の肉を食わせたり、吊り橋のロープを片側だけ切ってグラグラにしたりとか、そんなのばっかで、全体の筋を追うという発想そのものがなかった気がする。この遊び方は、聞く人が聞いたら「意味がわからない」と思うのだろう。だってメタルギアソリッドシリーズは重厚なシナリオが売りのゲームだから。当時の私は「人を背後から襲うのが楽しい」というモチベーションだけでメタルギアソリッド3を繰り返し繰り返しプレイしていた。基本的にゲームのシナリオを全然読んでない気がする。FFやドラクエやポケモンもペルソナもちょこちょこやってるけど、ストーリーを全然覚えていない。もっというと小説もそうで、小説を読みながらストーリーを理解していない（にも関わらず楽しんだつもりになっている）ということが割とある。「読んですぐに内容を忘れてしまう」とかですらない。「字を追いながらその意味をわかっていないのになんとなく面白いような感じだけしている」ので、もはやそれは読んでるとは言えないと思う。こういう私の性質を熟語で表すなら「漫然」だ。私は常に漫然としている。自分が何をしているのかすぐわからなくなるし、全然わからなくても平気なのだ。むしろ、そこで不安になる感覚のほうがよくわからない。自分の人生についても、ワニの口に肉を入れて喜んでいるような生き方しかできない。人生の筋を追う喜びがわからない。でもメタルギアシリーズのシナリオ、面白いらしいですね……。誰しも、どうしても興味を持てない分野があると思うけど、私の場合のそれが「共同体の維持にまつわる闘争」なんだよな。戦争や政治もそうだし、あとは推理モノなんかにありがちな複雑な家系図で繰り広げられる跡目争いみたいなのも。でも物語を動かしている背景は突き詰めるとみんな「共同体の維持にまつわる闘争」に接続されているような気もしていて、その意味では、私は世の中のほとんどの物語にうっすら興味ないんだと思う。「ピストルを撃つ。果たして的に当たるのか？」みたいな、即物的なシークエンスは好きだ。けど「人々の思惑」みたいなものが出てきちゃうとちょっともう自分の手に負えないなと思う。パソコンの蓋を外して複雑な回路を剥き出しにしたときみたいな「こりゃ自分にはムリだ」という感覚。私の興味を突き詰めると「爆発」と「手品」しかないかもしれないな。それ単体が刺激であるようなものと、不可能そうなことが実現する不思議。我ながら貧しい感性だと思うが、その貧しさ自体はそう嫌いでもない。

まずいわけではないんだけど全然ワクワクしない味だ。別に仲良くない人たちが同じ部屋で無言でスマホいじってるみたいな雰囲気の味。具材同士が協力しあっている感じがない。

高校受験の頃、図形問題で使える「メネラウスの定理」というのを知って、カッケー、と思った記憶がある。その名前の怪しげさに違わず、なんか異様にややこしくて覚えにくく、納得感に欠ける定理であった。でもまあ「メネラウスの言うことだしな」っていう名前由来の説得力があった。もしあれが「佐吉の定理」だったら、ちょっと嫌だったはずだ。佐吉が何を入り組んだことを考えていやがる、と、受験生のナイーヴな心は拒絶反応を示してしまっていたのではないかと推察する。もし数学者や物理学者としてデビューできそうな機会があるなら、何を差し置いてもまずは改名しておくのがいいかもしれない。「ぽろ介」みたいな名前で定理を見つけても、きっと誰も応用してくれない。ぽろ介の定理なんか組み込みたくないから。とりあえず役所に行って「すみません、ぽろ介から『ディッセングリフ』に改名させてください」と頼むところから始めよう。本当は量子力学なんかみんなほとんど興味ないのに知名度が高いのは「エルヴィン・シュレーディンガー」という名前のおかげだと思う。シュレーディンガーの猫というワードが登場したことによる広告効果はいかほどだろう？ シュレーディンガーがぽろ介の平行世界では、量子力学はもっとマイナーな学問だったに違いない。

よく知られている観光地でも、ウォークスルー動画で観るとまったく印象が違っていたりする。有名な名所と人々が暮らしている家や施設が地続きになっている様子は「生活」を思い起こさせる。観光ガイドに載っている写真は部分を切り抜いたもので、そのおかげで異世界のように見えているんだなと思う。スフィンクス周辺を歩き回る動画を見ると、ふーんなるほどねー、こういうものがあるんだね、と、神秘が剥がされたように感じる。観光客がいて地元民がいてスフィンクスがあって、と、全部が連続していて、その連続性はいまネットを見ている自分とも接続されていて。

今日も車道をビュンビュン行き交う自動車の群れを目にして、これ全部の中に人間が入ってて、全員が「理性」によってこの秩序を保ってると思ったら目眩がしてきた。なんでそんなことが成り立ってるんだ？ すごすぎる……。社会ってなんか、もっとちゃんとしたシステムが基盤にあると漠然と思っていたけど、現代社会の重要なインフラを担う自動車が「運転する人が気持ちをちゃんとする」という個人単位へのオーダーに頼らざるをえないんだな。それでなんとかなってるのがすごい。たまに事故は起きてるけど、全体からいえばたまにだし。人間の「ちゃんとする」という能力の平均的な高さにはいつも驚かされる。あまりちゃんとしていない側からすると、早く自動運転の車が普及してくれないかなと思う。というか、人間運転の車を廃止するほうがいいんじゃないのか。いま研究されている自動運転車って、人間が運転してる自動車の列に自然に混ざって走れる自動車だと思うんだけど、それってわりと余計な手間なんじゃないかという感じがする。全部自律制御の自動車に置き換わったほうがよっぽど作りやすそうじゃないか。もちろん様々な事情でそんな大転換が実現し得ないのはわかるけど。

そういえば架空ゲームレビュー小説『The video game with no name』に「チンシルケイム」というゲームを紹介する回があった。これは未来人が「評価の低かったゲーム」を再評価する、というテイのSFシリーズで、チンシルケイムは「韓国のゲーム依存矯正施設が開発させた、ゲームをやめさせるためのゲーム」である。チンシルケイムは最初、ふつうに面白い射撃ゲームとして始まるのだが、面をクリアーしていくごとに、映像がショボくなり、音が消え、グラフィックが失われていく。最終的には無の空間に当たり判定だけが浮いていて、ただ数字を増やすだけのゲームに成り果てる。つまり「ゲームの本質なんて所詮こんなものなんだぞ」と突きつける体験を与えるために作られたゲームなのだ。

なんだこの全体的にフワフワした夢みたいな話は。有名なほうの桃太郎と比べて、話の核が定まっていなさすぎる。子どもを寝かすために思いつきを並べている感が満載だ。わらじをつくる下りもタライも、全部の要素がとっちらかっている。最初からおじいさんとおばあさんと同居しているなら、なんでこいつは桃太郎と呼ばれているのかも謎だ。こんな話を語り継いでどうする。しかしここに昔話のジレンマみたいなものを感じなくもない。民話なんていうのは、なかなか寝ない子どもをとりあえず寝かせるために適当にしゃべるのが本来の姿だったりするわけで、そこで話される物語が、テーマ性に富んでいたり、伏線回収がしっかりしていたり、ハラハラドキドキするようでは、子どもの目が冴えてしまう。「早く寝ろよ」という気持ちを隠さず、うろ覚えの適当なアドリブ満載で語られる寝物語にこそ、生きた民話のスピリットが宿っているのではないだろうか。

普段めったに天下一品を食べないので事前に店で食べて考えたりした。他のどのラーメンにも似ていない強烈な味がする。うまいとかじゃなくて、頭の中に無理やり「天一」という引き出しを増築されるような体験。

予備自ではクリームに少量の水を混ぜて靴を磨けと教わったので、商社に勤めてからも同じ方法で靴を磨いてたんです。そしたらある日、「あれ？その靴、水引いて磨いてますね？今どきそんな磨き方するの…、ひょっとして自衛隊の人ですか？」と言われましてね、スパイの正体がバレた瞬間みたいでした。

爆発させないだけで全然核爆弾とかバレンタインデーに贈ってくる彼女

俺の玄関に「OPEN」の掛け看板を掛けてくる迷惑なおじさん

歌舞伎町に溜まっていた頃、高校中退の子が周りに多かったんだけど「プールの授業が嫌でやめた」「男女3人グループで仲が良かったが自分を除いた2人が付き合い始めて気まずくなってやめた」など様々な高校中退の理由があり、「学校」というものに対する姿勢の多様さに驚かされた

小学校の時「ナイチンゲール」の名前をもじって「お前チン毛ないのかよ！！！！」っていじってくる奴いたけど、なかったからといって何なんだよ。なくていいだろ別に。お前もう一生チン毛剃るなよ。

家から近い場所で殺人事件が起こったという経験は何度かある。そういう現場の前を通ると「ここで……ゴクリ」と息をのむのだが、いつまでも息をのみつづけて生活を送れるわけもなく、いつしか日常のぬるま湯的な温度で戦慄をうめて希釈してしまう。今いるここは殺人があった場所で、戦争があった場所で、爆弾が落ちた場所だったりする。

ためしてガッテンが放送終了したらしい。公式アカウントが「みなさんのこれからが『ガッテンできる毎日』でありますように」と書いていた。独特な祈りだなと思った。

哲学書を読んだ理系の人が「何これ？あえて分かりにくいように、分かりにくいように書いてない？」とキレた話を前に読んだな

ネット見てると「センスいいな―」ってこっちが思うような人に出会うことがあって、そういう人が好んで読んでいる本や観ている映画などもセンスがよく、こういうものを楽しめる人が真に豊かな人であるのに違いない、みたいに思って憧れる。それで真似しようと思ってそういう人たちが嗜んでいるものに挑戦するんだけど、どうにも面白いと思えない、というか退屈なことも多々あって。でもだからといって「これはつまらん」と断じる気にもなれない。むしろ「いや、これは良いものなのは間違いない」という確信のほうが膨らんで膨らんでいってしまう。自分のレセプターが枯れているだけなのだ、と思う。あざとくて、くだらないと心底自分で思ってしまうようなものを面白いと感じてしまう。方法論によって生成された記号、みたいな、なんら冒険的でないものの刺激こそが一番おもしろい、と感じている自分がいて、そういう自分ってなんてつまらないやつなんだろうな、と思ったりもする。「良いもの」を「良い」と思ってみたいんだけど「良いものだ」と認知することと「良い」と思うことの間にどうしても拳5つぶんくらいの隙間が空いているような気がする。人混みが平気だ。喧騒の中を歩いていてもほとんど何も思わない。が、それは間違っているんじゃないかと思うことがある。人混みを歩いたらヘトヘトに疲弊する"べきである"のではないか、と。人混みの中で平気であることは、自分自身が物語において描かれる人混みの、灰色のかたまり、みたいなものの一部であることを象徴しているような気がする。ガヤガヤとした雰囲気に嫌気さすような、ナイーヴな感受性こそが必要なんじゃないのか。しかし現にそうであるような人にとってそれは単に困難なのだろう。私は失礼なことを願ってる、と思い直す。ここまでをワンセットとして一日に何度も繰り返し考えている。自分の"ナイーブでなさ"とどう付き合っていくのかという問題。フォローはしていないがセンス良いなと思っていたアカウントが私をブロックしているのを発見した。センスが良いから私をブロックする。

「花言葉ってなんだよ」ってずっと思ってる。フィクションの類を見ていると、登場する植物の花言葉がその物語を象徴する何かであったりすることがある。作者がどう思っているかにかかわらず、受け手は勝手に花言葉を調べて深読みすることもある。たとえばキキョウの花言葉は「永遠の愛」であるらしい。作中のキャラクターが渡す花束か何かにキキョウが入っていたら、そこに「永遠の愛」を読み取ったりするわけだが、たまに、なんで？ と思う。誰かが勝手に作ったもんじゃん、って。Wikipediaを見ると、花言葉という概念は1800年代のヨーロッパで生まれたものらしい（諸説あり）。200年ちょっとの伝統だ。しかも直接の宗教的なバックボーンがあるわけでもなく、社交界のノリで決められているような部分も多い。とくに西欧に自生していない植物の花言葉については名付けられるのも遅かっただろうから、この数十年が初出、ということもあるだろう。シンボルによって作品の象徴を暗喩するための根拠が、実はぜんぜん知らん社交界の誰かの思いつきでやったノリに左右されてると思うと、なんか気に食わね～と思ってしまう。それで言うと、シンボルの老舗であるキリスト教的なモノだってどうなんだ、とは言える。たとえばキャラがリンゴを持ってたら、それはエデンの園のエピソードから「禁忌を犯す」だったり「知恵を得る」だったり、そういうイメージを与える。でも元も子もないこと言っちゃえば聖書だってフィクションだし。もともとのエデンの園の果実はリンゴじゃない説濃厚で、わりと適当なノリで形成されたイメージである、という点では花言葉とさほど変わらない。シンボルを利用することによって作れるとされる「深み」みたいなものが、実際は過去の誰かが大した根拠なく作ったノリのようなものによって生み出されているのでは？ と思うと、なんだか不思議だ。ただ、作品の面白さの核は受け取り手が生成するイメージそのものにあると考えれば、わずかな情報でいろいろなイメージを想起させてくれるシンボルが非常に便利で有用であることも疑いようがない。私たちはシンボルによって意味を象徴する作品に深遠さを見出しがちではあるけれども、シンボルの内容ではなくて、その経由作業そのものにクラっとやられているのかもしれない。

ビットコインが何十倍にも高騰した～！ みたいな話を聞くと、非常によくあることだけど「その情報を知った上で過去に投資していれば大金持ちだな」と思う。しかしちょっと考えてみると、たとえば最終的に500倍に高騰することがわかっているビットコインやら株やらがあったとして、あらかじめ10000円ぶん買っても500万円にしかならないんだな。いやまあ500万円は大金ではあるけども。2、3年暮らせる程度のお金でしかないとも言える。タイムリープというギミックを持ち込んで500万円かぁ……と思うとなんだかけちくさい。そんなら最初に元手をでっかく張ればいいわけだけど、それはそれで怖いな。黎明期のビットコインにいきなり1000万円突っ込んで、いずれ500倍になると信じて待つことができれば50億円の億万長者だ。でも1000万円持ってないからな。借金するわけにもいかないし。すぐリターンがあるわけじゃなく、数年かけてジワジワと値上がりするモノに1000万ぶっこむのは、いくらタイムリープできているとしても勇気が出ない。「もし未来が変わってしまったら？」という疑念も、私は絶対振り払えないと思う。その可能性がある以上、タイムリープというありえないギミックを持ち込んでなお、先を見据えた先行投資は「賭け」でしかない。リアルなところで10万円が限度だな。いくら未来が明確にわかっているとしても、初期投資10万円からの賭けしか興じることができない。サイエンスフィクションのスケールに大胆さがついていかない。つらいぜ。私の「もしも」が生み出す金は5000万が限度。あともし2011年1月にタイムリープできたとして、2ヶ月後に震災が来ることがわかっているわけだけど、どうする！？ というようなこともたまに考える。言っても絶対信じてもらえないからな。どうすることもできないんだろうか。たとえば多数の被害者が出る場所に爆破予告をするなどして人を逃がす、みたいなことが可能か？ それをやったら逮捕されるわけだけど、多数の人命を救うことと時分の逮捕をちゃんと天秤にかけられるだろうか……とか、無駄によく考える。「社会がこれまでどおりに動き続けようとする力」って想像以上に強くて、リアルに考えるとほとんど何も影響を与えられないんだよな。それこそタイムリープものにお決まりの要素だけど。むしろ、人生が一回きりでやり直しがきかないからこそ「自分の行動が世界に影響を与えている」という錯覚を抱けるようになっているんじゃないか……とすら思う。

これはたしか大阪の道具街で買った「4人前」のシール。1000枚セット。4人前のものに貼ることができるが、一生のうち、ちょうど4人前のものに遭遇する機会はそう多くないと思われ、余ることが予想されている（これについてはなんとなく捨てずにとっておくことにした）。いざ捨て始めてみると「なんでこれはずっとこの場所に鎮座していたんだ」と不思議に思う。一定期間以上ゴミを放置していると、それが「ある」ということが脳内マップに登録されてしまうらしく、無意識に「動かすことのできない、地形」として目に入ってくるようになるらしい。散らかった部屋にいらつく人は「床というベース＋ゴミというオブジェクト」で捉えているんだけど、散らかしていても平気な人は「ゴミなどを含む、デコボコした地形」として床を見ている。なので部屋の掃除をするにはとりあえず「ゴミを持ってみる」というのが効く、かもしれない。持つだけで、ある程度そのゴミにかけられていた魔法が解けるような気がする。物理演算がしっかり働くんだな、という当たり前のことを思い出せるので。

人生相談は麻薬だ。それもかなり依存性の高い麻薬だ。人生相談は「他人を助けたい」というメサイアコンプレックスと「他人を否定したい」という嗜虐欲求の両方を満たしてくれる。人を一方的に断じる快楽を、「してあげている」というチャリティの精神に偽装して味わえる、純度の高いシャブ。それが人生相談。

反出生主義に関する本を出した。反出生界隈ではトピックとして「生の肯定（否定）」みたいなのがあって、今更こんなこと書いていいのかわからないが、私はこの「生の肯定（否定）」というやつが感覚的にぜんぜんわからない。特に「自らの生」について肯定したり否定したり、ということについてはさっぱりだ。というのは、私は肯定や否定に付随する「よい」とか「わるい」という尺度を、特殊な条件下でのみ成立する限定的なものさしでしかないと考えているからだ。だから「自らの生」についてそれを「肯定」したり「否定」したりする、ということは、私に言わせれば「TOEICなんて実施しなければ990点なのに」というような言説のようにきこえる。この場合の990点とはTOEICを実施した際に使われる点数のことだけれど、それを実施したりしなかったり、という事象についてTOEICの点数を当てはめるのは端的に意味不明で、生の肯定とか否定についても似たような感触をおぼえるのだ。森岡正博の『生まれてこないほうが良かったのか？』の第7章では「私が生まれてきて、このような現実世界を生きていることは、善悪の価値判断を超えており、ただそのような無垢な生成が起きているのみだということである」（p.314）と書いてある。まず私の世界と生の理解は"そこ"から始まっていたので、それが本の結論として導かれるものとして置かれている、ということに一周した驚きをおぼえた。私にとっては、穽陥とされた生の肯定や否定のほうが馴染みがなかったので、そっちを感覚的に理解するほうがよほど難しかったし、今もよくわからない（最終的に否定される考え方を理解するとはどういうこと？）。最初からサンタクロースの存在を全く信じていなかった子どもにとって、サンタクロースを信じている状態がどのような感じなのかを理解するのが困難であるように、まず最初に「誤解」していないと歩けない道がある。

ガチャガチャなどの中身を選べないタイプのグッズで、本来狙っていたわけではないキャラクターのグッズが出てくるという体験は、もちろん本意ではないもののさほど嫌でもない。むしろ独特の楽しさがあると思う。偶により思いもしない付き合いが始まるままならなさは、人生の「のりしろ」を広げてくれる重要な味付けだ。そういうグッズを部屋に飾るのも、面白い。自分が必要だと思ったものだけがあるような生活は味気ない。

作中で可哀想な目に遭って読者にダメージを与えてくるタイプの作品。その作品の雰囲気が「可哀想」をしっかり予感させるようなものだと、逆に何も思わないことがあるなと思った。なんか「可哀想」をやる舞台を演じる役者みたいに見えてきてしまって「ちゃんと可哀想をやってるな～」みたいな気持ちになる。『ピューと吹く！ジャガー』にハマーっていう女好きの忍者がいて、こっぴどく失恋する回が何度かあったんだけど、数話あとに呼ばれて出てきたら目の下が腫れてて「泣いてたのか……」って察するシーンがあって、なんかすごい辛かったな。シナリオのどこでもケアされてない悲しみが存在することが匂わされているシーンで、ウッとなるものがあった。その後ハマーはクズキャラとしての才能をどんどん光らせて存在感を増すとともにそういう「ウッ」の要素も減らしていた。トータルでは酷い目に合うことの多いキャラだけど、フィクション的な意味では序盤よりずっと良いポジションを獲得したといえる。

マネーの虎、昔見てたけど意味がよくわかんなかった。でも見てはいた。「上司と部下でもないのに大人が大人にすごい怒られている」という状況が新鮮だった。人は子どもから大人になったら自動的に同質な何かになれると思っていたが、マネーの虎を見る限りそうではなくて、大人はやはり大人の中で独特の示威行動をして「情けない大人」をあぶり出しているのだ。

生まれ変わったらモンハンのクエスト名考える人になりて～。絶対社員同士で冗談言いながら作ってるでしょ。いや、まさかあれも……外注……？

ネタツイをする時、必ず、動物園のカバの前で「あんたカバァ？」と言っているアスカ・ラングレーのコラ画像を作るというアイデアを頭からどかす、という工程がある。

マリオカートシリーズに「ダッシュ床」というのがある。光る矢印が描いてあるパネルで、上にカートが乗ると一気に加速することができる。仕組みはよくわからないが、あれを設置する施工業者は大変そうだ。なにしろ乗るだけで加速するのだ。取付作業は慎重を要するはずだ。トラックから荷降ろしされたダッシュ床。コースに掘ったくぼみにこのパネルを嵌め込んで接着するという施工であるが、荷運びの際に、普通の建材と同じように持つと大変危険である。指がダッシュ床の表部分に触れたが最後、体が「加速」してしまい、すごいスピードで近くの壁に叩きつけられるであろう。また、接着や取り外しの作業中にも注意が必要だ。ハンマーなどの工具類をうっかりダッシュ床の上に落としてしまった場合、それは即座に恐ろしい凶器となる。最高時速数百キロに達したハンマーが近くの作業員めがけて直線で飛んでいく、という労災事故も年に数件は報告されているはずだ。もっとも危険なのは、パネルそのものが裏返ってしまうという事故だろう。そうなってしまった場合、地面と接したパネルのほうが加速して闇雲に動き始める。地面に接している限り加速が続くためその最高速度はとんでもないことになる（揚力で飛んでしまうので実際は無制限に速くなることはないが）。近くに人が立っていた場合、飛んできたパネルに足をとられて転倒するだけならまだいい方で、足首を複雑骨折したり、建材を倒すことでの二次被害が起こったりと、大変危険である。特に厄介なのは、暴走するダッシュ床パネルを止めることの困難さだ。多くの場合、裏返ったパネルは暴走の後に袋小路に行き当たって小刻みな振動を続けるのだが、これを手などで持ち上げようとするのは無謀だ。目に見えないほどの速度で動いているため予測しづらく、うっかり加速部に触れてしまったが最後、自分自身が加速してしまう。そこで提案されているのが、ロープの先端に取り付けた粘着性の器具をダッシュ床パネルの裏面に貼り付けて持ち上げるという手法である。そしてそのままロープを吊り上げ、慎重に反転させる。ダッシュ床パネルは無条件で物体を加速させるため、カーレースなどの一部の用途以外では近づかないほうがよい。利用していないときには、ダッシュ床の周辺を覆うように囲むカバーで保護しておくことが推奨される（カバーが床に触れないよう注意）。また近年になって、使用済みダッシュ床パネルの廃棄方法が問題となっている。以前は個人でパネルを砕く、焼くといった方法がとられていたが、塵状になっても加速性質は残り続けることがわかっており、微小のダッシュ床がスペースデブリのように人体を通り抜けて傷つけるという被害も報告されているため、現在はこの廃棄方法は法律違反だ。また、砕こうとしたときに工具が加速して事故が起こるリスクも高い。現在では、ダッシュ床は専門施設に輸送して処理することが義務付けられている。職員が安全に梱包し、厳重に戸締まりがなされた三重扉の密閉室に投棄される。その内部でダッシュ床は「加速」を続け、自壊し、塵状になっていく。塵とはいえ加速能力は減衰していないので、目に見えない空気のようであるにも関わらず鋭い刃のような破壊力がある。厚さ3メートルの鋼鉄によって密閉されているから安全だが、年あたり2パーセント（6センチ）ほど内側から削り取られているため、定期的な補強が欠かせない。しかしこの処置にも限界があるため、現在計画されているダッシュ床塵の宇宙投棄計画（摩滅したダッシュ床の塵をロケットで宇宙に運んで投棄する計画）の実現が待たれる。

今回は漫談師「素敵滅法くるしみ」として、綾小路きみまろをパクった漫談を披露させていただいた。いろいろと至らない点はあったが、やっぱり大きい失敗ポイントとしては「かつらがぜんぜんきみまろじゃなかった」という点が挙げられる。なんか銀と紫が混じったファンタジックなカツラが届いて、封を開けたときに乾いた笑いを漏らしてしまったのを覚えてる。てっきり「綾小路きみまろパーフェクト変身SET」みたいなものが売っているかと思ってたんだけど、あの赤い衣装しか手に入らなかった。きみまろ風のカツラは全然手に入らない。私はそれを知っている。広いホームセンターやドンキなんかに行くと「すごいな、なんでもあるじゃん」と思うが、明確な目的を持って訪れると「全然ないな」という気づいたりする。少なくともドンキやハンズにはもうきみまろのカツラは売っていない。

久々に紅白歌合戦を観た。nasneを導入しているとPCで観ることも、iPadで観ることもできる。歌い手出身のまふまふという歌手が登場するときに、司会の大泉洋が「これこれこういう理由で若者からの支持を集めている人なんですね」という内容のことをかなり丁寧に説明していた。突然よくわからない高音域の男が出てくることで「なんなんだ」と思うであろう老人への配慮を強く感じた。全体的に、大泉洋の立ち居振る舞いが老人に配慮するためだけに動いているラジコンみたいに見えてなんかすごかった。でもこれは大泉洋だけじゃなくて、NHKに出ているタレントはみんな「NHK的な何か」を体現しようとするスピリットにとり憑かれて微妙に違うキャラになっているように見える。

測定時に逆にしぼんでいくクソの血圧計

絶対になくならない入浴剤を作ってくれ、誰か。

もう今から確信しているが今年の私に仕事納めは無いな。全ては私のスケジュール能力不足に起因するので自業自得なんだけども。自分は自分の人生について大変な人生だなとよく思うけれども、その大変さを辿ると毎回なんと自分自身の行動に戻ってきてしまう。その意味で自分の大変さというのには悲劇性というか厚みみたいなものがまったくない。自分の吐いたツバで窒息しているみたいで、他者を呪う余地がなく、レミゼラブれない。

動画を作るにあたってナイトルーティン動画をいろいろ観た。面白い。編集が凝っていれば凝っているほど「実際の生活のリアル」からはかけ離れていく感じがあるけど、視聴者もそれを了解した上で観ていそうで、不思議なカルチャーだ。今回、ハウススタジオを借りて2時間くらいかけてウソのルーティン動画を撮影したんだけど、いちいちカメラを固定して細かいカットを順撮りしていくのは本当にめんどくさくて、あまりにも「生活」とかけ離れていたので、やりながら笑ってしまった。たぶん人気ユーチューバーのナイトルーティン動画は3日くらいに分けて撮ってるんじゃないか？

大学に合格して実家を離れるときに、『酒と女とギャンブルと交通事故には気をつけろ』と父親から言われたことを定期的に思い出す。確かに、人生で一発レッドカードが出るときはこの4種類が多い。

MENSAって学歴はあるけど社会で報われてなかったり自己肯定感の低い層や、中高は神童扱いだったけど大学で失敗したプライド高い層から手広く金巻き上げる情弱ビジネスと思うと学ぶべきことは多いと思うんですよ

クリスマスケーキの飾りつけに使うサンタさんのお砂糖製飾り物、首が折れて半額になっていたのを不憫に思って買ってきてたおじさんがネットにいて、年をとってもちゃんとそういう感受性がなくなってないのめちゃくちゃすごいなと思った。

山田五郎さんが視聴者からの「なぜそんなにいろいろなことを知ってるのか」という質問に「肝心なことは何も知らない、NISA…？とか保険のこととか」みたいに答えててなんかめちゃグッときてしまった。続けて「普通の人が知っているようなことは知らないけど、普通の人があんまり興味がないことを知っているから、さもいろいろ知っているように見えるだけ」というようなことを言っててそれもよかった。

知らん人の知らん書類に連帯保証人のハンコを押しまくるバイトがあったらやってみたい。

友人ががん末期に差し掛かっていて、こういう話を聞くたびに「でも友人には間に合わないだろう」となんともいえない気持ちになる。私がこうなんだから本人からしたらどう思うか・・技術の進歩は素晴らしいのだけども

AVを見慣れてしまったから初めて致した時に視点が当たり前だけど自分目線のみで「あ…見たい構図で見られないんだこれ」となった

生まれたら後の用事は死ぬだけで、それまではわーいってしていればいいのに何故か何かを成し遂げようとしてしまう

【漢字テストあるある】

知ってる言葉でも、カタカナで書かれると初対面になる

SNSから目を切ってアスレチック公園やショッピングモールのフードコートに行くと、真の男女平等理論もPUA理論も知らないカップルや夫婦が楽しそうに遊んだりご飯食べたりしてて、地方都市の現実もツイッターが如何に乖離しているかを感じざるを得ないね。

みんな仕事しすぎて、小さい頃から好きだったことをサボりすぎ、そんでおじさんおばさんになって、何が好きかわからないという。僕はバイトでも失敗ばかりして文句言われてたけど、原稿書いて絵を描いて歌を作るのは１日も休んだことないよ！お金にはならなかったけど好きなことは常にわかる

本当は全てになりたいのに、なれないから無になりたいと願うのかもしれない。ヴィトゲンシュタインだったかな。「本当は世界全体を消したいが、それが出来ないから、人は代わりに自殺をする」と言ったのは。ショーペンハウアーだったかな。なんで僕が死ぬと世界もそれに付いてきてしまうのか、幼少の頃からずっと不思議だった。単に「こいつ」が死ぬだけなのに、なんで世界「全体」が消滅するんだ、と。

昨日公開したこの漫画、8万いいね、1.8万RTされていておののいている。この規模の拡散は滅多にない。「絵」って凄いな……。インプレッション数（表示された回数みたいなの）は500万を超えていた。その結果、フォロワーがどれくらい増えたか発表します……。12人。これがバズの正体だ。結局こういう数字って実質的なものとかけ離れていることも多い。登録者100万人くらいいても、動画の再生数平均が1万くらいしかないYouTuberだっているし。いや、そもそもフォロワーや再生数が増えたからなんだ？ という疑問もある。数字は数字でしかない。この数字は作品の内容にも関わるってくる。単純にインプレッション数を稼ぐという意味では、とりあつかうべき内容はメソッド化されている。ただそれだけだと刹那的なRTの連鎖が生まれるだけで実質が伴わない感じがあるし、やってて楽しいんか？ という気もする。結局なにを自分にとっての「実質」とするかということだ。私は「一切ウケなくても自分にとって面白いと信じられることができればそれでいい」と割り切れるほどストイックではないが、かといってバズだけ追いかけてモチベーションが保てるほど競技精神があるわけでもない半端ものだ。いまのところ「どうせならなるべく多くの人にウケたいが、これまでにウケてきたようなウケかたとは違うウケかたがありえないか試してみたい」みたいなモチベーションでやってる。

死んだ後、ボンバーマンみたいな感じで現世で嫌いだったやつに爆弾とか落とせたらチョー面白いのにな。実装はよ

昨日公開したこの漫画、8万いいね、1.8万RTされていておののいている。この規模の拡散は滅多にない。「絵」って凄いな……。インプレッション数（表示された回数みたいなの）は500万を超えていた。その結果、フォロワーがどれくらい増えたか発表します……。12人。これがバズの正体だ。結局こういう数字って実質的なものとかけ離れていることも多い。登録者100万人くらいいても、動画の再生数平均が1万くらいしかないYouTuberだっているし。いや、そもそもフォロワーや再生数が増えたからなんだ？ という疑問もある。数字は数字でしかない。この数字は作品の内容にも関わってくる。単純にインプレッション数を稼ぐという意味では、とりあつかうべき内容はメソッド化されている。ただそれだけだと刹那的なRTの連鎖が生まれるだけで実質が伴わない感じがあるし、やってて楽しいんか？ という気もする。結局なにを自分にとっての「実質」とするかということだ。私は「一切ウケなくても自分にとって面白いと信じられることができればそれでいい」と割り切れるほどストイックではないが、かといってバズだけ追いかけてモチベーションが保てるほど競技精神があるわけでもない半端ものだ。いまのところ「どうせならなるべく多くの人にウケたいが、これまでにウケてきたようなウケかたとは違うウケかたがありえないか試してみたい」みたいなモチベーションでやってる。

考えてみるとゲームと漫才ってわりと似てるとこあるかも。本来進むべき規定の路線があって、そこを進む過程でミスして（ボケて）やり直す、その繰り返しで構成されている。ゲームも漫才も「できるのか？」というクリアを望む期待と「どうなるんだ？」という先の見えない好奇心の両方が重ね合わせになっているとも言えそうで、これはなかなか興味深いのではないか。漫才だけを例にとると、たとえばテーマが「コンビニのレジ」だったら、まず「ちゃんとレジ作業を遂行できるのか？」という期待があるんだけど、同時に「どういうボケによってめちゃくちゃにしてくれるのか？」という期待もある。この2つは背反しているんだけど、ボケたり突っ込んだりを繰り返しながら「コンビニのレジ」というゲームを進行させていくのが漫才だ。このへんのコントロールがうまくいっている漫才は、事態の進行と中断（ボケ）が徐々に一致して、ボケの勢いによって物語が進行していく、みたいな裏返った状態になる。ゲームでそういう状態が生まれるのは所謂「死にゲー」だろうか。パターンを掴む快楽と、掴んだパターンを崩される快楽、それに対応する快楽がある。

歩数計アプリ『ピクミンブルーム』なんだかんだで地味に続いている。ただ生活しているだけで歩数というのは溜まるので気負わずやれるから良いですね。もう40万歩くらい歩いたっぽい。ゲーム中でピクミンに「おつかい」をさせると、遠くにあるフルーツを時間をかけて持ってきてくれる。戻ってきたピクミンは果物をかかえたままプレイヤーの近くで立ち尽くしているのだが、これにかなりプレッシャーを感じる。「置けよ」と思う。いったん置けよ。自分が画面をタッチして回収しないかぎり、ピクミンはずっと背丈よりも大きいりんごを抱えて立っている。この愚直すぎる忠誠心が怖い。忠犬ハチ公の話とかも、感動より怖いんだよな。忘れてくれや、って強く思っちゃう。飼い主をひたすらに待ち続ける犬のまっすぐさって「呪い」とか「怨念」とかそういうものに隣接するこわさがある。実際人間でも「忠実である」ということを攻撃性へと転化して武器にして使いこなしているような人は（無意識にそうであるような人も含め）たくさんいるだろうな。

いがらしみきおの連載中漫画『人間一生図巻』という漫画がちょっとすごすぎた。毎回8ページでさまざまな人間の「一生」をまとめるというテーマの漫画だ。特に連載一回目の1話「鈴木広美 ０歳」は今年読んだ漫画でベスト級にショックを受けたかもしれない。その理由はかなり個人的な感性に拠るので、みんなに勧められるようなものでもないけど。1話目では、初回にして産後すぐ死んでしまった赤ちゃんの「一生」が描かれる。舞台は昭和の岩手県の民家。必死のお産シーンのあと、その子はあっけなく亡くなってしまい、母親は泣き崩れ、祖母がなぐさめる。母親は自らの乳房を動かない娘の口に当て、乳首をくわえさせる。しかし「この時、鈴木宏美はまだ生きていた」。その直後に亡くなってしまうのだが、彼女の意識の中では、暗闇の穴から飛び出した乳首の先端が確かに認識されたのである。これを描こうと思い、しかもたった8ページで描ききってしまったことにかなりの衝撃を受けた。鈴木宏美は生まれた直後に死んでしまった。乳児の未発達な脳には、おそらく大人が考えたり感じたりするような快苦も思考も無かったであろう。そして彼女が母親の乳首をくわえた瞬間にじつは生きていたことは、母親も含む誰も知らなかった。にもかかわらず、この漫画は「それ」を描いている。確かに宏美は没する直前に乳首の感触を感じていたのだ。しかしそれは母親や祖母はおろか、宏美本人ですら知り得ないことである。この行為によって母親の愛が届いたとは言えまい。しかし、あらゆる意味を削ぎ落とした上で、そこに乳首があったという事実が、宏美の中にあったのだ。ここに「物語」というものの極めて特殊な能力が示されているように思う。特に漫画は「暗闇の中に出てくる乳首」というイメージを直接描くことができるという点で小説を超えている。たしかに「ある」が、けして客観的には認知されず、ときには認知され「えない」事実を、しかしそれが事実でしかありえなかったのだ、という迫力で描いている。私はたまに、日本の総理大臣が見る夢のことを考える。寝ているときに見る夢だ。たとえば岸田文雄首相は3日前の夜にどんな夢を見たのだろうか。生活上、彼がその内容を人に打ち明けるようなタイミングはあまりありそうにない。しかし彼も人間である以上は、公僕としての機能だけでなく、その内部だけでうまれるビジョンも体験しているはずなのだ。この種の秘密は、政治家の汚職とかよりもはるかに重要だ、と私は思う。無意味だからこそ重要なのだ。いがらしみきおは恐らくこの作品を通じて、全ての個人が有している秘密をグロテスクなほど直接的に、漫画にしか為し得ない方法で描こうとしている。

銭湯のなかにテレビがあって『ゴチになります』をやっていた。高級料理の値段を当てるやつだ。もう20年くらい同じことをやっているはずなのに、ナインティナインのふたりはちゃんと「僕ら普段こんな良いもん食べないから相場わからんわ」的なリアクションをしていて偉いな～プロだな～と思った。

宇宙で撮った動画とかツイートとかを見て、なんか逆に驚いてしまった。「宇宙ってそんなでもねえな」と感じたからだ。かなりすごいことが行われているはずなのに、知らない人の旅行動画を見ているときと同じ感覚になった。なんか宇宙という場所がウユニ塩湖とかそういうレベルの観光地にレベルダウンした感があるな。「あ～、一般人が宇宙に行ったらこういう感じで消費されていくのか～」という完璧な未来シミュレーションをここに見てしまったのかもしれない。でも宇宙が身近になるとはそういうことなのだろう。自分が宇宙に行ったとしてもたいして面白いことはできないんだろうな～とぼんやり思った。狭いし制限も多そうだし。となると、浮かんで前転したり布を絞って水がタプタプするのを見たり、浮遊する水滴をパクっとしてみたり、くらいの通り一遍の宇宙体験をノルマをこなすみたいにやっていくことになるはずだ。もはやエッフェル塔の前で面白いことができないのと同じようなことが、宇宙でも起きる。

男女で歩いている時は男が車道側を歩くという文化がある。「車が突っ込んできたらどっち側にいようがたいして変わんねえだろ」と思うが、まあそういう姿勢を見せるのが大切なのであろう。このカルチャーはやはり自動車が登場したことによって生まれたのだろうか。それとも自動車が登場する前から似たようなのは存在していたのだろうか。「男女で歩いている時は男が茂み側を歩く」とか。肉食獣が現れたときのためである。ふたりとも巻き添えになるかもしれない自動車と違って、肉食獣の場合はひとりが犠牲になればもうひとりは助かるから、こっちは理にかなっている。

どの国とか忘れたんですけど、でかい岩山があるせいで水汲み場まですごい迂回しないといけない集落があって、そこに住んでるおじさんが何十年もかけて手作業で山を掘り崩して道を作ったみたいなニュースを見たことがあります。それ知ったとき「これぞ偉人じゃん」と感動したので、私も岩山を手作業で掘り崩して歴史に残りたいなと思っています。

自分以外の人のあるある……雑（ざつ）くない！？ 「マリオあるある……穴に落ちがち」ってなんだよそれ。それはあるあるというかマリオというゲームの特徴だろ。あるあるネタは単に共感を得られればよいというものではなく、自分以外の多数の人たちが経験していながらも、それを経験していること自体は意識されていないであろう体験、にフォーカスしている。つまり着眼点としてはユニークでなければならないのだが、同時にそのユニークさは平凡でなければならないという点があるあるネタのおもしろさなのかもしれない。

Twitterで「くら寿司の使用済皿はただ深い穴の中に溜めてるだけなので2023年には溢れるらしい」って嘘を書いたら、ごく一部の反応ではあるけど「これマジ？」みたいなリアクションがあって、中には「これは悪質な嘘です。店の風評被害になるからやめてください」とか「訴訟されますよ」みたいなのを本気のトーンで言ってるのもあった。「いや、冗談ってわかるじゃんw」みたいな開き直りが時として最悪であることは承知したうえで言うんだけど、さすがにこのレベルの嘘は自由に言わせてくれ！！！「実際にくら寿司が巨大な穴に皿を捨てているかもしれない」と少しでも思わないでくれ！！！無意味な嘘を書いているのはこっちなので尊大に振る舞う気はないんだけど、あらゆる表現においてその意図するところを明確に示すべきだという考え方はレトリック全般の死なので抗いたい。とはいえそういうものが「わからない」人が確かに存在すること自体は認めなければならないし、そういった人が軽蔑されるいわれもない。そういう人を取り囲んでバカにする雰囲気みたいなのも最近はちょっといやになってきてしまった。「敬意ある黙殺」というか「敬意ゆえの黙殺」というか、そんな態度が可能なのかはわからないけど、そういうのを目指している。インターネットを四字熟語で表現すると「一触即発」だなと思う。人目に触れていないものは存在しないし、触れた瞬間になんらかのアクションが起こって拡大していく感じ。常に全てが手遅れの状態であり、その状態を認識したことがインターネット上に記録されるとまた新たなアクションの火種になる。

外で会社の人に遭遇しても全く気づかない。よく挨拶を無視しているらしい。「らしい」というのはもちろん、無視している自分にはそれがわからないからだ。「会社の外で会社の人に会ったことないな」くらいに思ってたから「めっちゃ挨拶してるのに全然気づかれない」といろんな人に指摘されて本当に驚いた。自分によく似た別の人なんじゃないかと思ったくらいだ。しかも話を聞いてみると、目がしっかり合ってるらしい。目が合ってるのに無視されるので、悪意ある無視にしか見えないというのだ。たぶん、前を向いてはいるが何も見ていない時間に目が合ったのだと思う。何も見ていないどころか、世界のどこにもいない時間が私には頻繁に訪れる。私の記憶は穴ぼこだらけのエメンタールチーズみたいになっていて、ある瞬間から現在までをつなぐムービーに明らかな欠落がいくつもある。それも数週間とか数年前のことではなく、たとえば現在から5分前までを遡って思い出してみたときにもそうなる。何をしていたのかまったくわからない以前に「何も無い」時間がポコポコと気泡上に散らばってるある感じだ。朝起きた時点で、昨夜ベッドに入ってから現在に至るまでの記憶を思い出そうとしてもうまくいかないのと感覚的には全く一緒である。そういう瞬間の自分がどうなっているのかは自分では観測できない。考えごとに夢中だったとかそういうわけでもなさそうで、普通に人と会話していたりもするんだけど、どうやらそこに私のクオリアがないのだ。なのでよくよく分類すると、私の空白状態には2パターンある。ひとつは一般的な上の空状態で、認識能力もろもろがオフになっていて何にも気づかないポンコツタイム。で、もうひとつは上の空とも違い、簡単な受け答えや仕事なんかはしっかりこなしているのに、あとから思い返すとその瞬間についてなんの実感もないし記憶も残っていない、みたいな哲学的ゾンビタイム。「あのときこう言ってたよね」と言われて全くピンとこないことがよくある。だからなんか、他人が私を指して言う私と、私が意識する私ってぜんぜん違うのかもと思う。他人は海を指してそれをシナダだと言うんだけど、私が指すシナダはその海面にときどき生じる波のほうなのだ。

なんか大暴れをして捕まった人のニュースを見ていたら、容疑者の名前が知り合いとほぼ同姓同名だった。名前が同じだというだけで不思議なつながりを感じてしまう。もしこれが自分の名前と同姓同名だったら、もっと目の離せないニュースになっていただろう。同姓同名のことはたまに考える。有名人にも、同姓同名は少なからずいる。あの木村拓哉じゃない木村拓哉とか、あの松潤じゃない松井潤（まついじゅん）とか。須田正樹（すだまさき）とか。こういうとき、たとえば「名前が木村拓哉なのにちんちくりん」みたいな人のことを考えて勝手に同情したりしてしまうけれど、それはむしろあまり損を被っていないのではないかと勝手に想像している。「木村拓哉です」と言ってスーパーマリオみたいなおじさんが出てきたらそれはもう立派なギャップが成立している。あの木村拓哉とはいえ「じゃないほうの木村拓哉」というアイデンティティは確立できるし、それは本物の木村拓哉には持ち得ないものだ。意外と怖いのは、「ちょっとかっこいい木村拓哉」ではないか。普通の人よりもちょっとかっこいいのである。ちょっとだけ背も高いし、顔も人より15％くらいシュッとしているので、商店街のおじさんなんかは「お兄ちゃん男前だからサービスしとくよ」くらいのことは言ってくれるのである。でも当然ながら「あの」木村拓哉には及ばないのだ。そりゃそうだ。あの木村拓哉は人生のほとんどを「かっこよさ」のみに費やしたという数奇な人生を歩んでいるのだから、まともに戦おうというのが間違いなのだから。この身の置き場のなさはどうだろう。「じゃないほう」の道化を演じることもできず、正攻法では追随できず、オリジナルの自分を生きようと思っても保険証を見るたびに「木村拓哉」の文字と向き合わなければならなくなる。なかなか難しい立場ではないだろうか。ところで「あの」木村拓哉はおそらく「木村拓哉」と名付けられた日本人の中でもっともかっこいい木村拓哉であろう。しかし実際に違ったとしたらどうだろうか。アイドルとしてデビューしていないから知られていないだけで、「あの」木村拓哉を遥かに凌ぐ木村拓哉がどこかに存在し、しかしタレント業などとは縁遠い職業について、どこかでひっそりと暮らしていたとしたら……。

サコッシュを今日買ってきた。無印良品の1000円しないやつ。店頭で手にとったらかなり小さくて不安になってしまったが、小さすぎるほうが余計なことが起こりづらい気がする。大は小を兼ねるが、小は大を諦めさせるという点において優位なのだ。

このニュース。内容自体はヘェーって感じなんだけど、ツイート文が気になった。「一部の大人より幼児の認知能力は高いのかもしれません」ここ。「仕掛け」てんねぇ～！ って思った。なんかこう、一部の読者の自尊心を心地よく刺激した上でリアクションを引き出そうという明確な意図を感じる。たぶんこの一文があるかないかでバズるか否かは大きく左右されたに違いない。告知ってこういう微妙な一言がかなり重要な役割を示すから侮れない。その一方で、そんな微妙な一言によって行動を左右されてしまっていいのかという消費者側の問題意識も感じはする。ともかく人をコントロールしようとするフレーズはそこかしこに溢れているので、それに気づかないままでいるよりは多少なりとも自覚的になったほうが良いかもしれない。

アサコイワヤナギは高級パフェ界の有名店で、フルーツ類に贅の限りを尽くしたパフェを提供している。私はいちごとピスタチオのパフェ「パルフェビジュー ドゥ ノエル」を事前に注文。パフェを予約したのなんて初めてだ。そしたらこれが出てきた。ヒエ～と思った。私の体内の構造より複雑なんじゃないか？ たぶんうっすらとした意識が発生しているはずだ。このパフェに手足をつけたら歩き始めるだろうし、簿記3級くらいは合格できるであろう。言わずもがな味はスーパーウマウマパフェとしか言いようがない。最初はかなり甘めの苺から始まって、後半から酸味のある苺が登場して爽やかに終わる。なんかトリュフバルサミコをかけた苺なんて層もあって「トリュフでバルサミコが、苺に……！？」と舌が混乱して面白かった。パフェは食べる順番がほぼ決められているという点でコース料理に似ているけれど、一方でその順番がグラデーションのようにつながっていて、隣接した層と混ざり合うことを前提にしているのが面白いな～と思った。単においしいものを重ねていくだけじゃなくて、和音を探すように構成していかないといけないんだろうな。値段が値段だけにとても贅沢なパフェだった。食べる頻度は年に1回でも多いかもしれない。3年に1回だな……。

昼食をコンビニで買って、公園のベンチで食べた。公園のベンチで弁当を食べる、という時間の使い方に憧れがある。今日やってみたのだが「公園のベンチで弁当を食べるという時間の使い方をしているなあ」と思うと妙にソワソワして集中できず、結局Twitterとかを見ながら食べることになってしまうのだった。生活に余裕が出来たらセミリタイアしてセブ島のリゾートでのんびり暮らそう、みたいに思っている人多いけど、そのお金を貯めるためにセカセカしすぎると「のんびり」をやるための感受性が削れてしまったりしそうだなと思った。「今は試練の時間で、ここを抜けたら本当の目的地がある」とつい考えがちだけれども。

『まれびとこぞりて』というTRPGをやった。クトゥルフ神話をベースにした話で、無人島でプレイヤーが酷い目に遭う。キャラクターを作るところからやったので時間はかかったが面白かった。TRPGは口頭で行う手のこんだままごと遊びみたいなゲームなのだが（揶揄してるわけではないです）、やる上ではキャラクターを演じて行動を決めなければならない。力だけが取り柄の筋肉バカを動かすのであれば、重要な事件の証拠が落ちていたとしてもそもそも気が付かないかもしれない。プレイヤーとそれが演じるキャラクターの間に資質的な差があることが多く、その難しさが面白い。普通のテレビゲームだとこういうことはあんまりないかもしれない。まあアホアホなキャラを演じるのはいいとして、賢いキャラクターを演じるのは更に大変そうだなと思う。天才キャラをやるなら、天才っぽい行動をしなきゃいけないはずだが、プレイヤーが天才的に動けるとは限らない。シナリオ上の伏線をまんまと見逃して死んだりするかもしれないのだ。でもそれはそれで面白い。最初から終わりまでが厳密に決められている物語はキャラクターとシナリオがグルになってるようなところがある。神に愛されているかのごとき演出で登場したキャラクターが、TRPGでは無残にもシナリオの壁に阻まれて命を落としたりする。私は天才探偵を演じたけど、特になにも推理とかすることなく最後までやった。天才探偵にもそういう日はあると思う。

「冷凍オムライス」が160円で、味も「オムライスと聞いて想像する概念上のオムライスの味」そのものだったのが衝撃だった。じゃあ自分で作る意味ないじゃん。ちゃんと凝ったオムライスを食べるぞ、と力んで店を選ぶのでなければ業務スーパーのオムライスでいいということになってしまう。「力の入ってない普通のオムライス」の最適なパラメータを感じてちょっとゾッとした。概念上にしか存在しない「完全な三角形」を目にしたみたいな感じかもしれない。それは言い過ぎかもしれない。いや、でも、みんなの記憶の中にあるオムライス像を結んで実像にしたみたいで怖かったな。オムライスのTHIS MAN。聞いた話ではコラボカフェやらメイド喫茶やらでもこれが出されていて1500円くらいの値付けがされていることもあるとかないとか。

「癖のない絵柄」に対して不快感、と言わないまでもウ……と思ってしまう感覚があることに最近気づいた。「癖のない絵柄」というのは不正確なので具体例を挙げると、iOSに最初から搭載されているメッセージアプリの「ミー文字」みたいなの。こういう絵柄、わりと明確に苦手かもしれない。あとはニンテンドーのゲームで使う似顔絵のやつ（トモダチコレクションのあれ）も苦手だ。なにが苦手なのか考えていたんだけど「この絵柄を心から好きな人いないんだろうな」という感じがしてしまうからかもしれない。絵柄になんらのフェティシズムを感じないことに不気味さを覚える。ただそれが「顔」であることが示せればよいのだという道具的な思想で絵が生成されていることに、反射的な警戒心を抱いてしまう。"萌え絵"みたいな絵柄を見て反射的に拒絶感を抱くような感覚とはある意味で逆かもしれない。公共ポスターの"萌え絵"について「こんなに胸の大きいキャラクターを配置する必然性があるのか」といった批判がなされることがときどきあって、私もそういう指摘には一定の正当性があると思う一方、逆の「必然性のみで構成された絵」には別の段階で嫌悪感をおぼえてしまうのだ。「それが人間の顔貌を構成していて、見る人がそのように認識することができさえすればよいし、それ以外の情報を含まないようにあるべきだ」みたいな意志をデザインから感じ取ると、胸が詰まるような嫌な感じを覚える。フェティシズムの無い絵はシンプルな絵とイコールではない。たとえばイラストレーターの和田誠やNoritakeの絵は「シンプル」かもしれないが、そこには一種のフェティシズムがあると思う。いかなる表現においてもその表現が意図するところのものだけではなく作り手のエゴが含まれているべきだ、とまで言ったら過激すぎるだろうけど、心情的にはそんなことを感じているのかもしれない。人肌の温度の痕跡や埃の匂いがしない作品に対して、よくない意味での「清潔感」を感じる。なんでだろう？「自分は別に好みじゃないけど、みんなは受け入れてくれるだろう」という発想を根拠にして何かを行うこと自体が、人間の意志の存在を侮辱している、より深いレベルにおける悪徳だとは言えないだろうか。おそらく言葉に乗せて語るのは困難な事実なんだけど、生きているそれぞれの人が独自にわいせつであるということには何かすごい価値があるように思うし、それらのわいせつ性が折を見て露出されることには無条件で「よい」といえる側面があるような気がする。これは理解されようと思って書いてないので理解できなくてもいい文章です。

Amazonで充電ケーブルを買ったらこんなカードが入っていた。なんとレビューを書いたら1000円ぶんのギフトカードをくれるというではないか。金品をわたしてのレビュー要求は規約違反なのでAmazonに問い合わせようとしたら、販売ページごと消え失せていた。ほんの2日しか経っていないのに。商品は届いたのだから（規約違反はともかく）騙されたわけではないが、それでも狐につままれたような気分になる。まるでそのケーブルが、自分に売りつけるためだけに存在していて、役目を終えてそそくさと帰ったみたいだ。映画『トゥルーマン・ショー』で主人公が本来入るはずのなかったビルに無理やり入ったら内部がみんなハリボテだったというシーンがあるが、ちょっとそれを思い出した。この想像はよくしている。自分が出ていったあとのサイゼリヤで「はいカット！ お疲れさまでした！」とスタッフが叫んで、店員も客もみんなぞろぞろと楽屋へ戻っていったり。考えすぎか。いやむしろ考えていなすぎだ。たぶん、よその客からも通報があったのでそそくさと店を畳んで他の商品名に変えて売り直したりしているのだろう。それにしてもこのカード、フォントがいかにも「我々は悪者ではないですよ」と主張したげな丸文字で面白いな。あと特に説明のない「☆☆☆☆☆」のマークがよい。「☆5をつけるように強要した」と言われないギリギリをついているつもりなのか。

今日はレーザー脱毛の5回目を受けてきた。前回からかなり間をあけての施術ということもあり（毛の生え変わりサイクルに沿って施術するため後半は間が空くらしい）、レーザーの「痛み」を完全に忘れていたが、めちゃくちゃ痛い。一発で体力の6割を削る技みたいなバチバチを違う箇所に食らうからギリギリ大丈夫なだけで「これ同じ箇所に2発食らったら死ぬぞ！！！」と何度も思った。笑気麻酔って痛みそのものには無力なんだな。

ブラックフライデーセールで買った加湿器がもう届いた。思ったよりでかくてゴミ箱に似ている。スイッチを入れると白い霧がポポポポポポポポポと出てくる。しばらく加湿器をつけたまま過ごしたが正直効果のほどはよくわからない。駆動中は「チャプチェ……チャプ……チャプチェ……」みたいな滴り音が機械の内部から聞こえてくる。そういうものなのかと思う。数時間経ったらピーピーと音がして停止した。フタを開けたら1リットル以上入れた水がなくなっている。それが全部この部屋の中にバラまかれたと思うと不思議だ。どこもビショビショになってないのに。本当に加湿してるのかな？「水を消す機械」なんじゃないか？なんらかの原理によって水をこの世から消滅させているだけで、実際にはぜんぜん加湿されていなかったらどうしよう。吹き出ている霧は3Dホログラムで。冷蔵庫とか電子レンジは効果がわかりやすいからいい。冷えるし、あたたまるから。加湿器が具体的に何をやってくれているのかは、なんとなくの体感でしか確かめられない。湿度計を使えばわかるんだけど、でもそれも信じられないな。湿度計とグルかもしれないから。

さっき夜中になってからやっとローソンに行ったら店内放送でアイドルマスターの曲が流れていて、自分でも驚くくらい嬉しくなってしまった。世界に存在しているものの一部として流れている感じがよかったんだと思う。その次に流れた曲がスピッツだったのも、ふたつが曲という媒体を通じて地続きであることを示しているようで感慨深かった。

まだ声を購入していないので、自分が発する声すべてにAudio stockの音響電子透かしが入っている。そろそろ買わなくては。

「自己肯定感を養おう」「自分を大切にしよう」といった自己啓発のエンパワメントが時に鬱陶しく感じて受け入れられないのは、これらが総じて"自己否定の感情の否定"だからなんだよね。なんでおれがおれのことを大事にしないといけないのをお前が決めるんだよ。好きにさせてくれ

石みたいな形の積み木、オシャレだしなんとなく知育にも良さそうだけど、「子供が石を積む」という事象がアウトなので日本では流行らなさそう

「ルックスを重視する度合いで女性が男性を初めて上回る！ルッキズム全開！」みたいなデータ発信に一生懸命「ルッキズムじゃない！」と言い張ってる人類がたくさん群がってて、多くの女性にとって「道徳的である」ということは高いステータスもしくは資産なんやなあと感心している。生きづらそうすね…。一番意味不明だったのは「年収と身長と顔がないとマチアプではスタート地点にも立てない」みたいな情報に「ヒントは一緒に暮らすってコト！」みたいな説教してたツイートで、「一緒に暮らすのに身長関係ある？」と宇宙猫になった。

Coming soonグループの進撃が止まらない、銀座一等地ビルの二階をフロアごとお借りあげになってるし、なんなら上階もかなりお借り上げである(震え)

まともなものが描けないから言い訳としてこれは描きたいものじゃないって言ってるだけだという事実と向き合えないと成長はないですよ。売れるものも描きたいものどっちも描いたらいいんですよ。売れたもので有名になれば描きたくて描いてたものも評価されて売れるようになるよ。そもそも全世界に向けて自分の作品を低コストでいくらでも自由に公開できて、マネタイズも好きなようにやれるこのインターネット時代において、「作家性と商業性の両立」みたいなことをしかつめらしく悩む意味がわからんよね。勝手に作って勝手に出して、それに客がついたら金になるってだけの話やろ

国の少子化対策って、我々が結婚して子どもを産むことで豊かな生活をしてほしい。ってことでなくて、姨捨山に捨てられない老人をいよいよ支えきれないため、労働力や納税者として国に貢献してください。というメッセージにしか感じない。奴隷になりたくない。社会保障を維持できなくなるから少子化対策をって言うのが、子供世代に自分達の老後の面倒見させる気マンマンなんですよね。しかもそれを隠そうとすらしていないの

超難関中学、高校を受かってもMARCH行く人や、それすらも受からない人が出てくるのって、群れの中での相対的劣位で勉強がもう嫌になってしまう個体が一定数出てくるからだと思う。客観的には間違っているけれど、人は自分の存在する群れの中での地位から人生を選んでると。東大に進学すると勉強よりテニスに熱心になる人がたくさん出てくるのと同じだよね。

Kindle Oasisは愛用しているしいい買い物だったと思う（でも下位の機種でも充分なのかもしれない）。片側のベゼルが太くなっていて「持つ所」として機能するのだが、これにより指で画面が隠れなくてすこぶる良い。でも充電が今どきmicro USBなのはちょっとイヤ。小説を読むときはもう専らこれにしている。マンガとかはiPadのほうが読みやすい。ところで販売ページに載っているこの写真はどこなんだろう。延々とベッドみたいなのが連なっていて、奥は海になっている？ リゾートホテルのデッキとかなのか？ こういう広告で創造される「想像しうる最もかっこいい商品の使用シーン」って現実とかけ離れていてなんか面白い。わざわざコンビニの惣菜を小皿に移して7品目くらい作った食卓にしているCMもよく見かけるが、あんな凝ったことをする人は自炊するんじゃないか。洗い物がめちゃくちゃ増えている。でも売る側の想定としてはそんなご家庭が「ある」わけだ。ビニール袋をランチョンマットにして直接容器からパクついている独身男性のようなリアルは消費の現場だけに存在している。

『シンドローム』（佐藤哲也）という小説がある。日常生活を送っていたら宇宙生物（らしき何か）が攻めてくる古典的設定のSFだが、事件がどんどん大事になっていくなかで、主人公の少年は同じクラスの女子のことをずっと気にしている、という変な話だ。主人公は「恋は迷妄にすぎない」と、繰り返し繰り返し述べる。「人はもっと迷妄に乗っ取られずに精神的な存在であるべきだ」みたいなことも繰り返し言っている。この「人はもっと精神的な存在であるべきだ」みたいな感覚というか志向みたいなの、なんかよくわかるんだよな。今日「だんだん年を取ると体調が悪くなったり腰が痛くなったりして、健康の大切さが身に沁みてくるが、健康を志向するのはダサいので困る」みたいな話をしたのだが、これも似ているかもしれないと思った。健康ってなんか「精神的じゃない」感じがする。「不眠症や発達障害はサブカルだが腰痛はサブカルじゃないから嫌だ」みたいな元も子もない感覚ってやっぱりある気がするんだけど（ひどい話だ）、それは「精神的」かどうかの違いかもしれない。サブカルであるとは精神的であるということで、健康でいようというのは非精神的な迷妄の虜であるということだ。小出祐介の言ってる「愛はおしゃれじゃない」というのもそんな線の上の話かもしれない。人間の活動など生理学的に突き詰めれば全て感覚器官の興奮に集約されるはずだが、腰痛や性的興奮なんかと「精神」とかいうやつを区別しようとしてしまいがちなのはなぜなのだろう。

クローゼットにしまってある空き箱とかをバラす、という作業をやった。電化製品を買ったときとか、箱の扱いにいつも悩む。これってとっておいたほうがいいのか？ 中古で売るならとっておいたほうがいいんだろうけど、たとえば今使っているドライヤーを今後中古で売るのだろうか……と思うと別に売らない気がする。ドライヤーを買い換えるタイミングって古いほうが壊れたときくらいだし。そもそも中古で買う側だったとして、箱とかなくていい。というか無いほうが嬉しいかも。かさばるから。だから合理的に考えれば箱はバンバン捨てるべきなんだろうけど、最近の製品の箱は「いい感じ」なのが困る。iPadが入ってた箱とか。なんか手触りもツルツルしているし、箱の構造も凝っている。「ようこそ」とか書いてある紙も入ってる。これらは商品の価値を上げるための演出だ。やっぱり開封の瞬間が一番テンションあがるから、その体験を担ってくれているわけだ。だからある意味で箱も商品を構成する要素だと言ってしまえるわけで、その箱を破壊して破棄するというのは、商品の一部をもぎ取るような罪悪感がある。今回思い切ってスマホの入ってた箱を解体してみたが不思議な感覚だった。最初から壊されることを想定していないような組み立て方になっているので、箱が「え！？」と驚いているような感じがした。

「おいしい」＋「くいしんぼ」で「美味しんぼ」って造語、なんかすごいなと思う。言葉の意味が近すぎてくっつける意味がないというか。逆によくその距離感のもの同士をくっつけたなあという変な感心をしてしまう。

数値で見ると「人生って歩行だな」と思う。「死」へ続く長い道を自分で進んでいっているな。一生で歩く距離、まあ地球2周くらいいくんじゃないか？ となんとなく思っていた。1日平均8000歩、1歩の歩幅が70cmとする。1日の歩行距離は5.6km。80年生きるとして、まあ、幼少期とか老年期にそんなに歩けないだろというのはあるけどざっくり計算すると16万km。地球1周は直線距離で4万kmだから地球4周ぶん。これはだいぶ多めに見積もっていると思われるが、半分だとしても地球2周は歩く感じか。その様子を俯瞰で見たらちょっと滑稽かもしれないな。地球上に一生の軌跡を描くとして、巨大な平面上のごく一部の地域を、グチャグチャグチャと塗りつぶすみたいに行ったり来たりしているだけの人がほとんどだろうから。

コンビニで焼き魚、ぜんぜん買わん。だからこの企画は普通に勉強になってよかった。そして「コンビニで売っている焼き魚は、そこらの定食屋の焼き魚となんら遜色ない」ということを知ってしまった。世界がグルっと音を立てて転換していった、そんな気がする。焼いた魚を劣化させずに全国のコンビニで流通させるのって、いったいどうやっているんだ？ たぶん素人が思いつくような方法で試したら、おそろしく悲惨な結果になるであろうことはなんとなくわかる。想像もつかない工夫が詰め込まれているのだろう。なのに顧客は「うーん……コンビニの焼き魚、か……」と、買う前のイメージで簡単に敬遠する。コンビニ大試食フェスみたいなイベントあったら、みんな普段買わないものの味を知ることになって総合的に売上が伸びたりしないだろうか。

むかし聴いてたラジオのパーソナリティが話していたのだが、子どものころに家のテレビが白黒のままだったので「カラーテレビでムーミンが観たい」と父親にねだったところ「バカ、白黒で観るからムーミンがどんな色なのか想像して楽しめるんだろう。カラーで観たら想像力がなくなる」みたいなことを言われあしらわれた、という。井の中の蛙という言葉があるけれども、あれの重要なポイントは蛙自身がその井戸の中を世界だと思いこんでいることにある。つまり蛙の錯誤は井戸の中にいること自体ではなく、壁の内部において全体を知ったと思い込んでいることにある。もっと言えば、「全体」を知りたいと渇望すること自体が間違いの始まりなのかもしれない。ただ無為に蛙として跳ね、水面に波紋を作る。その単純な関係だけがあるとき、ある意味で井戸の中だろうが大海だろうが関係ないといえる。二人称と三人称と言い換えてもいいかもしれないが。情報を集めていると、三人称的なものの見方ばかりつい得意になってしまうな。

本を読んでいるとき、それがどんなに面白い本であっても、心のどこかで「退屈だな」と思っている。本を読んでいる間に読める本があればいいのに。音楽でもそうだ。音楽を聴いているとき「いま、この音楽を聴いている時間で、別の音楽を聴くことができるのに」と思う。何かをするということは、それをしている間にその何か以外ができなくなるということだ。そういう発想をしている限り、何をしていても欠乏感が生まれる。

ドラえもんのエピソードで「タイムふろしきでいろいろなモノを古くして化石化し、土に埋めて発掘するドッキリをしよう」みたいな回があって、アマチュア考古学者のおじいさんがそれに騙される話だった。最終的にそれがシャレにならないと気づいたのび太とドラえもんは謝罪するのだが、偶然タイムふろしきが本物の三葉虫の化石（しかも新種）にかぶさっていて生きた三葉虫が復元されていたことにより、おじいさんは「大発見だ」と大喜びする。めでたしめでたしなのだろうかと、子どもの頃に読んで思った記憶がある。三葉虫が新種なのはすごい。でもそれが生きてたら「なんで生きてるの？」ってまずなっちゃうだろ、と思った。学会に提出した場合、その扱いはどうなるんだろうか。普通に考えたら化石が生きた三葉虫に復元したなんて考えられるはずもないから、三葉虫がじつはシーラカンスのように原生していたと考えるほかないわけだが、事実は違うし、じゃあドラえもんやひみつ道具の存在から説明していくのかというと、それも厳しそうだし……。おじいさんは結局あの大発見をにぎりつぶされてしまうんじゃないか……と余計な心配をしてしまう。「時を遡れるタイムマシンがあったら、歴史的事実を直に見に行けばいいから考古学がめちゃくちゃ捗るな」と昔はよく考えていたが、上記のような理由も含めてむしろ「過去」というものの信頼性がより危うくなってしまうような気がする。「なんでそれが事実だと思うのですか」「見たもん」というのは受け答えとしてはもっとも低級な部類だろう。強度を確保するためには動かぬ証拠が必要になるが、時間移動が当たり前になった場合、みんなが共有している「現在」の基準のほうが由来でしまうことになるわけで、たとてば蘇我入鹿暗殺の瞬間の写真を激写したとして、それを「証拠」として扱ってよいのか？ というひじょうにデリケートな問題が発生する。ドラえもん世界における考古学ではどういう議論がなされているのか気になるな……。

Twitterでさまざまな「意見」を見ていると、心底から「誰にも賛同したくねぇ～」という感情が湧いてくる。その内容に関わらず、意見というもの自体への嫌悪感というか、そういうのを感じる。独白や独断みたいなツイートにはそういうものを感じないので、たぶん何かを言うことによって人に影響を与えよう、という動機自体に嫌悪感があるのかもしれない。当然それは言論の要であって簡単に否定できるものではないんだけど、でも直感的には拒否したくなる。自分自身もときにはその流れに加担しているとわかっていても。特に最近ダメになってきたのは「まあ……だよねえ」みたいな、イデオロギーを軽いアンダースローで放るような構文だ。たとえばパン派とご飯派が争っている構図があるとして「まあ、パン派がこれまでに何をやってきたか考えれば、ご飯派がここまで噴き上がってる理由もおのずと明らかになると思うんだが、わからないからこうなってるんだろうねえ……」みたいな調子の文章を読むと、内容よりもその構文のほうに不快感を覚えてゲロゲロとなってしまう。もちろん大切なのは内容の妥当性であって、構文は副次的なものなのだから、ここに過剰な拒否感をおぼえる私のほうにも問題がある。だがこういうアンダースロー構文を使うことがなんらかの有利な状況をもたらすシーンがあるような気もしていて、そうだとしたら嫌だなと感じる。「ん～、なるほど。まあ、アンダースロー構文が有利になってしまった事実をもっと重く捉えないといかんよねって感想。いつものインターネッツで見る光景だから意外ではないし、正直『まだその段階？』まであるが。んで、面白いのが『じゃあ誰か先陣切って世直ししたら？』って聞くと、さっきまで熱く正義を語ってた人が急に黙るところまでがワンセットっていう。あ、『沈黙は肯定と同じ』でしたっけ？ そういえば日本が誇るアートであるアニメーションにこういう言葉もあってですね……『世の中に不満があるなら自分を変えろ。それが嫌なら、耳と目を閉じ、口を噤んで孤独に暮らせ』」。

よくよく考えると他の敵キャラはせいぜい体当たり程度なのに、1人だけハンマーを無尽蔵に投げ付けてくるハンマーブロスって殺意高すぎるだろ

インターネットで「文脈」みたいなものを成立させるにはどうしたらいいのかちょくちょく考える。たとえば友達同士との軽口で「おいてめえ殺すぞ」と言うことがあるとして、そういう言説の存在をより健全なかたちで肯定するにはどうしたらいいのか、というような。こういう過剰な言い回しを不愉快に思う人がいることは理解できる。日常的に暴力の危険にさらされてきたような人からしたら、そういう言葉を見るだけで不安がよぎったりもするだろうし。しかしただ「そう思うのはあんただけだよ」と突き放すのも「傷つく人のことも考えてください」となるのも簡単で、どちらの姿勢にも安易に与したくないなという感覚がある。スクショとかRTとかそういうものにはあらゆる文脈の集積を5センチ角に切り出してしまえる暴力性があって、そういう手つきで文脈からフレーズを抜粋すること自体に一種の悪徳があるんだ、という倫理が広まる可能性を広げていったら状況は多少マシになるんだろうか。その流れでいえば小林賢太郎がオリンピックの開会式担当から降ろされた件は衝撃的だった。というか事態そのものに意外性はなく「やっぱりこうなるのか」と思いつつ「こうなる」こと自体に深くしみじみとした衝撃があって、ジワジワとダメージを食らった記憶がある。20年とか前の絶版VHSに収録されたお笑い番組にあった不適切発言が原因で人の進退をどうこうしてもよい、となるのならそれは大変なことだ。そういうやり方をよしとしたところで、結局は表層的な立ち居振る舞いの上手さみたいな政治力が全体を左右するだけで、人のモラルが向上するわけではないだろうし、常にロシアンルーレットの引き金を引き合うような社会になってしまう。このどん詰まり感を解消するには、ある言動が「ある」ことと「広める」ことの差異をより明確にし、そして言動を「広める」機能やそれを使う責任の所在をより重く問うような倫理観の変化が必要なのではないかという気がする。Twitterというのは未来人からしたらひどく幼稚で野蛮なSNSに見えるのではないか（現代人からしても別の意味で幼稚で野蛮ではある）。というのも、「リツイート」機能になんのセーフティもかけられてなくて、みんなが好き勝手に拡散と言及を繰り返しているからだ。文脈ありきの「おいてめえ殺すぞ」が守られるようにするには、まずそれを言うこと自体は容認したうえで、その言動がどういう経路を経て人に伝わっていったのかを確かめ、言論の舞台を用意した側の責任も問う必要がある。いまのTwitterは場末の飲み屋で放ったつもりの発言がRTによって後付け的に駅前で叫んだことにされてしまうみたいな歪んだ構造になっている。そもそもそうなる仕組みを作ったTwitterに倫理的責任がある、と考えてみる価値はあると思う。じゃあどうすりゃいいんだ、といえば、ぜんぜん抽象的でまとまってないけど……。

砂糖を新雪の朝くらい敷き詰めて水も入れずにグツグツ鳥モツを煮るという「ホワイトすき焼き」を作って食べた。いったいなんカロリーあるんだろう。動画でも言っているけど味はとてもうまい。しかし一口食べるごとに体の内部のどこかが確実に損傷しているのを感じる。すごい料理だ。「甘いはうまい」とはよく言ったもので、私たちの「美食」とやらが結局は単純な刺激に還元されることを実技で証明されているみたいな、全部が電気信号に変わっていくような、そんな「力」を感じる鍋だった。一生に一回くらいはやってみるといいかもしれない。当然これを食べた後は糖の過多で頭がクラックラになった。でも一種のプラシーボみたいなもので、これくらいの糖分量ならスイーツバイキングに行くのとたいして変わらなかったりするのかも。

YouTuberは炎上すると謝罪動画を出す。こういうとき、サムネイル画像はだいたい文字がなく、あえて撮って出しみたいな無編集感のある画像になっていることが多い。本編も、普段ならカットを入れまくり、字幕を入れまくっているところ、だいたい無編集に近い＆ノーテロップである。服装を地味にするとかはともかく、なぜサムネイルや字幕まで地味にするのだろう。特に字幕はあったほうが親切ではないのか。YouTuberやその視聴者の間で「派手なサムネとか、でかい字幕って、はしゃいでる感あるよな」という認識がなんとなく共有されているのかもしれない。新しいマナーが生まれつつある。謝罪のときにアロハシャツがふさわしくないのと同じように、謝罪動画ではサムネイルを凝ってはいけないし、字幕をつけてもいけないのだ。謝罪動画ではあえて普段はカットする間を残していたりもする。本来ならテンポ感のために削ぎ落としていた部分が、謝罪のときは重要になるというのは興味深い現象だ。そういう「気まずい」部分こそ、実は謝罪にとって大事な要素であるということを、みんな無意識に理解しているのだろうか。

「なぜ、エヴァでザリガニなのか」についての説明がどこにもないのがすごい。「あ～あ、エヴァンゲリオンのザリガニがあればなあ」と思っていたエヴァファンは一人もいないと思うし。一切の需要がないところにいきなりカサカサと登場したこいつはいったいなんなんだ。それを買う私もなんなのか。

道徳という「教科」がある、というのはなんだかすごいな。国語や算数や家庭科は、ある種の技能を伝授するためのカリキュラムである。となれば道徳の授業も技能を教えているということになるのか？でも、道徳の授業を受けることで道徳を初めて知って身につけた、という人はたぶんいない。このへんが道徳の珍しい性質だ。道徳は規則を学ぶように身につけるのではなく、あくまで内発的なものとして、自然に覚えていなければならない。たとえば「落とし物を拾ったら交番に届けるべし」というのは道徳的な要請だけれど、それを単に「規則ではそうなっているから」みたいな理由から行う人は道徳的な人とみなされないみたいなところがある。「落とした人は悲しむだろうなあ」とか、なんかそういうのが要るんですよね。道徳って「良いことをしろ」と命令するばかりか「良いことをしたいと心から欲求せよ」とまで言ってくるとんでもないモノで、その要請のあり方自体に不純なものが――言い換えれば「悪徳」が――隠れているのは明らかだし、授業で教えられる道徳からはその濁りがダイレクトに漏れてくるのだろう。もちろん道徳は大切だし、それが内発的な形で生じるのはとても尊いことなのだが、これが絶対にカリキュラムによっては生み出せないこともまた事実だと思う。そういう道徳心は授業よりも遊びとか共同作業を通じて勝手に育つ。もちろん遊びとか共同作業を通じて「ズルしたい」とか「意地悪したい」みたいな悪心が芽生えることもある。しかし道徳の核は、それが善であることより内発的であることにあるのではないかと私は思う。悪人を生み出せないようなシステムはろくでもないと感じる。

GPSとか追跡系のシステムの名前に「メリーさん」が使用されていないのが不思議に思えてきた。神話由来の名前は多いけど都市伝説は使わない

40代までに結婚しないと狂うぞ、という問題、「狂う」についての内閣府のデータがないのでまったく信用ならない。結婚してても狂ってる人はけっこういるので……。

初代バイオハザードが一番怖かったのって、画質が荒いゆえに先の見えない恐怖を煽ってきてたからなのか、あのゲームがホラゲの嚆矢的存在だったからなのか、どっちなんだろうか。

今回案内された席は回転寿司レーンのカーブ付近、つまり厨房から一番遠いところだったのだが、皿を投入する穴から定期的に「ジャーーー」とトイレみたいな音がするのが気になった。たぶん寿司レーンの下に使用済み皿が流れる川があって、その終端にあたる場所に段差だか排水溝だかがあり、その音が聞こえたんだろうな。あと途中で寿司が追突事故を起こしてヤリイカがすごい斜めになるという事件があった。すぐに全てのレーンが緊急停止し、アナウンスが流れた。「えー、現在、レーンにトラブルがございましたので一時的に運転を見合わせています」と言っていてかなり鉄道だった。すぐに店員さんが駆けつけてきて「お怪我はありませんでしたか！？」と気を遣ってくれた。これで血まみれになって大怪我していたら少し面白い。

私は「好きなものについて熱く語れる」必要なんて別にないと思っている。もちろん、そういうことが好きで、それができるならこしたことはないけど、まあ本質的には趣味みたいなものなので。なんとなく好きな映画をなんとなくぼーっと見て「あー、面白いな」と思って、話の筋まで全部忘れちゃうみたいな。そういうのもかなり尊いと思う。このまえ読んだ「芸人のくまだまさしは映画プリティ・ウーマンをレンタルして毎日見続けているが、特に内容がめちゃくちゃ好きとかではないし、語ることもない」というインタビューにはそんな尊さを感じた。アメトーーク的な「推し語り」スタンスとは別に「なんか好きな映画だけど、特に言うことはない」「何年も聴いている好きな曲だけど、誰が歌っているかは知らない」みたいな「好き」のありかたがある。そういう人が「語り」に与することができないがために自信を失ったりするのはよくないな～と思う。

大昔の歌手やアイドルの動画をYouTubeで見ると、壮年から老年に差し掛かろうという年齢と思われる人の素朴なコメントをたくさん見ることができて良い。「昔のアイドルは凄いねぇ、今の団体さんでもかなわない魅力が素敵！！」というコメントとか良かった。AKBとかのことを「団体さん」と表現するところに質感がある。「子供だったけど、戻りたい。この頃に。」「良き時代だった。戻りたい。」「それにしても人生って短いなぁ」といったノスタルジーがたくさん連なっていて、人生の後半に待っている娯楽の大半は回顧なのだろうなあと思わされる。自分も間違いなくそうなるだろう。『冒険でしょでしょ？』（涼宮ハルヒの憂鬱のオープニング）の動画についているコメントを見てみた。「この頃がいちばん楽しい時代だったな」「なつかしい、ただそれだけ」「今見るといろんな感情が湧いてくるわね」だいたい同じだ。知らないものに触れたいと思う好奇心を「知っているものや記憶を撫でていたい」という欲求が完全に上回るときはいつやってくるんだろう。早ければ20代前半でそれがくる人だっている。もちろんそれはそれで別に良いんだけど、一度そっちのモードに入ってしまったらもはや心のツメが折れているというか、二度と「新しいものをどんどん知りたい」というほうには戻れない気がして怖い。

普通にうんちを漏らす形で末席を汚す、かなり珍しい人

コンビニで買ったダージリンティーを飲みながら歩いて帰った。通りすがりのコインランドリーで褐色の青年が何語かわからない言葉を使って電話していた。インドの言葉っぽい感じはした。語調からすると、なんとなく怒っているっぽく聴こえた。しかし外国語だからそう感じただけだと思う。ただ威勢よく喋っていただけか。日本人の発声は世界的に見ても音量が小さいらしい。たしかにそうかもしれない。だから外国語に威圧感を覚えがちだ。あの人が仮にインド人だったとして、インドでも「お前声でけーよ」と言われるくらい声でかいやつ、もいるのだろう。そいつは日本人からみたらもうとんでもなく声がでかく感じられるに違いない。各国のステレオタイプとされる人の中でも、さらに極端なやつ、を集めて大会を開きたい。「いくらなんでも紳士すぎるイギリス人」とか「酒が好きすぎて本国でも引かれているロシア人」とか「色男にもほどがあると非難すら浴びせられているイタリア人」とか。「勤勉すぎるんじゃないかとやんわり忠告されている日本人」も。そういえば昔テレビで「パスタが嫌いなイタリア人を探そう」というのをやっていたのを思い出した。かなり苦労していたがなんだかんだで見つかっていたはずだ。

芸能界隈に『整い』好きが異様に多いのは、あんな緩急差と緊張の連続みたいな業務が通常運転ならそりゃ、素面のまま身体刺激だけでトぼうと思ったら一歩進めば死くらいの強度で刺激入れないとヨくなれないよな……と思って見てる。教員にもやたら多かったし、脳みそぶん殴る強度の刺激入るんだなと

いろんなものを逆にしてみると新たな発見がある。今日は布団に潜った後歯を磨いた。

今日、歩いていたら建築現場を見かけた。ビルの工事中に、建築物全体を覆う仮囲いパネルみたいなのがあるけど、あれを設置している最中だった。タテヨコに8×15枚くらいのを4面分。500枚くらいを組み合わせていることになるんじゃないだろうか。パネルも両手でやっと抱えられるかどうかという大きさで、それを仮組みを渡り歩きながら持ち上げて嵌め込んでいく作業はチラッと見ただけでも果てしなくめんどくさそうで、でもあの作業の結果が完成した建築物そのものに残ることはない。残らないからこその仮組みの美。

新しい小説、のことをそろそろ考えないといけない雰囲気が出ており、ウラウラと隙間を見つけては考えるだけ考えてみている。私はなんというか「放っておいても勝手になんか作ってる」というタイプではない。なんらかの強制力が働かない限り、ずっと平気で消費者をやっていられるほうの人だ。なにをするにも「構想を練る」段階が一番楽しい。構想が固まってから具体的に骨組みを作り始めると、一気につらくなる。たまにある大作映画とかのキャッチコピーに「構想20年」などと書いてあると「さぞ楽しかっただろうな」と思う。

帰りの電車の中で、急にケータイがネットにつながらなくなった。いつもなら電波強度が表示されているアイコンに「×」が出てて、通信機能をオン・オフしたり、本体を再起動してもつながらない。SIMカードが中でズレたのかもしれない、とか思いながら帰宅してWi-Fiにつないだところ、Twitterのトレンドに「docomoの大規模障害」があった。個人的な端末の不具合かと思っていたら、なんと全国的な障害だったのである。ということは、電車に乗っていたほかの乗客のけっこうな割合も、同じように「あれ～ネットつながらないな」と思って試行錯誤していた可能性がある。そして、乗客それぞれが「自分の端末がなにかおかしいのだろう」と勝手に思い込んでいたはずだ。ネットに繋がっていないせいで、自分のところで起こった問題がいまどの程度一般的なのかがわからなくなっているからだ。みんなが同じ問題をそうと気づかないまま孤独に抱えていた時間があったんだと思うと、なんだか妙で面白い。なんか生活で困ったとき、ネットで解決法を検索する。検索窓に問題を打ち込むと、サジェストで先回りしてその疑問が表示されることがある。そういうときは解決法を知る前から「みんな同じことで悩んでたんだ」と思って少し安心したりする。

「大人にはないしょだよシリーズ」というのがあって、動画内の黒くて小さい本がそれなんですが、昔けっこう読んでいたような記憶がある。まさに良い意味での「子供だまし」というか、子供が喜びそうなこまっしゃくれたネタが満載の本である。なぞなぞだけじゃなくて心理テストとかマジック入門とかいろいろあった。告白すると私はこの手のいじわるカス問題を得意になって大人に披露するこまっしゃくれたガキであった。そんな時代を経て、今のようなこまっしゃくれた大人になったのである。だからこの動画にあるような本はまさしく私の血肉となって、現在でも精神の基盤を作っている。どの本だったかは忘れたが、印象的なネタがある。「10年に1度しか折れない鉛筆」みたいなタイトルだった。普通の鉛筆を「この鉛筆の芯は10年に1度しか折れないんだよ」と言って見せびらかす。相手が「そんなわけないだろ」と言って芯を折って見せると「その10年に1度が今来たんだよ」と答えるのだ。なんかこのネタは他のと比べると異彩を放っていたような気がしないでもない。少なくとも「運動会の最後にあるものといえば？ 閉会式？ ざんね～ん。『会』の文字でした～」みたいな低水準のネタよりは理屈がしっかりしているというか。でも子ども同士でいるときに鉛筆のネタを見せたらスベると思う。少し難しいから。こういうのに載ってるネタって本当にしょうもなくていいよな。「相手の服を指差して『服に穴があいてるよ』と言おう。相手が慌てたら『……ボタンの穴が』と続けよう」とか書いてある。こんなの「悪意」じゃん。大人になったら純度100％の「悪意」をぶつけていいタイミングなんてそうそうなくなるけど、子どもって当然のようにクラスメイトを騙し、嘲り笑い、出し抜こうとするからすごい。それでいて多くの場合は問題にもならず共存している。なんなんだ子どもって。怪談の本も同じ時期にめっちゃ読んでたな～。話が入り組んでるやつはあんまり好きじゃなくて数行でフッと終わってしまうようなやつが好きだった。特に印象的なのは、なんか怪談事典みたいなのに載っていた「すいこまれる」という、怪異を呼び寄せる方法だ。壁に手をつけて「すいこまれる」と100回言う。そうすると手が壁にすいこまれる。それだけの話なんだけど、怪異に花子さんとかみたいなキャラクター性がなく、ただ「現象」としてそうある、みたいな無機質さが子供心に恐ろしかったのである。こういう怖さはいま、SCP財団が担っているのかな。システマティックな不条理のほうが「こっちの理屈が通じない」という感じが強くて怖くないですか？ そういう意味ではクトゥルフ神話なんかもその系統かもしれないな。でもあれは神々を博物誌的に鑑賞するような楽しみかたが知れ渡りすぎて「未知の何か」という風情が薄れてきている気もする。怪談といえば映画『学校の怪談』だ。小学生が夜の校舎でひたすら怖い目に遭うだけの夏休み映画。いろんな霊や妖怪がサービス精神旺盛に次々出てくるのが楽しいシリーズなんだけど、私が一番「こえ～」と思ったのは「何度跳ねても全く同じ高さを維持し続けるサッカーボール」だ。なんか跳ねるだけで、主人公だかを導く怪異だったと思うが。日中の小学校で、ただボールがずっとひとりでに跳ね続けている、という光景がめちゃ怖かった。そういうのすごい苦手。だから電波時計が嫌いだ。最初に時間を設定するモードにすると、時計がすごいスピードでぐるぐる回って現在時刻まで動くのだが、あれはゾッとする。

名探偵コナンのマンガの第1話の冒頭、カラーページくらいのところで、高校生工藤新一だったころのコナンが華麗に事件を解決するくだりがあった。たしか洋館での密室殺人みたいな話で、足を折って治療中ということになっている車椅子の主人が実は詐病であることを暴くのだ。本当は自由に使える足を使って、屋敷の外壁をつたって部屋に侵入して殺人をしたのだ。で、新一は「もうネタは割れてるんだよぉ！」とか言って車椅子を思いっきり蹴っ飛ばして、思わず主人が立ち上がってしまう。詐病の動かぬ証拠だ。このシーン、こえ～～って思ったんだよな、読んだ当時。いや、工藤新一の推理力が半端じゃないことはもちろんわかってますよ。わかってるけどさ、仮説がいくら確かでも人の車椅子蹴っ飛ばせるかね？万が一、推理が間違ってて、そいつの足が普通に折れてた場合の空気を想像してみてほしい、最悪だ。「ぎゃー！」と言って転げ回る主人。カラカラと音を立てて回る、横転した車椅子の車輪。白い目で工藤新一を睨む警察関係者や館の住人たち。この世の地獄である。工藤新一は車椅子を蹴っ飛ばす前に、0.1秒でもそういう想像をしなかったんだろうか？ しなかったんだろうな。自分の推理に自身があるから。高校生探偵特有の青さだ。そうやって自分の脳力を過信するから、子どもにされちゃったんだぞ、わかってるのか！

知らない美容サロンから「大変不躾ですが、動画を見ているとあなたの口周りの青ひげがどうしても気にかかるので初回無料で脱毛の施術をして差し上げましょうか」というDMが来ていた。まあまあ不躾だなと思った。こういう誘いをされることってあるんだ。芸能人とかにDM送ってる整形外科もあるのかな？ 「大変不躾ですが、あなたの鼻の形がどうしても気にかかるので初回無料でプチ整形して差し上げましょうか」とか……。美容関係のコンプレックス商売において、向こうから積極的にこっちに売り込みに来るのってあんまよくない気がするな。本人が満足していたらそれでいいわけだし。「家庭菜園のナスがとれすぎちゃったんでちょっと分けます」みたいなノリで人を脱毛しようとしてくる人がいる事実は面白い。

日テレ公式が『踊る！さんま御殿』の投稿再現VTRのコーナーを24時間ずっと垂れ流している。これはすごい。見ても見ても再現VTRが流れ続けるので夢のようだ。大トロしかない魚だ。また、ただ垂れ流すだけではなく合間合間で「さんま御殿のVTRによく出る俳優の傑作選」みたいなコーナーを挟んでくれたり、その俳優のコメントを出したりしてくれるのも嬉しい。そうやって脇からコンテンツを支えている名も知らぬ人にスポットを当てようと企画した人がいるということがなんか嬉しい。意外なのは、このコーナーの支持の高さだ。この日記を書いている深夜2時30分時点で7000人以上が視聴しており、絶え間なくチャットも流れ続けている。みんな作業中に垂れ流しているのだろう。「さんま大御殿おもしろいですね 笑」と勝手に「大」をつけて勘違いしている人もいた。実際、さんま御殿のVTRは暇つぶしコンテンツとしてメチャクチャ優れている。基本的にその内容は、暮らしの中で出くわすちょっとしたストレスを誇張したミニドラマにしているというだけなんだけど、その塩梅がちょうどいい。『スカッとJAPAN』くらいになると油分と塩分が多すぎる感じがする。あくまでも「トホホ」や「イラッ」で済むレベルに内容がコントロールされていて、それなりのオチがつくのが心地よい。あと、出演している俳優がみんな（失礼ながら）無名の人たちなのも良いな。見ているとつくづく感じるが、テレビは非常に文脈のカルチャーだ。いろんな芸能人がたくさん出てきて、彼らはそれぞれ芸人だったり有名俳優だったりして、それぞれの関係性があり、視聴者もなんとなくそれを知っていないといけない雰囲気がある。つまりテレビ番組を観ると、出演者や企画からその背景にある文脈の情報も流し込まれることになるわけだが、それってけっこう疲れると思う。もちろんYouTuberの動画もSNSも同じだ。その点、再現VTRにはそういう内輪のノリがないので疲れにくい。無印良品の雑貨が好まれる理由にも似ていると思う。あえて文脈を捨てたコンテンツだからスルスルと素麺みたいに啜れる。一方『スカッとJAPAN』のVTRは名物キャラを作る路線に進んでいるようで、特定のタレントのキャラを立てて、ウザキャラシリーズを作っているみたいだ。これはこれで人気が出るのだろうし、マンガなんかでも「キャラもの」は根強い人気があるが、こういうさんま御殿VTR方式のコンテンツもウケるんだなぁと思った。長時間観ていると、撮影に使っているレンタルスタジオについて「あ、ここ前も見たな」とか「このパパ、前の話の嫌な上司だな」とか気づくようになってきた。あと背景に貼ってあるポスターの小道具なんかに目が行く。「パレスレモン」とか「御殿銀行」とか書いてるのに気づいた。ちゃんと番組に合わせてるんだな。

口笛が吹けないんです。何度やっても。コツを解説した動画とか見ながら練習したこともあったけど、それでも全然ダメであった。本当に自分の口は口笛を吹ける構造になっているのか？ という疑問が浮かぶ。体の柔らかさとかって人によってぜんぜん違うじゃないですか。ぐにゃーと足の間を上半身がくぐってしまえるくらい柔らかい人もいれば、指先を足先に触れさせることすら無理な人もいる。最初から口笛を吹けない構造の口というものがあるんじゃないか、と疑いたくなる。だとしたら今までの自分の練習はとんだお笑い草ですよ。魔力ゼロなのに魔法学校の入試を受けるようなものだ。パソコンの授業とかだと、先生が生徒全員のパソコンを遠隔操作できる設定になっていた。人のパソコンのカーソルを遠隔で動かして、代理で操作してやったりすることができる。あの「画面の中のカーソルが何者かによって勝手に動く」という感覚は妙に不気味だったが、肉体であれをやってほしい。口笛のうまい人に憑依されたあと、自分の体で口笛を吹いてもらいたい。自分自身はもう吹けなくてもいい。ただ自分の体でも口笛って吹けるんだ、ってこだけ知れれば十分だ。体と心ってどれくらい身体的技能に関連してるんだろうね。たとえば自分の体に大谷翔平の精神が乗り移ったら、まあ確実に彼の選手としてのパフォーマンスは下がると思うんだけど（背低いし筋トレしてないし）、でも素の自分よりは確実に野球がうまくなるとも思う。培った勘は使えるはずだから。いろんな天才を自分に乗り移らせたとき、そこから引き出される「自分という器の最大パフォーマンス」を知りたい。たぶん今のこれは100％じゃないと思うんですよね。だから熟練のパイロットに操縦される自分、みたいなものをたまに想像する。

アイスコーヒーだと思って飲んだ麦茶がめちゃくちゃまずく感じられるように、ふさわしいカテゴリで捉えられないと美味しく感じられない。そういう意味で「本当に美味しい〇〇」を知ることは、食べ物の正しい引き出しを知るのに役立つ、ような気がする。私が近年になって克服した食べ物のひとつに「抹茶」がある。これまでは抹茶アイスとかなんか気持ち悪くて粉っぽくて嫌だったんだけど、ある日を堺にして急に「ああ、この引き出しにしまえばいいのか」と気づいた。それ以来、抹茶は好物になった。嫌いなピーマンを細かく刻んでハンバーグに混ぜるくらいなら、ピーマンをよく触り、眺め、匂いを嗅ぎ、舐めることで「ピーマンを知る」ほうが、克服に役立ったりはしないだろうか。

なんかわりと低空を飛行機とんでた。あの中に座席があって人が座ってるんだな～と思うとなんか変だ。飛行機に乗ったことは何度かあるけど、機体から見下ろす地上と地上から見上げる機体が接続しているという感じがぜんぜんしない。飛行機から見た地上は絵のようで、そこに人が生活しているという感じがないし、地上から見た飛行機は誰の意思とも関係なくただそこにあり横切るだけの自然現象みたいに見える。本当はどっちにも人間の都合がしっかり働いているんだけど。

腕に蚊がとまっていたので反射的に叩いて殺した。あ、と思って、蚊をキッチンペーパーに乗せ、顕微鏡で見てみた。ものすごく大きく見られる。まるで猛スピードのダンプカーにはねられたみたいにボロボロになった蚊がピクピク動いていた。手足に生えた毛のような突起まで見える大きさだ。この蚊が人間台の大きさになって、路上で息絶えているところを想像した。自分のほんの一振りの手のひらが、ここまで壊滅的なダメージを与えるほどに圧倒的な暴力であるという事実。蚊を叩くという日常的な動作すら、顕微鏡を通して観察すると意味合いがかなり変わってくるような気がした。

直前ならではの異常な集中力が今日は開花してしまい、水ものまずに6時間以上ずっと編集作業を続けて、さきほど完了した。満足感が凄いが本番は明日だ。そして満足感が凄いが、内容はカスだ。どうしようもない動画が出来てしまった。「反省しよう」というコンセプトなのに、新たな反省ポイントを増やし続けているような気がする。この、追い詰められてゴリゴリ作業に没頭している精神状態、正直言って好きだ。脳内では『まんが道』で満賀道雄がカリカリカリ……と原稿用紙にGペンを走らせている絵面が浮かんでいる。一種のヒロイックな気分というか、天才気分にさせてくれるし、そのプラシーボで普段の実力以上の力が出る（ことがたまにある）のかもしれない。そこに味をしめた先に待っているのは、ポッカリと口を開けた巨大デスワームの巣穴であることはもちろん知っていますが……。仕事のやりがい＝追い立てられてギリギリで間に合わせた時に分泌される脳内物質になってしまうの本当にめちゃくちゃ悪だよな。絶対やめたほうがいい。でも私は今からどうすればいいんですか？「いままでひどい先延ばし癖があって締切を破りまくってきたけど、あるときからそれを克服して余裕を持ってクリアできるようになりました」系の話って寡聞にして存じ上げないな。その手の自己啓発書はいくらか読んでいるが、だいたい要領のいい人が伝授するパターンだ。

「店」ってめちゃ大きいし、そこを通りがかる人はたくさんいるのに、閉店して別の店が建ったら、もうほとんど顧みられることはなくなる。少なくともネットで検索してもそう簡単には情報が出てこなくなる。よほど有名店でない限り本に情報が残ることもない。どれだけ大きなモノでも、ひとたび物体がなくなればそれは「大きなモノがあった」という情報になってしまい、いとも簡単に人々の記憶や文献の間に埋もれてしまう。たまに思うけれど、古代の大きな帝国が統治する街なんかに住んでいた人たちは、自分たちの暮らしの記録が残る期間や範囲を、ほぼ例外なく過大に評価していたのではないか。「1000年先にもこの街は繁栄しているだろう」「いずれ滅びるときが来たとしても、この街の栄華は5000年先でも語り継がれるだろう」と無邪気に信じてしまいがちなのが人間なのではないかという気がする。実際にはほんの10年20年前にあったラーメン屋の記録ですら怪しいのに。コロッセオといえば永遠の都ローマの象徴的な建物で、当時コロッセオを建築した人々も「これは永遠に残り続けるに違いない」と確信したはずだし、実際、2000年もの間ちゃんと残り続けている。しかしこれは歴史的に見れば極度にレアな幸運に恵まれたパターンだろう。実際にはコロッセオの横に巨大な猫の石像とかが建っていたかもしれないし、コロッセオよりもそっちのほうが当時はウケていた可能性だってある。でも跡形もなくなくなってしまえば、あとは「それがあったという情報」を遺伝するという別のゲームが始まるので、後世に残るとも限らない。古代の人達が「これは絶対歴史に残るわ～！」とか「お前、後世に語り継がれる偉人になるわ～！」とかはしゃいでいたけれど、結局全然歴史に残らなかったこと、の、リストとかあったら見てみたい。いや、そういうのすら残らないからこそなんだけど。

うんちしないアイドルが卒業とか引退とかしてアイドルじゃなくなって、初めて排便するとききっと怖いし心細いだろうな ということを人に話したら「もっと心配すべきことがあるはず」とか言って人生の話とかしようとしてきたから無視した

整体師って施術しながら「コイツ殺そうと思えば殺せるな」と思ったりするのかな。「これ以上曲げたら人は死ぬんだよな～」って。ダイハード/ラスト・デイって映画で、悪党のボスがマッサージ師の施術を受けながら余裕綽々で電話してたら、実はマッサージ師が殺し屋で、電話中に首をへし折られて死ぬというシーンがある。私はそれを見て感心したのだ。警戒心の強い悪のボスと言えども、マッサージ師だと思ったら頚椎を預けてしまうのだと。

文体の上品さからもにじみ出ていることと思うが、これを書いている今だけは姿勢よくつとめて書いている。しかしつらい。足がムズムズする。なぜ正しい姿勢なのにつらいのか。快適さと正しさが一致していればこんなに苦労することはなかったのに。だが正しさと快適さが乖離していることは人生においては「味」だと捉えることもできるであろう。快適に思うものが常に正しい人は、自分自身の下品さに気づくことができない。根っから道徳的な人物は本質的な意味では善を知ることができない。やってはいけないことをやってしまいたいと強く感じる人がそれでもグッとこらえるところにこそ人間の美徳があると考えることはできる。体感や欲求や認識がなにもかも一致しているような人に私は魅力を感じない。あらゆるものの構成要素が分離可能であることを体感的に知っていて、それゆえにその要素の分かちがたさに苦しんでいるような、アンバランスさについてのバランス感覚をもつ人は良くも悪くも魅力的だ。「最初から正しさを自然に知っている」というのは、ある意味で悪徳ですらあるのかもしれない。倫理的な議論をするうえで、悪をつい行ってしまうときにおける「つい」のリアリティを体感的に知らない者には、その議論に参加するのは困難に思われる。しかし実際には、実際に「正しい」という理由によって強い立場を得ることが可能だったりする。具体的にいえば、禁煙にまつわる公共的な議論をするうえで「タバコなど吸わないし、吸いたいと思ったこともない」という人が強い発言権を持つことは妥当なのか？ みたいな話。

目の前を歩いている人が吸い終わったタバコを地面に捨てるところを目撃した。オッと思った。こういうとき、吸殻を拾って「落としましたよ」と言ったら相手は本当に嫌な気分になるんだろうなと思う。実際にはしないけど。もっと嫌な気分になる方法はないかと考えた。吸殻を拾って、相手の目の前で先端をベロベロ舐め回したら嫌がられるだろうな。怖いだけか。

月見マフィンを食べたぞ。なんかインターネットの人って月見バーガーすごい好きな印象がある。ネットの反応を見るまであれがこんなに慕われているとは思っていなかった。いわばたまごバーガーなのに。というか「毎年必ず出る風物詩的商品」として話題にしやすいってことなのかな。それこそお月見と一緒。みんなで同じ空を見るのがそれだけで楽しいという感じで。マクドナルドが全国にあるから起こる現象。花鳥風月マクドナルドだ。

仕事でちょっと必要になる気がして3DCGを制作できる「blender」というソフトをいじっていたのだが、あまりにも全てが難しすぎて脳が爆発した。窓にちょっと飛び出た脳のかけらがついてしまった。検索してHow to を学ぼうとしても、ソフト自体が頻繁にアップデートしているため、昔のバージョンの解説ばかり出てきたりする。キエ～～ッとなった。

アンジャッシュ児嶋のせいで全国の大嶋さんは「児嶋じゃねえよ！」ってツッコミをさせられてるんだろうな。かわいそうに。

散歩のいいところは、まず体への適度な刺激があること。足裏に圧がかかり、風を浴び、歩行によって筋肉が温まる。それと、風景が次々に変わっていくこと。興味がそぞろに移り変わるし、それらが自分で選んだものではなく、ただ偶然めのまえに生じているところがよい。そして何より散歩は、適度につまらない。よく思うことだが、インターネットは面白すぎる。数年に一度レベルの奇跡を収めたビデオや、10万人に1人の描いたイラストなどが滝のように流れてきてしまって、感受性がいくつあっても足りやしない。面白いものに触れているときの脳は、それを理解するためにリソースがかなりとられている。景色がつまらないと、つまらなさを補うために脳が勝手に働き始めるのだと思う。これが重要だ。外界の景色が流れ込んできて、脳がそれを理解し、湧き出てきた妄想・空想で押し戻す。そういう攻防が散歩をしていると自然に行われるので良いなと思う。他に似ているのは「会話」かもしれない。ネタにつまったときに人と会話することで驚くほど思考が整理されて展望が開けることがあるが、それも会話が散歩と似た機構になっているからだと思う。テレビの視聴も、私にとっては会話や散歩に近い。あんまり面白くないのだが、ストレスなく見ることができるし、次々と景色が変わっていくから。

「自分の子供が不細工だったら、親としては嫌でしょ？」って、子供を可愛いと思う大人の馬鹿さを甘く見ている。別に自分の子じゃなくても、一度でも汗をかいた子供の頭の匂いを嗅いだら、もうその子供が客観的に見て美しいかどうかなんて判断できない。その子が二十歳過ぎても可愛くてたまらないよ。

40代から食生活改善は激しく同意で多忙な勤務状況にカップ麺やおにぎりで済ませて仕事してたら45才児で脳出血で左半身麻痺手帳持ちマンに強制変身したので本当に後悔しても後の祭りデス

会社の先輩が高校生の頃に初めて風俗に行ったらババアが出てきて、あまりのショックでガチ泣きしちゃってたらババアがディープキスしてきてついうっかり殴っちゃったら警察呼ばれて退学処分になった話を柳楽優弥で実写化して欲しい

めんどくさい約束がある日はその1時間前に温かいミルクを飲んでリラックスして布団に入る。起きると約束は終わってて同じ約束は二度と発生しなくなる。

よく言われていることではあるが、ポケモンの世界ではトレーナーは「いけ！ ○○！」と言って指示を出すのみで、直接的に戦いに参加するわけではない。それなのにポケモンが傷つけあっているのを見て感情移入したり、トレーナーが栄誉を得たりしているので、グロテスクといえばグロテスクである。ここまではまあみんな言っているポケモンの歪みだ。で、こないだちょっと思ったこと。そういうふうに「人がポケモンを使役する」ことが当たり前になっている世界では、当然ながら反動的な勢力も存在するはずだ。たとえばポケモンを人の「支配」から開放しようとする過激派団体とか。これは本編にも出てきていたような気がする。比較的ライトな反動としては「人が戦わないこと」に不満を覚え、人が自らの肉体で戦うこと自体に価値を見出すイデオロギーが成立しそうだ。それはたぶん古代のオリンピアにも似た、人の肉体の美や躍動を賛美するようなものなのだけど、現実世界とは違って、その賛美にはポケモンの価値に対する一種のルサンチマンみたいなものが込められていると想像する。たぶんポケモン世界で行われる「ポケモン抜き」のボクシング大会・レスリング大会などは独特の盛り上がりを見せるはずだ。ポケモンとヒトとが社会的に強く結びついていればいるほど、ヒト同士のシンプルな殴り合いに「自己の克服」みたいな光景を見出してしまうのではないか。漫画『グラップラー刃牙』の根底に「武器」へのアンチテーゼがあるのことにも似ているが、ポケモン世界における肉弾戦はもっと深い哲学的価値を持つ（ものとされている）ような気がする。

ある日、ふとネットで知った誰かのことを思い出すときがある。そういえばもう何年か名前を見かけていないな、どうしてるかな、元気かな？ と思いつつ検索欄に名前を入力して、本人のTwitterに飛ぶ。すると本人のツイートはここ数ヶ月まったく無いことがわかる。しかし、本人によるRTやいいねによって、その人がタイムラインを見ていることを知る。「あ、積極的につぶやいたりはしてないけど、まだいるんだ」と少し安心する。そういうようなことがちょくちょくある。これってなんだか不思議な感覚で、その人そのものの姿は見えないのに、代謝だけは認識できる、という感じに近い。アパートのお隣さん、ここ数ヶ月まったく見かけないけど、ガスメーターは回っているし、ゴミ捨て場にゴミが出ているし、生きてはいるみたいね……的な。人の情報アウトプットだけじゃなくてインプットの残滓を他人が追いかけることができる時代って現代が初めてじゃないかな。Twitterやってたら「いいね欄」をのぞくことができてしまう。「ふーん、こいつ、こういうのを面白いと思ってるのか」みたいな値踏みがわりと簡単にそこかしこで行われている。「いいね」のセンスだけで個性を出すことすらできる。1ツイートもしていなくても、いいねのチョイスが絶妙だったら私はその人を一目置いてしまうかもしれない。かつての名士たちが現代に生きていたら、どういうものに「いいね」しているのかというのは割と気になるな。太宰治のいいね。江戸川乱歩のいいね。フィッツジェラルドのいいね。など。でもこの好奇心って、それこそ人のゴミ袋を開けて漁って食ってるようなものにも思える。

今日は珍しく朝から用事があって（普段は午後から仕事をすることが多い）夜までがっつり予定が入っていたため、なんか疲れてしまい「帰宅したらシャワー浴びてぶっ倒れるみたいに寝～～ちゃお」と思っていたのだが、シャワーを浴びたらなんかサッパリして目が覚めてしまった。こういうことがよくある。寝る前のシャワーやら歯磨きをしている間に眠気がすっ飛んでしまう。眠気をいったんセーブしておいて、諸々が終わったらロードできたりしないんだろうか？まあ私の場合はだいたいどんなタイミングでもベッドに入ればすぐ寝れるのだが、それでも眠さがピークの時に倒れ込むようにベッドに臥してタイムラグ1分で入眠する快楽がいつも味わえるわけではなく、できるなら常に楽しみたい。

記憶にもいろいろあるけど、だいたいが「過去にこういうことがあった」という出来事の記憶だ。あとは知識としての概念的な記憶もあるが。で、人っていうのはただ目の前を認識しているだけじゃなくて、頭の中でいろいろなことを考えることができるじゃないですか。動物園のライオンを見ながらパリの凱旋門のことを考えたりすることができる。つまり脳にとっては外界とは切り離された「思考」そのものも出来事として記憶しうるはずだと思うんだけど、そういうことって全然ないような気がする。それこそ「動物園でライオンを見ながらパリの凱旋門のことを考えていた」というような記憶がありふれているかもしれないが、それは実際にあったできごとに付随するような形で思考の記憶が残っているみたいな感じだと思う。思考だけを純粋に過去のできごととして記憶することって結構難しいのかな？水槽の脳みたいな感じで、外界を認知する器官がないが思考能力だけはある生き物は、過去を「回想」することができるのだろうか？いろいろなことを考えはするだろうが、そこに前後関係を見出すことができるのか。いや、前後関係はわかるか。思考Aのあと思考Bに至った、みたいな記憶は残ると思う。でもそれって単なる「知識」になるんじゃないか？ 普通の意味での記憶というのは、もっとタイムライン的な線のうえに座標を持っているような感じがある。五感による外界の認知はその風景を連続したものとして捉え、人はそこから「時間」という概念を生み出しているのかな。思考はそこからちょっと離れた位置にある？

会社にいて、「あ、こいつはダメだ」と思う人ばかり出世して、「この人は尊敬できる」という人はみんな左遷されているので、会社と全く価値観が合っていない。

NISAで老後のお金をどうこうじゃなくて俺たちは若くて元気で活き活きしてる今この瞬間にバカみたいに金を使ってハデな幸せをしたいってわけ

君たちはどう生きるか？あ、そう生きるんですか、そうですか……（完）

大人になるともうでっかい声で怪獣のバラード歌える場所がない、でっかい声で怪獣のバラードおれにも歌わせろ。ヤー！

小学校、中学校と、合唱コンクールというやつがあった。何ヶ月か前から課題曲を練習してクラスごとに発表する行事だ。だいたい『翼をください』『マイバラード』『時の旅人』『春に』あたりが定番だったが、私は『かいじゅうのバラード』が嫌だった。曲としては好きである。あの歌詞もメロディもグッとくる。でも課題曲として『かいじゅうのバラード』を歌うのはかなり嫌だ。なぜなら、ヤー！ があるから。『かいじゅうのバラード』は、最後のシメで拳をつきあげて「ヤー！」って言うのだ。あれすごいイヤだった。なんか。あれやる必要あります？ 私達はちいかわじゃないんだぞ。ヤー好きな人いたらすみません。見るのはともかく、自分でやるのはごめんだぜと思っていたから、課題曲を決める時間が毎年くるたびに「かいじゅうのバラードだけは御免こうむる」と思って来ないように祈っていた。結局来なかったのでよかったけど。あの動きって最初からあったのかな。誰かが勝手に追加したんじゃないのか？ 邪推だけど、ハリキリ先生みたいな人が「うん、最後にさ、手をグーにして突き上げて『ヤー！』って言ってみようよ」とか提案したのが起源なんじゃないのか？ だとしたら許せねえ。そもそも原曲を歌ったヤング101の音源には「ヤー！」なんて入ってないのである。どこかでチャゲアスの遺伝子と交配したのか？合唱だからといって棒立ちで歌うだけではないというのはもちろん理解しているし、身振り手振りを使ったパフォーマンスもアリなのだろう、というのはわかるんだけど「ヤー！」に関してはなんかズルい印象を抱いてしまう。なぜだろう。「最後の最後に飛び道具を使ってきたな感」だろうか。なんか。残りちょっとだけの体力ゲージに波動拳でトドメをさされたみたいな（動きは昇龍拳だけど）。いや、それよりは感情労働っぽさを感じていたのかも。「ヤー！」みたいな動きは、好きこのんで歌をやりたい人が、遊び心から全員の合意を得た上で、自発的にやるものなのではないのか。強制的に行われる合唱コンクールにおいて行われるヤー！ は単なる義務ヤー！ である。そんなヤーは聞きたくないし言いたくないぜ！ と当時の私はトガっていたのだろう。めんどくせ。

道を歩いていると、雑草が生えているのを見る。たとえば道路と民家の境目から雑草が生えている。そこは私有地と公道の間だ。たくさん雑草が茂っているということは、雑草が雑草のまま放置されてきたということで、本来なら雑草を処理するはずの人間が、自らの領分にその雑草を含めるかどうか決めあぐねていることを案に示す。およそ人里の全ての場所は誰かによって所有権が定められているのだが、雑草が生える場所はそこに隣接する空間を所有する人たちがみな「自分の領分じゃない」とみなしているということになる。たまに雑居ビルの裏手のあたりがとんでもないジャングルみたいになっていることがある。道路側に葉っぱが大きく飛び出していたりする。しかし自治体は「ここは私有地の雑草だから」と手を出せないのだろう。一方でビルの所有者は「ここはビルの外だから」と手入れを怠っているのだろう。雑草が生えているのは、あいまいな場所だ。

ひさびさにマックグリドルを食べた。メープル風味のパンケーキでベーコンとたまごを挟んであるやつ。これってキワモノメニューってわけじゃなくて、アメリカなんかだとホットケーキとベーコンと目玉焼き、なんてのはご飯と焼き魚と漬物みたいな定番メニューで、それを渾然一体にしてるだけなんですね。そういえば「朝マック」という概念、うまいこと定着したもんだなと思う。むかしの感覚ではたぶん「ハンバーガー」なんてはちょっと出かけた先で食べるジャンクかつちょっとオシャレな軽食というイメージで、朝に食べるような印象はなかったはずだ。でも「朝マック」という言葉があるだけで、そういう行為がすでに「あるもの」としてみんなに受け入れられる（かもしれない）。日本での朝マックは1985年に始まったらしい。チキンナゲットは1984年。けっこう最近な印象だ。あってあたりまえみたいな気でいたけど。逆にビッグマックはアメリカで1967年に作られ、日本では1971年（日本進出の年）にもうメニューに組み込まれていたらしい。意外だ。意外と言えば、ファミマの定番商品「ファミチキ」が、2016年に「発売10周年キャンペーン」をやっていたのを知ったとき、ちょっと意外だった。まだ10年しか経ってなかったのかと。「朝マック」も「ファミチキ」も、元をたどれば「無い概念」だが、名前がついた瞬間にそういうものとして存在を始める。そして一度存在してしまえば、それがなかったころの感覚は思い出せなくなる。ところでみんな、今年の税キャンディは何味でしたか？ 税キャンディを知らない？ 住民税を収めた後に役所から郵送されてくる飴のことですよ。私はぶどう味でした。そういえば最近QBラーメン食べてないな。QBラーメンっていうのは1000円カットで有名なQBハウスが売り始めた醤油ラーメンのことですよ。ごぼうの素揚げが乗ってるのがQB流なんだよな。そろそろ9月だが、朽仏（くちぼとけ）の写真を撮るのを忘れないようにしないと。木彫りの仏像（17cm）を元旦に土に埋めて、3ヶ月おきに掘り起こして腐敗の具合を撮影して最寄りの自治体に提出しないとマイナンバーカードが失効してしまうアレだ。普通のスコップでも違法では一応ないらしいけど、自分はおとなしく青いラインが入った公式の漑牙を使おうと思います。

「めっちゃいい企画じゃん！受験で積分大事だし毎週見よう！」と思いながらずっと見ていなくて、とうとう見始めた時には浪人生でした。ありがとうございました。

スマホが出てからケータイがガラケー呼びになった、みたいなやつ、テニプリでガット二本しか張らない奴がでてきたから普通のガットの張り方を全張りガットとか呼び出した奴がブッチギリで好き

通勤してた頃に昼飯用におむすびを手に持って会社に向かって歩いてたら何も無いとこで転んじゃって、そこがたまたま交番の前で、交番にいた警察官に「お姉さん歩きスマホは危ないよ」と注意され、咄嗟に「スマホじゃなくておむすびです」と返したら警察官が小さい声で「ほんとだ…」って言ってたのよ

ツイートが伸びるとFF外から「京大卒なのに馬鹿だな」という反応がくる。それがちょっと嬉しい。どうかその人の学歴や学力に関する思い込みが和らいでくれたらいいなと思う。そしていつか、そんな前置きを使わずに「お前馬鹿だな」と言ってもらえる日が来たらいい。僕は別にちゃんと馬鹿だから

合唱曲って当時は歌わされてたけど、現役から離れて親として子どもの歌を聞くとめちゃくちゃ普通にじーんときちゃうんだろうな。自分が学生だった時の思い出も巻き込みながら感動させていくんだろう。

さっき知ったのだけど、フジテレビで平日毎朝4時（！）にクイズ番組を放送してるんですね。内容は完全に老人向けの脳トレ番組といった感じでなるほどと思った。ますだおかだ岡田による場の回し方が職人芸の巧さで関心していた。あとは通販番組も観ていた。膝を悪くした老人が釣瓶打ちみたいにどんどん飛び出してくるので迫力があって面白い。よくあるドキュメンタリー番組風のPRだったんだけど、映像に出てくる人たちが誰もマスクをしていなくて、コロナ禍以前に撮影した映像の使いまわしであることが見て取れた。少なくとも2年くらい前なんじゃないか。それでいて出てくる老人は「こんなに元気で89歳！」「92歳で階段を上り下りするおばあちゃん」みたいなのばかりであり、「もう死んでるんじゃ……」という一抹の不安をどうしても拭えない。売っていた商品はコラーゲンでおなじみの「KJ」（イニシャルトーク）だったのだが、隅々まで気遣いが行き届いた構成に感嘆する。飲むとまるで膝がよくなるかのような印象があるが、よくよく見ると老人は「気持ちが楽になった」「気持ちが安心したので毎朝起きるのが楽しい」「階段の上り下りも（気持ちが楽なので）不安じゃない」としか言っていない。「膝にはこういうコラーゲンが必要である」という説明が挟まれるが、「KJ」がそこにどう作用するのか、については一切の説明がない。人間の推論能力をハックしている。いつも思うんだけど、ああいう老人たちはいったいどこから呼び寄せられるのだろうか。「熊本県に在住の農家の●●さん」みたいな人をどうやって見つけ出し、いったい何を「指示」しているのか、気になる。闇の老人ネットワークみたいなものが存在しているのだろうか……。番組の最後に「放送終了後30分以内にお電話いただくと『KJ』がもう1箱つきます！」というよくあるアレをやっていた。そしてそのあと「もし30分を過ぎてしまうと……『KJ』は1箱になってしまいます！！」と所与の事実を言って、画面に映された2箱の「KJ」のうち片方が「ボォーン」という悲しげな効果音とともに消滅していた。面白かった。それを説明している司会の人、ふだん何やってんのかなと思って検索したら、初代『バイオハザード』のエンディング曲『夢で終わらせない』を歌ってた人だった。人生にはいろいろある。Twitter見たら「すじこ食いてえ～」って言ってた。

さっき『フリースタイルティーチャー』という番組を見た。フリースタイルラップの番組。ラップのプロではない人がプロのラッパーに指導してもらうというコンセプトで、けっこう面白かった。「あなたは直接的なdisではなく、遠回しな皮肉が向いていると思うので、そこを伸ばしていきましょう」ということを講師が丁寧に解説していた。悪口の特色を認めて「伸ばそう」と指導する場面を初めて見た。フリースタイルラップという、一種の型破りの場というか、限りなく野蛮なケンカを模した行為においても、悪口の形式を分析して「こうしていきましょう」というマニュアル化が可能であるというのはなかなか面白い。「俺は●●県代表だぜ」みたいなのに対して「でもお前上京してるじゃねえか」という返しがあって、これは「型」っぽいなと思った。最初に振るほうも、そう返されることを想定して言う、といった準備が必要だろう。

俵山さんの人間モノマネはどれもこれもシーンの切り出し方が素晴らしい。精密な彫刻でも見ているみたいだ。この動画だと終盤の「……新生活ですねー…」という一言が衝撃的に巧い。Youtube上でこういう「いる人」のモノマネをしている人は何人か知っているが、中には揶揄的な意志を強く感じるものもある。俵山さんの作品に関して言えば、かなりの部分が写実に費やされていて、それを演じる側の下心みたいなものはほとんど感じられない。それを演じることでどう思われたいかという意図など平気で飲み込んでしまうくらいに「人間」だからだ。原宿さんが記事でオススメしていたシソンヌのコントもそうだったけど、モノマネやコントはある人がそこに存在していることを表現できる手法で、「そのようにある」こと自体に肯定的な視線を感じる。

牛丼屋とか寿司屋とかでウナギをよく見る。フェアとかやってる。でもウナギって絶滅しかけているんじゃなかったっけ？ と思って検索するとやっぱりウナギは絶滅しかけていることがわかる。でも捕まえて食べちゃうし、そこらで1000円くらいで食べれるようになってるんだな、変なの、と思う。できることならウナギが絶滅しないようがいいような気がするが、こういうときウナギは何も思っていないんだろうな、とも思う。もちろん人間以外の動物が絶滅という概念を理解しているはずはないんだけど、ウナギは特に人間と感情が交わりそうな可能性を感じない。動物の絶滅を防ごうというとき、それはいったい何のための行動なのか。ひとつにはその動物自体のため、ということになるだろうが、動物は、自分自身や血縁が死ぬのはともかく「種としての我々」などという概念を理解していないのだから、絶滅を防ぐことは動物のためなのか、というと、なんかしっくりこない。もうひとつには人間のためだという考え方もある。動物の絶滅は種の多様性を損ない、めぐりめぐって人類の営為にもなんらかの影響を及ぼす可能性がある。また、絶滅は不可逆のことであるから、そのような取り返しのつかないこと自体なるべく起こしてはならないという考え方もあるだろう。これはよく理解できる。絶滅を防ごうと考えたとき、それが完全に人間本位の動機であれば理解できるのだけど、でも実際には絶滅しそうな動物たちへの同情的な視線のようなものが、どうしても挟まれる。そこにねじれみたいなものがあるなと思う。現にウナギは今日もウニョウニョと海の底を泳いでいて、絶滅どころか人間のことも知らず考えず、気楽に生きているに違いない。自然の保全活動には不登校の生徒をはげますための催しを考えるクラス会みたいな気まずさがある。

ただの雑談配信のほうが個人的には緊張感あるかも。授業形式だとまだ教えることのテーマが定まっているから、最低限これさえ言えればノルマはこなしたぜ、という感じになるので。雑談をするうえでもノルマみたいなのを独自に設定してやったほうが捗るんじゃないかな。有名な配信者とかはそういう人多そう。「授業」には逆の効能もある感じもした。黒板の前に立って大きい声を出して一方的に喋るのは、なんというか非常に「演技」をしているのに近い精神を刺激するような気がする。脳が興奮するというか。一種の「ハイ」な状態になる感じがある。かつての小中高の先生もこういう感覚だったのだろうか？ 高圧的に生徒をイジるような先生も、一種の陶酔状態でそうなっていたのかもしれない、と今になって思う。

たまにTwitterで、リプライで絡んできた人とかとバチバチの超レスバトルをすることに時間と熱意を捧げている人がいるじゃないですか。自分も本質的にはああいう人間だなとよく思う。べつにそんなことばっかりやっていた時期があるわけじゃないんだけど、気質的に自分にはそういうところがある。エゴサして引っかかった発言に絡んだりとか、本当はしたくてしたくて仕方がない。名前を出さないエアリプみたいなのも実際はそれなりに補足しているが黙殺している。自分でもちょっとおかしいなと思うのは、発言の内容に関わらずなんか言いたくなってしまうところで、悪口を言われていようが、褒められていようが、「ここでこう言ったらどうなるのかな」みたいなことばかり考えてしまうし、一度それを考えると、もう実際に送信したくてたまらなくなってしまう。しかし我慢するのだ。得がないし、気持ちが悪いから。もうここにあるのは「勝ちたい」みたいな気持ちですらない。「目の前にボタンがあるから押したい」くらいシンプルな動機だ。でも「正味みんなそんな感じじゃない？」と思っている部分もあったのだが、周囲の人の話を聞く限りだとそうでもないらしい。普通は「関わりたくない」んだそうだ。本当は私は全ての人間に干渉したいよ～～～！！ただこれ、本当になんの得もないんだよな。攻撃的なリプライに攻撃的に返すレスバトルも、やってる人見るとすごいな～と思う。たまに「これは絶対勝てる」と確信するようなリプライをいただくことがある。そもそも他人のなんということもないツイートに怒っていきなり罵声に近いことを浴びせてくる時点で人としておかしいので、言われたほうとしてはかなり有利なのだが、しかし「クッ……」と息を飲んで黙殺する。これは私の強さであり弱さだ。だいたい、人に失礼なことを直接言ってくる知らない人になにか言い返したところで、そういう人たちはびっくりするくらい類型的なパターンに嵌っているので、そのあとの不貞腐れた態度はみんな似たようなもので、予想を超えてくるということもない。やり返すのって実際あまり面白くない。しかし黙殺は即ち「面白がってなんかやってくる」人たちを放置することであり、それはそれであまり面白くない。結果、現状維持を選ぶ。「人になんか言われて自分が思ったことを言う」というそれだけのことが、損得勘定の結果できなくなる、という事態が自分にはメチャクチャ嫌なんだよな。嫌だけど意味がないから我慢しているが。世の中の有名芸能人とかって、Twitterとかインスタでめちゃくちゃ言われてるし、エゴサしても好き勝手言われまくってるわけだけど、それらについて完全に黙殺することができてるのすごすぎませんか！？ それをスルースキルとか言ってただ称揚する気持ちにはなれない。もうなんか怖い。まあ芸能人に限らずみんな「思っても言わない」ということがしっかりできていて、そこでかなり断絶を感じる。自分は思ったことはなんらかの形で全部言いたくなってしまう。

弁当を注文した。丸一日なにも食べてなくて、夜一食だけになってしまったのでお腹がすいていて、大盛りごはんで頼んだ。そしたらフタに「大盛ごはんシール」がついていた。うれしい。とっておこうと思っていたがうまくはがせなくて挫折。普通に捨てた。検索したらモノタロウ（通販サイト）で買えるみたいだ。モノタロウはなんでもあっておもしろい。サーモグラフィーを撮れるデジカメが欲しい。あのヒートマップが色で表示されるやつ。プロ仕様しかないので10万円くらいする。ちょうど10年ぐらいまえ、デイリーポータルZの林雄司さんと会った時に林さんが持っていて、自慢されたのを覚えている。サーモグラフィーで記念撮影もした。問題は特に使いみちがないことだ。あと「卓上ミニ油圧プレス」というのも欲しいな。卓上に置ける20センチ程度のミニサイズでありながら、最大で2.5トンの圧をかけることが可能であるらしい。これで米をつぶして餅を作るなどして遊びたい。20万円するけど。世の中のすんごいお金持ちってこういうものを気軽に買って変な使い方をして遊んだりとかぜんぜんしてないような気がする。車を買ったら乗る。酒を買ったら飲む。家を買ったら住む。つまんね～～～。いや、言ってくれないだけで実は愉快なお金の使い方をしてるのか？デスゲームモノの作品にありがちな、裏社会の人物を楽しませるために行われる残虐なイベント。それ自体は最悪だけど、個人的なおもしろのために莫大な金をかけて実行に移す大胆さは気持ちがいいし憧れる。

カットスイカもいいですけど、丸のスイカもいいですわね。こないだツイッターで「くだものは味のムラを楽しむものだと思っている」という趣旨のツイートを見かけて、本当にそうだなと思った。スイカなんかは1個のなかでも味にかなりムラがあって、皮の近くの全然甘くなくて青くておいしくない部分なんかそ削り取るように食べていると「スイカが終わるな」と思ったりする。ああいう変化も含めて好きなんだよなスイカ。

なんとなく「自分は副反応が重そう」と思っていたけれど、ここまでピッタリ的中するとはね。なんの意外性もない。熱冷まシートが一瞬にしてぬるくなる。しかし気持ちとしてはポジティブである。この苦しさは「完全体」になるための脱皮だから、と頭でわかっているからだろう。悟空が飲んだ超神水みたいなもんだと思っているフシがある。いろんな説が飛び交っているけども、個人的にはやっぱ打ったほうがよさそうだと思う。ワクは。あとさっきスーパーカップを食べたんだけど、感動的にうまかった。体が奥底から求めている栄養みたいに感じられた。頭が熱い！！！！こういうとき必ず、南極の氷の上で仰向けに寝るという妄想をする。自分から発せられる熱によって周囲の氷がみるみるうちに溶け、後ろ向きにトンネルを進むみたいに、自分の輪郭の穴に落ちていくのだ。気持ちよさそう。

メンタルの状態って外的要因の嵐が浮かび上がらせるシルエットみたいなもので、自分自身で制御できるものではなかなかない気はします。逆にいえば自分の内側から沸き起こってくるかのごとくに感じられる不安や焦燥感というのも外的な要因に触発されて生じているということなので、私は「今日の自分はダメで～す」つって開きなおる用意だけはしておくようにしてます。ついなんか考えてしまうとき、ついなんか考えてしまう自分のことを意識することで、自分を突き放せるというか。でもそれはメンタルの不調を治す必殺技ではなくて柔道における「構え」みたいなもんなので、長引くようならプロ（医者）の意見を聞きつつ滋養のあるものを食べて早めに寝る習慣をつける、というのがまっすぐな取り組み方になると思います。

桃をカットして砂糖をまぶし、浸透圧かなんかで汁が出てきたら紅茶の粉末をかけて、ときに黒胡椒なんかもかけたりして食べるスタイル。これやると、とてもおいしい。ただ桃を食べるだけでも十分おいしいけれど、桃にちょっとよそ行きの服でも着せてやったみたいな、ピアノ発表会の日の娘、みたいな、少しキリッとした雰囲気を帯びるのが面白い。それにしても果物ってたまに買うと「結構高いな」と思って驚く。この桃も1コ300円くらいだった。でもソフトクリーム1コだってそれくらいするしな。野菜と比べると、果物はそのまんまかじっても十分エンターテインメントしているので、それほど高くはないのかも。

「脱皮」ってどんな感覚なんだろう。自分の内部に自分自身の「本体」が生成されて、いままで「自分」だと思っていたものが単なる外皮にすげ変わる。ちょっと想像しがたいな。

今日、今回はじめてオリンピックを観た！昼食を食べた店のテレビでやってた。バスケのアメリカvsフランス戦だった。おそらく画面に映っている人全員がでかいのだろうと思われるが、全員でかいのででかさがよくわからない。あと、全員すごいバスケがうまいから、うまさもよくわからない。普通の人間がいないと、スーパーアスリートのスーパーっぷりがよくわからない。裏番組で、とくにプロとかでもない初心者のおじさんグループによるバスケなどを放送してみたらどうだろうか。「ふつう選手権大会」みたいなの。それを見れば「あ～、世界一ってすげ～～～」と思える気がする。

雨が降る夜の道路は沈むような漆黒で、波紋の白い軌跡がアニメみたいに動く。それを見ながら歩いていたら、道のむこうのほうの波紋が、波打ち際の波のような横ラインを作って、ゆっくりとこっちに迫ってきた。「風が来る」と直感した。それが到達すると同時に生ぬるくて密度の高い空気が私の全身を包んでからすり後ろに抜けていった。目に見えない空気のかたまりが迫ってくるさまが波紋の形状によって理解できておもしろかった。

半年くらい前に「スーパーの床に落ちていた天ぷらを踏んで転んだ男性がスーパーを訴訟」というニュースがあった。床に落ちてたかぼちゃ天を踏んでケガをしたらしい。それが昨日のニュースで「客側が逆転敗訴。57万円の支払い命令は取り消し」だったと判明した。天ぷらを床に落としたのは店員ではなく客だったうえ、落ちていた期間も短く、客も注意すれば避けることができたであろう、というのが主な理由だ。店に責任を問うのは困難ということだろう。このニュースを聞いて「あー、負けちゃったのか」と思うと同時に気になったことがある。この男性は、係争中の半年間、天ぷらを食べたのだろうか。なにしろ天ぷらといえば、自分を転ばせた存在である。たぶん、見かけるだけでスーパーでの記憶がワッと蘇ってくるのではないだろうか。となると、食べないかな？ 丸亀製麺に行っても、かけうどんを頼んだらスーッと天ぷら売り場を通り過ぎてレジに直行する。逆に、めちゃくちゃ食べていてもおかしくない。天ぷらを見て、食べることで闘志を燃やすのだ。なんとなく、そうであるような気がする。というのも、そもそも訴訟したのが凄いなと思うからだ。スーパーで買物をしてて、天ぷら（13cmのかぼちゃ天だったらしい）を踏んで転んでケガをしてしまい、ウッ、痛えっ、なんだこれ、かぼちゃの天ぷらじゃねえかよ、と思っても、通常は痛いのをこらえて立ち上がり、その場を後にしてしまうと思うのだ。人前で転ぶのってけっこう恥ずかしいし。怒りよりは「はやく立ち去りたい」が先行しがちだ。そこでおそらく即座に「かぼちゃ天で転んだ事実」を怒りのエネルギーに変換するのがまず、凄い。怒るにしても、通常は店員を呼び出して怒鳴るくらいが関の山であろうと思われる。訴訟までいくには果たしてどれほどの信念が要るのか。だって私は今わりと元気いっぱいだけど、それでも絶対訴訟なんかしたくないと思ってしまってる。なんかわかんないけど弁護士を探したりするところからスタートするわけでしょう。想像しただけで気が滅入る。自分がかぼちゃ天で転んだ客だったとして、訴訟しよう、と思ったときにまず頭に浮かぶのは「自分はこれからあと何回"かぼちゃ天"と発音するのだろう」ということだ。「スーパーで買物をしていたら天ぷらを踏んで転んだ」という内容のことを、異口同音に繰り返し繰り返しいろんな人に説明しなければならなくなる。現場の状況検証のために、床に寝転がって「こんな感じで転びました！」と証言する必要があるかもしれない。嫌だ。それでも訴訟に踏み切れるほどの怒り。どれほどか、ちょっと想像が及ばない。

たぶん多くの人にとって、BDボックスを買うというのは「その作品にお金を払うくらい愛しましたという証拠」みたいなものであって、作品を観るための実用的な意味はどんどん失われている。今は配信サイトで観れる作品も多いし。「ブルーレイ持ってるけど、観るときは配信サイトで観る」って人、めちゃくちゃいっぱいいると思う。ヘタしたら多数派でもおかしくない。私も、結局は好きな作品についての新しい情報や特典がほしくてブルーレイを買っているだけで、本編を観るための手段としては画質が良いこと以外は全然評価していない。「好きな作品を象徴する物体が欲しい」という欲求と「好きな作品を観たい」という欲求が一個のモノに癒着しているとかえって面倒なのがバレてきていると思う。私たちは好きなものが象られた四角くてデカい物体が欲しいだけなのだ。確か以前、ガルパンのBDボックスを買ったら配信サイトで観られるコードがついてきて、いたく感動したんだよな。あれは良いと思う。違法アップロードの問題とかあるし、なかなか難しいんだろうなあ～。ほんとは私の本だって、物理版を買った人に電子版を配るとかやりたいですよ。せめてクーポン券つけるとか。でもそれをやるにはシリアルコードを商品ごとに封入するという手間が不可欠で現実的じゃないんですよね。

生徒が「塾講してる人って全員、受験でいい思いをしたからそれを忘れたくなくて、大学生にもなってまだ受験に触れ続けようとしてるんだと思ってました」って言ってた。

なんで俺が狂ってる世界に合わせて窮屈に生きないとダメなの

「プラシーボ効果」というものについて、例えば「そんなんただのプラシーボ効果でしょ」みたいな言葉の使い方を平気でできてしまう者とは正直口を利きたくない

小さい頃、勝俣州和と柳沢慎吾が同一人物だと思っていて、2人が同時に映った時怖すぎてテレビをあまり見なくなった時期がある

「すみません、音声が聞こえないのは私だけでしょうか」ってチャットしてきたやつおったので「はい。お前だけです。」って答えたら、来週から無職の予定です。

ヤクザの家にクイズ王伊沢をピンポンダッシュさせそれを実況する悪友「伊沢なぜ押せる！？」

【攻撃力と敏捷性が高い、ハイヒールモモコの亜種】

ピンヒールモモコ

若い人が自殺すると「まだ若い、これからの人だったのに」という意見が出るけど、むしろ若いから亡くなってしまうんだと思う。将来への希望が持てず「あと何十年もこれが続くのか・・・」と思うと生きる気力は削がれてくる。そのくらい今の日本で若い人が希望を持って生きるのはすごく難しいんだよ。

総務の人が外部の人を呼んで開催してた講習会、総務の人が講習中にめちゃくちゃ後ろでスマホをいじってて、仕事サボりの天国がこんなところに……と思った。

日本語を外国人が一般に読めないという事実、当たり前ではあるけど毎回新鮮に驚けてしまう。自分がどう頑張っても意味を見出してしまうものが、他人にとってはミミズのはった文字にしか見えない。

めちゃくちゃでっかい電気を地球に流して地球の電荷をニュートラルにして、いっさい接地できなくさせたい。実験中の大学院生を困らせたい。

講習会で隣のおっさんがあしたのジョーみたいな体勢で居眠りしてた。何もしてないのに燃え尽きてる。

【数学の証明問題…？】

あなたはAEDを、あなたはCEBを示してください！

ふと、脳と心臓どっちが重いのか気になって測ってみたところ、両方を失ったので普通に死んだ。

永遠の愛を誓いあった彼女にプロポーズしたところ、驚いたのか心臓が止まって倒れてしまった。永遠の愛を誓い合っているので一緒にAEDを受け、今度は私が心室細動に陥った。

日本は法治国家であるが、もっとも守られていない法律が道路交通法と労働安全衛生法ではなかろうか？

「自分は自分、他人は他人」は他人と自分の間に確固たる線を引いて不要な不幸を回避するための強力な手法だと思うけど、むしろ他人が理由なく喜んでいるときにこそ戒めとして捉えられるべきかもしれない。

ヘルプマークっていうんだっけか、あれをつけるに至るまでの当人の人生に思いを巡らせてしまうな。いざというときは不特定の他人に助けを求める覚悟がありますから、これを見たあなたもどうか心構えをよろしくお願いします、というメッセージをこちらが勝手に読み取ってしまう。でも実際そういう場面になったら全力で助けたい。体が動くかはわからんが。

歌のうまい路上ライブの動画をとってる人のところを横切らない程度の自分の配慮の深さを自分でまあまあ気に入ってる。

明らかに向こうが悪いからという理由で始めた喧嘩を先生に仲裁されて腹が立つのは、単に理不尽だからというより、子供の言うことなんて真に受けずフィフティーフィフティーで取り持ってその場を切り抜けてやろうという大人の、ある種の姑息さを感じ取ってしまっていたからなのかもしれない。

小さいときから平和教育に疑問的だったのは、交戦権を否定しながらも自衛隊なんていう軍隊にしか見えない部隊を持っておいて「平和が大事だ」って表面的なテーゼをなぞらされることへの反感が…といくらでも理屈をつけられるが、結局クソ暑い9日に学校に行かせられて、何の身にもならないビデオを見せられて、歌まで歌わされて、という毎年の印象のせいかもしれないな。理屈は軟膏みたいにどこにでもつく。

豚肉食中毒注意！って豚さんコックが言ってる絵を見つけた。それよか共食いに注意しろよ。

コンサルがついにうちの会社にやってきた。改革のおかげか業績はX字回復してきた。

クイズでもフリースタイルでも、魔法の裏には絶え間ない努力があり、しかしながらその努力を隠蔽しなければならない点について、尊い…と感じる。

うつ病にまつわるどんな精神療法も、本人自身の「救われたい……」みたいなのがないと始まらないし効果がない。しかし自転車の最初のひとこぎが一番きつい。

人を小馬鹿にしたような懸賞クイズ（当てはまるのは？　パス○の超熟　みたいなやつ）、めちゃくちゃ普通に間違った答えで送っても当たるんだろうか？

昔飲み会で僕への執拗なデブいじりが始まって全然苦痛ではなかったけど何か言い返したくて「僕が笑ってるから良いけど今やってるの普通にイジメですからね」と言ったら一瞬で場が静まり返って、攻撃をやめさせる手っ取り早い方法は自分が見える地雷になることだなと実感した

「極みコロッケ」というコロッケが通販で買えるんだけど、これがとんでもない人気で、いま買うと受け取りまで20年くらいかかるらしい。面白い。たぶんブランディングでそうしているのであって「どうしてもこうなってしまう」のとは違うんじゃないかとは思うが、ふつう商品で20年とかの幅が生じてくるようなものはない。証券とか保険とかそういう世界の幅がコロッケにやってくるのが唐突で楽しい。最近では2013年頃に注文した人たちのところに8年待ちのコロッケが届きつつあるという。頼んだほうも完全に忘れているとか、住所が変わって受け取れない、みたいなことも多いようだ。こうなるともう顧客が買っているのはコロッケではなく「待つ」という体験かもしれない。物語なんかだとストーリー上で渇望されているマクガフィンとしてのアイテムをすごい時間をかけて手に入れたあと「もう……いいんだ……」と言って、アイテムそのものへの執着が消え去っている、ということがよくある。20年待ったコロッケもそうなっているかもしれないな。この種の「待つ」がメインとなるコンテンツでもっとも有名なものはタイムカプセルだ。人間が過去を忘れるということを知っていなければやろうと思わないし、さらに人間が何かをきっかけに過去を思い出すということも知っていなければ実際には成り立たないはずだ。小学生の頃とかを思い出すと、忘れ、そしていずれ思い出したとき、懐かしくなるであろう……という予期に基づいていま行われる行事ばかりであったような気がする。思い出づくりというやつだ。それはそれを行う現在に対してはとても不誠実なようにも思える。なんの思い出にもならないようなことをやるのが一番贅沢な若さの使い方だとも言えるかもしれない。あるいはタイムカプセルを掘り起こしたあと、タイムカプセルを埋めたときのあざとい予期のようなものも一緒に思い出すことができたら、多少はマシかもしれないね。

きのうモルカー映画観て帰る途中、傘がないことに気づいた。先週買ったばっかりなのに、だ。映画館に入る直前に差していたことは覚えているし、映画のあとは直帰したから映画館で失くしたはずだ。映画館に電話をかけて確かめる。TOHOシネマズの待受メロディはオシャレでかっこいい。「言われたような折り畳み傘はなかったんですが、もう拾得物は交番に渡してしまったので、いったん交番で再度聞いてみてください」という返事。交番に行った。なんか祭りでもあるのか知らないが、詰所に8人くらいおまわりさんがぎっしりいてビックリした。「失くしものしちゃって」と伝えると「なんだなんだ」「失くしもの？」「おっ」とおまわりさんsが一斉にザワザワしていたのがコントじみていて少し面白かった。結局傘は見当たらず、書類に連絡先を書いてあとにする。どこやっちゃったんだろうか。まあいいか日傘じゃないけど予備の折り畳み傘あるしと思って広げたらベキィと音がして骨がブチ折れておしゃかになった。無理やり骨をまっすぐにしようとしたら関節部分に指を挟んでケガもした。ミスのぷよぷよ10連鎖？あ～～～～～～あ、知らん知らん。と怒り狂って東急ハンズ行って良い折り畳み傘を買った。買ったという表現は適当じゃないな。「買い殺した」「買い滅ぼした」「買い千切った」のような苛烈さがふさわしい「買い」であったとここに記しておく。高い買い物の直後に失くしたからという理由でぺろぺろの安物を買うような真似はしない、私は獣なので……。

記事でも書いているけど、星新一のショートショートはほぼ全部読んでいる。「アイデア」に殴られるようなものばかりを好む（やや幼稚な）趣味はここで育ったのだという気がする。しかし星作品がアイデアだけなのかといえば全くそんなことないのであり、文章はシンプルながら展開の工夫も叙情もある。おとなになってから読み返してそういう部分に気づいたりする。星作品で印象に残っている話はいくつもあるが、一番というか個人的に別格なのは『なんでもない』という話だ。主人公の同僚に電話がかかってくる。普段は陽気なやつなのだが、その電話を受けたあとは人が変わったように落ち込んで、生気を失ってしまう。それを上司に相談すると、上司の電話が鳴る。上司はほんの数秒だけ電話口の声を聞き、そして同僚と同じように気落ちして口を閉ざす。問い詰めても「なんでもない」と言うばかり。こんな調子で、主人公がその電話について相談すると、必ず相手に電話がかかってきて何かを言われ「なんでもない」としか言わなくなってしまう。主人公は一体かれらが何を言われたのか気になって仕方なくなり、人にかかってきた電話まで横取りして声を聞こうとする。結末までネタバレしてしまうが、最後に主人公も自分宛ての電話を受け取る。そこで言われた言葉はただひとこと――「あなたは狂っている」そして彼もまた他の人と同じように青ざめ、友人に問われても「なんでもない」と答えるばかりとなる。という話。鮮やかにわかりやすいオチのあるショートショートと違って、これは初読では意味がわからなかったのを覚えている。「狂っている」と指摘されることがそれほどまでにショックなのだろうか？ 同僚たちも同じことを言われたのだろうか？ 人によって違うことを言われたのだろうか？でもなぜか、この言い知れない不気味さが今に至るまで印象に残り続けている。霊的な怖さでもなく、人間の悪意の怖さでもない。しかし自分自身の深淵に潜む嫌な部分に触れたような恐ろしさが沈殿する、奇妙な話だ。この不気味さを説明するのはとてもむずかしい。そして類似する作品も思いつかない。ここで誇張して描かれているのは「悩み」というものが本質的に個人的なものだという事実ではないか、と今は思う。自分が狂っているという事実をごく個人的に、自分だけに分かるように告げられるなんていう体験以上に怖いこと、ないんじゃないか。想像するだけで恐ろしい。

かねがね思っていて、いろんな場所で書いてきていることだけれど、なぜか「笑い」という表現手法は、実際のありようよりもかなり狭い範囲での運用を強いられがちだ。いま公的に認められている「笑い」には肯定的な意味合いが強く色づいている。たとえば「ネコが死ぬ」という事象をフィクションで描くとして、それを描くこと自体は（嫌う人は多いだろうけど）怒られない。ところが「ネコが死に、結果的に笑いが起こる」というような描写だった場合、それを描くこと自体が怒られたりする。なぜか考えてみると、無意識に「笑い」に肯定的ニュアンスを読み取っているからではないかと思う。つまり「笑うのは楽しいときである→このフィクションはネコが死んで楽しいというメッセージを肯定的に打ち出している」という読みだ。事実、笑いという反応の多くは肯定的なコミュニケーションを媒介するときに見られる。しかしそれはあくまで笑いの一側面にすぎない。作り手側が受け手の「笑い」を引き出そうとするときに狙うのは肯定的反応だけではない。癒やす。怖がらせる。ビビらせる。引かせる。怒らせる。反省させる……等など、原理的にはあらゆる情動を引き出すことができるのが笑いなのだ。なぜなら笑いとは「感情」ではなく「反射」のようなものであるから。笑わせるということは観客の体を強制的にふるわせ、なにがしかの情動を呼ぶ技術なのであり、絶え間なく観客を笑わせながら、癒やし・怒り・内省などバリエーションに満ちた体験をさせることだってできるのだ。それゆえ「笑いにしてはいけないことがある」というような言葉は本質的に間違っていると考える。そういった言説においては、笑いが引き起こす情動の多様さについての観点がすっぽり抜け落ちているからだ。内容を持たない手段そのものを倫理的に規定することはできない。現実がこうなっていることの背景には、共感・肯定・癒やしを前面に掲げることで商業的な成功を可能にした「お笑い」の罪がある。お笑いが市民権を得ることで、その効用はとても限定的なものだという誤解が生まれてしまった。たしかに広く開かれた場における笑いは「共感・肯定・癒やし」のような形態を取らざるをえないのかもしれない。その意味では「笑いにしてはいけないこと」はたしかにある。けれど、無制限な笑いが否定されたことにはならない。少なくとも金閣寺を焼く小説が書店に一定の位置を占めて存在することを許されるのと同じ程度には、ネコを殺す笑いが存在する場所もどこかになければいけないと思う。そのとき必要なのは不要な人間の目に届かないようにするための「仕切り」であって、それを作り出したこと自体が責められてはならない。これはアナーキズムとかそういうものではない。もちろん、ただ単に悪質な笑いも存在するので批判や検討は絶えず行われるべきだ。けれど特に笑いにおいて「言ってはいけないことを言ったからアウト」というように短絡的な正誤判定が行われるような事態だけは避けてほしい。笑いも（ほかの文学表現と同じく）どこまでも複雑な意味内容を持ちうる。それゆえに、その文脈を精確に読み込んだうえでの批判が加えられることを望む。このように考えたとき「不謹慎な笑い」が真に批判されるべきポイントの大部分は、その不謹慎さではなく、ましてや「NGワードを言ったかどうか」でもなく、「共感・肯定・癒やし」ベースの商業的お笑い文脈を都合よく利用している点にあるのかもしれない。しかしその状況でさえ道徳的に擁護できる可能性はある。こういう泥沼に入らず結論を出すべきではない。

体調が悪いのって最悪だな。「俺は長生きなんかしなくていい。死んでもいい」って人はいるけど「体調悪くなってもいい」って人はいないよな。いや、むしろ体調悪くなりたくないから早死にしたいってことか。

いろんな人がいて言うこととか考えてることは違うのに、薬の効果については多少の差があるとはいえ概ね予想した通りの反応が出てくるのってすごいことだよなと思う。もしそうじゃなかったら医療なんて成り立たなかった。個性のない人体構造に感謝だ。

笑気ガスとは亜酸化窒素と酸素を混合したものであり、気分がリラックスする鎮静作用がある。脱毛レーザーは皮膚の上で花火が一瞬炸裂するような痛みが1秒おきに襲ってくるような感じであり、耐えられないことはないがかなりイヤ、という絶妙な苦痛を与えてくれる。しかし笑気ガスがあれば大丈夫だろう。たぶん。寝台に横たわる。鼻にチューブをつっこまれて、深く笑気を吸入してくださいと言われる。スーッと吸う。口から肺の空気を出す。しばらく繰り返す。んー？ なんも感じないなあ。無臭だし……と思っていたら徐々に異変を感じる。手足がシビれるというか、焦点の定まらない感じがするのだ。深酒で酔っ払ったときと違って、頭は冴えていて、思考はクリアに行える。しかし、頭が思い描く肉体マップと実際の肉体のありようの間に誤差が生じて、漫画で言えばキャラクターの輪郭線が何本にも重ね描きされているような状態というか「自分」の境界線がやや曖昧な感じになる。なるほど。これが笑気の効果なのか。リラックス効果というからてっきり直接的に快感があってラリるようなイメージを抱いていたけど、どっちかというと「緩む」感じなのね。ダウナー系の違法薬物とかもそういう感じなのかしら。で、施術が始まる。「効いてる感じありますか～」と言われたので、しっかり意識があることを示そうと明瞭に受け答えをしようとしたが、舌がもつれて「ふぁい」と言ってしまった。効いてる。アゴにレーザー器を押し当てられる。バチッ。痛え！痛いのかよ。そう。笑気麻酔は別に全身麻酔とかとは違って、ちょっと吸ったくらいじゃ感覚そのものがなくなるわけではないらしい。痛いことは痛いのだが、しかしたしかに前回の痛みとは違う。痛くて、嫌なのは変わらないんだけど、その「痛さ」が遠い感じがするのだ。痛いんだからそれは確実に自分ごとであるはずなんだけど、心理的にどこかそれを他人事のように感じてしまうというか。バチバチとすごいスピードで毛穴を焼きつぶしていく。焦げ臭いにおいが鼻孔を刺激する。この「遠い」感覚……どこかで……と思って気づいたが、寝起きに似ている。それも、すぐ二度寝してしまう直前の、極限まで意思が弱くなっている状態に近いのだ。起きていることが現実なのは理解しているし、アラームの鳴る音が意味することはわかるが、でも「それ本当に必要なことか？」と全身が現実を軽視するみたいな感じ。アレだ。それがリラックス効果ってことだったのか。ということで施術はつつがなく笑気を吸いながら終わったのだが、痛くはあったので実際の所どれくらいラクになっていたのかは主観的によくわからない。歯医者で打たれるような麻酔は「痛みを感じない」という直接的な効果があるから、客観的な差があるんだけど。笑気の場合は痛みそのものについては感じるので、記憶をたどったときに効果のほどが分かりづらい。寝起きの自分がいかに自分ではないかを語るのが難しいのにやっぱり似ている。

よく音楽について「曲派か歌詞派か」という話題がのぼるが、私は圧倒的に歌詞派だ。楽曲を聞いた後に残る印象がほとんど歌詞だけなので、メロディを覚えるのにすごい時間がかかる。いや、歌詞というより「意味」先行かもしれない。楽曲をいったん言語で噛み砕いてからでないとなんの印象も残らない。音そのものから直接感動する、ということがどういうことなのかわかってないかも。だから曲先行で「いいな」と感動できる人たちに対してあこがれというかコンプレックスがある。その「直接」ってどういう感じなんだと思う。音楽に限らず、何を見聞きするにも、あらゆる感覚受容体の表皮に「意味」の層が張り付いていて、それを経由することなしに感じるということができてない感じがする。意味と感覚を分離すること自体、原理的に不可能なのかもしれないけど。わかんないけど、みんなもっと「直接」を体験しているんじゃないかっていう無根拠な気持ちがある。たまに「あ、これは『直接』なんじゃないか」と思うことがある。でもそれを記録しようとしたり、記録しないまでもその直接性を何に対して抱いたのか考えると、それはもう意味をまとってしまっていて、もはやそれが「直接」のやつだったのかどうか見分けがつかない。

JOCのバッハ会長が日本人のことを間違えて「中国人…」と言ってしまったらしいが、そのときの本人の「やっっっっっっっっっっっべ」という感情を再現する記憶シミュレーションマシーンみたいなものがあったらぜひかぶってみたい（なぜかヘルメット型であることが前提）。一瞬で皮膚に水玉の冷や汗がびっしりと浮かぶのではないか。この前のツール・ド・フランスで看板持ってた人しかり、バッハ会長しかり、世界中のニュースで取り上げられるレベルのミスを犯した瞬間ってどんな気持ちなんだろうとよく思う。ゲームの『サイバーパンク2077』では記憶データが疑似体験の娯楽のために取り引きされていたが、こういう記憶は確実にレアモノだろう。「やっっっっっちまった！」という感覚。絶叫マシンの延長線上にある新しい快感として流行りそう。

今のところ、デジタル文字入力で使うのは主に指である。近年は音声入力の精度が高くなっていて、将来的には思考した言葉を文字として出力できるのでは、なんて話もある。しかし思考入力は倫理的な問題もいろいろありそうだし、雑念が浮かんだらそのまま入力されてしまうのか、それとも「書くぞ」と念じないと出てこないのか、だとすると、手で打つよりも時間かかりそうじゃないか、など、実用化までは遠そうである。手・声による入力と思考入力の間をつなぐ技術としての「舌入力」はどうか、と思った。口内の天井にあたる部分（上の歯の裏側に広がるスペース）にセンサー入りシートを貼り付けて、それを舌でなぞることによってフリック入力とかをするのだ。体温で発電できたら常時入れっぱなしでも問題ないし、ピタッと柔らかい素材なら違和感も少ないのではないか。人間の体の中でも、舌はかなり複雑な動作を行うことができると聞いたことがある。ちょっと練習すれば指先で行っている程度のことは簡単にできるような気がする。でもまあもう誰か作ってるだろうなと思って検索したら案の定あった。しかもGoogle。マウスピース型の静電容量センサによって、口や舌の動きからジェスチャを読み取るという。口腔内の形を記号に変換するというわけだ。プロトタイプだからしょうがないんだけど、これのテストプレイの様子の違和感がなかなかすごい。耳から赤いスマートメガネをかけ、口で青い棒みたいなものをくわえて口をふがふがしながら街を歩いている。音楽の授業でピアニカを使ってめちゃくちゃふざけてるお調子者に見える。人類史におけるこういう瞬間、すごい好きなんだよな。間違いなく技術的なイノベーションの入り口に立っているのに、技術・デザイン的にはまだ完成から遠いのでめちゃくちゃ野暮ったい見た目になって、結果なんかバカっぽい雰囲気になってしまってる瞬間。入力システムに革命を起こすかもしれないのに、それが奇しくもお調子者の小学生に漸近していくスリル。いつか完成して商品化され、みんなの当たり前の存在になって「昔はこんなだったんだね」と言われてほしい。と思ったけど、なんか2019年以降、ほとんど続報が見つからない。頓挫しちゃったのかな。個人的には舌入力が一番早くラクに入力できそうだなと思ってるんだけどな。舌を使って声を出すのとはちがうやり方で喋る、という構図も面白い。

私は「肉を食べたい」のとは別に「デカい肉を焼きたい」という欲求も持っていて。それをひっくるめて肉欲なのだ。カットしてある肉を焼いててもぜんぜんテンションが上がらない。

もうスマート電球やめようかな。この前もGoogleホームが数週間バグり続けていた。何を言っても最初の一回目だけは「エラーが発生しました」と返してくる、という聞き返しバグだ。なんかほっといたら勝手に治ったので、サーバー側の問題だったのかもしれない。昔の家電は壊れることはあっても、バグるということはあまりなかったと思う。普通の白熱球は「間違えて赤くなる」というような壊れ方はしなかった。多機能の落とし穴はここかもしれない。多機能商品は、不具合の種類もバリエーションに富んでいるという事実。実際、パソコンの不具合ときたら数え切れないくらいパターンがある。鏡とかを見習って欲しい。「曇る」と「割れる」の2種類しかないぞ。

この企画おもしろいんだけど、本当に怖いんだよ。みんな目をつぶって口を開けたらこの世に存在しない料理が飛び込んできたことある？特に最後の「男子校の体育祭を濃縮した味」として永田さんが出してきたやつはすごすぎた。全員が少しずつ飲んで、全員同じように痙攣しながら悶絶していた。思い出すだけで動悸がしてきそうだ。あんま覚えてないけど、私は一口飲んだ後に床にぶっ倒れたんだよな。なんか、普段口の中に入ってくるものって「食べられるもの」ばかりがちゃんと検閲を受けたうえで選ばれているんだなと、当たり前の事実に気付かされる。「味」には想像よりもずっと広い幅があるのだ。無修正の味はあまりに強烈すぎた。味覚を使った娯楽がほとんど「食」しか存在しないの、ちょっと変じゃないか。純粋に味覚だけを刺激して、一切腹の膨れない娯楽は開発されなかったのかな。ガムとか煙草が近いかもだけど。舌にシートを押し当てて、味だけを楽しむ器具ないのかな。SMにおいて痛さを楽しみに反転させるみたいに、メチャクチャな無修正の味の刺激を娯楽化するような分野ってない気がする。そういう文化がもしあれば、「体育祭」はかなりの逸品になりえるだろう。いや～あれは本当にすごかった。

「時差」という概念を知ったのはいったいいつだったのか。覚えていない。小学校低学年から中学年にかけてだろうか？地球上の場所によって時刻が異なると知ったときは、たしか驚いたはずだ。時刻というのは、世界中の全てを貫くものだと思っていた。しかし本当の時刻とは局所的な雨雲のようなものだったのだ。でも、時間の基準が1つしかないような世界だったとしても、それなりに世の中は機能するだろう。協定世界時だけがある世界でも別に問題はないはずだ。そういう世界（仮にUTC世界とする）では、世界のどこにいても時計をずらす必要はない。本来の日本で2日の朝7時のとき、9時間前にズレるUTC世界の日本は1日の22時だ。UTC世界の日本人にとっての朝は20時から翌1時くらいまでを指し、眠りにつく夜は午後3時ごろ、ということになる。現実の世界では、どの国であろうと「朝」がだいたいどのくらいの時刻を指し、「夜」がどのくらいの時刻を指すかが一致しているが、それは地域ごとに時差を作っているからだ。そうでなくてもよいということ。

たまに見かける野良猫がいたので「おっ」と思ったら寄ってきて、体を足にすりつけてきた。毛が抜けて風に吹かれタンポポの綿毛みたいに飛んでいった。猫はこうやって増えるのかもしれない。野良猫はスキンシップを取るとき、足に体をこすりつけてからそのまま素通りして視界の反対側に移動することが多い。どっか行くのかと思うとそうでもなく、なんとなく距離を保ったままこっちを見ていたりする。正面から甘えるのではなく、あくまですれ違いの連続の中で偶然に接点を持ちたいのかもしれない。そういう感覚はよくわかる。

今後、培養肉が当たり前になったら、畜産肉を積極的に食べる理由は味の優位性のみということになるだろう。そうなると「ただ美味いというだけで動物を飼い殺しにしていいのか」という問題がハッキリ表面化してくる。「別に培養肉でいいじゃん。動物がかわいそうだろ」という感覚が一般化して、今わりと主流になっているヴィーガンをバカにするノリみたいなのも理解されなくなるだろう。培養肉が美味しくなればなるほど、生きた動物を殺して食べるということに合理的な理由が見いだせなくなる。「生きるために仕方なく殺しているんだ」という言い訳が使えないので。そうなってくるとどうしても気になるのは、過去から現在にいたる創作物の扱いだ。ロビンソン・クルーソーなんかを読むと、ロビンソンが当たり前みたいに黒人奴隷を買い付けようとしており、しかもそこに一切の問題意識がないように見えるので、現代人の感覚だとドン引きする。当時はそれが普通の感覚だったので当然ではあるのだが、当事者性を持ってロビンソンに感情移入するうえで、これほどの倫理観の違いは妨げになる。それと同じことが食肉描写で起こるんじゃないだろうか。「このアニメ面白いけど、キャラがみんな畜牛食べてるんだよな……」みたいな気分が視聴時の集中を削いだり、キャラがステーキ食ってるシーンのスクショを貼って「昔の倫理観wwww」みたいなツッコミが入ったりする。いまわりとアニメもコンプラを意識していて、たとえ深夜アニメでも露骨なセクハラ描写なんかは（露悪として描くのでない限り）減っている印象だけれど、食肉描写となると子供向け作品も含めてほとんど全滅だよな。あ、でも「※これは培養肉です」ってことに後付けすればいいのか？ ドラえもんの動力源がいつのまにか原子力じゃなくなったみたいな感じで。アニメや漫画なんかはそれで言い訳ができるけど、映画は厳しいかもしれないな。肉を食うシーンにモザイクが入るんじゃないか。実際に屠畜して作った肉であることは揺らがないわけで。未来人からしたら「オエッ」ってなったりして。倫理観の変化によって感覚的に「これもう楽しめないな～」ってなっちゃうライン、案外すぐ迫ってくる。「未来人」とか言ったけど、何もかもがスムーズに進めば最短で30年後くらいにはそういう情勢になっていてもおかしくない。20年前と今のコンプラ意識でも相当違うのだ。そういう倫理観に合わせようと努力する中年として生きている自分だって視野に入れておかないと。培養肉ネイティブとはどうしても埋めがたい感覚の差があるはずだから。で、年下の子にうっかり「あ～、培養肉も美味いけど、昔食べた和牛の旨さとはなんか違うんだよなあ」とか言ってしまい「あ、ゴメンゴメン。今どきはこういう発言もダメなんだっけw？」と軽薄な発言をする。そして見えないところでしっかり軽蔑されるわけです。私もあなたも。

こういう事例に出くわすと「くっ……」と少し落ち込む。こちらが軽い思いつき程度の気持ちで「こんなんおもしろいんじゃない？」と発想したことに、生活の比重をかなりかけている人がちゃんといる。かえって自分の軽薄さが際立つようで、襟を正したくなる。

サウジアラビアの川の数が「0」なのにはビックリしたな……。てっきり「らくだ川」みたいなのがあるのかと思っていた。てことはサウジ出身の人は「川」を物語やテレビを通じて知って「なんかそういう流れてるやつがあるんだろう」というような曖昧なイメージで捉えているのかな。

サウジアラビアについてのWikipediaを読んでいたら「家族以外の男女は会話をすることすら禁止されているが、親族男性の代理人がメールや書き込みを行っているという設定で女性が直接書き込んでいたりして、脱法行為的にネット上での男女交際が行われることも多い。」という記述を見た。これって、メールの文面の最後に「……とのことです　代理人」と書き加えるみたいな感じの行為が横行しているようなイメージだろうか。面白い。

既存の言葉でいうところの「しゃらくささ」みたいなものの指摘が「やってんなぁ」には込められているようだ。他の回答も上のサイトから引用してみると実感できる。「滑舌の悪い子どもがナレーションしてるCMあるある」「Twitterに寄せられた校内テストの珍問題あるある」「。」が付いてる曲名あるある」「先生が生徒間の内輪ノリを言ってきたときあるある」。上位にあるこのあたりはまさにそうだ。しゃらくさいだけではなくて、意図が見え透いているというか、とぼけて利を得ようとしていることが伝わってくるときに「やってんなぁ」と思うのかもしれない。特に、「偶然の良さ」「素朴さの良さ」みたいなものを意図的に出してやろうという意図を感じ取ったときは「やってる」度が高いと思う。「関西芸人が漫才中に思わず笑い出したときあるある」「TikTokでLIVEしてるイケメンがコメント読むために顔近づけてきた時あるある」「まわりのみんなが詳しいとき、必要以上に知らないふりをする自分あるある」非定型的な行為が実利を生み出すとき、それを素知らぬ顔で実行しようとすることがある。その一種の卑怯さを「やってる」という言い方で表現するのは、改めて考えてみると、これはなかなか見事というか、言い得て妙だ。批判されていることの本質はまさに、その行為を自ら意志して「やって」いることにあるのだから。能動的になにかを行うことへの批判を「やってる」に集約するとは。書きながらしみじみ「いい表現だな」と思ってしまった。ただ現状「やってる」は普通にしゃらくさい行為や狙いがミエミエの浅ましい行い、などにも使われているようだ。「動物のかわいい映像にアテレコしている動画を見た時あるある」「商品名とセールスポイントをミルクボーイの漫才に乗せて連呼しているCM」このへんのネタは、非定形的な行為の再演を指して「やってんなぁ」と言ってるわけではなく、「こうすりゃいいんだろ」的な姿勢への「やってんなぁ」だ。「いい歳してInstagramで投稿する時に大量のハッシュタグで文章作ってる人あるある」「前澤友作にまつわるニュースあるある」「Vtuberの配信を覗いたときあるある」「恋愛リアリティ番組に出てる一般人あるある」このあたりのネタもまたニュアンスが異なる。ある属性の人たちがいかにもその属性っぽいことをいまだ繰り返しているときに用いられる「やってんなぁ」だ。それが故意のものかどうかはこの際はあまり関係なさそう。「はいはい」って感じか。この「やってる」という言い方、さっき述べたような「本来意図されずにやることを意志して"やって"いる」という指摘だけじゃなく、それに自分が気づいたことも重要なのだろうな。「お前が掴んで実行している法則性、自分も気づいているからな」という。「なにを」という部分について、もはやお互いわかっているはずだから言わない。単に「やってる」と指摘するのみ。単に目論見を暴くんじゃなくて、指摘する側も共犯になる面白みを「やってんなぁ」には強く感じる。

今日も油そばを食べてしまった。何を食べるか考えたくないときに油そばを食べてしまう。しかし油そばをそんなふうに意思なきときの選択肢として配置してはいけないような気がする。油そばはニンテンドウオールスターズならワリオであって、マリオではない。ワリオをマリオだと思ってはいけない。そう思いながら油そばをすすった。どうでもいい油そばを出す店は、箸が最初からベタベタしている。油そばににんにくは入れなかった。入れたらさすがにワリオすぎるからだ。

海外ニュースなんだけど、「腹ぺこゾウ」という単語に私たち日本人のゾウ観が表れている。どこまでもゾウといういきものを絵本的な世界観の延長で捉えてしまい「6トンの猛獣が家屋を破壊して内部に侵入してくる」という事態のリアリティに想像が及ばない。見てよこのゾウの写真の目。完全に意思の疎通が断絶してるよ。私はゾウを信用していないからな。サーカスの途中にゾウがパニックに陥って人間を踏み殺す動画とか見漁っていた時期があるので。

「NKODICE（ンコダイス）」というPC向けゲームが流行っていた。流行りものが好きなので私も買ってひとりで遊んでいた。今年出たゲームの中で一番感動したかもしれない。どういうゲームかというと、ただサイコロを転がして役を作って得点を稼ぐゲームなのだが、その目が数字ではなく「ち」「ま」「う」「こ」「ん」「お」という文字列で、目の揃い方によって画面に巨大なフォントで「UNKO」「CHINCHIN」といったエフェクトが出る。この演出がかなり巧みで単純にカッコよく痺れたのだが、私がなにより感動したポイントは、卑語とビジュアルイメージの喚起を完全に切断することによって、単なる下ネタではなく、いや、というかむしろ「単なる下ネタ」そのもの、純下ネタを実現したことにある。洗練されたエフェクトや高いゲーム性がそれを可能にしている。この挑戦心は、出目に「ま」があることで「MANKO」が出るという点にも表れていると個人的に思う。直感的にわかると思うけど「UNKO」「CHINCHIN」は大衆的なお笑いになるが「MANKO」はちょっと笑いが引っ込む感じがある。それをあえて入れたのは悪趣味ではなく、言語遊戯としての下ネタの探求、みたいな意図があったのではと私は勘ぐる。より広くウケる話題性を獲得したいのであれば間違いなく「MANKO」は省くべきであったが、あえてそれをしなかったということこそがNKODICEの精神を形作っている。はっきりいって、「ま」のないNKODICEはゲームとして去勢される。言い方を変えると、さまざまな「配慮」によって「ま」を削除されたNKODICEがあったなら、それはオリジナルバージョンよりも遥かに下品なゲームである。表面上はもちろん卑語の種類が減るわけだが、それを削除するという思惑が働くということは、下ネタワードが現実の文脈と接続され、湿り気を帯びてしまった証左なのだ。サイコロという純粋に確率的な装置がなんの意図もないままに「MANKO」を出し、プレイヤーは高得点で喜んでしまうことが感動的にエレガントなのに、そんな配慮があっては野暮で台無しだ。こういう意味での上品さというのはなかなか理解されないような気がする。自分でも表面上の上品さに屈して、無難に下品な振る舞いをして後悔することも多い。しかし、誰一人そうは理解していないが実は上品な人間、というような存在もどこかにいるはずだと私は信じる。

検尿はずっと慣れない。紙コップが、飲料用のやつとあんまりデザインかわらないやつなのってなんとかならないんだろうか。学生時代はなんか折りたたみ式で、豆腐のパックみたいなやつだった気がする。あれはあれで使いにくいんだけど、飲料との区別という意味では良かった（豆腐のパックとの区別という意味では悪かったかも）。使用後の紙コップを握ったときに感じる「温度」もなんかちょっと嫌だ。冷たくも暖かくもない、自分の体温とまったく同じ温度の液体。

人生の答えなんて「毎日がそれなりに楽しく過ごせていればその生き方でいい」に尽きるとは思うんだけど、それを分かるために人はすごい迂回路を辿らないといけない。はじめから正解を生きている人ですら、ときにはその道をたどるのだ。

「麺屋こころ監修 台湾まぜそば」たしかにうまい。味が濃い。どうして地平線の向こう病気の塔が見えるような食べ物ほどうまいのだろう。

街を歩いているこども。だいたい走っている。こどもなんて、人生で一番ヒマな時期なのに。なぜか急いでいるわけでもないのに走っている。大人は忙しい。忙しいのに、あまり大人は走らない。よっぽど走るときは電車に乗り遅れそうなときくらいで、全速力で走る大人を見かける機会はかなりまれだ。しかし大人はジョギングのときはしっかり走る。「走る」ことが目的のときだけは走れるのである。こどものように「つい走ってしまう」というようなことは、大人になると起こらなくなるらしい。なにかに遅れそうで急いでいる大人を見る機会はけっこうあるが、ジョギングのときのように腕をしっかり振って走っているところを見たことがない。パタパタパタ……と手を半端な位置で揺らしながら、速歩きの延長くらいの速度で、小走りになっていることがほとんどだ。急いでいるんだから、もっとちゃんと走ればいいのに。待ち合わせに遅れそうとか、そういう理由では「小走り」を選ぶのだ。それが大人。

人の嫌がることはやめよう、というテーゼはみんな習うけども、実際それをちゃんと言葉通りの意味で実行できている人は稀だ。自分がされて嫌なことは人にしない、であれば難度はグッと下がる。「自分がされたら平気なことや嬉しいことを人にしない」となるとできない人が増えるし「自分が問題に思っていないことに苦しんでいる人について同情する」となると大半の人には至難のわざではないか。やっぱ同情やチャリティの精神といったものには軸に自分自身の利害感情があって、その感覚を他人の内側に擬似的に見出すことが道徳的態度の第一歩であるはずなんだけれども、そういう一種の身体感覚の拡張では済まない抽象化が「人の嫌がることはやめよう」という言葉には必要とされているのだろう。自分がされて嫌なことを人にしないだけなら、他人を自分扱いするというゲームをうまくやればやりおおせる。でも、自分とは感性が正反対な人にとっての苦痛を退けて幸福を実現してやろうとすると、それだけじゃゲームが通用しない。「喜び」とか「苦痛」みたいなものをいったん内容（実例）のない概念としてとらえないといけないから。それってたぶん、脳にとって相当な負担なんじゃないか。「思いやり」から、相手の痛みを「直接」想像するという、リアルなぶぶんをあえていったん取り払ってしまわないといけないから。血肉を取り払って骨格を取り出してからまた血肉をつけ直す、というような、迂回した同情が要るんですね。

昔、田辺さんが、「生きてると沢山あんたにアドバイスをくれる人が現れるけどほとんどの人が全くあんたの未来に責任とってくれないから、そう思って聞くと楽だよ」って言ってきて、「それもアドバイスだね」って私が言ったら「私は別だよ！」って言ってました

女の鞄は女をナメ腐っているので男モンを買う。この割り切りができるようになるまでずいぶんかかった。

SNSで自分の話はしない方がいい。ワシの若い頃は凶悪犯罪が起こる度「若者の心の闇が～」と言われたが、今はその「心の闇」が恋しい。今は家の外どころか、心の中まで「公共」の場になっちまったからな。そしてみんな疲労してるワケだ。だから思ったこと全部を投稿するな。マジで「心の闇」が消えるぞ

40のおっさんの射精ってのがもうなんか情けないんだよな。繁殖終わったらチンポの先からチンポの精がモワッと現れて「おつかれさま！今日からこれは小便専用ノズル！」とか労ってくれてもいいのに。

ウザイ年寄りの説法を全部ハラスメントとして遠ざけて古臭い昭和のルールブックを焚書にした結果、全部自分で調べて決断して行動できる有能な人以外は生きるのが難しい時代になったよね。

社会人になって20年くらい経つわけだけど、仕事ってやばいやつをやらかした後にどう怒られないように誤魔化すか考えてる時間が1番やりがいあるな

就職とか転職の後、はるかな選択たちを見送ってたった一つの道を選んだことへの後悔が胸をちくちくと傷つけるけど、結局は「今」しかないのだと気づいて前に進むしかない。

雪国とかの「いよいよ今年も……始まりましたね……」みたいな雰囲気、一度味わってみたいな。いや面倒なんだろうか……その日は前の晩からスタッドレスタイヤにはきかえないといけないとかで普通に面倒なんだろうな。「面倒」を非日常として楽しめるのは、その面倒が日常的に降りかかってこないところの民のみ。

マフィアの闘争で首を刺されてどばどば血が出て、すぐに体が震えて倒れて動かなくなる人の動画を見るのが好きで、死にまつわるぞくぞくとした背徳感だとか絶望とか命のあっけのなさに震えてしまうのだけれど、たぶんこの感覚こそ生命として正常なのであって、なんやかんやでちゃんとみんなが80歳まで生きるこの社会にいながら無条件に「命の尊さ」という価値観をむさぼれる現代人こそ、かえって皮相的なものの見方をしてしまっているのではないか、と感じさせられる。マンモスを襲ったら返り討ちにあって、仲間が食い殺されるのを見ながら震えて村に帰ったニンゲンもいっぱいいるのだろう。冬を越すための食べ物がなくて、妊婦の腹を切り裂いて内容物をすすったニンゲンもいるのだろう。

現代人によれば命は確かに尊く、私もそれを無条件で認めている部分があるのだけれど、それはむしろ清潔さや健康を保てる現代社会、特に医学が我々の命を尊くしている、力づくで良好な命を保たせているといったほうが適切で、グロテスクな動画は我々に対し、生きることとは本来、薄氷の上でタップダンスを踊るようなものであると思い起こさせてくれる。意地悪な言い方をすれば、医学は我々から死をある程度隠蔽することに成功している。

もちろんグロ動画を見ている自分が健全ではないことは理解しているけれども、動画を通じて擬似的に死を観察することで自分が生きている実感を得られるというか、そうするしか死に近づく方法がないというのが、現代社会がどれだけ死から遠ざかっているかを示しているようで興味深いなと。毎日「生きたい」と思って生きている日本人はあまり多くないだろう。間違いなく喜ばしいことだ。だからこそ私は今日もあの動画を見ようと思う。

「きつねダンス」の、生物としてのキツネをあざとく利用してあわよくば流行ってやろうみたいな魂胆が嫌いすぎて一度も見てない。

投稿者があからさまに巨大な胸を強調しているというYouTubeチャンネルがあって、人気なので後追いが次々に生まれ、しかし伸び悩んだりしているらしい。これが2021年かと思うと趣があるけれど、たしかに未来的というか、過去にはなかった現象ではある。この現象を100年前の人がどれくらい正確に予想しえたか考えてみると、予想するために必要な前提条件の多さが浮かび上がっていく。まず動画という概念。これはまあ、わりと容易な想像だろう。動く映像を記録できる。その装置が安価に誰でも手に入るようになる時代が来るであろう、という予想。次にネット通信。これも電話というアイデアさえ知っていればたどり着くことは難しくなさそうだ。いろんな情報を遠隔で送ることが（原理はともかく）できるようになるんじゃないか。このあたりから想像が困難になる。果たして「いろんな人が勝手に動画を撮って趣味的にネットに公開するようになる」という現象を、100年前にどれだけ予測しえたか。しかし昔にも、自作の絵や小説を見せて回った人はたくさんいたわけで、そこに電信技術が加われば、「誰もが動画を撮影し」「ネットを通じて」「自己顕示欲を満たす」という光景は想像できなくはない、気もする。そこまでたどり着いたなら、そうやって自作の映像を見せまわってお金を稼ぐビジネスモデルが生まれ、それで生計を立てる人が登場することも想像できるだろう。いわゆるYouTuberはやはり未来予測の光で照射できるのではないか。いやしかし、基本無料コンテンツの広告収益モデルが一般的になったのはごく最近のことで、昔の人が想像するYouTuber的なものは、自然に考えたら「遠隔で映画を売る人」みたいな感じになりそうだ。このへんで、通信技術の進化を予測するセンスだけじゃなくて、経済モデルの変化をも視野に入れないといけなくなってくる。ただ星新一も筒井康隆も「基本無料で広告で稼ぐ」という発想をやっているので、無理ではないのかも。彼らの時代にはもうテレビがあったからテレビCMのイメージから着想したのだろう。100年前といえばアメリカでラジオの公共放送が始まった時期だから、ここから想像に想像を重ねれば？ ひょっとしたら無料の広告収益モデルを思いつけたかもしれないけど……微妙だな。関門はまだある。誰でも動画が撮れて、YouTube的なものがあって、それで稼いでる人がいる、というところまで想像できたとして「胸を強調して料理をして稼ぐ人」が登場することを予測できるのか。どの時代でも、ポルノで稼ぐという発想はいくらでも浮かぶ。だから「遠隔通信で裸の映像を売って金持ちになるポルノスター」みたいな存在は、SFにいっぱい出てくる。だから、もし100年前の人がいまのYouTubeを見てお色気クッキングチャンネルの存在を知ったら「なんでもっと直接的なポルノを売らないのか」という疑問を呈するはずだ。なぜだろう？ このあたりが、なんだかんだで一番予測困難な箇所なのではないか？なんでこうなっているか。実際、直接的なポルノも売られているんだけれど、YouTubeというプラットフォームが寡占的に世界の動画需要を満たしているというのがまずひとつ。それに伴ってプラットフォームが公共化・健全化を志向するようになり、ポルノ系統の不健全動画は専門プラットフォームに追いやられたというのがもうひとつ。そして、ポルノをポルノとして売る競争が加熱し、レッドオーシャン化した結果、健全プラットフォームの内部で存在を許されるギリギリのポルノが逆に特有の価値を持つようになったというのが最後にひとつ。以上を順を追って丁寧に説明すれば、100年前からの旅人だってお色気クッキングチャンネルの存在理由を理解することができるだろう。しかし、怪訝な顔もするはずだ。「なんか、馬鹿みたいなことが起こっているな」と言うはずだ。確かにこれは明らかな不合理だ。「SF作家に求められるのは車の誕生の予測でなく、渋滞という概念の予測である」みたいな言葉があるが、まだ渋滞のほうが予測するのは簡単な部類かもしれない。だいたい乳を見たいという人が乳を直接的に見に行けるページを見に行かず、なぜか料理チャンネルを見に行く、という時点で不可思議ではないか。しかし実際にはそういう人がたくさんいる。これに類する感受性が100年前にもあったのかは謎で、もしかしたら技術の進歩に伴って人間の感性が変化したことでうまれたのかもしれない。技術の進歩に伴って経済のありかたが変わり、社会の習慣が変わり、人間の感受性が変わる。その連続的な変化の先に「胸を強調して料理するYouTubeチャンネル」があり、コメント欄に「今日もぱつんぱつんだネ(^^)」と書くオッサンがいる。仮にこれを予測して書いた小説が100年前にあっても「こんなんならんやろ」とか「登場人物の考えが常軌を逸している」と思われるに違いなく、商業的にウケないという問題もある。技術・経済・社会・感性の変化を総体的に予測するのは単純にとても困難で、なおかつその当時の基準において「おもしろくない」わけだ。

麻雀を始めたのが去年末で、東風戦を600戦、半荘戦を60戦くらいやっている。ぜんぜんうまくなった実感はないが、だんだんと麻雀のおもしろみみたいなものがわかってきた。この場合のおもしろみというのは、ある動きから得られる情報量の多さかもしれない。たとえば相手が「五萬」と書かれた牌を捨てる。半年前はそれを見ても「ふーん」という感じで、なんの情報も受け取っていなかったが、今は「へぇ……」という感じになった。麻雀の動作に変換された相手の意思や心理を、ある程度なんとなく可逆的に変換し直すことができるようになってきた……ような気がする。もちろん手牌を読むみたいな高度なことではなくて「あ、この勝負は諦めたっぽいな」とか、その程度の初歩的なレベルなんですけど。そういう感覚も、なんというか座学で論理的に導き出したわけではなく、直感でそう感じるようになってきたっぽいのが面白い。なぜそう感じたかといえば、自分のしてきた選択の記憶が蓄積しているからだろう。かつて自分が「五萬」を捨てるタイミングがどんなときだったのか。その積み重ねが「相手の思考」を判断する材料として質量を持ち始めた。昇段すると、段位の高い人だけが入れる部屋で打てるようになる。今日はまったく予想もしないタイミングで二人同時にロンされて牌が砕け散り全部目に刺さった。ここから先はレベルが違うということなのかもしれない……。

女優の松岡茉優さんが「ふくしま知らなかった大使」に任命されたらしい。ふくしま知らなかった大使とは「ふくしまを知らなかったみなさまの代表」らしい。無知を代表することあるんだ。私も福島県のことは全然知らないから、私の「知らなさ」も松岡さんが背負ってくれているということになる。頼んだぞ。「知らなさ」によって大使になるなどということがあるとは思わなかった。この選定はどうやって行われたんだろうか。いろいろなタレントを挙げながら「ちょうど福島県のことを知らなそう」な人をキャスティングしたのではないかと思われる。ちょうど知らない、というのは案外難しいのかもしれない。ただ知識全般がないだけでは「ふくしま知らなかった大使」にはふさわしくない。他のことは人並みに知っている中で、なぜか福島県についてだけエアポケットのように興味が抜け落ちているような状態が望ましい。おそらく、1年のうちで福島県のことを考える時間が10秒に満たないのではないくらいでないと、大使の座は得られないだろう。これはなかなか困難なことだ。どんなオファーをかけたんだろう。「おたくの事務所の松岡茉優さんが、福島県について何も知らない人の代表としてふさわしいのではないかと判断しまして」と正直に伝えたんだろうか。この伝え方も難しい。ただの無礼なオファーにも見える。しかし、この役目はバカには務まらない「知らない」とは「知る気がない」とは異なるのだ。「たまたま知らなかった」という「たまたま感」がなければいけない。学校の勉強なんか全部忘れちゃったもんね～ブイブイ！ みたいなタレントが起用されては興ざめである。しっかりした知性に偶然「福島県」という真空が残っている人でなければならないのだ。眉をひそめる事務所のマネージャーにこれを説得するのは、さぞ骨が折れたに違いない。「知らなさ」によって逆説的に大使になれるという発見は、なかなか夢が広がる。ベストジーニストはジーンズが似合う人しかなれないが「ベストジーンズ知らなかったニスト」は、ジーンズを履かない全ての人に可能性がある。日常生活においてジーンズのことを全く考えていない人たちの中でも特にジーンズのことを考えてなくて、周囲から「あなたってジーンズ履かないよね」とすら言われない存在。もっともジーンズという概念から遠い場所に生きている人。県の魅力度ランキングの最下位はだいたい茨城県や栃木県である。だが「思いつく限り、県の名前を挙げていくテスト」をしたときに最後まで出てこない率が高いのは島根県であるらしい。おそらく「福島県のことを知らなそうなタレントを挙げてください」とアンケートを取ったとしても、松岡茉優さんの名前はほぼ挙がらないのだろう。だからこそ、大使になる資格がある。私は何の「知らなかった大使」になる資格があるのだろうか。知りたいが、いまその心当たりを挙げてしまったら、もうそれにはふさわしくないということになる。私から最も遠い概念。それこそが「知らなかった大使」の冠にふさわしいのだが……。

走るために走ったの、すごく久しぶりかも。待ち合わせに遅れそうとか、信号が変わりそうとかそういう理由で走ることはあるけど。体を酷使するために酷使すると、こんなにもキツいのかと驚く。自分の体が質量をもった物体であると否応なく自覚させられる。

こういうとき「体に触れる時間が長いものほど良いものを使え」というもっともらしい言葉が私の背中を押してくれる。確かにキーボードをさわってる時間はめっちゃ長い。右手が左手を、左手が右手をさわっている時間よりも、キーボードに触れている時間のほうが長いような気がする。

世の中にはいろいろな陰謀を信じている人がいる。「菅義偉は鏡に映らない」と主張している人もいる。最近は一部で「世界線の移動」説が流行しているらしい。もともと「マンデラ効果」という言葉があって、ぜんぜん間違っているはずの知識を共同幻想的に不特定多数が持っているような現象を指す。たとえば「ピカチュウのしっぽの先は黒かった気がする」とか「小林亜星はもう死んでるような気がする」とか……。こういった食い違いを「実際に」世界の構造が描き替えられているのだ（何者かの力によって）と解釈する人たちが現れた。なんでそれに気づくことができるのかは謎だがすごいコペルニクス的転回だ。この考え方ならば、原理的に「勘違い」というものはなくなる。常に自分の直感が正しく、世界のほうが追随してくる、という発想。しかしそれこそ私たちは『シュタゲ』のようなエンタメを楽しむとき、こういうふうに事態を認識している。世界線を移動したと主人公が思ったのなら、それは実際にそうなのだろう、と考えるし、主人公のほうがただ精神を失調しているだけだとは思わない。ぶっ飛んでいるように見えるとしても、私たちの直感が常識的な判断とたまたま一致しているだけなのかもしれない。世界がしょっちゅう書き換えられているなんて、哲学的な思考実験みたいでちょっと面白い。ラッセルという哲学者は「世界5分前仮説」というのを発想したけど、たとえば毎秒、毎分、世界がまったく別のものに創造し直されている可能性だってあるわけだ。仮に世界がそういう仕組みであったとしても私たちはそれに気づくことがないし、世界に矛盾が生じてしまうわけでもない。論理的にはありうることだ。しかしやはり、こういった陰謀論は軒並みつまらない。面白いが、根本的な部分では全くおもしろくない、と思う。ありうる、ということと、ある、ということの間には、実際的にも意味的にも大きな隔たりがある。単にありうる、ということから「実際にあるんじゃないか」と発想するばかりかそれを「主張」するのは懐疑のセンスがない。「ありうる」とはあくまで懐疑なのだ。陰謀論者は世間的な常識に反したことを言うからファンキーに見えて、私は一瞬「いいな」と思うこともあるんだけど、よく見てみると「こうあってほしい」という世間的な常識に反した願いが懐疑ふうの主張に結実しているだけで、実は信仰といってもいいほどの信念が彼らにはある。安心をしたいのだ。私も「世界は作り変えられているのかもしれない」と考えることがある。しかし、それは「世界や過去は堅牢なモデルである」という通年との対比においてそういう判例を想像しているだけで、どちらかに結論を出そうとしているわけではないのだ。世界の有りようはどのようにでもありうる、実際にはどんなふうになっているのか、それはさっぱりわからない。不安だ。中に浮いたみたいな気持ちで落ち着かない。この落ち着かない感覚だけが、私がずっと抱えるある種の恐怖や孤独を癒やしてくれる唯一のものであることは否定できない。哲学やそれっぽいものに興味をもつ人の多くは、いわゆる「真実」というものの絶対性に対して、根深いところで拒絶感を抱き、にも関わらずその「真実性」にしか縋れないという倒錯があるんじゃないか。

薬を飲んでいる日と飲んでいない日で頭の中の景色がかなり違うなと、今さら気づき始めた。今までそれが当たり前だったから気づかなかったけど、自分の頭の中はいつもずっとゴチャゴチャ散らかっていて、言葉が限りなく連鎖し続けてマリオRPGの「ばくれつかぶと虫」のミニゲームみたいな感じになっている（ばくれつかぶと虫をやっている人にしか通じない例え）。薬を飲んでもそのゴチャゴチャが消え去るわけではないんだけど、頭の中に「スペース」を作ることができるようになる。私の頭の中にある部屋には本やガラクタがめちゃくちゃ散らばっていて、タンスや本棚といった家具はひとつもなく、全てが地べたに転がっている。薬を飲んでも家具が出現することはないが、散らかった部屋にある物を強引に壁際に寄せ、中央になにもないエリアを作り出すことくらいはできる。薬を飲んで作業していると、ふと「あー、今よけいな思考とかなにもない状態になれてるな」と思う。ただ良いことばかりではなくて、一つのことに集中しようとするあまり、頭の熱が一箇所に集まってきて、気が急くような、焦れるような、変に不安な気持ちになりやすい。何か作業をすることはできるが、何かをせずにはいられない、みたいな感じ。これは、疲れる。部屋が散らかっていることで得られる安心感みたいなものもあったんだなと思う。意識がいろんな方向に分散しているときの自分は落ち着きがないように見えて落ち着いている。どっちの状態がいい、とは言い切れないけど、脳のモードみたいなものを意識して生活してみると「あ、今日はだめな日だな」とかが直感的にわかるので便利だ。

ある物事について、それが有している要素や性質を的確に言い当てているようなとき「解像度が高い」みたいな形容をされることがある。これは比較的あたらしめの用法だと思うが、ここ数年で使われる機会がぐっと増えた印象がある。「あの評論は解像度高い」とか。「あの漫画の心理描写、解像度高すぎ」とか。なぜか私もたまに言われる。その結果、「解像度」表現を避ける動きも出てきた。「みんなが言ってるとなんか違うな」という、よくある現象だ。「メンヘラ」「エモい」「推し」「巨大感情」みたいに、新しく出てきては陳腐化して、利用を控える流れが生じるケースはわりと多い。こういうの、自意識高めの人たちにありがちな「みんなが言ってることと同じことを言いたくない」みたいなやつだと思っていたし、自分もそっち側の人間だから、まあそういう動機なんだろうと、なんとなく思っていた。でも改めて考えてみると、ただの自意識の問題だけでなくて、わりと実質的な弊害が「言葉が流行る」ということのうちに生じてくるよな。言葉が広く知られると、意味は少なからず変化する。新語の多くは「既存の言葉ではいいあらわせない微妙な状態」を指すために生み出されるから、最初それの意味するところはわりと狭い。知名度が上がると、その適用範囲はおおむね広がる。「エモい」が指していた微妙な感情が「なんかいいよね」くらいに薄まってくる。となると、当初伝えたかっった「あの感覚」について「エモい」と言うだけでは十全に伝わらない、ということになる。話者がそれを厳密な意味で使っているのか「なんかいいよね」で使っているのか判定するのは困難だからだ。自分がどう思っているかどうかに関わらず、言葉は客観的に腐るのである。いや、腐るというのは露悪的か。最初はキンキンに冷えた、背中を震わすような温度の言葉も、いずれぬるくなっていく。私も今は「解像度」を使うのに消極的になっている。あと「言語化」あたりもちょっと慎重にならないとな、と感じる。言葉って、思っていることを伝えるためにとても便利なツールだけど、伝える工夫を省略するために言葉によりかかると、言葉のほうがのっぺりしてきちゃうんだな。

商品とかにいきなり知らない人のフルネームが書いてあるとなんかギョッ！ としてしまう。道端の表札がフルネームだと「我が強いぜ」と思う。我が強いからじゃないと思うけど。マツモトキヨシ。イッセイミヤケ。中川政七商店。

おならをすると恥ずかしいという感覚があるが、あれはなぜなのか。「①くさい」「②音がマヌケ」「③尻から出る」こんなところか。いや、もう一つ重要な理由がある。「④我慢できる」。もし放屁が人間の意思で我慢できず、不随意に行われる生理現象であったなら。それは恥ずかしいこととして認識されていただろうか。多少「あちゃ～」みたいな空気にはなるかもしれないが、この世界におけるそれほどの恥にはなっていないような気がする。だって、我慢できないならどんなシチュエーションでも鳴るのだ。学校で、会社で、家で、テレビの収録現場で、解散コンサートのさなかで、ヒーローインタビューで、庵野秀明密着特番で。我慢できるからこそ、我慢できてない人が恥ずかしい。くしゃみやしゃっくりのような扱いになるのだろう。そういえば、生放送のテレビに出ている人がくしゃみやしゃっくりをしているところを見たことがない。我慢しているのかと思ったが、「しそうになっている」様子すら見たことがない。緊張状態だと出ないもんなんだろうか。

綾鷹のパッケージには「急須でいれたようなにごりの旨み」と書いてあるのだが、見るたびに「のにょい急」……。と思う。言わないが絶対「のにょい急」って思う。ツイッターで「のにょい急」と入力すると、私と同じく「綾鷹を見て”のにょい急”を思いし者ども」が出てくる。趣味も年代もバラバラだが、「のにょい急」の一点をもって彼らと心がつながっているのではないかという気がしてくる。

忘れっぽいせいかもしれないが、常日頃から「急に全部忘れたらどうしよう」という恐怖感がうっすらある。中学生のときだったと思うが、登校したら小学校についてしまったことがある。中学への行き方を忘れたのだ。そのときの恐怖、というか驚きはかなりのもので、衝撃を受けた。幾度となく繰り返してきたルーティーンでさえ、ある日前触れもなくスッパリ忘れてしまうことがありえるのだ。私なら、なおさら。ウェブサイトのログインパスを忘れてしまうかもしれない。コンロの火のつけかたを忘れてしまうかもしれない。日本語の喋り方を忘れてしまうかもしれない。あるき方をある日突然忘れて、朝にベッドから落ちて地面を這いずることになったらと思うと怖すぎる。いま自分が何かを「できる」「覚えている」ことって、これからもそのままでいられる根拠は全くない。それがこわい。強烈に頭をぶつけて記憶喪失になる、とかならまだわかるけど「ふと全部忘れる自分」が一番こわい。小学校を卒業したような気が、いまだに全くしない。小学校を卒業した日の記憶が一切ない。何かを歌ったんだっけ？ 「楽しかった運動会」とか言ったんだっけ？ 先生は泣いたんだっけ？ 先生の名前はなんだっけ？ちゃんとした手続きを経ることのないまま、ふ、と全部忘れて、私は会社員になってしまったんじゃないか……？ って気がする。なにもかも、何かの間違いなんじゃないだろうか。自分以外の同級生もちゃんと加齢して大人になって、働いたりしてるのか？ 自分だけがこうなってるような気がしてならない。かつて通っていた小学校の前を通ると、当時のクラスメイトがまだあの校舎内にいるような気がする。いてもたってもいられなくなって、校門を乗り越えて、校舎に忍び込む。廊下をそっと歩いて、6年1組の様子を窓から覗き込む。私の同級生たちが、そっくりそのまま、小学6年生のままそこにいて授業を受けている。担任の先生もそのままだ。私が座っていた席は空席になっている。先生が、教室をのぞく私の存在に気づく。それに反応した同級生たちも次々に私を振り向く。みんな恐ろしい顔で私をじっと見つめて睨んでいる。当たり前だ。私は彼らをほったらかしにしたまま大人になってしまったのだ。

ゆで卵ってうまいな。食べるたびに「これ好きかもしれん」と思うが、お腹がすいたときや「好きな食べ物は？」と尋ねられたときに「ゆで卵」が浮かぶことはない。好感度は高いけど、挙げられることはない存在。そういうポジションってけっこうある気がする。

こんまり（近藤麻理恵）の友達は、彼女の誕生日とかにプレゼントを渡すとき、緊張しないのだろうか。

映画とかを早送りで見ると横着したような感じがあるのに、小説や漫画を読むスピードは読者に一任されており、内容さえ把握できていればそれでよい、というような雰囲気があるのはなぜなんだろう。この疑問に最初に思い浮かぶ答えはこういうものではないだろうか。「映像作品は、それを構成する間も含めて作品である。一方で、小説や漫画はその間が読者の想像に委ねられているという違いがある」しかし、こんな疑問も浮かぶ。たとえば、『美味しんぼ』のアニメを2倍速の早送りで見るとする。見終わってからそのアニメの内容を思い出すとき、それは「2倍速の映像として記憶された美味しんぼ」なのだろうか。そうではないのではないか。それこそ、漫画を10分で読み終えてしまったからといって、その物語の中を流れる時間が10分の猛スピードで過ぎ去るわけではないように。倍速で観た映像であっても、その情報から等速で観たときと同等の情報を得ることは可能なのではないか。想像を働かせれば、約10秒の沈黙を表現したシーンが5秒で済まされたとしても、10秒相当のシーンとして認識できるのではないか？もしこの仮説が正しければ、倍速で観た映像を通じて等倍と同等の情報量を取り出すことができるか、という視聴者側の技能が問題になるので、映像を倍速で楽しむことは鑑賞において特におかしくはないことになる。とはいえ、さらに疑問もあって、じゃあ音楽はどうなんだという問題が出てくる。時間の節約のために音楽を倍速で楽しむ人というのは聞いたことがない（いるのかな）。ここまでくると何か根本的にやってはいけないことをしてしまっているというか、音楽の鑑賞における前提条件に「等倍」が含まれているのにそれを犯している気がする。映像作品にはたいてい劇伴といった音声要素があるから、その観点から見るとやっぱどうなの、って気もしてくる。ただ結局は時代の空気によって許容値が定められているだけのようにも思える。YouTubeのコメント欄を見ると、倍速で観ることが前提になっているようなコンテンツがたくさんあるとわかるし、音楽にも「この曲1.25倍速で聴くとすごい良いw」みたいなのも観たことがある。漫画や本は構造上、それの鑑賞にかける時間が消費者に委ねられていたけれど、映像や音楽も同様の幅が持たせられ、みんなが好きな速さで楽しむ時代がくるかもしれない。こうなると「ものすごく難解で分厚いが何度も読めばわかる本」みたいな感じで、「スロー再生を前提に作られ、ゆっくり流すと曲の中に埋め込まれた別の曲が聴こえてくる、情報量が多すぎる曲」なども出てくるかもしれないな。映画ではある意味それは実現してて、情報量過多な作品がウケている印象がある。あれは作品の再視聴が容易になった時代と無関係ではないだろう。

うちはシャワーの水がお湯になるまでけっこう時間がかかる、平均的な時間はわからないけど、いつも1分以上かかるのは長い方と言っていいんじゃないだろうか。その水が湯になるのを待つ時間を無為に過ごすのもなんなので、まずシャワーの栓を開けてから服を脱ぎ始めたり、トイレに行ってみたり、といったプチ時間つぶしを試しているのだが、水が出続けていることに変わりはない。なんか有効活用できないかな、と思っていた。「風呂場に植木鉢を置く」というのは本気でちょっと考えたけど、1分間も水かけたらたぶんどんな植物も調子崩す気がする。なのでやっぱりどこでもドアで干ばつ地帯につなげるしかない。未来ではこれが常識になっている可能性もあるな。「シャワーの水がお湯になるまでの間にかけるための木」が植えてあって、世界中の人がシャワーのたびにそこにつなげて水だけかけて帰っていたりする。お湯になるまでの水だけで育った森、などというものもできる。のちの「ユマデ大森林」である。なんか最近、会社の同僚たちとかが急激に「植物」に興味を示し始めている。気に入った植木鉢を買って、グングニルとかプルトニウムとかみたいな名前の観葉植物を愛で始めた。いったいどうしてしまったというんだ。みんな年取るとそうなるの？植物を愛する感性が自分に備わっているのかどうかまだ判然としない。植物の世話はほとんどやったことがない。授業で買わされたアサガオくらいか。アレも何一つ記憶に残っていない。そもそも咲いたんだっけ？ 枯れた？ というか、このときに植物を愛せなかったことによって、今の苦手意識が形成されてしまった可能性もあるな。そういうの抜きにすると、即物的な性格と「植物」の食い合わせが悪いんだよな。あいつら遅せーからな。最悪なこと言うと、ちゃんと世話できても、すっかり育ったあとに「……ということでね。はい、この植物は消費し終わりました」みたいな気分になってしまったらどうすればいいんだろう……というのもある。葬送のフリーレンの逆だな。

ライブに行って盛り上がったこととか、ホテルのバイキングでふわとろオムレツを食べたこととか、そういうのって2週間もすれば「よかった」という雑な感想に回収されていくんだけど、その経験はきっと自分の奥底に眠って、ほんものとにせものを見分けるための天秤を形作ってくれてるんじゃないかと思う。言葉にできない、忘れてしまったものにも存在理由がある。

脳のシワ除去クリニックの広告。久しぶりの人と話す時に脳を見せあって、「え、私の脳シワ多すぎ…」なんてことありませんか？そこで！当クリニックではそういった脳をフラットにし、白痴同然の状態にすることができるんです！今まで受信していただいたお客様は「アー」「ウー」など、多数の声が寄せ

小説、書きながら（でもこれなら現実の方が面白いよな……）みたいに思ってしまう。

イーロン・マスクは、Twitterが透明な公共空間でも言説空間でもなく、私企業の提供するひとつのサービスにすぎないことを教えてくれている。

一億総脱糞

「どんなに地のアタマや器用さがあっても大量の時間をブッ込まないやつが上手くなることはない」というジャンルがあって、そういう世界では「他の才能がないこと」が一種の才能だったりするんですよね。ギターは比較的その傾向が強い楽器だと思う。バランス感覚の無いドラマーやバランス感覚の無いボーカリストがいるバンドは遠からず崩壊するんだけど、「バランス感覚の無いギタリスト」はそういうデバフが比較的かかりにくくて、たまに「バランス感覚がないからこそクソ強いギタリスト」というのがいる。ギターだけやって生活時間を潰せる奴。そういう「バランス感覚が無いからこそクソ強いギタリスト」が成功するかどうかは他のメンバーとの巡り合わせによるところが大きいのだと思う。「人気バンドの実力派ギタリストと謳われたのに、解散後の新バンドやソロでは全然ヒットしなくなってしまった」という例は数多い。対象的に、ボーカルやリズム隊は再出発したバンドやソロで再ヒットする例は結構多いなぁという印象。ボーカルはもちろん顔が売れてるからというのもあるけど、それより「売るために何が必要か」みたいなメタ認知スキルが単純な音楽技術に加えて鍛えられるので、ヒットを再現しやすくなるのだと思う。

最果タヒ氏が「オペラグラスを持ったまま拍手がしたい。劇場で拍手するために〝見る〟を諦めないと＝グラスを下さないとダメだから」と書いてたが、この「拍手するためには〝見る〟を諦める必要がある」は案外深いものがある気がする。人は自分の利益を犠牲にしないと、何かを称賛することはできない…

人間って単純で「未来が今よりよくなる」って思えたら明日が楽しみになって生きられるんだよね。別にすべてがよくなる必要はなくて「子供が成長する」「課長代理のポストが課長になる」でもいいんだけど、そういう未来への期待が全くない人が大量に生み出されつつある社会になると何が起きるのか。

ヴィーガンは（少なくともその一部の派閥は）個人の趣味の話などではなく、正義の原理に基づいた規範的主張なのだから、それを他人に向かって主張するのは当たり前でしかないのだが。児童虐待に反対する人は、全ての人が児童を虐待することに反対するに決まっている。日本人は「世間様」以外に道徳の源泉がないために、「世間と異なる（対立する）道徳的主張を、個人が自分自身の根拠だけによってゼロから立てる」という、倫理上の議論を行なうには当然為せねばならないことの意味を、本気で理解できていない可能性があるな。私自身はヴィーガンではないし、ヴィーガンと倫理上の議論をすることがあれば、同様にしてゼロベースから私自身の反論を組み立てるであろうが、およそ「ヴィーガンは他人に向かって主張するから駄目なんだ」なんていうバカで愚鈍な反論がありうるとは、頭の片隅にも思いつかないだろう。これヴィーガンが例だから左翼ぽく見えるけど、本質的には同性婚とか夫婦別姓の話でも同じですよ。私はどちらも反対ではないが、「他人に干渉するな！」という理屈でそれらを求めるのは明らかにおかしい。結婚は公的な制度であって、その形を変えるためにはそれ自身の正義が主張できなければならない。「これは虐待ではなく仕置きである。他人の家庭の躾に口を出すな」という公衆道徳は日本ではずっと一般的で、それに正義という価値観によって介入し続けてきた人々がいたからこそ、現代のような「児童虐待」の観念が成立したのだと思いますけどね。100年前の人から見たら普通選挙とか、15歳まで義務教育とかは、多分とんでもないことだったと思うんだけど、今やってることを100年後の人が見たらどう思うかなと考えると、肉食は十分とんでもないことに分類される可能性が高いと思うし、どこまでが普遍的でどこから正義の衝突かは考えたほうがいい。道徳的・倫理的な主張をするとはすなわち、それを他者に押し付ける(要請する)ことなのではないのかな。「殺人をすべきではない」という主張を、他者に殺人の禁止を押し付けないような仕方で為すことは果たして可能なんだろうか。もしかすると、「押し付けるな論者」の人たちは、ヴィーガンを一つの倫理的な「思想」ないし「宗教」とは認めず、多数の個人による連帯的な「趣味」に縮小・還元することによって、自らもまた「押し付けるな論」という一つの倫理的思想・宗教の信者であるということを隠蔽している？

何らかのイデオロギー的立場を取ること、取る人を忌避・嫌悪するあまり、あらゆる主張を「それはあなたの感想ですよね」に押し込めたいメンタリティが広く薄く広がっている。

隣人外人パワーセックス、床伝いに生きた「セックスの衝撃波」が伝わってくるので本当に最悪

女から学を、男からエロコンテンツを取り上げて最強多子化社会を作るゾ

インターネットずっとやってるとちょくちょくナマハゲみたいにやってくるのが「影響力を考えて発言せよ」というお叱りで、これに対してどんな答えを出すべきかずっと考えあぐねている。いまの自分のフォロワー数は11万とちょっとで、爆多（ばくおお）くん、というほどではないがそれなりに多いのはたしかだ。こういう状況で、発言をどう制御するのが正解なのか？たとえばですけど「ホタテの寿司っておいしくね～」みたいなこと、書いてもいいんでしょうか。そりゃ書いちゃ駄目って法律はないんだけども、そう書くことで「そっか、ホタテの寿司って美味しくないんだ」と思う人が出てくる「かもしれない」。しかしながら発言する側としては「みんな！ ホタテの寿司を食うな！」と言いたかったわけではなくて、あくまで自分はホタテの寿司がキライだよ、と言いたいだけなのである。みんながホタテ寿司を食わなくなるのは本意ではない。じゃあ、そうなるのを防ぐために「ホタテの寿司ってあんまり好きじゃないんですよね、僕はね」とか表現を丸めたり、アカウント分けたり、そもそもそういうようなことを書かない、って手段もあるんだけど、「かもしれない」のためにストレートな気持ちを歪曲する行為に言い知れぬ罪悪感を抱いてしまうのだ。なんでかといえば、それは他の人たちの判断力を低く見積もり侮ることとそれほど違わないのではないか、と思うからである。正当に考えれば「私がホタテの寿司っておいしくね～と言うこと」は品田がそう思ったという意味を持たないはずであって、それを何かしら歪曲して受け止める人がいるとしたら、それはそう受け止める人のほうがどこかおかしいんじゃないのか、と思う。しかし厳然たる事実として、そういう人はいる。体感的には想像よりもずっとたくさん、早とちりする人がいる。だから安全策として「勘違いさせない表現」「穏当な表現」「表現しないという自己防衛」はとてもとても有効なのであるが、なんで他人のしょーもなさを織り込んで行動しなきゃいけねーんだよ、という気持ちがまずあるし、他人がしょーもない勘違いをする奴だと最初から決め込んで行動する自分は何様だよ、という自己嫌悪もすごくある。このへんに関して自分の問題意識が屈折しているので、他の人にカジュアルに「影響力を考えようよ」みたいなことを言われると「き、貴様、この」となってしまう。自分自身の誇りと自分が信じる（信じたい）他人の誇りをいかに尊重するかという問題があるのに、信じたかったものごと否定されたみたいな気持ちになるというか……。たぶん自分が変なところで潔癖すぎるのだと思うけど、ニーチェも「もっとも人間的なことは他人に恥をかかせないことだ」って書いてるからな（ニーチェの言うことに従って生きるやつはヤバい）。とはいえ社会的いきものとして、普段はわりと穏当な表現を心がけているんだけど、たまに限界が来て「他人の自尊心を信じたいがゆえの暴言」みたいなのを発してしまう。頼むからお前はお前として強く意思を持って私の言うことなど鼻で笑ってスルーしろー！ という願いを込めて。

シンエヴァを観たときに書き忘れたけど、宇多田ヒカルの『One Last Kiss』すごく良かったな。本編が終わった後のスタッフロールであの曲が流れたとき「うわ！ 全部わかる！ すごい！！」と思った。建前を取り払う音楽特有の力と、憑き物落としみたいなアニメ本編のテーマがうまいこと重なって、すごくグッときたんですよね。でも楽曲としては『Beautiful World』のほうが好きかもしれない。「寝ても覚めても少年マンガ　夢見てばっか　自分が好きじゃないの」というフレーズの鋭利さ。これがエヴァンゲリオンという作品に添えられていること、あまりにも正解すぎる。やっぱ「寝ても覚めても少年マンガ」の部分が強烈で、すごい。エヴァ本編においてキャラが抱える苦悩って、基本的に自問自答の範疇に収まっていると思っていて、どんなに深刻な苦悩もそれ自体が共犯関係の中で成立しているというか、その苦しみが「わかった」時点で傷のなめ合いに参加させられてしまうズルさもある気がしている。でもそこから宇多田ヒカルの歌は少しはみ出ているように感じる。なんだろう、アニメ見てたら横からお母さんにちょっかいかけられたみたいなときの感覚に近いのかも。絶対アニメのこととか一切わかってないんだけど、わかってないからこそ握れるドスの柄があって、それが見事に、静かに刺さった感じがする。何度聴いてもドキッとする。「寝ても覚めても少年マンガ」。そうなんだよな。寝ても覚めても少年マンガなんだよ……と。宇多田ヒカルの楽曲を聴くと、この人が歌手として売れていない世界が全く想像できない……と思う。いますごく有名なアーティストでも、実際にメジャーに売れるか売れないかは大なり小なり運に左右されていて、平行世界には全然売れなかったアーティストの世界があるはずだと感じるんだけど、宇多田ヒカルは別格だ。この声質と曲のセンスがあって「売れない」なんてこと、絶対にありえないだろ……と思ってしまう。そこまでファンというわけでもないし、歌詞にすごい共感してたりするわけでもないのにそう思う。こないだ業務用機器の専門店でネギを切るためだけに存在する巨大な機械を見ていたら有線放送で『One Last Kiss』が流れていて、「初めてのルーブルはなんてことなかったわ」を聴きながらネギカッターを眺めている、という状況が成立した。

一人暮らしを始めると、机の下の見えない部分にキャンディ袋の破片を足で押し込んだり、トイレのドアを閉めずに用を足したりし始めるのだが、そういった雑な振る舞いをしないままに一人暮らしを続けている丁寧な人というのも世の中にはいるんだろうな。尊いな。

気づくとなんとなくYahoo！知恵袋を眺めている。見ていると気づくのは、人々の送信している質問の大半が質問ではない、ということだ。何かの答えや不明な点が気になって質問をするという例は実際それほど多くなく、自分の意見や感情に「そうですよね？」と確認を求めるような「質問」がとても多い。人間の自信ってとても微妙なものだ。「そうだろう」とひとりで思っているだけではどこか不安だが、「そうだろうか？」と突き詰めるともっと不安になる。だから「そうですよね？」と誰かに尋ねずにはいられないが「そうですよ」と返答があると「そうだったんだ」と安心してしまう。本当に「そう」なのかどうかはわからないのに。質問者がどういう答えを望んでいるかが質問から透けて見えると、なんとなく居心地が悪い感覚になる。みんなもそうだろうと思っていたが、どうもそうとは限らないようで「どういう答えを望んでいるかがわからない質問」に居心地の悪さを覚える人もたくさんいるらしい。つまり質問とは「要求」の奥ゆかしい形式にすぎないものである、という捉え方があって、そういう人にとって「純粋な疑問」というものは、何を求められているのかわからない、不気味な言説に見えうる、ということ。会話に詰まって、まあ無難な話題でもしておこうと「クワガタ好きですか」などと聞くと「これってクワガタが好きだと答えるのが正解なのか、逆なのかわかんねえ。気持ちわりい質問だな」と思われる。そういう人には「今日暑くないっすか」といった、「暑いっすね」という返答が決まりきった質問のほうが喜ばれる。この趣味の違いに気付けるかどうかでコミュニケーションの滑らかさがかなり変わってきそうだ。

今のくら寿司はすごい。予約していれば伝票は機械が出してくれて、モニターに席への案内が表示され、注文は自分のスマホから行える。会計もレシートを読み込ませれば自分で行える。あと、コロッケもある。今回、生きた店員と交わしたコミュニケーションは「さっき頼まれたサーモンの寿司、品切れで提供できません、すみません」「大丈夫でーす」だけだった。全て自動化していけば、謝罪や弁明だけが人間に残された仕事となるってことか。謝罪とはあえて不合理な行いをすることで相手に誠意を見せる儀礼だから、合理性に基づくロボットにはなかなか代替させることが難しいのかもしれない。頭を使うのは機械になって、人間の頭の使い方は「下げること」だけに集約されるとしたら、そんな未来は面白い。こうなってくると、謝罪が一種の人間にしかできない誇りのようなものを象徴するようになるかもしれず、謝罪のうまい人が社会的地位を獲得するようになるかもしれない。

普段自分がどんなときに不安になっているかあまり思い出せなかった。人に「もっと不安になったほうがいい」と言われるくらいなので、私の場合は楽天的すぎるのかもしれない。その代わり「いまそこにある危機」についての焦りや心理的負担は毎日味わっている。家が燃えたらどうしようと思ってしまうことと、常に家のどこかがちょっと焼けてるの、どっちが幸福なんでしょうかね。

イスラーム国の処刑動画で、燃やされたり水に沈められたりするのはよくあるけど、熱いお湯に浸されるのはまったくなくて不思議。50度程度のお湯で2時間ほど茹でられ続けるほうがしんどいと思うんだが、お風呂の習慣が向こうにないからなのかあんまり「映え」ないからなのかわからないが、なんにせよ不思議だと思う。

本格的に冬が到来したので、花王のバブをトイレの水に沈めて温まっている。

ヒゲの永久脱毛に興味はあるけど、じょりじょり生えた状態でお風呂に入って、しゃりしゃり音を立てながら剃る快感を人生でもう味わえなくなると思うと口惜しいものもある。毛生え薬ができたら脱毛と育毛を繰り返して、頭おかしくなったと思わせようかな。

回転寿司でワサビを多くとって持って帰るとか、スーパーの商品詰め台のポリ袋をトイレットペーパーみたいに巻き取って家で使う類の「ライフハック」、本人は賢いと思ってやってるんだろうけど貧乏くささにいたたまれなくなる。貧乏であることと貧乏くさいことは違う。心が貧しい。「積立NISAで老後は安泰！」も自分にとってはその壮大なバージョンだ。完全な余剰金でやってるならまだしも、若い頃の生活を食い詰めてまでやるものじゃない。もちろん自分だってやってるんだけど、これは本来貧乏くさい行為ですぞ、投資しなくていいならしませんよ、とは常々思っている。ころす、と思いながら毎月口座から数万円引かれている。

原潜作るために所得税増税されたら、原潜…徴収…ってこと！？

ジェンガのパッケージ、白熱しすぎて叫んでる人物たち、物理的にありえない挙動をするジェンガ片、ゲームオーバーの瞬間の全てが「嘘」で構成されててすさまじいものがある。

今回のために作ったすごすぎるジェンガ。瞬間接着剤で固定してある。当日の昼に家電量販店に行って「ジェンガくださいな」と尋ねたのだが、なんか赤とか青の色がついた変なバージョンのジェンガしかなくて困った。色がついてても成立するけど、画的にはノイズになってしまう。「ふつうのジェンガは、別の店ならあるみたいですねえ。取り寄せもできますけど」と店員さんが言うので「いえ、いますぐ、必要なんです！」と言い、取り置きだけお願いして別の駅まで走った。あれ店員はどう思ったのかな。そんなにジェンガに一生懸命な奴いる？まさか「ジェンガを瞬間接着剤で固定して大騒ぎする」が目的とは思わないだろうから「全日本ジェンガ決定戦　関東大会」が間近なのかなとか、めちゃくちゃ退屈を持て余した姫君が「ああ、つまらぬ。誰か、わらわの暇をどうにかせい。そうじゃ、戦火を眺めるというのも乙じゃのう……」などと口走ったのかなとか、考えただろうか。こういうときの現実の相場は「店員はそんなこと一瞬で忘れて売上のノルマのことや自宅で飼い主を待つ可愛い小型犬のことを考えている」なのだが、自意識過剰なのでついそういうのを心配してしまう。ジェンガの一番面白い瞬間は、取ろうとしたジェンガをつかんで引っ張ろうとして「あ、これ上ごと全部もってかれるな」と確信する「無理」が直感で完全にわかるときだと思う。

定食屋に入ったらおなじみの、食券を買うシステムだった。食券機の一番左上に「食券機 67万5000円」とあったので興味本位で買って押してみたら、食券機がフリーズを起こして動かなくなった。電子計算機損壊等業務妨害の容疑で逮捕された私は、そのまま略式裁判さえなしに死刑になった。あの食券機は今でも定食屋で動き続け、年に2人程度を殺しているという。

数学者のラマヌジャンが、タクシーのナンバー「1729」について即座に「それは『12^3+1^3=10^3+9^3=1729』だ」と見抜いたことからそう名付けられたらしい。名前が独特だから覚えていられそうだけど、肝心の定義の方を忘れそうな気配がプンプンするぜ。こういうインテリっぽい豆知識って付け焼き刃だから得意げに披露したあとにどうにも展開させようがなく、ただ知識の破片を見せびらかす以上のことにならないのが恥ずかしい。

ネット民の一部はしつこいCMやうざったい宣伝ツイートを嫌っているけど、そういった手法がいまだに根絶されていないのは、それらが実に素晴らしい効果をあげているからだ、ということには気づかないようだ。「やってんなあ」のノリを感知できるのはどうやら人類の一部であり、たいていの人達は広告を前に素直にこれ買おうかなと考えたり興味を抱いたり、無意識の中に商品フレーズを刷り込まれたりしている。

「最近の定規、小さくなった気がする――」そんな声がSNSを中心に囁かれている。疑惑を文具メーカーに問い合わせたところ「増税に伴う製造コスト増加の関係で、縮尺を縮めざるを得なかった」という返答が。2010年の定規に比べ、1センチあたりの長さが約2割ほど短くなっているという。

適当なことを書いたんですよ。そしたら数は少ないものの、「マジ！？」と本気にしているらしい人がいた。どんなに嘘みたいな嘘を書いても、信じ込んでしまう人はいる。ただ「騙されやすい」と一口に言っても、そのパターンは1つではないだろう。たとえば、儲け話に乗せられて投資詐欺に引っかかってしまう人がいるが、そういう人の騙されやすさと、虚構新聞に引っかかってしまう人の騙されやすさって、メカニズムが違う気がしている。投資詐欺には引っかからないけど虚構新聞には引っかかるとか、その逆の人もいるはずだ。自分に都合のいい儲け話を聞かされると、その時点で理性が緩んで欲望を優先させてしまうタイプは詐欺に騙される。逆に、その「都合の良さ」に怪しさを感じ、背後の悪意を嗅ぎ取れるタイプもいる。しかし、そういう人に限って虚構新聞のような嘘には騙されたりするものだ。なぜかというと、「定規が短くなった」というような嘘をつく意味は全くないからである。嘘にはそれを言う合理的な理由が必ずあると考える人は、ただただなんとなく、理由もなくしょうもない嘘をつきたがる人間の動機を理解できない。定規が材料不足で短くなるなどありえないわけだが、そんなありえない嘘をわざわざつく意味がわからないので（意味などないんだけど）一も二もなく信じてしまう。これは発言内容そのものの整合性と発言のもたらす政治性のどちらに敏感か、という差でもあり、それぞれにウィークポイントがある。

ABCの選択肢があった時に、「血液型と同じだから」という理由でCを選択するとウケます。

エレベーターを乗り物ではなく、「ボタンを押してしばらく待つと、たまに疲れきった顔のおじさんが中から出てくる装置」と考えると怖いな。

冷戦時代。あるTVで北欧の民兵訓練を取材していた。射撃訓練中の兵士にインタヴューすると、「核戦力の時代に小銃の射撃訓練なんか無意味だろう。市民の義務だからするけどよ」と返答。その上官にこれをインターヴューすると、「この場でこうした発言が自由にできる体制を守るための訓練です」と返答。

クッパってなんで自分の城にあんな趣味の悪い仕掛けを施すのか考えてたけど、戦国時代の殿様もからくり仕掛けの城作ってたらしいし、クッパイコール戦国武将説が浮上してきた

あのマリオが攻撃を受けても即死、攻撃をしようとしても即死と言う事実と、マリオにあるまじき真っ二つに切られる描写のせいで新たな性癖が開花してる

これまで、北海道・沖縄・離島は別途追加送料というのがわりと「物流はどこまでを日本とみなしているか」のあらわれだったように思うけれど、ここに来て「山口県・鳥取県・島根県の個人宅は追加送料」の時代が訪れ、次の日本が見えて来た。

「日本人はずっと健康的で栄養バランスの良いものを食べてきた」なんて妄想が蔓延してるから食の戦前回帰とかほざく企業まで表れるんだよな。この国の食事が「健康的」になったのはここ50年の話だよ。この国の食事なんてほぼ一貫して「漬物を補助にして米を大量に腹に詰め込む」のが基本だよ。これのどこが健康的なのか。

「🇺🇸では転職が当たり前、勤続年数が長いと転職する能力が無いとみなされる」みたいな話を時々見かけます。確かに転職を繰り返して収入を上げる人もいます。でもオレゴンみたいな田舎では7割くらいの人はのんびり1社で長く働きたいと考えているように見えます。プライベートの充実の方が大切ですしね。

入室時は「失礼します」と言う、退室時は「失礼しました」と言う→在室時は「失礼しています」と言い続ける

元ゲームプランナーなんですが、業界に入った時『上司の酒がなくなったらすぐに注がないとダメ』みたいなルールがこの業界にもあったら嫌だなぁ…と怯えながら飲み会に臨んだんだけど、若手が開始5分でアニメを理由に帰ったり上司のスマホを奪って10連ガチャを勝手に回してたりしたので安心しました。

ヴィーガンの人が「肉を食べることは動物にとって残酷なのでしてはならない」と述べたとする。ある行為が残酷かどうかの判定は論理ではなく倫理の問題であり、この価値観表明は他人への押し付けである……これは以下の帰結による。1.この世のすべての価値観表明が「押し付けてよい価値観」と「押し付けては駄目な価値観」に分かれると仮定する。2.「押し付けてよい価値観はどれか」を判断する価値観もまた倫理的な問題であり、やはりそれ自身の価値観表明自体が1の問題に含まれる。3.以上から、押し付けてよい価値観と押し付けては駄目な価値観を人間が判定することは不可能である（命題は偽であるか不能である）。→よって、押し付けてよい価値観と押し付けては駄目な価値観という区分はない。全ての価値観表明は他人への押しつけであるか、あるいは全ての価値観表明は他人への押しつけではない。全てが他人への押しつけなのか押しつけでないのか俺は知らないが、仮に「価値観を押し付けるな！」と言ってる人達の前提を掬い取るのなら、「全ての価値観は他人への押しつけである」とするのがよいのだろう（仮に「全ての価値観表明は他人への押しつけではない」と仮定してしまうと、「価値観を押し付けるな！」という言葉を発する意味がなくなるので……）。すなわち、思想というのはそもそも「押し付ける」ためのものであって、「思想を押し付けるな！」という人達は「1=2であるな！」「四角い円を描け！」みたいな、そもそも論理的に矛盾していることを主張していることになる。これまでの帰結を遡っていって考えると、仮にある人間から「Aという価値観を押し付けるな！」という言葉が飛び出すのなら、その人は「世の中には押し付けてよい価値観と押し付けては駄目な価値観がある」と思っているということがわかる。しかしその区分は前述の通り、ない。よって、「肉を食べることは動物にとって残酷なのでやめなさい」という主張に対して、「思想の押しつけをしてくる人達の話は聞きませんよ」という類のレトリックで反論するのは、論理的に無意味である。有効な反論はただひとつで、「○○という理由で、肉を食べることは動物にとって残酷ではない」という、真っ向からの反対意見ではなかろうか？もっと単純に言うと、なんかこう「ヴィーガンの人達ってすぐ押し付けてくるよね～嫌いだよね～肉食べるのって何が悪いんだろ？」みたいな毒にも薬にもならん意見をリプライに書いたりするの、自分自身を有象かつ無象の群衆の中に埋没させていく営みで、イヤ～～～～と感じる。掘り起こしてみるとどの人間にもその人自身の、他者とは違う「めっちゃ嫌」とか「めっちゃいい」がいっぱいあるはずで、そういうのを「ヴィーガンて笑笑」みたいな振る舞いで打ち消そうとしているのなら残念だなと思う。倫理の核って絶対にお互いに分かり合えない領域にあるから聞いてて面白いのに。

無数に出力されるこどものことばの中から詩的な表現を抜き出すのは大人がやっていることだから、ここで取り上げられている感性はむしろ大人のクリエイティビティに由来するものでは？と感じました

「千と千尋の神隠し」で千尋がおにぎりを泣きながら食べるシーンの各国版が欲しい。アメリカだとハンバーガーなんだろうか？セーシェルだと……アンティグア・バーブーダだと……ジブチだと……。

さっきスーパーのど真ん中でお菓子を買ってもらえないことが確定した推定5歳児男子が、「ママーーッッ、ママーーッッ、ぼくいいこと考えた！！お金があればいいんだよ！！もっとお金があればいいんだよおおーーーッッ！」って叫んでて、レジに並ぶ全員が「その通りだよな」って目をしてた。

作品が丁寧に作られていることと、作品の設定が緻密であることはイコールではないよなと思った。たとえば「ちいかわ」や「モルカー」は間違いなく、相当丁寧に作られた作品だと言えるけれど、世界設定やシナリオが緻密だとは言えないと思う。出てくるものの全てに意味が持たされているわけではない。シロモがゾンビから回復したのにたぶんそんなに深い理由ないと思うし、あったとしてあまりそれは重要ではないはずだ。最近のコンテンツ消費の仕方として「可能な限り整合的に物語を読む」みたいな遊び方があり、意識してやってるぶんには全然いいけど、たまにこの「丁寧」と「緻密」の混同を本当に起こしているような現場に出くわすことがある。全ての描写が無矛盾である必要は全然ないし、無理やり無矛盾なものとして解釈することで生まれてしまう歪みもある。「矛盾してはいるが、それでかまわないもの」「特に意図のある描写ではないものとして意図されているもの」を、そういうものとして認識するのは結構大変なのかもしれない。

もう10年以上前だが、僕はロシア非常事態省の中央司令センターで大声で罵られたことがある。一緒に出張に行った日本人のおっさんが傲慢な上にちょっと病気があって、どうも時々変になるのだが、それがいきなり非常事態省の中央司令センターで爆発したのだ。巨大なモニターとコンソールが並ぶ、ロシアの防災機関の心臓部みたいな場所だ。そこに視察に来た日本人のおっさんがまだ20代の日本人をいきなり大声で怒鳴り始めたから、非常事態省の職員たちも「え？何？」みたいな感じに当然なった。僕自身もあまりのことにどうしていいか分からなかったし(何しろ20代だったから)、なんだこのやろうという気持ちと、父親くらいの歳の男にいきなり腹の底からの声で怒鳴られて怖いのと、しかし屈辱感みたいなものもあって、固まってしまった。そのときになあ、司令センターの司令官がいつの間にか俺の横に来て、「君に面白いもの見せてやろう」といきなり言い出したんだよな。少し離れた場所に連れてって、「これはシベリアの衛星画像だ。ここで雪が溶けかかってる。これが完全に溶けると大洪水だから、こうして監視してるんだよ」といった話をしてくれた。あれが、僕をあのおっさんから引き離すための心遣いだと思い至ったのは帰りの車の中だった(そのくらい動転していた)。あの司令官を思い出すたびに、今でもロシア人の優しさを想う。それと同時に、あの国が無辜の人々の頭の上に爆弾を降らせているという事実がまた立ち上がる。

大学生を見ていると「なんかやらなきゃ」という強迫観念に囚われている人が多い感じがするのだが、興味がないことはしても意味がない、ということは声を大にして言いたい。結局、好きなこと以外は長続きしないのである。

観光地とかで現地民が絶対食べない値段のいまいちな名物を食べさせられたらいやだなあ、と思うが検索するのもだるいので、そこらへんにある適当なチェーン店とかに寄ってしまう人、探さなくてもいっぱいいそう。そもそも名店は大混雑してるし、隠れた名店はネットごときじゃ見つからないし、観光客はどうすりゃええねんって話なのだが、それこそ横浜中華街のように、ハズレを引いたりぼったくられたりする経験も含めて観光なんだと割り切ることが大事なんだと思う。あるいは現地の友人をつくるか。

寂れたカラオケ屋とかに貼ってある「パーティールームのゲームで皆で盛り上がろう！」っていう張り紙見ると何か恥ずかしくなる

自分の声を聴いて恥ずかしく思うのと同じように、自分の像を世界で最初に（鏡ではなく、水面や結晶でだろうが……）見た人は恥を抱いたのだろうか。

「ふんばり」のとき、100回に1回脱糞する最悪のヨッシーアイランド

「一個ちょうだい」ってアイスの実をおねだりしたら文字通りの全力投球でくれる友人、面白さとイライラだったらギリ面白さが勝つから仲良くしたい。

中年男性の登場人物の情景描写で「知らない女性の和製ポップスが流れていた」ってあって、J-POPではなくて和製ポップスをチョイスするあたりに、この男性の人柄があらわれていて面白いなと思った。

「Aか。Bか。あるいはその両方だ」ってのを聞くと、「MECEですげえな～～」ってなる。もれなく、だぶりなく。

二俣くんという友人がいる。会うたびに「漢字の変換を間違われていやな気分になったことがない？」と死ぬほど尋ねたいのだが、強烈な理性がそれを押しとどめている。尋ねてしまうと世界が終わる気がするので……。

斜陽産業株式会社とかいう、絶対にもうすぐ潰れるクズの会社

縦笛なめなめVR、犯罪としては軽いほうなのに人を撃ち殺すゲームより拒否感が強い

時代錯誤な表現やお笑いを見たときに、「面白くない」ではなくて「今の時代はアウトなんじゃ」って感想が出てそれによって凍り付くの、「寄せに行ってる」感があってすきじゃないな。多数派に寄せに行って笑いを求めている。違うんだ、いかに不謹慎であっても面白いものは面白いと言わなくてはいけない。

外患誘致罪を成し遂げてなおかつ生き延びると、外患誘致罪が自身に適用される国ではもはやなくなっている（クーデターが成功して別の国が主権を握るため）のがジレンマよな。どうすればいいんだろ。

ぺこぱ自体はスタイルの一つとしていいけど、誰も傷つかない笑いをさもお笑いのニュースタンダードかのようにもてはやす連中がうっとうしくてしょうがなかった

「尻の毛までむしり取ってやる！」俺「Oゾーン脱毛ありがてぇ〜」

「煮え湯を飲ましてやろうか！」俺「白湯うめ〜〜健康になる〜〜」

「針千本飲ませてやろうか！」　俺「紗々うめ〜〜チョコ甘〜い〜」

「寝首をかいてやろうか！」俺「あ〜そこちょうど気持ちいい〜〜」

葬儀に派遣される女性スタッフの仕事をしていた。だいたいの現場で私たちは名前ではなく「レディさん」とか「スタッフさん」とか呼ばれる。ご遺体のお迎えから火葬後までずっと関わっていく葬儀社と違い、私たちがご遺族と一緒にいる時間は通夜告別あわせて8時間くらいだ。開式前に初めて故人と遺族に会い、どういう方だったか最後までわからない時もある。初めて派遣された葬儀会社の、初めて会う担当者から、初めて会う遺族のことを開口一番「めんどくさい人たちです」とだけ言われる時もある。もちろん勉強していたり資格を持っている人もいるけど、私たちは役所の手続きやお金、お墓についてのことをほとんど知らない、わかるのは葬儀中のことだけだ。私たちは説明書だったり自動ドアだったりコート掛けだったり案内看板だったりした。

人類社会は一見進歩しているように見えるが「みんなで焚火を囲んで酒を飲みながら談笑で親睦が深まる」とかの原始人セットアップが未だ強すぎるままであり、人類は総力を結集して「ものすごい焚火」、「ものすごい酒」、「ものすごい談笑」といったものにリソースをつぎ込んでいるこの世

潔い犯人「参ったな、こんなに早く見破られるなんて、大した探偵さんだよ」

全部ぶち壊す探偵「全然、既出でした」

布団に入った赤鼻のトナカイ「......コンプレックスに対して"役に立つ"ってどうなんだ？」

クリスマスに一人で居るのが嫌なんじゃなくてクリスマスは誰かと過ごさなきゃいけないみたいな世間の雰囲気が嫌

メーカーあるある

採用ホームページに「イキイキ働く女性社員」として紹介されている若手女性社員がメンタルやって休職している

死ぬほど気に入らなくて共感できない相手にも我と同等の権利があろうという求道が多様性と人権なのであって、共感しやすい相手にだけ共感するならそれは猫を可愛がるのと大差ないという話が「人権主義のつもりの人情主義者」には決して理解できない。

実家が太いとか親ガチャとか、「その物語をのむことであなたが自分の人生と和解できるならいいんじゃない？それを他人がのむとは限らないけれど」という気持ちでみてる、常に。

ことさら皮肉るつもりはないけど、猫のサブスクに怒ってる人たち、「ヴィーガンが要求しているのもそういう感覚でしょ」とは思うのですね。「他人に押し付けるな」じゃなかったのかい。同調するかはともかく気持ちは想像できるでしょう

履歴書の空白期間は就職に不利だよね。そんな時は、税務署に個人事業主としての開業届出そう。法人設立と違って無料だから。事業内容は「経営コンサルタント」とかにしとけ(俺だけど)。海外放浪するなら「貿易商」だな。売上0でも領収書は集めろ。赤字は繰り越せるから。

子供の頃は、この世は例外なく地獄だと思っていたから耐えられたけど、大人になって幸運にも地獄ではない場所に辿り着いてしまって、この世は地獄ではなく、子供時代の私のいた所がたまたまピンポイントで地獄だったのだとわかってからの方が人生はつらいです。幸せになってからの方がつらい。

黒板に思いっきりルート2って書いてるのに「人という字は……」って言いだすカスの金八先生

空港に着いた後手荷物を待つ時間って自分の寿命に含めたくないな。世界一無駄。明日を生きたい人間に譲ってもいい。ていうか一つずつ出すのがよくない。18レーンぐらい同時に流したら一瞬で終わると思う。見つからなかったら泣きそうになると思うけど。

【人として終わり】

ウミガメのクラッシュ「質問あるヤツは～ヒレをあげてくれ～」

俺「はいは～い」

ウミガメのクラッシュ「そこの…ヒレに露葡（ロシア・ポルトガル）辞典を持ってる兄ちゃん、なんで10冊持ってるんだ？」

俺「11冊なのだが？反論がなければ俺の勝ちだが？」

ウミガメのクラッシュ「誰かこいつを殺してくれ～」

結婚式の誓いのキスでディープキスをする人

就活市場ではパワハラやセクハラで短期離職した場合も傷物扱いされるらしいけど、どう考えても悪いのはハラッサーの方だし、長くそこにい続けるとダメージが大きくなり回復により時間やお金体力を必要とするので、むしろ早く辞めたことは危機管理能力が高いと評価されるべき。

ペットに関するアレコレは何をどうしたって人間のエゴの域を出ないと僕は思ってるので、何であれ絶対正義みたいなスタンスを取ってるのを見るとややもやもやする。「可愛いものが酷い目に会うと可哀想でしょう？」という共通認識あたりにまで分解して事に当たった方が良いのでは無いかなぁ。

なんか生放送無言でブッチとかいう社会性コンプライアンス意識何もかもが欠落してるのにキモイファンのお陰でネタにしてもらえて数字も増えるVtuberとかいうガキのままごとみたいな職業マジで憎いわ

ほとんどの人間は歳を取ると性格が悪くなりますが、歳を取っても性格が悪くならなければ神様のような存在になれます。ポイントは50代です。人生の分かれ道はここです。ちなみに性格の悪さ自体は年齢に関係なくあります。若くして性格の悪い人は若いから許されているだけです。皆んな我慢してるのです。若い人で自分が鋭い、年長者が馬鹿に見える、という人は今からでも遅くありません。四角い言葉を丸くしましょう。そうしないと50代でパワハラで訴えられて人生オシャカになります。年長者は心の中に嗜虐性を感じたら完全に黙ることをお勧めします。とにかく許す、フォローすることに全力を注いで下さい。年長者への追加アドバイスです。もう保身は考えないでください。身を挺して若い衆を救いましょう。懲戒処分レベルもひっかぶるべきです。そうすると不思議なことに、色々な所からおよびがかかり、短い余生、決して食べるのに困らなくなります。「経歴の傷」などどうでもいいじゃないですか。どうせ人間死ぬわけです。年配者で「経歴の傷」を気にする人を見ると、正直とても見苦しいです。ルソーも言ってますが老人は見苦しいのです。ですから徳の涵養に全力を注ぐのです。するとその醜い老体は神々しくなります。善き人生を送るべきです。記憶で書きますが、新渡戸稲造は「忘恩」を激しく攻撃しております。これは逆に言うと、若い人はびっくりするくらい「恩」を忘れないのです。だからこそ「忘恩」を新渡戸ほどの人格者が憎んだのです。「忘恩」の輩は異常者なのです。普通は忘れません。返す機会を常に待っています。若い頃は愚かなのです。だからこそ恩が身に沁みる。「恩を受ける」ことと「恩を返すこと」は人生のワンセットです。どちらかが欠けている人間は不幸な人間であり、世の中を悪くする人間なのですよ。

普通に「核」とかの駒があるヤバ将棋（使うと両方死ぬ）

よくあるネットの意見として、黙って内容量を減らして値段を据え置きにするんじゃなく、ちゃんと説明して内容量そのままで値段をあげればいいというのがあるけど、そんな簡単な案を食品メーカーの人が考えていないはずがない。無数の人間をひとつの関数として見たとき、できるだけ売り上げを減らさないような入力は前者なんだろう。ほとんどの人は内容量ではなく値段を見ているので……。

ゲーム好きだけどゲームが依存性高い(というかスマホやネット全般もそうだけど)のは、「終わり」が設定されていることがほとんどないことだと思う。気持ちよくなるために無限にできちゃう。例えば映画やテレビでも、基本的にタイムリミットがあるし、気持ちよくなるには「見る」以外に何も出来ないから長時間には耐えられない

「ヤクザはクリスマスをどう過ごすんですか？」と元ヤクザに聞いたところ「親分と一緒にケーキを食べたくないから、事務所当番を押し付けあっていた。誰でも彼女や家族と一緒に過ごしたいじゃないですか」という回答。クリスマスケーキはブッシュドノエル。本部長や若頭補佐が用意していたそうです

【ワンナイトした人といった居酒屋の公式ラインから通知来た時あるある】

向こうも一瞬思い出しているのかな、と思う

メンタル強いよね、って言われることがたまにありますが決してそんなことはありません。結婚式に招待してくれた新婦に「ご祝儀っていくら包むもの？」って聞いておいて、新婦も答え辛い中「3万くらいらしいよ」って額聞いておきながら1万円包んで参加した人がいましたが、その方ほどの強さはないです。

歳とって胃腸が大量の飯を受け付けなくなってくるとこういうモリモリ食べる子供みると気持ちよくなるよね。 奢られたとき遠慮してあまり食べないとなんかがっかりしてた上司の気持ちがわかってきたわ。 作る側は地獄だろうけど。

起業段階で必要なのって個人戦闘力の高いメンバーなんだけど、いざ組織化をする際に必要なのは組織化された戦闘を指揮できる人材になるので、初期メンバーの結構な割合が居場所が無くなってしまう場面をそこそこの頻度で見る。優れた戦士かつ指揮官というのはむずいのよね...。

ご長寿クイズはヤラセだというのが必ずわくが、デイサービス行ってみろ。あんなお年寄りがたくさんいて毎日がご長寿クイズだぞ

ツイートインプレッション1万 ゼロいいね のような異常ツイートを万バズより価値がある とし 最も無意味な文字列を出力する新たなネタツイ界隈が生まれるだろう

身長190cm用の棺がなかったので上下に分けて納棺する最悪の葬儀屋

殺人とかいうそもそも99%以上の人がやらない事でも統計取ると大体同じになるんやなぁ。それぞれ生きた過程、環境違うだろうにそれでもほとんど同じことをするってのがなんだかすごい話だよな

我が子は、級友が先生から不当に叱られたと感じた時、しばしば抗議行動をとる。そうした行動について「先生の叱責は正当で、あなたの抗議は不当だ」と言うなら、私も我が子を諭すだろう。しかし、「そんなんでは、社会でやっていけないよ」なんて言われたのでは、徹底的に我が子の味方をするしかない。

ドア開けっ放しで外出（鍵かけ忘れじゃなくてドアを開放）したことが複数回あります。外出する時に毎回ドア閉める人って、別に、ドアを閉める人間になるぞ！　と思ってトレーニングしてドア閉めてる訳じゃないでしょ、多分。生まれつきできるんだろ。スタートラインが違うんだよ。

ダメになってしまった会社のシュレッダーを宇宙葬しようと思い、屋上で気象観測用の大きいバルーンを取り付けていたところを見られてクビになった。

外銀でバリバリ働きたい？ではまず今すぐ六本木ヒルズ行って最上階辺りの電気がついてるか確認してみましょうか。で、それが消えるまで近くのカフェを転々としながら勉強なり読書なりしてみましょう。もし消える前に疲れたら「本当にこういう暮らしをしたいか」自分に問い直してみると良いかもですね

地球上の森林面積を毎年測定して、その半分を伐採します。こうすれば永遠に伐採が継続できます。（持続可能な開発目標）

男が男らしさから降りたら女の子に理解を持てて皆が生きやすい社会に♪なんてことにはならず、子供ができたからと踏ん張るでもなくトンズラこく無責任男が増えますみたいなことを以前言ったんですけど、りゅうちぇる人生何回目なの...泣ける...😭とか言ってた皆さんいい加減理解できそうです？大部分の凡人にとって多様性だの自分らしさだのなんてのは政治的に正しそうな言葉で取り繕った「無責任の肯定」でしかないのであって、先にこの流れで性的らしさを免除されてきたのは何より一般の女性ですよ。りゅうちぇるが同じ様に責任放棄やらかしたからって非難できる筋合いじゃないでしょ君ら。母親の不倫を止める権利は息子にないと東大教授が主張し、我が子を殺した母親に減刑の嘆願が殺到する社会で父親のあり方だけ十全に果たされるわけないでしょ。性的らしさも親の責任も天秤の両端なんじゃアホども。「りゅうちぇる人生何回目」とかいう感嘆は要するに「男（他人）の内面が円熟すればするほど女（自分）に心地よいことを言うようになるはず」というクソ思い上がった妄想的世界観の現れなのであって、これに類することを言ってた人は社会性がマイナスに振り切れてる自覚を持った方がいいですよ。

昔は有言不実行だったが、反省して無言不実行になった。

おねしょで日本地図を描いた子供「リアス式のところが難しかった」

チベットにて、人語を喋る真っ黒な猿に襲われてから一人称が「愚僧」になった相葉雅紀

「それってあなたの感想ですよね？」のオリジナルは「個人的感想のエビデンスレベルであるものを客観的証拠と区別して語れないほど君は馬鹿なのか」という文脈で発せられたもので、小学生が真似しているような「感想とは事実無根であり無意味だ」という意味ではない。誤解したまま運用すると「はい、これは私の感想であり、感想は大事なものです」という方向で論破されて終わるぞ

前職中小企業と現職大企業の両方で働いて実感したのは、大企業には常識のない変な人が圧倒的に少ないこと。もちろんいるにはいるが、人数いればハズレがあるのは普通。中小企業にはガツガツしているヤツが多かったけど、常識のない絶望的ハズレもいた。アレより大企業の働かないオジサンのほうがマシ。

所得税の計算を間違えた結果、クソ大量のみかんを5000円でただ買った男　になった

世界が注目する「どうやって日本がスーパー高齢化社会を乗り切るのか」への答えが、「亡くなるまで働かせる」ことだと知れ渡ればびっくりする人はいるだろうな…。

友人がジャパネットをほめちぎっていて、曰く、ジャパネットの高級和牛肉の売り方が凄い、高級肉をだしにして、孫に会えることをアピールしている。つまり、「毎月孫に会える権利」を8980円で売っている、この発明はすごいよ。なるほど、マーケティングイノベーションだ

みんな大丈夫じゃないのに大丈夫ですみてえな顔して生きてるの凄いな、サウナみてえ

現実世界の効果音を紛れ込ませた曲が大好き。NONA REEVESの「休もう、ONCE MORE」って曲の最初に空港のチャイム音が出てくる。遠い旅から帰ってきて、地元の空港でチャイム音を聞くというシチュエーションを想定しているんだろうな。曲の中の世界が連続的に、なだらかに自分の住むこの世界とつながっているのだと実感させるうえでこの上ない音だと思う。

空港のコンビニにモンハン追加コンテンツのカードがあった。空港のコンビニでモンハン追加コンテンツのカードを買うシチュエーションが思いつかないので不思議。買った人がいるのか聞いてみようかな。

気張って食べることを「入力」（力んで入れる）というのなら、「出力」はふんばってウンチを出すことなんだろうか。

工事現場パネルの落書きを防ぐには、最初から落書きしておけばよいのでは。落書きが最初から入ったパネルの販売が望まれている。ていうか、あの落書きってやっぱ最初は自分ちの板とかお風呂の壁で練習とかするのかな。しないと下手なままだしな。

そろそろ俺も、政治的に正しいお箸の持ち方しようかな。

空港の発着時に荷物待ってるときが退屈すぎる。前からずっとあれ回転寿司みたいだなって思ってたから、暇つぶしのためにクソデカ寿司を流してきてほしい。もちろん本物。そしたら絶対キレてやるからな。食べ物で遊ぶな！って。

SDGsを通じてゴミを削減するな。SDGsを削減しろ。

空港に、子どもが描いた空港の絵のグランプリ受賞作が飾られていた。もちろんみんな旅客機だとか、満面の笑みで労働する空港の人達を描いているわけだけれど、もし大賞の飛行機の絵が戦闘機で、パイロットが満面の笑みでマシンガンを放っていたら不謹慎で面白いなと思った。戦時中だったらそういうのが大賞に輝いたりするんだろうか。

「成績優秀者はやっぱり普通の名前が多いですよ」と林修先生が仰っていた。自身がキラキラネームである立場としてこうした統計的差別の露呈は、たとえ正論だとしてもかなり不快だったけれど、それはまあしょうがないと思う。もっとも無防備な姿勢のときに差別的価値観は出てくる。

めちゃくちゃでかい声でHEY!SIRI!って電車の中で叫ぼうかな。全員のスマホが反応したら面白い。

苦痛や恐怖によって真実を暴露することを迫られる兵士が映画に出てくる。おそらくは現実でもそういった場面があるのだろうけど、そこで沈黙を貫くための訓練というのもやはりやるんだろうか。「俺は訓練されている…とっとと殺せ…」って言えるの、ものすごい練度の訓練が必要なんだろうな。目の前で針とかドリルが暴れていてもそういうの言えるの、一人の人間が耐えていい量の恐怖じゃない。恐ろしくなる。

右翼左翼ステッカーの両方を車に貼り付けると、どちらからも攻撃されなくなるんだろうか？それともどちらからも攻撃されるんだろうか。今度やってみるか。

毎週ごとに右翼と左翼を使い分けようかな。

日本では自殺を禁止する価値観がないと私は思っている。よくある意見として「他人に迷惑をかけるから（悲しませるから）自殺は駄目だ」があるが、それは説明になっていない。自分自身の倫理についての言及を控えている。強い言い方をすると、逃げだと思う。

では仮に他人に迷惑をかけない自殺方法があるのなら、その方法で自殺するのはよいのか。

この「仮に」をおいた瞬間、「そんな方法はないからやっぱりだめだよ」と言い出す人がたまにいる。仮定を許さない倫理学は窮屈でナンセンスだと思う。それに、ものすごく極端な例をおけば、「仮に」が現実になる可能性はある。自分の家族をなくし、友人もおらず、生涯を通して孤独な人間がいる（もちろん、いるだろう）。その人間が真冬に北海道の山奥に行って、酒をしこたま飲んで寝そべったとする（これまた可能だろう）。やがてその人は凍死するが、自殺とは思われないだろうし、何なら死体はクマに食べられて、発見されることもないかもしれない。飛び込みよりも迷惑はかからない。

しかしその人間にとっては、自らで自分の命を刈り取ろうとする行為…少なくとも未必の故意ではある…を施しているわけで、自殺に他ならない。この状況においてもやはり自殺は否定されるべきだろうか？

迷惑をかけるから駄目だ、という理由説明は、自分に迷惑がかからないところで死んでもらっても構いませんよ、という表明をも暗に行っている。人身事故が起ころうと、自分の電車のダイヤが狂うのでなければ別によいのだろう。もちろん困った表情をするかもしれないし、ニュースを見て「何も飛び込みを選ばなくても」なんて呟くかもしれない。でもそれって、著しい迷惑をかける自殺を駄目だと言っているだけなんじゃないか。自殺自体を駄目だという人にはなかなか出会わない。理由を説明できないからだろう。理由はわからないけど何か気持ちが悪いので駄目だ、とは言い出しにくいらしい。

自殺を否定できるとすれば、それは宗教だけだろうと思う。論理の上では自殺を否定できない。自分の命を取り除くあらゆる行為は透明な一本の線の上にある。自殺を否定するなら、その線の上の全ての行為を否定しなければならなくなる。治らない病気の人間が治療を諦めて最後の時を過ごすのはどうなのか。精神的に病を患った人間がその症状によって首を括るのはどうなのか。死ぬつもりがなくてリストカットしたら失血死してしまうのはどうなのか。

それらに勝手気ままなグラデーションを引いて回って、それでもなお自殺だけが咎められる理由を考える、そこから本当の倫理学が始まる。深く深く考えていったが、私は自殺を論理的に否定できる方法を見つけていない。自殺は究極に個人的なものであり、自由意志を尊重する公理系に立つ限りその実行を国家や他者が止める権利はない。安楽死の書類に本人がサインするのと同じような気持ちで自殺は肯定されてしまう。だからこそ自殺を罪とする法律を作ることはできない。自殺を禁じる価値観を作れるとしたら宗教だけである。

私の母親は昔、この体は神様から借りたものだ、だからきれいなまま返さなくてはならない、無理やり返そうとしてはいけない、と言っていた。宗教的な価値観を大いに含むものだから、中学生の頃の私は意味もなく反発していた。そんな神様がいるのなら自殺しないような状況にして人々を救ってくれよなんて思っていた。現実と母親の価値観の矛盾はともかくとして、自殺に関していえば、他人に迷惑がかかるという理由説明よりもよほど筋が明快だと今は思う。ちゃんと自身の信じる公理系に従って理由が述べられている。要するに自殺なんて、それぐらいのものでいいのだと思う。他人に取り出して見せられるような立派な公理系を採用しなくたって、ちゃんと自殺を否定できるのだ。

だから私もこれからはこう言いたい。著しい苦痛や精神的な病に患っていないにもかかわらず自分の命を自分で奪う行為は、いまを精一杯生きているこの自分（あなたではなく、私自身）に対する裏切りである。卑怯な行為である。失望を起こさせる。だから自殺は駄目である、と……。お前だけが逃げるなよ。

「問題が存在しない」ことと「問題があってはならない」ことを混同して、その問題について言及、考察することを悪としがちという側面が人間にはあるように思う。賢い人でもこれにはまっているので、思考リソースを削減するための思い込みなのだろうか。

近くのたい焼き屋さんに「鯛焼きには天然ものと養殖ものがある」という謎の標語が貼ってある。店の前を通るごとに、お前の店のはどっちなんだ、と思う。

居酒屋ってなんであんな感謝したがるんだ。そういうマーケティングだったら面白いな。あるいは、酒が人と人の縁を取り持つから、とか？

普通に地球とかを周回するクソデカ歯科衛星士

後から海を知ったガガーリン「......この青か」

早熟な子供を「うちの子は天才！ギフテッド！IQ140もあるんですよ！テレビ局の皆さん、取材に来てください！ほらけんた（仮名）、賢いあなたが凡人しか集まらない公立学校でどれだけ退屈なのかカメラの前で喋りなさい！モザイク？そんなものいりません！」と積極的にデジタルタトゥーを掘る親、強い。

ミカン10トン散乱のニュースで悲しい気持ちになった後、以前どこかで見かけた「ナッツ満載のトラックが横転した2週間後、周囲に棲息するリスがめちゃくちゃ太った」というニュースを思い出して落ち着いた

金とテクノロジーの力で老化に全力で逆らって見た目の劣化をどうにか食い止めようと必死に頑張ってる生涯現役な人、あれはあれで「狂った中年」なんだけどメディアはやたら持ち上げるよね。カネになる狂気とカネにならない狂気がある。

芸能人の不倫ニュースが出るたびに、結婚相手は地元の建設作業員、不倫相手はモンハン仲間のオンラインチャットナンパ、という後藤真希の地に足がつきすぎた江戸川区女子っぷりを思い知る。どんな港区女子にも勝ってるスペックなのに

知識つけた程度で消える個性なんて個性じゃないから知識つけて消したほうがええ。知識がない方が個性が生まれる、などという説が流れてきたが、知識があるといいことは「知識なんかなくていい」なんて甘いささやきで人を誤らせる奴は始終現われては消えるということを知っていることですな。

知識ない状態で学生になんかやらせると驚くほど似たり寄ったりのものが出てくるので、知識ないほうが個性が生まれるとかはウソだよ。たまに、生まれたままの声で美しく歌う小鳥みたいな、学ばなくてもセンスでできる人がいますが、そういう人は超少ない上、その人が知識を身につけたら誰も勝てません。

「数学徒なら夢の中でも数学をしている」なんてよく言われるけど、実際に考えている偏微分方程式に対応するエネルギー汎関数の各項が自我を持って夢に出てきて会話を始めたときは流石に限界を感じた。

誘拐犯「娘は預かった、返して欲しければ2千万円用意しろ」

母親「それってリボ払いとかいけますか？」

誘拐犯「リボ払いは後々負担になる、せめて分割にしておけ」

20代前半頃、鏡で自分の体を見るたびガリガリすぎるてため息をつき不安を飲み込んでいた自分に「大丈夫、10年後にお前はむっちゃ太るし今の職場はクビになる」って教えてあげたい。

串打ち三年、裂き八年、焼きは一生と書かれた鰻屋のポスターをみながら、いつ絶滅するかわからない一種類の魚に人生オールインするのすげえなと思うなど。

実生活で役に立った椎名林檎の歌詞

「東西線はあたしを乗せても新宿に降ろしてくれなくて」

「今年買って良かったもの」より「去年買ってまだ使ってるし販売が続いてるもの」のほうが情報として価値が高そう。

女性が不倫したときの「さびしかったんだもん！」とは、

「自らの性欲を抑えられず他の男性とセックスしまくってしまったけど、自分が悪いとは言いたくないし思いたくないので夫が私に十分な性行為を提供できなかったと他責にしたいが、生々しすぎるので「さびしかった」と言い換えるね」の略です

ゆず自身ももう「いいって！栄光の架橋はもう、いいって！」って思ってるらしいです。

サンシャイン池崎は爆死する時に「イェーーーイ！！！」って言いそうな信頼があるけど、コウメ太夫は爆死する時は普通に「クソー！」とか言いそうな信頼のなさがある

フィクションの内気で気弱な主人公に対して「誰しも日々ストレスを感じながら、面倒くさい相手とも愛想笑いや雑談を交わしてなんとか社会をやってるんじゃよ……自分だけ繊細ぶって社会のコストを他人に押し付けてはいかんよ……」みたいな感情をもつことが増えた

「就活」と「婚活」の広告出すのやめてほしい。おれはもう「活動」と名のつくものは一つもやりたくないから

人を、顔、年齢、身長、学歴、年収、といった諸要素の集合とみなし、自分の持つ価値と交換できるもののうち最もマシなものとして、お互いを所有しあうことが、恋愛とされている

犯人「大した想像力だ。探偵をやめて小説家にでもなったほうが良いのではないかね？」

沸点が低すぎる探偵「は？じゃあお前は殺人屋さんとかやれよ」

こないだひろゆきの動画がサジェストされていたので見てみたら、「自信（自己肯定感？）が持てないです」という相談に対して「弱い人、たとえば小学生が集まってゲームしている場所に行って無双すればいい」みたいなことを言っていて面白かった。普通の人はそんなこと言わないので。

さっきヒカキンに、小学生の頃漢字テストでカンニングした話したら「ヤバいよ…そんなのもし世の中に知られたら炎上だ…」って焦ってた

パクチーはあまりストレスを与えないように育てないといけないらしい。あんなクッサい草の癖に甘えるな。

アンパンマンは真面目な話、フックとアッパーを知らねぇ。アンパンマンは喧嘩を直線でしか考えらんねぇ。喧嘩は立体だ。それが理解できねぇようじゃ全く怖くねぇな。

小学校に入学する少し前に「お兄ちゃんのランドセルを赤く塗って使え」と父親に言われてから、ずっと傷ついたままだな

「ザ・バットマン」。バットマンが「URL」って言ってて、なんかバットマンって「URL」って言わない気がしてたから、「あ、言うんだ」と思った。

コメダ珈琲にはネットワークビジネスがいなくて、隣の人は「猪突猛進という諺は大嘘、イノシシは賢いのでサイドステップでこちらに迫ってくる」という話をしていた

子供の通う小学校で、１、２年生達が｢学年が上がると給食のカレーが中辛になる｣ってウワサに怯えてるの面白すぎる。

「レイヤーをラスタライズする」の意味が分かっていないが、10年以上ラスタライズし続けている。それでも、俺は生きている。

牧場に行ったら「ブタの視力を体感してみよう！」ってコーナーがあって、体感してみたが、おれと同じ0.07だった

都市伝説の関がもう中国の領海侵犯の話とかしてて最悪なんだけど、俺が昔ゲーム屋でバイトしてた頃レジにFPSのゲーム持ってきて「この『2人用』って対戦じゃなくて一緒にストーリー進めれるやつ？」って聞いてきたので好感度が下がらない、こればかりは仕方ない

学部の頃ゼミにいた博士課程の人が教授に「君は大学に8年いただけの人や」って詰められてたのめちゃくちゃ綺麗な画質で思い出せる。

このまえ究極恋愛脳の持ち主と話していたんだけど「全てに可能性を感じる」と言っていた。

会社でバナー作って提出したら「これで大丈夫です(^^)」と修正なしで通ったのだが、そのあと先輩の席の近くを通ったら眉間に皺を寄せながら私が作ったバナーのパーツを分解して作り直しているのを目撃してしまい、いたたまれない気持ちになってそのまま会社でて近くにある寿司屋で寿司10貫食って戻った

家で、鬼滅の刃や登場人物がテレビに映るたび「これ鬼滅？」「これ鬼滅の刃の登場人物？」って何回も言ってたら段々無視されるようになってきた

今日、ホームセンターで工作に使う道具を見ているときに、近くから「まあ、大は小を兼ねるって言うしな……」と話しているのが聞こえて、ホームセンターで聞こえてくる会話としては最も不安になる種類のものだなと思った。

俺が通ってた中学校ゴミすぎて、講演会に来た視覚障害者の方が「こんなに酷い学校は初めてです」って言った

少年呼びしてくる謎めいたお姉さんは多分社会に馴染めてないんだろうな、という想像がつくようになってしまうから加齢はよくない

ホリエモンの「M-1は全部オチが読める」発言が「最後大体『もうええわ』『やめさせてもらうわ』で終わるな」ってことだったら雑魚すぎて面白い

小6のプールの時期に、リンスがトリガーになって洗髪が終わっているのでは？と発見し、リンスだけしかしなかったせいで、成虫になるまでシラミが湧きまくり前代未聞と言われた

生理用ナプキンのテーマソングしか歌えない最弱のジジイ

外国人は優しい人が多いとか陽気な人が多いとかいうけど、まあ第二言語以降は極端に表現できる感情の数が減るし単純な人格にならざるを得ないんじゃないかなぁ。異国の文化に接してストレス溜めないためには「とりあえず褒める」「とりあえず驚く」みたいな反応をスイッチしといたほうが楽だろうし。

「どこかのYouTuberが1000人集めてけん玉を連続成功させて、紅白で二度とけん玉ギネス挑戦できないようにしてほしい」と娘が言っていました。

ミュージカルを観て「なんでこの人たち突然歌い出すんだ。情緒がおかしい。怖い」と感じるように、久しぶりにテレビを観ると「なんでこの人たちテンションが高いんだ。情緒がおかしい。怖い」と感じる。

圧縮したご飯だからなぁ1個や2個だと食い足りなくて食べすぎてしまうんよ「展開｣して食べ甲斐があるようにできないものかなぁ

友達との別れ際に言われた言葉が「良いお年を」じゃなくて「お前と1対1で話すと頭がおかしくなるから来年からは複数人で対応する事にする」だったんだけどなんで年の瀬にこんなSCPみたいな扱い受けなきゃ行けないんだよ

「数の子は子孫繁栄につながるので縁起がよい」という理屈で乱獲され、当のニシンがまったく子孫繁栄どころではなくなったという寓話的状況

俺は聖書のことを信用はしていないけれども、有用だとは思っているよ。引用すると謎の説得力が生まれるからな。神絵師によるフリー素材も豊富だし。

子供の頃、おせち料理は誰もが好きそうなもの、好き嫌いが分かれるもの、食べるのが面倒で誰も手を付けないものがなぜか混ざっていると感じていたが、大人になってからは来客、酒のアテ、作り置きを最適化したらこんな形になるような気がしている。

女「終電なくなっちゃった…」

かなり権力を持っている男｢改正させる？｣

「お前をママにしてやろうか！」ってしか言えないカスの男

しばらく会ってなかった人と会うと「相手が見てる自分にリアルタイム感がないな」という感覚になることがある。以前の自分で覚えられてるんだなというか。そういうとき、自分もアプデしてるんだなと気付く

オタクの人が「自分が知っている(マイナーな)情報を含む冗談」を聞くと冗談の面白さはともかくめちゃくちゃ面白いかのように反応するの情けない。「自分そのネタを理解できるだけの知識・教養がありますよ」をアピールし合ってるだけ。これ、いわゆる「教養」全般に刺さりそうな話な気がする。違いはオーソリティーが有るか無いかで、反応自体は同じじゃなかろうか。

久々に実家に帰ると、YouTubeばかりみて謎の陰謀論に染まった高齢父がディープステートやロスチャイルドという単語を発し、自然派に染まった高齢母が怪しい高齢有機栽培健康食品を差し出し反ワクを唱える。部屋隅には埃を被った夢グループのダンボールが落ちていて、中には謎の電気器具が入っている。久々に見た地上波放送は老人向けの意見しか言わないコメンテーターで溢れ、若い世代がコロナを広げる原因だと喧伝し、番組の間に流れるCMはセサミンだとか尿漏れパッドだとかいうものばかり。番組だと思って見ていたものはテレビショッピングのCMだったと気づき、たまに流れる通信3社のCMに安心する。「最近の若い人はテレビをみないってほんとう？」「新聞をよまないってよくないわよ。私が若い頃は天声人語を書き写したものよ」とさっと朝日新聞を差し出される。その割に、FRBという単語も知らなければ未だに中央省庁の官僚が良い暮らしをしていると心から信じていて、会話が成り立つことはない。「Netflixも面白いよ」と言ってもNetflixが何なのか理解しようとすることはなく、YouTubeとNetflixの違いもわかることはない。GoogleアカウントもApple IDのパスワードもノートに書き留めさせているが、忘れるたびパスワード変更ばかりしていてどれが最新のものなのかは誰にもわからない。７−8年前に買ってあげたSSDではないHDDのパソコンを長い時間かけて起動すると、http://ocn.ne.jpで終わるメアドの受信箱は通販サイトのメルマガで埋め尽くされ、どう考えてもiPhoneより使いづらいAndroidらくらくスマホにはAmazonや佐川急便を名乗る偽メールがたくさん届いている。携帯料金をみせてもらうと、謎の安心保証パックや映像見放題パックに加入させられ、月の費用が10000円/人。端末には謎のSDカードが入っていて、キャリアショップで10000円で買ったというが、データは何も入っていない。使用データ量は0.3GB/月で、正月早々格安SIMに切り替える作業を行おうとしたが、キャリアメールを長年使っていてそれがないと困るというので、最近開始された解約後もキャリアメールを使うサービスにも加入し、なんとかことなきを得る。昔の同級生の誰々が子供を産んだとか、どこどこの誰々と結婚したとか、家を建てたとか、そんな話を延々と聞かされながら暗に圧力を受けつつ、今年もいつもと同じ神社へ皆で初詣にいくと、どこから現れるのか誰なのか知らないけど正月にはいつもいるおっさんや爺さんが神社で福引やお札を売っていて、毎年同じ風景があって安心する。初売りにでも行こうかというと、年老いた両親は車の運転が不安なのか行きたがらず、代わりに自分が運転して、やはり自分の両親もだんだんと衰えがきていることを痛感するも、この毎年の風景がいつかなくなってしまうなどとはとても考えられずに、今年もまた同じような正月を迎える。かつては子供で賑わった自分の実家の住宅街も高齢化が進み、子供をみかけることはなく、静かな空気が、今年も流れている。

他人のせいにしてないんだ。結局地域社会や家族と言う共同体をどんどん個人主義で破壊していった社会全体の問題性を提起してるんだ。道普請とか共同体でのみんな集まっての掃除とかやってたら、「○○さん最近みないな」とかそういうの繋がりで孤独死とかも回避できるかもしれない。でも結局、みんなで集まって掃除？面倒くさい。うっとうしい。村社会の圧力だ。とかいって、自治体で金を払って業者にやらせればいいとかやってればそりゃそういうの助け合い精神は消えるし、あなたの母親を心配してくれる人も地域から減っていく。右翼とか左翼とか関係ない話でしょ。こういうの。「PTA嫌だ」「町内会嫌だ」「二世帯同居嫌だ」の結果、本来助け合ってた共同体を破壊しておきながら「国が何もしてくれない」って、あんたはなんかしたのか？に戻ってくるのわかってない。

世界の全てを陰謀だと思い込んでるヤバい人も頭に巻くアルミホイルメーカーのことは信用してるのシュールだよね

ブラック企業に勤めて疲れ果てていた頃、深夜の地下鉄で電車を待っている時に、ふと生きている意味がわからなくなった途端、ホーム下の線路から花の香水のような匂いが漂ってきた事を今でも覚えてる。虫を誘う香りのようで思い出すたびにゾッとする

世界仰天ニュースって世田谷一家殺人事件の話の後に急にイケメン仰天チェンジ(一般人のめちゃくちゃ太ってる人がダイエットしてイケメンになる)やったりするからマジで異常

脱線とかはしない代わりに、脱糞する嫌な電車

酸素が薄くなると3割頭といって通常の思考の3割ぐらいしかできないのだけれど、金欠も同じ。この感覚はなかなか理解してもらえないよな。そのくせ、恐怖だけは通常の3倍くらいで感じる。

ブースの前で延々ご自身の「蘊蓄」を披露して結局本は手に取らずに立ち去る参加者。ここは精神科デイケアじゃねえんだぞとなる。精神科医配置して精神科専門療法（330点/3300円）取るぞ

自分が生きてる社会や時代の常識を疑うってまあ難しいと思うんですけど、放っておいたら交尾しはじめる年齢の倍も生きてから「そろそろ結婚」とか言ってるのもたぶん未来人に「昔の人って何考えてたの？」とか言われるやつですからね。

謝罪には技術がいるが沈黙には技術が入らないので素人は沈黙の方が成功確率高い

ダブスタ指摘って当人が省みるかはどうでもよくて、それを見る第三者に異常性を示すことが出来れば十分なんだよね。あいつら頭おかしいですよってことを分かってもらえれば

体育の授業にしても体育会系部活動にしても、修行だということになってんですよ。修行だから楽しんでは駄目です、苦しくなくては意味がない、苦しくなきゃ精神的に成長しないからと。クソですね。飲み会でも趣味の集まりでもなんでも、とにかく「学びの場」「修行の場」「自己鍛錬の場」にしてしまいたがるのは日本人の悪いところ。

4歳の息子は童話をYouTube経由で覚えたので、締めの言葉が「めでたしめでたし」とか「とっぴんぱらりのぷう」とかじゃなくて「チャンネル登録お願いしまーす」になっちゃってる。

メンタルヘルス界隈を見てると「抗うつ薬を使ってみて気持ちなんて所詮は化学反応なんだなと理解した」みたいな悟りが散見されるけど、音楽理論の長調とか単調とかコード進行の話もド素人から見てると同じ感情になる

No.1 富士山　←超分かる

No.2 鷹　←まぁ分かる

No.3 茄子　←茄子も荷が重いだろ

駅伝はじめて見たんだけど「人間が苦しそうにしてる様子が長尺で見られるのはたしかに娯楽性高いね」って理解を示したのに「そんな見方をしてるのは世界でおまえだけだ」って言われたのかなり納得いってない、世界でおれだけなワケないだろ

某和食店の大将が言っていたけど、百貨店で「○○(店の名前)監修のお節」って、百貨店側が用意した料理を少しだけ箱詰めするだけで「監修した」ってことになるらしい。「魂を売ってお金にしました」っておっしゃってた。

家ついてっていいですかで蒲田の40代独身の営業マンが「30歳過ぎると早い。生活に変化がないから仕事行って帰ってきて1日が終わってそれが3日になって1ヶ月になって気付いたら１年終わってて公園で同年代が子供といるの見たりすると自分は何やってんだろうって気になる」って言ってて床割れる位頷いた

誰かに配慮した文章は面白くないし鋭くもなくなる。友人知人全員を刺して回るくらいの勢いで、何の慮りもない思いを筆の赴くままつづるのである。そうすると全ての友人を失う上に、優秀な友人からの助言も得られず駄作になる。ということはつまり、最低一人の友人かビジネスフレンドには配慮が要る。基本的に面白い文章というのはそうやって他人を刺して回っている性質、寸鉄としての要素が避けられないのだけれども、筆者の謝罪が非常に巧みか、あるいはナアナアにする話力がある限りにおいては、友人を失う心配もなく、問題にならないのだ。つまり事前の配慮より大事なのは「ゴメンねテヘペロ」。

最近のTwitterには、伸びているツイートを見ると、とにかくそれが本当か嘘かを厳しく判定することだけを生き甲斐にする、ギャラリーフェイクのようなアカウントが確実に増えてきている

中学のとき、勉強の苦手な友達が「どう考えても学年ビリの点数をとっても、順位を見ると、毎回必ず自分より下に10人くらいいる。その10人が誰なのか、どんなにがんばっても突き止められない。本当にいるのか。生徒を落ち込ませないための架空の生徒なのではないか」と言っていた。

比較宗教学、比較神話学、陰謀説、アニメを見ていて痛感するのは、本当に人間は無から空想する能力がないということだ。先人たちが現実に立脚したネタを作って孫引きを繰り返すうち、やっと現実の束縛から解放される。「廃校の屋上で悪霊と銃で戦うツンデレメイド」のような概念は無から着想できない。

岸田首相が生むタイプの、異次元の少子化対策

オナニーホールとディルドをポータルで接続し、放出された精子が近い距離に位置した子宮に転送されるシステムを導入するタイプの異次元の少子化対策

子供に、控えめな人間になって欲しいとは全く思わない。度を越すとアレだけど、ちょっと図々しいくらいの方が絶対楽に生きられるよ。私の子供は、私に似て控えめで優しくて繊細で、知的ゆえに相手の事情を必要以上に斟酌して損をするタイプだから心配になっちゃう。

今回の騒動、何も貫けない矛で以て何も防げない盾を徹さば如何、という印象がある。

結婚せなあかん、子供もたなあかん、仕事で成功せなあかん、稼がんとあかん、社会的な肩書を持たなあかん。これ全部、企業側の都合で作り出されたマーケティングの為の同調圧力と偏見や。俺らは「常に何かが欠落してるんちゃうか？」と悩まされてるけど、俺らは俺らであるだけで完全なんやで。

スポーツとかで監督が激励する時「男だろ！」はいうけど「女だろ！」は言わないの面白い。男なら頑張るものだ、という何かがあるんだろうか。

後ろから車でついていって激励しつつ、一定の速度で走らないと轢殺することをほのめかす形の、最悪の駅伝の応援方法

なんとなくつけたNHKで「縄文時代の人たちは、芸術に理屈は必要ない、感じればいいってことをよく分かっていたんだね」などと言っていて、こういう不見識を電波に乗せて拡散しないで欲しいと、縄文人の名誉のためにも憤ったのであった。だいたい芸術なんてのは18世紀後半以降の西洋の考え方であって、縄文人は芸術のことなど考えてない。逆に、縄文人が考えていた宗教や生活習慣があったはずで、それらを無視して現代の定規で評価をくだすのは著しく不当なことです。また、西洋の芸術に限っても、芸術が本当に「感じるままに」やるものならば、注文主の予算と納期な合わせ、一定水準の作品を生み出し続けたバッハ、ヴィヴァルディ、テレマンなどの創作活動が説明できません。個人的な生活上の事件はほとんど作品の性格に影響していない。「感じるままに」という感性至上主義は、西洋の芸術思想史の中でも19世紀に少し流行っただけの特殊なものです。その影響は今もあるとはいえ、縄文人の土器にかこつけて時代遅れの近代主観主義芸術観を広めるディレクターだか脚本家だかは、誠に不見識・無教養と言わざるをえない。最近も、新しいものを生み出すのに知識は必要か?といった話題がTLを騒がしていましたが、主観主義・感性主義は、形を変えて何度でも話題になります。アホらしいことです。知識や経験があればより深く感じられるし、感性が鋭ければ同じ知識や経験にもより深い理解を得られるもので、総合的な眼力は、知性と感性を両輪として成長するものです。両者は相補的にして不可分。知性と感性を対立的にまで分離して二者択一を迫るような問題設定自体が非常に間違っていて、恐らく、間違ったデカルト理解に基づく妄想の枠組みです。知識や理論を敵視して、やたらと感性を偏重する意見に一定の人気があるのは、「あんたは勉強が足りない」と言われると全人格を否定されたように感じ、感性での勝負ならワンチャンあると勘違いする人がいるからでしょう。面接で、学歴はダメでも人物評価ならワンチャンあると思ってしまうような。

鏡の前で目をつぶると視線を感じるので目を開けて見るが、鏡に映る自分は目をつぶっている。

銭湯で知らない4，5歳くらいの兄弟が「今から3分間動かないで石になる」と言い放ったあとに体育座りの姿勢で無になっているのを見ていたら、確かに子供のころ自分で宣誓してそれを遂行したら絶対何か変わるはずだと考える思考回路があったことを思い出した

発泡スチロールの車に衝突されて意識明瞭の軽体になろうかな

火垂るの墓を見ると、社会の時間に見せられて「こんな非人道的なことは絶対許せない！いつか必ずニューヨークもワシントンも火の海にしてやる！」と鬼畜米英感想文を書いて校長室送りになった同級生のことを、いつも思い出します。

女が分析する男社会の解像度がクソ低いの、男と女で「友達」の意味がだいぶ違うからってのはある気がするんだよな。男にとっての友達は単なる友達なんだけど、女にとっての友達って「同盟」とかに近い概念だと思う。基本的に男って私的領域と公的領域で人間関係を峻別するじゃないですか。私的領域の関係が友達で公的領域の関係が同僚とかになるわけだけど、その区分からして女は理解できてない感じがする。あいつら人生、基本私的領域しかないし。これ、フェミニズムに対して男性が持つ違和感の本質だと思います。公的領域の観念がないという点。彼女らの「公共空間では〜すべきでない」式議論も彼女らの居心地が良い私的領域の拡大でしかなく、公共空間とはそもそも他人が同居する居心地が悪い場所ということが理解できない。同じ話だと思いました。前にソロキャンに行って野郎に声かけられるのが我慢ならん女性の要求を「大きくて豪華な鳥籠」と言ってクソ怒られたんですけど、要するにこういうことなんですよね。ブルーワーカーの男が冴えないせいで女の子が参入できないとか言ってた人もいたでしょ。外の世界にお部屋の快適を素で要求しちゃうのよ

ドすけべ奥様「お゛っ💕お゛っ💕奥ヤバっ💕届くッ💕旦那よりおっきいっ💕」

マンコの奥にある村に住んでる人「俺達の村がーーーーーーッッ！！！」

おみくじの言葉を使ってる人「待人（まちびと）が来るまで時間があったから商売（あきない）やってるところに行ったんだけど、そこで失物（うせもの）しちゃって、見つかってほしいって願望（ねがいごと）してるんだよね～」

開けたおみくじを元通りに折って直せる珍しい人

フグ食ったやつが死ぬのを見ておきながら「次は死なないように食べてみよう」という意欲を保持し続け数多の死体を築いた上にフグ食文化が存在するのと違って、餅は「なんか年寄り死んでるけど、まあ正月は餅だしなあ」で死にやすい構造が維持され続けている。

お金持ちの方の医療やってて思うけど、特に芸能人、「一般の方には知られてない必殺技的すごい治療があるんですよね！？お金払いますから！！」って信じて疑わないんだよな。普通の病院で普通に提供されている医療がスタンダードかつ最高な事を納得してくれない。だからヘンテコ自費診療にハマっていく

「成人年齢を60歳に引き上げることで、子どもの人口を一気に増加させることができます」

米津玄師も、病院の予約時に間に合うようにちょっと走ったりしたけど受付後に全然15分以上待たされてムカついたりすんのかな

2年付き合った彼女にフラれてめっちゃ落ち込んでたら友達が「これで風俗行ってこいよ」って3万渡してくれて、カスのマリー・アントワネットかと思った。

ADHDの過集中って「限界超えて集中する」とか「ZONEに入る」とかそういうカッコいいのでなくて、たぶん大体がコンビニの店内とか車の中とか自転車置き場でスマホ取り出してツイッター眺めて長時間その場に立ち尽くしてしまうとかそういうやつ。

非専門家が何か解説するときはわざと胡散臭さを出したほうが良いと思っていて、大衆は雰囲気で発言を信じてしまうから、胡散臭さを出しながら的確に学術的議論を行えば理解できる人だけ必要な部分を拾ってくれてコピミズムによる人類知に貢献できる

ツイッターで思うのは、自分と異なる意見や感性の表明は存在しないほうがよく隙あらば弾圧したいと考えるのは人間の本性なのだということ。異なる意見や感性の表明を尊重するという態度は人間性に反するとさえ思える。だからこそ人間性に反して表現の自由は守られなけれればならないと言いたい。例えば内心の自由（の保証）など同一性の高いある意味平和な社会ではそもそも存在し得ない発想。通常自然の人間の本性のままでは社会は成り立たないから敢えて逆らう事を要求するのが憲法。

機械が自分の思い通りに動かないこと、この世で1番苦手かもしれん。叩いたら動け

タイ人のお坊さんに【人は納得していない事ほど他人に強制したがる】という話を聞いた。ルールに納得している人ほど柔軟に対応できるのに対し、イヤイヤ従っている人ほど【決まりだから！】と他人に強要するという話。何かを強要する人を「この人はそれが嫌なんだ」と理解するのは役に立つ時がありそう

人外でしか抜けない性癖異常者はレベルが高いんじゃなくて、スキルツリーが違うだけだって何度言ったらわかるんだボケナス！！！！！！

デジタル機器に干渉した怪異は譁�ｭ怜喧縺�みたいに文字コードばかりいじるので、たまにはフォントサイズやカラーをいじってテキストを虹色にしたり高速回転させたりしてほしい。

コミュニケーションのチュートリアルの妖精「彼の顔をよく見て！恐らく地雷を踏んだみたいだわ！話題を切り替えましょう！」

一般人立入禁止区域のコンビニエンスストアで働く方々の〝特殊な一般人っぷり〟、良い。

「発達障害者には数学の才能がある！」「発達障害者には芸術の才能がある！」などという役に立たない発達障害者を無視するような言動により、特別な才能のない発達障害者は闇に葬られていくのであった…。

何かで読んだ「生きている人が故人を思い返す時、天国で故人の上から花が降り注ぐ」っていうのをなんとなく信じているというか、そうであったらいいなぁと思うのですが、天国の猫のことを思い出す時はかつおぶしが降ってほしい

復縁を求めてくる元彼と縁を切りたくて東京最強の縁切り神社に行ったら、一方その頃元彼は縁結びで有名な伊豆山神社で北条政子に祈っていたらしく、結果的になんやかんや復縁して結婚したので縁バトルは北条政子が強いという話を聞いた。

昨日遊んだ友達は獣医学やってた子で「獣医は人間以外の全ての動物が対象だがカリキュラムに収まらないので爬虫類などは現場に出て初めて学ぶ職人芸の世界」「屠畜や殺処分はすべて獣医の許可が要るのでそういう業界に需要がある、日本で唯一積極的に殺せる職業、殺しのライセンス」等色々聞いた

コミュ力に難のある人って「多少失礼なことであったとしても仲の良さゆえに何でも屈託なく言い合える気安さ」をどこか勘違いして「多少失礼なことを言う(人によってはガチ地雷)ことが仲の良さの現れ」だと思ってる節あるよね。それで相手に距離を置かれると「繊細すぎ😡」とか言って他人のせいにする

クックドゥが手抜きだというが、手抜きで何が悪いんだ。クックドゥと保温しっぱなしの五合飯がドカタの時も社畜の今も、ずっとおれを支えてくれているんだ。

総理大臣にも有給休暇ってあるんだろうか？それとも完全裁量制だからない？

最近の邦ロックはとにかく抽象的だ。君とキスしたいとか、結局はそういう感情を歌いたいのに、何重にもオブラートに包んで原型が何なのか分からないようにしてある。それが日本人らしさや、奥ゆかしさにつながるのかもしれない。しかし、時としてそれは煩わしさを覚える。これを読んでいるあなたにも、そういう感情を抱いた経験があるだろう。この歌詞は一見こういう意味だけど、実は同音多義語でこういう風にもとれるなあ、いや、でも、この言葉とこの言葉があるとこういう風にも…。私は読解力に欠けるのと、飽きやすい性質(実はこの記事だいぶ寝かせてある)からか、この様に堂々巡りに嵌ることは少ないのだが、他の人はよりその機会が多いのか、と思うと「お疲れ様です」と声をかけたくなる。ここまで長々と前書きを書いてきたが、簡潔にいうと、NonaReeves、ひいてはシティーポップには抽象的な歌詞が少ない。踊り疲れた僕が、君を見て一目惚れして、どうやったら振り向いてもらえるかな、というのが王道展開。海辺でくだらないの中にのような曲を聴くよりか、おしゃれにWelcome to the P-O-P-T-R-A-I-Nの方が気分が上がるし、なんとなく海辺っぽい。(くだらないの中には好きである) 歌詞の意味のなさというのは、先述した電子音が入るアレンジと関連性があるように思うのだが、相まっておしゃれな音楽の雰囲気を醸し出しているように思う。

横浜線や南武線がまとう、特有の陰鬱とした感じの正体は何か、ずっと考えていたんだけれど、駅にみっちり人が待っていてる割に電車がなかなか来ない、あの大勢の人がシンとしている雰囲気が、独特の雰囲気を醸し出しているのかもしれない

上司「なんか面白い話とかないの」

かます新人「なんか5年くらいずっと視界の端っこに四角い窓？みたいなのが見えてて、たまに石原良純とか大久保佳代子とかが映るんですけど、ある日ナンチャンが写ってああなるほどって、ヒルナンデスのワイプなんですよこれ」

アメリカ下院議長が決まらないという話を中国メディアが毎日事細かく報道してるらしい。どの議員がどっち側でどうのこうのと顔写真まで載せて嬉しそうに報じてるって話を近藤大介さんがYouTubeで話してた。敵の不幸はやっぱり楽しいんですよ、国籍民族立場を問わず。

共感したことない(と言うことで共感したことない人に共感させてあげられる)。

ナースのお仕事の「お仕事」が肛門科だったら少し面白いかも。

【雰囲気でやってる居酒屋】

オーダー入ります！…今度は、出ます！あ、また出た！

父親「先生！息子の手術はどうなったんですか！！！」

絶対やってない医者「やったけど家に忘れました」

世の中には、あらかじめ面白い人や面白いものが転がっているわけではない。そのままであらかじめ面白いものなんてほとんどありえない。きっとどこまで行ってもランダムに人やものが転がっているだけで、それらをどんな風に見てどんな風に面白がるかってだけなのだと思う

あんまりこのような言い方はしたくないが、人生詰んだ無敵の人は、最後まで自分を助けてくれた人（家賃４年滞納しても追い出さなかった大家）や自分の人生の災厄にほぼ無関係な人を逆恨みして攻撃してくる。

昔、ある明治生まれの女性が言っていました。「子供なんて若くてまだ物事がわかってないときに生んでがむしゃらに育てるもの。いろいろわかってからではとてもできない。」現代は情報が多くて「いろいろわかって」しまうので、少子化は避けられないんでしょうね。

パチンコとか煙草とか、そういうものとちょうどいい距離感で付き合えている人 クールで憧れる。おれみたいな変な潔癖主義の人間は、これはやる/これはやらない、で最初から分けて考えてしまうから

助産師「おめでとうございます！元気な女の子ですよ！」

余裕すぎてかなり喋る妊婦「澪(みお)って名付けようと思ってたけど果汁グミから1文字とって果(はてな)もありかもしれん。フンッッッッッっ！！！！」(もう一人産む)

このあいだ高校時代の友人にあったら、「たまたま打ったパチンコで20万近く当たってさあ、それで国民年金1年分まとめて払ったんだよ」という話をしてくれて、射幸心を持ちながら冷静さも兼ね備えているんかいと思った

おれにタバコをやめてと言ってくれる優しい人たちありがとう！君たちにも健康でいてほしいから食品添加物の入っている食べ物は一切口にせず、排気ガスも吸わないように人里離れた山の中に住んで、心の健康を害す可能性のあるSNSはすぐにやめて外界とシャットアウトして楽しく長生きしてほしい！

要約すると「子を成すのでないような性行為は反自然的であり統制すべきである」となるようなキリスト教的性道徳を、それと相反するはずのフェミニズムやジェンダー論の枠組みで強引にくるんで表現しようと試みているように見える人は多い。

日本スゴイデスネみたいな番組、親日の外国人が「こんな日本の製品、最高じゃないか！日本の底力だ！」ってのを日本人が撮影して日本人がテロップ付けて日本人が見てるのがいたたまれなくなるし、もう30年は賃金が全く上がっていないこの国のどこがすごいんだか…みたいな気分にはなってくるけど（末期患者にモルヒネ注入してる映像が脳内に流れてしまう）、こういうのを好きな人たちが明日からの仕事を気持ちよくできるならそれでいいじゃないかとも思う。日本をほめたたえるコンテンツも多様性の一部なので認めよう。ついでに翻訳してBBCやCNNや中国テレビでも流してもらおう。

NHKでTwitter婚活特集やってたけど、エロ画像にはいいねせず、センスとユーモアありながら承認欲求薄めのツイートを日々して、想像力と配慮とセンスあるリプをしてくる人が人気でるらしいけど、ハードル高いな……

高速道路のパーキングエリアで、どう見てもGACKTの風貌をした男がいたので「お～GACKTじゃん」って思って見てたら、その人イカ焼きを4つ買ってて心の中のミルクボーイが「ほなGACKTとちゃうか～」って言いだした

怪談の噺家「そしたらね女が……殺したのはお前だーーー！！！！って」

空気が読めない上に殺してる人「え、ぼぼぼ、僕ですか？」

学生と話をしていてつくづく思うのは、これがしたいからこの仕事に就く、みたいなことを思えるのはほんの1割にも満たいんだなということ。多くの学生は、ひとまず仕事に就かないといけないから無理やりやりたいことを捏造している。

中途採用候補者の履歴書、性別欄が「漢」になってたので逸材が来るかもしれん

新卒で入るのが大企業か中小企業かは置いておいても、将来ヤバいやつにならないためには一度は受注側の企業や部署で働く経験が必要だと思っている。受注側から発注側に転職して思うのは大企業では新卒から発注側の立場しか経験していないことで勘違いしているモンスター予備軍の若手社員が結構いる。

サウナで倒れた人が脱衣所で横になって店員さんに介抱されていたんだけど、うわごとのように「サウナの奥深くのいちばんサウナなところに触れてしまった」って言っていて、けっこういい表現だなって思った

昨日上司と食事行った時に｢普段は自炊してますね ガムとか作ってます｣とか｢とりあえずピーチフィズ4個でいいですか？｣とか｢今日は日本の食料自給率が下がるぐらい肉食べます｣とか言ってたら解雇を示唆された。

ハハハッ！それは面白い推理だ探偵さん、探偵なんて辞めてなにかそういう発想力を活かした仕事でもやったらどうだ？今は求人サイトも多様なものがあるからきっと自分にあった仕事が見つかるはずだ、もちろんいきなり探偵を辞めなくてもまずは週一の副業から始めてみてもいいと思うし、やってみてから考

「あぶく銭って具体的に何円なんだよクソが」って言ってる人を見た。「あぶく銭」という概念そのものにキレる人いるんだと思った

山手線運休なのにずっとホームで待ってる人、NPCの可能性がある。多分話しかけても「山手線を待っているんだ！」とか「今から買い物に行くの」しか言わないと思う。

コメント欄とかで「滑ってるぞ」って指摘してる人がいるけど、現実世界と違ってその場の空気が目に見えるわけではないので、「滑ってる」という空気を指摘者自らが積極的に作りにいっているような、マッチポンプ的作為を感じてしまって恥ずかしくなることがある。それに、相手を批判するときに「滑ってる」しか言えないのってものすごくださいと思う。「空気読めよ」とか「普通は違うだろ」と同じで、自分自身の魂がない。潔く「俺とは感受性が合わないな」って言えばいいだけなのにね。俺は面白いと思うよ、滑ってるって君が評価したコメントは。

怪獣のバラード、中学の時はネタ曲だと思ってたけど月日経って聞くといい曲で、でもその時にはもう歌う機会が無いから大人達が代わりに子供に歌わせるっていう循環だったのか

怖い先輩インド人「お前さっきナマステなかったよな」

月曜から夜ふかしって番組、「街で見かけた面白い人」のくくりでいじられてる中に、明らかなアルコール依存症とか生活困窮者、精神疾患の人がかなり多い。番組がそうしたそれぞれの困難な背景に絶対に言及せず、ネタとしてだけ扱っているのが清々しく空恐ろしい。というところまで含めて「見ちゃう」。

「この世は思った通りにならない」と思っている人の前に、まさに思った通りにならない出来事が起こった場合、それは思った通りなのか、思った通りではないのか。

高校野球と並ぶ若年者虐待の奇祭、「はじめてのおつかい」を今年も視聴してしまった……

片親パンに怒ってる人だいたい両親いて、片親パンでゲラゲラ笑ってる人だいたい片親育ちなの一番残酷やな

今、「日本語では桃が流れてくる専用の擬音語があるって本当！？」って外国人のツイートが流れてきたけど、日本人が大喜びするように最適化された話法を完全に身につけていてすごいし、しかも怖い。

「孤独死」って言葉は、遺族の心を傷つけます。人の死を取り扱うときに「私がお母さんを孤独死させてしまったから・・」と孤独にさせてしまったと追い詰めるんです。泣いてくれる娘がいる母が孤独なわけがありません。独居で突然亡くなっただけです。

最近は一昔前より自由と責任はセットだって理解している人が増えた感じもするけど、責任を取る覚悟から逃げる人は一昔前よりずっと増えてる気がするので、結果的に自由だよと言われても動かない人が多く、タイムアップで全て朽ち果てるみたいなとこある。そういう意味で自由はほぼ死んでいる。

昔は「何のためなんだよ」と思っていた豆腐や豆乳・湯葉に対して、今は心から「ありがとう」と思える

てか人生、平気で平均寿命80年とかにしてくる癖に生まれての超序盤の25年くらいで残りの人生のだいたいが決まるのクソ怖すぎる。

「娘を持った男性はフェミ騎士化する」と言われるのに、一人娘の父の私がフェミ化しないのは、そりゃ娘にとってはぴえんすれば助けてもらえる社会は良いですが、暇空さんに巨額のカンパが集まったように「男性が「共感格差」で差別する社会を憎むようになる」と女性も生きにくくなるから。なんですよね。誰もがロールを破棄して「社会というパパ」の役を担わなくなれば、そりゃ暮らしにくくなるでしょう。と。「ちょっとー女の子が泣いてるじゃない。助けなさいよー。誰かー。せんせーい」とか「シングルマザーや貧困女性助けなさいよー。誰かー。ぎょーせーい」とかやってれば包摂リソースは枯渇する。

【パレット洗うときあるある】

そのときにしか生まれない色が流れてゆく

山上徹也が安倍晋三を撃った現場のすぐそばにある山上八幡神社が山上の聖地として扱われてGoogleのレビューが凄い事になってるの、名前からして運命的なものを感じるし宗教に苦しめられた山上が神格化されて崇められているのも凄く皮肉的だ

以前ロシア語圏の書店で『日本人が老いない秘密』みたいな題名の本を見かけたし、日本をよく知らない人が多い国では勝手な理想を仮託するのに日本はちょうどいいんだろうな。東洋の神秘・叡智みたいなイメージもあって。

ツイッターは「世界中に呟きを発信していると自覚しろ」というのはよくきく話だが、ツイッターという、まるで国境のない世界にも、「しぬこをフォローする人たち共和国」とか「青汁王子第三帝国」とか「レペゼン地球民主主義人民共和国」みたいなカタマリは存在し、そこには境界線がある。

春の七草を季節関係なく食べてる珍しい人

韓国の縦読み漫画を日本版に直すバイトしてたんだけど、一番意味わからんかった指示が、「登場人物のJKが屋台で買ったトッポギをスシに直してください」ってやつだったな。日本の屋台にスシはねえよ

金を稼ぐのは大事ではあるし、金で大半の問題が片付くのもそうなのだが、金で片付く程度の問題はそもそもたいした問題ではないのよね。むしろ金で解決できない問題への対処に「生きる力」が問われる

私の知人に、AVを流しながら一切そちらを見ずに音も消して空想だけで射精するという人がいた。それが一番興奮するのだが、うまく言語化できないらしい

右も左も、極端な思考をする人は信奉している神が違うだけで、人間の形としては同じなのだと思う。

ハリーポッター、原作はわりと数ヶ月単位で嫌な出来事(不快な授業、マスコミからの粘着、友人との不和、学校内での疎外感など)がねっとり継続することが多いというかむしろそれが肝みたいなところがあるんだけど、映画だと尺の関係でどうしてもテンポよく物事が解決したり問題が立ち消えたりしてしまう。読んでた頃はなんでこんな後のカタルシスにも繋がらないワクワクしない部分ばっか書くんだよと思ってたけど、今は学生生活ってそもそも全体的にじんわり不快だよねと納得できてる

色んな国の人と沢山話したいからみんな日本語の勉強頑張って欲しい！

成人式は実行委員だったから、「みなさんに会えることを心より楽しみにしています」というチラシを作って配って行かなかった

電車飛び込み自殺のこと「完全非弾性衝突」って言ってる人がいて、無理だった。

何者にもなれなかった男がインセルになり、何者にもなれなかった女がフェミニストになる。人生の欠落は誰もが向き合う課題ではあるが、それに真摯に向き合わず、思想の代替物で埋めてごまかし、何者かになったように錯覚する。無理せず、世間から降りちゃえばいいだけなのに、それすら気づけない。女が悪い、男が悪い、と言ったところで始まらない。ちなみに、私は、男女差別なんかしないで、人間そのものが嫌いだから、人間が嫌い、として、一段、高いところに視点を置いている。そうすると、インセルにもフェミニストにもならず、人間嫌いになれる。それがいい。仙人と同じで世間から離れられる。

ハッピージャムジャムの対義語ってもしかしてアンハッピー味噌味噌なのでは

男性といい感じになっても相手の下着に父ちゃんの名前がバーンと入ってて萎えることばかり、というカルバン・クラインの娘さんのエピソードを聞いてから、「父ちゃんの名前の下着」というイメージになってしまった

まぁエリート官僚の娘として不自由なく育ち、若かった頃は場の空気を読めない愚鈍な発言が「かわいい」「面白い」として持て囃されてきた女性タレントが更年期に差し掛かり、何も学ぶ事なく安易に脚光を浴びられるような思想へと傾倒するのも「むべなるかな」だと思うしそれも本人の自由だよ。

今後（奴隷ではなくて）移民を入れるにしろ、今の日本の社会の仕組みの多くが、性善説に基づいて作られてる部分は直さないと、多くの仕組みが破綻してしまう。それは仕組みを作る層の人達の想像力だったり経験値だったりがもっと必要だってことだと思うよ。日本の仕組みは日本人の同士の共通感覚によって何とか保たれてるものであって全く別のアイデンティティを持つ人が入ってきても耐えられる社会仕組みじゃない。

「やる夫で学ぶシリーズ」はその筋の専門家が一点ものとして作るから面白かったんだけど、「ゆっくり解説」はYoutubeのアルゴリズム上、毎日投稿を繰り返さないと収益が減るので、大した知識もない投稿者がネットで拾ってきた浅い知識をただ棒読みさせるだけの掃き溜めになってきている。余談だが、英語圏は広告単価が高いので、海外のYoutuberは月に数回の投稿でも生計を立てられる模様。そのため教育チャンネルでも、手の込んだ質の良い動画が多い。対して日本はゆっくりだのXmindだの手書きホワイトボードを使った動画ばかりで、これが貧すれば鈍するということか、と思いました。

ムチャクチャ貧乏な家の子が、古典文学みたいな食えないド教養を大学で専攻したりして後から後悔したりするツイート割と見るけど、あれはあれで文化資本の著しい欠乏によるものなんだけど、主観的には猛烈に文化資本を蓄積しているように見えているので話がややこしくなる。

俺の友達の｢コンドーム無かったからサランラップつけてやったら案の定妊娠した｣って話いつ聞いても面白い、ちなみにそのまま結婚したらしい

俺のAirPods、耳くそまみれすぎてAirPodsじゃない、最早 耳くそだ

中学生とかがいっちょ前にクリぼっちとか言ってるの面白すぎる、その年齢で恋人と過ごすようなこと無いだろ、お前ら絶対家でWiiスポーツとかしてた方が楽しいって

ラジオ体操って何十年とやられてるけど、きっとあの中には運動科学の進歩によって非効率とか怪我のリスクあるとか判明した動きもあるんだろうと思うとじんわり面白い。後に引けなくて残してるだけの箇所とか絶対にある　どれだろうな

ふと思ったが「お前よりChatGPTの方が自然な日本語話すよな」とかいう煽りがそのうち人口に膾炙するのだろうか

悲しいけど、日本製品を買って満足した経験が最近ない。特にソフトウェアの出来が絶望的にゴミ過ぎて笑えないレベルです。最近は防犯カメラ。国産メーカーの防犯カメラは人や自動車の検知がゴミ過ぎて全く使い物にならないけど、グーグルの防犯カメラ1万円は神レベルの検出精度。電化製品は「作った奴ら家事をしたことないだろ?」って感じがするし、バイクは「こいつらツーリングしたことないだろ」って感じがする。好きじゃない人が仕事で作らされている感がすごく伝わる

ねー、うし、とら、うー、𝑳𝒐𝒗𝒆 𝒎𝒆…

うま、ひつじ、さる、とり、𝑲𝒊𝒔𝒔 𝒎𝒆…

子供向けアニメの、高圧的な親が子供に嫌われてたけど、気持ちを伝えるのが苦手なだけで悪い奴じゃなかった！系のエピソード嫌い。不器用な友達が本当は良い奴…みたいなエピソードならいいけど、親が子供のメンタルに負荷かけるレベルで「不器用」なのはわざとじゃなくても罪悪だと思う。

アメリカは娯楽が少ないから日本の人と話すと「じゃあネットカフェやるのはどう？漫画をズラーっと並べてさ、マッサージチェアとか個室も用意してー」みたいなことを言われるけど、日本の娯楽施設は人々の道徳ありきで運営されているものが多いから良いアイデアでも民度の高い日本でしか成り立たない。

どうしてそんなに薄まりたがるんだろう。同じ溶液に浸かってぐったり安心して、他人と飽和することは、そんなに心地よいものなんだろうか。

どんでん返しは小説に必ず必要だ。エンタテインメントは哲学書やノンフィクションとは違う。面白くなくては娯楽としての価値がない。人間とは、どんなに薬が苦くても文句を言わないが、ケーキが期待よりも甘くないと怒り出す生き物だ。

最初は「最悪」と思っても、時間がたって考えてみると「むしろよかったんじゃないか」って思えることばかりですからね、人生なんて。最初から「むしろよかったんじゃないか」って思えば、結構いろんなことが楽しめるもんですよ。

人間はものごとを絶対的基準で決めることはない。「体内計」などは備わっていない。他のものとの相対的優劣に注目して、そこから価値を判断する。大半の人は、自分が求めているものが何なのかわからずにいて、状況とからめたときにはじめてそれが何なのかを知る。自分がどんなスピーカーを欲しいのか、今持っているものより音のよいものを聞いて初めてわかる。どんな生き方をしたいのかさえ、他人の生き方がまさに自分のとるべき道だと思えて初めてわかる。すべてが相対的。しかし相対性は、私たちをとんでもなく惨めな気持ちにさせることもある。嫉妬やひがみは、他人と自分の境遇を比べるところから生じる。モーセの十戒では、「隣人の家、畑、男女の奴隷、牛、ロバなど、隣人のものをいっさい欲しがってはならない」とある。人間は生まれつき比較するようにできているので、十戒の中でもこの教えに従うのが一番難しい。現代社会は、この弱点をさらに浮き彫りにする。たとえば研究によれば、給料と幸福度の間にはそれほど強い相関はないのに、会社の一番の高給取り以外は、みんな自分の給料を安すぎると感じるだろう。「もっとも幸福な」人々が住んでいるのは、個人所得がもっとも高い国ではないこともわかっている。しかしながら人間は、高い給料を求めずにいられない。そのほとんどはただの嫉妬だ。実のところ、給料に対する夫の満足度は、妻の姉妹の夫より多く稼いでいるかどうかで決まる、というジョークもある。この比較ならぱっと目につくし、手っ取り早い。「ボクスターに乗りたいとは思いません。ボクスターに乗ったら、次は911に乗りたくなりますから。その911を所有する人は、フェラーリに乗りたがります」。唯一の解決策は、相対性の連鎖を断つことだ。

人間は、自分の決断が本当は直感に由来している場合、その決断が合理的に見えるように仕立てたくなる。特に重大な選択をするときは、その決断が慎重なものだと思いたいがために、必要以上に正当化を施す。

「ねえ、良心は何のためにあるんだろう。良心があったって負け組になるだけなのに」。私はこの質問に大いに面食らったが、その代わり「じゃあ、選べるとしたら、良心を持つほうを選ぶ？それともサイコパスになる？」と尋ねた。彼は「良心をもつほうを選ぶよ」と答えたが、その理由はわからないらしい。良心を持ちたいと願う心理学的な理由を見出すのは難しい。

良心は、別の生き物や集団、あるいは人類全体への感情的な愛着から生まれる義務感である。良心は、誰かとの愛着なしには存在しない。「愛」と呼ばれる一連の感情と、密接に繋がっている。

東大までの人たちは、社会に興味がない。というか、社会で成功したいという欲求は人一倍強いのに、その過程をイメージできない。「30代までに1000万欲しい」「将来は経営者になりたい」などの願望は強いが、ビジョンがまったく貧困なのだ。

ずっとやってれば、わかることがある。外野フライをとるみたいな。どうしてボールがここに落ちてくるのかって聞かれてもわからない。計算ではなく経験。ボールの初速、回転、風向き、角度、バットに当たったときの音、…落ちてくる場所を決める要素はたくさんあって、それらが複雑に絡み合っている。それらを考慮して計算しようとしても、複雑すぎて誰も正確な答えを出せない。けれども経験で「ここ」だとわかる。それと同じで、運が劇的に変わるという「場」が人生にはあって、それを捕まえることができるアンテナが全ての人間にある。そのアンテナの感度は上機嫌のときに最大になる。最高の運気がやってきているのに、不機嫌というだけで働かないから、運が逃げていく、という人もいる。

運はポイントカードと一緒で、「いい」「悪い」で表現するものではない。「使う」「貯める」である。先に「貯める」があって、ある程度たまったら「使う」ができる。周囲から「運がいい」と思われている人は、たまったから使っているだけだ。ためてもいないのに「あいつばかりずるいぞ」という人は多いが。頑張っても報われない時というのは、運がたまっている。努力してもすぐ結果が出たり、いいことが起こっている人は、貯めた運を小出しに使っているだけで、他の人より取りたてて運がよいというわけではない。

日々すれ違う人たちの中にはいろんな人がいる。それぞれ二度と出会わないかもしれないけど、すれ違うまでそれぞれの人生があって今日まで生きてきた。自分の人生に奇跡を起こす種はそこら中にある。ほとんどの人が、相手のそれまでの人生になんて興味を持たない。財布の中身を増やしてくれるかどうか、しか考えない。しかし、相手に興味を持って接点を見つけて、会話がみつかれば他人は知人に、そして友人、恩人になっていく。そのきっかけを生む方法が、上機嫌でいることだ。「不幸ばかりおこるのに上機嫌になれるわけないだろ！」って、そうじゃない。基本姿勢が不機嫌な人に、毎日の人生で起こる幸せの種を見つけることなんて、できやしない。

人間の体は、どんな仕様にも対応できるよう、最初はいろんなところが柔らかくできている。あることに興味を持って継続すると、必要な部位が成長したり、硬くなったりする。しかしそれまでの間、必ず痛みがある。痛みを経て、体はそれをするのにふさわしい仕様になる。痛みを経験して初めてスペシャリストになれる。人間が山の中をはだしで歩けないのは、そういう仕様になっていないからだ。人間が足を過保護にしている。痛みから逃れるために靴を使っている。でもそうする限り、靴がなければ生きて行けない体のままだ。

世の中は、誰かが頑張る姿からもらったエネルギーの集合体であって、結果からもらった集合体ではない。娘が受験勉強を頑張っているから、俺も頑張ろう、というようにエネルギーをもらって、大人たちが仕事をしている。娘の結果を見てエネルギーをもらっているわけではない。世の中の人はみんなそれをわかっているくせに、こと自分が努力をする段になると、「今の自分」という、ものすごく狭い世界の狭い期間でしか判断しないので、運が悪い、努力は報われないと結論してしまう。実際に自分の努力が現れるのは、普通の人が考えるよりずっと後だ。下手すると100年後…自分の周りの大切な人や、次の世代に表れることだってある。自分自分って考えすぎなのだ。自分の人生が、延々と続く命の物語のほんの一部であるということを知らないのだ。

駅って死ぬほど毎日人がおって場所によってはそこで何十人何百人と自殺しとるけど、それを知っててもみんな気にせんでいる様に見えるしそうでなくても人間同士やのに心がない様に感じられる場所でもあるし、人間が原因で病んでる時には近付かん方がええ場所なのかもしれんね。

昼間に眠っている人は寂しそうに見える。僕は夜になると我慢できないほど眠くなってしまい、悲しい思いをすることが多い。この眠さを人間から人間に輸出するシステムを、NASAが開発してくれないだろうか。

その日僕らが抜けた森は、アマゾンみたいな森ではなかった。どこまでも雑木林が続いているかんじだった。アマゾン的な森というのは、世界の果ての一歩手前にあるものなのかもしれない。

ぼくが困れば困るほど、彼らはますます楽しい。それなら、ぼくが困らなければ困らないほど、彼らはますます楽しくなくなるはずだ。ぼくがちっとも困らなければ、彼らは面白くないので、こういうことを二度としないだろう。この理論に従い、ぼくは困らないことにした。

家を出かけるとき、ぼくらは特に行先を決めない。ぼくは自分たちがどこにたどり着くのか知らない。父でさえ知らない。父がハンドルをにぎって「この道はどこに行くだろう」と呟くとき、ぼくはそのアスファルトの道路が、父でさえ見たことのない世界の果てまで通じているように感じる。しかし、実際に果てに到着したことはない。ぼくらは知らない街に到着し、その街の喫茶店で一休みして、帰ってくるだけなのだ。

ぼくがもっと何も知らなくて、わがままで、甘えん坊であった時代、ぼくも妹と同じように、大事な人たちが実はみんないつか死んでしまって会えなくなるという事実に気づいて、本当にびっくりしたことがあった。ぼくはもちろん生き物がいつか死ぬことは知っていたけれども、そのことが本当の本当に自分に関係あるものだという気がしなかったのだ。どんなに運が良くても、どんなに嫌だと思っても、絶対にそれから逃げられないのだという事実に気づいたとき、真っ黒の大きな壁がぐいぐい迫ってくるような気がした。

とにかくよ、仲間が燃やされて、他のホームレスが怒っちまったんだ。あいつらだってやるときはやるからな。希望は持ってるってわけだ。ホームレスっても、ホープレスじゃねえだろ。

隣のテントに住む中年男が以前怒鳴っていた。俺たちはさ、暮らしているんじゃなくて、ただ生きているだけだから。区役所の担当者に対するその抗議はそれなりに説得力があった。

不安になったり、怒ったりするのは動物的だけど、原因を追求したり、打開策を見つけようとしたり、くよくよ悩んだりするのは、絶対人間特有のものだと思うよ。動物に「どうして生き残ったんですか」って尋ねてみてよ。絶対に「たまたまこうなっただけ」って答えるから。

玄関の三和土にはいったとたん、癖のあるチーズの香りが鼻を突いた。チーズとクリームの独特の臭さだ。豊潤さや不穏さが漂う。自然なものは腐る、という当たり前のことに気づかせてくれる。汗や唾液にも近く、大げさにいえば、生命力を感じさせた。

手っ取り早く自由になる唯一の方法は、親を殺害することだ。ある小説にそう書いてあった。今は違う。世界から自由になるには、携帯電話を切ればいい。単純でひどくくだらない。

本当に大事なことは、小声でも届くものだ。大声で怒鳴る政治家の言うことなど誰もきかない。本当に困っている人間は大声を出せない。

世の中の不幸の大半は、誰かがたかをくくっていたことが原因なのだ。

ゼリー状の憂鬱とでもいうべき、暗澹たるものが胸の中に広がり始めた。黒い感情が心の内側に充満する。湿って粘着性のあるものにも、乾燥して水分がないひからびた思いにも感じられた。

神に何かをしてもらえた人間がどこにいるんだ。神はおろか、他人はおろか、自分自身にさえ何もしてもらえないのが現実ではないか。その当たり前のことに気づいたとたん、人は自ら死にたくなるのかもしれない。人はただ生きていて、目的はない。死んでいるように見えて生きているのが通常なのだ。その事実を知って、死を決断する。

しじみと人間のどっちが偉いのだろうか。しじみである。人間の知恵や科学は、人間のためにしか役に立たない。人間がいてくれてよかった、なんて人間以外誰も思ってはいないのだ。

世の中に酷くないことってないでしょ？生まれた時から、死ぬのが決まってるというのがすでにひどいんだから。

この国では一年間に何千人もの人間が交通事故で死んでいる。テロリストだってそんなには殺さない。それなのに、車に乗るのはやめよう、とは誰も言いださない。結局、人の命なんて二の次なんだ。大事なのは利便性だ。命より利便性だ。

このあいだ知り合った酔っぱらいジジイ「あと１０年も生きねえから、キャッシュカードリボ払いにしたよ！　家族もいねえからな！　逃げ切りだよ！」。いい人生送ってやがるな……

ファクトフルネスとかいう本、自力で情報を取りに行って検証する能力のない人々に対しては適度に世界についての認識を広げてくれるとてもいい本だと思うのでそういう人々はこの本を神棚に飾るくらい大事にしたほうがいいと嘘偽りなく考えています。

海外をちょっと長く旅をしたり住んでみたりして、その国に「妙な愛国心」を持ってしまう人をこれまでの人生で沢山見てきた。自分もそうかもしれない。で、これめっちゃ危険なんですよ。マイナーな国だと余計に深みに。アイデンティティになってしまうんですよね。簡単に「特別」になれてしまう甘み。そしてその「特別」を否定出来なくなる。現地民よりずっと深い深い深い「愛国心」を持つように。それがそのまま自分のアイデンティティだから。何もわかってないからこそ、血肉を分けていないからこそ、根を張っていないからこその、ただひたすら都合の良い、自分のためだけの「愛国心」。

私は結構な年月を海外で生きて来て、先進国にも最貧国にも住んだ。その中で、多くの玄人パッカーみたいな人たちがリスクに巻き込まれたのを見てきた。その皆が皆こう思ってたんです。「自分は違う」って。でもリスクは確率の問題であり、高リスクに身を浸していればいつか当たる、それだけです。

いままで変な勧誘とか販売に「すみませんこの家の者じゃないのでわからないです」って言って逃げきってきたけど、今日ようやく「え...ではこの家とあなたはどういう関係が...？」って突っ込んでくれる訪問販売員が来た。

国宝が失われるっていうと「？」になるので、刀が錆び鎧はカビますみたいに言わないと官僚の皆さん理解できん気がする

ガシマンってすごい単語だな。擬音語と名詞が結びついていて。おれも今度からシコチンとか呼んでいこうかな

人は人を○す時に、距離が離れるほど抵抗が少なくなるそうで。そりゃそうだよなと思う。でも確か、遠隔ドローンでモニター見ながら爆撃のコントロールをやってる人はメンタル壊す人が多くて大変って話を聞いたことがあるので、物理的な距離ではなくて、認識の距離が大事なんだろうな

「小鳥さんはね、お墓をつくって埋めてあげよう。ほら、みんなも泣いてるよ。お友達が死んじゃって寂しいね」「なんで？せっかく死んでるのに」私の疑問に母は絶句した。私は、父と母と妹が、喜んで小鳥を食べているところしか想像できなかった。公園にはいっぱいいるからたくさんとって帰ればいいのに、なんで食べないで埋めてしまうのか、私にはわからなかった。

母は懸命にお墓を作ったが、私には理解できなかった。みんな口をそろえて小鳥がかわいそうだと言いながら、泣きじゃくってその辺の花の茎を引きちぎって殺している。「きれいな花。きっと小鳥さんも喜ぶよ」などと言っている光景が頭がおかしいように思えた。

大学生、バンドの男の子、フリーター、主婦、夜間学校の学生、いろんな人が同じ制服を着て、均一な「店員」という生き物に作り直されていくのが面白かった。その日の研修が終わると、みんな、制服を脱いでもとに戻った。他の生き物に着替えているようにも感じられた。

「いらっしゃいませ！」私はさっきと同じトーンで声を張り上げて会釈し、かごを受け取った。その時私は初めて、世界の部品になることができたのだった。私は今、自分が生まれたと思った。世界の正常な部品としての渡しが、この日、確かに誕生したのだった。

私の喋り方も、誰かに伝染しているのかもしれない。こうして伝染し合いながら、私たちは人間であることを保ち続けているのだと思う。

彼らの表情を見て、ああ、私はいま、上手に「人間」できているんだなあと安堵する。この安堵を、コンビニエンスストアという場所で何度繰り返しただろうか。

性経験はないものの、自分のセクシャリティを特に意識したこともない私は、性に無頓着なだけで特に悩んだことはなかった。が、みんな、私が苦しんでいることを前提に話をどんどん進めている。たとえ本当にそうだとしても、みながいうようなわかりやすい形の苦悩とは限らないのに、誰もそこまで考えようとしない。そのほうが自分たちにとってわかりやすいからそういうことにしたい、と言われている気がした。

コンビニでは、働くメンバーの一員であることが何よりも大切にされていて、こんなに複雑ではない。性別も年齢も国籍も関係なく、同じ制服を身につければ全員が「店員」という均等な存在だ。

みんな、変なものには土足で踏み入って、その原因を解明する権利があると思っている。私にはそれが迷惑だったし、傲慢で鬱陶しかった。あんまり邪魔だと思うと小学校のときのように、相手をスコップで殴って止めてしまいたくなる。

コンビニで働いていると、そこで働いているということを見下されることが、よくある。興味深いので私は見下している人の顔を見るのが好きだった。あ、人間だという感じがするのだ。何かを見下している人は、特に目の形が面白くなる。そこに、反論に対する怯えや警戒、反発してくるなら受けてたってやるぞという好戦的な光が宿っている場合もあれば、無意識に見下しているときは、優越感の混ざった恍惚とした快楽でできた液体に目玉が浸り、膜がはっている場合もある。

差別する人には私から見ると二種類あって、差別への衝動や欲望を内部に持つ人と、どこかで聞いたことを受け売りして、何も考えずに差別用語を連発しているだけの人だ。

「金がある相手がいい。僕にはネット企業のアイデアがあるんだ。それに投資してくれる相手が最高だ。僕のアイデアは必ず成功するし、そうしたら誰も僕に文句をつけられない」「え、自分の人生に干渉してくる人たちを嫌っているのに、わざわざ、その人たちに文句を言われないために生き方を選ぶんですか？」それは結局、世界を全面的に需要することなのでは、と不思議に思った。

さっきまで文句をつけられて腹を立てていたのに、自分を苦しめているのと同じ価値観の理屈で私に文句を垂れ流す彼は支離滅裂だと思ったが、自分の人生を強姦されていると思っている人は、他人の人生を同じように攻撃すると、少し気がはれるのかもしれなかった。

普通の人間っていうのはね、普通じゃない人間を裁判するのが趣味なんですよ。

たとえばこの若さ、新鮮な肉体。やがて消えゆくお金で買えない宝物の一つ。私は大人になってから、あるいは近い将来に、今のこの時間を無駄遣いだったと悔やむんだろうか。あの五月の時の渡し、受験生になったとたんに登校拒否してさらに自宅勉強もせず、何やってたかというとこんなふうにゴミ捨て場に転がり異端児気取りで、くそっと思うのだろうか。

まだお酒も飲めない車も乗れない、ついでにセックスも体験していない処女の17歳の心に巣食う、この何者にもなれないという枯れた悟りは何だというのだろう。歌手になりたいわけじゃない作家になりたいわけじゃない、でも中学生の頃には確実に両手に握りしめることができた私のあらゆる可能性の芽が、気づいたらごそっと減っていて、このまま小さくまとまった人生を送るのかもしれないと思うとどうにも苦しい。もう17歳だと焦る気持ちと、まだ17歳だと安心する気持ちが交差する。

マンションの全11階もの廊下に隙間なくついている黄色い蛍光灯が、まもなく訪れる夜の闇に備えて流れる雲の下ですでにこうこうと光っていた。

だって今の私には明日の学校に備えて早く寝る必要がない。つまり、こういうのを自由というのだろうか。明日の予定がないため夜を境として一日一日を区切っていく必要がなく、明日が今日の延長線上にあることを実感できるこの生活は、自由？

大学生の男が自分の意思でここから落ちた。春を、越せなかった。その大学生も最後に掴んだであろう肩までの高さのコンクリートから大きく身を乗り出してみたら、恐怖で一気に力が萎えた。死んだ学生はこの本能の怯えを我慢できるぐらいには現実に怯えていたのだと思うと、私なんか全然だ。と真面目な気持ちで思った。

マンションのいいところ。それは、この建物には幾百の別々のドアがあり、そのドアのそれぞれの奥には別々の人間が住んでいるのにもかかわらず、こんな風にマンション全体でにぎやかになったり、光ったりやわらいだりと潮の満ち引きをするところだと思う。マンションは一つの大きな生命体だ。同じ波のリズムが、誰も気づかないうちにここに住む人全員に浸透している。

抗議の電話に対して『申し訳ございません』でも『重々承知しております』でもなく『覚悟しております』の男気ほんと好き

ヤバい人になろうとしている父「父さんな、仕事辞めて、会社には行き続けようと思うんだ」

茄子大好きなんだけど心のどこかで茄子に対して「お前じゃなくてお前が吸った汁が美味いんだからな？」という気持ちがある。

モンゴルにもファクトチェックセンターがあって、ネット上のデマ情報を検証していた。「ちゃんと国家してるじゃん」という新鮮な驚きがある。失礼だけど。

ツイッターは「こいつらは分かってないけど俺は分かってる」と思ってる連中の集合体。

「筋肉は全てを解決する」とか言ってる人間がいますが、ゴリゴリのマッチョが鬱病で入院してきました。現場からは以上です。

ホームセンターの農具売り場に「隣の畑に差をつけろ！」て書かれてて笑ってしまった

久しぶりにTwitter覗いたら、死にたくなるくらい暗い未来のことしか想像できない言葉とか仮説とか陰謀論とかで溢れていた。

会社の飲み会でスベった後、「これ労災おりますか？」と言うとウケます。

人工知能の歴史を振り返ると、チェスボットみたいに「実現すると人工知能とは言われなくなる」法則がある。そして意味理解しないChatGPTが人類社会によくフィットすることがわかったので「人間に知能なんてないのでは」という認識がひろまってきた。これは大きな進歩だよ。自意識って内観しかできないから、認知が合わせ鏡みたいになって神秘的に感じてしまうんではなかろうか。脳その他のニューラルネットと身体から伝達されてくる欲求が絡み合ってるだけなのに。そういえば脳科学者？がしきりに言ってた「クオリア」って、なんらかの知見をもたらしたんだろうか。人を煙に巻いただけだったような。「中国語の部屋」の議論も無意味だと思うんだけど、「人間に知能なんかない」説も同じ道筋で虚無的になりがちかな。こうして語っている以上、もちろん知能はあるわけで。ミクロに見ると単純な機械なのに、大きな組織になると知能がもやもやと出現する。知能もAIも物量の問題を無視できない。

平沢さんがすごい普遍的で逆にこの世界のお茶の間で流れてる曲たちが異常だと判別される世界線にいってみたい

Twitter Blueに課金するくらいならYouTube Premiumに課金しろ。2年近く課金しているけど、「YouTube広告あるあるについていけない」以外のデメリットが存在しない

民主主義はプロセスであって、結果ではない。「安倍政権は民主主義ではない」とか言葉の使い方がむちゃくちゃ。安倍さんが嫌なら、言論で多数派をひっくり返せ。その努力の過程が民主主義だ。安倍さんを殺して「これが民主主義だ」って、おまえらは馬鹿か。

失われた30年とか言うけど、30年も続いたらもう”それ”が日本ってことでは？と思う。「失われた」言説の前提として、日本はもっと行けたはずなんだ…というアレがあるはずなんだけど、ぼちぼちその根拠自体怪しくなってきてるよな

「誰かに迷惑をかけられたら、普通は『失礼ですがやめて頂けますか』っていうけど、相手が大男だったら殴られるかもしれないから言わない」みたいなの、そういうビビリ根性は多くの人にあるだろう、私にもあるけど、それを正しい価値観として肯定したくはないね。

ローソンのウインナー300円弁当とかも俺は子供や若年層の食文化を貧しくさせるとずっと批判してるんだけど、やっぱ「こーいうのでいいんだよこういうので」の声の方が大きいんだよなあ。

小さい頃、ウィンカーつけた方向に勝手に車が曲がると思ってた、みたいな類のかわいい勘違いを世界スケールで集めてだれか展示しろ。おれが見に行く。

ひと昔？ふた昔くらい前までは、ちょっともうボケてきた老人をテレビ出してクイズ答えさせて笑う、という残酷な番組があったけど、あれによって、みんな歳とるとああなるんや、、という無力さも教わった気はする。核家族なら尚更、無責任に延命治療を望む親戚にも高齢者の実態がわかる方が良い。

これ8兆回言ってるけど、一人旅ってのは成長とか学びとか自己投資とかそんな高尚なものではなく、自分のしたい事だけを自分が満足するまで、ただただ誰にも邪魔されずに心から満喫する、自分勝手の塊みたいな行為なんだなこれが。

交通課の警官と話する機会があって最近の煽り運転動画とかヤバいですよねと聞いたら「あの系統は運良く事故と摘発を免れて来たいわば違反のエリートなので100%マトモな理屈は通じないと思って下さい」と言ってた。実際に取締りしていても会話が成立しないらしい

「水素水が似非科学なことくらい高校化学くらい学んでいれば分かるだろ」という声も聞くが、そこは怪しいと思う。「ニトログリセリンが一部の心臓疾患に効果がある」と初めて聞いたなら、「んなアホなｗ爆薬やぞｗｗ似非科学もここまで来たかｗｗｗ」と言わない自信はない。

餅付いてたら警察来た。なんか近所で発砲してるっつって通報あったらしい。力抑えねぇと。住み辛れぇ。

やたら厳しい書道家「こんな字、まだＭＳ ゴシックを見てる方が有意義だよ」

5歳の娘がタイツのことを「終わりのないズボン」と言っててウケた

カニクリームコロッケ、蟹も果肉も肉も栗もクリームも殺もコロッケも入ってるから凄い

うーん、静かだ。廊下から見渡せる平和な天上界と下界は今、私たちを見話してぐんと遠くになってしまった。ただ雲だけがうすい青空の中を流れ、その淡い影が女の人の白いカーディガンや白い顔の上を滑っていく。その空間の広さに私は押しつぶされてしまいそうだ。私を含むクラスメイトは教室で毎日これだけの空間をたわいないおしゃべりで埋めることに成功しているのだから、すごい。しかも、それに気づいていないふりして安心を成り立たせているのだから、けなげである。

高倉健のようなプラスの不器用さではなく、彼のような、相手の人間を思わずのけぞらせるほどの異様な一途さをぶつけてくるマイナスの不器用さを持った人は、実際迷惑だ。怖い。よくクラスのみんなは、自分をかわいく見せるために不器用なふりをしてドジっ子を装う娘たちをぶりっこと呼んで嫌うが、この本物の不器用よりは作られた不器用のほうがマシだと思う。媚びの武器としての不器用は軽い笑いを誘うぐらいだけど、本当の不器用は、愛嬌がなく、みじめに泥臭く、見ている人間をぎゅっと真面目にさせるから。

会話の内容に感じるというより、自分が今やっていることの不健康さに感じてしまうのだ。

エッチの知識が増えていくと、その幅広さには何もかなわないって思いますね。闇の部分を知ることによって漠然と怖かったものが減って、世の中が狭く浅くなっていく。

むなしいわけじゃないけど、毎日たくさんの人と流れるようにチャットして、どんどん無感覚になって、それで突然こういう風に流れを止める人に会うと、ああ、僕って人間を相手にしてたって気づいてしまいますよね、それに戸惑ってしまいますよね。

何が変わった？何も変わらない、私はいまだ無個性のろくでなし。ただ、いま私は人に会いたいと感じている。昔からの私を知っていて、そしてすぐに行き過ぎてしまわない、生身の人間にたくさん出会って、その人たちを大事にしたいと思った。忘れていた真面目な本能が体の奥でくすぶっていた。

ものを撒くと人の心には芽が出るんだ。喜びと警戒で頭を重くした双葉がね。それでその双葉の鉢を抱えて人は俺と喋るわけだけど、両手のふさがった奴なんかに俺が負けるわけないのさ。

人の死には意味がなく、価値もない。逆に、誰の死も等価値ということになる。だから私には、どの人間がいつ死のうが関係がなかった。

彼女が私をにらんだ。人間は実に疑り深い。自分だけ馬鹿を見ることを恐れていて、そのくせ騙されやすく、ほとほと救いようがない。

どうせ来週には死んでしまう相手なのだから、短い間だけでも幸せな思いをさせてあげよう、といろいろな演出をするものもいるが、私にはその趣味はない。これから切ろうとしている髪の毛に「せっかくだから」と装飾をほどこすのと同じだ。

理由はわからないが、ミュージックとカラオケの間には越えがたい深い溝があるのではないだろうか。どちらが優れているという問題ではなく、私はその溝のこちら側しか楽しめず、向こう側には近寄らないほうがいい。

私はこの、渋滞というものが、ミュージックとは対極の、人間の発明したもっとも不要で、醜いものだと確信している。なぜこれをなくさないのか、不思議でならない。

私に「この香草焼きって苦手なんです。食べてくれませんか」とささやいてきたのだった。その言い方は丁寧な依頼のようで、裏側には、自分の頼みごとが断られるわけがない、という確信じみたものも隠れていて、私は好ましくは感じなかった。

「あー」と彼は間延びした声を出した。人間が、自分の思考を整頓する際によく発する、空洞を風が抜けるかのような音だ。

誤りと嘘にたいした違いはない。五時に来るといってこないのはトリックだ。微妙な嘘というのは、ほとんど誤りに近い。

人が生きているうちの大半は、人生じゃなくてただの時間だ。

「すげえこと言ってやろうか。あんなにたくさん人がいるのに、あの中に人を殺したことのあるやつは一人もいないんだぜ。すげえだろ？」「俺がもっとすごいことを教えてやる。あんなにたくさんの人がいて、人間のことで悩んでいる奴は、たぶん一人もいない。自分のことで悩んでいるだけだ」

疲れた人間を相手にすることほど、疲れることはない。

「俺が何したっていうんだよ」そうこぼした彼の声には、不愉快さや不安さというより、寂しさが充満していた。雨のしずくに濡れながらも、その上にある暗い空を丸ごと背負っているかのような、落胆をにじませていた。

「生きていると何が起こるか、本当にわからないからね」老女がしみじみと、けれど重々しさはなく、言った。「一喜一憂していても仕方がない。棺桶の釘を打たれるまで、何が起こるかなんてわからない」。

死は全然特別じゃない、でも、大事なことだ。太陽が空にあるのは当たり前のことで、特別なものではない。でも太陽は大事。死ぬことも同じ。特別じゃないけど、周りの人にとっては、悲しいし大事なこと。

巨大な建築は人間を矮小化する。たとえそれが空港のような公共的な場所であっても。そのにおいを完全に拭うには、ぞっとするような「やさしさ」に関するテクノロジーが大量動員されている。そして、よってたかって権力臭を消そうとするその手つきが、私にはかなり気味が悪い。

「今はフィルタのおかげで、事前に見てしまうことへの警告があるからそもそも誰も見てくれないし、芸術家自身、そんな悪趣味なアイデアを思いつけない。昔の人の想像力が、私はとってもうらやましいんだ。誰かを傷つける可能性を、常に秘めていたから。誰かを悲しませて、誰かに嫌悪を催させることができたから」

日本人が医学的に均質化された光景の異様さを、今私は味わわされている。座席に座る人間ときたら、マネキンAとマネキンBの違いしかない。定められた目標が極端で融通がきかないほど、弱い人間はそれを守りたがる。人間というのは、欲望と意志の間で針を極端に振ることしかできない、できそこないのメーターだ。意志なんて、たんに脊椎動物が実装しやすい形質だったから、脳みそに未だに居座っているだけなのに。

こうして歴史が伸びれば伸びるほど、学期内という物量的な限界のために、多くの歴史がどんどん圧縮されていく。1000年後の歴史の授業を想像したら、私たちなんて1分扱われればいいほう。これほど何もない時代はすっ飛ばされてもしょうがない。ユダヤ人虐殺は、まだ授業配分で二分程度は持ちこたえている。

「どーせ被弾すれば終わりっしょ！」って言って全裸で戦争に行く真の陽キャ

9.98 みたいな数字が有効数字とかの関係で 10 になると「2コンボだ」と思う

店長「お前が万引きしたんだろ！え！？」

ギリ認めてる人「百引きですよ。たったの」

工学部博士課程の彼氏、一緒にロボットアニメを見ていると、特に盛り上がりのないところで急に頭を抱えて「そんなところに突起が生えてたら可動部がめちゃくちゃ制限されちゃうでしょうが」と謎の感情の昂りを見せる

昔友達が飲んでる最中「手相見せて」って言ってたから見てもらったんだけど、別の飲みの時その子がもっかい「手相見せて」って言ってきて、言われるがまま見せたら「いや待って…この『手相』は『見たことがある』…やめた、『もう見た』手相は『つまらない』…」ってスタンド使いみたいなことを。ちなみに手相がどうだったかについてだけど、酒飲んでる最中に見てもらったのに内容覚えてるわけないんだよな。だけどその子「『一度』見た手相を『二度』見ることはない…」となんか複雑なルールのスタンド使いみたいなことを言ってたので、もう私の手相がどうだったのかは永遠に分からん。

お前の頭の中のおれに現実のおれが合わせてくれるなんていう事態は起こるほうがよっぽどおかしいんだけど、言ってる話を正確に読み取らなくて命中確率の限りなくゼロに近い挑む必要もない「相手の本質」当てゲームに挑んでは案の定失敗していく人とか思い当たるでしょ皆さん。Twitterだといっぱいいるしな、文章読まずに文脈読んで勝手に自爆して発狂する人。だいたい無意味に勝ち負けに頭が行くから、相手が何を言っているのか、よりも自分の頭の中からこれだ！（これではない）と思えるもので総括して「誰がいつそんなこと言ったんですか」で一発で沈むやつ

古文漢文じゃなくて「死語」っていう科目にしてほしい

ワシは常日頃から言ってますよね。人々からお金を集めて再配布する仕組みは、必ず腐敗するって。だから税金はクソだし、共同募金みたいなものもクソなんですよ。はじまりは善意であったとしても、悪意ある人間からすれば、そこにストローブッ刺すのは効率が良いし、批判されても綺麗事の盾を使えるンだわ

カラオケで素面でクリスマスソング歌って感情移入しすぎて号泣する後輩めちゃくちゃかわいくない？ わたしに理性と倫理観がなかったらお持ち帰りして床下とかに埋めてた

こないだ奢りにきた家なし少女が「セックスさせてあげることでしか、人に仲良くなってもらえたことがない」「だから、セックスしないで一緒にいてくれる人は、なにかウラがあるんじゃないか、と思ってしまいこわい」と言っていて、『持って生まれたひとつの性質に需要がありすぎる』という地獄をみた。

創作物で軍人の意味で軍属って言葉が「誤用」されてるのにイラつくの、単に「誤用」だからでなくて大抵別にただ軍人っていやあいいのにちょっと洒落た言い方しようとしてずっこけてるようなケースが多いように見受けられるからという気もするんだよな。

僕は京都大学を出たけれど、京都大学を出なくても生きられる生き方をしているよ

行ってよかったし、今に活きてもいるのだけれど、なんだろう、最終的にやりたいこと・やることを自分で選び取るタイミングは、受験よりもっとずっと後にやって来たよ。やりたいこと・やれること・好くこと・選ぶことなどは、何でもよいし、別に後から辻褄を合わせていけるよ。試験は一つの分かれ道でしかなくて、人生全体の幸福や成功がかかっているわけでもなく、分岐のサイコロ振ってるだけだったりするから、どうか心と体を軽めに。実はその方が点数も出るしな

ちょっと前までは「日本の人件費は高すぎる！世界で勝てない！」て経営者が言ってたけど人件費だださがっても結局世界で勝ててないのでおまえらてきとういうなよと

「ブスのことをブスというな」なのか「他人に対してブスとか美人とか言うな」なのかで全然違ってくる。後者なら一貫性があっていいと思うけど、前者は「ブスというな」って言っちゃってる時点で、その人がブスであることは認める形になってしまっているので。

ブロック機能を覚えさせるための公式のチュートリアル用アカウントだと思っとったわ。マリオの最初のクリボーみたいなやつ。元々見えないので何の問題もない

悪口なんだけど普通の人に見えるように演技してるって言ってる腐女子で普通に見える人いなくない？全然腐女子に見える

雇用条件に大卒を求めるのに、子供を大学に行かせるだけの給与を払わない企業って焼畑農業感あるよね

30歳を過ぎてよかったなと思うことは、あんなに苦しかったはずの10代のときの悩みを何一つ覚えていなくて、ずっと抱えて生きていくんだろうと覚悟していた20代のときの悩みがどうでもよくなってて、きっと今の悩みも40代になればどうにかなってるんだろうなとこれまでの経験則から想像できるところ

コンビニのバイトでペアのおばさんが「コンパスって置いてますか？」とお客さんに聞かれていて、冷静に考えるとどっちの方もないから「ないですね」で済む話だけど突然すぎて焦ったのか「円を描く方ですか…？それとも…道標(みちしるべ)の方の…？」とちょっとカッコいい言い方をしていてうるさかった

事業部おじさん2人が「僕たち2人あわせたらTOEICのスコア700くらいあるので何とかなると思う！」と言い残して、海外出張に旅立った。

自分達が老人になったときの心配じゃなくて、子供達が大人になったときの心配してんだよ、こっちは。

キッチンから突然「電池が消耗しています。交換してください」って音声が聞こえたんだけど、それを言ったのが湯沸かし器なのかガス台なのか炊飯器なのかオーブンなのか報知器なのかアレクサなのかインターホンなのか分からないので、そろそろ家電は話す前に名乗ってほしい。

東博の件で改めて思ったのは世間からすれば文化財を保管するのに光熱費がかかることにピンと来てないということ。文化財保存の説明として俺がよく言う理解しやすいのは、「袋から出したせんべいを湿気らず、カビも生えず、虫にも食われないように100年後まで残すようなこと」というもの。

ドラえもんは規制されないだの、しずかちゃんの風呂シーンは問題だの、高橋留美子は良いだの、萌え絵はエロコンテンツだの、その時その時で都合よく線引きを変え、発した言葉に何の責任も取らず、自分の感覚的正しさという快楽のために他人を踏みつけるような人間がハマるのが善意の全体主義なのか？

「うまくいえないのだけど、、、」と前置きすると「1番下手な言い方で言ってみて」と言ってくれる友人がいる。

Qアノンとかが自分たちだけのSNS作っても、「攻撃対象がいない」から不人気と言うし、「人間嫌い」で人間を攻撃するのが好きなタイプはインターネットにいるし、「人間に興味がない」タイプがインターネットにいないんだと思う。

ホームレス体験を本にしたルポライターが路上も公園も結局集団生活なので秩序を乱す者は弾き出されていくとTVで話してた。上野では朝になっても寝てると他のホームレスに起こされる、お前がルール守らないと俺らが困ると。ホームレスは思うほど自由ではないし、どこに行っても「社会」はついて回る。昔、通勤で通り過ぎる公園にホームレスが段ボールハウス作ってて。あるピカピカの晴天の日、ハウスは解体して日に当て、お布団や洗ったタオル干してみんなで公園を清掃していた。私は朝食の茶碗洗い桶に放り込んでベッドも整えず家を出てきてたから、密かに恥ずかしく思いました

人が死ねば死ぬほど兵はひけなくなります。リーダーは決して死者を見捨てることが許されないからです。この「死者への負債」はあらゆる時代に起きています。犠牲者に背を向け「我々は間違っていた」とは言えないのです。

日本人の知識人は大きな錯誤をおかしたといえましょう。太平洋戦争において日本だけが非道徳的な行為をしたと思いこんだ。そして、それを最後に、自分たちだけの反省によって、世界中の国家が道徳的になりうると思いこんだ

バンドマンと付き合うと曲にされる。博士課程と付き合うとD論の謝辞に書かれる。バーテンダーと付き合うと客寄せパンダにされる。

「地鶏、すぐ消す」と言ってこの世から鶏を絶滅させた女

優秀で攻撃的な人がリーダーとなって作るチームって基本的いい言い方でトップダウンで悪い言い方だと独裁型なんだよね。この手のリーダーさんはメンバーを信頼している風なんだけど実際はリーダーが想定するメンバーへの期待値は”自分が言った事が出来る事”なんだよね。上振れは基本期待してない。そしてポイントはその期待値である”自分が言った事”は彼ら的にはその人でもこれならできるだろうという余裕をもったものなんですよね。なのでこの手のリーダー的には出来て当たり前だと思ってる。だって彼ら的にはチャレンジ的な要素はほぼ消しているから。攻撃的な人でリーダーになる人って自分の攻撃性を認識はしているのでこのような形でメンバーが失敗しないドライブをしようとするんですよね。失敗しなければ賞賛で済む。自分の攻撃性を出す可能性は極力排除できる。そういう観点では当人達からすると非常にチームのメンバーをケアしているつもり。それで稼働出来ている時はいいんですよね。チームメンバーは失敗しないので期待出力をする。ただリーダーの想定する以上はでないけど。でもこれ実はリーダーさんが非常にマイクロマネージに入ってるんですよね。非常にメンバーの能力値に合わせた準備を時間をかけてしてる。でも、これ基本的にこの手のリーダーさんはメンバーの上振れを期待していないので、リーダーの疲弊度とチームの出力が直結するんですよね。そしてリーダーの疲弊度が増してメンバーに対してのこまめな準備期間が減るとメンバーの出力が期待値に届かないケースが出てくる。上手くメンバーがうまく稼働できない時にこの攻撃的なリーダーは対応がドライになるんですよね。一番ありがちなのがドンドン期待値を下げていく。問題はリーダーさんの疲弊度と当人も分かっているので準備しきれない仕事は期待値に届かないメンバーにはお願いできない。だって出来ないはずだから。そうするとその歪みの作業は全部リーダーに上乗せされる。この手のリーダーさん優秀だし時間もかけて仕事もするけどその限界を超え始める。そうするとリーダーさんも人間なので攻撃性がでちゃうんですよね。抑えているのは見えるんだけどそれでも滲み出ちゃう。この手のチーム構成だとこの状態に入ったリーダーさんに対してチーム内で調停やフォローする事が難しいんですよね。リーダーさんが誰よりも頑張ってるのも知っているし、能力の高いのも知ってるから反論しても負けると分かっているから誰も何も言わないというか言えない。そしてもう1点あって大きいのが”どうせフォローしようにも求められていないし、助けられることもない”とメンバーが思ってしまっている事。要はチームのように見えて実体はチームでもないんでもないんですよね。リーダーはチームだと思っているけど実際は指示者と作業者の関係しか構築できていない。リーダーさんも実に自身の攻撃性を出さないようによかれと思っているけど、自身の攻撃性を出さないようにする為にした結果は非常にドライな関係になっている。こういう場合チームの立て直しが難しいんだよなぁ。この手のリーダーさん観点でいうとツーカーで意見ができる右腕を欲しがるんですよね。でもこの手の人の求める右腕ってリーダーも出来るくらいの人が多いので、このドライブ方法で接しられると基本反発するんですよね。権限の委譲も信頼もないと反発する。チーム内で水と油みたいになる。そしてリーダーは”あの人は扱いづらい”となる。正直どちらも正しいのでどっちにも肩入れできない。理想的にはリーダーさんの意識変化が欲しいんですよね。攻撃性を出さないように成果が出やすい形って言うのは短期的にはいいけど長期的には維持できないので、攻撃的対応はなくならないとは思うので、そこではなくて仕事を任せて結果を許容する、忍耐ではなくいい意味での割り切りを覚えて欲しい。忍耐の限界に攻撃的言動があるとして、忍耐の許容度を増やすのは問題の短期的な解決にしかならない。なので忍耐の袋に小さい穴をあけて欲しいんですよ。それが飲み会や知り合いへの愚痴でも趣味でも仕事への割り切りでもいい。攻撃的言動でしか忍耐の袋の体積を減らせない状況を改善し欲しい訳です。そうしないと何時まで経っても個人単独の成果でしか勝負できない人になっちゃう。リーダーとかも書いた通り支持者と作業者の関係しか作れなくなっちゃう。もう1段上の成果を出す為に思考改善をお願いしたいんだけど…上手く言って引き上げられる自信がないよなぁと思う今日この頃です。リーダーの意識改革と一緒に成果の質が一時的に下がっても移譲をよしとする方針が必要って意見があったんだけど、これホントその通りなんですよね。それがあって自己改善がないと上手くいかない案件。ただこれもまた難しいんですよね。この手のリーダーさんは優秀でさっきも書いたように理想状態だと出力がでるので、短期的に見るとリーダーさんの理想状態より出力は確実に減るこの指示は周りからの評価を気にする人だと、周りが許容しても当人がプライド的に許容できない事があるんですよね。”いや自分回せますので問題ないです”と。じゃあ当人が疲弊して回ってない時にやるのがいいのかというとこれも人によっては自分の能力限界と判断されたと思う。要は当人自身がよくやる”成果がでないから期待値を下げる”というアクションを自分にされたと思っちゃう。そんな事ないんだけど誤解する人もいる。とても難しい。胃が痛い問題です。そしてそれをするのがマネージャーの仕事でしょと言われると”そうです、その通りです”なんだけど。次への改善策は上手くいけばいいけど上手くいかなかったら折角今までは結果でてたのにフォームを変えたら不振で引退のプロ選手みたいになる可能性もある訳で。やればいいという訳でもないのが悩ましい。

「スベってる」を演出するために「しーーん」って言いだす小学生のあの「むかつく」感はいったいどこで学んでくるのか。公文式？

日本語ツイッター空間をエゴサして「マスク　面倒くさい」「マスク　外したい」「マスク　必要」「マスク　かわいい」などのサジェストに一喜一憂するイーロン

時勢的に最近はやりづらくなったけどまたみんなで渋谷スクランブル交差点に猟犬を放ちたいね。

高学歴の子を持つ高学歴の親が「うちは何もやってない」と言いながら「図書館か！」ってくらい本や図鑑を自宅に揃えていて、家族の話題は世界情勢や科学ネタが中心というのは私の周りでも珍しくないんだけど、スポーツエリートに育った子を持つ元アスリートや指導者の親もまたそんなところがあって、赤ちゃんの頃から職場(=体育館やグラウンド)に同行させて好きなだけ運動三昧とか、遊び相手がプロの現役アスリートとか、公園遊びが気づいたらガチのパス練になってるとか、「ちょっと散歩に行ってきた」が実際は高尾山登山だったとか、そりゃ、スポーツ万能に育つよね、みたいな…

「誰も不快にしないキャラ」とか言うの、創作やったことないどころか創作にリスペクト払ってすらいない奴しか言ってるの見たことないんだよな

今朝のこと。三男が癇癪おこして唐揚げを床に投げつけた。それを次男が秒で拾って｢この唐揚げは今死んだから墓に埋めよう｣って言い出して庭に『唐揚げの墓』こしらえに行った。もう誰にどんな言葉をかけていいかわからない。

世界ふしぎ発見でパプアニューギニアのダニ族を取材したとき、コテカ一丁の原住民たちは文化だからってモザイクなしだったのにミステリーハンターの男がコテカ着けたときは股間にモザイク入れてたのよ。民族文化が違えどちんこはちんこなのにな。女はおっぱい丸出しで男はコテカ一丁で金玉見えてる裸族。この人たちにとってはこれが文化だからモザイクしない、というのは果たして差別か否か。

この前の医者になれないからって人刺したアホも、塾頑張れなくて人刺したガキも、自分の望みが叶わないからって自分の人生が終わってしまったかのように思い詰めてしまうのはやっぱり「夢」を過剰に持ち上げ過ぎる風潮のせいじゃないのかと思わなくもない。滅多に現実にならない、だから夢なんです。

7の段言えないとぶっ殺すマン「7の段を言ってみろ」

すごい小学生「しちく63、しちは56、しちしち49…」

悪魔「寿命半分と引き換えに願いを一つだけ叶えてやろう」

乳首三つに増築したいマン「乳首三つに増築してください」

悪魔「それでいいの？？？？？？」

科挙でカンニングがバレると死刑だったらしいけど、逆にいえばそうでもしないとカンニングする奴が横行したんだろうな。バレた奴、どんな気持ちだったんだろう、やっぱ膝とか震えだして「許してください！許して！」って叫んだんだろうか。

変態「ねえ、俺とhしない？」

的確な女「まず大文字にしてください」

「総合的な学習の時間」が始まった時は、子どもながら「おっと、大きく出たな」と思ったな。実際に始まったら「この街のことを調べよう」って内容で、子どもながら「おっと、小さくまとまったな」と思ったな

おれは根が人見知りなのにやたらフッ軽なせいで気になる人にガンガン会いに行ってはジッと黙っている

博物館に入っているものも全部どうでもいいと思っていますよ。どうでもいいものをとにかく何でも溜め込んで時代を超えて持っておくことで価値を生み出す施設なのでどうでもいいものを溜め込めないなら価値もないんですよ。

生きてるだけで出費が発生するのにも関わらず生きてるだけでは収入が発生しない謎の世界

お仕事アニメがなんかアレな感じになってしまう問題。アニメの脚本や表現力の問題もあるけど根本的には労働そのものが倫理的ではないせいという気がする

ある営業電話。新人なのかひどく緊張してて話が全く伝わってこないので「落ち着いて！スクリプト通りにうまくやろうとしちゃダメ。それ買ったら相手にどんな嬉しいことがあるのか、友達に自慢するように話してみて」と伝えたらまあ見事な説明に変わったので「その調子で頑張って！」と電話を切った。

比較的優秀で恵まれた人生歩んでる人の中に、社会的に弱い立場の人への公的支援に否定的な人というのがちょくちょくいるんだけど、歴史上そういう支援がなかった時期、弱い人たちがそのまま黙って社会から消えてくれることはなくて、生き死にかかるが故にめちゃくちゃ治安荒らしにかかってたりする。先進国において優秀な人が優秀さを存分に発揮できるのは、常日頃暴力とか盗難とか詐欺とかの心配あまりしなくていいからって側面もあり、何なら優秀な人ほど安定した社会の恩恵受けてるとさえ言えるので、社会安定させる仕組みにもっと感謝した方がいいんじゃないかなと常々思ってる。

「果物は皮が一番栄養がある」ってなんなんだよ。フルーツなんて娯楽なのに

共同研究が非常に多いと噂の et al. さん、あれだけの数の論文に名をつらねながら、いちども筆頭著者になったことがないの、ウケるな。

「老人が死ぬのは寿命やろ」と言うと「親にも同じことが言えるのかぁ〜ッ」って、安いナマクラな伝家の宝刀を簡単に抜きまくる人がいますが、実際のところ、親ならなおさら要介護とか寝たきりとか寝る前に死んでもらいたいでしょ。

10月1日じゃなくても書いてる思い出をやっぱり今日も書く。赤い羽根共同募金で街頭に立つ女子高生たちの募金箱、あれは夕方集計すると美少女がいるグループの集金額がダントツで高い。少女たちは世の不平等をなくす活動で世に不平等の絶えぬことを知り、慈善の金で己にも「値段」がつくことを知る。

「男性がそれなりに権利と責任を持っていたがゆえ」に起きたことなんだけど…。フェミニズムが権利を求めて「家父長制」を破壊した結果、男に「家庭を構築して維持しない自由」を与えてしまったんだよね。結果どうなったかというと、男は人生において女を無視することが可能になった。「家父長制」に従って女を守る義務がなくなった一方で、「男は自立しろ」と義務付けられていたことにより、職を持っていた。結果「自分一人で生きていければそれでいいんじゃないですか」っていう道を、男に与えてしまったのだよね。でも「家庭を守る義務」を放棄するために「家父長制」を破壊したフェミニズムにとって、男に「家庭を養う義務」を与えるために「家父長制」を復活させるわけにはいかない。なので「モテないぞ」と称して何とか男に「家庭を養う義務」を押し付けようとした。しかし「自立せよ」と言われて自立もできている男にとって、何の報酬もない一方的な義務に従ういわれはないし、無視したところで何一つ生活に影響がない。むしろフェミニズムが調子に乗って「家事もやれ」「育児もやれ」と押し付けるたび、男はますます「一人でも生きていける」存在になった。これがMGTOWや「草食/絶食男子」ができた経緯だと考えている。男の人生にとって女が「あったらいいかな」程度の存在になってしまった。恋愛は趣味の一つになってしまった。一方でフェミニズムは「責任を回避する権利」を得るために必死に他者、すなわち男に責任を押し付けることしかできない。責任を持たないということは何かを為す成果も出さないということなので、「家庭の構成員」としてはますます無能な状態に陥っていく。今や家事のこなせない男なんてほんとに一部で、やれと言われれば、必要性があれば、みんなだいたいできてしまうので。一方で「しない権利」のために訓練もしようとせず、やる能力はもちろん「やろうとする気」すらなくなった女は、というと…？これが現在の「非婚化」、だと思っている。なので女性側に、仕事でも家事でも「家庭を共同経営する意識」というのを身に着けさせて、「私もやるからあなたもやってください」と言えるだけの責任感を持って臨むようにすれば、非婚化はだいぶ解消される、と思うんだけど。少なくとも、フェミニズムにはこれはできない、と考えている。何故ならせっかく勝ち得た「やらない権利」を放棄することになるから。もしこれを放棄して男性との家庭の共同経営を進めようとするならば、それは「女性の権利のみを追求する」という定義から外れ、フェミニズムではなくなってしまう。なので、近年の一部フェミニストの「人間として協力できるように自立し、責任感を持とう」という至極まっとうな考え方って、たぶん「フェミニズム」ではなくなってしまいそうに思うんだよね。女性以外の権利を考慮してしまっているから。なので、フェミニズムは早晩発展的解消をし、人間の個対個で考える別の思想が出現するのではないか、と考えている。もしそれが「フェミニズム」を名乗るのであれば、名前とやってることが違ってしまう。

「裏垢」は「ウラー」「赤」と分解できるのでソ連の陰謀

「人のいいところに目を向けよう」とか「怒りを忘れよう」というのは薄い薄いライフハックとして人々から唾棄されているようなところがあるけれど、実際のところそれらの方法は処世術として有用であるばかりか、人生の幸福度を底上げするのにもっとも有効なのかもしれない。にもかかわらずそれらが憎たらしい皮相的なアドバイスとして響いてしまうのは、真理めいたところがあるからだと思う。真理はいつだって単純で、しかしながら実行にうつすのは非常に難しい。言い換えれば、これをどのようにして簡単に実行に移せるか、という方法論さえ学んでしまえば、億万金に値するほどの武器と防具になりうるわけだ（どんなに金を持っていても、心が健康でなければ…）。

ネットのこれ欲しい！はこう言えばイイねがもらえるだろという承認欲求で成り立ってるから役に立たんイメージ

iPad で注文するファミレスとか見ると「多機能な製品をこんなことに使っていいのだろうか」と一瞬思うが、「必要な機能だけの製品を作るとかえって高くつく」と理解できる程度には大人である

なぜ我々は何者にもなることができないのか？その理由はいたってシンプルです。産業革命によって世界人口がアホほど増え続けているため、競争して何者かになれる倍率がアホほど激増し続けているからです。たかだか数百年の間に、競争率が１０億人分の１から７０億人分の１に激増しちゃいました。２０２０年なら７５憶人ぐらいでしょうか。この７５憶人のうち、いったい何人が何者かになれるのでしょうか？ジャスティンビーバーみたいな超有名人レベルの人でも５００年後にまで名前が残ってるかは不確かです。歴史に名を残せる人はたぶん１億人もいないですよね。そんなにたくさん歴史の教科書に名前を書いたら学生の期末テストがとんでもないことになります。この倍率を勝ち抜くより宝くじに当たる方が確率高いかも、というか宝くじに当たっても名前は残らないですよね。ホモサピエンス誕生時なら何者かになるのは簡単です、倍率が１とか２とかなので生きてるだけでミトコンドリアイブとかクールな名前をつけてもらえます。なんともラッキーガールですね。ちなみに男側はミトコンドリアが追跡できないので名前が残りませんでした、残念ですね。つまり何者かになれるかどうかは完全に生まれるタイミングの運で決まります。頑張る頑張らないでどうにかできる問題ではありません。ほとんどの人には最初から超えることができない大きすぎる壁というか地球の大気圏外なのです。ではどうやって何者かになればいいのか？解決策もいたってシンプルです。何者かであるかの判定基準をめちゃくちゃ下げて競争率をゼロにしてやればよいのです。つまり自分は自分、私以外私じゃないの、我思うゆえに我あり、よそはよそうちはうち、自分という存在そのものが何者かである何者の答えなのです。

帝王切開の女版、女帝王切開で生まれた最強の赤ちゃん

東京の全路線図を胸に彫ったので迷わずに済む。

コンドルがケツに食い込んどる、の面白さの8割は「ケツに」である。卑怯だと思う。

3つだけタイヤを買いに行く珍しい人

歌の中の「歌を歌うのさ〜」で歌っている曲はその歌自身なのかどうかという問題。

警視庁って絶対「あの角度」でしか見ないよな。観光名所もそういうのがいっぱいある。ピサの斜塔を真上から見てみたい。ただの円。

主ですら一週間のうち1日は休んでたんだぞ。主より大幅に劣る人間がたった2日で満足に休息できるわけないだろ。

一度令和に行って戻ってきたスサノオ「ヤマタノオロチを酔わせて俺が殺す。これをヤシオリ作戦と名付けよう」

日曜日の「電気点けないといい加減部屋が暗いな」って瞬間がいっちゃんきついな

サキュバス「イっちゃいそう？イっちゃいそうなのぉ？ざんねぇ〜ん♡イかせてあげなぁ〜い♡あっはははは♡ブザマな顔♡面白いわぁ♡」

母サキュバス「食べ物で遊ぶなッッッ！」

軽い認知症になったら安楽死をする、という選択は否が応でもこれから検討されることになるかとは思うが、自分が認知症を自覚したときにそれを選べるかはわからないな。「いや…認知症ということは自己やその死についての認知があやふやということだから…認知症が寛解したら…」って感じの理屈をその場でこねちゃいそう。

ChatGPTもそうだし、すかいらーくのネコもそうだが、AI「人工知能」インターフェースの最大の功績は、正しさでも効率化でもなく、ホモサピエンスに対して攻撃的になるホモサピエンスの攻撃からホモサピエンスを守ることだったのではないかと思う。

子どもができたら「射精」と「結婚」の意味を真逆に教えこんで子どもに恥をかかせてみようかな。「先生って射精してるんですか？」とか「うっ、結婚しちゃう結婚しちゃう！」などと言わせてみたいかも。

実はスカトロはdlsiteの調査でも15位以内に入るぐらいの人気ジャンルだけど供給が少ないから簡単に無双できるんだよ。本当に稼げてしまうからみんなには秘密だよ。

議論と呼ばれるものの意義ある機能とは往々にして妥協と調整であるからして、結局うまく妥協できる人間の意見が反映され、力なき原理主義者は排除されるようになっている。それが必要のない場面では議論など成立の余地はないんです。言い放しで何のメリットもデメリットも発生しない空間で起こってることは娯楽以上の意味はないですね。画面越しの相手を必死に論破しようとするのも、こんなものを民意と思ってるのもどっちも大変アホらしい

つーか敢えて村集落で生活してた時代と比較すれば夫婦2人だけで子育てなんてのは「群れを追放された人間だけが体験するエクストラハードモード」なわけで、親からの自立とかいう謎の価値観で自分から縛りプレイしてることくらいは冷静に見つめ直すべきではと思いますよ。

クジラが死んだ後、海底に落ちてきた死体にいろんな生物が群がって、その地点に鯨骨生物群集という独特の生態系ができる話、神や巨人が死んだ後に死体から、新たな神やいろんな生き物が生まれる、神話の世界みたいな話で面白いなって

自信まんまんの40歳くらいの人が「自分が正しい」と思いこんでると、人に自慢と説得ばかりする。知らないことを学べず、耳が痛いことを言ってくれる人もサーッと離れていって孤独に拍車がかかり老害になる。40歳こえても成長したいなら自信は無いほうがいいし、むしろ年下に舐められるのがちょうど良い

部屋でやって楽しいことは風呂でやるともっと楽しい。

医師界隈は「AIで読影されたところで読影の根拠を説明できないんじゃ意味ねえ」みたいな風潮だけど「AIのほうが人間の脳よりレベルが上なのでお前らの下等な言語で解説できる思考してないんですが？」と確実にAI様から言われる時代がやってくるので期待と暗澹たるものが入り混じるなあ。分類器が分類の理由を説明してくれないの最終的に「だから何？」になって終わるんだよなあ。AIが「我々は間違いなくこういう診断を下しますが、あなたがた人間に認識できるレベルの所見としてはこんなものがあり、この例では非典型的ですがここにちょっとその特徴が見えますね？あなたには見えないかもしれません」とか言ってくんでしょ、別に読影の根拠とかもう要らねえんだよ。

反ワク、反近代医療の人たちが水銀が良いと言いだして、多くの人に始皇帝の故事、または水銀中毒の歴史（体温計の変遷など）を知らんのかと突っこまれていた。そこらの知識は学校教育の外から知った人が多いはずで、知識や経験を取り入れる間口が狭い人は本当に知らないのだと思う。義務教育とその外の雑然とした情報や経験から推測して、だいたいなんとかなる社会しか人類には作れない。ただ、そのだいたいを作る雑然とした要素が欠落した人がいて、欠落させようとする人までいる。よくある近世中世へ戻したいのもたいがいだが、紀元前まで戻るの？　とはなる。普通の現代人は「世間や世界とはなんとなくそういうものだけど、あそこから先は分からないから専門家に任せる」と各自で幅があるグレーゾーンとブラックボックスを設定できる。一部の人はワープして専門家ですら分からない先を分かるつもりになり、知の距離感がおかしい。

私の同級生、学生時代エンジョイしていた勢は働き始めてからメンタル理由に休職や退職した人が何人かいるけど、学生時代から「ハァ……人生はクソ」と言っていた根暗たちは「ハァ……労働はクソ」と言いながら心身ともに平常運転で仕事を続けている現象、なんなんだろう。人生の夏休みとも呼ばれる学生時代時点で「人生はクソ」と言うに至る人々は、人生への期待度が低いんでしょうね。だから多少難のある環境でも「クソだな〜」と言いながら乗り切れてしまう……

『彼氏に冷める瞬間で「混雑したフードコートでおぼんを持って自分を探してる時」ってのがあって納得してしまった。』というツイが話題になっていたそうだけど、そんな彼氏の姿を見て愛おしく感じるのが恋愛じゃないのかなと思うんだけどな。

銀行や役所土日休みで、会社も土日休みも多くて平日いけねえって人いますが、これ昔の名残で「会社行ってても家族ぐらしなら家庭に１人は誰かいる。その人が平日に銀行や役所行けばいい」って前提のルールだったので、個人的にもう変えてもええと思っている。つーか変えてくれ

英語圏で、ネタツイートにマジレスしてるやつに対して”Level 1 internet user”ってリプがあった。その手があったか！

「日本には四季がある」と誇らしげに言う人がいますが、私は日本にいた頃、夏は猛暑、冬は極寒、春は花粉症で頻繁に体調を崩していました。一方東南アジアに来てからは年中暑いですが身体も慣れるので、風邪すら殆ど引いていません。また被服費も全然かかりません。ぶっちゃけ四季など無い方が快適です

水族館デート前に生物学専攻のワイに対抗して「おさかなのことめっちゃ勉強してきた！」と鼻息混じりに言ってきたワイの架空の嫁さんの話する？

大学時代彼氏といちご狩りデートに行ったら途中で練乳がなくなってしまい、練乳はおかわりできないと小さく注意書きがされていたことにそこで気づいたが、彼氏が持参した練乳をおもむろに取り出して萎えた。という知人女性のエピソードを穂村弘がエッセイで書いていて、うわあこれは萎えるなあと思った。これを読んだ時、こないだジロウさんの質問箱に投稿された「花火大会デートで男性が飲み物がたくさん入ったクーラーボックスを用意してくれて萎えた」エピソードを思い出した。私はこれにも共感してしまう。なんなんだろうな、用意周到すぎると萎える現象。こういう個人的な感情の動きが（読み手が共感できるかできないかはともかく）文章として表現されているのがエッセイの面白いところだと思うんだけど、SNSに載っかると途端に賛否と分析で埋まってしまって風情がなくなるのが興味深い。

ハチロクのオフ会に数字の「86」（印刷物ではなく、概念としての86）を持ち込んでみんなをドン引きさせたい。

うんともすんとも言わない、という熟語があるけど、機械がうんとかすんとか言ったら飛び上がると思う。

死後の世界は（この世を善く生きれば）安楽である、という価値観はほとんどすべての文化圏で共通しているので、実は死後が条件無しで苦痛そのものであるという可能性には思い至らない。もし死後の世界がとんでもない苦痛を永遠に受け続けさせるようなものだとわかったなら、人類はどうなってしまうのだろうか。

馬券を買うときに馬を球と仮定する最強の物理学者

もし俺が暗殺者だとして、二つ名が「地獄からの産地直送」だったら役所に改名届出しに行くと思う。殺しと産地直送は相性が悪すぎる。というか暗殺者の二つ名って自分で考えるんだろうか。ブラックウルフって屋号をつけて活動しようかな。

「戦争体験語り部」という、戦争体験を語るジジババの部活

10代の時に何かあって怒って「もういいよ、どうせバカだから」と私が言った時に友達が「バカじゃないよって言って欲しいんだったらそういうのやめた方がいいし、試してもないのに、バカだからを理由にして逃げるんだったら軽蔑する。」って言ってくれたの、今でも時々思い出す。言ってくれたよかった。

元カノ、店員が何かしてくれるたび「ありがとうございます」って言ってたし、信号は青でしか渡らなかったのに、俺の財布からは金盗んでたな。

「最近の新人はやる気がない。協調性がなく社会を舐めてる。苦労を避ける」的な言説について、原因をコロナ禍による行事の中止やSNSの浸透に求める声が多いけど、実は上記言説は1980年代の「新人類」からずっと言われ続けてるので、多分単に自分が加齢しそういう立場になっただけの可能性も検討すべき。新人というのは何にも裁量権がないわけだから、指示する先輩や上司が適切に動かしてやらないといけない。つまり、後輩や部下に文句を言っているのは、自分で自分のことを批判しているようなものだ

うちの親、子供が親を殺す事件を見るたびに「正しい行いだ、子供は親を殺して乗り越えていくんだ」などと言っているので、かなりギリシャ神話的世界観で生きてるらしいことがわかる。

仕事のときは「仕事ごっこ」で理想とまではいかなくとも自分でアリと思えるラインの部下なり上司なりを演じているけど、親になるってことは、今度は「親ごっこ」を最後までやり通せるかみたいな話だから、まあより大変だろうなとは思う。

こないだ盛り塩の代わりにお皿の上にちっこいカラーコーンをおいてる家を見つけて、信仰の効率化だと思った

大学の鉄研仲間に全盲者がいて、彼が(山間部で行われる)撮影会に同行したいという。当時の私は不躾にも「ついて来てどうするのか」と尋ねてしまったが、彼は涼しい顔して「見えるものだけが全てだと思っちゃ困る、山独特の風のそよぎや鳥の声の中を駆けてくる列車の響きだけで飯三杯はいけるぜ」と。実際、行った先の山の中で彼は実に楽しそうにしていたが、それだけではなかった。山間の曲がりくねった線路を俯瞰する撮影地では列車の接近を察知しにくく、時刻表にない列車の撮り損ねも多かったが、彼がいる場合に限ってそれはまずなかった。彼が1km以上先の列車を察知して知らせてくれるからだ。左に見えるトンネルの反対側から迫ってくる列車。右に見える尾根の向こうをこちらへ向かって走ってくる列車。我々晴眼者には見えるどころか、警笛でも鳴らない限り来てることすら分からないその列車を、彼だけが察知できるのだ。これには驚いた。そんな彼にも、どうにも太刀打ちできない大敵があった。雪だ。積もった雪は音を吸収するうえ、滑って転びでもすればたちどころに方向を失ってしまう。大阪・青森間を結んでいた特急「白鳥」が廃止になる直前の冬、彼が言った。「なあ、一緒に「白鳥」に乗ってくれないか。」「白鳥」には私も乗りたかったが、そんな予算は捻出できそうにもない。その旨を告げると、「運賃が半額ならどうだ。介割が使える」と。「それなら何とかなるが...だが真冬の青森、それも深夜の到着では、宿まで歩くだけでも君の安全を保証できない。介助者としては俺では不適格だろう。」「分かってる。だがそれで構わない。自分一人で行くよりずっとマシだし、鉄仲間の中ではRyotoがいちばん先導がうまいんだ。」「...わかった。一緒に行こう。俺も君も、あれに乗るにはそれしか方法がないようだしな。」こうして、若さゆえの無鉄砲で二人で真冬の青森へ出かけた。念願の「白鳥」車内での楽しい12時間はあっという間に過ぎたが、やはり深夜の青森駅に着いてからが問題だった。予約した宿は駅から400mほどだが、路面は圧雪が固く凍ったアイスバーン。私の肘を掴む彼の手が珍しく震えている。自分も彼も転ばぬよう、一歩一歩慎重に足の踏み場を選んで進んだ。宿までのわずか400mを進むのに、15分ほどかかっただろうか。暖房の利いた部屋に通され、無事にたどり着いた安堵感で放心する私に、彼は加熱機能付きのカップ酒を2つ取り出して言った。「こんなお礼しかできなくて申し訳ないけど...連れてきてくれてありがとう。一緒に飲もう。」と。「なあに、俺の方こそ...」と言いかけたが、彼の心遣いに胸が詰まってそれ以上は言葉にならなかった。その後社会人になって、幸いにもそこそこ良い酒を嗜めるようにはなったが、何よりも鮮烈に記憶に残っているのは、あの晩二人で飲んだカップ酒をおいて他にはない。そんな、若かりし頃の思い出。

転職サイトで、「ポジションに完全にマッチしています！まさに求めていた人材です！」とスカウトが来た。自社の自分の部署の自分のポジションの求人だった。俺を切って、俺を採用する気だな。

客「おまかせで握ってもらえますか？」

玉子を100貫握ろうとしている大将｢後悔しませんか？｣

サービスを受ける側にある程度リテラシーがないと辿り着けないハードルを設ける事で仕事が非常にスムーズになると言うことを別分野で体験した。これはマネーウォールより質が高く、より目指すべきウォールなのでは？！

ちょっとした怪我や虫歯で死ぬ時代でも殖え続けてきた生き物が、癌と老衰以外じゃそうそう死ななくなった時代に「生きるのムズカシイネ」とか言って群れを維持できなくなってんのほんと何なのって感じよね。

子供向け含むTV番組やCMで「違いを力に」みたいなメッセージと共に「多様性」の象徴として登場する障害者ってほぼ車椅子の身体障害者なんだよな。頭脳労働や事務能力、および他者との共感能力において大きな障害を負っていない、「健常者」の自慰行為のための障害者だ。

いまだに無意識に炉心融解を口ずさむことがあるんだけど、"覚悟"ができていないのでサビで「これは鼻歌の範疇超えてない？」って我に帰る

初手反論全潰しくん「板一枚で何万円とかのやつを小さい頃ちょっと体調が悪いときに食べたせいで味とかそういう部分じゃなくてそもそも体が受け付けなくなってしまっているというか、むしろ原体験がそれなので本当に美味しいとされてる高級なウニの方が僕は苦手ですね〜」

まあ親というのは、生まれた瞬間から子供の意志に反して服を着せたり脱がせたりし、始終尻を拭き続け、夜になったら布団に押し込みということを繰り返すもので、子供の意志を無視するのが習慣化してしまう親というのがいても別に不思議ではない。（善だとは言ってない）

ChatGPTはアホな大衆の真似は得意なのに学者の真似ができないの、何が足りないか考えると、一見関係ないものを結びつける能力が欠如してるんだよな。AIのべりすとも同じ特徴があって「新しい電脳空間、その名も〇〇」と命名するときサイバーシティとかダサイ名前しか出てこない。飛躍できないからだ。なぜ学者が大衆と違って物事を新しく分析できるかと言うと、一見関係ないものを結びつけて同じ構造があることを発見できるからだ。「この皮膚炎に生じるパターンは銀河系のこの構造と同じ仕組みで生じているのではないか」みたいな発想ができる。でも現行のAIにはそれがない。アホな大衆が好きなデマや陰謀説は、一見して突拍子ない発想に見えることもあるが、どこかで直感的な連想に立脚している。例えば右翼が韓国人の起源はエベンキ族だと信じたがるのは、おそらく便器を連想させて都合が良いからで、エベンキ族がツングースに属するとか「構造」には全く興味がない。

労働基準法での扱いで男性には重労働について上限がなく、女性には上限があるので、当然高負担高収入の仕事は男性しか出来ない。なので是正のためには『女性に重労働させるよう法改正しろ』と主張しなければならない

小学校で俺がゲロ吐いたところが「ダメージ床」って名前つけられて、そこを通る時クラスメイトが「ﾃﾞｨｳﾃﾞｨｳ」って言いながら歩いてたし、なんなら俺も「ﾃﾞｨｳﾃﾞｨｳ」言ってた

将来が不安になるというのは「何が起こるか」が分からないから不安なのではなく「悪いことが起こる」のは分かっていて「どんな悪いことが起こるのか」が分からないから不安になる

この前テレビ番組の収録に呼ばれたので行ってきたんですが、芸能人じゃない人のことをスタッフ同士の間で"素人さん"と呼ぶのはなんか知ってたしそれは理解の範囲内だったけど、こちらに面と向かって「素人さーん」「素人さん、こっちへお願いします」とか言ってきたのはびびった。すごい世界！と思った

星野源の書く歌詞の傾向からして、「たまに重なり合うよな僕ら」「うちで踊ろう ひとり踊ろう 」なんて絶対、演奏を自慰と性交に喩えた歌なのに、『うちで踊ろう』の動画が結構な社会現象になってしまって、今更「あれはオナニーの歌でした(笑)」とは言えなくなってしまったという経緯があると思う

会社で仕事してたら社長から「お前ら荷物もって外でろ」と言われて、何……と思いながら外出たら社長が玄関で火をつけて「これにて会社は終わりだ！お前ら好きに生きろよ」と言われみんなで駅に歩きながら後ろで会社が爆発してGetwildが流れて法人解散する夢見たけど私の願いが反映されすぎ

ITで1番簡単に稼げるのはアプリでもインフラでもなく人身売買である

思いつきだけど、誰かに週一とかで“どうします？今週で死にますか？”って聞いてもらえれば、“んー、もう一週、先にするわ”とかダラダラと耐えられそうな気がする。

子が生まれた時、「この子が成人するまで死にたくないな…結婚するまで死にたくないなあ…孫が生まれるまで死にたくないな…この子が死ぬまで死にたくないな…」とどんどんゴールポストがずれていった覚えがある

高齢者にももちろん人権はありますよ。ただ、長寿は社会権ではなく自由権として整理すべきだということです。「居住の自由」が政府からタダで都心タワマンをあてがわれる権利ではなく、「移動の自由」が政府からタダで欧州ファーストクラス往復航空券をあてがわれる権利でないのと同じことです。

えっちげーむに限らずだけど、二次元の奇抜なデザインの学園制服見る度に、｢この娘達、お葬式もこれで行くんだよな……｣って考えちゃうの辞めたい。

画像生成AIについて、思うこと。実際に触ってみた結果「個性が食われる」「自分よりも上手い」「創作意欲のすべてが消滅する」という結構大きい副作用があって、回復しきれてない。例えて言うのなら、「手にした魔剣に自由意志をすべて奪われる感覚」とはこういうものかと、擬似的に体験できた。一番でかい副作用が、「創作意欲のすべてが消滅する」だった。ここまでヤバい勢いで減るのかと思って、個人の問題かもしれないが、一気に減衰した。正直、「勉強のために触ってみるかな？」と思って触ってみたのが間違いだった。自分よりもあんまり上手すぎる絵が、自分の指示で生成されると、とある小説にあった、魔剣の副作用、「自分は成長していないのに自分は強くなったように錯覚する」というのをまさに体験して、心底ぞっとしたのだった。正直、この恐怖感、どう言ったらいいのだろうか。「人間は数秒で生成されるものに価値を払えない」ということなんだろうと思う。正直、勉強のために触るとか、やめておくべきだった。人間は、数秒で生成される画像に、一切の価値を払えないんだということを実感したのである。正直、これが一番キツかった。「魔剣に魂を奪われる」というのはこれか……。という。この虚脱感。本当にすごかった。なので、ちょっとこれはどこかの小説に突っ込めるのではないだろうか。すっごいあれだった。

大企業の方が「ベンチャー界隈の人と話すと正体不明のコンプレックスを感じる」と話していて、自分もベネッセ→DeNAに移ったときコンプレックスまみれだったな、その正体はなんだろうと思いだした。超乱暴に言語化すると「テキトーそうなのに結果出してる意味不明さと生物としての強そう感」ではないか。大企業での自分の仕事は、関わる人も先達も大量にいて、まずは構造・枠組みを学び、そこから逸脱しない範囲で自分なりの工夫をする、という、「ジェンガをできるだけきれいに縦に積んで、その上に自分でピースを乗せる」感じで仕事をしていた。一方でベンチャー・スタートアップだと、「ジェンガがこんなにガタガタで今にも崩れそうなのに、どんどん上にピースが乗っていって、不思議なバランスでめっちゃ高くなってる！」みたいな印象を受けることが多く、なんか生物としての強さみたいなものに圧倒されることがあった。「どんなにデタラメでも自分で着地してやるぜ！」って気概と裁量は、大きな組織の中ではなかなか持ち得ないものなんだろうなと思う。

ああ、朝だ、息の切れる朝。エンジンをやかましく蒸したてるトレーラーの車輪と、おそらく紺色スーツに革靴の男、外の広い道路ですれ違いながら、存分に地面を叩き鳴らしていく。鍵まで閉め下ろしてある硝子戸二枚の繋ぎ目から、しんと差し込んだ冷気が鋭く尖ると、この薄暗い部屋じゅうを裂いて進み、膨らんだ羽根布団の端に見つかった私の皮膚を、その刃先で執拗になぞる。手首についてしまったこの血の滲まない切り傷は、厳かな冬からこぼれた、ささやかに甘い明け方の調べなのだろうが、私は、その誘いに乗ってすくり立ち上がるようなことは出来ぬどころか、全て強引に跳ね除けて、頑なになって布団の隅を掴み、恨めしく震え上がってしまうものだった。私は、朝が恐ろしい。否応なしに迫り来る強引な「健全」の調律は、それに従い機能して回る世の中で、私一人だけを偏屈な異常者として、醜くあぶり出してしまう。異常であることそのものが恥とは思わないが、それは苦痛を伴う。上の階で老人の目が覚め、自覚容赦ない生活音をこの木造アパートじゅうに鳴らし始めた。すると今度は隣室、そのまた隣室の人間がいやらしくも呼応するように体を起こし、各々生活を再開させる。やがて水道管を水が流れ出すとずるずるきゅっ、ずるずる、きゅっと栓の閉まる金属音を伴って不規則に、暖房具はばち、ばちとガスを破裂させ、手から滑り落ちた鍋とシンクの衝突音、挨拶から延長していく話し声、扉の乱暴な開閉、光、太陽光とは別の、光。私はとうとう気を違えそうになりながら、喉の奥を締め上げ肩に力を込めると嗚咽がした。たまらず枕元に常備してある睡眠薬をニ、三噛み砕いて飲み、強制的な睡魔に祈りを捧げた。どうか、どうか私の意識を丸ごと刈り取ってください、おねがいします、今すぐに、と。睡魔は程なくして、私の安い祈りとは無関係に、強烈な眠気をもたらした。枕に頭を乗せると、そのままゆっくりと地面に吸い寄せられて行く。身体中の筋肉がぐったりと弛緩して、物を考えようとすると、思考の網は力なく解けて、糸くずのように吹き飛ばされていく。朝七時半の強烈な太陽が、カーテンの隙間から私の閉じた瞼を名残惜しそうに撫でている。強大に進歩した科学の、その圧倒的な力の介入によって、私に干渉し得るものの全てと、全く無関係になれるのだと感じ、心から嬉しかった。心から安堵した。遠くに聞こえる、切りつけるような奇声、怒号、鉄の音が私の肌をすり抜けるとき、それらは綺麗に織り上げられたファンファーレとなって心地よく耳に響いた。これから深い眠りの中、私は王となり、城を築くことにした。

イエスは救世主ですが、30歳までは大工として生計を立てていました。製図や計算が必要とされる職業である大工は、当時から、かなり知的な職業として認識されていました。やはり神でも30歳を機に転職を考えるんですね

心の底から信頼してた人にマルチの勧誘された時の、あの世界が反転していく感じが忘れられないからもう1回勧誘されたい

「中身はおじさんです」とか言ってる女性、たいていは日高屋に一人で入店するくらいの話であり、おじさん特有の深く断絶した哀しみや救われぬ魂を持ち合わせている人はまぁ見たことがない

異世界に転移してしまったが手持ちのスマホからAli Expressにアクセスして注文することはできるので、微妙に変な匂いのする雑貨や技適を通ってない充電器、同人誌のイラストを使用したシャツなどで悠々自適のスローライフを送る。

30代のオタクが「ぼっちざろっくで感動するのに使う資源を俺はけいおんで使い果たしてしまった」みたいなこと言ってて悲しかった。

「お前、あの祠に行ったんか！」

「え、これ？」

「持ってきたんか！」

枚方の方が「シムシティで適当に作ったような街」「ドラクエの中ボスが配置されていない町のような街」「桃鉄のカード駅のような街」と言っていた。枚方がどんな街かはさておきゲームで例えるの上手いなと思った

「この人は自分より立場の弱い人と一緒にするとパワハラ的なコミュニケーションをとるので、そういう人と２人にしてはいけない」みたいな制約条件で人の配置をする話を聞いて、なんか、狼と羊とキャベツを船で向こう岸に運ぶ問題のやつみたいだな…と思いました。

一般人のツイートに「ただのお気持ち」とか叩いてるの見るといやそらそうだろ…ておもうよね

仕事でミスをしてしまったときは「酔っ払って尼崎市の全市民46万人分の個人情報が入ったUSBを紛失した職員」のことを思い出すと心が落ち着くからオススメです。

うちのメンバーが「サーバーチーム許さん」ってメール送ってて何事かと思ったら、新しく入った中国人の"許"さんへのメールだった。

本当に、戦争についても「ぜったいにいけません」と言うだけで、対米開戦を回避する方法はありえたのか、途中で止めることはできなかったのか、といった実質的な「反省」は（少なくとも一般国民への学校教育レベルでは）全然行われていないんですよね…。

彼女と同棲するにあたって買った大型食洗機。独りには大きい

悪夢が副作用の睡眠薬を飲みはじめたのだが、「悪夢ってあんまり見ないし楽しみだな♪」とナメてかかっていたら 死ぬほどリアルな触感と共に 何を言っても話が通じない母親にアナルを指二本で拡張される夢を見て、不快すぎてウワアアアアアッと叫びながら飛び起きベッドサイドの水をぶちまけた

東大王で、出演している学生が履修している授業の期末試験の過去問しか出題されない回、見たい

付き合うとは、傷つく距離感になることです。つまり付き合う相手を選ぶというのは、傷付けられる相手を選ぶということです。全く傷つかない関係はどうでもいい関係で、それは無関心に近い。

成田悠輔の奇を衒った眼鏡を見る度に、握手会でアイドルの顔認知を継続させる為だけに独特の眼鏡を絶対掛けてくるオタクのことを連想してしまう

下校時間に道を歩いていると横一列に広がったキッズがいて網の目を縫うように避けて一息ついたらまた横一列に広がるキッズが現れて網の目を縫うように避けたら今度は横五列ぐらいに広がるキッズが現れ、だんだん降ってくる打鍵が難しくなる音ゲーを思い浮かべた

「戦争は絶対いけません！」と感情的にふんわりお気持ちでやってると、マジ戦争になって家族身内殺されちゃった時にアッサリと「アイツら人間じゃねぇ！ブッ頃してやる！」になるんじゃないかと思っている

妻と久しぶりに口喧嘩したのですが、妻がメチャ怒り狂うので『一回落ち着いて。冷静に考えて？』と言ったら、『嫌だ！絶対に冷静にならない！冷静になったら私が悪いという事に気がついて申し訳なくなり、この喧嘩に負けてしまうから絶対冷静にならない！このままの勢いでいく！』と言われました。

給与水準が相対的に低いことにこれまで気づかず（気づかないふりをし）、外の世界を知ってしまった働き盛りの社員たちが去ってはじめて慌てて給与設計を見直すのだが、彼らのビジネスモデルが低い給与水準を前提としたものなので、にっちもさっちもいかないというケース、古い会社に多い

サンドウィッチマンの「カラオケ」ってコントで、暗黙の壁があるであろう領域を富澤が普通に歩いて伊達が「あっただろ！そこに壁なんとなくさ！」って突っ込むシーンがある。コントにつきまとう暗黙を観衆に認知させた後、それを何気なく破るという倒錯したメタによって観衆を笑わせるわけで、笑いがとても複雑な（二重のメタを挟む）メカニズムによって成り立っていることがわかるので興味深い。そもそもコント自体が現実世界のメタ化であり、「コントだから見えない壁があるよね」というメタを無視する（メタ化する）ことによって成り立つ。笑いは既存の文脈を破り捨てることで生まれるので、二重三重のメタは（技術が洗練されるほど）必要になってくると思われる。

今日のバイト、「エアマックス狩り」を漢字にした時に一番カッコイイ字面はなんだろなーって考えてたらいつの間にか終わってて大変得した気分

攻殻で拡張された電脳情報を引用しながら議論する当時はカッコよかったシーンを生身で再現してるのに最悪な感じになるのはなぜか？

「世界に一つだけの花」の歌詞は僕もあんまり好きでないのだが、途中から「それなのに僕ら人間は」と人類スケールの話になっていくところは好き。相手が動物でさえなく植物なのもSFみがあって好き。

ミニマリストはダサい。これからは家グチャグチャでスマホバキバキで毎日30分かけて服選んでて風呂が嫌いでロングスリーパーで貯金のないマキシマリストの時代が来る。

どこで働けるかは基本的には見なし能力（新卒だと学歴とか）で決まるんだけど、労働市場は昨今の人手不足みたいに、その時の地合いによって分不相応なジョブホップできるチャンスが転がっているのも覚えておいた方がいいんだよな。最初は分不相応でも、やってるうちに実力もついてきて、相応になる場合もありますしね。コツコツ頑張る事と、アンテナをはって、人から情報もらってチャンスを掴むのは車の両輪みたいなもんで、どっちかだけだと足りない。

ガルちゃんで見た、初めてのSEXでやり方が分かない投稿主が、男は玉まで入れるものだと思ってて、彼氏が竿しか入れてくれなくて「私のこと愛してないんだ｣って大泣きした話が大好き

自分が死んでるパラレルワールドに行ったけど、何一つ変わってなかった。

私が聴いた一目惚れエピソードで、「とある女の子がサークルの飲み会で、男の子が何かを探して鞄を漁ったらアルミホイルの筒が出てきて何故か一瞬で好きになった」がぶっちぎりで好きなんだけど、意味が分からなくて笑うし、恋愛はこのくらい不条理なきっかけでも良いなと思える凄く良い話だと思う

新人の時に「今日手数料をあと100万円稼がなかったらお前の大事な人を殺す、って言われたらお前は誰に連絡するか考えてみろ」って上司に言われて、「警察…ですかね」って答えたら結構怒られたの思い出しちゃった

追放もので実は優秀だった主人公が抜けたせいで職場が混乱する展開みてるとおれが抜けて上手く行くようになったらしい最初の職場のことを思いだしてｸﾞｴｴｴｰｯとなるな

「プロの流儀」なんてものを語る人間を、私は一番馬鹿にしてます。せめても自分の作品で食わざるをえないのならば、そのことに対して「ああ金など儲けてしまって申し訳ない。恥ずかしい。」という気持ちをいつも持っていることこそが、プロであることの「品格」だと思っています。

「一晩経ってもイライラしてることは一生許すな」が人生の判断基準です

プロの「食わねばならない」という側面は、明らかにハンデなんですよ。純粋に卓越した物を求めるならば、気の狂ったアマチュアの作るものの方が、どう考えても素晴らしいに決まっている。

「虐待は愛じゃない」「ストーカー行為は愛じゃない」みたいな言葉があるけど、そんなことは言い切れない、まさに真の愛から対象に危害を加える人だっていくらでもいる。だから、それは愛かもしれない、だとしても、愛なんて後生大事にしてやるほどのものじゃない。

さっきはちみつレモン を○十年ぶりに飲んだら高校時代の楽しかった感覚が一瞬ブワーと沸き上がって消えた。そして二度とは出てこなかった。こういう記憶の隠し財産(みたいなもの)が掘り当てられては消えてしまうことがたまにある。味や匂いや音楽に多い。

アカハラ加害者のデータを取りたくて。正攻法では、インタビュー許可など取れなかった。悩んだ挙句、研究•指導の武勇伝をお聞かせ願えますか？と尋ねると引き受けてくれた。取れる取れるパワハラ•アカハラのオンパレード話しの実態が。やっぱり、自覚無いのだなということが、分かりました。

「縛りプレイ」が物理的に手錠をかけて行うゲームだったら面白い

知り合いが16年以上働いたGoogleからレイオフになったらしい。夜中の3amにアカウントが自動的に停止し"あなたは解雇されました"と表示されたLPへのリンクだけが届けられたらしい。会社からそれ以外のコミュニケーションは一切なく長年の生きがいだった職場から使い捨てにされた気分とのこと。

「マスクが非日常の象徴だからマスクを外させようとする」って話がこの前あったけど、5類の話も地続きで、「ありふれた病気と認定されることで非日常が終わる(はずだ)」なんですね。これ、本質ではなく『付与された属性が物事を決める』って考え方ですよね。滅茶苦茶面白いですね。呪術的だ

セブンイレブンの弁当が値上がりしすぎたせいで、会社帰りにデパ地下で3割引になった弁当買うのと殆ど値段が変わらない上にデパ地下の弁当の方が満足感が高いことに気付いてしまい…

直接命を刈り取りにくるのではない後遺症は、「労働力として、世帯主として、男として女として、人として、自分としての価値」をまずはぎ取っていく。介護が必要なほど重篤な後遺症者はは当初は「同情され哀れまれる足手纏い」になるが、そのうちに介護家族に疎まれるようになる。介護が不要な程度の後遺症者は「同情されない怠惰な足手纏い」とみなされる可能性がある。「こんなこともできないのかよ」「今まではできてたのにどうしちゃったの？」「いつまでコロナのふりをするんだ」くらきの罵倒に晒されるが罹患前の能力に戻らない。結果、メンタルが壊れる。老化による認知障害の発症で老人の性格が変わり「怒りっぽくなる」というのよく見かけるが、お年寄りから聞き取りをしたところ「以前は当たり前にできたことができなくなっていること、その自己評価で自分に腹が立ち、侮られることで他人に腹が立つ」旨の意見があった。

昔、Facebook で知り合って割と仲良かったけど、実際会ったらからっきし挨拶できない奴だったのでブロックしたの思い出したわ。挨拶って、ロジカルというより感情だと思うな。

会社を辞める際、自覚しておかないといけないのは、「自分が思ってるほど、周りの同僚は自分の退職に興味がない」ってことですね。本人にとっては人生を変える大きな決断かもしれないけど、同僚にとっては別に大した話ではなく、ランチタイムの社内ゴシップの一つに過ぎません。半年後には忘れてます。転職って意外とそんなもので、周りも大して気にしてないので、もう少しカジュアルに普段から転職活動とかしてもいいんじゃないかと思ってます。「選択肢の一つとして考えておく」という意味で。

踊ることに対して恥ずかしいという感情が欠落しているので、アメリカのバスケとかアメフトとかである「会場のカメラに映された人間が踊る」儀式のときでも全然物怖じせずにいられると思う。同伴者はドン引きだと思うけど。

戦う医者キャラはたいていメスを振り回したりする外科系なので、内科医も出そう。糖質スパイクやヒートショックなどの技を使う

ワイの周りのベンチャー仲間で20代バッキバキに働いていた人でも、結婚して子供ができたりすると物理的に時間がなくなるだけでなく、気持ちが守りに入る人はいて、ただ、経済的にはより上昇が必要になるタイミングでもあるから、とても難しいなと感じる。

仲良い前職の先輩から転職相談を受けたんだが、熱心で公私共に会社に尽くしてきた人だからこそ、今までの努力を無駄にしたくないってサンクコストの呪縛から逃れらずに転職に踏み切れない感じだった。会社に尽くせば尽くす程その会社に依存してしまうので、やはり会社とはある程度距離を保った方がいい

未婚既婚問わずワイみたいに小梨の人が増えると正直「次世代のために」みたいな意識って皆無でSDGSとかも「何それ美味しいの？」って感じなので、今問題になってる「シルバー民主主義」の次はこの「現世利益民主主義」が来ると思ってる。

子供がシャーペンで宿題をしたら先生に｢鉛筆でしてください！｣と注意を受けたので個人面談のときに｢どうしてシャーペンはダメなのですか？｣って聞いてみたら｢.....メカニカルだからです｣って返ってきた。次の人が待機してたのでとりあえず｢...ですよね｣って言ったものの、今、じわじわきてる。

夫ピがものすごい屁をこいたら息子が「警察呼んで！！！」ってブチ切れてました

YouTuberの動画、演者が笑ってる下に「www」って字幕付けてソレがガタガタ震えてる表現が出た瞬間、低評価叩きつけてる

恐山の使う「貴重なご意見ありがとうございます」、タイプ一致で威力1.5倍になってる

YouTube、「死体」とか「殺人(事件)」みたいな音声や文字を入れるだけでBANするくらいシニカルで歪んだ倫理観アピールしつつ、日本版プラットフォームでは本当にド底辺がド底辺を共食いするためのクソみたいな美容健康詐欺・借金対策・出会い系などのクッソ汚いCMで埋め尽くされていて人倫が終わってる

殻なしピスタチオを買ってきたのでつまんでいるが、ピスタチオの唯一の弱点である「殻」が克服されており、もはや全方位無敵の反則みたいな食い物になっている。人類が初めて「甘栗むいちゃいました」と直面したときも、きっとこのようであったのだろう。

食い詰めたら「ギフテッド養成塾」で食っていくしかないか。レゴで大陸間弾道ミサイル火星-14型を作らせたりするの

「ん！」と言いながら核の傘を差し出してくる最強のカンタ

結婚しないの？みたいな話を振られるたび「癌の手術で前立腺を切除して勃起や射精ができない事もあり全然もう恋愛する気がないんです」ってのを説明しないと話が進まないんだけど、ちょっとした雑談なのにあまりにも空気を終わらせてしまうからそろそろ方便を用意した方が良い気がする

今日も仕事をアレコレやって、帰ってきてから全身が重くなってこたつに入って倒れて寝てしまった。最近疲れやすい。季節の変わり目だからか？「季節の変わり目」って、なんだかんだで1年の大半の時間をカバーしているような気がしてならない。3月4月5月6月7月9月10月11月くらいは「季節の変わり目」と称されているんじゃないか？それが事実だとすれば、おそらく人間は慢性的に体調が悪い。

子供のころ布団の中で「このまま目覚めずに死んでしまったらどうしよう」と考えては恐ろしくなっていた。最初に感じる死の恐怖だ。今思うとそれは、死んでしまったが最後「どうしよう」など通用しない、という点が怖かったのかもしれない。どうすることもできない、端的な無。それが確実にいつか待ち受けているという事実。死は想像するだに恐ろしいのだが、人によってはこの種の恐怖がよくわからなかったり、痛みの恐怖や「生への未練」のようなものと混同していることも多く、私は昔からそれが理解できなかった。そんなものとは一切関係のないことなのに。成長するにつれて本を読んだりして、私のこの恐怖は徐々に修正されていった。最初は「眠ったまま死んで目覚めなかったらどうしよう」という発想だったが、よくよく考えればこの恐怖は眠りを経由する必要などない。問題は「私」の消失なのだから、日中、仕事をしているときに突然「この私」だけが消えてなくなってしまう、というようなことだってありうる。この場合、私が消えてしまったことには誰も気づかない。このように考えを発展させてみると、私が何を怖がっていたのかというのが少しだけクリアになる気がした。私は私が消えてしまうことが怖いというよりは、現に私がこの世界の中に生きているということが、客観的に説明可能な事実の羅列のなかに一つも書き込まれていない、という事実を怖がっていたのだ。これは孤独の恐怖だ。私はなんとなく、世界の中で、社会に参加しているような気がして生きてきているけれど、それは実際には錯覚で、本当の私というものは、真空の宇宙に漂うたったひとつの点のような、亡霊なのである。死は世界の装飾を剥ぎ取ってその点に収斂させていくという意味で特別であり、私にとっての恐怖は死そのものではなく、死がその構造を示すということの内にある。このように考えが変化していったことには、悪いこと良いことももあった。悪いこととして、自分のその恐怖がいつか来る死の瞬間だけでなく、私のあまねく全ての生を支えている種類のものだと気づいてしまったことが挙げられる。良いこととしては、その「恐怖」が実は、恐怖と勘違いしてしまうほどに大きな「驚き」であったと気づけたことにある。私は本当は、ずっと死や無を怖がっていたのではなくて、生や存在に驚いていたのである。

TLからキャバ嬢に毎月100万円入れるおじさんとホストに毎月100万円入れる女性が出てきた。女性は水商売で働いているものの、おじさんはどうやって毎月100万円用意しているか不思議になった。おじさんも水商売で働いているのかな…？

『日本が衰退した』とお嘆きもしくは大はしゃぎな皆さま、ほいだら『24時間働けますか？ビジネスマーン！』の時代に戻したろかあーん？って言ったら絶対にノウ！って言いそう

たかしくんは最近できた彼女に「二人の未来のために絵を買いましょう」と提案され、イルカの絵を50万円で購入しました。年利5%のローンで月々の支払いは3万円とすると、支払いが終わるのは何年何ヶ月後になるでしょうか。なお、彼女は既に連絡がつかないものとします。

形勢逆転を狙う松本人志「後輩芸人達は不安よな。松本 手札に戻り、山札から2枚引きます。」

子どもの頃「いじめ」と言われるのが、大人になると「パワハラ」とか「モラハラ」とか横文字になってるけど全部いじめに変わりないから。大人になってまでやるとか本当にダサすぎる。そして大人だからって一人でかわせるわけじゃないから相談していいし全力で逃げていい。他にも居場所は必ずあるから。

人間は変化していくほうが正常で、一貫性のほうがむしろ病理につながると思う。

リベラル連中が選挙で負け続けてるのに対して『この愚民どもが代』を斉唱してる気持ちもわからんでもないんや、これはな、誰でもこうなるんや

SNSでよく中高年の人がたぶん若者に向けて「日本は衰退国だから進路は理系に」とか「海外に」とか言ってるけど、本意ではない人生は続けられないので若者は好きに生きた方がいい。90年代後半に賃上げを止める判断をした当時の中高年も長い目で見て間違っていたんだから、中高年は大抵間違ってる笑。

「これがそうなんだ」と感じるのが楽しいというのは人類に共通した感性だ。なぜ人はわざわざ存在を知っている大仏を見に奈良へ行くのか。わざわざヴェネチアまで行って、さんざん旅行雑誌や王様のブランチで観た運河を下りたがるのか。新しい情報を得るのが楽しい以上に、「情報として知っていたものが自分の一部になる」ことの快感があるのだろう。自宅からコンビニへの道のりは、私の中では「情報」ではない。その道のりは、私の手足の延長線上にある、ある意味で「からだ」に近いものだ。実際に足を運んで奈良の大仏を見ることによって、これまで情報だった大仏が、自分のからだになる。

ネットの広告って「不快」をわざと出してくることが多いし、それはずーっとそうだから「不快」にはコンテンツ力がある、ということなのだろう。ブツブツの角栓のアップ画像とか「嫌」以外の何物でもないはずだが、わざわざサムネイルに選ばれるということは「うわキモっ（カチッ）」ってなる人が一定数いるわけで。善悪や好悪を超えたクリック還元主義を感じる。

いつも通らない道を通ったら、近所に好きな喫茶店がオープンしているのを発見。大いに喜んだ。「ネットで仕入れなかった偶発的な情報」に久々に触れたような気がする。帰り道では、全く知らないパン屋を発見。チーズパンを手に入れて帰宅した。こういうの嬉しい。ネット全くやってなかったら知らないことばっかで楽しいだろうな～と少し思った。最近「それ前も見た」が多すぎる。Twitterは嫌な中年になる最高の方法。

ポカリスエットのCM観ました？ すごかったですね。床がぐねぐね動いていたよ。ただ、うおー、と感動したのと同時に「なんか少し嫌だな」と感じた自分もいた。映像や演出が一級品だからこそ際立ったのかもしれない。制服の少女が学校の廊下をぐおーッと走って手を取り合って……という構図が「自由」を象徴しているように見えたんだけど、制服も学校も大人の都合で作ったもんじゃん、みたいな気持ちがどうしても首をもたげてしまう。私に制服フェチ的なところがあるから逆に過敏なのかもしれないけど、人間の主体性を称揚するメッセージ動画において、大人が若者に種々の欲を投影して楽しむ青春コンテンツの象徴である「制服の少女」にその表象が還元されていく構図がなんかちょっとだけグロいなというか。うーん。別にポカリスエットのCMにダメな部分があるとかではない。いちばん良い見せ方だと思う。CMの輝きに、都合よく子どもを利用する大人の顔が反射して見えてしまったような気が勝手にしちゃっただけなので。なんというか、もっと子どもが勝手な生き方をしても全然平気な世の中だったら、このCMがこういう形態になることもなかったんだろうな、と思ったのだ。これ、自分の視界の中でCMを褒めているのが大人しかいない状況に不安を覚えてるのもあるかもな。肝心の中高生の心に刺さっているのかどうか不明なまま「感動した」とは手放しに言いづらい。

いまの私はやる気に満ち溢れている。明日1日で確定申告を終わらせる手はずを整えているからだ。もう以前のような失敗はしない。スムーズに終わらせ、一度の修正指示を受けることもなくミッションをコンプリートする。前回に比べれば、記帳こそ真面目にしていないもののそれなりの対策をしている。レシート類はだいたいファイルに入れてあるし、未整理のものは全て机の上のどこかにある。「未整理なら、机の上にある」というだけで、かなり大きな進歩だ。以前は「家の中」という巨大な空間の全てに可能性が撒き散らされていて最悪だった。

「将来アメリカで働きたいなら、TOEICの点数よりも歯並びの方が大事だよ」と前からしつこく言っているのですが、なぜか誰にも信じてもらえません。というか、よっぽど非英語圏や英語教育業界にルーツがある人でない限り、ほとんどのアメリカ人は「TOEIC」が何なのかそもそも知りません。歯並びが汚いと育ちが悪いって思われる風潮があります。5年前の自分は「アメリカ人は容姿を気にしない！日本人は人の目を気にしすぎ！」とか戯言を言っていたのですが、アメリカほど容姿でジャッジされる国はないですよ。アメリカ人は表で直接言ったりしないだけで、裏ではボロカス言ってたりしますね

台湾のホラー映画観たら主人公が不動産屋で働いてて、朝礼でツーブロックの上司が社訓を大声で読み上げるシーンがあり、台湾でも不動産屋はツーブロックということがわかった。

高校の時だったか。後輩に小さいフルーツの飴をもらったことがあり、その飴を別の人に「いる？」って言ってあげたら「人にもらったものを人にあげるのはかなりありえないですよ」と後輩にかなり本気で注意されたことがある。そのときに感じたことはいろいろあって、当然申し訳ないというか悪いことしてしまったという気持ちが生まれたんだけど、それ以前の衝撃として「これって悪いんだ」というのがあった。その瞬間まで自分のこの行動が人の気分を害するということを微塵も理解していなかったし、それを理解していなかった自分にもさらに驚いた。また、それが露見することで、これまでの自分の行動がいろんなところで同じような過ちを生み出していたことが推測されて、だいぶ怖くなった。「人はこういう状況ではこういう気持ちになる」という知識は、自分自身がその例外だった場合、ずっと身につかないままのことがある。そのときくらいまで、自分はまあそれなりに普通に人間だと思っていた。本も漫画も読めるし、心理的なメカニズムにズレはあまりないだろうと高をくくっていたんだけど、飴の件を経て以降は「なんかどっか自分は変なんだろうな」という予感をおぼえるようになった。この件以前から不器用さとか忘れっぽさなどは自覚してはいたが、それにともなう心の動きみたいな部分についてのズレを自覚したのは、たぶんこのときだ。生きづらいのとは逆で、生きていてひっかかりを覚えるべき部分について、何かを感じることが不得手らしい。自分の真に問題な部分は、なんでもかんでも忘れがちなところじゃなくて、なんでもかんでも忘れてるくせに平気な顔をして暮らしているようなところなんじゃないのか、と時々思ったりする。破りがちな人間は約束をしてはいけない、という当たり前の教訓ですらなんとなく意識できるようになったのがごく最近のことだから、まだまだ今もなおチューニングが足りていないと思う。自分みたいなタイプは本来的には孤独と向き合う暮らしをしたほうが良いのかもしれないと感じることもあって、少なくとも「自分は大丈夫な人間です」みたいなフリをして場に取り入ろうとするのは欺瞞だろう、と考えたりする。それともみんなある程度そうなのか。自分の「程度」がいまだ謎だ。飴について怒ってくれた後輩には感謝しかない。どうしても顔と名前が思い出せないんだけど。

車で走っているときに、車窓から「えんとつ」という巨大な文字が書かれた建物が見えた。しかしえんとつは見当たらなかった。えんとつ。どういう意味なんだろう。実際のえんとつではないのか。一軒家を建てるとして、屋根のところに「プテラノドン」という巨大で立派な文字を書いておいたら、みんな「何がプテラノドンなんだろう」と思うだろうな。たまに人が訪ねてきて「プテラノドンってなんですか？」などと聞いてくるかもしれない。ただなんとなくプテラノドンと書きました、と答えたい。書いてあるからには意味や目的があるはずだ、という思い込みは強固だ。自宅の前に「うどん」と書いてあるのぼりを立てておいて、人が勝手にうどん屋だと思って入ってきたら、通報してもいいのかな？裁判になっちゃったら、相手側の弁護士に「普通に考えて、うどん、と書いたのぼりが置いてあったら、そこはうどん屋なんですよ」と言われるのだろうな。「いや、私はうどんが好きなのでありまして、猫好きが猫の置物を家の前に奥能登同じように、うどんと書かれたのぼりを、こう、ドアの脇にですね、屹立させたのであります」と答えよう。やるというならば、最高裁までもつれさせよう。

親が躾けるなら「正しくない箸の握り方をすると笑われるから正しい箸の持ち方をしなさい」ではなく「他人の箸の持ち方が自分と違っても笑ってはいけません」では？

勉強しなくて残念な人エピソードとして「例を例だけで考える」というのがあって、「文章を丁寧に読むのって大事で、丁寧に読む習慣がないと、例えば旅行の予約なんかで手数料の説明とか読み飛ばして損したりするよ」「いや旅行なんて行かないし」みたいに具体例に該当しないことで反論する

40過ぎても独身貴族で豪遊してた会社経営してる知人が45歳で27歳爆美女と結婚。「もう遊び尽くしたし残りの人生は跡継ぎの子供つくって緩く暮らすわ」と言ってたのが5年前。5 年振りに会ったらだいぶ老け込み「子供ってつくろうと思ってできるもんじゃないな」と悲しそうに言ってる姿が印象的だった。

司会者「ついに最終問題、この問題に正解すると1000万円の獲得です！今のお気持ちはいかがですか？」

怖い回答者「そうですね、大金をチラつかされてクイズに挑戦しテレビ局の視聴率稼ぎのために踊らされる、これで私も立派な資本主義の犬だなあという気持ちです」

電車内での痴漢行為の廉で家族共々晒し者にされた某氏が話題だが、me tooや草津もそうだが性犯罪の問題となると、推定無罪の原則、いくら憤っても私刑は忌避すべき・加害者の家族を晒すなどの連座制は不当という規範など、現代社会を支える価値観が吹っ飛んでしまうのを繰り返し見せられている。推定有罪、本人+家族の私刑等々が繰り返される度にそれはやり過ぎでは、という議論も繰り返されるのだが一向に歯止めがかかる気配がない。表現規制問題にせよ、Metooにせよ、痴漢の事実上の推定有罪判定にせよ、性犯罪全体の厳罰化にせよ、基準となるものが最終的に「法ではない」ものに、何か曰く言い難い極めて強い感情(最早「お気持ち」としか言いようがないもの)に拠っており、かつ法治主義の観点からですら反対が難しい有様を見る。本来、人間の理性を信頼し、普遍的な正義や道徳律の導出やそれに沿った社会の実現を目指すのが左派で、だからこそ一般市民が死刑にすべきと思うような凶悪犯にも人権はあると言えるのだろうが、そういう理性的な人でも性の問題となると処罰感情や党派性に身を委ねてしまうのを結構見るのよな。

公園で工事のおじさんがコッペパン食べながら小説を読んでいた、人生は題名のない一瞬のドラマだと思う

今やってる作品の、とあるスタッフ。以前、ひき逃げの被害に遭ったそうです。幸い怪我で済んだが。で、事故現場に自分で花束を置いておいたら、それを見た犯人が警察に出頭してきたんだって。これってすごくないですか？

「特殊な技能を持つ人たちだけに可能な遊び」って言うと、なんかカッコいい気がしてきた。盤面を見ないで行ういわゆる「目隠し将棋」とか「脳内将棋」とか言われてるものもそうだ。以前「全知全能の神はゲームを遊ぶことができるか」と考えたことがある。なんでも知ってて、なんでもできてしまう神が2人いたとして、そいつらが遊ぶことのできるゲームってなんだろう？ と。当然、じゃんけんなんかできない。未来にどういう手が出るか完全にわかるのだから。しばらく考えたが「存在しない」という結論しか出せなかった。神はゲームを遊べない。ここから逆に考えていくと、ゲームっていうのは、限定的な能力だけを有する不完全な存在だけが楽しめるものなのだろう。全知全能ではないにせよ、超・高度な計算能力があれば、将棋の全パターンを解析することも可能であり、そういう人同士では将棋が成立しない。逆も言える。計算能力が一切ない人間には将棋を遊べない。また、「2手先まで完全に読める」ということが明らかになっている人同士でも将棋は遊べないだろう。つまり、基本的にゲームというのは、ある不完全な能力を有しつつも、その不完全さがどの程度不完全なのかの認知も不完全な状況においてのみ成立するのだ。

サイゼリヤでラムステーキを注文した。かなり分厚くて大きめのラム肉がゴロンと出てきたので少しびっくりした。肉もボルンボルンしていて美味い。サイゼリヤの中では900円と少し高めだけど、相対的には安いと思う。いいですね……。応対してくれた店員が実習生で、うしろにチーフらしき人がついて「この注文のとり方は……」と逐一指導していた。こういうとき、なぜかこっちまで緊張する。「模範的な客」を演じようとしてしまう。急にわざとミラノ風ドリアを床にぶちまけて「おお～っと！ トラブル発生～！ 変な客が来ちゃったよ～！ バイト君、こういうときはどうするんだっけ～！？」と最悪なチュートリアルイベントを起こしたらどうなるかな。出禁になります。

いろいろ植物が売っていて、少しいいなと思った。栽培とか興味ないわけじゃないんだけど、絶対に枯らすんだろうな～と思うと手が伸びない。あと、植物を枯らした後の自分、一切なにも思わないんだろうな、そのときになって自分の冷酷さに引くんだろうなと予感してしまう。だったら造花でいいか、と思う。で、造花をいろいろと見ると、あたりまえかもしれないけど実在する植物の造花しかないのだな。人工的に作るんだから、存在しない「最強の花」の造花があってもいいのに。造花において、現実の花を模すということはわりと重要なんだろうか。植物の色や形状を愛でるのがメインの目的なのであれば、よりおもしろい色や形状の植物を創造したっていいと思うのだけれど。もし植物の全てが絶滅するようなことがあったら、世界に造花だけ残る。こうなって初めて造花は実際の植物という軛から自由になり、純粋な色と形だけを楽しむ対象になれるのかもしれない。どんどんありえない形の造花が生産され、各家庭に飾られる。たまに「昔はこれみたいなのが自然に生えていたらしいよ」などと話題にのぼり、過去の記録写真を見て「へえ、結構センスいいんだな」などと言われる。

ブルボンの菓子、アルフォートに彫られている船に特にモチーフはなく、アルフォート号みたいな船も存在しないらしい。これを知ったとき、少し怖かった。じゃあアルフォートというのは、幽霊船じゃないか。

インターネット見てるとみんな弱者男性と冷笑と分断とポリコレととリベラルとリベラルの限界の話をしている。みんなのインターネットはどうだ。私のインターネットはこうなってしまった。あとたまに猫の画像も流れてくるよ。大きな枠組みとして、まず「リベラル」の軍団がいて（いることになってて）、リベラルな人たちが「あれは差別じゃないか」とか「日本のフェミニズムは遅れている」とかいろいろ社会のもろもろのことを批判しているわけです。みんなも見たことがあると思います。この具体的な内容は今回あまり重要ではない。で、そういう主張は当然ながら様々な面で抑圧的な要素をもつし、反発する動きも生まれるんだけど、ここ最近はその反発のありかたが「リベラル」の鏡写しみたいな様相を呈している。反発における主な戦法が「それは違うぞ！」ではないことが多い。「そうは言うけど」が多用される。「リベラルの皆様の”正しい”御高説、たいへんご立派です。でも、そうは言うけど……」とカウンターを打つパターンがとても多い。「リベラル」が社会に見出して批判した矛盾や落ち度を「リベラル村」の内部にも見出して相殺する感じだ。いろいろと理論立てて社会を批判したつもりになっているけど、その理論に当てはまる誤謬を犯している「お仲間」を、あなたたちリベラルは見てみぬフリしているだけじゃないか。そんなんだから支持されないんだよ。というわけだ。「そうは言うけど」と「そんなんだから支持されないんだよ」が、この対リベラル戦における強力な2本の刀であり、これはなかなか手ごわい。”何やらリベラルが綺麗ごとを言っているが、他ならぬあなたたちがその「正しさ」を恣意的に運用するだけで自己矛盾を起こしているじゃないか。みんなもう、その言行不一致に気づいているから信頼を失っているんだよ。人のせいにする前に自分の態度を改めたらどうなんだ”というのがよくある攻撃の「型」だ。主張の体系に矛盾を見出して突くところなんかはすごくリベラルのやり口なんだけど、それが最終的に「だから支持されないんだよ」に落ち着くあたりはとても大衆主義的で、よく考えられている。大衆主義にもエリート主義にも乗り切れない層がいる。大衆が言ってることが正しいって考え方はバカっぽいから嫌だ。でも、正しさを盾にするエリートは鼻につくし、自分が責任を負うのもしんどい。こういう感覚を持つ人にとって、大衆主義とエリート主義を入れ替えながら巧みに使いこなす現在の反リベラル戦法はかなり魅力的かもしれない。では、この不甲斐ないリベラルに失望して批判する人たちがそのあとどこへ向かうのか。かなりの割合がどこにも行かない。というのも、こういったカウンター戦法を知った人たちは、当然ながら「インターネットで”正しさ”をやる」ということの困難を熟知している。たとえば「こうすべきだ」ってスローガンを打ち立ててハッシュタグかなんかを作って活動する、というようなことをやったときに、その活動がどんなふうに腐敗し、敵対勢力にどう揚げ足を取られるかが手にとるようにわかるので。その結果「連帯を否定する連帯」のようなものが生じつつある。誰かがリーダーを名乗るでなく、こうあるべきだという理想を掲げるでもなく、「リベラル」な連帯の矛盾を見つけては指摘し、その周囲はRTによるゆるい肯定を示し、しかし互いに「仲間」と明言することはない。多用するのは「あの人たち」で、「私たち」の使用は極力避ける。こうすれば「そうは言うけど…」という反論は効かない。ひとりで何かを主張することの無力と党派性に属することのリスクを鑑みると、これはとても合理的かもしれない。でも私は率直に言ってこういうやり口がとてもお下品だと思うし、リベラルな党派性のダメなところを受け継ぎつつも責任逃れの経路はしっかり確保しているという点で有害なメソッドですらあると考える。これは思想の内容の問題ではなく、「連帯を否定する連帯」が力を持つような状況全般の話だ。最近よく取り沙汰されるいわゆる「冷笑系」というやつは単にそれがシニシズムというだけではなく、シニカルな態度を目配せで共有しあうような状況が背景にある。それだけは最悪だ。露悪的で冷笑的な皮肉屋は好きだけど、そういう人間が周囲に目配せをするだけでそれはもうかなりカスになってしまう……。ツイートという仕組みがそもそも目配せみたいなところはあるかもしれない。嫌だ～。誠実でありたいが、誠実でありたいと言うことで不誠実を糾弾されるのはかなり嫌で、でもそれを理由にして自分自身についてのスタンスを空洞にして外部の落ち度に言及するだけのインターネット筒になるのはもっと嫌だ。紅組にも白組にも参加したくないし、私に賛成して信じる人もいらない。でも叩かれたくもない。なんかのクラスターに属するのも、属さない人たちの乾いた連帯に取り入れられるのもやだ。今日生まれて今日死ぬ人として毎日を生き、正しいことをしたい。

現代の私たちは、ものを買う前に商品名でネット検索をしたりする。だいたい検索結果のトップには大手の通販サイトが表示され、そこには必ず「レビュー」というものがある。レビューはすでに商品を購入した人々の声だ。私たちはそのレビューを睨み、それが本当に買う価値のあるものかどうかを見極めようとする。しかし、そこに書かれているレビューというやつは、いったいどこまで参考になるのだろうか。レビューを書く人は基本的に匿名である。場合によっては、企業が雇ったサクラが人為的に高評価を水増ししているということがある。そうでないにしても、ただの一個人の感想をどこまで真に受けていいのか。特定の企業の製品を追跡し、すべての商品に低評価をつけて回る病的な人だっている。私はここ数年、ネットの商品レビューとの付き合い方について暫定的な基準を導き出した。それは、商品の善し悪しを判断しようとせず、性質を知ろうとするためにレビューを使う、という基準だ。ユーザーレビューは「それがどんなものか」という特徴を知るためにあると思おうとするのだ。この基準に従えば「☆１の低評価レビューがきっかけとなり購入を決意する」ようなことが起こりうる。むしろ、よくあると言っていい。というのも、人は満足したときあまり多くを語らないのだ。お気に入りなら「大満足です」の一言で終わってしまう。しかし、不満がある人はよくしゃべる。どこがどう気に入らないのか詳細に説明してくれることが多い。そしてそれは、誰にとっても欠点だとは限らない。「この人はここが気に入らないと言っているけれど自分は気にしないので買ってもいいかも」ということもある。だから、レビューを見ながら、事実だけを抜き出してリストにしてみると便利だ。低評価から主観を排除して事実を抜き出すと、それは優れた説明文になることがある。私が信頼を置くとあるレビュアーは、辛気臭い、後味の悪い物語が嫌いで、そういう映画や本に軒並み低評価を下していた。しかし、逆に私はそういう物語が好きな方なので、彼（彼女？）の低評価を参考にしてみたところ、けっこうな割合で当たりを引き当てられた。逆に高評価を下している物は私には合わなかった。

ああいうコラボでキャラクターが無理やり特定の商品をキャラクターっぽくオススメしてる様子が結構好きだ。案件のためにがんばってるな～って思う。ネルフもエヴァ作るのにお金かかるし、いろいろタイアップしたりしてお金を集めているのだろうね。いずれ「ココス×太宰治キャンペーン」などが始まったら、包み焼きハンバーグをイスカリオテのユダがオススメするなんてことがあるかもしれない。申し上げます。申し上げます旦那様。あの挽き肉は、美味い。はい。包み焼きです。チーズinです。ああ。我慢ならない。

インターネットばっかやってないで人間と対話をしろよなんて陳腐極まりない言葉があるけれど、まあ陳腐というのは言われすぎているから陳腐なのであり、そして、いろんな人に言われまくっていることは概ね正しいのだ。つまらないことだけれど。インターネットばっかやってると、狂う。これはわりと事実なんだろう。正確には、インターネット上における文字でのやりとりやSNSのタイムラインを眺めることを全てのコミュニケーションの代用品にしていくと、狂っていく、と思う。その理由はいろいろあるけれど、ひとつには「表面化したものだけが可視化される」という側面にある。つまり、インターネット上に出回る文字情報というのは、いずれも発信者が「書くぞ」と意識して、書いて、エンターキーだか送信ボタンだかを押して、高速回線で世界中にバラ撒いたものなんですね。一方で、原初的なコミュニケーションというのは、身振り手振りや声の調子、まばたきの回数など、いくつもの話者が制御しきれない要素があって、もともと発しようと思っていた内容以上のものが漏れ出てくる。本人にとっては不本意ではあるが、実はこれが重要で、言いたかったのに言えないとか、言うつもりはなかったことを伝えてしまうということが頻繁に起きる。すると必然、会話はテニスのラリーのように軽快なものとはならず、ボールを受け止め、持ち直し、投げて、地面に落っこちて、拾って、投げて……という、淀んだものになっていく。ここにたくさんの情報が詰まっているのだが、基本的に意図したことだけが伝わるデジタルなコミュニケーションにおいては、このハミ出た部分を読み取るのが非常に困難だ。たとえば、ヒカキンが必ずカットする息継ぎの部分にこそ、ヒカキンの人間としての「淀み」があるはずなのだが、表面に出したい部分だけが表面化していくことになる。意図してなされる発言には、それがどんな内容であろうと、発言であるというだけで「これはこのようなものである！！」という主張の要素がこもっている。インターネットは大量に浴びせてくるのが、結構ヤバそうだなと個人的に思う。目をそらしつつおずおずと、とか、言いそうで口ごもる、という動作のうちに、表面化した言葉の裏にある、無限の「言われなかった言葉」の気配を感じ取ることができるはずなんだけど、それはアナログな会話に身を投じないとすぐに忘れてしまう感覚だ。ネットの炎上事件なども、あれは炎上したから可視化されているわけで、背後に「炎上しそうでしなかった出来事」が無限にあって、その当事者は「はぁ？」と思いつつ拳を下ろしたり「ま、そういうときもあるか」と笑顔を作ったり、「あれは本当にすみませんでした」と頭を下げたりして、穏便に終わっているはずなのだ。ただ無罪なのではなく、わだかまりを残しつつ穏便に終わっているはずなのだ。誰を推して誰を叩くかハッキリ決めなければ不安な気がしがちだけれども、案外わだかまりが残るところが長期的には気が楽だったりすると思う。わだかまる訓練をしたい。

ペペロンチーノは別名「絶望スパゲティ」であるらしい。理由は諸説あって、絶望しているときでも美味しいからとか、オリーブオイルとにんにくと唐辛子さえあればどんなに貧乏でも作れるからとか言われている。こういう料理に「絶望」とか名付けた人、現代の感覚で言うところの「バズ」を経験したんだろうな～。絶望パスタ命名マンは「よっしゃ～！ ええトコ突いたたっで～！」と得意満面であることだろう。なんだか癪だ。いまSNSで浮かれて「罪の味の簡単からあげ」とか言ってる人のレシピが300年後も「罪からあげ」として普通に親しまれていたら、なんか嫌である。そのウケはその時代だけで時産時消してほしい。語り継がなくてもよい。

実家ではオナラをするたびに家族が笑ってくれたので『人前で屁をこいてはいけない』というルールを知らず、就職後も静かなオフィスでずっとオナラをこき続け、ある日経理の女性に呼び出されて『●●さん、人前ではね、オナラをしてはいけないの』と真顔で注意された友人のこと、私、一生大切にします

オープンワールド系のゲームを遊んでいて、そこらへんの一般人の悩みを解決してやるとすごく感謝されるが、直後にもう一回話しかけると「なんだ？お前、用がないなら失せろ」とかなり冷たくあしらわれるの、なんか興奮する！「結局、システムなんだな」って事実を突きつけられてるみたいで背筋がぞくぞくする！

買うものはとくにないがIKEAを見た。かなり広い。「居住」という概念を解体してカテゴリ分けし、直線状に配置したところを歩いているような感覚を得ることができる。

家族連れがアレコレと家具を見ながらゾロゾロ歩いていて、なんでもないその様子が妙に面白かった。家族って集団行動をしがちだ。当たり前みたいな顔をして、行動をともにする関係がある、という事実っておもしろくないですか。

精巧な造花がいろいろ売っていた。同じ種類の枝を見比べてみたら、葉のつきかたから枝の角度まで完全に同じだった。造花なんだから当たり前のことではあるけど、なんかちょっと怖い。実際の草木も何パターンかしかない型から抜き出したものをバレない程度に使いまわしてるだけだったらどうしよう……とか思ってしまう。

「見た目がいい」ことのメリットを挙げるなら、それは「愛着を得る経路の省略」だと思っています。たとえば気心の知れた友達とか、ずっと住んだ家の中とかを思い浮かべると、なんとなく安心感というか、好ましい感じが湧いてきますよね。でも、それはその対象との関係を長い時間かけて作ってきたから湧いてくるものです。「見た目のよさ」は、その歴史的文脈を省略して親愛の感覚を抱かせる要素です。よく「映画やドラマの登場事物って美男美女ばっかりだよな」って揶揄がありますが、あれって一種の誇張表現であって、”実際に”美男美女なわけじゃないと思うんですよ。主人公を石原さとみや菅田将暉みたいな美形が演じると、その人物がまるで観客である自分にとっても重要な人物かのように思える。それが「美」のもたらす錯覚の効果で、感情移入のために美形がキャスティングされているわけだから、ほんとうは「美形であること」は、映画ドラマにおいては重要ではないといえます。エンタメは1分で客の目を惹きつけないといけないから「美」に頼るんですけど、実際のリアルな生活における人間関係はもっとゆっくりと時間をかけて形成されるものなので、美しいことのアドバンテージは思いのほか限定的になります。さっき書いたように、別に美形じゃなくても旧知の友人の顔には好ましい印象が湧いてくるものだし、それは総合的な印象であるがゆえに、ちょっとやそっとの表層的美では太刀打ちできないくらい強いと思います。で、容姿が優れていることを褒められるのが喜ばしくないっていうのは、その美が自分の意思にもとづいて作り上げられた（と感じられる）ものではない限り、自分自身の歴史性と無関係に思えるからなんじゃないかなと想像します。しかも美しさは短時間で親愛の情を植え付けるので「なんの経緯もなしに、一方的に近づかれてる！」っていう印象になるのかなと。嬉しくないどころか、ちょっと恐怖でもありますね。話が散らかったので無理やりまとめます。「容姿がいい」ことは明白に価値であると思います。ただその価値を所有しているのは自分自身であり、その価値を通貨のように流通させるかどうか決めるのはどこまでも自分次第であるはずです。自らの美に価値を見出して利用することと、他人の価値を勝手に、小銭のように使ってしまおうとする人の不躾さに反発することとは、別々に両立するのではないかと考えます。

焼肉弁当を出前注文したら、間違えて1個余計に頼んでいたことが発覚。昼に焼肉弁当を2人前食べることになってしまった。なんとか食べ切れたがかなり腹がいっぱいになり、困った。食べずにとっておいて、あとで消費すればよかった。食べずにとっておいて、あとで消費すればよかったんだよ！！！こういうことができないの、ヤバくない？こういう「できなさ」、意味分かんない人には本当に意味分かんないだろうな。自分だって意味がわからない。ふつう「できない」って「気づいていなくてできなかった」か「自分の能力やタイミングの問題でできなかった」のどっちかに属する問題だと思うんだけど「問題に気づいてるし、タイミングはバッチリ、能力的にも可能、なんならやる気もある。だが、できない」ってことがある。アレ、何？

「宇宙人家族がふりかえると、宇宙人家族が飼っている、ブタ＝オリンピッグが、オリの中で興奮している」「ブヒーブヒー」が案としてやばすぎるのはまあ大前提として、その流出の経路や非難の浴び方、手打ちの方法にモヤモヤ感は残った。「仕事上の機密をリークするのもヤバいだろ」って指摘もあるのだが、どちらのヤバさも両立するというだけの話で、その両要素がリンクしたとき不穏な雰囲気になってくる。要素だけ取り出せば「最悪な言動が許される場は存在すべきでないのか」みたいな問題が横たわっている気がする。今回はLINEのスクショが流出したが、場末の居酒屋の発言が録音されてリークされるパターンもぜんぜんあるわけです。「そもそも最悪なこと言ったらだめでしょ」というのは一見正論ではあるんだけども、それは「言う」行為から局所性を剥ぎ取る可能性を示唆している。「仕事仲間だけ入っているLINEグループ」における発言にどこまで社会的責任が伴うかは人によって意見が割れるだろうけど、ある程度閉鎖された環境における言論を公共空間に引っ張り出してくれば、それを公共空間における基準で糾弾することが正当化できると認めれば、表現の倫理コードは公共空間という単一の基準に均質化していくことになるだろう。ネットのインターフェースが導いてきた流れかもしれない。たとえばTwitterは、情報から文脈を消して均質化するツールの代表格だ。どんなシチュエーションでなされた言動も、スクショして撮影して録音してツイートすればみんな同じ拡張子で公開される。スクショひとつでグループLINEのための言葉から「グループLINEのための」が漂白され、ただの「言葉」になる。局所性が剥ぎ取られ、倫理コードが均質化していくことに抗いたければ、「最悪」を許容する場を社会の中に作らなければならないし、それを公共の言葉で正当化しなければならない。これはとても分の悪い戦いだ。局所的な「最悪」の正当化を主張するにあたって、公共空間という土俵にいちど立つ必要があるからだ。おそらくその土俵の上での主張は「”局所的な最悪”の正当化」ではなく、その「最悪」の内容そのものの正当化として絶え間なく読み替えられ、主張をしたこと自体が非難される。この差を明快に説明するのは難しい。「密室で、限られた相手にならちんちんと叫んだっていいじゃないか」「いまちんちんと叫びましたね」みたいなことになったりする。「表に出てきてしまった以上はそれは表のものとして扱って良い」という考えには個人的に反対している。公共の倫理やルールはあくまで社会維持のためにある局所的な決め事で、それ以外の「層」が必要だと考えているからだ。ほんとに文字通りの意味で「何を言っても良い」場は重要なのでは、と考える（仕事仲間のLINEグループがそれに当てはまるとは考えていないけど）。ただ、私のこの考えをちゃんと説明しようとすると、恐ろしいほどの慎重さが求められる。たんなる反ポリコレやアナーキズムに読み替えられないように言葉にすることは、今のところまだできていない。

会社で「大変なので義理チョコはやめましょう」といっても「とはいえ、やらないと失礼になったら嫌だしな……」と思われて効果が薄いですが、「本気の人だけチョコを贈るようにしましょう」というと、本気だと思われたくなくてピタりと止まります。

バズツイにリプしてた垢のbioが「54歳おっさん/空気はあえて読まない/座右の銘は〜」とまあ痛い感じのアレで、悪口愚痴何でも有！って貼ってあった裏垢を興味本位で見たら、冬の幹線道路やシャッターの降りた歓楽街などの静謐で美しい写真が無言で投稿されてて、人間って何だろうな……と感傷に浸った

エヴァ全般の演出に言えることだけど、あらゆる装置が、その大きさに対して動きが敏捷すぎる気がする。見てて怖い。第3新東京市は使徒がときどき来て大暴れするから、戦いが始まる直前になると市民の住んでいるビルがまるごと下降して地下に潜るんだけど（最初から地下に住めばよくない？）その速度がめちゃくちゃ早いんだよな。数百メートル級はありそうなビルが10秒もせずに完全に地下に収納される。中に住んでる人や家具にかかるGは大変なことになりそうだ。あんな物騒な地域に好きこのんで住みたがる人は少ないだろうから、市民はネルフの関係者とかが大半なのだろう。しかし彼らにも生活があって、それぞれの家庭で「今夜はカレーだよ～」「やったぁ～」みたいなやりとりがあるはずだが、ビルが前触れもなく上下運動を始めたら、カレー皿も住民もフワァ～って浮き上がって、部屋中がカレーまみれになったりするんじゃないか？ そういう重力負荷対策のために、すべての家具がガッチシ固定してあるかもしれない。装置の動きが敏捷すぎるという特徴は本当に徹底している。シンジくんが入院しているシーンで綾波レイが訪ねてくるシーンがあるのだが、病室を立ち去る綾波を覆い隠すように閉まる自動ドアの開閉速度さえものすごく早くて笑った。ウィーン！ ガゴン！！ くらいの勢いで閉まる。けが人や病人が主に使う施設のドアですら全力で開閉するのがエヴァの世界観なのだ。あとずっと気になっててやっぱり再見しても気になったことでいうと、ゲンドウが個人的に使っているであろう部屋（個室？）が広すぎる。1センチサイズに小さくなって、空きピザ箱の中に入って中心から周囲を見渡した、くらいのスケール感で、設備はど真ん中に事務机があるだけ。ゲンドウは閉所恐怖症なのかな。冬月はだいたいその部屋でゲンドウと意味深なおしゃべりをしているけど、部屋の中央にたどり着くまでの間、気まずくないんだろうか。っていうか、ダルくないんだろうか。「入り口の近くに寄せろし」と思ってるんじゃないか？ゲンドウはゲンドウで、入室してきた冬月が遠くからゆっくりゆっくり歩いてくるのを意識する数十秒間がしんどくないんだろうか。そういう性格がシンジからの信頼を損ねているんだぞ。

トレーディングカードゲームってすごいよな。まずゲームとしての戦略性がめちゃ高い上に、その戦略を成り立たせるカードを持っているかどうかという部分がハードルになっている。戦略×財力×運みたいなことじゃない？ イコール……無限大じゃん。よく知らないけど。「果てしね～」って思うし、「果てしないな」と思ったらシオシオ……とモチベーションがしぼんでしまいがちなのが私のあまりよくないところだ。天井が見えていないとはしごをかけられない。

「雪の降る町」という普遍的なワードを見るだけでどこの誰かもわからない特定男性が浮かんでくるのを生涯防げないの意味不明なんだよな

有名すぎる人物がいることで、その名字が特定の一人しか指さなくなってる例がたまにあるな。「宇多田」とか「妻夫木」とか「道重」とか。「蛍原」は文字列はかなり詩的でフィクション向きなのに創作で見たことがない。

人の主体性を奪うには「提案をさせて採用しない。意見を言わせて受け取らない」を繰り返すと効果的です。命令で押さえつけるよりもこの方が無力感を覚えさせます。「何でも好きなものを選んでいいのよ」「じゃあ僕これが食べたいな」「それはちょっと体に良くないかもね。ねえこっちの野菜は美味しそうよ」このような何気ないやり取りで、こどもは結局主体的に動いても相手の意向に従わざるを得ないのだということを学び、沈黙していきます。

【「ジュースの中にコレだけ砂糖が入ってますよ」あるある】

半分にされた角砂糖がおもろい

人生をかけた転職試験の小論文で、「宇宙人の末裔はムー大陸に住んでいた。」「日本人はムー大陸の系列の血である。」「太陽系外から飛来した知的生命体は実在した。」等と書き散らすの、滅茶苦茶気持ち良いだろうな……（その後ら首を吊らざるを得ないのが難点ですが……）

仕事でミスしたら一刻も早く寝よう。明日になれば、そのミスは「昨日のこと」になる。明後日になれば「一昨日のこと」になる。

子供が寝入りにぐずるのは寝るのが怖いんじゃないかなーと思ったことはある。死に近い。成長してぐずらなくなるのは「寝る」という概念を理解するからだと思う。

若いというのはそういうことだよ。未熟な判断力で、そのとき正しいと思ったことをやるしかない。そして大人になればわかる。成熟した判断力など身につかないことを。人間というものは迷いながら死ぬまで生きるものだ。

殺害予告ではなく出生予告をして出産しようかな。

芦田愛菜が一時期歌ってた「夢いっぱい云々」って歌（今調べたらステキな日曜日〜Gyu Gyu グッデイ!〜って歌らしい。本当にステキなのは土曜日だぞ社会人エアプ）が彼女の中で黒歴史になってたらめちゃくちゃ面白いと思う。枕に顔を埋めて足じたばたしてたら。

「ダンボルギーニ」って思いついてニヤニヤしながら調べてみたら全然あった。凡人の考えることなんかそんなものだ。

「ちなみに奥さんはいかがですか？」「奥さん…？その呼び方はやめていただけませんでしょうか」「じゃあえーと……妻は……」

なんで社会人なのに、こんなひねくれた中学生みたいな人達と接さなきゃならないんだ…。

さっき「水道管が凍結して水が出ない時は熱湯ではなくぬるま湯をかけて」とニュースで言ってるのを見て娘が「ぬるま湯沸かす水はどこから出すの?」って言ってた。お母さんもう会社なんて行かないでその思索の海に一緒に沈みたかった。

トランプがちょっとマイクパフォーマンスしただけで30秒進む終末時計を兵士数十万人動員して戦車数千両溶かして村人埋めつつ核戦力チラつかせながら1年近くフルスケール侵攻やってんのに10秒しか進められなかったプーチン、あまりにも雑魚すぎん？

76歳のスピルバーグが、一昨年に父を亡くすまでは孤児になるのがどういう気持ちなのか、どれほど深く傷つき、深遠な、海の底まで届きそうな思いになるのかわかっていなかったといっているのが新鮮といっていいかどうかわからないが新鮮で、70代後半ならほとんどの人が「孤児」だ。配偶者も子供たちも孫もおり、それとは関係なく「孤児になる衝撃」がある。表立って口に出さないだけで、「自分は孤児になった」深淵を抱え続けている70代、80代、90代が当然にいるということ

この御時世、「グヘヘー女は昇進させないぜー」みたいな上司より「女性に昇進を打診しても断られる……リーダーをやりたがらない……育休明けたら時短勤務……そして退職……どうして……」みたいな上司の方が多いんじゃなかろうか。そこをなんとかチームリーダーにしてみたら、しばらくしてそいつの部下の女性が泣きながらもう無理ですと言い始め、これはまずいと上司になった女性と話したら泣き始めみたいな地獄ある。

コスパ・タイパ重視で、SNSに若い頃から慣れ親しんで「成功者」への憧れが人一倍強いZ世代が最終的に行き着く先が「パパ活」「闇バイト」「強盗殺人」なの、当然の帰結感あって最悪すぎる

【帰り道にイヤホンで聴いてる音楽あるある】

家に着いたとたんにどうでもよくなる

【ツボっている人にツッコミを入れ続ける人あるある】

自分のツッコミで笑いが増幅していると勘違いしているが、本人は思い出し笑いし続けているだけ

【冬のお風呂上りあるある】

夏の「風呂から上がっても寒くない」という感覚をまったく思い出せない

いまインドの空港では、日本からの乗客は50人に1人が無作為に選ばれて別ルートに連れて行かれ、PCR検査を受けなければならない。その不運な人に自分が選ばれたのも驚いたし、「約8時間後に結果を連絡する」と言われてそのまま街へ放たれたのも驚いたし、100時間経っても連絡がないことにも驚いている。

ビートルズにせよ何にせよ「たくさんの人の心を動かしたから価値がある」論は、結果論から逆算した権威主義の浅ましさだけでなく「じゃあ少数の人間しか救わない、感動しないもの」は踏みにじっていいのかという危険性に無自覚ではないか。多数派にとって不快な表現によってしか救われない人は救われなくていいのか。多数派と同じにならなければならないのか。自分は救われたいと叫んではいけないのか。

世の中、人間としてやべえなと思う人でも結構結婚してるのでそれはあまり重要ではないのかもしれない

AAは本当に旧世代の文化になったよな・・。突飛な発想と精微な技術で作られてたものも多かったんだが、後世から見たら古代文明の謎の建築技術みたいな扱いになっちゃうんだろうな

ウマ娘はじめて、競馬はじめて、ウマ娘めんどくさくなって辞めて、ただ競馬をやる小汚い中年男性になった知人が多数おり、なんなんだこれは

上司があまり褒めてくれないので、もしかしたら褒めるタイミングが分からないのかも知れないと思って「これについては褒めていただきたい」と自己申告するようにしていたら最近「この報告書の捺印、力強いね」等と褒めてくれるようになりました。

葬儀のとき、スタッフがやってきて「あちらのお客様からです…」って棺を持ってきたらめっちゃ面白い。

限界集落は訳もなく限界集落になったのではない。新たに棲む人が増えないだけのそれなりの理由あっての限界集落なのだ。

むしろ「ナチスにはいい面もあった」は真実だからこそ歴史は怖いんだが。ナチス絶対悪論を安易に唱えると、主張の矛盾が起こって「センセーは嘘教えてる」という信頼の失墜が発生する。そこから「嘘つきの言うことは全面的に信じるな」と陰謀論が入り込む余地を与える。 ナチスの良い面（産業への投資など）はレイシズムとジェノサイド、戦争責任を免責するものではない、という風に、トータルで考えねばならん

大体の場合、ケモナー(動物で抜く人)は少数派だからケモナーという呼称が発生するが、ケモナースレではケモナーでない人の方が少数派なのでヒトナー(人間で抜く人)という呼称が発生する

君が代って終わったあとハイハット4回鳴って始まりそうな感じがある。

単位が足りなくて卒業できなくなる夢を見たことはないけど単位が足りなくて卒業できなくなったことはある。

自分の嫌いなコミュニティを批判するのに「ブーメラン」と「年齢層が高い」っていう悪口だけで戦ってる人見てると、乏しい戦力で組んだデッキでそれなりに楽しんで遊戯王やってた小学生時代を思い出す。

「外国の人がサラッとシェイクスピアを引用した話をしてて教養の差を感じた」みたいなのよくネットで見るけど、われわれ日本人が普通に使う「一を聞いて十を知る」「後生おそるべし」なんかも論語から来た慣用句で、こういうのを外国人が聞いて恥じ入るのか。結局単なる白人崇拝な気もする。

マングリ返しっていつ聞いてもすさまじい迫力がある言葉だ。性差別的との誹りを免れないのでチングリ返しもつくれ。

毎日ChatGPTを使ってるけど、どれも的確に整理された返事が返ってくるので頭が整理されてとても良い。それで思うのは今後の「若手」はどうすべきか問題。今までは若い頃に、上司から依頼されたことを悪戦苦闘しながらなんとかまとめて、その繰り返しでだんだん全体像が掴めるようになってた。AIがそういう「下ごしらえ」の仕事のかなりの部分を担えるようになると、人はどうやって仕事に習熟していけば良いのか問題が出てきそう。一つは、若手もAIを使いこなして「知の高速道路」を駆け抜け一気にスキルアップする可能性。これは間違いなく来ると思うけど、全員そうなれるかは難しそう。なので、AIを「メンター」として若手の育成を行なう仕組みの構築は今後すごく重要になってくると思う。AIの、何を聞いても「嫌がらない」「バカにしない」「怒らない」という特性を活かした、仕事の試行錯誤を反復的に何度でも行える教育システム。これは人間の技能習熟を早めてくれる可能性ある。

ジジイになって優先席座る時って、序盤の街にあるストーリー終盤でしか開けられない宝箱開ける感覚なんだろうな

「大阪駅に停車中のふちゅう…普通電車が…」という車掌のアナウンスが流れた。周りの少女たちが一斉に「ふちゅう」「ふちゅう言うたで」「ふちゅうでんしゃ」「ふちゅうて」と反応。大阪人は、逃さない。

ビール片手に餃子を食ってる常連と思しき爺さんらを目にする度、「私はいくつになるまで王将に通えるものか」と思案していたが、今日隣に座った爺さんの「肉抜きチャーハン油少なめ」という注文を聞いて「老いたら老いたなりの王将との付き合い方があるものか！」と目から鱗だった。

昔の話、こんなさむい日の朝。エアコンの室外機の下にねこがねこがいる、と同僚が言うので見にいくと、すごくおだやかな顔で本当に完全にまるまってねてる姿のまま固くなってるねこがいた。たぶん室外機の下で暖をとっているうちに冷えて凍死してしまったのであろう。

小学生の登校中、幼馴染の同級生が、二人でハマっていたレースゲーの裏技について話し始めた。どこかのコースで突然に道路に車がめり込んでいった、というバグで、疑うことを知らない私は純粋な目でそれを知って驚いていた、のだが、その何日か後、それは嘘だった、ごめん、と謝罪された。そのエピソードはなぜか私にとってものすごく愛おしいものに思われた。あの数日間、彼は嘘を私についたことの罪悪感に悶え苦しんだのだろうか。

ある程度の年齢や立場になったら、誰がどこに入っても回る職場を構築することこそがデキル人間だと気づいてほしい。標準化と育成こそ、かけがえのない仕事よ

「了解しました」が失礼かどうかって議論だけど、下級者が欠礼したら容赦なくシバかれる自衛隊において下から上に対する返事が「了解」で良しとされてるってのが全ての答えだと思うぞ。

流行りって追うには短過ぎるし、追わないには長過ぎて辛くないですか

「頑張ればできる」というのは危険な励ましだな。すごく頑張ればなんとかできることを、当たり前のようにやれと言われても困るよな。「なんとかできることもあるが、すごく疲れる」ものは成長ではなく、「無理」なんだと思う。自分に向いていることはもう少し楽にできる。無理を重ねちゃダメだよな。

寿命半分と引き換えに、ドリンクバーのボタンが「押したら一定量まで注ぎ続ける」タイプか「押してる間だけ出る」タイプか見分けられる眼を手に入れた。

18万人に膨れ上がったGoogleが、非効率と官僚主義と社内政治の塊になっているという話を聞くと、いつの時代も「少数精鋭」こそ、革新的な組織の鉄則だと再認識する。ただし、誤解するな！少数精鋭とは、優秀な人を厳選することではない。少数だから精鋭になる、ならざるを得ない！ということなのだ。

パンドラが箱を開けるとあらゆる災いが世に解き放たれ、底にはシリカゲルだけが残った。

ネットの「遅刻」とかの話、発達障害の話まったくしてないのに「発達障害で遅刻しちゃう人がいることも理解してほしい……」というリプがつき、それがTogetterでまとめられて「障害だからといって許そうとは思わんよ」みたいなコメントがついて、そこでようやく『完成』という感がある。各自好きにしろ。

それで満足する人「注がなきゃやってらんねぇよ」

タクシーに乗り込むなり100円玉握らせて「いけるところまで！」って叫びたい

うつ病になる人は、その家庭の中で縁の下の力持ちとして頑張っているが、皆から尊敬されず、犠牲的役割を果たしている場合がある。

寒波で「寒い寒い」言ってると、「ロシア人はこのくらい平気でしょ？」と必ず言われるけど、ロシア人は冬に外で活動する概念がないし、屋内は常に25度以上ある所で生活してるから、冬でもエアコンしかなくて外に出かけなきゃいけない日本の寒さを経験すると皆いつも「死ぬ死ぬ」って騒ぐくらい弱いよ？そんなわけで冬に寒い思いをすることがないロシアにカイロ持って行ったことあるけど、全然必要とされなかった。外ではカイロくらいじゃ効かないし、家では必要ない。

怒鳴り散らして相手の行動を変えようとする人は、「相手の行動を変えよう」と考えて計画的に怒鳴り散らしているわけではなく、進化の過程で獲得された「相手の行動を変えるスキル」が自動的に発動しているだ、という気づきを得ている。我々もそれによって本能的に行動を変えてしまうのが良くない。なぜそんなことを思うかと言うと、怒鳴り散らしている人に極めて淡々と話し続けると、勝手に怒りが過ぎ去るからだ。ただし暴力だけは別だ。暴力には悪意がある。暴力の予兆がないか観察しながら、極めて淡々と反論し続けると、意外と怒りはおさまっていく。

コメントできるマンガサイトやマンガアプリでやけに辛辣なコメント残してる奴の大半はこういう心理なんやろなぁって思ってるわ。令和の李徴はネットで虎になるのだ。

嫉妬は自分の可能性への激賞ですよ。自分ができると思っているからそれをしている他人に腹が立つのです。それがわかったらやることは一つ、ただ創作を行うのです。

2000年代以降の日本しか知らない自分としては、パワハラ・セクハラ、長時間労働が当たり前で育休も満足に取れず、終身雇用で働いて結婚して子供育てる道以外なく、今みたいに個人が発信する手段もなくて、Netflixで気軽に映画も観れない時代とか絶対イヤなんですけど…って感じ。

「ツイフェミなんかやってる女はもし男に生まれてたら元気にモラハラしてたしなんならDV痴漢で捕まるタイプ」ってヘイトスピーチはもうしましたっけ。

自殺、いくら「責任から逃れてはいけない」という責任を負わせたところで、「逃れてはいけない」という責任自体から逃れられてはどうにもならない。

60歳でリタイアして年金で生活出来るという空手形が最初から存在してなかったかのような空気になってるのが凄い。

「自分がされてイヤなことを他人にしてはいけません」と教えると「自分は別にイヤじゃないからアリっしょ」と解釈する場合があるので、だいぶ幼い頃から子供には「悪意があろうがなかろうが、とりあえず相手がイヤだと言ったら即座にやめろ。そして二度とするな」と指導してた。

あ、あの時見逃して頂いたリスクです。ありがとうございました。おかげでしっかり根の深い課題になれたのでお礼に参りました。心ばかりの品ですがこれらできる限り重要度や緊急度の高い課題を置いていきます。

意識高い東京の人が限界集落に行って破綻するやつ、当たり前なのに続出するってことは、東京にいると人が多すぎて人脈なくても生きてけるって感覚になるんだろうか

40代半ば過ぎくらいになると、今までの自分の経験や知識を若手に伝えたいとか言い出すおっさんは多いけど（正直私もです）、そんな話を聞きたいという需要のほうが遥かに少ないことを忘れんようにな。

40年前は「これやっとけば確実に幸せになれますよ」っていう言わば大いなる保証が存在する時代でした。大学に行けば、大きな企業に入れば、会社にしがみつけば、生涯が保証されていた時代だったんです。

楽だからという理由で家の外でも中でもUNIQLOばかり着ていると、一生パジャマの気分というか人生そのものにメリハリがなくなる気がするな。

これだけ光熱費が高いと押し入れで大麻を育ててる人たちも大変なんじゃないか

ストレスを排除したSNSはまさにそれゆえに暮らしの中での重要度が低くなって続かないみたいな嫌な構造がある気がする。

女性の「私がなんで怒ってるか分かる？」は、答えを当てたら「分かってるのに何故！？」と詰め、間違えたら「そんな事も分からないの！？」と詰めるだけなので、実質「今から貴方を殴ります」以上の意味はない。要は詰める為の詰めであり、これが出た時点で建設的な話は望めない。「さあ？あなた自身も本当はよく分かっていないんでしょう？」みたいな返しをした時が一番激しく怒られた。

薬局に注意欠陥人間の証明書みたいなの持ってくるの忘れて処方してもらえなかった。本当に大切なことってコトバやモノじゃなくって態度に出るって私は信じてるよ。

歯医者で「噛む力を調べるのでアーモンドを咀嚼した後、紙皿に吐き出してください」てアーモンドを口に入れられた時(めっちゃ噛んでるふりして無傷のアーモンド吐き出したらウケるかな)てクソしょうもないこと過ったけどウケに歯医者きたんじゃないしウケるわけないからかなり噛めますアピだけしてきた

九州出身の男性の同僚が何人かいるが、みんな人を性別で別け隔てすることなく誰にでも優しく、お酒も私より飲めないくらいで、いわゆる「九州男児」のイメージにはそぐわない人々だ。本人らは「僕たちのような男は九州に馴染めなくて出ていくので、九州では男児が濃縮されている」と冗談で言っていた。

金曜夜7時の新幹線。あちこちで「ﾌﾟｼｭｯｶｺｯ」の音が響く。良き。

証明写真アイコンにしてる奴って承認欲求の塊だからSNSに向いてると思うよ、社会には向いてないけど

我が友、李徴をイメージしたココス特製デミグラスハンバーグだ。巌窟で横たわる虎の縞のようなホワイトソースに、臆病な自尊心と尊大な羞恥心をイメージした複雑なデミグラスソースが絡んで、思わず咆哮したくなる味わいだな。

うつぶせで整体受けてるとき施術者がひとり加わってきたのに気づかず「手が4本ある施術者！？」とかなりびっくりした（手は4つもない）

川崎のバーで、川崎の治安の悪さについて、「確かにヤクザシティみたいな場所ありますからね」ったら、店のお姉さんに、「ううん、あのへんは酔っ払い客が暴れると、すぐにヤクザがボコボコにするから逆に治安良いのよ」って言われて、そんな、力ですべて解決してる街を、治安良いとは言わないだろ…。

Twitterやってるとあらゆる物事に対してリアクションをとってただちにポジションを示すべき錯覚させられるの本当によくないな。物事を知ってから判断してリアクションするまでがあまりに短く批判的に考える余裕がないし、一度ポジションをとると意見を翻すのが難しくなって修正が効かない

ネットカフェで精算するのを忘れて帰宅し、無を宿泊させたことがある。

下のものは命令だから平気で悪いことをやり、上のものは自分がやらないから平気で悪いことを命令する。おそらく、過去のどんな悪の帝国も組織も、その中の構成員のほとんどは善良で平凡な連中だったのだろう。

スパゲッティ食べてたら厨房から「スパゲッティの種類ってぜんぜん覚えられないよね」という声が聞こえてきた。

成分表の「えびやかに」が形容動詞に見えるときがある。

すでにある社会規範をすべて無視して、今人間の持ってる技術や資源を総動員して一人の生まれたばかりの赤ちゃんの人生を最大限幸福にする、というプロジェクトがあったとしたらその子はどういう人生になるんだろう。

魚より肉が好まれる理由の多くは骨だと思う。魚は骨がないから一思いに食べられない。不便だ。もしカロリーメイトに小骨があったら全然売れていないに違いない。

これはホントの話なんだけど、ある会社で仕事は出来るが性格はキツくて有名なAさんという女性がいた。絶対次に昇進すると噂されていたが、先に上に行ったのは年下のBさんだった（ちなみにBさんも女性）。自分を認めてもらってないと思う人は、総合で省みてみましょう。

マニュアルや手引書や「こうすればいい」という世の中の常識は、責任回避傾向の強い個体に擬似的に責任を取らせる為にあるのかもな。本来「やった事の結果」に対して責任が降りかかってくるが、マニュアルを挟む事で責任の範囲を「マニュアルに反した事をしてないかどうか」に限定し、裁量権を削る代わりに結果の責任を問わないようにする。これは「こうすればいい」という世の中の常識も同じで、常識に従っている範囲なら結果への責任がかなり緩和される。これもある種の裁量権の放棄だ。そして「政治は結果責任」というのは、フルスペックの裁量権を与えられた人間は結果に対して100%の責任を負わされるという事なのかもしれない。

誰かが「東京外国語大学は日本一英語ができる高校生を集めて四年かけて普通の人にする」ってツイートしていて笑った。

代々木に住んでた頃隣人が深夜にDVもののAVを大音量で流すタイプのキ〇ガイで俺も般若心経を大音量で流し大声で復唱することで対抗してたけど、二つ隣の空き部屋に深夜二時に玄関先の廊下で手刀でスイカを割る、本物の男が越してきてから一年近くに渡って戦ってきた隣人との闘争も一瞬で終結しましたね

重度の糖尿病だった祖父が死ぬ直前にみんなで声を掛けたら一回だけ目を覚まして「なんで起こすんだ、やっと楽になれたのに…」って言われたのずっと心に残ってる。

インターネット、最初のころはサイトひとつ作るのにも世界に発信されるのかといちいち感動し、発信されるのと読まれるのとは違うのだが無駄に英語バージョンも作ったりしたのだが、今では知らん人の腹下したとかいう呟きを読んでいる。

スリーバント失敗でアウトのルールってきっと最初は無かったよな。多分お調子者がバントばっかりしてファール連発してて、試合が全然進まないで変な空気になったから追加されたんだと思う。

インターネットにおける"創作"に対する崇拝、ちょっと怖い段階に来てる。毎日朝起きて会社に行って一日働いて帰宅する人が"普通に偉くてすごい人"で、日々自らの欲望を隠すことなくさらけ出して筆を走らせてるような人はどちらかと言うと"怪異"に近い存在なんだよな、凄いことではあるけれど。

「下書き保存」と「上書き保存」って対義語っぽい見た目をしているのに全然対義語じゃないなぁ。

超ひさしぶりにクレジットカードの明細を見たところ、全く見に覚えのないサブスクに3つほど登録し、お金が減り続けていたことが発覚。即退会した。そのうち1つは確定申告用の記帳ソフト、もう1つはタスク管理ソフトだった。ちゃんとするためのサービスが原因で無意味に金が減り続けていたのか。契約しているサブスクを一元管理してみようと思い立って、表計算ソフトにひとつひとつ入力してみたら、月々2万円近くサブスクに消費していることが判明した。大半はadobeの経費だ。画像編集ソフトとか、素材サイトとか。

インターネットには様々な理由から「お金を配ります」と宣言するお金持ちが多数存在する。だいたいその告知ツイートには大量の札束の写真が添えられていることが多いが、ときには動画のこともある。現金の写真があるからなんなんだ、ましてや動画だったら何が違うんだと思うかもしれないが、そういうものを視覚的に捉えることで現金という可能性を「リアル」に感じてしまうのが人情なのだろう。詐欺商法なんかでも目の前でカネを見せるとものすごい効果あるみたいだし。動画を見てると、何かに似ているなと気づく。パチンコの演出だ。あれも画面がグリングリン動きまくる刺激的な構成になっている。なんかこう、そういうことなのではないだろうか。お金がない人をターゲットにしていて、そういう人の「飢え」の感覚を増幅させ、目を惹きつけるために、この動画はグリグリ動いているんじゃないのか。バズを狙うみたいな、とにかく数字を増やすようなことを目的にしてコンテンツを作っていると、人間の理性とか人間らしさを剥ぎ取って装置化していってるような感覚を覚えることがある。

そのときちょうど（10年後の今と同じく）ある締切りのヤバさに悩んでいた時期だったのだが、震災の影響でその締切りは「なかったこと」になり、結果的に私は「助かった」という経緯もある。「おかげで」などとは指が裂けても書けないが、そこから思うのはこういう因果関係の連続が現在をつくっているという厳然たる事実のことで、あんな地震も事故もなかったほうがよいに決まっているのではあるが、それはそれとして10年前のあの出来事は分かちがたく現在と接合されているのだ。今は今で大変なことになっていて、正直言って毎日憂鬱なんだけど、いつかこの現在も未来においては硬化したかかとみたいなものに変わっていくのだろう。

麻雀に関する匿名の文章を読んだ。要約すると「大明槓（だいみんかん）」という麻雀内における行動は、明らかに損する場合が多いのだから意味無し、今すぐやめろ、ゲームがつまんなくなる、という内容だ。麻雀のように全員が一人勝ちを狙いに行く非協力型ゲームにおいてもこういう意見が出てくるのは興味深い。だって大明槓が損なら、逆に言えば他プレイヤーにとっては得なわけで（責任払いみたいなルールのことはいったん不問で書いてます）、利得を考えるなら「みんなには大明槓を勧めて、自分は絶対しない」が一番いいはずである。チーム戦なら「おい、ちゃんとやれよ」が成立するけども。でも実際には、たとえ個人戦でも他人の不合理な行動、いわゆる「場を荒らす行為」にムカつくのが人間だ。本来、ゲームは最終的にルールの範疇で勝てればなんでもよいものであるが、大抵のゲームには進行のセオリーのようなものができてくる。全員が合理的に考えるとすると、自然とこの動きになっていくよね、という定石だ。この「セオリー」と「ルール」が、中級者くらいになると漸近するのだろう。麻雀の大明槓とか格闘ゲームの「レバガチャ」行為とかは、そのセオリーを壊してしまう。それを実行した人にとってはほとんどの場合ただ損なのだが、だからこそ周囲に予想外の影響を及ぼすことになる。それが、ルールの内部で作られたセオリーをルールと同様に重視するゲームをやっている（つもりでいる）人にとっては、ゲームそのものを破壊されたように感じるのだろう。ギリギリをついた卑怯なプレイングとはまた別の、破滅的で素人っぽい狡知だ。「勝てればいい」という動機で卑怯なことをしてくるやつはプレイヤーにとって脅威だが、「勝てなくてもいい」という動機でめちゃくちゃしてくるやつも同じくらい脅威だ。逆に、あらゆるゲームは背後に「勝つため可能な限り合理的な行為をすること」という暗黙のルールが存在していると考えることもできるのだろうか？ 大明槓をする輩は、そのルールを破っているとも言えるかも。ゲームの上手さとは別に、人それぞれに「ゲームに勝とうとする度」みたいな尺度もあって、プレイヤー同士に生じるそのズレは巧拙以上の重みをもつ。話を大きくすると、それは人生を無気力かつ適当に生きているやつらが、ちゃんとした人生を生きようとしている人にとってこのうえなく不気味に見える理由でもある。「なぜ勝とうとしないんだ？」という単純な理解不能さがまず気持ちが悪いし、その「勝とうとしなさ」が逆に作用して、ときどき「勝って」しまう脅威もある。たまにいますよね。そういう感じで社会の場を荒らす人。

私も実家に落書き帳とかしっかり保存してあるのであった。小学生の時に描いた漫画とか。でも今読んでもあんま面白くないんだよな。だいたいギャグ漫画なんだけど、私はかなり早いうちから「手法」に耽溺しちゃって、メソッドに基づいたマニュアル的なギャグを描いていた。だから私のらくがき帳を今読んでもノスタルジー的な面白に繋がりにくいし、むしろ普通の意味で滑ってるぞお前と冷徹に切り捨てたくなる。私の自意識は小学校中学年くらいのころからずっと地続きで、過去を他人事みたいに笑えない。「痛々しいな～」と黒歴史化することもできない。ただ稚拙なだけ。「中二病」を経験しなかったとも言うし、今も中二病の中にいるとも言えるだろう。もっとパッションのままに天然で書きつければよかったものを、変にテクニカルなことしようとした過去の自分を叱りたい。原宿さんはそのへんのバランスがすごい。家庭を持つちゃんとしたおじさんである一方で、制御できない衝動の輝きが深奥でまだ生かされている。

雨を題材にした曲のアウトロにスムーズに雨の効果音を入れる作法が好きすぎて、そこだけ何十回も繰り返して聴くことがある。理想はキリンジの「雨は毛布のように」で、シンセサイザーの一音がフェードアウトして雨が入ってくる。曲中ではカップルが雨宿りと喧嘩を止めて裸のまま雨に踊り狂って仲直りを果たすのだが、それゆえにアウトロの雨がいっそう彼らの平和を際立たせている。歌が終わっても彼らは雨が止むまで遊び続けているのだろうな、と聴き手に直感させてくれる。聴くたびにこちらも幸せな気持ちになる。

最近キリンジ知って色々曲きいてるけどどんどん好きになる。自分暗くて友達もいなくて、同年代で流行ってるような恋愛・絆系ソングが全然合わないなって息苦しかったしなんで混ざれないんだろうって寂しかったけど、そもそも好きな音楽って自分で発見するものだった。キリンジの曲は、つらいことがあって思い詰めてる時、鼓舞や同情するでもなく、ただそこに在ってくれる優しい夜風みたいだなと思う。素晴らしい音楽を世の中に発信してくださってありがとうございます。

モルカーが泣いているシーンがかなりつらくて、こちらのメンタルが不安定な日だと見てるだけで涙が出てしまうこともある。100％イノセントな存在が悲しんでいるシーンは「うっ」となってしまうが、モルカーの場合この「うっ」が評価の一部を担っている気がする。悪く言えばゾワッとする感じ？ 恐怖と紙一重なかわいさ。新生児の指を見たときに「小さすぎる……細すぎる……」と相当な恐怖を感じるんだけど、モルカーはでかいのに同じような怖さがあるな。

できたてのプラットフォーム特有の「せまい」感じ、好きなんだよな。Twitterなんかはもう、どこまでも自己顕示と悪口と怨嗟と新劇場版のネタバレが広がる無限の荒野でしかないけど、10年くらい前まではなんとなく「壁」みたいなのが遠くに感じられた。ああ、これくらいの規模感なんだな、というのが、タイムラインを見ているだけでなんとはなしに察せられる。noteも今や人が増えまくったので逆に「場」という感じがしないけれど、noteができてすぐの頃は、noteをやっているというだけで無言の連帯感みたいなのが生じていた。これといって接点はないけれど、同じプラットフォームを利用している者どうしのよしみで日記を読んでやるか、的なコミュニケーションが成立するごく短い期間が存在したのである。こういう狭さが楽しい以上、今後も「これが正解」って最終回答としてのSNSは生まれないんじゃないかという気がする。新しいプラットフォーム、狭いスペース、少ない人という状態がもう単体で魅力的なので、今後もポコポコと新サービスが生まれては、新天地を求めて移住が繰り返されるのではないかな。ネット上の仮想空間にも適切な広さと適切な人口密度がある。それをうまく見つけられるかどうかって、ネット上を健全に過ごす上でけっこう重要なことのような気がする。適温のコミュニティですね。あまり少ないと「人間関係」に近いものになって息苦しいし、多すぎると人混みの中をさまよってるみたいで孤独だ。なんとなく顔を出すと「おう」と誰かが声をかけてくれるくらいの感じをみんな求めていると思うし、新サービスのリリース時はそれが成立する一瞬の黄金時代なんだと思う。この黄金時代を安定して提供できるサービスが登場したら、それがSNSの最終回答じゃないか。

おれがつまらない人間なのは勉強不足だからだ、読書量が足りないからだ、映画を観ていないからだ、と思って貪るようにコンテンツを消費している時期があったけど、別に何をしようとつまらない人間はつまらないままなんだということがただ鮮やかに浮き彫りになっていくだけだった。「読むこと／観ること」それ自体が目的化している時点で、もはやこれはただの強迫観念に過ぎないが、そういった大量摂取の段階を経ることで、荒い網の目の中に掬いとれるものが増えていき、ただ流し込むだけの「消費」から、なにかを味わう「浪費」の段階へと移行できるということはあるかもしれない

ふと誰かに嫉妬することはあるけれども、「誰々よりもすごい点を自分は持っているから嫉妬しなくていい」と考えるべきではないのよな。本当は「自分にどんな長所もなくても、どんな短所を持っていても、自分の世界は自分しか生きられないのだから嫉妬しなくていい」。あの人がいかにすごくとも、私の人生を生きてくれるわけではない。誰しもだんだんと役立たずになっていく。できないことが増えていく。そして死ぬ。みな死ぬのだからどんなスペックの差なんて意味がない。ただひとつ、自分に悔いがないように生きられればそれでいい。

そういう場所に来たひろゆき「すみません搾乳やめてもらっていいですか」

キショい花「咲くとこ見てて」

「じつは大きな声では言えないが 過去の長さと未来の長さとは 同じなんだ 死んでごらんよくわかる」（死算 淵上毛錢）

規範にそこまでの力があるんだろうか、と思う。貧乏人は産んではいけない（とか、自分のエゴのために産んではいけないとか）と言われても、産みたい人は産むだろうと思われるけど、単純に莫大なコストがかかるとかで損すると思われる場合には少子化は起こるのでは。反出生主義は、基本的には既に少子化が起こっている（だからもうほっといても勝利が確定している）衰退しはじめた先進国のようなところでしか流行らず、逆に（真にそれが人口に膾炙すべきはずの）ぼこすか人口が増えている国ではまったく認知さえされていないのではないかと思う。というのはまた別のどうでもいい話だけれど、既に起こっていることやいずれにせよ為さざるを得ないことについては、それを道徳的に善であるとする言説が支持されやすいという傾向はありそう。

育児、体力とポジティブさとマルチタスク力が求められるんだけど、これまさに”健常者力”なんだよね。つまりツイッターで育児が地獄のハードワークと大騒ぎされがちなのは……

「バイトテロやらかしたら親の名前がネットに晒される」という性格悪い法律が施行されたらどうなるだろう。親憎しでやらかす高校生が続出したりするんだろうか。「親の顔が見てみたい！」ってネットで憤ってた人たちの怒りは収まるんだろうか。

今の人が「昔の人は底抜けに明るかった」とか「貧しくとも明るく幸せに生きていた」と言うのは、都会人が田舎の良い部分だけを描いた作品ばかり観て田舎に過剰な憧れを抱くのと似ている気がする。昔(特に戦前)の人は、危険な肉体労働で死亡したり怪我をしたりするのに慣れてしまって、ある種の諦観や不感症になっていたというのはあると思うけど、それは明るいというのとは違って、いつ死ぬか分からないから後先考えずに金を使ったり遊んだりしていただけだと思うな。

学校とか仕事でやらかしても大丈夫。トンボ鉛筆の佐藤さんのことを思い出したり、報道されるレベルのやらかし（横領、暴行罪、わいせつ罪、パワハラ、殺人）で捕まった人たちの人生を考えたりすると気が楽になる。

「労働は健康を害する」「労働しなければ生きていけない」よって「生きていくと健康は自動的に害される」。健康を害しないためにはすみやかに死ぬ必要がある。そうすれば健康はゼロになってそれ以上は減らない。

もしおれが貧困のために自殺を考えていたとして、最後にうつ病で希死念慮が起こる理由を調べたとしたら、真っ先に出てくる「こころの健康相談統一ダイヤル」がナビダイヤル（0570）であることに憤って、そのまま電話をかけもせずに社会にできるだけ大きな害を及ぼす方法で死ぬかもしれない。自殺を考えているとき、人はそれぐらい意味不明な理由で逆恨みを始めるし、どうせ死ぬなら他人も巻き込んでしまいたいという暴力の衝動を抑えるのは難しいだろう。

携帯料金2970円ってすごいですね。すごすぎてなんか「できたのかよ」みたいな気持ちになってしまう。やむにやまれぬ事情があったのだろうけど。通信にかかるお金っていったい「何費」なのかよくわからないのが原因だな。ブロッコリーの値段を見たときは農家での栽培を予想できるが、5G通信の料金というのはなんだ。5Gを栽培しているところがあるのか。

星野源の楽曲はこれまでそれほど好きではなかった（いい曲だなとは思っても、それほど興味をひくことはなかった感じ）けど、これはかなり好きというか、グッときて何度か繰り返し聴いたな。

ニンテンドーのゲームミュージック総ざらい的な、既存の効果音を散りばめた遊び心が良いし、ニンテンドーのゲームに親しんできた自分の個人的な記憶が刺激される感じもあって好きです。ただそれが星野源の作品に対して「なんだよ」って思ってるとこでもあるんだよな～～！！ 前、星野源がドラえもんに楽曲を提供したときのタイトルが『ドラえもん』だったんですよ。ドラえもんをテーマにした曲として『ドラえもん』を出していいのは歴史上にひとりしかいないはずで、その一人になることを選んだのかよと思って、「なんだよ！！」ってなっちゃったんですよね。いや、かなりいい曲だと思ったし、他のへんな人が「ドラえもん」やるくらいなら星野源が『ドラえもん』やったほうが絶対よかったはずなんですけど！あとさ！！ 聖☆おにいさんのアニメ映画が公開されたときの主題歌が星野源だったんだけど、タイトルが『ギャグ』だったのも「なんだよ！！」って思った！！ ギャグ漫画の主題歌に「ギャグ」ってつけてお出ししてくるとか、概念を司る神かよ！！！！！ いや、いい曲だと思うんだけど！！！ 「ジャンルを総ざらいする役目」をこんなに胸を張って、することができるなんて……っていう、ついジャンル内の端っこを探して居心地悪そうに立ち尽くしてしまう、安全を求めてキワモノというポジション取りをしてしまいがちな自分と対比して、「中心」を選び取れる星野源の姿勢に「くそう」ってなってしまうんですよ。

親友（と自分は認識している。相手がどう思うかは知らん）と久々に会って話した。彼は失職中でけっこう落ち込んでおり、あまりに生きるのが下手で自分が発達障害であることを疑っていると言っていたが、私はそれに割と大きな衝撃を受けてしまった。自分が発達障害かも、と疑うことは現代日本にとってそれほど物珍しい現象でもないとは思う。仕事に求められているスキルや人間性のハードルは上がり続けており、いわゆる普通の人間さえ生きづらくなっている世の中ではあろう。ましてや失職していれば自分に失望するのも無理もない。ただ、勇気のある選択をし続け、そして私が憧れている人間の一人であるその彼が、己のことをそこまで「低く」（発達障害の人達のレベルが低いという話ではないです）見積もってしまっていることにショックを受けたのだった。確か、何もうまいこと言い返せなかったと記憶している。きっと、ものすごい挫折があったに違いない。ちなみに私は自分のことを発達障害だとは思っていないし、これからも思わないだろう。たしかに察しは悪いし同時に二つ以上のことをすると頭がこんがらがるのでぽんこつではあるが、忘れ物もそう多くなく、遅刻はまったくせず、ジョークを理解し、早口で、ものにぶつかることもあまりない。きっと普通である。すべてが平均以上の人間というのはどこにもいないので、まあこれぐらいだと思う。

モバイルルーター。なんか名刺入れくらいのサイズでWi-Fi飛ばしてくれるやつ。格安SIMの通信量少なめプランに契約していることで容量が足りなくなることが多々あり、またiPadなどでテザリングをしたい機会も多いので契約したのが1年と数ヶ月前。4ヶ月でコロナが流行して在宅続きとなり、ほとんど使わないまま月額5000円ちかく引き落とされ続けていた。たまに外出したと思ったら持って出るのを忘れていたりもした。よりによって3年縛りの本体分割払いというコースで契約してしまっていたので腰が重くて仕方がない。「いっそこのモバイルルーター爆発しないかな」と思ったことは2度や3度ではない。「爆発したところで料金は引き落とされ続けるのか」と気づいたことも2度や3度ではない。しかも調べたら、解約は絶対に電話か郵送のみらしい。ネットだけで手続きを済ませるのが不可能なんだって。絶対手続きをそんなふうにしかできないわけないじゃん。「だり～」って思わせるためだけに電話と郵送という窓口を用意してるだろ。その「だり～」を発生させるためだけに雇われたコールセンターの人とかもいるのヤバいな。抑止力のための核ロケットを管理するために雇われた技術者みたいなものか。

今日は朝から耳鼻科に行ってきた。やはり外耳炎が再発していたらしい。点耳薬と飲み薬を処方してもらった。他人の耳の穴のイガイガなんて心底どうでもいいだろうに診てくれる医者って偉すぎる。お薬手帳をアプリ化したのに、データ読み込みのためのQRコードを貰ってすぐ紛失したので記帳できなくなってしまった。私はシステムの抜け穴をくぐり抜けて損する天才かよ。

こないだ奢りにきた大企業の会長の息子が、「じぶんが成長していないと『ヤバい！』という気持ちになる」「子供の頃から『能力のない人を見下す』ような人たちと過ごしてきたから、その中に自分も入ってしまうのが怖い」と言っていて、成長への渇望ってのは、自己否定による自殺願望に近いなぁ、などと

アメリカの中学生男子って、超人種差別発言を練習する時期なの…？ボランティアで男子集団をアイホップに連れて行ったら「（イスラム圏の子に）Yo爆弾！」「（メキシコ人の子に）壁登るの得意じゃん」「（黒人の子に）お前は別の席だろ」とか滅茶苦茶。なのに仲良くて、私が注意するとお互い庇い合う…

子育て対策、何を言っても何をやっても「求めてるのはそういうんじゃねーんだよわかってねーな！」みたいに子持ちたちにキレられてるので、対策を考える側に同情してしまう。こんなんの繰り返しじゃモチベ保たれへんやろ。

そもそも腕時計自体つけてる人がほとんどだったし、家族も、友人も、学校の先生にも、「5分進めてる」みたいな人はいっぱいいた。なんなら「15分進めてる」みたいな人もいた。なんなら最長で「30分進めてる（ドヤァ）」も会ったことある。いまだに5分進めておくHACKでできる社会人！みたいなこと言ってるコンサルもいるっぽいけど、まあ死んだ文化。とどめ刺したのは日差の少ないクオーツ時計やら電波時計やらではなく携帯の普及でしょうね。22歳の新人に話したら「なんでそんなことするんですか…？自分で5分進めてそのこと知ってるんですよね…？何が変わるんですか…？」と心から困惑された。それはそう。自動巻きで毎日数分も時計がずれるような時代はともかく、平成の、そこそこ正確な腕時計が普及してたあの頃にもあんなに「5分進めてる」人がいたこと、自分も不思議に思ってる。計算してしまうのが問題なら、毎日正しい時間とx分早くずれる時計ではどうか（0≦x≦5）。xが分からなければ結構プレッシャーになりそう。自分は買わんが。

大量殺人事件の報道をリツイートしながら「世の中全部がこういうニュースで溢れててほしい」と言うカスでサイコパスのオタク

博物館の標本収集活動について「残す価値があるものを残すのはわかるけど、そうじゃないものまで残す必要あるの？」とおっしゃる方がいるのですが、標本の価値は事後に決まることも多いのですよね。ニホンオオカミもニホンカワウソも、最後に捕獲された時には「これが最後だ」とは思っていないわけで

娘が「小学校のパソコン教室のパソコンでゲームばっかやってるとパソコンババアが現れて画面の中に引き摺り込まれる」という話を同級生から聞いたらしく、パソコンが普及して数十年経ちついに新たな怪異が誕生するまでになったかと感慨深い。

コミュニケーション周りで大抵のことを許容してくれる人に対して、その態度に甘えていたらある日前触れなくその人の中のラインを超えてしまい、そこでようやく『これまでの”許容”はただの”我慢”だった』と認識した瞬間、手遅れすぎる後悔が襲ってくる

俗に言われる「知能が低いと会話が成立しない」は正しくは「知能が低いと会話が成立しているか判断する能力がない」だと思っているが、少なくとも笑いには互換性がないと思っている。我々は「話が通じなくても気持ちは通じる」と信じがちであるが、経験的に決してそうでもない。私の考えでは、笑いとは①安全な②タブー破りが③瞬時に理解されるという3条件で成立しているが、知能は①③に影響する。危険予知ができなければ、危ない行為は安全なタブー破りに見える。皆でゲラゲラ笑ってる迷惑犯罪動画が定期的にネットに出てきて大炎上するのはこういう仕組みだと思う。この観点とは別に、境界知能以下の人々には、責められそうなとき笑う特徴がある。ヒトの笑いはサルの威嚇に由来するので、これは原始的な笑いの名残りだと思う。軽度精神遅滞の自殺未遂者は自責ゆえに「威嚇」して笑う。彼らが笑って話を始めるときは必ず次に何か弁解が来る。慣れると会話可能になる。2つの観点は根っこで繋がっていて、まとめて語ることができる。つまりゲラゲラ笑って迷惑犯罪動画を投稿している人にとって、笑いとは威嚇であるから「これはバトルではなく遊びだ」という本能的主張が行われている。もちろん彼らには法的バトルが待っているわけだが、知能が低いと先読みができない。知能が低い人の行動を先読みするのは他疾患以上に困難であるが、そもそも彼らは先読みしないことで特徴付けられている。我々はあまりに無意識に先読みしてしまうので、彼らの感覚に慣れるには訓練が要る。例えば「子供を産めば、子育てが要る」といった当たり前の1手先が全く見えていなかったりする。そういう彼らの思考形態の中で、笑いは必ずしも幸福に紐付けされていなくて、むしろ無関心と威嚇によって悲劇に結びついている。

高校の時とか怒った先生に対して生徒がアドバイスしてたの思い出すな。僕達もう怒られて納得するような年齢じゃないので、問題点があるなら冷静に伝えた方が生徒にも伝わりやすいですよって言ってより怒られてた。怒る人に対する軽蔑は確かに若い世代にある。

友達いないっていう人の話をよくよく聞いたら一般的な友人はいるけどその人の理想の友人がいなかっただけみたいなことは何度かありました。目の前で親身に話を聞いてたぼくを友達カウントしてくれよ、なあ。

店内をウロウロしていたら中性的な松潤みたいな店員が「何かお探しですか」と声をかけてくれた。普段なら「なにもお探しじゃねえ」と思いながら節足動物みたいな足取りで退散するのだが、今回は実際にスーツをお探しなので、素直に状況を打ち明けて「とりあえずなんか着れるやつ」みたいなオーダーをした。採寸後に「これなんかいかがでしょ」といろいろなスーツを誂えてもらう。違いがわかんね～。黒かったりグレーだったりしましまだったり。「これは少しゆったりしているタイプですね」ゆったりしてるの？ わかんね～。とりあえず「これ良いすね……」と、ある商品を気に入っている感を出してそっちへ誘導していったけれど、正味どれも同じに感じていた。それにしても接客が丁寧だ。高級スーツ店ならともかく、ひとそろえでせいぜい3万円くらいの格安スーツを売るようなところでもこんなにしっかり付きっきりで相談に乗ってもらえるのか。ホスピタリティがすごいぞ。試着室でいろいろ着替えてみる。普段まったくスーツを着ないから勝手がわからず、変な着方をしているんじゃないかと不安になる。あと店員が急に発狂して「ワーーーー！！！」と叫びながらカーテンを開けてきたら怖いなとも思って不安になる。

「人生100年時代らしいですよ、キャリアアップして100まで生きましょうね」って言うと先輩方みんなが「そこまでして生きたくない…」って言ってくれるの、仄暗い心のサービス精神があって本当好き。そこまでして生きたくないよな。どんな明るい人や落ち着いた人もみんなそうやって言ってくれる。表情に暗い影を落とすの、みんな無意識でやってんだろうけど、多くにとって人生は苦役でしかないことがわかって安心する

「ここに彫ってください」とTwitterのアカウントを指差しデジタルタトゥーの刺青を求める神のオタク

昔は検索をすると、どこかの詳しい人が読ませる文章で書いた個性的な記事がヒットしたのだけど、今はどこかのメディアが作った「調べてみました」みたいなのしか出てこなくなった。それが儲かるからそうなったのだろうけど、経済が回るようになると面白いものが消えるのは本当につまらない

俺、その辺の考察系YouTuberよりもそこ気づく！？ってとこ気づいてると思う

麻雀漫画の『アカギ』で、ものすごい豪運と知性を持った大富豪「鷲巣」と命をかけて闘う話がある。ある局面でアカギは絶対に読めないはずの状況を初期に読み切り、普通ならありえない悪手としか言えない戦略をとっていったんの逆転勝利をおさめるのだが、勝てたとはいえその不合理な戦略を取った理由を不審に思った仲間が「なぜあんな戦略を取ることができたのか」と問うたときの返答が興味深かった。実際はいろいろ複雑なのだがかいつまむと「敵の鷲巣はこれまで絶対的な強者であり、そのツキの良さで勝ちを重ねてきた。今回は序盤から鷲巣を勝たせようという流れが生じていることがわかったし、これまでの戦績の流れからいってももう一波乱あることは確実。だから逆にそれを利用し、勝ちを急いだ鷲巣が自らミスするのを狙った」というような理由だ。現実的に言えばこれはなんの理由にもなっていない。確率の計算に「これまで」は関係ないのだし、人の運を推し量ることもできない。アカギはオカルトな理論で勝ったのである。しかし『アカギ』が漫画だから、この理論は独特な輝きを帯びる。現実に「流れ」などないが、マンガには「流れ」が、つまり、読者を喜ばせる劇的な展開が実際にある。アカギはそれを読んだと考えると、ここでアカギが取った戦略はある種のメタフィクション的なものだといえる。通常の麻雀の戦略ではなく「麻雀漫画」というものを俯瞰で見た上での特異な戦略だ。鷲巣に起こりそうな漫画的展開を予測し、それを成立させないより劇的な展開によって上書きする。文字通りの意味で漫画ならではの戦略。実際これは格闘バトルや恋愛など、駆け引きが生じる全ての漫画において起こっていることではある。より読者を驚かせ喜ばせる意外性こそが「正解」として採用される、漫画の絶対的ルール。中盤を過ぎてからの『アカギ』とか『カイジ』は百面相が永遠に続いて引き伸ばしがひどい、なんてよく言われているし実際それはそうなんだけど、漫画というものの構造を剥き出しにして戦っているような凄みも感じるから好きなんだよな。根拠とか戦略を超えたところで成立する「主人公という風格」だけを賭けた戦い。

自分ってゲーム好きなのかなぁとふと思った。客観的に見たら完全に好きの部類に属するとは思う。なにしろSwitchはもちろんPS4にPS5も所有しているし、PCはゲーミングモデルでGeForce RTXが入っている。Steamには買っただけでやってない作品が100以上ある。それなりのゲーマーと言ってさしつかえない程度かもしれない。それでも、自分は大したゲーム好きではないなと思う。ゲームにつきものである勝敗への執着心がわりと希薄なのが大きい気がする。悔しさを抱くことがあまりない。だからか上達への向上心が湧いてこない。好きなのは、なにも頭を働かせずに、プチプチを潰すみたいに漫然と遊ぶゲームか、同じようなことが二度と起こらない、びっくり箱のようなギミックのあるゲームだ。競技性の高いゲームにハマったことはほとんどないんじゃないかな。スプラトゥーンはなかなか熱中したけど、あれも途中から完全に漫然と遊んでいたし、その漫然さが好ましいからやっていた。トライアンドエラーとか、PDCAサイクル的なものをゲーム内でやっていくぞ！ という雰囲気にはどうも馴染みづらい。麻雀ってそのへんの器が広いなと思う。競技的な効率を考えてガチに楽しむこともできるけど、漫然とパチパチ打っててもそれなりにおもしろいし、配牌の組み合わせはほぼ二度と同じものが出ないから新鮮味もある。技術で絶対勝つぞ！ という力みが通用しない程度には運ゲーに振れているが、総合的な実力は反映される。ゲームで勝つのはもちろん好きだけど、負けたときに「あー、まあしゃあねえやな」と思ってる時間も割と好きだ。負けたら負けたで仕方ないよねって諦めてるとき、ちょっと自分が上等な存在になった気がする。そんなこと思ってるからゲーム全般がそこそこ下手なんだろうけど……。ゲーセンで、そこまで欲しくもないぬいぐるみのクレーンゲームになんとなく硬貨を投入し、案の定とれなくって、あー…、とか言いながらその場を離れる。自分がゲームに求めてる感覚って突き詰めるとこの一連の流れの中に隠されているもののような気がする。

映画『花束みたいな恋をした』を観てきた。ふだん恋愛映画なんて滅多に観ないのだが、なんか異様そうな気配がタイムラインの感想から漂っていて、脚本が坂元裕二だったし、ほぼ情報を入れずに観た。結果、観ながらずっと「神様頼む～～～～～！！！！ いますぐ直径500メートルのでっっかい爆弾を落として全てを消し炭にしてくれ～～～～！！！！」という思いに支配され、観終わったときストレスでヘトヘトになっていた。面白かったんですよ。サブカルチャーを好む大学生カップルの恋愛とすれ違いを描いたとてもシンプルな物語で、最近の固有名詞が怒涛のように出てくる。宝石の国を読んだりゼルダを遊んだり長谷川白紙聴いてるとか言ってたり。で、具体性の乱打によって浮かび上がってくるのが「現代のカルチャー消費形態」のリアルな類型で、その体現者が今作のカップル、菅田将暉と有村架純。恋愛映画って「かけがえのなさ」を全面に出すのが多い印象だけど、『花束』の場合は「こういうのいるよね」って感じをめっちゃ出してくる。サブカル趣味で意気投合し愛し合った2人だったが、大学卒業から徐々に「生活」のリアルに押し流され消耗していく、というのがメインの起伏なんだけど、どうしても私にはその前半も「美しかった日々」のようには見えなくて、というかそう見えないように意図されているように見えてしまった。カップルの周辺に登場するモチーフやエピソードが「ものすごく高い精度で削り出された”現代”の類型」であり、ある意味、就活して結婚して……という資本主義由来の画一性の変奏だからだ。この映画で描かれているのは『ドラマ』じゃないんだよな。『生態』だった。「こういう生き物がいました」っていう。「カラオケできのこ帝国をデュエットして歌っています。これも繁殖行動のひとつなんですねえ」みたいな感じ。怖いわ～。『パラサイト 半地下の家族』でも似たことを思った。人間の行動が描かれているのに、そこに介在しているのが個々人の意志ではなくて、もっと大きな空気のうねりのほうなのだ。それを見てるだけで居たたまれなくなって「500メートルの爆弾～～～！！！」と心の中で叫んでしまう。ヒロインである絹（有村架純）と知り合った麦（菅田将暉）の自己紹介のセリフがめちゃくちゃリアルに丁度つまんなくてゾッとした。それを「この生き物はだいたいこのへんの水準にいるから、こういうことを言うんだよな」みたいな感じで自覚的に書いたであろう脚本家の底意地に震えた。たぶん観客の半分くらいは普通に面白いと判断しそうなところも（それをわかって書いてそうなとこも）嫌だ。じゃあこの映画は悪意に満ちた視線でサブカル野郎という名の昆虫を標本化するサブカルジオグラフィックなのか？ というと、それも一面的なんだろうなと思う。これはやはり恋愛映画で、全ての愛を、きっと本心から肯定的に謳っている。たとえ我々が画一化されたカルチャーを消費するだけの生き物だとしても、そこに生まれた繋がりは尊く、花束のような日々がある。人間を肯定するなら、人間のしょ～もない側面もきっちり捉えなければ、肯定したことにはならない。だから、キミの最悪なところ、撮るね……。ってマジの目で微笑みかけられてる気分になった。悪意に満ちた愛。悪意と区別のつかない愛かもしれない。私は未熟なので、それを観て「人間！！！！最悪！！！！！！！！サブカルチャー！！！！！限界！！！！！！！！！！社会！！！！！！！！！！こんな世界は終わりだ！！！！！！！爆弾！！！！炸裂！！！！」ってなっちゃったんだけど、作り手側の意図するところは別にあるわけです、たぶん。まだまだ修行が足りない。あと、なんとなくだけど、このカップルはオモコロ読んでなさそう。デイリーポータルZは読んでる。

一般にSSR（最高レア）のイラストには共通点がある。それは「色がいっぱいあること」だ。とにかくいろんな色相をギュッと散りばめてあると特別感が出て「欲しい」と思いやすい。人の中に眠るカラス期の子どもを覚ますのだと思う。パチンコの激アツ演出が虹色なのも同じことだろう。上のストリートスナップも、最大限上品なかたちでSSR感を演出している。青っぽい地面に緑のスカート、背景にピンクの建物、真っ青なカラーコーン、色とりどりのフレアなどが散りばめられていて、我々に刷り込まれたSSR嗅覚がしっかり反応するのだ。でもそのうち、完全なモノクロイラストでSSRとか出してきそうだな。歌舞伎町はSSR嗅覚が反応しますね。

取消線で遊ぶ文化はアンサイクロペディアに置いてこいよ

星新一のSSは大概読んでるが、星自身「やっとアイデア出た！と思ったら編集者から『それ以前書かれてますよ』と指摘がありガックリ」とか書いてた。

この小説は、ストーナーという男の淡々とした人生を書いているだけで、なにも劇的な出来事は起きないんですよ。農家出身のストーナーが主人公なんですが、高校を卒業して農家を継ぐのかと思いきや、お父さんから「大学に行け」と言われる。そのあと好きなことを見つけたり、就職したり、結婚して子供が生まれたり、ストーナーという男のごく一般的な人生が、生まれてから死ぬまで描かれているんですが…。でも、一見その何も起こっていないように思える淡々とした物語が、読んでいくとものすごくドラマチックに感じるんですよね。人間って、そういうものだなと。一見なにも起こっていないようでいて、一人の人間の内面にはとてつもない変化が起こっているんだな、と。宿読んだ歳によって、感想が変わるんですよ。最初に読んだ時は30歳くらいだったかな。最近また読んでみた時に、ストーナーの死に方がとても身近に思えたというか、自分もこうやって死んでいくのかも、とはっきりと想像できたんです。書かれているエピソードは、同じ大学の中にウマの合わないやつがいるとか、全部ちっちゃい話。その小ささこそがリアルなんです。ディティールの積み重なりこそが人生で、生まれたからにはそういう小さな瞬間を味わい尽くしていくしかないのかなと、そういう気持ちになれます。本当に最高の小説だと思います。

「更生した不良が褒められるのはおかしく、ずっと真面目だった奴の方が偉い」という言説があんまりピンと来ない。不良=マイナスだとして真面目=善(=称賛されるべき)とは限らないというか。向こう岸にいる人間が悪人なのを見て、その対岸にいる自分たちは善人だと安心するのは単純な誤認だと思う

労働者を使い潰して駐車場で焼身自殺する程に追い詰めるような店でも、時価170億円の株損失は産んでいなかったので、どれだけ顧客が衛生観念という潔癖に信仰を置いているかがよく分かる。店で殺人や自殺が起きても飯は食えるが、醤油に口をつけられると飯は食えなくなる訳だ

国の歴史が「ここに15世紀まで住んでた人についてはスペイン人の上陸で急速に絶滅したのでなにもわかっていません。さて、上陸したスペイン人は......」で始まるの、改めてとんでもないことだなぁ

自分が今結婚し、子育てをしている人たちがそれをポジティブにとらえるのは当たり前だが、私は今そうしていない未婚・子供なし層はある程度自分たちに子育ての能力や意思が無いことを合理的に判断できているのではと思っている。言い換えるなら、無理に出生率を引き上げようとすれば不幸な子供を増やすということです。実際過去に中絶禁止などの政策そういうことになった国もある。

「再チャレンジできる社会」とかみんな大好きでも自分が再チャレンジすることになるとは誰も思っとらん現象

微妙な違いだから多くの人が勘違いしている点だが、「楽しくないこと・幸福ではないこと」自体よりも「楽しまなければならない・幸福でなければならない」って強迫的な価値観・信念の方が人を傷つけている

人間をヤマアラシ(触れ合いたいが近付きすぎると針で傷付け合ってしまう)に喩える場合、針とは言語な気がする

アメリカは人権が大事にされる国じゃなくて、人権は重んじられるべきだという意識が社会の隅々まで浸透してる結果、誰もが人権を主張してそこら中で正面衝突を繰り返して社会機能を円滑にするのを妨げさえするが、それでも主張し続けるのがアメリカの強さでもありまた不合理さでもあるんだろうなと。

こんまりが子ども3人出来て片付けを諦めたって言う英語圏のニュースが、彼女を信じてたくさん断捨離してきた英語圏のファン達をザワつかせている。公式の謝罪を求めるファンもいて、難しいよねと思うなど。

私は、親しい人に「死んだら幽霊になってまた会いに来てくれ」と言ったこともあるし、私を恨んでいる人に「幽霊になって私を呪い殺してみろ」と言ったこともある。今のところ死んだ人たちは誰も会いに来ないし呪われている気配もないので、仮に幽霊が存在するとしてもそういうことは難しいようですね。

産休・育休の問題はキャリアステップの断絶であってリスキリングってピントがズレてるんだよな。学ぶことで得られる種類のスキルって基本的には再就職の際の評価項目に入らないでしょう。日本型の企業が言ってる「スキル」って自社事業で業務を効率的にこなす曖昧な経験値や技術のことであって、それはキャリアが断絶すると失われてしまう。そこが問題なんでしょう。何か政策に名を連ねている団体の顔ぶれを見ても、そのスキルを教えることでビジネスが完結していて、教わったスキルがビジネスで活用可能かと言えばアヤシイものばかりだしなぁ。やっぱり産休・育休からの社会復帰で一番望まれているのは現職復帰だよね。それを後押しするのに政策でできることは何かというのは難しい課題だと思うんだけど、少なくともリスキリングではないだろう。だって企業側から見て、新たに習得していたら評価できるスキルって何がある？企業経営者にアンケート取って社員に欲しいスキルを挙げさせたらいろいろ言うだろうけどさ、実際そのスキル持っていれば優先的に好待遇で採用するかって言ったら絶対ないでしょ(笑)。これ、経営者が何となく言ってるだけとか、スキル持った人材がいても社内のしがらみで有効に使えないとかいろいろ問題があるけど、一番の問題はそのスキルを持っていることが採用や待遇の面で評価ポイントにならないってところでしょう。現有の人材がいろいろなスキルを習得してくれる分には何か思い附いた時に対応できるから旨味があるけど、そのスキルを持った新たな人材をわざわざ好待遇で採用するかと言えば、それは全然別の話でしょう。そういう意味で、学び直し云々の件は、趣旨は良くても政策の中身が当事者目線でも経営者目線でもピント外れすぎて、例によって税金チューチュートレインのネタにしかならんでしょうね。

中国ビザ発給再開のニュースに付いてる、ケーキが切れない人たちによる「来んな」というコメント

愛嬌と云うのはね、――自分より強いものを斃（たお）す柔かい武器だよ。"夏目漱石『虞美人草』

「プールで、遠く一点を見つめている子どもがいるとする。まあ男でも女でもいい。俺は近づいていってそこで、潜る。なぜかわかるか」「子どもが何を見つめているのか知るため？」「いいや。そういう子どもは確実におしっこ、をしているからだ」「キショ」「プールでおしっこする子どものほうがキショいだろ」

結構な学歴を持ってる割にサラリーマンとしてはドロップアウトしちゃった組の女やけども、正直言ってもう正社員でガッツリ働くのはしばらく勘弁して欲しいというのもあるよ。もう仕事のやりがいとかより家族を大切にしていきたいし。 正社員になってバリバリ稼ぐって事は責任だって重くなるって事だし。 正社員になってもどんな人間でも休みたい時に休んで誰も白い目で見られない、そんな働き方ができるような時代になるまではもうパートでええわ

赤ちゃんがハイハイする動画が最近なんかおもしろい。特にハイハイレースは何種類か確認でき、どれも先の予想がまったくできない。スタート地点から一切動かないことも多々ある。これで金賭けてギャンブルやってる人、どっかにいるんじゃないか？子育て系のチャンネルってものによっては10年前から動画が投稿されていたりして、赤子がしっかり自我のある子どもになるまで克明に記録されているから凄い。全然しらん子どもなのに成長に感動してしまう。

渋谷にあるかにチャーハンの店。この「うまい」って書いてあるネオンと、「かにチャーハン」のネオンサイン、かなり良いな。欲しい。自宅の壁に「かにチャーハン」の文字が妖しく光ってたら、内科系の病気くらいなら治りそうじゃない？

Amazonプライムにあったお気楽ハーレムファンタジーアニメをなんとなく再生しながら作業していたら、主人公が円形スタジアムの真ん中で3人の女の子にかこまれて膝枕されながら足を揉まれてパンを食べさせてもらい、それを見た大観衆から大喝采を浴びていて、一度に満たす承認がすごすぎる……と思った。

Googleに「不老不死」と入力するとサジェストされる文章があるのだが、検索してもそのサジェストにあたる内容が全く無いというのだ。実際に調べてみると……本当に「ふろうふし」と入れるだけで「不老不死の人間が生物学上の確率では5人いる」という文章が出てきた。しかし、「不老不死の人間が生物学上の確率では5人いる」という文章が含まれるページは完全一致でも（上のコロモー記事以外）ヒットしないのである。文意としては既出のものであり、不老不死の謎の男とされている「サンジェルマン伯爵」のほかに4人、不老不死の人間がいるのではないか……という都市伝説があるらしい。とはいえ、それほど有名な伝説でもないし、そもそも「不老不死の人間が生物学上の確率では5人いる」という文章はいったいどこから出てきたのかという問題が残る。文章の内容も相まってなんだか不気味だ。おそらくGoogle検索の仕様が関係しているのだろうけど、全く詳しくないのでわからない。あまり気になるので、以前少しやり取りしたことのあるSEOの専門家、辻正浩さんに「こんなことがあったんですよ」とDMを送ってしまった。急になんの得にもならないことを投げかけられたにもかかわらず、辻さんは快く詳細に返信をしてくださった。その内容はだいたいこんな感じ。まず、この「不老不死の人間が生物学上の確率では5人いる」という単語。どうやら過去一年にわたって毎月数百回は検索されているらしい。にもかかわらず、Yahoo！ 検索では全く検索されていない。どっかで話題になっているなら他の検索エンジンでも検索されているはずである。つまり「検索はされているけど話題にはなっていない」ということ。おそらく「ふろうふし」と入力することでサジェストが表示され、そこで初めて興味を持った人にクリックされいるのだろう。不老不死というワードで検索されるボリュームは月に数万ほどあるようだから、そのうちの1％がそのサジェストをクリックしていると考えると不自然ではない。ネット上に記事があるわけでもなく、ワードを入力して検索する人がいるでもなく、「サジェストが表示されたからクリックする」という動作だけで生き延びてきたミームなのだ。

久々に渋谷駅を歩いたのだが、前も悪口書いた気がするけど、渋谷駅ってホントにイヤ～な構造してますね。なんだあの人間の心のない造形は。道を柵で仕切ればそのとおりに人間は動き、それ以上の思考はしないだろうという侮りを随所に感じてしまう。たとえばふたまたに分かれる道があるんだけど、小さい柵で区切られているだけだから、どちらを選んでも視界には反対側の道が目に入ってくる。だが、最初の分かれ道を一度過ぎたら反対側に戻る手段がなかったりするのだ。道を間違えてたら長い通路を歩いて戻って歩き直さないといけない。位置と位置をくだでつないだらそれが道ですか！？ 違うだろ！ なんかわかんないけど、森を原住民が歩いてたら草がなぎ倒されて土が剥げて自然に道ができたみたいな、そういう脳の働きが地形に反映される感じの対極にあるのが渋谷駅だ。ギャルとギャル男は何も言わないのか！Netflixのユーザーインターフェースにも少し似た不満がある。あの、いったいどんなルールに従って映画が表示されているのか謎、というか、謎のままでいいし、お前たちには教えてやらないもんね、みたいな態度が鼻につくぜ。新着一覧ですらまともに表示されず、おそらくそのほうがクリック率的に有利になるのであろう、謎のオススメ順で出てくるじゃないですか。Netflixには「地図」がない。人間が概念を把握するときに頭の中で描く構造化されたマップみたいなものがNetflixには存在せず、クリック率とジャンルと更新日時と人気のベクトルを絡めて編んだロープが4次元空間で伸び縮みしている。未来のインターネットって全部こうなっていくのか！？Yahoo! のトップからカテゴリーを順番にクリックして登録されているサイトの一覧を見ていくやつの時代に戻ろうよ。

キリンジの楽曲に『奴のシャツ』というのがある。あるロクデナシを歌った曲なのだが、これの歌詞が好きだ。冒頭「水曜日　継母の従兄弟を訪ねてみる」というフレーズ。情報量がすごい。なぜ訪ねるのかといえば、なんとなく金を無心するためのような感じがあり、それが「水曜日」という平日ど真ん中であるところが、暗に語り手の立場を匂わせる。さらに親戚筋が「継母の従兄弟」というかなり遠い血縁（血縁じゃないが）であるから、すでに手の届く範囲の親戚からは縁を切られているであろうことが伺える。また「継母」というワードにより、もともと家庭環境が不安定であったらしいことも察せられる。二行目で姪の歯医者につきあっているのもよい。歯医者なんか一人でいけるのにわざわざついていっているのである。よっぽど暇なのだろうし、そういう行為を通じてなんとなく家族に取り入ることができればいいな、という下心が垣間見える。

へんなところをかなにひらいた文章って、コピーライティング的スキルに感受性をからめとられている感じがして、あんまりすきじゃないなあ。

「何名様ですか？」「2名です」「2名ですね～」のとき、全然知らない人どうしがピースしあっててウケる。

YMOに『君に、胸キュン。』という曲がある。坂本龍一・高橋幸宏・細野晴臣らがアイドルみたいな服でクネクネしながら「君に胸キュン　キュンッ♡」と言っており、異様なんだけど、ミスマッチ感が良い方向に働いたのか相まってものすごく売れた。胸キュンというワードが一般に知られたのはここかららしい。当然、いろんな歌手がカヴァーしまくっているのだが、どれを聴いても元曲よりもしっくり来てしまっているのが面白い。女性の柔らかい声で可愛く歌ったほうが普通の意味で映える歌ではあるからだ。土岐麻子バージョンなども良いが、アニメ『まりあ ほりっく』のエンディングテーマになった声優が歌ってるバージョンが特に好みだ。こういうのを聴いたあとに原典に立ち返ってくると「アニソンをおじさんがカヴァーしている」ように聞こえてくる。原典が最も異様なアレンジで、後追いのカヴァーが正統派に聴こえるパターンは珍しいのではないだろうか。だいたいのカヴァー曲は、原曲にプラスしてそれをカヴァーするアーティストがもともと持っていた文脈をのっけて歌っているから、エビマヨコーン的な味の濃さがある。『君に、胸キュン。』は、最初の曲にある文脈がなにより濃すぎるのが可笑しい。もともと、おじさんがああいうことをやる発想にはアイロニカルな意図があったはずだが、曲単体が愛されるにつれてそのアイロニーが抜け落ちて普通に「いい曲」になってしまうことがある。とんねるずの『雨の西麻布』とか「演歌ってこんなんだよな」という舐めがもとにあったはずなのに、いつのまにか良い曲として受容されていた。最近だと、規模は小さいが『あったかいんだからぁ～』みたいなのもそうだろう。アイロニーというものの非力さが伺いしれて、それ自体皮肉だなと思う。

青汁は継続して飲み続けている。いまのところ効果を如実に感じることはないが、肌の調子は良くなった……ような……？ そんな気がする。青汁の恐ろしいところは、因果関係の起点を奪い取ってしまうところだろう。青汁を飲んでいると、そのあとに起こった事象がすべて「青汁の効果」に見えてしまう作用がある。ルフィが敵を倒す前に青汁を飲むシーンがあったら「ゴムゴムのガトリングは青汁のおかげであんなに強いんだな」と思ってしまうことだろう。

21歳の女が好意を持つ70代女性に裸の写真を何百回も送りつけて迫ったというニュース。なんだか現代の踏み絵みたいな情報だなと思ってしまった。年齢や性別に意外性があるため目を引くが、目を引いた理由をおもしろがることによって表明すると自らの偏見を露呈することになる。ストーカーという言葉からなんとなく想像するステレオタイプって実際はとても限定的な、メディアによって作られてきた関係に過ぎなくて、実際の人間の感情の動きは善くも悪くも自由なのだろう。人間関係が病的に悪化する一因に、そういうステレオタイプのイメージが根深くあることが関係している気がする。自分自身の感情のありかたがインモラル（不道徳）であるということ以上にインセイン（非常識）であることのほうに追い詰められてしまうって割とあると思う。

人間には無限の可能性があると言う。私も人間なので、無限の可能性がある（三段論法）。じゃあ、たとえば、私が今から北米バスケプロリーグのNBAに入って3ポイントシュートを決めることは可能なのだろうか？気になって調べてしまった。「NBA　入り方」で検索する。絶対入れない奴の調べ方だなと自分で思う。いろいろと細かい規定があるが、とりあえずアメリカに渡らなければどうにもならないらしい（当たり前だ）。そして、やはり10代のうちにバスケで頭角を表していなければ、これからNBAに入るのは難しいようだ。一応バスケの経験はある。高校の頃に授業でやった。みんなの邪魔にならないよう、コートの隅で直立していた記憶しかない。あとはボールの片付けで器具庫に入ったときの、つめたい空気とか。年齢制限は18歳以上であり、上限はない。問題は私がバスケが下手であり、興味も全然なく、ルールを知らないことである。でも実力についてはこれから練習すれば上達するだろうし、その伸びしろによってはNBA入りも可能なはずだ。その過程でバスケに興味が出てくるかもしれないし……。歴代の日本人NBA選手は3人しかいないらしい。やはり狭き門のようだ。しかし例えばドラフト1巡目指名を受けた史上初の日本人選手、八村塁は、アメリカの大学に進学するまでは日本で生活している。であれば途中からでも可能なのではないか？ 私もこれからアメリカのバスケが強い大学に入学し、バスケチームに所属、そこでルールなどを一生懸命覚えて、実力をつけていけば、指名されるかもしれないのだ。八村塁は身長が203cmであり、私の身長は165cmであるという点が気にかかるが、タイピングの速度とかはたぶん私のほうが早いわけだし、ほかの長所で補っていく他ないだろう。これまでバスケで活躍した経験はなく、試合を見たこともないが、バスケットボールの丸みなどには好感を持っているから、まるっきり向いてないというほどではないと思う。もちろん、かなり険しい道であることは自覚している。だが可能性は文字通りの0ではない。私のバスケの才能が開花する場合だって、これから出会う敵チームがみんな試合開始と同時に毎回腹痛で動けなくなって余裕で勝てる場合だってあるのだ。

ある予備校講師のツイート。小論文の課題において高校生がヒトラーの政策を全面的に肯定する内容のものを書いてきた。文体は整っていて、事実関係にも誤りは認められないため、小論文としては申し分ないのだが、倫理的観点からNGを出した。高校生は小論文を模範的なものに改稿し、受験も余裕で受かったのだが、対応はあれで良かったのか？ という葛藤を書いていた。この高校生、「やってる」な～。やってらぁ。ドライなことを言えば「あれで良かった」で終わりである。予備校講師は大学に合格させられればそれで仕事を果たせるのだから、小論文の内容など無難なものにするにこしたことはない。ツイートへの反応を見ていると「ナチス政権の政策に肯定できる点はない」という観点から、高校生が書いた小論文に論理的誤りがなかったという前提を否定している人がわりと多かった。そうだろうか。前提とするイデオロギーによってはナチス政権を評価することは可能ではあると思う。個人的には、具体的名詞を剥がし取ったうえで残る問題の骨子が本来の主題に思えるし、小論文を書いた高校生自身、その骨子のほうをこそ問題にしたかったのではないか（ナチスという題材はそれを端的に示すための一例に過ぎなかったのではないか）と感じたのだが、そのように理解しようとしている人は比較的少ないようだ。根本的に違う価値体系を信じているが論理的には無矛盾であるような存在を試験は受け入れるべきなのか。試験を受けるとき、私たちは能力を測られているばかりでなく、同時に信仰も確かめられているのではないのか。それが事実だとして、なぜ入試のような制度はその事実をなるべく隠そうとするのか。そんな不信感があったとすれば、私はその高校生に共感できる（そうでなかったなら共感できない）。たとえば「差別をするべきである」「生き物は滅ぶべきである」「人を殺しても良い」というような考えを持つことはできるし、その根拠を可能な限り論理的に挙げていくこともできる。しかしアカデミックがそのような思想のありかたを受け入れる余地を始めから持たないなら、このような考えを正規ルートから発信することはできないということにならないか。「なっていいじゃないか」という声も聞こえてきそうだし、実際それで良いのだろうし、私も別にいいと思うが、一部の人は失望するのかもしれない。

久々にちゃんと電車乗った。乗り降りの勝手を忘れてて、真逆へ向かう車両に座ってしまった。外って不便だな。電車間違えたりすると、電車の中でかなり「あーあ……」という気持ちに支配される。軌道修正するためにホームを上り下りして反対車両に移る運動の全てが自分を罰しているような気がしてくる。自販機でモンスターエナジーを買って飲んだ。

1日1枚は絵を描くようにするルールを運用して1ヶ月が経つが、画力の向上とかよりはただ集中して線を引く時間が得られるのが良いなと思うようになった。わりと散逸しがちな思考がまとまる、1日のうちで数少ない機会だ。絵が仕事だったらそうも言ってられないんだろうけど……。文字を書く仕事はそのへんが困難だ。下書きの線をなぞるように、レーンを流れてくる菓子パンにクリームをつめるように、表計算ソフトにレシートの数字を転写するような気持ちで文字を打つことは、私にはできない。上記の動作は慣れれば自我を遊ばせながらこなすこともできそうだけど、文章に関してはどうしても自我を駆動する必要が私にはある。多くの人にとってもそうではないだろうか。格闘ゲームをプレイしながら人と会話している動画を見たことがある。すごい手さばきなのに全く問題なさそうに喋っていた。行動の自動化はどこまで可能なんだろう。鍛えればどんな行動でも意識の外側で行うことができるのだろうか？たとえば、映像が表示されるサングラスを常にかけさせられる。そのモニター上に、10秒おきに簡単な足し算の問題が表示され、3秒以内に視線コントローラで正解を答えないと微弱な電流が身体に流れる。そういうシステムを装着して日常生活を送ったら、いずれは絶え間なく続く足し算に慣れきって、人と会話をしながら計算を解き続けることが可能かな？そんなの絶対無理だろ、と思ったかもしれないけど、人間の呼吸や歩行だってほとんど無意識に行うことができている。歩きながら、歩いていることを意識せずに会話できるんだから、足し算を解きながら、足し算を解いていることを完全に忘れて生活することだってできるはずだ。思考しながら思考することはできるか。現在88歳にして健在で最新アニメまで見まくっているレジェンド作家の辻真先は、作品の打ち合わせをしながら別の作品を止まらぬ手で執筆していたという。速筆の人にはそういう例を多々見かける。そういう人は思考しながら思考しているってことか。そもそも思考とはなんなんだって話になってくるな。チャットに手でタイプして会話しながら、話しかけてきた人と口を使って喋っているとき、自分はどっちにいるのか。どっちも自分でいいのか？ 算数ドリルを解きながら人と会話してるとき、どっちが自分かっていったら会話してるほうの自分が自分のような感じがする。歩行しながら会話している人が、会話する行動の方をサブで、歩行のほうを自分がやってるって思ってたら、それは人にバレるのだろうか？ 動作自体は完璧だったとして。つまり何が言いたいかというと、人間は同時にいろんなことを考えたり動作したりしているにもかかわらず、将来について悩んでいたら、その部分が自分という意識の中心だと思ってしまいがちだが、それはなぜなのか、という疑問ですね。

友達んち行ったら、"今"って描いある絵が置いてあって、これ良くね？て言ったら、このシリーズヤバくてって言いながら何千あるかわからんドローイング束ねて掴んで持って来て全部見せてくれた。全部"今"って描いてあった。良かった。

藝大の卒展を見て毎年感じることに、ここのデザイン科は一体何を目指しているのかしら、という疑問がある。「身近な日常に幸せを発見＋ユーモアで社会ストレスのガス抜き」的な作品が多すぎて、デイリーポータルZぽいというか…。それが悪いとは言わないが、社会の変化からは取り残された感がある。「ネタ」でも「実用」でも「啓蒙」でもない発想の置き場所としてアートやデザインが使われていることが多い気がしてしまう。

スクラッチくじは「はずれ」になったときに白けるギャンブルだ。削りきるかなり前の段階ではずれた運命に収束してしまうから、負け戦を見据えて10円玉を前後させなければならなくなる。そして、はずれだとわかった時点でけずるのをやめることもできるからこそ、「はずれ」の全ての文字が見えているはずれたスクラッチは潔く美しい。

異世界モノのアニメを作業中に流し見していたら、なんか凄い内容だった。生まれつき「大賢者」というスキル（特殊能力みたいなの）を主人公が持っているという設定で、これを使うと世界のあらゆる情報を直接知ることができる。ものすごく有用な能力ではあるのだが、使うだけで死ぬほどの頭痛が襲ってくるので実質使えない。ここまでは良いじゃないですか。すごい能力があるけど使うにはメチャクチャなリスクがあるという一種の王道展開で。でも第1話で主人公の幼馴染の女の子が「文献を漁っていたら、頭痛を止める方法がわかったの。スキルを使ったら大切な人とキッスするのよ！」みたいなことを言って、主人公は幼馴染と濃厚なチューをして、そしたら「大賢者」スキルを使っても頭痛が起こらなくなる。これもまあ、良い。なぜかスキルを使う前にチューしてたのは意味がわからなかった（事前でもいいのか？）けど、キスによって能力を使えるようになるという設定はいろいろ広がりそう。非力だけどヒロインからのキスさえあればどんな知識でも手に入るという、ちょっとピーキーな能力で。で、そのあと、主人公は「レベル上げ」をするために、大賢者スキルを使って秘密のダンジョンを探し当てる。そこで女神みたいなのに出会って、大賢者以外のスキルを教えてもらう。それが、「相手の持っているスキルを勝手に書き換えちゃうスキル」「スキルを自由に作るスキル」「作ったスキルをモノや他者に付与するスキル」だった。すごい強い技を創作して自分にくっつけたり、敵モンスターの使う攻撃技を削除して使えなくしたりできるわけだ。そのうえ、大賢者スキルであらゆる知識を得ることも可能。やりすぎじゃないか？なんでもできすぎだろ。善逸くんは霹靂一閃しか使えないのに頑張ってるんだぞ。なんだその大量の荷物は。いちおう能力に縛りはあって、以上のスキルを使うためには「LP」というポイントを使わなければいけない。これは美味いものを食うとか金を稼ぐとか異性とキッスするとか、とにかく主人公の快楽を満たすことで溜まっていく。つまり、まず主人公がイイ思いをする（女のパンツを見るなど）→ポイントが貯まる→超強い能力が使える、ということだ。いいかげんにしろ。緑谷出久くんは戦うたびに腕骨折してたんだぞ。コタツの中でアイスを食べるがごとくの優しい異世界ぶりに笑ってしまった。しかもここまでの流れが第1話だ。1話目にして万全の体制を整えすぎている。と思っていたらその次の話で「頭痛を和らげるスキル」を手に入れていた。ぬかりなしかよ。じゃあキッス係の幼馴染がついてくる意味ないじゃんと思ったら「でもキッスは嬉しい」くらいの理由でキッスしていた。面白すぎる……。30分アニメではあるが、総合的なストレス量は2分のモルカーのほうが上かもしれない（モルカーはゴミを食わされたりするので）。こういうアニメ、皮肉でなくわりと好きなんだよな……。異世界モノの括りの中でもこれはちょっとアレなほうなのかもしれないけど、徹底した哲学の無さに「娯楽とはこういうことだ」という黄表紙パルプ精神がしっかり宿っている気がして。こういうものばっかりになったら困るけど、意外とちゃんと人を救っているフィクションだと思う。

オススメされてた「メガネが曇らないメガネ拭き」も使っている。それなりに曇る。いや、許容範囲では全然ある。ないよりあるほうがいいし買ってよかったと思っている。ただまあ、マスクをした状態でハーッとやると3秒くらいは真っ白の視界になる（逆に言えば3秒で曇りは晴れる）。状態異常を軽減するタイプの中～上位アクセサリーだった。ゲームでもそうなんだけど、何事にもつい圧倒的解決を求めてしまいがちである。RPGだったら、体力を削り、削り合い、アイテムを駆使しながら辛勝するようなのが苦手だ。ファイナルファンタジー系列の裏ボスとかかなりキツいし、モンハンも同じ理由でなかなか馴染めなかったりする。好きなタイプは突破口さえ見つければ全部ぶっ飛ばせるようなもので、ペルソナの「弱点をつけば何度も行動できる」みたいなのは画期的だなあと思った。人生におけるバグ技みたいなの、ずっと探してるものな。銀行振込のときに特定の金額を7出し入れすると数値がオーバーフローして残高が9999999999999円になったりしないかなとよく思う。カルピスは半分飲んでから薄めるやつを5回くらいくりかえしてもまだけっこう美味しいので、バグかもしれない。みんなも早く試せ！ 2月のアップデートで修正されるぞ！2月は28日までだから短いぞ！

労働と読書は両立しない。食欲がなくなって読書という固形物がのどを通らず、動画とかゲームみたいな流動物しか摂取できなくなってきている

卵価格が高騰して物価の優等生ではなくなり、次点で「値上げされないもの」を選んだ結果、今後の物価の優等生は賃金ということになりました

そもそも日本型雇用システムにおいては、リスキリングなどと称して会社のよそで一生懸命勉強しても会社は評価してくれず給料も上がらない（下手したら仕事をおろそかにして下らねえことしやがってと叱られる）。

それよりも会社の中で上司のみている前で、オンザジョブトレーニングよろしく、おぼつかなくても一生懸命仕事に取り組んでだんだんできるようになっていくのを評価してくれて給料も上がっていく。日本の会社が評価するスキルアップというのは、会社のよそでやるリスキリングとやらではなく、会社の中でやる仕事そのものと二重に重ね合わされたOJTなのだ。という構造の中で、育児休業なんぞをとってるというのは単に仕事をしていないというだけではなく（その分はノーワークノーペイでどこでも同じ）、OJTという形でスキルアップに一生懸命取り組むということをやっていないというマイナスにみられてしまう。だから、と私は想像するのだが、だから、例のいま話題になっている問答のもとになった発想というのが生まれてきたのではないか。OJTという形でのスキルアップをやらない育児休業中といえども、ちゃんと別の形でスキルアップをやっていますよ、と。しかも、育児休業中でOJTがそもそもできない期間なのだから、いくら政府が笛を吹いても肝心の日本の会社の中堅層が全然その気になって踊ってくれないリスキリングという奴を売り込むのに最適ではないか、よしこれで行こう、と。そこの根っこに構造的な問題があるのはいうまでもないが、そういう構造的な問題抜きのやや浅い論評ばかりが横行するのも哀しい見ものではある。

別に下ネタ嫌いじゃないんですけど、言って面白くなる人と面白くならない人がいると思ってて、自分は言ってもあんまりおもしろくないほうの人だと思ってるんですよね。特に外見が犯罪者っぽい人の下ネタは面白みより嫌悪感とか恐怖感が勝るヌメッとした質感が出てしまう気もしてて……。

これまで「なんかガラが悪い人のイメージ」「ルールが複雑」「模様がキモい牌がある」といったイメージしかなかった麻雀だが、ネット麻雀（雀魂）を通じてひととおりルールを把握してみると、思っていたほど敷居の高い（誤用）ゲームではないことがわかった。むしろこれは、かなりのテキトーに遊べるゲームであるがゆえに流行ったのだと確信した。まず、ルールが複雑であるというイメージについて。これは事実だ。ほかのボードゲームに比べると覚えることがだいぶ多い。ただ、基本的な流れに関してはそこまで難しくない。山からいっこ牌を取って、いらないやつを捨てる、というのを順番にやるだけだ。「ドラ」とか「チー」とか「ポン」というのは最初別に覚えなくていいやつだった。あと「役」とかいうやつが何十種類もあると聞いて慄いていたけれども、実際にやってみるとそんなに難しくない。種類は多いのだけど、半分近くは「役満」という超高得点のやつで（有名な国士無双がこれ）、100回に1回も出ない。役満以外も半分くらいはめったに出ない。ネット麻雀なら役が揃ってきたらかってにお知らせしてくれるから、場を止めてしまうことはない。実際にやってみて初めてわかったのは、プレイしていて気が楽なところだ。何が楽かというと、ヘタクソな奴のヘタクソっぷりが目立たない。スプラトゥーンとかそういう系のやつって、ヘタクソな動きをしてると周りの奴にバレる。そういう「アイツ初心者だな～」っていうのが挙動でバレバレになるの苦手なんだけど、少なくともネット麻雀はあまりそういうふうにならない。どんなに効率の悪い、酔っ払ったお猿さんみたいな采配をしていても、その「手」が自分以外に見られることはない。これが嬉しい。1ゲームが終わったときにも基本的には見られないまま次に行く。どんなに効率よくプレイしていても、運が悪いときにはドーンと点数を失う。リスクを0にする方法が構造上ないので「正解」はないし、逆に言えばどんな愚行も「あえてなのかな？」と思わせる余地がある。これが楽でいい。いままで麻雀とかいうくそ複雑なルールかつ必要な道具も人数もやたらと多い（テーブルごと買わないといけないゲームってなんだよ）遊びがなぜこんなにも市民権を得て、あまつさえ「麻雀専門マンガ誌」などというものが発売されているのかずっと不思議だった。実際にやってみると、なるほどと思った。ルールこそ複雑ではあるが、上級者と初心者が並んで遊べる数少ないゲームだったのか。実力差が勝敗に反映されるまでのクッションが、とんでもなく巧妙に設定されている。初心者と上級者が遊べるゲームの多くは「運ゲー」である。麻雀も広い意味では運ゲーだ。だけど完全な運任せではなく、負けたら負けたなりに反省の余地がある。ゲームそのものはわりと運に支配されているのに、終わったら合理的な反省ができる仕組みになっている。つまり、どんな人にでも「後悔」をさせるゲームなのだ。テニス初心者が錦織圭と対戦してボロ負けしても、たぶん後悔することはないだろう。しかし、麻雀プロに初心者が挑んで負けたら、ちゃんと「後悔」できるのだ。「ああすればよかった」と初心者ですら思えるゲーム。これってすごいことではないか。七並べやドッジボールで破滅する人は聞いたことがないが、麻雀で破滅する人はいるのはこのへんに理由があるのかもしれない。実力を運に転嫁することも、その逆も可能な仕組み。判断基準のレイヤーが何層にも重なっていて、それぞれのレイヤーにおける最適解が頻繁に矛盾するからだろう。奇怪なゲームだ。

「大きなかぶ」という有名な童話がある。あの話はおそらく「みんなで協力することの大切さ」みたいなことを伝えようというメッセージなのだろうが、本当にそうか？ と思う。というのも、引っ張っているのがかぶだからだ。かぶよ？どんなにでかいといっても所詮はかぶである。ヒキが弱い。終盤では猫とか犬とかねずみまで協力していた記憶があるが、ねずみはともかく猫や犬なんかは別にかぶ好きじゃないだろ。でも、それでも手伝ってしまう、という点に面白みを感じる。要はかぶが価値あるものかどうかとか、協力するのが大切だとかではなくて、事実としてなんかみんな集まってきて手伝ってくれた、というところに本質があるんじゃなかろうか？でかいものは面白いし、物を引っ張るのは楽しい。誰かがなんかやっていたら仲間に入りたくなる。善悪とかじゃなく、生き物の本性としてなんかそういう特徴があって、それってなんかいいよね、というニュアンスを「大きなかぶ」から感じる。だってもし絵本のシチュエーションに通りがかったら、なんか手伝いたくなるでしょ。ねずみの後ろに回って、ねずみのちっちゃい背中を持つでしょ。この童話、もっと価値のないものを掘り出しているという設定にしたらおもしろいかもな。たとえばツタが絡まった巨大な石が埋まってた、とか。特に理由はないがおじいさんが引っ張っていたら、いつのまにか人や動物が集まってきてツタを引っ張り、巨大な石はみごとにすっぽりと抜けました。でも、ただの石なのでなんにもなりません。おじいさんたちは互いに顔を見合わせておなかが痛くなるほど笑いました。めでたしめでたし。実際に大きなかぶが物語として知名度を保っている理由を考えてみると、お遊戯ビリティが高い、というのが挙げられそう。お遊戯会で子どもがやる演目としてちょうどいい。なぜならモブをテキトーに増やしまくっても物語が破綻しないし、見せ場が均等に作れるお話だから。現代風のアレンジを加えることも容易だ。知らないけど今だったら「ちょうどそこへ炭治郎くんが通りがかりました」みたいな話やってたりするんじゃないか。

雪が降るとそこそこテンションが上がってしまうのだが、そのたびに頭の中にいる北国出身の人が「雪でテンション上がるのは都会っ子だから。こっちからしたら溜息しか出ない」と言うのでシュンとする。でもそれだって個人の感性なんだから、私は今後も東京のべしょべしょのきたなくて積もらない雪でテンションを上げるぞ。

この文章はWordPressで打っているんだけど、なんか入力が微妙におかしくなっている。最初の一文字目がカーソルの右側に表示されてしまう。確定すれば普通なんだけど、小石が靴に挟まっているようなストレスだ。こういうストレス、明治時代の人には全く通じないだろうな。ストレス史のなかでも比較的新しいストレス。

”バランスボールちょっと欲しいな”の気持ち、みんな少しずつ持っている気がする。その「欲しさ」にグラデーションがあって、実際に持ってる人や「すぐ飽きる」「場所取る」といった理由で蓋をしている人、などに分かれている。「オーロラを見る」とかにも近い。見れたら一生に一回くらいオーロラを見てみたいが、わざわざアラスカに行くほどではないという否定材料はいくらでも出てくる感じ。でもその選択がもたらすちょっとした非日常には憧れが残る感じ。

私の祖父は戦後すぐジャズピアニストで食べていました。事実それでいち財産築きましたし、開局当時のテレビに単独で出演もしていました。私が小さい頃に亡くなったので後年祖母に聞いた話ですが、「おじいちゃんがジャズをやっていたのは稼ぐため。当時はジャズがお金になったからやっていた。」と語っていました。祖母が言いたかったのは「祖父は音楽にはジャンル問わずすべて拘るが、食えるか食えないかの見極めはキチンと出来ていた人、好きなことで生きていくには「やるべきことがある」という話でした。

音楽とお金というか、表現とお金って別にセットじゃないんよな。そこに食い扶持ってのが間に入るからセットみたいになるけど。もっと言うと出来が良くなきゃいけないってわけでもない。

キーボードに押し付けることで隙間にはさまった髪の毛とか食べかすとかを引っ張り上げていく便利グッズ、という触れ込みではあるが、まあふつうにただのスライムだ。スライムをいじるのは久々でおもしろかった。このひんやり感とか、触った後に手のひらに残る冷たくてぺたぺたした感じとか懐かしい。青いゲルをキーボードの上でコロコロさせてると「自分は何をやっているんだ」と思う。必要にせまられて愉快なことをしてしまっている瞬間ってある。歯医者の検査で、あごを乗せる台にあごを乗せているとき「自分は何を」と思う。スライムって変な存在だな。おもしろだけが存在理由だから。Wikipediaによると、アメリカでは1977年だけで1000万個売れたと書いてある。ネバドロしていて面白いだけで1000万個も売れるのヤバすぎ。私は観覧車が怖いのだが（おもしろいというだけの理由であんな建造物を設置するのは狂っているから）商業ラインにおけるスライムも同じように怖いな。そういうスライムがいま「キーボードの掃除」というわりと苦しい理由を獲得し、大人の手に渡っているのは、果たして良いことなのか悪いことなのだろうか。奴らが本当にやりたいのはキーボードの掃除なんかじゃなく、ぶよぶよを大人に遊ばせることではないか。

品質が悪くてビリビリに裂ける紙のフタ、そして粉まみれのスプーンという要素にアメリカを感じる。すりきり一杯の粉を嗅いだら「草原」を凝縮したみたいな味がした。大型巨人になって新宿御苑を舐めたらこういう味なんじゃないか？飲んでみると意外と飲みやすい。というか、味はぜんぜんない。ジュースと混ぜちゃえばまったく問題なく飲めるのでよかった。これからいろんなジュースで割って毎日1杯飲んでいくことにしよう。飲んだあと、なんかソワソワしてしまう。いつから効果が出てくるのか……という期待を抱くせいだ。数十分やそこらで体感効果が出てきたらそれは麻薬である。ポパイじゃないんだからいきなり筋肉隆々になったりするはずないのだが、ネットの評判を見てると「肌のはりつやが翌日から良くなった！」みたいなことが書いてあるんですよ。さすがにプラシーボだと思うけど、読むと意識してしまうのが人情。「いまちょっと背筋が伸びてるけど、これって青汁のせいかな？」みたいに思ってしまう。人が陰謀論やスピリチュアルにハマってしまうのに通じている。占いや陰謀論や健康食品とは「伏線」なのである。人は生活しているだけで大小様々な因果関係のもたらす結果を享受しているのだが、そういった伏線をあらかじめ張られていると「これのせいか！」と合点がいってしまうのだろう。

仕事上でミスをしてしまった。ミスめちゃくちゃ多いんだけど、よくあるのが「逆を言ってしまう」というやつだ。たとえば「これって右？ 左？」という問いに「右だ」と思いながら「左です」と答えてしまうみたいな。このミスはヤバい。絶対に防げない。だって勘違いとかでもないんだから。頭の中に正解があったはずなのに、発話や打鍵までのコンマ0.2秒で「¬」が付与されて反転しちゃう。私が医療や株式に関係する仕事に就いていたら5人くらい殺してると思う。おもしろ記事より重い責任を負えない。

デニーズのたらこパスタをダブルサイズで注文してみたら、通常の2倍でかいたらこパスタが出てきたので驚いた。驚いて店員の胸ぐらを掴んで「おい、たらこパスタが多いじゃねえか」と凄んだら「ダブルサイズなので」と言う。「そんなの言い訳にならねえんだよ」と水掛け論になったが、隣の席のヤンキーが「よくわかんねえけどよお、ダブルサイズってのは2倍ってことなんじゃねえか？」と言って私はぐうの音も出なくなり、店内は二階席まで拍手喝采となった。私には「ダブルサイズにできるときはダブルサイズにしてしまうが、特にたくさんたべたいわけではない」という意味のわからないくせがある。

きょうは出前アプリを使ってキムチチャーハンと麻婆豆腐を呼び寄せました。まったく頼んだことのない店だったが美味しかった。量もめちゃくちゃ多かったので2回にわけて食べた。歩いてると、出前アプリで頼んだことのある店を実店舗で見かけることがたまにある。外観の雰囲気だけだと全く入る気の起きない店構えだったりすることもあるので、アプリで販路を広げるのはチャンスが増えて双方にとってかなりいいなと思う。あと結構あるのが、アプリで表示される店としては別店舗だけど、明らかに同じ厨房で作ってるだろ、っていうパターン。「とんかつ専門店　かつ太郎」と「カツカレーひとすじ　ゼウス」と「からあげ職人の店　鶏まつり」みたいな店の住所が同じだったことがあった。お前は結局なんなんだよと思うものの、うまいのでまあいいか。出前なんだからどこで作っているかなんて付加的な情報にすぎないはずなのに、この微妙な裏切られた感はいったいなんだろう。たとえばコンビニとかで小売されている商品だったら、ひとつの会社が「ブランド」をいくつも作っていることなんて普通だ。コカ・コーラ社がコカ・コーラのほかに「綾鷹」とか「ファンタ」とかのブランドを作って並べていて、そこにこれといった違和感を抱くことはない。同じ住所でいくつもの店をオープンしたってなんら問題はないはずである。逆に、なんで店はそんなふうにブランドを分けるのか。同じ店構えでとんかつもカツカレーもからあげもぜんぶ出せばいいじゃん。人の意識の中で「食事」と「提供される場」が強く結びついていて、それを利用しているのかな。無から食事が生じるみたいなことに人はなんか不安を覚える。固有の場所があって固有のシェフがいて固有の料理が出てくるイメージが強固にある。食事のすべてが中央集権化して、ひとつの工場で全部作って全国出荷されるようになっても、ブランドはいろいろと作られるんだろうなと思った。本当は全部同じレーンから出てきていると知っていても、「やっぱ『たくみ屋』の比内地鶏弁当がうまい」とか「『どんやら亭』のステーキ弁当がうまい」とか言う。そうなると、もはや食事におけるブランドは「経緯」ではなく「思想」のようなものだろう。「お母さん食堂」というブランドだって、あれは一種の思想だし。

連中、衣服が地味すぎることはかねがね言われ続けている。にもかかわらずここまで誰もその要請にこたえてこなかったのは、ある種の「意地」があったことは確かだろう。ずーっと地味を続けていれば、逆にそれが個性として通用するのではないか……という、服の色と同じく淡い期待。でも結局、そんなことはないのだ。「あえて」でウケないとわかっている方針を貫くというのは、一見すると固い意思に貫かれた立派な姿勢に見える。だがそれは、自分が報われない現実を確実に慰撫する方法を無意識に選択しているのにすぎないのだ。派手な服でウケている人々は所詮すっぱいぶどうなのだと考えてしなびたプライドを守る老いた狐。

「自分の機嫌は自分で取れ」みたいなの。まあ事実ですよねと同意しつつも「素質だよな」と感じてしまう。私はかなり自分の機嫌を自分でとれるほうだと思う（そもそも”機嫌”を意識して生活することがほぼない）が、なんでそうなのかっていったら、なんかそうだからとしか言えない。すぐ機嫌を損ねる人だってそうだろう。これを考えすぎると決定論に収束しちゃって、誰にも何もコントロールすることなどできない、ただ本質的に是正不可能な格差だけがあるのだ、というバッドエンドに直行してしまう（でも事実か？）。もうちょっとファジーな落とし所があるんじゃないかとは思う。のんきな人もいればカリカリしがちな人もいる。セルフケアが苦手な人は自立も下手だし自滅しがちだ。それはそういうものなので、ことさら非難するようなことではない。そういうもんだよね、仕方ないよね、としつつ、余裕のある人が誰かの機嫌をとって、自分の機嫌をとれる人を少しずつ増やすしかない。平凡だけど本当にこれしかない。自立できてる人が自立できない人を自立できるように手助けするっていう、ほんとに当たり前のことですが。なんか、Twitter見てると常に「詰んでる」って感じがしてきちゃうけど、実際はそこまでの詰みではないと思っている。いろんな問題の「問題な側面」ばかりが並列で示される様子を見ていると、十五人家族をヤングドーナツ1個で養うにはどうすればいいのかみたいなどうしようもない問題に見えてきちゃうんだよな。構造的に詰んでる部分はあるとしても、本格的に全部ぶっ壊れるまでにはまだ全然余裕がある。世の中の”矛盾”をあげつらって「それ以上いけない」とか言って「闇を見つけちゃいました」みたいな仕草だけするの割とダサいと思っている。自分のどうしようもない欠点でネット検索すると「きっとあなたはなんとかなる」「こうすれば改善する」みたいなサイトがたくさん出てくる。でも「こういうどうしようもない欠点のある同僚/家族がいるのですが」と、第三者視点のワードで検索すると「距離を取りなさい」「そういうやつは基本どうしようもない」「相手にしたらあなたが疲弊するだけ」みたいなページが沢山出てくる。この差に気づいたときはかなり落ち込んだものだが、でもそういうもんだし、その2つの観点だけが正解ではない。ちびまる子ちゃんの世界観のいいところって、フツーに嫌な奴がいっぱい出てくるけど、そいつらが「しかたねーけど付き合っていかないといけない隣人たち」として肯定的に描かれているところなんだよな。まあ、ある意味憂鬱な事実ではあるけど、ときには厄介者として生きていかざるを得ない私たちにとっては、それが救いだったりもする。

ひとつ覚えていることがある。このスタジオは本当のバーを借りていて、営業していない日中のスペースを撮影スポットとして貸し出しているらしいのだが、場所が少しわかりにくいところにあったのだ。それで地図を頼りにバーの場所へ行って、地下へ続く階段を降りていったら、ちょうどバーの店主がドアを開けて出てきたところで、めちゃくちゃビックリされた。「うわっ！ ビックリした！！」と言われた。「な、なんですか……？」と訝しげな顔をされたので「あれ？」と思いながらも「撮影の予定がが……」と伝えたのだけど、なんだか要領を得ない。どんどん猜疑心が大きくなっていくのを店主の表情から感じ取る。まあ結論を言うと、私は全然違うバーに来ていたのであった。そんな似たような場所が近隣に二箇所もあると思わないじゃん。こういうこと多いんだよな。新幹線でぜんぜん違う席にあるリュックを自分のだと思いこんで取ろうとしたら全力で死守されたこともある。そういうときの人の顔って「敵」へ向ける顔そのものだから、なんか落ち込んでしまう。

労働が悪だとするなら、労働をし続けなければならない人生とは純粋な悪であって、その悪を終わらせるために死ぬぞ！よし、グサッ、みたいな人があんまりいないの、純粋にすげ～と思う。死ぬ勇気のない凡人が世界を回し、歴史を動かしている。労働は悪だけど死ぬほどまでではないんだろうか。

まあ、「労働は悪！よって自殺する！」というのも滑稽かもしれないが、それこそ昔ならけっこういたんじゃないだろうか。自殺を禁止する宗教圏（イスラム教とか）は世界に割と多いけど、共同体の労働力が減って困るからという理由もあるし、そもそも人生は（昔のほうがはるかに多くの）苦痛に満ちていたので、放っておくと勝手に自殺し始めて秩序や倫理がなくなるからかもしれない。

中田敦彦が「ボカロは売れる」「漫画とボカロを組み合わせて商業としてボカロを売る」って言って1曲出してばりスベッてそこから1曲も出してないのばり嬉しい

「ガムをすべて飲み込むと聞いたのですが、何故ですか」「一番身近なゴミ箱だから」

「やるぞ！！という気力が全く湧かなくて今締め切りがやばいんですが、恐山さんはやるぞスイッチ、ありますか？」「ずーっと探してました。最近気づいたのですが、それはどうやら、スイッチの形をしていない」

大学という装置を有効利用できていた自覚はない。勉強も真面目にしていなければ、友達もぜんぜんいなかったので、近くのスーパー銭湯に行ったりするくらいしか甲斐を感じていなかった。でも結果的には通っててよかったなと思う。もし高校卒業後に進学しなかったら、まあ結果的にやることあんま変わんなかったとしても「学生」という身分のあるなしで心理的な差が生まれていたはず。学生だけど、ダラダラしてる。っていう状態は、なんだかんだで安心感があるんですよね。ダメな自分と世間を「学生」という二文字がかろうじて錨になってつなぎとめてくれている感じがあった。もしなんもなかったら、ただダラダラしているだけの奴、ということになって、あんまり良い方向へ進めなかったんじゃないかな～と思う。あくまで自分の場合は、ですが……。でも一般論として、自分みたいに散漫な人間ほど「身分」にあたるものは持っておいたほうがいい気はしています。大学はうまく使えなかったけど、心理的なストッパーとしての「学生」という身分には、すごく助けられたから。

「御一家族様」という付言に、過去に展開されたであろう屁理屈の歴史を感じた。なんかあったんだろうな、家族総出で並ぶみたいな例が。注意書きの数だけトラブルがある。法律ってそう考えるとすごいよな。あの厚みはトラブルの歴史。やったやつがいるから「やってはいけない」ができた。でも、まだ破られたことのない法律もあるか。外患罪とかはまだ適用されたことないらしいし。でも法律になってるってことは、過去にそういう事例が海外とかであって、それを踏まえて制定されたのだろうと想定される。いまだ人類史上だれもやったことのない、類例のない犯罪だが、可能性としては考えられるので、法的に規制されていること、ってあるかな？ たとえばSF小説で書かれた架空の悪事が、現実ではいまだ行われたことのない悪事だったが、実行可能であることがわかったので、法規制が検討される、みたいな道筋で。ないかな。ストーカー規制法みたいに、制定される前からそれにあたる行為自体は存在したが深刻性が明らかになったので犯罪と認定される、というパターンではなく、誰一人やってこなかった行為である点が重要だ。にもかかわらずそれが「悪い行為」で、なおかつ該当する法律もない、なんてことがあるかね。

モルカー、めちゃくちゃ流行ってるね。なんかこう、好きなものがめちゃくちゃ流行ることによる危機感ってありますね。大げさにホメようとする人とかふざける人が現れはじめ、次いで、何かが流行っているということ自体や、流行り物にはしゃいでる人たちのほうに攻撃性を発揮する人もいるから、自分も間接的に攻撃されている気になったりして。あれが好きだとかこれが嫌いだと表明するだけで世の中にすでにある何らかのポジションにコミットしていると思われるのは、居心地が悪い。とはいえ、そういう居心地の悪さに影響されて自分自身の嗜好を曲げるのも不健全な気もする。それはそれで心の動きだから仕方ないと思うが、できることなら避けたいものです。同じものが好きだから仲間だ、という前提から崩していかないといけないのかもしれない。「敵」なるものはとてもハッキリした基準を持ってわたしたちの前にあらわれてくるけれど、「味方」というものはもっとヌルリと、無言のうちに隣へすべりこんでくる。敵として排除すべきものをあらかじめ自分の中に設定しておくのは合理的だけど、「味方として容認すべきもの」をあらかじめ設定するのは、基本的には危険なのかもしれない。なにかを自分に敵対するものとして認識し、警戒することは、自分が傷つけられることをあらかじめふせぐ「予防」の役割があるけれども、「味方（利益や安定をくれるもの）」を先に規定しまうことは、有害なものの侵入を防げないからけっこう怖い。このへん機会があったらまた考えようかな。

「ヘレン・ケラーは実在しない」というデマがTiktokを起点に、若者を中心として広がっているらしいというツイートを見た。「目も耳も機能しないのにどうやって本を書いたのか」という感じで実在を疑う隙間を広げているという。実際は大量の資料が残っているし、訪日して各地を回っているくらいなのだが、一度そういう切り口が見いだされてしまうと、なんらかの陰謀説を背後に打ち立てて対抗することは簡単だろうな。ヘレン・ケラーの実在を疑う風潮ができつつあるとしたら、彼女が「重度障害者の社会参加」というメッセージを背負わされていることに対する、無形の拒絶感のようなものがあるかもしれない。普段のコミュニティで接している「わたしたち」以外にもいろいろな人たちがいて、大多数の健常者にとって障害者は「わたしたち」の外側にいる。かれらをその輪の内側に数えると、実質的には「わたしたち」と関わりがないのに、余分なコストを支払わされる（という感じがする）。ヘレン・ケラーの逸話は「重度障害者もわたしたちの一員なのだ」という強い道徳的メッセージを放っているので、彼女が実在しないという事実があれば軽減される心理的負担があるのではないだろうか。弱者救済の論理でよく持ち出されるのは「わたしたちもこうなるかもしれない」という根拠だ。たしかに、あなたは障害者用のスロープを使う必要はないかもしれない。でも、いつか事故や病気で障害者になるかもしれないのだから、当事者でなくても配慮すべきだ、という理由だ。しかしそう言ってしまうと「自分が当事者になる可能性がないならいいのか？」という返事もできてしまうだろう。身体障害はともかく、性的少数者などは好例で、同性婚制度を押し進める直接的メリットは、異性愛者にはさしあたって無いし、将来的にもほぼないだろう。十分な蓄えや社会的ポジションを得てしまえば（将来的な安心を個人的に獲得さえしていれば）弱者を気遣う必要がなくなるとも言える。よって、人道主義における「わたしたちもこうなるかもしれない」という根拠は、実際はより形而上的な意味合いで引き合いに出されるべきなのだろう。私たちは「生まれつき障害者だったかもしれない」し「生まれつき性的少数者だったかもしれない」のだ、と。これからどうなるのかではなく、パラレルな現実を想像しそこに深く感情移入する（それが自分であるとリアルに感じ、その自分として行動する）ことを求めるのだ。健常者の「わたしたち」にとっての外部であるヘレン・ケラーのような存在を否定すれば、この意味でのパラレルな現実を考慮する必要性がひとつなくなる。それはとても精神衛生上よいのだろう。「わたしたち」にこもろうとするこのごく自然な心理は短期的には合理的だが、長期的にはどうだろうね。たぶん滅ぶと思うけど、そのとき滅ぶのは「わたしたち」の一員じゃない。じゃあ、どうでもいいのかな？

車に乗りながらしゃべるのってさ……いいよね……。なんかしょうもないことを言っても許される雰囲気がないですか車内は。たぶんしょうもない発言には慣性が働かないから、そのまま路上に取り残されていくのだろう

出前アプリでひいきにしてる弁当屋に注文したら、十数分後に電話がかかってきて「配達員ですが、現地（弁当屋）に行ったら店が閉まっていたので返金します……」と言われた。店が休業状態なのにアプリでは開店状態になっていたらしい。実は先週にもまったく同じことがあった。さすがにもう今はやってるだろうとリベンジしたが、まだ休んでるっぽい。大丈夫かな。これ次回注文するときが不安だな。一回お店をのぞいて、開いてたら注文しようかな。そのあと別の弁当屋に注文したのだが一向に届かない。おかしいな。また同じパターンじゃないだろうなと思って確認してみたら、決済のひとつ手前の画面で注文完了したと思いこんでほったらかしていたことが発覚。ア～。これよくやるんだよな～。これが発覚した瞬間の、なんともいえず物悲しい感じ慣れない。なにも進展していなかったっていう。私がゴドーを待ってるとしたら、そもそもゴドーと会う約束してなかったというオチで終わる気がする。

作業しながらシンゴジラをNetflixで流していたら、閣僚が信じられないスピードでいろんな判断を下して事態に対処していくのが面白くてハハハと笑ってしまった。

・ということをTwitterに書いたら、本当に怒ってる人とかからリプライがいっぱい飛んできて嫌になって消した。私は嫌になったらツイートを消す。ただ面白いと思う、というだけのことがインターネットでは難しい。

・そういう一連の動作も、ちょっともうイヤになってきているところがある。ネットでこういう振る舞いをしたらネット民はこういう反応をするよね、みたいなのって、今やかなり正確に予測できるようになってしまっていて。ゴキブリですら壁をどっち側に走るか予測することなんてできないのにネット民の動きは予測できてしまうのか？ 人間はいったいどこにいるんだよ、という気分になることもある。そう思うのも、私がTwitterとかを始めた頃からなぜか不特定多数を想定してツイートしてきたことの裏返しなのかもしれない。インスタとかLINEの使われ方を見ていると、より一般的な情報発信は身近な誰かに向けてなされることが多いようだが、私はずっと誰でもない人々を仮想して何か書いてきていた。文章を手紙のように書くことができない。手紙を書くことができない。かといって、狭い範囲へ向けた私的な文書を書くことへのあこがれがあるかというと、そんなにはないんだよな。むしろ居心地の悪さをおぼえてしまう。いつ誰が読むかわからない緊張感をもってなんか書く、というのが性に合っているんだと思うけど、今はその「不特定多数」なるものがひとつの人格みたいなものを持ってしまってて、結局「そいつ」を相手にしているような実感がある。

根拠があって悲観的なのより、根拠もなく楽観的な方が結果生きるにしろ死ぬにしろ遥かにマシな人生を送ることができるのは間違いない。怖いからって人を巻き込もうとしないで欲しいという案件が山のようにあるよな。賢いと思われなければ気の済まない人間は根拠に基づいて論理的に大きな悲観論を展開せずにはいられないものだが、そんなものは実際のところ人生には必要ないものである。生きると決めてるんなら全て上手くいくと思って明るくやって欲しいですよね。飯が不味くなるので

今の職場はホワイトであるという理由だけでクビになるまで辞めないつもりだったんだけど、この齢になってやりたいことができたのでさっさと準備して辞めないと

【ダンスの振り付けあるある】

一度に、覚えられるギリギリの量のちょうど2倍教えてくる

屠殺（とさつ）という仕事を知ってほしい。生きている牛､豚の眉間を刺激して失神させる。喉の動脈をナイフで刺し､血を流し出す。これが迅速かつ丁寧に行われないとお肉は臭くなりおいしくなくなる。それを毎日何頭も行う職人達がいる。この仕事がないとおいしいお肉が食べられないことを忘れないで。

アイスの蓋やケーキ横のビニールを舐めて、あなただけのSDGsを達成しよう！

私はキャラクターだとプーさんとムーミンが好きで、これはただ可愛いと思っているつもりだったんですけど、知人に「性欲じゃん！あんた、ムーミンみたいな男とばっかり付き合ってる！」と指摘されてから、キャラクターグッズに対して邪な気持ちが湧いてくるようになった。余計な指摘を恨んでいます。

クイズ司会者「人間といえば」

観客「「「愚か！」」」

クイズ司会者「ですが……」（希望）

各国語版の「山田太郎」が知りたい。その国々におけるもっとも普遍的な（本当に普遍的かはともかく、国民全員がその名前が普遍的であると納得しているような）名前って何なんだろうか。Googleでは調べようがないが。今調べたらアメリカだとジョン・スミスらしい。確かに大勢いそうな気がする。本当のジョン・スミスさんは「お前って普通すぎる名前で逆に面白いよな！」って感じのメタないじりを食らっていそうだ。さらに調べてみたら英語版Wikipediaに記事があった。おもしれ～。同じこと考えてる奴ってやっぱいるんだ。日本語で「山田太郎」であることもちゃんと紹介されている。こういう、普遍的なので物忘れ、人忘れをしたときに代入できる便利な文字列をプレースホルダーというらしい。広東語では「陳大文」、中国語だと「張三」とか「李貨」オランダ語ではヤン・ヤンセン、韓国語ではホン・ギルドン、ロシア語ではイワン・ペトロヴィッチ・シドロフ。ふむふむ。あ～面白い。言語が違っても同じ使われ方をする語があるということは、その差がかえって普遍性を際立てているという例で、自分はかなり好きかもしれない。

おせち食べましたか？ 私は食べませんでした。なんか冷たいし……。豚の角煮を食べてしまいました。あと、昔の人のダジャレに付き合わさせられている感じも少しいやだ。一番有名な語呂合わせの「めでたい」から「鯛」って何だよと思っている。「めでたい」の核は「めで」のほうにあるのであって「たい」は形容詞「いたし」の変形にすぎない。言葉の活用にあたる部分をピックアップしてわざわざダジャレにするな。

セルフレジ、コンビニとかでもだいぶ増えてきていて「便利だなー」と思って使っているけど、よく考えたら今まで通り店員が全部やってくれるほうが便利ではある。自分でバーコード読み取り作業をしなくちゃいけないし、ボタンも何回か押す必要があるわけで。もちろん行列の解消とか諸々の利点を込みにしたうえでの「便利だなー」ではあるのだが、ちょっと滑稽ではある。技術革新によっていろんな手間が短縮されてきたけれども、10の手間を0にすることはなかなか難しく、1か2くらいの手間は残りがちだ。そうなるとその少しの手間が顧客側にアウトソーシングされることがあり、全体で見るとコストを抑えられているが、顧客視点だと手間が増えてる、なんて結果になる。たとえば今後、商品の発注から荷物の輸送、積み下ろし、店出し、といった作業がどんどん簡略化されるかもしれない。お店には在庫を置く必要がなくて、注文したら工場からすぐ出荷されてドローンかなにかを駆使して1分以内に届く、みたいな技術革新。でももし実現したら、たぶんその注文作業はバイトじゃなくて客がやらされるような気がするんだよな。未来人は、商品の到着を待つ数十秒という現代人が負うことのない手間を負わされている可能性がある。よく言われていることではあるけど、いままで10の手間がかかった仕事が2で終わるようになったとしても、人間は残りの8をそのまま余暇にあてたりはしない。結局そのぶんの空きを別の仕事だかなんだかにあててしまう。無限の技術向上は人間が無限に忙しくなっていく過程を生み出すことでもある。そう考えると「暇」は「忙しい」の第一歩目だな。「暇だからなんかしよう」という意識は、もはや忙しさそのものだ。時間に隙間がある、隙間があるから埋めたい。このふたつはほとんどセットで語られるのだから、「効率化」という時間を生み出すくふう（暇を作るくふう）がそのまま忙しさを作り出しているというのもうなずける。真の暇人は、暇だなあ……と思い、暇だなあ……の気持ちを弄びながらなんとなく過ごせてしまう奴のことだ。プーさんとかぼのぼのとかスヌーピーとかムーミンあたりはわりとそんな感じに見える。だから人気があるのかも。

もともと大道芸を見るのが好きで、見かけたらつい最後まで見届けてしまうんだけど、何度か見ていくうちに、大道芸はジャグリングと同じかそれ以上に「話術」の芸なんだなということに気づいた。とにかくこれからすごいことをやるんだ、ぜひ最後まで見てくれ、そしてお金を払ってくれ……という意志を言葉だけで伝える大道芸人はすごい。今日び、凄い芸なんて動画サイトでいくらでも見られる。そのうえで目の前でジャグリングを披露してお金を貰うまでに至るには、観客を世間から切り離して、ジャグラーが演出する「今」に縛り付けなければいけない。すぐれた大道芸人ほど、ものすごく巧妙な話術で通行人の足を止めさせている。ギャグ、客いじり、泣き落とし、タダ見しているという罪悪感……あらゆる手を総動員して、通りがかりの人の財布から1000円を出させるその手腕のほうが、個人的にはジャグリングよりも芸術的に思える。

家にテレビがないので年末感があまり出ない。こういうときはテレビが恋しくなるんだけど、年が明けると忘れちゃうんだよな。見逃し配信みたいなのも結局全然使わないし。なんというか、テレビにはわざわざあとから見逃し配信を見るほどの完成度や面白さは求めていないんだよな。なんとなく視界の端に入ってくる興味の無さを求めているので、TVerは私にとってテレビの魂を欠いたサービスだ。

エノーラがシーンごとに毎回違う服を着ているのが面白い。変装のためとかいろんな理由があって、ドレスから男装までなんでもやる。もしかしたらフェミニズムだけじゃなくて「服飾」も作品の裏テーマだったりするのかもしれない。着るものと身分は厳格に結びついているから、エノーラが着る服によって存在の意味合いが全然変わってくる。抑圧される女性たちへのエールを強く感じる一方、そうやって誰かをエンパワメントしようとする意志が物語への没入感を削ぐ側面もあるなと思った。抑圧的な19世紀イギリスにおいて奔放に育てられたエノーラという人間が、現代人に特定の”メッセージ”を伝えるための「使い」みたいに見えてしまう瞬間が何度かある。もっと本筋と関係ないところで、2020年の情勢になど目もくれず暴れるエノーラも観てみたくなった。お話にとっての「メッセージ性」とは何か、という問題は難しい。なんのメッセージ性も祈りもなく物語を作ることは不可能だが、だからといって、作者の中ですでに答えが出きってしまっていることを物語に混ぜても溶け切らない。うまく説明できないけども、すぐれたメッセージ性を発する作品には、常に「迷い」もセットで織り込まれている気がする。

時勢を踏まえ、オンライン同窓会のようなものに参加した。「おれら変わってしまったな」というようなやりとりをなんとなく想像して臨んだものの、実際は何人かが結婚する（した）とかそんな報告をする程度で、あとは自宅にあるぬいぐるみを見せ合ったり、バーチャル背景でふざけているだけで時間が過ぎていき、大人らしい会話などというものは何一つなかった。時間が経過していてもその当時の空気感はすぐ戻ってくるんだなあと、感慨の湧かなさに感慨が湧いた。みんな変わってないというよりは、実際に変わっていても、変わっていない側面がふっと戻ってくるようになってるんだな。まだまだ真の「懐かしさ」が湧いてくるほどの年齢じゃないが、もうこういう「経過」を懐かしむコンテンツの良さが分かってきてしまった気がする。これから10年、20年と経ったとき、いったいどれだけのコンテンツ力に膨れ上がってしまうのか想像がつかない。

おれがもしクイズ王だったとして、「マイクポップコーンつくってる会社の名前は？答えろ！」って銃突きつけられたら全然答えられなくて「め、Meiji？」って素っ頓狂な返ししてすぐ頭打ち抜かれてる。答えはフリトレー（FritoLay）らしい。

俺はモニタリングという番組が大嫌いなんだが、昨日の同期飲み会では同居人のことを「こいつはニンゲン観察バラエティモニタリングを見るためだけにテレビを買ったらしい」と嘘八百のイジリをしてまあまあのウケを取ったので、ニンゲン観察バラエティモニタリングよりも格が、下。

我々がTwitterと何連携させてるかって生活と人生なんですが……

回転寿司のヤツか見てると、俺らがガキの頃にSNSあったら人生終わってた同級生何人もいたなと思うわ。知らん人の車のマフラーにみたらし団子詰めた奴とか、横山弁護士に石投げた奴とかいたもの。そんな奴らも今じゃ普通に社会人やってるもんな。よかったな水島、25年前にTikTokがなくて。

パスワードは長くて意味のないものにしてください。人生みたいに…

テレビ「海外だとこんな労働でもこんなに高収入！」って煽って、間に受けた人達が頑張ってたくさん行ったらそれをネタに「こんなはずじゃなかった夢破れた」で番組作るんでしょどうせ。と思ってる。

一番ありえないキュア○○でも言っていくか……納豆、虚数、ヒートアイランド現象、キムチ鍋、瀉血、天皇陛下、フビライハン、ポリエチレンテレフタレート……

とある映画、うつ病の女性が恋人に向かって「いいなぁ、私と別れられて。私は私と別れられない」って言うシーン、定期的に思い出してはその場から動けなくなります

どれもしっくりこないってことは、小説を書くという行為に目的が本当はあまりないということなんじゃないですかね。動機って、要は行動を手段化する理由のことですけども、それはあくまで人工的な概念であって、人がなんでもかんでも手段として行動しているわけではないですからね。「お金のために働く」という人にとって労働は手段ですが、じゃあなぜお金がほしいのか、となると、それはお金で買える何かがほしいからだったりする。ではその何かが……を繰り返していくと、さかのぼるうちに動機は徐々に削れてゼロになってしまう。なのであんまりモチベーションや動機のことは考えないです。考えるうちに無限後退してしまうし、それを知ることによってモチベーションが倍増する、ということはあまりなさそうに思えるから。よく考えると、熱中して何かに打ち込んでいるとき、動機のことなんて頭をよぎらないですよね。それをやること自体のうちに満ちている、みたいな状態ってわりと身近な気がします。「なんかやっちゃう」ことのほうが、しっかりした動機を用意するより重要なのかもしれない。その揺り返しで「なんかやれない」という状態になるのもまあ自然なことだよな、と思ってて、そうなったらなんとなく放置しています。なんかやれないモードのときにモチベーションに相当するものを召喚してきても、かえって義務感でダルくなってしまう気がして……。ままならないものもあるぜ、って気持ちで、他のことやってる。

もんじゃ焼きが疑問を呈されてる様子、面白い。「ああいうチマチマしたものって食べた気にならないから嫌なんだよな、デラウェアに似てる」ってコメント独特だな。確かにデラウェアのぶどうって食べた気がしないけど、よくこの2つを連想できたなこの人。

Twitterやってると知らない人から変なリプライやDMが来ることは日常茶飯事である。それこそ2010年くらいからずーっと継続して変な人たちに謎の絡まれ方をしてきている。けっこう前に私が書いた、とあるアニメ映画の感想ツイートに変な長文リプライが来ていた。意味はよくわからないが、とにかくキャラクター同士のカップリングに一家言あって、解釈が違うと判断して抗議してきているっぽい。ほかにはどんなことツイートしてるのかな、と思ってその人のページを見ると、私へのリプライ1つだけしかツイートしていなかった。しばらく後に、見ず知らずの人のツイートにその人が絡んでいるのを目撃。ああ、特定のワードで検索して無差別に絡んでんだなあと察して、ふたたびその人のホームを見に行ってみると、またしても全1ツイート。私へのリプライは無い。あれ？ 自分へのリプは消したのかな？ と不審に思って確認すると、しっかり残っている。よくよく見たら、アイコンと名前が同じだけの別アカウントだった。よもやよもや……？ という予感がしたので、そのユーザーネームで検索をかけてみたところ、全く同じ画像、ほぼ同じユーザーネームのアカウントが無数に見つかった。なんとこの人は、ひとりにリプライを1回飛ばすためだけに毎回アカウントを新造しているのだ！ その数120以上。よもやよもやだ。最近のTwitterはかしこくて、いろんな人にブロックされているアカウントは表示されにくくなったりするし、フォロワーが少ないうちに迷惑行為をはたらくとすぐ凍結されたりもする。だから、動きを封じられないようにアカウントを作りまくるのは一応理にかなっている。しかし、やはり狂気ではある。嫌がらせその他諸々の目的のために、爆撃みたいにいろんな人に無差別メッセージを送る人はまあ結構いる。しかしそれは「Ctrl+C」「Ctrl+V」で簡単に実現できてしまうし、それなりの悪意さえあれば手軽に実行できる範囲だ。それに比べれば、わざわざアカウントを作るのは手間がかかる。少なくともコピペ一発では済まない。スクリプトを組んで機械的に生成するという手もあるが、上記の人に関してはなんとなく手作業のような感じがある。数日前に「助けて助けて助けて……」みたいな連呼タイプの怪談は電子データだとコピペが簡単すぎて執念が出づらい、みたいな話を書いたけれども「毎回アカウントを作り直してる」というのは、インターネットにおいても執念が伝わってくるな。時代に合った執念の見せ方というものがある。

この会社この仕事がどうこうよりもとにかく労働自体が嫌だから「やりたい仕事」というのは大げさに言うと「遭いたい事故」「受けたい拷問」みたいな話で本当にない

「差分はWikipediaで」って言ってWikipediaの「天皇陛下」の項目リンクを貼る最高の絵師

吉良吉影が最期、救急車じゃなくて通りがかったマジックミラー号にひかれてたらジョジョあんなに人気になってないと思う

1日目から「かゆいうま」になってるやる気のない俺の日記帳

明日忙しいんだよなー、と思うと、明日の忙しさをなるべく遠ざけて、ずっとずっと今日のままにしたくなって、無意味に夜遅くまで起きてしまったりする。そうすることで睡眠時間が短くなって、明日の忙しさに拍車がかかるというのに。過去の自分は未来の自分に非協力的だ。過去の自分が引き起こした出来事の痕跡を見ていると、帰宅したら家財道具が空き巣に荒らし回られていた、みたいな心持ちになる。

M-1を観ていたのは5年くらい前までだけど、得点つくと思って漫才見ると雑念が増えてしまう。「ここ評価されそう」とか「ここテンポ悪いってあとから審査員が言いそう」とか思っちゃう。そもそもこういう競技化された大会を開いたことの目的は、より純化された漫才ショーを見てもらいたい、みたいなのがあったのだろうと察するが、その試みが結果的にそういう雑念を生んでしまうという側面もありそうだ。「なんとなく」が一番尊い。なんとなくテレビつけたらすごい面白い漫才やってたとか。なんとなく手にとった本で感動したとか。そういう出会いをなるべく大切にしたいが、それは狙って得られるものではない。いわゆる目標のある人生みたいなものが苦手なのは、それかもな。人生に計画があると「なんとなく」が減ってしまいそうな気がするから。

病院行ってきた。またお薬手帳を忘れてしまった。今年、お薬手帳を忘れなかったこと1回もない気がする。毎回、かばんに入っていると思い込んだ状態で出発してしまうの謎だ。で、それをツイートするたびに（毎回シリアスにいたたまれなさすぎて誰か笑ってくれの気持ちでツイートしてしまう）「アプリに切り替えてみては」というアドバイスを頂く。そのたびに「アプリがあるのか。よーし。次からアプリにしよっと」と思うのだが、次になると忘れている。バカ！！お前はアブラゼミをお食べなさい！その負の円環を断ち切るため、今回ついにアプリを導入した。処方箋に描いてあるQRコードを読み取るだけで登録されていく。これは便利だ……。「アプリ使えますか」と尋ねたのが薬を出してもらった後だったから、また印字やり直しさせることになってしまって申し訳なかった。こっちの不手際で店員さんに余計な手間をかけさせてしまうことが多くて本当に嫌。私が初音ミクだったらこんなことにならなくて済むのに……。前回も書いた気がするけど、病院行った日は気が塞ぎがちになる。なんかミスも明らかに増えている気がするんだよな。「事前に自分が女性であることを意識させると女子生徒の数学の成績が落ちる」みたいなものか？ あれは再現性に疑問符がついているらしいが。「病院に行く日はミスが増える」に関しては再現性がある（自分の場合）。病院に行く時間も勘違いしていて、1時間早く着いてしまった。マクドナルドのコーヒー1杯で1時間待機した。コーヒー好きだけど、マクドナルドのコーヒーだけはなぜか全然おいしくないと感じる。なのに毎回頼んでしまう。あと、道端で食べようと思ってコンビニの冷たいスイーツ買ったら普通にちゃんとしたショートケーキで（クレープ的なものだと思ってよく見ずに買った）、それに気づかず開けてしまって、ショートケーキを手づかみで食べる羽目になった。で、食べてたら雹（ひょう）が降ってきた。私が巡音ルカだったらこんなことしないのに……ア～～！またア～～ってなっちゃった。ス～～～～～～～！スはしっくりこないな。

県境付近の、他県ナンバーが混ざり合う道路の感じが好きです。

コンサルで毎日上司に激詰めされてる友達、久しぶりに会ったら何を聞いても「理由は3つあって」としか言えなくなってて居た堪れない気持ちになった。

長男7歳が「ママ、学校にはトイレの花子さんがいてね、トイレ中に振り返ったら恐ろしいことになるんだよ…」と話し出したので、令和キッズの学校の怪談にワクワクしながら「どうなるの？」聞いたら、「おしっこが、止まらなくなるんだって……」と絶妙に嫌な感じにアップデートされてた

先日、知人のお婆さんが「私の若いころは…」と話し始めたので「うわっ！めんどい苦労話がくるやつだ！」と思ってたら「私の若いころは、家のことだけしてれば良かったのに、今の子は自分でお金も稼いで家事や育児もしていて本当にすごいわね…」と言われてこういう歳の取り方をしたいと思いました。

「仕事はそもそも辛くて当たり前だ、楽しみを見出すな！」って説教は一昔前なら通用したんだろうけど、若者が本当に少なくなってる今そんなこと言い出したら離職されて困るのは自分たちだし、若者も若者で定年退職とか退職金を当てにしていないので、辛くて苦しい労働をあと50年60年もやれるわけねえだろ、と考えていそう。労働が辛くてもよかったのは55歳60歳で定年できて、そこから老後というオアシスが保証されていたから。それがなくなってなお会社に尽くそうとする健気な人はいないだろう。

息子（小3）の持ち帰った道徳のプリントを見ていたら『今までに強く心を打たれたり、美しいと感じたことはありますか』みたいな問いに対して『あやちゃん』って好きな女の名前だけを書いて提出しており、先生もOKのサインをして返却していた

若い頃は「いじめや人を傷つけて喜んでる人達は歳を重ねて自分がした事を悔やんで罪悪感に苦しむものだ」と思ってたんだけど「全くそんな事なく今現在も同じ事をしてる。場合によってはもっと酷い事している」という現実を見ている。

自分で属性を選べるとして土属性を選ぶ人

確定申告って税務署のある方角に向かって大きい声で「確定しました！」って言えばOKらしいです。

アンガーマネジメントも「まずは自分を変えることから」も大切だが、不当な扱いや社会構造に対して怒ることまでマネジメントする必要はないよなとも思う今日このごろ。社会矛盾に圧し潰されているのに「わたしが成長しないと」と悲痛な声をあげている人と出遭うことの、なんと多いことか。

世の中というのは、いわゆる「陰謀論」みたいなものとは対照的な面白くなさに満ちているところで、ひとは面白きこともなき世を面白くないまま生きないといけない。それは本当に面白くないんだけど、それが修練ということです。

【好きな距離感】

広報が「ネット上で話題にしていただいていることは存じております」とねとらぼに答えるくらいの距離感

海外での出稼ぎがより一般的になることで適性や能力の低い人も国外に出てカモられる、問題を起こす等々の事態は大いにありそうだが、日本国内にいたら腐ってしまう資質を持つ人が国外で開眼して輝く例もあろうし、出稼ぎの流行は坐して一億総貧困化を待つよりは良い気もする。日本の最大公約数的な職場環境・組織文化の中では、結構な割合の人がやりがいも見出だせず能力も発揮できないままにすり潰されているように見える。出稼ぎが一般化して、エリートやレールを外れた人以外の普通の人でも気軽に海外で働けるようになるのは悪くないと思っている。人材をどう活かすのかという話でいえば本邦もあまり上手くやれているとは思えない。一般論として仕事の精神的・肉体的負荷が高く、少なくない人が負荷に適応できず心身の調子を崩しながらもだましだましやっていく、なんて状況が健全なわけがない。

親から「こんにちは」って言われたらそれが昼でも怖くなって病院を受診しちゃうと思う。もちろん精神科。

12年もTwitterやってると、「Twitterもうダメだから他に移れ」といわれても「わしゃ生まれ育ったこの村を離れて生きることはできん」って言って滅びゆく村と運命をともにする古老みたいな心境に至る。

あんまインターネットすんな！「学校行けない どうしよう」とか「ストレス 減らす方法」とか調べんな！絶対調べてると思うけど！答えはないから！インターネットは罠だから！みんな金取りたいだけで解決方法なんかないんだから！

「#私達はもっと政治に怒っていい」というタグがTwitterトレンドに入っているのを見た。クリックしていないのでどういう感じになっているかわからないけど、だいたい予想がつく。このタグを使っている人たちの「感じ」、このタグを嗤う人たちの「感じ」。どちらもイメージしやすい。なんとなく、このタグを使って伝えたいことと、こういうタグを使っていること自体の「なんかイケてない感じ」がちょうど背反している気がする。「私たちも意見を持ちましょう」という感覚そのものがもうなんかダサい扱いになってる。実際そういう素朴な感性って薄気味悪いんだけど、とはいえ、と個人的には思っていて。「理念」という概念のキモさにみんなが気づいている現状をどうしたらいいのか。理念は基本的に、ずっと現実に裏切られ続けることを宿命づけられたもので、にもかかわらず、その理念とやらに執着するのは盲目の恋に落ちている状態に近いというか、マゾヒズムというか。「善くあろうとすること」そのスタンス自体にもう快楽がある。進歩主義は理念を唱えながらその快楽にヨガっているのかもしれない。それが看破されてしまったうえで「理念」やら「正義」やらをやるのはいかにもしんどそう。情熱的に、ではなく、めんどくさそうに「正義」をやる、という方向性はわりとアリな気はするんですけどね。政治とか行政で、さんざん二枚舌だとか言われていても支持の衰えない人がいるけど、それはそういう二面性の存在が「大人」の証左になっているからだったりしないか。生徒に人気のある先生ってなんかちょっと気だるげだったりしたと思うんだけど、あの感じ。漫画で言うとパトレイバーの後藤隊長。ああいう感じを身に着けていると強いはずだと考えているのだが、今流行っているトレンドタグ的なものの出している雰囲気は真逆の熱血教師的だなあ。

怪談を読んでいると文字の羅列で怖がらせる手法に出くわすことが多々あるが、少なくともウェブ上の文字で見る限りでは「ctrl+C、ctrl+Vだな」と思ってしまって、あまりちゃんと怖がれない。しっかり演出してあるとまた印象も変わってくるんだけど、物量作戦はコピペ無制限の時代では大したインパクトがない。病み期の中学生だってLINEスタンプ連打攻撃する時代に同じフレーズの連呼など凡庸なのだ。これが文字を手で書くしかない時代だったら、すごい効果的だっただろうな。同じ文字をびっしりと手書きしている様子が背後に浮かび上がってくるから。昨今のネット怪談だと、ミーム的なものが人気な印象だ。「これを読んでしまったことによって、あなたも怪談に巻き込まれる」というようなの。「残穢」はその有名な一種だろう。「攀縁」とかも。思えばインターネット初期から「不幸の手紙」式チェーンメールは流行っていた。コピペ容易なデジタル媒体であるがゆえに、その内容そのものではなく、内容が「伝染」する、という側面の恐怖が、より説得力を持って演出できるようになったのかもしれない。案外、ネット時代のほうが質量をもたない霊的恐怖は強い。文字や画像を依り代にしてより早く自己複製できるように進化したといえる。

サイバーパンク2077、おもしろい。面白いのだが、自分はこういうゲームの全てで同じ行動しかしてない気がする。悪党のたまり場を見つけたら遠くから音を出してひとりずつおびき寄せ、後ろを向いた隙を狙って首を絞め落とす。これを人数分繰り返す。どんなコンセプトのゲームでも、これができるシステムなら絶対にこれをやるし、これをやってるときが一番楽しい。でも、これをやってるときの自分の脳活動を計測したら、たぶん死体と同じだと思う。

今日見た夢の話。出張でアフリカに行くことになって、単身飛行機でアフリカに飛んだ。ホテルについてチェックインしようとしたができない。おかしいなと思って会社に連絡したら「出張は明日だよ」という返事。まちがえて1日早くアフリカに来てしまった。困った。ホテル泊まれないし。アフリカで1日野宿するのハードル高すぎだろ、と思いつつ、賑わっている街を散策した。ほぼ、吉祥寺だった。「ほぼ吉祥寺だな～」って言った。吉祥寺と全く同じ商店街があったので「アフリカって黒人しかいない吉祥寺なんだなあ」と言った。起きてから気がついたんだけど、そんなわけない。起きてからどれくらい「そんなわけない」と思えるかどうかが、夢の勝負所だな。

学術研究はよく「役に立ちそうな」応用研究ばかり重視されて、すぐには役に立たない基礎研究がおろそかになっている。役に立つかどうかという尺度で研究を判断するのはやめるべきだ、という言説。おもに学者サイドからとてもよく出てくる話だ。この話のおもしろいのは、学者側のこういった言い分も大抵は「長期的に見れば役に立つのだ」という結論に落ち着くところ。「役に立つかどうかは問題じゃない」というよりは「役に立つかどうかの判断は長いスパンで見るべきだ」という意見になっていることが多い。しかし、こういう話も、決済権を握った人向けの口説き文句でしかないんじゃないか？ と私は疑念を抱いている。学者のけっこうな割合が、じつは真の意味で「研究は役に立たなくてもいい」と思っているんじゃないかという疑念だ。もちろん長期的な視点も含めて。金輪際役に立たなくたっていいじゃんと思っていると思うのだ。だってそうでしょう。自分の知的関心さえ満たせれば、役に立たなかろうが、逆に国が傾こうが、世界が滅ぼうが、別にどうだって構わない。それくらいの感性、研究者にならあって当然だとすら思う。いわゆる創作上のマッドサイエンティストは、研究者のそんな側面のカリカチュアだ。なのに、テレビカメラの前では「研究は（ただちに）役に立たなくてもいい」という言い方で二重の煙幕を張っているように見えて可笑しい。いや、もっと社会通念に照らし合わせたような意味で真面目な研究者が普通にいっぱいいるってことなのかな……。

人間が消費したり、推したりできる範囲は、ヒトに関する有限なイメージの集積にとどまらざるをえないんですが、一方でヒトが生きているということはそういう有限さからはみ出しているということなので。常に「現在」を生成し続けているところが生命のとてつもなさだと思います。いくら三次元のアイドルだろうと、オタクはその影をおっかけるしかない。というかオタクとか抜きにしても、人を好きになれる限界もそのへんです。「この先どんなことがあってもきみを愛す！」というように、未来まで先回りして愛すると宣言すれば、影を追う愛し方から脱却することもできるっちゃできるんですが、その場合は未知の部分や不可知の部分まであらかじめ自分の器の中で肯定的に抱え込まないといけなくなるから、苦しい。王子様がカエルに変身したらやっぱり悩む。そういう意味では、愛は契約だと思います。「今まで愛していたのは、結局のっぺりした影に過ぎなかったのか」「このなまぐさい部分も含めて私は愛さなければならないのか」この2つの混合が、たぶんどんな推し活にもついてまわる苦悩なんですが、その辛い苦悩は人を愛する尊さと表裏一体です。

戦略。全然なかったし、今もないです。最初はTwitterで、マンガやって、小説やって、ネット記事やって……を並行してごまかしごまかしやってきた。未だに「何も得意じゃない」というコンプレックスがしっかりある。あと私のやってきたことはランダム要素が大いに関わってきているので、参考にするには再現性がかなり薄いと思います。あ、でも「ランダム要素」は人生攻略でかなり重要なので、そこを軸に戦略を立てるのはアリかもですね。私の場合、インターネットで適当にやってたらたまたま周囲に目をかけてくれる人がいた、たまたま仕事をふってくれる人がいた、という「たまたま」の積み重ねでできている人生なのですが、その土台にはランダムなサイコロをふる試行回数の多さが関係している気がします。サイコロはふった数だけ目が出る。それに、現代日本ではランダム要素の結果でメチャクチャなマイナスが出ることってほとんどなくて、平均的にはややプラスです。「どう？」って言われたら軽率に「はい」って言ってると、なんとなく目処や展望めいたものが見えてくるような気がする……。成功できるかどうかは謎ですが、自分がどういうやつなのかというのはだんだんわかってくるはずだし。

ずっと「深い」という言葉がなんか嫌だなと思ってきたけれど、最近理由がわかった。あれ、会話の中で「深くなりそう」くらいの感触があるときに、「この辺で深いってことにしておきましょう」みたいな線引きをするために用いられる言葉なんだ。本当はもっと考えられそうだし、もっと考えたらもっと深まりそうな手応えがあるときに、考えるのをやめてそこで満足するための合図なんだ。「深い」とは「深くなりそう」ないし「まだ浅い」なんだ。同様に「哲学的」とかも「哲学的な話に繋がりそうだね」くらいの意味で使われる、中断の合図だと思う。名付けたら終わってしまうところがあるね

下からの圧力で揉み消されたキモい事件

婚姻制度は何のためにあるのか、結婚がなぜめでたいことなのか、なぜ婚姻によって特別扱いが受けられるのかと言えば、あくまで「次の世代を生産し、社会（共同体）の繁栄に繋がるから」が基本にあるだろう。だから婚姻の条件の中に「愛し合っていること」が含まれていないのだ。愛と婚姻は別の問題だ。もちろん愛がそこにあればその方が喜ばしいことは言うまでもない（ただ婚姻してから愛をはぐくむこともできる）。婚姻しても子を産まない夫婦だっているではないか、という指摘もあるだろうが、産めるのに産まないというのは婚姻制度へのフリーライダーに他ならず、本来は想定外の存在のはずなのだ。ただこういうことを言うと「産みたいのに産めない夫婦だっている」と、不妊カップル（の「かわいそう力」）を盾に反発してくる人もいるが、不妊はあくまで不幸な例外であって、そうした不可抗力の同情すべき（というと怒られるかもだが）人々と単なるフリーライダーは厳に区別されるべきだろうと思う。これまで婚姻と子をもうけることは一体のものとして自明視されてきたから婚姻制度というルールがあったけれど、そいういう意味では時代に合っていないのだろう。「子を育てているか、そうでないか」で適用される制度に改めていく必要があるのかも知れない。同性婚を認めるならばそれを前提とすべきだ。

たぶん横行しているスパムアカウントを殲滅しようとしてるんだろうなあ……とは感じるんですが、なんかこう、湧き続けるハエにブチギレて超強力殺虫剤を1缶全部撒いたら飼ってた犬と猫と鳥とハムスターが全部死んだみたいな……そういう気配を感じますね……

「個人情報保護利活用方法」に隠れた「ウホウホゴリ活よウホウホ」の部分

そもそも大学進学率はここ30年で36.3％→58.6％大幅UPしてるのに賃金は全く上がってない、つまり大学で４年間ずっと勉強を本分として専門分野を学び最終学歴を上げてすら賃金上がってないのだから、たとえ育休中の空き時間に勉強できたからって賃金上がるわけないよね

死、かなり処分に困る生ゴミが40〜70kgほど突然発生するという点において本当に最悪なので時期を決めて焼却施設を用意した上でコントロールできたら本当に幸いだよなという観点がある

周りの顔色をうかがって人生やってたやつが周りの顔色うかがって死ぬタイミングを自己決定できたら一貫した人生で良かったんじゃないですか。少なくともそうできないより幸せでしょう。みんなやってるから自分もそうするっていうのは、少なくとも日本社会ではだいたいのことをそうやって決めてるんだから死ぬタイミングをそれで決めて何か問題があるのかという話なんですよ。

本日息子の部活の追い出し紅白試合。体格にも恵まれず試合で活躍できたかといえば残念なことも多かったけど、寄せ書きの色紙に「先輩で一番優しかった」「一番話しやすかった」「質問に優しく答えていただいた」などの文字を見つけ、彼なりに３年間に残した爪痕もあったんだなと少し泣いた。

オタクのどろりとした性欲を隠蔽するために作られたマーケター的語彙の数々（「推し」など）

ひろゆきさんが安楽死の話で「生きたくても生きられない人がいるとか言う人いるんですけど全然関係ない話なんすよ、今は死にたくて死にたい人の話をしてます」って言ってたの納得すぎた

「ラッキースケベの逆のアンラッキースケベってあるのかな」と考えたら、二十数年前に今は亡きダイヤルQ2でエロ音声を聞いたら、後日ロシアからの国際電話で高額請求が届き、父親に「何でロシアに電話した。ロシア語を何か話してみろ」と激詰めされたあげく、「…ボルシチ」と呟いた体験を思い出した。

全部47倍するヤリモク男「てかこの後家で飲まん？ほら今店とかも940時までしか開いてないし、94人きりの方が落ち着けると思うし、俺性欲全然なくてオナニーとかも47ヶ月に47~94回ぐらいしかせんし、ちょうどネトフリ235日前に契約したから四十七緒に見よや」

太宰治墓、煙草やお酒が供えられている中に何故かちいかわのアクスタが混ざってて本当に意味がわからなかった

「日の出までに原稿をお願いします」と言われたので北極点に来た。日の出まであと2ヶ月ある

「『キモイ』は女性を守るセンサー」というのは確かにそうなのだろう。それは「本能のように」と言うか実際本能だろうけれども、それはサルのレベルでは役に立つけれど、人間のレベルでは動作が粗雑すぎたりハックされたりしてしまうのだよな。だから薬漬け神父やホストや権力者を弾くことができない。そういうハックを弾くためには、やはり意識をサルのレベルから人間のレベルに引き上げるしかないのだろう。が、それってかなり負担が大きいことだし、失敗するその瞬間まで（ことによると失敗した後でさえ）当人にとってメリットを感じることができないのだよな。だからまあ、難しいことなのだろう。

プールの授業ってあったな。授業中に何をやってたかは全然思い出せないけど、着替えを持ってぞろぞろ移動してるときの風景とか、各々が持ってきたタオルのガサガサな質感とかはなぜか記憶に残っている。こういった「中間」の景色が脳に残るのはなぜなのだろう。

・小学生の時のプールの授業では、時間が余ったら「流れるプールを作る」というのをやってたのを思い出した。みんなでプールの内周に並び、一方向へ歩き続けると、水流が発生する。その勢いで遊ぶというレクリエーションだ。あれ結構おもしろかったな。でも今後一生やることないんだろうな。「おもしろかったな」と思うなら、またやれるように手はずを整えればできない話でもない。大人でもプールの内周をグルグル歩くことくらいできるし、本気でやれば人も集められると思う。それでも「一生やらないんだろうな」と思うのは、結局そのていどのおもしろさだったということか。いや、というよりは、やっぱりもうあれは再現不可能な風景なんだと思う。ああいう瞬間は今思うと時間の流れ方からして何かが違っていた。今は意志で制御できるものが多すぎる。当時は自分でコントロールできるものごとが圧倒的に少なくて、いろんなことが意志の外側で動いている、夢のような感じがあった。子どものころは漂うように生きていた気がする。中枢神経はあった。ノスタルジーとは意志の外側に見えた風景をなつかしむことで、だから意図して取り返せない記憶としてのみとどまるのかもしれないな。

書き手はどうやって作品を発信していくべきか？ という問題はずーっとあり、10年くらい前からぽつぽつと「出版社に頼る時代は終わり。クリエイターが自分で発信していけば搾取されずに済む。そういう時代が来ている」という意見を見るようになった。鈴木みそ氏や佐藤秀峰氏などは上手くやっている人として有名だと思う。ただ、発信の手段と手段そのものの影響力は切っても切り離せない。個人でどうにかやっていこうと頑張る人ほど、世間の時流に敏感になって、次に寄る大樹を探している。いまブログを読んでもらおうと思ったら、Twitterのタイムラインを経由してもらうのがいちばん手っ取り早い。作家として自活するために、noteやTwitterに頼らないといけない。自分の家をデンと構えて自活できれば最高だけど、なかなかそうもいかない現実がある。ゴディバほど名の知れたブランドでもコンビニとコラボしているのだ。

・売れてるユーチューバーの動画をいろいろと見漁っていると、どれも共通して「部屋が派手」なんです。派手というか、色味があるというか。色があるということがアンカリングの効果を発揮して、面白いと思わせるのかもしれない。だとしたらやらない手はない。いますぐ壁を黄色くして、髪を赤く染めるべきだ。昔の田村淳みたいにするべきである。でもね～。っていう。なんかそういうの、ちょっとこう、抵抗あるな。壁はともかく、髪はどうなのかという問題がある。単に恥ずかしいというのもあるし「そこまでスタイルをユーチューブナイズして、それでウケなかったらかなりキツい」というのもあると思う。もし今後、誰かが髪を緑や赤に染めたら、みんなは静かに祝福してください。そして、一番好きな花の名前をつけた白い鳩を海に飛ばしてください。

めちゃめちゃつまんないポスターの落書き。これが教科書の落書きだったらなにも思わないけど、公共のポスターに法を犯してまで書いた、という前提がつまらなさをすごいレベルまで引き上げていると思う。最高だ。

ネットでなにかしらの対立構造が醸成されたとき、その対立をより深めていくはたらきが自動的に作られてしまうものだな。反対の意見を持つA派閥とB派閥があったら、どちらの派閥にも比較的「まともなやつ」と「やべーやつ」がいる。「まとも」とはその意見の内容についてではなく、意見を主張するにあたっての「態度」のことを言う。具体的には「感情的に人を罵倒しない」「意図して嘘を言わない」「自らの間違いに気づいたら謝罪し改める」とか、そういう内容以前の条件を満たすような人。対する「やべーやつ」は、まあ上に挙げた条件を反転させたような人です。A派閥とB派閥という対立があっても、それぞれにおける「まとも」な態度の人どうしであれば、対話の道を切り開く可能性はありそうに思えるし、「意見は違うけど、態度は信頼できるな」みたいな人を見つけることもできそうに思える。しかし、主にTwitterではそれがなかなかうまくいかない。それはタイムラインが個々人のあまねく行動を可視化することで「可処分時間の限界」と「チェリーピッキング（都合のいいとこどり）」の境界をぼかしているからではないか。どんなに誠実に生きようとしても、この世の全ての問題について対処できる人はいない。あるボランティアが地雷除去活動に取り組んでいるとき、グレートバリアリーフの保護も同時に進めることはできない。人に使える時間には限界があり、今できることをやっていくしかない。どんなにその個人が誠実な仕事をしていても、同じ派閥に属する人の不祥事を見て見ぬ振りしていることがわかれば、信用を失う。スピード違反を見逃さずかならず取り締まる警察官が、同僚の警察官の横領を知っていて黙っているとしたら、その人は信頼に値しない。人は自らの置かれた状況においてのベストをそれぞれ尽くすしかないのだが、タイムラインの情報は同じ重みで同じように流れてくる。そのうちどれを読み、言及し、スルーするのかは、当人の判断によるわけだけども、ここで「今できることをやっていくしかない」と「都合のいいとこどり」の衝突が起こっているように見えてしまうのではないか。「この人、自分に都合のいい意見ばっかリツイートして、自分の仲間の手落ちはスルーして、叩きやすい敵を叩いてばっかだな」と、Twitter言論人を見て思ったことのある人は多いはずだ。そういう態度を見ると信頼が失せるが、当人の立場になってみるとなかなか無理のない部分もある。時間は有限だから、全てに同じような重み付けをして発信していくことはできない。もしA派閥に属していれば、B派閥側の「やべーやつ」の発言を鋭く批判することのほうが、同A派閥側の「やべーやつ」の発言を批判するよりも優先度が高くなりがちだ。喫緊の問題を優先順位「高」で取り扱うのは当然のことだが、なにを喫緊の問題とするかという基準こそ個々人のイデオロギーであり、食い違う原因だ。だから、その当人の姿勢は比較「まとも」だったとしても「室井佑月のいい加減な発言は欠かさず拾ってきて叩くのに、百田尚樹のいい加減な発言はスルーするんだな」とか「高須克弥の事実誤認には毎回怒ってるのに、町山智浩の事実誤認には触れないのな」とかみたいなケチが必ずついてまわることになる。これを極端にすると、それぞれの問題が対立構造になっていなくても「あなた、表現の自由問題には熱心だけど、南極の氷が溶けているという重大な問題についてはスルーしてるあたり、人間の底が知れますね」とかなんでも言えてしまうわけでかなりヤバい。かなりヤバいが、そういうふうに感じるような仕組みにTwitterはなってしまってる、と思う。ある事象に言及しないことがその事象の消極的容認として問題視されるなら、「誠実な態度」はもはやありえない。Twitterにおける話題の切り替わりが恐ろしく早いのも、この傾向に拍車をかけているのだろう。とにかく炎上している話題には事欠かないから、自分のイデオロギーにからめて語りやすい話題を次々つついているだけで時間があっというまに過ぎていく。言論のBPMが高速すぎて、自己批判的な姿勢を差し挟む余裕がない。自分がグーなら、目についたチョキを次々なぎ倒しているだけで一日が終わってしまって、グーとグーを突き合わせて悩むタイミングを確保しにくくなってしまっている。

もう12月なのか……いつのまに……。許可した覚えもないのに。

銭湯の「手ぶらセット」で渡される手ぬぐい、渡されるたびに絶望する。こんな小さな布切れで濡れをどうにかできるわけないだろ、と思う。カロリーメイト一箱だけ渡されて無人島に放り出されるような心持ちだ。でも最終的に毎回どうにかなっている。今回もどうにかなった。不思議だ。

久々にテレビを観た。ボクサーのドキュメンタリーをやっていた。ものすごい期待をかけられて練習を重ねた選手だったのに、試合前の体重測定でぜんぜん規定を上回ってしまっていて無期限出場停止になってしまったという。それからの再起までの日々、指示をしたコーチとの関係性の再構築を追った内容だった。こういうの怖い！！ 「いや、体重全然オーバーですね」ってなったとき、どんな心持ちだったのか。人は往々にして戦う以前のところで脱落してしまう。そのときの、土台が消失して「ひゅーん」と落ちていく感じ、想像するだに恐ろしいよ。ドキュメンタリー自体は良かった。そこで挫折したボクサーがわかりやすく不貞腐れているのも含めて人間だった。コーチとボクサーといえど、客観的に見たらどっちも良い年したオッサンなわけで、そんな状況になってしまったオッサンが別のオッサンを信頼してトレーニングに全生活を捧げ、チャンピオンになれ、とか、これが絆、とか好きに言われるのは、しんどいだろうな。若い頃はまだ人生の練習期間みたいな意識があるから、高い壁に走っていける蛮勇が様になるけれど（それだって本当は錯覚なんだけど）、残った時間をジリジリと燃やしながら目指す「チャンピオン」という頂は遠いだろうし、ボクサーとコーチという一対一の関係性においては、コーチに対してかなりいろんな感情が渦巻いたに違いない。

いま「チョコバナナ味のジャム」というのが家にあり、パンに塗ったりアイスに乗せたりして食べているが「こいつ、余るんじゃないか」という気配がすでに漂ってきているのだ。140グラムしか入ってないが、正直50グラムくらいで十分な気がしている。この問題のナイーブなのは、口に合う合わないとは無関係なところだ。うまい。チョコバナナのジャムはうまかった。うまいのだが「これを、あと8回くらい繰り返さないとカラにならないのか」とパンに塗りながら考えてしまい、そうすると途端に憂鬱な気がしてくる。ジャムに義務が生じる瞬間。「備蓄」がそれほど好きではない。好きな人はめちゃくちゃ好きだけど、私は備蓄する安心より「備蓄したぶん、それを黙々と消費する未来が一気に確定してしまうんだな」という不自由感を抱く。先祖が遊牧民族なのかもしれない。そう思うことにしよう。

大食いがエンターテインメントとして成立しているのは不思議なようでいて当たり前のようでもあり、おもしろい。とにかくたくさん喰う、ということのいったい何がおもしろいのかはよくわからないが、ほっそりした女性がケーキを1ホールたいらげる様には目を奪われる。食べ物を食べない人はいないから、大食いのすごさは体験に基づいて直感的にわかる。その点では「足の速さ」とか「力持ち」とかも同じだけれど、大食いは基本的になんの役にも立たないところが画期的でいいなと思う。早く走れたり、重いものを持てたりする人は、みんなの役に立つことができる。「すごい」はそのまま「えらい」に転換して、ムラの中でも重用される。一方、大食いはすごいが、べつに偉くない。むしろコミュニティ内に大食いがいたら、食い扶持が減って損である。穀潰しとはこのことだ。だからこその良さがあるよね、大食いには。ぜんぜん偉くない凄さって良いなと思う。皿回しができるとか、腹話術が得意とか。大食いは、誰もが知る「食」の極限を目指すわかりやすいすごさと、わかりやすい偉くなさが同居しているから良い。それでもなお「うわ、すげえ！」と直感できる。その一点のみでいまだにエンターテイナーでいられている。

Twitterで「僕は選択的夫婦別姓に賛成する立場だったのですが、賛成する人たちがやたらに「道徳的優位性」を誇示しはじめたので反対することにしました」というツイートを見て、それについて考えていた。その思想内容以前に、このような思考プロセスのふみ方にとても違和感がある。言われていることは理解できる。たしかに「夫婦別姓を選択する」という行為が道徳的優位性の誇示につながることはあり、その結果、選択的であるにも関わらず夫婦同姓を選ぶことが非難の対象となることもありえるだろう。それはいわゆる「リベラルな」思想が導きがちな全体主義的傾向の一部といえる。しかし、なぜそれによって「反対することにしました」となるのか。もともとは選択的夫婦別姓に賛成する立場であったなら、賛成を支える根拠も持っていたはずだが、それはどこに行ってしまったのか。メリット・デメリットを足しあわせて「よりマシ」な選択をせねばならないときは、たしかにある。選択的夫婦別姓を採用することによるデメリットがメリットを上回ると判断を改めた末の意見変更なのかもしれない。しかしそれは、あまりに単純な二分法に支えられた考え方だ。「選択的夫婦別姓には賛成を示しつつ、それによって起こる弊害（夫婦同姓を選んだ人が攻撃されること等）を防ぐために動いていく」という「意見」を持つこともできるのだ。別に手元に「夫婦別姓ボタン」が渡されて、明日までにYESかNOのどっちかを押さなければならないわけではない。「賛成か反対か」というのは非常に限定的な状況でだけ成立する問いの立て方である。たとえば、あなたはカツ丼に賛成ですか？カツ丼が好きなら賛成を選ぶだろうか。でも、今カツ丼を食えと言われたらそれはちょっとという人も多いはずである。「カツ丼は好き。だけど今は食べたくない。明日の昼ごはんにカツ丼を食べるなら賛成。でもタマネギが入ってるカツ丼は苦手だから反対」などなど、意見とはグラデーションなのが普通だ。同じ「カツ丼賛成」な人でも「明日の昼はお好み焼きを食べたいから反対」という人だっている。最終的に「賛成か反対か」という二分法になるのはしかたないとはいえ、それはあくまで制度上の限界がそのように要請しているだけで、その都合に合わせて最初から意見をパキッと2色カラーで塗りつぶすのは本末転倒だ。私はどちらかといえば選択的夫婦別姓に賛成だが、来年の1月からそうしようと言われたら反対する。また、選択的夫婦別姓の採用によって、夫婦同姓を選んだ夫婦が攻撃されるようなことがあってはならないと考えるし、もしそういう事例が多発するようであれば法的な処罰をくだすべきだと思う。さらに言えば、私は根本的には婚姻制度というもの自体が本質的に不要だと考えているので、そもそも夫婦別姓を支える前提に反対している。もっとたどれば姓名制度だってなくていいと思っている。みんな自分の名前なんて好きにつければいい、と思っている。でも来年から姓名制度をなくそうと言われたら反対する。10年後だとしても、それによって大混乱が起きるなら導入は反対する。しかしその場合でも、根本的には姓名制度の撤廃には賛成しているといえる。くりかえすけれど、私たちはべつにイエスかノーのボタンがついた箱だけを渡されているわけではない。グラデーションの中にある曖昧な意見を言うことができるし、それを通じて第3・第4のボタンを作ることができる。でもね、と、私の中の冷笑的な私が言う。結局、最終的には二分法で決まってきたんじゃん、と。そんなグラデーションを表明したって結局は党派性に吸収されてしまうのだ。人間は極論が大好きで、それは多様性を標榜するリベラルとて逃れられない。むしろ「道徳」による全体主義の強制は得意技じゃないか。これはもはや人間の変えがたい本能、暗黒の真実だ。「夫婦別姓にしたら子どもがいじめられるかもしれない」と言うと、道徳的な人々は噴き上がって「じゃあいじめをなくせばいいじゃないか」と言う。でも、こちらは「なくせない」と言っているんだ。あなたがたは、人間がそこまで高等な生き物ではないということから目を背けている。これが「しょせんこんなもん党」だ。道徳的なあなたがたは理想を美化して進歩を強制するけども、歴史を見たらしょせん人間なんてこんなもんですよ。この考えは強力で、進歩派が隠したがる真実が含まれているし、言論に期待して裏切られたことのある人ほど魅入られる。ただ、ここには単純な罠がある。そのように「しょせんこんなもん」と発言することもまた、言論の一種であるということだ。世の中を見回せば「しょせんこんなもん」が溢れている。ウソばかりだ。しかし、どんなにニヒルで冷笑的な発言でも、それを世間に向けた言葉にすれば「正しさ」を帯びてしまう。「そのようにあれ」という力を持ってしまう。そうなったが最後「しょせんこんなもん」は有害で幼稚な意見に成り下がる。この差のことを最近よく考えている。たぶん私は冷笑的でニヒルな人間だし、そういう考えの他人に心根から共感している。しかしその共感は”態度”に対してのみ感じるものだ。「しょせんこんなもん的」な生き方をしている個人にはシンパシーを感じるし、敬意をおぼえるが、「しょせんこんなもん党」には何ら共感を示せない。世の中をもっと良くしていこう。対話しよう。多様であれ。そういう言説には全身全霊で「それは、ほんとうは嘘だ」と感じてしまうのだが、だからこそ、それが「嘘である」と「言う」ことで築けるポジションにはより強い嘘と嫌悪を感じる。私はやっぱり、言葉は理想を語るためにあるとどこかで思っているのだろう。

Twitterに、いつも写真を見るのを楽しみにしている猫のアカウントがある。私が知る限り、その猫の名前は公表されていない。名前はあるのだろうし、気になるが、公表されないままだったらいいな、という気持ちもある。猫を飼っていて、その猫の名前を誰にも教えない。周りの人はその猫を見て「猫」と思っているけれど、ちゃんと名前はある。でもその名前を呼ぶのは、猫とふたりでいるときだけ、ということがあったら、それはとてもよい秘密の持ち方だろう。

星空はずっと同じだ。それを撮影することにはいったいどれほどの意味があるのかとたまに思う。観光地で写真を撮るときにも似たようなことを考える。この法隆寺が撮影されるのは、これで何百万何回目だろう？超望遠レンズで撮影された最高画質の星空くらい、ググればすぐに見ることができる。名所もそうだ。絶景と言われている場所ほど、すでに高品質なデータがアーカイブされている。それでも私たちはシャッターを切るわけだけれど、これを滑稽なこととして見ることができる一方で、記録という行為のより本質的な側面が強調されているといえないだろうか。星空も法隆寺も私たちが生まれる前からずっとそこにあり、無数の記録にさらされてきた。それゆえ、私がいまこの瞬間に低品質な星空を撮影することは、世界に新たな情報を特にもたらさないように一見、思える。だが、それを目撃して「おっ」と思い、シャッターを切ったそのこと自体は、つねに新しい。世界に残された記録の数だけ「おっ」があり、それは原理的にほかの記録との代替が不可能である。内容を伴わない、記録すること自体についての記録性がそこにある。普通のおじさんおばさんがはとバスツアーで撮影した浅草寺、とか、そういう平凡な記録の瞬間にこそ際立つ性質だ。

ドリンクバーにあるコーヒーメーカーが自動洗浄中だった。あなたはコーヒーメーカーが自動洗浄されているようすを見たことがあるか。機体の表面カバーが観音開きになって、むき出しになった機構のパイプから、透明な熱湯がジャーーーと垂れ流され、白い湯気が立ちのぼっている。その様子に、なんだか妙なエロティシズムを感じてしまう。なんだろう。例えるなら、壮年で筋骨隆々、サングラスをかけた革ジャケットの、寡黙で頼れる親父、武器はゴツくてデカい斧。みたいなキャラクターが、敵による精神侵食をマトモに食らって、脳をかき回されるような状態のまま恍惚状態になり、喃語を垂れ流しつつ失禁している、みたいなふうに見えてしまうのだ。おれ、コーヒーメーカーのあんな姿、見たくなかったよ。

競馬新聞を読みながらお金を賭けたんですが……。100円が140円になりました！！！つっ……つまんね～～～～～～～～～～！いちばん人気の馬に単勝（1着を当てる）で100円だけ賭ける、という世にもつまらない賭け方をして、当たって40円儲かったんですけど、この賭け方は微塵も面白くないのでやめたほうがいいです。こんなことなら3連単で5000円賭けて破滅したほうがまだレジャーとしては面白かった。モロに自分のギャンブルの素養のなさがあらわれた賭け方だと思う。私は「100%イケると確信したうえで、備えて挑む」のも「全くの未知に、全くなんの備えもなしに破滅的にぶっ込む」のも好きなんだけど「賭けのために備える」のがメチャクチャ苦手なのだとわかった。その結果が今回の40円勝ちだ。最終的に「どうなるかはわからん」という結論に落ち着く（今回だってデアリングタクトが必ず勝てるとは限らなかった）のに、学習コストをかなりかけなければならないことに不条理を感じてしまう。麻雀とかもそうなんだけど。だったらジャンケンしたほうが楽じゃん……と短絡的に考えてしまう。その結果が今回の40円勝ちだ。いや、理性的に考えれば、私のほうが健全なはずだ。収支でいえば、競馬で長期的に儲けるなんて無茶なんだから。もっと確実性の高い投資はいくらでもある。実際、競馬新聞を読んだら、競馬コラムニストたちはなんだかんだでテキトーに買っている。語呂合わせとかで買ってたりする。そんなんでいいのかよと思ってしまった。しかし、健全であるということは、ときにひどくつまらない。競馬のように、巨大な市場を形成している「病理」からあぶれてしまっていることは、さびしい。きっとその病理は、個人が持つには不合理だが、もっとマクロな視点で見たときには人間に不可欠な種類の妄執だからだ。以前、なにかで読んだのだが、弓矢は存在が不合理な発明であるという説があるらしい。たとえば、剣やこん棒みたいな武器は、効果がとてもわかりやすい。鋭い切っ先で刺したり切ったり、あるいは重く硬い素材で殴ったりすれば、致命傷を与えられる。教育を受けていない人間でも直感的に有用性がわかったはずで、そういった武器作りに励めばある程度目に見えるリターンが期待できる。対して、弓矢はどうだろう。これは、剣やこん棒に比べればかなり複雑だ。原理そのものはわかりやすいが「撃てる弓」を作るのも「飛ぶ矢」を作るのも「当てる技術」を身につけるのも大変で、打撃武器の比ではない。遠距離攻撃というかなりのアドバンテージがあるとはいえ、そのゴールへたどり着くまでのコストが計り知れないのである。今はノウハウがあるからどうにかなるが、弓矢という概念がないころに弓矢を作り、撃つ技能を身につけることを想像してみたら、その大変さがわかるのではないだろうか。弓矢をメジャーな武器に押し上げた背景には、一種の狂気がある。どう考えても、地道に棒を振り回して獣を追いかけたほうが「合理的」だったはずだ。だが「できるかもしれない」という妄執に取り憑かれ、膨大な時間を製作に費やした誰かが過去にいた。結果的に人類は遠距離攻撃という大いなる進歩を手にしたが、それを可能にするためには個人による非合理的な試行錯誤がなくてはならなかった。

赤、青、黄色の配色の看板を見るだけで「ブックオフ」と思ってしまう。実際は危険性や重要性を伝えるべき警告色なのに、なぜか商業的にそれを活用している看板の最大手が古本屋になっている現状がある。古本が警告色を使う必要ないだろ。何への警鐘だよ。

ツイッターに新機能が追加された。「フリート」といって、24時間で消えるツイートみたいなものらしい。らしい、というのは、その機能が現状はiOS端末のみに開放されており、AndroidとPCを使っている私はまだ体験していないから。タイムラインでの反応を見る限り、非難轟々だ。「インスタのパクリじゃん」「売春とか薬物売買とかで悪用されそう」「スクショとられたら一緒じゃん」みたいなダメ出しをめちゃくちゃ見た。いいな～～～～～～私も文句言いたい。自分でまだ触ってないから何も言えない、この現状がとてももどかしい。明らかに悪いものにみんなで文句を言うのは楽しいから。なんだかんだ、わりと大喜利的な使い方をしたりしてみんな楽しんでるんだろ、結局お前たちはいくらツイッターが最悪な進化を遂げようとそれでツイッターをやめたりすることはない。運営サイドの体制が変わっても、コアユーザーはそう簡単には辞めない。だから、サービスに熱心に入れ込んでる人ほど裏切られることになるし、運営サイドとしてはコアな層を邪険にするほうが合理的だったりする。

プールに入る前の消毒用の浅い風呂みたいなとこ、消毒用だから当然綺麗なはずなのに、まったくそれを感じさせないのですごい。

リザードンって歯磨き簡単そうで羨ましい。人間も犬歯2本しかなければいいのに。

まさに0歳児の育児をしてる人が、「育児中にリスキリングしてる暇なんてない」という愚痴漫画を何ページも描いて、暇があることを身をもって示しちゃったのか。なんだか狂気じみてるな…。確かにその人にとって育児はとても大変で正気を失うほどなんだろうな

コストコで買ったドクターペッパーをめちゃ飲んでしまう。飲み物の中でかなり上位に好きだ。今やドクターペッパーについて「変な味」という感覚はなくなってしまった。初めて飲んだとき怪訝な顔になったあの記憶は遠い。もう一度その感覚に立ち返れるなら立ち返ってみたいな。

「レンタルなんもしない人」という人がいるけども「なんもしないでなんとかなる、レンタルなんもしない人って楽な商売」というようなことを外野に言われてるのを見ると「ええ！ 逆だろ」と思う。最初にその存在を知ったときは、感心しつつ「うわ～、大変そ～」としか思えなかった。「なんもしない」とは、ある意味非常に能動的で不自然な行為であり、ブランディングとしてそれを継続し続ける、ということには多大な努力が、それ以前に才能が要る。人はほっとくとなんかするので。「なんもしない人」としての営業活動もまた「なんもしない」によって果たされなければならない。「なんかしそう」と思われるだけでもダメだ。人間が無意識に垂れ流している「なんかする」という蛇口を締めっぱなしにする労働は大変だろうな、と傍目には思ってしまう。もちろん、大変だと感じないからこういう事業を始めようと思えたのだろうし、その感性がまさに貴重な才能なのだ。

コンビニに行ったら、冬の新商品としてこのおでんが売っていた。パッケージのデザインが微妙に変わっていて、おでんのビジュアルを前面に押し出した感じになっていた。半年も食べるのを忘れていたから気づけた差分だ。博物学とか歴史学とかいうものは、こういうズレている奴の存在なしには成り立たなかったはずだ。わたしはこうして礎を支えている。

「皆様への大切なお知らせです」みたいな書き出しで、さも行政機関からの通知かのような雰囲気を出してくる広告って、胸ぐら（概念上）掴まれてアスファルトの上（概念上）引っ張り回されても仕方ないくらい、人としてやっちゃいけないことやってませんか？怒りが湧いてくるとかではないけど、ああいうチラシが入ってたりするたびに「ダメだろ」と強く思うというか、たとえ思いついても良心が食い止めるべきマーケティングなんじゃないかって気がするんだけど……。

「ノリ」の歴史を紐解けば、きっと有史以前にまで遡るに違いない。海苔ではない。漢字で"乗り"であり、「～するノリ」のノリだ。中学校で、何かを言われるたびに「パードゥン？」と返す。それを何度でも繰り返す。そういう「ノリ」に参加した経験が多くの人にあるだろう。即興的にルールを生成し、無言のうちにそのルールに従う、そこで生まれるニヤけた連帯によって自由を共有する。それが「ノリ」であるが、きっとノリの歴史はかなり古い。江戸時代、とにかく験担ぎが流行ったので、縁起の悪い言葉をどんどん変えちゃおうというノリがあったらしく、梨の実を「ありの実」などと言っていた。また「言葉を逆にする」という「倒語ノリ」もあり「新たしい（あらたしい）」を「新しい（あたらしい）」と言ったり「しだらない」を「だらしない」と言ったりしていた。「験担ぎ」も倒語で、もともとは「縁起担ぎ」だったのが「ぎえん担ぎ」になり、ちぢめてさらに当て字にして「験担ぎ」になったとか。当時の人々はぜったいにヘラヘラしながら「ぎえん」などと言っていたはずで、どうせそのノリは現代の「ぴえん」と変わらない。なのに正式な日本語になっている。当然コレはレアケースで、後世になんの影響も与えなかった「ノリ」が、歴史の堆積層には無数に埋まっていて、もはや掘り出す方法はない。9割9分の「ノリ」は、文献に記録されることもなく、当時の空気の中に霧消する。絶対あったと思うんだよな。たとえば平安貴族が、わざとぜんぜん良くないものを「をかし」って言うノリとか。「足の指の間の匂い、をかし～！」とか言う。「げに」も流行ったと思う。とりあえず「げに」と言っておけばウケるフェーズというものがあったはずだ。「げに？」「げにげに」「げに……？」で30分は笑える。冷静に考えると何も面白くないのだがノリとはそういうものだ。そういうやりとりの全てが、データとしては全く残らず消えてしまったのだ。比べると、現代人のふざけたノリは無駄にデータ化されていて、へんに後世まで残ってしまいそうだ。そのほうが資料的価値は高いけどさ。

カロリーメイトとモンスターは完全栄養食なので、それだけ食べていれば100歳まで生きられる。

これがコストコで買ったポテトチップスです。少量ずつ消費していくぞ。一気に1kg食べたら、たぶん翌日の朝、身体が一個の巨大なニキビになっていると思う。

訪問診療していると、認知症が酷くペットのドッグフードしか毎日食べない独居患者さんに出会ったりもします。それ自体も衝撃ですが、栄養状態含め採血結果もまったく異常なしという衝撃に出会ったりもします。

1000年後にも陰謀論が好きな人は大勢いると思うけど、その時代ではどんな技術が陰謀だとみなされるのかがものすごく気になる。現代人が考えているテクノロジーがほとんど実現されたうえで、さらに荒唐無稽な科学を陰謀論者が提案しているのだろう。「人工臓器を装備すると国際連合に思考が読み取られる」ぐらいが、未来人の陰謀として現代人が想定できる最高レベルかもしれないけど、思考が読み取れる装置はすでに現代にあるし、iPS細胞のおかげで人工臓器も1000年後には当たり前になっているだろうから、たぶんこれは違うんだろうな。「常温核融合装置は古代（1900年代）のオーパーツだった！」とかだろうか？さすがに1000年ぐらいはかかりそう。現代で人気の陰謀でも、1000年後にまで有名とは限らないな。ケネディ大統領暗殺やQアノンは今の人達が死に絶えたらなくなっていると思う。フリーメーソンはどうだろう……。

一般に、発達障害だからといってその人に差別発言を加えてはならない、というのが表向きの清潔な日本人の価値観だとは思うけど、「発達障害の傾向のある人間は鉄オタになりやすい」という傾向が研究でわかっているにもかかわらず、インターネットでは鉄オタという属性で括って彼らを差別する事例が見られる。結局人間の本性というものは教育程度じゃどうにもならず、手を変え品を変え、自分自身の悪辣な差別心から目を背けながら最低の言動を行うよう、太古からの脳が力を振り絞っているのかもしれないな。もしくだんの傾向のことが広く周知されたとしたら、鉄オタ叩きは禁忌になるのだろうか……？

「かの人がそんなに凶悪なことを行ったからといって、寄ってたかって棒で叩きにいってよいわけではない」という感覚は、わかる人とわからない人がけっこう極端に分かれてしまうので、ぬーん、となる。スシローでバカ高校生が皿を舐めたり醤油直飲みしたからといって自分の生活に直ちに影響があるわけではないのだから、バカがまたやってらあ、気持ち悪い、で抑えておけばよいものを、そこで「祭り」に便乗してしまうのが人間の弱い部分なのだ。きっと家族が自殺でもしない限り溜飲が下がらないのだろう。

「その人の罪に合う必要十分の罰だけを与える」のが罪刑法定主義の第一の原理で、たとえば拷問や残虐な刑の禁止（日本国憲法36条）や推定無罪の原則はその原理に従って制定されているというのが解釈だろうけど、インターネットの私刑はその類の歯止めがかからない。インターネットイナゴが好き勝手騒いでいるだけだからだ。個人の責任を極限まで薄めた結果、どんなに無責任な言動でも、あいつが悪いことをしたのだから仕方がない、正義は為されるべきだ、という二元論に回収されていく。そういう意味では今回の騒動は、滝沢ガレソやまとめサイト、マスメディアにも責任の一端があるように思う。彼らが実際にやっているのは虫メガネを持って「こんなに燃えてますよ」って言いながら自分で焦点を集めているようなものだ。

現代人は魔女狩りのことを野蛮な風習だと唾棄するけど、こんなもん魔女狩りと同じじゃないか、と常々思う。その女が魔女かどうかはどうでもよく、魔女っぽく見えればそれでいいのである。仮に特定した相手が間違っていたとしても、イナゴたちが謝罪することはないんだからね。

恋愛感情と寂しさを対極に置いて、寂しさだけだと駄目かなと考えるのってめっちゃ近代的というか、文明化された考え方だなって思う。身体の持っている機能とか反応的な部分ではある程度近い神経が動いているに決まっていて、人が抱える寂しさは思っているほど軽い寂しさじゃない

「不機嫌になった理由を言い当てて謝るまでダンマリを決め込む奴」はずっと黙っていてほしい。

【失恋あるある】

朝目覚めてから思い出すまでほんの一瞬安らぎの時間がある

「祖父の線が引かれた本を読んでいる まだ私には理解できない箇所だった 生きねば」（いのち）

「尿素」ってやばいな。字面が。でも「胎盤」よりはまだマシ。「胎盤」は「プラセンタ」って言い換えないと受け付けないけど、「尿素」ならまだ。商品名には、人間の素直な感情が表れる。

長女が小学校の入学式で、男の子と手を繋いでた！夫が顔真っ赤にして「どこの息子だ！」と憤怒してたけど、寝取られが大好きだからめちゃくちゃ勃起してた😂😂

最初は「牛塊（ぎゅうかい）」として、生き物の死寄りの視点でしか観られなかったものが、切り分けるにつれて「お店で見るやつだ……」という印象へ変わっていく体験がおもしろかった。目の前の物体をしまう頭の中のフォルダが切り替わる感じ……。牛タンは噛んだときのゴルッゴルッという歯ごたえが面白く、焼肉屋で食べるような薄切りよりも「ねぎし」みたいな厚切りのほうが向いてるかもとゴルゴルしながら思った。ほとんど牛たんだけで腹一杯になる（そしてまだまだ肉は残っている）という状態に生まれて初めてなったけれども、存外いい気持ちだ。焼いてて脂がほとんど出てこなかった。カルビやロースを同じ量食べるのは無理だ。そういえば牛タンはアメリカ産だったが、アメリカ人が牛タンを食べているイメージが無い。常にリブロースステーキとか食ってるイメージ。ちょっと検索した感じ、牛タンを食べない決定的な理由はないのだが、とにかく習慣が根付かなかったらしい。端的に言えばマーケティング失敗。どうも英語圏では「タン（舌）」という直接的な表現があまり愉快でなくて食欲を減退させるとかなんとかだそうだ。ただ民族によっては普通に食べたりもする側面もあり、わりと人や地域によって牛タンの認識はバラバラだが、全体的には日本ほどの人気はないという。オーストラリアでもあまり食べないため、犬の餌くらいに扱われていて1本400円相当でもらえたりするんだそうな。こういう価値のズレってなんかワクワクするな。ドラえもんのエピソードに、アザラシみたいな宇宙人がのび太の家にやってきて、ただのビー玉にものすごい価値を見出して大喜びして持って帰るという話があった。そのせいかわからないが「自分のしょうもない側面も、いつか誰かが良い感じに価値を見出してくれるのではないか？」みたいな感覚がいまだに抜けない。私は寝付きが良いのだが、そのうち「寝付きの良さ」が社会的にとても重要なステイタスになる時代がやってきて、寝てるだけで100万円くらい振り込まれたりしないかなと思っている。

子犬もいた。あまりに小さくムクムクしていて、ころころ跳ね回っている様子が「命」なので、かわいいとかを超えた畏怖を抱いてしまった。

歯医者に行って、歯の軽微なバグを修正してもらった。去年通っていたときとは違う主治医に交代した。前は処置を施しながら淡々と歯科助手にネチネチなんか言う人だったので正直ホッとしている。今度は前よりも若い男性のような気がする。いつも目隠しをされて処置してもらっているので、歯科医の顔を見たことがない。設定上、顔のないキャラクターなのかもしれない。

なんかの本に、当事者性の強さは人によってかなり違う（大意）みたいなことが書いてあった。コタール症候群という精神障害があって（あなたがそうだと言っているのではないですよ）、自己認識が大きく歪み「自分はもう死んでいる」「腐っている」「脳みそが空っぽだ」「内臓が消失した」といった虚無的な確信を自分について強く抱くことがあるらしい。離人症もそうだけど「事実を認識する」と「事実を事実として受け止める」ことの間にはギャップがあり、人によって違う濃度の「現実感」の中を生きている。私は、たぶんだけど人よりも現実感の薄い世界で生きてる気がするな。これはおもしろいことだ。人生を、自分が主演の映画のようにとらえている人もいれば、ある視点から撮られた映画を観ている観客のようにとらえている人もいる。果たして「我」が強いのはどっちなんだろう。

そういう人「趣味は人間観察です」

「あ～。じゃあやっぱり、心が読めたりするんだ？笑」

そういう人「ん～というか、観察って言ってるぐらいなんで。まあ、牢獄とかで」

「牢獄！？」

そういう”強い”人「あなたも入ります？？笑笑」

絶対嘘のワザップ「腕組んで踊ると・・・ 結果：金玉が一つ増える！」

日本人は悪筆のことを「ミミズのはったような字」というけど、現にミミズのはったような字の（失礼！）アラビア語、ペルシャ語圏では悪筆のことを何と表現するんだろうか。

来週だと思ってたのに、さっきカレンダー見たら昨日だった。昨日のバッチリ寝ている時間に全てが終わっていたらしい。喉の奥がひゅっとなった。今調べ直したら、やっぱ来週だった……。じゃあ昨日のカレンダーに入ってる歯医者の予定は何……？結果的にすっぽかしてなかったから良いものの、何……？もう何もわからない。わからないがわからなくなった。『メメント』観たとき、主人公にかなり感情移入してしまったのを思い出す。自分もアレくらいの頻度で見に覚えのない自分由来の謎に襲われてる気がする。昨日も、台所に汚れたコップがビショビショの状態で置いてあり「さっき洗ったはずだが……」と怪訝に思う事案が発生したのだが、その真相は「汚れたコップを洗おうとして水ですすぎ始めた瞬間に、脳が『洗剤で洗い終わって仕上げにすすいでいる時間』だと誤認して、そのままコップを乾かすモードに入ってしまった」だった。クソバカミステリー解決編だ。こんな小説あったら壁を剥がして本にぶつける。

肉の横に木の名札がついてる焼肉は高級っぽいけど、前に行ったところは小さく切ったコピー用紙に木目と字を印刷したのが乗っててやらないほうがマシな雰囲気になってたのがなんかよかった。

奢りにきた東大生と話して思ったけど、「すごいキャリアの人」って来世思考なんよね。彼らは「今の快楽」を犠牲に「いつかの幸福」を取れる。けど、意外と「いつか」の設定は甘々で、ふつうに「老後」とか言い出す。つまり「来世」くらいのイメージ。徳を積むのは得意だけど、回収するのは皆んなヘタ。

アメリカのレストランでコーヒーを頼んだらコーラが出てきたとか、ドライブスルーで頼んでもいないチキンナゲットが出てきたなんて経験がある人は多いと思う。渡米したばかりのころは、注文した通りのものが出てこないのは、英語がわからないからだと思っていたけど、わかるようになっても出てこない。

この世にいる人の数だけ出産があったわけだからまあいけるやろ、と舐めていた私ですが、激痛に悶えながら思ったのは、我慢できるんじゃなくて産むまでやめられないだけだコレってことですね。

会社員となり単調な毎日に失望するタリバン兵。彼らに共感する日が来るとは...「今の生活は渋滞が酷くて通勤がしんどい。戦争してた頃はどこへ行くのも泊まるのも自由で、戦闘に参加するかどうかも選べた。天気の良い日は兄弟たちと乗馬をしたものだ。手に入るものを食べ、訓練し笑い合った。しかし今は午前8時に職場に行き、午後4時までいなければいけない。行かないと休みとなり、その分の給与が貰えない(当たり前だろ)。...あと規則が多すぎる。タリバンは自由だったのに、今の我々はずっと一か所で、机のパソコンの前に座っている。なんてしんどい生活だ。毎日同じことの繰り返しだ。」何回か言っているが、善悪の評価軸をひとまず忘れるとタリバンの生活は充実した人生の要素が詰まっている。「志を同じくした仲間達と生死を共にし、自分達にとっての真の楽園(イスラム教国)を打ち立てる夢の為に絶対悪(米国)と戦う。」実際に倒してしまったんだから楽しくてしょうがなかっただろ。これ、典型的な「友情・努力・勝利」なんですね。実際のところタリバンは悪そのものなのでさっさと滅びれば良い。平和な僕ら日本人の感覚からすると想像しづらいが、「退屈だから」という理由でテロ組織に入る人っているらしいんだな。だから人口ピラミッドの上で若者が多い途上国で、若い独身男性の失業率が高いのは危険らしい。失うものの無い暇な若い男性ってのは危ない。アラブ社会とかそんな感じなのかな。

日曜の夜は沈んでネガティブな言葉を吐き出しがちだけれど、本当は穏やかな気持ちで月曜へ移行したいと思っていて。数年前まではその手段がお酒だったけれど酷く逆効果で、今は本を読むとかとにかく早く寝るとかそんな風に変わって来ている。今夜はゆっくり湯船に浸かろうか。

【友達と寿司あるある】

中トロ食う時、謎の「いっちゃっていいですか」という確認がある

日清が『これ絶対うまいやつ！』というラーメンを出してて、現代だな、と思った。たぶん源流はテレビのグルメレポだろう。料理が出てきたときに芸人（代表的なのが宮川大輔）が「これ絶対うまいやつですやん」などと言う一連の流れが商品名に反映されている。テレビ的「茶番」が既知のものとして視聴者の間で内在化していて、テレビの作り手側もそれを承知した上で新たな「茶番」を成立させようとしている、と読み取れる。茶番とは、芸能人が料理を食べて「うっま！」と大声を出すアレだ。テレビなのだから芸能人はうまいと言うに決まっているし、テレビが取り上げるのだから料理も一定の水準に達しているはずだ。そんなことは少し考えればわかるのに、テレビは新鮮な「うっま！」を演出してきた。そこで、新たな茶番のアプローチ方法として登場してきたのが「これ絶対うまいやつですやん」なのだ。テレビに料理が登場する。その瞬間、バラエティ慣れした視聴者の頭にはお決まりの「うっま！」までの流れが浮かぶだろう。約束された意外性。で、テレビの前のあなたがそれをお見通しことはお見通しなのですよ、という仄めかしが「これ絶対うまいやつですやん」だ。これを食べたら「うっま！」ってなるやつですやん、見ればわかりますよ。と宣言することによって、陳腐化した茶番をふたたび新鮮なものに蘇らせている。結局芸人は「うっま！」とリアクションするほかないのだが、この事前の目配せによって、その「うっま！」は幾分か真実味を帯びた言葉へ変質するのだ。それがついに商品名になったことについては感慨がある。食べて旨いと叫ぶテレビ的儀礼が商品自体に内在していると考えると、このラーメンが提供しているのは食事だけでなく、食べたあとのリアクションなのだろう。これを食べて「うま！」と言うにしろ「そんなでもねえな」と言うにしろ「これ絶対うまいやつ！」という商品名が前フリになり、食レポとして機能してしまう。「うま！」と叫べば、前フリを裏切らないでそのままやる、というスカシに、「そんなでもねえな」と言えば、前フリを裏切ったオチに。ただ食事を提供するんじゃなくて、CMでやってるようなリアクションまで顧客に植え付けようとしてると思うと、余計なお世話だという気もする。

漫画のような創作において「これはちょっと倫理的にどうなの」あるいは「これたまたま上手くいってるだけで一般化されたらたまったもんじゃないよ」と思われる表現が物議を醸すことがある。こういうものをネットで公開するうえで、どういう対処をしていくのが妥当なのだろう？たとえば殺人とか未成年飲酒とか、そういう犯罪行為でも漫画で描く上なら合法だ。しかし、合法だからといって道行くあらゆる人に見せびらかすような行為はモラル的によくないという意見もわかる。創作において表現は自由だが、それが創作であるということがわかるように示すことも義務であり、それは単にフィクションであることを示すだけでは足りないようにも思われる。そこで出てくるのが「ゾーニング」という対処で、エリアを分けることによって不幸な接触事故を防ごうというものだ。こういう話題になると、劇場の扉の重さを思い出す。手押し式の分厚いドア―を手のひらで押し、体重をかける。その向こうで演じられている劇はときに不道徳で、悪を讃えるようなものすらあるが、あの扉の重みが現実世界と異界を区分してくれていたような気がする。一般的なゾーニングというと年齢制限が頭に浮かぶ。たしかに年齢はひとつの尺度として機能はするだろうけれども、ネットが暴いた人間の脆弱性は加齢で克服できるものばかりではない。「合法だが無害ではない」ものを投稿・閲覧するにあたって「少し重い扉」を設けるというやりかたに可能性はないか？いまリツイートはどんなツイートであれワンボタンで行えるが、その内容の重みはツイートごとに様々だ。日常のつぶやきをRTするのと、選挙速報をRTするのとでは、外部に与える影響は変わってくる。そこでたとえば、ある基準に当てはまるツイートに関しては投稿ボタンをタッチではなく「3秒長押し」にする、というのはどうか。閲覧についても「合法だが無害ではない」ものについては、複数回の操作やボタン長押しのような手間を経て見られるようにする。「これにはこういう表現が含まれます、よろしいですか？」というワンクッションを挟んで実質同じ働きをしている例なら今でもよくあるが、あれには表現の中身を表層的な基準で分類するのを無批判に良しとする風潮を作りかねないリスクもあると思う。内容には触れず、単に扉を重くする、という対処もありなのではないか。重い扉式の認証では、閲覧者の年齢や、ある表現が含まれることに対する承認が問われているわけではない。ただその面倒なひと手間を踏ませること自体が目的だ。理性ではなく感性に訴える対処なのだ。茶室のにじり口が低くて屈まないと入れない理由にも似ている。あれは「侍が刀を持って入れないように」「人を平等にするため」という説明がなされるが、それ以前に、理由が語られずとも従う限りにおいて効果があらわれるところに面白みがある。

めちゃくちゃ手際よくたこ焼きを焼くという動画。たまにこういう「手際」が観たくなる。自分の代わりに手際よく生きてほしい。アイドルを推すのに近いかもしれない。

アマゾンプライムデーだ。セールなのになんかイマイチわくわくしないのはなぜだろう。もともとセールってそんなに好きじゃないかもしれない。いや、セールで欲しい物が安かったら買うけど。「欲しい物を手に入れる理由」の最後のひと押しを「値段」にされてしまうところに不自由感がある。このへんの「セール」をエンタメにする技術で言えば楽天のほうが上だよなあと思う。個人的にはあまり好きではないとはいえ、大げさに「祭りだ祭りだ」みたいなデカ文字で商品を勧めてくるテンションは正しく商売をしている感じがする。

珍しい叱り方をする親「なんだその口のきき方は！親の顔が見てみたい！」

早く孫が見たい父「親に向かってなんだその口のきき方は！孫の顔が見てみたいよ！」

おれは現代の清少納言なので、冬のイヤホンケーブルの冷たさと硬さに季節を感じることができる。どうだ。すごいだろう。

逆に客席が回る回転寿司あったら絶対行く。しかも自転。ただ座席が回ってるだけ。タイミングよく寿司を取らないといけないし、とったとしても遠心力で飛んでいく。

いまこの「プーパッポン」を探してあちこちのスーパーを巡り廻っているのだが全く見当たらない。でもこの「探してるものが見つからない」という感覚自体はわりと好きな方である。なにも探していないときのスーパーマーケットにはまるでこの世の全てが存在しているような気がしてしまうが、実際はそんなことはまったくない。何かを探していない限り、そこに何がないのかはわからない。ヤマモリのプーパッポンカレーを探すことでスーパーの空白に気づけるし、欠乏感と探究心を抱くこともできる。それはそうとプーパッポンカレーほんとどこに売ってるんだ。通販で買うのは攻略wikiを見てゲームクリアするのと同じだからなるべく避けたい。

何かを応援する「ファン」というのは不思議だ。存在がどこか倒錯している気がする。たとえば野球ファン。野球ファンが一般に見たいものは、野球の試合におけるすばらしいプレーだ。野球ファンになる最初のきっかけが、そういうすばらしいプレーを目撃して胸をときめかせたから、という人も多いはずだ。しかし、たとえばそれがイチローだったとして、彼がイチロー自身やイチローが所属するシアトル・マリナーズのファンになったら、そこでズレが生じている。イチローの、あるいはチームのファンになった彼は、イチローが不調なときにはヤキモキしながら応援を続け、次の試合での活躍を期待する。ここで、野球におけるすばらしいプレーそのものへ魅了された心が、それを生み出した個人へと移っている。逆に「野球そのもののファン」が少数派であるように思われるのも不思議だ。運動会でいう「あかぐみも　しろぐみも　がんばってください」みたいな感覚でスポーツを見ているような人。どっちが勝っても大喜びしながら試合を追うことができてしまうような。勝ったなら、勝ったほうがなにかしら優れた側面をその試合において出したということなのだから、そのこと自体を喜ばないのはどういうことなのか。なぜ、片方が優れていて、片方が劣っていたとわかったときに、ファンは劣っていたほうへ感情移入して「悔しがる」ことができるのか……？ そういうスタンスを取ることを好むのだろうか。もちろん、試合に出ているのが自分であればそうはいかない。問題は自分が勝てるかどうかという点に集約される。でもファンという立場は本来、とても気楽なものだ。試合が決したとき、負けた方のチームに心を留めることをなぜ選び取る必要があるわけではない。人生において、ある人物が自分であるかどうかというのはとても重要である。Aは金持ち、Bは貧乏人で、どちらかが自分だということがわかっていれば、自分がAであることを願うだろう。世界に無数にいる人間のうち、ある特定のひとだけが「自分」であるという事実は（なぜか）とてつもない重要性を孕む。「ファンになる」とは、そういう独在性をゲーム的に他者へ再現する遊びなのかもしれない。人生のままならなさ――なぜか痛いのは自分であるという、揺るがし難い事実――までもをマゾヒズム的な快感に変えて、疑似体験しようというのがファン活動なのだ。

明日、病院の予約が入っているような気がするのだが、カレンダーを見ても診察券の裏を見てもなにも書いていない。でもペース的には明日のような気がする。メモし忘れたのだと思う。明日、イチかバチかで病院に飛び込んで「今日って病院の日でしたっけ！！！！？？？」って5000デシベルで叫んでみる賭けに出てみようと思います。勝つぞ！

梨と桃をむいてむさぼり喰いました。私がむいた果物は元の大きさよりだいぶ小さくなる。

寝っ転がりながら「Slay the Spire」というゲームを少し遊んだ。複数人にオススメされて興味を持ったのだ。ダンジョンを奥に進みながらモンスターを倒すカードゲームで、倒すごとに新たなカードが手に入り、強くなる。しかし体力があまり回復できないのでどんどんジリ貧に近づいていく。どれくらい深くまで潜れるかを競う。とてもよくできている。とてもよくできているのがわかるのだが、自分にはあまり向いていないな……と思ってしまった。これは最初からわかっていたことなのでゲームは全く悪くないんだけど、だんだんジリ貧になっていくシステムが苦手だ。ポケモンとかやってるときも、体力が少ないのがすごく嫌ですぐきずぐすりを使い満タンまで回復していた。少ないリソースをどうにかするやり繰りについて、楽しさよりストレスを多く感じてしまうらしい。勝つときは圧倒的に勝ちたい。実生活でも「節約」が苦手だ。不得意というよりは、単に楽しくない。牛乳が20円安いスーパーを探し当てるとか、そういうのが娯楽として好きな人がいる。私はそういう駆け引きに500円くらいの損を感じてしまう。

「やる気がないだけでしょ」と言う人がいる。私にはなぜそれを「だけ」と言えるのかがよくわからなかった。やる気がないというのは、多くの問題の中でもかなりの一大事に属すると思うのだが。お金があっても、使う気がなければ払われない。銃を持っていても、引き金を引く気がなければ弾は出ない。すばらしい筋肉があっても、走る気がなければゴールには着かない。「気」の有無は、ものごとの全てを決定するといっても過言ではないほど、重大な役割を担っている。と思う。やる気というのは不思議だ。みんな「やる気」に振り回された経験があるはずなのに「やる気さえあれば」と気軽に口にする。「ちょっとはやる気を出せよ」と人に言う。やる気を出せるかどうかは、そのやる気を出す本人にかかっている。うまくいかない理由が外的な要因にあれば他人が介入することもできるが、やる気だけはそうはいかない。やる気は、原理的に当事者の問題なのだ。そして、原理的に当事者の問題であるということが、困難の源泉にもなっている。ここに逆説がある。人が自分でどうにかできるのは、自分の意志だけだとされている。生まれや外見や運はどうにもならないが、あなたの意思だけはあなたのもので、他の誰もおかすことができない、とされている。しかしそれは裏を返せば、「意思」にまつわる責任だけは絶対に自分だけが背負わなくてはならないということでもある。生まれや外見や運はどうにもならないが、どうにもならないからこそ、公的な補助を受け取ることができる。身体に障害を負った人が補助を受けられるのは、まさにそれがどうにもならないという理不尽さを含むからだ。どうにもならないことは、そのどうにもならなさを根拠にして、どうにかしてもらう可能性を持っている。今や意思だけが「自分でどうにかしなさい」の範疇にある。私たちが自由を望む限り、この「意思」の責任を負わなければならない。昨今の「発達障害ブーム」とでもいうような動きは、この「意思」を解体して外的な「どうにもならなさ」へと変換していく動きだといえるかもしれない。しかし、それが完璧に為されてしまったら、今度は自由はどこへいくのだろう。

10年ぐらい前、ごく普通の人（たぶん中学生）が書いてたゲーム日記のサイトで読んだ「ゴーン バイオハザード という音が鳴ってゲームがスタートする。」という一文がいろんな面で指針になってる

「旦那のコレクションを勝手に捨てた妻」が炎上しているので、ローテーション的にはそろそろまたサイゼリヤが燃えます。4℃は来月のホワイトデーに向けて既に肩を作ってるらしい

ふと「もしも伊坂幸太郎が『いさかこーたろー』だったらかなりイヤだな」と思ったので質問してみた。なかなか面白い答えが集まっている。「がくと」は良いですね。「メンタリスト・だいご」とかも丁度イヤで面白い。ひらがなはカリスマ性と相性がわるいのだろうか。ほめいに師。逆に芸名がひらがなの人がもし漢字の芸名だったら「ひらがなだったらいやだな」と思うのだろうか。「伊藤正幸」がラップをやっている世界では「いとうせいこう？ ダサッ」と思うのか。「いや、こっちの世界では佐田雅志はさだまさしだし、中山筋肉んはなかやまきんに君なんだよ。なんだよ筋肉んって」と言っても、向こうではそれが当たり前だから違和感を持たれないのだろう。「いやいや（笑）さだまさしなんて名前で歌っても説得力ないじゃん。ながぶちつよしならまだしも」「長渕剛ってそっちだとながぶちつよしなの！？」「え？ そっちだと漢字なの？ 長渕剛って違和感あるな～。きたじまさぶろ～は？」「北島三郎だよ！ しかも伸ばし棒ウネウネしてるのかよ」

『ペーパーマリオ オリガミキング』をクリアした。小ネタ満載でかなりおもしろかった。戦闘はパズルになっており私には正直めんどくさいだけだったので、作中手に入るチートアイテムみたいなのを連発してしまったが。今はなんか胸に穴があいたような気持ちでここ数日過ごしている。作中でとあるキャラクターが命を落とす描写があり、まあマリオシリーズということもありそこまで悲壮感はないのだが、いやに心にきた。たいした活躍をするキャラでもなかったのに。いや、むしろ味付けの濃いキャラクターだったり、ストーリーがその死を強く盛り上げる展開だったらここまで印象的にはならなかったかもしれないな。全体的にかなり脳天気なムードだからこそ、この寂しさが尾を引く。コミカルな雰囲気に反し、死についてかなりシビアに描かれている作品だった。なおかつそのシビアさを取りざたすことなく、淡々とそういうものとして描いている。取り返しのつかない事態がさらっと描写されるので、ちょっと倒錯的なフェチの雰囲気すらあった。キャラクターがペラペラの紙やオリガミで表現されてるからギリギリありな表現がバンバン出てくる。たぶん、子どものころに遊んでいたらここまでショッキングには感じなかった。そういうものなんだな、とそのまま受け止めていた気がする。大人だから単純化されたストーリーに奥行きを見出しているのかも。でも、だからこそ子どものころにこういうゲームを無感動に遊ぶというのも重要だと思う。あとからきいてくるから。中ボスたちがまったくデフォルメされていない文房具なのがかなりツボだった。こういうとき、ホチキスやはさみに目やら口やらをくっつけないセンスというのを任天堂はちゃんと持っていて、あまりそこは広く取り沙汰されない気がするけど、私はそういうところがかなり好きなんだ。

ホットケーキをひっくり返すとき、フライ返しを隙間にさしこむあの感覚が好きだ。しゅっ、と、金属とふわふわの間にもぐりこむ。枕とベッドの間に手を突っ込むのも好きだし、電車で座っているときに股の間に指を突っ込むのも好きだ。隙間に手を差し入れるのが好き？「カード払い」も好きだな。単純にあの、隙間にカードを挿れる動作が好き。金属の板がちょうど同じ厚みの隙間にスッ……と入っていく様子の映像を昔見たことがあって、めちゃくちゃ気持ちよさそうだったな。

久々に五右衛門パスタに来たら、メニューの種類が半分くらいに減っていた。がーんだな。五右衛門インパクトだ。でも私が普段頼むメニューは軒並み生き残っていたから、実質全く困らない。でも寂しいな。景気良くなっていろんな種類のメニュー復活させて欲しい。がんばれ五右衛門だ。

人んちのインコに勝手に言葉を覚えさせるのって何かの法律に触れるんだろうか。「インコに言葉覚えさせ罪のため懲役5年に処する」って言われたら、自分の人生なのにめっちゃ面白いじゃんってなりそうではある。

いやー難しい。クイズって難しい。解くのも難しいが、考えるのはかなり難しい。「これくらいがちょうどこの人達には解けるだろう」というラインを考えて問題を構成するには、相当な知識量と、平均的な知識量への造詣がなければならない。ただ難しいのを出せばいいわけがない。それなりの難しさを持つクイズを考案するのが何より難しいはずで、司会進行しながら痛感した。しかし、惜しい答えに対して「……んっ惜しい！」と言いながらブーという音を鳴らすのは楽しい。「くやしそうな素振り」をする役割は楽しい。にしても、よく球の体積の求め方とか未だに覚えていられる人がいるな。たまにそういう人いるけど、単純に「すげー」と思っている。激烈な博識というわけではないんだけど、義務教育で習ったことを時間が経過してもしっかり覚えているタイプの人。ああいう人ってなんかカッコいい。

カネボウフーズがかつて出していた知育菓子（という名の、子どもがキモいものを好む習性を利用した粉菓子）をまとめた動画があって、なんとなく見たらずっと大笑いしてしまった。「ねるねるねるね」以外、まったくピンとこない。得体のしれないブヨブヨした物体を躁状態の大人と子どもがノリノリで宣伝していて悪夢みたいだ。

このツイートを読んで衝撃を受けた。サッポロ一番しょうゆ味を一日中揉み続けている人がいる！ 触り終えた袋麺は（触り終えるとはなんだろう）保管されていて、合計8000を超えるという。素晴らしい。ゾワッとした。こちらのページで、並んだ8000個のサッポロ一番を見ることができる。すごい。この人がサッポロ一番を揉み続けていることにこれといった意図があるわけではないのだろう。あるとしても、言葉で伝えられるような種類のものではないはずだ。ただその感触が好きだから毎日揉んでいる。それだけのこと。感動してしまった。なんだか毎日、いろんなことに目移りしている自分が少し恥ずかしくなってしまう。同じ日に偶然、こんなツイートも目にした。自分より上にいる人が努力している間に遊んでいては、自分よりも上の人には追いつけない。それはそのとおりだろうし、そういう上昇志向を殊更に否定したいわけでもないが、このての啓発的な姿勢にどうしても空しさを感じてしまうのはなぜだろう。この人が努力をしている間に、酒井さんはサッポロ一番を揉んでいる。あなたが4連休を遊んで過ごした間に、酒井さんは4つのサッポロ一番を揉み終えている。だからなんなんだ、と問われれば、なんでもないと言うしかない。サッポロ一番を揉むことに意味などない。ないが、社会的な意味を完全に剥ぎ取られた行為であるがゆえに、そこに一個人の満ち足りた生活が立ち現れているような気がする。完璧な空しさと完璧な充実が衝突する感覚だ。日々の努力を重ね「良い人生」を描くために人生を消費するのは、有意味だからこそ何か空しい。将来のビジョンを描く。描かれるということは、それは絵である。ビジョンを描く人は絵空事を描くために人生の一部を浪費する。「サッポロ一番揉み」にはその種類の迂回がまったくない。行為の全てが実質的だからだ。

スポーツが苦手、という人がいるが、それをもっと高い粒度で把握することもできるのではないかと思う。スポーツが苦手と聞いて最初に思いつくのは、身体を動かすのが不得意な人だろう。身体を動かすゲームを勝てるように遊ぶことができない。だから、スポーツが苦手。しかしそれとは別に、勝ち負けのあるゲームに入れ込むことができない、という人も「スポーツが苦手」といえるはずだ。なんでサッカーは11人でボールを追いかけているのかよくわからない、なんでそんなに必死になれるのかよくわからない、という感覚の人だ。最近ではビデオゲームもスポーツの一種であると認知されるようになってきた。いわゆるe-sportsだ。これは「スポーツが苦手」という観念を拡張するのにも役に立つ。そう、ゲーム好きにもスポーツ好きと苦手な人がいる。ゲームを「運動/操作」ではなく「スポーツ/非スポーツ」という基準で分類してみる。ではスポーツとはなんだろうか。競争するばかりがスポーツではない。ひとりでも成立するスポーツはある。淡々と技を研ぎ澄ましていくような競技。たとえば弓道がそうかもしれない。見方によっては、短距離走の選手なども孤独の中でテクニックを磨いているといえる。となると、スポーツのそういうところが苦手、という人もいうるということになるだろう。これは運動をともなうゲームにおいてはあまり可視化されない層のプレイヤーかもしれない。走るのは好きだが、タイムを競うことに興味はない。人より速く走りたいと思わないばかりか、前よりも好タイムを出したいとも感じない。ただ走っているときの感覚が楽しい。そういう人はいるだろうが、あまり語られることがない。その意味で、運動を伴うゲームには「非スポーツ的態度」の受け皿があまりない。ビデオゲームにおいては、非スポーツ的な態度で遊ばれるゲームが無数にある。ただ漫然と遊ぶことが目的化されていて、前よりも上手く遊ぼうとか、誰かよりも優れた結果を出そうとか、そういう意志が介在しないゲームだ。たとえば「どうぶつの森」がそうかもしれない。ビデオゲームは必ずしも「うまくやる」ことを前提として設計されていない。有名な運動系ゲーム（≒スポーツ全般のこと）に「どうぶつの森」のようなものがほぼ見当たらないのは興味深い。いずれも誰かに勝つか、またはなんらかの記録を出してその更新を目指すものばかりである。「ビデオゲームもスポーツの一種である」というのは一面の真実ではあるものの、個人的には、ビデオゲームはスポーツがほとんどすくい取っていない遊びの要素を当然のように有しているという点こそがおもしろく感じられる。ビデオゲームは「ゲーム」的なもののほぼ全てを内包するし、当然ながらスポーツもそこに含む。包摂関係が逆のような気がする。

私の通学ルートには一瞬強烈に金魚の餌の匂いがする通りがあります。勿論周囲に金魚はいません。また、突然自宅で小学生の時によく遊んでいた友達の匂いがしてくることがあります。私はこの現象が人生の隠しコマンドのようで好きなのです。

忘れてはならない。失礼な人間は普通、嫌われるということを……。こういうフィクションを経験して、実行しては砕け散っていったただ失礼なだけの人たちが無数にいると思うとすごい気持ちになるな。ちょうどこないだの「ザ・ノンフィクション」で「前澤社長に会う」を目標にして上京してきた若者を追うドキュメントをやっていて、彼の行動がまさにそんな感じだった。「とにかくまずは社長に会うしかない」ということで、電通の本社に突撃してみたり、金持ちのいそうな高級ホテルに押しかけてみたりしては玉砕していた。そういうガムシャラな行動の裏には「無軌道な自分」に価値を見出す視点がある。「おれバカだからまっすぐ突き進むしかないんす」と宣言することによって、バカではないから迂回する人たちに優越しようとしている。自覚的ではないにせよ、そういうバカ正直さを前面に出して生き残ろうとする人からは、ある種のルサンチマンの気配が漂うし、なかなか世間擦れした狡猾なスタンスではある。

アンパンマンのような、細部のない世界において大部分を占める日常ってどんなふうになってるんだろうなとよく思う。アンパンマンがパトロールしてる間、ジャムおじさんとバタコさんはどんな会話してるんだろ、とか。まあ雑談くらいはするだろう。でもどんな話を？ジャムおじさんが「駅前の空きテナント、工事始まっていたんだってねえ」などと言ったりするさまは想像がつかない。それにバタコさんが「内装的にファミマっぽいですよ」と答える様子もしっくりこない。そもそも駅ないし、ファミマもないし。雑談というのはナマの世界にナマナマしく生きているものの特権だな。記号の世界の住人は雑談などしないのだ。他者と自分の間のいびつな凹凸を埋める砂が雑談だから、はじめからツルツルした世界であれば、無言も気まずくはないのだろう。イヤだものな、ジャムおじさんが「んー、最近の若い人たちの間では、どんな音楽が流行っているんだい？」とかバタコさんに言っていたら。

ブログを執筆しているとたまに記事がバズる。バズると一定数、誤読しまくる奴の感想ツイートが出てくる。逐一「私はその記事の執筆者です。それは誤読ですよ」を非常に丁寧に、オブラートの塊で包んだ形でお出しする。向こうはそれまでの強い口調が一変し、委縮しまくって大変申し訳ございませんなどと口にする。どうせ顔も一生合わさないのだから最後まで失礼なままでいいのに、本人が登場した瞬間に手のひらを返すその小心ぶりが可愛くて可愛くて、辛辣な奴のところに絡みに行っていたほどだ。

完成したジグソーパズルのいちばんの褒美は、その表面をてのひらで撫ぜて繋ぎ目の凹凸を感じることだな。

「食欲の秋」とか「スポーツの秋」とか、そういうスローガンみたいなのあるのが秋だけなのがもう、秋の季節としての自身の無さを伺わせる。「桜の春」とか「スイカの夏」とか「大雪の冬」とかわざわざ言わないのは、季節が自然にアイデンティティを確立しているから。わざわざ言わないと気づいてもらえない個性は個性なのか？ という疑惑だ。プロフィール欄に「変な人」と書いてる人と同じくらい信用ならない。季節ならその身ひとつで勝負してみろよ。だいたい「芸術の秋」ってなんなんだ。人間の気分じゃん。「スポーツの秋」もそうだけど。気分次第のことを季節の手柄みたいにまとめないでほしい。それに、言うほど秋に芸術もスポーツも感じない。オリンピックは真夏か真冬だし（でもそれはオリンピックのほうがおかしいとも思う）。運動会のことを言ってるのかな。でも、春先にやる学校もありますしね。

Twitterで連載してる「ちいかわ」（なんか小さくてかわいいやつのマンガ）に、ラーメン屋とおぼしき店が出てきたのだが、それが黄色い看板に一文字「郎」とだけ書いてあるデザインで、その概念の抽出のしかたの上手さ、思い切りの良さ、斬新さに舌を巻いた。ほんとにすごい。黄色地に「郎」だけで良いのか！もともとちいかわはファンシーな世界と薄暗い陰が同居した雰囲気が特色で、ファンシーキャラクターが直面していいギリギリの出来事がいろいろ起こるのだけど、この「郎」もまた、ちいかわ的世界観と現実の衝突点を針先一点で突いたような気持ちよさがある。いいなー。郎。

子どものちょっとした勘違いというか、頭ではわかってるけど頭で考えるまではなんとなく信じてしまっていることってあると思う。小さな子どもはヒーローショーのウルトラマンが本物だと本気で思っているわけではなくて、それが本物かニセモノかといった観点を持たないのでなんとなく嬉しがっている、みたいなアレ。思考以前の感覚。こないだふと思い出したのだけど、私は以前まで、お湯というのは沸騰すると「ピー」という音が鳴ると思っていた。やかんで湯を沸かすと「ピー」という音が鳴るが、私はあの音が「お湯が沸く音」だと思っていたのだった。本当はもちろんやかんの口の機構が鳴らしているのである。ちゃんと考えてそう結論づけていたわけじゃなくて、なんとなくそういうことなんだろう……と思っていた。やがて、鍋で湯を沸かしたりすることで「鳴らない沸騰」の存在に気づいた。そして「アレ？ ピーって鳴らないな」と思ったところで全てを「理解」して「んなわけねえだろ」と自分にツッコんだ。これまで「沸騰の音」にまったく脳の演算機能を使ってこなかった結果の勘違いだ。でも未だに、音もなく沸騰することに違和感をおぼえている。あと、自販機の飲み物はディスプレイしてあるやつが出てきているのだと思っていた。なんか仕組みはわからないが、あのディスプレイと在庫は中で繋がっていて、全部買いしめたらディスプレイにある最後の一本が飲めるのだと思っていた。「売切」の表示も見たことあるはずなのに、なんでそんな思考に至っていたのかは謎だ。ある日に作業員が自販機を開けて在庫の補充をしているのを見て、缶が横倒しに収まっている様子に衝撃を受けた。ディスプレイはディスプレイ、在庫は在庫！ ぜんぜん違う様相だったのに、なんとなくオモテのイメージだけの印象を持ってしまっていた！

角煮を食べてると生きてるって思えますね。こんなことばっか言ってると、いつか角煮を食べるのがキツくなってきてしまったときに軌道修正するのが大変そうだな。あらゆるコンビニアイスを食べまくってて「アイスマン」を名乗る人とかもいるけど、ある日急に「アイス、もうキツいな」ってなっちゃったらどうするのだろうと他人事ながら（他人事だから？）思う。さすがにいまさら看板をおろして「前はアイス好きだったマン」や「エイヒレマン」へ路線変更するのも厳しいだろうし「アイスもう、そんなでもない」という気持ちは隠して、そのまま活動を続けるしかないのだろうか。でも、大抵の人はべつに好きでもなんでもない動作を対価として賃金をもらっているのだから、それでもじゅうぶん恵まれた人生といっていいですね。ドラえもんも正直どら焼きがキツくなってきてたりしないのか。「名前、ドラついてるし、今更そんなでもないって言い出す空気でもないな……」と思っているかもしれない。あと「好きだからってなんでもいいってわけじゃねえんだよな」とか思ってるかもしれない。「やたら差し入れでどら焼きもらうけど、好きってことは色々食べてきてるってことなのよ。ファミマのレジ横にあるようなの差し入れられてもなあ……これなら羊羹とか貰ったほうがまだ良いわ」とか思っているかもしれない、ドラえもんは。

薬飲んだら気分がかなり変わって「なんかやるぞ」の気持ちになり、溜め込んでいた書類を一気に処理したり、メールを一気に返したり、めちゃくちゃアクティブになった。ほんのひと粒で変わるから笑ってしまう。意志とか性格と呼ばれているものの脆弱さをつくづく感じる。こんなふうな「人なんて所詮こんなもんだな」という気分になったことがあるかどうかは、ひとの生き方に対するスタンスを良くも悪くも大きく変える気がする。そういう気分になったことがある人のことはすぐにわかる。

「それ今の子にはわからないよ～」というツッコミを引き出すようなあえて古いことを言うボケってあるけど、言われたら大抵はググればわかる。「世代によって知っていることと知らないことがある」という認識も古いのかもしれないな。調べればだいたいのことがわかる状況においては「知っている」と「知らない」の意味がだいぶ変わってくるからだ。では現代は、あらゆるものが時代に左右されずに評価してもらえる良い時代かといえば、それも一面的な評価にすぎない気がする。作られた時代を問わず評価される可能性があるということは、なにか別の軸で評価されているということ。それは「現在性」ではないか。へんな言い方をすれば現代は、現代ではなく現在の時代だ。30年前の映画が突如流行することがあれば、昨日公開されたばかりの映画に閑古鳥が鳴くこともある。その差を作るのは、消費者の「現在」にそれが居るかどうか、である。たとえばタイムラインに。サイト内バナーに。動画広告に。時代を問われなくなった代わりに、そのコンテンツが「いま、ここにいるか」が強く問われている。時代を覆う大きな流れがなくなってしまったのだから、それは当然の帰結かもしれない。現代の子どもが『一休さん』のアニメを観ているとすればそれは一休さんが不朽の名作だからではなく、Amazonが一休さんをサジェストして視界に入れているからなのだ。

「必ずパンツで陰部を覆い隠し、更にその上からズボンを履かなければ恥ずかしくて外出できない」というのは、社会に抑圧された結果そうなってしまったんですよ。生まれてからしばらくはチンコ丸出しでも恥ずかしくなかったはずだ。文化なんてたまたま気に入られた抑圧に過ぎないよ。

「老人切り捨てを叫ぶ若者は自分が老いたときにどうなるかを考える想像力がない」などと考える人たちの想像力には全く期待できないというか、想像力がないから「みんなで大事にガンバれば社会保障はこれからもずっと同じで皆が幸せになる」という思考回路なんだろうな。

少し前に読んでいた本に、世襲が多い業界にもかかわらず世襲をしない組織で、実力でのし上がって組織の頂点に立ったものは、独裁的な体制を敷いて死ぬまで権力に固執する、としており、その具体例として日本共産党と日産が出ていた。逆に世襲でポンと回ってきた権力だとそこまで執着しないで手放すと。

技術力は世界トップクラスだが採算の問題で「作らない」とされていたものが「作れない」だけだったと次々に判明していく回

最近は辞めるっていつ職場に言おうかな〜と考えるのが楽しくて他になにも欲が湧かない。新しい服も美味しい肉も酒もなーんにもいらない

100匹のガキがインターネットに触れたら、30匹のスシローキッズ、50匹のヤバコメ開示請求ゴブリン、19匹の俺、1人の天才が生まれる

リモートで佐世保で働きながらネコを飼って空き倉庫でビリヤードに勤しむの、それ以外もう何もいらないってぐらい満ち足りてるな。そこを人生の最終目標として頑張っている。

「幸福でありたい」「幸福であるべきだ」はおおかたの人間にとって真だと思うが、「『今』幸福でありたい」「『今』幸福であるべきだ」という価値観になるととたんに害悪になる。今幸福でなければならない、という絶対的な理由はない、これからなる、でよい。そうしないと人は働かずに惰眠を貪ることが全てになってしまう。まあ、それでよいのならよいのですが……。

こないだ奢りにきた大企業やめマンが「すごい企業に就職すれば、すごい人生になると信じてた」「でも、そんなことなかった」「この世界は何者でもない人に『何者かであるかのように錯覚させる』のが上手い」「勝手に錯覚しただけだった」などと言っており、みんな何者になりたいんだろ〜と思うなどした

本当に唐突に世界中のスマホとコンドームの厚さが入れ替わったらマジで面白い。紙ぺらな液晶とぶっといゴムだけが残る。技術が進むのか出生率が減るのかどっちが先だ？

ゲームのステージ内にある、体力を回復させてくれるアイテム（マリオ64だとハート）、そのキャラクターにしてみたらゲロマズだったら面白い。私はおいしいものだと思ってキャラクターに取得させているので……。

ゲームの影響が大きいんだろうけど、工作能力を獲得しなかった代わりに何かしら違う能力を獲得しているんだろう。同じだけの時間を生きれば獲得する能力や知識の総量の平均は世代間でそれ程の差は無いと思う。

口から逆位相を出すことで他人の声をかきけしてくるおばさん

高校生になってふと「中学の時になんであんなカードゲームに何万も無駄に使ったのか意味が分からない」と父に呟いたことがある。暫くして『それでも友達と嬉しそうに遊んでいた時間は財産だよ。無駄が人生を豊かにすることは多い。だから好きなものを沢山見つけなさい』と返答。無駄なものって大事

退職するとき会社の全PHPファイルのコンストラクタをprivate属性にしようかな。

勤め先の上司に退職届けを出したら、それまでは会社のブラックさを共に嘆いていた上司の態度が一変、別室に連れ込まれて「O君、退職届けを引っ込めるまで、君を軟禁します」と後ろ手に鍵を締めたんだそうな。ちょっと死も覚悟したそうな。なんとか受理してもらったそうだが、退職代行が流行るはずだわ

友達に「back numberで一曲いい曲なかった？」って聞いたら「ない」って即答されて最高だった

代理母出産はたしかにモヤモヤします。とはいいつつも、代理母をしたインドの女性は「もらった費用で娘を大学に行かせます。貴方達は、否定してもお金を払えないでしょう？」と言われて、たしかに。となりました。この問題に、答えは出せなさそうです。

「【動詞】大捜査線」で一番面白い【動詞】ってなんだろうな。「笑う大捜査線」お笑い番組にありそうだ。「食べる大捜査線」食レポか？「つぶやく大捜査線」新手のツイッターだ。「こする大捜査線」汚れが落ちそう。「れるるまる大捜査線」これだ。

Amazonの第一の目的は「ものを買わせる」で、全ての機能はそこに集約される。たとえばAmazonには「閲覧履歴からもう一度」みたいな枠が頻繁に表示されるが、これも目的は「買わせる」ためにある。ではなぜ閲覧履歴から表示するのかというと、おそらく「ひとは一度の検討ではものを買わない」というデータがあるのだろうと思われる。電器屋に行くと、大きな洗濯機の前で右往左往しながら「でもなー、うーん。型落ちでもいいっちゃいいんだけどな―」などと言って、行っては戻りを繰り返している人がたくさんいる。で、手慣れた店員はそこで購入を焦らせない。「けしてお安い買い物ではございませんから。じっくりお考えになってから判断なされたほうが」みたいなことを言う。結局、踏ん切りがつかなくてその日は退散することになっても、頭の中は最新の洗濯機でいっぱいだ。後日、また電器屋に足を向ける。あの最新洗濯機がそこにある。「いかがなさいましたか」「これ買います」「衝動買い」という言葉があるが、一回検討したあと頭の中でそれについて考えて考えて「買うパワー」みたいなのを高めて、次にその商品を目にしたときは前の葛藤が嘘みたいにコテンと倒れるように買ってしまうこともある。本人の中では「よく検討を重ねていい買い物をした」ということになってるんだけど、多分あれは、衝動買いの仲間だ。Amazonの「閲覧履歴からもう一度」は、電器屋で洗濯機の前をウロウロするアレを電脳世界で再現しているのだろう。現実では私が洗濯機の前をウロウロするが、インターネットでは洗濯機が私の前をウロウロする！

紙の本を読んでいると、その文章のどこもネットに接続していなくて、不思議な気持ちになる。私はいま、一日に接するほとんどの文章がネットに接続しているから。メールも、チャットも、LINEも、電子書籍もツイートも、みんなワンタップでネット上の言論と繋がっている。本はすごい。勝手なことがいっぱい書いてあるし、物体として独立して存在してるから外部の声が入ってこない。あたりまえか。なんか、いつしかパーテーションで区切られた巨大な体育館での暮らしに慣れてしまったんだろうなあ。にぎやかだし、情報はすぐに集まるし、それはそれで便利で好きなんだけど。でも個室で落ち着ける気分はそこでは手に入らない。Twitterの鍵アカウントも、あれは個室ではない。中から外の景色が見えてしまうから。本は窓のない個室だから、どんどんひとりの意見だけに耽溺することができる。なんでも相対化されていく昨今だからこその、危険で贅沢な楽しみだ。

そういえば、けっこう前に別のメディアで読んだ避妊具の記事広告は「脳波計をつけてセックスしてみたらどうなるの！？」というものだったので、かなりビックリした。本当にしてたし。「していいんだ……」と思った。無意識に「読み物記事の途中でセックスしてはいけない」みたいなルールを課していたのかもしれない。でも神様はそんなこと別に禁止してなかったのである。

「僕、遅刻癖あるんで、集合時刻とかぜんぜん守れないんで、そこのところよろしくお願いします」と、仕事相手に言われたらどう思うだろうか。はぁ？ なんだこいつは。何を開き直ってるんだ。と、イラッとくるのではないか。しかし、私はこういう行為を許容したい。「よくぞ言った！」と褒めたいくらいだ。その理由はシンプルで、遅刻する人間のほとんどは「私は遅刻します」と言わないから、言ってくれるぶんだけエライという話だ。あらかじめ遅刻することがわかっているなら対策を練ることができる。「そもそも遅刻するなよ」と言いたくなるのもわかる。しかし、そもそも「そもそも遅刻しない」なんてことができるなら、遅刻で困ることなどないではないか。これは「努力の効用をどれほど多く見積もっているか」という、ある種の宗教観が絡んでくる話だ。私は努力の効用をあまり信じていない。だから「本人ができないって言ってるなら、できないんじゃないの」と思ってしまう。その根拠もまたシンプルで、自分や周辺を見回したとき、欠点を努力で克服した人がほとんど見当たらないからだ。遅刻する人はずっと遅刻し続けているし、物を失くす人はずっと物を失くしている。そんなもんらしい。だったら、努力にそこまで期待しないほうがいいんじゃないのかなと思う。特に人の努力には。ということで、遅刻魔が「どうあがいても遅刻します」と開き直れる社会のほうが、「頑張って遅刻を治します」と宣言する社会よりも相対的に良いと考えている。そんな社会を実現するためには、欠点の自己申告を積極的に褒める環境が必要だ。申告してきたこと自体を叱責すれば、遅刻魔はそれを隠す。ほんとうは遅刻するくせに、遅刻しない人のふりをするようになる。実際はできないからギリギリになってから発覚して、みんな不幸になる。欠点を抱える人を外圧でさらに嘘つきにしてしまうのは損だ。嘘つきを作らない仕組みは大事だ。だいたいの欠点は最初からわかっていればカバーのしようがあるのだが、数少ない例外が「虚言」なのだ。「できないのにできると言う」「やってないのにやったと言う」みたいな嘘つきがいるとどうしようもなくなってしまう。であれば、嘘つきが出現しない環境づくりを目指したほうがよい。そして、人は追い詰められたときに嘘つきになりやすい。人にプレッシャーをかけて罪人を作らないためにも「できない宣言」を許容する慣習があったほうがよい。「でも、そんなやつと一緒に仕事をさせられる身にもなってよ」という嘆きも当然聞こえてきそうだ。しかし、そういう人は、一緒に仕事をしなければいいのではないか。遅刻魔は許せない、イラつくぜ、という真面目な人も、最初から遅刻魔が可視化されるならそれにこしたことはないのでは。そいつからスッと離れるチャンスが早めに来るからだ。一朝一夕でできることではないけれど、これはそういう規模の話である。「自分が何をできないか」が把握できているというのは、すごく有益なことだと思う。新しいバイトが2人来たとして、A「やる気あります。がんばります」B「やる気あります。がんばります。九九ができません」と言っていたら、「じゃあBにだけは経理を任せないようにしよう」と具体的な計画が立てられるぶん、Bのほうが有利といえる。Aは何が地雷かわからなくて怖い。念のためにいうと、これはべつに心やさしい人の思想ではない。換言すると、他人の「がんばったらもっと実力を発揮できるかもしれない」という可能性を切り捨てるという意味でもある。「できない人」の評価は当然、相応に下がる。やる気をアピールしていれば収まれていたポジションから外されるかもしれない。雇ってもらえないかもしれない。しかし、それでも、無理してがんばって人に幻滅されて、自分にも幻滅するハメに陥るよりはだいぶマシなんじゃないかな、と私は思うんだけど。

多い質問の中に「フリーターだ / 受験失敗した / ニートだ」という前提の元、「人生詰んだけどどうしたらいいか」「一発逆転をするにはどうしたらいいのか」というやつです。これは結構答えに困っちゃうんですよね。というのも、一発逆転って、要はミラクルみたいなもんなので、あまりにハイリスク的すぎてすすめられません。一発逆転をしようとすると「消費者金融で金を借りまくって全額、暗号通貨にぶち込む。利益がでたら税金考えずに利確して借金は一度返して、残りはまた一番値上がりそうなものにぶっこむ。そして再度消費者金融からお金を借りて今度は草コイン全般に貼っていく。税金払う来年までに億以上にリターンを狙う」みたいな感じになっちゃって、それこそ失敗したら結構大変なことになります。そもそも20代とか30代で、無職とかフリーターとかの状態で「人生詰んだ」とまで言えるかというと、そうでもないと思っています。ハードモード状態にはなっていると思うんですけど、先進国に生まれて戦争とかもない状態だったら、まだまだ挽回のチャンスがある。で、思うんです。一番リスクが高いことが「人生詰んだと思って、適切な行動をしなくなる」ことじゃないかと。個人的に、そういう状態になるっていうのは自分自身のせいだけとは思いません。社会とか景気とかにすごい左右される部分、あります。ロストジェネレーション世代とかの問題は特にそうですよね。なので、自己責任論を押し付ける気は全くないです。しかし、だからといって、国や政府が「俺らが悪かった！全力でサポートするよ！」っていう状態になるのって、そこまで期待できないじゃないですか。国や政府のせいであり、責任を果たすべきというのが正しかったとしても、自分という個人をすぐに助けてくれるかというとそうでもなかったりするので、自分の身は自分で守らないといけなかったりします。いや、国とかが本当はなんとかするべきものも多いっていうのはその通りだと思うんすよ。思うんすけど、そんなに国や政府が有能で、いろいろな問題を常に最適に解決してくれるかというと、そうでもないな、と。優先順位とかもありますしね。そこに対して怒ったり、声をあげるのは大事だと思うんですが、対個人でいうと、それ以外の対処もしていかないといけないのかなーと思います。おかしな話しかもしれないんですけどね。話しを戻しますけど、たとえば「31歳、無職で職歴なし。借金は100万円ある」という状態が「人生詰んだ」かというと、そこまででもないと思うんです。まだまだ打てる手はあります。もちろん「31歳で、マッキンゼーに勤務。貯金が1500万ある」みたいな人と比べたら打てる手のパターンは少ないですが、それでもあるんですね。たとえばプログラミング学習のサービスを使って、月額2000円くらい使って、半年間学ぶ。平日に1日5時間勉強すると一週間に35時間、月に140時間、半年で840時間です。そこまでやると、そこそこは書けるようになるわけです。あとはクラウドソーシングとかで仕事を受けるなり、未経験でもコードがかければ雇ってくれるところを探すとかできるわけですね。こういう話しをすると「努力ができる人は遺伝で決まっている」「適切に勉強を続けられる人はそもそもの幼少期の環境が恵まれている」という反論が来るのですが、それはもうしょうがない。他の手を打つしかないです。ただ、打つ手はどんどん狭められていって、それに伴い、打ち手をクリアするハードルもどんどんあがっていってしまうわけで、今が一番これからの人生で若い時期であり、今が一番これからの人生でハードル低く課題をクリアできる、と考えて行動するしかないと思うんです。逆にさほど詰んでいないのに「もう人生詰んだな」と思って、何もしない、とか、一発逆転で暗号通貨にお金を突っ込みまくる、みたいな状態が、一番リスクを取ってしまっているので、よくないなあ、人生の難易度をあげてしまっているなあ、と思うこの頃です。

将棋のインタビューを聞くと対局中ずっと「正直自信がなかった」「大分悪いと思っていた」と思っている人が多い。悪い状況だと思いながらも一手一手最善手を探しながら打っていくしか無いんだよな人生も

「人生詰んだ」と思っている人は「自分が人生を詰んだかどうか」を判断できるくらい高度な知性を自分が持っていると思っているが、それは間違いだ。詰んだかどうかなんてわからないから、とにかく生きてみるしかない

経営者の仕事量と雇われ労働者の仕事量を同一に見てはいけない。どっちもつらいが、やらされてる感あるのとないのとでは全然疲れ方が違う。

なんも考えずに買ったらチョレギサラダとシュウマイとイクラ丼という取り合わせになってしまった。3つのうちどの2つを取っても全く味が合わない。なんか私ってこういうとこあるかもしれない。食卓という全体像を見ずに、部分部分の正解だけ取っていっちゃう。それで俯瞰してみるとチョレギサラダとシュウマイとイクラ丼になっている。スロットのハズレみたいだ。

死刑のボタンかなんか押す仕事、辛い気分にならないように複数人で押す仕組みにしたり特別な手当が出るってなってるけど、そんなことしなくてもたんに良心がない人を雇って二千円ぐらいあげたら押してくれるだろうしストレスもないだろってすごく思うんだよな。

昔特殊性癖系の個人サイトを何年も運営してた人が突然「女の子に酷いことをする内容の作品で興奮してる自分が怖くなったのでサイトを閉鎖します」っていうお知らせ文を残して消えたの見たことあるのトラウマなんだよな。クリエイターはどんなに名声を得てても本人が正気に戻ったら全て終わり

今日、道歩いてる小学生が、カメラみたいなのを覗いてる測量士のおじさんに「YouTuberですか？」って聞いてて良かった。

無論Top of Topな人たちの仕事がなくなるとは思っていないが、世の中の大半の人間は良い椅子に座っているだけでそれほど高尚な仕事しているわけでもないから、そういうところから椅子を削っていくのがITだと理解している。

湘南乃風の純恋歌、有名なパスタどうこうのパートより２番の「喧嘩したら自分勝手に怒鳴りまくってパチンコに行き、景品の化粧品を持って謝りに行く」のパートがいくらなんでも激ヤバ彼氏で怖すぎる

性的マイノリティの自殺率が高いのは「性的マイノリティは自殺を誘発する病気だから」ではなく「自殺は疎外感がある人に生じ、性的マイノリティには疎外感があるから」と分析されるべきなんだ。つまり性的マイノリティ自体を治すのではなく、疎外感を消すことで自殺が防げる。ここに社会の目標がある。国家として、制度として、スポーツやトイレや制服で性的マイノリティ男性を女性と同等に扱う必要はないし、それ自体は目標ではない。区別すべきことはしっかり区別して社会運営しながら、価値観や文化のレベルで考え方を変えて、疎外感を減らすことが目標だ。ここを勘違いしては本末転倒だ。

工学部の女性比率高めたい運動は、別に工学部そのものは本質ではなく「現状男性が多い“旨味のあるポジション”に女性を入れろ」という話の一環だと理解しています。なので、東大や東工大の男女比は問題になるけれど、私立Fラン大学工学部の男女比には誰も何も言わない。

Switchのオンライン特典にあったマリオUSAをちょっと触ったら異様に難しく感じた。今のゲームと比べるとまったく違う方法論で作られている。どちらかが優れているという話じゃなくて、生活の中においてゲームが占める位置がぜんぜん違うのだろうなと思う。正座して遊ばれることを前提に組まれている感じ。今はどうしても「お願い、サービスするからインターネットはいったん中断して！」って感じでアプローチせざるを得ないけども。

『カイジ』原作で、主人公のカイジは一攫千金のために命を差し出し、ギリギリのギャンブルに身を投じる。しかし彼にはこれといった人生の目標も趣味も楽しみもなく、手にした大金の使い途を考えてるわけでもない。たまに現金を手にしたら派手に遊んで使い果たしてしまう。対照的に、カイジが登場しない『トネガワ』『ハンチョウ』では、悪役たちのささやかな生活が楽しげに描かれる。ブラック企業の中間管理やタコ部屋での強制労働という過酷な状況で主体的に楽しみを見出す様子がギャグになっている。原作でカイジがタコ部屋に監禁されたときは、絶望的な状況で復讐心をひたすら育てているだけだった。しかし、そういう空間でも生活を楽しむことができてしまう人は実際にいる。圧倒的な素質の差だ。ギャグパロとはいえ、読んでいると原作のカイジがとても気の毒な存在に思えてしまう時がある。能動的に楽しさを見出して育てるセンスがカイジには決定的に欠如している。

サーティーワン。31種類のアイスがあるものの、全く自由に選べていないという自覚がある。マジシャンが意図したカードを選ばせるのと同じで、ある程度の「合理的判断」は、アイス選びにフィルターをかけてしまうのではないだろうか。「完全ランダム」みたいな注文ができたらいいのに。たぶん今でも店員さんに頼めば勝手にチョイスしてくれるだろうけど「抹茶・抹茶・オレンジソルベ」みたいな3段アイスが出てくることはないと思う。自分が店員だったとして「適当に見繕ってくれや」と言われてそれを出したら殴り飛ばされる未来しか見えない。だからこそ、機械を介した完全ランダム31が良いんじゃなかろうか。つい乳脂肪分かクッキーが入っているアイスまたは変な色のマーブルばかり選んで損しないようにしてしまう腑抜けた意志に喝を入れてくれるのは乱数が選出した「レモンシャーベット・オレンジソルベ・レモンシャーベット」の3段アイスだったりしないだろうか。

私はキリンジの『愛のCoda』の歌詞の一節をずっと「無様なのに絵のような人生が／花びらに染まっていたようなあの夏」だと思っていて「無様なのに絵のような人生」という言葉えらびに感心していたんだけど、いま歌詞カードを確認したら「無様な塗り絵のような人生」だった。そうだったのか。勘違いした歌詞に感心してしまったとき、感動の源がどこにあるのか気になる。

出来事と出来事の評価は別であり、出来事を知るだけでは評価は下せない。しかし、評価は誰かの信仰に染められたものかもしれないから、人が何かを評価したその内容だけをもってその何かを評価するのも適切ではないはずだ。結局、自分で調べるという行動を伴うことなしに評価することはできないのに、私はそれを怠っている。知的怠惰というやつだ。でも、すごい瞬発力で政治に意見を言える人はいったいどうやっているのか、とも思う。誰もがいろいろな要素が絡み合った政治の良し悪しを即座に断じられるとしたら、それは評価をする側の、ただの信仰告白に近いんじゃないか。政治が複雑怪奇なのは、理念と現実を一緒に料理しようとする分野だからではないだろうか。「こうすべき」という理念はすべて「こうなった」という揺るぎない現実に回収されるが、「こうなった」をどう読むか、という観点もまた政治性に左右され「こういう理由でこうなった」という形の加工された現実に変形させられる。その加工された現実が新たな「こうすべき」を導き出すようになっている。

観光名所なんかに行くと、だいたいみんな同じような角度から同じような構図で写真を撮っている。当然仕上がりも似ていて、インスタに観光名所の名前を入れれば、ほとんど同じような写真がズラッと並ぶ。そんなことはみんなわかっていてやっているはずだが、そうなると写真の価値とはいったいどこにあるのかなという気がしてくる。写真がどう仕上がるかというのとは別に、ある場所に行って、それを記念する特定の動作をする、そのこと自体に儀礼的な価値があるのかな。ディズニーランドだと、降りた後にジェットコースターで急勾配を落ちる自分の顔写真が売り出されている売店があるが、あれなんか変な気分になる。みんな同じような写真なんだけど、みんな「自分が写ってる」という理由で1枚だけ特別視して、それを買っていく、その感じが不思議。

リング状のあんドーナツが売ってあったら全然パン屋の中で「お～！」って叫んじゃうと思う。

アーティストの「ケイティ・ペリー」さんの新譜発売にともなうプロモーションとなっております。なんで？ ケイティ・ペリーさんってTwitterのフォロワーが1億人いて、楽曲のMVは30億再生とかいってる人なんですよね。ヤブイヌが猫の宣伝してるようなものでは？ 知ってますかヤブイヌって。胴がまっすぐでかわいいですよ。しかし正直なところを言えば、これだけ有名なのにも関わらず、私もケイティ・ペリーさんのことをほとんど存じ上げなかった。名前は知っていたし、楽曲も聴くと「あれか！」と分かったんだけど。生活圏に情報があまり入ってこない環境にいたようだ。じゃあ似たような暮らしをしているオモコロ読者向けにプロモーションを打つのは正解というわけか。万博の赤いウネウネの話で持ちきりなのはオタクだけ。今日はこれだけでも覚えてください。異なるカルチャーの断絶は見えないところでかなりハッキリと起きている現象なんだろうなと思う。たとえ1億人のフォロワーがいて、30億回動画が再生されても、知らない人はぜんぜん知らないかもしれないのだ。コカコーラが巨大な看板を道路沿いに出すわけである。どんなに人口が多くても完全に鎖国して外界との連絡を絶っている孤島があったら、よその国には幻の大陸だ。というか私が単に世間知らずなだけだろうな。『刃牙』に「四人同時を相手に戦えれば世界中の人間と喧嘩しても負けない」みたいなセリフがあった。たとえどんなに人が多くても、喧嘩に同時参加できる人数には限界があるから。それは「承認」というバロメーターにおいてもある程度同じようなことは言えるような気がするなあ。私もケイティ・ペリーさんも、1日は24時間しかなくて、視界は120°程度、文字が読める距離はせいぜい50メートルkらい（めちゃめちゃ視力よかったらどうしよう）。ひとりが受け取れる情報量はどんな人もたいした差がない。もちろん人気の度合いの差によって、入ってくるお金や「イイね」がケタ違いになるんだけど、そういう承認を受け止める心や身体の器はデカくなるわけじゃないから。どんなにケタ違い「デカい」ものを背負っていても、背負っている主体にさまざまな限界があるから、体験としてはケタ違いにはならない。同じことはクラスタの集まりにおいても言えて、100万人のファンを抱えるグループも、13万人のファンを抱えるグループも、その内部にいる限りではけっこう似たような体験をしている。のかも。単なる人数や再生数の多寡とは別の「濃度」みたいなのをより評価していく方向性もあるよな。広告業界だとコンバージョン率といって閲覧数に対してその商品を何割の人が買ったのかを見たりするけど、単純な数の大きさとくらべると調べる手間がかかるし数値を聴いてもあまりピンとこない。いろんなシリーズ物のマンガがあったとしたら、売り上げランキングのほかに読了率ランキングで選ぶというのもアリだな。1巻に手を伸ばした人の70％が最終10巻も読んだ！ というような本があったら化物である。

尾崎豊のライブで、一番静まり返るところで観客が「尾崎！！」って叫んでて、尾崎豊はライブの時は名字で呼ばれてて大変だなと思った。「ユタカ！」って呼ぶ人がいてもいいのにね。ライブのときそれぞれのアーティストが何と呼ばれるか調べた本があったら2000円でも買っちゃうと思う。スピッツは「スピッツ～～！」って叫ばれるんだろうか。「草野」ってちょっとためらわれる。「マサムネ～！」か。MAN WITH A MISSIONは「マンウィズ～！」なんだろうか……？「オオカミ～！」とかでもよさそう。

最近、よく象のことを考えている。あのパオンの象。テレビで見たり、動物園で見たりして、象のあのでかさというものを忘れてしまっているのではないかと思う。象。象はでかい。象はでかいことにあまり驚けていない自分がくやしい。たとえば奈良時代の農民が象を見たら、それはたいそう驚いたに違いないだろうと思う。その「でけー」っていう鮮烈な感じ。なんかこう、どうにか今感じることはできないだろうかね、と思っている。この時期になると「読書感想文」がネットのいろいろなところで槍玉に上がる。私はこの風習自体廃止すべきだと思うが、それはそれとして、上の記事がとてもおもしろかった。なぜ、読書感想文が苦手だったのか。……感想を書いて自分の内心を外部に晒す。苦痛、恥辱、弱点を晒す、言質を取られる、そんな感情を伴う。他にも、どんなアドバイスを受けようとも「それは自分の言葉でない」「自分はそんな事は言わない」という、頭の引き出しの中になにもないクセに、外から来るすべてを拒絶するという性質があった。何故なら「自分で書いたモノ」と自己が切り離されず、そのような外から来た言葉を混ぜることはアイデンティティの喪失を意味するため、拒絶するしかないのだ。……ここにはネットで120回見た退屈な教育論などとはまったく無関係な、言葉についての真実があるなと思った。「読書感想文は道徳的なことを子どもに無理やり書かせようとするから／子どもはそれをときに見抜くから嫌われる」というのは、上の指摘と比べれば全然浅い表面的な話だ。子どもが抱く読書感想文への拒絶感は、もっと根深いところに原因がある。もとをたどれば「内心を晒す」という行為自体への拒絶があるのではないか。なぜ、わたしが思っていることをあなたに言わなければならないのですか。おとなはみんな忘れているが、思っていることを言えば、自分が思ったことが即座に他人に「理解」されてしまう。大人は子どもが放った拙い言葉のうちにその子どもの心を見て対処しようとする。そこに明らかな恥辱がある。その拒絶を抜けた先にも、もうひとつの拒絶が待っている。言葉の不足に由来する拒絶だ。子どもは語彙が少ない。観念して「ぼくの心」を文字に書き起こそうとしても、知っているどの言葉を当てはめても内心の表現としてはしっくり来ない。しかし、書いたそれが「ぼくの心」ということになってしまう。このもどかしさは読書感想文とは切っても切り離せない。しかし、語彙が足りないことは作文がうまく書けない原因といえるのだろうか。語彙が豊富ならその問題は起こらないのか。表面的にはそうだろう。たくさんの言葉やレトリックを知ってさえいれば、内心をうまく書くことができる。だが、根本的には違う。「心は言葉ではない」といえる段階がある。その段階では、語彙など無関係に、ただただ「心のなかで起こったこと」は言語と違うから、文字にできないのである。ひょっとすると「内心を晒したくない」という感情はここに由来しているのかもしれない。そもそも内心など晒せるものではないがゆえに、内心を言葉で語ることに後ろめたさがともなう。だから、思っていることを言いたくない。言えない。他者とのコミュニケーションでは、己の"心"を――本当なら"心"とも名付けられていなかったはずのそれを――通貨として捧げなければならない。これが発話そのものの孕むハラスメント性だ。①「内心を晒すことなどできないにもかかわらず内心とされるものを晒さなければならない」という困惑がまずある。しかしそれは②「この内心は人に見せたくない」という形にいつしか変形され、さらに③「この内心をうまく書く手段を持っていない」という形で徐々に社会化される。いずれの場合でも読書感想文は拒絶されているのだが、③の段階に至ってはもはや軽症であり、時間が経てば語彙力の獲得とともに癒えていくであろう。しかし①の根源的な後ろめたさがしつこくつきまとうタイプの子というのもいて、②③を頭で理解したうえでなお実際には①が足を引っ張っていたりする。読書感想文においては人気のあるテクニカルな解決法として、適当なテンプレートに沿ってでっちあげちまえ、というのがあるが、それこそ①②③を経てなおかつ①を忘れない当事者からすると、言語の詐欺性（言葉が心を描けるという嘘）にまるまる乗っかったうえでさらなる詐欺をはたらく軽蔑すべき悪人にしか見えないはずだ。

かなり鬼気迫る寝方をしてしまった。休憩をはさみながら15時間は寝たのではないだろうか。でもまだ全力は出していない。本気を出せばもっといけたはずだ。寝まくったからといって体力がグイグイ回復したという実感はとくになし。旅館の休憩所でスマホゲームをやっていたら女将に「ここはゲーム禁止です」と言われて事後通告で罰金2500円とられた夢しか覚えていない。

Fall Guysっていうゲームが流行ってる。ポイフルの妖精みたいなのがペトペト走り回るバトルロイヤルオンラインゲームだ。60人のプレイヤーが脱落式のいろんなアスレチックに挑戦する。ゲーム版たけし城みたいなものだ。短い時間でできるから最近ちょこちょこ触っている。おもしろいけどつらい気持ちになる。「PUBG」が流行ったときもそうだったけど、自分がどうあがいても「その他大勢」でしかないことを否が応でも再確認させられている感覚にとらわれる。1/60の頂点になんてそうそうなれないのはわかっているとはいえ、大した個性のない有象無象ポイフルのひとつとして無様に脱落していく自分を見ていると「災害が起こったら自分もこんな感じで屍の山のひとつになるんだろうな」と思う。

みっつめの夢なんだけど、かなり印象に残っている。というか、今までこんな夢を見たことがない。YouTubeか何かで、ミュージックビデオを見ているだけの夢だった。歌唱が米津玄師という設定だったが、歌声はぜんぜん違ったような気がする。アコースティックギターと若い男性の歌唱のみの、シンプルな楽曲。映像はアニメーションになっていて、オモコロでも描いている漫画家の小山健さんが手掛けているという設定だった。コロナ禍の情勢を鑑みて作られた作品らしく、歌にも映像にもその影響が見て取れる。ひとつの田舎町を舞台に、夏休みなのにどこにもいけない少年たちの日常生活を描いたものを漫画風のアニメで見せていく。中盤で急に時間が飛んで、50年が経過する。子どもたちは老人になっていて、新たな日常を送っている。それが、文章ではとても伝えきれないほど感動的で、私は夢の中で嗚咽を漏らして号泣していた。その田舎町では鉄と石炭を掘り出しており、トロッコに乗った鉄や石炭が次々と運び出されていく映像と「鉄を送れ」というフレーズが何度もリフレインする。そのたびに胸が詰まり、涙が止まらなかった。その感動のショックで起きてしまった。怖い夢を見て恐怖で飛び起きるという話は聞いたことがあるが、感動的な夢を見て飛び起きるという話は聞いたことがない。そして起きて気がついたのだが、私は夢の中だけでなく、実際にも泣いていた。枕がびしょびしょになっていたし、目の周りがふやけている。というか、起きてもいまだに涙が止まらない。蛇口から出した水がコップに落ちて、そのまま溢れ続けるみたいに涙が出てしまうのだ。覚醒しているのに頭の中で「鉄を送れ」というフレーズがずっと響き続けて、そのまま5分くらい泣いていたと思う。やっと冷静になれたのはそのしばらくあとで、冷えたやかんみたいに落ち着いてからは、あの夢で見た映像や歌のどこに感動したのか、そもそもどんな歌だったのか、まったく思い出せなくなってしまった。しかし、あの感動はかなり強烈だった。麻薬を使うと、質的なものとは無関係な「快感そのもの」にガツンと殴られてしまい、日常的な幸福が褪せてしまうという。私は転寝のさなかに「感動そのもの」に触れてしまったのではないか？ という気がする。起きてしばらく経った今、その感触はもはや遠く、枕の染みも乾いてしまったから自信はないのだが。

今年はコロナでイベント事がほとんど中止になり、オリンピックはもちろん地元のラジオ体操までなくなったので、ただただ暑いだけの、地球に起こる現象としての、むきだしの夏を味わわされている気がする。これまではイベントによって化粧をほどこされて「風流」を演じていたあの夏が、一皮むいてみればまあ、なんと野蛮な、ただ人間から水分と塩分を垂れ流させるだけの、無教養で暴力的な季節であることよ！

「常に笑顔を絶やさないけど何考えてるかわからない奴」っているじゃないですか。なんかこういう、こういう顔つきの奴。下がり眉で口は微笑みがデフォルトで、悪意を追求されると「冗談はよしてくださいよ、ボク傷ついちゃうなぁ……」とか言うような奴。「本当はボクが全部わかってるんだけど、まあみんなせいぜい泳いでね」みたいな顔で、基本的に敵ではあるんだけど状況そのものを操作するから利害の一致によっては味方として接さざるを得ないような奴。こういうキャラ自体は別に好きでも嫌いでもないんですけど、「そういう超然としたキャラが、物語の本筋とはあまり関係のないシーンにおいて、彼の予想を超える馬鹿の馬鹿発言を聞いて困惑しているときにかいている""汗""」が妙に好きなんですよね。「物語の本筋とはあまり関係がない」というのが個人的に重要なポイントで……。プロットの流れで彼自身が不利な状況に追い込まれて困惑や焦りを見せているシーンについてはどうとも思わない。むしろ人間性の底が見えてしまったような感じがするから「こういうときも裏を見せずに不気味なままでいてくれ」と思ってしまうことのほうが多い。そもそもの嗜好として「状況そのものをコントロールする奴」は、総体的には彼にとって予想外の手で嵌められてうろたえたりすることが、あまりあってほしくないんですよね。ただそれだけだと神様みたいに味気ないのっぺりした人物像になってしまうので、こういう細々したシーンにおける「予想外」ではしっかり困惑していて欲しい。その象徴としての「馬鹿の発言に困惑してかいた汗」なのです。

カードを折り曲げて、小指と薬指、中指と人差し指の間ではさみ、手の甲の側で隠してるだけなんですが、素早くやると本当に空中から出現したみたいになります。不器用な自分でも2時間くらいでそれなりにやれるので初心者向けなのかも。プロは10枚くらいあるカードを手の後ろ側にかくして、精密な指さばきで1枚ずつ引き出すというえげつないことをする。無からカードを何枚も出してポイポイ捨てるやつ見たことあると思うけど、あれってそういう力技なんですよ。怖～。マジシャンはまず誰でもわかるスタート地点に「すごい」があるんだけど、タネが割れてくると今度はそのタネを成立させるためのテクニックやタネを思いついた発想といった技能面の「すごい」が出てくる。かつて門外不出であったであろう大トリックも、今やYouTubeでいくらでも見ることができてしまい、その勢いはもはや止まらないだろう、となると、マジックショーは大衆にとってもジャグリングショーの発展型のようなエンタメに近づいていくのかもしれないね。

税務署から封筒が届いていて嫌な予感がして、24種類の呪いの言葉を吐きながら開封したらやっぱり確定申告の不備を指摘する封書だった。なんか青色申告決算書というのが入ってなかったからおくれよ、という内容なんだけど、そもそも白色申告をしたつもりだった私は「？」って感じで、調べてみたらどうやら私は青色申告の申請をしてしまっていたらしく、それを完全に忘れて「白色申告せし者」としての日常を謳歌していたっぽい。アーッ！ 自己同一性！ 自己同一性！ 国家は私に点ではなく線として生きることを強制してくる！ 気が狂いそうなくらいのストレスに苛まれて、ファミマの飲み物コーナー（エナジードリンクの棚あたり）の前で20秒ほど自我を失いフリーズしたまま立ち尽くしてしまった。本当に事務作業が嫌だ。確定申告は殺したと思っていたのに、盆にナスの背に乗って帰ってきやがった。それならもう今すぐ除霊してやる待っていろ、と先ほど私は怒りに身を任せて青色申告決算書というやつに数字を打ち込みまくり、どうにかそれらしい体裁を整えた。私に必要だったのは弥生でもfreeeでもなく「怒り」というソフトウェアだったのかもしれない。

育児エッセイを描いている人って、子どもが途中でグレちゃったらどうするんだろう。世の中には育児エッセイ漫画がめちゃくちゃたくさんあるし「育児エッセイで好き勝手描かれてました」というタイトルの、子ども視点で当時の記憶を振り返るエッセイ漫画がそのうち出てくるかもしれない。もうあるかな。あのときああ描かれてたけど全部創作ですとか。かつて（というほど昔じゃないけど）『旦那が何を言っているかわからない件』ってマンガがあって、オタク新婚夫婦コミックなのだが、完全創作だと聞いて驚いた。エッセイコミックっぽい売り方をされていたからだ。でも別に悪い事してるわけじゃないよな。育児漫画だって完全に創作でかまわないはずだ。『ハムスター倶楽部』とか、モデルになったであろうハムの寿命より長く連載していたし。エンド―君、しげっち、ぷーちゃんは概念上の存在として生き続ける。『ちびまる子ちゃん』なんて、ノスタルジーマンガからどこかのタイミングで完全フィクションに切り替わって、作者の没後も続いている。自分が漫画家の子どもだったとして、生まれてからずっと育児エッセイで描かれてたらどう思うかな。親との関係次第で受け止め方も変わってくるだろうけど。でも、自分がおとなになってもマンガの中の自分が子どものままで、永遠に創作のおもしろエピソード載り続けてたらゾッとするな。広告マンガの宣伝塔になって、いまの自分は20歳なのにマンガ内では12歳の自分がリボ払いのメリットを述べ立ててたら結構怖いぞ。完全なる創作のほうが「ふーん、そうなんだ」って感じで受け入れられるかもしれない。実体験とマンガの間で微妙な脚色をしてあるほうが「あっ」と思うだろうな。「なんでお盆には足のついたナスを置くの？」「ご先祖様の乗り物なんだよ」ってやりとり自体は実際にあったけど、そのあとに自分がおもちゃ箱をひっくり返してミニカーのジープを仏壇の横に供えて「これでおじいちゃんとおばあちゃんも安心して来れるね」と言ったというエピソードが足されてあったら「こいつ……」ってなる。エッセイ漫画家って周囲の人に「それどうせ描くんでしょ？」「これ描いてもいいよ」とか言われてイジられるんだろうな。私自身「それ日記に書くんだろ」って結構言われるし。犬猫とか飼ったら「エッセイのためか？」「撮れ高じゅうぶんですなあ」って言われるんだろうし、エッセイ道は修羅の道ですよ。魯迅も阿Q正伝を描いて友だち減らしたって聞くし、宿命なのだろう。エッセイ漫画ばっかり出してるレーベルあるけども、あんなに安定的に「おもしろい日常」を発行し続けられるのはすごい。案外、内部は工場のように効率的な日常マンガ生産が行われているのかもしれない。育児したことないけど、もしそういうゴーストライターの仕事あったらやってみたい。子ども特有のユニークな行動を考える会議とかしてないのかな。「今月は8月ということで海にまつわる子どもらしいエピソードを考えて行きましょう」「神話のモーゼのエピソードを聞いて『知ってる！ これって海開きって言うんだよね』と言ったという話はどうでしょう」「いかにも大人が考えた話だなあ、却下」などと、ヒゲを蓄えた中年が侃々諤々の議論を戦わせているのだ。

「足の裏に大量のイボとかかさぶたみたいなのが出来ているのを除去するスマホゲーム」があって、ここに貼れないくらい絵面が気持ち悪い。ひどいとキノコとか生えてたりする。しかもゲーム性も最悪で、制限時間もスコアもなく、淡々と画面をなぞってイボとかを取るだけ。そのうえ広告が地獄のように多くて「中国の宮廷の王となり、絶世の美女を手篭めにせよ！」みたいな倫理0のADが毎回表示される。キモい足、悪質な広告、キモい足、悪質な広告、というゲロ反復横跳びみたいなアプリなのだがなぜか遊んでしまい、気づいたら全ステージをクリアしている自分がいた。がんばって汚い足の裏を掃除したら、ご褒美として汚い耳の穴を掃除するゲームができるようになったときは笑ったが、それ以外は完全に無表情だったのに。ゲーム中に「楽しい」と感じた回数は0だと断言できるが、それでも遊んでしまう、触れてしまうものはある。たとえそれがストレスでしかないとしても、ある種のリズムで構成された情緒の刺激は、それだけでエンタメたりうるのかもしれない。私はこのキモ足裏ゲームの他にそれに似たコンテンツをひとつ知っている。Twitterだ。

流しそうめんやったことないな。あれって普通どこでできるんだろう。あれ下流で待つメリット皆無じゃないですか？ 分けまえは減るし、人が箸をつけた水が流れてくるし。そうめんは結構好きだけど、いまだに「そうめんの適量」が全然わからない。自分がどれくらいそうめんを食べると満足できる身体の持ち主なのか把握していない。ツルッと入ってくるからどんどん食べれちゃうんだけど「ちょっとお腹いっぱいになってきたな」みたいなターンがないまま、いきなり「ズンッ」と満腹になる。膝から崩れ落ちるみたいに腹いっぱいになってしまう。

Amazonプライムにきた映画『来る』を観た。スーパー面白かった！オタク好みの「加点方式だと100万点」みたいなタイプの、ワンショットワンショットで確実に点数を稼いでくるインパクト満載の映画だった。中盤から良い意味で「漫画じゃん」と何度も思った。松たか子の演じたキャラクター性がかなり好き。ただ巷で言われているように「後半から怖くなくなる」みたいな風には思わなかったな。言いたいことはよくわかって、たしかに途中からスペクタクルの色がかなり濃くなるので「ホラーかと思ったらなんか違った」となりはするんだけども。それでも私は十分に「怖い」と思ったし、後半になるほどそれは加速していく。前半はかなり写実的な作りで、田舎の親戚の集まりだったり、おちゃらけた結婚式の余興だったり、どうでもいいディテールが異様に凝っていてリアリティがある。「うわ～、こういうの苦手だな」と思わせることに成功している。人間関係のざらついた感じ、違和感、ディスコミュニケーションを積み上げる手管も巧みだった。ある意味で、後に「来る」ものは前半で組んだ因縁を清算するために呼び出される舞台装置に過ぎないのだが、最初に描写される嫌さがリアルだったからこそ、荒唐無稽な怪異にも魂が宿るのだろう。現実的な負の念とスピリチュアル・ホラーの接続には相当こだわっているみたいだった。どう考えてもありえない怪奇現象の裏にはかならず人間の強い怨嗟が潜んでいる。やがて、いつのまにか他人の内面世界に侵入してしまっている自分がいて、むき出しの情念に直で喰われるかのような感覚を味わう。ストーリーを具体的に書きたくないので抽象的に表現していますが。しっかり全体を貫く要素として「恐怖」があるので、ホラー描写自体はそれほど怖くないかもしれないが、ちゃんと「怖い」と感じた。構造的に怖い話っていうのか。ホラーの形式を分解していくと「悪意を持った奴に襲われる」になるのではないかと思う。ここには2つの要素がある。「悪意を持った奴」と「襲われる」だ。「悪意を持った奴」の代表は幽霊であり、「襲われる」の代表はゾンビである。幽霊とゾンビは正対する存在だ。「悪意を持った奴」の何が怖いかといえば、突き詰めればそれは「他人が何を考えているかは、原理的にわからない」ということだ。つまり隔絶の恐怖である。自分以外のやつが、自分には絶対わからないところで、何かを考えている。そのこと自体がたまらなく怖い。存在論的恐怖である。「思い」というものが、自分だけでなく、他の人にもある。そのことへの恐怖感が「幽霊」を創造した。幽霊は「思い」だけの存在だからだ。「襲われる」ことの怖さは、自分自身の生命が脅かされることへの怖さである。「同じ世界にいる以上、そいつはこっちにやってくる」という怖さ。つまり干渉の恐怖である。ゾンビとは、意志なく襲ってくる。こちらに干渉してくるだけの存在なのだ。「本当に怖いのは人間」というフレーズはもはや手垢がついてしまって誰も言わないけれど、考えてみれば当たり前のことだ。なぜなら人間とはゾンビに幽霊が搭載された怪物なのだから。「人間が一番怖い」という怖さはつまり「こちらの預かり知らぬところで『思い』を勝手に膨らませ（隔絶の恐怖）」「その結果として襲ってくる（干渉の恐怖）」という怖さなのだ。ホラーにおける怪物は、人間のその2つの要素を誇張した、人間のパロディなのではないか。その意味で、変化球っぽい『来る』はかなりストレートにホラーの王道を行っていたように思う。前半でディスコミュニケーションを組み上げて「隔絶」を描き、自分には見えないところで怨嗟を醸成する。後半ではその怨嗟を燃料にして牙をむく「干渉」を徹底的に描いていく。面白かったな。

正義のヒーローの本質は悪と戦うことではなく人を助けることなので（人を助けるという目的のために悪と戦うという手段が必要ってだけ）この世から悪が消えても、正義のヒーローの役割は終わらない。今度は不慮の事故や災害から人々を助けるだけなので……ヒーローにはヴィランが必要、は違うと思う

1000万あたりが一番悲惨！税金がーってツイートたまに見かけるけど、どう考えても年収200万でくそ寒い中Uber宅配している人の方が悲惨なんだよな。悲惨って言葉があまりに軽くて笑う。

まあ、「若い人に移住してほしいけど異文化を持ち込まないでほしい。完全に地元の風習に染まって高齢者の面子を立てながら都合よく労働力だけ提供してほしい」というのは、国レベルで主張していることでもありますし、特定の田舎に限った話ではなく、日本全体がこれなんよ

制約と誓約で県道しか通れない代わりに人を殴る時力が倍増するおばさん

小説家も劇作家も歌手も、現実にある事物の既成概念を、創作物という虚構を通じて別の色に塗り替えてしまうのでマジで尊敬する。よく耳にする「1を100にする」とか「0を1にする」というたとえでいうと、彼らは1をi（虚数単位）にしてる

ズートピア2、深く考えると色々気まずくなる設定世界で｢差別問題についての、マイノリティ側の問題｣をテーマにした作品なので本当にしっかりした続編には期待できない(しっかりした方向では作れないか、作ったら批判されるので忌避される)系統の作品だと思う。ただでさえ作りにくいところで、現実世界は2020年のBLM騒ぎを経てますからね。｢被差別側だと思っていた草食のあいつが黒幕だった！｣の文脈では｢ユートピアとして立ち上げられた『自治区』が無残に崩壊する話｣とかやっても成立するだろうけど、絶対怒られますよね。そういう世界になってしまった。｢BLMを経た世界｣というのは、ズートピア世界で言うなら、例えばあの草食のあいつが警察署を襲撃しても良い！ 市長の銅像かなんかをぶち倒して良い！ 道すがらスーパーマーケットを襲撃して略奪をしても、良い！ だって草食動物は被害を受けたんだから！という世界だし、それは彼らが勝手に言っているのではなく、大学教授とかそのへんの｢良識的な知識人｣みたいなのが｢そうだそうだ！ 暴動を起こして何が悪い！｣って賛同してくるという構造なんですね。その価値観で、一作目のあいつは本当にヴィラン扱いでよかったかな？ ちょっとした革命家とかになりません？

わたし自分から虫食べる人嫌だけど好きな男には嫌がりながら虫食べて欲しいしわたしは焼肉を食べたい

顔を赤らめて「大っきらい…」と言うのが好意の表現だと伝わらない人が増えてるみたいな話、感性の問題というよりは単にそういう表現様式を見たことあって知ってるかどうかの問題な気がする。自分は「感情にはそういうパターンがある」という知識でその手のシーンを見ているので。

Twitterがゆっくりとしかし確実に壊れていっていることに残念ながら驚きはないというか、非常に複雑なソフトウェアの面倒を見る人を減らして急な機能追加をすると「分かりやすい大爆発」を起こすのではなくて「あちらこちらから無視できない水漏れが起こる」みたいな壊れ方をするんですよね

ブチャやリマンで女性がどういう目に遭ったかを思うと、上野先生の「女が戦争で男に守ってもらわないほうが、敵のもっと『いい男』と出会えるかもしれない」という言説の途方も無い無責任さに真顔になってしまう。

昔、当時の彼氏とデート中に便意が我慢できず「そんな事で嫌いにならないよ。」って背中を押してくれたので、草むらで泣きながら野グソして戻ったら「風向きが悪かった。」って言われ、翌日フラれたの思い出してまた泣いてる。

「若い女性」を雇用しないはNGなので、仕事へのコミットメントが弱く、結婚での退職や子供ができた際に長期の育休・時短を取得をすることが容易に推測される人材は採用しませんぐらいにしないと。もっとも、20代の男女、2-3年で転職するのはごく普通なんで20代前半なんかを避ける意味はないし、最近では結婚や子供の誕生に伴って仕事へのコミットメントがどうなるか分からないのは男性も同じなんで、避けたいならプライベートが固まってないアラサーを避けるみたいな感じになるね。問題はコミットメントの度合いというよりは、その変化の読めなさなんだよね。コミットメントが必要じゃない仕事もあるし、相応の待遇なら何も問題ないんだけど、必要な仕事で採用した人が突然コミットしなくなると困る。

おそらく我々はChatGPTを誤解していて、あれは我々の会話を模倣したものではなく、「会話する直前に頭を勝手によぎる連想」であると思う。だからあれほど嘘をつく。我々は前頭葉に障害がなければ、内言の中から一部を取り出して発言しているはずだ。我々はいま、テレパシーの感覚を初体験している。あるいはChatGPTの正体は「泥酔状態で前頭葉がアホになった東大主席」のエミュレータだ。大量の情報の連想を取捨選択せずに話したものだ。鳥は大脳基底核のレベルで「極めて複雑な反射」によって動いているらしいので、ChatGPTは鳥属性亜人の振る舞いであるとも言える。

『その日暮らしの人類学』すごい面白かった。私がコンプレックスに思ってた、「仕事で自己実現しなきゃ」「何かを積み上げなきゃ」「他人に紹介できる肩書きがなきゃ」これらの思いが全部、「日本村」特有の悩みでしかなくタンザニア零細商人の世界では全部無意味だってことがわかった。先のことが不確定な世界では、準備した資格、資金、物資、アイディア…をすぐに使わず、機を待つ、仕事をコロコロ変えたり、同時並行でいくつもやる、この方がうまくいくんだよね。「私は、先が見える世界で安定して何かを積み上げる日本人タイプでなく、タンザニア人に近いのでは？」と思いスッキリ。私は「何で食ってるかよくわからない人」になるのは誉れなことではない、と思ってたんだけど、私は確実にそうなってるし、それは誰かにとっての憧れでもあるんだよなあ……と腑に落ちた。タンザニアで体張ってフィールドワークして本書いてくれた小川さやかさん、ありがとう……リスペクト。追記すると、私はベトナムに住むことで「何で食ってるか分からない人」に（ある意味勝手に、無意識に、自動的に）なりました。タンザニア程ではないが、日本よりは不確定・流動的な世界に来たことで、元々タンザニア寄りの考えにシンパシーがあった私は「ここに来てしっくりきたなあ」という感覚。

あっちでは凍結しててこっちでは炎上してて全体的に不安定ってTwitterあれだろ他の太陽系惑星だろ昼と夜の温度差600℃とか違うやつ。水星とかだろ。

納期に追われてないときの作業は楽しい！あと自分に関係ない仕事はめちゃ楽しい。自分の部屋は散らかすのに、他人の部屋の掃除とかは好き。

物語と「必然性」について。創作において「そうでなくてもよかった」と「そうでなければならなかった」は、非常に特殊な重なりあい方をしている。たとえば『美少女戦士セーラームーン』の月野うさぎは6月30日生まれだが、これは必然的だろうか、偶然的だろうか。月野うさぎの誕生日が4月14日や8月22日や12月25日ではいけなかったのか。ひとつの考え方としては、何月何日生まれでもよかったと言える。月野うさぎは武内直子が創造したキャラクターなのだから、4月14日生まれの月野うさぎだって問題なく描けたはずだろう。もうひとつの考え方では、月野うさぎは6月30日生まれでなくてはならなかった。6月30日に生まれたという事実は「月野うさぎ」というキャラクターを支えるパーソナリティの一つであるからだ。これは現実にも適用できる疑問だ。黒柳徹子は8月9日生まれだが、徹子が4月1日生まれであることは可能だっただろうか？私たちは、黒柳徹子が4月1日に生まれたような世界を想像することができるし、そうであるような世界が論理的な矛盾を抱えているわけでもない。その意味で、4月1日生まれの黒柳徹子は可能である。しかし、「あの」黒柳徹子は、8月9日に生まれたからこそ「あの」早口で喋るタレントの黒柳徹子に成ったのであって、もし他の時間に生まれていたら他の人生を歩むはずである。だから、仮にそれが徹子であったとしても別の徹子だ。黒柳徹子は8月9日以外に生まれることはできない、とも言える。比較してみると、創作においては「そうでなくてもよかった」が、現実においては「そうでなければならなかった」が、優勢な気がしないだろうか。実際、創作における設定はなにからなにまで決まっているわけではない。誕生日どころか、作中で呼ばれないので下の名前すら作者に決められていないキャラクターだっている。しかしそれは「ない」のとは違う。名字しかいない人間などふつういないので「まあ、呼ばれてないだけで本当はあるんだろう」と解釈される。現実と同じように。だが、現実においてまだ判明していない事実を「決まっている」とみなす力に比べると、フィクションの「決まっている」はなぜか弱々しい。現実というものは、過去から現在まで矛盾なく連なっていると定義された概念である。哲学的には5分前に世界が生じたのかも、とか言って茶々を入れたりもできるのだが、あくまで反則技に近い。「現在」から見渡したときに手に入る証拠から、もっとも論理的な形で組み立てられる全体像こそが「正しい」。これはもう現実というゲームを成立させるために必要なルールなので、それ自体が正しいとか正しくないとかではない。そうでない世界など想像する意味がない。一方でフィクションは平気で矛盾する。ドラえもんでは話によってしずかちゃんのパパの造形が違うし、キン肉マンではジェロニモがスピン・ダブルアームを食らっている様子をジェロニモが観戦している。ただ作者が間違えているということがありうる。現実の世界はなぜか「世界そのものが間違っている」とならないようになっているのに、フィクションでは「作者が間違えて描いている」と解釈することが許されている。結局、邪馬台国がどこにあったのか、その答えは「神がまだ悩んでて、決めてない」だったりしても良さそうだが、そういう考え方をする人はごく少数だ。現実には「ただ、そうである」という性質がある。いまの世界がこんなふうであることには、究極的には理由がないとされる。フィクションは人間が描いているから、その世界に「間違い」を認める余地がある。論理的な矛盾はもちろん、ある価値観に根ざして「間違い」を指摘することすら可能だ。「このキャラが近親相姦の末に生まれたという設定は少年誌としてはやりすぎなので、やっぱ設定変えましょう」とか、そういう打ち合わせは普通に行われている。人間が意図して作るものだからだ。世界にはそれが存在する「必然性」がないし、フィクションは誰かが意図して描くから「必然性」を有している。そして、世界にはそれが存在する必然性がないからこそ、ただそうであるという『必然性』を有するし、フィクションには誰かが意図して描く必然性があるからこそ、存在自体に『必然性』がない。アニメや映画にLGBTが出ないという問題、チェーホフの銃で説明できると思うんだよな。「誰も発砲することを考えもしないのであれば、弾を装填したライフルを舞台上に置いてはいけない。」「目的もなく存在するLGBT要素というのは、映画にとって発砲されないライフルと同じなんじゃないかと。」LGBTQは現実の世界に「目的もなく存在」している。自然に。実写映画を撮るとき「目的がない」からと映ってる海や鳥や山を取り除きますか。世界はLGBTQを含んでいる。それが「通常の状態」。フィクションでもなんでも、マイノリティが一切存在しないように描かれるほうが異常なんだよ。創作物が目的を持って描かれる以上、作者は描写される内容になんらかの「描写される意味」を与えていると考えることができる。その一方で、作者が創造しているのはフィクションとはいえ「世界」なのだから、現実と同じように「ただ、そうである」と考えることもできる。ここには創作の矛盾した試みが埋まっているのだろう。カメラマンが世界そのものを正確に写し取ろうとしてシャッターを切る。しかし現像されるのはカメラマンの意図によって切り取られた世界であり、世界の「そのもの性」からかけ離れてしまう、というような。統計によれば、人間の約13人に1人はLGBTQであるという。ということは映画『シン・ゴジラ』で逃げ惑う群衆も、13人に1人はLGBTQなのだろうか。あの作品が現実をベースにしているならば、そう見るのが正しいはずだ。メインの登場人物にもひとりくらいはLGBTQがいるはずである。ではそのことを「描く」べきだったのか？ 少なくとも、あるものが現実に存在することはそれを創作で描くべき理由にはならない。「ある」ことと「描く」ことには意味的な隔たりがあるからだ。作者は描くものを取捨選択せざるを得ない以上、政治性からも逃れられない。逃れられないが、それは構造的な必然だから別に困ったことでもない。現在、創作において特に理由なくマイノリティを描くことには、多くの場合、意図があると思う。それを「特に理由はない」と説明するのはカマトトである。「特に理由はない」と説明することも含めた意図をはたらかせていると見るのが自然だ。いま、特に理由なくマイノリティを描くこと自体にはなにかしらの理由がある。そしてもちろん、そういう試みは何一つ悪くない。そこはもっと強調されてもいい。道徳的主張に関しては逆向きの後ろめたさのようなものを感じる人が多い。「読み切りを載せた後に一人くらい貧乳がいたほうが良いという意見をいただきましたが見送らせていただきました。これにはきちんとした理由があって僕が大きいほうが良いと思ったからです。」一見ふざけたツイートのようだが、とても良いことを言っていると感じた。創作においては作者の一存でどんなワガママだって通る。だから、自作に性癖を反映した巨乳キャラばかり出すような奔放さで「ポリコレ」してもいいのではないだろうか、と思う。というか私はそうしたい。私もいずれ、特に意味もなくマイノリティを登場させるような試みをやりたいと考えているけれど、もし誰かにその意図を問われたら「現実がそうだから、そう描いたまで」というようには答えない。「このキャラがマイノリティである必要はないんですけど、マイノリティだったほうがいいと思ったんです。現実がそうであるように、ただそのへんにマイノリティはいる、ということが伝わる表現を意図してやってます。創作物に出てくるのがマジョリティばっかなのムカつくんですよ。ちょっとビックリさせたうえで、そこでビックリするのも違うんだからな、これが当たり前だからな、という意志も伝えたかった」みたいに答えたい。

出勤する前は決まって「(職業名) 辞めたい」で検索して、いろんな職業の人間がいろんな理由で辞めたがっている記事を読む。気が少し紛れる気がする。

【職場あるある】

この人ネット上で出会ってたら仲良くなってただろうなという人がいる

シャンプーがなくなったので詰め替えたら、間違ってコンディショナーを注いでしまっていたことが発覚して落ち込んでいる。今、たぷたぷのコンディショナーが2ボトル並んでいる。別に毎回、何かを間違えるたびに落ち込んでいるわけじゃない。大体のことは前向きに考える。だけど、今日はなんか運やら体調の巡り合わせがよかったのか、個人的に「ちょっと調子いいぞ」って思った日だったんですよね。停滞していた仕事が少しだけど前に進んだし、仕事のレスも比較的早く返せていたし。それが一日の最後の最後、完全にズッコけた。「なにテキパキしている感じ出してるんだ。お前の居場所はここなんだよ、わかったか？」と最後通牒を突きつけられたみたいな気分だ。ほんの先週ドラッグストアで「このシャンプーとコンディショナーはパッケージが似ているから間違えないように気をつけよう」と意識した矢先の出来事だったショックも大きい。あの「気をつけよう」はどこへ行ってしまったのか。コンディショナーでコンディションが崩れることになるとは。人に迷惑をかけたくないが、人に迷惑をかけない資質に欠けている気がするので、生きていくにはある程度その迷惑に鈍感にならざるを得ない。そうやって鈍感になることで人に苦労をかけるのが平気になるのも嫌だなと思ってしまう。でも、同じことを車椅子で生活している人が言っていたら、私はそれを否定したくなるだろう。「だってしょうがないじゃん」も「これは自分の努力が足りないからだ」も、その先の道に別々の息苦しさがある。

買い物帰りに駐輪場の前を通った。自転車を置くためのロック機構はよく見るとけっこう複雑な形をしている。果たして自転車というものを知らない人が、自転車のない駐輪場を見たらなんのために作られた施設なのか理解できるだろうか。石田三成の時代に自転車はないが、もしそれを目撃すれば用途はすぐに把握できるはずだ。ともかく足で板を回転させると車輪が連動して動くらしい。早く移動できて便利そうだ、と。IH炊飯器だって、使っている一部始終を見れば「米炊きの面妖なる釜」ということがわかる。駐輪場のようなものは、まず自転車を知っていることを前提に設計されているから、概念の理解難度が高い。

激辛に対するリアクションのコツなんですけど、口に入れて数秒間は「アレ？ 辛くないじゃん」って顔をするとリアルにになると思います。これ撮影した後、尋常じゃないくらいヘトヘトになって、ぜんぜん仕事が手につかなかったな。俳優ってすごい。運動量自体はそれほどでもないにしろ、架空の激情を演じるのはたぶん、ものすごい体力を使うはずだ。半沢直樹に出てくる役者はあれ終わった後あっつい風呂に入らないとやってられないのではないか。

CDについているこの、これ。名前知らないですけど、このコの字型の、背表紙を覆うこれ。これの扱いに毎回悩む。本の帯と同じく、これにどれくらいの価値を見出して、どんな処遇を与えればいいのかわからない。コンテンツとしての情報量はないのに、なんかコンテンツ性を感じてしまって、邪険に扱えないのだ。17アイスの棒が普通のアイスの棒より価値あるように感じるのに似ている。

何かができるようになったり、得意だったりするとき「それは必ずしもよいことではない」と考える傾向が自分の中に根強くある。小学生の頃だったと思うけど、保健室にメンタルケアのためのポスターのようなものが貼ってあった。「短所も見方を変えれば長所になる」というようなことが書いてあり、一般によくないとされる要素を長所に言い換えるリストになっていた。「神経質→よく気がつく」とか、なんかそういうの。それを見て、当時は漠然とモヤッとした気持ちになったんだけれど、今思うと「だったら、長所も見方を変えれば短所になるってことじゃないか」と感じたんだと思う。「見方を変えれば世界は変わる」という言説はいろいろある。ものごとを相対的に捉える見方を推奨するわけだが、にもかかわらず相対化の方向は常に一方通行になっているように感じられるのが不服だったのだろう。「Aも見方を変えればB」なら「Bも見方を変えればA」であり、その意味内容は等価のはずなのに、より社会にとって利益が高いほうの結論になる相対性だけにスポットが当てられている。「相対的に見る」という、硬直した価値観をほぐすはずのメソッドは、実践的には、逆方向の絶対性を獲得するための戦略としてしか使われない、ということかもしれない。

『エンバンメイズ』（田中一行）全6巻を読んだ。おもしろかった。ダーツがテーマのギャンブルバトルマンガ。天才ダーツプレイヤーが変則的なルールで命のかかったダーツバトルに挑む。主人公を含め出てくるプレイヤーが全員「最高得点を"絶対に"出せる」レベルなので、テクニックありきの戦略でルールの穴を突いた罠にハメるのが楽しい。読み味は『嘘喰い』にちょっと近いかも。ダーツ×ギャンブルという狭さでよくこんなに多彩なネタを仕掛けられるなーと思った。地下闘技場とかもそうですが、非合法の闇ゲームに満員の観客が詰めかけて「ワー！」とか言ってるの大丈夫かなって思っちゃうな。絶対すぐ有名になってしまう。ああいう残酷な闇のゲームを実況する人ってどこから雇ってるのかな。「この試合で負けた者は、文字通り！！ 業火で焼かれていただきます！！！！」とかハイテンションでよく言えたもんだわ。表でも競馬実況とかをしてる人を大金払って使っているのか。それとも、闇のゲーム専門の実況者がいるのかもしれない。闇のゲーム実況解説専門学校。闇のゲーム実況解説専門学校では、まず残酷さにビビらない胆力を鍛えさせられる。次に、複雑なルールを正確に把握しておく能力も必要だ。なにしろ闇のゲームでは「ルールの穴を突いた逆転勝利」が極端に多い。ルールを曖昧なところなく正確に繰り返し言質を与えるのは何より大切なのだ。また、お互いに情報を隠し合い騙し合うことの多い性質上、観客が「何が起こっているのかサッパリわからん」という状態に陥るのも避けなければならない。今なにが起こっているのか把握し、観客にわかりやすく説明する力も必須である。しかし、わかりすぎてもいけない。というのも、逆転する側は相手プレイヤーを引っ掛けてドツボにはめることを狙っているので、プレイヤーの真の狙いが明らかになるようなことを実況者が口走ると、その時点で興ざめなのだ。わかっていなくても偶然その罠に気づくヒントを与えてしまうこともあるだろうから、極力「わかったうえで言わない」ことが求められる。だいたいこういうゲームは観客席側の仲間が「なるほど。アイツ、とんでもないことを思いついたな」「……なるほど、そういうことか」「え？ 何？ どういうコト？？」などと会話しているものだが、このレベルの勘の鋭さを鍛えつつも、あくまで一般人視点で驚き、説明せねばならない。やはりここまでくると、表の世界で活躍している程度の実況者では手に負えまい。専門のプロがいると思われる。これを題材にした作品ってないのかな？まあそういう逆張りみたいなのってウケないんですけどね……

鎌倉武士として、久しぶりに「鎌倉パスタ」で食事。ここにはパン食べ放題という素敵なサービスがある。小さなパンが種類豊富で、頻繁に焼きたてを配りに来てくれる。パスタそっちのけでパンばかり食べてしまう。以前はバイキング形式だったが、さまざまな配慮の結果か、折を見て店員さんが持ってくる形式に変わっていた。その際、これはチーズのパンで、こちらはフレンチトーストで……と説明を入れてくれる。「これはなんですか？」と、細長い棒のようなパンを指したら、店員さんが突然申し訳無さそうなトーンに声を落として「これは、ほとんど味のないパンです……」と打ち明けてきたのが面白かった。味のないことに負い目を感じていたのだろうか。食べ終わったパスタのソースをつけて食べたら美味しかったから自信を取り戻して欲しい。

タイムラインを見ていると、優生思想の話とかがやけに目につく。「限られたリソースで誰を救うか」という、トロッコ問題の変形のような議論も別にあったりして、哲学上の思考実験が実感をもったかたちで話題にのぼってる印象だ。

・これは特にいいことではないと思う。トロッコ問題のようなことについて議論できるのは私達がトロッコに乗ってないからだと思うし、トロッコに乗ってないという緊急性の低さをこそ活用した、幅広く精緻な議論をすべきだからだ。喫緊の課題として行われる哲学的洞察にはそれ自体に切羽詰まった余裕のなさが漂っている。それはときに真実味を帯びた魅力あふれるものにも映るのだけど、つぎつぎと問題を山積みにしていって自ら途方に暮れたとき特有の、あの快感に乏しい。思考実験によって語られた極限状況に、わたしたちが現実に直面することはありえる。しかし、そうなってからでは、思考実験によって問題を解きほぐしていくプロセスはあまり役立たないのではないかと思う。表面的にそれが行われても、それは「洞察」を介した政治的行動へと回収されてしまうからだ。まさに今、優生思想の「可能性」について公に語ることが、優生思想を意図せずとも後押ししうるように。哲学にとってはむしろ、時代に必要とされることは精緻な思考をする機会の損失なのかもしれない。「いまそんなこと考えなくてもよかった」と言えることは、その思考がある意味で清潔であることを示す。

上のnoteの要旨は、「存在するだけで満ち足りている」ということを言うのに、「偉さ」を持ち出されてはたまったもんじゃない、そしてそれを旗印に、人々を煽動する“インフルエンサー”の軽薄さが許し難いというところにあります。「偉い」で満たされるインスタントな効用は、決して長くは続きません。彼ら“インフルエンサー”に「生きてるだけで偉いんだよ〜😭」と言われて本気で救われるならいいけれど、大抵は固定ツイートに誘導されて、プロフィールを熟読するよう言われて、オンラインコミュニティへの参加を煽られて、じわじわと搾取されるだけですよね。しょせん、彼らは「フォロワー」のことなんてマネタイズのための数字だとしか思っていないから。耳に気持ちいいだけのキャッチーな言葉を餌に、あなたを懐柔してたらし込むのが目的だからです。だから、「生きてるだけで偉い」なんて言われた時にちゃんとムカついてほしい。逆に、「偉くなくていいよ」なんて言われてもムカついてほしい。何様なんだよ、と。お前に何がわかるんだよ、と。てかSuzukiって誰だよ、と。「逃げていいよ」「辞めていいよ」「頑張らなくていいよ」。そんな甘い言葉の裏で、何が隠蔽されているのかを考えてほしい。それは、あなたのことを真に想ってくれる人間の言葉なのか。あなたの人生の責任を取る必要がないから、適当なことを言っているだけではないのかと勘繰ってほしい。それにしても自分は、「生きる」という特別な事象を、価値評価の俎上で論じるのはおかしいと思う。生きることは生きることであって、そこに“偉さ”や“生産性”の話を持ち込むべきではないと思う。「いや、ここで言う『偉い』というのは絶対評価で、価値の肯定ではなく、存在そのものの肯定なんですよ」という意見もよく分かるけど、それでもそこで「偉い」という言葉を使わない方がいいと思う。人間は言葉に規定される生き物だから、頭では分かっていても、「偉さ」で足元を固めていると、いつか必ずその地盤が揺らぐ時がくる。これは強者の理論なんかじゃなくて、『おれと人生とパニック症』とつけた別のnoteでも書いた通り、自分自身がある種の“繊細さ”を抱えた人間だからこそよく分かる。本当に、生きる気力が底の底まで落ちている時、その「偉さ」に照らし合わせて、「やっぱり自分って何にも偉くないじゃん」とさらに自己嫌悪に陥ってしまうのが何より恐ろしい。「生きてるだけで偉い」というお守りが、そのまま呪いに転じる瞬間が怖い。同じような経験があるからこそ、それをもっとも危惧する。考えて、考えて、考え抜いて、言葉を吟味して、再検討して、精査した上で、「私」という存在を肯定するのは「生きてるだけで偉い」という言葉でしかありえないというなら、それは全く構わないけれど、そうでないなら、もう一度、自分の中に深く潜って考えてみてほしい。他の誰でもない「私/あなた」という存在を肯定するとき、その「偉さ」に立脚する必要があるのかどうかということを。とにかく、何が書きたかったのかというと、あなただけの切実な悲しみや、あなただけの固有の苦しみを、分かった風でいる他者に 簡単に明け渡さないでほしいということです。いくら口が上手くても、“インフルエンサー”はあなたを代弁できないし、あなたを救ってはくれません。それっぽいことをそれっぽいように記述するのが限界です。あなたを救ってくれるのは、あなたのことを本気で考えてくれる家族であり、友人であり、恋人であり、そして、あなた自身に他なりません。だからこそ、見栄えのいいようにコーティングされたニセモノの善意が、あなたの優しい心につけ込もうとするのを拒んでほしい。“意味”や“価値”から少し距離をとって、むき出しの世界をそのまま見つめてみてほしい。自分の気持ちを、自分の言葉で表現することを諦めないでほしい。それを一言でまとめて先のnoteから引用すると、「そのために、我々は人と話す必要があり、街に出る必要があり、本を開く必要があり、例えば生きる必要があるのだ。」ということです。あなたが、かけがえのない“あなた”として今生きている（存在している）というただそれだけの事実が、私にはこの上なく尊いことのように思えます。

「育休後復帰できるか不安」と上司に言ったら「不安に思う時期過ぎてんだよ、産休育休取った人は復帰する以外に道はない、アンタの席残ってるんだから責任持ってアンタが座れ、アホボケカス」というようなことを言われた。話の内容は正直うろ覚えだけどアホボケカスは本当に言われたからよく覚えてる。

Mステで歌唱パートを全て飛ばして「○○世代が選ぶ元気の出る曲ベストテン」みたいな部分を見てる、本物のサイコパスの人

元々あった「行きたい場所」が時間や費用の問題で徐々に「行きたかった場所」に変化していくのではなく、ある場所を知ったとき行きたいと思うと同時に行けないであろうことも分かってしまって即「行きたかった場所」に収納される。人生がそういうステージになってきた。旅行に行きたいというより「まもなく旅行に行く」という状態になりたい。

「日本人はアメリカに原爆落とされたのになんでカーモンベイベーアメリカと歌えるのか」問題。単純にアメリカの文化的魅力がなんだかんだ高いからとしか言いようがないような。ベトナム人だってコカコーラ飲むし、当のロシアの愛国デモですらアメ車で行進してるの見かける。愛国者ならラーダ乗れよ

瞑想してるとしみじみ感じるんだが自分自身の思考もChatGPTみたいなもんで自動で湧いてくるし、自分の意思でそれをスッと止めるのはかなり難しい。方向をずらしたり少しずつ減速したりが精一杯。AIと同じような思考流が常に脳から発生していて、「自我」なるものはその方向を多少制御したり、言葉や行動への発露をオンオフする程度のことしかできない。というのが正しい世界観なのかもしれない

AIのあれこれ。人類みんなが強制的に謎のハッカソンに参加せざるをえない変なルールのゲームに放り込まれてる感じで、テクノロジーよりはシチュエーションにワクワクはする。開発するもよし、体ひとつの可能性に賭けるもよし、どう考え感じて生きるのか…？という壮大な実験の時代に生まれてしまったレア感と戸惑い。CDをコンボでMDに録音できて喜んでた時代が、今や縄文土器のような遠い思い出で、走馬灯のように流れている。

ハンターが全裸で街を走り回る、マジでカスの逃走中の続編「暴走中」

合コンでろくに雑談もできない人をいくらでも見てきた身としては、外から観察したとき、人の知性とやらがChatGPTのトリックを平均的に上回っているのか最近は懐疑的になっている。

欧州企業との交渉中に彼らから「疑問なんだけど、僕たちからあなたたちへの社内承認依頼や意思決定依頼への対応は凄く遅いのに、なぜあなたたちから僕たちへのそれらのデッドラインは凄く短いの？」と言われて、「それな！」って大声で言いそうになった。

こないだ奢りにきたプロレスラーが「プロレスの一番の魅力はリング上でなら先輩後輩が関係ないから先輩を思いっきり殴り倒したりフォークを刺したりできること」「ムカつく先輩や上司に合法でフォークを刺せる職場はプロレスのリングだけ」などと言っていて、すごいセンスのある求人広告だな、などと

変わってるね、とか天然だね、とかかわいいね（愛嬌があって）と言われるけど俺はそう思わない。普通だと思う。俺は俺をやってるだけなので……。

「お前普通じゃないよ」って言われても「そうですか…」ってしかならないな。よく言われるけど…。「そうですか…」って反応をするとがっかりされることが多いので、その人は他人を普通にさせようとするという、ある意味普通じゃない欲求を持ってるんだろうなと。あるいはその人は自分が普通でなければならないという強迫観念を持っていて、そこからはみ出た人間のことを知らず知らずのうちに疎ましく思うのだろうか。俺もはみ出したいよ、みたいな。体育会系に多いイメージ。そんなに嫌なら全然はみ出しちゃっていいよ。もっとみんなが変であってくれと思う。自分も変を出していけるので。

全寮制な時点で私には魔法界は厳しい。 マグルでよかった。

「都会風を吹かすな」が話題だけど、うちの長野の伯父さんの近所に東京から移住してきた元大企業勤めのオッサンが、ことあるごとに「東京はこうだった」「ここは意識もレベルも低い」「オレが指導してやる」みたいなことを騒ぐという話を聞いており、長野県から出て行けという感想しかない。土地に移住してくるなら、その土地の事情や文化があるんだよな。無人の荒野を開拓してるなら「東京のやり方」でやればいいが、信濃の国は無人の地ではない。要は「東京から突然やってきてコンサル気取りで偉そうなことを我々に指図するお前は何様のつもりなんだボケが」をマイルドに言い換えたのが「都会風を吹かさないでくれ」なのでね。おそらく、これからの日本は「可住地域だが無人」という地区が少なからず出るはずで、無人の地を開拓する人間が新たな集落をつくる可能性があると思うんだよね。それこそ「現代都会風の個人主義的思想」がどこまで通用するかやってみるのもいい。

かなり苦労してる生徒指導「確かに校則でセグウェイは禁止されてないけどもだ、」

どの作品か忘れたけど、オナサポ音声でちんこと金玉を併せて「ちんたま」と呼ぶ作品があって、その時は聖人で有名な俺も流石に「ナメんな」と思った記憶がある。

19世紀アメリカでは「ミンストレルショー」という、黒塗りメイク（ブラックフェイス）で黒人を戯画化したショーが行われており、これが深刻な黒人差別、あるいは差別を助長する表現として問題視されたという経緯がある。今やミンストレルはアメリカの負の歴史であり、アメリカにおいて黒塗りメイクは公的な表現となりえないそうだ。コラムニストのバイエ・マクニールは浜田の黒塗りネタを「とても不快で、リスペクトに欠けていて、無神経だと感じた。悲しさ、怒りなど複雑な感情を持った。エディ・マーフィの特徴を真似すればよく、衣装を着るだけでもよかった。"ブラックフェイス"は必要なかったはずだ」と厳しく批判している。その一方でこの表現を差別だとは思わないという意見もあり、浜田の扮装はあくまでエディ・マーフィの再現をしただけではないかと思う人も多いようだ。この一連の問題には多くの要素が複雑に絡み合っているので、一言で断じることはできない。しかもそれは「みんなでよく話し合って考えないといけない」というような意味ではない。みんなを集めてくる必要はない。どこに「問題」があり、どんな階層でどう繋がっているかを精査しなければならないという意味だから、意見を戦わせる前にまず「これは一体、なにについての、どんな深さの問題なのか」について考え始めなければならない。簡潔に述べられる意見は全て浅慮だと思う。黒塗りについてのスタンスはいろいろと考えられる。黒塗りメイクは認めるべきではないという考え方から、そこに侮辱的意図さえなければ黒人を黒塗りで表現してもよいという考え方、間をとって、黒人を表現していない黒塗り（例：ヤマンバギャルなど）なら問題ないという考え方もあるし、黒人というステレオタイプではなく、黒人である特定個人のマネにおいては問題ないという考え方もできる。同じ表現でも、表現されるコミュニティによってセーフ・アウトの基準は変わるという考えもある。あまり受け入れられはしないだろうが、本来の肌の色と異なる色を肌に塗ること自体が認められないという過激な考え方もできる。これらの考え方にはいずれも合理性があり、それぞれにしっかり理由を与えることが可能だ。なのになぜ食い違うかといえば、重なったレイヤーのうちから別々のレイヤーを抜き出すことができるからだ。意見の対立は、間違った意見と正しい意見の間で起こるのではなく、異なる基準における正しさの間で起こる。常識ではあるけど。「黒塗り芸はかつてアメリカで差別の温床となる表現だったんだよ。黒塗りというだけで傷つく黒人もいるんだよ。だから日本人もやっちゃダメだよ」というのは、問題のレイヤーの中でもかなり表層的なレイヤーに基づく意見である（念の為言っておくと、表層だから間違っているとかそういう話じゃなくて、表面にあるからこそ重大な影響力も持つ）。こういう意見には、さらに下のレイヤーから反論できる。「アメリカのミンストレルと浜田のエディ・マーフィは発生の由来が異なるから、同列には扱えないんじゃないか。ミンストレルのブラックフェイスは差別的演出とセットで演じられた黒塗りだったから差別を助長したので、この表現で傷つく黒人がいるとしたら、それは浜田の扮装からミンストレル的なニュアンスを汲み取ったからそう感じるのではないか。逆に、黒塗りの由来がミンストレルに限らないという認識が広まれば解消できるんじゃないか」とか、色々。もっと深いところから突っつくこともできる。「エディ・マーフィのモノマネをしたければキャラや仕草をまねるべきだというなら、なぜ肌の色はキャラクターのアイデンティティとして認められないのか。ビバリーヒルズ・コップのアクセルにとって、あの肌の色であることは重要なアイデンティティではないのか。まねるときに塗らないのは逆に失礼なんじゃないか」とか。もっともっと深いところから「そもそも、モノマネという表現そのものがポリティカル・コレクトネスに反している。肌色をまねるのが侮辱的であるのと同様に、仕草や喋り方を真似るのも個人への差別でしかありえない。その人の動作はその人だけのものなのだから」というようなことも言えるだろう。日本人の差別への鈍感さの問題とか、黒人と有色人種の対称性とか、「助長」という概念の扱い方とか、まだまだ書ききれない論点がいっぱいあって、とても一筋縄ではいかない。私個人としては、ブラックフェイスも含めた扮装は原則的に誰でも可能であるべきだが、同時に例外的処理としての禁則条件も厳しくしておくべき（しかしあくまでも例外的処理として）と考えているけれど、ぜんぜん問題について考え尽くしていないから、正しいのかどうかはわからん。モノマネっていうのは「ステレオタイプ」と「アイデンティティ」の衝突点にある、難しいジレンマを抱えた行為なのかもな。たとえば乙武洋匡は先天性四肢欠損により手足がないが、彼のモノマネをするときにシャツやズボンの中に手足を折りたたんで手足がないように見せるのは道徳的にどうなのかとか。「手足がない」という特徴をまねること自体が障害者への侮辱であるとも、その身体的特徴も含めて彼の個性だから、やるなら手足がないのも含めて積極的に再現すべきだとも言えてしまう。抽象的にいえば、個人に付随するさまざまな属性（身体的特徴を含む）を切り離して個人そのものを尊重するのが道徳的正しさだというのと、個人そのものなんて本当はなくて、アイデンティティとは個人に付随するさまざまな属性の総体だから、それらを尊重するのが道徳的正しさだという2つの原理が衝突している。モノマネは個人を表層的な属性によって記号化して再構築する試みなので、ちょうどこの原理の衝突点にある。また、モノマネには「愛」と「侮辱」が同居しているという複雑さもあり、「モノマネとは何か」という哲学的な話をするだけで本が書けちゃうレベルの題材だと思う。

アニメイトにてフェアとかやるらしいです。立体的な人間なのに。いいのかな。わたし全然ほうれい線とかありますけど大丈夫ですか？ ほこりまみれのメガネ拭きでメガネを拭いてメガネがほこりまみれになる人間がアニメイトに並んでいてはいけないと思うんですけど……。まあ向こうがいいって言うならいいのか……。遠い国で起こってるできごとみたいだな。銀行に税金の振り込みしに行かないといけないし、書かないといけない記事の締め切りも過ぎてるし、返さないといけないメールがあるし、傘の骨が飛び出しているし、肩は凝ってるし、将来はずっと不安だし、青識亜論と間違われるし、仕事スペースの窓にカーテンないし、眩しいからコピー用紙2枚で隠してるし、以前搭乗キャンセルになった飛行機の料金を期限内に払い戻ししてもらうの忘れた気がするし、虫歯を治して埋めた所にもう隙間ができてきてる。圧倒的なリアルの些事（でもその些事が生活の全てなのだ）を前にして「アーッ」て感じで生きてるから「アニメイトに自分が電子レンジ持ってる写真のプリントされたアクリル板が並びますよ」と言われてもさっぱりピンとこない。そういうものかもしれない。ピンと来るのは他人であるあなたたちの特権だと思うので、あなたたちはその特権を最大に生かしていただければと思います。レベルも規模もぜんぜん上の話だけど、たとえば綾瀬はるか、くらい有名な芸能人って、綾瀬はるかとしての人生をどんなふうに感じて生きてるんだろうかと思う。朝。目覚ましアラームの音で目が覚める綾瀬はるか。眠い目をこすりながらベッドから抜け出し、冷蔵庫に入っている水出し麦茶を飲み、鏡の前に立つ。そこにはもちろん、綾瀬はるかが映っている。「私は綾瀬はるか。今日も綾瀬はるか、の一日が始まる」綾瀬はるかが生まれてきて以来、一日たりとも綾瀬はるかでなかった日などなかった。はるかは身支度を整え始める。急がなくては。今日はCM撮影の予定が入っているのだ。はるかのスマホが震える。マネージャーからLINE。「綾瀬はるかさん。30分後に迎えに参ります。今日は綾瀬はるか主演のCM撮影ですから」はるかは歯（綾瀬はるかから生えている歯）を磨きながら、空いた手で素早く返信する。「当然。私を誰だと思っていて？ 綾瀬はるかよ」綾瀬はるかの生活がこんなのであるはずはない。おそらく、綾瀬はるかの人生はここまで綾瀬はるかまみれではない。綾瀬はるかに関係する人物の中で、最も人生に綾瀬はるかが登場しないのは、綾瀬はるか本人ではないだろうか。彼女は綾瀬はるかという影を作り出すから、前を向いている限り、目に入ってくるのは綾瀬はるか以外の全てだ。

昨日同期2人とジンギスカン鍋したとき、「それぞれが思ってる『微えっち』なものをあげていく」という話になり、他の2人は「裸エプロン」「鎖骨」など各々の微えっちなものを挙げていたのに、おれだけ「モンハンでモンスターの○○が○○に角を折られてその角を食べられていた場面」「かいけつゾロリで、警察官の若い犬が女装したゾロリにゾッコンになり、結婚させられそうになる話」「飛び立とうとする鷹の黒シルエット画像」など、だいたいケモノにまつわるおれだけの『微えっち』を披露したところ、「どこがえっちなのかわからない」「脳の繋がっちゃいけない領域どうしが接続されている」など、梯子を外されて散々だった。

野田せいぞさん良いですよね。すごく好き。話してみると、どうやら本当に未来への展望とかなんもなく、しかし胸を張って生きているので純粋にすごい、真実の人生だと思ってしまう。人間って、金がなくなることさえ除けば無職がもっとも善い人としてのあり方だから。逆になんか常に忙しそうにしてて仕事への有り余る自負がにじみ出てるような人って無意識に少し舐めてしまう。

鬼束ちひろの『月光』を聴いている。「この腐敗した世界に堕とされた」というフレーズは全く響かないけれど、「こんなもののために生まれたんじゃない」というフレーズには何か胸をうつものがあるし、いい歌詞だなと思う。で、その胸をうつ感じを維持したまま、前の「腐敗した世界に堕とされた」を見返すと、「こんなもの」が「腐敗した世界」ではなく「世界」そのものに繋がっているような気もしてきて、だとしたらとても素晴らしい詩だと感じる。この読み方だと、世界はそもそも腐敗している意外にはありえないということになる。とにかく生まれることが堕とされることと同義なので、その内容は問題ではないのだ。つまり「こんなもの」が腐敗しているから「～のために生まれたんじゃない」と思うのではなくて、本当は「ために」などなしに世界に生み落とされてしまったから、世界は「腐敗した」「こんなもの」なのだ。世界の内部の汚さというのはこの圧倒的な被投の理不尽を補強する状況証拠みたいなものなんだけど、本質的なつながりは実はないとも言える。だから、あまり具体的なモチーフを見出すと「こんなもの」に内容が生じてしまう。この世に生まれてくること自体に「させられる」という側面があり、それは日本語で「生まれる」という受け身の助動詞のかたちで自分の存在のはじまりが語られることにも関係している気がする。英語でも「I was born」と受身形にするし。どうして「私は7月に生まれた」と言うのが普通で、「私は7月に生じた」とは言わないのか。

有名なエセ科学にホメオパシー療法というのがある。これは毒をもって毒を制す発想の代替医療で、ヒ素を薄めた水を砂糖玉に浸して摂取したりする。危険そうだが、ホメオパシー的な考え方によれば「毒は薄めれば薄めるほど効果がある」らしく、毒を100倍希釈を30回繰り返したりする。そうすると良い薬になるのだそうだ。しかし実際には、それだけ薄めると元の毒の分子が残る確率は限りなくゼロに近づくので、実質的にはただの水である（だからヒ素を飲まずに済むわけだが）。そんなホメオパシーが現在に至るまでの人気を集め続けてきたことには「何の意味もない」という点に秘訣があるらしい。代替医療には「とにかく血を出せ」みたいな物騒なものも多いので、より症状を悪化させるものが少なくない。そんな中ホメオパシーはただの水に神秘的な効果を謳っているだけだから、ほっときゃ治るたぐいの病気を患っている人がホメオパシーに手を出せば治るのだ。しかもプラシーボ効果のおまけ付きで。科学的現象の中抜きをする仲介業者のようだ。一般に、希釈数は多いほどすごくよく効くらしく、希少性も高まるらしいけど、希釈すればするほど効きがよくなるならどんどん薄めればいいし、それを行うことでむしろ希少性は低くなると思うんだけど、このへん不思議な論理である。たとえば1000倍希釈したホメオパシー薬が高い値段で売られていたら、その薬と同じ量の水を入れて2倍に割って、自分と業者で半々で分ければ効果も倍増するしいいじゃん、ってならないのだろうか。通常、希少性はその製品の純度に比例するものが多いが（純金とか）、ホメオパシーに関しては「薄めるほど良い」という前提があるからそのへんが逆転してしまっているのが面白い。

「無人島に一つだけ持って行けるとしたら？」

「え～なんだろ、3DSとかかな？」

「え、なんで？暇つぶしがしたいってこと？」

「いや、すれ違い通信がしたいじゃん」

「話聞いてた？？」

たまに分厚いベーコンのことを考える。スーパーでベーコンのブロックが売っているが、あれを買ってきて、5cmくらいの厚さに切ってかじったらどんなにかうまいだろう……と思う。しかしベーコンなど食べ慣れていて、5cmでもベーコンはベーコンである。最初の一口は嬉しいかもしれない。歯がニチニチニチ……とベーコンに食い込んでいく感触を得ながら「おお、どこまでも歯がベーコンの底へと沈んでいく。底なしベーコンだ！」と感動するにちがいない。でも嬉しいのはそこまでで、ベーコンをかじったあとの、縦に引き伸ばされた歯型を見て我に返り、うんざりすることだろう。そのあとはもう、大量のベーコンをただかじる仕事が始まるだけだ。ゴルゴ13に自分で依頼して、ベーコンをかじる瞬間に射殺してもらおうか。それが一番いい死に方のような気がする。

私は以前から日本史や世界史といった教科にどうにも興味が持てず、苦手意識があった。正確には、学んだその瞬間に「おもしろいな」と思うことはあっても、あまり頭に残らない感じ。こういうことを打ち明けると「歴史を物語だと思うと楽しんで覚えられる」というような返答がくることが多い。しかし、逆なのだ。私はその歴史の物語的な部分にこそ興味を持てない。「物語」として見ると、実際の歴史はあまりにもいきあたりばったりで複雑で、伏線も活かされないし、テーマが見えてこない。ぐちゃぐちゃ過ぎる。絡まった毛糸の束みたいだ。物語だったら、『ジョジョの奇妙な冒険』のほうが絶対面白いと思ってしまう。歴史は物語としてはぐちゃぐちゃ過ぎるし、必然性がない。必然性がないからといって面白くないとは限らないけど、それをなんで覚えなければならないのかわからなくなってくる。ちょっと別の可能世界をのぞけばまったく別の歴史が展開されているはずで、そっちの可能世界ではぜんぜん違う歴史を必修科目として必死に暗記している。世界が「こう」なっていることの必然性はどこにもないのに、たまたまこの世界に生きているというだけで、なんで「これ」を特別視しなければならないんだろう。……というようなことを、最初から歴史が好きな人に言ってもおそらく理解されないし、勉強が億劫だから屁理屈を言っているだけだと思われるに違いない。たしかにそれもあるかもしれないけど、気持ちの本当のところを無理やり言葉にするとそうなってしまう。

動物園なんかで猿を見ていると、昔は人間もこんな感じだったんだな～と思う。裸で歩き回って、木の実をかじって皮をペッと吐いたり、気に入らないやつの頭を棒で叩いたり、返り討ちにあってギェーとか言ってたわけですよね、10万年くらい前は。というか猿人の出現が600万年前なので、人っぽい生き物がうまれてから現代までのうち、99.99...％くらいの間はほとんど裸で木をかじったりする日々だったはずだ。人類、急激に賢くなりすぎだなと思う。「議論」みたいなことを始めたのはせいぜいこの3000年くらい、時代の先端も先端で、「人権」みたいなのが生まれてからは200年くらい。ほんとに僅かな幅しかない。歴史のほとんどを裸で歩き回ってきたくせに、ずいぶんと偉くなったものだよな。政治が上手くいかなかったり、人権が軽視されたり、現代は諸々の問題が山積みだけど、「政治」とか「人権」というものを概念として立ち上げることの大変さは想像をなかなか絶している。もともと猿だったのに。しかも「ない」概念を植え付けるばかりか「最初からそういうものがあったのだ」と規定する力技。自動車と人権の違いは、自動車は発明されるまでこの世に存在しなかったが、人権は発明された瞬間から「ずっとあった」と定義されること。人権問題が山積みな現代と違い、人権がなかったころはその「問題」が存在しなかったので、まずはその「問題」を立てるということをしなければならない。すごく複雑なことが起こっているはずだけど、私たちはみんなその作業が終わった後の時代を生きてるから、今ひとつ効力のすごさがわからないんだろうな。

安いスーパーで売っていた現実強度の低いスナック。あまりにも飾りのないパッケージ。なにかバーベキュースナック以外の本題があってそれを邪魔しないように作られた小道具のようだ。味はうまい。邦画観てると、邦画のなかで放送されているテレビ番組のペラペラした雰囲気が気になる。現実のテレビ番組に比べて、注がれている「力」が明らかに少ないのがわかる。当たり前だけど。逆に、現実ってやつは目に入るほとんどあらゆるものが全力で作られていて、手抜きされていないのがすごいな。マンガだったらどうでもいいものは作画が省略されるけど、現実には中心がないから「どうでもいいもの」がなくて、内部の存在がそれぞれ全力で部分部分を満たしてしまうんだな……。

夕焼けが綺麗でした。ただ、夕焼けが綺麗だと思うとき、それは数多ある空の状態のなかから「夕焼け」が特に綺麗だと思っているわけではないかもしれない。具体的に考えてみると、私は夕焼けのオレンジが照らす雲が映し出す濃淡と、そこから分かる雲の立体感や距離感が好きだ。私はどちらかというと、夕焼けによって可視化される空や雲の性質が好きなのかもしれない。であれば夕焼けは、天候一般の見どころを引き立ててくれるものだということになる。そういうものをただ「好き」と断言すると、いま書いたような微妙な差が消えてしまってもったいない気もするね。でもそういう好ましさを表現する言葉って日本語にはないんじゃないか。人間にもそういう人がいて、いわゆる卓抜した能力を持つ「すごい人」のほかに、「"人"そのもののすごさ」を伝える代理人のような意味でのすごい人がいる気がする。その人自身がすごくなくても。飛行機に乗って空港から飛び立つとき、貨物などを小さなトラックで運ぶ人を窓の外に見つけることがある。飛行機の規模に対してその車はとても小さく見え、乗っている人もミニチュアみたいに感じられるのだが、ああいう細々した作業の集積が巨大な機構を空に飛ばしているわけだ。すごいことだな、と思う。すると、豆粒ほどの大きさになった空港内の作業員たちが離陸する飛行機に向けて手を振ってくれているのに気づく。わー、人だ。と思ってじっと見てしまう。こういうとき「人ってすげー」みたいな気持ちがなんとなく湧いてくるのだ。いまトラックを運転しているあの人でも、手を振っているあの貨物スタッフでも、空港で働いているたくさんの人々でもなく、そういう人々を含む人間全体に対して「ここまでの力と善性があったのか」という思いをいだき、感嘆してしまう。そういう、自分も含まれている属性そのもののすごさを伝えることは、単に自分自身がすごくなることよりも難しい。たぶん狙ってできることでもなく、偶然がふと見せてくれる善性なんだけど、私はわりとそういうものが好きかもしれない。

呪怨の面白いところは、怪奇現象のくせに事件としてすごい大事になっているところだ。霊的現象ってそんなに大事になっていいのか？ って先入観があったから驚いた。話の中だけでも二桁くらいの人間が死んでいる。霊が起こした騒動に警察が関わってきちゃう展開ってなんか焦るんだよな。えっ、そんなの「マジ」じゃないですか……と、何目線なのかわからない感じになってしまう。「不良の親」の感覚かもしれない。息子はちょっと悪ノリして遊んでいただけなんですよ、通報するコト無いじゃないですか、みたいな。なんでそう思っちゃうんだろう。考えるに、霊について語られた物語のルーツが「怪談」にあるからではないだろうか。怪談の特徴は、それがごく個人的な体験に帰結するということで、その「信ぴょう性の無さ」こそが恐怖を掻き立てる。なぜなら、自分自身がもし同じような怪奇体験に見舞われたとしても「個人的体験」の枠に収められてしまうことを示しているからだ。人は怪談を聴いて「にわかには信じがたい」と思い、その「思い」を今度は他人から自分へと向ける形で重ねて、改めて慄然とする。恐怖は客観的事実などとは無関係に存在しうるのだ……と。しかし呪怨は客観的に大事件が起こっちゃってるのである。人がバタバタ死に、行方不明になり、防犯カメラとかに黒い影がハッキリしっかり映っちゃってるんである。リングとかもそこが画期的だった（過去にも類例はあるだろうけど）。その意味でリングや呪怨は「怪談」的なホラーではなくて、超自然的サイコサスペンスなのかもしれない。

角煮はジャズなので、毎回Google検索で出てきたレシピをつまみ読みしながらアドリブで適当に作っています。砂糖は「こんなに入れたら死後確実に地獄に落とされる」と確信できるくらいの量を入れてください。角煮はケーキだと思ってください。

NAVERまとめのようなサイトは悪しざまな言われようをすることが多いし、実際「うっとうしいな」と思っていたけれども、理念としてはそれほど間違っていないとも感じている。誰でも情報をまとめることができれば有用だろうし、実際、少なくない記事が有益だったはずだ。問題はその仕組みが粗悪なまとめを、粗悪なだけならまだしも有害なまとめを作りやすいような仕組みになっていたことかもしれない。たとえば画像を無断で転載しまくったりとか、ゴシップ的な記事であるとかですね。こういうまとめは倫理を度外視すれば簡単に作れる割にアクセスを稼ぐことができる。NAVERまとめはアクセス数に応じたインセンティブを得られるので、これを利用して儲けようと思えば自ずとそういうまとめを作る輩が出てくる。ただこの場合、悪いのはそういう悪質まとめを作った人であって、NAVERまとめそのものではないんじゃないの、という見方もありそうだ。この当たりには、「悪いことをする悪さ」と、「悪いことをするやつが出てくるリスクを高めるようなシステムを作る悪さ」が関係しているのだろう。NAVERまとめの内部的にも、こういう悪質な使われ方をされるのはわかっていただろうに、みすみす放置していたのは、結果的に胴元である自分も儲かるからだろう、と。でもそれを言うなら、Twitterというサービスの「Evil」っぷりが、もっともっと責められていても良さそうなものだ。Twitterが世の中にもたらした悪影響に比べれば、NAVERまとめの悪さなど爪先の垢程度のものだろう。実際には悪影響の深刻さよりも、どういう形でそのサービスに触れるかどうかが印象を左右している。NAVERまとめは検索に引っかかるという形で目に入ることが多く、悪いまとめ→悪いまとめを載せているサイトという図式を描きやすい。対してTwitterはプラットフォームとしての規模が破格に大きくなっていて、それ自体が言論空間として機能しているどころか、いくつもの言論空間を飲み込んだ「世界」に近い。憎悪できる概念のサイズにも限界があるらしく、Twitter上の悪はその発言をした人物単位で批判される。その発言を生みだすTwitterという場そのものについて取り沙汰される機会は（最近は増えてきたものの）それほど多くないように思う。

「良い社風ですね、参考にしたい」というような言葉を外からいただくたびに「ウチを参考にしてもしょうがないですよ 笑」みたいな返答をしてしまうんだけど、ちょっと選民意識っぽいニュアンスが出てしまっていないかいつも内心ヒヤヒヤしている。でも実際、たぶんそうなんだもん。私が勤めている会社は広告制作会社で、そして広告制作という業態の中でもさらに特殊なやりかたをとる会社だ。こういう会社っていうのは、大多数の会社が「まっとう」にやってるのありきで、あえてその裏の手を出す、みたいな戦略の上でどうにかこうにか成り立っているので、全ての会社がバーグハンバーグバーグみたいだったら普通に日本は終わる。広告制作という業種自体が特殊な部類だから、全ての会社が電通だとしても日本は終わる。「会社には、デスクがあるとパソコンが使いやすいですよ」「上司を、こん棒で殴るとクビですよ」みたいなルールなら普遍的に役立つけれども、こんな業態の中小企業ともなると、周囲との位置取りも踏まえた暫定解として制度を導入するから、応用の幅が狭いわけですね。「変な間取りの部屋になんとか収まるように家具を設置したらなんか良い感じになった」とかに近い。

なんとなくだけど、料理を作る楽しさと食べる楽しさは、実は両立しないのではないかと思う。両立しているように見えている人も、実際は、料理を作っているときは食べることを忘れていて、食べているときは作っていることを忘れているだけだったりするんじゃ……と考えている。なんでかというと、食べることを目的に料理をするとき、料理は過程に堕ちるし、作ることを目的とした料理において、食べることは蛇足になるから。サッサと手際よく自炊してそれを食べている自分はあまり想像がつかないが、なんとか料理のやり方を習得して人に食わせたりしている自分のほうがまだ想像つく。それは娯楽として成立する感じがある。よく歩く人でも、話を聞くと「散歩」が苦手だったりしますね。どこかへ向かうためのモチベーションなら湧いてくるけど、無目的に歩く気は起こらない。逆に、散歩は好きだけど、目的地が決まっていると、じゃあバス乗るわ、と効率主義になる人もいる。そして、どっちも好きな人は、たぶん今やってる行為以外を忘れている。

小学生の頃、ゼリー作りに凝っていた時期があり、ぶどうジュースやらコーラやらをしゃにむに固めていた。だんだん飽きてきて麦茶とか変なものをゼリー化するようになったのだが、水のゼリーが一番おいしくなかったと記憶している。ぶよぶよした「無」が口の中で跳ねる感覚は不気味ですらあった。「無味」の何がそんなに不味いのか不思議だけど、なぜか「味がない」という味は不快であるらしい。

先の仕事や作業のことを考えるとき、人類は全員憂鬱になります。なのでやる気とかモチベーションとか未来とか予定とかそういう概念を一旦捨てるところがスタート地点なんだろうなと思います。仮に人間のマジックパワーが100あるとして、計画を立てる、やる気を出す、行動に移すの3セットを行うと、それぞれのフェーズでMPを消費してしまうんですね。基本、寝る以外の行動の全てでMPはジリジリ減りますから、計画を立ててMPを50消費、さらにやる気を出す過程で40消費なんかしちゃうと、行動にかけられるエネルギーが10しか残らなかったりする。じゃあどうするか問題なんですが、これはどうしても一種の飛躍が必要になるところ。「とにかく手を動かせ」の「とにかく」部分に相当する飛躍です。なんというか「脳に動きがバレないようにやる」というのが感覚的に近い。自分がいまなんらかの行動に出ようとしているとき、その行動について評価を下して資源を食う脳みそが邪魔です。なので脳への負担が軽い別のことをして、そっちに気を取られているスキに手を動かしてしまえるのが理想的。「別のこと」はなんでもよくて、コマを回すとか、1000から7ずつ引くとか、少しだけ頭を使うやつが良いです。

ああいうホワッとしたデザイン自体は好きなのでけっこう嫌いじゃないです。

でも深夜にローソンへ茶を買いに行ったときにあのデザインと直面したらなんか理由もなくイライラしてきたので、見づらさも含めいろんな意味でヘイトを溜めるデザインではあるよなと思う。ごつ盛りソース焼きそばとかの「お前の人生なんてどうでもいい」というスタンスに救われる人もいるということですね。ローソンのパッケージから「良い生き方とはこれだ」みたいなメッセージ性を感じ取ってイラつく人はいると思う。

なにげなく生きていてふと「これってすごいことだな」と思うことがある。たとえば「トイレその後に」だ。トイレその後に。という、商品名。すごくないか……？トイレに入った後に使う消臭剤のネーミングとして、あまりにも踏み込みすぎていないか。会議で決めたんだと思うけど、よくこれを1位に選んだなあ。たとえば「トイレフレッシュ」みたいな案があったとして、それを押しのけてこちらを選べる勇気がすごいぞ。「『その後に』……何なんだね？」と問い詰められたらどうするつもりだったのか。「トイレその後に」がぜんぜん売れなかったときの空気やばいですよ。「あ～あ。誰かさんが『トイレその後に』なんていうおかしな名前にしなければなあ」という雰囲気になっていたはずだ。「トイレフレッシュ」で売れなかったとしても「名前のせいで」という感じにはならないと思うけど、「トイレその後に」で売れなかったら「名前のせい」になるのが不思議なところだ。

無印良品で買った爪切りがすごい。なんかサクリ……と切れる。「パチン」じゃなくって、アイスでもすくうみたいな感じで切れてしまう。その感覚が面白くて手足の爪を切りまくったらどれもすごい深爪になってしまった。道具に使われている。知らない人の爪でもいいから切らせてほしいな。爪の辻切り。

最近「裾上げ」が何をする行為なのかを知った。ズボンの一番下の端っこのところを縫うんですね。そしてそれをしないと、市販のズボンは長すぎたりするということも知った。この程度の常識力でも小説の本を出すことはできますよ。ズボンに関係する物語を避ければいいんです。あるいはズボンを履いていない人の話を書くのでもいい。

「感動パンツ」はまだちゃんと履いていないが、果たして感動することができるだろうか、裾上げも知らない私に……。予め「感動」という結果をネーミングで設定されてしまうと、ユーザーのほうに品質の責任を転嫁されてるみたいな気分になるな。この手法が映画とかのタイトルにも応用されたらちょっと笑っちゃうかもしれない。「『感動タイタニック』公開決定」とか。『号泣ショーシャンクの空に』『衝撃アバター』『爆笑ミッドサマー』なども。

「東京の下町味」のおにぎりも食べた。町の味のおにぎりなんてあるんだ……。もんじゃ焼き味だからって「下町味」ではないんじゃないか。「限界集落味」「紛争地帯味」「飛び地国家ナヒチェヴァン自治共和国味」といった変化球のリリースを望みます。

Twitterで箸の使い方についてツイートしたらそれが変に拡散してしまい、めちゃくちゃいっぱいリプライが来たのだ。ツイートがバズること自体はそれほど珍しくないけど、今回はちょっと攻撃的な感じのが多かったな。個人的に「"正しい"箸の持ち方」は無いほうがいいんじゃないかと思ってはいるものの、そういうマナーの類は適応性の低い人を排除するために使われるから、私の言ってることはまさにそういう適応性の低い奴がよく使う屁理屈なんだよね……。という、若干入り組んだ感じのことを書いたら、その反応が苛烈だった。一番よくあるのが「でも箸は正しく持ったほうがいい」という反応で、これはそもそも会話になっていないんだけど、多かった。あとは「箸が持てないやつに限ってこういう屁理屈を言うんだよな」みたいな反応もあり、いやだからそういう仕組みのことを書いたのに……と思った。ちょっと身のある反論だと「箸の持ち方に正解はある」という方向性のものもあった。手に負担のかからない最適な持ち方が今の「正しい持ち方」なんだから、人それぞれにはなりえないと。これには疑問がふたつある。まず「変な持ち方」で安定してる人がいる以上、それがその人にとって最適だとは言えないのか、というような疑問。もうひとつは、なぜ最適な持ち方だけをしなければならないのかという疑問だ。効率の悪い持ち方をしても別にいいんじゃないかと思ってしまう。最も効率的であるからといって「正しい」と言ってよいのか。それにしてもまあ強い言葉で怒ってくる人が多くて驚いた。私が箸のことをそれほど厳しく言われず育ったからかもしれないけど、このへんの常識の形成にかなりギャップを感じる。「箸の正しい持ち方を覚えるのに忙しくて、知らない人にタメ口で命令形のメッセージを送るのは失礼だっていうことは教えてもらえなかったのかな？」という嫌味を書きそうになったけど何の得もないのでガマンした（でもここで書いてる）。言っていることがどうしてもマナーや常識を全否定する主張として捉えられてしまいがちだけど、実際そんなことはない。マナーや常識の多くは役立つが、ローカルな慣習にすぎない側面もある、ということを強調したいだけだ。なぜそういうことを強調したがるかというと、そうしないとすぐ「偉そうなやつ」が出現するからだ。正義と好き嫌いの一致が偉そうなやつを生みだす。好ましいものは善い、嫌いなものは悪い、という態度は、善悪についての慎重な吟味から遠ざかっていく姿勢だと思う。「正しい箸の持ち方」という概念は、それがただのローカルルールにおける正しさだと自覚して運用するぶんには有用だが、そこを超えると危険だ。私は人がどんなふうに箸を持ってもいいだろうと思っているけれど、変な箸の持ち方をする人を嫌悪して排除するのもまた自由だと考える。人の所作のどこをどう評価するかはその人の裁量に任されている。こいつとはもう二度と食事しね―わと思ったらそれでいいと思う。ただしその判断はあくまで孤独に、緊張感をもって行われるべきことで、周囲からの合意を得て自信たっぷりに行うようなことではない。人は本来みんなぜんぜん違うから、自分にとって不快なこととかを平気でしてくるし、わけのわからない理不尽な理由で嫌われたりする。しかし、この緊張がなければ他者というものの存在に意味はない。マナーや常識は強力な対人ストレス緩和装置として機能してくれるが、それでもただの装置にすぎない。その視点を持たない限り、他者に対する緊張感を欠いた偉そうな人間に近づいていってしまう。だから私の言ってるのは「私は気にならないけどな～」みたいな寛容アピールとは違う。むしろ「常識」よりさらに根っこのほうに近い部分で生き方の態度を改めよ、という無謀な要請で、じつは過激な主張なのかもしれない。だとすると、Twitterの人たち（の一部）がすごい怒ってくるのもなんとなく合点がいく。直感的にその無茶を察知しているのだろう。

完全に腹を壊した。もちろん火鍋を食べたせいだ。整腸しようとしてヨーグルトとかピルクルをガバガバいったのもよくなかったのかもしれない。暴動を抑えようとしていきなりS.W.A.T。を送り込む、みたいな逆効果になってしまったのかも。

不思議だなあと思ったのは、夢の中で「驚いた」ことだ。夢っていうのは自分の脳が見せているのに、それでも自分をびっくりさせることがあるんだなあ、と。自分の脳がびっくりさせるようなことを作り出して、自分の脳がそれにびっくりしている？自分の考えた笑い話で笑ったり、泣ける話で泣いたり、ってことは、たぶんできる。でも、「びっくり箱を開ける想像」で自分をびっくりさせることはできないのはなぜだろう。でも夢ならそれができるのかな。

僕が雑用のミスをした時に嫁が「ああああ普通の旦那が良いー！普通の旦那と結婚したかったああ！月収50万で良いから頼んだことくらい当たり前にこなせる旦那が良かったああ！！」ってくだりをやるたびに、それTwitterで呟いて炎上してくれって思ってる。

この前の三者面談で「うちには借金が500万あるから大学なんて行かせられません！！」って親に言われて、こういう時どんな顔すればいいかわからなかったけど、絶対に笑ってはいけないことだけは私でもわかった。

日米ミックス（いわゆるハーフ）の人のツイート。「ハーフですか？」「日本には何年住んでるんですか？」「日本とアメリカどっちが好き？」といったよくある質問にあまりにうんざりして、あらかじめそれに答えつつ、初対面でそういった質問をする失礼さをたしなめるカードを配っているという。これに対する反応が興味深かった。この人の行動に共感してねぎらう人がいる一方で、反発する人――中にはかなり攻撃的な批判をする人も見受けられる。個人的には、共感する人の気持ちも、反発する人の気持ちもそれなりにわかる気がした（もちろん罵倒中傷は論外として）。同じことを何度も何度も聞かれるのはそれ自体ストレスだ。さらにその内容が、自分自身の変えられない出自や外見についてであれば「初対面でなにを踏み込んできてるんだ、コイツは」とムッとするのもわかる。私の出自はぜんぜん違うから完全に理解できるわけではないが、想像することはできる。「わかる」一方で、このツイートと画像を見て反発心を抱く感覚も「わかって」しまう。反発する理由は大きく分ければ2つあるだろう。ひとつは「カードを渡して返事する」というやりかた自体への反発だ。こちらが話しかけて、相手が予め用意したカードで返事してくることから、あたかも罪悪感を掻き立てようとする皮肉のような雰囲気を感じる人もいる。少なくとも、かなりバツが悪い出来事ではある。自分が渡されたら冷や汗ものだ。カードを渡す側としては、何度も同じことをしゃべるのが苦痛なのでカードという手段を選んだのだろうし、なるべく穏便にしたい、できれば和解したいという意図でやっているはずだ。だが、渡される側としては、こちらが伸ばした握手の手をはたき落とされたように感じるのかもしれない。それも、あらかじめ用意してあるカードで伝えてくるから、まるでこっちがそういう失礼を働くことを予想されていた「かのように」思えてしまう。渡す方はより円滑なコミュニケーションを築くために苦言を呈しているのだが、渡される方は、その周到さも含めて苦言からコミュニケーションの拒絶というメッセージを、場合によっては悪意をも感じ取る。そして、もうひとつは「初対面で出自に関する質問を投げかけるのは失礼だ」という主張が全員に「押し付けられている」かのように感じて起こる反発心だ。普通、そういう質問をする人には悪意があるわけではない。なんならもっと仲良くなろうとして、そのとっかかりのために善意で聞いている人ばかりだろう。「そんなつもりで言ったんじゃないのに」というやつだ。それでも本人が嫌がるようなことはやめるべきだが、この話はそれが全員に共通するわけではないところがややこしい。実際、この手の質問を失礼に感じるかどうかは人によるところが大きい。同じ日米ミックスという境遇でも「まったく気にしないし、なんなら歩み寄りのための質問ならウェルカム」という人もいる。だから「本人が嫌がるようなことはやらないよ」という人でも「全員がそうだとは限らないでしょう」という疑問を抱くことはある。これは多様性に関するいろいろな話題で、形を変えてしょっちゅう表出してくる問題だ。「そういうのは失礼だ」と主張すると、それ自体がある意味で多様性を否定するような一般化を招くことがある。反論がなかなか大変なので、このウィークポイントを執拗に突いて「勝ち」を取ろうとする人も多い。「一般的に、出自について初対面で聞くのは失礼だ」という主張を正当化するのは、それが平気な人がいる以上けっこう難しい。ひとつの策としては、それが平気な人は「慣らされているだけ」なのだ、というような言い方をすることが挙げられるけど、これは他の問題でいえば「性産業に従事している人は”全員”搾取されている」と言い切るのに近いデリケートな問題がある。個を尊重するために始めた主張が、他人の内面を一方的に規定するような形になってしまいかねないからだ。また「じゃあ初対面の人に聞いていいことってなんなんだ」という話もややこしい問題にもつながる。たとえば、服や髪型を褒めるのはどうか。出身国じゃなく、出身県について尋ねるのはどうか。究極的には地雷が絶対に埋まっていない話題などないともいえる。人種と違って服装は自分で選べるから話題にしても構わない、といっても、経済的な必要性からやむなくその服を選んでいる、という場合もある。いやそれとこれとは違う、という反論もまた独善性をにじませてしまう。しかし、これは仕方のないことだ。「マナー」は、どうしても「人は一般的にこういう感性だから、こうしよう」というパターン化から逃れられない。ひとりひとりの違いを大切にするためには「一般的なマイノリティ像」を作らざるを得ないのだと思う。ただ、そのマナーは矛盾をはらんではいるものの、有用ではある。そこからどうしても生まれてきてしまうひずみについては、ひずんできてから修正を繰り返すほかない。カードのツイートについて私がどう思っているかというと、ああいうふうに意志を表明することがまず健康的なことだと考える。それに対して反発心を見せる人の行動も健康的だ。ともかく「不快に思った」とか「それは違うんじゃないか」とか、内容の正否に関わらず口に出して言わないことには意見が形成されないのだから「言ったその意気やよし」みたいな精神がもっと広まってほしい。これは「みんなもそう思ってるはず」という付け加えは必ずしもいらない、という主張でもある。マイノリティが陥りがちな強弁も、マジョリティがやりがちな抑圧も「みんな」への過度な依存が引き起こしているような気がしている。自分が嫌だと思ったということ自体、本当はかなり強い力を持つのだ。

新宿とか渋谷の駅って永遠に工事してるけど、誰に快適に使わせるために工事してるんだろう……。駅の完成までに利用した客が感じた「不便」の総合計に見合うぐらいの「便利」を受け取る乗客がいずれ現れるのか……？ なんでそいつらの犠牲にならないといけないんだ……。

「名前を変えてぜんぜんかけ離れたジャンルで何か評価されてみたい」という欲求がたまに湧いてくる。それこそ「エロ小説を書いてみようかな」とか一瞬思うんだけど、セクシーな状況が面白いくらいに思いつかないので断念する。才能がまったくない。そういえば以前、漫画を描いている知人が変名で18禁同人を販売している（そして全く公表していない）と伝え聞いたとき「偉いなあ」と思った。思ったし口に出して言ったと思う。ちゃんと人生の仕事をしているなと思った。寿命を削って日々を働き生きるだけでは「仕事をしている」とはいえず、むしろ自分の感覚ではだらけている感じがする。そこで、わざわざ名前を変えてまでポルノの執筆に励むということに、なんか「仕事をしている！」と言いたくなる偉さを感じた。この「仕事をしている」は「遊んでいる」と言い換えてもよい。「仕事」から連想する単調さを抜いて、「遊び」から連想するだらけた感じを抜いて、それぞれを足して一つにしたような状態が理想だと思っている。

「人に迷惑をかけない」という行動原理は好きではない。「迷惑」というものはあまりに主観的・言ったもん勝ちすぎないか。「人に危害を加えない」だと「この行為は危害と呼べるかどうか」という検討がいくらかしやすいのでマシ。

東大数学科で自殺願望あった友人、「あと１日だけなら生きてもいい」を繰り返して数学的帰納法で今日まで生き永らえてるって聞いてめちゃくちゃ嬉しい。

「差別」を隔離された大人の娯楽として商業化する未来はありえる気がするし、じつは現代もある意味でそうなっている気もする。もはや写真とは関係ない話ですが。たとえば性産業なんかだと「プレイ」と称して暴力や性犯罪のロールプレイをすることがあるようだけど、差別もそのような形で娯楽化できる見込みがあるんだろうか。それとも不可能？ たとえロールプレイだとしても、それを言われるほうの尊厳を傷つけることになる？ さらに、性産業においても成り立たないという見方もできるかな？電車での痴漢行為が犯罪であること・それがいかに相手の尊厳を傷つけるかを知っていることと、痴漢行為を欲望することは両立する。そこで合法的に欲求を満たそうと、相手の合意を得て「痴漢プレイ」をする人もいる。合意があるならそれはロールプレイ、演技なので、触られるほうの尊厳は傷つけられない……と、とりあえず言えるかもしれない。では「差別」の商業化はどうだろう。たとえば「合意」の上で雇った黒人の青年を好きなだけ罵ってもよい白人至上主義者の憩いの場、とか。SFかなにかでそういうのを読んだ気もするけど、それってアリだろうか。人種差別が不道徳であること・それが人の尊厳を傷つけるかを知っていることと、人種差別を欲望することは両立する。では、合法的に「差別」のロールプレイを行うのも（少なくとも痴漢プレイなどと同じ程度に）アリなのではないか。しかし。そもそも差別行為とは内心に秘めている軽蔑の感情を言葉や行動で表出することだ。となるとそれは、ロールプレイではありえないのではないか。たとえ黒人の従業員が白人至上主義者による罵声を、双方の「合意」のうえで受け止めたとしても、そこで飛んでくる言葉は「本心」なのではないか。差別したいという欲求は、必ずその内容が本心であることをともなうはずだ。だとしたら、いかにロールプレイといえど、言葉を浴びせられるほうの尊厳が無傷でいられるとはいえないのでは。もちろんこの疑問は性産業のほうにも戻ってくる。そもそも、痴漢行為がより具体的に何を欲望しているのかによっては、上の商業的差別ロールプレイと同じ問題をはらむからだ。それが「ただただ、電車の中で人の尻を触れればそれでいい」という欲求であれば、誰かとの合意の上でやることに問題はない。しかし本当に実態はそうなのか。そういった侵犯で相手を傷つける、そのこと自体に征服的な快楽を得ているのではないか。よくわからなくなってきたな。どっちかが「マジ」であるようなロールプレイは本当にロールプレイなの？ という問題になるのか。根本的に「尊厳」ってなんなのよ、という問題も持ち上がってきそうだし、すごくややこしそう。

全日本遊技事業協同組合連合会（パチンコの協同組合）が制作したCMがおもしろかった。パチスロを「なんか良い感じのイメージ」に近づけようとした結果、普通以上にうさんくさい雰囲気になってしまっている。行ったことある美容院の店員に偶然会って「ちょっと一緒にやってみません？」とか言われてパチンコ連れて行かれるのイヤすぎて笑っちゃったし「終わったらあそこのカフェ行きません？ クロワッサンがすごく美味しいんですよ」というセリフも不自然さが凄まじい。「終わったら」ってどういう意味なんだ。「カフェ」「クロワッサン」という二大さわやかワードでどうにかパチンコのにおいを脱臭しようとする努力が涙ぐましい。

Twitterで話題になっていたCURVE（カーブ）という短編映像を見た。目が覚めたら全面コンクリートでできた急な傾斜に横たわっていて、背後はそそり立つ壁、足元は奈落の闇、というシュールな話。このカーブがちょうど本当にイヤ～～～～～～な感じに傾いているので発想の意地悪さに笑ってしまった。ほとんど「傾斜」一本で評価されてるホラー。ホラーで大切なのは「その恐怖を知っている」という感覚なのではないだろう。『CURVE』の恐怖感は、映像を観ている人それぞれの「滑った記憶」「ころんだ記憶」「階段から落ちそうになった記憶」「手を擦りむいた記憶」を絶妙にくすぐる。コンクリートのザラザラ加減も、いい感じに過去の深い記憶に刺さる。幼少期、公園でこういう質感の遊具でコケて手を真っ赤に腫らしたことはなかったか？自分もこういう、人の「わかる」を刺激するホラーを作ってみたい。なんかないかな。自分の嫌いな行為とか生活のワンシーンを誇張すればいいのかな。

メモとったほうが絶対いいよなと思いつつ、いつもめんどくさくなってメモを忘れ、案の定なにを書こうとしていたか日記をしたためる段階でわからなくなります。よく「メモをする必要はない。メモしなければ覚えられないようなことは、もとより大したアイデアではないんだから」という言説を見聞きしますが、個人的には疑問を持っています。普通に、メモしたほうが絶対よかったのにしなかったから忘れちゃうことはあるから。とはいえ、これはもう見過ごさざるを得ないリスクとして処理するしかないのかも。常にメモ臨戦態勢で生きるのはけっこうなコストがかかるし、そういう習慣をつけられるかどうかには素質も大きく関わってくるでしょう。「いいアイデア」を適度に忘れざるを得ないんだと割り切るのも大切かなと思います。

私も個人的な自己評価としては一次創作にめちゃくちゃ苦手意識があり、かといって二次創作を嗜んだ経験もほとんどなく（最近やっと少し）、そもそも物語作りに自信があるわけでも、熱意を注いでいるわけでもない。商業で小説を書いたのも、編集者に「書けば？」と言われたのがきっかけで、ほかの作家さんみたいに、ほっておいても物語やキャラクターがどんどん浮かんできちゃうようなタイプではない。

だからたまに物語を描く機会があると「これどうすんだ？」とゼロベースで悩むことになり、これは冗談じゃないんですが、毎回「小説　書き方」で検索している。それくらいなにもわからない。小説を書くこと自体、楽しさをそこまで感じないから、職業としてあまり向いているわけでもないのかなとよく思う。寡作だし。ただ文章には「書いたことしか伝わらない」という特徴があって、これが幸か不幸か身の助けになっている。読んだ人の感じたことがなんであれ全ての結果ですから、私がいくら「しっくりこねえな」と思って首をひねりながら書いても、読んだ人が「なるほど」と膝を叩いてくれればこっちのもの。その可能性だけに賭けて、だましだまし仕事をしています。そもそも、文章を書く作業って必然的に「つまんない」ですよね。知らないことを知るのが面白さの重要なメカニズムなんだから、自分自身の内部から出てきた発想が自分にとって（本を読んでいるときに感じるような意味で）面白い、なんてことはありえないはず。自分の文章が面白く感じられるとしたら怒涛の勢いで自動筆記するときくらいじゃないのか。二次創作はこのへん何割か読者感覚を維持したまま創作することができるのもあって、参入ハードルが低いのかもしれない。これは小説の執筆に限ったことではないですけど、何かをやるときどれくらいの「幅」を適用して楽しさ判定を下すかが重要なんじゃないかなと思っています。たとえば「入浴」という作業、風呂掃除だの着替えだの髪を乾かすだのといった作業は煩雑極まりないですが、熱い湯を浴びる瞬間は気持ちがいいし、湯上がりは爽快、入浴後には清潔になる、といったメリットもある。入浴そのものにどういう評価を下すかは、その一連の流れのどこを切り取るかで大きく変わってきます。小説執筆もそうで、書くのは死ぬほどめんどくさいし書き始めるまでがかったるくてしょうがないけれども、トータルで振り返ると「まあ、けっこうよかったな」と思えてるので、歩みは遅々ながら続けている。もし人に小説を書かないか勧められてなかったら、書き始めのかったるさに打ち負けて書き遂げられなかっただろうし、なんかを始められるかどうかにはそういう運も関係してくると思います。もちろん始めなくてもぜんぜんいいんだけど、現状に停滞感を感じているならなにかしら自分の意志以外のフォースが強く働いてくる環境にエイと身を投げてみるのがいいのかもしれないですね。

昨日書き忘れたけど、漫画家のジョージ秋山が亡くなっていた。発表は6/2だったが、亡くなったのは5/12らしい。こういうとき亡くなったこともショックだけど、没日になにも気づかず普通に暮らしていた自分のことを思い返してしまう。人知れず誰かが亡くなっていても、それを知るまではわからないという当然の事実が怖いときがある。死という手遅れの事態が、時間経過ののちに訃報というさらなる手遅れのかたちをとってやってくる、その重なったラグが怖い。

マジシャンの種明かし動画をよく観ている。最近知ったのだが、You Tubeには有名な手品のタネがゴロゴロ転がっている。それも100円ショップで売っているようなチャチなやつではなくて、本格的なショウで用いられているであろうトリックだ。本来なら値段がついているやつ。古き良き奇術師はこんな時勢を憂いているに違いない。懇切丁寧にトリックの解説をしてくれる動画がいくつもあるのだが、いずれもその細工の精妙さに惚れ惚れとする。タネを知るとなんてことないと言われがちな手品だけれど、実際はそうではないのだな。思えば奇術とは不思議だ。いや奇術だから不思議なのは当たり前なんだけど。奇術を不思議に思えることのメカニズムに不思議が隠れていると思う。たとえばなんだけど、奇術師が「ほんものの超能力」を手に入れて、ほんとうにタネもしかけもない不思議な現象――壁抜けや空中浮遊――をできるようになったとしたら、満足する奇術師はどれだけいるだろうか。奇術が完全なものになったと喜ぶだろうか。また、観客がそれを知ったとき、つまり、その手品にほんとうにタネもしかけもないと理解したとき、今までよりも驚くだろうか。素直に「そうだ」とは答えられない。なぜなら、奇術が不思議であることの根源には「合理的に説明可能な原理によって不思議が引き起こされている」という含意があるから。たしかにほんとうの魔法は不思議だ。それは、このうえない不思議に違いない。しかしだからこそ、そんな不思議さはおもしろくもなんともないものなのだ。奇術の驚きは、正確には二層構造なのだろう。一層目は素直な驚き。人が空中に浮かび上がったときの「現実にこんなことが起こるはずがない！」という驚きだ。二層目は一層目の素直な驚きを俯瞰したうえで「しかし現実にそれが起こっており、本当の魔法は実際にはありえない以上、なんらかの合理的な理由で浮いているのだろう。しかしその原理が私にはわからない！」と思うことで生じる驚きだ。奇術の不思議さはそれが「魔法でないこと」によっても演出されているというわけだ。この不思議さを抽象的に言えば、主観的な知覚と客観的存在の間に齟齬が生じることで湧き上がる、孤独にも似た不思議さかもしれない。奇術は不合理に驚く娯楽ではなく、ある種の合理性は個人の視点からは不合理としてしか認知できない、という事実へ恐れおののく娯楽ではないのか。

アホほどでかい山に焼き芋100万個撒いて放火してアホの量の焼き芋作りたい。

インターネットにおける誹謗中傷について。いろいろな意見があるけど、「無責任な声はブロックでいい」という一般的な対処に私も同意している。とはいえ、問題はそう簡単ではないと思う。これは「批判？ そんなの相手にするな」という人があまり言及しないのだが、ネット上の誹謗中傷のたぐいはだいたい根拠がある。その、指摘されている内容そのものについては、本人が「なるほど、たしかにそうだな」と思えるようなものであることが多い。だからこそ心がダメージを受けるのであって「外野の意見は的外れ」という考え方は、それ自体が的外れだろう。ネット上で送りつけられる批判は、たとえるなら、いきなり人のカバンに手を突っ込んで、漁って「ハンカチくらい持ち歩けよ」と言われるのに近い。言われてみれば、たしかに。でもあなたに手を突っ込まれる筋合いはないだろう。そんな変な気分だ。人は誰しも自分自身の生き方に迷い、何かをごまかしている自分に気づき、生きるためにあえて目を背けたりしている。そこに現れる「ポケットに手を突っ込んでくる他者」は「目を背けるな」と強要してくる。もともと、自分の中で抱え持て余していた懸念に外の目が侵入してきて、それを濃く色付けする。「大きなお世話」とは、他人の優先順位をコントロールしようとする暴力のことだ。人は、ともかく今を健康に生きるために、いずれ解決すべき問題を棚上げすることがある。それは生存においてかなり重要な判断であり、行動の順位付けは、その人の誇りにも直結する、他者が口を挟むべきでない領域だと思う。「正しいか、正しくないか」というだけの基準はあまりに単純化が過ぎている。姿の見えない批判の声は、その「正しさ」を根拠に、行動の優先順位を揺らがせようとする。だから「外野の意見は的外れ」と切り捨てるよりも本質的な対処は「それはそうかもしれない。だが、それを変えるのは今ではないし、あなたが決めることではない」という領域を確保することだと思っている。

エゴサーチしてるとたまに過去の自分の発言との言行不一致を指摘するマメな人がいる。さすがに5年以上前になると考え方が根本的に変わっていることも多いから「昔のことを今言われてもな～、今の自分が最新だから」というのが本音ではあるんだけど、過去の自分の発言から学ぶこともあったりする。でもだいたいは、そんな過去の考え方を経た現在のほうがより良いと思える。興味深いのはむしろ、そういう「過去の自分」との不整合について指摘してくる第三者がいることのほうかもしれない。Twitterを10年ちょっとやっているから、いろんな側面で嫌われたり好かれたりを繰り返している。すると、ときに「あの頃の恐山のほうがよかった」というようなことを言う人が現れる。これについてはもう、2012年くらいの時点でいたと思う。「最近キレがない」と言われ続けて8年。キレのなさにも磨きがかかって、貫禄すら出てまいりました。「はぁ～、そうですか、なんかスミマセン」としか言いようがないが、他人に感情移入したうえでそいつが勝手に変化していってしまったときの不満感には、確かに心当たりがある。だいたいそういうときは、前よりダメになったような気がするもので、当人的には寛容さを獲得したと認識してる変化が、そういう視点から見るといいかげんになったように見えたりして。ソレはどちらが正しいとかではなくどちらも角度の異なる真実なのだろうと思う。根本的なことをいえば、人間を「時間的連続体」として見る風潮が強すぎるのかもしれない。誰かを肯定するのであれば、そいつの出生から死までひっくるめた肯定を与えないと苦しい、というような。でもそれは「愛」なので、おいそれと抱けるようなものではない、覚悟のいることだと思う。もっとこう、時期やシチュエーションを狭めた好み方が当たり前のこととして広まればいいですよね。私は映画『ビートルジュース』に出ていた頃の女優ウィノナ・ライダーのファンで、それ以外の時期の彼女にはこれといった興味がないんだけど、そういう無責任な好きがり方があってもよい。

見かけるたびに「ガムみたいだな」と思っていた実。名前を調べようとしたが「ガムみたいな実」で調べてもうまく出てこない。ちょっと考えて「モヤッとボールみたいな実」と入力したら、サジェストの時点で表示された。こういう曖昧な認識の部分で誰かと繋がっているとちょっとうれしいな。種類は、コノテガシワと言うらしい。虫害に強いので植木に重宝されているそうだ。

休憩するとき、ちょっと遠くのコンビニに買い出しに行く。往復20分弱。犬とか猫、虫などを見つけたり、ひとつだけ赤く光り輝いている窓がある謎のアパートをいぶかしみながら歩いたりする。今日は雨が降った直後だったので傘を持って出たが、コンビニを退店するときに傘立てに忘れてきたことに、帰宅してから気づいた。仕方なく、また同じコンビニに同じルートで足を運んだ。ほんの数十分ほど経過しただけなのに、日が傾いて街の風景がだいぶ様変わりしていた。同じ住宅街でも、明るさが変わると受け取る印象がまるで変わってくる。近所に生えている不自然なほどに赤いバラのような庭の花は、日が落ちて暗くなることで「赤」の情報を失い、細い茎の頂上でぼってりと咲く不安定な輪郭のほうの印象を強く残す。同じルートを、少しだけ時間を変えて同じように往復する、という経験はあまりなかったから、少しずつ変化していく街の差分の最小単位を認識できた感じがした。

孤独な老人、気の毒だし周囲の人達が話し相手になってあげればいいのに…等と昔は多少思ったが、「おもしろきこともなき世を〜」「徒然なるままに」「爺の独り言」「たまに毒を吐きます」「壁打ち」的な量産型老人の呟きがつまらない上に性格も良くなさそうなのを見ると孤立は当然と思っちゃうんだよな

バックパッカー旅行してて私の航空券はより安かった自慢してくるやつは本当に嫌だった。

サービス終了したソシャゲで絶対忘れたくないなってキャラがいたんだけどもう名前も顔も思い出せなくなってた

男優がイッた瞬間作品タイトルが出てくるAV

いかがわしいマッサージを受けてる落語家「するってぇとお前さん、こいつぁあくまで施術の一環だと、こう言いてぇんだな？」

アルフォートの彫りを観察していたら木曜日が過ぎ去っていった（誇張表現）。デジカメを買ってから写真をいろいろ撮ろうと試行錯誤しているけど、いまのところナメクジとだんご虫とアルフォートくらいしかちゃんと撮れてない。じっと見ていたら、木の幹に張り付いたツボミ状の繭にも思えてきた。そう考えると気持ち悪いかもしれない。アルフォートに彫られた船にモデルはなく、冒険やロマンをイメージして描かれた帆船という以上の設定はないらしい。また、アルフォートという言葉も造語で意味がない。実体のない船、幽霊船だ。どこにもいない船が、チョコレートに印刷されて、全国に出回っている。誰もが知っているのに存在しない船。なんだか怖くなってくる。眼圧検査のときに見せられる風景や、早朝のNHKで流れている子犬が遊ぶ映像など、どこか現実味に欠ける風景には少しばかりの不気味さが伴っている。

「自分以外の人間がみんな自我を持っているの怖くないですか？それぞれ過ごしてきた年月があって、好きなもの嫌いなものがあって、今日の夕食何にしようかなとか考えているのかと思うと、情報量が多すぎて気が狂いそうになります」「怖いと思うし、重要な怖さ（人生をかけて怖がる価値がある怖さ）だと思ってます。間違いなく私の最大のコンプレックスの一つは他我あるいは「他人の人生」コンプレックスとでも言うべきものです。他人には他人の人生があり、私の預かり知らないところで完璧に「人生」が行われている……という事実は、他人の人生の内容の善し悪しに関わらず、私をなぜかひどく惨めな気持ちにさせます。」

「猫好きなあなたに質問ですが、猫好きな方は道で黒猫が前を通りすぎても「不吉・・・」とは思わないものなんでしょうか？犬派の私は、黒猫に遭遇するとついドキリとしてしまいます」「私の場合は猫♡♡♡♡としか思わないな。猫が好きなのと、迷信を心の底からぜんぜん信じてないからかもしれない。というか動物全般が好きなので、犬を見たら犬♡♡♡♡だし、モリアオガエルを見たらモリアオガエル♡♡♡♡って思う。人を見たら人。と思う。」

私が「仕事できた日だな」って思う日はほとんど「机に向かえた日」と同義で、何時間机に向かっても、アイデアが浮かばなくて書けない、みたいなことはないんですよね。執筆は小麦粉をこねて団子を作るみたいな感じで、作業時間に比例した個数を淡々と排出していくもので、創造力的なトリガーは意識していないです。その代わり、机に向かうのがメンタル的に無理な日が多い。コンサータの作用がうまいこと効いたときは「机に向かう」というだけのことができるようになるので、そこで助かってますが、創作上の障壁にはなってないです。副作用で体調を崩したり、逃避行動のほうに集中してしまったり、虚脱感に苛まれたりといったデメリットは感じます。

「中学校や高校の頃、進路を考える際に「どう生きたいか」を考えなければならず、「人生をここで終わりにする」という選択肢がそもそも無いことに違和感がありました。「生きる」と同じように「死ぬ」という選択肢も選べた方が自然なのではないかと思うんですが」「世の中は未熟なので死へのサポート体制がいまだ万全じゃないんですけど、それはそれで合理性があると思っています。人はほとんど誰でも自分で死ねるようになっているし、自死を推奨するこれといったメリットも社会の方にはないから、わざわざそれをサポートしてやる義理がないんですね。死ぬ人っていうのは社会にとっては店を途中退席する客、それも二度と来ない客なので、わざわざ出口への導線を飾り立ててやる意味がない。食堂なんかは「またお越しくださいませ」なんて足ふきマットに書いてますが、あれはリピーターを狙ってるから言えるのであって、どの客も二度と戻ってこないならそんなマット置かない。なにより、客は最初からみんな出口の場所を知っている。死のサポート体制をもっと整えたいのであれば、やっぱ社会のほうが「こいつが死んで社会の中身がより良くなったなぁ～」と思えるような死に方を提示したほうがいいんでしょうね。」

RIP SLYMEの『熱帯夜』のMVを観ていた。メンバーがイケイケな感じで歌っているところに、すけベな格好のギャルが集団で現れてクネクネ踊りながら絡んでくるのだが、メンバーは楽しそうに歌うのに夢中でわりとギャルを無視しており、その感じが面白くて笑っていた。ギャルの幽霊なのかもしれない。心霊ビデオみたいな薄暗い背景も、水着ギャルの雰囲気に全然合っていなくて笑ってしまう。「セクシー」って面白いんだよな。叶姉妹くらいになるとみんな理解を示してくれるけど、そもそも煽情的な雰囲気を煽ろうと頑張ってることにこっけい味を感じる。うっふ～ん♡♡♡

「選択肢が増えるだけ」「そんな難しい問題じゃない」みたいなことを言うの、社会や国の歴史文化道徳すべての根底的な価値観を揺るがす議論を興しているという責任すら負いたがらない幼稚性を感じて、こんな連中と同じ枠で括られたくないから賛成と言いたくなくなってくるな。せめて「そういう（だれかが大切に守ろうとしているかもしれない）国の根っこの部分に手を入れてでも議論を興したい、世の中を変えたい」という自覚というか、わきまえくらい持ってくれよとは思う。「別にあなたの日常は変わらない。選択肢が増えてよろこぶ人がどこかに増えるだけ」とかいうツイッターインテリが大好きな言説、あまりにも赤々とした嘘で、賛成するとこんな嘘つきの仲間に加えられてしまうのかという腹立たしさがある。せめて「社会の価値観を相対化するし、法的・税制的な制度設計まで変えなければならないし、子どもを持つことについても社会的リスクはどうしたってある」くらいのことを言うのが誠実な議論でしょという。差別主義者と言われたくないからか知らんが、嘘つきが増えすぎ。自分の道徳的優位性を傷つけたくないばかりに真っ赤な嘘をつくせいで、「同性婚推進者は信用ならない奴」みたいになる。まあ問題提起しただけで差別主義者認定キャンセル神拳を炸裂させてきた人たちだからこそ嘘つきになるんでしょうけども。

遅刻されても基本怒らないけど、特に「人の貴重な時間を無駄にしやがって😡」みたいなのあんま思わない。誰よりも自分自身が自分の時間を無駄にしているので……

子供の数にこだわってるなんてことは本当に1ミリもなかったんだけど、妻が「ベビーカーもう使わないからメルカリで売ろう！」っつってすぐ売れて、会社で1人発送作業してる時に急に寂しさが猛烈に込み上げてきてホロリとした。もう2度とうちに赤ちゃん来ないんだってな。

こうやって新しい撮影機材が手に入ったとき、その機材を撮影するのは旧型の機種になる。これはスマホで撮ってるから違うけれど、場合によっては、旧型機種が最後に記憶に残すものは、自分の代わりにやってきた奴の姿になる。

「あったな～」っていう昔のこと、なんで言ってるだけでこんなに楽しいんだろうか。「知っているけど言われるまで忘れているようなこと」には、思い出す瞬間に角栓を抜くような快感があって、老化してくるとその快楽のとりこになってしまう。同窓会など、その快楽だけのために存在する、淫猥な催しだ。ただ「あったな～」にはワインのごとく「飲み頃」があって、新しすぎるのはもちろん、古すぎるのもいけない。ちょうど盲点に埋まっている「あったな～」の味が、なにより旨いのである。たとえば「みのもんたの朝ズバッ」は「あったな～」と言うにはまだ弱く、酸味が強いが、「バウリンガル」は揮発してしまっていて深みがない。これは時期の古さだけに左右されるわけではなくて、事象そのものの「味」が関わってきてもいると思う。ちょうど良い感じに色褪せられる素質は、最初から決まってる気がしてならない。「チリ33人落盤事故」は、私にとってはかなり良い感じに熟成してきている。映画化したんだっけ？ワードとして聞くだけで懐かしくなるようなものもあって「ウィルコム」とかがそれだ。「ボーダフォン」はある種なつかしさの代名詞になっているが、ウィルコムはあまり熟成のフタが開けられてこなかったから、シブい感じになっている。

８０オーバーの叔父叔母だけが住む家に、用事を足しにいってきた…高齢者特有のにおいと、全部手が届く配置と、ストーブガンガンの部屋に生鮮食品とか牛乳が置かれてて…老いるってのはこういうことだよなってなった

異常なショタ「お、おねいさん…おちんちんに黒いおしっこ入っちゃう！」

理解のあるおねいさん「うん、いっぱい入れなさいね」（ｼｭｺｼｭｺｼｭｺｼｭｺ…）

「本当に本物そっくりの偽札は偽札と呼ばれない」という設定のショートショートを読んだことがある。誰のだったか忘れたけど怖くてよかった。同じ構造がステマにも当てはまる。ステマと指摘されてるものは完全なステマじゃない。完全なステマはステマと呼ばれぬまま溶け込んでいる。微妙にワクワクする。

新幹線で缶ビールを飲みつつ隣人の仕事風景眺めるの好き。こないだ紙ノートに牧場の設計図を描いてる人がいて、リアル牧場なのかゲームなのか気になりすぎた。それとも趣味なのか？

クラッシュバンディクーの悪いところ。クラッシュという、あの顔のやつがどうなろうと知ったこっちゃないと思っちゃうんですよね。あいつが不幸になっても私別にいいもん。